INTERLINEAR BIBLE

Greek & Hebrew Text with Word-by-Word Translation

Japanese Kougo-yaku (1954/1955) - Interlinear

This interlinear Bible is provided for personal, non-commercial use only. The reference Bible text may be subject to copyright restrictions. Please do not redistribute or use commercially without proper authorization.

Global Bible Tools
global-tools.bible.systems
2026

Table of Contents

Old Testament

Genesis
Exodus
Leviticus
Numbers
Deuteronomy
Joshua
Judges
Ruth
1 Samuel
2 Samuel
1 Kings
2 Kings
1 Chronicles
2 Chronicles
Ezra
Nehemiah
Esther
Job
Psalms
Proverbs
Ecclesiastes
Song of Solomon
Isaiah
Jeremiah
Lamentations
Ezekiel
Daniel
Hosea
Joel
Amos
Obadiah
Jonah
Micah
Nahum
Habakkuk
Zephaniah
Haggai
Zechariah
Malachi

New Testament

Matthew
Mark
Luke
John
Acts
Romans
1 Corinthians
2 Corinthians
Galatians
Ephesians
Philippians
Colossians
1 Thessalonians
2 Thessalonians
1 Timothy
2 Timothy
Titus
Philemon
Hebrews
James
1 Peter
2 Peter
1 John
2 John
3 John
Jude
Revelation

Genesis

Chapter 1

1 בְּרֵאשִׁית (はじめに H7225) בָּרָא (創造された) אֱלֹהִים (神は H0430) אֵת (を) H0853 הַשָּׁמַיִם (天を H8064) וְאֵת (と(を) H0853) הָאָרֶץ׃ (地を H0776)

はじめに神は天と地とを創造された。

2 וְהָאָרֶץ (そして-地は H0776) הָיְתָה (であった H1961) תֹהוּ (荒漠として H8414) וָבֹהוּ (空虚であり H0922) וְחֹשֶׁךְ (そして-闇が H2822) עַל־ (の)-上に) פְּנֵי (表面の H6440) תְהוֹם (深淵の H8415)
וְרוּחַ (そして-神の-霊が H7307) אֱלֹהִים (神の H0430) מְרַחֶפֶת (動いていた) עַל־ (の)-上を) פְּנֵי (表面の H6440) הַמָּיִם׃ (水の H4325)

地は形なく、むなしく、やみが淵のおもてにあり、神の霊が水のおもてをおおっていた。

3 וַיֹּאמֶר (そして-言われた H0559) אֱלֹהִים (神は H0430) יְהִי (あれ H1961) אוֹר (光よ H0216) וַיְהִי־ (すると-あった) אוֹר׃ (光が H0216)

神は「光あれ」と言われた。すると光があった。

4 וַיַּרְא (そして-見た H7200) אֱלֹהִים (神は H0430) אֶת־ (を) H0853) הָאוֹר (光を H0216) כִּי־ (と)-それは) טוֹב (良いと) וַיַּבְדֵּל (そして-分けた H0914) אֱלֹהִים (神は H0430) בֵּין (の)-間を H0996) הָאוֹר (光と H0216)
וּבֵין (の)-間の H0996) הַחֹשֶׁךְ׃ (闇を H2822)

神はその光を見て、良しとされた。神はその光とやみとを分けられた。

5 וַיִּקְרָא (そして-名づけた H7121) אֱלֹהִים (神は H0430) לָאוֹר (光を H0216) יוֹם (昼と H3117) וְלַחֹשֶׁךְ (そして-闇を H2822) קָרָא (呼んだ H7121) לָיְלָה (夜と H3915) וַיְהִי־ (そして-あった H1961) עֶרֶב (夕が H6153)
וַיְהִי־ (そして-あった H1961) בֹּקֶר (朝が H1242) יוֹם (日の H3117) אֶחָד׃ (第一の H0259) פ ([段落])

神は光を昼と名づけ、やみを夜と名づけられた。夕となり、また朝となった。第一日である。

6 וַיֹּאמֶר (そして-言われた H0559) אֱלֹהִים (神は H0430) יְהִי (あれ H1961) רָקִיעַ (大空が H7549) בְּתוֹךְ (の)-中に H8432) הַמָּיִם (水の H4325) וִיהִי (そして-なれ H1961) מַבְדִּיל (隔てと H0914) בֵּין (の)-間に H0996) מַיִם (水と H4325)
לַמָּיִם׃ (水の H4325)

神はまた言われた、「水の間におおぞらがあって、水と水とを分けよ」。

מִתָּחַת	אֲשֶׁר	הַמַּיִם	בֵּין	וַיַּבְדֵּל	הָרָקִיעַ	אֶת־	אֱלֹהִים	וַיַּעַשׂ
下の	(の)–ところの	水の	(の)–間を	そして–分けた	大空を	(を)	神は	そして–造った
H8478		H4325	H0996	H0914	H7549	H0853	H0430	

כֵּן׃	וַיְהִי־	לָרָקִיעַ	מֵעַל	אֲשֶׁר	הַמָּיִם	וּבֵין	לָרָקִיעַ
なった	すると–そう	大空の	上の	(の)–ところの	水の	と(の)–間の	大空の
	H1961	H7549			H4325	H0996	H7549

7

そのようになった。神はおおぞらを造って、おおぞらの下の水とおおぞらの上の水とを分けられた。

יוֹם	בֹּקֶר	וַיְהִי־	עֶרֶב	וַיְהִי־	שָׁמָיִם	לָרָקִיעַ	אֱלֹהִים	וַיִּקְרָא
日の	朝が	そして–あった	夕が	そして–あった	天と	大空を	神は	そして–名づけた
H3117	H1242	H1961	H6153	H1961	H8064	H7549	H0430	H7121

פ	שֵׁנִי׃
[段落]	第二の
	H8145

8

神はそのおおぞらを天と名づけられた。夕となり、また朝となった。第二日である。

אֶחָד	מָקוֹם	אֶל־	הַשָּׁמַיִם	מִתָּחַת	הַמַּיִם	יִקָּווּ	אֱלֹהִים	וַיֹּאמֶר
一つの	場所の	(の)–方へ	天の	下の	水は	集まれ	神は	そして–言われた
H0259	H4725	H0413	H8064	H8478	H4325		H0430	H0559

כֵּן׃	וַיְהִי־	הַיַּבָּשָׁה	וְתֵרָאֶה
なった	すると–そう	乾いた–地が	そして–現れよ
	H1961	H3004	H7200

9

神はまた言われた、「天の下の水は一つ所に集まり、かわいた地が現れよ」。そのようになった。

יַמִּים	קָרָא	הַמָּיִם	וּלְמִקְוֵה	לַיַּבָּשָׁה	אֶרֶץ	וֵאלֹהִים	וַיִּקְרָא
海と	呼んだ	水の	そして–集まった–水を	乾いた–地を	地と	神は	そして–名づけた
H3220	H7121	H4325		H3004	H0776	H0430	H7121

טֽוֹב׃	כִּי־	אֱלֹהִים	וַיַּרְא
良いと	(と)–それは	神は	そして–見た
		H0430	H7200

10

神はそのかわいた地を陸と名づけ、水の集まった所を海と名づけられた。神は見て、良しとされた。

עֹשֶׂה	פְּרִי	עֵץ	זֶרַע	מַזְרִיעַ	עֵשֶׂב	דֶּשֶׁא	הָאָרֶץ	תַּדְשֵׁא	אֱלֹהִים	וַיֹּאמֶר
結ぶ	実の	木を	種の	種を–蒔く	植物を	草を	地は	生え出よ	神は	そして–言われた
	H6529	H6086	H2233	H2232	H6212	H1877	H0776	H1876	H0430	H0559

כֵּן׃	וַיְהִי־	הָאָרֶץ	עַל־	בּוֹ	זַרְעוֹ־	אֲשֶׁר	לְמִינוֹ	פְּרִי
なった	すると–そう	地の	(の)–上に	その–中に	その–種が	(の)–ところの	種類に–従い	実を
	H1961	H0776			H2233		H4327	H6529

11

神はまた言われた、「地は青草と、種をもつ草と、種類にしたがって種のある実を結ぶ果樹とを地の上にはえさせよ」。そのようになった。

פְּרִי	עֹשֶׂה־	וְעֵץ	לְמִינֵהוּ	זֶרַע	מַזְרִיעַ	עֵשֶׂב	דֶּשֶׁא	הָאָרֶץ	וַתּוֹצֵא
実を	結ぶ	そして–木を	種類に–従い	種の	種を–蒔く	植物を	草を	地は	そして–生じた
H6529		H6086	H4327	H2233	H2232	H6212	H1877	H0776	H3318

טֽוֹב׃	כִּי־	אֱלֹהִים	וַיַּרְא	לְמִינֵהוּ	בּוֹ	זַרְעוֹ־	אֲשֶׁר
良いと	(と)–それは	神は	そして–見た	種類に–従い	その–中に	その–種が	(の)–ところの
		H0430	H7200	H4327		H2233	

12

地は青草と、種類にしたがって種をもつ草と、種類にしたがって種のある実を結ぶ木とをはえさせた。神は見て、良しとされた。

13 וַיְהִי־ עֶרֶב וַיְהִי־ בֹקֶר יוֹם שְׁלִישִׁי׃ פ
H1961 H6153 H1961 H1242 H3117 H7992 [段落]
そして-あった 夕が そして-あった 朝が 日の 第三の

夕となり、また朝となった。第三日である。

14 וַיֹּאמֶר אֱלֹהִים יְהִי מְאֹרֹת בִּרְקִיעַ הַשָּׁמַיִם לְהַבְדִּיל בֵּין הַיּוֹם
H0559 H0430 H1961 H3974 H7549 H8064 H0914 H0996 H3117
そして-言われた 神は あれ 光る-ものが 大空に 天の 分けるために (の)-間を 昼と

וּבֵין הַלָּיְלָה וְהָיוּ לְאֹתֹת וּלְמוֹעֲדִים וּלְיָמִים וְשָׁנִים׃
H0996 H3915 H1961 H0226 H4150 H3117 H8141
(の)-間の 夜の そして-なれ しるしと そして-季節と そして-日々と 年のために

神はまた言われた、「天のおおぞらに光があって昼と夜とを分け、しるしのため、季節のため、日のため、年のためになり、

15 וְהָיוּ לִמְאוֹרֹת בִּרְקִיעַ הַשָּׁמַיִם לְהָאִיר עַל־ הָאָרֶץ וַיְהִי־ כֵן׃
H1961 H3974 H7549 H8064 H0215 H0776 H1961
そして-なれ 光る-ものとして 大空に 天の 照らすために (の)-上を 地の すると-そう なった

天のおおぞらにあって地を照らす光となれ」。そのようになった。

16 וַיַּעַשׂ אֱלֹהִים אֶת־ שְׁנֵי הַמְּאֹרֹת הַגְּדֹלִים אֶת־ הַמָּאוֹר הַגָּדֹל
H0430 H0853 H8147 H3974 H0853 H1419 H3974
神は (を) 二つの 光る-ものを (を) 大きい 大きい-方の-光る-ものを

לְמֶמְשֶׁלֶת הַיּוֹם וְאֶת־ הַמָּאוֹר הַקָּטֹן לְמֶמְשֶׁלֶת הַלָּיְלָה וְאֵת הַכּוֹכָבִים׃
H3117 H4475 H0853 H3974 H7090 H4475 H3915 H0853 H3556
昼を 治めるために そして(を) 小さい-方の-光る-ものを 小さい 治めるために 夜を そして(を) 星々を

神は二つの大きな光を造り、大きい光に昼をつかさどらせ、小さい光に夜をつかさどらせ、また星を造られた。

17 וַיִּתֵּן אֹתָם אֱלֹהִים בִּרְקִיעַ הַשָּׁמָיִם לְהָאִיר עַל־ הָאָרֶץ׃
H5414 H0853 H0430 H7549 H8064 H0215 H0776
そして-置いた それらを 神は 大空に 天の 照らすために (の)-上を 地の

神はこれらを天のおおぞらに置いて地を照らさせ、

18 וְלִמְשֹׁל בַּיּוֹם וּבַלַּיְלָה וְלַהַבְדִּיל בֵּין הָאוֹר וּבֵין הַחֹשֶׁךְ
H4910 H3117 H3915 H0914 H0996 H0216 H0996 H2822
そして-治め 昼を そして-夜を そして-分けるために (の)-間を 光と (の)-間の 闇を

וַיַּרְא אֱלֹהִים כִּי־ טוֹב׃
H7200 H0430 H3588 H2896
そして-見た 神は (と)-それは 良いと

昼と夜とをつかさどらせ、光とやみとを分けさせられた。神は見て、良しとされた。

19 וַיְהִי־ עֶרֶב וַיְהִי־ בֹקֶר יוֹם רְבִיעִי׃ פ
そして–あった 夕が そして–あった 朝が 日の 第四の [段落]
H1961 H6153 H1961 H1242 H3117 H7243

夕となり、また朝となった。第四日である。

20 וַיֹּאמֶר אֱלֹהִים יִשְׁרְצוּ הַמַּיִם שֶׁרֶץ נֶפֶשׁ הַיָּה וְעוֹף יְעוֹפֵף
そして–言われた 神は 群がれ 水は 群がる–ものを 生き物の 命ある そして–鳥は 飛べ
H0559 H0430 H8317 H4325 H8318 H5315 H2416 H5775

עַל־ פְּנֵי רְקִיעַ הַשָּׁמָיִם׃
(の)–上を 地の (の)–面を 面の 大空の 天の
H0776 H6440 H7549 H8064

神はまた言われた、「水は生き物の群れで満ち、鳥は地の上、天のおおぞらを飛べ」。

21 וַיִּבְרָא אֱלֹהִים אֶת־ הַתַּנִּינִם הַגְּדֹלִים וְאֵת כָּל־ נֶפֶשׁ
そして–創造された 神は (を) 大きな–海の–生き物を 大きな そして(を) すべての 生き物の
H1254 H0430 H0853 H8577 H1419 H0853 H3605 H5315

הַחַיָּה הָרֹמֶשֶׂת אֲשֶׁר שָׁרְצוּ הַמַּיִם לְמִינֵהֶם וְאֵת כָּל־ עוֹף כָּנָף
命ある 動く (の)–ところの 群がった 水に 種類に–従い そして(を) すべての 鳥の 翼ある
H2416 H7430 H0834 H8317 H4325 H4327 H0853 H3605 H5775 H3671

לְמִינֵהוּ וַיַּרְא אֱלֹהִים כִּי־ טוֹב׃
種類に–従い 見た 神は (と)–それは 良いと
H4327 H7200 H0430 H3588 H2896

神は海の大いなる獣と、水に群がるすべての動く生き物とを、種類にしたがって創造し、また翼のあるすべての鳥を、種類にしたがって創造された。神は見て、良しとされた。

22 וַיְבָרֶךְ אֹתָם אֱלֹהִים לֵאמֹר פְּרוּ וּרְבוּ וּמִלְאוּ אֶת־ הַמַּיִם
そして–祝福された それらを 神は 言って 生めよ そして–増えよ そして–満たせ 水を
H1288 H0853 H0430 H0559 H6509 H7235 H4390 H0853 H4325

בַּיַּמִּים וְהָעוֹף יִרֶב בָּאָרֶץ׃
海の–中で そして–鳥は 増えよ 地の–上で
H3220 H5775 H7235 H0776

神はこれらを祝福して言われた、「生めよ、ふえよ、海の水に満ちよ、また鳥は地にふえよ」。

23 וַיְהִי־ עֶרֶב וַיְהִי־ בֹקֶר יוֹם חֲמִישִׁי׃ פ
そして–あった 夕が そして–あった 朝が 日の 第五の [段落]
H1961 H6153 H1961 H1242 H3117 H2549

夕となり、また朝となった。第五日である。

24 וַיֹּאמֶר אֱלֹהִים תּוֹצֵא הָאָרֶץ נֶפֶשׁ חַיָּה לְמִינָהּ בְּהֵמָה
そして–言われた 神は 生じよ 地は 生き物を 命ある 種類に–従い 家畜を
H0559 H0430 H3318 H0776 H5315 H2416 H4327 H0929

וָרֶמֶשׂ וְחַיְתוֹ־ אֶרֶץ לְמִינָהּ וַיְהִי־ כֵן׃
そして–這う–ものを そして–地の–獣を 地の 種類に–従い すると–そう なった
H7431 H0776 H4327 H1961

神はまた言われた、「地は生き物を種類にしたがっていだせ。家畜と、這うものと、地の獣とを種類にしたがっていだせ」。そのようになった。

25

לְמִינָהּ	הַבְּהֵמָה	וְאֶת־	לְמִינָהּ	הָאֲדָמָה	חַיַּת	אֶת־	אֱלֹהִים	וַיַּעַשׂ
種類に–従い	家畜を	そして(を)	種類に–従い	地の	獣を	(を)	神は	そして–造った
H4327	H0929	H0853	H4327	H0776		H0853	H0430	

טֽוֹב׃	כִּי־	אֱלֹהִים	וַיַּרְא	לְמִינֵהוּ	הָאֲדָמָה	רֶמֶשׂ	כֹּל־	וְאֶת
良いと	(と)–それは	神は	そして–見た	種類に–従い	地の	這う–ものを	すべての	そして(を)
		H0430	H7200	H4327	H0127	H7431	H3605	H0853

神は地の獣を種類にしたがい、家畜を種類にしたがい、また地に這うすべての物を種類にしたがって造られた。神は見て、良しとされた。

26

וְיִרְדּוּ	כִּדְמוּתֵנוּ	בְּצַלְמֵנוּ	אָדָם	נַעֲשֶׂה	אֱלֹהִים	וַיֹּאמֶר	
そして–支配させよう	我々に–似せて	我々の–かたちに	人を	造ろう	神は	そして–言われた	
	H1823	H6754	H0120		H0430	H0559	

וּבְכָל־	הָאָרֶץ	וּבְכָל־	וּבַבְּהֵמָה	הַשָּׁמַיִם	וּבְעוֹף	הַיָּם	בִּדְנַת
そして–すべての	地を	そして–すべての	そして–家畜を	天の	そして–鳥を	海の	魚を
H3605	H0776	H3605	H0929	H8064	H5775	H3220	H1710

הָאָרֶץ׃	עַל־	הָרֹמֵשׂ	הָרֶמֶשׂ
地の	(の)–上を	這う	這う–ものを
H0776		H7430	H7431

神はまた言われた、「われわれのかたちに、われわれにかたどって人を造り、これに海の魚と、空の鳥と、家畜と、地のすべての獣と、地のすべての這うものとを治めさせよう」。

27

בָּרָא	אֱלֹהִים	בְּצֶלֶם	בְּצַלְמוֹ	הָאָדָם	אֶת־	אֱלֹהִים	וַיִּבְרָא	
創造された	神の	かたちに	ご自身の–かたちに	人を	(を)	神は	そして–創造された	
	H0430	H6754	H6754	H0120	H0853	H0430		

אֹתָם׃	בָּרָא	וּנְקֵבָה	זָכָר	אֹתָו
彼らを	創造された	女とに	男と	彼を
H0853		H5347	H2145	H0853

神は自分のかたちに人を創造された。すなわち、神のかたちに創造し、男と女とに創造された。

28

וּרְבוּ	פְּרוּ	אֱלֹהִים	לָהֶם	וַיֹּאמֶר	אֱלֹהִים	אֹתָם	וַיְבָרֶךְ	
そして–増えよ	生めよ	神は	彼らに	そして–言われた	神は	彼らを	そして–祝福された	
	H6509	H0430		H0559	H0430	H0853	H1288	

הַשָּׁמַיִם	וּבְעוֹף	הַיָּם	בִּדְגַת	וּרְדוּ	וְכִבְשֻׁהָ	הָאָרֶץ	אֶת־	וּמִלְאוּ
天の	そして–鳥を	海の	魚を	そして–支配せよ	そして–従わせよ	地を	(を)	そして–満たせ
H8064	H5775	H3220	H1710		H3533	H0776	H0853	H4390

הָאָרֶץ׃	עַל־	הָרֹמֶשֶׂת	חַיָּה	וּבְכָל־
地の	(の)–上を	動く	生き物を	そして–すべての
H0776		H7430		H3605

神は彼らを祝福して言われた、「生めよ、ふえよ、地に満ちよ、地を従わせよ。また海の魚と、空の鳥と、地に動くすべての生き物とを治めよ」。

29

זֹרֵעַ	וְעֵשֶׂב	כָּל־	אֶת־	לָכֶם	נָתַתִּי	הִנֵּה	אֱלֹהִים	וַיֹּאמֶר
蒔く	草を	すべての	(を)	あなたがたに	わたしは–与えた	見よ	神は	そして–言われた
H2232	H6212	H3605	H0853		H5414	H2009	H0430	H0559

אֲשֶׁר־	הָעֵץ	כָּל־	וְאֶת־	הָאָרֶץ	כָּל־	פְּנֵי	עַל־	אֲשֶׁר	זֶרַע
(の)–ところの	木を	すべての	そして(を)	地の	すべての	面の	(の)–上の	(の)–ところの	種を
	H6086	H3605	H0853	H0776	H3605	H6440			H2233

לְאָכְלָה׃	יִהְיֶה	לָכֶם	זֶרַע	זֹרֵעַ	עֵץ	פְּרִי־	בּוֹ
食物と	なる	あなたがたに	種を	蒔く	木の	実の	その–中に
H0402	H1961		H2233	H2232	H6086	H6529	

神はまた言われた、「わたしは全地のおもてにある種をもつすべての草と、種のある実を結ぶすべての木とをあなたがたに与える。これはあなたがたの食物となるであろう。

30

רוֹמֵשׂ	וּלְכָל	הַשָּׁמַיִם	עוֹף	וּלְכָל־	הָאָרֶץ	חַיַּת	וְלְכָל־	
這う-ものに	そして-すべての	天の	鳥に	そして-すべての	地の	獣に	そして-すべての	
H7430	H3605	H8064	H5775	H3605	H0776		H3605	

עֵשֶׂב	יֶרֶק	כֹּל־	אֶת־	חַיָּה	נֶפֶשׁ	בּוֹ	אֲשֶׁר־	הָאָרֶץ	עַל־
草を	緑の	すべての	(を)	生き物の	命ある	その-中に	(の)-ところの	地の	(の)-上の
H6212	H3418	H3605	H0853		H5315			H0776	

כֵּן׃	וַיְהִי־	לְאָכְלָה
なった	すると-そう	食物として
	H1961	H0402

また地のすべての獣、空のすべての鳥、地を這うすべてのもの、すなわち命あるものには、食物としてすべての青草を与える」。そのようになった。

31

מְאֹד	טוֹב	וְהִנֵּה־	עָשָׂה	אֲשֶׁר	כֹּל־	אֶת־	אֱלֹהִים	וַיַּרְא	
良かった	非常に	そして-見よ	造ったものを	(の)-ところの	すべて	(を)	神は	そして-見た	
H3966		H2009			H3605	H0853	H0430	H7200	

פ	הַשִּׁשִּׁי׃	יוֹם	בֹּקֶר	וַיְהִי־	עֶרֶב	וַיְהִי־	
[段落]	第六の	日の	朝が	そして-あった	夕が	そして-あった	
	H8345	H3117	H1242	H1961	H6153	H1961	

神が造ったすべての物を見られたところ、それは、はなはだ良かった。夕となり、また朝となった。第六日である。

Chapter 2

1

צְבָאָם׃	וְכָל־	וְהָאָרֶץ	הַשָּׁמַיִם	וַיְכֻלּוּ	
万象が	そして-すべての	そして-地と	天と	こうして-完成した	
	H3605	H0776	H8064	H3615	

こうして天と地と、その万象とが完成した。

2

בַּיּוֹם	וַיִּשְׁבֹּת	עָשָׂה	אֲשֶׁר	מְלַאכְתּוֹ	הַשְּׁבִיעִי	בַּיּוֹם	אֱלֹהִים	וַיְכַל	
日に	そして-休まれた	なされた	(の)-ところの	御業を	第七の	日に	神は	そして-終えた	
H3117				H4399	H7637	H3117	H0430	H3615	

עָשָׂה׃	אֲשֶׁר	מְלַאכְתּוֹ	מִכָּל־	הַשְּׁבִיעִי
なされた	(の)-ところの	御業から	すべての	第七の
		H4399	H3605	H7637

神は第七日にその作業を終えられた。すなわち、そのすべての作業を終って第七日に休まれた。

3

כִּי	אֹתוֹ	וַיְקַדֵּשׁ	הַשְּׁבִיעִי	יוֹם	אֶת־	אֱלֹהִים	וַיְבָרֶךְ		
なぜなら	それを	そして-聖別された	第七の	日を	(を)	神は	そして-祝福された		
	H0853	H6942	H7637	H3117	H0853	H0430	H1288		

פ	לַעֲשׂוֹת׃	אֱלֹהִים	בָּרָא	אֲשֶׁר־	מְלַאכְתּוֹ	מִכָּל־	שָׁבַת	בּוֹ
[段落]	なすために	神が	創造された	(の)-ところの	御業から	すべての	休まれた	その-日に
		H0430			H4399	H3605		

神はその第七日を祝福して、これを聖別された。神がこの日に、そのすべての創造のわざを終って休まれたからである。

4

אֱלֹהִים	יְהוָה	עֲשׂוֹת	בְּיוֹם	בְּהִבָּרְאָם	וְהָאָרֶץ	הַשָּׁמַיִם	תּוֹלְדוֹת	אֵלֶּה
神が	主なる	造られた	日に	創造された-とき	そして-地の	天と	歴史である	これらは
H0430	H3068		H3117		H0776	H8064	H8435	H0428

וְשָׁמָיִם׃	אֶרֶץ
そして-天を	地と
H8064	H0776

これが天地創造の由来である。主なる神が地と天とを造られた時、

5

טֶרֶם	הַשָּׂדֶה	עֵשֶׂב	וְכֹל־	בָּאָרֶץ	יִהְיֶה	טֶרֶם	הַשָּׂדֶה	שִׂיחַ	וְכֹל
まだ	野の	草は	そして-すべての	地に	なかった	まだ	野の	灌木は	そして-すべての
H2962		H6212	H3605	H0776	H1961	H2962		H7880	H3605

הָאָרֶץ	עַל־	אֱלֹהִים	יְהוָה	הִמְטִיר	לֹא	כִּי	יִצְמָח
地の	(の)-上に	神は	主なる	降らせていなかった	(まだ)-ない	なぜなら	生えていなかった
H0776		H0430	H3068	H4305	H3808		H6779

הָאֲדָמָה׃	אֶת־	לַעֲבֹד	אַיִן	וְאָדָם
土地を	(を)	耕す-ための	いなかった	そして-人は
H0127	H0853	H5647	H0369	H0120

地にはまだ野の木もなく、また野の草もはえていなかった。主なる神が地に雨を降らせず、また土を耕す人もなかったからである。

6

הָאֲדָמָה׃	פְּנֵי־	כָּל־	אֶת־	וְהִשְׁקָה	הָאָרֶץ	מִן־	יַעֲלֶה	וְאֵד
土地の	表面を	すべての	(を)	そして-潤した	地から	(から)	立ち上り	しかし-霧が
H0127	H6440	H3605	H0853	H8248	H0776		H5927	H0108

しかし地から泉がわきあがって土の全面を潤していた。

7

וַיִּפַּח	הָאֲדָמָה	מִן־	עָפָר	הָאָדָם	אֶת־	אֱלֹהִים	יְהוָה	וַיִּיצֶר
そして-吹き入れた	地面から	(から)	ちりで	人を	(を)	神は	主なる	そして-形造った
H5301	H0127		H6083	H0120	H0853	H0430	H3068	H3335

חַיָּה׃	לְנֶפֶשׁ	הָאָדָם	וַיְהִי	חַיִּים	נִשְׁמַת	בְּאַפָּיו
者と	生きた	人は	すると-なった	命の	息を	その-鼻に
	H5315	H0120	H1961		H5397	H0639

主なる神は土のちりで人を造り、命の息をその鼻に吹きいれられた。そこで人は生きた者となった。

8

הָאָדָם	אֶת־	שָׁם	וַיָּשֶׂם	מִקֶּדֶם	בְּעֵדֶן	גַּן־	אֱלֹהִים	יְהוָה	וַיִּטַּע
人を	(を)	そこに	そして-置いた	東の-方に	エデンに	園を	神は	主なる	そして-植えた
H0120	H0853	H8033				H1588	H0430	H3068	H5193

יָצָר׃	אֲשֶׁר
形造った	(の)-ところの
H3335	

主なる神は東のかた、エデンに一つの園を設けて、その造った人をそこに置かれた。

9

לִמְרְאֶה	נֶחְמָד	עֵץ	כָּל־	הָאֲדָמָה	מִן־	אֱלֹהִים	יְהוָה	וַיַּצְמַח
見る-ために	見て-好ましく	木を	すべての	地面から	(から)	神は	主なる	そして-生えさせた
H4758		H6086	H3605	H0127		H0430	H3068	H6779

טוֹב	הַדַּעַת	וְעֵץ	הַגָּן	בְּתוֹךְ	הַחַיִּים	וְעֵץ	לְמַאֲכָל	וְטוֹב
善と	知識の	そして-木を	園の	真ん中に	命の	そして-木を	食べる-ために	そして-良い
	H1847	H6086	H1588	H8432		H6086	H3978	

וָרָע׃
悪の

また主なる神は、見て美しく、食べるに良いすべての木を土からはえさせ、更に園の中央に命の木と、善悪を知る木とをはえさせられた。

10 וְנָהָר יֹצֵא מֵעֵדֶן לְהַשְׁקוֹת אֶת־הַגָּן וּמִשָּׁם יִפָּרֵד וְהָיָה לְאַרְבָּעָה רָאשִׁים׃

וְנָהָר	יֹצֵא	מֵעֵדֶן	לְהַשְׁקוֹת	אֶת־	הַגָּן	וּמִשָּׁם	יִפָּרֵד	
そして–川が	出ていた	エデンから	潤すために	(を)	園を	そして–そこから	分かれて	
H5104	H3318		H8248	H0853	H1588	H8033	H6504	

וְהָיָה	לְאַרְבָּעָה	רָאשִׁים׃	
そして–なった	四つの	源流に	
H1961	H0702		

また一つの川がエデンから流れ出て園を潤し、そこから分れて四つの川となった。

11 שֵׁם הָאֶחָד פִּישׁוֹן הוּא הַסֹּבֵב אֵת כָּל־אֶרֶץ הַחֲוִילָה אֲשֶׁר־

שֵׁם	הָאֶחָד	פִּישׁוֹן	הוּא	הַסֹּבֵב	אֵת	כָּל־	אֶרֶץ	הַחֲוִילָה	אֲשֶׁר־
名は	一つ目の	ピション	それは	巡る–もので	(を)	すべての	地を	ハビラの	(の)–ところの
H8034	H0259	H6376	H1931	H5437	H0853	H3605	H0776	H2341	

שָׁם	הַזָּהָב׃	
そこには	金がある	
H8033	H2091	

その第一の名はピソンといい、金のあるハビラの全地をめぐるもので、

12 וּזְהַב הָאָרֶץ הַהִוא טוֹב שָׁם הַבְּדֹלַח וְאֶבֶן הַשֹּׁהַם׃

וּזְהַב	הָאָרֶץ	הַהִוא	טוֹב	שָׁם	הַבְּדֹלַח	וְאֶבֶן	הַשֹּׁהַם׃	
そして–金は	地の	その	良い	そこには	ブドラクと	そして–石の	しょうはむがある	
H2091	H0776	H1931		H8033	H0916	H0068	H7718	

その地の金は良く、またそこはブドラクと、しまめのうとを産した。

13 וְשֵׁם־ הַנָּהָר הַשֵּׁנִי גִּיחוֹן הוּא הַסּוֹבֵב אֵת כָּל־אֶרֶץ כּוּשׁ׃

וְשֵׁם־	הַנָּהָר	הַשֵּׁנִי	גִּיחוֹן	הוּא	הַסּוֹבֵב	אֵת	כָּל־	אֶרֶץ	כּוּשׁ׃
そして–名は	川の	第二の	ギホン	それは	巡る–もので	(を)	すべての	地を	クシュの
H8034	H5104	H8145	H1521	H1931	H5437	H0853	H3605	H0776	

第二の川の名はギホンといい、クシの全地をめぐるもの。

14 וְשֵׁם הַנָּהָר הַשְּׁלִישִׁי חִדֶּקֶל הוּא הַהֹלֵךְ קִדְמַת אַשּׁוּר וְהַנָּהָר הָרְבִיעִי הוּא פְּרָת׃

וְשֵׁם	הַנָּהָר	הַשְּׁלִישִׁי	חִדֶּקֶל	הוּא	הַהֹלֵךְ	קִדְמַת	אַשּׁוּר	וְהַנָּהָר	
そして–名は	川の	第三の	ヒデケル	それは	流れる–もので	東に	アッシュルの	そして–川の	
H8034	H5104	H7992	H2313	H1931	H1980	H6926	H0804	H5104	

הָרְבִיעִי	הוּא	פְּרָת׃	
第四は	それは	ユーフラテスである	
H7243	H1931	H6578	

第三の川の名はヒデケルといい、アッスリヤの東を流れるもの。第四の川はユフラテである。

15 וַיִּקַּח יְהוָה אֱלֹהִים אֶת־הָאָדָם וַיַּנִּחֵהוּ בְּגַן־עֵדֶן לְעָבְדָהּ וּלְשָׁמְרָהּ׃

וַיִּקַּח	יְהוָה	אֱלֹהִים	אֶת־	הָאָדָם	וַיַּנִּחֵהוּ	בְּגַן־	עֵדֶן	לְעָבְדָהּ
そして–取った	主なる	神は	(を)	人を	そして–置いた	園に	エデンの	耕すため
H3947	H3068	H0430	H0853	H0120	H3240	H1588		H5647

וּלְשָׁמְרָהּ׃	
そして–守るために	
H8104	

主なる神は人を連れて行ってエデンの園に置き、これを耕させ、これを守らせられた。

16 וַיְצַו יְהוָה אֱלֹהִים עַל־הָאָדָם לֵאמֹר מִכֹּל עֵץ־הַגָּן אָכֹל תֹּאכֵל׃

וַיְצַו	יְהוָה	אֱלֹהִים	עַל־	הָאָדָם	לֵאמֹר	מִכֹּל	עֵץ־	הַגָּן	אָכֹל
そして–命じた	主なる	神は	(に)–対して	人に	言って	すべての	木の	園の	自由に
H6680	H3068	H0430		H0120	H0559	H3605	H6086	H1588	H0398

תֹּאכֵל׃	
食べてよい	
H0398	

主なる神はその人に命じて言われた、「あなたは園のどの木からでも心のままに取って食べてよろしい。

17

וּמֵעֵ֗ץ הַדַּ֙עַת֙ טֹ֣וב וָרָ֔ע לֹ֥א תֹאכַ֖ל מִמֶּ֑נּוּ כִּ֗י בְּיֹ֛ום אֲכָלְךָ֥
וּ 知識の H1847 | הַ 善と H0375 | טֹ֣וב 悪の H7451 | וָ 食べる H0398 | רָ֔ע (しては)–ならない H3808 | לֹ֥א 食べて H0398 | תֹאכַ֖ל それから H4480 | מִ 日に H3117 | מֶּ֑נּוּ なぜなら H3588 | כִּ֗י しかし–木の H6086 | וּ | מֵ | עֵ֗ץ

מָ֖וֹת תָּמֽוּת׃
必ず H4191 | מָ֖וֹת 死ぬ H4191 | תָּמֽוּת׃ それから H4480 | מִ

しかし善悪を知る木からは取って食べてはならない。それを取って食べると、きっと死ぬであろう」。

18

וַיֹּ֣אמֶר יְהוָ֣ה אֱלֹהִ֗ים לֹא־ טֹ֣וב הֱיֹ֣ות הָאָדָם֮ לְבַדֹּו֒ אֶֽעֱשֶׂה־
וַ 主なる H3068 | יְהוָ֣ה 神は H0430 | אֱלֹהִ֗ים (は)–ない H3808 | לֹא־ 良く H2896 | טֹ֣וב あること H1961 | הֱיֹ֣ות 人が H0120 | הָאָדָם֮ 独りで H0905 | לְבַדֹּו֒ 造ろう H6213 | אֶֽעֱשֶׂה־

לֹּ֖ו עֵ֥זֶר כְּנֶגְדֹּֽו׃
彼の–ために H0413 | לֹּ֖ו 助け手を H5828 | עֵ֥זֶר ふさわしい H5048 | כְּנֶגְדֹּֽו׃

また主なる神は言われた、「人がひとりでいるのは良くない。彼のために、ふさわしい助け手を造ろう」。

19

וַיִּצֶר֩ יְהוָ֨ה אֱלֹהִ֜ים מִן־ הָאֲדָמָ֗ה כָּל־ חַיַּ֤ת הַשָּׂדֶה֙ וְאֵת֙ כָּל־
וַ 主なる H3068 | יְהוָ֨ה 神は H0430 | אֱלֹהִ֜ים (から) H4480 | מִן־ 地面から H0127 | הָאֲדָמָ֗ה すべての H3605 | כָּל־ 獣を H2416 | חַיַּ֤ת 野の H7704 | הַשָּׂדֶה֙ そして(を) H0853 | וְאֵת֙ すべての H3605 | כָּל־

עֹ֣וף הַשָּׁמַ֔יִם וַיָּבֵא֙ אֶל־ הָאָדָ֔ם לִרְאֹ֖ות מַה־ יִּקְרָ֣א לֹ֑ו
עֹ֣וף 鳥を H5775 | הַ 天の H8064 | שָּׁמַ֔יִם そして–連れて来た H0935 | וַ | אֶל־ (の)–もとへ H0413 | הָ | אָדָ֔ם 人の H0120 | הָ | לִרְאֹ֖ות 見るために H7200 | מַה־ 何と H4100 | יִּקְרָ֣א־ 呼ぶか H7121 | לֹ֑ו (を) H0853

וְכֹ֨ל אֲשֶׁ֤ר יִקְרָא־ לֹו֙ הָאָדָ֔ם נֶ֥פֶשׁ חַיָּ֖ה הִ֥וא שְׁמֹֽו׃
וְ 天の H8064 | כֹ֨ל その–名であった H8034 | אֲשֶׁ֤ר それが H1931 | יִקְרָא־ ものを H2416 | לֹו֙ 生きた H5315 | הָ | אָדָ֔ם 人が H0120 | נֶ֥פֶשׁ (と) H0853 | חַיָּ֖ה 呼んだ H7121 | הִ֥וא (の)–ところの H1931 | שְׁמֹֽו׃ そして–すべて H3605

そして主なる神は野のすべての獣と、空のすべての鳥とを土で造り、人のところへ連れてきて、彼がそれにどんな名をつけるかを見られた。人がすべて生き物に与える名は、その名となるのであった。

20

וַיִּקְרָ֣א הָאָדָ֗ם שֵׁמֹות֙ לְכָל־ הַבְּהֵמָ֔ה וּלְעֹ֥וף הַשָּׁמַ֖יִם וּלְכֹ֣ל
וַ 人は H0120 | הָאָדָ֗ם 名を H8034 | שֵׁמֹות֙ すべての H3605 | לְכָל־ 家畜に H0929 | הַבְּהֵמָ֔ה そして–鳥に H5775 | וּלְעֹ֥וף 天の H8064 | הַשָּׁמַ֖יִם そして–すべての H3605 | וּלְכֹ֣ל

עֵ֥זֶר כְּנֶגְדֹּֽו׃ לֹא־ מָצָ֥א לְאָדָ֖ם וּלְאָדָ֑ם חַיַּ֥ת הַשָּׂדֶה֙
עֵ֥זֶר 獣に H2416 | חַיַּ֥ת 野の H7704 | הַשָּׂדֶה֙ しかし–人には H0120 | וּלְאָדָ֖ם (まだ)–ない H3808 | לֹא־ 見つからなかった H4672 | מָצָ֥א 助け手は H5828 | עֵ֥זֶר ふさわしい H5048 | כְּנֶגְדֹּֽו׃

それで人は、すべての家畜と、空の鳥と、野のすべての獣とに名をつけたが、人にはふさわしい助け手が見つからなかった。

21

וַיַּפֵּ֤ל יְהוָה֙ אֱלֹהִ֔ים תַּרְדֵּמָ֖ה עַל־ הָאָדָ֑ם וַיִּישָׁ֗ן
וַ 主なる H3068 | יְהוָה֙ 神は H0430 | אֱלֹהִ֔ים 深い–眠りを H8639 | תַּרְדֵּמָ֖ה (の)–上に H5921 | עַל־ 人の H0120 | הָאָדָ֑ם すると–眠った H3462 | וַיִּישָׁ֗ן

מִצַּלְעֹתָ֔יו וַיִּסְגֹּ֥ר בָּשָׂ֖ר תַּחְתֶּֽנָּה׃
מִ その–あばら骨から H6763 | צַּלְעֹתָ֔יו 一つを H0259 | אַחַ֣ת そして–閉じた H5462 | וַיִּסְגֹּ֥ר 肉で H1320 | בָּשָׂ֖ר その–場所を H8478 | תַּחְתֶּֽנָּה׃ そして–取った H3947 | וַיִּקַּ֖ח

そこで主なる神は人を深く眠らせ、眠った時に、そのあばら骨の一つを取って、その所を肉でふさがれた。

22 וַיִּבֶן יְהוָה אֱלֹהִים אֶת־הַצֵּלָע אֲשֶׁר־לָקַח מִן־הָאָדָם לְאִשָּׁה וַיְבִאֶהָ אֶל־הָאָדָם׃
そして–建てた 主なる 神は (を) あばら骨を ところの–(の) 取った (から) 人から 女として 連れて来た (の)–もとへ 人の
H1129 H3068 H0430 H0853 H6763 H834 H3947 H0120 H0802 H0935 H0413 H0120

主なる神は人から取ったあばら骨でひとりの女を造り、人のところへ連れてこられた。

23 וַיֹּאמֶר הָאָדָם זֹאת הַפַּעַם עֶצֶם מֵעֲצָמַי וּבָשָׂר מִבְּשָׂרִי לְזֹאת יִקָּרֵא אִשָּׁה כִּי מֵאִישׁ לֻקְחָה־זֹּאת׃
すると–言った 人は これこそ ついに 骨で わたしの–骨の そして–肉で わたしの–肉の この–者は 呼ばれる 女と なぜなら 男から 取られた この–者は
H0559 H0120 H2063 H6471 H6106 H6106 H1320 H1320 H1320 H2063 H7121 H0802 H3588 H0376 H3947 H2063

そのとき、人は言った。「これこそ、ついにわたしの骨の骨、わたしの肉の肉。男から取ったものだから、これを女と名づけよう」。

24 עַל־כֵּן יַעֲזָב־אִישׁ אֶת־אָבִיו וְאֶת־אִמּוֹ וְדָבַק בְּאִשְׁתּוֹ וְהָיוּ לְבָשָׂר אֶחָד׃
それ–ゆえに こそ 離れる 男は (を) その–父を そして(を) その–母を 結び合い そして–なる その–妻と 体と 一つの
H5921 H3651 H5800 H376 H853 H1 H517 H853 H1692 H1961 H802 H259 H1320

それで人はその父と母を離れて、妻と結び合い、一体となるのである。

25 וַיִּהְיוּ שְׁנֵיהֶם עֲרוּמִּים הָאָדָם וְאִשְׁתּוֹ וְלֹא יִתְבֹּשָׁשׁוּ׃
そして–であった 二人は–とも 裸であった 人と その–妻は しかし–(まだ)–ない 恥じなかった
H1961 H8147 H6174 H120 H802 H3808 H954

人とその妻とは、ふたりとも裸であったが、恥ずかしいとは思わなかった。

Chapter 3

1 וְהַנָּחָשׁ הָיָה עָרוּם מִכֹּל חַיַּת הַשָּׂדֶה אֲשֶׁר עָשָׂה יְהוָה אֱלֹהִים וַיֹּאמֶר אֶל־הָאִשָּׁה אַף כִּי־אָמַר אֱלֹהִים לֹא תֹאכְלוּ מִכֹּל עֵץ הַגָּן׃
さて–蛇は であった 狡猾で すべての–中で 獣より 野の ところの 造った 主なる 神が 言った (に)–対して 女に 本当に (と)–言ったのか 神が そして–言った (に)–対して (しては)–ならない すべての 木から 園の
H5175 H1961 H6175 H3605 H2416 H7704 H834 H6213 H3068 H430 H559 H413 H802 H637 H559 H430 H3808 H398 H3605 H6086 H1588

さて主なる神が造られた野の生き物のうちで、へびが最も狡猾であった。へびは女に言った、「園にあるどの木からも取って食べるなと、ほんとうに神が言われたのですか」。

2 וַתֹּאמֶר הָאִשָּׁה אֶל־הַנָּחָשׁ מִפְּרִי עֵץ־הַגָּן נֹאכֵל׃
すると–言った 女は (に)–対して 蛇に 実から 木の 園の 食べてよい
H559 H802 H413 H5175 H6529 H6086 H1588 H398

女はへびに言った、「わたしたちは園の木の実を食べることは許されていますが、

3

תֹּאכֵלוּ	לֹא	אֱלֹהִים	אָמַר	הַגָּן	בְּתוֹךְ־	אֲשֶׁר	הָעֵץ	וּמִפְרִי
食べて	(しては)–ならない	神は	言われた	園の	真ん中の	(の)–ところの	木の	しかし–実から
H0398	H3808	H0430	H0559	H1588	H8432		H6086	H6529

תְּמֻתֻן׃	פֶּן־	בּוֹ	תִגְּעוּ	וְלֹא	מִמֶּנּוּ
死ぬ	さもなくば	それに	触れて	そして–(しては)–ならない	それから
H4191	H6435		H5060	H3808	

ただ園の中央にある木の実については、これを取って食べるな、これに触れるな、死んではいけないからと、神は言われました」。

4

תְּמֻתֻן׃	מוֹת	לֹא־	הָאִשָּׁה	אֶל־	הַנָּחָשׁ	וַיֹּאמֶר
ない	死ぬことは	決して–(ない)	女に	(に)–対して	蛇は	すると–言った
H4191	H4191	H3808	H0802	H0413	H5175	H0559

へびは女に言った、「あなたがたは決して死ぬことはないでしょう。

5

וְנִפְקְחוּ	מִמֶּנּוּ	אֲכָלְכֶם	בְּיוֹם	כִּי	אֱלֹהִים	יֹדֵעַ	כִּי
すると–開かれる	それから	食べる	日に	(と)–いうことを	神は	知っている	なぜなら
H6491		H0398	H3117		H0430	H3045	

וָרָע׃	טוֹב	יֹדְעֵי	כֵּאלֹהִים	וִהְיִיתֶם	עֵינֵיכֶם	
悪を	善と	知る–者と	神の–ように	そして–なる	あなたがたの–目が	
		H3045	H0430	H1961		

それを食べると、あなたがたの目が開け、神のように善悪を知る者となることを、神は知っておられるのです」。

6

תַּאֲוָה־	וְכִי	לְמַאֲכָל	הָעֵץ	טוֹב	כִּי	הָאִשָּׁה	וַתֵּרֶא	
欲しい–もので	そして(と)–それが	食べる–ために	木は	良いと	(と)–それが	女は	すると–見た	
H8378		H3978	H6086			H0802	H7200	

וַתֹּאכַל	מִפִּרְיוֹ	וַתִּקַּח	לְהַשְׂכִּיל	הָעֵץ	וְנֶחְמָד	לָעֵינַיִם	הוּא
そして–食べた	その–実から	すると–取った	賢く–なるために	木は	そして–好ましく	目に	それは
H0398	H6529	H3947		H6086			H1931

וַיֹּאכַל׃	עִמָּהּ	לְאִישָׁהּ	גַּם־	וַתִּתֶּן
すると–食べた	共に–いた	その–夫に	また	そして–与えた
H0398		H0376	H1571	H5414

女がその木を見ると、それは食べるに良く、目には美しく、賢くなるには好ましいと思われたから、その実を取って食べ、また共にいた夫にも与えたので、彼も食べた。

7

הֵם	עֵירֻמִּם	כִּי	וַיֵּדְעוּ	שְׁנֵיהֶם	עֵינֵי	וַתִּפָּקַחְנָה	
彼らは	裸であると	(と)–それが	そして–知った	二人の	目が	すると–開かれた	
H1992	H5903		H3045	H8147		H6491	

חֲגֹרֹת׃	לָהֶם	וַיַּעֲשׂוּ	תְּאֵנָה	עֲלֵה	וַיִּתְפְּרוּ
腰–覆いを	自分たちに	そして–作った	いちじくの	葉を	そして–縫い合わせた
			H8384	H5929	H8609

すると、ふたりの目が開け、自分たちの裸であることがわかったので、いちじくの葉をつづり合わせて、腰に巻いた。

8

הַיּוֹם	לְרוּחַ	בַּגָּן	מִתְהַלֵּךְ	אֱלֹהִים	יְהוָה	קוֹל	אֶת־	וַיִּשְׁמְעוּ
日の	涼しい–風の	園の–中で	歩まれる	神の	主なる	声を	(を)	すると–聞いた
H3117	H7307	H1588	H1980	H0430	H3068		H0853	H8085

הַגָּן׃	עֵץ	בְּתוֹךְ	אֱלֹהִים	יְהוָה	מִפְּנֵי	וְאִשְׁתּוֹ	הָאָדָם	וַיִּתְחַבֵּא
園の	木の	中に	神の	主なる	御前から	そして–その–妻は	人は	すると–隠れた
H1588	H6086	H8432	H0430	H3068	H6440	H0802	H0120	H2244

彼らは、日の涼しい風の吹くころ、園の中に主なる神の歩まれる音を聞いた。そこで、人とその妻とは主なる神の顔を避けて、園の木の間に身を隠した。

9

וַיִּקְרָא	יְהוָה	אֱלֹהִים	אֶל־	הָאָדָם	וַיֹּאמֶר	לוֹ	אַיֶּכָּה׃	
すると–呼んだ	主なる	神は	(に)–対して	人に	そして–言った	彼に	どこに–いるのか	
H7121	H3068	H0430	H0413	H0120	H0559		H0335	

主なる神は人に呼びかけて言われた、「あなたはどこにいるのか」。

10

וַיֹּאמֶר	אֶת־	קֹלְךָ	שָׁמַעְתִּי	בַגָּן	וָאִירָא	כִּי־	עֵירֹם	
すると–言った	(を)	あなたの–声を	聞きました	園の–中で	そして–恐れました	なぜなら	裸で	
H0559	H0853		H8085	H1588	H3372		H5903	

וָאֵחָבֵא׃	אָנֹכִי
それで–隠れました	わたしは
H2244	H0595

彼は答えた、「園の中であなたの歩まれる音を聞き、わたしは裸だったので、恐れて身を隠したのです」。

11

הַמִּן־	אָתָּה	עֵירֹם	כִּי	לְךָ	הִגִּיד	מִי	וַיֹּאמֶר	
(の)–からか	あなたは	裸であると	(と)–それが	あなたに	告げたのか	誰が	すると–言われた	
		H5903			H5046	H4310	H0559	

אָכָלְתָּ׃	מִמֶּנּוּ	אֲכָל־	לְבִלְתִּי	צִוִּיתִיךָ	אֲשֶׁר	הָעֵץ	
食べたのか	それから	食べて	(しては)–ならないと	命じた	(の)–ところの	木の	
H0398		H0398	H1115	H6680		H6086	

神は言われた、「あなたが裸であるのを、だれが知らせたのか。食べるなと、命じておいた木から、あなたは取って食べたのか」。

12

נָתְנָה־	הִוא	עִמָּדִי	נָתַתָּה	אֲשֶׁר	הָאִשָּׁה	הָאָדָם	וַיֹּאמֶר	
与えた	彼女が	わたしと–共に	与えてくださった	(の)–ところの	女が	人は	すると–言った	
H5414	H1931	H5978	H5414		H0802	H0120	H0559	

וָאֹכֵל׃	הָעֵץ	מִן־	לִי
それで–食べました	木から	(から)	わたしに
H0398	H6086		

人は答えた、「わたしと一緒にしてくださったあの女が、木から取ってくれたので、わたしは食べたのです」。

13

הַנָּחָשׁ	הָאִשָּׁה	וַתֹּאמֶר	עָשִׂית	זֹּאת	מַה־	לָּאִשָּׁה	אֱלֹהִים	יְהוָה	וַיֹּאמֶר
蛇が	女は	すると–言った	したのか	これは	何を	女に	神は	主なる	すると–言われた
H5175	H0802	H0559		H2063	H4100	H0802	H0430	H3068	H0559

וָאֹכֵל׃	הִשִּׁיאַנִי
食べました	惑わしたので
H0398	H5377

そこで主なる神は女に言われた、「あなたは、なんということをしたのです」。女は答えた、「へびがわたしをだましたのです。それでわたしは食べました」。

14

אָרוּר	זֹּאת	עָשִׂיתָ	כִּי	הַנָּחָשׁ	אֶל־	וּלְאֱלֹהִים	יְהוָה	וַיֹּאמֶר	
呪われた	これを	した	なぜなら	蛇に	(に)–対して	神は	主なる	すると–言われた	
H0779	H2063			H5175	H0413	H0430	H3068	H0559	

תֵּלֵךְ	גְּחֹנְךָ	עַל־	הַשָּׂדֶה	חַיַּת	וּמִכֹּל	הַבְּהֵמָה	מִכֹּל־	אַתָּה	
進め	お前の–腹で	(の)–上を	野の	獣より	そして–すべての	家畜より	すべての–中で	お前は	
H3212	H1512				H3605	H0929	H3605		

חַיֶּיךָ׃	יְמֵי	כָּל־	תֹּאכַל	וְעָפָר
お前の–命の	日々	すべての	食べる	そして–ちりを
	H3117	H3605	H0398	H6083

主なる神はへびに言われた、「おまえは、この事を、したので、すべての家畜、野のすべての獣のうち、最ものろわれる。おまえは腹で、這いあるき、一生、ちりを食べるであろう。

15

וּבֵ֣ין
そして(の)–間に
H0996

זַרְעֲךָ֖
お前の–子孫と
H2233

וּבֵ֣ין
そして(の)–間に
H0996

הָאִשָּׁ֑ה
女との
H0802

וּבֵ֣ין
(の)–間に
H0996

בֵּינְךָ֣
お前と
H0996

אָשִׁ֔ית
置く
H7896

וְאֵיבָ֕ה
そして–敵意を
H0342

ס
[区切]

עֲקֵֽב׃
かかとを
H6119

תְּשׁוּפֶ֖נּוּ
噛みつく
H7779

וְאַתָּ֥ה
そして–お前は

רֹ֛אשׁ
頭を

יְשׁוּפְךָ֥
打ち砕く
H7779

הֽוּא׃
彼は
H1931

זַרְעָ֖הּ
彼女の–子孫の
H2233

わたしは恨みをおく、おまえと女とのあいだに、おまえのすえと女のすえとの間に。彼はおまえのかしらを砕き、おまえは彼のかかとを砕くであろう」。

16

וְהֵרֹנֵ֑ךְ
そして–お前の–妊娠を
H2032

עִצְּבוֹנֵ֣ךְ
お前の–苦しみを
H6093

אַרְבֶּ֤ה
増す

הַרְבָּה֙
大いに

אָמַ֔ר
言われた
H0559

הָאִשָּׁ֖ה
女に
H0802

אֶל־
(に)–対して
H0413

יִמְשָׁל־
支配する
H4910

וְהוּא֙
そして–彼が
H1931

תְּשׁ֣וּקָתֵ֔ךְ
お前の–渇望は
H8669

אִישֵׁ֖ךְ
お前の–夫に
H0376

וְאֶל־
そして(に)–対して
H0413

בָּנִ֥ים
子を

תֵּלְדִּ֑י
産む
H3205

בְּעֶ֣צֶב
苦しみの–中で

ס
[区切]

בָּנִ֔ים
子を

תֵּלְדִּ֖י׃
お前を

つぎに女に言われた、「わたしはあなたの産みの苦しみを大いに増す。あなたは苦しんで子を産む。それでもなお、あなたは夫を慕い、彼はあなたを治めるであろう」。

17

הָעֵ֑ץ
木から

מִן־
(から)

וַתֹּ֣אכַל
そして–食べた
H0398

אִשְׁתֶּ֔ךָ
お前の–妻の
H0802

לְקֹ֖ול
声に

שָׁמַ֥עְתָּ
聞いた
H8085

כִּֽי־
なぜなら

אָמַ֗ר
言われた
H0559

וּלְאָדָם֙
そして–アダムに
H0121

הָאֲדָמָ֖ה
地面は
H0127

אֲרוּרָ֥ה
呪われた
H0779

מִמֶּנּ֑וּ
それからと

תֹּאכַ֣ל
食べて
H0398

לֹ֣א
(しては)–ならない
H3808

לֵאמֹ֔ר
言って
H0559

צִוִּיתִ֖יךָ
命じた
H6680

אֲשֶׁ֥ר
(の)–ところの

חַיֶּֽיךָ׃
お前の–命の

יְמֵי֙
日々
H3117

כֹּ֣ל
すべての
H3605

תֹּאכְלֶ֔נָּה
食べる
H0398

בְּעִצָּבוֹן֙
苦しみの–中で
H6093

בָּעֲבוּרֶ֔ךָ
お前の–せいで
H5668

更に人に言われた、「あなたが妻の言葉を聞いて、食べるなと、わたしが命じた木から取って食べたので、地はあなたのためにのろわれ、あなたは一生、苦しんで地から食物を取る。

18

הַשָּׂדֶֽה׃
野の

עֵ֥שֶׂב
草を
H6212

אֶת־
(を)
H0853

וְאָכַלְתָּ֖
そして–食べる
H0398

לָ֑ךְ
お前の–ために

תַּצְמִ֣יחַ
生えさせる
H6779

וְדַרְדַּ֔ר
そして–あざみを
H1863

וְקֹ֖וץ
そして–茨と
H6975

地はあなたのために、いばらとあざみとを生じ、あなたは野の草を食べるであろう。

19

מִמֶּ֑נָּה
そこから

כִּ֣י
なぜなら

הָאֲדָמָה֙
地面へ
H0127

אֶל־
(の)–へ
H0413

שׁ֣וּבְךָ֔
お前が–帰る
H7725

עַ֚ד
まで
H5704

לֶ֣חֶם
パンを
H3899

תֹּאכַ֔ל
食べる
H0398

אַפֶּ֖יךָ
お前の–額の
H0639

בְּזֵ֣עַת
額の–汗で
H2188

תָּשׁ֑וּב׃
帰る
H7725

עָפָ֣ר
ちりに
H6083

וְאֶל־
そして(の)–へ
H0413

אַתָּ֔ה
お前は

עָפָ֖ר
ちりで
H6083

כִּֽי־
なぜなら

לֻקָּֽחְתָּ׃
取られた
H3947

あなたは顔に汗してパンを食べ、ついに土に帰る、あなたは土から取られたのだから。あなたは、ちりだから、ちりに帰る」。

20 וַיִּקְרָ֣א הָאָדָ֔ם שֵׁ֖ם אִשְׁתּ֑וֹ חַוָּ֕ה כִּ֥י הִ֛וא הָיְתָ֥ה אֵ֖ם כָּל־חָֽי׃

וַיִּקְרָ֣א	הָאָדָ֔ם	שֵׁ֖ם	אִשְׁתּ֑וֹ	חַוָּ֕ה	כִּ֥י	הִ֛וא	הָיְתָ֥ה	אֵ֖ם	כָּל־חָֽי׃
そして–名づけた	人は	名を	その–妻を	エバと	なぜなら	彼女は	であった	母で	すべての
H7121	H0120	H8034	H0802	H2332		H1931	H1961	H0517	H3605

חָי׃
生きる–者の

さて、人はその妻の名をエバと名づけた。彼女がすべて生きた者の母だからである。

21 וַיַּ֤עַשׂ יְהוָה֙ אֱלֹהִ֔ים לְאָדָ֖ם וּלְאִשְׁתּ֑וֹ כָּתְנ֥וֹת עֹ֛ור וַיַּלְבִּשֵֽׁם׃

וַיַּ֤עַשׂ	יְהוָה֙	אֱלֹהִ֔ים	לְאָדָ֖ם	וּלְאִשְׁתּ֑וֹ	כָּתְנ֥וֹת	עֹ֛ור	וַיַּלְבִּשֵֽׁם׃
そして–作った	主なる	神は	アダムに	そして–その–妻に	皮の–衣を	皮の	そして–着せた
	H3068	H0430	H0120	H0802	H3801	H5785	H3847

פ
[段落]

主なる神は人とその妻とのために皮の着物を造って、彼らに着せられた。

22 וַיֹּ֤אמֶר יְהוָה֙ אֱלֹהִ֔ים הֵ֚ן הָֽאָדָ֔ם הָיָ֥ה כְאַחַ֖ד מִמֶּ֑נּוּ לָדַ֣עַת טֹ֔וב וָרָ֑ע וְעַתָּ֗ה פֶּן־יִשְׁלַ֤ח יָדֹו֙ וְלָקַ֣ח גַּם֮ מֵעֵ֣ץ הַֽחַיִּים֒ וְאָכַ֖ל וָחַ֥י לְעֹלָֽם׃

וַיֹּ֤אמֶר	יְהוָה֙	אֱלֹהִ֔ים	הֵ֚ן	הָֽאָדָ֔ם	הָיָ֥ה	כְאַחַ֖ד	מִמֶּ֑נּוּ	לָדַ֣עַת	טֹ֔וב	וָרָ֑ע	וְעַתָּ֗ה	פֶּן־	יִשְׁלַ֤ח	יָדֹו֙	וְלָקַ֣ח	גַּם֮	מֵעֵ֣ץ	הַֽחַיִּים֒	וְאָכַ֖ל	וָחַ֥י	לְעֹלָֽם׃
そして–言われた	主なる	神は	見よ	人は	なった	一人の–ように	我々の	知る–者と	善と	悪を	そして–今	さもなくば	手を–伸ばし	その–手を	そして–取り	また	木からも	命の	そして–食べ	そして–生きる	永遠に
H0559	H3068	H0430	H2005	H0120	H1961	H0259		H3045			H6258	H6435	H7971	H3027	H3947	H1571	H6086		H0398	H2425	H5769

主なる神は言われた、「見よ、人はわれわれのひとりのようになり、善悪を知るものとなった。彼は手を伸べ、命の木からも取って食べ、永久に生きるかも知れない」。

23 וַיְשַׁלְּחֵ֙הוּ֙ יְהוָ֣ה אֱלֹהִ֔ים מִגַּ֖ן עֵ֑דֶן לַעֲבֹ֕ד אֶת־הָֽאֲדָמָ֖ה אֲשֶׁ֥ר לֻקַּ֖ח מִשָּֽׁם׃

וַיְשַׁלְּחֵ֙הוּ֙	יְהוָ֣ה	אֱלֹהִ֔ים	מִגַּ֖ן	עֵ֑דֶן	לַעֲבֹ֕ד	אֶת־	הָֽאֲדָמָ֖ה	אֲשֶׁ֥ר	לֻקַּ֖ח	מִשָּֽׁם׃
そして–送り出した	主なる	神は	園から	エデンの	耕すために	(を)	地面を	(の)–ところの	取られた	そこから
H7971	H3068	H0430	H1588		H5647	H0853	H0127		H3947	H8033

そこで主なる神は彼をエデンの園から追い出して、人が造られたその土を耕させられた。

24 וַיְגָ֣רֶשׁ אֶת־הָאָדָ֗ם וַיַּשְׁכֵּן֙ מִקֶּ֣דֶם לְגַן־עֵ֔דֶן אֶת־הַכְּרֻבִ֖ים וְאֵ֣ת לַ֣הַט הַחֶ֔רֶב הַמִּתְהַפֶּ֖כֶת לִשְׁמֹ֣ר אֶת־דֶּ֣רֶךְ עֵ֔ץ הַֽחַיִּים׃ ס

וַיְגָ֣רֶשׁ	אֶת־	הָאָדָ֗ם	וַיַּשְׁכֵּן֙	מִקֶּ֣דֶם	לְגַן־	עֵ֔דֶן	אֶת־	הַכְּרֻבִ֖ים	וְאֵ֣ת	לַ֣הַט	הַחֶ֔רֶב	הַמִּתְהַפֶּ֖כֶת	לִשְׁמֹ֣ר	אֶת־	דֶּ֣רֶךְ	עֵ֔ץ	הַֽחַיִּים׃	ס
そして–追い出した	(を)	人を	そして–置いた	東に	園の	エデンの	(を)	ケルビムを	そして(を)	きらめく	剣を	回転する	守るために	(を)	道を	木の	命の	[区切]
H1644	H0853	H0120	H7931		H1588		H0853	H3742		H3858	H2719	H2015	H8104	H0853	H1870	H6086		

神は人を追い出し、エデンの園の東に、ケルビムと、回る炎のつるぎとを置いて、命の木の道を守らせられた。

Chapter 4

1
וְהָאָדָם יָדַע חַוָּה אִשְׁתּוֹ וַתַּהַר וַתֵּלֶד אֶת־קָיִן וַתֹּאמֶר קָנִיתִי אִישׁ אֶת־יְהוָה׃
さて–人は 知った エバを その–妻を すると–身ごもり そして–産んだ (を) カインを そして–言った 得た 男を (と)–共に 主と
H0120 H3045 H2332 H0802 H2029 H3205 H0853 H0853 H0559 H7069 H0376 H0854 H3068

人はその妻エバを知った。彼女はみごもり、カインを産んで言った、「わたしは主によって、ひとりの人を得た」。

2
וַתֹּסֶף לָלֶדֶת אֶת־אָחִיו אֶת־הֶבֶל וַיְהִי־הֶבֶל רֹעֵה צֹאן וְקַיִן הָיָה עֹבֵד אֲדָמָה׃
そして–続けて 産んだ (を) その–弟を (を) アベルを そして–であった アベルは 羊飼い そして–カインは であった 耕す–者で 地を 羊の
H3254 H3205 H0853 H0251 H0853 H1893 H1961 H1893 H6629 H1961 H5647 H0127

彼女はまた、その弟アベルを産んだ。アベルは羊を飼う者となり、カインは土を耕す者となった。

3
וַיְהִי מִקֵּץ יָמִים וַיָּבֵא קַיִן מִפְּרִי הָאֲדָמָה מִנְחָה לַיהוָה׃
すると–あった 終わりに 日々の そして–持って–来た カインは 実から 地面の 供え物を 主に
H1961 H7093 H3117 H0935 H6529 H0127 H4503 H3068

日がたって、カインは地の産物を持ってきて、主に供え物とした。

4
וְהֶבֶל הֵבִיא גַם־הוּא מִבְכֹרוֹת צֹאנוֹ וּמֵחֶלְבֵהֶן וַיִּשַׁע יְהוָה אֶל־הֶבֶל וְאֶל־מִנְחָתוֹ׃
そして–アベルも 持って–来た また 彼も 初子から その–羊の そして–その–脂肪から すると–目を–留めた 主は (に)–対して アベルと そして(に)–対して その–供え物に
H1893 H0935 H1571 H1931 H1062 H6629 H2459 H8159 H3068 H0413 H1893 H0413 H4503

アベルもまた、その群れのういごと肥えたものとを持ってきた。主はアベルとその供え物とを顧みられた。

5
וְאֶל־קַיִן וְאֶל־מִנְחָתוֹ לֹא שָׁעָה וַיִּחַר לְקַיִן מְאֹד וַיִּפְּלוּ פָנָיו׃
しかし(に)–対して カインと そして(に)–対して その–供え物に (まだ)–ない 目を–留めなかった すると–怒った カインは 非常に そして–伏せた その–顔を
H0413 H7014 H0413 H4503 H3808 H8159 H2734 H7014 H3966 H5307 H6440

しかしカインとその供え物とは顧みられなかったので、カインは大いに憤って、顔を伏せた。

6
וַיֹּאמֶר יְהוָה אֶל־קָיִן לָמָּה חָרָה לָךְ וְלָמָּה נָפְלוּ פָנֶיךָ׃
すると–言われた 主は (に)–対して カインに なぜ 怒るのか お前は そして–なぜ 伏せたのか お前の–顔を
H0559 H3068 H0413 H7014 H4100 H2734 H7014 H4100 H5307 H6440

そこで主はカインに言われた、「なぜあなたは憤るのですか、なぜ顔を伏せるのですか。

7

הֲלוֹא אִם־ תֵּיטִיב שְׂאֵת וְאִם־
(そもそも)-ないのか もし 良く-行えば 受け入れられる しかし-もし
H3808 H3190 H7613

לֹא תֵּיטִיב לַפֶּתַח חַטָּאת רֹבֵץ וְאֵלֶיךָ תְּשׁוּקָתוֹ וְאַתָּה
(まだ)-ない 良く-行わなければ 戸口に 罪が 伏せている そして-お前に その-欲望は しかし-お前が
H3808 H3190 H6607 H2403 H7257 H0413 H8669 H0859

תִּמְשָׁל־ בּוֹ׃
支配しなければ-ならない それを
H4910 H0

正しい事をしているのでしたら、顔をあげたらよいでしょう。もし正しい事をしていないのでしたら、罪が門口に待ち伏せています。それはあなたを慕い求めますが、あなたはそれを治めなければなりません」。

8

וַיֹּאמֶר קַיִן אֶל־ הֶבֶל אָחִיו וַיְהִי בִּהְיוֹתָם בַּשָּׂדֶה
-に)-対して カインは すると-言った アベルに その-弟に すると-あった いる-ときに 野に
H0559 H7014 H0413 H1893 H0251 H1961 H1961 H0

וַיָּקָם קַיִן אֶל־ הֶבֶל אָחִיו וַיַּהַרְגֵהוּ׃
そして-立ち上がった カインは (に)-対して アベルに その-弟に そして-殺した
H2026 H0251 H1893 H0413 H7014

カインは弟アベルに言った、「さあ、野原へ行こう」。彼らが野にいたとき、カインは弟アベルに立ちかかって、これを殺した。

9

וַיֹּאמֶר יְהוָה אֶל־ קַיִן אֵי הֶבֶל אָחִיךָ
すると-言われた 主は (に)-対して カインに どこに-いるのか アベルは お前の-弟は
H0559 H3068 H0413 H7014 H0335 H1893 H0251

וַיֹּאמֶר לֹא יָדַעְתִּי הֲשֹׁמֵר אָחִי אָנֹכִי׃
すると-言った 知りません 知りません (であるか)-番人で わたしの-弟の わたしは
H0559 H3045 H3808 H8104 H0251 H0595

主はカインに言われた、「弟アベルは、どこにいますか」。カインは答えた、「知りません。わたしが弟の番人でしょうか」。

10

וַיֹּאמֶר מָה עָשִׂיתָ קוֹל דְּמֵי אָחִיךָ צֹעֲקִים אֵלַי מִן־
すると-言われた 何を したのか 声が 血の お前の-弟の 叫んでいる わたしに (から)
H0559 H4100 H6213 H7754 H0251 H6817 H0413 H4480

הָאֲדָמָה׃
地面から
H0127

主は言われた、「あなたは何をしたのです。あなたの弟の血の声が土の中からわたしに叫んでいます。

11

וְעַתָּה אָרוּר אַתָּה מִן־ הָאֲדָמָה אֲשֶׁר פָּצְתָה אֶת־ פִּיהָ
そして-今 呪われた お前は (から) 地面から (の)-ところの 口を-開いた (を) その-口を
H6258 H0779 H0859 H4480 H0127 H0834 H6475 H0853 H6310

לָקַחַת אֶת־ דְּמֵי אָחִיךָ מִיָּדֶךָ׃
受けるために (を) 血を お前の-弟の お前の-手から
H3947 H0853 H1818 H0251 H3027

今あなたはのろわれてこの土地を離れなければなりません。この土地が口をあけて、あなたの手から弟の血を受けたからです。

12

נָּע	לָךְ	כֹּחָהּ	־תֵּת	תֹּסֶף	־לֹא	הָאֲדָמָה	־אֶת	תַּעֲבֹד
さまよい	お前に	その-力を	与えない	与えない	もう-(ない)	地面を	(を)	耕しても
H5128			H5414	H3254	H3808	H0127	H0853	H5647

כִּי			
(もはや)			

בָּאָרֶץ׃	תִּהְיֶה	וָנָד
地に	なる	そして-放浪する-者と
H0776	H1961	H5110

あなたが土地を耕しても、土地は、もはやあなたのために実を結びません。あなたは地上の放浪者となるでしょう」。

13

מִנְּשֹׂא׃	עֲוֹנִי	גָּדוֹל	יְהוָה	־אֶל	קַיִן	וַיֹּאמֶר
負いきれない	わたしの-罰は	大きい	主に	(に)-対して	カインは	すると-言った
H5375	H5771		H3068	H0413		H0559

カインは主に言った、「わたしの罰は重くて負いきれません。

14

אֶסָּתֵר	וּמִפָּנֶיךָ	הָאֲדָמָה	פְּנֵי	מֵעַל	הַיּוֹם	אֹתִי	גֵּרַשְׁתָּ	הֵן
隠れる	そして-御前から	地面の	面から	(から)	今日	わたしを	追い出された	見よ
H5641	H6440	H0127	H6440		H3117	H0853	H1644	H2005

מֹצְאִי	כָּל־	וְהָיָה	בָּאָרֶץ	וָנָד	נָע	וְהָיִיתִי		
見つける-者が	すべての	そして-なる	地に	そして-放浪する-者と	さまよう	そして-なる		
H4672	H3605	H1961	H0776	H5110	H5128	H1961		

יַהַרְגֵנִי׃
殺すであろう
H2026

あなたは、きょう、わたしを地のおもてから追放されました。わたしはあなたを離れて、地上の放浪者とならねばなりません。わたしを見付ける人はだれでもわたしを殺すでしょう」。

15

שִׁבְעָתַיִם	קַיִן	הֹרֵג	כָּל־	לָכֵן	יְהוָה	לוֹ	וַיֹּאמֶר
七倍の	カインを	殺す-者は	すべての	それ-ゆえに	主は	彼に	すると-言われた
H7659		H2026	H3605		H3068		H0559

אֹתוֹ	הַכּוֹת־	לְבִלְתִּי	אוֹת	לְקַיִן	יְהוָה	וַיָּשֶׂם	יֻקַּם	
彼を	打ち-殺して	(しては)-ならないと	しるしを	カインに	主は	そして-置いた	復讐を-受ける	
H0853	H5221	H1115	H0226		H3068		H5358	

מֹצְאוֹ׃	כָּל־
見つける-者が	すべての
H4672	H3605

主はカインに言われた、「いや、そうではない。だれでもカインを殺す者は七倍の復讐を受けるでしょう」。そして主はカインを見付ける者が、だれも彼を打ち殺すことのないように、彼に一つのしるしをつけられた。

16

עֵדֶן׃	קִדְמַת־	נוֹד	בְּאֶרֶץ־	וַיֵּשֶׁב	יְהוָה	מִלִּפְנֵי	קַיִן	וַיֵּצֵא
エデンの	東に	ノドの	地に	そして-住んだ	主の	御前から	カインは	そこで-出て-行った
	H6926	H5113	H0776	H3427	H3068	H6440		H3318

カインは主の前を去って、エデンの東、ノドの地に住んだ。

17 וַיֵּדַע קַיִן אֶת־אִשְׁתּוֹ וַתַּהַר וַתֵּלֶד אֶת־חֲנוֹךְ
そして-知った カインは (を) その-妻を すると-身ごもり そして-産んだ (を) エノクを
H3045 H7121 H0853 H0802 H2029 H3205 H0853 H2585

וַיְהִי בֹּנֶה עִיר וַיִּקְרָא שֵׁם הָעִיר כְּשֵׁם בְּנוֹ
そして-であった 建てる-者で 町を 名を そして-名づけた その-町を (に)-ちなんで その-息子の
H1961 H1129 H5892 H8034 H7121 H5892 H8034 H1121

חֲנוֹךְ׃
エノクと
H2585

カインはその妻を知った。彼女はみごもってエノクを産んだ。カインは町を建て、その町の名をその子の名にしたがって、エノクと名づけた。

18 וַיִּוָּלֶד לַחֲנוֹךְ אֶת־עִירָד וְעִירָד יָלַד אֶת־מְחוּיָאֵל
そして-生まれた エノクに (を) イラドが イラドは 生んだ (を) メヒュヤエルを
H3205 H2585 H0853 H5897 H5897 H3205 H0853 H4232

וּמְחוּיָאֵל יָלַד אֶת־מְתוּשָׁאֵל וּמְתוּשָׁאֵל יָלַד אֶת־לָמֶךְ׃
そして-メヒュヤエルは 生んだ (を) メトシャエルを そして-メトシャエルは 生んだ (を) レメクを
H4232 H3205 H0853 H4967 H4967 H3205 H0853 H3929

エノクにはイラデが生れた。イラデの子はメホヤエル、メホヤエルの子はメトサエル、メトサエルの子はレメクである。

19 וַיִּקַּח־לוֹ לֶמֶךְ שְׁתֵּי נָשִׁים שֵׁם הָאַחַת עָדָה וְשֵׁם
そして-娶った 自分の-ために レメクは 二人の 妻を 名は 一人目の アダ そして-名は
H3947 H3947 H0802 H8147 H8034 H0259 H5711 H8034

הַשֵּׁנִית צִלָּה׃
二人目の ツィラ
H8145 H6741

レメクはふたりの妻をめとった。ひとりの名はアダといい、ひとりの名はチラといった。

20 וַתֵּלֶד עָדָה אֶת־יָבֶל הוּא הָיָה אֲבִי יֹשֵׁב אֹהֶל וּמִקְנֶה׃
そして-産んだ アダは (を) ヤバルを 彼は であった 祖で 住む-者の 天幕に そして-家畜の
H3205 H5711 H0853 H2989 H1931 H1961 H0001 H3427 H0168 H4735

アダはヤバルを産んだ。彼は天幕に住んで、家畜を飼う者の先祖となった。

21 וְשֵׁם אָחִיו יוּבָל הוּא הָיָה אֲבִי כָּל־תֹּפֵשׂ כִּנּוֹר וְעוּגָב׃
そして-名は その-弟の ユバル 彼は であった 祖で すべての 弾く-者の 琴を そして-笛を
H8034 H0251 H3106 H1931 H1961 H0001 H3605 H8610 H3658 H5748

その弟の名はユバルといった。彼は琴や笛を執るすべての者の先祖となった。

22 וְצִלָּה גַם־הִוא יָלְדָה אֶת־תּוּבַל־קַיִן לְטֹשֵׁט כָּל־
そして-ツィラも また 彼女も 産んだ (を) トバルカインを 鍛える-者で すべての
H6741 H1571 H1931 H3205 H0853 H8423 H3913 H3605

חֹרֵשׁ נְחֹשֶׁת וּבַרְזֶל וַאֲחוֹת תּוּבַל־קַיִן נַעֲמָה׃
刃物を-作る-者の 銅と そして-鉄の そして-妹は トバルカインの ナアマであった
H2794 H5178 H1270 H0269 H8423

チラもまたトバルカインを産んだ。彼は青銅や鉄のすべての刃物を鍛える者となった。トバルカインの妹をナアマといった。

23 וַיֹּאמֶר לֶמֶךְ לְנָשָׁיו עָדָה וְצִלָּה שְׁמַעַן קוֹלִי נְשֵׁי
そして-言った レメクは その-妻たちに アダよ そして-ツィラよ 聞け わたしの-声を 妻たちよ
H0559 H3929 H0802 H5711 H6741 H8085 H0802

לֶמֶךְ הָאְזֵנָּה אִמְרָתִי כִּי אִישׁ הָרַגְתִּי לְפִצְעִי
レメクの 耳を-傾けよ わたしの-言葉に なぜなら 男を 殺した わたしの-傷の-ために
H3929 H0238 H0376 H2026 H6482

וְיֶלֶד לְחַבֻּרָתִי׃
そして-若者を わたしの-打ち傷の-ために
H3206 H2250

レメクはその妻たちに言った、「アダとチラよ、わたしの声を聞け、レメクの妻たちよ、わたしの言葉に耳を傾けよ。わたしは受ける傷のために、人を殺し、受ける打ち傷のために、わたしは若者を殺す。

24 כִּי שִׁבְעָתַיִם יֻקַּם־קָיִן וְלֶמֶךְ שִׁבְעִים וְשִׁבְעָה׃
なぜなら 七倍の 復讐を-受ける カインは 七十の そして-レメクは 七倍の
H7659 H5358 H7657 H3929 H7651

カインのための復讐が七倍ならば、レメクのための復讐は七十七倍」。

25 וַיֵּדַע אָדָם עוֹד אֶת־אִשְׁתּוֹ וַתֵּלֶד בֵּן וַתִּקְרָא אֶת־שְׁמוֹ שֵׁת
そして-知った アダムは 再び (を) その-妻を そして-産んだ 息子を そして-名づけた (を)
H3045 H0121 H5750 H0853 H0802 H3205 H7121 H0853 H8352

כִּי שָׁת־לִי אֱלֹהִים זֶרַע אַחֵר תַּחַת הֶבֶל כִּי הָרָגוֹ קָיִן׃
なぜなら 与えた わたしに 神が 子孫を 別の 代わりに アベルの なぜなら 殺した カインが
H7896 H0430 H2233 H0312 H8478 H1893 H2026

アダムはまたその妻を知った。彼女は男の子を産み、その名をセツと名づけて言った、「カインがアベルを殺したので、神はアベルの代りに、ひとりの子をわたしに授けられました」。

26 וּלְשֵׁת גַּם־הוּא יֻלַּד־בֵּן וַיִּקְרָא אֶת־שְׁמוֹ אֱנוֹשׁ אָז הוּחַל לִקְרֹא בְּשֵׁם יְהוָה׃ פ
そして-セツにも また 彼にも 生まれた 息子が そして-名づけた (を) その-名を エノシュと その時 始まった 呼ぶことが 御名によって 主の [段落]
H8352 H1571 H1931 H3205 H1121 H7121 H0853 H8034 H0583 H0227 H2490 H7121 H8034 H3068

セツにもまた男の子が生れた。彼はその名をエノスと名づけた。この時、人々は主の名を呼び始めた。

Chapter 5

1 זֶה סֵפֶר תּוֹלְדֹת אָדָם בְּיוֹם בָּרָא אֱלֹהִים אָדָם בִּדְמוּת אֱלֹהִים עָשָׂה
これは 書で 歴史の アダムの 日に 創造した 神が アダムを 似姿に 神の 造った
H2088 H5612 H8435 H0121 H3117 H1254 H0430 H0120 H1823 H0430 H6213

אֹתָם׃
彼を
H0853

アダムの系図は次のとおりである。神が人を創造された時、神をかたどって造り、

2

אָדָם	שְׁמָם	אֶת־	וַיִּקְרָא	אֹתָם	וַיְבָרֶךְ	בְּרָאָם	וּנְקֵבָה	זָכָר
アダムと	その-名を	(を)	そして-名づけた	彼らを	そして-祝福された	創造した	女とに	男と
H0120	H8034	H0853	H7121	H0853	H1288		H5347	H2145

ס	הִבָּרְאָם׃	בְּיוֹם
[区切]	創造された-とき	日に
		H3117

彼らを男と女とに創造された。彼らが創造された時、神は彼らを祝福して、その名をアダムと名づけられた。

3

כְּצַלְמוֹ	בִּדְמוּתוֹ	וַיּוֹלֶד	שָׁנָה	וּמְאַת	שְׁלֹשִׁים	אָדָם	וַיְחִי	
自分の-かたちに	自分の-似姿に	そして-生んだ	年	と-百の	百-三十	アダムは	そして-生きた	
H6754	H1823	H3205	H8141	H3967	H7970	H0121	H2421	

שֵׁת׃	שְׁמוֹ	אֶת־	וַיִּקְרָא
セツと	その-名を	(を)	そして-名づけた
H8352	H8034	H0853	H7121

アダムは百三十歳になって、自分にかたどり、自分のかたちのような男の子を生み、その名をセツと名づけた。

4

שָׁנָה	מֵאַת	שְׁמֹנֶה	שֵׁת	אֶת־	הוֹלִידוֹ	אַחֲרֵי	אָדָם	יְמֵי־	וַיִּהְיוּ
年	百の	八-百	セツを	(を)	生んだ	後	アダムの	日々は	そして-であった
H8141	H3967	H8083	H8352	H0853	H3205		H0121	H3117	H1961

וּבָנוֹת׃	בָּנִים	וַיּוֹלֶד
娘たちを	息子たちと	そして-生んだ
H1323		H3205

アダムがセツを生んで後、生きた年は八百年であって、ほかに男子と女子を生んだ。

5

וּשְׁלֹשִׁים	שָׁנָה	מֵאוֹת	תְּשַׁע	חַי	אֲשֶׁר־	אָדָם	יְמֵי	כָּל־	וַיְהִי
三十の	年と	百の	九-百	生きた	(の)-ところの	アダムの	日々は	すべての	そして-であった
H7970	H8141	H3967	H8672	H2425		H0121	H3117	H3605	H1961

ס	וַיָּמ�ת׃	שָׁנָה	
[区切]	そして-死んだ	年であった	
	H4191	H8141	

アダムの生きた年は合わせて九百三十歳であった。そして彼は死んだ。

6

אֱנוֹשׁ׃	אֶת־	וַיּוֹלֶד	שָׁנָה	וּמְאַת	שָׁנִים	חָמֵשׁ	שֵׁת	וַיְחִי־	
エノシュを	(を)	そして-生んだ	年	百の	年と	五の	セツは	そして-生きた	
H0583	H0853	H3205	H8141	H3967	H8141	H2568	H8352	H2421	

セツは百五歳になって、エノスを生んだ。

7

שָׁנָה	מֵאוֹת	וּשְׁמֹנֶה	שָׁנִים	שֶׁבַע	אֱנוֹשׁ	אֶת־	הוֹלִידוֹ	אַחֲרֵי	שֵׁת	וַיְחִי־
年	百の	八-百	年と	七の	エノシュを	(を)	生んだ	後	セツは	そして-生きた
H8141	H3967	H8083	H8141	H7651	H0583	H0853	H3205		H8352	H2421

וּבָנוֹת׃	בָּנִים	וַיּוֹלֶד
娘たちを	息子たちと	そして-生んだ
H1323		H3205

セツはエノスを生んだ後、八百七年生きて、男子と女子を生んだ。

8

שָׁנָה	מֵאוֹת	וּתְשַׁע	שָׁנָה	עֶשְׂרֵה	שְׁתַּיִם	שֵׁת	יְמֵי־	כָּל־	וַיְהִיוּ
年であった	百の	九-百	年と	十の	十-二の	セツの	日々は	すべての	そして-であった
H8141	H3967	H8672	H8141	H6240	H8147	H8352	H3117	H3605	H1961

ס	וַיָּמֹת׃
[区切]	そして-死んだ
	H4191

セツの年は合わせて九百十二歳であった。そして彼は死んだ。

9

קֵינָן׃	אֶת־	וַיּוֹלֶד	שָׁנָה	תִּשְׁעִים	אֱנוֹשׁ	וַיְחִי
ケナンを	(を)	そして-生んだ	年	九十の	エノシュは	そして-生きた
H7018	H0853	H3205	H8141	H8673	H0583	H2421

エノスは九十歳になって、カイナンを生んだ。

10

וּשְׁמֹנֶה	שָׁנָה	עֶשְׂרֵה	חֲמֵשׁ	קֵינָן	אֶת־	הוֹלִידוֹ	אַחֲרֵי	אֱנוֹשׁ	וַיְחִי
八-百	年と	十の	十-五の	ケナンを	(を)	生んだ	後	エノシュは	そして-生きた
H8083	H8141	H6240	H2568	H7018	H0853	H3205		H0583	H2421

וּבָנוֹת׃	בָּנִים	וַיּוֹלֶד	שָׁנָה	מֵאוֹת
娘たちを	息子たちと	そして-生んだ	年	百の
H1323		H3205	H8141	H3967

エノスはカイナンを生んだ後、八百十五年生きて、男子と女子を生んだ。

11

שָׁנָה	מֵאוֹת	וּתְשַׁע	שָׁנִים	חָמֵשׁ	אֱנוֹשׁ	יְמֵי	כָּל־	וַיְהִיוּ
年であった	百の	九-百	年と	五の	エノシュの	日々は	すべての	そして-であった
H8141	H3967	H8672	H8141	H2568	H0583	H3117	H3605	H1961

ס	וַיָּמֹת׃
[区切]	そして-死んだ
	H4191

エノスの年は合わせて九百五歳であった。そして彼は死んだ。

12

מַהֲלַלְאֵל׃	אֶת־	וַיּוֹלֶד	שָׁנָה	שִׁבְעִים	קֵינָן	וַיְחִי
マハラルエルを	(を)	そして-生んだ	年	七十の	ケナンは	そして-生きた
H4111	H0853	H3205	H8141	H7657	H7018	H2421

カイナンは七十歳になって、マハラレルを生んだ。

13

מֵאוֹת	וּשְׁמֹנֶה	שָׁנָה	אַרְבָּעִים	מַהֲלַלְאֵל	אֶת־	הוֹלִידוֹ	אַחֲרֵי	קֵינָן	וַיְחִי
百の	八-百	年と	四十の	マハラルエルを	(を)	生んだ	後	ケナンは	そして-生きた
H3967	H8083	H8141	H0705	H4111	H0853	H3205		H7018	H2421

וּבָנוֹת׃	בָּנִים	וַיּוֹלֶד	שָׁנָה	
娘たちを	息子たちと	そして-生んだ	年	
H1323		H3205	H8141	

カイナンはマハラレルを生んだ後、八百四十年生きて、男子と女子を生んだ。

14

שָׁנָה	מֵאוֹת	וּתְשַׁע	שָׁנִים	עֶשֶׂר	קֵינָן	יְמֵי	כָּל־	וַיְהִיוּ
年であった	百の	九-百	年と	十の	ケナンの	日々は	すべての	そして-であった
H8141	H3967	H8672	H8141	H6235	H7018	H3117	H3605	H1961

ס	וַיָּמֹת׃
[区切]	そして-死んだ
	H4191

カイナンの年は合わせて九百十歳であった。そして彼は死んだ。

יָרֶד׃	אֶת־	וַיּוֹלֶד	שָׁנָה	וְשִׁשִּׁים	שְׁנִים	חָמֵשׁ	מַהֲלַלְאֵל	וַיְחִי		15
ヤレドを	(を)	そして-生んだ	年	六十の	年と	五の	マハラルエルは	そして-生きた		
H3382	H0853	H3205	H8141	H8346	H8141	H2568	H4111	H2421		

マハラレルは六十五歳になって、ヤレドを生んだ。

מֵאוֹת	וּשְׁמֹנֶה	שָׁנָה	שִׁלֹּשִׁים	יֶרֶד	אֶת־	הוֹלִידוֹ	אַחֲרֵי	מַהֲלַלְאֵל	וַיְחִי		16
百の	八-百	年と	三十の	ヤレドを	(を)	生んだ	後	マハラルエルは	そして-生きた		
H3967	H8083	H8141	H7970	H3382	H0853	H3205		H4111	H2421		

וּבָנוֹת׃	בָּנִים	וַיּוֹלֶד	שָׁנָה
娘たちを	息子たちと	そして-生んだ	年
H1323		H3205	H8141

マハラレルはヤレドを生んだ後、八百三十年生きて、男子と女子を生んだ。

מֵאוֹת	וּשְׁמֹנֶה	שָׁנָה	וְתִשְׁעִים	חָמֵשׁ	מַהֲלַלְאֵל	יְמֵי	כָּל־	וַיִּהְיוּ		17
百の	八-百	年と	九十の	五-と	マハラルエルの	日々は	すべての	そして-であった		
H3967	H8083	H8141	H8673	H2568	H4111	H3117	H3605	H1961		

ס	וַיָּמֹת׃	שָׁנָה	
[区切]	そして-死んだ	年であった	
	H4191	H8141	

マハラレルの年は合わせて八百九十五歳であった。そして彼は死んだ。

חֲנוֹךְ׃	אֶת־	וַיּוֹלֶד	שָׁנָה	וּמְאַת	שָׁנָה	וְשִׁשִּׁים	שְׁתָּיִם	יֶרֶד	וַיְחִי־		18
エノクを	(を)	そして-生んだ	年	百の	年と	六十の	二と	ヤレドは	そして-生きた		
H2585	H0853	H3205	H8141	H3967	H8141	H8346	H8147	H3382	H2421		

ヤレドは百六十二歳になって、エノクを生んだ。

וַיּוֹלֶד	שָׁנָה	מֵאוֹת	שְׁמֹנֶה	חֲנוֹךְ	אֶת־	הוֹלִידוֹ	אַחֲרֵי	יֶרֶד	וַיְחִי־		19
そして-生んだ	年	百の	八-百	エノクを	(を)	生んだ	後	ヤレドは	そして-生きた		
H3205	H8141	H3967	H8083	H2585	H0853	H3205		H3382	H2421		

וּבָנוֹת׃	בָּנִים
娘たちを	息子たちと
H1323	

ヤレドはエノクを生んだ後、八百年生きて、男子と女子を生んだ。

שָׁנָה	מֵאוֹת	וּתְשַׁע	שָׁנָה	וְשִׁשִּׁים	שְׁתָּיִם	יֶרֶד	יְמֵי־	כָּל־	וַיִּהְיוּ		20
年であった	百の	九-百	年と	六十の	二と	ヤレドの	日々は	すべての	そして-であった		
H8141	H3967	H8672	H8141	H8346	H8147	H3382	H3117	H3605	H1961		

פ	וַיָּמֹת׃	
[段落]	そして-死んだ	
	H4191	

ヤレドの年は合わせて九百六十二歳であった。そして彼は死んだ。

מְתוּשֶׁלַח׃	אֶת־	וַיּוֹלֶד	שָׁנָה	וְשִׁשִּׁים	חָמֵשׁ	חֲנוֹךְ	וַיְחִי				21
メトシェラを	(を)	そして-生んだ	年	六十の	五と	エノクは	そして-生きた				
H4968	H0853	H3205	H8141	H8346	H2568	H2585	H2421				

エノクは六十五歳になって、メトセラを生んだ。

22 וַיִּתְהַלֵּךְ חֲנוֹךְ אֶת־הָאֱלֹהִים אַחֲרֵי הוֹלִידוֹ אֶת־מְתוּשֶׁלַח שְׁלֹשׁ מֵאוֹת
そして-歩んだ エノクは (と)-共に 神と 後 (を) 生んだ メトシェラを 三-百 百の
H3967 H7969 H4968 H0853 H3205 H0430 H0854 H2585 H1980

שָׁנָה וַיּוֹלֶד בָּנִים וּבָנוֹת׃
年 そして-生んだ 息子たちと 娘たちを
H8141 H3205 H1323

エノクはメトセラを生んだ後、三百年、神とともに歩み、男子と女子を生んだ。

23 וַיְהִי כָּל־יְמֵי חֲנוֹךְ חָמֵשׁ וְשִׁשִּׁים שָׁנָה וּשְׁלֹשׁ מֵאוֹת שָׁנָה׃
そして-であった すべての 日々は エノクの 五と 六十の 年と 三-百 百の 年であった
H1961 H3605 H3117 H2585 H2568 H8346 H8141 H7969 H3967 H8141

エノクの年は合わせて三百六十五歳であった。

24 וַיִּתְהַלֵּךְ חֲנוֹךְ אֶת־הָאֱלֹהִים וְאֵינֶנּוּ כִּי־לָקַח אֹתוֹ׃ פ
そして-歩んだ エノクは (と)-共に 神と そして-いなくなった なぜなら 取られた 彼を [段落]
H2585 H0854 H0430 H0369 H3947 H0853

エノクは神とともに歩み、神が彼を取られたので、いなくなった。

25 וַיְחִי מְתוּשֶׁלַח שֶׁבַע וּשְׁמֹנִים שָׁנָה וּמְאַת שָׁנָה וַיּוֹלֶד אֶת־לָמֶךְ׃
そして-生きた メトシェラは 七と 八十の 年と 百の 年 そして-生んだ (を) レメクを
H2421 H4968 H7651 H8084 H8141 H3967 H8141 H3205 H0853 H3929

メトセラは百八十七歳になって、レメクを生んだ。

26 וַיְחִי מְתוּשֶׁלַח אַחֲרֵי הוֹלִידוֹ אֶת־לֶמֶךְ שְׁתַּיִם וּשְׁמֹנִים שָׁנָה וּשְׁבַע מֵאוֹת
そして-生きた メトシェラは 後 生んだ (を) レメクを 二と 八十の 年と 七-百
H2421 H4968 H0853 H3205 H3929 H8147 H8084 H8141 H7651

שָׁנָה וַיּוֹלֶד בָּנִים וּבָנוֹת׃
年 そして-生んだ 息子たちと 娘たちを
H8141 H3205 H1323

メトセラはレメクを生んだ後、七百八十二年生きて、男子と女子を生んだ。

27 וַיִּהְיוּ כָּל־יְמֵי מְתוּשֶׁלַח תֵּשַׁע וְשִׁשִּׁים שָׁנָה וּתְשַׁע מֵאוֹת שָׁנָה וַיָּמֹת׃ פ
そして-であった すべての 日々は メトシェラの 九と 六十の 年と 九-百 年であった そして-死んだ [段落]
H1961 H3605 H3117 H4968 H8672 H8346 H8141 H8672 H8141 H4191

メトセラの年は合わせて九百六十九歳であった。そして彼は死んだ。

28 וַיְחִי־לֶמֶךְ שְׁתַּיִם וּשְׁמֹנִים שָׁנָה וּמְאַת שָׁנָה וַיּוֹלֶד בֵּן׃
そして-生きた レメクは 二と 八十の 年と 百の 年 そして-生んだ 息子を
H2421 H3929 H8147 H8084 H8141 H3967 H8141 H3205

レメクは百八十二歳になって、男の子を生み、

29 וַיִּקְרָא֙ שְׁמ֣וֹ נֹ֔חַ לֵאמֹ֕ר ז֚֔ה יְנַחֲמֵ֖נוּ מִמַּעֲשֵׂ֑נוּ וּמֵעִצְּבוֹן֙ יָדֵ֣ינוּ מִן־הָ֣אֲדָמָ֔ה אֲשֶׁ֥ר אֵֽרְרָ֖ה יְהוָֽה׃

וַיִּקְרָא֙	שְׁמ֣וֹ	נֹ֔חַ	לֵאמֹ֕ר	ז֚֔ה	יְנַחֲמֵ֖נוּ	מִמַּעֲשֵׂ֑נוּ	וּמֵעִצְּבוֹן֙	יָדֵ֣ינוּ
そして–名づけた	その–名を	ノアと	言って	この–者は	慰める	我々の–働きから	そして–苦しみから	我々の–手の
H7121	H8034	H5146	H0559	H2088	H5162	H4639	H6093	H3027

מִן־	הָ֣אֲדָמָ֔ה	אֲשֶׁ֥ר	אֵֽרְרָ֖ה	יְהוָֽה׃	
(から)	地面から	(の)–ところの	呪われた	主が	
H0127	H0779	H3068			

「この子こそ、主が地をのろわれたため、骨折り働くわれわれを慰めるもの」と言って、その名をノアと名づけた。

30 וַיְחִ֣י לֶ֔מֶךְ אַחֲרֵ֖י הוֹלִיד֣וֹ אֶת־נֹ֑חַ חָמֵ֤שׁ וְתִשְׁעִים֙ שָׁנָ֔ה וַחֲמֵ֥שׁ מֵא֖וֹת שָׁנָ֑ה וַיּ֥וֹלֶד בָּנִ֖ים וּבָנֽוֹת׃

וַיְחִ֣י	לֶ֔מֶךְ	אַחֲרֵ֖י	הוֹלִיד֣וֹ	אֶת־	נֹ֑חַ	חָמֵ֤שׁ	וְתִשְׁעִים֙	שָׁנָ֔ה	
そして–生きた	レメクは	後	生んだ	(を)	ノアを	五と	九十の	年と	
H2421	H3929	H0310	H3205	H0853	H5146	H2568	H8673	H8141	

מֵאָ֥ת	וַחֲמֵ֥שׁ	שָׁנָ֖ה	וַיּ֥וֹלֶד	בָּנִ֖ים	וּבָנֽוֹת׃			
百の	五–百	年と	そして–生んだ	息子たちと	娘たちを			
H3967	H2568	H8141	H3205		H1323			

レメクはノアを生んだ後、五百九十五年生きて、男子と女子を生んだ。

31 וַיִּֽהְי֣וּ כָל־יְמֵ֣י לֶ֔מֶךְ שֶׁ֥בַע וְשִׁבְעִ֖ים שָׁנָ֑ה וּשְׁבַ֥ע מֵא֖וֹת שָׁנָ֔ה וַיָּמֹ֖ת׃ ס

וַיִּֽהְי֣וּ	כָל־	יְמֵ֣י	לֶ֔מֶךְ	שֶׁ֥בַע	וְשִׁבְעִ֖ים	שָׁנָ֑ה	וּשְׁבַ֥ע	מֵא֖וֹת	שָׁנָ֔ה
そして–であった	すべての	日々は	レメクの	七と	七十の	年と	七–百	百の	年であった
H1961	H3605	H3117	H3929	H7651	H7657	H8141	H7651	H3967	H8141

וַיָּמֹ֖ת׃	ס	
そして–死んだ	[区切]	
H4191		

レメクの年は合わせて七百七十七歳であった。そして彼は死んだ。

32 וַיְהִ֣י נֹ֔חַ בֶּן־חֲמֵ֥שׁ מֵא֖וֹת שָׁנָ֑ה וַיּ֥וֹלֶד נֹ֛חַ אֶת־שֵׁ֥ם אֶת־חָ֖ם וְאֶת־יָֽפֶת׃

וַיְהִ֣י	נֹ֔חַ	בֶּן־	חֲמֵ֥שׁ	מֵא֖וֹת	שָׁנָ֑ה	וַיּ֥וֹלֶד	נֹ֛חַ	אֶת־	שֵׁ֥ם
そして–であった	ノアは	息子で	五–百	百の	年の	そして–生んだ	ノアは	(を)	セムを
H1961	H5146	H1121	H2568	H3967	H8141	H3205	H5146	H0853	H8035

אֶת־	חָ֖ם	וְאֶת־	יָֽפֶת׃	
(を)	ハムを	そして(を)	ヤペテを	
H0853	H2526	H0853	H3315	

ノアは五百歳になって、セム、ハム、ヤペテを生んだ。

Chapter 6

1 וַיְהִ֗י כִּֽי־הֵחֵל֙ הָֽאָדָ֔ם לָרֹ֖ב עַל־פְּנֵ֣י הָֽאֲדָמָ֑ה וּבָנ֥וֹת יֻלְּד֖וּ לָהֶֽם׃

וַיְהִ֗י	כִּֽי־	הֵחֵל֙	הָֽאָדָ֔ם	לָרֹ֖ב	עַל־	פְּנֵ֣י	הָֽאֲדָמָ֑ה	
そして–あった	(と)–それは	始めた	人が	増えることを	(の)–上に	面の	地面の	
H1961		H2490	H0120	H7231		H6440	H0127	

וּבָנ֥וֹת	יֻלְּד֖וּ	לָהֶֽם׃		
そして–娘たちが	生まれた	彼らに		
H1323	H3205			

人が地のおもてにふえ始めて、娘たちが彼らに生れた時、

2 וַיִּרְא֣וּ בְנֵי־הָֽאֱלֹהִ֗ים אֶת־בְּנ֣וֹת הָֽאָדָם֮ כִּ֣י טֹבֹת֣ הֵנָּה֒ וַיִּקְח֣וּ לָהֶ֔ם נָשִׁ֖ים מִכֹּ֥ל אֲשֶׁ֖ר בָּחָֽרוּ׃

וַיִּרְא֣וּ	בְנֵי־	הָֽאֱלֹהִ֗ים	אֶת־	בְּנ֣וֹת	הָֽאָדָם֮	כִּ֣י	טֹבֹת֣	הֵנָּה֒	
すると–見た	息子たちは	神の	(を)	娘たちを	人の	(と)–それが	美しいと	彼女らは	
H7200		H0430	H0853	H1323	H0120			H2007	

וַיִּקְח֣וּ	לָהֶ֔ם	נָשִׁ֖ים	מִכֹּ֥ל	אֲשֶׁ֖ר	בָּחָֽרוּ׃			
そして–娶った	自分たちの–ために	妻を	すべての–中から	(の)–ところの	選んだ			
H3947		H0802	H3605		H0977			

神の子たちは人の娘たちの美しいのを見て、自分の好む者を妻にめとった。

3

לְעֹלָם	בָּאָדָם	רוּחִי	יָדוֹן	לֹא־	יְהוָה	וַיֹּאמֶר
永遠に	人の-中に	わたしの-霊は	とどまる	(しては)-ならない	主は	すると-言われた
H5769	H0120	H7307	H1777	H3808	H3068	H0559

שָׁנָה׃	וְעֶשְׂרִים	מֵאָה	יָמָיו	וְהָיוּ	בָשָׂר	הוּא	בְּשַׁגַּם
年に	二十の	百と	その-日々は	そして-なる	肉である	彼は	なぜなら-また
H8141	H6242	H3967	H3117	H1961	H1320	H1931	H1571

そこで主は言われた、「わたしの霊はながく人の中にとどまらない。彼は肉にすぎないのだ。しかし、彼の年は百二十年であろう」。

4

הַנְּפִלִים	הָיוּ	בָאָרֶץ	בַּיָּמִים	הָהֵם	גַּם	אַחֲרֵי־	כֵּן	אֲשֶׁר	יָבֹאוּ
ネフィリムが	いた	地に	日々に	それらの	そして-また	後にも	その	(の)-ときに	入った
H5303	H1961	H0776	H3117	H1992	H1571				H0935

הַגִּבֹּרִים	הֵמָּה	לָהֶם	וְיָלְדוּ	הָאָדָם	בְּנוֹת	אֶל־	הָאֱלֹהִים	בְּנֵי
勇士たちで	彼らは	彼らに	そして-産んだ	人の	娘たちの	(の)-もとへ	神の	息子たちが
H1368	H1992		H3205	H0120	H1323	H0413	H0430	

פ	הַשֵּׁם׃	אַנְשֵׁי	מֵעוֹלָם	אֲשֶׁר
[段落]	名のある	人々で	昔からの	(の)-ところの
	H8034	H0376	H5769	

そのころ、またその後にも、地にネピリムがいた。これは神の子たちが人の娘たちのところにはいって、娘たちに産ませたものである。彼らは昔の勇士であり、有名な人々であった。

5

יֵצֶר	וְכָל־	בָּאָרֶץ	הָאָדָם	רָעַת	רַבָּה	כִּי	יְהוָה	וַיַּרְא
思いの	そして-すべての	地に	人の	悪は	大きいと	(と)-それが	主は	すると-見た
H3336	H3605	H0776	H0120				H3068	H7200

הַיּוֹם׃	כָּל־	רַע	רַק	לִבּוֹ	מַחְשְׁבֹת
日々	すべての	悪だけで	ただ	その-心の	考えの
H3117	H3605		H7535		H4284

主は人の悪が地にはびこり、すべてその心に思いはかることが、いつも悪い事ばかりであるのを見られた。

6

אֶל־	וַיִּתְעַצֵּב	בָּאָרֶץ	הָאָדָם	אֶת־	עָשָׂה	כִּי־	יְהוָה	וַיִּנָּחֶם
(の)-中で	そして-痛まれた	地に	人を	(を)	造った	なぜなら	主は	すると-悲しまれた
H0413		H0776	H0120	H0853			H3068	H5162

לִבּוֹ׃
その-心の

主は地の上に人を造ったのを悔いて、心を痛め、

7

פְּנֵי	מֵעַל	בָּרָאתִי	אֲשֶׁר־	הָאָדָם	אֶת־	אֶמְחֶה	יְהוָה	וַיֹּאמֶר
面から	(から)	創造した	(の)-ところの	人を	(を)	消し去ろう	主は	そして-言われた
H6440				H0120	H0853		H3068	H0559

כִּי	הַשָּׁמַיִם	עוֹף	וְעַד־	רֶמֶשׂ	עַד־	בְּהֵמָה	עַד־	מֵאָדָם	הָאֲדָמָה
なぜなら	天の	鳥まで	そして(まで)	這う-ものまで	(まで)	家畜まで	(まで)	人から	地面の
	H8064	H5775	H5704	H7431	H5704	H0929	H5704	H0120	H0127

עֲשִׂיתָם׃	כִּי	נִחַמְתִּי	
造ったのを	なぜなら	悲しんだ	
		H5162	

「わたしが創造した人を地のおもてからぬぐい去ろう。人も獣も、這うものも、空の鳥までも。わたしは、これらを造ったことを悔いる」と言われた。

8 וְנֹ֖חַ מָצָ֣א חֵ֑ן בְּעֵינֵ֖י יְהוָֽה׃ פ
しかし-ノアは 見いだした 恵みを 御前に 主の [段落]
H5146 H4672 H2580 H0430 H3068

しかし、ノアは主の前に恵みを得た。

9 אֵ֚לֶּה תּוֹלְדֹ֣ת נֹ֔חַ נֹ֕חַ אִ֥ישׁ צַדִּ֛יק תָּמִ֥ים הָיָ֖ה בְּדֹרֹתָ֑יו אֶת־
これらは 歴史である ノアの ノアは 人で 正しい 全き-人で あった その-時代に (と)-共に
H0428 H8435 H5146 H5146 H0376 H6662 H8549 H1961 H1755 H0854

הָאֱלֹהִ֖ים הִתְהַלֶּךְ־נֹֽחַ׃
神と 歩んだ ノアは
H0430 H1980 H5146

ノアの系図は次のとおりである。ノアはその時代の人々の中で正しく、かつ全き人であった。ノアは神とともに歩んだ。

10 וַיּ֣וֹלֶד נֹ֗חַ שְׁלֹשָׁה֙ בָּנִ֔ים אֶת־שֵׁ֥ם אֶת־חָ֖ם וְאֶת־יָֽפֶת׃
そして-生んだ ノアは 三人の 息子を (を) セムを (を) ハムを そして(を) ヤペテを
H3205 H5146 H7969 H0853 H8035 H0853 H2526 H0853 H3315

ノアはセム、ハム、ヤペテの三人の子を生んだ。

11 וַתִּשָּׁחֵ֥ת הָאָ֖רֶץ לִפְנֵ֣י הָאֱלֹהִ֑ים וַתִּמָּלֵ֥א הָאָ֖רֶץ חָמָֽס׃
そして-壊れていた 地は 御前で 神の そして-満ちていた 地は 暴力で
H7843 H0776 H6440 H0430 H4390 H0776 H2555

時に世は神の前に乱れて、暴虐が地に満ちた。

12 וַיַּ֣רְא אֱלֹהִ֗ים אֶת־הָאָ֛רֶץ וְהִנֵּ֥ה נִשְׁחָתָ֖ה כִּֽי־הִשְׁחִ֣ית כָּל־
すると-見た 神は 地を (を) 見よ そして-壊れていた なぜなら 壊していた すべての
H7200 H0430 H0776 H0853 H2009 H7843 H7843 H3605

בָּשָׂ֥ר אֶת־דַּרְכּ֖וֹ עַל־הָאָֽרֶץ׃ ס
肉なる-ものが (を) その-道を (の)-上で 地の [区切]
H1320 H0853 H1870 H0430 H0776

神が地を見られると、それは乱れていた。すべての人が地の上でその道を乱したからである。

13 וַיֹּ֣אמֶר אֱלֹהִים֮ לְנֹחַ֒ קֵ֣ץ כָּל־בָּשָׂר֮ בָּ֣א לְפָנַ֒י כִּֽי־מָלְאָ֨ה הָאָ֥רֶץ חָמָ֛ס מִפְּנֵיהֶ֖ם וְהִנְנִ֥י מַשְׁחִיתָ֖ם אֶת־
すると-言われた 神は ノアに 終わりが すべての 肉なる-ものの 来た わたしの-前に
H0559 H0430 H5146 H7093 H3605 H1320 H0935 H6440

הָאָֽרֶץ׃
地を
H0776 H0854 H7843 H2009 H6440 H2555 H0776 H4390

そこで神はノアに言われた、「わたしは、すべての人を絶やそうと決心した。彼らは地を暴虐で満たしたから、わたしは彼らを地とともに滅ぼそう。

14 עֲשֵׂ֣ה לְךָ֗ תֵּבַת֙ עֲצֵי־גֹ֔פֶר קִנִּ֖ים תַּעֲשֶׂ֣ה אֶת־הַתֵּבָ֑ה וְכָפַרְתָּ֥
造れ お前の-ために 箱船を 木の ゴフェルの 部屋を 作れ (を) 箱船に そして-塗れ
H6213 H8392 H6086 H1613 H7064 H6213 H0853 H8392 H3722

אֹתָ֛הּ מִבַּ֥יִת וּמִחֽוּץ׃ בַּכֹּֽפֶר׃
それを 内側と そして-外側を 瀝で
H0853 H2351 H3724 H0853

あなたは、いとすぎの木で箱舟を造り、箱舟の中にへやを設け、アスファルトでそのうちそとを塗りなさい。

15 וְזֶה אֲשֶׁר תַּעֲשֶׂה אֹתָהּ שְׁלֹשׁ מֵאוֹת אַמָּה אֹרֶךְ הַתֵּבָה חֲמִשִּׁים
そして-これが (の)-ところの 作る それを 三-百 アンマで 長さは 箱船の 五十の
H2088 H0853 H7969 H0853 H6967 H7970 H7341 H0753 H8392 H2572

אַמָּה רָחְבָּהּ וּשְׁלֹשִׁים אַמָּה קוֹמָתָהּ׃
アンマで その-幅は 三十の アンマで その-高さは
H0853 H7341 H7970 H0853 H6967

その造り方は次のとおりである。すなわち箱舟の長さは三百キュビト、幅は五十キュビト、高さは三十キュビトとし、

16 צֹהַר תַּעֲשֶׂה לַתֵּבָה וְאֶל־אַמָּה תְכַלֶּנָּה מִלְמַעְלָה וּפֶתַח הַתֵּבָה
天窓を 作れ 箱船に (に)-へ アンマで 仕上げよ 上の-方から そして-戸口を 箱船の
H0413 H0853 H6967 H3615 H4605 H6607 H8392

תַּעֲשֶׂה׃ וּשְׁלִשִׁים שְׁנִים תַּחְתִּים תְּשִׂים בְּצַדָּהּ
作れ 三の-階を 二の-階と 下の-階と 置け その-横に
H7992 H8145 H8482 H6654

箱舟に屋根を造り、上へ一キュビトにそれを仕上げ、また箱舟の戸口をその横に設けて、一階と二階と三階のある箱舟を造りなさい。

17 וַאֲנִי הִנְנִי מֵבִיא אֶת־הַמַּבּוּל מַיִם עַל־הָאָרֶץ לְשַׁחֵת כָּל־בָּשָׂר
そして-わたしは 見よ もたらす (を) 大洪水を 水の (の)-上に 地の 滅ぼすために すべての
H0589 H2009 H0935 H0853 H3999 H4325 H0776 H7843 H3605

אֲשֶׁר־בּוֹ רוּחַ חַיִּים מִתַּחַת הַשָּׁמָיִם כֹּל אֲשֶׁר בָּאָרֶץ יִגְוָע׃
(の)-ところの その-中に 命の-息が 命の 下の 天の すべての (の)-ところの 地に-ある-ものは 死ぬ
H0834 H1320 H3605 H0834 H0776 H1478

わたしは地の上に洪水を送って、命の息のある肉なるものを、みな天の下から滅ぼし去る。地にあるものは、みな死に絶えるであろう。

18 וַהֲקִמֹתִי אֶת־בְּרִיתִי אִתָּךְ וּבָאתָ אֶל־הַתֵּבָה אַתָּה
しかし-立てる (を) わたしの-契約を お前と そして-入れ (の)-中へ 箱船の お前と
H0853 H1285 H0854 H0935 H0413 H8392 H0854

וּבָנֶיךָ וְאִשְׁתְּךָ וּנְשֵׁי־בָנֶיךָ אִתָּךְ׃
そして-お前の-息子たちと そして-お前の-妻と そして-息子たちの-妻たちを お前と-共に
H0854 H0802 H0802 H0854

ただし、わたしはあなたと契約を結ぼう。あなたは子らと、妻と、子らの妻たちと共に箱舟にはいりなさい。

19 וּמִכֹּל הָחַי מִכָּל־בָּשָׂר שְׁנַיִם מִכֹּל תָּבִיא אֶל־הַתֵּבָה
そして-すべての 生き物の すべての 肉なる-ものの 二つずつ すべての-中から 入れよ (の)-中へ 箱船に
H3605 H2416 H3605 H1320 H8147 H3605 H0935 H0413 H8392

לְהַחֲיֹת אִתָּךְ זָכָר וּנְקֵבָה יִהְיוּ׃
生かすために お前と-共に 雄と 雌で あれ
H2421 H0854 H2145 H5347 H1961

またすべての生き物、すべての肉なるものの中から、それぞれ二つずつを箱舟に入れて、あなたと共にその命を保たせなさい。それらは雄と雌とでなければならない。

20 מֵהָעוֹף לְמִינֵהוּ וּמִן־הַבְּהֵמָה לְמִינָהּ מִכֹּל רֶמֶשׂ
鳥から その–種類に–従い そして(から) 家畜から その–種類に–従い 這う–ものの
H5775 H4327 H0929 H4327 H3605 H7431

הָאֲדָמָה לְמִינֵהוּ שְׁנַיִם מִכֹּל יָבֹאוּ אֵלֶיךָ לְהַחֲיוֹת׃
地面の その–種類に–従い 二つずつ すべての–中から 来る お前の–もとへ 生かすために
H0127 H4327 H8147 H3605 H0935 H0413 H2421

すなわち、鳥はその種類にしたがい獣はその種類にしたがい、また地のすべての這うものも、その種類にしたがって、それぞれ二つずつ、あなたのところに入れて、命を保たせなさい。

21 וְאַתָּה קַח־לְךָ מִכָּל־מַאֲכָל אֲשֶׁר יֵאָכֵל וְאָסַפְתָּ
そして–お前は 取れ 自分の–ために すべての 食物を (の)–ところの 食べられる そして–集めよ
H0622 H0398 H3978 H3605 H0402 H3947

אֵלֶיךָ וְהָיָה לְךָ וְלָהֶם לְאָכְלָה׃
お前の–もとへ そして–なる お前と そして–彼らの 食物と
H0413 H1961 H0413

また、すべての食物となるものをとって、あなたのところにたくわえ、あなたとこれらのものとの食物としなさい」。

22 וַיַּעַשׂ נֹחַ כְּכֹל אֲשֶׁר צִוָּה אֹתוֹ אֱלֹהִים כֵּן׃ ס
そして–行った ノアは すべての–ことを (の)–ところの 命じた 彼に 神が その–通りに [区切]
H6213 H5146 H3605 H0834 H6680 H0853 H0430

ノアはすべて神の命じられたようにした。

Chapter 7

1 וַיֹּאמֶר יְהוָה לְנֹחַ בֹּא־אַתָּה וְכָל־בֵּיתְךָ אֶל־הַתֵּבָה
すると–言われた 主は ノアに 入れ お前と そして–すべての お前の–家族を (の)–中へ 箱船の
H0559 H3068 H5146 H0935 H0853 H3605 H0413 H8392

כִּי־אֹתְךָ רָאִיתִי צַדִּיק לְפָנַי בַּדּוֹר הַזֶּה׃
なぜなら お前を 見た 正しいと わたしの–前に 時代に この
H3588 H0853 H7200 H6662 H6440 H1755 H2088

主はノアに言われた、「あなたと家族とはみな箱舟にはいりなさい。あなたがこの時代の人々の中で、わたしの前に正しい人であるとわたしは認めたからである。

2 מִכֹּל הַבְּהֵמָה הַטְּהוֹרָה תִּקַּח־לְךָ שִׁבְעָה שִׁבְעָה אִישׁ
すべての–中から 家畜の 清い 取れ お前の–ために 七–つずつ 七–つずつ 雄と
H3605 H0929 H2889 H3947 H0853 H7651 H7651 H0376

וְאִשְׁתּוֹ וּמִן־הַבְּהֵמָה אֲשֶׁר לֹא טְהֹרָה הִוא שְׁנַיִם אִישׁ
その–雌を そして(から) 家畜の (の)–ところの (まだ)–ない 清く それは 二–つずつ 雄と
H0802 H0929 H0834 H3808 H2889 H1931 H8147 H0376

וְאִשְׁתּוֹ׃
その–雌を
H0802

あなたはすべての清い獣の中から雄と雌とを七つずつ取り、清くない獣の中から雄と雌とを二つずつ取り、

3 גַּ֚ם מֵע֣וֹף הַשָּׁמַ֔יִם שִׁבְעָ֥ה שִׁבְעָ֖ה זָכָ֣ר וּנְקֵבָ֑ה לְחַיּ֥וֹת זֶ֖רַע עַל־
また 鳥からも 天の 七−つずつ 七−つずつ 雄と 雌を 生かすために 子孫を (の)−上に
H1571 H5775 H8064 H7651 H7651 H2145 H5347 H2421 H2233 H6440

פְּנֵ֥י כָל־ הָאָֽרֶץ׃
面の すべての 地の
H6440 H3605 H0776

また空の鳥の中から雄と雌とを七つずつ取って、その種類が全地のおもてに生き残るようにしなさい。

4 כִּ֣י ׀ לְיָמִ֣ים עוֹד֮ שִׁבְעָה֒ אָנֹכִ֗י מַמְטִ֤יר עַל־ הָאָ֙רֶץ֙ אַרְבָּעִ֣ים יֽוֹם
なぜなら 日々の あと 七つの わたしは 降らせる (の)−上に 地の 四十の 日と
H3117 H5750 H7651 H0595 H4305 H0776 H0705 H3117

וְאַרְבָּעִ֣ים לָ֔יְלָה וּמָחִ֙יתִי֙ אֶת־ כָּל־ הַיְקוּם֙ אֲשֶׁ֣ר עָשִׂ֔יתִי מֵעַ֖ל פְּנֵ֥י
そして−四十の 夜を そして−消し去る (を) すべての 生き物を (の)−ところの (から) 面から
H0705 H3915 H0853 H3605 H3351 H4639 H6440

הָאֲדָמָֽה׃
地面の
H0127

七日の後、わたしは四十日四十夜、地に雨を降らせて、わたしの造ったすべての生き物を、地のおもてからぬぐい去ります」。

5 וַיַּ֣עַשׂ נֹ֔חַ כְּכֹ֖ל אֲשֶׁר־ צִוָּ֥הוּ יְהוָֽה׃
そして−行った ノアは すべての−ことを (の)−ところの 主が
H6213 H5146 H3605 H6680 H3068

ノアはすべて主が命じられたようにした。

6 וְנֹ֗חַ בֶּן־ שֵׁ֣שׁ מֵא֣וֹת שָׁנָה֮ וְהַמַּבּ֣וּל הָיָה֒ מַ֚יִם עַל־ הָאָֽרֶץ׃
そして−ノアは 息子で 六−百 百の 年の そして−大洪水が あった 水の (の)−上に 地の
H5146 H1121 H8337 H3967 H8141 H3999 H1961 H4325 H5921 H0776

さて洪水が地に起った時、ノアは六百歳であった。

7 וַיָּבֹ֣א נֹ֗חַ וּבָנָיו֙ וְאִשְׁתּ֣וֹ וּנְשֵׁי־ בָנָ֔יו אִתּ֖וֹ אֶל־ הַתֵּבָ֑ה מִפְנֵ֥י מֵ֖י הַמַּבּֽוּל׃
そして−入った ノアと その−息子たちと その−妻と そして−息子たちの−妻たちが 彼と−共に (の)−中へ 箱船の 前に 水の 大洪水の
H0935 H5146 H1121 H0802 H0802 H1121 H0854 H0413 H8392 H6440 H4325 H3999

ノアは子らと、妻と、子らの妻たちと共に洪水を避けて箱舟にはいった。

8 מִן־ הַבְּהֵמָה֙ הַטְּהוֹרָ֔ה וּמִן־ הַבְּהֵמָ֖ה אֲשֶׁ֣ר אֵינֶ֑נָּה טְהֹרָ֔ה וּמִן־
(から) 家畜の 清い そして(から) 家畜の (の)−ところの では−ない 清く そして(から)
H4480 H0929 H2889 H4480 H0929 H0834 H0369 H2889 H4480

הָעֹ֔וף וְכֹ֖ל אֲשֶׁ֣ר רֹמֵ֑שׂ עַל־ הָאֲדָמָֽה׃
鳥から そして−すべての (の)−ところの 這う (の)−上を 地面の
H5775 H3605 H0834 H7430 H5921 H0127

また清い獣と、清くない獣と、鳥と、地に這うすべてのものとの、

9 שְׁנַ֣יִם שְׁנַ֔יִם בָּ֖אוּ אֶל־נֹ֑חַ אֶל־הַתֵּבָ֗ה זָכָ֤ר וּנְקֵבָה֙ כַּאֲשֶׁ֔ר
二-つずつ 二-つずつ 入った (の)-もとへ ノアの (の)-中へ 箱船の 雄と 雌が (の)-通りに
H8147 H8147 H0935 H0413 H5146 H0413 H8392 H2145 H5347

צִוָּ֥ה אֱלֹהִ֖ים אֶת־נֹֽחַ׃
命じた 神が (を) ノアに
H6680 H0430 H0853 H5146

雄と雌とが、二つずつノアのもとにきて、神がノアに命じられたように箱舟にはいった。

10 וַיְהִ֗י לְשִׁבְעַ֙ת הַיָּמִ֔ים וּמֵ֥י הַמַּבּ֖וּל הָי֥וּ עַל־הָאָֽרֶץ׃
すると-あった 七つ目の 日の-後に そして-水が 大洪水の あった (の)-上に 地の
H1961 H7651 H3117 H4325 H3999 H1961 H0776

こうして七日の後、洪水が地に起った。

11 בִּשְׁנַ֣ת שֵׁשׁ־מֵא֗וֹת שָׁנָה֙ לְחַיֵּי־נֹ֔חַ בַּחֹ֥דֶשׁ הַשֵּׁנִ֖י בְּשִׁבְעָה־עָ֣שָׂר יוֹם֮
年に 六-百 百の 年目の 生涯の ノアの 月の 第二の 第-十七の 日に
H8141 H8337 H3967 H8141 H2320 H5146 H8145 H7651 H3117

בַּיּ֣וֹם הַזֶּ֗ה נִבְקְעוּ֙ כָּל־מַעְיְנֹ֣ת תְּה֣וֹם רַבָּ֔ה וַאֲרֻבֹּ֥ת הַשָּׁמַ֖יִם נִפְתָּֽחוּ׃
日に この 裂けた すべての 源が 深淵の 大いなる そして-窓が 天の 開かれた
H3117 H2088 H1234 H3605 H4599 H8415 H7227 H0699 H8064

それはノアの六百歳の二月十七日であって、その日に大いなる淵の源は、ことごとく破れ、天の窓が開けて、

12 וַיְהִ֥י הַגֶּ֖שֶׁם עַל־הָאָ֑רֶץ אַרְבָּעִ֥ים י֖וֹם וְאַרְבָּעִ֥ים לָֽיְלָה׃
そして-あった 雨が (の)-上に 地の 四十の 日と 四十の 夜
H1961 H1653 H0776 H0705 H3117 H0705 H3915

雨は四十日四十夜、地に降り注いだ。

13 בְּעֶ֣צֶם הַיּ֣וֹם הַזֶּ֗ה בָּ֚א נֹ֣חַ וְשֵׁם־וְחָ֣ם וָיֶ֔פֶת בְּנֵי־נֹ֖חַ וְאֵ֣שֶׁת נֹ֑חַ וּשְׁלֹ֥שֶׁת נְשֵׁי־בָנָ֖יו אִתָּ֥ם אֶל־הַתֵּבָֽה׃
まさに-その 日の この 入った ノアと そして-セムと そして-ハムと そして-ヤペテは 息子たちで ノアの そして-妻と 息子たちの-妻たちが そして-三人の 彼らと-共に 箱船の
H6106 H3117 H2088 H0935 H5146 H8035 H2526 H3315 H0802 H5146 H0802 H7969 H0854 H0413 H8392

その同じ日に、ノアと、ノアの子セム、ハム、ヤペテと、ノアの妻と、その子らの三人の妻とは共に箱舟にはいった。

14 הֵ֣מָּה הָי֣וּ לְמִינָ֗הּ וְכָל־הַחַיָּה֙ לְמִינָ֔הּ וְכָל־הַבְּהֵמָ֖ה לְמִינָ֑הּ וְכָל־הָרֶ֣מֶשׂ הָרֹמֵ֣שׂ עַל־הָאָ֔רֶץ לְמִינֵ֖הוּ וְכָל־הָע֥וֹף לְמִינֵ֖הוּ כֹּ֥ל צִפּ֖וֹר כָּנָֽף׃
彼らと その-種類に-従い 獣が そして-すべての その-種類に-従い 家畜が その-種類に-従い 這う 這う-ものが 地の (の)-上を その-種類に-従い 鳥が そして-すべての その-種類に-従い 小鳥が すべての 翼ある-ものが
H1992 H4327 H3605 H4327 H0929 H4327 H7430 H7431 H0776 H4327 H5775 H3605 H4327 H6833 H3605 H3671

またすべての種類の獣も、すべての種類の家畜も、地のすべての種類の這うものも、すべての種類の鳥も、すべての翼あるものも、皆はいった。

15 וַיָּבֹאוּ אֶל־נֹחַ אֶל־הַתֵּבָה שְׁנַיִם שְׁנַיִם מִכָּל־הַבָּשָׂר אֲשֶׁר־בּוֹ רוּחַ חַיִּים׃

そして-入った (の)-もとへ ノアの (の)-中へ 箱船の 二-つずつ 二-つずつ すべての-中から
H0935 H0413 H5146 H0413 H8392 H8147 H8147 H3605

命の 命の-息が その-中に (の)-ところの 肉なる-ものの
H7307 H1320

すなわち命の息のあるすべての肉なるものが、二つずつノアのもとにきて、箱舟にはいった。

16 וְהַבָּאִים זָכָר וּנְקֵבָה מִכָּל־בָּשָׂר בָּאוּ כַּאֲשֶׁר צִוָּה אֹתוֹ אֱלֹהִים וַיִּסְגֹּר יְהוָה בְּעָדוֹ׃

そして-入った-ものたちは 雄と 雌で すべての-中から 肉なる-ものの 入った (の)-通りに
H0935 H2145 H5347 H3605 H1320 H0935

命じた 彼に 神が すると-閉じた 主は その-後ろを
H6680 H0853 H0430 H5462 H3068 H1157

そのはいったものは、すべて肉なるものの雄と雌とであって、神が彼に命じられたようにはいった。そこで主は彼のうしろの戸を閉ざされた。

17 וַיְהִי הַמַּבּוּל אַרְבָּעִים יוֹם עַל־הָאָרֶץ וַיִּרְבּוּ הַמַּיִם וַיִּשְׂאוּ אֶת־הַתֵּבָה וַתָּרָם מֵעַל הָאָרֶץ׃

そして-あった 大洪水が 四十の 日 (の)-上に 地の 増えた そして-水は
H1961 H3999 H0705 H3117 H0776 H7235 H4325

持ち上げた そして-上がった 箱船を (を) 地から (から)
H5375 H7311 H8392 H0853 H0776

洪水は四十日のあいだ地上にあった。水が増して箱舟を浮べたので、箱舟は地から高く上がった。

18 וַיִּגְבְּרוּ הַמַּיִם וַיִּרְבּוּ מְאֹד עַל־הָאָרֶץ וַתֵּלֶךְ הַתֵּבָה עַל־פְּנֵי הַמָּיִם׃

勢いを-増した そして-水は 増えた そして-非常に (の)-上に 地の 進んだ そして-箱船は
H1396 H4325 H7235 H3966 H0776 H1980 H8392

(の)-上を 面の 水の
H5921 H6440 H4325

また水がみなぎり、地に増したので、箱舟は水のおもてに漂った。

19 וְהַמַּיִם גָּבְרוּ מְאֹד מְאֹד עַל־הָאָרֶץ וַיְכֻסּוּ כָּל־הֶהָרִים הַגְּבֹהִים אֲשֶׁר־תַּחַת כָּל־הַשָּׁמָיִם׃

そして-水は 勢いを-増した 非常に 非常に (の)-上に 地の そして-覆われた すべての 山々が
H4325 H1396 H3966 H3966 H5921 H0776 H3680 H3605 H2022

(の)-ところの 下の すべての 天の 高い
H0834 H8478 H3605 H8064 H1364

水はまた、ますます地にみなぎり、天の下の高い山々は皆おおわれた。

20 חֲמֵשׁ עֶשְׂרֵה אַמָּה מִלְמַעְלָה גָּבְרוּ הַמָּיִם וַיְכֻסּוּ הֶהָרִים׃

十-五 十の アンマ 上に 勢いを-増した 水は そして-覆われた 山々は
H2568 H6240 H0520 H4605 H1396 H4325 H3680 H2022

水はその上、さらに十五キュビトみなぎって、山々は全くおおわれた。

וּבִבְהֵמָה בָּעוֹף הָאָרֶץ עַל־ הָרֹמֶשׂ וּבָשָׂר כָּל־ וַיִּגְוַע 21
そして–家畜も 鳥も 地の (の)–上の 動く 肉なる–ものが すべての そして–息絶えた
H0929 H5775 H0776 H7430 H1320 H3605 H1478

הָאָדָם׃ וְכֹל הָאָרֶץ עַל־ הַשֶּׁרֶץ הַשֹּׁרֵץ וּבְכָל־ וּבְחַיָּה
人も すべての 地の (の)–上の 群がる 群がる–ものも そして–すべての そして–獣も
H0120 H3605 H0776 H8317 H8318 H3605

地の上に動くすべて肉なるものは、鳥も家畜も獣も、地に群がるすべての這うものも、すべての人もみな滅びた。

אֲשֶׁר מִכֹּל בְּאַפָּיו חַיִּים רוּחַ נִשְׁמַת־ אֲשֶׁר כֹּל 22
(の)–ところの すべての–中の その–鼻に 命の 霊の 息を–もつ (の)–ところの すべて
H3605 H0639 H2416 H7307 H5397 H3605

מֵתוּ׃ בֶּחָרָבָה
死んだ 乾いた–地に–いた–ものは
H4191 H2724

すなわち鼻に命の息のあるすべてのもの、陸にいたすべてのものは死んだ。

מֵאָדָם הָאֲדָמָה פְּנֵי עַל־ אֲשֶׁר וְהַיְקוּם כָּל־ אֶת־ וַיִּמַח 23
人から 地面の 面の (の)–上の (の)–ところの 生き物を すべての (を) そして–消し去った
H0120 H0127 H6440 H3351 H3605 H0853

מִן־ וַיִּמָּחוּ הַשָּׁמַיִם עוֹף וְעַד־ רֶמֶשׂ עַד־ בְּהֵמָה עַד־
(から) そして–消し去られた 天の 鳥まで そして(まで) 這う–ものまで (まで) 家畜まで (まで)
H8064 H5775 H5704 H7431 H5704 H0929 H5704

בַּתֵּבָה׃ אִתּוֹ וַאֲשֶׁר נֹחַ אַךְ־ וַיִּשָּׁאֶר הָאָרֶץ
箱船に 彼と–共に–いる–ものが そして(が) ノアと ただ そして–残った 地から
H8392 H0854 H5146 H0389 H7604 H0776

地のおもてにいたすべての生き物は、人も家畜も、這うものも、空の鳥もみな地からぬぐい去られて、ただノアと、彼と共に箱舟にいたものだけが残った。

יוֹם׃ וּמְאַת חֲמִשִּׁים הָאָרֶץ עַל־ הַמַּיִם וַיִּגְבְּרוּ 24
日 百の 百–五十の 地の (の)–上に 水は そして–勢いを–増した
H3117 H3967 H2572 H0776 H4325 H1396

水は百五十日のあいだ地上にみなぎった。

Chapter 8

כָּל־ וְאֶת־ הַחַיָּה כָּל־ וְאֶת נֹחַ אֶת־ אֱלֹהִים וַיִּזְכֹּר 1
すべての そして(を) 獣を すべての そして(を) ノアを (を) 神は すると–思い出された
H3605 H0853 H3605 H0853 H5146 H0853 H0430 H2142

הָאָרֶץ עַל־ רוּחַ אֱלֹהִים וַיַּעֲבֵר בַּתֵּבָה אִתּוֹ אֲשֶׁר הַבְּהֵמָה
地の (の)–上に 風を 神は そして–通した 箱船に 彼と–共に–いた (の)–ところの 家畜を
H0776 H7307 H0430 H8392 H0854 H0929

הַמָּיִם׃ וַיָּשֹׁכּוּ
水は すると–引いた
H4325 H7918

神はノアと、箱舟の中にいたすべての生き物と、すべての家畜とを心にとめられた。神が風を地の上に吹かせられたので、水は退いた。

הַשָּׁמָיִם׃ מִן־ הַגֶּשֶׁם וַיִּכָּלֵא הַשָּׁמַיִם וַאֲרֻבֹּת תְּהוֹם מַעְיְנֹת וַיִּסָּכְרוּ 2
天から (から) 雨は そして–止まった 天の そして–窓が 深淵の 源が そして–ふさがれた
H8064 H1653 H3607 H8064 H0699 H8415 H4599 H5534

また淵の源と、天の窓とは閉ざされて、天から雨が降らなくなった。

3

חֲמִשִּׁים	מִקְצֵּה	הַמַּיִם	וַיַּחְסְרוּ	וָשׁוֹב	הָלוֹךְ	הָאָרֶץ	מֵעַל	הַמָּיִם	וַיָּשֻׁבוּ
百–五十の	終わりに	水は	そして–減った	引いて	徐々に	地から	(から)	水は	そして–引いた
H2572		H4325	H2637	H7725	H1980	H0776		H4325	H7725

יֽוֹם׃	וּמְאַת
日の	百の
H3117	H3967

それで水はしだいに地の上から引いて、百五十日の後には水が減り、

4

הָרֵי	עַל	לַחֹדֶשׁ	יוֹם	עָשָׂר	בְּשִׁבְעָה־	הַשִּׁבִיעִי	בַּחֹדֶשׁ	הַתֵּבָה׀	וַתָּנַח
山々の	(の)–上に	その–月の	日に	十の	第–十七の	第七の	月の	箱船は	そして–留まった
H2022		H2320	H3117	H6240	H7651	H7637	H2320	H8392	H5117

אֲרָרָט׃
アララトの
H0780

箱舟は七月十七日にアララテの山にとどまった。

5

לַחֹדֶשׁ	בְּאֶחָד	בָּעֲשִׂירִי	הָעֲשִׂירִי	הַחֹדֶשׁ	עַד	וְהַמַּיִם	הָלוֹךְ	הָיוּ׀	וְהַמַּיִם
その–月の	第一の	第十の–月に	第十の	月の	まで	減って	徐々に	であった	そして–水は
H2320	H0259	H6224	H6224	H2320	H5704	H2637	H1980	H1961	H4325

הֶהָרִים׃	רָאשֵׁי	נִרְאוּ
山々の	頂が	現れた
H2022		H7200

水はしだいに減って、十月になり、十月一日に山々の頂が現れた。

6

הַתֵּבָה	חַלּוֹן	אֶת־	נֹחַ	וַיִּפְתַּח	יוֹם	אַרְבָּעִים	מִקֵּץ	וַיְהִי	
箱船の	窓を	(を)	ノアは	そして–開けた	日の	四十の	終わりに	そして–あった	
H8392	H2474	H0853	H5146		H3117	H0705	H7093	H1961	

עָשָׂה׃	אֲשֶׁר
作った	(の)–ところの

四十日たって、ノアはその造った箱舟の窓を開いて、

7

יָבְשָׁה	עַד־	וָשׁוֹב	יָצוֹא׀	וַיֵּצֵא	הָעֹרֵב	אֶת־	וַיְשַׁלַּח	
乾くまで	(まで)	そして–帰り	行っては	すると–出て–行った	烏を	(を)	そして–送り出した	
H3001	H5704	H7725	H3318	H3318	H6158	H0853	H7971	

הָאָרֶץ׃	מֵעַל	הַמָּיִם
地から	(から)	水が
H0776		H4325

からすを放ったところ、からすは地の上から水がかわききるまで、あちらこちらへ飛びまわった。

8

מֵעַל	הַמַּיִם	הֳקַלּוּ	לִרְאוֹת	מֵאִתּוֹ	הַיּוֹנָה	אֶת־	וַיְשַׁלַּח	
(から)	水が	引いたかどうか	見るために	自分の–もとから	鳩を	(を)	そして–送り出した	
	H4325	H7043	H7200	H0854	H3123	H0853	H7971	

הָאֲדָמָה׃	פְּנֵי
地面の	面から
H0127	H6440

ノアはまた地のおもてから、水がひいたかどうかを見ようと、彼の所から、はとを放ったが、

9

וְלֹא־ (しかし-(まだ)-ない) H3808
מָצְאָה֙ (見つけなかった) H4672
הַיּוֹנָ֔ה (鳩は) H3123
מָנ֥וֹחַ (休み-場所を) H4494
לְכַף־ (その-足の-裏の) H3709
רַגְלָ֖הּ (足の) H7272
וַתָּ֣שָׁב (そして-帰った) H7725

וַיִּשְׁלַ֤ח (そして-伸ばした) H7971
יָדוֹ֙ (その-手を) H3027
וַיִּקָּחֶ֖הָ (そして-取った) H3947
וַיָּבֵ֣א (そして-入れた) H0935
אֹתָ֑הּ (それを) H0853
אֵלָ֔יו (自分の-もとへ) H0413
אֶל־ ((の)-中へ) H0413
הַתֵּבָֽה׃ (箱船の) H8392
הָאָ֔רֶץ (地の) H0776
כָּל־ (すべての) H3605
פְּנֵ֣י (面の) H6440
עַל־ ((の)-上に) H5921
מַ֔יִם (水が) H4325
כִּ֥י (なぜなら) H3588
הַתֵּבָ֖ה (箱船の) H8392
אֵלָ֑יו (彼の-もとへ) H0413

はとは足の裏をとどめる所が見つからなかったので、箱舟のノアのもとに帰ってきた。水がまだ全地のおもてにあったからである。彼は手を伸べて、これを捕え、箱舟の中の彼のもとに引き入れた。

10

וַיָּ֣חֶל (そして-待った) H2342
שִׁבְעַ֥ת (七つの) H7651
יָמִ֖ים (日を) H3117
אֲחֵרִ֑ים (別の) H0312
וַיֹּ֣סֶף (そして-再び) H3254
שַׁלַּ֔ח (送り出した) H7971
אֶת־ ((を)) H0853
הַיּוֹנָ֔ה (鳩を) H3123
מִן־ ((から)) H4480

הַתֵּבָֽה׃ (箱船から) H8392

それから七日待って再びはとを箱舟から放った。

11

וַתָּבֹ֣א (すると-来た) H0935
אֵלָ֗יו (彼の-もとへ) H0413
הַיּוֹנָה֙ (鳩は) H3123
לְעֵ֣ת (時に) H6256
עֶ֔רֶב (夕方の) H6153
וְהִנֵּ֥ה (そして-見よ) H2009
עֲלֵה־ (葉を) H5929
זַ֖יִת (オリーブの) H2132
טָרָ֣ף (ちぎり取った) H2963

הָאָֽרֶץ׃ (地から) H0776
מֵעַ֖ל ((から)) H5921
הַמָּ֑יִם (水が) H4325
קַלּ֣וּ (引いたと) H7043
כִּי־ ((と)-それが) H3588
נֹ֔חַ (ノアは) H5146
וַיֵּדַ֕ע (すると-知った) H3045
בְּפִ֖יהָ (その-くちばしに) H6310

はとは夕方になって彼のもとに帰ってきた。見ると、そのくちばしには、オリブの若葉があった。ノアは地から水がひいたのを知った。

12

וַיִּיָּ֣חֶל (そして-待った) H2342
עֽוֹד׃ (もう) H5750
שִׁבְעַ֥ת (七つの) H7651
יָמִ֖ים (日を) H3117
אֲחֵרִ֑ים (別の) H0312
וַיְשַׁלַּ֣ח (そして-送り出した) H7971
אֶת־ ((を)) H0853
הַיּוֹנָ֔ה (鳩を) H3123

אֵלָ֔יו (彼の-もとへ) H0413
שׁ֥וּב־ (帰って) H7725
לֹֽא־ (しかし-(もう)-ない) H3808
יָסְפָ֖ה (帰って-こなかった) H3254

さらに七日待ってまた、はとを放ったところ、もはや彼のもとには帰ってこなかった。

13

וַיְהִי֙ (そして-あった) H1961
בָּרִאשׁ֣וֹן (第一の-月に) H7223
בְּאֶחָ֔ד (第一の) H0259
לַחֹ֖דֶשׁ (その-月の) H2320
חָרְב֣וּ (乾いた) H2717
הַמָּ֑יִם (水は) H4325
וַיְהִ֣י (そして-あった) H1961
בְּאַחַ֤ת (第一と) H0259
וְשֵׁשׁ־ (六-百) H8337
מֵא֣וֹת (百の) H3967
שָׁנָה֮ (年目の) H8141

מֵעַ֖ל (から) H5921
הָאָ֑רֶץ (地から) H0776
וַיָּסַ֣ר (そして-外した) H5493
נֹ֔חַ (ノアは) H5146
אֶת־ ((を)) H0853
מִכְסֵ֣ה (覆いを) H4372
הַתֵּבָ֔ה (箱船の) H8392
וַיַּ֕רְא (そして-見た) H7200
וְהִנֵּ֥ה (そして-見よ) H2009
חָרְב֖וּ (乾いていた) H2717

פְּנֵ֥י (面が) H6440
הָאֲדָמָֽה׃ (地面の) H0127

六百一歳の一月一日になって、地の上の水はかれた。ノアが箱舟のおおいを取り除いて見ると、土のおもては、かわいていた。

ס	הָאָרֶץ׃	יָבְשָׁה	לַחֹדֶשׁ	יוֹם	וְעֶשְׂרִים	בְּשִׁבְעָה	הַשֵּׁנִי	וּבַחֹדֶשׁ	14
[区切]	地は	乾いた	その-月の	日に	二十の	第-二十七の	第二の	そして-月の	
	H0776	H3001	H2320	H3117	H6242	H7651	H8145	H2320	

二月二十七日になって、地は全くかわいた。

לֵאמֹר׃	נֹחַ	אֶל־	אֱלֹהִים	וַיְדַבֵּר	15
言って	ノアに	(に)-対して	神は	すると-語られた	
H0559	H5146	H0413	H0430	H1696	

この時、神はノアに言われた、

וּבָנֶיךָ	וְאִשְׁתְּךָ	אַתָּה	הַתֵּבָה	מִן־	צֵא	16
そして-お前の-息子たちと	そして-お前の-妻と	お前と	箱舟から	(から)	出よ	
	H0802		H8392		H3318

אִתָּךְ׃	בָּנֶיךָ	וּנְשֵׁי־
お前と-共に	息子たちの	そして-息子たちの-妻たちを
H0854		H0802

「あなたは妻と、子らと、子らの妻たちと共に箱舟を出なさい。

בָּעוֹף	בָּשָׂר	מִכֹּל־	אִתְּךָ	אֲשֶׁר־	הַחַיָּה	כָּל־	17
鳥も	肉なる-ものの	すべての	お前と-共に-いる	(の)-ところの	生き物を	すべての	
H5775	H1320	H3605	H0854			H3605	

(הַיְצֵא)	[הוצא]	הָאָרֶץ	עַל־	הָרֹמֶשׂ	וְכָל־	וּבַבְּהֵמָה	
連れ出せ	[ケティブ]	地の	(の)-上を	這う	這う-ものも	そして-すべての	そして-家畜も
H3318	H3318	H0776		H7430	H7431	H3605	H0929

הָאָרֶץ׃	עַל־	וְרִבּוּ	וּפְרוּ	בָּאָרֶץ	וְשִׁרְצוּ	אִתָּךְ	
地の	(の)-上に	そして-増えよ	そして-生めよ	地に	そして-群がれ	お前と-共に	
H0776			H6509	H0776	H8317	H0854	

あなたは、共にいる肉なるすべての生き物、すなわち鳥と家畜と、地のすべての這うものとを連れて出て、これらのものが地に群がり、地の上にふえ広がるようにしなさい」。

בָּנָיו	וּנְשֵׁי־	וְאִשְׁתּוֹ	וּבְנָיו	נֹחַ	וַיֵּצֵא־	18
息子たちの	そして-息子たちの-妻たちが	その-妻と	そして-その-息子たちと	ノアは	そこで-出た	
	H0802	H0802		H5146	H3318	

אִתּוֹ׃
彼と-共に
H0854

ノアは共にいた子らと、妻と、子らの妻たちとを連れて出た。

עַל־	רוֹמֵשׂ	כֹּל	הָעוֹף	וְכָל־	הָרֹמֶשׂ	כָּל־	הַחַיָּה	כָּל־	19
(の)-上を	動く-ものも	すべての	鳥も	そして-すべての	這う-ものも	すべての	獣も	すべての	
	H7430	H3605	H5775	H3605	H7431	H3605		H3605	

הַתֵּבָה׃	מִן־	יָצְאוּ	לְמִשְׁפְּחֹתֵיהֶם	הָאָרֶץ
箱舟から	(から)	出た	その-種類に-従い	地の
H8392		H3318	H4940	H0776

またすべての獣、すべての這うもの、すべての鳥、すべて地の上に動くものは皆、種類にしたがって箱舟を出た。

20 וַיִּבֶן נֹחַ מִזְבֵּחַ לַיהוָה וַיִּקַּח מִכֹּל הַבְּהֵמָה הַטְּהוֹרָה וּמִכֹּל הָעוֹף הַטָּהֹר וַיַּעַל עֹלֹת בַּמִּזְבֵּחַ׃

そして-建てた ノアは 祭壇を 主の-ために そして-取った すべての-中から 家畜の 清い
H1129 H5146 H4196 H3068 H3947 H3605 H0929 H2889

そして-すべての-中から 鳥の 清い そして-ささげた 全焼の-供え物を 祭壇の-上で
H3605 H5775 H2889 H5927 H3605 H4196

ノアは主に祭壇を築いて、すべての清い獣と、すべての清い鳥とのうちから取って、燔祭を祭壇の上にささげた。

21 וַיָּרַח יְהוָה אֶת־רֵיחַ הַנִּיחֹחַ וַיֹּאמֶר יְהוָה אֶל־לִבּוֹ לֹא־אֹסִף עוֹד לְקַלֵּל אֶת־הָאֲדָמָה בַּעֲבוּר הָאָדָם כִּי יֵצֶר לֵב הָאָדָם רַע מִנְּעֻרָיו וְלֹא־אֹסִף עוֹד לְהַכּוֹת אֶת־כָּל־חָי כַּאֲשֶׁר עָשִׂיתִי׃

主は 快い かおりを (を) 主は すると-かいだ
H3068 H5207 H7381 H0853 H3068 H7306

もう-(しない) 再び-(しない) 呪うことは 再び 人の せいで 地面を (を) 再び 思いは なぜなら その-心に (に)-対して
H3808 H3254 H7043 H5750 H0120 H5668 H0127 H0853 H3336

打ち-滅ぼすことは すべての (を) 生き物を (の)-ように 行ったように
H5221 H3605 H0853

そして-もう-(しない) 再び-(しない) 若い-ときから 悪である 人の 心の
H3808 H3254 H4480 H7451 H0120 H3820

主はその香ばしいかおりをかいで、心に言われた、「わたしはもはや二度と人のゆえに地をのろわない。人が心に思い図ることは、幼い時から悪いからである。わたしは、このたびしたように、もう二度と、すべての生きたものを滅ぼさない。

22 עֹד כָּל־יְמֵי הָאָרֶץ זֶרַע וְקָצִיר וְקֹר וָחֹם וְחֹרֶף וָקַיִץ וְיוֹם וָלַיְלָה לֹא יִשְׁבֹּתוּ׃

なお すべての 日々の-限り 地の 種撒きと そして-収穫と そして-寒さと そして-暑さと
H5750 H3605 H3117 H0776 H2233 H7105 H7119 H2527

やまない (しては)-ならない そして-夜は そして-昼と そして-冬と そして-夏と
H3808 H3915 H3117 H2779 H7019

地のある限り、種まきの時も、刈入れの時も、暑さ寒さも、夏冬も、昼も夜もやむことはないであろう」。

Chapter 9

1 וַיְבָרֶךְ אֱלֹהִים אֶת־נֹחַ וְאֶת־בָּנָיו וַיֹּאמֶר לָהֶם פְּרוּ וּרְבוּ וּמִלְאוּ אֶת־הָאָרֶץ׃

そして-祝福された 神は (を) ノアを そして(を) その-息子たちを そして-言われた 彼らに
H1288 H0430 H0853 H5146 H0853 H1121 H0559

生めよ そして-増えよ そして-満たせ (を) 地を
H6509 H7235 H4390 H0853 H0776

2 וּמוֹרַאֲכֶם וְחִתְכֶם יִהְיֶה עַל כָּל־ חַיַּת
そして–お前たちへの–恐れと そして–お前たちへの–おそれが ある (の)–上に すべての 獣の
H3605 H1961

הָאֲדָמָה וְעַל כָּל־ עוֹף הַשָּׁמָיִם בְּכֹל אֲשֶׁר תִּרְמֹשׂ הָאֲדָמָה
地の そして(の)–上に すべての 鳥の 天の すべての–中の (の)–ところの 這う 地面の
H0776 H3605 H5775 H8064 H3605 H7430 H0127

בְּיֶדְכֶם נִתָּנוּ׃ הַיָּם דְּגֵי וּבְכֹל־
お前たちの–手に 渡された 海の 魚の そして–すべての
H3027 H5414 H3220 H1709 H3605

地のすべての獣、空のすべての鳥、地に這うすべてのもの、海のすべての魚は恐れおののいて、あなたがたの支配に服し、

3 כְּיֶרֶק לְאָכְלָה יִהְיֶה לָכֶם חַי הוּא־ אֲשֶׁר רֶמֶשׂ כָּל־
緑の–ように 食物と なる お前たちの 生きている それが (の)–ところの 動く–もので すべての
H3418 H0402 H1961 H1931 H7431 H3605

כֹּל׃ אֶת־ לָכֶם נָתַתִּי עֵשֶׂב
すべてを (を) お前たちに 与えた 草の
H3605 H0853 H5414 H6212

すべて生きて動くものはあなたがたの食物となるであろう。さきに青草をあなたがたに与えたように、わたしはこれらのものを皆あなたがたに与える。

4 אַךְ־ בָּשָׂר בְּנַפְשׁוֹ דָמוֹ לֹא תֹאכֵלוּ׃
ただし 肉を その–命と–共に その–血を (しては)–ならない 食べて
H0389 H1320 H5315 H1818 H3808 H0398

しかし肉を、その命である血のままで、食べてはならない。

5 וְאַךְ אֶת־ דִּמְכֶם לְנַפְשֹׁתֵיכֶם אֶדְרֹשׁ מִיַּד כָּל־ חַיָּה אֶדְרְשֶׁנּוּ
そして–必ず (を) お前たちの–血を お前たちの–命の 求める 手から すべての 獣の 求める
H0389 H0853 H1818 H5315 H1875 H3027 H3605 H1875

וּמִיַּד הָאָדָם מִיַּד אִישׁ אָחִיו אֶדְרֹשׁ אֶת־ נֶפֶשׁ הָאָדָם׃
そして–手から 人の 手から 人の その–兄弟の 求める (を) 命を 人の
H3027 H0120 H3027 H0376 H0251 H1875 H0853 H5315 H0120

あなたがたの命の血を流すものには、わたしは必ず報復するであろう。いかなる獣にも報復する。兄弟である人にも、わたしは人の命のために、報復するであろう。

6 שֹׁפֵךְ דַּם הָאָדָם בָּאָדָם דָּמוֹ יִשָּׁפֵךְ כִּי בְצֶלֶם אֱלֹהִים עָשָׂה
流す–者は 血を 人の 人に–よって その–血は 流される なぜなら かたちに 神の 造った
H8210 H1818 H0120 H0120 H8210 H6754 H0430

אֶת־ הָאָדָם׃
(を) 人を
H0853 H0120

人の血を流すものは、人に血を流される、神が自分のかたちに人を造られたゆえに。

7 וְאַתֶּם פְּרוּ וּרְבוּ שִׁרְצוּ בָאָרֶץ וּרְבוּ־ בָהּ׃ ס
そして–お前たちは 生めよ そして–増えよ 群がれ 地に そして–増えよ その–中で [区切]
H6509 H8317 H0776

あなたがたは、生めよ、ふえよ、地に群がり、地の上にふえよ」。

8

וַיֹּ֣אמֶר	אֱלֹהִ֗ים	אֶל־	נֹחַ֙	וְאֶל־	בָּנָ֣יו	אִתּ֔וֹ
そして–言われた	神は	(に)–対して	ノアに	そして(に)–対して	その–息子たちに	彼と–共に–いる
H0559	H0430	H0413	H5146	H0413		H0854

לֵאמֹֽר׃
言って
H0559

神はノアおよび共にいる子らに言われた、

9

וַאֲנִ֗י	הִנְנִי֙	מֵקִ֣ים	אֶת־	בְּרִיתִ֔י	אִתְּכֶ֖ם	וְאֶת־	זַרְעֲכֶ֥ם
そして–わたしは	見よ	立てる	(を)	わたしの–契約を	お前たちと	そして(と)	お前たちの–子孫と
H0589	H2009		H0853		H0854	H0854	H2233

אַחֲרֵיכֶֽם׃
お前たちの–後の

「わたしはあなたがた及びあなたがたの後の子孫と契約を立てる。

10

בַּבְּהֵמָ֔ה	בָּעֹ֖וף	אִתְּכֶ֑ם	אֲשֶׁ֣ר	הַחַיָּה֩	נֶ֨פֶשׁ	כָּל־	וְאֵ֜ת
家畜も	鳥も	お前たちと–共に–いる	(の)–ところの	命ある	生き物と	すべての	そして(と)
H0929	H5775	H0854			H5315	H3605	H0854

הַתֵּבָ֖ה	יֹצְאֵ֥י	מִכֹּ֛ל	אִתְּכֶ֑ם	הָאָ֣רֶץ	חַיַּ֥ת	וּבְכָל־
箱船から	出た–ものの	すべての–中から	お前たちと–共に–いる	地の	獣も	そして–すべての
H8392	H3318	H3605	H0854	H0776		H3605

הָאָֽרֶץ׃	חַיַּ֥ת	לְכֹ֖ל
地の	獣まで	すべての
H0776		H3605

またあなたがたと共にいるすべての生き物、あなたがたと共にいる鳥、家畜、地のすべての獣、すなわち、すべて箱舟から出たものは、地のすべての獣にいたるまで、わたしはそれと契約を立てよう。

11

כָּל־	יִכָּרֵ֥ת	וְלֹא־	אִתְּכֶ֑ם	בְּרִיתִ֣י	אֶת־	וַהֲקִמֹתִ֖י	
すべての	滅ぼされない	そして–もう–(しない)	お前たちと	わたしの–契約を	(を)	そして–立てる	
H3605	H3772	H3808	H0854	H1285	H0853		

מַבּ֔וּל	עֹ֖וד	יִהְיֶ֥ה	וְלֹא־	הַמַּבּ֣וּל	מִמַּ֔יִם	עֹ֖וד	בָּשָׂ֑ר
大洪水は	再び	ない	そして–もう–(しない)	大洪水の	水に–よって	再び	肉なる–ものが
H3999	H5750	H1961	H3808	H3999	H4325	H5750	H1320

הָאָֽרֶץ׃	לְשַׁחֵ֥ת
地を	滅ぼすために
H0776	H7843

わたしがあなたがたと立てるこの契約により、すべて肉なる者は、もはや洪水によって滅ぼされることはなく、また地を滅ぼす洪水は、再び起らないであろう」。

12

נֹתֵ֔ן	אֲנִ֖י	אֲשֶׁר־	הַבְּרִ֣ית	אֹ֥ות־	זֹ֛את	אֱלֹהִ֑ים	וַיֹּ֣אמֶר
与える	わたしが	(の)–ところの	契約の	しるしである	これが	神は	そして–言われた
H5414	H0589		H1285	H0226	H2063	H0430	H0559

אֲשֶׁ֣ר	חַיָּ֑ה	נֶ֣פֶשׁ	כָּל־	וּבֵ֖ין	וּבֵינֵיכֶ֔ם	בֵּינִ֕י	
(の)–ところの	命ある	生き物の	すべての	そして(と)の–間に	そして–お前たちとの–間に	わたしと	
		H5315	H3605	H0996	H0996	H0996	

עוֹלָֽם׃	לְדֹרֹ֖ת	אִתְּכֶ֑ם
永遠の	代々に–わたり	お前たちと–共に–いる
H5769	H1755	H0854

さらに神は言われた、「これはわたしと、あなたがた及びあなたがたと共にいるすべての生き物との間に代々かぎりなく、わたしが立てる契約のしるしである。

13

וּבֵ֣ין	בֵּינִ֔י	בְּרִ֖ית	לְאֹת֑וֹת	וְהָיְתָ֣ה	בָּעָנָ֔ן	נָתַ֖תִּי	קַשְׁתִּ֥י	אֶת־
(と)の-間の	わたしと	契約の	しるしと	そして-なる	雲の-中に	置いた	わたしの-虹を	(を)
H0996	H0996	H1285	H0226	H1961	H6051	H5414	H7198	H0853

הָאָֽרֶץ׃
地との
H0776

すなわち、わたしは雲の中に、にじを置く。これがわたしと地との間の契約のしるしとなる。

14

בֶּעָנָֽן׃	הַקֶּ֖שֶׁת	וְנִרְאֲתָ֥ה	הָאָ֑רֶץ	עַל־	עָנָ֔ן	בְּעַנְנִ֖י	וְהָיָ֥ה
雲の-中に	虹が	そして-現れる	地の	(の)-上に	雲を	わたしが-かける-ときに	そして-ある
H6051	H7198	H7200	H0776		H6051		H1961

わたしが雲を地の上に起すとき、にじは雲の中に現れる。

15

וּבֵינֵיכֶ֗ם	בֵּינִי֙	אֲשֶׁ֣ר	בְּרִיתִ֔י	אֶת־	וְזָכַרְתִּ֣י	
そして-お前たちとの-間の	わたしと	(の)-ところの	わたしの-契約を	(を)	そして-思い出す	
H0996	H0996		H1285	H0853	H2142	

וְלֹֽא־	בָשָׂ֔ר	בְּכָל־	חַיָּ֖ה	נֶ֣פֶשׁ	כָּל־	וּבֵ֣ין	
そして-もう-(しない)	肉なる-ものの	すべての-中の	命ある	生き物の	すべての	そして(と)の-間の	
H3808	H1320	H3605		H5315	H3605	H0996	

בָּשָׂ֑ר׃	כָּל־	לִשְׁחֵ֥ת	לְמַבּ֖וּל	הַמַּ֣יִם	עֽוֹד	יְהִיֶ֥ה
肉なる-ものを	すべての	滅ぼすために	大洪水と	水が	再び	ない
H1320	H3605	H7843	H3999	H4325	H5750	H1961

こうして、わたしは、わたしとあなたがた、及びすべて肉なるあらゆる生き物との間に立てた契約を思いおこすゆえ、水はふたたび、すべて肉なる者を滅ぼす洪水とはならない。

16

אֱלֹהִ֔ים	בֵּ֣ין	עוֹלָ֑ם	בְּרִ֣ית	לִזְכֹּר֙	וּרְאִיתִ֔יהָ	בֶּעָנָ֖ן	הַקֶּ֥שֶׁת	וְהָיְתָ֣ה
神と	(の)-間の	永遠の	契約を	思い出すために	そして-見る	雲の-中に	虹が	そして-ある
H0430	H0996	H5769	H1285	H2142	H7200	H6051	H7198	H1961

עַל־	אֲשֶׁ֣ר	בָּשָׂ֔ר	בְּכָל־	חַיָּ֖ה	נֶ֣פֶשׁ	כָּל־	וּבֵ֣ין	
(の)-上の	(の)-ところの	肉なる-ものの	すべての-中の	命ある	生き物の	すべての	(と)の-間の	
		H1320	H3605		H5315	H3605	H0996	

הָאָֽרֶץ׃
地の
H0776

にじが雲の中に現れるとき、わたしはこれを見て、神が地上にあるすべて肉なるあらゆる生き物との間に立てた永遠の契約を思いおこすであろう」。

17

אֲשֶׁ֣ר	הַבְּרִית֮	אוֹת־	זֹאת֒	נֹ֣חַ	אֶל־	אֱלֹהִ֗ים	וַיֹּ֣אמֶר	
(の)-ところの	契約の	しるしである	これが	ノアに	(に)-対して	神は	そして-言われた	
	H1285	H0226	H2063	H5146	H0413	H0430	H0559	

פ	הָאָֽרֶץ׃	עַל־	אֲשֶׁ֥ר	בָּשָׂ֖ר	כָּל־	וּבֵ֣ין	בֵּינִ֔י	הֲקִמֹתִ֑י
[段落]	地の	(の)-上の	(の)-ところの	肉なる-ものとの	すべての	(と)の-間に	わたしと	立てた
	H0776			H1320	H3605	H0996	H0996	

そして神はノアに言われた、「これがわたしと地にあるすべて肉なるものとの間に、わたしが立てた契約のしるしである」。

18 וַיִּהְיוּ֙ בְּנֵי־ נֹ֔חַ הַיֹּצְאִ֖ים מִן־ הַתֵּבָ֑ה שֵׁ֚ם וְחָ֣ם וָיֶ֔פֶת וְחָ֕ם הוּא֙ אֲבִ֣י כְנָֽעַן׃

そして-であった 息子たちは ノアの 出た-者たちで (から) 箱船から セムと そして-ハムと 彼が 父である カナンの そして-ヤペテであった

H1961 H5146 H3318 H8392 H8035 H2526 H1931 H0001 H3315

箱舟から出たノアの子らはセム、ハム、ヤペテであった。ハムはカナンの父である。

19 שְׁלֹשָׁ֣ה אֵ֔לֶּה וּמֵאֵ֖לֶּה נָפְצָ֣ה כָל־ הָאָ֑רֶץ בְּנֵי־ נֹ֖חַ

三人が これらである 息子たちで ノアの そして-これらから 広がった すべての 地に

H7969 H0428 H5146 H0428 H6555 H3605 H0776

この三人はノアの子らで、全地の民は彼らから出て、広がったのである。

20 וַיָּ֥חֶל נֹ֖חַ אִ֣ישׁ הָאֲדָמָ֑ה וַיִּטַּ֖ע כָּֽרֶם׃

そして-始めた ノアは 人で 地の そして-植えた ぶどう-畑を

H2490 H5146 H0376 H0127 H5193 H3754

さてノアは農夫となり、ぶどう畑をつくり始めたが、

21 וַיִּשְׁתְּ֤ מִן־ הַיַּ֙יִן֙ וַיִּשְׁכָּ֔ר וַיִּתְגַּ֖ל בְּת֥וֹךְ אָהֳלֹֽה׃

そして-飲んだ (から) ぶどう-酒から そして-酔った そして-裸に-なった 中で その-天幕の

H8354 H3196 H7937 H1540 H8432 H0168

彼はぶどう酒を飲んで酔い、天幕の中で裸になっていた。

22 וַיַּ֣רְא חָ֔ם אֲבִ֥י כְנַ֖עַן אֶת־ עֶרְוַ֣ת אָבִ֑יו וַיַּגֶּד֙ לִשְׁנֵ֣י אֶחָ֔יו בַּחֽוּץ׃

すると-見た ハムは 父である カナンの (を) 裸を その-父の そして-告げた 二人の その-兄弟に 外で

H7200 H2526 H0001 H3667 H0853 H6172 H0001 H5046 H8147 H0251 H2351

カナンの父ハムは父の裸を見て、外にいるふたりの兄弟に告げた。

23 וַיִּקַּ֣ח שֵׁ֔ם וָיֶ֔פֶת אֶת־ הַשִּׂמְלָ֖ה וַיָּשִׂ֣ימוּ ׀ עַל־ שִׁכְמָ֣ם שְׁנֵיהֶ֑ם וַיֵּלְכ֣וּ אֲחֹרַנִּ֔ית וּפְנֵיהֶ֖ם אֲבִיהֶ֥ם עֶרְוַ֣ת לֹ֥א רָאֽוּ׃

すると-取った セムと ヤペテは (を) 上着を そして-置いた (の)-上に 肩の 二人の そして-歩いた 後ろ向きに そして-覆った (を) 裸を その-父の そして-顔は 後ろ向きで (まだ)-ない 見なかった その-父の そして-裸を

H3947 H8035 H3315 H0853 H8071 H7760 H5921 H7926 H8147 H3212 H0322 H3680 H0853 H6172 H0001 H6440 H0322 H3808 H7200 H0001 H6172

セムとヤペテとは着物を取って、肩にかけ、うしろ向きに歩み寄って、父の裸をおおい、顔をそむけて父の裸を見なかった。

24 וַיִּיקַ֣ץ נֹ֔חַ מִיֵּינ֑וֹ וַיֵּ֣דַע אֵ֔ת אֲשֶׁר־ עָשָׂ֥ה לֽוֹ בְּנ֖וֹ הַקָּטָֽן׃

すると-目が-覚めた ノアは その-ぶどう-酒から そして-知った (を) (の)-ことを した 彼に その-息子が 末の

H3364 H5146 H3196 H3045 H0853 H834 H6213 H0 H1121 H6996

やがてノアは酔いがさめて、末の子が彼にした事を知ったとき、

וַיֹּאמֶר	אָרוּר	כְּנָעַן	עֶבֶד	עֲבָדִים	יִהְיֶה	לְאֶחָיו׃	25
そして-言った	呪われよ	カナンは	僕の-中の	僕と	なれ	その-兄弟の	
H0559	H0779		H5650	H5650	H1961	H0251	

彼は言った、「カナンはのろわれよ。彼はしもべのしもべとなって、その兄弟たちに仕える」。

וַיֹּאמֶר	בָּרוּךְ	יְהוָה	אֱלֹהֵי	שֵׁם	וִיהִי	כְּנַעַן	עֶבֶד	לָמוֹ׃	26
そして-言った	ほめられよ	主は	神は	セムの	そして-なれ	カナンは	僕と	彼らの	
H0559	H1288	H3068	H0430	H8035	H1961		H5650	H3926	

また言った、「セムの神、主はほむべきかな、カナンはそのしもべとなれ。

יֶפֶת	אֱלֹהִים	לְיֶפֶת	וְיִשְׁכֹּן	בְּאָהֳלֵי־	שֵׁם	וִיהִי	כְּנַעַן	27
広げたまえ	神が	ヤペテを	そして-住まわせたまえ	天幕に	セムの	そして-なれ	カナンは	
	H0430	H3315	H7931	H0168	H8035	H1961		

עֶבֶד	לָמוֹ׃
僕と	彼らの
H5650	H3926

神はヤペテを大いならしめ、セムの天幕に彼を住まわせられるように。カナンはそのしもべとなれ」。

וַיְחִי־	נֹחַ	אַחַר	הַמַּבּוּל	שְׁלֹשׁ	מְאוֹת	שָׁנָה	וַחֲמִשִּׁים	שָׁנָה׃	28
そして-生きた	ノアは	後	大洪水の	三-百	百の	年と	五十の	年	
H2421	H5146		H3999	H7969	H3967	H8141	H2572	H8141	

ノアは洪水の後、なお三百五十年生きた。

וַיְהִיוּ	כָּל־	יְמֵי־	נֹחַ	תְּשַׁע	מְאוֹת	שָׁנָה	וַחֲמִשִּׁים	שָׁנָה	29
そして-であった	すべての	日々は	ノアの	九-百	百の	年と	五十の	年であった	
H1961	H3605	H3117	H5146	H8672	H3967	H8141	H2572	H8141	

וַיָּמֹת׃	פ
そして-死んだ	[段落]
H4191	

ノアの年は合わせて九百五十歳であった。そして彼は死んだ。

Chapter 10

וַיִּוָּלְדוּ	וַיֶּפֶת	חָם	שֵׁם	נֹחַ	בְּנֵי־	תּוֹלְדֹת	וְאֵלֶּה	1
そして-生まれた	そして-ヤペテ	ハム	セム	ノアの	(の)-息子たちの	系図である	そして-これらは	
H3205	H3315	H2526	H8035	H5146		H8435	H0428	

הַמַּבּוּל׃	אַחַר	בָּנִים	לָהֶם
大洪水の	(の)-後に	息子たちが	彼らに
H3999			

ノアの子セム、ハム、ヤペテの系図は次のとおりである。洪水の後、彼らに子が生れた。

וְתִבָל	וְיָוָן	וּמָדַי	וּמָגוֹג	גֹּמֶר	יֶפֶת	בְּנֵי	2
そして-トバル	そして-ヤワン	そして-マダイ	そして-マゴグ	ゴメル	ヤペテ	(の)-息子たちは	
H8422	H3120	H4074	H4031	H1586	H3315		

וְתִירָס׃	וּמֶשֶׁךְ
そして-ティラス	そして-メシェク
H8494	H4902

ヤペテの子孫はゴメル、マゴグ、マダイ、ヤワン、トバル、メセク、テラスであった。

3 וּבְנֵי גֹמֶר אַשְׁכְּנַז וְרִיפַת וְתֹגַרְמָה׃
そして-(の)-息子たちは ゴメル アシュケナズ そして-リファテ そして-トガルマ
H1586 H0813 H8425

ゴメルの子孫はアシケナズ、リパテ、トガルマ。

4 וּבְנֵי יָוָן אֱלִישָׁה וְתַרְשִׁישׁ כִּתִּים וְדֹדָנִים׃
そして-(の)-息子たちは ヤワン エリシャ そして-タルシシュ キティム そして-ドダニム
H3120 H0473 H8659 H3794 H1721

ヤワンの子孫はエリシャ、タルシシ、キッテム、ドダニムであった。

5 מֵאֵלֶּה נִפְרְדוּ אִיֵּי הַגּוֹיִם בְּאַרְצֹתָם אִישׁ לִלְשֹׁנוֹ לְמִשְׁפְּחֹתָם בְּגוֹיֵהֶם׃
これらから 分かれ出た 島々の 諸国民が その-地に 各々 その-言語に-従い その-氏族に-従い その-国々に
H0428 H6504 H0339 H0376 H0776 H0376 H3956 H4940

これらから海沿いの地の国民が分れて、おのおのその土地におり、その言語にしたがい、その氏族にしたがって、その国々に住んだ。

6 וּבְנֵי חָם כּוּשׁ וּמִצְרַיִם וּפוּט וְכְנָעַן׃
そして-(の)-息子たちは ハム クシュ そして-ミツライム そして-プト そして-カナン
H2526 H4714 H6316

ハムの子孫はクシ、ミツライム、プテ、カナンであった。

7 וּבְנֵי כוּשׁ סְבָא וַחֲוִילָה וְסַבְתָּה וְרַעְמָה וְסַבְתְּכָא וּבְנֵי רַעְמָה שְׁבָא וְדְדָן׃
そして-(の)-息子たちは クシュ セバ そして-ハビラ そして-サブタ そして-ラアマ そして-サブテカ そして-(の)-息子たちは ラアマ シェバ そして-デダン
H5434 H2341 H5454 H7484 H5455 H7484 H7614

クシの子孫はセバ、ハビラ、サブタ、ラアマ、サブテカであり、ラアマの子孫はシバとデダンであった。

8 וְכוּשׁ יָלַד אֶת־נִמְרֹד הוּא הֵחֵל לִהְיוֹת גִּבֹּר בָּאָרֶץ׃
そして-クシュは 生んだ [を] ニムロデ 彼は 始めた (こと)-なる 勇士に 地上で
H3205 H0853 H5248 H1931 H2490 H1961 H1368 H0776

クシの子はニムロデであって、このニムロデは世の権力者となった最初の人である。

9 הוּא־הָיָה גִבֹּר־צַיִד לִפְנֵי יְהוָה עַל־כֵּן יֵאָמֵר כְּנִמְרֹד גִּבּוֹר צַיִד לִפְנֵי יְהוָה׃
彼は であった 力ある 狩人 (の)-前に 主の その-ゆえに [こそ] 言われる ニムロデの-ような 力ある 狩人 (の)-前に 主の
H1931 H1961 H1368 H6440 H3068 H5248 H1368 H6440 H3068

彼は主の前に力ある狩猟者であった。これから「主の前に力ある狩猟者ニムロデのごとし」ということわざが起った。

10

וְתְהִי	רֵאשִׁית	מַמְלַכְתּוֹ	בָּבֶל	וְאֶרֶךְ	וְאַכַּד	וְכַלְנֵּה
そして-であった	始まりは	彼の-王国の	バベル	そして-エレク	そして-アカデ	そして-カルネ
H1961	H7225	H4467	H0894	H0751	H0390	

בְּאֶרֶץ	שִׁנְעָר׃
(の)-地に	シヌアルの
H0776	H8152

彼の国は最初シナルの地にあるバベル、エレク、アカデ、カルネであった。

11

מִן־	הָאָרֶץ	הַהִוא	יָצָא	אַשּׁוּר	וַיִּבֶן	אֶת־	נִינְוֵה	וְאֶת־
[から]	その-地	その	出て-行った	アッシュルが	そして-建てた	[を]	ニネベ	そして-[を]
	H0776	H1931	H3318	H0804	H1129	H0853	H5210	H0853

כָּלַח׃	וְאֶת־	עִיר	רְחֹבֹת
カラフ	そして-[を]	イル	レホボテ
H3625	H0853		H7344

彼はその地からアッスリヤに出て、ニネベ、レホボテイリ、カラ、

12

הַגְּדֹלָה׃	הָעִיר	הִוא	כָּלַח	וּבֵין	נִינְוֵה	בֵּין	רֶסֶן	וְאֶת־
大きな	(その)-町	それが	カラフ	そして-(の)-間の	ニネベ	(の)-間の	レセン	そして-[を]
		H1931	H3625	H0996	H5210	H0996	H7449	H0853

およびニネベとカラとの間にある大いなる町レセンを建てた。

13

לְהָבִים	וְאֶת־	עֲנָמִים	וְאֶת־	לוּדִים	אֶת־	יָלַד	וּמִצְרַיִם	
レハビム	そして-[を]	アナミム	そして-[を]	ルディム	[を]	生んだ	そして-ミツライムは	
H3853	H0853	H6047	H0853	H3866	H0853	H3205	H4714	

נַפְתֻּחִים׃	וְאֶת־
ナフトヒム	そして-[を]
H5320	H0853

ミツライムからルデ族、アナミ族、レハビ族、ナフト族、

14

מִשָּׁם	יָצְאוּ	אֲשֶׁר	כַּסְלֻחִים	וְאֶת־	פַּתְרֻסִּים	וְאֶת־	
そこから	出て-来た	(ところの)-そこから	カスルヒム	そして-[を]	パトルシム	そして-[を]	
H8033	H3318		H3695	H0853	H6625	H0853	

ס	כַּפְתֹּרִים׃	וְאֶת־	פְּלִשְׁתִּים
[段落]	カフトリム	そして-[を]	ペリシテ人が
	H3732	H0853	H6430

パテロス族、カスル族、カフトリ族が出た。カフトリ族からペリシテ族が出た。

15

חֵת׃	וְאֶת־	בְּכֹרוֹ	צִידֹן	אֶת־	יָלַד	וּכְנַעַן
ヘテ	そして-[を]	彼の-長子	シドン	[を]	生んだ	そして-カナンは
H2845	H0853	H1060	H6721	H0853	H3205	

カナンからその長子シドンが出て、またヘテが出た。

16

הַגִּרְגָּשִׁי׃	וְאֶת	הָאֱמֹרִי	וְאֶת־	הַיְבוּסִי	וְאֶת־	
ギルガシ人	そして-[を]	アモリ人	そして-[を]	エブス人	そして-[を]	
H1622	H0853	H0567	H0853	H2983	H0853	

その他エブスびと、アモリびと、ギルガシびと、

17

הַסִּינִי׃	וְאֶת־	הָעַרְקִי	וְאֶת־	הַחִוִּי	וְאֶת־	
シニ人	そして-[を]	アルキ人	そして-[を]	ヒビ人	そして-[を]	
H5513	H0853	H6208	H0853	H2340	H0853	

ヒビびと、アルキびと、セニびと、

18 וְאַחַר הָחֲמָתִי וְאֶת־ הַצְּמָרִי וְאֶת־ הָאַרְוָדִי וְאֶת־
そして–その–後 ハマテ人 そして–[を] ツェマリ人 そして–[を] アルワデ人 そして–[を]
H2577 H0853 H6786 H0853 H0721 H0853

הַכְּנַעֲנִי׃ מִשְׁפְּחוֹת נָפֹצוּ
カナン人の (の)–氏族は 散らされた
H4940

アルワデびと、ゼマリびと、ハマテびとが出た。後になってカナンびとの氏族がひろがった。

19 וַיְהִי גְּבוּל הַכְּנַעֲנִי מִצִּידֹן בֹּאֲכָה גְרָרָה עַד־ עַזָּה
そして–であった 境界は カナン人の シドンから 行く–方向の ゲラルへ (の)–ところまで ガザ
H1961 H1366 H6721 H0935 H1642 H5704 H5804

בֹּאֲכָה סְדֹמָה וַעֲמֹרָה וְאַדְמָה וּצְבֹיִם עַד־ לָשַׁע׃
行く–方向の ソドムへ そして–ゴモラ そして–アドマ そして–ツェボイム (の)–ところまで ラシャ
H0935 H5467 H6017 H0126 H6636 H5704 H3962

カナンびとの境はシドンからゲラルを経てガザに至り、ソドム、ゴモラ、アデマ、ゼボイムを経て、レシャに及んだ。

20 אֵלֶּה בְנֵי־ חָם לְמִשְׁפְּחֹתָם לִלְשֹׁנֹתָם בְּאַרְצֹתָם בְּגוֹיֵהֶם׃
これらは ハムの (の)–息子たち その–氏族に–従い その–言語に–従い その–地に その–国々に
H0428 H2526 H4940 H3956 H0776

ס
[区切]

これらはハムの子孫であって、その氏族とその言語とにしたがって、その土地と、その国々にいた。

21 וּלְשֵׁם יֻלַּד גַּם־ הוּא אֲבִי כָּל־ בְּנֵי־ עֵבֶר אֲחִי
そして–セムにも 生まれた また 彼にも (の)–父 すべての (の)–子らの エベルの (の)–兄
H8035 H3205 H1571 H1931 H0001 H3605 H5677 H0251

הַגָּדוֹל׃ יֶפֶת
年長の ヤペテ
H3315

セムにも子が生れた。セムはエベルのすべての子孫の先祖であって、ヤペテの兄であった。

22 בְּנֵי שֵׁם עֵילָם וְאַשּׁוּר וְאַרְפַּכְשָׁד וְלוּד
(の)–息子たちは セム エラム そして–アッシュル そして–アルパクシャデ そして–ルデ
H8035 H0804 H0775 H3865

וַאֲרָם׃
そして–アラム
H0758

セムの子孫はエラム、アシュル、アルパクサデ、ルデ、アラムであった。

23 וּבְנֵי אֲרָם עוּץ וְחוּל וְגֶתֶר וָמַשׁ׃
そして–(の)–息子たちは アラム ウツ そして–フル そして–ゲテル そして–マシュ
H0758 H5780 H2343 H1666 H4851

アラムの子孫はウヅ、ホル、ゲテル、マシであった。

24 וְאַרְפַּכְשָׁד יָלַד אֶת־ שֶׁלַח וְשֶׁלַח יָלַד אֶת־ עֵבֶר׃
そして–アルパクシャデは 生んだ [を] シェラフ そして–シェラフは 生んだ [を] エベル
H0775 H3205 H0853 H7974 H7974 H3205 H0853 H5677

アルパクシャデはシェラフを生み、シェラフはエベルを生んだ。

アルパクサデの子はシラ、シラの子はエベルである。

25 וּלְעֵבֶר יֻלַּד שְׁנֵי בָנִים שֵׁם הָאֶחָד פֶּלֶג כִּי בְיָמָיו נִפְלְגָה
そして–エベルに 生まれた 二人の 息子が 名は 一人の ペレグ なぜなら 彼の–日に 分かれた
H5677 H3205 H8147 H1121 H8034 H0259 H6389 H3588 H3117 H6385

וְשֵׁם אָחִיו יָקְטָן׃ הָאָרֶץ
そして–名は 彼の–兄弟の ヨクタン (その)–地が
H8034 H0251 H3355 H0776

エベルにふたりの子が生れた。そのひとりの名をペレグといった。これは彼の代に地の民が分れたからである。その弟の名をヨクタンといった。

26 וְיָקְטָן יָלַד אֶת־אַלְמוֹדָד וְאֶת־שָׁלֶף וְאֶת־חֲצַרְמָוֶת
そして–ヨクタンは 生んだ [を] アルモダデ そして–[を] シェレフ そして–[を] ハツァルマベテ
H3355 H3205 H0853 H0486 H0853 H8026 H0853 H2700

וְאֶת־יָרַח׃ אֶת־
そして–[を] エラフ
H0853 H3392

ヨクタンにアルモダデ、シャレフ、ハザルマウテ、エラ、

27 וְאֶת־הַדּוֹרָם וְאֶת־אוּזָל וְאֶת־דִּקְלָה׃ וְאֶת־
そして–[を] ハドラム そして–[を] ウザル そして–[を] ディクラ そして–[を]
H0853 H1853 H0853 H0187 H0853 H0853

ハドラム、ウザル、デクラ、

28 וְאֶת־עוֹבָל וְאֶת־אֲבִימָאֵל וְאֶת־שְׁבָא׃ וְאֶת־
そして–[を] オバル そして–[を] アビマエル そして–[を] シェバ そして–[を]
H0853 H5745 H0853 H0039 H0853 H7614 H0853

オバル、アビマエル、シバ、

29 וְאֶת־אוֹפִר וְאֶת־חֲוִילָה וְאֶת־יוֹבָב כֻּל־אֵלֶּה בְּנֵי וְאֶת־
そして–[を] オフィル そして–[を] ハビラ そして–[を] ヨバブ すべて これらは (の)–息子たち そして–[を]
H0853 H0211 H0853 H2341 H0853 H3103 H3605 H0428 H1121 H0853

יָקְטָן׃
ヨクタンの
H3355

オフル、ハビラ、ヨバブが生れた。これらは皆ヨクタンの子であった。

30 וַיְהִי מוֹשָׁבָם מִמֵּשָׁא בֹּאֲכָה סְפָרָה הָהָר הַקֶּדֶם׃
そして–であった 彼らの–住まいは メシャから 行く–方向の セファルへ (の)–山 東の
H1961 H4186 H4852 H0935 H5611 H2022

彼らが住んだ所はメシャから東の山地セパルに及んだ。

31 אֵלֶּה בְּנֵי־שֵׁם לְמִשְׁפְּחֹתָם לִלְשֹׁנֹתָם בְּאַרְצֹתָם לְגוֹיֵהֶם׃
これらは (の)–息子たち セムの 氏族に–従い その–言語に–従い その–地に その–国々に
H0428 H1121 H8035 H4940 H3956 H0776

これらはセムの子孫であって、その氏族とその言語とにしたがって、その土地と、その国々にいた。

32

וּמֵאֵ֣לֶּה	בִּגוֹיֵהֶם	לְתוֹלְדֹתָם	נֹ֖חַ	בְּנֵי־	מִשְׁפְּחֹ֣ת	אֵ֑לֶּה	
そして–これらから	その–国々に	その–系図に–従い	ノアの	(の)–息子たちの	(の)–氏族	これらは	
H0428		H8435	H5146		H4940	H0428	

פ	הַמַּבּ֔וּל׃	אַחַ֖ר	בָּאָ֥רֶץ	הַגּוֹיִ֛ם	נִפְרְד֥וּ	
[段落]	大洪水の	(の)–後に	地上に	諸国民が	分かれ出た	
	H3999		H0776		H6504	

これらはノアの子らの氏族であって、血統にしたがって国々に住んでいたが、洪水の後、これらから地上の諸国民が分れたのである。

Chapter 11

1

אֲחָדִֽים׃	וּדְבָרִ֖ים	אֶחָ֥ת	שָׂפָ֛ה	הָאָ֥רֶץ	כָּל־	וַיְהִ֣י	
同じであった	そして–話し方も	一つで	言葉が	地は	全–	そして–あった	
H0259	H1697	H0259	H8193	H0776	H3605	H1961	

全地は同じ発音、同じ言葉であった。

2

שִׁנְעָ֑ר	בְּאֶ֣רֶץ	בִּקְעָ֔ה	וַיִּמְצְא֥וּ	מִקֶּ֖דֶם	בְּנָסְעָ֣ם	וַיְהִ֣י	
シンアル	の–地で	平野を	そして–見つけた	東から	彼らが–旅立った–とき	そして–あった	
H8152	H0776	H1237	H4672		H5265	H1961	

שָׁ֖ם׃	וַיֵּשְׁב֥וּ	
そこに	そして–住んだ	
H8033	H3427	

時に人々は東に移り、シナルの地に平野を得て、そこに住んだ。

3

וְנִשְׂרְפָ֖ה	לִבֵּנִ֑ים	נִלְבְּנָ֣ה	הָבָ֗ה	רֵעֵ֛הוּ	אֶל־	אִ֧ישׁ	וַיֹּאמְר֣וּ
そして–焼き固めよう	れんがを	れんがを–焼こう	さあ	隣人–その	に–	人は	そして–言った
H8313	H3843		H3051	H7453	H0413	H0376	H0559

לָהֶ֔ם	הָיָ֥ה	וְהַחֵמָ֖ר	לְאֶ֣בֶן	הַלִּבֵּנָ֣ה	לָהֶ֔ם	וַתְּהִ֤י	לִשְׂרֵפָ֙ה֙	
彼らにとって	なった	そして–瀝青は	石の–代わりに	れんがは	彼らにとって	そして–なった	十分に	
	H1961	H2564	H0068	H3843		H1961	H8316	

לַחֹֽמֶר׃
漆喰の–代わりに

彼らは互に言った、「さあ、れんがを造って、よく焼こう」。こうして彼らは石の代りに、れんがを得、しっくいの代りに、アスファルトを得た。

4

בַּשָּׁמַ֔יִם	וְרֹאשׁ֖וֹ	וּמִגְדָּ֑ל	עִ֣יר	לָ֔נוּ	נִבְנֶה־	וְהָבָ֗ה	וַיֹּאמְר֣וּ	
天に–届く	そして–その頂は	そして–塔を	町を	私たちのために	建てよう–	さあ	そして–言った	
H8064		H4026			H1129	H3051	H0559	

הָאָֽרֶץ׃	כָּל־	פְּנֵ֥י	עַל־	נָפוּץ	פֶּן־	שֵׁ֖ם	לָ֔נוּ	וְנַעֲשֶׂה־
地の	全–	表面	の–上に	散らされる	さもなければ–	名を	私たちのために	そして–作ろう–
H0776	H3605	H6440			H6435	H8034		

彼らはまた言った、「さあ、町と塔とを建てて、その頂を天に届かせよう。そしてわれわれは名を上げて、全地のおもてに散るのを免れよう」。

5

בְּנֵי	בָּנוּ	אֲשֶׁר	הַמִּגְדָּל	וְאֶת־	הָעִיר	אֶת־	לִרְאֹת	יְהוָה	וַיֵּרֶד
子らが	建てた	それを	塔を	そして-を	町	を-	見るために	主は	そして-降りた
	H1129		H4026	H0853		H0853	H7200	H3068	H3381

הָאָדָם׃
人の
H0120

時に主は下って、人の子たちの建てる町と塔とを見て、

6

לְכֻלָּם	אַחַת	וְשָׂפָה	אֶחָד	עַם	הֵן	יְהוָה	וַיֹּאמֶר		
彼ら-すべてにとって	一つ	そして-言葉も	一つで	民は	見よ	主は	そして-言った		
H3605	H0259	H8193	H0259		H2005	H3068	H0559		
מֵהֶם	יִבָּצֵר	לֹא־	וְעַתָּה	לַעֲשׂוֹת	הַחִלָּם	וְזֶה			
彼らから	妨げられる-ことは	ない-	そして-今や	行うことの	彼らの-始まりである	そして-これが			
H1992	H1219	H3808	H6258			H2088			

לַעֲשׂוֹת׃	יְזִמּוּ	אֲשֶׁר	כֹּל
行おうとする	企てる-ことの	それを	すべて
	H2161		H3605

言われた、「民は一つで、みな同じ言葉である。彼らはすでにこの事をしはじめた。彼らがしようとする事は、もはや何事もとどめ得ないであろう。

7

לֹא	אֲשֶׁר	שִׂפְתָם	שָׁם	וְנָבְלָה	נֵרְדָה	הָבָה
ない	そうすれば	彼らの-言葉を	そこで	そして-混乱させよう	降りて行こう	さあ
H3808		H8193	H8033		H3381	H3051

רֵעֵהוּ׃	שִׂפַת	אִישׁ	יִשְׁמְעוּ
隣人の	言葉を	人は	聞き取れなくなる
H7453	H8193	H0376	H8085

さあ、われわれは下って行って、そこで彼らの言葉を乱し、互に言葉が通じないようにしよう」。

8

וַיַּחְדְּלוּ	הָאָרֶץ	כָּל־	פְּנֵי	עַל־	מִשָּׁם	אֹתָם	יְהוָה	וַיָּפֶץ	
そして-やめた	地の	全-	表面	の-上に	そこから	彼らを	主は	そして-散らした	
H2308	H0776	H3605	H6440		H8033	H0853	H3068		

לִבְנֹת הָעִיר׃	
町を　建てることを	
H1129	

こうして主が彼らをそこから全地のおもてに散らされたので、彼らは町を建てるのをやめた。

9

יְהוָה	בָּלַל	שָׁם	כִּי־	בָּבֶל	שְׁמָהּ	קָרָא	כֵּן	עַל־
主が	混乱させた	そこで	なぜなら-	バベルと	その-名は	呼ばれた	そういうわけで	の-上で
H3068		H8033		H0894	H8034	H7121		

פ	הָאָרֶץ׃	כָּל־	פְּנֵי	עַל־	יְהוָה	הֲפִיצָם	וּמִשָּׁם	הָאָרֶץ	כָּל־	שִׂפַת
	地の	全-	表面	の-上に	主は	散らした	そして-そこから	地の	全-	言葉を
	H0776	H3605	H6440		H3068		H8033	H0776	H3605	H8193

これによってその町の名はバベルと呼ばれた。主がそこで全地の言葉を乱されたからである。主はそこから彼らを全地のおもてに散らされた。

10

אֶת־	וַיּוֹלֶד	שָׁנָה	מְאַת	בֶּן־	שֵׁם	שֵׁם	תּוֹלְדֹת	אֵלֶּה	
を-	そして-生んだ	歳であった	百	の-子で	セムは	セムの	系図である	これらは	
H0853	H3205	H8141	H3967		H8035	H8035	H8435	H0428	

הַמַּבּוּל׃	אַחַר	שְׁנָתַיִם	אַרְפַּכְשָׁד	
大洪水の	後に	二-年	アルパクシャドを	
H3999		H8141	H0775	

セムの系図は次のとおりである。セムは百歳になって洪水の二年の後にアルパクサデを生んだ。

11

שָׁנָה	מֵאוֹת	חֲמֵשׁ	אַרְפַּכְשָׁד	אֶת־	הוֹלִידוֹ	אַחֲרֵי	שֵׁם	וַיְחִי־
年	百	五	アルパクシャドを	を–	彼が–生んだ	の–後	セムは	そして–生きた–
H8141	H3967	H2568	H0775	H0853	H3205		H8035	H2421

ס	וּבָנוֹת׃	בָּנִים	וַיּוֹלֶד
ס	娘たちを	息子たちと	そして–生んだ
	H1323		H3205

セムはアルパクサデを生んで後、五百年生きて、男子と女子を生んだ。

12

שָׁלַח׃	אֶת־	וַיּוֹלֶד	שָׁנָה	וּשְׁלֹשִׁים	חָמֵשׁ	חַי	וְאַרְפַּכְשָׁד	
シェラフを	を–	そして–生んだ	年	そして–三十	五	生きた	そして–アルパクシャドは	
H7974	H0853	H3205	H8141	H7970	H2568	H2421	H0775	

アルパクサデは三十五歳になってシラを生んだ。

13

וְאַרְבָּע	שָׁנִים	שָׁלֹשׁ	שֶׁלַח	אֶת־	הוֹלִידוֹ	אַחֲרֵי	אַרְפַּכְשַׁד	וַיְחִי
そして–四	年	三	シェラフを	を–	彼が–生んだ	の–後	アルパクシャドは	そして–生きた
H0702	H8141	H7969	H7974	H0853	H3205		H0775	H2421

ס	וּבָנוֹת׃	בָּנִים	וַיּוֹלֶד	שָׁנָה	מֵאוֹת
ס	娘たちを	息子たちと	そして–生んだ	年	百
	H1323		H3205	H8141	H3967

アルパクサデはシラを生んで後、四百三年生きて、男子と女子を生んだ。

14

עֵבֶר׃	אֶת־	וַיּוֹלֶד	שָׁנָה	שְׁלֹשִׁים	חַי	וְשֶׁלַח	
エベルを	を–	そして–生んだ	年	三十	生きた	そして–シェラフは	
H5677	H0853	H3205	H8141	H7970	H2421	H7974	

シラは三十歳になってエベルを生んだ。

15

מֵאוֹת	וְאַרְבָּע	שָׁנִים	שָׁלֹשׁ	עֵבֶר	אֶת־	הוֹלִידוֹ	אַחֲרֵי	שֶׁלַח	וַיְחִי־
百	そして–四	年	三	エベルを	を–	彼が–生んだ	の–後	シェラフは	そして–生きた–
H3967	H0702	H8141	H7969	H5677	H0853	H3205		H7974	H2421

ס	וּבָנוֹת׃	בָּנִים	וַיּוֹלֶד	שָׁנָה
ס	娘たちを	息子たちと	そして–生んだ	年
	H1323		H3205	H8141

シラはエベルを生んで後、四百三年生きて、男子と女子を生んだ。

16

פָּלֶג׃	אֶת־	וַיּוֹלֶד	שָׁנָה	וּשְׁלֹשִׁים	אַרְבַּע	עֵבֶר	וַיְחִי־	
ペレグを	を–	そして–生んだ	年	そして–三十	四	エベルは	そして–生きた–	
H6389	H0853	H3205	H8141	H7970	H0702	H5677	H2421	

エベルは三十四歳になってペレグを生んだ。

17

מֵאוֹת	וְאַרְבָּע	שָׁנָה	שְׁלֹשִׁים	פָּלֶג	אֶת־	הוֹלִידוֹ	אַחֲרֵי	עֵבֶר	וַיְחִי־
百	そして–四	年	三十	ペレグを	を–	彼が–生んだ	の–後	エベルは	そして–生きた–
H3967	H0702	H8141	H7970	H6389	H0853	H3205		H5677	H2421

ס	וּבָנוֹת׃	בָּנִים	וַיּוֹלֶד	שָׁנָה
ס	娘たちを	息子たちと	そして–生んだ	年
	H1323		H3205	H8141

エベルはペレグを生んで後、四百三十年生きて、男子と女子を生んだ。

18

רְעוּ׃	אֶת־	וַיּוֹלֶד	שָׁנָה	שְׁלֹשִׁים	פָּלֶג	וַיְחִי־
レウを	を–	そして–生んだ	年	三十	ペレグは	そして–生きた–
H7466	H0853	H3205	H8141	H7970	H6389	H2421

ペレグは三十歳になってリウを生んだ。

19 וַיְחִי־ פֶלֶג אַחֲרֵי הוֹלִידוֹ אֶת־ רְעוּ תְּשַׁע וּמָאתַיִם שָׁנִים וַיָּמָת׃
そして-生きた- ペレグは の-後 彼が-生んだ を- レウを 九 そして-二百 年
H2421 H6389 H310 H853 H7466 H8672 H3967 H8141

וַיּוֹלֶד בָּנִים וּבָנוֹת׃ ס
そして-生んだ 息子たちと 娘たちを
H3205 H1323

ペレグはリウを生んで後、二百九年生きて、男子と女子を生んだ。

20 וַיְחִי רְעוּ שְׁתַּיִם וּשְׁלֹשִׁים שָׁנָה וַיּוֹלֶד אֶת־ שְׂרוּג׃
そして-生きた レウは 二 そして-三十 年 そして-生んだ を- セルグを
H2421 H7466 H8147 H7970 H8141 H3205 H853 H8286

リウは三十二歳になってセルグを生んだ。

21 וַיְחִי רְעוּ אַחֲרֵי הוֹלִידוֹ אֶת־ שְׂרוּג שְׁבַע וּמָאתַיִם שָׁנִים וַיָּמָת׃
そして-生きた レウは の-後 彼が-生んだ を- セルグを 七 そして-二百 年
H2421 H7466 H310 H3205 H853 H8286 H7651 H3967 H8141

וַיּוֹלֶד בָּנִים וּבָנוֹת׃ ס
そして-生んだ 息子たちと 娘たちを
H3205 H1323

リウはセルグを生んで後、二百七年生きて、男子と女子を生んだ。

22 וַיְחִי שְׂרוּג שְׁלֹשִׁים שָׁנָה וַיּוֹלֶד אֶת־ נָחוֹר׃
そして-生きた セルグは 三十 年 そして-生んだ を- ナホルを
H2421 H8286 H7970 H8141 H3205 H853 H5152

セルグは三十歳になってナホルを生んだ。

23 וַיְחִי שְׂרוּג אַחֲרֵי הוֹלִידוֹ אֶת־ נָחוֹר מָאתַיִם שָׁנָה וַיּוֹלֶד
そして-生きた セルグは の-後 彼が-生んだ を- ナホルを 二百 年 そして-生んだ
H2421 H8286 H310 H3205 H853 H5152 H3967 H8141 H3205

וּבָנוֹת׃ ס בָּנִים
娘たちを 息子たちと
H1323

セルグはナホルを生んで後、二百年生きて、男子と女子を生んだ。

24 וַיְחִי נָחוֹר תֶּשַׁע וְעֶשְׂרִים שָׁנָה וַיּוֹלֶד אֶת־ תָּרַח׃
そして-生きた ナホルは 九 そして-二十 年 そして-生んだ を- テラフを
H2421 H5152 H8672 H6242 H8141 H3205 H853 H8646

ナホルは二十九歳になってテラを生んだ。

25 וַיְחִי נָחוֹר אַחֲרֵי הוֹלִידוֹ אֶת־ תֶּרַח תְּשַׁע־ עֶשְׂרֵה שָׁנָה וּמְאַת
そして-生きた ナホルは の-後 彼が-生んだ を- テラフを 十- 九 年 そして-百
H2421 H5152 H310 H3205 H853 H8646 H8672 H6240 H8141 H3967

וַיּוֹלֶד בָּנִים וּבָנוֹת׃ ס שָׁנָה
そして-生んだ 息子たちと 娘たちを 年
H3205 H1323 H8141

ナホルはテラを生んで後、百十九年生きて、男子と女子を生んだ。

26 וַיְחִי־ そして-生きた- H2421 テラフは H8646 七十 H7657 年 H8141 שָׁנָה שִׁבְעִים תֶּרַח

וַיּוֹלֶד אֶת־ を- H0853 アブラムと H0087 אַבְרָם אֶת־ を- H0853 そして-生んだ H3205 נָחוֹר

וְאֶת־ そして-を H0853 ハランを H2039 הָרָן׃

テラは七十歳になってアブラム、ナホルおよびハランを生んだ。

27 וְאֵלֶּה そして-これらは H0428 תּוֹלְדֹת 系図である H8435 תֶּרַח テラフの H8646 תֶּרַח テラフは H8646 תּוֹלִיד 生んだ H3205 אֶת־ を- H0853 אַבְרָם アブラムと H0087 אֶת־ を- H0853 נָחוֹר ナホルと H5152

וְאֶת־ そして-を H0853 ハランを H2039 הָרָן וְהָרָן そして-ハランは H2039 הוֹלִיד 生んだ H3205 אֶת־ を- H0853 לוֹט׃ ロトを H3876

テラの系図は次のとおりである。テラはアブラム、ナホルおよびハランを生み、ハランはロトを生んだ。

28 וַיָּמָת そして-死んだ H4191 הָרָן ハランは H2039 עַל־ の-前で H6440 פְּנֵי 面前 H6440 תֶּרַח テラフ H8646 אָבִיו 彼の-父の H0001 בְּאֶרֶץ の-地で H0776 מוֹלַדְתּוֹ 生まれ故郷-その H4138 בְּאוּר ウルで

כַּשְׂדִּים׃ カルデアの H3778

ハランは父テラにさきだって、その生れた地、カルデヤのウルで死んだ。

29 וַיִּקַּח 娶った H3947 אַבְרָם アブラムは H0087 וְנָחוֹר そして-ナホルは H5152 לָהֶם 彼らのために H0802 נָשִׁים 妻たちを H0802 שֵׁם 名は H8034 אֵשֶׁת־ の-妻 H0802 אַבְרָם アブラム H0087

וְשֵׁם そして-名は H8034 אֵשֶׁת־ の-妻 H0802 נָחוֹר ナホル H5152 בַּת־ の-娘 H1323 הָרָן ハラン H2039 אֲבִי־ の-父 H0001 וְאֲבִי そして-父 H0001 מִלְכָּה ミルカ H4435 יִסְכָּה׃ イスカの H3252 מִלְכָּה ミルカ H4435 שָׂרָי サライ H8297

アブラムとナホルは妻をめとった。アブラムの妻の名はサライといい、ナホルの妻の名はミルカといってハランの娘である。ハランはミルカの父、またイスカの父である。

30 וַתְּהִי そして-であった H1961 שָׂרַי サライは H8297 עֲקָרָה 不妊で H6135 אֵין いなかった H0369 לָהּ 彼女には וְלָד׃ 子どもが H2056

サライはうまずめで、子がなかった。

31 וַיִּקַּח そして-連れた H3947 תֶּרַח テラフは H8646 אֶת־ を- H0853 אַבְרָם アブラム H0087 אֶת־ を- H0853 וְאֶת־ そして-を H0853 לוֹט ロト H3876 בֶּן־ の-子 H1121 הָרָן ハラン H2039 בֶּן־ の-子 H1121

בְּנוֹ 彼の-息子を H1121 וְאֶת־ そして-を H0853 שָׂרַי サライ H8297 כַּלָּתוֹ 彼の-嫁 H3618 אֵשֶׁת 妻 H0802 אַבְרָם アブラム H0087 בְּנוֹ 彼の-息子の H1121 וַיֵּצְאוּ そして-出て行った H3318

עַד־ まで- H5704 חָרָן ハランに וַיָּבֹאוּ そして-来た H0935 כְּנַעַן カナン אַרְצָה の-地へ H0776 לָלֶכֶת 行くために H3212 כַּשְׂדִּים カルデアの H3778 מֵאוּר ウルから אִתָּם 彼らと-共に H0854

וַיֵּשְׁבוּ そして-住んだ H3427 שָׁם׃ そこに H8033

テラはその子アブラムと、ハランの子である孫ロトと、子アブラムの妻である嫁サライとを連れて、カナンの地へ行こうとカルデヤのウルを出たが、ハランに着いてそこに住んだ。

תֶּרַח	וַיָּמָת	שָׁנָה	וּמָאתַיִם	שָׁנִים	חָמֵשׁ	תֶּרַח	יְמֵי־	וַיִּהְיוּ	32
テラフは	そして-死んだ	年	そして-二百	年	五	テラフ	の-日々は	そして-であった	
H8646	H4191	H8141	H3967	H8141	H2568	H8646	H3117	H1961	

ס	בְּחָרָן׃
פ	ハランで

テラの年は二百五歳であった。テラはハランで死んだ。

Chapter 12

מֵאַרְצְךָ	לְךָ	לֶךְ־	אַבְרָם	אֶל־	יְהוָה	וַיֹּאמֶר	1
あなたの-国から	あなた自身-のために	行け	アブラム	～に	主は	そして-言った	
H0776		H3212	H0087	H0413	H3068	H0559	

אַרְאֶךָּ׃	אֲשֶׁר	הָאָרֶץ	אֶל־	אָבִיךָ	וּמִבֵּית	וּמִמֹּולַדְתְּךָ
わたしが-あなたに-示す	～を	その-地	～へ	あなたの-父の	そして-家から	あなたの-親族から
H7200		H0776	H0413	H0001		H4138

時に主はアブラムに言われた、「あなたは国を出て、親族に別れ、父の家を離れ、わたしが示す地に行きなさい。

וַאֲגַדְּלָה	וַאֲבָרֶכְךָ	גָּדֹול	לְגֹוי	וְאֶעֶשְׂךָ	2
そして-大きくする	そして-あなたを-祝福し	大きな	国と	そして-わたしは-あなたを-する	
H1431	H1288				

בְּרָכָה׃	וֶהְיֵה	שְׁמֶךָ
祝福と	そして-なれ	あなたの-名を
H1293	H1961	H8034

わたしはあなたを大いなる国民とし、あなたを祝福し、あなたの名を大きくしよう。あなたは祝福の基となるであろう。

אָאֹר	וּמְקַלֶּלְךָ	מְבָרְכֶיךָ	וַאֲבָרֲכָה	3
わたしは-のろう	あなたを-のろう-者を	あなたを-祝福する-者を	そして-わたしは-祝福する	
H0779	H7043	H1288	H1288	

הָאֲדָמָה׃	מִשְׁפְּחֹת	כֹּל	בְּךָ	וְנִבְרְכוּ
地の	氏族は	すべての	あなたによって	そして-祝福される
H0127	H4940	H3605		H1288

あなたを祝福する者をわたしは祝福し、あなたをのろう者をわたしはのろう。地のすべてのやからは、あなたによって祝福される」。

לֹוט	אִתֹּו	וַיֵּלֶךְ	יְהוָה	אֵלָיו	דִּבֶּר	כַּאֲשֶׁר	אַבְרָם	וַיֵּלֶךְ	4
ロトも	彼と-共に	そして-行った	主が	彼に	語った	～のように	アブラムは	そして-行った	
H3876	H0854	H3212	H3068	H0413	H1696		H0087	H3212	

מֵחָרָן׃	בְּצֵאתֹו	שָׁנָה	וְשִׁבְעִים	שָׁנִים	חָמֵשׁ	בֶּן־	וְאַבְרָם
ハランから	出た-とき	歳	七十	年	五	～の-息子	そして-アブラムは
	H3318	H8141	H7657	H8141	H2568		H0087

アブラムは主が言われたようにいで立った。ロトも彼と共に行った。アブラムはハランを出たとき七十五歳であった。

5

וַיִּקַּח	אַבְרָם	אֶת־	שָׂרַי	אִשְׁתּוֹ	וְאֶת־	לוֹט	בֶּן־	אָחִיו
そして–取った	アブラムは	～を	サライ	彼の–妻	そして～を	ロト	～の–息子	彼の–兄弟の
H3947	H0087	H0853	H8297	H0802	H0853	H3876		H0251

וְאֶת־	כָּל־	רְכוּשָׁם	אֲשֶׁר	רָכָשׁוּ	וְאֶת־	הַנֶּפֶשׁ	אֲשֶׁר־	עָשׂוּ
そして～を	すべての	彼らの–財産	～を	彼らが–得た	そして～を	その–人々	～を	彼らが–得た
H0853	H3605	H7399		H7408	H0853	H5315		

בְּחָרָן	וַיֵּצְאוּ	לָלֶכֶת	אַרְצָה	כְּנָעַן	וַיָּבֹאוּ	אַרְצָה	כְּנָעַן׃	
ハランで	そして–出た	行く–ために	地へ	カナンの	そして–来た	地へ	カナンの	
	H3318	H3212	H0776		H0935	H0776		

アブラムは妻サライと、弟の子ロトと、集めたすべての財産と、ハランで獲た人々とを携えてカナンに行こうとしていで立ち、カナンの地にきた。

6

וַיַּעֲבֹר	אַבְרָם	בָּאָרֶץ	עַד	מְקוֹם	שְׁכֶם	עַד	אֵלוֹן	מוֹרֶה
そして–通り過ぎた	アブラムは	その–地を	～まで	場所	シェケムの	～まで	樫の木	モレの
	H0087	H0776	H5704	H4725	H7927	H5704	H0436	H4176

וְהַכְּנַעֲנִי	אָז	בָּאָרֶץ׃	
そして–カナン人が	その時	その–地に–いた	
		H0776	

アブラムはその地を通ってシケムの所、モレのテレビンの木のもとに着いた。そのころカナンびとがその地にいた。

7

וַיֵּרָא	יְהוָה	אֶל־	אַבְרָם	וַיֹּאמֶר	לְזַרְעֲךָ	אֶתֵּן	אֶת־	
そして–現れた	主は	～に	アブラム	そして–言った	あなたの–子孫に	わたしは–与える	～を	
H7200	H3068	H0413	H0087	H0559	H2233	H5414	H0853	

הָאָרֶץ	הַזֹּאת	וַיִּבֶן	שָׁם	מִזְבֵּחַ	לַיהוָה	הַנִּרְאֶה	אֵלָיו׃
この–地	この	そして–建てた	そこに	祭壇を	主に	現れた	彼に
H0776	H2063	H1129	H8033	H4196	H3068	H7200	H0413

時に主はアブラムに現れて言われた、「わたしはあなたの子孫にこの地を与えます」。アブラムは彼に現れた主のために、そこに祭壇を築いた。

8

וַיַּעְתֵּק	מִשָּׁם	הָהָרָה	מִקֶּדֶם	לְבֵית־אֵל	וַיֵּט	אָהֳלָה	בֵּית־אֵל	מִיָּם
そして–移った	そこから	山地へ	東から	ベテルの	そして–張った	天幕を	ベテルが	西に
H6275	H8033	H2022		H1008	H5186	H0168	H1008	H3220

וַיָּעַל	מִקֶּדֶם	וַיִּבֶן־	שָׁם	מִזְבֵּחַ	לַיהוָה	וַיִּקְרָא	בְּשֵׁם	יְהוָה׃
そして–アイが	東に	そして–建てた	そこに	祭壇を	主に	そして–呼んだ	名を	主の
H5857		H1129	H8033	H4196	H3068	H7121	H8034	H3068

彼はそこからベテルの東の山に移って天幕を張った。西にはベテル、東にはアイがあった。そこに彼は主のために祭壇を築いて、主の名を呼んだ。

9

וַיִּסַּע	אַבְרָם	הָלוֹךְ	וְנָסוֹעַ	הַנֶּגְבָּה׃	פ
そして–旅立った	アブラムは	進んで	旅しながら	ネゲブへ	—
H5265	H0087	H1980	H5265	H5045	

アブラムはなお進んでネゲブに移った。

10

וַיְהִי	רָעָב	בָּאָרֶץ	וַיֵּרֶד	אַבְרָם	מִצְרַיְמָה	לָגוּר	שָׁם	
そして–あった	飢饉が	その–地に	そして–下った	アブラムは	エジプトへ	寄留する–ために	そこに	
H1961	H7458	H0776	H3381	H0087	H4714		H8033	

כִּי־	כָבֵד	הָרָעָב	בָּאָרֶץ׃	
なぜなら	激しかった	その–飢饉は	その–地で	
	H3515	H7458	H0776	

さて、その地にききんがあったのでアブラムはエジプトに寄留しようと、そこに下った。ききんがその地に激しかったからである。

11 וַיְהִי כַּאֲשֶׁר הִקְרִיב לָבוֹא מִצְרַיְמָה וַיֹּאמֶר אֶל־שָׂרַי
そして-あった ～のとき 近づいた 入る-ために エジプトへ そして-言った ～に サライ
H1961 H7126 H0935 H4714 H0559 H0413 H8297

אִשְׁתּוֹ הִנֵּה־נָא יָדַעְתִּי כִּי אִשָּׁה יְפַת־מַרְאֶה אָתְּ׃
彼の-妻 見よ どうか わたしは-知っている ～ことを 女 美しい 容姿の あなたは
H0802 H2009 H4994 H3045 H0802 H3303 H4758

エジプトにはいろうとして、そこに近づいたとき、彼は妻サライに言った、「わたしはあなたが美しい女であるのを知っています。

12 וְהָיָה כִּי־יִרְאוּ אֹתָךְ הַמִּצְרִים וְאָמְרוּ זֹאת אִשְׁתּוֹ
そして-なるだろう ～とき 見る あなたを エジプト人たちが そして-言う これは 彼の-妻だ
H1961 H7200 H0853 H4713 H0559 H2063 H0802

וְהָרְגוּ אֹתִי וְאֹתָךְ יְחַיּוּ׃
そして-殺す わたしを しかし-あなたを 生かす
H2026 H0853 H2421

それでエジプトびとがあなたを見る時、これは彼の妻であると言ってわたしを殺し、あなたを生かしておくでしょう。

13 אִמְרִי־נָא אֲחֹתִי אָתְּ לְמַעַן יִיטַב־לִי בַעֲבוּרֵךְ
言ってくれ どうか わたしの-妹だと あなたは ～のために 良く-なるように わたしに
H0559 H4994 H0269 H0853 H4616 H3190 H0408

וְחָיְתָה נַפְשִׁי בִּגְלָלֵךְ׃
そして-生きる わたしの-いのちは あなたの-おかげで
H2421 H5315 H1558

どうかあなたは、わたしの妹だと言ってください。そうすればわたしはあなたのおかげで無事であり、わたしの命はあなたによって助かるでしょう」。

14 וַיְהִי כְּבוֹא אַבְרָם מִצְרַיְמָה וַיִּרְאוּ הַמִּצְרִים אֶת־הָאִשָּׁה
そして-あった 入った-とき アブラムが エジプトへ そして-見た エジプト人たちは ～を その-女が
H1961 H0935 H0087 H4714 H7200 H4713 H0853 H0802

כִּי־יָפָה הִוא מְאֹד׃
まことに 美しいと 彼女は 非常に
H3303 H1931 H3966

アブラムがエジプトにはいった時エジプトびとはこの女を見て、たいそう美しい人であるとし、

15 וַיִּרְאוּ אֹתָהּ שָׂרֵי הַמִּצְרִים וַיְהַלְלוּ אֹתָהּ אֶל־פַּרְעֹה
そして-見た 彼女を 家来たちは エジプトの そして-ほめた 彼女を ～に ファラオ
H7200 H0853 H8269 H6547 H1984 H0853 H0413 H6547

וַתֻּקַּח הָאִשָּׁה בֵּיתָה פַּרְעֹה׃
そして-取られた その-女は 家に ファラオの
H3947 H0802 H1004 H6547

またパロの高官たちも彼女を見てパロの前でほめたので、女はパロの家に召し入れられた。

16 וּלְאַבְרָם הֵיטִיב בַּעֲבוּרָהּ וַיְהִי־לוֹ צֹאן וּבָקָר וַחֲמֹרִים וְעַבְדִים
そして-アブラムに 良くした 彼女の-ゆえに そして-あった 彼に 羊と 牛と ろばと しもべと
H0087 H3190 H5668 H1961 H6629 H1241 H2543 H5650

וּשְׁפָחֹת וַאֲתֹנֹת וּגְמַלִּים׃
はしための 雌ろばと らくだが
H8198 H0860 H1581

パロは彼女のゆえにアブラムを厚くもてなしたので、アブラムは多くの羊、牛、雌雄のろば、男女の奴隷および、らくだを得た。

דְּבַר	עַל־	בֵּיתוֹ	וְאֶת־	גְּדֹלִים	נְגָעִים	פַּרְעֹה	אֶת־	וַיהוָה	וַיְנַגַּע	17
ことの	～のゆえに	彼の–家	そして～を	大きな	災いで	ファラオ	～を	主は	そして–打った	
H1697			H0853		H5061	H6547	H0853	H3068	H5060	

אַבְרָם׃	אֵשֶׁת	שָׂרָי	
アブラムの	妻の	サライ	
H0087	H0802	H8297	

ところで主はアブラムの妻サライのゆえに、激しい疫病をパロとその家に下された。

לִי	עָשִׂיתָ	זֹאת	מַה־	וַיֹּאמֶר	לְאַבְרָם	פַּרְעֹה	וַיִּקְרָא	18
わたしに	あなたは–した	これは	何–を	そして–言った	アブラムを	ファラオは	そして–呼んだ	
		H2063	H4100	H0559	H0087	H6547	H7121	

הִוא׃	אִשְׁתְּךָ	כִּי	לִי	הִגַּדְתָּ	לֹא־	לָמָּה
彼女は	あなたの–妻だと	～ことを	わたしに	告げなかった	～ない	なぜ
H1931	H0802			H5046	H3808	H4100

パロはアブラムを召し寄せて言った、「あなたはわたしになんという事をしたのですか。なぜ彼女が妻であるのをわたしに告げなかったのですか。

לִי	אֹתָהּ	וָאֶקַּח	הִוא	אָחֹתִי	אָמַרְתְּ	לָמָּה		19
わたしの	彼女を	そして–わたしは–取った	彼女は	わたしの–妹だと	あなたは–言った	なぜ		
	H0853	H3947	H1931	H0269	H0559	H4100		

וָלֵךְ׃	קַח	אִשְׁתְּךָ	הִנֵּה	וְעַתָּה	לְאִשָּׁה	
そして–行け	取れ	あなたの–妻だ	見よ	そして–今	妻として	
H3212	H3947	H0802	H2009	H6258	H0802	

あなたはなぜ、彼女はわたしの妹ですと言ったのですか。わたしは彼女を妻にしようとしていました。さあ、あなたの妻はここにいます。連れて行ってください」。

אִשְׁתּוֹ	וְאֶת־	אֹתוֹ	וַיְשַׁלְּחוּ	אֲנָשִׁים	פַּרְעֹה	עָלָיו	וַיְצַו		20
彼の–妻	そして～を	彼を	そして–送り出した	人々に	ファラオは	彼に–ついて	そして–命じた		
H0802	H0853	H0853	H7971	H0376	H6547		H6680		

לוֹ׃	אֲשֶׁר־	כָּל־	וְאֶת־
彼の	～のもの	すべて	そして～を
		H3605	H0853

パロは彼の事について人々に命じ、彼とその妻およびそのすべての持ち物を送り去らせた。

Chapter 13

לוֹ	אֲשֶׁר־	וְכָל־	וְאִשְׁתּוֹ	הוּא֙	מִמִּצְרַיִם	אַבְרָם	וַיַּעַל֙	1
彼の	～のもの	そして–すべての	そして–彼の–妻	彼は	エジプトから	アブラムは	そして–上った	
		H3605	H0802	H1931	H4714	H0087	H5927	

הַנֶּגְבָּה׃	עִמּוֹ	וְלוֹט
ネゲブへ	彼と–共に	そして–ロト
H5045		H3876

アブラムは妻とすべての持ち物を携え、エジプトを出て、ネゲブに上った。ロトも彼と共に上った。

וּבַזָּהָב׃	בַּכֶּסֶף	בַּמִּקְנֶה	מְאֹד	כָּבֵד	וְאַבְרָם		2
そして–金で	銀で	家畜で	非常に	富んで–いた	そして–アブラムは		
H2091	H3701	H4735	H3966	H3513	H0087		

アブラムは家畜と金銀に非常に富んでいた。

3 וַיֵּלֶךְ לְמַסָּעָיו מִנֶּגֶב וְעַד־בֵּית־אֵל עַד־ אֲשֶׁר־ הָיָה שָׁם בָּרִאשֹׁנָה בֵּין בֵּית־אֵל וּבֵין הָעָי׃

אֲשֶׁר־	הַמָּקוֹם	עַד־	בֵּית־אֵל	וְעַד־	מִנֶּגֶב	לְמַסָּעָיו	וַיֵּלֶךְ	בַּתְּחִלָּה	(אָהֳלֹו)	|אהלה|	שָׁם	הָיָה
～の	その–場所	～まで	ベテル	そして–～まで	ネゲブから	彼の–旅路を	そして–行った	初めに	彼の–天幕が	彼の–天幕が	そこに	あった
H4725	H5704	H1008	H5704	H5045	H4550	H3212	H8462	H0168	H0168	H8033	H1961		

הָעָי׃	וּבֵין	בֵּית־אֵל	בֵּין	בַּתְּחִלָּה	(אָהֳלֹו)	|אהלה|	שָׁם	הָיָה
アイ	そして–～の–間に	ベテル	～の–間に	初めに	彼の–天幕が	彼の–天幕が	そこに	あった
H5857	H0996	H1008	H0996	H8462	H0168	H0168	H8033	H1961

彼はネゲブから旅路を進めてベテルに向かい、ベテルとアイの間の、さきに天幕を張った所に行った。

4 אֲשֶׁר־ עָשָׂה שָׁם בָּרִאשֹׁנָה וַיִּקְרָא שָׁם אַבְרָם׃

אֶל־	מְקוֹם	הַמִּזְבֵּחַ	אֲשֶׁר־	עָשָׂה	שָׁם	בָּרִאשֹׁנָה	וַיִּקְרָא	שָׁם	אַבְרָם
～の	場所	その–祭壇の	～を	造った	そこに	初めに	そして–呼んだ	そこで	アブラムは
H0413	H4725	H4196			H8033	H7223	H7121	H8033	H0087

יְהוָה׃	בְּשֵׁם
主の	名を
H3068	H8034

すなわち彼が初めに築いた祭壇の所に行き、その所でアブラムは主の名を呼んだ。

5 וְגַם־ לְלוֹט הַהֹלֵךְ אֶת־ אַבְרָם הָיָה צֹאן־ וּבָקָר וְאֹהָלִים׃

וְגַם־	לְלוֹט	הַהֹלֵךְ	אֶת־	אַבְרָם	הָיָה	צֹאן־	וּבָקָר	וְאֹהָלִים׃	
そして–また	ロトにも	行く	～と–共に	アブラム	あった	羊と	牛と	天幕が	
H1571	H3876	H1980	H0854	H0087	H1961	H6629	H1241	H0168	

アブラムと共に行ったロトも羊、牛および天幕を持っていた。

6 וְלֹא־ נָשָׂא אֹתָם הָאָרֶץ לָשֶׁבֶת יַחְדָּו כִּי־ הָיָה רְכוּשָׁם רָב וְלֹא יָכְלוּ לָשֶׁבֶת יַחְדָּו׃

וְלֹא־	נָשָׂא	אֹתָם	הָאָרֶץ	לָשֶׁבֶת	יַחְדָּו	כִּי־	הָיָה	רְכוּשָׁם	רָב	וְלֹא	יָכְלוּ	לָשֶׁבֶת	יַחְדָּו׃
そして–～ない	支えられなかった	彼らを	その–地は	住む–ために	共に	なぜなら	あった	彼らの–財産は	多く	そして–～ない	できなかった	住む–こと	共に
H3808	H5375	H0853	H0776	H3427			H1961	H7399		H3808	H3201	H3427	

その地は彼らをささえて共に住ませることができなかった。彼らの財産が多かったため、共に住めなかったのである。

7 וַיְהִי־ רִיב בֵּין רֹעֵי מִקְנֵה־ אַבְרָם וּבֵין רֹעֵי מִקְנֵה־ לוֹט וְהַכְּנַעֲנִי וְהַפְּרִזִּי אָז יֹשֵׁב בָּאָרֶץ׃

וַיְהִי־	רִיב	בֵּין	רֹעֵי	מִקְנֵה־	אַבְרָם	וּבֵין	רֹעֵי	מִקְנֵה־	לוֹט	וְהַכְּנַעֲנִי	וְהַפְּרִזִּי	אָז	יֹשֵׁב	בָּאָרֶץ׃
そして–あった	争いが	～の–間に	牧者たちの	家畜の	アブラムの	そして–～の–間に	牧者たちの	家畜の	ロトの	そして–カナン人と	そして–ペリジ人が	その時	住んでいた	その–地に
H1961	H7379	H0996	H7473	H4735	H0087	H0996	H7473	H4735	H3876		H6522		H3427	H0776

アブラムの家畜の牧者たちとロトの家畜の牧者たちの間に争いがあった。そのころカナンびととペリジびとがその地に住んでいた。

8 וַיֹּאמֶר אַבְרָם אֶל־ לוֹט אַל־ נָא תְהִי מְרִיבָה בֵּינִי וּבֵינֶיךָ כִּי־ אֲנָשִׁים אַחִים אֲנָחְנוּ׃

וַיֹּאמֶר	אַבְרָם	אֶל־	לוֹט	אַל־	נָא	תְהִי	מְרִיבָה	בֵּינִי	וּבֵינֶיךָ	כִּי־	אֲנָשִׁים	אַחִים	אֲנָחְנוּ׃
そして–言った	アブラムは	～に	ロト	～ない	どうか	ないように	争いが	わたしと	そして–～の–間に	なぜなら	人	兄弟の	わたしたちは
H0559	H0087	H0413	H3876	H0408	H4994	H1961	H4808	H0996	H0996		H0376	H0251	H0587

רֹעֶיךָ	וּבֵין	רֹעַי	וּבֵין	וּבֵינֶיךָ					
あなたの–牧者	そして–～の–間に	わたしの–牧者と	そして–～の–間に	あなたの–間に					
H7473	H0996	H7473	H0996	H0996					

アブラムはロトに言った、「わたしたちは身内の者です。わたしとあなたの間にも、わたしの牧者たちとあなたの牧者たちの間にも争いがないようにしましょう。

9

הַשְּׂמְאל	אִם־	מֵעָלַי	נָא	הִפָּרֶד	לְפָנֶיךָ	הָאָרֶץ	כָּל־	הֲלֹא
左なら	もし	わたしから	どうか	分かれよ	あなたの–前に	地は	すべての	～ではないか
H8040			H4994	H6504	H6440	H0776	H3605	H3808

וְאַשְׂמְאִילָה׃	הַיָּמִין	וְאִם־	וְאֵימְנָה	
わたしは–左へ	右なら	もし	わたしは–右へ	
H8041	H3225		H3231	

全地はあなたの前にあるではありませんか。どうかわたしと別れてください。あなたが左に行けばわたしは右に行きます。あなたが右に行けばわたしは左に行きましょう」。

10

הַיַּרְדֵּן	כִּכַּר	כָּל־	אֶת־	וַיַּרְא	עֵינָיו	אֶת־	לוֹט	וַיִּשָּׂא־
ヨルダンの	低地を	すべての	～を	そして–見た	彼の–目を	～を	ロトは	そして–上げた
H3383	H3603	H3605	H0853	H7200		H0853	H3876	H5375

עֲמֹרָה	וְאֶת־	סְדֹם	אֶת־	יְהוָה	שִׁחֵת	וּלְפָנֵי	מַשְׁקֶה	כֻּלָּהּ	כִּי
ゴモラ	そして～を	ソドム	～を	主が	滅ぼした	～の–前に	潤っていた	すべてが	～ことを
H6017	H0853	H5467	H0853	H3068	H7843	H6440		H3605	

צֹעַר׃	בֹּאֲכָה	מִצְרָיִם	כְּאֶרֶץ	יְהוָה	כְּגַן־
ツォアル	行く–ところの	エジプトの	地の–ように	主の	園の–ように
H6820	H0935	H4714	H0776	H3068	H1588

ロトが目を上げてヨルダンの低地をあまねく見わたすと、主がソドムとゴモラを滅ぼされる前であったから、ゾアルまで主の園のように、またエジプトの地のように、すみずみまでよく潤っていた。

11

לוֹט	וַיִּסַּע	הַיַּרְדֵּן	כִּכַּר	כָּל־	אֶת	לוֹט	לוֹ	וַיִּבְחַר־	
ロトは	そして–旅立った	ヨルダンの	低地を	すべての	～を	ロトは	彼の–ために	そして–選んだ	
H3876	H5265	H3383	H3603	H3605	H0853	H3876		H0977	

אָחִיו׃	מֵעַל	אִישׁ	וַיִּפָּרְדוּ	מִקֶּדֶם
その–兄弟	～から	人は	そして–分かれた	東へ
H0251		H0376	H6504	

そこでロトはヨルダンの低地をことごとく選びとって東に移った。こうして彼らは互に別れた。

12

הַכִּכָּר	בְּעָרֵי	יָשַׁב	וְלוֹט	כְּנָעַן	בְּאֶרֶץ־	יָשַׁב	אַבְרָם	
その–低地の	町々に	住んだ	そして–ロトは	カナンの	地に	住んだ	アブラムは	
H3603		H3427	H3876		H0776	H3427	H0087	

סְדֹם׃	עַד־	וַיֶּאֱהַל	
ソドム	～まで	そして–天幕を–張った	
H5467	H5704	H0167	

アブラムはカナンの地に住んだが、ロトは低地の町々に住み、天幕をソドムに移した。

13

מְאֹד׃	לַיהוָה	וְחַטָּאִים	רָעִים	סְדֹם	וְאַנְשֵׁי
非常に	主に–対して	そして–罪深い–者たちで	悪く	ソドムの	そして–ソドムの–人々は
H3966	H3068	H2400		H5467	H0376

ソドムの人々はわるく、主に対して、はなはだしい罪びとであった。

14

וַיהוָה אָמַר אֶל־אַבְרָם אַחֲרֵי הִפָּרֶד־לוֹט מֵעִמּוֹ שָׂא־נָא עֵינֶיךָ וּרְאֵה מִן־הַמָּקוֹם אֲשֶׁר־אַתָּה שָׁם צָפֹנָה וָנֶגְבָּה וָקֵדְמָה וָיָמָּה׃

そして-主は 言った ～に アブラム ～の-後に 分かれた ロトが 彼から 上げよ どうか
H3068 H0559 H0413 H0087 H0310 H6504 H3876 H4480 H5375 H4994

そして-見よ ～から その-場所 ～に あなたが いる 北へ そして-南へ
H7200 H4480 H4725 H0834 H0859 H8033 H6828 H5045

そして-東へ そして-西へ
H6924 H3220

ロトがアブラムに別れた後に、主はアブラムに言われた、「目をあげてあなたのいる所から北、南、東、西を見わたしなさい。

15

כִּי אֶת־כָּל־הָאָרֶץ אֲשֶׁר־אַתָּה רֹאֶה לְךָ אֶתְּנֶנָּה וּלְזַרְעֲךָ עַד־עוֹלָם׃

なぜなら ～を すべての 地を ～を あなたが 見ている あなたに わたしは-与える
H3588 H0853 H3605 H0776 H0834 H0859 H7200 H0859 H5414

そして-あなたの-子孫に ～まで 永遠に
H2233 H5704 H5769

すべてあなたが見わたす地は、永久にあなたとあなたの子孫に与えます。

16

וְשַׂמְתִּי אֶת־זַרְעֲךָ כַּעֲפַר הָאָרֶץ אֲשֶׁר אִם־יוּכַל אִישׁ לִמְנוֹת אֶת־עֲפַר הָאָרֶץ גַּם־זַרְעֲךָ יִמָּנֶה׃

そして-する ～を あなたの-子孫を 塵の-ように 地の ～ならば もし できる 人が 数えられる あなたの-子孫も また 地の 塵を ～を 数える-こと
H7760 H0853 H2233 H6083 H0776 H0834 H0518 H3201 H0376 H4487 H2233 H1571 H0776 H6083 H0853 H4487

わたしはあなたの子孫を地のちりのように多くします。もし人が地のちりを数えることができるなら、あなたの子孫も数えられることができましょう。

17

קוּם הִתְהַלֵּךְ בָּאָרְצָהּ לְאָרְכָּהּ וּלְרָחְבָּהּ כִּי לְךָ אֶתְּנֶנָּה׃

立て 歩き-回れ その-地を その-長さと そして-その-幅を なぜなら あなたに
H6965 H1980 H0776 H0753 H7341 H3588 H0859

わたしは-それを-与える
H5414

あなたは立って、その地をたてよこに行き巡りなさい。わたしはそれをあなたに与えます」。

18

וַיְאֶהֳלֹ אַבְרָם וַיָּבֹא וַיֵּשֶׁב בְּאֵלֹנֵי מַמְרֵא אֲשֶׁר בְּחֶבְרוֹן וַיִּבֶן־שָׁם מִזְבֵּחַ לַיהוָה׃ פ

そして-天幕を-張った アブラムは そして-来た そして-住んだ 樫の木に マムレの ～の ヘブロンにある そして-建てた そこに 祭壇を 主に —
H0168 H0087 H0935 H3427 H0436 H4471 H0834 H2275 H1129 H8033 H4196 H3068 H6

アブラムは天幕を移してヘブロンにあるマムレのテレビンの木のかたわらに住み、その所で主に祭壇を築いた。

Chapter 14

1

וַיְהִי	בִימֵי	אַמְרָפֶל	מֶלֶךְ־	שִׁנְעָר	אַרְיוֹךְ	מֶלֶךְ	אֶלָסָר
そして–あった	日々に	アムラフェル	王の	シンアルの	アリオク	王の	エラサルの
H1961	H3117	H0569	H4428	H8152		H4428	H0495

כְּדָרְלָעֹמֶר	מֶלֶךְ	עֵילָם	וְתִדְעָל	מֶלֶךְ	גּוֹיִם׃
ケダルラオメル	王の	エラムの	そして–テデアル	王の	諸国の
H3540	H4428		H8413	H4428	

シナルの王アムラペル、エラサルの王アリオク、エラムの王ケダラオメルおよびゴイムの王テダルの世に、

2

וְשִׁנְאָב	עֲמֹרָה	מֶלֶךְ	בִּרְשַׁע	וְאֶת־	סְדֹם	מֶלֶךְ	בֶּרַע	אֶת־	מִלְחָמָה	עָשׂוּ
シンアブ	ゴモラの	王の	ビルシャ	そして〜と	ソドムの	王の	ベラ	〜と	戦いを	した
H8134	H6017	H4428	H1306	H0854	H5467	H4428	H1298	H0854	H4421	

הִיא־	בָּלַע	וּמֶלֶךְ	צְבוֹיִם(	צביים]	מֶלֶךְ	וְשֶׁמְאֵבֶר	אַדְמָה	מֶלֶךְ
すなわち	ベラ	そして–王の	ツェボイムの	ツェボイム	王の	そして–シェメベル	アドマの	王の
H1931		H4428	H6636	H6636	H4428	H8038	H0126	H4428

צֹעַר׃
ツォアルの
H6820

これらの王はソドムの王ベラ、ゴモラの王ビルシャ、アデマの王シナブ、ゼボイムの王セメベル、およびベラすなわちゾアルの王と戦った。

3

הַמָּלַח׃	יָם	הִוא	הַשִּׂדִּים	עֵמֶק	אֶל־	חָבְרוּ	אֵלֶּה	כָּל־
塩の	海	それは	シディムの	谷	〜へ	連合した	これらは	すべての
H4417	H3220	H1931	H7708	H6010	H0413	H2266	H0428	H3605

これら五人の王はみな同盟してシデムの谷、すなわち塩の海に向かって行った。

4

מָרָדוּ׃	שָׁנָה	עֶשְׂרֵה	וּשְׁלֹשׁ־	כְּדָרְלָעֹמֶר	אֶת־	עָבְדוּ	שָׁנָה	עֶשְׂרֵה	שְׁתֵּים
反乱した	年に	〜の	そして–十三	ケダルラオメル	〜に	仕えた	年	〜の	十二
H4775	H8141	H6240	H7969	H3540	H0853	H5647	H8141	H6240	H8147

すなわち彼らは十二年の間ケダラオメルに仕えたが、十三年目にそむいたので、

5

אִתּוֹ	אֲשֶׁר	וְהַמְּלָכִים	כְּדָרְלָעֹמֶר	בָּא	שָׁנָה	עֶשְׂרֵה	וּבְאַרְבַּע	
彼と–共にいた	〜の	そして–王たちは	ケダルラオメルは	来た	年に	〜の	そして–十四	
H0854		H4428	H3540	H0935	H8141	H6240	H0702	

בְּהָם	הַזּוּזִים	וְאֶת־	קַרְנַיִם־בְּעַשְׁתְּרֹת	רְפָאִים	אֶת־	וַיַּכּוּ
ハムで	ズズ人を	そして〜を	アシュテロト・カルナイムで	レファイムを	〜を	そして–打ち負かした
H1990	H2104	H0853	H6255		H0853	H5221

קִרְיָתָיִם׃	בְּשָׁוֵה	הָאֵימִים	וְאֵת
キリアタイムで	シャヴェ・	エミム人を	そして〜を
H7156	H7740	H0368	H0853

十四年目にケダラオメルは彼と連合した王たちと共にきて、アシタロテ・カルナイムでレパイムびとを、ハムでズジびとを、シャベ・キリアタイムでエミびとを撃ち、

6

הַמִּדְבָּר׃	עַל־	אֲשֶׁר	פָּארָן־אֵל	עַד	שֵׂעִיר	בְּהַרְרָם	הַחֹרִי	וְאֶת־
荒野	〜の–そばの	〜の	エル・パラン	〜まで	セイルで	彼らの–山の	ホリ人を	そして〜を
			H0364	H5704		H2022	H2752	H0853

セイルの山地でホリびとを撃って、荒野のほとりにあるエル・パランに及んだ。

7

וַיַּכּוּ
そして-打ち負かした
H5221

כָּל־
すべての
H3605

אֶת־
～を
H0853

וְגַם־
そして-また
H1571

אֶת־
～を
H0853

כָּל־
すべての
H3605

שְׂדֵה
野の
H7704

הָעֲמָלֵקִי
アマレク人の
H6003

וְגַם־
そして-また
H1571

אֶת־
～を
H0853

הָאֱמֹרִי
アモリ人を
H0567

הַיֹּשֵׁב
住んでいる
H3427

בְּחַצְצֹן
ハツェツォン・タマルに
H2688

תָּמָר׃

וַיָּשֻׁבוּ
そして-引き返した
H7725

וַיָּבֹאוּ
そして-来た
H0935

אֶל־
～に
H0413

מִשְׁפָּט־עֵין
エン・ミシュパト
H5880

הִוא
すなわち
H1931

קָדֵשׁ
カデシュ
H6946

彼らは引き返してエン・ミシパテすなわちカデシへ行って、アマレクびとの国をことごとく撃ち、またハザゾン・タマルに住むアモリびとをも撃った。

8

וַיֵּצֵא
そして-出た
H3318

מֶלֶךְ־
王は
H4428

סְדֹם
ソドムの
H5467

וּמֶלֶךְ
そして-王の
H4428

עֲמֹרָה
ゴモラの
H6017

וּמֶלֶךְ
そして-王の
H4428

אַדְמָה
アドマの
H0126

וּמֶלֶךְ
そして-王の
H4428

צְבוֹיִם
ツェボイムの
H6636

וּמֶלֶךְ
そして-王の
H4428

בֶּלַע
ベラ
H1130

הִוא־
すなわち
H1931

צֹעַר
ツォアルの
H6820

וַיַּעַרְכוּ
そして-整列した
H6186

אִתָּם
彼らと
H0854

צביים
ツェボイム
H6636

הַשִּׂדִּים׃
シディムの
H7708

בְּעֵמֶק
谷で
H6010

מִלְחָמָה
戦いの-ために
H4421

そこでソドムの王、ゴモラの王、アデマの王、ゼボイムの王およびベラすなわちゾアルの王は出てシデムの谷で彼らに向かい、戦いの陣をしいた。

9

כְּדָרְלָעֹמֶר
ケダルラオメル
H3540

מֶלֶךְ־
王の
H4428

עֵילָם
エラムの
H5867

וְתִדְעָל
そして-テデアル
H8413

מֶלֶךְ
王の
H4428

גּוֹיִם
諸国の
H1471

וְאַמְרָפֶל
そして-アムラフェル
H0569

מֶלֶךְ־
王の
H4428

שִׁנְעָר
シンアルの
H8152

וְאַרְיוֹךְ
そして-アリオク
H0746

מֶלֶךְ
王の
H4428

אֶלָּסָר
エラサルの
H0495

אַרְבָּעָה
四人の
H0702

מְלָכִים
王が
H4428

אֶת־
～に-対して
H0854

חֲמִשָּׁה׃
五人の
H2568

すなわちエラムの王ケダラオメル、ゴイムの王テダル、シナルの王アムラペル、エラサルの王アリオクの四人の王に対する五人の王であった。

10

וְעֵמֶק
そして-谷は
H6010

הַשִּׂדִּים
シディムの
H7708

בְּאֵרֹת
穴で
H0875

בְּאֵרֹת
穴だらけの
H0875

חֵמָר
瀬青の
H2564

וַיָּנֻסוּ
そして-逃げた
H5127

מֶלֶךְ־
王は
H4428

סְדֹם
ソドムの
H5467

וַעֲמֹרָה
そして-ゴモラの
H6017

וַיִּפְּלוּ־
そして-落ちた
H5307

שָׁמָּה
そこに
H8033

וְהַנִּשְׁאָרִים
そして-残りの-者は
H7604

הָרָה
山へ
H2022

נָסוּ׃
逃げた
H5127

シデムの谷にはアスファルトの穴が多かったので、ソドムの王とゴモラの王は逃げてそこに落ちたが、残りの者は山にのがれた。

11

וַיִּקְחוּ
そして-取った
H3947

כָּל־
すべての
H3605

רְכֻשׁ
財産を
H7399

סְדֹם
ソドムの
H5467

וַעֲמֹרָה
そして-ゴモラの
H6017

וְאֶת־
そして～を
H0853

כָּל־
すべての
H3605

אָכְלָם
食糧を
H0400

וַיֵּלֵכוּ׃
そして-行った
H3212

そこで彼らはソドムとゴモラの財産と食料とをことごとく奪って去り、

12 וַיִּקְחוּ֙ אֶת־לוֹט֙ וְאֶת־רְכֻשׁ֣וֹ בֶן־אֲחִ֣י אַבְרָ֔ם וַיֵּלֵ֑כוּ וְהוּא֙ יֹשֵׁ֣ב בְּסְדֹ֔ם׃

そして–取った そして〜を 彼の–財産を 〜の–息子 兄弟の アブラムの
H3947 H0853 H7399 H1931 H0251 H0087

そして–行った そして–彼は 住んでいた ソドムに
H3212 H1931 H3427 H5467

またソドムに住んでいたアブラムの弟の子ロトとその財産を奪って去った。

13 וַיָּבֹ֣א הַפָּלִ֔יט וַיַּגֶּד֙ לְאַבְרָ֣ם הָעִבְרִ֔י וְה֣וּא שֹׁכֵ֔ן בְּאֵלֹנֵ֖י מַמְרֵ֣א הָאֱמֹרִ֑י אֲחִ֣י אֶשְׁכֹּ֔ל וַאֲחִ֖י עָנֵ֑ר וְהֵ֖ם בַּעֲלֵ֥י בְרִית־אַבְרָֽם׃

そして–来た 逃れた–者が そして–告げた アブラムに ヘブル人の 住んでいた
H0935 H6412 H5046 H0087 H5680 H7931

そして–彼は 樫の木に マムレの アモリ人の 兄弟の エシュコル そして–兄弟の アネルの そして–彼らは
H1931 H0436 H4471 H0567 H0251 H0812 H0251 H6063 H1992

同盟の–者 契約の アブラムの
H1167 H1285 H0087

時に、ひとりの人がのがれてきて、ヘブルびとアブラムに告げた。この時アブラムはエシコルの兄弟、またアネルの兄弟であるアモリびとマムレのテレビンの木のかたわらに住んでいた。彼らはアブラムと同盟していた。

14 וַיִּשְׁמַ֣ע אַבְרָ֔ם כִּֽי־נִשְׁבָּ֥ה אָחִ֖יו וַיָּ֣רֶק אֶת־חֲנִיכָ֑יו יְלִידֵ֣י בֵיתוֹ֩ שְׁמֹנָ֨ה עָשָׂ֜ר וּשְׁלֹ֣שׁ מֵא֗וֹת וַיִּרְדֹּף֙ עַד־דָּֽן׃

そして–聞いた アブラムは 〜ことを 捕らえられた 彼の–兄弟が そして–率いた 〜を
H8085 H0087 H3588 H7617 H0251 H7324 H0853

そして–追いかけた 百人 そして–三 十八 三百 彼の–家の 生まれた 彼の–訓練された–者たち
H7291 H3967 H7969 H6240 H8083 H1004 H3211 H2593

ダン 〜まで
H1835 H5704

アブラムは身内の者が捕虜になったのを聞き、訓練した家の子三百十八人を引き連れてダンまで追って行き、

15 וַיֵּחָלֵ֤ק עֲלֵיהֶם֙ ה֣וּא וַעֲבָדָ֔יו לַ֖יְלָה וַיַּכֵּ֑ם וַיִּרְדְּפֵם֙ עַד־חוֹבָ֣ה אֲשֶׁ֔ר מִשְּׂמֹ֖אל לְדַמָּֽשֶׂק׃

そして–分けた 彼らに–対して 夜 彼と 彼の–しもべたちは そして–打ち負かした
H2505 H5921 H3915 H1931 H5650 H5221

そして–追いかけた 〜まで ホバ 〜の 左の ダマスコの
H7291 H5704 H2327 H834 H8040 H1834

そのしもべたちを分けて、夜かれらを攻め、これを撃ってダマスコの北、ホバまで彼らを追った。

16 וַיָּ֣שֶׁב אֶת־כָּל־הָרְכֻ֗שׁ וְגַם֙ אֶת־לוֹט֙ אָחִ֣יו וּרְכֻשׁ֔וֹ וְגַ֖ם אֶת־הַנָּשִׁ֣ים וְאֶת־הָעָֽם׃

そして–取り戻した すべての 財産を そして–また 〜を ロトを 彼の–兄弟
H7725 H3605 H7399 H1571 H0853 H3876 H0251

そして–彼の–財産を そして–また 〜を 女たちを そして〜を 民を
H7399 H1571 H0853 H0802 H0853 H5971

そして彼はすべての財産を取り返し、また身内の者ロトとその財産および女たちと民とを取り返した。

17 וַיֵּצֵא מֶלֶךְ־סְדֹם לִקְרָאתוֹ אַחֲרֵי שׁוּבוֹ מֵהַכּוֹת אֶת־
そして-出た 王は ソドムの 彼を-迎えに ～の-後に 彼が-帰った 打ち負かして-から ～を
H3318 H4428 H5467 H7125 H0310 H7725 H5221 H0853

כְּדָרְלָעֹמֶר וְאֶת־הַמְּלָכִים אֲשֶׁר אִתּוֹ אֶל־עֵמֶק שָׁוֵה הִוא עֵמֶק
ケダルラオメル そして～を 王たちを ～の 彼と-共の ～へ 谷 シャヴェの すなわち 谷
H3540 H0853 H4428 H0834 H0854 H0413 H6010 H7740 H1931 H6010

הַמֶּלֶךְ׃
王の
H4428

アブラムがケダラオメルとその連合の王たちを撃ち破って帰った時、ソドムの王はシャベの谷、すなわち王の谷に出て彼を迎えた。

18 וּמַלְכִּי־צֶדֶק מֶלֶךְ שָׁלֵם הוֹצִיא לֶחֶם וְיַיִן וְהוּא
そして-メルキツェデク 王の シャレムの 持ち-出した パンと ぶどう酒を そして-彼は
H4442 H4428 H8004 H3318 H3899 H3196 H1931

כֹהֵן לְאֵל עֶלְיוֹן׃
祈司であった 神の いと高き
H3548 H0410 H5945

その時、サレムの王メルキゼデクはパンとぶどう酒とを持ってきた。彼はいと高き神の祭司である。

19 וַיְבָרְכֵהוּ וַיֹּאמַר בָּרוּךְ אַבְרָם לְאֵל עֶלְיוֹן קֹנֵה שָׁמַיִם
そして-祝福した-彼を そして-言った 祝福されよ アブラムよ 神により いと高き 造り主 天と
H1288 H0559 H1288 H0087 H0410 H5945 H7069 H8064

וָאָרֶץ׃
地の
H0776

彼はアブラムを祝福して言った、「願わくは天地の主なるいと高き神が、アブラムを祝福されるように。

20 וּבָרוּךְ אֵל עֶלְיוֹן אֲשֶׁר־מִגֵּן צָרֶיךָ בְיָדֶךָ וַיִּתֶּן־
そして-祝福されよ 神 いと高き ～の 渡した あなたの-敵を あなたの-手に そして-与えた
H1288 H0410 H5945 H0834 H4042 H6862 H3027 H5414

לוֹ מַעֲשֵׂר מִכֹּל׃
彼に 十分の一を すべての-ものから
H4643 H3605

願わくはあなたの敵をあなたの手に渡されたいと高き神があがめられるように」。アブラムは彼にすべての物の十分の一を贈った。

21 וַיֹּאמֶר מֶלֶךְ־סְדֹם אֶל־אַבְרָם תֶּן־לִי הַנֶּפֶשׁ וְהָרְכֻשׁ קַח־
そして-言った 王は ソドムの ～に アブラム 与えよ わたしに 人々を そして-財産は 取れ
H0559 H4428 H5467 H0413 H0087 H5414 H3947 H5315 H7399 H3947

לָךְ׃
あなたの-ために

時にソドムの王はアブラムに言った、「わたしには人をください。財産はあなたが取りなさい」。

22 וַיֹּאמֶר אַבְרָם אֶל־מֶלֶךְ סְדֹם הֲרִימֹתִי יָדִי אֶל־יְהוָה
そして-言った アブラムは ～に 王の ソドムの わたしは-上げた わたしの-手を ～に 主
H0559 H0087 H0413 H4428 H5467 H0413 H3027 H0413 H3068

אֵל עֶלְיוֹן קֹנֵה שָׁמַיִם וָאָרֶץ׃
神 いと高き 造り主 天と 地の
H0410 H7069 H8064 H0776

アブラムはソドムの王に言った、「天地の主なるいと高き神、主に手をあげて、わたしは誓います。

23 אִם־מִחוּט וְעַד־שְׂרוֹךְ נַעַל וְאִם־אֶקַּח מִכָּל־
もし 糸から そして-～まで 紐の サンダルの そして-もし 取るなら すべての-ものから
H0518 H2339 H5704 H8288 H5275 H0518 H3947 H3605

אֲשֶׁר־לָךְ וְלֹא תֹאמַר אֲנִי הֶעֱשַׁרְתִּי אֶת־אַבְרָם׃
～のもの あなたの 言うな わたしが 富ませたと ～を アブラムを
H0834 H0859 H0559 H0589 H6238 H0853 H0087

わたしは糸一本でも、くつひも一本でも、あなたのものは何にも受けません。アブラムを富ませたのはわたしだと、あなたが言わないように。

24 בִּלְעָדַי רַק אֲשֶׁר אָכְלוּ הַנְּעָרִים וְחֵלֶק הָאֲנָשִׁים אֲשֶׁר־
わたしは-別として ただ ～を 食べた 若者たちが そして-分け前 人々の ～の 行った
H1107 H7535 H0834 H0398 H5288 H0853 H0376 H0834 H1980

הָלְכוּ אִתִּי עָנֵר אֶשְׁכֹּל וּמַמְרֵא הֵם יִקְחוּ חֶלְקָם׃ ס
わたしと-共に アネル エシュコル そして-マムレ 彼らが 取るべきだ 彼らの-分け前を —
H0854 H6063 H0812 H4471 H1992 H3947 H2505

ただし若者たちがすでに食べた物は別です。そしてわたしと共に行った人々アネルとエシコルとマムレとにはその分を取らせなさい」。

Chapter 15

1 אַחַר הַדְּבָרִים הָאֵלֶּה הָיָה דְבַר־יְהוָה אֶל־אַבְרָם בַּמַּחֲזֶה לֵאמֹר
～の-後に ことの これらの あった 言葉が 主の ～に アブラム 幻の-中で 言って
H0310 H1697 H0428 H1961 H1697 H3068 H0413 H0087 H4236 H0559

אַל־תִּירָא אַבְרָם אָנֹכִי מָגֵן לָךְ שְׂכָרְךָ הַרְבֵּה מְאֹד׃
恐れるな アブラムよ わたしが 盾である あなたの あなたの-報いは 非常に 大きい
H3372 H0087 H0595 H4043 H0859 H7939 H0413 H3966

これらの事の後、主の言葉が幻のうちにアブラムに臨んだ、「アブラムよ恐れてはならない、わたしはあなたの盾である。あなたの受ける報いは、はなはだ大きいであろう」。

2 וַיֹּאמֶר אַבְרָם אֲדֹנָי יֱהוִה מַה־תִּתֶּן לִי וְאָנֹכִי הוֹלֵךְ
そして-言った アブラムは 主よ 神よ 何を 与えるのか わたしに そして-わたしは 歩んでいる
H0559 H0087 H0136 H3069 H4100 H5414 H0595 H1980

עֲרִירִי וּבֶן־מֶשֶׁק בֵּיתִי הוּא דַּמֶּשֶׂק אֱלִיעֶזֶר׃
子なしのまま そして-息子の 管理者の わたしの-家の それは ダマスコの エリエゼル
H6185 H1931 H4943 H1834 H0461

アブラムは言った、「主なる神よ、わたしには子がなく、わたしの家を継ぐ者はダマスコのエリエゼルであるのに、あなたはわたしに何をくださろうとするのですか」。

3

בֶּן־	וְהִנֵּה	זֶרַע	נָתַתָּה	לֹא	לִי	הֵן	אַבְרָם	וַיֹּאמֶר
息子が	そして–見よ	子孫を	与えなかった	～ない	わたしに	見よ	アブラムは	そして–言った
	H2009	H2233	H5414	H3808		H2005	H0087	H0559

אֹתִי׃	יוֹרֵשׁ	בֵּיתִי
わたしを	相続する	わたしの–家の
H0853	H3423	

アブラムはまた言った、「あなたはわたしに子を賜わらないので、わたしの家に生れたしもべが、あとつぎとなるでしょう」。

4

כִּי־	זֶה	יִירָשְׁךָ	לֹא	לֵאמֹר	אֵלָיו	יְהוָה	דְּבַר־	וְהִנֵּה
そうではなく	この–者は	相続しない	～ない	言って	彼に	主の	言葉が	そして–見よ
	H2088	H3423	H3808	H0559	H0413	H3068	H1697	H2009

יִירָשֶׁךָ׃	הוּא	מִמֵּעֶיךָ	יֵצֵא	אֲשֶׁר	אִם
相続する	その–者が	あなたの–体から	出る	～のもの	そうではなく
H3423	H1931	H4578	H3318		

この時、主の言葉が彼に臨んだ、「この者はあなたのあとつぎとなるべきではありません。あなたの身から出る者があとつぎとなるべきです」。

5

וְסִפֹּר	הַשָּׁמַיְמָה	נָא	הַבֶּט־	וַיֹּאמֶר	הַחוּצָה	אֹתוֹ	וַיּוֹצֵא	
そして–数えよ	天を	どうか	見上げよ	そして–言った	外へ	彼を	そして–連れ–出した	
	H8064	H4994	H5027	H0559	H2351	H0853	H3318	

יִהְיֶה	כֹּה	לוֹ	וַיֹּאמֶר	אֹתָם	לִסְפֹּר	תּוּכַל	אִם־	הַכּוֹכָבִים
なる	このように	彼に	そして–言った	それらを	数える–こと	できるなら	もし	星を
H1961	H3541		H0559	H0853		H3201		H3556

זַרְעֶךָ׃
あなたの–子孫は
H2233

そして主は彼を外に連れ出して言われた、「天を仰いで、星を数えることができるなら、数えてみなさい」。また彼に言われた、「あなたの子孫はあのようになるでしょう」。

6

וְהֶאֱמַן	בַּיהוָה	וַיַּחְשְׁבֶהָ	לוֹ	צְדָקָה׃
そして–信じた	主を	そして–数えた	彼に	義と
H0539	H3068	H2803		H6666

アブラムは主を信じた。主はこれを彼の義と認められた。

7

כַּשְׂדִּים	מֵאוּר	הוֹצֵאתִיךָ	אֲשֶׁר	יְהוָה	אֲנִי	אֵלָיו	וַיֹּאמֶר	
カルデヤの	ウルから	導き–出した	～のもの	主	わたしは	彼に	そして–言った	
H3778		H3318		H3068	H0589	H0413	H0559	

לָרֶשֶׁת׃	הַזֹּאת	הָאָרֶץ	אֶת־	לְךָ	לָתֶת
受け継ぐ–ために	この	この–地	～を	あなたに	与える–ために
H3423	H2063	H0776	H0853		H5414

また主は彼に言われた、「わたしはこの地をあなたに与えて、これを継がせようと、あなたをカルデヤのウルから導き出した主です」。

8

אִירָשֶׁנָּה׃	כִּי	אֵדַע	בַּמָּה	יֱהוִה	אֲדֹנָי	וַיֹּאמֶר	
わたしが–受け継ぐと	～ことを	知るのか	何に–よって	神よ	主よ	そして–言った	
H3423		H3045	H4100	H3069	H0136	H0559	

彼は言った、「主なる神よ、わたしがこれを継ぐのをどうして知ることができますか」。

9 וַיֹּ֣אמֶר אֵלָ֗יו קְחָה־לִ֤י עֶגְלָה֙ מְשֻׁלֶּ֔שֶׁת וְעֵז֙ מְשֻׁלֶּ֔שֶׁת וְאַ֖יִל מְשֻׁלָּ֑שׁ וְתֹ֖ר וְגוֹזָֽל׃

そして-言った 彼に 取れ わたしに 雌牛を 三歳の そして-雌山羊を 三歳の そして-雄羊を 三歳の そして-山鳩を そして-若鳩を
H0559 H0413 H3947 H0853 H6072 H8027 H5795 H8027 H0853 H8449 H0853 H1469

主は彼に言われた、「三歳の雌牛と、三歳の雌やぎと、三歳の雄羊と、山ばとと、家ばとのひなとをわたしの所に連れてきなさい」。

10 וַיִּקַּ֤ח לוֹ֙ אֶת־כָּל־אֵ֣לֶּה וַיְבַתֵּ֣ר אֹתָ֗ם בַּתָּוֶךְ֙ וַיִּתֵּ֣ן אִישׁ־בִּתְרוֹ֔ לִקְרַ֖את רֵעֵ֑הוּ וְאֶת־הַצִּפֹּ֖ר לֹ֥א בָתָֽר׃

そして-取った 彼の-ために ～を これらを すべての 真ん中から そして-切った それらを 半分を 向かい-合わせに その-対の しかし～を 鳥は ～ない 置いた それぞれの そして-切らなかった
H3947 H0853 H0428 H3605 H8432 H1334 H0853 H3808 H6833 H0853 H7453 H7125 H1335 H0376 H5414 H1334

彼はこれらをみな連れてきて、二つに裂き、裂いたものを互に向かい合わせて置いた。ただし、鳥は裂かなかった。

11 וַיֵּ֣רֶד הָעַ֔יִט עַל־הַפְּגָרִ֑ים וַיָּ֥שֶׁב אֹתָ֖ם אַבְרָֽם׃

そして-降りた 猛禽が ～の-上に 死体に そして-追い払った それらを アブラムは
H3381 H5861 H5921 H6297 H5380 H0853 H0087

荒い鳥が死体の上に降りるとき、アブラムはこれを追い払った。

12 וַיְהִ֣י הַשֶּׁ֣מֶשׁ לָבוֹא֮ וְתַרְדֵּמָה֒ נָפְלָ֣ה עַל־אַבְרָ֗ם וְהִנֵּ֤ה אֵימָ֙ה חֲשֵׁכָ֣ה גְדֹלָ֔ה נֹפֶ֖לֶת עָלָֽיו׃

そして-あった 太陽が 沈みかける-とき そして-深い-眠りが 落ちた ～の-上に アブラム 見よ 恐れが 暗い 大きな 落ちた 彼の-上に
H1961 H8121 H0935 H8639 H5307 H5921 H0087 H2009 H0367 H2825 H1419 H5307 H5921

日の入るころ、アブラムが深い眠りにおそわれた時、大きな恐ろしい暗やみが彼に臨んだ。

13 וַיֹּ֣אמֶר לְאַבְרָ֗ם יָדֹ֤עַ תֵּדַע֙ כִּֽי־גֵ֣ר יִהְיֶ֤ה זַרְעֲךָ֙ בְּאֶ֣רֶץ לֹ֣א לָהֶ֔ם וְעִנּ֥וּ אֹתָ֖ם אַרְבַּ֣ע מֵא֑וֹת שָׁנָֽה׃

そして-言った アブラムに 確かに 知れ ～ことを 寄留者として なる あなたの-子孫は 地で ～ない 彼らのではない そして-苦しめられる 彼らを 四百 百の 年
H0559 H0087 H3045 H3045 H3588 H1616 H1961 H2233 H0776 H3808 H5647 H0853 H0702 H3967 H8141

時に主はアブラムに言われた、「あなたはよく心にとめておきなさい。あなたの子孫は他の国に旅びとなって、その人々に仕え、その人々は彼らを四百年の間、悩ますでしょう。

14 וְגַם֙ אֶת־הַגּ֣וֹי אֲשֶׁר֙ יַעֲבֹ֣דוּ דָ֔ן אָנֹכִ֖י וְאַחֲרֵי־כֵ֑ן יֵצְא֥וּ בִרְכֻ֖שׁ גָּד֥וֹל׃

そして-また ～を その-国を ～の 彼らが-仕える 裁く わたしが そして-～の-後に それ 出る 財産と-共に 大きな
H1571 H0853 H1471 H5647 H1777 H0595 H0310 H3318 H7399 H1419

しかし、わたしは彼らが仕えたその国民をさばきます。その後かれらは多くの財産を携えて出て来るでしょう。

15 וְאַתָּה תָּבוֹא אֶל־אֲבֹתֶיךָ בְּשָׁלוֹם תִּקָּבֵר בְּשֵׂיבָה טוֹבָה׃
そして–あなたは 行く ～のもとへ あなたの–先祖の 平安に 葉られる 良い–老いで 良い
H0935 H0413 H0001 H7965 H6912 H7872

あなたは安らかに先祖のもとに行きます。そして高齢に達して葬られるでしょう。

16 וְדוֹר רְבִיעִי יָשֻׁבוּ הֵנָּה כִּי לֹא־שָׁלֵם עֲוֹן הָאֱמֹרִי עַד־הֵנָּה׃
そして–世代 四番目の 帰る ここに なぜなら ～ない 満たない 咲が アモリ人の ～まで ここまでは
H1755 H7243 H7725 H2008 H3808 H8003 H5771 H0567 H5704 H2008

四代目になって彼らはここに帰って来るでしょう。アモリびとの悪がまだ満ちないからです」。

17 וַיְהִי הַשֶּׁמֶשׁ בָּאָה וַעֲלָטָה הָיָה וְהִנֵּה תַנּוּר עָשָׁן וְלַפִּיד אֵשׁ אֲשֶׁר עָבַר בֵּין הַגְּזָרִים הָאֵלֶּה׃
そして–あった 太陽が 沈み そして–暗く–なった それは そして–見よ 炉が 煙の これらの 裂いた–ものの ～の–間を 通った ～のもの 火の そして–たいまつが
H1961 H8121 H0935 H5939 H1961 H2009 H8574 H6227 H0428 H1506 H0996 H0784 H3940

やがて日は入り、暗やみになった時、煙の立つかまど、炎の出るたいまつが、裂いたものの間を通り過ぎた。

18 בַּיּוֹם הַהוּא כָּרַת יְהוָה אֶת־אַבְרָם בְּרִית לֵאמֹר לְזַרְעֲךָ נָתַתִּי אֶת־הָאָרֶץ הַזֹּאת מִנְּהַר מִצְרַיִם עַד־הַנָּהָר הַגָּדֹל נְהַר־פְּרָת׃
その–日に その 主は ～と アブラム 契約を 言って あなたの–子孫に わたしは–与えた この この–地 ～を 大きな 川 エジプトの ～まで 川 川から
H3117 H1931 H3772 H3068 H0854 H0087 H1285 H0559 H2233 H5414 H0853 H0776 H2063 H1419 H4714 H5704 H5104 H5104 H5104

その日、主はアブラムと契約を結んで言われた、「わたしはこの地をあなたの子孫に与える。エジプトの川から、かの大川ユフラテまで。

19 וְאֶת־הַקֵּינִי וְאֶת־הַקְּנִזִּי וְאֶת־הַקַּדְמֹנִי׃
ケニ人 そして～を ケナズ人 そして～を カドモニ人
H7017 H0853 H7074 H0853 H6935

すなわちケニびと、ケニジびと、カドモニびと、

20 וְאֶת־הַחִתִּי וְאֶת־הַפְּרִזִּי וְאֶת־הָרְפָאִים׃
そして～を ヒッタイト人 そして～を ペリジ人 そして～を レファイム人
H0853 H2850 H0853 H6522 H0853

ヘテびと、ペリジびと、レパイムびと、

21 וְאֶת־הָאֱמֹרִי וְאֶת־הַכְּנַעֲנִי וְאֶת־הַגִּרְגָּשִׁי וְאֶת־הַיְבוּסִי׃ ס
そして～を アモリ人 そして～を カナン人 そして～を ギルガシ人 そして～を エブス人
H0853 H0567 H0853 H0853 H1622 H0853 H2983

アモリびと、カナンびと、ギルガシびと、エブスびとの地を与える」。

Chapter 16

שִׁפְחָה וְלָהּ לוֹ יָלְדָה לֹא אַבְרָם אֵשֶׁת וְשָׂרַי 1
女奴隷が–いた そして–彼女に 彼に 産まなかった ～ない アブラムの 妻の そして–サライは
H8198 H3205 H3808 H0087 H0802 H8297

׃הָגָר וּשְׁמָהּ מִצְרִית
ハガル そして–彼女の–名は エジプト人の
H1904 H8034 H4713

アブラムの妻サライは子を産まなかった。彼女にひとりのつかえめがあった。エジプトの女で名をハガルといった。

מִלֶּדֶת יְהוָה עֲצָרַנִי נָא הִנֵּה־ אַבְרָם אֶל־ שָׂרַי וַתֹּאמֶר 2
産む–ことから 主が 閉ざした–わたしを どうか 見よ アブラム ～に サライは そして–言った
H3205 H3068 H6113 H4994 H2009 H0087 H0413 H8297 H0559

וַיִּשְׁמַע מִמֶּנָּה אִבָּנֶה אוּלַי שִׁפְחָתִי אֶל־ נָא בֹּא־
そして–聞いた 彼女から わたしは–子を–得る おそらく わたしの–女奴隷 ～に どうか 入りなさい
H8085 H1129 H0194 H8198 H0413 H4994 H0935

׃שָׂרָי לְקוֹל אַבְרָם
サライの 声に アブラムは
H8297 H0087

サライはアブラムに言った、「主はわたしに子をお授けになりません。どうぞ、わたしのつかえめの所におはいりください。彼女によってわたしは子をもつことになるでしょう」。アブラムはサライの言葉を聞きいれた。

שִׁפְחָתָהּ הַמִּצְרִית הָגָר אֶת־ אַבְרָם אֵשֶׁת־ שָׂרַי וַתִּקַּח 3
彼女の–女奴隷 エジプト人の ハガルを ～を アブラムの 妻の サライは そして–取った
H8198 H4713 H1904 H0853 H0087 H0802 H8297 H3947

אֹתָהּ וַתִּתֵּן כְּנַעַן בְּאֶרֶץ אַבְרָם לְשֶׁבֶת עֶשֶׂר שְׁנִים מִקֵּץ
彼女を そして–与えた カナンの 地に アブラムが 住んで–から 年の 十 ～の–終わりに
H0853 H5414 H0776 H0087 H3427 H8141 H6235 H7093

׃לְאִשָּׁה לוֹ אִישָׁהּ לְאַבְרָם
妻として 彼に 彼女の–夫 アブラムに
H0802 H0376 H0087

アブラムの妻サライはそのつかえめエジプトの女ハガルをとって、夫アブラムに妻として与えた。これはアブラムがカナンの地に十年住んだ後であった。

וַתֵּקַל הָרָתָה כִּי וַתֵּרֶא וַתַּהַר הָגָר אֶל־ וַיָּבֹא 4
そして–軽んじた 孕んだと ～ことを そして–見た そして–孕んだ ハガル ～に そして–入った
H7043 H2029 H7200 H2029 H1904 H0413 H0935

׃בְּעֵינֶיהָ גְּבִרְתָּהּ
彼女の–目に 彼女の–女主人を
H1404

彼はハガルの所にはいり、ハガルは子をはらんだ。彼女は自分のはらんだのを見て、女主人を見下げるようになった。

5

נָתַתִּי	אָנֹכִי	עָלֶיךָ	חֲמָסִי	אַבְרָם	אֶל־	שָׂרַי	וַתֹּאמֶר
与えた	わたしが	あなたの–上に	わたしの–不正は	アブラム	～に	サライは	そして–言った
H5414	H0595		H2555	H0087	H0413	H8297	H0559

וָאֵקַל	הָרָתָה	כִּי	וַתֵּרֶא	בְּחֵיקֵךְ	שִׁפְחָתִי	
そして–わたしは–軽んじられた	孕んだと	～ことを	そして–見た	あなたの–懐に	わたしの–女奴隷を	
H7043	H2029		H7200	H2436	H8198	

וּבֵינֵיךְ׃	בֵּינִי	יְהוָה	יִשְׁפֹּט	בְּעֵינֶיהָ	
あなたの–間を	わたしと	主が	裁け	彼女の–目に	
H0996	H0996	H3068	H8199		

そこでサライはアブラムに言った、「わたしが受けた害はあなたの責任です。わたしのつかえめをあなたのふところに与えたのに、彼女は自分のはらんだのを見て、わたしを見下さげます。どうか、主があなたとわたしの間をおさばきになるように」。

6

עֲשִׂי־	בְיָדֵךְ	שִׁפְחָתֵךְ	הִנֵּה	שָׂרַי	אֶל־	אַבְרָם	וַיֹּאמֶר
しなさい	あなたの–手に–ある	あなたの–女奴隷は	見よ	サライ	～に	アブラムは	そして–言った
	H3027	H8198	H2009	H8297	H0413	H0087	H0559

מִפָּנֶיהָ׃	וַתִּבְרַח	שָׂרַי	וַתְּעַנֶּהָ	בְּעֵינֶיךָ	הַטּוֹב	לָהּ
彼女の–前から	そして–逃げた	サライが–彼女を	そして–苦しめた	あなたの–目に	良い–ことを	彼女に
H6440	H1272	H8297				

アブラムはサライに言った、「あなたのつかえめはあなたの手のうちにある。あなたの好きなように彼女にしなさい」。そしてサライが彼女を苦しめたので、彼女はサライの顔を避けて逃げた。

7

עַל־	בַּמִּדְבָּר	הַמַּיִם	עֵין	עַל־	יְהוָה	מַלְאַךְ	וַיִּמְצָאָהּ
～の–そばの	荒野で	水の	泉	～の–そばに	主の	御使いが	そして–見つけた–彼女を
		H4325			H3068	H4397	H4672

שׁוּר׃	בְּדֶרֶךְ	הָעָיִן
シュルへの	道の	泉
H7793	H1870	

主の使は荒野にある泉のほとり、すなわちシュルの道にある泉のほとりで、彼女に会い、

8

וְאָנָה	בָּאת	מִזֶּה	אֵי־	שָׂרַי	שִׁפְחַת	הָגָר	וַיֹּאמַר
そして–どこへ	来たのか	ここへ	どこ–から	サライの	女奴隷の	ハガルよ	そして–言った
H0575	H0935	H2088	H0335	H8297	H8198	H1904	H0559

בֹּרַחַת׃	אָנֹכִי	גְּבִרְתִּי	שָׂרַי	מִפְּנֵי	וַתֹּאמֶר	תֵּלֵכִי
逃げて–いる	わたしは	わたしの–女主人の	サライ	～の–前から	そして–言った	行くのか
H1272	H0595	H1404	H8297	H6440	H0559	H3212

そして言った、「サライのつかえめハガルよ、あなたはどこからきたのですか、またどこへ行くのですか」。彼女は言った、「わたしは女主人サライの顔を避けて逃げているのです」。

9

גְּבִרְתֵּךְ	אֶל־	שׁוּבִי	יְהוָה	מַלְאַךְ	לָהּ	וַיֹּאמֶר	
あなたの–女主人	～のもとへ	帰りなさい	主の	御使いは	彼女に	そして–言った	
H1404	H0413	H7725	H3068	H4397		H0559	

יָדֶיהָ׃	תַּחַת	וְהִתְעַנִּי
彼女の–手の	～の–下に	そして–従いなさい
H3027	H8478	

主の使は彼女に言った、「あなたは女主人のもとに帰って、その手に身を任せなさい」。

10

וְלֹא	זַרְעֵךְ	אֶת־	אַרְבֶּה	הַרְבָּה	יְהוָה	מַלְאַךְ	לָהָ֔	וַיֹּאמֶר
そして–〜ない	あなたの–子孫を	〜を	増やす	大いに	主の	御使いは	彼女に	そして–言った
H3808	H2233	H0853			H3068	H4397		H0559

מֵרֹֽב׃	יִסָּפֵֽר
多さの–ゆえに	数えられない
H7230	

主の使はまた彼女に言った、「わたしは大いにあなたの子孫を増して、数えきれないほどに多くしましょう」。

11

בֵּן	וְיֹלַדְתְּ	הָרָה	הִנָּךְ	יְהוָה	מַלְאַךְ	לָהָ֔	וַיֹּאמֶר	
息子を	そして–産む	孕んで–いる	見よ–あなたは	主の	御使いは	彼女に	そして–言った	
	H3205		H2009	H3068	H4397		H0559	

עָנְיֵֽךְ׃	אֶל־	יְהוָה	שָׁמַע	כִּי־	יִשְׁמָעֵאל	שְׁמוֹ	וְקָרָ֖את
あなたの–苦しみに	〜に	主が	聞いた	なぜなら	イシュマエルと	彼の–名を	そして–呼ぶがよい
H6040	H0413	H3068	H8085		H3458	H8034	H7121

主の使はまた彼女に言った、「あなたは、みごもっています。あなたは男の子を産むでしょう。名をイシマエルと名づけなさい。主があなたの苦しみを聞かれたのです。

12

וְיָד	בַּכֹּל	יָדוֹ	אָדָם	פֶּרֶא	יִהְיֶה	וְהוּא		
そして–手は	すべてに–向かい	彼の–手は	人に	野生の–ろばのような	なる	そして–彼は		
H3027	H3605	H3027	H0120	H6501	H1961	H1931		

יִשְׁכֹּֽן׃	אֶחָיו	כָּל־	פְּנֵי	וְעַל־	בּוֹ	כֹּל
住む	彼の–兄弟の	すべての	顔の	そして–〜の–前に	彼に–向かう	すべての–者の
H7931	H0251	H3605	H6440			H3605

彼は野ろばのような人となり、その手はすべての人に逆らい、すべての人の手は彼に逆らい、彼はすべての兄弟に敵して住むでしょう」。

13

אָמְרָה	כִּי	רֳאִי	אֵל	אַתָּה	אֵלֶיהָ	הַדֹּבֵר	יְהוָה	שֵׁם־	וַתִּקְרָא
言った	なぜなら	見る–方の	神	あなたは	彼女に	語る	主の	名を	そして–呼んだ
H0559		H7210	H0410		H0413	H1696	H3068	H8034	H7121

רֹאִֽי׃	אַחֲרֵי	רָאִיתִי	הֲלֹם	הֲגַם
見る–方を	〜の–後に	わたしは–見た	ここで	本当に
H7200		H7200	H1988	H1571

そこで、ハガルは自分に語られた主の名を呼んで、「あなたはエル・ロイです」と言った。彼女が「ここでも、わたしを見ていられるかたのうしろを拝めたのか」と言ったことによる。

14

קָדֶשׁ	בֵּין־	הִנֵּה	רֹאִי בְאֵר	לַבְּאֵר	קָרָא	כֵּן	עַל־
カデシュ	〜の–間に	見よ	ベエル・ラハイ・ロイ	その–井戸を	呼んだ	それ	〜の–ゆえに
H6946	H0996	H2009	H0883	H0875	H7121		

וּבֵין	בָּֽרֶד׃
そして–〜の–間に	バレド
H0996	H1260

それでその井戸は「ベエル・ラハイ・ロイ」と呼ばれた。これはカデシとベレデの間にある。

15

בְּנוֹ	שֵׁם־	אַבְרָם	וַיִּקְרָא	בֵּן	לְאַבְרָם	הָגָר	וַתֵּלֶד	
彼の–息子の	名を	アブラムは	そして–呼んだ	息子を	アブラムに	ハガルは	そして–産んだ	
	H8034	H0087	H7121		H0087	H1904	H3205	

יִשְׁמָעֵאל׃	הָגָר	יָלְדָה	אֲשֶׁר־
イシュマエルと	ハガルが	産んだ	〜を
H3458	H1904	H3205	

ハガルはアブラムに男の子を産んだ。アブラムはハガルが産んだ子の名をイシマエルと名づけた。

אֶת־	הָגָר	בִּלְּדֶת־	שָׁנִים	וְשֵׁשׁ	שָׁנָה	שְׁמֹנִים	בֶּן־	וְאַבְרָם	16
～を	ハガルが	産んだ–とき	年	そして–六	歳	八十	～の–息子	そして–アブラムは	
H0853	H1904	H3205	H8141	H8337	H8141	H8084		H0087	

ס	לְאַבְרָם׃	יִשְׁמָעֵאל	
—	アブラムに	イシュマエルを	
	H0087	H3458	

ハガルがイシマエルをアブラムに産んだ時、アブラムは八十六歳であった。

Chapter 17

יְהוָה	וַיֵּרָא	שָׁנִים	וְתֵשַׁע	שָׁנָה	תִּשְׁעִים	בֶּן־	אַבְרָם	וַיְהִי	1
主は	そして–現れた	年	そして–九	歳	九十	～の–息子	アブラムは	そして–あった	
H3068	H7200	H8141	H8672	H8141	H8673		H0087	H1961	

לְפָנַי	הִתְהַלֵּךְ	שַׁדַּי	אֵל	אֲנִי־	אֵלָיו	וַיֹּאמֶר	אַבְרָם	אֶל־
わたしの–前に	歩め	全能の	神	わたしは	彼に	そして–言った	アブラム	～に
H6440	H1980	H7706	H0410	H0589	H0413	H0559	H0087	H0413

תָּמִים׃	וֶהְיֵה
完全な–者と	そして–なれ
H8549	H1961

アブラムの九十九歳の時、主はアブラムに現れて言われた、「わたしは全能の神である。あなたはわたしの前に歩み、全き者であれ。

מְאֹד׃	בְּמְאֹד	אוֹתְךָ	וְאַרְבֶּה	וּבֵינֶךָ	בֵּינִי	בְּרִיתִי	וְאֶתְּנָה	2
非常に	非常に	あなたを	そして–増やす	あなたの–間に	わたしと	わたしの–契約を	そして–置く	
H3966	H3966	H0853		H0996	H0996	H1285	H5414	

わたしはあなたと契約を結び、大いにあなたの子孫を増すであろう」。

לֵאמֹר׃	אֱלֹהִים	אִתּוֹ	וַיְדַבֵּר	פָּנָיו	עַל־	אַבְרָם	וַיִּפֹּל	3
言って	神は	彼と	そして–語った	彼の–顔	～の–上に	アブラムは	そして–伏した	
H0559	H0430	H0854	H1696	H6440		H0087	H5307	

アブラムは、ひれ伏した。神はまた彼に言われた、

גּוֹיִם׃	הֲמוֹן	לְאַב	וְהָיִיתָ	אִתָּךְ	בְּרִיתִי	הִנֵּה	אֲנִי	4
国々の	多くの	父と	そして–なる	あなたと–共に–ある	わたしの–契約は	見よ	わたしは	
		H0001	H1961	H0854	H1285	H2009	H0589	

「わたしはあなたと契約を結ぶ。あなたは多くの国民の父となるであろう。

שִׁמְךָ	וְהָיָה	אַבְרָם	שִׁמְךָ	אֶת־	עוֹד	יִקָּרֵא	וְלֹא־		5
あなたの–名は	そして–なる	アブラムと	あなたの–名は	～を	もはや	呼ばれない	そして–～ない		
H8034	H1961	H0087	H8034	H0853	H5750	H7121	H3808		

נְתַתִּיךָ׃	גּוֹיִם	הֲמוֹן	אַב־	כִּי	אַבְרָהָם	
わたしは–あなたを–した	国々の	多くの	父と	なぜなら	アブラハムと	
H5414			H0001		H0085	

あなたの名は、もはやアブラムとは言われず、あなたの名はアブラハムと呼ばれるであろう。わたしはあなたを多くの国民の父とするからである。

6

וּמְלָכִים　לְגוֹיִם　וּנְתַתִּיךָ　מְאֹד　בִּמְאֹד　אֹתְךָ　וְהִפְרֵתִי
そして–王たちが　国々と　そして–する　非常に　非常に　あなたを　そして–実り–豊かにする
H4428　H5414　H3966　H3966　H0853　H6509

יֵצְאוּ׃　מִמְּךָ
出る　あなたから
H3318

わたしはあなたに多くの子孫を得させ、国々の民をあなたから起そう。また、王たちもあなたから出るであろう。

7

זַרְעֲךָ　וּבֵין　וּבֵינְךָ　בֵּינִי　בְּרִיתִי　אֶת־　וַהֲקִמֹתִי
あなたの–子孫　そして–〜の–間に　あなたの–間に　わたしと　わたしの–契約を　〜を　そして–立てる
H2233　H0996　H0996　H0996　H1285　H0853

לֵאלֹהִים　לְךָ　לִהְיוֹת　עוֹלָם　לִבְרִית　לְדֹרֹתָם　אַחֲרֶיךָ
神と　あなたに　なる–ために　永遠の　契約として　彼らの–世代に–わたって　あなたの–後の
H0430　H1961　H5769　H1285　H1755

וּלְזַרְעֲךָ　אַחֲרֶיךָ׃
そして–あなたの–子孫に　あなたの–後の
H2233

わたしはあなた及び後の代々の子孫と契約を立てて、永遠の契約とし、あなたと後の子孫との神となるであろう。

8

מְגֻרֶיךָ　אֶרֶץ　אֵת　אַחֲרֶיךָ　וּלְזַרְעֲךָ　לְךָ　וְנָתַתִּי
あなたの–寄留の　地を　〜を　あなたの–後の　そして–あなたの–子孫に　あなたに　そして–与える
H4033　H0776　H0853　H2233　H5414

לֵאלֹהִים׃　לָהֶם　וְהָיִיתִי　עוֹלָם　לַאֲחֻזַּת　כְּנַעַן　אֶרֶץ　כָּל־　אֵת
神と　彼らに　そして–なる　永遠の　所有として　カナンの　地を　すべての　〜を
H0430　H1961　H5769　H0272　H3605　H0853

わたしはあなたと後の子孫とにあなたの宿っているこの地、すなわちカナンの全地を永久の所有として与える。そしてわたしは彼らの神となるであろう」。

9

תִּשְׁמֹר　בְּרִיתִי　אֶת־　וְאַתָּה　אַבְרָהָם　אֶל־　אֱלֹהִים　וַיֹּאמֶר
守れ　わたしの–契約を　〜を　そして–あなたは　アブラハム　〜に　神は　そして–言った
H8104　H1285　H0853　H0085　H0413　H0430　H0559

לְדֹרֹתָם׃　אַחֲרֶיךָ　וְזַרְעֲךָ　אַתָּה
彼らの–世代に–わたって　あなたの–後の　そして–あなたの–子孫が　あなたと
H1755　H2233

神はまたアブラハムに言われた、「あなたと後の子孫とは共に代々わたしの契約を守らなければならない。あなたがたのうち

10

וּבֵין　וּבֵינֵיכֶם　בֵּינִי　תִּשְׁמְרוּ　אֲשֶׁר　בְּרִיתִי　זֹאת
そして–〜の–間の　あなたがたの–間の　わたしと　守るべき　〜の　わたしの–契約　これが
H0996　H0996　H0996　H8104　H2063

זָכָר׃　כָּל־　לָכֶם　הִמּוֹל　אַחֲרֶיךָ　זַרְעֲךָ
男子が　すべての　あなたがたの　割礼を–受けよ　あなたの–後の　あなたの–子孫
H2145　H3605　H2233

男子はみな割礼をうけなければならない。これはわたしとあなたがた及び後の子孫との間のわたしの契約であって、あなたがたの守るべきものである。

11

וּנְמַלְתֶּם בְּשַׂר אֵת עָרְלַתְכֶם וְהָיָה לְאוֹת בְּרִית
そして-割礼を-受けるがよい 肉の ～を あなたがたの-包皮の そして-なる しるしと 契約の
H0853 H1320 H1961 H6190 H0226 H1285

בֵּינִי וּבֵינֵיכֶם׃
わたしと あなたがたの-間の
H0996 H0996

あなたがたは前の皮に割礼を受けなければならない。それがわたしとあなたがたとの間の契約のしるしとなるであろう。

12

וּבֶן־ שְׁמֹנַת יָמִים יִמּוֹל לָכֶם כָּל־ זָכָר
そして-息子の 八 日目の 割礼を-受ける あなたがたの すべての 男子が
H8083 H3117 H3605 H2145

לְדֹרֹתֵיכֶם יְלִיד בָּיִת וּמִקְנַת־ כָּסֶף מִכֹּל
あなたがたの-世代に-わたって 生まれた-者 家の そして-買い取った-者の 銀の すべての
H1755 H3211 H4736 H3701 H3605

בֶּן־ נֵכָר אֲשֶׁר לֹא מִזַּרְעֲךָ הוּא׃
～の-息子 外国人の ～の ～ない あなたの-子孫ではない 彼は
H5236 H3808 H2233 H1931

あなたがたのうちの男子はみな代々、家に生れた者も、また異邦人から銀で買い取った、あなたの子孫でない者も、生れて八日目に割礼を受けなければならない。

13

וְהִמֹּול יִמּוֹל יְלִיד בֵּיתְךָ וּמִקְנַת כַּסְפֶּךָ
確かに 割礼を-受けるべきだ 生まれた-者は あなたの-家の そして-買い取った-者は あなたの-銀の
H3211 H4736 H3701

בְּבְשַׂרְכֶם לִבְרִית עוֹלָם׃ בְּרִיתִי וְהָיְתָה
あなたがたの-肉に 契約として 永遠の わたしの-契約は そして-なる
H1285 H1320 H5769 H1285 H1961

あなたの家に生れた者も、あなたが銀で買い取った者も必ず割礼を受けなければならない。こうしてわたしの契約はあなたがたの身にあって永遠の契約となるであろう。

14

עֶרְלָתוֹ בְּשַׂר אֶת־ יִמּוֹל לֹא־ אֲשֶׁר זָכָר וְעֶרְלָה
彼の-包皮の 肉の ～を 割礼を-受けない ～ない ～の 男子 そして-割礼を-受けない
H6190 H1320 H0853 H3808 H2145 H6189

ס הַהִוא הַנֶּפֶשׁ וְנִכְרְתָה הֵפַר׃ בְּרִיתִי אֶת־ מֵעַמֶּיהָ
— その その-いのちは そして-断たれる 破った わたしの-契約を ～を 彼の-民から
H1931 H5315 H3772 H1285 H0853

割礼を受けない男子、すなわち前の皮を切らない者はわたしの契約を破るゆえ、その人は民のうちから断たれるであろう」。

15

וַיֹּאמֶר אֱלֹהִים אֶל־ אַבְרָהָם שָׂרַי אִשְׁתְּךָ לֹא־ תִקְרָא אֶת־
そして-言った 神は ～に アブラハム サライを あなたの-妻 ～ない 呼ぶな ～を
H0559 H0430 H0413 H0085 H8297 H0802 H3808 H7121 H0853

שְׁמָהּ׃ כִּי שָׂרָה שָׂרַי וְשֵׁם שְׁמָהּ
彼女の-名である サラが なぜなら サライと 彼女の-名を
H8034 H8283 H8297 H8034

神はまたアブラハムに言われた、「あなたの妻サライは、もはや名をサライといわず、名をサラと言いなさい。

16

וּבֵרַכְתִּיהָ	בֵן	לְךָ	מִמֶּנָּה	נָתַתִּי	וְגַם	אֹתָהּ	וּבֵרַכְתִּי
そして–祝福する–彼女を	息子を	あなたに	彼女から	与える	そして–また	彼女を	そして–祝福する
H1288				H5414	H1571	H0853	H1288

יִהְיוּ׃	מִמֶּנָּה	עַמִּים	מַלְכֵי	לְגוֹיִם	וְהָיְתָה
出る	彼女から	諸民の	王たちが	国々と	そして–なる
H1961			H4428		H1961

わたしは彼女を祝福し、また彼女によって、あなたにひとりの男の子を授けよう。わたしは彼女を祝福し、彼女を国々の民の母としよう。彼女から、もろもろの民の王たちが出るであろう」。

17

בִּלְבּוֹ	וַיֹּאמֶר	וַיִּצְחָק	פָּנָיו	עַל־	אַבְרָהָם	וַיִּפֹּל	
彼の–心の–中で	そして–言った	そして–笑った	彼の–顔	～の–上に	アブラハムは	そして–伏した	
	H0559	H6711	H6440		H0085	H5307	

תֵּלֵד׃	שָׁנָה	תִּשְׁעִים	הַבַת־	שָׂרָה	וְאִם־	יִוָּלֵד	שָׁנָה	מֵאָה־	הַלְבֶן
産むのか	年の	歳の	九十	サラが	そして–もし	生まれるのか	年の	歳の–者に	百
H3205	H8141	H8673	H1323	H8283		H3205	H8141	H3967	

アブラハムはひれ伏して笑い、心の中で言った、「百歳の者にどうして子が生れよう。サラはまた九十歳にもなって、どうして産むことができようか」。

18

לְפָנֶיךָ׃	יִחְיֶה	יִשְׁמָעֵאל	לְוּ	הָאֱלֹהִים	אֶל־	אַבְרָהָם	וַיֹּאמֶר
あなたの–前に	生きるなら	イシュマエルが	せめて	神	～に	アブラハムは	そして–言った
H6440	H2421	H3458	H3863	H0430	H0413	H0085	H0559

そしてアブラハムは神に言った、「どうかイシマエルがあなたの前に生きながらえますように」。

19

בֵּן	לְךָ	יֹלֶדֶת	אִשְׁתְּךָ	שָׂרָה	אֲבָל	אֱלֹהִים	וַיֹּאמֶר
息子を	あなたに	産む	あなたの–妻が	サラが	そうではなく	神は	そして–言った
		H3205	H0802	H8283	H0061	H0430	H0559

אֹתוֹ	בְּרִיתִי	אֶת־	וַהֲקִמֹתִי	יִצְחָק	שְׁמוֹ	אֶת־	וְקָרָאתָ
彼と	わたしの–契約を	～を	そして–立てる	イサクと	彼の–名を	～を	そして–呼ぶがよい
H0854	H1285	H0853		H3327	H8034	H0853	H7121

אַחֲרָיו׃	לְזַרְעוֹ	עוֹלָם	לִבְרִית
彼の–後の	彼の–子孫に	永遠の	契約として
	H2233	H5769	H1285

神は言われた、「いや、あなたの妻サラはあなたに男の子を産むでしょう。名をイサクと名づけなさい。わたしは彼と契約を立てて、後の子孫のために永遠の契約としよう。

20

אֹתוֹ	בֵּרַכְתִּי	וְהִנֵּה	שָׁמַעְתִּיךָ	וְלִישְׁמָעֵאל	
彼を	祝福した	見よ	わたしは–あなたの–言葉を–聞いた	そして–イシュマエルに–ついては	
H0853	H1288	H2009	H8085	H3458	

נְשִׂיאִם	עָשָׂר־	שְׁנֵים	מְאֹד	בִּמְאֹד	אֹתוֹ	וְהִרְבֵּיתִי	אֹתוֹ	וְהִפְרֵיתִי	
族長を	～の	十二–人の	非常に	非常に	彼を	そして–増やす	彼を	そして–実り–豊かにする	
	H6240	H8147	H3966	H3966	H0853		H0853	H6509	

גָּדוֹל׃	לְגוֹי	וּנְתַתִּיו	יוֹלִיד
大きな	国と	そして–する	生む
		H5414	H3205

またイシマエルについてはあなたの願いを聞いた。わたしは彼を祝福して多くの子孫を得させ、大いにそれを増すであろう。彼は十二人の君たちを生むであろう。わたしは彼を大いなる国民としよう。

21

וְאֶת־ (and-ACC) H0853
しかし〜を

בְּרִיתִי (my-covenant) H1285
わたしの-契約は

אָקִים (I-will-establish) H0854
立てる

אֶת־ (ACC) H0854
〜と

יִצְחָק (Isaac) H3327
イサク

אֲשֶׁר (which) H0834
〜の

תֵּלֵד (she-will-bear) H3205
産む

לְךָ (to-you) H0859
あなたに

שָׂרָה (Sarah) H8283
サラが

לַמּוֹעֵד (at-the-appointed-time) H4150
定められた-時に

הַזֶּה (this) H2088
この

בַּשָּׁנָה (in-the-year) H8141
年に

הָאַחֶרֶת׃ (the-next) H0312
次の

しかしわたしは来年の今ごろサラがあなたに産むイサクと、わたしの契約を立てるであろう」。

22

וַיְכַל (and-he-finished) H3615
そして-終えた

לְדַבֵּר (to-speak) H1696
語る-ことを

אִתּוֹ (with-him) H0854
彼と

וַיַּעַל (and-he-went-up) H5927
そして-上った

אֱלֹהִים (God) H0430
神は

מֵעַל (from-upon) H5921
〜の-上から

אַבְרָהָם׃ (Abraham) H0085
アブラハム

神はアブラハムと語り終え、彼を離れて、のぼられた。

23

וַיִּקַּח (and-he-took) H3947
そして-取った

אַבְרָהָם (Abraham) H0085
アブラハムは

אֶת־ (ACC) H0853
〜を

יִשְׁמָעֵאל (Ishmael) H3458
イシュマエルを

בְּנוֹ (his-son) H1121
彼の-息子

וְאֵת (and-ACC) H0853
そして〜を

כָּל־ (all-of) H3605
すべての

מִקְנַת (purchased-property-of) H4736
買い取った-者を

כַּסְפּוֹ (his-silver) H3701
彼の-銀の

כָּל־ (all-of) H3605
すべての

זָכָר (male) H2145
男子を

וְאֵת (and-ACC) H0853
そして〜を

כָּל־ (all-of) H3605
すべての

בֵּיתוֹ (his-household) H1004
彼の-家の

יְלִידֵי (born-of) H3211
生まれた-者を

בְּאַנְשֵׁי (among-men-of) H0376
人々の-中の

בֵּית (household-of) H1004
家の

אַבְרָהָם (Abraham) H0085
アブラハムの

וַיָּמָל (and-he-circumcised) H4135
そして-割礼を-施した

אֶת־ (ACC) H0853
〜を

בְּשַׂר (flesh-of) H1320
肉の

עָרְלָתָם (their-foreskin) H6190
彼らの-包皮の

בְּעֶצֶם (in-the-very-same) H6106
まさに

הַיּוֹם (day-of) H3117
日の

הַזֶּה (this) H2088
この

כַּאֲשֶׁר (as-which) H0834
〜のように

דִּבֶּר (spoke) H1696
語った

אִתּוֹ (with-him) H0854
彼に

אֱלֹהִים׃ (God) H0430
神が

アブラハムは神が自分に言われたように、この日その子イシマエルと、すべて家に生れた者およびすべて銀で買い取った者、すなわちアブラハムの家の人々のうち、すべての男子を連れてきて、前の皮に割礼を施した。

24

וְאַבְרָהָם (and-Abraham) H0085
そして-アブラハムは

בֶּן־ (son-of) H1121
〜の-息子

תִּשְׁעִים (ninety) H8673
九十

וְתֵשַׁע (and-nine) H8672
そして-九

שָׁנָה (years-old) H8141
歳

בְּהִמֹּלוֹ (in-his-circumcision) H4135
割礼を-受けた-とき

בְּשַׂר (flesh-of) H1320
肉の

עָרְלָתוֹ׃ (his-foreskin) H6190
彼の-包皮の

アブラハムが前の皮に割礼を受けた時は九十九歳、

25

וְיִשְׁמָעֵאל (and-Ishmael) H3458
そして-イシュマエルは

בְּנוֹ (his-son) H1121
彼の-息子

בֶּן־ (son-of) H1121
〜の-息子

שְׁלֹשׁ (three) H7969
十三

עֶשְׂרֵה (ten) H6240
〜の

שָׁנָה (years-old) H8141
歳

בְּהִמֹּלוֹ (in-his-circumcision) H4135
割礼を-受けた-とき

אֶת (ACC) H0853
〜を

בְּשַׂר (flesh-of) H1320
肉の

עָרְלָתוֹ׃ (his-foreskin) H6190
彼の-包皮の

その子イシマエルが前の皮に割礼を受けた時は十三歳であった。

26

בְּעֶצֶם (in-the-very-same) H6106
まさに

הַיּוֹם (day-of) H3117
日の

הַזֶּה (this) H2088
この

נִמּוֹל (was-circumcised) H4135
割礼を-受けた

אַבְרָהָם (Abraham) H0085
アブラハムは

וְיִשְׁמָעֵאל (and-Ishmael) H3458
そして-イシュマエル

בְּנוֹ׃ (his-son) H1121
彼の-息子

この日アブラハムとその子イシマエルは割礼を受けた。

27

מֵאֵת כֶּסֶף וּמִקְנַת־ בָּיִת יֻלַּיד בֵּיתוֹ אַנְשֵׁי וְכָל־
～から 銀の そして–買い取った–者の 家の 生まれた–者 彼の–家の 人々は そして–すべての
H0854 H3701 H4736 H3211 H0376 H3605

פ אִתּוֹ׃ נִמֹּלוּ נֵכָר בֶּן־
— 彼と–共に 割礼を–受けた 外国人の ～の–息子
H0854 H5236

またその家の人々は家に生れた者も、銀で異邦人から買い取った者も皆、彼と共に割礼を受けた。

Chapter 18

1

הָאֹהֶל פֶּתַח־ יֹשֵׁב וְהוּא מַמְרֵא בְּאֵלֹנֵי יְהוָה אֵלָיו וַיֵּרָא
天幕の 入り口に 座って–いた そして–彼は マムレの 樫の木に 主は 彼に そして–現れた
H0168 H6607 H3427 H1931 H4471 H0436 H3068 H0413 H7200

הַיּוֹם׃ כְּחֹם
日の 暑い–ときに
H3117 H2527

主はマムレのテレビンの木のかたわらでアブラハムに現れられた。それは昼の暑いころで、彼は天幕の入口にすわっていたが、

2

עָלָיו נִצָּבִים אֲנָשִׁים שְׁלֹשָׁה וְהִנֵּה וַיַּרְא עֵינָיו וַיִּשָּׂא
彼の–そばに 立って–いた 人が 三人の そして–見よ そして–見た 彼の–目を そして–上げた
H5324 H0376 H7969 H2009 H7200 H5375

אָרְצָה׃ וַיִּשְׁתַּחוּ הָאֹהֶל מִפֶּתַח לִקְרָאתָם וַיָּרָץ וַיַּרְא
地に そして–ひれ伏した 天幕の 入り口から 彼らを–迎えに そして–走った そして–見て
H0776 H7812 H0168 H6607 H7125 H7323 H7200

目を上げて見ると、三人の人が彼に向かって立っていた。彼はこれを見て、天幕の入口から走って行って彼らを迎え、地に身をかがめて、

3

נָא אַל־ בְּעֵינֶיךָ חֵן מָצָאתִי נָא אִם־ אֲדֹנָי וַיֹּאמַר
どうか ～ない あなたの–目に 恩寵を 見つけたなら どうか もし 主よ そして–言った
H4994 H0408 H2580 H4672 H4994 H0113 H0559

עַבְדֶּךָ׃ מֵעַל תַּעֲבֹר
あなたの–しもべの ～の–そばを 通り過ぎないでください
H5650

言った、「わが主よ、もしわたしがあなたの前に恵みを得ているなら、どうぞしもべを通り過ごさないでください。

4

רַגְלֵיכֶם וְרַחֲצוּ מַיִם מְעַט־ נָא יֻקַּח־
あなたがたの–足を そして–洗ってください 水を 少しの どうか 持って–きてください
H7272 H7364 H4325 H4592 H4994 H3947

הָעֵץ׃ תַּחַת וְהִשָּׁעֲנוּ
木の ～の–下に そして–休んでください
H6086 H8478 H8172

水をすこし取ってこさせますから、あなたがたは足を洗って、この木の下でお休みください。

אַחַר	לִבְּכֶם	וְסַעֲדוּ	לֶחֶם	פַּת־	וְאֶקְחָה	5
～の-後で	あなたがたの-心を	そして-元気づけてください	パンを	一切れの	そして-持って-きます	
		H5582	H3899		H3947	

עַבְדְּכֶם	עַל־	עֲבַרְתֶּם	כֵּן	עַל־	כִּי־	תַּעֲבֹרוּ
あなたの-しもべの	～の-そばを	通ったのだから	それ	～の-ために	なぜなら	行ってください
H5650						

דִּבַּרְתָּ׃	כַּאֲשֶׁר	תַּעֲשֶׂה	כֵּן	וַיֹּאמְרוּ	
あなたが-言った	～のように	してください	そのとおり	そして-言った	
H1696				H0559	

わたしは一口のパンを取ってきます。元気をつけて、それからお出かけください。せっかくしもべの所においでになったのですから」。彼らは言った、「お言葉どおりにしてください」。

סְאִים	שְׁלֹשׁ	מַהֲרִי	וַיֹּאמֶר	שָׂרָה	אֶל־	הָאֹהֱלָה	אַבְרָהָם	וַיְמַהֵר	6
セアの	三	急いで	そして-言った	サラ	～のもとへ	天幕の-中へ	アブラハムは	そして-急いだ	
H5429	H7969		H0559	H8283	H0413	H0168	H0085		

עֻגֹת׃	וַעֲשִׂי	לוּשִׁי	סֹלֶת	קֶמַח	
パンを	そして-作りなさい	こねて	上質の	粉	
H5692		H3888	H5560	H7058	

そこでアブラハムは急いで天幕に入り、サラの所に行って言った、「急いで細かい麦粉三セヤをとり、こねてパンを造りなさい」。

רַךְ	בָּקָר	בֶּן־	וַיִּקַּח	אַבְרָהָם	רָץ	הַבָּקָר	וְאֶל־	7
柔らかく	牛の	～の-子牛を	そして-取った	アブラハムは	走った	牛の	そして-～のもとへ	
H7390	H1241		H3947	H0085	H7323	H1241	H0413	

אֹתוֹ׃	לַעֲשׂוֹת	וַיְמַהֵר	הַנַּעַר	אֶל־	וַיִּתֵּן	וָטוֹב	
それを	準備する-ために	そして-急いだ	若者に	～に	そして-与えた	良い	
H0853			H5288	H0413	H5414		

アブラハムは牛の群れに走って行き、柔らかな良い子牛を取って若者に渡したので、急いで調理した。

וַיִּתֵּן	עָשָׂה	אֲשֶׁר	הַבָּקָר	וּבֶן־	וְחָלָב	חֶמְאָה	וַיִּקַּח	8
そして-置いた	作った	～を	牛の	そして-～の-子牛を	乳と	バターと	そして-取った	
H5414			H1241		H2461		H3947	

וַיֹּאכֵלוּ׃	הָעֵץ	תָּחַת	עֲלֵיהֶם	עֹמֵד	וְהוּא־	לִפְנֵיהֶם	
そして-食べた	木の	～の-下に	彼らの-そばに	立って-いた	そして-彼は	彼らの-前に	
H0398	H6086	H8478		H5975	H1931	H6440	

そしてアブラハムは凝乳と牛乳および子牛の調理したものを取って、彼らの前に供え、木の下で彼らのかたわらに立って給仕し、彼らは食事した。

בָּאֹהֶל׃	הִנֵּה	וַיֹּאמֶר	אִשְׁתְּךָ	שָׂרָה	אַיֵּה	אֵלָיו	וַיֹּאמְרוּ	9
天幕の-中に	見よ	そして-言った	あなたの-妻は	サラは	どこに	彼に	そして-言った	
H0168	H2009	H0559	H0802	H8283	H0346	H0413	H0559	

彼らはアブラハムに言った、「あなたの妻サラはどこにおられますか」。彼は言った、「天幕の中です」。

לְשָׂרָה	בֵּן	וְהִנֵּה־	חַיָּה	כָּעֵת	אֵלֶיךָ	אָשׁוֹב	שׁוֹב	וַיֹּאמֶר	10
サラに	息子が	そして-見よ	生きるの	時期に	あなたのもとに	帰る	必ず	そして-言った	
H8283		H2009		H6256	H0413	H7725	H7725	H0559	

אַחֲרָיו׃	וְהוּא	הָאֹהֶל	פֶּתַח	שֹׁמַעַת	וְשָׂרָה	אִשְׁתֶּךָ
彼の-後ろに	そして-それは	天幕の	入り口で	聞いて-いた	そして-サラは	あなたの-妻に
	H1931	H0168	H6607	H8085	H8283	H0802

そのひとりが言った、「来年の春、わたしはかならずあなたの所に帰ってきましょう。その時、あなたの妻サラには男の子が生れているでしょう」。サラはうしろの方の天幕の入口で聞いていた。

11

לִשָּׂרָה	לִהְיוֹת	חָדַל	בַּיָּמִים	בָּאִים	זְקֵנִים	וְשָׂרָה	וְאַבְרָהָם
サラに	ある–ことが	止んで–いた	日々に	進んだ	老人で	そして–サラは	そして–アブラハムと
H8283	H1961	H2308	H3117	H0935	H2205	H8283	H0085

כַּנָּשִׁים׃	אֹרַח
女の–ように	道が
H0802	H0734

さてアブラハムとサラとは年がすすみ、老人となり、サラは女の月のものが、すでに止まっていた。

12

עֶדְנָה	לִי	הָיְתָה־	בְלֹתִי	אַחֲרֵי	לֵאמֹר	בְּקִרְבָּהּ	שָׂרָה	וַתִּצְחַק
喜びが	わたしに	あったのか	衰えて	～の–後に	言って	彼女の–心の–中で	サラは	そして–笑った
	H1961		H1086		H0559	H7130	H8283	H6711

זָקֵן׃	וַאדֹנִי
老いのに	そして–わたしの–主人も
H2204	H0113

それでサラは心の中で笑って言った、「わたしは衰え、主人もまた老人であるのに、わたしに楽しみなどありえようか」。

13

הַאַף	לֵאמֹר	שָׂרָה	צָחֲקָה	זֶה	לָמָּה	אַבְרָהָם	אֶל־	יְהוָה	וַיֹּאמֶר	
本当に	言って	サラは	笑ったのか	これは	なぜ	アブラハム	～に	主は	そして–言った	
H0637	H0559	H8283	H6711	H2088	H4100	H0085	H0413	H3068	H0559	

זָקַנְתִּי׃	וַאֲנִי	אֵלֵד	אָמְנָם
老いたのに	そして–わたしは	産むのか	実に
H2204	H0589	H3205	H0552

主はアブラハムに言われた、「なぜサラは、わたしは老人であるのに、どうして子を産むことができようかと言って笑ったのか。

14

חָיָה	כָּעֵת	אֵלֶיךָ	אָשׁוּב	לַמּוֹעֵד	דָּבָר	מֵיְהוָה	הֲיִפָּלֵא	
生きるの	時期に	あなたのもとに	帰る	定められた–時に	ことが	主にとって	不思議なのか	
	H6256	H0413	H7725	H4150	H1697	H3068	H6381	

בֵּן׃	וּלְשָׂרָה
息子が	そして–サラに
	H8283

主にとって不可能なことがありましょうか。来年の春、定めの時に、わたしはあなたの所に帰ってきます。そのときサラには男の子が生れているでしょう」。

15

וַיֹּאמֶר	יָרֵאָה	כִּי	צָחַקְתִּי	לֹא	לֵאמֹר	וְשָׂרָה	וַתְּכַחֵשׁ	
そして–言った	恐れたから	なぜなら	笑わなかった	～ない	言って	サラは	そして–否定した	
H0559	H3372		H6711	H3808	H0559	H8283	H3584	

צָחָקְתְּ׃	כִּי	לֹא
笑った	そうではなく	いいえ
H6711		H3808

サラは恐れたので、これを打ち消して言った、「わたしは笑いません」。主は言われた、「いや、あなたは笑いました」。

16 וַיָּקֻמוּ מִשָּׁם הָאֲנָשִׁים וַיַּשְׁקִפוּ עַל־פְּנֵי סְדֹם
そして-立ち上がった そこから 人々は そして-見下ろした ～の-上に 顔の ソドムの
H6965 H4480 H0376 H8259 H5921 H6440 H5467

וְאַבְרָהָם הָלַךְ עִמָּם לְשַׁלְּחָם׃
そして-アブラハムは 歩いて-いた 彼らと-共に 見送る-ために
H0085 H1980 H5973 H7971

その人々はそこを立ってソドムの方に向かったので、アブラハムは彼らを見送って共に行った。

17 וַיהוָה אָמָר הַמְכַסֶּה אֲנִי מֵאַבְרָהָם אֲשֶׁר אֲנִי עֹשֶׂה׃
そして-主は 言った 隠すのか わたしは アブラハムから ～を わたしが する-ことを
H3068 H0559 H3680 H0589 H0085 H0834 H0589 H6213

時に主は言われた、「わたしのしようとする事をアブラハムに隠してよいであろうか。

18 וְאַבְרָהָם הָיוֹ יִהְיֶה לְגוֹי גָּדוֹל וְעָצוּם וְנִבְרְכוּ בוֹ כֹּל גּוֹיֵי הָאָרֶץ׃
そして-アブラハムは 必ず なる 国と 大きな そして-強い そして-祝福される 彼によって すべての 国々が 地の
H0085 H1961 H1961 H0776 H1419 H6099 H1288 H0776 H3605 H1471

アブラハムは必ず大きな強い国民となって、地のすべての民がみな、彼によって祝福を受けるのではないか。

19 כִּי יְדַעְתִּיו לְמַעַן אֲשֶׁר יְצַוֶּה אֶת־בָּנָיו וְאֶת־בֵּיתוֹ אַחֲרָיו וְשָׁמְרוּ דֶּרֶךְ יְהוָה לַעֲשׂוֹת צְדָקָה וּמִשְׁפָּט
なぜなら 彼の-息子たちと ～を 命じる ～を ～のために わたしは-彼を-知っている
H3588 H1121 H0853 H6680 H0834 H4616 H3045

彼の-家を 彼の-後の 守る そして-道を 主の 行う-ために 義と 公正を
H1004 H0310 H8104 H1870 H3068 H6213 H6666 H4941

לְמַעַן הָבִיא יְהוָה עַל־אַבְרָהָם אֵת אֲשֶׁר־דִּבֶּר עָלָיו׃
～のために もたらす 主が ～の-上に アブラハム ～を ～を 語った 彼に-ついて
H4616 H0935 H3068 H5921 H0085 H0853 H0834 H1696

わたしは彼が後の子らと家族とに命じて主の道を守らせ、正義と公道とを行わせるために彼を知ったのである。これは主がかつてアブラハムについて言った事を彼の上に臨ませるためである」。

20 וַיֹּאמֶר יְהוָה זַעֲקַת סְדֹם וַעֲמֹרָה כִּי־רָבָּה וְחַטָּאתָם כִּי כָבְדָה מְאֹד׃
そして-言った 主は 叫びが ソドムの そして-ゴモラの まことに 大きい そして-彼らの-罪は まことに 重い 非常に
H0559 H3068 H2201 H5467 H6017 H3588 H7227 H2403 H3588 H3513 H3966

主はまた言われた、「ソドムとゴモラの叫びは大きく、またその罪は非常に重いので、

21 אֵרְדָה־נָּא וְאֶרְאֶה הַכְּצַעֲקָתָהּ הַבָּאָה אֵלַי עָשׂוּ כְּלָה וְאִם־לֹא אֵדָעָה׃
下って-いこう どうか そして-見よう 彼らの-叫びの-とおりに 来た わたしに したのか 完全に そして-もし そうでなければ 知ろう
H3381 H4994 H7200 H6818 H0935 H0413 H6213 H3617 H0518 H3808 H3045

わたしはいま下って、わたしに届いた叫びのとおりに、すべて彼らがおこなっているかどうかを見て、それを知ろう」。

עוֹדֶנּוּ וְאַבְרָהָם סְדֹמָה וַיֵּלְכוּ הָאֲנָשִׁים מִשָּׁם וַיִּפְנוּ 22
なおも そして-アブラハムは ソドムへ そして-行った 人々は そこから そして-向きを-変えた
H5750 H0085 H5467 H3212 H0376 H8033 H6437

יְהוָה׃ לִפְנֵי עֹמֵד
主の ～の-前に 立って-いた
H3068 H6440 H5975

その人々はそこから身を巡らしてソドムの方に行ったが、アブラハムはなお、主の前に立っていた。

רָשָׁע׃ עִם־ צַדִּיק תִּסְפֶּה הַאַף הַאַף וַיֹּאמֶר אַבְרָהָם וַיִּגַּשׁ 23
悪い-者と 共に 正しい-者を 滅ぼすのか 本当に 本当に そして-言った アブラハムは そして-近づいた
H7563 H6662 H5595 H0637 H0559 H0085 H5066

アブラハムは近寄って言った、「まことにあなたは正しい者を、悪い者と一緒に滅ぼされるのですか。

תִּסְפֶּה הַאַף הָעִיר בְּתוֹךְ צַדִּיקִם חֲמִשִּׁים יֶשׁ אוּלַי 24
滅ぼすのか 本当に 町の ～の-中に 正しい-者が 五十人の いるのでは おそらく
H5595 H0637 H8432 H6662 H2572 H3426 H0194

בְּקִרְבָּהּ׃ אֲשֶׁר הַצַּדִּיקִם חֲמִשִּׁים לְמַעַן לַמָּקוֹם תִּשָּׂא וְלֹא־
その-中の ～の 正しい-者の 五十人の ～のために その-場所を 赦さないのか そして-～ない
H7130 H6662 H2572 H4616 H4725 H5375 H3808

たとい、あの町に五十人の正しい者があっても、あなたはなお、その所を滅ぼし、その中にいる五十人の正しい者のためにこれをゆるされないのですか。

עִם־ צַדִּיק לְהָמִית הַזֶּה כַּדָּבָר וּמֵעֲשֹׂת לְךָ חָלִלָה 25
共に 正しい-者を 殺す-ことは この この-ような-ことの する-ことは あなたが とんでもない
H6662 H4191 H2088 H1697 H6213 H2486

כָּל־ הַשֹּׁפֵט לְךָ חָלִלָה כָּרָשָׁע כַּצַּדִּיק וְהָיָה רָשָׁע
すべての 裁く-方が あなたが とんでもない 悪い-者が 正しい-者の-ように そして-なる 悪い-者と
H3605 H8199 H2486 H7563 H6662 H1961 H7563

מִשְׁפָּט׃ יַעֲשֶׂה לֹא הָאָרֶץ
公正を 行わないのか ～ない 地を
H4941 H3808 H0776

正しい者と悪い者とを一緒に殺すようなことを、あなたは決してなさらないでしょう。正しい者と悪い者とを同じようにすることも、あなたは決してなさらないでしょう。全地をさばく者は公義を行うべきではありませんか」。

הָעִיר בְּתוֹךְ צַדִּיקִם חֲמִשִּׁים בִּסְדֹם אֶמְצָא אִם־ יְהוָה וַיֹּאמֶר 26
町の ～の-中に 正しい-者を 五十人の ソドムに 見つけるなら もし 主は そして-言った
H8432 H6662 H2572 H5467 H4672 H3068 H0559

בַּעֲבוּרָם׃ הַמָּקוֹם לְכָל־ וְנָשָׂאתִי
彼らの-ゆえに その-場所を すべての そして-赦す
H5668 H4725 H3605 H5375

主は言われた、「もしソドムで町の中に五十人の正しい者があったら、その人々のためにその所をすべてゆるそう」。

אֲדֹנָי אֶל־ לְדַבֵּר הוֹאַלְתִּי נָא הִנֵּה־ וַיֹּאמֶר אַבְרָהָם וַיַּעַן 27
主に ～に 語る-ことを 思い-切った どうか 見よ そして-言った アブラハムは そして-答えた
H0136 H0413 H1696 H2974 H4994 H2009 H0559 H0085

וָאֵפֶר׃ עָפָר וְאָנֹכִי
灰で-ある 塵と そして-わたしは
H0665 H6083 H0595

アブラハムは答えて言った、「わたしはちり灰に過ぎませんが、あえてわが主に申します。

28 אוּלַי֙ יַחְסְר֣וּן חֲמִשִּׁ֔ים הַצַּדִּ֖יק חֲמִשָּׁ֑ה הֲתַשְׁחֵ֤ת בַּחֲמִשָּׁה֙ אֶת־כָּל־
おそらく 欠けるなら 五十人の 正しい-者の 五人が 滅ぼすのか 五人の-ゆえに ～を すべての
H0194 H2637 H2572 H6662 H2568 H7843 H2568 H0853 H3605

הָעִ֔יר וַיֹּ֕אמֶר לֹ֥א אַשְׁחִ֖ית אִם־אֶמְצָ֣א שָׁ֑ם אַרְבָּעִ֖ים וַחֲמִשָּׁ֥ה׃
町を そして-言った ～ない 滅ぼさない もし 見つけるなら そこに 四十五人を 四十五の
H0559 H3808 H7843 H4672 H8033 H0705 H2568

もし五十人の正しい者のうち五人欠けたなら、その五人欠けたために町を全く滅ぼされますか」。主は言われた、「もしそこに四十五人いたら、滅ぼさないであろう」。

29 וַיֹּ֣סֶף עוֹד֩ לְדַבֵּ֨ר אֵלָ֜יו וַיֹּ֣אמֶר אוּלַ֗י יִמָּצְאוּן־שָׁם֙
そして-続けた なおも 語る-ことを 彼に そして-言った おそらく 見つかるなら そこに
H3254 H5750 H1696 H0413 H0559 H0194 H4672 H8033

אַרְבָּעִ֔ים וַיֹּ֕אמֶר לֹ֥א אֶֽעֱשֶׂ֖ה בַּעֲב֣וּר הָאַרְבָּעִ֑ים׃
四十人が そして-言った ～ない しない ～のために 四十人の
H0705 H0559 H3808 H6213 H5668 H0705

アブラハムはまた重ねて主に言った、「もしそこに四十人いたら」。主は言われた、「その四十人のために、これをしないであろう」。

30 וַיֹּ֣אמֶר אַל־נָ֣א יִֽחַר־לַאדֹנָ֗י וַאֲדַבְּרָה֙ אוּלַ֔י יִמָּצְאוּן־שָׁ֑ם
そして-言った ～ない どうか 怒らないでください 主よ そして-語らせてください おそらく そこに 見つかるなら
H0559 H0408 H4994 H2734 H0136 H1696 H0194 H8033 H4672

וַיֹּ֕אמֶר לֹ֥א אֶֽעֱשֶׂ֖ה אִם־אֶמְצָ֣א שָׁ֔ם שְׁלֹשִׁ֑ים׃
そして-言った ～ない しない もし 見つけるなら そこに 三十人が
H0559 H3808 H6213 H4672 H8033 H7970

三十人を
H7970

アブラハムは言った、「わが主よ、どうかお怒りにならぬよう。わたしは申します。もしそこに三十人いたら」。主は言われた、「そこに三十人いたら、これをしないであろう」。

31 וַיֹּ֣אמֶר הִנֵּה־נָ֣א הוֹאַלְתִּי֩ לְדַבֵּ֨ר אֶל־אֲדֹנָ֜י אוּלַ֗י יִמָּצְאוּן־שָׁם֙
そして-言った 見よ どうか 思い-切った 語る-ことを ～に 主に おそらく 見つかるなら そこに
H0559 H2009 H4994 H2974 H1696 H0413 H0136 H0194 H4672

עֶשְׂרִ֔ים וַיֹּ֕אמֶר לֹ֥א אַשְׁחִ֖ית בַּעֲב֣וּר הָעֶשְׂרִֽים׃
二十人が そして-言った ～ない 滅ぼさない ～のために 二十人の
H6242 H0559 H3808 H7843 H5668 H6242

アブラハムは言った、「いまわたしはあえてわが主に申します。もしそこに二十人いたら」。主は言われた、「わたしはその二十人のために滅ぼさないであろう」。

32 וַיֹּ֣אמֶר אַל־נָ֣א יִֽחַר־לַאדֹנָ֗י וַאֲדַבְּרָה֙ אַךְ־אוּלַ֔י יִמָּצְאוּן־שָׁ֑ם
そして-言った ～ない どうか 怒らないでください 主よ そして-語らせてください ただ おそらく そこに 見つかるなら
H0559 H0408 H4994 H2734 H0136 H1696 H0389 H0194 H8033 H4672

וַיֹּ֕אמֶר לֹ֥א אַשְׁחִ֖ית בַּעֲב֣וּר הָעֲשָׂרָֽה׃
そして-言った ～ない 滅ぼさない ～のために 十人の
H0559 H3808 H7843 H5668 H6235

アブラハムは言った、「わが主よ、どうかお怒りにならぬよう。わたしはいま一度申します、もしそこに十人いたら」。主は言われた、「わたしはその十人のために滅ぼさないであろう」。

								33
וְאַבְרָהָם	אַבְרָהָם	אֶל־	לְדַבֵּר	כִּלָּה	כַּאֲשֶׁר	יְהוָה	וַיֵּלֶךְ	
そして–アブラハムは	アブラハム	～に	語る–ことを	終えた	～のように	主は	そして–行った	
H0085	H0085	H0413	H1696	H3615		H3068	H3212	

לִמְקֹמוֹ׃	שָׁב
彼の–場所に	帰った
H4725	H7725

主はアブラハムと語り終り、去って行かれた。アブラハムは自分の所に帰った。

Chapter 19

								1
סְדֹם	בְּשַׁעַר־	יֹשֵׁב	וְלוֹט	בָּעֶרֶב	סְדֹמָה	הַמַּלְאָכִים	שְׁנֵי	וַיָּבֹאוּ
ソドムの	門に	座って–いた	そして–ロトは	夕方に	ソドムへ	御使いが	二人の	そして–来た
H5467	H8179	H3427	H3876	H6153	H5467	H4397	H8147	H0935

אָרְצָה׃	אַפַּיִם	וַיִּשְׁתַּחוּ	לִקְרָאתָם	וַיָּקָם	לוֹט	וַיַּרְא־
地に	顔を	そして–ひれ伏した	彼らを–迎えに	そして–立ち上がった	ロトは	そして–見た
H0776	H0639	H7812	H7125		H3876	H7200

そのふたりのみ使は夕暮にソドムに着いた。そのときロトはソドムの門にすわっていた。ロトは彼らを見て、立って迎え、地に伏して、

								2
בֵּית	אֶל־	נָא	סוּרוּ	אֲדֹנַי	נָא־	הִנֶּה	וַיֹּאמֶר	
家に	～に	どうか	立ち寄ってください	わが–主よ	どうか	見よ	そして–言った	
H0413	H4994		H5493	H0113	H4994	H2009	H0559	

רַגְלֵיכֶם	וְרַחֲצוּ	וְלִינוּ	עַבְדְּכֶם
あなたがたの–足を	そして–洗ってください	そして–泊まってください	あなたの–しもべの
H7272	H7364		H5650

כִּי	לֹא	וַיֹּאמְרוּ	לְדַרְכְּכֶם	וַהֲלַכְתֶּם	וְהַשְׁכַּמְתֶּם	
そうではなく	いいえ	そして–言った	あなたがたの–道を	そして–行ってください	そして–早く–起きて	
	H3808	H0559	H1870	H1980	H7925	

וְלָנוּ׃	בָּרְחוֹב
泊まる	広場で
	H7339

言った、「わが主よ、どうぞしもべの家に立寄って足を洗い、お泊まりください。そして朝早く起きてお立ちください」。彼らは言った、「いや、われわれは広場で夜を過ごします」。

								3
בֵּיתוֹ	אֶל־	וַיָּבֹאוּ	אֵלָיו	וַיָּסָרוּ	מְאֹד	בָּם	וַיִּפְצַר־	
彼の–家に	～に	そして–来た	彼のもとに	そして–立ち寄った	非常に	彼らに	そして–強く–勧めた	
	H0413	H0935	H0413	H5493	H3966		H6484	

וַיֹּאכֵלוּ׃	אָפָה	וּמַצּוֹת	מִשְׁתֶּה	לָהֶם	וַיַּעַשׂ
そして–食べた	焼いて	そして–種なしパンを	宴を	彼らに	そして–作った
H0398	H0644	H4682	H4960		

しかしロトがしいて勧めたので、彼らはついに彼の所に寄り、家にはいった。ロトは彼らのためにふるまいを設け、種入れぬパンを焼いて食べさせた。

4

מִנָּעַר 若者から H5288 הַבַּיִת 家を עַל־ ～を נָסַבּוּ 囲んだ H5437 סְדֹם ソドムの H5467 אַנְשֵׁי 人々が H0376 הָעִיר 町の וְאַנְשֵׁי そして-人々は H0376 יִשְׁכָּבוּ 寝る H7901 טֶרֶם ～の-前に H2962

מִקָּצֶה׃ 四方から הָעָם 民が כָּל־ すべての H3605 זָקֵן 老人まで H2205 וְעַד־ そして-～まで H5704

ところが彼らの寝ないうちに、ソドムの町の人々は、若い者も老人も、民がみな四方からきて、その家を囲み、

5

אֵלֶיךָ あなたのもとに H0413 בָּאוּ 来た H0935 אֲשֶׁר־ ～の הָאֲנָשִׁים 人々は H0376 אַיֵּה どこに H0346 לוֹ 彼に וַיֹּאמְרוּ そして-言った H0559 לוֹט ロト H3876 אֶל־ ～に H0413 וַיִּקְרְאוּ そして-叫んだ H7121

אֹתָם׃ 彼らを H0853 וְנֵדְעָה そして-知ろう H3045 אֵלֵינוּ わたしたちに H0413 הוֹצִיאֵם 出せ H3318 הַלָּיְלָה 今夜 H3915

ロトに叫んで言った、「今夜おまえの所にきた人々はどこにいるか。それをここに出しなさい。われわれは彼らを知るであろう」。

6

אַחֲרָיו׃ 彼の-後ろに סָגַר 閉めた וְהַדֶּלֶת そして-戸を הַפֶּתְחָה 入り口へ לוֹט ロトは H3876 אֲלֵהֶם 彼らのもとに H0413 וַיֵּצֵא そして-出た H3318

ロトは入口における彼らの所に出て行き、うしろの戸を閉じて、

7

תָּרֵעוּ׃ 悪を-行うな אַחַי わが-兄弟よ H0251 נָא どうか H4994 אַל־ ～ない H0408 וַיֹּאמֶר そして-言った H0559

言った、「兄弟たちよ、どうか悪い事はしないでください。

8

אוֹצִיאָה־ 出しましょう H3318 אִישׁ 男を H0376 יָדְעוּ 知らない H3045 לֹא־ ～ない H3808 אֲשֶׁר ～の בָּנוֹת 娘が-いる H1323 שְׁתֵּי 二人の H8147 לִי わたしに נָא どうか הִנֵּה־ 見よ H2009

רַק ただ H7535 בְּעֵינֵיכֶם あなたがたの-目に כַּטּוֹב 良い-ように לָהֶן 彼女らに וַעֲשׂוּ そして-しなさい אֲלֵיכֶם あなたがたに H0413 אֶתְהֶן 彼女らを H0853 נָא どうか H4994

בָּאוּ 来たのだから H0935 כֵּן それ עַל־ ～の-ために כִּי־ なぜなら דָּבָר ことを H1697 תַּעֲשׂוּ してはならない אַל־ ～ない H0408 הָאֵל この H0411 לָאֲנָשִׁים 人々に H0376

קֹרָתִי׃ わたしの-屋根の H6982 בְּצֵל 影の-下に H6738

わたしにまだ男を知らない娘がふたりあります。わたしはこれをあなたがたに、さし出しますから、好きなようにしてください。ただ、わたしの屋根の下にはいったこの人たちには、何もしないでください」。

9

לָגוּר 寄留する-ために בָּא־ 来た H0935 הָאֶחָד この-一人は H0259 וַיֹּאמְרוּ そして-言った H0559 הָלְאָה 向こうに H1973 גֶּשׁ־ 下がれ H5066 וַיֹּאמְרוּ そして-言った H0559

וַיִּפְצְרוּ そして-迫った H6484 מֵהֶם 彼らより H1992 לְךָ あなたに נָרַע もっと-悪く-する עַתָּה 今 H6258 שָׁפוֹט 裁く-ことを H8199 וַיִּשְׁפֹּט そして-裁こうと-する H8199

הַדֶּלֶת׃ 戸を לְשָׁבְר 壊す-ために H7665 וַיִּגְּשׁוּ そして-近づいた H5066 מְאֹד 非常に H3966 בְּלוֹט ロトに H3876 בָּאִישׁ 人に H0376

彼らは言った、「退け」。また言った、「この男は渡ってきたよそ者であるのに、いつも、さばきびとになろうとする。それで、われわれは彼らに加えるよりも、おまえに多くの害を加えよう」。彼らはロトの身に激しく迫り、進み寄って戸を破ろうとした。

10 וַיִּשְׁלְחוּ֙ הָאֲנָשִׁ֔ים אֶת־יָדָ֖ם וַיָּבִ֣יאוּ אֶת־לוֹט֮ אֲלֵיהֶם֒ וְאֶת־הַדֶּ֣לֶת סָגָֽרוּ׃

そして-伸ばした 人々は ～を 手を そして-引き-入れた ロトを 彼らのもとに
H7971 H0376 H0853 H3027 H0935 H3876 H0413

そして～を 戸を 閉めた
H0853 H5462

その時、かのふたりは手を伸べてロトを家の内に引き入れ、戸を閉じた。

11 וְאֶת־הָאֲנָשִׁ֣ים אֲשֶׁר־פֶּ֣תַח הַבַּ֗יִת הִכּוּ֙ בַּסַּנְוֵרִ֔ים מִקָּטֹ֖ן וְעַד־גָּד֑וֹל וַיִּלְאוּ֙ לִמְצֹ֣א הַפָּֽתַח׃

～の 入り口の 家の 打った 盲目で 小さい-者から そして-～まで
H0376 H6607 H1004 H5221 H5575 H6996 H5704

そして～を 人々を ～の 入り口の 家の 打った 盲目で 小さい-者から そして-～まで
H0853 H0376 H0834 H6607 H1004 H5221 H5575 H6996 H5704

そして-疲れた 見つける-ことに 入り口を
H3811 H4672 H6607

そして家の入口におる人々を、老若の別なく打って目をくらましたので、彼らは入口を捜すのに疲れた。

12 וַיֹּאמְר֣וּ הָאֲנָשִׁ֗ים אֶל־לוֹט֙ עֹ֣ד מִי־לְךָ֔ פֹּ֖ה חָתָ֑ן וּבָנֶ֙יךָ֙ וּבְנֹתֶ֔יךָ וְכֹ֥ל אֲשֶׁר־לְךָ֖ בָּעִ֥יר הוֹצֵֽא׃

そして-言った 人々は ～に ロト まだ 誰が ここに 婿
H0559 H0376 H0413 H3876 H5750 H4310 H6311 H2860

あなたに
H0859

そして-あなたの-息子たち そして-あなたの-娘たち そして-すべての ～のもの あなたの 町の-中の
H1121 H1323 H3605 H0834 H0859 H5892

この-場所 ～から 出せ
H4725 H3318

ふたりはロトに言った、「ほかにあなたの身内の者がここにおりますか。あなたのむこ、むすこ、娘およびこの町におるあなたの身内の者を、皆ここから連れ出しなさい。

13 כִּֽי־מַשְׁחִתִ֣ים אֲנַ֔חְנוּ אֶת־הַמָּק֥וֹם הַזֶּ֖ה כִּֽי־גָדְלָ֣ה צַעֲקָתָ֗ם אֶת־פְּנֵ֤י יְהוָה֙ וַיְשַׁלְּחֵ֥נוּ יְהוָ֖ה לְשַׁחֲתָֽהּ׃

なぜなら 滅ぼす-者だ わたしたちは ～を この-場所を この なぜなら 大きく-なった
H7843 H0587 H0853 H4725 H2088 H3588 H1431

彼らの-叫びが 主の 顔の ～の-前に 滅ぼす-ために-それを 遣わした-わたしたちを 主が
H6818 H3068 H6440 H0854 H7843 H7971 H3068

われわれがこの所を滅ぼそうとしているからです。人々の叫びが主の前に大きくなり、主はこの所を滅ぼすために、われわれをつかわされたのです」。

14 וַיֵּצֵ֣א לוֹט֮ וַיְדַבֵּר֒ אֶל־חֲתָנָיו֙ לֹקְחֵ֣י בְנֹתָ֔יו וַיֹּ֗אמֶר קוּמוּ֙ צְא֣וּ מִן־הַמָּק֔וֹם כִּֽי־מַשְׁחִ֥ית יְהוָ֖ה אֶת־הָעִ֑יר וַיְהִי֙ כִּמְצַחֵ֔ק בְּעֵינֵ֖י חֲתָנָֽיו׃

そして-出た ロトは そして-語った ～に 彼の-婿たちに 娘を-めとる-者たち 彼の-娘たちの
H3318 H3876 H1696 H0413 H2860 H3947 H1323

そして-言った 立て 出よ ～から この-場所 この なぜなら 滅ぼす 主が ～を この-町を
H0559 H0877 H3318 H4480 H4725 H2088 H3588 H7843 H3068 H0853 H5892

そして-あった 冒談の-ように 目に 彼の-婿たちの
H1961 H6711 H5869 H2860

そこでロトは出て行って、その娘たちをめとるむこたちに告げて言った、「立ってこの所から出なさい。主がこの町を滅ぼされます」。しかしそれはむこたちには戯れごとに思えた。

15

קַח קוּם לֵאמֹר בְּלוֹט הַמַּלְאָכִים וַיָּאִיצוּ עָלָה הַשַּׁחַר וּכְמוֹ
取れ 立て 言って ロトを 御使いたちは そして–急がせた 上ると 曙が そして–〜のように
H3947 H0559 H3876 H4397 H0213 H5927 H7837 H3644

תִּסָּפֶה פֶּן־ הִנָּמְצָאת בְּנֹתֶיךָ שְׁתֵּי וְאֶת־ אִשְׁתְּךָ אֶת־
滅ぼされないように 〜ないように 見つかる あなたの–娘を 二人の そして〜を あなたの–妻を 〜を
H5595 H6435 H4672 H1323 H8147 H0853 H0802 H0853

הָעִיר׃ בַּעֲוֹן
町の 咲の–中で
H5771

夜が明けて、み使たちはロトを促して言った「立って、ここにいるあなたの妻とふたりの娘とを連れ出しなさい。そうしなければ、あなたもこの町の不義のために滅ぼされるでしょう」。

16

וּבְיַד אִשְׁתּוֹ וּבְיַד־ בְּיָדָו הָאֲנָשִׁים וַיַּחֲזִקוּ וַיִּתְמַהְמָּהּ
そして–手を 彼の–妻の そして–手を 彼の–手を 人々は そして–つかんだ そして–ためらった
H3027 H0802 H3027 H3027 H0376 H2388 H4102

וַיַּנִּחֵהוּ וַיֹּצִאֻהוּ עָלָיו יְהוָה בְּחֶמְלַת בְּנֹתָיו שְׁתֵּי
そして–置いた–彼を そして–連れ–出した–彼を 彼の–上の 主の あわれみに–よって 彼の–娘の 二人の
H3240 H3318 H3068 H2551 H1323 H8147

לָעִיר׃ מִחוּץ
町の 外に
H2351

彼はためらっていたが、主は彼にあわれみを施されたので、かのふたりは彼の手と、その妻の手と、ふたりの娘の手を取って連れ出し、町の外に置いた。

17

עַל־ הַמָּלְטִ֣י וַיֹּאמֶר הַחוּצָה אֹתָם כְּהוֹצִיאָם וַיְהִי
〜の–ために 逃げよ そして–言った 外へ 彼らを 連れ–出した–とき そして–あった
H4422 H0559 H2351 H0853 H3318 H1961

בְּכָל־ תַּעֲמֹד וְאֶל־ אַחֲרֶיךָ תַּבִּיט אַל־ נַפְשֶׁךָ
すべての–〜に 立ち止まるな そして–〜ない あなたの–後ろを 振り返るな 〜ない あなたの–いのちの
H3605 H5975 H0408 H5027 H0408 H5315

תִּסָּפֶה׃ פֶּן־ הַמָּלְטִ֣י הָהָרָה הַכִּכָּר
滅ぼされないように 〜ないように 逃げよ 山へ 低地に
H5595 H6435 H4422 H2022 H3603

彼らを外に連れ出した時そのひとりは言った、「のがれて、自分の命を救いなさい。うしろをふりかえって見てはならない。低地にはどこにも立ち止まってはならない。山にのがれなさい。そうしなければ、あなたは滅びます」。

18

אֲדֹנָי׃ נָא אַל־ אֲלֵהֶם לוֹט וַיֹּאמֶר
わが–主よ どうか 〜ない 彼らに ロトは そして–言った
H0136 H4994 H0408 H0413 H3876 H0559

ロトは彼らに言った、「わが主よ、どうか、そうさせないでください。

19

וַתִּגְדַּל	בְּעֵינֶיךָ	חֶן	עַבְדֶּךָ	מָצָא	נָא	הִנֵּה־
そして–大きく–した	あなたの–目に	恩寵を	あなたの–しもべは	見つけた	どうか	見よ
H1431		H2580	H5650	H4672	H4994	H2009

נַפְשִׁי	אֶת־	לְהַחֲיוֹת	עִמָּדִי	עָשִׂיתָ	אֲשֶׁר	חַסְדְּךָ
わたしの–いのちを	～を	生かす–ために	わたしと–共に	あなたが–した	～を	あなたの–憐れみを
H5315	H0853	H2421	H5978			

תִּדְבָּקַנִי	פֶּן־	הָהָרָה	לְהִמָּלֵט	אוּכַל	לֹא	וְאָנֹכִי
追いつかないように–わたしを	～ないように	山へ	逃げる–こと	できない	～ない	そして–わたしは
H1692	H6435	H2022	H4422	H3201	H3808	H0595

וָמַתִּי׃	הָרָעָה
そして–死ぬ	災いが
H4191	

しもべはすでにあなたの前に恵みを得ました。あなたはわたしの命を救って、大いなるいつくしみを施されました。しかしわたしは山まではのがれる事ができません。災が身に追い迫ってわたしは死ぬでしょう。

20

מִצְעָר	וְהִיא	שָׁמָּה	לָנוּס	קִרְבָה	הַזֹּאת	הָעִיר	נָא	הִנֵּה־
小さい	そして–それは	そこへ	逃げる–ために	近い	この	町が	どうか	見よ
H4705	H1931	H8033	H5127	H7138	H2063		H4994	H2009

נַפְשִׁי׃	וּתְחִי	הִוא	מִצְעָר	הֲלֹא	שָׁמָּה	נָא	אִמָּלְטָה
わたしの–いのちは	そして–生きる	それは	小さい	～ではないか	そこへ	どうか	逃げさせてください
H5315	H2421	H1931	H4705	H3808	H8033	H4994	H4422

あの町をごらんなさい。逃げていくのに近く、また小さい町です。どうかわたしをそこにのがれさせてください。それは小さいではありませんか。そうすればわたしの命は助かるでしょう」。

21

הַזֶּה	לַדָּבָר	גַּם	פָּנֶיךָ	נָשָׂאתִי	הִנֵּה	אֵלָיו	וַיֹּאמֶר
この	この–ことに–ついても	また	あなたの–顔を	受け入れた	見よ	彼に	そして–言った
H2088	H1697	H1571	H6440	H5375	H2009	H0413	H0559

דִּבַּרְתָּ׃	אֲשֶׁר	הָעִיר	אֶת־	הָפְכִּי	לְבִלְתִּי
あなたが–言った	～の	町を	～を	覆さないように	～ないように
H1696			H0853	H2015	H1115

み使は彼に言った、「わたしはこの事でもあなたの願いをいれて、あなたの言うその町は滅ぼしません。

22

בֹּאֲךָ	עַד־	דָּבָר	לַעֲשׂוֹת	אוּכַל	לֹא	כִּי	שָׁמָּה	הִמָּלֵט	מַהֵר
あなたが–来る	～まで	何も	する–こと	できない	～ない	なぜなら	そこへ	逃げよ	急げ
H0935	H5704	H1697		H3201	H3808		H8033	H4422	

צֹעַר׃	הָעִיר	שֵׁם־	קָרָא	כֵּן	עַל־	שָׁמָּה
ツォアルと	町の	名を	呼んだ	それ	～の–ゆえに	そこへ
H6820		H8034	H7121			H8033

急いでそこへのがれなさい。あなたがそこに着くまでは、わたしは何事もすることができません」。これによって、その町の名はゾアルと呼ばれた。

23

צֹעַרָה׃	בָּא	וְלוֹט	הָאָרֶץ	עַל־	יָצָא	הַשֶּׁמֶשׁ
ツォアルに	入った	そして–ロトは	地の	～の–上に	出た	太陽は
H6820	H0935	H3876	H0776		H3318	H8121

ロトがゾアルに着いた時、日は地の上にのぼった。

24 וַיהוָה הִמְטִיר עַל־סְדֹם וְעַל־עֲמֹרָה גָּפְרִית וָאֵשׁ מֵאֵת יְהוָה
H3068 H0854 H0784 H1614 H6017 H5467 H4305 H3068
מִן־הַשָּׁמָיִם׃
H8064

主は硫黄と火とを主の所すなわち天からソドムとゴモラの上に降らせて、

25 וַיַּהֲפֹךְ אֶת־הֶעָרִים הָאֵל וְאֵת כָּל־הַכִּכָּר וְאֵת כָּל־יֹשְׁבֵי הֶעָרִים
H3605 H0853 H3603 H3605 H0853 H0411 H0853 H2015
וְצֶמַח הָאֲדָמָה׃
H0127 H6780

これらの町と、すべての低地と、その町々のすべての住民と、その地にはえている物を、ことごとく滅ぼされた。

26 וַתַּבֶּט אִשְׁתּוֹ מֵאַחֲרָיו וַתְּהִי נְצִיב מֶלַח׃
H5027 H0802 H0413 H1961 H5333 H4417

しかしロトの妻はうしろを顧みたので塩の柱になった。

27 וַיַּשְׁכֵּם אַבְרָהָם בַּבֹּקֶר אֶל־הַמָּקוֹם אֲשֶׁר־עָמַד שָׁם אֶת־
H7925 H0085 H1242 H0413 H4725 H0834 H5975 H8033 H0854
פְּנֵי יְהוָה׃
H6440 H3068

アブラハムは朝早く起き、さきに主の前に立った所に行って、

28 וַיַּשְׁקֵף עַל־פְּנֵי כָל־סְדֹם וְעַמֹּרָה וְעַל־כָּל־פְּנֵי הָאֲדָמָה וַיַּרְא
H8259 H0413 H6440 H5467 H6017 H0413 H3605 H6440
וְהִנֵּה עָלָה קִיטֹר הָאָרֶץ כְּקִיטֹר הַכִּבְשָׁן׃
H2009 H5927 H7008 H0776 H7008 H3536
הַכִּכָּר אֶרֶץ
H7200 H3603 H0776

ソドムとゴモラの方、および低地の全面をながめると、その地の煙が、かまどの煙のように立ちのぼっていた。

29 וַיְהִי בְּשַׁחֵת אֱלֹהִים אֶת־עָרֵי הַכִּכָּר וַיִּזְכֹּר אֱלֹהִים אֶת־
H1961 H7843 H0430 H0853 H3603 H2142 H0430 H0853
אַבְרָהָם וַיְשַׁלַּח אֶת־לוֹט מִתּוֹךְ הַהֲפֵכָה בַּהַפֵּךְ אֶת־הֶעָרִים
H0085 H7971 H0853 H3876 H8432 H2018 H2015 H0853 H5892
אֲשֶׁר־יָשַׁב בָּהֶן לוֹט׃
H3427 H2004 H3876

こうして神が低地の町々をこぼたれた時、すなわちロトの住んでいた町々を滅ぼされた時、神はアブラハムを覚えて、その滅びの中からロトを救い出された。

30 וַיַּעַל לוֹט מִצֹּוַעַר וַיֵּשֶׁב בָּהָר וּשְׁתֵּי בְנֹתָיו עִמּוֹ׃
そして-上った ロトは ツォアルから そして-住んだ 山に 二人の 彼の-娘が 彼と-共に
H5927 H3876 H6820 H3427 H2022 H8147 H1323

כִּי יָרֵא לָשֶׁבֶת בְּצֹוַעַר וַיֵּשֶׁב בַּמְּעָרָה הוּא וּשְׁתֵּי בְנֹתָיו׃
なぜなら 恐れた 住む-ことを ツォアルに そして-住んだ 洞窟に 彼と 二人の 彼の-娘が
H3372 H3427 H6820 H3427 H4631 H1931 H8147 H1323

ロトはゾアルを出て上り、ふたりの娘と共に山に住んだ。ゾアルに住むのを恐れたからである。彼はふたりの娘と共に、ほら穴の中に住んだ。

31 וַתֹּאמֶר הַבְּכִירָה אֶל־הַצְּעִירָה אָבִינוּ זָקֵן וְאִישׁ אֵין בָּאָרֶץ
そして-言った 姉は 妹に 〜に わたしたちの-父は 老い そして-男が いない 地に
H0559 H1067 H6810 H0413 H0001 H2204 H0376 H0369 H0776

לָבוֹא עָלֵינוּ כְּדֶרֶךְ כָּל־הָאָרֶץ׃
入る-ために わたしたちに 道の-ように すべての 地の
H0935 H0854 H1870 H3605 H0776

時に姉が妹に言った、「わたしたちの父は老い、またこの地には世のならわしのように、わたしたちの所に来る男はいません。

32 לְכָה נַשְׁקֶה אֶת־אָבִינוּ יַיִן וְנִשְׁכְּבָה עִמּוֹ
さあ 飲ませよう 〜に わたしたちの-父に ぶどう酒を そして-寝よう 彼と-共に
H3212 H8248 H0853 H0001 H3196 H7901 H5973

וְנְחַיֶּה מֵאָבִינוּ זָרַע׃
そして-生かそう わたしたちの-父から 子孫を
H2421 H0001 H2233

さあ、父に酒を飲ませ、共に寝て、父によって子を残しましょう」。

33 וַתַּשְׁקֶיןָ אֶת־אֲבִיהֶן יַיִן בַּלַּיְלָה הַהִוא וַתָּבֹא הַבְּכִירָה
そして-飲ませた 〜に 彼女たちの-父に ぶどう酒を その 夜に そして-入った 姉が
H8248 H0853 H0001 H3196 H1931 H3915 H0935 H1067

וַתִּשְׁכַּב אֶת־אָבִיהָ וְלֹא יָדַע בְּשָׁכְבָהּ וּבְקוּמָהּ׃
そして-寝た 〜と-共に 彼女の-父と そして-〜ない 知らなかった 寝た-ことも 起きた-ことも
H7901 H0854 H0001 H3808 H3045 H7901 H6965

彼女たちはその夜、父に酒を飲ませ、姉がはいって父と共に寝た。ロトは娘が寝たのも、起きたのも知らなかった。

34 וַיְהִי מִמָּחֳרָת וַתֹּאמֶר הַבְּכִירָה אֶל־הַצְּעִירָה הֵן שָׁכַבְתִּי אֶמֶשׁ
そして-あった 翌日 そして-言った 姉は 妹に 見よ 寝た 昨夜
H1961 H4283 H0559 H1067 H6810 H2005 H7901 H0570

הַלַּיְלָה גַּם־הַלָּיְלָה וּבֹאִי שִׁכְבִי עִמּוֹ וְנְחַיֶּה מֵאָבִינוּ זָרַע׃
今夜も また ぶどう酒を 飲ませよう わたしの-父と 〜と-共に 彼と-共に そして-生かそう 子孫を
H3915 H1571 H3196 H8248 H0001 H0854 H5973 H2421 H0001 H2233

あくる日、姉は妹に言った、「わたしは昨夜、父と寝ました。わたしたちは今夜もまた父に酒を飲ませましょう。そしてあなたがはいって共に寝なさい。わたしたちは父によって子を残しましょう」。

35 וַתַּשְׁקֶיןָ גַּם בַּלַּיְלָה הַהוּא אֶת־אֲבִיהֶן יָיִן וַתָּקָם
そして-飲ませた また 夜に その ～に 彼女たちの-父に ぶどう酒を そして-起きた
H8248 H1571 H3915 H1931 H0853 H0001 H3196

הַצָּעִירָה וַתִּשְׁכַּב עִמּוֹ וְלֹא־יָדַע בְּשִׁכְבָהּ וּבְקוּמָהּ׃
妹が そして-寝た 彼と-共に ～ない 知らなかった 寝た-ことも 起きた-ことも
H6810 H7901 H5973 H3808 H3045 H7901

彼らはその夜もまた父に酒を飲ませ、妹が行って父と共に寝た。ロトは娘の寝たのも、起きたのも知らなかった。

36 וַתַּהַרְיֶנָה שְׁתֵּי בְנוֹת־לוֹט מֵאֲבִיהֶן׃
そして-孕んだ 二人の 娘が ロトの 彼女たちの-父から
H2029 H8147 H1323 H3876 H0001

こうしてロトのふたりの娘たちは父によってはらんだ。

37 וַתֵּלֶד הַבְּכִירָה בֵּן וַתִּקְרָא שְׁמוֹ מוֹאָב הוּא אֲבִי־מוֹאָב עַד־הַיּוֹם׃
そして-産んだ 姉は 息子を そして-呼んだ 彼の-名を モアブと 彼は 父の モアブの 今日の ～まで
H3205 H1067 H1121 H7121 H8034 H4124 H1931 H0001 H4124 H3117 H5704

姉娘は子を産み、その名をモアブと名づけた。これは今のモアブびとの先祖である。

38 וְהַצְּעִירָה גַּם־הִוא יָלְדָה בֵּן וַתִּקְרָא שְׁמוֹ בֶּן־עַמִּי הוּא אֲבִי בְּנֵי־עַמּוֹן עַד־הַיּוֹם׃ ס
そして-妹も また 彼女も 産んだ 息子を そして-呼んだ 彼の-名を ベン・アミと 彼は 父の アンモンの 息子たちの 今日の ～まで —
H6810 H1571 H1931 H3205 H1121 H7121 H8034 H1151 H1931 H0001 H5983 H3117 H5704

妹もまた子を産んで、その名をベニアンミと名づけた。これは今のアンモンびとの先祖である。

Chapter 20

1 וַיִּסַּע מִשָּׁם אַבְרָהָם אַרְצָה הַנֶּגֶב וַיֵּשֶׁב בֵּין־קָדֵשׁ וּבֵין שׁוּר וַיָּגָר בִּגְרָר׃
そして-旅立った そこから アブラハム その-地へ ネゲブの そして-住んだ 間に カデシュと そして-寄留した ゲラルに
H5265 H8033 H0085 H0776 H5045 H3427 H0996 H6946 H1481 H8777 H1642

アブラハムはそこからネゲブの地に移って、カデシとシュルの間に住んだ。彼がゲラルにとどまっていた時、

2 וַיֹּאמֶר אַבְרָהָם אֶל־שָׂרָה אִשְׁתּוֹ אֲחֹתִי הִוא וַיִּשְׁלַח אֲבִימֶלֶךְ מֶלֶךְ גְּרָר וַיִּקַּח אֶת־שָׂרָה׃
そして-言った アブラハムは ～について 彼の-妻を 私の-姉妹だ 彼女は そして-遣わした アビメレクは 王 ゲラルの そして-取った ～を サラを
H0559 H0085 H0413 H8283 H0802 H0269 H1931 H7971 H0040 H4428 H1642 H3947 H0853 H8283

アブラハムは妻サラのことを、「これはわたしの妹です」と言ったので、ゲラルの王アビメレクは、人をつかわしてサラを召し入れた。

3

לוֹ	וַיֹּאמֶר	הַלָּיְלָה	בַּחֲלוֹם	אֲבִימֶלֶךְ	אֶל־	אֱלֹהִים	וַיָּבֹא
彼に	そして-言った	その-夜に	夢の-中で	アビメレクに	～のもとへ	神は	そして-来た
	H0559	H3915	H2472	H0040	H0413	H0430	H0935

בְּעַלַת	וְהִוא	לָקַחְתָּ	אֲשֶׁר־	הָאִשָּׁה	עַל־	מֵת	הִנְךָ
嫁いだ-者	そして-彼女は	あなたが-取った	～である	この-女は	～のゆえに	死ぬ	見よ-あなたは
H1166	H1931	H3947		H0802		H4191	H2009

בָּעַל׃
夫-ある
H1167

ところが神は夜の夢にアビメレクに臨んで言われた、「あなたは召し入れたあの女のゆえに死なねばならない。彼女は夫のある身である」。

4

צַדִּיק	גַּם־	הַגּוֹי	אֲדֹנָי	וַיֹּאמַר	אֵלֶיהָ	קָרַב	לֹא	וַאֲבִימֶלֶךְ
正しい	さえも	国-民を	主よ	そして-言った	彼女に	近づいて	ない	しかし-アビメレクは
H6662	H1571		H0136	H0559	H0413	H7126	H3808	H0040

תַּהֲרֹג׃
殺すのですか
H2026

アビメレクはまだ彼女に近づいていなかったので言った、「主よ、あなたは正しい民でも殺されるのですか。

5

אָמְרָה	הִוא	גַּם־	וְהִיא־	הִוא	אֲחֹתִי	לִי	אָמַר־	הִוא	הֲלֹא
言った	彼女自身が	また	そして-彼女も	彼女は	私の-姉妹だと	私に	言った	彼が	ではないか
H0559	H1931	H1571	H1931	H1931	H0269		H0559	H1931	H3808

זֹאת׃	עָשִׂיתִי	כַּפִּי	וּבְנִקְיֹן	לְבָבִי	בְּתָם־	הִוא	אָחִי
これを	行った	手で	そして-清い	心で	誠実な	彼は	私の-兄弟だと
H2063		H3709		H3824	H8537	H1931	H0251

彼はわたしに、これはわたしの妹ですと言ったではありませんか。また彼女も自分で、彼はわたしの兄ですと言いました。わたしは心も清く、手もいさぎよく、このことをしました」。

6

בְּתָם־	כִּי	יָדַעְתִּי	אָנֹכִי	גַּם	בַּחֲלֹם	הָאֱלֹהִים	אֵלָיו	וַיֹּאמֶר	
誠実な	～ということを	知っている	わたしも	確かに	夢の-中で	神は	彼に	そして-言った	
H8537		H3045	H0595	H1571	H2472	H0430	H0413	H0559	

אוֹתְךָ	אָנֹכִי	גַּם־	וָאֶחְשָׂךְ	זֹאת	עָשִׂיתָ	לְבָבְךָ
あなたを	わたし自身が	また	そして-わたしが-守った	これを	あなたが-行った	心で
H0853	H0595	H1571	H2820	H2063		H3824

אֵלֶיהָ׃	לִנְגֹּעַ	נְתַתִּיךָ	לֹא־	כֵּן	עַל־	לִי	מֵחֲטוֹ־
彼女に	触れることを	あなたが	わたしは-許さなかった	ゆえに	その	わたしに	罪を-犯す-ことから
H0413	H5060	H5414	H3808				H2398

神はまた夢で彼に言われた、「そうです、あなたが清い心をもってこのことをしたのを知っていたから、わたしもあなたを守って、わたしに対して罪を犯させず、彼女にふれることを許さなかったのです。

7

וְיִתְפַּלֵּל	הִוא	נָבִיא	כִּי־	הָאִישׁ	אֵשֶׁת־	הָשֵׁב	וְעַתָּה
そして-祈る	彼は	預言者	なぜなら	この-男の	この-人の-妻を	返しなさい	そして-今
H6419	H1931	H5030		H0376	H0802	H7725	H6258

כִּי־	דָע	מֵשִׁיב	אֵינְךָ	וְאִם־	וֶחְיֵה	בְּעַדְךָ
必ず	知れ	返す	あなたが-返さないなら	しかし-もし	そして-生きるであろう	あなたのために
	H3045	H7725	H0369		H2421	H1157

לָךְ׃	אֲשֶׁר־	וְכָל־	אַתָּה	תָּמוּת	מוֹת
者も	あなたに-属する	そして-すべて	あなたも	あなたは-死ぬ	死ぬ
		H3605		H4191	H4191

いま彼の妻を返しなさい。彼は預言者ですから、あなたのために祈って、命を保たせるでしょう。もし返さないなら、あなたも身内の者もみな必ず死ぬと知らなければなりません」。

8

וַיַּגֶּד — そして-語った — H1696
עֲבָדָיו — 家来たちを — H5650
לְכֹל־ — すべての — H3605
וַיִּקְרָא — そして-呼んだ — H7121
בַּבֹּקֶר — 朝に — H1242
אֲבִימֶלֶךְ — アビメレクは — H0040
וַיִּשְׁכֹּם — そして-早く-起きた — H7925
מְאֹד׃ — 非常に — H3966
הָאֲנָשִׁים — 人々は — H0376
וַיִּירְאוּ — そして-恐れた — H3372
בְּאָזְנֵיהֶם — 彼らの-耳に — H0241
הָאֵלֶּה — これらの — H0428
הַדְּבָרִים — これらの-言葉を — H1697
כָּל־ — すべての — H3605
אֶת־ — ～を — H0853

そこでアビメレクは朝早く起き、しもべたちをことごとく召し集めて、これらの事をみな語り聞かせたので、人々は非常に恐れた。

9

עָשִׂיתָ — あなたは-したのか
מֶה־ — 何を — H4100
לּוֹ — 彼に
וַיֹּאמֶר — そして-言った — H0559
לְאַבְרָהָם — アブラハムを — H0085
אֲבִימֶלֶךְ — アビメレクは — H0040
וַיִּקְרָא — そして-呼んだ — H7121
עָלַי — 私の-上に
הֵבֵאתָ — あなたが-もたらした — H0935
כִּי־ — ～ということは
לָךְ — あなたに
חָטָאתִי — 罪を-犯したか — H2398
וּמֶה־ — そして-何の — H4100
לָנוּ — 私たちに
יֵעָשׂוּ — 事を
לֹא־ — してはならない — H3808
אֲשֶׁר — ～であるところの
מַעֲשִׂים — 行い — H4639
גְּדֹלָה — 大きな
חַטָּאָה — 罪を — H2401
מַמְלַכְתִּי — 王国の-上に — H4467
וְעַל־ — そして-私の
עָשִׂיתָ — 私に — H5978
עִמָּדִי׃ — あなたは-した

そしてアビメレクはアブラハムを召して言った、「あなたはわれわれに何をするのですか。あなたに対してわたしがどんな罪を犯したために、あなたはわたしとわたしの国とに、大きな罪を負わせるのですか。あなたはしてはならぬことをわたしにしたのです」。

10

כִּי — ～ということは
רָאִיתָ — あなたは-見たのか — H7200
מָה — 何を — H4100
אַבְרָהָם — アブラハムに — H0085
אֶל־ — ～に — H0413
אֲבִימֶלֶךְ — アビメレクは — H0040
וַיֹּאמֶר — そして-言った — H0559
הַזֹּה׃ — この — H2088
הַדָּבָר — この-事を — H1697
אֶת־ — ～を — H0853
עָשִׂיתָ — あなたが-した

アビメレクはまたアブラハムに言った、「あなたはなんと思って、この事をしたのですか」。

11

אֱלֹהִים — 神の — H0430
יִרְאַת — 神への-畏れが — H3374
אֵין־ — ない — H0369
רַק — ただ — H7535
אָמַרְתִּי — 私が-言った — H0559
כִּי — ～と思ったから
אַבְרָהָם — アブラハムは — H0085
וַיֹּאמֶר — そして-言った — H0559
אִשְׁתִּי׃ — 私の-妻を — H0802
דְּבַר — 私の-妻の-ことで — H1697
עַל־ — ～のゆえに
וַהֲרָגוּנִי — そして-殺されるだろう — H2026
הַזֶּה — この — H2088
בַּמָּקוֹם — この-場所には — H4725

アブラハムは言った、「この所には神を恐れるということが、まったくないので、わたしの妻のゆえに人々がわたしを殺すと思ったからです。

12

בַּת־ — 娘ではない
לֹא — ない — H3808
אַךְ — ただし — H0389
הִוא — 彼女は — H1931
אָבִי — 私の-父の — H0001
בַּת־ — 娘 — H1323
אֲחֹתִי — 私の-姉妹 — H0269
אָמְנָה — まことに — H0546
וְגַם־ — そして-確かに — H1571
לְאִשָּׁה׃ — 妻に — H0802
לִי — 私の
וַתְּהִי־ — そして-なった — H1961
אִמִּי — 私の-母の — H0517

また彼女はほんとうにわたしの妹なのです。わたしの父の娘ですが、母の娘ではありません。そして、わたしの妻になったのです。

13 וַיְהִי כַּאֲשֶׁר הִתְעוּ אֹתִי אֱלֹהִים מִבֵּית אָבִי וָאֹמַר
そして-あった ～の-とき さまよわせた 私を 神が 父の-家から 私の-父の そして-言った
H1961 H8582 H0853 H0430 H0001 H0559

לָהּ זֶה חַסְדֵּךְ אֲשֶׁר תַּעֲשִׂי עִמָּדִי אֶל כָּל
彼女に これが あなたの-真実の-愛だ ～であるところの あなたが-なす 私に ～へ すべての
H2088 H5978 H0413 H3605

הַמָּקוֹם אֲשֶׁר נָבוֹא שָׁמָּה אִמְרִי לִי אָחִי הִוא׃
場所 ～であるところの 私たちが-行く そこへ 言いなさい 私のことを 私の-兄弟だと 彼は
H4725 H0935 H8033 H0559 H0251 H1931

神がわたしに父の家を離れて、行き巡らせた時、わたしは彼女に、あなたはわたしたちの行くさきざきでわたしを兄であると言ってください。これはあなたがわたしに施す恵みであると言いました」。

14 וַיִּקַּח אֲבִימֶלֶךְ צֹאן וּבָקָר וַעֲבָדִים וּשְׁפָחֹת וַיִּתֵּן
そして-取った アビメレクは 羊と 牛と 男の-奴隷たちと 女の-奴隷たちを そして-与えた
H3947 H0040 H6629 H1241 H5650 H8198 H5414

לְאַבְרָהָם וַיָּשֶׁב לוֹ אֵת שָׂרָה אִשְׁתּוֹ׃
アブラハムに そして-返した 彼に ～を サラ 彼の-妻を
H0085 H7725 H0853 H8283 H0802

そこでアビメレクは羊、牛および男女の奴隷を取ってアブラハムに与え、その妻サラを彼に返した。

15 וַיֹּאמֶר אֲבִימֶלֶךְ הִנֵּה אַרְצִי לְפָנֶיךָ בַּטּוֹב בְּעֵינֶיךָ
そして-言った アビメレクは 見よ 私の-地は あなたの-前にある 良い-ところに あなたの-目に
H0559 H0040 H2009 H0776 H6440 H0853

שֵׁב׃
住みなさい
H3427

そしてアビメレクは言った、「わたしの地はあなたの前にあります。あなたの好きな所に住みなさい」。

16 וּלְשָׂרָה אָמַר הִנֵּה נָתַתִּי כֶּסֶף אֶלֶף הִנֵּה הוּא־
そして-サラに 彼は-言った 見よ 私は-与えた 千 銀を 見よ それは
H8283 H0559 H2009 H5414 H0505 H3701 H1931

לָךְ כְּסוּת עֵינַיִם לְכֹל וְאֵת אֲשֶׁר אִתָּךְ וְאֵת כֹּל
あなたへの 覆い 目の すべてに-対して そして あなたと-いる ～であるところの そして すべてにおいて
H3682 H3605 H0854 H0853 H3605

נֹכָחַת׃
あなたは-正しいと-認められた
H3198

またサラに言った、「わたしはあなたの兄に銀千シケルを与えました。これはあなたの身に起ったすべての事について、あなたに償いをするものです。こうしてすべての人にあなたは正しいと認められます」。

17 וַיִּתְפַּלֵּל אַבְרָהָם אֶל־הָאֱלֹהִים וַיִּרְפָּא אֱלֹהִים אֶת־
そして-祈った アブラハムは ～に 神に そして-癒した 神は ～を そして
H6419 H0085 H0413 H0430 H7495 H0430 H0853

אֲבִימֶלֶךְ וְאֶת אִשְׁתּוֹ וְאַמְהֹתָיו וַיֵּלֵדוּ׃
アビメレクと そして 彼の-妻と 彼の-女の-奴隷たちを そして-産んだ
H0040 H0853 H0802 H0519 H3205

そこでアブラハムは神に祈った。神はアビメレクとその妻および、はしためたちをいやされたので、彼らは子を産むようになった。

18 כִּי־ עָצֹר עָצַר יְהוָה בְּעַד כָּל־ רֶחֶם לְבֵית אֲבִימֶלֶךְ
なぜなら 固く 閉ざしていた 主は ～に–関して すべての 胎を ～の–家の アビメレクの
H6113 H6113 H3068 H1157 H3605 H7358 H0040

עַל־ דְּבַר שָׂרָה אֵשֶׁת אַבְרָהָם׃ ס
～のゆえに ～のことで サラ ～の–妻 アブラハムの セラ
H1697 H8283 H0802 H0085

これは主がさきにアブラハムの妻サラのゆえに、アビメレクの家のすべての者の胎を、かたく閉ざされたからである。

Chapter 21

1 וַיהוָה פָּקַד אֶת־ שָׂרָה כַּאֲשֶׁר אָמָר וַיַּעַשׂ יְהוָה לְשָׂרָה
そして–主は 顧みた ～を サラを ～の–とおりに 言った そして–なした 主は サラに
H3068 H6485 H853 H8283 H3541 H6213 H3068 H8283

כַּאֲשֶׁר דִּבֵּר׃
～の–とおりに 語った
H1696

主は、さきに言われたようにサラを顧み、告げられたようにサラに行われた。

2 וַתַּהַר וַתֵּלֶד שָׂרָה לְאַבְרָהָם בֵּן לִזְקֻנָיו לַמּוֹעֵד
そして–身ごもった そして–産んだ サラは アブラハムに 息子を 彼の–老年に 定められた–時に
H2029 H3205 H8283 H0085 H1121 H2208 H4150

אֲשֶׁר־ דִּבֶּר אֹתוֹ אֱלֹהִים׃
～であるところの 語った 彼に 神が
H1696 H0853 H0430

サラはみごもり、神がアブラハムに告げられた時になって、年老いたアブラハムに男の子を産んだ。

3 וַיִּקְרָא אַבְרָהָם שֵׁם־ בְּנוֹ הַנּוֹלַד־ לוֹ אֲשֶׁר־ יָלְדָה־ לּוֹ שָׂרָה יִצְחָק׃
そして–名づけた アブラハムは その–名を 息子の 生まれた 彼に ～であるところの 産んだ 彼に サラが イサクと
H7121 H0085 H8034 H1121 H3205 H0853 H8283 H3327

アブラハムは生れた子、サラが産んだ男の子の名をイサクと名づけた。

4 וַיָּמָל אַבְרָהָם אֶת־ יִצְחָק בְּנוֹ בֶּן־ שְׁמֹנַת יָמִים כַּאֲשֶׁר
そして–割礼した アブラハムは ～を イサク 彼の–息子に 生後 八 日目に ～の–とおりに
H3063 H0085 H0853 H3327 H1121 H1121 H8083 H3117 H3541

צִוָּה אֹתוֹ אֱלֹהִים׃
命じた 彼に 神が
H6680 H0853 H0430

アブラハムは神が命じられたように八日目にその子イサクに割礼を施した。

5 וְאַבְרָהָם בֶּן־מְאַת שָׁנָה בְּהִוָּלֶד לוֹ אֶת יִצְחָק׃
そして-アブラハムは -の-息子 百 歳であった 生まれた-とき 彼に ～が イサク
H0085 H3967 H8141 H3205 H0853 H3327

בְּנוֹ׃
彼の-息子が

アブラハムはその子イサクが生れた時百歳であった。

6 וַתֹּאמֶר שָׂרָה צְחֹק עָשָׂה לִי אֱלֹהִים כָּל־הַשֹּׁמֵעַ יִצְחַק־לִי׃
そして-言った サラは 笑いを 与えた 私に 神が すべての 聞く-者は 笑うであろう
H0559 H8283 H6712 H6711 H0430 H3605 H8085 H6711

לִי׃
私と-共に

そしてサラは言った、「神はわたしを笑わせてくださった。聞く者は皆わたしのことで笑うでしょう」。

7 וַתֹּאמֶר מִי מִלֵּל לְאַבְרָהָם הֵינִיקָה בָנִים שָׂרָה כִּי־יָלַדְתִּי בֵן לִזְקֻנָיו׃
そして-言った 誰が 言ったであろう アブラハムに 乳を-飲ませると 子らに サラがと なぜなら 私は-産んだ 息子を 彼の-老年に
H0559 H4310 H1696 H0085 H3243 H1121 H8283 H3588 H3205 H1121 H2208

また言った、「サラが子に乳を飲ませるだろうと、だれがアブラハムに言い得たであろう。それなのに、わたしは彼が年とってから、子を産んだ」。

8 וַיִּגְדַּל הַיֶּלֶד וַיִּגָּמַל וַיַּעַשׂ אַבְרָהָם מִשְׁתֶּה גָּדוֹל׃
そして-大きくなった 子は そして-乳離れした そして-開いた アブラハムは 大きな-宴を 大きな
H1431 H3206 H1580 H6213 H0085 H4960 H1419

בְּיוֹם הִגָּמֵל אֶת־יִצְחָק׃
～の-日に 乳離れした ～を イサクが
H3117 H1580 H0853 H3327

さて、おさなごは育って乳離れした。イサクが乳離れした日にアブラハムは盛んなふるまいを設けた。

9 וַתֵּרֶא שָׂרָה אֶת־בֶּן־הָגָר הַמִּצְרִית אֲשֶׁר־יָלְדָה לְאַבְרָהָם מְצַחֵק׃
そして-見た サラは ～を -の-息子 ハガル エジプト人の ～であるところの 産んだ アブラハムに からかっているのを
H7200 H8283 H0853 H1121 H1904 H4713 H0834 H3205 H0085 H6711

サラはエジプトの女ハガルのアブラハムに産んだ子が、自分の子イサクと遊ぶのを見て、

10 וַתֹּאמֶר לְאַבְרָהָם גָּרֵשׁ הָאָמָה הַזֹּאת וְאֶת־בְּנָהּ כִּי לֹא יִירַשׁ בֶּן־הָאָמָה הַזֹּאת עִם־בְּנִי עִם־יִצְחָק׃
そして-言った アブラハムに 追い出しなさい この-奴隷女を この 彼女の-息子を なぜなら しない 受け継ぐ -の-息子は この-奴隷女の この ～と-共に 私の-息子 ～と-共に イサクと
H0559 H0085 H1644 H0519 H2063 H0853 H1121 H3588 H3808 H3423 H1121 H0519 H2063 H5973 H1121 H5973 H3327

アブラハムに言った、「このはしためとその子を追い出してください。このはしための子はわたしの子イサクと共に、世継となるべき者ではありません」。

11
וַיֵּרַע　הַדָּבָר　מְאֹד　בְּעֵינֵי　אַבְרָהָם　עַל　אוֹדֹת
そして-苦しかった　この-ことは　非常に　〜の-目には　アブラハムの　〜について　ことで
H0182　H0085　H0182
בְּנֽוֹ׃
彼の-息子の

この事で、アブラハムはその子のために非常に心配した。

12
וַיֹּאמֶר　אֱלֹהִים　אֶל־　אַבְרָהָם　אַל־　יֵרַע　בְּעֵינֶיךָ　עַל־
そして-言った　神は　〜に　アブラハムに　〜すな　苦しむな　あなたの-目に　〜について
H0559　H0430　H0413　H0085　H0408
אֲשֶׁר　תֹּאמַר　אֵלֶיךָ　שָׂרָה　שְׁמַע　בְּקֹלָהּ　כִּי　בְיִצְחָק　יִקָּרֵא　לְךָ　זָרַע׃
〜であるところの　言う　あなたに　サラが　聞きなさい　彼女の-声に　なぜなら　イサクによって　呼ばれる　あなたにとって　子孫と
H3605　H0519　H5288　H0559　H0413　H8085　H8283　H3327　H7121　H2233

神はアブラハムに言われた、「あのわらべのため、またあなたのはしためのために心配することはない。サラがあなたに言うことはすべて聞きいれなさい。イサクに生れる者が、あなたの子孫と唱えられるからです。

13
וְגַם　אֶת־　בֶּן־　הָאָמָה　לְגוֹי　אֲשִׂימֶנּוּ　כִּי　זַרְעֲךָ　הֽוּא׃
そして-また　〜を　〜の-息子も　この-奴隷女の　国民と　わたしは-する　なぜなら　あなたの-子孫　彼は
H1571　H0853　H1931　H0519　H2233

しかし、はしための子もあなたの子ですから、これをも、一つの国民とします」。

14
וַיַּשְׁכֵּם　אַבְרָהָם　בַּבֹּקֶר　וַיִּקַּח־　לֶחֶם　וְחֵמַת　מַיִם　וַיִּתֵּן　אֶל־　הָגָר　שָׂם　עַל־　שִׁכְמָהּ　וְאֶת־　הַיֶּלֶד　וַיְשַׁלְּחֶהָ
そして-早く-起きた　アブラハムは　朝に　そして-取った　パンと　水の-革袋と　水を　そして-与えた　〜に　ハガルに　置いた　〜の-上に　彼女の-肩に　そして　子も　そして-送り出した
H7925　H0085　H1242　H3947　H3899　H2573　H4325　H5414　H0413　H1904　H7760　H5921　H7926　H0853　H3206　H7971
וַתֵּלֶךְ　וַתַּתַּע　בְּמִדְבַּר　שְׁבַע׃בְּאֵר
そして-行った　そして-さまよった　-の-荒野で　ベエル・シェバの
H3212　H8582　H0884

そこでアブラハムは明くる朝はやく起きて、パンと水の皮袋とを取り、ハガルに与えて、肩に負わせ、その子を連れて去らせた。ハガルは去ってベエルシバの荒野にさまよった。

15
וַיִּכְלוּ　הַמַּיִם　מִן־　הַחֵמֶת　וַתַּשְׁלֵךְ　אֶת־　הַיֶּלֶד　תַּחַת　אַחַד
そして-尽きた　水は　〜から　革袋から　そして-放った　〜を　子を　〜の-下に　一つの
H3615　H4325　H4480　H2573　H7993　H0853　H3206　H8478　H0259
הַשִּׂיחִם׃
茂みの
H7880

やがて皮袋の水が尽きたので、彼女はその子を木の下におき、

16

כִּי	קֶשֶׁת	כִּמְטַחֲוֵי	הַרְחֵק	מִנֶּגֶד	לָהּ	וַתֵּשֶׁב	וַתֵּלֶךְ
なぜなら	弓の	弓の–射程ほど	遠くに	向かい側に	彼女は	そして–座った	そして–行った
	H7198	H2909	H7368	H5048		H3427	H3212

וַתִּשָּׂא	מִנֶּגֶד	וַתֵּשֶׁב	הַיֶּלֶד	בְּמוֹת	אֶרְאֶה	אַל־	אָמְרָה	
そして–上げた	向かい側に	そして–座った	子が	死ぬのを	見	–させないで	彼女は–言った	
H5375	H5048	H3427	H3206	H4194	H7200	H0408	H0559	

וַתֵּבְךְּ׃	קֹלָהּ	אֶת־
そして–泣いた	彼女の–声を	～を
H1058		H0853

「わたしはこの子の死ぬのを見るに忍びない」と言って、矢の届くほど離れて行き、子供の方に向いてすわった。彼女が子供の方に向いてすわったとき、子供は声をあげて泣いた。

17

הָגָר	אֶל־	אֱלֹהִים	מַלְאַךְ	וַיִּקְרָא	הַנַּעַר	קוֹל	אֶת־	אֱלֹהִים
ハガルに	～に	神の	御使いが	そして–呼んだ	少年の	声を	～を	神は
H1904	H0413	H0430	H4397	H7121	H5288		H0853	H0430

וַיִּשְׁמַע	כִּי־	תִירְאִי	אַל־	הָגָר	לָךְ	מַה־	לָהּ	וַיֹּאמֶר	הַשָּׁמַיִם	מִן־
そして–聞いた	なぜなら	恐れるな	恐れるな	ハガルよ	あなたに	何が	彼女に	そして–言った	天から	～から
H8085		H3372	H0408	H1904		H4100		H0559	H8064	

שָׁם׃	הוּא־	בַּאֲשֶׁר	הַנַּעַר	קוֹל	אֶל־	אֱלֹהִים	שָׁמַע
そこに–いる	彼は	～において	少年の	声を	～の	神は	聞いた
H8033	H1931		H5288		H0413	H0430	H8085

神はわらべの声を聞かれ、神の使は天からハガルを呼んで言った、「ハガルよ、どうしたのか。恐れてはいけない。神はあそこにいるわらべの声を聞かれた。

18

בּוֹ	יָדֵךְ	אֶת־	וְהַחֲזִיקִי	הַנַּעַר	אֶת־	שְׂאִי	קוּמִי	
彼を	あなたの–手で	～を	そして–しっかり–持ちなさい	少年を	～を	抱き上げなさい	立ちなさい	
	H3027	H0853	H2388	H5288	H0853	H5375		

אֲשִׂימֶנּוּ׃	גָּדוֹל	לְגוֹי	כִּי־
わたしは–する	大きな	大きな–国民と	なぜなら

立って行き、わらべを取り上げてあなたの手に抱きなさい。わたしは彼を大いなる国民とするであろう」。

19

וַתֵּלֶךְ	מַיִם	בְּאֵר	וַתֵּרֶא	עֵינֶיהָ	אֶת־	אֱלֹהִים	וַיִּפְקַח
そして–行った	水の	井戸を	そして–見た	彼女の–目を	～を	神は	そして–開いた
H3212	H4325	H0875	H7200		H0853	H0430	H6491

הַנָּעַר׃	אֶת־	וַתַּשְׁקְ	מַיִם	הַחֵמֶת	אֶת־	וַתְּמַלֵּא	
少年に	～を	そして–飲ませた	水で	革袋を	～を	そして–満たした	
H5288	H0853	H8248	H4325	H2573	H0853	H4390	

神がハガルの目を開かれたので、彼女は水の井戸のあるのを見た。彼女は行って皮袋に水を満たし、わらべに飲ませた。

20

וַיְהִי	בַּמִּדְבָּר	וַיֵּשֶׁב	וַיִּגְדַּל	הַנָּעַר	אֶת־	אֱלֹהִים	וַיְהִי	
そして–なった	荒野に	そして–住んだ	そして–成長した	少年と	～と–共に	神は	そして–いた	
H1961		H3427	H1431	H5288	H0854	H0430	H1961	

רֹבֶה	קַשָּׁת׃
射手	弓の
	H7199

神はわらべと共にいまし、わらべは成長した。彼は荒野に住んで弓を射る者となった。

21 וַיֵּ֣שֶׁב בְּמִדְבַּ֔ר פָּארָ֑ן וַתִּקַּ֤ח לוֹ֙ אִמּ֔וֹ אִשָּׁ֖ה מֵאֶ֥רֶץ מִצְרָֽיִם׃ פ

そして–住んだ 荒野に –の parán パランの 取った そして– 彼に 彼の–母が 妻を –の–地から エジプトの セラ
H3427 H6290 H3947 H0517 H0802 H0776 H4714

彼はパランの荒野に住んだ。母は彼のためにエジプトの国から妻を迎えた。

22 וַיְהִ֣י בָעֵ֣ת הַהִ֗וא וַיֹּ֨אמֶר֙ אֲבִימֶ֣לֶךְ֔ וּפִיכֹ֖ל שַׂ֣ר צְבָא֑וֹ אֶל־אַבְרָהָ֣ם לֵאמֹ֔ר אֱלֹהִ֥ים עִמְּךָ֖ בְּכֹ֣ל אֲשֶׁר־אַתָּ֑ה עֹשֶֽׂה׃

そして–あった その時に その 言った そして– アビメレクは そして– 軍の ～の–長 ピコルは アブラハムに ～に 神は 行う あなたが ～であるところの すべてに–おいて あなたと–共にいる
H1961 H6256 H1931 H0559 H6369 H8269 H0040 H0085 H0413 H0430 H3605 H5978

そのころアビメレクとその軍勢の長ピコルはアブラハムに言った、「あなたが何事をなさっても、神はあなたと共におられる。

23 וְעַתָּ֣ה הִשָּׁבְעָ֤ה לִּי֙ בֵּאלֹהִ֔ים אִם־תִּשְׁקֹ֥ר לִ֖י וְלִנִינִ֑י וְלִנְכָדִ֔י כַּחֶ֙סֶד֙ אֲשֶׁר־עָשִׂ֣יתִי עִמָּ֔ךְ תַּעֲשֶׂ֥ה עִמָּדִ֖י וְעִם־הָאָ֥רֶץ אֲשֶׁר־גַּ֥רְתָּה בָּֽהּ׃

今 誓いなさい 私に 神にかけて ここで もし 偽るなら 私に そして– そして–私の–子にも
H6258 H7650 H0430 H2008 H0408 H8266 H3588 H5209

あなたと–共に 私が–した ～であるところの ～の–ような–真実の–愛で そして–私の–孫にも
H5978 H6213 H0834 H2617 H5220

そこに あなたが–寄留した ～であるところの この–地と そして–～と–共に 私と–共に あなたも–する
H0776 H5978

それゆえ、今ここでわたしをも、わたしの子をも、孫をも欺かないと、神をさしてわたしに誓ってください。わたしがあなたに親切にしたように、あなたもわたしと、このあなたの寄留の地とに、しなければなりません」。

24 וַיֹּ֥אמֶר אַבְרָהָ֖ם אָנֹכִ֥י אִשָּׁבֵֽעַ׃

誓う 私は アブラハムは そして–言った
H7650 H0595 H0085 H0559

アブラハムは言った、「わたしは誓います」。

25 וְהוֹכַ֣ח אַבְרָהָ֔ם אֶת־אֲבִימֶ֖לֶךְ עַל־אֹד֣וֹת בְּאֵ֣ר הַמָּ֑יִם אֲשֶׁ֥ר גָּזְל֖וּ עַבְדֵ֥י אֲבִימֶֽלֶךְ׃

そして–抗議した アブラハムは ～に アビメレクに ～について ことで 井戸の 水の
H3198 H0085 H0853 H0040 H0182 H0875 H4325

奪った 家来たちが アビメレクの ～であるところの
H1497 H5650 H0040 H0834

アブラハムはアビメレクの家来たちが、水の井戸を奪い取ったことについてアビメルクを責めた。

26 וַיֹּ֣אמֶר אֲבִימֶ֔לֶךְ לֹ֣א יָדַ֔עְתִּי מִ֚י עָשָׂ֣ה אֶת־הַדָּבָ֣ר הַזֶּ֔ה וְגַם־אַתָּ֖ה לֹא־הִגַּ֣דְתָּ לִּ֑י וְגַ֣ם אָנֹכִ֔י לֹ֥א שָׁמַ֖עְתִּי בִּלְתִּ֥י הַיּֽוֹם׃

26 そして-言った アビメレクは 知らない 私は-知らなかった 誰が したのか ～を この-ことを
H0559 H0040 H3808 H3045 H4310 H6213 H0853 H1697
聞かなかった 私も そして-また 私に 告げなかった 知らせなかった あなたも そして-また この
H8085 H0595 H1571 H3808 H5046 H3808 H0859 H1571 H2088
今日 ～を-除いて 聞かなかった
H3117 H1115 H8085

しかしアビメレクは言った、「だれがこの事をしたかわたしは知りません。あなたもわたしに告げたことはなく、わたしもきょうまで聞きませんでした」。

27 וַיִּקַּ֣ח אַבְרָהָ֗ם צֹ֚אן וּבָקָ֔ר וַיִּתֵּ֖ן לַאֲבִימֶ֑לֶךְ וַיִּכְרְת֥וּ שְׁנֵיהֶ֖ם בְּרִֽית׃

27 そして-取った アブラハムは 羊と 牛を そして-与えた アビメレクに そして-結んだ 二人は
H3947 H0085 H6629 H1241 H5414 H0040 H3772 H8147
契約を
H1285

そこでアブラハムは羊と牛とを取ってアビメレクに与え、ふたりは契約を結んだ。

28 וַיַּצֵּ֣ב אַבְרָהָ֔ם אֶת־שֶׁ֥בַע כִּבְשֹׂ֖ת הַצֹּ֑אן לְבַדְּהֶֽן׃

28 そして-置いた アブラハムは ～を 七-匹の 雌の-小羊を 羊の 別に
H5324 H0085 H0853 H7651 H3535 H6629 H0905

アブラハムが雌の小羊七頭を分けて置いたところ、

29 וַיֹּ֣אמֶר אֲבִימֶ֔לֶךְ אֶל־אַבְרָהָ֖ם מָ֣ה הֵ֣נָּה שֶׁ֧בַע כְּבָשֹׂ֛ת הָאֵ֖לֶּה אֲשֶׁ֣ר הִצַּ֑בְתָּ לְבַדָּֽנָה׃

29 そして-言った アビメレクは ～に アブラハムに 何か これらは 七-匹の 雌の-小羊は
H0559 H0040 H0413 H0085 H4100 H2007 H7651 H3535
別に あなたが-置いた ～であるところの これらの
H0905 H5324 H0428

アビメレクはアブラハムに言った、「あなたがこれらの雌の小羊七頭を分けて置いたのは、なんのためですか」。

30 וַיֹּ֗אמֶר כִּי֙ אֶת־שֶׁ֣בַע כְּבָשֹׂ֔ת תִּקַּ֖ח מִיָּדִ֑י בַּעֲב֗וּר תִּֽהְיֶה־לִּ֤י לְעֵדָה֙ כִּ֣י חָפַ֣רְתִּי אֶת־הַבְּאֵ֖ר הַזֹּֽאת׃

30 そして-言った ～を 七-匹の 雌の-小羊を 受け取りなさい 私の-手から
H0559 H0853 H7651 H3535 H3947 H3027
なぜなら ～を 私が-掘った ～ということの 証拠と 私にとって なる-ために それは-～のためである
H3588 H0853 H2658 H3588 H5707 H3117 H1961 H5668
この この-井戸を
H2063 H0875

アブラハムは言った、「あなたはわたしの手からこれらの雌の小羊七頭を受け取って、わたしがこの井戸を掘ったことの証拠としてください」。

31 עַל־כֵּ֛ן קָרָ֥א לַמָּק֖וֹם הַה֑וּא בְּאֵ֣ר שָׁבַ֔ע כִּ֥י שָׁ֖ם נִשְׁבְּע֥וּ שְׁנֵיהֶֽם׃

31 その- ゆえに 呼んだ その-場所を その 誓った 二人は
H5921 H3651 H7121 H4725 H1931 H0884 H3588 H8033 H7650 H8147

これによってその所をベエルシバと名づけた。彼らがふたりそこで誓いをしたからである。

32 וַיִּכְרְתוּ בְרִית בִּבְאֵר שָׁבַע וַיָּקָם אֲבִימֶלֶךְ וּפִיכֹל
そして-結んだ 契約を ベエル・シェバで そして-立ち上がった アビメレクは そして-ピコルは
H3772 H1285 H0884 H0884 H0040 H6369

שַׂר־ צְבָאוֹ וַיָּשֻׁבוּ אֶל־ אֶרֶץ פְּלִשְׁתִּים׃
〜の-長 軍の そして-帰った 〜の-地へ ペリシテの-地へ ペリシテ人の
H8269 H7725 H0413 H0776 H6430

このように彼らはベエルシバで契約を結び、アビメレクとその軍勢の長ピコルは立ってペリシテの地に帰った。

33 וַיִּטַּע אֶשֶׁל בִּבְאֵר שָׁבַע וַיִּקְרָא־ שָׁם בְּשֵׁם יְהוָה
そして-植えた タマリスクの-木を ベエル・シェバに そして-呼んだ そこで 〜の-名を 主の
H5193 H0815 H0884 H7121 H8033 H8034 H3068

אֵל עוֹלָם׃
神 永遠の
H0410 H5769

アブラハムはベエルシバに一本のぎょりゅうの木を植え、その所で永遠の神、主の名を呼んだ。

34 וַיָּגָר אַבְרָהָם בְּאֶרֶץ פְּלִשְׁתִּים יָמִים רַבִּים׃ פ
そして-寄留した アブラハムは -の-地に ペリシテ人の 日々 多くの セラ
H3117 H6430 H0776 H0085

こうしてアブラハムは長い間ペリシテびとの地にとどまった。

Chapter 22

1 וַיְהִי אַחַר הַדְּבָרִים הָאֵלֶּה וְהָאֱלֹהִים נִסָּה אֶת־ אַבְרָהָם
そして-あった 後に これらの-事の これらの 神は そして-試みた 〜を アブラハムを
H1961 H0310 H1697 H0428 H0430 H5254 H0853 H0085

וַיֹּאמֶר אֵלָיו אַבְרָהָם וַיֹּאמֶר הִנֵּנִי׃
そして-言った 彼に アブラハムよ そして-言った はい-ここに-おります
H0559 H0413 H0085 H0559 H2009

これらの事の後、神はアブラハムを試みて彼に言われた、「アブラハムよ」。彼は言った、「ここにおります」。

2 וַיֹּאמֶר קַח־ נָא אֶת־ בִּנְךָ אֶת־ יְחִידְךָ אֲשֶׁר־ אָהַבְתָּ אֶת־ יִצְחָק וְלֶךְ־ לְךָ אֶל־ אֶרֶץ
そして-言った 取りなさい どうか 〜を あなたの-息子を 〜を あなたの-独り子を 〜であるところの あなたが-愛する 〜を イサクを そして-行きなさい あなた自身 〜へ その-地へ
H0559 H3947 H4994 H0853 H1121 H0853 H3173 H0157 H0853 H3327 H3212 H0413 H0776

הַמֹּרִיָּה וְהַעֲלֵהוּ שָׁם לְעֹלָה עַל אַחַד הֶהָרִים אֲשֶׁר אֹמַר אֵלֶיךָ׃
モリヤの そして-ささげなさい-彼を そこで 燔祭として 〜の-上で 一つの 山の 〜であるところの わたしが-言う あなたに
H4179 H5927 H8033 H5930 H0259 H2022 H0834 H0559 H0413

神は言われた、「あなたの子、あなたの愛するひとり子イサクを連れてモリヤの地に行き、わたしが示す山で彼を燔祭としてささげなさい」。

3

וַיַּשְׁכֵּם
そして-早く-起きた
H7925

אַבְרָהָם
アブラハムは
H0085

בַּבֹּקֶר
朝に
H1242

וַיַּחֲבֹשׁ
そして-鞍を-置いた
H2280

אֶת־
～に
H0853

חֲמֹרוֹ
彼の-ろばに
H2543

וַיִּקַּח
そして-取った
H3947

שְׁנֵי
二人の
H8147

נְעָרָיו
若者たちを
H5288

אִתּוֹ
彼と-共に
H0854

וְאֵת
そして
H0853

יִצְחָק
イサクを
H3327

בְּנוֹ
彼の-息子を
H1234

וַיְבַקַּע
そして-割った
H6086

עֲצֵי
燔祭の-薪を

אֶת־
～を
H0853

עֹלָה
燔祭の

וַיָּקָם
そして-立ち上がった
H3212

וַיֵּלֶךְ
そして-行った
H0413

אֶל־
～へ
H4725

הַמָּקוֹם
その-場所へ
H0559

אָמַר־
言った

אֲשֶׁר־
～であるところの

לוֹ
彼に

הָאֱלֹהִים׃
神が
H0430

アブラハムは朝はやく起きて、ろばにくらを置き、ふたりの若者と、その子イサクとを連れ、また燔祭のたきぎを割り、立って神が示された所に出かけた。

4

בַּיּוֹם
三-日-目に
H3117

הַשְּׁלִישִׁי
三番目の
H7992

וַיִּשָּׂא
そして-上げた
H5375

אַבְרָהָם
アブラハムは
H0085

אֶת־
～を
H0853

עֵינָיו
彼の-目を

וַיַּרְא
そして-見た
H7200

אֶת־
～を
H0853

הַמָּקוֹם
その-場所を
H4725

מֵרָחֹק׃
遠くから
H7350

三日目に、アブラハムは目をあげて、はるかにその場所を見た。

5

וַיֹּאמֶר
そして-言った
H0559

אַבְרָהָם
アブラハムは
H0085

אֶל־
～に
H0413

נְעָרָיו
彼の-若者たちに

שְׁבוּ־
座りなさい
H3427

לָכֶם
あなたたちは

פֹּה
ここに
H6311

עִם־
～と-共に

וְנָשׁוּבָה
そして-帰る
H7725

וְנִשְׁתַּחֲוֶה
そして-礼拝する
H7812

וַאֲנִי
そして-私と
H0589

הַנַּעַר
そして-少年は
H5288

וְהָלְכָה
行く
H3212

עַד־
～まで
H5704

כֹּה
あそこまで
H3541

הַחֲמֹר
ろばと
H2543

אֲלֵיכֶם׃
あなたたちのところへ
H0413

そこでアブラハムは若者たちに言った、「あなたがたは、ろばと一緒にここにいなさい。わたしとわらべは向こうへ行って礼拝し、そののち、あなたがたの所に帰ってきます」。

6

וַיִּקַּח
そして-取った
H3947

אַבְרָהָם
アブラハムは
H0085

אֶת־
～を
H0853

עֲצֵי
燔祭の-薪を
H6086

עֹלָה
燔祭の

וַיָּשֶׂם
そして-置いた

עַל־
～の-上に

יִצְחָק
イサクの
H3327

בְּנוֹ
彼の-息子の

וַיִּקַּח
そして-取った

בְּיָדוֹ
彼の-手に
H3027

אֶת־
～を
H0853

הָאֵשׁ
火と
H0784

וְאֶת־
そして
H0853

הַמַּאֲכֶלֶת
刀を
H3979

וַיֵּלְכוּ
そして-行った
H3212

שְׁנֵיהֶם
二人は
H8147

יַחְדָּו׃
共に

アブラハムは燔祭のたきぎを取って、その子イサクに負わせ、手に火と刃物とを執って、ふたり一緒に行った。

7

וַיֹּאמֶר	אָבִי	וַיֹּאמֶר	אָבִיו	אַבְרָהָם	אֶל־	יִצְחָק	וַיֹּאמֶר
そして–言った	父よ	そして–言った	彼の–父に	アブラハムに	～に	イサクは	そして–言った
H0559	H0001	H0559	H0001	H0085	H0413	H3327	H0559

וְאַיֵּה	וְהַשֶּׂה	הָאֵשׁ	הִנֵּה	וַיֹּאמֶר	בְנִי	הִנֶּנִּי	
しかし–どこに	そして–薪とは	火と	見よ	そして–言った	私の–息子よ	はい–ここに–おります	
H0346	H6086	H0784	H2009	H0559		H2009	

לְעֹלָה׃	הַשֶּׂה
燔祭のための	小羊が
	H7716

やがてイサクは父アブラハムに言った、「父よ」。彼は答えた、「子よ、わたしはここにいます」。イサクは言った、「火とたきぎとはありますが、燔祭の小羊はどこにありますか」。

8

לְעֹלָה	הַשֶּׂה	לוֹ	יִרְאֶה־	אֱלֹהִים	אַבְרָהָם	וַיֹּאמֶר
燔祭のための	小羊を	彼自身のために	備えてくださる	神が	アブラハムは	そして–言った
	H7716		H7200	H0430	H0085	H0559

יַחְדָּו׃	שְׁנֵיהֶם	וַיֵּלְכוּ	בְנִי
共に	二人は	そして–行った	私の–息子よ
	H8147	H3212	

アブラハムは言った、「子よ、神みずから燔祭の小羊を備えてくださるであろう」。こうしてふたりは一緒に行った。

9

שָׁם	וַיִּבֶן	הָאֱלֹהִים	לוֹ	אָמַר־	אֲשֶׁר	הַמָּקוֹם	אֶל־	וַיָּבֹאוּ
そこに	そして–築いた	神が	彼に	言った	～であるところの	その–場所へ	～へ	そして–来た
H8033	H1129	H0430		H0559		H4725	H0413	H0935

יִצְחָק	אֶת־	וַיַּעֲקֹד	הָעֵצִים	אֶת־	וַיַּעֲרֹךְ	הַמִּזְבֵּחַ	אֶת־	אַבְרָהָם
イサクを	～を	そして–縛った	薪を	～を	そして–並べた	祖壇を	～を	アブラハムは
H3327	H0853	H6123	H6086	H0853		H4196	H0853	H0085

לָעֵצִים׃	מִמַּעַל	הַמִּזְבֵּחַ	עַל־	אֹתוֹ	וַיָּשֶׂם	בְּנוֹ
薪の	～の–上に	祖壇の	～の–上に	彼を	そして–置いた	彼の–息子を
H6086	H4605	H4196		H0853		

彼らが神の示された場所にきたとき、アブラハムはそこに祭壇を築き、たきぎを並べ、その子イサクを縛って祭壇のたきぎの上に載せた。

10

לִשְׁחֹט	הַמַּאֲכֶלֶת	אֶת־	וַיִּקַּח	יָדוֹ	אֶת־	אַבְרָהָם	וַיִּשְׁלַח
屠るために	刀を	～を	そして–取った	彼の–手を	～を	アブラハムは	そして–伸ばした
	H3979	H0853	H3947	H3027	H0853	H0085	H7971

בְּנוֹ׃	אֶת־
彼の–息子を	～を
	H0853

そしてアブラハムが手を差し伸べ、刃物を執ってその子を殺そうとした時、

11

אַבְרָהָם	וְאַבְרָהָם	וַיֹּאמֶר	הַשָּׁמַיִם	מִן־	יְהוָה	מַלְאַךְ	אֵלָיו	וַיִּקְרָא	
アブラハムよ	アブラハムよ	そして–言った	天から	～から	主の	御使いが	彼に	そして–呼んだ	
H0085	H0085	H0559	H8064		H3068	H4397	H0413	H7121	

הִנֵּנִי׃	וַיֹּאמֶר	
はい–ここに–おります	そして–言った	
H2009	H0559	

主の使が天から彼を呼んで言った、「アブラハムよ、アブラハムよ」。彼は答えた、「はい、ここにおります」。

12

לוֹ	תַּעַשׂ	וְאַל־	הַנַּעַר	אֶל־	יָדְךָ֙	תִּשְׁלַ֤ח	אַל־	וַיֹּ֣אמֶר
彼に	するな	そして-するな	少年に	～に	あなたの-手を	伸ばすな	伸ばすな	そして-言った
		H0408	H5288	H0413	H3027	H7971	H0408	H0559

אַתָּה	אֱלֹהִים֙	יְרֵ֣א	כִּי־	יָדַ֔עְתִּי	עַתָּה	וְכִי	מְאוּמָ֕ה	
あなたは	神を	畏れる	～ということを	わたしは-知った	今	なぜなら	何も	
	H0430	H3373		H3045	H6258		H3972	

מִמֶּ֑נִּי׃	יְחִידְךָ֖	אֶת־	בִּנְךָ֥	אֶת־	חָשַׂכְתָּ	וְלֹ֣א	
わたしから	あなたの-独り子を	～を	あなたの-息子を	～を	惜しまなかった	そして-惜しまなかった	
	H3173	H0853		H0853	H2820	H3808	

み使が言った、「わらべを手にかけてはならない。また何も彼にしてはならない。あなたの子、あなたのひとり子をさえ、わたしのために惜しまないので、あなたが神を恐れる者であることをわたしは今知った」。

13

אַחַ֔ר	אַ֣יִל	וְהִנֵּה־	וַיַּרְא	עֵינָיו	אֶת־	אַבְרָהָם֙	וַיִּשָּׂ֤א
後ろに	雄羊が	そして-見よ	そして-見た	彼の-目を	～を	アブラハムは	そして-上げた
		H2009	H7200		H0853	H0085	H5375

הָאַ֔יִל	אֶת־	וַיִּקַּ֥ח	אַבְרָהָם֙	וַיֵּ֣לֶךְ	בְּקַרְנָ֑יו	בַּסְּבַךְ֙	נֶאֱחַ֣ז	
その-雄羊を	～を	そして-取った	アブラハムは	そして-行った	其の-角で	茂みに	絡まっていた	
	H0853	H3947	H0085	H3212		H5442	H0270	

בְּנֽוֹ׃	תַּחַת֙	לְעֹלָ֔ה	וַיַּעֲלֵ֥הוּ	
彼の-息子の	～の-代わりに	燔祭として	そして-ささげた	
	H8478		H5927	

この時アブラハムが目をあげて見ると、うしろに、角をやぶに掛けている一頭の雄羊がいた。アブラハムは行ってその雄羊を捕え、それをその子のかわりに燔祭としてささげた。

14

יִרְאֶ֑ה	וְיהוָ֣ה	הַה֤וּא	הַמָּקוֹם֙	שֵׁם־	אַבְרָהָ֔ם	וַיִּקְרָ֣א	
備えてくださると	主が	その	その-場所の	その-名を	アブラハムは	そして-名づけた	
H7200	H3068	H1931	H4725	H8034	H0085	H7121	

יֵרָאֶֽה׃	יְהוָ֖ה	בְּהַ֥ר	הַיּ֔וֹם	יֵאָמֵ֖ר	אֲשֶׁ֥ר	
備えられる	主の	～の-山で	今日	言われる	～であるところの	
H7200	H3068	H2022	H3117	H0559		

それでアブラハムはその所の名をアドナイ・エレと呼んだ。これにより、人々は今日もなお「主の山に備えあり」と言う。

15

הַשָּׁמָֽיִם׃	מִן־	שֵׁנִ֖ית	אַבְרָהָ֑ם	אֶל־	יְהוָה֙	מַלְאַ֣ךְ	וַיִּקְרָ֥א	
天から	～から	二度目	アブラハムに	～に	主の	御使いが	そして-呼んだ	
H8064		H8145	H0085	H0413	H3068	H4397	H7121	

主の使は再び天からアブラハムを呼んで、

16

יַ֔עַן	כִּ֣י	יְהוָ֔ה	נְאֻם־	נִשְׁבַּ֖עְתִּי	בִּ֑י	וַיֹּ֣אמֶר		
～の-ゆえに	なぜなら	主の	宣言-する	わたしは-誓った	わたし自身にかけて	そして-言った		
H3282		H3068	H5002	H7650		H0559		

חָשַׂכְתָּ֙	וְלֹ֣א	הַזֹּ֔את	הַדָּבָ֖ר	אֶת־	עָשִׂ֥יתָ	אֲשֶׁ֛ר	
惜しまなかった	そして-惜しまなかった	この	この-事を	～を	あなたが-した	～であるところの	
H2820	H3808	H2088	H1697	H0853			

יְחִידֶֽךָ׃	אֶת־	בִּנְךָ֖	אֶת־	
あなたの-独り子を	～を	あなたの-息子を	～を	
H3173	H0853		H0853	

言った、「主は言われた、『わたしは自分をさして誓う。あなたがこの事をし、あなたの子、あなたのひとり子をも惜しまなかったので、

17

זַרְעֲךָ	אֶת־	אֲרִבֶּה	וְהַרְבָּה	אֲבָרֶכְךָ	בָרֵךְ	כִּי־
あなたの–子孫を	～を	わたしは–増やす	そして–増やす	わたしは–祝福する	祝福する	必ず
H2233	H0853			H1288	H1288	

הַיָּם	שְׂפַת	עַל־	אֲשֶׁר	וְכַחֹל	הַשָּׁמַיִם	כְּכוֹכְבֵי
海の	岸辺の	～の–上にある	～であるところの	そして–砂の–ように	天の	星の–ように
H3220	H8193			H2344	H8064	H3556

אֹיְבָיו׃	שַׁעַר	אֵת	זַרְעֲךָ	וְיִרַשׁ	
敵の	門を	～を	あなたの–子孫は	そして–受け継ぐ	
H0341	H8179	H0853	H2233	H3423	

わたしは大いにあなたを祝福し、大いにあなたの子孫をふやして、天の星のように、浜べの砂のようにする。あなたの子孫は敵の門を打ち取り、

18

עֵקֶב	הָאָרֶץ	גּוֹיֵי	כֹּל	בְּזַרְעֲךָ	וְהִתְבָּרֲכוּ	
～の–ゆえに	地の	国々の–民は	すべての	あなたの–子孫によって	そして–祝福される	
H6118	H0776		H3605	H2233	H1288	

בְּקֹלִי׃	שָׁמַעְתָּ	אֲשֶׁר	
わたしの–声に	あなたが–聞いた	～であるところの	
	H8085		

また地のもろもろの国民はあなたの子孫によって祝福を得るであろう。あなたがわたしの言葉に従ったからである』」。

19

וַיֵּלְכוּ	וַיָּקֻמוּ	נְעָרָיו	אֶל־	אַבְרָהָם	וַיָּשָׁב	
そして–行った	そして–立ち上がった	彼の–若者たちの	～のもとへ	アブラハムは	そして–戻った	
H3212		H5288	H0413	H0085	H7725	

פ	שָׁבַע׃בְּאֵר	אַבְרָהָם	וַיֵּשֶׁב	שָׁבַעבְּאֵר	אֶל־	יַחְדָּו
セラ	ベエル・シェバに	アブラハムは	そして–住んだ	ベエル・シェバへ	～へ	共に
	H0884	H0085	H3427	H0884	H0413	

アブラハムは若者たちの所に帰り、みな立って、共にベエルシバへ行った。そしてアブラハムはベエルシバに住んだ。

20

הִנֵּה	לֵאמֹר	לְאַבְרָהָם	וַיֻּגַּד	הָאֵלֶּה	הַדְּבָרִים	אַחֲרֵי	וַיְהִי
見よ	言って	アブラハムに	そして–告げられた	これらの	これらの–事の	後に	そして–あった
H2009	H0559	H0085	H5046	H0428	H1697		H1961

אָחִיךָ׃	לְנָחוֹר	בָּנִים	הִוא	גַּם־	מִלְכָּה	יָלְדָה
あなたの–兄弟に	ナホルに	息子たちを	彼女も	また	ミルカも	産んだ
H0251	H5152		H1931	H1571	H4435	H3205

これらの事の後、ある人がアブラハムに告げて言った、「ミルカもまたあなたの兄弟ナホルに子どもを産みました。

21

אֲרָם׃	אֲבִי	קְמוּאֵל	וְאֶת־	אָחִיו	בּוּז	וְאֶת־	בְּכֹרוֹ	עוּץ	אֶת־
アラムの	～の–父	ケムエルを	そして	彼の–弟と	ブズを	そして	彼の–長子と	ウツを	～を
H0758	H0001	H7055	H0853	H0251	H0938	H0853	H1060	H5780	H0853

長男はウヅ、弟はブズ、次はアラムの父ケムエル、

22

בְּתוּאֵל׃	וְאֶת	יִדְלָף	וְאֶת־	פַּלְדָּשׁ	וְאֶת־	חֲזוֹ	וְאֶת־	כֶּשֶׂד	וְאֶת־
ベトエルを	そして	イデラフと	そして	ピルダシュと	そして	ハゾと	そして	ケセドと	そして
	H0853	H3044	H0853	H6394	H0853	H2375	H0853	H3777	H0853

次はケセデ、ハゾ、ピルダシ、エデラフ、ベトエルです」。

23 וּבְתוּאֵ֖ל יָלַ֣ד אֶת־ רִבְקָ֑ה שְׁמֹנָ֣ה אֵ֔לֶּה יָלְדָ֥ה מִלְכָּ֖ה לְנָח֥וֹר
そして–ベトエルは 生んだ ～を リベカを 八人 これらの 産んだ ミルカは ナホルに
H0853 H3205 H7259 H8083 H0428 H3205 H4435 H5152

אֲחִֽי׃ אַבְרָהָֽם׃
～の–兄弟 アブラハムの
H0251 H0085

ベトエルの子はリベカであって、これら八人はミルカがアブラハムの兄弟ナホルに産んだのである。

24 וּפִֽילַגְשׁ֖וֹ וּשְׁמָ֣הּ וַתֶּ֥לֶד רְאוּמָ֑ה גַּם־ הִ֣וא טֶ֔בַח אֶת־
そして–彼の–そばめは そして–彼女の–名は そして–産んだ レウマで また 彼女も テバハと ～を
H6370 H8034 H3205 H7208 H1571 H1931 H2875 H0853

וְאֶת־ תָּחַ֥שׁ וְאֶת־ גַּ֖חַם וְאֶת־ מַעֲכָֽה׃ ס
そして タハシュと そして ガハムと そして マアカを セラ
H0853 H8477 H0853 H1514 H0853 H4601

ナホルのそばめで、名をルマという女もまたテバ、ガハム、タハシおよびマアカを産んだ。

Chapter 23

1 שְׁנֵ֣י שְׁנֵ֔י וְשִׁבְעָ֥ה שָׁנָ֖ה וְעֶשְׂרִ֣ים שָׁנָ֑ה מֵאָ֥ה שְׁנַת־ שָׂרָ֖ה חַיֵּ֥י וַיִּהְיוּ֙
–の–年 年 そして–七 歳と そして–二十 歳と 百 サラの 生涯は そして–あった
H8141 H8141 H7651 H8141 H6242 H8141 H3967 H8283 H2416 H1961

שָׂרָֽה׃ חַיֵּ֥י
サラの 生涯の
H8283

サラの一生は百二十七年であった。これがサラの生きながらえた年である。

2 בְּאֶ֣רֶץ כְּנָ֔עַן חֶבְר֖וֹן הִ֣וא אַרְבַּ֑ע קִרְיַ֥ת בְּ֠ וַתָּ֥מָת שָׂרָ֛ה וַתָּ֥מָת
–の–地で カナンの ヘブロンである それは キリヤト・アルバで サラは そして–死んだ
H0776 H3667 H1931 H7153 H8283 H4191

וַיָּבֹ֣א אַבְרָהָ֔ם לִ֥ספֹּד לְשָׂרָ֖ה וְלִבְכֹּתָֽהּ׃
そして–来た アブラハムは 嘆くために サラのために そして–泣くために
H0935 H0085 H5594 H8283 H1058

サラはカナンの地のキリアテ・アルバすなわちヘブロンで死んだ。アブラハムは中にはいってサラのために悲しみ泣いた。

3 וַיָּ֣קָם אַבְרָהָ֗ם מֵעַ֛ל פְּנֵ֥י מֵתֽוֹ וַיְדַבֵּ֖ר אֶל־
そして–立ち上がった アブラハムは ～から–離れて 前の 彼の–死者の そして–語った ～に
H0413 H1696 H4191 H6440 H5921 H0853

בְּנֵי־ חֵ֖ת לֵאמֹֽר׃
–の–子らに ヘトの 言って
H2845 H0559

アブラハムは死人のそばから立って、ヘテの人々に言った、

4 גֵּ֣ר וְתוֹשָׁ֤ב אָנֹכִי֙ עִמָּכֶ֔ם תְּנ֥וּ לִ֖י אֲחֻזַּת־ קֶ֣בֶר
寄留者で そして–住人は 私は あなたがたの–中に–いる 与えてください 私に 所有の–地を 墓の
H1616 H8453 H0595 H5973 H5414 H0272 H6913

מֵתִ֖י וְאֶקְבְּרָ֥ה מִלְּפָנָֽי׃ עִמָּכֶ֑ם
私の–死者を そして–葬る あなたがたの–中に 私の–前から
H4191 H6912 H5973 H6440

「わたしはあなたがたのうちの旅の者で寄留者ですが、わたしの死人を出して葬るため、あなたがたのうちにわたしの所有として一つの墓地をください」。

5 וַיַּעֲנוּ בְנֵי־חֵת אֶת־אַבְרָהָם לֵאמֹר לוֹ׃
そして–答えた –の–子らは ヘトの ～に アブラハムに 言って 彼に
H6030 H1121 H2845 H0853 H0085 H0559

ヘテの人々はアブラハムに答えて言った、

6 שְׁמָעֵנוּ אֲדֹנִי נְשִׂיא אֱלֹהִים אַתָּה בְּתוֹכֵנוּ בְּמִבְחַר
聞いてください わが–主よ 君主 神の あなたは 私たちの–中の 最も–良い
H8085 H0113 H5387 H0430 H0859 H8432 H4005

קָבְרֶךָ אִישׁ מִמֶּנּוּ אֶת־מֵתֶךָ תִּקְבֹּר אִישׁ מִמְּךָ לֹא־יִכְלֶה
彼の–墓を ～を 私たちの–中から 誰も あなたの–死者を ～を 葉りなさい 私たちの–墓の–中に
H6913 H0853 H4480 H0376 H4191 H0853 H6912 H6913

מִמְּךָ מִקְבֹּר מֵתֶךָ׃
あなたから 葉ることから あなたの–死者を
H4480 H6913 H4191

「わが主よ、お聞きなさい。あなたはわれわれのうちにおられて、神のような主君です。われわれの墓地の最も良い所にあなたの死人を葬りなさい。その墓地を拒んで、あなたにその死人を葬らせない者はわれわれのうちには、ひとりもないでしょう」。

7 וַיָּקָם אַבְרָהָם וַיִּשְׁתַּחוּ לְעַם־הָאָרֶץ לִבְנֵי־חֵת׃
そして–立ち上がった アブラハムは そして–ひれ伏した その–地の その–地の–民に –の–子らに
H6965 H0085 H7812 H5971 H0776 H1121 H2845

アブラハムは立ちあがり、その地の民ヘテの人々に礼をして、

8 וַיְדַבֵּר אִתָּם לֵאמֹר אִם־יֶשׁ אֶת־נַפְשְׁכֶם לִקְבֹּר אֶת־מֵתִי
そして–語った 彼らと 言って もし ～が あるなら あなたがたの–心に 葉ることを ～を 私の–死者を
H1696 H0854 H0559 H0518 H3426 H5315 H6912 H0853 H4191

שִׁמְעוּנִי וּפִגְעוּ־לִי בְּעֶפְרֹן
聞いてください そして–取り次いでください 私のために エフロンに
H8085 H6293 H3807 H6085

9 בֶּן־צֹחַר׃ וְיִתֶּן־לִי אֶת־מְעָרַת הַמַּכְפֵּלָה אֲשֶׁר־לוֹ
–の–息子 ツォハルの そして–与えてくれるように ～を 私に 洞窟を マクペラの ～であるところの 彼の
H1121 H6714 H5414 H0853 H3807 H4631 H4375 H3807

אֲשֶׁר־בִּקְצֵה שָׂדֵהוּ בְּכֶסֶף מָלֵא יִתְּנֶנָּה לִי בְּתוֹכְכֶם
～であるところの ～の–端にある 彼の–畑の 十分な–代金で 十分な 与えてください 私に あなたがたの–中で
H3606 H7097 H7704 H3701 H4392 H5414 H3807 H8432

לַאֲחֻזַּת־קָבֶר׃
所有の–地として 墓の
H0272 H6913

彼が持っている畑の端のマクペラのほら穴をじゅうぶんな代価でわたしに与え、あなたがたのうちに墓地を持たせてください」。

10 וְעֶפְרֹ֣ון וְעֶפְרֹון֙ יֹשֵׁ֣ב בְּתֹ֣וךְ בְּנֵי־ חֵ֔ת וַיַּעַן֩ עֶפְרֹ֨ון
そして-エフロンは 座っていた ～の-中に -の-子らの ヘトの そして-答えた エフロンは
H6085 H3427 H8432 H2845 H6085

הַחִתִּ֑י מֹשְׁבֵ֖י כָּל־ בְּנֵי־ חֵ֔ת בְּאָזְנֵ֣י אַבְרָהָ֗ם אֶת־ בָּאֵי֙ שַׁ֣עַר־
ヒッタイト人の ～に アブラハムに -の-耳に -の-子らの ヘトの すべての 入る-者の 門に-入る
H2850 H0853 H0085 H0241 H2845 H3605 H0935 H8179

עִירֹ֖ו לֵאמֹֽר׃
彼の-町の 言って
H0559

時にエフロンはヘテの人々のうちにすわっていた。そこでヘテびとエフロンはヘテの人々、すなわちすべてその町の門にはいる人々の聞いているところで、アブラハムに答えて言った、

11 וְהַמְּעָרָ֣ה לְךָ֗ נָתַ֤תִּי הַשָּׂדֶה֙ שְׁמָ֣עֵנִי אֲדֹנָ֔י לֹ֣א־
そして-洞窟も あなたに 私は-与えた その-畑を 聞いてください わが-主よ いいえ
H4631 H5414 H8085 H0113 H3808

עַמִּ֖י בְּנֵי־ לְעֵינֵ֣י נְתַתִּ֔יהָ לְךָ֖ בּ֑וֹ אֲשֶׁר־
私の-民の -の-子らの ～の-目の-前で 私は-与えた あなたのために その-中の ～であるところの
H5414

מֵתֶ֖ךָ׃ קְבֹ֥ר לְךָ֛ נְתַתִּ֥יהָ
あなたの-死者を 葉りなさい あなたに 私は-与えた
H4191 H6912 H5414

「いいえ、わが主よ、お聞きなさい。わたしはあの畑をあなたにさしあげます。またその中にあるほら穴もさしあげます。わたしの民の人々の前で、それをさしあげます。あなたの死人を葬りなさい」。

12 הָאָ֔רֶץ׃ עַ֣ם לִפְנֵ֖י אַבְרָהָ֑ם וַיִּשְׁתַּ֖חוּ
その-地の その-地の-民の ～の-前で アブラハムは そして-ひれ伏した
H0776 H6440 H0085 H7812

アブラハムはその地の民の前で礼をし、

13 אַ֚ךְ לֵאמֹ֔ר הָאָ֖רֶץ עַם־ בְּאָזְנֵ֣י עֶפְרֹ֔ון אֶל־ וַיְדַבֵּ֥ר אִם־
ただ 言って その-地の その-地の-民の -の-耳に エフロンに ～に そして-語った もし
H0389 H0559 H0776 H0241 H6085 H0413 H1696

לִּ֗י שְׁמָעֵ֔נִי נָתַ֥תִּי הַשָּׂדֶה֙ כֶּ֣סֶף קַח־
どうか 聞いてください 私は-払う その-畑の その-畑の-代金を 受け取ってください
H3863 H8085 H5414 H3701 H3947

מִמֶּ֔נִּי וְאֶקְבְּרָ֥ה מֵתִ֖י אֶת־ שָׁ֑מָּה׃
私から そして-葬る ～を 私の-死者を そこに
H6912 H0853 H4191 H8033

その地の民の聞いているところでエフロンに言った、「あなたがそれを承諾されるなら、お聞きなさい。わたしはその畑の代価を払います。お受け取りください。わたしの死人をそこに葬りましょう」。

14 לֹ֑ו׃ לֵאמֹ֖ר אַבְרָהָ֔ם אֶת־ עֶפְרֹ֔ון וַיַּ֥עַן
彼に 言って アブラハムに ～に エフロンは そして-答えた
H0559 H0085 H0853 H6085

エフロンはアブラハムに答えて言った、

15

בֵּינִי	כֶּסֶף	שֶׁקֶל־	מֵאָת	אַרְבַּע	אֶרֶץ	שְׁמָעֵנִי	אֲדֹנִי
私と	銀の	シェケルの–銀	–の	四百	地は	聞いてください	わが–主よ
H0996	H3701	H8255	H3967	H0702	H0776	H8085	H0113

קְבֹר׃	מֵתֶךָ	וְאֶת־	הוּא	מַה־	וּבֵינְךָ	
葬りなさい	あなたの–死者を	そして	それは	何であろうか	そして–あなたとの–間で	
H6912	H4191	H0853	H1931	H4100	H0996	

「わが主よ、お聞きなさい。あの地は銀四百シケルですが、これはわたしとあなたの間で、なにほどのことでしょう。あなたの死人を葬りなさい」。

16

אֶת־	לְעֶפְרֹן	אַבְרָהָם	וַיִּשְׁקֹל	עֶפְרוֹן	אֶל־	אַבְרָהָם	וַיִּשְׁמַע
～を	エフロンに	アブラハムは	そして–量った	エフロンに	～に	アブラハムは	そして–聞いた
H0853	H6085	H0085	H8254	H6085	H0413	H0085	H8085

שֶׁקֶל	מֵאוֹת	אַרְבַּע	חֵת	בְּנֵי־	בְּאָזְנֵי	דִּבֶּר	אֲשֶׁר
シェケルの–銀を	–の	四百	ヘトの	–の–子らの	–の–耳に	語った	～であるところの
H8255	H3967	H0702	H2845		H0241	H1696	

הַכֶּסֶף	אֲשֶׁר	לַסֹּחֵר׃	עֹבֵר	כֶּסֶף
その–銀を	～であるところの	商人の–間で	流通する	銀の
H3701		H5503		H3701

そこでアブラハムはエフロンの言葉にしたがい、エフロンがヘテの人々の聞いているところで言った銀、すなわち商人の通用銀四百シケルを量ってエフロンに与えた。

17

אֲשֶׁר	בַּמַּכְפֵּלָה	אֲשֶׁר	עֶפְרוֹן	שְׂדֵה	וַיָּקָם
～であるところの	マクペラに–ある	～であるところの	エフロンの	エフロンの–畑は	そして–確定した
	H4375		H6085		

הָעֵץ	וְכָל־	בּוֹ	אֲשֶׁר־	וְהַמְּעָרָה	הַשָּׂדֶה	לִפְנֵי
木と	そして–すべての	その–中の	～であるところの	そして–洞窟と	その–畑と	～の–前の
H6086	H3605			H4631		H6440

סָבִיב׃	גְּבֻלוֹ	בְּכָל־	אֲשֶׁר	בַּשָּׂדֶה	אֲשֶׁר
周囲の	境界の–中の	すべての	～であるところの	その–畑の–中の	～であるところの
H5439	H1366	H3605			

こうしてマムレの前のマクペラにあるエフロンの畑は、畑も、その中のほら穴も、畑の中およびその周囲の境にあるすべての木も皆、

18

בְּכֹל	חֵת	בְּנֵי־	לְעֵינֵי	לְמִקְנָה	לְאַבְרָהָם
すべての	ヘトの	–の–子らの	～の–目の–前で	買い取りとして	アブラハムの–ものとなった
H3605	H2845			H4736	H0085

עִירוֹ׃	שַׁעַר־	בָּאֵי
彼の–町の	門に–入る	入る–者の
	H8179	H0935

ヘテの人々の前、すなわちその町の門にはいるすべての人々の前で、アブラハムの所有と決まった。

19

וְאַחֲרֵי־ כֵ֗ן קָבַ֤ר אַבְרָהָם֙ אֶת־ שָׂרָ֣ה אִשְׁתּ֔וֹ אֶל־ מְעָרַ֖ת שְׂדֵ֣ה הַמַּכְפֵּלָ֑ה עַל־ פְּנֵי֙ מַמְרֵ֔א הִ֖וא חֶבְר֥וֹן בְּאֶֽרֶץ־ כְּנָֽעַן׃

そして–その後 その後 葉った アブラハムは ～を サラを 彼の–妻を ～の–中に
そして–その後 その後 葉った アブラハムは ～を サラを 彼の–妻を ～の–中に
H0413 H0802 H8283 H0853 H0085 H6912 その後 そして–その後
マクペラの–洞窟の–中に 畑の マクペラの ～の–前の ～の–前の マムレの ～の–前の それは ヘブロンである
H4631 H7704 H4375 H5921 H4471 H6440 H1931
–の–地に カナンの
H0776

その後、アブラハムはその妻サラをカナンの地にあるマムレ、すなわちヘブロンの前のマクペラの畑のほら穴に葬った。

20

וַיָּ֨קָם֙ הַשָּׂדֶ֣ה וְהַמְּעָרָ֔ה אֲשֶׁר־ בּ֖וֹ לְאַבְרָהָ֑ם לְאֲחֻזַּת־ קֶ֔בֶר מֵאֵ֖ת בְּנֵי־ חֵ֥ת׃ ס

そして–確定した その–畑と そして–洞窟は ～であるところの その–中の アブラハムの–ものとなった
H0877 H7704 H4631 H0834 H0996 H0085
そして–確定した その–畑と そして–洞窟は ～であるところの その–中の アブラハムの–ものとなった
H0877 H7704 H4631 H0834 H0996 H0085
所有の–地として 墓の ～から –の–子らから ヘトの セラ
H0272 H6913 H0854 H1121 H2845

このように畑とその中にあるほら穴とはヘテの人々によってアブラハムの所有の墓地と定められた。

Chapter 24

1

וְאַבְרָהָם֙ זָקֵ֣ן בָּ֔א בַּיָּמִ֑ים וַיהוָ֥ה בֵּרַ֛ךְ אֶת־ אַבְרָהָ֖ם בַּכֹּֽל׃

そして–アブラハムは 老いて 進んだ 日々に そして–主は ～を 祝福した アブラハムを
H0085 H2204 H0935 H3117 H3068 H0853 H1288 H0085
すべてにおいて
H3605

アブラハムは年が進んで老人となった。主はすべての事にアブラハムを恵まれた。

2

וַיֹּ֣אמֶר אַבְרָהָם֮ אֶל־ עַבְדּוֹ֒ זְקַ֣ן בֵּיתוֹ֗ הַמֹּשֵׁל֙ בְּכָל־ אֲשֶׁר־ לוֹ֙ שִׂ֣ים נָ֔א יָדְךָ֖ תַּ֥חַת יְרֵכִֽי׃

そして–言った アブラハムは ～に 僕に–彼の 最も–古い 家の–彼の 管理する–者 すべての
H0559 H0085 H0413 H5650 H2205 H1004 H4910 H3605
置きなさい どうか あなたの–手を ～の–下に 私の–ももの ～であるところの 彼の
H7760 H4994 H3027 H8478 H3409 H0834 H0996

さてアブラハムは所有のすべてを管理させていた家の年長のしもべに言った、「あなたの手をわたしのももの下に入れなさい。

3

וְאַשְׁבִּיעֲךָ֗ בַּיהוָה֙ אֱלֹהֵ֣י הַשָּׁמַ֔יִם וֵאלֹהֵ֖י הָאָ֑רֶץ אֲשֶׁ֣ר לֹֽא־ תִקַּ֤ח אִשָּׁה֙ לִבְנִ֔י מִבְּנ֥וֹת הַכְּנַעֲנִ֖י אֲשֶׁ֣ר אָנֹכִ֑י יוֹשֵׁ֥ב בְּקִרְבּֽוֹ׃

そして–誓わせる 主にかけて 神の 天の そして–神の 地の ～ということを 取らない
H7650 H3068 H0430 H8064 H0430 H0776 H0834 H3808
妻を 取らない 私の–息子のために –の–娘たちから カナン人の ～であるところの 私が 住んでいる
H0802 H3947 H0996 H1121 H4480 H3669 H0834 H0595 H3427
その–中に
H7130

わたしはあなたに天地の神、主をさして誓わせる。あなたはわたしが今一緒に住んでいるカナンびとのうちから、娘をわたしの子の妻にめとってはならない。

4

וְלָקַחְתָּ
そして-取りなさい
H3947

תֵּלֵךְ
行きなさい
H3212

מוֹלַדְתִּי
私の-親族のもとへ
H4138

וְאֶל־
そして-〜へ
H0413

אַרְצִי
私の-地へ
H0776

אֶל־
〜へ
H0413

כִּי
そうではなく

לְיִצְחָק׃
イサクのために
H3327

לִבְנִי
私の-息子のために

אִשָּׁה
妻を
H0802

あなたはわたしの国へ行き、親族の所へ行って、わたしの子イサクのために妻をめとらなければならない」。

5

לָלֶכֶת
行くことを
H3212

הָאִשָּׁה
その-女が
H0802

תֹּאבֶה
応じない
H0014

לֹא־
応じない
H3808

אוּלַי
もしかしたら
H0194

הָעֶבֶד
その-僕は
H5650

אֵלָיו
彼に
H0413

וַיֹּאמֶר
そして-言った
H0559

אֶל־
〜へ
H0413

בִּנְךָ
あなたの-息子を

אֶת־
〜を
H0853

אָשִׁיב
連れ戻すべきか
H7725

הֲהָשֵׁב
必ず
H7725

הַזֹּאת
この
H2063

הָאָרֶץ
この-地へ
H0776

אֶל־
〜へ
H0413

אַחֲרָי
私の-後に

מִשָּׁם׃
そこから

יָצָאתָ
あなたが-出た
H3318

אֲשֶׁר־
〜であるところの

הָאָרֶץ
その-地へ
H0776

しもべは彼に言った、「もしその女がわたしについてこの地に来ることを好まない時は、わたしはあなたの子をあなたの出身地に連れ帰るべきでしょうか」。

6

אֶת־
〜を
H0853

תָּשִׁיב
連れ戻すな
H7725

פֶּן־
しないように
H6435

לְךָ
あなた自身

הִשָּׁמֶר
気をつけなさい
H8104

אַבְרָהָם
アブラハムは
H0085

אֵלָיו
彼に
H0413

וַיֹּאמֶר
そして-言った
H0559

שָׁמָּה׃
そこへ
H8033

בְּנִי
私の-息子を

アブラハムは彼に言った、「わたしの子は決して向こうへ連れ帰ってはならない。

7

וּמֵאֶרֶץ
そして-〜から
H0776

אָבִי
私の-父の-家から
H0001

מִבֵּית
〜から-私を

לָקְחַנִי
取った
H3947

אֲשֶׁר
〜であるところの

הַשָּׁמַיִם
天の
H8064

אֱלֹהֵי
神の
H0430

וַיהוָה
主は
H3068

לִי
私に

נִשְׁבַּע־
誓った
H7650

וַאֲשֶׁר
そして-〜であるところの

לִי
私に

דִּבֶּר־
語った
H1696

וַאֲשֶׁר
そして-〜であるところの

מוֹלַדְתִּי
私の-親族の-地から
H4138

מַלְאָכוֹ
彼の-御使いを
H4397

יִשְׁלַח
遣わす
H7971

הוּא
彼が
H1931

הַזֹּאת
この
H2063

הָאָרֶץ
この-地を
H0776

אֶת־
〜を
H0853

אֶתֵּן
与える
H5414

לְזַרְעֲךָ
あなたの-子孫に
H2233

לֵאמֹר
言って
H0559

מִשָּׁם׃
そこから

לִבְנִי
私の-息子のために

אִשָּׁה
妻を
H0802

וְלָקַחְתָּ
そして-取る
H3947

לְפָנֶיךָ
あなたの-前に
H6440

天の神、主はわたしを父の家、親族の地から導き出してわたしに語り、わたしに誓って、おまえの子孫にこの地を与えると言われた。主は、み使をあなたの前につかわされるであろう。あなたはあそこからわたしの子に妻をめとらねばならない。

8

וְנִקֵּיתָ	אַחֲרִיכִי	לָלֶכֶת	הָאִשָּׁה	תֹּאבֶה	לֹא	וְאִם־
そうすれば–免れる	あなたの–後に	行くことを	その–女が	応じないなら	応じないなら	しかし–もし
H5352		H3212	H0802	H0014	H3808	

שָׁמָּה׃	תָּשֵׁב	לֹא	בְּנִי	אֶת־	רַק	זֹאת	מִשְּׁבֻעָתִי
そこへ	連れ戻すな	連れ戻すな	私の–息子を	～を	ただ	この	私の–誓いから
H8033	H7725	H3808		H0853	H7535	H2063	H7621

けれどもその女があなたについて来ることを好まないなら、あなたはこの誓いを解かれる。ただわたしの子を向こうへ連れ帰ってはならない」。

9

אֲדֹנָיו	אַבְרָהָם	יֶרֶךְ	תַּחַת	יָדוֹ	אֶת־	הָעֶבֶד	וַיָּשֶׂם
彼の–主人の	アブラハムの	ももの	～の–下に	彼の–手を	～を	その–僕は	そして–置いた
H0113	H0085	H3409	H8478	H3027	H0853	H5650	

הַזֶּה׃	הַדָּבָר	עַל־	לוֹ	וַיִּשָּׁבַע
この	この–事について	～について	彼に	そして–誓った
H2088	H1697			H7650

そこでしもべは手を主人アブラハムのももの下に入れ、この事について彼に誓った。

10

וַיֵּלֶךְ	אֲדֹנָיו	מִגְמַלֵּי	גְּמַלִּים	עֲשָׂרָה	הָעֶבֶד	וַיִּקַּח	
そして–行った	彼の–主人の	～の–らくだから	らくだを	十–頭の	その–僕は	そして–取った	
H3212	H0113	H1581	H1581	H6235	H5650	H3947	

אֶל־	וַיֵּלֶךְ	וַיָּקָם	בְּיָדוֹ	אֲדֹנָיו	טוּב	וְכָל־	
～へ	そして–行った	そして–立ち上がった	彼の–手に	彼の–主人の	良い–ものを	そして–すべての	
H0413	H3212		H3027	H0113	H2898	H3605	

נָחוֹר׃	עִיר	אֶל־	אֲרַם נַהֲרַיִם	
ナホルの	ナホルの–町へ	～へ	アラム・ナハライムへ	
H5152		H0413	H0763	

しもべは主人のらくだのうちから十頭のらくだを取って出かけた。すなわち主人のさまざまの良い物を携え、立ってアラム・ナハライムにむかい、ナホルの町へ行った。

11

עֶרֶב	לְעֵת	הַמָּיִם	בְּאֵר	אֶל־	לָעִיר	מִחוּץ	הַגְּמַלִּים	וַיַּבְרֵךְ
夕方の	～の–時に	水の	井戸の	～の–そばに	町の	外に	らくだを	そして–ひざまずかせた
H6153	H6256	H4325	H0875	H0413		H2351	H1581	H1288

הַשֹּׁאֲבֹת׃	צֵאת	לְעֵת
水を–汲む–女たちが	出る	～の–時に
H7579	H3318	H6256

彼はらくだを町の外の、水の井戸のそばに伏させた。時は夕暮で、女たちが水をくみに出る時刻であった。

12

הַיּוֹם	לְפָנַי	נָא	הַקְרֵה־	אַבְרָהָם	אֲדֹנִי	אֱלֹהֵי	יְהוָה	וַיֹּאמַר
今日	私の–前に	どうか	かなえてください	アブラハムの	私の–主人	神の	主よ	そして–言った
H3117	H6440	H4994		H0085	H0113	H0430	H3068	H0559

אַבְרָהָם׃	אֲדֹנִי	עִם	חַסְדּוֹ	וַעֲשֵׂה־
アブラハムに	私の–主人	～と–共に	真実の–愛を	そして–示してください
H0085	H0113			

彼は言った、「主人アブラハムの神、主よ、どうか、きょう、わたしにしあわせを授け、主人アブラハムに恵みを施してください。

13

יֹצְאֹת	הָעִיר	אַנְשֵׁי	וּבְנוֹת	הַמָּיִם	עֵין	עַל־	נִצָּב	אָנֹכִי	הִנֵּה
出てくる	町の	人々の	そして–娘たちが	水の	泉の	～の–そばに	立っている	私は	見よ
H3318		H0376	H1323	H4325			H5324	H0595	H2009

מָיִם׃	לִשְׁאֹב
水を	水を–汲むために
H4325	H7579

わたしは泉のそばに立っています。町の人々の娘たちが水をくみに出てきたとき、

14

נָא	הַטִּי־	אֵלֶיהָ	אֹמַר	אֲשֶׁר	הַנַּעֲרָ	וְהָיָה	
どうか	傾けてください	彼女に	私が–言う	～であるところの	その–娘が	そして–あるだろう	
H4994	H5186	H0413	H0559		H5291	H1961	

וְגַם־	שְׁתֵּה	וְאָמְרָה	וְאֶשְׁתֶּה	כַדֵּךְ	
そして–また	飲みなさい	そして–彼女が–言う	そして–飲ませてください	あなたの–かめを	
H1571	H8354	H0559	H8354	H3537	

לְיִצְחָק	לְעַבְדֶּךָ	הֹכַחְתָּ	אֹתָהּ	אַשְׁקֶה	גְמַלֶיךָ	
イサクのために	あなたの–僕のために	あなたが–定めた	彼女を	水を–飲ませる	あなたの–らくだにも	
H3327	H5650	H3198	H0853	H8248	H1581	

עִם־	חֶסֶד	עָשִׂיתָ	כִּי־	אֵדַע	וּבָהּ
～と–共に	真実の–愛を	あなたが–示した	～ということを	私は–知る	そして–彼女によって
				H3045	

אֲדֹנִי׃
私の–主人に
H0113

娘に向かって『お願いです、あなたの水がめを傾けてわたしに飲ませてください』と言い、娘が答えて、『お飲みください。あなたのらくだにも飲ませましょう』と言ったなら、その者こそ、あなたがしもべイサクのために定められた者ということにしてください。わたしはこれによって、あなたがわたしの主人に恵みを施されることを知りましょう」。

15

יֹצֵאת	רִבְקָה	וְהִנֵּה	לְדַבֵּר	כְּלָה	טֶרֶם	הוּא	וַיְהִי־	
出てきた	リベカが	そして–見よ	語ることを	終えない–うちに	まだ	彼が	そして–あった	
H3318	H7259	H2009	H1696	H3615	H2962	H1931	H1961	

אֲחִי	נָחוֹר	אֵשֶׁת	מִלְכָּה	בֶּן־	לִבְתוּאֵל	יִלְדָה	אֲשֶׁר
～の–兄弟	ナホルの	～の–妻	ミルカの	–の–息子	ベトエルに	生まれた	～であるところの
H0251	H5152	H0802	H4435			H3205	

שִׁכְמָהּ׃	עַל־	וְכַדָּהּ	אַבְרָהָם
彼女の–肩の	～の–上に	そして–彼女の–かめは	アブラハムの
H7926		H3537	H0085

彼がまだ言い終らないうちに、アブラハムの兄弟ナホルの妻ミルカの子ベトエルの娘リベカが、水がめを肩に載せて出てきた。

16

לֹא	וְאִישׁ	בְּתוּלָה	מְאֹד	מַרְאֵהּ	טֹבַת	וְהַנַּעֲרָ	
ない	そして–男は	乙女で	非常に	容姿の	非常に–美しい	そして–その–娘は	
H3808	H0376	H1330	H3966	H4758		H5291	

וַתַּעַל׃	כַדָּהּ	וַתְּמַלֵּא	הָעַיְנָה	וַתֵּרֶד	יְדָעָהּ	
そして–上った	彼女の–かめを	そして–満たした	泉へ	そして–下りた	知った–ことが–なかった	
H5927	H3537	H4390		H3381	H3045	

その娘は非常に美しく、男を知らぬ処女であった。彼女が泉に降りて、水がめを満たし、上がってきた時、

17

מְעַט־ 少しの-水を H4592 | נָא どうか H4994 | הַגְמִיאִינִי 飲ませてください H1572 | וַיֹּאמֶר そして-言った H0559 | לִקְרָאתָהּ 彼女に-会うために H7125 | הָעֶבֶד その-僕は H5650 | וַיָּרָץ そして-走った H7323

מִכַּדֵּךְ׃ あなたの-かめから H3537 | מַיִם 水を H4325

しもべは走り寄って、彼女に会って言った、「お願いです。あなたの水がめの水を少し飲ませてください」。

18

עַל־ ～の-上に | כַּדָּהּ 彼女の-かめを H3537 | וַתָּרֶד そして-下ろした H3381 | וַתְּמַהֵר そして-急いだ | אֲדֹנִי わが-主よ H0113 | שְׁתֵה 飲みなさい H8354 | וַתֹּאמֶר そして-言った H0559

וַתַּשְׁקֵהוּ׃ そして-飲ませた H8248 | יָדָהּ 彼女の-手の H3027

すると彼女は「わが主よ、お飲みください」と言って、急いで水がめを自分の手に取りおろして彼に飲ませた。

19

עַד ～まで | אֶשְׁאָב 汲む H7579 | לִגְמַלֶּיךָ あなたの-らくだのためにも H1581 | גַּם また H1571 | וַתֹּאמֶר そして-言った H0559 | לְהַשְׁקֹתוֹ 飲ませることを H8248 | וַתְּכַל そして-終えた H3615

לִשְׁתֹּת׃ 飲み終えるまで H8354 | כִּלּוּ 飲み-終えるまで H3615 | אִם־ もし

飲ませ終って、彼女は言った、「あなたのらくだもみな飲み終るまで、わたしは水をくみましょう」。

20

אֶל־ ～へ H0413 | עוֹד さらに H5750 | וַתָּרָץ そして-走った H7323 | הַשֹּׁקֶת 水飲み-樽の H8268 | אֶל־ ～の-中へ H0413 | כַּדָּהּ 彼女の-かめを H3537 | וַתַּעַר そして-空けた H6168 | וַתְּמַהֵר そして-急いだ

גְּמַלָּיו׃ 彼の-らくだの H1581 | לְכָל־ すべての-ために H3605 | וַתִּשְׁאַב そして-汲んだ H7579 | לִשְׁאֹב 汲むために H7579 | הַבְּאֵר 井戸へ H0875

彼女は急いでかめの水を水ぶねにあけ、再び水をくみに井戸に走って行って、すべてのらくだのために水をくんだ。

21

דַּרְכּוֹ 彼の-道を H1870 | יְהוָה 主が H3068 | הַהִצְלִיחַ 成功させたか | לָדַעַת 知るために H3045 | מַחֲרִישׁ 黙って | לָהּ 彼女を | מִשְׁתָּאֶה 驚いて-見ていた H7583 | וְהָאִישׁ そして-その-人は H0376

לֹא׃ 否か H3808 | אִם־ か-否か

その間その人は主が彼の旅の祝福されるか、どうかを知ろうと、黙って彼女を見つめていた。

22

נֶזֶם 金の-鼻輪を H5141 | הָאִישׁ その-人は H0376 | וַיִּקַּח そして-取った H3947 | לִשְׁתּוֹת 飲むことを H8354 | הַגְּמַלִּים らくだが H1581 | כִּלּוּ 終えた H3615 | כַּאֲשֶׁר ～の-とき | וַיְהִי そして-あった H1961

זָהָב 金の H2091 | עֲשָׂרָה 十 H6235 | יָדֶיהָ 彼女の-手の H3027 | עַל־ ～の-上に | צְמִידִים 腕輪を | וּשְׁנֵי そして-二つの H8147 | מִשְׁקָלוֹ その-重さの H4948 | בֶּקַע 半-シェケル H1235 | זָהָב 金の H2091

מִשְׁקָלָם׃ その-重さの H4948

らくだが飲み終ったとき、その人は重さ半シケルの金の鼻輪一つと、重さ十シケルの金の腕輪二つを取って、

23 וַיֹּ֣אמֶר בַּת־ מִי־ אַתְּ הַגִּ֣ידִי נָּ֣א לִ֔י הֲיֵ֥שׁ בֵּית־
そして-言った -娘 誰の あなたは 教えてください どうか 私に あるか -の-家に
H0559 H1323 H4310 H0859 H5046 H4994 H0589 H3426

לָ֖נוּ לָלִ֑ין׃ מָק֥וֹם אָבִ֖יךְ
私たちのために 泊まるための 場所が あなたの-父の
H0589 H3885 H4725 H0001

言った、「あなたはだれの娘か、わたしに話してください。あなたの父の家にわたしどもの泊まる場所がありましょうか」。

24 וַתֹּ֣אמֶר אֵלָ֗יו בַּת־ אָנֹכִי֙ בְּתוּאֵ֣ל בֶּן־ מִלְכָּ֔ה אֲשֶׁ֥ר
そして-言った 彼に -娘です 私は ベトエルの -の-息子 ミルカの ～であるところの
H0559 H0413 H1323 H0595 H1328 H1121 H4435 H0834

יָלְדָ֖ה לְנָחֽוֹר׃
産んだ ナホルに
H3205 H5152

彼女は彼に言った、「わたしはナホルの妻ミルカの子ベトエルの娘です」。

25 וַתֹּ֣אמֶר אֵלָ֗יו גַּם־ תֶּ֙בֶן֙ גַּם־ מִסְפּ֣וֹא רַ֔ב גַּם־ עִמָּ֖נוּ מָק֥וֹם
そして-言った 彼に また わらも また 飼い葉も 多く また 私たちのもとに 場所も
H0559 H0413 H1571 H8401 H1571 H4554 H7227 H1571 H0854 H4725

לָלִֽין׃
泊まるための
H3885

また彼に言った、「わたしどもには、わらも、飼葉もたくさんあります。また泊まる場所もあります」。

26 וַיִּקֹּ֥ד הָאִ֛ישׁ וַיִּשְׁתַּ֥חוּ לַיהוָֽה׃
そして-ひざまずいた その-人は そして-ひれ伏した 主に
H6915 H0376 H7812 H3068

その人は頭を下げ、主を拝して、

27 וַיֹּ֣אמֶר בָּר֤וּךְ יְהוָה֙ אֱלֹהֵ֣י אֲדֹנִ֔י אֲשֶׁ֥ר
そして-言った ほむべきかな 主は 神の 私の-主人 アブラハムの ～であるところの
H0559 H1288 H3068 H0430 H0113 H0085 H0834

לֹא־ עָזַ֤ב חַסְדּוֹ֙ וַאֲמִתּ֔וֹ מֵעִ֖ם אֲדֹנִ֑י אָנֹכִי֙
捨てなかった 捨てなかった 彼の-真実の-愛と そして-彼の-誠実さを ～から 私の-主人から 私を
H3808 H5800 H2617 H0571 H5973 H0113 H0589

בַּדֶּ֔רֶךְ נָחַ֥נִי יְהוָ֖ה בֵּ֣ית אֲחֵ֥י אֲדֹנִֽי׃
その-道で 導いた 主は ～の-家へ -の-兄弟の 私の-主人の
H1870 H5148 H3068 H1004 H0251 H0113

言った、「主人アブラハムの神、主はほむべきかな。主はわたしの主人にいつくしみと、まことを惜しまれなかった。そして主は旅にあるわたしを主人の兄弟の家に導かれた」。

28 וַתָּ֣רָץ הַנַּעֲרָ֔ וַתַּגֶּ֖ד לְבֵ֣ית אִמָּ֑הּ כַּדְּבָרִ֥ים הָאֵֽלֶּה׃
そして-走った その-娘は そして-告げた ～の-家に 彼女の-母の これらの-言葉を これらの
H7323 H5291 H5046 H1004 H0517 H1697 H0428

娘は走って行って、母の家のものにこれらの事を告げた。

29 וּלְרִבְקָה֙ אָ֣ח וּשְׁמ֔וֹ לָבָ֑ן וַיָּ֤רָץ לָבָן֙ אֶל־הָאִ֔ישׁ הַח֖וּצָה אֶל־הָעָֽיִן׃

そして-リベカには 兄弟が-いた そして-彼の-名は ラバンで そして-走った ラバンは ～のもとへ その-人の 外へ ～へ 泉へ
H7259 H0251 H8034 H3837 H7323 H3837 H0413 H0376 H2351 H0413

リベカにひとりの兄があって、名をラバンといった。ラバンは泉のそばにいるその人の所へ走って行った。

30 וַיְהִ֗י כִּרְאֹת֙ אֶת־הַנֶּ֔זֶם וְאֶת־הַצְּמִדִ֖ים עַל־יְדֵ֣י אֲחֹתֹ֑ו וְכִשְׁמְעֹ֞ו אֶת־דִּבְרֵ֣י רִבְקָ֤ה אֲחֹתֹו֙ לֵאמֹ֔ר כֹּ֥ה דִבֶּ֖ר אֵלַ֑י וַיָּבֹ֣א אֶל־הָאִ֔ישׁ וְהִנֵּ֥ה עֹמֵ֛ד עַל־הַגְּמַלִּ֖ים עַל־הָעָֽיִן׃

そして-あった 見た-ときに 鼻輪を ～を そして 腕輪を 彼の-手の 彼の-姉妹の ～の-上の そして-聞いた-ときに 彼の-姉妹の リベカの 言葉を ～を この-ように 語った 私に その-人は そして-来た その-人の ～のもとへ 立っていた そして-見よ らくだの ～の-そばに 泉の ～の-そばに
H1961 H7200 H5141 H0853 H0853 H3027 H0269 H7725 H0853 H8085 H0269 H7259 H1697 H0853 H3541 H1696 H0413 H0376 H0935 H0376 H0413 H5975 H2009 H1581 H5921 H5921 H5869

彼は鼻輪と妹の手にある腕輪とを見、また妹リベカが「その人はわたしにこう言った」というのを聞いて、その人の所へ行ってみると、その人は泉のほとりで、らくだのそばに立っていた。

31 וַיֹּ֗אמֶר בֹּ֤וא בְרוּךְ֙ יְהוָ֔ה לָמָ֥ה תַעֲמֹ֖ד בַּח֑וּץ וְאָנֹכִ֗י פִּנִּ֤יתִי הַבַּ֙יִת֙ וּמָקֹ֣ום לַגְּמַלִּֽים׃

そして-言った 入りなさい 祝福された-者よ 主の なぜ 立っているのですか 外に そして-私が 整えた 家を そして-場所も らくだのために
H0559 H0935 H1288 H3068 H4100 H5975 H2351 H0595 H6437 H0853 H4725 H1581

そこでその人に言った、「主に祝福された人よ、おはいりください。なぜ外に立っておられますか。わたしは家を準備し、らくだのためにも場所を準備しておきました」。

32 וַיָּבֹ֣א הָאִ֔ישׁ וַיְפַתַּ֖ח הַבַּ֑יִת וַיִּתֵּ֤ן תֶּבֶן֙ וְמִסְפֹּ֣וא לַגְּמַלִּ֔ים וּמַ֖יִם לִרְחֹ֣ץ רַגְלָ֑יו וְרַגְלֵ֖י הָאֲנָשִׁ֥ים אֲשֶׁר־אִתֹּֽו׃

そして-入った その-人は そして-解いた 家に そして-与えた わらと そして-飼い葉を らくだに そして-水を 洗うための 彼の-足と そして-足を 人々の 彼と-共の ～であるところの
H0935 H0376 H6605 H1004 H5414 H8401 H4554 H1581 H4325 H7364 H7272 H7272 H0376 H0854 H0834

その人は家にはいった。ラバンはらくだの荷を解いて、わらと飼葉をらくだに与え、また水を与えてその人の足と、その従者たちの足を洗わせた。

33 וַיּוּשַׂם֙ לְפָנָ֔יו לֶאֱכֹ֖ל לֹ֣א אֹכַ֑ל וַיֹּ֗אמֶר לֹ֤א אֹכַל֙ עַד־אִם־דִּבַּ֣רְתִּי דְבָרָ֔י וַיֹּ֖אמֶר דַּבֵּֽר׃

そして-置かれた 彼の-前に 食べるために 食べない 私は-食べない そして-言った もし 語ったなら 私の-言葉を そして-言った 語りなさい
H3455 H6440 H0398 H3808 H0398 H0559 H0518 H1696 H1697 H0559 H1696

そして-出された
H3455

そして彼の前に食物を供えたが、彼は言った、「わたしは用向きを話すまでは食べません」。ラバンは言った、「お話しください」。

34 וַיֹּאמֶר עֶבֶד אַבְרָהָם אָנֹכִי׃
そして–言った 僕 アブラハムの 私は
H0559 H5650 H0085 H0595

そこで彼は言った、「わたしはアブラハムのしもべです。

35 וַיהוָה בֵּרַךְ אֶת־אדני מְאֹד וַיִּגְדָּל וַיִּתֶּן־לוֹ
そして–主は 祝福した ～を 私の–主人を 非常に そして–大きくなった 彼に
H3068 H1288 H0853 H0113 H3966 H1431 H5414

צֹאן וּבָקָר וְכֶסֶף וְזָהָב וַעֲבָדִם וּשְׁפָחֹת
羊と そして–牛と そして–銀と そして–金と そして–男の–奴隷と そして–女の–奴隷と
H6629 H1241 H3701 H2091 H5650 H8198

וּגְמַלִּים וַחֲמֹרִים׃
そして–らくだと そして–ろばを
H1581 H2543

主はわたしの主人を大いに祝福して、大いなる者とされました。主はまた彼に羊、牛、銀、金、男女の奴隷、らくだ、ろばを与えられました。

36 וַתֵּלֶד שָׂרָה אֵשֶׁת־אדני לַאדֹנִי בֵן אַחֲרֵי זִקְנָתָהּ
サラは ～の–妻 私の–主人の 息子を 後に 彼女の–老年に
H8283 H0802 H0113 H1121 H0310 H2209

וַיִּתֶּן־לוֹ אֶת־כָּל־אֲשֶׁר־לוֹ׃
そして–与えた ～を すべてを ～であるところの 彼の
H5414 H0853 H3605 H0834

主人の妻サラは年老いてから、主人に男の子を産みました。主人はその所有を皆これに与えました。

37 וַיַּשְׁבִּעֵנִי אֲדֹנִי לֵאמֹר לֹא־תִקַּח אִשָּׁה לִבְנִי
私の–主人は 言って 取らない 取らない 妻を 私の–息子のために
H0113 H0559 H3808 H3947 H0802

מִבְּנוֹת הַכְּנַעֲנִי אֲשֶׁר אָנֹכִי יֹשֵׁב בְּאַרְצוֹ׃
–の–娘たちから カナン人の ～であるところの 私が 住んでいる 彼の–地に
H1323 H3669 H0834 H0595 H3427 H0776

ところで主人はわたしに誓わせて言いました、『わたしの住んでいる地のカナンびとの娘を、わたしの子の妻にめとってはならない。

38 אִם־לֹא אֶל־בֵּית־אָבִי וְאֶל־מִשְׁפַּחְתִּי תֵּלֵךְ וְלָקַחְתָּ אִשָּׁה לִבְנִי׃
そうではなく ～ないなら ～へ –の–家へ 私の–父の ～へ 私の–親族のもとへ 行きなさい そして–取りなさい 妻を 私の–息子のために
H0518 H3808 H0413 H1004 H1 H0413 H4940 H3212 H3947 H0802 H0

おまえはわたしの父の家、親族の所へ行って、わたしの子に妻をめとらなければならない』。

39 וָאֹמַר אֶל־אדני אֻלַי לֹא תֵלֵךְ הָאִשָּׁה אַחֲרָי׃
そして–言った ～に 私の–主人に もしかしたら 行かない 行かない その–女が 私の–後に
H0559 H0413 H0113 H0194 H3808 H3212 H0802 H0310

わたしは主人に言いました、『もしその女がわたしについてこない時はどういたしましょうか』。

מַלְאָכוֹ	יִשְׁלַח	לְפָנָיו	הִתְהַלַּכְתִּי	אֲשֶׁר־	יְהוָה	אֵלַי	וַיֹּאמֶר	40
彼の–御使いを	遣わす	その–前に	私が–歩んだ	～であるところの	主は	私に	そして–言った	
H4397	H7971	H6440	H1980		H3068	H0413	H0559	

לִבְנִי	אִשָּׁה	וְלָקַחְתָּ	דַּרְכִּךְ	וְהִצְלִיחַ	אִתָּךְ	
私の–息子のために	妻を	そして–取る	あなたの–道を	そして–成功させる	あなたと–共に	
	H0802	H3947	H1870		H0854	

אָבִי׃	וּמִבֵּית	מִמִּשְׁפַּחְתִּי	
私の–父の–家から	そして–～から	私の–親族から	
H0001		H4940	

主人はわたしに言いました、『わたしの仕えている主は、み使をおまえと一緒につかわして、おまえの旅にさいわいを与えられるであろう。おまえはわたしの親族、わたしの父の家からわたしの子に妻をめとらなければならない。

וְאִם־	מִּשְׁפַּחְתִּי	אֶל־	תָּבוֹא	כִּי	מֵאָלָתִי	תִּנָּקֶה	אָז	41
そして–もし	私の–親族のもとへ	～へ	あなたが–来るなら	もし	私の–誓いから	免れる	その時	
	H4940	H0413	H0935		H0423	H5352		

מֵאָלָתִי׃	נָקִי	וְהָיִיתָ	לָּךְ	יִתְּנוּ	לֹא
私の–誓いから	免れた–者と	そうすれば–なる	あなたに	与えないなら	与えないなら
H0423		H1961		H5414	H3808

そのとき、おまえはわたしにした誓いから解かれるであろう。またおまえがわたしの親族に行く時、彼らがおまえにその娘を与えないなら、おまえはわたしにした誓いから解かれるであろう』。

אִם־	אַבְרָהָם	אֲדֹנִי	אֱלֹהֵי	יְהוָה	וָאֹמַר	הָעָיִן	אֶל־	הַיּוֹם	וָאָבֹא	42
もし	アブラハムの	私の–主人	神の	主よ	そして–言った	泉へ	～へ	今日	そして–来た	
	H0085	H0113	H0430	H3068	H0559		H0413	H3117	H0935	

עָלֶיהָ׃	הֹלֵךְ	אָנֹכִי	אֲשֶׁר	דַּרְכִּי	מַצְלִיחַ	נָא	יֶשְׁךָ־	
その–上を	歩んでいる	私が	～であるところの	私の–道を	成功させてくださるなら	どうか	あなたが	
	H1980	H0595		H1870		H4994	H3426	

わたしはきょう、泉のところにきて言いました、『主人アブラハムの神、主よ、どうか今わたしのゆく道にさいわいを与えてください。

הַיֹּצֵאת	הָעַלְמָה	וְהָיָה	הַמָּיִם	עֵין	עַל־	נִצָּב	אָנֹכִי	הִנֵּה	43
出てくる	乙女が	そして–あるだろう	水の	泉の	～の–そばに	立っている	私は	見よ	
H3318	H5959	H1961	H4325			H5324	H0595	H2009	

מַיִם	מְעַט־	נָא	הַשְׁקִינִי־	אֵלֶיהָ	וְאָמַרְתִּי	לִשְׁאֹב	
水を	少しの–水を	どうか	飲ませてください	彼女に	そして–言う	水を–汲むために	
H4325	H4592	H4994	H8248	H0413	H0559	H7579	

מִכַּדֵּךְ׃
あなたの–かめから
H3537

わたしはこの泉のそばに立っていますが、水をくみに出てくる娘に向かって、「お願いです。あなたの水がめの水を少し飲ませてください」と言い、

לִגְמַלֶּיךָ	וְגַם	שְׁתֵּה	אַתָּה	גַּם־	אֵלַי	וְאָמְרָה		44
あなたの–らくだのためにも	そして–また	飲みなさい	あなたも	また	私に	そして–彼女が–言う		
H1581	H1571	H8354		H1571	H0413	H0559		

אֲדֹנִי׃	לִבֶן־	יְהוָה	הֹכִיחַ	אֲשֶׁר־	הָאִשָּׁה	הַוא	אִשְׁאַב
私の–主人の	–の–息子のために	主が	定めた	～であるところの	その–女である	彼女が	氣む
H0113		H3068	H3198		H0802	H1931	H7579

「お飲みください。あなたのらくだのためにも、くみましょう」とわたしに言うなら、その娘こそ、主がわたしの主人の子のために定められた女ということにしてください』。

45

יֹצֵאת	רִבְקָה	וְהִנֵּה	לִבִּי	אֶל־	לְדַבֵּר	אֲכַלֶּה	טֶרֶם	אֲנִי
出てきた	リベカが	そして-見よ	私の-心に	～に	語ることを	終えない-うちに	まだ	私が
H3318	H7259	H2009		H0413	H1696	H3615	H2962	H0589

וְאֹמַר	וַתִּשְׁאַב	הָעַיְנָה	וַתֵּרֶד	שִׁכְמָהּ	עַל־	וְכַדָּהּ	
そして-言った	そして-氣んだ	泉へ	そして-下りた	彼女の-肩の	～の-上に	そして-彼女の-かめは	
H0559	H7579		H3381	H7926		H3537	

נָא׃	הַשְׁקִינִי	אֵלֶיהָ
どうか	飲ませてください	彼女に
H4994	H8248	H0413

わたしが心のうちでそう言い終らないうちに、リベカが水がめを肩に載せて出てきて、水をくみに泉に降りたので、わたしは『お願いです、飲ませてください』と言いますと、

46

שְׁתֵּה	וַתֹּאמֶר	מֵעָלֶיהָ	כַּדָּהּ	וַתֹּורֶד	וַתְּמַהֵר	
飲みなさい	そして-言った	彼女の-上から	彼女の-かめを	そして-下ろした	そして-急いだ	
H8354	H0559		H3537	H3381		

הִשְׁקָתָה׃	הַגְמַלִּים	וְגַם	וָאֶשְׁתְּ	אַשְׁקֶה	גְּמַלֶיךָ	וְגַם־	
飲ませた	らくだにも	そして-また	そして-飲んだ	水を-飲ませる	あなたの-らくだにも	そして-また	
H8248	H1581	H1571	H8354	H8248	H1581	H1571	

彼女は急いで水がめを肩からおろし、『お飲みください。わたしはあなたのらくだにも飲ませましょう』と言いました。それでわたしは飲みましたが、彼女はらくだにも飲ませました。

47

בַּת־	וַתֹּאמֶר	אַתְּ	מִי	בַּת־	וָאֹמַר	אֹתָהּ	וָאֶשְׁאַל	
-の-娘です	そして-言った	あなたは	誰の	-の-娘	そして-言った	彼女に	そして-尋ねた	
H1323	H0559		H4310	H1323	H0559	H0853	H7592	

הַנֶּזֶם	וָאָשִׂם	מִלְכָּה	לְוֹ	יָלְדָה־	אֲשֶׁר	נָחוֹר	בֶּן־	בְּתוּאֵל
鼻輪を	そして-つけた	ミルカが	彼に	産んだ	～であるところの	ナホルの	-の-息子	ベトエルの
H5141		H4435		H3205		H5152		

יָדֶיהָ׃	עַל־	וְהַצְמִידִים	אַפָּהּ	עַל־
彼女の-手の	～の-上に	そして-腕輪を	彼女の-鼻の	～の-上に
H3027			H0639	

わたしは彼女に尋ねて、『あなたはだれの娘ですか』と言いますと、『ナホルとその妻ミルカの子ベトエルの娘です』と答えました。そこでわたしは彼女の鼻に鼻輪をつけ、手に腕輪をつけました。

48

אֲדֹנִי	אֱלֹהֵי	יְהוָה	אֶת־	וָאֲבָרֵךְ	לַיהוָה	וָאֶשְׁתַּחֲוֶה	וָאֶקֹּד	
私の-主人	神の	主を	～を	そして-ほめた	主に	そして-ひれ伏した	そして-ひざまずいた	
H0113	H0430	H3068	H0853	H1288	H3068	H7812	H6915	

בַּת־	אֶת־	לָקַחַת	אֱמֶת	בְּדֶרֶךְ	הִנְחַנִי	אֲשֶׁר	אַבְרָהָם	
-の-娘を	～を	取るために	真実の	正しい-道で	導いた	～であるところの	アブラハムの	
H1323	H0853	H3947	H0571	H1870	H5148		H0085	

לִבְנוֹ׃	אֲדֹנִי	אָחִי	
彼の-息子のために	私の-主人の	-の-兄弟の	
	H0113	H0251	

そしてわたしは頭をさげて主を拝し、主人アブラハムの神、主をほめたたえました。主は主人の兄弟の娘を子にめとらせようと、わたしを正しい道に導かれたからです。

49 וְעַתָּה אִם־יֶשְׁכֶם עֹשִׂים חֶסֶד וֶאֱמֶת אֶת־אֲדֹנִי
そして–今 もし あなたがたが 行うなら 真実の–愛と そして–誠実さを ～と–共に 私の–主人と
H6258 H0518 H3426 H6213 H2617 H0571 H0854 H0113

הַגִּידוּ לִי וְאִם־לֹא הַגִּידוּ לִי וְאֶפְנֶה
告げてください 私に そして–もし そうでないなら 告げてください 私に そして–向きを–変える
H5046 H3808 H5046 H6437

עַל־יָמִין אוֹ עַל־שְׂמֹאל׃
右へ ～へ か 左へ ～へ
H3225 H5921 H0176 H8040 H5921

あなたがたが、もしわたしの主人にいつくしみと、まことを尽そうと思われるなら、そうとわたしにお話しください。そうでなければ、そうでないとお話しください。それによってわたしは右か左に決めましょう」。

50 וַיַּעַן לָבָן וּבְתוּאֵל וַיֹּאמְרוּ מֵיְהוָה יָצָא הַדָּבָר לֹא
そして–答えた ラバンと そして–ベトエルは そして–言った 主から 出た この–事は できない
H6030 H3833 H1328 H0559 H3318 H3068 H1697 H3808

נוּכַל לְךָ דַּבֵּר אֵלֶיךָ רַע אוֹ־טוֹב׃
私たちには 語ることが あなたに 悪いことも または 良いことも
H3201 H1696 H0413 H7451 H0176 H2896

ラバンとベトエルは答えて言った、「この事は主から出たことですから、わたしどもはあなたによしあしを言うことができません。

51 הִנֵּה רִבְקָה לְפָנֶיךָ קַח וְלֵךְ וּתְהִי אִשָּׁה
見よ リベカが あなたの–前に–いる 取りなさい そして–行きなさい そして–なるように 妻と
H2009 H7259 H6440 H3947 H3212 H1961 H0802

לְבֶן־אֲדֹנֶיךָ כַּאֲשֶׁר דִּבֶּר יְהוָה׃
–の–息子の ～の–とおりに あなたの–主人の 語った 主が
H1121 H0834 H0113 H1696 H3068

リベカがここにおりますから連れて行って、主が言われたように、あなたの主人の子の妻にしてください」。

52 וַיְהִי כַּאֲשֶׁר שָׁמַע עֶבֶד אַבְרָהָם אֶת־דִּבְרֵיהֶם
そして–あった ～の–とき 聞いた 僕は アブラハムの ～を 彼らの–言葉を
H1961 H0834 H8085 H5650 H0085 H0853 H1697

וַיִּשְׁתָּחוּ לַיהוָה אָרְצָה׃
そして–ひれ伏した 主に 地に
H7812 H3068 H0776

アブラハムのしもべは彼らの言葉を聞いて、地に伏し、主を拝した。

53 וַיּוֹצֵא הָעֶבֶד כְּלֵי־כֶסֶף וּכְלֵי זָהָב וּבְגָדִים
そして–取り出した その–僕は 銀の–器と 銀の 金の 衣服を
H3318 H5650 H3627 H3701 H2091

וַיִּתֵּן לְרִבְקָה וּמִגְדָּנֹת נָתַן לְאָחִיהָ וּלְאִמָּהּ׃
そして–与えた リベカに そして–贈り物を 与えた 彼女の–兄弟に そして–彼女の–母に
H5414 H7259 H4030 H5414 H0251 H0517

そしてしもべは銀の飾りと、金の飾り、および衣服を取り出してリベカに与え、その兄と母とにも価の高い品々を与えた。

54 וַיֹּאכְלוּ וַיִּשְׁתּוּ הוּא וְהָאֲנָשִׁים אֲשֶׁר־ עִמּוֹ וַיָּלִינוּ
そして–食べた そして–飲んだ 彼と そして–人々が ～であるところの 彼と–共の そして–泊まった
H0398 H8354 H1931 H0376

וַיָּקוּמוּ בַבֹּקֶר וַיֹּאמֶר שַׁלְּחֻנִי לַאדֹנָי׃
そして–起きた 朝に そして–言った 送ってください 私の–主人のもとへ
H1242 H0559 H7971 H0113

彼と従者たちは飲み食いして宿ったが、あくる朝彼らが起きた時、しもべは言った、「わたしを主人のもとに帰らせてください」。

55 וַיֹּאמֶר אָחִיהָ וְאִמָּהּ הַנַּעֲרָ תֵּשֵׁב אִתָּנוּ יָמִים
そして–言った 彼女の–兄弟と そして–彼女の–母は その–娘が 留まるように 私たちと–共に 日々
H0559 H0251 H0517 H5291 H3427 H0854 H3117

אוֹ עָשׂוֹר אַחַר תֵּלֵךְ׃
か 十日 その後に 行くように
H0618 H0310 H3212

リベカの兄と母とは言った、「娘は数日、少なくとも十日、わたしどもと共にいて、それから行かせましょう」。

56 וַיֹּאמֶר אֲלֵהֶם אַל־ תְּאַחֲרוּ אֹתִי וַיהוָה
そして–言った 彼らに 引き止めないでください 引き止めないでください 私を そして–主が
H0559 H0413 H0408 H0309 H0853 H3068

הִצְלִיחַ דַּרְכִּי שַׁלְּחוּנִי וְאֵלְכָה לַאדֹנִי׃
成功させた 私の–道を 送ってください そして–行かせてください 私の–主人のもとへ
H6743 H1870 H7971 H3212 H0113

しもべは彼らに言った、「主はわたしの道にさいわいを与えられましたから、わたしを引きとめずに、主人のもとに帰らせてください」。

57 וַיֹּאמְרוּ נִקְרָא לַנַּעֲרָ וְנִשְׁאֲלָה אֶת־ פִּיהָ׃
そして–言った 呼んで その–娘を そして–尋ねよう ～を 彼女の–口を
H0559 H7121 H5291 H7592 H0853 H6310

彼らは言った、「娘を呼んで聞いてみましょう」。

58 וַיִּקְרְאוּ לְרִבְקָה וַיֹּאמְרוּ אֵלֶיהָ הֲתֵלְכִי עִם־ הָאִישׁ הַזֶּה
そして–呼んだ リベカを そして–言った 彼女に 行きますか ～と–共に この–人と この
H7121 H7259 H0559 H0413 H3212 H0376 H2088

וַתֹּאמֶר אֵלֵךְ׃
そして–言った 行きます
H0559 H3212

彼らはリベカを呼んで言った、「あなたはこの人と一緒に行きますか」。彼女は言った、「行きます」。

59 וַיְשַׁלְּחוּ אֶת־ רִבְקָה אֲחֹתָם וְאֶת־ מֵנִקְתָּהּ וְאֶת־ עֶבֶד אַבְרָהָם וְאֶת־ אֲנָשָׁיו׃
そして–送り出した ～を リベカを 彼らの–姉妹を そして 彼女の–乳母を そして 彼の–人々を そして アブラハムの アブラハムの–僕と
H7971 H0853 H7259 H0269 H0853 H3243 H0853 H0376 H0085 H5650

そこで彼らは妹リベカと、そのうばと、アブラハムのしもべと、その従者とを送り去らせた。

60 וַיְבָרֲכוּ֙ רִבְקָ֣ה וַיֹּ֣אמְרוּ֔ לָ֖הּ אֲחֹתֵ֑נוּ אַ֥תְּ הֲיִי֙
そして-祝福した リベカを ～を そして-言った 彼女に 私たちの-姉妹よ あなたは なりなさい
H1288 H7259 H0853 H0559 H0269 H1961

לְאַלְפֵ֣י רְבָבָ֔ה וְיִרַ֥שׁ זַרְעֲךָ֖ אֵ֣ת שַׁ֥עַר שֹׂנְאָֽיו׃
幾千万の 幾千万の そして-受け継ぐように あなたの-子孫が ～を 門を 敵の
H0505 H7233 H3423 H2233 H0853 H8179 H8130

彼らはリベカを祝福して彼女に言った、「妹よ、あなたは、ちよろずの人の母となれ。あなたの子孫はその敵の門を打ち取れ」。

61 וַתָּ֤קָם רִבְקָה֙ וְנַעֲרֹתֶ֔יהָ וַתִּרְכַּ֖בְנָה עַל־ הַגְּמַלִּ֑ים
そして-立ち上がった リベカと そして-彼女の-侍女たちは そして-乗った ～の-上に らくだの
H7259 H5291 H7392 H1581

וַתֵּלַ֖כְנָה אַחֲרֵ֣י הָאִ֑ישׁ וַיִּקַּ֤ח הָעֶ֙בֶד֙ אֶת־ רִבְקָ֔ה וַיֵּלֶךְ׃
そして-行った その-人の ～の-後に そして-取った その-僕は ～を リベカを そして-行った
H3212 H0376 H0310 H5650 H0853 H7259 H3212

リベカは立って侍女たちと共にらくだに乗り、その人に従って行った。しもべはリベカを連れて立ち去った。

62 וְיִצְחָ֕ק בָּ֖א מִבּ֣וֹא רֹאִ֑י לַחַ֖י בְּאֵ֣ר וְה֥וּא יוֹשֵׁ֖ב
そして-イサクは 来ていた ～から-来て ベエル・ラハイ・ロイから そして-彼は 住んでいた
H3327 H0935 H0935 H0883 H1931 H3427

בְּאֶ֥רֶץ הַנֶּֽגֶב׃
-の-地に ネゲブの
H0776 H5045

さてイサクはベエル・ラハイ・ロイからきて、ネゲブの地に住んでいた。

63 וַיֵּצֵ֤א יִצְחָק֙ לָשׂ֣וּחַ בַּשָּׂדֶ֔ה לִפְנ֖וֹת עֶ֑רֶב וַיִּשָּׂ֤א עֵינָיו֙ וַיַּ֔רְא וְהִנֵּ֥ה גְמַלִּ֖ים בָּאִֽים׃
そして-出た イサクは 黙想するために 畑で ～の-頃に 夕方の そして-上げた 彼の-目を そして-見た そして-見よ らくだが 来ていた
H3318 H3327 H7742 H7704 H6437 H6153 H5375 H5869 H7200 H2009 H1581 H0935

イサクは夕暮、野に出て歩いていたが、目をあげて、らくだの来るのを見た。

64 וַתִּשָּׂ֤א רִבְקָה֙ אֶת־ עֵינֶ֔יהָ וַתֵּ֖רֶא אֶת־ יִצְחָ֑ק וַתִּפֹּ֖ל מֵעַ֥ל הַגָּמָֽל׃
そして-上げた リベカは ～を 彼女の-目を そして-見た ～を イサクを そして-降りた ～から らくだから
H5375 H7259 H0853 H5869 H7200 H0853 H3327 H5307 H1581

リベカは目をあげてイサクを見、らくだからおりて、

65 וַתֹּ֣אמֶר אֶל־ הָעֶ֔בֶד מִי־ הָאִ֥ישׁ הַלָּזֶ֖ה הַהֹלֵ֣ךְ בַּשָּׂדֶ֑ה לִקְרָאתֵ֣נוּ וַיֹּ֤אמֶר הָעֶ֙בֶד֙ הִ֣וא אֲדֹנִ֔י וַתִּקַּ֥ח הַצָּעִ֖יף וַתִּתְכָּֽס׃
そして-言った ～に その-僕に 誰は あの 歩いて-くる 畑の-中を 私たちに-会うために その-僕は 彼は 私の-主人です そして-取った ベールを そして-覆った
H0559 H0413 H4310 H1976 H1980 H7704 H7125 H5650 H1931 H0113 H3947 H6809 H3680

しもべに言った、「わたしたちに向かって、野を歩いて来るあの人はだれでしょう」。しもべは言った、「あれはわたしの主人です」。するとリベカは、被衣で身をおおった。

עָשָׂה׃	אֲשֶׁר	הַדְּבָרִים	כָּל־	אֶת	לְיִצְחָק	הָעֶבֶד	וַיְסַפֵּר	66
行った	～であるところの	事柄を	すべての	～を	イサクに	その–僕は	そして–語った	
		H1697	H3605	H0853	H3327	H5650		

しもべは自分がしたことのすべてをイサクに話した。

רִבְקָה	אֶת־	וַיִּקַּח	אִמּוֹ	שָׂרָה	הָאֹהֱלָה	יִצְחָק	וַיְבִאֶהָ	67
リベカを	～を	そして–取った	彼の–母の	サラの	天幕に	イサクは	そして–導いた	
H7259	H0853	H3947	H0517	H8283	H0168	H3327	H0935	

פ	אִמּוֹ׃	אַחֲרֵי	יִצְחָק	וַיִּנָּחֶם	וַיֶּאֱהָבֶהָ	לְאִשָּׁה	לוֹ	וַתְּהִי־
セラ	彼の–母の	後に	イサクは	そして–慰められた	そして–愛した	妻と	彼の	そして–なった
	H0517		H3327	H5162	H0157	H0802		H1961

イサクはリベカを天幕に連れて行き、リベカをめとって妻とし、彼女を愛した。こうしてイサクは母の死後、慰めを得た。

Chapter 25

קְטוּרָה׃	וּשְׁמָהּ	אִשָּׁה	וַיִּקַּח	אַבְרָהָם	וַיֹּסֶף		1
ケトラであった	そして–彼女の–名は	妻を	そして–取った	アブラハムは	そして–さらに–めとった		
H6989	H8034	H0802	H3947	H0085	H3254		

アブラハムは再び妻をめとった。名をケトラという。

וְאֶת־	מְדָן	וְאֶת־	יָקְשָׁן	וְאֶת־	זִמְרָן	אֶת־	לוֹ	וַתֵּלֶד	2
そして	メダンと	そして	ヨクシャンと	そして	ジムランと	～を	彼に	そして–産んだ	
H0853	H4091	H0853	H3370	H0853	H2175	H0853		H3205	

שׁוּחַ׃	וְאֶת־	יִשְׁבָּק	וְאֶת־	מִדְיָן	
シュアフを	そして	イシュバクと	そして	ミディアンと	
H7744	H0853	H3435	H0853	H4080	

彼女はジムラン、ヨクシャン、メダン、ミデアン、イシバクおよびシュワを産んだ。

דְּדָן	וּבְנֵי	דְּדָן	וְאֶת־	שְׁבָא	אֶת־	יָלַד	וְיָקְשָׁן	3
デダンの	そして–息子たちは	デダンを	そして	シェバと	～を	生んだ	そして–ヨクシャンは	
			H0853	H7614	H0853	H3205	H3370	

וְלֻאֻמִּים׃	וְלֻטוּשִׁים	אַשּׁוּרִם	הָיוּ
そして–レウミム人	そして–レトシム人と	アシュル人と	であった
H3817	H3912		H1961

ヨクシャンの子はシバとデダン。デダンの子孫はアシュリびと、レトシびと、レウミびとである。

וַאֲבִידָע	וַחֲנֹךְ	וְעֵפֶר	עֵיפָה	מִדְיָן	וּבְנֵי	4
そして–アビダと	そして–ハノクと	そして–エフェルと	エファと	ミディアンの	そして–息子たちは	
H0028	H2585	H6081	H5891	H4080		

קְטוּרָה׃	בְּנֵי	אֵלֶּה	כָּל־	וְאֶלְדָּעָה
ケトラの	息子たちであった	これらは	すべての	そして–エルダア
H6989		H0428	H3605	H0420

ミデアンの子孫はエパ、エペル、ヘノク、アビダ、エルダアであって、これらは皆ケトラの子孫であった。

לְיִצְחָק׃	לוֹ	אֲשֶׁר־	כָּל־	אֶת־	אַבְרָהָם	וַיִּתֵּן	5
イサクに	彼の	～であるところの	すべてを	～を	アブラハムは	そして–与えた	
H3327			H3605	H0853	H0085	H5414	

アブラハムはその所有をことごとくイサクに与えた。

6 וְלִבְנֵי הַפִּילַגְשִׁים אֲשֶׁר לְאַבְרָהָם נָתַן אַבְרָהָם מַתָּנֹת
そして–息子たちには そばめたちの ～であるところの アブラハムの 与えた アブラハムは 贈り物を
H6370 H0085 H5414 H0085 H4979

וַיְשַׁלְּחֵם מֵעַל יִצְחָק בְּנוֹ בְּעוֹדֶנּוּ חַי קֵדְמָה׃ אֶל־אֶרֶץ
そして–送り出した ～から–離れて イサクから 彼の–息子から まだ–生きている–うちに 生きている 東へ ～の–地へ 東の–地へ
H7971 H3327 H5750 H0776 H0413

またそのそばめたちの子らにもアブラハムは物を与え、なお生きている間に彼らをその子イサクから離して、東の方、東の国に移らせた。

7 וְאֵלֶּה יְמֵי שְׁנֵי־חַיֵּי אַבְרָהָם אֲשֶׁר־חָיָה מְאַת וְשִׁבְעִים שָׁנָה
そして–これらは 日々の –の–年の 生涯の アブラハムの ～であるところの 生きた 百 歳と
H0428 H3117 H8141 H2425 H0853 H8141

וְחָמֵשׁ שָׁנִים׃ וְשִׁבְעִים שָׁנָה
そして–五 年 そして–七十 歳と
H2568 H8141 H7657 H8141

アブラハムの生きながらえた年は百七十五年である。

8 וַיִּגְוַע וַיָּמָת אַבְרָהָם בְּשֵׂיבָה טוֹבָה זָקֵן וְשָׂבֵעַ
そして–息絶えた そして–死んだ アブラハムは 良い–白髪で 良い 老いて そして–満ち足りて
H1478 H4191 H0085 H7872 H2205 H7649

וַיֵּאָסֶף אֶל־עַמָּיו׃
そして–加えられた ～のもとへ 彼の–民の
H0622 H0413

アブラハムは高齢に達し、老人となり、年が満ちて息絶え、死んでその民に加えられた。

9 וַיִּקְבְּרוּ אֹתוֹ יִצְחָק וְיִשְׁמָעֵאל בָּנָיו אֶל־
そして–葉った 彼を イサクと そして–イシュマエルは 彼の–息子たちが ～の–中に
H6912 H0853 H3327 H3458 H1413

מְעָרַת הַמַּכְפֵּלָה אֶל־שְׂדֵה עֶפְרֹן בֶּן־צֹחַר
マクペラの マクペラの–洞窟の–中に ～の–中に 畑の エフロンの –の–息子 ツォハルの
H4375 H4631 H0413 H6085 H6714

הַחִתִּי׃ עַל־אֲשֶׁר עַל־פְּנֵי מַמְרֵא
ヒッタイト人の ～であるところの ～の–前の ～の–前の マムレの
H2850 H4471 H6440

その子イサクとイシマエルは彼をヘテびとゾハルの子エフロンの畑にあるマクペラのほら穴に葬った。これはマムレの向かいにあり、

10 הַשָּׂדֶה אֲשֶׁר־קָנָה אַבְרָהָם מֵאֵת בְּנֵי־חֵת שָׁמָּה
その–畑は ～であるところの 買った アブラハムが ～から –の–子らから ヘトの そこに
H7069 H0854 H2845 H8033

קֻבַּר אַבְרָהָם וְשָׂרָה אִשְׁתּוֹ׃
葉られた アブラハムと そして–サラ 彼の–妻が
H6912 H0085 H8283 H0802

アブラハムがヘテの人々から、買い取った畑であって、そこにアブラハムとその妻サラが葬られた。

11 וַיְהִי אַחֲרֵי מוֹת אַבְרָהָם וַיְבָרֶךְ אֱלֹהִים אֶת־יִצְחָק
そして-あった 後に 死の アブラハムの そして-祝福した 神は ～を イサクを
H1961 H0310 H4194 H0085 H1288 H0430 H0853 H3327

בְּנוֹ וַיֵּשֶׁב יִצְחָק עִם־לַחַי רֹאִי׃ ס
彼の-息子を そして-住んだ イサクは ～の-そばに ベエル・ラハイ・ロイの セラ
H0853 H3427 H3327 H0854 H0883

アブラハムが死んだ後、神はその子イサクを祝福された。イサクはベエル・ラハイ・ロイのほとりに住んだ。

12 וְאֵלֶּה תּוֹלְדֹת יִשְׁמָעֵאל בֶּן־אַבְרָהָם אֲשֶׁר
そして-これらは 系図である イシュマエルの -の-息子 アブラハムの ～であるところの
H0428 H8435 H3458 H0854 H0085 H0834

יָלְדָה הָגָר הַמִּצְרִית שִׁפְחַת שָׂרָה לְאַבְרָהָם׃
産んだ ハガルが エジプト人の 奴隷女 サラの アブラハムに
H3205 H1904 H4713 H8198 H8283 H0085

サラのつかえめエジプトびとハガルがアブラハムに産んだアブラハムの子イシマエルの系図は次のとおりである。

13 וְאֵלֶּה שְׁמוֹת בְּנֵי יִשְׁמָעֵאל בְּשִׁמֹתָם לְתוֹלְדֹתָם בְּכֹר
そして-これらは 名前である 息子たちの イシュマエルの 彼らの-名による 彼らの-系図による 長子
H0428 H8034 H1121 H3458 H8034 H8435 H1060

נְבָיֹת וְקֵדָר וְאַדְבְּאֵל וּמִבְשָׂם׃
ネバヨトと そして-ケダルと そして-アドベエルと そして-ミブサム
H5032 H6938 H0110 H4017

イシマエルの子らの名を世代にしたがって、その名をいえば次のとおりである。すなわちイシマエルの長子はネバヨテ、次はケダル、アデビエル、ミブサム、

14 וּמִשְׁמָע וְדוּמָה וּמַשָּׂא׃
そして-ミシュマと そして-ドマと そして-マサ
H4927 H1746 H4854

ミシマ、ドマ、マッサ、

15 חֲדַד וְתֵימָא יְטוּר נָפִישׁ וְקֶדְמָה׃
ハダドと そして-テマと イエトゥルと ナフィシュと そして-ケデマ
H2301 H8485 H3195 H5305 H6929

ハダデ、テマ、エトル、ネフシ、ケデマ。

16 אֵלֶּה הֵם בְּנֵי יִשְׁמָעֵאל וְאֵלֶּה שְׁמוֹתָם בְּחַצְרֵיהֶם
これらは 彼らは 息子たちである イシュマエルの そして-これらは 彼らの-名である 彼らの-村々による
H0428 H1992 H1121 H3458 H0428 H8034 H2691

בְּטִירֹתָם שְׁנֵים־עָשָׂר נְשִׂיאִם לְאֻמֹּתָם׃
そして-彼らの-陣地による 十二の 十二 族長 彼らの-民による
H2918 H8147 H6240 H5387 H3816

これはイシマエルの子らであり、村と宿営とによる名であって、その氏族による十二人の君たちである。

17 וְאֵלֶּה שְׁנֵי חַיֵּי יִשְׁמָעֵאל מְאַת שָׁנָה וּשְׁלֹשִׁים שָׁנָה
そして-これらは -の-年 生涯の イシュマエルの 百 歳と そして-三十 歳と
H0428 H8141 H2416 H3458 H3967 H8141 H7970 H8141

וְשֶׁבַע שָׁנִים וַיִּגְוַע וַיָּמָת וַיֵּאָסֶף אֶל־עַמָּיו׃
そして-七 歳と そして-息絶えた そして-死んだ そして-加えられた ～のもとへ 彼の-民の
H7651 H8141 H1478 H4191 H0622 H0413 H5971

イシマエルのよわいは百三十七年である。彼は息絶えて死に、その民に加えられた。

18 וַיִּשְׁכְּנוּ מֵחֲוִילָה עַד־שׁוּר אֲשֶׁר עַל־פְּנֵי
そして-住んだ ハヴィラから ～まで シュルまで ～であるところの ～の-前の ～の-前の
H7931 H2341 H5704 H7793 H6440

מִצְרַיִם בֹּאֲכָה אַשּׁוּרָה עַל־פְּנֵי כָּל־אֶחָיו נָפָל׃
エジプトの 行く-途中の アッシュリアへの ～の-前の ～の-前で すべての 彼の-兄弟たちの 倒れた
H4714 H0935 H0804 H6440 H3605 H0251 H5307

פ
セラ

イシマエルの子らはハビラからエジプトの東、シュルまでの間に住んで、アシュルに及んだ。イシマエルはすべての兄弟の東に住んだ。

19 וְאֵלֶּה תּוֹלְדֹת יִצְחָק בֶּן־אַבְרָהָם אַבְרָהָם הוֹלִיד אֶת־
そして-これらは 系図である イサクの -の-息子 アブラハムの アブラハムは 生んだ ～を
H0428 H8435 H3327 H1121 H0085 H0085 H3205 H0853

יִצְחָק׃
イサクを
H3327

アブラハムの子イサクの系図は次のとおりである。アブラハムの子はイサクであって、

20 וַיְהִי יִצְחָק בֶּן־אַרְבָּעִים שָׁנָה בְּקַחְתּוֹ אֶת־רִבְקָה בַּת־
そして-あった イサクは -の-息子 四十 歳の めとった-とき ～を リベカを -の-娘
H1961 H3327 H1121 H0705 H8141 H3947 H0853 H7259 H1323

בְּתוּאֵל הָאֲרַמִּי מִפַּדַּן אֲרָם אֲחוֹת לָבָן הָאֲרַמִּי לוֹ לְאִשָּׁה׃
ベトエルの アラム人の パダン・アラムから 姉妹 ラバンの アラム人の 彼の 妻として
H1328 H0761 H6307 H0269 H3837 H0761 H0802

イサクは四十歳の時、パダンアラムのアラムびとベトエルの娘で、アラムびとラバンの妹リベカを妻にめとった。

21 וַיֶּעְתַּר יִצְחָק לַיהוָה לְנֹכַח אִשְׁתּוֹ כִּי עֲקָרָה הִוא
そして-祈った イサクは 主に ～の-ために 彼の-妻の なぜなら 不妊であった 彼女は
H6279 H3327 H3068 H5227 H0802 H3588 H6135 H1931

וַיֵּעָתֵר לוֹ יְהוָה וַתַּהַר רִבְקָה אִשְׁתּוֹ׃
そして-応えた 彼に 主は そして-身ごもった リベカは 彼の-妻は
H6279 H3068 H2029 H7259 H0802

イサクは妻が子を産まなかったので、妻のために主に祈り願った。主はその願いを聞かれ、妻リベカはみごもった。

22 וַיִּתְרֹצְצוּ הַבָּנִים בְּקִרְבָּהּ וַתֹּאמֶר אִם־כֵּן זֶה לָמָּה
そして-押し合った 子らは 彼女の-胎内で そして-言った もし そうなら これが なぜ
H7533 H1121 H7130 H0559 H0518 H2088 H4100

אָנֹכִי וַתֵּלֶךְ לִדְרֹשׁ אֶת־יְהוָה׃
私に そして-行った 尋ねるために ～を 主を
H0595 H3212 H1875 H0853 H3068

ところがその子らが胎内で押し合ったので、リベカは言った、「こんなことでは、わたしはどうなるでしょう」。彼女は行って主に尋ねた。

23 וַיֹּאמֶר יְהוָה לָהּ שְׁנֵי (גוֹיִם) [גיים] בְּבִטְנֵךְ וּשְׁנֵי לְאֻמִּים
そして–言った 主は 彼女に 二つの 国民が 国民が あなたの–胎内に そして–二つの 民族が
H0559 H3068 H8147 H1471 H0990 H8147 H3816

מִמֵּעַיִךְ יִפָּרֵדוּ וּלְאֹם מִלְאֹם יְאֻמָּץ וְרַב יַעֲבֹד צָעִיר׃
あなたの–胎から 分かれる そして–民族は 民族より 強くなる そして–年上の–者が 仕える 年下の–者に
H4578 H6504 H3816 H3816 H0553 H7227 H5647 H6810

主は彼女に言われた、「二つの国民があなたの胎内にあり、二つの民があなたの腹から別れて出る。一つの民は他の民よりも強く、兄は弟に仕えるであろう」。

24 וַיִּמְלְאוּ יָמֶיהָ לָלֶדֶת וְהִנֵּה תוֹמִם בְּבִטְנָהּ׃
そして–満ちた 彼女の–日が 産むための そして–見よ 双子が 彼女の–胎内に
H4390 H3117 H3205 H2009 H8380 H0990

彼女の出産の日がきたとき、胎内にはふたごがあった。

25 וַיֵּצֵא הָרִאשׁוֹן אַדְמוֹנִי כֻּלּוֹ כְּאַדֶּרֶת שֵׂעָר וַיִּקְרְאוּ שְׁמוֹ עֵשָׂו׃
そして–出てきた 最初の–者は 赤い その–全身が 毛皮の–ように 毛の そして–名づけた 彼の–名を エサウと
H3318 H7223 H0132 H3605 H0155 H8181 H7121 H8034 H6215

さきに出たのは赤くて全身毛ごろものようであった。それで名をエサウと名づけた。

26 וְאַחֲרֵי־כֵן יָצָא אָחִיו וְיָדוֹ אֹחֶזֶת בַּעְקֵב עֵשָׂו וַיִּקְרָא שְׁמוֹ יַעֲקֹב
そして–その–後に その後に 出てきた 彼の–弟が そして–彼の–手が つかんでいた かかとを エサウの 彼の–名を そして–名づけた ヤコブと
H0310 H3651 H3318 H0251 H3027 H0270 H6119 H6215 H8034 H7121 H3290

וְיִצְחָק בֶּן־ שִׁשִּׁים שָׁנָה בְּלֶדֶת אֹתָם׃
そして–イサクは –の–息子 六十 歳であった 生まれた–ときに 彼らが
H3327 H1121 H8346 H8141 H3205 H0853

その後に弟が出た。その手はエサウのかかとをつかんでいた。それで名をヤコブと名づけた。リベカが彼らを産んだ時、イサクは六十歳であった。

27 וַיִּגְדְּלוּ הַנְּעָרִים וַיְהִי עֵשָׂו אִישׁ יֹדֵעַ צַיִד אִישׁ שָׂדֶה וְיַעֲקֹב אִישׁ תָּם יֹשֵׁב אֹהָלִים׃
そして–成長した 少年たちは そして–なった エサウは 人 知る 狩りを 人 野の そして–ヤコブは 人 穏やかな 住む 天幕に
H1431 H5288 H1961 H6215 H0376 H3045 H6679 H0376 H7704 H3427 H0168

さてその子らは成長し、エサウは巧みな狩猟者となり、野の人となったが、ヤコブは穏やかな人で、天幕に住んでいた。

28 וַיֶּאֱהַב יִצְחָק אֶת־עֵשָׂו כִּי־צַיִד בְּפִיו וְרִבְקָה אֹהֶבֶת אֶת־יַעֲקֹב׃
そして-愛した イサクは ～を エサウを なぜなら 獲物が 彼の-口に そして-リベカは 愛していた ～を ヤコブを
H0157 H3327 H0853 H6215 H3290 H6310 H7259 H0157 H0853 H3290

イサクは、しかの肉が好きだったので、エサウを愛したが、リベカはヤコブを愛した。

29 וַיָּזֶד יַעֲקֹב נָזִיד וַיָּבֹא עֵשָׂו מִן־הַשָּׂדֶה וְהוּא עָיֵף׃
そして-煮た ヤコブは 煮物を そして-来た エサウが ～から 野から そして-彼は 疲れていた
H2102 H3290 H5138 H0935 H6215 H4480 H7704 H1931 H5889

ある日ヤコブが、あつものを煮ていた時、エサウは飢え疲れて野から帰ってきた。

30 וַיֹּאמֶר עֵשָׂו אֶל־יַעֲקֹב הַלְעִיטֵנִי נָא מִן־הָאָדֹם הָאָדֹם הַזֶּה כִּי־עָיֵף אָנֹכִי עַל־כֵּן קָרָא־שְׁמוֹ אֱדוֹם׃
そして-言った エサウは ～に ヤコブに 食べさせてくれ どうか ～から 赤い この-赤い なぜなら 疲れている 私は その ゆえに 呼んだ 彼の-名を エドムと
H0559 H6215 H0413 H3290 H3938 H4994 H4480 H0122 H0122 H2088 H3588 H5889 H0589 H5921 H3651 H7121 H8034 H0123

エサウはヤコブに言った、「わたしは飢え疲れた。お願いだ。赤いもの、その赤いものをわたしに食べさせてくれ」。彼が名をエドムと呼ばれたのはこのためである。

31 וַיֹּאמֶר יַעֲקֹב מִכְרָה כַיּוֹם אֶת־בְּכֹרָתְךָ לִי׃
そして-言った ヤコブは 売りなさい 今日 ～を あなたの-長子の-権を 私に
H0559 H3290 H4376 H3117 H0853 H1062 H0589

ヤコブは言った、「まずあなたの長子の特権をわたしに売りなさい」。

32 וַיֹּאמֶר עֵשָׂו הִנֵּה אָנֹכִי הוֹלֵךְ לָמוּת וְלָמָּה־זֶּה לִי בְּכֹרָה׃
そして-言った エサウは 見よ 私は 歩んでいる 死に-向かって そして-何の-ために これが 私に 長子の-権が
H0559 H6215 H2009 H0589 H1980 H4191 H4100 H2088 H0589 H1062

エサウは言った、「わたしは死にそうだ。長子の特権などわたしに何になろう」。

33 וַיֹּאמֶר יַעֲקֹב הִשָּׁבְעָה לִּי כַּיּוֹם וַיִּשָּׁבַע לוֹ וַיִּמְכֹּר אֶת־בְּכֹרָתוֹ לְיַעֲקֹב׃
そして-言った ヤコブは 誓いなさい 私に 今日 そして-誓った 彼に そして-売った ～を 彼の-長子の-権を ヤコブに
H0559 H3290 H7650 H0589 H3117 H7650 H0589 H4376 H0853 H1062 H3290

ヤコブはまた言った、「まずわたしに誓いなさい」。彼は誓って長子の特権をヤコブに売った。

וַיֹּאכַל וְעֲדָשִׁים וּנְזִיד לֶחֶם לְעֵשָׂו נָתַן וְיַעֲקֹב 34
そして–食べた レンズ豆の そして–レンズ豆の–煮物を パンと エサウに 与えた そして–ヤコブは
H0398 H5742 H5138 H3899 H6215 H5414 H3290

הַבְּכֹרָה׃ אֶת־ עֵשָׂו וַיִּבֶז וַיֵּלֶךְ וַיָּקָם וַיֵּשְׁתְּ
長子の–権を ～を エサウは そして–軽んじた そして–行った そして–立ち上がった そして–飲んだ
H1062 H0853 H6215 H0959 H3212 H8354

ס
セラ

そこでヤコブはパンとレンズ豆のあつものとをエサウに与えたので、彼は飲み食いして、立ち去った。このようにしてエサウは長子の特権を軽んじた。

Chapter 26

וַיְהִי בָּאָרֶץ מִלְּבַד הָרָעָב הָרִאשׁוֹן הָיָה אֲשֶׁר בִּימֵי 1
そして–あった その–地に 飢饉が 以前の–ほかに 最初の その あった の–日々に
H3117 H1961 H0776 H7458 H7458 H7223 H1961 H3117

גְּרָרָה׃ פְּלִשְׁתִּים מֶלֶךְ־ אֲבִימֶלֶךְ אֶל־ יִצְחָק וַיֵּלֶךְ אַבְרָהָם
ゲラルへ ペリシテ人の 王の–もとへ アビメレク ～へ イサクは そして–行った アブラハム
H1642 H6430 H4428 H0040 H0413 H3327 H3212 H0085

アブラハムの時にあった初めのききんのほか、またききんがその国にあったので、イサクはゲラルにいるペリシテびとの王アビメレクの所へ行った。

בָּאָרֶץ שְׁכֹן מִצְרַיְמָה תֵּרֵד אַל־ וַיֹּאמֶר יְהוָה אֵלָיו וַיֵּרָא 2
その–地に 住め エジプトへ 下って行く ～するな そして–言った 主が 彼に そして–現れた
H0776 H7931 H4714 H3381 H0408 H0559 H3068 H0413 H7200

אֵלֶיךָ׃ אֹמַר אֲשֶׁר
あなたに わたしが–告げる それ
H0413 H0559

その時、主は彼に現れて言われた、「エジプトへ下ってはならない。わたしがあなたに示す地にとどまりなさい。

וַאֲבָרְכֶךָּ עִמָּךְ וְאֶהְיֶה הַזֹּאת בָּאָרֶץ גּוּר 3
あなたを–祝福する あなたと–ともに–いて そうすれば–わたしは この この–地に 寄留せよ
H1288 H1961 H2063 H0776

הָאֵל הָאֲרָצֹת כָּל־ אֶת־ אֶתֵּן וּלְזַרְעֲךָ לְךָ כִּי־
これらの これらの–地を すべての ～を わたしは–与える あなたの–子孫に あなたに なぜなら
H0411 H0776 H3605 H0853 H5414 H2233

אָבִיךָ׃ לְאַבְרָהָם נִשְׁבַּעְתִּי אֲשֶׁר הַשְּׁבֻעָה אֶת־ וַהֲקִמֹתִי
あなたの–父に アブラハムに わたしが–誓った それ その–誓いを ～を そして–わたしは–立てる
H0001 H0085 H7650 H0853 H7621 H0853

あなたがこの地にとどまるなら、わたしはあなたと共にいて、あなたを祝福し、これらの国をことごとくあなたと、あなたの子孫とに与え、わたしがあなたの父アブラハムに誓った誓いを果そう。

4

וְהִרְבֵּיתִי אֶת־זַרְעֲךָ כְּכוֹכְבֵי הַשָּׁמָיִם וְנָתַתִּי
そして–わたしは–増やす ～を あなたの–子孫を 星々の–ように 天の そして–与える
H5414 H8064 H3556 H2233 H0853

לְזַרְעֲךָ אֶת־כָּל־הָאֲרָצֹת הָאֵל וְהִתְבָּרֲכוּ בְזַרְעֶךָ
あなたの–子孫に ～を すべての これらの–地を これらの そして–祝福される あなたの–子孫によって
H2233 H0853 H3605 H0776 H0411 H1288 H2233

כֹּל גּוֹיֵי הָאָרֶץ׃
すべての 国々が 地の
H3605 H0776

またわたしはあなたの子孫を増して天の星のようにし、あなたの子孫にこれらの地をみな与えよう。そして地のすべての国民はあなたの子孫によって祝福をえるであろう。

5

עֵקֶב אֲשֶׁר־שָׁמַע אַבְרָהָם בְּקֹלִי וַיִּשְׁמֹר מִשְׁמַרְתִּי
ゆえに それ 聞いた アブラハムが わたしの–声に そして–守った わたしの–務めを
H6118 H8085 H0085 H0853 H8104 H4931

חֻקֹּתַי וְתוֹרֹתָי׃
わたしの–掟を わたしの–律法を
H2708 H8451

アブラハムがわたしの言葉にしたがってわたしのさとしと、いましめと、さだめと、おきてとを守ったからである」。

6

וַיֵּשֶׁב יִצְחָק בִּגְרָר׃
そして–住んだ イサクは ゲラルに
H3427 H3327 H1642

こうしてイサクはゲラルに住んだ。

7

וַיִּשְׁאֲלוּ אַנְשֵׁי הַמָּקוֹם לְאִשְׁתּוֹ וַיֹּאמֶר אֲחֹתִי הִוא
そして–尋ねた 人々が その–場所の 彼の–妻について すると–彼は–言った 私の–姉妹 です
H7592 H0376 H4725 H0802 H0559 H0269 H1931

כִּי יָרֵא לֵאמֹר אִשְׁתִּי פֶּן־יַהַרְגֻנִי אַנְשֵׁי הַמָּקוֹם
なぜなら 恐れた 言うことを 私の–妻 ～しないように 殺されるかもしれない 人々が その–場所の
H3372 H0559 H0802 H6435 H2026 H0376 H4725

עַל־רִבְקָה כִּי־טוֹבַת מַרְאֶה הִוא׃
～のために リベカ なぜなら 美しい 容姿の 彼女は
H7259 H3588 H2896 H4758 H1931

その所の人々が彼の妻のことを尋ねたとき、「彼女はわたしの妹です」と彼は言った。リベカは美しかったので、その所の人々がリベカのゆえに自分を殺すかもしれないと思って、「わたしの妻です」と言うのを恐れたからである。

8

וַיְהִי כִּי אָרְכוּ לוֹ שָׁם הַיָּמִים וַיַּשְׁקֵף אֲבִימֶלֶךְ מֶלֶךְ
そして–あった こと 長く–なった 彼に そこで 日々が そして–見下ろした アビメレクが 王
H1961 H3588 H0748 H0 H8033 H3117 H8259 H0040 H4428

פְּלִשְׁתִּים בְּעַד הַחַלּוֹן וַיַּרְא וְהִנֵּה יִצְחָק מְצַחֵק אֵת רִבְקָה
ペリシテ人の ～から 窓を–通して そして–見た すると–見よ イサクが 愛撫していた ～を リベカ
H6430 H1157 H2474 H7200 H2009 H3327 H6711 H0854 H7259

אִשְׁתּוֹ׃
彼の–妻を
H0802

イサクは長らくそこにいたが、ある日ペリシテびとの王アビメレクは窓から外をながめていて、イサクがその妻リベカと戯れているのを見た。

9

הִוא	אִשְׁתְּךָ	הִנֵּה	אַךְ	וַיֹּאמֶר	לְיִצְחָק	אֲבִימֶלֶךְ	וַיִּקְרָא
ではないか	あなたの–妻	見よ	確かに	そして–言った	イサクを	アビメレクは	そして–呼んだ
H1931	H0802	H2009	H0389	H0559	H3327	H0040	H7121

כִּי	יִצְחָק	אֵלָיו	וַיֹּאמֶר	הִוא	אָחֹתִי	אָמַרְתָּ	וְאֵיךְ
なぜなら	イサクは	彼に	すると–言った	ですと	私の–姉妹	あなたは–言ったのか	なぜ
	H3327	H0413	H0559	H1931	H0269	H0559	

עָלֶיהָ׃	אָמוּת	פֶּן־	אָמַרְתִּי
彼女の–ゆえに	死ぬのではないかと	～しないように	私は–思った
	H4191	H6435	H0559

そこでアビメレクはイサクを召して言った、「彼女は確かにあなたの妻です。あなたはどうして『彼女はわたしの妹です』と言われたのですか」。イサクは彼に言った、「わたしは彼女のゆえに殺されるかもしれないと思ったからです」。

10

שָׁכַב	כִּמְעַט	לָנוּ	עָשִׂיתָ	זֹאת	מַה־	אֲבִימֶלֶךְ	וַיֹּאמֶר
寝た	もう少しで	私たちに	あなたが–したのか	これは	何	アビメレクは	すると–言った
H7901	H4592			H2063	H4100	H0040	H0559

אָשֶׁם׃	עָלֵינוּ	וְהֵבֵאתָ	אִשְׁתֶּךָ	אֶת־	הָעָם	אַחַד
罪を	私たちの–上に	そうすれば–もたらした	あなたの–妻	～と	民の	一人が
H0817		H0935	H0802	H0854		H0259

アビメレクは言った、「あなたはどうしてこんな事をわれわれにされたのですか。民のひとりが軽々しくあなたの妻と寝るような事があれば、その時あなたはわれわれに罪を負わせるでしょう」。

11

הַזֶּה	בָּאִישׁ	הַנֹּגֵעַ	לֵאמֹר	הָעָם	כָּל־	אֶת־	אֲבִימֶלֶךְ	וַיְצַו
この	この–男に	触れる–者は	言って	民に	すべての	～に	アビメレクは	そして–命じた
H2088	H0376	H5060	H0559		H3605	H0853	H0040	H6680

יוּמָת׃	מוֹת	וּבְאִשְׁתּוֹ
殺される	必ず	また–その–妻に
H4191	H4191	H0802

それでアビメレクはすべての民に命じて言った、「この人、またはその妻にさわる者は必ず死ななければならない」。

12

שְׁעָרִים	מֵאָה	הַהוּא	בַּשָּׁנָה	וַיִּמְצָא	הַהוּא	בָּאָרֶץ	יִצְחָק	וַיִּזְרַע
倍を	百	その	その–年に	そして–得た	その	その–地で	イサクは	そして–種を蒔いた
H8180	H3967	H1931	H8141	H4672	H1931	H0776	H3327	H2232

יְהוָה׃	וַיְבָרְכֵהוּ
主は	そして–祝福した
H3068	H1288

イサクはその地に種をまいて、その年に百倍の収穫を得た。このように主が彼を祝福されたので、

13

גָּדֵל	כִּי־	עַד	וְגָדֵל	הָלוֹךְ	וַיֵּלֶךְ	הָאִישׁ	וַיִּגְדַּל
大きくなった	非常に	～まで	大きくなり	さらに	そして–進み	その–人は	そして–大きくなった
H1431		H5704	H1432	H1980	H3212	H0376	H1431

מְאֹד׃
非常に
H3966

彼は富み、またますます栄えて非常に裕福になり、

14 וַיְהִי־ לוֹ מִקְנֵה־ צֹאן וּמִקְנֵה בָקָר וַעֲבֻדָּה רַבָּה
そして–あった 彼に 家畜の–群れ 羊の 家畜の–群れ また–多くの–しもべたち 大勢の
H1961 H4735 H6629 H4735 H1241 H5657

וַיְקַנְאוּ אֹתוֹ פְּלִשְׁתִּים׃
そして–ねたんだ 彼を ペリシテ人は
H7065 H0853 H6430

羊の群れ、牛の群れ及び多くのしもべを持つようになったので、ペリシテびとは彼をねたんだ。

15 וְכָל־ הַבְּאֵרֹת אֲשֶׁר חָפְרוּ עַבְדֵי אֲבִיהוּ בִּימֵי אַבְרָהָם
そして–すべての 井戸を それ 掘った しもべたちが 彼の–父の の–日々に アブラハム
H3605 H0875 H0834 H2658 H5650 H0001 H3117 H0085

וַיְמַלְאוּם פְּלִשְׁתִּים וַיִּסְתְּמוּם עָפָר׃
そして–満たした ペリシテ人は 埋めた 土で
H4390 H6430 H5640 H6083

またペリシテびとは彼の父アブラハムの時に、父のしもべたちが掘ったすべての井戸をふさぎ、土で埋めた。

16 וַיֹּאמֶר אֲבִימֶלֶךְ אֶל־ יִצְחָק לֵךְ מֵעִמָּנוּ כִּי־
そして–言った アビメレクは ～に イサク 行け 私たちのもとから なぜなら
H0559 H0040 H0413 H3327 H3212 H5973 H3588

עָצַמְתָּ־ מִמֶּנּוּ מְאֹד׃
あなたは–強くなった 私たちより はるかに
H6105 H4480 H3966

アビメレクはイサクに言った、「あなたはわれわれよりも、はるかに強くなられたから、われわれの所を去ってください」。

17 וַיֵּלֶךְ מִשָּׁם יִצְחָק וַיִּחַן בְּנַחַל־ גְּרָר וַיֵּשֶׁב
そして–去った そこから イサクは そして–天幕を–張った ゲラルの–谷に ゲラルの
H3212 H8033 H3327 H2583 H5158 H1642 H3427

שָׁם׃
そこに
H8033

イサクはそこを去り、ゲラルの谷に天幕を張ってその所に住んだ。

18 וַיָּשָׁב יִצְחָק וַיַּחְפֹּר אֶת־ בְּאֵרֹת הַמַּיִם אֲשֶׁר חָפְרוּ בִּימֵי אַבְרָהָם
そして–再び イサクは 掘った ～を 井戸を 水の それ 掘られた の–日々に アブラハム
H7725 H3327 H2658 H0853 H0875 H4325 H0834 H2658 H3117 H0085

אָבִיו וַיִּקְרָא לָהֶן שֵׁמוֹת כַּשֵּׁמֹת אֲשֶׁר־ קָרָא לָהֶן אָבִיו׃
彼の–父の そして–埋めた ペリシテ人が ～の後に 死 アブラハムの そして–名づけた それらに 名前を 名前の–とおりに 名づけた それらに 彼の–父が
H0001 H5640 H6430 H0310 H4194 H0085 H7121 H0834 H8034 H8034 H7121 H0834 H0001

そしてイサクは父アブラハムの時に人々の掘った水の井戸を再び掘った。アブラハムの死後、ペリシテびとがふさいだからである。イサクは父がつけた名にしたがってそれらに名をつけた。

19 וַיַּחְפְּרוּ֙ עַבְדֵ֣י יִצְחָ֔ק בַּנָּחַ֖ל וַיִּמְצְא֣וּ שָׁ֑ם בְּאֵ֖ר מַ֥יִם חַיִּֽים׃

そして-掘った (H2658) しもべたちが (H5650) イサクの (H3327) 谷の-中で (H5650) そして-見つけた (H4672) そこで (H8033) 井戸を (H0875) 水の (H4325) 湧き出る

しかしイサクのしもべたちが谷の中を掘って、そこにわき出る水の井戸を見つけたとき、

20 וַיָּרִ֙יבוּ֙ רֹעֵ֣י גְרָ֔ר עִם־רֹעֵ֥י יִצְחָ֖ק לֵאמֹ֣ר לָ֑נוּ וַיִּקְרָ֤א שֵׁם־הַבְּאֵר֙ עֵ֔שֶׂק כִּ֥י הִתְעַשְּׂק֖וּ עִמּֽוֹ׃

そして-争った (H7378) 羊飼いたちが (H7473) ゲラルの (H1642) ～と (H5973) 羊飼いたちと (H7473) イサクの (H3327) 言って (H0559) 私たちの-ものだ (H0853) そして-名づけた (H7121) その-井戸の (H0875) 名を (H8034) エセクと (H6230) なぜなら (H3588) 彼らが-争ったから (H6229) 彼と (H5973)

ゲラルの羊飼たちは、「この水はわれわれのものだ」と言って、イサクの羊飼たちと争ったので、イサクはその井戸の名をエセクと名づけた。彼らが彼と争ったからである。

21 וַיַּחְפְּר֣וּ בְאֵ֤ר אַחֶ֙רֶת֙ וַיָּרִ֣יבוּ גַם־עָלֶ֔יהָ וַיִּקְרָ֥א שְׁמָ֖הּ שִׂטְנָֽה׃

そして-掘った (H2658) もう一つの-井戸を (H0875) 別の (H0312) そして-争った (H7378) また (H1571) それについても (H5921) そして-名づけた (H7121) その-名を (H8034) シトナと (H7856)

彼らはまた一つの井戸を掘ったが、これをも争ったので、名をシテナと名づけた。

22 וַיַּעְתֵּ֣ק מִשָּׁ֔ם וַיַּחְפֹּ֖ר בְּאֵ֣ר אַחֵ֑רֶת וְלֹ֥א רָב֖וּ עָלָ֑הּ וַיִּקְרָ֤א שְׁמָהּ֙ רְחֹבֹ֔ות כִּ֣י עַתָּ֔ה הִרְחִ֥יב יְהוָ֖ה לָ֑נוּ וּפָרִ֖ינוּ בָּאָֽרֶץ׃

そして-移った (H6275) そこから (H8033) そして-掘った (H2658) もう一つの-井戸を (H0875) 別の (H0312) しかし-ない (H3808) 争わなかった (H7378) そして-名づけた (H7121) その-名を (H8034) レホボトと (H7344) そして-言った (H0559) 今 (H6258) なぜなら (H3588) 広くした (H7337) 主が (H3068) 私たちのために (H0853) そして-増え広がる (H6509) この-地で (H0776)

彼らはそこから移ってまた一つの井戸を掘ったが、彼らはこれを争わなかったので、その名をレホボテと名づけて言った、「いま主がわれわれの場所を広げられたから、われわれはこの地にふえるであろう」。

23 וַיַּ֥עַל מִשָּׁ֖ם בְּאֵ֥ר שָֽׁבַע׃

そして-上った (H5927) そこから (H8033) ベエルシェバへ (H0884)

彼はそこからベエルシバに上った。

24 וַיֵּרָ֨א אֵלָ֜יו יְהוָ֤ה בַּלַּ֙יְלָה֙ הַה֣וּא וַיֹּ֔אמֶר אָנֹכִ֖י אֱלֹהֵ֣י אַבְרָהָ֑ם אַל־תִּירָ֣א כִּֽי־אִתְּךָ֣ אָנֹכִ֔י וּבֵרַכְתִּ֖יךָ וְהַרְבֵּיתִ֣י אֶת־זַרְעֲךָ֔ בַּעֲבֻ֖ור עַבְדִּ֥י אַבְרָהָֽם׃

そして-現れた (H7200) 彼に (H0413) 主が (H3068) その-夜に (H3915) その (H1931) そして-言った (H0559) わたしは (H0595) 神 (H0430) アブラハムの (H0085) あなたの-父の (H0001) ～するな (H0408) 恐れる (H3372) なぜなら (H3588) あなたと-ともに (H0854) わたしは-いる (H0595) そして-わたしは-祝福する (H1288) あなたの-子孫を (H2233) ～のために (H5668) アブラハム (H0085) わたしの-しもべの (H5650)

その夜、主は彼に現れて言われた、「わたしはあなたの父アブラハムの神である。あなたは恐れてはならない。わたしはあなたと共におって、あなたを祝福し、わたしのしもべアブラハムのゆえにあなたの子孫を増すであろう」。

25 וַיִּבֶן שָׁם וַיִּקְרָא בְּשֵׁם יְהוָה וַיֵּט־שָׁם אָהֳלֹו וַיִּכְרוּ־שָׁם עַבְדֵי־יִצְחָק בְּאֵר׃

וַיִּבֶן	שָׁם	וַיִּקְרָא	בְּשֵׁם	יְהוָה	וַיֵּט־	שָׁם	אָהֳלֹו	
そして–築いた	そこに	そして–呼んだ	名において	主の	そして–張った	そこに	天幕を	
H1129	H8033	H7121	H8034	H3068	H5186	H8033	H0168	
וַיִּכְרוּ־	שָׁם	עַבְדֵי־	יִצְחָק	בְּאֵר׃				
そして–掘った	そこに	しもべたちが	イサクの	井戸を				
H8033	H5650	H3327	H0875					

それで彼はその所に祭壇を築いて、主の名を呼び、そこに天幕を張った。またイサクのしもべたちはそこに一つの井戸を掘った。

26 וַאֲבִימֶלֶךְ הָלַךְ אֵלָיו מִגְּרָר וַאֲחֻזַּת מֵרֵעֵהוּ וּפִיכֹל שַׂר־צְבָאֹו׃

וַאֲבִימֶלֶךְ	הָלַךְ	אֵלָיו	מִגְּרָר	וַאֲחֻזַּת	מֵרֵעֵהוּ	וּפִיכֹל	שַׂר־	
そして–アビメレクが	行った	彼のもとに	ゲラルから	アフザトと	彼の–友人の	ピコルと	長	
H0040	H1980	H0413	H1642	H0276	H4828	H6369	H8269	
צְבָאֹו׃								
軍隊の								

時にアビメレクがその友アホザテと、軍勢の長ピコルと共にゲラルからイサクのもとにきたので、

27 וַיֹּאמֶר יִצְחָק אֲלֵהֶם מַדּוּעַ בָּאתֶם אֵלָי וְאַתֶּם שְׂנֵאתֶם אֹתִי וַתְּשַׁלְּחוּנִי מֵאִתְּכֶם׃

וַיֹּאמֶר	יִצְחָק	אֲלֵהֶם	מַדּוּעַ	בָּאתֶם	אֵלָי	וְאַתֶּם	שְׂנֵאתֶם	אֹתִי
すると–言った	イサクは	彼らに	なぜ	来たのか	私のもとに	あなたがたは	憎んだ	私を
H0559	H3327	H0413	H4069	H0935	H0413		H8130	H0853
וַתְּשַׁלְּחוּנִי	מֵאִתְּכֶם׃							
そして–追い出した	あなたがたのもとから							
H7971	H0854							

イサクは彼らに言った、「あなたがたはわたしを憎んで、あなたがたの中からわたしを追い出されたのに、どうしてわたしの所にこられたのですか」。

28 וַיֹּאמְרוּ רָאֹו רָאִינוּ כִּי־הָיָה יְהוָה עִמָּךְ וַנֹּאמֶר תְּהִי נָא אָלָה בֵּינֵינוּ בֵּינוֹתֵינוּ וּבֵינֶךָ וְנִכְרְתָה בְרִית עִמָּךְ׃

וַיֹּאמְרוּ	רָאֹו	רָאִינוּ	כִּי־	הָיָה	יְהוָה	עִמָּךְ		
すると–彼らは–言った	確かに	私たちは–見た	こと	おられた	主が	あなたと–ともに		
H0559	H7200	H7200		H1961	H3068			
וַנֹּאמֶר	תְּהִי	נָא	אָלָה	בֵּינֵינוּ	בֵּינוֹתֵינוּ	וּבֵינֶךָ		
そして–私たちは–言った	あるように	どうか	誓いが	私たちと	私たちの–間に	あなたとの–間に		
H0559	H1961	H4994	H0423	H0996	H0996	H0996		
וְנִכְרְתָה	בְרִית	עִמָּךְ׃						
そして–結ぼう	契約を	あなたと						
H3772	H1285							

彼らは言った、「われわれは主があなたと共におられるのを、はっきり見ましたので、いまわれわれの間、すなわちわれわれとあなたとの間に一つの誓いを立てて、あなたと契約を結ぼうと思います。

29 אִם־תַּעֲשֶׂה עִמָּנוּ רָעָה כַּאֲשֶׁר לֹא נְגַעֲנוּךָ וְכַאֲשֶׁר עָשִׂינוּ עִמְּךָ רַק־טֹוב וַנְּשַׁלֲּחֲךָ בְּשָׁלֹום אַתָּה עַתָּה בְּרוּךְ יְהוָה׃

אִם־	תַּעֲשֶׂה	עִמָּנוּ	רָעָה	כַּאֲשֶׁר	לֹא	נְגַעֲנוּךָ		
もし	あなたが–行う	私たちに	悪を	ちょうど–そのように	ない	私たちは–触れなかった		
					H3808	H5060		
וְכַאֲשֶׁר	עָשִׂינוּ	עִמְּךָ	רַק־	טֹוב	וַנְּשַׁלֲּחֲךָ	בְּשָׁלֹום	אַתָּה	
そして–そのように	行った	あなたに	ただ	善を	そして–送り出した	平和のうちに	あなたは	
			H7535		H7971	H7965		
עַתָּה	בְּרוּךְ	יְהוָה׃						
今	祝福された–者	主の						
H6258	H1288	H3068						

われわれはあなたに害を加えたことはなく、ただ良い事だけをして、安らかに去らせたのですから、あなたはわれわれに悪い事をしてはなりません。まことにあなたは主に祝福されたかたです」。

30 וַיַּעַשׂ לָהֶם מִשְׁתֶּה וַיֹּאכְלוּ וַיִּשְׁתּוּ׃
そして-設けた 彼らのために 宴会を そして-食べた そして-飲んだ
H6213 H0853 H4960 H0398 H8354

そこでイサクは彼らのためにふるまいを設けた。彼らは飲み食いし、

31 וַיַּשְׁכִּימוּ בַבֹּקֶר וַיִּשָּׁבְעוּ אִישׁ לְאָחִיו וַיְשַׁלְּחֵם יִצְחָק
そして-朝早く起きた 朝に そして-誓い合った 各々 互いに そして-送り出した イサクは
H7925 H1242 H7650 H0376 H0251 H7971 H3327

וַיֵּלֶךְ מֵאִתּוֹ בְּשָׁלוֹם׃
そして-去った 彼のもとから 平和のうちに
H3212 H0854 H7965

あくる朝、はやく起きて互に誓った。こうしてイサクは彼らを去らせたので、彼らはイサクのもとから穏やかに去った。

32 וַיְהִי בַּיּוֹם הַהוּא וַיָּבֹאוּ עַבְדֵי יִצְחָק וַיַּגִּדוּ לוֹ
そして-あった その-日に その 来た イサクの しもべたちが そして-告げた 彼に
H1961 H3117 H1931 H0935 H3327 H5650 H5046 H0853

עַל־אֹדוֹת הַבְּאֵר אֲשֶׁר חָפָרוּ וַיֹּאמְרוּ לוֹ מָצָאנוּ מָיִם׃
〜について こと 井戸の それ 掘った そして-言った 彼に 見つけました 水を
H5921 H0182 H0875 H0834 H2658 H0559 H0853 H4672 H4325

その日、イサクのしもべたちがきて、自分たちが掘った井戸について彼に告げて言った、「わたしたちは水を見つけました」。

33 וַיִּקְרָא אֹתָהּ שִׁבְעָה עַל־כֵּן שֵׁם־הָעִיר שִׁבְעָה אֵר בְּאֵר שֶׁבַע עַד
それを シブアと それ-ゆえ 名は その-町の ベエルシェバ 〜まで
H0853 H7656 H5921 H3651 H8034 H5892 H0884 H5704

הַיּוֹם הַזֶּה׃ ס *
今日 この
H3117 H2088

イサクはそれをシバと名づけた。これによってその町の名は今日にいたるまでベエルシバといわれている。

34 וַיְהִי עֵשָׂו בֶּן־אַרְבָּעִים שָׁנָה וַיִּקַּח אִשָּׁה אֶת־יְהוּדִית
そして-あった エサウは 〜の-息子 四十 歳の そして-めとった 妻を ユディト
H1961 H6215 H1121 H0705 H8141 H3947 H0802 H0853 H3067

בַּת־בְּאֵרִי הַחִתִּי וְאֶת־בָּשְׂמַת בַּת־אֵילֹן הַחִתִּי׃
ベエリの 娘 ヒッタイト人の また バセマト 娘 エロンの ヒッタイト人の
H0882 H1323 H2850 H0853 H1315 H1323 H0356 H2850

エサウは四十歳の時、ヘテびとベエリの娘ユデテとヘテびとエロンの娘バスマテとを妻にめとった。

35 וַתִּהְיֶיןָ מֹרַת רוּחַ לְיִצְחָק וּלְרִבְקָה׃ ס *
そして-彼女たちは 苦い 心の イサクにとって リベカにとって
H1961 H4786 H7307 H3327 H7259

彼女たちはイサクとリベカにとって心の痛みとなった。

Chapter 27

1 וַיְהִי כִּי־זָקֵן יִצְחָק וַתִּכְהֶיןָ עֵינָיו מֵרְאֹת וַיִּקְרָא
そして–あった こと 年老いた イサクが そして–衰えた 彼の–目が 見ることから そして–呼んだ
H1961 H3588 H2204 H3327 H3615 H5869 H7200 H7121

אֶת־עֵשָׂו בְּנוֹ הַגָּדֹל וַיֹּאמֶר אֵלָיו בְּנִי וַיֹּאמֶר אֵלָיו הִנֵּנִי׃
エサウ 彼の–息子 長男の そして–言った 彼に わが–息子よ すると–言った 彼に ここに–います
H6215 H1121 H1419 H0559 H0413 H1121 H0559 H0413 H2009

イサクは年老い、目がかすんで見えなくなった時、長子エサウを呼んで言った、「子よ」。彼は答えて言った、「ここにおります」。

2 וַיֹּאמֶר הִנֵּה־נָא זָקַנְתִּי לֹא יָדַעְתִּי יוֹם מוֹתִי׃
そして–言った 見よ どうか 年老いた わたしは–知らない ない 日を わたしの–死の
H0559 H2009 H4994 H2204 H3045 H3808 H3117 H4194

イサクは言った。「わたしは年老いて、いつ死ぬかも知れない。

3 וְעַתָּה שָׂא־נָא כֵלֶיךָ תֶּלְיְךָ וְקַשְׁתֶּךָ וְצֵא הַשָּׂדֶה
だから–今 持て どうか あなたの–道具を あなたの–矢筒と あなたの–弓を そして–出よ 野に
H6258 H5375 H4994 H3627 H8522 H7198 H3318 H7704

וְצוּדָה לִּי צַיִד׃ (וְצוּדָה [צידה] לִי צַיִד׃)
そして–狩れ わたしのために 獲物を 獲物を
H6679 H3820 H6720 H6720

それであなたの武器、弓矢をもって野に出かけ、わたしのために、しかの肉をとってきて、

4 וְעֲשֵׂה־לִּי מַטְעַמִּים כַּאֲשֶׁר אָהַבְתִּי וְהָבִיאָה לִּי וְאֹכֵלָה בַּעֲבוּר תְּבָרֶכְךָ נַפְשִׁי בְּטֶרֶם אָמוּת׃
そして–作れ わたしに 美味しい–料理を ちょうど–そのように わたしが–好む そして–持って–来い わたしに そして–食べる そうすれば 祝福する わたしの–魂が ～の前に わたしが–死ぬ
H6213 H3820 H4303 H3644 H157 H935 H3820 H398 H1288 H5315 H6440 H4191

わたしの好きなおいしい食べ物を作り、持ってきて食べさせよ。わたしは死ぬ前にあなたを祝福しよう」。

5 וְרִבְקָה שֹׁמַעַת בְּדַבֵּר יִצְחָק אֶל־עֵשָׂו בְּנוֹ וַיֵּלֶךְ הַשָּׂדֶה לָצוּד צַיִד לְהָבִיא׃
しかし–リベカは 聞いていた 話している–時に イサクが ～に エサウ 彼の–息子に そして–行った 野に 狩るために 獲物を 持って–来るために
H7259 H8085 H1696 H3327 H413 H6215 H1121 H3212 H7704 H6679 H935

エサウは
H6215

イサクがその子エサウに語るのをリベカは聞いていた。やがてエサウが、しかの肉を獲ようと野に出かけたとき、

6 וְרִבְקָה אָמְרָה אֶל־יַעֲקֹב בְּנָהּ לֵאמֹר הִנֵּה שָׁמַעְתִּי אֶת־אָבִיךָ מְדַבֵּר אֶל־עֵשָׂו אָחִיךָ לֵאמֹר׃
すると–リベカは 言った ～に ヤコブ 彼女の–息子に 見よ わたしは–聞いた ～を あなたの–父が 話しているのを ～に エサウ あなたの–兄に 言って
H7259 H559 H413 H3290 H1121 H2009 H8085 H853 H1 H1696 H413 H6215 H251 H559

リベカはその子ヤコブに言った、「わたしは聞いていましたが、父は兄エサウに、

7

וְאֹכְלָה	מַטְעַמִּים	לִי	וַעֲשֵׂה־	צַיִד	לִי	הָבִיאָה
そして–わたしが–食べる	美味しい–料理を	わたしに	そして–作れ	獲物を	わたしに	持って–来い
H0398	H4303					H0935

מוֹתִי׃	לִפְנֵי	יְהוָה	לִפְנֵי	וַאֲבָרֶכְכָה	
わたしの–死の	～の前に	主の	～の前で	そうすれば–わたしは–祝福する	
H4194	H6440	H3068	H6440	H1288	

『わたしのために、しかの肉をとってきて、おいしい食べ物を作り、わたしに食べさせよ。わたしは死ぬ前に、主の前であなたを祝福しよう』と言いました。

8

אֹתָךְ׃	מְצַוֶּה	אֲנִי	לַאֲשֶׁר	בְּקֹלִי	שְׁמַע	בְנִי	וְעַתָּה
あなたに	命じる	わたしが	わたしが	わたしの–声に	聞け	わが–息子よ	だから–今
H0853	H6680	H0589			H8085		H6258

それで、子よ、わたしの言葉にしたがい、わたしの言うとおりにしなさい。

9

עִזִּים	גְּדָיֵי	שְׁנֵי	מִשָּׁם	לִי	וְקַח־	הַצֹּאן	אֶל־	נָא	לֵךְ־
やぎの	子やぎを	二匹の	そこから	わたしに	そして–取れ	群れの–もとに	～へ	どうか	行け
H5795	H1423	H8147	H8033		H3947	H6629	H0413	H4994	H3212

כַּאֲשֶׁר	לְאָבִיךָ	מַטְעַמִּים	אֹתָם	וְאֶעֱשֶׂה	טֹבִים
ちょうど–そのように	あなたの–父のために	美味しい–料理に	それらを	そして–わたしが–作る	良い
	H0001	H4303	H0853		

אָהֵב׃
好む
H0157

群れの所へ行って、そこからやぎの子の良いのを二頭わたしの所に取ってきなさい。わたしはそれで父のために、父の好きなおいしい食べ物を作りましょう。

10

לִפְנֵי	יְבָרֶכְךָ	אֲשֶׁר	בַּעֲבֻר	וְאָכָל	לְאָבִיךָ	וְהֵבֵאתָ
～の前に	祝福する	それ	そうすれば	そして–食べさせよ	あなたの–父に	そして–持って–行け
H6440	H1288		H5668	H0398	H0001	H0935

מוֹתֽוֹ׃
彼の–死の
H4194

あなたはそれを持って行って父に食べさせなさい。父は死ぬ前にあなたを祝福するでしょう」。

11

שָׂעִר	אִישׁ	אָחִי	עֵשָׂו	הֵן	אִמּוֹ	רִבְקָה	אֶל־	יַעֲקֹב	וַיֹּאמֶר
毛深い	男	わたしの–兄は	エサウ	見よ	彼の–母に	リベカ	～に	ヤコブは	すると–言った
	H0376	H0251	H6215	H2005	H0517	H7259	H0413	H3290	H0559

חָלָק׃	אִישׁ	וְאָנֹכִי
滑らかな	男	しかし–わたしは
H2509	H0376	H0595

ヤコブは母リベカに言った、「兄エサウは毛深い人ですが、わたしはなめらかです。

12

בְּעֵינָיו	וְהָיִיתִי	אָבִי	יְמֻשֵּׁנִי	אוּלַי	
彼の–目に	そうすれば–わたしは–なる	わたしの–父が	触るかもしれない	もしかすると	
	H1961	H0001	H4959	H0194	

בְּרָכָה׃	וְלֹא	קְלָלָה	עָלַי	וְהֵבֵאתִי	כִּמְתַעְתֵּעַ
祝福を	そして–ない	呪いを	わたしの–上に	そして–もたらす	欺く–者のように
H1293	H3808	H7045		H0935	H8591

おそらく父はわたしにさわってみるでしょう。そうすればわたしは父を欺く者と思われ、祝福を受けず、かえってのろいを受けるでしょう」。

13 וַתֹּאמֶר לוֹ אִמּוֹ עָלַי קִלְלָתְךָ בְנִי אַךְ שְׁמַע בְּקֹלִי וְלֵךְ קַח־לִי׃
すると–言った 彼に 彼の–母は わたしの–上に あなたの–呪いは わが–息子よ ただ 聞け
H0559 H0517 H7045 H0389 H8085
わたしの–声に そして–行け 取れ わたしに
H3212 H3947

母は彼に言った、「子よ、あなたがうけるのろいはわたしが受けます。ただ、わたしの言葉に従い、行って取ってきなさい」。

14 וַתֵּלֶךְ וַתִּקַּח וַתָּבֵא לְאִמּוֹ אִמּוֹ וַתַּעַשׂ
そして–行った そして–取った そして–持って–来た 彼の–母に 彼の–母は すると–作った
H3212 H3947 H0935 H0517 H0517
美味しい–料理を ちょうど–そのように 好んだ 彼の–父が
H4303 H0157 H0001
כַּאֲשֶׁר אָהֵב אָבִיו׃ מַטְעַמִּים

そこで彼は行ってやぎの子を取り、母の所に持ってきたので、母は父の好きなおいしい食べ物を作った。

15 וַתִּקַּח רִבְקָה אֶת־בִּגְדֵי בְנָהּ הַגָּדֹל אֲשֶׁר
そして–取った リベカは ～を 衣服を 彼女の–息子の 長男の 上等な それ
H3947 H7259 H0853 H6215
עִמָּהּ בַּבָּיִת וַתַּלְבֵּשׁ אֶת־יַעֲקֹב בְּנָהּ הַקָּטֹן׃
彼女の–もとに–ある 家の–中の そして–着せた ～に ヤコブ 彼女の–息子 末の
H0854 H3847 H0853 H3290

リベカは家にあった長子エサウの晴着を取って、弟ヤコブに着せ、

16 וְאֵת עֹרֹת גְּדָיֵי הָעִזִּים הִלְבִּישָׁה עַל־יָדָיו וְעַל חֶלְקַת
そして 皮を 子やぎの やぎの かぶせた ～の上に 彼の–手に そして–～の上に 滑らかな–部分に
H0853 H5785 H1423 H5795 H3847 H3027 H7945
צַוָּארָיו׃
彼の–首の

また子やぎの皮を手と首のなめらかな所とにつけさせ、

17 וַתִּתֵּן אֶת־הַמַּטְעַמִּים וְאֶת־הַלֶּחֶם אֲשֶׁר עָשָׂתָה בְּיַד יַעֲקֹב
そして–渡した ～を 美味しい–料理と また パンを それ 作った ～の手に ヤコブ
H5414 H0853 H4303 H0853 H3899 H3027 H3290
בְּנָהּ׃
彼女の–息子の

彼女が作ったおいしい食べ物とパンとをその子ヤコブの手にわたした。

18 וַיָּבֹא אֶל־אָבִיו וַיֹּאמֶר אָבִי וַיֹּאמֶר הִנֶּנִּי מִי
そして–来た ～のもとへ 彼の–父の そして–言った お父さん すると–言った ここに–いる だれか
H0935 H0413 H0001 H0559 H0001 H0559 H2009 H4310
אַתָּה בְּנִי׃
あなたは わが–息子よ

そこでヤコブは父の所へ行って言った、「父よ」。すると父は言った、「わたしはここにいる。子よ、あなたはだれか」。

19

וַיֹּאמֶר יַעֲקֹב אֶל־אָבִיו אָנֹכִי עֵשָׂו בְּכֹרֶךָ עָשִׂיתִי
すると–言った ヤコブは ～に 彼の–父に わたしは エサウ あなたの–長子です わたしは–した
H0559 H3290 H0413 H0001 H0595 H6215 H1060

כַּאֲשֶׁר דִּבַּרְתָּ אֵלָי קוּם־נָא שְׁבָה וְאָכְלָה
ちょうど–そのように あなたが–話した わたしに 起きて どうか 座って そして–食べてください
H3696 H0413 H6965 H4994 H3427 H0398

מִצֵּידִי בַּעֲבוּר תְּבָרֲכַנִי נַפְשֶׁךָ׃
わたしの–獲物から そうすれば 祝福してください あなたの–魂が
H5668 H1288 H5315

ヤコブは父に言った、「長子エサウです。あなたがわたしに言われたとおりにいたしました。どうぞ起きて、すわってわたしのしかの肉を食べ、あなたみずからわたしを祝福してください」。

20

וַיֹּאמֶר יִצְחָק אֶל־בְּנוֹ מַה־זֶּה מִהַרְתָּ לִמְצֹא
すると–言った イサクは ～に 彼の–息子に 何 これは 急いだのか 見つけるのが
H0559 H3327 H0413 H1121 H4100 H2088 H4672

בְּנִי וַיֹּאמֶר כִּי הִקְרָה יְהוָה אֱלֹהֶיךָ לְפָנָי׃
わが–息子よ すると–言った なぜなら 導いた 主が あなたの–神が わたしの–前に
H1121 H0559 H3588 H7136 H3068 H0430 H6440

イサクはその子に言った、「子よ、どうしてあなたはこんなに早く手に入れたのか」。彼は言った、「あなたの神、主がわたしにしあわせを授けられたからです」。

21

וַיֹּאמֶר יִצְחָק אֶל־יַעֲקֹב גְּשָׁה־נָּא וַאֲמֻשְׁךָ בְּנִי הַאַתָּה
すると–言った イサクは ～に ヤコブに 近寄れ どうか 触らせてくれ わが–息子よ あなたが
H0559 H3327 H0413 H3290 H5066 H4994 H4184 H1121 H0859

זֶה בְּנִי עֵשָׂו אִם־לֹא׃
ほんとうに わが–息子 エサウ か–どうか そうでないか
H2088 H1121 H6215 H0518 H3808

イサクはヤコブに言った、「子よ、近寄りなさい。わたしは、さわってみて、あなたが確かにわが子エサウであるかどうかをみよう」。

22

וַיִּגַּשׁ יַעֲקֹב אֶל־יִצְחָק אָבִיו וַיְמֻשֵּׁהוּ וַיֹּאמֶר הַקֹּל קוֹל
そして–近寄った ヤコブは ～に イサク 彼の–父に すると–触った そして–言った 声は 声
H5066 H3290 H0413 H3327 H0001 H4959 H0559 H6963 H6963

יַעֲקֹב וְהַיָּדַיִם יְדֵי עֵשָׂו׃
ヤコブの しかし–手は 手 エサウの
H3290 H3027 H3027 H6215

ヤコブが、父イサクに近寄ったので、イサクは彼にさわってみて言った、「声はヤコブの声だが、手はエサウの手だ」。

23

וְלֹא הִכִּירוֹ כִּי־הָיוּ יָדָיו כִּידֵי אָחִיו עֵשָׂו וַיְבָרְכֵהוּ׃
しかし–ない 見分けられなかった なぜなら あった 彼の–手は ～のように–手 彼の–兄の エサウの そして–祝福した
H3808 H5234 H3588 H1961 H3027 H3027 H0251 H6215 H1288

ヤコブの手が兄エサウの手のように毛深かったため、イサクはヤコブを見わけることができなかったので、彼を祝福した。

24 וַיֹּאמֶר אַתָּה זֶה בְּנִי עֵשָׂו וַיֹּאמֶר אָנִי׃
そして-言った あなたは ほんとうに わが-息子 エサウか 言った そうです
H0559 H0559 H2088 H6215 H0559 H0589

イサクは言った、「あなたは確かにわが子エサウですか」。彼は言った、「そうです」。

25 וַיֹּאמֶר הַגִּשָׁה לִי וְאֹכְלָה מִצֵּיד בְּנִי לְמַעַן
そして-言った 持って-来い わたしに そして-食べよう 獲物から わが-息子の そうすれば
H0559 H5066 H0398 H6718 H1121 H4616

תְּבָרֶכְךָ נַפְשִׁי בַּעֲבוּר וַיִּגַּשׁ־לוֹ וַיֹּאכַל וַיָּבֵא לוֹ
祝福する わたしの-魂が ために そして-持って-来た 彼に そして-食べた そして-持って-来た 彼に
H1288 H5315 H5066 H0398 H0935

וַיֵּשְׁתְּ׃ יָיִן
そして-飲んだ ぶどう酒を
H8354 H3196

イサクは言った、「わたしの所へ持ってきなさい。わが子のしかの肉を食べて、わたしみずから、あなたを祝福しよう」。ヤコブがそれを彼の所に持ってきたので、彼は食べた。またぶどう酒を持ってきたので、彼は飲んだ。

26 וַיֹּאמֶר אֵלָיו יִצְחָק אָבִיו גְּשָׁה־נָּא וּשְׁקָה־לִּי
そして-言った 彼に イサクは 彼の-父は 近寄れ どうか そして-口づけせよ わたしに
H0559 H0413 H3327 H0001 H5066 H4994 H7672 H0853

בְּנִי׃
わが-息子よ

そして父イサクは彼に言った、「子よ、さあ、近寄ってわたしに口づけしなさい」。

27 וַיִּגַּשׁ וַיִּשַּׁק־לוֹ וַיָּרַח אֶת־רֵיחַ בִּגְדָיו
そして-近寄った そして-口づけした 彼に すると-嗅いだ ～を 香りを 彼の-衣服の
H5066 H5401 H7306 H0853 H7381 H0899

וַיְבָרְכֵהוּ וַיֹּאמֶר רְאֵה רֵיחַ בְּנִי כְּרֵיחַ שְׂדֶה אֲשֶׁר
そして-祝福した そして-言った 見よ 香り わが-息子の ～のような-香り 野の それ
H1288 H0559 H7200 H7381 H1121 H7381 H7704 H0834

בֵּרְכוֹ יְהוָה׃
祝福した 主が
H1288 H3068

彼が近寄って口づけした時、イサクはその着物のかおりをかぎ、彼を祝福して言った、「ああ、わが子のかおりは、主が祝福された野のかおりのようだ。

28 וְיִתֶּן־לְךָ הָאֱלֹהִים מִטַּל הַשָּׁמַיִם וּמִשְׁמַנֵּי הָאָרֶץ
そして-与えたもう 神が ～から-露を 天の また-～から-豊かさを 地の
H5414 H0430 H2919 H8064 H4924 H0776

וְתִירֹשׁ׃ וְדָגָן וְרֹב
新しい-ぶどう酒を 穀物と また-豊かな
H8492 H1715 H7230

どうか神が、天の露と、地の肥えたところと、多くの穀物と、新しいぶどう酒とをあなたに賜わるように。

29

לְאַחֶיךָ	גְּבִיר֙	הֱוֵה	לְאֻמִּ֔ים	לְךָ֖	וְיִשְׁתַּחֲוּ֣(ו)	וישתחון	עַמִּ֑ים	יַעַבְדוּךָ֙
あなたの–兄弟たちの	主人に	なれ	諸国民が	あなたに	ひれ伏せ	ひれ伏せ	諸民族が	仕えよ
H0251	H1376		H3816		H7812	H7812		H5647

אָר֔וּר	אֹרְרֶ֖יךָ	אִמֶּ֑ךָ	בְּנֵ֣י	לְךָ֔	וְיִשְׁתַּחֲוּ֖	
呪われよ	あなたを–呪う–者は	あなたの–母の	息子たちが	あなたに	そして–ひれ伏せ	
H0779	H0779	H0517			H7812	

בָּרֽוּךְ׃	וּמְבָרֲכֶ֖יךָ
祝福されよ	あなたを–祝福する–者は
H1288	H1288

もろもろの民はあなたに仕え、もろもろの国はあなたに身をかがめる。あなたは兄弟たちの主となり、あなたの母の子らは、あなたに身をかがめるであろう。あなたをのろう者はのろわれ、あなたを祝福する者は祝福される」。

30

וַיְהִי֙	יַעֲקֹ֔ב	אֶת־	לְבָרֵ֖ךְ	יִצְחָ֑ק	כִּלָּ֣ה	כַּאֲשֶׁ֣ר	וַיְהִי֙	
そして–あった	ヤコブを	～を	祝福することを	イサクが	終えた	ちょうど–その時	そして–あった	
H1961	H3290	H0853	H1288	H3327	H3615		H1961	

וְעֵשָׂו֙	אָבִ֔יו	יִצְחָ֖ק	פְּנֵ֣י	מֵאֵ֑ת	יַעֲקֹ֔ב	יָצֹ֣א	יָצֹ֔א	אַ֚ךְ
すると–エサウが	彼の–父の	イサク	前から	～から	ヤコブが	出て行った	出て行った	ちょうど
H6215	H0001	H3327	H6440	H0854	H3290	H3318	H3318	H0389

מְצֵידֽוֹ׃	בָּ֥א	אָחִֽיו	
彼の–狩りから	来た	彼の–兄が	
	H0935	H0251	

イサクがヤコブを祝福し終って、ヤコブが父イサクの前から出て行くとすぐ、兄エサウが狩から帰ってきた。

31

וַיֹּ֣אמֶר	לְאָבִ֗יו	וַיָּבֵא֙	מַטְעַמִּ֔ים	הוּא֙	גַּם־	וַיַּ֣עַשׂ	
そして–言った	彼の–父に	そして–持って–来た	美味しい–料理を	彼も	また	そして–作った	
H0559	H0001	H0935	H4303	H1931	H1571		

בַּעֲב֣וּר	בְּנ֔וֹ	מְצֵ֣ידוֹ	וְיֹאכַ֔ל	אָבִ֖י	יָקֻ֣ם	לְאָבִ֑יו
そうすれば	あなたの–息子の	獲物から	そして–食べてください	わが–父よ	起きてください	彼の–父に
H5668			H0398	H0001		H0001

נַפְשֶֽׁךָ׃	תְּבָרֲכַ֥נִי
あなたの–魂が	祝福してください
H5315	H1288

彼もまたおいしい食べ物を作って、父の所に持ってきて、言った、「父よ、起きてあなたの子のしかの肉を食べ、あなたみずから、わたしを祝福してください」。

32

אֲנִ֔י	וַיֹּ֣אמֶר	אַתָּ֔ה	מִי־	אָבִ֖יו	יִצְחָ֑ק	לוֹ֙	וַיֹּ֣אמֶר
わたしは	すると–言った	あなたは	だれ	彼の–父は	イサクは	彼に	すると–言った
H0589	H0559		H4310	H0001	H3327		H0559

עֵשָֽׂו׃	בְּכֹרֶ֔ךָ	בִּנְךָ֖
エサウ	あなたの–長子	あなたの–息子
H6215	H1060	

父イサクは彼に言った、「あなたは、だれか」。彼は言った、「わたしはあなたの子、長子エサウです」。

33 וַיֶּחֱרַד יִצְחָק חֲרָדָה גְדֹלָה עַד־מְאֹד וַיֹּאמֶר מִי־אֵפוֹא הוּא
וַיִּחֲרַד イサクは 震え 大きな ～まで 非常に そして–言った だれ では 彼は
H2729 H3327 H2731 H1419 H5704 H3966 H0559 H4310 H0645 H1931

הַצָּד־צַיִד וַיָּבֵא לִי וָאֹכַל מִכֹּל בְּטֶרֶם
狩った–者は 獲物を そして–持って–来た わたしに そして–わたしは–食べた すべてから ～の前に
H0935 H0398 H3605 H2962

בָּרוּךְ גַּם־וְאֻבָרֲכֵהוּ תָּבוֹא יְהֵיֶה׃
祝福された–者 まことに そして–わたしは–祝福した あなたが–来る 彼は–なる
H1288 H1571 H1288 H0935 H1961

イサクは激しくふるえて言った、「それでは、あのしかの肉を取って、わたしに持ってきた者はだれか。わたしはあなたが来る前に、みんな食べて彼を祝福した。ゆえに彼が祝福を得るであろう」。

34 כִּשְׁמֹעַ עֵשָׂו אֶת־דִּבְרֵי אָבִיו וַיִּצְעַק צְעָקָה גְּדֹלָה וּמָרָה עַד־
聞いた–時 エサウは ～を 言葉を 彼の–父の そして–叫んだ 叫びを 大きな また–苦い ～まで
H8085 H6215 H0853 H1697 H0001 H6817 H6818 H1419 H4751 H5704

אָבִי׃ בָּרֲכֵנִי גַּם־אֲנִי אָבִי וַיֹּאמֶר לְאָבִיו וַיֹּאמֶר מְאֹד
わが–父よ わたしをも また 祝福してください 彼の–父に そして–言った 非常に
H0001 H0589 H1571 H1288 H0001 H0559 H3966

エサウは父の言葉を聞いた時、大声をあげ、激しく叫んで、父に言った、「父よ、わたしを、わたしをも祝福してください」。

35 בִּרְכָתֶךָ׃ וַיִּקַּח בְּמִרְמָה וַיָּבֶא אָחִיךָ וַיֹּאמֶר
あなたの–祝福を そして–奪った 欺いて あなたの–弟が 来た すると–言った
H1293 H3947 H4820 H0251 H0935 H0559

イサクは言った、「あなたの弟が偽ってやってきて、あなたの祝福を奪ってしまった」。

36 וַיֹּאמֶר הֲכִי קָרָא שְׁמוֹ יַעֲקֹב וַיַּעְקְבֵנִי זֶה פַּעֲמַיִם אֶת־
すると–言った まさに 呼ばれた 彼の–名は ヤコブと そして–欺いた これで 二度も ～を
H0559 H3588 H7121 H8034 H3290 H6117 H2088 H6471 H0853

וְהִנֵּה עַתָּה לָקַח בִּכֹרָתִי לָקָח וַיֹּאמֶר הֲלֹא־
そして–見よ 今 奪った わたしの–長子の–権を 奪った そして–言った ないか
H2009 H6258 H3947 H1062 H3947 H0559 H3808

לִי אָצַלְתָּ בְּרָכָה׃
わたしに 取り置いた 祝福を
H0680 H1293

エサウは言った、「よくもヤコブと名づけたものだ。彼は二度までもわたしをおしのけた。さきには、わたしの長子の特権を奪い、こんどはわたしの祝福を奪った」。また言った、「あなたはわたしのために祝福を残しておかれませんでしたか」。

37 לְעֵשָׂו וַיַּעַן יִצְחָק וַיֹּאמֶר לְעֵשָׂו גְּבִיר שַׂמְתִּיו וְאֶת־כָּל־
イサクは 言った–に エサウに 主人に わたしは–立てた あなたに対して
H3327 H0559 H6215 H1376 H7760 H7760

אֶחָיו נָתַתִּי לוֹ לַעֲבָדִים וְדָגָן וְתִירֹשׁ סְמַכְתִּיו וּלְכָה אֵפוֹא מָה
すべての 彼の–兄弟たちを わたしは–与えた 彼に しもべとして また–穀物と また 新しい–ぶどう酒で わたしは–支えた あなたには では 何を
H3605 H0251 H5414 H0853 H5650 H1715 H8492 H5564 H0645 H4100

לִּי בְנִי׃ אֶעֱשֶׂה
わたしに わが–息子よ わたしが–できようか
H0853 H0589 H6213

イサクは答えてエサウに言った、「わたしは彼をあなたの主人とし、兄弟たちを皆しもべとして彼に与え、また穀物とぶどう酒を彼に授けた。わが子よ、今となっては、あなたのために何ができようか」。

38 וַיֹּ֣אמֶר עֵשָׂו֮ אֶל־אָבִיו֒ הַבְרָכָ֤ה אַחַת֙ הִ֣וא לְךָ֔ אָבִ֖י בָּרְכֵ֣נִי גַם־אָנִ֑י אָבִ֖י וַיִּשָּׂ֥א עֵשָׂ֛ו קֹל֥וֹ וַיֶּֽבְךְּ׃

וַיֹּ֣אמֶר	עֵשָׂו֮	אֶל־	אָבִיו֒	הַבְרָכָ֤ה	אַחַת֙	הִ֣וא	לְךָ֔	אָבִ֖י
と言った	エサウは	～に	彼の–父に	祝福は	ただ–一つ	それだけ	あなたの	わが–父よ
H0559	H6215	H0413	H0001	H1293	H0259	H1931	H0001	H0001

בָּרְכֵ֣נִי	גַם־	אָנִ֑י	אָבִ֖י	וַיִּשָּׂ֥א	עֵשָׂ֛ו	קֹל֥וֹ	וַיֶּֽבְךְּ׃	
祝福してください	また	わたしをも	わが–父よ	そして–あげた	エサウは	彼の–声を	そして–泣いた	
H1288	H1571	H0589	H0001	H5375	H6215	H0001	H1058	

エサウは父に言った、「父よ、あなたの祝福はただ一つだけですか。父よ、わたしを、わたしをも祝福してください」。エサウは声をあげて泣いた。

39 וַיַּ֥עַן יִצְחָ֖ק אָבִ֑יו וַיֹּ֣אמֶר אֵלָ֗יו הִנֵּ֤ה מִשְׁמַנֵּי֙ יִהְיֶ֣ה מוֹשָׁבֶ֔ךָ וּמִטַּ֥ל הַשָּׁמַ֖יִם מֵֽעָֽל׃

וַיַּ֥עַן	יִצְחָ֖ק	אָבִ֑יו	וַיֹּ֣אמֶר	אֵלָ֗יו	הִנֵּ֤ה	מִשְׁמַנֵּי֙	הָאָ֔רֶץ
すると–答えた	イサクは	彼の–父は	そして–言った	彼に	見よ	～から離れて–豊かさ	地の
H3327	H3327	H0001	H0559	H0413	H2009	H4186	H0776

יִהְיֶ֣ה	מוֹשָׁבֶ֔ךָ	וּמִטַּ֥ל	הַשָּׁמַ֖יִם	מֵֽעָֽל׃	
なる	あなたの–住まいは	また–～から–露	天の	上から	
H1961	H4186	H2919	H8064		

父イサクは答えて彼に言った、「あなたのすみかは地の肥えた所から離れ、また上なる天の露から離れるであろう。

40 וְעַל־חַרְבְּךָ֥ תִחְיֶ֖ה וְאֶת־אָחִ֣יךָ תַעֲבֹ֑ד וְהָיָה֙ כַּאֲשֶׁ֣ר תָּרִ֔יד וּפָרַקְתָּ֥ עֻלּ֖וֹ מֵעַ֥ל צַוָּארֶֽךָ׃

וְעַל־	חַרְבְּךָ֥	תִחְיֶ֖ה	וְאֶת־	אָחִ֣יךָ	תַעֲבֹ֑ד	וְהָיָה֙	כַּאֲשֶׁ֣ר	תָּרִ֔יד
そして–～によって	あなたの–剣に	あなたは–生きる	そして	あなたの–弟に	あなたは–仕える	しかし–なる	その–時	あなたが–もがく
H2719	H2719	H2421	H0853	H0251	H5647	H1961	H7300	

וּפָרַקְתָּ֥	עֻלּ֖וֹ	מֵעַ֥ל	צַוָּארֶֽךָ׃			
そして–振り払う	彼の–くびきを	～の上から	あなたの–首の			
H6561	H5923					

あなたはつるぎをもって世を渡り、あなたの弟に仕えるであろう。しかし、あなたが勇み立つ時、首から、そのくびきを振り落すであろう」。

41 וַיִּשְׂטֹ֤ם עֵשָׂו֙ אֶת־יַעֲקֹ֔ב עַ֚ל הַבְּרָכָ֔ה אֲשֶׁ֥ר בֵּרַכוֹ֖ אָבִ֑יו וַיֹּ֣אמֶר עֵשָׂו֮ בְּלִבּוֹ֒ יִקְרְבוּ֙ יְמֵ֣י אֵבֶ֔ל וְאַהַרְגָ֖ה אֶת־יַעֲקֹ֥ב אָחִֽי׃

וַיִּשְׂטֹ֤ם	עֵשָׂו֙	אֶת־	יַעֲקֹ֔ב	עַ֚ל	הַבְּרָכָ֔ה	אֲשֶׁ֥ר	בֵּרַכוֹ֖	אָבִ֑יו
そして–憎んだ	エサウは	～を	ヤコブを	～のゆえに	祝福の	それ	祝福した	彼の–父が
H7852	H6215	H0853	H3290		H1293		H1288	H0001

וַיֹּ֣אמֶר	עֵשָׂו֮	בְּלִבּוֹ֒	יִקְרְבוּ֙	יְמֵ֣י	אֵבֶ֔ל	וְאַהַרְגָ֖ה	אֶת־	יַעֲקֹ֥ב
そして–言った	エサウは	彼の–心の–中で	近づく	日々が	喪の	そして–わたしは–殺す	～を	ヤコブ
H0559	H6215		H7126	H3117	H0060	H2026	H0853	H3290

אָחִֽי׃		
わが–弟を		
H0251		

こうしてエサウは父がヤコブに与えた祝福のゆえにヤコブを憎んだ。エサウは心の内で言った、「父の喪の日も遠くはないであろう。その時、弟ヤコブを殺そう」。

42 וַיֻּגַּ֣ד לְרִבְקָ֗ה אֶת־דִּבְרֵי֙ עֵשָׂ֣ו בְּנָ֔הּ הַגָּדֹ֖ל וַתִּשְׁלַ֣ח וַתִּקְרָ֞א לְיַעֲקֹ֤ב בְּנָהּ֙ הַקָּטֹ֔ן וַתֹּ֥אמֶר אֵלָ֖יו הִנֵּ֣ה אָחִ֣יךָ עֵשָׂ֗ו מִתְנַחֵ֥ם לְךָ֛ לְהָרְגֶֽךָ׃

וַיֻּגַּ֣ד	לְרִבְקָ֗ה	אֶת־	דִּבְרֵי֙	עֵשָׂ֣ו	בְּנָ֔הּ	הַגָּדֹ֖ל	וַתִּשְׁלַ֣ח	
すると–告げられた	リベカに	～が	言葉が	エサウの	彼女の–息子の	長男の	すると–遣わして	
H5046	H7259	H0853	H1697	H6215	H0853	H1419	H7971	

וַתִּקְרָ֞א	לְיַעֲקֹ֤ב	בְּנָהּ֙	הַקָּטֹ֔ן	וַתֹּ֥אמֶר	אֵלָ֖יו	הִנֵּ֣ה	אָחִ֣יךָ	עֵשָׂ֗ו
そして–呼んだ	ヤコブを	彼女の–息子	末の	そして–言った	彼に	見よ	あなたの–兄は	エサウ
H7121	H3290	H0853	H6810	H0559	H0413	H2009	H0251	H6215

לְהָרְגֶֽךָ׃	לְךָ֛	מִתְנַחֵ֥ם	
あなたを–殺すことで	みずからを	慰めている	
H2026		H5162	

しかしリベカは長子エサウのこの言葉を人づてに聞いたので、人をやり、弟ヤコブを呼んで言った、「兄エサウはあなたを殺そうと考えて、みずから慰めています。

43

לָבָן	אֶל־	לְךָ	בְּרַח־	וְקוּם	בְּקֹלִי	שְׁמַע	בְנִי	וְעַתָּה
ラバン	～へ	あなた自身を	逃げよ	そして-立て	わたしの-声に	聞け	わが-息子よ	だから-今
	H0413		H1272			H8085		H6258

חָרָנָה׃	אָחִי
ハランへ	わたしの-兄の
	H0251

子よ、今わたしの言葉に従って、すぐハランにいるわたしの兄ラバンのもとにのがれ、

44

אָחִיךָ׃	חֲמַת	תָּשׁוּב	אֲשֶׁר־	עַד	אֲחָדִים	יָמִים	עִמּוֹ	וְיָשַׁבְתָּ
あなたの-兄の	怒りが	静まる	その	～まで	いくらかの	日々	彼と-ともに	そして-住め
H0251	H2534	H7725		H5704	H0259	H3117		H3427

あなたの兄の怒りが解けるまで、しばらく彼の所にいなさい。

45

עָשִׂיתָ	אֲשֶׁר־	אֶת	וְשָׁכַח	מִמְּךָ	אָחִיךָ	אַף־	שׁוּב	עַד־
あなたが-した	それ	～を	そして-忘れる	あなたから	あなたの-兄の	また	去る	～まで
		H0853	H7911		H0251	H0639	H7725	H5704

גַּם־	אֶשְׁכַּל	לָמָּה	מְשָׁם	וּלְקַחְתִּיךָ	וְשָׁלַחְתִּי		לוֹ
また	わたしは-失う	なぜ	そこから	あなたを-連れ戻す	そうすれば-わたしは-遣わして		彼に
H1571		H4100	H8033	H3947	H7971		

אֶחָד׃	יוֹם	שְׁנֵיכֶם
一つの	日	あなたがた-二人を
H0259	H3117	H8147

兄の憤りが解けて、あなたのした事を兄が忘れるようになったならば、わたしは人をやって、あなたをそこから迎えましょう。どうして、わたしは一日のうちにあなたがたふたりを失ってよいでしょうか」。

46

מִפְּנֵי	בְחַיַּי	קָצְתִי	יִצְחָק	אֶל־	רִבְקָה	וַתֹּאמֶר		
～のせいで	わたしの-命が	わたしは-うんざりした	イサクに	～に	リベカは	すると-言った		
H6440		H6973	H3327	H0413	H7259	H0559		

כָּאֵלֶּה	חֵת	מִבְּנוֹת־	אִשָּׁה	יַעֲקֹב	לֹקֵחַ	אִם־	חֵת	בְּנוֹת
このような	ヘトの	～の中から-娘たち	妻を	ヤコブが	めとる	もし	ヘトの	娘たちの
H0428	H2845	H1323	H0802	H3290	H3947		H2845	H1323

חַיִּים׃	לִי	לָמָּה	הָאָרֶץ	מִבְּנוֹת
命が-あろうか	わたしに	なぜ	この-地の	娘たちの-中から
	H4100	H0776		H1323

リベカはイサクに言った、「わたしはヘテびとの娘どものことで、生きているのがいやになりました。もしヤコブがこの地の、あの娘どものようなヘテびとの娘を妻にめとるなら、わたしは生きていて、何になりましょう」。

Chapter 28

1

וַיֹּאמֶר	וַיְצַוֵּהוּ	אֹתוֹ	וַיְבָרֶךְ	יַעֲקֹב	אֶל־	יִצְחָק	וַיִּקְרָא	
そして-言った	そして-命じた	彼を	そして-祝福した	ヤコブを	～を	イサクは	そして-呼んだ	
H0559	H6680	H0853	H1288	H3290	H0413	H3327	H7121	

כְּנָעַן׃	מִבְּנוֹת	אִשָּׁה	תִּקַּח	לֹא־	לוֹ
カナンの	～の中から-娘たち	妻を	めとる	～するな	彼に
	H1323	H0802	H3947	H3808	

イサクはヤコブを呼んで、これを祝福し、命じて言った、「あなたはカナンの娘を妻にめとってはならない。

2

וְקַח־	אִמֶּךָ	אֲבִי	בְתוּאֵל	בֵּיתָה	אֲרָם־פַּדֳּנָה	לֵךְ	קוּם
そして–めとれ	あなたの–母の	父	ベトエルの	家へ	パダン–アラムへ	行け	立て
H3947	H0517	H0001			H6307	H3212	

אִמֶּךָ׃	אֲחִי	לָבָן	מִבְּנוֹת	אִשָּׁה	מִשָּׁם	לְךָ
あなたの–母の	兄弟	ラバンの	～の中から–娘たち	妻を	そこから	あなたのために
H0517	H0251		H1323	H0802	H8033	

立ってパダンアラムへ行き、あなたの母の父ベトエルの家に行って、そこであなたの母の兄ラバンの娘を妻にめとりなさい。

3

וְיַרְבֶּךָ	וְיַפְרְךָ	אֹתְךָ	יְבָרֶךְ	שַׁדַּי	וְאֵל	
そして–増やしたもう	そして–実り豊かにし	あなたを	祝福したもう	全能の	そして–全能の–神が	
	H6509	H0853	H1288	H7706	H0410	

עַמִּים׃	לִקְהַל	וְהָיֶיתָ
諸民族の	会衆に	そして–あなたが–なるように
	H6951	H1961

全能の神が、あなたを祝福し、多くの子を得させ、かつふえさせて、多くの国民とし、

4

וּלְזַרְעֲךָ	לְךָ	אַבְרָהָם	בִּרְכַּת	אֶת־	לְךָ	וְיִתֶּן־	
また–あなたの–子孫に	あなたに	アブラハムの	祝福を	～を	あなたに	そして–与えたもう	
H2233		H0085	H1293	H0853		H5414	

אֱלֹהִים	נָתַן	אֲשֶׁר־	מְגֻרֶיךָ	אֶרֶץ	אֶת־	לְרִשְׁתְּךָ	אִתָּךְ
神が	与えた	それ	あなたの–寄留の	地を	～を	受け継ぐために	あなたと–ともに
H0430	H5414		H4033	H0776	H0853	H3423	H0854

לְאַבְרָהָם׃
アブラハムに
H0085

またアブラハムの祝福をあなたと子孫とに与えて、神がアブラハムに授けられたあなたの寄留の地を継がせてくださるように」。

5

לָבָן	אֶל־	אֲרָם־פַּדֳּנָה	וַיֵּלֶךְ	יַעֲקֹב	אֶת־	יִצְחָק	וַיְשַׁלַּח
ラバン	～へ	パダン–アラムへ	そして–行った	ヤコブを	～を	イサクは	そして–送り出した
	H0413	H6307	H3212	H3290	H0853	H3327	H7971

וְעֵשָׂו׃	יַעֲקֹב	אֵם	רִבְקָה	אֲחִי	הָאֲרַמִּי	בְתוּאֵל	בֶּן־
エサウの	ヤコブと	母	リベカの	兄弟	アラム人の	ベトエルの	息子
H6215	H3290	H0517	H7259	H0251	H0761		

こうしてイサクはヤコブを送り出した。ヤコブはパダンアラムに向かい、アラムびとベトエルの子で、ヤコブとエサウとの母リベカの兄ラバンのもとへ行った。

6

אֹתוֹ	וְשִׁלַּח	יַעֲקֹב	אֶת־	יִצְחָק	בֵּרַךְ	כִּי־	עֵשָׂו	וַיַּרְא
彼を	そして–送った	ヤコブを	～を	イサクが	祝福した	こと	エサウは	すると–見た
H0853	H7971	H3290	H0853	H3327	H1288		H6215	H7200

וַיְצַו	אֹתוֹ	בְּבָרְכוֹ	אִשָּׁה	מִשָּׁם	לוֹ	לָקַחַת־	אֲרָם־פַּדֳּנָה
そして–命じた	彼を	祝福した–時に	妻を	そこから	彼のために	めとるために	パダン–アラムへ
H6680	H0853	H1288	H0802	H8033		H3947	H6307

כְּנָעַן׃	מִבְּנוֹת	אִשָּׁה	תִּקַּח	לֹא־	לֵאמֹר	עָלָיו
カナンの	～の中から–娘たち	妻を	めとる	～するな	言って	彼に
	H1323	H0802	H3947	H3808	H0559	

さてエサウは、イサクがヤコブを祝福して、パダンアラムにつかわし、そこから妻をめとらせようとしたこと、彼を祝福し、命じて「あなたはカナンの娘を妻にめとってはならない」と言ったこと、

7	וַיִּשְׁמַע	יַעֲקֹב	אֶל־	אָבִיו	וְאֶל־	אִמּוֹ	וַיֵּלֶךְ	אֲרָם׃פַּדֶּנָה
	そして–聞いた	ヤコブは	～に	彼の–父に	また–～に	彼の–母に	そして–行った	パダン–アラムへ
	H8085	H3290	H0413	H0001	H0413	H0517	H3212	H6307

そしてヤコブが父母の言葉に従って、パダンアラムへ行ったことを知ったとき、

8	וַיַּרְא	עֵשָׂו	כִּי	רָעוֹת	בְּנוֹת	כְּנָעַן	בְּעֵינֵי	יִצְחָק	אָבִיו׃
	すると–見た	エサウは	こと	悪い	娘たちが	カナンの	目に	イサク	彼の–父の
	H7200	H6215			H1323			H3327	H0001

彼はカナンの娘が父イサクの心にかなわないのを見た。

9	וַיֵּלֶךְ	עֵשָׂו	אֶל־	יִשְׁמָעֵאל	וַיִּקַּח	אֶת־	מָחֲלַת	בַּת־
	そして–行った	エサウは	～へ	イシュマエルの–もとへ	そして–めとった	～を	マハラト	娘
	H3212	H6215	H0413	H3458	H3947	H0853	H4258	H1323

	לְאִשָּׁה׃	לוֹ	נָשָׂיו	עַל־	נְבָיוֹת	אֲחוֹת	אַבְרָהָם	בֶּן־	יִשְׁמָעֵאל
	妻として	彼の	彼の–妻たちに	～に加えて	ネバヨトの	妹	アブラハムの	息子	イシュマエルの
	H0802		H0802		H5032	H0269	H0085		H3458

ס
*

そこでエサウはイシマエルの所に行き、すでにある妻たちのほかにアブラハムの子イシマエルの娘で、ネバヨテの妹マハラテを妻にめとった。

10	וַיֵּצֵא	יַעֲקֹב	מִבְּאֵר	שָׁבַע	וַיֵּלֶךְ	חָרָנָה׃
	そして–出た	ヤコブは	ベエルシェバから		そして–行った	ハランへ
	H3318	H3290	H0884		H3212	

さてヤコブはベエルシバを立って、ハランへ向かったが、

11	וַיִּפְגַּע	בַּמָּקוֹם	וַיָּלֶן	שָׁם	כִּי־	בָא	הַשֶּׁמֶשׁ	וַיִּקַּח
	そして–着いた	ある–場所に	そして–泊まった	そこに	なぜなら	沈んだ	太陽が	そして–取った
	H6293	H4725		H8033		H0935	H8121	H3947

	הַהוּא׃	בַּמָּקוֹם	וַיִּשְׁכַּב	מְרַאֲשֹׁתָיו	וַיָּשֶׂם	הַמָּקוֹם	מֵאַבְנֵי
	その	その–場所で	そして–横たわった	彼の–枕元に	そして–置いた	その–場所の	石の–中から
	H1931	H4725	H7901	H4763		H4725	H0068

一つの所に着いた時、日が暮れたので、そこに一夜を過ごし、その所の石を取ってまくらとし、そこに伏して寝た。

12	וַיַּחֲלֹם	וְהִנֵּה	סֻלָּם	מֻצָּב	אַרְצָה	וְרֹאשׁוֹ	מַגִּיעַ
	そして–夢を–見た	すると–見よ	はしごが	立てられていた	地に	その–頂きは	届いていた
		H2009	H5551	H5324	H0776		H5060

	בּוֹ׃	וְיֹרְדִים	עֹלִים	אֱלֹהִים	מַלְאֲכֵי	וְהִנֵּה	הַשָּׁמָיְמָה
	その–上を	下ったり–していた	上ったり	神の	御使いたちが	すると–見よ	天に
		H3381	H5927	H0430	H4397	H2009	H8064

時に彼は夢をみた。一つのはしごが地の上に立っていて、その頂は天に達し、神の使たちがそれを上り下りしているのを見た。

13

וְהִנֵּה	יְהוָה	נִצָּב	עָלָיו	וַיֹּאמַר	אֲנִי	יְהוָה	אֱלֹהֵי	אַבְרָהָם
すると-見よ	主が	立っていた	その-働に	そして-言った	わたしは	主	神	アブラハムの
H2009	H3068	H5324		H0559	H0589	H3068	H0430	H0085

אָבִיךָ	וֵאלֹהֵי	יִצְחָק	הָאָרֶץ	אֲשֶׁר	אַתָּה	שֹׁכֵב	עָלֶיהָ	לְךָ
あなたの-父の	また-神	イサクの	地を	それ	あなたが	横たわっている	その-上に	あなたに
H0001	H0430	H3327	H0776			H7901		

וּלְזַרְעֶךָ׃	אֶתְּנֶנָּה	
また-あなたの-子孫に	わたしは-与える	
H2233	H5414	

そして主は彼のそばに立って言われた、「わたしはあなたの父アブラハムの神、イサクの神、主である。あなたが伏している地を、あなたと子孫とに与えよう。

14

וְנֶגְבָּה	וְצָפֹנָה	וָקֶדְמָה	יָמָּה	וּפָרַצְתָּ	הָאָרֶץ	כַּעֲפַר	זַרְעֶךָ	וְהָיָה
南へ	北へ	東へ	西へ	そして-広がる	地の	塵の-ように	あなたの-子孫は	そして-なる
H5045	H6828		H3220	H6555	H0776	H6083	H2233	H1961

וּבְזַרְעֶךָ׃	הָאֲדָמָה	מִשְׁפְּחֹת	כֹּל־	בְּךָ	וְנִבְרְכוּ	
また-あなたの-子孫によって	地の	氏族が	すべての	あなたによって	そして-祝福される	
H2233	H0127	H4940	H3605		H1288	

あなたの子孫は地のちりのように多くなって、西、東、北、南にひろがり、地の諸族はあなたと子孫とによって祝福をうけるであろう。

15

תֵּלֵךְ	אֲשֶׁר־	בְּכֹל	וּשְׁמַרְתִּיךָ	עִמָּךְ	אָנֹכִי	וְהִנֵּה
あなたが-行く	それ	すべての-中で	あなたを-守り	あなたと-ともに-いて	わたしは	見よ
H3212		H3605	H8104		H0595	H2009

אֲשֶׁר	עַד	אֶעֱזָבְךָ	לֹא	כִּי	הַזֹּאת	הָאֲדָמָה	אֶל־	וַהֲשִׁבֹתִיךָ
それ	～まで	わたしは-見捨てない	ない	なぜなら	この	この-地に	～へ	そして-帰らせる
	H5704		H3808		H2063	H0127	H0413	H7725

לָךְ׃	דִּבַּרְתִּי	אֲשֶׁר־	אֵת	עָשִׂיתִי	אִם־
あなたに	わたしが-話した	それ	～を	わたしが-行う	必ず
	H1696		H0853		

わたしはあなたと共にいて、あなたがどこへ行くにもあなたを守り、あなたをこの地に連れ帰るであろう。わたしは決してあなたを捨てず、あなたに語った事を行うであろう」。

16

בַּמָּקוֹם	יְהוָה	יֵשׁ	אָכֵן	וַיֹּאמֶר	מִשְּׁנָתוֹ	יַעֲקֹב	וַיִּיקַץ
この-場所に	主が	おられる	まことに	そして-言った	彼の-眠りから	ヤコブは	すると-目覚めた
H4725	H3068	H3426	H0403	H0559	H8142	H3290	H3364

יָדָעְתִּי׃	לֹא	וְאָנֹכִי	הַזֶּה	
知らなかった	ない	しかし-わたしは	この	
H3045	H3808	H0595	H2088	

ヤコブは眠りからさめて言った、「まことに主がこの所におられるのに、わたしは知らなかった」。

17

כִּי	זֶה	אֵין	הַזֶּה	הַמָּקוֹם	נוֹרָא	מַה־	וַיֹּאמַר	וַיִּירָא
～でなければ	これは	～でない	この	場所	畑れ多い	何と	そして-言った	そして-恐れた
	H2088	H0369	H2088	H4725	H3372	H4100	H0559	H3372

הַשָּׁמָיִם׃	שַׁעַר	וְזֶה	אֱלֹהִים	בֵּית	אִם־
天の	門	これこそ	神の	家	～に違いない
H8064	H8179	H2088	H0430		

そして彼は恐れて言った、「これはなんという恐るべき所だろう。これは神の家である。これは天の門だ」。

18 וַיַּשְׁכֵּם יַעֲקֹב בַּבֹּקֶר וַיִּקַּח אֶת־הָאֶבֶן אֲשֶׁר־שָׂם מְרַאֲשֹׁתָיו
וַיְשִׂמֶם וַיִּשְׁכֵּם 朝に ヤコブは そして-早く起きた
H7925 H3290 H1242 H3947 H0853 H0068 それ 置いた 彼の-枕元に
H4763

וַיְשִׂם אֹתָהּ מַצֵּבָה וַיִּצֹק שֶׁמֶן עַל־רֹאשָׁהּ׃
そして-立てた それを 石の-柱として そして-注いだ 油を ～の上に その-頂に
H0853 H4676 H3332 H8081 H5921 H7218

ヤコブは朝はやく起きて、まくらとしていた石を取り、それを立てて柱とし、その頂に油を注いで、

19 וַיִּקְרָא אֶת־שֵׁם הַמָּקוֹם הַהוּא בֵּית־אֵל וְאוּלָם לוּז שֵׁם־הָעִיר לָרִאשֹׁנָה׃
そして-名づけた 名を その-場所の その ベテルと しかし-実は ルズが 名 その-町の 以前の
H7121 H8034 H4725 H1931 H1008 H0199 H3870 H8034 H5892 H7223

その所の名をベテルと名づけた。その町の名は初めはルズといった。

20 וַיִּדַּר יַעֲקֹב נֶדֶר לֵאמֹר אִם־יִהְיֶה אֱלֹהִים עִמָּדִי
וְשָׁמָרַנִי בַּדֶּרֶךְ הַזֶּה אֲשֶׁר אָנֹכִי הוֹלֵךְ וְנָתַן־לִי
そして-誓った ヤコブは 誓いを 言って もし 神が おられる わたしと-ともに
H3087 H3290 H5088 H0559 H0518 H0430 H1961 H5978
そして-守ってくださる この 道で わたしが 行く そして-与えてくださる わたしに
H8104 H2088 H1870 H0595 H1980 H5414

לֶחֶם לֶאֱכֹל וּבֶגֶד לִלְבֹּשׁ׃
パンを 食べるために また-衣服を 着るために
H3899 H0398 H3847

ヤコブは誓いを立てて言った、「神がわたしと共にいまし、わたしの行くこの道でわたしを守り、食べるパンと着る着物を賜い、

21 וְשַׁבְתִּי בְשָׁלוֹם אֶל־בֵּית אָבִי וְהָיָה יְהוָה לִי לֵאלֹהִים׃
そして-帰ったら 平和のうちに ～へ 家に わたしの-父の そうすれば-なる 主が わたしにとって 神と
H7725 H7965 H0413 H1004 H0001 H1961 H3068 H0430

安らかに父の家に帰らせてくださるなら、主をわたしの神といたしましょう。

22 וְהָאֶבֶן הַזֹּאת אֲשֶׁר־שַׂמְתִּי מַצֵּבָה יִהְיֶה בֵּית אֱלֹהִים
וְכֹל אֲשֶׁר תִּתֶּן־לִי עַשֵּׂר אֲעַשְּׂרֶנּוּ לָךְ׃
そして-すべて それ 与えてくださる わたしに 必ず 十分の一を-捨げる あなたに
H3605 H0834 H5414 H0853 H6237 H6237 H3605

またわたしが柱に立てたこの石を神の家といたしましょう。そしてあなたがくださるすべての物の十分の一を、わたしは必ずあなたにささげます」。

Chapter 29

1

וַיִּשָּׂא	יַעֲקֹב	רַגְלָיו	וַיֵּלֶךְ	אַרְצָה	בְּנֵי־	קֶדֶם׃
そして–足を–上げた	ヤコブは	彼の–足を	そして–行った	地へ	人々の	東の
H5375	H3290	H7272	H3212	H0776		

ヤコブはその旅を続けて東の民の地へ行った。

2

וַיַּרְא	וְהִנֵּה	בְאֵר	בַּשָּׂדֶה	וְהִנֵּה־	שָׁם	שְׁלֹשָׁה	עֲדְרֵי־	צֹאן
すると–見た	すると–見よ	井戸が	野に	そして–見よ	そこに	三つの	群れが	羊の
H7200	H2009	H0875		H2009	H8033	H7969	H5739	H6629

רֹבְצִים	עָלֶיהָ	כִּי	מִן־	הַבְּאֵר	הַהִוא	יַשְׁקוּ	הָעֲדָרִים	וְהָאֶבֶן
伏していた	その–働に	なぜなら	～から	その–井戸	その	水を–飲ませた	群れに	そして–石が
H7257				H0875	H1931	H8248	H5739	H0068

גְּדֹלָה	עַל־	פִּי	הַבְּאֵר׃
大きかった	～の上に	口の	その–井戸の
		H6310	H0875

見ると野に一つの井戸があって、そのかたわらに羊の三つの群れが伏していた。人々はその井戸から群れに水を飲ませるのであったが、井戸の口には大きな石があった。

3

וְנֶאֶסְפוּ־	שָׁמָּה	כָּל־	הָעֲדָרִים	וְגָלְלוּ	אֶת־	הָאֶבֶן	מֵעַל	פִּי
そして–集まった	そこに	すべての	群れが	そして–転がした	～を	その–石を	～の上から	口の
H0622	H8033	H3605	H5739	H1556	H0853	H0068		H6310

הַבְּאֵר	וְהִשְׁקוּ	אֶת־	הַצֹּאן	וְהֵשִׁיבוּ	אֶת־	הָאֶבֶן	עַל־	פִּי
その–井戸の	そして–水を–飲ませた	～に	羊に	そして–戻した	～を	その–石を	～の上に	口の
H0875	H8248	H0853	H6629	H7725	H0853	H0068		H6310

הַבְּאֵר	לִמְקֹמָהּ׃	
その–井戸の	その–場所に	
H0875	H4725	

群れが皆そこに集まると、人々は井戸の口から石をころがして羊に水を飲ませ、その石をまた井戸の口の元のところに返しておくのである。

4

וַיֹּאמֶר	לָהֶם	יַעֲקֹב	אַחַי	מֵאַיִן	אַתֶּם	וַיֹּאמְרוּ
すると–言った	彼らに	ヤコブは	わが–兄弟たちよ	どこから	あなたがたは	すると–彼らは–言った
H0559		H3290	H0251	H0370		H0559

מֵחָרָן	אֲנָחְנוּ׃
ハランから	私たちは
	H0587

ヤコブは人々に言った、「兄弟たちよ、あなたがたはどこからこられたのですか」。彼らは言った、「わたしたちはハランからです」。

5

וַיֹּאמֶר	לָהֶם	הַיְדַעְתֶּם	אֶת־	לָבָן	בֶּן־	נָחוֹר	וַיֹּאמְרוּ
すると–言った	彼らに	知っているか	～を	ラバン	息子	ナホルの	すると–彼らは–言った
H0559		H3045	H0853			H5152	H0559

יָדָעְנוּ׃	
知っている	
H3045	

ヤコブは彼らに言った、「あなたがたはナホルの子ラバンを知っていますか」。彼らは言った、「知っています」。

6

וַיֹּאמֶר	לָהֶם	הֲשָׁלוֹם	לוֹ	וַיֹּאמְרוּ	שָׁלוֹם	וְהִנֵּה	רָחֵל
すると–言った	彼らに	元気か	彼は	すると–彼らは–言った	元気だ	そして–見よ	ラケルが
H0559		H7965		H0559	H7965	H2009	H7354

בִּתּוֹ	בָּאָה	עִם־	הַצֹּאן׃
彼の–娘が	来る	～と–ともに	羊と
H1323	H0935		H6629

ヤコブはまた彼らに言った、「彼は無事ですか」。彼らは言った、「無事です。御覧なさい。彼の娘ラケルはいま羊と一緒にここへきます」。

7

הַצֹּאן	הַשְׁקוּ	הַמִקְנֶה	הֶאָסֵף	עֵת	לֹא־	גָּדוֹל	הַיּוֹם	עוֹד	הֵן	וַיֹּאמֶר
羊に	水を–飲ませよ	家畜を	集める	時	ない	高い	日は	まだ	見よ	すると–言った
H6629	H8248	H4735	H0622	H6256	H3808		H3117	H5750	H2005	H0559

וּלְכוּ	רְעוּ׃
そして–行け	牧え
H3212	

ヤコブは言った、「日はまだ高いし、家畜を集める時でもない。あなたがたは羊に水を飲ませてから、また行って飼いなさい」。

8

הָעֲדָרִים	כָּל־	יֵאָסְפוּ	אֲשֶׁר	עַד	נוּכַל	לֹא	וַיֹּאמְרוּ
群れが	すべての	集まる	それ	～まで	私たちは–できない	ない	すると–彼らは–言った
H5739	H3605	H0622		H5704	H3201	H3808	H0559

הַצֹּאן׃	וְהַשְׁקִינוּ	הַבְּאֵר	פִּי	מֵעַל	הָאֶבֶן	אֶת־	וְגָלַלְוּ
羊に	そうすれば–水を–飲ませる	その–井戸の	口の	～の上から	石を	～を	そして–転がす
H6629	H8248	H0875	H6310		H0068	H0853	H1556

彼らは言った、「わたしたちはそれはできないのです。群れがみな集まった上で、井戸の口から石をころがし、それから羊に水を飲ませるのです」。

9

לְאָבִיהָ	אֲשֶׁר	הַצֹּאן	עִם־	בָּאָה	וְרָחֵל	עִמָּם	מְדַבֵּר	עוֹדֶנּוּ
彼女の–父の	それ	羊と	～と–ともに	来た	ラケルが	彼らと	話している–とき	まだ
H0001		H6629		H0935	H7354		H1696	H5750

כִּי	רֹעָה	הִוא׃
なぜなら	羊飼い	彼女は
		H1931

ヤコブがなお彼らと語っている時に、ラケルは父の羊と一緒にきた。彼女は羊を飼っていたからである。

10

וְאֶת־	אִמּוֹ	אֲחֵי	לָבָן	בַּת־	רָחֵל	אֶת־	יַעֲקֹב	רָאָה	כַּאֲשֶׁר	וַיְהִי
また	彼の–母の	兄弟	ラバンの	娘	ラケル	～を	ヤコブが	見た	その–時	そして–あった
H0853	H0517	H0251		H1323	H7354	H0853	H3290	H7200		H1961

הָאֶבֶן	אֶת־	וַיְגַל	יַעֲקֹב	וַיִּגַּשׁ	אִמּוֹ	אֲחֵי	לָבָן	צֹאן
石を	～を	そして–転がした	ヤコブは	そして–近寄った	彼の–母の	兄弟	ラバンの	羊を
H0068	H0853	H1556	H3290	H5066	H0517	H0251		H6629

אִמּוֹ׃	אֲחֵי	לָבָן	צֹאן	אֶת־	וַיַּשְׁקְ	הַבְּאֵר	פִּי	מֵעַל
彼の–母の	兄弟	ラバンの	羊に	～に	そして–水を–飲ませた	その–井戸の	口の	～の上から
H0517	H0251		H6629	H0853	H8248	H0875	H6310	

ヤコブは母の兄ラバンの娘ラケルと母の兄ラバンの羊とを見た。そしてヤコブは進み寄って井戸の口から石をころがし、母の兄ラバンの羊に水を飲ませた。

11

וַיִּבְךְּ׃	קֹלוֹ	אֶת־	וַיִּשָּׂא	לְרָחֵל	יַעֲקֹב	וַיִּשַּׁק
そして–泣いた	彼の–声を	～を	そして–あげた	ラケルに	ヤコブは	そして–口づけした
H1058		H0853	H5375	H7354	H3290	

ヤコブはラケルに口づけし、声をあげて泣いた。

12 וַיַּגֶּד יַעֲקֹב לְרָחֵל כִּי אֲחִי אָבִיהָ הוּא וְכִי בֶן־ רִבְקָה הִוא וַתָּרָץ וַתַּגֶּד לְאָבִיהָ׃
そして-告げた ヤコブは ラケルに こと 兄弟 彼女の-父の であること また-こと 息子
H5046 H3290 H7354 H0251 H0001 H1931 H1931
そして-告げた すると-走った であること リベカの
H5046 H7323 H1931 H7259
H0001

ヤコブはラケルに、自分がラケルの父のおいであり、リベカの子であることを告げたので、彼女は走って行って父に話した。

13 וַיְהִי כִּשְׁמֹעַ לָבָן אֶת־ שְׁמַע יַעֲקֹב בֶּן־ אֲחֹתוֹ וַיָּרָץ לִקְרָאתוֹ וַיְחַבֵּק־ לוֹ וַיְנַשֵּׁק־ לוֹ וַיְבִיאֵהוּ אֶל־ בֵּיתוֹ וַיְסַפֵּר לְלָבָן אֵת כָּל־ הַדְּבָרִים הָאֵלֶּה׃
そして-あった 聞いた-時 ラバンが ～を 知らせを ヤコブの 息子 彼の-姉の そして-走った
H1961 H8085 H0853 H7323
そして-抱きしめた そして-口づけした 彼を 彼に そして-連れて-来た ～へ 彼の-家へ
H2263 H0413
迎えに ラバンに そして-話した すべての ～を ことを これらの
H7125 H3605 H0853 H1697 H0428

ラバンは妹の子ヤコブがきたという知らせを聞くとすぐ、走って行ってヤコブを迎え、これを抱いて口づけし、家に連れてきた。そこでヤコブはすべての事をラバンに話した。

14 וַיֹּאמֶר לָבָן אֵךְ עַצְמִי וּבְשָׂרִי אַתָּה וַיֵּשֶׁב עִמּוֹ חֹדֶשׁ יָמִים׃
すると-言った ラバンは まことに わたしの-骨肉 わたしの-肉だ あなたは そして-住んだ
H0559 H0389 H6106 H1320 H0853 H3427
彼と-ともに 一か月 日々
H2320 H3117

ラバンは彼に言った、「あなたはほんとうにわたしの骨肉です」。ヤコブは一か月の間彼と共にいた。

15 וַיֹּאמֶר לָבָן לְיַעֲקֹב הֲכִי־ אָחִי אַתָּה וַעֲבַדְתָּנִי חִנָּם הַגִּידָה מַה־ מַשְׂכֻּרְתֶּךָ׃
すると-言った ラバンは ヤコブに まさか 兄弟 あなたは そして-仕えるのか ただで 告げよ
H0559 H3290 H0251 H5647 H2600 H5046
わたしに 何が あなたの-報酬か
H4100 H4909

時にラバンはヤコブに言った、「あなたはわたしのおいだからといって、ただでわたしのために働くこともないでしょう。どんな報酬を望みますか、わたしに言ってください」。

16 וּלְלָבָן שְׁתֵּי בָנוֹת שֵׁם הַגְּדֹלָה לֵאָה וְשֵׁם הַקְּטַנָּה רָחֵל׃
ラバンには 二人の 娘が-いた 名は 姉の レア そして-名は 妹の ラケル
H8147 H1323 H8034 H3812 H8034 H7354

さてラバンにはふたりの娘があった。姉の名はレアといい、妹の名はラケルといった。

17 וְעֵינֵי לֵאָה רַכּוֹת וְרָחֵל הָיְתָה יְפַת־ תֹּאַר וִיפַת מַרְאֶה׃
そして-目は レアの 優しかった しかし-ラケルは あった 美しい 姿の また-美しい 容貌の
H3812 H7390 H7354 H1961 H3303 H8389 H3303 H4758

レアは目が弱かったが、ラケルは美しくて愛らしかった。

18 וַיֶּאֱהַב יַעֲקֹב אֶת־רָחֵל וַיֹּאמֶר אֶעֱבָדְךָ שֶׁבַע שָׁנִים בְּרָחֵל בִּתְּךָ הַקְּטַנָּה׃
そして-愛した ヤコブは ～を ラケルを そして-言った わたしは-仕える 七 年
H0157 H3290 H0853 H7354 H0559 H5647 H7651 H8141
ラケルのために あなたの-娘 末の
H7354 H1323

ヤコブはラケルを愛したので、「わたしは、あなたの妹娘ラケルのために七年あなたに仕えましょう」と言った。

19 וַיֹּאמֶר לָבָן טוֹב תִּתִּי אֹתָהּ לָךְ מִתִּתִּי אֹתָהּ לְאִישׁ אַחֵר שְׁבָה עִמָּדִי׃
すると-言った ラバンは 良い わたしが-与える 彼女を あなたに わたしが-与えるよりも 彼女を
H0559 H3290 H2896 H5414 H0853 H0376 H0312 H3427
わたしと-ともに 住め 別の 他の-男に
H5978

ラバンは言った、「彼女を他人にやるよりもあなたにやる方がよい。わたしと一緒にいなさい」。

20 וַיַּעֲבֹד יַעֲקֹב בְּרָחֵל שֶׁבַע שָׁנִים וַיִּהְיוּ בְעֵינָיו כְּיָמִים אֲחָדִים בְּאַהֲבָתוֹ אֹתָהּ׃
そして-仕えた ヤコブは ラケルのために 七 年 そして-あった 彼の-目には 日々の-ように
H5647 H3290 H7354 H7651 H8141 H1961 H5869 H3117
わずかの 彼の-愛の-ゆえに 彼女への
H0259 H0157 H0853

こうして、ヤコブは七年の間ラケルのために働いたが、彼女を愛したので、ただ数日のように思われた。

21 וַיֹּאמֶר יַעֲקֹב אֶל־לָבָן הָבָה אֶת־אִשְׁתִּי כִּי מָלְאוּ יָמָי וְאָבוֹאָה אֵלֶיהָ׃
すると-言った ヤコブは ～に ラバンに ください ～を わたしの-妻を なぜなら 満ちた
H0559 H3290 H0413 H3051 H0853 H0802 H3588 H4390
わたしの-日々が そして-入りたい 彼女の-もとに
H3117 H0935 H0413

ヤコブはラバンに言った、「期日が満ちたから、わたしの妻を与えて、妻の所にはいらせてください」。

22 וַיֶּאֱסֹף לָבָן אֶת־כָּל־אַנְשֵׁי הַמָּקוֹם וַיַּעַשׂ מִשְׁתֶּה׃
そして-集めた ラバンは ～を すべての 人々を その-場所の そして-設けた 宴会を
H0622 H0853 H3605 H0376 H4725 H6213 H4960

そこでラバンはその所の人々をみな集めて、ふるまいを設けた。

23 וַיְהִי בָעֶרֶב וַיִּקַּח אֶת־לֵאָה בִתּוֹ וַיָּבֵא אֹתָהּ אֵלָיו וַיָּבֹא אֵלֶיהָ׃
そして-あった 夕べに そして-取った ～を レアを 彼の-娘 そして-連れて-来た 彼女を
H1961 H6153 H3947 H0853 H3812 H1323 H0935 H0853
そして-入った 彼の-もとに 彼女の-もとに
H0935 H0413 H0413

夕暮となったとき、娘レアをヤコブのもとに連れてきたので、ヤコブは彼女の所にはいった。

24 וַיִּתֵּן לָבָן לָהּ אֶת־זִלְפָּה שִׁפְחָתוֹ לְלֵאָה בִתּוֹ לִשְׁפָחָה׃
そして-与えた ラバンは 彼女に ～を ジルパを 彼の-女奉公を レアに 彼の-娘に 女奉公として
H5414 H0853 H2153 H8198 H3812 H1323 H8198

ラバンはまた自分のつかえめジルパを娘レアにつかえめとして与えた。

25 וַיְהִי בַבֹּקֶר וְהִנֵּה־הִוא לֵאָה וַיֹּאמֶר אֶל־לָבָן מַה־
そして-あった 朝に すると-見よ 彼女は レアだった すると-言った ～に ラバンに 何
H1961 H1242 H2009 H1931 H3812 H0559 H0413 H4100

זֹּאת עָשִׂיתָ לִּי הֲלֹא בְרָחֵל עָבַדְתִּי עִמָּךְ
これは あなたが-したのか わたしに ないか ラケルのために わたしは-仕えた あなたの-もとで
H2063 H6213 H3808 H7354 H5647

וְלָמָּה רִמִּיתָנִי׃
なぜ 欺いたのか
H4100

朝になって、見ると、それはレアであったので、ヤコブはラバンに言った、「あなたはどうしてこんな事をわたしにされたのですか。わたしはラケルのために働いたのではありませんか。どうしてあなたはわたしを欺いたのですか」。

26 וַיֹּאמֶר לָבָן לֹא־יֵעָשֶׂה כֵן בִּמְקוֹמֵנוּ לָתֵת
すると-言った ラバンは ない 行われない そのように 私たちの-場所では 与えることは
H0559 H3808 H6213 H3651 H4725 H5414

הַצְּעִירָה לִפְנֵי הַבְּכִירָה׃
年下の-娘を ～の前に 姉の
H6810 H6440 H1067

ラバンは言った、「妹を姉より先にとつがせる事はわれわれの国ではしません。

27 מַלֵּא שְׁבֻעַ זֹאת וְנִתְּנָה גַם־אֶת־זֹאת לְךָ בַּעֲבֹדָה אֲשֶׁר
満たせ 週を この そうすれば-与える また ～を この-娘も 労働で それ
H4390 H7620 H2063 H5414 H1571 H0853 H2063 H5656 H834

תַּעֲבֹד עִמָּדִי עוֹד שֶׁבַע־שָׁנִים אֲחֵרוֹת׃
仕える わたしの-もとで さらに 七 年 別の
H5647 H5978 H5750 H7651 H8141 H0312

まずこの娘のために一週間を過ごしなさい。そうすればあの娘もあなたにあげよう。あなたは、そのため更に七年わたしに仕えなければならない」。

28 וַיַּעַשׂ יַעֲקֹב כֵּן וַיְמַלֵּא שְׁבֻעַ זֹאת וַיִּתֶּן־לוֹ אֶת־
そして-した ヤコブは そのように そして-満たした 週を この すると-与えた 彼に ～を
H6213 H3290 H3651 H4390 H7620 H2063 H5414 H0853

רָחֵל בִּתּוֹ לוֹ לְאִשָּׁה׃
ラケルを 彼の-娘 彼に 妻として
H7354 H1323 H0802

ヤコブはそのとおりにして、その一週間が終ったので、ラバンは娘ラケルをも妻として彼に与えた。

29 וַיִּתֵּן לָבָן לְרָחֵל בִּתּוֹ אֶת־בִּלְהָה שִׁפְחָתוֹ לָהּ
そして-与えた ラバンは ラケルに 彼の-娘に ～を ビルハを 彼の-女奉公を 彼女に
H5414 H3651 H7354 H1323 H0853 H1090 H8198 H3931

לְשִׁפְחָה׃
女奉公として
H8198

ラバンはまた自分のつかえめビルハを娘ラケルにつかえめとして与えた。

30 וַיָּבֹא גַּם אֶל־רָחֵל מֵלְאָה
そして-入った また ラケルの ～のもとへ ラケルを レアよりも
H0935 H1571 H7354 H0413 H7354 H3812

וַיַּעֲבֹד עִמּוֹ עוֹד שֶׁבַע־שָׁנִים אֲחֵרוֹת׃
そして-仕えた 彼の-もとで さらに 七 年 別の
H5647 H5750 H7651 H8141 H0312

ヤコブはまたラケルの所にはいった。彼はレアよりもラケルを愛して、更に七年ラバンに仕えた。

31 וַיַּרְא יְהוָה כִּי־שְׂנוּאָה לֵאָה וַיִּפְתַּח אֶת־רַחְמָהּ
すると-見た 主は ～こと 愛されていない レアが そして-開いた ～を 彼女の-胎を
H7200 H3068 H8130 H3812 H0853 H7358

וְרָחֵל הָיְתָה עֲקָרָה׃
しかし-ラケルは 不妊だった
H7354 H6135

主はレアがきらわれるのを見て、その胎を開かれたが、ラケルは、みごもらなかった。

32 וַתַּהַר לֵאָה וַתֵּלֶד בֵּן וַתִּקְרָא שְׁמוֹ רְאוּבֵן כִּי
そして-身ごもった レアは そして-産んだ 息子を そして-名づけた 彼の-名を ルベンと なぜなら
H2029 H3812 H3205 H1121 H7121 H8034 H7205 H3588

אָמְרָה כִּי־רָאָה יְהוָה בְּעָנְיִי כִּי עַתָּה יֶאֱהָבֵנִי אִישִׁי׃
彼女は-言った こと 見た 主が わたしの-苦しみを なぜなら 今 愛してくれる わたしの-夫が
H0559 H3588 H7200 H3068 H6040 H3588 H6258 H0157 H0376

レアは、みごもって子を産み、名をルベンと名づけて、言った、「主がわたしの悩みを顧みられたから、今は夫もわたしを愛するだろう」。

33 וַתַּהַר עוֹד וַתֵּלֶד בֵּן וַתֹּאמֶר כִּי־שָׁמַע יְהוָה כִּי שְׂנוּאָה אָנֹכִי וַיִּתֶּן־לִי גַּם־אֶת־זֶה וַתִּקְרָא שְׁמוֹ שִׁמְעוֹן׃
そして-身ごもった 再び そして-産んだ 息子を そして-言った こと 聞いた 主が こと 愛されていない わたしが そして-与えた わたしに また ～を この-子も そして-名づけた 彼の-名を シメオンと
H2029 H5750 H3205 H1121 H0559 H3588 H8085 H3068 H3588 H8130 H0595 H5414 H0589 H1571 H0853 H2088 H7121 H8034 H8095

彼女はまた、みごもって子を産み、「主はわたしが嫌われるのをお聞きになって、わたしにこの子をも賜わった」と言って、名をシメオンと名づけた。

34 וַתַּהַר עוֹד וַתֵּלֶד בֵּן וַתֹּאמֶר עַתָּה הַפַּעַם יִלָּוֶה
そして-身ごもった 再び そして-産んだ 息子を そして-言った 今 この-度 寄り添う
H2029 H5750 H3205 H1121 H0559 H6258 H6471 H3867

אִישִׁי אֵלַי כִּי־יָלַדְתִּי לוֹ שְׁלֹשָׁה בָנִים עַל־כֵּן קָרָא־שְׁמוֹ לֵוִי׃
わたしの-夫が わたしに なぜなら わたしは-産んだ 彼に 三人の 息子を それ-ゆえ こそ 名づけた 彼の-名を レビと
H0376 H0413 H3588 H3205 H0589 H7969 H1121 H5921 H3651 H7121 H8034 H3878

彼女はまた、みごもって子を産み、「わたしは彼に三人の子を産んだから、こんどこそは夫もわたしに親しむだろう」と言って、名をレビと名づけた。

									35
אֶת־	אוֹדֶה	הַפַּעַם	וַתֹּאמֶר	בֵּן	וַתֵּלֶד	עוֹד	וַתַּהַר		
～を	わたしは–讃美する	この–度	そして–言った	息子を	そして–産んだ	再び	そして–身ごもった		
H0853	H3034	H6471	H0559		H3205	H5750	H2029		

:מְלֵדֶת	וַתַּעֲמֹד	יְהוּדָה	שְׁמוֹ	קָרְאָה	כֵּן	עַל־	יְהוָה
産むことを	そして–やんだ	ユダと	彼の–名を	名づけた	こそ	それ–ゆえ	主を
H3205	H5975	H3063	H8034	H7121			H3068

彼女はまた、みごもって子を産み、「わたしは今、主をほめたたえる」と言って名をユダと名づけた。そこで彼女の、子を産むことはやんだ。

Chapter 30

									1
רָחֵל	וַתְּקַנֵּא	לְיַעֲקֹב	יָלְדָה	לֹא	כִּי	רָחֵל	וַתַּרְא		
ラケルは	そして–ねたんだ	ヤコブに	産まなかった	ない	こと	ラケルは	すると–見た		
H7354	H7065	H3290	H3205	H3808		H7354	H7200		

אֵין	וְאִם־	בָּנִים	לִי	הָבָה־	יַעֲקֹב	אֶל־	וַתֹּאמֶר	בַּאֲחֹתָהּ
ない	もし–なければ	子供たちを	わたしに	ください	ヤコブに	～に	そして–言った	彼女の–姉を
H0369				H3051	H3290	H0413	H0559	H0269

:אָנֹכִי	מֵתָה
わたしは	死ぬ
H0595	H4191

ラケルは自分がヤコブに子を産まないのを知った時、姉をねたんでヤコブに言った、「わたしに子どもをください。さもないと、わたしは死にます」。

									2
אֲשֶׁר־	אָנֹכִי	אֱלֹהִים	הַתַּחַת	וַיֹּאמֶר	בְּרָחֵל	יַעֲקֹב	אַף	וַיִּחַר־	
その–方が	わたしは	神の	代わりか	そして–言った	ラケルに	ヤコブの	怒りが	すると–燃えた	
	H0595	H0430	H8478	H0559	H7354	H3290	H0639	H2734	

:בָּטֶן	פְּרִי־	מִמֶּךָּ	מָנַע
胎の	実を	あなたから	拒んだ
H0990	H6529		H4513

ヤコブはラケルに向かい怒って言った、「あなたの胎に子どもをやどらせないのは神です。わたしが神に代ることができようか」。

								3
וְתֵלֵד	אֵלֶיהָ	בֹּא	בִלְהָה	אֲמָתִי	הִנֵּה	וַתֹּאמֶר		
そうすれば–産む	彼女の–もとに	入りなさい	ビルハが–いる	わたしの–女奉公	見よ	すると–言った		
H3205	H0413	H0935		H0519	H2009	H0559		

:מִמֶּנָּה	אָנֹכִי	גַם־	וְאִבָּנֶה	בִרְכַּי	עַל־	
彼女によって	わたしも	また	そして–わたしも–子を–得る	わたしの–膝の	～の上に	
	H0595	H1571	H1129	H1290		

ラケルは言った、「わたしのつかえめビルハがいます。彼女の所におはいりなさい。彼女が子を産んで、わたしのひざに置きます。そうすれば、わたしもまた彼女によって子を持つでしょう」。

								4
אֵלֶיהָ	וַיָּבֹא	לְאִשָּׁה	שִׁפְחָתָהּ	בִלְהָה	אֶת־	לוֹ	וַתִּתֶּן־	
彼女の–もとに	そして–入った	妻として	彼女の–女奉公を	ビルハを	～を	彼に	そして–与えた	
H0413	H0935	H0802	H8198		H0853		H5414	

:יַעֲקֹב
ヤコブは
H3290

ラケルはつかえめビルハを彼に与えて、妻とさせたので、ヤコブは彼女の所にはいった。

בֵּן׃	לְיַעֲקֹב	וַתֵּלֶד	בִּלְהָה	וַתַּהַר	5
息子を	ヤコブに	そして-産んだ	ビルハは	そして-身ごもった	
	H3290	H3205		H2029	

ビルハは、みごもってヤコブに子を産んだ。

לִי	וַיִּתֶּן־	בְּקֹלִי	שָׁמַע	וְגַם	אֱלֹהִים	דָּנַנִי	רָחֵל	וַתֹּאמֶר	6
わたしに	そして-与えた	わたしの-声を	聞いた	また	神が	裁いた	ラケルは	すると-言った	
	H5414		H8085	H1571	H0430	H1777	H7354	H0559	

דָּן׃	שְׁמוֹ	קָרְאָה	כֵּן	עַל־	בֵּן
ダンと	彼の-名を	名づけた	こそ	それ-ゆえ	息子を
H1835	H8034	H7121			

そこでラケルは、「神はわたしの訴えに答え、またわたしの声を聞いて、わたしに子を賜わった」と言って、名をダンと名づけた。

לְיַעֲקֹב׃	שֵׁנִי	בֵּן	רָחֵל	שִׁפְחַת	בִּלְהָה	וַתֵּלֶד	עוֹד	וַתַּהַר	7
ヤコブに	二番目の	息子を	ラケルの	女奉公	ビルハは	そして-産んだ	再び	そして-身ごもった	
H3290	H8145		H7354	H8198		H3205	H5750	H2029	

ラケルのつかえめビルハはまた、みごもって第二の子をヤコブに産んだ。

גַּם־	אֲחֹתִי	עִם־	נִפְתָּלְתִּי	וֵאלֹהִים	נַפְתּוּלֵי	רָחֵל	וַתֹּאמֶר	8
また	わたしの-姉と	～と	わたしは-格闘した	神の	格闘を	ラケルは	すると-言った	
H1571	H0269		H6617	H0430	H5319	H7354	H0559	

נַפְתָּלִי׃	שְׁמוֹ	וַתִּקְרָא	יָכֹלְתִּי	
ナフタリと	彼の-名を	そして-名づけた	勝った	
H5321	H8034	H7121	H3201	

そこでラケルは、「わたしは激しい争いで、姉と争って勝った」と言って、名をナフタリと名づけた。

שִׁפְחָתָהּ	זִלְפָּה	אֶת־	וַתִּקַּח	מִלֶּדֶת	עָמְדָה	כִּי	לֵאָה	וַתֵּרֶא	9
彼女の-女奉公を	ジルパを	～を	そして-取った	産むことを	やんだ	こと	レアは	すると-見た	
H8198	H2153	H0853	H3947	H3205	H5975		H3812	H7200	

לְאִשָּׁה׃	לְיַעֲקֹב	אֹתָהּ	וַתִּתֶּן
妻として	ヤコブに	彼女を	そして-与えた
H0802	H3290	H0853	H5414

さてレアは自分が子を産むことのやんだのを見たとき、つかえめジルパを取り、妻としてヤコブに与えた。

בֵּן׃	לְיַעֲקֹב	לֵאָה	שִׁפְחַת	זִלְפָּה	וַתֵּלֶד	10
息子を	ヤコブに	レアの	女奉公	ジルパは	そして-産んだ	
	H3290	H3812	H8198	H2153	H3205	

レアのつかえめジルパはヤコブに子を産んだ。

גָּד׃	שְׁמוֹ	אֶת־	וַתִּקְרָא	(גָּד)	(בָּא)	[בגד]	לֵאָה	וַתֹּאמֶר	11
ガドと	彼の-名を	～を	そして-名づけた	幸運が	来た	幸運が	レアは	すると-言った	
H1410	H8034	H0853	H7121	H1409	H0935	H1409	H3812	H0559	

そこでレアは、「幸運がきた」と言って、名をガドと名づけた。

לְיַעֲקֹב׃	שֵׁנִי	בֵּן	לֵאָה	שִׁפְחַת	זִלְפָּה	וַתֵּלֶד	12
ヤコブに	二番目の	息子を	レアの	女奉公	ジルパは	そして-産んだ	
H3290	H8145		H3812	H8198	H2153	H3205	

レアのつかえめジルパは第二の子をヤコブに産んだ。

13 וַתֹּ֣אמֶר לֵאָ֔ה בְּאָשְׁרִ֖י כִּ֣י אִשְּׁרֻ֑נִי בָּנ֥וֹת תְּאַשְּׁרֻ֛נִי וַתִּקְרָ֥א אֶת־שְׁמ֖וֹ אָשֵֽׁר׃

וַתֹּ֣אמֶר (そして–言った) H0559
לֵאָ֔ה (レアは) H3812
בְּאָשְׁרִ֖י (わたしの–幸いに) H0837
כִּ֣י (なぜなら)
אִשְּׁרֻ֑נִי (幸いだと–言う) H0833
בָּנ֥וֹת (娘たちが) H1323
תְּאַשְּׁרֻ֛נִי (~を)
וַתִּקְרָ֥א (そして–名づけた) H7121
אֶת־ (~を) H0853
שְׁמ֖וֹ (彼の–名を) H8034
אָשֵֽׁר׃ (アシェルと) H0836

そこでレアは、「わたしは、しあわせです。娘たちはわたしをしあわせな者と言うでしょう」と言って、名をアセルと名づけた。

14 וַיֵּ֣לֶךְ רְאוּבֵן֮ בִּימֵי֒ קְצִ֣יר־חִטִּים֮ וַיִּמְצָ֣א דוּדָאִים֒ בַּשָּׂדֶ֔ה וַיָּבֵ֣א אֹתָ֔ם אֶל־לֵאָ֖ה אִמּ֑וֹ וַתֹּ֣אמֶר רָחֵל֮ אֶל־לֵאָה֒ תְּנִי־נָ֗א לִי֙ מִדּוּדָאֵ֣י בְּנֵ֔ךְ׃

וַיֵּ֣לֶךְ (そして–行った) H3212
רְאוּבֵן֮ (ルベンは) H7205
בִּימֵי֒ (の–日々に) H3117
קְצִ֣יר־ (収穫の)
חִטִּים֮ (小麦の) H2406
וַיִּמְצָ֣א (そして–見つけた) H4672
דוּדָאִים֒ (恋なすびを) H1736
בַּשָּׂדֶ֔ה (野で)
וַיָּבֵ֣א (そして–持って–来た) H0935
אֹתָ֔ם (それらを) H0853
אֶל־ (~へ) H0413
לֵאָ֖ה (レアの–もとに) H3812
אִמּ֑וֹ (彼の–母の) H0517
וַתֹּ֣אמֶר (すると–言った) H0559
רָחֵל֮ (ラケルは) H7354
אֶל־ (~に) H0413
לֵאָה֒ (レアに)
תְּנִי־ (ください) H5414
נָ֗א (どうか) H4994
לִי֙ (わたしに)
מִדּוּדָאֵ֣י (恋なすびの–中から) H1736
בְּנֵ֔ךְ׃ (あなたの–息子の)

さてルベンは麦刈りの日に野に出て、野で恋なすびを見つけ、それを母レアのもとに持ってきた。ラケルはレアに言った、「あなたの子の恋なすびをどうぞわたしにください」。

15 וַתֹּ֣אמֶר לָ֔הּ הַמְעַ֣ט קַחְתֵּ֔ךְ אֶת־אִישִׁ֖י וְלָקַ֣חַת גַּם־דּוּדָאֵ֣י בְנִ֑י וַתֹּ֣אמֶר רָחֵל֮ לָכֵן֒ יִשְׁכַּ֥ב עִמָּ֛ךְ תַּ֥חַת דּוּדָאֵ֖י בְּנֵֽךְ׃

וַתֹּ֣אמֶר (すると–言った) H0559
לָ֔הּ (彼女に)
הַמְעַ֣ט (少ないことか) H4592
קַחְתֵּ֔ךְ (あなたが–取った) H3947
אֶת־ (~を) H0853
אִישִׁ֖י (わたしの–夫を) H0376
וְלָקַ֣חַת (そして–取るのか) H3947
גַּם־ (また) H1571
דּוּדָאֵ֣י (恋なすびも)
בְנִ֑י (わたしの–息子の)
וַתֹּ֣אמֶר (すると–言った) H0559
רָחֵל֮ (ラケルは) H7354
לָכֵן֒ (だから)
יִשְׁכַּ֥ב (寝たら良い) H7901
עִמָּ֛ךְ (あなたと)
תַּ֥חַת (代わりに) H8478
דּוּדָאֵ֖י (恋なすびの) H1736
בְּנֵֽךְ׃ (あなたの–息子の)
הַלַּ֖יְלָה (今夜) H3915

レアはラケルに言った、「あなたがわたしの夫を取ったのは小さな事でしょうか。その上、あなたはまたわたしの子の恋なすびをも取ろうとするのですか」。ラケルは言った、「それではあなたの子の恋なすびに換えて、今夜彼をあなたと共に寝させましょう」。

16 וַיָּבֹ֣א יַעֲקֹ֗ב מִן־הַשָּׂדֶה֮ בָּעֶרֶב֒ וַתֵּצֵ֣א לֵאָה֮ לִקְרָאתוֹ֒ וַתֹּ֣אמֶר אֵלַ֗י תָּב֤וֹא כִּֽי־שָׂכֹר֙ שָׂכַ֣רְתִּיךָ֔ בְּדוּדָאֵ֖י בְּנִ֑י וַיִּשְׁכַּ֥ב עִמָּ֖הּ בַּלַּ֥יְלָה הֽוּא׃

וַיָּבֹ֣א (すると–来た) H0935
יַעֲקֹ֗ב (ヤコブが) H3290
מִן־ (~から)
הַשָּׂדֶה֮ (野から) H7704
בָּעֶרֶב֒ (夕べに) H6153
וַתֵּצֵ֣א (すると–出た) H3318
לֵאָה֮ (レアは) H3812
לִקְרָאתוֹ֒ (迎えに) H7125
וַתֹּ֣אמֶר (そして–言った) H0559
אֵלַ֗י (わたしの–もとに) H0413
תָּב֤וֹא (来なさい) H0935
כִּֽי־ (なぜなら)
שָׂכֹר֙ (確かに)
שָׂכַ֣רְתִּיךָ֔ (わたしが–雇った)
בְּדוּדָאֵ֖י (恋なすびで) H1736
בְּנִ֑י (わたしの–息子の)
וַיִּשְׁכַּ֥ב (そして–寝た) H7901
עִמָּ֖הּ (彼女と)
בַּלַּ֥יְלָה (その–夜) H3915
הֽוּא׃ (その) H1931

夕方になって、ヤコブが野から帰ってきたので、レアは彼を出迎えて言った、「わたしの子の恋なすびをもって、わたしがあなたを雇ったのですから、あなたはわたしの所に、はいらなければなりません」。ヤコブはその夜レアと共に寝た。

17

וַיִּשְׁמַע אֱלֹהִים אֶל־לֵאָה וַתַּהַר וַתֵּלֶד לְיַעֲקֹב בֵּן
そして–聞いた 神は ～に レアの–願いを そして–身ごもった そして–産んだ ヤコブに 息子を
H8085 H0430 H0413 H3812 H2029 H3205 H3290

חֲמִישִׁי׃
五番目の
H2549

神はレアの願いを聞かれたので、彼女はみごもって五番目の子をヤコブに産んだ。

18

וַתֹּאמֶר לֵאָה נָתַן אֱלֹהִים שְׂכָרִי אֲשֶׁר־נָתַתִּי
そして–言った レアは 与えた 神が わたしの–報酬を それ わたしが–与えた
H0559 H3812 H5414 H0430 H7939 H0413 H5414

לְאִישִׁי שִׁפְחָתִי וַתִּקְרָא שְׁמוֹ יִשָּׂשכָר׃
わたしの–夫に わたしの–女奉公を そして–名づけた 彼の–名を イッサカルと
H0376 H8198 H7121 H8034 H3485

そこでレアは、「わたしがつかえめを夫に与えたから、神がわたしにその価を賜わったのです」と言って、名をイッサカルと名づけた。

19

וַתַּהַר עוֹד לֵאָה וַתֵּלֶד בֵּן־שִׁשִּׁי לְיַעֲקֹב׃
そして–身ごもった 再び レアは そして–産んだ 息子を 六番目の ヤコブに
H2029 H5750 H3812 H3205 H1121 H8345 H3290

レアはまた、みごもって六番目の子をヤコブに産んだ。

20

וַתֹּאמֶר לֵאָה זְבָדַנִי אֱלֹהִים אֹתִי זֵבֶד טוֹב הַפַּעַם יִזְבְּלֵנִי
すると–言った レアは 贈った 神が わたしに 贈り物を 良い この–度 尊んでくれる
H0559 H3812 H2064 H0430 H0853 H2065 H2896 H6471 H2082

אִישִׁי כִּי־יָלַדְתִּי לוֹ שִׁשָּׁה בָנִים וַתִּקְרָא שְׁמוֹ אֶת־
わたしの–夫が なぜなら わたしは–産んだ 彼に 六人の 息子を そして–名づけた 彼の–名を ～を
H0376 H3588 H3205 H0853 H8337 H1121 H7121 H8034 H0853

זְבֻלוּן׃
ゼブルンと
H2074

そこでレアは、「神はわたしに良い賜物をたまわった。わたしは六人の子を夫に産んだから、今こそ彼はわたしと一緒に住むでしょう」と言って、その名をゼブルンと名づけた。

21

וְאַחַר יָלְדָה בַּת וַתִּקְרָא אֶת־שְׁמָהּ דִּינָה׃
その–後 産んだ 娘を そして–名づけた ～を 彼女の–名を ディナと
H0310 H3205 H1323 H7121 H0853 H8034 H1783

その後、彼女はひとりの娘を産んで、名をデナと名づけた。

22

וַיִּזְכֹּר אֱלֹהִים אֶת־רָחֵל וַיִּשְׁמַע אֵלֶיהָ אֱלֹהִים וַיִּפְתַּח
そして–思い出した 神は ～を ラケルを そして–聞いた 彼女の–願いを 神は そして–開いた
H2142 H0430 H0853 H7354 H8085 H0413 H0430 H6605

אֶת־רַחְמָהּ׃
～を 彼女の–胎を
H0853 H7358

次に神はラケルを心にとめられ、彼女の願いを聞き、その胎を開かれたので、

23 וַתַּהַר וַתֵּלֶד בֵּן וַתֹּאמֶר אָסַף אֱלֹהִים אֶת־
そして-身ごもった そして-産んだ 息子を そして-言った 取り去った 神が ～を
H2029 H3205 H0559 H0622 H0430 H0853

חֶרְפָּתִי׃
わたしの-恥を
H2781

彼女は、みごもって男の子を産み、「神はわたしの恥をすすいでくださった」と言って、

24 וַתִּקְרָא אֶת־ שְׁמוֹ יוֹסֵף לֵאמֹר יֹסֶף יְהוָה לִי בֵּן
そして-名づけた ～を 彼の-名を ヨセフと 言って 加えてください 主が わたしに 息子を
H7121 H0853 H8034 H3130 H0559 H3254 H3068

אַחֵר׃
もう-一人の
H0312

名をヨセフと名づけ、「主がわたしに、なおひとりの子を加えられるように」と言った。

25 וַיְהִי כַּאֲשֶׁר יָלְדָה רָחֵל אֶת־ יוֹסֵף וַיֹּאמֶר יַעֲקֹב אֶל־
そして-あった その-時 産んだ ラケルが ～を ヨセフを すると-言った ヤコブは ～に
H1961 H3205 H7354 H0853 H3130 H0559 H3290 H0413

שַׁלְּחֵנִי לְבָן
ラバンに
H7971

וְאֵלְכָה מְקוֹמִי וְאֶל־ אַרְצִי׃
そうすれば-行きたい わたしの-場所へ ～へ わたしの-地へ
H3212 H4725 H0413 H0776

ラケルがヨセフを産んだ時、ヤコブはラバンに言った、「わたしを去らせて、わたしの故郷、わたしの国へ行かせてください。

26 תְּנָה אֶת־ נָשַׁי וְאֶת־ יְלָדַי אֲשֶׁר עָבַדְתִּי אֹתָךְ
ください ～を 私の-妻たちを また 私の-子供たちを それ 仕えた-私が あなたに
H5414 H0853 H0802 H0853 H3206 H5647 H0853

בָּהֶן וְאֵלְכָה אַתָּה יָדַעְתָּ אֲשֶׁר עֲבֹדָתִי אֶת־
彼女たちのために そうすれば-行きたい あなたは 知っている ～を 私の-労働を
H2004 H3212 H3045 H0853 H5656

עֲבַדְתִּיךָ׃ אֲשֶׁר
仕えた-私が それ
H5647

あなたに仕えて得たわたしの妻子を、わたしに与えて行かせてください。わたしがあなたのために働いた骨折りは、あなたがごぞんじです」。

27 וַיֹּאמֶר אֵלָיו לָבָן אִם־ נָא מָצָאתִי חֵן בְּעֵינֶיךָ
すると-言った 彼に ラバンは もし どうか 見いだした 恩恵を あなたの-目に
H0559 H0413 H3290 H0518 H4994 H4672 H2580

נִחַשְׁתִּי וַיְבָרְכַנִי יְהוָה בִּגְלָלֶךָ׃
わたしは-占った そして-祝福した 主が あなたの-おかげで
H5172 H1288 H3068 H1558

ラバンは彼に言った、「もし、あなたの心にかなうなら、とどまってください。わたしは主があなたのゆえに、わたしを恵まれるしるしを見ました」。

28 וַיֹּאמֶר נָקְבָה שְׂכָרְךָ עָלַי וְאֶתֵּנָה׃
そして-言った 定めよ あなたの-報酬を わたしの-上に そうすれば-与える
H0559 H7939 H5414

また言った、「あなたの報酬を申し出てください。わたしはそれを払います」。

29

וַיֹּ֣אמֶר אֵלָ֗יו אַתָּ֤ה יָדַעְתָּ֙ אֵ֣ת אֲשֶׁר־ עָבַ֣דְתִּיךָ֔ וְאֶת־ אֲשֶׁ֥ר
すると–言った 彼に あなたは 知っている ～を わたしが–仕えたことを また それ
H0559 H0413 H0854 H3045 H0853 H5647 H0853 H0834

הָיָ֥ה מִקְנְךָ֖ אִתִּֽי׃
なった あなたの–家畜が わたしの–もとで
H1961 H4735 H0854

ヤコブは彼に言った、「わたしがどのようにあなたに仕えたか、またどのようにあなたの家畜を飼ったかは、あなたがごぞんじです。

30

כִּ֣י מְעַט֩ אֲשֶׁר־ הָיָ֨ה לְךָ֜ לְפָנַ֗י וַיִּפְרֹ֤ץ לָרֹב֙
なぜなら 少なかった それ あった あなたに わたしの–前に そして–増えた 大いに
H3588 H4592 H0834 H1961 H0413 H6555 H7230

וַיְבָ֣רֶךְ יְהוָ֔ה אֹתְךָ֖ לְרַגְלִ֑י וְעַתָּ֗ה מָתַי֙ אֶעֱשֶׂ֣ה גַם־
そして–祝福した 主が あなたを わたしの–足元で だから–今 いつ わたしが–働こうか また
H1288 H3068 H0853 H7272 H6258 H4970 H6213 H1571

לְבֵיתִֽי׃ אָנֹכִֽי
わたしの–家のために わたしも
H0413 H0595

わたしが来る前には、あなたの持っておられたものはわずかでしたが、ふえて多くなりました。主はわたしの行く所どこでも、あなたを恵まれました。しかし、いつになったらわたしも自分の家を成すようになるでしょうか」。

31

וַיֹּ֣אמֶר מָ֤ה אֶתֶּן־ לָךְ֙ וַיֹּ֣אמֶר יַעֲקֹ֔ב לֹא־ תִתֶּ֥ן לִ֖י מְאוּמָ֑ה
すると–言った 何を 与えようか あなたに すると–言った ヤコブは 何も–ない 与えるな 何も
H0559 H4100 H5414 H0559 H3290 H3808 H5414 H3972

אִם־ תַּעֲשֶׂה־ לִּ֣י אֶת־ הַדָּבָ֣ר הַזֶּ֔ה אָשׁ֖וּבָה אֶשְׁמְרָ֥ה
もし してくれるなら わたしに この–ことを わたしは–戻る わたしは–守る
H0518 H6213 H0853 H1697 H0428 H2088 H7725 H8104

צֹאנְךָ֖ אֶרְעֶֽה׃
あなたの–羊を わたしは–牧う
H6629 H7462

彼は言った、「何をあなたにあげようか」。ヤコブは言った、「なにもわたしにくださるに及びません。もしあなたが、わたしのためにこの一つの事をしてくださるなら、わたしは今一度あなたの群れを飼い、守りましょう。

32

אֶעֱבֹ֣ר בְּכָל־ צֹאנְךָ֣ הַיּ֗וֹם הָסֵר֩ מִשָּׁ֨ם כָּל־ שֶׂ֜ה
わたしが–通る すべての–中を あなたの–羊の 今日 取り除け そこから すべての 羊を
H5674 H3605 H6629 H3117 H5493 H8033 H3605 H7716

וְטָלֻ֣א וְנָקֹד֮ בַּכְּשָׂבִים֒ וְטָלֻ֣א וְנָקֹד֮ בָּעִזִּים֒ וְהָיָ֥ה שְׂכָרִֽי׃
まだらの ぶちのある 小羊の–中の まだらの ぶちのある やぎの–中の そして–なる わたしの–報酬に
H2921 H5348 H3775 H2921 H5348 H5795 H1961 H7939

わたしはきょう、あなたの群れをみな回ってみて、その中からすべてぶちとまだらの羊、およびすべて黒い小羊と、やぎの中のまだらのものと、ぶちのものとを移しますが、これをわたしの報酬としましょう。

33 וְעָנְתָה־ בִּי צִדְקָתִי בְיוֹם מָחָר כִּי־ תָבוֹא עַל־
そして-答える わたしの 正直さが の-日に 明日 なぜなら あなたが-来る ～について
H6030 H0589 H6666 H3117 H4279 H3588 H0935

בָּעִזִּים וְטָלוּא נָקֹד אֵינֶנּוּ אֲשֶׁר־ כָּל לְפָנֶיךָ שְׂכָרִי
やぎの-中の まだらの ぶちのある ない それ すべて あなたの-前で わたしの-報酬に
H5795 H2921 H5348 H0369 H0834 H3605 H6440 H7939

אִתִּי׃ הוּא גָּנוּב בַּכְּשָׂבִים וְחוּם
わたしの-もとで それは 盗まれた-もの 小羊の-中の また-褐色の
H0854 H1931 H1589 H3775 H2345

あとで、あなたがきて、あなたの前でわたしの報酬をしらべる時、わたしの正しい事が証明されるでしょう。もしも、やぎの中にぶちのないもの、まだらでないものがあったり、小羊の中に黒くないものがあれば、それはみなわたしが盗んだものとなるでしょう」。

34 כִּדְבָרֶךָ׃ יְהִי לוּ הֵן לָבָן וַיֹּאמֶר
あなたの-言葉の-とおりに なれ そうなるように 見よ ラバンは すると-言った
H1697 H1961 H3863 H2005 H3837 H0559

ラバンは言った、「よろしい。あなたの言われるとおりにしましょう」。

35 כָּל־ וְאֵת וְהַטְלָאִים הָעַקֻדִּים הַתְּיָשִׁים אֶת־ הַהוּא בַּיּוֹם וַיָּסַר
すべての また まだらの 縞のある 雄やぎを ～を その その-日に そして-取り除いた
H3605 H0853 H2921 H6124 H8495 H0853 H1931 H3117 H5493

חוּם וְכָל־ בּוֹ לָבָן אֲשֶׁר־ כָּל וְהַטְלָאֹת הַנְּקֻדּוֹת הָעִזִּים
褐色の また-すべての その-中に 白い-ものが-ある それ すべて まだらの ぶちのある 雌やぎを
H2345 H3605 H0996 H3836 H0834 H3605 H2921 H5348 H5795

בָּנָיו׃ בְּיַד־ וַיִּתֵּן בַּכְּשָׂבִים
彼の-息子たちの 手に そして-与えた 小羊の-中の
H1121 H3027 H5414 H3775

そこでラバンはその日、雄やぎのしまのあるもの、まだらのもの、すべて雌やぎのぶちのもの、まだらのもの、すべて白みをおびているもの、またすべて小羊の中の黒いものを移して子らの手にわたし、

36 וַיָּשֶׂם דֶּרֶךְ שְׁלֹשֶׁת יָמִים בֵּינוֹ וּבֵין בֵּינוֹ וּבֵין יַעֲקֹב וְיַעֲקֹב
そして-置いた 道のり 三 日の 彼との-間に また-～との-間に ヤコブとの そして-ヤコブは
H7760 H1870 H7969 H3117 H0996 H0996 H3290 H3290

רֹעֶה אֶת־ צֹאן לָבָן הַנּוֹתָרֹת׃
牧っていた ～を 羊を ラバンの 残りの
H7462 H0853 H6629 H3837 H3498

ヤコブとの間に三日路の隔たりを設けた。ヤコブはラバンの残りの群れを飼った。

37 וַיִּקַּח־ לוֹ יַעֲקֹב מַקַּל לִבְנֶה לַח וְלוּז וְעַרְמוֹן
そして-取った 彼のために ヤコブは 枝を ポプラの 新鮮な また-アーモンドの プラタナスの
H3947 H3290 H4731 H3839 H3892 H3869 H6196

הַמַּקְלוֹת׃ עַל־ אֲשֶׁר הַלָּבָן מַחְשֹׂף לְבָנוֹת פְּצָלוֹת בָּהֶן וַיְפַצֵּל
その-枝の ～の上の それ 白い-部分を むき出した 白い 剥ぎ-目を それらに そして-剥いだ
H4731 H5921 H0834 H3836 H4286 H3836 H6479 H0853 H6478

ヤコブは、はこやなぎと、あめんどうと、すずかけの木のなまの枝を取り、皮をはいでそれに白い筋をつくり、枝の白い所を表わし、

38

תָּבֹאן	אֲשֶׁר	הַמָּיִם	בִּשְׁקָתוֹת	בְּרָהָטִים	פְּצֹל	אֲשֶׁר	הַמַּקְלוֹת	אֶת־	וַיַּצֵּג
来る	そこ	水の	飲み-樽の-中に	水槽に	剥いだ	それ	その-枝を	～を	そして-置いた
H0935		H4325	H8268		H6478		H4731	H0853	H3322

לִשְׁתּוֹת׃	בְּבֹאן	וַיֶּחֱמְנָה	הַצֹּאן	לְנֹכַח	לִשְׁתּוֹת	הַצֹּאן	
飲むために	来る-ときに	そして-発情した	羊の	前に	飲むために	羊が	
H8354	H0935	H3179	H6629	H5227	H8354	H6629	

皮をはいだ枝を、群れがきて水を飲む鉢、すなわち水ぶねの中に、群れに向かわせて置いた。群れは水を飲みにきた時に、はらんだ。

39

וּטְלֻאִים׃	נְקֻדִּים	עֲקֻדִּים	הַצֹּאן	וַתֵּלַדְן	הַמַּקְלוֹת	אֶל־	הַצֹּאן	וַיֶּחֱמוּ	
まだらの	ぶちのある	縞のある	羊は	そして-産んだ	枝の	～の前で	羊は	そして-発情した	
H2921	H5348	H6124	H6629	H3205	H4731	H0413	H6629	H3179	

すなわち群れは枝の前で、はらんで、しまのあるもの、ぶちのもの、まだらのものを産んだ。

40

עָקֹד	אֶל־	הַצֹּאן	פְּנֵי	וַיִּתֵּן	יַעֲקֹב	הִפְרִיד	וְהַכְּשָׂבִים	
縞のある	～に向かって	羊の	顔を	そして-向けた	ヤコブは	分けた	そして-小羊を	
H6124	H0413	H6629	H6440	H5414	H3290	H6504	H3775	

וְלֹא	לְבַדּוֹ	עֲדָרִים	לוֹ	וַיָּשֶׁת־	לָבָן	בְּצֹאן	חוּם	וְכָל־
そして-ない	別に	群れを	彼のために	そして-置いた	ラバンの	羊の-中の	褐色の	また-すべての
H3808	H0905	H5739		H7896		H6629	H2345	H3605

לָבָן׃	צֹאן	עַל־	שָׂתָם
ラバンの	羊の	～の中に	置かなかった
	H6629		H7896

ヤコブはその小羊を別においた。彼はまた群れの顔をラバンの群れのしまのあるものと、すべて黒いものとに向かわせた。そして自分の群れを別にまとめておいて、ラバンの群れには、入れなかった。

41

אֶת־	יַעֲקֹב	וְשָׂם	הַמְקֻשָּׁרוֹת	הַצֹּאן	יַחֵם	בְּכָל־	וְהָיָה	
～を	ヤコブは	そして-置いた	丈夫な	羊の	発情する-時	すべての-中で	そして-あった	
H0853	H3290		H7194	H6629	H3179	H3605	H1961	

בַּמַּקְלוֹת׃	לְיַחֵמֵנָה	בְּרָהָטִים	הַצֹּאן	לְעֵינֵי	הַמַּקְלוֹת
枝の-前で	発情させるために	水槽の-中に	羊の	目の-前に	枝を
H4731	H3179		H6629		H4731

また群れの強いものが発情した時には、ヤコブは水ぶねの中に、その群れの目の前に、かの枝を置いて、枝の間で、はらませた。

42

לְלָבָן	הָעֲטֻפִים	וְהָיָה	יָשִׂים	לֹא	הַצֹּאן	וּבְהַעֲטִיף	
ラバンの	弱い-ものは	そして-なった	置かなかった	ない	羊の	しかし-弱い-時には	
		H1961		H3808	H6629		

לְיַעֲקֹב׃	וְהַקְּשָׁרִים
ヤコブの	丈夫な-ものは
H3290	H7194

けれども群れの弱いものの時には、それを置かなかった。こうして弱いものはラバンのものとなり、強いものはヤコブのものとなったので、

43

וּשְׁפָחוֹת	רַבּוֹת	צֹאן	לוֹ	וַיְהִי־	מְאֹד	מְאֹד	הָאִישׁ	וַיִּפְרֹץ	
また-女奉公たちと	多くの	羊が	彼に	そして-あった	非常に	非常に	その-人は	そして-栄えた	
H8198		H6629		H1961	H3966	H3966	H0376	H6555	

וַחֲמֹרִים׃	וּגְמַלִּים	וַעֲבָדִים
ろばと	また-らくだと	しもべたちと
H2543	H1581	H5650

この人は大いに富み、多くの群れと、男女の奴隷、およびらくだ、ろばを持つようになった。

Chapter 31

וַיִּשְׁמַע 1
そして–聞いた
H8085

אֶת־ דִּבְרֵי
〜を 言葉を
H0853 H1697

בְּנֵי־ לָבָן
息子たちの ラバンの
H0559

לֵאמֹר לָקַח
言って 取った
H3947

יַעֲקֹב אֶת־
ヤコブは 〜を
H3290 H0853

כָּל־
すべて
H3605

הַכָּבֵד הַזֶּה׃
この 富を
H2088 H3519

כָּל־ אֵת
すべての 〜を
H3605 H0853

עָשָׂה לְאָבִינוּ
得た 私たちの–父の
H0001

וּמֵאֲשֶׁר לְאָבִינוּ
そして–〜から 私たちの–父の
H0001

אֲשֶׁר
それ

さてヤコブはラバンの子らが、「ヤコブはわれわれの父の物をことごとく奪い、父の物によってあのすべての富を獲たのだ」と言っているのを聞いた。

וַיַּרְא 2
すると–見た
H7200

יַעֲקֹב אֶת־
ヤコブは 〜を
H3290 H0853

פְּנֵי לָבָן
顔を ラバンの
H6440

וְהִנֵּה
すると–見よ
H2009

אֵינֶנּוּ
なかった
H0369

עִמּוֹ
彼と–ともに

כִּתְמוֹל
昨日や
H8543

שִׁלְשׁוֹם׃
—昨日の–ようには
H8032

またヤコブがラバンの顔を見るのに、それは自分に対して以前のようではなかった。

וַיֹּאמֶר 3
すると–言った
H0559

יְהוָה
主は
H3068

אֶל־ אֶל־
〜に 〜へ
H0413

שׁוּב
帰れ
H7725

יַעֲקֹב
ヤコブに
H3290

אֶרֶץ
地へ
H0776

אֲבוֹתֶיךָ
あなたの–父たちの
H0001

וּלְמוֹלַדְתֶּךָ
あなたの–生まれ–故郷へ
H4138

וְאֶהְיֶה
そして–わたしは–いる
H1961

עִמָּךְ׃
あなたと–ともに

主はヤコブに言われた、「あなたの先祖の国へ帰り、親族のもとに行きなさい。わたしはあなたと共にいるであろう」。

וַיִּשְׁלַח 4
そして–使いを–遣わした
H7971

יַעֲקֹב
ヤコブは
H3290

וַיִּקְרָא
そして–呼んだ
H7121

לְרָחֵל
ラケルと
H7354

וְלֵאָה
レアを
H3812

הַשָּׂדֶה
野へ

אֶל־
〜へ
H0413

צֹאנוֹ׃
彼の–羊の–もとへ
H6629

そこでヤコブは人をやって、ラケルとレアとを、野にいる自分の群れのところに招き、

וַיֹּאמֶר 5
そして–言った
H0559

לָהֶן
彼女たちに

רֹאֶה אָנֹכִי
見ている わたしは
H7200 H0595

אֶת־
〜を
H0853

פְּנֵי
顔を
H6440

אֲבִיכֶן
あなたがたの–父の
H0001

כִּי־
こと

אֵינֶנּוּ
ない
H0369

עִמָּדִי׃
わたしと–ともに
H5978

וֵאלֹהֵי
しかし–神が
H0430

אָבִי
わたしの–父の
H0001

הָיָה
おられた
H1961

כִּתְמוֹל שִׁלְשֹׁם
昨日や —昨日の–ようには
H8543 H8032

אֵלַי
わたしに–対して
H0413

彼女らに言った、「わたしがあなたがたの父の顔を見るのに、わたしに対して以前のようではない。しかし、わたしの父の神はわたしと共におられる。

6
וְאַתֶּנָּה יְדַעְתֶּן כִּי בְכָל־כֹּחִי עָבַדְתִּי אֶת־אֲבִיכֶן׃
あなたがたも 知っている こと すべての–中で わたしの–力で わたしは–仕えた ～に あなたがたの–父に
H0001 H3045 H3605 H5647 H0853

あなたがたが知っているように、わたしは力のかぎり、あなたがたの父に仕えてきた。

7
וַאֲבִיכֶן הֵתֶל בִּי וְהֶחֱלֵף אֶת־מַשְׂכֻּרְתִּי עֲשֶׂרֶת מֹנִים וְלֹא־נְתָנוֹ אֱלֹהִים לְהָרַע עִמָּדִי׃
しかし–あなたがたの–父は 欺いた わたしを そして–変えた ～を わたしの–報酬を 十 度も しかし–ない 許さなかった 神は 悪を–行うことを わたしに
H0001 H2048 H2498 H0853 H4909 H6235 H4489 H3808 H5414 H0430 H7451 H5978

しかし、あなたがたの父はわたしを欺いて、十度もわたしの報酬を変えた。けれども神は彼がわたしに害を加えることをお許しにならなかった。

8
אִם־כֹּה יֹאמַר נְקֻדִים יִהְיֶה שְׂכָרֵךְ וְיָלְדוּ כָל־הַצֹּאן נְקֻדִים וְאִם־כֹּה יֹאמַר עֲקֻדִים יִהְיֶה שְׂכָרֵךְ וְיָלְדוּ כָל־הַצֹּאן עֲקֻדִים׃
もし このように 言えば ぶちのある–ものが なる あなたの–報酬に そうすれば–産んだ すべての 羊が また–もし ぶちのある–ものを なる 縞のある–ものが 羊が すべての
H0518 H3541 H0559 H5348 H1961 H7939 H3205 H3605 H6629 H0518 H3541 H0559 H6124 H1961 H7939 H3205 H3605 H6629

もし彼が、『ぶちのものはあなたの報酬だ』と言えば、群れは皆ぶちのものを産んだ。もし彼が、『しまのあるものはあなたの報酬だ』と言えば、群れは皆しまのあるものを産んだ。

9
וַיַּצֵּל אֱלֹהִים מִקְנֵה אֲבִיכֶם וַיִּתֶּן־לִי׃
そして–救い出した 神が ～を 家畜を あなたがたの–父の そして–与えた わたしに
H5337 H0430 H0853 H4735 H0001 H5414

こうして神はあなたがたの父の家畜をとってわたしに与えられた。

10
וַיְהִי בְּעֵת יַחֵם הַצֹּאן וָאֶשָּׂא עֵינַי וָאֵרֶא בַּחֲלוֹם וְהִנֵּה הָעַתֻּדִים הָעֹלִים עַל־הַצֹּאן עֲקֻדִים נְקֻדִים וּבְרֻדִים׃
そして–あった の–時に 発情する 羊が わたしは–上げた わたしの–目を そして–見た 夢の–中で すると–見よ 雄やぎが 上っていた ～の上に 羊の 縞のある ぶちのある まだらの
H1961 H6256 H3179 H6629 H5375 H5869 H7200 H2472 H2009 H6260 H5927 H5921 H6629 H6124 H5348 H1261

また群れが発情した時、わたしが夢に目をあげて見ると、群れの上に乗っている雄やぎは皆しまのあるもの、ぶちのもの、霜ふりのものであった。

11
וַיֹּאמֶר אֵלַי מַלְאַךְ הָאֱלֹהִים בַּחֲלוֹם יַעֲקֹב וָאֹמַר הִנֵּנִי׃
すると–言った わたしに 御使いが 神の 夢の–中で ヤコブよ すると–わたしは–言った ここに–います
H0559 H0413 H4397 H0430 H2472 H3290 H0559 H2009

その時、神の使が夢の中でわたしに言った、『ヤコブよ』。わたしは答えた、『ここにおります』。

וַיֹּ֣אמֶר שָׂא־נָ֠א עֵינֶ֨יךָ וּרְאֵ֜ה כָּל־הָעַתֻּדִ֗ים הָעֹלִ֤ים 12
そして-言った 上げよ どうか あなたの-目を そして-見よ すべての 雄やぎが 上っている
H0559 H5375 H4994 H7200 H3605 H6260 H5927

עַל־הַצֹּ֔אן עֲקֻדִּ֥ים נְקֻדִּ֖ים וּבְרֻדִּ֑ים כִּ֣י רָאִ֗יתִי אֵ֚ת כָּל־אֲשֶׁ֣ר
の上に 羊の 縞のある ぶちのある まだらの なぜなら わたしは-見た ～を すべて それ
H5927 H6629 H6124 H5348 H1261 H3605 H0853 H7200 H3605 H0834

לָבָ֖ן עֹשֶׂ֥ה לָֽךְ׃
ラバンが していることを あなたに
H3605 H6213 H0853

神の使は言った、『目を上げて見てごらん。群れの上に乗っている雄やぎは皆しまのあるもの、ぶちのもの、霜ふりのものです。わたしはラバンがあなたにしたことをみな見ています。

אָנֹכִ֣י הָאֵ֣ל בֵּית־אֵ֗ל אֲשֶׁ֨ר מָשַׁ֤חְתָּ שָּׁם֙ מַצֵּבָ֔ה אֲשֶׁ֥ר נָדַ֖רְתָּ 13
わたしは 神 ベテルの そこ あなたが-注いだ そこで 石の-柱に そこ あなたが-誓った
H0595 H0410 H1008 H0834 H4886 H8033 H4676 H0834 H5087

לִּ֑י עַתָּ֗ה קוּם֙ צֵ֣א מִן־הָאָ֣רֶץ הַזֹּ֔את וְשׁ֖וּב אֶל־אֶ֥רֶץ
わたしに 今 立て 出よ ～から この-地から そして-帰れ ～へ 地へ
H0834 H6258 H0877 H3318 H0776 H2063 H7725 H0413 H0776

מוֹלַדְתֶּֽךָ׃
あなたの-生まれ-故郷の
H4138

わたしはベテルの神です。かつてあなたはあそこで柱に油を注いで、わたしに誓いを立てましたが、いま立ってこの地を出て、あなたの生れた国へ帰りなさい』」。

וַתַּ֥עַן רָחֵ֖ל וְלֵאָ֑ה וַתֹּאמַ֣רְנָה ל֔וֹ הַעוֹד֩ לָ֨נוּ חֵ֜לֶק 14
すると-答えた ラケルと レアは そして-言った 彼に まだ-あるか 私たちに 分け前が
H6030 H7354 H3812 H0559 H3867 H5750 H3867 H2506

וְנַחֲלָ֖ה בְּבֵ֥ית אָבִֽינוּ׃
また-相続が 家に 私たちの-父の
H5159 H1004 H0001

ラケルとレアは答えて言った、「わたしたちの父の家に、なおわたしたちの受くべき分、また嗣業がありましょうか。

הֲלֹא֙ נָכְרִיּ֣וֹת נֶחְשַׁ֔בְנוּ לוֹ֙ כִּ֣י מְכָרָ֔נוּ וַיֹּ֥אכַל גַּם־ 15
ないか よそ者として 数えられた 彼に なぜなら 売った そして-食べた また 食べ尽くした
H3808 H5237 H2803 H3867 H3588 H4376 H0398 H1571 H0398

אֶת־כַּסְפֵּֽנוּ׃
～を 私たちの-代金を
H0853 H3701

わたしたちは父に他人のように思われているではありませんか。彼はわたしたちを売ったばかりでなく、わたしたちのその金をさえ使い果たしたのです。

כִּ֣י כָל־הָעֹ֣שֶׁר אֲשֶׁר֩ הִצִּ֨יל אֱלֹהִ֜ים מֵאָבִ֗ינוּ לָ֤נוּ הוּא֙ 16
なぜなら すべての 富は それ 救い出した 神が 私たちの-父から 私たちの ものである
H3588 H3605 H6239 H0834 H5337 H0430 H0001 H3867 H1931

וְעַתָּ֕ה כֹּ֖ל אֲשֶׁ֣ר אָמַ֣ר אֱלֹהִ֑ים אֵלֶ֖יךָ עֲשֵׂ֥ה׃
だから-今 すべて それ 言った 神が あなたに そのとおりに-してください
H6258 H3605 H0834 H0559 H0430 H0413 H6213

וּלְבָנָ֖יו לִבְנֵ֥י אֲנִ֛י
私たちの-子供たちの
H1121 H1121 H0589

神がわたしたちの父から取りあげられた富は、みなわたしたちとわたしたちの子どものものです。だから何事でも神があなたにお告げになった事をしてください」。

17 וַיָּקָם יַעֲקֹב וַיִּשָּׂא אֶת־בָּנָיו וְאֶת־נָשָׁיו
そして-立ち上がった ヤコブは そして-乗せた ～を 彼の-息子たちと また 彼の-妻たちを
H0802 H0853 H5375 H0853 H3290 H0853 H0802

עַל־הַגְּמַלִּים׃
～の上に らくだの
H1581

そこでヤコブは立って、子らと妻たちをらくだに乗せ、

18 וַיִּנְהַג אֶת־כָּל־מִקְנֵהוּ וְאֶת־כָּל־רְכֻשׁוֹ רְכֻשׁוֹ אֲשֶׁר־קָנָה מִקְנֵה קִנְיָנוֹ אֲשֶׁר רָכַשׁ בְּפַדַּן אֲרָם לָבוֹא אֶל־יִצְחָק אָבִיו אַרְצָה כְּנָעַן׃
そして-追った ～を すべての 彼の-家畜を また すべての 彼の-財産を それ 得た 家畜を 彼の-所有の それ 得た パダン-アラムで 行くために ～へ イサクの-もとへ 彼の-父の 地へ カナンの
H3605 H0853 H4735 H3605 H7399 H7408 H4735 H7075 H7408 H6307 H0935 H0413 H3327 H0001 H0776

またすべての家畜、すなわち彼がパダンアラムで獲た家畜と、すべての財産を携えて、カナンの地におる父イサクのもとへ赴いた。

19 וְלָבָן הָלַךְ לִגְזֹז אֶת־צֹאנוֹ וַתִּגְנֹב רָחֵל אֶת־הַתְּרָפִים אֲשֶׁר לְאָבִיהָ׃
そして-ラバンは 行った 刈るために ～を 彼の-羊の-毛を そして-盗んだ ラケルは ～を テラピムを それ 彼女の-父の
H1980 H1494 H0853 H6629 H1589 H7354 H0853 H8655 H0834 H0001

その時ラバンは羊の毛を切るために出ていたので、ラケルは父の所有のテラピムを盗み出した。

20 וַיִּגְנֹב יַעֲקֹב אֶת־לֵב לָבָן הָאֲרַמִּי עַל־בְּלִי הַגִּיד לוֹ כִּי הוּא בֹרֵחַ׃
そして-欺いた ヤコブは ～を 心を ラバンの アラム人の ～について ない 告げなかった 彼に こと 彼が 逃げる
H1589 H3290 H0853 H3820 H3837 H0761 H5921 H1097 H5046 H0834 H1931 H1272

またヤコブはアラムびとラバンを欺き、自分の逃げ去るのを彼に告げなかった。

21 וַיִּבְרַח הוּא וְכָל־אֲשֶׁר־לוֹ וַיָּקָם וַיַּעֲבֹר אֶת־הַנָּהָר וַיָּשֶׂם אֶת־פָּנָיו הַר הַגִּלְעָד׃
そして-逃げた 彼は また-すべて それ 彼の そして-立ち上がった そして-渡った ～を 川を ～を 彼の-顔を 山 ギルアドの
H1272 H1931 H3605 H0834 H3820 H6965 H5104 H0853 H6440 H2022 H1568

こうして彼はすべての持ち物を携えて逃げ、立って川を渡り、ギレアデの山地へ向かった。

22 וַיֻּגַּד לְלָבָן בַּיּוֹם הַשְּׁלִשִׁי כִּי בָרַח יַעֲקֹב׃
そして-告げられた すると-ラバンに の-日に 三日目の こと 逃げた ヤコブが
H5046 H3290 H1272 H3290 H7992 H3117 H3820

三日目になって、ヤコブの逃げ去ったことが、ラバンに聞えたので、

23 וַיִּקַּח אֶת־אֶחָיו עִמּוֹ וַיִּרְדֹּף אַחֲרָיו דֶּרֶךְ שִׁבְעַת
そして–取った ～を 彼の–親族を 彼と–ともに そして–追いかけた 彼の–後を 道のり 七
H3947 H0853 H0251 H0854 H7291 H1870 H7651

יָמִים וַיַּדְבֵּק אֹתוֹ בְּהַר הַגִּלְעָד׃
日の そして–追いついた 彼に 山で ギルアドの
H3117 H1692 H0853 H2022 H1568

彼は一族を率いて、七日の間そのあとを追い、ギレアデの山地で追いついた。

24 וַיָּבֹא אֱלֹהִים אֶל־לָבָן הָאֲרַמִּי בַּחֲלֹם הַלָּיְלָה וַיֹּאמֶר
すると–来た 神が ～へ ラバンの–もとへ アラム人の 夢で 夜の そして–言った 彼に
H0935 H0430 H0413 H3837 H0761 H2472 H3915 H0559 H0559

לוֹ הִשָּׁמֶר לְךָ פֶּן־תְּדַבֵּר עִם־יַעֲקֹב מִטּוֹב עַד־רָע׃
彼に 気をつけよ あなた自身 ～しないように 話す ～と ヤコブと 善から ～まで 悪まで
H8104 H0853 H6435 H1696 H0854 H3290 H2896 H5704 H7451

しかし、神は夜の夢にアラムびとラバンに現れて言われた、「あなたは心してヤコブに、よしあしを言ってはなりません」。

25 וַיַּשֵּׂג לָבָן אֶת־יַעֲקֹב וְיַעֲקֹב תָּקַע אֶת־אָהֳלוֹ
そして–追いついた ラバンは ～に ヤコブに そして–ヤコブは 張っていた ～を 彼の–天幕を
H5381 H3837 H0854 H3290 H3290 H8628 H0853 H0168

בָּהָר וְלָבָן תָּקַע אֶת־אֶחָיו בְּהַר הַגִּלְעָד׃
山に そして–ラバンも 張った ～を 彼の–親族と–ともに 山で ギルアドの
H2022 H3837 H8628 H0854 H0251 H2022 H1568

ラバンはついにヤコブに追いついたが、ヤコブが山に天幕を張っていたので、ラバンも一族と共にギレアデの山に天幕を張った。

26 וַיֹּאמֶר לָבָן לְיַעֲקֹב מֶה עָשִׂיתָ וַתִּגְנֹב אֶת־לִבִּי
すると–言った ラバンは ヤコブに 何を あなたは–したのか そして–欺いた ～を わたしの–心を
H0559 H3837 H3290 H4100 H6213 H1589 H0853 H3824

וַתְּנַהֲגִי אֶת־בְּנֹתַי כִּשְׁבוּיוֹת חָרֶב׃
そして–連れて–行った ～を わたしの–娘たちを 捕虜の–ように 剣の
H1980 H0853 H1323 H7617 H2719

ラバンはヤコブに言った、「あなたはなんという事をしたのですか。あなたはわたしを欺いてわたしの娘たちをいくさのとりこのように引いて行きました。

27 לָמָּה נַחְבֵּאתָ לִּבְרֹחַ וַתִּגְנֹב אֹתִי וְלֹא־הִגַּדְתָּ לִּי
なぜ 隠れたのか 逃げるために そして–欺いた わたしを そして–ない 告げなかった わたしに
H4100 H2244 H1272 H1589 H0853 H3808 H5046

וָאֲשַׁלֵּחֲךָ בְּשִׂמְחָה וּבְשִׁרִים בְּתֹף וּבְכִנּוֹר׃
そうすれば–送ったのに 喜びと 歌と 太鼓と 琴で
H7971 H8057 H7892 H8596 H3658

なぜあなたはわたしに告げずに、ひそかに逃げ去ってわたしを欺いたのですか。わたしは手鼓や琴で喜び歌ってあなたを送りだそうとしていたのに。

28 וְלֹא נְטַשְׁתַּנִי לְנַשֵּׁק לְבָנַי וְלִבְנֹתָי עַתָּה
そして–ない 許さなかった 口づけすることを わたしの–息子たちに わたしの–娘たちに 今
H3808 H5203 H5401 H1121 H1323 H6258

הִסְכַּלְתָּ עָשׂוֹ׃
あなたは–愚かなことを–した 行うとは
H5528

なぜわたしの孫や娘にわたしが口づけするのを許さなかったのですか。あなたは愚かな事をしました。

29 יֶשׁ־ לְאֵל יָדִי לַעֲשׂוֹת עִמָּכֶם רָע וֵאלֹהֵי
ある 神の わたしの–手には–力が 行うことが あなたがたに 悪を しかし–神が
H3426 H0410 H3027 H0559 H6258 H0430

אֲבִיכֶם אֲמֶשׁ אָמַר אֵלַי לֵאמֹר הִשָּׁמֶר לְךָ מִדַּבֵּר עִם־
あなたがたの–父の 昨夜 言った わたしに 言って 気をつけよ あなた自身 話すことから ～と
H0001 H0570 H0559 H0413 H0559 H8104 H1696

רָע׃ עַד־ מִטּוֹב יַעֲקֹב
悪まで ～まで 善から ヤコブと
H5704 H3290

わたしはあなたがたに害を加える力をもっているが、あなたがたの父の神が昨夜わたしに告げて、『おまえは心して、ヤコブによしあしを言うな』と言われました。

30 וְעַתָּה הָלֹךְ הָלַכְתָּ כִּי־ נִכְסֹף נִכְסַפְתָּה לְבֵית אָבִיךָ לָמָּה
だから–今 行くのは 行ったのだ なぜなら 慕っていた 慕っていた 家に あなたの–父の なぜ
H6258 H1980 H1980 H3700 H3700 H0001 H4100

אֱלֹהָי׃ אֶת־ גָּנַבְתָּ
わたしの–神々を ～を 盗んだのか
H0430 H0853 H1589

今あなたが逃げ出したのは父の家が非常に恋しくなったからでしょうが、なぜあなたはわたしの神を盗んだのですか」。

31 וַיַּעַן יַעֲקֹב וַיֹּאמֶר לְלָבָן כִּי כִּי יָרֵאתִי
すると–答えた ヤコブは そして–言った ラバンに なぜなら わたしは–恐れた なぜなら
H6030 H3290 H0559 H3290 H3372

מֵעִמִּי׃ בְּנוֹתֶיךָ אֶת־ תִּגְזֹל פֶּן־ אָמַרְתִּי
わたしから あなたの–娘たちを ～を 奪う ～しないように わたしは–思った
H1323 H0853 H1497 H6435 H0559

ヤコブはラバンに答えた、「たぶんあなたが娘たちをわたしから奪いとるだろうと思ってわたしは恐れたからです。

32 עִם אֲשֶׁר תִּמְצָא אֶת־ אֱלֹהֶיךָ לֹא יִחְיֶה נֶגֶד
～のもとで それ 見つかる ～が あなたの–神々が ない 生きては–おかない 前で
H5978 H0834 H4672 H0853 H0430 H3808 H2421 H5048

אַחֵינוּ הַכֶּר־ מָה לְךָ עִמָּדִי וְקַח־ לָךְ
私たちの–兄弟の 調べよ 何が あなた自身 わたしの–もとに そして–取れ あなたのために
H0251 H4100 H0834 H5978 H3947

גְּנָבָתַם׃ רָחֵל כִּי יַעֲקֹב יָדַע וְלֹא־
盗んだことを ラケルが こと ヤコブは 知らなかった しかし–ない
H1589 H7354 H3290 H3045 H3808

だれの所にでもあなたの神が見つかったら、その者を生かしてはおきません。何かあなたの物がわたしのところにあるか、われわれの一族の前で、調べてみて、それをお取りください」。ラケルが神を盗んだことをヤコブは知らなかったからである。

33 וַיָּבֹא הָאָהֳלֹת שְׁתֵּי וּבְאָהֶל לֵאָה וּבְאֹהֶל וְיַעֲקֹב בְּאֹהֶל לָבָן
そして–入った ラバンは 天幕に ヤコブの また–天幕に レアの また–天幕に 二人の 女奉公の
H0935 H3290 H0168 H3812 H0168 H8147 H0519

רָחֵל׃ בְּאֹהֶל וַיָּבֹא לֵאָה מֵאֹהֶל וַיֵּצֵא מָצָא וְלֹא
ラケルの 天幕に そして–入った レアの 天幕から そして–出た 見つからなかった しかし–ない
H7354 H0168 H0935 H3812 H0168 H3318 H4672 H3808

そこでラバンはヤコブの天幕にはいり、またレアの天幕にはいり、更にふたりのはしための天幕にはいってみたが、見つからなかったので、レアの天幕を出てラケルの天幕にはいった。

וַתָּשֶׂב	הַגְּמַל	בְּכַר	וַתְּשִׁמֵם	הַתְּרָפִים	אֶת־	לָקְחָה	וְרָחֵל	34
そして–座った	らくだの	鞍の–中に	そして–入れた	テラピムを	～を	取っていた	しかし–ラケルは	
H3427	H1581			H8655	H0853	H3947	H7354	

מָצָא׃	וְלֹא	הָאֹהֶל	כָּל־	אֶת־	לָבָן	וַיְמַשֵּׁשׁ	עֲלֵיהֶם
見つからなかった	しかし–ない	天幕を	すべての	～を	ラバンは	そして–探った	その–上に
H4672	H3808	H0168	H3605	H0853		H4959	

しかし、ラケルはすでにテラピムを取って、らくだのくらの下に入れ、その上にすわっていたので、ラバンは、くまなく天幕の中を捜したが、見つからなかった。

כִּי	אֲדֹנִי	בְּעֵינֵי	יִחַר	אַל־	אָבִיהָ	אֶל־	וַתֹּאמֶר	35
なぜなら	わが–主の	目に	怒らないでください	～するな	彼女の–父に	～に	すると–言った	
	H0113		H2734	H0408	H0001	H0413	H0559	

לִי	נָשִׁים	דֶּרֶךְ	כִּי־	מִפָּנֶיךָ	לָקוּם	אוּכַל	לֹוא	
わたしに–ある	女の	道	なぜなら	あなたの–前で	立つことが	私は–できない	ない	
	H0802	H1870		H6440		H3201	H3808	

הַתְּרָפִים׃	אֶת־	מָצָא	וְלֹא	וַיְחַפֵּשׂ		
テラピムを	～を	見つからなかった	しかし–ない	そして–探した		
H8655	H0853	H4672	H3808	H2664		

その時ラケルは父に言った、「わたしは女の常のことがあって、あなたの前に立ち上がることができません。わが主よ、どうかお怒りにならぬよう」。彼は捜したがテラピムは見つからなかった。

וַיֹּאמֶר	יַעֲקֹב	וַיַּעַן	בְּלָבָן	וַיֵּרַב	לְיַעֲקֹב	וַיִּחַר		36
そして–言った	ヤコブは	そして–答えた	ラバンと	そして–言い争った	ヤコブは	すると–怒った		
H0559	H3290			H7378	H3290	H2734		

אַחֲרָי׃	דָּלַקְתָּ	כִּי	חַטָּאתִי	מָה	פִּשְׁעִי	מַה־	לְלָבָן
わたしの–後を	追いかけた	なぜなら	わたしの–罪か	何が	わたしの–背きか	何が	ラバンに
	H1814			H4100	H6588	H4100	

そこでヤコブは怒ってラバンを責めた。そしてヤコブはラバンに言った、「わたしにどんなあやまちがあり、どんな罪があって、あなたはわたしのあとを激しく追ったのですか。

כְּלֵי־	מִכֹּל	מָצָאתָ	מַה־	כֵּלַי	כָּל־	אֶת־	מִשַּׁשְׁתָּ	כִּי־	37
物の	すべての–中から	見つけたか	何を	わたしの–物を	すべての	～を	探った	なぜなら	
H3627	H3605	H4672	H4100	H3627	H3605	H0853	H4959		

בֵּין	וְיוֹכִיחוּ	וְאָחֶיךָ	אַחַי	נֶגֶד	כֹּה	שִׂים	בֵּיתֶךָ	
～の間で	そして–裁かせよ	あなたの–兄弟の	わたしの–兄弟の	前に	ここに	置け	あなたの–家の	
H0996	H3198	H0251	H0251	H5048	H3541			

שְׁנֵינוּ׃
私たち–二人の
H8147

あなたはわたしの物をことごとく探られたが、何かあなたの家の物が見つかりましたか。それを、ここに、わたしの一族と、あなたの一族の前に置いて、われわれふたりの間をさばかせましょう。

לֹא	וְעִזֶּיךָ	רְחֵלֶיךָ	עִמָּךְ	אָנֹכִי	שָׁנָה	עֶשְׂרִים	זֶה		38
ない	あなたの–雌やぎも	あなたの–雌羊も	あなたと–ともに	わたしは	年	二十	この		
H3808	H5795	H7353		H0595	H8141	H6242	H2088		

אָכָלְתִּי׃	לֹא	צֹאנְךָ	וְאֵילֵי	שִׁכֵּלְתִּי	
わたしは–食べなかった	ない	あなたの–羊の	また–雄羊を	流産しなかった	
H0398	H3808	H6629			

わたしはこの二十年、あなたと一緒にいましたが、その間あなたの雌羊も雌やぎも子を産みそこねたことはなく、またわたしはあなたの群れの雄羊を食べたこともありませんでした。

39

טְרֵפָה לֹא־ הֵבֵאתִי אֵלֶיךָ אָנֹכִי אֲחַטֶּנָּה מִיָּדִי
引き裂かれた-ものを ない 持って-来なかった あなたに わたしが 優先させた わたしの-手から
H2966 H3808 H0935 H0413 H0595 H2398 H3027

תְּבַקְּשֶׁנָּה גְּנֻבְתִּי יוֹם וּגְנֻבְתִּי לָיְלָה׃
あなたは-求めた 盗まれた-ものを 昼の また-盗まれた-ものを 夜の
H1245 H1589 H3117 H1589 H3915

また野獣が、かみ裂いたものは、あなたのもとに持ってこないで、自分でそれを償いました。また昼盗まれたものも、夜盗まれたものも、あなたはわたしにその償いを求められました。

40

הָיִיתִי בַיּוֹם אֲכָלַנִי חֹרֶב וְקֶרַח בַּלָּיְלָה וַתִּדַּד
わたしは-あった 昼には 食い尽くした 暴熱が また-冷たさが 夜には そして-逃げた
H1961 H3117 H0398 H2721 H7140 H3915 H5074

מֵעֵינָי׃ שְׁנָתִי
わたしの-目から わたしの-眠りが
H8142

わたしのことを言えば、昼は暑さに、夜は寒さに悩まされて、眠ることもできませんでした。

41

זֶה־ לִּי עֶשְׂרִים שָׁנָה בְּבֵיתֶךָ עָבַדְתִּיךָ אַרְבַּע־ עֶשְׂרֵה שָׁנָה
これで わたしに 二十 年 あなたの-家で わたしは-仕えた 十四 年 年
H2088 H6242 H8141 H5647 H0702 H6240 H8141

בְּצֹאנֶךָ וַתַּחֲלֵף אֶת־ בִּשְׁתֵּי בְנֹתֶיךָ וְשֵׁשׁ שָׁנִים
あなたの-羊のために そして-変えた ～を 二人の-ために あなたの-娘たちの また-六 年
H6629 H2498 H0853 H8147 H1323 H8337 H8141

מַשְׂכֻּרְתִּי עֲשֶׂרֶת מֹנִים׃
わたしの-報酬を 十 度も
H4909 H6235 H4489

わたしはこの二十年あなたの家族のひとりでありました。わたしはあなたのふたりの娘のために十四年、またあなたの群れのために六年、あなたに仕えましたが、あなたは十度もわたしの報酬を変えられました。

42

לוּלֵי הָיָה אֱלֹהֵי אָבִי אֱלֹהֵי אַבְרָהָם וּפַחַד יִצְחָק
もし-ない おられた 神が わたしの-父の 神 アブラハムの また-畑れ イサクの
H3884 H1961 H0430 H0001 H0430 H0085 H6343 H3327

רֵיקָם עַתָּה כִּי לִי יָגַע וְאֶת־ עָנְיִי שִׁלַּחְתָּנִי אֶת־
空手で 今 こと わたしと-ともに 労苦を また わたしの-苦しみと ～を 追い出しただろう
H7387 H6258 H3018 H0853 H6040 H7971 H0853

כַּפַּי רָאָה אֱלֹהִים וַיּוֹכַח אָמֶשׁ׃
わたしの-手の 見た 神が そして-戒めた 昨夜
H3709 H7200 H0430 H3198 H0570

もし、わたしの父の神、アブラハムの神、イサクのかしこむ者がわたしと共におられなかったなら、あなたはきっとわたしを、から手で去らせたでしょう。神はわたしの悩みと、わたしの労苦とを顧みられて昨夜あなたを戒められたのです」。

43 וַיַּ֣עַן לָבָ֔ן וְהַבָּנִ֖ים
ラバンは 答えた また-息子たちは
H3290 H0559 H0413 H3290 H1323 H1323

בְּנֹתַ֣י הַבָּנ֣וֹת יַעֲקֹ֑ב אֶל־ וַיֹּאמֶר֙
わたしの-娘だ 娘たちは ヤコブに ～に そして-言った
H1323 H1323 H3290 H0413 H0559

לִ֣י־ רֹאֶ֔ה אַתָּ֖ה אֲשֶׁר־ וְכֹ֣ל צֹאנִ֑י וְהַצֹּ֣אן בָּנַ֔י
わたしの 見ている あなたが それ また-すべて わたしの-羊だ また-羊は わたしの-息子だ
H7200 H3605 H6629 H6629

אֹ֚ו הַיּ֣וֹם לָאֵ֔לֶּה אֶעֱשֶׂ֖ה מָּה־ וְלִבְנֹתַ֗י הִ֔וא
または 今日 これらに わたしが-しようか 何を しかし-わたしの-娘たちに ものだ
H3117 H0428 H4100 H1323 H1931

׃יָלָֽדוּ אֲשֶׁ֥ר לִבְנֵיהֶֽן
産んだ それ 彼女たちの-子供たちに
H3205

ラバンは答えてヤコブに言った、「娘たちはわたしの娘、子どもたちはわたしの孫です。また群れはわたしの群れ、あなたの見るものはみなわたしのものです。これらのわたしの娘たちのため、また彼らが産んだ子どもたちのため、きょうわたしは何をすることができましょうか。

44 בֵּינִ֖י לְעֵ֣ד וְהָיָ֔ה וָאָתָּ֑ה אֲנִי֙ בְּרִ֣ית נִכְרְתָ֔ה לְכָ֖ה וְעַתָּ֕ה
わたしとの-間の 証拠に そして-なる あなたが わたしと 契約を 結ぼう さあ だから-今
H0996 H5707 H1961 H0589 H1285 H3772 H3212 H6258

׃וּבֵינֶֽךָ
あなたとの-間の
H0996

さあ、それではわたしとあなたと契約を結んで、これをわたしとあなたとの間の証拠としましょう」。

45 וַיִּקַּ֣ח יַעֲקֹ֔ב אֶ֖בֶן וַיְרִימֶ֥הָ מַצֵּבָֽה׃
そして-取った ヤコブは 石を そして-立てた 石の-柱として
H3947 H3290 H0068 H4676

そこでヤコブは石を取り、それを立てて柱とした。

46 וַיֹּ֣אמֶר לְאֶחָ֗יו יַעֲקֹב֙ לִקְט֣וּ אֲבָנִ֔ים וַיִּקְח֥וּ אֲבָנִ֖ים וַיַּֽעֲשׂ֑וּ־
そして-言った 彼の-親族に ヤコブは 集めよ 石を そして-取った 石を そして-作った
H0559 H0251 H3290 H3950 H0068 H3947 H0068

׃הַגָּ֔ל עַל־ שָׁ֣ם וַיֹּאכְל֖וּ גָּ֑ל
石塚の ～の上で そこで そして-食べた 石塚を
H1530 H0398 H8033 H1530

ヤコブはまた一族の者に言った、「石を集めてください」。彼らは石を取って、一つの石塚を造った。こうして彼らはその石塚のかたわらで食事をした。

47 וַיִּקְרָ֣א־ לָ֔וֹ לָבָ֖ן יְגַר שָׂהֲדוּתָ֑א וְיַעֲקֹ֖ב קָרָ֥א לֹֽו׃
そして-名づけた それを ラバンは エガル-サハドタと しかし-ヤコブは 名づけた それを
H7121 H0 H3026 H3290 H7121 H0

׃גַּלְעֵֽד
ガルエドと
H1567

ラバンはこれをエガル・サハドタと名づけ、ヤコブはこれをガルエドと名づけた。

48

וַיֹּאמֶר	לָבָן	הַגַּל	הַזֶּה	עֵד	בֵּינִי	וּבֵינֶךָ	הַיּוֹם
すると–言った	ラバンは	この–石堆が	この	証拠である	わたしとの–間の	あなたとの–間の	今日
H0559		H1530	H2088	H5707	H0996	H0996	H3117

עַל־	כֵּן	קָרָא־	שְׁמוֹ	גַּלְעֵד׃
それ–ゆえ	こそ	名づけた	その–名を	ガルエドと
		H7121	H8034	H1567

そしてラバンは言った、「この石塚はきょうわたしとあなたとの間の証拠となります」。それでその名はガルエドと呼ばれた。

49

וּבֵינֶךָ	בֵּינִי	יְהוָה	יִצֶף	אָמַר	אֲשֶׁר	וְהַמִּצְפָּה	
あなたとの–間を	わたしとの–間を	主が	見張ってください	言った	それ	また–ミツパと	
H0996	H0996	H3068	H6822	H0559		H4709	

כִּי	נִסָּתֵר	אִישׁ	מֵרֵעֵהוּ׃	
なぜなら	隠れる	各々が	互いから	
	H5641	H0376	H7453	

またミズパとも呼ばれた。彼がこう言ったからである、「われわれが互に別れたのちも、どうか主がわたしとあなたとの間を見守られるように。

50

עַל־	נָשִׁים	תִּקַּח	וְאִם־	בְּנֹתַי	אֶת־	תְּעַנֶּה	אִם־
～の他に	妻を	めとるなら	また–もし	わたしの–娘たちを	～を	苦しめるなら	もし
	H0802	H3947		H1323	H0853		

בֵּינִי	עֵד	אֱלֹהִים	רְאֵה	עִמָּנוּ	אִישׁ	אֵין	בְּנֹתַי	
わたしとの–間の	証人である	神が	見よ	私たちと–ともに	男が	ない	わたしの–娘たちの	
H0996	H5707	H0430	H7200		H0376	H0369	H1323	

וּבֵינֶךָ׃
あなたとの–間の
H0996

もしあなたがわたしの娘を虐待したり、わたしの娘のほかに妻をめとることがあれば、たといそこにだれひとりいなくても、神はわたしとあなたとの間の証人でいらせられる」。

51

אֲשֶׁר	הַמַּצֵּבָה	וְהִנֵּה	הַזֶּה	הַגַּל	וְהִנֵּה	לְיַעֲקֹב	לָבָן	וַיֹּאמֶר
それ	この–石の–柱と	見よ	この	この–石堆と	見よ	ヤコブに	ラバンは	すると–言った
	H4676	H2009	H2088	H1530	H2009	H3290		H0559

וּבֵינֶךָ׃	בֵּינִי	יָרִיתִי
あなたとの–間に	わたしとの–間に	わたしが–立てた
H0996	H0996	

更にラバンはヤコブに言った、「あなたとわたしとの間にわたしが建てたこの石塚をごらんなさい、この柱をごらんなさい。

52

אֶעֱבֹר	לֹא־	אָנִי	אִם־	הַמַּצֵּבָה	וְעֵדָה	הַזֶּה	הַגַּל	עֵד
越えない	ない	わたしが	もし	この–石の–柱が	また–証拠	この	この–石堆が	証拠
	H3808	H0589		H4676		H2088	H1530	H5707

אֵלַי	תַּעֲבֹר	לֹא־	אַתָּה	וְאִם־	הַזֶּה	הַגַּל	אֶת־	אֵלֶיךָ
わたしの–方へ	越えない	ない	あなたが	また–もし	この	この–石堆を	～を	あなたの–方へ
H0413		H3808			H2088	H1530	H0853	H0413

לְרָעָה׃	הַזֹּאת	הַמַּצֵּבָה	וְאֶת־	הַזֶּה	הַגַּל	אֶת־
悪のために	この	この–石の–柱を	また	この	この–石堆を	～を
	H2063	H4676	H0853	H2088	H1530	H0853

この石塚を越えてわたしがあなたに害を加えず、またこの石塚とこの柱を越えてあなたがわたしに害を加えないように、どうかこの石塚があかしとなり、この柱があかしとなるように。

אֲבִיהֶם אֱלֹהֵי בֵּינֵינוּ יִשְׁפְּטוּ נָחוֹר וֵאלֹהֵי אַבְרָהָם אֱלֹהֵי 53
彼らの–父の 神 私たちの–間を 裁いてください ナホルの また–神が アブラハムの 神が
H0001 H0430 H0996 H8199 H5152 H0430 H0085 H0430

יִצְחָק׃ אָבִיו בְּפַחַד יַעֲקֹב וַיִּשָּׁבַע
イサクの 彼の–父の 畑れにかけて ヤコブは そして–誓った
H3327 H0001 H6343 H3290 H7650

どうかアブラハムの神、ナホルの神、彼らの父の神がわれわれの間をさばかれるように」。ヤコブは父イサクのかしこむ者によって誓った。

לָחֶם לֶאֱכָל־ לְאֶחָיו וַיִּקְרָא בָּהָר זָבַח יַעֲקֹב וַיִּזְבַּח 54
パンを 食べるために 彼の–親族を そして–呼んだ 山で いけにえを ヤコブは そして–屠った
H3899 H0398 H0251 H7121 H2022 H2077 H3290 H2076

בָּהָר׃ וַיָּלִינוּ לֶחֶם וַיֹּאכְלוּ
山で そして–泊まった パンを そして–食べた
H2022 H3899 H0398

そしてヤコブは山で犠牲をささげ、一族を招いて、食事をした。彼らは食事をして山に宿った。

וְלִבְנוֹתָיו לְבָנָיו וַיִּנַּשֵׁק בַּבֹּקֶר לָבָן וַיַּשְׁכֵּם 55
彼の–娘たちに 彼の–息子たちに そして–口づけした 朝に ラバンは そして–早く起きた
H1323 H1242 H7925

לִמְקֹמוֹ׃ לָבָן וַיָּשָׁב וַיֵּלֶךְ אֹתָם וַיְבָרֶךְ
彼の–場所へ ラバンは そして–帰った そして–行った 彼らを そして–祝福した
H4725 H7725 H3212 H0853 H1288

あくる朝ラバンは早く起き、孫と娘たちに口づけして彼らを祝福し、去って家に帰った。

Chapter 32

אֱלֹהִים׃ מַלְאֲכֵי בּוֹ וַיִּפְגְּעוּ־ לְדַרְכּוֹ הָלַךְ וְיַעֲקֹב 1
神の 御使いたちが 彼に すると–出会った 自分の–道を 進んだ そして–ヤコブは
H0430 H4397 H6293 H1870 H1980 H3290

さて、ヤコブが旅路に進んだとき、神の使たちが彼に会った。

שֵׁם־ וַיִּקְרָא זֶה אֱלֹהִים מַחֲנֵה רָאָם כַּאֲשֶׁר יַעֲקֹב וַיֹּאמֶר 2
名を そして–名づけた これは 神の 陣営だ 彼らを 見た–とき ヤコブは そして–言った
H8034 H7121 H2088 H0430 H4264 H7200 H3290 H0559

פ מַחֲנָיִם׃ הַהוּא הַמָּקוֹם
— マハナイムと その その–場所の
H4266 H1931 H4725

ヤコブは彼らを見て、「これは神の陣営です」と言って、その所の名をマハナイムと名づけた。

שֵׂעִיר אַרְצָה אֲחִיו עֵשָׂו אֶל־ לִפְנֵיו מַלְאָכִים יַעֲקֹב וַיִּשְׁלַח 3
セイルの 地へ 兄の–もとへ エサウ ～へ 自分の–前に 使者たちを ヤコブは そして–遣わした
H0776 H0251 H6215 H0413 H6440 H4397 H3290 H7971

אֱדוֹם׃ שְׂדֵה
エドムの 野の
H0123

ヤコブはセイルの地、エドムの野に住む兄エサウのもとに、さきだって使者をつかわした。

4

וַיְצַו אֹתָם לֵאמֹר כֹּה תֹאמְרוּן לַאדֹנִי לְעֵשָׂו כֹּה אָמַר עַבְדְּךָ יַעֲקֹב עִם־לָבָן גַּרְתִּי וָאֵחַר עַד־עָתָּה׃

そして–命じた 彼らに 言って このように わが–主 エサウに このように
H6680 H0853 H0559 H3541 H0113 H6215 H3541

申しております ヤコブは あなたの–しもべ ～と–ともに ラバンの–もとに 寄留し そして–遅くなりました
H0559 H3290 H5650 H5704 H3541 H8198 H0309

すなわちそれに命じて言った、「あなたがたはわたしの主人エサウにこう言いなさい、『あなたのしもべヤコブはこう言いました。わたしはラバンのもとに寄留して今までとどまりました。

5

וַיְהִי־לִי שׁוֹר וַחֲמוֹר צֹאן וְעֶבֶד וְשִׁפְחָה וָאֶשְׁלְחָה לְהַגִּיד לַאדֹנִי לִמְצֹא־חֵן בְּעֵינֶיךָ׃

そして–持っています 私は 牛を そして–ろばを 羊を そして–男の–しもべを そして–女の–しもべを
H1961 H7794 H0518 H2543 H6629 H5650 H8198

そして–遣わしました わが–主に お知らせ–するために 見出す–ために 恵みを あなたの–目に
H7971 H0113 H5046 H4672 H2580

わたしは牛、ろば、羊、男女の奴隷を持っています。それでわが主に申し上げて、あなたの前に恵みを得ようと人をつかわしたのです』」。

6

וַיָּשֻׁבוּ הַמַּלְאָכִים אֶל־יַעֲקֹב לֵאמֹר בָּאנוּ אֶל־אָחִיךָ אֶל־עֵשָׂו וְגַם הֹלֵךְ לִקְרָאתְךָ וְאַרְבַּע־מֵאוֹת אִישׁ עִמּוֹ׃

そして–戻ってきた 使者たちは ～へ ヤコブの–もとへ 言って 行ってきました ～の–もとへ
H7725 H4397 H0413 H3290 H0559 H0935 H0413

あなたの–兄 ～の–もとへ エサウの そして–また 向かって–来ています あなたを–迎えに そして–四 百人の 人が 彼と–ともに
H0251 H0413 H6215 H1571 H1980 H7125 H0702 H3967 H0376 H5973

使者はヤコブのもとに帰って言った、「わたしたちはあなたの兄エサウのもとへ行きました。彼もまたあなたを迎えようと四百人を率いてきます」。

7

וַיִּירָא יַעֲקֹב מְאֹד וַיֵּצֶר לוֹ וַיַּחַץ אֶת־הָעָם אֲשֶׁר־אִתּוֹ וְהַצֹּאן וְהַבָּקָר וְהַגְּמַלִּים לִשְׁנֵי מַחֲנוֹת׃

そして–恐れた ヤコブは 非常に 彼は そして–苦しんだ そして–分けた 民を ～の
H3372 H3290 H3966 H0853 H2673 H0853 H3334 H0853 H5971 H0834

彼と–いる ～を そして～を 羊の–群れを そして～を 牛の–群れを そして–らくだを 二つの 陣営に
H0854 H0853 H6629 H0853 H1241 H1581 H8147 H4264

そこでヤコブは大いに恐れ、苦しみ、共にいる民および羊、牛、らくだを二つの組に分けて、

8

וַיֹּאמֶר אִם־יָבוֹא עֵשָׂו אֶל־הַמַּחֲנֶה הָאַחַת וְהִכָּהוּ וְהָיָה הַמַּחֲנֶה הַנִּשְׁאָר לִפְלֵיטָה׃

そして–言った もし 来て エサウが ～へ 一方の–陣営に 一つの そして–打つなら そうすれば
H0559 H0518 H0935 H6215 H0413 H4264 H0259 H5221 H1961

もう–一方の–陣営は 残った 逃れる–ことが–できる
H4264 H7604 H6413

言った、「たとい、エサウがきて、一つの組を撃っても、残りの組はのがれるであろう」。

9 וַיֹּאמֶר יַעֲקֹב אֱלֹהֵי אָבִי אַבְרָהָם וֵאלֹהֵי אָבִי יְצְחָק יְהוָה
H0559 H3290 H0430 H0001 H0085 H0430 H0001 H3327 H3068
הָאֹמֵר אֵלַי שׁוּב לְאַרְצְךָ וּלְמוֹלַדְתְּךָ וְאֵיטִיבָה
H0559 H0413 H7725 H0776 H4138 H3190
עִמָּךְ׃
H5973

あなたに

ヤコブはまた言った、「父アブラハムの神、父イサクの神よ、かつてわたしに『おまえの国へ帰り、おまえの親族に行け。わたしはおまえを恵もう』と言われた主よ、

10 קָטֹנְתִּי מִכֹּל וּמִכָּל הַחֲסָדִים אֲשֶׁר עָשִׂיתָ אֶת־
H6994 H3605 H3605 H2617 H0571 H0834
עַבְדֶּךָ כִּי בְמַקְלִי עָבַרְתִּי אֶת־ הַיַּרְדֵּן הַזֶּה
H5650 H3588 H4731 H5674 H0853 H3383 H2088
וְעַתָּה הָיִיתִי לִשְׁנֵי מַחֲנוֹת׃
H6258 H1961 H8147 H4264

あなたがしもべに施されたすべての恵みとまことをわたしは受けるに足りない者です。わたしは、つえのほか何も持たないでこのヨルダンを渡りましたが、今は二つの組にもなりました。

11 הַצִּילֵנִי נָא מִיַּד אָחִי מִיַּד עֵשָׂו כִּי־ יָרֵא אָנֹכִי
H5337 H4994 H3027 H0251 H3027 H6215 H3588 H3373 H0595
פֶּן־ יָבוֹא וְהִכַּנִי אֵם עַל־ בָּנִים׃
H6435 H0935 H5221 H0517 H5921 H1121
אֹתוֹ

彼を

どうぞ、兄エサウの手からわたしをお救いください。わたしは彼がきて、わたしを撃ち、母や子供たちにまで及ぶのを恐れます。

12 וְאַתָּה אָמַרְתָּ הֵיטֵב אֵיטִיב עִמָּךְ וְשַׂמְתִּי אֶת־
H0853 H7760 H3190 H5973 H3190 H3559 H0859
זַרְעֲךָ כְּחוֹל הַיָּם אֲשֶׁר לֹא־ יִסָּפֵר מֵרֹב׃
H7230 H5608 H3808 H3220 H2344 H2233

あなたは、かつて、『わたしは必ずおまえを恵み、おまえの子孫を海の砂の数えがたいほど多くしよう』と言われました」。

13 וַיָּלֶן שָׁם בַּלַּיְלָה הַהוּא וַיִּקַּח מִן־ הַבָּא
H4904 H8033 H3915 H1931 H3947 H4480 H0935
בְּיָדוֹ מִנְחָה לְעֵשָׂו אָחִיו׃
H3027 H4503 H6215 H0251

彼の-手に　贈り物を　エサウ　兄への
H3027　H4503　H6215　H0251

彼はその夜そこに宿り、持ち物のうちから兄エサウへの贈り物を選んだ。

14
עִזִּים　מָאתַיִם　רְחֵלִים　עֶשְׂרִים　וּתְיָשִׁים　מָאתַיִם　וְאֵילִים　עֶשְׂרִים׃
雌やぎ　二百頭　雌羊　二十頭　そして-雄やぎ　二百頭　そして-雄羊　二十頭
H5795　H3967　H7353　H6242　H8495　H3967　H0352　H6242

すなわち雌やぎ二百、雄やぎ二十、雌羊二百、雄羊二十、

15
גְּמַלִּים　מֵינִיקוֹת　וּבְנֵיהֶם　שְׁלֹשִׁים　פָּרוֹת　אַרְבָּעִים　וּפָרִים　עֲשָׂרָה　אֲתֹנֹת
らくだ　乳を-出す　そして-その-子ら　三十頭　雌牛　四十頭　そして-雄牛　十頭　雌ろば
H1581　H3243　H7970　H6510　H0705　H6499　H6235　H0860

עֶשְׂרִים　וַעְיָרִם　עֲשָׂרָה׃
二十頭　そして-若い-ろば　十頭
H6242　H5895　H6235

乳らくだ三十とその子、雌牛四十、雄牛十、雌ろば二十、雄ろば十。

16
וַיִּתֵּן　בְּיַד־　עֲבָדָיו　עֵדֶר　עֵדֶר　לְבַדּוֹ　וַיֹּאמֶר　אֶל־
そして-渡した　手に　しもべたちの　群れを　群れ　それぞれ-別々に　そして-言った　～に
H5414　H3027　H5650　H5739　H5739　H0905　H0559　H0413

עַבְרוּ　לְפָנַי　וְרֶוַח　תָּשִׂימוּ　בֵּין　עֵדֶר　וּבֵין
渡りなさい　私の-前を　そして-間隔を　置きなさい　～の-間に　群れと　そして～の-間に
H5650　H6440　H7305　H7760　H0996　H5739　H0996

עֵדֶר׃
群れの
H5739

彼はこれらをそれぞれの群れに分けて、しもべたちの手にわたし、しもべたちに言った、「あなたがたはわたしの先に進みなさい、そして群れと群れとの間には隔たりをおきなさい」。

17
וַיְצַו　אֶת־　הָרִאשׁוֹן　לֵאמֹר　כִּי　יִפְגָּשְׁךָ　עֵשָׂו　אָחִי
そして-命じた　～に　最初の-者に　言って　もし　あなたに-出会い　エサウ　わが-兄が
H6680　H0853　H7223　H0559　H0518　H6298　H6215　H0251

וְשָׁאֲלֹךָ　לֵאמֹר　לְמִי־　אַתָּה　וְאָנָה　תֵלֵךְ　וּלְמִי
そして-尋ねたら　言って　だれの-ものか　あなたは　そして-どこへ　行くのか　そして-だれの-ものか
H7592　H0559　H4310　H0859　H0575　H3212　H4310

אֵלֶּה׃　לְפָנֶיךָ
これらは　あなたの-前の
H0428　H6440

また先頭の者に命じて言った、「もし、兄エサウがあなたに会って『だれのしもべで、どこへ行くのか。あなたの前にあるこれらのものはだれの物か』と尋ねたら、

18
וְאָמַרְתָּ　לְעַבְדְּךָ　לְיַעֲקֹב　מִנְחָה　הִוא　שְׁלוּחָה　לַאדֹנִי
そうしたら-言いなさい　あなたの-しもべ　ヤコブの-ものです　贈り物です　それは　送られた　わが-主
H0559　H5650　H3290　H4503　H1931　H7971　H0113

גַּם־　הִוא　אַחֲרֵינוּ׃　וְהִנֵּה　לְעֵשָׂו
また　彼も　私たちの-後ろに　そして-見よ　エサウに
H1571　H1931　H2009　H6215

『あなたのしもべヤコブの物で、わが主エサウにおくる贈り物です。彼もわたしたちのうしろにおります』と言いなさい」。

19

אֶת־	גַּם	הַשְּׁלִישִׁי	אֶת־	גַּם	הַשֵּׁנִי	אֶת־	גַּם	וַיְצַו
～にも	また	三番目の-者にも	～にも	また	二番目の-者にも	～にも	また	そして-命じた
H0853	H1571	H7992	H0853	H1571	H8145	H0853	H1571	H6680

אֶל־	תְּדַבְּרוּן	הַזֶּה	כַּדָּבָר	לֵאמֹר	הָעֲדָרִים	אַחֲרֵי	הַהֹלְכִים	כָּל־
～に	話しなさい	この	この-ように	言って	群れの	後ろの	行く-者たちにも	すべての
H0413	H1696	H2088	H1697	H0559	H5739		H1980	H3605

אֹתוֹ׃	בְּמֹצַאֲכֶם	עֵשָׂו	
彼を	見つけたら	エサウに	
H0853	H4672	H6215	

彼は第二の者にも、第三の者にも、また群れ群れについて行くすべての者にも命じて言った、「あなたがたがエサウに会うときは、同じように彼に告げて、

20

אָמַר	כִּי־	אַחֲרֵינוּ	יַעֲקֹב	עַבְדְּךָ	הִנֵּה	גַּם	וַאֲמַרְתֶּם	
思った	なぜなら	私たちの-後ろに	ヤコブも	あなたの-しもべ	見よ	また	そして-言いなさい	
H0559			H3290	H5650	H2009	H1571	H0559	

פָּנָיו	אֶרְאֶה	כֵּן	וְאַחֲרֵי־	לְפָנַי	הַהֹלֶכֶת	בַּמִּנְחָה	פָּנָיו	אֲכַפְּרָה
彼の-顔を	見よう	こそ	そして-その-後に	私の-前に	行く	贈り物で	彼の-顔を	なだめよう
H6440	H7200			H6440	H1980	H4503	H6440	

פָּנָי׃	יִשָּׂא	אוּלַי
私の-顔を	受け入れて-くれるだろう	もしかしたら
H6440	H5375	H0194

『あなたのしもべヤコブもわれわれのうしろにおります』と言いなさい」。ヤコブは、「わたしがさきに送る贈り物をもってまず彼をなだめ、それから、彼の顔を見よう。そうすれば、彼はわたしを迎えてくれるであろう」と思ったからである。

21

הַהוּא	בַּלַּיְלָה־	לָן	וְהוּא	פָּנָיו	עַל־	הַמִּנְחָה	וַתַּעֲבֹר	
その	その-夜	泊まった	しかし-彼は	彼の-前を	～の	贈り物は	そして-渡って-いった	
H1931	H3915		H1931	H6440		H4503		

בַּמַּחֲנֶה׃	
陣営に	
H4264	

こうして贈り物は彼に先立って渡り、彼はその夜、宿営にやどった。

22

שְׁתֵּי	וְאֶת־	נָשָׁיו	שְׁתֵּי	אֶת־	וַיִּקַּח	הוּא	בַּלַּיְלָה	וַיָּקָם
二人の	そして～を	妻たちを	二人の	～を	そして-連れた	彼は	その-夜	そして-起きた
H8147	H0853	H0802	H8147	H0853	H3947	H1931	H3915	

יַבֹּק׃	מַעֲבַר	אֵת	וַיַּעֲבֹר	יְלָדָיו	עָשָׂר	אַחַד	וְאֶת־	שְׁפָחֹתָיו
ヤボクの	渡し場を	～を	そして-渡った	子どもたちを	一人の	十	そして～を	女-しもべたちを
H2999		H0853		H3206	H6240	H0259	H0853	H8198

彼はその夜起きて、ふたりの妻とふたりのつかえめと十一人の子どもとを連れてヤボクの渡しをわたった。

23

לוֹ׃	אֲשֶׁר־	אֶת־	וַיַּעֲבֵר	הַנָּחַל	אֶת־	וַיַּעֲבִרֵם	וַיִּקָּחֵם	
持ち物を	すべて-彼の	～も	そして-渡らせた	流れを	～を	そして-渡らせた	そして-連れて	
		H0853			H0853		H3947	

すなわち彼らを導いて川を渡らせ、また彼の持ち物を渡らせた。

24 וַיִּוָּתֵר יַעֲקֹב לְבַדּוֹ וַיֵּאָבֵק אִישׁ עִמּוֹ עַד עֲלוֹת הַשָּׁחַר׃
そして-残った ヤコブは ひとりで そして-格闘した ある-人が 彼と ～まで 上る-まで 夜明けの
H3498 H3290 H0905 H0079 H0376 H0376 H5704 H5927 H7837

ヤコブはひとりあとに残ったが、ひとりの人が、夜明けまで彼と組打ちした。

25 וַיַּרְא כִּי לֹא יָכֹל לוֹ וַיִּגַּע בְּכַף־יְרֵכוֹ וַתֵּקַע כַּף־יֶרֶךְ יַעֲקֹב בְּהֵאָבְקוֹ עִמּוֹ׃
そして-見た ～と 勝てない-と できなかった 彼に そして-触れた 彼の ももの つがいに はずれた ヤコブの ももの つがいが 格闘した-とき 彼と
H7200 H3588 H3808 H3201 H0000 H5060 H3409 H3709 H3363 H3290 H3409 H3709 H0079 H0000

ところでその人はヤコブに勝てないのを見て、ヤコブのももものつがいにさわったので、ヤコブのももものつがいが、その人と組打ちするあいだにはずれた。

26 וַיֹּאמֶר שַׁלְּחֵנִי כִּי עָלָה הַשָּׁחַר וַיֹּאמֶר לֹא אֲשַׁלֵּחֲךָ כִּי אִם־בֵּרַכְתָּנִי׃
そして-言った 去らせてくれ なぜなら 上った 夜明けが しかし-言った いいえ 去らせません ～でなければ ～なければ 祝福して-くださるまで
H0559 H7971 H3588 H5927 H7837 H0559 H3808 H7971 H0518 H3588 祝福して-くださるまで

その人は言った、「夜が明けるからわたしを去らせてください」。ヤコブは答えた、「わたしを祝福してくださらないなら、あなたを去らせません」。

27 וַיֹּאמֶר אֵלָיו מַה־שְּׁמֶךָ וַיֹּאמֶר יַעֲקֹב׃
そして-言った 彼に 何と-いう あなたの-名は そして-答えた ヤコブです
H0559 H0413 H4100 H8034 H0559 H3290

その人は彼に言った、「あなたの名はなんと言いますか」。彼は答えた、「ヤコブです」。

28 וַיֹּאמֶר לֹא יַעֲקֹב עוֹד יֵאָמֵר שִׁמְךָ כִּי אִם־שָׂרִיתָ עִם־אֱלֹהִים וְעִם־אֲנָשִׁים וַתּוּכָל׃
そして-言った もう ヤコブとは もはや 呼ばれない あなたの-名は ～だ そうではなく 戦った ～と 神と そして～と 人々と そして-勝った
H0559 H3808 H3290 H5750 H0559 H8034 H0518 H8280 H0854 H0430 H0854 H0376 H3201

その人は言った、「あなたはもはや名をヤコブと言わず、イスラエルと言いなさい。あなたが神と人とに、力を争って勝ったからです」。

29 וַיֹּאמֶר שָׁאָה נָּא הַגִּידָה־נָּא שְׁמֶךָ וַיֹּאמֶר לָמָּה זֶּה תִשְׁאַל לִשְׁמִי וַיְבָרֶךְ אֹתוֹ שָׁם׃
しかし-言った あなたの-名を どうか 教えて-ください そして-言った ヤコブは そして-尋ねた なぜ これを 尋ねるのか わが-名を 祝福した 彼を そこで
H0559 H8034 H4994 H5046 H0559 H3290 H7592 H4100 H2088 H7592 H8034 H1288 H0853 H8033

ヤコブは尋ねて言った、「どうかわたしにあなたの名を知らせてください」。するとその人は、「なぜあなたはわたしの名をきくのですか」と言ったが、その所で彼を祝福した。

30 וַיִּקְרָא יַעֲקֹב שֵׁם הַמָּקוֹם פְּנִיאֵל כִּי־ רָאִיתִי אֱלֹהִים פָּנִים
そして–名づけた ヤコブは 名を その–場所の ペヌエルと なぜなら 見た 神を 顔と
H7121 H3290 H8034 H4725 H6439 H0430 H6440

אֶל־ פָּנִים וַתִּנָּצֵל נַפְשִׁי׃
〜と 顔を–合わせて 救われた わが–命は
H0413 H6440 H5337 H5315

そこでヤコブはその所の名をペニエルと名づけて言った、「わたしは顔と顔をあわせて神を見たが、なお生きている」。

31 וְזָרַח־ לוֹ הַשֶּׁמֶשׁ כַּאֲשֶׁר עָבַר אֶת־ פְּנוּאֵל וְהוּא צֹלֵעַ עַל־ יְרֵכוֹ׃
そして–昇った 彼に 太陽が 〜した–とき 通り過ぎた 〜を ペヌエルを そして–彼は 足を–引きずっていた 〜の ももの–ゆえに
H2224 H3478 H3588 H5674 H853 H6439 H1931 H6760 H5921 H3409

こうして彼がペニエルを過ぎる時、日は彼の上にのぼったが、彼はそのももものゆえにびっこを引いていた。

32 עַל־ כֵּן לֹא־ יֹאכְלוּ בְנֵי־ יִשְׂרָאֵל אֶת־ גִּיד הַנָּשֶׁה אֲשֶׁר עַל־ כַּף יֶרֶךְ יַעֲקֹב בְּכַף־ הַגִּיד נָגַע כִּי הַזֶּה הַיּוֹם עַד־ הַנָּשֶׁה׃
〜の ももつがいの 筋を 〜を イスラエルの 子らは 食べない 食べない ために その ヤコブの もも くぼみに 触れた なぜなら この 日 〜まで ももつがいの 筋を
H5921 H5303 H1517 H853 H3478 H1121 H398 H3808 H3588 H5921 H3290 H3409 H3709 H5060 H3588 H2088 H3117 H5704 H5303 H1517

そのため、イスラエルの子らは今日まで、もものつがいの上にある腰の筋を食べない。かの人がヤコブのももものつがい、すなわち腰の筋にさわったからである。

Chapter 33

1 וַיִּשָּׂא יַעֲקֹב עֵינָיו וַיַּרְא וְהִנֵּה עֵשָׂו בָּא וְעִמּוֹ
そして–上げた ヤコブは 目を そして–見た すると–見よ エサウが 来ていた そして–彼と–ともに
H5375 H3290 H5869 H7200 H2009 H6215 H0935 H5973

מֵאָה אִישׁ וַיַּחַץ אֶת־ הַיְלָדִים עַל־ לֵאָה וְעַל־ רָחֵל וְעַל שְׁתֵּי הַשְּׁפָחוֹת׃
百人の 人が そして–分けた 〜を 子どもたちを 〜に レアと そして〜に ラケルと 二人の 女–しもべたちに
H3967 H0376 H2673 H853 H3206 H5921 H3812 H5921 H7354 H8147 H8198

さてヤコブは目をあげ、エサウが四百人を率いて来るのを見た。そこで彼は子供たちを分けてレアとラケルとふたりのつかえめとにわたし、

2 וַיָּשֶׂם אֶת־ הַשְּׁפָחוֹת וְאֶת־ יְלָדֵיהֶן רִאשֹׁנָה וְלֵאָה וְיְלָדֶיהָ אַחֲרֹנִים וְרָחֵל וְאֶת־ יוֹסֵף אַחֲרֹנִים׃
そして–置いた 〜を 女–しもべたちと そして〜を その–子どもたちを 最初に そして〜を レアと そして–その–子どもたちを 次に そして〜を ラケルと そして〜を ヨセフを 最後に
H7760 H853 H8198 H5973 H3206 H7223 H5973 H3812 H3206 H314 H5973 H7354 H5973 H3130 H314

つかえめとその子供たちをまっ先に置き、レアとその子供たちを次に置き、ラケルとヨセフを最後に置いて、

3	וְהוּא	עָבַר	לִפְנֵיהֶם	וַיִּשְׁתָּחוּ	אַרְצָה	שֶׁבַע	פְּעָמִים	עַד־	גִּשְׁתּוֹ
	しかし–彼は	進んだ	彼らの–前を	そして–ひれ伏した	地に	七	回	～まで	近づく–まで
	H1931	H6440	H7812	H0776	H7651	H6471	H5704		H5066

עַד־	אָחִיו׃	
～に	兄に	
H5704	H0251	

みずから彼らの前に進み、七たび身を地にかがめて、兄に近づいた。

4	וַיָּרָץ	עֵשָׂו	לִקְרָאתוֹ	וַיְחַבְּקֵהוּ	וַיִּפֹּל	עַל־	
	すると–走った	エサウは	彼を–迎えに	そして–抱きしめた	そして–倒れかかった	～の–上に	
	H7323	H6215	H7125	H2263	H5307		

צַוָּארָו	וַיִּשָּׁקֵהוּ	וַיִּבְכּוּ׃	
彼の–首に	そして–口づけした	そして–泣いた	
		H1058	

するとエサウは走ってきて迎え、彼を抱き、そのくびをかかえて口づけし、共に泣いた。

5	וַיִּשָּׂא	עֵינָיו	וַיַּרְא	אֶת־	הַנָּשִׁים	וְאֶת־	הַיְלָדִים	
	そして–上げた	目を	そして–見た	～を	女たちと	そして～を	子どもたちを	
	H5375		H7200	H0853	H0802	H0853	H3206	

אֲשֶׁר־	הַיְלָדִים	וַיֹּאמֶר	לָךְ	אֵלֶּה	מִי־	וַיֹּאמֶר	
～の	子どもたちです	すると–言った	あなたにとって	これらは	だれか	そして–言った	
	H3206	H0559		H0428	H4310	H0559	

עַבְדֶּךָ׃	אֶת־	אֱלֹהִים	חָנַן
あなたの–しもべに	～に	神が	恵んで–くださった
H5650	H0853	H0430	

エサウは目をあげて女と子供たちを見て言った、「あなたと一緒にいるこれらの者はだれですか」。ヤコブは言った、「神がしもべに授けられた子供たちです」。

6	וַתִּשְׁתַּחֲוֶיןָ׃	וְיַלְדֵיהֶן	הֵנָּה	הַשְּׁפָחוֹת	וַתִּגַּשְׁן
	そして–ひれ伏した	そして–その–子どもたちが	彼女たちと	女–しもべたちが	そして–近づいた
	H7812	H3206	H2007	H8198	H5066

そこでつかえめたちはその子供たちと共に近寄ってお辞儀した。

7	וְאַחַר	וַתִּשְׁתַּחֲוּ	וְיַלְדֶיהָ	לֵאָה	גַּם־	וַתִּגַּשׁ
	そして–その–後に	そして–ひれ伏した	そして–その–子どもたちが	レアと	また	そして–近づいた
		H7812	H3206	H3812	H1571	H5066

וַיִּשְׁתַּחֲווּ׃	וְרָחֵל	יוֹסֵף	נִגַּשׁ
そして–ひれ伏した	そして–ラケルが	ヨセフと	近づいた
H7812	H7354	H3130	H5066

レアもまたその子供たちと共に近寄ってお辞儀し、それからヨセフとラケルが近寄ってお辞儀した。

8	פָּגָשְׁתִּי	אֲשֶׁר	הַזֶּה	הַמַּחֲנֶה	כָּל־	לָךְ	מִי	וַיֹּאמֶר
	出会った	～の	この	この–陣営は	すべての	あなたにとって	だれの–ものか	そして–言った
	H6298		H2088	H4264	H3605		H4310	H0559

אֲדֹנִי׃	בְּעֵינֵי	חֵן	לִמְצֹא־	וַיֹּאמֶר	
わが–主の	目に	恵みを	見出す–ために	すると–言った	
H0113		H2580	H4672	H0559	

するとエサウは言った、「わたしが出会ったあのすべての群れはどうしたのですか」。ヤコブは言った、「わが主の前に恵みを得るためです」。

לְךָ	יְהִי	אָחִי	רָב	לִי	יֵשׁ־	עֵשָׂו	וַיֹּאמֶר	9
あなたの–ものを	そのまま–持って–いなさい	弟よ	十分に	私には	ある	エサウは	すると–言った	
	H1961	H0251			H3426	H6215	H0559	

לָךְ׃	אֲשֶׁר־
あなたの	あなたに–あるものを

エサウは言った、「弟よ、わたしはじゅうぶんもっている。あなたの物はあなたのものにしなさい」。

בְּעֵינֶיךָ	חֵן	מָצָאתִי	נָא	אִם־	נָא	אַל־	יַעֲקֹב	וַיֹּאמֶר	10
あなたの–目に	恵みを	見出した–なら	どうか	もし	どうか	いいえ	ヤコブは	すると–言った	
	H2580	H4672	H4994		H4994	H0408	H3290	H0559	

רָאִיתִי	כֵּן	עַל־	כִּי	מִיָּדִי	מִנְחָתִי	וְלָקַחְתָּ
見ました	ゆえに	～の	なぜなら	わが–手から	わが–贈り物を	そして–受け取って–ください
H7200				H3027	H4503	H3947

וַתִּרְצֵנִי׃	אֱלֹהִים	פָּנַי	כִּרְאֹת	פָּנֶיךָ
そして–喜んで–くださいました	神の	顔を	見る–ように	あなたの–顔を
H7521	H0430	H6440	H7200	H6440

ヤコブは言った、「いいえ、もしわたしがあなたの前に恵みを得るなら、どうか、わたしの手から贈り物を受けてください。あなたが喜んでわたしを迎えてくださるので、あなたの顔を見て、神の顔を見るように思います。

כִּי־	לְךָ	הֻבָּאת	אֲשֶׁר	בִּרְכָתִי	אֶת־	נָא	קַח־	11
なぜなら	あなたに	届けられた	～の	わが–祝福を	～を	どうか	受け取って–ください	
		H0935		H1293	H0853	H4994	H3947	

בּוֹ	וַיִּפְצַר־	כֹּל	לִי־	יֵשׁ־	וְכִי	אֱלֹהִים	חַנַּנִי
彼に	そして–しきりに–勧めた	すべてが	私には	ある	そして–なぜなら	神が	恵んで–くださった
	H6484	H3605		H3426		H0430	

וַיִּקָּח׃
そして–受け取った
H3947

どうかわたしが持ってきた贈り物を受けてください。神がわたしを恵まれたので、わたしはじゅうぶんもっていますから」。こうして彼がしいたので、彼は受け取った。

לְנֶגְדֶּךָ׃	וְאֵלְכָה	וְנֵלֵכָה	נִסְעָה	וַיֹּאמֶר	12
あなたの–そばを	そして–行こう	そして–行こう	出発しよう	そして–言った	
H5048	H3212	H3212	H5265	H0559	

そしてエサウは言った、「さあ、立って行こう。わたしが先に行く」。

רַכִּים	הַיְלָדִים	כִּי־	יֹדֵעַ	אֲדֹנִי	אֵלָיו	וַיֹּאמֶר	13
弱い–ことを	子どもたちが	～と	知っている	わが–主は	彼に	しかし–言った	
H7390	H3206		H3045	H0113	H0413	H0559	

אֶחָד	יוֹם	וּדְפָקוּם	עָלַי	עָלוֹת	וְהַבָּקָר	וְהַצֹּאן	
日	一	そして–追い立てたら	私の–もとで	乳を–出す	そして–牛の–群れが	そして–羊の–群れと	
H0259	H3117	H1849		H5763	H1241	H6629	

הַצֹּאן׃	כָּל־	וָמֵתוּ
羊の–群れが	すべての	そして–死ぬ–でしょう
H6629	H3605	H4191

ヤコブは彼に言った、「ごぞんじのように、子供たちは、かよわく、また乳を飲ませている羊や牛をわたしが世話をしています。もし一日でも歩かせ過ぎたら群れはみな死んでしまいます。

14 יַעֲבָר־ נָ֣א אֲדֹנִ֔י לִפְנֵ֖י עַבְדּ֑וֹ וְאָנִ֗י אֶתְנַהֲלָה֙
どうか–進んで–ください / どうか / わが–主は / 前を / しもべの / そして–私は / ゆっくり–進みましょう
H4994 H0113 H6440 H5650 H0589 H5095

לְאִטִּ֔י לְרֶ֖גֶל הַמְּלָאכָ֑ה אֲשֶׁר־ לְפָנַ֣י וּלְרֶ֔גֶל הַיְלָדִ֖ים
歩みに–合わせて / 歩みに–合わせて / 家畜の / ～の / 私の–前の / そして–歩みに–合わせて / 子どもたちの
H0113 H6272 H4399 H6440 H7272 H3206

שֵׂעִֽירָה׃ אֲדֹנִ֖י אֶל־ אָבֹ֥א עַד־ אֲשֶׁ֛ר
セイルへ / わが–主の–もとへ / ～へ / 着く–まで / ～する / ～まで
H0113 H0413 H0935 H5704

わが主よ、どうか、しもべの先においでください。わたしはわたしの前にいる家畜と子供たちの歩みに合わせて、ゆっくり歩いて行き、セイルでわが主と一緒になりましょう」。

15 וַיֹּ֣אמֶר עֵשָׂ֗ו אַצִּ֨ינָה־ נָּ֜א עִמְּךָ֗ מִן־ הָעָם֙ אֲשֶׁ֣ר
エサウは / すると–言った / どうか / 残して–おこう / あなたと–ともに / ～から / 民を / ～の
H6215 H0559 H4994 H3322

אֲדֹנִ֑י בְּעֵינֵ֣י חֵ֔ן אֶמְצָא־ זֶּ֖ה לָמָּ֥ה וַיֹּ֛אמֶר אִתִּ֖י
わが–主の / 目に / 恵みを / 見出せれば / そんなことを / なぜ / しかし–言った / 私と–いる
H0113 H2580 H4672 H2088 H4100 H0559 H0854

エサウは言った、「それならわたしが連れている者どものうち幾人かをあなたのもとに残しましょう」。ヤコブは言った、「いいえ、それには及びません。わが主の前に恵みを得させてください」。

16 וַיָּ֥שָׁב עֵשָׂ֛ו בַּיּ֥וֹם הַה֖וּא לְדַרְכּ֑וֹ שֵׂעִֽירָה׃
そして–戻った / その–日 / エサウは / 自分の–道を / セイルへ
H7725 H3117 H1931 H6215 H1870

その日エサウはセイルへの帰途についた。

17 וְיַעֲקֹ֣ב נָסַ֣ע לְבֵית֮ וַיִּבֶן־ לּוֹ֒ סֻכֹּ֣תָה וּלְמִקְנֵ֣הוּ
そして–ヤコブは / 旅立った / スコトへ / そして–建てた / 自分の–ために / 家を / そして–家畜の–ために
H3290 H5265 H5523 H1129 H4735

ס שֵׁ֣ם־ קָרָ֗א כֵּן֙ עַל־ סֻכֹּ֔ת עָשָׂ֖ה סֻכֹּ֑ת׃ הַמָּקֹ֖ום
— / 名を / 名づけた / ために / その / 小屋を / 造った / スコトと / その–場所の
H8034 H7121 H5521 H6213 H5523 H4725

ヤコブは立ってスコテに行き、自分のために家を建て、また家畜のために小屋を造った。これによってその所の名はスコテと呼ばれている。

18 וַיָּבֹא֩ יַעֲקֹ֨ב שָׁלֵ֜ם עִ֣יר שְׁכֶ֗ם אֲשֶׁ֤ר בְּאֶֽרֶץ־ כְּנַ֔עַן בְּבֹאֹ֖ו
そして–来た / ヤコブは / 無事に / 町 / シェケムの / ～の / 地に–ある / カナンの / 帰って–きた–とき
H0935 H3290 H8003 H5892 H7927 H0776 H3667 H0935

מִפַּדַּ֣ן אֲרָ֑ם וַיִּחַן֙ אֶת־ פְּנֵ֣י הָעִֽיר׃
パダン・アラムから / そして–宿営した / ～の / 前に / 町の
H6307 H2583 H0854 H6440

こうしてヤコブはパダンアラムからきて、無事カナンの地のシケムの町に着き、町の前に宿営した。

19 וַיִּקֶן֙ אֶת־ חֶלְקַ֣ת הַשָּׂדֶ֔ה אֲשֶׁ֥ר נָטָ֛ה שָׁ֖ם אָהֳלֹ֑ו מִיַּד֙ בְּנֵי־
そして–買った / ～を / 一区画を / 畑の / ～の / 張った / そこに / 天幕を / 手から / 子らの
H7069 H0853 H7704 H7033 H0834 H5186 H8033 H0168 H3027 H1121

חֲמֹ֥ור אֲבִי־ שְׁכֶ֖ם בְּמֵאָ֥ה קְשִׂיטָֽה׃
ハモルの / 父の / シェケムの / 百の / ケシタで
H2544 H0001 H7927 H3967 H7192

彼は天幕を張った野の一部をシケムの父ハモルの子らの手から百ケシタで買い取り、

ס —	יִשְׂרָאֵֽל׃ イスラエルの H3478	אֱלֹהֵי 神よ H0430	אֵל エル H0410	לוֹ それを H0410	וַיִּקְרָא־ そして-名づけた H7121	מִזְבֵּחַ 祭壇を H4196	שָׁם そこに H8033	וַיַּצֶּב־ そして-立てた H5324	20

そこに祭壇を建てて、これをエル・エロヘ・イスラエルと名づけた。

Chapter 34

בִּבְנ֥וֹת 娘たちの-中へ H1323	לִרְא֖וֹת 見る-ために H7200	לְיַעֲקֹ֑ב ヤコブに H3290	יָלְדָ֣ה 産んだ H3205	אֲשֶׁ֥ר 〜の H3812	לְאָ֛ה レアの H1323	בַּת־ 娘は H1783	דִּינָ֖ה ディナは H3318	וַתֵּצֵ֥א そして-出かけた	1

הָאָֽרֶץ׃ その-地の H0776

レアがヤコブに産んだ娘デナはその地の女たちに会おうと出かけて行ったが、

הָאָ֔רֶץ その-地の H0776	נְשִׂיא 首長の H5387	הַחִוִּ֖י ヒビびとの H2340	חֲמ֣וֹר ハモルの H2544	בֶּן־ 息子は H1121	שְׁכֶ֑ם シェケムは H7927	אֹתָ֖הּ 彼女を H0853	וַיַּ֥רְא そして-見た H7200		2

וַיְעַנֶּֽהָ׃ そして-辱めた	אֹתָ֛הּ 彼女と H0853	וַיִּשְׁכַּ֥ב そして-寝た H7901	אֹתָ֖הּ 彼女を H0853	וַיִּקָּֽח そして-連れ去った H3947

その地のつかさ、ヒビびとハモルの子シケムが彼女を見て、引き入れ、これと寝てはずかしめた。

הַנַּעֲרָ֑	אֶת־ 〜を H0853	וַיֶּאֱהַ֣ב そして-愛した H0157	יַעֲקֹ֔ב ヤコブの H3290	בַּת־ 娘 H1323	בְּדִינָ֖ה ディナに H1783	נַפְשׁ֥וֹ 彼の-魂は H5315	וַתִּדְבַּ֖ק そして-結びついた H1692		3

הַנַּעֲרָֽ׃ その-娘の H5291	לֵ֥ב 心に	עַל־ 〜に	וַיְדַבֵּ֖ר そして-語った H1696	

彼は深くヤコブの娘デナを慕い、この娘を愛して、ねんごろに娘に語った。

הַיַּלְדָּ֣ה この-娘を H3207	אֶת־ 〜を H0853	לִ֔י 私に	קַח־ 娶って-くれ H3947	לֵאמֹ֖ר 言って H0559	אֲבִ֑יו 父に H0001	חֲמ֣וֹר ハモル H2544	אֶל־ 〜に H0413	שְׁכֶ֔ם シェケムは H7927	וַיֹּאמֶ֥ר そして-言った H0559	4

לְאִשָּׁ֖ה׃ 妻に H0802	הַזֹּ֥את この H2063

シケムは父ハモルに言った、「この娘をわたしの妻にめとってください」。

הָיָ֑ו	וּבָנָ֣יו しかし-息子たちは	בִּתּ֔וֹ 彼の-娘を H1323	דִּינָ֖ה ディナを H1783	אֶת־ 〜を H0853	טִמֵּ֣א 汚した-と	כִּ֣י 〜と	שָׁמַ֔ע 聞いた H8085	וְיַעֲקֹ֖ב そして-ヤコブは H3290		5

בֹּֽאָם׃ 彼らが-帰る-まで H0935	עַד־ 〜まで H5704	יַעֲקֹ֖ב ヤコブは H3290	וְהֶחֱרֵ֥שׁ そして-黙っていた	בַּשָּׂדֶ֛ה 野に	מִקְנֵ֥הוּ 家畜と H4735	אֶת־ 〜と-ともに H0854	

さてヤコブはシケムが、娘デナを汚したことを聞いたけれども、その子らが家畜を連れて野にいたので、彼らの帰るまで黙っていた。

6 וַיֵּצֵא חֲמוֹר אֲבִי־שְׁכֶם אֶל־יַעֲקֹב לְדַבֵּר אִתּוֹ׃
そして-出かけた ハモルは 父の シェケムの ～の-もとへ ヤコブの 話す-ために 彼と
H3318 H2544 H0001 H7927 H0413 H3290 H1696 H0854

シケムの父ハモルはヤコブと話し合おうと、ヤコブの所に出てきた。

7 וּבְנֵי יַעֲקֹב בָּאוּ מִן־הַשָּׂדֶה כְּשָׁמְעָם וַיִּתְעַצְּבוּ הָאֲנָשִׁים
そして-息子たちは ヤコブの 帰って-きた ～から 野から 聞いて そして-悲しんだ 人々は
H0935 H3290 H0935 H4480 H7704 H8085 H3512 H0376

וַיִּחַר לָהֶם מְאֹד כִּי־נְבָלָה עָשָׂה בְיִשְׂרָאֵל לִשְׁכַּב אֶת־בַּת־יַעֲקֹב וְכֵן לֹא יֵעָשֶׂה׃
そして-怒った 彼らは 非常に なぜなら 恋恥な-ことを 行った に対して-イスラエル 寝て ～と ヤコブの 娘と そして-そのようなことは しては-ならない なされるべきでは
H2734 H3966 H3588 H5039 H6213 H3478 H7901 H0854 H3290 H1323 H3651 H3808 H6213

ヤコブの子らは野から帰り、この事を聞いて、悲しみ、かつ非常に怒った。シケムがヤコブの娘と寝て、イスラエルに愚かなことをしたためで、こんなことは、してはならぬ事だからである。

8 וַיְדַבֵּר חֲמוֹר אִתָּם לֵאמֹר שְׁכֶם בְּנִי חָשְׁקָה נַפְשׁוֹ בְּבִתְּכֶם תְּנוּ נָא אֹתָהּ לוֹ לְאִשָּׁה׃
そして-話した ハモルは 彼らに 言って シェケムは わが-息子は 望んで-いる 彼の-魂が 娘を-あなたがたの 与えて-ください どうか 彼女を 彼に 妻に
H1696 H2544 H0854 H0559 H7927 H1323 H5414 H4994 H0853 H0802

9 וְאֶת־בְּנֹתֵיכֶם תִּתְּנוּ־לָנוּ וְאֶת־בְּנֹתֵינוּ תִּקְּחוּ לָכֶם׃
そして～を 娘たちを あなたがたの 与えて-ください 私たちに そして～を 娘たちを 私たちの 娶って-ください あなたがたの-ために
H0853 H1323 H5414 H0853 H1323 H3947

ハモルは彼らと語って言った、「わたしの子シケムはあなたがたの娘を心に慕っています。どうか彼女を彼の妻にください。

あなたがたはわたしたちと婚姻し、あなたがたの娘をわたしたちに与え、わたしたちの娘をあなたがたにめとってください。

10 וְאִתָּנוּ תֵּשְׁבוּ וְהָאָרֶץ תִּהְיֶה לִפְנֵיכֶם שְׁבוּ וְסִחֲרוּהָ וְהֵאָחֲזוּ בָהּ׃
そして-私たちと-ともに 住んで-ください そして-その-地は あるでしょう あなたがたの-前に 住みなさい そして-商いしなさい そして-所有しなさい そこを
H0854 H3427 H0776 H1961 H6440 H3427 H5503 H0270

こうしてあなたがたとわたしたちとは一緒に住みましょう。地はあなたがたの前にあります。ここに住んで取引し、ここで財産を獲なさい」。

11

אֶמְצָא־	אַחֶיהָ	וְאֶל־	אָבִיהָ	אֶל־	שְׁכֶם	וַיֹּאמֶר
見出せる–ように	彼女の–兄たちに	そして〜に	彼女の–父に	〜に	シェケムは	そして–言った
H4672	H0251	H0413	H0001	H0413	H7927	H0559

אֶתֵּן׃	אֵלַי	תֹּאמְרוּ	וַאֲשֶׁר	בְּעֵינֵיכֶם	חֵן
与えよう	私に	言う–ものを	そして〜を	あなたがたの–目に	恵みを
H5414	H0413	H0559			H2580

シケムはまたデナの父と兄弟たちとに言った、「あなたがたの前に恵みを得させてください。あなたがたがわたしに言われるものは、なんでもさしあげましょう。

12

כַּאֲשֶׁר	וְאֶתְּנָה	וּמַתָּן	מָהַר	מְאֹד	עָלַי	הַרְבּוּ
〜の–通りに	そして–与えよう	そして–贈り物を	花嫁の–代金と	非常に	私に	増やして–ください
	H5414	H4976	H4119	H3966		

לְאִשָּׁה׃	הַנַּעֲרָ	אֶת־	לִי	וּתְנוּ־	אֵלָי	תֹּאמְרוּ
妻に	その–娘を	〜を	私に	そして–与えて–ください	私に	言う
H0802	H5291	H0853		H5414	H0413	H0559

たくさんの結納金と贈り物とをお求めになっても、あなたがたの言われるとおりさしあげます。ただこの娘はわたしの妻にください」。

13

בְּמִרְמָה	אֲבִיו	חֲמוֹר	וְאֶת־	שְׁכֶם	אֶת־	יַעֲקֹב	בְּנֵי־	וַיַּעֲנוּ
欺いて	彼の–父に	ハモルに	そして〜に	シェケムに	〜に	ヤコブの	息子たちは	そして–答えた
H4820	H0001	H2544	H0853	H7927	H0853	H3290		

אֲחֹתָם׃	דִּינָה	אֶת	טִמֵּא	אֲשֶׁר	וַיְדַבְּרוּ
妹を	ディナを	〜を	汚した	〜の	そして–話した
H0269	H1783	H0853			H1696

しかし、ヤコブの子らはシケムが彼らの妹デナを汚したので、シケムとその父ハモルに偽って答え、

14

אֶת־	לָתֵת	הַזֶּה	הַדָּבָר	לַעֲשׂוֹת	נוּכַל	לֹא	אֲלֵיהֶם	וַיֹּאמְרוּ
〜を	与える–ことは	この	ことを	する–ことが	できない	できない	彼らに	そして–言った
H0853	H5414	H2088	H1697		H3201	H3808	H0413	H0559

לָנוּ׃	הִוא	חֶרְפָּה	כִּי־	עָרְלָה	לוֹ	אֲשֶׁר־	לְאִישׁ	אֲחֹתֵנוּ
私たちにとって	それは	恥辱です	なぜなら	割礼が–ある	彼に	〜の	人に	私たちの–妹を
	H1931	H2781		H6190			H0376	H0269

彼らに言った、「われわれは割礼を受けない者に妹をやる事はできません。それはわれわれの恥とするところですから。

15

כָּמֹנוּ	תִּהְיוּ	אִם	לָכֶם	נֵאוֹת	בְּזֹאת	אַךְ־	
私たちの–ように	なるなら	もし	あなたがたに	同意しよう	これに–より	ただ	
H3644	H1961			H0225	H2063	H0389	

זָכָר׃	כָּל־	לָכֶם	לְהִמּוֹל
男が	すべての	あなたがたの	割礼を–受ける–なら
H2145	H3605		

ただ、こうなさればわれわれはあなたがたに同意します。もしあなたがたのうち男子がみな割礼を受けて、われわれのようになるなら、

16

נִקַּח־	בְּנֹתֵיכֶם	וְאֶת־	לָכֶם	בְּנֹתֵינוּ	אֶת־	וְנָתַנּוּ	
娶りましょう	あなたがたの–娘を	そして〜を	あなたがたに	私たちの–娘を	〜を	そして–与えよう	
H3947	H1323	H0853		H1323	H0853	H5414	

אֶחָד׃	לְעַם	וְהָיִינוּ	אִתְּכֶם	וְיָשַׁבְנוּ	לָנוּ
一つの	一つの–民に	そして–なりましょう	あなたがたと–ともに	そして–住みましょう	私たちの–ために
H0259		H1961	H0854	H3427	

われわれの娘をあなたがたに与え、あなたがたの娘をわれわれにめとりましょう。そしてわれわれはあなたがたと一緒に住んで一つの民となりましょう。

17

וְאִם־ (しかし-もし) H0408
לֹא (聞かないなら) H3808
תִשְׁמְעוּ (聞かないなら) H8085
אֵלֵינוּ (私たちに) H0413
לְהִמּוֹל (割礼を-受ける-ことを)
וְלָקַחְנוּ (そして-連れて-行こう) H3947

וְהָלָכְנוּ׃ (そして-去ろう) H1980
בִתֵּנוּ (私たちの-娘を) H1323
אֶת־ (～を) H0853

けれども、もしあなたがたがわれわれに聞かず、割礼を受けないなら、われわれは娘を連れて行きます」。

18

וַיִּיטְבוּ (そして-良かった) H3190
דִבְרֵיהֶם (彼らの-言葉は) H1697
בְּעֵינֵי (目に)
חֲמוֹר (ハモルの) H2544
וּבְעֵינֵי (そして-目に)
שְׁכֶם (シェケムの) H7927
בֶּן־ (息子の)
חֲמוֹר׃ (ハモルの) H2544

彼らの言葉がハモルとハモルの子シケムとの心にかなったので、

19

וְלֹא־ (そして-遅れなかった) H3808
אֵחַר (遅れなかった) H0309
הַנַּעַר (若者は) H5288
לַעֲשׂוֹת (行う-ことを)
הַדָּבָר (その-ことを) H1697
כִּי (なぜなら)
חָפֵץ (望んで-いた)

בְּבַת־ (娘を) H1323
יַעֲקֹב (ヤコブの) H3290
וְהוּא (そして-彼は) H1931
נִכְבָּד (尊ばれて-いた) H3513
מִכֹּל (すべての-中で) H3605
בֵּית (家の)
אָבִיו׃ (父の) H0001

若者は、ためらわずにこの事をした。彼がヤコブの娘を愛したからである。また彼は父の家のうちで一番重んじられた者であった。

20

וַיָּבֹא (そして-来た) H0935
חֲמוֹר (ハモルと) H2544
וְשְׁכֶם (そして-シェケムは)
בְּנוֹ (彼の-息子は)
אֶל־ (～へ) H0413
שַׁעַר (門へ) H8179
עִירָם (町の)
וַיְדַבְּרוּ (そして-話した) H1696
אֶל־ (～に) H0413

לֵאמֹר׃ (言って) H0559
עִירָם (町の)
אַנְשֵׁי (人々に) H0376

そこでハモルとその子シケムとは町の門に行き、町の人々に語って言った、

21

הָאֲנָשִׁים (人々は) H0376
הָאֵלֶּה (これらの) H0428
שְׁלֵמִים (平和な) H8003
הֵם (彼らは) H1992
אִתָּנוּ (私たちと) H0854
וְיֵשְׁבוּ (そして-住ませよう)
בָּאָרֶץ (地に) H0776
וְיִסְחֲרוּ (そして-商わせよう) H5503

נִקַּח־ (娶りましょう) H3947
לָנוּ (私たちの-ために)
לְנָשִׁים (妻に) H0802
וְאֶת־ (そして～を) H0853
בְּנֹתֵינוּ (私たちの-娘を) H1323
נִתֶּן (与えましょう) H5414
לָהֶם׃ (彼らに)

אֹתָהּ (そこで) H0853
וְהָאָרֶץ (そして-地は) H0776
הִנֵּה (見よ) H2009
רַחֲבַת־ (広い) H7342
יָדַיִם (十分に) H3027
לִפְנֵיהֶם (彼らの-前に) H6440
אֶת־ (～を) H0853
בְּנֹתָם (彼らの-娘を) H1323
נִקַּח־ (娶りましょう) H3947

「この人々はわれわれと親しいから、この地に住まわせて、ここで取引をさせよう。地は広く、彼らをいれるにじゅうぶんである。そしてわれわれは彼らの娘を妻にめとり、われわれの娘を彼らに与えよう。

22

לִֽהְיוֹת אִתָּנוּ לָשֶׁבֶת הָאֲנָשִׁים לָנוּ יֵאֹתוּ בְּזֹאת אַךְ־
なる-ために 私たちと 住む-のに 人々は 私たちに 同意するのです これに-より ただ
H1961 H0854 H3427 H0376 H0854 H0225 H2063 H0389

הֵם כַּאֲשֶׁר זָכָר כָּל־ לָנוּ בְּהִמּוֹל לְעַם אֶחָד
彼らが ～の-ように 男が すべての 私たちの 割礼を-受ける-とき 一つの 一つの-民に
H1992 H2145 H3605 H0259

נִמֹּלִֽים׃
割礼を-受けて-いる

彼らが割礼を受けているように、もしわれわれのうちの男子が皆、割礼を受けるなら、ただこの事だけで、この人々はわれわれに同意し、われわれと一緒に住んで一つの民となるのだ。

23

הֵם לָנוּ הֲלוֹא בְּהֶמְתָּם וְכָל־ וְקִנְיָנָם מִקְנֵהֶם
なる 私たちの-ものに ～ではないか 動物は そして-すべての そして-財産と 彼らの-家畜と
H1992 H3808 H0929 H3605 H7075 H4735

אַךְ נֵאוֹתָה לָהֶם וְיֵשְׁבוּ אִתָּנוּ׃
ただ 同意しよう 彼らに そして-住ませよう 私たちと
H0389 H0225 H3427 H0854

そうすれば彼らの家畜と財産とすべての獣とは、われわれのものとなるではないか。ただわれわれが彼らに同意すれば、彼らはわれわれと一緒に住むであろう」。

24

יֹצְאֵי כָּל־ בְּנוֹ שְׁכֶם וְאֶל־ חֲמוֹר אֶל־ וַיִּשְׁמְעוּ
出入りする-者は すべての 彼の-息子の シェケムに そして～に ハモルに ～に そして-聞いた
H3318 H3605 H7927 H0413 H2544 H0413 H8085

עִירוֹ׃ שַׁעַר יֹצְאֵי כָּל־ זָכָר כָּל־ וַיִּמֹּלוּ עִירוֹ שַׁעַר
町の 門の 出入りする-者は すべての 男が すべての そして-割礼を-受けた 町の 門の
H8179 H3318 H3605 H2145 H3605 H8179

そこで町の門に出入りする者はみなハモルとその子シケムとに聞き従って、町の門に出入りするすべての男子は割礼を受けた。

25

שְׁנֵי־ וַיִּקְחוּ כֹּאֲבִים בִּהְיוֹתָם הַשְּׁלִישִׁי בַּיּוֹם וַיְהִי
二人の そして-取った 苦しんで 彼らが-痛んで-いた-とき 三番目の 三-日目に そして-あった
H8147 H3947 H3510 H1961 H7992 H3117 H1961

וַיָּבֹאוּ חַרְבּוֹ אִישׁ דִּינָה אֲחֵי וְלֵוִי שִׁמְעוֹן יַעֲקֹב בְּנֵי־
そして-来た 剣を 各々の ディナの 兄弟である そして-レビは シメオンと ヤコブの 息子の
H0935 H2719 H0376 H1783 H0251 H3878 H8095 H3290

זָכָר׃ כָּל־ וַיַּהַרְגוּ בָּטֵחַ הָעִיר עַל־
男を すべての そして-殺した 安心して 町に ～に
H2145 H3605 H2026 H0983

三日目になって彼らが痛みを覚えている時、ヤコブのふたりの子、すなわちデナの兄弟シメオンとレビとは、おのおのつるぎを取って、不意に町を襲い、男子をことごとく殺し、

26

חֶרֶב לְפִי־ הָרְגוּ בְּנוֹ שְׁכֶם וְאֶת־ חֲמוֹר וְאֶת־
剣の 剣の-刃で 殺した 彼の-息子を シェケムを そして～を ハモルと そして～を
H2719 H6310 H2026 H7927 H0853 H2544 H0853

וַיֵּצְאוּ׃ שְׁכֶם מִבֵּית דִּינָה אֶת־ וַיִּקְחוּ
そして-出て-行った シェケムの 家から ディナを ～を そして-連れ出した
H3318 H7927 H1783 H0853 H3947

またつるぎの刃にかけてハモルとその子シケムとを殺し、シケムの家からデナを連れ出した。

27 בְּנֵי יַעֲקֹב בָּאוּ עַל־ הַחַלָּלִים וַיָּבְזוּ הָעִיר אֲשֶׁר טִמְּאוּ
息子たちは ヤコブの 来た ～の–上に 殺された–者たちの そして–奪った 町を ～の 汚した
H0269 H0853 H2543 H0853 H1241 H0853 H6629 H0853 H2945 H3605 H0853 H2428 H3605 H0853 H0802 H0853 H7617 H0887 H0853 H5916 H3878 H0413 H8095 H0413 H3290 H0559 H4557 H4962 H0589 H6522 H0776 H3427 H0622 H5221 H8045 H0589 H0269 H0853 H2181 H0559

אֲחוֹתָם׃
妹を

そしてヤコブの子らは殺された人々をはぎ、町をかすめた。彼らが妹を汚したからである。

28 צֹאנָם וְאֶת־ בְּקָרָם וְאֶת־ חֲמֹרֵיהֶם וְאֶת־ כָּל־ וְאֵת אֲשֶׁר־ בָּעִיר
羊と ～を 牛と そして～を ろばを そして～を ～の 町に–ある–ものを
H6629 H0853 H1241 H0853 H2543 H0853 H0853 H0834 H5892

וְאֵת אֲשֶׁר בַּשָּׂדֶה לָקָחוּ׃
そして～を ～の 野に–ある–ものを 奪った

すなわち羊、牛、ろば及び町にあるものと、野にあるもの、

29 וְאֶת־ כָּל־ חֵילָם וְאֶת־ כָּל־ טַפָּם וְאֶת־ נְשֵׁיהֶם שָׁבוּ
そして～を すべての 富を そして～を すべての 幼子を そして～を 女たちを 捕らえた

וְאֵת אֲשֶׁר כָּל־ בַּבָּיִת׃
そして～を ～の すべての 家に–ある–ものを

並びにすべての貨財を奪い、その子女と妻たちを皆とりこにし、家の中にある物をことごとくかすめた。

30 וַיֹּאמֶר יַעֲקֹב אֶל־ שִׁמְעוֹן וְאֶל־ לֵוִי עֲכַרְתֶּם אֹתִי לְהַבְאִישֵׁנִי
そして–言った ヤコブは ～に シメオンと そして～に レビに 悩ませた 私を 臭く–させた

וַאֲנִי מְתֵי מִסְפָּר וְנֶאֶסְפוּ עָלַי וְהִכּוּנִי וְנִשְׁמַדְתִּי אֲנִי וּבֵיתִי׃
そして–私は 少数の 数の そして–ペリズびとの–中で カナンびとと その–地の 住む–者の–中で そして–集まり 私に–対して そして–打ち そして–滅ぼされるだろう 私と そして–わが–家が

そこでヤコブはシメオンとレビとに言った、「あなたがたはわたしをこの地の住民、カナンびととペリジびとに忌みきらわせ、わたしに迷惑をかけた。わたしは、人数が少ないから、彼らが集まってわたしを攻め撃つならば、わたしも家族も滅ぼされるであろう」。

31 וַיֹּאמְרוּ הַכְזוֹנָה יַעֲשֶׂה אֶת־ אֲחוֹתֵנוּ׃ פ
しかし–言った 遊女の–ように 扱うのか ～を 私たちの–妹を —

彼らは言った、「わたしたちの妹を遊女のように彼が扱ってよいのですか」。

Chapter 35

1

וְשֵׁב־ そして-住みなさい H3427
בֵּית־אֵל ベテルへ H1008
עֲלֵה 上りなさい H5927
קוּם 立ちなさい
יַעֲקֹב ヤコブに H3290
אֶל־ ～に H0413
אֱלֹהִים 神は H0430
וַיֹּאמֶר そして-言った H0559

מִפְּנֵי 前から H6440
בְּבָרְחֲךָ あなたが-逃げた-とき H1272
אֵלֶיךָ あなたに H0413
הַנִּרְאָה 現れた H7200
לְאֵל 神に H0410
מִזְבֵּחַ 祭壇を H4196
שָׁם そこに H8033
וַעֲשֵׂה־ そして-造りなさい
שָׁם そこに H8033

אָחִיךָ׃ あなたの-兄の H0251
עֵשָׂו エサウ H6215

ときに神はヤコブに言われた、「あなたは立ってベテルに上り、そこに住んで、あなたがさきに兄エサウの顔を避けてのがれる時、あなたに現れた神に祭壇を造りなさい」。

2

עִמּוֹ 彼と-いる-者に
אֲשֶׁר ～の
כָּל־ すべての H3605
וְאֶל そして～に H0413
בֵּיתוֹ 家の-者に
אֶל־ ～に H0413
יַעֲקֹב ヤコブは H3290
וַיֹּאמֶר そして-言った H0559

וְהָסִרוּ 取り除きなさい H5493
אֶת־ ～を H0853
אֱלֹהֵי 神々を H0430
הַנֵּכָר 異国の H5236
אֲשֶׁר ～の
בְּתוֹכְכֶם あなたがたの-中に-ある H8432
וְהִטַּהֲרוּ そして-清めなさい H2891

וְהַחֲלִיפוּ そして-着替えなさい H2498
שִׂמְלֹתֵיכֶם׃ 衣服を H8071

ヤコブは、その家族および共にいるすべての者に言った、「あなたがたのうちにある異なる神々を捨て、身を清めて着物を着替えなさい。

3

הָעֹנֶה 答えた-方に
לְאֵל 神に H0410
מִזְבֵּחַ 祭壇を H4196
שָׁם そこに H8033
וְאֶעֱשֶׂה־ そして-造ろう
בֵּית־אֵל ベテルへ H1008
וְנַעֲלֶה そして-上ろう H5927
וְנָקוּמָה そして-立ち上がろう

הָלַכְתִּי׃ 私が-歩んだ H1980
אֲשֶׁר ～の
בַּדֶּרֶךְ 道に-おいて H1870
עִמָּדִי 私と-ともに H5978
וַיְהִי そして-いた H1961
צָרָתִי 私の-苦難の
בְּיוֹם 日に H3117
אֹתִי 私に H0853

われわれは立ってベテルに上り、その所でわたしの苦難の日にわたしにこたえ、かつわたしの行く道で共におられた神に祭壇を造ろう」。

4

וְאֶת־ そして～を H0853
בְּיָדָם 手に-ある H3027
אֲשֶׁר ～の
הַנֵּכָר 異国の H5236
אֱלֹהֵי 神々を H0430
כָּל־ すべての H3605
אֶת ～を H0853
יַעֲקֹב ヤコブに H3290
אֶל־ ～に H0413
וַיִּתְּנוּ そして-渡した H5414

אֲשֶׁר ～の
הָאֵלָה テレビンの-木の H0424
תַּחַת 下に H8478
יַעֲקֹב ヤコブは H3290
אֹתָם それらを H0853
וַיִּטְמֹן そして-埋めた H2934
בְּאָזְנֵיהֶם 耳に-ある H0241
אֲשֶׁר ～の
הַנְּזָמִים 耳輪を H5141

שְׁכֶם׃ シェケムの H7927
עִם־ ～の-そばの

そこで彼らは持っている異なる神々と、耳につけている耳輪をことごとくヤコブに与えたので、ヤコブはこれをシケムのほとりにあるテレビンの木の下に埋めた。

5

וַיִּסָּעוּ
そして-旅立った
H5265

וַיְהִי
そして-あった
H1961

חִתַּת
恐れが
H2847

אֱלֹהִים
神の
H0430

עַל־
〜の-上に

הֶעָרִים
町々の

אֲשֶׁר
〜の

סְבִיבֹתֵיהֶם
周囲の
H5439

וְלֹא
そして-しなかった
H3808

רָדְפוּ
追いかけなかった
H7291

אַחֲרֵי
後を

בְּנֵי
子らの

יַעֲקֹב׃
ヤコブの
H3290

そして彼らは、いで立ったが、大いなる恐れが周囲の町々に起ったので、ヤコブの子らのあとを追う者はなかった。

6

וַיָּבֹא
そして-来た
H0935

יַעֲקֹב
ヤコブは
H3290

לוּזָה
ルズへ
H3870

אֲשֶׁר
〜の

בְּאֶרֶץ
地に-ある
H0776

כְּנַעַן
カナンの

הִוא
すなわち
H1931

הִוא
彼と
H1931

בֵּית־אֵל
ベテルである
H1008

וְכָל־
そして-すべての

הָעָם
民が

אֲשֶׁר־
〜の

עִמּוֹ׃
彼と-ともに

H3605

こうしてヤコブは共にいたすべての人々と一緒にカナンの地にあるルズ、すなわちベテルにきた。

7

וַיִּבֶן
そして-建てた
H1129

שָׁם
そこに
H8033

מִזְבֵּחַ
祭壇を
H4196

וַיִּקְרָא
そして-名づけた
H7121

לַמָּקוֹם
その-場所を
H4725

אֵל
エル
H0410

בֵּית־אֵל
ベテルと
H1008

כִּי
なぜなら

שָׁם
そこで
H8033

נִגְלוּ
現れた
H1540

אֵלָיו
彼に
H0413

הָאֱלֹהִים
神が
H0430

בְּבָרְחוֹ
彼が-逃げた-とき
H1272

מִפְּנֵי
前から
H6440

אָחִיו׃
兄の
H0251

彼はそこに祭壇を築き、その所をエル・ベテルと名づけた。彼が兄の顔を避けてのがれる時、神がそこで彼に現れたからである。

8

וַתָּמָת
そして-死んだ
H4191

דְּבֹרָה
デボラは
H1683

מֵינֶקֶת
乳母は
H3243

רִבְקָה
リベカの
H7259

וַתִּקָּבֵר
そして-葉られた
H6912

מִתַּחַת
下に
H8478

לְבֵית־אֵל
ベテルの
H1008

תַּחַת
下に
H8478

הָאַלּוֹן
樫の-木の
H0437

וַיִּקְרָא
そして-名づけた
H7121

שְׁמוֹ
その-名を
H8034

אַלּוֹן בָּכוּת׃
アロン・バカトと
H0439

פ
—

9

וַיֵּרָא
そして-現れた
H7200

אֱלֹהִים
神は
H0430

אֶל־
〜に
H0413

יַעֲקֹב
ヤコブに
H3290

עוֹד
再び
H5750

בְּבֹאוֹ
彼が-帰った-とき
H0935

מִפַּדַּן
パダン・アラムから
H6307

וַיְבָרֶךְ
そして-祝福した
H1288

אֹתוֹ׃
彼を
H0853

さてヤコブがパダンアラムから帰ってきた時、神は再び彼に現れて彼を祝福された。

10

וַיֹּאמֶר־
そして-言った
H0559

לוֹ
彼に

אֱלֹהִים
神は
H0430

שִׁמְךָ
あなたの-名は
H8034

יַעֲקֹב
ヤコブである
H3290

לֹא־
もはや-〜ではない
H3808

יִקָּרֵא
呼ばれない
H7121

כִּי
そうではなく

אִם־
〜だ

יִשְׂרָאֵל
イスラエルだ
H3478

יִהְיֶה
である
H1961

שִׁמְךָ
あなたの-名は
H8034

עוֹד
もはや
H5750

שִׁמְךָ
あなたの-名は
H8034

וַיִּקְרָא
そして-名づけた
H7121

אֶת־
〜を
H0853

שְׁמוֹ
彼の-名を
H8034

יִשְׂרָאֵל׃
イスラエルと
H3478

神は彼に言われた、「あなたの名はヤコブである。しかしあなたの名をもはやヤコブと呼んではならない。あなたの名をイスラエルとしなさい」。こうして彼をイスラエルと名づけられた。

11 וַיֹּאמֶר לוֹ אֱלֹהִים אֲנִי אֵל שַׁדַּי פְּרֵה וּרְבֵה גּוֹי

そして-言った 彼に 神は 私は エル シャダイである 実り-多くなれ そして-増えよ 国民と
H0559 H0430 H0589 H0410 H7706 H6509

וּמְלָכִים מִמֶּךָּ יֵצֵאוּ׃ יִהְיֶה גּוֹיִם וּקְהַל

そして-王たちが あなたから 出るだろう 国々の そして-国民の-集まりが
H4428 H1961 H6951

神はまた彼に言われた、「わたしは全能の神である。あなたは生めよ、またふえよ。一つの国民、また多くの国民があなたから出て、王たちがあなたの身から出るであろう。

12 וְאֶת־הָאָרֶץ אֲשֶׁר נָתַתִּי לְאַבְרָהָם וּלְיִצְחָק לְךָ אֶתְּנֶנָּה

そして〜を 地を 与えた 〜の アブラハムに そして-イサクに あなたに 与えよう
H0853 H0776 H5414 H0085 H3327 H5414

וּלְזַרְעֲךָ אַחֲרֶיךָ אֶתֵּן אֶת־הָאָרֶץ׃

そして-あなたの-子孫に あなたの-後の 与えよう 〜を 地を
H2233 H5414 H0853 H0776

わたしはアブラハムとイサクとに与えた地を、あなたに与えよう。またあなたの後の子孫にその地を与えよう」。

13 וַיַּעַל מֵעָלָיו אֱלֹהִים בַּמָּקוֹם אֲשֶׁר־דִּבֶּר אִתּוֹ׃

そして-上った 彼の-上から 神は 場所で 〜の 語った 彼と
H5927 H0430 H4725 H1696 H0854

神は彼と語っておられたその場所から彼を離れてのぼられた。

14 וַיַּצֵּב יַעֲקֹב מַצֵּבָה בַּמָּקוֹם אֲשֶׁר־דִּבֶּר אִתּוֹ אֶבֶן מַצֵּבֶת וַיַּסֵּךְ

そして-立てた ヤコブは 石の-柱を 場所に 〜の 語った 彼と 石の 柱を そして-注いだ
H5324 H3290 H4676 H4725 H1696 H0854 H0068 H4678

עָלֶיהָ שָׁמֶן׃ וַיִּצֹק עָלֶיהָ נֶסֶךְ

その-上に 油を そして-注いだ その-上に 注ぎを
H5262 H3332 H8081

そこでヤコブは神が自分と語られたその場所に、一本の石の柱を立て、その上に灌祭をささげ、また油を注いだ。

15 וַיִּקְרָא יַעֲקֹב אֶת־שֵׁם הַמָּקוֹם אֲשֶׁר דִּבֶּר אִתּוֹ שָׁם אֱלֹהִים

そして-名づけた ヤコブは 〜を 名を その-場所の 〜の 語った 彼と そこで 神が
H7121 H3290 H0853 H8034 H4725 H1696 H0854 H8033 H0430

בֵּית־אֵל׃

ベテルと
H1008

そしてヤコブは神が自分と語られたその場所をベテルと名づけた。

16 וַיִּסְעוּ מִבֵּית אֵל וַיְהִי־עוֹד כִּבְרַת־הָאָרֶץ לָבוֹא אֶפְרָתָה

そして-旅立った ベテルから そして-あった まだ 少しの-距離の 地へ 着く-まで エフラタに
H5265 H1008 H1961 H5750 H3530 H0776 H0935 H0672

וַתֵּלֶד רָחֵל וַתָּקָשׁ בְּלִדְתָּהּ׃

そして-産んだ ラケルは そして-難産だった 産みに-おいて
H3205 H7354 H7185 H3205

こうして彼らはベテルを立ったが、エフラタに行き着くまでに、なお隔たりのある所でラケルは産気づき、その産は重かった。

17 וַיְהִי בְּהַקְשֹׁתָהּ בְּלִדְתָּהּ וַתֹּאמֶר לָהּ הַמְיַלֶּדֶת אַל־תִּירְאִי
そして-あった 難産の-とき 産みに-おいて そして-言った 彼女に 産婆は 恐れるな 恐れるな
H1961 H7185 H3205 H0559 H0559 H3205 H0408 H3372

כִּי־גַם־זֶה לָךְ בֵּן׃
なぜなら また これも あなたに 息子だ
H1571 H2088

その難産に当って、産婆は彼女に言った、「心配することはありません。今度も男の子です」。

18 וַיְהִי בְּצֵאת נַפְשָׁהּ כִּי מֵתָה וַתִּקְרָא שְׁמוֹ
そして-あった 去る-とき 彼女の-魂が なぜなら 死んだ そして-名づけた 彼の-名を
H1961 H3318 H5315 H4191 H7121 H8034

בְּנֹנִי׃ וְאָבִיו לוֹ קָרָא־ בֶּן־אוֹנִי
ベニヤミンと 彼を 名づけた しかし-父は ベン・オニと
H1144 H7121 H0001 H1126

彼女は死にのぞみ、魂の去ろうとする時、子の名をベノニと呼んだ。しかし、父はこれをベニヤミンと名づけた。

19 וַתָּמָת וַתִּקָּבֵר בְּדֶרֶךְ אֶפְרָתָה הִוא בֵּית לָחֶם׃
そして-死んだ そして-葉られた 道に エフラタへの すなわち ベツレヘムである
H4191 H6912 H1870 H0672 H1931 H1035

רָחֵל
ラケルは
H7354

ラケルは死んでエフラタ、すなわちベツレヘムの道に葬られた。

20 וַיַּצֵּב יַעֲקֹב מַצֵּבָה עַל־ קִבְרָתָהּ הִוא מַצֶּבֶת קִבְרַת־
そして-立てた ヤコブは 石の-柱を ～の-上に 彼女の-墓の それは 石の-柱である 墓の
H5324 H3290 H4676 H6900 H1931 H4678 H6900

רָחֵל עַד־ הַיּוֹם׃
ラケルの ～まで 今日まで
H7354 H5704 H3117

ヤコブはその墓に柱を立てた。これはラケルの墓の柱であって、今日に至っている。

21 וַיִּסַּע יִשְׂרָאֵל וַיֵּט אָהֳלָה מֵהָלְאָה לְמִגְדַּל־עֵדֶר׃
そして-旅立った イスラエルは そして-張った 天幕を 向こうに ミグダル・エデルの
H5265 H3478 H5186 H0168 H1973 H4029

イスラエルはまた、いで立ってミグダル・エダルの向こうに天幕を張った。

22 וַיְהִי בְּשָׁכֹן יִשְׂרָאֵל בָּאָרֶץ הַהִוא וַיֵּלֶךְ רְאוּבֵן
そして-あった 住んで-いた-とき イスラエルが その-地に その ルベンは
H1961 H7931 H3478 H0776 H1931 H3212 H7205

וַיִּשְׁכַּב אֶת־ בִּלְהָה פִּילֶגֶשׁ אָבִיו וַיִּשְׁמַע יִשְׂרָאֵל וַיְהִיוּ פ
そして-寝た ～と ビルハと そばめ 父の そして-聞いた イスラエルは そして-いた
H7901 H0854 H1090 H6370 H0001 H8085 H3478 H1961

בְּנֵי יַעֲקֹב שְׁנֵים עָשָׂר׃
息子たちは ヤコブの 十二 人
H6240 H8147 H3290

イスラエルがその地に住んでいた時、ルベンは父のそばめビルハのところへ行って、これと寝た。イスラエルはこれを聞いた。さてヤコブの子らは十二人であった。

23 בְּנֵי לֵאָה
息子たちは レアの
H1060 H3812

רְאוּבֵן יַעֲקֹב בְּכֹר
ルベン ヤコブの 長子は
H7205 H3290 H1060

וְשִׁמְעוֹן
そして-シメオン
H8095

וְלֵוִי
そして-レビ
H3878

וִיהוּדָה
そして-ユダ
H3063

וְיִשָּׂשכָר
そして-イッサカル
H3485

וּזְבוּלֻן׃
そして-ゼブルン
H2074

すなわちレアの子らはヤコブの長子ルベンとシメオン、レビ、ユダ、イッサカル、ゼブルン。

24 בְּנֵי רָחֵל
息子たちは ラケルの
H7354

יוֹסֵף
ヨセフと
H3130

וּבִנְיָמִן׃
そして-ベニヤミン
H1144

ラケルの子らはヨセフとベニヤミン。

25 וּבְנֵי בִלְהָה
そして-息子たちは ビルハの
H8198

שִׁפְחַת רָחֵל
女-しもべの ラケルの
H7354

דָּן
ダンと
H1835

וְנַפְתָּלִי׃
そして-ナフタリ
H5321

ラケルのつかえめビルハの子らはダンとナフタリ。

26 וּבְנֵי זִלְפָּה
そして-息子たちは ジルパの
H2153

שִׁפְחַת לֵאָה
女-しもべの レアの
H8198

גָּד
ガドと
H1410

וְאָשֵׁר
そして-アシェル
H0836

אֵלֶּה
これらが
H0428

בְּנֵי יַעֲקֹב
息子たちである ヤコブの
H3290

אֲשֶׁר יֻלַּד־לוֹ
～の 生まれた 彼に
H3205

בְּפַדַּן אֲרָם׃
パダン・アラムで
H6307

レアのつかえめジルパの子らはガドとアセル。これらはヤコブの子らであって、パダンアラムで彼に生れた者である。

27 וַיָּבֹא יַעֲקֹב
そして-来た ヤコブは
H0935

H3290

אֶל־אָבִיו יִצְחָק
～の-もとへ 父の イサクの
H0413 H0001 H3327

מַמְרֵא
マムレへ
H4471

קִרְיַת הָאַרְבַּע הִוא
キリヤト・アルバへ すなわち
H7153 H1931

וַיִּצְחָק׃
そして-イサクが
H3327

אֲשֶׁר־גָּר שָׁם
～の 住んで-いた そこに
H8033

אַבְרָהָם
アブラハムと
H0085

חֶבְרוֹן
ヘブロンである

ヤコブはキリアテ・アルバ、すなわちヘブロンのマムレにいる父イサクのもとへ行った。ここはアブラハムとイサクとが寄留した所である。

28 וַיִּהְיוּ יְמֵי
日々は そして-いた
H3117 H1961

יִצְחָק
イサクの
H3327

מֵאַת שָׁנָה
百 年と
H3967 H8141

וּשְׁמֹנִים שָׁנָה׃
そして-八十 年
H8084 H8141

29 וַיִּגְוַע
そして-息絶えた
H1478

וַיָּמָת
そして-死んだ
H4191

וַיֵּאָסֶף
そして-加えられた
H0622

אֶל־עַמָּיו
～に 彼の-民に
H0413

זָקֵן
老いて
H2205

יִצְחָק
イサクは
H3327

וְיַעֲקֹב וְעֵשָׂו
そして-ヤコブが エサウと
H3290 H6215

בָּנָיו׃
息子たちが

פ
—

אֹתוֹ
彼を
H0853

וַיִּקְבְּרוּ
そして-葬った
H6912

וְיָמִים
日々に
H3117

וּשְׂבַע
そして-日に-満ちて
H7649

イサクは年老い、日満ちて息絶え、死んで、その民に加えられた。その子エサウとヤコブとは、これを葬った。

Chapter 36

1	וְאֵלֶּה	תֹּלְדוֹת	עֵשָׂו	הוּא	אֱדוֹם׃
	そして–これらは	系図である	エサウの	彼は	エドムである
	H0428	H8435	H6215	H1931	H0123

エサウ、すなわちエドムの系図は次のとおりである。

2	עֵשָׂו	לָקַח	אֶת־	נָשָׁיו	מִבְּנוֹת	כְּנָעַן	אֶת־	עָדָה	בַּת־
	エサウは	娶った	～を	妻たちを	娘たちの–中から	カナンの	～を	アダを	娘である
	H6215	H3947	H0853	H0802	H1323		H0853	H5711	H1323

אֵילוֹן	בַּת־	עָדָה	אֶת־	כְּנָעַן	מִבְּנוֹת	נָשָׂו	אֶת־	לָקַח	עֵשָׂו
エロンの	娘である	アダを	～を	カナンの	娘たちの–中から	妻たちを	～を	娶った	エサウは
H0356	H1323	H5711	H0853		H1323	H0802	H0853	H3947	H6215

הַחִוִּי׃	צִבְעוֹן	בַּת־	עֲנָה	בַּת־	אָהֳלִיבָמָה	וְאֶת־	הַחִתִּי	
ヒビびとの	ツィベオンの	娘である	アナの	娘である	オホリバマを	そして～を	ヒッタイトびとの	
H2340	H6649	H1323	H6034	H1323	H0173	H0853	H2850	

エサウはカナンの娘たちのうちから妻をめとった。すなわちヘテびとエロンの娘アダと、ヒビびとヂベオンの子アナの娘アホリバマとである。

3	וְאֶת־	בָּשְׂמַת	בַּת־	יִשְׁמָעֵאל	אֲחוֹת	נְבָיוֹת׃
	そして～を	バセマトを	娘である	イシュマエルの	妹である	ネバヨトの
	H0853	H1315	H1323	H3458	H0269	H5032

また、イシマエルの娘ネバヨテの妹バスマテをめとった。

4	וַתֵּלֶד	עָדָה	לְעֵשָׂו	אֶת־	אֱלִיפַז	וּבָשְׂמַת	יָלְדָה	אֶת־	רְעוּאֵל׃
	そして–産んだ	アダは	エサウに	～を	エリパズを	そして–バセマトは	産んだ	～を	レウエルを
	H3205	H5711	H6215	H0853	H0464	H1315	H3205	H0853	H7467

アダはエリパズをエサウに産み、バスマテはリウエルを産み、

5	וְאֶת־	יַעְלָם	וְאֶת־	(יְעוּשׁ)	[יעישׁ]	אֶת־	יָלְדָה	וְאָהֳלִיבָמָה
	そして～を	ヤアラムを	そして～を	エウシュを	エウシュを	～を	産んだ	そして–オホリバマは
	H0853	H3281	H0853	H3266	H3274	H0853	H3205	H0173

כְּנָעַן׃	בְּאֶרֶץ	לוֹ	יֻלְּדוּ־	אֲשֶׁר	עֵשָׂו	בְּנֵי	אֵלֶּה	קֹרַח
カナンの	地で	彼に	生まれた	～の	エサウの	息子たちである	これらが	コラヒを
	H0776		H3205		H6215		H0428	H7141

アホリバマはエウシ、ヤラム、コラを産んだ。これらはエサウの子であって、カナンの地で彼に生れた者である。

6	בְּנֹתָיו	וְאֶת־	בָּנָיו	וְאֶת־	נָשָׁיו	אֶת־	עֵשָׂו	וַיִּקַּח
	娘たちと	そして～を	息子たちと	そして～を	妻たちと	～を	エサウは	そして–連れた
	H1323	H0853		H0853	H0802	H0853	H6215	H3947

וְאֵת	בְּהֶמְתּוֹ	כָּל־	וְאֶת־	מִקְנֵהוּ	וְאֶת־	בֵּיתוֹ׃	נַפְשׁוֹת	כָּל־	וְאֶת־
そして～を	動物と	すべての	そして～を	家畜と	そして～を	家の	人々を	すべての	そして～を
H0853	H0929	H3605	H0853	H4735	H0853		H5315	H3605	H0853

יַעֲקֹב	מִפְּנֵי	אֶרֶץ	אֶל־	וַיֵּלֶךְ	כְּנָעַן	בְּאֶרֶץ	רָכַשׁ	אֲשֶׁר	קִנְיָנוֹ	כָּל־
ヤコブ	前から	地へ	～へ	そして–行った	カナンの	地で	得た	～の	財産を	すべての
H3290	H6440	H0776	H0413	H3212		H0776	H7408		H7075	H3605

אָחִיו׃
弟の
H0251

エサウは妻と子と娘と家のすべての人、家畜とすべての獣、またカナンの地で獲たすべての財産を携え、兄弟ヤコブを離れてほかの地へ行った。

יְכֹלָה	וְלֹא	יַחְדָּו	מְשָׁבֶת	רָב	רְכוּשָׁם	הָיָה	כִּי־	7
できなかった	そして-できなかった	共に	住む-には	多く	彼らの-財産は	あった	なぜなら	
H3201	H3808		H3427		H7399	H1961		

מִקְנֵיהֶם׃	מִפְּנֵי	אֹתָם	לָשֵׂאת	מְגוּרֵיהֶם	אֶרֶץ
家畜の	～の-ために	彼らを	支える-ことが	彼らの-滞在の	地は
H4735	H6440	H0853	H5375	H4033	H0776

彼らの財産が多くて、一緒にいることができなかったからである。すなわち彼らが寄留した地は彼らの家畜のゆえに、彼らをささえることができなかったのである。

אֱדוֹם׃	הוּא	עֵשָׂו	שֵׂעִיר	בְּהַר	עֵשָׂו	וַיֵּשֶׁב	8
エドムである	彼は	エサウは	セイルの	山に	エサウは	そして-住んだ	
H0123	H1931	H6215		H2022	H6215	H3427	

こうしてエサウはセイルの山地に住んだ。エサウはすなわちエドムである。

שֵׂעִיר׃	בְּהַר	אֱדוֹם	אֲבִי	עֵשָׂו	תּוֹלְדוֹת	וְאֵלֶּה	9
セイルの	山に-いる	エドムの	父である	エサウの	系図である	そして-これらは	
	H2022	H0123	H0001	H6215	H8435	H0428	

セイルの山地におったエドムびとの先祖エサウの系図は次のとおりである。

עֵשָׂו	אֵשֶׁת	עָדָה	בְּנֵי־	אֱלִיפַז	עֵשָׂו	בְּנֵי־	שְׁמוֹת	אֵלֶּה	10
エサウの	妻の	アダの	息子である	エリパズは	エサウの	息子たちの	名である	これらは	
H6215	H0802	H5711		H0464	H6215		H8034	H0428	

עֵשָׂו׃	אֵשֶׁת	בָּשְׂמַת	בֶּן־	רְעוּאֵל
エサウの	妻の	バセマトの	息子である	レウエルは
H6215	H0802	H1315		H7467

エサウの子らの名は次のとおりである。すなわちエサウの妻アダの子はエリパズ。エサウの妻バスマテの子はリウエル。

וְקֶנַז׃	וְגַעְתָּם	צְפוֹ	אוֹמָר	תֵּימָן	אֱלִיפַז	בְּנֵי	וַיִּהְיוּ	11
そして-ケナズ	そして-ガタム	ツェポ	オマル	テマン	エリパズの	息子たちは	そして-いた	
H7073	H1609	H6825	H0201	H8487	H0464		H1961	

エリパズの子らはテマン、オマル、ゼポ、ガタム、ケナズである。

לֶאֱלִיפַז	וַתֵּלֶד	עֵשָׂו	בֶּן־	לֶאֱלִיפַז	פִּילֶגֶשׁ	הָיְתָה	וְתִמְנַע	12
エリパズに	そして-産んだ	エサウの	息子の	エリパズの	そばめであった	いた	そして-ティムナは	
H0464	H3205	H6215		H0464	H6370	H1961	H8555	

עֵשָׂו׃	אֵשֶׁת	עָדָה	בְּנֵי	אֵלֶּה	עֲמָלֵק	אֶת־
エサウの	妻の	アダの	息子たちである	これらが	アマレクを	～を
H6215	H0802	H5711		H0428	H6002	H0853

テムナはエサウの子エリパズのそばめで、アマレクをエリパズに産んだ。これらはエサウの妻アダの子らである。

וּמִזָּה	שַׁמָּה	וְזֶרַח	נַחַת	רְעוּאֵל	בְּנֵי	וְאֵלֶּה	13
そして-ミッザ	シャマ	そして-ゼラヒ	ナハト	レウエルの	息子たちである	そして-これらは	
H4199	H8048	H2226	H5184	H7467		H0428	

עֵשָׂו׃	אֵשֶׁת	בָּשְׂמַת	בְּנֵי	הָיוּ	אֵלֶּה
エサウの	妻の	バセマトの	息子たちである	いた	これらが
H6215	H0802	H1315		H1961	H0428

リウエルの子らは次のとおりである。すなわちナハテ、ゼラ、シャンマ、ミザであって、これらはエサウの妻バスマテの子らである。

14

אֲשֶׁת	צִבְעוֹן	בַּת־	עֲנָה	בַּת־	אָהֳלִיבָמָה	בְּנֵי	הָיוּ	וְאֵלֶּה
妻の	ツィベオンの	娘の	アナの	娘の	オホリバマの	息子たちである	いた	そして–これらは
H0802	H6649	H1323	H6034	H1323	H0173		H1961	H0428

יַעְלָם	וְאֶת־	יְעוּשׁ)	יעיש]	אֶת־	לְעֵשָׂו	וַתֵּלֶד	עֵשָׂו
ヤアラムを	そして〜を	エウシュを	エウシュを	〜を	エサウに	そして–産んだ	エサウの
H3281	H0853	H3266	H3274	H0853	H6215	H3205	H6215

קֹרַח׃	וְאֶת־
コラヒを	そして〜を
H7141	H0853

ベオンの子アナの娘で、エサウの妻アホリバマの子らは次のとおりである。すなわち彼女はエウシ、ヤラム、コラをエサウに産んだ。

15

אַלּוּף	עֵשָׂו	בְּכוֹר	אֱלִיפַז	בְּנֵי	עֵשָׂו	בְּנֵי־	אַלּוּפֵי	אֵלֶּה
首長	エサウの	長子の	エリパズの	息子たちの	エサウの	息子たちの	首長たちである	これらは
	H6215	H1060	H0464		H6215			H0428

קְנַז׃	אַלּוּף	צְפוֹ	אַלּוּף	אוֹמָר	אַלּוּף	תֵּימָן
ケナズ	首長	ツェポ	首長	オマル	首長	テマン
H7073		H6825		H0201		H8487

エサウの子らの中で、族長たる者は次のとおりである。すなわちエサウの長子エリパズの子らはテマンの族長、オマルの族長、ゼポの族長、ケナズの族長、

16

אֱלִיפַז	אַלּוּפֵי	אֵלֶּה	עֲמָלֵק	אַלּוּף	גַּעְתָּם	אַלּוּף	קֹרַח	אַלּוּף־
エリパズの	首長たちである	これらが	アマレク	首長	ガタム	首長	コラヒ	首長
H0464		H0428	H6002		H1609		H7141	

עָדָה׃	בְּנֵי	אֵלֶּה	אֱדוֹם	בְּאֶרֶץ
アダの	息子たちである	これらは	エドムの	地に–いる
H5711		H0428	H0123	H0776

コラの族長、ガタムの族長、アマレクの族長である。これらはエリパズから出た族長で、エドムの地におった。これらはアダの子らである。

17

זֶרַח	אַלּוּף	נַחַת	אַלּוּף	עֵשָׂו	בֶּן־	רְעוּאֵל	בְּנֵי	וְאֵלֶּה
ゼラヒ	首長	ナハト	首長	エサウの	息子の	レウエルの	息子たちである	そして–これらは
H2226		H5184		H6215		H7467		H0428

אֱדוֹם	בְּאֶרֶץ	רְעוּאֵל	אַלּוּפֵי	אֵלֶּה	מִזֶּה	אַלּוּף	שַׁמָּה	אַלּוּף
エドムの	地に–いる	レウエルの	首長たちである	これらが	ミッザ	首長	シャマ	首長
H0123	H0776	H7467		H0428	H4199		H8048	

עֵשָׂו׃	אֵשֶׁת	בָּשְׂמַת	בְּנֵי	אֵלֶּה
エサウの	妻の	バセマトの	息子たちである	これらは
H6215	H0802	H1315		H0428

エサウの子リウエルの子らは次のとおりである。すなわちナハテの族長、ゼラの族長、シャンマの族長、ミザの族長。これらはリウエルから出た族長で、エドムの地におった。これらはエサウの妻バスマテの子らである。

18

אַלּוּף	יְעוּשׁ	אַלּוּף	עֵשָׂו	אֵשֶׁת	אָהֳלִיבָמָה	בְּנֵי	וְאֵלֶּה
首長	エウシュ	首長	エサウの	妻の	オホリバマの	息子たちである	そして–これらは
	H3266		H6215	H0802	H0173		H0428

עֵשָׂו׃	אֵשֶׁת	עֲנָה	בַּת־	אָהֳלִיבָמָה	אַלּוּפֵי	אֵלֶּה	קֹרַח	אַלּוּף	יַעְלָם
エサウの	妻の	アナの	娘の	オホリバマの	首長たちである	これらが	コラヒ	首長	ヤアラム
H6215	H0802	H6034	H1323	H0173		H0428	H7141		H3281

エサウの妻アホリバマの子らは次のとおりである。すなわちエウシの族長、ヤラムの族長、コラの族長。これらはアナの娘で、エサウの妻アホリバマから出た族長である。

ס	:אֱדֽוֹם	הִוא	אַלּוּפִיהֶם	וְאֵלֶּה	עֵשָׂו	בְּנֵי־	אֵלֶּה	19
—	エドムである	彼は	首長たちである	そして-これらが	エサウの	息子たちである	これらが	
	H0123	H1931		H0428	H6215		H0428	

これらはエサウすなわちエドムの子らで、族長たる者である。

וְשׁוֹבָל	לוֹטָן	הָאָרֶץ	יֹשְׁבֵי	הַחֹרִי	שֵׂעִיר	בְּנֵי־	אֵלֶּה	20
そして-ショバル	ロタン	その-地に	住んでいる	ホリびとの	セイルの	息子たちである	これらは	
H7732	H3877	H0776	H3427	H2752			H0428	

:וַעֲנָה	וְצִבְעֹן
そして-アナ	そして-ツィベオン
H6034	H6649

この地の住民ホリびとセイルの子らは次のとおりである。すなわちロタン、ショバル、ヂベオン、アナ、

הַחֹרֶי	אַלּוּפֵי	אֵלֶּה	וְדִישָׁן	וְאֶצֶר	וְדִשָׁן		21
ホリびとの	首長たちである	これらが	そして-ディシャン	そして-エツェル	そして-ディション		
H2752		H0428	H1789	H0687	H1787		

:אֱדוֹם	בְּאֶרֶץ	שֵׂעִיר	בְּנֵי
エドムの	地に-いる	セイルの	息子たちの
H0123	H0776		

デション、エゼル、デシャン。これらはセイルの子ホリびとから出た族長で、エドムの地におった。

תִּמְנָע׃	לוֹטָן	וַאֲחוֹת	וְהֵימָם	חֹרִי	לוֹטָן	בְּנֵי־	וַיִּהְיוּ	22
ティムナであった	ロタンの	そして-妹は	そして-ヘマム	ホリ	ロタンの	息子たちは	そして-いた	
H8555	H3877	H0269	H1967	H2753	H3877		H1961	

ロタンの子らはホリ、ヘマムであり、ロタンの妹はテムナであった。

שְׁפוֹ	וְעִיבָל	וּמָנַחַת	עַלְוָן	שׁוֹבָל	בְּנֵי	וְאֵלֶּה		23
シェポ	そして-エバル	そして-マナハト	アルヴァン	ショバルの	息子たちである	そして-これらは		
H8195			H5935	H7732		H0428		

:וְאוֹנָם
そして-オナム
H0208

ショバルの子らは次のとおりである。すなわちアルワン、マナハテ、エバル、シポ、オナム。

עֲנָה	הִוא	וַעֲנָה	וְאַיָּה	צִבְעוֹן	בְּנֵי־	וְאֵלֶּה		24
アナである	彼は	そして-アナ	そして-アヤ	ツィベオンの	息子たちである	そして-これらは		
H6034	H1931	H6034	H0345	H6649		H0428		

אָבִיו׃	לְצִבְעוֹן	הַחֲמֹרִים	אֶת־	בִּרְעֹתוֹ	בַּמִּדְבָּר	הַיֵּמִם	אֶת־	מָצָא	אֲשֶׁר
父の	ツィベオンの	ろばを	～を	飼って-いた-とき	荒野で	温泉を	～を	見つけた	～の
H0001	H6649	H2543	H0853			H3222	H0853	H4672	

ヂベオンの子らは次のとおりである。すなわちアヤとアナ。このアナは父ヂベオンのろばを飼っていた時、荒野で温泉を発見した者である。

:עֲנָה	בַּת־	וְאָהֳלִיבָמָה	דִּשָׁן	עֲנָה	בְּנֵי־	וְאֵלֶּה	25
アナの	娘である	そして-オホリバマは	ディションと	アナの	息子たちである	そして-これらは	
H6034	H1323	H0173	H1787	H6034		H0428	

アナの子らは次のとおりである。すなわちデションとアホリバマ。アホリバマはアナの娘である。

26 וְאֵלֶּה בְּנֵי דִישָׁן חֶמְדָּן וְאֶשְׁבָּן וְיִתְרָן
そして-これらは 息子たちである ディシャンの ヘムダン そして-エシュバン そして-イトラン
H0428 H1789 H2533 H0790 H3506

וּכְרָן׃
そして-ケラン
H3763

デションの子らは次のとおりである。すなわちヘムダン、エシバン、イテラン、ケラン。

27 אֵלֶּה בְּנֵי־אֵצֶר בִּלְהָן וְזַעֲוָן וַעֲקָן׃
これらは 息子たちである エツェルの ビルハン そして-ザアヴァン そして-アカン
H0428 H0687 H1092 H2190 H6130

エゼルの子らは次のとおりである。すなわちビルハン、ザワン、アカン。

28 אֵלֶּה בְּנֵי־דִישָׁן עוּץ וַאֲרָן׃
これらは 息子たちである ディシャンの ウツ そして-アラン
H0428 H1789 H5780 H0765

デシャンの子らは次のとおりである。すなわちウズとアラン。

29 אֵלֶּה אַלּוּפֵי הַחֹרִי לוֹטָן אַלּוּף שׁוֹבָל אַלּוּף צִבְעוֹן אַלּוּף
これらは 首長たちである ホリびとの ロタン 首長 ショバル 首長 ツィベオン 首長
H0428 H2752 H3877 H0776 H7732 H0776 H6649 H0776

עֵנָה׃ אַלּוּף
アナ 首長
H6034

ホリびとから出た族長は次のとおりである。すなわちロタンの族長、ショバルの族長、ヂベオンの族長、アナの族長、

30 אַלּוּף דִּישׁוֹן אַלּוּף אֶצֶר אַלּוּף דִּישָׁן אַלּוּף אֵלֶּה אַלּוּפֵי הַחֹרִי
首長 ディション 首長 エツェル 首長 ディシャン これらが 首長たちである ホリびとの
H0776 H1787 H0776 H0687 H0776 H1789 H0428 H2753

פ שֵׂעִיר׃ בְּאֶרֶץ לְאַלּוּפֵיהֶם
— セイルの 地に-いる 首長たちの-中の
H0776

デションの族長、エゼルの族長、デシャンの族長。これらはホリびとから出た族長であって、その氏族に従ってセイルの地におった者である。

31 וְאֵלֶּה הַמְּלָכִים אֲשֶׁר מָלְכוּ בְּאֶרֶץ אֱדוֹם לִפְנֵי מְלָךְ־ מֶלֶךְ
そして-これらは 王たちである 〜の 治めた 地で エドムの 前に 治める-前に 王が
H0428 H4428 H0776 H0123 H6440 H4428

לִבְנֵי יִשְׂרָאֵל׃
子らに イスラエルの
H3478

イスラエルの人々を治める王がまだなかった時、エドムの地を治めた王たちは次のとおりである。

32 וַיִּמְלֹךְ בָּלַע בֶּן־ בְּעוֹר וְשֵׁם עִירוֹ דִּנְהָבָה׃
そして-治めた エドムで ベラが 息子である ベオルの そして-名は 町の ディンハバであった
H0123 H1160 H8034 H1838

ベオルの子ベラはエドムを治め、その都の名はデナバであった。

33 וַיָּמָת בֶּלַע וַיִּמְלֹךְ תַּחְתָּיו יוֹבָב בֶּן־זֶרַח מִבָּצְרָה׃
そして–死んだ ベラは そして–治めた 彼の–代わりに ヨバブが 息子である ゼラヒの ボツラからの
H4191 H1224 H2226 H3103 H8478

ベラが死んで、ボズラのゼラの子ヨバブがこれに代って王となった。

34 וַיָּמָת יוֹבָב וַיִּמְלֹךְ תַּחְתָּיו חֻשָׁם מֵאֶרֶץ הַתֵּימָנִי׃
そして–死んだ ヨバブは そして–治めた 彼の–代わりに フシャムが 地からの テマンびとの
H4191 H3103 H8478 H2367 H0776 H8489

ヨバブが死んで、テマンびとの地のホシャムがこれに代って王となった。

35 וַיָּמָת חֻשָׁם וַיִּמְלֹךְ תַּחְתָּיו הֲדַד בֶּן־בְּדַד הַמַּכֶּה אֶת־מִדְיָן בִּשְׂדֵה מוֹאָב וְשֵׁם עִירוֹ עֲוִית׃
そして–死んだ フシャムは そして–治めた 彼の–代わりに ハダドが 息子である ベダドの 打ち–破った–者 ～を ミディアンを 野で モアブの そして–名は 町の アヴィトであった
H4191 H2367 H8478 H1908 H0911 H5221 H0853 H4080 H7704 H4124 H8034 H5762

ホシャムが死んで、ベダデの子ハダデがこれに代って王となった。彼はモアブの野でミデアンを撃った者である。その都の名はアビテであった。

36 וַיָּמָת הֲדָד וַיִּמְלֹךְ תַּחְתָּיו שַׂמְלָה מִמַּשְׂרֵקָה׃
そして–死んだ ハダドは そして–治めた 彼の–代わりに サムラが マスレカからの
H4191 H1908 H8478 H8072 H4957

ハダデが死んで、マスレカのサムラがこれに代って王となった。

37 וַיָּמָת שַׂמְלָה וַיִּמְלֹךְ תַּחְתָּיו שָׁאוּל מֵרְחֹבוֹת הַנָּהָר׃
そして–死んだ サムラは そして–治めた 彼の–代わりに シャウルが レホボトからの 川の–そばの
H4191 H8072 H8478 H7586 H7344 H5104

サムラが死んでユフラテ川のほとりにあるレホボテのサウルがこれに代って王となった。

38 וַיָּמָת שָׁאוּל וַיִּמְלֹךְ תַּחְתָּיו בַּעַל חָנָן בֶּן־עַכְבּוֹר׃
そして–死んだ シャウルは そして–治めた 彼の–代わりに バアル・ハナンが 息子である アクボルの
H4191 H7586 H8478 H1177 H5907

サウルが死んでアクボルの子バアル・ハナンがこれに代って王となった。

39 וַיָּמָת בַּעַל חָנָן בֶּן־עַכְבּוֹר וַיִּמְלֹךְ תַּחְתָּיו הֲדַר וְשֵׁם עִירוֹ פָּעוּ וְשֵׁם אִשְׁתּוֹ מְהֵיטַבְאֵל בַּת־מַטְרֵד בַּת־מֵי זָהָב׃
そして–死んだ バアル・ハナンは 息子の アクボルの 治めた そして– 彼の–代わりに ハダルが そして–名は 町の パウであった そして–名は 妻の メヘタベエルであった 娘である マトレドの メ・ザハブの 娘である
H4191 H1177 H5907 H4427 H8478 H1924 H8034 H5892 H6464 H8034 H0802 H4105 H1323 H4308 H4314 H1323

アクボルの子バアル・ハナンが死んで、ハダルがこれに代って王となった。その都の名はパウであった。その妻の名はメヘタベルといって、メザハブの娘マテレデの娘であった。

40 וְאֵ֣לֶּה שְׁמ֣וֹת אַלּוּפֵ֣י עֵשָׂ֔ו לְמִשְׁפְּחֹתָ֖ם לִמְקֹמֹתָ֑ם בִּשְׁמֹתָ֗ם אַלּ֣וּף
そして-これらは 名である 首長たちの エサウの 氏族に-よる 場所に-よる 名に-よる 首長
H0428 H8034 H6215 H4940 H4725 H8034 H0428

תִּמְנָ֥ע אַלּ֛וּף עַלְוָ֖ה אַלּ֣וּף יְתֵֽת׃
ティムナ 首長 アルヴァ 首長 エテト
H8555 H0428 H5933 H0428 H3509

エサウから出た族長の名は、その氏族と住所と名に従って言えば次のとおりである。すなわちテムナの族長、アルワの族長、エテテの族長、

41 אַלּ֥וּף אָהֳלִיבָמָ֖ה אַלּ֣וּף אֵלָ֑ה אַלּ֣וּף פִּינֹֽן׃
首長 オホリバマ 首長 エラ 首長 ピノン
H0428 H0173 H0428 H0425 H0428 H6373

アホリバマの族長、エラの族長、ピノンの族長、

42 אַלּ֥וּף קְנַ֛ז אַלּ֥וּף תֵּימָ֖ן אַלּ֣וּף מִבְצָֽר׃
首長 ケナズ 首長 テマン 首長 ミブツァル
H0428 H7073 H0428 H8487 H0428 H4014

ケナズの族長、テマンの族長、ミブザルの族長、

43 אַלּ֥וּף מַגְדִּיאֵ֖ל אַלּ֣וּף עִירָ֑ם אֵ֚לֶּה אַלּוּפֵ֣י אֱד֔וֹם לְמוֹשְׁבֹתָ֖ם
首長 マグディエル 首長 イラム これらが 首長たちである エドムの 住まいに-よる
H0428 H4025 H0428 H5902 H0428 H0123 H4186

בְּאֶ֣רֶץ אֲחֻזָּתָ֔ם הֽוּא עֵשָׂ֖ו אָבִ֥י אֱד֑וֹם׃ פ
地に-いる 所有の 彼は エサウである 父である エドムの 一
H0776 H0272 H1931 H6215 H0001 H0123

マグデエルの族長、イラムの族長。これらはエドムの族長たちであって、その領地内の住所に従っていったものである。エドムびとの先祖はエサウである。

Chapter 37

1 וַיֵּ֣שֶׁב יַעֲקֹ֔ב בְּאֶ֖רֶץ מְגוּרֵ֣י אָבִ֑יו בְּאֶ֖רֶץ כְּנָֽעַן׃
そして-住んだ ヤコブは 地に 滞在の 父の 地に カナンの
H3427 H3290 H0776 H4033 H0001 H0776

ヤコブは父の寄留の地、すなわちカナンの地に住んだ。

2 אֵ֚לֶּה תֹּלְדוֹת֙ יַעֲקֹ֔ב יוֹסֵ֕ף בֶּן־ שְׁבַע־ עֶשְׂרֵ֥ה שָׁנָ֖ה הָיָ֑ה רֹעֶ֗ה
これらは 系図である ヤコブの ヨセフは 息子である 十七 十七 歳の いた 飼って-いた
H0428 H8435 H3290 H3130 H1121 H7651 H6240 H8141 H1961 H7462

אֶת־ בְּנֵ֣י בִלְהָ֔ה וְאֶת־ בְּנֵ֖י זִלְפָּ֑ה נְשֵׁ֣י אָבִ֔יו וַיָּבֵ֥א יוֹסֵ֛ף אֶת־ דִּבָּתָ֖ם רָעָ֥ה אֶל־ אֲבִיהֶֽם׃
～と-ともに 息子たちの ビルハの 兄たちと 羊の-番を そして-彼は 若者だった ～と-ともに 息子たちの ジルパの 妻たちの 父の そして-伝えた ヨセフは ～を 彼らの-悪い-噂を 悪い ～に 父に
H0854 H1121 H1090 H0251 H6629 H1931 H5288 H0854 H1121 H1090 H2153 H0802 H0001 H0935 H3130 H0853 H1681 H7451 H0413 H0001

ヤコブの子孫は次のとおりである。ヨセフは十七歳の時、兄弟たちと共に羊の群れを飼っていた。彼はまだ子供で、父の妻たちビルハとジルパとの子らと共にいたが、ヨセフは彼らの悪いうわさを父に告げた。

3

בֵּן־	כִּי־	בָּנָיו	מִכָּל־	יוֹסֵף׀	אֶת־	אָהַב	וְיִשְׂרָאֵל
息子である	なぜなら	息子たちの	すべての-中で	ヨセフを	～を	愛した	そして-イスラエルは
			H3605	H3130	H0853	H0157	H3478

פַּסִּים׃	כְּתֹנֶת	לוֹ	וְעָשָׂה	לוֹ	הוּא	זְקֻנִים
袖の-美しい	衣を	彼に	そして-作った	彼にとって	彼は	老年の
H6446	H3801				H1931	H2208

ヨセフは年寄り子であったから、イスラエルは他のどの子よりも彼を愛して、彼のために長そでの着物をつくった。

4

אֶחָיו	מִכָּל־	אֲבִיהֶם׀	אָהַב	אֹתּוֹ	כִּי־	אֶחָיו	וַיִּרְאוּ
兄たちの	すべての-中で	父が	愛して-いる-と	彼を	～と	兄たちは	そして-見た
H0251	H3605	H0001	H0157	H0853		H0251	H7200

לְשָׁלֹם׃	דַּבְּרוֹ	יָכְלוּ	וְלֹא	אֹתוֹ	וַיִּשְׂנְאוּ
穏やかに	話す-ことが	できなかった	そして-できなかった	彼を	そして-憎んだ
H7965	H1696	H3201	H3808	H0853	H8130

兄弟たちは父がどの兄弟よりも彼を愛するのを見て、彼を憎み、穏やかに彼に語ることができなかった。

5

שְׂנֹא	עוֹד	וַיּוֹסִפוּ	לְאֶחָיו	וַיְדַבֵּר	חֲלוֹם	יוֹסֵף	וַיַּחֲלֹם
憎む-ことを	さらに	そして-加えた	兄たちに	そして-話した	夢を	ヨセフは	そして-夢を-見た
H8130	H5750	H3254	H0251	H5046	H2472	H3130	

אֹתוֹ׃
彼を
H0853

ある時、ヨセフは夢を見て、それを兄弟たちに話したので、彼らは、ますます彼を憎んだ。

6

חָלָמְתִּי׃	אֲשֶׁר	הַזֶּה	הַחֲלוֹם	נָּא	שִׁמְעוּ־	אֲלֵיהֶם	וַיֹּאמֶר
私が-見た	～の	この	夢を	どうか	聞いて-ください	彼らに	そして-言った
		H2088		H4994	H8085	H0413	H0559

ヨセフは彼らに言った、「どうぞわたしが見た夢を聞いてください。

7

קָמָה	וְהִנֵּה	הַשָּׂדֶה	בְּתוֹךְ	אֲלֻמִּים׀	מְאַלְּמִים	אֲנַחְנוּ	וְהִנֵּה
立ち上がった	すると-見よ	畑の	真ん中で	束を	束ねて-いた	私たちは	そして-見よ
	H2009		H8432	H0485	H0481	H0587	H2009

וַתִּשְׁתַּחֲוֶיןָ	אֲלֻמֹּתֵיכֶם	וְתִסֻּבֶּינָה	וְהִנֵּה	נִצָּבָה	וְגַם־	אֲלֻמָּתִי
そして-ひれ伏した	あなたがたの-束が	囲んだ	すると-見よ	立った	そして-また	私の-束が
H7812	H0485	H5437	H2009	H5324	H1571	H0485

לַאֲלֻמָּתִי׃
私の-束に
H0485

わたしたちが畑の中で束を結わえていたとき、わたしの束が起きて立つと、あなたがたの束がまわりにきて、わたしの束を拝みました」。

8

וַיֹּאמְרוּ	לוֹ	אֶחָיו	הֲמָלֹךְ	תִּמְלֹךְ	עָלֵינוּ	אִם־
そして–言った	彼に	兄たちは	本当に–治めるのか	治めるのか	私たちを	または
H0559		H0251				

עַל־	אֹתּוֹ	שְׂנֹא	עוֹד	וַיּוֹסִפוּ	בָּנוּ	תִמְשֹׁל	מָשׁוֹל
～の–ゆえに	彼を	憎む–ことを	さらに	そして–加えた	私たちを	支配するのか	本当に–支配するのか
	H0853	H8130	H5750	H3254		H4910	H4910

חֲלֹמֹתָיו׃	וְעַל־	דְּבָרָיו׃
夢の	そして～の–ゆえに	言葉の
H2472		H1697

すると兄弟たちは彼に向かって、「あなたはほんとうにわたしたちの王になるのか。あなたは実際わたしたちを治めるのか」と言って、彼の夢とその言葉のゆえにますます彼を憎んだ。

9

הִנֵּה	וַיֹּאמֶר	לְאֶחָיו	אֹתוֹ	וַיְסַפֵּר	אַחֵר	חֲלוֹם	עוֹד	וַיַּחֲלֹם
見よ	そして–言った	兄たちに	それを	そして–語った	別の	夢を	さらに	そして–夢を–見た
H2009	H0559	H0251	H0853		H0312	H2472	H5750	

כּוֹכָבִים	עָשָׂר	וְאַחַד	וְהַיָּרֵחַ	הַשֶּׁמֶשׁ	וְהִנֵּה	עוֹד	חֲלוֹם	חָלַמְתִּי
星が	十一の	そして–十一の	そして–月と	太陽と	すると–見よ	また	夢を	夢を–見た
H3556	H6240	H0259	H3394	H8121	H2009	H5750	H2472	

מִשְׁתַּחֲוִים	לִי׃
ひれ伏して–いた	私に
H7812	

ヨセフはまた一つの夢を見て、それを兄弟たちに語って言った、「わたしはまた夢を見ました。日と月と十一の星とがわたしを拝みました」。

10

וַיֹּאמֶר	אָבִיו	בּוֹ	וַיִּגְעַר־	אֶחָיו	וְאֶל־	אָבִיו	אֶל־	וַיְסַפֵּר
そして–言った	父は	彼を	そして–叱った	兄たちに	そして～に	父に	～に	そして–語った
H0559	H0001		H1605	H0251	H0413	H0001	H0413	

אֲנִי	נָבוֹא	הֲבוֹא	חָלַמְתָּ	אֲשֶׁר	הַזֶּה	הַחֲלוֹם	מָה	לּוֹ
私と	来るのか	本当に–来るのか	お前が–見た	～の	この	夢は	何だ	彼に
H0589	H0935	H0935			H2088	H2472	H4100	

וְאִמְּךָ	וְאַחֶיךָ	לְהִשְׁתַּחֲוֹת	לְךָ	אָרְצָה׃
そして–お前の–母と	そして–お前の–兄たちが	ひれ伏す–ために	お前に	地に
H0517	H0251	H7812		H0776

彼はこれを父と兄弟たちに語ったので、父は彼をとがめて言った、「あなたが見たその夢はどういうのか。ほんとうにわたしとあなたの母と、兄弟たちとが行って地に伏し、あなたを拝むのか」。

11

הַדָּבָר׃	אֶת־	שָׁמַר	וְאָבִיו	אֶחָיו	בּוֹ	וַיְקַנְאוּ־
この–ことを	～を	心に–留めた	しかし–父は	兄たちは	彼を	そして–嫁んだ
H1697	H0853	H8104	H0001	H0251		H7065

兄弟たちは彼をねたんだ。しかし父はこの言葉を心にとめた。

12

בִּשְׁכֶם׃	אֲבִיהֶם	צֹאן	אֶת־	לִרְעוֹת	אֶחָיו	וַיֵּלְכוּ
シェケムで	父の	羊を	～を	飼う–ために	兄たちは	そして–行った
H7927	H0001	H6629	H0853		H0251	H3212

さて兄弟たちがシケムに行って、父の羊の群れを飼っていたとき、

13 וַיֹּאמֶר יִשְׂרָאֵל אֶל־יוֹסֵף הֲלוֹא אַחֶיךָ רֹעִים
そして-言った イスラエルは ～に ヨセフに ～ではないか お前の-兄たちは 飼って-いる
H0559 H3478 H0413 H3130 H3808 H0251

בִּשְׁכֶם לְכָה וְאֶשְׁלָחֲךָ אֲלֵיהֶם וַיֹּאמֶר לוֹ הִנֵּנִי׃
シェケムで さあ そして-遣わそう 彼らの-もとへ すると-言った 彼に はい、ここに
H7927 H3212 H7971 H0413 H0559 H0559 H2009

イスラエルはヨセフに言った、「あなたの兄弟たちはシケムで羊を飼っているではないか。さあ、あなたを彼らの所へつかわそう」。ヨセフは父に言った、「はい、行きます」。

14 וַיֹּאמֶר לוֹ לֶךְ־נָא רְאֵה אֶת־שְׁלוֹם אַחֶיךָ
そして-言った 彼に 行きなさい どうか 見て-きなさい ～を 安否を お前の-兄たちの
H0559 H0559 H3212 H4994 H7200 H0853 H7965 H0251

וְאֶת־שְׁלוֹם הַצֹּאן וַהֲשִׁבֵנִי דָּבָר וַיִּשְׁלָחֵהוּ מֵעֵמֶק
そして～を 安否を 羊の-群れの そして-知らせて-くれ 知らせを そして-遣わした 谷から
H0853 H7965 H6629 H7725 H1697 H7971 H6010

וַיָּבֹא שְׁכֶמָה׃ וַיִּבְא חֶבְרוֹן
そして-来た シェケムへ へブロンの
H0935 H7927

父は彼に言った、「どうか、行って、あなたの兄弟たちは無事であるか、また群れは無事であるか見てきて、わたしに知らせてください」。父が彼をヘブロンの谷からつかわしたので、彼はシケムに行った。

15 וַיִּמְצָאֵהוּ וְהִנֵּה תֹעֶה בַּשָּׂדֶה וַיִּשְׁאָלֵהוּ הָאִישׁ
そして-見つけた ある-人が すると-見よ さまよって-いた 野で そして-尋ねた その-人は
H4672 H0376 H2009 H8582 H7592 H0376

לֵאמֹר מַה־תְּבַקֵּשׁ׃
言って 何を 探して-いるのか
H0559 H4100 H1245

ひとりの人が彼に会い、彼が野をさまよっていたので、その人は彼に尋ねて言った、「あなたは何を捜しているのですか」。

16 וַיֹּאמֶר אֶת־אַחַי אָנֹכִי מְבַקֵּשׁ הַגִּידָה־נָּא לִי אֵיפֹה
そして-言った ～を 兄たちを 私は 探して-います 教えて-ください 私に どこで
H0559 H0853 H0251 H0595 H1245 H5046 H4994 H0375

רֹעִים׃ הֵם
飼って-いるのか 彼らは
H1992

彼は言った、「兄弟たちを捜しているのです。彼らが、どこで羊を飼っているのか、どうぞわたしに知らせてください」。

17 וַיֹּאמֶר הָאִישׁ נָסְעוּ מִזֶּה כִּי שָׁמַעְתִּי אֹמְרִים נֵלְכָה
そして-言った その-人は 出発した ここから なぜなら 聞いた 言って-いるのを 行こう
H0559 H0376 H5265 H2088 H8085 H0559 H3212

דֹּתָיְנָה וַיֵּלֶךְ יוֹסֵף אַחַר אֶחָיו וַיִּמְצָאֵם בְּדֹתָן׃
ドタンへと そして-行った ヨセフは 後を-追って 兄たちの そして-見つけた ドタンで
H1886 H3212 H3130 H0310 H0251 H4672 H1886

その人は言った、「彼らはここを去りました。彼らが『ドタンへ行こう』と言うのをわたしは聞きました」。そこでヨセフは兄弟たちのあとを追って行って、ドタンで彼らに会った。

18 וַיִּרְאוּ אֹתוֹ וְטֶרֶם יִקְרַב אֲלֵיהֶם וַיִּתְנַכְּלוּ אֹתוֹ לַהֲמִיתוֹ׃
そして-見た 彼を 遠くから そして-前に 近づく 彼らに そして-たくらんだ 彼を 殺す-ために
H7200 H0853 H7350 H2962 H7126 H0413 H5230 H0853 H4191

ヨセフが彼らに近づかないうちに、彼らははるかにヨセフを見て、これを殺そうと計り、

19 וַיֹּאמְרוּ אִישׁ אֶל־אָחִיו הִנֵּה בַּעַל הַחֲלֹמוֹת הַלָּזֶה בָּא׃
そして-言った 互いに ～に 兄弟に 見よ 主人が 夢の あの 来る
H0559 H0376 H0413 H0251 H2009 H1167 H2472 H1976 H0935

互に言った、「あの夢見る者がやって来る。

20 וְעַתָּה לְכוּ וְנַהַרְגֵהוּ וְנַשְׁלִכֵהוּ בְּאַחַד הַבֹּרוֹת וְאָמַרְנוּ חַיָּה רָעָה אֲכָלָתְהוּ
さあ さあ-今 そして-殺そう そして-投げ込もう 一つの 穴に そして-言おう 獣が 悪い 食った-と
H6258 H3212 H2026 H7993 H0259 H0559 H2416 H7451 H0398

וְנִרְאֶה מַה־יִּהְיוּ חֲלֹמֹתָיו׃
そして-見よう 何に なるか 夢が
H7200 H4100 H1961 H2472

さあ、彼を殺して穴に投げ入れ、悪い獣が彼を食ったと言おう。そして彼の夢がどうなるか見よう」。

21 וַיִּשְׁמַע רְאוּבֵן וַיַּצִּלֵהוּ מִיָּדָם וַיֹּאמֶר לֹא נַכֶּנּוּ נָפֶשׁ׃
そして-聞いた ルベンは そして-救った 彼らの-手から そして-言った いけない 殺しては 命を
H8085 H7205 H5337 H3027 H0559 H3808 H5221 H5315

ルベンはこれを聞いて、ヨセフを彼らの手から救い出そうとして言った、「われわれは彼の命を取ってはならない」。

22 וַיֹּאמֶר אֲלֵהֶם רְאוּבֵן אַל־תִּשְׁפְּכוּ דָם הַשְׁלִכוּ אֹתוֹ אֶל־הַבּוֹר הַזֶּה אֲשֶׁר בַּמִּדְבָּר וְיָד אַל־תִּשְׁלְחוּ־בוֹ לְמַעַן הַצִּיל אֹתוֹ מִיָּדָם לַהֲשִׁיבוֹ אֶל־אָבִיו׃
そして-言った 彼らに ルベンは 流しては 血を 投げ込みなさい 彼を ～に 救う-ために 彼らの-手から 連れ戻す-ために ～に 父に
H0559 H0413 H7205 H8210 H1818 H7993 H0853 H0413 H5337 H3027 H7725 H0413 H0001

ルベンはまた彼らに言った、「血を流してはいけない。彼を荒野のこの穴に投げ入れよう。彼に手をくだしてはならない」。これはヨセフを彼らの手から救いだして父に返すためであった。

23 וַיְהִי כְּאֲשֶׁר־בָּא יוֹסֵף אֶל־אֶחָיו וַיַּפְשִׁיטוּ אֶת־יוֹסֵף אֶת־כֻּתָּנְתּוֹ אֶת־כְּתֹנֶת הַפַּסִּים אֲשֶׁר עָלָיו׃
そして-あった ～した-とき ヨセフが 来た 兄たちの ～の-もとへ そして-剥ぎ取った ～を ヨセフから 衣を ～を 衣を 袖の-美しい ～の 彼の-上の
H1961 H3130 H0935 H0251 H0413 H6584 H0853 H3130 H0853 H3801 H0853 H3801 H6446 H0834 H5921

さて、ヨセフが兄弟たちのもとへ行くと、彼らはヨセフの着物、彼が着ていた長そでの着物をはぎとり、

24 וַיִּקָּחֻהוּ וַיַּשְׁלִכוּ אֹתוֹ הַבֹּרָה וְהַבּוֹר רֵק אֵין בּוֹ מָיִם׃
そして-捕らえた そして-投げ込んだ 彼を 穴に そして-その-穴は 空で なかった その-中に 水は
H3947 H7993 H0853 H0953 H7386 H0369 H0834 H4325

彼を捕えて穴に投げ入れた。その穴はからで、その中に水はなかった。

25 וַיֵּשְׁבוּ֙ לֶאֱכָ֣ל לֶ֔חֶם וַיִּשְׂא֤וּ עֵינֵיהֶם֙ וַיִּרְאוּ֙ וְהִנֵּ֣ה אֹרְחַ֔ת
そして-座った 食べる-ために パンを そして-上げた 目を そして-見た すると-見よ 隊商が
H3427 H0398 H3899 H5375 H5219 H7200 H2009 H0736

יִשְׁמְעֵאלִ֑ים בָּאָ֣ה מִגִּלְעָ֗ד וּגְמַלֵּיהֶם֙ נְשְׂאִ֔ים נְכֹא֥ת וּצְרִ֖י
イシュマエルびとの 来て-いた ギレアデから そして-らくだは 運んで-いた 樹脂と そして-乳香と
H3459 H0935 H1568 H1581 H5375 H5219 H6875

וָלֹ֔ט הוֹלְכִ֖ים לְהוֹרִ֑יד מִצְרָֽיְמָה׃
そして-没薬を 行って-いた 降る-ために エジプトへ
H3910 H1980 H3381 H4714

こうして彼らはすわってパンを食べた。時に彼らが目をあげて見ると、イシマエルびとの隊商が、らくだに香料と、乳香と、もつやくとを負わせてエジプトへ下り行こうとギレアデからやってきた。

26 וַיֹּ֤אמֶר יְהוּדָה֙ אֶל־ אֶחָ֔יו מַה־ בֶּ֥צַע כִּ֛י נַהֲרֹ֥ג אֶת־ אָחִ֖ינוּ
そして-言った ユダは ～に 兄たちに 何の 利益が-あるか ～して 殺して ～を 弟を
H0559 H3063 H0413 H0251 H4100 H1215 H3212 H2026 H0853 H0251

וְכִסִּ֥ינוּ אֶת־ דָּמֽוֹ׃
そして-隠して ～を 彼の-血を
H3680 H0853 H1818

そこでユダは兄弟たちに言った、「われわれが弟を殺し、その血を隠して何の益があろう。

27 לְכ֣וּ וְנִמְכְּרֶ֤נּוּ לַיִּשְׁמְעֵאלִים֙ וְיָדֵ֣נוּ אַל־ תְּהִי־ בּ֔וֹ
さあ そして-売ろう イシュマエルびとに そして-私たちの-手を いけない かけては 彼に
H3212 H4376 H3459 H3027 H0408 H1961 H1931

כִּ֥י אָחִ֖ינוּ בְּשָׂרֵ֑נוּ וַיִּשְׁמְעוּ֙ אֶחָ֔יו׃
なぜなら 弟であり 肉親である 彼は そして-聞いた 兄たちは
H0251 H1320 H1931 H8085 H0251

さあ、われわれは彼をイシマエルびとに売ろう。彼はわれわれの兄弟、われわれの肉身だから、彼に手を下してはならない」。兄弟たちはこれを聞き入れた。

28 וַיַּעַבְרוּ֙ אֲנָשִׁ֣ים מִדְיָנִ֔ים סֹחֲרִ֖ים וַיִּמְשְׁכ֣וּ וַיַּעֲל֗וּ
そして-通りかかった 人々が ミディアンびとの 商人が そして-引き上げた そして-引き上げた
H5674 H0376 H4084 H5503 H4900 H5927

אֶת־ יוֹסֵף֙ מִן־ הַבּ֔וֹר וַיִּמְכְּר֥וּ אֶת־ יוֹסֵ֖ף לַיִּשְׁמְעֵאלִ֑ים בְּעֶשְׂרִ֣ים
ヨセフを ～から 穴から そして-売った ～を ヨセフを イシュマエルびとに 二十の
H3130 H4480 H0953 H4376 H0853 H3130 H3459 H6242

כָּ֔סֶף וַיָּבִ֥יאוּ אֶת־ יוֹסֵ֖ף מִצְרָֽיְמָה׃
銀で そして-連れて-行った ～を ヨセフを エジプトへ
H3701 H0935 H0853 H3130 H4714

時にミデアンびとの商人たちが通りかかったので、彼らはヨセフを穴から引き上げ、銀二十シケルでヨセフをイシマエルびとに売った。彼らはヨセフをエジプトへ連れて行った。

29 וַיָּ֣שָׁב רְאוּבֵן֮ אֶל־ הַבּוֹר֒ וְהִנֵּ֣ה אֵין־ יוֹסֵף֮ בַּבּוֹר֒ וַיִּקְרַ֖ע
そして-戻った ルベンは ～へ 穴へ すると-見よ いない ヨセフが 穴に そして-引き裂いた
H7725 H7205 H0413 H2009 H0369 H3130 H0953 H7167

אֶת־ בְּגָדָֽיו׃
～を 衣服を
H0853

さてルベンは穴に帰って見たが、ヨセフが穴の中にいなかったので、彼は衣服を裂き、

30 וַיָּשָׁב אֶל־אֶחָיו וַיֹּאמַר הַיֶּלֶד אֵינֶנּוּ וַאֲנִי אָנָה אָנִי־בָא׃
そして-戻った ～の-もとへ 兄たちの そして-言った 子どもが いない そして-私は どこへ 私は 行けば-よいのか
H7725 H0413 H0251 H0559 H3206 H0369 H0589 H0575 H0589 H0935

兄弟たちのもとに帰って言った、「あの子はいない。ああ、わたしはどこへ行くことができよう」。

31 וַיִּקְחוּ אֶת־כְּתֹנֶת יוֹסֵף וַיִּשְׁחֲטוּ שְׂעִיר עִזִּים וַיִּטְבְּלוּ אֶת־הַכְּתֹנֶת בַּדָּם׃
そして-取った ～を 衣を ヨセフの そして-屠った 雄の やぎを そして-浸した ～を 血に
H3947 H0853 H3801 H3130 H7795 H5795 H2881 H0853 H1818

彼らはヨセフの着物を取り、雄やぎを殺して、着物をその血に浸し、

32 וַיְשַׁלְּחוּ אֶת־כְּתֹנֶת הַפַּסִּים וַיָּבִיאוּ אֶל־אֲבִיהֶם וַיֹּאמְרוּ זֹאת מָצָאנוּ הַכֶּר־נָא הַכְּתֹנֶת בִּנְךָ הִוא אִם־לֹא׃
そして-送った ～を 衣を 袖の-美しい そして-持って-行った ～に 父に そして-言った これを 見つけました 見分けて-ください 衣が あなたの-息子の それか それとも 違うのか
H7971 H0853 H3801 H6446 H0935 H0413 H0001 H0559 H2063 H4672 H4994 H3801 H1931 H0518

その長そでの着物を父に持ち帰って言った、「わたしたちはこれを見つけましたが、これはあなたの子の着物か、どうか見さだめてください」。

33 וַיַּכִּירָהּ וַיֹּאמֶר כְּתֹנֶת בְּנִי חַיָּה רָעָה אֲכָלָתְהוּ טָרֹף טֹרַף יוֹסֵף׃
そして-見分けた そして-言った 衣だ わが-息子の 獣が 悪い 食ったのだ 引き裂かれ 引き裂かれたのだ ヨセフは
H3045 H0559 H3801 H0251 H2416 H7451 H0398 H2963 H2963 H3130

父はこれを見さだめて言った、「わが子の着物だ。悪い獣が彼を食ったのだ。確かにヨセフはかみ裂かれたのだ」。

34 וַיִּקְרַע יַעֲקֹב שִׂמְלֹתָיו וַיָּשֶׂם שָׂק בְּמָתְנָיו וַיִּתְאַבֶּל עַל־בְּנוֹ יָמִים רַבִּים׃
そして-引き裂いた ヤコブは 衣服を そして-着けた 荒布を 腰に そして-嘆いた ～の-ために 息子の 日々 多くの
H7167 H3290 H8071 H7760 H8242 H4975 H0056 H5921 H1121 H3117 H7227

そこでヤコブは衣服を裂き、荒布を腰にまとって、長い間その子のために嘆いた。

35

וַיְמָאֵן	לְנַחֲמוֹ	בְּנֹתָיו	וְכָל־	בָּנָיו	כָּל־	וַיָּקֻמוּ
しかし–拒んだ	慰める–ために	娘たちが	そして–すべての	息子たちと	すべての	そして–立ち上がった
H3985	H5162	H1323	H3605		H3605	

שְׁאֹלָה	אֶבֶל	בְּנִי	אֶל־	אֵרֵד	כִּי־	וַיֹּאמֶר	לְהִתְנַחֵם
陰府へ	嘆きながら	息子の–もとへ	～へ	下りよう	なぜなら	そして–言った	慰められる–ことを
H7585	H0057		H0413	H3381		H0559	H5162

אָבִיו׃	אֹתוֹ	וַיֵּבְךְּ
父は	彼の–ために	そして–泣いた
H0001	H0853	H1058

子らと娘らとは皆立って彼を慰めようとしたが、彼は慰められるのを拒んで言った、「いや、わたしは嘆きながら陰府に下って、わが子のもとへ行こう」。こうして父は彼のために泣いた。

36

פַּרְעֹה	סְרִיס	לְפוֹטִיפַר	מִצְרָיִם	אֶל־	אֹתוֹ	מָכְרוּ	וְהַמְּדָנִים
ファラオの	役人である	ポティファルに	エジプトへ	～へ	彼を	売った	そして–メダンびとは
H6547	H5631	H6318	H4714	H0413	H0853	H4376	H4092

פ	הַטַּבָּחִים׃	שַׂר
—	調衛の	長である
	H2876	H8269

さて、かのミデアンびとらはエジプトでパロの役人、侍衛長ポテパルにヨセフを売った。

Chapter 38

1

וַיֵּט	אֶחָיו	מֵאֵת	יְהוּדָה	וַיֵּרֶד	הַהוּא	בָּעֵת	וַיְהִי
そして–寿いだ	兄たちから	～から	ユダは	そして–下った	その	時に	そして–あった
H5186	H0251	H0854	H3063	H3381	H1931	H6256	H1961

חִירָה׃	וּשְׁמוֹ	עֲדֻלָּמִי	אִישׁ	עַד־
ヒラであった	そして–名は	アドラムびとの	人の	～の–もとへ
H2437	H8034	H5726	H0376	H5704

そのころユダは兄弟たちを離れて下り、アドラムびとで、名をヒラという者の所へ行った。

2

שׁוּעַ	וּשְׁמוֹ	כְּנַעֲנִי	אִישׁ	בַּת־	יְהוּדָה	שָׁם	וַיַּרְא־
シュアであった	そして–名は	カナンびとの	人の	娘を	ユダは	そこで	そして–見た
H7770	H8034		H0376	H1323	H3063	H8033	H7200

אֵלֶיהָ׃	וַיָּבֹא	וַיִּקָּחֶהָ
彼女の–もとへ	そして–入った	そして–娶った
H0413	H0935	H3947

ユダはその所で、名をシュアというカナンびとの娘を見て、これをめとり、その所にはいった。

3

עֵר׃	שְׁמוֹ	אֶת־	וַיִּקְרָא	בֵּן	וַתֵּלֶד	וַתָּהַר
エルと	彼の–名を	～を	そして–名づけた	息子を	そして–産んだ	そして–身ごもった
H6147	H8034	H0853	H7121		H3205	H2029

彼女はみごもって男の子を産んだので、ユダは名をエルと名づけた。

4

אוֹנָן׃	שְׁמוֹ	אֶת־	וַתִּקְרָא	בֵּן	וַתֵּלֶד	עוֹד	וַתָּהַר
オナンと	彼の–名を	～を	そして–名づけた	息子を	そして–産んだ	また	そして–身ごもった
H0209	H8034	H0853	H7121		H3205	H5750	H2029

彼女は再びみごもって男の子を産み、名をオナンと名づけた。

שֵׁלָה	שְׁמוֹ	אֶת־	וַתִּקְרָא	בֵּן	וַתֹּסֶף	עוֹד	וַתֹּסֶף	5
シェラと	彼の–名を	～を	そして–名づけた	息子を	そして–産んだ	さらに	そして–加えた	
H7956	H8034	H0853	H7121		H3205	H5750	H3254	

אֹתוֹ׃	בְּלִדְתָּהּ	בְּכְזִיב	וְהָיָה	
彼を	産んだ–とき	ケジブに	そして–いた	
H0853	H3205	H3580	H1961	

また重ねて、男の子を産み、名をシラと名づけた。彼女はこの男の子を産んだとき、クジブにおった。

תָּמָר׃	וּשְׁמָהּ	בְּכוֹרוֹ	לְעֵר	אִשָּׁה	יְהוּדָה	וַיִּקַּח		6
タマルであった	そして–名は	長子の	エルに	妻を	ユダは	そして–娶った		
H8559	H8034	H1060	H6147	H0802	H3063	H3947		

ユダは長子エルのために、名をタマルという妻を迎えた。

יְהוָה׃	וַיְמִתֵהוּ	יְהוָה	בְּעֵינֵי	רַע	יְהוּדָה	בְּכוֹר	עֵר	וַיְהִי	7
主は	そして–殺した	主の	目に	悪い–者であった	ユダの	長子は	エルは	そして–いた	
H3068	H4191	H3068			H3063	H1060	H6147	H1961	

しかしユダの長子エルは主の前に悪い者であったので、主は彼を殺された。

וְיַבֵּם	אֲחִיךָ	אֵשֶׁת	אֶל־	בֹּא	לְאוֹנָן	יְהוּדָה	וַיֹּאמֶר	8
そして–嫁ぎなさい	兄の	妻の	～の–もとへ	入りなさい	オナンに	ユダは	そして–言った	
H2992	H0251	H0802	H0413	H0935	H0209	H3063	H0559	

לַאֲחִיךָ׃	זֶרַע	וְהָקֵם	אֹתָהּ
兄の–ために	子孫を	そして–起こしなさい	彼女を
H0251	H2233		H0853

そこでユダはオナンに言った、「兄の妻の所にはいって、彼女をめとり、兄に子供を得させなさい」。

וְהָיָה	הַזֶּרַע	יִהְיֶה	לוֹ	לֹא	כִּי	אוֹנָן	וַיֵּדַע		9
そして–あった	子孫は	である	彼の	自分の–ものではない–と	～と	オナンは	そして–知った		
H1961	H2233	H1961		H3808		H0209	H3045		

נָתַן־	לְבִלְתִּי	אַרְצָה	וְשִׁחֵת	אָחִיו	אֵשֶׁת	אֶל־	בָּא	אִם־	
与えない	～ない–ために	地に	そして–損なった	兄の	妻の	～の–もとへ	入る	～する–とき	
H5414	H1115	H0776	H7843	H0251	H0802	H0413	H0935		

לְאָחִיו׃	זֶרַע
兄に	子孫を
H0251	H2233

しかしオナンはその子が自分のものとならないのを知っていたので、兄の妻の所にはいった時、兄に子を得させないために地に洩らした。

אֹתוֹ׃	גַּם־	וַיָּמֶת	עָשָׂה	אֲשֶׁר	יְהוָה	בְּעֵינֵי	וַיֵּרַע	10
彼も	また	そして–殺した	行った–ことは	～の	主の	目に	そして–悪かった	
H0853	H1571	H4191			H3068			

彼のした事は主の前に悪かったので、主は彼をも殺された。

11 וַיֹּ֤אמֶר יְהוּדָה֙ לְתָמָ֣ר כַּלָּת֔וֹ שְׁבִ֥י אַלְמָנָ֖ה בֵּ֣ית־אָבִ֑יךְ עַד־
そして-言った ユダは 嫁に タマルに とどまりなさい 未亡人として 家に 父の ～まで
H0559 H3063 H3618 H8559 H3427 H0490 H0001 H5704

יִגְדַּ֣ל שֵׁלָ֔ה בְּנִ֖י כִּ֣י אָמַ֑ר פֶּן־יָמ֥וּת גַּם־ה֛וּא כְּאֶחָ֖יו וַתֵּ֥לֶךְ
大きく-なる-まで シェラが わが-息子の なぜなら 思った ～しない-ように 死なない また 彼も 兄たちの-ように そして-行った タマルは そして-住んだ 家に 父の
H1431 H7956 H0559 H6435 H4191 H1571 H1931 H3212 H8559 H3427 H1004 H0001

תָּמָ֔ר וַתֵּ֖שֶׁב בֵּ֣ית אָבִ֑יהָ׃
タマルは そして-住んだ 家に 父の
H8559 H3427 H1004 H0001

そこでユダはその子の妻タマルに言った、「わたしの子シラが成人するまで、寡婦のままで、あなたの父の家にいなさい」。彼は、シラもまた兄弟たちのように死ぬかもしれないと、思ったからである。それでタマルは行って父の家におった。

12 וַיִּרְבּ֖וּ הַיָּמִ֑ים וַתָּ֣מָת בַּת־שׁ֔וּעַ אֵ֥שֶׁת יְהוּדָ֖ה וַיִּנָּחֶ֥ם יְהוּדָ֛ה
そして-増えた 日々が そして-死んだ 娘は シュアの 妻は ユダの そして-慰められた ユダは
H3117 H4191 H1323 H7770 H0802 H3063 H5162 H3063

אֶל־תִּמְנַ֥ת עַל־גֹּזְזֵ֖י צֹאנ֑וֹ ה֚וּא וְחִירָ֣ה רֵעֵ֔הוּ הָֽעֲדֻלָּמִֽי׃
～の-もとへ 羊の-毛を-刈る-者の 羊の 彼と そして-ヒラが 友人の アドラムびとの
H8553 H5927 H1494 H6629 H1931 H2437 H7453 H5726

日がたってシュアの娘ユダの妻は死んだ。その後、ユダは喪を終ってその友アドラムびとヒラと共にテムナに上り、自分の羊の毛を切る者のところへ行った。

13 וַיֻּגַּ֣ד לְתָמָ֔ר לֵאמֹ֖ר הִנֵּ֣ה חָמִ֣יךְ עֹלֶ֑ה תִּמְנָ֖תָה לָגֹ֥ז צֹאנֽוֹ׃
そして-知らされた タマルに 言って 見よ あなたの-しゅうとが 上って-いく ティムナへ 羊の-毛を 刈る-ために
H5046 H8559 H0559 H2009 H2524 H5927 H8553 H6629 H1494

時に、ひとりの人がタマルに告げて、「あなたのしゅうとが羊の毛を切るためにテムナに上って来る」と言ったので、

14 וַתָּ֣סַר מֵעָלֶ֗יהָ אַלְמְנוּתָהּ֙ בִּגְדֵ֣י וַתָּ֔סַר וַתִּתְעַלָּ֖ף בַּצָּעִ֑יף וַתֵּ֖כָס
そして-脱いだ 衣を 未亡人の 彼女の-上から そして-覚った ヴェールで そして-包んだ
H5493 H0491 H1004 H3680 H6809 H5968

וַתֵּ֣שֶׁב פֶּ֣תַח עֵינַ֔יִם אֲשֶׁ֖ר עַל־דֶּ֣רֶךְ תִּמְנָ֑תָה כִּ֣י רָאָ֔תָה
そして-座った 入り口に エナイムの ～の ～の-上に-ある 道の ティムナへの なぜなら 見た
H3427 H6607 H5879 H0834 H5921 H1870 H8553 H3588 H7200

כִּֽי־גָדְלָ֣ה שֵׁלָ֔ה וְה֥וּא לֹא־נִתְּנָ֖ה ל֥וֹ לְאִשָּׁ֑ה׃
～と 大きく-なった-と シェラが しかし-彼女は 与えられて-いなかった 与えられて 彼に 妻に
H3588 H1431 H7956 H1931 H3808 H5414 H0802

彼女は寡婦の衣服を脱ぎすて、被衣で身をおおい隠して、テムナへ行く道のかたわらにあるエナイムの入口にすわっていた。彼女はシラが成人したのに、自分がその妻にされないのを知ったからである。

15 וַיִּרְאֶ֣הָ יְהוּדָ֔ה וַיַּחְשְׁבֶ֖הָ לְזוֹנָ֑ה כִּ֣י כִסְּתָ֔ה פָּנֶ֖יהָ׃
そして-見た ユダは そして-思った 遊女だ-と なぜなら 覚って-いた 顔を
H7200 H3063 H2803 H2181 H3588 H3680 H6440

ユダは彼女を見たとき、彼女が顔をおおっていたため、遊女だと思い、

16 וַיֵּט אֵלֶיהָ אֶל־הַדֶּרֶךְ וַיֹּאמֶר הָבָה־נָּא אָבוֹא
そして–曲がった 彼女の–もとへ ～の–そばへ 道の 言った さあ どうか 入らせて–くれ
H5186 H0413 H0413 H1870 H0559 H3051 H4994 H0935

אֵלַיִךְ כִּי לֹא יָדַע כִּי כַלָּתוֹ הִוא וַתֹּאמֶר מַה־תִּתֶּן לִי כִּי תָבוֹא אֵלָי׃
お前の–もとへ なぜなら 知らなかった 知らなかった 嫁だ–と 彼女は すると–言った 何を 私に ～するなら 入るなら 私の–もとへ
H0413 H3808 H3045 H3618 H1931 H0559 H4100 H5414 H0413 H0935

道のかたわらで彼女に向かって言った、「さあ、あなたの所にはいらせておくれ」。彼はこの女がわが子の妻であることを知らなかったからである。彼女は言った、「わたしの所にはいるため、何をくださいますか」。

17 וַיֹּאמֶר אָנֹכִי אֶשְׁלַח גְּדִי־עִזִּים מִן־הַצֹּאן וַתֹּאמֶר אִם־תִּתֶּן עֵרָבוֹן עַד־תִּשְׁלָחֶךָּ׃
そして–言った 私は 送ろう やぎの 子やぎを ～から 群れから すると–言った もし 保証を くれるなら ～まで 送る–まで
H0559 H0595 H7971 H5795 H1423 H4480 H6629 H0559 H4994 H6162 H5414 H5704 H7971

ユダは言った、「群れのうちのやぎの子をあなたにあげよう」。彼女は言った、「それをくださるまで、しるしをわたしにくださいますか」。

18 וַיֹּאמֶר מָה עֵרָבוֹן אֲשֶׁר אֶתֶּן־לָךְ וַתֹּאמֶר חֹתָמְךָ וּפְתִילֶךָ וּמַטְּךָ אֲשֶׁר בְּיָדֶךָ וַיִּתֶּן־לָהּ וַיָּבֹא אֵלֶיהָ וַתַּהַר לוֹ׃
そして–言った 何を 保証として ～を 与えようか お前に 言った あなたの–印章と そして–紐と そして–杖を ～の 手に–ある そして–与えた 彼女に そして–入った 彼女の–もとへ 彼に–よって そして–身ごもった
H0559 H4100 H6162 H0834 H5414 H0559 H2368 H6616 H4294 H0834 H3027 H5414 H0413 H0935 H0413 H2029

ユダは言った、「どんなしるしをあげようか」。彼女は言った、「あなたの印と紐と、あなたの手にあるつえとを」。彼はこれらを与えて彼女の所にはいった。彼女はユダによってみごもった。

19 וַתָּקָם וַתֵּלֶךְ וַתָּסַר צְעִיפָהּ מֵעָלֶיהָ וַתִּלְבַּשׁ בִּגְדֵי אַלְמְנוּתָהּ׃
そして–立ち上がった そして–行った そして–脱いだ ヴェールを 彼女の–上から そして–着た 衣を 未亡人の
H6965 H3212 H5493 H6809 H5921 H3847 H0899 H0491

彼女は起きて去り、被衣を脱いで寡婦の衣服を着た。

20 וְיִשְׁלַח יְהוּדָה בְּיַד רֵעֵהוּ הָעֲדֻלָּמִי לָקַחַת מִיַּד הָאִשָּׁה וְלֹא מְצָאָהּ׃
そして–送った ユダは 手で 友人の アドラムびとの 受け取る–ために 手から 女の しかし–できなかった 見つける–ことが
H7971 H3063 H3027 H7453 H5726 H3947 H3027 H0802 H3808 H4672

やがてユダはその女からしるしを取りもどそうと、その友アドラムびとに託してやぎの子を送ったけれども、その女を見いだせなかった。

21 וַיִּשְׁאַ֤ל אֶת־אַנְשֵׁי֙ מְקֹמָ֔הּ לֵאמֹ֕ר אַיֵּ֗ה הַקְּדֵשָׁה֙ הִ֣וא
〜に 人々に その–場所の 言って どこに–いるのか 神殿–娼女は 彼女は
H0853 H0376 H4725 H0559 H0346 H6948 H1931

בָּעֵינַ֑יִם עַל־ הַדָּ֣רֶךְ֮ וַיֹּאמְר֣וּ לֹא־ הָיְתָ֣ה בָזֶ֔ה קְדֵשָׁ֖ה׃
エナイムに–いる 〜の–上の 道の 言った いなかった いなかった ここには 神殿–娼女は
H5879 H0413 H1870 H0559 H3808 H1961 H2088 H6948

そこで彼はその所の人々に尋ねて言った、「エナイムで道のかたわらにいた遊女はどこにいますか」。彼らは言った、「ここには遊女はいません」。

22 וַיָּ֣שָׁב אֶל־ יְהוּדָ֗ה וַיֹּ֙אמֶר֙ לֹ֣א מְצָאתִ֔יהָ
そして–戻った 〜の–もとへ ユダの そして–言った 見つけられなかった 見つけられなかった
H7725 H0413 H3063 H0559 H3808 H4672

וְגַם֙ אַנְשֵׁ֣י הַמָּק֔וֹם אָמְר֥וּ לֹא־ הָיְתָ֣ה בָזֶ֔ה קְדֵשָׁ֖ה׃
そして–また 人々は その–場所の 言った いなかった いなかった ここには 神殿–娼女は
H1571 H0376 H4725 H0559 H3808 H1961 H2088 H6948

彼はユダのもとに帰って言った、「わたしは彼女を見いだせませんでした。またその所の人々は、『ここには遊女はいない』と言いました」。

23 וַיֹּ֣אמֶר יְהוּדָה֮ לְתִקַּ֣ח לָהּ֒ פֶּן־ נִהְיֶ֣ה לָבֻ֔וז הִנֵּ֥ה שָׁלַ֖חְתִּי הַגְּדִ֣י הַזֶּ֑ה וְאַתָּ֖ה לֹ֥א מְצָאתָֽהּ׃
そして–言った ユダは 取らせて–おけ 彼女に 〜しない–ように ならない 侮りに 見よ 送った 子やぎを この そして–お前は 見つけられなかった 見つけられなかった
H0559 H3063 H3947 H6435 H1961 H0937 H2009 H7971 H1423 H2088 H0859 H4672 H3808

そこでユダは言った、「女に持たせておこう。わたしたちは恥をかくといけないから。とにかく、わたしはこのやぎの子を送ったが、あなたは彼女を見いだせなかったのだ」。

24 וַיְהִי֙ כִּמְשֹׁ֣לֹשׁ חֳדָשִׁ֔ים וַיֻּגַּ֣ד לִֽיהוּדָ֔ה לֵאמֹ֕ר זָנְתָ֥ה תָמָ֖ר
そして–あった 約–三 か月–後に そして–知らされた ユダに 言って 姦淫した タマルが
H1961 H7969 H2320 H5046 H3063 H0559 H2181 H8559

וְגַם֙ הִנֵּ֣ה הָרָ֔ה לִזְנוּנִ֑ים כַּלָּתְךָ֙ יְהוּדָ֣ה וַיֹּ֙אמֶר֙ הוֹצִיאוּ֖הָ
そして–また 見よ 身ごもって–いる 姦淫に–よって 嫁が ユダは すると–言った 連れ出せ
H1571 H2009 H2183 H3618 H3063 H0559 H3318

וְתִשָּׂרֵֽף׃
そして–焚かれる–ように
H8313

ところが三月ほどたって、ひとりの人がユダに言った、「あなたの嫁タマルは姦淫しました。そのうえ、彼女は姦淫によってみごもりました」。ユダは言った、「彼女を引き出して焼いてしまえ」。

25 הִ֣וא מוּצֵ֔את וְהִ֣יא שָׁלְחָ֔ה אֶל־ חָמִ֖יהָ לֵאמֹ֑ר לְאִ֨ישׁ֙ אֲשֶׁר־
彼女は 連れ出された そして–彼女は 送った 〜に しゅうとに 言って 人に–よって 〜の
H1931 H3318 H1931 H7971 H0413 H2524 H0559 H0376

אֵ֣לֶּה לּ֔וֹ אָנֹכִ֖י הָרָ֑ה וַתֹּ֣אמֶר הַכֶּר־ נָ֣א
これらの 持ち主の 私は 身ごもって–います そして–言った 見分けて–ください どうか
H0428 H0595 H2029 H0559 H5234 H4994

וְהַמַּטֶּ֖ה הַחֹתָ֣מֶת וְהַפְּתִילִ֑ים לְמִ֥י הָאֵֽלֶּה׃
そして–杖は 印章と そして–紐と だれの–ものか これらの
H4294 H2858 H6616 H4310 H0428

彼女は引き出された時、そのしゅうとに人をつかわして言った、「わたしはこれをもっている人によって、みごもりました」。彼女はまた言った、「どうか、この印と、紐と、つえとはだれのものか、見定めてください」。

לֹא־	כֵּן	עַל־	כִּי־	מִמֶּנִּי	צָדְקָה	וַיֹּאמֶר	יְהוּדָה	וַיַּכֵּר	26
与えなかった	ために	～の	なぜなら	私よりも	正しい	そして–言った	ユダは	そして–見分けた	
H3808					H6663	H0559	H3063		

לְדַעְתָּהּ׃	עוֹד	יָסַף	וְלֹא־	בְנִי	לְשֵׁלָה	נְתַתִּיהָ
知る–ことを	もはや	加えなかった	そして–しなかった	わが–息子の	シェラに	与えなかった
H3045	H5750	H3254	H3808		H7956	H5414

ユダはこれを見定めて言った、「彼女はわたしよりも正しい。わたしが彼女をわが子シラに与えなかったためである」。彼は再び彼女を知らなかった。

בְּבִטְנָהּ׃	תְּאוֹמִים	וְהִנֵּה	לְדָרְתָהּ	בְּעֵת	וַיְהִי	27
胎に–いた	双子が	すると–見よ	産みの	時に	そして–あった	
H0990	H8380	H2009	H3205	H6256	H1961	

さて彼女の出産の時がきたが、胎内には、ふたごがあった。

וַתִּקְשֹׁר	הַמְיַלֶּדֶת	וַתִּקַּח	יָד	וַיִּתֵּן־	בְּלִדְתָהּ	וַיְהִי	28
そして–結びつけた	産婆は	そして–取った	手を	そして–出した	産みの–とき	そして–あった	
H7194	H3205	H3947	H3027	H5414	H3205	H1961	

רִאשֹׁנָה׃	יָצָא	זֶה	לֵאמֹר	שָׁנִי	יָדוֹ	עַל־	
最初に	出て–きた	この–子が	言って	紅い–糸を	手に	～に	
H7223	H3318	H2088	H0559	H8144	H3027		

出産の時に、ひとりの子が手を出したので、産婆は、「これがさきに出た」と言い、緋の糸を取って、その手に結んだ。

מַה־	וַתֹּאמֶר	אָחִיו	יָצָא	וְהִנֵּה	יָדוֹ	כְּמֵשִׁיב	וַיְהִי	29
何と	そして–言った	兄弟が	出て–きた	すると–見よ	手を	引っ込めた–とき	そして–あった	
H4100	H0559	H0251	H3318	H2009	H3027	H7725	H1961	

פָּרֶץ׃	שְׁמוֹ	וַיִּקְרָא	פָּרֶץ	עָלֶיךָ	פָּרַצְתָּ
ペレツと	彼の–名を	そして–名づけた	破れよ	お前に–対して	破ったのか
H6557	H8034	H7121	H6556		H6555

そして、その子が手をひっこめると、その弟が出たので、「どうしてあなたは自分で破って出るのか」と言った。これによって名はペレツと呼ばれた。

וַיִּקְרָא	הַשָּׁנִי	יָדוֹ	עַל־	אֲשֶׁר	אָחִיו	יָצָא	וְאַחַר	30
そして–名づけた	紅い–糸の–ある	手に	～に	～の	兄弟が	出て–きた	そして–その–後に	
H7121	H8144	H3027			H0251	H3318		

ס	זָרַח׃	שְׁמוֹ	
—	ゼラヒと	彼の–名を	
	H2226	H8034	

その後、手に緋の糸のある兄が出たので、名はゼラと呼ばれた。

Chapter 39

פַּרְעֹה	סְרִיס	פּוֹטִיפַר׀	וַיִּקְנֵהוּ	מִצְרָיְמָה	הוּרַד	וְיוֹסֵף	1
ファラオの	宦官	ポティファルが	そして–彼を–買った	エジプトへ	連れ下された	さて–ヨセフは	
H6547	H5631	H6318	H7069	H4714	H3381	H3130	

שָׁמָּה׃	הוֹרִדֵהוּ	אֲשֶׁר	הַיִּשְׁמְעֵאלִים	מִיַּד	מִצְרִי	אִישׁ	הַטַּבָּחִים	שַׂר
そこへ	彼を–連れ下った	ところの	イシュマエル人の	手から	エジプト人の	人	侍衛の	長
H8033	H3381		H3459	H3027	H4713	H0376	H2876	H8269

さてヨセフは連れられてエジプトに下ったが、パロの役人で侍衛長であったエジプトびとポテパルは、彼をそこに連れ下ったイシマエルびとらの手から買い取った。

2

בְּבֵית	וַיְהִי	מַצְלִיחַ	אִישׁ	וַיְהִי	יוֹסֵף	אֶת־	יְהוָה	וַיְהִי
家に	そして-いた	栄える	人	そして-なった	ヨセフと-ともに	—	主が	そして-あった
	H1961		H0376	H1961	H3130	H0854	H3068	H1961

הַמִּצְרִי׃	אֲדֹנָיו
エジプト人の	主人の
H4713	H0113

主がヨセフと共におられたので、彼は幸運な者となり、その主人エジプトびとの家におった。

3

יְהוָה	עֹשֶׂה	הוּא	אֲשֶׁר־	וְכֹל	אִתּוֹ	יְהוָה	כִּי	אֲדֹנָיו	וַיַּרְא
主が	行う	彼が	ところの	そして-すべて	彼と-ともに	主が	ことを	主人が	そして-見た
H3068		H1931		H3605	H0854	H3068		H0113	H7200

בְּיָדוֹ׃	מַצְלִיחַ
手の-中で	栄えさせる
H3027	

その主人は主が彼とともにおられることと、主が彼の手のすることをすべて栄えさせられるのを見た。

4

עַל־	וַיִּפְקְדֵהוּ	אֹתוֹ	וַיְשָׁרֵת	בְּעֵינָיו	חֵן	יוֹסֵף	וַיִּמְצָא	
上に	そして-彼を-任命した	彼に	そして-仕えた	目の-中に	恵みを	ヨセフは	そして-見出した	
		H0853	H8334		H2580	H3130	H4672	

בְּיָדוֹ׃	נָתַן	לוֹ	יֵשׁ־	וְכֹל־	בֵּיתוֹ
手に	与えた	彼に	ある	そして-すべて	家の
H3027	H5414		H3426	H3605	

そこで、ヨセフは彼の前に恵みを得、そのそば近く仕えた。彼はヨセフに家をつかさどらせ、持ち物をみな彼の手にゆだねた。

5

לוֹ	יֵשׁ־	אֲשֶׁר	כֹּל־	וְעַל	בְּבֵיתוֹ	אֹתוֹ	הִפְקִיד	מֵאָז	וַיְהִי
彼に	ある	ところの	すべて	そして-上に	家に	彼を	任命した	時から	そして-あった
	H3426		H3605			H0853			H1961

יְהוָה	בִּרְכַּת	וַיְהִי	יוֹסֵף	בִּגְלַל	הַמִּצְרִי	בָּיִת	אֶת־	יְהוָה	וַיְבָרֶךְ
主の	祝福が	そして-あった	ヨセフの	ゆえに	エジプト人の	家を	—	主が	そして-祝福した
H3068	H1293	H1961	H3130	H1558	H4713		H0853	H3068	H1288

בַּשָּׂדֶה׃	בַּבַּיִת	לוֹ	יֵשׁ־	אֲשֶׁר	בְּכֹל־
そして-畑に	家に	彼に	ある	ところの	すべて-の-中に
			H3426		H3605

彼がヨセフに家とすべての持ち物をつかさどらせた時から、主はヨセフのゆえにそのエジプトびとの家を恵まれたので、主の恵みは彼の家と畑とにあるすべての持ち物に及んだ。

6

אִתּוֹ	יָדַע	וְלֹא־	יוֹסֵף	בְּיַד־	לוֹ	אֲשֶׁר־	כֹּל־	וַיַּעֲזֹב	
彼と	知ら	そして-なかった	ヨセフの	手に	彼に-ある	ところの	すべて	そして-ゆだねた	
H0854	H3045	H3808	H3130	H3027			H3605		

יְפֵה־	יוֹסֵף	וַיְהִי	אוֹכֵל	הוּא	אֲשֶׁר־	הַלֶּחֶם	אִם־	כִּי	מְאוּמָה
美しい	ヨセフは	そして-あった	食べる	彼が	ところの	パンを	を-除いて	ただ	何も
H3303	H3130	H1961	H0398	H1931		H3899			H3972

מַרְאֶה׃	וְיִפֵּה	תֹּאַר
顔立ちであった	そして-美しい	姿で
H4758	H3303	H8389

そこで彼は持ち物をみなヨセフの手にゆだねて、自分が食べる物のほかは、何をも顧みなかった。さてヨセフは姿がよく、顔が美しかった。

7

אֶל־	עֵינֶיהָ	אֶת־	אֲדֹנָיו	אֵשֶׁת־	וַתִּשָּׂא	הָאֵלֶּה	הַדְּבָרִים	אַחַר	וַיְהִי
向けて	目を	—	主人の	妻が	そして-上げた	これらの	出来事の	後に	そして-あった
H0413		H0853	H0113	H0802	H5375	H0428	H1697		H1961

עִמִּי׃	שִׁכְבָה	וַתֹּאמֶר	יוֹסֵף
私と	寝なさい	そして-言った	ヨセフに
	H7901	H0559	H3130

これらの事の後、主人の妻はヨセフに目をつけて言った、「わたしと寝なさい」。

8

אִתִּי	יָדַע	לֹא־	אֲדֹנִי	הֵן	אֲדֹנָיו	אֵשֶׁת	אֶל־	וַיֹּאמֶר	וַיְמָאֵן
私と	知ら	ない	わが-主人は	見よ	主人の	妻	に	そして-言った	しかし-拒んだ
H0854	H3045	H3808	H0113	H2005	H0113	H0802	H0413	H0559	H3985

בְּיָדִי׃	נָתַן	לוֹ	יֵשׁ־	אֲשֶׁר־	וְכֹל	בַּבָּיִת	מַה־
わが-手に	与えた	彼に	ある	ところの	そして-すべて	家に-あるか	何が
H3027	H5414		H3426		H3605		H4100

ヨセフは拒んで、主人の妻に言った、「御主人はわたしがいるので家の中の何をも顧みず、その持ち物をみなわたしの手にゆだねられました。

9

מְאוּמָה	מִמֶּנִּי	חָשַׂךְ	וְלֹא־	מִמֶּנִּי	הַזֶּה	בַּבַּיִת	גָּדוֹל	אֵינֶנּוּ
何も	私から	退けなかった	そして-ない	私より	この	家の-中に	大きい-者は	いない
H3972		H2820	H3808		H2088			H0369

הַגְּדֹלָה	הָרָעָה	אֶעֱשֶׂה	וְאֵיךְ	אִשְׁתּוֹ	אַתְּ־	בַּאֲשֶׁר	אוֹתָךְ	אִם־	כִּי
大きな	悪を	行おうか	どうして	妻である	あなたは	なぜなら	あなたを	を-除いて	ただ
				H0802			H0853		

לֵאלֹהִים׃	וְחָטָאתִי	הַזֹּאת
神に-対して	そして-罪を-犯そうか	この
H0430	H2398	H2063

この家にはわたしよりも大いなる者はありません。また御主人はあなたを除いては、何をもわたしに禁じられませんでした。あなたが御主人の妻であるからです。どうしてわたしはこの大きな悪をおこなって、神に罪を犯すことができましょう」。

10

שָׁמַע	וְלֹא־	יוֹם	וְיוֹם	יוֹסֵף	אֶל־	כְּדַבְּרָהּ	וַיְהִי
聞か	そして-なかった	ごとに	日	ヨセフに	に	彼女が-語りかけた-時	そして-あった
H8085	H3808	H3117	H3117	H3130	H0413	H1696	H1961

עִמָּהּ׃	לִהְיוֹת	אֶצְלָהּ	לִשְׁכַּב	אֵלֶיהָ
彼女と-ともに	いること	そばで	寝ることを	彼女に
	H1961	H0681	H7901	H0413

彼女は毎日ヨセフに言い寄ったけれども、ヨセフは聞きいれず、彼女と寝なかった。また共にいなかった。

11

מְלַאכְתּוֹ	לַעֲשׂוֹת	הַבָּיְתָה	וַיָּבֹא	הַזֶּה	כְּהַיּוֹם	וַיְהִי
仕事を	するために	家の-中へ	そして-入った	この	ある-日の-こと	そして-あった
H4399			H0935	H2088	H3117	H1961

בַּבָּיִת׃	שָׁם	הַבַּיִת	מֵאַנְשֵׁי	אִישׁ	וְאֵין
家に	そこに	家の	人々の-うち	人は	そして-いなかった
	H8033		H0376	H0376	H0369

ある日ヨセフが務をするために家にはいった時、家の者がひとりもそこにいなかったので、

12 וַתִּתְפְּשֵׂהוּ בְּבִגְדּוֹ לֵאמֹר שִׁכְבָה עִמִּי וַיַּעֲזֹב בִּגְדוֹ בְּיָדָהּ
そして–彼を–つかんだ 衣を 言って 寝なさい 私と しかし–残した 衣を 手の–中に
H8610 H0559 H7901 H5127 H0413 H3318 H2351

וַיָּנָס וַיֵּצֵא הַחוּצָה׃
そして–逃げた そして–出た 外へ
H5127 H3318 H2351

彼女はヨセフの着物を捕えて、「わたしと寝なさい」と言った。ヨセフは着物を彼女の手に残して外にのがれ出た。

13 וַיְהִי כִּרְאוֹתָהּ כִּי עָזַב בִּגְדוֹ בְּיָדָהּ וַיָּנָס הַחוּצָה׃
そして–あった 彼女が–見た–時 ことを 残した 衣を 手の–中に そして–逃げた 外へ
H1961 H7200 H3027 H5127 H2351

彼女はヨセフが着物を自分の手に残して外にのがれたのを見て、

14 וַתִּקְרָא לְאַנְשֵׁי בֵיתָהּ וַתֹּאמֶר לָהֶם לֵאמֹר רְאוּ הֵבִיא לָנוּ
そして–呼んだ 人々を 家の そして–言った 彼らに 言って 見よ 連れて–来た 私たちに
H7121 H0376 H1004 H0559 H0559 H7200 H0935 H0853

אִישׁ עִבְרִי לְצַחֵק בָּנוּ בָּא אֵלַי לִשְׁכַּב עִמִּי וָאֶקְרָא
男を ヘブル人の もてあそぶ–ために 私たちを 来た 私の–もとに 寝ようと 私と そして–叫んだ
H0376 H5680 H6711 H0853 H0935 H0413 H7901 H5973 H7121

בְּקוֹל גָּדוֹל׃
大きな 声で

その家の者どもを呼び、彼らに告げて言った、「主人がわたしたちの所に連れてきたヘブルびとは、わたしたちに戯れます。彼はわたしと寝ようとして、わたしの所にはいったので、わたしは大声で叫びました。

15 וַיְהִי כְּשָׁמְעוֹ כִּי הֵרַמְתִּי קוֹלִי וָאֶקְרָא וַיַּעֲזֹב בִּגְדּוֹ
そして–あった 聞いた–時 ことを 上げた 声を そして–叫んだ そして–残した 衣を
H1961 H8085 H3588 H7311 H6963 H7121 H5973 H7121 H5975 H0853

אֶצְלִי וַיָּנָס וַיֵּצֵא הַחוּצָה׃
私の–そばに そして–逃げた そして–出た 外へ
H0681 H5127 H3318 H2351

彼はわたしが声をあげて叫ぶのを聞くと、着物をわたしの所に残して外にのがれ出ました」。

16 וַתַּנַּח בִּגְדּוֹ אֶצְלָהּ עַד בּוֹא אֲדֹנָיו אֶל בֵּיתוֹ׃
そして–置いた 衣を そばに まで 帰る 主人が へ 家
H3240 H0853 H0681 H5704 H0935 H0113 H0413 H1004

彼女はその着物をかたわらに置いて、主人の帰って来るのを待った。

17 וַתְּדַבֵּר אֵלָיו כַּדִּבְרִים הָאֵלֶּה לֵאמֹר בָּא אֵלַי הָעֶבֶד הָעִבְרִי
そして–語った 彼に 言葉の–とおりに これらの 言って 来た 私の–もとに しもべが ヘブル人の
H1696 H0413 H1697 H0428 H0559 H0935 H0413 H5650 H5680

אֲשֶׁר בָּאתָ בְּנוּ לְצַחֵק בִּי׃
ところの あなたが–連れて–来た 私たちに もてあそぶ–ために 私を
H0834 H0935 H0853 H6711

そして彼女は次のように主人に告げた、「あなたがわたしたちに連れてこられたヘブルのしもべはわたしに戯れようとして、わたしの所にはいってきました。

18

וַיְהִי כַּהֲרִימִי קוֹלִי וָאֶקְרָא וַיַּעֲזֹב בִּגְדוֹ אֶצְלִי
そして-あった 上げた-時 声を そして-叫んだ そして-残した 衣を 私の-そばに
H1961 H7121 H0681

וַיָּנָס הַחוּצָה׃
そして-逃げた 外へ
H5127 H2351

わたしが声をあげて叫んだので、彼は着物をわたしの所に残して外にのがれました」。

19

וַיְהִי כִּשְׁמֹעַ אֲדֹנָיו אֶת־דִּבְרֵי אִשְׁתּוֹ אֲשֶׁר דִּבְּרָה אֵלָיו לֵאמֹר
そして-あった 聞いた-時 主人が 言葉を 妻の ところの 語った 彼に 言って
H1961 H8085 H0113 H0853 H1697 H0802 H0428 H1696 H0413 H0559

כְּדִבְרִים הָאֵלֶּה עָשָׂה לִי עַבְדֶּךָ וַיִּחַר אַפּוֹ׃
言葉の-とおりに これらの 行った 私に あなたの-しもべが そして-燃えた 怒りが
H1697 H0428 H6213 H0589 H5650 H2734 H0639

主人はその妻が「あなたのしもべは、わたしにこんな事をした」と告げる言葉を聞いて、激しく怒った。

20

וַיִּקַּח אֲדֹנֵי יוֹסֵף אֹתוֹ וַיִּתְּנֵהוּ אֶל־בֵּית הַסֹּהַר מְקוֹם אֲשֶׁר
そして-捕らえた 主人が ヨセフの 彼を そして-入れた の中に 家 監獄の 場所 ところの
H3947 H0113 H0853 H3130 H5414 H0413 H1004 H5470 H4725 H0834

אסורי (אֲסִירֵי) הַמֶּלֶךְ אֲסוּרִים בְּבֵית הַסֹּהַר׃
— 囚人が 王の つながれている 家に 監獄の
H0631 H0615 H4428 H0631 H1004 H5470

そしてヨセフの主人は彼を捕えて、王の囚人をつなぐ獄屋に投げ入れた。こうしてヨセフは獄屋の中におったが、

21

וַיְהִי יְהוָה אֶת־יוֹסֵף וַיֵּט אֵלָיו חָסֶד וַיִּתֵּן חִנּוֹ בְּעֵינֵי שַׂר בֵּית־הַסֹּהַר׃
しかし-あった 主が — ヨセフと-ともに そして-示した 彼に 慈しみを そして-与えた 恵みを 目の-中に 長の 家の- 監獄の
H1961 H3068 H0854 H3130 H5186 H0413 H2617 H5414 H2580 H8269 H1004 H5470

主はヨセフと共におられて彼にいつくしみを垂れ、獄屋番の恵みをうけさせられた。

22

וַיִּתֵּן שַׂר בֵּית־הַסֹּהַר אֶת־כָּל־הָאֲסִירִם אֲשֶׁר בְּבֵית וְאֵת כָּל־אֲשֶׁר עֹשִׂים שָׁם הוּא הָיָה עֹשֶׂה׃
そして-与えた 長は 家の- 監獄の — すべて 囚人を ところの 家に そして 全ての ところの 行う そこで 彼が あった 行う-者であった
H5414 H8269 H1004 H5470 H0853 H3605 H0615 H0834 H1004 H0853 H3605 H0834 H6213 H8033 H1931 H1961 H6213

獄屋番は獄屋におるすべての囚人をヨセフの手にゆだねたので、彼はそこでするすべての事をおこなった。

23

וְאֵין שַׂר בֵּית־הַסֹּהַר רֹאֶה אֶת־כָּל־מְאוּמָה בְּיָדוֹ בַּאֲשֶׁר יְהוָה אִתּוֹ וַאֲשֶׁר הוּא עֹשֶׂה יְהוָה מַצְלִיחַ׃ ס
なかった 長は 家の- 監獄の 見る — 全ての 何も 手の-中を なぜなら 主が 彼と-ともに ところの そして- 彼が 行う 主が 栄えさせた —
H0369 H8269 H1004 H5470 H7200 H0853 H3605 H3972 H3027 H0834 H3068 H0854 H0834 H1931 H6213 H3068 H6743

獄屋番は彼の手にゆだねた事はいっさい顧みなかった。主がヨセフと共におられたからである。主は彼のなす事を栄えさせられた。

Chapter 40

1 וַיְהִי אַחַר הַדְּבָרִים הָאֵלֶּה חָטְאוּ מַשְׁקֵה מֶלֶךְ־מִצְרַיִם וְאֹפֵה לַאדֹנֵיהֶם לְמֶלֶךְ מִצְרָיִם׃

וַיְהִי	אַחַר	הַדְּבָרִים	הָאֵלֶּה	חָטְאוּ	מַשְׁקֵה	מֶלֶךְ־	מִצְרַיִם	
そして–あった	後に	出来事の	これらの	罪を–犯した	給仕長が	王の	エジプトの	
H1961	H0310	H1697	H0428	H2398	H4945	H4428	H4714	
וְהָאֹפֶה	לַאדֹנֵיהֶם	לְמֶלֶךְ	מִצְרָיִם׃					
そして–料理長が	主人に–対して	王に	エジプトの					
H0644	H0113	H4428	H4714					

これらの事の後、エジプト王の給仕役と料理役とがその主君エジプト王に罪を犯した。

2 וַיִּקְצֹף פַּרְעֹה עַל שְׁנֵי סָרִיסָיו עַל שַׂר הַמַּשְׁקִים וְעַל שַׂר הָאֹפִים׃

וַיִּקְצֹף	פַּרְעֹה	עַל	שְׁנֵי	סָרִיסָיו	עַל	שַׂר	הַמַּשְׁקִים	
そして–怒った	ファラオが	に–対して	二人の	家臣に	に–対して	長	給仕の	
H7107	H6547	H5921	H8147	H5631	H5921	H8269		
וְעַל	שַׂר	הָאֹפִים׃						
そして–に–対して	長	料理の						
	H8269	H0644						

パロはふたりの役人、すなわち給仕役の長と料理役の長に向かって憤り、

3 וַיִּתֵּן אֹתָם בְּמִשְׁמַר בֵּית שַׂר הַטַּבָּחִים אֶל־בֵּית הָסֹהַר מְקוֹם אֲשֶׁר יוֹסֵף אָסוּר שָׁם׃

וַיִּתֵּן	אֹתָם	בְּמִשְׁמַר	בֵּית	שַׂר	הַטַּבָּחִים	אֶל־	בֵּית	הָסֹהַר
そして–入れた	彼らを	留置に	家の	長の	侍衛の	の中に	家	監獄の
H5414	H0853	H4929		H8269	H2876	H0413		H5470
מְקוֹם	אֲשֶׁר	יוֹסֵף	אָסוּר	שָׁם׃				
場所	ところの	ヨセフが	つながれている	そこに				
H4725		H3130	H0631	H8033				

侍衛長の家の監禁所、すなわちヨセフがつながれている獄屋に入れた。

4 וַיִּפְקֹד שַׂר הַטַּבָּחִים אֶת־יוֹסֵף אִתָּם וַיְשָׁרְתֵם וַיִּהְיוּ יָמִים בְּמִשְׁמָר׃

וַיִּפְקֹד	שַׂר	הַטַּבָּחִים	אֶת־	יוֹסֵף	אִתָּם	וַיְשָׁרְתֵם	וַיִּהְיוּ	יָמִים
そして–任命した	長は	侍衛の	—	ヨセフを	彼らと–ともに	そして–仕えた	そして–いた	日々
	H8269	H2876	H0853	H3130	H0854	H8334	H1961	H3117
בְּמִשְׁמָר׃								
留置に								
H4929								

侍衛長はヨセフに命じて彼らと共におらせたので、ヨセフは彼らに仕えた。こうして彼らは監禁所で幾日かを過ごした。

5 וַיַּחַלְמוּ חֲלוֹם שְׁנֵיהֶם אִישׁ חֲלֹמוֹ בְּלַיְלָה אֶחָד אִישׁ כְּפִתְרוֹן חֲלֹמוֹ אֲשֶׁר לְמַשְׁקֵה מֶלֶךְ מִצְרַיִם הָאֲסוּרִים בְּבֵית הַסֹּהַר׃

וַיַּחַלְמוּ	חֲלוֹם	שְׁנֵיהֶם	אִישׁ	חֲלֹמוֹ	בְּלַיְלָה	אֶחָד	אִישׁ	כְּפִתְרוֹן
そして–夢を–見た	夢を	二人が	各々	夢を	夜に	一つの	各々	解き–の–とおりの
	H2472	H8147	H0376	H2472	H3915	H0259	H0376	H6623
חֲלֹמוֹ	אֲשֶׁר	לְמַשְׁקֵה	מֶלֶךְ	מִצְרַיִם	הָאֲסוּרִים	בְּבֵית	הַסֹּהַר׃	
夢を	ところの	給仕長と	王の	エジプトの	つながれている	家に	監獄の	
H2472		H4945	H4428	H4714	H0631		H5470	
וְהָאֹפֶה	אֲשֶׁר	לְמֶלֶךְ	מִצְרַיִם	אֲסוּרִים	בְּבֵית	הַסֹּהַר׃		
そして–料理長が	ところの	王の	エジプトの	つながれている	家に	監獄の		
H0644		H4428	H4714	H0631		H5470		

さて獄屋につながれたエジプト王の給仕役と料理役のふたりは一夜のうちにそれぞれ意味のある夢を見た。

6 וַיָּבֹא אֲלֵיהֶם יוֹסֵף בַּבֹּקֶר וַיַּרְא אֹתָם וְהִנָּם זֹעֲפִים׃

וַיָּבֹא	אֲלֵיהֶם	יוֹסֵף	בַּבֹּקֶר	וַיַּרְא	אֹתָם	וְהִנָּם	זֹעֲפִים׃	
そして–来た	彼らの–もとに	ヨセフが	朝に	そして–見た	彼らを	そして–見よ	ふさぎ–込んでいた	
H0935	H0413	H3130	H1242	H7200	H0853	H2009	H2196	

ヨセフが朝、彼らのところへ行って見ると、彼らは悲しみに沈んでいた。

לֵאמֹר	אֲדֹנָיו	בֵּית	בְּמִשְׁמֶר	אִתּוֹ	אֲשֶׁר	פַּרְעֹה	סְרִיסֵי	אֶת־	וַיִּשְׁאַל	7
言って	主人の	家の	留置に	彼と–ともに	ところの	ファラオの	家臣に	—	そして–尋ねた	
H0559	H0113		H4929	H0854		H6547	H5631	H0853	H7592	

הַיּוֹם׃	רָעִים	פְּנֵיכֶם	מַדּוּעַ
今日	悪いのか	顔が	なぜ
H3117		H6440	H4069

そこでヨセフは自分と一緒に主人の家の監禁所にいるパロの役人たちに尋ねて言った、「どうして、きょう、あなたがたの顔色が悪いのですか」。

אֱלֹהֵם	וַיֹּאמֶר	אֹתוֹ	אֵין	וּפֹתֵר	חָלְמוּ	חֲלוֹם	אֵלָיו	וַיֹּאמְרוּ		8
彼らに	そこで–言った	それを	いない	しかし–解く–者が	見た	夢を	彼に	そして–言った		
H0413	H0559	H0853	H0369	H6622		H2472	H0413	H0559		

לִי׃	נָא	סַפְּרוּ־	פִּתְרֹנִים	לֵאלֹהִים	הֲלוֹא	יוֹסֵף
私に	どうか	語って–ください	解き明かしは	神に	では–ないか	ヨセフが
	H4994		H6623	H0430	H3808	H3130

彼らは言った、「わたしたちは夢を見ましたが、解いてくれる者がいません」。ヨセフは彼らに言った、「解くことは神によるのではありませんか。どうぞ、わたしに話してください」。

בַּחֲלוֹמִי	לוֹ	וַיֹּאמֶר	לְיוֹסֵף	חֲלֹמוֹ	אֶת־	הַמַּשְׁקִים	שַׂר־	וַיְסַפֵּר	9
夢の–中で	彼に	そして–言った	ヨセフに	夢を	—	給仕の	長が	そして–語った	
H2472		H0559	H3130	H2472	H0853		H8269		

לְפָנָי׃	גֶּפֶן	וְהִנֵּה־	
目の–前に	ぶどうの–木が	そして–見よ	
H6440	H1612	H2009	

給仕役の長はその夢をヨセフに話して言った、「わたしが見た夢で、わたしの前に一本のぶどうの木がありました。

הִבְשִׁילוּ	נִצָּה	עָלְתָה	כְּפֹרַחַת	וְהִיא	שָׁרִיגִם	שְׁלֹשָׁה	וּבַגֶּפֶן		10
熟した	花が	上った	芽吹く–ように	そして–それは	枝が–あった	三つの	そして–ぶどうの–木に		
H1310		H5927		H1931	H8299	H7969	H1612		

עֲנָבִים׃	אַשְׁכְּלֹתֶיהָ	
ぶどうを	房が	
H6025	H0811	

そのぶどうの木に三つの枝があって、芽を出し、花が咲き、ぶどうのふさが熟しました。

אֹתָם	וָאֶשְׁחַט	הָעֲנָבִים	אֶת־	וָאֶקַּח	בְּיָדִי	פַּרְעֹה	וְכוֹס		11
それを	そして–絞った	ぶどうを	—	そして–取った	手の–中に	ファラオの	そして–杯が		
H0853	H7818	H6025	H0853	H3947	H3027	H6547			

פַּרְעֹה׃	כַּף	עַל־	הַכּוֹס	אֶת־	וָאֶתֵּן	פַּרְעֹה	כּוֹס	אֶל־
ファラオの	手の–ひら	上に	杯を	—	そして–置いた	ファラオの	杯	の中に
H6547	H3709			H0853	H5414	H6547		H0413

時にわたしの手に、パロの杯があって、わたしはそのぶどうを取り、それをパロの杯にしぼり、その杯をパロの手にささげました」。

יָמִים	שְׁלֹשֶׁת	הַשָּׂרִגִים	שְׁלֹשֶׁת	פִּתְרֹנוֹ	זֶה	יוֹסֵף	לוֹ	וַיֹּאמֶר	12
日である	三つの	枝は	三つの	解き明かしである	これが	ヨセフが	彼に	そこで–言った	
H3117	H7969	H8299	H7969	H6623	H2088	H3130		H0559	

הֵם׃
それらは
H1992

ヨセフは言った、「その解き明かしはこうです。三つの枝は三日です。

13 וּבְעוֹד שְׁלֹשֶׁת יָמִים יִשָּׂא פַרְעֹה אֶת־רֹאשֶׁךָ וְהֵשִׁיבְךָ עַל־כַּנֶּךָ
あと 三つの 日の-後に 上げる ファラオが 頭を そして-戻す に 地位に
H5750 H7969 H3117 H5375 H6547 H7225 H0853 H7218 H3653

וְנָתַתָּ כוֹס־פַּרְעֹה בְּיָדוֹ כְּמִשְׁפָּט הָרִאשׁוֹן אֲשֶׁר הָיִיתָ מַשְׁקֵהוּ׃
そして-置く 杯を ファラオの 手に しきたりの-とおりに 以前の ところの あった 給仕として
H5414 H3563 H6547 H3027 H4941 H7223 H0834 H1961 H8248

今から三日のうちにパロはあなたの頭を上げて、あなたを元の役目に返すでしょう。あなたはさきに給仕役だった時にされたように、パロの手に杯をささげられるでしょう。

14 כִּי אִם־זְכַרְתַּנִי אִתְּךָ כַּאֲשֶׁר יִיטַב לָךְ
ただ どうか 覚えてください あなたと-ともに 時に 良くなる あなたに
H3190 H0854 H3588 H2142 H0518

וְעָשִׂיתָ־נָּא עִמָּדִי חָסֶד וְהִזְכַּרְתַּנִי אֶל־פַּרְעֹה
そして-行って-ください 私に どうか 慈しみを そして-思い出して-ください に ファラオに
H6547 H0413 H2142 H4994 H5978 H2617

וְהוֹצֵאתַנִי מִן־הַבַּיִת הַזֶּה׃
そして-出して-ください から 家 この
H3318 H1004 H1241 H2088

それで、あなたがしあわせになられたら、わたしを覚えていて、どうかわたしに恵みを施し、わたしの事をパロに話して、この家からわたしを出してください。

15 כִּי־גֻנֹּב גֻּנַּבְתִּי מֵאֶרֶץ הָעִבְרִים וְגַם־פֹּה לֹא־עָשִׂיתִי
なぜなら 盗まれて 盗まれたのです から 地 ヘブル人の そして-また ここでも ない 行った
H1589 H1589 H0776 H5680 H1571 H6311 H3808 H6213

כִּי־שָׂמוּ אֹתִי בַּבּוֹר׃
ことを 入れた 私を 穴に
H3588 H7760 H0853 H1360

わたしは、実はヘブルびとの地からさらわれてきた者です。またここでもわたしは地下の獄屋に入れられるような事はしなかったのです」。

16 וַיַּרְא שַׂר־הָאֹפִים כִּי טוֹב פִּתַּר וַיֹּאמֶר אֶל־יוֹסֵף אַף־אָנִי
そして-見た 長が 料理の ことを 良い 解きであると そして-言った に ヨセフに また
H7200 H8269 H0644 H3588 H2896 H6622 H0559 H0413 H3130 H0637

בַּחֲלוֹמִי וְהִנֵּה שְׁלֹשָׁה סַלֵּי חֹרִי עַל־רֹאשִׁי׃
夢の-中で そして-見よ 三つの 籠が 白い-パンの 上に 頭の
H2472 H2009 H7969 H5536 H2751 H5921 H7218

私も 夢の-中で そして-見よ 三つの 籠が 白い-パンの 上に 頭の

料理役の長はその解き明かしの良かったのを見て、ヨセフに言った、「わたしも夢を見たが、白いパンのかごが三つ、わたしの頭の上にあった。

17 וּבַסָּל הָעֶלְיוֹן מִכֹּל מַאֲכַל פַּרְעֹה מַעֲשֵׂה אֹפֶה וְהָעוֹף אֹכֵל אֹתָם
そして-籠に 一番-上の すべての 食べ物が ファラオの 仕事の 料理人の しかし-鳥が 食べていた それを から 籠の 上の 頭の
H5536 H5945 H3605 H3978 H6547 H4639 H0644 H5775 H0398 H0853 H4480 H5536 H4605 H7218

一番上のかごには料理役がパロのために作ったさまざまの食物があったが、鳥がわたしの頭の上のかごからそれを食べていた」。

18 וַיַּ֣עַן יוֹסֵ֔ף וַיֹּ֖אמֶר זֶ֣ה פִתְרֹנ֑וֹ שְׁלֹ֣שֶׁת הַסַּלִּ֔ים שְׁלֹ֥שֶׁת יָמִ֖ים הֵֽם׃
そこで-答えた ヨセフが そして-言った これが 解き明かしである 三つの 籠は 三つの 日である それらは
H3130 H0559 H2088 H6623 H7969 H5536 H7969 H3117 H1992

ヨセフは答えて言った、「その解き明かしはこうです。三つのかごは三日です。

19 וְעֹ֗וד שְׁלֹ֤שֶׁת יָמִים֙ יִשָּׂ֣א פַרְעֹ֔ה אֶת־רֹאשְׁךָ֖ מֵעָלֶ֑יךָ וְתָלָ֤ה אֹתְךָ֙ עַל־עֵ֔ץ וְאָכַ֥ל הָעֹ֖וף אֶת־בְּשָׂרְךָ֥ מֵעָלֶֽיךָ׃
あと 三つの 日の-後に 上げる ファラオが 頭を ― そして-掛ける あなたを 木の 上に そして-食べる 鳥が ― 肉を あなたの-上から
H5750 H7969 H3117 H5375 H6547 H7218 H0853 H8518 H0853 H6086 H5921 H0398 H5775 H0853 H1320 H5921

今から三日のうちにパロはあなたの頭を上げ離して、あなたを木に掛けるでしょう。そして鳥があなたの肉を食い取るでしょう」。

20 וַיְהִי֩ בַיּ֨וֹם הַשְּׁלִישִׁ֜י יוֹם֙ הִלֻּדֶ֣ת אֶת־פַּרְעֹ֔ה וַיַּ֥עַשׂ מִשְׁתֶּ֖ה לְכָל־עֲבָדָ֑יו וַיִּשָּׂ֣א אֶת־רֹ֤אשׁ שַׂר־הַמַּשְׁקִים֙ וְאֶת־רֹ֣אשׁ שַׂ֔ר הַמַּשְׁקִ֖ים בְּתֹ֥וךְ עֲבָדָֽיו׃
そして-あった 日に 三日-目の 日 誕生の ― ファラオの 宴を そして-開いた すべての 家来の-ために そして-上げた ― 長の 給仕の 頭を そして ― 長の 料理の 中で 家来の
H1961 H3117 H7992 H3117 H3205 H0853 H6547 H4960 H3605 H5650 H5375 H0853 H8269 H7218 H0853 H8269 H0644 H8432 H5650

さて三日目はパロの誕生日であったので、パロはすべての家来のためにふるまいを設け、家来のうちの給仕役の長の頭と、料理役の長の頭を上げた。

21 וַיָּ֣שֶׁב אֶת־שַׂ֣ר הַמַּשְׁקִ֔ים עַל־מַשְׁקֵ֖הוּ וַיִּתֵּ֣ן הַכֹּ֑וס עַל־יַ֖ד פַּרְעֹֽה׃
そして-戻した ― 長を 給仕の 給仕の-地位に そして-置いた 杯を 上に ファラオの 手の-ひら
H7725 H0853 H8269 H4945 H5414 H3563 H5921 H6547 H3709

すなわちパロは給仕役の長を給仕役の職に返したので、彼はパロの手に杯をささげた。

22 וְאֶת־שַׂ֥ר הָאֹפִ֖ים תָּלָ֑ה כַּאֲשֶׁ֥ר פָּתַ֛ר לָהֶ֖ם יוֹסֵֽף׃
しかし 長を 料理の 掛けた とおりに 解いた 彼らに ヨセフが
H0853 H8269 H0644 H8518 H3477 H6622 H0853 H3130

しかしパロは料理役の長を木に掛けた。ヨセフが彼らに解き明かしたとおりである。

23 וְלֹא־זָכַ֥ר שַׂר־הַמַּשְׁקִ֖ים אֶת־יוֹסֵ֑ף וַיִּשְׁכָּחֵֽהוּ׃ פ
しかし-なかった 覚えて 長は 給仕の ― ヨセフを そして-忘れた ―
H3808 H2142 H8269 H0853 H3130 H7911

ところが、給仕役の長はヨセフを思い出さず、忘れてしまった。

Chapter 41

1 וַיְהִי מִקֵּץ שְׁנָתַיִם יָמִים וּפַרְעֹה חֹלֵם וְהִנֵּה
そして–あった 終わりに 二つの–年の 日の そして–ファラオが 夢を–見ていた そして–見よ
H1961 H7093 H8141 H3117 H6547 H2009

עֹמֵד עַל־הַיְאֹר׃
立っていた の–そばに 川の
H5975 H5975 H2975

二年の後パロは夢を見た。夢に、彼はナイル川のほとりに立っていた。

2 וְהִנֵּה מִן־הַיְאֹר עֹלֹת שֶׁבַע פָּרוֹת יְפוֹת מַרְאֶה וּבְרִיאֹת בָּשָׂר
そして–見よ から 川 上って–来た 七つの 雌牛が 美しい 姿で そして–太った 肉の
H2009 H4758 H2975 H5927 H7651 H6510 H3303 H4758 H1277 H1320

וַתִּרְעֶינָה בָּאָחוּ׃
そして–食べていた 葦の–中で
H0260

すると、その川から美しい、肥え太った七頭の雌牛が上がってきて葦を食っていた。

3 וְהִנֵּה שֶׁבַע פָּרוֹת אֲחֵרוֹת עֹלוֹת אַחֲרֵיהֶן מִן־הַיְאֹר רָעוֹת מַרְאֶה
そして–見よ 七つの 雌牛が 別の 上って–来た 後から から 川 醜い 姿で
H2009 H7651 H6510 H0312 H5927 H0310 H4758 H2975 H7451 H4758

וְרַקּוֹת בָּשָׂר וַתַּעֲמֹדְנָה אֵצֶל הַפָּרוֹת עַל־שְׂפַת הַיְאֹר׃
そして–やせた 肉の そして–立った そばに 雌牛の 上に 岸 川の
H1851 H1320 H5975 H0681 H6510 H8193 H2975

その後、また醜い、やせ細った他の七頭の雌牛が川から上がってきて、川の岸にいた雌牛のそばに立ち、

4 וַתֹּאכַלְנָה הַפָּרוֹת רָעוֹת הַמַּרְאֶה וְהַבְּרִיאֹת וְהַפָּרוֹת יְפוֹת
そして–食べた 雌牛が 醜い 姿の そして–太った そして–目覚めた ファラオは
H0398 H6510 H7451 H4758 H1277 H3364 H6547

הַמַּרְאֶה וַיִּיקַץ פַּרְעֹה׃
姿の
H4758

その醜い、やせ細った雌牛が、あの美しい、肥えた七頭の雌牛を食いつくした。ここでパロは目が覚めた。

5 וַיִּישָׁן וַיַּחֲלֹם שֵׁנִית שֶׁבַע וְהִנֵּה שִׁבֳּלִים עֹלוֹת בְּקָנֶה אֶחָד
そして–眠った そして–夢を–見た 二度目 七つの そして–見よ 穂が 上がっていた 茎に 一つの
H3462 H2009 H8145 H7651 H2009 H7054 H5927 H7054 H0259

בְּרִיאוֹת וְטֹבוֹת׃
実った そして–良い
H1277

彼はまた眠って、再び夢を見た。夢に、一本の茎に太った良い七つの穂が出てきた。

6 וְהִנֵּה שֶׁבַע שִׁבֳּלִים דַּקּוֹת וּשְׁדוּפֹת קָדִים צֹמְחוֹת אַחֲרֵיהֶן׃
そして–見よ 七つの 穂が やせた そして–焼けた 東風に 生えていた 後から
H2009 H7651 H7054 H1851 H7710 H6921 H7054 H0310

その後また、やせて、東風に焼けた七つの穂が出てきて、

7

וְהַמְלֵאוֹת	הַבְּרִיאוֹת	הַשִּׁבֳּלִים	שֶׁבַע	אֶת	הַדַּקּוֹת	הַשִּׁבֳּלִים	וַתִּבְלַעְנָה
そして–満ちた	実った	穂を	七つの	—	やせた	穂が	そして–飲み込んだ
H4392	H1277		H7651	H0853	H1851		H1104

חֲלוֹם׃	וְהִנֵּה	פַּרְעֹה	וַיִּיקַץ
夢であった	そして–見よ	ファラオは	そして–目覚めた
H2472	H2009	H6547	H3364

そのやせた穂が、あの太って実った七つの穂をのみつくした。ここでパロは目が覚めたが、それは夢であった。

8

כָּל־	אֶת־	וַיִּקְרָא	וַיִּשְׁלַח	רוּחוֹ	וַתִּפָּעֶם	בַּבֹּקֶר	וַיְהִי	
すべての	—	そして–呼んだ	そして–遣わした	霊が	そして–騒いだ	朝に	そして–あった	
H3605	H0853	H7121	H7971	H7307	H6470	H1242	H1961	

חֲלֹמוֹ	אֶת־	לָהֶם	פַּרְעֹה	וַיְסַפֵּר	חַכְמֶיהָ	כָּל־	וְאֶת־	מִצְרַיִם
夢を	—	彼らに	ファラオが	そして–語った	知恵者を	すべての	そして	エジプトの
H2472	H0853		H6547		H2450	H3605	H0853	H4714

חַרְטֻמֵּי	לְפַרְעֹה׃	אוֹתָם	פּוֹתֵר	וְאֵין־
魔術師を	ファラオに	それを	解く–者が	しかし–なかった
H2748	H6547	H0853	H6622	H0369

朝になって、パロは心が騒ぎ、人をつかわして、エジプトのすべての魔術師とすべての知者とを呼び寄せ、彼らに夢を告げたが、これをパロに解き明かしうる者がなかった。

9

הַיּוֹם׃	מַזְכִּיר	אֲנִי	חֲטָאַי	אֶת־	לֵאמֹר	פַּרְעֹה	אֶת־	הַמַּשְׁקִים	שַׂר
今日	思い出す	私は	罪を	—	言って	ファラオに	—	給仕の	長が
H3117	H2142	H0589	H2399	H0853	H0559	H6547	H0854		H8269

וַיְדַבֵּר
そして–語った
H1696

そのとき給仕役の長はパロに告げて言った、「わたしはきょう、自分のあやまちを思い出しました。

10

הַטַּבָּחִים	שַׂר	בֵּית	בְּמִשְׁמַר	אֹתִי	וַיִּתֵּן	עַבְדָּיו	עַל־	קָצַף	פַּרְעֹה
侍衛の	長の	家の	留置に	私を	そして–入れた	家来に	に–対して	怒った	ファラオが
H2876	H8269		H4929	H0853	H5414	H5650		H7107	H6547

הָאֹפִים׃	שַׂר	וְאֶת	אֹתָּי
料理の	長を	そして	私を
H0644	H8269	H0853	H0853

かつてパロがしもべらに向かって憤り、わたしと料理役の長とを侍衛長の家の監禁所にお入れになった時、

11

חָלָמְנוּ׃	חֲלֹמוֹ	כְּפִתְרוֹן	אִישׁ	וְהוּא	אֲנִי	אֶחָד	בְּלַיְלָה	חֲלוֹם	וַנַּחַלְמָה
見た	夢を	解き–の–とおりの	各々	そして–彼が	私と	一つの	夜に	夢を	そして–見た
	H2472	H6623	H0376	H1931	H0589	H0259	H3915	H2472	

わたしも彼も一夜のうちに夢を見、それぞれ意味のある夢を見ましたが、

12

וַנְּסַפֶּר־	הַטַּבָּחִים	לְשַׂר	עֶבֶד	עִבְרִי	נַעַר	אִתָּנוּ	וְשָׁם	
そして–語った	侍衛の	の–長の	しもべ	ヘブル人の	若者が	私たちと–ともに	そして–そこに	
	H2876	H8269	H5650	H5680	H5288	H0854	H8033	

פָּתָר׃	כַּחֲלֹמוֹ	אִישׁ	חֲלֹמֹתֵינוּ	אֶת־	לָנוּ	וַיִּפְתָּר־	לוֹ
解いた	夢の–とおりに	各々	夢を	—	私たちに	そして–解いた	彼に
H6622	H2472	H0376	H2472	H0853		H6622	

そこに侍衛長のしもべで、ひとりの若いヘブルびとがわれわれと共にいたので、彼に話したところ、彼はわれわれの夢を解き明かし、その夢によって、それぞれ解き明かしをしました。

13 וַיְהִי כַּאֲשֶׁר־פָּתַר לָנוּ כֵּן הָיָה אֹתִי הֵשִׁיב עַל־כַּנִּי וְאֹתוֹ תָלָה׃

そして–あった とおりに 解いた 私たちに そのように なった 私を 戻した に 地位に
そして–彼を 掛けた
H1961 H6622 H0853 H1961 H7725 H0853 H8518

そして彼が解き明かしたとおりになって、パロはわたしを職に返し、彼を木に掛けられました」。

14 וַיִּשְׁלַח פַּרְעֹה וַיִּקְרָא אֶת־יוֹסֵף וַיְרִיצֻהוּ מִן־הַבּוֹר וַיְגַלַּח וַיְחַלֵּף שִׂמְלֹתָיו וַיָּבֹא אֶל־פַּרְעֹה׃

そして–遣わした ファラオが そして–呼んだ —を ヨセフを そして–急がせた から 穴から
そして–剃った そして–着替えた 衣を そして–来た の–もとへ ファラオ
H7971 H6547 H7121 H0853 H3130 H7323 H4480 H1356
H1548 H2498 H8071 H0935 H0413 H6547

そこでパロは人をつかわしてヨセフを呼んだ。人々は急いで彼を地下の獄屋から出した。ヨセフは、ひげをそり、着物を着替えてパロのもとに行った。

15 וַיֹּאמֶר פַּרְעֹה אֶל־יוֹסֵף חָלַמְתִּי חֲלוֹם וּפֹתֵר אֵין אֹתוֹ וַאֲנִי שָׁמַעְתִּי עָלֶיךָ לֵאמֹר תִּשְׁמַע חֲלוֹם לִפְתֹּר אֹתוֹ׃

そして–言った ファラオが に ヨセフに 夢を 見た しかし–解く–者が ない それを
そして–私は 聞いた あなたに–ついて 言って 聞く 夢を 解く–ために それを
H0559 H6547 H0413 H3130 H2472 H2472 H6622 H0369 H0853
H0589 H8085 H5921 H0559 H8085 H2472 H6622 H0853

パロはヨセフに言った、「わたしは夢を見たが、これを解き明かす者がない。聞くところによると、あなたは夢を聞いて、解き明かしができるそうだ」。

16 וַיַּעַן יוֹסֵף אֶת־פַּרְעֹה לֵאמֹר בִּלְעָדָי אֱלֹהִים יַעֲנֶה אֶת־שְׁלוֹם פַּרְעֹה׃

そこで–答えた ヨセフが —を ファラオに 言って 私では–ない 神が 答える —を 平安を
ファラオに
H3130 H0853 H6547 H0559 H1107 H0430 H6030 H0853 H7965
H6547

ヨセフはパロに答えて言った、「いいえ、わたしではありません。神がパロに平安をお告げになりましょう」。

17 וַיְדַבֵּר פַּרְעֹה אֶל־יוֹסֵף בַּחֲלֹמִי הִנְנִי עֹמֵד עַל־שְׂפַת הַיְאֹר׃

そして–語った ファラオが に ヨセフに 夢の–中で 見よ–私は 立っていた の–上に 岸
川の
H1696 H6547 H0413 H3130 H2472 H2009 H5975 H5921 H8193
H2975

パロはヨセフに言った、「夢にわたしは川の岸に立っていた。

18 וְהִנֵּה מִן־הַיְאֹר עֹלֹת שֶׁבַע פָּרוֹת בְּרִיאוֹת בָּשָׂר וִיפֹת תֹּאַר וַתִּרְעֶינָה בָּאָחוּ׃

そして–見よ から 川 上って–来た 七つの 雌牛が 太った 肉の そして–美しい 姿の
葦の–中で そして–食べていた
H2009 H4480 H2975 H5927 H7651 H6510 H1277 H1320 H3303 H8389
H0260 H7462

その川から肥え太った、美しい七頭の雌牛が上がってきて葦を食っていた。

19 וְהִנֵּה שֶׁבַע־פָּרוֹת עֹלוֹת אַחֲרֵיהֶן דַּלּוֹת וְרָעוֹת תֹּאַר מְאֹד
そして-見よ 七つの 雌牛が 上って-来た 別の 弱い そして-醜い 姿が とても
H2009 H7651 H6510 H5927 H0312 H1750 H7451 H8389 H3966

מִצְרַיִם בְּכָל־אֶרֶץ כָּהֵנָּה רָאֵיתִי לֹא־בָשָׁר וְרַקּוֹת
エジプトの 地に すべての このような-ものを 見た-ことが なかった 肉の そして-やせた
H4714 H0776 H3605 H2007 H7200 H3808 H1320 H7534

לָרֹעַ׃
悪さでは
H7455

その後、弱く、非常に醜い、やせ細った他の七頭の雌牛がまた上がってきた。わたしはエジプト全国で、このような醜いものをまだ見たことがない。

20 וַתֹּאכַלְנָה הַפָּרוֹת הָרַקּוֹת וְהָרָעוֹת אֶת שֶׁבַע הַפָּרוֹת הָרִאשֹׁנוֹת הַבְּרִיאֹת׃
そして-食べた 雌牛が やせた そして-醜い ― 七つの 雌牛を 初めの 太った
H0398 H6510 H7534 H0853 H7651 H6510 H7223 H1277

ところがそのやせた醜い雌牛が、初めの七頭の肥えた雌牛を食いつくしたが、

21 וַתָּבֹאנָה אֶל־קִרְבֶּנָּה וְלֹא נוֹדַע כִּי־בָאוּ אֶל־קִרְבֶּנָּה וּמַרְאֵיהֶן רַע כַּאֲשֶׁר בַּתְּחִלָּה וָאִיקָץ׃
そして-入った の-中に 腹の そして-なかった 知られ こと-が 入った の-中に 腹の
H0935 H0413 H7130 H3808 H3045 H0935 H0413 H7130

そして-姿が 悪かった ように 初めの-とおり そして-目覚めた
H4758 H7451 H3644 H8462 H3364

腹にはいっても、腹にはいった事が知れず、やはり初めのように醜かった。ここでわたしは目が覚めた。

22 וָאֵרֶא בַּחֲלֹמָי וְהִנֵּה שֶׁבַע שִׁבֳּלִים עֹלֹת בְּקָנֶה אֶחָד מְלֵאֹת וְטֹבוֹת׃
そして-見た 夢の-中で そして-見よ 七つの 穂が 上がっていた 茎に 一つの 満ちた そして-良い
H7200 H2472 H2009 H7651 H7054 H0259 H4392 H2896

わたしはまた夢をみた。一本の茎に七つの実った良い穂が出てきた。

23 וְהִנֵּה שֶׁבַע שִׁבֳּלִים צְנֻמוֹת דַּקּוֹת שְׁדֻפוֹת קָדִים צֹמְחוֹת אַחֲרֵיהֶם׃
そして-見よ 七つの 穂が しなびた やせた 焼けた 東風に 生えていた 後から
H2009 H7651 H6798 H1851 H7710 H6921 H6779

その後、やせ衰えて、東風に焼けた七つの穂が出てきたが、

24 וַתִּבְלַעְנָה הַשִּׁבֳּלִים הַדַּקּוֹת אֶת שֶׁבַע הַשִּׁבֳּלִים הַטֹּבוֹת וָאֹמַר אֶל־
そして-飲み込んだ 穂が やせた ― 七つの 穂を 良い そして-言った に
H1104 H7805 H1851 H0853 H7651 H7805 H2896 H0559 H0413

הַחַרְטֻמִּים וְאֵין מַגִּיד לִי׃
魔術師に しかし-なかった 告げる-者が 私に
H2748 H0369 H5046

そのやせた穂が、あの七つの良い穂をのみつくした。わたしは魔術師に話したが、わたしにそのわけを示しうる者はなかった」。

25 וַיֹּאמֶר יוֹסֵף אֶל־פַּרְעֹה חֲלוֹם פַּרְעֹה אֶחָד הוּא אֵת אֲשֶׁר
そこで-言った ヨセフが に ファラオに 夢は ファラオの である 一つ ― ところの
H0559 H3130 H0413 H6547 H2472 H6547 H1931 H0853

הָאֱלֹהִים עֹשֶׂה הִגִּיד לְפַרְעֹה׃
神が 行う 告げた ファラオに
H0430 H6213 H5046 H6547

ヨセフはパロに言った、「パロの夢は一つです。神がこれからしようとすることをパロに示されたのです。

26 שֶׁבַע פָּרֹת הַטֹּבֹת שֶׁבַע שָׁנִים הֵנָּה וְשֶׁבַע הַשִּׁבֳּלִים הַטֹּבֹת שֶׁבַע שָׁנִים הֵנָּה
七つの 雌牛は 良い 七つの 年で ある そして-七つの 穂は 良い 七つの 年で ある
H7651 H6510 H2896 H7651 H8141 H2007 H7651 H7641 H2896 H7651 H8141 H2007

חֲלוֹם אֶחָד הוּא׃
夢は 一つ である
H2472 H0259 H1931

七頭の良い雌牛は七年です。七つの良い穂も七年で、夢は一つです。

27 וְשֶׁבַע הַפָּרוֹת הָרַקּוֹת וְהָרָעֹת הָעֹלֹת אַחֲרֵיהֶן שֶׁבַע שָׁנִים הֵנָּה
そして-七つの 雌牛は やせた そして-醜い 上った 後から 七つの 年で ある
H7651 H6510 H7534 H7451 H5927 H0310 H7651 H8141 H2007

וְשֶׁבַע הַשִּׁבֳּלִים הָרֵקוֹת שְׁדֻפוֹת הַקָּדִים יִהְיוּ שֶׁבַע שְׁנֵי רָעָב׃
そして-七つの 穂は やせた 空の 焼けた 東風に なる 七つの 年の 飢饉の
H7651 H7641 H7534 H7710 H6921 H1961 H7651 H8141 H7458

あとに続いて、上がってきた七頭のやせた醜い雌牛は七年で、東風に焼けた実の入らない七つの穂は七年のききんです。

28 הַדָּבָר אֲשֶׁר דִּבַּרְתִּי אֶל־פַּרְעֹה אֲשֶׁר הָאֱלֹהִים עֹשֶׂה הֶרְאָה אֶת־
これが 言葉で ところの 語った に ファラオに ところの 神が 行う 示した ―
H1931 H1697 H0834 H1696 H0413 H6547 H0834 H0430 H6213 H7200 H0853

פַּרְעֹה׃
ファラオに
H6547

わたしがパロに申し上げたように、神がこれからしようとすることをパロに示されたのです。

29 הִנֵּה שֶׁבַע שָׁנִים בָּאוֹת שָׂבָע גָּדוֹל בְּכָל־אֶרֶץ מִצְרָיִם׃
見よ 七つの 年が 来る 豊作の 大きな すべての 地に エジプトの
H2009 H7651 H8141 H0935 H7647 H1419 H3605 H0776 H4714

エジプト全国に七年の大豊作があり、

30 וְקָמוּ שֶׁבַע שְׁנֵי רָעָב אַחֲרֵיהֶן וְנִשְׁכַּח כָּל־הַשָּׂבָע בְּאֶרֶץ
そして-起こる 七つの 年の 飢饉が 後に そして-忘れられる すべての 豊作が 地に
H6965 H7651 H8141 H7458 H0310 H7911 H3605 H7647 H0776

מִצְרָיִם וְכִלָּה הָרָעָב אֶת־הָאָרֶץ׃
エジプトの そして-尽きる 飢饉が ― 地を
H4714 H3615 H7458 H0853 H0776

その後七年のききんが起り、その豊作はみなエジプトの国で忘れられて、そのききんは国を滅ぼすでしょう。

31 וְלֹא־ יִוָּדַע הַשָּׂבָע בָּאָרֶץ מִפְּנֵי הָרָעָב הַהוּא אַחֲרֵי־ כֵן כִּי־ כָבֵד הוּא׃ מְאֹד׃
そして–なかった 知られ 豊作が 地で ゆえに 飢饉の その 後の それ なぜなら 重い
H3808 H3045 H7647 H0776 H6440 H7458 H1931 H0310 H3515 それは とても
H1931 H3966

後に来るそのききんが、非常に激しいから、その豊作は国のうちで記憶されなくなるでしょう。

32 וְעַל הַשָּׁנוֹת הַחֲלוֹם אֶל־ פַּרְעֹה פַּעֲמָיִם כִּי־ נָכוֹן הַדָּבָר מֵעִם הָאֱלֹהִים וּמְמַהֵר הָאֱלֹהִים לַעֲשׂוֹתוֹ׃
そして–について 繰り返された 夢が に ファラオに 二度 なぜなら 確かである 言葉が もとから 神の そして–急いでいる 神が 行う–ことを
H6440 H7200 H2472 H0413 H6547 H6471 H3559 H1697 H0430 H0430 H0430

パロが二度重ねて夢を見られたのは、この事が神によって定められ、神がすみやかにこれをされるからです。

33 וְעַתָּה יֵרֶא פַּרְעֹה אִישׁ נָבוֹן וְחָכָם וְיִשְׁיתֵהוּ עַל־ אֶרֶץ מִצְרָיִם׃
そこで–今 見つけなさい ファラオよ 人を 聡明で そして–賢い そして–任命しなさい 上に 地 エジプトの
H6258 H7200 H6547 H0376 H0995 H2450 H7896 H5921 H0776 H4714

それゆえパロは今、さとく、かつ賢い人を尋ね出してエジプトの国を治めさせなさい。

34 יַעֲשֶׂה פַּרְעֹה וְיַפְקֵד פְּקִדִים עַל־ הָאָרֶץ וְחִמֵּשׁ אֶת־ אֶרֶץ מִצְרַיִם בְּשֶׁבַע שְׁנֵי הַשָּׂבָע׃
行いなさい ファラオよ そして–任命しなさい 監督を 上に 地の そして–取りなさい–五分の一を 地 エジプトの に–おける 年の 豊作の
H6213 H6547 H6485 H6496 H5921 H0776 H2567 H0853 H0776 H4714 H7651 H8141 H7647

パロはこうして国中に監督を置き、その七年の豊作のうちに、エジプトの国の産物の五分の一を取り、

35 וְיִקְבְּצוּ אֶת־ כָּל־ אֹכֶל הַשָּׁנִים הַטֹּבֹת הַבָּאֹת הָאֵלֶּה וְיִצְבְּרוּ־ בָר תַּחַת יַד־ פַּרְעֹה אֹכֶל בֶּעָרִים וְשָׁמְרוּ׃
そして–集めなさい — すべての 食糧を 年の 良い 来る これらの そして–蓄えなさい 穀物を もとに 手の ファラオの 食糧を 町々に そして–守りなさい
H6908 H0853 H3605 H0400 H8141 H2896 H0935 H0428 H6651 H1715 H8478 H3027 H6547 H0400 H5892 H8104

続いて来る良い年々のすべての食糧を彼らに集めさせ、穀物を食糧として、パロの手で町々にたくわえ守らせなさい。

36 וְהָיָה הָאֹכֶל לְפִקָּדוֹן לָאָרֶץ לְשֶׁבַע שְׁנֵי הָרָעָב אֲשֶׁר תִּהְיֶיןָ בְּאֶרֶץ מִצְרָיִם וְלֹא־ תִכָּרֵת הָאָרֶץ בָּרָעָב׃
そして–なる 食糧が 蓄えと 地の–ために の–ための 年の 飢饉の ところの ある 地に 地が 滅びる そして–なかった エジプトの 飢饉で
H1961 H0400 H6487 H0776 H7651 H8141 H7458 H0834 H1961 H0776 H0776 H3772 H3808 H4714 H7458

こうすれば食糧は、エジプトの国に臨む七年のききんに備えて、この国のためにたくわえとなり、この国はききんによって滅びることがないでしょう」。

37 וַיִּיטַב הַדָּבָר בְּעֵינֵי פַּרְעֹה וּבְעֵינֵי כָּל־עֲבָדָיו׃
言葉が 目の–中に ファラオの そして–目の–中に すべての 家来の
H1697 H6547 H3605 H5650

この事はパロとそのすべての家来たちの目にかなった。

38 וַיֹּאמֶר פַּרְעֹה אֶל־עֲבָדָיו הֲנִמְצָא כָזֶה אִישׁ אֲשֶׁר רוּחַ אֱלֹהִים בּוֹ׃
そして–言った ファラオが に 家来に 見つかるか このような 人が ところの 霊が
H0559 H6547 H0413 H5650 H4672 H2088 H0376 H0834 H7307
彼に–ある 神の
H0430

そこでパロは家来たちに言った、「われわれは神の霊をもつこのような人を、ほかに見いだし得ようか」。

39 וַיֹּאמֶר פַּרְעֹה אֶל־יוֹסֵף אַחֲרֵי הוֹדִיעַ אֱלֹהִים אֹתְךָ אֶת־כָּל־זֹאת אֵין־נָבוֹן וְחָכָם כָּמוֹךָ׃
そして–言った ファラオが に ヨセフに 後に 知らせた 神が あなたに — すべて
H0559 H6547 H0413 H3130 H0310 H3045 H0853 H0853 H0430 H0853 H3605
いない 聡明で そして–賢い–者は あなたの–ように
H0369 H0995 H2450 H3644

またパロはヨセフに言った、「神がこれを皆あなたに示された。あなたのようにさとく賢い者はない。

40 אַתָּה תִּהְיֶה עַל־בֵּיתִי וְעַל־פִּיךָ יִשַּׁק כָּל־עַמִּי רַק הַכִּסֵּא אֶגְדַּל מִמֶּךָּ׃
あなたが なる 上に わが–家の そして–上に 口に 従う すべての わが–民が ただ
H0859 H1961 H0559 H3605 H6310 H3130 H3605 H5971 H7535
王座だけ 大きい あなたより
H3678 H1431

あなたはわたしの家を治めてください。わたしの民はみなあなたの言葉に従うでしょう。わたしはただ王の位でだけあなたにまさる」。

41 וַיֹּאמֶר פַּרְעֹה אֶל־יוֹסֵף רְאֵה נְתַתִּיךָ עַל כָּל־אֶרֶץ מִצְרָיִם׃
そして–言った ファラオが に ヨセフに 見よ 任命した あなたを 上に すべての 地
H0559 H6547 H0413 H3130 H7200 H5414 H0859 H0559 H3605 H0776
エジプトの
H4714

パロは更にヨセフに言った、「わたしはあなたをエジプト全国のつかさとする」。

42 וַיָּסַר פַּרְעֹה אֶת־טַבַּעְתּוֹ מֵעַל יָדוֹ וַיִּתֵּן אֹתָהּ עַל־יַד יוֹסֵף וַיַּלְבֵּשׁ אֹתוֹ בִּגְדֵי־שֵׁשׁ וַיָּשֶׂם רְבִד הַזָּהָב עַל־צַוָּארוֹ׃
そして–外した ファラオが — 指輪を の–上から 手の そして–はめた それを に 手
H0559 H6547 H0853 H2885 H4480 H3027 H5414 H0853 H0413 H3027
彼に 衣を 亜麻布の そして–置いた 首飾りを 金の の–上に 首
H0853 H3847 H0906 H7242 H2091 H0413 H6677
そして–着せた ヨセフの
H3847 H3130

そしてパロは指輪を手からはずして、ヨセフの手にはめ、亜麻布の衣服を着せ、金の鎖をくびにかけ、

43	וַיַּרְכֵּב	אֹתוֹ	בְּמִרְכֶּבֶת	הַמִּשְׁנֶה	אֲשֶׁר־	לוֹ	וַיִּקְרְאוּ	לְפָנָיו	אַבְרֵךְ
	そして-乗せた	彼を	車に	第二の	ところの	彼の	そして-叫んだ	前に	ひざまずけと
	H7392	H0853	H4818	H4932	H0834	H0000	H7121	H6440	H0086

וְנָתוֹן	אֹתוֹ	עַל	כָּל־	אֶרֶץ	מִצְרָיִם׃
そして-任命した	彼を	上に	すべての	地	エジプトの
H5414	H0853		H3605	H0776	H4714

自分の第二の車に彼を乗せ、「ひざまずけ」とその前に呼ばわらせ、こうして彼をエジプト全国のつかさとした。

44	וַיֹּאמֶר	פַּרְעֹה	אֶל־	יוֹסֵף	אֲנִי	פַּרְעֹה	וּבִלְעָדֶיךָ	לֹא־
	そして-言った	ファラオが	に	ヨセフに	私は	ファラオである	そして-あなた-なしに	ない
	H0559	H6547	H0413	H3130	H0589	H6547	H1107	H3808

יָרִים	אִישׁ	אֶת־	יָדוֹ	וְאֶת־	רַגְלוֹ	בְּכָל־	אֶרֶץ	מִצְרָיִם׃
上げる	人は	—	手を	そして	足を	すべての	地で	エジプトの
H7311	H0376	H0853	H3027	H0853	H7272	H3605	H0776	H4714

ついでパロはヨセフに言った、「わたしはパロである。あなたの許しがなければエジプト全国で、だれも手足を上げることはできない」。

45	וַיִּקְרָא	פַּרְעֹה	שֵׁם־	יוֹסֵף	צָפְנַת פַּעְנֵחַ	וַיִּתֶּן־	לוֹ	אֶת־	
	そして-呼んだ	ファラオが	名を	ヨセフの	ツァフェナテ・パネアハと	そして-与えた	彼に	—	
	H7121	H6547	H8034	H3130	H6847	H5414		H0853	

עַל־	יוֹסֵף	וַיֵּצֵא	לְאִשָּׁה	אֶת־	כֹּהֵן	פְּרַע שְׁנַת	בַּת־	אָסְנַת	
の-上に	ヨセフが	そして-出た	妻として	オンの	祭司の	ポティ・フェラの	娘	アセナテを	
	H3130	H3318	H0802	H0204	H3548	H6319	H1323	H0621	

מִצְרָיִם׃	אֶרֶץ	
エジプトの	地	
H4714	H0776	

パロはヨセフの名をザフナテ・パネアと呼び、オンの祭司ポテペラの娘アセナテを妻として彼に与えた。ヨセフはエジプトの国を巡った。

46	מִצְרָיִם	מֶלֶךְ־	פַּרְעֹה	לִפְנֵי	בְּעָמְדּוֹ	שָׁנָה	שְׁלֹשִׁים	בֶּן־	וְיוֹסֵף
	エジプトの	王の	ファラオの	前に	立った-時	歳で-あった	三十の	息子で	そして-ヨセフは
	H4714	H4428	H6547	H6440	H5975	H8141	H7970		H3130

מִצְרָיִם׃	אֶרֶץ	בְּכָל־	וַיַּעֲבֹר	פַּרְעֹה	מִלִּפְנֵי	יוֹסֵף	וַיֵּצֵא	
エジプトの	地を	すべての	そして-巡った	ファラオの	前から	ヨセフが	そして-出た	
H4714	H0776	H3605		H6547	H6440	H3130	H3318	

ヨセフがエジプトの王パロの前に立った時は三十歳であった。ヨセフはパロの前を出て、エジプト全国をあまねく巡った。

47	לְקֹמָצִים׃	הַשָּׂבָע	שְׁנֵי	בְּשֶׂבַע	הָאָרֶץ	וַתַּעַשׂ
	握り-いっぱいに	豊作の	年の	に-おける	地が	そして-産んだ
	H7062	H7647	H8141	H7651	H0776	

さて七年の豊作のうちに地は豊かに物を産した。

48	מִצְרַיִם	בְּאֶרֶץ	הָיוּ	אֲשֶׁר	שָׁנִים	שֶׂבַע	וְאֹכֶל	כָּל־	אֶת־
	エジプトの	地に	あった	ところの	年の	七つの	食糧を	すべての	—
	H4714	H0776	H1961		H8141	H7651	H0400	H3605	H0853

וַיִּקְבֹּץ	וַיִּתֵּן־	אֹכֶל	בֶּעָרִים	אָכֶל	שְׂדֵה־	הָעִיר	אֲשֶׁר	סְבִיבֹתֶיהָ	נָתַן	בְּתוֹכָהּ׃
そして-集めた	そして-置いた	食糧を	町々に	食糧を	畑の	町の	ところの	周りの	置いた	その-中に
H6908	H5414	H0400		H0400				H5439	H5414	H8432

そこでヨセフはエジプトの国にできたその七年間の食糧をことごとく集め、その食糧を町々に納めさせた。すなわち町の周囲にある畑の食糧をその町の中に納めさせた。

49 וַיִּצְבֹּר יוֹסֵף בָּר כְּחוֹל הַיָּם הָרְבֵּה מְאֹד עַד כִּי־חָדַל לִסְפֹּר כִּי אֵין מִסְפָּר׃

וַיִּצְבֹּר	יוֹסֵף	בָּר	כְּחוֹל	הַיָּם	הָרְבֵּה	מְאֹד	עַד	כִּי־	חָדַל
そして–蓄えた	ヨセフが	穀物を	砂の–ように	海の	多く	とても	まで	こと	やめた
H6651	H3130		H2344	H3220		H3966	H5704		H2308

לִסְפֹּר	כִּי־	אֵין	מִסְפָּר׃
数える–ことを	なぜなら	なかった	数が
		H0369	H4557

ヨセフは穀物を海の砂のように、非常に多くたくわえ、量りきれなくなったので、ついに量ることをやめた。

50 וּלְיוֹסֵף יֻלַּד שְׁנֵי בָנִים בְּטֶרֶם תָּבוֹא שְׁנַת הָרָעָב אֲשֶׁר יָלְדָה־לּוֹ אָסְנַת בַּת־פֶּרַע כֹּהֵן אֹן׃

וּלְיוֹסֵף	יֻלַּד	שְׁנֵי	בָנִים	בְּטֶרֶם	תָּבוֹא	שְׁנַת	הָרָעָב	אֲשֶׁר	יָלְדָה־	לּוֹ
そして–ヨセフに	生まれた	二人の	息子が	前に	来る	年の	飢饉の	ところの	産んだ	彼に
H3130	H3205	H8147		H2962	H0935	H8141	H7458		H3205	

אָסְנַת	בַּת־	פֶּרַע֫טִי	כֹּהֵן	אֹן׃
アセナテが	娘	ポティ・フェラの	祭司の	オンの
H0621	H1323	H6319	H3548	H0204

ききんの年の来る前にヨセフにふたりの子が生れた。これらはオンの祭司ポテペラの娘アセナテが産んだのである。

51 וַיִּקְרָא יוֹסֵף אֶת־שֵׁם הַבְּכֹר מְנַשֶּׁה כִּי־נַשַּׁנִי אֱלֹהִים אֶת־כָּל־עֲמָלִי וְאֵת כָּל־בֵּית אָבִי׃

וַיִּקְרָא	יוֹסֵף	אֶת־	שֵׁם	הַבְּכֹר	מְנַשֶּׁה	כִּי־	נַשַּׁנִי	אֱלֹהִים	אֶת־	כָּל־
そして–呼んだ	ヨセフが	—	名を	長子の	マナセと	なぜなら	忘れさせた	神が	—	すべての
H7121	H3130	H0853	H8034	H1060	H4519		H5382	H0430	H0853	H3605

וְאֵת	עֲמָלִי	כָּל־	בֵּית	אָבִי׃
そして	苦労を	すべての	家を	父の
H0853	H5999	H3605		H0001

ヨセフは長子の名をマナセと名づけて言った、「神がわたしにすべての苦難と父の家のすべての事を忘れさせられた」。

52 וְאֵת שֵׁם הַשֵּׁנִי קָרָא אֶפְרָיִם כִּי־הִפְרַנִי אֱלֹהִים בְּאֶרֶץ עָנְיִי׃

וְאֵת	שֵׁם	הַשֵּׁנִי	קָרָא	אֶפְרָיִם	כִּי־	הִפְרַנִי	אֱלֹהִים	בְּאֶרֶץ
そして	名を	二番目の	呼んだ	エフライムと	なぜなら	実り–多くした	神が	地に
H0853	H8034	H8145	H7121	H0669		H6509	H0430	H0776

עָנְיִי׃	
苦しみの	
H6040	

また次の子の名をエフライムと名づけて言った、「神がわたしを悩みの地で豊かにせられた」。

53 וַתִּכְלֶינָה שֶׁבַע שְׁנֵי הַשָּׂבָע אֲשֶׁר הָיָה בְּאֶרֶץ מִצְרָיִם׃

וַתִּכְלֶינָה	שֶׁבַע	שְׁנֵי	הַשָּׂבָע	אֲשֶׁר	הָיָה	בְּאֶרֶץ	מִצְרָיִם׃
そして–終わった	七つの	年の	豊作が	ところの	あった	地に	エジプトの
H3615	H7651	H8141	H7647		H1961	H0776	H4714

エジプトの国にあった七年の豊作が終り、

54 וַתְּחִלֶּינָה שֶׁבַע שְׁנֵי הָרָעָב לָבוֹא כַּאֲשֶׁר אָמַר יוֹסֵף וַיְהִי בְּכָל־הָאֲרָצוֹת וּבְכָל־אֶרֶץ מִצְרַיִם הָיָה לָחֶם׃

וַתְּחִלֶּינָה	שֶׁבַע	שְׁנֵי	הָרָעָב	לָבוֹא	כַּאֲשֶׁר	אָמַר	יוֹסֵף	וַיְהִי	
そして–始まった	七つの	年の	飢饉が	来る–ことが	とおりに	言った	ヨセフが	そして–あった	
H3615	H7651	H8141	H7458	H0935		H0559	H3130	H1961	

בְּכָל־	רָעָב	וּבְכָל־	אֶרֶץ	מִצְרַיִם	הָיָה	לָחֶם׃	
すべての	飢饉が	しかし–すべての	地に	エジプトの	あった	パンが	
H3605	H7458	H3605	H0776	H4714	H1961	H3899	

ヨセフの言ったように七年のききんが始まった。そのききんはすべての国にあったが、エジプト全国には食物があった。

55 וַתִּרְעַב כָּל־ אֶרֶץ מִצְרַיִם וַיִּצְעַק הָעָם אֶל־ פַּרְעֹה לַלָּחֶם וַיֹּאמֶר פַּרְעֹה לְכָל־ מִצְרַיִם לְכוּ אֶל־ יוֹסֵף אֲשֶׁר־ יֹאמַר לָכֶם תַּעֲשׂוּ׃

55 そして–飢えた すべての 地が エジプトの そして–叫んだ 民が に ファラオに
H7456 H3605 H0776 H4714 H6817 H0413 H6547

ところの 言う あなたがたに 行いなさい
H0559

ヨセフの の–もとへ 行きなさい エジプトに すべての ファラオが そこで–言った パンを–求めて
H3130 H0413 H3212 H4713 H3605 H6547 H0559 H3899

やがてエジプト全国が飢えた時、民はパロに食物を叫び求めた。そこでパロはすべてのエジプトびとに言った、「ヨセフのもとに行き、彼の言うようにせよ」。

56 וְהָרָעָב הָיָה עַל־ כָּל־ פְּנֵי הָאָרֶץ וַיִּפְתַּח יוֹסֵף אֶת־ כָּל־ אֲשֶׁר בָּהֶם וַיִּשְׁבָּר לְמִצְרַיִם וַיֶּחֱזַק הָרָעָב בְּאֶרֶץ מִצְרָיִם׃

56 そして–飢饉が あった の–上に すべての 面 地の そこで–開けた ヨセフが —
H7458 H1961 H5921 H3605 H6440 H0776 H7666 H3130 H0853

すべて
H3605

エジプトの 地に 飢饉が そして–強まった エジプトに そして–売った 中に–ある ところの
H4714 H0776 H7458 H2388 H4713 H7666

ききんが地の全面にあったので、ヨセフはすべての穀倉を開いて、エジプトびとに売った。ききんはますますエジプトの国に激しくなった。

57 וְכָל־ הָאָרֶץ בָּאוּ מִצְרַיְמָה לִשְׁבָּר אֶל־ יוֹסֵף כִּי־ חָזַק הָרָעָב בְּכָל־ הָאָרֶץ׃

57 そして–すべての 地が 来た エジプトへ 買う–ために の–もとへ ヨセフの なぜなら 強かった
H3605 H0776 H0935 H4714 H7666 H0413 H3130 H3588 H2388

地に すべての 飢饉が
H0776 H3605 H7458

ききんが全地に激しくなったので、諸国の人々がエジプトのヨセフのもとに穀物を買うためにきた。

Chapter 42

1 וַיַּרְא יַעֲקֹב כִּי־ יֶשׁ־ שֶׁבֶר בְּמִצְרָיִם וַיֹּאמֶר יַעֲקֹב לְבָנָיו לָמָּה תִתְרָאוּ׃

1 そして–見た ヤコブは ～と ある 穀物が エジプトに そして–言った ヤコブは 息子たちに
H7200 H3290 H3588 H3426 H7668 H4714 H0559 H3290 H1121

見合っているのか なぜ
H7200 H4100

ヤコブはエジプトに穀物があると知って、むすこたちに言った、「あなたがたはなぜ顔を見合わせているのですか」。

2 וַיֹּאמֶר הִנֵּה שָׁמַעְתִּי כִּי־ יֶשׁ־ שֶׁבֶר בְּמִצְרָיִם רְדוּ־ שָׁמָּה וְשִׁבְרוּ־ לָנוּ מִשָּׁם וְנִחְיֶה וְלֹא נָמוּת׃

2 そして–言った 見よ 聞いた ～と ある 穀物が エジプトに 下って–行け そこへ
H0559 H2009 H8085 H3588 H3426 H7668 H4714 H3381 H8033

そこから 私たちの–ために そして–生きよう そして–ない 死ぬことが そして–買え
H8033 H0 H2421 H3808 H4191 H7666

また言った、「エジプトに穀物があるということだが、あなたがたはそこへ下って行って、そこから、われわれのため穀物を買ってきなさい。そうすれば、われわれは生きながらえて、死を免れるであろう」。

מִמִּצְרַיִם׃	בָּר	לִשְׁבֹּר	עֲשָׂרָה	יוֹסֵף	אֲחֵי־	וַיֵּרְדוּ	3
エジプトから	穀物を	買うために	十人	ヨセフの	兄弟たちは	そして-下った	
H4714		H7666	H6235	H3130	H0251	H3381	

そこでヨセフの十人の兄弟は穀物を買うためにエジプトへ下った。

אֶת־	יַעֲקֹב	שָׁלַח	לֹא־	יוֹסֵף	אֲחֵי	בִנְיָמִין	וְאֶת־	4
（直接目的語）	ヤコブは	遣わさなかった	ない	ヨセフの	弟	ベニヤミンを	しかし	
H0854	H3290	H7971	H3808	H3130	H0251	H1144	H0853	

אָסוֹן׃	יִקְרָאֵנּוּ	פֶּן־	אָמַר	כִּי	אֶחָיו
災いが	降りかかるかもしれない	もしや	言った	なぜなら	兄弟たちと
H0611	H7122	H6435	H0559		H0251

しかし、ヤコブはヨセフの弟ベニヤミンを兄弟たちと一緒にやらなかった。彼が災に会うのを恐れたからである。

הָיָה	כִּי־	הַבָּאִים	בְּתוֹךְ	לִשְׁבֹּר	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי	וַיָּבֹאוּ	5
あった	なぜなら	来る者たちの	～の-中で	買うために	イスラエルの	息子たちは	そして-来た	
H1961		H0935	H8432	H7666	H3478		H0935	

כְּנָעַן׃	בְּאֶרֶץ	הָרָעָב	
カナンの	地に	飢饉が	
	H0776	H7458	

こうしてイスラエルの子らは穀物を買おうと人々に交じってやってきた。カナンの地にききんがあったからである。

לְכָל־	הַמַּשְׁבִּיר	הוּא	הָאָרֶץ	עַל־	הַשַּׁלִּיט	הוּא	וְיוֹסֵף	6
すべての	売る者であった	彼が	その-地の	～の-上に	支配者であった	彼が	そして-ヨセフは	
H3605	H7666	H1931	H0776		H7989	H1931	H3130	

אָרְצָה׃	אַפַּיִם	לוֹ	וַיִּשְׁתַּחֲוּוּ־	יוֹסֵף	אֲחֵי	וַיָּבֹאוּ	הָאָרֶץ	עַם
地に-つけて	顔を	彼に	そして-ひれ伏した	ヨセフの	兄弟たちは	そして-来た	その-地の	民に
H0776	H0639		H7812	H3130	H0251	H0935	H0776	

ときにヨセフは国のつかさであって、国のすべての民に穀物を売ることをしていた。ヨセフの兄弟たちはきて、地にひれ伏し、彼を拝した。

אֲלֵיהֶם	וַיִּתְנַכֵּר	וַיַּכִּרֵם	אֲחָיו	אֶת־	יוֹסֵף	וַיַּרְא		7
彼らに-対して	しかし-装った	そして-見分けた	兄弟たちを	（直接目的語）	ヨセフは	そして-見た		
H0413			H0251	H0853	H3130	H7200		

מֵאֶרֶץ	וַיֹּאמְרוּ	בָּאתֶם	מֵאַיִן	אֲלֵהֶם	וַיֹּאמֶר	קָשׁוֹת	אִתָּם	וַיְדַבֵּר
地から	そして-言った	来たのか	どこから	彼らに	そして-言った	厳しく	彼らと	そして-語った
H0776	H0559	H0935	H0370	H0413	H0559	H7186	H0854	H1696

אֹכֶל׃	לִשְׁבָּר־	כְּנָעַן	
食料を	買うために	カナンの	
H0400	H7666		

ヨセフは兄弟たちを見て、それと知ったが、彼らに向かっては知らぬ者のようにし、荒々しく語った。すなわち彼らに言った、「あなたがたはどこからきたのか」。彼らは答えた、「食糧を買うためにカナンの地からきました」。

הִכִּרָהוּ׃	לֹא	וְהֵם	אֶחָיו	אֶת־	יוֹסֵף	וַיַּכֵּר	8
見分けなかった-彼を	ない	しかし-彼らは	兄弟たちを	（直接目的語）	ヨセフは	そして-見分けた	
	H3808	H1992	H0251	H0853	H3130		

ヨセフは、兄弟たちであるのを知っていたが、彼らはヨセフとは知らなかった。

9 וַיִּזְכֹּר יוֹסֵף אֶת הַחֲלֹמוֹת אֲשֶׁר חָלַם לָהֶם
そして-思い出した ヨセフは （直接目的語） 夢を それは 見た 彼らについて
H2142 H3130 H0853 H2472 H0834 H2492 H0776

וַיֹּאמֶר אֲלֵהֶם אַתֶּם מְרַגְּלִים לִרְאוֹת עֶרְוַת הָאָרֶץ בָּאתֶם׃
そして-言った 彼らに あなたたちは 間者だ 見るために 弱みを （直接目的語） この-地の 来たのだ
H0559 H0413 H0859 H7270 H7200 H6172 H0853 H0776 H0935

ヨセフはかつて彼らについて見た夢を思い出して、彼らに言った、「あなたがたは回し者で、この国のすきをうかがうためにきたのです」。

10 וַיֹּאמְרוּ אֵלָיו לֹא אֲדֹנָי וַעֲבָדֶיךָ בָּאוּ לִשְׁבָּר אֹכֶל׃
そして-言った 彼に いいえ わが-主よ あなたの-僕たちは 来ました 買うために 食料を
H0559 H0413 H0408 H0113 H5650 H0935 H7666 H0400

彼らはヨセフに答えた、「いいえ、わが主よ、しもべらはただ食糧を買うためにきたのです。

11 כֻּלָּנוּ בְנֵי אִישׁ־אֶחָד נָחְנוּ כֵּנִים אֲנַחְנוּ לֹא־הָיוּ עֲבָדֶיךָ מְרַגְּלִים׃
皆 息子たちです 一人の 人の 私たちは 正直な者です 私たちは ない なったことは あなたの-僕たちは 間者に
H3605 H0376 H0259 H5168 H0587 H3808 H1961 H5650 H7270

われわれは皆、ひとりの人の子で、真実な者です。しもべらは回し者ではありません」。

12 וַיֹּאמֶר אֲלֵהֶם לֹא כִּי עֶרְוַת הָאָרֶץ בָּאתֶם לִרְאוֹת׃
そして-言った 彼らに いや むしろ 弱みを この-地の 来たのだ 見るために
H0559 H0413 H3808 H0518 H6172 H0776 H0935 H7200

ヨセフは彼らに言った、「いや、あなたがたはこの国のすきをうかがうためにきたのです」。

13 וַיֹּאמְרוּ שְׁנֵים עָשָׂר עֲבָדֶיךָ אַחִים אֲנַחְנוּ בְּנֵי אִישׁ־אֶחָד בְּאֶרֶץ כְּנָעַן וְהִנֵּה הַקָּטֹן אֶת־אָבִינוּ הַיּוֹם וְהָאֶחָד אֵינֶנּוּ׃
そして-言った 十二人 （十二の） あなたの-僕たちは 兄弟です 私たちは 息子たちで 一人の そして-見よ 末の者は （と共に） 父の-もとに 今日 そして-一人は 地の カナンの 人の いません
H0559 H8147 H6240 H5650 H0251 H0587 H0376 H0259 H2009 H7098 H0854 H0001 H3117 H0259 H0776 H3667 H0369

彼らは言った、「しもべらは十二人兄弟で、カナンの地にいるひとりの人の子です。末の弟は今、父と一緒にいますが、他のひとりはいなくなりました」。

14 וַיֹּאמֶר אֲלֵהֶם יוֹסֵף הוּא אֲשֶׁר דִּבַּרְתִּי אֲלֵכֶם לֵאמֹר מְרַגְּלִים אַתֶּם׃
そして-言った 彼らに ヨセフは それが まさに 話した あなたたちに 言って 間者だ あなたたちは
H0559 H0413 H3130 H1931 H0834 H1696 H0413 H0559 H7270 H0859

ヨセフは彼らに言った、「わたしが言ったとおり、あなたがたは回し者です。

15

כִּי	מִזֹּה	תֵּצְאוּ	אִם־	פַּרְעֹה	חֵי	תִּבָּחֲנוּ	בְּזֹאת
～でなければ	ここから	出られるなら	もし	ファラオの	命にかけて	試される	これによって
	H2088	H3318		H6547		H0974	H2063

הֵנָּה׃	הַקָּטֹן	אֲחִיכֶם	בְּבֹוא	אִם־
ここに	末の	あなたたちの–弟が	来るとき	もし
H2008		H0251	H0935	

あなたがたをこうしてためしてみよう。パロのいのちにかけて誓います。末の弟がここにこなければ、あなたがたはここを出ることはできません。

16

אֲחִיכֶם	אֶת־	וְיִקָּח	אֶחָד	מִכֶּם	שִׁלְחוּ
あなたたちの–弟を	（直接目的語）	そして–連れて来させよ	一人を	あなたたちの–中から	遣わせ
H0251	H0853	H3947	H0259		H7971

אִתְּכֶם	הַאֱמֶת	דִּבְרֵיכֶם	וְיִבָּחֲנוּ	הֵאָסְרוּ	וְאַתֶּם
あなたたちの–中に	真実かどうか	あなたたちの–言葉が	そして–試される	縛られよ	そして–あなたたちは
H0854	H0571	H1697	H0974	H0631	

אַתֶּם׃	מְרַגְּלִים	כִּי	פַּרְעֹה	חֵי	לֹּא	וְאִם־
あなたたちは	間者だ	きっと	ファラオの	命にかけて	ない–ならば	そして–もし
	H7270		H6547		H3808	

あなたがたのひとりをやって弟を連れてこさせなさい。それまであなたがたをつないでおいて、あなたがたに誠実があるかどうか、あなたがたの言葉をためしてみよう。パロのいのちにかけて誓います。あなたがたは確かに回し者です」。

17

יָמִים׃	שְׁלֹשֶׁת	מִשְׁמָר	אֶל־	אֹתָם	וַיֶּאֱסֹף
日間	三	監禁に	（～の中へ）	彼らを	そして–集めた
H3117	H7969	H4929	H0413	H0853	H0622

ヨセフは彼らをみな一緒に三日の間、監禁所に入れた。

18

אֶת־	וְחְיוּ	עֲשׂוּ	זֹאת	הַשְּׁלִישִׁי	בַּיּוֹם	יוֹסֵף	אֲלֵהֶם	וַיֹּאמֶר
（直接目的語）	そして–生きよ	せよ	こう	日に	三日目の	ヨセフは	彼らに	そして–言った
H0853	H2421		H2063	H7992	H3117	H3130	H0413	H0559

יָרֵא׃	אֲנִי	הָאֱלֹהִים
恐れる	私は	神を
H3372	H0589	H0430

三日目にヨセフは彼らに言った、「こうすればあなたがたは助かるでしょう。わたしは神を恐れます。

19

בְּבֵית	יֵאָסֵר	אֶחָד	אֲחֵיכֶם	אַתֶּם	כֵּנִים	אִם־
場所に	縛られよ	一人が	あなたたちの–兄弟の	あなたたちが	正直な者なら	もし
	H0631	H0259	H0251			

רַעֲבוֹן	שֶׁבֶר	הָבִיאוּ	לְכוּ	וְאַתֶּם	מִשְׁמַרְכֶם
飢えの–ための	穀物を	持って–行け	行け	そして–あなたたちは	あなたたちの–監禁の
H7459	H7668	H0935	H3212		H4929

בָּתֵּיכֶם׃
あなたたちの–家に

もしあなたがたが真実な者なら、兄弟のひとりをあなたがたのいる監禁所に残し、あなたがたは穀物を携えて行って、家族の飢えを救いなさい。

וְיֵאָמְנ֖וּ אֵלַ֑י תָּבִ֣יאוּ הַקָּטֹ֗ן אֲחִיכֶם֙ וְאֶת־ 20
そして-確かめられる 私の-もとに 連れて来よ 末の あなたたちの-弟を そして
H0539 H0413 H0935 H0251 H0853

כֵּ֥ן׃ וַיַּעֲשׂ֖וּ תָּמֻ֥תוּ וְלֹ֣א דִבְרֵיכֶ֔ם
そのように そして-した 死ぬ-ことは そして-ない あなたたちの-言葉が
H4191 H3808 H1697

そして末の弟をわたしのもとに連れてきなさい。そうすればあなたがたの言葉のほんとうであることがわかって、死を免れるでしょう」。彼らはそのようにした。

וַיֹּאמְר֣וּ אָחִ֑ינוּ֙ עַל־ אֲנַחְנוּ֙ וְאַשְׁמִ֣ים אֲבָ֔ל אָחִ֖ינוּ אֶל־ אִ֥ישׁ 21
そして-言った 弟の-ことで ～について 私たちは 罪ある者だ 確かに 兄弟に ～に 人は
H0559 H0251 H0587 H0818 H0061 H0251 H0413 H0376

אֲשֶׁ֣ר רָאִ֗ינוּ צָרַ֤ת נַפְשׁוֹ֙ בְּהִתְחַנְנ֣וֹ אֵלֵ֔ינוּ וְלֹ֥א שָׁמָ֖עְנוּ
その 見た 苦しみを その-魂の 懇願した-とき 私たちに しかし-ない 聞かなかった
H7200 H6869 H5315 H2603 H0413 H3808 H8085

עַל־ כֵּ֛ן בָּאָ֥ה אֵלֵ֖ינוּ הַצָּרָ֥ה הַזֹּֽאת׃
その-ゆえに そのために 来た 私たちに この-苦難が この
H0413 H0935 H6869 H2063

彼らは互に言った、「確かにわれわれは弟の事で罪がある。彼がしきりに願った時、その心の苦しみを見ながら、われわれは聞き入れなかった。それでこの苦しみに会うのだ」。

וַיַּ֣עַן רְאוּבֵ֔ן אֹתָ֖ם לֵאמֹ֑ר הֲלוֹא֩ אָמַ֨רְתִּי֙ אֲלֵיכֶ֜ם לֵאמֹ֗ר 22
そして-答えた ルベンは 彼らに 言って ～ではなかったか 言った あなたたちに 言って
H0559 H7205 H0853 H0559 H3808 H0559 H0413 H0559

וְגַם־ דָּמ֖וֹ הִנֵּ֥ה נִדְרָֽשׁ׃ בַּיֶּ֔לֶד תֶּחֱטְא֣וּ וְלֹ֥א שְׁמַעְתֶּ֑ם
そして-また その-血が 見よ 求められている その-子に-対して 罪を-犯しては しかし-ない 聞かなかった
H1571 H1818 H2009 H1875 H3206 H2398 H3808 H8085

אַל־
してはならない
H0408

ルベンが彼らに答えて言った、「わたしはあなたがたに、この子供に罪を犯すなと言ったではないか。それにもかかわらず、あなたがたは聞き入れなかった。それで彼の血の報いを受けるのです」。

וְהֵ֣מָּה לֹ֣א יָדְע֔וּ כִּ֥י שֹׁמֵ֖עַ יוֹסֵ֑ף כִּ֥י הַמֵּלִֽיץ׃ 23
しかし-彼らは ない 知らなかった ～ことを 聞いている ヨセフが なぜなら 通訳が
H1992 H3808 H3045 H8085 H3130 H3887

בֵּינָתָֽם׃
彼らの-間にいた
H0996

彼らはヨセフが聞きわけているのを知らなかった。相互の間に通訳者がいたからである。

וַיִּסֹּ֣ב וַיֵּ֤בְךְּ֙ מֵֽעֲלֵיהֶ֔ם וַיָּ֖שָׁב אֲלֵהֶ֑ם וַיְדַבֵּ֣ר 24
そして-向きを変え そして-泣いた 彼らから-離れ そして-戻った 彼らの-もとへ そして-語った
H5437 H1058 H4480 H7725 H0413 H1696

וַיִּקַּ֥ח מֵאִתָּ֖ם אֶת־ שִׁמְע֑וֹן וַיֶּאֱסֹ֥ר אֹתֽוֹ׃
そして-取った 彼らの-中から （直接目的語） シメオンを そして-縛った 彼を
H3947 H0854 H0853 H8095 H0631 H0853

לְעֵינֵיהֶֽם׃
彼らの-目の前で

ヨセフは彼らを離れて行って泣き、また帰ってきて彼らと語り、そのひとりシメオンを捕えて、彼らの目の前で縛った。

25 וַיְצַו יוֹסֵף וַיְמַלְאוּ אֶת־כְּלֵיהֶם בָּר וְלְהָשִׁיב
そして-命じた ヨセフは そして-満たした （直接目的語） 彼らの-器を 穀物で そして-返すように
H6680 H3130 H4390 H0853 H3701 H7725

כַּסְפֵּיהֶם אִישׁ בְּאַמְתַּחְתּוֹ וְלָתֵת צֵדָה לַדָּרֶךְ
彼らの-銀を 各自の 袋に （〜の中へ） 彼らに そして-与えるように 食料を 道のための
H3701 H0376 H8242 H0413 H5414 H6720 H1870

וַיַּעַשׂ לָהֶם כֵּן׃
そして-した 彼らに そのように
H3605 H0853 H0559

そしてヨセフは人々に命じて、彼らの袋に穀物を満たし、めいめいの銀を袋に返し、道中の食料を与えさせた。ヨセフはこのように彼らにした。

26 וַיִּשְׂאוּ אֶת־שִׁבְרָם עַל־חֲמֹרֵיהֶם וַיֵּלְכוּ מִשָּׁם׃
そして-積んだ （直接目的語） 彼らの-穀物を 〜の-上に 彼らの-ろばに そして-去った そこから
H5375 H0853 H7668 H5921 H2543 H3212 H8033

彼らは穀物をろばに負わせてそこを去った。

27 וַיִּפְתַּח הָאֶחָד אֶת־שַׂקּוֹ לָתֵת מִסְפּוֹא לַחֲמֹרוֹ בַּמָּלוֹן
そして-開けた 一人が （直接目的語） 自分の-袋を 与えるために 飼葉を 自分の-ろばに 宿で
H4411 H2543 H4554 H5414 H8242 H0853 H0259 H6605

וַיַּרְא אֶת־כַּסְפּוֹ וְהִנֵּה־הוּא בְּפִי אַמְתַּחְתּוֹ׃
そして-見た （直接目的語） 自分の-銀を そして-見よ それが 口に-あった 自分の-袋の
H7200 H0853 H3701 H2009 H1931 H6310 H0572

そのひとりが宿で、ろばに飼葉をやるため袋をあけて見ると、袋の口に自分の銀があった。

28 וַיֹּאמֶר אֶל־אֶחָיו הוּשַׁב כַּסְפִּי וְגַם הִנֵּה בְּאַמְתַּחְתִּי
そして-言った 〜に 兄弟たちに 返されている 私の-銀が そして-また 見よ 私の-袋に
H0559 H0413 H0251 H7725 H3701 H1571 H2009 H0572

וַיֵּצֵא לִבָּם וַיֶּחֶרְדּוּ אִישׁ אֶל־אָחִיו לֵאמֹר מַה־זֹּאת
そして-出て行った 彼らの-心は そして-震えた 人は 〜に 兄弟に 言って 何だ これは
H3318 H3820 H2729 H0376 H0413 H0251 H0559 H4100 H2063

עָשָׂה אֱלֹהִים לָנוּ׃
なさった 神が 私たちに
H0430

彼は兄弟たちに言った、「わたしの銀は返してある。しかも見よ、それは袋の中にある」。そこで彼らは非常に驚き、互に震えながら言った、「神がわれわれにされたこのことは何事だろう」。

29 וַיָּבֹאוּ אֶל־יַעֲקֹב אֲבִיהֶם אַרְצָה כְּנָעַן וַיַּגִּידוּ לוֹ
そして-来た 〜の-もとへ ヤコブ 彼らの-父の 地の カナンの そして-告げた 彼に
H0935 H0413 H3290 H0001 H0776 H3667 H5046 H0

אֵת כָּל־הַקֹּרֹת אֹתָם לֵאמֹר׃
（直接目的語） すべての 出来事を 彼らに-起こった 言って
H0853 H3605 H0853 H0559

こうして彼らはカナンの地にいる父ヤコブのもとに帰り、その身に起った事をことごとく告げて言った、

30 דְּבֶּר֙ הָאִ֣ישׁ אֲדֹנֵ֔י הָאָ֖רֶץ אִתָּ֑נוּ וַיִּתֵּ֨ן אֹתָ֜נוּ קָשׁ֗וֹת וַיִּתֵּ֤ן אֹתָ֙נוּ֙ כְּמְרַגְּלִ֔ים

語った その-人は 主人は その-地の 私たちに 厳しく そして-扱った 私たちを 間者のように
H1696 H0376 H0113 H0776 H0854 H7186 H5414 H0853 H7270

אֶת־ הָאָ֖רֶץ׃

（直接目的語） その-地の
H0853 H0776

「あの国の君は、われわれに荒々しく語り、国をうかがう回し者だと言いました。

31 וַנֹּ֣אמֶר אֵלָ֗יו לֹ֚א הָיֵ֣ינוּ אֲנָחְנוּ֙ כֵּנִ֔ים לֹ֥א הָיִ֖ינוּ מְרַגְּלִֽים׃

そして-言った 彼に 正直な者です 私たちは ない なったことは 間者に
H0559 H0413 H0587 H3808 H1961 H7270

われわれは彼に答えました、『われわれは真実な者であって回し者ではない。

32 שְׁנֵים־ עָשָׂ֤ר אֲנַחְנוּ֙ אַחִ֣ים בְּנֵי־ אָבִ֔ינוּ הָאֶחָ֖ד אֵינֶ֣נּוּ וְהַקָּטֹ֑ן

十二人 （十二の） 私たちは 兄弟で 息子たちです 父の 一人は いません そして-末の者は
H8147 H6240 H0587 H0251 H0001 H0259 H0369

הַיּ֔וֹם אֶת־ אֲבִ֖ינוּ בְּאֶ֥רֶץ כְּנָֽעַן׃

今日 （と共に） 父の-もとに 地に カナンの
H3117 H0854 H0001 H0776

われわれは十二人兄弟で、同じ父の子である。ひとりはいなくなり、末の弟は今父と共にカナンの地にいる』。

33 וַיֹּ֣אמֶר אֵלֵ֗ינוּ הָאִישׁ֙ אֲדֹנֵ֣י הָאָ֔רֶץ בְּזֹ֥את אֵדַ֖ע כִּ֣י כֵנִ֑ים

そして-言った 私たちに その-人は 主人は その-地の こうして 知る ～と 正直な者だと
H0559 H0413 H0376 H0113 H0776 H2063 H3045 H0853 H3045

אַתֶּם֙ אַחֵיכֶ֣ם הָאֶחָ֤ד הַנִּ֙יחוּ֙ אִתִּ֔י וְאֶת־ רַעֲבֹ֖ן בָּתֵּיכֶ֥ם קְח֖וּ וְלֵֽכוּ׃

あなたたちが あなたたちの-兄弟の 一人を 置いて行け 私の-もとに そして 飢えの-ための 家の あなたたちの 取って 行け
H0251 H0259 H3240 H0854 H0853 H7459 H1004 H3947 H3212

その国の君であるその人はわれわれに言いました、『わたしはこうしてあなたがたの真実な者であるのを知ろう。あなたがたは兄弟のひとりをわたしのもとに残し、穀物を携えて行って、家族の飢えを救いなさい。

34 וְהָבִיאוּ֙ אֶת־ אֲחִיכֶ֣ם הַקָּטֹ֔ן אֵלַ֖י וְאֵדְעָ֣ה כִּ֑י לֹ֣א מְרַגְּלִ֔ים אַתֶּ֖ם כִּ֥י כֵנִ֛ים אַתֶּ֖ם אֶת־

そして-連れて来よ （直接目的語） あなたたちの-弟を 末の 私の-もとに そして-知る ～と 間者では ない むしろ 正直な者だと あなたたちが （直接目的語）
H0935 H0853 H0251 H7270 H3808 H0413 H3045 H0853 H0251 H7270 H3808 H3588 H3541 H0853

אֲחִיכֶ֣ם אֶתֵּ֔ן וְאֶת־ הָאָ֖רֶץ תִּסְחָֽרוּ׃

あなたたちの-兄弟を 返す そして その-地で 商いせよ
H0251 H5414 H0853 H0776 H5503

そして末の弟をわたしのもとに連れてきなさい。そうすればあなたがたが回し者ではなく、真実な者であるのを知って、あなたがたの兄弟を返し、この国であなたがたに取引させましょう』」。

35 וַיְהִ֗י הֵ֚ם שֹׁפְכִ֣ים שַׂקֵּיהֶם֒ וְהִנֵּה־ צְר֣וֹר כֶּ֣סֶף אִ֔ישׁ בִּשַּׂקּ֑וֹ וַיִּרְא֤וּ אֶת־ צְרֹרוֹת֙ כַּסְפֵּיהֶ֣ם הֵ֔מָּה וַאֲבִיהֶ֖ם וַיִּירְא֥וּ׃

そして-なった 彼らが 空けている-とき 彼らの-袋を そして-見よ 包みが 各自の 銀の 包みを （直接目的語） そして-見た 自分の-袋に その-父も 彼らも 彼らの-銀の そして-恐れた
H1961 H1992 H7324 H8242 H2009 H6872 H0376 H3701 H6872 H0853 H7200 H8242 H0001 H1992 H3701 H3372

彼らが袋のものを出して見ると、めいめいの金包みが袋の中にあったので、彼らも父も金包みを見て恐れた。

אֵינֶנּוּ	יוֹסֵף	שְׁכֹלְתֶּם	אֹתִי	אֲבִיהֶם	יַעֲקֹב	אֲלֵהֶם	וַיֹּאמֶר	36
いない	ヨセフは	奪った	私から	彼らの–父は	ヤコブは	彼らに	そして–言った	
H0369	H3130		H0853	H0001	H3290	H0413	H0559	

כֻּלָּנָה׃	הָיוּ	עָלַי	תִּקָּחוּ	בִנְיָמִן	וְאֶת־	אֵינֶנּוּ	וְשִׁמְעוֹן
すべてが	なった	私の–上に	取ろうとする	ベニヤミンを	そして	いない	そして–シメオンも
H3605	H1961		H3947	H1144	H0853	H0369	H8095

父ヤコブは彼らに言った、「あなたがたはわたしに子を失わせた。ヨセフはいなくなり、シメオンもいなくなった。今度はベニヤミンをも取り去る。これらはみなわたしの身にふりかかって来るのだ」。

תָּמִית	בָּנַי	שְׁנֵי	אֶת־	לֵאמֹר	אָבִיו	אֶל־	רְאוּבֵן	וַיֹּאמֶר	37
殺してよい	私の–息子を	二人の	（直接目的語）	言って	父に	～に	ルベンは	そして–言った	
H4191		H8147	H0853	H0559	H0001	H0413	H7205	H0559	

יָדִי	עַל־	אֹתוֹ	תְּנָה	אֵלֶיךָ	אֲבִיאֶנּוּ	לֹא	אִם־	
私の–手に	～の–上に	彼を	ゆだねよ	あなたの–もとに	連れ帰らなければ–彼を	ない	もし	
H3027		H0853	H5414	H0413	H0935	H3808		

אֵלֶיךָ׃	אֲשִׁיבֶנּוּ	וַאֲנִי
あなたの–もとに	帰す	そして–私が
H0413	H7725	H0589

ルベンは父に言った、「もしわたしが彼をあなたのもとに連れて帰らなかったら、わたしのふたりの子を殺してください。ただ彼をわたしの手にまかせてください。わたしはきっと、あなたのもとに彼を連れて帰ります」。

מֵת	אָחִיו	כִּי־	עִמָּכֶם	בְּנִי	יֵרֵד	לֹא־	וַיֹּאמֶר	38
死んだ	兄は	なぜなら	あなたたちと	私の–息子は	下らない	ない	そして–言った	
H4191	H0251				H3381	H3808	H0559	

תֵּלְכוּ־	אֲשֶׁר	בַּדֶּרֶךְ	אָסוֹן	וּקְרָאָהוּ	נִשְׁאָר	לְבַדּוֹ	וְהוּא	
行く	その	道で	災いが	そして–降りかかるなら	残っている	ただ一人	そして–彼だけが	
H3212		H1870	H0611	H7122	H7604	H0905	H1931	

שְׁאוֹלָה׃	בְּיָגוֹן	שֵׂיבָתִי	אֶת־	וְהוֹרַדְתֶּם	בָּהּ
よみへ	悲しみの–うちに	私の–白髪を	（直接目的語）	そして–下らせるだろう	その–道を
H7585	H3015	H7872	H0853	H3381	

ヤコブは言った、「わたしの子はあなたがたと共に下って行ってはならない。彼の兄は死に、ただひとり彼が残っているのだから。もしあなたがたの行く道で彼が災に会えば、あなたがたは、しらがのわたしを悲しんで陰府に下らせるであろう」。

Chapter 43

בָּאָרֶץ׃	כָּבֵד	וְהָרָעָב	1
その–地で	厳しかった	そして–飢饉は	
H0776	H3515	H7458	

ききんはその地に激しかった。

הֵבִיאוּ	אֲשֶׁר	הַשֶּׁבֶר	אֶת־	לֶאֱכָל	כִּלּוּ	כַּאֲשֶׁר	וַיְהִי	2
持って来た	それは	穀物を	（直接目的語）	食べることを	食べ尽くした	～とき	そして–なった	
H0935		H7668	H0853	H0398	H3615		H1961	

אֹכֶל׃	מְעַט־	לָנוּ	שִׁבְרוּ־	שֻׁבוּ	אֲבִיהֶם	אֲלֵיהֶם	וַיֹּאמֶר	מִמִּצְרָיִם
食料を	少しの	私たちの–ために	買え	戻って	彼らの–父は	彼らに	そして–言った	エジプトから
H0400	H4592		H7666	H7725	H0001	H0413	H0559	H4714

彼らがエジプトから携えてきた穀物を食い尽した時、父は彼らに言った、「また行って、われわれのために少しの食糧を買ってきなさい」。

לֹא־	לֵאמֹר֙	הָאִ֣ישׁ	בָּ֔נוּ	הָעֵ֥ד	הָעֵ֖ד	לֵאמֹ֑ר	יְהוּדָ֣ה	אֵלָ֗יו	וַיֹּ֤אמֶר	3
ない	言って	その–人は	私たちに	警告した	厳しく	言って	ユダは	彼に	そして–言った	
H3808	H0559	H0376				H0559	H3063	H0413	H0559	

אִתְּכֶֽם׃	אֲחִיכֶ֖ם	בִּלְתִּ֥י	פָּנַ֛י	תִּרְאוּ
あなたたちと–共に	あなたたちの–弟が	～でなければ	私の–顔を	見る–ことは
H0854	H0251	H1115	H6440	H7200

ユダは父に答えて言った、「あの人はわれわれをきびしく戒めて、弟が一緒でなければ、わたしの顔を見てはならないと言いました。

נֵרְדָּ֔ה	אִתָּ֖נוּ	אָחִ֣ינוּ	אֶת־	מְשַׁלֵּ֤חַ	יֶשְׁךָ֙	אִם־		4
下って行こう	私たちと–共に	私たちの–弟を	（直接目的語）	遣わすなら	あなたが	もし		
H3381	H0854	H0251	H0853	H7971	H3426			

וְנִשְׁבְּרָ֖ה	לְךָ֥	אֹֽכֶל׃	
そして–買おう	あなたの–ために	食料を	
H7666		H0400	

もしあなたが弟をわれわれと一緒にやってくださるなら、われわれは下って行って、あなたのために食糧を買ってきましょう。

								5
אָמַ֣ר	הָאִ֗ישׁ	כִּי־	נֵרֵד֙	לֹ֣א	מְשַׁלֵּ֤חַ	אֵינְךָ֙	וְאִם־	
言った	その–人は	なぜなら	下って行かない	ない	遣わすなら	あなたが–ない	しかし–もし	
H0559	H0376		H3381	H3808	H7971	H0369		

אִתְּכֶֽם׃	אֲחִיכֶ֖ם	בִּלְתִּ֥י	פָּנַ֛י	תִּרְאוּ	לֹא־	אֵלֵ֥ינוּ
あなたたちと–共に	あなたたちの–弟が	～でなければ	私の–顔を	見る–ことは	ない	私たちに
H0854	H0251	H1115	H6440	H7200	H3808	H0413

しかし、もし彼をやられないなら、われわれは下って行きません。あの人がわれわれに、弟が一緒でなければわたしの顔を見てはならないと言ったのですから」。

									6
הַעֹ֗וד	לְאִישׁ֙	לְהַגִּ֣יד	לִ֔י	הֲרֵעֹתֶ֖ם	לָמָּה	יִשְׂרָאֵ֑ל	וַיֹּ֣אמֶר		
まだ	その–人に	告げて	私に	害を–与えたのか	なぜ	イスラエルは	そして–言った		
H5750	H0376	H5046			H4100	H3478	H0559		

אָֽח׃	לָכֶֽם
弟が–いると	あなたたちに
H0251	

イスラエルは言った、「なぜ、もうひとりの弟があるとあの人に言って、わたしを苦しめるのか」。

									7
הַעֹ֗וד	לֵאמֹר֙	וּלְמֹולַדְתֵּ֔נוּ	לָ֣נוּ	הָאִ֗ישׁ	שָׁאֹל֩	שָׁאַ֨ל֙	וַיֹּ֣אמְרוּ		
まだ	言って	そして–親族について	私たちに	その–人は	尋ねた	尋ねて	そして–言った		
H5750	H0559	H4138		H0376	H7592	H7592	H0559		

עַל־	לוֹ֙	נַגֵּ֣ד־	אָ֔ח	לָכֶ֖ם	הֲיֵ֣שׁ	חַ֑י	אֲבִיכֶ֥ם	
～に–従って	彼に	そして–告げた	弟が	あなたたちに	いるか	生きているか	あなたたちの–父は	
		H5046	H0251		H3426		H0001	

הוֹרִ֖ידוּ	יֹאמַ֥ר	כִּ֛י	נֵדַ֥ע	הֲיָדֹ֖ועַ	הָאֵ֑לֶּה	הַדְּבָרִ֣ים	פִּ֔י	
連れて来よ	言うとは	～と	知る	知ることが–できただろうか	これらの	言葉の	口に	
H3381	H0559		H3045	H3045	H0428	H1697	H6310	

אֲחִיכֶֽם׃	אֶת־
あなたたちの–弟を	（直接目的語）
H0251	H0853

彼らは言った、「あの人がわれわれと一族とのことを問いただして、父はまだ生きているか、もうひとりの弟があるかと言ったので、問われるままに答えましたが、その人が、弟を連れてこいと言おうとは、どうして知ることができたでしょう」。

8

אִתִּי	הַנַּעַר	שִׁלְחָה	אָבִיו	יִשְׂרָאֵל	אֶל־	יְהוּדָה	וַיֹּאמֶר	
私と–共に	その–若者を	送ってください	彼の–父に	イスラエルに	～に	ユダは	そして–言った	
H0854	H5288	H7971	H0001	H3478	H0413	H3063	H0559	

גַּם־	אַתָּה	גַּם־	נָמוּת	וְלֹא	וְנִחְיֶה	וְנֵלְכָה	וְנָקוּמָה
また	あなたも	また	死ぬ–ように	そして–ない	そして–生きよう	そして–行こう	そして–立とう
H1571	H0587	H1571	H4191	H3808	H2421	H3212	

טַפֵּנוּ׃	גַּם־	אַתָּה
私たちの–子どもたちも	また	あなたも
H2945	H1571	

ユダは父イスラエルに言った、「あの子をわたしと一緒にやってくだされば、われわれは立って行きましょう。そしてわれわれもあなたも、われわれの子供らも生きながらえ、死を免れましょう。

9

הֲבִיאֹתִיו	לֹא	אִם־	תְּבַקְשֶׁנּוּ	מִיָּדִי	אֶעֱרְבֶּנּוּ	אָנֹכִי	
連れ帰らなければ–彼を	ない	もし	求めよ–彼を	私の–手から	保証する–彼を	私が	
H0935	H3808		H1245	H3027	H6148	H0595	

כָּל־	לְךָ	וְחָטָאתִי	לְפָנֶיךָ	וְהַצַּגְתִּיו	אֵלֶיךָ	
すべての	あなたに–対して	そして–罪を負う	あなたの–前に	そして–立たせなければ	あなたの–もとに	
H3605		H2398	H6440	H3322	H0413	

הַיָּמִים׃
日々
H3117

わたしが彼の身を請け合います。わたしの手から彼を求めなさい。もしわたしが彼をあなたのもとに連れ帰って、あなたの前に置かなかったら、わたしはあなたに対して永久に罪を負いましょう。

10

פַּעֲמָיִם׃	זֶה	שַׁבְנוּ	עַתָּה	כִּי־	הִתְמַהְמָהְנוּ	לוּלֵא	כִּי	
二度	これ	戻っていた	今ごろ	なぜなら	ためらっていた	もし–なければ	なぜなら	
H6471	H2088	H7725	H6258		H4102	H3884		

もしわれわれがこんなにためらわなかったら、今ごろは二度も行ってきたでしょう」。

11

קְחוּ	עֲשׂוּ	זֹאת	אֶפּוֹא	וְכֵן	אִם־	אֲבִיהֶם	יִשְׂרָאֵל	אֲלֵהֶם	וַיֹּאמֶר
取れ	せよ	こう	では	そうなら	もし	彼らの–父は	イスラエルは	彼らに	そして–言った
H3947		H2063	H0645			H0001	H3478	H0413	H0559

מְעַט	מִנְחָה	לָאִישׁ	וְהוֹרִידוּ	בִּכְלֵיכֶם	הָאָרֶץ	מִזִּמְרַת	
少しの	贈り物を	その–人に	そして–持って–下れ	あなたたちの–器に–入れて	この–地の	最良の–物を	
H4592	H4503	H0376	H3381	H3627	H0776	H2173	

וּשְׁקֵדִים׃	בָּטְנִים	וּלְט	נְכֹאת	דְּבַשׁ	וּמְעַט	צֳרִי	
アーモンドを	ピスタチオと	没薬を	香料と	蜂蜜を	そして–少しの	乳香を	
H8247	H0992	H3910	H5219	H1706	H4592	H6875	

父イスラエルは彼らに言った、「それではこうしなさい。この国の名産を器に入れ、携え下ってその人に贈り物にしなさい。すなわち少しの乳香、少しの蜜、香料、もつやく、ふすだしう、あめんどう。

12

אַמְתְּחֹתֵיכֶם	בְּפִי	הַמּוּשָׁב	הַכֶּסֶף	וְאֶת־	בְּיֶדְכֶם	קְחוּ	מִשְׁנֶה	וְכֶסֶף
あなたたちの–袋の	口に	返された	銀を	そして	あなたたちの–手に	取れ	二倍の	そして–銀を
H0572	H6310	H7725	H3701	H0853	H3027	H3947	H4932	H3701

הוּא׃	מִשְׁגֶּה	אוּלַי	בְּיֶדְכֶם	תָּשִׁיבוּ	
であった	間違い	おそらく	あなたたちの–手で	返せ	
H1931	H4870	H0194	H3027	H7725	

そしてその上に、倍額の銀を手に持って行きなさい。また袋の口に返してあった銀は持って行って返しなさい。たぶんそれは誤りであったのでしょう。

13

וְאֶת־	הָאִישׁ׃	אֶל־	שׁוּבוּ	וְקוּמוּ	קְחוּ	אֲחִיכֶם
そして	その–人の	～の–もとへ	戻れ	そして–立て	取れ	あなたたちの–弟を
H0853	H0376	H0413	H7725		H3947	H0251

弟も連れ、立って、またその人の所へ行きなさい。

14

הָאִישׁ	לִפְנֵי	רַחֲמִים	לָכֶם	יִתֵּן	שַׁדַּי	וְאֵל
その–人の	～の–前で	憐れみを	あなたたちに	与えてくださるように	全能の	そして–神
H0376	H6440			H5414	H7706	H0410

וְאֶת־	אַחֵר	אֲחִיכֶם	אֶת־	לָכֶם	וְשִׁלַּח
そして	もう–一人の	あなたたちの–兄弟を	（直接目的語）	あなたたちに	そして–送り返す–ように
H0853	H0312	H0251	H0853		H7971

שָׁכֻלְתִּי׃	שָׁכֻלְתִּי	כַּאֲשֶׁר	וַאֲנִי	בִנְיָמִין
失うのだ	失うなら–子を	もし	そして–私は	ベニヤミンを
			H0589	H1144

どうか全能の神がその人の前であなたがたをあわれみ、もうひとりの兄弟とベニヤミンとを、返させてくださるように。もしわたしが子を失わなければならないのなら、失ってもよい」。

15

לָקְחוּ	כֶסֶף	וּמִשְׁנֶה־	הַזֹּאת	הַמִּנְחָה	אֶת־	הָאֲנָשִׁים	וַיִּקְחוּ
取った	銀を	そして–二倍の	この	贈り物を	（直接目的語）	その–人たちは	そして–取った
H3947	H3701	H4932	H2063	H4503	H0853	H0376	H3947

לִפְנֵי	וַיַּעַמְדוּ	מִצְרַיִם	וַיֵּרְדוּ	וַיָּקֻמוּ	בִנְיָמִן	וְאֶת־	בְּיָדָם
～の–前に	そして–立った	エジプトへ	そして–下った	そして–立った	ベニヤミンを	そして	手に
H6440	H5975	H4714	H3381		H1144	H0853	H3027

יוֹסֵף׃
ヨセフの
H3130

そこでその人々は贈り物を取り、また倍額の銀を携え、ベニヤミンを連れ、立ってエジプトへ下り、ヨセフの前に立った。

16

לַאֲשֶׁר	וַיֹּאמֶר	בִנְיָמִן	אֶת־	אִתָּם	יוֹסֵף	וַיַּרְא
～に–対して	そして–言った	ベニヤミンを	（直接目的語）	彼らと–共に	ヨセフは	そして–見た
	H0559	H1144	H0853	H0854	H3130	H7200

וּטְבֹחַ	הַבַּיְתָה	הָאֲנָשִׁים	אֶת־	הֶבֵא	בֵּיתוֹ	עַל־
そして–屠れ	家の–中へ	その–人たちを	（直接目的語）	連れて来よ	彼の–家の–者に	～の–上の
H2873		H0376	H0853	H0935		

בַּצָּהֳרָיִם׃	הָאֲנָשִׁים	יֹאכְלוּ	אִתִּי	כִּי	וְהָכֵן	טֶבַח
昼に	その–人たちは	食べる	私と–共に	なぜなら	そして–準備せよ	屠り物を
	H0376	H0398	H0854			H2874

ヨセフはベニヤミンが彼らと共にいるのを見て、家づかさに言った、「この人々を家に連れて行き、獣をほふって、したくするように。この人々は昼、わたしと一緒に食事をします」。

17

הָאִישׁ	וַיָּבֵא	יוֹסֵף	אָמַר	כַּאֲשֶׁר	הָאִישׁ	וַיַּעַשׂ
その–人は	そして–連れて来た	ヨセフが	言った	～のように	その–人は	そして–した
H0376	H0935	H3130	H0559		H0376	

יוֹסֵף׃	בֵּיתָה	הָאֲנָשִׁים	אֶת־	
ヨセフの	家へ	その–人たちを	（直接目的語）	
H3130		H0376	H0853	

その人はヨセフの言ったようにして、この人々をヨセフの家へ連れて行った。

18 וַיִּירְאוּ הָאֲנָשִׁים כִּי הוּבְאוּ בֵּית יוֹסֵף וַיֹּאמְרוּ
そして–恐れた その–人たちは なぜなら 連れて来られた 家に ヨセフの そして–言った
H3372 H0376 H3588 H0935 H1004 H3130 H0559

עַל־ דְּבַר הַכֶּסֶף הַמּוּשָׁבֹת בְּאַמְתְּחֹתֵינוּ בַּתְּחִלָּה אֲנַחְנוּ מוּבָאִים
～の–ゆえに ことの 銀の 戻された 私たちの–袋に 初めに 私たちは 連れて来られた
H5921 H1697 H3701 H7725 H0572 H8462 H0587 H0935

לְהִתְגֹּלֵל עָלֵינוּ וּלְהִתְנַפֵּל עָלֵינוּ וְלָקַחַת אֹתָנוּ לַעֲבָדִים
襲うために 私たちを そして–攻めるために 私たちを そして–取るために 私たちを 奴隷として
H1556 H5921 H5307 H5921 H3947 H0853 H5650

וְאֶת־ חֲמֹרֵינוּ׃
そして 私たちの–ろばを
H0853 H2543

ところがこの人々はヨセフの家へ連れて行かれたので恐れて言った、「初めの時に袋に返してあったあの銀のゆえに、われわれを引き入れたのです。そしてわれわれを襲い、攻め、捕えて奴隷とし、われわれのろばをも奪うのです」。

19 וַיִּגְּשׁוּ אֶל־ הָאִישׁ אֲשֶׁר עַל־ בֵּית יוֹסֵף וַיְדַבְּרוּ אֵלָיו
そして–近づいた ～に その–人に ～の ～の–上の 家の ヨセフの そして–語った 彼に
H5066 H0413 H0376 H0834 H5921 H1004 H3130 H1696 H0413

פֶּתַח הַבָּיִת׃
入り口で 家の
H6607

彼らはヨセフの家づかさに近づいて、家の入口で、言った、

20 וַיֹּאמְרוּ בִּי אֲדֹנִי יָרֹד יָרַדְנוּ בַּתְּחִלָּה לִשְׁבָּר־ אֹכֶל׃
そして–言った お願いです わが–主よ 確かに 下って来ました 初めに 買うために 食料を
H0559 H0994 H0113 H3381 H3381 H8462 H7666 H0400

「ああ、わが主よ、われわれは最初、食糧を買うために下ってきたのです。

21 וַיְהִי כִּי־ בָאנוּ אֶל־ הַמָּלוֹן וַנִּפְתְּחָה אֶת־ אַמְתְּחֹתֵינוּ
そして–なった ～とき 来た ～の–もとへ 宿に そして–開いた （直接目的語） 私たちの–袋を
H1961 H3588 H0935 H0413 H4411 H6605 H0853 H0572

וְהִנֵּה אִישׁ כֶּסֶף־ בְּפִי אַמְתַּחְתּוֹ בְּמִשְׁקָלוֹ וַנָּשָׁב
そして–見よ 銀が 各自の 口に 自分の–袋の 私たちの–銀が その–重さのまま そして–返した
H2009 H3701 H0376 H6310 H0572 H3701 H4948 H7725

אֹתוֹ בְּיָדֵנוּ׃
それを 私たちの–手で
H0853 H3027

ところが宿に行って袋をあけて見ると、めいめいの銀は袋の口にあって、銀の重さは元のままでした。それでわれわれはそれを持って参りました。

22 וְכֶסֶף אַחֵר הוֹרַדְנוּ בְיָדֵנוּ לִשְׁבָּר־ אֹכֶל לֹא יָדַעְנוּ מִי־
そして–銀を 別の 持って–下った 私たちの–手に 買うために 食料を ない 知らない 誰が
H3701 H0312 H3381 H3027 H7666 H0400 H3808 H3045 H4310

שָׂם כַּסְפֵּנוּ בְּאַמְתְּחֹתֵינוּ׃
入れたのか 私たちの–銀を 私たちの–袋に
H7760 H3701 H0572

そして食糧を買うために、ほかの銀をも持って下ってきました。われわれの銀を袋に入れた者が、だれであるかは分りません」。

וֵאלֹהֵי	אֱלֹהֵיכֶם	תִּירְאוּ	אַל־	לָכֶם	שָׁלוֹם	וַיֹּאמֶר׃	23
そして–神が	あなたたちの–神が	恐れては	するな	あなたたちに	平安が	そして–言った	
H0430	H0430	H3372	H0408		H7965	H0559	

בָּא	כַסְפְּכֶם	בְּאַמְתְּחֹתֵיכֶם	מַטְמוֹן	לָכֶם	נָתַן	אֱבִיכֶם
来た	あなたたちの–銀は	あなたたちの–袋に	宝を	あなたたちに	与えた	あなたたちの–父の
H0935	H3701	H0572	H4301		H5414	H0001

שִׁמְעוֹן׃	אֹתְ־	אֲלֵהֶם	וַיּוֹצֵא	אֵלָי
シメオンを	（直接目的語）	彼らの–もとへ	そして–連れ出した	私の–もとに
H8095	H0853	H0413	H3318	H0413

彼は言った、「安心しなさい。恐れてはいけません。その宝はあなたがたの神、あなたがたの父の神が、あなたがたの袋に入れてあなたがたに賜わったのです。あなたがたの銀はわたしが受け取りました」。そして彼はシメオンを彼らの所へ連れてきた。

וַיִּתֶּן־	יוֹסֵף	בֵּיתָה	הָאֲנָשִׁים	אֶת־	הָאִישׁ	וַיָּבֵא	24
そして–与えた	ヨセフの	家へ	その–人たちを	（直接目的語）	その–人は	そして–連れて来た	
H5414	H3130		H0376	H0853	H0376	H0935	

לַחֲמֹרֵיהֶם׃	מִסְפּוֹא	וַיִּתֵּן	רַגְלֵיהֶם	וַיִּרְחֲצוּ	מַיִם
彼らの–ろばに	飼葉を	そして–与えた	彼らの–足を	そして–洗った	水を
H2543	H4554	H5414	H7272	H7364	H4325

こうしてその人はこの人々をヨセフの家へ導き、水を与えて足を洗わせ、また、ろばに飼葉を与えた。

שָׁמְעוּ	כִּי	בָּצָּהֳרַיִם	יוֹסֵף	בּוֹא	עַד־	הַמִּנְחָה	אֶת־	וַיָּכִינוּ	25
聞いた	なぜなら	昼に	ヨセフが	来る	～まで	贈り物を	（直接目的語）	そして–準備した	
H8085			H3130	H0935	H5704	H4503	H0853		

לֶחֶם׃	יֹאכְלוּ	שָׁם	כִּי־
食事を	食べると	そこで	～と
H3899	H0398	H8033	

彼らはその所で食事をするのだと聞き、贈り物を整えて、昼にヨセフの来るのを待った。

אֲשֶׁר־	הַמִּנְחָה	אֶת־	לוֹ	וַיָּבִיאוּ	הַבַּיְתָה	יוֹסֵף	וַיָּבֹא	26
～の	贈り物を	（直接目的語）	彼に	そして–持って来た	家に	ヨセフは	そして–来た	
	H4503	H0853		H0935		H3130	H0935	

אָרְצָה׃	לוֹ	וַיִּשְׁתַּחֲווּ־	הַבָּיְתָה	בְּיָדָם
地に–つけて	彼に	そして–ひれ伏した	家の–中へ	手に–あった
H0776		H7812		H3027

さてヨセフが家に帰ってきたので、彼らはその家に携えてきた贈り物をヨセフにささげ、地に伏して、彼を拝した。

אֲשֶׁר	הַזָּקֵן	אֲבִיכֶם	הֲשָׁלוֹם	וַיֹּאמֶר	לְשָׁלוֹם	לָהֶם	וַיִּשְׁאַל	27
～の	老いた	あなたたちの–父は	元気か	そして–言った	安否を	彼らに	そして–尋ねた	
	H2205	H0001	H7965	H0559	H7965		H7592	

חָי׃	הַעוֹדֶנּוּ	אֲמַרְתֶּם	
生きているか	まだ	言っていた	
	H5750	H0559	

ヨセフは彼らの安否を問うて言った、「あなたがたの父、あなたがたがさきに話していたその老人は無事ですか。なお生きながらえておられますか」。

וַיִּקְדוּ חָי עוֹדֶנּוּ לְאָבִינוּ לְעַבְדְּךָ שָׁלוֹם וַיֹּאמְרוּ 28
そして-ひざまずいた 生きています まだ 私たちの-父は あなたの-僕の 元気です そして-言った
H6915 H5750 H0001 H5650 H7965 H0559

וַיִּשְׁתַּחֲוּוּ׃ (וישתחו) (異読)
そして-ひれ伏した
H7812 H7812

彼らは答えた、「あなたのしもべ、われわれの父は無事で、なお生きながらえています」。そして彼らは、頭をさげて拝した。

אִמּוֹ בֶּן־ אָחִיהוּ בִּנְיָמִין אֶת־ וַיַּרְא עֵינָיו וַיִּשָּׂא 29
彼の-母の 息子を 彼の-弟を ベニヤミンを (直接目的語) そして-見た 目を そして-上げた
H0517 H0251 H1144 H0853 H7200 H5375

אֱלֹהִים וַיֹּאמַר אֵלָי אֲמַרְתֶּם אֲשֶׁר הַקָּטֹן אֲחִיכֶם הֲזֶה וַיֹּאמֶר
神が そして-言った 私に 言っていた ～の 末の あなたたちの-弟か これが そして-言った
H0430 H0559 H0413 H0559 H0834 H6996 H0251 H2088 H0559

בְּנִי׃ יָחְנְךָ
わが-子よ 恵んでくださるように

ヨセフは目をあげて同じ母の子である弟ベニヤミンを見て言った、「これはあなたがたが前にわたしに話した末の弟ですか」。また言った、「わが子よ、どうか神があなたを恵まれるように」。

אָחִיו אֶל־ רַחֲמָיו נִכְמְרוּ כִּי־ יוֹסֵף וַיְמַהֵר 30
弟に ～に-向かって 彼の-憐れみが 燃え上がった なぜなら ヨセフは そして-急いだ
H0251 H0413 H7356 H3648 H3130

שָׁמָּה׃ וַיֵּבְךְּ הַחַדְרָה וַיָּבֹא לִבְכּוֹת וַיְבַקֵּשׁ
そこで そして-泣いた 奥の部屋に そして-入った 泣くことを そして-求めた
H8033 H1058 H2315 H0935 H1058 H1245

ヨセフは弟なつかしさに心がせまり、急いで泣く場所をたずね、へやにはいって泣いた。

לָחֶם׃ שִׂימוּ וַיֹּאמֶר וַיִּתְאַפַּק וַיֵּצֵא פָּנָיו וַיִּרְחַץ 31
食事を 出せ そして-言った そして-こらえた そして-出た 顔を そして-洗った
H3899 H0559 H0662 H3318 H6440 H7364

やがて彼は顔を洗って出てきた。そして自分を制して言った、「食事にしよう」。

אִתּוֹ הָאֹכְלִים וְלַמִּצְרִיִּם לְבַדָּם וְלָהֶם לְבַדּוֹ לוֹ וַיָּשִׂימוּ 32
彼と-共に 食べている そして-エジプト人たちに 別に そして-彼らに 別に 彼に そして-出した
H0854 H0398 H4713 H0905 H0905

הָעִבְרִים אֶת־ לֶאֱכָל הַמִּצְרִים יוּכְלוּן לֹא כִּי לְבַדָּם
ヘブル人と (直接目的語) 食べることが エジプト人は できなかった ない なぜなら 別に
H5680 H0854 H0398 H4713 H3201 H3808 H3588 H0905

לְמִצְרִים׃ תּוֹעֵבָה הוּא כִּי־ לֶחֶם
エジプト人に-とって それは 忌まわしいこと なぜなら 食事を
H4713 H1931 H8441 H3588 H3899

そこでヨセフはヨセフ、彼らは彼ら、陪食のエジプトびとはエジプトびと、と別々に席に着いた。エジプトびとはヘブルびとと共に食事することができなかった。それはエジプトびとの忌むところであったからである。

וַיִּשְׁבוּ לְפָנָיו הַבְּכֹר כִּבְכֹרָתוֹ וְהַצָּעִיר כִּצְעִרָתָו וַיִּתְמְהוּ 33
そして-座った 彼の-前に 長子は 長子の-順に そして-末の者は 末の者の-順に そして-驚いた
H3427 H6440 H1060 H1062 H6810 H6812 H8539

הָאֲנָשִׁים אִישׁ אֶל־ רֵעֵהוּ׃
その-人たちは 人は ～に 仲間に
H0376 H0376 H0413 H7453

こうして彼らはヨセフの前に、長子は長子として、弟は弟としてすわらせられたので、その人々は互に驚いた。

וַיִּשָּׂא מֵאֵת פְּנֵיו אֶלֵהֶם מַשְׂאֵת וַתֶּרֶב מַשְׂאֵת בִּנְיָמִן 34
そして-運んだ 分け前を ～から 彼の-前から 彼らに そして-多かった 分け前は ベニヤミンの
H5375 H4864 H0854 H6440 H0413 H7235 H4864 H1144

מִמַּשְׂאֵת כָּלָם חָמֵשׁ יָדוֹת וַיִּשְׁתּוּ וַיִּשְׁכְּרוּ עִמּוֹ׃
分け前より 皆の 五 倍 そして-飲んだ そして-酔った 彼と-共に
H4864 H3605 H2568 H3027 H8354 H7937

またヨセフの前から、めいめいの分が運ばれたが、ベニヤミンの分は他のいずれの者の分よりも五倍多かった。こうして彼らは飲み、ヨセフと共に楽しんだ。

Chapter 44

וַיְצַו אֶת־ אֲשֶׁר עַל־ בֵּיתוֹ לֵאמֹר מַלֵּא 1
そして-命じた （直接目的語） ～の 彼の-家の-者に 言って 満たせ
H6680 H0853 H0834 H5921 H1004 H0559 H4390

אֶת־ אַמְתְּחֹת הָאֲנָשִׁים אֹכֶל כַּאֲשֶׁר יוּכְלוּן שְׂאֵת וְשִׂים כֶּסֶף־ אִישׁ בְּפִי
袋を その-人たちの 食料で ～だけ 運べる 限り そして-入れよ 銀を 各自の 口に
H0572 H0376 H0400 H0834 H3201 H5375 H7760 H3701 H0376 H6310

אַמְתַּחְתּוֹ׃
自分の-袋の
H0572

さてヨセフは家づかさに命じて言った、「この人々の袋に、運べるだけ多くの食糧を満たし、めいめいの銀を袋の口に入れておきなさい。

וְאֶת־ גְּבִיעִי גְּבִיעַ הַכֶּסֶף תָּשִׂים בְּפִי אַמְתַּחַת הַקָּטֹן וְאֶת כֶּסֶף שִׁבְרוֹ 2
そして 私の-杯を 杯 銀の 入れよ 口に 袋の 末の者の そして 銀を 彼の-穀物の
H0853 H1375 H1375 H3701 H7760 H6310 H0572 H6810 H0853 H3701 H7668

אֲשֶׁר דִּבֶּר׃ כִּדְבַר יוֹסֵף אֲשֶׁר וַיַּעַשׂ
語った ～の ヨセフの 言葉の-とおりに そして-した
H1696 H0834 H3130 H1697 H6213

またわたしの杯、銀の杯をあの年下の者の袋の口に、穀物の代金と共に入れておきなさい」。家づかさはヨセフの言葉のとおりにした。

הַבֹּקֶר אוֹר וְהָאֲנָשִׁים שֻׁלְּחוּ הֵמָּה וַחֲמֹרֵיהֶם׃ 3
朝 明けて そして-その-人たちは 送り出された 彼らと 彼らの-ろばは
H1242 H0215 H0376 H7971 H1992 H2543

夜が明けると、その人々と、ろばとは送り出されたが、

4 הֵם יָצְאוּ הָעִיר לֹא הִרְחִיקוּ וְיוֹסֵף אָמַר לַאֲשֶׁר
彼らが 出た 町を （直接目的語） ない 遠くなかった そして-ヨセフは 言った ～に-対して
H1992 H3318 H0853 H3808 H7368 H3130 H0559

עַל־ בֵּיתוֹ קוּם רְדֹף אַחֲרֵי הָאֲנָשִׁים וְהִשַּׂגְתָּם
～の-上の 彼の-家の-者に 立て 追え ～の-後を その-人たちの そして-追いついたら
H5381 H0376 H7291 H0413 H5381

וְאָמַרְתָּ אֲלֵהֶם לָמָּה שִׁלַּמְתֶּם רָעָה תַּחַת טוֹבָה׃
そして-言え 彼らに なぜ 報いたのか 悪を ～の-代わりに 善の
H0559 H0413 H4100 H8478

町を出て、まだ遠くへ行かないうちに、ヨセフは家づかさに言った、「立って、あの人々のあとを追いなさい。追いついて、彼らに言いなさい、『あなたがたはなぜ悪をもって善に報いるのですか。なぜわたしの銀の杯を盗んだのですか。

5 הֲלֹוא זֶה אֲשֶׁר יִשְׁתֶּה אֲדֹנִי בּוֹ וְהוּא נַחֵשׁ יְנַחֵשׁ בּוֹ
～ではないか これは ～の 飲む 私の-主が それで そして-彼は 占う 占う それで
H3808 H2088 H8354 H0113 H0996 H1931 H5172 H5172 H0996

הֲרֵעֹתֶם אֲשֶׁר עֲשִׂיתֶם׃
悪を-行った ～を したのだ
H7489 H0834 H6213

これはわたしの主人が飲む時に使い、またいつも占いに用いるものではありませんか。あなたがたのした事は悪いことです』」。

6 וַיַּשֵּׂג אֲלֵהֶם וַיְדַבֵּר אֶת־ הַדְּבָרִים הָאֵלֶּה׃
そして-追いついた 彼らに そして-語った （直接目的語） 言葉を これらの
H5381 H0413 H1696 H0853 H1697 H0428

家づかさが彼らに追いついて、これらの言葉を彼らに告げたとき、

7 וַיֹּאמְרוּ אֵלָיו לָמָּה יְדַבֵּר אֲדֹנִי כִּדְבָרִים הָאֵלֶּה חָלִלָה
そして-言った 彼に なぜ 語るのか 私の-主は このような-言葉を これらの 決して
H0559 H0413 H4100 H1696 H0113 H1697 H0428 H2486

לַעֲבָדֶיךָ מֵעֲשׂוֹת כַּדָּבָר הַזֶּה׃
あなたの-僕たちが することは そのような-ことを この
H5650 H4639 H1697 H2088

彼らは言った、「わが主は、どうしてそのようなことを言われるのですか。しもべらは決してそのようなことはいたしません。

8 הֵן כֶּסֶף אֲשֶׁר מָצָאנוּ בְּפִי אַמְתְּחֹתֵינוּ הֱשִׁיבְנוּ אֵלֶיךָ מֵאֶרֶץ כְּנָעַן
見よ 銀を ～の 見つけた 口に 私たちの-袋の 返した あなたに 地から カナンの
H2005 H3701 H0834 H4672 H6310 H0572 H7725 H0413 H0776 H3667

וְאֵיךְ נִגְנֹב מִבֵּית אֲדֹנֶיךָ כֶּסֶף אוֹ זָהָב׃
そして-どうして 盗むだろうか 家から あなたの-主の 銀や または 金を
H0349 H1589 H1004 H3701 H0176 H2091

袋の口で見つけた銀でさえ、カナンの地からあなたの所に持ち帰ったほどです。どうして、われわれは御主人の家から銀や金を盗みましょう。

9 אֲשֶׁר יִמָּצֵא אִתּוֹ מֵעֲבָדֶיךָ וָמֵת וְגַם־ אֲנַחְנוּ נִהְיֶה לַאדֹנִי לַעֲבָדִים׃
～の 見つかるなら 彼の-もとで あなたの-僕たちの-中から 死ぬべきである そして-また 私たちも なる わが-主の 奴隷に
H0834 H4672 H0854 H5650 H4191 H1571 H0587 H1961 H0113 H5650

しもべらのうちのだれの所でそれが見つかっても、その者は死に、またわれわれはわが主の奴隷となりましょう」。

10	וַיֹּ֣אמֶר	גַּם־	עַתָּה	כְּדִבְרֵיכֶם	כֵּ֚ן	הֽוּא	אֲשֶׁ֣ר
	そして–言った	また	今	あなたたちの–言葉の–とおりに	その–とおり	である	～の
	H0559	H1571	H6258	H1697		H1931	

יִמָּצֵ֖א	אִתּ֑וֹ	יִהְיֶה־	לִ֣י	עֶ֔בֶד	וְאַתֶּ֖ם	תִּהְי֥וּ	נְקִיִּֽם׃
見つかるなら	彼の–もとで	なる	私の	奴隷に	そして–あなたたちは	なる	無罪に
H4672	H0854	H1961		H5650		H1961	

家づかさは言った、「それではあなたがたの言葉のようにしよう。杯の見つかった者はわたしの奴隷とならなければならない。ほかの者は無罪です」。

11	וַיְמַהֲר֗וּ	וַיּוֹרִ֤דוּ	אִישׁ֙	אֶת־	אַמְתַּחְתּ֣וֹ	אַרְצָ֔ה	וַיִּפְתְּח֖וּ
	そして–急いだ	そして–下ろした	各自が	（直接目的語）	自分の–袋を	地に	そして–開いた
		H3381	H0376	H0853	H0572	H0776	

אַמְתַּחְתּ֖וֹ׃	אִ֥ישׁ
自分の–袋を	各自が
H0572	H0376

そこで彼らは、めいめい急いで袋を地におろし、ひとりひとりその袋を開いた。

12	וַיְחַפֵּ֔שׂ	בַּגָּד֖וֹל	הַחֵ֣ל	וּבַקָּטָ֑ן	כִּלָּ֣ה	וַיִּמְצָ֗א	הַגָּבִ֛יעַ
	そして–探した	年長の者から	始めて	そして–末の者で	終えた	そして–見つかった	杯が
	H2664				H3615	H4672	H1375

בִּנְיָמִֽן׃	בְּאַמְתַּ֥חַת
ベニヤミンの	袋の–中に
H1144	H0572

家づかさは年上から捜し始めて年下に終ったが、杯はベニヤミンの袋の中にあった。

13	וַיִּקְרְע֣וּ	שִׂמְלֹתָ֗ם	וַיַּעֲמֹס֙	אִ֣ישׁ	עַל־	חֲמֹר֔וֹ	וַיָּשֻׁ֖בוּ
	そして–引き裂いた	彼らの–衣を	そして–積んだ	各自が	～の–上に	自分の–ろばに	そして–戻った
	H7167	H8071	H6006	H0376		H2543	H7725

הָעִֽירָה׃	
町へ	

そこで彼らは衣服を裂き、おのおの、ろばに荷を負わせて町に引き返した。

14	וַיָּבֹ֣א	יְהוּדָ֗ה	וְאֶחָיו֙	בֵּיתָה֙	יוֹסֵ֔ף	וְהוּא֙	עוֹדֶ֣נּוּ	שָׁ֔ם
	そして–来た	ユダは	そして–兄弟たちは	家へ	ヨセフの	そして–彼は	まだ	そこに–いた
	H0935	H3063	H0251		H3130	H1931	H5750	H8033

וַיִּפְּל֥וּ	לְפָנָ֖יו	אָ֑רְצָה׃	
そして–ひれ伏した	彼の–前に	地に–つけて	
H5307	H6440	H0776	

ユダと兄弟たちとは、ヨセフの家にはいったが、ヨセフがなおそこにいたので、彼らはその前で地にひれ伏した。

15	וַיֹּ֣אמֶר	לָהֶ֗ם	יוֹסֵף֙	מָ֣ה־	הַמַּעֲשֶׂ֣ה	הַזֶּ֔ה	אֲשֶׁ֥ר	עֲשִׂיתֶ֖ם
	そして–言った	彼らに	ヨセフは	何だ	行いは	この	～の	したのか
	H0559		H3130	H4100	H4639	H2088		
								H3808

כָּמֹ֑נִי׃	אֲשֶׁ֥ר	אִ֛ישׁ	יְנַחֵ֥שׁ	נַחֵ֖שׁ	כִּי־	יְדַעְתֶּֽם
私のような	～のような	人が	占うとは	占う	～と	知っているか
H3644		H0376	H5172	H5172		H3045

ヨセフは彼らに言った、「あなたがたのこのしわざは何事ですか。わたしのような人は、必ず占い当てることを知らないのですか」。

וּמַה־ נִּדַבֵּר מַה־ לַּאדֹנִי נֹאמַר מַה־ יְהוּדָה וַיֹּאמֶר 16
そして–何を 語ろうか 何を わが–主に 言えようか 何を ユダは そして–言った
H4100 H1696 H4100 H0113 H0559 H4100 H3063 H0559

הִנֶּנּוּ עֲבָדֶיךָ עֲוֹן אֶת־ מָצָא הָאֱלֹהִים נִצְטַדָּק
見よ–私たちは あなたの–僕たちの 罪を （直接目的語） 見つけた 神が 潔白を–証しようか
H2009 H5650 H5771 H0853 H4672 H0430 H6663

:בְּיָדוֹ הַגְּבִיעַ נִמְצָא אֲשֶׁר־ גַּם אֲנַחְנוּ גַּם־ לַאדֹנִי עֲבָדִים
彼の–手に 杯が 見つかった ～の また 私たちも また わが–主の 奴隷です
H3027 H1375 H4672 H0587 H1571 H1571 H0113 H5650

ユダは言った、「われわれはわが主に何を言い、何を述べ得ましょう。どうしてわれわれは身の潔白をあらわし得ましょう。神がしもべらの罪をあばかれました。われわれと、杯を持っていた者とは共にわが主の奴隷となりましょう」。

הַגְּבִיעַ נִמְצָא אֲשֶׁר־ הָאִישׁ זֹאת מֵעֲשׂוֹת לִי חָלִילָה וַיֹּאמֶר 17
杯が 見つかった ～の その–人で これを することは 私が 決して そして–言った
H1375 H4672 H0376 H2063 H2486 H0559

אֶל־ לְשָׁלוֹם עֲלוּ וְאַתֶּם לַעֲבֶד לִי יִהְיֶה־ הוּא בְּיָדוֹ
～の–もとへ 平安に 上れ そして–あなたたちは 奴隷に 私の なる 彼が 彼の–手に
H0413 H7965 H5927 H5650 H1961 H1931 H3027

פ :אֲבִיכֶם
— あなたたちの–父の
H0001

ヨセフは言った、「わたしは決してそのようなことはしない。杯を持っている者だけがわたしの奴隷とならなければならない。ほかの者は安全に父のもとへ上って行きなさい」。

נָא יְדַבֶּר־ אֲדֹנִי בִּי וַיֹּאמֶר יְהוּדָה אֵלָיו וַיִּגַּשׁ 18
どうか 語らせて–ください わが–主よ お願いです そして–言った ユダは 彼に そして–近づいた
H4994 H1696 H0113 H0994 H0559 H3063 H0413 H5066

אַפְּךָ יִחַר וְאַל־ אֲדֹנִי בְּאָזְנֵי דָבָר עַבְדֶּךָ
あなたの–怒りが 燃えては そして–するな わが–主の 耳に 言葉を あなたの–僕に
H0639 H2734 H0408 H0113 H0241 H1697 H5650

:כְּפַרְעֹה כָּמוֹךָ כִּי בְעַבְדֶּךָ
ファラオの–ような–方 あなたのような なぜなら あなたの–僕に–対して
H6547 H3644 H5650

この時ユダは彼に近づいて言った、「ああ、わが主よ、どうぞわが主の耳にひとこと言わせてください。しもべをおこらないでください。あなたはパロのようなかたです。

אָח :אוֹ אָב לָכֶם הֲיֵשׁ־ לֵאמֹר עֲבָדָיו אֶת־ שָׁאַל אֲדֹנִי 19
弟が または 父が あなたたちに いるか 言って 僕たちに （直接目的語） 尋ねた わが–主は
H0251 H0001 H3426 H0559 H5650 H0853 H7592 H0113

わが主はしもべらに尋ねて、『父があるか、また弟があるか』と言われたので、

קָטֹן זְקֵנִים וְיֶלֶד זָקֵן אָב לָנוּ יֶשׁ־ אֲדֹנִי אֶל־ וַנֹּאמֶר 20
小さい 老年の そして–子が 老いた 父が 私たちに いる わが–主に ～に そして–言った
H2208 H3206 H2205 H0001 H3426 H0113 H0413 H0559

:אֲהֵבוֹ וְאָבִיו לְאִמּוֹ לְבַדּוֹ הַוּא וַיִּוָּתֵר מֵת וְאָחִיו
愛している–彼を そして–父は 彼の–母の ただ一人 彼だけが そして–残った 死んだ そして–兄は
H0157 H0001 H0517 H0905 H1931 H3498 H4191 H0251

われわれはわが主に言いました、『われわれには老齢の父があり、また年寄り子の弟があります。その兄は死んで、同じ母の子で残っているのは、ただこれだけですから父はこれを愛しています』。

21 וַתֹּאמֶר אֶל־ עֲבָדָיִךְ הוֹרְדֵהוּ אֵלָי וְאָשִׂימָה עֵינִי עָלָיו׃
そして–言った ～に 僕たちに 連れて来よ–彼を 私の–もとに そして–置こう 私の–目を 彼の–上に
H0559 H0413 H5650 H3381 H0413 H0413 H0853 H5869

その時あなたはしもべらに言われました、『その者をわたしの所へ連れてきなさい。わたしはこの目で彼を見よう』。

22 וַנֹּאמֶר אֶל־ אֲדֹנִי לֹא־ יוּכַל הַנַּעַר לַעֲזֹב אֶת־ אָבִיו וְעָזַב אֶת־ אָבִיו וָמֵת׃
そして–言った ～に わが–主に ない できない その–若者は 離れることが （直接目的語） 父を そして–離れるなら （直接目的語） 父が 死ぬだろう
H0559 H0413 H0113 H3808 H3201 H5288 H0853 H0001 H0853 H0001 H4191

われわれはわが主に言いました。『その子供は父を離れることができません。もし父を離れたら父は死ぬでしょう』。

23 וַתֹּאמֶר אֶל־ עֲבָדֶיךָ אִם־ לֹא יֵרֵד אֲחִיכֶם הַקָּטֹן אִתְּכֶם לֹא תֹסִפוּן לִרְאוֹת פָּנָי׃
そして–言った ～に 僕たちに もし ない 下らないなら あなたたちの–弟が 末の 共に ない 再び 見ることは 私の–顔を
H0559 H0413 H5650 H0518 H3808 H3381 H0251 H6996 H0854 H3808 H3254 H7200 H6440

しかし、あなたはしもべらに言われました、『末の弟が一緒に下ってこなければ、おまえたちは再びわたしの顔を見ることはできない』。

24 וַיְהִי כִּי עָלִינוּ אֶל־ עַבְדְּךָ אָבִי וַנַּגֶּד־ לוֹ אֵת דִּבְרֵי אֲדֹנִי׃
そして–なった ～とき 上った ～の–もとへ あなたの–僕の 私の–父の そして–告げた 彼に （直接目的語） 言葉を わが–主の
H1961 H0854 H5927 H0413 H5650 H0518 H5046 H0518 H1697 H0113

それであなたのしもべである父のもとに上って、わが主の言葉を彼に告げました。

25 וַיֹּאמֶר שֻׁבוּ־ שִׁבְרוּ־ לָנוּ מְעַט־ אֹכֶל׃
そして–言った 私たちの–父は 戻って 買え 私たちの–ために 少しの 食料を
H0559 H0854 H0001 H7725 H7666 H0518 H4592 H0400

ところで、父が『おまえたちは再び行って、われわれのために少しの食糧を買ってくるように』と言ったので、

26 וַנֹּאמֶר לֹא נוּכַל לָרֶדֶת אִם־ יֵשׁ אָחִינוּ הַקָּטָן אִתָּנוּ וְיָרַדְנוּ כִּי־ לֹא נוּכַל לִרְאוֹת פְּנֵי הָאִישׁ וְאָחִינוּ הַקָּטָן אֵינֶנּוּ אִתָּנוּ׃
そして–言った ない できない 下ることが もし いるなら 私たちの–弟が 末の 共に なぜなら ない できない 見ることが 顔を その–人の そして–下る 私たちと–共に そして–私たちの–弟が 末の いない 私たちと–共に
H0559 H0854 H0001 H3808 H3201 H3381 H0854 H0251 H6996 H0854 H3808 H3201 H7200 H6440 H0376 H3381 H0854 H0251 H6996 H0369 H0854

われわれは言いました、『われわれは下って行けません。もし末の弟が一緒であれば行きましょう。末の弟が一緒でなければ、あの人の顔を見ることができません』。

27 וַיֹּאמֶר עַבְדְּךָ אָבִי אֲלֵינוּ אַתֶּם יְדַעְתֶּם כִּי שְׁנַיִם
そして-言った あなたの-僕の 私の-父は 私たちに あなたたちは 知っている ～と 二人を
H0559 H5650 H0001 H0413 H0429 H3045 H8147

יָלְדָה־לִּי מֵאִתִּי׃
産んだ 私に 私の-妻は
H3205 H0802

あなたのしもべである父は言いました、『おまえたちの知っているとおり、妻はわたしにふたりの子を産んだ。

28 וַיֵּצֵא הָאֶחָד וָאֹמַר אַךְ טָרֹף טֹרָף מֵעִמָּדִי
そして-出て行った 一人は そして-言った きっと 引き裂かれた 引き裂かれたのだ 私の-もとから
H3318 H0259 H0559 H0389 H2963 H2963 H0854

וְלֹא רְאִיתִיו עַד־הֵנָּה׃
そして-ない 見ていない-彼を ～まで 今まで
H3808 H7200 H5704 H2008

ひとりは外へ出たが、きっと裂き殺されたのだと思う。わたしは今になっても彼を見ない。

29 וּלְקַחְתֶּם גַּם־אֶת־זֶה מֵעִם פָּנָי וְקָרָאהוּ אָסוֹן
そして-取るなら また （直接目的語） この-者も ～から 私の-顔の-前から そして-降りかかるなら 災いが
H3947 H1571 H0853 H2088 H6440 H7122 H0611

וְהוֹרַדְתֶּם אֶת־שֵׂיבָתִי בְּרָעָה שְׁאֹלָה׃
そして-下らせるだろう （直接目的語） 私の-白髪を 悲しみの-うちに よみへ
H3381 H0853 H7872 H7451 H7585

もしおまえたちがこの子をもわたしから取って行って、彼が災に会えば、おまえたちは、しらがのわたしを悲しんで陰府に下らせるであろう』。

30 וְעַתָּה כְּבֹאִי אֶל־עַבְדְּךָ אָבִי וְהַנַּעַר אֵינֶנּוּ
そして-今 私が-来るとき ～の-もとへ あなたの-僕の 私の-父の そして-その-若者が いない
H6258 H0935 H0413 H5650 H0001 H0430 H0369

וְנַפְשׁוֹ קְשׁוּרָה בְּנַפְשׁוֹ׃
そして-彼の-魂は 結ばれている 彼の-魂に
H5315 H7194 H5315

わたしがあなたのしもべである父のもとに帰って行くとき、もしこの子供が一緒にいなかったら、どうなるでしょう。父の魂は子供の魂に結ばれているのです。

31 וְהָיָה כִּרְאוֹתוֹ כִּי־אֵין הַנַּעַר וָמֵת וְהוֹרִידוּ
そして-なる 見るとき-彼が ～と いない その-若者が そして-死ぬだろう そして-下らせるだろう
H1961 H7200 H0369 H5288 H4191 H3381

עֲבָדֶיךָ אֶת־שֵׂיבַת אָבִינוּ עַבְדְּךָ בְּיָגוֹן שְׁאֹלָה׃
あなたの-僕たちは （直接目的語） 白髪を 私たちの-父の あなたの-僕の 悲しみの-うちに よみへ
H5650 H0853 H7872 H0001 H5650 H3015 H7585

この子供がわれわれと一緒にいないのを見たら、父は死ぬでしょう。そうすればしもべらは、あなたのしもべであるしらがの父を悲しんで陰府に下らせることになるでしょう。

32 לֵאמֹר אָבִי מֵעִם הַנַּעַר אֶת־ עָרַב עַבְדְּךָ כִּי
言って 私の–父の ～の–前で その–若者を （直接目的語） 保証した あなたの–僕が なぜなら
H0559 H0001 H0853 H6148 H5650

כָּל־ לְאָבִי וְחָטָאתִי אֵלֶיךָ אֲבִיאֶנּוּ לֹא אִם־
すべての 私の–父に–対して そして–罪を負う あなたの–もとに 連れ帰らなければ–彼を ない もし
H3605 H0001 H2398 H0413 H0935 H3808

הַיָּמִים׃
日々
H3117

しもべは父にこの子供の身を請け合って『もしわたしがこの子をあなたのもとに連れ帰らなかったら、わたしは父に対して永久に罪を負いましょう』と言ったのです。

33 עֶבֶד הַנַּעַר תַּחַת עַבְדְּךָ נָא יֵשֶׁב־ וְעַתָּה
奴隷として その–若者の ～の–代わりに あなたの–僕を どうか 留まらせて–ください そして–今
H5650 H5288 H8478 H5650 H4994 H3427 H6258

אֶחָיו׃ עִם־ יַעַל וְהַנַּעַר לַאדֹנָי
兄弟たちと ～と–共に 上るように そして–その–若者が わが–主の
H0251 H5927 H5288 H0113

どうか、しもべをこの子供の代りに、わが主の奴隷としてとどまらせ、この子供を兄弟たちと一緒に上り行かせてください、

34 אִתִּי אֵינֶנּוּ וְהַנַּעַר אָבִי אֶל־ אֶעֱלֶה אֵיךְ כִּי־
私と–共に いない そして–その–若者が 私の–父の ～の–もとへ 上れようか どうして なぜなら
H0854 H0369 H5288 H0001 H0413 H5927

אָבִי׃ אֶת־ יִמְצָא אֲשֶׁר בָּרָע אֶרְאֶה פֶּן
私の–父に （直接目的語） 降りかかる ～の 悪い–ことを 見るかもしれない もしや
H0001 H0853 H4672 H7200 H6435

この子供を連れずに、どうしてわたしは父のもとに上り行くことができましょう。父が災に会うのを見るに忍びません」。

Chapter 45

1 הַנִּצָּבִים עָלָיו לְכֹל לְהִתְאַפֵּק יוֹסֵף יָכֹל וְלֹא־
彼の–そばに 立っている者の すべての–前で こらえることが ヨセフは できなかった そして–ない
H5324 H3605 H0662 H3130 H3201 H3808

אִישׁ עָמַד וְלֹא־ מֵעָלָי אִישׁ כָּל־ הוֹצִיאוּ וַיִּקְרָא
人は 立っていなかった そして–ない 私の–そばから 人を すべての 出せ そして–叫んだ
H0376 H5975 H3808 H0376 H3605 H3318 H7121

אֶחָיו׃ אֶל־ יוֹסֵף בְּהִתְוַדַּע אִתּוֹ
兄弟たちに ～に ヨセフが 明かした–とき 彼と–共に
H0251 H0413 H3130 H3045 H0854

そこでヨセフはそばに立っているすべての人の前で、自分を制しきれなくなったので、「人は皆ここから出てください」と呼ばわった。それゆえヨセフが兄弟たちに自分のことを明かした時、ひとりも彼のそばに立っている者はなかった。

2 בַּיִת וַיִּשְׁמַע מִצְרַיִם וַיִּשְׁמְעוּ בְּבֶכִי קֹלוֹ אֶת־ וַיִּתֵּן
家は そして–聞いた エジプト人は そして–聞いた 泣いて 声を （直接目的語） そして–上げた
H8085 H4713 H8085 H1065 H0853 H5414

פַּרְעֹה׃
ファラオの
H6547

ヨセフは声をあげて泣いた。エジプトびとはこれを聞き、パロの家もこれを聞いた。

3

חָי	אָבִי	הַעוֹד	יוֹסֵף	אֲנִי	אֶחָיו	אֶל־	יוֹסֵף	וַיֹּאמֶר
生きているか	私の-父は	まだ	ヨセフだ	私は	兄弟たちに	～に	ヨセフは	そして-言った
	H0001	H5750	H3130	H0589	H0251	H0413	H3130	H0559

מִפָּנָיו׃	נִבְהֲלוּ	כִּי	אֹתוֹ	לַעֲנוֹת	אֶחָיו	יָכְלוּ	וְלֹא־
彼の-前で	恐れおののいた	なぜなら	彼に	答えることが	兄弟たちは	できなかった	そして-ない
H6440	H0926		H0853		H0251	H3201	H3808

ヨセフは兄弟たちに言った、「わたしはヨセフです。父はまだ生きながらえていますか」。兄弟たちは答えることができなかった。彼らは驚き恐れたからである。

4

וַיִּגְּשׁוּ	אֵלָי	נָא	גְּשׁוּ־	אֶחָיו	אֶל־	יוֹסֵף	וַיֹּאמֶר
そして-近づいた	私に	どうか	近づいて-くれ	兄弟たちに	～に	ヨセフは	そして-言った
H5066	H0413	H4994	H5066	H0251	H0413	H3130	H0559

מִצְרָיְמָה׃	אֹתִי	מְכַרְתֶּם	אֲשֶׁר־	אֲחִיכֶם	יוֹסֵף	אֲנִי	וַיֹּאמֶר
エジプトへ	私を	売った	～の	あなたたちの-兄弟だ	ヨセフだ	私は	そして-言った
H4714	H0853	H4376		H0251	H3130	H0589	H0559

ヨセフは兄弟たちに言った、「わたしに近寄ってください」。彼らが近寄ったので彼は言った、「わたしはあなたがたの弟ヨセフです。あなたがたがエジプトに売った者です。

5

מְכַרְתֶּם	כִּי־	בְּעֵינֵיכֶם	יִחַר	וְאַל־	תֵּעָצְבוּ	אַל־	וְעַתָּה
売ったと	～と	あなたたちの-目に	怒っては	そして-するな	悲しんでは	するな	そして-今
H4376			H2734	H0408		H0408	H6258

לִפְנֵיכֶם׃	אֱלֹהִים	שְׁלָחַנִי	לְמִחְיָה	כִּי	הֵנָּה	אֹתִי
あなたたちの-前に	神が	遣わした	命を-守るために	なぜなら	ここへ	私を
H6440	H0430	H7971	H4241		H2008	H0853

しかしわたしをここに売ったのを嘆くことも、悔むこともいりません。神は命を救うために、あなたがたよりさきにわたしをつかわされたのです。

6

אֵין־	אֲשֶׁר	שָׁנִים	חָמֵשׁ	וְעוֹד	הָאָרֶץ	בְּקֶרֶב	הָרָעָב	שְׁנָתַיִם	זֶה	כִּי־
ない	～の	年	五	そして-まだ	その-地の	～の-中に	飢饉が	二年	これで	なぜなら
H0369		H8141	H2568	H5750	H0776	H7130	H7458	H8141	H2088	

וְקָצִיר׃	חָרִישׁ
収穫も	耕作も
	H2758

この二年の間、国中にききんがあったが、なお五年の間は耕すことも刈り入れることもないでしょう。

7

שְׁאֵרִית	לָכֶם	לָשׂוּם	לִפְנֵיכֶם	אֱלֹהִים	וַיְשַׁלְּחֵנִי	
残りの者を	あなたたちの-ために	置くために	あなたたちの-前に	神が	そして-遣わした	
H7611			H6440	H0430	H7971	

גְּדֹלָה׃	לִפְלֵיטָה	לָכֶם	וּלְהַחֲיוֹת	בָּאָרֶץ
大きな	大いなる-救いとして	あなたたちを	そして-生かすために	その-地に
	H6413		H2421	H0776

神は、あなたがたのすえを地に残すため、また大いなる救をもってあなたがたの命を助けるために、わたしをあなたがたよりさきにつかわされたのです。

8

וְעַתָּה	לֹא־	אַתֶּם	שְׁלַחְתֶּם	אֹתִי	הֵנָּה	כִּי	הָאֱלֹהִים
そして–今	ない	あなたたちが–ではない	遣わしたのは	私を	ここへ	むしろ	神である
H6258	H3808		H7971	H0853	H2008		H0430

וַיְשִׂימֵנִי	לְאָב	לְפַרְעֹה	וּלְאָדוֹן	לְכָל־	בֵּיתוֹ	וּמֹשֵׁל	
そして–置いた	父として	ファラオの	そして–主人として	すべての	彼の–家の	そして–支配者として	
	H0001	H6547	H0113	H3605		H4910	

בְּכָל־	אֶרֶץ	מִצְרָיִם׃
すべての	地の	エジプトの
H3605	H0776	H4714

それゆえわたしをここにつかわしたのはあなたがたではなく、神です。神はわたしをパロの父とし、その全家の主とし、またエジプト全国のつかさとされました。

9

אָמַר׀	כֹּה	אֵלָיו	וַאֲמַרְתֶּם	אָבִי׀	אֶל־	וַעֲלוּ	מַהֲרוּ׀	
言っている	こう	彼に	そして–言え	私の–父の	～の–もとへ	そして–上れ	急いで	
H0559	H3541	H0413	H0559	H0001	H0413	H5927		

רְדָה	מִצְרָיִם	לְכָל־	לְאָדוֹן	אֱלֹהִים	שָׂמַנִי	יוֹסֵף	בִּנְךָ
下って来い	エジプトの	すべての	主人として	神が	置いた	ヨセフは	あなたの–息子は
H3381	H4714	H3605	H0113	H0430		H3130	

תַּעֲמֹד׃	אַל־	אֵלָי
ためらっては	するな	私の–もとへ
H5975	H0408	H0413

あなたがたは父のもとに急ぎ上って言いなさい、『あなたの子ヨセフが、こう言いました。神がわたしをエジプト全国の主とされたから、ためらわずにわたしの所へ下ってきなさい。

10

וְיָשַׁבְתָּ	בְּאֶרֶץ־	גֹּשֶׁן	וְהָיִיתָ	קָרוֹב	אֵלַי	אַתָּה	וּבָנֶיךָ	
そして–住め	地に	ゴシェンの	そして–なれ	近くに	私に	あなたも	そして–息子たちも	
H3427	H0776	H1657	H1961	H7138	H0413			

וּבְנֵי	בָנֶיךָ	וְצֹאנְךָ	וּבְקָרְךָ	וְכָל־	אֲשֶׁר־	לָךְ׃	
そして–息子たちの	息子たちも	そして–羊も	そして–牛も	そして–すべての	～の	あなたの–ものも	
		H6629	H1241	H3605			

あなたはゴセンの地に住み、あなたも、あなたの子らも、孫たちも、羊も牛も、その他のものもみな、わたしの近くにおらせます。

11

וְכִלְכַּלְתִּי	אֹתְךָ	שָׁם	כִּי־	עוֹד	חָמֵשׁ	שָׁנִים	רָעָב	פֶּן־	
そして–養う	あなたを	そこで	なぜなら	まだ	五	年	飢饉が–ある	もしや	
H3557	H0853	H8033		H5750	H2568	H8141	H7458	H6435	

תִּוָּרֵשׁ	אַתָּה	וּבֵיתְךָ	וְכָל־	אֲשֶׁר־	לָךְ׃	
貧しくなるかもしれない	あなたも	そして–あなたの–家も	そして–すべての	～の	あなたの–ものも	
H3423			H3605			

ききんはなお五年つづきますから、あなたも、家族も、その他のものも、みな困らないように、わたしはそこで養いましょう』。

12

וְהִנֵּה	עֵינֵיכֶם׀	רֹאוֹת	וְעֵינֵי	אָחִי	בִנְיָמִין	כִּי־	פִּי	
そして–見よ	あなたたちの–目が	見ている	そして–目が	弟の	ベニヤミンの	～と	口が	
H2009		H7200		H0251	H1144		H6310	

הַמְדַבֵּר	אֲלֵיכֶם׃
語っている	あなたたちに
H1696	H0413

あなたがたと弟ベニヤミンが目に見るとおり、あなたがたに口ら語っているのはこのわたしです。

13

כָּל־	וְאֵת	בְּמִצְרַיִם	כְּבוֹדִי	כָּל־	אֶת־	לְאָבִי	וְהִנַּדְתֶּם	
すべての	そして	エジプトでの	私の–栄光を	すべての	（直接目的語）	私の–父に	そして–告げよ	
H3605	H0853	H4714	H3519	H3605	H0853	H0001	H5046	

הֵנָּה׃	אָבִי	אֶת־	וְהוֹרַדְתֶּם	וּמְהַרְתֶּם	רְאִיתֶם	אֲשֶׁר	
ここへ	私の–父を	（直接目的語）	そして–連れて来よ	そして–急いで	見たことを	～の	
H2008	H0001	H0853	H3381		H7200		

あなたがたはエジプトでの、わたしのいっさいの栄えと、あなたがたが見るいっさいの事をわたしの父に告げ、急いでわたしの父をここへ連れ下りなさい」。

14

וּבִנְיָמִן	וַיֵּבְךְּ	אָחִיו	בִּנְיָמִן־	צַוָּארֵי	עַל־	וַיִּפֹּל	
そして–ベニヤミンも	そして–泣いた	彼の–弟の	ベニヤミンの	首に	～の–上に	そして–ひれ伏した	
H1144	H1058	H0251	H1144			H5307	

צַוָּארָיו׃	עַל־	בָּכָה
彼の–首に	～の–上で	泣いた
		H1058

そしてヨセフは弟ベニヤミンのくびを抱いて泣き、ベニヤミンも彼のくびを抱いて泣いた。

15

כֵּן	וְאַחֲרֵי	עֲלֵיהֶם	וַיֵּבְךְּ	אֶחָיו	לְכָל־	וַיִּנַּשֵׁק	
その後	そして–その–後	彼らの–上で	そして–泣いた	兄弟たちに	すべての	そして–口づけした	
			H1058	H0251	H3605		

אִתּוֹ׃	אֶחָיו	דִּבְּרוּ
彼と	兄弟たちは	語った
H0854	H0251	H1696

またヨセフはすべての兄弟たちに口づけし、彼らを抱いて泣いた。そして後、兄弟たちは彼と語った。

16

יוֹסֵף	אֲחֵי	בָּאוּ	לֵאמֹר	פַּרְעֹה	בֵּית	נִשְׁמַע	וְהַקֹּל	
ヨセフの	兄弟たちが	来た	言って	ファラオの	家で	聞かれた	そして–その–知らせが	
H3130	H0251	H0935	H0559	H6547		H8085		

עֲבָדָיו׃	וּבְעֵינֵי	פַּרְעֹה	בְּעֵינֵי	וַיִּיטַב
彼の–家臣たちの	そして–目に	ファラオの	目に	そして–喜んだ
H5650		H6547		H3190

時に、「ヨセフの兄弟たちがきた」と言ううわさがパロの家に聞えたので、パロとその家来たちとは喜んだ。

17

עֲשׂוּ	זֹאת	אַחֵיכֶם	אֶל־	אֱמֹר	יוֹסֵף	אֶל־	פַּרְעֹה	וַיֹּאמֶר	
せよ	こう	あなたの–兄弟たちに	～に	言え	ヨセフに	～に	ファラオは	そして–言った	
H2063		H0251	H0413	H0559	H3130	H0413	H6547	H0559	

כְּנָעַן׃	אַרְצָה	בֹּאוּ	וּלְכוּ־	בְּעִירְכֶם	אֶת־	טַעֲנוּ
カナンの	地へ	行け	そして–行け	あなたたちの–家畜に	（直接目的語）	積め
	H0776	H0935	H3212	H1165	H0853	H2943

パロはヨセフに言った、「兄弟たちに言いなさい、『あなたがたは、こうしなさい。獣に荷を負わせてカナンの地へ行き、

18

וּבֹאוּ
そして–来い
H0935

בָתֵּיכֶם
あなたたちの–家族を

וְאֶת־
そして
H0853

אֲבִיכֶם
あなたたちの–父を
H0001

אֶת־
（直接目的語）
H0853

וְקֻחוּ
そして–取れ
H3947

מִצְרַיִם
エジプトの
H4714

אֶרֶץ
地の
H0776

טוּב
良い–ものを
H2898

אֶת־
（直接目的語）
H0853

לָכֶם
あなたたちに

וְאֶתְּנָה
そして–与えよう
H5414

אֵלָי
私の–もとに
H0413

הָאָרֶץ׃
その–地の
H0776

חֵלֶב
最良の–ものを
H2459

אֶת־
（直接目的語）
H0853

וְאִכְלוּ
そして–食べよ
H0398

父と家族とを連れてわたしのもとへきなさい。わたしはあなたがたに、エジプトの地の良い物を与えます。あなたがたは、この国の最も良いものを食べるでしょう』。

19

מִצְרַיִם
エジプトの
H4714

מֵאֶרֶץ
地から
H0776

לָכֶם׀
あなたたちの–ために

קְחוּ־
取れ
H3947

עֲשׂוּ
せよ

זֹאת
こう
H2063

צֻוִּיתָה
命じられた
H6680

וְאַתָּה
そして–あなたは

אֶת־
（直接目的語）
H0853

וּנְשָׂאתֶם
そして–乗せて来よ
H5375

וְלִנְשֵׁיכֶם
そして–妻たちの–ために
H0802

לְטַפְּכֶם׀
あなたたちの–子どもの–ために
H2945

עֲגָלֹות
車を
H5699

וּבָאתֶם׃
そして–来い
H0935

אֲבִיכֶם
あなたたちの–父を
H0001

また彼らに命じなさい、『あなたがたは、こうしなさい。幼な子たちと妻たちのためにエジプトの地から車をもって行き、父を連れてきなさい。

20

כִּי־
なぜなら

כְלֵיכֶם
あなたたちの–家財を
H3627

עַל־
～の–上に

תָּחֹס
惜しんでは
H2347

אַל־
するな
H0408

וְעֵינְכֶם
そして–あなたたちの–目は

הִוא׃
である
H1931

לָכֶם
あなたたちの–もの

מִצְרַיִם
エジプトの
H4714

אֶרֶץ
地の
H0776

כָּל־
すべての
H3605

טוֹב
良い–ものは
H2898

家財に心を引かれてはなりません。エジプト全国の良い物は、あなたがたのものだからです』」。

21

עֲגָלֹות
車を
H5699

יוֹסֵף
ヨセフは
H3130

לָהֶם
彼らに

וַיִּתֵּן
そして–与えた
H5414

יִשְׂרָאֵל
イスラエルの
H3478

בְּנֵי
息子たちは

כֵּן
そのとおりに

וַיַּעֲשׂוּ־
そして–した

לַדָּרֶךְ׃
道のための
H1870

צֵדָה
食料を
H6720

לָהֶם
彼らに

וַיִּתֶּן
そして–与えた
H5414

פַּרְעֹה
ファラオの
H6547

פִּי
口の
H6310

עַל־
～の–命令に–従って

イスラエルの子らはそのようにした。ヨセフはパロの命に従って彼らに車を与え、また途中の食料をも与えた。

22

כֶּסֶף
銀を
H3701

מֵאוֹת
百
H3967

שְׁלֹשׁ
三
H7969

נָתַן
与えた
H5414

וּלְבִנְיָמִן
そして–ベニヤミンには
H1144

שִׂמְלֹת
衣を
H8071

חֲלִפֹות
着替えの
H2487

לְאִישׁ
各自に
H0376

נָתַן
与えた
H5414

לְכֻלָּם
皆に
H3605

שִׂמְלֹת׃
衣を
H8071

חֲלִפֹת
着替えの
H2487

וְחָמֵשׁ
そして–五
H2568

まためいめいに晴着を与えたが、ベニヤミンには銀三百シケルと晴着五着とを与えた。

23 וְלְאָבִיו זֹאת כְּעֲשָׂרָה חֲמֹרִים נֹשְׂאִים מִטּוּב מִצְרָיִם וְעֶשֶׂר
そして-父に このように 十 雄ろばを 運ぶ 最良の-ものを エジプトの そして-十
H0001 H2063 H6235 H2543 H5375 H2898 H4714 H6235

אֹתְּנֹת נֹשְׂאֹת בָּר וְלֶחֶם וּמָזוֹן לְאָבִיו לַדָּרֶךְ׃
雌ろばを 運ぶ 穀物と そしてパンと そして-食料を 父の-ための 道のための
H0860 H5375 H1250 H3899 H4202 H0001 H1870

また彼は父に次のようなものを贈った。すなわちエジプトの良い物を負わせたろば十頭と、穀物、パン及び父の道中の食料を負わせた雌ろば十頭。

24 וַיְשַׁלַּח אֶת־ אֶחָיו וַיֵּלֵכוּ וַיֹּאמֶר אֲלֵהֶם אַל־
そして-送り出した （直接目的語） 兄弟たちを そして-行った そして-言った 彼らに するな
H7971 H0853 H0251 H3212 H0559 H0413 H0408

תִּרְגְּזוּ בַּדָּרֶךְ׃
争っては 道で
H7264 H1870

こうしてヨセフは兄弟たちを送り去らせ、彼らに言った、「途中で争ってはなりません」。

25 וַיַּעֲלוּ מִמִּצְרַיִם וַיָּבֹאוּ אֶרֶץ כְּנַעַן אֶל־ יַעֲקֹב אֲבִיהֶם׃
そして-上った そして-来た 地へ カナンの ～の-もとへ ヤコブ 彼らの-父の
H5927 H0935 H0776 H3667 H0413 H3290 H0001

彼らはエジプトから上ってカナンの地に入り、父ヤコブのもとへ行って、

26 וַיַּגִּדוּ לוֹ לֵאמֹר עוֹד יוֹסֵף חַי וְכִי־ הוּא מֹשֵׁל
そして-告げた 彼に 言って まだ ヨセフは 生きている そして-また 彼は 支配者である
H5046 H0559 H5750 H3130 H2416 H1931 H4910

בְּכֹל־ אֶרֶץ מִצְרָיִם וַיָּפָג לִבּוֹ כִּי לֹא־ הֶאֱמִין לָהֶם׃
すべての 地の エジプトの そして-鮫痺した 彼の-心は なぜなら ない 信じなかった 彼らを
H3605 H0776 H4714 H6313 H3820 H3808 H0539

彼に言った、「ヨセフはなお生きていてエジプト全国のつかさです」。ヤコブは気が遠くなった。彼らの言うことが信じられなかったからである。

27 וַיְדַבְּרוּ אֵלָיו אֶת כָּל־ דִּבְרֵי יוֹסֵף אֲשֶׁר דִּבֶּר אֲלֵהֶם
そして-語った 彼に （直接目的語） すべての 言葉を ヨセフの ～の 語った 彼らに
H1696 H0413 H0853 H3605 H1697 H3130 H0834 H1696 H0413

וַיַּרְא אֶת־ הָעֲגָלוֹת אֲשֶׁר־ שָׁלַח יוֹסֵף לָשֵׂאת אֹתוֹ
そして-見た （直接目的語） 車を ～の 送った ヨセフが 運ぶために 彼を
H7200 H0853 H5699 H0834 H7971 H3130 H5375 H0853

וַתְּחִי רוּחַ יַעֲקֹב אֲבִיהֶם׃
そして-生き返った 霊は ヤコブの 彼らの-父の
H2421 H7307 H3290 H0001

そこで彼らはヨセフが語った言葉を残らず彼に告げた。父ヤコブはヨセフが自分を乗せるために送った車を見て元気づいた。

28 וַיֹּאמֶר יִשְׂרָאֵל רַב עוֹד־ יוֹסֵף בְּנִי חָי אֵלְכָה
そして-言った イスラエルは 十分だ まだ ヨセフは 私の-息子は 生きている 行こう
H0559 H3478 H7227 H5750 H3130 H1121 H2416 H3212

וְאֶרְאֶנּוּ בְטֶרֶם אָמוּת׃
そして-見よう-彼を ～の-前に 死ぬ
H7200 H2962 H4191

そしてイスラエルは言った、「満足だ。わが子ヨセフがまだ生きている。わたしは死ぬ前に行って彼を見よう」。

Chapter 46

1 וַיִּסַּע יִשְׂרָאֵל וְכָל־אֲשֶׁר־לוֹ וַיָּבֹא בְּאֵרָה שָׁבַע וַיִּזְבַּח זְבָחִים לֵאלֹהֵי אָבִיו יִצְחָק׃
そして-旅立った イスラエルは そして-すべての ～の 彼の-ものを そして-来た ベエル・シェバに そして-ささげた いけにえを 神に 彼の-父の イサクの
H5265 H3478 H3605 H0834 H0935 H0884 H2076 H2077 H0430 H0001 H3327

イスラエルはその持ち物をことごとく携えて旅立ち、ベエルシバに行って、父イサクの神に犠牲をささげた。

2 וַיֹּאמֶר אֱלֹהִים לְיִשְׂרָאֵל בְּמַרְאֹת הַלָּיְלָה וַיֹּאמֶר יַעֲקֹב יַעֲקֹב וַיֹּאמֶר הִנֵּנִי׃
そして-言った 神は イスラエルに 幻の-中で 夜の そして-言った ヤコブよ ヤコブよ そして-言った ここに-おります
H0559 H0430 H3478 H4759 H3915 H0559 H3290 H3290 H0559 H2009

この時、神は夜の幻のうちにイスラエルに語って言われた、「ヤコブよ、ヤコブよ」。彼は言った、「ここにいます」。

3 וַיֹּאמֶר הָאֵל אֱלֹהֵי אָבִיךָ אַל־תִּירָא מֵרְדָה מִצְרַיְמָה כִּי־לְגוֹי גָּדוֹל אֲשִׂימְךָ שָׁם׃
そして-言った 私は 神だ 神だ あなたの-父の するな 恐れては 下ることを エジプトへ なぜなら 国民に 大いなる する そこで
H0559 H0595 H0410 H0430 H0001 H0408 H3372 H3381 H4714 H3588 H1471 H1419 H7760 H8033

神は言われた、「わたしは神、あなたの父の神である。エジプトに下るのを恐れてはならない。わたしはあそこであなたを大いなる国民にする。

4 אָנֹכִי אֵרֵד עִמְּךָ מִצְרַיְמָה וְאָנֹכִי עֲלֵךָ גַם־עָלֹה וְיוֹסֵף יָשִׁית יָדוֹ עַל־עֵינֶיךָ׃
私が 下る あなたと-共に エジプトへ そして-私が 上らせる-あなたを また 上らせる そして-ヨセフが 置く 手を ～の-上に あなたの-目に
H0595 H3381 H5973 H4714 H0595 H5927 H1571 H5927 H3130 H7896 H3027 H5921 H5869

わたしはあなたと一緒にエジプトに下り、また必ずあなたを導き上るであろう。ヨセフが手ずからあなたの目を閉じるであろう」。

5 וַיָּקָם יַעֲקֹב מִבְּאֵר שָׁבַע וַיִּשְׂאוּ בְנֵי־יִשְׂרָאֵל אֶת־יַעֲקֹב אֲבִיהֶם וְאֶת־טַפָּם וְאֶת־נְשֵׁיהֶם בָּעֲגָלוֹת אֲשֶׁר־שָׁלַח פַּרְעֹה לָשֵׂאת אֹתוֹ׃
そして-立った ヤコブは ベエル・シェバから そして-乗せた 息子たちは イスラエルの ヤコブを （直接目的語） 彼らの-父を そして 子どもたちを そして 妻たちを 車に ～の 送った ファラオが 運ぶために 彼を
H3478 H3290 H0853 H0001 H0853 H2945 H0853 H0802 H5699 H0834 H7971 H6547 H5375 H0853

そしてヤコブはベエルシバを立った。イスラエルの子らはヤコブを乗せるためにパロの送った車に、父ヤコブと幼な子たちと妻たちを乗せ、

6 וַיִּקְחוּ֙ אֶת־מִקְנֵיהֶ֔ם וְאֶת־רְכוּשָׁ֖ם אֲשֶׁ֣ר רָכְשׁ֑וּ בְּאֶ֣רֶץ

そして-取った (直接目的語) 彼らの-家畜を そして 彼らの-財産を ～の 得た 地で
H3947 H0853 H4735 H0853 H7399 H7408 H0776

כְּנַ֗עַן וַיָּבֹ֤אוּ מִצְרַיְמָה֙ יַעֲקֹ֣ב וְכָל־זַרְע֣וֹ אִתּ֔וֹ׃

カナンの そして-来た エジプトへ ヤコブと そして-すべての 子孫は 彼と-共に
H0935 H4714 H3290 H3605 H2233 H0854

またその家畜とカナンの地で得た財産を携え、ヤコブとその子孫は皆ともにエジプトへ行った。

7 בָּנָ֥יו וּבְנֹתָ֖יו בְּנֹתָ֣יו וְכָל־זַרְע֑וֹ בָּנָיו֙ וּבְנֵ֣י בָנָ֔יו אִתּ֖וֹ הֵבִ֥יא

息子たちと そして-息子たちの 息子たちと そして-娘たちと 息子たちの
H1323 H1323 H0854 H0935 H2233 H3605

ס מִצְרַיְמָ֔ה׃

エジプトへ
H4714

こうしてヤコブはその子と、孫および娘と孫娘などその子孫をみな連れて、エジプトへ行った。

8 וְאֵ֣לֶּה שְׁמ֗וֹת בְּנֵי־יִשְׂרָאֵל֙ הַבָּאִ֣ים מִצְרַ֔יְמָה יַעֲקֹ֖ב

ヤコブと エジプトへ 来た イスラエルの 息子たちの 名前である そして-これらは
H3290 H4714 H0935 H3478 H8034 H0428

וּבָנָ֑יו בְּכֹ֥ר יַעֲקֹ֖ב רְאוּבֵֽן׃

そして-息子たちの 長子は ヤコブの ルベン
H1060 H3290 H7205

イスラエルの子らでエジプトへ行った者の名は次のとおりである。すなわちヤコブとその子らであるが、ヤコブの長子はルベン。

9 וּבְנֵ֣י רְאוּבֵ֔ן חֲנֹ֥ךְ וּפַלּ֖וּא וְחֶצְרֹ֑ן וְכַרְמִֽי׃

そして-息子たちは ルベンの ハノクと そして-パルと そして-ヘツロンと そして-カルミ
H7205 H2585 H6396 H2696 H3756

ルベンの子らはハノク、パル、ヘヅロン、カルミ。

10 וּבְנֵ֣י שִׁמְעוֹן֮ יְמוּאֵל֒ וְיָמִין֙ וְאֹ֣הַד וְיָכִ֔ין

そして-息子たちは シメオンの エムエルと そして-ヤミンと そして-オハデと そして-ヤキンと
H3199 H0161 H3226 H3223 H8095

וְצֹ֖חַר וְשָׁא֑וּל בֶּן־הַֽכְּנַעֲנִֽית׃

そして-ツォハルと そして-シャウル 息子である カナンの-女の
H6714 H7586

シメオンの子らはエムエル、ヤミン、オハデ、ヤキン、ゾハル及びカナンの女の産んだ子シャウル。

11 וּבְנֵ֣י לֵוִ֔י גֵּרְשׁ֖וֹן קְהָ֣ת וּמְרָרִֽי׃

そして-息子たちは レビの ゲルションと ケハトと そして-メラリ
H3878 H1648 H6955 H4847

レビの子らはゲルション、コハテ、メラリ。

12 וּבְנֵי יְהוּדָה עֵר וְאוֹנָן וְשֵׁלָה וּפֶרֶץ וָזָרַח
そして-息子たちは ユダの エルと そして-オナンと そして-シェラと そして-ペレツと そして-ゼラ
H3063 H6147 H0209 H7956 H6557 H2226

בְּנֵי־פֶרֶץ חֶצְרוֹן וְחָמוּל׃
息子たちは ペレツの ヘツロンと そして-ハムル
H6557 H2696 H2538

וַיָּמָת עֵר וְאוֹנָן וַיְהִי בְּנֵי כְנַעַן בָּאָרֶץ
そして-死んだ エルと そして-オナンは そして-なった カナンの 地で
H4191 H6147 H0209 H1961 H3667 H0776

ユダの子らはエル、オナン、シラ、ペレヅ、ゼラ。エルとオナンはカナンの地で死んだ。ペレヅの子らはヘヅロンとハムル。

13 וּבְנֵי יִשָּׂשכָר תּוֹלָע וּפוּוָה וְיוֹב וְשִׁמְרוֹן׃
そして-息子たちは イッサカルの トラと そして-プワと そして-ヨブと そして-シムロン
H3485 H8439 H6312 H3102

イッサカルの子らはトラ、プワ、ヨブ、シムロン。

14 וּבְנֵי זְבוּלֻן סֶרֶד וְאֵלוֹן וְיַחְלְאֵל׃
そして-息子たちは ゼブルンの セレデと そして-エロンと そして-ヤヘレエル
H2074 H5624 H0356 H3177

ゼブルンの子らはセレデ、エロン、ヤリエル。

15 וְאֵלֶּה בְּנֵי לֵאָה אֲשֶׁר יָלְדָה לְיַעֲקֹב בְּפַדַּן אֲרָם וְאֶת דִּינָה
これらは 息子たちである レアの ～の 産んだ ヤコブに パダン・アラムで そして ディナを
H0428 H1121 H3812 H0834 H3205 H3290 H6307 H0853 H1783

בִּתּוֹ כָּל־נֶפֶשׁ בָּנָיו וּבְנוֹתָיו שְׁלֹשִׁים וְשָׁלֹשׁ׃
彼の-娘を すべての 人は 息子たちと そして-娘たちと 三十 そして-三
H1323 H3605 H5315 H1121 H1323 H7970 H7969

これらと娘デナとはレアがパダンアラムでヤコブに産んだ子らである。その子らと娘らは合わせて三十三人。

16 וּבְנֵי גָד צִפְיוֹן וְחַגִּי שׁוּנִי וְאֶצְבֹן עֵרִי
そして-息子たちは ガドの ツィフヨンと そして-ハギと シュニと そして-エツボンと エリと
H1410 H6837 H2291 H7764 H0675 H6179

וַאֲרוֹדִי וְאַרְאֵלִי׃
そして-アロディと そして-アレリ
H0722 H0692

ガドの子らはゼポン、ハギ、シュニ、エヅボン、エリ、アロデ、アレリ。

17 וּבְנֵי אָשֵׁר יִמְנָה וְיִשְׁוָה וְיִשְׁוִי וּבְרִיעָה
そして-息子たちは アシェルの イムナと そして-イシュワと そして-イシュヴィと そして-ベリアと
H1121 H0836 H3232 H3438 H3440 H1283

וְשֶׂרַח אֲחֹתָם וּבְנֵי בְרִיעָה חֶבֶר וּמַלְכִּיאֵל׃
そして-セラは 彼らの-姉妹 そして-息子たちは ベリアの へベルと そして-マルキエル
H8294 H0269 H1121 H1283 H2268 H4439

アセルの子らはエムナ、イシワ、イスイ、ベリアおよび妹サラ。ベリアの子らはヘベルとマルキエル。

18 אֵ֣לֶּה בְנֵי־זִלְפָּה֩ אֲשֶׁר־נָתַ֨ן לָבָ֜ן לְלֵאָ֣ה בִתּ֗וֹ וַתֵּ֙לֶד֙ לְיַעֲקֹ֔ב אֵ֖ת שֵׁ֣שׁ עֶשְׂרֵ֑ה נָֽפֶשׁ׃

これらはラバンが娘レアに与えたジルパの子らである。彼女はこれらをヤコブに産んだ。合わせて十六人。

19 בְּנֵ֣י רָחֵ֔ל אֵ֖שֶׁת יַעֲקֹ֑ב יוֹסֵ֖ף וּבִנְיָמִֽן׃

ヤコブの妻ラケルの子らはヨセフとベニヤミンとである。

20 וַיִּוָּלֶד֩ לִיוֹסֵף֙ בְּאֶ֣רֶץ מִצְרַ֔יִם אֲשֶׁ֣ר יָלְדָ֔ה ל֖וֹ אָסְנַ֣ת בַּת־פּ֣וֹטִי פֶ֣רַע אֹ֑ן אֵ֚ת מְנַשֶּׁ֣ה וְאֶת־אֶפְרָ֔יִם׃

エジプトの国でヨセフにマナセとエフライムとが生れた。これはオンの祭司ポテペラの娘アセナテが彼に産んだ者である。

21 וּבְנֵ֣י בִנְיָמִ֗ן בֶּ֚לַע וָבֶ֣כֶר וְאַשְׁבֵּ֔ל גֵּרָ֖א וְנַעֲמָ֣ן אֵחִ֑י וְרֹ֖אשׁ מֻפִּ֥ים וְחֻפִּ֛ים וָאָֽרְדּ׃

ベニヤミンの子らはベラ、ベケル、アシベル、ゲラ、ナアマン、エヒ、ロシ、ムッピム、ホパム、アルデ。

22 אֵ֣לֶּה בְנֵי־רָחֵ֗ל אֲשֶׁ֤ר יָלַד֙ לְיַעֲקֹ֔ב כָּל־נֶ֖פֶשׁ אַרְבָּעָ֥ה עָשָֽׂר׃

これらはラケルがヤコブに産んだ子らである。合わせて十四人。

23 וּבְנֵי־דָ֖ן חֻשִֽׁים׃

ダンの子はホシム。

24 וּבְנֵ֣י נַפְתָּלִ֔י יַחְצְאֵ֖ל וְגוּנִ֣י וְיֵ֑צֶר וְשַׁלֻּֽם׃

ナフタリの子らはヤジエル、グニ、エゼル、シレム。

25 אֵ֣לֶּה בְנֵי־בִלְהָ֗ה אֲשֶׁ֤ר נָתַן֙ לָבָ֣ן לְרָחֵ֔ל בִּתּ֖וֹ וַתֵּ֣לֶד לְיַעֲקֹ֑ב כָּל־נֶ֖פֶשׁ שִׁבְעָֽה׃

これらはラバンが娘ラケルに与えたビルハの子らである。彼女はこれらをヤコブに産んだ。合わせて七人。

26 כָּל־ הַנֶּפֶשׁ הַבָּאָה לְיַעֲקֹב מִצְרַיְמָה יֹצְאֵי מִֽירֵכוֹ מִלְּבַד נְשֵׁי
すべての 人は 来た ヤコブと-共に エジプトへ 出た 彼の-腰から 除いて 妻たちを
H3605 H5315 H0935 H3290 H4714 H3318 H3409 H0905 H0802

כָּל־ נֶפֶשׁ שִׁשִּׁים וָשֵׁשׁ׃
すべての 人は 六十 そして-六
H3605 H5315 H8346 H8337

בְּנֵי־ יַעֲקֹב
息子たちの ヤコブの
H3290

ヤコブと共にエジプトへ行ったすべての者、すなわち彼の身から出た者はヤコブの子らの妻をのぞいて、合わせて六十六人であった。

27 וּבְנֵי יוֹסֵף אֲשֶׁר־ יֻלַּד־ לוֹ בְּמִצְרַיִם נֶפֶשׁ שְׁנָיִם כָּל־ הַנֶּפֶשׁ
そして-息子たちは ヨセフの ～の 生まれた 彼に エジプトで 人は 二 人は すべての 人は
H3130 H0834 H3205 H0000 H4714 H5315 H8147 H3605 H5315

פ שִׁבְעִים׃ מִצְרַיְמָה הַבָּאָה יַעֲקֹב לְבֵית־
— 七十 エジプトへ 来た ヤコブの 家の
H7657 H4714 H0935 H3290

エジプトでヨセフに生れた子がふたりあった。エジプトへ行ったヤコブの家の者は合わせて七十人であった。

28 וְאֶת־ יְהוּדָה שָׁלַח לְפָנָיו אֶל־ יוֹסֵף לְהוֹרֹת לְפָנָיו גֹּשְׁנָה
そして 遣わした 彼の-前に 案内するために ヨセフの ～の-もとへ 彼の-前に ユダを
H0853 H7971 H6440 H3130 H0413 H6440 H3063

וַיָּבֹאוּ אַרְצָה גֹּשֶׁן׃
そして-来た 地へ ゴシェンの
H0935 H0776 H1657

ゴシェンへ
H1657

さてヤコブはユダをさきにヨセフにつかわして、ゴセンで会おうと言わせた。そして彼らはゴセンの地へ行った。

29 וַיֶּאְסֹר יוֹסֵף מֶרְכַּבְתּוֹ וַיַּעַל לִקְרַאת־ יִשְׂרָאֵל אָבִיו
そして-つないだ ヨセフは 彼の-戦車を そして-上った 迎えるために イスラエルを 彼の-父を
H0631 H3130 H4818 H5927 H7125 H3478 H0001

וַיֵּרָא אֵלָיו וַיִּפֹּל עַל־ צַוָּארָיו וַיֵּבְךְּ׃
そして-現れた 彼の-前に そして-ひれ伏した ～の-上に 彼の-首に そして-泣いた
H7200 H0413 H5307 H0000 H6677 H1058

גֹּשְׁנָה עוֹד׃ צַוָּארָיו עַל־
ゴシェンへ しばらく 彼の-首で ～の-上で
H1657 H5750

ヨセフは車を整えて、父イスラエルを迎えるためにゴセンに上り、父に会い、そのくびを抱き、くびをかかえて久しく泣いた。

30 וַיֹּאמֶר יִשְׂרָאֵל אֶל־ יוֹסֵף אָמוּתָה הַפָּעַם אַחֲרֵי רְאוֹתִי
そして-言った イスラエルは ～に ヨセフに 死ぬるもよい 今や ～の-後に 見たことの
H0559 H3478 H0413 H3130 H4191 H6471 H0310 H7200

אֶת־ פָּנֶיךָ כִּי עוֹדְךָ חָי׃
（直接目的語） あなたの-顔を なぜなら まだ-あなたが 生きている
H0853 H6440 H3588 H5750 H2416

時に、イスラエルはヨセフに言った、「あなたがなお生きていて、わたしはあなたの顔を見たので今は死んでもよい」。

31

וְאַגִּידָה
そして-告げよう
H5046

אֶעֱלֶה
上って
H5927

אָבִיו
父の
H0001

בֵּית
家に

וְאֶל־
そして-〜に
H0413

אֶחָיו
兄弟たちに
H0251

אֶל־
〜に
H0413

יוֹסֵף
ヨセフは
H3130

וַיֹּאמֶר
そして-言った
H0559

כְּנַעַן
カナンの

בְּאֶרֶץ־
地の
H0776

אֲשֶׁר
〜の

אָבִי
私の-父の
H0001

וּבֵית־
そして-家と

אַחַי
私の-兄弟と
H0251

אֵלָיו
彼に
H0413

וְאָמְרָה
そして-言おう
H0559

לְפַרְעֹה
ファラオに
H6547

בָּאוּ׃ אֵלָי
来た
H0935
私の-もとへ
H0413

ヨセフは兄弟たちと父の家族とに言った、「わたしは上ってパロに言おう、『カナンの地にいたわたしの兄弟たちと父の家族とがわたしの所へきました。

32

וְצֹאנָם
そして-羊と
H6629

הָיוּ
であった
H1961

מִקְנֶה
家畜の
H4735

אַנְשֵׁי
人である
H0376

כִּי־
なぜなら

צֹאן
羊の
H6629

רֹעֵי
羊飼いである

וְהָאֲנָשִׁים
そして-その-人たちは
H0376

הֵבִיאוּ׃ לָהֶם
持って来た
H0935
彼らの-ものを

אֲשֶׁר
〜の

וְכָל־
そして-すべての
H3605

וּבְקָרָם
そして-牛と
H1241

この者らは羊を飼う者、家畜の牧者で、その羊、牛および持ち物をみな携えてきました』。

33

מַעֲשֵׂיכֶם׃
あなたたちの-生業は
H4639

מַה־
何か
H4100

וְאָמַר
そして-言う
H0559

פַּרְעֹה
ファラオが
H6547

לָכֶם
あなたたちを

יִקְרָא
呼ぶ
H7121

כִּי־
〜とき

וְהָיָה
そして-なる
H1961

もしパロがあなたがたを召して、『あなたがたの職業は何か』と言われたら、

34

עַתָּה
今まで
H6258

וְעַד־
そして-〜まで
H5704

מִנְּעוּרֵינוּ
若い-ときから

עַבָדֶיךָ
あなたの-僕たちは
H5650

הָיְיָ
であった
H1961

מִקְנֶה
家畜の
H4735

אַנְשֵׁי
人である
H0376

וַאֲמַרְתֶּם
そして-言え
H0559

כִּי־
なぜなら

גֹּשֶׁן
ゴシェンの
H1657

בְּאֶרֶץ
地に
H0776

תֵּשְׁבוּ
住めるように
H3427

בַּעֲבוּר
〜のために
H5668

אֲבֹתֵינוּ
私たちの-先祖も
H0001

גַּם־
また
H1571

אֲנַחְנוּ
私たちも
H0587

גַּם־
また
H1571

צֹאן׃ רֹעֵה
羊の
H6629
羊飼いは

כָּל־
すべての
H3605

מִצְרַיִם
エジプトに-とって
H4713

תּוֹעֲבַת
忌まわしいことである
H8441

『しもべらは幼い時から、ずっと家畜の牧者です。われわれも、われわれの先祖もそうです』と言いなさい。そうすればあなたがたはゴセンの地に住むことができましょう。羊飼はすべて、エジプトびとの忌む者だからです」。

Chapter 47

1

וְאַחַי
そして-兄弟たちと
H0251

אָבִי
私の-父と
H0001

וַיֹּאמֶר
そして-言った
H0559

לְפַרְעֹה
ファラオに
H6547

וַיַּגֶּד
そして-告げた
H5046

יוֹסֵף
ヨセフは
H3130

וַיָּבֹא
そして-来た
H0935

כְּנַעַן
カナンの

מֵאֶרֶץ
地から
H0776

בָּאוּ
来た
H0935

לָהֶם
彼らの-ものが

אֲשֶׁר
〜の

וְכָל־
そして-すべての
H3605

וּבְקָרָם
そして-牛と
H1241

וְצֹאנָם
そして-羊と
H6629

גֹּשֶׁן׃
ゴシェンの
H1657

בְּאֶרֶץ
地に
H0776

וְהִנָּם
そして-見よ-彼らは
H2009

ヨセフは行って、パロに言った、「わたしの父と兄弟たち、その羊、牛およびすべての持ち物がカナンの地からきて、今ゴセンの地におります」。

וּמִקְצֵה	אֶחָיו	לָקַח	חֲמִשָּׁה	אֲנָשִׁים	וַיַּצִּגֵם	לִפְנֵי	פַּרְעֹה׃	2
そして-〜の-中から	兄弟たちの	取った	五人の	人を	そして-立たせた	〜の-前に	ファラオの	
H3947	H0251	H3947	H2568	H0376	H3322	H6440	H6547	

そしてその兄弟のうちの五人を連れて行って、パロに会わせた。

וַיֹּאמֶר	פַּרְעֹה	אֶל־	אֶחָיו	מַה־	מַעֲשֵׂיכֶם	וַיֹּאמְרוּ	אֶל־	3
そして-言った	ファラオは	〜に	兄弟たちに	何か	あなたたちの-生業は	そして-言った	〜に	
H0559	H6547	H0413	H0251	H4100	H4639	H0559	H0413	

פַּרְעֹה׃	לְגוּר	בָּאנוּ	כִּי־	אֵין	מִרְעֶה	לַצֹּאן	אֲשֶׁר	עֲבָדֶיךָ
ファラオに	羊飼いです	羊の	また	私たちも	また	あなたの-僕たちは	私たちの-先祖も	
H6547	H7462	H6629	H1571	H0587	H1571	H5650	H0001	

パロはヨセフの兄弟たちに言った、「あなたがたの職業は何か」。彼らはパロに言った、「しもべらは羊を飼う者です。われわれも、われわれの先祖もそうです」。

וַיֹּאמְרוּ	אֶל־	פַּרְעֹה	לָגוּר	בָּאָרֶץ	בָּאנוּ	כִּי־	אֵין	מִרְעֶה	4
そして-言った	〜に	ファラオに	寻るために	この-地に	来ました	なぜなら	ない	牧草地が	
H0559	H0413	H6547		H0776	H0935		H0369	H4829	

לַצֹּאן	אֲשֶׁר	לַעֲבָדֶיךָ	כִּי־	כָבֵד	הָרָעָב	בְּאֶרֶץ	כְּנָעַן	וְעַתָּה
羊の-ための	〜の	あなたの-僕たちの	なぜなら	厳しい	飢饉が	地で	カナンの	そして-今
H6629		H5650		H3515	H7458	H0776		H6258

גֹּשֶׁן׃	בְּאֶרֶץ	עֲבָדֶיךָ	נָא	יֵשְׁבוּ־
ゴシェンの	地に	あなたの-僕たちを	どうか	住ませて-ください
H1657	H0776	H5650	H4994	H3427

彼らはまたパロに言った、「この国に寄留しようとしてきました。カナンの地はききんが激しく、しもべらの群れのための牧草がないのです。どうかしもべらをゴセンの地に住ませてください」。

בָּאוּ	וְאַחֶיךָ	אָבִיךָ	לֵאמֹר	יוֹסֵף	אֶל־	פַּרְעֹה	וַיֹּאמֶר	5
来た	そして-兄弟たちが	あなたの-父と	言って	ヨセフに	〜に	ファラオは	そして-言った	
H0935	H0251	H0001	H0559	H3130	H0413	H6547	H0559	

אֵלֶיךָ׃
あなたの-もとに
H0413

パロはヨセフに言った、「あなたの父と兄弟たちとがあなたのところにきた。

אֵת־	הוֹשֵׁב	הָאָרֶץ	בְּמֵיטַב	הִוא	לְפָנֶיךָ	מִצְרַיִם	אֶרֶץ	6
（直接目的語）	住まわせよ	地に	最良の	ある	あなたの-前に	エジプトの	地は	
H0853	H3427	H0776	H4315	H1931	H6440	H4714	H0776	

וְאִם־	גֹּשֶׁן	בְּאֶרֶץ	יֵשְׁבוּ	אַחֶיךָ	וְאֶת־	אָבִיךָ		
そして-もし	ゴシェンの	地に	住ませよ	あなたの-兄弟たちを	そして	あなたの-父を		
H1657		H0776	H3427	H0251	H0853	H0001		

מִקְנֶה	שָׂרֵי	וְשַׂמְתָּם	חַיִל	אַנְשֵׁי־	בָם	וְיֵשׁ־	יָדַעְתָּ	
家畜の	長として	そして-置け	有能な	人が	彼らの-中に	そして-いるなら	知っているなら	
H4735	H8269		H2428	H0376		H3426	H3045	

עַל־	אֲשֶׁר־	לִי׃	
〜の-上に	〜の	私の-ものの	

エジプトの地はあなたの前にある。地の最も良い所にあなたの父と兄弟たちとを住ませなさい。ゴセンの地に彼らを住ませなさい。もしあなたが彼らのうちに有能な者があるのを知っているなら、その者にわたしの家畜をつかさどらせなさい」。

7

לִפְנֵי	וַיַּעֲמִדֵהוּ	אָבִיו	יַעֲקֹב	אֶת־	יוֹסֵף	וַיָּבֵא
～の–前に	そして–立たせた–彼を	彼の–父を	ヤコブを	（直接目的語）	ヨセフは	そして–連れて来た
H6440	H5975	H0001	H3290	H0853	H3130	H0935

:פַּרְעֹה	אֶת־	יַעֲקֹב	וַיְבָרֶךְ		פַּרְעֹה
ファラオを	（直接目的語）	ヤコブは	そして–祝福した		ファラオの
H6547	H0853	H3290	H1288		H6547

そこでヨセフは父ヤコブを導いてパロの前に立たせた。ヤコブはパロを祝福した。

8

:חַיָּיְךָ	שְׁנֵי	יְמֵי	כַּמָּה	יַעֲקֹב	אֶל־	פַּרְעֹה	וַיֹּאמֶר
あなたの–生涯の	年の	日は	いくつか	ヤコブに	～に	ファラオは	そして–言った
	H8141	H3117	H4100	H3290	H0413	H6547	H0559

パロはヤコブに言った、「あなたの年はいくつか」。

9

וּמְאַת	שְׁלֹשִׁים	מְגוּרַי	שְׁנֵי	יְמֵי	פַּרְעֹה	אֶל־	יַעֲקֹב	וַיֹּאמֶר
そして–百	百三十	私の–寻住の	年の	日は	ファラオに	～に	ヤコブは	そして–言った
H3967	H7970	H4033	H8141	H3117	H6547	H0413	H3290	H0559

הִשִּׂיגוּ	וְלֹא	חַיַּי	שְׁנֵי	יְמֵי	הָיוּ	וְרָעִים	מְעַט	שָׁנָה
達しなかった	そして–ない	私の–生涯の	年の	日は	であった	そして–殉しかった	少なく	年です
H5381	H3808		H8141	H3117	H1961		H4592	H8141

:מְגוּרֵיהֶם	בִּימֵי	אֲבֹתַי	חַיֵּי	שְׁנֵי	יְמֵי	אֶת־
彼らの–寻住の	日に	私の–先祖の	生涯の	年の	日に	（直接目的語）
H4033	H3117	H0001		H8141	H3117	H0853

ヤコブはパロに言った、「わたしの旅路のとしつきは、百三十年です。わたしのよわいの日はわずかで、ふしあわせで、わたしの先祖たちのよわいの日と旅路の日には及びません」。

10

:פַּרְעֹה	מִלִּפְנֵי	וַיֵּצֵא	פַּרְעֹה	אֶת־	יַעֲקֹב	וַיְבָרֶךְ
ファラオの	～の–前から	そして–出た	ファラオを	（直接目的語）	ヤコブは	そして–祝福した
H6547	H6440	H3318	H6547	H0853	H3290	H1288

ヤコブはパロを祝福し、パロの前を去った。

11

לָהֶם	וַיִּתֵּן	אֲחֻזָּה	וְאֶת־	אֲבִיו	אֶת־	יוֹסֵף	וַיּוֹשֶׁב
彼らに	そして–与えた	兄弟たちを	そして	父を	（直接目的語）	ヨセフは	そして–住まわせた
	H5414	H0251	H0853	H0001	H0853	H3130	H3427

:פַּרְעֹה	צִוָּה	כַּאֲשֶׁר	רַעְמְסֵס	בְּאֶרֶץ	הָאָרֶץ	בְּמֵיטַב	מִצְרַיִם	בְּאֶרֶץ	אֲחֻזָּה
ファラオが	命じた	～のとおりに	ラメセスの	地に	地に	最良の	エジプトの	地に	所有地を
H6547	H6680		H7486	H0776	H0776	H4315	H4714	H0776	H0272

ヨセフはパロの命じたように、父と兄弟たちとのすまいを定め、彼らにエジプトの国で最も良い地、ラメセスの地を所有として与えた。

12

בַּיִת	כָּל־	וְאֶת	אֲחֵיו	וְאֶת־	אֲבִיו	אֶת־	יוֹסֵף	וַיְכַלְכֵּל
家を	すべての	そして	兄弟たちを	そして	父を	（直接目的語）	ヨセフは	そして–養った
	H3605	H0853	H0251	H0853	H0001	H0853	H3130	H3557

:הַטָּף	לְפִי	לֶחֶם	אָבִיו	
子どもの–数に	～に–応じて	食料で	父の	
H2945	H6310	H3899	H0001	

またヨセフは父と兄弟たちと父の全家とに、家族の数にしたがい、食物を与えて養った。

13 וְלֶחֶם וְאֵין בְּכָל־ הָאָרֶץ כִּי־ כָבֵד הָרָעָב מְאֹד וַתֵּלַהּ
そして–食料は なかった すべての 地に なぜなら 厳しかった 飢饉が 非常に そして–衰えた
H3899 H0369 H3605 H0776 H3515 H7458 H3966

אֶרֶץ מִצְרַיִם וְאֶרֶץ כְּנַעַן מִפְּנֵי הָרָעָב׃
地は エジプトの そして–地は カナンの ～の–せいで 飢饉の
H0776 H4714 H0776 H3667 H6440 H7458

さて、ききんが非常に激しかったので、全地に食物がなく、エジプトの国もカナンの国も、ききんのために衰えた。

14 וַיְלַקֶּט יוֹסֵף אֶת־ כָּל־ הַכֶּסֶף הַנִּמְצָא בְּאֶרֶץ־ מִצְרַיִם
そして–集めた ヨセフは （直接目的語） すべての 銀を 見つかる 地の エジプトの
H3950 H3130 H0853 H3605 H3701 H4672 H0776 H4714

וּבְאֶרֶץ כְּנַעַן אֲשֶׁר־ הֵם שֹׁבְרִים וַיָּבֵא יוֹסֵף
そして–地の カナンの ～の 彼らが 買っていた そして–持って来た ヨセフは
H0776 H3667 H0834 H1992 H7666 H0935 H3130

אֶת־ כָּל־ הַכֶּסֶף בֵּיתָה פַּרְעֹה׃
（直接目的語） すべての 銀を 家へ ファラオの
H0853 H3605 H3701 H1004 H6547

それでヨセフは人々が買った穀物の代金としてエジプトの国とカナンの国にあった銀をみな集め、その銀をパロの家に納めた。

15 וַיִּתֹּם כָּל־ הַכֶּסֶף מֵאֶרֶץ מִצְרַיִם וּמֵאֶרֶץ כְּנַעַן וַיָּבֹאוּ
そして–尽きた 銀が 地から エジプトの そして–地から カナンの そして–来た すべての
H8552 H3701 H0776 H4714 H0776 H3667 H0935 H3605

מִצְרַיִם אֶל־ יוֹסֵף לֵאמֹר הָבָה־ לָנוּ לֶחֶם וְלָמָּה
エジプトが ～の–もとへ ヨセフの 言って 与えて–ください 私たちに 食料を そして–なぜ
H4713 H0413 H3130 H0559 H3051 H3667 H3899 H4100

נָמוּת נֶגְדֶּךָ כִּי אָפֵס כָּסֶף׃
死ぬのか あなたの–前で なぜなら 尽きた 銀が
H4191 H5048 H3588 H0656 H3701

こうしてエジプトの国とカナンの国に銀が尽きたとき、エジプトびとはみなヨセフのもとにきて言った、「食物をください。銀が尽きたからとて、どうしてあなたの前で死んでよいでしょう」。

16 וַיֹּאמֶר יוֹסֵף הָבוּ מִקְנֵיכֶם וְאֶתְּנָה לָכֶם
そして–言った ヨセフは 渡せ あなたたちの–家畜を そして–与えよう あなたたちに
H0559 H3130 H3051 H4735 H5414

בְּמִקְנֵיכֶם אִם־ אָפֵס כָּסֶף׃
あなたたちの–家畜の–代わりに もし 尽きたなら 銀が
H4735 H0518 H0656 H3701

ヨセフは言った、「あなたがたの家畜を出しなさい。銀が尽きたのなら、あなたがたの家畜と引き替えで食物をわたそう」。

17

וַיָּבִיאוּ
そして–持って来た
H0935

אֶת־
（直接目的語）
H0853

מִקְנֵיהֶם
彼らの–家畜を
H4735

אֶל־
～の–もとへ
H0413

יוֹסֵף
ヨセフの
H3130

וַיִּתֵּן
そして–与えた
H5414

לָהֶם׃
彼らに

יוֹסֵף
ヨセフは
H3130

לֶחֶם
食料を
H3899

בַּסּוּסִים
馬の–代わりに

וּבְמִקְנֵה
そして–家畜の
H4735

הַצֹּאן
羊の
H6629

וּבְמִקְנֵה
そして–家畜の
H4735

הַבָּקָר
牛の
H1241

וּבַחֲמֹרִים
そして–ろばの
H2543

וַיְנַהֲלֵם
そして–導いた
H5095

בְּלֶחֶם
食料で
H3899

בְּכָל־
すべての
H3605

מִקְנֵהֶם
彼らの–家畜の–代わりに

בַּשָּׁנָה
その–年
H8141

הַהִוא׃
その
H1931

彼らはヨセフの所へ家畜をひいてきたので、ヨセフは馬と羊の群れと牛の群れ及びろばと引き替えで、食物を彼らにわたした。こうして彼はその年、すべての家畜と引き替えた食物で彼らを養った。

18

וַתִּתֹּם
そして–終わった
H8552

הַשָּׁנָה
その–年が
H8141

הַהִוא
その
H1931

וַיָּבֹאוּ
そして–来た
H0935

אֵלָיו
彼の–もとへ
H0413

בַּשָּׁנָה
その–年に
H8141

הַשֵּׁנִית
二年目の
H8145

וַיֹּאמְרוּ
そして–言った
H0559

לוֹ
彼に

לֹא־
ない
H3808

נְכַחֵד
隠さない
H3582

מֵאֲדֹנִי
わが–主から
H0113

כִּי
ただ

אִם־
もし

תַּם
尽きた
H8552

הַכֶּסֶף
銀が
H3701

וּמִקְנֵה
そして–家畜の
H4735

הַבְּהֵמָה
動物の
H0929

לֹא
ない
H3808

נִשְׁאַר
残っていない
H7604

לִפְנֵי
～の–前に
H6440

אֲדֹנִי
わが–主の
H0113

בִּלְתִּי
～以外に
H1115

אִם־
～の

גְּוִיָּתֵנוּ
私たちの–体と
H1472

וְאַדְמָתֵנוּ׃
私たちの–土地が
H0127

אֶל־
～の–もとへ
H0413

אֲדֹנִי
わが–主の
H0113

やがてその年は暮れ、次の年、人々はまたヨセフの所へきて言った、「わが主には何事も隠しません。われわれの銀は尽き、獣の群れもわが主のものになって、われわれのからだと田地のほかはわが主の前に何も残っていません。

19

לָמָּה
なぜ
H4100

נָמוּת
死ぬのか
H4191

לְעֵינֶיךָ
あなたの–目の前で

גַּם־
また
H1571

אֲנַחְנוּ
私たちも
H0587

גַּם־
また
H1571

אַדְמָתֵנוּ
私たちの–土地も
H0127

קְנֵה־
買って–ください
H7069

אֹתָנוּ
私たちを
H0853

וְאֶת־
そして
H0853

אַדְמָתֵנוּ
私たちの–土地を
H0127

בַּלָּחֶם
食料の–代わりに
H3899

וְנִהְיֶה
そして–なろう
H1961

אֲנַחְנוּ
私たちは
H0587

וְאַדְמָתֵנוּ
そして–土地も
H0127

עֲבָדִים
奴隷に
H5650

וְתֶן־
そして–与えてください

זֶרַע
種を
H2233

וְנִחְיֶה
そして–生きよう
H2421

וְלֹא
そして–ない

נָמוּת
死ぬ–ことが
H4191

וְהָאֲדָמָה
そして–土地が
H0127

לְפַרְעֹה
ファラオの
H6547

לֹא
ない
H3808

תֵשָׁם׃
荒れない–ことが
H3456

われわれはどうして田地と一緒に、あなたの目の前で滅んでよいでしょう。われわれと田地とを食物と引き替えで買ってください。われわれは田地と一緒にパロの奴隷となりましょう。また種をください。そうすればわれわれは生きながらえ、死を免れて、田地も荒れないでしょう」。

20 וַיִּקֶן יוֹסֵף אֶת־כָּל־אַדְמַת מִצְרַיִם לְפַרְעֹה
そして-買った ヨセフは （直接目的語） すべての 土地を エジプトの ファラオの-ために
H7069 H3130 H0853 H3605 H0127 H4714 H6547

כִּי־מָכְרוּ מִצְרַיִם אִישׁ שָׂדֵהוּ כִּי־חָזַק עֲלֵהֶם הָרָעָב וַתְּהִי
なぜなら 売った エジプト人は 各自の 畠を なぜなら 迫った 彼らに 飢饉が そして-なった
H4376 H4713 H0376 H7704 H3588 H2388 H5921 H7458 H1961

הָאָרֶץ לְפַרְעֹה׃
その-地は ファラオの-ものに
H0776 H6547

そこでヨセフはエジプトの田地をみなパロのために買い取った。ききんがエジプトびとに、きびしかったので、めいめいその田畑を売ったからである。こうして地はパロのものとなった。

21 וְאֶת־הָעָם הֶעֱבִיר אֹתוֹ לְעָרִים מִקְצֵה גְּבוּל־מִצְרַיִם וְעַד־קָצֵהוּ׃
そして 民を 移した 彼らを 町へ ～の-端から 境の エジプトの ～まで その-端まで
H0853 H5971 H0853 H5892 H7097 H1366 H4714 H5704 H7097

そしてヨセフはエジプトの国境のこの端からかの端まで民を奴隷とした。

22 רַק אַדְמַת הַכֹּהֲנִים לֹא קָנָה כִּי חֹק לַכֹּהֲנִים מֵאֵת פַּרְעֹה וְאָכְלוּ אֶת־חֻקָּם אֲשֶׁר נָתַן לָהֶם פַּרְעֹה עַל־כֵּן לֹא מָכְרוּ אֶת־אַדְמָתָם׃
ただし 土地は 祭司たちの ない 買わなかった なぜなら 定めが 祭司たちに ～から ファラオが 彼らに 与えた ～の 彼らの-定めを （直接目的語） そして-食べた ファラオから その-ゆえに ない 売らなかった （直接目的語） 彼らの-土地を
H7535 H0127 H3548 H3808 H7069 H3588 H2706 H3548 H0854 H6547 H3867 H5414 H0834 H2706 H0853 H0398 H6547 H5921-H3651 H3808 H4376 H0853 H0127

ただ祭司の田地は買い取らなかった。祭司にはパロの給与があって、パロが与える給与で生活していたので、その田地を売らなかったからである。

23 וַיֹּאמֶר יוֹסֵף אֶל־הָעָם הֵן קָנִיתִי אֶתְכֶם הַיּוֹם וְאֶת־אַדְמַתְכֶם
そして-言った ヨセフは ～に 民に 見よ 買った あなたたちを 今日 そして
H0559 H3130 H0413 H5971 H2005 H7069 H0853 H3117 H0853

לְפַרְעֹה הֵא לָכֶם וְזִרְעְתֶם אֶת־הָאֲדָמָה׃
ファラオの-ために さあ あなたたちの-ために 種を そして-種をまけ 土地に （直接目的語）
H6547 H1887 H3651 H2233 H7704 H0853 H0127

ヨセフは民に言った、「わたしはきょう、あなたがたとその田地とを買い取って、パロのものとした。あなたがたに種をあげるから地にまきなさい。

24 וְהָיָה֙ בַּתְּבוּאֹ֔ת וְנָתַתָּ֥ם חֲמִישִׁ֖ית לְפַרְעֹ֑ה וְאַרְבַּ֣ע הַיָּדֹ֗ת יִהְיֶ֤ה
そして-なる そして-与えよ 五分の一を ファラオに そして-四 分は なる
H1961 H5414 H2549 H6547 H0702 H3027 H1961

לָכֶם֙ לְזֶ֣רַע הַשָּׂדֶ֔ה וְלָאֲכְלְכֶ֔ם וְלַאֲשֶׁ֥ר
あなたたちの-ために 種の-ために 畠の そして-食料の-ために そして-〜の-ために
H0400 H2233

בְּבָתֵּיכֶ֖ם וְלֶאֱכֹ֑ל לְטַפְּכֶֽם׃
あなたたちの-家の そして-食べるために あなたたちの-子どもの
H0398 H2945

収穫の時は、その五分の一をパロに納め、五分の四を自分のものとして田畑の種とし、自分と家族の食糧とし、また子供の食糧としなさい」。

25 וַיֹּאמְרוּ֙ הֶֽחֱיִתָ֣נוּ נִמְצָא־חֵ֤ן בְּעֵינֵי֙ אֲדֹנִ֔י וְהָיִ֥ינוּ עֲבָדִ֖ים
そして-言った 生かしてくださった 見つけたい 恵みを 目に わが-主の そして-なろう 奴隷に
H0559 H2421 H4672 H2580 H5650 H0113 H1961 H5650

לְפַרְעֹֽה׃
ファラオの
H6547

彼らは言った、「あなたはわれわれの命をお救いくださった。どうかわが主の前に恵みを得させてください。われわれはパロの奴隷になりましょう」。

26 וַיָּשֶׂם֩ אֹתָ֨הּ יוֹסֵ֜ף לְחֹ֣ק עַד־הַיּ֣וֹם הַזֶּ֗ה עַל־אַדְמַת֙ מִצְרַ֔יִם
そして-定めた それを ヨセフは 定めとして 〜まで 今日の この 〜の-上に 土地の
H3130 H0853 H2706 H5704 H3117 H2088 H0127

לְפַרְעֹ֑ה רַ֚ק אַדְמַ֣ת הַכֹּהֲנִ֔ים לְבַדָּ֖ם לֹ֥א הָיָֽתָה׃
ファラオの-ために ただし 土地は 祢司たちの だけは ない ならなかった
H6547 H7535 H0127 H3548 H0905 H3808 H1961

לַחֻמֶ֔שׁ לְפַרְעֹֽה׃
五分の一として ファラオの-ものに
H2569 H6547

ヨセフはエジプトの田地について、収穫の五分の一をパロに納めることをおきてとしたが、それは今日に及んでいる。ただし祭司の田地だけはパロのものとならなかった。

27 וַיֵּ֤שֶׁב יִשְׂרָאֵל֙ בְּאֶ֣רֶץ מִצְרַ֔יִם בְּאֶ֖רֶץ גֹּ֑שֶׁן וַיֵּאָחֲזוּ־בָ֣הּ
そして-住んだ イスラエルは 地に エジプトの 地に ゴシェンの そして-得た そこで-所有地を
H3427 H3478 H0776 H4714 H0776 H1657 H0270

וַיִּפְר֥וּ וַיִּרְבּ֖וּ מְאֹֽד׃
そして-増えた そして-非常に-増した 非常に
H6509 H3966

さてイスラエルはエジプトの国でゴセンの地に住み、そこで財産を得、子を生み、大いにふえた。

28 וַיְחִ֣י יַעֲקֹ֔ב בְּאֶ֥רֶץ מִצְרַ֖יִם שְׁבַ֣ע עֶשְׂרֵ֑ה וַיְהִ֣י יְמֵי־יַעֲקֹ֗ב
そして-生きた ヤコブは 地で エジプトの 十七 年 そして-なった 日は ヤコブの
H2421 H3290 H0776 H4714 H7651 H6240 H1961 H3117 H3290

שְׁנֵ֣י חַיָּ֔יו מֵא֥וֹת שָׁנָ֖ה וְאַרְבָּעִ֣ים שָׁנִ֑ים שְׁבַ֥ע וְחַיִּ֖ים שָׁנָֽה׃
年の 彼の-生涯の 百四十七 年 そして-四十 そして-百 年
H8141 H2421 H7651 H8141 H0705 H3967 H8141

ヤコブはエジプトの国で十七年生きながらえた。ヤコブのよわいの日は百四十七年であった。

29 וַיִּקְרְבוּ יְמֵי־ וַיִּקְרָא לְבְנוֹ לְיוֹסֵף וַיֹּאמֶר
そして–近づいた 日が イスラエルの 死ぬ–ことが そして–呼んだ 息子を ヨセフを そして–言った
H7126 H3117 H3478 H4191 H7121 H1121 H3130 H0559

יָדְךָ נָא שִׂים־ בְּעֵינֶיךָ חֶן מָצָאתִי נָא אִם־ עָלָי
あなたの–手を どうか 置いて–くれ あなたの–目に 恵みを 見つけたなら どうか もし 彼に
H3027 H4994 H7760 H5869 H2580 H4672 H4994 H518 H5921

נָא אַל־ וֶאֱמֶת חֶסֶד עִמָּדִי וְעָשִׂיתָ יְרֵכִי תַּחַת
どうか するな そして–真実を 憐れみを 私と–共に そして–行え 私の–ももの ～の–下に
H4994 H0408 H0571 H2617 H5973 H6213 H3409 H8478

בְּמִצְרָיִם׃ תִּקְבְּרֵנִי
エジプトに 埋葬らないで–くれ
H4714 H6912

イスラエルは死ぬ時が近づいたので、その子ヨセフを呼んで言った、「もしわたしがあなたの前に恵みを得るなら、どうか手をわたしのももの下に入れて誓い、親切と誠実とをもってわたしを取り扱ってください。どうかわたしをエジプトには葬らないでください。

30 וְשָׁכַבְתִּי עִם־ אֲבֹתַי וְנָשָׂאתַנִי מִמִּצְרַיִם וּקְבַרְתָּנִי
そして–横たわったら ～と–共に 先祖たちと そして–運んでくれ エジプトから そして–埋葬ってくれ
H7901 H5973 H1 H5375 H4714 H6912

כִּדְבָרֶךָ׃ אֶעֱשֶׂה אָנֹכִי וַיֹּאמַר בְּקִבְרָתָם
あなたの–言葉の–とおりに する 私が そして–言った 彼らの–墓に
H1697 H6213 H589 H559 H6900

わたしが先祖たちと共に眠るときには、わたしをエジプトから運び出して先祖たちの墓に葬ってください」。ヨセフは言った、「あなたの言われたようにいたします」。

31 וַיֹּאמֶר לִי הִשָּׁבְעָה וַיִּשָּׁבַע לוֹ וַיִּשְׁתַּחוּ יִשְׂרָאֵל עַל־
そして–言った 私に 誓って–くれ そして–誓った 彼に そして–ひれ伏した イスラエルは ～の–上で
H0559 H7650 H7650 H3478 H5921

פ הַמִּטָּה׃ רֹאשׁ
一 床の 頭の–方へ
H4296

ヤコブがまた、「わたしに誓ってください」と言ったので、彼は誓った。イスラエルは床のかしらで拝んだ。

Chapter 48

1 וַיְהִי אַחֲרֵי הַדְּבָרִים הָאֵלֶּה וַיֵּאָמֶר לְיוֹסֵף הִנֵּה אָבִיךָ
そして–あった 後に これらの これらの–事柄が そして–言われた ヨセフに 見よ あなたの–父は
H1961 H310 H428 H1697 H559 H3130 H2009 H1

חֹלֶה וַיִּקַּח שְׁנֵי אֶת־ עִמּוֹ בָנָיו
病んでいる そして–彼は–連れた 二人の （直接目的語） 彼と–共に 息子たちを
H2470 H3947 H8147 H853 H5973 H1121

וְאֶת־ מְנַשֶּׁה אֶפְרָיִם׃
そして エフライムを マナセと
H853 H4519 H669

これらの事の後に、「あなたの父は、いま病気です」とヨセフに告げる者があったので、彼はふたりの子、マナセとエフライムとを連れて行った。

2

בָּא	יוֹסֵף	בִּנְךָ	הִנֵּה	וַיֹּאמֶר	לְיַעֲקֹב	וַיֻּגַּד
来た	ヨセフが	あなたの–息子	見よ	そして–言われた	ヤコブに	そして–告げられた
H0935	H3130		H2009	H0559	H3290	H5046

הַמִּטָּה׃	עַל־	וַיֵּשֶׁב	יִשְׂרָאֵל	וַיִּתְחַזֵּק	אֵלָיו
寝床の	（上に）	そして–座った	イスラエルは	そして–奮い立った	あなたの–もとに
H4296		H3427	H3478	H2388	H0413

時に人がヤコブに告げて、「あなたの子ヨセフがあなたのもとにきました」と言ったので、イスラエルは努めて床の上にすわった。

3

בְּלוּז	אֵלַי	נִרְאָה־	שַׁדַּי	אֵל	יוֹסֵף	אֶל־	יַעֲקֹב	וַיֹּאמֶר
ルズで	私に	現れてくださった	神は	全能の	ヨセフに	（〜に）	ヤコブは	そして–言った
H3870	H0413	H7200	H7706	H0410	H3130	H0413	H3290	H0559

אֹתִי׃	וַיְבָרֶךְ	כְּנָעַן	בְּאֶרֶץ
私を	そして–祝福してくださった	カナンの	（〜の）地
H0853	H1288		H0776

そしてヤコブはヨセフに言った、「先に全能の神がカナンの地ルズでわたしに現れ、わたしを祝福して、

4

וּנְתַתִּיךָ	וְהִרְבִּיתִךָ	מַפְרְךָ	הִנֵּנִי	אֵלַי	וַיֹּאמֶר
そして–あなたを–する	そして–あなたを–多くし	あなたを–増やし	見よ–私は	私に	そして–言われた
H5414		H6509	H2009	H0413	H0559

לְזַרְעֲךָ	הַזֹּאת	הָאָרֶץ	אֶת־	וְנָתַתִּי	עַמִּים	לִקְהַל
あなたの–子孫に	この	この–地を	（直接目的語）	そして–与える	もろもろの–民の	会衆と
H2233	H2063	H0776	H0853	H5414		H6951

עוֹלָם׃	אַחֻזַּת	אַחֲרֶיךָ
所有として	永久の	あなたの–後の
H5769	H0272	

言われた、『わたしはおまえに多くの子を得させ、おまえをふやし、おまえを多くの国民としよう。また、この地をおまえの後の子孫に与えて永久の所有とさせる』。

5

עַד־	מִצְרַיִם	בְּאֶרֶץ	לְךָ	הַנּוֹלָדִים	בָּנֶיךָ	שְׁנֵי־	וְעַתָּה
（〜まで）	エジプトの	（〜の）地で	あなたに	生まれた	あなたの–息子たちは	二人の	そして–今
H5704	H4714	H0776		H3205		H8147	H6258

רְאוּבֵן	וּמְנַשֶּׁה	אֶפְרַיִם	הֵם	לִי־	מִצְרַיְמָה	אֵלֶיךָ	בֹּאִי
ルベンと	マナセは	エフライムと	彼らは	私の–ものである	エジプトへ	あなたの–もとに	私が–来る
H7205	H4519	H0669	H1992		H4714	H0413	H0935

לִי׃	יִהְיוּ־	וְשִׁמְעוֹן
私の–ものに	なる	シメオンの–ように
	H1961	H8095

エジプトにいるあなたの所にわたしが来る前に、エジプトの国で生れたあなたのふたりの子はいまわたしの子とします。すなわちエフライムとマナセとはルベンとシメオンと同じようにわたしの子とします。

6

יִהְיוּ	לְךָ	אַחֶרִיהֶם	הוֹלַדְתָּ	אֲשֶׁר־	וּמוֹלַדְתְּךָ
となる	あなたの–もの	彼らの–後に	あなたが–生んだ	（〜を）	そして–あなたの–子孫は
H1961			H3205		H4138

בְּנַחֲלָתָם׃	יִקָּרְאוּ	אֲחֵיהֶם	שֵׁם	עַל
彼らの–相続地に	呼ばれる	彼らの–兄弟たちの	名で	（〜の）上に
H5159	H7121	H0251	H8034	

ただし彼らの後にあなたに生れた子らはあなたのものとなります。しかし、その嗣業はその兄弟の名で呼ばれるでしょう。

7

בְּדַרְכְּ	כְּנַעַן	בְּאֶרֶץ	רָחֵל	עָלַי	מֵתָה	מִפַּדָּן	בְּבֹאִי	וַאֲנִי
道中で	カナンの	（〜の）地で	ラケルが	私の–上に	死んだ	パダンから	来る–時に	そして–私は
H1870		H0776	H7354		H4191	H6307	H0935	H0589

בְּדֶרֶךְ	שָׁם	וָאֶקְבְּרָהּ	אֶפְרָתָה	לָבֹא	אֶרֶץ	כִּבְרַת־	בְּעוֹד
（〜の）道に	そこに	そして–私は–葬った	エフラタへ	行くには	地の	少しの–距離が	まだ–あった
H1870	H8033	H6912	H0672	H0935	H0776	H3530	H5750

לָחֶם׃ בֵּית	הִוא	אֶפְרָת
ベツレヘムである	それは	エフラタの
H1035	H1931	H0672

わたしがパダンから帰って来る途中ラケルはカナンの地で死に、わたしは悲しんだ。そこはエフラタに行くまでには、なお隔たりがあった。わたしはエフラタ、すなわちベツレヘムへ行く道のかたわらに彼女を葬った」。

8

אֵלֶּה׃	מִי־	וַיֹּאמֶר	יוֹסֵף	בְּנֵי	אֶת־	יִשְׂרָאֵל	וַיַּרְא
これらは	誰か	そして–言った	ヨセフの	息子たちを	（直接目的語）	イスラエルは	そして–見た
H0428	H4310	H0559	H3130		H0853	H3478	H7200

ところで、イスラエルはヨセフの子らを見て言った、「これはだれですか」。

9

נָתַן־	אֲשֶׁר־	הֵם	בָּנַי	אֲבִיו	אֶל־	יוֹסֵף	וַיֹּאמֶר
与えてくださった	（〜を）	彼らは	私の–息子たちです	父に	（〜に）	ヨセフは	そして–言った
H5414		H1992		H0001	H0413	H3130	H0559

אֵלַי	נָא	קַח־	וַיֹּאמֶר	בָּזֶה	אֱלֹהִים	לִי
私の–もとに	どうか	連れて–来なさい	そして–彼は–言った	ここで	神が	私に
H0413	H4994	H3947	H0559	H2088	H0430	

וַאֲבָרְכֵם׃
そして–私は–祝福しよう
H1288

ヨセフは父に言った、「神がここでわたしにくださった子どもです」。父は言った、「彼らをわたしの所に連れてきて、わたしに祝福させてください」。

10

לִרְאוֹת	יוּכַל	לֹא	מִזֹּקֶן	כָּבְדוּ	יִשְׂרָאֵל	וְעֵינֵי
見ることが	できなかった	（否定）	老齢のために	重くなっていた	イスラエルの	そして–目は
H7200	H3201	H3808	H2207	H3513	H3478	

לָהֶם׃	וַיִּחַבֵּק	לָהֶם	וַיִּשַּׁק	אֵלָיו	אֹתָם	וַיִּגַּשׁ
彼らを	そして–抱きしめた	彼らに	そして–口づけした	彼の–もとに	彼らを	そして–近づけた
	H2263			H0413	H0853	H5066

イスラエルの目は老齢のゆえに、かすんで見えなかったが、ヨセフが彼らを父の所に近寄らせたので、父は彼らに口づけし、彼らを抱いた。

11

לֹא	פָּנֶיךָ	רְאֹה	יוֹסֵף	אֶל־	יִשְׂרָאֵל	וַיֹּאמֶר
（否定）	あなたの–顔を	見ること	ヨセフに	（〜に）	イスラエルは	そして–言った
H3808	H6440	H7200	H3130	H0413	H3478	H0559

אֶת־	גַּם	אֱלֹהִים	אֹתִי	הֵרְאָה	וְהִנֵּה	פִּלָּלְתִּי
（直接目的語）	さらに	神は	私に	見せてくださった	そして–見よ	望んでいなかった
H0853	H1571	H0430	H0853	H7200	H2009	H6419

זַרְעֶךָ׃
あなたの–子孫をも
H2233

そしてイスラエルはヨセフに言った、「あなたの顔が見られようとは思わなかったのに、神はあなたの子らをもわたしに見させてくださった」。

אַרְצָה׃	לְאַפָּיו	וַיִּשְׁתָּחוּ	בִּרְכָּיו	מֵעִם	אֹתָם	יוֹסֵף	וַיּוֹצֵא	12
地に	顔を	そして-ひれ伏した	彼の-膝の	（〜から）	彼らを	ヨセフは	そして-出した	
H0776	H0639	H7812	H1290		H0853	H3130	H3318	

そこでヨセフは彼らをヤコブのひざの間から取り出し、地に伏して拝した。

מִשְּׂמֹאל	בִּימִינוֹ	אֶפְרַיִם	אֶת־	שְׁנֵיהֶם	אֶת־	יוֹסֵף	וַיִּקַּח	13
左から	右手に	エフライムを	（直接目的語）	二人を	（直接目的語）	ヨセフは	そして-取った	
H8040	H3225	H0669	H0853	H8147	H0853	H3130	H3947	

אֵלָיו׃	וַיִּגַּשׁ	יִשְׂרָאֵל	מִימִין	בִּשְׂמֹאלוֹ	מְנַשֶּׁה	וְאֶת־	יִשְׂרָאֵל	
彼の-もとに	そして-近づけた	イスラエルの	右から	左手に	マナセを	そして	イスラエルの	
H0413	H5066	H3478	H3225	H8040	H4519	H0853	H3478	

ヨセフはエフライムを右の手に取ってイスラエルの左の手に向かわせ、マナセを左の手に取ってイスラエルの右の手に向かわせ、ふたりを近寄らせた。

רֹאשׁ	עַל־	וַיָּשֶׁת	יְמִינוֹ	אֶת־	יִשְׂרָאֵל	וַיִּשְׁלַח		14
頭の	（〜の上に）	そして-置いた	右手を	（直接目的語）	イスラエルは	そして-伸ばした		
		H7896	H3225	H0853	H3478	H7971		

מְנַשֶּׁה	רֹאשׁ	עַל־	שְׂמֹאלוֹ	וְאֶת־	הַצָּעִיר	וְהוּא	אֶפְרַיִם	
マナセの	頭の	（〜の上に）	左手を	そして	年少者であった	そして-彼は	エフライムの	
H4519			H8040	H0853	H6810	H1931	H0669	

הַבְּכוֹר׃	מְנַשֶּׁה	כִּי	יָדָיו	אֶת־	שִׂכֵּל
長子であった	マナセが	なぜなら	手を	（直接目的語）	交差させた
H1060	H4519		H3027	H0853	

すると、イスラエルは右の手を伸べて弟エフライムの頭に置き、左の手をマナセの頭に置いた。マナセは長子であるが、ことさらそのように手を置いたのである。

הִתְהַלְּכוּ	אֲשֶׁר	הָאֱלֹהִים	וַיֹּאמֶר	יוֹסֵף	אֶת־	וַיְבָרֶךְ		15
歩まれた	（〜の前を）	神よ	そして-言った	ヨセフを	（直接目的語）	そして-祝福した		
H1980		H0430	H0559	H3130	H0853	H1288		

מֵעוֹדִי	אֹתִי	הָרֹעֶה	הָאֱלֹהִים	וְיִצְחָק	אַבְרָהָם	לְפָנָיו	אֲבֹתַי	
生まれてから	私を	牧してくださる	神よ	イサクは	アブラハムと	御前に	私の-先祖たちは	
H5750	H0853		H0430	H3327	H0085	H6440	H0001	

הַזֶּה׃	הַיּוֹם	עַד־	
この-日まで	今日の	（〜まで）	
H2088	H3117	H5704	

そしてヨセフを祝福して言った、「わが先祖アブラハムとイサクの仕えた神、生れてからきょうまでわたしを養われた神、

הַנְּעָרִים	אֶת־	יְבָרֵךְ	רָע	מִכָּל־	אֹתִי	הַגֹּאֵל	הַמַּלְאָךְ	16
若者たちを	（直接目的語）	祝福してください	悪から	すべての	私を	贖ってくださる	御使いよ	
H5288	H0853	H1288		H3605	H0853		H4397	

וְיִצְחָק	אַבְרָהָם	אֲבֹתַי	וְשֵׁם	שְׁמִי	בָּהֶם	וְיִקְרְאָ
イサクの	アブラハムと	私の-先祖たちの	そして-名が	私の-名が	彼らの-うちに	そして-呼ばれよ
H3327	H0085	H0001	H8034	H8034		H7121

הָאָרֶץ׃	בְּקֶרֶב	לָרֹב	וְיִדְגּוּ	
地の	（〜の）中で	大いに	そして-増えよ	
H0776	H7130	H7230	H1711	

すべての災からわたしをあがなわれたみ使よ、この子供たちを祝福してください。またわが名と先祖アブラハムとイサクの名とが、彼らによって唱えられますように、また彼らが地の上にふえひろがりますように」。

17 וַיַּרְא יוֹסֵף כִּי־שָׁית אָבִיו יַד־יְמִינוֹ עַל־רֹאשׁ אֶפְרַיִם
そして–見た ヨセフは 置いた 父が 手を 右の （〜の上に） 頭の エフライムの
H7200 H3130 H7896 H0001 H3027 H3225 H0413 H0669

וַיֵּרַע בְּעֵינָיו וַיִּתְמֹךְ יַד־אָבִיו לְהָסִיר אֹתָהּ מֵעַל
そして–悪く–見えた 彼の–目に そして–つかんだ 父の 手を 移すために それを （〜の上から）
H8551 H3027 H0001 H5493 H0853

רֹאשׁ אֶפְרַיִם אָבִיו עַל־רֹאשׁ מְנַשֶּׁה׃
頭の エフライムの 父の （〜の上に） 頭の マナセの
H0669 H0001 H4519

ヨセフは父が右の手をエフライムの頭に置いているのを見て不満に思い、父の手を取ってエフライムの頭からマナセの頭へ移そうとした。

18 וַיֹּאמֶר יוֹסֵף אֶל־אָבִיו כִּי־לֹא כֵן אָבִי כִּי־זֶה הַבְּכֹר שִׂים יְמִינְךָ עַל־רֹאשׁוֹ׃
そして–言った ヨセフは （〜に） 父に （否定） そうでは–ありません 父よ なぜなら 長子です 置いてください あなたの–右手を （〜の上に） 彼の–頭に
H0559 H3130 H0413 H0001 H3808 H0001 H1060 H2088 H3225

そしてヨセフは父に言った、「父よ、そうではありません。こちらが長子です。その頭に右の手を置いてください」。

19 וַיְמָאֵן אָבִיו וַיֹּאמֶר יָדַעְתִּי בְנִי יָדַעְתִּי גַּם־הוּא יִהְיֶה־לְעָם וְגַם־הוּא יִגְדָּל וְאוּלָם אָחִיו הַקָּטֹן יִגְדַּל מִמֶּנּוּ וְזַרְעוֹ יִהְיֶה מְלֹא־הַגּוֹיִם׃
そして–拒んだ 父は 言った 知っている 知っている わが–子よ 知っている 彼も–また なる 大きくなる しかし 彼の–弟は 年少の より–大きくなる 彼よりも そして–彼の–子孫は なる 満ちる もろもろの–国に
H3985 H0001 H0559 H3045 H3045 H1060 H1571 H1931 H1961 H1431 H0199 H0251 H6810 H1431 H1571 H1931 H1961 H2233 H4393

父は拒んで言った、「わかっている。子よ、わたしにはわかっている。彼もまた一つの民となり、また大いなる者となるであろう。しかし弟は彼よりも大いなる者となり、その子孫は多くの国民となるであろう」。

20 וַיְבָרְכֵם בַּיּוֹם הַהוּא לֵאמֹר בְּךָ יְבָרֵךְ יִשְׂרָאֵל לֵאמֹר
そして–祝福した その–日に その 言って あなたに–よって 祝福する イスラエルは 言って
H1288 H3117 H1931 H0559 H1288 H3478 H0559

וַיָּשֶׂם אֶת־אֶפְרַיִם כִּמְנַשֶּׁה וְכִמְנַשֶּׁה׃
そして–置いた エフライムを 神が マナセの–ように そして–マナセの–ように
H4519 H0669 H0430 H4519

לִפְנֵי מְנַשֶּׁה׃
前に マナセの
H6440 H4519

こうして彼はこの日、彼らを祝福して言った、「あなたを指して、イスラエルは、人を祝福して言うであろう、『神があなたをエフライムのごとく、またマナセのごとくにせられるように』」。このように、彼はエフライムをマナセの先に立てた。

21

וַיֹּאמֶר יִשְׂרָאֵל אֶל־יוֹסֵף הִנֵּה אָנֹכִי מֵת וְהָיָה אֱלֹהִים
そして-言った イスラエルは （〜に） ヨセフに 見よ 私は 死ぬ そして-おられる 神は
H0559 H3478 H0413 H3130 H2009 H0595 H4191 H1961 H0430

עִמָּכֶם וְהֵשִׁיב אֶתְכֶם אֶל־אֶרֶץ אֲבֹתֵיכֶם׃
あなたがたと-共に そして-帰らせてくださる あなたがたを 地に （〜へ） あなたがたの-先祖たちの
H0854 H7725 H0853 H0776 H0413 H0001

イスラエルはまたヨセフに言った、「わたしはやがて死にます。しかし、神はあなたがたと共におられて、あなたがたを先祖の国に導き返されるであろう。

22

וַאֲנִי נָתַתִּי לְךָ שְׁכֶם אַחַד עַל־אַחֶיךָ אֲשֶׁר
そして-私は 与えた あなたに シェケムを 一つ （〜の上に） あなたの-兄弟たちより （〜を）
H0589 H5414 H7926 H0259 H0251

לָקַחְתִּי מִיַּד הָאֱמֹרִי בְּחַרְבִּי וּבְקַשְׁתִּי׃ פ
私が-取った （〜の）手から アモリ人の 私の-剣と 私の-弓で （段落記号）
H3947 H3027 H0567 H2719 H7198

なおわたしは一つの分を兄弟よりも多くあなたに与える。これはわたしがつるぎと弓とを持ってアモリびとの手から取ったものである」。

Chapter 49

1

וַיִּקְרָא יַעֲקֹב אֶל־בָּנָיו וַיֹּאמֶר הֵאָסְפוּ וַאֲגִידָה לָכֶם
そして-呼んだ ヤコブは （〜へ） 息子たちを そして-言った 集まりなさい そして-私は-告げよう あなたがたに
H7121 H3290 H0413 H1121 H0559 H0622 H5046 H0853

אֲשֶׁר־יִקְרָא אֶתְכֶם בְּאַחֲרִית הַיָּמִים׃
起こることを （〜を） （直接目的語） あなたがたに （〜の）終わりに 日々の
H7122 H0834 H0853 H0319 H3117

ヤコブはその子らを呼んで言った、「集まりなさい。後の日に、あなたがたの上に起ることを、告げましょう、

2

הִקָּבְצוּ וְשִׁמְעוּ בְּנֵי יַעֲקֹב וְשִׁמְעוּ אֶל־יִשְׂרָאֵל אֲבִיכֶם׃
集まりなさい そして-聞きなさい 息子たちよ ヤコブの そして-聞きなさい （〜に） イスラエルに あなたがたの-父に
H6908 H8085 H1121 H3290 H8085 H0413 H3478 H0001

ヤコブの子らよ、集まって聞け。父イスラエルのことばを聞け。

3

רְאוּבֵן בְּכֹרִי אַתָּה כֹּחִי וְרֵאשִׁית אוֹנִי יֶתֶר שְׂאֵת וְיֶתֶר עָז׃
ルベンよ 私の-長子よ あなたは 私の-力であり そして-初めの 私の-精力の 優れた 威厳において 優れた 力において
H7205 H1060 H0859 H3581 H7225 H0202 H3499 H7613 H3499 H5794

ルベンよ、あなたはわが長子、わが勢い、わが力のはじめ、威光のすぐれた者、権力のすぐれた者。

4

פָּחַז כַּמַּיִם אַל־תּוֹתַר כִּי עָלִיתָ מִשְׁכְּבֵי אָבִיךָ אָז חִלַּלְתָּ יְצוּעִי עָלָה׃ פ
不安定な 水の-ように （否定） 優れることはない なぜなら あなたは-上った 父の-寝床に その-時 汚した 私の-寝床を 上った （段落記号）
H6349 H4325 H0408 H3498 H0310 H5927 H4904 H0001 H0227 H2490 H5927

4

しかし、沸き立つ水のようだから、もはや、すぐれた者ではあり得ない。あなたは父の床に上って汚した。ああ、あなたはわが寝床に上った。

5

שִׁמְעוֹן	וְלֵוִי	אַחִים	כְּלֵי	חָמָס	מְכֵרֹתֵיהֶם׃
シメオンと	レビは	兄弟である	（〜の）器は	暴力の	彼らの–剣である
H8095	H3878	H0251	H3627	H2555	H4380

シメオンとレビとは兄弟。彼らのつるぎは暴虐の武器。

6

בְּסֹדָם	אַל־	תָּבֹא	נַפְשִׁי	בְּקָהָלָם	אַל־	תֵּחַד	כְּבֹדִי
彼らの–密議に	（否定）	入るな	私の–魂よ	彼らの–集会に	（否定）	加わるな	私の–名誉よ
H5475	H0408	H0935	H5315	H6951	H0408	H3161	H3519

כִּי	בְאַפָּם	הָרְגוּ	אִישׁ	וּבִרְצֹנָם	עִקְּרוּ־	שׁוֹר׃
なぜなら	彼らの–怒りで	殺した	人を	そして–彼らの–欲望で	傷つけた	牛を
	H0639	H2026	H0376	H7522		H7794

わが魂よ、彼らの会議に臨むな。わが栄えよ、彼らのつどいに連なるな。彼らは怒りに任せて人を殺し、ほしいままに雄牛の足の筋を切った。

7

אָרוּר	אַפָּם	כִּי	עָז	וְעֶבְרָתָם	כִּי	קָשָׁתָה
呪われよ	彼らの–怒りは	なぜなら	激しい	そして–彼らの–憤りは	なぜなら	残忍である
H0779	H0639		H5794	H5678		H7185

אֲחַלְּקֵם	בְּיַעֲקֹב	וַאֲפִיצֵם	בְּיִשְׂרָאֵל׃	ס
私は–分けよう	ヤコブの–中で	そして–私は–散らそう	イスラエルの–中で	（区切り記号）
	H3290		H3478	

彼らの怒りは、激しいゆえにのろわれ、彼らの憤りは、はなはだしいゆえにのろわれる。わたしは彼らをヤコブのうちに分け、イスラエルのうちに散らそう。

8

יְהוּדָה	אַתָּה	יוֹדוּךָ	אַחֶיךָ	יָדְךָ	בְּעֹרֶף	אֹיְבֶיךָ	יִשְׁתַּחֲוּוּ
ユダよ	あなたを	讃える	あなたの–兄弟たちは	あなたの–手は	（〜の）首に	敵の	ひれ伏す
H3063		H3034	H0251	H3027	H6203	H0341	H7812

לְךָ	בְּנֵי	אָבִיךָ׃	
あなたに	息子たちは	あなたの–父の	
		H0001	

ユダよ、兄弟たちはあなたをほめる。あなたの手は敵のくびを押え、父の子らはあなたの前に身をかがめるであろう。

9

גּוּר	אַרְיֵה	יְהוּדָה	מִטֶּרֶף	בְּנִי	עָלִיתָ	כָּרַע	רָבַץ	כְּאַרְיֵה
若い–獅子よ	獅子よ	ユダよ	獲物から	わが–子よ	上った	かがみ	伏した	獅子の–ように
H1482		H3063	H2964		H5927	H3766	H7257	

וּכְלָבִיא	מִי	יְקִימֶנּוּ׃
そして–雌獅子の–ように	誰が	彼を–起こすか
	H4310	

ユダは、ししの子。わが子よ、あなたは獲物をもって上って来る。彼は雄じしのようにうずくまり、雌じしのように身を伏せる。だれがこれを起すことができよう。

10

לֹא־	שֵׁבֶט	מִיהוּדָה	וּמְחֹקֵק	מִבֵּין	רַגְלָיו		
（否定）	王笏は	ユダから	そして–統治者の–杖は	（〜の）間から	彼の–足の		
H3808	H7626	H3063	H2710	H0996	H7272		

עַד	כִּי־	יָבֹא	שילה[שִׁילֹה]	(שִׁילוֹ)	וְלוֹ	יִקְהַת	עַמִּים׃
（〜まで）	（〜の）時	来る	シロ	シロに	そして–彼に	従う	もろもろの–民が
H5704		H0935	H7886	H7886		H3349	

つえはユダを離れず、立法者のつえはその足の間を離れることなく、シロの来る時までに及ぶであろう。もろもろの民は彼に従う。

11 אֹסְרִי לַגֶּפֶן (עירה) עִירֹה וְלַשֹּׂרֵקָה בְּנִי אֲתֹנוֹ
繋ぐ ぶどうの-木に 彼の-ろばを 彼の-ろばを そして-良い-ぶどうの-木に 息子の 彼の-ろばを
H0631 H1612 H5895 H5895 H0860

כִּבֶּס בַּיַּיִן לְבֻשׁוֹ וּבְדַם־ עֲנָבִים (סותה) סוּתֹה (סותו): ס
洗う ぶどう酒で 彼の-衣服を そして-（〜の）血で ぶどうの 彼の-外衣を 彼の-外衣を （区切り記号）
H3526 H3196 H3830 H1818 H6025 H5497 H5497

彼はそのろばの子をぶどうの木につなぎ、その雌ろばの子を良きぶどうの木につなぐ。彼はその衣服をぶどう酒で洗い、その着物をぶどうの汁で洗うであろう。

12 חַכְלִילִי עֵינַיִם מִיָּיִן וּלְבֶן־ שִׁנַּיִם מֵחָלָב: פ
輝く 目は ぶどう酒よりも そして-白い 歯は 乳よりも （段落記号）
H2447 H5869 H3196 H3836 H8127 H2461

その目はぶどう酒によって赤く、その歯は乳によって白い。

13 זְבוּלֻן לְחוֹף יַמִּים יִשְׁכֹּן וְהוּא לְחוֹף אֳנִיֹּות וְיַרְכָתוֹ
ゼブルンは （〜の）岸に 海の 住む そして-彼は （〜の）岸に 船の そして-彼の-側面は
H2074 H2348 H3220 H7931 H1931 H2348 H0591 H3411

עַל־ צִידֹן: ס
（〜の方に） シドンの （区切り記号）
H6721

ゼブルンは海べに住み、舟の泊まる港となって、その境はシドンに及ぶであろう。

14 יִשָּׂשכָר חֲמֹר גָּרֶם רֹבֵץ בֵּין הַמִּשְׁפְּתָיִם:
イッサカルは 骨太い-ろばである 強い 伏す （〜の）間に 翊の
H3485 H2543 H1634 H7257 H0996 H4942

イッサカルはたくましいろば、彼は羊のおりの間に伏している。

15 וַיַּרְא מְנֻחָה כִּי טוֹב וְאֶת־ הָאָרֶץ כִּי נָעֳמָה וַיֵּט
そして-見た 憩いの-場所が なぜなら 良いと そして 地が なぜなら 快いと そして-傾けた
H7200 H4496 H3588 H2896 H0853 H0776 H3588 H5276 H5186

שִׁכְמוֹ לְסָבֹל וַיְהִי לְמַס־ עֹבֵד: ס
彼の-肩を 運ぶために そして-なった 強制-労働の 働く-者に （区切り記号）
H7926 H5445 H1961 H4522 H5647

彼は定住の地を見て良しとし、その国を見て楽しとした。彼はその肩を下げてにない、奴隷となって追い使われる。

16 דָּן יָדִין עַמּוֹ כְּאַחַד שִׁבְטֵי יִשְׂרָאֵל:
ダンは 裁く 彼の-民を 一つの-ように 部族の イスラエルの
H1835 H1777 H5971 H0259 H7626 H3478

ダンはおのれの民をさばくであろう、イスラエルのほかの部族のように。

17 יְהִי־ דָן נָחָשׁ עֲלֵי־ דָּרֶךְ שְׁפִיפֹן עֲלֵי־ אֹרַח הַנֹּשֵׁךְ עִקְּבֵי־
なる ダンは 蛇に （〜の）上の 道の 毒蛇に （〜の）上の 小道の 噛む （〜の）かかとを
H1961 H1835 H5175 H5921 H1870 H8207 H5921 H0734 H5383 H6119

סוּס רֹכְבוֹ יִפֹּל אָחוֹר:
馬の 乗り手は そして-落ちる 後ろに
H5483 H7392 H5307 H0268

ダンは道のかたわらのへび、道のほとりのまむし。馬のかかとをかんで、乗る者をうしろに落すであろう。

18 לִֽישׁוּעָתְךָ֖ קִוִּ֥יתִי יְהוָֽה׃
あなたの-救いを 待ち望んだ 主よ
H3444 H6960 H3068

主よ、わたしはあなたの救を待ち望む。

19 גָּ֚ד גְּדוּד֙ יְגוּדֶ֔נּוּ וְה֥וּא יָגֻ֖ד עָקֵֽב׃ ס
ガドは 略奪者に 襲われる しかし-彼は 襲う かかとを （区切り記号）
H1410 H1416 H1464 H1931 H1464 H6119

ガドには略奪者が迫る。しかし彼はかえって敵のかかとに迫るであろう。

20 מֵאָשֵׁר֙ שְׁמַנָּ֣ה לַחְמ֔וֹ וְה֥וּא יִתֵּ֖ן מַֽעֲדַנֵּי־ מֶֽלֶךְ׃ ס
アシェルは 豊かである 彼の-食物は そして-彼は 与える 王の-美味を （区切り記号）
H0836 H8082 H3899 H1931 H5414 H4574 H4428

アセルはその食物がゆたかで、王の美味をいだすであろう。

21 נַפְתָּלִ֖י אַיָּלָ֣ה שְלֻחָ֑ה הַנֹּתֵ֖ן אִמְרֵי־ שָֽׁפֶר׃ ס
ナフタリは 雌鹿である 放たれた 与える 美しい-言葉を 美しい （区切り記号）
H5321 H0355 H7971 H5414 H0561 H8233

ナフタリは放たれた雌じか、彼は美しい子じかを生むであろう。

22 בֵּ֣ן פֹּרָ֔ת יוֹסֵ֖ף בֵּ֣ן פֹּרָ֑ת עֲלֵי־ עָ֔יִן בָּנ֖וֹת צָעֲדָ֥ה עָלֵי־ שֽׁוּר׃
若木である 実り豊かな ヨセフは 若木である 実り豊かな （～の）そばの 泉の 娘たちは 歩いた （～の）上を 垣の
H1121 H6509 H3130 H1121 H6509 H5921 H5869 H1323 H6805 H5921 H7791

ヨセフは実を結ぶ若木、泉のほとりの実を結ぶ若木。その枝は、かきねを越えるであろう。

23 וַיְמָרְרֻ֖הוּ וְרָב֑וּ וַיִּשְׂטְמֻ֖הוּ בַּעֲלֵ֥י חִצִּֽים׃
そして-苦しめた そして-射た そして-恨んだ 弓の-持ち主たちは 矢の
H4843 H7232 H8130 H1167 H2671

射る者は彼を激しく攻め、彼を射、彼をいたく悩ました。

24 וַתֵּ֤שֶׁב בְּאֵיתָן֙ קַשְׁתּ֔וֹ וַיָּפֻ֖זוּ זְרֹעֵ֣י יָדָ֑יו מִיְּדֵ֣י אֲבִ֣יר יַעֲקֹ֔ב מִשָּׁ֥ם רֹעֶ֖ה אֶ֥בֶן יִשְׂרָאֵֽל׃
しかし-とどまった 堅く 彼の-弓は そして-しなやかになった 彼の-腕の 手は （～の）手によって 全能の ヤコブの そこから 牧者である 岩である イスラエルの
H3427 H0386 H7198 H6339 H2220 H3027 H4480 H0046 H3290 H8033 H7462 H0068 H3478

しかし彼の弓はなお強く、彼の腕は素早い。これはヤコブの全能者の手により、イスラエルの岩なる牧者の名により、

25

שַׁדַּי	וְאֵת	וַיַּעְזֶרְךָּ	אָבִיךָ	מֵאֵל	
全能者と–共に	そして	そして–助けてくださる	あなたの–父の	（〜の）神から	
H7706	H0854	H5826	H0001	H0410	

שָׁדַיִם	בִּרְכֹת	תָּחַת	רֹבֶצֶת	תְּהוֹם	בִּרְכֹת	מֵעָל	שָׁמַיִם	בִּרְכֹת	וַיְבָרֶכְךָ
乳房の	祝福で	下の	横たわる	深淵の	祝福で	上からの	天の	祝福で	そして–祝福してくださる
H1293	H8478	H7257	H8415	H1293		H8064	H1293	H1288	

וָרָחַם׃
そして–胎の

あなたを助ける父の神により、また上なる天の祝福、下に横たわる淵の祝福、乳ぶさと胎の祝福をもって、あなたを恵まれる全能者による。

26

תַּאֲוֹת	עַד־	הוֹרַי	בִּרְכֹת	עַל־	גָּבְרוּ	אָבִיךָ	בִּרְכֹת	
幻の–願いの	（〜まで）	私の–先祖たちの	祝福を	（〜の）上に	勝った	あなたの–父の	祝福は	
H8379	H5704	H2029	H1293		H1396	H0001	H1293	

נְזִיר	וּלְקָדְקֹד	יוֹסֵף	לְרֹאשׁ	תִּהְיֶיךָ	עוֹלָם	גִּבְעֹת
聖別された–者の	そして–頂の–上に	ヨセフの	（〜の）頭の–上に	あるように	永遠の	丘の
H5139	H6936	H3130		H1961	H5769	H1389

פ		אֶחָיו׃
（段落記号）		兄弟たちの–中の
		H0251

あなたの父の祝福は永遠の山の祝福にまさり、永久の丘の賜物にまさる。これらの祝福はヨセフのかしらに帰し、その兄弟たちの君たる者の頭の頂に帰する。

27

שָׁלָל׃	יְחַלֵּק	וְלָעֶרֶב	עַד	יֹאכַל	בַּבֹּקֶר	יִטְרָף	זְאֵב	בִּנְיָמִין
戦利品を	分ける	そして–夕べには	獲物を	食べる	朝には	引き裂く	狼である	ベニヤミンは
H7998		H6153	H5706	H0398	H1242	H2963	H2061	H1144

ベニヤミンはかき裂くおおかみ、朝にその獲物を食らい、夕にその分捕物を分けるであろう」。

28

דִּבֶּר	אֲשֶׁר־	וְזֹאת	עָשָׂר	שְׁנֵים	יִשְׂרָאֵל	שִׁבְטֵי	אֱלֶּה	כָּל־	
語った	（〜を）	そして–これは	十二	十二の	イスラエルの	部族である	これらは	すべての	
H1696		H2063	H6240	H8147	H3478	H7626	H0428	H3605	

בֵּרַךְ	כִּבְרָכָתוֹ	אֲשֶׁר	אִישׁ	אוֹתָם	וַיְבָרֶךְ	אֲבִיהֶם	לָהֶם
祝福した	彼の–祝福に–応じて	（〜を）	各人	彼らを	そして–祝福した	彼らの–父は	彼らに
H1288	H1293		H0376	H0853	H1288	H0001	

אֹתָם׃
彼らを
H0853

すべてこれらはイスラエルの十二の部族である。そしてこれは彼らの父が彼らに語り、彼らを祝福したもので、彼は祝福すべきところに従って、彼らおのおのを祝福した。

29

קִבְרוּ	עַמִּי	אֶל־	נֶאֱסָף	אֲנִי	אֲלֵהֶם	וַיֹּאמֶר	אוֹתָם	וַיְצַו
葬りなさい	私の–民に	（〜へ）	集められる	私は	彼らに	そして–言った	彼らに	そして–命じた
H6912		H0413	H0622	H0589	H0413	H0559	H0853	H6680

עֶפְרֹן	בִּשְׂדֵה	אֲשֶׁר	הַמִּעָרָה	אֶל־	אֲבֹתָי	אֶל־	אֹתִי
エフロンの	野に–ある	（〜の）	洞窟に	（〜へ）	私の–先祖たちの–もとに	（〜へ）	私を
H6085			H4631	H0413	H0001	H0413	H0853

הַחִתִּי׃
ヒッタイト人の
H2850

彼はまた彼らに命じて言った、「わたしはわが民に加えられようとしている。あなたがたはヘテびとエフロンの畑にあるほら穴に、わたしの先祖たちと共にわたしを葬ってください。

30

בַּמְּעָרָה	אֲשֶׁר	בִּשְׂדֵה	הַמַּכְפֵּלָה	אֲשֶׁר	עַל־	פְּנֵי־	מַמְרֵא
洞窟に–ある	（〜の）	野に–ある	マクペラの	（〜の）	（〜の）前に	（〜の）前に	マムレの
H4631			H4375			H6440	H4471

בְּאֶרֶץ	כְּנַעַן	אֲשֶׁר	קָנָה	אַבְרָהָם	אֶת־	הַשָּׂדֶה	מֵאֵת
（〜の）地に	カナンの	（〜を）	買った	アブラハムが	（直接目的語）	野を	（〜から）
H0776			H7069	H0085	H0853		H0854

עֶפְרֹן	הַחִתִּי	לַאֲחֻזַּת־	קָבֶר׃
エフロンから	ヒッタイト人の	埋葬地の–所有として	墓の
H6085	H2850	H0272	H6913

そのほら穴はカナンの地のマムレの東にあるマクペラの畑にあり、アブラハムがヘテびとエフロンから畑と共に買い取り、所有の墓地としたもので、

31

שָׁמָּה	קֻבְּרוּ	אִשְׁתּוֹ	שָׂרָה	וְאֶת	אַבְרָהָם	אֶת־	קֻבְּרוּ	שָׁמָּה
そこに	葬られた	彼の–妻と	サラ	そして	アブラハムと	（直接目的語）	葬られた	そこに
H8033	H6912	H0802	H8283	H0853	H0085	H0853	H6912	H8033

אֶת־	קָבַרְתִּי	וְשָׁמָּה	אִשְׁתּוֹ	רִבְקָה	וְאֶת	יִצְחָק	אֶת־	
（直接目的語）	私は–葬った	そして–そこに	彼の–妻と	リベカ	そして	イサクと	（直接目的語）	
H0853	H6912	H8033	H0802	H7259	H0853	H3327	H0853	

לֵאָה׃
レアを
H3812

そこにアブラハムと妻サラとが葬られ、イサクと妻リベカもそこに葬られたが、わたしはまたそこにレアを葬った。

32

חֵת׃	בְּנֵי־	מֵאֵת	בּוֹ	אֲשֶׁר־	וְהַמְּעָרָה	הַשָּׂדֶה	מִקְנָה	
ヘトの	息子たちから	（〜から）	そこに–ある	（〜の）	そして–洞窟を	野と	購入した	
H2845		H0854			H4631		H4735	

あの畑とその中にあるほら穴とはヘテの人々から買ったものです」。

33

רַגְלָיו	וַיֶּאֱסֹף	בָּנָיו	אֶת־	לְצַוֹּת	יַעֲקֹב	וַיְכַל		
足を	そして–引き上げた	息子たちに	（直接目的語）	命じることを	ヤコブは	そして–終えた		
H7272	H0622		H0853	H6680	H3290	H3615		

עַמָּיו׃	אֶל־	וַיֶּאֱסֹף	וַיִּגְוַע	הַמִּטָּה	אֶל־		
彼の–民の–もとに	（〜へ）	そして–集められた	そして–息絶えた	寝床の	（〜の上に）		
	H0413	H0622	H1478	H4296	H0413		

こうしてヤコブは子らに命じ終って、足を床におさめ、息絶えて、その民に加えられた。

Chapter 50

1

וַיִּשַּׁק־	עָלָיו	וַיֵּבְךְּ	אָבִיו	פְּנֵי	עַל־	יוֹסֵף	וַיִּפֹּל	
そして–口づけした	彼の–上で	そして–泣いた	父の	顔の	〜の–上に	ヨセフは	そして–伏した	
		H1058	H0001	H6440		H3130	H5307	

לוֹ׃
彼に

ヨセフは父の顔に伏して泣き、口づけした。

2

אָבִיו	אֶת־	לַחֲנֹט	הָרֹפְאִים	אֶת־	עֲבָדָיו	אֶת־	יוֹסֵף	וַיְצַו
父を	～を	防腐処理–するよう	医者たちに	すなわち	僕たちに	～を	ヨセフは	そして–命じた
H0001	H0853		H7495	H0853	H5650	H0853	H3130	H6680

יִשְׂרָאֵל׃	אֶת־	הָרֹפְאִים	וַיַּחַנְטוּ
イスラエルを	～を	医者たちは	そして–防腐処理した
H3478	H0853	H7495	

そしてヨセフは彼のしもべである医者たちに、父に薬を塗ることを命じたので、医者たちはイスラエルに薬を塗った。

3

הַחֲנֻטִים	יְמֵי	וַיִּמְלְאוּ־	כֵן	כִּי	יוֹם	אַרְבָּעִים	לוֹ	וַיִּמְלְאוּ־
防腐処理の	日々が	満ちる	そのように	なぜなら	日が	四十	彼に	そして–満ちた
	H3117	H4390			H3117	H0705		H4390

יוֹם׃	שִׁבְעִים	מִצְרַיִם	אֹתוֹ	וַיִּבְכּוּ
日間	七十	エジプトは	彼を	そして–泣いた
H3117	H7657	H4713	H0853	H1058

このために四十日を費した。薬を塗るにはこれほどの日数を要するのである。エジプトびとは七十日の間、彼のために泣いた。

4

אִם־	לֵאמֹר	פַּרְעֹה	בֵּית	אֶל־	יוֹסֵף	וַיְדַבֵּר	בְּכִיתוֹ	יְמֵי	וַיַּעַבְרוּ
もし	言って	パロの	家の	～に	ヨセフは	そして–語った	嘆きの	日々が	そして–過ぎた
	H0559	H6547		H0413	H3130	H1696	H1068	H3117	

לֵאמֹר׃	פַּרְעֹה	בְּאָזְנֵי	נָּא	דַּבְּרוּ־	בְּעֵינֵיכֶם	חֵן	מָצָאתִי	נָא
言って	パロの	耳に	どうか	語ってください	あなたがたの–目に	恵みを	見出したなら	どうか
H0559	H6547	H0241	H4994	H1696		H2580	H4672	H4994

彼のために泣く日が過ぎて、ヨセフはパロの家の者に言った、「今もしわたしがあなたがたの前に恵みを得るなら、どうかパロに伝えてください。

5

בְּאַרְצִי	לִי	כָּרִיתִי	אֲשֶׁר	בְּקִבְרִי	מֵת	אָנֹכִי	הִנֵּה	לֵאמֹר	הִשְׁבִּיעַנִי	אָבִי
地に	私のために	掘った	そこは	墓に	死ぬ	私は	見よ	言って	誓わせた	父が
H0776				H6913	H4191	H0595	H2009	H0559	H7650	H0001

אֶת־	וְאֶקְבְּרָה	נָּא	אֶעֱלֶה־	וְעַתָּה	תִּקְבְּרֵנִי	שָׁמָּה	כְּנַעַן
～を	そして–葬らせてください	どうか	上らせて–ください	そして–今	葬ってくれ	そこに	カナンの
H0853	H6912	H4994	H5927	H6258	H6912	H8033	

וְאָשׁוּבָה׃	אָבִי
そして–帰ります	父を
H7725	H0001

『わたしの父はわたしに誓わせて言いました「わたしはやがて死にます。カナンの地に、わたしが掘って置いた墓に葬ってください」。それで、どうかわたしを上って行かせ、父を葬らせてください。そうすれば、わたしはまた帰ってきます』」。

6

כַּאֲשֶׁר	אָבִיךָ	אֶת־	וּקְבֹר	עֲלֵה	פַּרְעֹה	וַיֹּאמֶר
～の–通りに	あなたの–父を	～を	そして–葬りなさい	上って行き	パロは	そして–言った
	H0001	H0853	H6912	H5927	H6547	H0559

הִשְׁבִּיעֶךָ׃
誓わせた
H7650

パロは言った、「あなたの父があなたに誓わせたように上って行って彼を葬りなさい」。

7

עַבְדֵי	כָּל־	אִתּוֹ	וַיַּעֲלוּ	אֲבִיו	אֶת־	לִקְבֹּר	יוֹסֵף	וַיַּעַל
僕たち	すべての	彼と–共に	そして–上った	父を	～を	葬る–ために	ヨセフは	そして–上った
H5650	H3605	H0854	H5927	H0001	H0853	H6912	H3130	H5927

מִצְרָיִם׃	אֶרֶץ־	זִקְנֵי	וְכֹל	בֵּיתוֹ	זִקְנֵי	פַּרְעֹה
エジプトの	地の	長老たち	そして–すべての	家の	長老たち	パロの
H4714	H0776	H2205	H3605		H2205	H6547

そこでヨセフは父を葬るために上って行った。彼と共に上った者はパロのもろもろの家来たち、パロの家の長老たち、エジプトの国のもろもろの長老たち、

8

טַפָּם	רַק	אֲבִיו	וּבֵית	וְאֶחָיו	יוֹסֵף	בֵּית	וְכֹל
幼子たちと	ただ	父の	そして–家の	そして–兄弟たちと	ヨセフの	家の	そして–すべての
H2945	H7535	H0001		H0251	H3130		H3605

גֹּשֶׁן׃	בְּאֶרֶץ	עָזְבוּ	וּבְקָרָם	וְצֹאנָם
ゴシェンの	地に	残した	そして–牛は	そして–羊と
H1657	H0776		H1241	H6629

ヨセフの全家とその兄弟たち及びその父の家族であった。ただ子供と羊と牛はゴセンの地に残した。

9

הַמַּחֲנֶה	וַיְהִי	פָּרָשִׁים	גַּם־	רֶכֶב	גַּם־	עִמּוֹ	וַיַּעַל
隊列は	そして–なった	騎兵も	また	戦車も	また	彼と–共に	そして–上った
H4264	H1961		H1571	H7393	H1571		H5927

מְאֹד׃	כָּבֵד
甚だ	非常に–大きかった
H3966	H3515

また戦車と騎兵も彼と共に上ったので、その行列はたいそう盛んであった。

10

וַיִּסְפְּדוּ־	הַיַּרְדֵּן	בְּעֵבֶר	אֲשֶׁר	הָאָטָד	גֹּרֶן	עַד־	וַיָּבֹאוּ
そして–嘆き–悲しんだ	ヨルダンの	向こう側の	それは	ハアタデに	ゴレン	～まで	そして–来た
H5594	H3383	H5676		H0329	H1637	H5704	H0935

יָמִים׃	שִׁבְעַת	אֵבֶל	לְאָבִיו	וַיַּעַשׂ	מְאֹד	וְכָבֵד	גָּדוֹל	מִסְפָּד	שָׁם
日間	七	喪を	父の–ために	そして–行った	甚だ	そして–重い	大きな	嘆きを	そこで
H3117	H7651	H0060	H0001		H3966	H3515		H4553	H8033

彼らはヨルダンの向こうのアタデの打ち場に行き着いて、そこで大いに嘆き、非常に悲しんだ。そしてヨセフは七日の間父のために嘆いた。

11

הָאָטָד	בְּגֹרֶן	הָאֵבֶל	אֶת־	הַכְּנַעֲנִי	הָאָרֶץ	יוֹשֵׁב	וַיַּרְא
ハアタデで	ゴレン	その–嘆きを	～を	カナン人は	その–地の	住民が	そして–見た
H0329	H1637	H0060	H0853		H0776	H3427	H7200

שְׁמָהּ	קָרָא	כֵּן	עַל־	לְמִצְרָיִם	זֶה	כָּבֵד	אֵבֶל־	וַיֹּאמְרוּ
その–名を	名づけた	こそ	その–ゆえに	エジプトの–ものだ	これは	重い	嘆きが	そして–言った
H8034	H7121			H4713	H2088	H3515	H0060	H0559

הַיַּרְדֵּן׃	בְּעֵבֶר	אֲשֶׁר	אָבֵל מִצְרַיִם	
ヨルダンの	向こう側の	それは	アベル・ミツライムと	
H3383	H5676		H0067	

その地の住民、カナンびとがアタデの打ち場の嘆きを見て、「これはエジプトびとの大いなる嘆きだ」と言ったので、その所の名はアベル・ミツライムと呼ばれた。これはヨルダンの向こうにある。

12

צִוָּם׃	כַּאֲשֶׁר	כֵּן	לוֹ	בָּנָיו	וַיַּעֲשׂוּ
命じた	～の–通りに	そのように	彼の–ために	息子たちは	そして–行った
H6680					

ヤコブの子らは命じられたようにヤコブにおこなった。

13 וַיִּשְׂאוּ֩ בָנָ֨יו אֹת֜וֹ אַ֣רְצָה כְנַ֗עַן וַיִּקְבְּרוּ֙ אֹת֔וֹ בִּמְעָרַ֖ת שְׂדֵ֣ה
そして-運んだ 彼を 息子たちは 地へ カナンの そして-葬った 彼を 洞穴に 畑の
H5375 H0853 H1121 H0776 H3667 H6912 H0853 H4631 H7704

מֵאֵ֥ת בֶּֽן־חֶ֖תִּי לַאֲחֻזַּ֣ת קֶ֑בֶר הַשָּׂדֶ֔ה אֶת־ אַבְרָהָ֗ם קָנָה֙ אֲשֶׁ֣ר
～から 墓の 所有地-として その-畑を ～を アブラハムが 買った そこは
H0854 H6913 H0272 H7704 H0853 H0085 H7069 H0834 H4375

:מַמְרֵֽא׃ פְּנֵי֙ עַל־ הַחִתִּ֔י עֶפְרֹ֖ן
マムレに 面する ～の-前の ヒッタイト人の エフロンの
H4471 H6440 H5921 H2850 H6085

すなわちその子らは彼をカナンの地へ運んで行って、マクペラの畑のほら穴に葬った。このほら穴はマムレの東にあって、アブラハムがヘテびとエフロンから畑と共に買って、所有の墓地としたものである。

14 וַיָּ֣שָׁב יוֹסֵ֗ף מִצְרַ֙יְמָה֙ הֽוּא֙ וְאֶחָ֔יו וְכָל־ הָעֹלִ֥ים
そして-帰った ヨセフは エジプトへ 彼と そして-兄弟たちと そして-すべての 上った-者たちは
H7725 H3130 H4714 H1931 H0251 H3605 H5927

:אָבִֽיו׃ אֶת־ קָבְרוֹ֖ אַחֲרֵ֥י אָבִ֛יו אֶת־ לְקָבֵּ֣ר אִתּ֑וֹ
父を ～を 葬った ～の-後に 父を ～を 葬る-ために 彼と-共に
H0001 H0853 H6912 H0310 H0001 H0853 H6912 H0854

ヨセフは父を葬った後、その兄弟たち及びすべて父を葬るために一緒に上った者と共にエジプトに帰った。

15 וַיִּרְא֣וּ אֲחֵי־ יוֹסֵף֮ כִּי־ מֵ֣ת אֲבִיהֶם֒ וַיֹּ֣אמְרוּ֔ לוּ֙
そして-見た 兄弟たちは ～ということを 死んだ 父が そして-言った もしや
H7200 H0251 H3588 H4191 H1 H0559 H3863

וְהָשֵׁ֣ב יָשִׁ֔יב וְגָמַלְנוּ֙ אֲשֶׁ֣ר הָרָעָ֔ה כָּל־ אֶת־ לָ֑נוּ
そして-返す 報いるだろう 私たちに ～を すべての 悪を それは 報いた
H7725 H7725 H3130 H7852 H1580 H0834 H7451 H3605 H0853 H0413

:אֹתֽוֹ׃
彼に
H0853

ヨセフの兄弟たちは父の死んだのを見て言った、「ヨセフはことによるとわれわれを憎んで、われわれが彼にしたすべての悪に、仕返しするに違いない」。

16 וַיְצַוּ֖וּ אֶל־ יוֹסֵ֥ף לֵאמֹֽר׃ לִפְנֵי֙ מוֹתֽוֹ׃ צִוָּ֣ה אָבִ֔יךָ
そして-命じた ～に ヨセフに 言って 死の ～の-前に 命じた あなたの-父は
H6680 H0413 H3130 H0559 H4194 H6440 H6680 H0001

17 כֹּֽה־ תֹאמְר֣וּ לְיוֹסֵ֗ף אָ֣נָּא֮ שָׂ֣א נָ֣א פֶּֽשַׁע֒ אַחֶ֣יךָ
このように 言いなさい ヨセフに どうか 赦してください どうか 背きを 兄弟たちの
H3541 H0559 H3130 H0577 H5375 H4994 H6588 H0251

וְעַתָּה֙ שָׂ֣א נָ֣א לְפֶֽשַׁע֙ עַבְדֵ֣י אֱלֹהֵ֣י וְחַטָּאתָ֔ם רָעָ֖ה גְּמָל֑וּךָ
そして-今 赦してください どうか 背きを 僕たちの 神の そして-罪を 悪を 行った
H6258 H5375 H4994 H6588 H5650 H0430 H2403 H7451 H1580

:אֵלָֽיו׃ בְּדַבְּרָ֖ם יוֹסֵ֥ף וַיֵּבְךְּ֛ אָבִֽיךָ׃
彼に 語った-とき ヨセフは そして-泣いた あなたの-父の
H0413 H1696 H3130 H1058 H0001

『おまえたちはヨセフに言いなさい、「あなたの兄弟たちはあなたに悪をおこなったが、どうかそのとがと罪をゆるしてやってください」』。今どうかあなたの父の神に仕えるしもべらのとがをゆるしてください」。ヨセフはこの言葉を聞いて泣いた。

18 וַיֵּלְכוּ֙ גַּם־ אֶחָ֣יו וַיִּפְּל֖וּ לְפָנָ֑יו וַיֹּֽאמְרוּ֙ הִנֶּ֣נּוּ
そして–行った また 兄弟たちも そして–伏した 彼の–前に そして–言った ここに–私たちは
H3212 H1571 H0251 H5307 H6440 H0559 H2009

לְךָ֖ לַֽעֲבָדִֽים׃
あなたの 奴隷です
H5650

やがて兄弟たちもきて、彼の前に伏して言った、「このとおり、わたしたちはあなたのしもべです」。

19 וַיֹּ֤אמֶר אֲלֵהֶם֙ יוֹסֵ֔ף אַל־ תִּירְאוּ֙ כִּ֣י הֲתַחַ֣ת אֱלֹהִ֔ים אָ֥נִי׃
そして–言った 彼らに ヨセフは ～するな 恐れるな なぜなら ～の–代わりに 神の 私がいるだろうか
H0559 H0413 H3130 H0408 H3372 H0589 H8478 H0430

ヨセフは彼らに言った、「恐れることはいりません。わたしが神に代ることができましょうか。

20 וְאַתֶּ֣ם חֲשַׁבְתֶּ֤ם עָלַי֙ רָעָ֔ה אֱלֹהִ֣ים חָשְׁבָ֔הּ לְטֹבָ֕ה לְמַ֗עַן
そして–あなたがたは 企てた 私に–対して 悪を 神は 企てた 善の–ために ～する–ために
H2803 H5921 H7451 H0430 H2803 H2896 H4616

עֲשֶׂ֣ה כַיּ֔וֹם לְהַחֲי֖ת עַם־ רָ֑ב׃
行う 今日の–ように 生かす–ために 民を 多くの
H6213 H3117 H2421 H5971 H7227

あなたがたはわたしに対して悪をたくらんだが、神はそれを良きに変らせて、今日のように多くの民の命を救おうと計らわれました。

21 וְעַתָּה֙ אַל־ תִּירְא֔וּ אָנֹכִ֕י אֲכַלְכֵּ֥ל אֶתְכֶ֖ם וְאֶת־ טַפְּכֶ֑ם וַיְנַחֵ֣ם
そして–今 ～するな 恐れるな 私が 養う あなたがたを そして 幼子たちを そして–慰めた
H6258 H0408 H3372 H0595 H3557 H0853 H0853 H2945 H5162

אוֹתָ֔ם וַיְדַבֵּ֖ר עַל־ לִבָּֽם׃
彼らを そして–語った ～に 心に
H0853 H1696 H5921 H3824

それゆえ恐れることはいりません。わたしはあなたがたとあなたがたの子供たちを養いましょう」。彼は彼らを慰めて、親切に語った。

22 וַיֵּ֤שֶׁב יוֹסֵף֙ בְּמִצְרַ֔יִם הוּא֙ וּבֵ֣ית אָבִ֔יו וַיְחִ֥י יוֹסֵ֖ף מֵאָ֣ה
そして–住んだ ヨセフは エジプトに 彼と そして–家の 父の そして–生きた ヨセフは 百
H3427 H3130 H4714 H1931 H1004 H0001 H2421 H3130 H3967

וָעֶ֥שֶׂר שָׁנִֽים׃
そして–十 年
H6235 H8141

このようにしてヨセフは父の家族と共にエジプトに住んだ。そしてヨセフは百十年生きながらえた。

23 וַיַּ֤רְא יוֹסֵף֙ לְאֶפְרַ֔יִם גַּ֖ם בְּנֵ֣י שִׁלֵּשִׁ֑ים בְּנֵ֥י מָכִ֖יר בֶּן־
そして–見た ヨセフは エフライムの 子たちの 三代目を また 子たちも マキルの 息子の
H7200 H3130 H0669 H1121 H8029 H1571 H1121 H4353 H1121

יוֹסֵ֔ף עַל־ בִּרְכֵּ֖י יֻלְּדֽוּ׃ מְנַשֶּֽׁה׃
ヨセフの 膝の ～の–上に 生まれた マナセの
H3130 H1290 H5921 H3205 H4519

ヨセフはエフライムの三代の子孫を見た。マナセの子マキルの子らも生れてヨセフのひざの上に置かれた。

24 וַיֹּ֣אמֶר יוֹסֵף֮ אֶל־אֶחָיו֒ אָנֹכִ֣י מֵת֔ וֵֽאלֹהִ֖ים פָּקֹ֣ד יִפְקֹ֑ד
そして–言った ヨセフは 〜に 兄弟たちに 私は 死ぬ しかし–神は 必ず 顧みる
H3130 H0413 H0251 H0595 H4191 H0430 H6485 H6485

וְהֶעֱלָ֛ה אֶתְכֶ֥ם מִן־הָאָ֥רֶץ הַזֹּ֖את אֶל־הָאָ֑רֶץ אֲשֶׁ֣ר
そして–上らせる あなたがたを 〜から この–地から 〜へ その–地へ それは
H5927 H0853 H0776 H2063 H0413 H0776 H0834

נִשְׁבַּ֣ע לְאַבְרָהָ֗ם לְיִצְחָק֙ וּלְיַעֲקֹ֔ב׃
誓った アブラハムに イサクに そして–ヤコブに
H7650 H0085 H3327 H3290

ヨセフは兄弟たちに言った、「わたしはやがて死にます。神は必ずあなたがたを顧みて、この国から連れ出し、アブラハム、イサク、ヤコブに誓われた地に導き上られるでしょう」。

25 וַיַּשְׁבַּ֣ע יוֹסֵף֮ אֶת־בְּנֵי֒ יִשְׂרָאֵל֙ לֵאמֹ֔ר פָּקֹ֥ד יִפְקֹ֛ד אֱלֹהִ֖ים
そして–誓わせた ヨセフは 〜を 子たちに イスラエルの 言って 必ず 顧みる 神は
H7650 H3130 H0853 H1121 H3478 H0559 H6485 H6485 H0430

אֶתְכֶ֑ם וְהַעֲלִתֶ֥ם אֶת־עַצְמֹתַ֖י מִזֶּֽה׃
あなたがたを そして–上らせなさい 〜を 私の–骨を ここから
H0853 H5927 H0853 H6106 H2088

さらにヨセフは、「神は必ずあなたがたを顧みられる。その時、あなたがたはわたしの骨をここから携え上りなさい」と言ってイスラエルの子らに誓わせた。

26 וַיָּ֥מָת יוֹסֵ֖ף בֶּן־מֵאָ֣ה שָׁנִ֑ים וַיְחַנְּטוּ֙ אֹת֔וֹ
そして–死んだ ヨセフは 〜の–子 百 歳で 彼を
H4191 H3130 H1121 H3967 H8141 そして–十 H6235 そして–防腐処理した H2590 H0853

וַיִּישַׂ֥ם בָּאָר֖וֹן בְּמִצְרָֽיִם׃
そして–納められた 棺に エジプトで
H3455 H0727 H4714

こうしてヨセフは百十歳で死んだ。彼らはこれに薬を塗り、棺に納めて、エジプトに置いた。

Exodus

Chapter 1

וְאֵ֖לֶּה שְׁמ֣וֹת בְּנֵ֣י יִשְׂרָאֵ֗ל הַבָּאִ֛ים מִצְרַ֥יְמָה אֵ֖ת יַעֲקֹ֑ב 1
–さてこれらは 名前である 息子たちの イスラエルの 来た者たちの エジプトへ (を) ヤコブ
H0428 H8034 H1121 H3478 H0935 H4714 H0854 H3290

אִ֥ישׁ וּבֵית֖וֹ בָּֽאוּ׃
各人 –とその家族が 来た
H0376 H0935

さて、ヤコブと共に、おのおのその家族を伴って、エジプトへ行ったイスラエルの子らの名は次のとおりである。

רְאוּבֵ֥ן שִׁמְע֖וֹן לֵוִ֣י וִיהוּדָֽה׃ 2
ルベン シメオン レビ –とユダ
H7205 H8095 H3878 H3063

すなわちルベン、シメオン、レビ、ユダ、

יִשָּׂשכָ֥ר זְבוּלֻ֖ן וּבִנְיָמִֽן׃ 3
イッサカル ゼブルン –とベニヤミン
H3485 H2074 H1144

イッサカル、ゼブルン、ベニヤミン、

דָּ֥ן וְנַפְתָּלִ֖י גָּ֣ד וְאָשֵֽׁר׃ 4
ダン –とナフタリ ガド –とアシェル
H1835 H5321 H1410 H0836

ダン、ナフタリ、ガド、アセルであった。

וַיְהִ֗י כָּל־נֶ֙פֶשׁ֙ יֹצְאֵ֣י יֶֽרֶךְ־יַעֲקֹ֔ב שִׁבְעִ֖ים נָ֑פֶשׁ 5
–そしてなった すべての– 者たちは 出た 腰から– ヤコブの 七十 人であった
H1961 H3605 H5315 H3318 H3409 H3290 H7657 H5315

וְיוֹסֵ֖ף הָיָ֥ה בְמִצְרָֽיִם׃
–そしてヨセフは いた エジプトに
H3130 H1961 H4714

ヤコブの腰から出たものは、合わせて七十人。ヨセフはすでにエジプトにいた。

וַיָּ֥מָת יוֹסֵ֖ף וְכָל־אֶחָ֑יו וְכָל־הַדּ֖וֹר הַהֽוּא׃ 6
–そして死んだ ヨセフ –そしてすべての– 兄弟たちも –そしてすべての その 世代の
H4191 H3130 H3605 H0251 H3605 H1755 H1931

そして、ヨセフは死に、兄弟たちも、その時代の人々もみな死んだ。

וּבְנֵי יִשְׂרָאֵל פָּרוּ וַיִּשְׁרְצוּ וַיִּרְבּוּ וַיַּעַצְמוּ
–そして息子たちは イスラエルの 増え広がり –そして群がり –そして増し加わり –そして強くなった
H3478 H6509 H8317 7

בִּמְאֹד מְאֹד וַתִּמָּלֵא הָאָרֶץ אֹתָם׃ פ
非常に 非常に –そして満ちた その地は 彼らで ¶
H3966 H3966 H4390 H0776 H0853

けれどもイスラエルの子孫は多くの子を生み、ますますふえ、はなはだ強くなって、国に満ちるようになった。

וַיָּקָם מֶלֶךְ־חָדָשׁ עַל־מִצְרָיִם אֲשֶׁר לֹא־יָדַע אֶת־יוֹסֵף׃
–そして起き上がった 新しい–王が –の上に エジプト 彼は –ない 知ら (を) ヨセフを
H4428 H2319 H4714 H3808 H3045 H0853 H3130 8

ここに、ヨセフのことを知らない新しい王が、エジプトに起った。

וַיֹּאמֶר אֶל־עַמּוֹ הִנֵּה עַם בְּנֵי יִשְׂרָאֵל רַב וְעָצוּם מִמֶּנּוּ׃
–そして言った –に その民 見よ 民は 息子たちの イスラエルの 多く –そして強い 我々よりも
H0559 H0413 H2009 H5971 H1121 H3478 H7227 H6099 9

彼はその民に言った、「見よ、イスラエルびとなるこの民は、われわれにとって、あまりにも多く、また強すぎる。

הָבָה נִתְחַכְּמָה לוֹ פֶּן־יִרְבֶּה וְהָיָה כִּי־תִקְרֶאנָה מִלְחָמָה
さあ 賢く対処しよう 彼に そうしないと– 増えて –そしてなり もし– 起こったなら 戦争が
H3051 H2449 H6435 H7235 H1961 H3588 H7122 H4421 10

וְנוֹסַף גַּם־הוּא עַל־שֹׂנְאֵינוּ וְנִלְחַם־בָּנוּ וְעָלָה מִן־הָאָרֶץ׃
–そして加わり また– 彼は –に 我々の敵 –そして戦い– 我々に –そして去って行く –から この地
H3254 H1571 H1931 H5921 H8130 H3898 H0776

さあ、われわれは、抜かりなく彼らを取り扱おう。彼らが多くなり、戦いの起るとき、敵に味方して、われわれと戦い、ついにこの国から逃げ去ることのないようにしよう」。

וַיָּשִׂימוּ עָלָיו שָׂרֵי מִסִּים לְמַעַן עַנֹּתוֹ בְּסִבְלֹתָם וַיִּבֶן עָרֵי
–そして置いた 彼の上に 長たちを 苦役の ために 苦しめる 彼らの重荷で –そして建てた 町々を
H7760 H5921 H8269 H4522 H4616 H6031 H5450 H1129 11

מִסְכְּנוֹת לְפַרְעֹה אֶת־פִּתֹם וְאֶת־רַעַמְסֵס׃
倉庫の ファラオのために (を) ピトムと –と(を) ラメセスを
H4543 H6547 H0853 H6619 H0853 H7486

そこでエジプトびとは彼らの上に監督をおき、重い労役をもって彼らを苦しめた。彼らはパロのために倉庫の町ピトムとラメセスを建てた。

וְכַאֲשֶׁר יְעַנּוּ אֹתוֹ כֵּן יִרְבֶּה וְכֵן יִפְרֹץ
–しかし苦しめれば 彼を そのように 増え –そしてそのように 広がった
H3588 H6031 H0853 H3651 H3966 H3651 12

וַיָּקֻצוּ מִפְּנֵי בְּנֵי יִשְׂרָאֵל׃
–そして嫌悪した –のゆえに 息子たちの イスラエルの
H6973 H6440 H1121 H3478

しかしイスラエルの人々が苦しめられるにしたがって、いよいよふえひろがるので、彼らはイスラエルの人々のゆえに恐れをなした。

13 וַיַּעֲבִדוּ מִצְרַיִם אֶת־בְּנֵי יִשְׂרָאֵל בְּפָרֶךְ׃
-そして働かせた エジプト人は (を) 息子たちを イスラエルの 過酷に
H5647 H4713 H0853 H1121 H3478 H6531

エジプトびとはイスラエルの人々をきびしく使い、

14 וַיְמָרְרוּ אֶת־חַיֵּיהֶם בַּעֲבֹדָה קָשָׁה בְּחֹמֶר וּבִלְבֵנִים וּבְכָל־עֲבֹדָה בַּשָּׂדֶה אֶת כָּל־עֲבֹדָתָם אֲשֶׁר־עָבְדוּ בָהֶם בְּפָרֶךְ׃
-そして苦くした (を) 彼らの生活を 労働で 漆喰で つらい -とれんがで -そしてあらゆる- 野の (を) すべての- それによって- 働かせた 彼らを 過酷に
H4843 H0853 H2416 H5656 H2563 H7186 H3843 H3605 H7704 H0853 H3605 H5656 H5647 H1931

つらい務をもってその生活を苦しめた。すなわち、しっくいこね、れんが作り、および田畑のあらゆる務に当らせたが、そのすべての労役はきびしかった。

15 וַיֹּאמֶר מֶלֶךְ מִצְרַיִם לַמְיַלְּדֹת הָעִבְרִיֹּת אֲשֶׁר שֵׁם הָאַחַת שִׁפְרָה וְשֵׁם הַשֵּׁנִית פּוּעָה׃
-そして言った 王は エジプトの 助産婦たちに ヘブライ人の その 名は 一人の シフラ -そして名は もう一人の プア
H0559 H4428 H4714 H3205 H5680 H0834 H8034 H0259 H8236 H8034 H8145 H6326

またエジプトの王は、ヘブルの女のために取上げをする助産婦でひとりは名をシフラといい、他のひとりは名をプアという者にさとして、

16 וַיֹּאמֶר בְּיַלֶּדְכֶן אֶת־הָעִבְרִיּוֹת וּרְאִיתֶן עַל־הָאָבְנָיִם אִם־הַבֵּן הוּא וַהֲמִתֶּן אֹתוֹ וְאִם־הַבַּת הִיא וָחָיָה׃
-そして言った 産ませるとき (を) ヘブライの女たちを -そして見て -の上の 産み台を もし- -そして殺しなさい その子を -しかしもし- 女の子 であれば -そして生かしなさい
H0559 H3205 H0853 H5680 H7200 H5921 H0070 H0518 H4191 H0853 H0637 H1323 H2063 H2421

言った、「ヘブルの女のために助産をするとき、産み台の上を見て、もし男の子ならばそれを殺し、女の子ならば生かしておきなさい」。

17 וַתִּירֶאןָ הַמְיַלְּדֹת אֶת־הָאֱלֹהִים וְלֹא עָשׂוּ כַּאֲשֶׁר דִּבֶּר אֲלֵיהֶן מֶלֶךְ מִצְרַיִם וַתְּחַיֶּיןָ אֶת־הַיְלָדִים׃
-しかし恐れた 助産婦たちは (を) 神を -そしてしなかった 行わ ように 語った 彼女たちに 王が エジプトの -そして生かした (を) 男の子たちを
H3372 H3205 H0853 H0430 H3808 H6213 H0834 H1696 H0413 H4428 H4714 H2421 H0853 H3206

しかし助産婦たちは神をおそれ、エジプトの王が彼らに命じたようにはせず、男の子を生かしておいた。

18 וַיִּקְרָא מֶלֶךְ־מִצְרַיִם לַמְיַלְּדֹת וַיֹּאמֶר לָהֶן מַדּוּעַ עֲשִׂיתֶן הַדָּבָר הַזֶּה וַתְּחַיֶּיןָ אֶת־הַיְלָדִים׃
-そして呼んだ 王は- エジプトの 助産婦たちを -そして言った 彼女たちに なぜ したのか この事を -そして生かした (を) 男の子たちを
H7121 H4428 H4714 H3205 H0559 H0413 H4069 H6213 H2088 H1697 H2421 H0853 H3206

エジプトの王は助産婦たちを召して言った、「あなたがたはなぜこのようなことをして、男の子を生かしておいたのか」。

19 וַתֹּאמֶרְן֙ הַֽמְיַלְּדֹ֔ת אֶל־פַּרְעֹ֖ה כִּ֣י לֹ֣א כַנָּשִׁ֗ים הַמִּצְרִיֹּ֔ת
–そして言った 助産婦たちは –に ファラオ なぜなら ない エジプトの女のようでは
H0559 H3205 H0413 H6547 H3808 H4713 H0802

הַֽמְיַלֶּדֶת֙ אֲלֵהֶ֔ן וְיָלָ֖דוּ בְּטֶ֣רֶם תָּב֑וֹא הֵ֥נָּה חָיֹ֖ת כִּֽי־
助産婦が 彼女たちのもとに 来る 前に 彼女たちは 元気で なぜなら–
H3205 H0413 H0935 H2962 H2007 H2422

הֶֽעִבְרִיֹּ֥ת׃ וְיָלָֽדוּ׃
ヘブライの女たちは
H5680

–そして産んでしまう
H3205

助産婦たちはパロに言った、「ヘブルの女はエジプトの女とは違い、彼女たちは健やかで助産婦が行く前に産んでしまいます」。

20 וַיֵּ֥יטֶב אֱלֹהִ֖ים לַֽמְיַלְּדֹ֑ת וַיִּרֶב֙ הָעָ֔ם וַיַּֽעַצְמ֥וּ מְאֹֽד׃
–そして良くされた 神は 助産婦たちに –そして増えた 民は –そして強くなった 非常に
H3190 H0430 H3205 H3966

それで神は助産婦たちに恵みをほどこされた。そして民はふえ、非常に強くなった。

21 וַיְהִ֛י כִּֽי־יָרְא֥וּ הַֽמְיַלְּדֹ֖ת אֶת־הָאֱלֹהִ֑ים וַיַּ֥עַשׂ לָהֶ֖ם
–そしてなった なぜなら– 恐れた 助産婦たちが (を) 神を 彼女たちに –そして造られた
H1961 H3372 H3205 H0853 H0430

בָּתִּֽים׃
家々を

助産婦たちは神をおそれたので、神は彼女たちの家を栄えさせられた。

22 וַיְצַ֣ו פַּרְעֹ֔ה לְכָל־עַמּ֖וֹ לֵאמֹ֑ר כָּל־הַבֵּ֣ן הַיִּלּ֗וֹד הַיְאֹרָ֙ה
–そして命じた ファラオは すべての– その民に 言って すべての– 男の子は 生まれた ナイルに
H6680 H6547 H3605 H5971 H0559 H3605 H1121 H3209 H2975

תַּשְׁלִיכֻ֔הוּ וְכָל־הַבַּ֖ת תְּחַיּֽוּן׃ ס
投げ込め –しかしすべての– 女の子は 生かしておけ ¶
H7993 H3605 H1323 H2421

そこでパロはそのすべての民に命じて言った、「ヘブルびとに男の子が生れたならば、みなナイル川に投げこめ。しかし女の子はみな生かしておけ」。

Chapter 2

1 וַיֵּ֣לֶךְ אִ֔ישׁ מִבֵּ֖ית לֵוִ֑י וַיִּקַּ֖ח אֶת־בַּ֥ת לֵוִֽי׃
–そして行った ある男 家から– レビの (を) 娘を– レビの
H3212 H0376 H1004 H3878 H0853 H1323 H3878

さて、レビの家のひとりの人が行ってレビの娘をめとった。

2 וַתַּ֣הַר הָֽאִשָּׁה֮ וַתֵּ֣לֶד בֵּן֒ וַתַּ֤רְא אֹתוֹ֙ כִּי־ט֣וֹב הֽוּא׃
–そして身ごもった 女は –そして産んだ 男の子を –そして見た 彼を そして– 美しい
H2029 H0802 H3205 H1121 H7200 H0853 H3303

וַתִּצְפְּנֵ֖הוּ שְׁלֹשָׁ֥ה יְרָחִֽים׃
–そして隠した 三 か月間
H6845 H7969 H3391

子であった
H1931

女はみごもって、男の子を産んだが、その麗しいのを見て、三月のあいだ隠していた。

3

תֵּבַת	לוֹ	וַתִּקַּח־	הַצְּפִינוֹ	עוֹד	יָכְלָה	וְלֹא־
箱を	彼のために	–そして取った–	彼を隠すことが	もはや	隠すことが	–そしてできなくなった
H8392		H3947	H6845	H5750	H3201	H3808

הַיֶּלֶד	אֹתוֹ־	בָּהּ	וַתָּשֶׂם	וּבַזָּפֶת	בַּחֵמָר	וַתַּחְמְרָה	גֹּמֶא
子どもを	(を)	その中に	–そして置いた	–とアスファルトで	濃青で	–そして塗った	パピルスの
H3206	H0853			H2203	H2564		H1573

הַיְאֹר׃	שְׂפַת	עַל־	בַּסּוּף	וַתָּשֶׂם
ナイル川の	岸の	–のそばの	蓋の中に	–そして置いた
H2975	H8193		H5488	

しかし、もう隠しきれなくなったので、パピルスで編んだかごを取り、それにアスファルトと樹脂とを塗って、子をその中に入れ、これをナイル川の岸の葦の中においた。

4

לוֹ׃	יֵעָשֶׂה	מַה־	לְדָעָה	מֵרָחֹק	אֲחֹתוֹ	וַתִּתְיַצַּב
彼に	されるか	何が–	知るために	遠くから	姉は	–そして立っていた
		H4100	H3045	H7350	H0269	H3320

その姉は、彼がどうされるかを知ろうと、遠く離れて立っていた。

5

וְנַעֲרֹתֶיהָ	הַיְאֹר	עַל־	לִרְחַץ	פַּרְעֹה	בַּת־	וַתֵּרֶד	
–そして侍女たちは	ナイル川	–のそばの	水浴びするために	ファラオの	娘が–	–そして降りてきた	
H5291	H2975		H7364	H6547	H1323	H3381	

הַסּוּף	בְּתוֹךְ	הַתֵּבָה	אֶת־	וַתַּרְא	הַיְאֹר	יַד	עַל־	הֹלֶכֶת
蓋の	の中に	箱を	(を)	–そして見た	ナイル川の	川の	–のそばを	歩いていた
H5488	H8432	H8392	H0853	H7200	H2975	H3027		H1980

וַתִּקָּחֶהָ	אֲמָתָהּ	אֶת־	וַתִּשְׁלַח
–そして取った	侍女を	(を)	–そして遣わした
H3947	H0519	H0853	H7971

ときにパロの娘が身を洗おうと、川に降りてきた。侍女たちは川べを歩いていたが、彼女は、葦の中にかごのあるのを見て、つかえめをやり、それを取ってこさせ、

6

בֹּכֶה	נַעַר	וְהִנֵּה־	הַיֶּלֶד	אֶת־	וַתִּרְאֵהוּ	וַתִּפְתַּח	
泣いていた	男の子が	–そして見よ–	子どもを	(を)	–そして見た	–そして開いた	
H1058	H5288	H2009	H3206	H0853	H7200		

זֶה׃	הָעִבְרִים	מִיַּלְדֵי	וַתֹּאמֶר	עָלָיו	וַתַּחְמֹל
これは	ヘブライ人の	子どもの中の	–そして言った	彼を	–そしてあわれんだ
H2088	H5680	H3206	H0559		H2550

あけて見ると子供がいた。見よ、幼な子は泣いていた。彼女はかわいそうに思って言った、「これはヘブルびとの子供です」。

7

לָךְ	וְקָרָאתִי	הָאֵלֵךְ	פַּרְעֹה	בַּת־	אֶל־	אֲחֹתוֹ	וַתֹּאמֶר
あなたのために	–そして呼びましょうか	行って	ファラオの	娘–	–に	姉は	–そして言った
	H7121	H3212	H6547	H1323	H0413	H0269	H0559

הַיָּלֶד׃	אֶת־	לָךְ	וְתֵינֵק	הָעִבְרִיֹּת	מִן	מֵינֶקֶת	אִשָּׁה
子どもを	(を)	あなたのために	–そして乳を飲ませる	ヘブライの女の	から	乳母の	女を
H3206	H0853		H3243	H5680		H3243	H0802

そのとき幼な子の姉はパロの娘に言った、「わたしが行ってヘブルの女のうちから、あなたのために、この子に乳を飲ませるうばを呼んでまいりましょうか」。

8 וַתְּאמֶר־ לָהּ בַּת־ פַּרְעֹה לֵכִי וַתֵּלֶךְ הָעַלְמָה וַתִּקְרָא אֶת־
–そして言った– 彼女に 娘は– ファラオの 行け –そして行った 娘は –そして呼んだ (を)
H0559 H1323 H6547 H3212 H3212 H5959 H7121 H0853

הַיֶּלֶד׃ אֵם
子どもの 母を
H3206 H0517

パロの娘が「行ってきてください」と言うと、少女は行ってその子の母を呼んできた。

9 וַתֹּאמֶר לָהּ בַּת־ פַּרְעֹה הֵילִיכִי אֶת־ הַיֶּלֶד הַזֶּה
–そして言った 彼女に 娘は– ファラオの 連れて行って (を) 子どもを この
H0559 H1323 H6547 H3212 H0853 H3206 H2088

וְהֵינִקֵהוּ לִי וַאֲנִי אֶתֵּן אֶת־ שְׂכָרֵךְ וַתִּקַּח
–そして乳を飲ませなさい 私のために –そして私が 与える (を) あなたの報酬を –そして取った
H3243 H0589 H5414 H0853 H7939 H3947

וַתְּנִיקֵהוּ׃ הַיֶּלֶד הָאִשָּׁה
–そして乳を飲ませた 子どもを 女は
H5134 H3206 H0802

パロの娘は彼女に言った、「この子を連れて行って、わたしに代り、乳を飲ませてください。わたしはその報酬をさしあげます」。女はその子を引き取って、これに乳を与えた。

10 וַיִּגְדַּל הַיֶּלֶד וַתְּבִאֵהוּ לְבַת־ פַּרְעֹה וַתְּהִי־
–そして成長した 子どもは –そして連れて行った 娘のもとへ– ファラオの –そしてなった–
H1431 H3206 H0935 H1323 H6547 H1961

לָהּ לְבֵן וַתִּקְרָא שְׁמוֹ וַתֹּאמֶר כִּי מִן־ הַמַּיִם
彼女にとって 息子に –そして名付けた 名を –そして言った なぜなら から– 水の
H4325 H4871 H7121 H8034 H4872 H0559 H3588 H4325

מְשִׁיתֻהוּ׃
引き上げたから
H4871

その子が成長したので、彼女はこれをパロの娘のところに連れて行った。そして彼はその子となった。彼女はその名をモーセと名づけて言った、「水の中からわたしが引き出したからです」。

11 וַיְהִי בַּיָּמִים הָהֵם וַיִּגְדַּל מֹשֶׁה וַיֵּצֵא אֶל־
–そしてなった 日々の中で その –そして成長した モーセは –そして出て行った –のもとへ
H1961 H3117 H1992 H1431 H4872 H3318 H0413

אֶחָיו וַיַּרְא בְּסִבְלֹתָם וַיַּרְא אִישׁ מִצְרִי מַכֶּה אִישׁ־
同胞たちの –そして見た 彼らの重荷を –そして見た 人を エジプトの 打っている 人を–
H0251 H7200 H5450 H7200 H0376 H4713 H5221 H0376

עִבְרִי מֵאֶחָיו׃
ヘブライの 同胞の中の
H5680 H0251

モーセが成長して後、ある日のこと、同胞の所に出て行って、そのはげしい労役を見た。彼はひとりのエジプトびとが、同胞のひとりであるヘブルびとを打つのを見たので、

12 וַיִּפֶן כֹּה וָכֹה וַיַּרְא כִּי אֵין אִישׁ וַיַּךְ
–そして見回した こちら –とあちらを –そして見た そして いないことを 人が –そして打ち殺した
H6437 H3541 H3541 H7200 H3588 H0369 H0376 H5221

הַמִּצְרִי וַיִּטְמְנֵהוּ בַּחֹול׃ אֶת־
エジプト人を –そして埋めた 砂の中に (を)
H4713 H2934 H2344 H0853

左右を見まわし、人のいないのを見て、そのエジプトびとを打ち殺し、これを砂の中に隠した。

13 וַיֵּצֵא ביום השני והנה שני אנשים עברים נצים
-そして出た 次の日に 二日目の -そして見よ 二人の- 男たち ヘブライの 争っていた
H3318 H3117 H8145 H2009 H8147 H0376 H5680

ויאמר למה תכה רעך׃
-そして言った なぜ 打つのか 仲間を
H0559 H4100 H5221 H7453

次の日また出て行って、ふたりのヘブルびとが互に争っているのを見、悪い方の男に言った、「あなたはなぜ、あなたの友を打つのですか」。

14 ויאמר מי שמך לאיש שר ושפט עלינו הלהרגני
-そして言った 誰が 立てたのか お前を 人として -そして裁き手として 我々の上に 殺すつもりか
H0559 H4310 H7760 H0376 H8269 H8199 H5921 H2026

ויאמר אכן נודע הדבר׃ את- הרגת כאשר אמר אתה ויירא משה ויאמר
-そして言った お前は 確かに 知られてしまった この事は (を) 殺した ように 言うのか -そして恐れた モーセは -そして言った
H0559 H0859 H0403 H3045 H1697 H0853 H2026 H3644 H0559 H3372 H4872 H0559

彼は言った、「だれがあなたを立てて、われわれのつかさ、また裁判人としたのですか。エジプトびとを殺したように、あなたはわたしを殺そうと思うのですか」。モーセは恐れた。そしてあの事がきっと知れたのだと思った。

15 וישמע פרעה את- הדבר הזה ויבקש להרג את- משה
-そして聞いた ファラオは (を) この事を この 求めた -そして 殺すことを (を) モーセを
H8085 H6547 H0853 H1697 H2088 H1245 H0853 H2026 H4872

ויברח משה מפני פרעה וישב במדין וישב על- הבאר׃
-そして逃げた モーセは -の前から ファラオ -そして住んだ 地に- ミディアンの -そして座った 井戸の -のそばに
H1272 H4872 H6440 H6547 H3427 H0776 H4080 H3427 H0875

パロはこの事を聞いて、モーセを殺そうとした。しかしモーセはパロの前をのがれて、ミデヤンの地に行き、井戸のかたわらに座していた。

16 ולכהן שבע בנות ותבאנה ותדלנה ותמלאנה את- הרהטים להשקות צאן אביהן׃
-そして祭司には 七人の 娘がいた -そして来た -そしてくみ上げた -そして満たした (を) 水槽を 飲ませるために 羊に 父の
H3548 H7651 H1323 H0935 H1802 H4390 H0853 H7298 H8248 H6629 H0001

さて、ミデヤンの祭司に七人の娘があった。彼女たちはきて水をくみ、水槽にみたして父の羊の群れに飲ませようとしたが、

17 ויבאו הרעים וינרשום ויקם משה ויושען וישק את- צאנם׃
-そして来た 羊飼いたちが -そして追い払った -そして立ち上がった モーセは -そして救った -そして飲ませた (を) 羊に
H0935 H7462 H1644 H6965 H4872 H3467 H8248 H0853 H6629

羊飼たちがきて彼女らを追い払ったので、モーセは立ち上がって彼女たちを助け、その羊の群れに水を飲ませた。

18 וַתָּבֹאנָה אֶל־רְעוּאֵל אֲבִיהֶן וַיֹּאמֶר מַדּוּעַ מְהַרְתֶּן בֹּא הַיּוֹם׃
–そして来た –のもとへ レウエル 父の –そして言った なぜ 早かったのか 帰るのが 今日
H0935 H0413 H7467 H0001 H0559 H4069 H4079 H0935 H3117

彼女たちが父リウエルのところに帰った時、父は言った、「きょうは、どうして、こんなに早く帰ってきたのか」。

19 וַתֹּאמַרְן אִישׁ מִצְרִי הִצִּילָנוּ מִיַּד הָרֹעִים וְגַם־דָּלֹה דָלָה וַיַּשְׁקְ אֶת־הַצֹּאן׃
–そして言った 男が エジプトの 救ってくれた 手から– 羊飼いたちの –そしてまた– くみ上げて 羊に (を) –そして飲ませた
H0559 H0376 H4713 H5337 H3027 H7462 H1571 H1802 H6629 H0853 H8248

彼女たちは言った、「ひとりのエジプトびとが、わたしたちを羊飼たちの手から助け出し、そのうえ、水をたくさんくんで、羊の群れに飲ませてくれたのです」。

20 וַיֹּאמֶר אֶל־בְּנֹתָיו וְאַיּוֹ זֶה לָמָּה זֶּה עֲזַבְתֶּן אֶת־הָאִישׁ קִרְאֶן לוֹ וְיֹאכַל לָחֶם׃
–そして言った –に 娘たちに どこにいるのか –そしてどこにいるのか なぜ こうも 置いてきたのか (を) その男を 呼びなさい 彼を –そして食べさせなさい パンを
H0559 H0413 H1323 H0346 H4100 H2088 H5414 H0853 H0376 H7121 H0398 H3899

彼は娘たちに言った、「そのかたはどこにおられるか。なぜ、そのかたをおいてきたのか。呼んできて、食事をさしあげなさい」。

21 וַיּוֹאֶל מֹשֶׁה לָשֶׁבֶת אֶת־הָאִישׁ וַיִּתֶּן אֶת־צִפֹּרָה בִּתּוֹ לְמֹשֶׁה׃
–そして応じた モーセは 住むことに (と) その男と –そして与えた (を) ツィポラを 娘を モーセに
H2974 H4872 H3427 H0854 H0376 H5414 H0853 H6855 H1323 H4872

モーセがこの人と共におることを好んだので、彼は娘のチッポラを妻としてモーセに与えた。

22 וַתֵּלֶד בֵּן וַיִּקְרָא אֶת־שְׁמוֹ גֵּרְשֹׁם כִּי אָמַר גֵּר הָיִיתִי בְּאֶרֶץ נָכְרִיָּה׃ פ
–そして産んだ 男の子を –そして名付けた (を) 名を ゲルショムと なぜなら 言った 寄留者 であった 地に 異国の ¶
H3205 H1121 H7121 H0853 H8034 H1647 H3588 H0559 H1616 H1961 H0776 H5237

彼女が男の子を産んだので、モーセはその名をゲルショムと名づけた。「わたしは外国に寄留者となっている」と言ったからである。

23 וַיְהִי בַיָּמִים הָרַבִּים הָהֵם וַיָּמָת מֶלֶךְ מִצְרַיִם וַיֵּאָנְחוּ בְנֵי־יִשְׂרָאֵל מִן־הָעֲבֹדָה וַיִּזְעָקוּ וַתַּעַל שַׁוְעָתָם אֶל־הָאֱלֹהִים מִן־הָעֲבֹדָה׃
–そしてなった 日々の中で 多くの その 王が –そして死んだ エジプトの –そしてうめいた –から 労働 –そして叫んだ –そして上った 叫びは –のもとへ –から 労働の 神
H1961 H3117 H7227 H1992 H4428 H4191 H4714 H0584 H1121 H3478 H4480 H5656 H2199 H5927 H7775 H0413 H4480 H5656 H0430

多くの日を経て、エジプトの王は死んだ。イスラエルの人々は、その苦役の務のゆえにうめき、また叫んだが、その苦役のゆえの叫びは神に届いた。

24 וַיִּשְׁמַ֣ע אֱלֹהִ֗ים אֶת־נַאֲקָתָם֙ וַיִּזְכֹּ֣ר אֱלֹהִ֔ים אֶת־בְּרִית֖וֹ אֶת־אַבְרָהָ֣ם אֶת־יִצְחָ֑ק וְאֶת־יַעֲקֹֽב׃
–そして聞いた 神は (を) 嘆きを –そして思い出した 神は (と) 契約を (と) アブラハム (と) イサク –と(と) ヤコブとの
H8085 H0430 H0853 H5009 H2142 H0430 H0854 H1285 H0853 H0085 H3327 H0854 H3290

神は彼らのうめきを聞き、神はアブラハム、イサク、ヤコブとの契約を覚え、

25 וַיַּ֥רְא אֱלֹהִ֖ים וַיֵּ֣דַע אֱלֹהִֽים׃ ס ¶
–そして見た 神は (を) 息子たちを イスラエルの –そして知った 神は
H7200 H0430 H0853 H1121 H3478 H3045 H0430

神はイスラエルの人々を顧み、神は彼らをしろしめされた。

Chapter 3

1 וּמֹשֶׁה֩ הָיָ֨ה רֹעֶ֜ה אֶת־צֹ֣אן יִתְרֹ֣ו חֹתְנ֗וֹ כֹּהֵ֣ן מִדְיָ֔ן וַיִּנְהַ֣ג אֶת־הַצֹּ֔אן אַחַ֖ר הַמִּדְבָּ֑ר וַיָּבֹ֕א אֶל־הַ֥ר הָאֱלֹהִ֖ים חֹרֵֽבָה׃
–そしてモーセは いた 羊飼いとして 羊の (を) 荒野の 向こうの –そして導いた 羊を (を) 山 神の ホレブへ
H4872 H1961 H7462 H6629 H0853 H4057 H0310 H6629 H0853 H5090 H0430 H2722

モーセは妻の父、ミデヤンの祭司エテロの羊の群れを飼っていたが、その群れを荒野の奥に導いて、神の山ホレブにきた。

2 וַיֵּרָ֣א מַלְאַ֣ךְ יְהוָ֣ה אֵלָ֗יו בְּלַבַּת־אֵשׁ֙ מִתֹּ֣וךְ הַסְּנֶ֔ה וַיַּ֕רְא וְהִנֵּ֥ה הַסְּנֶ֖ה בֹּעֵ֣ר בָּאֵ֑שׁ וְהַסְּנֶ֖ה אֵינֶ֥נּוּ אֻכָּֽל׃
–そして現れた 御使いが 主の 彼に 火の炎の中に– 火の 中から の 柴の –そして見た 柴が 燃えていた 火の中で なかった –しかし柴は 燃え尽きては
H7200 H4397 H3068 H0413 H3827 H0784 H8432 H5572 H7200 H5572 H1197 H0784 H0369 H5572 H0398

ときに主の使は、しばの中の炎のうちに彼に現れた。彼が見ると、しばは火に燃えているのに、そのしばはなくならなかった。

3 וָאֹמַ֣ר אֶסְרָ֣ה נָּ֗א וְאֶרְאֶ֙ה אֶת־הַמַּרְאֶ֣ה הַגָּד֣וֹל הַזֶּ֔ה מַדּ֖וּעַ לֹא־יִבְעַ֥ר הַסְּנֶֽה׃
–そして言った モーセは どうか 行ってみよう– –そして見よう この 大いなる 光景を 柴が 燃え尽き ないのか– なぜ
H0559 H4872 H4994 H5493 H7200 H2088 H1419 H4758 H0853 H5572 H1197 H3808 H4069

モーセは言った、「行ってこの大きな見ものを見、なぜしばが燃えてしまわないかを知ろう」。

4 וַיַּ֤רְא יְהוָה֙ כִּ֣י סָ֣ר לִרְאֹ֔ות וַיִּקְרָ֨א אֵלָ֜יו אֱלֹהִ֗ים מִתֹּ֣וךְ הַסְּנֶ֔ה וַיֹּ֖אמֶר מֹשֶׁ֣ה מֹשֶׁ֑ה וַיֹּ֖אמֶר הִנֵּֽנִי׃
–そして見た 主は そして 近づいたことを 見るために 彼に 神は –そして呼びかけた –そして言った モーセよ モーセよ –そして言った はいここにおります
H7200 H3068 H3588 H5493 H7200 H0413 H0430 H7121 H0559 H4872 H4872 H0559 H8432 H5572 H2009

主は彼がきて見定ようとするのを見、神はしばの中から彼を呼んで、「モーセよ、モーセよ」と言われた。彼は「ここにいます」と言った。

5 וַיֹּאמֶר אַל־ תִּקְרַב הֲלֹם נְעָלֶיךָ שַׁל־ מֵעַל רַגְלֶיךָ כִּי
-そして言った -ない 近づいては ここに 脱ぎなさい- から- 足の なぜなら
H0559 H0408 H7126 H1988 H5394 H5275 H7272

הַמָּקוֹם אֲשֶׁר אַתָּה עֹמֵד עָלָיו אַדְמַת־ קֹדֶשׁ הִוא׃
場所は その あなたが 立っている その上に 地である- 聖なる それは
H4725 H0834 H0859 H5975 H5921 H0127 H6944 H1931

神は言われた、「ここに近づいてはいけない。足からくつを脱ぎなさい。あなたが立っているその場所は聖なる地だからである」。

6 וַיֹּאמֶר אָנֹכִי אֱלֹהֵי אָבִיךָ אֱלֹהֵי אַבְרָהָם אֱלֹהֵי יִצְחָק
-そして言った 私は 神である あなたの父の 神である アブラハムの 神である イサクの
H0559 H0595 H0430 H0001 H0430 H0085 H0430 H3327

וֵאלֹהֵי יַעֲקֹב וַיַּסְתֵּר מֹשֶׁה פָּנָיו כִּי יָרֵא מֵהַבִּיט אֶל־
-そして神である ヤコブの -そして隠した モーセは 顔を なぜなら 恐れた 見ることを -の方を
H0430 H3290 H5641 H4872 H6440 H3372 H5027 H0413

הָאֱלֹהִים׃
神
H0430

また言われた、「わたしは、あなたの先祖の神、アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神である」。モーセは神を見ることを恐れたので顔を隠した。

7 וַיֹּאמֶר יְהוָה רָאֹה רָאִיתִי אֶת־ עֳנִי עַמִּי אֲשֶׁר בְּמִצְרָיִם
-そして言った 主は 確かに 見た (を) 苦しみを 我が民の その エジプトにおける
H0559 H3068 H7200 H7200 H0853 H6040 H5971 H0834 H4714

וְאֶת־ צַעֲקָתָם שָׁמַעְתִּי מִפְּנֵי נֹגְשָׂיו כִּי יָדַעְתִּי אֶת־ מַכְאֹבָיו׃
-そして(を) 叫びを 聞いた -のゆえに 追い使いたちの なぜなら 知っている (を) 痛みを
H0853 H6818 H8085 H6440 H5065 H3045 H0853 H4341

主はまた言われた、「わたしは、エジプトにいるわたしの民の悩みを、つぶさに見、また追い使う者のゆえに彼らの叫ぶのを聞いた。わたしは彼らの苦しみを知っている。

8 וָאֵרֶד לְהַצִּילוֹ מִיַּד מִצְרַיִם וּלְהַעֲלֹתוֹ מִן־ הָאָרֶץ הַהִוא
-そして降りた 救うために 手から- エジプトの -そして上らせるために から- 地 その
H3381 H5337 H3027 H4713 H5927 H0776 H1931

אֶל־ אֶרֶץ טוֹבָה וּרְחָבָה אֶל־ אֶרֶץ זָבַת חָלָב וּדְבָשׁ אֶל־
-のもとへ 地 良い -そして広い -のもとへ 流れる 乳と -そして蜜の -のもとへ
H0413 H0776 H2896 H7342 H0413 H2100 H2461 H1706 H0413

מְקוֹם הַכְּנַעֲנִי וְהַחִתִּי וְהָאֱמֹרִי וְהַפְּרִזִּי וְהַחִוִּי
場所 カナン人と -そしてヒッタイト人 -そしてアモリ人 -そしてペリズ人 -そしてヒビ人
H4725 H3669 H2850 H0567 H6522 H2340

וְהַיְבוּסִי׃
-そしてエブス人の
H2983

わたしは下って、彼らをエジプトびとの手から救い出し、これをかの地から導き上って、良い広い地、乳と蜜の流れる地、すなわちカナンびと、ヘテびと、アモリびと、ペリジびと、ヒビびと、エブスびとのおる所に至らせようとしている。

9

וְעַתָּה	הִנֵּה	צַעֲקַת	בְּנֵי־	יִשְׂרָאֵל	בָּאָה	אֵלָי	וְגַם־	רָאִיתִי
-そして今	見よ	叫びは	息子たちの-	イスラエルの	届いた	私のもとに	-そしてまた-	見た
H6258	H2009	H6818		H3478	H0935	H0413	H1571	H7200

אֹתָם׃	לֹחֲצִים	מִצְרַיִם	אֲשֶׁר	הַלַּחַץ	אֶת־
彼らを	圧迫している	エジプトが	その	圧迫を	(を)
H0853	H3905	H4713		H3906	H0853

いまイスラエルの人々の叫びがわたしに届いた。わたしはまたエジプトびとが彼らをしえたげる、そのしえたげを見た。

10

עַמִּי	אֶת־	וְהוֹצֵא	פַּרְעֹה	אֶל־	וְאֶשְׁלָחֲךָ	לְכָה	וְעַתָּה	
我が民	(を)	-そして導き出せ	ファラオ	-のもとへ	-そして遣わそう	行け	-そして今	
	H0853	H3318	H6547	H0413	H7971	H3212	H6258	

מִמִּצְרָיִם׃	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי־
エジプトから	イスラエルの	息子たちを-
H4714	H3478	

さあ、わたしは、あなたをパロにつかわして、わたしの民、イスラエルの人々をエジプトから導き出させよう」。

11

אֶל־	אֵלֵךְ	כִּי	אָנֹכִי	מִי	הָאֱלֹהִים	אֶל־	מֹשֶׁה	וַיֹּאמֶר
-のもとへ	行くのか	そのような者が	私が	誰	神	-に	モーセは	-そして言った
H0413	H3212		H0595	H4310	H0430	H0413	H4872	H0559

מִמִּצְרָיִם׃	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי	אֶת־	אוֹצִיא	וְכִי		פַּרְעֹה
エジプトから	イスラエルの	息子たちを	(を)	導き出すのか	-そしてそのような者が		ファラオ
H4714	H3478		H0853	H3318			H6547

モーセは神に言った、「わたしは、いったい何者でしょう。わたしがパロのところへ行って、イスラエルの人々をエジプトから導き出すのでしょうか」。

12

הָאוֹת	לְךָ	וְזֶה־	עִמָּךְ	אֶהְיֶה	כִּי־	וַיֹּאמֶר		
しるしである	あなたへの	-そしてこれが-	あなたと共に	わたしがいる	必ず-	-そして言った		
H0226		H2088		H1961		H0559		

אֶת־	תַּעַבְדוּן	מִמִּצְרַיִם	הָעָם	אֶת־	בְּהוֹצִיאֲךָ	שְׁלַחְתִּיךָ	אָנֹכִי	כִּי
(を)	仕えるであろう	エジプトから	民を	(を)	導き出したとき-	遣わしたことの	私が	そして
H0853	H5647	H4714		H0853	H3318	H7971	H0595	

הַזֶּה׃	הָהָר	עַל	הָאֱלֹהִים
この	山	-の上で	神に
H2088	H2022		H0430

神は言われた、「わたしは必ずあなたと共にいる。これが、わたしのあなたをつかわしたしるしである。あなたが民をエジプトから導き出したとき、あなたがたはこの山で神に仕えるであろう」。

13

בְּנֵי	אֶל־	בָּא	אָנֹכִי	הִנֵּה	הָאֱלֹהִים	אֶל־	מֹשֶׁה	וַיֹּאמֶר
息子たちの	-のもとへ	行く	私が	見よ	神	-に	モーセは	-そして言った
	H0413	H0935	H0595	H2009	H0430	H0413	H4872	H0559

אֲלֵיכֶם	שְׁלָחַנִי	אֲבוֹתֵיכֶם	אֱלֹהֵי	לָהֶם	וְאָמְרָתִי	יִשְׂרָאֵל
あなたがたのもとへ	遣わした	あなたがたの父の	神が	彼らに	-そして言う	イスラエルの
H0413	H7971	H0001	H0430		H0559	H3478

אֲלֵהֶם׃	אֹמַר	מָה	שְׁמוֹ	מַה־	לִי	וְאָמְרוּ־	
彼らに	言おうか	何と	名なのか	何という-	私に	-そして言う-	
H0413	H0559	H4100	H8034	H4100		H0559	

モーセは神に言った、「わたしがイスラエルの人々のところへ行って、彼らに『あなたがたの先祖の神が、わたしをあなたがたのところへつかわされました』と言うとき、彼らが『その名はなんというのですか』とわたしに聞くならば、なんと答えましょうか」。

14

וַיֹּ֣אמֶר אֱהְיֶ֔ה אֲשֶׁ֖ר אֶהְיֶ֑ה מֹשֶׁ֕ה אֶל־ אֱלֹהִ֖ים וַיֹּ֣אמֶר
–そして言った わたしはある それである– わたしはある モーセ –に 神は –そして言った
H0559 H1961 H1961 H4872 H0413 H0430 H0559

אֲלֵיכֶֽם׃ שְׁלָחַ֥נִי אֱהְיֶ֛ה יִשְׂרָאֵ֗ל לִבְנֵי֙ תֹּאמַ֔ר כֹּ֚ה
あなたがたのもとへ 遣わした 「わたしはある」が イスラエルの 息子たちに– 言え このように
H0413 H7971 H1961 H3478 H0559 H3541

神はモーセに言われた、「わたしは、有って有る者」。また言われた、「イスラエルの人々にこう言いなさい、『「わたしは有る」というかたが、わたしをあなたがたのところへつかわされました』と」。

15

בְּנֵ֔י אֶל־ תֹּאמַר֙ כֹּ֣ה מֹשֶׁ֗ה אֶל־ אֱלֹהִ֣ים עֹ֔וד וַיֹּ֣אמֶר
息子たちの –に 言え このように– モーセ –に 神は さらに –そして言った
H0413 H0559 H3541 H4872 H0413 H0430 H5750 H0559

יְצְחָ֔ק אֱלֹהֵ֣י אַבְרָהָ֑ם אֱלֹהֵ֣י אֲבֹתֵיכֶ֗ם אֱלֹהֵ֣י יְהוָה֮ יִשְׂרָאֵל֒
イサクの 神である アブラハムの 神である あなたがたの父の 神である 主 イスラエルの
H3327 H0430 H0085 H0430 H0001 H0430 H3068 H3478

לְעֹלָ֑ם שְׁמִ֣י זֶה־ אֲלֵיכֶ֗ם שְׁלָחַ֣נִי יַעֲקֹב֮ וֵאלֹהֵי֒
永遠に 我が名である これが– あなたがたのもとへ 遣わした ヤコブの –そして神である
H5769 H8034 H2088 H0413 H7971 H3290 H0430

דֹֽר׃ לְדֹ֥ר זִכְרִ֖י זֶ֥ה וְ
代々に 代々に– 我が記念である –そしてこれが
H1755 H1755 H2143 H2088

神はまたモーセに言われた、「イスラエルの人々にこう言いなさい『あなたがたの先祖の神、アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神である主が、わたしをあなたがたのところへつかわされました』と。これは永遠にわたしの名、これは世々のわたしの呼び名である。

16

אֱלֹהֵ֣י יְהוָ֗ה אֲלֵהֶם֙ וְאָמַרְתָּ֣ יִשְׂרָאֵל֮ זִקְנֵי֒ אֶת־ וְאָסַפְתָּ֞ לֵ֤ךְ
神である 主 彼らに –そして言え イスラエルの 長老たちを (を) –そして集めよ 行け
H0430 H3068 H0413 H0559 H3478 H2205 H0853 H0622 H3212

פָּקֹ֣ד לֵאמֹ֔ר וְיַעֲקֹב֙ יִצְחָ֔ק אַבְרָהָ֑ם אֱלֹהֵ֣י אֵלַ֗י נִרְאָ֤ה אֲבֹתֵיכֶם֙
確かに 言って –そしてヤコブの イサクの アブラハムの 神である 私に 現れた あなたがたの父の
H0559 H3290 H3327 H0085 H0430 H0413 H7200 H0001

בְּמִצְרָֽיִם׃ לָכֶ֔ם הֶֽעָשׂ֖וּי וְאֶת־ אֶתְכֶ֥ם פָּקַ֖דְתִּי
エジプトで あなたがたに 行われていることを –そして(を) あなたがたを 顧みた
H4714 H0853 H0853

あなたは行って、イスラエルの長老たちを集めて言いなさい、『あなたがたの先祖の神、アブラハム、イサク、ヤコブの神である主は、わたしに現れて言われました、「わたしはあなたがたを顧み、あなたがたがエジプトでされている事を確かに見た。

17

הַֽכְּנַעֲנִי֙ אֶ֣רֶץ אֶל־ מִצְרַ֔יִם מֵעֳנִ֖י אֶתְכֶ֑ם אַעֲלֶ֣ה וָאֹמַ֕ר
カナン人と 地 –のもとへ エジプトの 苦しみから– あなたがたを 上らせる –そして言った
H0776 H0413 H4714 H6040 H0853 H5927 H0559

אֶל־ וְהַיְבוּסִ֔י וְהַחִוִּ֖י וְהַפְּרִזִּ֑י וְהָאֱמֹרִ֣י וְהַֽחִתִּ֗י
–のもとへ –そしてエブス人の –そしてヒビ人 –そしてペリズ人 –そしてアモリ人 –そしてヒッタイト人
H0413 H2983 H2340 H6522 H0567 H2850

וּדְבָ֥שׁ׃ חָלָ֖ב זָבַ֣ת אֶ֔רֶץ
–そして蜜の 乳と 流れる 地
H1706 H2461 H2100 H0776

それでわたしはあなたがたを、エジプトの悩みから導き出して、カナンびと、ヘテびと、アモリびと、ペリジびと、ヒビびと、エブスびとの地、乳と蜜の流れる地へ携え上ろうと決心した」と』。

18

יִשְׂרָאֵל	וְזִקְנֵי	אַתָּה֙	וּבָאתָ	לְקֹלֶ֔ךָ	וְשָׁמְע֣וּ	
イスラエルの	–そして長老たちが	あなたと	–そして行く	あなたの声を	–そして聞くであろう	
H3478	H2205		H0935		H8085	

עָלֵ֑ינוּ	נִקְרָ֗ה	הָעִבְרִיִּים֙	אֱלֹהֵ֣י	יְהוָ֔ה	אֵלָ֖יו	וַאֲמַרְתָּ֣ם	מִצְרַ֔יִם	מֶ֣לֶךְ	אֶל־
我々に	出会った	ヘブライ人の	神である	主	彼に	–そして言う	エジプトの	王	–のもとへ
	H5680		H0430	H3068	H0413	H0559	H4714	H4428	H0413

וְנִזְבְּחָ֖ה	בַּמִּדְבָּ֑ר	יָמִים֙	שְׁלֹשֶׁת	דֶּ֣רֶךְ	נֵּ֤א	נֵלְכָה־	וְעַתָּ֕ה	
–そしていけにえをささげたい	荒野に	日の	三	道のりを	どうか	行かせてください–	–そして今	
H2076		H3117	H7969	H1870	H4994	H3212	H6258	

אֱלֹהֵ֥ינוּ׃	לַיהוָ֖ה
我々の神である	主に–
H0430	H3068

彼らはあなたの声に聞き従うであろう。あなたはイスラエルの長老たちと一緒にエジプトの王のところへ行って言いなさい、『ヘブルびとの神、主がわたしたちに現れられました。それで、わたしたちを、三日の道のりほど荒野に行かせて、わたしたちの神、主に犠牲をささげることを許してください』と。

19

לַהֲלֹ֔ךְ	מִצְרַ֖יִם	מֶ֣לֶךְ	אֶתְכֶ֑ם	יִתֵּ֥ן	לֹא־	כִּ֛י	יָדַ֥עְתִּי	וַאֲנִ֣י	
行かせはしない	エジプトの	王は	あなたがたを	許さ	–ない	そして	知っている	–そして私は	
H1980	H4714	H4428	H0853	H5414	H3808		H3045	H0589	

חֲזָקָֽה׃	בְּיָ֖ד	וְלֹ֥א
強い	手によっては–	–そしてない
H2389	H3027	H3808

しかし、エジプトの王は強い手をもって迫らなければ、あなたがたを行かせないのをわたしは知っている。

20

אֲשֶׁ֥ר	נִפְלְאֹתַ֖י	בְּכֹ֣ל	מִצְרַ֑יִם	אֶת־	וְהִכֵּיתִ֥י	יָדִ֛י	אֶת־	וְשָׁלַחְתִּ֥י	
それによって	不思議で	あらゆる–	エジプトを	(を)	–そして打つ	手を	(を)	–そして伸べる	
	H6381	H3605	H4713	H0853	H5221	H3027	H0853	H7971	

אֶתְכֶֽם׃	יְשַׁלַּ֖ח	כֵּ֥ן	וְאַחֲרֵי־	בְּקִרְבּ֔וֹ	אֶעֱשֶׂ֣ה
あなたがたを	去らせるであろう	それ	–そしてその後–	その中で	行う
H0853	H7971			H7130	

それで、わたしは手を伸べて、エジプトのうちに行おうとする、さまざまの不思議をもってエジプトを打とう。その後に彼はあなたがたを去らせるであろう。

21

תֵּלֵכ֖וּן	כִּ֣י	וְהָיָה֙	מִצְרַ֔יִם	בְּעֵינֵ֣י	הַזֶּ֔ה	הָעָ֣ם־	חֵ֤ן	אֶת־	וְנָתַתָּ֞
行くとき	そして	–そしてなる	エジプトの	目に–	この	民の–	恵みを	(を)	–そして与える
H3212		H1961	H4713		H2088		H2580	H0853	H5414

רֵיקָֽם׃	תֵּלְכ֥וּ	לֹֽא
空手では	行か	–ない
H7387	H3212	H3808

わたしはこの民にエジプトびとの好意を得させる。あなたがたは去るときに、むなし手で去ってはならない。

22 וְשָׁאֲלָה אִשָּׁה מִשְּׁכֶנְתָּהּ וּמִגָּרַת בֵּיתָהּ כְּלֵי־כֶסֶף וּכְלֵי זָהָב
–そして求める 女は 隣人から –そして同居人から 家の 器を– 銀の –そして器を 金の
H7592 H0802 H7934 H1732 H3627 H3701 H3627 H2091

וְשַׂמְתֶּם עַל־בְּנֵיכֶם וְעַל־בְּנֹתֵיכֶם וְנִצַּלְתֶּם אֶת־
–そして着せる –の上に 息子たち –そして–の上に 娘たち –そして奪い取る (を)
H7760 H5921 H1121 H5921 H1323 H5337 H0853

מִצְרָיִם׃
エジプトを
H4714

女はみな、その隣の女と、家に宿っている女に、銀の飾り、金の飾り、また衣服を求めなさい。そしてこれらを、あなたがたのむすこ、娘に着けさせなさい。このようにエジプトびとのものを奪い取りなさい」。

Chapter 4

1 וַיַּעַן מֹשֶׁה וַיֹּאמֶר וְהֵן לֹא־יַאֲמִינוּ לִי וְלֹא יִשְׁמְעוּ
–そして答えた モーセは –そして言った –しかし見よ –ない 信じ 私を –そしてない 聞か
H6030 H4872 H0559 H2005 H3808 H0539 H0559 H3808 H8085

בְּקֹלִי כִּי יֹאמְרוּ לֹא־נִרְאָה אֵלֶיךָ יְהוָה׃
私の声に なぜなら 言うだろう –ない 現れ あなたに 主は
H0559 H3588 H0559 H3808 H7200 H0413 H3068

モーセは言った、「しかし、彼らはわたしを信ぜず、またわたしの声に聞き従わないで言うでしょう、『主はあなたに現れなかった』と」。

2 וַיֹּאמֶר יְהוָה אֵלָיו מִזֶּה(מַה־) בְּיָדֶךָ וַיֹּאמֶר מַטֶּה׃
–そして言った 彼に 主は [何が] (何が–) (これは) 手の中に –そして言った 杖です
H0559 H0413 H3068 H2088 H4100 H2088 H3027 H0559 H4294

主は彼に言われた、「あなたの手にあるそれは何か」。彼は言った、「つえです」。

3 וַיֹּאמֶר הַשְׁלִיכֵהוּ אַרְצָה וַיַּשְׁלִיכֵהוּ אַרְצָה וַיְהִי לְנָחָשׁ וַיָּנָס
–そして言った 投げよ 地に –そして投げた 地に –そしてなった 蛇に –そして逃げた
H0559 H7993 H0776 H7993 H0776 H1961 H5175 H5127

מִפָּנָיו׃ מֹשֶׁה
それから モーセは
H6440 H4872

また言われた、「それを地に投げなさい」。彼がそれを地に投げると、へびになったので、モーセはその前から身を避けた。

4 וַיֹּאמֶר יְהוָה אֶל־מֹשֶׁה שְׁלַח יָדְךָ וְאֶחֱז בִּזְנָבוֹ וַיִּשְׁלַח יָדוֹ
–そして言った 主は –に モーセ 伸ばせ 手を –そしてつかめ 尾を –そしてした 手を
H0559 H3068 H0413 H4872 H7971 H3027 H0270 H2180 H7971 H3027

וַיַּחֲזֶק בּוֹ וַיְהִי לְמַטֶּה בְּכַפּוֹ׃
–そしてつかんだ それを –そしてなった 杖に 手の中で
H2388 H1961 H4294 H3709

主はモーセに言われた、「あなたの手を伸ばして、その尾を取りなさい。――そこで手を伸ばしてそれを取ると、手のなかでつえとなった。――

אַבְרָהָם אֱלֹהֵי אֲבֹתָם אֱלֹהֵי יְהוָה אֵלֶיךָ נִרְאָה כִּי־ יַאֲמִינוּ לְמַעַן 5
アブラハムの 神である 彼らの父の 神である 主 あなたに 現れた そして– 信じる ために
H0085 H0430 H0001 H0430 H3068 H0413 H7200 H0539 H4616

יַעֲקֹב׃ וֵאלֹהֵי יִצְחָק אֱלֹהֵי
ヤコブの –そして神である イサクの 神である
H3290 H0430 H3327 H0430

これは、彼らの先祖たちの神、アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神である主が、あなたに現れたのを、彼らに信じさせるためである」。

יָדוֹ וַיָּבֵא בְּחֵיקֶךָ יָדְךָ נָא הָבֵא־ עוֹד לוֹ יְהוָה וַיֹּאמֶר 6
手を –そして入れた 懐に 手を どうか 入れよ– さらに 彼に 主は –そして言った
H3027 H0935 H2436 H3027 H4994 H0935 H5750 H3068 H0559

כַּשָּׁלֶג׃ מְצֹרַעַת וְהִנֵּה יָדוֹ וַיֹּצִיאָהּ בְּחֵיקוֹ
雪のように らい病であった 手が –そして見よ –そして出した 懐に
H7950 H6879 H3027 H2009 H3318 H2436

主はまた彼に言われた、「あなたの手をふところに入れなさい」。彼が手をふところに入れ、それを出すと、手は、らい病にかかって、雪のように白くなっていた。

וַיֹּצִיאָהּ חֵיקוֹ אֶל־ יָדוֹ וַיָּשֶׁב חֵיקֶךָ אֶל־ יָדְךָ הָשֵׁב וַיֹּאמֶר 7
–そして出した 懐の –の中に 手を –そして戻した 懐の –の中に 手を 戻せ –そして言った
H3318 H2436 H0413 H3027 H7725 H2436 H0413 H3027 H7725 H0559

כִּבְשָׂרוֹ׃ שָׁבָה וְהִנֵּה־ מֵחֵיקוֹ
肌のように 戻っていた –そして見よ– 懐から
H1320 H7725 H2009 H2436

主は言われた、「手をふところにもどしなさい」。彼は手をふところにもどし、それをふところから出して見ると、回復して、もとの肉のようになっていた。

הָרִאשׁוֹן הָאֹת לְקֹל יִשְׁמְעוּ וְלֹא לְךָ יַאֲמִינוּ לֹא אִם־ וְהָיָה 8
最初の しるしの 声に– 聞か –そしてない あなたを 信じ ない もし– –そしてなる
H7223 H0226 H8085 H3808 H0539 H3808 H1961

הָאַחֲרוֹן׃ הָאֹת לְקֹל וְהֶאֱמִינוּ
後の しるしの 声に– –そして信じるであろう
H0314 H0226 H0539

主は言われた、「彼らがもしあなたを信ぜず、また初めのしるしを認めないならば、後のしるしは信じるであろう。

יִשְׁמְעוּן וְלֹא הָאֵלֶּה הָאֹתוֹת לִשְׁנֵי גַם יַאֲמִינוּ לֹא אִם־ וְהָיָה 9
聞か –そしてない これらを しるしの 二つの– また– 信じ ない もし– –そしてなる
H8085 H3808 H0428 H0226 H8147 H1571 H0539 H3808 H1961

אֲשֶׁר הַמַּיִם וְהָיוּ הַיַּבָּשָׁה וְשָׁפַכְתָּ הַיְאֹר מִמֵּימֵי וְלָקַחְתָּ לְקֹלֶךָ
その 水は –そしてなる 乾いた地に –そして注げ ナイル川の 水を– –そして取れ あなたの声に
H4325 H1961 H3004 H8210 H2975 H4325 H3947

בַּיַּבָּשֶׁת׃ לְדָם וְהָיוּ הַיְאֹר מִן־ תִּקַּח
乾いた地の上で 血に –そしてなる ナイル川の から– 取った
H3006 H1818 H1961 H2975 H3947

彼らがもしこの二つのしるしをも信ぜず、あなたの声に聞き従わないならば、あなたはナイル川の水を取って、かわいた地に注ぎなさい。あなたがナイル川から取った水は、かわいた地で血となるであろう」。

10 וַיֹּאמֶר מֹשֶׁה אֶל־יְהוָה בִּי אֲדֹנָי לֹא אִישׁ דְּבָרִים אָנֹכִי גַּם
-そして言った モーセは -に 主 どうか 我が主よ ない 男 言葉の 私は また-
H0559 H4872 H0413 H3068 H0994 H0136 H3808 H0376 H1697 H0595 H1571

מִתְּמוֹל גַּם מִשִּׁלְשֹׁם גַּם מֵאָז דַּבֶּרְךָ אֶל־ עַבְדֶּךָ כִּי כְּבַד־ פֶּה
昨日も また- 一昨日も また- それ以来も 語られてから -に 僕に なぜなら 重い- 口が
H8543 H1571 H8032 H1571 H3515 H0413 H5650 H3515 H6310

וּכְבַד לְשׁוֹן אָנֹכִי׃
-そして重い 舌が 私は
H3515 H3956 H0595

モーセは主に言った、「ああ主よ、わたしは以前にも、またあなたが、しもべに語られてから後も、言葉の人ではありません。わたしは口も重く、舌も重いのです」。

11 וַיֹּאמֶר יְהוָה אֵלָיו מִי שָׂם פֶּה לָאָדָם אוֹ מִי יָשׂוּם
-そして言った 主は 彼に 誰が 造った 口を 人に あるいは 誰が- 造る
H0559 H3068 H0413 H4310 H6310 H0120 H0176 H4310 H7760

אִלֵּם אוֹ חֵרֵשׁ אוֹ פִקֵּחַ אוֹ עִוֵּר הֲלֹא אָנֹכִי יְהוָה׃
口がきけない者を あるいは 耳がきこえない者を あるいは 目が見える者を あるいは 目が見えない者を
H0483 H0176 H2795 H0176 H6493 H0176 H5787

ないのか 私である 主が
H3808 H0595 H3068

主は彼に言われた、「だれが人に口を授けたのか。おし、耳しい、目あき、目しいにだれがするのか。主なるわたしではないか。

12 וְעַתָּה לֵךְ וְאָנֹכִי אֶהְיֶה עִם־ פִּיךָ וְהוֹרֵיתִיךָ אֲשֶׁר תְּדַבֵּר׃
-そして今 行け -そして私が いる 共に- 口と -そして教える ことを 語るべき
H6258 H3212 H0595 H1961 H6310 H3384 H0834 H1696

それゆえ行きなさい。わたしはあなたの口と共にあって、あなたの言うべきことを教えるであろう」。

13 וַיֹּאמֶר בִּי אֲדֹנָי שְׁלַח־ נָא בְּיַד־ תִּשְׁלָח׃
-そして言った どうか 我が主よ 遣わしてください- どうか 手によって- 遣わすべき方を
H0559 H0994 H0136 H7971 H4994 H3027 H7971

モーセは言った、「ああ、主よ、どうか、ほかの適当な人をおつかわしください」。

14 וַיִּחַר־ אַף יְהוָה בְּמֹשֶׁה וַיֹּאמֶר הֲלֹא אַהֲרֹן
-そして燃えた 怒りが 主の モーセに対して -そして言った ないのか アロンが
H2734 H0639 H3068 H4872 H0559 H3808 H0175

אָחִיךָ הַלֵּוִי יָדַעְתִּי כִּי־ דַבֵּר יְדַבֵּר הוּא גַּם וְהִנֵּה־
あなたの兄である レビ人の 知っている そして- 語ること 語るであろう 彼は -そしてまた 見よ-
H0251 H3881 H3045 H0259 H1696 H1931 H1571 H2009

וְרָאֲךָ לִקְרָאתֶךָ יֹצֵא הוּא וְשָׂמַח בְּלִבּוֹ׃
-そして見て 迎えに 出てくる 彼は -そして喜ぶであろう 心の中で
H7200 H7125 H3318 H1931 H8055

そこで、主はモーセにむかって怒りを発して言われた、「あなたの兄弟レビびとアロンがいるではないか。わたしは彼が言葉にすぐれているのを知っている。見よ、彼はあなたに会おうとして出てきている。彼はあなたを見て心に喜ぶであろう。

15

פִּיהוּ	עִם־	אֶהְיֶה	וְאָנֹכִי	בְּפִיו	הַדְּבָרִים	אֶת־	וְשַׂמְתָּ	אֵלָיו	וְדִבַּרְתָּ
口と	共に–	いる	–そして私が	口に	言葉を	(を)	–そして置け	彼に	–そして語れ
H6310		H1961	H0595	H6310	H1697	H0853		H0413	H1696

תַּעֲשׂוּן׃	אֲשֶׁר	אֵת	אֶתְכֶם	וְהוֹרֵיתִי	פִּיהוּ	וְעִם־	
なすべき	ことを	(を)	あなたがたに	–そして教える	口と	–そして共に–	
		H0853	H0853		H6310		

あなたは彼に語って言葉をその口に授けなさい。わたしはあなたの口と共にあり、彼の口と共にあって、あなたがたのなすべきことを教え、

16

לְךָ	יִהְיֶה־	הוּא	וְהָיָה	הָעָם	אֶל־	לְךָ	הִוא	וְדִבֶּר־	
あなたにとって	なる–	彼が	–そしてなる	民	–に	あなたのために	彼が	–そして語る–	
	H1961	H1931	H1961		H0413		H1931	H1696	

לֵאלֹהִים׃	לוֹ	תִּהְיֶה־	וְאַתָּה	לְפֶה	
神に	彼にとって	なる–	–そしてあなたが	口に	
H0430		H1961		H6310	

彼はあなたに代って民に語るであろう。彼はあなたの口となり、あなたは彼のために、神に代るであろう。

17

פ ¶	הָאֹתֹת׃	אֶת־	בּוֹ	תַּעֲשֶׂה־	אֲשֶׁר	בְּיָדְךָ	תִּקַּח	הַזֶּה	הַמַּטֶּה	וְאֶת־
	しるしを	(を)	それで	行う–	それによって	手に	取れ	この	杖を	–そして(を)
	H0226	H0853				H3027	H3947	H2088	H4294	H0853

あなたはそのつえを手に執り、それをもって、しるしを行いなさい」。

18

לוֹ	וַיֹּאמֶר	חֹתְנוֹ	יֶתֶר	אֶל־	וַיָּשָׁב	מֹשֶׁה	וַיֵּלֶךְ	
彼に	–そして言った	しゅうとの	イテル	–のもとへ	–そして戻った	モーセは	–そして行った	
	H0559		H3500	H0413	H7725	H4872	H3212	

בְּמִצְרַיִם	אֲשֶׁר־	אַחָי	אֶל־	וְאָשׁוּבָה	נָּא	אֵלְכָה
エジプトにいる	その–	同胞たちの	–のもとへ	–そして戻りたい	どうか	行かせてください–
H4714		H0251	H0413	H7725	H4994	H3212

לְשָׁלוֹם׃	לֵךְ	לְמֹשֶׁה	יִתְרוֹ	וַיֹּאמֶר	חַיִּים	הַעוֹדָם	וְאֶרְאֶה
平安に	行け	モーセに	イトロは	–そして言った	生きて	まだいるか	–そして見たい
H7965	H3212	H4872	H3503	H0559		H5750	H7200

モーセは妻の父エテロのところに帰って彼に言った、「どうかわたしを、エジプトにいる身うちの者のところに帰らせ、彼らがまだ生きながらえているか、どうかを見させてください」。エテロはモーセに言った、「安んじて行きなさい」。

19

מֵתוּ	כִּי־	מִצְרָיִם	שֻׁב	לֵךְ	בְּמִדְיָן	מֹשֶׁה	אֶל־	יְהוָה	וַיֹּאמֶר	
死んだ	なぜなら–	エジプトへ	戻れ	行け	ミディアンで	モーセ	–に	主は	–そして言った	
H4191		H4714	H7725	H3212	H4080	H4872	H0413	H3068	H0559	

נַפְשֶׁךָ׃	אֶת־	הַמְבַקְשִׁים	הָאֲנָשִׁים	כָּל־
あなたの命を	(を)	求めていた	男たちが	すべての–
H5315	H0853	H1245	H0376	H3605

主はミデヤンでモーセに言われた、「エジプトに帰って行きなさい。あなたの命を求めた人々はみな死んだ」。

20

הַחֲמֹר	עַל־	וַיִּרְכְּבֵם	בָּנָיו	וְאֶת־	אִשְׁתּוֹ	אֶת־	מֹשֶׁה	וַיִּקַּח	
ろば	–の上に	–そして乗せた	息子たちを	–そして(を)	妻を	(を)	モーセは	–そして取った	
H2543		H7392		H0853	H0802	H0853	H4872	H3947	

בְּיָדוֹ׃	הָאֱלֹהִים	מַטֶּה	אֶת־	מֹשֶׁה	וַיִּקַּח	מִצְרָיִם	אַרְצָה	וַיָּשָׁב
手に	神の	杖を	(を)	モーセは	–そして取った	エジプトの	地へ–	–そして戻った
H3027	H0430	H4294	H0853	H4872	H3947	H4714	H0776	H7725

そこでモーセは妻と子供たちをとり、ろばに乗せて、エジプトの地に帰った。モーセは手に神のつえを執った。

21 וַיֹּ֤אמֶר יְהוָה֙ אֶל־מֹשֶׁ֔ה בְּלֶכְתְּךָ֖ לָשׁ֣וּב מִצְרַ֑יְמָה רְאֵ֗ה כָּל־
-そして言った 主は -に モーセ 行くとき- 戻るために エジプトへ 見よ すべての-
H0559 H3068 H0413 H4872 H3212 H7725 H4714 H7200 H3605

הַמֹּפְתִים֙ אֲשֶׁר־שַׂ֣מְתִּי בְיָדֶ֔ךָ וְעָשִׂיתָ֖ם לִפְנֵ֣י פַרְעֹ֑ה וַאֲנִי֙ אַחֲזִ֣ק אֶת־
不思議を その- 置いた 手に -そして行え 前で- ファラオの -そして私が かたくなをる (を)
H4159 H0834 H7760 H3027 H6213 H6440 H6547 H0589 H2388 H0853

לִבּ֔וֹ וְלֹ֥א יְשַׁלַּ֖ח אֶת־הָעָֽם׃
心を -そしてない 去らせ (を) 民を
H3820 H7971 H0853 H5971

主はモーセに言われた、「あなたがエジプトに帰ったとき、わたしがあなたの手に授けた不思議を、みなパロの前で行いなさい。しかし、わたしが彼の心をかたくなにするので、彼は民を去らせないであろう。

22 וְאָמַרְתָּ֖ אֶל־פַּרְעֹ֑ה כֹּ֣ה אָמַ֣ר יְהוָ֗ה בְּנִ֤י בְכֹרִי֙ יִשְׂרָאֵ֔ל׃
-そして言え -に ファラオ このように 言った 主は 我が子 我が初子である イスラエルは
H0559 H0413 H6547 H3541 H0559 H3068 H1121 H1060 H3478

あなたはパロに言いなさい、『主はこう仰せられる。イスラエルはわたしの子、わたしの長子である。

23 וָאֹמַ֣ר אֵלֶ֔יךָ שַׁלַּ֥ח אֶת־בְּנִ֖י וְיַעַבְדֵ֑נִי וַתְּמָאֵ֣ן
-そして言った あなたに 去らせよ (を) 我が子を -そして仕えさせよ -そして拒んだ
H0559 H0413 H7971 H0853 H1121 H5647 H3985

לְשַׁלְּחֽוֹ׃ הִנֵּ֣ה אָנֹכִ֔י הֹרֵ֖ג אֶת־בִּנְךָ֥ בְכֹרֶֽךָ׃
去らせることを 見よ 私が 殺す (を) あなたの子を 初子を
H7971 H2009 H0595 H2026 H0853 H1121 H1060

わたしはあなたに言う。わたしの子を去らせて、わたしに仕えさせなさい。もし彼を去らせるのを拒むならば、わたしはあなたの子、あなたの長子を殺すであろう』と」。

24 וַיְהִ֣י בַדֶּ֔רֶךְ בַּמָּלֽוֹן׃ וַיִּפְגְּשֵׁ֖הוּ יְהוָ֑ה וַיְבַקֵּ֖שׁ הֲמִיתֽוֹ׃
-そしてなった 道で 宿において -そして出会った 主が -そして求めた 殺すことを
H1961 H1870 H4411 H6298 H3068 H1245 H4191

さてモーセが途中で宿っている時、主は彼に会って彼を殺そうとされた。

25 וַתִּקַּ֤ח צִפֹּרָה֙ צֹ֔ר וַתִּכְרֹ֖ת אֶת־עָרְלַ֣ת בְּנָ֑הּ וַתַּגַּ֕ע לְרַגְלָ֖יו
-そして取った ツィポラは 火打ち石を -そして切った (を) 包皮を 息子の -そして触れさせた 足に
H3947 H6855 H6864 H3772 H0853 H6190 H1121 H5060 H7272

וַתֹּ֣אמֶר כִּֽי־חֲתַן־דָּמִ֥ים אַתָּ֖ה לִֽי׃
-そして言った まことに 茎の- 血の あなたは 私にとって
H0559 H3588 H2860 H1818 H0859 H0589

その時チッポラは火打ち石の小刀を取って、その男の子の前の皮を切り、それをモーセの足につけて言った、「あなたはまことに、わたしにとって血の花婿です」。

26 וַיִּרֶף֙ מִמֶּ֔נּוּ אָ֥ז אָמְרָ֖ה חֲתַ֣ן דָּמִ֑ים לַמּוּלֹֽת׃ פ
-そして放した 彼を そのとき 言った 茎の 血の 割礼のための ¶
H7503 H0559 H2860 H1818 H4139

そこで、主はモーセをゆるされた。この時「血の花婿です」とチッポラが言ったのは割礼のゆえである。

27 וַיֹּ֤אמֶר יְהוָה֙ אֶל־אַהֲרֹ֔ן לֵ֖ךְ לִקְרַ֣את מֹשֶׁ֑ה הַמִּדְבָּ֖רָה וַיֵּ֣לֶךְ
–そして言った 主は –に アロン 行け 迎えに– モーセを 荒野へ –そして行った
H3068 H0413 H0175 H3212 H7125 H4872 H3212

וַיִּפְגְּשֵׁ֥הוּ בְהַר־הָאֱלֹהִ֖ים וַיִּשַּׁק־לֽוֹ׃
–そして出会った 山で– 神の –そして口づけした– 彼に
H6298 H2022 H0430

主はアロンに言われた、「荒野に行ってモーセに会いなさい」。彼は行って神の山でモーセに会い、これに口づけした。

28 וַיַּגֶּד֩ מֹשֶׁ֨ה לְאַהֲרֹ֜ן אֵ֣ת כָּל־דִּבְרֵ֣י יְהוָ֗ה אֲשֶׁ֤ר שְׁלָחוֹ֙ וְאֵ֣ת כָּל־הָאֹתֹ֔ת אֲשֶׁ֥ר צִוָּֽהוּ׃
–そして告げた モーセは アロンに (を) すべての– 言葉を 主の その 遣わした –そして(を)
H5046 H4872 H0175 H0853 H3605 H1697 H3068 H7971 H0853

29 וַיֵּ֣לֶךְ מֹשֶׁ֣ה וְאַהֲרֹ֔ן וַיַּאַסְפ֖וּ אֶת־כָּל־זִקְנֵ֣י בְנֵֽי־יִשְׂרָאֵֽל׃
–そして行った モーセと –そしてアロンは –そして集めた (を) すべての– 長老たちを 息子たちの イスラエルの
H3212 H4872 H0175 H0622 H0853 H3605 H2205

そこでモーセとアロンは行ってイスラエルの人々の長老たちをみな集めた。

30 וַיְדַבֵּ֣ר אַהֲרֹ֔ן אֵ֖ת כָּל־הַדְּבָרִ֣ים אֲשֶׁר־דִּבֶּ֣ר יְהוָ֣ה אֶל־מֹשֶׁ֑ה וַיַּ֥עַשׂ הָאֹתֹ֖ת לְעֵינֵ֥י הָעָֽם׃
–そして語った アロンは (を) すべての– 言葉を その– 語った 主が –に モーセ –そして行った しるしを 目の前で– 民の
H1696 H0175 H0853 H3605 H1697 H1696 H3068 H0413 H4872 H6213 H0226

そしてアロンは主がモーセに語られた言葉を、ことごとく告げた。また彼は民の前でしるしを行ったので、

31 וַיַּאֲמֵ֣ן הָעָ֔ם וַיִּשְׁמְע֗וּ כִּֽי־פָקַ֤ד יְהוָה֙ אֶת־בְּנֵ֣י יִשְׂרָאֵ֔ל וְכִ֥י רָאָ֖ה אֶת־עָנְיָ֑ם וַיִּקְּדוּ֙ וַיִּשְׁתַּחֲוּ׃
–そして信じた 民は –そして聞いた そして– 顧みたことを 主が (を) 息子たちを –そしてそして 見たことを (を) 苦しみを –そしてひざまずいた –そしてひれ伏した
H0539 H8085 H3588 H6485 H3068 H0853 H1121 H3588 H7200 H0853 H6040 H6915 H7812

民は信じた。彼らは主がイスラエルの人々を顧み、その苦しみを見られたのを聞き、伏して礼拝した。

Chapter 5

1

כֹּה־	פַּרְעֹה	אֶל־	וַיֹּאמְרוּ	וְאַהֲרֹן	מֹשֶׁה	בָּאוּ	וְאַחַר
このように–	ファラオ	–に	–そして言った	–そしてアロンが	モーセと	行った	–そしてその後
H3541	H6547	H0413	H0559	H0175	H4872	H0935	

לִי	וְיָחֹגּוּ	עַמִּי	אֶת־	שַׁלַּח	יִשְׂרָאֵל	אֱלֹהֵי	יְהוָה	אָמַר
私に	–そして祭りをさせよ	我が民を	(を)	去らせよ	イスラエルの	神である	主は	言った
	H2287		H0853	H7971	H3478	H0430	H3068	H0559

בַּמִּדְבָּר׃
荒野で

その後、モーセとアロンは行ってパロに言った、「イスラエルの神、主はこう言われる、『わたしの民を去らせ、荒野で、わたしのために祭をさせなさい』と」。

2

אֶת־	לְשַׁלַּח	בְּקֹלוֹ	אֶשְׁמַע	אֲשֶׁר	יְהוָה	מִי	פַּרְעֹה	וַיֹּאמֶר
(を)	去らせるために	声に	聞くのか	その	主とは	誰だ	ファラオは	–そして言った
H0853	H7971		H8085		H3068	H4310	H6547	H0559

אֲשַׁלַּח׃	לֹא	יִשְׂרָאֵל	אֶת־	וְגַם	יְהוָה	אֶת־	יָדַעְתִּי	לֹא	יִשְׂרָאֵל
去らせ	ない	イスラエルを	(を)	–そしてまた	主を	(を)	知ら	ない	イスラエルを
H7971	H3808	H3478	H0853	H1571	H3068	H0853	H3045	H3808	H3478

パロは言った、「主とはいったい何者か。わたしがその声に聞き従ってイスラエルを去らせなければならないのか。わたしは主を知らない。またイスラエルを去らせはしない」。

3

דֶּרֶךְ	נָּא	נֵלְכָה	עָלֵינוּ	נִקְרָא	הָעִבְרִים	אֱלֹהֵי	וַיֹּאמְרוּ	
道のりを	どうか	行かせてください–	我々に	出会った	ヘブライ人の	神が	–そして言った	
H1870	H4994	H3212		H7122	H5680	H0430	H0559	

פֶּן־	אֱלֹהֵינוּ	לַיהוָה	וְנִזְבְּחָה	בַּמִּדְבָּר	יָמִים	שְׁלֹשֶׁת	
そうしないと–	我々の神である	主に–	–そしていけにえをささげたい	荒野に	日の	三	
H6435	H0430	H3068	H2076		H3117	H7969	

בֶּחָרֶב׃	אוֹ	בַּדֶּבֶר	יִפְגָּעֵנוּ
剣で	あるいは	疫病で	打たれる
H2719		H1698	H6293

彼らは言った、「ヘブルびとの神がわたしたちに現れました。どうか、わたしたちを三日の道のりほど荒野に行かせ、わたしたちの神、主に犠牲をささげさせてください。そうしなければ主は疫病か、つるぎをもって、わたしたちを悩まされるからです」。

4

אֶת־	תַּפְרִיעוּ	וְאַהֲרֹן	מֹשֶׁה	לָמָּה	מִצְרַיִם	מֶלֶךְ	אֲלֵהֶם	וַיֹּאמֶר
(を)	休ませるのか	–そしてアロンよ	モーセよ	なぜ	エジプトの	王は	彼らに	–そして言った
H0853		H0175	H4872	H4100	H4714	H4428	H0413	H0559

לְסִבְלֹתֵיכֶם׃	לְכוּ	מִמַּעֲשָׂיו	הָעָם	
重荷のもとへ	行け	仕事から	民を	
H5450	H3212	H4639		

エジプトの王は彼らに言った、「モーセとアロンよ、あなたがたは、なぜ民に働きをやめさせようとするのか。自分の労役につくがよい」。

5

אֹתָם	וְהִשְׁבַּתֶּם	הָאָרֶץ	עַם	עַתָּה	רַבִּים	הֵן־	פַּרְעֹה	וַיֹּאמֶר
彼らを	–そして休ませるのか	地の	民は	今や	多い	見よ–	ファラオは	–そして言った
H0853		H0776		H6258		H2005	H6547	H0559

מִסִּבְלֹתָם׃
重荷から
H5450

パロはまた言った、「見よ、今や土民の数は多い。しかも、あなたがたは彼らに労役を休ませようとするのか」。

6

וְאֶת־	בָּעָם	הַנֹּגְשִׂים	אֶת־	הַהוּא	בַּיּוֹם	פַּרְעֹה	וַיְצַו	
–そして(を)	民の中の	追い使いたちに	(を)	その	その日に	ファラオは	–そして命じた	
H0853		H5065	H0853	H1931	H3117	H6547	H6680	

לֵאמֹר׃	שֹׁטְרָיו
言って	役人たちに
H0559	H7860

その日、パロは民を追い使う者と、民のかしらたちに命じて言った、

7

שִׁלְשֹׁם	כִּתְמוֹל	הַלְבֵנִים	לִלְבֹּן	לָעָם	תָּבֶן	לָתֵת	תֹּאסִפוּן	לֹא
―昨日のように	昨日も–	れんがを	作るための	民に	わらを	与えては	続けてはなら	ない
H8032	H8543	H3843			H8401	H5414	H3254	H3808

תָּבֶן׃	לָהֶם	וְקִשְּׁשׁוּ	יֵלְכוּ	הֵם
わらを	彼らに	–そして集めさせよ	行って	彼ら自身が
H8401			H3212	H1992

「あなたがたは、れんがを作るためのわらを、もはや、今までのように、この民に与えてはならない。彼らに自分で行って、わらを集めさせなさい。

8

עֲלֵיהֶם	תָּשִׂימוּ	שִׁלְשֹׁם	תְּמוֹל	עֹשִׂים	הֵם	אֲשֶׁר	הַלְבֵנִים	מַתְכֹּנֶת	וְאֶת־
彼らの上に	置け	―昨日も	昨日も	作っていた	彼らが	その	れんがの	分量は	–そして(を)
		H8032	H8543		H1992		H3843	H4971	H0853

צֹעֲקִים	הֵם	כֵּן	עַל־	הֵם	נִרְפִּים	כִּי־	מִמֶּנּוּ	תִּגְרְעוּ	לֹא
叫んでいる	彼らは	その	–のために	彼らは	怠けている	なぜなら–	それから	減らしては	ない
H6817	H1992			H1992	H7503			H1639	H3808

לֵאלֹהֵינוּ׃	נִזְבְּחָה	נֵלְכָה	לֵאמֹר
我々の神に	いけにえをささげたい	行かせてくれ	言って
H0430	H2076	H3212	H0559

また前に作っていた、れんがの数どおりに彼らに作らせ、それを減らしてはならない。彼らはなまけ者だ。それだから、彼らは叫んで、『行ってわたしたちの神に犠牲をささげさせよ』と言うのだ。

9

יִשְׁעוּ	וְאַל־	בָּהּ	וְיַעֲשׂוּ־	הָאֲנָשִׁים	עַל־	הָעֲבֹדָה	תִּכְבַּד	
相手にするな	–そしてない–	それに	–そして働かせよ–	男たち	–の上に	労働を	重くせよ	
H8159	H0408			H0376		H5656	H3513	

שֶׁקֶר׃	בִּדְבְרֵי־
嘘の	言葉を–
H8267	H1697

この人々の労役を重くして、働かせ、偽りの言葉に心を寄せさせぬようにしなさい」。

10

לֵאמֹר	הָעָם	אֶל־	וַיֹּאמְרוּ	וְשֹׁטְרָיו	הָעָם	נֹגְשֵׂי	וַיֵּצְאוּ		
言って	民	–に	–そして言った	–そして役人たちは	民の	追い使いたちは	–そして出て行った		
H0559		H0413	H0559	H7860		H5065	H3318		

תָּבֶן׃	לָכֶם	נֹתֵן	אֵינֶנִּי	פַּרְעֹה	אָמַר	כֹּה
わらを	お前たちに	与え	ない	ファラオは	言った	このように
H8401		H5414	H0369	H6547	H0559	H3541

そこで民を追い使う者たちと、民のかしらたちは出て行って、民に言った、「パロはこう仰せられる、『あなたがたに、わらは与えない。

11 אַתֶּם לְכוּ קְחוּ לָכֶם בְּעֵבֶן מֵאֲשֶׁר תִּמְצָאוּ כִּי אֵין
お前たち自身 行け 取れ 自分たちで わらを どこからでも 見つけるだろう なぼなら ない
H3212 H3947 H8401 H4672 H0369

נִגְרָע מֵעֲבֹדַתְכֶם דָּבָר׃
減らされ お前たちの労働から 何も
H1639 H5656 H1697

自分で行って、見つかる所から、わらを取って来るがよい。しかし働きは少しも減らしてはならない』と」。

12 וַיָּפֶץ הָעָם בְּכָל־אֶרֶץ מִצְרַיִם לְקֹשֵׁשׁ קַשׁ לַתֶּבֶן׃
–そして散った 民は すべての– 地に エジプトの 集めるために 切り株を わらのために
H3605 H0776 H4714 H7179 H8401

そこで民はエジプトの全地に散って、わらのかわりに、刈り株を集めた。

13 וְהַנֹּגְשִׂים אָצִים לֵאמֹר כַּלּוּ מַעֲשֵׂיכֶם דְּבַר־יוֹם בְּיוֹמוֹ כַּאֲשֶׁר
–そして追い使いたちは 急がせて 言った 終えよ 仕事を 一日の– 分をその日に ように
H5065 H0213 H0559 H3615 H4639 H1697 H3117 H3117

בִּהְיוֹת הַתֶּבֶן׃
あったとき わらが
H1961 H8401

追い使う者たちは、彼らをせき立てて言った、「わらがあった時と同じように、あなたがたの働きの、日ごとの分を仕上げなければならない」。

14 וַיֻּכּוּ שֹׁטְרֵי בְנֵי יִשְׂרָאֵל אֲשֶׁר־שָׂמוּ עֲלֵהֶם נֹגְשֵׂי
–そして打たれた 役人たちは 息子たちの イスラエルの その– 立てた 彼らの上に 追い使いたちが
H5221 H7860 H1121 H3478 H0834 H7760 H5921 H5065

לֵאמֹר מַדּוּעַ לֹא כִלִּיתֶם חָקְכֶם לִלְבֹּן כְּתִמּוֹל שִׁלְשֹׁם
言って なぜ ない 終えたのか 割り当てを 作るための 昨日も– 一昨日のように
H0559 H4069 H3808 H3615 H2706 H3835 H8543 H8032

גַּם־תְּמוֹל גַּם־הַיּוֹם׃
また– 昨日も また– 今日も
H1571 H8543 H1571 H3117

パロの追い使う者たちがイスラエルの人々の上に立てたかしらたちは、打たれて、「なぜ、あなたがたは、れんが作りの仕事を、きょうも、前のように仕上げないのか」と言われた。

15 וַיָּבֹאוּ שֹׁטְרֵי בְנֵי יִשְׂרָאֵל וַיִּצְעֲקוּ אֶל־פַּרְעֹה לֵאמֹר
–そして行った 役人たちは 息子たちの イスラエルの –そして叫んだ –に ファラオ 言って
H0935 H7860 H1121 H3478 H6817 H0413 H6547 H0559

לָמָּה תַעֲשֶׂה כֹּה לַעֲבָדֶיךָ׃
なぜ するのですか このように 僕べたちに
H4100 H3541 H5650

そこで、イスラエルの人々のかしらたちはパロのところに行き、叫んで言った、「あなたはなぜ、しもべどもにこんなことをなさるのですか。

16 תֶּבֶן אֵין נִתָּן לַעֲבָדֶיךָ וּלְבֵנִים אֹמְרִים עֲשׂוּ לָנוּ וְהִנֵּה
わらが ない 与えられ 僕べたちに –そしてれんがを 言われる 作れと 我々に –そして見よ
H8401 H0369 H5414 H5650 H3843 H0559 H6213 H0589 H2009

עַמֶּךָ׃ וְחָטָאת מֻכִּים עֲבָדֶיךָ
あなたの民の –そして罪は 打たれている 僕べたちは
H5971 H2398 H5221 H5650

しもべどもは、わらを与えられず、しかも彼らはわたしたちに、『れんがは作れ』と言うのです。その上、しもべどもは打たれています。罪はあなたの民にあるのです」。

17 וַיֹּאמֶר נִרְפִּים אַתֶּם נִרְפִּים עַל־כֵּן אַתֶּם אֹמְרִים

–そして言った 怠け者だ お前たちは 怠け者だ –のために その お前たちは 言うのだ
H0559 H7503 H7503 H0559

נִזְבְּחָה׃ לַיהוָה נֵלְכָה

いけにえをささげたいと 主に 行かせてくれと
H2076 H3068 H3212

パロは言った、「あなたがたは、なまけ者だ、なまけ者だ。それだから、『行って、主に犠牲をささげさせよ』と言うのだ。

18 וְעַתָּה לְכוּ עִבְדוּ וְתֶבֶן לֹא־יִנָּתֵן לָכֶם וְתֹכֶן לְבֵנִים תִּתֵּנוּ׃

–そして今 行け 働け –そしてわらは ない– 与えられ お前たちに –そして分量の れんがの 納めよ
H6258 H3212 H5647 H8401 H3808 H5414 H8506 H3843 H5414

さあ、行って働きなさい。わらは与えないが、なおあなたがたは定めた数のれんがを納めなければならない」。

19 וַיִּרְאוּ שֹׁטְרֵי בְנֵי־יִשְׂרָאֵל אֹתָם בָּרָע לֵאמֹר לֹא־תִגְרְעוּ מִלִּבְנֵיכֶם דְּבַר־יוֹם בְּיוֹמוֹ׃

–そして見た 役人たちは 息子たちの– イスラエルの 自分たちが 苦境にあることを 言われて ない– 減らしては れんがから 一日の– 日の 分をその日に
H7200 H7860 H1121 H3478 H0853 H7451 H0559 H3808 H1639 H3843 H1697 H3117 H3117

イスラエルの人々のかしらたちは、「れんがの日ごとの分を減らしてはならない」と言われたので、悪い事態になったことを知った。

20 וַיִּפְגְּעוּ אֶת־מֹשֶׁה וְאֶת־אַהֲרֹן נִצָּבִים לִקְרָאתָם בְּצֵאתָם מֵאֵת פַּרְעֹה׃

–そして出会った (を) モーセと (を) アロンに 立っていた 迎えに 出てきたとき– ファラオ のもとから
H6293 H0853 H4872 H0853 H0175 H5324 H7125 H3318 H6547 H0854

彼らがパロを離れて出てきた時、彼らに会おうとして立っていたモーセとアロンに会ったので、

21 וַיֹּאמְרוּ אֲלֵהֶם יְהוָה יֵרֶא וְיִשְׁפֹּט עֲלֵיכֶם אֲשֶׁר הִבְאַשְׁתֶּם אֶת־רֵיחֵנוּ בְּעֵינֵי פַרְעֹה וּבְעֵינֵי עֲבָדָיו לָתֵת חֶרֶב בְּיָדָם לַהֲרָגֵנוּ׃

–そして言った 彼らに 見よ 主が –そして裁け あなたがたの上に その 臭くした (を) 我々の評判を 目に– ファラオの –そして目に– 家来たちの 与えたのだ– 剣を 手に 殺すために
H0559 H0413 H7200 H3068 H8199 H5921 H0834 H0887 H0853 H7381 H5869 H6547 H5650 H5414 H2719 H3027 H2026

彼らに言った、「主があなたがたをごらんになって、さばかれますように。あなたがたは、わたしたちをパロとその家来たちにきらわせ、つるぎを彼らの手に渡して、殺させようとしておられるのです」。

22 וַיָּשָׁב מֹשֶׁה אֶל־יְהוָה וַיֹּאמַר אֲדֹנָי לָמָּה הֲרֵעֹתָה לָעָם הַזֶּה לָמָּה זֶּה שְׁלַחְתָּנִי׃

–そして戻った モーセは –のもとへ 主 –そして言った 主よ なぜ 悪くされたのですか この 民に– なぜ このように 遣わしたのですか
H7725 H4872 H0413 H3068 H0559 H0136 H4100 H7489 H2088 H5971 H4100 H2088

モーセは主のもとに帰って言った、「主よ、あなたは、なぜこの民をひどい目にあわされるのですか。なんのためにわたしをつかわされたのですか。

הַזֶּה	לָעָם	הֵרַע	בִּשְׁמֶךָ	לְדַבֵּר	פַּרְעֹה	אֶל־	בָּאתִי	וּמֵאָז	23
この	民に–	悪くした	あなたの名で	語るために	ファラオ	–のもとへ	行った	–そしてそれ以来	
H2088			H8034	H1696	H6547	H0413	H0935		

עַמֶּךָ׃	אֶת־	הִצַּלְתָּ	לֹא־	וְהַצֵּל
あなたの民を	(を)	救わ	ない–	–そして救うこと
	H0853	H5337	H3808	H5337

わたしがパロのもとに行って、あなたの名によって語ってからこのかた、彼はこの民をひどい目にあわせるばかりです。また、あなたは、すこしもあなたの民を救おうとなさいません」。

Chapter 6

לְפַרְעֹה	אֶעֱשֶׂה	אֲשֶׁר	תִּרְאֶה	עַתָּה	מֹשֶׁה	אֶל־	יְהוָה	וַיֹּאמֶר	1
ファラオに	行うことを	わたしが	あなたは–見る	今	モーセ	～に	主は	そして–言われた	
H6547			H7200	H6258	H4872	H0413	H3068	H0559	

מֵאַרְצוֹ׃	יְגָרְשֵׁם	חֲזָקָה	וּבְיָד	יְשַׁלְּחֵם	חֲזָקָה	בְּיָד	כִּי	
自分の–地から	彼らを–追い出す	彼は	強い–手で	彼らを–去らせ	彼は	強い–手で	なぜなら	
H0776	H1644	H2389	H3027	H7971	H2389	H3027		

ס
(段落)

主はモーセに言われた、「今、あなたは、わたしがパロに何をしようとしているかを見るであろう。すなわちパロは強い手にしいられて、彼らを去らせるであろう。否、彼は強い手にしいられて、彼らを国から追い出すであろう」。

יְהוָה׃	אֲנִי	אֵלָיו	וַיֹּאמֶר	מֹשֶׁה	אֶל־	אֱלֹהִים	וַיְדַבֵּר		2
主である	わたしは	彼に	そして–言われた	モーセ	～に	神は	そして–語られた		
H3068	H0589	H0413	H0559	H4872	H0413	H0430	H1696		

神はモーセに言われた、「わたしは主である。

שַׁדָּי	בְּאֵל	יַעֲקֹב	וְאֶל־	יִצְחָק	אֶל־	אַבְרָהָם	אֶל־	וָאֵרָא	3
神として	全能の	ヤコブ	そして–～に	イサク	～に	アブラハム	～に	わたしは–現れた	
H7706	H0410	H3290	H0413	H3327	H0413	H0085	H0413	H7200	

לָהֶם׃	נוֹדַעְתִּי	לֹא	יְהוָה	וּשְׁמִי
彼らに	知らせなかった	～ない	主は	しかし–わたしの–名
	H3045	H3808	H3068	H8034

わたしはアブラハム、イサク、ヤコブには全能の神として現れたが、主という名では、自分を彼らに知らせなかった。

אֶת־	לָהֶם	לָתֵת	אִתָּם	בָּרִיתִי	אֶת־	הֲקִמֹתִי	גַּם		4
(を)	彼らに	与えるために	彼らと	わたしの–契約を	(を)	わたしは–立てた	そして–また		
H0853		H5414	H0854	H1285	H0853		H1571		

בָּהּ׃	גָּרוּ	אֲשֶׁר־	מְגֻרֵיהֶם	אֶרֶץ	אֵת	כְּנַעַן	אֶרֶץ	
その中で	彼らが–寄留した	そこに	彼らの–寄留の	地を	(を)	カナンの	地を	
			H4033	H0776	H0853		H0776	

わたしはまたカナンの地、すなわち彼らが寄留したその寄留の地を、彼らに与えるという契約を彼らと立てた。

5

מִצְרַ֔יִם	אֲשֶׁ֥ר	יִשְׂרָאֵ֛ל	בְּנֵ֥י	נַאֲקַ֖ת	אֶת־	שָׁמַ֣עְתִּי	אֲנִ֑י	וְגַ֣ם
エジプトが	（彼らを）	イスラエルの	子らの	うめき声を	（を）	聞いた	わたしは	そして–また
H4714		H3478		H5009	H0853	H8085	H0589	H1571

בְּרִיתִֽי׃	אֶת־	וָאֶזְכֹּ֖ר	אֹתָ֔ם	מַֽעֲבִדִ֣ים
わたしの–契約を	（を）	そして–わたしは–思い出した	彼らを	苦役させている
H1285	H0853	H2142	H0853	H5647

わたしはまた、エジプトびとが奴隷としているイスラエルの人々のうめきを聞いて、わたしの契約を思い出した。

6

אֶתְכֶ֖ם	וְהוֹצֵאתִ֣י	יְהוָ֔ה	אֲנִ֣י	יִשְׂרָאֵ֑ל	לִבְנֵי־	אֱמֹ֣ר	לָכֵ֗ן
あなたがたを	わたしは–導き出す	主である	わたしは	イスラエルの	子らに	言え	それゆえ
H0853	H3318	H3068	H0589	H3478		H0559	

וְגָאַלְתִּ֥י	מֵעֲבֹדָתָ֖ם	אֶתְכֶ֛ם	וְהִצַּלְתִּ֥י	מִצְרַ֖יִם	סִבְלֹ֣ת	מִתַּ֣חַת
わたしは–贖う	彼らの–労役から	あなたがたを	わたしは–救い出す	エジプトの	重荷の	～の–下から
	H5656	H0853	H5337	H4714	H5450	H8478

גְּדֹלִֽים׃	וּבִשְׁפָטִ֖ים	נְטוּיָ֑ה	בִּזְרוֹעַ֙	אֶתְכֶ֔ם
大いなる	さばきによって	大いなる	伸ばされた–腕で	あなたがたを
	H8201	H5186	H2220	H0853

それゆえ、イスラエルの人々に言いなさい、『わたしは主である。わたしはあなたがたをエジプトびとの労役の下から導き出し、奴隷の務から救い、また伸べた腕と大いなるさばきをもって、あなたがたをあがなうであろう。

7

לֵאלֹהִ֔ים	לָכֶ֑ם	וְהָיִ֣יתִי	לְעָ֗ם	לִי֙	אֶתְכֶ֔ם	וְלָקַחְתִּ֥י
神と	あなたがたの	わたしは–なる	民として	わたしのために	あなたがたを	わたしは–取る
H0430		H1961			H0853	H3947

אֶתְכֶ֖ם	הַמּוֹצִ֣יא	אֱלֹהֵיכֶ֔ם	יְהוָ֑ה	אֲנִ֣י	כִּ֤י	וִֽידַעְתֶּם֙
あなたがたを	導き出す–者	あなたがたの–神	主であり	わたしが	（こと）	あなたがたは–知る
H0853	H3318	H0430	H3068	H0589		H3045

מִצְרָֽיִם׃	סִבְלֹ֖ות	מִתַּ֥חַת
エジプトの	重荷の	～の–下から
H4714	H5450	H8478

わたしはあなたがたを取ってわたしの民とし、わたしはあなたがたの神となる。わたしがエジプトびとの労役の下からあなたがたを導き出すあなたがたの神、主であることを、あなたがたは知るであろう。

8

יָדִ֔י	אֶת־	נָשָׂ֥אתִי	אֲשֶׁ֛ר	הָאָ֖רֶץ	אֶל־	אֶתְכֶ֗ם	וְהֵבֵאתִ֤י
わたしの–手を	（を）	わたしが–誓った	（その地を）	その–地	～へ	あなたがたを	わたしは–導く
H3027	H0853	H5375		H0776	H0413	H0853	H0935

לָכֶ֖ם	אֹתָ֑הּ	וְנָתַתִּ֣י	וְלִיַּעֲקֹ֔ב	לְיִצְחָ֖ק	לְאַבְרָהָ֥ם	אֹתָ֛הּ	לָתֵ֥ת
あなたがたに	それを	わたしは–与える	ヤコブに	イサクに	アブラハムに	それを	与えると
	H0853	H5414	H3290	H3327	H0085	H0853	H5414

יְהוָֽה׃	אֲנִ֖י	מוֹרָשָׁ֑ה
主である	わたしは	所有として
H3068	H0589	H4181

わたしはアブラハム、イサク、ヤコブに与えると手を挙げて誓ったその地にあなたがたをはいらせ、それを所有として、与えるであろう。わたしは主である』と」。

וְלֹא יִשְׁרָאֵל בְּנֵי אֶל־ כֵּן מֹשֶׁה וַיְדַבֵּר 9
しかし–〜ない イスラエルの 子らに 〜に この–とおりに モーセは そして–語った
H3808 H3478 H0413 H4872 H1696

פ קָשֶׁה׃ וּמֵעֲבֹדָה רוּחַ מִקֹּצֶר מֹשֶׁה אֶל־ שָׁמְעוּ
（段落） 苦しい 厳しい–労役から 霊の 心の–短さから モーセ 〜に 彼らは–聞かなかった
H7186 H5656 H7307 H7115 H4872 H0413 H8085

モーセはこのようにイスラエルの人々に語ったが、彼らは心の痛みと、きびしい奴隷の務のゆえに、モーセに聞き従わなかった。

לֵאמֹר׃ מֹשֶׁה אֶל־ יְהוָה וַיְדַבֵּר 10
言われた モーセ 〜に 主は そして–語られた
H0559 H4872 H0413 H3068 H1696

さて主はモーセに言われた、

בְּנֵי־ אֶת־ וְיִשַׁלַּח מִצְרַיִם מֶלֶךְ פַּרְעֹה אֶל־ דַּבֵּר בֹּא 11
子らを （を） 彼が–去らせるように エジプトの 王 ファラオ 〜に 語れ 行って
H0853 H7971 H4714 H4428 H6547 H0413 H1696 H0935

מֵאַרְצוֹ׃ יִשְׂרָאֵל
自分の–地から イスラエルの
H0776 H3478

「エジプトの王パロのところに行って、彼がイスラエルの人々をその国から去らせるように話しなさい」。

לֹא־ יִשְׂרָאֵל בְּנֵי־ הֵן לֵאמֹר יְהוָה לִפְנֵי מֹשֶׁה וַיְדַבֵּר 12
〜ない イスラエルの 子らは ご覧ください 言った 主の 前で モーセは そして–語った
H3808 H3478 H2005 H0559 H3068 H6440 H4872 H1696

שְׂפָתָיִם׃ עֶרֶל וַאֲנִי פַּרְעֹה יִשְׁמָעֵנִי וְאֵיךְ אֵלַי שָׁמְעוּ
唇の–者です 割礼のない 私は ファラオが 聞くでしょうか どうして 私に 聞きませんでした
H8193 H6189 H0589 H6547 H8085 H0413 H8085

פ
（段落）

モーセは主にむかって言った、「イスラエルの人々でさえ、わたしの言うことを聞かなかったのに、どうして、くちびるに割礼のないわたしの言うことを、パロが聞き入れましょうか」。

בְּנֵי אֶל־ וַיְצַוֻּם אַהֲרֹן וְאֶל־ מֹשֶׁה אֶל־ יְהוָה וַיְדַבֵּר 13
子らの 〜について 命じられた アロン そして–〜に モーセ 〜に 主は そして–語られた
H0413 H6680 H0175 H0413 H4872 H0413 H3068 H1696

בְּנֵי־ אֶת־ לְהוֹצִיא מִצְרַיִם מֶלֶךְ פַּרְעֹה וְאֶל־ יִשְׂרָאֵל
子らを （を） 導き出すように エジプトの 王 ファラオ そして–〜について イスラエルの
H0853 H3318 H4714 H4428 H6547 H0413 H3478

ס מִצְרָיִם׃ מֵאֶרֶץ יִשְׂרָאֵל
（段落） エジプトの 地から イスラエルの
H4714 H0776 H3478

しかし、主はモーセとアロンに語って、イスラエルの人々と、エジプトの王パロのもとに行かせ、イスラエルの人々をエジプトの地から導き出せと命じられた。

14 אֵ֚לֶּה רָאשֵׁ֣י בֵֽית־אֲבֹתָ֔ם בְּנֵ֖י רְאוּבֵ֣ן בְּכֹ֣ר יִשְׂרָאֵ֑ל חֲנ֥וֹךְ
これらは 家の 彼らの-父祖の 子らは ルベンの 長子 イスラエルの ハノク
H0428 H1004 H0001 H1121 H7205 H1060 H3478 H2585

וּפַלּ֥וּא חֶצְרֹ֖ן וְכַרְמִ֑י אֵ֚לֶּה מִשְׁפְּח֣וֹת רְאוּבֵֽן׃
パルー ヘツロン カルミ これらは 氏族である ルベンの
H6396 H2696 H3756 H0428 H4940 H7205

彼らの先祖の家の首長たちは次のとおりである。すなわちイスラエルの長子ルベンの子らはハノク、パル、ヘツロン、カルミで、これらはルベンの一族である。

15 וּבְנֵ֣י שִׁמְע֔וֹן יְמוּאֵ֥ל וְיָמִ֖ין וְאֹהַ֣ד וְיָכִ֑ין וְצֹ֥חַר וְשָׁא֖וּל בֶּן־
子らは シメオンの エムエル ヤミン オハデ ヤキン ツォハル シャウル 子である
H1121 H8095 H3223 H3226 H0161 H3199 H6714 H7586

הַֽכְּנַעֲנִ֔ית אֵ֚לֶּה מִשְׁפְּח֣וֹת שִׁמְעֹ֑ן׃
カナン人の-女の これらは 氏族である シメオンの
H3669 H0428 H4940 H8095

シメオンの子らはエムエル、ヤミン、オハデ、ヤキン、ゾハル、およびカナンの女から生れたシャウルで、これらはシメオンの一族である。

16 וְאֵ֚לֶּה שְׁמ֣וֹת בְּנֵי־לֵוִ֔י לְתֹלְדֹתָ֑ם גֵּרְשׁ֣וֹן וּקְהָ֔ת וּמְרָרִ֖י
これらは 名である 子らの レビの その-系図に-よれば ゲルション ケハテ メラリ
H0428 H8034 H1121 H3878 H8435 H1648 H6955 H4847

וּשְׁנֵ֥י חַיֵּ֖י לֵוִ֑י שָׁנָֽה׃ וּמְאַ֥ת וּשְׁלֹשִׁ֖ים שָׁנָ֣ה וּשְׁבַ֔ע
年であった 百 三十 七 レビの 生涯の
H8141 H3967 H7970 H7651 H3878 H2416

レビの子らの名は、その世代に従えば、ゲルション、コハテ、メラリで、レビの一生は百三十七年であった。

17 בְּנֵ֣י גֵרְשׁ֔וֹן לִבְנִ֥י וְשִׁמְעִ֖י לְמִשְׁפְּחֹתָֽם׃
子らは ゲルションの リブニ シムイ その-氏族に-よれば
H1121 H1648 H3845 H8096 H4940

ゲルションの子らの一族はリブニとシメイである。

18 וּבְנֵ֣י קְהָ֔ת עַמְרָ֥ם וְיִצְהָ֖ר וְחֶבְר֣וֹן וְעֻזִּיאֵ֑ל וּשְׁנֵ֥י חַיֵּ֖י קְהָ֥ת שָׁלֹֽשׁ׃
子らは ケハテの アムラム イツハル ヘブロン ウジエル 年数は 生涯の ケハテの 三
H1121 H6955 H6019 H3324 H2275 H5816 H8141 H2416 H6955 H7969

וּשְׁלֹשִׁ֖ים וּמְאַ֥ת שָׁנָֽה׃
三十 百 年であった
H7970 H3967 H8141

コハテの子らはアムラム、イヅハル、ヘブロン、ウジエルで、コハテの一生は百三十三年であった。

19 וּבְנֵ֣י מְרָרִ֔י מַחְלִ֥י וּמוּשִׁ֖י אֵ֚לֶּה מִשְׁפְּח֣וֹת הַלֵּוִ֔י לְתֹלְדֹתָֽם׃
子らは メラリの マフリ ムシ これらは 氏族である レビ人の その-系図に-よれば
H1121 H4847 H4249 H4187 H0428 H4940 H3878 H8435

メラリの子らはマヘリとムシである。これらはその世代によるレビの一族である。

20

וַיִּקַּח עַמְרָם אֶת־יוֹכֶבֶד דֹּדָתוֹ לוֹ לְאִשָּׁה וַתֵּלֶד
そして-めとった アムラムは (を) ヨケベデを 自分の-おばを 自分の 妻として 彼女は-産んだ
H3947 H6019 H0853 H3115 H1733 H0802 H3205

אֶת־אַהֲרֹן וְאֶת־מֹשֶׁה וּשְׁנֵי חַיֵּי עַמְרָם שֶׁבַע וּשְׁלֹשִׁים וּמְאַת
(を) アロンと (を) モーセを 年数は 生涯の アムラムの 七 三十 百
H0853 H0175 H0853 H4872 H8141 H2416 H6019 H7651 H7970 H3967

שָׁנָה׃
年であった
H8141

アムラムは父の妹ヨケベデを妻としたが、彼女はアロンとモーセを彼に産んだ。アムラムの一生は百三十七年であった。

21

וּבְנֵי יִצְהָר קֹרַח נֶפֶג וְזִכְרִי׃
子らは イツハルの コラ ネフェグ ジクリ
H1121 H3324 H7141 H5298 H2147

イヅハルの子らはコラ、ネペグ、ジクリである。

22

וּבְנֵי עֻזִּיאֵל מִישָׁאֵל וְאֶלְצָפָן וְסִתְרִי׃
子らは ウジエルの ミシャエル エルツァファン シテリ
H1121 H5816 H4332 H0469 H5644

ウジエルの子らはミサエル、エルザパン、シテリである。

23

וַיִּקַּח אַהֲרֹן אֶת־אֱלִישֶׁבַע בַּת־עַמִּינָדָב אֲחוֹת נַחְשׁוֹן
そして-めとった アロンは (を) エリシェバを 娘 アミナダブの 姉妹 ナフションの
H3947 H0175 H0853 H0472 H1323 H5992 H0269 H5177

לוֹ לְאִשָּׁה וַתֵּלֶד לוֹ אֶת־נָדָב וְאֶת־אֲבִיהוּא אֶת־אֶלְעָזָר
自分の 妻として 彼女は-産んだ 彼のために (を) ナダブ (を) アビフ (を) エルアザル
H1121 H0802 H3205 H0853 H5070 H0853 H0030 H0853 H0499

וְאֶת־אִיתָמָר׃
(を) イタマルを
H0853 H0385

アロンはナションの姉妹、アミナダブの娘エリセバを妻とした。エリセバは彼にナダブ、アビウ、エレアザル、イタマルを産んだ。

24

וּבְנֵי קֹרַח אַסִּיר וְאֶלְקָנָה וַאֲבִיאָסָף אֵלֶּה מִשְׁפְּחֹת הַקָּרְחִי׃
子らは コラの アッシル エルカナ アビアサフ これらは 氏族である コラ人の
H1121 H7141 H0617 H0511 H0023 H0428 H4940 H7145

コラの子らはアッシル、エルカナ、アビアサフで、これらはコラびとの一族である。

25

וְאֶלְעָזָר בֶּן־אַהֲרֹן לָקַח־לוֹ מִבְּנוֹת פּוּטִיאֵל לוֹ לְאִשָּׁה
そして エルアザルは 子 アロンの めとった 自分の 娘たちの中から プティエルの 自分の 妻として
H0499 H1121 H0175 H3947 H0853 H1323 H6317 H0853 H0802

וַתֵּלֶד לוֹ אֶת־פִּינְחָס אֵלֶּה רָאשֵׁי אֲבוֹת הַלֵּוִי לְמִשְׁפְּחֹתָם׃
彼女は-産んだ 彼のために (を) ピネハスを これらは かしらたちである 父祖の レビ人の その-氏族に-よれば
H3205 H0853 H6372 H0428 H7218 H1 H3881 H4940

アロンの子エレアザルはプテエルの娘のひとりを妻とした。彼女はピネハスを彼に産んだ。これらは、その一族によるレビびとの先祖の家の首長たちである。

בְּנֵי	אֶת־	הוֹצִיאוּ	לָהֶם	יְהוָה	אָמַר	אֲשֶׁר	וּמֹשֶׁה	אַהֲרֹן	הוּא	26
子らを	（を）	導き出せ	彼らに	主が	言われた	彼らに	モーセである	アロンと	この	
	H0853	H3318		H3068	H0559		H4872	H0175	H1931	

צִבְאֹתָם׃	עַל־	מִצְרַיִם	מֵאֶרֶץ	יִשְׂרָאֵל
軍勢ごとに	その	エジプトの	地から	イスラエルの
		H4714	H0776	H3478

主が、「イスラエルの人々をその軍団に従って、エジプトの地から導き出しなさい」と言われたのは、このアロンとモーセである。

אֶת־	לְהוֹצִיא	מִצְרַיִם	מֶלֶךְ־	פַּרְעֹה	אֶל־	הַמְדַבְּרִים	הֵם	27
（を）	導き出すために	エジプトの	王	ファラオ	～に	語った–者たちである	彼らこそ	
H0853	H3318	H4714	H4428	H6547	H0413	H1696	H1992	

וְאַהֲרֹן׃	מֹשֶׁה	הוּא	מִמִּצְרָיִם	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי־
アロンである	モーセと	この	エジプトから	イスラエルの	子らを
H0175	H4872	H1931	H4714	H3478	

彼らはイスラエルの人々をエジプトから導き出すことについて、エジプトの王パロに語ったもので、すなわちこのモーセとアロンである。

פ	מִצְרָיִם׃	בְּאֶרֶץ	מֹשֶׁה	אֶל־	יְהוָה	דִּבֶּר	בְּיוֹם	וַיְהִי	28
（段落）	エジプトの	地で	モーセ	～に	主が	語られた	日に	そして–あった	
	H4714	H0776	H4872	H0413	H3068	H1696	H3117	H1961	

主がエジプトの地でモーセに語られた日に、

פַּרְעֹה	אֶל־	דַּבֵּר	יְהוָה	אֲנִי	לֵאמֹר	מֹשֶׁה	אֶל־	יְהוָה	וַיְדַבֵּר	29
ファラオ	～に	語れ	主である	わたしは	言われた	モーセ	～に	主は	そして–語られた	
H6547	H0413	H1696	H3068	H0589	H0559	H4872	H0413	H3068	H1696	

אֵלֶיךָ׃	דַּבֵּר	אֲנִי	אֲשֶׁר	כָּל־	אֵת	מִצְרַיִם	מֶלֶךְ
あなたに	語ることを	わたしが	（を）	すべて	（を）	エジプトの	王
H0413	H1696	H0589		H3605	H0853	H4714	H4428

主はモーセに言われた、「わたしは主である。わたしがあなたに語ることは、みなエジプトの王パロに語りなさい」。

וְאֵיךְ	שְׂפָתַיִם	עֲרַל	אֲנִי	הֵן	יְהוָה	לִפְנֵי	מֹשֶׁה	וַיֹּאמֶר	30
どうして	唇の–者です	割礼のない	私は	ご覧ください	主の	前で	モーセは	そして–言った	
	H8193	H6189	H0589	H2005	H3068	H6440	H4872	H0559	

פ	פַּרְעֹה׃	אֵלַי	יִשְׁמַע	
（段落）	ファラオが	私に	聞くでしょうか	
	H6547	H0413	H8085	

しかしモーセは主にむかって言った、「ごらんのとおり、わたしは、くちびるに割礼のない者です。パロがどうしてわたしの言うことを聞きいれましょうか」。

Chapter 7

1

וַיֹּאמֶר	יְהוָה	אֶל־	מֹשֶׁה	רְאֵה	נְתַתִּיךָ	אֱלֹהִים
そして–言われた	主は	～に	モーセ	見よ	わたしは–あなたを–立てた	神として
H0559	H3068	H0413	H4872	H7200	H5414	H0430

לְפַרְעֹה	וְאַהֲרֹן	אָחִיךָ	יִהְיֶה	נְבִיאֶךָ׃
ファラオに	アロンは	あなたの–兄は	なる	あなたの–預言者と
H6547	H0175	H0251	H1961	H5030

主はモーセに言われた、「見よ、わたしはあなたをパロに対して神のごときものとする。あなたの兄弟アロンはあなたの預言者となるであろう。

2

אַתָּה	תְדַבֵּר	אֵת	כָּל־	אֲשֶׁר	אֲצַוֶּךָּ	וְאַהֲרֹן	אָחִיךָ	יְדַבֵּר
あなたが	語れ	（を）	すべて	（を）	わたしが–命じることを	アロンは	あなたの–兄は	語る
H1696	H1696	H0853	H3605	H0834	H6680	H0175	H0251	H1696

אֶל־	פַּרְעֹה	וְשִׁלַּח	בְּנֵי־	יִשְׂרָאֵל	מֵאַרְצוֹ׃	
～に	ファラオ	彼が–去らせるように	子らを	イスラエルの	自分の–地から	
H0413	H6547	H7971	H0853	H3478	H0776	

あなたはわたしが命じることを、ことごとく彼に告げなければならない。そしてあなたの兄弟アロンはパロに告げて、イスラエルの人々をその国から去らせるようにさせなければならない。

3

וַאֲנִי	אַקְשֶׁה	אֶת־	לֵב	פַּרְעֹה	וְהִרְבֵּיתִי	אֶת־	
しかし–わたしは	かたくなにする	（を）	心を	ファラオの	わたしは–増やす	（を）	
H0589	H7185	H0853		H6547		H0853	

אֹתֹתַי	וְאֶת־	מוֹפְתַי	בְּאֶרֶץ	מִצְרָיִם׃	
わたしの–しるしと	（を）	わたしの–奇跡を	地で	エジプトの	
H0226	H0853	H4159	H0776	H4714	

しかし、わたしはパロの心をかたくなにするので、わたしのしるしと不思議をエジプトの国に多く行っても、

4

יָדִי	אֶת־	וְנָתַתִּי	פַּרְעֹה	אֲלֵכֶם	יִשְׁמַע	וְלֹא־
わたしの–手を	（を）	わたしは–置く	ファラオは	あなたがたに	聞かない	しかし–～ない
H3027	H0853	H5414	H6547	H0413	H8085	H3808

יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי־	עַמִּי	אֶת־	צִבְאֹתַי	אֶת־	וְהוֹצֵאתִי	בְּמִצְרַיִם
イスラエルの	子ら	わたしの–民	（を）	わたしの–軍勢を	（を）	わたしは–導き出す	エジプトに
H3478			H0853		H0853	H3318	H4714

גְּדֹלִים׃	בִּשְׁפָטִים	מִצְרַיִם	מֵאֶרֶץ
大いなる	さばきによって	エジプトの	地から
	H8201	H4714	H0776

パロはあなたがたの言うことを聞かないであろう。それでわたしは手をエジプトの上に加え、大いなるさばきをくだして、わたしの軍団、わたしの民イスラエルの人々を、エジプトの国から導き出すであろう。

5

אֶת־	בִּנְטֹתִי	יְהוָה	אֲנִי	כִּי־	מִצְרַיִם	וְיָדְעוּ
（を）	わたしが–伸ばす時	主であると	わたしが	（こと）	エジプトは	そして–知る
H0853	H5186	H3068	H0589		H4713	H3045

מִתּוֹכָם׃	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי־	אֶת־	וְהוֹצֵאתִי	מִצְרַיִם	עַל־	יָדִי
彼らの–中から	イスラエルの	子らを	（を）	わたしは–導き出す	エジプト	～の上に	わたしの–手を
H8432	H3478		H0853	H3318	H4714		H3027

わたしが手をエジプトの上にさし伸べて、イスラエルの人々を彼らのうちから導き出す時、エジプトびとはわたしが主であることを知るようになるであろう」。

6

כֵּן	אֹתָם	יְהוָה	צִוָּה	כַּאֲשֶׁר	וְאַהֲרֹן	מֹשֶׁה	וַיַּעַשׂ
その–とおりに	彼らに	主が	命じられた	（とおりに）	アロンは	モーセと	そして–行った
	H0853	H3068	H6680		H0175	H4872	

עָשׂוּ׃
行った

モーセとアロンはそのように行った。すなわち主が彼らに命じられたように行った。

7

בְּדַבְּרָם	שָׁנָה	וּשְׁמֹנִים	שָׁלֹשׁ	בֶּן־	וְאַהֲרֹן	שָׁנָה	שְׁמֹנִים	בֶּן־	וּמֹשֶׁה
彼らが–語った時	歳であった	八十	三	（歳）	アロンは	歳	八十	（歳）	モーセは
H1696	H8141	H8084	H7969		H0175	H8141	H8084		H4872

פ	פַּרְעֹה׃	אֶל־
（段落）	ファラオ	～に
	H6547	H0413

彼らがパロと語った時、モーセは八十歳、アロンは八十三歳であった。

8

לֵאמֹר׃	אַהֲרֹן	וְאֶל־	מֹשֶׁה	אֶל־	יְהוָה	וַיֹּאמֶר
言われた	アロン	そして–～に	モーセ	～に	主は	そして–言われた
H0559	H0175	H0413	H4872	H0413	H3068	H0559

主はモーセとアロンに言われた、

9

וְאָמַרְתָּ	מוֹפֵת	לָכֶם	תְּנוּ	לֵאמֹר	פַּרְעֹה	אֲלֵכֶם	יְדַבֵּר	כִּי
あなたは–言え	奇跡を	あなたがたの	示せ	言って	ファラオが	あなたがたに	語る	もし
H0559	H4159		H5414	H0559	H6547	H0413	H1696	

יְהִי	פַּרְעֹה	לִפְנֵי־	וְהַשְׁלֵךְ	מַטֶּךָ	אֶת־	קַח	אַהֲרֹן	אֶל־
それは–なる	ファラオの	前に	そして–投げよ	あなたの–杖を	（を）	取れ	アロン	～に
H1961	H6547	H6440	H7993	H4294	H0853	H3947	H0175	H0413

לְתַנִּין׃
蛇に

「パロがあなたがたに、『不思議をおこなって証拠を示せ』と言う時、あなたはアロンに言いなさい、『あなたのつえを取って、パロの前に投げなさい』と。するとそれはへびになるであろう」。

10

כַּאֲשֶׁר	כֵּן	וַיַּעֲשׂוּ	פַּרְעֹה	אֶל־	וְאַהֲרֹן	מֹשֶׁה	וַיָּבֹא	
（とおりに）	その–とおりに	そして–行った	ファラオ	～の前に	アロンは	モーセと	そして–来た	
			H6547	H0413	H0175	H4872	H0935	

וְלִפְנֵי	פַּרְעֹה	לִפְנֵי	מַטֵּהוּ	אֶת־	אַהֲרֹן	וַיַּשְׁלֵךְ	יְהוָה	צִוָּה
そして–前に	ファラオの	前に	自分の–杖を	（を）	アロンは	そして–投げた	主が	命じられた
H6440	H6547	H6440	H4294	H0853	H0175	H7993	H3068	H6680

לְתַנִּין׃	וַיְהִי		עֲבָדָיו
蛇に	すると–なった		家臣たちの
	H1961		H5650

それで、モーセとアロンはパロのところに行き、主の命じられたとおりにおこなった。すなわちアロンはそのつえを、パロとその家来たちの前に投げると、それはへびになった。

11

וַיִּקְרָא֙ גַּם־ הַ֣ם וַיַּעֲשׂ֔וּ וְלַמְכַשְּׁפִ֖ים לַחַרְטֻמִּ֑ים פַּרְעֹ֣ה גַּם־ מִצְרַ֗יִם בְּלַהֲטֵיהֶם֙ כֵּֽן׃ חַרְטֻמֵּי
すると–呼んだ また 彼らも 知者たちと ファラオも また 呪術師たちを そして–行った
H7121 H1571 H1992 H2450 H6547 H1571 H3784 H6547 H3858 H4714 H2748

そこでパロもまた知者と魔法使を召し寄せた。これらのエジプトの魔術師らもまた、その秘術をもって同じように行った。

12

וַיְבַלַּע֙ מַטֵּ֣הוּ אִ֔ישׁ וַיַּשְׁלִ֖יכוּ וַיְהִ֣י לְתַנִּינִ֑ם מַטֵּ֣הוּ אַהֲרֹ֣ן מַטֵּ֣ה־ אֶת־ מַטֹּתָֽם׃
しかし–飲み込んだ 自分の–杖を 各々が そして–投げた すると–なった 蛇に 杖が アロンの （を） 彼らの–杖を
H1104 H4294 H0376 H7993 H1961 H4294 H4294 H0175 H0853 H4294

すなわち彼らは、おのおのそのつえを投げたが、それらはへびになった。しかし、アロンのつえは彼らのつえを、のみつくした。

13

וַיֶּחֱזַ֣ק לֵ֠ב פַּרְעֹ֨ה וְלֹא־ שָׁמַ֜ע אֲלֵהֶ֗ם כַּאֲשֶׁ֤ר דִּבֶּר֙
しかし–かたくなになった 心は ファラオの ～ない 聞かなかった 彼らに （とおりに） 語られた
H2388 H3820 H6547 H3808 H8085 H0413 H0834 H1696

פ יְהוָ֔ה׃
（段落） 主が
H3068

けれども、パロの心はかたくなになって、主の言われたように、彼らの言うことを聞かなかった。

14

וַיֹּ֤אמֶר יְהוָה֙ אֶל־ מֹשֶׁ֔ה כָּבֵ֖ד לֵ֣ב פַּרְעֹ֑ה מֵאֵ֥ן לְשַׁלַּ֖ח
そして–言われた 主は ～に モーセ 重い 心は ファラオの 拒んでいる 去らせることを
H0559 H3068 H0413 H4872 H3515 H3820 H6547 H3985 H7971

הָעָֽם׃
民を

主はモーセに言われた、「パロの心はかたくなで、彼は民を去らせることを拒んでいる。

15

לֵ֚ךְ אֶל־ פַּרְעֹ֔ה בַּבֹּ֖קֶר הִנֵּ֣ה יֹצֵ֣א הַמָּ֑יְמָה וְנִצַּבְתָּ֣ לִקְרָאתֹ֗ו
行け ～の前に ファラオ 朝に 見よ 出て行く 水辺へ あなたは–立て 迎えるために
H3212 H0413 H6547 H1242 H2009 H3318 H4325 H5324 H7125

וְהַמַּטֶּה֙ אֲשֶׁר־ נֶהְפַּ֣ךְ לְתַנִּ֔ין תִּקַּ֖ח בְּיָדֶ֑ךָ׃ עַל־ שְׂפַ֣ת הַיְאֹ֔ר
そして–杖を （それは） 変わった 蛇に 取れ あなたの–手に 岸に ナイルの
H4294 H0834 H2015 H5175 H3947 H3027 H8193 H2975

あなたは、あすの朝、パロのところに行きなさい。見よ、彼は水のところに出ている。あなたは、へびに変ったあのつえを手に執り、ナイル川の岸に立って彼に会い、

16

וְאָמַרְתָּ֣ אֵלָ֗יו יְהוָה֙ אֱלֹהֵ֣י הָעִבְרִ֔ים שְׁלָחַ֥נִי אֵלֶ֖יךָ לֵאמֹ֑ר שַׁלַּ֣ח אֶת־
そして–言え 彼に 主は 神 ヘブル人の 遣わされた あなたに 言われた 去らせよ （を）
H0559 H0413 H3068 H0430 H5680 H7971 H0413 H0559 H7971 H0853

עַמִּ֣י וְיַעַבְדֻ֔נִי בַּמִּדְבָּ֖ר וְהִנֵּ֣ה לֹא־ שָׁמַ֔עְתָּ עַד־ כֹּֽה׃
わたしの–民を 彼らが–仕えるように 荒野で しかし–見よ ～ない 聞かなかった 今まで これまで
H5971 H5647 H4057 H2009 H3808 H8085 H5704 H3541

そして彼に言いなさい、『ヘブルびとの神、主がわたしをあなたにつかわして言われます、「わたしの民を去らせ、荒野で、わたしに仕えるようにさせよ」と。しかし今もなお、あなたが聞きいれようとされないので、

17

הִנֵּה	יְהוָה	אֲנִי	כִּי	תֵּדַע	בְּזֹאת	יְהוָה	אָמַר	כֹּה
見よ	主であると	わたしが	（こと）	あなたは–知る	これによって	主は	言われる	こう
H2009	H3068	H0589		H3045	H2063	H3068	H0559	H3541

בַּיְאֹר	אֲשֶׁר	הַמַּיִם	עַל־	בְּיָדִי	אֲשֶׁר־	בַּמַּטֶּה	וּמַכֶּה	אָנֹכִי
ナイルの中の	（それは）	水を	～の上に	わたしの–手にある	（それは）	杖で	打つ	わたしは
H2975		H4325		H3027		H4294	H5221	H0595

וְנֶהֶפְכוּ׃	לְדָם
すると–変わる	血に
H2015	H1818

主はこう仰せられます、「これによってわたしが主であることを、あなたは知るでしょう。見よ、わたしが手にあるつえでナイル川の水を打つと、それは血に変るであろう。

18

מִצְרַיִם	וְנִלְאֲוּ	הַיְאֹר	וּבָאַשׁ	תָּמוּת	בַּיְאֹר	אֲשֶׁר־	וְהַדָּגָה	
エジプト人は	うんざりする	ナイルは	そして–臭くなる	死ぬ	ナイルの中の	（それは）	魚は	
H4713	H3811	H2975	H0887	H4191	H2975		H1710	

ס	הַיְאֹר׃	מִן־	מַיִם	לִשְׁתּוֹת	
（段落）	ナイル	～から	水を	飲むことを	
	H2975		H4325	H8354	

そして川の魚は死に、川は臭くなり、エジプトびとは川の水を飲むことをいとうであろう」』と」。

19

וּנְטֵה־	מַטְּךָ	קַח	אַהֲרֹן	אֶל־	אֱמֹר	מֹשֶׁה	אֶל־	יְהוָה	וַיֹּאמֶר
そして–伸ばせ	あなたの–杖を	取れ	アロン	～に	言え	モーセ	～に	主は	そして–言われた
H5186	H4294	H3947	H0175	H0413	H0559	H4872	H0413	H3068	H0559

יְאֹרֵיהֶם	עַל־	וְנַהֲרֹתָם	עַל־	מִצְרַיִם	מֵימֵי	עַל־	יָדְךָ	
水路の上に	～の上に	川の上に	～の上に	エジプトの	水の	～の上に	あなたの–手を	
H2975		H5104		H4714	H4325		H3027	

דָּם	וְיִהְיוּ־	מֵימֵיהֶם	מִקְוֵה	כָּל־	וְעַל	אַגְמֵיהֶם	וְעַל־
血に	すると–なる	水の	集まりに	すべての	そして–～の上に	池の上に	そして–～の上に
H1818	H1961	H4325		H3605		H0098	

וּבָאֲבָנִים׃	וּבָעֵצִים	מִצְרַיִם	אֶרֶץ	בְּכָל־	דָּם	וְהָיָה
石の中にも	木の中にも	エジプトの	地に	すべての	血が	そして–なる
H0068	H6086	H4714	H0776	H3605	H1818	H1961

主はまたモーセに言われた、「あなたはアロンに言いなさい、『あなたのつえを執って、手をエジプトの水の上、川の上、流れの上、池の上、またそのすべての水たまりの上にさし伸べて、それを血にならせなさい。エジプト全国にわたって、木の器、石の器にも、血があるようになるでしょう』と」。

20

וַיָּרֶם	יְהוָה	צִוָּה	וְכַאֲשֶׁר	וְאַהֲרֹן	מֹשֶׁה	כֵּן	וַיַּעֲשׂוּ־	
そして–上げた	主が	命じられた	（とおりに）	アロンは	モーセと	その–とおりに	そして–行った	
	H3068	H6680		H0175	H4872			

וּלְעֵינֵי	פַּרְעֹה	לְעֵינֵי	בַּיְאֹר	אֲשֶׁר	הַמַּיִם	אֶת־	וַיַּךְ	בַּמַּטֶּה
目の前で	ファラオの	目の前で	ナイルの中の	（それは）	水を	（を）	そして–打った	杖を
	H6547		H2975		H4325	H0853	H5221	H4294

לְדָם׃	בַּיְאֹר	אֲשֶׁר־	הַמַּיִם	כָּל־	וַיֵּהָפְכוּ	עֲבָדָיו	
血に	ナイルの中の	（それは）	水は	すべての	すると–変わった	家臣たちの	
H1818	H2975		H4325	H3605	H2015	H5650	

モーセとアロンは主の命じられたようにおこなった。すなわち、彼はパロとその家来たちの目の前で、つえをあげてナイル川の水を打つと、川の水は、ことごとく血に変った。

וְהַדָּגָה	אֲשֶׁר־	בַּיְאֹר	מֵתָה	וַיִּבְאַשׁ	הַיְאֹר	וְלֹא־	יָכְלוּ	21
魚は	（それは）	ナイルの中の	死んだ	そして–臭くなった	ナイルは	～できない	エジプト人は	
H1710		H2975	H4191	H0887	H2975	H3808	H3201	

מִצְרַיִם׃	אֶרֶץ	בְּכָל־	הַדָּם	וַיְהִי	הַיְאֹר	מִן־	מַיִם	לִשְׁתּוֹת	מִצְרַיִם
エジプトの	地に	すべての	血が	そして–あった	ナイル	～から	水を	飲むことが	できなかった
H4714	H0776	H3605	H1818	H1961	H2975		H4325	H8354	H4713

それで川の魚は死に、川は臭くなり、エジプトびとは川の水を飲むことができなくなった。そしてエジプト全国にわたって血があった。

לֵב־	וַיֶּחֱזַק	בְּלָטֵיהֶם	מִצְרַיִם	חַרְטֻמֵּי	כֵּן	וַיַּעֲשׂוּ־		22
心は	そして–かたくなになった	秘術によって	エジプトの	呪法師たちも	同様に	そして–行った		
	H2388	H3909	H4714	H2748				

יְהוָה׃	דִּבֶּר	כַּאֲשֶׁר	אֲלֵהֶם	שָׁמַע	וְלֹא־	פַּרְעֹה	
主が	語られた	（とおりに）	彼らに	聞かなかった	～ない	ファラオの	
H3068	H1696		H0413	H8085	H3808	H6547	

エジプトの魔術師らも秘術をもって同じようにおこなった。しかし、主の言われたように、パロの心はかたくなになり、彼らの言うことを聞かなかった。

שָׁת	וְלֹא־	בֵיתוֹ	אֶל־	וַיָּבֹא	פַּרְעֹה	וַיִּפֶן		23
置かなかった	～ない	自分の–家	～へ	そして–入った	ファラオは	そして–向きを変えた		
H7896	H3808		H0413	H0935	H6547	H6437		

זֹאת׃	גַּם־	לִבּוֹ	
これにも	（にも）	自分の–心を	
H2063	H1571		

パロは身をめぐらして家に入り、またこのことをも心に留めなかった。

לֹא	כִּי	לִשְׁתּוֹת	מַיִם	הַיְאֹר	סְבִיבֹת	מִצְרַיִם	כָּל־	וַיַּחְפְּרוּ	24
～ない	なぜなら	飲むために	水を	ナイルの	周りで	エジプト人は	すべての	そして–掘った	
H3808		H8354	H4325	H2975	H5439	H4713	H3605	H2658	

הַיְאֹר׃	מִמֵּימֵי	לִשְׁתֹּת	יָכְלוּ	
ナイルの	水を	飲むことが	できなかった	
H2975	H4325	H8354	H3201	

すべてのエジプトびとはナイル川の水が飲めなかったので、飲む水を得ようと、川のまわりを掘った。

פ	הַיְאֹר׃	אֶת־	יְהוָה	הַכּוֹת־	אַחֲרֵי	יָמִים	שִׁבְעַת	וַיִּמָּלֵא	25
（段落）	ナイルを	（を）	主が	打たれた	後に	日が	七	そして–満ちた	
	H2975	H0853	H3068	H5221		H3117	H7651	H4390	

主がナイル川を打たれてのち七日を経た。

Chapter 8

כֹּה	אֶל־	מֹשֶׁה	בֹּא	אֶל־	פַּרְעֹה	וְאָמַרְתָּ	אֵלָיו	יְהוָה	וַיֹּאמֶר	1
こう	～に	モーセ	行って	～の前に	ファラオ	そして–言え	彼に	主は	そして–言われた	
H3541	H0413	H4872	H0935	H0413	H6547	H0559	H0413	H3068	H0559	

וְיַעַבְדֵנִי׃	עַמִּי	אֶת־	שַׁלַּח	יְהוָה	אָמַר
彼らが–仕えるように	わたしの–民を	（を）	去らせよ	主は	言われる
H5647		H0853	H7971	H3068	H0559

主はモーセに言われた、「あなたはパロのところに行って言いなさい、『主はこう仰せられます、「わたしの民を去らせて、わたしに仕えさせなさい。

2

כָּל־	אֶת־	נֹגֵף	אָנֹכִי	הִנֵּה	לְשַׁלֵּחַ	אַתָּה	מָאֵן	וְאִם־
すべての	(を)	打つ	わたしは	見よ	去らせることを	あなたが	拒むなら	もし-〜ない
H3605	H0853	H5062	H0595	H2009	H7971		H3986	

בְּצְפַרְדְּעִים׃	גְּבוּלְךָ
蛙で	あなたの-領土を
H6854	H1366

しかし、去らせることを拒むならば、見よ、わたしは、かえるをもって、あなたの領土を、ことごとく撃つであろう。

3

וּבַחֲדַר	בְּבֵיתֶךָ	וּבָא	וְעָלוּ	צְפַרְדְּעִים	הַיְאֹר	וְשָׁרַץ
寝室にも	あなたの-家に	そして-入る	そして-上がり	蛙で	ナイルは	そして-群がる
H2315		H0935	H5927	H6854	H2975	H8317

וּבְתַנּוּרֶיךָ	וּבְעַמֶּךָ	עֲבָדֶיךָ	וּבְבֵית	מִטָּתֶךָ	וְעַל־	מִשְׁכְּבֶךָ
かまどの中にも	民の中にも	家臣たちの	家にも	あなたの-床	そして-〜の上に	あなたの-寝床の
H8574		H5650		H4296		H4904

וּבְמִשְׁאֲרֹתֶיךָ׃
こね鉢の中にも
H4863

ナイル川にかえるが群がり、のぼって、あなたの家、あなたの寝室にはいり、寝台にのぼり、あなたの家来と民の家にはいり、またあなたのかまどや、こね鉢にはいり、

4

הַצְּפַרְדְּעִים׃	יַעֲלוּ	עֲבָדֶיךָ	וּבְכָל־	וּבְעַמְּךָ	וּבְכָה
蛙は	上がる	家臣たちの上にも	すべての	民の上にも	あなたの上にも
H6854	H5927	H5650	H3605		

あなたと、あなたの民と、すべての家来のからだに、はい上がるであろう」と』」。

5

יָדְךָ	אֶת־	נְטֵה	אַהֲרֹן	אֶל־	אֱמֹר	מֹשֶׁה	אֶל־	יְהוָה	וַיֹּאמֶר
あなたの-手を	(を)	伸ばせ	アロン	〜に	言え	モーセ	〜に	主は	そして-言われた
H3027	H0853	H5186	H0175	H0413	H0559	H4872	H0413	H3068	H0559

אֶת־	וְהַעַל	הָאֲגַמִּים	וְעַל־	הַיְאֹרִים	עַל־	הַנְּהָרֹת	עַל־	בְּמַטֶּךָ
(を)	そして-上らせよ	池の上に	そして-〜の上に	水路の上に	〜の上に	川の上に	〜の上に	杖で
H0853	H5927	H0098		H2975		H5104		H4294

מִצְרָיִם׃	אֶרֶץ	עַל־	הַצְּפַרְדְּעִים
エジプトの	地に	〜の上に	蛙を
H4714	H0776		H6854

主はモーセに言われた、「あなたはアロンに言いなさい、『つえを持って、手を川の上、流れの上、、池の上にさし伸べ、かえるをエジプトの地にのぼらせなさい』と」。

6

וַתַּעַל	מִצְרָיִם	מֵימֵי	עַל	יָדוֹ	אֶת־	אַהֲרֹן	וַיֵּט
すると-上がった	エジプトの	水の	〜の上に	自分の-手を	(を)	アロンは	そして-伸ばした
H5927	H4714	H4325		H3027	H0853	H0175	H5186

מִצְרָיִם׃	אֶרֶץ	אֶת־	וַתְּכַס	הַצְּפַרְדֵּעַ
エジプトの	地を	(を)	そして-覆った	蛙は
H4714	H0776	H0853	H3680	H6854

アロンが手をエジプトの水の上にさし伸べたので、かえるはのぼってエジプトの地をおおった。

עַל־	הַצְפַרְדְּעִים	אֶת־	וַיַּעַל֙וּ	בְּלָטֵיהֶ֔ם	הַחַרְטֻמִּ֖ים	כֵּ֣ן	וַיַּעֲשׂ֑וּ־	7
～の上に	蛙を	(を)	そして–上らせた	秘術によって	呪法師たちも	同様に	そして–行った	
	H6854	H0853	H5927	H3909	H2748			

מִצְרָֽיִם׃	אֶ֥רֶץ
エジプトの	地に
H4714	H0776

魔術師らも秘術をもって同じように行い、かえるをエジプトの地にのぼらせた。

יְהוָ֔ה	אֶל־	הַעְתִּ֥ירוּ	וַיֹּ֣אמֶר	וְלְאַהֲרֹ֗ן	לְמֹשֶׁה֙	פַּרְעֹ֔ה	וַיִּקְרָ֣א	8
主に	～に	祈ってくれ	そして–言った	アロンを	モーセと	ファラオは	すると–呼んだ	
H3068	H0413	H6279	H0559	H0175	H4872	H6547	H7121	

הָעָ֑ם	אֶת־	וַאֲשַׁלְּחָ֖ה	וּמֵעַ֣מָּי	מִמֶּ֔נִּי	הַצְפַרְדְּעִ֖ים	וְיָסֵ֥רוּ	
民を	(を)	わたしは–去らせる	私の–民から	私から	蛙を	取り除くように	
	H0853	H7971			H6854	H5493	

לַיהוָֽה׃	וְיִזְבְּח֖וּ
主に	彼らが–いけにえを–ささげるように
H3068	H2076

パロはモーセとアロンを召して言った、「かえるをわたしと、わたしの民から取り去るように主に願ってください。そのときわたしはこの民を去らせて、主に犠牲をささげさせるでしょう」。

אַעְתִּ֔יר	וּלְמָתַ֖י	עָלַ֑י	הִתְפָּאֵ֣ר	לְפַרְעֹ֗ה	מֹשֶׁה֙	וַיֹּ֣אמֶר		9
祈りましょうか	いつ	私に	決めてください	ファラオに	モーセは	そして–言った		
H6279	H4970			H6547	H4872	H0559		

וּמִבָּתֶּ֖יךָ	מִמְּךָ֑	הַצְפַרְדְּעִ֖ים	לְהַכְרִ֥ית	וּלְעַמְּךָ֛	וְלַעֲבָדֶ֥יךָ	לְךָ֛	
家から	あなたから	蛙を	断ち滅ぼすために	民のために	家臣たちのために	あなたのために	
		H6854	H3772		H5650		

תִּשָּׁאַ֥רְנָה׃	בַיְאֹ֖ר	רַ֥ק
残るように	ナイルにのみ	ただ
H7604	H2975	H7535

モーセはパロに言った、「あなたと、あなたの家来と、あなたの民のために、わたしがいつ願って、このかえるを、あなたとあなたの家から断って、ナイル川だけにとどまらせるべきか、きめてください」。

תֵּדַ֔ע	לְמַ֣עַן	כִּדְבָרֶ֑ךָ	וַיֹּ֣אמֶר	לְמָחָ֖ר	וַיֹּ֣אמֶר		10
あなたが–知る	それは–～ために	あなたの–言葉の–とおりに	そして–言った	明日	彼は–言った		
H3045	H4616	H1697	H0559	H4279	H0559		

אֱלֹהֵֽינוּ׃	כַּיהוָ֖ה	אֵ֥ין	כִּֽי־
わたしたちの–神	主のような–お方は	いないと	(こと)
H0430	H3068	H0369	

パロは言った、「明日」。モーセは言った、「仰せのとおりになって、わたしたちの神、主に並ぶもののないことを、あなたが知られますように。

בַיְאֹ֑ר	רַ֥ק	וּמֵעַמֶּ֖ךָ	וּמֵעֲבָדֶ֥יךָ	וּמִבָּתֶּ֖יךָ	מִמְּךָ֑	הַצְפַרְדְּעִ֖ים	וְסָ֥רוּ	11
ナイルにのみ	ただ	民から	家臣たちから	家から	あなたから	蛙は	そして–去る	
H2975	H7535		H5650			H6854	H5493	

תִּשָּׁאַ֥רְנָה׃
残る
H7604

そして、かえるはあなたと、あなたの家と、あなたの家来と、あなたの民を離れてナイル川にだけとどまるでしょう」。

12 וַיֵּצֵא מֹשֶׁה וְאַהֲרֹן מֵעִם פַּרְעֹה וַיִּצְעַק מֹשֶׁה אֶל־יְהוָה עַל־דְּבַר הַצְפַרְדְּעִים אֲשֶׁר־שָׂם לְפַרְעֹה׃

וַיֵּצֵא	מֹשֶׁה	וְאַהֲרֹן	מֵעִם	פַּרְעֹה	וַיִּצְעַק	מֹשֶׁה	אֶל־	יְהוָה	עַל־	דְּבַר	הַצְפַרְדְּעִים	אֲשֶׁר־	שָׂם	לְפַרְעֹה׃
そして–出た	モーセと	アロンは	前から	ファラオの	そして–叫んだ	モーセは	～に	主に	～について	件について	蛙の	(それを)	置いた	ファラオに
H3318	H4872	H0175	H6547		H6817	H4872	H0413	H3068		H1697	H6854			H6547

こうしてモーセとアロンはパロを離れて出た。モーセは主がパロにつかわされたかえるの事について、主に呼び求めたので、

13 וַיַּעַשׂ יְהוָה כִּדְבַר מֹשֶׁה וַיָּמֻתוּ הַצְפַרְדְּעִים מִן־הַבָּתִּים מִן־הַחֲצֵרֹת וּמִן־הַשָּׂדֹת׃

וַיַּעַשׂ	יְהוָה	כִּדְבַר	מֹשֶׁה	וַיָּמֻתוּ	הַצְפַרְדְּעִים	מִן־	הַבָּתִּים	מִן־	הַחֲצֵרֹת	וּמִן־	הַשָּׂדֹת׃
そして–行われた	主は	言葉の–とおりに	モーセの	そして–死んだ	蛙は	～から	家から	～から	庭から	～から	畑から
	H3068	H1697	H4872	H4191	H6854						

主はモーセのことばのようにされ、かえるは家から、庭から、また畑から死に絶えた。

14 וַיִּצְבְּרוּ אֹתָם חֳמָרִם חֳמָרִם וַתִּבְאַשׁ הָאָרֶץ׃

וַיִּצְבְּרוּ	אֹתָם	חֳמָרִם	חֳמָרִם	וַתִּבְאַשׁ	הָאָרֶץ׃
そして–集めた	それらを	山と–山に	山と–山に	そして–臭くなった	地は
H6651	H0853			H0887	H0776

これをひと山ひと山に積んだので、地は臭くなった。

15 וַיַּרְא פַּרְעֹה כִּי הָיְתָה הָרְוָחָה וְהַכְבֵּד אֶת־לִבּוֹ וְלֹא שָׁמַע אֲלֵהֶם כַּאֲשֶׁר דִּבֶּר יְהוָה׃ ס

וַיַּרְא	פַּרְעֹה	כִּי	הָיְתָה	הָרְוָחָה	וְהַכְבֵּד	אֶת־	לִבּוֹ	וְלֹא	שָׁמַע	אֲלֵהֶם	כַּאֲשֶׁר	דִּבֶּר	יְהוָה׃	ס
そして–見た	ファラオは	(こと)	あった	楽になり	かたくなにした	(を)	自分の–心を	～ない	聞かなかった	彼らに	(とおりに)	語られた	主が	(段落)
H7200	H6547		H1961	H7309	H3513	H0853		H3808	H8085	H0413		H1696	H3068	

ところがパロは息つくひまのできたのを見て、主が言われたように、その心をかたくなにして彼らの言うことを聞かなかった。

16 וַיֹּאמֶר יְהוָה אֶל־מֹשֶׁה אֱמֹר אֶל־אַהֲרֹן נְטֵה אֶת־מַטְּךָ וְהַךְ אֶת־עֲפַר הָאָרֶץ וְהָיָה לְכִנִּם בְּכָל־אֶרֶץ מִצְרָיִם׃

וַיֹּאמֶר	יְהוָה	אֶל־	מֹשֶׁה	אֱמֹר	אֶל־	אַהֲרֹן	נְטֵה	אֶת־	מַטְּךָ	וְהַךְ	אֶת־	עֲפַר	הָאָרֶץ	וְהָיָה	לְכִנִּם	בְּכָל־	אֶרֶץ	מִצְרָיִם׃
そして–言われた	主は	～に	モーセ	言え	～に	アロン	伸ばせ	(を)	あなたの–杖を	そして–打て	(を)	ちりを	地の	すると–なる	ぶよに	すべての	地に	エジプトの
H0559	H3068	H0413	H4872	H0559	H0413	H0175	H5186	H0853	H4294	H5221	H0853	H6083	H0776	H1961	H3654	H3605	H0776	H4714

主はモーセに言われた、「あなたはアロンに言いなさい、『あなたのつえをさし伸べて地のちりを打ち、それをエジプトの全国にわたって、ぶよとならせなさい』と」。

17 וַיַּעֲשׂוּ־כֵן וַיֵּט אַהֲרֹן אֶת־יָדוֹ בְּמַטֵּהוּ וַיַּךְ אֶת־עֲפַר הָאָרֶץ וַתְּהִי הַכִּנָּם בָּאָדָם וּבַבְּהֵמָה כָּל־עֲפַר הָאָרֶץ הָיָה כִנִּים בְּכָל־אֶרֶץ מִצְרָיִם׃

וַיַּעֲשׂוּ־	כֵן	וַיֵּט	אַהֲרֹן	אֶת־	יָדוֹ	בְּמַטֵּהוּ	וַיַּךְ	אֶת־	עֲפַר	הָאָרֶץ	וַתְּהִי	הַכִּנָּם	בָּאָדָם	וּבַבְּהֵמָה	כָּל־	עֲפַר	הָאָרֶץ	הָיָה	כִנִּים	בְּכָל־	אֶרֶץ	מִצְרָיִם׃
そして–行った	その–とおりに	そして–伸ばした	アロンは	(を)	自分の–手を	杖で	そして–打った	(を)	ちりを	地の	すると–なった	ぶよが	人の上にも	家畜の上にも	すべての	ちりを	地の	なった	ぶよに	すべての	地に	エジプトの
H0853		H5186	H0175	H0853	H3027	H4294	H5221	H0853	H6083	H0776	H1961	H3654	H0120	H0929	H3605	H6083	H0776	H1961	H3654	H3605	H0776	H4714

彼らはそのように行った。すなわちアロンはそのつえをとって手をさし伸べ、地のちりを打ったので、ぶよは人と家畜についた。すなわち、地のちりはみなエジプトの全国にわたって、ぶよとなった。

18 וַיַּעֲשׂוּ־כֵן בְּלָטֵיהֶם הַחַרְטֻמִּים לְהוֹצִיא אֶת־הַכִּנִּים וְלֹא

同様に そして–行った 秘術によって 呪法師たちも 出そうとした (を) ぶよを しかし–〜ない
H3808 H3654 H0853 H3318 H3909 H2748

יָכֹלוּ וַתְּהִי הַכִּנָּם בָּאָדָם וּבַבְּהֵמָה׃

できなかった そして–あった ぶよが 人の上にも 家畜の上にも
H3201 H1961 H3654 H0120 H0929

魔術師らも秘術をもって同じように行い、ぶよを出そうとしたが、彼らにはできなかった。ぶよが人と家畜についたので、

19 וַיֹּאמְרוּ הַחַרְטֻמִּים אֶל־פַּרְעֹה אֶצְבַּע אֱלֹהִים הִוא וַיֶּחֱזַק

そして–言った 呪法師たちは 〜に ファラオ 指 神の である しかし–かたくなになった
H0559 H2748 H0413 H6547 H0676 H0430 H1931 H2388

לֵב־פַּרְעֹה וְלֹא־שָׁמַע אֲלֵהֶם כַּאֲשֶׁר דִּבֶּר יְהוָה׃ ס

心は ファラオの 〜ない 聞かなかった 彼らに (とおりに) 語られた 主が (段落)
H3820 H6547 H3808 H8085 H0413 H3588 H1696 H3068

魔術師らはパロに言った、「これは神の指です」。しかし主の言われたように、パロの心はかたくなになって、彼らのいうことを聞かなかった。

20 וַיֹּאמֶר יְהוָה אֶל־מֹשֶׁה הַשְׁכֵּם בַּבֹּקֶר וְהִתְיַצֵּב לִפְנֵי פַרְעֹה הִנֵּה

見よ ファラオの 前に そして–立て 朝に 早く–起きて モーセ 〜に 主は そして–言われた
H2009 H6547 H6440 H3320 H1242 H7925 H4872 H0413 H3068 H0559

יוֹצֵא הַמָּיְמָה וְאָמַרְתָּ אֵלָיו כֹּה אָמַר יְהוָה שַׁלַּח עַמִּי

出て行く 水辺へ そして–言え 彼に こう 言われる 主は 去らせよ わたしの–民を
H3318 H4325 H0559 H0413 H3541 H0559 H3068 H7971

וְיַעַבְדֵנִי׃

彼らが–仕えるように
H5647

主はモーセに言われた、「あなたは朝早く起きてパロの前に立ちなさい。ちょうど彼は水のところに出ているから彼に言いなさい、『主はこう仰せられる、「わたしの民を去らせて、わたしに仕えさせなさい。

21 כִּי אִם־אֵינְךָ מְשַׁלֵּחַ עַמִּי הִנְנִי מַשְׁלִיחַ

なぜなら もし–〜ない あなたが 去らせないなら (を) 民を 見よ–わたしは 送る
H3588 H0518 H0369 H7971 H0853 H5971 H2009 H7971

בְּךָ וּבְעֲבָדֶיךָ וּבְעַמְּךָ וּבְבָתֶּיךָ אֶת־הֶעָרֹב וּמָלְאוּ בָתֵּי מִצְרַיִם

あなたに 家臣たちに 民に 家に (を) あぶの群れを そして–満ちる 家は エジプトの
H5650 H5971 H6154 H1004 H0853 H6157 H4390 H1004 H4714

וְגַם הָאֲדָמָה אֲשֶׁר־הֵם עָלֶיהָ׃

いるその上に (その上に) 彼らが 地も そして–また あぶの群れで (を)
H1992 H0127 H1571 H6157 H0853

あなたがわたしの民を去らせないならば、わたしは、あなたとあなたの家来と、あなたの民とあなたの家とに、あぶの群れをつかわすであろう。エジプトびとの家々は、あぶの群れで満ち、彼らの踏む地もまた、そうなるであろう。

22

וְהִפְלֵיתִי	בַּיּוֹם	הַהוּא	אֶת־	אֶרֶץ	נֹשֶׁן	אֲשֶׁר	עַמִּי	עֹמֵד
わたしは–分ける	日に	その	(を)	地を	ゴシェンの	(そこに)	わたしの–民が	住んでいる
H6395	H3117	H1931	H0853	H0776	H1657			H5975

אֲנִי	כִּי	תֵּדַע	לְמַעַן	עָרֹב	שָׁם	הֱיוֹת־	לְבִלְתִּי	עָלֶיהָ
わたしが	(こと)	あなたが–知る	～ために	あぶの群れが	そこに	いない	～ないように	その上に
H0589		H3045	H4616	H6157	H8033	H1961	H1115	

הָאָרֶץ׃	בְּקֶרֶב	יְהוָה
地の	中に	主であると
H0776	H7130	H3068

その日わたしは、わたしの民の住むゴセンの地を区別して、そこにあぶの群れを入れないであろう。国の中でわたしが主であることをあなたが知るためである。

23

הַזֶּה׃	הָאֹת	יִהְיֶה	לְמָחָר	עַמֶּךָ	וּבֵין	עַמִּי	בֵּין	פְּדֻת	וְשַׂמְתִּי
この	しるし	ある	明日	あなたの–民の	間に	わたしの–民と	間に	区別を	わたしは–置く
H2088	H0226	H1961	H4279		H0996		H0996	H6304	

わたしはわたしの民とあなたの民の間に区別をおく。このしるしは、あす起るであろう」と』」。

24

פַּרְעֹה	בֵּיתָה	כָּבֵד	עָרֹב	וַיָּבֹא	כֵּן	יְהוָה	וַיַּעַשׂ	
ファラオの	家に	重い	あぶの群れが	そして–来た	その–とおりに	主は	そして–行われた	
H6547		H3515	H6157	H0935		H3068		

הָעָרֹב׃	מִפְּנֵי	הָאָרֶץ	תִּשָּׁחֵת	מִצְרַיִם	אֶרֶץ	וּבְכָל־	עֲבָדָיו	וּבֵית
あぶの群れの	～のせいで	地は	滅ぼされた	エジプトの	地に	すべての	家臣たちの	家にも
H6157	H6440	H0776	H7843	H4714	H0776	H3605	H5650	

主はそのようにされたので、おびただしいあぶが、パロの家と、その家来の家と、エジプトの全国にはいってきて、地はあぶの群れのために害をうけた。

25

זִבְחוּ	לְכוּ	וַיֹּאמֶר	וְלְאַהֲרֹן	מֹשֶׁה	אֶל־	פַּרְעֹה	וַיִּקְרָא	
いけにえを–ささげよ	行って	そして–言った	アロンを	モーセ	～に	ファラオは	すると–呼んだ	
H2076	H3212	H0559	H0175	H4872	H0413	H6547	H7121	

בָּאָרֶץ׃	לֵאלֹהֵיכֶם	
この–地で	あなたがたの–神に	
H0776	H0430	

そこで、パロはモーセとアロンを召して言った、「あなたがたは行ってこの国の内で、あなたがたの神に犠牲をささげなさい」。

26

כִּי	כֵּן	לַעֲשׂוֹת	נָכוֹן	לֹא	מֹשֶׁה	וַיֹּאמֶר
なぜなら	その–ように	行うことは	正しくない	～ない	モーセは	そして–言った
				H3808	H4872	H0559

אֱלֹהֵינוּ	לַיהוָה	נִזְבַּח	מִצְרַיִם	תּוֹעֲבַת	
わたしたちの–神	主に	わたしたちが–いけにえを–ささげることを	エジプトが	忌み–嫉むものである	
H0430	H3068	H2076	H4713	H8441	

לְעֵינֵיהֶם	מִצְרַיִם	תּוֹעֲבַת	אֶת־	נִזְבַּח		הֵן	
彼らの–目の前で	エジプトの	忌み–嫉むものを	(を)	わたしたちが–いけにえを–ささげるなら		見よ	
	H4713	H8441	H0853	H2076		H2005	

יִסְקְלֻנוּ׃	וְלֹא
彼らは–石打ちにする	～ないだろうか
H5619	H3808

モーセは言った、「そうすることはできません。わたしたちはエジプトびとの忌むものを犠牲として、わたしたちの神、主にささげるからです。もし、エジプトびとの目の前で、彼らの忌むものを犠牲にささげるならば、彼らはわたしたちを石で打たないでしょうか。

27 דֶּרֶךְ שְׁלֹשֶׁת יָמִים נֵלֵךְ בַּמִּדְבָּר וְנִזְבְּחָה לַיהוָה אֱלֹהֵינוּ כַּאֲשֶׁר יֹאמַר אֵלֵינוּ׃

道のり	三	日の	わたしたちは-行く	荒野に	そして-いけにえを-ささげる	主に	わたしたちの-神	(とおりに)
H1870	H7969	H3117	H3212	H0413	H2076	H3068	H0430	H0559

わ言われる | わたしたちに
H0559 | H0413

わたしたちは三日の道のりほど、荒野にはいって、わたしたちの神、主に犠牲をささげ、主がわたしたちに命じられるようにしなければなりません」。

28 וַיֹּאמֶר פַּרְעֹה אָנֹכִי אֲשַׁלַּח אֶתְכֶם וְזִבַּחְתֶּם לַיהוָה אֱלֹהֵיכֶם בַּמִּדְבָּר רַק הַרְחֵק לֹא־תַרְחִיקוּ לָלֶכֶת הַעְתִּירוּ בַּעֲדִי׃

そして-言った	ファラオは	わたしは	去らせる	あなたがたを	いけにえを-ささげよ	主に	祈ってくれ	行くことに	遠く-行ってはならない	～ない	ただ	遠く	ただ	荒野で	あなたがたの-神	わたしのために
H0559	H6547	H0595	H7971	H0853	H2076	H3068	H6279	H3212	H7368	H3808	H7535	H7368	H7535	H0430	H0430	H1157

パロは言った、「わたしはあなたがたを去らせ、荒野で、あなたがたの神、主に犠牲をささげさせよう。ただあまり遠くへ行ってはならない。わたしのために祈願しなさい」。

29 וַיֹּאמֶר מֹשֶׁה הִנֵּה אָנֹכִי יוֹצֵא מֵעִמָּךְ וְהַעְתַּרְתִּי אֶל־יְהוָה וְסָר הָעָרֹב מִפַּרְעֹה מֵעֲבָדָיו וּמֵעַמּוֹ מָחָר רַק אַל־יֹסֶף פַּרְעֹה הָתֵל לְבִלְתִּי שַׁלַּח אֶת־הָעָם לִזְבֹּחַ לַיהוָה׃

そして-言った	モーセは	見よ	わたしは	出て行く	あなたから	そして-祈る	～に	主に	そして-去る	あぶの群れは	ファラオから	家臣たちから	民から	明日	ただ	～ない	続けてはならない	ファラオは	欺くことを	～ないように	去らせることを	(を)	民を	いけにえを-ささげるために	主に
H0559	H4872	H2009	H0595	H3318	H4480	H6279	H0413	H3068	H5493	H6157	H6547	H5650	H4480	H4279	H7535	H0408	H3254	H6547	H8591	H1115	H7971	H0853	H5971	H2076	H3068

モーセは言った、「わたしはあなたのもとから出て行って主に祈願しましょう。あすあぶの群れがパロと、その家来と、その民から離れるでしょう。ただパロはまた欺いて、民が主に犠牲をささげに行くのをとめないようにしてください」。

30 וַיֵּצֵא מֹשֶׁה מֵעִם פַּרְעֹה וַיֶּעְתַּר אֶל־יְהוָה׃

そして-出た	モーセは	前から	ファラオの	そして-祈った	～に	主に
H3318	H4872	H4480	H6547	H6279	H0413	H3068

こうしてモーセはパロのもとを出て、主に祈願したので、

מִפַּרְעֹה	הֶעָרֹב	וַיָּסַר	מֹשֶׁה	כִּדְבַר	יְהוָה	וַיַּעַשׂ	31
ファラオから	あぶの群れは	そして-去った	モーセの	言葉の-とおりに	主は	そして-行われた	
H6547	H6157	H5493	H4872	H1697	H3068		

אֶחָד׃	נִשְׁאַר	לֹא	וּמֵעַמּוֹ	מֵעֲבָדָיו
一匹も	残らなかった	～ない	民から	家臣たちから
H0259	H7604	H3808		H5650

主はモーセの言葉のようにされた。すなわち、あぶの群れをパロと、その家来と、その民から取り去られたので、一つも残らなかった。

וְלֹא	הַזֹּאת	בַּפַּעַם	גַּם	לִבּוֹ	אֶת־	פַּרְעֹה	וַיַּכְבֵּד	32
～ない	この	この-時も	また	自分の-心を	(を)	ファラオは	しかし-かたくなにした	
H3808	H2063	H6471	H1571		H0853	H6547	H3513	

פ	הָעָם׃	אֶת־	שִׁלַּח
(段落)	民を	(を)	去らせなかった
		H0853	H7971

しかしパロはこんどもまた、その心をかたくなにして民を去らせなかった。

Chapter 9

כֹּה־	אֲלֵיו	וְדַבֵּרְתָּ	פַּרְעֹה	אֶל־	בֹּא	מֹשֶׁה	אֶל־	יְהוָה	וַיֹּאמֶר	1
こう	彼に	そして-語れ	ファラオ	～の前に	行って	モーセ	～に	主は	そして-言われた	
H3541	H0413	H1696	H6547	H0413	H0935	H4872	H0413	H3068	H0559	

וְיַעַבְדֵנִי׃	עַמִּי	אֶת־	שַׁלַּח	הָעִבְרִים	אֱלֹהֵי	יְהוָה	אָמַר
彼らが-仕えるように	わたしの-民を	(を)	去らせよ	ヘブル人の	神	主は	言われる
H5647		H0853	H7971	H5680	H0430	H3068	H0559

主はモーセに言われた、「パロのもとに行って、彼に言いなさい、『ヘブルびとの神、主はこう仰せられる、「わたしの民を去らせて、わたしに仕えさせなさい。

בָּם׃	מַחֲזִיק	וְעוֹדְךָ	לְשַׁלֵּחַ	אַתָּה	מָאֵן	אִם־	כִּי	2
～に	彼らを	つかまえている	そして-まだ	去らせることを	あなたが	もし-拒むなら	なぜなら	
	H2388	H5750	H7971		H3986			

あなたがもし彼らを去らせることを拒んで、なお彼らを留めおくならば、

בַּגְּמַלִּים	בַּחֲמֹרִים	בַּסּוּסִים	בַּשָּׂדֶה	אֲשֶׁר	בְּמִקְנְךָ	הוֹיָה	יְהוָה	יַד־	הִנֵּה	3
らくだに	ろばに	馬に	野にいる	(それは)	あなたの-家畜に	くだる	主の	手が	見よ	
H1581	H2543				H4735	H1961	H3068	H3027	H2009	

מְאֹד׃	כָּבֵד	דֶּבֶר	וּבַצֹּאן	בַּבָּקָר
重い	非常に	疫病が	羊に	牛に
H3966	H3515	H1698	H6629	H1241

主の手は最も激しい疫病をもって、野にいるあなたの家畜、すなわち馬、ろば、らくだ、牛、羊の上に臨むであろう。

יָמוּת	וְלֹא	מִצְרַיִם	מִקְנֵה	וּבֵין	יִשְׂרָאֵל	מִקְנֵה	בֵּין	יְהוָה	וְהִפְלָה	4
死なない	～ない	エジプトの	家畜の	間と	イスラエルの	家畜の	間を	主は	しかし-分ける	
H4191	H3808	H4714	H4735	H0996	H3478	H4735	H0996	H3068	H6395	

דָּבָר׃	יִשְׂרָאֵל	לִבְנֵי	מִכֹּל־	
一匹も	イスラエルの	子らの	すべての中で	
H1697	H3478		H3605	

しかし、主はイスラエルの家畜と、エジプトの家畜を区別され、すべてイスラエルの人々に属するものには一頭も死ぬものがないであろう」と』」。

5

בָּאָֽרֶץ׃	הַזֶּה	הַדָּבָר	יְהוָה	יַעֲשֶׂה	מָחָר	לֵאמֹר	מוֹעֵד	יְהוָה	וַיָּשֶׂם
地で	この	この–ことを	主は	行う	明日	言われた	時を	主は	そして–定めた
H0776	H2088	H1697	H3068		H4279	H0559	H4150	H3068	

主は、また、時を定めて仰せられた、「あす、主はこのことを国に行うであろう」。

6

מִקְנֵה	כָּל	וַיָּמָת	מִמָּחֳרָת	הַזֶּה	הַדָּבָר	אֶת־	יְהוָה	וַיַּעַשׂ
家畜は	すべての	そして–死んだ	翌日	この	この–ことを	(を)	主は	そして–行われた
H4735	H3605	H4191	H4283	H2088	H1697	H0853	H3068	

אֶחָֽד׃	מֵת	לֹא־	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי־	וּמִמִּקְנֵה	מִצְרַיִם
一匹も	死ななかった	～ない	イスラエルの	子らの	しかし–家畜の中で	エジプトの
H0259	H4191	H3808	H3478		H4735	H4713

あくる日、主はこのことを行われたので、エジプトびとの家畜はみな死んだ。しかし、イスラエルの人々の家畜は一頭も死ななかった。

7

יִשְׂרָאֵל	מִמִּקְנֵה	מֵת	לֹא־	וְהִנֵּה	פַּרְעֹה	וַיִּשְׁלַח
イスラエルの	家畜の中で	死んでいなかった	～ない	すると–見よ	ファラオは	そして–遣わした
H3478	H4735	H4191	H3808	H2009	H6547	H7971

הָעָם׃	אֶת־	שִׁלַּח	וְלֹא	פַּרְעֹה	לֵב	וַיִּכְבַּד	אֶחָד	עַד־	
民を	(を)	去らせなかった	～ない	ファラオの	心は	しかし–かたくなになった	一匹も	～さえ	
	H0853	H7971	H3808	H6547		H3513	H0259	H5704	

פ
(段落)

パロは人をつかわして見させたが、イスラエルの家畜は一頭も死んでいなかった。それでもパロの心はかたくなで、民を去らせなかった。

8

חָפְנֵיכֶם	מְלֹא	לָכֶם	קְחוּ	אַהֲרֹן	וְאֶל־	מֹשֶׁה	אֶל־	יְהוָה	וַיֹּאמֶר
両手の	満ちた	あなたがたの	取れ	アロン	そして–～に	モーセ	～に	主は	そして–言われた
H2651	H4393		H3947	H0175	H0413	H4872	H0413	H3068	H0559

פַּרְעֹה׃	לְעֵינֵי	הַשָּׁמַיְמָה	מֹשֶׁה	וּזְרָקוֹ	כִּבְשָׁן	פִּיחַ
ファラオの	目の前で	天に向かって	モーセが	そして–まけ	かまどの	すすを
H6547		H8064	H4872	H2236	H3536	H6368

主はモーセとアロンに言われた、「あなたがたは、かまどのすすを両手いっぱい取り、それをモーセはパロの目の前で天にむかって、まき散らしなさい。

9

הָאָדָם	עַל־	וְהָיָה	מִצְרַיִם	אֶרֶץ	כָּל־	עַל	לְאָבָק	וְהָיָה	
人の	～の上に	そして–なる	エジプトの	地に	すべての	～の上に	細かい–ちりに	すると–なる	
H0120		H1961	H4714	H0776	H3605		H0080	H1961	

מִצְרַיִם׃	אֶרֶץ	בְּכָל־	אַבַעְבֻּעֹת	פֹּרֵחַ	לִשְׁחִין	הַבְּהֵמָה	וְעַל־
エジプトの	地に	すべての	泡の	破裂する	腫れ物に	家畜の	～の上に
H4714	H0776	H3605	H0076		H7822	H0929	

それはエジプトの全国にわたって、細かいちりとなり、エジプト全国で人と獣に付いて、うみの出るはれものとなるであろう」。

10

אֹתָ֑ו	וַיִּזְרָק	פַּרְעֹ֔ה	לִפְנֵ֖י	וַיַּעַמְד֥ו	הַכִּבְשָׁ֛ן	פָּ֥יחַ	אֶת־	וַיִּקְח֣ו
それを	そして-まいた	ファラオの	前に	そして-立った	かまどの	すすを	(を)	そして-取った
H0853	H2236	H6547	H6440	H5975	H3536	H6368	H0853	H3947

וּבַבְּהֵמָֽה׃	בָּאָדָ֖ם	פֹּרֵ֣חַ	אַבַעְבֹּ֑עֹת	שְׁחִ֣ין	וַיְהִ֞י	הַשָּׁמָ֗יְמָה	מֹשֶׁ֛ה
家畜の上にも	人の上にも	破裂する	泡の	腫れ物が	すると-なった	天に向かって	モーセは
H0929	H0120		H0076	H7822	H1961	H8064	H4872

そこで彼らは、かまどのすすを取ってパロの前に立ち、モーセは天にむかってこれをまき散らしたので、人と獣に付いて、うみの出るはれものとなった。

11

הַשְּׁחִ֔ין	מִפְּנֵ֣י	מֹשֶׁ֔ה	לִפְנֵ֖י	לַעֲמֹ֑ד	הַחַרְטֻמִּ֛ים	יָכְל֥ו	וְלֹא־
腫れ物の	～のせいで	モーセの	前に	立つことが	できなかった	呪法師たちは	～できない
H7822	H6440	H4872	H6440	H5975	H2748	H3201	H3808

מִצְרָֽיִם׃	וּבְכָל־	בָּחַרְטֻמִּ֖ם	הַשְּׁחִ֥ין	הָיָ֛ה	כִּי־
エジプトにも	すべての	呪法師たちの上にも	腫れ物が	あった	なぜなら
H4713	H3605	H2748	H7822	H1961	

魔術師らは、はれもののためにモーセの前に立つことができなかった。はれものが魔術師らと、すべてのエジプトびとに生じたからである。

12

כַּאֲשֶׁ֣ר	אֱלֹהֶ֔ם	שָׁמַ֖ע	וְלֹא	פַּרְעֹ֑ה	לֵ֣ב	אֶת־	יְהוָ֗ה	וַיְחַזֵּ֞ק	
(とおりに)	彼らに	聞かなかった	～ない	ファラオの	心を	(を)	主は	しかし-かたくなにした	
H0413		H8085	H3808	H6547		H0853	H3068	H2388	

ס	מֹשֶׁ֖ה׃	אֶל־	יְהוָ֔ה	דִּבֶּ֥ר
(段落)	モーセ	～に	主が	語られた
	H4872	H0413	H3068	H1696

しかし、主はパロの心をかたくなにされたので、彼は主がモーセに語られたように、彼らの言うことを聞かなかった。

13

פַּרְעֹ֔ה	לִפְנֵ֖י	וְהִתְיַצֵּ֣ב	בַּבֹּ֑קֶר	הַשְׁכֵּ֣ם	מֹשֶׁ֔ה	אֶל־	יְהוָ֗ה	וַיֹּ֣אמֶר	
ファラオの	前に	そして-立て	朝に	早く-起きて	モーセ	～に	主は	そして-言われた	
H6547	H6440	H3320	H1242	H7925	H4872	H0413	H3068	H0559	

עַמִּ֑י	אֶת־	שַׁלַּ֖ח	הָעִבְרִ֔ים	אֱלֹהֵ֣י	יְהוָ֗ה	אָמַ֞ר	כֹּה־	אֵלָ֤יו	וְאָמַרְתָּ֙
わたしの-民を	(を)	去らせよ	ヘブル人の	神	主は	言われる	こう	彼に	そして-言え
	H0853	H7971	H5680	H0430	H3068	H0559	H3541	H0413	H0559

וְיַעַבְדֵֽנִי׃
彼らが-仕えるように
H5647

主はまたモーセに言われた、「朝早く起き、パロの前に立って、彼に言いなさい、『ヘブルびとの神、主はこう仰せられる、「わたしの民を去らせて、わたしに仕えさせなさい。

14

אֶל־	מַגֵּפֹתַ֔י	כָּל־	אֶת־	שֹׁלֵ֣חַ	אֲנִ֗י	הַזֹּ֣את	בַּפָּעַם֮	כִּ֣י	
～に	わたしの-災いを	すべての	(を)	送る	わたしは	この	この-度は	なぜなら	
H0413	H4046	H3605	H0853	H7971	H0589	H2063	H6471		

כָּמֹ֑נִי	אֵ֣ין	כִּ֔י	תֵּדַ֖ע	בַּעֲבֹ֑ור	וּבְעַמֶּ֔ךָ	וּבַעֲבָדֶ֖יךָ	לִבְּךָ֥	
わたしのような-者は	いないと	(こと)	あなたが-知る	～ために	民に	家臣たちに	あなたの-心に	
H3644	H0369		H3045	H5668		H5650		

בְּכָל־	הָאָֽרֶץ׃
すべての	地に
H3605	H0776

わたしは、こんどは、もろもろの災を、あなたと、あなたの家来と、あなたの民にくだし、わたしに並ぶものが全地にないことを知らせるであろう。

15

וְאֶת־	אוֹתְךָ	וָאַךְ	יָדִי	אֶת־	שָׁלַחְתִּי	עַתָּה	כִּי
(を)	あなたと	そして-打ったなら	わたしの-手を	(を)	わたしが-伸ばしたなら	今	なぜなら
H0853	H0853	H5221	H3027	H0853	H7971	H6258	

הָאָרֶץ׃	מִן־	וַתִּכָּחֵד	בַּדָּבֶר	עַמְּךָ
地から	～から	あなたは-滅ぼされた	疫病で	あなたの-民を
H0776		H3582	H1698	

わたしがもし、手をさし伸べ、疫病をもって、あなたと、あなたの民を打っていたならば、あなたは地から断ち滅ぼされていたであろう。

16

אֶת־	הַרְאֹתְךָ	בַּעֲבוּר	הֶעֱמַדְתִּיךָ	זֹאת	בַּעֲבוּר	וְאוּלָם
(を)	見せるために	～ために	わたしは-立たせた	この-ために	～ために	しかし-実に
H0853	H7200	H5668	H5975	H2063	H5668	H0199

הָאָרֶץ׃	בְּכָל־	שְׁמִי	סַפֵּר	וּלְמַעַן	כֹּחִי
地に	すべての	わたしの-名を	告げるために	～ために	わたしの-力を
H0776	H3605	H8034		H4616	

しかし、わたしがあなたをながらえさせたのは、あなたにわたしの力を見させるため、そして、わたしの名が全地に宣べ伝えられるためにほかならない。

17

שַׁלְּחָם׃	לְבִלְתִּי	בְּעַמִּי	מִסְתּוֹלֵל	עוֹדְךָ
去らせないで	～ないように	わたしの-民に対して	おごっている	まだ
H7971	H1115		H5549	H5750

それに、あなたはなお、わたしの民にむかって、おのれを高くし、彼らを去らせようとしない。

18

הָיָה	לֹא־	אֲשֶׁר	מְאֹד	כְּבֵד	בָּרָד	מָחָר	כָּעֵת	מַמְטִיר	הִנְנִי
なかった	～ない	(それは)	重い	非常に	雹を	明日	同じ-時に	降らせる	見よ-わたしは
H1961	H3808		H3966	H3515	H1259	H4279	H6256	H4305	H2009

עָתָּה׃	וְעַד־	הִוָּסְדָה	הַיּוֹם	לְמִן־	בְּמִצְרַיִם	כָּמֹהוּ
今まで	今まで	基が-置かれた	日から	～から	エジプトに	その-ようなものは
H6258	H5704	H3245	H3117		H4714	H3644

ゆえに、あすの今ごろ、わたしは恐ろしく大きな雹を降らせるであろう。それはエジプトの国が始まった日から今まで、かつてなかったほどのものである。

19

לְךָ	אֲשֶׁר	כָּל־	וְאֶת	מִקְנְךָ	אֶת־	הָעֵז	שְׁלַח	וְעַתָּה
あなたの-ものを	(ものを)	すべての	(を)	あなたの-家畜を	(を)	急いで	送れ	それで-今
		H3605	H0853	H4735	H0853	H5756	H7971	H6258

הַבַּיְתָה	יֵאָסֵף	וְלֹא	בַּשָּׂדֶה	יִמָּצֵא	אֲשֶׁר־	וְהַבְּהֵמָה	הָאָדָם	כָּל־	בַּשָּׂדֶה
家に	集められない	～ない	野で	見つかる	(それらは)	家畜は	人と	すべての	野にある
	H0622	H3808		H4672		H0929	H0120	H3605	

וָמֵתוּ׃	הַבָּרָד	עֲלֵהֶם	וְיָרַד
そして-死ぬ	雹が	彼らの上に	すると-降る
H4191	H1259		H3381

それゆえ、いま、人をやって、あなたの家畜と、あなたが野にもっているすべてのものを、のがれさせなさい。人も獣も、すべて野にあって家に帰らないものは降る雹に打たれて死ぬであろう」と』」。

20

עֲבָדָיו	אֶת־	הֵנִיס	פַּרְעֹה	מֵעַבְדֵי	יְהוָה	דְּבַר	אֶת־	הַיָּרֵא
自分の–僕べと	(を)	避難させた	ファラオの	家臣たちの中で	主の	言葉を	(を)	恐れる–者は
H5650	H0853	H5127	H6547	H5650	H3068	H1697	H0853	H3372

הַבָּתִּים׃	אֶל־	מִקְנֵהוּ	וְאֶת־	
家の中へ	～へ	家畜を	(を)	
	H0413	H4735	H0853	

パロの家来のうち、主の言葉をおそれる者は、そのしもべと家畜を家にのがれさせたが、

21

וַיַּעֲזֹב	יְהוָה	דְּבַר	אֶל־	לִבּוֹ	שָׂם	לֹא־	וַאֲשֶׁר	
そして–放置した	主の	言葉に	～に	自分の–心を	心を–置かなかった	～ない	しかし(それを)	
	H3068	H1697	H0413			H3808		

פ	בַּשָּׂדֶה׃	מִקְנֵהוּ	וְאֶת־	עֲבָדָיו	אֶת־	
(段落)	野に	家畜を	(を)	自分の–僕べと	(を)	
		H4735	H0853	H5650	H0853	

主の言葉を意にとめないものは、そのしもべと家畜を野に残しておいた。

22

הַשָּׁמָיִם	עַל־	יָדְךָ	אֶת־	נְטֵה	מֹשֶׁה	אֶל־	יְהוָה	וַיֹּאמֶר
天に	～に向かって	あなたの–手を	(を)	伸ばせ	モーセ	～に	主は	そして–言われた
H8064		H3027	H0853	H5186	H4872	H0413	H3068	H0559

וְעַל	הַבְּהֵמָה	וְעַל־	הָאָדָם	עַל־	מִצְרַיִם	אֶרֶץ	בְּכָל־	בָּרָד	וְיִהִי
～の上に	家畜の	～の上に	人の	～の上に	エジプトの	地に	すべての	雹が	すると–なる
	H0929		H0120		H4714	H0776	H3605	H1259	H1961

מִצְרַיִם׃	בְּאֶרֶץ	הַשָּׂדֶה	עֵשֶׂב	כָּל־
エジプトの	地に	野の	草の	すべての
H4714	H0776		H6212	H3605

主はモーセに言われた、「あなたの手を天にむかってさし伸べ、エジプトの全国にわたって、エジプトの地にいる人と獣と畑のすべての青物の上に雹を降らせなさい」。

23

קֹלֹת	נָתַן	וַיהוָה	הַשָּׁמָיִם	עַל־	מַטֵּהוּ	אֶת־	מֹשֶׁה	וַיֵּט
雷と	与えた	すると–主は	天に	～に向かって	自分の–杖を	(を)	モーセは	そして–伸ばした
	H5414	H3068	H8064		H4294	H0853	H4872	H5186

מִצְרָיִם׃	אֶרֶץ	עַל־	בָּרָד	יְהוָה	וַיִּמְטַר	אֶרְצָה	אֵשׁ	וַתְּהַלֶּךְ	וּבָרָד
エジプトの	地に	～の上に	雹を	主は	そして–降らせた	地に	火が	そして–走った	雹を
H4714	H0776		H1259	H3068	H4305	H0776	H0784	H1980	H1259

モーセが天にむかってつえをさし伸べると、主は雷と雹をおくられ、火は地にむかって、はせ下った。こうして主は、雹をエジプトの地に降らされた。

24

לֹא־	אֲשֶׁר	מְאֹד	כָּבֵד	הַבָּרָד	בְּתוֹךְ	מִתְלַקַּחַת	וְאֵשׁ	בָּרָד	וַיְהִי
～ない	(それは)	重い	非常に	雹の	中に	燃えあがる	火が	雹と	そして–あった
H3808		H3966	H3515	H1259	H8432	H3947	H0784	H1259	H1961

לְגוֹי׃	הָיְתָה	מֵאָז	מִצְרַיִם	אֶרֶץ	בְּכָל־	כָּמֹהוּ	הָיָה
国に–なってから	あった	～以来	エジプトの	地に	すべての	その–ようなものは	なかった
	H1961		H4714	H0776	H3605	H3644	H1961

そして雹が降り、雹の間に火がひらめき渡った。雹は恐ろしく大きく、エジプト全国には、国をなしてこのかた、かつてないものであった。

25 וַיַּךְ הַבָּרָד בְּכָל־אֶרֶץ מִצְרַיִם אֵת כָּל־אֲשֶׁר בַּשָּׂדֶה מֵאָדָם
そして-打った 雹は すべての 地に エジプトの を すべてを (それは) 野にある 人から
H5221 H1259 H3605 H0776 H4714 H0853 H3605 H0834 H7704 H0120

וְאֶת־כָּל־עֵשֶׂב הַשָּׂדֶה הִכָּה הַבָּרָד וְאֶת־כָּל־עֵץ הַשָּׂדֶה שִׁבֵּר׃
そして-草も すべての 野の 打ち砕いた 雹は (を) すべての 木も 野の 折った
H6212 H3605 H7704 H5221 H1259 H0853 H3605 H6086 H7704 H7665

雹はエジプト全国にわたって、すべて畑にいる人と獣を打った。雹はまた畑のすべての青物を打ち、野のもろもろの木を折り砕いた。

26 רַק בְּאֶרֶץ גֹּשֶׁן אֲשֶׁר־שָׁם בְּנֵי יִשְׂרָאֵל לֹא הָיָה בָּרָד׃
ただ 地に ゴシェンの (そこに) いる 子らが イスラエルの ～ない なかった 雹は
H7535 H0776 H1657 H0834 H8033 H1121 H3478 H3808 H1961 H1259

ただイスラエルの人々のいたゴセンの地には、雹が降らなかった。

27 וַיִּשְׁלַח פַּרְעֹה וַיִּקְרָא לְמֹשֶׁה וְלְאַהֲרֹן וַיֹּאמֶר אֲלֵהֶם
そして-遣わした ファラオは そして-呼んだ モーセと アロンを そして-言った 彼らに
H7971 H6547 H7121 H4872 H0175 H0559 H0413

הַפָּעַם חָטָאתִי יְהוָה הַצַּדִּיק וַאֲנִי וְעַמִּי הָרְשָׁעִים׃
この-度は わたしは-罪を-犯した 主は 正しく わたしと わたしの-民は 悪い
H6471 H2398 H3068 H6662 H0589 H5971 H7563

そこで、パロは人をつかわし、モーセとアロンを召して言った、「わたしはこんどは罪を犯した。主は正しく、わたしと、わたしの民は悪い。

28 הַעְתִּירוּ אֶל־יְהוָה וְרַב מִהְיֹת קֹלֹת אֱלֹהִים וּבָרָד וַאֲשַׁלְּחָה
祈ってくれ ～に 主に 十分である もうないように 雷と 神の 雹が わたしは-去らせる
H6279 H0413 H3068 H7227 H1961 H7482 H0430 H1259 H7971

וְלֹא תֹסִפוּן לַעֲמֹד׃ אִתְּכֶם וְלֹא אֶתְּנָה
とどまることを 續けない ～ない あなたがたを
H5975 H3254 H3808 H0853

主に祈願してください。この雷と雹はもうじゅうぶんです。わたしはあなたがたを去らせます。もはやとどまらなくてもよろしい」。

29 וַיֹּאמֶר אֵלָיו מֹשֶׁה כְּצֵאתִי אֶת־הָעִיר אֶפְרֹשׂ כַּפַּי אֶת־יְהוָה
そして-言った 彼に モーセは 出たら (を) 町を わたしは-広げる わたしの-手を (を) 主に
H0559 H0413 H4872 H3318 H0853 H5892 H3709 H0853 H3068

יֶחְדָּלוּן הַקֹּלוֹת וְהַבָּרָד עוֹד לֹא יִהְיֶה־ לְמַעַן תֵּדַע כִּי
やむ 雷は 雹も もう ない ～ない ～ために あなたが-知る (こと)
H2308 H7482 H1259 H5750 H1961 H3808 H4616 H3045 H3588

לַיהוָה הָאָרֶץ׃
主のものであると 地は
H3068 H0776

モーセは彼に言った、「わたしは町を出ると、すぐ、主にむかってわたしの手を伸べひろげます。すると雷はやみ、雹はもはや降らなくなり、あなたは、地が主のものであることを知られましょう。

30 וְאַתָּה יָדַעְתִּי כִּי־טֶרֶם תִּירְאוּן מִפְּנֵי יְהוָה אֱלֹהִים׃
しかし–あなたと わたしは–知っている (こと) まだ–〜ない 恐れていないと 〜の前で 主 神の
H3045 H3372 H2962 H6440 H3068 H0430

しかし、あなたとあなたの家来たちは、なお、神なる主を恐れないことを、わたしは知っています」。

31 וְהַפִּשְׁתָּה וְהַשְּׂעֹרָה נֻכָּתָה כִּי־הַשְּׂעֹרָה אָבִיב וְהַפִּשְׁתָּה גִבְעֹל׃
亜麻と 大麦は 打たれた なぜなら 大麦は 穂が–出ており 亜麻は 花が–咲いていた
H6594 H8184 H5221 H8184 H0024 H6594 H1392

――亜麻と大麦は打ち倒された。大麦は穂を出し、亜麻は花が咲いていたからである。

32 וְהַחִטָּה וְהַכֻּסֶּמֶת לֹא נֻכּוּ כִּי אֲפִלֹת הֵנָּה׃
しかし–小麦と 裸麦は 〜ない 打たれなかった なぜなら 遅く–育つ それらは
H2406 H3698 H3808 H5221 H0648 H2007

小麦とスペルタ麦はおくてであるため打ち倒されなかった。――

33 וַיֵּצֵא מֹשֶׁה מֵעִם פַּרְעֹה אֶת־הָעִיר וַיִּפְרֹשׂ כַּפָּיו אֶל־יְהוָה וַיַּחְדְּלוּ הַקֹּלוֹת וְהַבָּרָד וּמָטָר לֹא־נִתַּךְ אָרְצָה׃
そして–出た モーセは 前から ファラオの (を) 町を そして–広げた 両手を 〜に 主に そると–やんだ 雷は 雹も 雨も 〜ない 注がれなかった 地に
H3318 H4872 H6547 H0853 H5892 H3709 H0413 H3068 H2308 H7482 H1259 H4306 H3808 H5413 H0776

モーセはパロのもとを去り、町を出て、主にむかって手を伸べひろげたので、雷と雹はやみ、雨は地に降らなくなった。

34 וַיַּרְא פַּרְעֹה כִּי־חָדַל הַמָּטָר וְהַבָּרָד וְהַקֹּלֹת וַיֹּסֶף לַחֲטֹא וַיַּכְבֵּד לִבּוֹ הוּא וַעֲבָדָיו׃
そして–見た ファラオは (こと) やんだ 雨と 雹と 雷が そして–続けた 罪を–犯すことを 彼も 自分の–心を 家臣たちも
H7200 H6547 H2308 H4306 H1259 H7482 H3254 H2398 H1931 H3513 H5650

ところがパロは雨と雹と雷がやんだのを見て、またも罪を犯し、心をかたくなにした。彼も家来も、そうであった。

35 וַיֶּחֱזַק לֵב פַּרְעֹה וְלֹא שִׁלַּח אֶת־בְּנֵי יִשְׂרָאֵל כַּאֲשֶׁר דִּבֶּר יְהוָה בְּיַד־מֹשֶׁה׃ פ
そして–かたくなになった 心は ファラオの ～ない 去らせなかった (を) 子らを イスラエルの (とおりに) 語られた 主が 手を–通して モーセの (段落)
H2388 H3820 H6547 H7971 H853 H1121 H3478 H1696 H3068 H3027 H4872

すなわちパロは心をかたくなにし、主がモーセによって語られたように、イスラエルの人々を去らせなかった。

Chapter 10

1

וַיֹּ֥אמֶר	יְהוָ֖ה	אֶל־	מֹשֶׁ֑ה	בֹּ֣א	אֶל־	פַּרְעֹ֗ה	כִּי־	אֲנִ֤י
そして–言われた	主は	～に	モーセ	行って	～の前に	ファラオ	なぜなら	わたしが
H0559	H3068	H0413	H4872	H0935	H0413	H6547		H0589

הִכְבַּדְתִּי	אֶת־	לִבּוֹ֙	וְאֶת־	לֵ֣ב	עֲבָדָ֔יו	לְמַ֣עַן	שִׁתִ֔י
かたくなにした	(を)	彼の–心を	(を)	心を	家臣たちの	～ために	置くために
H3513	H0853		H0853		H5650	H4616	H7896

אֹתֹתַ֖י	אֵ֑לֶּה	בְּקִרְבּֽוֹ׃	
わたしの–しるしを	これらの	彼の–中に	
H0226	H0428	H7130	

そこで、主はモーセに言われた、「パロのもとに行きなさい。わたしは彼の心とその家来たちの心をかたくなにした。これは、わたしがこれらのしるしを、彼らの中に行うためである。

2

אֲשֶׁר	אֵת֙	בִּנְךָ֣	וּבֶן־	בִּנְךָ֔	בְּאָזְנֵ֥י	תְּסַפֵּר֙	וּלְמַ֣עַן	
(それを)	(を)	息子の	子	息子の	耳に	あなたが–語るために	～ために	
	H0853				H0241		H4616	

בָּ֑ם	שַׂ֣מְתִּי	אֲשֶׁר־	אֹתֹתַ֖י	וְאֶת־	בְּמִצְרַ֔יִם	הִתְעַלַּ֣לְתִּי	
彼らの中に	置いた	(それを)	わたしの–しるしを	(を)	エジプトに	わたしが–行ったことを	
			H0226	H0853	H4714		

יְהוָֽה׃	אֲנִ֖י	כִּי־	וְיָדַעְתֶּ֥ם
主であると	わたしが	(こと)	あなたがたが–知るために
H3068	H0589		H3045

また、わたしがエジプトびとをあしらったこと、また彼らの中にわたしが行ったしるしを、あなたがたが、子や孫の耳に語り伝えるためである。そしてあなたがたは、わたしが主であることを知るであろう」。

3

אָמַ֔ר	כֹּ֚ה־	אֱלָ֣יו	וַיֹּאמְר֗וּ	פַּרְעֹה֙	אֶל־	וְאַהֲרֹ֔ן	מֹשֶׁ֣ה	וַיָּבֹ֤א
言われる	こう	彼に	そして–言った	ファラオ	～の前に	アロンは	モーセと	そして–来た
H0559	H3541	H0413	H0559	H6547	H0413	H0175	H4872	H0935

מִפָּנָ֑י	לֵעָנֹ֖ת	מֵאַנְתָּ֥	מָתַ֛י	עַד־	הָעִבְרִ֖ים	אֱלֹהֵ֣י	יְהוָ֔ה	
わたしの–前で	へりくだることを	拒んでいる	拒むのか	いつまで	ヘブル人の	神	主は	
H6440		H3985	H4970	H5704	H5680	H0430	H3068	

וְיַעַבְדֵֽנִי׃	עַמִּ֖י	שַׁלַּ֥ח	
彼らが–仕えるように	わたしの–民を	去らせよ	
H5647		H7971	

モーセとアロンはパロのもとに行って彼に言った、「ヘブルびとの神、主はこう仰せられる、『いつまで、あなたは、わたしに屈伏することを拒むのですか。民を去らせて、わたしに仕えさせなさい。

4

הִנֵּ֣ה	עַמִּ֔י	אֶת־	לְשַׁלֳּחַ֖	אַתָּ֣ה	מָאֵ֑ן	אִם־	כִּ֥י	
見よ–わたしは	わたしの–民を	(を)	去らせることを	あなたが	拒むなら	もし–～ない	なぜなら	
H2009		H0853	H7971		H3986			

בִּגְבֻלֶֽךָ׃	אַרְבֶּ֖ה	מָחָ֣ר	מֵבִ֥יא	
あなたの–領土に	いなごを	明日	送り込む	
H1366	H0697	H4279	H0935	

もし、わたしの民を去らせることを拒むならば、見よ、あす、わたしはいなごを、あなたの領土にはいらせるであろう。

5

וְכִסָּה	אֶת־	עֵין	הָאָרֶץ	וְלֹא	יוּכַל	לִרְאֹת	אֶת־	הָאָרֶץ
そして–覆う	(を)	表面を	地の	～できない	できない	見ることが	(を)	地を
H3680	H0853	H6440	H0776	H3808	H3201	H7200	H0853	H0776

וְאָכַל	אֶת־	יֶתֶר	הַפְּלֵטָה	הַנִּשְׁאֶרֶת	לָכֶם	מִן־	הַבָּרָד
そして–食べ尽くす	(を)	残りを	免れたものの	残っている	あなたがたに	～から	雹から
H0398	H0853	H3499	H6413	H7604			H1259

וְאָכַל	אֶת־	כָּל־	הָעֵץ	הַצֹּמֵחַ	לָכֶם	מִן־	הַשָּׂדֶה׃	
そして–食べ尽くす	(を)	すべての	木を	生えている	あなたがたのために	～から	野から	
H0398	H0853	H3605	H6086	H6779				

それは地のおもてをおおい、人が地を見ることもできないほどになるであろう。そして雹を免れて、残されているものを食い尽し、野にはえているあなたがたの木をみな食い尽すであろう。

6

מִצְרַיִם׃	כָּל־	וּבָתֵּי	עֲבָדֶיךָ	כָּל־	וּבָתֵּי	בָּתֶּיךָ	וּמָלְאוּ	
エジプト人の	すべての	家も	家臣たちの	すべての	家も	あなたの–家も	そして–満ちる	
H4713	H3605		H5650	H3605			H4390	

הֱיוֹתָם	מִיּוֹם	אֲבֹתֶיךָ	וַאֲבוֹת	אֲבֹתֶיךָ	רָאוּ	לֹא־	אֲשֶׁר	
彼らが–いた	日から	父たちも	父の	あなたの–父たちも	見たことがない	～ない	(それを)	
H1961	H3117	H0001	H0001	H0001	H7200	H3808		

פַּרְעֹה׃	מֵעִם	וַיֵּצֵא	וַיִּפֶן	הַזֶּה	הַיּוֹם	עַד	הָאֲדָמָה	עַל־
ファラオの	前から	そして–出た	そして–向きを変えた	この	日まで	まで	地の上に	～の上に
H6547		H3318	H6437	H2088	H3117	H5704	H0127	

またそれはあなたの家とあなたのすべての家来の家、および、すべてのエジプトびとの家に満ちるであろう。このようなことは、あなたの父たちも、また、祖父たちも、彼らが地上にあった日から今日に至るまで、かつて見たことのないものである』と」。そして彼は身をめぐらして、パロのもとを出て行った。

7

לָנוּ	זֶה	יִהְיֶה	מָתַי	עַד־	אֵלָיו	פַּרְעֹה	עַבְדֵי	וַיֹּאמְרוּ
私たちに	これが	なるのか	であるのか	いつまで	彼に	ファラオの	家臣たちは	そして–言った
	H2088	H1961	H4970	H5704	H0413	H6547	H5650	H0559

הַטֶּרֶם	אֱלֹהֵיהֶם	יְהוָה	אֶת־	וְיַעַבְדוּ	הָאֲנָשִׁים	אֶת־	שַׁלַּח	לְמוֹקֵשׁ
まだ–～ないのか	彼らの–神	主に	(を)	彼らが–仕えるように	人々を	(を)	去らせよ	わなに
H2962	H0430	H3068	H0853	H5647	H0376	H0853	H7971	H4170

מִצְרָיִם׃	אֲבֵדָה	כִּי	תֵדַע
エジプトが	滅びたと	(こと)	知らないのか
H4714	H0006		H3045

パロの家来たちは王に言った、「いつまで、この人はわれわれのわなとなるのでしょう。この人々を去らせ、彼らの神なる主に仕えさせては、どうでしょう。エジプトが滅びてしまうことに、まだ気づかれないのですか」。

8

אֱלֹהֵיהֶם	וַיֹּאמֶר	פַּרְעֹה	אֶל־	אַהֲרֹן	וְאֶת־	מֹשֶׁה	אֶת־	וַיּוּשַׁב
彼らに	そして–言った	ファラオ	～の前に	アロンが	(を)	モーセと	(を)	そして–戻された
H0413	H0559	H6547	H0413	H0175	H0853	H4872	H0853	H7725

הַהֹלְכִים׃	וּמִי	מִי	אֱלֹהֵיכֶם	יְהוָה	אֶת־	עִבְדוּ	לְכוּ	
行くのか	誰が	誰が	あなたがたの–神	主に	(を)	仕えよ	行って	
H1980	H4310	H4310	H0430	H3068	H0853	H5647	H3212	

そこで、モーセとアロンは、また、パロのもとに召し出された。パロは彼らに言った、「行って、あなたがたの神、主に仕えなさい。しかし、行くものはだれだれか」。

9

נֵלֵךְ	וּבִבְקָרֵנוּ	בְּצֹאנֵנוּ	וּבְבָנוֹתֵינוּ	בְּבָנֵינוּ	נֵלֵךְ	וּבִזְקֵנֵינוּ	בִּנְעָרֵינוּ	מֹשֶׁה	וַיֹּאמֶר
行く	牛も	羊も	娘も	息子も	行く	年寄りも	若者も	モーセは	そして–言った
H3212	H1241	H6629	H1323		H3212	H2205	H5288	H4872	H0559

לָנוּ׃	יְהוָה	חַג־	כִּי
私たちに	主の	祭りがある	なぜなら
	H3068	H2282	

モーセは言った、「わたしたちは幼い者も、老いた者も行きます。むすこも娘も携え、羊も牛も連れて行きます。わたしたちは主の祭を執り行わなければならないのですから」。

10

כַּאֲשֶׁר	עִמָּכֶם	יְהוָה	כֵּן	יְהִי	אֱלֹהֶם	וַיֹּאמֶר	
(とおりに)	あなたがたと–共に	主が	その–ように	あるように	彼らに	そして–言った	
		H3068		H1961	H0413	H0559	

נֶגֶד	רָעָה	כִּי	רְאוּ	טַפְּכֶם	וְאֶת־	אֶתְכֶם	אֲשַׁלַּח	
前にある	悪だくみが	(こと)	見よ	子供たちを	(を)	あなたがたと	わたしが–去らせるなら	
H5048			H7200	H2945	H0853	H0853	H7971	

פְּנֵיכֶם׃
あなたがたの–前に
H6440

パロは彼らに言った、「万一、わたしが、あなたがたに子供を連れてまで去らせるようなことがあれば、主があなたがたと共にいますがよい。あなたがたは悪いたくらみをしている。

11

אֹתָהּ	כִּי	יְהוָה	אֶת־	וְעִבְדוּ	הַגְּבָרִים	נָא	לְכוּ־	כֵּן	לֹא
それを	なぜなら	主に	(を)	そして–仕えよ	男たちだけ	どうか	行け	そうではない	～ない
H0853		H3068	H0853	H5647	H1397	H4994	H3212		H3808

פ	פַּרְעֹה׃	פְּנֵי	מֵאֵת	אֹתָם	וַיְגָרֶשׁ	מְבַקְשִׁים	אַתֶּם
(段落)	ファラオの	前の	前から	彼らを	そして–追い出した	求めているのだから	あなたがたが
	H6547	H6440	H0854	H0853	H1644	H1245	

それはいけない。あなたがたは男だけ行って主に仕えるがよい。それが、あなたがたの要求であった」。彼らは、ついにパロの前から追い出された。

12

מִצְרַיִם	אֶרֶץ	עַל־	יָדְךָ	נְטֵה	מֹשֶׁה	אֶל־	יְהוָה	וַיֹּאמֶר	
エジプトの	地に	～の上に	あなたの–手を	伸ばせ	モーセ	～に	主は	そして–言われた	
H4714	H0776		H3027	H5186	H4872	H0413	H3068	H0559	

כָּל־	אֶת־	וְיֹאכַל	מִצְרַיִם	אֶרֶץ	עַל־	וְיַעַל	בָּאַרְבֶּה	
すべての	(を)	そして–食べ尽くす	エジプトの	地に	～の上に	すると–上がる	いなごのために	
H3605	H0853	H0398	H4714	H0776		H5927	H0697	

הַבָּרָד׃	הִשְׁאִיר	אֲשֶׁר	כָּל־	אֵת	הָאָרֶץ	עֵשֶׂב
雹が	残した	(それを)	すべてを	(を)	地の	草を
H1259	H7604		H3605	H0853	H0776	H6212

主はモーセに言われた、「あなたの手をエジプトの地の上にさし伸べて、エジプトの地にいなごをのぼらせ、地のすべての青物、すなわち、雹が打ち残したものを、ことごとく食べさせなさい」。

13

נָהַג　וַיהוָה　מִצְרַיִם　אֶרֶץ　עַל־　מַטֵּהוּ　אֶת־　מֹשֶׁה　וַיֵּט
導いた　すると–主は　エジプトの　地に　～の上に　自分の–杖を　(を)　モーセは　そして–伸ばした
H3068　H4714　H0776　H4294　H0853　H4872　H5186

הַקָּדִים　וְרוּחַ　הָיָה　הַבֹּקֶר　הַלָּיְלָה　וְכָל־　הַהוּא　הַיּוֹם　כָּל־　בָּאָרֶץ　קָדִים　רוּחַ
東の　風が　なった　朝になると　夜も　すべての　その　日　すべての　地に　東の　風を
H6921　H7307　H1961　H1242　H3915　H3605　H1931　H3117　H3605　H0776　H6921　H7307

הָאַרְבֶּה׃　אֶת־　נָשָׂא
いなごを　(を)　運んで–来た
H0697　H0853　H5375

そこでモーセはエジプトの地の上に、つえをさし伸べたので、主は終日、終夜、東風を地に吹かせられた。朝となって、東風は、いなごを運んできた。

14

בְּכֹל　וַיָּנַח　מִצְרַיִם　אֶרֶץ　כָּל־　עַל　הָאַרְבֶּה　וַיַּעַל
すべての　そして–止まった　エジプトの　地に　すべての　～の上に　いなごは　そして–上がった
H3605　H5117　H4714　H0776　H3605　H0697　H5927

אַרְבֶּה　כֵּן　הָיָה　לֹא־　לְפָנָיו　מֵאֹד　כָּבֵד　מִצְרַיִם　גְּבוּל
いなごは　その–ような　なかった　～ない　以前にも　重い　非常に　エジプトの　領土に
H0697　H1961　H3808　H6440　H3966　H3515　H4714　H1366

כֵּן׃　יִהְיֶה־　לֹא　וְאַחֲרָיו　כָּמֹהוּ
その–ようなものは　ない　～ない　その–後にも　その–ようなものは
H1961　H3808　H3644

いなごはエジプト全国にのぞみ、エジプトの全領土にとどまり、その数がはなはだ多く、このようないなごは前にもなく、また後にもないであろう。

15

וַיֹּאכַל　הָאָרֶץ　וַתֶּחְשַׁךְ　הָאָרֶץ　כָּל־　עֵין　אֶת־　וַיְכַס
そして–食べ尽くした　地は　そして–暗くなった　地の　すべての　表面を　(を)　そして–覆った
H0398　H0776　H2821　H0776　H3605　H0853　H3680

וְלֹא־　הַבָּרָד　הוֹתִיר　אֲשֶׁר　הָעֵץ　פְּרִי　כָּל־　וְאֵת　הָאָרֶץ　עֵשֶׂב　כָּל־　אֶת־
～ない　雹が　残した　(それを)　木の　果実を　すべての　(を)　地の　草を　すべての　(を)
H3808　H1259　H3498　H6086　H6529　H3605　H0853　H0776　H6212　H3605　H0853

מִצְרָיִם׃　אֶרֶץ　בְּכָל־　הַשָּׂדֶה　וּבְעֵשֶׂב　בָּעֵץ　יֶרֶק　כָּל־　נוֹתַר
エジプトの　地に　すべての　野の　草にも　木にも　緑は　すべての　残らなかった
H4714　H0776　H3605　H6212　H6086　H3418　H3605　H3498

16

חָטָאתִי　וַיֹּאמֶר　וְלְאַהֲרֹן　לְמֹשֶׁה　לִקְרֹא　פַּרְעֹה　וַיְמַהֵר
わたしは–罪を–犯した　そして–言った　アロンを　モーセと　呼ぶために　ファラオは　そして–急いだ
H2398　H0559　H0175　H4872　H7121　H6547

וְלָכֶם׃　אֱלֹהֵיכֶם　לַיהוָה
あなたがたに対して　あなたがたの–神　主に対して
H0430　H3068

そこで、パロは、急いでモーセとアロンを召して言った、「わたしは、あなたがたの神、主に対し、また、あなたがたに対して罪を犯しました。

17 וְעַתָּה שָׂא נָא חַטָּאתִי אַךְ הַפַּעַם וְהַעְתִּירוּ לַיהוָה
それで–今 赦してくれ どうか わたしの–罪を ただ この–度だけ そして–祈ってくれ 主に
H6258 H5375 H4994 H2398 H6471 H6279 H3068

הַזֶּה׃ הַמָּוֶת אֶת־ רַק מֵעָלַי וְיָסֵר אֱלֹהֵיכֶם
この この–死を (を) ただ 私から 取り除くように あなたがたの–神
H2088 H4194 H0853 H7535 H5493 H0430

それで、どうか、もう一度だけ、わたしの罪をゆるしてください。そしてあなたがたの神、主に祈願して、ただ、この死をわたしから離れさせてください」。

18 וַיֵּצֵא מֵעִם פַּרְעֹה וַיֶּעְתַּר אֶל־ יְהוָה׃
そして–出た 前から ファラオの そして–祈った ～に 主に
H3318 H6547 H6279 H0413 H3068

そこで彼はパロのところから出て、主に祈願したので、

19 וַיַּהֲפֹךְ יְהוָה רוּחַ־ יָם חָזָק מְאֹד וַיִּשָּׂא אֶת־ הָאַרְבֶּה
そして–変えた 主は 風を 海の 非常に 強い そして–運び去った (を) いなごを
H2015 H3068 H7307 H3220 H2389 H3966 H5375 H0853 H0697

וַיִּתְקָעֵהוּ יָמָּה סוּף לְא נִשְׁאַר אַרְבֶּה אֶחָד בְּכֹל גְּבוּל
そして–投げ込んだ 海へ 葬の ～ない 残らなかった いなごは 一匹も すべての 領土に
H8628 H3220 H5488 H3808 H7604 H0697 H0259 H3605 H1366

מִצְרָיִם׃
エジプトの
H4714

主は、はなはだ強い西風に変らせ、いなごを吹き上げて、これを紅海に追いやられたので、エジプト全土には一つのいなごも残らなかった。

20 וַיְחַזֵּק יְהוָה אֶת־ לֵב פַּרְעֹה וְלֹא שִׁלַּח אֶת־ בְּנֵי
しかし–かたくなにした 主は (を) 心を ファラオの ～ない 去らせなかった (を) 子らを
H2388 H3068 H0853 H3820 H6547 H3808 H7971 H0853

פ יִשְׂרָאֵל׃
(段落) イスラエルの
H3478

しかし、主がパロの心をかたくなにされたので、彼はイスラエルの人々を去らせなかった。

21 וַיֹּאמֶר יְהוָה אֶל־ מֹשֶׁה נְטֵה יָדְךָ עַל־ הַשָּׁמַיִם וְיִהְי
そして–言われた 主は ～に モーセ 伸ばせ あなたの–手を ～に向かって 天に すると–なる
H0559 H3068 H0413 H4872 H5186 H3027 H0413 H8064 H1961

חֹשֶׁךְ עַל־ הָאָרֶץ מִצְרָיִם וְיָמֵשׁ חֹשֶׁךְ׃
闇が ～の上に 地に エジプトの 手で–触れるほどの 闇が
H2822 H0413 H0776 H4714 H4959 H2822

主はまたモーセに言われた、「天にむかってあなたの手をさし伸べ、エジプトの国に、くらやみをこさせなさい。そのくらやみは、さわれるほどである」。

22 וַיֵּט מֹשֶׁה אֶת־ יָדוֹ עַל־ הַשָּׁמָיִם וַיְהִי חֹשֶׁךְ־
そして–伸ばした モーセは (を) 自分の–手を ～に向かって 天に すると–あった 闇が
H5186 H4872 H0853 H3027 H0413 H8064 H1961 H2822

אֲפֵלָה בְּכֹל־ אֶרֶץ מִצְרַיִם שְׁלֹשֶׁת יָמִים׃
深い すべての 地に エジプトの 三 日間
H0653 H3605 H0776 H4714 H7969 H3117

モーセが天にむかって手をさし伸べたので、濃いくらやみは、エジプト全国に臨み三日に及んだ。

23

מִתַּחְתָּיו	אִישׁ	קָמוּ	וְלֹא־	אָחִיו	אֶת־	אִישׁ	רָאוּ	לֹא־	
自分の–場所から	誰も	立てなかった	～ない	自分の–兄弟を	(を)	誰も	見えなかった	～ない	
H8478	H0376		H3808	H0251	H0853	H0376	H7200	H3808	

:בְּמוֹשְׁבֹתָם	אוֹר	הָיָה	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי	וּלְכָל־	יָמִים	שְׁלֹשֶׁת	
彼らの–住まいに	光が	あった	イスラエルの	子らには	しかし–すべての	日間	三	
H4186	H0216	H1961	H3478		H3605	H3117	H7969	

三日の間、人々は互に見ることもできず、まただれもその所から立つ者もなかった。しかし、イスラエルの人々には、みな、その住む所に光があった。

24

רַק	יְהוָה	אֶת־	עִבְדוּ	לְכוּ	וַיֹּאמֶר	מֹשֶׁה	אֶל־	פַּרְעֹה	וַיִּקְרָא
ただ	主に	(を)	仕えよ	行って	そして–言った	モーセ	～に	ファラオは	すると–呼んだ
H7535	H3068	H0853	H5647	H3212	H0559	H4872	H0413	H6547	H7121

:עִמָּכֶם	יֶלֶךְ	טַפְּכֶם	גַּם־	יֻצָּג	וּבְקַרְכֶם	צֹאנְכֶם	
あなたがたと–共に	行け	子供たちも	また	留め置け	牛は	羊と	
	H3212	H2945	H1571	H3322	H1241	H6629	

そこでパロはモーセを召して言った、「あなたがたは行って主に仕えなさい。あなたがたの子供も連れて行ってもよろしい。ただ、あなたがたの羊と牛は残して置きなさい」。

25

וְעֹלוֹת	זְבָחִים	בְּיָדֵנוּ	תִּתֵּן	אַתָּה	גַּם־	מֹשֶׁה	וַיֹּאמֶר	
燔祈を	いけにえと	私たちの–手に	与えねばならない	あなたも	また	モーセは	そして–言った	
	H2077	H3027	H5414		H1571	H4872	H0559	

:אֱלֹהֵינוּ	לַיהוָה	וְנַעֲשֶׂינוּ	
私たちの–神	主に	私たちが–ささげるために	
H0430	H3068		

しかし、モーセは言った、「あなたは、また、わたしたちの神、主にささげる犠牲と燔祭の物をも、わたしたちにくださらなければなりません。

26

כִּי	פַּרְסָה	תִשָּׁאֵר	לֹא	עִמָּנוּ	יֵלֵךְ	מִקְנֵנוּ	וְגַם־	
なぜなら	ひづめ一つも	残さない	～ない	私たちと–共に	行く	私たちの–家畜も	また	
	H6541	H7604	H3808		H3212	H4735	H1571	

מַה־	נֵּדַע	לֹא־	וַאֲנַחְנוּ	אֱלֹהֵינוּ	יְהוָה	אֶת־	לַעֲבֹד	נִקַּח	מִמֶּנּוּ
何で	知らない	～ない	私たちは	私たちの–神	主に	(を)	仕えるために	取る	その–中から
H4100	H3045	H3808	H0587	H0430	H3068	H0853	H5647	H3947	

:שָׁמָּה	בֹּאֵנוּ	עַד־	יְהוָה	אֶת־	נַעֲבֹד
そこに	私たちが–着くまで	～まで	主に	(を)	仕えるか
H8033	H0935	H5704	H3068	H0853	H5647

わたしたちは家畜も連れて行きます。ひずめ一つも残しません。わたしたちは、そのうちから取って、わたしたちの神、主に仕えねばなりません。またわたしたちは、その場所に行くまでは、何をもって、主に仕えるべきかを知らないからです」。

27

:לְשַׁלְּחָם	אָבָה	וְלֹא	פַּרְעֹה	לֵב	אֶת־	יְהוָה	וַיְחַזֵּק	
去らせることを	慎わなかった	～ない	ファラオの	心を	(を)	主は	しかし–かたくなにした	
H7971	H0014	H3808	H6547		H0853	H3068	H2388	

けれども、主がパロの心をかたくなにされたので、パロは彼らを去らせようとしなかった。

28

תֹּסֶף	אֵל־	לְךָ	הִשָּׁמֶר	מֵעָלָי	לֵךְ	פַּרְעֹה	לוֹ	וַיֹּאמֶר־
續けてはならない	～ない	自分に	気をつけろ	私の前から	去れ	ファラオは	彼に	そして–言った
H3254	H0408		H8104		H3212	H6547		H0559

תָּמוּת׃	פָּנַי	רְאֹתְךָ	בְּיוֹם	כִּי	פָּנַי	רְאוֹת
死ぬ	私の–顔を	見たら	日に	なぜなら	私の–顔を	見ることを
H4191	H6440	H7200	H3117		H6440	H7200

それでパロはモーセに言った、「わたしの所から去りなさい。心して、わたしの顔は二度と見てはならない。わたしの顔を見る日には、あなたの命はないであろう」。

29

רְאוֹת	עוֹד	אֹסֶף	לֹא־	דִּבַּרְתָּ	כֵּן	מֹשֶׁה	וַיֹּאמֶר
見ることを	もう	續けない	～ない	言った	その–とおりに	モーセは	そして–言った
H7200	H5750	H3254	H3808	H1696		H4872	H0559

פָּנֶיךָ׃	פ
あなたの–顔を	(段落)
H6440	

モーセは言った、「よくぞ仰せられました。わたしは、二度と、あなたの顔を見ないでしょう」。

Chapter 11

1

עַל־	אָבִיא	אֶחָד	נֶגַע	עוֹד	מֹשֶׁה	אֶל־	יְהוָה	וַיֹּאמֶר
～の上に	わたしは–もたらす	一つ	災いを	もう–一つ	モーセ	～に	主は	そして–言われた
	H0935	H0259	H5061	H5750	H4872	H0413	H3068	H0559

כְּשַׁלְּחוֹ	מִזֶּה	אֶתְכֶם	יְשַׁלַּח	כֻּלָּן	אַחֲרֵי־	מִצְרַיִם	וְעַל־	פַּרְעֹה
去らせる時	ここから	あなたがたを	彼は–去らせる	それの	その–後に	エジプト	～の上に	ファラオ
H7971	H2088	H0853	H7971			H4714		H6547

מִזֶּה׃	אֶתְכֶם	יְגָרֵשׁ	גָּרֵשׁ	כָּלָה
ここから	あなたがたを	彼は–追い出す	追い出す	完全に
H2088	H0853	H1644	H1644	H3617

主はモーセに言われた、「わたしは、なお一つの災を、パロとエジプトの上にくだし、その後、彼はあなたがたをここから去らせるであろう。彼が去らせるとき、彼はあなたがたを、ことごとくここから追い出すであろう。

2

רְעוּתָהּ	מֵאֵת	וְאִשָּׁה	רֵעֵהוּ	מֵאֵת	וְאִישׁ	וְיִשְׁאֲלוּ	הָעָם	בְּאָזְנֵי	נָא	דַּבֶּר־
隣人から	～から	女も	隣人から	～から	各々が	求めるように	民の	耳に	どうか	語れ
H7468	H0854	H0802	H7453	H0854	H0376	H7592		H0241	H4994	H1696

זָהָב׃	וּכְלֵי	כֶּסֶף	כְּלֵי־
金の	器を	銀の	器を
H2091	H3627	H3701	H3627

あなたは民の耳に語って、男は隣の男から、女は隣の女から、それぞれ銀の飾り、金の飾りを請い求めさせなさい」。

3

מֹשֶׁה	הָאִישׁ	גַּם	מִצְרַיִם	בְּעֵינֵי	הָעָם	חֵן	אֶת־	יְהוָה	וַיִּתֵּן
モーセは	人は	また	エジプト人の	目に	民に	好意を	(を)	主は	そして–与えた
H4872	H0376	H1571	H4713			H2580	H0853	H3068	H5414

ס	הָעָם׃	וּבְעֵינֵי	פַּרְעֹה	עַבְדֵי־	בְּעֵינֵי	מִצְרַיִם	בְּאֶרֶץ	מְאֹד	גָּדוֹל
(段落)	民の	目に	ファラオの	家臣たちの	目に	エジプトの	地で	大きかった	非常に
			H6547	H5650		H4714	H0776	H3966	

主は民にエジプトびとの好意を得させられた。またモーセその人は、エジプトの国で、パロの家来たちの目と民の目とに、はなはだ大いなるものと見えた。

4 וַיֹּאמֶר מֹשֶׁה כֹּה אָמַר יְהוָה כַּחֲצֹת הַלַּיְלָה אֲנִי יוֹצֵא בְּתוֹךְ מִצְרָיִם׃
そして-言った モーセは こう 言われる 主は 真夜中の-頃に 夜の わたしは 出て行く エジプトの 中に
H3068 H4872 H0559 H3541 H0559 H2676 H3915 H0589 H3318 H4714 H8432

モーセは言った、「主はこう仰せられる、『真夜中ごろ、わたしはエジプトの中へ出て行くであろう。

5 וּמֵת כָּל־בְּכוֹר בְּאֶרֶץ מִצְרַיִם מִבְּכֹר פַּרְעֹה הַיֹּשֵׁב עַל־כִּסְאוֹ בְּכוֹר וְכָל־
そして-死ぬ すべての 初子が 地に エジプトの 初子から ファラオの 座っている ～の上に 初子も そして-すべての
H4191 H3605 H1060 H0776 H4714 H1060 H6547 H3427 H5704 H3678 H1060 H3605

בְּכוֹר שִׁפְחָה אֲשֶׁר אַחַר הָרֵחָיִם וְכֹל בְּכוֹר בְּהֵמָה׃
初子まで ～まで 王座に 女奴の (それは) 後ろにいる ひき臼の 家畜の
H1060 H5704 H3678 H8198 H5704 H7347 H3605 H1060 H0929

エジプトの国のうちのういごは、位に座するパロのういごをはじめ、ひきうすの後にいる、はしためのういごに至るまで、みな死に、また家畜のういごもみな死ぬであろう。

6 וְהָיְתָה צְעָקָה גְדֹלָה בְּכָל־אֶרֶץ מִצְרָיִם אֲשֶׁר כָּמֹהוּ לֹא וְכָמֹהוּ לֹא תֹסִף׃
そして-ある 叫びが 大きな すべての 地に エジプトの (それは) その-ようなものは ～ない その-ようなものは ～ない ない
H1961 H6818 H1419 H3605 H0776 H4714 H834 H3644 H3808 H3644 H3808 H3254

そしてエジプト全国に大いなる叫びが起るであろう。このようなことはかつてなく、また、ふたたびないであろう』と。

7 וּלְכֹל לֹא יֶחֱרַץ־כֶּלֶב לְשֹׁנוֹ לְמֵאִישׁ וְעַד־בְּהֵמָה לְמַעַן תֵּדְעוּן אֲשֶׁר יְפַלֶּה יְהוָה בֵּין מִצְרַיִם וּבֵין יִשְׂרָאֵל׃
しかし-すべての 子らには イスラエルの ～ない 尖らせない 犬も 舌を 人に対しても ～まで 家畜までも ～ために あなたがたが-知るために (こと) 分けると 主が 間を エジプトと 間を イスラエルの
H3605 H1121 H3478 H3808 H2782 H3611 H3956 H0376 H5704 H0929 H4616 H3045 H834 H6395 H3068 H0996 H4714 H0996 H3478

しかし、すべて、イスラエルの人々にむかっては、人にむかっても、獣にむかっても、犬さえその舌を鳴らさないであろう。これによって主がエジプトびととイスラエルびととの間の区別をされるのを、あなたがたは知るであろう。

8

לִי	וְהִשְׁתַּחֲווּ־	אֵלַי	אֵלֶּה	עֲבָדֶיךָ	כָל־	וְיָרְדוּ	
私に	そして–ひざまずく	私のもとに	これらの	あなたの–家臣たちは	すべての	そして–下りて来る	
	H7812	H0413	H0428	H5650	H3605	H3381	

כֵּן	וְאַחֲרֵי־	בְּרַגְלֶיךָ	אֲשֶׁר־	הָעָם	וְכָל־	אַתָּה	צֵא	לֵאמֹר
それの	その–後に	あなたに–従う	(それは)	民も	そして–すべての	あなたも	出て行け	言って
		H7272			H3605		H3318	H0559

ס	:אָף	בָּחֳרִי־	פַּרְעֹה	מֵעִם־	וַיֵּצֵא	אֵצֵא
(段落)	怒りの	燃える–怒りで	ファラオの	前から	そして–出た	私は–出て行く
	H0639	H2750	H6547		H3318	H3318

これらのあなたの家来たちは、みな、わたしのもとに下ってきて、ひれ伏して言うであろう、『あなたもあなたに従う民もみな出て行ってください』と。その後、わたしは出て行きます」。彼は激しく怒ってパロのもとから出て行った。

9

לְמַעַן	פַּרְעֹה	אֲלֵיכֶם	יִשְׁמַע	לֹא־	מֹשֶׁה	אֶל־	יְהוָה	וַיֹּאמֶר
～ために	ファラオは	あなたがたに	聞かない	～ない	モーセ	～に	主は	そして–言われた
H4616	H6547	H0413	H8085	H3808	H4872	H0413	H3068	H0559

:מִצְרָיִם	בְּאֶרֶץ	מוֹפְתָי	רְבוֹת
エジプトの	地で	わたしの–奇跡を	増やすために
H4714	H0776	H4159	

主はモーセに言われた、「パロはあなたがたの言うことを聞かないであろう。それゆえ、わたしはエジプトの国に不思議を増し加えるであろう」。

10

פַּרְעֹה	לִפְנֵי	הָאֵלֶּה	הַמֹּפְתִים	כָּל־	אֶת־	עָשׂוּ	וְאַהֲרֹן	וּמֹשֶׁה
ファラオの	前で	これらの	奇跡を	すべての	(を)	行った	アロンは	モーセと
H6547	H6440	H0428	H4159	H3605	H0853		H0175	H4872

בְּנֵי־	אֶת־	שִׁלַּח	וְלֹא־	פַּרְעֹה	לֵב	אֶת־	יְהוָה	וַיְחַזֵּק
子らを	(を)	去らせなかった	～ない	ファラオの	心を	(を)	主は	しかし–かたくなにした
	H0853	H7971	H3808	H6547		H0853	H3068	H2388

פ	:מֵאַרְצוֹ	יִשְׂרָאֵל	
(段落)	自分の–地から	イスラエルの	
	H0776	H3478	

モーセとアロンは、すべてこれらの不思議をパロの前に行ったが、主がパロの心をかたくなにされたので、彼はイスラエルの人々をその国から去らせなかった。

Chapter 12

1

:לֵאמֹר	מִצְרָיִם	בְּאֶרֶץ	אַהֲרֹן	וְאֶל־	מֹשֶׁה	אֶל־	יְהוָה	וַיֹּאמֶר
言われた	エジプトの	地で	アロン	そして–～に	モーセ	～に	主は	そして–言われた
H0559	H4714	H0776	H0175	H0413	H4872	H0413	H3068	H0559

主はエジプトの国で、モーセとアロンに告げて言われた、

2

לָכֶם	הוּא	רֹאשׁ	חֳדָשִׁים	רִאשׁוֹן	הוּא	לָכֶם	הַזֶּה	הַחֹדֶשׁ
あなたがたにとって	それは	初めである	月の	第一の		あなたがたにとって	この	この–月は
	H1931		H2320	H7223			H2088	H2320

:הַשָּׁנָה	לְחָדְשֵׁי	
年の	月の	
H8141	H2320	

「この月をあなたがたの初めの月とし、これを年の正月としなさい。

3

וְיִקְח֗וּ	הַזֶּה֙	לַחֹ֣דֶשׁ	בֶּעָשֹׂר֮	לְאֹמֹר֒	יִשְׂרָאֵל֙	עֲדַ֣ת	כָּל־	אֶל־	דַּבְּרוּ֙
取れ	この	月の	十日に	言って	イスラエルの	会衆に	すべての	～に	語れ
H3947	H2088	H2320	H6218	H0559	H3478	H5712	H3605	H0413	H1696

לַבָּֽיִת׃	שֶׂה	אָבֹ֥ת	לְבֵית־	שֶׂה	אִ֖ישׁ	לָהֶֽם
家ごとに	小羊を	父の	家のために	小羊を	各々が	彼らのために
	H7716	H0001		H7716	H0376	

あなたがたはイスラエルの全会衆に言いなさい、『この月の十日におのおの、その父の家ごとに小羊を取らなければならない。すなわち、一家族に小羊一頭を取らなければならない。

4

אֶל־	הַקָּרֹ֖ב	וּשְׁכֵנ֑וֹ	הִוא֙	וְלָקַ֣ח	מִשֶּׁ֔ה	מִהְיֹ֥ת	הַבַּ֖יִת	יִמְעַ֥ט	וְאִם־
～に	近い	隣人と	彼と	取れ	小羊に	足りないなら	家が	少ないなら	もし-～なら
H0413	H7138	H7934	H1931	H3947	H7716	H1961		H4591	

הַשֶּׂה׃	עַל־	תָּכְסוּ֙	אָכְל֔וֹ	לְפִ֥י	אִ֖ישׁ	נְפָשֹׁ֣ת	בְּמִכְסַ֔ת	בֵּיתֽוֹ׃
小羊について	～について	数えよ	食べる	食べる量に-応じて	各々が	人の	数に応じて	家に
H7716		H3699	H0400	H6310	H0376	H5315	H4373	

もし家族が少なくて一頭の小羊を食べきれないときは、家のすぐ隣の人と共に、人数に従って一頭を取り、おのおの食べるところに応じて、小羊を見計らわなければならない。

5

הַכְּבָשִׂ֑ים	מִן־	לָכֶ֣ם	יִהְיֶ֔ה	שְׁנָ֣ה	בֶּן־	זָכָ֤ר	תָּמִים֙	שֶׂה֙
羊から	～から	あなたがたにとって	でなければならない	年の	一歳の	雄の	傷のない	小羊は
H3532			H1961	H8141		H2145	H8549	H7716

תִּקָּֽחוּ׃	הָעִזִּ֖ים	וּמִן־
取れ	山羊から	～から
H3947	H5795	

小羊は傷のないもので、一歳の雄でなければならない。羊またはやぎのうちから、これを取らなければならない。

6

הַזֶּה֙	לַחֹ֣דֶשׁ	יוֹם֮	עָשָׂר֒	אַרְבָּעָה֙	עַד֙	לְמִשְׁמֶ֣רֶת	לָכֶ֔ם	וְהָיָ֖ה
この	月の	日	十	十四	～まで	守りのために	あなたがたにとって	そして-なる
H2088	H2320	H3117	H6240	H0702	H5704	H4931		H1961

הָעַרְבָּֽיִם׃	בֵּין	יִשְׂרָאֵ֖ל	עֲדַ֣ת־	קְהַ֑ל	כֹּ֖ל	אֹת֔וֹ	וְשָׁחֲט֥וּ
夕暮れの	間に	イスラエルの	集会の	会衆が	すべての	それを	そして-屠れ
H6153	H0996	H3478	H5712	H6951	H3605	H0853	

そしてこの月の十四日まで、これを守って置き、イスラエルの会衆はみな、夕暮にこれをほふり、

7

הַמַּשְׁקוֹף֙	וְעַל־	הַמְּזוּזֹ֔ת	שְׁתֵּ֣י	עַל־	וְנָתְנ֞וּ	הַדָּ֗ם	מִן־	וְלָקְח֣וּ
かもいに	そして-～の上に	柱に	二つの	～の上に	そして-塗れ	血から	～から	そして-取れ
H4947		H4201	H8147		H5414	H1818		H3947

בָּהֶֽם׃	אֹת֖וֹ	יֹאכְל֥וּ	אֲשֶׁר־	הַבָּתִּ֛ים	עַל
その中で	それを	食べる	(そこで)	家の	～の上に
	H0853	H0398			

その血を取り、小羊を食する家の入口の二つの柱と、かもいにそれを塗らなければならない。

8

עַל־	וּמַצּ֑וֹת	אֵ֖שׁ	צְלִי־	הַזֶּ֛ה	בַּלַּ֥יְלָה	הַבָּשָׂ֖ר	אֶת־	וְאָכְל֥וּ
～と-共に	種なしパンと	火の	火で-焙って	この	夜に	肉を	(を)	そして-食べよ
	H4682	H0784	H6748	H2088	H3915	H1320	H0853	H0398

יֹאכְלֻֽהוּ׃	מְרֹרִ֖ים	
食べよ	苦い-草と	
H0398	H4844	

そしてその夜、その肉を火に焼いて食べ、種入れぬパンと苦菜を添えて食べなければならない。

9
כִּי בַמַּיִם מִבְשָׁל וּבָשֵׁל נָא מִמֶּנּוּ תֹאכְלוּ אַל־
そうではなく 水で 煮たものも また-煮て 生で それを 食べてはならない ～ない
H4325 H1310 H1311 H4995 H0398 H0408

קִרְבּוֹ׃ וְעַל־ כְּרָעָיו עַל־ רֹאשׁוֹ אֵשׁ צְלִי־ אִם־
内臓も ～と-共に 足も ～と-共に 頭も 火の 火で-焙って ～でなくては
H7130 H3767 H5704 H0784 H6748

生でも、水で煮ても、食べてはならない。火に焼いて、その頭を足と内臓と共に食べなければならない。

10
בָּאֵשׁ בֹּקֶר עַד־ מִמֶּנּוּ וְהַנּוֹתָר בֹּקֶר עַד־ מִמֶּנּוּ תּוֹתִירוּ וְלֹא־
火で 朝まで ～まで それから 残ったものは 朝まで ～まで それを 残してはならない ～ない
H0784 H1242 H5704 H3498 H1242 H5704 H3498 H3808

תִשְׁרְפוּ׃
燃やせ
H8313

朝までそれを残しておいてはならない。朝まで残るものは火で焼きつくさなければならない。

11
בְּיֶדְכֶם מַקֵּלְכֶם בְּרַגְלֵיכֶם נַעֲלֵיכֶם חֲגֻרִים מָתְנֵיכֶם אֹתוֹ תֹאכְלוּ וְכָכָה
手に 杖を 足に 履物を 帯びて 腰を それを 食べよ この-ように
H3027 H4731 H7272 H5275 H2296 H4975 H0853 H0398 H3602

לַיהוָה׃ הִוא פֶּסַח בְּחִפָּזוֹן אֹתוֹ וַאֲכַלְתֶּם
主のための それは 過越である 急いで それを そして-食べよ
H3068 H1931 H6453 H2649 H0853 H0398

あなたがたは、こうして、それを食べなければならない。すなわち腰を引きからげ、足にくつをはき、手につえを取って、急いでそれを食べなければならない。これは主の過越である。

12
בְּאֶרֶץ בְּכוֹר כָּל־ וְהִכֵּיתִי הַזֶּה בַלַּיְלָה מִצְרַיִם בְּאֶרֶץ־ וְעָבַרְתִּי
地に 初子を すべての そして-打つ この 夜に エジプトの 地を わたしは-通り過ぎる
H0776 H1060 H3605 H5221 H2088 H3915 H4714 H0776

שְׁפָטִים אֶעֱשֶׂה מִצְרַיִם אֱלֹהֵי וּבְכָל־ בְּהֵמָה וְעַד־ מֵאָדָם מִצְרָיִם
さばきを わたしは-行う エジプトの 神々に そして-すべての 家畜まで ～まで 人から エジプトの
H8201 H4714 H0430 H3605 H0929 H5704 H0120 H4714

יְהוָה׃ אֲנִי
主である わたしは
H3068 H0589

その夜わたしはエジプトの国を巡って、エジプトの国におる人と獣との、すべてのういごを打ち、またエジプトのすべての神々に審判を行うであろう。わたしは主である。

13
שָׁם אַתֶּם אֲשֶׁר הַבָּתִּים עַל לְאֹת לָכֶם הַדָּם וְהָיָה
いる あなたがたが (そこに) 家の ～の上に しるしと あなたがたにとって 血は そして-なる
H8033 H0226 H1818 H1961

נֶגֶף בָּכֶם יִהְיֶה־ וְלֹא־ עֲלֵכֶם וּפָסַחְתִּי הַדָּם אֶת־ וְרָאִיתִי
災いが あなたがたの中に ない ～ない あなたがたを そして-過ぎ越す 血を (を) そして-見る
H5063 H1961 H3808 H1818 H0853 H7200

מִצְרָיִם׃ בְּאֶרֶץ בְּהַכֹּתִי לְמַשְׁחִית
エジプトの 地で わたしが-打つ時 滅ぼすための
H4714 H0776 H5221 H4889

その血はあなたがたのおる家々で、あなたがたのために、しるしとなり、わたしはその血を見て、あなたがたの所を過ぎ越すであろう。わたしがエジプトの国を撃つ時、災が臨んで、あなたがたを滅ぼすことはないであろう。

14 וְהָיָ֨ה הַיּ֤וֹם הַזֶּה֙ לָכֶ֔ם לְזִכָּר֑וֹן וְחַגֹּתֶ֣ם אֹתוֹ֮ חַג֒ לַיהוָ֗ה לְדֹרֹתֵיכֶם֙ חֻקַּ֣ת עוֹלָ֔ם תְּחָגֻּהוּ׃

וְהָיָה	הַיּוֹם	הַזֶּה	לָכֶם	לְזִכָּרוֹן	וְחַגֹּתֶם	אֹתוֹ	חַג	לַיהוָה	לְדֹרֹתֵיכֶם	חֻקַּת	עוֹלָם	תְּחָגֻּהוּ׃	
そして–なる	日は	この	あなたがたにとって	記念と	そして–祈って–過ごせ	それを	祭りとして	主のための	代々に	定めとして	永遠の	祈って–過ごせ	
H1961	H3117	H2088		H2146	H2287	H0853	H2282	H3068	H1755	H2708	H5769	H2287	

この日はあなたがたに記念となり、あなたがたは主の祭としてこれを守り、代々、永久の定めとしてこれを守らなければならない。

15 שִׁבְעַ֣ת יָמִים֮ מַצּוֹת֒ תֹּאכֵ֔לוּ אַ֚ךְ בַּיּ֣וֹם הָרִאשׁ֔וֹן תַּשְׁבִּ֥יתוּ שְׂאֹ֖ר מִבָּתֵּיכֶ֑ם כִּ֣י כָל־אֹכֵ֗ל חָמֵץ֙ וְנִכְרְתָ֣ה הַנֶּ֔פֶשׁ הַהִוא֙ מִיִּשְׂרָאֵ֔ל מִיּ֖וֹם הָרִאשׁ֥וֹן עַד־י֖וֹם הַשְּׁבִיעִֽי׃

שִׁבְעַת	יָמִים	מַצּוֹת	תֹּאכֵלוּ	אַךְ	בַּיּוֹם	הָרִאשׁוֹן	תַּשְׁבִּיתוּ	שְׂאֹר	מִבָּתֵּיכֶם	כִּי	כָּל־	אֹכֵל	חָמֵץ	וְנִכְרְתָה	הַנֶּפֶשׁ	הַהִוא	מִיִּשְׂרָאֵל	מִיּוֹם	הָרִאשׁוֹן	עַד־	יוֹם	הַשְּׁבִעִי׃
七	日間	種なしパンを	食べよ	実に	日に	第一の	取り除け	パン種を	家から	なぜなら	すべての	食べる–者は	パン種入りを	断たれる	その–魂は	その	イスラエルから	日から	第一の	～まで	日まで	第七の	
H7651	H3117	H4682	H0398	H0389	H3117	H7223	H8104	H7603			H3605	H0398		H3772	H5315	H1931	H3478	H3117	H7223	H5704	H3117	H7637	

七日の間あなたがたは種入れぬパンを食べなければならない。その初めの日に家からパン種を取り除かなければならない。第一日から第七日までに、種を入れたパンを食べる人はみなイスラエルから断たれるであろう。

16 וּבַיּ֣וֹם הָרִאשׁ֗וֹן מִקְרָא־קֹ֙דֶשׁ֙ וּבַיּ֣וֹם הַשְּׁבִיעִ֔י מִקְרָא־קֹ֖דֶשׁ יִהְיֶ֣ה לָכֶ֑ם כָּל־מְלָאכָ֥ה לֹא־יֵעָשֶׂ֖ה בָּהֶ֑ם אַ֚ךְ אֲשֶׁ֣ר יֵאָכֵ֣ל לַנֶּ֔פֶשׁ הִ֥וא לְבַדּ֖וֹ יֵעָשֶׂ֥ה לָכֶֽם׃

וּבַיּוֹם	הָרִאשׁוֹן	מִקְרָא־	קֹדֶשׁ	וּבַיּוֹם	הַשְּׁבִיעִי	מִקְרָא־	קֹדֶשׁ	יִהְיֶה	לָכֶם	כָּל־	מְלָאכָה	לֹא־	יֵעָשֶׂה	בָּהֶם	אַךְ	אֲשֶׁר	יֵאָכֵל	לַנֶּפֶשׁ	הִוא	לְבַדּוֹ	יֵעָשֶׂה	לָכֶם׃	
日に	第一の	聖なる–集会	聖の	日にも	第七の	聖なる–集会	聖の	ある	あなたがたに	すべての	仕事は	～ない	してはならない	それらの日に	ただ	(それは)	食べるものだけである	人のために	それだけは	それだけ	してよい	あなたがたに	
H3117	H7223	H4744	H6944	H3117	H7637	H4744	H6944	H1961		H3605	H4399	H3808			H0389		H0398	H5315	H1931	H0905			

かつ、あなたがたは第一日に聖会を、また第七日に聖会を開かなければならない。これらの日には、なんの仕事もしてはならない。ただ、おのおのの食べものだけは作ることができる。

17 וּשְׁמַרְתֶּ֣ם אֶת־הַמַּצּוֹת֮ כִּ֣י בְעֶצֶם֒ הַיּ֤וֹם הַזֶּה֙ הוֹצֵ֣אתִי אֶת־צִבְאוֹתֵיכֶם֙ מֵאֶ֣רֶץ מִצְרָ֔יִם וּשְׁמַרְתֶּ֥ם אֶת־הַיּ֖וֹם הַזֶּ֑ה לְדֹרֹתֵיכֶ֖ם חֻקַּ֥ת עוֹלָֽם׃

וּשְׁמַרְתֶּם	אֶת־	הַמַּצּוֹת	כִּי	בְעֶצֶם	הַיּוֹם	הַזֶּה	הוֹצֵאתִי	אֶת־	צִבְאוֹתֵיכֶם	מֵאֶרֶץ	מִצְרָיִם	וּשְׁמַרְתֶּם	אֶת־	הַיּוֹם	הַזֶּה	לְדֹרֹתֵיכֶם	חֻקַּת	עוֹלָם׃					
そして–守れ	(を)	種なしパンの–祭りを	なぜなら	まさに–この	日に	この	わたしは–導き出した	(を)	あなたがたの–軍勢を	地から	エジプトの	そして–守れ	(を)	日を	この	代々に	定めとして	永遠の					
H8104	H0853	H4682		H6106	H3117	H2088	H3318	H0853		H0776	H4714	H8104	H0853	H3117	H2088	H1755	H2708	H5769					

あなたがたは、種入れぬパンの祭を守らなければならない。ちょうど、この日、わたしがあなたがたの軍勢をエジプトの国から導き出したからである。それゆえ、あなたがたは代々、永久の定めとして、その日を守らなければならない。

18

בָּרִאשֹׁן	בְּאַרְבָּעָה	לַחֹדֶשׁ	יוֹם	עָשָׂר	בְּעֶרֶב	תֹּאכְלוּ	מַצֹּת	עַד	יוֹם	הָאֶחָד
第一月に	十四	月の	日の	十	夕方に	食べよ	種なしパンを	～まで	日まで	第一の
H7223	H0702	H2320	H3117	H6240	H6153	H0398	H4682	H5704	H3117	H0259

וְעֶשְׂרִים	לַחֹדֶשׁ	בָּעֶרֶב׃
二十	月の	夕方に
H6242	H2320	H6153

正月に、その月の十四日の夕方に、あなたがたは種入れぬパンを食べ、その月の二十一日の夕方まで続けなければならない。

19

שִׁבְעַת	יָמִים	שְׂאֹר	לֹא	יִמָּצֵא	בְּבָתֵּיכֶם	כִּי	כָּל־	אֹכֵל	
七	日間	パン種は	～ない	見つけてはならない	家に	なぜなら	すべての	食べる–者は	
H7651	H3117	H7603	H3808	H4672			H3605	H0398	

מַחְמֶצֶת	וְנִכְרְתָה	הַנֶּפֶשׁ	הַהִוא	מֵעֲדַת	יִשְׂרָאֵל	בַּגֵּר	וּבְאֶזְרַח	הָאָרֶץ׃
パン種入りを	断たれる	その–魂は	その	会衆から	イスラエルの	寄留者も	生まれの–者も	地の
	H3772	H5315	H1931	H5712	H3478	H1616	H0249	H0776

七日の間、家にパン種を置いてはならない。種を入れたものを食べる者は、寄留の他国人であれ、国に生れた者であれ、すべて、イスラエルの会衆から断たれるであろう。

20

מַחְמֶצֶת	לֹא	תֹּאכֵלוּ	בְּכֹל	מוֹשְׁבֹתֵיכֶם	תֹּאכְלוּ	מַצּוֹת׃	
パン種入りは	～ない	食べてはならない	すべての	住まいで	食べよ	種なしパンを	
	H3808	H0398	H3605	H4186	H0398	H4682	

כָּל־	פ
すべての	(段落)
H3605	

あなたがたは種を入れたものは何も食べてはならない。すべてあなたがたのすまいにおいて種入れぬパンを食べなければならない』」。

21

וַיִּקְרָא	מֹשֶׁה	לְכֹל־	זִקְנֵי	יִשְׂרָאֵל	וַיֹּאמֶר	אֲלֵהֶם	מְשְׁכוּ	וּקְחוּ
そして–呼んだ	モーセは	すべての	長老たちを	イスラエルの	そして–言った	彼らに	引いて	取れ
H7121	H4872	H3605	H2205	H3478	H0559	H0413	H4900	H3947

הַפָּסַח׃	וְשַׁחֲטוּ	לְמִשְׁפְּחֹתֵיכֶם	צֹאן	לָכֶם
過越の–小羊を	そして–屠れ	氏族ごとに	羊を	あなたがたのために
H6453		H4940	H6629	

そこでモーセはイスラエルの長老をみな呼び寄せて言った、「あなたがたは急いで家族ごとに一つの小羊を取り、その過越の獣をほふらなければならない。

22

אֶל־	וְהִגַּעְתֶּם	בַּסַּף	אֲשֶׁר־	בַּדָּם	וּטְבַלְתֶּם	אֵזוֹב	אֲגֻדַּת	וּלְקַחְתֶּם
～に	そして–塗れ	鉢の中の	(それは)	血に	そして–浸せ	ヒソプの	束を	そして–取れ
H0413	H5060			H1818	H2881	H0231	H0092	H3947

לֹא	וְאַתֶּם	בַּסָּף	אֲשֶׁר	הַדָּם	מִן־	הַמִּזְוֹת	שְׁתֵּי	וְאֶל־	הַמַּשְׁקוֹף
～ない	あなたがたは	鉢の中の	(それは)	血から	～から	柱に	二つの	そして–～に	かもいに
H3808				H1818		H4201	H8147	H0413	H4947

בֹּקֶר׃	עַד־	בֵּיתוֹ	מִפֶּתַח־	אִישׁ	תֵּצְאוּ
朝まで	～まで	家の	戸口から	誰も	出てはならない
H1242	H5704		H6607	H0376	H3318

また一束のヒソプを取って鉢の血に浸し、鉢の血を、かもいと入口の二つの柱につけなければならない。朝まであなたがたは、ひとりも家の戸の外に出てはならない。

23 וְעָבַר יְהוָה לִנְגֹּף אֶת־מִצְרַיִם וְרָאָה אֶת־הַדָּם עַל־
そして–通り過ぎる 主は 打つために (を) エジプトを そして–見る 血を ～の上に
H5674 H3068 H5062 H0853 H4714 H7200 H0853 H1818

הַמַּשְׁקוֹף וְעַל שְׁתֵּי הַמְּזוּזֹת וּפָסַח יְהוָה עַל־הַפֶּתַח וְלֹא יִתֵּן
かもいの ～の上に 二つの 柱の そして–過ぎ越す 主は ～の上を 戸口の ～ない 許さない
H4947 H8147 H4201 H6452 H3068 H6607 H3808 H5414

הַמַּשְׁחִית לָבֹא אֶל־בָּתֵּיכֶם לִנְגֹּף׃
滅ぼす–者が 入ることを ～へ 家へ 打つために
H7843 H0935 H0413 H1004 H5062

主が行き巡ってエジプトびとを撃たれるとき、かもいと入口の二つの柱にある血を見て、主はその入口を過ぎ越し、滅ぼす者が、あなたがたの家にはいって、撃つのを許されないであろう。

24 וְשָׁמַרְתֶּם אֶת־הַדָּבָר הַזֶּה לְחָק־לְךָ וּלְבָנֶיךָ עַד־עוֹלָם׃
そして–守れ (を) この–ことを 定めとして あなたと 息子たちのために ～まで 永遠に
H8104 H0853 H1697 H2088 H2706 H0859 H1121 H5704 H5769

あなたがたはこの事を、あなたと子孫のための定めとして、永久に守らなければならない。

25 וְהָיָה כִּי־תָבֹאוּ אֶל־הָאָרֶץ אֲשֶׁר יִתֵּן יְהוָה לָכֶם כַּאֲשֶׁר
そして–なる (こと) 入ったら ～へ 地へ (それを) 与える 主が あなたがたに (とおりに)
H1961 H3588 H0935 H0413 H0776 H0834 H5414 H3068 H0859 H3651

דִּבֵּר וְשָׁמַרְתֶּם אֶת־הָעֲבֹדָה הַזֹּאת׃
語られた そして–守れ (を) この–務めを この
H1696 H8104 H0853 H5656 H2063

あなたがたは、主が約束されたように、あなたがたに賜る地に至るとき、この儀式を守らなければならない。

26 וְהָיָה כִּי־יֹאמְרוּ אֲלֵיכֶם בְּנֵיכֶם מָה הָעֲבֹדָה הַזֹּאת לָכֶם׃
そして–なる (こと) 尋ねる あなたがたに 息子たちが 何かと 務めは この あなたがたにとって
H1961 H3588 H0559 H0413 H1121 H4100 H5656 H2063 H0859

もし、あなたがたの子供たちが『この儀式はどんな意味ですか』と問うならば、

27 וַאֲמַרְתֶּם זֶבַח־פֶּסַח הוּא לַיהוָה אֲשֶׁר פָּסַח עַל־בָּתֵּי
そして–言え いけにえである 過越の それは 主のための (その方は) 過ぎ越した ～の上を 家を
H0559 H2077 H6453 H1931 H3068 H0834 H6452 H5921 H1004

בְּנָגְפּוֹ אֶת־מִצְרַיִם וְאֶת־בָּתֵּינוּ הִצִּיל וַיִּקֹּד הָעָם וַיִּשְׁתַּחֲווּ׃
打った時に (を) エジプトを (を) 私たちの–家を 救った そして–ひざまずいた 民は そして–ひれ伏した
H5062 H0853 H4714 H0853 H1004 H5337 H6915 H5971 H7812

あなたがたは言いなさい、『これは主の過越の犠牲である。エジプトびとを撃たれたとき、エジプトにいたイスラエルの人々の家を過ぎ越して、われわれの家を救われたのである』」。民はこのとき、伏して礼拝した。

28 וַיֵּלְכוּ וַיַּעֲשׂוּ בְּנֵי יִשְׂרָאֵל כַּאֲשֶׁר צִוָּה יְהוָה אֶת־
そして–行った そして–行った 子らは イスラエルの (とおりに) 命じられた 主が (を)
H3212 H6213 H1121 H3478 H3651 H6680 H3068 H0853

מֹשֶׁה וְאַהֲרֹן כֵּן עָשׂוּ׃ ס
モーセと アロンに その–とおりに 行った (段落)
H4872 H0175 H3651 H6213

出エジプト記 12章

イスラエルの人々は行ってそのようにした。すなわち主がモーセとアロンに命じられたようにした。

29 וַיְהִי בַּחֲצִי הַלַּיְלָה וַיהוָה הִכָּה כָל־בְּכוֹר בְּאֶרֶץ מִצְרַיִם מִבְּכֹר
そして-あった 真夜中に 夜の 主は 打った すべての 初子を 地に エジプトの 初子から
H1961 H2677 H3915 H3068 H5221 H3605 H1060 H0776 H4714 H1060

הַבּוֹר אֲשֶׁר בְּבֵית הַשְּׁבִי בְּכוֹר עַד־כִּסְאוֹ עַל־ הַיֹּשֵׁב פַּרְעֹה
牢の (それは) 家にいる 捕人の 初子まで ～まで 王座に ～の上に 座っている ファラオの
H1060 H5704 H3678 H3427 H6547

וְכֹל בְּכוֹר בְּהֵמָה׃
そして-すべての 初子も 家畜の
H3605 H1060 H0929

夜中になって主はエジプトの国の、すべてのういご、すなわち位に座するパロのういごから、地下のひとやにおる捕虜のういごにいたるまで、また、すべての家畜のういごを撃たれた。

30 וַיָּקָם פַּרְעֹה לַיְלָה הוּא וְכָל־ עֲבָדָיו וְכָל־ וְכָל
そして-起きた ファラオは 夜に 彼も そして-すべての 家臣たちも そして-すべての
H6547 H3915 H1931 H3605 H5650 H3605

מִצְרַיִם גְּדֹלָה צְעָקָה וַתְּהִי כִּי־ אֵין בַּיִת אֲשֶׁר אֵין־
エジプト人も 大きな 叫びが そして-あった なぜなら ない 家は (そこに) ない
H4714 H6818 H1961 H0369 H1004 H0369

מֵת׃ שָׁם
死者が そこに
H4191 H8033

それでパロとその家来およびエジプトびとはみな夜のうちに起きあがり、エジプトに大いなる叫びがあった。死人のない家がなかったからである。

31 וַיִּקְרָא לְמֹשֶׁה וְלְאַהֲרֹן לַיְלָה וַיֹּאמֶר קוּמוּ צְאוּ מִתּוֹךְ עַמִּי
そして-呼んだ モーセと アロンを 夜に そして-言った 起きて 出て行け 中から わたしの-民の
H7121 H4872 H0175 H3915 H0559 H6965 H3318 H8432

גַּם־ אַתֶּם גַּם־ בְּנֵי יִשְׂרָאֵל וּלְכוּ עִבְדוּ אֶת־ יְהוָה כְּדַבֶּרְכֶם׃
また あなたがたも また 子らも イスラエルの 行って 仕えよ (を) 主に 言った-とおりに
H1571 H1571 H1121 H3478 H3212 H5647 H0853 H3068 H1696

そこでパロは夜のうちにモーセとアロンを呼び寄せて言った、「あなたがたとイスラエルの人々は立って、わたしの民の中から出て行くがよい。そしてあなたがたの言うように、行って主に仕えなさい。

32 גַּם־ צֹאנְכֶם גַּם־ בְּקַרְכֶם קְחוּ כַּאֲשֶׁר דִּבַּרְתֶּם וְלֵכוּ וּבֵרַכְתֶּם
また 羊も また 牛も 取れ (とおりに) 言った そして-行け そして-祝福してくれ
H1571 H6629 H1571 H1241 H3947 H1697 H1288

גַּם־ אֹתִי׃
また 私をも
H1571 H0853

あなたがたの言うように羊と牛とを取って行きなさい。また、わたしを祝福しなさい」。

33 וַתֶּחֱזַק מִצְרַיִם עַל־ הָעָם לְמַהֵר לְשַׁלְּחָם מִן־ הָאָרֶץ
そして-強く-迫った エジプト人は ～に対して 民に 急いで 去らせるために ～から 地から
H2388 H4713 H5921 H5971 H7971 H4480 H0776

כִּי אָמְרוּ כֻלָּנוּ מֵתִים׃
なぜなら 言った 私たちは-皆 死ぬ
H1571 H0559 H3605 H4191

こうしてエジプトびとは民をせき立てて、すみやかに国を去らせようとした。彼らは「われわれはみな死ぬ」と思ったからである。

34 וַיִּשָּׂא הָעָם אֶת־ בְּצֵקוֹ טֶרֶם יֶחְמָץ מִשְׁאֲרֹתָם
そして–運んだ 民は (を) 自分たちの–パン生地を まだ–〜ない 酵母が–入っていない こね鉢を
H5375 H0853 H1217 H2962 H4863

צְרֻרֹת בְּשִׂמְלֹתָם עַל־ שִׁכְמָם׃
包んで 衣服に 〜の上に 肩の上に
H7926 H8071

民はまだパン種を入れない練り粉を、こばちのまま着物に包んで肩に負った。

35 וּבְנֵי־ יִשְׂרָאֵל עָשׂוּ כִּדְבַר מֹשֶׁה וַיִּשְׁאֲלוּ מִמִּצְרַיִם כְּלֵי־
子らは イスラエルの 行った 言葉の–とおりに モーセの そして–求めた エジプト人から 器を
H3478 H6213 H1697 H4872 H7592 H4714 H3627

כֶסֶף וּכְלֵי זָהָב וּשְׂמָלֹת׃
銀の 器を 金の 衣服を
H3701 H3627 H2091 H8071

そしてイスラエルの人々はモーセの言葉のようにして、エジプトびとから銀の飾り、金の飾り、また衣服を請い求めた。

36 וַיהוָה נָתַן אֶת־ חֵן הָעָם בְּעֵינֵי מִצְרַיִם וַיַּשְׁאִלוּם וַיְנַצְּלוּ
主は 与えた (を) 好意を 民に 目に エジプト人の そして–貸した そして–奪い取った
H3068 H5414 H0853 H2580 H5971 H4714 H7592 H5337

פ אֶת־ מִצְרָיִם׃
(段落) エジプトを (を)
H4714 H0853

主は民にエジプトびとの情を得させ、彼らの請い求めたものを与えさせられた。こうして彼らはエジプトびとのものを奪い取った。

37 וַיִּסְעוּ בְּנֵי־ יִשְׂרָאֵל מֵרַעְמְסֵס סֻכֹּתָה כְּשֵׁשׁ־ מֵאוֹת אֶלֶף רַגְלִי
そして–旅立った 子らは イスラエルの ラメセスから スコトへ 約–六 百 千人 徒歩の
H5265 H1121 H3478 H7486 H5523 H8337 H3967 H0505 H7273

גֶּבֶר לְבַד מִטָּף׃ הַגְּבָרִים
壮年の–男が のみで 子供を–除いて
H1397 H0905 H2945

さて、イスラエルの人々はラメセスを出立してスコテに向かった。女と子供を除いて徒歩の男子は約六十万人であった。

38 וְגַם־ עֵרֶב רַב עָלָה אִתָּם וְצֹאן וּבָקָר מִקְנֶה כָּבֵד מְאֹד׃
また 混じり–合った 多くの 上がった 彼らと–共に 羊と 牛の 家畜が 非常に 多かった
H1571 H6154 H7227 H5927 H0854 H6629 H1241 H4735 H3515 H3966

また多くの入り混じった群衆および羊、牛など非常に多くの家畜も彼らと共に上った。

39 וַיֹּאפוּ אֶת־ הַבָּצֵק אֲשֶׁר הוֹצִיאוּ מִמִּצְרַיִם עֻגֹת מַצּוֹת
そして–焙いた (を) パン生地を (それは) 持ち出した エジプトから 丸い–パンに 種なしの
H0644 H0853 H1217 H0834 H3318 H4714 H5692 H4682

כִּי־ לֹא חָמֵץ כִּי גֹרְשׁוּ מִמִּצְרַיִם וְלֹא יָכְלוּ
なぜなら 〜ない なぜなら 酵母が–入っていなかった 追い出された エジプトから 〜ない
H3808 H3588 H1644 H4714 H3808 H3808

לְהִתְמַהְמֵהַּ וְגַם־ צֵדָה לֹא־ עָשׂוּ לָהֶם׃
ぐずぐずすることが また 食糧も 〜ない 作らなかった 彼らのために
H4102 H1571 H6720 H3808 H6213 H1992

そして彼らはエジプトから携えて出た練り粉をもって、種入れぬパンの菓子を焼いた。まだパン種を入れていなかったからである。それは彼らがエジプトから追い出されて滞ることができず、また、何の食料をも整えていなかったからである。

מֵאוֹת	וְאַרְבַּע	שָׁנָה	שְׁלֹשִׁים	בְּמִצְרָיִם	יָשְׁבוּ	אֲשֶׁר	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי	וּמוֹשַׁב	40
百	四	年	三十	エジプトに	住んだ	(それは)	イスラエルの	子らの	滞在は	
H3967	H0702	H8141	H7970	H4714	H3427		H3478		H4186	

שָׁנָה׃
年であった
H8141

イスラエルの人々がエジプトに住んでいた間は、四百三十年であった。

הַיּוֹם	בְּעֶצֶם	וַיְהִי	שָׁנָה	מֵאוֹת	וְאַרְבַּע	שָׁנָה	שְׁלֹשִׁים	מִקֵּץ	וַיְהִי	41
日に	まさに–この	そして–あった	年の	百	四	年	三十	終わりに	そして–あった	
H3117	H6106	H1961	H8141	H3967	H0702	H8141	H7970	H7093	H1961	

מִצְרָיִם׃	מֵאֶרֶץ	יְהוָה	צִבְאוֹת	כָּל־	יָצְאוּ	הַזֶּה
エジプトの	地から	主の	軍勢が	すべての	出た	この
H4714	H0776	H3068		H3605	H3318	H2088

四百三十年の終りとなって、ちょうどその日に、主の全軍はエジプトの国を出た。

הַלָּיְלָה	הוּא־	מִצְרָיִם	מֵאֶרֶץ	לְהוֹצִיאָם	לַיהוָה	הוּא	שִׁמֻּרִים	לֵיל		42
夜である	これが	エジプトの	地から	導き出すために	主のための	それは	見守りの	夜である		
H3915	H1931	H4714	H0776	H3318	H3068	H1931	H8107	H3915		

פ	לְדֹרֹתָם׃	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי	לְכָל־	שִׁמֻּרִים	לַיהוָה	הַזֶּה
(段落)	代々に	イスラエルの	子らのための	すべての	見守りの	主のための	この
	H1755	H3478		H3605	H8107	H3068	H2088

これは彼らをエジプトの国から導き出すために主が寝ずの番をされた夜であった。ゆえにこの夜、すべてのイスラエルの人々は代々、主のために寝ずの番をしなければならない。

בֶּן־	כָּל־	הַפָּסַח	חֻקַּת	זֹאת	וְאַהֲרֹן	מֹשֶׁה	אֶל־	יְהוָה	וַיֹּאמֶר	43
子	すべての	過越の	定めである	これが	アロン	モーセ	～に	主は	そして–言われた	
	H3605	H6453	H2708	H2063	H0175	H4872	H0413	H3068	H0559	

בּוֹ׃	יֹאכַל	לֹא־	נֵכָר	
それを	食べてはならない	～ない	異国人の	
	H0398	H3808	H5236	

主はモーセとアロンとに言われた、「過越の祭の定めは次のとおりである。すなわち、異邦人はだれもこれを食べてはならない。

יֹאכַל	אָז	אֹתוֹ	וּמַלְתָּה	כֶּסֶף	מִקְנַת־	אִישׁ	עֶבֶד	וְכָל־		44
食べてよい	その時	彼を	割礼したら	銀で	買い取られた	人の	僕べは	しかし–すべての		
H0398		H0853		H3701	H4736	H0376	H5650	H3605		

בּוֹ׃
それを

しかし、おのおのが金で買ったしもべは、これに割礼を行ってのち、これを食べさせることができる。

בּוֹ׃	יֹאכַל־	לֹא־	וְשָׂכִיר	תּוֹשָׁב	45
それを	食べてはならない	～ない	雇い人は	寄留者と	
	H0398	H3808	H7916		

仮ずまいの者と、雇人とは、これを食べてはならない。

חוּצָה	הַבָּשָׂר	מִן־	הַבַּיִת	מִן־	תּוֹצִיא	לֹא־	יֵאָכֵל	אֶחָד	בְּבַיִת	46
外へ	肉を	～から	家から	～から	持ち出してはならない	～ない	食べよ	一つの	家の	
H2351	H1320				H3318	H3808	H0398	H0259		

בּוֹ׃	תִּשְׁבְּרוּ־	לֹא	וְעֶצֶם	
その	折ってはならない	～ない	骨も	
	H7665	H3808	H6106	

ひとつの家でこれを食べなければならない。その肉を少しも家の外に持ち出してはならない。また、その骨を折ってはならない。

אֹתוֹ׃	יַעֲשׂוּ	יִשְׂרָאֵל	עֲדַת	כָּל־	47
それを	行え	イスラエルの	会衆が	すべての	
H0853		H3478	H5712	H3605	

イスラエルの全会衆はこれを守らなければならない。

לוֹ	הַמָּוֹל	לַיהוָה	פִּסַח	וְעָשָׂה	גֵּר	אִתְּךָ	וָגָוּר	וְכִי־		48
彼の	割礼せよ	主のための	過越を	そして–行う	寄留者が	あなたと–共に	寄留する	もし–～なら		
		H3068	H6453		H1616	H0854				

הָאָרֶץ	כְּאֶזְרַח	וְהָיָה	לַעֲשֹׂתוֹ	יִקְרַב	וְאָז	זָכָר	כָּל־	
地の	生まれの–者のように	そして–なる	行うために	近づける	その時	男子を	すべての	
H0776	H0249	H1961		H7126		H2145	H3605	

בּוֹ׃	יֹאכַל	לֹא־	עָרֵל	וְכָל־
それを	食べてはならない	～ない	割礼を–受けていない–者は	しかし–すべての
	H0398	H3808	H6189	H3605

寄留の外国人があなたのもとにとどまっていて、主に過越の祭を守ろうとするときは、その男子はみな割礼を受けてのち、近づいてこれを守ることができる。そうすれば彼は国に生れた者のようになるであろう。しかし、無割礼の者はだれもこれを食べてはならない。

בְּתוֹכְכֶם׃	הַגֵּר	וְלַגֵּר	לָאֶזְרַח	יִהְיֶה	אַחַת	תּוֹרָה	49
あなたがたの–中に	寄留する	寄留者にも	生まれの–者に	ある	一つである	教えは	
H8432		H1616	H0249	H1961	H0259	H8451	

この律法は国に生れたものにも、あなたがたのうちに寄留している外国人にも同一である」。

מֹשֶׁה	אֶת־	יְהוָה	צִוָּה	כַּאֲשֶׁר	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי	כָּל־	וַיַּעֲשׂוּ		50
モーセと	(を)	主が	命じられた	(とおりに)	イスラエルの	子らは	すべての	そして–行った		
H4872	H0853	H3068	H6680		H3478		H3605			

ס	עָשׂוּ׃	כֵּן	אַהֲרֹן	וְאֶת־
(段落)	行った	その–とおりに	アロンに	(を)
			H0175	H0853

イスラエルの人々は、みなこのようにし、主がモーセとアロンに命じられたようにした。

מֵאֶרֶץ	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי	אֶת־	יְהוָה	הוֹצִיא	הַזֶּה	הַיּוֹם	בְּעֶצֶם	וַיְהִי	51
地から	イスラエルの	子らを	(を)	主は	導き出した	この	日に	まさに–この	そして–あった	
H0776	H3478		H0853	H3068	H3318	H2088	H3117	H6106	H1961	

פ	צִבְאֹתָם׃	עַל־	מִצְרַיִם	
(段落)	軍勢ごとに	その	エジプトの	
			H4714	

ちょうどその日に、主はイスラエルの人々を、その軍団に従ってエジプトの国から導き出された。

Chapter 13

1

וַיְדַבֵּר	יְהוָה	אֶל־	מֹשֶׁה	לֵאמֹר׃
そして–語った	主は	～に	モーセ	言って
H1696	H3068	H0413	H4872	H0559

主はモーセに言われた、

2

קַדֶּשׁ־	לִי	כָּל־	בְּכוֹר	כָּל־	פֶּטֶר	כָּל־	רֶחֶם
聖別せよ	わたしに	すべての	初子を	すべての	最初に–開く	すべての	胎を
H6942		H3605	H1060	H3605		H3605	H7358

בִּבְנֵי	יִשְׂרָאֵל	בָּאָדָם	וּבַבְּהֵמָה	לִי	הִוא׃
イスラエルの–子らの–中で	イスラエル	人の–中でも	家畜の–中でも	わたしの–ものである	それは
	H3478	H0120	H0929		H1931

「イスラエルの人々のうちで、すべてのういご、すなわちすべて初めに胎を開いたものを、人であれ、獣であれ、みな、わたしのために聖別しなければならない。それはわたしのものである」。

3

אֲשֶׁר	הַזֶּה	הַיּוֹם	אֶת־	זָכוֹר	הָעָם	אֶל־	מֹשֶׁה	וַיֹּאמֶר
その	この	この–日を	～を	覚えよ	民に	～に	モーセは	そして–言った
	H2088	H3117	H0853	H2142		H0413	H4872	H0559

יָד	בְּחֹזֶק	כִּי	עֲבָדִים	מִבֵּית	מִמִּצְרַיִם	יְצָאתֶם
手で	力–強い	なぜなら	奴隷の	奴隷の–家から	エジプトから	あなたがたが–出て–来た
H3027	H2392		H5650		H4714	H3318

יֵאָכֵל	וְלֹא	מָזֶּה	אֶתְכֶם	יְהוָה	הוֹצִיא
食べては–ならない	そして–食べては–ならない	ここから	あなたがたを	主が	導き–出された
H0398	H3808	H2088	H0853	H3068	H3318

חָמֵץ׃
種入り–パンを

モーセは民に言った、「あなたがたは、エジプトから、奴隷の家から出るこの日を覚えなさい。主が強い手をもって、あなたがたをここから導き出されるからである。種を入れたパンを食べてはならない。

4

הָאָבִיב׃	בְּחֹדֶשׁ	יֹצְאִים	אַתֶּם	הַיּוֹם
アビブの	アビブの–月に	出て–行く	あなたがたは	今日
H0024	H2320	H3318		H3117

あなたがたはアビブの月のこの日に出るのである。

5

וְהַחִתִּי	הַכְּנַעֲנִי	אֶרֶץ	אֶל־	יְהוָה	יְבִיאֲךָ	כִּי־	וְהָיָה
そして–ヒッタイト人の	カナン人の	地に	～へ	主が	連れて–来る	～のとき	そして–なる
H2850		H0776	H0413	H3068	H0935		H1961

לָתֵת	לַאֲבֹתֶיךָ	נִשְׁבַּע	אֲשֶׁר	וְהַיְבוּסִי	וְהַחִוִּי	וְהָאֱמֹרִי
与えると	あなたの–先祖たちに	誓った	その	そして–エブス人の	そして–ヒビ人の	そして–アモリ人の
H5414	H0001	H7650		H2983	H2340	H0567

הַזֹּאת׃	בַּחֹדֶשׁ	הַזֹּאת	הָעֲבֹדָה	אֶת־	וְעָבַדְתָּ	וּדְבָשׁ	חָלָב	זָבַת	אֶרֶץ	לָךְ
この	この–月に	この	この–礼拝を	～を	そして–守れ	蜜が	乳と	流れる	地を	あなたに
H2088	H2320	H2063	H5656	H0853	H5647	H1706	H2461	H2100	H0776	

主があなたに与えると、あなたの先祖たちに誓われたカナンびと、ヘテびと、アモリびと、ヒビびと、エブスびとの地、乳と蜜との流れる地に、導き入れられる時、あなたはこの月にこの儀式を守らなければならない。

שִׁבְעַת	יָמִים	תֹּאכַל	מַצֹּת	וּבַיּוֹם	הַשְּׁבִיעִי	חַג	לַיהוָה׃
七	日間	食べよ	種なし-パンを	そして-七日目に	第七の	祭りが-ある	主への
H7651	H3117	H0398	H4682	H3117	H7637	H2282	H3068

6

七日のあいだ種入れぬパンを食べ、七日目には主に祭をしなければならない。

מַצּוֹת	יֵאָכֵל	אֶת	שִׁבְעַת	הַיָּמִים	וְלֹא־	יֵרָאֶה	
種なし-パンを	食べよ	～の-間	七	日間	そして-見えては-ならない	見えては-ならない	
H4682	H0398	H0853	H7651	H3117	H3808	H7200	

7

לְךָ	חָמֵץ	וְלֹא־	יֵרָאֶה	לְךָ
あなたの-もとに	種入り-パンが	そして-見えては-ならない	見えては-ならない	あなたの-もとに
		H3808	H7200	

גְּבֻלֶךָ׃	בְּכָל־	שְׂאֹר
あなたの-領土に	すべての	パン種が
H1366	H3605	H7603

種入れぬパンを七日のあいだ食べなければならない。種を入れたパンをあなたの所に置いてはならない。また、あなたの地区のどこでも、あなたの所にパン種を置いてはならない。

יְהוָה	עָשָׂה	זֶה	בַּעֲבוּר	לֵאמֹר	הַהוּא	בַּיּוֹם	לְבִנְךָ	וְהִגַּדְתָּ
主が	行われた	これ	～の-ゆえに	言って	その	その-日に	あなたの-息子に	そして-告げよ
H3068		H2088	H5668	H0559	H1931	H3117		H5046

8

מִמִּצְרָיִם׃	בְּצֵאתִי	לִי
エジプトから	わたしが-出た-とき	わたしに
H4714	H3318	

その日、あなたの子に告げて言いなさい、『これはわたしがエジプトから出るときに、主がわたしになされたことのためである』。

בֵּין	וּלְזִכָּרוֹן	יָדֶךָ	עַל־	לְאוֹת	לְךָ	וְהָיָה׀	
～の-間に	そして-記念として	あなたの-手に	～の-上に	しるしと	あなたに	そして-なる	
H0996	H2146	H3027		H0226		H1961	

9

בְּיָד	כִּי	בְּפִיךָ	יְהוָה	תּוֹרַת	תִּהְיֶה	לְמַעַן	עֵינֶיךָ
力-強い	なぜなら	あなたの-口に	主の	主の-律法が	あるように	～の-ために	あなたの-目の
H3027		H6310	H3068	H8451	H1961	H4616	

מִמִּצְרָיִם׃	יְהוָה	הוֹצְאֲךָ	חֲזָקָה
エジプトから	主が	導き-出された	手で
H4714	H3068	H3318	H2389

そして、これを、手につけて、しるしとし、目の間に置いて記念とし、主の律法をあなたの口に置かなければならない。主が強い手をもって、あなたをエジプトから導き出されるからである。

ס	יָמִימָה׃	מִיָּמִים	לְמוֹעֲדָהּ	הַזֹּאת	הַחֻקָּה	אֶת־	וְשָׁמַרְתָּ	
—	年ごとに	年ごとに	その-定めの-時に	この	この-掟を	～を	そして-守れ	
	H3117	H3117	H4150	H2063	H2708	H0853	H8104	

10

それゆえ、あなたはこの定めを年々その期節に守らなければならない。

נִשְׁבַּע	כַּאֲשֶׁר	הַכְּנַעֲנִי	אֶרֶץ	אֶל־	יְהוָה	יְבִאֲךָ	כִּי־	וְהָיָה
誓った	～のように	カナン人の	地に	～へ	主が	連れて-来る	～のとき	そして-なる
H7650			H0776	H0413	H3068	H0935		H1961

11

לָךְ׃	וְנָתָנָהּ	וְלַאֲבֹתֶיךָ	לְךָ
あなたに	そして-与える	そして-あなたの-先祖たちに	あなたに
	H5414	H0001	

主があなたとあなたの先祖たちに誓われたように、あなたをカナンびとの地に導いて、それをあなたに賜わる時、

12

שֶׁגֶר	וּפֶטֶר	וְכָל־	לַיהוָה	רֶחֶם	פֶּטֶר־	כָּל־	וְהַעֲבַרְתָּ
子の	最初に–開く	そして–すべての	主に	胎を	最初に–開く	すべての	そして–ささげよ
H7698		H3605	H3068	H7358		H3605	

לַיהוָה׃	הַזְּכָרִים	לְךָ	יִהְיֶה	אֲשֶׁר	בְּהֶמָה
主の–ものである	雄は	あなたの	あるもの	その	家畜の
H3068	H2145		H1961		H0929

あなたは、すべて初めに胎を開いた者、およびあなたの家畜の産むういごは、ことごとく主にささげなければならない。すなわち、それらの男性のものは主に帰せしめなければならない。

13

תִּפְדֶּה	לֹא	וְאִם־	בְּשֶׂה	תִּפְדֶּה	חֲמֹר	פֶּטֶר	וְכָל־
贖わないなら	～しないなら	そして–もし	羊で	贖え	ろばの	最初に–開く	そして–すべての
H6299	H3808		H7716	H6299	H2543		H3605

תִּפְדֶּה׃	בְּבָנֶיךָ	אָדָם	בְּכוֹר	וְכֹל	וַעֲרַפְתּוֹ
贖え	あなたの–息子たちの–中の	人の	初子の	そして–すべての	その–首を–折れ
H6299		H0120	H1060	H3605	H6202

また、すべて、ろばの、初めて胎を開いたものは、小羊をもって、あがなわなければならない。もし、あがなわないならば、その首を折らなければならない。あなたの子らのうち、すべて、男のういごは、あがなわなければならない。

14

אֵלָיו	וְאָמַרְתָּ	זֹאת	מַה־	לֵאמֹר	מָחָר	בִּנְךָ	יִשְׁאָלְךָ	כִּי־	וְהָיָה
彼に	そして–言え	これは	何か	言って	明日	あなたの–息子が	尋ねる	～のとき	そして–なる
H0413	H0559	H2063	H4100	H0559	H4279		H7592		H1961

עֲבָדִים׃	מִבֵּית	מִמִּצְרַיִם	יְהוָה	הוֹצִיאָנוּ	יָד	בְּחֹזֶק
奴隷の	奴隷の–家から	エジプトから	主が	導き–出された	手で	力–強い
H5650		H4714	H3068	H3318	H3027	H2392

後になって、あなたの子が『これはどんな意味ですか』と問うならば、これに言わなければならない、『主が強い手をもって、われわれをエジプトから、奴隷の家から導き出された。

15

וַיַּהֲרֹג	לְשַׁלְּחֵנוּ	פַּרְעֹה	הִקְשָׁה	כִּי־	וַיְהִי		
そして–殺された	われわれを–去らせることを	ファラオが	かたくなに–なった	～のとき	そして–なった		
H2026	H7971	H6547	H7185		H1961		

וְעַד־	אָדָם	מִבְכַר	מִצְרַיִם	בְּאֶרֶץ	בְּכוֹר	כָּל־	יְהוָה
そして–～まで	人の	人の–初子から	エジプトの	エジプトの–地の	初子を	すべての	主は
H5704	H0120	H1060	H4714	H0776	H1060	H3605	H3068

כָּל־	לַיהוָה	זֹבֵחַ	אֲנִי	כֵּן	עַל־	בְּהֶמָה	בְּכוֹר	
すべての	主に	いけにえを–ささげる	わたしは	そのために	～の–ゆえに	家畜の	初子に–至るまで	
H3605	H3068	H2076	H0589			H0929	H1060	

אֶפְדֶּה׃	בָּנַי	בְּכוֹר	וְכָל־	הַזְּכָרִים	רֶחֶם	פֶּטֶר
贖う	わたしの–息子たちの	初子を	そして–すべての	雄を	胎の	最初に–開く
H6299		H1060	H3605	H2145	H7358	

そのときパロが、かたくなで、われわれを去らせなかったため、主はエジプトの国のういごを、人のういごも家畜のういごも、ことごとく殺された。それゆえ、初めて胎を開く男性のものはみな、主に犠牲としてささげるが、わたしの子供のうちのういごは、すべてあがなうのである』。

16

עֵינֶיךָ	בֵּין	וּלְטוֹטָפֹת	יָדֶךָ	עַל־	לְאוֹת	וְהָיָה	
あなたの–目の	～の–間に	そして–額飾りと	あなたの–手に	～の–上に	しるしと	そして–なる	
	H0996	H2903	H3027		H0226	H1961	

ס	מִמִּצְרָיִם׃	יְהוָה	הוֹצִיאָנוּ	יָד	בְּחֹזֶק	כִּי
—	エジプトから	主が	導き–出された	手で	力–強い	なぜなら
	H4714	H3068	H3318	H3027	H2392	

そして、これを手につけて、しるしとし、目の間に置いて覚えとしなければならない。主が強い手をもって、われわれをエジプトから導き出されたからである」。

נָחָם	וְלֹא־	הָעָם	אֶת־	פַּרְעֹה	בְּשַׁלַּח	וַיְהִי		17
導かなかった	そして–導かなかった	民を	～を	ファラオが	去らせた–とき	そして–なった		
H5148	H3808		H0853	H6547	H7971	H1961		

אֱלֹהִים	אָמַר	וְכִי	הִוא	קָרוֹב	כִּי	פְּלִשְׁתִּים	אֶרֶץ	דֶּרֶךְ	אֱלֹהִים
神は	言われた	なぜなら	それは	近い	なぜなら	ペリシテ人の	地の	道を–通って	神は
H0430	H0559		H1931	H7138		H6430	H0776	H1870	H0430

מִצְרָיְמָה׃	וְשָׁבוּ	מִלְחָמָה	בִּרְאֹתָם	הָעָם	יִנָּחֵם	פֶּן־
エジプトへ	そして–戻る	戦いを	見た–とき	民が	心–変わりする	恐らく
H4714	H7725	H4421	H7200		H5162	H6435

さて、パロが民を去らせた時、ペリシテびとの国の道は近かったが、神は彼らをそれに導かれなかった。民が戦いを見れば悔いてエジプトに帰るであろうと、神は思われたからである。

וַחֲמֻשִׁים	סוּף	יַם־	הַמִּדְבָּר	דֶּרֶךְ	הָעָם	אֶת־	אֱלֹהִים	וַיַּסֵּב	18
そして–武装して	葦の	海の	荒野の	道を–通って	民を	～を	神は	そして–回らせた	
H2571	H5488	H3220		H1870		H0853	H0430	H5437	

מִצְרָיִם׃	מֵאֶרֶץ	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי־	עֲלוּ
エジプトの	地から	イスラエルの	イスラエルの–子らは	上って–行った
H4714	H0776	H3478		H5927

神は紅海に沿う荒野の道に、民を回らされた。イスラエルの人々は武装してエジプトの国を出て、上った。

הַשְׁבֵּעַ	כִּי	עִמּוֹ	יוֹסֵף	עַצְמוֹת	אֶת־	מֹשֶׁה	וַיִּקַּח	19
誓わせた	なぜなら	共に	ヨセフの	骨を	～を	モーセは	そして–持って–行った	
H7650			H3130	H6106	H0853	H4872	H3947	

אֱלֹהִים	יִפְקֹד	פָּקֹד	לֵאמֹר	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי	אֶת־	הַשְׁבִּיעַ
神が	顧みてくださる	必ず	言って	イスラエルの	イスラエルの–子らに	～を	固く–誓わせた
H0430			H0559	H3478		H0853	H7650

אִתְּכֶם׃	מִזֶּה	עַצְמֹתַי	אֶת־	וְהַעֲלִיתֶם	אֶתְכֶם
あなたがたと–共に	ここから	わたしの–骨を	～を	そして–運び–上げよ	あなたがたを
H0854	H2088	H6106	H0853	H5927	H0853

そのときモーセはヨセフの遺骸を携えていた。ヨセフが、「神は必ずあなたがたを顧みられるであろう。そのとき、あなたがたは、わたしの遺骸を携えて、ここから上って行かなければならない」と言って、イスラエルの人々に固く誓わせたからである。

הַמִּדְבָּר׃	בִּקְצֵה	בְּאֵתָם	וַיַּחֲנוּ	מִסֻּכֹּת	וַיִּסְעוּ	20
荒野の	端に	エタムに	そして–宿営した	スコトから	そして–旅立った	
		H0864	H2583	H5523	H5265	

こうして彼らは更にスコテから進んで、荒野の端にあるエタムに宿営した。

הַדֶּרֶךְ	לַנְחֹתָם	עָנָן	בְּעַמּוּד	יוֹמָם	לִפְנֵיהֶם	הֹלֵךְ	וַיהוָה		21
道を	彼らを–導くために	雲の	柱の–中に	昼は	彼らの–前を	進んで–おられた	そして–主は		
H1870	H5148	H6051	H5982	H3119	H6440	H1980	H3068		

וָלָיְלָה׃	יוֹמָם	לָלֶכֶת	לָהֶם	לְהָאִיר	אֵשׁ	בְּעַמּוּד	וְלַיְלָה
夜も	昼も	歩むために	彼らを	照らすために	火の	柱の–中に	そして–夜は
H3915	H3119	H3212		H0215	H0784	H5982	H3915

主は彼らの前に行かれ、昼は雲の柱をもって彼らを導き、夜は火の柱をもって彼らを照し、昼も夜も彼らを進み行かせられた。

הָעָם׃	לִפְנֵי	לָיְלָה	הָאֵשׁ	וְעַמּוּד	יוֹמָם	הֶעָנָן	עַמּוּד	יָמִישׁ	לֹא־	22
民の	～の-前から	夜も	火の	そして-柱は	昼も	雲の	柱は	離れなかった	離れなかった	
	H6440	H3915	H0784	H5982	H3119	H6051	H5982	H4185	H3808	

פ

昼は雲の柱、夜は火の柱が、民の前から離れなかった。

Chapter 14

לֵאמֹר׃	מֹשֶׁה	אֶל־	יְהוָה	וַיְדַבֵּר	1
言って	モーセに	～に	主は	そして-語った	
H0559	H4872	H0413	H3068	H1696	

主はモーセに言われた、

								2
לִפְנֵי	וְיַחֲנוּ	וְיָשֻׁבוּ	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי	אֶל־	דַּבֵּר		
～の-前に	そして-宿営せよ	そして-引き返せ	イスラエルの	イスラエルの-子らに	～に	語れ		
H6440	H2583	H7725	H3478		H0413	H1696		

צְפֹן־בַּעַל	לִפְנֵי	הַיָּם	וּבֵין	מִגְדֹּל	בֵּין	הַחִירֹת־פִּי	
バアル・ツェフォンの	～の-前に	海との	そして-～の-間に	ミグドルと	～の-間に	ピ・ハヒロトの	
H1189	H6440	H3220	H0996		H0996	H6367	

הַיָּם׃	עַל־	תַּחֲנוּ	נֹכַח
海の	～の-そばに	宿営せよ	その-向かいに
H3220		H2583	H5226

「イスラエルの人々に告げ、引き返して、ミグドルと海との間にあるピハヒロテの前、バアルゼポンの前に宿営させなさい。あなたがたはそれにむかって、海のかたわらに宿営しなければならない。

								3
בָּאָרֶץ	הֵם	נְבֻכִים	יִשְׂרָאֵל	לִבְנֵי	פַּרְעֹה	וְאָמַר		
地の-中で	彼らは	迷って-いる	イスラエルの	イスラエルの-子らに-ついて	ファラオは	そして-言う		
H0776	H1992	H0943	H3478		H6547	H0559		

הַמִּדְבָּר׃	עֲלֵיהֶם	סָגַר	
荒野が	彼らの-上に	閉じ込めた	
		H5462	

パロはイスラエルの人々について、『彼らはその地で迷っている。荒野は彼らを閉じ込めてしまった』と言うであろう。

								4
וְאִכָּבְדָה	אַחֲרֵיהֶם	וְרָדַף	פַּרְעֹה	לֵב־	אֶת־	וְחִזַּקְתִּי		
そして-栄光を-受ける	彼らの-後を	そして-追いかける	ファラオの	心を	～を	そして-強くする		
H3513		H7291	H6547		H0853	H2388		

כִּי־	מִצְרַיִם	וְיָדְעוּ	חֵילוֹ	וּבְכָל־	בְּפַרְעֹה	
～ということを	エジプトは	そして-知る	彼の-軍勢に-よって	そして-すべての	ファラオに-よって	
	H4713	H3045	H2428	H3605	H6547	

כֵּן׃	וַיַּעֲשׂוּ־	יְהוָה	אֲנִי	
そのように	そして-行った	主で-ある-ことを	わたしが	
		H3068	H0589	

わたしがパロの心をかたくなにするから、パロは彼らのあとを追うであろう。わたしはパロとそのすべての軍勢を破って誉を得、エジプトびとにわたしが主であることを知らせるであろう」。彼らはそのようにした。

5

לִבַּב
心が
H3824

וַיֻּהְפַּךְ
そして-変わった
H2015

הָעָם
民が

בָּרַח
逃げた
H1272

כִּי
～ということを

מִצְרַיִם
エジプトの
H4714

לְמֶלֶךְ
～の-王に
H4428

וַיֻּגַּד
そして-告げられた
H5046

עָשִׂינוּ
われわれは-した

זֹּאת
これは
H2063

מַה־
何を
H4100

וַיֹּאמְרוּ
そして-言った
H0559

הָעָם
民に

אֶל־
～に-対して
H0413

וַעֲבָדָיו
そして-家来たちの
H5650

פַּרְעֹה
ファラオの
H6547

מֵעָבְדֵנוּ׃
われわれに-仕える-ことから
H5647

יִשְׂרָאֵל
イスラエルを
H3478

אֶת־
～を
H0853

שַׁלְּחֵנוּ
去らせた
H7971

כִּי־
～ということを

民の逃げ去ったことが、エジプトの王に伝えられたので、パロとその家来たちとは、民に対する考えを変えて言った、「われわれはなぜこのようにイスラエルを去らせて、われわれに仕えさせないようにしたのであろう」。

6

עִמּוֹ׃
共に

לָקַח
連れて-行った
H3947

עַמּוֹ
彼の-民を

וְאֶת־
そして-～を
H0853

רִכְבּוֹ
彼の-戦車を
H7393

אֶת־
～を
H0853

וַיֶּאְסֹר
そして-つないだ
H0631

それでパロは戦車を整え、みずからその民を率い、

7

מִצְרָיִם
エジプトの
H4714

רֶכֶב
戦車を
H7393

וְכָל
そして-すべての
H3605

בָּחוּר
精鋭の
H0977

רֶכֶב
戦車を
H7393

מְאוֹת
百の
H3967

שֵׁשׁ־
六
H8337

וַיִּקַּח
そして-取った
H3947

כֻּלּוֹ׃
すべての
H3605

עַל־
～の-上に

וְשָׁלִשִׁם
そして-指揮官を

また、えり抜きの戦車六百と、エジプトのすべての戦車およびすべての指揮者たちを率いた。

8

וַיִּרְדֹּף
そして-追いかけた
H7291

מִצְרַיִם
エジプトの
H4714

מֶלֶךְ
王の
H4428

פַּרְעֹה
ファラオの
H6547

לֵב
心を

אֶת־
～を
H0853

יְהוָה
主は
H3068

וַיְחַזֵּק
そして-強くした
H2388

יֹצְאִים
出て-行った
H3318

יִשְׂרָאֵל
イスラエルの
H3478

וּבְנֵי
そして-イスラエルの-子らは

יִשְׂרָאֵל
イスラエルの
H3478

בְּנֵי
イスラエルの-子らの

אַחֲרֵי
～の-後を

רָמָה׃
高い

בְּיָד
高き-手で
H3027

主がエジプトの王パロの心をかたくなにされたので、彼はイスラエルの人々のあとを追った。イスラエルの人々は意気揚々と出たのである。

9

חֹנִים
宿営している-ところに
H2583

אוֹתָם
彼らに
H0853

וַיַּשִּׂיגוּ
そして-追いついた
H5381

אַחֲרֵיהֶם
彼らの-後を

מִצְרַיִם
エジプトは
H4713

וַיִּרְדְּפוּ
そして-追いかけた
H7291

עַל־
～の-そばの

וְחֵילוֹ
そして-軍勢が
H2428

וּפָרָשָׁיו
そして-騎兵と

פַּרְעֹה
ファラオの
H6547

רֶכֶב
戦車と

סוּסוֹ
馬と

כָּל־
すべての
H3605

הַיָּם
海の
H3220

עַל־
～の-そばの

צָפֹן׃בַּעַל
バアル・ツェフォンの
H1189

לִפְנֵי
～の-前の
H6440

הַחִירֹת
ピ・ハヒロトの
H6367

エジプトびとは彼らのあとを追い、パロのすべての馬と戦車およびその騎兵と軍勢とは、バアルゼポンの前にあるピハヒロテのあたりで、海のかたわらに宿営している彼らに追いついた。

10 וּפַרְעֹה הִקְרִיב וַיִּשְׂאוּ בְנֵי־יִשְׂרָאֵל אֶת־עֵינֵיהֶם
そして-ファラオが 近づいた そして-上げた イスラエルの-子らは イスラエルの 〜を 彼らの-目を
H6547 H7126 H5375 H3478 H0853

וּמִצְרַיִם נֹסֵעַ אַחֲרֵיהֶם וַיִּירְאוּ מְאֹד וַיִּצְעֲקוּ
すると-見よ エジプトが 進んで-来る 彼らの-後から そして-恐れた 非常に そして-叫んだ
H2009 H4713 H5265 H3372 H3966 H6817

בְּנֵי־יִשְׂרָאֵל אֶל־יְהוָה׃
イスラエルの-子らは イスラエルの 〜に 主に
H3478 H0413 H3068

パロが近寄った時、イスラエルの人々は目を上げてエジプトびとが彼らのあとに進んできているのを見て、非常に恐れた。そしてイスラエルの人々は主にむかって叫び、

11 וַיֹּאמְרוּ אֶל־מֹשֶׁה הֲמִבְלִי אֵין־קְבָרִים בְּמִצְרַיִם
そして-言った 〜に モーセに 〜が-ないから ないのか 墓が エジプトに
H0559 H0413 H4872 H1097 H0369 H6913 H4714

לָקַחְתָּנוּ לָמוּת בַּמִּדְבָּר מַה־זֹּאת עָשִׂיתָ לָּנוּ
われわれを-連れて来たのか 死なせるために 荒野で 何を これは あなたは-した われわれに
H3947 H4191 H4100 H2063

מִמִּצְרָיִם׃ לְהוֹצִיאָנוּ
エジプトから われわれを-導き出して
H4714 H3318

かつモーセに言った、「エジプトに墓がないので、荒野で死なせるために、わたしたちを携え出したのですか。なぜわたしたちをエジプトから導き出して、こんなにするのですか。

12 הֲלֹא־זֶה הַדָּבָר אֲשֶׁר דִּבַּרְנוּ אֵלֶיךָ בְּמִצְרַיִם לֵאמֹר חֲדַל
〜では-ないか これが ことばだ その われわれが-語った あなたに エジプトで 言って やめよ
H3808 H2088 H1697 H1696 H0413 H4714 H0559 H2308

מִמֶּנּוּ נַעַבְדָה וְנַעַבְדָה אֶת־מִצְרַיִם כִּי טוֹב לָּנוּ עָבַד
われわれから そして-仕えさせよ 〜に エジプトに なぜなら 良い われわれに-とって 仕えること
H5647 H0853 H4713 H5647

מִמֻּתֵנוּ מִדְבָּר׃ מִצְרַיִם אֶת־
われわれが-死ぬ-より 荒野で エジプトに 〜に
H4191 H4713 H0853

わたしたちがエジプトであなたに告げて、『わたしたちを捨てておいて、エジプトびとに仕えさせてください』と言ったのは、このことではありませんか。荒野で死ぬよりもエジプトびとに仕える方が、わたしたちにはよかったのです」。

13 וַיֹּאמֶר מֹשֶׁה אֶל־הָעָם אַל־תִּירָאוּ הִתְיַצְּבוּ וּרְאוּ אֶת־
そして-言った モーセは ～に 民に ～する-な 恐れるな しっかり-立て そして-見よ ～を
H0559 H4872 H0413 H5971 H0408 H3372 H3320 H7200 H0853

יְשׁוּעַת יְהוָה אֲשֶׁר־יַעֲשֶׂה לָכֶם הַיּוֹם כִּי אֲשֶׁר רְאִיתֶם
救いを 主の その 行われる あなたがたの-ために 今日 なぜなら その あなたがたが-見た
H3444 H3068 H0834 H6213 H3117 H0834 H7200

עוֹד לֹא תֹסִיפוּ לִרְאֹתָם עוֹד עַד־
もう-見る-ことは-ない もう 彼らを-見る-ことは もう ～まで
H3254 H3808 H3117 H4713 H0853

עוֹלָם׃
永遠に
H5769

モーセは民に言った、「あなたがたは恐れてはならない。かたく立って、主がきょう、あなたがたのためになされる救を見なさい。きょう、あなたがたはエジプトびとを見るが、もはや永久に、二度と彼らを見ないであろう。

14 יְהוָה יִלָּחֶם לָכֶם וְאַתֶּם תַּחֲרִישׁוּן׃ פ
主が 戦われる あなたがたの-ために そして-あなたがたは 静かに-しておれ —
H3068 H3898 H0853 H2790

主があなたがたのために戦われるから、あなたがたは黙していなさい」。

15 וַיֹּאמֶר יְהוָה אֶל־מֹשֶׁה מַה־תִּצְעַק אֵלָי דַּבֶּר אֶל־
そして-言われた 主は モーセに なぜ 叫んで-いるのか わたしに 語れ ～に
H0559 H3068 H4872 H4100 H6817 H0413 H1696 H0413

בְּנֵי יִשְׂרָאֵל וְיִסָּעוּ׃
イスラエルの-子らに そして-進め イスラエルの
H1121 H3478 H5265

主はモーセに言われた、「あなたは、なぜわたしにむかって叫ぶのか。イスラエルの人々に語って彼らを進み行かせなさい。

16 וְאַתָּה הָרֵם אֶת־מַטְּךָ וּנְטֵה אֶת־יָדְךָ עַל־
そして-あなたは 上げよ ～を あなたの-杖を ～を あなたの-手を ～の-上に
H0859 H7311 H0853 H4294 H0853 H3027 H5921

הַיָּם וּבְקָעֵהוּ וְיָבֹאוּ בְנֵי־יִשְׂרָאֵל בְּתוֹךְ הַיָּם
海の 分けよ そして-進む イスラエルの-子らが ～の-真ん中を 海の
H3220 H1234 H0935 H1121 H3478 H8432 H3220

בַּיַּבָּשָׁה׃
乾いた-地を
H3004

あなたはつえを上げ、手を海の上にさし伸べてそれを分け、イスラエルの人々に海の中のかわいた地を行かせなさい。

17 וַאֲנִי הִנְנִי מְחַזֵּק אֶת־לֵב מִצְרַיִם וְיָבֹאוּ אַחֲרֵיהֶם
そして-わたしは 見よ 強くする ～を 心を エジプト人の そして-入って-来る 彼らの-後から
H0589 H2009 H2388 H0853 H3824 H4713 H0935

וְאִכָּבְדָה בְּפַרְעֹה בְּכָל־חֵילוֹ בְּרִכְבּוֹ
そして-栄光を-受ける ファラオに-よって そして-すべての 彼の-軍勢に-よって 彼の-戦車に-よって
H3513 H6547 H3605 H2428 H7393

וּבְפָרָשָׁיו׃
そして-騎兵に-よって

わたしがエジプトびとの心をかたくなにするから、彼らはそのあとを追ってはいるであろう。こうしてわたしはパロとそのすべての軍勢および戦車と騎兵とを打ち破って誉を得よう。

18

בְּהִכָּבְדִי	יְהוָה	אֲנִי	כִּי־	מִצְרַיִם	וְיָדְעוּ	
わたしが–栄光を–受ける–とき	主で–ある–ことを	わたしが	～ということを	エジプトは	そして–知る	
H3513	H3068	H0589		H4713	H3045	

וּבְפָרָשָׁיו׃	בְּרִכְבּוֹ	בְּפַרְעֹה
そして–騎兵に–よって	彼の–戦車に–よって	ファラオに–よって
	H7393	H6547

わたしがパロとその戦車とその騎兵とを打ち破って誉を得るとき、エジプトびとはわたしが主であることを知るであろう」。

19

וַיִּסַּע	מַלְאַךְ	הָאֱלֹהִים	הַהֹלֵךְ	לִפְנֵי	מַחֲנֵה	יִשְׂרָאֵל	וַיֵּלֶךְ
そして–移った	御使いが	神の	進んで–いた	～の–前を	陣営の	イスラエルの	そして–行った
H5265	H4397	H0430	H1980	H6440	H4264	H3478	H3212

מֵאַחֲרֵיהֶם׃	וַיַּעֲמֹד	מִפְּנֵיהֶם	הֶעָנָן	עַמּוּד	וַיִּסַּע
彼らの–後ろに	そして–立った	彼らの–前から	雲の	柱は	そして–移った
	H5975	H6440	H6051	H5982	H5265

מֵאַחֲרֵיהֶם
彼らの–後ろに

このとき、イスラエルの部隊の前に行く神の使は移って彼らのうしろに行った。雲の柱も彼らの前から移って彼らのうしろに立ち、

20

יִשְׂרָאֵל	מַחֲנֵה	וּבֵין	מִצְרַיִם	מַחֲנֵה	וּבֵין	וַיָּבֹא	
イスラエルの	陣営の	そして–～の–間に	エジプトの	陣営の	～の–間に	そして–来た	
H3478	H4264	H0996	H4714	H4264	H0996	H0935	

וְלֹא־	הַלָּיְלָה	אֶת־	וַיָּאֶר	וְהַחֹשֶׁךְ	הֶעָנָן	וַיְהִי	
そして–近づかなかった	夜を	～を	そして–照らした	そして–暗闇	雲は	そして–あった	
H3808	H3915	H0853	H0215	H2822	H6051	H1961	

הַלָּיְלָה׃	כָּל־	זֶה	אֶל־	זֶה	קָרַב
夜の–間	すべての	あの–方に	～に	この–方が	近づかなかった
H3915	H3605	H2088	H0413	H2088	H7126

エジプトびとの部隊とイスラエルびとの部隊との間にきたので、そこに雲とやみがあり夜もすがら、かれとこれと近づくことなく、夜がすぎた。

21

אֶת־	וְיהוָה	וַיּוֹלֶךְ	הַיָּם	עַל־	יָדוֹ	אֶת־	מֹשֶׁה
～を	主は	そして–退かせた	海の	～の–上に	彼の–手を	～を	モーセは
H0853	H3068	H3212	H3220		H3027	H0853	H4872

וַיִּט	הַיָּם	לֶחָרָבָה	וַיָּשֶׂם	אֶת־	הַלַּיְלָה	כָּל־	עַזָּה	קָדִים
そして–伸べた	海を	乾いた–地に	そして–変えた	～を	夜の–間	すべての	強い	東の
H5186	H3220	H2724		H0853	H3915	H3605	H5794	H6921

בְּרוּחַ	הַיָּם	וַיִּבָּקְעוּ
風で	海を	そして–分かれた
H7307	H3220	H1234

הַמָּיִם׃
水は
H4325

モーセが手を海の上にさし伸べたので、主は夜もすがら強い東風をもって海を退かせ、海を陸地とされ、水は分かれた。

22

וְהַמָּיִם	בַּיַּבָּשָׁה	הַיָּם	בְּתוֹךְ	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי־	וַיָּבֹאוּ	
そして–水は	乾いた–地を	海の	～の–真ん中を	イスラエルの	イスラエルの–子らは	そして–入った	
H4325	H3004	H3220	H8432	H3478		H0935	

וּמִשְׂמֹאלָם׃	מִימִינָם	חֹמָה	לָהֶם	
そして–左に	その–右に	壁と–なった	彼らに–とって	
H8040	H3225	H2346		

イスラエルの人々は海の中のかわいた地を行ったが、水は彼らの右と左に、かきとなった。

23 וַיִּרְדְּפ֣וּ וַיָּבֹ֤אוּ מִצְרַ֙יִם֙ אַחֲרֵיהֶ֔ם כָּל־ סוּס֙ פַּרְעֹ֔ה
そして-追いかけた そして-入って-来た エジプトは 彼らの-後から すべての 馬と ファラオの
H7291 H0935 H4713 H0310 H3605 H5483 H6547

רִכְבּ֖וֹ וּפָרָשָׁ֑יו אֶל־ תּ֣וֹךְ הַיָּ֔ם׃
戦車と そして-騎兵が ～の-中に 真ん中に 海の
H7393 H6571 H0413 H8432 H3220

エジプトびとは追ってきて、パロのすべての馬と戦車と騎兵とは、彼らのあとについて海の中にはいった。

24 וַיְהִי֙ בְּאַשְׁמֹ֣רֶת הַבֹּ֔קֶר וַיַּשְׁקֵ֤ף יְהוָה֙ אֶל־ מַחֲנֵ֣ה מִצְרַ֔יִם
そして-なった 朝に-見張りの-時に 朝の 見下ろされた 主は ～を 陣営を エジプトの
H1961 H0821 H1242 H8259 H3068 H0413 H4264 H4713

בְּעַמּ֥וּד אֵ֖שׁ וְעָנָ֑ן וַיָּהָ֕ם אֶת־ מַחֲנֵ֖ה מִצְרָֽיִם׃
柱の-中から 火と そして-雲の そして-混乱させた ～を 陣営を エジプトの
H5982 H0784 H6051 H2000 H0853 H4264 H4713

暁の更に、主は火と雲の柱のうちからエジプトびとの軍勢を見おろして、エジプトびとの軍勢を乱し、

25 וַיָּ֣סַר אֶת־ אֹפַ֣ן מַרְכְּבֹתָ֔יו וַיְנַהֲגֵ֖הוּ בִּכְבֵדֻ֑ת וַיֹּ֣אמֶר
そして-外された ～を 車輪を 彼らの-戦車の そして-進ませた 重く そして-言った
H5493 H0853 H0212 H4818 H5090 H3517 H0559

מִצְרַ֔יִם יְהוָ֣ה נִלְחָ֥ם לָהֶ֖ם כִּ֣י יְשְׂרָאֵ֑ל מִפְּנֵ֣י אָנ֥וּסָה
エジプトは 逃げよう ～の-前から イスラエルの なぜなら 主が 戦って-おられる 彼らの-ために
H4714 H5127 H6440 H3478 H3068 H3898 H0413

פ בְּמִצְרָֽיִם׃
— エジプトに-対して
H4714

その戦車の輪をきしらせて、進むのに重くされたので、エジプトびとは言った、「われわれはイスラエルを離れて逃げよう。主が彼らのためにエジプトびとと戦う」。

26 וַיֹּ֤אמֶר יְהוָה֙ אֶל־ מֹשֶׁ֔ה נְטֵ֤ה אֶת־ יָדְךָ֙ עַל־ הַיָּ֔ם
そして-言われた 主は ～に モーセに 伸べよ ～を あなたの-手を ～の-上に 海の
H0559 H3068 H0413 H4872 H5186 H0853 H3027 H5921 H3220

וְיָשֻׁ֖בוּ הַמַּ֑יִם עַל־ מִצְרַ֔יִם עַל־ רִכְבּ֖וֹ וְעַל־ פָּרָשָֽׁיו׃
そして-戻る 水が ～の-上に エジプトの ～の-上に 彼らの-戦車の そして-～の-上に
H7725 H4325 H5921 H4714 H5921 H7393 H5921

そのとき主はモーセに言われた、「あなたの手を海の上にさし伸べて、水をエジプトびとと、その戦車と騎兵との上に流れ返らせなさい」。

27 וַיֵּ֤ט מֹשֶׁה֙ אֶת־ יָד֔וֹ עַל־ הַיָּ֖ם וַיָּ֣שָׁב הַיָּ֔ם לִפְנ֖וֹת בֹּ֑קֶר
そして-伸べた モーセは ～を 彼の-手を ～の-上に 海の そして-戻った 海は 向かって 朝に
H5186 H4872 H0853 H3027 H5921 H3220 H7725 H3220 H6437 H1242

וּמִצְרַ֖יִם נָסִ֣ים לִקְרָאתֹ֑ו וַיְנַעֵ֧ר יְהוָ֛ה אֶת־ מִצְרַ֖יִם בְּתֹ֥וךְ הַיָּֽם׃
そして-エジプトは 逃げて-いた その-方に-向かって そして-投げ込まれた 主は ～を エジプトを ～の-真ん中に 海の
H4714 H5127 H7125 H5287 H3068 H0853 H4714 H8432 H3220

その-元の-勢いに
H0386

モーセが手を海の上にさし伸べると、夜明けになって海はいつもの流れに返り、エジプトびとはこれにむかって逃げたが、主はエジプトびとを海の中に投げ込まれた。

28

וַיָּשֻׁבוּ הַמַּיִם וַיְכַסּוּ אֶת־הָרֶכֶב וְאֶת־הַפָּרָשִׁים לְכֹל חֵיל פַּרְעֹה הַבָּאִים אַחֲרֵיהֶם בַּיָּם לֹא־נִשְׁאַר בָּהֶם עַד־אֶחָד׃

そして-戻った 水は 覆った そして-〜を 戦車を 〜を 騎兵を すべての 軍勢を ファラオの 入って-来た 彼らの-後から 海の-中に 〜しなかった 残らなかった 彼らの-うちに 〜まで 一人も

H7725 H4325 H3680 H0853 H7393 H0853 H6547 H0935 H3220 H3808 H7604 H5704 H0259

水は流れ返り、イスラエルのあとを追って海にはいった戦車と騎兵およびパロのすべての軍勢をおおい、ひとりも残らなかった。

29

וּבְנֵי יִשְׂרָאֵל הָלְכוּ בַיַּבָּשָׁה בְּתוֹךְ הַיָּם וְהַמַּיִם לָהֶם חֹמָה מִימִינָם וּמִשְּׂמֹאלָם׃

そして-イスラエルの-子らは 歩いた 乾いた-地を 〜の-真ん中を 海の 水は 彼らに-とって 壁と-なった その-右に そして-左に

H1980 H3004 H8432 H3220 H4325 H2346 H3225 H8040

しかし、イスラエルの人々は海の中のかわいた地を行ったが、水は彼らの右と左に、かきとなった。

30

וַיּוֹשַׁע יְהוָה בַּיּוֹם הַהוּא אֶת־יִשְׂרָאֵל מִיַּד מִצְרָיִם וַיַּרְא יִשְׂרָאֵל אֶת־מִצְרַיִם מֵת עַל־שְׂפַת הַיָּם׃

そして-救われた 主は その-日に 〜を イスラエルを 〜の-手から エジプトの 見た そして-イスラエルは 〜を 死んでいるのを 〜の-上に 岸辺に 海の

H3467 H3068 H3117 H0853 H3478 H3027 H4714 H7200 H3478 H0853 H4191 H5921 H8193 H3220

このように、主はこの日イスラエルをエジプトびとの手から救われた。イスラエルはエジプトびとが海べに死んでいるのを見た。

31

וַיַּרְא יִשְׂרָאֵל אֶת־הַיָּד הַגְּדֹלָה אֲשֶׁר עָשָׂה יְהוָה בְּמִצְרַיִם וַיִּירְאוּ הָעָם אֶת־יְהוָה וַיַּאֲמִינוּ בַּיהוָה וּבְמֹשֶׁה עַבְדּוֹ׃ פ

そして-見た イスラエルは 御手を 大いなる その 行われた 主が エジプトに-対して そして-恐れた 民は 〜を 主を そして-信じた 主に そして-モーセに 彼の-しもべ —

H7200 H3478 H3027 H0853 H1419 H834 H6213 H3068 H4714 H3372 H5971 H853 H3068 H0539 H3068 H4872 H5650

イスラエルはまた、主がエジプトびとに行われた大いなるみわざを見た。それで民は主を恐れ、主とそのしもべモーセとを信じた。

Chapter 15

1

הַזֹּאת	הַשִּׁירָה	אֶת־	יִשְׂרָאֵל	וּבְנֵי	מֹשֶׁה	שָׁר־	אָז
この	この–歌を	～を	イスラエルの	そして–イスラエルの–子らは	モーセは	歌った	その–時
H2063		H0853	H3478		H4872	H7891	

סוּס	נָּאָה	נָּאֹה	כִּי־	לַיהוָה	אָשִׁירָה	לֵאמֹר	וַיֹּאמְרוּ	לַיהוָה
馬と	勝利された	誇らかに	なぜなら	主に	わたしは–歌う	言って	そして–言った	主に
	H1342	H1342		H3068	H7891	H0559	H0559	H3068

בַּיָּם׃	רָמָה	וְרֹכְבוֹ
海に	投げ–込まれた	その–乗り手を
H3220		H7392

そこでモーセとイスラエルの人々は、この歌を主にむかって歌った。彼らは歌って言った、「主にむかってわたしは歌おう、彼は輝かしくも勝ちを得られた、彼は馬と乗り手を海に投げ込まれた。

2

אֵלִי	זֶה	לִישׁוּעָה	לִי	וַיְהִי־	יָהּ	וְזִמְרָת	עָזִּי
わたしの–神	これが	救いと	わたしに	そして–なった	主は	そして–歌	わたしの–力
H0410	H2088	H3444		H1961	H3050	H2176	H5797

וַאֲרֹמְמֶנְהוּ׃	אָבִי	אֱלֹהֵי	וְאַנְוֵהוּ
そして–あがめる	わたしの–父の	神	そして–たたえる
	H0001	H0430	

主はわたしの力また歌、わたしの救となられた、彼こそわたしの神、わたしは彼をたたえる、彼はわたしの父の神、わたしは彼をあがめる。

3

שְׁמוֹ׃	יְהוָה	מִלְחָמָה	אִישׁ	יְהוָה
その–名である	主	戦いの	戦いの–人	主は
H8034	H3068	H4421	H0376	H3068

主はいくさびと、その名は主。

4

שָׁלְשָׁיו	וּמִבְחַר	בַּיָּם	יָרָה	וְחֵילוֹ	פַּרְעֹה	מַרְכְּבֹת	
彼の–指揮官たちは	そして–精鋭の	海に	投げ–込まれた	そして–彼の–軍勢を	ファラオの	戦車を	
	H4005	H3220		H2428	H6547	H4818	

סוּף׃	בְּיַם־	טָבְּעוּ
葦の	葦の–海に	沈んだ
H5488	H3220	H2883

彼はパロの戦車とその軍勢とを海に投げ込まれた、そのすぐれた指揮者たちは紅海に沈んだ。

5

אָבֶן׃	כְּמוֹ־	בִּמְצֹלֹת	יָרְדוּ	יְכַסְיֻמוּ	תְּהֹמֹת	
石の	～のように	深みに	沈んだ	彼らを–覆った	深淵が	
H0068	H3644	H4688	H3381	H3680	H8415	

大水は彼らをおおい、彼らは石のように淵に下った。

6

אוֹיֵב׃	תִּרְעַץ	יְהוָה	יְמִינְךָ	בַּכֹּחַ	נֶאְדָּרִי	יְהוָה	יְמִינְךָ
敵を	打ち–砕く	主よ	あなたの–右の–手は	力に–おいて	輝かしい	主よ	あなたの–右の–手は
H0341	H7492	H3068	H3225		H0142	H3068	H3225

主よ、あなたの右の手は力をもって栄光にかがやく、主よ、あなたの右の手は敵を打ち砕く。

7

חֲרֹנְךָ	תְּשַׁלַּח	קָמֶיךָ	תַּהֲרֹס	גְּאוֹנְךָ	וּבְרֹב	
あなたの–怒りを	送る	あなたに–立ち向かう–者を	打ち–倒す	あなたの–威光で	そして–大いなる	
H2740	H7971		H2040	H1347	H7230	

כַּקַּשׁ׃	יֹאכְלֵמוֹ
わらのように	食い–尽くす
H7179	H0398

あなたは大いなる威光をもって、あなたに立ちむかう者を打ち破られた。あなたが怒りを発せられると、彼らは、わらのように焼きつくされた。

8 וּבְרוּחַ אַפֶּיךָ נֶעֶרְמוּ מַיִם נִצְּבוּ כְמוֹ־נֵד נֹזְלִים קָפְאוּ תְהֹמֹת בְּלֶב־יָם׃
そして–息吹きで あなたの–鼻の 積み–上げられた 水は 立ち–上がった ～のように 塁の 流れは 固まった 深淵は ～の–中に 海の
H7307 H0639 H6192 H4325 H5324 H3644 H5067 H5140 H8415 H3220

あなたの鼻の息によって水は積みかさなり、流れは堤となって立ち、大水は海のもなかに凝り固まった。

9 אָמַר אוֹיֵב אֶרְדֹּף אַשִּׂיג אֲחַלֵּק תִּמְלָאֵמוֹ נַפְשִׁי אָרִיק תָּרִישֵׁמוֹ יָדִי׃ חַרְבִּי
言った 敵は 追いかけよう 追いつこう 分けよう 分捕り物を 満たされる わが–魂が 抜こう 滅ぼそう わが–手で わが–剣を
H0559 H0341 H7291 H5381 H0559 H7998 H4390 H5315 H7324 H3423 H3027 H2719

敵は言った、『わたしは追い行き、追い着いて、分捕物を分かち取ろう、わたしの欲望を彼らによって満たそう、つるぎを抜こう、わたしの手は彼らを滅ぼそう』。

10 נָשַׁפְתָּ בְרוּחֲךָ כִּסָּמוֹ יָם צָלְלוּ כַּעוֹפֶרֶת בְּמַיִם אַדִּירִים׃
吹かれた あなたの–息吹きで 覆った 海が 沈んだ 鉛のように 水の–中に 力強い
H5398 H7307 H3680 H3220 H6749 H5777 H4325 H0117

あなたが息を吹かれると、海は彼らをおおい、彼らは鉛のように、大水の中に沈んだ。

11 מִי־כָמֹכָה בָּאֵלִם יְהוָה מִי כָּמֹכָה נֶאְדָּר בַּקֹּדֶשׁ נוֹרָא תְהִלֹּת עֹשֵׂה פֶלֶא׃
誰が あなたのような 主よ 誰が 神々の–中に あなたのような 輝かしい 聖に–おいて 畳れ多き 賛美に–おいて 行われる 不思議を
H4310 H3644 H3068 H4310 H0410 H3644 H0142 H6944 H3372 H8416 H6382

主よ、神々のうち、だれがあなたに比べられようか、だれがあなたのように、聖にして栄えあるもの、ほむべくして恐るべきもの、くすしきわざを行うものであろうか。

12 נָטִיתָ יְמִינְךָ תִּבְלָעֵמוֹ אָרֶץ׃
伸べられた あなたの–右の–手を 飲み–込んだ 地が
H5186 H3225 H1104 H0776

あなたが右の手を伸べられると、地は彼らをのんだ。

13 נָחִיתָ בְחַסְדְּךָ עַם־זוּ גָּאָלְתָּ נֵהַלְתָּ בְעָזְּךָ אֶל־נְוֵה קָדְשֶׁךָ׃
導かれた あなたの–慕いで 民を この 贖われた 伴われた あなたの–力で ～へ 住まいへ あなたの–聖なる
H5148 H5971 H2098 H1350 H5095 H5797 H0413 H5116 H6944

あなたは、あがなわれた民を恵みをもって導き、み力をもって、あなたの聖なるすまいに伴われた。

14 שָׁמְעוּ עַמִּים יִרְגָּזוּן חִיל אָחַז יֹשְׁבֵי פְלָשֶׁת׃
聞いた 諸国の–民は そして–震えた 苦しみが 捕らえた 住む–者を ペリシテの
H8085 H5971 H7264 H2479 H0270 H3427 H6429

もろもろの民は聞いて震え、ペリシテの住民は苦しみに襲われた。

15 אָז נִבְהֲלוּ אַלּוּפֵי אֱדוֹם אֵילֵי מוֹאָב יֹאחֲזֵמוֹ רָעַד נָמֹגוּ
その–時 おののいた 族長たちは エドムの 指導者たちは モアブの 捕らえた 震えが 溶けた
H0926 H0123 H4124 H0270 H4127

כָּל יֹשְׁבֵי כְּנָעַן׃
すべての 住む–者は カナンの
H3605 H3427

エドムの族長らは、おどろき、モアブの首長らは、わななき、カナンの住民は、みな溶け去った。

16 תִּפֹּל עֲלֵיהֶם אֵימָתָה וָפַחַד בִּגְדֹל זְרוֹעֲךָ יִדְמּוּ
降り–かかる 彼らの–上に 恐れと そして–おじけが 大いなる あなたの–腕に–より 黙り–込む
H5307 H0367 H6343 H2220

כָּאָבֶן עַד־ יַעֲבֹר עַמְּךָ יְהוָה עַד־ יַעֲבֹר עַם־ זוּ
石のように ～まで 渡り–終える あなたの–民が 主よ ～まで 渡り–終える 民が この
H0068 H5704 H5704 H3068 H2098

קָנִיתָ׃
あなたが–買い–取られた
H7069

恐れと、おののきとは彼らに臨み、み腕の大いなるゆえに、彼らは石のように黙した、主よ、あなたの民の通りすぎるまで、あなたが買いとられた民の通りすぎるまで。

17 תְּבִאֵמוֹ וְתִטָּעֵמוֹ בְּהַר נַחֲלָתְךָ מָכוֹן לְשִׁבְתְּךָ פָּעַלְתָּ
連れて–来て 植える そして–～の–山に 嗣業の あなたの–住まいの–ための 場所 造られた
H0935 H5193 H2022 H5159 H4349 H3427 H6466

יְהוָה מִקְדָּשׁ אֲדֹנָי כּוֹנְנוּ יָדֶיךָ׃
主よ 聖所を 主よ 建てられた あなたの–御手が
H3068 H4720 H0136 H3027

あなたは彼らを導いて、あなたの嗣業の山に植えられる。主よ、これこそあなたのすまいとして、みずから造られた所、主よ、み手によって建てられた聖所。

18 יְהוָה יִמְלֹךְ לְעֹלָם וָעֶד׃
主は 治められる 永遠に そして–とこしえに
H3068 H5769 H5703

主は永遠に統べ治められる」。

19 כִּי בָא סוּס פַּרְעֹה בְּרִכְבּוֹ וּבְפָרָשָׁיו וַיָּשֶׁב יְהוָה
なぜなら 入った 馬が ファラオの 彼の–戦車と そして–騎兵が 戻された 主は
H0935 H6547 H7393 H3220 H7725 H3068

עֲלֵהֶם אֶת־ מֵי הַיָּם וּבְנֵי יִשְׂרָאֵל הָלְכוּ בַיַּבָּשָׁה
彼らの–上に ～を 水を 海の そして–イスラエルの–子らは イスラエルの 歩いた 乾いた–地を
H0853 H4325 H3220 H3478 H1980 H3004

בְּתוֹךְ הַיָּם׃ פ
～の–真ん中を 海の
H8432 H3220

パロの馬が、その戦車および騎兵と共に海にはいると、主は海の水を彼らの上に流れ返らされたが、イスラエルの人々は海の中のかわいた地を行った。

20 וַתִּקַּח מִרְיָם הַנְּבִיאָה אֲחוֹת אַהֲרֹן אֶת־הַתֹּף בְּיָדָהּ
そして–取った ミリアムは 女–預言者の 姉の アロンの ～を 太鼓を 彼女の–手に
H3947 H4813 H5031 H0269 H0175 H0853 H8596 H3027

וַתֵּצֶאןָ כָּל־הַנָּשִׁים אַחֲרֶיהָ בְּתֻפִּים וּבִמְחֹלֹת׃
そして–出て–来た すべての 女たちが 彼女の–後に 太鼓を–打ち そして–踊りを–踊って
H3318 H3605 H0802 H0310 H8596 H4246

そのとき、アロンの姉、女預言者ミリアムはタンバリンを手に取り、女たちも皆タンバリンを取って、踊りながら、そのあとに従って出てきた。

21 וַתַּעַן לָהֶם מִרְיָם שִׁירוּ לַיהוָה כִּי־גָאֹה גָּאָה סוּס
そして–答えた ミリアムは 歌え 主に なぜなら 誇らかに 勝利された 馬と
H6030 H4813 H7891 H3068 H3588 H1342 H1342 H5483

וְרֹכְבוֹ רָמָה בַיָּם׃ ס
その–乗り手を 投げ–込まれた 海に —
H7392 H7411 H3220

そこでミリアムは彼らに和して歌った、「主にむかって歌え、彼は輝かしくも勝ちを得られた、彼は馬と乗り手を海に投げ込まれた」。

22 וַיַּסַּע מֹשֶׁה אֶת־יִשְׂרָאֵל מִיַּם־סוּף וַיֵּצְאוּ אֶל־
そして–旅立たせた モーセは ～を イスラエルを 葦の–海から 葦の そして–出て–行った ～へ
H5265 H4872 H0853 H3478 H3220 H5488 H3318 H0413

מִדְבַּר־שׁוּר וַיֵּלְכוּ שְׁלֹשֶׁת־יָמִים בַּמִּדְבָּר וְלֹא
シュルの–荒野へ シュルの 三 日間 荒野を そして–見つからなかった
H4057 H7793 H3212 H7969 H3117 H4057 H3808

מָצְאוּ מָיִם׃
見つからなかった 水を
H4672 H4325

さて、モーセはイスラエルを紅海から旅立たせた。彼らはシュルの荒野に入り、三日のあいだ荒野を歩いたが、水を得なかった。

23 וַיָּבֹאוּ מָרָתָה וְלֹא יָכְלוּ לִשְׁתֹת מַיִם מִמָּרָה כִּי
そして–来た マラに そして–できなかった できなかった 飲む–ことが 水を マラから なぜなら
H0935 H4785 H3808 H3201 H8354 H4325 H4785 H3588

מָרִים הֵם עַל־כֵּן קָרָא שְׁמָהּ מָרָה׃
苦い それは ～の–ゆえに その 呼ばれた その–名は マラと
H4751 H1992 H5921 H3651 H7121 H8034 H4785

彼らはメラに着いたが、メラの水は苦くて飲むことができなかった。それで、その所の名はメラと呼ばれた。

24 וַיִּלֹּנוּ הָעָם עַל־מֹשֶׁה לֵאמֹר מַה־נִּשְׁתֶּה׃
そして–つぶやいた 民は ～に–対して モーセに 言って 何を 飲めば–よいのか
H3885 H5971 H5921 H4872 H0559 H4100 H8354

ときに、民はモーセにつぶやいて言った、「わたしたちは何を飲むのですか」。

25 וַיִּצְעַק֙ אֶל־יְהוָ֔ה וַיּוֹרֵ֥הוּ יְהוָ֖ה עֵ֑ץ וַיַּשְׁלֵךְ֙ אֶל־הַמַּ֔יִם הַמַּ֖יִם יִמְתְּק֑וּ שָׂ֣ם לוֹ֩ חֹ֨ק וּמִשְׁפָּ֜ט וְשָׁ֣ם נִסָּֽהוּ׃

25 そして–叫んだ H6817 そして–来た H0413 主に H3068 そして–示された H3071 主は H3068 木を H6086 そして–投げ–入れた H7993 ～に H0413 水の–中に H4325
そして–甘く–なった H4985 水は H4325 そこで H8033 置かれた H7760 彼の–ために H0 掟と H2706 そして–定めを H4941 そして–そこで H8033
試された H5254

モーセは主に叫んだ。主は彼に一本の木を示されたので、それを水に投げ入れると、水は甘くなった。その所で主は民のために定めと、おきてを立てられ、彼らを試みて、

26 וַיֹּ֗אמֶר אִם־שָׁמֹ֤עַ תִּשְׁמַע֙ לְקֹ֣ול יְהוָ֣ה אֱלֹהֶ֔יךָ וְהַיָּשָׁ֥ר בְּעֵינָ֖יו תַּעֲשֶׂ֑ה וְהַאֲזַנְתָּ֙ לְמִצְוֹתָ֔יו וְשָׁמַרְתָּ֖ כָּל־חֻקָּ֑יו כָּל־הַמַּחֲלָ֗ה אֲשֶׁר־שַׂ֙מְתִּי֙ בְּמִצְרַ֔יִם לֹ֥א אָשִׂ֖ים עָלֶ֑יךָ כִּ֚י אֲנִ֣י יְהוָ֔ה רֹפְאֶֽךָ׃ ס

26 そして–言われた H0559 確かに H8085 もし H518 聞くなら H8085 ～の–声に H6963 主の H3068 あなたの–神の H0430 そして–正しい–ことを H3477
その–目に H5869 行い H6213 そして–耳を–傾け H0238 その–戒めに H4687 そして–守るなら H8104 すべての H3605 その–掟を H2706 すべての H3605
病を H4064 その H834 置いた H7760 エジプトに H4714 ～しない H3808 置かない H7760 なぜなら H3588 わたしは H589 主 H3068
— ס
あなたを–癒す–者である H7495

言われた、「あなたが、もしあなたの神、主の声に良く聞き従い、その目に正しいと見られることを行い、その戒めに耳を傾け、すべての定めを守るならば、わたしは、かつてエジプトびとに下した病を一つもあなたに下さないであろう。わたしは主であって、あなたをいやすものである」。

27 וַיָּבֹ֣אוּ אֵילִ֔מָה וְשָׁ֥ם שְׁתֵּֽים־עֶשְׂרֵ֖ה עֵינֹ֣ת מָ֑יִם וְשִׁבְעִ֥ים תְּמָרִ֖ים וַיַּחֲנ֥וּ עַל־הַמָּֽיִם׃

27 そして–来た H0935 エリムに H0362 そして–そこには H8033 十二の H8147 泉が H5869 水の H4325 そして–七十の H7657
なつめの–木が H8558 そして–宿営した H2583 そこに H8033 ～の–そばに H5921 水の H4325

こうして彼らはエリムに着いた。そこには水の泉十二と、なつめやしの木七十本があった。その所で彼らは水のほとりに宿営した。

Chapter 16

1 וַיִּסְע֣וּ מֵאֵילִ֗ם וַיָּבֹ֤א כָל־עֲדַת֙ בְּנֵ֣י יִשְׂרָאֵ֔ל אֶל־מִדְבַּר־סִ֕ין אֲשֶׁ֥ר בֵּֽין־אֵילִ֖ם וּבֵ֣ין סִינָ֑י בַּחֲמִשָּׁ֣ה עָשָׂ֔ר יֹ֖ום לַחֹ֣דֶשׁ הַשֵּׁנִ֑י לְצֵאתָ֖ם מֵאֶ֥רֶץ מִצְרָֽיִם׃

1 そして–旅立った H5265 エリムから H0362 そして–来た H0935 すべての H3605 会衆は H5712 子らの H1121 イスラエルの H3478 へ H413
荒野の
シンの H5512 それは H834 間の H996 エリムと H0362 そして–間の H996 シナイの H5514 第–十五 H2568 十 H6240 日に H3117 月の H2320 第二の H8145
地の H776 彼らが–出てから H3318
エジプトの H4714

イスラエルの人々の全会衆はエリムを出発し、エジプトの地を出て二か月目の十五日に、エリムとシナイとの間にあるシンの荒野にきたが、

2

מֹשֶׁה	עַל־	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי־	עֵדַת	כָּל־	וַיִּלֹּונוּ(	ויליונו]
モーセと	に–対して	イスラエルの	子らの	会衆は	すべての	(そして–つぶやいた)	[つぶやいた]
H4872		H3478		H5712	H3605		

בַּמִּדְבָּר׃	אַהֲרֹן	וְעַל־
荒野で	アロンに	そして–に–対して
	H0175	

その荒野でイスラエルの人々の全会衆は、モーセとアロンにつぶやいた。

3

יְהוָה	בְּיַד־	מוּתֵנוּ	יִתֵּן	מִי־	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי	אֲלֵהֶם	וַיֹּאמְרוּ
主の	手で	私たちの–死を	くれたなら	誰が	イスラエルの	子らは	彼らに	そして–言った
H3068	H3027	H4191	H5414	H4310	H3478		H0413	H0559

בְּאָכְלֵנוּ	הַבָּשָׂר	סִיר	עַל־	בְּשִׁבְתֵּנוּ	מִצְרַיִם	בְּאֶרֶץ
私たちが–食べていた–時	肉の	鍋の	の–傍らで	私たちが–座っていた–時	エジプトの	地で
H0398	H1320			H3427	H4714	H0776

לְהָמִית	הַזֶּה	הַמִּדְבָּר	אֶל־	אֹתָנוּ	הוֹצֵאתֶם	כִּי־	לָשְׂבַע	לֶחֶם
殺すため	この	荒野の	へ	私たちを	あなたがたは–連れ出した	なぜなら	満腹するまで	パンを
H4191	H2088		H0413	H0853	H3318		H7648	H3899

ס	בָרָעָב׃	הַזֶּה	הַקָּהָל	כָּל־	אֶת־
セラ	飢えで	この	会衆を	すべての	を
	H7458	H2088	H6951	H3605	H0853

イスラエルの人々は彼らに言った、「われわれはエジプトの地で、肉のなべのかたわらに座し、飽きるほどパンを食べていた時に、主の手にかかって死んでいたら良かった。あなたがたは、われわれをこの荒野に導き出して、全会衆を餓死させようとしている」。

4

מִן־	לֶחֶם	לָכֶם	מַמְטִיר	הִנְנִי	מֹשֶׁה	אֶל־	יְהוָה	וַיֹּאמֶר
から	パンを	あなたがたに	降らせる	見よ–私は	モーセに	に	主は	そして–言った
	H3899		H4305	H2009	H4872	H0413	H3068	H0559

אֲנַסֶּנּוּ	לְמַעַן	בְּיוֹמוֹ	יוֹם	דְּבַר־	וְלָקְטוּ	הָעָם	וְיָצָא	הַשָּׁמָיִם
私が–試す	ために	その–日に	日ごとの	分の	そして–集めよ	民は	そして–出て行き	天から
H5254	H4616	H3117	H3117	H1697	H3950		H3318	H8064

לֹא׃	אִם־	בְּתוֹרָתִי	הֲיֵלֵךְ
否か	否か	私の–律法に	歩むか
H3808		H8451	H3212

そのとき主はモーセに言われた、「見よ、わたしはあなたがたのために、天からパンを降らせよう。民は出て日々の分を日ごとに集めなければならない。こうして彼らがわたしの律法に従うかどうかを試みよう。

5

מִשְׁנֶה	וְהָיָה	יָבִיאוּ	אֲשֶׁר־	אֵת	וְהֵכִינוּ	הַשִּׁשִּׁי	בַּיּוֹם	וְהָיָה
二倍に	そして–なる	持ち帰るものを	彼らが	を	そして–備えよ	第六の	日に	そして–なる
H4932	H1961	H0935		H0853		H8345	H3117	H1961

ס	יוֹם׃	וְיוֹם	יִלְקְטוּ	אֲשֶׁר־	עַל
セラ	日ごとに	日	集めるものの	彼らが	よりも
	H3117	H3117	H3950		

六日目には、彼らが取り入れたものを調理すると、それは日ごとに集めるものの二倍あるであろう」。

6

עֶרֶב	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי	כָּל־	אֶל־	וְאַהֲרֹן	מֹשֶׁה	וַיֹּאמֶר
夕べに	イスラエルに	子らの	すべての	に	アロンは	モーセと	そして–言った
H6153	H3478		H3605	H0413	H0175	H4872	H0559

מִצְרָיִם׃	מֵאֶרֶץ	אֶתְכֶם	הוֹצִיא	יְהוָה	כִּי	וִידַעְתֶּם
エジプトから	地の	あなたがたを	連れ出した	主が	こと	あなたがたは–知る
H4714	H0776	H0853	H3318	H3068		H3045

モーセとアロンは、イスラエルのすべての人々に言った、「夕暮には、あなたがたは、エジプトの地からあなたがたを導き出されたのが、主であることを知るであろう。

7

אֶת־	בִּשְׁמֹעַ	יְהוָה	כְּבוֹד	אֶת־	וּרְאִיתֶם	וּבֹקֶר
を	主が–聞かれた–時	主の	栄光を	を	あなたがたは–見る	そして–朝に
H0853	H8085	H3068	H3519	H0853	H7200	H1242

]תלונו[	כִּי	מָה	וְנַחְנוּ	יְהוָה	עַל־	תְּלֻנֹּתֵיכֶם
[つぶやく]	ので	何か	そして–私たちは	主に	に–対して	あなたがたの–つぶやきを
		H4100	H5168	H3068		H8519

עָלֵינוּ׃	תַלִּינוּ(
私たちに–対して	(あなたがたは–つぶやく)

また、朝には、あなたがたは主の栄光を見るであろう。主はあなたがたが主にむかってつぶやくのを聞かれたからである。あなたがたは、いったいわれわれを何者として、われわれにむかってつぶやくのか」。

8

לֶאֱכֹל	בָּשָׂר	בָּעֶרֶב	לָכֶם	יְהוָה	בְּתֵת	מֹשֶׁה	וַיֹּאמֶר
食べるために	肉を	夕べに	あなたがたに	主が	主が–与える–時	モーセは	そして–言った
H0398	H1320	H6153		H3068	H5414	H4872	H0559

תְּלֻנֹּתֵיכֶם	אֶת־	יְהוָה	בִּשְׁמֹעַ	לִשְׂבְּעַ	בַּבֹּקֶר	וְלֶחֶם
あなたがたの–つぶやきを	を	主が	主が–聞かれる–時	満腹するまで	朝に	そして–パンを
H8519	H0853	H3068	H8085	H7646	H1242	H3899

עָלֵינוּ	לֹא־	מָה	וְנַחְנוּ	עָלָיו	מַלִּינִם	אַתֶּם	אֲשֶׁר־
私たちに–対して	ない	何か	そして–私たちは	主に–対して	つぶやいている	あなたがたが	それを
	H3808	H4100	H5168		H8519		

יְהוָה׃	עַל־	כִּי	תְּלֻנֹּתֵיכֶם
主に	に–対して	むしろ	あなたがたの–つぶやきは
H3068			H8519

モーセはまた言った、「主は夕暮にはあなたがたに肉を与えて食べさせ、朝にはパンを与えて飽き足らせられるであろう。主はあなたがたが、主にむかってつぶやくつぶやきを聞かれたからである。いったいわれわれは何者なのか。あなたがたのつぶやくのは、われわれにむかってでなく、主にむかってである」。

9

יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי	עֲדַת	כָּל־	אֶל־	אֱמֹר	אַהֲרֹן	אֶל־	מֹשֶׁה	וַיֹּאמֶר
イスラエルに	子らの	会衆の	すべての	に	言え	アロンに	に	モーセは	そして–言った
H3478		H5712	H3605	H0413	H0559	H0175	H0413	H4872	H0559

תְּלֻנֹּתֵיכֶם׃	אֵת	שָׁמַע	כִּי	יְהוָה	לִפְנֵי	קִרְבוּ
あなたがたの–つぶやきを	を	聞かれた	なぜなら	主の	御前に	近づけ
H8519	H0853	H8085		H3068	H6440	H7126

モーセはアロンに言った、「イスラエルの人々の全会衆に言いなさい、『あなたがたは主の前に近づきなさい。主があなたがたのつぶやきを聞かれたからである』と」。

10 וַיְהִי כְּדַבֶּר אַהֲרֹן אֶל־כָּל עֲדַת בְּנֵי־יִשְׂרָאֵל
そして–なった 語った–時 アロンが に すべての 会衆の 子らの イスラエルに
H1961 H1696 H0175 H0413 H3605 H5712 H3605 H3478

וַיִּפְנוּ אֶל־הַמִּדְבָּר וְהִנֵּה כְבוֹד יְהוָה נִרְאָה בֶּעָנָן׃ פ
そして–振り向いた の–方を 荒野の すると–見よ 栄光が 主の 現れた 雲の–中に ペー
H6437 H0413 H4057 H2009 H3519 H3068 H7200 H6051

それでアロンがイスラエルの人々の全会衆に語ったとき、彼らが荒野の方を望むと、見よ、主の栄光が雲のうちに現れていた。

11 וַיְדַבֵּר יְהוָה אֶל־מֹשֶׁה לֵאמֹר׃
そして–語った 主は に モーセに 言って
H1696 H3068 H0413 H4872 H0559

主はモーセに言われた、

12 שָׁמַעְתִּי אֶת־תְּלֻנֹּת בְּנֵי יִשְׂרָאֵל דַּבֵּר אֲלֵהֶם לֵאמֹר בֵּין הָעַרְבַּיִם
聞いた を つぶやきを 子らの イスラエルの 語れ 彼らに 言って 間に 二つの–夕べの
H8085 H0853 H8519 H1121 H3478 H1696 H0413 H0559 H0996 H6153

תֹּאכְלוּ בָשָׂר וּבַבֹּקֶר תִּשְׂבְּעוּ לָחֶם וִידַעְתֶּם
あなたがたは–食べる 肉を そして–朝に あなたがたは–満たされる パンで そして–知る
H0398 H1320 H1242 H7646 H3899 H3045

כִּי אֲנִי יְהוָה אֱלֹהֵיכֶם׃
こと 私は 主 あなたがたの–神であると
H0589 H3068 H0430

「わたしはイスラエルの人々のつぶやきを聞いた。彼らに言いなさい、『あなたがたは夕には肉を食べ、朝にはパンに飽き足りるであろう。そうしてわたしがあなたがたの神、主であることを知るであろう』と」。

13 וַיְהִי בָּעֶרֶב וַתַּעַל הַשְּׂלָו וַתְּכַס אֶת־הַמַּחֲנֶה וּבַבֹּקֶר
そして–なった 夕べに そして–上がって–来た うずらが そして–覆った を 宿営を そして–朝に
H1961 H6153 H5927 H7958 H3680 H0853 H4264 H1242

שִׁכְבַת הַטַּל סָבִיב לַמַּחֲנֶה׃ וַתַּעַל שִׁכְבַת הַטַּל וְהִנֵּה
層の 露の 周りに 宿営の そして–上がった 層が 露の すると–見よ
H7902 H2919 H5439 H4264 H5927 H7902 H2919 H2009

夕べになると、うずらが飛んできて宿営をおおった。また、朝になると、宿営の周囲に露が降りた。

14 עַל־פְּנֵי הַמִּדְבָּר דַּק מְחֻסְפָּס דַּק כַּכְּפֹר עַל־הָאָרֶץ׃
の–上に 面の 荒野の 薄い うろこ状のもの 薄い 霜のような の–上に 地の
H5921 H6440 H4057 H1851 H2636 H1851 H3713 H5921 H0776

その降りた露がかわくと、荒野の面には、薄いうろこのようなものがあり、ちょうど地に結ぶ薄い霜のようであった。

15 וַיִּרְאוּ בְנֵי־יִשְׂרָאֵל וַיֹּאמְרוּ אִישׁ אֶל־אָחִיו מָן הוּא
そして-見た 子らは イスラエルの そして-言った 各々が に 兄弟に マナ それは
H7200 H1121 H3478 H0559 H0376 H0413 H0251 H4478 H1931

כִּי לֹא יָדְעוּ מַה־הוּא וַיֹּאמֶר מֹשֶׁה אֲלֵהֶם הוּא הַלֶּחֶם
なぜなら ない 知らなかった 何で あるかを そして-言った モーセは 彼らに これは
H3588 H3808 H3045 H4100 H1931 H0559 H4872 H0413 H1931

אֲשֶׁר נָתַן יְהוָה לָכֶם לְאָכְלָה׃
それを 与えた 主が あなたがたに 食べるために
H3899 H5414 H3068 H0413 H0402

イスラエルの人々はそれを見て互に言った、「これはなんであろう」。彼らはそれがなんであるのか知らなかったからである。モーセは彼らに言った、「これは主があなたがたの食物として賜わるパンである。

16 זֶה הַדָּבָר אֲשֶׁר צִוָּה יְהוָה לִקְטוּ מִמֶּנּוּ אִישׁ לְפִי אָכְלוֹ
これは 言葉である それを 命じた 主が 集めよ それから 各々 に-応じて 食べる-量に
H2088 H1697 H0834 H6680 H3068 H3950 H4480 H0376 H6310 H0400

עֹמֶר לַגֻּלְגֹּלֶת מִסְפַּר נַפְשֹׁתֵיכֶם אִישׁ לַאֲשֶׁר בְּאָהֳלוֹ תִּקָּחוּ׃
一-オメルずつ 一人あたり 数の あなたがたの-人の 各々 のために 天幕に-いる-者の 取れ
H6013 H1538 H4557 H5315 H0376 H0834 H0168 H3947

主が命じられるのはこうである、『あなたがたは、おのおのその食べるところに従ってそれを集め、あなたがたの人数に従って、ひとり一オメルずつ、おのおのその天幕におるもののためにそれを取りなさい』と」。

17 וַיַּעֲשׂוּ־כֵן בְּנֵי יִשְׂרָאֵל וַיִּלְקְטוּ הַמַּרְבֶּה
そして-行った そのように 子らは イスラエルの そして-集めた 多く-集めた-者も
H6213 H3651 H1121 H3478 H3950 H4053

וְהַמַּמְעִיט׃
少なく-集めた-者も
H4591

イスラエルの人々はそのようにして、ある者は多く、ある者は少なく集めた。

18 וְלֹא הֶעְדִּיף הַמַּרְבֶּה וְהַמַּמְעִיט לֹא הִמְעִיט
ない 少なく-集めた-者も 多く-集めた-者も 余らなかった そして-ない オメルで そして-量った
H3808 H4591 H4053 H5736 H3808 H6013 H4058

אִישׁ לְפִי אָכְלוֹ לָקָטוּ׃ הֶחְסִיר
各々 に-応じて 食べる-量に 集めた 不足しなかった
H0376 H6310 H0400 H3950 H2637

しかし、オメルでそれを計ってみると、多く集めた者にも余らず、少なく集めた者にも不足しなかった。おのおのその食べるところに従って集めていた。

19 וַיֹּאמֶר מֹשֶׁה אִישׁ אַל־יוֹתֵר מִמֶּנּוּ עַד־בֹּקֶר׃
そして-言った モーセは だれも してはならない 残す-ことを それから まで 朝まで
H0559 H4872 H0376 H0408 H3498 H4480 H5704 H1242

モーセは彼らに言った、「だれも朝までそれを残しておいてはならない」。

20 וְלֹא־שָׁמְעוּ אֶל־מֹשֶׁה וַיּוֹתִרוּ אֲנָשִׁים מִמֶּנּוּ עַד־בֹּקֶר
そして-ない 聞かなかった に モーセに そして-残した ある-人たちは それから まで 朝まで
H3808 H8085 H0413 H4872 H3498 H0376 H4480 H5704 H1242

וַיִּבְאַשׁ וַיִּרְקַּח תּוֹלָעִים וַיִּרָם עֲלֵהֶם מֹשֶׁה׃
そして-悪臭を-放った そして-怒った うじ虫が そして-湧いた 彼らに-対して モーセは
H0887 H7107 H8438 H7311 H5921 H4872

しかし彼らはモーセに聞き従わないで、ある者は朝までそれを残しておいたが、虫がついて臭くなった。モーセは彼らにむかって怒った。

21 וַיִּלְקְטוּ אֹתוֹ בַּבֹּקֶר בַּבֹּקֶר אִישׁ כְּפִי אָכְלוֹ וְחַם
そして-集めた それを 朝 朝ごとに 各々 に-応じて 食べる-量に そして-暑くなると
H3950 H0853 H1242 H1242 H0376 H6310 H0400 H2552

הַשֶּׁמֶשׁ וְנָמָס׃
太陽が 溶けた
H8121 H4549

彼らは、おのおのその食べるところに従って、朝ごとにそれを集めたが、日が熱くなるとそれは溶けた。

22 וַיְהִי בַּיּוֹם הַשִּׁשִּׁי לָקְטוּ לֶחֶם מִשְׁנֶה שְׁנֵי לָאֶחָד הָעֹמֶר וַיָּבֹאוּ
そして-なった 日に 第六の 集めた パンを 二倍の 二つの オメルを 一人あたり そして-来た
H1961 H3117 H8345 H3950 H3899 H4932 H8147 H0259 H0935

כָּל־ נְשִׂיאֵי הָעֵדָה וַיַּגִּידוּ לְמֹשֶׁה׃
すべての 指導者たちは 会衆の そして-告げた モーセに
H3605 H5712 H5046 H4872

六日目には、彼らは二倍のパン、すなわちひとりに二オメルを集めた。そこで、会衆の長たちは皆きて、モーセに告げたが、

23 וַיֹּאמֶר אֲלֵהֶם הוּא אֲשֶׁר דִּבֶּר יְהוָה שַׁבָּתוֹן שַׁבַּת־ קֹדֶשׁ לַיהוָה מָחָר
そして-言った 彼らに これは それを 語った 主が 安息の 安息日の 聖なる 主への 明日
H0559 H0413 H1931 H0834 H1696 H3068 H7677 H7676 H6944 H3068 H4279

אֵת אֲשֶׁר־ תֹּאפוּ וְאֵת אֲשֶׁר־ תְּבַשְּׁלוּ
を する-ものを あなたがたが-焼くなら 焼け そして-を する-ものを あなたがたが-煮るなら
H0853 H0834 H0644 H0853 H0834 H1310

וְאֶת כָּל־ הַנִּיחוּ לָכֶם לְמִשְׁמֶרֶת עַד־ הַבֹּקֶר׃
そして-を すべて 余ったものは 置け あなたがたのために 保管として まで 朝まで
H0853 H3605 H3498 H3240 H4931 H5704 H1242

モーセは彼らに言った、「主の語られたのはこうである、『あすは主の聖安息日で休みである。きょう、焼こうとするものを焼き、煮ようとするものを煮なさい。残ったものはみな朝までたくわえて保存しなさい』と」。

24 וַיַּנִּיחוּ אֹתוֹ עַד־ הַבֹּקֶר כַּאֲשֶׁר צִוָּה מֹשֶׁה וְלֹא הִבְאִישׁ
そして-置いた それを まで 朝まで ように 命じた モーセが そして-ない 悪臭を-放たなかった
H3240 H0853 H5704 H1242 H0834 H6680 H4872 H3808 H0887

וְרִמָּה לֹא־ הָיְתָה בּוֹ׃
うじ虫も ない なかった その中に
H7415 H3808 H1961

彼らはモーセの命じたように、それを朝まで保存したが、臭くならず、また虫もつかなかった。

25 וַיֹּאמֶר מֹשֶׁה אִכְלֻהוּ הַיּוֹם כִּי־ שַׁבָּת הַיּוֹם לַיהוָה הַיּוֹם
そして-言った モーセは 食べよ-それを 今日 なぜなら 安息日である 今日は 主への 今日
H0559 H4872 H0398 H3117 H3588 H7676 H3117 H3068 H3117

לֹא תִמְצָא�ֻהוּ בַּשָּׂדֶה׃
ない 見つからない-それは 野で
H3808 H4672

モーセは言った、「きょう、それを食べなさい。きょうは主の安息日であるから、きょうは野でそれを獲られないであろう。

26 שֵׁשֶׁת יָמִים תִּלְקְטֻהוּ וּבַיּוֹם הַשְּׁבִיעִי שַׁבָּת לֹא יִהְיֶה־ בּוֹ׃
六つの 日は 集めよ-それを しかし-日に 第七の 安息日であり ない ない その中に
H8337 H3117 H3950 H3117 H7637 H7676 H3808 H1961

六日の間はそれを集めなければならない。七日目は安息日であるから、その日には無いであろう」。

27 וַיְהִי֙ בַּיּ֣וֹם הַשְּׁבִיעִ֔י מִן־הָעָ֖ם לְלַקֵּ֑ט וְלֹ֥א
そして-なった 日に 第七の 出て行った から 民の-中から 集めようと しかし-ない
H1961 H3117 H7637 H3318 H4480 H5971 H3950 H3808

מָצָֽאוּ׃ ס
見つからなかった セラ
H4672

ところが民のうちには、七日目に出て集めようとした者があったが、獲られなかった。

28 וַיֹּ֤אמֶר יְהוָה֙ אֶל־מֹשֶׁ֔ה עַד־אָ֥נָה מֵאַנְתֶּ֖ם לִשְׁמֹ֣ר
そして-言った 主は に モーセに まで いつまで あなたがたは-拒む 守ることを
H0559 H3068 H0413 H4872 H5704 H0575 H3985 H8104

מִצְוֹתַ֥י וְתוֹרֹתָֽי׃
私の-戒めと 私の-律法を
H4687 H8451

そこで主はモーセに言われた、「あなたがたは、いつまでわたしの戒めと、律法とを守ることを拒むのか。

29 רְאוּ֙ כִּֽי־יְהוָ֣ה נָתַ֔ן לָכֶ֖ם הַשַּׁבָּ֑ת עַל־כֵּ֞ן הַיּ֣וֹם
見よ まことに 主が 与えた あなたがたに 安息日を それ-ゆえ ゆえに 主は 与える
H7200 H3588 H3068 H5414 H3117 H7676 H5921-H3651 H3117 H1931 H5414

הַשִּׁשִּׁ֗י לֶ֚חֶם יוֹמַ֣יִם שְׁבֻ֔ו אִ֥ישׁ תַּחְתָּ֖יו אַל־
第六の パンを 二日分の とどまれ 各々 自分の-所に してはならない
H8345 H3899 H3117 H3427 H0376 H8478 H0408

יֵצֵ֥א אִ֛ישׁ מִמְּקֹמ֖וֹ בַּיּ֣וֹם הַשְּׁבִיעִֽי׃
出る-ことを だれも 自分の-場所から 日に 第七の
H3318 H0376 H4725 H3117 H7637

見よ、主はあなたがたに安息日を与えられた。ゆえに六日目には、ふつか分のパンをあなたがたに賜わるのである。おのおのその所にとどまり、七日目にはその所から出てはならない」。

30 וַיִּשְׁבְּת֥וּ הָעָ֖ם בַּיּ֥וֹם הַשְּׁבִיעִֽי׃
そして-休んだ 民は 日に 第七の
H7637 H3117

こうして民は七日目に休んだ。

31 וַיִּקְרְא֣וּ בֵית־יִשְׂרָאֵ֣ל אֶת־שְׁמ֗וֹ וְהוּא֙ כִּזְרַ֣ע
そして-呼んだ 家は を その-名を マナと それは 種のような
H7121 H1004 H0853 H8034 H4478 H1931 H2233

גַּד֙ לָבָ֔ן וְטַעְמ֖וֹ כְּצַפִּיחִ֥ת בִּדְבָֽשׁ׃
コエンドロの 白い そして-その-味は 薄焼きのような 蜂蜜入りの
H1407 H3836 H2940 H6838 H1706

イスラエルの家はその物の名をマナと呼んだ。それはコエンドロの実のようで白く、その味は蜜を入れたせんべいのようであった。

32 וַיֹּאמֶר מֹשֶׁה זֶה הַדָּבָר אֲשֶׁר צִוָּה יְהוָה מְלֹא הָעֹמֶר מִמֶּנּוּ
そして-言った モーセは これは 言葉である それを 命じた 主が 満たせ オメルを それから
H0559 H4872 H2088 H1697 H0834 H6680 H3068 H4393 H5921

לְמִשְׁמֶרֶת לְדֹרֹתֵיכֶם לְמַעַן יִרְאוּ אֶת־הַלֶּחֶם אֲשֶׁר
保管として あなたがたの-代々のために ために 彼らが-見るように を パンを それで
H4931 H1755 H4616 H7200 H0853 H3899 H0834

הֶאֱכַלְתִּי אֶתְכֶם בַּמִּדְבָּר בְּהוֹצִיאִי אֶתְכֶם מֵאֶרֶץ מִצְרָיִם׃
私が-食べさせた あなたがたに 荒野で 私が-連れ出した-時 あなたがたを 地の エジプトから
H0398 H0853 H4057 H3318 H0853 H0776 H4714

モーセは言った、「主の命じられることはこうである、『それを一オメルあなたがたの子孫のためにたくわえておきなさい。それはわたしが、あなたがたをエジプトの地から導き出した時、荒野であなたがたに食べさせたパンを彼らに見させるためである』と」。

33 וַיֹּאמֶר מֹשֶׁה אֶל־אַהֲרֹן קַח צִנְצֶנֶת אַחַת וְתֵן־שָׁמָּה מְלֹא־
そして-言った モーセは に アロンに 取れ 壺を 一つの そして-入れよ そこに 一杯の
H0559 H4872 H0413 H0175 H3947 H6803 H0259 H5414 H8033 H4393

עֹמֶר מָן וְהַנַּח אֹתוֹ לִפְנֵי יְהוָה לְמִשְׁמֶרֶת לְדֹרֹתֵיכֶם׃
オメルの マナを そして-置け それを 御前に 主の 保管として あなたがたの-代々のために
H6016 H4482 H3240 H0853 H6440 H3068 H4931 H1755

そしてモーセはアロンに言った「一つのつぼを取り、マナーオメルをその中に入れ、それを主の前に置いて、子孫のためにたくわえなさい」。

34 כַּאֲשֶׁר צִוָּה יְהוָה אֶל־מֹשֶׁה וַיַּנִּיחֵהוּ אַהֲרֹן לִפְנֵי הָעֵדֻת
ように 命じた 主が に モーセに そして-置いた-それを アロンは 前に あかしの-箱の
H3651 H6680 H3068 H0413 H4872 H3240 H0175 H6440 H5715

לְמִשְׁמֶרֶת׃
保管として
H4931

そこで主がモーセに命じられたように、アロンはそれをあかしの箱の前に置いてたくわえた。

35 וּבְנֵי יִשְׂרָאֵל אָכְלוּ אֶת־הַמָּן אַרְבָּעִים שָׁנָה עַד־בֹּאָם אֶל־
そして-子らは イスラエルの 食べた を マナを 四十 年 まで 来るまで に
H1121 H3478 H0398 H0853 H4478 H0705 H8141 H5704 H0935 H0413

אֶרֶץ נוֹשָׁבֶת אָכְלוּ אֶת־הַמָּן עַד־בֹּאָם אֶל־קְצֵה אֶרֶץ כְּנָעַן׃
地に 住むべき を マナを 食べた まで 来るまで に 境に 地の カナンの
H0776 H3427 H0853 H4478 H0398 H5704 H0935 H0413 H7097 H0776 H3667

イスラエルの人々は人の住む地に着くまで四十年の間マナを食べた。すなわち、彼らはカナンの地の境に至るまでマナを食べた。

36 וְהָעֹמֶר עֲשִׂרִית הָאֵיפָה הוּא׃ פ
そして-オメルは 十分の一の エパの である ペー
H1931 H0374 H6224

一オメルは一エパの十分の一である。

Chapter 17

1

לְמַסְעֵיהֶם סִין מִמִּדְבַּר־ יִשְׂרָאֵל בְּנֵי־ עֲדַת כָּל־ וַיִּסְעוּ
旅路に–従って シンの 荒野から イスラエルの 子らの 会衆は すべての そして–旅立った
H4550 H3478 H3605 H5265

לִשְׁתֹּת מַיִם וְאֵין בִּרְפִידִם וַיַּחֲנוּ יְהוָה פִּי עַל־
飲むための 水が そして–ない レフィディムに そして–宿営した 主の 命令に に–よって
H8354 H4325 H0369 H7508 H2583 H3068 H6310

הָעָם׃
民のための

イスラエルの人々の全会衆は、主の命に従って、シンの荒野を出発し、旅路を重ねて、レピデムに宿営したが、そこには民の飲む水がなかった。

2

וְנִשְׁתֶּה מַיִם לָנוּ תְּנוּ־ וַיֹּאמְרוּ מֹשֶׁה עִם־ הָעָם וַיָּרֶב
飲ませよ 水を 私たちに 与えよ そして–言った モーセと と 民は そして–争った
H8354 H4325 H5414 H0559 H4872 H7378

תְּנַסּוֹן מַה־ עִמָּדִי תְּרִיבוּן מַה־ מֹשֶׁה לָהֶם וַיֹּאמֶר
あなたがたは–試すのか なぜ 私と あなたがたは–争うのか なぜ モーセは 彼らに そして–言った
H5254 H4100 H5978 H7378 H4100 H4872 H0559

יְהוָה׃ אֶת־
主を を
H3068 H0853

それで、民はモーセと争って言った、「わたしたちに飲む水をください」。モーセは彼らに言った、「あなたがたはなぜわたしと争うのか、なぜ主を試みるのか」。

3

מֹשֶׁה עַל־ הָעָם וַיָּלֶן לַמַּיִם הָעָם שָׁם וַיִּצְמָא
モーセに に–対して 民は そして–つぶやいた 水に 民は そこで そして–渇いた
H4872 H4872 H5414 H4325 H5971 H8033 H6770

אֹתִי לְהָמִית מִמִּצְרַיִם הֶעֱלִיתָנוּ זֶה לָמָּה וַיֹּאמֶר
私を 殺すために エジプトから あなたは–連れ上った–私たちを これは なぜ そして–言った
H0853 H4191 H4714 H5927 H2088 H4100 H0559

בַּצָּמָא׃ מִקְנֵי וְאֶת־ בָּנַי וְאֶת־
渇きで 私の–家畜を そして–を 私の–子らと そして–を
H6772 H4735 H0853 H0853

民はその所で水にかわき、モーセにつぶやいて言った、「あなたはなぜわたしたちをエジプトから導き出して、わたしたちを、子供や家畜と一緒に、かわきによって死なせようとするのですか」。

4

מְעַט עוֹד הַזֶּה לָעָם אֶעֱשֶׂה מָה לֵאמֹר יְהוָה אֶל־ מֹשֶׁה וַיִּצְעַק
少しで もう この 民に しましょうか 何を 言って 主に に モーセは そして–叫んだ
H4592 H5750 H2088 H4100 H0559 H3068 H0413 H4872 H6817

וְסָקְלֻנִי׃
石で–打ち殺されます
H5619

このときモーセは主に叫んで言った、「わたしはこの民をどうすればよいのでしょう。彼らは、今にも、わたしを石で打ち殺そうとしています」。

5

אִתְּךָ	וְקַח	הָעָם	לִפְנֵי	עֲבֹר	מֹשֶׁה	אֶל־	יְהוָה	וַיֹּאמֶר
あなたと–共に	そして–連れよ	民の	前を	渡れ	モーセに	に	主は	そして–言った
H0854	H3947		H6440		H4872	H0413	H3068	H0559

אֶת־	בּוֹ	הִכִּיתָ	אֲשֶׁר	וּמַטְּךָ	יִשְׂרָאֵל	מִזִּקְנֵי	
を	それで	あなたが–打った	それで	そして–あなたの–杖を	イスラエルの	長老たちの–中から	
H0853		H5221		H4294	H3478	H2205	

וְהָלָכְתָּ׃	בְּיָדְךָ	קַח	הַיְאֹר	
そして–行け	あなたの–手に	取れ	ナイル川を	
H1980	H3027	H3947	H2975	

主はモーセに言われた、「あなたは民の前に進み行き、イスラエルの長老たちを伴い、あなたがナイル川を打った、つえを手に取って行きなさい。

6

בַּצּוּר	וְהִכִּיתָ	בְּחֹרֵב	הַצּוּר	עַל־	וְשָׁם	לְפָנֶיךָ	עֹמֵד	הִנֵּנִי	
岩を	そして–打て	ホレブで	岩の	の–上に	そこで	あなたの–前に	立っている	見よ–私は	
H6697	H5221	H2722	H6697		H8033	H6440	H5975	H2009	

לְעֵינֵי	מֹשֶׁה	כֵּן	וַיַּעַשׂ	הָעָם	וְשָׁתָה	מַיִם	מִמֶּנּוּ	וְיָצְאוּ
目の–前で	モーセは	そのように	そして–行った	民は	そして–飲む	水が	そこから	そして–出る
	H4872				H8354	H4325		H3318

יִשְׂרָאֵל׃	זִקְנֵי
イスラエルの	長老たちの
H3478	H2205

見よ、わたしはホレブの岩の上であなたの前に立つであろう。あなたは岩を打ちなさい。水がそれから出て、民はそれを飲むことができる」。モーセはイスラエルの長老たちの目の前で、そのように行った。

7

יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי	וְרִיב	עַל־	וּמְרִיבָה	מַסָּה	הַמָּקוֹם	שֵׁם	וַיִּקְרָא	
イスラエルの	子らの	争い	の–ゆえに	メリバと	マサと	その–場所の	名を	そして–呼んだ	
H3478		H7379		H4809	H4532	H4725	H8034	H7121	

אִם־	בְּקִרְבֵּנוּ	יְהוָה	הֲיֶשׁ	לֵאמֹר	יְהוָה	אֶת־	נִסֹּתָם	וְעַל
か	私たちの–中に	主は	おられるか	言って	主を	を	彼らが–試した	そして–のゆえに
	H7130	H3068	H3426	H0559	H3068	H0853	H5254	

פ	אָיִן׃	
ペー	否か	
	H0369	

そして彼はその所の名をマッサ、またメリバと呼んだ。これはイスラエルの人々が争ったゆえ、また彼らが「主はわたしたちのうちにおられるかどうか」と言って主を試みたからである。

8

בִּרְפִידִם׃	יִשְׂרָאֵל	עִם־	וַיִּלָּחֶם	עֲמָלֵק	וַיָּבֹא
レフィディムで	イスラエルと	と	そして–戦った	アマレクが	そして–来た
H7508	H3478			H6002	H0935

ときにアマレクがきて、イスラエルとレピデムで戦った。

9

הִלָּחֶם	וְצֵא	אֲנָשִׁים	לָנוּ	בְּחַר־	יְהוֹשֻׁעַ	אֶל־	מֹשֶׁה	וַיֹּאמֶר	
戦え	そして–出て	人々を	私たちのために	選べ	ヨシュアに	に	モーセは	そして–言った	
	H3318	H0376		H0977	H3091	H0413	H4872	H0559	

בְּיָדִי׃	הָאֱלֹהִים	וּמַטֵּה	הַגִּבְעָה	רֹאשׁ	עַל־	נִצָּב	אָנֹכִי	מָחָר	בַּעֲמָלֵק
私の–手に	神の	そして–杖を	丘の	頂に	の–上に	立っている	私は	明日	アマレクと
H3027	H0430	H4294	H1389			H5324	H0595	H4279	H6002

モーセはヨシュアに言った、「われわれのために人を選び、出てアマレクと戦いなさい。わたしはあす神のつえを手に取って、丘の頂に立つであろう」。

10 וַיַּעַשׂ יְהוֹשֻׁעַ כַּאֲשֶׁר־אָמַר לוֹ מֹשֶׁה לְהִלָּחֶם בַּעֲמָלֵק
そして-行った ヨシュアは ように 言った 彼に モーセが 戦うために アマレクと
H6002 H4872 H0559 H3091 H0413 H4872 H3091 H6002

וּמֹשֶׁה אַהֲרֹן וְחוּר עָלוּ רֹאשׁ הַגִּבְעָה׃
そして-モーセと アロンと フルは 登った 頂に 丘の
H4872 H0175 H2354 H5927 H7218 H1389

ヨシュアはモーセが彼に言ったようにし、アマレクと戦った。モーセとアロンおよびホルは丘の頂に登った。

11 וְהָיָה כַּאֲשֶׁר יָרִים מֹשֶׁה יָדוֹ וְגָבַר יִשְׂרָאֵל וְכַאֲשֶׁר
そして-なった 時 上げると モーセが 手を そして-勝った イスラエルが そして-時
H1961 H3027 H4872 H1396 H3478

יָנִיחַ יָדוֹ וְגָבַר עֲמָלֵק׃
下ろすと 手を そして-勝った アマレクが
H5117 H3027 H1396 H6002

モーセが手を上げているとイスラエルは勝ち、手を下げるとアマレクが勝った。

12 וְיְדֵי מֹשֶׁה כְּבֵדִים וַיִּקְחוּ־אֶבֶן וַיָּשִׂימוּ תַּחְתָּיו וַיֵּשֶׁב
そして-手は モーセの 重かった そして-取った 石を そして-置いた 彼の-下に そして-座った
H3027 H4872 H3515 H3947 H0068 H8478 H3427

וְאַהֲרֹן וְחוּר תָּמְכוּ בְיָדָיו מִזֶּה אֶחָד וּמִזֶּה
そして-アロンと フルが 支えた 彼の-両手を こちらから 一人が そして-あちらから
H0175 H2354 H8551 H3027 H2088 H0259 H2088

עָלֶיהָ וַיְהִי יָדָיו אֱמוּנָה עַד־בֹּא הַשָּׁמֶשׁ׃
その-上に そして-なった 彼の-両手は しっかりと まで 沈む-まで 太陽が
H1961 H3027 H0530 H5704 H0935 H8121

しかしモーセの手が重くなったので、アロンとホルが石を取って、モーセの足もとに置くと、彼はその上に座した。そしてひとりはこちらに、ひとりはあちらにいて、モーセの手をささえたので、彼の手は日没までさがらなかった。

13 וַיַּחֲלֹשׁ יְהוֹשֻׁעַ אֶת־עֲמָלֵק וְאֶת־עַמּוֹ לְפִי־חָרֶב׃ פ
そして-打ち破った ヨシュアは を アマレクと その-民を の-刃で 剣の ペー
H2522 H3091 H0853 H6002 H5971 H6310 H2719

ヨシュアは、つるぎにかけてアマレクとその民を打ち敗った。

14 וַיֹּאמֶר יְהוָה אֶל־מֹשֶׁה כְּתֹב זֹאת זִכָּרוֹן בַּסֵּפֶר וְשִׂים בְּאָזְנֵי
に 主は そして-言った に モーセに 書け これを 記念として 書物に そして-伝えよ 耳に
H0413 H3068 H0559 H4872 H3789 H2063 H2146 H5612 H7760 H0241

יְהוֹשֻׁעַ כִּי־מָחֹה אֶמְחֶה אֶת־זֵכֶר עֲמָלֵק מִתַּחַת הַשָּׁמָיִם׃
ヨシュアの まことに 完全に 消し去る を 記憶を アマレクの の-下から 天の
H3091 H3588 H4229 H4229 H0853 H2143 H6002 H8478 H8064

主はモーセに言われた、「これを書物にしるして記念とし、それをヨシュアの耳に入れなさい。わたしは天が下からアマレクの記憶を完全に消し去るであろう」。

15 וַיִּבֶן מֹשֶׁה מִזְבֵּחַ וַיִּקְרָא שְׁמוֹ יְהוָה נִסִּי׃
そして-築いた モーセは 祭壇を そして-呼んだ その-名を 主は 私の-旗
H1129 H4872 H4196 H7121 H8034 H3071 H3071

モーセは一つの祭壇を築いてその名を「主はわが旗」と呼んだ。

בַּעֲמָלֵֽק	לַיהוָה	מִלְחָמָה	יְהֹוָה	כֵּס	עַל־	יָד	כִּי־	וַיֹּאמֶר		16
アマレクに–対して	主は	戦いを	主の	御座に	に–ある	手が	まことに	そして–言った		
H6002	H3068	H4421	H3050	H3676		H3027		H0559		

פ	דֹּר׃	מִדֹּר
ペー	代へ	代から
	H1755	H1755

そしてモーセは言った、「主の旗にむかって手を上げる、主は世々アマレクと戦われる」。

Chapter 18

עָשָׂה	אֲשֶׁר	כָּל־	אֵת	מֹשֶׁה	חֹתֵן	מִדְיָן	כֹּהֵן	יִתְרוֹ	וַיִּשְׁמַע	1
なされた	～ことを	すべて–	(を)	モーセの	しゅうと	ミデヤンの	祭司	イテロ	そして–聞いた	
	H3605		H0853	H4872		H4080	H3548	H3503	H8085	

יִשְׂרָאֵל	אֶת־	יְהוָה	הוֹצִיא	כִּי־	עַמּוֹ	וּלְיִשְׂרָאֵל	לְמֹשֶׁה	אֱלֹהִים
イスラエルを	(を)	主が	導き出された	すなわち–	その–民	また–イスラエルに	モーセに	神が
H3478	H0853	H3068	H3318			H3478	H4872	H0430

מִמִּצְרָֽיִם׃
エジプトから
H4714

さて、モーセのしゅうと、ミデアンの祭司エテロは、神がモーセと、み民イスラエルとにされたすべての事、主がイスラエルをエジプトから導き出されたことを聞いた。

אַחַר	מֹשֶׁה	אֵשֶׁת	צִפֹּרָה	אֶת־	מֹשֶׁה	חֹתֵן	יִתְרוֹ	וַיִּקַּח	2
～の–後	モーセの	妻	ツィポラを	(を)	モーセの	しゅうと	イテロは	そして–取った	
	H4872	H0802	H6855	H0853	H4872		H3503	H3947	

שִׁלּוּחֶֽיהָ׃
彼女を–帰らせた–後に
H7964

それでモーセのしゅうと、エテロは、さきに送り返されていたモーセの妻チッポラと、

גֵּר	אָמַר	כִּי	גֵּרְשֹׁם	הָאֶחָד	שֵׁם	אֲשֶׁר	בָּנֶיהָ	שְׁנֵי	וְאֶת	3
寄留者	言った	なぜなら	ゲルショム	一人の	名は	その	息子たちを	二人の	そして(を)	
H1616	H0559		H1647	H0259	H8034			H8147	H0853	

נָכְרִיָּֽה׃	בְּאֶרֶץ	הָיִיתִי
異国の	地で	であった
H5237	H0776	H1961

そのふたりの子とを連れてきた。そのひとりの名はゲルショムといった。モーセが、「わたしは外国で寄留者となっている」と言ったからである。

בְּעֶזְרִי	אָבִי	אֱלֹהֵי	כִּי־	אֱלִיעֶזֶר	הָאֶחָד	וְשֵׁם		4
わが–助けとなり	わが–父の	神	なぜなら–	エリエゼル	もう一人の	そして–名は		
H5828	H0001	H0430		H0461	H0259	H8034		

וַיַּצִּלֵנִי	מֶחֶרֶב	פַּרְעֹֽה׃
そして–救い出してくださった	剣から	パロの
H5337	H2719	H6547

ほかのひとりの名はエリエゼルといった。「わたしの父の神はわたしの助けであって、パロのつるぎからわたしを救われた」と言ったからである。

מֹשֶׁה	אֶל־	וְאִשְׁתּוֹ	וּבָנָיו		מֹשֶׁה	חֹתֵן	יִתְרוֹ	וַיָּבֹא	5
モーセ	～のもとへ	その-妻と	また-その-息子たちと		モーセの	しゅうと	イテロ	そして-来た	
H4872	H0413	H0802			H4872		H3503	H0935	

הָאֱלֹהִים׃	הַר	שָׁם	חֹנֶה	הוּא	אֲשֶׁר־	הַמִּדְבָּר	אֶל־
神の	山	そこに	宿営していた	彼は	そこで-	荒野	～へ
H0430	H2022	H8033	H2583	H1931			H0413

こうしてモーセのしゅうと、エテロは、モーセの妻子を伴って、荒野に行き、神の山に宿営しているモーセの所にきた。

אֵלֶיךָ	בָּא	יִתְרוֹ	חֹתֶנְךָ	אֲנִי	מֹשֶׁה	אֶל־	וַיֹּאמֶר	6
あなたのもとに	来ました	イテロ	あなたの-しゅうと	私は	モーセ	～に	そして-言った	
H0413	H0935	H3503		H0589	H4872	H0413	H0559	

עִמּוֹ׃	בָּנֶיהָ	וּשְׁנֵי	וְאִשְׁתֶּךָ
共に	息子たちも	そして-二人の	また-あなたの-妻と
		H8147	H0802

その時、ある人がモーセに言った、「ごらんなさい。あなたのしゅうと、エテロは、あなたの妻とそのふたりの子を連れて、あなたの所にこられます」。

לוֹ	וַיִּשַּׁק־	וַיִּשְׁתַּחוּ	חֹתְנוֹ	לִקְרַאת	מֹשֶׁה	וַיֵּצֵא	7
彼に	そして-口づけした	そして-ひれ伏し	しゅうとを	迎えに	モーセは	そして-出て行った	
		H7812		H7125	H4872	H3318	

הָאֹהֱלָה׃	וַיָּבֹאוּ	לְשָׁלֹם	לְרֵעֵהוּ	אִישׁ־	וַיִּשְׁאֲלוּ
天幕に	そして-入った	安否を	仲間の	互いに-	そして-尋ねた
H0168	H0935	H7965	H7453	H0376	H7592

そこでモーセはしゅうとを出迎えて、身をかがめ、彼に口づけして、互に安否を問い、共に天幕にはいった。

לְפַרְעֹה	יְהוָה	עָשָׂה	אֲשֶׁר	כָּל־	אֵת	לְחֹתְנוֹ	מֹשֶׁה	וַיְסַפֵּר	8
パロに	主が	なされた	～ことを	すべて-	(を)	しゅうとに	モーセは	そして-語った	
H6547	H3068			H3605	H0853		H4872		

אֲשֶׁר	הַתְּלָאָה	כָּל־	אֵת	יִשְׂרָאֵל	אוֹדֹת	עַל	וּלְמִצְרַיִם
～した	苦難を	すべて-	(を)	イスラエルの	～のことで	～のゆえに	また-エジプトに
	H8513	H3605	H0853	H3478	H0182		H4714

יְהוָה׃	וַיַּצִּלֵם	בַּדֶּרֶךְ	מְצָאָתַם
主が	そして-救い出された	道で	彼らを-襲った
H3068	H5337	H1870	H4672

そしてモーセは、主がイスラエルのために、パロとエジプトびとにされたすべての事、道で出会ったすべての苦しみ、また主が彼らを救われたことを、しゅうとに物語ったので、

יְהוָה	עָשָׂה	אֲשֶׁר־	הַטּוֹבָה	כָּל־	עַל	יִתְרוֹ	וַיִּחַד	9
主が	なされた	～した	良いことを	すべて-	～について	イテロは	そして-喜んだ	
H3068				H3605		H3503	H2302	

מִצְרָיִם׃	מִיַּד	הִצִּילוֹ	אֲשֶׁר	לְיִשְׂרָאֵל
エジプトの	手から	救い出された	～した	イスラエルのために
H4714	H3027	H5337		H3478

エテロは主がイスラエルをエジプトびとの手から救い出して、もろもろの恵みを賜わったことを喜んだ。

10 וַיֹּאמֶר יִתְרוֹ בָּרוּךְ יְהוָה אֲשֶׁר הִצִּיל אֶתְכֶם
そして-言った イテロは ほむべきかな 主 ～した 救い出された あなたがたを
H0559 H3503 H1288 H3068 H5337 H0853

מִיַּד מִצְרַיִם וּמִיַּד פַּרְעֹה אֲשֶׁר הִצִּיל אֶת־הָעָם מִתַּחַת יַד־
エジプトの また-手から パロの ～した 救い出された (を) 民を ～の-下から 手-
H4714 H3027 H6547 H5337 H0853 H8478 H3027

מִצְרָיִם׃
エジプトの
H4714

そしてエテロは言った、「主はほむべきかな。主はあなたがたをエジプトびとの手と、パロの手から救い出し、民をエジプトびとの手の下から救い出された。

11 עַתָּה יָדַעְתִּי כִּי־גָדוֹל יְהוָה מִכָּל־הָאֱלֹהִים כִּי בַּדָּבָר
今 知った ～ことを- 偉大である 主は すべて-の- なぜなら そのことにおいて
H6258 H3045 H3068 H3605 H0430 H1697

אֲשֶׁר זָדוּ עֲלֵיהֶם׃
～した 高ぶった 彼らに-対して
H2102

今こそわたしは知った。実に彼らはイスラエルびとにむかって高慢にふるまったが、主はあらゆる神々にまさって大いにいますことを」。

12 וַיִּקַּח יִתְרוֹ חֹתֵן מֹשֶׁה עֹלָה וּזְבָחִים לֵאלֹהִים
そして-取った イテロは しゅうと モーセの 全焼の-ささげ物と いけにえを 神に
H3947 H3503 H2859 H4872 H5930 H2077 H0430

וַיָּבֹא אַהֲרֹן וְכָל־זִקְנֵי יִשְׂרָאֵל לֶאֱכָל־לֶחֶם עִם־
そして-来た アロンと すべて-の 長老たちが イスラエルの 食事をしに- パンを ～と共に
H0935 H0175 H3605 H2205 H3478 H0398 H3899

חֹתֵן מֹשֶׁה לִפְנֵי הָאֱלֹהִים׃
しゅうと モーセの ～の-前で 神の
H2859 H4872 H6440 H0430

そしてモーセのしゅうとエテロは燔祭と犠牲を神に供え、アロンとイスラエルの長老たちもみなきて、モーセのしゅうとと共に神の前で食事をした。

13 וַיְהִי מִמָּחֳרָת וַיֵּשֶׁב מֹשֶׁה לִשְׁפֹּט אֶת־הָעָם וַיַּעֲמֹד
そして-あった 翌日 そして-座った モーセは さばくために (を) 民を そして-立っていた
H1961 H4283 H3427 H4872 H8199 H0853 H5975

הָעָם עַל־מֹשֶׁה מִן־הַבֹּקֶר עַד־הָעָרֶב׃
民は ～の-前に モーセ ～から 朝 ～まで 夕方
H5971 H5921 H4872 H4480 H1242 H5704 H6153

あくる日モーセは座して民をさばいたが、民は朝から晩まで、モーセのまわりに立っていた。

14 וַיַּרְא֣ | חֹתֵ֗ן | מֹשֶׁה֙ | אֶת־ | כָּל־ | אֲשֶׁר־ | הוּא֙ | עֹשֶׂ֣ה | לָעָ֔ם
そして-見た | しゅうとは | モーセの | (を) | すべて- | ～ことを- | 彼が | している | 民に
H7200 | H2859 | H4872 | H0853 | H3605 | H0834 | H1931 | H6213 | H5971

וַיֹּ֗אמֶר | מָה־ | הַדָּבָר֙ | הַזֶּ֔ה | אֲשֶׁ֥ר | אַתָּ֖ה | עֹשֶׂ֑ה | לָעָ֗ם | מַדּ֛וּעַ | אַתָּ֥ה
そして-言った | 何- | ことか | この | ～している | あなたが | している | 民に | なぜ | あなたは
H0559 | H4100 | H1697 | H2088 | H0834 | H0859 | H6213 | H5971 | H4069 | H0859

יוֹשֵׁ֣ב | לְבַדֶּ֔ךָ | וְכָל־ | הָעָ֗ם | נִצָּ֤ב | עָלֶ֙יךָ֙ | מִן־ | בֹּ֔קֶר | עַד־
座っている | 一人で | そして-すべて-の | 民は | 立っている | あなたの-前に | ～から | 朝 | ～まで
H3427 | H0905 | H3605 | H5971 | H5324 | H5921 | H4480 | H1242 | H5704

עָֽרֶב׃
夕方まで
H6153

モーセのしゅうとは、彼がすべて民にしていることを見て、言った、「あなたが民にしているこのことはなんですか。あなたひとりが座し、民はみな朝から晩まで、あなたのまわりに立っているのはなぜですか」。

15 לִדְרֹ֥שׁ | הָעָ֖ם | אֵלַ֑י | יָבֹ֣א | כִּֽי־ | לְחֹתְנ֔וֹ | מֹשֶׁה֙ | וַיֹּ֣אמֶר
尋ね求めるために | 民が | 私のもとに | 来る | ～ので- | しゅうとに | モーセは | そして-言った
H1875 | H5971 | H0413 | H0935 | H3588 | H2859 | H4872 | H0559

אֱלֹהִֽים׃
神を
H0430

モーセはしゅうとに言った、「民が神に伺おうとして、わたしの所に来るからです。

16 כִּֽי־ | יִהְיֶ֥ה | לָהֶ֛ם | דָּבָ֖ר | בָּ֣א | אֵלַ֑י | וְשָׁפַטְתִּי֙ | בֵּ֣ין | אִ֔ישׁ | וּבֵ֥ין
～の-とき- | ある | 彼らに | 事柄が | 来る | 私のもとに | そして-さばく | ～の-間を | 人と | ～の-間を
H3588 | H1961 | H0413 | H1697 | H0935 | H0413 | H8199 | H0996 | H0376 | H0996

רֵעֵ֑הוּ | וְהוֹדַעְתִּ֣י | אֶת־ | חֻקֵּ֤י | הָאֱלֹהִים֙ | וְאֶת־ | תּוֹרֹתָ֔יו׃
その-隣人の | そして-教える | (を) | 定めを | 神の | そして(を) | 律法を
H7453 | H3045 | H0853 | H2706 | H0430 | H0853 | H8451

彼らは事があれば、わたしの所にきます。わたしは相互の間をさばいて、神の定めと判決を知らせるのです」。

17 וַיֹּ֥אמֶר | חֹתֵ֖ן | מֹשֶׁ֑ה | אֵלָ֗יו | לֹא־ | טוֹב֙ | הַדָּבָ֔ר | אֲשֶׁ֥ר | אַתָּ֖ה
そして-言った | しゅうとは | モーセの | 彼に | 良くない | (のだ) | このことは | ～している | あなたが
H0559 | H2859 | H4872 | H0413 | H3808 | H2896 | H1697 | H0834 | H0859

עֹשֶֽׂה׃
している

モーセのしゅうとは彼に言った、「あなたのしていることは良くない。

18 נָבֹ֣ל | תִּבֹּ֔ל | גַּם־ | אַתָּ֖ה | גַּם־ | הָעָ֥ם | הַזֶּ֛ה | אֲשֶׁ֥ר | עִמָּ֑ךְ | כִּֽי־
必ず | 疲れ果てる | ～も- | あなたも | ～も- | 民も | この | ～する | あなたと-共にいる | なぜなら-
H5034 | H5238 | H1571 | H0859 | H1571 | H5971 | H2088 | H0834 | H5973 | H3588

לְבַדֶּֽךָ׃ | עֲשֵׂ֖הוּ | תוּכַ֥ל | לֹא־ | הַדָּבָ֛ר | מִמְּךָ֖ | כָּבֵ֥ד
一人では | それを-行うことは | (のだ) | できない | このことは | あなたには | 重すぎる
H0905 | H6213 | H3201 | H3808 | H1697 | H4480 | H3515

あなたも、あなたと一緒にいるこの民も、必ず疲れ果てるであろう。このことはあなたに重過ぎるから、ひとりですることができない。

19

הֱיֵה	עִמָּךְ	אֱלֹהִים	וִיהִי	אִיעָצְךָ	בְקֹלִי	שְׁמַע	עַתָּה
なりなさい	あなたと–共に	神が	そして–あるように	助言しよう	私の–声に	聞きなさい	今
H1961		H0430	H1961	H3289		H8085	H6258

אֶל־	הַדְּבָרִים	אֶת־	אַתָּה	וְהֵבֵאתָ	הָאֱלֹהִים	מוּל	לָעָם	אַתָּה
～へ	事柄を	(を)	あなたが	そして–持ち出しなさい	神の	～の–前で	民のために	あなたは
H0413	H1697	H0853		H0935	H0430	H4136		

הָאֱלֹהִים׃
神の–もとへ
H0430

今わたしの言うことを聞きなさい。わたしはあなたに助言する。どうか神があなたと共にいますように。あなたは民のために神の前にいて、事件を神に述べなさい。

20

אֶת־	לָהֶם	וְהוֹדַעְתָּ	הַתּוֹרֹת	וְאֶת־	הַחֻקִּים	אֶת־	אֹתָם	וְהִזְהַרְתָּה
(を)	彼らに	そして–知らせなさい	律法を	また(を)	定めと	(を)	彼らに	そして–教えなさい
H0853		H3045	H8451	H0853	H2706	H0853	H0853	

יַעֲשׂוּן׃	אֲשֶׁר	הַמַּעֲשֶׂה	וְאֶת־	בָּהּ	יֵלְכוּ	הַדֶּרֶךְ	
行う	～すべき	わざを	また(を)	その–中を	歩むべき	道を	
		H4639	H0853		H3212	H1870	

あなたは彼らに定めと判決を教え、彼らの歩むべき道と、なすべき事を彼らに知らせなさい。

21

אַנְשֵׁי	אֱלֹהִים	יִרְאֵי	חַיִל	אַנְשֵׁי־	הָעָם	מִכָּל־	תֶּחֱזֶה	וְאַתָּה
人々	神を	畏れる	有能な	人々を–	民の–中から	すべて–の–	選び出しなさい	また–あなたは
H0376	H0430	H3373	H2428	H0376		H3605	H2372	

שָׂרֵי	מֵאוֹת	שָׂרֵי	אֲלָפִים	שָׂרֵי	עֲלֵהֶם	וְשַׂמְתָּ	בָּצַע	שֹׂנְאֵי	אֱמֶת
長を	百人の	長を	千人の	長を	彼らの–上に	そして–立てなさい	不正な–利得を	憎む	真実の
H8269	H3967	H8269	H0505	H8269			H1215	H8130	H0571

עֲשָׂרֹת׃	וְשָׂרֵי	חֲמִשִּׁם
十人の	また–長を	五十人の
H6235	H8269	H2572

また、すべての民のうちから、有能な人で、神を恐れ、誠実で不義の利を憎む人を選び、それを民の上に立てて、千人の長、百人の長、五十人の長、十人の長としなさい。

22

הַדָּבָר	כָּל־	וְהָיָה	עֵת	בְּכָל־	הָעָם	אֶת־	וְשָׁפְטוּ	
事柄	すべて–の	そして–あるように	時に	すべて–の	民を	(を)	そして–さばかせなさい	
H1697	H3605	H1961	H6256	H3605		H0853	H8199	

הֵם	יִשְׁפְּטוּ־	הַקָּטָן	הַדָּבָר	וְכָל־	אֵלֶיךָ	יָבִיאוּ	הַגָּדֹל
彼らに	さばかせなさい–	小さな	事柄	しかし–すべて–の	あなたに	持ち出させなさい	大きな
H1992	H8199		H1697	H3605	H0413	H0935	

אִתָּךְ׃	וְנָשְׂאוּ	מֵעָלֶיךָ	וְהָקֵל
あなたと–共に	そして–負わせなさい	あなたの–上から	こうして–軽くしなさい
H0854	H5375		H7043

平素は彼らに民をさばかせ、大事件はすべてあなたの所に持ってこさせ、小事件はすべて彼らにさばかせなさい。こうしてあなたを身軽にし、あなたと共に彼らに、荷を負わせなさい。

23

וְיָכָלְתָּ	אֱלֹהִים	וְצִוְּךָ	תַּעֲשֶׂה	הַזֶּה	הַדָּבָר	אֶת־	אִם
そして–できる	神が	そして–命じられるなら	行うなら	この	このことを	(を)	もし
H3201	H0430	H6680		H2088	H1697	H0853	

בְּשָׁלוֹם׃	יָבֹא	מְקֹמוֹ	עַל־	הַזֶּה	הָעָם	כָּל־	וְגַם	עָמֹד
平安のうちに	帰る	その–場所に	～の	この	民も	すべて–の	そして–また	耐えることが
H7965	H0935	H4725		H2088		H3605	H1571	H5975

あなたが、もしこの事を行い、神もまたあなたに命じられるならば、あなたは耐えることができ、この民もまた、みな安んじてその所に帰ることができよう」。

24

אָמָר׃	אֲשֶׁר	כָּל	וַיַּעַשׂ	חֹתְנוֹ	לְקוֹל	מֹשֶׁה	וַיִּשְׁמַע	
言われた	～のとおりに	すべて	そして-行った	しゅうとの	声に	モーセは	そして-聞き入れた	
H0559		H3605				H4872	H8085	

モーセはしゅうとの言葉に従い、すべて言われたようにした。

25

אֹתָם	וַיִּתֵּן	יִשְׂרָאֵל	מִכָּל־	חַיִל	אַנְשֵׁי־	מֹשֶׁה	וַיִּבְחַר	
彼らを	そして-立てた	イスラエルから	すべて-の-	有能な	人々を-	モーセは	そして-選んだ	
H0853	H5414	H3478	H3605	H2428	H0376	H4872	H0977	

עֲשָׂרֹת׃	וְשָׂרֵי	חֲמִשִּׁים	שָׂרֵי	מֵאוֹת	שָׂרֵי	אֲלָפִים	שָׂרֵי	הָעָם	עַל־	רָאשִׁים
十人の	また-長を	五十人の	長を	百人の	長を	千人の	長を	民の	～の-上に	かしらとして
H6235	H8269	H2572	H8269	H3967	H8269	H0505	H8269			

すなわち、モーセはすべてのイスラエルのうちから有能な人を選んで、民の上に長として立て、千人の長、百人の長、五十人の長、十人の長とした。

26

אֶל־	יְבִיאוּן	הַקָּשֶׁה	הַדָּבָר	אֶת־	עֵת	כָּל־	הָעָם	אֶת־	וְשָׁפְטוּ
～のもとへ	持ち出した	難しい	事柄	(を)	時に	すべて-の	民を	(を)	そして-さばいた
H0413	H0935	H7186	H1697	H0853	H6256	H3605		H0853	H8199

הֵם׃	יִשְׁפְּטוּ	הַקָּטָן	הַדָּבָר	וְכָל־	מֹשֶׁה
彼らが	さばいた	小さな	事柄	しかし-すべて-の	モーセ
H1992	H8199		H1697	H3605	H4872

平素は彼らが民をさばき、むずかしい事件はモーセに持ってきたが、小さい事件はすべて彼らみずからさばいた。

27

אַרְצוֹ׃	אֶל־	לוֹ	וַיֵּלֶךְ	חֹתְנוֹ	אֶת־	מֹשֶׁה	וַיְשַׁלַּח
自分の-国へ	～へ	彼は	そして-去って行った	しゅうとを	(を)	モーセは	そして-見送った
H0776	H0413		H3212		H0853	H4872	H7971

פ
(段落)

こうしてモーセはしゅうとを送り返したので、その国に帰って行った。

Chapter 19

1

בָּאוּ	הַזֶּה	בַּיּוֹם	מִצְרַיִם	מֵאֶרֶץ	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי־	לְצֵאת	הַשְּׁלִישִׁי	בַּחֹדֶשׁ
来た	この	日	エジプトの	地から	イスラエルの	子ら-	出て行った	第三の	月に
H0935	H2088	H3117	H4714	H0776	H3478		H3318	H7992	H2320

סִינָי׃	מִדְבַּר
シナイの	荒野に
H5514	

イスラエルの人々は、エジプトの地を出て後三月目のその日に、シナイの荒野にはいった。

2

בַּמִּדְבָּר	וַיִּחֲנוּ	סִינַי	מִדְבַּר	וַיָּבֹאוּ	מֵרְפִידִים	וַיִּסְעוּ		
荒野に	そして-宿営した	シナイの	荒野に	そして-来た	レピディムから	そして-出発した		
	H2583	H5514		H0935	H7508	H5265		

הָהָר׃	נֶגֶד	יִשְׂרָאֵל	שָׁם	וַיִּחַן־
山の	向かいに	イスラエルは	そこに	そして-宿営した-
H2022	H5048	H3478	H8033	H2583

すなわち彼らはレピデムを出立してシナイの荒野に入り、荒野に宿営した。イスラエルはその所で山の前に宿営した。

3 וּמֹשֶׁה עָלָה אֶל־הָאֱלֹהִים וַיִּקְרָא אֵלָיו יְהוָה מִן־הָהָר לֵאמֹר כֹּה תֹאמַר לְבֵית יַעֲקֹב וְתַגִּיד לִבְנֵי יִשְׂרָאֵל׃

וּמֹשֶׁה	עָלָה	אֶל־	הָאֱלֹהִים	וַיִּקְרָא	אֵלָיו	יְהוָה	מִן־	הָהָר	
そして–モーセは	登った	～のもとへ	神の	そして–呼ばれた	彼に	主が	～から	山	
H4872	H5927	H0413	H0430	H7121	H0413	H3068		H2022	
לֵאמֹר	כֹּה	תֹאמַר	לְבֵית	יַעֲקֹב	וְתַגִּיד	לִבְנֵי	יִשְׂרָאֵל׃		
言って	このように	言いなさい	家に	ヤコブの	そして–告げなさい	子らに	イスラエルの		
H0559	H3541	H0559		H3290	H5046		H3478		

さて、モーセが神のもとに登ると、主は山から彼を呼んで言われた、「このように、ヤコブの家に言い、イスラエルの人々に告げなさい、

4 אַתֶּם רְאִיתֶם אֲשֶׁר עָשִׂיתִי לְמִצְרָיִם וָאֶשָּׂא אֶתְכֶם עַל־כַּנְפֵי נְשָׁרִים וָאָבִא אֶתְכֶם אֵלָי׃

אַתֶּם	רְאִיתֶם	אֲשֶׁר	עָשִׂיתִי	לְמִצְרָיִם	וָאֶשָּׂא	אֶתְכֶם	עַל־		
あなたがたは	見た	～ことを	わたしがした	エジプトに	そして–運んだ	あなたがたを	～の–上に		
	H7200			H4714	H5375	H0853			
כַּנְפֵי	נְשָׁרִים	וָאָבִא	אֶתְכֶם	אֵלָי׃					
翼に	鷲の	そして–連れて来た	あなたがたを	わたしの–もとに					
H3671	H5404	H0935	H0853	H0413					

『あなたがたは、わたしがエジプトびとにした事と、あなたがたを鷲の翼に載せてわたしの所にこさせたことを見た。

5 וְעַתָּה אִם־שָׁמוֹעַ תִּשְׁמְעוּ בְקֹלִי וּשְׁמַרְתֶּם אֶת־בְּרִיתִי וִהְיִיתֶם לִי סְגֻלָּה מִכָּל־הָעַמִּים כִּי־לִי כָּל־הָאָרֶץ׃

וְעַתָּה	אִם־	שָׁמוֹעַ	תִּשְׁמְעוּ	בְקֹלִי	וּשְׁמַרְתֶּם	אֶת־	בְּרִיתִי		
そして–今	もし–	聞いて	聞くなら	わたしの–声に	そして–守るなら	(を)	わたしの–契約を		
H6258		H8085	H8085		H8104	H0853	H1285		
וִהְיִיתֶם	לִי	סְגֻלָּה	מִכָּל־	הָעַמִּים	כִּי־	לִי	כָּל־	הָאָרֶץ׃	
そして–なる	わたしの	宝の–民と	すべて–の–	民の–中から	なぜなら–	わたしの–ものである	すべて–の	地は	
H1961			H3605				H3605	H0776	

それで、もしあなたがたが、まことにわたしの声に聞き従い、わたしの契約を守るならば、あなたがたはすべての民にまさって、わたしの宝となるであろう。全地はわたしの所有だからである。

6 וְאַתֶּם תִּהְיוּ־לִי מַמְלֶכֶת כֹּהֲנִים וְגוֹי קָדוֹשׁ אֵלֶּה הַדְּבָרִים אֲשֶׁר תְּדַבֵּר אֶל־בְּנֵי יִשְׂרָאֵל׃

וְאַתֶּם	תִּהְיוּ־	לִי	מַמְלֶכֶת	כֹּהֲנִים	וְגוֹי	קָדוֹשׁ	אֵלֶּה		
そして–あなたがたは	なる–	わたしにとって	王国	祭司の	また–国	聖なる	これらが		
	H1961		H4467	H3548		H6918	H0428		
הַדְּבָרִים	אֲשֶׁר	תְּדַבֵּר	אֶל־	בְּנֵי	יִשְׂרָאֵל׃				
言葉である	～した	語りなさい	～に	子らに	イスラエルの				
H1697		H1696	H0413		H3478				

あなたがたはわたしに対して祭司の国となり、また聖なる民となるであろう』。これがあなたのイスラエルの人々に語るべき言葉である」。

7 וַיָּבֹא מֹשֶׁה וַיִּקְרָא לְזִקְנֵי הָעָם וַיָּשֶׂם לִפְנֵיהֶם אֵת כָּל־הַדְּבָרִים הָאֵלֶּה אֲשֶׁר צִוָּהוּ יְהוָה׃

וַיָּבֹא	מֹשֶׁה	וַיִּקְרָא	לִזְקְנֵי	הָעָם	וַיָּשֶׂם	לִפְנֵיהֶם	אֵת		
そして–来た	モーセは	そして–呼んだ	長老たちを	民の	そして–置いた	彼らの–前に	(を)		
H0935		H7121	H2205				H0853		
כָּל־	הַדְּבָרִים	הָאֵלֶּה	אֲשֶׁר	צִוָּהוּ	יְהוָה׃				
すべて–の	言葉を	これらの	～した	命じられた	主が				
H3605	H1697	H0428		H6680	H3068				

それでモーセは行って民の長老たちを呼び、主が命じられたこれらの言葉を、すべてその前に述べたので、

8

יְהוָה	דִּבֶּר	אֲשֶׁר־	כָּל	וַיַּאמְרוּ	יַחְדָּו	הָעָם	כָּל־	וַיַּעֲנוּ
主が	語られた	～したこと–	すべて	そして–言った	共に	民は	すべて–の	そして–答えた
H3068	H1696		H3605	H0559			H3605	

יְהוָה׃	אֶל־	הָעָם	דִּבְרֵי	אֶת־	מֹשֶׁה	וַיָּשֶׁב	נַעֲשֶׂה
主に	～に	民の	言葉を	(を)	モーセは	そして–伝えた	行います
H3068	H0413		H1697	H0853	H4872	H7725	

民はみな共に答えて言った、「われわれは主が言われたことを、みな行います」。モーセは民の言葉を主に告げた。

9

בְּעַב	אֵלֶיךָ	בָּא	אָנֹכִי	הִנֵּה	מֹשֶׁה	אֶל־	יְהוָה	וַיֹּאמֶר
濃い	あなたの–もとに	来る	わたしは	見よ	モーセに	～に	主は	そして–言われた
H5645	H0413	H0935	H0595	H2009	H4872	H0413	H3068	H0559

בְּךָ	וְגַם־	עִמְּךָ	בְּדַבְּרִי	הָעָם	יִשְׁמַע	בַּעֲבוּר	הֶעָנָן
あなたを	そして–また–	あなたと	わたしが–語る–とき	民が	聞くように	～するために	雲の–中に
	H1571		H1696		H8085	H5668	H6051

יְהוָה׃	אֶל־	הָעָם	דִּבְרֵי	אֶת־	מֹשֶׁה	וַיַּגֶּד	לְעוֹלָם	יַאֲמִינוּ
主に	～に	民の	言葉を	(を)	モーセは	そして–告げた	永遠に	信じるように
H3068	H0413		H1697	H0853	H4872	H5046	H5769	H0539

主はモーセに言われた、「見よ、わたしは濃い雲のうちにあって、あなたに臨むであろう。それはわたしがあなたと語るのを民に聞かせて、彼らに長くあなたを信じさせるためである」。モーセは民の言葉を主に告げた。

10

וְקִדַּשְׁתָּם	הָעָם	אֶל־	לֵךְ	מֹשֶׁה	אֶל־	יְהוָה	וַיֹּאמֶר	
そして–聖別しなさい	民の–もとへ	～へ	行きなさい	モーセに	～に	主は	そして–言われた	
H6942		H0413	H3212	H4872	H0413	H3068	H0559	

שִׂמְלֹתָם׃	וְכִבְּסוּ	וּמָחָר	הַיּוֹם	
衣服を	そして–洗わせなさい	明日と	今日と	
H8071	H3526	H4279	H3117	

主はモーセに言われた、「あなたは民のところに行って、きょうとあす、彼らをきよめ、彼らにその衣服を洗わせ、

11

יְהוָה	יֵרֵד	הַשְּׁלִישִׁי	בַּיּוֹם	כִּי	הַשְּׁלִשִׁי	לַיּוֹם	נְכֹנִים	וְהָיוּ
主が	降られる	第三の	日に	なぜなら	第三の–日の	～の–ために	備えて	そして–なるように
H3068	H3381	H7992	H3117		H7992	H3117		H1961

סִינָי׃	הַר	עַל־	הָעָם	כָּל־	לְעֵינֵי	
シナイ	山	～の–上に	民の	すべて–の	目の–前に	
H5514	H2022			H3605		

三日目までに備えさせなさい。三日目に主が、すべての民の目の前で、シナイ山に下るからである。

12

עֲלוֹת	לָכֶם	הִשָּׁמְרוּ	לֵאמֹר	סָבִיב	הָעָם	אֶת־	וְהִגְבַּלְתָּ	
登ること	あなたがたは	気をつけなさい	言って	周囲に	民に	(を)	そして–境を–定めなさい	
H5927		H8104	H0559	H5439		H0853	H1379	

יוּמָת׃	מוֹת	בָּהָר	הַנֹּגֵעַ	כָּל־	בְּקָצֵהוּ	וְנֹגַע	בָּהָר
殺される	必ず	山に	触れる–者は	すべて–	その–端に	また–触れること	山に
H4191	H4191	H2022	H5060	H3605		H5060	H2022

あなたは民のために、周囲に境を設けて言いなさい、『あなたがたは注意して、山に上らず、また、その境界に触れないようにしなさい。山に触れる者は必ず殺されるであろう。

13

יִיָּרֶה	יָרֶה	אוֹ־	יִסָּקֵל	סָקוֹל	כִּי־	יָד	בּוֹ	תִּגַּע	לֹא־
射殺される	射られて	あるいは–	打たれる	石で	必ず–	手が	それに	触れてはなら–	ない
			H5619	H5619		H3027		H5060	H3808

הֵמָּה	הַיּוֹבֵל	בִּמְשֹׁךְ	יִחְיֶה	לֹא	אִישׁ	אִם־	בְּהֵמָה	אִם־
彼らは	角笛が	鳴り響くとき	生きてはなら–	ない	人であっても	もし–	獣であっても	もし–
H1992	H3104	H4900	H2421	H3808	H0376		H0929	

בָּהָר׃	יַעֲלוּ
山に	登ってよい
H2022	H5927

手をそれに触れてはならない。触れる者は必ず石で打ち殺されるか、射殺されるであろう。獣でも人でも生きることはできない』。ラッパが長く響いた時、彼らは山に登ることができる」と。

14

הָעָם	אֶת־	וַיְקַדֵּשׁ	הָעָם	אֶל־	הָהָר	מִן־	מֹשֶׁה	וַיֵּרֶד
民を	(を)	そして–聖別した	民の–もとへ	～へ	山	～から	モーセは	そして–降りた
	H0853	H6942		H0413	H2022		H4872	H3381

שִׂמְלֹתָם׃	וַיְכַבְּסוּ
衣服を	そして–洗った
H8071	H3526

そこでモーセは山から民のところに下り、民をきよめた。彼らはその衣服を洗った。

15

תִּגְּשׁוּ	אַל־	יָמִים	לִשְׁלֹשֶׁת	נְכֹנִים	הֱיוּ	הָעָם	אֶל־	וַיֹּאמֶר	
近づいてはなら–	～する–な	日間	三の	準備して	備えなさい	民に	～に	そして–言った	
H5066	H0408	H3117	H7969		H1961		H0413	H0559	

אִשָּׁה׃	אֶל־
女に	～に
H0802	H0413

モーセは民に言った、「三日目までに備えをしなさい。女に近づいてはならない」。

16

וְעָנָן	וּבְרָקִים	קֹלֹת	וַיְהִי	הַבֹּקֶר	בִּהְיֹת	הַשְּׁלִשִׁי	בַּיּוֹם	וַיְהִי	
また–雲が	稲妻と	雷鳴と	そして–あった	朝に	なったとき	第三の	日に	そして–あった	
H6051			H1961	H1242	H1961	H7992	H3117	H1961	

הָעָם	כֹּל־	וַיֶּחֱרַד	מְאֹד	חָזָק	שֹׁפָר	וְקֹל	הָהָר	עַל־	כָּבֵד
民は	すべて–の	そして–震えた	非常に	強い	角笛の	また–音が	山の	～の–上に	厚い
	H3605	H2729	H3966	H2389	H7782		H2022		H3515

בַּמַּחֲנֶה׃	אֲשֶׁר
宿営の–中で	～していた
H4264	

三日目の朝となって、かみなりと、いなずまと厚い雲とが、山の上にあり、ラッパの音が、はなはだ高く響いたので、宿営におる民はみな震えた。

17

הַמַּחֲנֶה	מִן־	הָאֱלֹהִים	לִקְרַאת	הָעָם	אֶת־	מֹשֶׁה	וַיּוֹצֵא	
宿営の–外へ	～から	神を	迎えるために	民を	(を)	モーセは	そして–導き出した	
H4264		H0430	H7125		H0853	H4872	H3318	

הָהָר׃	בְּתַחְתִּית	וַיִּתְיַצְּבוּ
山の	ふもとに	そして–立った
H2022	H8482	H3320

モーセが民を神に会わせるために、宿営から導き出したので、彼らは山のふもとに立った。

18 וְהַ֣ר סִינַ֗י עָשַׁ֛ן כֻּלּ֖וֹ מִפְּנֵ֣י אֲשֶׁר־יָרַ֣ד עָלָ֧יו יְהוָ֛ה בָּאֵ֑שׁ
そして-山は シナイ 煙った 全体が ～のゆえに ～した 降られた その-上に 主が 火の-中に
H2022 H5514 H6225 H3605 H6440 H3381 H5921 H3068 H0784

וַיַּ֥עַל עֲשָׁנ֖וֹ כְּעֶ֣שֶׁן הַכִּבְשָׁ֑ן וַיֶּחֱרַ֥ד כָּל־הָהָ֖ר מְאֹֽד׃
そして-立ち上った その-煙は 煙の-ように かまどの そして-震えた すべて-の 山は 非常に
H5927 H6227 H6227 H3536 H2729 H3605 H2022 H3966

シナイ山は全山煙った。主が火のなかにあって、その上に下られたからである。その煙は、かまどの煙のように立ち上り、全山はげしく震えた。

19 וַיְהִי֙ ק֣וֹל הַשּׁוֹפָ֔ר הוֹלֵ֥ךְ וְחָזֵ֖ק מְאֹ֑ד מֹשֶׁ֣ה יְדַבֵּ֔ר וְהָאֱלֹהִ֖ים יַעֲנֶ֥נּוּ בְקֽוֹל׃
そして-あった 音が 角笛の 進んで行って ますます-強くなった 非常に モーセは 語り 声で 答えられた そして-神は
H1961 H7782 H1980 H2390 H3966 H4872 H1696 H6963 H0430

ラッパの音が、いよいよ高くなったとき、モーセは語り、神は、かみなりをもって、彼に答えられた。

20 וַיֵּ֤רֶד יְהוָה֙ עַל־הַ֣ר סִינַ֔י אֶל־רֹ֖אשׁ הָהָ֑ר וַיִּקְרָ֤א יְהוָה֙ לְמֹשֶׁ֣ה אֶל־רֹ֣אשׁ הָהָ֔ר וַיַּ֖עַל מֹשֶֽׁה׃
そして-降られた 主は 山の 頂に ～の シナイ 山 ～の-上に 主は そして-呼ばれた 山の 頂に そして-登った モーセは
H3381 H3068 H2022 H5514 H0413 H7218 H2022 H5921 H3068 H7121 H2022 H7218 H5927 H4872

主はシナイ山の頂に下られた。そして主がモーセを山の頂に召されたので、モーセは登った。

21 וַיֹּ֤אמֶר יְהוָה֙ אֶל־מֹשֶׁ֔ה רֵ֖ד הָעֵ֣ד בָּעָ֑ם פֶּן־יֶהֶרְסוּ֙ אֶל־יְהוָ֣ה לִרְא֔וֹת וְנָפַ֖ל מִמֶּ֥נּוּ רָֽב׃
そして-言われた 主は ～に モーセに 降りなさい 警告しなさい 民に ～しないように-
H0559 H3068 H0413 H4872 H3381 H5749 H5971 H6435

突き破って ～に 主の-もとへ 見ようとして そして-倒れる 彼らから 多くの者が
H2040 H0413 H3068 H7200 H5307 H4480 H7227

主はモーセに言われた、「下って行って民を戒めなさい。民が押し破って、主のところにきて、見ようとし、多くのものが死ぬことのないようにするためである。

22 וְגַם֙ הַכֹּהֲנִ֔ים הַנִּגָּשִׁ֖ים אֶל־יְהוָ֑ה יִתְקַדָּ֗שׁוּ פֶּן־יִפְרָ֥ץ בָּהֶ֖ם יְהוָֽה׃
そして-また 祭司たちも 近づく ～に 主に 身を-聖別しなさい ～しないように- 打ち破られる 彼らを 主が
H1571 H3548 H5066 H0413 H3068 H6942 H6435 H6555 H3068

主に近づく祭司たちにもまた、その身をきよめさせなさい。主が彼らを打つことのないようにするためである」。

23

סִינָי הַר אֶל־ לַעֲלֹת הָעָם יוּכַל לֹא־ יְהוָה אֶל־ מֹשֶׁה וַיֹּאמֶר
シナイ 山 ～へ 登ること 民は (のだ) できない 主に ～に モーセは そして–言った
H5514 H2022 H0413 H5927 H3201 H3808 H3068 H0413 H4872 H0559

הָהָר אֶת־ הַגְבֵּל לֵאמֹר בָּנוּ הַעֵדֹתָה אַתָּה כִּי־
山に (を) 境を–定めなさい 言って 私たちに 警告された あなたが なぜなら–
H2022 H0853 H1379 H0559

וְקִדַּשְׁתּוֹ׃
そして–聖別しなさい
H6942

モーセは主に言った、「民はシナイ山に登ることはできないでしょう。あなたがわたしたちを戒めて『山のまわりに境を設け、それをきよめよ』と言われたからです」。

24

עִמָּךְ וְאַהֲרֹן אַתָּה וְעָלִיתָ רֵד לֵךְ־ יְהוָה אֵלָיו וַיֹּאמֶר
共に アロンが あなたと そして–登りなさい 降りなさい 行け– 主は 彼に そして–言われた
H0175 H5927 H3381 H3212 H3068 H0413 H0559

יְהוָה אֶל־ לַעֲלֹת יֶהֱרְסוּ אַל־ וְהָעָם וְהַכֹּהֲנִים
主の–もとへ ～に 登ろうとして 突き破ってはなら– ～する–な また–民は しかし–祭司たちと
H3068 H0413 H5927 H2040 H0408 H3548

בָּם׃ יִפְרָץ־ פֶּן־
彼らを 打ち破られる– ～しないように–
H6555 H6435

主は彼に言われた、「行け、下れ。そしてあなたはアロンと共に登ってきなさい。ただし、祭司たちと民とが、押し破って主のところに登ることのないようにしなさい。主が彼らを打つことのないようにするためである」。

25

ס אֲלֵהֶם׃ וַיֹּאמֶר הָעָם אֶל־ מֹשֶׁה וַיֵּרֶד
(段落) 彼らに そして–言った 民の–もとへ ～へ モーセは そして–降りた
H0413 H0559 H0413 H4872 H3381

モーセは民の所に下って行って彼らに告げた。

Chapter 20

1

ס לֵאמֹר׃ הָאֵלֶּה הַדְּבָרִים כָּל־ אֶת אֱלֹהִים וַיְדַבֵּר
(段落) 言って これらの 言葉を すべて–の (を) 神は そして–語られた
H0559 H0428 H1697 H3605 H0853 H0430 H1696

神はこのすべての言葉を語って言われた。

2

עֲבָדִים׃ מִבֵּית מִצְרַיִם מֵאֶרֶץ הוֹצֵאתִיךָ אֲשֶׁר אֱלֹהֶיךָ יְהוָה אָנֹכִי
奴隷の 家から エジプトの 地から 導き出した ～した あなたの–神 主 わたしは
H5650 H4714 H0776 H3318 H0430 H3068 H0595

「わたしはあなたの神、主であって、あなたをエジプトの地、奴隷の家から導き出した者である。

3

פָּנָי עַל־ אֲחֵרִים אֱלֹהִים לְךָ יִהְיֶה־ לֹא
わたしの ～の–前に ほかの 神々が あなたに あってはなら– ない
H6440 H0312 H0430 H1961 H3808

あなたはわたしのほかに、なにものをも神としてはならない。

4

לֹ֣א תַעֲשֶׂה־לְךָ֩ פֶ֨סֶל וְכָל־תְּמוּנָ֜ה אֲשֶׁ֣ר
ない 作ってはなら– あなたのために 偶像を また–いかなる– 形も ～する
H3808 H6459 H3605 H8544

בַּשָּׁמַ֣יִם ׀ מִמַּ֗עַל וַאֲשֶׁ֤ר בָּאָ֙רֶץ֙ מִתָּ֔חַת וַאֲשֶׁ֥ר
天に–ある 上の また–～する 地に–ある 下の また–～する 水の–中に–ある 下の 地の
H8064 H4605 H0776 H8478 H4325

בַּמַּ֖יִם מִתַּ֥חַת לָאָֽרֶץ׃
水の–中に–ある 下の 地の
H4325 H8478 H0776

あなたは自分のために、刻んだ像を造ってはならない。上は天にあるもの、下は地にあるもの、また地の下の水のなかにあるものの、どんな形をも造ってはならない。

5

לֹֽא־תִשְׁתַּחֲוֶ֥ה לָהֶ֖ם וְלֹ֣א תָעָבְדֵ֑ם כִּ֣י אָנֹכִ֞י יְהוָ֣ה
ない ひれ伏してはなら– それらに また–ない 仕えてはなら– なぜなら わたし 主
H3808 H7812 H3808 H5647 H0595 H3068

אֱלֹהֶ֗יךָ אֵ֤ל קַנָּא֙ פֹּקֵ֣ד עֲוֹ֣ן אָבֹ֔ת עַל־בָּנִ֖ים
あなたの–神は 神 ねたむ 報いる 咎を 父たちの ～の–上に 子らに
H0430 H0410 H7067 H6485 H5771 H0001 H5921 H1121

וְעַל־שִׁלֵּשִׁ֣ים וְעַל־רִבֵּעִ֔ים לְשֹׂנְאָֽי׃
また– 四代に わたしを–憎む者に
H5921 H7256 H8130

それにひれ伏してはならない。それに仕えてはならない。あなたの神、主であるわたしは、ねたむ神であるから、わたしを憎むものは、父の罪を子に報いて、三四代に及ぼし、

6

וְעֹשֶׂ֥ה חֶ֖סֶד לַאֲלָפִ֑ים לְאֹהֲבַ֥י וּלְשֹׁמְרֵ֖י מִצְוֹתָֽי׃ ס
そして–施す 恵みを 千代に わたしを–愛する者に また–守る者に わたしの–戒めを (段落)
H6213 H2617 H0505 H0157 H8104 H4687

わたしを愛し、わたしの戒めを守るものには、恵みを施して、千代に至るであろう。

7

לֹֽא־תִשָּׂ֨א אֶת־שֵׁם־יְהוָ֤ה אֱלֹהֶ֙יךָ֙ לַשָּׁ֔וְא כִּ֣י לֹֽא־יְנַקֶּ֥ה
ない 唱えてはなら– (を) 名を– 主 あなたの–神の みだりに なぜなら ない
H3808 H5375 H0853 H8034 H3068 H0430 H7723 H3808

יְהוָ֖ה אֶת־אֲשֶׁ֣ר יִשָּׂ֑א אֶת־שְׁמ֖וֹ לַשָּׁ֥וְא׃ פ
主は 罰せずにはおか– (を) ～する–者を 唱える (を) その–名を みだりに (段落)
H3068 H5352 H0853 H0834 H5375 H0853 H8034 H7723

あなたは、あなたの神、主の名を、みだりに唱えてはならない。主は、み名をみだりに唱えるものを、罰しないでは置かないであろう。

8

זָכ֗וֹר אֶת־י֙וֹם֙ הַשַּׁבָּ֔ת לְקַדְּשֽׁוֹ׃
覚えなさい 日を (を) 安息日の 聖別して
H2142 H3117 H0853 H7676 H6942

安息日を覚えて、これを聖とせよ。

9

שֵׁ֣שֶׁת יָמִ֔ים תַּעֲבֹ֖ד וְעָשִׂ֣יתָ כָּל־מְלַאכְתֶּֽךָ׃
六– 日間 働きなさい そして–しなさい すべて–の あなたの–仕事を
H8337 H3117 H5647 H6213 H3605 H4399

六日のあいだ働いてあなたのすべてのわざをせよ。

10

כָּל־	תַּעֲשֶׂה	לֹא־	אֱלֹהֶיךָ	לַיהוָה	וְשַׁבָּת	הַשְּׁבִיעִי	וְיוֹם
いかなる–	してはなら–	ない–	あなたの–神の	主の–ための	安息日	第七の	しかし–日は
H3605		H3808	H0430	H3068	H7676	H7637	H3117

וַאֲמָתֶךָ	עַבְדְּךָ	וּבִתֶּךָ	וּבִנְךָ־	וְאַתָּה	מְלָאכָה	
あなたの–女の–僕も	あなたの–男の–僕も	あなたの–娘も	また–あなたの–息子も–	あなたも	仕事も	
H0519	H5650	H1323			H4399	

בִּשְׁעָרֶיךָ	אֲשֶׁר	וְגֵרְךָ	וּבְהֶמְתֶּךָ
あなたの–門の–中に–いる	～する	また–あなたの–寄留者も	あなたの–家畜も
H8179		H1616	H0929

七日目はあなたの神、主の安息であるから、なんのわざをもしてはならない。あなたもあなたのむすこ、娘、しもべ、はしため、家畜、またあなたの門のうちにいる他国の人もそうである。

11

הַיָּם	אֶת־	הָאָרֶץ	וְאֶת־	הַשָּׁמַיִם	אֶת־	יְהוָה	עָשָׂה	יָמִים	שֵׁשֶׁת־	כִּי
海と	(を)	地と	また(を)	天と	(を)	主は	造られた	日間で	六–	なぜなら
H3220	H0853	H0776	H0853	H8064	H0853	H3068		H3117	H8337	

עַל־	הַשְּׁבִיעִי	בַּיּוֹם	וַיָּנַח	בָּם	אֲשֶׁר־	כָּל־	וְאֶת־	
それ–	第七の	日に	そして–休まれた	その–中に–あるものを	～する–	すべて–の	また(を)	
	H7637	H3117	H5117			H3605	H0853	

ס	וַיְקַדֵּשֵׁהוּ׃	הַשַּׁבָּת	יוֹם	אֶת־	יְהוָה	בֵּרַךְ	כֵּן
(段落)	そして–聖別された	安息日の	日を	(を)	主は	祝福された	の–ゆえに
	H6942	H7676	H3117	H0853	H3068	H1288	

主は六日のうちに、天と地と海と、その中のすべてのものを造って、七日目に休まれたからである。それで主は安息日を祝福して聖とされた。

12

יַאֲרִכֻיון	לְמַעַן	אִמֶּךָ	וְאֶת־	אָבִיךָ	אֶת־	כַּבֵּד	
長くなるように	～するために	あなたの–母を	また(を)	あなたの–父を	(を)	敬いなさい	
H0748	H4616	H0517	H0853	H0001	H0853	H3513	

ס	לָךְ׃	נֹתֵן	אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה	אֲשֶׁר־	הָאֲדָמָה	עַל	יָמֶיךָ
(段落)	あなたに	与える	あなたの–神が	主	～する	地の	～の–上で	あなたの–日が
		H5414	H0430	H3068		H0127		H3117

あなたの父と母を敬え。これは、あなたの神、主が賜わる地で、あなたが長く生きるためである。

13

לֹא	תִּרְצָח׃	ס
ない	殺してはなら–	(段落)
H3808	H7523	

あなたは殺してはならない。

14

לֹא	תִּנְאָף׃	ס
ない	姦淫してはなら–	(段落)
H3808	H5003	

あなたは姦淫してはならない。

15

לֹא	תִּגְנֹב׃	ס
ない	盗んではなら–	(段落)
H3808	H1589	

あなたは盗んではならない。

16

לֹא־	תַּעֲנֶה	בְרֵעֲךָ	עֵד	שָׁקֶר׃	ס	
ない	証言してはなら–	隣人に–対して	証人として	偶りの	(段落)	
H3808		H7453	H5707	H8267		

あなたは隣人について、偽証してはならない。

17 לֹא תַחְמֹד בֵּית רֵעֶךָ לֹא־תַחְמֹד אֵשֶׁת רֵעֶךָ
לא むさぼってはなら– 家を 隣人の ない– むさぼってはなら– 妻を 隣人の
H3808 H7453 H3808 H0802 H7453

וְכֹל אֲשֶׁר וְחֲמֹרוֹ וְשׁוֹרוֹ וַאֲמָתוֹ וְעַבְדּוֹ
また–すべて ～する その–ろばも また–その–牛も その–女の–僕も また–その–男の–僕も
H3605 H2543 H7794 H0519 H5650

פ לְרֵעֶךָ׃
(段落) 隣人の–ものを
H7453

あなたは隣人の家をむさぼってはならない。隣人の妻、しもべ、はしため、牛、ろば、またすべて隣人のものをむさぼってはならない」。

18 וְכָל־הָעָם רֹאִים אֶת־הַקּוֹלֹת וְאֶת־הַלַּפִּידִם וְאֵת קוֹל הַשֹּׁפָר
そして–すべて–の 民は 見ていた (を) 雷鳴と また(を) 稲妻と また(を) 音と 角笛の
H3605 H5971 H7200 H0853 H7782 H0853 H3940 H0853 H6963 H7782

וְאֶת הָהָר עָשֵׁן וַיַּרְא הָעָם וַיָּנֻעוּ וַיַּעַמְדוּ מֵרָחֹק׃
また(を) 山が 煙っているのを そして–見た 民は 震えた そして–立った 遠くに
H0853 H2022 H6226 H7200 H5971 H5128 H7350

民は皆、かみなりと、いなずまと、ラッパの音と、山の煙っているのとを見た。民は恐れおののき、遠く離れて立った。

19 וַיֹּאמְרוּ אֶל־מֹשֶׁה דַּבֵּר־אַתָּה עִמָּנוּ וְנִשְׁמָעָה
そして–言った ～に モーセに 語ってください– あなたが 私たちに そして–聞きましょう
H0559 H0413 H4872 H1696 H0859 H5971 H8085

וְאַל יְדַבֵּר עִמָּנוּ אֱלֹהִים פֶּן־נָמוּת׃
しかし–ない– 語らないでください 私たちに 神が ～しないように– 死ぬということが
H0408 H1696 H5971 H0430 H6435 H4191

彼らはモーセに言った、「あなたがわたしたちに語ってください。わたしたちは聞き従います。神がわたしたちに語られぬようにしてください。それでなければ、わたしたちは死ぬでしょう」。

20 וַיֹּאמֶר מֹשֶׁה אֶל־הָעָם אַל־תִּירָאוּ כִּי לְבַעֲבוּר נַסּוֹת
そして–言った モーセは ～に 民に ～する–な 恐れてはなら– なぜなら ～するために 試す
H0559 H4872 H0413 H5971 H0408 H3372 H3588 H5668 H5254

אֶתְכֶם בָּא הָאֱלֹהִים וּבַעֲבוּר תְּהִיֶה יִרְאָתוֹ עַל־
あなたがたを 来られた 神は また–～するために あるように その–畏れが ～の–上に
H0853 H0935 H0430 H1571 H5668 H1961 H3374 H5921

פְּנֵיכֶם לְבִלְתִּי תֶחֱטָאוּ׃
あなたがたの–顔の ～しないために 罪を–犯さ–
H6440 H1115 H2398

モーセは民に言った、「恐れてはならない。神はあなたがたを試みるため、またその恐れをあなたがたの目の前において、あなたがたが罪を犯さないようにするために臨まれたのである」。

21 וַיַּעֲמֹד הָעָם מֵרָחֹק וּמֹשֶׁה נִגַּשׁ אֶל־הָעֲרָפֶל אֲשֶׁר־
そして–立った 民は 遠くに しかし–モーセは 近づいた ～へ 濃い–雲に ～ところ–
H5975 H5971 H7350 H4872 H5066 H0413 H6205 H0834

שָׁם הָאֱלֹהִים׃ פ
おられた 神が (段落)
H8033 H0430

そこで、民は遠く離れて立ったが、モーセは神のおられる濃い雲に近づいて行った。

22 וַיֹּאמֶר יְהוָה אֶל־מֹשֶׁה כֹּה תֹאמַר אֶל־בְּנֵי יִשְׂרָאֵל
そして–言われた 主は ～に モーセに このように 言いなさい ～に 子らに イスラエルの
H0559 H3068 H0413 H4872 H3541 H0559 H0413 H1121 H3478

אַתֶּם רְאִיתֶם כִּי מִן־הַשָּׁמַיִם דִּבַּרְתִּי עִמָּכֶם׃
あなたがたは 見た ～ことを ～から 天から 語った あなたがたと
H7200 H3588 H4480 H8064 H1696 H5973

主はモーセに言われた、「あなたはイスラエルの人々にこう言いなさい、『あなたがたは、わたしが天からあなたがたと語るのを見た。

23 לֹא תַעֲשׂוּן אִתִּי וֵאלֹהֵי כֶסֶף וֵאלֹהֵי זָהָב לֹא תַעֲשׂוּ לָכֶם׃
ない 作ってはなら– また–神々を 銀の 神々を 金の ない 作ってはなら– わたしと–並べて
H3808 H6213 H0430 H3701 H0430 H2091 H3808 H6213 H0854

あなたがたはわたしと並べて、何をも造ってはならない。銀の神々も、金の神々も、あなたがたのために、造ってはならない。

24 מִזְבַּח אֲדָמָה תַּעֲשֶׂה־לִּי וְזָבַחְתָּ עָלָיו אֶת־עֹלֹתֶיךָ וְאֶת־שְׁלָמֶיךָ אֶת־צֹאנְךָ וְאֶת־בְּקָרֶךָ
祭壇を 土の 作りなさい– わたしに そして–ささげなさい その–上で (を) あなたの–全焼の–ささげ物と (を) あなたの–和解の–ささげ物と また(を) あなたの–羊と また(を) あなたの–牛を
H4196 H0127 H6213 H0853 H2076 H0853 H8002 H0853 H6629 H0853 H1241

בְּכָל־הַמָּקוֹם אֲשֶׁר אַזְכִּיר אֶת־שְׁמִי אָבוֹא אֵלֶיךָ וּבֵרַכְתִּיךָ׃
すべて–の 場所で ～した 覚えさせる (を) わたしの–名を 来る あなたの–もとに そして–祝福する
H3605 H4725 H0834 H2142 H0853 H8034 H0935 H0413 H1288

あなたはわたしのために土の祭壇を築き、その上にあなたの燔祭、酬恩祭、羊、牛をささげなければならない。わたしの名を覚えさせるすべての所で、わたしはあなたに臨んで、あなたを祝福するであろう。

25 וְאִם־מִזְבַּח אֲבָנִים תַּעֲשֶׂה־לִּי לֹא־תִבְנֶה אֶתְהֶן גָּזִית כִּי חַרְבְּךָ הֵנַפְתָּ עָלֶיהָ וַתְּחַלְלֶהָ׃
そして–もし– 祭壇を 石の 作るなら– わたしに ない– 築いてはなら– それらを 切り–石で なぜなら それの–上に 振り下ろせば あなたの–剣を 汚すことになる
H3588 H4196 H68 H6213 H3808 H1129 H853 H1496 H3588 H5130 H6419 H2719 H2490

あなたがもしわたしに石の祭壇を造るならば、切り石で築いてはならない。あなたがもし、のみをそれに当てるならば、それをけがすからである。

26 וְלֹא־תַעֲלֶה בְמַעֲלֹת עַל־מִזְבְּחִי אֲשֶׁר לֹא־תִגָּלֶה עֶרְוָתְךָ עָלָיו׃ פ
また–ない– 登ってはなら– 階段で ～の–上へ わたしの–祭壇の ～しないように ない– さらされ– その–上で (段落) あなたの–裸が
H3808 H5927 H4609 H5921 H4196 H834 H3808 H1540 H5921 H6172

あなたは階段によって、わたしの祭壇に登ってはならない。あなたの隠し所が、その上にあらわれることのないようにするためである』。

Chapter 21

1

וְאֵלֶּה	הַמִּשְׁפָּטִים	אֲשֶׁר	תָּשִׂים	לִפְנֵיהֶם׃
そして–これらが	定めである	～する	置きなさい	彼らの–前に
H0428	H4941			H6440

これはあなたが彼らの前に示すべきおきてである。

2

כִּי	תִקְנֶה	עֶבֶד	עִבְרִי	שֵׁשׁ	שָׁנִים	יַעֲבֹד	וּבַשְּׁבִעִת	יֵצֵא
もし	買うなら	僕を	ヘブル人の	六–	年間	仕える	そして–第七の–年に	出て行く
	H7069	H5650	H5680	H8337	H8141	H5647	H7637	H3318

לַחָפְשִׁי	חִנָּם׃
自由の–身となって	無償で
H2670	H2600

あなたがヘブルびとである奴隷を買う時は、六年のあいだ仕えさせ、七年目には無償で自由の身として去らせなければならない。

3

וְיָצְאָה	הִוא	אִשָּׁה	בָּעַל	אִם־	יֵצֵא	בְּנַפּוֹ	יָבֹא	בְּנַפּוֹ	אִם־
そして–出て行く	彼が	妻の	夫である	もし–	出て行く	独り身で	来たなら	独り身で	もし–
H3318	H1931	H0802	H1167		H3318	H1610	H0935	H1610	

עִמּוֹ׃	אִשְׁתּוֹ
共に	その–妻も
	H0802

彼がもし独身できたならば、独身で去らなければならない。もし妻を持っていたならば、その妻は彼と共に去らなければならない。

4

בָּנוֹת	אוֹ	בָּנִים	לוֹ	וְיָלְדָה־	אִשָּׁה	לוֹ	יִתֵּן־	אֲדֹנָיו	אִם־	
娘を	あるいは	息子を	彼に	そして–産むなら–	妻を	彼に	与えるなら–	その–主人が	もし–	
H1323				H3205	H0802		H5414	H0113		

בְּנַפּוֹ׃	יֵצֵא	וְהִוא	לַאדֹנֶיהָ	תִּהְיֶה	וְיָלְדֶיהָ	הָאִשָּׁה
独り身で	出て行く	しかし–彼は	主人の–ものと	なる	その–子どもたちは	妻と
H1610	H3318	H1931	H0113	H1961	H3206	H0802

もしその主人が彼に妻を与えて、彼に男の子また女の子を産んだならば、妻とその子供は主人のものとなり、彼は独身で去らなければならない。

5

אִשְׁתִּי	אֶת־	אֲדֹנִי	אֶת־	אָהַבְתִּי	הָעֶבֶד	יֹאמַר	אָמֹר	וְאִם־	
わが–妻を	(を)	わが–主人を	(を)	愛している	僕が	言うなら	言って	そして–もし–	
H0802	H0853	H0113	H0853	H0157	H5650	H0559	H0559		

חָפְשִׁי׃	אֵצֵא	לֹא	בָּנָי	וְאֶת־
自由の–身として	出て行か–	ない	わが–子どもたちを	また(を)
H2670	H3318	H3808		H0853

奴隷がもし『わたしは、わたしの主人と、わたしの妻と子供を愛します。わたしは自由の身となって去ることを好みません』と明言するならば、

6

הַדֶּלֶת	אֶל־	וְהִגִּישׁוֹ	הָאֱלֹהִים	אֶל־	אֲדֹנָיו	וְהִגִּישׁוֹ
戸の–もとへ	～へ	そして–連れて行く	神の	～の–前へ	その–主人が	そして–連れて行く
	H0413	H5066	H0430	H0413	H0113	H5066

וַעֲבָדוֹ	בַּמַּרְצֵעַ	אָזְנוֹ	אֶת־	אֲדֹנָיו	וְרָצַע	הַמְּזוּזָה	אֶל־	אוֹ
そして–仕える	錐で	その–耳を	(を)	その–主人が	そして–刺す	門柱の–もとへ	～へ	あるいは
H5647	H4836	H0241	H0853	H0113	H7527	H4201	H0413	

ס	לְעֹלָם׃
(段落)	永遠に
	H5769

その主人は彼を神のもとに連れて行き、戸あるいは柱のところに連れて行って、主人は、きりで彼の耳を刺し通さなければならない。そうすれば彼はいつまでもこれに仕えるであろう。

7

כִּבְצֵאת	תֵּצֵא	לֹא	לְאָמָה	בִּתּוֹ	אֶת־	אִישׁ	יִמְכֹּר	וְכִי־
～のように	出て行か–	ない	女の–僕として	その–娘を	(を)	人が	売るなら	そして–もし–
H3318	H3318	H3808	H0519	H1323	H0853	H0376	H4376	

הָעֲבָדִים׃
男の–僕たちが–出て行く
H5650

もし人がその娘を女奴隷として売るならば、その娘は男奴隷が去るように去ってはならない。

8

יְעָדָהּ	)לוֹ(	]לא[	אֲשֶׁר־	אֲדֹנֶיהָ	בְּעֵינֵי	רָעָה	אִם־	
定めた	(自分に)	[自分に]	～した–	その–主人の	目に	気に入らないなら	もし–	
H3259		H3808		H0113				

בָּהּ׃	בְּבִגְדוֹ־	לִמְכָּרָהּ	יִמְשֹׁל	לֹא־	נָכְרִי	לְעַם	וְהֶפְדָּהּ
彼女に	裏切った–ので	売る	権利がない–	ない–	異国の	民に	そして–贖い戻させる
	H0898	H4376	H4910	H3808	H5237		H6299

彼女がもし彼女を自分のものと定めた主人の気にいらない時は、その主人は彼女が、あがなわれることを、これに許さなければならない。彼はこれを欺いたのであるから、これを他国の民に売る権利はない。

9

לָהּ׃	יַעֲשֶׂה־	הַבָּנוֹת	כְּמִשְׁפָּט	יִיעָדֶנָּה	לִבְנוֹ	וְאִם־
彼女に	行う–	娘たちの	定めの–とおりに	定めるなら	その–息子に	そして–もし–
		H1323	H4941	H3259		

彼がもし彼女を自分の子のものと定めるならば、これを娘のように扱わなければならない。

10

לֹא	וְעֹנָתָהּ	כְּסוּתָהּ	שְׁאֵרָהּ	לוֹ	יִקָּח־	אַחֶרֶת	אִם־	
ない	彼女の–夫婦の–権利を	彼女の–衣服と	彼女の–食物と	彼に	娶るなら–	別の–女を	もし–	
H3808	H5772	H3682	H7607		H3947	H0312		

יִגְרָע׃
減らしてはなら–
H1639

彼が、たとい、ほかに女をめとることがあっても、前の女に食物と衣服を与えることと、その夫婦の道とを絶えさせてはならない。

11

אֵין	חִנָּם	וְיָצְאָה	לָהּ	יַעֲשֶׂה	לֹא	אֵלֶּה	שְׁלֹשׁ־	וְאִם־
ない	無償で	そして–出て行く	彼女に	行わないなら	ない	これらを	三つ–の	そして–もし–
H0369	H2600	H3318			H3808	H0428	H7969	

ס	כָּסֶף׃
(段落)	金も
	H3701

彼がもしこの三つを行わないならば、彼女は金を償わずに去ることができる。

יוּמָֽת׃	מוֹת	וָמֵ֖ת	אִ֥ישׁ	מַכֵּ֛ה	12
殺される	必ず	そして-死ぬなら	人を	打つ-者は	
H4191	H4191	H4191	H0376	H5221	

人を撃って死なせた者は、必ず殺されなければならない。

וְשַׂמְתִּ֥י	לְיָדֹ֖ו	אֲנָ֑ה	וְהָאֱלֹהִ֣ים	צִדָּ֔ה	לֹ֣א	וַאֲשֶׁר֙	13
そして-定める	その-手に	偶然に-起こした	しかし-神が	待ち伏せたのでは-	ない	しかし-〜の	
	H3027	H0579	H0430		H3808		

ס	שָֽׁמָּה׃	נָ֖וּס	אֲשֶׁ֥ר	מָקֹ֛ום	לְךָ֥
(段落)	そこに	逃げることのできる	〜する	場所を	あなたに
	H8033	H5127		H4725	

しかし、人がたくむことをしないのに、神が彼の手に人をわたされることのある時は、わたしはあなたのために一つの所を定めよう。彼はその所へのがれることができる。

מֵעִ֣ם	בְּעָרְמָ֔ה	לְהָרְגֹ֖ו	רֵעֵ֑הוּ	עַל־	אִ֣ישׁ	יָזִ֗ד	וְכִי־	14
〜からでも	奨計によって	殺すために	その-隣人に	〜に-対して	人が	たくらむなら	しかし-もし-	
	H6195	H2026	H7453		H0376	H2102		

ס	לָמֽוּת׃	תִּקָּחֶ֖נּוּ	מִזִּבְחִֽי	
(段落)	死ぬために	取りなさい	わたしの-祭壇からでも	
	H4191	H3947	H4196	

しかし人がもし、ことさらにその隣人を欺いて殺す時は、その者をわたしの祭壇からでも、捕えて行って殺さなければならない。

יוּמָֽת׃	מוֹת	וְאִמֹּ֖ו	אָבִ֥יו	וּמַכֵּ֛ה	15
殺される	必ず	また-その-母を	その-父を	また-打つ-者は	
H4191	H4191	H0517	H0001	H5221	

自分の父または母を撃つ者は、必ず殺されなければならない。

ס	יוּמָֽת׃	מוֹת	בְּיָדֹ֖ו	וְנִמְצָ֣א	וּמְכָר�ֹ֑ו	אִ֣ישׁ	וְגֹנֵ֗ב	16
(段落)	殺される	必ず	その-手に	そして-見つかったなら	そして-売り	人を	また-誘拐する-者は	
	H4191	H4191	H3027	H4672	H4376	H0376	H1589	

人をかどわかした者は、これを売っていても、なお彼の手にあっても、必ず殺されなければならない。

ס	יוּמָֽת׃	מוֹת	וְאִמֹּ֖ו	אָבִ֥יו	וּמְקַלֵּ֛ל	17
(段落)	殺される	必ず	また-その-母を	その-父を	また-呪う-者は	
	H4191	H4191	H0517	H0001	H7043	

自分の父または母をのろう者は、必ず殺されなければならない。

אֹ֥ו	בְּאֶבֶן	רֵעֵ֑הוּ	אֶת־	אִישׁ֙	וְהִכָּה־	אֲנָשִׁ֗ים	יְרִיבֻן֙	וְכִי־	18
あるいは	石で	その-仲間を	(を)	人が	そして-打つなら-	人々が	争うなら	そして-もし-	
	H0068	H7453	H0853	H0376	H5221	H0376	H7378		

לְמִשְׁכָּֽב׃	וְנָפַ֖ל	יָמ֥וּת	וְלֹ֛א	בְּאֶגְרֹ֥ף	
床に	しかし-倒れたなら	死な-	そして-ない	こぶしで	
H4904	H5307	H4191	H3808	H0106	

人が互に争い、そのひとりが石または、こぶしで相手を撃った時、これが死なないで床につき、

19 אִם־ יָקוּם וְהִתְהַלַּךְ בַּחוּץ עַל־ מִשְׁעַנְתּוֹ וְנִקָּה
もし– 起き上がり 外で 〜の–上で その–杖の そして–無罪となる
H5352

רַק הַמַּכֶּה יִתֵּן שִׁבְתּוֹ וְרַפֹּא יְרַפֵּא׃ ס
ただし 打った–者は 支払う その–休業の–補償を そして–必ず 癒す (段落)
H7535 H5221 H5414 H7674 H7495 H7495

再び起きあがって、つえにすがり、外を歩くようになるならば、これを撃った者は、ゆるされるであろう。ただその仕事を休んだ損失を償い、かつこれにじゅうぶん治療させなければならない。

20 וְכִי־ יַכֶּה אִישׁ אֶת־ עַבְדּוֹ אוֹ אֶת־ אֲמָתוֹ בַּשֵּׁבֶט
もし– そして– 打つなら 人が (を) その–男の–僕を あるいは (を) その–女の–僕を 棒で
H0853 H0376 H5221 H0853 H5650 H0853 H0519 H7626

וָמֵת תַּחַת יָדוֹ נָקֹם יִנָּקֵם׃
そして–死ぬなら 〜の–下で その–手の 必ず 復讐される
H4191 H8478 H3027 H5358 H5358

もし人がつえをもって、自分の男奴隷または女奴隷を撃ち、その手の下に死ぬならば、必ず罰せられなければならない。

21 אַךְ אִם־ יוֹם אוֹ יוֹמַיִם יַעֲמֹד לֹא יֻקָּם כִּי
ただし もし– 一日 あるいは 二日 生き延びるなら ない 罰せられ– なぜなら
H0389 H0518 H3117 H0176 H3117 H5975 H3808 H5358

כַּסְפּוֹ הוּא׃ ס
彼は その–財産である (段落)
H1931 H3701

しかし、彼がもし一日か、ふつか生き延びるならば、その人は罰せられない。奴隷は彼の財産だからである。

22 וְכִי־ יִנָּצוּ אֲנָשִׁים וְנָגְפוּ אִשָּׁה הָרָה וְיָצְאוּ יְלָדֶיהָ
そして–もし– 争うなら 人々が そして–当たるなら 女に 身ごもった そして–出るなら その–子が
H0376 H5062 H0802 H2029 H3318 H3206

וְלֹא יִהְיֶה אָסוֹן עָנוֹשׁ יֵעָנֵשׁ כַּאֲשֶׁר יָשִׁית עָלָיו בַּעַל הָאִשָּׁה
しかし–ない あるなら 害が 必ず 罰せられる 〜の–とおりに 課す 彼に 夫が その–女の
H3808 H1961 H0611 H6064 H6064 H7896 H5921 H1167 H0802

וְנָתַן בִּפְלִלִים׃
そして–支払う 裁定人の–定めによって
H5414 H6414

もし人が互に争って、身ごもった女を撃ち、これに流産させるならば、ほかの害がなくとも、彼は必ずその女の夫の求める罰金を課せられ、裁判人の定めるとおりに支払わなければならない。

23 וְאִם־ אָסוֹן יִהְיֶה וְנָתַתָּה נֶפֶשׁ תַּחַת נָפֶשׁ׃
そして–もし– 害が あるなら 与える そして– 命を 〜の–代わりに 命の
H0611 H1961 H5414 H5315 H8478 H5315

しかし、ほかの害がある時は、命には命、

24 עַיִן תַּחַת עַיִן שֵׁן תַּחַת שֵׁן יָד תַּחַת יָד רֶגֶל תַּחַת רָגֶל׃
目を 〜の–代わりに 目の 歯を 〜の–代わりに 歯の 手を 〜の–代わりに 手の 足を 〜の–代わりに 足の
H5869 H8478 H5869 H8127 H8478 H8127 H3027 H8478 H3027 H7272 H8478 H7272

目には目、歯には歯、手には手、足には足、

חַבּוּרָה׃	תָּחַת	חַבּוּלָה	פָּצַע	תָּחַת	פָּצַע	כְּוִיָּה	תָּחַת	כְּוִיָּה	25
打ち傷の	～の-代わりに	打ち傷を	傷の	～の-代わりに	傷を	火傷の	～の-代わりに	火傷を	
H2250	H8478	H2250	H6482	H8478	H6482	H3555	H8478	H3555	

ס
(段落)

焼き傷には焼き傷、傷には傷、打ち傷には打ち傷をもって償わなければならない。

עַיִן	אֶת־	אוֹ־	עַבְדּוֹ	עַיִן	אֶת־	אִישׁ	יַכֶּה	וְכִי־	26
目を	(を)	あるいは-	その-男の-僕の	目を	(を)	人が	打つなら	そして-もし-	
	H0853		H5650		H0853	H0376	H5221		

ס	עֵינוֹ׃	תָּחַת	יְשַׁלְּחֶנּוּ	לַחָפְשִׁי	וְשִׁחֲתָה	אֲמָתוֹ	
(段落)	その-目の	～の-代わりに	去らせる	自由の-身として	そして-損なうなら	その-女の-僕の	
		H8478	H7971	H2670	H7843	H0519	

もし人が自分の男奴隷の片目、または女奴隷の片目を撃ち、これをつぶすならば、その目のためにこれを自由の身として去らせなければならない。

לַחָפְשִׁי	יַפִּיל	אֲמָתוֹ	שֵׁן	אוֹ־	עַבְדּוֹ	שֵׁן	וְאִם־	27
自由の-身として	折るなら	その-女の-僕の	歯を	あるいは-	その-男の-僕の	歯を	そして-もし-	
H2670	H5307	H0519	H8127		H5650	H8127		

פ	שִׁנּוֹ׃	תָּחַת	יְשַׁלְּחֶנּוּ
(段落)	その-歯の	～の-代わりに	去らせる
	H8127	H8478	H7971

また、もしその男奴隷の一本の歯、またはその女奴隷の一本の歯を撃ち落すならば、その歯のためにこれを自由の身として去らせなければならない。

סָקוֹל	וָמֵת	אִשָּׁה	אֶת־	אוֹ	אִישׁ	אֶת־	שׁוֹר	יִנַּח	וְכִי־	28
必ず	そして-死ぬなら	女を	(を)	あるいは	男を	(を)	牛が	突くなら	そして-もし-	
H5619	H4191	H0802	H0853		H0376	H0853	H7794	H5055		

הַשּׁוֹר	וּבְעַל	בְּשָׂרוֹ	אֶת־	יֵאָכֵל	וְלֹא	הַשּׁוֹר	יִסָּקֵל	
その-牛の	しかし-持ち主は	その-肉を	(を)	食べてはなら-	そして-ない	その-牛は	石で-打たれる	
H7794	H1167	H1320	H0853	H0398	H3808	H7794	H5619	

נָקִֽי׃
無罪である

もし牛が男または女を突いて殺すならば、その牛は必ず石で撃ち殺されなければならない。その肉は食べてはならない。しかし、その牛の持ち主は罪がない。

וְהוּעַד	שִׁלְשֹׁם	מִתְּמֹל	הוּא	נַגָּח	שׁוֹר	וְאִם	29
そして-警告されたのに	繰り返し	以前から	それが	突く-癖のある	牛が	そして-もし	
	H8032	H8543	H1931	H5056	H7794		

הַשּׁוֹר	אִשָּׁה	אוֹ	אִישׁ	וְהֵמִית	יִשְׁמְרֶנּוּ	וְלֹא	בְּבְעָלָיו	
その-牛は	女を	あるいは	男を	そして-殺したなら	管理しなかった-	そして-ない	その-持ち主に	
H7794	H0802		H0376	H4191	H8104	H3808	H1167	

יוּמָֽת׃	בְּעָלָיו	וְגַם־	יִסָּקֵל	
殺される	その-持ち主も	そして-また-	石で-打たれる	
H4191	H1167	H1571	H5619	

牛がもし以前から突く癖があって、その持ち主が注意されても、これを守りおかなかったために、男または女を殺したならば、その牛は石で撃ち殺され、その持ち主もまた殺されなければならない。

30

כֹּ֖כֶל	נַפְשׁ֑וֹ	פִּדְי֣וֹן	וְנָתַ֔ן	עָלָ֖יו	יוּשַׁ֥ת	כֹּ֛פֶר	אִם־
すべて-の-とおりに	その-命の	身代金を	そして-支払う	彼に	課されるなら	购い金が	もし-
H3605	H5315		H5414		H7896		

עָלָֽיו׃	יוּשַׁ֥ת	אֲשֶׁר־
彼に	課された	～した-
	H7896	

彼がもし、あがないの金を課せられたならば、すべて課せられたほどのものを、命の償いに支払わなければならない。

31

לֽוֹ׃	יֵעָשֶׂ֖ה	הַזֶּ֑ה	כַּמִּשְׁפָּ֣ט	יִגַּ֔ח	בַּ֥ת	אוֹ־	יִגַּ֖ח	בֵּ֛ן	אוֹ־
彼に	行われる	この	定めの-とおりに	突いても	娘を	あるいは-	突いても	息子を	あるいは-
	H2088		H4941	H5055	H1323		H5055		

男の子を突いても、女の子を突いても、この定めに従って処置されなければならない。

32

יִתֵּ֣ן	שְׁקָלִ֗ים	שְׁלֹשִׁ֤ים	וְכֶ֙סֶף֙	אָמָ֣ה	אוֹ	הַשּׁ֔וֹר	יִגַּ֖ח	עֶ֣בֶד	אִם־
支払う	シェケル	三十-	銀を	女の-僕を	あるいは	その-牛が	突くなら	僕を	もし-
H5414	H8255	H7970	H3701	H0519		H7794	H5055	H5650	

ס	יִסָּקֵ֑ל׃	וְהַשּׁ֔וֹר	לַאדֹנָ֖יו
(段落)	石で-打たれる	そして-その-牛は	その-主人に
	H5619	H7794	H0113

牛がもし男奴隷または女奴隷を突くならば、その主人に銀三十シケルを支払わなければならない。またその牛は石で撃ち殺されなければならない。

33

וְלֹ֣א	בֹ֔ר	אִ֖ישׁ	יִכְרֶ֣ה	כִּֽי־	אֽוֹ	בּ֔וֹר	אִ֖ישׁ	יִפְתַּ֣ח	וְכִֽי־
そして-ない	穴を	人が	掘るなら	もし-	あるいは	穴を	人が	開けるなら	そして-もし-
H3808		H0376					H0376		

חֲמֽוֹר׃	אֽוֹ	שׁ֔וֹר	שָׁמָּ֖ה	וְנָפַ֣ל־	יְכַסֶּ֑נּוּ	
ろばが	あるいは	牛が	そこに	そして-落ちるなら-	覆わないなら-	
H2543		H7794	H8033	H5307	H3680	

もし人が穴をあけたままに置き、あるいは穴を掘ってこれにおおいをしないために、牛または、ろばがこれに落ち込むことがあれば、

34

יְהִיֶ֣ה־	וְהַמֵּ֔ת	לִבְעָלָ֖יו	יָשִׁ֑יב	כֶּ֚סֶף	יְשַׁלֵּ֣ם	הַבּ֣וֹר	בָּעַ֣ל	
なる-	そして-死んだ-ものは	その-持ち主に	返す	金を	償う	その-穴の	持ち主は	
H1961	H4191	H1167	H7725	H3701			H1167	

ס	לֽוֹ׃	
(段落)	彼の-ものと	

穴の持ち主はこれを償い、金をその持ち主に支払わなければならない。しかし、その死んだ獣は彼のものとなるであろう。

35

אֶת־	וּמָכְר֣וּ	וָמֵ֔ת	רֵעֵ֖הוּ	שׁ֣וֹר	אֶת־	אִ֥ישׁ	שׁ֖וֹר־	נָגַ֑ף	וְכִֽי־	
(を)	そして-売る	そして-死ぬなら	隣人の	牛を	(を)	人の	牛が-	突くなら	そして-もし-	
H0853	H4376	H4191	H7453	H7794	H0853	H0376	H7794	H5062		

יֶחֱצ֥וּן׃	הַמֵּ֖ת	אֶת־	וְגַ֣ם	כַּסְפּ֑וֹ	אֶת־	וְחָצ֥וּ	הַחַ֖י	הַשּׁ֥וֹר
分ける	死んだ-ものも	(を)	そして-また	その-代金を	(を)	そして-分ける	生きている	牛を
H2673	H4191	H0853	H1571	H3701	H0853	H2673		H7794

ある人の牛が、もし他人の牛を突いて殺すならば、彼らはその生きている牛を売って、その価を分け、またその死んだものをも分けなければならない。

שִׁלְשֹׁם	מִתְּמֹל	הוּא	נַגָּח	שׁוֹר	כִּי	נוֹדַע	אוֹ	36
繰り返し	以前から	それが	突く–癖のある	牛が	～ことが	知られていたなら	あるいは	
H8032	H8543	H1931	H5056	H7794		H3045		

הַשּׁוֹר	תָּחַת	שׁוֹר	יְשַׁלֵּם	שַׁלֵּם	בְּעָלָיו	יִשְׁמְרֶנּוּ	וְלֹא
その–牛の	～の–代わりに	牛を	償う	必ず	その–持ち主が	管理しなかった–	そして–ない
H7794	H8478	H7794			H1167	H8104	H3808

ס	לוֹ׃	יִהְיֶה־	וְהַמֵּת
(段落)	彼の–ものと	なる–	そして–死んだ–ものは
		H1961	H4191

あるいはその牛が以前から突く癖のあることが知られているのに、その持ち主がこれを守りおかなかったならば、その人は必ずその牛のために牛をもって償わなければならない。しかし、その死んだ獣は彼のものとなるであろう。

Chapter 22

חֲמִשָּׁה	מְכָרוֹ	אוֹ	וּטְבָחוֹ	שֶׂה	אוֹ־	שׁוֹר	אִישׁ	יִגְנֹב־	כִּי	1
五–	売ったなら	あるいは	そして–屠ったり	羊を	あるいは–	牛を	人が	盗むなら–	もし	
H2568	H4376		H2873	H7716		H7794	H0376	H1589		

הַשֶּׂה׃	תָּחַת	צֹאן	וְאַרְבַּע־	הַשּׁוֹר	תָּחַת	יְשַׁלֵּם	בָּקָר
その–羊の	～の–代わりに	匹の–羊を	また–四–	その–牛の	～の–代わりに	償う	頭の–牛を
H7716	H8478	H6629	H0702	H7794	H8478		H1241

もし人が牛または羊を盗んで、これを殺し、あるいはこれを売るならば、彼は一頭の牛のために五頭の牛をもって、一頭の羊のために四頭の羊をもって償わなければならない。

דָּמִים׃	לוֹ	אֵין	וָמֵת	וְהֻכָּה	הַגַּנָּב	יִמָּצֵא	בַּמַּחְתֶּרֶת	אִם־	2
血の–責任は	彼に	ない	死ぬなら	そして–打たれて	盗人が	見つかるなら	侵入の–最中に	もし–	
H1818		H0369	H4191	H5221	H1590	H4672	H4290		

もし盗びとが穴をあけてはいるのを見て、これを撃って殺したときは、その人には血を流した罪はない。

אֵין	אִם־	יְשַׁלֵּם	שַׁלֵּם	לוֹ	דָּמִים	עָלָיו	הַשֶּׁמֶשׁ	זָרְחָה	אִם־	3
ないなら	もし–	償う	必ず	彼に	血の–責任がある	彼の–上に	太陽が	昇ったなら	もし–	
H0369					H1818		H8121	H2224		

בְּגֵנְבָתוֹ׃	וְנִמְכַּר	לוֹ
その–盗んだ–物の–ために	そして–売られる	彼に
H1591	H4376	

彼は必ず償わなければならない。もし彼に何もない時は、彼はその盗んだ物のために身を売られるであろう。しかし日がのぼって後ならば、その人に血を流した罪がある。

עַד־	חֲמוֹר	עַד־	מִשּׁוֹר	הַגְּנֵבָה	בְּיָדוֹ	תִּמָּצֵא	הִמָּצֵא	אִם־	4
～まで	ろばまで	～まで	牛から	盗んだ–物が	その–手に	見つかるなら	見つかって	もし–	
H5704	H2543	H5704	H7794	H1591	H3027	H4672	H4672		

ס	יְשַׁלֵּם׃	שְׁנָיִם	חַיִּים	שֶׂה
(段落)	償う	二倍を	生きているなら	羊まで
		H8147		H7716

もしその盗んだ物がなお生きて、彼の手もとにあれば、それは牛、ろば、羊のいずれにせよ、これを二倍にして償わなければならない。

5	כִּי	יַבְעֶר־	אִישׁ	שָׂדֶה	אוֹ־	כֶּרֶם	וְשִׁלַּח	אֶת־	]בעירה[
	もし	荒らすなら–	人が	畑を	あるいは–	ぶどう畑を	そして–放したなら	(を)	[その–家畜を]
		H3754	H0376			H3754	H7971	H0853	H1165

וּבְעֵר	בִּשְׂדֵה	אַחֵר	מֵיטַב	שָׂדֵהוּ	וּמֵיטַב	
そして–食い荒らすなら	畑で	他人の	最良の–もので	その–畑の	また–最良の–もので	
H3754		H0312	H4315		H4315	

כַּרְמוֹ	יְשַׁלֵּם׃	ס	
その–ぶどう畑の	償う	(段落)	
H3754			

もし人が畑またはぶどう畑のものを食わせ、その家畜を放って他人の畑のものを食わせた時は、自分の畑の最も良い物と、ぶどう畑の最も良い物をもって、これを償わなければならない。

6	כִּי־	תֵצֵא	אֵשׁ	וּמָצְאָה	קֹצִים	וְנֶאֱכַל	גָּדִישׁ	אוֹ	
	もし–	出るなら	火が	そして–燃え移り	いばらに	そして–焦がすなら	積み–わらを	あるいは	
		H3318	H0784	H4672	H6975	H0398			

הַקָּמָה	אוֹ	הַשָּׂדֶה	שַׁלֵּם	יְשַׁלֵּם	הַמַּבְעֵר	אֶת־	הַבְּעֵרָה׃	ס
立ち–穂を	あるいは	畑を	必ず	償う	火を–放った–者が	(を)	その–火事を	(段落)
H7054						H0853	H1200	

もし火が出て、いばらに移り、積みあげた麦束、または立穂、または畑を焼いたならば、その火を燃やした者は、必ずこれを償わなければならない。

7	כִּי־	יִתֵּן	אִישׁ	אֶל־	רֵעֵהוּ	כֶּסֶף	אוֹ־	כֵּלִים	לִשְׁמֹר
	もし–	預けるなら	人が	～に	隣人に	金を	あるいは–	家財道具を	保管するために
		H5414	H0376	H0413	H7453	H3701		H3627	H8104

וְנֻגַּב	מִבֵּית	הָאִישׁ	אִם־	יִמָּצֵא	הַגַּנָּב	יְשַׁלֵּם	שְׁנָיִם׃
そして–盗まれたなら	家から	その–人の	もし–	見つかるなら	盗人が	償う	二倍を
H1589		H0376		H4672	H1590		H8147

もし人が金銭または物品の保管を隣人に託し、それが隣人の家から盗まれた時、その盗びとが見つけられたならば、これを二倍にして償わせなければならない。

8	אִם־	לֹא	יִמָּצֵא	הַגַּנָּב	וְנִקְרַב	בַּעַל־	הַבַּיִת	אֶל־	הָאֱלֹהִים
	もし–	ない	見つからないなら–	盗人が	そして–近づく	持ち主が–	家の	～の–前へ	神の
	H3808	H4672		H1590	H7126	H1167		H0413	H0430

רֵעֵהוּ׃	בְּמִלֶּאכֶת	יָדוֹ	שָׁלַח	לֹא	אִם־
隣人の	持ち物に	(を)	手を–伸ばして–	ない	もし–
H7453	H4399	H3027	H7971	H3808	

もし盗びとが見つけられなければ、家の主人を神の前に連れてきて、彼が隣人の持ち物に手をかけたかどうかを、確かめなければならない。

9

חֲמוֹר
ろばについて
H2543

עַל־
〜について–

שׁוֹר
牛について
H7794

עַל־
〜について–

פֶּשַׁע
違反の
H6588

דְּבַר־
事–
H1697

כָּל־
すべて–の
H3605

עַל־
〜について–

אֲבֵדָה
失われた–物について
H0009

כָּל־
すべて–の
H3605

עַל־
〜について–

שַׂלְמָה
衣服について
H8008

עַל־
〜について–

שֶׂה
羊について
H7716

עַל־
〜について–

אֲשֶׁר
〜した

שְׁנֵיהֶם
両者の
H8147

דְּבַר־
事柄が–
H1697

יָבֹא
来る
H0935

הָאֱלֹהִים
神の–前に
H0430

עַד
〜まで
H5704

זֶה
それであると
H2088

הוּא
これが
H1931

כִּי־
〜ことを–

יֹאמַר
言う
H0559

אֲשֶׁר
〜する

סּ
(段落)

לְרֵעֵהוּ׃
その–隣人に
H7453

שְׁנַיִם
二倍を
H8147

יְשַׁלֵּם
償う

אֱלֹהִים
神が
H0430

יַרְשִׁיעֻן
有罪とする
H7561

牛であれ、ろばであれ、羊であれ、衣服であれ、あるいはどんな失った物であれ、それについて言い争いが起り『これがそれです』と言う者があれば、その双方の言い分を、神の前に持ち出さなければならない。そして神が有罪と定められる者は、それを二倍にしてその相手に償わなければならない。

10

שֶׂה
羊を
H7716

אוֹ־
あるいは–

שׁוֹר
牛を
H7794

אוֹ־
あるいは–

חֲמוֹר
ろばを
H2543

רֵעֵהוּ
隣人に
H7453

אֶל־
〜に

אִישׁ
人が
H0376

יִתֵּן
預けるなら
H5414

כִּי־
もし–

אוֹ־
あるいは–

נִשְׁבָּר
傷ついたり

אוֹ־
あるいは–

וּמֵת
そして–死んだり
H4191

לִשְׁמֹר
保管するために
H8104

בְּהֵמָה
家畜を
H0929

וְכָל־
また–すべて–の
H3605

רֹאֶה׃
見た–者が

אֵין
ないなら
H0369

נִשְׁבָּה
奪われたりして
H7617

もし人が、ろば、または牛、または羊、またはどんな家畜でも、それを隣人に預けて、それが死ぬか、傷つくか、あるいは奪い去られても、それを見た者がなければ、

11

בִּמְלֶאכְתּ
持ち物に
H4399

יָדוֹ
(を)
H3027

שָׁלַח
手を–伸ばしたのでは–
H7971

לֹא
ない
H3808

אִם־
もし–

שְׁנֵיהֶם
両者の
H8147

בֵּין
〜の–間に
H0996

תִּהְיֶה
ある
H1961

יְהוָה
主の
H3068

שְׁבֻעַת
誓いが
H7621

יְשַׁלֵּם׃
償わ–

וְלֹא
そして–ない
H3808

בְּעָלָיו
その–持ち主が
H1167

וְלָקַח
そして–受け入れる
H3947

רֵעֵהוּ
隣人の
H7453

双方の間に、隣人の持ち物に手をかけなかったという誓いが、主の前になされなければならない。そうすれば、持ち主はこれを受け入れ、隣人は償うに及ばない。

12

לִבְעָלָיו׃
その–持ち主に
H1167

יְשַׁלֵּם
償う

מֵעִמּוֹ
彼から

יִגָּנֵב
盗まれたなら
H1589

גָּנֹב
盗まれて
H1589

וְאִם־
そして–もし–

けれども、それがまさしく自分の所から盗まれた時は、その持ち主に償わなければならない。

13

לֹא
ない
H3808

הַטְּרֵפָה
引き裂かれた–ものは
H2966

עֵד
証拠として
H5707

יְבִיאֵהוּ
持って来る
H0935

יִטָּרֵף
引き裂かれたなら
H2963

טָרֹף
引き裂かれて
H2963

אִם־
もし–

פּ
(段落)

יְשַׁלֵּם׃
償わ–

もしそれが裂き殺された時は、それを証拠として持って来るならば、その裂き殺されたものは償うに及ばない。

14 וְכִי־ יִשְׁאַל אִישׁ מֵעִם רֵעֵהוּ וְנִשְׁבַּר אוֹ־ מֵת
וְכִי־ そして-もし-
יִשְׁאַל 借りるなら H7592
אִישׁ 人が H0376
מֵעִם ～から
רֵעֵהוּ 隣人から H7453
וְנִשְׁבַּר そして-傷ついたり H7665
אוֹ־ あるいは-
מֵת 死んだなら H4191

בְּעָלָיו אֵין־ עִמּוֹ שָׁלֵם יְשַׁלֵּם׃
בְּעָלָיו その-持ち主が H1167
אֵין־ いない- H0369
עִמּוֹ 共に
שָׁלֵם 必ず
יְשַׁלֵּם׃ 償う

もし人が隣人から家畜を借りて、それが傷つき、または死ぬ場合、その持ち主がそれと共にいない時は、必ずこれを償わなければならない。

15 אִם־ בְּעָלָיו עִמּוֹ לֹא יְשַׁלֵּם אִם־ שָׂכִיר הוּא בָּא בִּשְׂכָרוֹ׃ ס
אִם־ もし- H0518
בְּעָלָיו その-持ち主が H1167
עִמּוֹ 共に-いたなら
לֹא ない H3808
יְשַׁלֵּם 償わ- H7999
אִם־ もし- H0518
שָׂכִיר 雇い-物であるなら H7916
הוּא それは H1931
בָּא 含まれる H0935
בִּשְׂכָרוֹ׃ その-賃計の-中に H7939
ס (段落)

もしその持ち主がそれと共におれば、それを償うに及ばない。もしそれが賃借りしたものならば、その借賃をそれに当てなければならない。

16 וְכִי־ יְפַתֶּה אִישׁ בְּתוּלָה אֲשֶׁר־ לֹא אֹרָשָׂה וְשָׁכַב
וְכִי־ そして-もし-
יְפַתֶּה 誘惑するなら
אִישׁ 人が H0376
בְּתוּלָה おとめを H1330
אֲשֶׁר־ ～する
לֹא- ない- H3808
אֹרָשָׂה 婚約されていない- H0781
וְשָׁכַב そして-寝たなら H7901

עִמָּהּ מָהֹר יִמְהָרֶנָּה לְוֹ לְאִשָּׁה׃
עִמָּהּ 彼女と
מָהֹר 花嫁-金を H4117
יִמְהָרֶנָּה 支払う H4117
לְוֹ 彼に
לְאִשָּׁה׃ 妻として H0802

もし人がまだ婚約しない処女を誘って、これと寝たならば、彼は必ずこれに花嫁料を払って、妻としなければならない。

17 אִם־ מָאֵן יְמָאֵן אָבִיהָ לְתִתָּהּ כֶּסֶף יִשְׁקֹל כְּמֹהַר הַבְּתוּלֹת׃ ס
אִם־ もし-
מָאֵן 拒んで H3985
יְמָאֵן 拒むなら H3985
אָבִיהָ 彼女の-父が H0001
לְתִתָּהּ 与えることを H5414
לְוֹ 彼に
כֶּסֶף 金を H3701
יִשְׁקֹל 支払う H8254
כְּמֹהַר ～の-とおりに H4119
הַבְּתוּלֹת׃ おとめの-花嫁-金の H1330
ס (段落)

もしその父がこれをその人に与えることをかたく拒むならば、彼は処女の花嫁料に当るほどの金を払わなければならない。

18 מְכַשֵּׁפָה לֹא תְחַיֶּה׃ ס
מְכַשֵּׁפָה 魔女を H3784
לֹא ない H3808
תְחַיֶּה׃ 生かしておいてはなら- H2421
ס (段落)

魔法使の女は、これを生かしておいてはならない。

19 כָּל־ שֹׁכֵב עִם־ בְּהֵמָה מוֹת יוּמָת׃ ס
כָּל־ すべて- H3605
שֹׁכֵב 寝る-者は H7901
עִם־ ～と
בְּהֵמָה 獣と H0929
מוֹת 必ず H4191
יוּמָת׃ 殺される H4191
ס (段落)

すべて獣を犯す者は、必ず殺されなければならない。

20 זֹבֵחַ לָאֱלֹהִים יָחֳרָם בִּלְתִּי לַיהוָה לְבַדּוֹ׃
זֹבֵחַ ささげる-者は H2076
לָאֱלֹהִים 神々に H0430
יָחֳרָם 滅ぼされる
בִּלְתִּי ただし H1115
לַיהוָה 主に-のみ H3068
לְבַדּוֹ׃ ささげる H0905

主のほか、他の神々に犠牲をささげる者は、断ち滅ぼされなければならない。

21 וְגֵר לֹא־ תוֹנֶה וְלָ֣א תִלְחָצֶ֑נּוּ כִּי־ גֵרִים הֱיִיתֶם
そして–寄留者を ない– 虐げてはなら– また–ない しいたげてはなら– なぜなら– 寄留者で あった
H1616 H3808 H3238 H3808 H3905 H1961

בְּאֶ֖רֶץ מִצְרָֽיִם׃
地で エジプトの
H0776 H4714

あなたは寄留の他国人を苦しめてはならない。また、これをしえたげてはならない。あなたがたも、かつてエジプトの国で、寄留の他国人であったからである。

22 כָּל־ אַלְמָנָה וְיָת֖וֹם לֹ֥א תְעַנּֽוּן׃
すべて– やもめと また–みなしごを ない 苦しめてはなら–
H3605 H0490 H3490 H3808

あなたがたはすべて寡婦、または孤児を悩ましてはならない。

23 אִם־ עַנֵּ֣ה תְעַנֶּ֔ה אֹת֖וֹ כִּ֣י אִם־ צָעֹ֣ק יִצְעַ֣ק אֵלַ֑י שָׁמֹ֥עַ אֶשְׁמַ֖ע צַעֲקָתֽוֹ׃
もし– 苦しめて 苦しめるなら 彼を なぜなら もし– 叫んで 叫ぶなら わたしに 必ず その–叫びを 聞く
H0776 H6818 H8085 H0413 H6817 H6817 H0853 H0413 H8085

もしあなたが彼らを悩まして、彼らがわたしにむかって叫ぶならば、わたしは必ずその叫びを聞くであろう。

24 וְחָרָ֤ה אַפִּי֙ וְהָרַגְתִּ֣י אֶתְכֶ֔ם בֶּחָ֖רֶב וְהָי֥וּ נְשֵׁיכֶ֖ם אַלְמָנ֑וֹת וּבְנֵיכֶ֖ם יְתֹמִֽים׃ פ
そして–燃える わたしの–怒りが そして–殺す あなたがたを 剣で そして–なる やもめに あなたがたの–妻たちは また–あなたがたの–子らは みなしごに (段落)
H2734 H0639 H2026 H0853 H2719 H1961 H0490 H0802 H3490

そしてわたしの怒りは燃えたち、つるぎをもってあなたがたを殺すであろう。あなたがたの妻は寡婦となり、あなたがたの子供たちは孤児となるであろう。

25 אִם־ כֶּ֣סֶף תַּלְוֶ֗ה אֶת־ עַמִּי֙ אֶת־ הֶעָנִ֣י עִמָּ֔ךְ לֹא־ תִהְיֶ֥ה לוֹ֙ כְּנֹשֶׁ֔ה לֹא־ תְשִׂימוּן־ עָלָ֖יו נֶֽשֶׁךְ׃
もし– 金を 貸すなら (を) わたしの–民に (を) 貧しい–者に あなたと–共にいる ない– なってはなら– 彼に–対して 取り立て人の–ように ない– 課してはなら– 彼に 利子を
H3808 H3701 H5383 H3808 H0853 H6041 H0853 H0853 H5392

あなたが、共におるわたしの民の貧しい者に金を貸す時は、これに対して金貸しのようになってはならない。これから利子を取ってはならない。

26 אִם־ חָבֹ֤ל תַּחְבֹּל֙ שַׂלְמַ֣ת רֵעֶ֔ךָ עַד־ בֹּ֥א הַשֶּׁ֖מֶשׁ תְּשִׁיבֶ֥נּוּ לֽוֹ׃
もし– 取って 取るなら 上着を 隣人の 沈む–ときに 太陽が 返しなさい 彼に
H8008 H7453 H5704 H0935 H8121 H7725

もし隣人の上着を質に取るならば、日の入るまでにそれを返さなければならない。

27

לְעֹרֹו	שִׂמְלָתֹו	הִוא	לְבַדָּהּ	(כְּסוּתוֹ)	[כסותה]	הֶוא	כִּי
その–肌の–ための	その–衣服である	それは	唯一の	(彼の–覆い)	[彼女の–覆い]	それは	なぜなら
H5785	H8071	H1931	H0905	H3682	H3682	H1931	

חַנּוּן	כִּי־	וְשָׁמַעְתִּי	אֵלַי	יִצְעַק	כִּי־	וְהָיָה	יִשְׁכָּב	בַּמֶּה
憐れみ深い	なぜなら–	そして–聞く	わたしに	叫ぶなら	もし–	そして–ある	寝るのか	何で
H2587		H8085	H0413	H6817		H1961	H7901	H4100

ס	אֲנִי׃
(段落)	わたしは
	H0589

これは彼の身をおおう、ただ一つの物、彼の膚のための着物だからである。彼は何を着て寝ることができよう。彼がわたしにむかって叫ぶならば、わたしはこれに聞くであろう。わたしはあわれみ深いからである。

28

תָּאֹר׃	לֹא	בְעַמְּךָ	וְנָשִׂיא	תְקַלֵּל	לֹא	אֱלֹהִים
呪ってはなら–	ない	あなたの–民の–中の	また–指導者を	呪ってはなら–	ない	神を
H0779	H3808			H7043	H3808	H0430

あなたは神をののしってはならない。また民の司をのろってはならない。

29

בְּכֹור	תְּאַחֵר	לֹא	וְדִמְעֲךָ	מְלֵאָתְךָ	
初子を	遅らせてはなら–	ない	あなたの–搭り–たる–ものを	あなたの–満ちた–収穫と	
H1060	H0309	H3808	H1831	H4395	

לִי׃	תִּתֶּן־	בְּנֶיךָ
わたしに	与えなさい–	あなたの–息子たちの
	H5414	

あなたの豊かな穀物と、あふれる酒とをささげるに、ためらってはならない。あなたのういごを、わたしにささげなければならない。

30

עִם־	יִהְיֶה	יָמִים	שִׁבְעַת	לְצֹאנְךָ	לִשְׁרֶךָ	תַּעֲשֶׂה	כֵּן־
～と–共に	いる	日間	七–	あなたの–羊にも	あなたの–牛にも	しなさい	同じように–
	H1961	H3117	H7651	H6629	H7794		

לִי׃	תִּתְּנוֹ־	הַשְּׁמִינִי	בַּיּוֹם	אִמּוֹ
わたしに	与えなさい–	第八の	日に	その–母と
	H5414	H8066	H3117	H0517

あなたはまた、あなたの牛と羊をも同様にしなければならない。七日の間その母と共に置いて、八日目にそれをわたしに、ささげなければならない。

31

לֹא	טְרֵפָה	בַּשָּׂדֶה	וּבָשָׂר	לִי	תִּהְיוּן	קֹדֶשׁ	וְאַנְשֵׁי־
ない	引き裂かれた	野で	また–肉を	わたしにとって	なりなさい	聖なる	また–人々として–
H3808	H2966		H1320		H1961	H6944	H0376

ס	אֹתוֹ׃	תַּשְׁלִכוּן	לַכֶּלֶב	תֹּאכְלוּ
(段落)	それを	投げなさい	犬に	食べてはなら–
	H0853	H7993	H3611	H0398

あなたがたは、わたしに対して聖なる民とならなければならない。あなたがたは、野で裂き殺されたものの肉を食べてはならない。それは犬に投げ与えなければならない。

Chapter 23

רָשָׁע	עִם־	יָדְךָ֙	תָּשֶׁת	אַל־	שָׁוְא	שָׁמַע	תִּשָּׂא	לֹ֣א	1
悪人と	～と–共に	あなたの–手を	置いてはなら–	～する–な	偶りの	報告を	広めてはなら–	ない	
H7563		H3027	H7896	H0408	H7723		H5375	H3808	

ס	חָמָֽס׃	עֵ֖ד	לִֽהְיֹ֥ת
(段落)	暴力の	証人と	なるために
	H2555	H5707	H1961

あなたは偽りのうわさを言いふらしてはならない。あなたは悪人と手を携えて、悪意のある証人になってはならない。

תַּעֲנֶ֔ה	וְלֹא־	לְרָעֹ֖ת	רַבִּ֑ים	אַחֲרֵי־	תִּהְיֶ֣ה	לֹא־	2
証言してはなら–	また–ない–	悪を–行うために	多数の	～の–後に–	従ってはなら–	ない–	
	H3808				H1961	H3808	

לְהַטֹּ֥ת׃	רַבִּ֖ים	אַחֲרֵ֣י	לִנְטֹ֔ת	רִ֣ב	עַל־
曲げるために	多数の	～の–後に	曲げるために	争いに	～について
H5186			H5186	H7379	

あなたは多数に従って悪をおこなってはならない。あなたは訴訟において、多数に従って片寄り、正義を曲げるような証言をしてはならない。

ס	בְּרִיבֽוֹ׃	תֶּהְדַּ֖ר	לֹ֣א	וְדָ֔ל	3
(段落)	その–争いにおいて	ひいきしてはなら–	ない	また–貧しい–者を	
	H7379	H1921	H3808	H1800	

また貧しい人をその訴訟において、曲げてかばってはならない。

תְּשִׁיבֶ֖נּוּ	הָשֵׁ֥ב	תֹּעֶ֛ה	חֲמֹר֥וֹ	אֽוֹ	אֹיִבְךָ֙	שׁ֣וֹר	תִּפְגַּ֤ע	כִּֽי	4
返しなさい	必ず	迷っている	その–ろばに	あるいは	あなたの–敵の	牛に	出会うなら	もし	
H7725	H7725	H8582	H2543		H0341	H7794	H6293		

ס	לֽוֹ׃	
(段落)	彼に	

もし、あなたが敵の牛または、ろばの迷っているのに会う時は、必ずこれを彼の所に連れて行って、帰さなければならない。

וְחָדַלְתָּ֖	מַשָּׂאֽוֹ	תַּ֣חַת	רֹבֵ֔ץ	שֹׂנַאֲךָ֙	חֲמ֣וֹר	תִּרְאֶ֤ה	כִּֽי־	5
そして–ためらうなら	その–荷物の	～の–下に	伏している	あなたの–敵の	ろばが	見るなら	もし–	
H2308		H8478	H7257	H8130	H2543	H7200		

ס	עִמּֽוֹ׃	תַּעֲזֹ֥ב	עָזֹ֖ב	לֽוֹ	מֵעֲזָ֥ב	
(段落)	共に	助けなさい	必ず	彼に	放っておくことを	

もしあなたを憎む者のろばが、その荷物の下に倒れ伏しているのを見る時は、これを見捨てて置かないように気をつけ、必ずその人に手を貸して、これを起さなければならない。

בְּרִיבֽוֹ׃	אֶבְיֹנֶ֖ךָ	מִשְׁפַּ֥ט	תַּטֶּ֛ה	לֹ֣א	6
その–争いにおいて	あなたの–貧しい–者の	裁きを	曲げてはなら–	ない	
H7379	H0034	H4941	H5186	H3808	

あなたは貧しい者の訴訟において、裁判を曲げてはならない。

7

תַּהֲרֹג	אַל־	וְצַדִּיק	וְנָקִי	תִּרְחָק	שֶׁקֶר	מִדְּבַר־
殺してはなら–	～する–な	正しい–者を	また–罪なき–者と	遠ざかりなさい	偶りの	言葉から–
H2026	H0408	H6662		H7368	H8267	H1697

רָשָׁע׃	אַצְדִּיק	לֹא־	כִּי
悪人を	義としない–	ない	なぜなら
H7563	H6663	H3808	

あなたは偽り事に遠ざからなければならない。あなたは罪のない者と正しい者とを殺してはならない。わたしは悪人を義とすることはないからである。

8

וְיסַלֵּף	פִּקְחִים	יְעַוֵּר	הַשֹּׁחַד	כִּי	תִקָּח	לֹא	וְשֹׁחַד
そして–曲げる	目の–開いた–者を	盲目にする	賄賂は	なぜなら	取ってはなら–	ない	また–賄賂を
H5557	H6493	H5786	H7810		H3947	H3808	H7810

צַדִּיקִים׃	דִּבְרֵי
正しい–者の	言葉を
H6662	H1697

あなたは賄賂を取ってはならない。賄賂は人の目をくらまし、正しい者の事件をも曲げさせるからである。

9

הַגֵּר	נֶפֶשׁ	אֶת־	יְדַעְתֶּם	וְאַתֶּם	תִּלְחָץ	לֹא	וְגֵר
寄留者の	心を	(を)	知っている	そして–あなたがたは	しいたげてはなら–	ない	また–寄留者を
H1616	H5315	H0853	H3045		H3905	H3808	H1616

מִצְרָיִם׃	בְּאֶרֶץ	הֱיִיתֶם	גֵּרִים	כִּי־
エジプトの	地で	あった	寄留者で	なぜなら–
H4714	H0776	H1961	H1616	

あなたは寄留の他国人をしえたげてはならない。あなたがたはエジプトの国で寄留の他国人であったので、寄留の他国人の心を知っているからである。

10

תְּבוּאָתָהּ׃	אֶת־	וְאָסַפְתָּ	אַרְצֶךָ	אֶת־	תִּזְרַע	שָׁנִים	וְשֵׁשׁ	
その–収穫を	(を)	そして–集めなさい	あなたの–地に	(を)	種を–まきなさい	年間	そして–六–	
H8393	H0853	H0622	H0776	H0853	H2232	H8141	H8337	

あなたは六年のあいだ、地に種をまき、その産物を取り入れることができる。

11

עַמֶּךָ	אֶבְיֹנֵי	וְאָכְלוּ	וּנְטַשְׁתָּהּ	תִּשְׁמְטֶנָּה	וְהַשְּׁבִיעִת		
あなたの–民の	貧しい–者が	そして–食べる	そして–放置しなさい	休ませなさい	しかし–第七の–年には		
	H0034	H0398	H5203	H8058	H7637		

לְכַרְמְךָ	תַּעֲשֶׂה	כֵּן־	הַשָּׂדֶה	חַיַּת	תֹּאכַל	וְיִתְרָם
あなたの–ぶどう畑にも	しなさい	同じように–	野の	獣が	食べる	そして–その–残りを
H3754					H0398	

לְזֵיתֶךָ׃
あなたの–オリーブ畑にも
H2132

しかし、七年目には、これを休ませて、耕さずに置かなければならない。そうすれば、あなたの民の貧しい者がこれを食べ、その残りは野の獣が食べることができる。あなたのぶどう畑も、オリブ畑も同様にしなければならない。

12 שֵׁ֥שֶׁת יָמִ֖ים תַּעֲשֶׂ֣ה מַעֲשֶׂ֑יךָ וּבַיּ֣וֹם הַשְּׁבִיעִ֗י תִּשְׁבֹּת֙ לְמַ֣עַן
六- 日間 しなさい あなたの-仕事を そして-日に 第七の 休みなさい ～するために
H8337 H3117 H4639 H3117 H7637 H7673 H4616

יָנ֣וּחַ שׁוֹרְךָ֣ וַחֲמֹרֶ֔ךָ וְיִנָּפֵ֖שׁ בֶּן־ אֲמָתְךָ֥
休むように あなたの-牛と あなたの-ろばが そして-息を-つくように 子が- あなたの-女の-僕の
H5117 H7794 H2543 H5314 H1121 H0519

וְהַגֵּֽר׃
また-寄留者が
H1616

あなたは六日のあいだ、仕事をし、七日目には休まなければならない。これはあなたの牛および、ろばが休みを得、またあなたのはしための子および寄留の他国人を休ませるためである。

13 וּבְכֹ֖ל אֲשֶׁר־ אָמַ֣רְתִּי אֲלֵיכֶ֑ם תִּשָּׁמֵ֔רוּ וְשֵׁ֣ם אֱלֹהִ֔ים אֲחֵרִ֖ים
そして-すべてにおいて 言った ～した- あなたがたに 守りなさい また-名を 神々の ほかの
H3605 H0559 H0834 H0413 H8104 H8034 H0430 H0312

לֹ֥א יִשָּׁמַ֖ע עַל־ פִּֽיךָ׃ לֹ֥א תַזְכִּ֖ירוּ לֹ֥א
ない 聞かれてはなら- ～の-上で あなたの-口の ない 唱えてはなら-
H3808 H8085 H5921 H6310 H3808 H2142

わたしが、あなたがたに言ったすべての事に心を留めなさい。他の神々の名を唱えてはならない。また、これをあなたのくちびるから聞えさせてはならない。

14 שָׁל֣שׁ רְגָלִ֔ים תָּחֹ֥ג לִ֖י בַּשָּׁנָֽה׃
三- 回 祭りを-行いなさい わたしに 年に
H7969 H7272 H2287 H0853 H8141

あなたは年に三度、わたしのために祭を行わなければならない。

15 אֶת־ חַ֣ג הַמַּצּ֗וֹת תֹּאכַל֙ יָמִ֣ים שִׁבְעַ֔ת תִּשְׁמֹ֖ר מַצּ֑וֹת
(を) 祭りを 種入れぬ-パンの 守りなさい 七- 日間 食べる 種入れぬ-パンを
H0853 H2282 H4682 H8104 H7651 H3117 H0398 H4682

כְּאֲשֶׁ֣ר צִוִּיתִ֔ךָ לְמוֹעֵ֖ד חֹ֣דֶשׁ הָאָבִ֑יב כִּי־ בּ֣וֹ יָצָ֔אתָ מִמִּצְרָ֖יִם
～の-とおりに 命じた 定められた-時に 月の アビブの なぜなら- それに 出た エジプトから
H3651 H6680 H4150 H2320 H0024 H3588 H0871 H3318 H4714

וְלֹא־ יֵרָא֥וּ פָנַ֖י רֵיקָֽם׃
そして-ない- 現れてはなら- わたしの-前に 手ぶらで
H3808 H7200 H6440 H7387

あなたは種入れぬパンの祭を守らなければならない。わたしが、あなたに命じたように、アビブの月の定めの時に七日のあいだ、種入れぬパンを食べなければならない。それはその月にあなたがエジプトから出たからである。だれも、むなし手でわたしの前に出てはならない。

16 וְחַ֣ג הַקָּצִ֗יר בִּכּוּרֵי֙ מַעֲשֶׂ֣יךָ אֲשֶׁ֣ר תִּזְרַ֔ע בַּשָּׂדֶ֑ה וְחַ֣ג
また-祭りを 収穫の 初穂の あなたの-労苦の ～した 種を-まいた 畑に また-祭りを
H2282 H0622 H1061 H4639 H0834 H2232 H7704 H2282

הָאָסִ֔ף בְּצֵ֖את הַשָּׁנָ֑ה בְּאָסְפְּךָ֥ אֶת־ מַעֲשֶׂ֖יךָ מִן־ הַשָּׂדֶֽה׃
取り入れの ～の-終わりに 年の 集める-ときに (を) あなたの-労苦の-実りを ～から 畑から
H0614 H3318 H8141 H0622 H0853 H4639 H4480 H7704

また、あなたが畑にまいて獲た物の勤労の初穂をささげる刈入れの祭と、あなたの勤労の実を畑から取り入れる年の終りに、取入れの祭を行わなければならない。

17 שָׁל֣שׁ פְּעָמִ֔ים בַּשָּׁנָ֖ה יֵרָאֶ֣ה כָל־ זְכ֣וּרְךָ֔ אֶל־ פְּנֵ֖י הָאָד֣וֹן יְהוָֽה׃
三- 回 年に すべて-の 現れる あなたの-男たちは ～の-前に 御顔の 主なる 主の
H7969 H6471 H8141 H3605 H2138 H0413 H6440 H0113 H3068

男子はみな、年に三度、主なる神の前に出なければならない。

18

וְלֹא־	זִבְחִי	דַם־	חָמֵץ	עַל־	תִּזְבַּח	לֹא־
また–ない–	わたしの–いけにえの	血を–	種入れパンと	～と–共に	ささげてはなら–	ない–
H3808	H2077	H1818			H2076	H3808

בֹּקֶר׃	עַד־	חַגִּי	חֵלֶב־	יָלִין
朝まで	～まで	わたしの–祭りの	脂肪を–	残してはなら–
H1242	H5704	H2282	H2459	

あなたはわたしの犠牲の血を、種を入れたパンと共にささげてはならない。また、わたしの祭の脂肪を翌朝まで残して置いてはならない。

19

תְּבַשֵּׁל	לֹא־	אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה	בֵּית	תָּבִיא	אַדְמָתְךָ	בִּכּוּרֵי	רֵאשִׁית
煮てはなら–	ない–	あなたの–神の	主	家に	持って来なさい	あなたの–地の	初穂の	初物を
H1310	H3808	H0430	H3068		H0935	H0127	H1061	H7225

ס	אִמּוֹ׃	בַּחֲלֵב	גְּדִי
(段落)	その–母の	乳で	子山羊を
	H0517	H2461	H1423

あなたの土地の初穂の最も良い物を、あなたの神、主の家に携えてこなければならない。あなたは子やぎを、その母の乳で煮てはならない。

20

אֶל־	וְלַהֲבִיאֲךָ	בַּדֶּרֶךְ	לִשְׁמָרְךָ	לְפָנֶיךָ	מַלְאָךְ	שֹׁלֵחַ	אָנֹכִי	הִנֵּה
～へ	そして–導くために	道で	守るために	あなたの–前に	御使いを	遣わす	わたしは	見よ
H0413	H0935	H1870	H8104	H6440	H4397	H7971	H0595	H2009

הֲכִנֹתִי׃	אֲשֶׁר	הַמָּקוֹם
備えた	～した	場所に
		H4725

見よ、わたしは使をあなたの前につかわし、あなたを道で守らせ、わたしが備えた所に導かせるであろう。

21

בּוֹ	תַּמֵּר	אַל־	בְּקֹלוֹ	וּשְׁמַע	מִפָּנָיו	הִשָּׁמֶר	
彼に	逆らってはなら–	～する–な	その–声に	そして–聞きなさい	彼の–前で	気をつけなさい	
	H4843	H0408		H8085	H6440	H8104	

בְּקִרְבּוֹ׃	שְׁמִי	כִּי	לְפִשְׁעֲכֶם	יִשָּׂא	לֹא	כִּי
その–内に–ある	わたしの–名が	なぜなら	あなたがたの–背きを	赦さ–	ない	なぜなら
H7130	H8034		H6588	H5375	H3808	

あなたはその前に慎み、その言葉に聞き従い、彼にそむいてはならない。わたしの名が彼のうちにあるゆえに、彼はあなたがたのとがをゆるさないであろう。

22

אֲדַבֵּר	אֲשֶׁר	כָּל	וְעָשִׂיתָ	בְּקֹלוֹ	תִּשְׁמַע	שָׁמֹעַ	אִם־	כִּי
語る	～した–ことを	すべて	そして–行うなら	その–声に	聞くなら	聞いて	もし–	しかし
H1696		H3605			H8085	H8085		

צָרַרְתָּי׃	אֶת־	וְצָרַרְתִּי	אֹיְבֶיךָ	אֶת־	וְאָיַבְתִּי	
あなたを–苦しめる–者を	(を)	そして–苦しめる	あなたの–敵を	(を)	そして–敵とする	
	H0853		H0341	H0853	H0340	

しかし、もしあなたが彼の声によく聞き従い、すべてわたしが語ることを行うならば、わたしはあなたの敵を敵とし、あなたのあだをあだとするであろう。

23

הָאֱמֹרִי	אֶל־	וְהֵבִיאֲךָ	לְפָנֶיךָ	מַלְאָכִי	יֵלֵךְ	כִּי־	
アモリ人と	～へ	そして–導く	あなたの–前に	わたしの–御使いが	行く	なぜなら–	
H0567	H0413	H0935	H6440	H4397	H3212		

וְהִכְחַדְתִּיו׃	וְהַיְבוּסִי	הַחִוִּי	וְהַכְּנַעֲנִי	וְהַפְּרִזִּי	וְהַחִתִּי
そして–滅ぼす	エブス人の–もとへ	ヒビ人と	カナン人と	ペリジ人と	ヒッタイト人と
H3582	H2983	H2340		H6522	H2850

わたしの使はあなたの前に行って、あなたをアモリびと、ヘテびと、ペリジびと、カナンびと、ヒビびと、およびエブスびとの所に導き、わたしは彼らを滅ぼすであろう。

24 לֹא־ ない– H3808 תִשְׁתַּחֲוֶה ひれ伏してはなら– H7812 לֵאלֹהֵיהֶם 彼らの–神々に H0430 וְלֹא また–ない H3808 תָעָבְדֵם 仕えてはなら– H5647 וְלֹא また–ない H3808 תַּעֲשֶׂה 行ってはなら– H3808

כְּמַעֲשֵׂיהֶם 彼らの–行いの–とおりに H4639 כִּי それどころか H2040 הָרֵס 必ず H2040 תְּהָרְסֵם 打ち壊しなさい H2040 וְשַׁבֵּר そして–必ず H7665 תְּשַׁבֵּר 砕きなさい H7665

מַצֵּבֹתֵיהֶם׃ 彼らの–石の–柱を H4676

あなたは彼らの神々を拝んではならない。これに仕えてはならない。また彼らのおこないにならってはならない。あなたは彼らを全く打ち倒し、その石の柱を打ち砕かなければならない。

25 וַעֲבַדְתֶּם そして–仕えなさい H5647 אֵת (を) H0853 יְהוָה 主に H3068 אֱלֹהֵיכֶם あなたがたの–神に H0430 וּבֵרַךְ そして–祝福する H1288 אֶת־ (を) H0853 לַחְמְךָ あなたの–パンと H3899

וְהַסַרְתִּי そして–取り除く H5493 מַחֲלָה 病いを מִקִרְבֶּךָ׃ あなたの–中から H7130 וְאֶת־ また(を) H0853 מֵימֶיךָ あなたの–水を H4325

あなたがたの神、主に仕えなければならない。そうすれば、わたしはあなたがたのパンと水を祝し、あなたがたのうちから病を除き去るであろう。

26 לֹא ない H3808 תִהְיֶה ある– H1961 מְשַׁכֵּלָה 流産する–者も וַעֲקָרָה また–不妹の–者も H6135 בְּאַרְצֶךָ あなたの–地に H0776 אֶת־ (を) H0853 מִסְפַּר 数を H4557 יָמֶיךָ あなたの–日の H3117

אֲמַלֵּא׃ 満たす H4390

あなたの国のうちには流産する女もなく、不妊の女もなく、わたしはあなたの日の数を満ち足らせるであろう。

27 אֶת־ (を) H0853 אֵימָתִי わたしの–恐れを H0367 אֲשַׁלַּח 遣わす H7971 לְפָנֶיךָ あなたの–前に H6440 וְהַמֹתִי そして–混乱させる H2000 אֶת־ (を) H0853 כָּל־ すべて–の H3605 הָעָם 民を

תָּבֹא 来る H0935 בָּהֶם 彼らの–中に וְנָתַתָּי そして–与える H5414 אֶת־ (を) H0853 כָּל־ すべて–の H3605 אֹיְבֶיךָ あなたの–敵を H0341 אֵלֶיךָ あなたに H0413 אֲשֶׁר ～する

עֹרֶף׃ 背を–向けさせる H6203

わたしはあなたの先に、わたしの恐れをつかわし、あなたが行く所の民を、ことごとく打ち敗り、すべての敵に、その背をあなたの方へ向けさせるであろう。

28 וְשִׁלַּחְתִּי そして–遣わす H7971 אֶת־ (を) H0853 הַצִּרְעָה くまばちを H6880 לְפָנֶיךָ あなたの–前に H6440 וְגֵרְשָׁה そして–追い出す H1644 אֶת־ (を) H0853 הַחִוִּי ヒビ人と H2340 אֶת־ (を) H0853

מִלְפָנֶיךָ׃ あなたの–前から H6440 הַחִתִּי ヒッタイト人を H2850 וְאֶת־ また(を) H0853 הַכְּנַעֲנִי カナン人と

わたしはまた、くまばちをあなたの先につかわすであろう。これはヒビびと、カナンびと、およびヘテびとをあなたの前から追い払うであろう。

29 לֹא אֲגָרְשֶׁנּוּ מִפָּנֶיךָ בִּשָּׁנָה אֶחָת פֶּן־תִּהְיֶה הָאָרֶץ שְׁמָמָה
ない 追い出さ– あなたの–前から 年に —– ～しないように– なる 地が 荒れ地に
H3808 H1644 H6440 H8141 H0259 H6435 H1961 H0776

וְרַבָּה עָלֶיךָ חַיַּת הַשָּׂדֶה׃
そして–増える あなたに–対して 獣が 野の

しかし、わたしは彼らを一年のうちには、あなたの前から追い払わないであろう。土地が荒れすたれ、野の獣が増して、あなたを害することのないためである。

30 אֶת־ וְנָחַלְתָּ תִּפְרֶה אֲשֶׁר עַד מִפָּנֶיךָ אֲגָרְשֶׁנּוּ מְעַט מְעַט
(を) そして–受け継ぐ 増える ～する ～まで あなたの–前から 追い出す 少しずつ 少しずつ
H0853 H5157 H6509 H5704 H6440 H1644 H4592 H4592

הָאָרֶץ׃
地を
H0776

わたしは徐々に彼らをあなたの前から追い払うであろう。あなたは、ついにふえひろがって、この地を継ぐようになるであろう。

31 פְּלִשְׁתִּים יָם וְעַד־ סוּף מִמִּדְבָּר גְּבֻלֶךָ אֶת־ וְשַׁתִּי
ペリシテ人の 海まで ～まで– 葦の–海から 海から– あなたの–境を (を) そして–定める
H6430 H3220 H5704 H5488 H3220 H1366 H0853 H7896

הָאָרֶץ יֹשְׁבֵי אֶת בְּיֶדְכֶם וְנָתַן כִּי הַנָּהָר עַד־ וּמִמִּדְבָּר
その–地の 住民を (を) あなたがたの–手に 与える なぜなら 川まで ～まで– また–荒野から
H0776 H3427 H0853 H3027 H5414 H5104 H5704

וְגֵרַשְׁתָּמוֹ מִפָּנֶיךָ׃
そして–追い出す あなたの–前から
H1644 H6440

わたしは紅海からペリシテびとの海に至るまでと、荒野からユフラテ川に至るまでを、あなたの領域とし、この地に住んでいる者をあなたの手にわたすであろう。あなたは彼らをあなたの前から追い払うであろう。

32 לֹא־ תִכְרֹת לָהֶם וְלֵאלֹהֵיהֶם בְּרִית׃
ない– 結んではなら– 彼らと また–彼らの–神々と 契約を
H3808 H3772 H1285 H0430

あなたは彼ら、および彼らの神々と契約を結んではならない。

33 לֹא יֵשְׁבוּ בְּאַרְצְךָ פֶּן־ יַחֲטִיאוּ אֹתְךָ לִי
ない 住ませてはなら– あなたの–地に ～しないように– 罪を–犯させる あなたを わたしに–対して
H3808 H3427 H0776 H6435 H2398 H0853

כִּי־ תַעֲבֹד אֶת־ אֱלֹהֵיהֶם יִהְיֶה לְךָ לְמוֹקֵשׁ׃ פ
なぜなら 仕えるなら (を) 彼らの–神々に なぜなら– なる あなたにとって わなとなる (段落)
H5647 H0853 H0430 H1961 H4170

彼らはあなたの国に住んではならない。彼らがあなたをいざなって、わたしに対して罪を犯させることのないためである。もし、あなたが彼らの神に仕えるならば、それは必ずあなたのわなとなるであろう」。

Chapter 24

1

נָדָב	וְאַהֲרֹן	אַתָּה	יְהוָה	אֶל־	עֲלֵה	אָמַר	מֹשֶׁה	וְאֶל־
ナダブと	アロンと	あなたと	主の	～の-もとへ	登りなさい	言われた	モーセに	そして-～に
H5070	H0175		H3068	H0413	H5927	H0559	H4872	H0413

מֵרָחֹק׃	וְהִשְׁתַּחֲוִיתֶם	יִשְׂרָאֵל	מִזִּקְנֵי	וְשִׁבְעִים	וַאֲבִיהוּא
遠くから	そして-ひれ伏しなさい	イスラエルの	長老たちが	また-七十-人の	アビフと
H7350	H7812	H3478	H2205	H7657	H0030

また、モーセに言われた、「あなたはアロン、ナダブ、アビウおよびイスラエルの七十人の長老たちと共に、主のもとにのぼってきなさい。そしてあなたがたは遠く離れて礼拝しなさい。

2

יִגְּשׁוּ	לֹא	וְהֵם	יְהוָה	אֶל־	לְבַדּוֹ	מֹשֶׁה	וְנִגַּשׁ
近づか-	ない	しかし-彼らは	主の	～の-もとへ	ただ-独りで	モーセは	そして-近づく
H5066	H3808	H1992	H3068	H0413	H0905	H4872	H5066

עִמּוֹ׃	יַעֲלוּ	לֹא	וְהָעָם
彼と-共に	登ってはなら-	ない	また-民は
	H5927	H3808	

ただモーセひとりが主に近づき、他の者は近づいてはならない。また、民も彼と共にのぼってはならない」。

3

וְאֶת	יְהוָה	דִּבְרֵי	כָּל־	אֶת	לָעָם	וַיְסַפֵּר	מֹשֶׁה	וַיָּבֹא
また(を)	主の	言葉を	すべて-の	(を)	民に	そして-語った	モーセは	そして-来た
H0853	H3068	H1697	H3605	H0853			H4872	H0935

וַיַּאמְרוּ	אֶחָד	קוֹל	הָעָם	כָּל־	וַיַּעַן	הַמִּשְׁפָּטִים	כָּל־
そして-言った	一つにして	声を	民は	すべて-の	そして-答えた	定めを	すべて-の
H0559	H0259			H3605		H4941	H3605

נַעֲשֶׂה׃	יְהוָה	דִּבֶּר	אֲשֶׁר־	הַדְּבָרִים	כָּל־
行います	主が	語られた	～した-	言葉を	すべて-の
	H3068	H1696		H1697	H3605

モーセはきて、主のすべての言葉と、すべてのおきてとを民に告げた。民はみな同音に答えて言った、「わたしたちは主の仰せられた言葉を皆、行います」。

4

בַּבֹּקֶר	וַיַּשְׁכֵּם	יְהוָה	דִּבְרֵי	כָּל־	אֶת	מֹשֶׁה	וַיִּכְתֹּב
朝に	そして-早く-起きた	主の	言葉を	すべて-の	(を)	モーセは	そして-書いた
H1242	H7925	H3068	H1697	H3605	H0853	H4872	H3789

עָשָׂר	לִשְׁנֵים	מַצֵּבָה	עֶשְׂרֵה	וּשְׁתֵּים	הָהָר	תַּחַת	מִזְבֵּחַ	וַיִּבֶן
-	十二-の	石の-柱を	-	また-十二-の	山の	～の-ふもとに	祭壇を	そして-築いた
H6240	H8147	H4676	H6240	H8147	H2022	H8478	H4196	H1129

יִשְׂרָאֵל׃	שִׁבְטֵי
イスラエルの	部族の-ために
H3478	H7626

そしてモーセは主の言葉を、ことごとく書きしるし、朝はやく起きて山のふもとに祭壇を築き、イスラエルの十二部族に従って十二の柱を建て、

5

עֹלֹת	וַיַּעֲלוּ	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי	נַעֲרֵי	אֶת־	וַיִּשְׁלַח
全焼の-ささげ物を	そして-ささげた	イスラエルの	子らの	若者たちを	(を)	そして-遣わした
	H5927	H3478		H5288	H0853	H7971

פָּרִים׃	לַיהוָה	שְׁלָמִים	זְבָחִים	וַיִּזְבְּחוּ
雄牛を	主に	和解の	いけにえを	そして-ささげた
H6499	H3068	H8002	H2077	H2076

イスラエルの人々のうちの若者たちをつかわして、主に燔祭をささげさせ、また酬恩祭として雄牛をささげさせた。

זָרַק	הַדָּם	וַחֲצִי	בָּאַגָּנֹת	וַיָּשֶׂם	הַדָּם	חֲצִי	מֹשֶׁה	וַיִּקַּח
注いだ	血を	また-半分の	鉢に	そして-入れた	血を	半分の	モーセは	そして-取った
H2236	H1818	H2677	H0101		H1818	H2677	H4872	H3947

הַמִּזְבֵּחַ׃	עַל־
祭壇の	～の-上に
H4196	

6

その時モーセはその血の半ばを取って、鉢に入れ、また、その血の半ばを祭壇に注ぎかけた。

כֹּל	וַיֹּאמְרוּ	הָעָם	בְּאָזְנֵי	וַיִּקְרָא	הַבְּרִית	סֵפֶר	וַיִּקַּח	
すべて	そして-言った	民の	耳に	そして-読んだ	契約の	書を	そして-取った	
H3605	H0559		H0241	H7121	H1285		H3947	

וְנִשְׁמָע׃	נַעֲשֶׂה	יְהוָה	דִּבֶּר	אֲשֶׁר־
そして-聞き従います	行います	主が	語られた	～した-ことを
H8085		H3068	H1696	

7

そして契約の書を取って、これを民に読み聞かせた。すると、彼らは答えて言った、「わたしたちは主が仰せられたことを皆、従順に行います」。

הִנֵּה	וַיֹּאמֶר	הָעָם	עַל־	וַיִּזְרֹק	הַדָּם	אֶת־	מֹשֶׁה	וַיִּקַּח
見よ	そして-言った	民の	～の-上に	そして-注いだ	血を	(を)	モーセは	そして-取った
H2009	H0559			H2236	H1818	H0853	H4872	H3947

הַדְּבָרִים	כָּל־	עַל	עִמָּכֶם	יְהוָה	כָּרַת	אֲשֶׁר	הַבְּרִית	דַּם־
言葉に	すべて-の	～に-基づいて	あなたがたと	主が	結ばれた	～した	契約の	血である-
H1697	H3605			H3068	H3772		H1285	H1818

הָאֵלֶּה׃
これらの
H0428

8

そこでモーセはその血を取って、民に注ぎかけ、そして言った、「見よ、これは主がこれらのすべての言葉に基いて、あなたがたと結ばれる契約の血である」。

יִשְׂרָאֵל׃	מִזִּקְנֵי	וְשִׁבְעִים	וַאֲבִיהוּא	נָדָב	וְאַהֲרֹן	מֹשֶׁה	וַיַּעַל	
イスラエルの	長老たちが	また-七十-人の	アビフと	ナダブと	アロンと	モーセと	そして-登った	
H3478	H2205	H7657	H0030	H5070	H0175	H4872	H5927	

9

こうしてモーセはアロン、ナダブ、アビウおよびイスラエルの七十人の長老たちと共にのぼって行った。

לִבְנַת	כְּמַעֲשֵׂה	רַגְלָיו	וְתַחַת	יִשְׂרָאֵל	אֱלֹהֵי	אֶת	וַיִּרְאוּ	
透明な	～の-ような	その-足の	そして-～の-下に	イスラエルの	神を	(を)	そして-見た	
H3840	H4639	H7272	H8478	H3478	H0430	H0853	H7200	

לָטֹהַר׃	הַשָּׁמַיִם	וּכְעֶצֶם	הַסַּפִּיר
清さの	天の	また-～の-ような	サファイアの
	H8064	H6106	H5601

10

そして、彼らがイスラエルの神を見ると、その足の下にはサファイアの敷石のごとき物があり、澄み渡るおおぞらのようであった。

אֶת־	וַיֶּחֱזוּ	יָדָו	שָׁלַח	לֹא	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי	אֲצִילֵי	וְאֶל־
(を)	そして-見た	その-手を	伸ばさ-	ない	イスラエルの	子らの	指導者たちに	そして-～に
H0853	H2372	H3027	H7971	H3808	H3478		H0678	H0413

ס	וַיִּשְׁתּוּ׃	וַיֹּאכְלוּ	הָאֱלֹהִים
(段落)	そして-飲んだ	そして-食べた	神を
	H8354	H0398	H0430

11

神はイスラエルの人々の指導者たちを手にかけられなかったので、彼らは神を見て、飲み食いした。

12 וַיֹּאמֶר יְהוָה אֶל־מֹשֶׁה עֲלֵה אֵלַי הָהָרָה וֶהְיֵה־
そして-言われた 主は ～に モーセに 登りなさい わたしの-もとへ 山へ そして-いなさい-
H0559 H3068 H0413 H4872 H5927 H0413 H2022 H1961

שָׁם וְאֶתְּנָה לְךָ אֶת־לֻחֹת הָאֶבֶן וְהַתּוֹרָה וְהַמִּצְוָה אֲשֶׁר כָּתַבְתִּי
そこに そして-与える あなたに (を) 板を 石の また-律法と また-戒めを ～した 書いた
H8033 H5414 H0853 H3871 H0068 H8451 H4687 H3789

לְהוֹרֹתָם׃
教えるために

ときに主はモーセに言われた、「山に登り、わたしの所にきて、そこにいなさい。彼らを教えるために、わたしが律法と戒めとを書きしるした石の板をあなたに授けるであろう」。

13 וַיָּקָם מֹשֶׁה וִיהוֹשֻׁעַ מְשָׁרְתּוֹ וַיַּעַל מֹשֶׁה אֶל־הַר
そして-立ち上がった モーセと ヨシュアは その-従者 そして-登った モーセは ～へ 山へ
H4872 H3091 H8334 H5927 H4872 H0413 H2022

הָאֱלֹהִים׃
神の
H0430

そこでモーセは従者ヨシュアと共に立ちあがり、モーセは神の山に登った。

14 וְאֶל־הַזְּקֵנִים אָמַר שְׁבוּ־לָנוּ בָּזֶה עַד־אֲשֶׁר־נָשׁוּב אֲלֵיכֶם
そして-～に 長老たちに 言った 待ちなさい- 私たちのために ここで ～まで ～する- 戻る
H0413 H2205 H0559 H3427 H2088 H5704 H7725

וְהִנֵּה אַהֲרֹן וְחוּר עִמָּכֶם מִי־בַעַל דְּבָרִים יִגַּשׁ אֲלֵהֶם׃
そして-見よ アロンと フルが あなたがたと-共に-いる 誰か- 持つ-者は 事柄を 近づきなさい 彼らに
H2009 H0175 H2354 H4310 H1167 H1697 H5066 H0413

彼は長老たちに言った、「わたしたちがあなたがたの所に帰って来るまで、ここで待っていなさい。見よ、アロンとホルとが、あなたがたと共にいるから、事ある者は、だれでも彼らの所へ行きなさい」。

15 וַיַּעַל מֹשֶׁה אֶל־הָהָר וַיְכַס הֶעָנָן אֶת־הָהָר׃
そして-登った モーセは ～へ 山に そして-覆った 雲が (を) 山を
H5927 H4872 H0413 H2022 H3680 H6051 H0853 H2022

こうしてモーセは山に登ったが、雲は山をおおっていた。

16 וַיִּשְׁכֹּן כְּבוֹד־יְהוָה עַל־הַר סִינַי וַיְכַסֵּהוּ הֶעָנָן שֵׁשֶׁת יָמִים
そして-定まった 栄光が- 主の ～の-上に 山 シナイ そして-覆った 雲が 六- 日間
H7931 H3519 H3068 H5514 H2022 H3680 H6051 H8337 H3117

וַיִּקְרָא אֶל־מֹשֶׁה בַּיּוֹם הַשְּׁבִיעִי מִתּוֹךְ הֶעָנָן׃
そして-呼ばれた ～に モーセを 日に 第七の 中から 雲の
H7121 H0413 H4872 H3117 H7637 H8432 H6051

主の栄光がシナイ山の上にとどまり、雲は六日のあいだ、山をおおっていたが、七日目に主は雲の中からモーセを呼ばれた。

17 וּמַרְאֵה כְּבוֹד יְהוָה כְּאֵשׁ אֹכֶלֶת בְּרֹאשׁ הָהָר לְעֵינֵי בְּנֵי יִשְׂרָאֵל׃
そして-姿は 栄光の 主の 火の-ようであった 頂に 焦がす 山の 目に 子らの
H4758 H3519 H3068 H0784 H0398 H2022 H3478

主の栄光は山の頂で、燃える火のようにイスラエルの人々の目に見えたが、

18 וַיָּבֹא מֹשֶׁה בְּתוֹךְ הֶעָנָן וַיַּעַל אֶל־הָהָר וַיְהִי מֹשֶׁה בָּהָר אַרְבָּעִים יוֹם וְאַרְבָּעִים לָיְלָה׃ פ
そして-入った モーセは 中に 雲の 登った そして-～へ 山に いた モーセは 山に
H0935 H4872 H8432 H6051 H5927 H0413 H2022 H1961 H4872 H2022
日と 四十- 夜 (段落)
H3117 H0705 H3915

モーセは雲の中にはいって、山に登った。そしてモーセは四十日四十夜、山にいた。

Chapter 25

1 וַיְדַבֵּר יְהוָה אֶל־מֹשֶׁה לֵאמֹר׃
そして-語られた 主は ～に モーセに 言って
H1696 H3068 H0413 H4872 H0559

主はモーセに言われた、

2 דַּבֵּר אֶל־בְּנֵי יִשְׂרָאֵל וְיִקְחוּ־לִי תְּרוּמָה מֵאֵת כָּל־אִישׁ אֲשֶׁר יִדְּבֶנּוּ לִבּוֹ תִּקְחוּ אֶת־תְּרוּמָתִי׃
語りなさい ～に 子らに イスラエルの そして-取りなさい- わたしに ささげ物を ～から
H1696 H0413 H0413 H3478 H3947 H0413 H8641 H0854
すべて-の 人から ～する 動かされる その-心が 取りなさい (を) わたしの-ささげ物を
H3605 H0376 H0834 H5068 H3947 H0853 H8641

「イスラエルの人々に告げて、わたしのためにささげ物を携えてこさせなさい。すべて、心から喜んでする者から、わたしにささげる物を受け取りなさい。

3 וְזֹאת הַתְּרוּמָה אֲשֶׁר תִּקְחוּ מֵאִתָּם זָהָב וָכֶסֶף וּנְחֹשֶׁת׃
そして-これが ささげ物である ～する 取る 彼らから 金と 銀と 青銅
H2063 H8641 H0834 H3947 H0854 H2091 H3701 H5178

あなたがたが彼らから受け取るべきささげ物はこれである。すなわち金、銀、青銅、

4 וּתְכֵלֶת וְאַרְגָּמָן וְתוֹלַעַת שָׁנִי וְשֵׁשׁ וְעִזִּים׃
また-青い-糸と 紫の-糸と 緑虫の 緋の-糸と また-亜麻布と 山羊の-毛
H8504 H0713 H8144 H8144 H8336 H5795

青糸、紫糸、緋糸、亜麻の撚糸、やぎの毛糸、

5 וְעֹרֹת אֵילִם מְאָדָּמִים וְעֹרֹת תְּחָשִׁים וַעֲצֵי שִׁטִּים׃
また-皮と 雄羊の 赤く-染めた また-皮と じゅごんの また-木と アカシアの
H5785 H0352 H0119 H5785 H8476 H6086 H7848

あかね染の雄羊の皮、じゅごんの皮、アカシヤ材、

6 שֶׁמֶן לַמָּאֹר בְּשָׂמִים לְשֶׁמֶן הַמִּשְׁחָה וְלִקְטֹרֶת הַסַּמִּים׃
油と 灯火の-ための 香料と 油の-ための 注ぎの また-香の-ための 芳香の
H8081 H3974 H1314 H8081 H4888 H7004 H5561

ともし油、注ぎ油と香ばしい薫香のための香料、

אַבְנֵי־	שֹׁהַם	וְאַבְנֵי	מִלֻּאִים	לָאֵפֹד	וְלַחֹשֶׁן׃	7
石と-	縞瑪瑙の	また-石と	はめ込みの	エフォドと	胸当ての-ための	
H0068	H7718	H0068	H4394	H0646	H2833	

縞めのう、エポデと胸当にはめる宝石。

וְעָשׂוּ	לִי	מִקְדָּשׁ	וְשָׁכַנְתִּי	בְּתוֹכָם׃	8
そして-作りなさい	わたしに	聖所を	そして-住む	彼らの-中に	
		H4720	H7931	H8432	

また、彼らにわたしのために聖所を造らせなさい。わたしが彼らのうちに住むためである。

תַּבְנִית	וְאֵת	הַמִּשְׁכָּן	תַּבְנִית	אֵת	אוֹתְךָ	מַרְאֶה	אֲנִי	אֲשֶׁר	כְּכֹל	9
設計を	また(を)	幕屋の	設計を	(を)	あなたに	見せる	わたしが	～する	すべて-の-とおりに	
H8403	H0853	H4908	H8403	H0853	H0853	H7200	H0589		H3605	

כָּל־	כֵּלָיו	וְכֵן	תַּעֲשׂוּ׃	ס
すべて-の	器具の	その-とおりに	作りなさい	(段落)
H3605	H3627			

すべてあなたに示す幕屋の型および、そのもろもろの器の型に従って、これを造らなければならない。

וְאַמָּה	אָרְכּוֹ	וָחֵצִי	אַמֹּתַיִם	שִׁטִּים	עֲצֵי	אֲרֹן	וְעָשׂוּ		10
また-一-キュビト-	その-長さ	半-	二-キュビト-	アカシアの	木の	箱を	そして-作りなさい		
	H0753	H2677		H7848	H6086	H0727			

קֹמָתוֹ׃	וָחֵצִי	וְאַמָּה	רָחְבּוֹ	וָחֵצִי		
その-高さ	半-	また-一-キュビト-	その-幅	半-		
H6967	H2677		H7341	H2677		

彼らはアカシヤ材で箱を造らなければならない。長さは二キュビト半、幅は一キュビト半、高さは一キュビト半。

וְעָשִׂיתָ	תְּצַפֶּנּוּ	וּמִחוּץ	מִבַּיִת	טָהוֹר	זָהָב	אֹתוֹ	וְצִפִּיתָ		11
そして-作りなさい	覆いなさい	また-外側から	内側と	純粋な	金で	それを	そして-覆いなさい		
	H6823	H2351		H2889	H2091	H0853	H6823		

סָבִיב׃	זָהָב	זֵר	עָלָיו	
周囲に	金の	縁飾りを	その-上に	
H5439	H2091	H2213		

あなたは純金でこれをおおわなければならない。すなわち内外ともにこれをおおい、その上の周囲に金の飾り縁を造らなければならない。

אַרְבַּע	עַל	וְנָתַתָּה	זָהָב	טַבְּעֹת	אַרְבַּע	לוֹ	וְיָצַקְתָּ		12
四つの	～の-上に	そして-つけなさい	金の	環を	四つの	それに	そして-鋳造しなさい		
H0702		H5414	H2091	H2885	H0702		H3332		

צַלְעוֹ	עַל־	טַבָּעֹת	וּשְׁתֵּי	הָאֶחָת	צַלְעוֹ	עַל־	טַבָּעֹת	וּשְׁתֵּי	פַּעֲמֹתָיו
側の	～の-上に	環を	また-二つの	一方の	側の	～の-上に	環を	そして-二つの	足の
H6763		H2885	H8147	H0259	H6763		H2885	H8147	H6471

הַשֵּׁנִית׃
もう-一方の
H8145

また金の環四つを鋳て、その四すみに取り付けなければならない。すなわち二つの環をこちら側に、二つの環をあちら側に付けなければならない。

זָהָב׃	אֹתָם	וְצִפִּיתָ	שִׁטִּים	עֲצֵי	בַדֵּי	וְעָשִׂיתָ	13
金で	それらを	そして-覆いなさい	アカシアの	木の	棒を	そして-作りなさい	
H2091	H0853	H6823	H7848	H6086	H0905		

またアカシヤ材のさおを造り、金でこれをおおわなければならない。

14 וְהֵבֵאתָ אֶת־הַבַּדִּים בַּטַּבָּעֹת עַל צַלְעֹת הָאָרֹן לָשֵׂאת אֶת־הָאָרֹן בָּהֶם׃
そして–通しなさい (を) 棒を 環に ～の–上の 側の 箱の 運ぶために (を) 箱を それらで
H0935 H0853 H0905 H2885 H6763 H0727 H5375 H0853 H0727

そしてそのさおを箱の側面の環に通し、それで箱をかつがなければならない。

15 בְּטַבְּעֹת הָאָרֹן יִהְיוּ הַבַּדִּים לֹא יָסֻרוּ מִמֶּנּוּ׃
環の–中に 箱の ある 棒が ない 拝いてはなら– それから
H2885 H0727 H1961 H0905 H3808 H5493

さおは箱の環に差して置き、それを抜き放してはならない。

16 וְנָתַתָּ אֶל־הָאָרֹן אֶת הָעֵדֻת אֲשֶׁר אֶתֵּן אֵלֶיךָ׃
そして–納めなさい ～の–中に 箱の (を) あかしを ～する 与える あなたに
H5414 H0413 H0727 H0853 H5715 H5414 H0413

そしてその箱に、わたしがあなたに与えるあかしの板を納めなければならない。

17 וְעָשִׂיתָ כַּפֹּרֶת זָהָב טָהוֹר אַמָּתַיִם וָחֵצִי אָרְכָּהּ וַאֲמָּה
そして–作りなさい 贖いの–蓋を 金の 純粋な 二–キュビト– 半– その–長さ また–一–キュビト–
H3727 H2091 H2889 H0753 H2677 H0753

וָחֵצִי רָחְבָּהּ׃
半– その–幅
H2677 H7341

また純金の贖罪所を造らなければならない。長さは二キュビト半、幅は一キュビト半。

18 וְעָשִׂיתָ שְׁנַיִם כְּרֻבִים זָהָב מִקְשָׁה תַּעֲשֶׂה אֹתָם מִשְּׁנֵי קְצוֹת
そして–作りなさい 二つの ケルビムを 金の 打ち–物で 作りなさい それらを 両–側の 端に
H8147 H3742 H2091 H4749 H0853 H8147 H7098

הַכַּפֹּרֶת׃
贖いの–蓋の
H3727

また二つの金のケルビムを造らなければならない。これを打物造りとし、贖罪所の両端に置かなければならない。

19 וַעֲשֵׂה כְּרוּב אֶחָד מִזֶּה וְכְרוּב־אֶחָד מִזֶּה מִקְצָה מִקְצָהוּ
そして–作りなさい ケルブを 一つ こちらの 端に また–ケルブを– 一つ あちらの 端に
H0259 H3742 H0259 H2088 H7098 H3742 H0259 H2088 H7098

מִן־הַכַּפֹּרֶת תַּעֲשׂוּ אֶת־הַכְּרֻבִים עַל־שְׁנֵי קְצוֹתָיו׃
～から 贖いの–蓋から 作りなさい (を) ケルビムを ～の–上に 両–側の 端に
H3727 H0853 H3742 H7098 H8147

一つのケルブをこの端に、一つのケルブをかの端に造り、ケルビムを贖罪所の一部としてその両端に造らなければならない。

20

עַל־	בְּכַנְפֵיהֶם׃	סֹכְכִים	לְמַעְלָה	כְּנָפַיִם	פֹּרְשֵׂי	הַכְּרֻבִים׃	וְהָיוּ	
～の–上を	その–翼で	覆う	上に–向けて	翼を	広げる	ケルビムは	そして–あるように	
	H3671		H4605	H3671	H6566	H3742	H1961	

פְּנֵי	יִהְיוּ	הַכַּפֹּרֶת	אֶל־	אָחִיו	אֶל־	אִישׁ	וּפְנֵיהֶם	הַכַּפֹּרֶת
顔が	ある	贖いの–蓋の	～の–方へ	他方の	～の–方へ	互いに–	そして–その–顔は	贖いの–蓋の
H6440	H1961	H3727	H0413	H0251	H0413	H0376	H6440	H3727

הַכְּרֻבִים׃
ケルビムの
H3742

ケルビムは翼を高く伸べ、その翼をもって贖罪所をおおい、顔は互にむかい合い、ケルビムの顔は贖罪所にむかわなければならない。

21

הָאָרֹן	וְאֶל־	מִלְמָעְלָה	הָאָרֹן	עַל־	הַכַּפֹּרֶת	אֶת־	וְנָתַתָּ
箱の	そして–～の–中に	上から	箱の	～の–上に	贖いの–蓋を	(を)	そして–置きなさい
H0727	H0413	H4605	H0727		H3727	H0853	H5414

אֵלֶיךָ׃	אֶתֵּן	אֲשֶׁר	הָעֵדֻת	אֶת־	תִּתֵּן
あなたに	与える	～する	あかしを	(を)	納めなさい
H0413	H5414		H5715	H0853	H5414

あなたは贖罪所を箱の上に置き、箱の中にはわたしが授けるあかしの板を納めなければならない。

22

מִבֵּין	הַכַּפֹּרֶת	מֵעַל	אִתְּךָ	וְדִבַּרְתִּי	שָׁם	לְךָ	וְנוֹעַדְתִּי	
～の–間から	贖いの–蓋の	～の–上から	あなたと	そして–語る	そこで	あなたと	そして–会う	
H0996	H3727		H0854	H1696	H8033		H3259	

אֲשֶׁר	כֹּל־	אֵת	הָעֵדֻת	אֲרֹן	עַל־	אֲשֶׁר	הַכְּרֻבִים	שְׁנֵי
～する	すべて–の–ことを	(を)	あかしの	箱の	～の–上に–ある	～する	ケルビムの	二つの
	H3605	H0853	H5715	H0727			H3742	H8147

פ	יִשְׂרָאֵל׃	בְּנֵי	אֶל־	אוֹתְךָ	אֲצַוֶּה
(段落)	イスラエルの	子らに	～に–向けて	あなたに	命じる
	H3478		H0413	H0853	H6680

その所でわたしはあなたに会い、贖罪所の上から、あかしの箱の上にある二つのケルビムの間から、イスラエルの人々のために、わたしが命じようとするもろもろの事を、あなたに語るであろう。

23

רָחְבּוֹ	וְאַמָּה	אָרְכּוֹ	אַמֹּתַיִם	שִׁטִּים	עֲצֵי	שֻׁלְחַן	וְעָשִׂיתָ	
その–幅	また–一–キュビト–	その–長さ	二–キュビト–	アカシアの	木の	机を	そして–作りなさい	
H7341		H0753		H7848	H6086	H7979		

קֹמָתוֹ׃	וָחֵצִי	וְאַמָּה	
その–高さ	半–	また–一–キュビト–	
H6967	H2677		

あなたはまたアカシヤ材の机を造らなければならない。長さは二キュビト、幅は一キュビト、高さは一キュビト半。

24

סָבִיב׃	זָהָב	זֵר	לוֹ	וְעָשִׂיתָ	טָהוֹר	זָהָב	אֹתוֹ	וְצִפִּיתָ
周囲に	金の	縁飾りを	それに	そして–作りなさい	純粋な	金で	それを	そして–覆いなさい
H5439	H2091	H2213			H2889	H2091	H0853	H6823

純金でこれをおおい、周囲に金の飾り縁を造り、

25

זָהָב	זֵר־	וְעָשִׂיתָ	סָבִיב	טֹפַח	מִסְגֶּרֶת	לוֹ	וְעָשִׂיתָ	
金の	縁飾りを–	そして–作りなさい	周囲に	一–手幅の	枠を	それに	そして–作りなさい	
H2091	H2213		H5439	H2948	H4526			

סָבִיב׃	לְמִסְגַּרְתּוֹ	
周囲に	その–枠に	
H5439	H4526	

またその周囲に手幅の桟を造り、その桟の周囲に金の飾り縁を造らなければならない。

וְעָשִׂיתָ לּוֹ אַרְבַּע טַבְּעֹת זָהָב וְנָתַתָּ אֶת־הַטַּבָּעֹת עַל 26
そして–作りなさい それに 四つの 環を 金の 環を (を) そして–つけなさい ～の–上に
H6213 H0702 H2885 H2091 H5414 H0853 H2885

אַרְבַּע הַפֵּאֹת אֲשֶׁר לְאַרְבַּע רַגְלָיו׃
四つの 角に ～する 四つの 足の
H0702 H6285 H0834 H0702 H7272

また、そのために金の環四つを造り、その四つの足のすみ四か所にその環を取り付けなければならない。

לְעֻמַּת הַמְסִגֶּרֶת תִּהְיֶיןָ הַטַּבָּעֹת לְבָתִּים לְבַדִּים לָשֵׂאת אֶת־הַשֻּׁלְחָן׃ 27
～の–近くに 枠の ある 環が 受けとして 棒の 運ぶために (を) 机を
H5980 H4526 H1961 H2885 H0905 H5375 H0853 H7979

環は桟のわきに付けて、机をかつぐさおを入れる所としなければならない。

וְעָשִׂיתָ אֶת־הַבַּדִּים עֲצֵי שִׁטִּים וְצִפִּיתָ אֹתָם זָהָב 28
そして–作りなさい (を) 棒を 木の アカシアの そして–覆いなさい それらを 金で
H6213 H0853 H1277 H6086 H7848 H6823 H0853 H2091

וְנִשָּׂא־בָם אֶת־הַשֻּׁלְחָן׃
そして–運ぶ– それらで (を) 机を
H5375 H0853 H7979

またアカシヤ材のさおを造り、金でこれをおおい、それをもって、机をかつがなければならない。

וְעָשִׂיתָ קְעָרֹתָיו וְכַפֹּתָיו וְקָשׂוֹתָיו וּמְנַקִּיֹתָיו אֲשֶׁר יֻסַּךְ בָּהֵן 29
そして–作りなさい その–皿と その–ひしゃくと その–水差しと その–杯を ～する 注ぐ それらで
H6213 H7086 H3709 H7184 H4518 H0834 H5258 H2004

זָהָב טָהוֹר תַּעֲשֶׂה אֹתָם׃
金で 純粋な 作りなさい それらを
H2091 H2889 H6213 H0853

また、その皿、乳香を盛る杯および灌祭を注ぐための瓶と鉢を造り、これらは純金で造らなければならない。

וְנָתַתָּ עַל־הַשֻּׁלְחָן לֶחֶם פָּנִים לְפָנַי תָּמִיד׃ פ 30
そして–置きなさい ～の–上に 机の パンを 供えの わたしの–前に 常に (段落)
H5414 H5921 H7979 H3899 H6440 H6440 H8548

そして机の上には供えのパンを置いて、常にわたしの前にあるようにしなければならない。

וְעָשִׂיתָ מְנֹרַת זָהָב טָהוֹר מִקְשָׁה תֵּעָשֶׂה הַמְּנוֹרָה יְרֵכָהּ וְקָנָהּ 31
そして–作りなさい 燭台を 金の 純粋な 打ち–物で 作られる 燭台は その–台と その–枝と
H6213 H4501 H2091 H2889 H4749 H6213 H4501 H3409 H7070

גְּבִיעֶיהָ כַּפְתֹּרֶיהָ וּפְרָחֶיהָ מִמֶּנָּה יִהְיוּ׃
その–杯と その–節と その–花とが それから 出る
H1375 H3730 H6525 H4480 H1961

また純金の燭台を造らなければならない。燭台は打物造りとし、その台、幹、萼、節、花を一つに連ならせなければならない。

וְשִׁשָּׁה קָנִים מִצִּדָּיהָ שְׁלֹשָׁה קְנֵי מְנֹרָה מִצִּדָּהּ הָאֶחָד 32
そして–六つの 枝が 出る その–両側から 三つの 枝が 燭台の その–側から 一方の
H8337 H7070 H3318 H6654 H7969 H7070 H4501 H6654 H0259

שְׁלֹשָׁה קְנֵי מְנֹרָה מִצִּדָּהּ הַשֵּׁנִי׃
また–三つの 枝が 燭台の その–側から もう–一方の
H7969 H7070 H4501 H6654 H8145

また六つの枝をそのわきから出させ、燭台の三つの枝をこの側から、燭台の三つの枝をかの側から出させなければならない。

33 שְׁלֹשָׁה גְבִעִים מְשֻׁקָּדִים בַּקַּנֶּה הָאֶחָד כַּפְתֹּר וָפָרַח וּשְׁלֹשָׁה גְבִעִים
三つの 杯が アーモンドの-形の 枝に 一つの 節と 花が-あり また-三つの 杯が
H7969 H1375 H8246 H7070 H0259 H3730 H6525 H7969 H1375

מְשֻׁקָּדִים בַּקַּנֶּה הָאֶחָד כַּפְתֹּר וָפָרַח כֵּן לְשֵׁשֶׁת הַקָּנִים הַיֹּצְאִים
アーモンドの-形の 枝に もう-一つの 節と 花が-ある そのように 六つの 枝に 出る
H8246 H7070 H0259 H3730 H6525 H8246 H7070 H8337 H3318

מִן־ הַמְּנֹרָה׃
～から 燭台から
H4501

あめんどうの花の形をした三つの萼が、それぞれ節と花をもって一つの枝にあり、また、あめんどうの花の形をした三つの萼が、それぞれ節と花をもってほかの枝にあるようにし、燭台から出る六つの枝を、みなそのようにしなければならない。

34 וּבַמְּנֹרָה אַרְבָּעָה גְבִעִים מְשֻׁקָּדִים כַּפְתֹּרֶיהָ וּפְרָחֶיהָ׃
また-燭台には 四つの 杯が-ある アーモンドの-形の その-節と その-花が-ある
H4501 H0702 H1375 H8246 H3730 H6525

また、燭台の幹には、あめんどうの花の形をした四つの萼を付け、その萼にはそれぞれ節と花をもたせなさい。

35 וְכַפְתֹּר תַּחַת שְׁנֵי הַקָּנִים מִמֶּנָּה וְכַפְתֹּר תַּחַת שְׁנֵי הַקָּנִים מִמֶּנָּה לְשֵׁשֶׁת הַקָּנִים הַיֹּצְאִים
また-節が-ある ～の-下に 二つの 枝の それから また-節が-ある ～の-下に 二つの 枝の それから 六つの 枝に 出る
H3730 H8478 H8147 H7070 H3730 H8478 H8147 H7070 H8337 H3318

מִן־ הַמְּנֹרָה׃
～から 燭台から
H4501

すなわち二つの枝の下に一つの節を取り付け、次の二つの枝の下に一つの節を取り付け、更に次の二つの枝の下に一つの節を取り付け、燭台の幹から出る六つの枝に、みなそのようにしなければならない。

36 כַּפְתֹּרֵיהֶם וּקְנֹתָם מִמֶּנָּה יִהְיוּ כֻלָּהּ מִקְשָׁה אַחַת זָהָב טָהוֹר׃
それらの-節と それらの-枝が それから 出る 全体が 打ち-物で 一つの 金の 純粋な
H3730 H7070 H4480 H1961 H3605 H4749 H0259 H2091 H2889

それらの節と枝を一つに連ね、ことごとく純金の打物造りにしなければならない。

37 וְעָשִׂיתָ אֶת־ נֵרֹתֶיהָ שִׁבְעָה נֵרֹתֶיהָ אֶת־ וְהֶעֱלָה וְהֵאִיר עַל־ פָּנֶיהָ׃
そして-作りなさい (を) その-灯火を 七つ その-灯火を (を) そして-灯しなさい その 前方の ～の-上を そして-照らす
H6213 H0853 H5216 H7651 H5216 H0853 H5927 H6440 H5676 H5921 H0215

また、それのともしび皿を七つ造り、そのともしび皿に火をともして、その前方を照させなければならない。

38 וּמַלְקָחֶיהָ וּמַחְתֹּתֶיהָ זָהָב טָהוֹר׃
また-その-芯切りばさみと その-火皿も 金の 純粋な
H4457 H4289 H2091 H2889

その芯切りばさみと、芯取り皿は純金で造らなければならない。

הָאֵֽלֶּה׃	הַכֵּלִים	כָּל־	אֶת	אֹתָהּ	יַעֲשֶׂה	טָהוֹר	זָהָב	כִּכָּר	39
これらの	器具も–共に	すべて–の	(を)	それを	作りなさい	純粋な	金で	ー–タラントの	
H0428	H3627	H3605	H0854	H0853		H2889	H2091	H3603	

すなわち純金一タラントで燭台と、これらのもろもろの器とが造られなければならない。

בָּהָֽר׃	מָרְאֶה	אַתָּה	אֲשֶׁר־	בְּתַבְנִיתָם	וַעֲשֵׂה	וּרְאֵה	40
山で	見せられた	あなたが	～した–	その–設計の–とおりに	そして–作りなさい	そして–見なさい	
H2022	H7200			H8403		H7200	

ס
(段落)

そしてあなたが山で示された型に従い、注意してこれを造らなければならない。

Chapter 26

וְאַרְגָּמָן	וּתְכֵלֶת	מָשְׁזָר	שֵׁשׁ	יְרִיעֹת	עֶשֶׂר	תַּעֲשֶׂה	הַמִּשְׁכָּן	וְאֶת־	1
紫色と	青色と	撚り糸と	亜麻の	幕で	十–枚の	あなたは–造りなさい	幕屋を	そして	
H0713	H8504	H7806		H3407	H6235		H4908	H0853	

אֹתָם׃	תַּעֲשֶׂה	חֹשֵׁב	מַעֲשֵׂה	כְּרֻבִים	שָׁנִי	וְתוֹלַעַת
それらを	造りなさい	織り手が	巧みな–技の	ケルビムを	糸で	緋色の
H0853		H2803	H4639	H3742	H8144	

あなたはまた十枚の幕をもって幕屋を造らなければならない。すなわち亜麻の撚糸、青糸、紫糸、緋糸で幕を作り、巧みなわざをもって、それにケルビムを織り出さなければならない。

הַיְרִיעָה	בָּאַמָּה	אַרְבַּע	וְרֹחַב	בָּאַמָּה	וְעֶשְׂרִים	שְׁמֹנֶה	הָאַחַת	הַיְרִיעָה	וְאֹרֶךְ	2
幕の	キュビトの	四	幅は	キュビトで	八	二十	ー–枚は	幕の	長さは	
H3407		H0702	H7341		H6242	H8083	H0259	H3407	H0753	

הַיְרִיעֹת׃	לְכָל־	אַחַת	מִדָּה	הָאֶחָת
幕に	すべての	一つの	同じ–寸法が	ー–枚は
H3407	H3605	H0259		H0259

幕の長さは、おのおの二十八キュビト、幕の幅は、おのおの四キュビトで、幕は皆同じ寸法でなければならない。

יְרִיעֹת	וְחָמֵשׁ	אַחַתָּה	אֶל־	אִשָּׁה	חֻבָּרֹת	תְּהֶיְנָה	הַיְרִיעֹת	חֲמֵשׁ	3
幕も	五–枚の	その–隣に	もう–一つに	一つが	つなぎ合わされた	なるように	幕は	五–枚の	
H3407	H2568	H0269	H0413	H0802	H2266	H1961	H3407	H2568	

אַחֹתָהּ׃	אֶל־	אִשָּׁה	חֻבָּרֹת	
その–隣に	もう–一つに	一つが	つなぎ合わされた	
H0269	H0413	H0802	H2266	

その幕五枚を互に連ね合わせ、また他の五枚の幕をも互に連ね合わせなければならない。

בַּחֹבֶרֶת	מִקְצֵה	הָאֶחָת	הַיְרִיעָה	שְׂפַת	עַל	תִּכֶלֶת	לֻלְאֹת	וְעָשִׂיתָ	4
つなぎ目で	端の	ー–枚目の	幕の	縁に	その	青色の	輪を	そして–造りなさい	
H2279	H7098	H0259	H3407	H8193		H8504	H3924		

הַשֵּׁנִית׃	בַּמַּחְבֶּרֶת	הַקִּיצוֹנָה	הַיְרִיעָה	בִּשְׂפַת	תַּעֲשֶׂה	וְכֵן	
第二の	もう–一方の–つなぎ目の	外側の	幕の	その–縁に	造りなさい	同じように	
H8145	H4225	H7020	H3407	H8193			

その一連の端にある幕の縁に青色の乳をつけ、また他の一連の端にある幕の縁にもそのようにしなければならない。

5

בִּקְצֵה
その-端に
H7097

תַּעֲשֶׂה
造りなさい
H6213

לֻלְאֹת
輪を
H3924

וַחֲמִשִּׁים
五十の
H2572

הָאֶחָת
一-枚目に
H0259

בַּיְרִיעָה
幕の
H3407

תַּעֲשֶׂה
造りなさい
H6213

לֻלְאֹת
輪を
H3924

חֲמִשִּׁים
五十の
H2572

אֶל־
もう-一つに
H0413

אִשָּׁה
一つが
H0802

הַלֻּלָאֹת
輪は
H3924

מַקְבִּילֹת
向かい合わせに
H6901

הַשֵּׁנִית
第二の
H8145

בַּמַּחְבֶּרֶת
もう-一方の-つなぎ目の
H4225

אֲשֶׁר
それは
H0834

הַיְרִיעָה
幕の
H3407

אֲחֹתָהּ׃
その-隣に
H0269

あなたは、その一枚の幕に乳五十をつけ、また他の一連の幕の端にも乳五十をつけ、その乳を互に相向かわせなければならない。

6

אִשָּׁה
一つを
H0802

הַיְרִיעֹת
幕を
H3407

אֶת־
(指示語)
H0853

וְחִבַּרְתָּ
そして-つなぎ合わせなさい
H2266

זָהָב
金の
H2091

קַרְסֵי
留め金を
H7165

חֲמִשִּׁים
五十の
H2572

וְעָשִׂיתָ
そして-造りなさい
H6213

פ
(段落)

אֶחָד׃
一つに
H0259

הַמִּשְׁכָּן
幕屋は
H4908

וְהָיָה
そして-なる
H1961

בַּקְרָסִים
留め金で
H7165

אֶחֹתָהּ
その-隣に
H0269

אֶל־
もう-一つに
H0413

あなたはまた金の輪五十を作り、その輪で幕を互に連ね合わせて一つの幕屋にしなければならない。

7

עֶשְׂרֵה
一-枚の
H6240

עַשְׁתֵּי־
十
H6249

הַמִּשְׁכָּן
幕屋の
H4908

עַל־
その-上に
H5921

לְאֹהֶל
天幕の-ために
H0168

עִזִּים
山羊の-毛の
H5795

יְרִיעֹת
幕を
H3407

וְעָשִׂיתָ
そして-造りなさい
H6213

אֹתָם׃
それらを
H0853

תַּעֲשֶׂה
造りなさい
H6213

יְרִיעֹת
幕を
H3407

また幕屋をおおう天幕のためにやぎの毛糸で幕を作らなければならない。すなわち幕十一枚を作り、

8

הָאַחַת
一-枚は
H0259

הַיְרִיעָה
幕の
H3407

בָּאַמָּה
キュビトの
H0520

אַרְבַּע
四
H0702

וְרֹחַב
幅は
H7341

בָּאַמָּה
キュビトで
H0520

שְׁלֹשִׁים
三十
H7970

הָאַחַת
一-枚は
H0259

הַיְרִיעָה
幕の
H3407

וְאֹרֶךְ
長さは
H0753

יְרִיעֹת׃
幕に
H3407

עֶשְׂרֵה
一-枚の
H6240

לְעַשְׁתֵּי
十
H6249

אַחַת
一つの
H0259

מִדָּה
同じ-寸法が

その一枚の幕の長さは三十キュビト、その一枚の幕の幅は四キュビトで、その十一枚の幕は同じ寸法でなければならない。

9

לְבָד
別々に
H0905

הַיְרִיעֹת
幕を
H3407

שֵׁשׁ
六-枚の
H8337

וְאֶת־
そして
H0853

לְבָד
別々に
H0905

הַיְרִיעֹת
幕を
H3407

חֲמֵשׁ
五-枚の
H2568

אֶת־
(指示語)
H0853

וְחִבַּרְתָּ
そして-つなぎ合わせなさい
H2266

הָאֹהֶל׃
天幕の
H0168

פְּנֵי
面の
H6440

מוּל
前-面に
H4136

אֶל־
その
H0413

הַשִּׁשִּׁית
第六の
H8345

הַיְרִיעָה
幕の
H3407

אֶת־
(指示語)
H0853

וְכָפַלְתָּ
そして-折り返しなさい
H3717

そして、その幕五枚を一つに連ね合わせ、またその幕六枚を一つに連ね合わせて、その六枚目の幕を天幕の前で折り重ねなければならない。

10 וְעָשִׂיתָ חֲמִשִּׁים לֻלָאֹת עַל שְׂפַת הַיְרִיעָה הָאֶחָת הַקִּיצֹנָה בַּחֹבֶרֶת
そして-造りなさい 五十の 輪を その 縁に 幕の 一-枚目の 外側の つなぎ目で
H2572 H3924 H8193 H3407 H0259 H7020 H2279

וַחֲמִשִּׁים לֻלָאֹת עַל שְׂפַת הַיְרִיעָה הַחֹבֶרֶת הַשֵּׁנִית׃
五十の 輪を その 縁に 幕の つなぎ目の 第二の
H2572 H3924 H8193 H3407 H2279 H8145

またその一連の端にある幕の縁に乳五十をつけ、他の一連の幕の縁にも乳五十をつけなさい。

11 וְעָשִׂיתָ חֲמִשִּׁים קַרְסֵי נְחֹשֶׁת וְהֵבֵאתָ אֶת־הַקְּרָסִים בַּלֻּלָאֹת
そして-造りなさい 五十の 留め金を 青銅の 留め金を そして-通しなさい (指示語) 留め金を 輪に
H2572 H7165 H5178 H0935 H0853 H7165 H3924

וְחִבַּרְתָּ אֶת־הָאֹהֶל וְהָיָה אֶחָד׃
そして-つなぎ合わせなさい 天幕を (指示語) そして-なる 一つに
H2266 H0168 H0853 H1961 H0259

そして青銅の輪五十を作り、その輪を乳に掛け、その天幕を連ね合わせて一つにし、

12 וְסֶרַחְתָּ הָעֹדֵף בִּירִיעֹת הָאֹהֶל חֲצִי הַיְרִיעָה הָעֹדֶפֶת תִּסְרַח עַל
そして-垂れ下がる 余りの 幕の-中で 天幕の 半-分の 幕の 余った 垂れ下がる その-上に
H5629 H5736 H3407 H2677 H3407 H0168 H5736 H5628

אֲחֹרֵי הַמִּשְׁכָּן׃
背-面に 幕屋の
H0268 H4908

その天幕の幕の残りの垂れる部分、すなわちその残りの半幕を幕屋のうしろに垂れさせなければならない。

13 וְהָאַמָּה מִזֶּה וְהָאַמָּה מִזֶּה בְּעֹדֶף בִּירִיעֹת הָאֹהֶל יִהְיֶה סָרוּחַ עַל־
そして-一-キュビトが こちら-側と 一-キュビトが あちら-側に 余りの-中で 幕の 天幕の なる 垂れ下がった その-上に
H2088 H2088 H5736 H3407 H0168 H1961 H5628

צִדֵּי הַמִּשְׁכָּן מִזֶּה וּמִזֶּה לְכַסֹּתוֹ׃
側-面に 幕屋の こちら-側と あちら-側に 覆う-ために
H6654 H4908 H2088 H2088 H3680

そして天幕の幕のたけで余るものの、こちらのキュビトと、あちらのキュビトとは、幕屋をおおうように、その両側のこちらとあちらとに垂れさせなければならない。

14 וְעָשִׂיתָ מִכְסֶה לָאֹהֶל עֹרֹת אֵילִם מְאָדָּמִים וּמִכְסֵה עֹרֹת תְּחָשִׁים
そして-造りなさい 覆いを 天幕の-ための 皮の 雄-羊の 赤く-染めた そして-覆いを 皮の じゅごんの
H4372 H0168 H5785 H0119 H4372 H5785

מִלְמָעְלָה׃ פ
その-上に (段落)
H4605

また、あかね染めの雄羊の皮で天幕のおおいと、じゅごんの皮でその上にかけるおおいとを造らなければならない。

15 וְעָשִׂיתָ אֶת־הַקְּרָשִׁים לַמִּשְׁכָּן עֲצֵי שִׁטִּים עֹמְדִים׃
そして-造りなさい (指示語) 板を 幕屋の-ための 木の アカシヤの 立てて
H0853 H7175 H4908 H6086 H7848 H5975

あなたは幕屋のために、アカシヤ材で立枠を造らなければならない。

16 עֶשֶׂר אַמּוֹת אֹרֶךְ הַקֶּרֶשׁ וְאַמָּה וַחֲצִי רֹחַב הָאֶחָד הַקֶּרֶשׁ׃
十 キュビトが 長さの 板の 一-キュビトと 半-分の 幅の 一-枚の 板の
H6235 H0753 H7175 H0853 H2677 H7341 H0259 H7175

枠の長さを十キュビト、枠の幅を一キュビト半とし、

17 שְׁתֵּי יָדוֹת לַקֶּרֶשׁ הָאֶחָד מְשֻׁלָּבֹת אִשָּׁה אֶל־אֲחֹתָהּ כֵּן
二つの ほぞを 板の 一−枚に はめ合わせた 一つを もう−一つに その−隣に このように
H8147 H3027 H7175 H0259 H7947 H0802 H0413 H0269

תַּעֲשֶׂה לְכָל קַרְשֵׁי הַמִּשְׁכָּן׃
造りなさい すべての 板に 幕屋の
H3605 H7175 H4908

枠ごとに二つの柄を造って、かれとこれとを食い合わせ、幕屋のすべての枠にこのようにしなければならない。

18 וְעָשִׂיתָ אֶת־הַקְּרָשִׁים לַמִּשְׁכָּן עֶשְׂרִים קְרֶשׁ לִפְאַת נֶגְבָּה תֵּימָנָה׃
そして−造りなさい 板を (指示語) 幕屋の−ための 二十の 板を その−側の 南−側 テマンへ
H0853 H7175 H4908 H6242 H7175 H6285 H5045 H8486

あなたは幕屋のために枠を造り、南側のために枠二十とし、

19 וְאַרְבָּעִים אֲדָנֵי־כֶסֶף תַּעֲשֶׂה תַּחַת עֶשְׂרִים הַקֶּרֶשׁ שְׁנֵי אֲדָנִים תַּחַת־
四十の 台−座を 銀の 造りなさい その−下に 二十の 板の 二つの 台座を その−下に
H0705 H0134 H3701 H6242 H8478 H7175 H8147 H0134 H8478

הָאֶחָד הַקֶּרֶשׁ תַּחַת־ אֲדָנִים וּשְׁנֵי יְדֹתָיו לִשְׁתֵּי הָאֶחָד הַקֶּרֶשׁ
一−枚目の 板の その−下に 台座を 二つの ほぞの−ために その−二つの 一−枚目の 板の
H0259 H7175 H8478 H0134 H8147 H3027 H8147 H0259 H7175

יְדֹתָיו׃ לִשְׁתֵּי
ほぞの−ために その−二つの
H3027 H8147

その二十の枠の下に銀の座四十を造って、この枠の下に、その二つの柄のために二つの座を置き、かの枠の下にもその二つの柄のために二つの座を置かなければならない。

20 וְלִצֶּלַע הַמִּשְׁכָּן הַשֵּׁנִית לִפְאַת צָפוֹן עֶשְׂרִים קָרֶשׁ׃
幕屋の−側の 第二の 幕屋の 北−側に 二十の 板を
H6763 H8145 H4908 H6828 H6242 H7175

また幕屋の他の側、すなわち北側のためにも枠二十を造り、

21 וְאַרְבָּעִים אַדְנֵיהֶם כֶּסֶף שְׁנֵי אֲדָנִים תַּחַת הַקֶּרֶשׁ הָאֶחָד וּשְׁנֵי אֲדָנִים
四十の 台座を−その 銀の 二つの 台座を その−下に 板の 一−枚目の 二つの 台座を
H0705 H0134 H3701 H8147 H0134 H8478 H7175 H0259 H8147 H0134

תַּחַת הַקֶּרֶשׁ הָאֶחָד׃
その−下に 板の 一−枚目の
H8478 H7175 H0259

その銀の座四十を造って、この枠の下に、二つの座を置き、かの枠の下にも二つの座を置かなければならない。

22 וְלִירֵכְתֵי הַמִּשְׁכָּן יָמָּה תַּעֲשֶׂה שִׁשָּׁה קְרָשִׁים׃
幕屋の−後ろ−面に 幕屋の 西−側に 造りなさい 六−枚の 板を
H3411 H4908 H3220 H6213 H8337 H7175

また幕屋のうしろ、すなわち西側のために枠六つを造り、

23 וּשְׁנֵי קְרָשִׁים תַּעֲשֶׂה לְמִקְצֹעֹת הַמִּשְׁכָּן בַּיְרֵכָתָיִם׃
二−枚の 板を 造りなさい 隅−柱の−ために 幕屋の 後ろ−面の−両−側に
H8147 H7175 H6213 H4742 H4908 H3411

幕屋のうしろの二つのすみのために枠二つを造らなければならない。

24 וְיִהְיוּ֙ תְּאֹמִ֣ים מִלְמַטָּ֔ה וְיַחְדָּ֥ו יִהְיוּ֖ תַּמִּ֑ים עַל־רֹאשׁ֗וֹ אֶל־הַטַּבַּ֤עַת הָאֶחָת֙ כֵּ֣ן יִהְיֶ֣ה לִשְׁנֵיהֶ֔ם לִשְׁנֵ֥י הַמִּקְצֹעֹ֖ת יִהְיֽוּ׃

וְיִהְיוּ	תְּאֹמִם	מִלְמַטָּה	וְיַחְדָּו	יִהְיוּ	תַּמִּם	עַל־	רֹאשׁוֹ	אֶל־	הַטַּבַּעַת	הָאֶחָת	כֵּן	יִהְיֶה	לִשְׁנֵיהֶם	לִשְׁנֵי	הַמִּקְצֹעֹת	יִהְיוּ׃
そして-なる	対に-なった	下-から	一-緒に	なる	完全に	その-上に	頂上で	その	環の	一つの	このように	なる	二つ-とも	二つの	隅-柱に	なる
H1961	H8382	H4295		H1961	H8535			H0413	H2885	H0259		H1961	H8147	H8147	H4740	H1961

これらは下で重なり合い、同じくその頂でも第一の環まで重なり合うようにし、その二つともそのようにしなければならない。それらは二つのすみのために設けるものである。

25 וְהָי֣וּ שְׁמֹנָ֔ה וְאַדְנֵיהֶ֖ם כֶּ֣סֶף שִׁשָּׁ֣ה עָשָׂ֔ר אַדְנֵ֥י עָשָׂ֖ר שְׁנֵ֣י אַדָנִ֑ים תַּחַת֙ הַקֶּ֣רֶשׁ הָאֶחָ֔ד וּשְׁנֵ֥י אַדְנִ֖ים תַּחַ֥ת הַקֶּ֥רֶשׁ הָאֶחָֽד׃

וְהָיוּ	שְׁמֹנָה	קְרָשִׁים	וְאַדְנֵיהֶם	כֶּסֶף	שִׁשָּׁה	עָשָׂר	אַדְנֵי	עָשָׂר	שְׁנֵי	אַדָנִים	תַּחַת	הַקֶּרֶשׁ	הָאֶחָד	וּשְׁנֵי	אַדְנִים	תַּחַת	הַקֶּרֶשׁ	הָאֶחָד׃
そして-なる	八-枚の	板と	その-台座は	銀の	十	六の	台座で	二つの	台座を		その-下に	板の	一-枚目の	二つの	台座を		その-下に	一-枚目の
H1961	H8083	H7175	H0134	H3701	H8337	H6240	H0134	H8147	H0134		H8478	H7175	H0259	H8147	H0134		H8478	H0259

こうしてその枠は八つ、その銀の座は十六、この枠の下に二つの座、かの枠の下にも二つの座を置かなければならない。

26 וְעָשִׂ֖יתָ בְּרִיחִ֑ם חֲמִשָּׁ֣ה לְקַרְשֵׁ֤י צֶלַע־הַמִּשְׁכָּן֙ הָאֶחָֽד׃

וְעָשִׂיתָ	בְּרִיחִם	חֲמִשָּׁה	לְקַרְשֵׁי	צֶלַע־	הַמִּשְׁכָּן	הָאֶחָד׃		
そして-造りなさい	横木を	五-本を	板の-ための	側-面の	幕屋の	一-方の		
	H1280	H2568	H7175	H6763	H4908	H0259		

またアカシヤ材で横木を造らなければならない。すなわち幕屋のこの側の枠のために五つ、

27 וַחֲמִשָּׁה֙ בְּרִיחִ֣ם לְקַרְשֵׁ֣י צֶלַע֮ הַמִּשְׁכָּן֒ הַשֵּׁנִ֔ית וַחֲמִשָּׁה֙ בְּרִיחִ֣ם לְקַרְשֵׁ֣י צֶלַע֮ הַמִּשְׁכָּן֒ לַיַּרְכָתַ֖יִם יָמָּֽה׃

וַחֲמִשָּׁה	בְּרִיחִם	לְקַרְשֵׁי	צֶלַע	הַמִּשְׁכָּן	הַשֵּׁנִית	וַחֲמִשָּׁה	בְּרִיחִם	לְקַרְשֵׁי	צֶלַע	הַמִּשְׁכָּן	לַיַּרְכָתַיִם	יָמָּה׃				
五-本の	横木を	板の-ための	側-面の	幕屋の	第二の	五-本の	横木を	板の-ための	側-面の	幕屋の	後ろ-面の-両-側に	西-側に				
H2568	H1280	H7175	H6763	H4908	H8145	H2568	H1280	H7175	H6763	H4908	H3411	H3220				

また幕屋のかの側の枠のために横木五つ、幕屋のうしろの西側の枠のために横木五つを造り、

28 וְהַבְּרִ֣יחַ הַתִּיכֹ֗ן בְּתוֹךְ֙ הַקְּרָשִׁ֔ים מַבְרֹ֖חַ מִן־הַקָּצֶ֣ה הַקָּצֶ֑ה אֶל־הַקָּצֶֽה׃

וְהַבְּרִיחַ	הַתִּיכֹן	בְּתוֹךְ	הַקְּרָשִׁים	מַבְרֹחַ	מִן־	הַקָּצֶה	הַקָּצֶה	אֶל־	הַקָּצֶה׃
そして-横木の	中央の	真ん中に	板の	貫き通す	その	端から	端まで	もう-一方の	端まで
H1280	H8484	H8432	H7175	H1272				H0413	

枠のまん中にある中央の横木は端から端まで通るようにしなければならない。

29 וְאֶת־הַקְּרָשִׁ֣ים תְּצַפֶּ֗ה זָהָב֙ וְאֶת־טַבְּעֹתֵיהֶם֙ תַּעֲשֶׂ֣ה זָהָ֔ב בָּתִּ֖ים לַבְּרִיחִ֑ם וְצִפִּ֥יתָ אֶת־הַבְּרִיחִ֖ם זָהָֽב׃

וְאֶת־	הַקְּרָשִׁים	תְּצַפֶּה	זָהָב	וְאֶת־	טַבְּעֹתֵיהֶם	תַּעֲשֶׂה	זָהָב	בָּתִּים	לַבְּרִיחִם	וְצִפִּיתָ	אֶת־	הַבְּרִיחִם	זָהָב׃			
そして	板を	おおいなさい	金で	そして	環を-その	造りなさい	金の	受け口を	横木の-ための	そして-おおいなさい	(指示語)	横木を	金で			
H0853	H7175	H6823	H2091	H0853	H2885		H2091		H1280	H6823	H0853	H1280	H2091			

そしてその枠を金でおおい、また横木を通すその環を金で造り、また、その横木を金でおおわなければならない。

30 וַהֲקֵמֹתָ֖ אֶת־הַמִּשְׁכָּ֑ן כְּמִשְׁפָּטׁ֔וֹ אֲשֶׁ֥ר הָרְאֵ֖יתָ בָּהָֽר׃ ס

וַהֲקֵמֹתָ	אֶת־	הַמִּשְׁכָּן	כְּמִשְׁפָּטוֹ	אֲשֶׁר	הָרְאֵיתָ	בָּהָר׃	ס	
そして-建てなさい	(指示語)	幕屋を	その-定めに-従って	それは	示された	山で	(区切り)	
	H0853	H4908	H4941		H7200	H2022		

こうしてあなたは山で示された様式に従って幕屋を建てなければならない。

31 וְעָשִׂיתָ פָּרֹכֶת תְּכֵלֶת וְאַרְגָּמָן וְתוֹלַעַת שָׁנִי וְשֵׁשׁ מָשְׁזָר מַעֲשֵׂה
そして–造りなさい 垂れ幕を 青色と 紫色と 緋色の 糸と 亜麻の 撚り糸で 巧みな–技の
H6532 H8504 H0713 H8144 H7806 H4639

חֹשֵׁב יַעֲשֶׂה אֹתָהּ כְּרֻבִים׃
織り手が 造る それを ケルビムと–共に
H2803 H0853 H3742

また青糸、紫糸、緋糸、亜麻の撚糸で垂幕を作り、巧みなわざをもって、それにケルビムを織り出さなければならない。

32 וְנָתַתָּה אֹתָהּ עַל־אַרְבָּעָה עַמּוּדֵי שִׁטִּים מְצֻפִּים זָהָב וָוֵיהֶם
そして–掛けなさい それを その–上に 四–本の 柱に アカシヤの おおわれた 金で その–鉤は
H5414 H0853 H0702 H5982 H7848 H6823 H2091 H2053

זָהָב עַל־אַרְבָּעָה אַדְנֵי־כָסֶף׃
金の その–上の 四つの 台–座の 銀の
H2091 H0134 H0702 H0134 H3701

そして金でおおった四つのアカシヤ材の柱の金の鉤にこれを掛け、その柱は四つの銀の座の上にすえなければならない。

33 וְנָתַתָּה אֶת־הַפָּרֹכֶת תַּחַת הַקְּרָסִים וְהֵבֵאתָ שָׁמָּה
そして–掛けなさい (指示語) 垂れ幕を その–下に 留め金の そして–運び入れなさい そこに
H5414 H0853 H6532 H8478 H7165 H0935 H8033

מִבֵּית לַפָּרֹכֶת וְהִבְדִּילָה הַפָּרֹכֶת לָכֶם אֶת אֲרֹן הָעֵדוּת וּבֵין
内–側に 垂れ幕の (指示語) 契約の箱を あかしの そして–分ける 垂れ幕は あなたがたの–ために
H6532 H0853 H0727 H5715 H0914 H6532

קֹדֶשׁ וּבֵין הַקֹּדֶשׁ לְבֵין הַקָּדָשִׁים׃
聖なる その–間の 聖所と その–間を 至聖所の
H6944 H0996 H6944 H0996

その垂幕の輪を鉤に掛け、その垂幕の内にあかしの箱を納めなさい。その垂幕はあなたがたのために聖所と至聖所とを隔て分けるであろう。

34 וְנָתַתָּ אֶת־כַּפֹּרֶת עַל אֲרֹן הָעֵדֻת בְּקֹדֶשׁ הַקָּדָשִׁים׃
そして–置きなさい (指示語) 贖いの–蓋を その–上に 契約の箱の あかしの 聖なる–所に 至聖所に
H5414 H0853 H3727 H0727 H5715 H6944 H6944

また至聖所にあるあかしの箱の上に贖罪所を置かなければならない。

35 וְשַׂמְתָּ אֶת־הַשֻּׁלְחָן מִחוּץ לַפָּרֹכֶת וְאֶת־הַמְּנֹרָה נֹכַח הַשֻּׁלְחָן עַל
そして–置きなさい (指示語) 机を 外–側に 垂れ幕の そして 燭台を 向かい–側に 机の その
H5414 H0853 H7979 H2351 H6532 H0853 H4501 H5227 H7979

צֶלַע תֵּימָנָה וְהַשֻּׁלְחָן תֵּתָן עַל־צֶלַע הַמִּשְׁכָּן צָפוֹן׃
側–面の 南–側に そして–机は 置きなさい その–上の 側–面の 幕屋の 北–側に
H6763 H8486 H5414 H6763 H4908 H6828

そしてその垂幕の外に机を置き、幕屋の南側に、机に向かい合わせて燭台を置かなければならない。ただし机は北側に置かなければならない。

36 וְעָשִׂיתָ מָסָךְ לְפֶתַח הָאֹהֶל תְּכֵלֶת וְאַרְגָּמָן וְתוֹלַעַת שָׁנִי וְשֵׁשׁ
そして–造りなさい 幕を 入り口の–ための 天幕の 青色と 紫色と 緋色の 糸と 亜麻の
H6532 H4539 H6607 H0168 H8504 H0713 H8144

מַעֲשֵׂה רֹקֵם׃ מָשְׁזָר
刺繍の–技で 織った 撚り糸で
H4639 H7551 H7806

あなたはまた天幕の入口のために青糸、紫糸、緋糸、亜麻の撚糸で、色とりどりに織ったとばりを作らなければならない。

זָהָב	אֹתָם	וְצִפִּיתָ	שִׁטִּים	עַמּוּדֵי	חֲמִשָּׁה	לַמָּסָךְ	וְעָשִׂיתָ	37
金で	それらを	そして-おおいなさい	アカシヤの	柱を	五-本の	幕の-ための	そして-造りなさい	
H2091	H0853	H6823	H7848	H5982	H2568	H4539		

ס	נְחֹשֶׁת׃	אַדְנֵי	חֲמִשָּׁה	לָהֶם	וְיָצַקְתָּ	זָהָב	וָוֵיהֶם
(区切り)	青銅の	台-座を	五つの	それらの-ために	そして-鋳造しなさい	金の	その-鉤は
		H0134	H2568		H3332	H2091	H2053

あなたはそのとばりのためにアカシヤ材の柱五つを造り、これを金でおおい、その鉤を金で造り、またその柱のために青銅の座五つを鋳て造らなければならない。

Chapter 27

וְחָמֵשׁ	אַרֹךְ	אַמּוֹת	חָמֵשׁ	שִׁטִּים	עֲצֵי	הַמִּזְבֵּחַ	אֶת־	וְעָשִׂיתָ	1
五	長さと	キュビトの	五	アカシヤの	木の	祭壇を	(指示語)	そして-造りなさい	
H2568	H0753		H2568	H7848	H6086	H4196	H0853		

קֹמָתוֹ׃	אַמּוֹת	וְשָׁלֹשׁ	הַמִּזְבֵּחַ	יִהְיֶה	רָבוּעַ	רֹחַב	אַמּוֹת
その-高さに	キュビトの	三	祭壇は	なる	正方形に	幅で	キュビトの
H6967		H7969	H4196	H1961	H7251	H7341	

あなたはまたアカシヤ材で祭壇を造らなければならない。長さ五キュビト、幅五キュビトの四角で、高さは三キュビトである。

קַרְנֹתָיו	תִּהְיֶיןָ	מִמֶּנּוּ	פִּנֹּתָיו	אַרְבַּע	עַל	קַרְנֹתָיו	וְעָשִׂיתָ	2
その-角は	なる	それから	隅に	四つの	その	その-角を	そして-造りなさい	
	H1961		H6438	H0702				

נְחֹשֶׁת׃	אֹתוֹ	וְצִפִּיתָ
青銅で	それを	そして-おおいなさい
	H0853	H6823

その四すみの上にその一部としてそれの角を造り、青銅で祭壇をおおわなければならない。

וּמִזְלְגֹתָיו	וּמִזְרְקֹתָיו	וְיָעִיו	לְדַשְׁנוֹ	סִירֹתָיו	וְעָשִׂיתָ	3
その-肉叉と	その-鉢と	その-シャベルと	灰を-取る-ための	その-灰壺を	そして-造りなさい	
	H4219	H3257	H1878			

נְחֹשֶׁת׃	תַּעֲשֶׂה	כֵּלָיו	לְכָל־	וּמַחְתֹתָיו
青銅で	造りなさい	その-器具を	すべての	その-火皿と
		H3627	H3605	H4289

また灰を取るつぼ、十能、鉢、肉叉、火皿を造り、その器はみな青銅で造らなければならない。

הָרֶשֶׁת	עַל־	וְעָשִׂיתָ	נְחֹשֶׁת	רֶשֶׁת	מַעֲשֶׂה	מִכְבָּר	לוֹ	וְעָשִׂיתָ	4
網の	その-上に	そして-造りなさい	青銅の	網の	仕上げの	格子を	それに	そして-造りなさい	
H7568				H7568	H4639	H4345			

קְצוֹתָיו׃	אַרְבַּע	עַל	נְחֹשֶׁת	טַבָּעֹת	אַרְבַּע
その-端に	四つの	その	青銅の	環を	四つの
H7098	H0702			H2885	H0702

また祭壇のために青銅の網細工の格子を造り、その四すみで、網の上に青銅の環を四つ取り付けなければならない。

5 וְנָתַתָּה אֹתָהּ תָּחַת כַּרְכֹּב מִלְמָטָּה הַמִּזְבֵּחַ וְהָיְתָה הָרֶשֶׁת עַד
そして-置きなさい それを その-下に 縁の 祭壇の 下-から なる そして-網は その
H5414 H0853 H8478 H3749 H4196 H4295 H1961 H7568 H5704

חֲצִי׃ הַמִּזְבֵּחַ
半-分まで 祭壇の
H2677 H4196

その網を祭壇の出張りの下に取り付け、これを祭壇の高さの半ばに達するようにしなければならない。

6 וְעָשִׂיתָ בַדִּים לְמִזְבַּח בַּדֵי עֲצֵי שִׁטִּים וְצִפִּיתָ אֹתָם
造りなさい 棒を 祭壇の-ための 棒を 木の アカシヤの そして-おおいなさい それらを
H6213 H0905 H4196 H0905 H6086 H7848 H6823 H0853

נְחֹשֶׁת׃
青銅で

また祭壇のために、さおを造らなければならない。すなわちアカシヤ材で、さおを造り、青銅で、これをおおわなければならない。

7 וְהוּבָא אֶת־ בַּדָּיו בַּטַּבָּעֹת וְהָיוּ הַבַּדִּים עַל־ שְׁתֵּי צַלְעֹת
そして-通される (指示語) その-棒が 環に なる そして-棒は その-上の 二つの 側-面に
H0935 H0853 H0905 H2885 H1961 H0905 H5921 H8147 H6763

אֹתוֹ׃ בִּשְׂאֵת הַמִּזְבֵּחַ
それを 運ぶ-ときに 祭壇の
H0853 H5375 H4196

そのさおを環に通し、さおを祭壇の両側にして、これをかつがなければならない。

8 נְבוּב לֻחֹת תַּעֲשֶׂה אֹתוֹ כַּאֲשֶׁר הָרְאָה אֹתְךָ בָּהָר כֵּן
中空の 板で 造りなさい それを そのとおりに 示された あなたに 山で そのように
H5014 H3871 H6213 H0853 H3588 H7200 H0853 H2022 H3651

יַעֲשׂוּ׃ ס
彼らは-造りなさい (区切り)

祭壇は板で空洞に造り、山で示されたように、これを造らなければならない。

9 וְעָשִׂיתָ אֶת חֲצַר לְפֵאָת נֶגֶב־ תֵּימָנָה קְלָעִים לַמִּשְׁכָּן לִפְאַת
そして-造りなさい (指示語) 庭を その-側の 南-側 テマンの 掛け幕を 幕屋の 庭の-ための
H6213 H0853 H2691 H6285 H5045 H8486 H7157 H4908 H6285

הָאֶחָת׃ לִפְאָה אֹרֶךְ בָּאַמָּה מֵאָה מָשְׁזָר שֵׁשׁ
一-方の その-側の 長さで キュビトの 百 撚り糸の 亜麻の
H0259 H6285 H0753 H0520 H3967 H7806 H8336

あなたはまた幕屋の庭を造り、両側では庭のために長さ百キュビトの亜麻の撚糸のあげばりを設け、その一方に当てなければならない。

10 וְעַמֻּדָיו עֶשְׂרִים וְאַדְנֵיהֶם עֶשְׂרִים נְחֹשֶׁת וָוֵי הָעַמֻּדִים וַחֲשֻׁקֵיהֶם כֶּסֶף׃
その-柱は 二十の その-台座は 二十の 青銅の 鉤は 柱の その-帯金は 銀の
H5982 H6242 H0134 H6242 H5178 H2053 H5982 H2838 H3701

その柱は二十、その柱の二十の座は青銅にし、その柱の鉤と桁とは銀にしなければならない。

11 וְכֵ֣ן לִפְאַ֔ת צָפ֖וֹן בָּאֹ֣רֶךְ קְלָעִ֑ים מֵאָ֤ה אַ֙מָּ֔ה [ועמדון] עַמּוּדֵ֖יהֶם (וְעַמּוּדָ֑יו)

同じく その-側の 北-側に その-長さに 掛け幕は 百 の-長さで [次言] その-柱は

H0134 H2572 H2838 H2053 H5982 H6242 H0134 H6242 H3701

כָּֽסֶף׃ וַחֲשֻׁקֵיהֶם֙ הָעַמֻּדִ֔ים וָוֵי֖ נְחֹ֑שֶׁת עֶשְׂרִ֤ים וְאַדְנֵיהֶם֙ עֶשְׂרִ֔ים

銀の その-帯金は 柱の 鉤は 青銅の 二十の その-台座は 二十の

H3701 H2838 H5982 H2053 H6242 H0134 H6242

また同じく北側のために、長さ百キュビトのあげばりを設けなければならない。その柱は二十、その柱の二十の座は青銅にし、その柱の鉤と桁とは銀にしなければならない。

12 וְרֹ֣חַב הֶֽחָצֵר֮ לִפְאַת־ יָ֒ם קְלָעִ֣ים חֲמִשִּׁ֗ים אַמָּה֙ עַמֻּדֵיהֶ֣ם עֲשָׂרָ֔ה

幅は 庭の その-側の 西-側に 掛け幕は 五十 キュビトの その-柱は 十の

H7341 H2572 H6285 H3220 H5982 H6235

וְאַדְנֵיהֶ֖ם עֲשָׂרָ֑ה׃

その-台座は 十の

H0134 H6235

また庭の西側の幅のために五十キュビトのあげばりを設けなければならない。その柱は十、その座も十。

13 וְרֹ֣חַב הֶֽחָצֵר֮ קֵ֣דְמָה֒ מִזְרָ֗חָה חֲמִשִּׁ֙ים֙ אַמָּ֔ה׃

幅は 庭の その-側の 東-側 日の-昇る-方に 五十 キュビトの

H7341 H2572 H6285 H4217 H2572

また東側でも庭の幅を五十キュビトにしなければならない。

14 וַחֲמֵ֤שׁ עֶשְׂרֵה֙ אַמָּ֣ה קְלָעִ֔ים לַכָּתֵ֖ף שְׁלֹשָׁ֑ה עַמֻּדֵיהֶ֣ם שְׁלֹשָׁ֔ה וְאַדְנֵיהֶ֖ם שְׁלֹשָׁ֑ה׃

十五 キュビトの 掛け幕が その-片側に 三つの その-柱は 三つの その-台座は 三つの

H2568 H6240 H3802 H5982 H7969 H0134 H7969

そしてその一方に十五キュビトのあげばりを設けなければならない。その柱は三つ、その座も三つ。

15 וְלַכָּתֵ֥ף הַשֵּׁנִ֖ית מִזֶּ֣ה וּמִזֶּ֑ה חֲמֵ֤שׁ עֶשְׂרֵה֙ אַמָּ֣ה קְלָעִ֔ים עַמֻּדֵיהֶ֣ם שְׁלֹשָׁ֔ה וְאַדְנֵיהֶ֖ם שְׁלֹשָׁ֑ה׃

もう-一方の-片側に 第二の 十五 キュビトの 掛け幕が その-柱は 三つの その-台座は 三つの

H3802 H8145 H2568 H6240 H5982 H7969 H0134 H7969

また他の一方にも十五キュビトのあげばりを設けなければならない。その柱は三つ、その座も三つ。

16 וּלְשַׁ֣עַר הֶֽחָצֵר֮ מָסָךְ֒ עֶשְׂרִ֣ים אַמָּה֮ תְּכֵלֶת֒ וְאַרְגָּמָן֙ וְתוֹלַ֣עַת שָׁנִ֔י וְשֵׁ֖שׁ

そして-門の-ために 庭の 幕は 二十 キュビトの 青色と 紫色と 緋色の 糸と 亜麻の

H8179 H4539 H6242 H8504 H0713 H8144 H7806

מַעֲשֵׂ֣ה רֹקֵ֑ם אַרְבָּעָה֙ עַמֻּדֵיהֶ֣ם אַרְבָּעָ֔ה וְאַדְנֵיהֶ֖ם אַרְבָּעָ֑ה׃

刺繍の-技で 織った その-柱は 四つの その-台座は 四つの

H4639 H7551 H5982 H0702 H0134 H0702

庭の門のために青糸、紫糸、緋糸、亜麻の撚糸で、色とりどりに織った長さ二十キュビトのとばりを設けなければならない。その柱は四つ、その座も四つ。

17 כָּל־ עַמּוּדֵ֥י הֶֽחָצֵר֙ סָבִ֔יב מְחֻשָּׁקִ֖ים כֶּ֑סֶף וָוֵיהֶם֙ כֶּ֔סֶף וַאדְנֵיהֶ֖ם נְחֹ֥שֶׁת׃

すべての 柱は 庭の 周囲の 帯金で-結ばれた 銀で 鉤は 銀の その-台座は 青銅の

H3605 H5982 H2644 H5439 H2672 H3701 H2053 H3701 H0134

庭の周囲の柱はみな銀の桁でつなぎ、その鉤は銀、その座は青銅にしなければならない。

18 אֹ֣רֶךְ הֶֽחָצֵר֮ מֵאָה֒ בָּאַמָּ֗ה וְרֹ֙חַב֙ חֲמִשִּׁ֔ים בַּחֲמִשִּׁ֖ים וְקוֹמָ֣ה חָמֵ֑שׁ שֵׁ֖שׁ

長さは 庭の 百 キュビトで 幅は 五十の 五十で 高さは 五 亜麻の

H0753 H2644 H3967 H0520 H7341 H2572 H2572 H6967 H2568 H8336

מְשֻׁזָּ֔ר וַאדְנֵיהֶ֖ם נְחֹ֥שֶׁת׃

撚り糸の その-台座は 青銅の

H7806 H0134 H5178

庭の長さは百キュビト、その幅は五十キュビト、その高さは五キュビトで、亜麻の撚糸の布を掛けめぐらし、その座を青銅にしなければならない。

19 לְכֹל֙ כְּלֵ֣י הַמִּשְׁכָּ֔ן בְּכָל־עֲבֹדָתֹ֖ו וְכָל־יְתֵדֹתָ֑יו וְכָל־יִתְדֹ֥ת הֶחָצֵ֖ר נְחֹֽשֶׁת׃ ס

すべての 器具は 幕屋の その–すべての 務めの–ための すべての その–杭も すべての 杭も 庭の 青銅の (区切り)

H3605 H3627 H4908 H3605 H5656 H3605 H3489 H3605 H3489 H2691 H5235 H6680

すべて幕屋に用いるもろもろの器、およびそのすべての釘、また庭のすべての釘は青銅で造らなければならない。

20 וְאַתָּ֣ה תְצַוֶּ֔ה אֶת־בְּנֵ֖י יִשְׂרָאֵ֑ל וְיִקְח֣וּ אֵלֶ֔יךָ

そして–あなたは 命じなさい (指示語) 子らに イスラエルの そして–持って–来させなさい

H3947 H6680 H0853 H1121 H3478 H3947

שֶׁ֥מֶן זַ֖יִת זָ֑ךְ כָּתִ֥ית לַמָּאֹ֖ור לְהַעֲלֹ֥ת נֵֽר׃

油を オリーブの 純粋な 搾りたての 灯火の–ための 燃やす–ために 灯を

H8081 H2132 H2134 H3795 H3974 H5927 H5216

תָּמִֽיד׃

常に

H8548

あなたはまたイスラエルの人々に命じて、オリブをつぶして採った純粋の油を、ともし火のために持ってこさせ、絶えずともし火をともさなければならない。

21 בְּאֹ֣הֶל מֹועֵ֗ד מִחֻ֤ץ לַפָּרֹכֶת֙ אֲשֶׁ֣ר עַל־הָעֵדֻ֔ת יַעֲרֹ֥ךְ אֹת�ֹ֖ו אַהֲרֹ֣ן וּבָנָ֑יו מֵעֶ֤רֶב עַד־בֹּ֙קֶר֙ לִפְנֵ֣י יְהוָ֔ה חֻקַּ֥ת עֹולָ֖ם לְדֹרֹתָ֑ם מֵאֵ֥ת בְּנֵ֖י יִשְׂרָאֵֽל׃ ס

会見の 天幕の–中で 外–側に 垂れ幕の それは その–前の あかしの それを 整えなさい アロンと その–子らが 夕から その 朝まで その–前に 主の 定めとして 永遠の 世代を–通じて 子ら からの (区切り) イスラエルの

H0168 H4150 H2351 H6532 H0834 H5921 H5715 H853 H3559 H175 H1121 H6153 H5704 H1242 H6440 H3068 H2708 H5769 H1755 H1121 H4480 H3478

アロンとその子たちとは、会見の幕屋の中のあかしの箱の前にある垂幕の外で、夕から朝まで主の前に、そのともし火を整えなければならない。これはイスラエルの人々の守るべき世々変らざる定めでなければならない。

Chapter 28

1 וְאַתָּ֗ה הַקְרֵ֤ב אֵלֶ֙יךָ֙ אֶת־אַהֲרֹ֣ן אָחִ֔יךָ וְאֶת־

そして–あなたは 近づけなさい あなたの–もとに (指示語) アロンを あなたの–兄を そして

H0853 H7126 H0413 H0853 H0175 H0251 H0853

אַהֲרֹ֣ן לִ֔י מִתֹּ֖וךְ בְּנֵ֣י יִשְׂרָאֵ֑ל לְכַהֲנֹ֥ו בְּנָֽיו׃

アロンと わたしに 祈司として–仕える イスラエルの 子らの その–中から 彼と–共に その–子らを

H0175 H3547 H3478 H8432 H0854

אַהֲרֹ֔ן בְּנֵ֣י אֶלְעָזָ֖ר וְאִיתָמָֽר׃ נָדָ֥ב וַאֲבִיה֖וּא

アロンの 子らである イタマルと エルアザルと アビフと ナダブと

H0175 H0385 H0499 H0030 H5070

またイスラエルの人々のうちから、あなたの兄弟アロンとその子たち、すなわちアロンとアロンの子ナダブ、アビウ、エレアザル、イタマルとをあなたのもとにこさせ、祭司としてわたしに仕えさせ、

2

וְעָשִׂיתָ	בִּגְדֵי־	קֹדֶשׁ	לְאַהֲרֹן	אָחִיךָ	לְכָבוֹד	וּלְתִפְאָרֶת׃
そして–造りなさい	衣–服を	聖なる	アロンの–ための	あなたの–兄の	栄光と	輝きの–ために
		H6944	H0175	H0251	H3519	H8597

またあなたの兄弟アロンのために聖なる衣服を作って、彼に栄えと麗しきをもたせなければならない。

3

וְאַתָּה	תְדַבֵּר	אֶל־	כָּל־	חַכְמֵי־	לֵב	אֲשֶׁר	מִלֵּאתִיו	רוּחַ
そして–あなたは	話しなさい	その	すべての	知恵の	心の	それは	満たした–わたしが	霊で
	H1696	H0413	H3605	H2450			H4390	H7307

חָכְמָה	וְעָשׂוּ	אֶת־	בִּגְדֵי	אַהֲרֹן	לְקַדְּשׁוֹ	לְכַהֲנוֹ־	לִי׃
知恵の	そして–造りなさい	(指示語)	衣服を	アロンの	聖別する–ために	祈司として–仕える	わたしに
H2451		H0853		H0175	H6942	H3547	

あなたはすべて心に知恵ある者、すなわち、わたしが知恵の霊を満たした者たちに語って、アロンの衣服を作らせ、アロンを聖別し、祭司としてわたしに仕えさせなければならない。

4

וְאֵלֶּה	הַבְּגָדִים	אֲשֶׁר	יַעֲשׂוּ	חֹשֶׁן	וְאֵפוֹד	וּמְעִיל	כְּתֹנֶת	תַּשְׁבֵּץ
そして–これらが	衣服である	それらが	造る	胸当てと	エポデと	上着と	市松模様の	下着と
H0428				H2833	H0646	H4598	H3801	H8665

וְאַבְנֵט	מִצְנֶפֶת	אָחִיךָ	לְאַהֲרֹן	קֹדֶשׁ	בִּגְדֵי־	וְעָשׂוּ	
帯とである	かぶり物と	あなたの–兄の	アロンの–ための	聖なる	衣–服を	そして–造りなさい	
H0073	H4701	H0251	H0175	H6944			

לִי׃	לְכַהֲנוֹ־	וּלְבָנָיו	
わたしに	祈司として–仕える	その–子らの–ための	
	H3547		

彼らの作るべき衣服は次のとおりである。すなわち胸当、エポデ、衣、市松模様の服、帽子、帯である。彼らはあなたの兄弟アロンとその子たちとのために聖なる衣服を作り、祭司としてわたしに仕えさせなければならない。

5

תּוֹלַעַת	וְאֶת־	הָאַרְגָּמָן	וְאֶת־	הַתְּכֵלֶת	וְאֶת־	הַזָּהָב	אֶת־	יִקְחוּ	וְהֵם
緋色の	そして	紫色と	そして	青色と	そして	金と	(指示語)	取りなさい	そして–彼らは
	H0853	H0713	H0853	H8504	H0853	H2091	H0853	H3947	H1992

פ	הַשֵּׁשׁ׃	וְאֶת־	הַשָּׁנִי	
(段落)	亜麻を	そして	糸と	
		H0853	H8144	

彼らは金糸、青糸、紫糸、緋糸、亜麻の撚糸を受け取らなければならない。

6

מָשְׁזָר	וְשֵׁשׁ	שָׁנִי	תּוֹלַעַת	וְאַרְגָּמָן	תְּכֵלֶת	זָהָב	הָאֵפֹד	אֶת־	וְעָשׂוּ
撚り糸で	亜麻の	糸と	緋色の	紫色と	青色と	金と	エポデを	(指示語)	そして–造りなさい
H7806		H8144		H0713	H8504	H2091	H0646	H0853	

חֹשֵׁב׃	מַעֲשֵׂה
織り手が	巧みな–技の
H2803	H4639

そして彼らは金糸、青糸、紫糸、緋糸、亜麻の撚糸を用い、巧みなわざをもってエポデを作らなければならない。

7

וְחֻבָּר׃	קְצוֹתָיו	שְׁנֵי	אֶל־	לוֹ	יְהִיֶה־	חֹבְרֹת	כְּתֵפֹת	שְׁתֵּי
つなぎ合わされる	端に	二つの	その	それに	なるように	つなぎ合わせた	肩当てを	二つの
H2266	H7098	H8147	H0413		H1961	H2266	H3802	H8147

これに二つの肩ひもを付け、その両端を、これに付けなければならない。

8

וְחֵשֶׁב אֲפֻדָּתוֹ אֲשֶׁר עָלָיו כְּמַעֲשֵׂהוּ מִמֶּנּוּ יִהְיֶה זָהָב תְּכֵלֶת וְאַרְגָּמָן
וְחֵשֶׁב そして-帯は | אֲפֻדָּתוֹ エポデの | אֲשֶׁר それは | עָלָיו その-上の | כְּמַעֲשֵׂהוּ 同じ-仕上げの | מִמֶּנּוּ それから | יִהְיֶה なる | זָהָב 金と | תְּכֵלֶת 青色と | וְאַרְגָּמָן 紫色と
H2805 | H0642 | H0996 | H4639 | H1961 | H2091 | H8504 | H0713

וְתוֹלַעַת שָׁנִי וְשֵׁשׁ מָשְׁזָר׃
וְתוֹלַעַת 緋色の | שָׁנִי 糸と | וְשֵׁשׁ 亜麻の | מָשְׁזָר 撚り糸で
H8144 | H7806

エポデの上で、これをつかねる帯は、同じきれでエポデの作りのように、金糸、青糸、紫糸、緋糸、亜麻の撚糸で作らなければならない。

9

וְלָקַחְתָּ אֶת־שְׁתֵּי אַבְנֵי־שֹׁהַם וּפִתַּחְתָּ עֲלֵיהֶם שְׁמוֹת
וְלָקַחְתָּ そして-取りなさい | אֶת־ (指示語) | שְׁתֵּי 二つの | אַבְנֵי־ 石を | שֹׁהַם 縞瑪瑙の | וּפִתַּחְתָּ そして-彫りなさい | עֲלֵיהֶם その-上に | שְׁמוֹת 名を
H3947 | H0853 | H8147 | H0068 | H7718 | | H8034

בְּנֵי יִשְׂרָאֵל׃
בְּנֵי 子らの | יִשְׂרָאֵל イスラエルの
H3478

あなたは二つの縞めのうを取って、その上にイスラエルの子たちの名を刻まなければならない。

10

שִׁשָּׁה מִשְּׁמוֹתָם עַל הָאֶבֶן הָאֶחָת וְאֶת־שְׁמוֹת הַשִּׁשָּׁה הַנּוֹתָרִים עַל־הָאֶבֶן
שִׁשָּׁה 六つの | מִשְּׁמוֹתָם その-名の | עַל その-上に | הָאֶבֶן 石の | הָאֶחָת 一つの | וְאֶת־ そして | שְׁמוֹת 名を | הַשִּׁשָּׁה 六つの | הַנּוֹתָרִים 残りの | עַל־ その-上に | הָאֶבֶן 石の
H8337 | H8034 | H5921 | H0068 | H0259 | H0853 | H8034 | H8337 | H3498 | H5921 | H0068

הַשֵּׁנִית כְּתוֹלְדֹתָם׃
הַשֵּׁנִית 第二の | כְּתוֹלְדֹתָם その-生まれの-順に
H8145 | H8435

すなわち、その名六つを一つの石に、残りの名六つを他の石に、彼らの生れた順に刻まなければならない。

11

מַעֲשֵׂה חָרַשׁ אֶבֶן פִּתּוּחֵי חֹתָם תְּפַתַּח שְׁתֵּי אַבְנֵי אֶת־ הָאֲבָנִים
מַעֲשֵׂה 技の | חָרַשׁ 石-工の | אֶבֶן 石の | פִּתּוּחֵי 印章の-彫りのように | חֹתָם 印の | תְּפַתַּח 彫りなさい | שְׁתֵּי 二つの | אֶת־ (指示語) | הָאֲבָנִים 石を
H4639 | H2796 | H0068 | H6603 | H2368 | H8552 | H8147 | H0853 | H0068

עַל־ שְׁמֹת בְּנֵי יִשְׂרָאֵל מְסֻבֹּת מִשְׁבְּצוֹת זָהָב תַּעֲשֶׂה אֹתָם׃
עַל־ その-上に | שְׁמֹת 名の | בְּנֵי 子らの | יִשְׂרָאֵל イスラエルの | מְסֻבֹּת 囲まれた | מִשְׁבְּצוֹת 金の-縁取りで | זָהָב 金の | תַּעֲשֶׂה 造りなさい | אֹתָם それらを
H5921 | H8034 | H1121 | H3478 | H4142 | H4865 | H2091 | H6213 | H0853

宝石に彫刻する人が印を彫刻するように、イスラエルの子たちの名をその二つの石に刻み、それを金の編細工にはめ、

12

וְשַׂמְתָּ אֶת־ שְׁתֵּי הָאֲבָנִים עַל כִּתְפֹת הָאֵפֹד אַבְנֵי זִכָּרֹן
וְשַׂמְתָּ そして-置きなさい | אֶת־ (指示語) | שְׁתֵּי 二つの | הָאֲבָנִים 石を | עַל その-上に | כִּתְפֹת 肩当ての | הָאֵפֹד エポデの | אַבְנֵי 石として | זִכָּרֹן 記念の
H7760 | H0853 | H8147 | H0068 | H5921 | H3802 | H0646 | H0068 | H2146

לִבְנֵי יִשְׂרָאֵל וְנָשָׂא אַהֲרֹן אֶת־ שְׁמוֹתָם לִפְנֵי יְהוָה
לִבְנֵי 子らの-ための | יִשְׂרָאֵל イスラエルの | וְנָשָׂא そして-負う | אַהֲרֹן アロンは | אֶת־ (指示語) | שְׁמוֹתָם その-名を | לִפְנֵי その-前に | יְהוָה 主の
H3478 | H5375 | H0175 | H0853 | H8034 | H6440 | H3068

עַל־ שְׁתֵּי כְתֵפָיו לְזִכָּרֹן׃ ס
עַל־ その-上の | שְׁתֵּי 二つの | כְתֵפָיו 肩に | לְזִכָּרֹן 記念として | ס (区切り)
H8147 | H3802 | H2146

この二つの石をエポデの肩ひもにつけて、イスラエルの子たちの記念の石としなければならない。こうしてアロンは主の前でその両肩に彼らの名を負うて記念としなければならない。

13

וְעָשִׂיתָ מִשְׁבְּצֹת זָהָב׃
וְעָשִׂיתָ そして-造りなさい | מִשְׁבְּצֹת 金の-縁取りを | זָהָב 金の
H4865 | H2091

あなたはまた金の編細工を作らなければならない。

עֲבֹת	מַעֲשֵׂה	אֹתָם	תַּעֲשֶׂה	מִגְבָּלֹת	טָהוֹר	זָהָב	שַׁרְשְׁרֹת	וּשְׁתֵּי	14
據り網の	仕上げの	それらを	造りなさい	組み紐の	純粋な	金の	鎖を	二つの	
H5688	H4639	H0853		H4020	H2889	H2091	H8333	H8147	

ס	הַמִּשְׁבְּצֹת׃	עַל־	הָעֲבֹתֹת	שַׁרְשְׁרֹת	אֶת־	וְנָתַתָּה	
(区切り)	金の–縁取りの	その–上に	據り網の	鎖を	(指示語)	そして–付けなさい	
	H4865		H5688	H8333	H0853	H5414	

そして二つの純金の鎖を、ひも細工にねじて作り、そのひもの鎖をかの編細工につけなければならない。

אֵפֹד	כְּמַעֲשֵׂה	חֹשֶׁב	מַעֲשֵׂה	מִשְׁפָּט	חֹשֶׁן	וְעָשִׂיתָ	15
エポデの	同じ–仕上げで	織り手が	巧みな–技の	裁きの	胸当てを	そして–造りなさい	
H0646	H4639	H2803	H4639	H4941	H2833		

אֹתוֹ׃	תַּעֲשֶׂה	מְשֻׁזָּר	וְשֵׁשׁ	שָׁנִי	וְתוֹלַעַת	וְאַרְגָּמָן	תְּכֵלֶת	זָהָב	תַּעֲשֵׂנוּ
それを	造りなさい	撚り糸で	亜麻の	糸と	緋色の	紫色と	青色と	金と	造りなさい–それを
H0853		H7806		H8144		H0713	H8504	H2091	

あなたはまたさばきの胸当を巧みなわざをもって作り、これをエポデの作りのように作らなければならない。すなわち金糸、青糸、紫糸、緋糸、亜麻の撚糸で、これを作らなければならない。

רָחְבּוֹ׃	וְזֶרֶת	אָרְכּוֹ	זֶרֶת	כָּפוּל	יִהְיֶה	רָבוּעַ	16
その–幅に	一–ゼレトの	その–長さで	一–ゼレトの	二重に	なる	正方形に	
H7341	H2239	H0753	H2239	H3717	H1961	H7251	

これは二つに折って四角にし、長さは一指当り、幅も一指当りとしなければならない。

אֹדֶם	טוּר	אֶבֶן	טוּרִים	אַרְבָּעָה	אֶבֶן	מִלֻּאַת	בּוֹ	וּמִלֵּאתָ	17
ルビーと	列は	宝石を	列の	四つの	宝石を	はめ込みの	その–中に	そして–はめなさい	
H0124	H2905	H0068	H2905	H0702	H0068	H4396		H4390	

הָאֶחָד׃	הַטּוּר	וּבָרֶקֶת	פִּטְדָה׀
第一の	列の	エメラルドと	トパーズと
H0259	H2905		H6357

またその中に宝石を四列にはめ込まなければならない。すなわち紅玉髄、貴かんらん石、水晶の列を第一列とし、

וְיָהֲלֹם׃	סַפִּיר	נֹפֶךְ	הַשֵּׁנִי	וְהַטּוּר	18
ダイヤモンドと	サファイアと	ターコイズと	第二は	そして–列の	
H3095	H5601	H5306	H8145	H2905	

第二列は、ざくろ石、るり、赤縞めのう。

וְאַחְלָמָה׃	שְׁבוֹ	לֶשֶׁם	הַשְּׁלִישִׁי	וְהַטּוּר	19
アメジストと	アゲートと	ヒヤシンスと	第三は	そして–列の	
H0306	H7618	H3958	H7992	H2905	

第三列は黄水晶、めのう、紫水晶。

בְּמִלּוּאָתָם׃	יִהְיוּ	זָהָב	מְשֻׁבָּצִים	וְיָשְׁפֵה	וְשֹׁהַם	תַּרְשִׁישׁ	הָרְבִיעִי	וְהַטּוּר	20
その–はめ込みに	なる	金で	囲まれた	碧玉と	縞瑪瑙と	緑柱石と	第四は	そして–列の	
H4396	H1961	H2091	H7660	H3471	H7718	H8658	H7243	H2905	

第四列は黄碧玉、縞めのう、碧玉であって、これらを金の編細工の中にはめ込まなければならない。

21 וְהָאֲבָנִים תִּהְיֶיןָ עַל־שְׁמֹת בְּנֵי־יִשְׂרָאֵל שְׁתֵּים עֶשְׂרֵה עַל־שְׁמֹתָם פִּתּוּחֵי חוֹתָם אִישׁ עַל־שְׁמוֹ תִּהְיֶיןָ לִשְׁנֵי עָשָׂר לִשְׁנֵי עָשָׂר שֵׁבֶט׃

21 そして-宝石は なる その-上に 名の 子らの イスラエルの 十 二の その-上に
H0068 H1961 H8034 H3478 H8147 H6240 H5921

その-名の 印章の-彫りのように 印の 各々が その-上に その-名の なる その-ための 十二の
H8034 H6603 H2368 H0376 H5921 H8034 H1961 H8147 H6240

部族の
H7626

その宝石はイスラエルの子らの名に従い、その名とひとしく十二とし、おのおの印の彫刻のように十二の部族のためにその名を刻まなければならない。

22 וְעָשִׂיתָ עַל־הַחֹשֶׁן שַׁרְשֹׁת גַּבְלֻת מַעֲשֵׂה עֲבֹת זָהָב טָהוֹר׃

22 そして-造りなさい その-上に 胸当ての 鎖を 組み紐の 仕上げの 据り網の 金の 純粋な
H2833 H8331 H1383 H4639 H5688 H2091 H2889

またひも細工にねじた純金の鎖を胸当につけなければならない。

23 וְעָשִׂיתָ עַל־הַחֹשֶׁן טַבְּעוֹת שְׁתֵּי זָהָב וְנָתַתָּ אֶת־שְׁתֵּי הַטַּבָּעֹת שְׁנֵי קְצוֹת הַחֹשֶׁן׃

23 そして-造りなさい その-上に 胸当ての 二つの 環を 金の そして-付けなさい (指示語)
H2833 H8147 H2885 H2091 H5414 H0853

二つの 環を その-上に 端の 二つの 胸当ての
H8147 H2885 H5921 H7098 H8147 H2833

また、胸当のために金の環二つを作り、胸当の両端にその二つの環をつけ、

24 וְנָתַתָּה אֶת־שְׁתֵּי הָעֲבֹתֹת זָהָב עַל־שְׁתֵּי קְצוֹת הַחֹשֶׁן׃

24 そして-付けなさい (指示語) 二つの 据り網の 金の その-上に 二つの 環の その 端の
H5414 H0853 H8147 H5688 H2091 H5921 H8147 H2885 H0413 H7098

胸当ての
H2833

かの二筋の金のひもを胸当の端の二つの環につけなければならない。

25 וְאֶת שְׁתֵּי קְצוֹת הָעֲבֹתֹת הָעֵבֹת שְׁתֵּי עַל־שְׁתֵּי הַמִּשְׁבְּצוֹת וְנָתַתָּה עַל־כִּתְפוֹת הָאֵפֹד אֶל־מוּל פָּנָיו׃

25 そして 二つの 端を 二つの 据り網の 二つの その-上に 付けなさい 二つの 金の-縁取りの
H0853 H8147 H7098 H8147 H5688 H8147 H5921 H5414 H8147 H4865

その-面の 前-面に その エポデの 肩当ての その-上に そして-付けなさい
H6440 H4136 H0413 H0646 H3802 H5921 H5414

ただし、その二筋のひもの他の両端をかの二つの編細工につけ、エポデの肩ひもにつけて、前にくるようにしなければならない。

26 וְעָשִׂיתָ שְׁתֵּי זָהָב טַבְּעוֹת וְשַׂמְתָּ אֹתָם עַל־שְׁנֵי קְצוֹת הַחֹשֶׁן עַל־שְׂפָתוֹ אֲשֶׁר אֶל־עֵבֶר הָאֵפֹד בָּיְתָה׃

26 そして-造りなさい 二つの 環を 金の それらを その-上に 二つの 端の
H5414 H8147 H2885 H2091 H0853 H5921 H8147 H7098

そして-置きなさい
H7760

その-縁の それは その 向かい-側の エポデの 内-側に
H8193 H0834 H0413 H5676 H0646 H0413

その-上の 胸当ての
H5921 H2833

あなたはまた二つの金の環を作って、これを胸当の両端につけなければならない。すなわちエポデに接する内側の縁にこれをつけなければならない。

27 וְעָשִׂיתָ שְׁתֵּי טַבְּעוֹת זָהָב עַל־אִתָּם וְנָתַתָּה שְׁתֵּי כִּתְפֹת הָאֵפֹד מִלְמַטָּה מִמּוּל פָּנָיו מֵחִבַּרְתּוֹ מִמַּעַל לְחֹשֶׁב הָאֵפֹד׃

וְעָשִׂיתָ	שְׁתֵּי	טַבְּעוֹת	זָהָב	וְנָתַתָּה	אֹתָם	עַל־	שְׁתֵּי	כִּתְפֹת	
そして-造りなさい	二つの	環を	金の	そして-付けなさい	それらを	その-上に	二つの	肩当ての	
H6213	H8147	H2885	H2091	H5414	H0853	H5921	H8147	H3802	
הָאֵפֹד	מִלְמַטָּה	מִמּוּל	פָּנָיו	לְעֻמַּת	מֵחִבַּרְתּוֹ	מִמַּעַל	לְחֹשֶׁב		
エポデの	下-側に	その-前の	面の	その-合わせ-目に	その-継ぎ目の	上-に	帯の		
H0646	H4295	H4136	H6440	H5980	H4225	H4605	H2805		

הָאֵפֹד׃
エポデの
H0646

また二つの金の環を作って、これをエポデの二つの肩ひもの下の部分につけ、前の方で、そのつなぎ目に近く、エポデの帯の上の方にあるようにしなければならない。

28 וְיִרְכְּסוּ אֶת־הַחֹשֶׁן מִטַּבְּעֹתָיו (מטבעתו) אֶל־טַבְּעֹת הָאֵפֹד בִּפְתִיל תְּכֵלֶת וְהָיָה עַל־חֵשֶׁב הָאֵפֹד וְלֹא־יִזַּח הַחֹשֶׁן מֵעַל הָאֵפֹד׃

וְיִרְכְּסוּ	אֶת־	הַחֹשֶׁן	מִטַּבְּעֹתָיו	(מטבעתו)	אֶל־	טַבְּעֹת	הָאֵפֹד	בִּפְתִיל	
そして-結びなさい	(指示語)	胸当てを	その-環から	[次言]	その	環に	エポデの	紐で	
H7405	H0853	H2833	H2885	H2885	H0413	H2885	H0646	H6616	
תְּכֵלֶת	לִהְיוֹת	עַל־	חֵשֶׁב	הָאֵפֹד	וְלֹא־	יִזַּח	הַחֹשֶׁן	מֵעַל	
青色の	ある-ために	その-上に	帯の	エポデの	そして-ない-ように	ずれる	胸当てが	その-上から	
H8504	H1961	H5921	H2805	H0646	H3808	H2118	H2833		

הָאֵפֹד׃
エポデの
H0646

胸当は青ひもをもって、その環をエポデの環に結びつけ、エポデの帯の上の方にあるようにしなければならない。こうして胸当がエポデから離れないようにしなければならない。

29 וְנָשָׂא אַהֲרֹן אֶת־שְׁמוֹת בְּנֵי־יִשְׂרָאֵל בְּחֹשֶׁן הַמִּשְׁפָּט עַל־לִבּוֹ בְּבֹאוֹ אֶל־הַקֹּדֶשׁ לְזִכָּרֹן לִפְנֵי יְהוָה תָּמִיד׃

וְנָשָׂא	אַהֲרֹן	אֶת־	שְׁמוֹת	בְּנֵי־	יִשְׂרָאֵל	בְּחֹשֶׁן	הַמִּשְׁפָּט	עַל־	
そして-負う	アロンは	(指示語)	名を	子らの	イスラエルの	胸当ての-中の	裁きの	その-上に	
H5375	H0175	H0853	H8034	H1121	H3478	H2833	H4941	H5921	
לִבּוֹ	בְּבֹאוֹ	אֶל־	הַקֹּדֶשׁ	לְזִכָּרֹן	לִפְנֵי־	יְהוָה	תָּמִיד׃		
その-心の	入る-ときに	その	聖所に	記念として	その-前に	主の	常に		
H3824	H0935	H0413	H6944	H2146	H6440	H3068	H8548		

アロンが聖所にはいる時は、さばきの胸当にあるイスラエルの子たちの名をその胸に置き、主の前に常に覚えとしなければならない。

30 וְנָתַתָּ אֶל־חֹשֶׁן הַמִּשְׁפָּט אֵת הָאוּרִים וְאֶת־הַתֻּמִּים וְהָיוּ עַל־לֵב אַהֲרֹן בְּבֹאוֹ לִפְנֵי יְהוָה וְנָשָׂא אַהֲרֹן אֶת־מִשְׁפַּט בְּנֵי יִשְׂרָאֵל עַל־לִבּוֹ לִפְנֵי יְהוָה תָּמִיד׃ ס

וְנָתַתָּ	אֶל־	חֹשֶׁן	הַמִּשְׁפָּט	אֵת	הָאוּרִים	וְאֶת־	הַתֻּמִּים		
そして-入れなさい	その-中に	胸当ての	裁きの	(指示語)	ウリムと	そして	トンミムを		
H5414	H0413	H2833	H4941	H0853	H0224	H0853	H8550		
וְהָיוּ	עַל־	לֵב	אַהֲרֹן	בְּבֹאוֹ	לִפְנֵי	יְהוָה	וְנָשָׂא	אַהֲרֹן	
そして-なる	その-上に	心の	アロンの	入る-ときに	その-前に	主の	そして-負う	アロンは	
H1961	H5921	H3820	H0175	H0935	H6440	H3068	H5375	H0175	
אֶת־	מִשְׁפַּט	בְּנֵי־	יִשְׂרָאֵל	עַל־	לִבּוֹ	לִפְנֵי	יְהוָה	תָּמִיד׃	ס
(指示語)	裁きを	子らの	イスラエルの	その-上に	その-心の	その-前に	主の	常に	(区切り)
H0853	H4941	H1121	H3478	H5921	H3824	H6440	H3068	H8548	

あなたはさばきの胸当にウリムとトンミムを入れて、アロンが主の前にいたる時、その胸の上にあるようにしなければならない。こうしてアロンは主の前に常にイスラエルの子たちのさばきを、その胸に置かなければならない。

31 וְעָשִׂיתָ אֶת־מְעִיל הָאֵפֹד כְּלִיל תְּכֵלֶת׃

וְעָשִׂיתָ	אֶת־	מְעִיל	הָאֵפֹד	כְּלִיל	תְּכֵלֶת׃
そして-造りなさい	(指示語)	上着を	エポデの	すべて	青色の
H6213	H0853	H4598	H0646	H3632	H8504

あなたはまた、エポデに属する上服をすべて青地で作らなければならない。

32 וְהָיָה פִּי־ רֹאשׁוֹ בְּתוֹכוֹ שְׂפָה יִהְיֶה לְפִיו סָבִיב מַעֲשֵׂה
そして-なる 口が その-頂上の その-中に 縁が なる その-口の-ために 周囲に 仕上げの
H1961 H6310 H8193 H8432 H8473 H6310 H1961

כִּפִּי כְּפִי תַּחְרָא יִהְיֶה־ לוֹ לְאׇ יִקָּרֵעַ׃
織り手の 口のように 鎖帷子の なるように それに ない-ように 引き裂かれる
H0707 H6310 H8473 H1961 H3808 H7167

頭を通す口を、そのまん中に設け、その口の周囲には、よろいのえりのように織物の縁をつけて、ほころびないようにし、

33 וְעָשִׂיתָ עַל־ שׁוּלָיו רִמֹּנֵי תְכֵלֶת וְאַרְגָּמָן וְתוֹלַעַת שָׁנִי עַל־
そして-造りなさい その-上に その-裾に ざくろを 青色と 紫色と 緋色の 糸の その-上に
H1961 H7757 H7416 H8504 H0713 H8144

שׁוּלָיו סָבִיב פַּעֲמֹנֵי וּפַעֲמֹנֵי זָהָב בְּתוֹכָם סָבִיב׃
その-裾に 周囲に 金の 金の-鈴を 金の 鈴と その-間に 周囲に
H7757 H5439 H2091 H6472 H2091 H8432 H5439

そのすそには青糸、紫糸、緋糸で、ざくろを作り、そのすその周囲につけ、また周囲に金の鈴をざくろの間々につけなければならない。

34 פַּעֲמֹן זָהָב וְרִמֹּון פַּעֲמֹן זָהָב וְרִמֹּון עַל־ שׁוּלֵי הַמְּעִיל סָבִיב׃
金の-鈴と 金の ざくろと 金の-鈴と 金の ざくろと その-上に 裾の 上着の 周囲に
H6472 H2091 H7416 H6472 H2091 H7416 H7757 H4598 H5439

すなわち金の鈴にざくろ、また金の鈴にざくろと、上服のすその周囲につけなければならない。

35 וְהָיָה עַל־ אַהֲרֹן לְשָׁרֵת וְנִשְׁמַע קוֹלוֹ בְּבֹאוֹ אֶל־
そして-なる その-上に アロンの 仕える-ために そして-聞こえる その-音が 入る-ときに その
H1961 H0175 H8334 H8085 H6963 H0935 H0413

הַקֹּדֶשׁ לִפְנֵי יְהוָה וּבְצֵאתוֹ וְלֹא יָמוּת׃ ס
聖所に その-前に 主の 出る-ときに そして-ない-ように 死ぬ (区切り)
H6944 H6440 H3068 H3318 H3808 H4191

アロンは務の時、これを着なければならない。彼が聖所にはいって主の前にいたる時、また出る時、その音が聞えて、彼は死を免れるであろう。

36 וְעָשִׂיתָ צִיץ זָהָב טָהוֹר וּפִתַּחְתָּ עָלָיו פִּתּוּחֵי חוֹתָם
そして-造りなさい 花の-形を 金の 純粋な そして-彫りなさい その-上に 彫りで 印の
H1961 H6731 H2091 H2889 H6605 H5921 H6603 H2368

קֹדֶשׁ לַיהוָה׃
聖なる 主に
H6944 H3068

あなたはまた純金の板を造り、印の彫刻のように、その上に『主に聖なる者』と刻み、

37 וְשַׂמְתָּ אֹתוֹ עַל־ פְּתִיל תְּכֵלֶת וְהָיָה עַל־ הַמִּצְנֶפֶת אֶל־
そして-置きなさい それを その-上に 紐の 青色の そして-なる その-上に かぶり物の その
H1961 H0853 H6616 H8504 H1961 H5921 H4701 H0413

מוּל פְּנֵי־ הַמִּצְנֶפֶת יִהְיֶה׃
前-面の 面の かぶり物の なる
H4136 H6440 H4701 H1961

これを青ひもで帽子に付け、それが帽子の前の方に来るようにしなければならない。

38 וְהָיָה֙ עַל־ אַהֲרֹ֔ן וְנָשָׂ֣א אַהֲרֹ֔ן אֶת־ עֲוֹ֖ן הַקֳּדָשִׁ֑ים
そして–なる 額の アロンの そして–負う アロンは (指示語) 罪を 聖なる–ものの
H1961 H4696 H0175 H5375 H0175 H0853 H5771 H6944

וְהָיָ֣ה עַל־ מִצְחוֹ֮ תָּמִ֣יד לְרָצ֣וֹן לָהֶם֒ לִפְנֵ֣י יְהוָֽה׃
そして–なる その–額の 常に 受け入れの–ために 彼らの–ために その–前に 主の
H1961 H4696 H8548 H7522 H0853 H6440 H3068

וְנָשָׂ֣א אַהֲרֹ֗ן אֶת־ עֲוֹן֙ הַקֳּדָשִׁ֔ים אֲשֶׁ֥ר יַקְדִּ֖ישׁוּ בְּנֵ֣י יִשְׂרָאֵ֑ל לְכֹ֖ל־ מַתְּנֹ֣ת קָדְשֵׁיהֶ֔ם כָּל־ זְמֹ֥ת יִהְיֶ֖ה עַל־ מִצְחֹ֑ו וְרָצ֥וּ לָהֶ֖ם לִפְנֵ֥י יְהוָֽה׃

これはアロンの額にあり、そしてアロンはイスラエルの人々がささげる聖なる物、すなわち彼らのもろもろの聖なる供え物についての罪の責めを負うであろう。これは主の前にそれらの受けいれられるため、常にアロンの額になければならない。

39 וְשִׁבַּצְתָּ֙ הַכְּתֹ֣נֶת שֵׁ֔שׁ וְעָשִׂ֥יתָ מִצְנֶ֖פֶת שֵׁ֑שׁ וְאַבְנֵ֥ט תַּעֲשֶׂ֖ה מַעֲשֵׂ֥ה רֹקֵֽם׃
そして–織りなさい 下着を 亜麻の そして–造りなさい かぶり物を 亜麻の 帯も 造りなさい 織った 刺繍の–技で
H7660 H3801 H8336 H6701 H8336 H4701 H0073 H6213 H4639

あなたは亜麻糸で市松模様に下服を織り、亜麻布で、ずきんを作り、また、帯を色とりどりに織って作らなければならない。

40 וְלִבְנֵ֣י אַהֲרֹ֗ן תַּעֲשֶׂ֤ה כֻתֳּנֹת֙ וְעָשִׂ֣יתָ לָהֶ֔ם אַבְנֵטִ֖ים וּמִגְבָּעֹ֣ות תַּעֲשֶׂ֣ה לָהֶ֑ם לְכָבֹ֖וד וּלְתִפְאָֽרֶת׃
そして–子らの–ために アロンの 造りなさい 下着を そして–造りなさい 帯を 帽子も 造りなさい 彼らの–ために 栄光と 輝きの–ために
H1961 H0175 H6213 H3801 H6213 H0853 H4021 H6213 H0853 H3519 H8597

あなたはまたアロンの子たちのために下服を作り、彼らのために帯を作り、彼らのために、ずきんを作って、彼らに栄えと麗しきをもたせなければならない。

41 וְהִלְבַּשְׁתָּ֣ אֹתָ֔ם אֶת־ אַהֲרֹ֖ן אָחִ֑יךָ וְאֶת־ בָּנָ֖יו אִתֹּֽו׃
そして–着せなさい それらを アロンに (指示語) あなたの–兄に そして その–子らに 彼と–共に
H3847 H0853 H0175 H0853 H0251 H0853 H1121 H0854

וּמָשַׁחְתָּ֣ אֹתָ֔ם וּמִלֵּאתָ֥ יָדָ֖ם וְקִדַּשְׁתָּ֣ אֹתָ֑ם וְכִהֲנ֖וּ לִֽי׃
そして–油を–注ぎなさい 彼らに そして–満たしなさい その–手を (指示語) そして–聖別しなさい
H4886 H0853 H4390 H3027 H0853 H6942

וְכִהֲנ֖וּ そして–祈司として–仕える
H3547

לִֽי׃ わたしに

אֹתָֽם 彼らを
H0853

そしてあなたはこれをあなたの兄弟アロンおよび彼と共にいるその子たちに着せ、彼らに油を注ぎ、彼らを職に任じ、彼らを聖別し、祭司として、わたしに仕えさせなければならない。

42 וַעֲשֵׂ֣ה לָהֶ֗ם מִכְנְסֵי־ בָד֙ לְכַסֹּ֣ות בְּשַׂ֣ר עֶרְוָ֔ה מִמָּתְנַ֖יִם וְעַד־ יְרֵכַ֥יִם יִהְיֽוּ׃
そして–造りなさい 彼らの–ために 下–着を 亜麻の 覆う–ために 肉–体の 裸の 腰から その ももまで なる
H6213 H3801 H4370 H0906 H3680 H1320 H6172 H4975 H5704 H3409 H1961

また、彼らのために、その隠し所をおおう亜麻布のしたばきを作り、腰からももに届くようにしなければならない。

מוֹעֵד אֹהֶל אֶל־ וּבְבֹאָם בָּנָיו וְעַל־ אַהֲרֹן עַל־ וְהָיוּ׃ 43
天幕に 会見の その 入る-ときに その-子らの その-上に アロンと その-上に そして-なる
H4150 H0168 H0413 H0935 H0175 H1961

עָוֹן יִשְׂאוּ וְלֹא־ בַקֹּדֶשׁ לְשָׁרֵת הַמִּזְבֵּחַ אֶל־ בְּגִשְׁתָּם אוֹ
罪を 負う そして-ない-ように 聖所で 仕える-ために 祭壇に その 近づく-ときに または
H5771 H5375 H3808 H6944 H8334 H4196 H0413 H5066

ס אַחֲרָיו׃ וּלְזַרְעוֹ עִמּוֹ חֻקַּת עוֹלָם וָמֵתוּ
(区切り) 彼の-後に その-子孫の-ために 彼と 永遠の 定めとして そして-死ぬ
H2233 H5769 H2708 H4191

アロンとその子たちは会見の幕屋にはいる時、あるいは聖所で務をするために祭壇に近づく時に、これを着なければならない。そうすれば、彼らは罪を得て死ぬことはないであろう。これは彼と彼の後の子孫とのための永久の定めでなければならない。

Chapter 29

אֹתָם לְקַדְּשׁ לָהֶם תַּעֲשֶׂה אֲשֶׁר־ הַדָּבָר וְזֶה 1
彼らを 聖別するために 彼らのために 行うべき あなたが そのことである そしてこれが
H0853 H6942 H1697 H2088

וְאֵילִם בָּקָר בֶּן־ אֶחָד פָּר לָקַח לִי לְכַהֲנוֹ
そして雄羊を 牛の-群れの 子の 一頭 雄牛を 取りなさい わたしに 祭司として-仕えさせる
H1241 H0259 H6499 H3947 H3547

תְּמִימִם׃ שְׁנָיִם
傷の-ない 二頭
H8549 H8147

あなたは彼らを聖別し、祭司としてわたしに仕えさせるために、次の事を彼らにしなければならない。すなわち若い雄牛一頭と、きずのない雄羊二頭とを取り、

בַּשָּׁמֶן בְּלוּלֹת מַצּוֹת וְחַלֹּת מַצּוֹת וְלֶחֶם 2
油で 混ぜた 酵母の-ない そして種なし-菓子を 酵母の-ない そして種なし-パンを
H8081 H4682 H2471 H4682 H3899

אֹתָם׃ תַּעֲשֶׂה חִטִּים סֹלֶת בַּשָּׁמֶן מְשֻׁחִים מַצּוֹת וּרְקִיקֵי
それらを 作りなさい 小麦の 上質の-小麦粉で 油で 塗った 酵母の-ない そして種なし-薄焼きを
H0853 H2406 H5560 H8081 H4886 H4682 H7550

また種入れぬパンと、油を混ぜた種入れぬ菓子と、油を塗った種入れぬせんべいとを取りなさい。これらは小麦粉で作らなければならない。

בַּסַּל אֹתָם וְהִקְרַבְתָּ אֶחָד עַל־ סַל עַל־ אוֹתָם וְנָתַתָּ 3
籠の-中に それらを そして持って-来なさい 一つの 籠に 一つの それらを そして置きなさい
H5536 H0853 H7126 H0259 H5536 H0853 H5414

הָאֵילִם׃ שְׁנֵי וְאֵת הַפָּר וְאֶת־
雄羊を 二頭の そして その雄牛と そして
H8147 H0853 H6499 H0853

そしてこれを一つのかごに入れ、そのかごに入れたまま、かの一頭の雄牛および二頭の雄羊と共に携えてこなければならない。

4 וְאֶת־ אַהֲרֹן וְאֶת־ בָּנָיו תַּקְרִיב אֶל־ פֶּתַח אֹהֶל מוֹעֵד
そして H0853 アロンと H0175 そして H0853 その息子たちを H1121 近づけなさい H7126 ～の–方へ H0413 入口に H6607 会見の H0168 幕屋の H4150

וְרָחַצְתָּ אֹתָם בַּמָּיִם׃
そして洗いなさい H7364 彼らを H0853 水で H4325

あなたはまたアロンとその子たちを会見の幕屋の入口に連れてきて、水で彼らを洗い清め、

5 וְאֶת־ הַכֻּתֹּנֶת תַּלְבִּישׁ אֶת־ אַהֲרֹן אֶת־ וְאֶת־ הַמְּעִיל הָאֵפֹד וְאֶת־ הָאֵפֹד וְאֶת־ חֹשֶׁן הַ וְאָפַדְתָּ לּוֹ בְּחֵשֶׁב׃ הָאֵפֹד
そして H0853 長衣を H3801 その H0853 アロンに H0175 ～に H0853 そして着せなさい H3847 衣服を H0853 その H0853 そして取りなさい H3947

エポデの H0646 飾り–帯で H2805 彼に H0640 そして結びなさい 胸当てを H2833 そして H0853 エポデを H0646 そして H0853 エポデの H0646 上着を H4598

また衣服を取り、下服とエポデに属する上服と、エポデと胸当とをアロンに着せ、エポデの帯を締めさせなければならない。

6 וְשַׂמְתָּ אֶת־ הַמִּצְנֶפֶת עַל־ רֹאשׁוֹ וְנָתַתָּ אֶת־ נֵזֶר הַקֹּדֶשׁ
そして置きなさい ターバンを H4701 ～の–上に 彼の頭に そして付けなさい H5414 その H0853 聖なる–冠を H5145 聖い H6944

עַל־ הַמִּצְנֶפֶת׃
～の–上に ターバンの H4701

そして彼の頭に帽子をかぶらせ、その帽子の上にかの聖なる冠をいただかせ、

7 וְלָקַחְתָּ אֶת־ שֶׁמֶן הַמִּשְׁחָה וְיָצַקְתָּ עַל־ רֹאשׁוֹ
そして取りなさい その H0853 注ぎの–油を H8081 聖別の そして注ぎなさい H3332 ～の–上に 彼の頭に

וּמָשַׁחְתָּ אֹתוֹ׃
そして油を–注ぎなさい 彼に H0853 H4886

注ぎ油を取って彼の頭にかけ、彼に油注ぎをしなければならない。

8 וְאֶת־ בָּנָיו תַּקְרִיב וְהִלְבַּשְׁתָּם כֻּתֳּנֹת׃
そして H0853 その息子たちを 近づけなさい H7126 そして彼らに–着せなさい H3847 長衣を H3801

あなたはまた彼の子たちを連れてきて下服を着せ、

9 וְחָגַרְתָּ אֹתָם אַבְנֵט וְחָבַשְׁתָּ לָהֶם מִגְבָּעֹת וּבָנָיו וְהָיְתָה לָהֶם כְּהֻנָּה לְחֻקַּת עוֹלָם וּמִלֵּאתָ יַד־ אַהֲרֹן וְיַד־ בָּנָיו׃
そして締めなさい H2296 彼らに H0853 帯を H0073 アロンと H0175 その息子たちに そして被せなさい H2280 頭巾を H4021

彼らに H1992 そしてなる H1961 彼らの–ものと H1992 祭司職が H3550 永遠の H2708 定めとして H5769 そして満たしなさい H4390 ～の–手を H3027 アロンの H0175

そして～の–手を H3027 その息子たちの

彼ら、すなわちアロンとその子たちに帯を締めさせ、ずきんをかぶらせなければならない。祭司の職は永久の定めによって彼らに帰するであろう。あなたはこうして、アロンとその子たちを職に任じなければならない。

10 וְהִקְרַבְתָּ אֶת־הַפָּר לִפְנֵי אֹהֶל מוֹעֵד וְסָמְכוּ אַהֲרֹן
そして近づけなさい 雄牛を その 〜の–前に 会見の 幕屋の アロンと
H7126 H6499 H0853 H6440 H0168 H4150 H0175

וּבָנָיו אֶת־יְדֵיהֶם עַל־רֹאשׁ הַפָּר׃
その息子たちが 彼らの 手を 〜の–上に 頭に 雄牛の
H3027 H0853 H6499

あなたは会見の幕屋の前に雄牛を引いてきて、アロンとその子たちは、その雄羊の頭に手を置かなければならない。

11 וְשָׁחַטְתָּ אֶת־הַפָּר לִפְנֵי יְהוָה פֶּתַח אֹהֶל מוֹעֵד׃
そして屠りなさい その 雄牛を 〜の–前で 主の 入口で 会見の 幕屋の
H0853 H6499 H6440 H3068 H6607 H0168 H4150

そして会見の幕屋の入口で、主の前にその雄牛をほふり、

12 וְלָקַחְתָּ מִדַּם הַפָּר וְנָתַתָּה עַל־קַרְנֹת הַמִּזְבֵּחַ בְּאֶצְבָּעֶךָ
そして取りなさい 血の–一部を 雄牛の そして塗りなさい 〜の–上に 角に 祭壇の あなたの 指で
H3947 H1818 H6499 H5414 H5921 H7161 H4196 H0676

וְאֶת־כָּל־הַדָּם יִסֹּד אֶל־יְסוֹד הַמִּזְבֵּחַ׃ תִּשְׁפֹּךְ
そして 〜を すべての 血を 注ぎ出しなさい 〜の–方へ 土台に 祭壇の
H0853 H3605 H1818 H8210 H0413 H3247 H4196

その雄牛の血を取り、指をもって、これを祭壇の角につけ、その残りの血を祭壇の基に注ぎかけなさい。

13 וְלָקַחְתָּ אֶת־כָּל־הַחֵלֶב הַמְכַסֶּה אֶת־הַקֶּרֶב וְאֵת
そして取りなさい その 〜を すべての 脂肪を 覆っている 内臓を そして 〜の–上の
H3947 H0853 H3605 H2459 H3680 H7130 H0853 H5921

הַיֹּתֶרֶת עַל־הַכָּבֵד וְאֶת־שְׁתֵּי הַכְּלָיֹת וְאֶת־הַחֵלֶב
小葉を 〜の–上の 肝臓の そして 二つの 腎臓と そして 脂肪を
H3508 H5921 H3516 H0853 H8147 H3629 H0853 H2459

אֲשֶׁר עֲלֵיהֶן וְהִקְטַרְתָּ הַמִּזְבֵּחָה׃
その 上の そして焼いて–煙にしなさい 祭壇の–上で
H0834 H5921 H6999 H4196

また、その内臓をおおうすべての脂肪と肝臓の小葉と、二つの腎臓と、その上の脂肪とを取って、これを祭壇の上で焼かなければならない。

14 וְאֶת־בְּשַׂר הַפָּר וְאֶת־עֹרוֹ וְאֶת־פִּרְשׁוֹ תִּשְׂרֹף בָּאֵשׁ מִחוּץ
そして 〜を 肉と 雄牛の そして 〜を その皮と そして 〜を その糞を 焼きなさい 火で 外で
H0853 H1320 H6499 H0853 H5785 H0853 H6569 H8313 H0784 H2351

לַמַּחֲנֶה חַטָּאת הוּא׃
宿営の 罪の–ささげ物 それは
H4264 H2403 H1931

ただし、その雄牛の肉と皮と汚物とは、宿営の外で火で焼き捨てなければならない。これは罪祭である。

15 וְאֶת־הָאַיִל הָאֶחָד תִּקַּח וְסָמְכוּ אַהֲרֹן וּבָנָיו אֶת־יְדֵיהֶם
そして 〜を 雄羊を 一頭 取りなさい そして置くように アロンと その息子たちが 彼らの 手を
H0853 H0352 H0259 H3947 H5564 H0175 H1121 H0853 H3027

עַל־רֹאשׁ הָאָיִל׃
〜の–上に 頭に その雄羊の
H5921 H7218 H0352

あなたはまた、かの雄羊の一頭を取り、そしてアロンとその子たちは、その雄羊の頭に手を置かなければならない。

16 וְשָׁחַטְתָּ֙ אֶת־הָאַ֔יִל וְלָקַחְתָּ֖ אֶת־דָּמ֑וֹ וְזָרַקְתָּ֥ עַל־
そしてあなたは屠りなさい その雄羊を そしてあなたは取りなさい その血を そして振りかけなさい ～の-上に
H0853 H3947 H1818 H2236

הַמִּזְבֵּ֖חַ סָּבִֽיב׃
祭壇の 周りに
H4196 H5439

あなたはその雄羊をほふり、その血を取って、祭壇の四つの側面に注ぎかけなければならない。

17 וְאֶת־הָאַ֣יִל תְּנַתֵּ֔חַ לִנְתָחָ֖יו וְרָחַצְתָּ֣ קִרְבּ֑וֹ וּכְרָעָ֖יו
そして その雄羊を 切り分けなさい その部分に そして洗いなさい その内臓と その脚を
H0853 H5408 H5409 H7364 H7130 H3767

וְנָתַתָּ֖ עַל־נְתָחָ֥יו וְעַל־רֹאשֹׁ֖ו׃
そして置きなさい ～の-上に その部分と そして～の-上に その頭を
H5414 H5409

またその雄羊を切り裂き、その内臓と、その足とを洗って、これをその肉の切れ、および頭と共に置き、

18 וְהִקְטַרְתָּ֙ אֶת־כָּל־הָאַ֔יִל הַמִּזְבֵּ֖חָה עֹלָ֣ה הִ֑וא לַיהוָ֗ה
そして焼いて-煙にしなさい すべての 雄羊を 祭壇の-上で 全焼の-ささげ物 それは 主への
H0853 H3605 H4196 H5930 H1931 H3068

נִיחֹ֣חַ אִשֶּׁ֔ה לַיהוָ֖ה הִ֑וא׃
香り 火による-ささげ物 主への それは
H7381 H0801 H3068 H1931

その雄羊をみな祭壇の上で焼かなければならない。これは主にささげる燔祭である。すなわち、これは香ばしいかおりであって、主にささげる火祭である。

19 וְאֶת־הָאַ֣יִל הַשֵּׁנִ֔י תִּקַּ֖ח אֶת־אַהֲרֹ֣ן וְאֶת־בָּנָ֑יו וְסָמְכ֗וּ
そして取りなさい その雄羊を 二番目の すべての アロンと そして置くように 彼らの その息子たちが
H3947 H0853 H8145 H0175 H5564 H0853

אַהֲרֹ֛ן וּבָנָ֖יו אֶת־יְדֵיהֶ֥ם עַל־רֹ֖אשׁ הָאָֽיִל׃
アロンと その息子たちが 手を ～の-上に 頭に その雄羊の
H0175 H3027

あなたはまた雄羊の他の一頭を取り、アロンとその子たちは、その雄羊の頭に手を置かなければならない。

20 וְשָׁחַטְתָּ֙ אֶת־הָאַ֔יִל וְלָקַחְתָּ֖ מִדָּמ֑וֹ וְנָתַתָּ֞ה עַל־
そして屠りなさい その雄羊を そして取りなさい その血の-一部を そして塗りなさい ～の-上に
H0853 H3947 H1818 H5414

תְּנ֣וּךְ אֹ֤זֶן בְּנֵי֙ו֙ הַיְמָנִ֔ית וְעַל־תְּנ֣וּךְ אֹ֔זֶן בָּנָ֖יו הַיְמָנִ֑ית
耳たぶに 耳の その息子たちの 右の そして～の-上に 耳たぶに 耳の アロンの 右の
H8571 H0241 H3233 H8571 H0241 H0175 H3233

וְעַל־בֹּ֤הֶן יָדָם֙ הַיְמָנִ֔ית וְעַל־בֹּ֤הֶן רַגְלָם֙ הַיְמָנִ֔ית
そして～の-上に 親指に 手の 右の そして～の-上に 親指に 足の 右の
H0931 H3027 H3233 H0931 H7272 H3233

וְזָרַקְתָּ֙ אֶת־הַדָּ֔ם עַל־הַמִּזְבֵּ֖חַ סָּבִֽיב׃
そして振りかけなさい その血を ～の-上に 祭壇の 周りに
H2236 H1818 H5439 H4196

そしてあなたはその雄羊をほふり、その血を取って、アロンの右の耳たぶと、その子たちの右の耳たぶとにつけ、また彼らの右の手の親指と、右の足の親指とにつけ、その残りの血を祭壇の四つの側面に注ぎかけなければならない。

21 וְלָקַחְתָּ֙ מִן־ הַדָּ֔ם אֲשֶׁ֖ר עַל־ הַמִּזְבֵּ֑חַ וּמִשֶּׁ֣מֶן הַמִּשְׁחָ֗ה
そして取りなさい その 血の–一部を その 祭壇の 〜の–上の 聖別の
H3947 H1818 H4196 H8081

וְהִזֵּיתָ֣ עַל־ אַהֲרֹ֗ן וְעַל־ בְּגָדָיו֙ וְעַל־ בָּנָ֣יו וְעַל־ בִּגְדֵ֣י בָנָ֔יו אִתּ֑וֹ
そして振りかけなさい 〜の–上に アロンと そして〜の–上に 彼の衣服と そして〜の–上に
H0175

וְקִדַּ֥שׁ הוּא֙ וּבְגָדָ֔יו וּבָנָ֖יו וּבִגְדֵ֣י בָנָ֑יו אִתּ֔וֹ׃
そして聖別される 彼は 彼の衣服と その息子たちと 衣服に そして〜の–上に その息子たちと
H6942 H1931 H0854

וְקִדַּ֥שׁ הוּא֙ וּבְגָדָ֔יו וּבָנָ֖יו וּבִגְדֵ֣י בָנָ֑יו אִתּ֔וֹ׃
彼と–共に その息子たちの そして衣服は そして彼の息子たちと そして彼の衣服と
H0854

また祭壇の上の血および注ぎ油を取って、アロンとその衣服、およびその子たちと、その子たちの衣服とに注がなければならない。彼とその衣服、およびその子らと、その衣服とは聖別されるであろう。

22 וְלָקַחְתָּ֙ מִן־ הָאַ֔יִל הַחֵ֖לֶב וְהָאַלְיָ֑ה וְאֶת־ הַחֵ֣לֶב הַמְכַסֶּ֗ה אֶת־
そして取りなさい その 雄羊から 脂肪と 尾の–脂肪と そして 脂肪を 覆っている その
H3947 H0853 H2459 H0451 H0853 H2459 H3680 H0853

וְאֶת־ הַכָּבֵד֙ וְאֶת־ שְׁתֵּ֣י הַכְלָיֹ֔ת וְאֶת־ הַחֵ֖לֶב אֲשֶׁ֣ר עֲלֵהֶ֑ן וְאֶת־
そして 肝臓の そして 二つの 腎臓と そして 脂肪を その 上の そして
H0853 H3516 H0853 H8147 H3629 H0853 H2459 H0853

יֹתֶ֣רֶת הַכָּבֵ֔ד וְאֶת־ הַקֶּ֖רֶב וְאֶת־ שׁ֣וֹק הַיָּמִ֑ין כִּ֥י אֵ֛יל מִלֻּאִ֥ים הֽוּא׃
小葉を そして 内臓を ももの肉を 右の なぜなら 任職の 雄羊 だから
H3508 H0853 H7130 H7785 H3225 H3588 H0352 H4394 H1931

あなたはまた、その雄羊の脂肪、脂尾、内臓をおおう脂肪、肝臓の小葉、二つの腎臓、その上の脂肪、および右のももを取らなければならない。これは任職の雄羊である。

23 וְכִכַּ֣ר לֶ֔חֶם וְחַלַּ֥ת לֶ֖חֶם אַחַ֣ת וְרָקִ֑יק אַחַ֣ת שֶׁ֔מֶן
そして丸い–パンを パンの 一つ そして油入り–菓子を パンの 一つ そして薄焼きを 一つ 油の
H3603 H3899 H0259 H2471 H3899 H0259 H7550 H0259 H8081

מִסַּ֣ל הַמַּצּ֗וֹת אֲשֶׁ֛ר לִפְנֵ֥י יְהוָ֖ה׃
籠から 種なし–パンの その 主の–前の 主の
H5536 H4682 H3588 H6440 H3068

また主の前にある種入れぬパンのかごの中からパン一個と、油菓子一個と、せんべい一個とを取り、

24 וְשַׂמְתָּ֣ הַכֹּ֔ל עַ֖ל כַּפֵּ֣י אַהֲרֹ֑ן וְעַ֖ל כַּפֵּ֥י בָנָֽיו׃
そして置きなさい すべてを 〜の–上に 手の–ひらに アロンの そして〜の–上に 手の–ひらに
H3605 H3709 H0175 H3709

וְהֵנַפְתָּ֥ אֹתָ֛ם תְּנוּפָ֖ה לִפְנֵ֥י יְהוָֽה׃
そして揺り動かしなさい それらを 揺り–ささげ物として 主の–前で 主の
H0853 H8573 H6440 H3068

これをみなアロンの手と、その子たちの手に置き、これを主の前に揺り動かして、揺祭としなければならない。

עַל־ ～の–上に
H4196
הַמִּזְבֵּחָה 祭壇の–上で
H4196
וְהִקְטַרְתָּ そして焼いて–煙にしなさい
מִיָּדָם 彼らの手から
H3027
אֹתָם それらを
H0853
וְלָקַחְתָּ そして受け取りなさい
H3947
25

לַיהוָה׃ 主への
H3068
הִוא それは
H1931
אִשֶּׁה 火による–ささげ物
H0801
יְהוָה 主の
H3068
לִפְנֵי 主の–前で
H6440
נִיחֹחַ 香りとして
H5207
לְרֵיחַ なだめの
H7381
הָעֹלָה 全焼の–ささげ物の

そしてあなたはこれを彼らの手から受け取り、燔祭に加えて祭壇の上で焼き、主の前に香ばしいかおりとしなければならない。これは主にささげる火祭である。

לְאַהֲרֹן アロンの–ための
H0175
אֲשֶׁר その
H0853
הַמִּלֻּאִים 任職の
H4394
מֵאֵיל 任職の–雄羊から
הֶחָזֶה 胸肉を
H2373
אֶת־ その
H0853
וְלָקַחְתָּ そして取りなさい
H3947
26

לְךָ׃ あなたの
וְהָיָה そしてなる
H1961
יְהוָה 主の
H3068
לִפְנֵי 主の–前で
H6440
תְנוּפָה 揺り–ささげ物として
H8573
אֹתוֹ それを
H0853
וְהֵנַפְתָּ そして揺り動かしなさい

לְמָנָה׃ 分け前と
H4490

あなたはまた、アロンの任職の雄羊の胸を取り、これを主の前に揺り動かして、揺祭としなければならない。これはあなたの受ける分となるであろう。

אֲשֶׁר その
הַתְרוּמָּה 奉献–ささげ物の
H8641
שׁוֹק もも肉を
H7785
וְאֵת そして
H0853
הַתְנוּפָה 揺り–ささげ物の
H8573
חֲזֵה 胸肉を
H2373
וְאֵת その
H0853
וְקִדַּשְׁתָּ そして聖別しなさい
H6942
27

לְאַהֲרֹן アロンの–ための
H0175
מֵאֲשֶׁר その
מִּלֻּאִים 任職の
H4394
מֵאֵיל 任職の–雄羊から
הוּנַף 持ち上げられた
וַאֲשֶׁר そしてその
הוּנַף 揺り動かされた

לִבָנָיו׃ 息子たちの–ための
וּמֵאֲשֶׁר そしてその

あなたはアロンとその子たちの任職の雄羊の胸ともも、すなわち揺り動かした揺祭の胸と、ささげたももとを聖別しなければならない。

יִשְׂרָאֵל イスラエルの
H3478
בְּנֵי 子らの
מֵאֵת ～から
H0854
עוֹלָם 定めとして
H5769
לְחָק־ 永遠の
H2706
וּלְבָנָיו そしてその息子たちの
לְאַהֲרֹן アロンの
H0175
וְהָיָה そしてなる
H1961
28

יִשְׂרָאֵל׃ イスラエルの
H3478
בְּנֵי־ 子らの
מֵאֵת ～から
H0854
יִהְיֶה ある
H1961
וּתְרוּמָּה そして奉献–ささげ物は
H8641
הִוא それは
H1931
תְרוּמָה 奉献–ささげ物
H8641
כִּי なぜなら

לַיהוָה׃ 主への
H3068
תְרוּמָתָם その奉献–ささげ物は
H8641
שַׁלְמֵיהֶם 彼らの
H8002
מִזִּבְחֵי 和解の–ささげ物から
H2077

これはイスラエルの人々から永久に、アロンとその子たちの受くべきささげ物であって、イスラエルの人々の酬恩祭の犠牲の中から受くべきもの、すなわち主にささげるささげ物である。

29 וּבִגְדֵי הַקֹּדֶשׁ אֲשֶׁר לְאַהֲרֹן יִהְיוּ לִבְנָיו אַחֲרָיו
そして聖なる-衣服は その 聖い H6944 アロンの-ための H0175 なる H1961 その息子たちの 彼の後の

לְמָשְׁחָה בָּהֶם וּלְמַלֵּא־בָם אֶת־יָדָם׃
油を注ぐ-ために それらを着て H4390 そして満たすために それらの-中で 彼らの H0853 手を H3027

アロンの聖なる衣服は彼の後の子孫に帰すべきである。彼らはこれを着て、油注がれ、職に任ぜられなければならない。

30 שִׁבְעַת יָמִים יִלְבָּשָׁם הַכֹּהֵן תַּחְתָּיו מִבָּנָיו אֲשֶׁר יָבֹא
七日の H7651 間 H3117 着るべきである H3847 祭司が H3548 彼に-代わる H8478 その息子たちの-中から その 来る-者が H0935

אֶל־אֹהֶל מוֹעֵד לְשָׁרֵת בַּקֹּדֶשׁ׃
～へ H0413 会見の H0168 幕屋に H4150 仕えるために H8334 聖所で H6944

その子たちのうち、彼に代って祭司となり、聖所で仕えるために会見の幕屋にはいる者は、七日の間これを着なければならない。

31 וְאֵת הָאַיִל הַמִּלֻּאִים תִּקַּח וּבִשַּׁלְתָּ אֶת־בְּשָׂרוֹ בִּמְקוֹם קָדֹשׁ׃
そして H0853 任職の H0398 雄羊を H4394 取りなさい H3947 そして煮なさい H1310 その H0853 肉を H1320 聖なる H4725 場所で H6918

あなたは任職の雄羊を取り、聖なる場所でその肉を煮なければならない。

32 וְאָכַל אַהֲרֹן וּבָנָיו אֶת־בְּשַׂר הָאַיִל וְאֶת־הַלֶּחֶם אֲשֶׁר
そして食べるように H0398 アロンと H0175 その息子たちが その 肉を H1320 雄羊の 雄羊 H0853 そして H0853 パンを H3899 その

בַּסַּל פֶּתַח אֹהֶל מוֹעֵד׃
籠の-中の H5536 入口で H6607 会見の H0168 幕屋の H4150

アロンとその子たちは会見の幕屋の入口で、その雄羊の肉と、かごの中のパンとを食べなければならない。

33 וְאָכְלוּ אֹתָם אֲשֶׁר כֻּפַּר בָּהֶם לְמַלֵּא אֶת־יָדָם לְקַדֵּשׁ אֹתָם
そして食べるように H0398 それらを H0853 その 贖いが-なされた それらによって 満たすために H4390 彼らの H0853 手を H3027 聖別するために H6942 彼らを H0853

וְזָר לֹא־יֹאכַל כִּי־קֹדֶשׁ הֵם׃
しかし部外者は 食べては-ならない H3808 食べては-ならない H0398 なぜなら 聖い H6944 それらは H1992

彼らを職に任じ、聖別するため、あがないに用いたこれらのものを、彼らは食べなければならない。他の人はこれを食べてはならない。これは聖なる物だからである。

34 וְאִם־יִוָּתֵר מִבְּשַׂר הַמִּלֻּאִים וּמִן־הַלֶּחֶם עַד־הַבֹּקֶר וְשָׂרַפְתָּ
そしてもし H0518 残るなら H3498 肉の-一部が 任職の 任職の H4394 そして パンが H3899 ～まで H5704 朝まで H1242 そして焼きなさい H8313

אֶת־הַנּוֹתָר בָּאֵשׁ לֹא יֵאָכֵל כִּי־קֹדֶשׁ הוּא׃
その H0853 残りを H3498 火で H0784 食べては-ならない H3808 食べては-ならない H0398 なぜなら 聖い H6944 それは H1931

もし任職の肉、あるいはパンのうち、朝まで残るものがあれば、その残りは火で焼かなければならない。これは聖なる物だから食べてはならない。

35 וְעָשִׂיתָ לְאַהֲרֹן וּלְבָנָיו כָּכָה כְּכֹל אֲשֶׁר־ צִוִּיתִי

命じた わたしが すべての-ことに-従い このように その息子たちに アロンと そして行いなさい
H6680 H3605 H3602 H0175

אֹתָכָה שִׁבְעַת יָמִים תְּמַלֵּא יָדָם׃

彼らの手を 満たしなさい 間 七日の あなたに
H3027 H4390 H3117 H7651 H0853

あなたはわたしがすべて命じるように、アロンとその子たちにしなければならない。すなわち彼らのために七日のあいだ、任職の式を行わなければならない。

36 וּפַר חַטָּאת תַּעֲשֶׂה לַיּוֹם עַל־ הַכִּפֻּרִים וְחִטֵּאתָ

そして雄牛を 罪の-ささげ物の ささげなさい 日ごとに ～の-ための 贖いの そして清めなさい
H6499 H2398 H3725 H3117

עַל־ הַמִּזְבֵּחַ בְּכַפֶּרְךָ עָלָיו וּמָשַׁחְתָּ אֹתוֹ לְקַדְּשׁוֹ׃

祭壇を ～の-上の あなたが贖う-とき その上を そして油を-注ぎなさい それに 聖別するために
H4196 H3725 H6942 H0853 H4886

あなたは毎日、あがないのために、罪祭の雄牛一頭をささげなければならない。また祭壇のために、あがないをなす時、そのために罪祭をささげ、また、これに油を注いで聖別しなさい。

37 שִׁבְעַת יָמִים תְּכַפֵּר עַל־ הַמִּזְבֵּחַ וְקִדַּשְׁתָּ אֹתוֹ וְהָיָה הַמִּזְבֵּחַ

間 七日の 贖いなさい ～の-上の 祭壇を そして聖別しなさい それを そしてなる 祭壇は
H3117 H7651 H3725 H5921 H4196 H6942 H0853 H1961 H4196

קֹדֶשׁ קָדָשִׁים כָּל־ אֲשֶׁר יִגַּע בַּמִּזְבֵּחַ יִקְדָּשׁ׃ ס

至聖の 聖なるもの すべての 触れる-者は 祭壇に 聖くなる ―
H6944 H6944 H3605 H5060 H4196 H6942

あなたは七日の間、祭壇のために、あがないをして、これを聖別しなければならない。こうして祭壇は、いと聖なる物となり、すべて祭壇に触れる者は聖となるであろう。

38 וְזֶה אֲשֶׁר תַּעֲשֶׂה עַל־ הַמִּזְבֵּחַ כְּבָשִׂים בְּנֵי־ שָׁנָה שְׁנַיִם לַיּוֹם

そしてこれが あなたが ささげるべき ～の-上に 祭壇の 子羊を 一歳の 年の 二頭 日ごとに
H2088 H834 H6213 H5921 H4196 H3532 H1121 H8141 H8147 H3117

תָּמִיד׃

絶えず
H8548

あなたが祭壇の上にささぐべき物は次のとおりである。すなわち当歳の小羊二頭を毎日絶やすことなくささげなければならない。

39 אֶת־ הַכֶּבֶשׂ הָאֶחָד תַּעֲשֶׂה בַבֹּקֶר וְאֵת הַכֶּבֶשׂ הַשֵּׁנִי תַּעֲשֶׂה בֵּין

その 子羊を 一頭目の ささげなさい 朝に そして 子羊を 二頭目の ささげなさい ～の-間に
H0853 H3532 H0259 H6213 H1242 H0853 H3532 H8145 H6213 H0996

הָעַרְבָּיִם׃

夕暮れの
H6153

その一頭の小羊は朝にこれをささげ、他の一頭の小羊は夕にこれをささげなければならない。

40 וְעִשָּׂרֹן סֹלֶת בָּלוּל בְּשָׁמֶן כָּתִית רְבִעִת הַהִין וְנֵסֶךְ רְבִעִת הַהִין יַיִן לַכֶּבֶשׂ הָאֶחָד׃

וְעִשָּׂרֹן	סֹלֶת	בָּלוּל	בְּשָׁמֶן	כָּתִית	רְבִעִת	הַהִין	וְנֵסֶךְ
そして十分の–一の	上質の–小麦粉を	混ぜた	油と	搾った	四分の–一の	ヒンの	そして注ぎの–ささげ物は
H6241	H5560		H8081	H3795	H7253	H1969	H5262

יַיִן	לַכֶּבֶשׂ	הָאֶחָד׃			
ぶどう酒	子羊–一頭に	一頭目の			
H3196	H3532	H0259			

一頭の小羊には、つぶして取った油一ヒンの四分の一をまぜた麦粉十分の一エパを添え、また灌祭として、ぶどう酒一ヒンの四分の一を添えなければならない。

41 וְאֵת הַכֶּבֶשׂ הַשֵּׁנִי תַּעֲשֶׂה בֵּין הָעַרְבָּיִם כְּמִנְחַת הַבֹּקֶר וּכְנִסְכָּהּ תַּעֲשֶׂה־ לְרֵיחַ נִיחֹחַ אִשֶּׁה לַיהוָה׃

וְאֵת	הַכֶּבֶשׂ	הַשֵּׁנִי	תַּעֲשֶׂה	בֵּין	הָעַרְבָּיִם	כְּמִנְחַת	הַבֹּקֶר	
そして	子羊を	二頭目の	ささげなさい	～の–間に	夕暮れの	朝の–穀物–ささげ物と	朝の	
H0853	H3532	H8145		H0996	H6153	H4503	H1242	

וּכְנִסְכָּהּ	תַּעֲשֶׂה־	לְרֵיחַ	נִיחֹחַ	אִשֶּׁה			
そしてその注ぎの–ささげ物の–ように	行いなさい	なだめの	香りとして	火による–ささげ物			
H5262		H7381	H5207	H0801			

לַיהוָה׃	
主への	
H3068	

他の一頭の小羊は夕にこれをささげ、朝の素祭および灌祭と同じものをこれに添えてささげ、香ばしいかおりのために主にささげる火祭としなければならない。

42 עֹלַת תָּמִיד לְדֹרֹתֵיכֶם פֶּתַח אֹהֶל־ מוֹעֵד לִפְנֵי יְהוָה אֲשֶׁר אִוָּעֵד שָׁמָּה לְדַבֶּר אֵלֶיךָּ׃

עֹלַת	תָּמִיד	לְדֹרֹתֵיכֶם	פֶּתַח	אֹהֶל־	מוֹעֵד	לִפְנֵי	יְהוָה		
常に–ささげる	全焼の–ささげ物	あなたがたの代々に	入口で	会見の	幕屋の	主の–前で	主の		
	H8548	H1755	H6607	H0168	H4150	H6440	H3068		

אֲשֶׁר	אִוָּעֵד	לָכֶם	שָׁמָּה	לְדַבֵּר	אֵלֶיךָּ	שָׁם׃
そこで	わたしは会う	あなたがたと	そこで	語るために	あなたに	そこで
	H3259		H8033	H1696	H0413	H8033

これはあなたがたが代々会見の幕屋の入口で、主の前に絶やすことなく、ささぐべき燔祭である。わたしはその所であなたに会い、あなたと語るであろう。

43 וְנוֹעַדְתִּי שָׁמָּה לִבְנֵי יִשְׂרָאֵל וְנִקְדָּשׁ בִּכְבֹדִי׃

וְנוֹעַדְתִּי	שָׁמָּה	לִבְנֵי	יִשְׂרָאֵל	וְנִקְדָּשׁ	בִּכְבֹדִי׃
そしてわたしは–会う	そこで	子らと	イスラエルの	そして聖別される	わたしの栄光に–よって
H3259	H8033		H3478	H6942	H3519

また、その所でわたしはイスラエルの人々に会うであろう。幕屋はわたしの栄光によって聖別されるであろう。

44 וְקִדַּשְׁתִּי אֶת־ אֹהֶל מוֹעֵד וְאֶת־ הַמִּזְבֵּחַ וְאֶת־ אַהֲרֹן וְאֶת־ בָּנָיו אֲקַדֵּשׁ לְכַהֵן לִי׃

וְקִדַּשְׁתִּי	אֶת־	אֹהֶל	מוֹעֵד	וְאֶת־	הַמִּזְבֵּחַ	וְאֶת־	אַהֲרֹן	וְאֶת־	
そしてわたしは–聖別する	その	会見の	幕屋と	そして	祭壇を	そして	アロンと	そして	
H6942	H0853	H0168	H4150	H0853	H4196	H0853	H0175	H0853	

בָּנָיו	אֲקַדֵּשׁ	לְכַהֵן	לִי׃	
その息子たちを	わたしは聖別する	祭司として–仕えさせる	わたしに	
	H6942	H3547		

わたしは会見の幕屋と祭壇とを聖別するであろう。またアロンとその子たちを聖別し、祭司としてわたしに仕えさせるであろう。

45 וְשָׁכַנְתִּי בְּתוֹךְ בְּנֵי יִשְׂרָאֵל וְהָיִיתִי לָהֶם לֵאלֹהִים׃

וְשָׁכַנְתִּי	בְּתוֹךְ	בְּנֵי	יִשְׂרָאֵל	וְהָיִיתִי	לָהֶם	לֵאלֹהִים׃	
そしてわたしは–住む	～の–中に	子らの	イスラエルの	そしてわたしは–なる	彼らの	神と	
H7931	H8432		H3478	H1961		H0430	

わたしはイスラエルの人々のうちに住んで、彼らの神となるであろう。

אֹתָם	הוֹצֵאתִי	אֲשֶׁר	אֱלֹהֵיהֶם	יְהוָה	אֲנִי	כִּי	וְיָדְעוּ	46
彼らを	導き出した	わたしが	彼らの神である–ことを	主	わたしは	わたしが	そして彼らは–知る	
H0853	H3318		H0430	H3068	H0589		H3045	

פ	:אֱלֹהֵיהֶם	יְהוָה	אֲנִי	בְּתוֹכָם	לִשְׁכְּנִי	מִמִּצְרַיִם	מֵאֶרֶץ
—	彼らの神である	主	わたしは	彼らの中に	住むために	エジプトの	～の–地から
	H0430	H3068	H0589	H8432	H7931	H4714	H0776

わたしが彼らのうちに住むために、彼らをエジプトの国から導き出した彼らの神、主であることを彼らは知るであろう。わたしは彼らの神、主である。

Chapter 30

:אֹתוֹ	תַּעֲשֶׂה	שִׁטִּים	עֲצֵי	קְטֹרֶת	מִקְטַר	מִזְבַּח	וְעָשִׂיתָ	1
それを	作りなさい	木で	アカシヤの	香を	焚く–ための	祭壇を	そして作りなさい	
H0853		H7848	H6086	H7004	H4729	H4196		

あなたはまた香をたく祭壇を造らなければならない。アカシヤ材でこれを造り、

וְאַמָּתַיִם	יִהְיֶה	רָבוּעַ	רָחְבּוֹ	וְאַמָּה	אָרְכּוֹ	אַמָּה	2
そして二キュビトが	あるべき	正方形で	その幅	そして一キュビトが	その長さ	一キュビトが	
	H1961	H7251	H7341		H0753		

קַרְנֹתָיו:	מִמֶּנּוּ	קֹמָתוֹ
その角は	そこから	その高さ
		H6967

長さ一キュビト、幅一キュビトの四角にし、高さ二キュビトで、これにその一部として角をつけなければならない。

וְאֶת־	סָבִיב	קִירֹתָיו	וְאֶת־	גַּגּוֹ	אֶת־	טָהוֹר	זָהָב	אֹתוֹ	וְצִפִּיתָ	3
そして	周りに	その壁を	そして	上面と	その	純粋な	金で	それを	そして覆いなさい	
H0853	H5439	H7023	H0853	H1406	H0853	H2889	H2091	H0853	H6823	

:סָבִיב	זָהָב	זֵר	לוֹ	וְעָשִׂיתָ	קַרְנֹתָיו
周りに	金の	縁飾りを	それに	そして作りなさい	その角を
H5439	H2091	H2213			

その頂、その四つの側面、およびその角を純金でおおい、その周囲に金の飾り縁を造り、

שְׁתֵּי	עַל	לְזֵרֹתָיו	מִתָּחַת	וְלוֹ	תַּעֲשֶׂה־	זָהָב	טַבַּעַת	וּשְׁתֵּי	4
二つの	～の–上に	その縁飾りの	～の–下に	それに	作りなさい	金の	環を	そして二つの	
H8147		H2213	H8478			H2091	H2885	H8147	

לָשֵׂאת	לְבַדִּים	לְבָתִּים	וְהָיָה	צַדָּיו	שְׁנֵי	עַל־	תַּעֲשֶׂה	צַלְעֹתָיו
運ぶ–ために	棒の–ための	留め具として	そしてなる	側に	二つの	～の–上に	作りなさい	側面に
H5375	H0905		H1961	H6654	H8147			H6763

בָּהֵמָּה:	אֹתוֹ	
それらで	それを	
H1992	H0853	

また、その両側に、飾り縁の下に金の環二つをこれのために造らなければならない。すなわち、その二つの側にこれを造らなければならない。これはそれをかつぐさおを通すところである。

:זָהָב	אֹתָם	וְצִפִּיתָ	שִׁטִּים	עֲצֵי	הַבַּדִּים	אֶת־	וְעָשִׂיתָ	5
金で	それらを	そして覆いなさい	木で	アカシヤの	棒を	その	そして作りなさい	
H2091	H0853	H6823	H7848	H6086	H0905	H0853		

そのさおはアカシヤ材で造り、金でおおわなければならない。

6 וְנָתַתָּה אֹתוֹ לִפְנֵי הַפָּרֹכֶת אֲשֶׁר עַל־אֲרֹן הָעֵדֻת
そして置きなさい それを ～の–前に 垂れ幕の その ～の–上にある 契約の箱の あかしの
H5414 H0853 H6440 H6532 H0727 H5715

לְפִנֵי הַכַּפֹּרֶת אֲשֶׁר עַל־אֲרֹן הָעֵדֻת אֲשֶׁר אִוָּעֵד לְךָ שָׁמָּה׃
～の–前に 贖いの蓋の その ～の–上にある あかしの そこで わたしは会う あなたと そこで
H6440 H3727 H0834 H5921 H5715 H0834 H3259 H0413 H8033

あなたはそれを、あかしの箱の前にある垂幕の前に置いて、わたしがあなたと会うあかしの箱の上にある贖罪所に向かわせなければならない。

7 וְהִקְטִיר עָלָיו אַהֲרֹן קְטֹרֶת סַמִּים בַּבֹּקֶר בַּבֹּקֶר בְּהֵיטִיבוֹ אֶת־
そして焚くように 香を アロンが その上で 朝 朝ごとに 整える–とき その
H0853 H3190 H1242 H1242 H5561 H7004 H0175 H5921

הַנֵּרֹת יַקְטִירֶנָּה׃
ともしび火を 焚くように

アロンはその上で香ばしい薫香をたかなければならない。朝ごとに、ともしびを整える時、これをたかなければならない。

8 וּבְהַעֲלֹת אַהֲרֹן אֶת־הַנֵּרֹת בֵּין הָעַרְבַּיִם יַקְטִירֶנָּה קְטֹרֶת תָּמִיד
そして灯す–とき アロンが その ともしび火を ～の–間に 夕暮れの 焚くように 香は 絶えず
H5927 H0175 H0853 H0996 H6153 H7004 H8548

לִפְנֵי יְהוָה לְדֹרֹתֵיכֶם׃
主の–前に 主の あなたがたの代々に
H6440 H3068 H1755

アロンはまた夕べにともしびをともす時にも、これをたかなければならない。これは主の前にあなたがたが代々に絶やすことなく、ささぐべき薫香である。

9 לֹא־תַעֲלוּ עָלָיו קְטֹרֶת זָרָה וְעֹלָה
ささげては–ならない その上に 異なる–香を 異なる そして全焼の–ささげ物も
H3808 H5927 H7004 H2114 H5930

וּמִנְחָה וְנֶסֶךְ לֹא תִסְכּוּ עָלָיו׃
そして穀物の–ささげ物も そして注ぎの–ささげ物も 注いでは–ならない 注いでは–ならない その上に
H4503 H5262 H3808 H5258 H5921

あなたがたはその上で異なる香をささげてはならない。燔祭をも素祭をもその上でささげてはならない。また、その上に灌祭を注いではならない。

10 וְכִפֶּר אַהֲרֹן עַל־קַרְנֹתָיו אַחַת בַּשָּׁנָה מִדַּם חַטַּאת הַכִּפֻּרִים
そして贖いなさい アロンが ～の–上の その角を 一度 年に 血の–一部で 罪の–ささげ物の
H0175 H5921 H7161 H0259 H8141 H1818 H2403 H3725

אַחַת בַּשָּׁנָה יְכַפֶּר עָלָיו לְדֹרֹתֵיכֶם קֹדֶשׁ־קָדָשִׁים הִוא לַיהוָה׃ פ
一度 年に 贖いなさい その上を あなたがたの代々に 至聖の 聖なるもの それは 主への —
H0259 H8141 H3725 H5921 H1755 H6944 H6944 H1931 H3068 H6

アロンは年に一度その角に血をつけてあがないをしなければならない。すなわち、あがないの罪祭の血をもって代々にわたり、年に一度これがために、あがないをしなければならない。これは主に最も聖なるものである」。

11 וַיְדַבֵּר יְהוָה אֶל־מֹשֶׁה לֵּאמֹר׃
そして語った 主が ～に モーセに 言って
H1696 H3068 H0413 H4872 H0559

主はモーセに言われた、

12 כִּי תִשָּׂא אֶת־רֹאשׁ בְּנֵי־יִשְׂרָאֵל לִפְקֻדֵיהֶם וְנָתְנוּ
数える–とき その 頭を 子らの イスラエルの 登録する–とき そして与えるように
H5375 H0853 H7218 H1121 H3478 H6485 H5414

אִישׁ כֹּפֶר נַפְשׁוֹ לַיהוָה בִּהָפְקֹד אֹתָם וְלֹא־יִהְיֶה בָהֶם
各人が 贖い金を その命の 主に 数える–とき 彼らを そしてないように あるように 彼らの–中に
H0376 H3724 H5315 H3068 H6485 H0853 H3808 H1961 H0996

נֶגֶף בִּהָפְקֹד אֹתָם׃
疫病が 数える–とき 彼らを
H5063 H6485 H0853

「あなたがイスラエルの人々の数の総計をとるに当り、おのおのその数えられる時、その命のあがないを主にささげなければならない。これは数えられる時、彼らのうちに災の起らないためである。

13 זֶה יִתְּנוּ כָּל־הָעֹבֵר עַל־הַפְקֻדִים מַחֲצִית הַשֶּׁקֶל
これを 与えるように すべての 通る–者が ～の–中を 登録される–者の 半シェケルを シェケルの
H2088 H5414 H3605 H5674 H5921 H6485 H4276 H8255

בְּשֶׁקֶל הַקֹּדֶשׁ עֶשְׂרִים גֵּרָה הַשֶּׁקֶל מַחֲצִית הַשֶּׁקֶל
聖所の–シェケルで 聖所の 二十 ゲラで ーシェケルは 半シェケルが シェケルの
H8255 H6944 H6242 H1626 H8255 H4276 H8255

תְּרוּמָה לַיהוָה׃
奉献–ささげ物として 主への
H8641 H3068

すべて数に入る者は聖所のシケルで、半シケルを払わなければならない。一シケルは二十ゲラであって、おのおの半シケルを主にささげ物としなければならない。

14 כֹּל הָעֹבֵר עַל־הַפְקֻדִים מִבֶּן עֶשְׂרִים שָׁנָה וָמַעְלָה יִתֵּן
すべての 通る–者は ～の–中を 登録される–者の 二十歳 二十 歳 以上の–者は 与えなさい
H3605 H5674 H5921 H6485 H1121 H6242 H8141 H4605 H5414

תְּרוּמַת יְהוָה׃
奉献–ささげ物を 主への
H8641 H3068

すべて数に入る二十歳以上の者は、主にささげ物をしなければならない。

15 הֶעָשִׁיר לֹא־יַרְבֶּה וְהַדַּל לֹא יַמְעִיט מִמַּחֲצִית הַשֶּׁקֶל לָתֵת
富む–者は 多く–しては–ならない そして貧しい–者は 多く–しては–ならない 少なく–しては–ならない 半シェケル–より シェケルの 与える–ために その
H6223 H3808 H1800 H3808 H4591 H4276 H8255 H5414 H0853

אֶת־תְּרוּמַת יְהוָה לְכַפֵּר עַל־נַפְשֹׁתֵיכֶם׃
奉献–ささげ物を 主への 贖う–ために ～の–上の あなたがたの命を
H8641 H3068 H3722 H5921 H5315

あなたがたの命をあがなうために、主にささげ物をする時、富める者も半シケルより多く出してはならず、貧しい者もそれより少なく出してはならない。

16

וְלָקַחְתָּ֙ אֶת־כֶּ֣סֶף הַכִּפֻּרִ֔ים מֵאֵ֖ת בְּנֵ֣י יִשְׂרָאֵ֑ל וְנָתַתָּ֣ אֹתוֹ֔
そして取りなさい その 銀を 贖いの ～から 子らの イスラエルの そして用いなさい それを
H3947 H0853 H3701 H3725 H0854 H1121 H3478 H5414 H0853

לְזִכָּר֥וֹן לִבְנֵ֣י יִשְׂרָאֵ֗ל וְהָיָה֙ מוֹעֵ֣ד אָהֶל֔ עַל־
記念として イスラエルの 子らの-ための そしてなる 幕屋の 会見の 奉仕の ～の-ために
H2146 H3478 H1121 H1961 H4150 H0168 H5656 H5921

נַפְשֹׁתֵיכֶ֑ם וְכִפַּרְתָּ֣ עַל־ פ
あなたがたの命を ～の-上の 贖う-ために 主の 主の-前で
H5315 H5921 H3722 H3068 H6440

あなたはイスラエルの人々から、あがないの銀を取って、これを会見の幕屋の用に当てなければならない。これは主の前にイスラエルの人々のため記念となって、あなたがたの命をあがなうであろう」。

17

וַיְדַבֵּ֥ר יְהוָ֖ה אֶל־ מֹשֶׁ֥ה לֵאמֹֽר׃
そして語った 主が ～に モーセに 言って
H1696 H3068 H0413 H4872 H0559

主はモーセに言われた、

18

וְעָשִׂ֣יתָ כִּיּ֣וֹר נְחֹ֔שֶׁת וְכַנּ֖וֹ נְחֹ֑שֶׁת לְרָחְצָ֔ה וְנָתַתָּ֣ אֹת֔וֹ
そして作りなさい 洗盤を 青銅の そしてその台を 青銅の 洗う-ために そして置きなさい それを
H6213 H3595 H5178 H3653 H5178 H7364 H5414 H0853

וְנָתַתָּ֥ שָׁ֖מָּה מָֽיִם׃ וְהַמִּזְבֵּ֣חַ וּבֵין֙ מוֹעֵ֣ד אָהֶ֔ל בֵּין־
そして入れなさい そこに 水を 祭壇の そして～の-間に 幕屋と 会見の ～の-間に
H5414 H8033 H4325 H4196 H0996 H4150 H0168 H0996

「あなたはまた洗うために洗盤と、その台を青銅で造り、それを会見の幕屋と祭壇との間に置いて、その中に水を入れ、

19

וְרָחֲצ֖וּ אַהֲרֹ֥ן וּבָנָ֛יו מִמֶּ֥נּוּ אֶת־ יְדֵיהֶ֖ם וְאֶת־ רַגְלֵיהֶֽם׃
そして洗うように アロンと その息子たちが そこから 彼らの 手と そして 足を
H7364 H0175 H1121 H4480 H0853 H3027 H0853 H7272

アロンとその子たちは、それで手と足とを洗わなければならない。

20

בְּבֹאָ֣ם אֶל־ אֹ֣הֶל מוֹעֵ֗ד יִרְחֲצ֤וּ מַ֙יִם֙ וְלֹ֣א יָמֻ֔תוּ
入る-とき ～へ 会見の 幕屋に 洗う-ように 水で そして死なない-ように 死なない-ように
H0935 H0413 H0168 H4150 H7364 H4325 H3808 H4191

אֵ֥ו בְּגִשְׁתָּ֖ם אֶל־ הַמִּזְבֵּ֑חַ לְשָׁרֵ֣ת לְהַקְטִ֔יר אִשֶּׁ֛ה לַיהוָֽה׃
あるいは 近づく-とき ～に 祭壇に 仕える-ために 焚く-ために 火による-ささげ物を 主への
H0176 H5066 H0413 H4196 H8334 H6999 H0801 H3068

彼らは会見の幕屋にはいる時、水で洗って、死なないようにしなければならない。また祭壇に近づいて、その務をなし、火祭を主にささげる時にも、そうしなければならない。

21

וְרָחֲצ֖וּ יְדֵיהֶ֣ם וְרַגְלֵיהֶ֑ם וְלֹ֣א יָמֻ֔תוּ וְהָיְתָ֥ה
そして洗うように 手と 足を そして死なない-ように 死なない-ように そしてなる
H7364 H3027 H7272 H3808 H4191 H1961

פ לְדֹרֹתָ֛ם וּלְזַרְע֖וֹ לוֹ֙ עוֹלָ֣ם חָקַּ֔ת לָהֶֽם׃
― 代々の その子孫の-ための 彼と 定めとして 永遠の 彼らの-ための
H1755 H2233 H0000 H5769 H2706 H0000

すなわち、その手、その足を洗って、死なないようにしなければならない。これは彼とその子孫の代々にわたる永久の定めでなければならない」。

22 וַיְדַבֵּר יְהוָה אֶל־מֹשֶׁה לֵּאמֹר׃
言って モーセに ～に 主が そして語った
H0559 H4872 H0413 H3068 H1696

主はまたモーセに言われた、

23 וְאַתָּה קַח־לְךָ בְּשָׂמִים רֹאשׁ מָר־דְּרוֹר חֲמֵשׁ מֵאוֹת
そしてあなたは 取りなさい あなたの–ために 香料を 上等の 流れる 没薬を 五 百
H3947 H1314 H4753 H1865 H2568 H3967

וּמָאתַיִם׃ וַחֲמִשִּׁים קִנְמָן־בֶּשֶׂם חֲצִיתוֹ מַחֲצִית וַחֲמִשִּׁים מָאתַיִם וּקְנֵה־בֶשֶׂם
五十 二百 かぐわしい 肉桂を その半分の 二百 五十 そして菖蒲を かぐわしい
H3967 H2572 H1314 H7076 H4276 H2572 H3967 H7070 H1314

「あなたはまた最も良い香料を取りなさい。すなわち液体の没薬五百シケル、香ばしい肉桂をその半ば、すなわち二百五十シケル、におい菖蒲二百五十シケル、

24 וְקִדָּה חֲמֵשׁ מֵאוֹת בְּשֶׁקֶל הַקֹּדֶשׁ וְשֶׁמֶן זַיִת הִין׃
そして桂皮を 五 百 聖所の–シェケルで 聖所の そしてオリーブ–油を オリーブの ーヒン
H6916 H2568 H3967 H8255 H6944 H8081 H2132 H1969

桂枝五百シケルを聖所のシケルで取り、また、オリブの油一ヒンを取りなさい。

25 וְעָשִׂיתָ אֹתוֹ שֶׁמֶן מִשְׁחַת־קֹדֶשׁ רֹקַח מַעֲשֵׂה מִרְקַחַת רֹקֵחַ קֹדֶשׁ מִשְׁחַת־שֶׁמֶן יִהְיֶה׃
そして作りなさい それを 油として 聖別の 聖なる 調合した 香料の 調合師の 技による それはなる 聖なる 聖別の 油として
H6213 H0853 H8081 H4888 H6944 H7545 H4842 H4639 H7543 H1961 H6944 H4888 H8081

あなたはこれを聖なる注ぎ油、すなわち香油を造るわざにしたがい、まぜ合わせて、におい油に造らなければならない。これは聖なる注ぎ油である。

26 וּמָשַׁחְתָּ בּוֹ אֶת־אֹהֶל מוֹעֵד וְאֶת אֲרוֹן הָעֵדֻת׃
そして油を注ぎなさい それで その 会見の 幕屋と そして 契約の箱と あかしの
H4886 H0853 H0168 H4150 H0853 H0727 H5715

あなたはこの油を会見の幕屋と、あかしの箱とに注ぎ、

27 וְאֶת־הַשֻּׁלְחָן וְאֶת־כָּל־כֵּלָיו וְאֶת־הַמְּנֹרָה וְאֶת־כֵּלֶיהָ וְאֶת מִזְבַּח הַקְּטֹרֶת׃
そして 食卓と そして すべての その器と そして 燭台と そして その器と 香の 香の–祭壇と
H0853 H7979 H0853 H3605 H3627 H0853 H4501 H0853 H3627 H7004 H4196

机と、そのもろもろの器、燭台と、そのもろもろの器、香の祭壇、

28 וְאֶת־הַכִּיֹּר וְאֶת־כַּנּוֹ׃ וְאֶת־כָּל־כֵּלָיו וְאֶת־הָעֹלָה מִזְבַּח וְאֶת־
洗盤と そして その台を そして その器と すべての そして 全焼の–ささげ物の 全焼の–ささげ物の–祭壇と そして
H3595 H0853 H3653 H0853 H3627 H3605 H0853 H4196 H0853

燔祭の祭壇と、そのもろもろの器、洗盤と、その台とに油を注ぎ、

29 וְקִדַּשְׁתָּ (H6942) וְהָיוּ (H1961) קֹדֶשׁ (H6944) קָדָשִׁים (H6944) כֹּל־ (H3605) הַנֹּגֵעַ (H5060) בָּהֶם
それて聖別しなさい そしてなる 至聖の 聖なるもの すべての 触れる–者は それらに
אֹתָם (H0853)
それらを

יִקְדָּשׁ׃
聖くなる
H6942

これらをきよめて最も聖なる物としなければならない。すべてこれに触れる者は聖となるであろう。

30 וְאֶת־ (H0853) אַהֲרֹן (H0175) וְאֶת־ (H0853) בָּנָיו (H1121) תִּמְשָׁח (H4886) וְקִדַּשְׁתָּ (H6942) אֹתָם
そして アロンと そして その息子たちに 油を注ぎなさい そして聖別しなさい 彼らを
H0853

לְכַהֲנ֥וֹ לִֽי׃
祭司として–仕えさせる わたしに
H3547

あなたはアロンとその子たちに油を注いで、彼らを聖別し、祭司としてわたしに仕えさせなければならない。

31 וְאֶל־ (H0413) בְּנֵי (H1121) יִשְׂרָאֵל (H3478) תְּדַבֵּר (H1696) לֵאמֹר (H0559) שֶׁמֶן (H8081) מִשְׁחַת־ (H4888) קֹדֶשׁ (H6944) יִהְיֶה (H1961) זֶה (H2088)
そして〜に 子らに イスラエルの 語りなさい 言って 油は 聖別の 聖なる なる これは
H0853

לְדֹרֹתֵיכֶם׃ לִי
あなたがたの代々に わたしの–ために
H1755

そしてあなたはイスラエルの人々に言わなければならない、『これはあなたがたの代々にわたる、わたしの聖なる注ぎ油であって、

32 עַל־ (H5921) בְּשַׂר (H1320) אָדָם (H0120) לֹא (H3808) יִיסָךְ (H3251) וּבְמַתְכֻּנְתּוֹ (H4971) לֹא (H3808)
〜の–上に 肌に 人の 注いでは–ならない そしてその配合で 作っては–ならない
H3808

לָכֶם׃ יִהְיֶה (H1961) קֹדֶשׁ (H6944) הוּא (H1931) קֹדֶשׁ (H6944) כָּמֹהוּ (H3644) תַּעֲשׂוּ
あなたがたにとって ものである 聖い それは 聖い 同じ–ものを 作っては–ならない

常の人の身にこれを注いではならない。またこの割合をもって、これと等しいものを造ってはならない。これは聖なるものであるから、あなたがたにとっても聖なる物でなければならない。

33 אִישׁ (H0376) אֲשֶׁר (H0834) יִרְקַח (H7543) כָּמֹהוּ (H3644) וַאֲשֶׁר (H0834) יִתֵּן (H5414) מִמֶּנּוּ (H4480) עַל־ (H5921)
誰でも もし 調合する–者が 同じ–ものを そしてもし 与える–者が それの–一部を 〜の–上に
H0376

וְנִכְרַת (H3772) מֵעַמָּיו׃ ס
そして断たれる その民から —
H5971

זָר
部外者に

すべてこれと等しい物を造る者、あるいはこれを祭司以外の人につける者は、民のうちから断たれるであろう』」。

34 וַיֹּאמֶר (H0559) יְהוָה (H3068) אֶל־ (H0413) מֹשֶׁה (H4872) קַח־ (H3947) לְךָ֡ סַמִּים (H5561) נָטָף (H5198) וּשְׁחֶלֶת (H7827)
そして言った 主が 〜に モーセに 取りなさい あなたの–ために 香料を 蘇合香と 爪香と

וּלְבֹנָה (H3828) זַכָּה (H2134) בַּד (H0905) בְּבַד (H0905) יִהְיֶה׃
そして乳香を 純粋な 等しく 等しい–分量で あるべき
H1961

וְחֶלְבְּנָ֣ה (H2464) סַמִּים (H5561)
楓子香と 香料と

主はまた、モーセに言われた、「あなたは香料、すなわち蘇合香、シケレテ香、楓子香、純粋の乳香の香料を取りなさい。おのおの同じ量でなければならない。

טָהֹור	מְמֻלָּח	רוֹקַח	מַעֲשֵׂה	רֹקַח	קְטֹרֶת	אֹתָהּ	וְעָשִׂיתָ	35
純粋な	塩で–味付けした	技による	調合師の	調合した	香として	それを	そして作りなさい	
H2889		H7543	H4639	H7545	H7004	H0853		

קֹדֶשׁ׃
聖なる
H6944

あなたはこれをもって香、すなわち香料をつくるわざにしたがって薫香を造り、塩を加え、純にして聖なる物としなさい。

בְּאֹהֶל	הָעֵדֻת	לִפְנֵי	מִמֶּנָּה	וְנָתַתָּה	הָדֵק	מִמֶּנָּה	וְשָׁחַקְתָּ	36
会見の	あかしの	～の–前に	その一部を	そして置きなさい	細かく	その一部を	そして砕きなさい	
H0168	H5715	H6440		H5414	H1854		H7833	

לָכֶם׃	תִּהְיֶה	קָדָשִׁים	קֹדֶשׁ	שָׁמָּה	לְךָ	אִוָּעֵד	אֲשֶׁר	מוֹעֵד
あなたがたにとって	それはなる	聖なるもの	至聖の	そこで	あなたと	わたしは会う	そこで	幕屋で
	H1961	H6944	H6944	H8033		H3259		H4150

また、その幾ぶんを細かに砕き、わたしがあなたと会う会見の幕屋にある、あかしの箱の前にこれを供えなければならない。これはあなたがたに最も聖なるものである。

תַּעֲשׂוּ	לֹא	בְּמַתְכֻּנְתָּהּ	תַּעֲשֶׂה	אֲשֶׁר	וְהַקְּטֹרֶת	37
作っては–ならない	作っては–ならない	その配合で	作る	あなたが	そしてこの香は	
	H3808	H4971			H7004	

לַיהוָה׃	לְךָ	תִּהְיֶה	קֹדֶשׁ	לָכֶם
主への	あなたにとって	ものである	聖い	あなたがたの–ために
H3068		H1961	H6944	

あなたが造る香の同じ割合をもって、それを自分のために造ってはならない。これはあなたにとって主に聖なるものでなければならない。

ס	מֵעַמָּיו׃	וְנִכְרַת	בָּהּ	לְהָרִיחַ	כָּמוֹהָ	יַעֲשֶׂה	אֲשֶׁר־	אִישׁ	38
—	その民から	そして断たれる	それを	嗅ぐ–ために	同じ–ものを	作る–者が	もし	誰でも	
		H3772		H7306	H3644			H0376	

すべてこれと等しいものを造って、これをかぐ者は民のうちから断たれるであろう」。

Chapter 31

לֵאמֹר׃	מֹשֶׁה	אֶל־	יְהוָה	וַיְדַבֵּר	1
言って	モーセに	～に	主が	そして語った	
H0559	H4872	H0413	H3068	H1696	

主はモーセに言われた、

יְהוּדָה׃	לְמַטֵּה	חוּר	בֶּן־	אוּרִי	בֶּן־	בְּצַלְאֵל	בְּשֵׁם	קָרָאתִי	רְאֵה	2
ユダの	部族の	フルの	息子の	ウリの	息子の	ベツァレルを	名で	わたしは–名指した	見よ	
H3063	H4294	H2354		H0221		H1212	H8034	H7121	H7200	

「見よ、わたしはユダの部族に属するホルの子なるウリの子ベザレルを名ざして召し、

3 וָאֲמַלֵּא אֹתוֹ רוּחַ אֱלֹהִים בְּחָכְמָה וּבִתְבוּנָה וּבְדַעַת
そしてわたしは-満たした 彼を 霊で 神の 知恵と そして英知と そして知識と
H4390 H0853 H7307 H0430 H2451 H8394 H1847

וּבְכָל־ מְלָאכָה׃
そしてすべての 技で
H3605 H4399

これに神の霊を満たして、知恵と悟りと知識と諸種の工作に長ぜしめ、

4 לַחְשֹׁב מַחֲשָׁבֹת לַעֲשׂוֹת בַּזָּהָב וּבַכֶּסֶף וּבַנְּחֹשֶׁת׃
考案する-ために 意匠を 行う-ために 金で そして銀で そして青銅で
H2803 H4284 H6213 H2091 H3701

工夫を凝らして金、銀、青銅の細工をさせ、

5 וּבַחֲרֶשֶׁת לְמַלֹּאת עֵצִים וּבַחֲרֹשֶׁת בֶּאֱבֶן לְמַלֹּאת בְּכָל־ מְלָאכָה׃
そして細工で 石の はめる-ために 木の そして細工で 行う-ために すべての 技を
H2799 H0068 H4390 H6086 H2799 H6213 H3605 H4399

また宝石を切りはめ、木を彫刻するなど、諸種の工作をさせるであろう。

6 וַאֲנִי הִנֵּה נָתַתִּי אִתּוֹ אֶת אָהֳלִיאָב בֶּן־ אֲחִיסָמָךְ לְמַטֵּה־
わたしは 見よ 与えた 彼と-共に その オホリアブを 息子の アヒサマクの 部族の
H0589 H2009 H5414 H0854 H0853 H0171 H1121 H0294 H4294

דָן וּבְלֵב כָּל־ חֲכַם־ לֵב נָתַתִּי חָכְמָה וְעָשׂוּ אֵת
ダンの そして心に すべての 知恵ある 心の-者に わたしは与えた 知恵を そして彼らが-作る その
H1835 H0996 H3605 H2450 H3820 H5414 H2451 H6213 H0853

כָּל־ אֲשֶׁר צִוִּיתֶךָ׃
すべての わたしが 命じた-ことを
H3605 H0834 H6680

見よ、わたしはまたダンの部族に属するアヒサマクの子アホリアブを彼と共ならせ、そしてすべて賢い者の心に知恵を授け、わたしがあなたに命じたものを、ことごとく彼らに造らせるであろう。

7 וְאֵת אֹהֶל מוֹעֵד וְאֵת־ הַכַּפֹּרֶת אֲשֶׁר עָלָיו וְאֵת־ כָּל־ כְּלֵי הָאֹהֶל׃
そして その 会見の 幕屋と そして 贖いの蓋と その 上の そして すべての 器を 幕屋の
H0853 H0168 H4150 H0853 H3727 H0834 H5921 H0853 H3605 H3627 H0168

すなわち会見の幕屋、あかしの箱、その上にある贖罪所、幕屋のもろもろの器、

8 וְאֵת הַשֻּׁלְחָן וְאֶת־ כֵּלָיו וְאֵת־ הַמְּנֹרָה הַטְּהֹרָה וְאֵת־ כָּל־ כֵּלֶיהָ וְאֵת
そして 食卓と そして その器と そして 燭台と 純粋な そして すべての その器と そして
H0853 H7979 H0853 H3627 H0853 H4501 H2889 H0853 H3605 H3627 H0853

מִזְבַּח הַקְּטֹרֶת׃
香の 香の-祭壇と
H7004 H4196

机とその器、純金の燭台と、そのもろもろの器、香の祭壇、

9

וְאֶת־ 全焼の–ささげ物の–祭壇と そして H0853
מִזְבַּח H4196
הָעֹלָה 全焼の–ささげ物の H5930
וְאֵת־ そして H0853
כָּל־ すべての H3605
כֵּלָיו その器と H3627
הַכִּיֹּור 洗盤と H3595
וְאֶת־ そして H0853
כַּנּוֹ׃ その台を H3653

燔祭の祭壇とそのもろもろの器、洗盤とその台、

10

וְאֶת 衣服を そして H0853
בִּגְדֵי 祭司の H3548
הַכֹּהֵן アロンの–ための H0175
לְאַהֲרֹן 聖なる H6944
הַקֹּדֶשׁ 衣服を そして H0853
וְאֶת־ 織りの H8278
בִּגְדֵי 衣服を そして H0853
וְאֶת 彼らは作るべきである H6213
בִּגְדֵי 祭司として–仕えるための H3547
לְכַהֵן׃ その息子たちの H1121
בָּנָיו

編物の服、すなわち祭司の務をするための祭司アロンの聖なる服、およびその子たちの服、

11

וְאֶת 聖別の H4888
הַמִּשְׁחָה 注ぎの–油と そして H0853
וְאֶת־ 香と H7004
קְטֹרֶת かぐわしい–香料の H5561
הַסַּמִּים 聖所の–ための H6944
לַקֹּדֶשׁ
פ —
יַעֲשׂוּ׃ 彼らは作るべきである H6213
צִוִּיתֶךָ 命じた H6680
אֲשֶׁר־ わたしが H834
כְּכָל すべての–ことに–従い H3605

注ぎ油、聖所のための香ばしい香などを、すべてわたしがあなたに命じたように造らせるであろう」。

12

וַיֹּאמֶר 言って H0559
מֹשֶׁה モーセに H4872
אֶל־ ～に H0413
יְהוָה 主が H3068
וַיֹּאמֶר そして言った H0559
לֵאמֹר׃ H0559

主はまたモーセに言われた、

13

וְאַתָּה そしてあなたは H859
דַּבֵּר 語りなさい H1696
אֶל־ ～に H0413
בְּנֵי 子らに H1121
יִשְׂרָאֵל イスラエルの H3478
לֵאמֹר 言って H0559
אַךְ 必ず H0389
אֶת־ わたしの H0853
שַׁבְּתֹתַי 安息日を H7676
תִּשְׁמֹרוּ 守りなさい H8104
כִּי なぜなら H3588
אֹות しるしである H0226
הִוא それは H1931
בֵּינִי わたしと H0996
וּבֵינֵיכֶם そしてあなたがたとの–間の H0996
לְדֹרֹתֵיכֶם あなたがたの代々に H1755
לָדַעַת 知る–ために H3045
כִּי わたしが H3588
אֲנִי わたしは H595
יְהוָה 主 H3068
מְקַדִּשְׁכֶם׃ あなたがたを–聖別する–者であることを H6942

「あなたはイスラエルの人々に言いなさい、『あなたがたは必ずわたしの安息日を守らなければならない。これはわたしとあなたがたとの間の、代々にわたるしるしであって、わたしがあなたがたを聖別する主であることを、知らせるためのものである。

14

וְשָׁמַרְתֶּם そして守りなさい H8104
אֶת־ その H0853
הַשַּׁבָּת 安息日を H7676
כִּי なぜなら H3588
קֹדֶשׁ 聖い H6944
הִוא それは H1931
לָכֶם あなたがたにとって H3588
מְחַלְלֶיהָ 汚す–者は H2490
כִּי なぜなら H3588
כָּל־ すべての H3605
הָעֹשֶׂה 行う–者は H6213
בָהּ その日に H3117
מְלָאכָה 仕事を H4399
וְנִכְרְתָה そして断たれる H3772
הַנֶּפֶשׁ その人は H5315
הַהִוא その H1931
מִקֶּרֶב ～の–中から H7130
עַמֶּיהָ׃ その民の H5971

それゆえ、あなたがたは安息日を守らなければならない。これはあなたがたに聖なる日である。すべてこれを汚す者は必ず殺され、すべてこの日に仕事をする者は、民のうちから断たれるであろう。

15

לַיהוָה	קֹדֶשׁ	שַׁבָּתוֹן	שַׁבָּת	הַשְּׁבִיעִי	וּבַיּוֹם	מְלָאכָה	יֵעָשֶׂה	יָמִים	שֵׁשֶׁת
主への	聖い	完全な-休み	安息の	日には	そして第七の	仕事は	なされるべき	間	六日の
H3068	H6944	H7677	H7676	H7637	H3117	H4399		H3117	H8337

יוּמָת׃	מוֹת	הַשַּׁבָּת	בַּיּוֹם	מְלָאכָה	הָעֹשֶׂה	כָּל־	
死ぬべきである	必ず-死ぬ	安息日の	日に	仕事を	行う-者は	すべての	
H4191	H4191	H7676	H3117	H4399		H3605	

六日のあいだは仕事をしなさい。七日目は全き休みの安息日で、主のために聖である。すべて安息日に仕事をする者は必ず殺されるであろう。

16

לְדֹרֹתָם	הַשַּׁבָּת	אֶת־	לַעֲשׂוֹת	הַשַּׁבָּת	אֶת־	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי־	וְשָׁמְרוּ
代々に	安息日を	その	行う-ために	安息日を	その	イスラエルの	子らが	そして守るように
H1755	H7676	H0853		H7676	H0853	H3478		H8104

עוֹלָם׃	בְּרִית
契約として	永遠の
H5769	H1285

ゆえに、イスラエルの人々は安息日を覚え、永遠の契約として、代々安息日を守らなければならない。

17

כִּי־	לְעֹלָם	הִוא	אוֹת	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי	וּבֵין	בֵּינִי		
なぜなら	永遠に	それは	しるしである	イスラエルの	子らとの	そして〜との-間の	わたしと		
	H5769	H1931	H0226	H3478		H0996	H0996		

שָׁבַת	הַשְּׁבִיעִי	וּבַיּוֹם	הָאָרֶץ	וְאֶת־	הַשָּׁמַיִם	אֶת־	יְהוָה	עָשָׂה	יָמִים	שֵׁשֶׁת
休まれた	日に	そして第七の	地を	そして	天と	その	主が	造った	間に	六日の
	H7637	H3117	H0776	H0853	H8064	H0853	H3068		H3117	H8337

ס	וַיִּנָּפַשׁ׃	
—	そして愚られた	
	H5314	

これは永遠にわたしとイスラエルの人々との間のしるしである。それは主が六日のあいだに天地を造り、七日目に休み、かつ、いこわれたからである』」。

18

לֻחֹת	שְׁנֵי	סִינַי	בְּהַר	אִתּוֹ	לְדַבֵּר	כְּכַלֹּתוֹ	מֹשֶׁה	אֶל־	וַיִּתֵּן
板を	二枚の	シナイの	山で	彼と	語る-ことを	終えた-とき	モーセに	〜に	そして与えた
H3871	H8147	H5514	H2022	H0854	H1696	H3615	H4872	H0413	H5414

אֱלֹהִים׃	בְּאֶצְבַּע	כְּתֻבִים	אֶבֶן	לֻחֹת	הָעֵדֻת
神の	指で	書かれた	石の	板を	あかしの
H0430	H0676	H3789	H0068	H3871	H5715

主はシナイ山でモーセに語り終えられたとき、あかしの板二枚、すなわち神が指をもって書かれた石の板をモーセに授けられた。

Chapter 32

1 וַיַּ֣רְא הָעָ֗ם כִּֽי־בֹשֵׁ֤שׁ מֹשֶׁה֙ לָרֶ֣דֶת מִן־הָהָ֔ר

וַיִּקָּהֵל֙ הָעָ֔ם עַל־אַהֲרֹ֖ן וַיֹּאמְרוּ֩ אֵלָ֨יו קוּם֙ עֲשֵׂה־

לָ֜נוּ אֱלֹהִ֗ים אֲשֶׁ֤ר יֵֽלְכוּ֙ לְפָנֵ֔ינוּ כִּֽי־זֶ֥ה מֹשֶׁ֛ה הָאִ֖ישׁ

אֲשֶׁ֣ר הֶעֱלָ֑נוּ מֵאֶ֣רֶץ מִצְרַ֔יִם לֹ֥א יָדַ֖עְנוּ מֶֽה־הָיָ֥ה לֽוֹ׃

山から ～から 下りて-来るのが モーセが 遅れていると ～ということを 民が そして見た
H2022 H3381 H4872 H0954 H7200

作りなさい 立ちなさい 彼に そして言った アロンの ～の-もとに 民が そして集まった
H0413 H0559 H0175 H6950

その人は モーセは この なぜなら わたしたちの-前に 行く-ような その 神々を わたしたちに
H0376 H4872 H2088 H6440 H3212 H0430

起きたのか 何が 知らない わたしたちは-知らない エジプトの ～の-地から 導き上った その
H1961 H4100 H3045 H3808 H4714 H0776 H5927

彼に
H0413

民はモーセが山を下ることのおそいのを見て、アロンのもとに集まって彼に言った、「さあ、わたしたちに先立って行く神を、わたしたちのために造ってください。わたしたちをエジプトの国から導きのぼった人、あのモーセはどうなったのかわからないからです」。

2 נְשֵׁיכֶ֗ם בְּאָזְנֵי֙ אֲשֶׁ֣ר הַזָּהָ֔ב נִזְמֵי֙ פָּרְק֣וּ אַהֲרֹ֔ן אֱלֵיהֶ֖ם וַיֹּאמֶר֙

בְּנֵיכֶ֔ם וּבְנֹתֵיכֶ֖ם וְהָבִ֥יאוּ אֵלָֽי׃

あなたがたの妻と 耳の その 金の 耳輪を 外しなさい アロンが 彼らに そして言った
H0802 H0241 H2091 H5141 H6561 H0175 H0413 H0559

わたしに そして持って-来なさい そして娘たちの 息子たちと
H0413 H0935 H1323

アロンは彼らに言った、「あなたがたの妻、むすこ、娘らの金の耳輪をはずしてわたしに持ってきなさい」。

3 וַיִּתְפָּרְק֣וּ כָל־הָעָ֗ם אֶת־נִזְמֵי֙ הַזָּהָ֔ב אֲשֶׁ֖ר בְּאָזְנֵיהֶ֑ם וַיָּבִ֖יאוּ

אֶל־אַהֲרֹֽן׃

そして外した すべての 民が その 金の 耳輪を 彼らの耳の その そして持って-来た
H6561 H3605 H0853 H2091 H5141 H0241 H0935

～へ アロンへ
H0413 H0175

そこで民は皆その金の耳輪をはずしてアロンのもとに持ってきた。

4 וַיִּקַּ֣ח מִיָּדָ֔ם וַיָּ֥צַר בַּחֶ֖רֶט אֹת֑וֹ וַיַּעֲשֵׂ֣הוּ עֵ֔גֶל מַסֵּכָ֑ה

וַיֹּאמְר֗וּ אֵ֚לֶּה אֱלֹהֶ֔יךָ יִשְׂרָאֵ֕ל אֲשֶׁ֥ר הֶעֱל֖וּךָ מֵאֶ֥רֶץ מִצְרָֽיִם׃

そして受け取った 彼らの手から そして形作った 彫刻刀で それを そして作った 子牛を 鋳物の
H3947 H3027 H3335 H2747 H0853 H5695

そして言った これが あなたの神だ イスラエルよ その 導き上った ～の-地から エジプトの
H0559 H0428 H0430 H3478 H0834 H5927 H0776 H4714

アロンがこれを彼らの手から受け取り、工具で型を造り、鋳て子牛としたので、彼らは言った、「イスラエルよ、これはあなたをエジプトの国から導きのぼったあなたの神である」。

5 וַיַּ֣רְא אַהֲרֹ֗ן וַיִּבֶן֩ מִזְבֵּ֨חַ לְפָנָ֜יו וַיִּקְרָ֤א וַיֹּאמַר֙

חַ֣ג לַיהוָ֔ה מָחָֽר׃

そして見た アロンが そして建てた 祭壇を その前に そして告げた そして言った
H7200 H0175 H1129 H4196 H6440 H7121 H0559

祭りがある 主への 明日
H2282 H3068 H4279

アロンはこれを見て、その前に祭壇を築いた。そしてアロンは布告して言った、「あすは主の祭である」。

שְׁלָמִים	וַיִּגְּשׁוּ	עֹלֹת	וַיַּעֲלוּ	מִמָּחֳרָת	וַיַּשְׁכִּימוּ	6
和解の-ささげ物を	そして携えた	全焼の-ささげ物を	そしてささげた	翌日	そして早起きした	
H8002	H5066		H5927	H4283	H7925	

פ	לְצַחֵק׃	וַיָּקֻמוּ	וְשָׁתוֹ	לֶאֱכֹל	הָעָם	וַיֵּשֶׁב
—	戯れる-ために	そして立ち上がった	そして飲む-ために	食べる-ために	民が	そして座った
	H6711		H8354	H0398		H3427

そこで人々はあくる朝早く起きて燔祭をささげ、酬恩祭を供えた。民は座して食い飲みし、立って戯れた。

אֲשֶׁר	עַמְּךָ	שִׁחֵת	כִּי	רֵד	לֶךְ־	מֹשֶׁה	אֶל־	יְהוָה	וַיְדַבֵּר	7
その	あなたの民が	堕落した	なぜなら	下りなさい	行け	モーセに	～に	主が	そして語った	
		H7843		H3381	H3212	H4872	H0413	H3068	H1696	

מִצְרָיִם׃	מֵאֶרֶץ	הֶעֱלִיתָ	
エジプトの	～の-地から	導き上った	
H4714	H0776	H5927	

主はモーセに言われた、「急いで下りなさい。あなたがエジプトの国から導きのぼったあなたの民は悪いことをした。

מַסֵּכָה	עֵגֶל	לָהֶם	עָשׂוּ	צִוִּיתִם	אֲשֶׁר	הַדֶּרֶךְ	מִן־	מַהֵר	סָרוּ	8
鋳物の	子牛を	彼らの-ために	作った	命じた	わたしが	道から	～から	急ぎ	それた	
	H5695			H6680		H1870			H5493	

אֱלֹהֶיךָ	אֵלֶּה	וַיֹּאמְרוּ	לוֹ	וַיִּזְבְּחוּ־	לוֹ	וַיִּשְׁתַּחֲווּ־	
あなたの神だ	これが	そして言った	それに	そしていけにえを-ささげた	それに	そしてひれ伏した	
H0430	H0428	H0559		H2076		H7812	

מִצְרָיִם׃	מֵאֶרֶץ	הֶעֱלוּךָ	אֲשֶׁר	יִשְׂרָאֵל
エジプトの	～の-地から	導き上った	その	イスラエルよ
H4714	H0776	H5927		H3478

彼らは早くもわたしが命じた道を離れ、自分のために鋳物の子牛を造り、これを拝み、これに犠牲をささげて、『イスラエルよ、これはあなたをエジプトの国から導きのぼったあなたの神である』と言っている」。

עַם־	וְהִנֵּה	הַזֶּה	הָעָם	אֶת־	רָאִיתִי	מֹשֶׁה	אֶל־	יְהוָה	וַיֹּאמֶר	9
頴なくな	そして見よ	この	民を	その	わたしは見た	モーセに	～に	主が	そして言った	
	H2009	H2088		H0853	H7200	H4872	H0413	H3068	H0559	

הוּא׃	עֹרֶף	קְשֵׁה־	
それは	頴の-民である	頴なくな	
H1931	H6203	H7186	

主はまたモーセに言われた、「わたしはこの民を見た。これはかたくなな民である。

וַאֲכַלֵּם	בָּהֶם	אַפִּי	וְיִחַר־	לִי	הַנִּיחָה	וְעַתָּה			10
そして滅ぼす	彼らに	わたしの怒りが	そして燃える-ように	わたしに	任せなさい	そして今			
H3615		H0639	H2734		H3240	H6258			

גָּדוֹל׃	לְגוֹי	אוֹתְךָ	וְאֶעֱשֶׂה
国民として	大いなる	あなたを	そしてわたしは-作る
		H0853	

それで、わたしをとめるな。わたしの怒りは彼らにむかって燃え、彼らを滅ぼしつくすであろう。しかし、わたしはあなたを大いなる国民とするであろう」。

יְהוָה֙ לָמָּה֙ וַיֹּאמֶר֙ אֱלֹהָ֔יו יְהוָ֖ה פְּנֵ֣י אֶת־ מֹשֶׁ֑ה וַיֵּחַל 11
主よ なぜ そして言った その神の 主の 御前を その モーセが そしてなだめた
H3068 H4100 H0559 H0430 H3068 H6440 H0853 H4872

בְּכֹ֣חַ מִצְרַ֔יִם מֵאֶ֣רֶץ הוֹצֵ֔אתָ אֲשֶׁ֥ר בְּעַמֶּ֖ךָ אַפְּךָ֙ יֶחֱרֶ֣ה
大いなる エジプトの ～の–地から 導き出した その あなたの民に あなたの怒りが 燃えるのですか
H4714 H0776 H3318 H0639 H2734

חֲזָקָֽה׃ וּבְיָ֥ד נָדֽוֹל
手で そして強い 力と
H2389 H3027

モーセはその神、主をなだめて言った、「主よ、大いなる力と強き手をもって、エジプトの国から導き出されたあなたの民にむかって、なぜあなたの怒りが燃えるのでしょうか。

בָּהָרִ֔ים אֹתָ֖ם לַהֲרָ֣ג הוֹצִיאָ֑ם בְּרָעָ֥ה לֵאמֹ֛ר מִצְרַ֔יִם יֹאמְרוּ֙ לָמָּה֙ 12
山々で 彼らを 殺す–ために 導き出した 悪意をもって 言って エジプトが 言うのですか なぜ
H2022 H0853 H2026 H3318 H0559 H4713 H0559 H4100

אַפֶּ֔ךָ מֵחֲרוֹן֙ שׁ֣וּב הָאֲדָמָ֑ה פְּנֵי֙ מֵעַ֔ל וּלְכַלֹּתָ֖ם
あなたの怒りの 激しい–怒りから 立ち戻りなさい 地の 面から ～の–上から そして滅ぼす–ために
H0639 H2740 H7725 H0127 H6440 H3615

לְעַמֶּֽךָ׃ הָרָעָ֖ה עַל־ וְהִנָּחֵ֖ם
あなたの民への わざわいを ～に–ついて そして思い直しなさい
H5162

どうしてエジプトびとに『彼は悪意をもって彼らを導き出し、彼らを山地で殺し、地の面から断ち滅ぼすのだ』と言わせてよいでしょうか。どうかあなたの激しい怒りをやめ、あなたの民に下そうとされるこの災を思い直し、

נִשְׁבַּעְתָּ֙ אֲשֶׁ֣ר עֲבָדֶ֔יךָ לְיִשְׂרָאֵ֑ל לְיִצְחָ֖ק לְאַבְרָהָ֙ם֙ זְכֹ֔ר 13
誓った その あなたの僕たちを そしてイスラエルを イサクを アブラハムを 思い出しなさい
H7650 H5650 H3478 H3327 H0085 H2142

זַרְעֲכֶ֔ם אֶת־ אַרְבֶּ֣ה אֲלֵהֶ֑ם וַתְּדַבֵּ֥ר בָּ֖ךְ לָהֶ֙ם֙
あなたがたの子孫を その わたしは増やす 彼らに そして語った あなた自身に–かけて 彼らに
H2233 H0853 H1696

לְזַרְעֲכֶ֔ם אֶתֵּ֑ן אָמַ֣רְתִּי אֲשֶׁ֥ר הַזֹּ֖את הָאָ֥רֶץ וְכָל־ הַשָּׁמַ֔יִם כְּכוֹכְבֵ֣י
あなたがたの子孫に 与えると 言った わたしが この 地を そしてすべての 天の 星の–ように
H2233 H5414 H0559 H2063 H0776 H3605 H8064 H3556

לְעֹלָֽם׃ וְנָחֲל֖וּ
永遠に そして受け継ぐように
H5769 H5157

あなたのしもべアブラハム、イサク、イスラエルに、あなたが御自身をさして誓い、『わたしは天の星のように、あなたがたの子孫を増し、わたしが約束したこの地を皆あなたがたの子孫に与えて、長くこれを所有させるであろう』と彼らに仰せられたことを覚えてください」。

פ ׀ לְעַמּֽוֹ׃ לַעֲשׂ֥וֹת דִּבֶּ֖ר אֲשֶׁ֥ר הָרָעָ֔ה עַל־ יְהוָ֖ה וַיִּנָּחֶ֥ם 14
— その民に 行うと 語った その わざわいを ～に–ついて 主が そして思い直した
H1696 H3068 H5162

それで、主はその民に下すと言われた災について思い直された。

15

הָעֵדֻת	לֻחֹת	וּשְׁנֵי	הָהָר	מִן־	מֹשֶׁה	וַיֵּרֶד	וַיִּפֶן
あかしの	板が	そして二枚の	山から	～から	モーセが	そして下った	そして向きを-変えた
H5715	H3871	H8147	H2022		H4872	H3381	H6437

כְּתֻבִים׃	הֵם	וּמִזֶּה	מִזֶּה	עֵבְרֵיהֶם	מִשְּׁנֵי	כְּתֻבִים	לֻחֹת	בְּיָדוֹ
書かれていた	それらは	そしてあちらに	こちらと	側に	両方の	書かれていた	板は	彼の手に
H3789	H1992	H2088	H2088	H5676	H8147	H3789	H3871	H3027

モーセは身を転じて山を下った。彼の手には、かの二枚のあかしの板があった。板はその両面に文字があった。すなわち、この面にも、かの面にも文字があった。

16

הוּא	אֱלֹהִים	מִכְתָּב	וְהַמִּכְתָּב	הֵמָּה	אֱלֹהִים	מַעֲשֵׂה	וְהַלֻּחֹת
それは	神の	文字であった	そしてその文字は	それらであった	神の	技の	そしてその板は
H1931	H0430	H4385	H4385	H1992	H0430	H4639	H3871

הַלֻּחֹת׃	עַל־	חָרוּת	
その板に	～の-上に	刻まれた	
H3871		H2801	

その板は神の作、その文字は神の文字であって、板に彫ったものである。

17

מֹשֶׁה	אֶל־	וַיֹּאמֶר	בְּרֵעַ	הָעָם	קוֹל	אֶת־	יְהוֹשֻׁעַ	וַיִּשְׁמַע
モーセに	～に	そして言った	叫ぶ-とき	民の	声を	その	ヨシュアが	そして聞いた
H4872	H0413	H0559	H7452			H0853	H3091	H8085

בַּמַּחֲנֶה׃	מִלְחָמָה	קוֹל	
宿営に	戦いの	戦いの-声が	
H4264	H4421		

ヨシュアは民の呼ばわる声を聞いて、モーセに言った、「宿営の中に戦いの声がします」。

18

קוֹל	וְאֵין	גְּבוּרָה	עַנּוֹת	קוֹל	אֵין	וַיֹּאמֶר	
声ではない	そして～ではない	勝利の	叫ぶ-ような	声ではない	～ではない	そして言った	
	H0369	H1369			H0369	H0559	

שֹׁמֵעַ׃	אָנֹכִי	עַנּוֹת	קוֹל	חֲלוּשָׁה	עַנּוֹת	
聞いている	わたしは	歌う	歌う-声を	敗北の	叫ぶ-ような	
H8085	H0595			H2476		

しかし、モーセは言った、「勝どきの声でなく、敗北の叫び声でもない。わたしの聞くのは歌の声である」。

19

וּמְחֹלֹת	הָעֵגֶל	אֶת־	וַיַּרְא	הַמַּחֲנֶה	אֶל־	קָרַב	כַּאֲשֶׁר	וַיְהִי
そして踊りを	子牛と	その	そして見た	宿営に	～に	近づいた	～とき	そしてあった
H4246	H5695	H0853	H7200	H4264	H0413	H7126		H1961

וַיְשַׁבֵּר	הַלֻּחֹת	אֶת־	מִיָּדָיו)	מידו]	וַיְשַׁלֵּךְ	מֹשֶׁה	אַף	וַיִּחַר־
そして砕いた	板を	その	彼の手から	彼の手から	そして投げた	モーセの	怒りが	そして燃えた
H7665	H3871	H0853	H3027	H3027	H7993	H4872	H0639	H2734

הָהָר׃	תַּחַת	אֹתָם	
山の	～の-ふもとで	それらを	
H2022	H8478	H0853	

モーセが宿営に近づくと、子牛と踊りとを見たので、彼は怒りに燃え、手からかの板を投げうち、これを山のふもとで砕いた。

20

אֲשֶׁר־	עַד	וַיִּטְחַן	בָּאֵשׁ	וַיִּשְׂרֹף	עָשׂוּ	אֲשֶׁר	הָעֵגֶל	אֶת־	וַיִּקַּח
細かく	～まで	そして砕いた	火で	そして焼いた	作った	彼らが	子牛を	その	そして取った
	H5704	H2912	H0784	H8313			H5695	H0853	H3947

יִשְׂרָאֵל׃	בְּנֵי	אֶת־	וַיַּשְׁקְ	הַמַּיִם	פְּנֵי	עַל־	וַיִּזֹר	דָּק
イスラエルの	子らに	その	そして飲ませた	水の	面に	～の-上に	そして散らした	なるまで
H3478		H0853	H8248	H4325	H6440		H2219	H1854

また彼らが造った子牛を取って火に焼き、こなごなに砕き、これを水の上にまいて、イスラエルの人々に飲ませた。

21 וַיֹּאמֶר מֹשֶׁה אֶל־אַהֲרֹן מֶה־עָשָׂה לְךָ הָעָם הַזֶּה כִּי־הֵבֵאתָ עָלָיו חֲטָאָה גְדֹלָה׃
そして言った モーセが ～に アロンに 何を したのか この民が あなたに なぜ
H0559 H4872 H0413 H0175 H4100 H2088
大きな 罪を その上に もたらしたのか
H2401 H0935

モーセはアロンに言った、「この民があなたに何をしたので、あなたは彼らに大いなる罪を犯させたのですか」。

22 וַיֹּאמֶר אַהֲרֹן אַל־יִחַר אַף אֲדֹנִי אַתָּה אַתָּה יָדַעְתָּ אֶת־הָעָם כִּי בְרָעָה הוּא׃
そして言った アロンが 燃えない–でください 燃えない–でください 怒りが わが主の あなたは
H0559 H0175 H0408 H2734 H0639 H0113
その 知っている 彼らが 悪い–ことを それは
H0853 H3045 H1931

アロンは言った、「わが主よ、激しく怒らないでください。この民の悪いのは、あなたがごぞんじです。

23 וַיֹּאמְרוּ לִי עֲשֵׂה־לָנוּ אֱלֹהִים אֲשֶׁר יֵלְכוּ לְפָנֵינוּ כִּי־זֶה מֹשֶׁה הָאִישׁ אֲשֶׁר הֶעֱלָנוּ מֵאֶרֶץ מִצְרַיִם לֹא יָדַעְנוּ מֶה־הָיָה לוֹ׃
そして言った わたしに 作りなさい わたしたちに 神々を その 行く–ような わたしたちの–前に
H0559 H0430 H3212 H6440
なぜなら この モーセは その人は その 導き上った ～の–地から エジプトの
H2088 H4872 H0376 H0834 H5927 H0776 H4714
わたしたちは–知らない 何が 起きたのか 彼に
H3808 H4100 H1961

彼らはわたしに言いました、『わたしたちに先立って行く神を、わたしたちのために造ってください。わたしたちをエジプトの国から導きのぼった人、あのモーセは、どうなったのかわからないからです』。

24 וָאֹמַר לָהֶם לְמִי זָהָב הִתְפָּרֵקוּ וַיִּתְּנוּ־לִי וָאַשְׁלִכֵהוּ בָּאֵשׁ וַיֵּצֵא הָעֵגֶל הַזֶּה׃
そしてわたしは–言った 誰に 金があるか 外しなさい そして与えた わたしに
H0559 H4310 H2091 H6561 H5414
そしてわたしは–投げ入れた 火に そして出て–来た この子牛が この
H7993 H0784 H3318 H5695 H2088

そこでわたしは『だれでも、金を持っている者は、それを取りはずしなさい』と彼らに言いました。彼らがそれをわたしに渡したので、わたしがこれを火に投げ入れると、この子牛が出てきたのです」。

25 וַיַּרְא מֹשֶׁה אֶת־הָעָם כִּי פָרֻעַ הוּא כִּי־פֵרַע אַהֲרֹן בִּקְמֵיהֶם לְשִׁמְצָה׃
そして見た モーセが その 民を 彼らが 乱れている–ことを それは なぜなら 野放した アロンが
H7200 H4872 H0853 H5971 H1931 H6544
彼らの敵の–中で 嘴さみの–ために
H8103

モーセは民がほしいままにふるまったのを見た。アロンは彼らがほしいままにふるまうに任せ、敵の中に物笑いとなったからである。

26

אֵלָי
わたしの-もとへ
H0413

לַיהוָה
主の-側か
H3068

מִי
誰が
H4310

וַיֹּאמֶר
そして言った
H0559

הַמַּחֲנֶה
宿営の
H4264

בְּשַׁעַר
門に
H8179

מֹשֶׁה
モーセが
H4872

וַיַּעֲמֹד
そして立った
H5975

לֵוִי׃
レビの
H3878

בְּנֵי
子らが
H3605

כָּל־
すべての
H0413

אֵלָיו
彼のもとに
H0622

וַיֵּאָסְפוּ
そして集まった

モーセは宿営の門に立って言った、「すべて主につく者はわたしのもとにきなさい」。レビの子たちはみな彼のもとに集まった。

27

אִישׁ־
各人が
H0376

שִׂימוּ
置きなさい

יִשְׂרָאֵל
イスラエルの
H3478

אֱלֹהֵי
神が
H0430

יְהוָה
主が
H3068

אָמַר
言った
H0559

כֹּה־
この-ように
H3541

לָהֶם
彼らに

וַיֹּאמֶר
そして言った
H0559

בָּמַּחֲנֶה
宿営の-中を
H4264

לָשַׁעַר
門へ
H8179

מִשַּׁעַר
門から
H8179

וָשׁוּבוּ
そして戻りなさい
H7725

עִבְרוּ
行きなさい

יֶרֶךְ
腰に
H3409

עַל־
〜の-上に

חַרְבּוֹ
剣を
H2719

קְרֹבוֹ׃
隣人を
H7138

אֶת־
その
H0853

וְאִישׁ
そして各人が
H0376

רֵעֵהוּ
友人を
H7453

אֶת־
その
H0853

וְאִישׁ
そして各人が
H0376

אָחִיו
兄弟を
H0251

אֶת־
その
H0853

אִישׁ־
各人が
H0376

וְהִרְגוּ
そして殺しなさい
H2026

そこでモーセは彼らに言った、「イスラエルの神、主はこう言われる、『あなたがたは、おのおの腰につるぎを帯び、宿営の中を門から門へ行き巡って、おのおのその兄弟、その友、その隣人を殺せ』」。

28

הָעָם
民の

מִן־
〜の-中から

וַיִּפֹּל
そして倒れた
H5307

מֹשֶׁה
モーセの
H4872

כִּדְבַר
言葉の-通りに
H1697

לֵוִי
レビの
H3878

בְּנֵי־
子らが

וַיַּעֲשׂוּ
そして行った

אִישׁ׃
人が
H0376

אַלְפֵי
千の
H0505

כִּשְׁלֹשֶׁת
約三千人の
H7969

הַהוּא
その
H1931

בַּיּוֹם
その日に
H3117

レビの子たちはモーセの言葉どおりにしたので、その日、民のうち、おおよそ三千人が倒れた。

29

אִישׁ
各人が
H0376

כִּי
なぜなら

לַיהוָה
主の-ために
H3068

הַיּוֹם
今日
H3117

יֶדְכֶם
あなたがたの手を
H3027

מִלְאוּ
満たしなさい
H4390

מֹשֶׁה
モーセが
H4872

וַיֹּאמֶר
そして言った
H0559

בְּרָכָה׃
祝福を
H1293

הַיּוֹם
今日
H3117

עֲלֵיכֶם
あなたがたの-上に

וְלָתֵת
そして与える-ために
H5414

וּבְאָחִיו
そしてその兄弟に-対して
H0251

בִּבְנוֹ
その息子と

そこで、モーセは言った、「あなたがたは、おのおのその子、その兄弟に逆らって、きょう、主に身をささげた。それで主は、きょう、あなたがたに祝福を与えられるであろう」。

30

חַטָּאָה
罪を
H2401

חַטָּאתֶם
罪を犯した
H2398

אַתֶּם
あなたがたは

הָעָם
民に

אֶל־
〜に
H0413

מֹשֶׁה
モーセが
H4872

וַיֹּאמֶר
そして言った
H0559

מָּחָרָת
翌日
H4283

וַיְהִי
そしてあった
H1961

בְּעַד
〜の-ために
H1157

אֲכַפְּרָה
わたしが-贖えるだろう

אוּלַי
あるいは
H0194

יְהוָה
主へ
H3068

אֶל־
〜へ
H0413

אֶעֱלֶה
わたしは-上る
H5927

וְעַתָּה
そして今
H6258

גְּדֹלָה
大きな

חַטַּאתְכֶם׃
あなたがたの罪の

あくる日、モーセは民に言った、「あなたがたは大いなる罪を犯した。それで今、わたしは主のもとに上って行く。あなたがたの罪を償うことが、できるかも知れない」。

31 וַיָּשָׁב מֹשֶׁה אֶל־יְהוָה וַיֹּאמַר אָנָּא חָטָא הָעָם הַזֶּה חַטָּאָה
そして戻った モーセが ～へ 主へ そして言った ああ 罪を犯した この民が 罪を
H7725 H4872 H0413 H3068 H0559 H0577 H2398 H2088 H2401

גְדֹלָה וַיַּעֲשׂוּ לָהֶם אֱלֹהֵי זָהָב׃
大きな そして作った 彼らの-ために 神々を 金の
H1419 H6213 H0430 H2091

モーセは主のもとに帰って、そして言った、「ああ、この民は大いなる罪を犯し、自分のために金の神を造りました。

32 וְעַתָּה אִם־תִּשָּׂא חַטָּאתָם וְאִם־אַיִן מְחֵנִי
今 もし 赦してくださるなら 彼らの罪を そしてもし そうでないなら 消してください
H6258 H0518 H5375 H2403 H0369 H4229

נָא מִסִּפְרְךָ אֲשֶׁר כָּתָבְתָּ׃
どうか あなたの書から その 書いた
H4994 H4480 H3789

今もしあなたが、彼らの罪をゆるされますならば――。しかし、もしかなわなければ、どうぞあなたが書きしるされたふみから、わたしの名を消し去ってください」。

33 וַיֹּאמֶר יְהוָה אֶל־מֹשֶׁה מִי אֲשֶׁר־חָטָא לִי אֶמְחֶנּוּ
そして言った 主が ～に モーセに 誰でも その 罪を-犯した-者を わたしに わたしは消す
H0559 H3068 H0413 H4872 H4310 H0834 H2398 H0589 H4229

מִסִּפְרִי׃
わたしの書から
H4480

主はモーセに言われた、「すべてわたしに罪を犯した者は、これをわたしのふみから消し去るであろう。

34 וְעַתָּה לֵךְ נְחֵה אֶת־הָעָם אֶל אֲשֶׁר־דִּבַּרְתִּי לְךָ הִנֵּה
今 行きなさい 導きなさい その 民を ～へ わたしが 語った あなたに 見よ
H6258 H1980 H5148 H0853 H5971 H0413 H0834 H1696 H0518 H2009

מַלְאָכִי יֵלֵךְ לְפָנֶיךָ וּבְיוֹם פָּקְדִּי וּפָקַדְתִּי
わたしの使いが 行く あなたの-前に そしてその日に わたしが罰する-とき そしてわたしは罰する
H4397 H3212 H6440 H3117 H6485 H6485

עֲלֵיהֶם חַטָּאתָם׃
彼らの-上に 彼らの罪を
H5921 H2403

しかし、今あなたは行って、わたしがあなたに告げたところに民を導きなさい。見よ、わたしの使はあなたに先立って行くであろう。ただし刑罰の日に、わたしは彼らの罪を罰するであろう」。

35 וַיִּגֹּף יְהוָה אֶת־הָעָם עַל אֲשֶׁר עָשׂוּ אֶת־הָעֵגֶל אֲשֶׁר עָשָׂה
そして打った 主が その 民を ～の-ゆえに 彼らが 作った その 子牛を その 作った
H5062 H3068 H0853 H5971 H5921 H0834 H6213 H0853 H5695 H0834 H6213

אַהֲרֹן׃ ס
アロンが ―
H0175

そして主は民を撃たれた。彼らが子牛を造ったからである。それはアロンが造ったのである。

Chapter 33

1 וַיְדַבֵּר יְהוָה אֶל־מֹשֶׁה לֵךְ עֲלֵה מִזֶּה אַתָּה וְהָעָם
そして主が モーセに 行きなさい 上りなさい ここから あなたと そして民が
H1696 H3068 H0413 H4872 H3212 H5927 H2088 H0776 H3327

אֲשֶׁר הֶעֱלִיתָ מֵאֶרֶץ מִצְרַיִם אֶל־הָאָרֶץ אֲשֶׁר נִשְׁבַּעְתִּי לְאַבְרָהָם
その 導き上った ～の–地から エジプトの ～へ 地へ わたしが 誓った アブラハムと
H5927 H0776 H4714 H0413 H0776 H7650 H0085

לְיִצְחָק וּלְיַעֲקֹב לֵאמֹר לְזַרְעֲךָ אֶתְּנֶנָּה׃
イサクと そしてヤコブに 言って あなたの子孫に わたしは与える
H3327 H3290 H0559 H2233 H5414

さて、主はモーセに言われた、「あなたと、あなたがエジプトの国から導きのぼった民とは、ここを立ってわたしがアブラハム、イサク、ヤコブに誓って、『これをあなたの子孫に与える』と言った地にのぼりなさい。

2 וְשָׁלַחְתִּי לְפָנֶיךָ מַלְאָךְ וְגֵרַשְׁתִּי אֶת־הָאֱמֹרִי הַכְּנַעֲנִי
そしてわたしは–遣わす あなたの–前に 使いを そして追い–出す その アモリ人と カナン人と
H7971 H6440 H4397 H1644 H0853 H0567 H3669

וְהַחִתִּי וְהַפְּרִזִּי וְהַחִוִּי וְהַיְבוּסִי׃
そしてヒッタイト人と そしてペリズ人と ヒビ人と そしてエブス人を
H2850 H6522 H2340 H2983

わたしはひとりの使をつかわしてあなたに先立たせ、カナンびと、アモリびと、ヘテびと、ペリジびと、ヒビびと、エブスびとを追い払うであろう。

3 אֶל־אֶרֶץ זָבַת חָלָב וּדְבָשׁ כִּי לֹא אֶעֱלֶה בְקִרְבְּךָ
～へ 地へ 流れる 乳と そして蜜が しかし わたしは–上らない あなたの–中に
H0413 H0776 H2100 H2461 H1706 H3588 H3808 H5927 H7130

כִּי עַם־קְשֵׁה עֹרֶף אָתָּה פֶּן־אֲכַלֶּךָּ בַּדָּרֶךְ׃
なぜなら 顆なくな 顆なくな 顆の–民である あなたは ～ない–ように わたしが–滅ぼさない–ように 途中で
H3588 H7186 H5973 H6203 H0859 H6435 H3615 H1870

あなたがたは乳と蜜の流れる地にのぼりなさい。しかし、あなたがたは、かたくなな民であるから、わたしが道であなたがたを滅ぼすことのないように、あなたがたのうちにあって一緒にはのぼらないであろう」。

4 וַיִּשְׁמַע הָעָם אֶת־הַדָּבָר הָרָע הַזֶּה וַיִּתְאַבָּלוּ וְלֹא־שָׁתוּ
そして聞いた 民が その 言葉を 悪い この そして嘆いた そして–しなかった 置かなかった
H8085 H5971 H0853 H1697 H7451 H2088 H3808 H7896

אִישׁ עֶדְיוֹ עָלָיו׃
誰も 飾りを 自分の–上に
H0376 H5716

民はこの悪い知らせを聞いて憂い、ひとりもその飾りを身に着ける者はなかった。

5

אַתֶּם	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי־	אֶל־	אֱמֹר	מֹשֶׁה	אֶל־	יְהוָה	וַיֹּאמֶר
あなたがたは	イスラエルの	子らに	～に	言いなさい	モーセに	～に	主が	そして言った
H3478			H0413	H0559	H4872	H0413	H3068	H0559

בְּקִרְבְּךָ	אֶעֱלֶה	אֶחָד	רֶגַע	עֶרֶף	קְשֵׁה־	עַם־
あなたの–中に	わたしが–上るなら	一瞬でも	一瞬でも	頸の–民である	頸なくな	頸なくな
H7130	H5927	H0259	H7281	H6203	H7186	

וְאֵדְעָה	מֵעָלֶיךָ	עֶדְיְךָ	הוֹרֵד	וְעַתָּה	וְכִלִּיתִיךָ
そしてわたしは–知る	あなたの–上から	あなたの飾りを	下ろしなさい	そして今	そして滅ぼすだろう
H3045		H5716	H3381	H6258	H3615

לָךְ׃	אֶעֱשֶׂה־	מֶה
あなたに	わたしが–行うか	何を
		H4100

主はモーセに言われた、「イスラエルの人々に言いなさい、『あなたがたは、かたくなな民である。もしわたしが一刻でも、あなたがたのうちにあって、一緒にのぼって行くならば、あなたがたを滅ぼすであろう。ゆえに、今、あなたがたの飾りを身から取り去りなさい。そうすればわたしはあなたがたになすべきことを知るであろう』」。

6

חוֹרֵב׃	מֵהַר	עֶדְיָם	אֶת־	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי־	וַיִּתְנַצְּלוּ
ホレブの	山から	飾りを	その	イスラエルの	子らが	そして取り–外した
H2722	H2022	H5716	H0853	H3478		H5337

それで、イスラエルの人々はホレブ山以来その飾りを取り除いていた。

7

מִן־	הָרְחֵק	לַמַּחֲנֶה	מִחוּץ	וְלוֹ	וְנָטָה־	הָאֹהֶל	אֶת־	יִקַּח	וּמֹשֶׁה
～から	遠く	宿営の	外に	それを	そして張った	天幕を	その	取った	そしてモーセは
	H7368	H4264	H2351		H5186	H0168	H0853	H3947	H4872

יְהוָה	מְבַקֵּשׁ	כֹּל־	וְהָיָה	מוֹעֵד	אֹהֶל	לוֹ	וְקָרָא	לַמַּחֲנֶה
主を	求める–者は	すべての	そしてあった	幕屋と	会見の	それを	そして呼んだ	宿営から
H3068	H1245	H3605	H1961	H4150	H0168		H7121	H4264

לַמַּחֲנֶה׃	מִחוּץ	אֲשֶׁר	מוֹעֵד	אֹהֶל	אֶל־	יֵצֵא
宿営の	外の	その	幕屋へ	会見の	～へ	出て–行った
H4264	H2351		H4150	H0168	H0413	H3318

モーセは幕屋を取って、これを宿営の外に、宿営を離れて張り、これを会見の幕屋と名づけた。すべて主に伺い事のある者は出て、宿営の外にある会見の幕屋に行った。

8

וְנִצְּבוּ	הָעָם	כָּל־	יָקוּמוּ	הָאֹהֶל	אֶל־	מֹשֶׁה	כְּצֵאת	וְהָיָה
そして立った	民が	すべての	立ち上がった	天幕へ	～へ	モーセが	出る–とき	そしてあった
H5324		H3605		H0168	H0413	H4872	H3318	H1961

הָאֹהֶל׃	בְּאֹו	עַד־	מֹשֶׁה	אַחֲרֵי	וְהִבִּיטוּ	אָהֳלוֹ	פֶּתַח	אִישׁ
天幕に	入るまで	～まで	モーセの	～の–後を	そして見つめた	その天幕の	入口に	各人が
H0168	H0935	H5704	H4872		H5027	H0168	H6607	H0376

モーセが出て、幕屋に行く時には、民はみな立ちあがり、モーセが幕屋にはいるまで、おのおのその天幕の入口に立って彼を見送った。

9

פֶּתַח	וְעָמַד	הֶעָנָן	עַמּוּד	יֵרֵד	הָאֹהֶלָה	מֹשֶׁה	כְּבֹא	וְהָיָה
入口に	そして立った	雲の	雲の–柱が	下りて–来た	天幕に	モーセが	入る–とき	そしてあった
H6607	H5975	H6051	H5982	H3381	H0168	H4872	H0935	H1961

מֹשֶׁה׃	עִם־	וְדִבֶּר	הָאֹהֶל
モーセと	～と	そして語った	天幕の
H4872		H1696	H0168

モーセが幕屋にはいると、雲の柱が下って幕屋の入口に立った。そして主はモーセと語られた。

10

הָאֹהֶל	פֶּתַח	עֹמֶד	הֶעָנָן	עַמּוּד	אֶת־	הָעָם	כָּל־	וְרָאָה
天幕の	入口に	立っているのを	雲の	雲の-柱が	その	民が	すべての	そして見た
H0168	H6607	H5975	H6051	H5982	H0853		H3605	H7200

אָהֳלֹו׃	פֶּתַח	אִישׁ	וְהִשְׁתַּחֲוּו	הָעָם	כָּל־	וְקָם	
その天幕の	入口で	各人が	そしてひれ伏した	民が	すべての	そして立ち上がった	
H0168	H6607	H0376	H7812		H3605		

民はみな幕屋の入口に雲の柱が立つのを見ると、立っておのおの自分の天幕の入口で礼拝した。

11

יְדַבֵּר	כַּאֲשֶׁר	פָּנִים	אֶל־	פָּנִים	מֹשֶׁה	אֶל־	יְהוָה	וְדִבֶּר	
語る	ちょうど〜の-ように	顔を	〜を-合わせて	顔と	モーセに	〜に	主が	そして語った	
H1696		H6440	H0413	H6440	H4872	H0413	H3068	H1696	

נוּן	בִּן־	יְהוֹשֻׁעַ	וּמְשָׁרְתוֹ	הַמַּחֲנֶה	אֶל־	וְשָׁב	רֵעֵהוּ	אֶל־	אִישׁ
ヌンの	息子の	ヨシュア	そしてその従者は	宿営へ	〜へ	そして戻った	友人に	〜に	人が
H5126		H3091	H8334	H4264	H0413	H7725	H7453	H0413	H0376

ס	הָאֹהֶל׃	מִתּוֹךְ	יָמִישׁ	לֹא	נַעַר
—	天幕の	〜の-中から	離れなかった	離れなかった	若者であったが
	H0168	H8432	H4185	H3808	H5288

人がその友と語るように、主はモーセと顔を合わせて語られた。こうしてモーセは宿営に帰ったが、その従者なる若者、ヌンの子ヨシュアは幕屋を離れなかった。

12

הַעַל	אֵלַי	אֹמֵר	אַתָּה	רְאֵה	יְהוָה	אֶל־	מֹשֶׁה	וַיֹּאמֶר	
導き-上げよと	わたしに	言っている	あなたは	見てください	主に	〜に	モーセが	そして言った	
H5927	H0413	H0559		H7200	H3068	H0413	H4872	H0559	

תִּשְׁלַח	אֲשֶׁר־	אֵת	הוֹדַעְתַּנִי	לֹא	וְאַתָּה	הַזֶּה	הָעָם	אֶת־	
遣わすのか	誰を	その	知らせていない	知らせて-いない	そしてあなたは	この	民を	その	
H7971		H0853	H3045	H3808		H2088		H0853	

חֵן	מָצָאתָ	וְגַם־	בְּשֵׁם	יְדַעְתִּיךָ	אָמַרְתָּ	וְאַתָּה	עִמִּי	
恵みを	得たと	そしてまた	名で	わたしは-知っていると	言った	そしてあなたは	わたしと-共に	
H2580	H4672	H1571	H8034	H3045	H0559			

בְּעֵינָי׃
わたしの目に

モーセは主に言った、「ごらんください。あなたは『この民を導きのぼれ』とわたしに言いながら、わたしと一緒につかわされる者を知らせてくださいません。しかも、あなたはかつて『わたしはお前を選んだ。お前はまたわたしの前に恵みを得た』と仰せになりました。

13

נָא	הוֹדִעֵנִי	בְּעֵינֶיךָ	חֵן	מָצָאתִי	נָא	אִם־	וְעַתָּה	
どうか	知らせてください	あなたの目に	恵みを	わたしが-得たなら	どうか	もし	そして今	
H4994	H3045		H2580	H4672	H4994		H6258	

בְּעֵינֶיךָ	חֵן	אֶמְצָא־	לְמַעַן	וְאֵדָעֶךָּ	דְּרָכֶךָ	אֶת־	
あなたの目に	恵みを	得る-ために	〜の-ために	そしてわたしが-知る-ために	道を	あなたの	
	H2580	H4672	H4616	H3045	H1870	H0853	

הַזֹּאת׃	הַגּוֹי	עַמְּךָ	כִּי	וּרְאֵה	
この	国民である	あなたの民であることを	〜ということを	そして見てください	
H2088				H7200	

それで今、わたしがもし、あなたの前に恵みを得ますならば、どうか、あなたの道を示し、あなたをわたしに知らせ、あなたの前に恵みを得させてください。また、この国民があなたの民であることを覚えてください」。

וַיֹּאמֶר	פָּנַי	יֵלֵכוּ	וְהֵנַחְתִּי	לָךְ׃	14
そして言った	わたしの顔が	行く	そしてわたしは–休ませる	あなたを	
H0559	H6440	H3212	H5117		

主は言われた「わたし自身が一緒に行くであろう。そしてあなたに安息を与えるであろう」。

אַל־	תַּעֲלֵנוּ	מִזֶּה׃					15
導かないで–ください	導かないでください	ここから					
H0408	H5927	H2088					
אַל־	הַלְּכִים	פָּנֶיךָ	אֵין	אִם־	אֵלָיו	וַיֹּאמֶר	
導かないで–ください	行かないなら	あなたの顔が	あなたの–顔が	もし	彼に	そして言った	
H0408	H1980	H6440	H0369		H0413	H0559	

モーセは主に言った「もしあなた自身が一緒に行かれないならば、わたしたちをここからのぼらせないでください。

בְּעֵינֶיךָ	חֵן	מָצָאתִי	כִּי־	אֶפּוֹא	יִוָּדַע	וּבַמֶּה	16
あなたの目に	恵みを	わたしが–得たと	～ということが	いったい	知られるのか	そして何に–よって	
	H2580	H4672		H0645	H3045	H4100	

עִמָּנוּ	בְּלֶכְתֶּךָ	הֲלוֹא	וְעַמֶּךָ	אֲנִי	
わたしたちと–共に	あなたが–行く–ことによって	それは～ではないか	そしてあなたの民が	わたしと	
	H3212	H3808		H0589	

פְּנֵי	עַל־	אֲשֶׁר	הָעָם	מִכֹּל־	וְעַמְּךָ	אֲנִי	וְנִפְלֵינוּ	
面の	～の–上の	その	民から	すべての–民から	そしてあなたの民が	わたしと	そして区別される	
H6440				H3605		H0589	H6395	

פ	הָאֲדָמָה׃
—	地の
	H0127

わたしとあなたの民とが、あなたの前に恵みを得ることは、何によって知られましょうか。それはあなたがわたしたちと一緒に行かれて、わたしとあなたの民とが、地の面にある諸民と異なるものになるからではありませんか」。

דִּבַּרְתָּ	אֲשֶׁר	הַזֶּה	הַדָּבָר	אֶת־	גַּם	מֹשֶׁה	אֶל־	יְהוָה	וַיֹּאמֶר	17
語った	あなたが	この	言葉を	その	また	モーセに	～に	主が	そして言った	
H1696		H2088	H1697	H0853	H1571	H4872	H0413	H3068	H0559	

בְּשֵׁם׃	וָאֵדָעֲךָ	בְּעֵינַי	חֵן	מָצָאתָ	כִּי־	אֶעֱשֶׂה	
名で	そしてわたしは–知っている	わたしの目に	恵みを	得た	なぜなら	わたしは行う	
H8034	H3045		H2580	H4672			

主はモーセに言われた、「あなたはわたしの前に恵みを得、またわたしは名をもってあなたを知るから、あなたの言ったこの事をもするであろう」。

כְּבֹדֶךָ׃	אֶת־	נָּא	הַרְאֵנִי	וַיֹּאמֶר	18
栄光を	あなたの	どうか	見せてください	そして言った	
H3519	H0853	H4994	H7200	H0559	

モーセは言った、「どうぞ、あなたの栄光をわたしにお示しください」。

19

וַיֹּאמֶר	אֲנִי	אַעֲבִיר	כָּל־	טוּבִי	עַל־	פָּנֶיךָ
そして言った	わたしは	通らせる	すべての	わたしの善を	～の-上を	あなたの顔の
H0559	H0589	H3605	H3605	H2898		H6440

וְקָרָאתִי	בְשֵׁם	יְהוָה	לְפָנֶיךָ	וְחַנֹּתִי	אֶת־	אֲשֶׁר	אָחֹן
そしてわたしは-告げる	名で	主と	あなたの-前で	そして恵んだ	その	わたしが-恵む	恵む-者を
	H8034	H3068	H6440		H0853		

וְרִחַמְתִּי	אֶת־	אֲשֶׁר	אֲרַחֵם׃	
そしてあわれんだ	その	わたしが-あわれむ	あわれむ-者を	
H7355	H0853		H7355	

主は言われた、「わたしはわたしのもろもろの善をあなたの前に通らせ、主の名をあなたの前にのべるであろう。わたしは恵もうとする者を恵み、あわれもうとする者をあわれむ」。

20

וַיֹּאמֶר	לֹא	תוּכַל	לְרְאֹת	אֶת־	פָּנָי	כִּי
そして言った	あなたは-できない	できない	見る-ことが	わたしの	顔を	なぜなら
H0559	H3808	H3201	H7200	H0853	H6440	

לֹא־	יִרְאַנִי	הָאָדָם	וָחָי׃	
見ては-ならない	見てはならない	人は	そして生きる-ことは	
H3808	H7200	H0120	H2425	

また言われた、「しかし、あなたはわたしの顔を見ることはできない。わたしを見て、なお生きている人はないからである」。

21

וַיֹּאמֶר	יְהוָה	הִנֵּה	מָקוֹם	אִתִּי	וְנִצַּבְתָּ	עַל־	הַצּוּר׃
そして言った	主が	見よ	場所がある	わたしの-そばに	そして立ちなさい	～の-上に	岩の
H0559	H3068	H2009	H4725	H0854	H5324		H6697

そして主は言われた、「見よ、わたしのかたわらに一つの所がある。あなたは岩の上に立ちなさい。

22

וְהָיָה	בַּעֲבֹר	כְּבֹדִי	וְשַׂמְתִּיךָ	בְּנִקְרַת	הַצּוּר	
そしてある	通る-とき	わたしの栄光が	そしてわたしは-置く	岩の-裂け目に	岩の	
H1961		H3519		H5366	H6697	

וְשַׂכֹּתִי	כַּפִּי	עָלֶיךָ	עַד־	עָבְרִי׃	
そしてわたしは-覆う	わたしの手で	あなたの-上を	～まで	わたしが-通り過ぎるまで	
	H3709		H5704		

わたしの栄光がそこを通り過ぎるとき、わたしはあなたを岩の裂け目に入れて、わたしが通り過ぎるまで、手であなたをおおうであろう。

23

וַהֲסִרֹתִי	אֶת־	כַּפִּי	וְרָאִיתָ	אֶת־	אֲחֹרָי	
そしてわたしは-取り除く	わたしの	手を	そしてあなたは-見る	わたしの	後ろを	
H5493	H0853	H3709	H7200	H0853	H0268	

ס	וּפָנַי	לֹא	יֵרָאוּ׃	
—	そしてわたしの顔は	見られない	見られない	
	H6440	H3808	H7200	

そしてわたしが手をのけるとき、あなたはわたしのうしろを見るが、わたしの顔は見ないであろう」。

Chapter 34

1

וַיֹּ֣אמֶר יְהוָ֗ה אֶל־מֹשֶׁה֙ פְּסָל־לְךָ֣ שְׁנֵי־לֻחֹ֔ת אֲבָנִ֖ים
そしてモーセに主が言った 切り-出しなさい あなたの-ために 二枚の 板を 石の
H0559 H3068 H0413 H4872 H6458 H8147 H3871 H0068

כָּרִאשֹׁנִ֑ים וְכָתַבְתִּ֗י עַל־הַלֻּחֹת֙ אֵ֣ת הַדְּבָרִ֔ים אֲשֶׁ֥ר
最初の-ような そしてわたしは-書く ～の-上に 板に その 言葉を その ～の-上の
H7223 H3789 H5921 H3871 H0853 H1697 H0834 H5921

הָי֖וּ עַל־הַלֻּחֹ֥ת הָרִאשֹׁנִ֛ים אֲשֶׁ֥ר שִׁבַּ֖רְתָּ׃
あった ～の-上の 板の 最初の その 砕いた
H1961 H5921 H3871 H7223 H0834 H7665

主はモーセに言われた、「あなたは前のような石の板二枚を、切って造りなさい。わたしはあなたが砕いた初めの板にあった言葉を、その板に書くであろう。

2

וֶהְיֵ֣ה נָכ֔וֹן לַבֹּ֖קֶר וְעָלִ֥יתָ בַבֹּ֛קֶר אֶל־הַ֥ר סִינַ֖י
そしてありなさい 準備して 朝までに そして上りなさい 朝に ～へ 山へ シナイの
H1961 H3559 H1242 H5927 H1242 H0413 H2022 H5514

וְנִצַּבְתָּ֥ לִּ֛י שָׁ֖ם עַל־רֹ֣אשׁ הָהָ֑ר׃
そして立ちなさい わたしの-ために そこに ～の-上に 頂上に 山の
H5324 H0413 H8033 H5921 H7218 H2022

あなたは朝までに備えをし、朝のうちにシナイ山に登って、山の頂でわたしの前に立ちなさい。

3

וְאִישׁ֙ לֹא־יַעֲלֶ֣ה עִמָּ֔ךְ וְגַם־אִ֖ישׁ אַל־יֵרָ֣א
そして誰も 上ってはならない 上っては-ならない そしてまた 誰も
H0376 H5927 H3808 H1571 H0376

בְּכָל־הָהָ֑ר גַּם־הַצֹּ֣אן וְהַבָּקָ֗ר אַל־יִרְעוּ֙ אֶל־מ֣וּל
すべての-山に 山に また 羊も そして牛も 見えてはならない 見えては-ならない
H3605 H2022 H1571 H6629 H1241 H7200 H0408

הָהָ֔ר הַה֖וּא׃
その 山の
H1931 H2022 H4136 H0413 H7462 H0408

だれもあなたと共に登ってはならない。また、だれも山の中にいてはならない。また山の前で羊や牛を飼っていてはならない」。

4

וַיִּפְסֹ֣ל שְׁנֵי־לֻחֹ֗ת אֲבָנִים֙ כָּרִאשֹׁנִ֔ים וַיַּשְׁכֵּ֥ם מֹשֶׁ֖ה
そして切り-出した 二枚の 板を 石の 最初の-ように そして早起きした モーセが
H6458 H8147 H3871 H0068 H7223 H7925 H4872

בַּבֹּ֑קֶר וַיַּ֗עַל אֶל־הַ֤ר סִינַי֙ כַּאֲשֶׁ֣ר צִוָּ֣ה יְהוָ֔ה אֹת֖וֹ
朝に そして上った ～へ 山へ シナイの ～の-通りに 命じた 主が 彼に
H1242 H5927 H0413 H2022 H5514 H0834 H6680 H3068 H0853

וַיִּקַּ֥ח בְּיָד֖וֹ שְׁנֵי־לֻחֹ֥ת אֲבָנִֽים׃
そして取った 手に 二枚の 板を 石の
H3947 H3027 H8147 H3871 H0068

そこでモーセは前のような石の板二枚を、切って造り、朝早く起きて、主が彼に命じられたようにシナイ山に登った。彼はその手に石の板二枚をとった。

5

וַיֵּ֣רֶד יְהוָ֔ה בֶּֽעָנָ֖ן וַיִּתְיַצַּ֣ב עִמּ֑וֹ שָׁ֗ם וַיִּקְרָ֥א בְשֵׁם־יְהוָֽה׃
そして下った 主が 雲の-中に そして立った 彼と-共に そこに そして告げた 名で 主と
H3381 H3068 H6051 H3320 H5973 H8033 H7121 H8034 H3068

ときに主は雲の中にあって下り、彼と共にそこに立って主の名を宣べられた。

6

רַחוּם	אֵל	יְהוָה	וַיִּקְרָא	פָּנָיו	עַל־	וַיְהוָה	וַיַּעֲבֹר	
あわれみ深く	神	主は	そして告げた	彼の顔の	～の–上を	主が	そして通り–過ぎた	
H7349	H0410	H3068	H7121	H6440		H3068		

וֶאֱמֶת	חֶסֶד	וְרַב־	אַפַּיִם	אֶרֶךְ	וְחַנּוּן	
まことの	慕いと	そして豊かな	遅く	怒りに	そして恵み深い	
H0571			H0639	H0750	H2587	

主は彼の前を過ぎて宣べられた。「主、主、あわれみあり、恵みあり、怒ることおそく、いつくしみと、まことの豊かなる神、

7

לֹא	וְנַקֵּה	וְחַטָּאָה	וְפֶשַׁע	עָוֹן	נֹשֵׂא	לָאֲלָפִים	חֶסֶד	נֹצֵר	
罰しない	そして全く–罰しない	そして罪を	そして背きと	咲を	赦す	幾千に	慕いを	保つ	
H3808	H5352		H6588	H5771	H5375	H0505		H5341	

עַל־	בָּנִים	בְּנֵי	וְעַל־	בָּנִים	עַל־	אָבוֹת	עָוֹן	וּפֹקֵד	יְנַקֶּה
～の–上に	子らに	子らの	そして～の–上に	子らに	～の–上に	父たちの	咲を	報いる	ことはない
						H0001	H5771		H5352

רִבֵּעִים׃	וְעַל־	שִׁלֵּשִׁים
四代目に	そして～の–上に	三代目に
H7256		H8029

いつくしみを千代までも施し、悪と、とがと、罪とをゆるす者、しかし、罰すべき者をば決してゆるさず、父の罪を子に報い、子の子に報いて、三、四代におよぼす者」。

8

וַיִּשְׁתָּחוּ׃	אַרְצָה	וַיִּקֹּד	מֹשֶׁה	וַיְמַהֵר
そしてひれ伏した	地に	そしてひれ伏した	モーセが	そして急いだ
H7812	H0776	H6915	H4872	

モーセは急ぎ地に伏して拝し、

9

יֵלֶךְ־	אֲדֹנָי	בְּעֵינֶיךָ	חֵן	מָצָאתִי	נָא	אִם־	וַיֹּאמֶר		
行って–ください	主よ	あなたの目に	恵みを	わたしが–得たなら	どうか	もし	そして言った		
H3212	H0136		H2580	H4672	H4994		H0559		

הוּא	עָרְפֶּךָ	קְשֵׁה־	עַם־	כִּי	בְקִרְבֵּנוּ	אֲדֹנָי	נָא	
それは	頸の–民であっても	頸なくな	頸なくな	たとえ	わたしたちの–中に	主よ	どうか	
H1931	H6203	H7186			H7130	H0136	H4994	

וּלְחַטָּאתֵנוּ	לַעֲוֹנֵנוּ	וְסָלַחְתָּ
そしてわたしたちの罪を	わたしたちの咲と	そして赦してください
	H5771	H5545

וּנְחַלְתָּנוּ׃
そしてわたしたちを–受け継がせてください
H5157

そして言った、「ああ主よ、わたしがもし、あなたの前に恵みを得ますならば、かたくなな民ですけれども、どうか主がわたしたちのうちにあって一緒に行ってください。そしてわたしたちの悪と罪とをゆるし、わたしたちをあなたのものとしてください」。

וַיֹּ֣אמֶר הִנֵּ֗ה אָנֹכִי֙ כֹּרֵ֣ת בְּרִ֔ית נֶ֚גֶד כָּל־עַמְּךָ֔ אֶעֱשֶׂ֗ה
そして言った 見よ わたしは 結ぶ 契約を ～の-前で すべての あなたの民の わたしは-行う
H0559 H2009 H0595 H3772 H1285 H5048 H3605 H6213 H6466

10

נִפְלָאֹת֙ אֲשֶׁ֣ר לֹֽא־נִבְרְא֔וּ בְּכָל־הָאָ֖רֶץ וּבְכָל־הַגּוֹיִ֑ם
不思議を その ない-ような 造られたことのない すべての-地に 地に そしてすべての-国民の中に
H6381 H0834 H3808 H1254 H3605 H0776 H3605

וְרָאָ֣ה כָל־הָעָ֣ם אֲשֶׁר־אַתָּ֣ה בְקִרְבּ֔וֹ אֶת־מַעֲשֵׂ֥ה יְהוָ֖ה
そして見る すべての 民が その あなたが その中に-いる その 業を 主の
H7200 H3605 H5971 H0834 H0859 H7130 H0853 H4639 H3068

כִּ֣י נוֹרָ֔א הוּא֙ אֲשֶׁ֣ר אֲנִ֔י עֹשֶׂ֖ה עִמָּֽךְ׃
なぜなら 畑れ多い それは その わたしが 行う あなたと-共に
H3372 H1931 H0834 H0589 H6213 H5973

主は言われた、「見よ、わたしは契約を結ぶ。わたしは地のいずこにも、いかなる民のうちにも、いまだ行われたことのない不思議を、あなたのすべての民の前に行うであろう。あなたが共に住む民はみな、主のわざを見るであろう。わたしがあなたのためになそうとすることは、恐るべきものだからである。

שְׁמָ֣ר־לְךָ֔ אֵ֚ת אֲשֶׁ֣ר אָנֹכִ֔י מְצַוְּךָ֖ הַיּ֑וֹם הִנְנִ֣י גֹרֵ֔שׁ
守りなさい あなたの-ために その わたしが わたしは 命じる 今日 見よわたしは 追い-出す
H8104 H0853 H0834 H0595 H6680 H3117 H2009 H1644

11

מִפָּנֶ֗יךָ הָאֱמֹרִי֙ וְהַֽכְּנַעֲנִ֣י וְהַֽחִתִּ֔י וְהַפְּרִזִּ֖י
あなたの-前から アモリ人と そしてカナン人と そしてヒッタイト人と そしてペリズ人と
H6440 H0853 H0567 H3669 H2850 H6522

וְהַחִוִּ֖י וְהַיְבוּסִֽי׃
そしてヒビ人と そしてエブス人を
H2340 H2983

わたしが、きょう、あなたに命じることを守りなさい。見よ、わたしはアモリびと、カナンびと、ヘテびと、ペリジびと、ヒビびと、エブスびとを、あなたの前から追い払うであろう。

הִשָּׁמֶר֙ לְךָ֔ פֶּן־תִּכְרֹ֣ת בְּרִ֔ית לְיוֹשֵׁ֖ב הָאָ֑רֶץ
気を-つけなさい あなたの-ために ～ない-ように 結ばない-ように 契約を 住む-者と 地の
H8104 H3669 H6435 H3772 H1285 H3427 H0776

12

בְּקִרְבֶּֽךָ׃ לְמוֹקֵ֣שׁ יִהְיֶ֔ה פֶּן־תָּבֹ֥א עָלֶ֖יהָ אֲשֶׁ֣ר אַתָּ֣ה
あなたの-中に 罠と ならない-ように ～ない-ように その中に 入る あなたが その
H7130 H4170 H1961 H6435 H5921 H0935 H0859 H0834

あなたが行く国に住んでいる者と、契約を結ばないように、気をつけなければならない。おそらく彼らはあなたのうちにあって、わなとなるであろう。

וְאֶת־מִזְבְּחֹתָ֣ם תִּתֹּצ֔וּן וְאֶת־מַצֵּבֹתָ֖ם תְּשַׁבֵּרוּן֑ וְאֶת־אֲשֵׁרָ֖יו תְּכָרֹתֽוּן׃
そして 壊しなさい そして その石柱を 打ち砕きなさい そして 祭壇を その なぜなら
H0853 H5422 H0853 H4676 H7665 H0853 H4196 H0853 H3588

切り-倒しなさい そのアシェラ像を
H3772 H0842

むしろあなたがたは、彼らの祭壇を倒し、石の柱を砕き、アシラ像を切り倒さなければならない。

14

קַנָּא	יְהוָה	כִּי	אַחֵר	לְאֵל	תִּשְׁתַּחֲוֶה	לֹא	כִּי
ねたむ	主は	なぜなら	他の	他の–神に	ひれ伏してはならない	ひれ伏しては–ならない	なぜなら
H7067	H3068		H0312	H0410	H7812	H3808	

הוּא׃	קַנָּא	אֵל	שְׁמוֹ
神である	ねたむ	神は	その名は
H1931	H7067	H0410	H8034

あなたは他の神を拝んではならない。主はその名を『ねたみ』と言って、ねたむ神だからである。

15

אַחֲרֵי	וְזָנוּ	הָאָרֶץ	לְיוֹשֵׁב	בְּרִית	תִּכְרֹת	פֶּן־	
～の–後に	そして姦淫するとき	地の	住む–者と	契約を	結ばない–ように	～ない–ように	
	H2181	H0776	H3427	H1285	H3772	H6435	

לְךָ	וְקָרָא	לֵאלֹהֵיהֶם	וְזָבְחוּ	אֱלֹהֵיהֶם	
あなたを	そして招くとき	彼らの神々に	そしていけにえを–ささげるとき	彼らの神々の	
	H7121	H0430	H2076	H0430	

מִזִּבְחֹו׃	וְאָכַלְתָּ
そのいけにえから	そして食べるとき
H2077	H0398

おそらくあなたはその国に住む者と契約を結び、彼らの神々を慕って姦淫を行い、その神々に犠牲をささげ、招かれて彼らの犠牲を食べ、

16

אַחֲרֵי	בְּנֹתָיו	וְזָנוּ	לְבָנֶיךָ	מִבְּנֹתָיו	וְלָקְחָתָ	
～の–後に	その娘たちが	そして姦淫するとき	あなたの息子たちに	その娘たちから	そしてめとるとき	
	H1323	H2181		H1323	H3947	

אֱלֹהֵיהֶן׃	אַחֲרֵי	בָּנֶיךָ	אֶת־	וְהִזְנוּ	אֱלֹהֵיהֶן	
彼女らの神々の	～の–後に	息子たちを	あなたの	そして姦淫させるとき	彼女らの神々の	
H0430			H0853	H2181	H0430	

またその娘たちを、あなたのむすこたちにめとり、その娘たちが自分たちの神々を慕って姦淫を行い、また、あなたのむすこたちをして、彼らの神々を慕わせ、姦淫を行わせるに至るであろう。

17

לָךְ׃	תַּעֲשֶׂה־	לֹא	מַסֵּכָה	אֱלֹהֵי	
あなたの–ために	作ってはならない	作っては–ならない	鋳物の	神々を	
		H3808		H0430	

あなたは自分のために鋳物の神々を造ってはならない。

18

אֲשֶׁר	מַצּוֹת	תֹּאכַל	יָמִים	שִׁבְעַת	תִּשְׁמֹר	הַמַּצּוֹת	חַג	אֶת־
わたしが	種なし–パンを	食べなさい	間	七日の	守りなさい	種なしパンの	祭りを	その
	H4682	H0398	H3117	H7651	H8104	H4682	H2282	H0853

מִמִּצְרָיִם׃	יָצָאתָ	הָאָבִיב	בְּחֹדֶשׁ	כִּי	הָאָבִיב	חֹדֶשׁ	לְמוֹעֵד	צִוִּיתִךָ
エジプトから	出た	アビブの	月に	なぜなら	アビブの	月の	定めの–時に	命じた–通りに
H4714	H3318	H0024	H2320		H0024	H2320	H4150	H6680

あなたは種入れぬパンの祭を守らなければならない。すなわち、わたしがあなたに命じたように、アビブの月の定めの時に、七日のあいだ、種入れぬパンを食べなければならない。あなたがアビブの月にエジプトを出たからである。

19

פֶּטֶר	תִּזָּכָר	מִקְנְךָ	וְכָל־	לִי	רֶחֶם	פֶּטֶר	כָּל־
初子は	記念されるべき	あなたの家畜の	そしてすべての	わたしの–もの	胎の	初子は	すべての
	H2142	H4735	H3605		H7358		H3605

וָשֶׂה׃	שׁוֹר
そして羊の	牛と
H7716	H7794

すべて初めに生れる者は、わたしのものである。すべてあなたの家畜のういごの雄は、牛も羊もそうである。

20 וּפֶטֶר חֲמֹור תִּפְדֶּה בְשֶׂה וְאִם־לֹא תִפְדֶּה וְעָרַפְתֹּו
そして初子は ろばの 贖いなさい 羊で そしてもし 贖わない–なら 贖わないなら
H6299 H2543 H6299 H7716 H0518 H3808 H6299

כָּל־בְּכֹור בָּנֶיךָ תִּפְדֶּה וְלֹא־יֵרָאוּ פָנַי רֵיקָם׃
すべての 初子は あなたの息子の 贖いなさい そして現れては–ならない
H3605 H1060 H1121 H6299 H3808

そしてその首を–折りなさい
H6202

手ぶらで わたしの顔に 現れてはならない
H7387 H6440 H7200

ただし、ろばのういごは小羊であがなわなければならない。もしあがなわないならば、その首を折らなければならない。あなたのむすこのうちのういごは、みなあがなわなければならない。むなし手でわたしの前に出てはならない。

21 שֵׁשֶׁת יָמִים תַּעֲבֹד וּבַיֹּום הַשְּׁבִיעִי תִּשְׁבֹּת בֶּחָרִישׁ וּבַקָּצִיר תִּשְׁבֹּת׃
六日の 間 働きなさい そして第七の 日には 休みなさい 耕作の–時も そして収穫の–時も
H8337 H3117 H5647 H3117 H7637 H8804 H2758 H7105

休みなさい

あなたは六日のあいだ働き、七日目には休まなければならない。耕し時にも、刈入れ時にも休まなければならない。

22 וְחַג שָׁבֻעֹת תַּעֲשֶׂה לְךָ בִּכּוּרֵי קְצִיר חִטִּים וְחַג הָאָסִיף תְּקוּפַת
そして祭りを 週の 行いなさい あなたの–ために 初穂の 収穫の 小麦の そして祭りを 収穫の
H2282 H7620 H6213 H0853 H1061 H7105 H2406 H2282 H0614

年の 年の–変わり目に
H8141 H8622

あなたは七週の祭、すなわち小麦刈りの初穂の祭を行わなければならない。また年の終りに取り入れの祭を行わなければならない。

23 שָׁלֹשׁ פְּעָמִים בַּשָּׁנָה יֵרָאֶה כָּל־זְכוּרְךָ אֶת־פְּנֵי הָאָדֹן יְהוָה
三度 回 年に 現れるべきである すべての あなたの男が その 御前に 主の 主
H7969 H6471 H8141 H7200 H3605 H2138 H0853 H6440 H0113 H3068

אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל׃
神の イスラエルの
H0430 H3478

年に三度、男子はみな主なる神、イスラエルの神の前に出なければならない。

24 כִּי־אֹורִישׁ גֹּויִם מִפָּנֶיךָ וְהִרְחַבְתִּי גְבוּלֶךָ וְלֹא־יַחְמֹד אִישׁ אֶת־אַרְצְךָ
なぜなら わたしは–追い出す 国民を あなたの–前から そして広げる あなたの 領土を そして誰も 貪らない あなたの 地を
H3423 H1471 H6440 H7337 H0853 H1366 H0376 H2530 H0853 H0776

בַּעֲלֹתְךָ לֵרָאוֹת אֶת־פְּנֵי יְהוָה אֱלֹהֶיךָ שָׁלֹשׁ פְּעָמִים בַּשָּׁנָה׃
あなたが–上る–とき 現れる–ために その 御前に 主の あなたの神の 三度 回 年に
H5927 H7200 H0853 H6440 H3068 H0430 H7969 H6471 H8141

わたしは国々の民をあなたの前から追い払って、あなたの境を広くするであろう。あなたが年に三度のぼって、あなたの神、主の前に出る時には、だれもあなたの国を侵すことはないであろう。

זִבְחִי	דַּם־	חָמֵץ	עַל־	תִּשְׁחַט	לֹא־		25
わたしの–いけにえの	血を	種入りパンの	～の–上に	屠ってはならない	屠っては–ならない		
H2077	H1818				H3808		

הַפָּסַח׃	חַג	זֶבַח	לַבֹּקֶר	יָלִין	וְלֹא־	
過越の	祭りの	いけにえを	朝まで	残してはならない	そして残しては–ならない	
H6453	H2282	H2077	H1242		H3808	

あなたは犠牲の血を、種を入れたパンと共に供えてはならない。また過越の祭の犠牲を、翌朝まで残して置いてはならない。

לֹא־	אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה	בֵּית	תָּבִיא	אַדְמָתְךָ	בִּכּוּרֵי	רֵאשִׁית	26
煮ては–ならない	あなたの神の	主の	家に	持って–来なさい	あなたの地の	初物を	初穂の	
H3808	H0430	H3068		H0935	H0127	H1061	H7225	

פ	אִמּוֹ׃	בַּחֲלֵב	גְּדִי	תְּבַשֵּׁל	
—	その母の	乳の–中で	子山羊を	煮てはならない	
	H0517	H2461	H1423	H1310	

あなたの土地の初穂の最も良いものを、あなたの神、主の家に携えてこなければならない。あなたは子やぎをその母の乳で煮てはならない」。

הָאֵלֶּה	הַדְּבָרִים	אֶת־	לְךָ	כְּתָב־	מֹשֶׁה	אֶל־	יְהוָה	וַיֹּאמֶר	27
これらの	言葉を	これらの	あなたの–ために	書きなさい	モーセに	～に	主が	そして言った	
H0428	H1697	H0853		H3789	H4872	H0413	H3068	H0559	

וְאֶת־	בְּרִית	אִתְּךָ	כָּרַתִּי	הָאֵלֶּה	הַדְּבָרִים	פִּי	עַל־	כִּי
そして	契約を	あなたと	わたしは–結んだ	これらの	言葉の	口に	～に–従って	なぜなら
H0854	H1285	H0854	H3772	H0428	H1697	H6310		

יִשְׂרָאֵל׃
イスラエルと
H3478

また主はモーセに言われた、「これらの言葉を書きしるしなさい。わたしはこれらの言葉に基いて、あなたおよびイスラエルと契約を結んだからである」。

לָא	לֶחֶם	לַיְלָה	וְאַרְבָּעִים	יוֹם	אַרְבָּעִים	יְהוָה	עִם־	שָׁם	וַיְהִי־	28
食べなかった	パンを	夜	そして四十	日と	四十	主と	～と–共に	そこに	そしていた	
H3808	H3899	H3915	H0705	H3117	H0705	H3068		H8033	H1961	

אֶת	הַלֻּחֹת	עַל־	וַיִּכְתֹּב	שְׁתָּה	לָא	וּמַיִם	אָכַל	
その	板に	～の–上に	そして書いた	飲まなかった	飲まなかった	そして水も	食べなかった	
H0853	H3871		H3789	H8354	H3808	H4325	H0398	

הַדְּבָרִים׃	עֲשֶׂרֶת	הַבְּרִית	דִּבְרֵי	
言葉を	十の	契約の	言葉を	
H1697	H6235	H1285	H1697	

モーセは主と共に、四十日四十夜、そこにいたが、パンも食べず、水も飲まなかった。そして彼は契約の言葉、十誡を板の上に書いた。

29 וַיְהִי בְּרֶדֶת מֹשֶׁה מֵהַר סִינַי וּשְׁנֵי לֻחֹת הָעֵדֻת בְּיַד־
そしてあった 下りる-とき モーセが 山から シナイの そして二枚の 板が あかしの 手に
H1961 H3381 H4872 H2022 H5514 H8147 H3871 H5715 H3027

מֹשֶׁה בְּרִדְתּוֹ מִן־הָהָר וּמֹשֶׁה לֹא־יָדַע כִּי
モーセの 下りる-とき ～から 山から そしてモーセは 知らなかった 知らなかった ～ということを
H4872 H3381 H4480 H2022 H4872 H3808 H3045 H3588

קָרַן עוֹר פָּנָיו בְּדַבְּרוֹ אִתּוֹ׃
輝いていたことを 肌が 彼の顔の 語った-とき 彼と
H7160 H5785 H6440 H1696 H0854

モーセはそのあかしの板二枚を手にして、シナイ山から下ったが、その山を下ったとき、モーセは、さきに主と語ったゆえに、顔の皮が光を放っているのを知らなかった。

30 וַיַּרְא אַהֲרֹן וְכָל־בְּנֵי יִשְׂרָאֵל וְהִנֵּה קָרַן עוֹר פָּנָיו וַיִּרְאוּ
そして見た アロンと そしてすべての 子らが イスラエルの その モーセを そして見よ
H7200 H0175 H3605 H1121 H3478 H0853 H4872 H2009

מִגֶּשֶׁת אֵלָיו׃ קָרַן עוֹר פָּנָיו וַיִּרְאוּ
近づく-ことを 彼に 輝いていた 肌が 彼の顔の そして恐れた
H5066 H0413 H7160 H5785 H6440 H3372

アロンとイスラエルの人々とがみな、モーセを見ると、彼の顔の皮が光を放っていたので、彼らは恐れてこれに近づかなかった。

31 וַיִּקְרָא אֲלֵהֶם מֹשֶׁה וַיָּשֻׁבוּ אֵלָיו אַהֲרֹן וְכָל־הַנְּשִׂאִים
そして呼んだ 彼らに モーセが そして戻った 彼のもとに アロンと そしてすべての 指導者たちが
H7121 H0413 H4872 H7725 H0413 H175 H3605

בָּעֵדָה וַיְדַבֵּר מֹשֶׁה אֲלֵהֶם׃
会衆の そして語った モーセが 彼らに
H5712 H1696 H4872 H0413

モーセは彼らを呼んだ。アロンと会衆のかしらたちとがみな、モーセのもとに帰ってきたので、モーセは彼らと語った。

32 וְאַחֲרֵי־כֵן נִגְּשׁוּ כָּל־בְּנֵי יִשְׂרָאֵל וַיְצַוֵּם אֵת כָּל־
そしてその後 その後 近づいた すべての 子らが イスラエルの そして命じた すべての すべての
H3605 H0853 H6680 H3478 H1121 H3605 H5066 H310 H3588

אֲשֶׁר דִּבֶּר יְהוָה אִתּוֹ בְּהַר סִינָי׃
その 語った 主が 彼と 山で シナイの
H1696 H3068 H0854 H2022 H5514

その後、イスラエルの人々がみな近よったので、モーセは主がシナイ山で彼に語られたことを、ことごとく彼らにさとした。

33 וַיְכַל מֹשֶׁה מִדַּבֵּר אֹתָם וַיִּתֵּן עַל־פָּנָיו מַסְוֶה׃
そして終えた モーセが 語る-ことを 彼らと そして置いた ～の-上に 彼の顔に 覆いを
H3615 H4872 H1696 H0854 H5414 H5921 H6440 H4533

モーセは彼らと語り終えた時、顔おおいを顔に当てた。

34

הַמַּסְוֶה	אֶת־	יָסִיר	אֹתוֹ	לְדַבֶּר	יְהוָה	לִפְנֵי	מֹשֶׁה	וּבְבֹא
覆いを	その	取り除いた	彼と	語る–ために	主の	主の–前に	モーセが	そして入る–とき
H4533	H0853	H5493	H0854	H1696	H3068	H6440	H4872	H0935

אֲשֶׁר	אֵת	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי	אֶל־	וְדִבֶּר	וְיָצָא	צֻוֶּתָה	עַד־	
命じられた–ことを	その	イスラエルの	子らに	～に	そして語った	そして出て	出るまで	～まで	
H0853	H3478		H0413	H1696	H3318	H3318	H5704		

יְצֻוֶּה׃
命じられた
H6680

しかしモーセは主の前に行って主と語る時は、出るまで顔おおいを取り除いていた。そして出て来ると、その命じられた事をイスラエルの人人に告げた。

35

עוֹר	קָרַן	כִּי	מֹשֶׁה	פְּנֵי	אֶת־	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי־	וְרָאוּ
肌が	輝いていたことを	～ということを	モーセの	顔を	その	イスラエルの	子らが	そして見た
H5785	H7160		H4872	H6440	H0853	H3478		H7200

בֹּאוֹ	עַד־	פָּנָיו	עַל־	הַמַּסְוֶה	אֶת־	מֹשֶׁה	וְהֵשִׁיב	מֹשֶׁה	פְּנֵי	
入るまで	～まで	彼の顔に	～の–上に	覆いを	その	モーセが	そして戻した	モーセの	顔の	
H0935	H5704	H6440		H4533	H0853	H4872	H7725	H4872	H6440	

ס	אֹתוֹ׃	לְדַבֶּר
—	彼と	語る–ために
	H0854	H1696

イスラエルの人々はモーセの顔を見ると、モーセの顔の皮が光を放っていた。モーセは行って主と語るまで、また顔おおいを顔に当てた。

Chapter 35

1

אֲלֵהֶם	וַיֹּאמֶר	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי	עֲדַת	כָּל־	אֶת־	מֹשֶׁה	וַיַּקְהֵל	
彼らに	そして–言った	子らの	イスラエルの	会衆を	すべての	(を)	モーセは	そして–集めた	
H0413	H0559	H3478		H5712	H3605	H0853	H4872	H6950	

אֹתָם׃	לַעֲשֹׂת	יְהוָה	צִוָּה	אֲשֶׁר־	הַדְּבָרִים	אֵלֶּה	
それらを	行うように	主が	命じた	(～した)	言葉である	これらが	
H0853		H3068	H6680		H1697	H0428	

モーセはイスラエルの人々の全会衆を集めて言った、「これは主が行えと命じられた言葉である。

2

יִהְיֶה	הַשְּׁבִיעִי	וּבַיּוֹם	מְלָאכָה	תֵּעָשֶׂה	יָמִים	שֵׁשֶׁת		
あるであろう	第七の	しかし–七番目の–日には	仕事が	なされるべきである	日は	六つの		
H1961	H7637	H3117	H4399		H3117	H8337		

מְלָאכָה	בּוֹ	הָעֹשֶׂה	כָּל־	לַיהוָה	שַׁבָּתוֹן	שַׁבַּת	קֹדֶשׁ	לָכֶם
仕事を	その–日に	行う–者は	すべて	主への	全き–休みの	安息日	聖なるもの	あなたがたにとって
H4399			H3605	H3068	H7677	H7676	H6944	

יוּמָת׃
殺されなければならない
H4191

六日の間は仕事をしなさい。七日目はあなたがたの聖日で、主の全き休みの安息日であるから、この日に仕事をする者はだれでも殺されなければならない。

3

פ	הַשַּׁבָּת׃	בְּיוֹם	מוֹשְׁבֹתֵיכֶם	בְּכֹל	אֵשׁ	תְּבַעֲרוּ	לֹא־	
(段落記号)	安息日の	安息の–日に	住まいにおいて	すべての	火を	燃やしてはならない	(～ない)	
	H7676	H3117	H4186	H3605	H0784		H3808	

安息日にはあなたがたのすまいのどこでも火をたいてはならない」。

4 וַיֹּאמֶר מֹשֶׁה אֶל־כָּל־עֲדַת בְּנֵי־יִשְׂרָאֵל לֵאמֹר זֶה
そして-言った モーセは (〜に) すべての 会衆に イスラエルの 子らの 言って これが
H0559 H4872 H0413 H3605 H5712 H3478 H0559 H2088

הַדָּבָר אֲשֶׁר־צִוָּה יְהוָה לֵאמֹר׃
言葉である (〜した) 命じた 主が 言って
H1697 H6680 H3068 H0559

モーセはイスラエルの人々の全会衆に言った、「これは主が命じられたことである。

5 קְחוּ מֵאִתְּכֶם תְּרוּמָה לַיהוָה כֹּל נְדִיב לִבּוֹ
取りなさい あなたがたの-中から 奉納物を 主への すべて 心の-進んで-ささげる 心の
H3947 H0854 H8641 H3068 H3605 H5081 H3820

וְזָהָב וְכֶסֶף וּנְחֹשֶׁת׃ יְהוָה תְּרוּמַת אֶת יְבִיאֶהָ
持って-来るように (を) 奉納物を 主の 金と 銀と 青銅を
H0935 H0853 H8641 H3068 H2091 H3701 H5178

あなたがたの持ち物のうちから、主にささげる物を取りなさい。すべて、心から喜んでする者は、主にささげる物を持ってきなさい。すなわち金、銀、青銅。

6 וּתְכֵלֶת וְאַרְגָּמָן וְתוֹלַעַת שָׁנִי וְשֵׁשׁ וְעִזִּים׃
青い-糸と 紫の-糸と 緋色の 糸と 亜麻布と やぎの-毛を
H8504 H0713 H8144 H3768 H8336 H5795

青糸、紫糸、緋糸、亜麻糸、やぎの毛糸。

7 וְעֹרֹת אֵילִם מְאָדָּמִים וְעֹרֹת תְּחָשִׁים וַעֲצֵי שִׁטִּים׃
赤く-染めた 雄羊の 皮と じゅごんの 皮と アカシヤの 木を
H5785 H0352 H0119 H5785 H8476 H6086 H7848

あかね染めの雄羊の皮、じゅごんの皮、アカシヤ材、

8 וְשֶׁמֶן לַמָּאוֹר בְּשָׂמִים לְשֶׁמֶן הַמִּשְׁחָה וְלִקְטֹרֶת הַסַּמִּים׃
ともしびの-ための 油と 香料と 注ぎの 油の-ための 香の 香料を
H8081 H3974 H1314 H8081 H4888 H7004 H5561

ともし油、注ぎ油と香ばしい薫香とのための香料、

9 וְאַבְנֵי־שֹׁהַם וְאַבְנֵי מִלֻּאִים לָאֵפוֹד וְלַחֹשֶׁן׃
縞めのうの 石と はめ込みの 石を エポデの-ための 胸当ての-ための
H0068 H7718 H0068 H4394 H0646 H2833

縞めのう、エポデと胸当てとにはめる宝石。

10 וְכָל־חֲכַם לֵב בָּכֶם יָבֹאוּ וְיַעֲשׂוּ אֵת
そして-すべての 知恵の-ある 心の あなたがたの-中の 来なさい そして-造りなさい (を)
H3605 H2450 H3820 H0935 H6213 H0853

אֲשֶׁר צִוָּה יְהוָה׃ כָּל־
(〜した) 命じた 主が すべて
H3605 H6680 H3068 H3605

すべてあなたがたのうち、心に知恵ある者はきて、主の命じられたものをみな造りなさい。

11 אֶת־ (を) H0853 הַמִּשְׁכָּן 幕屋を H4908 אֶת־ (を) H0853 אָהֳלֹו その-天幕と H0168 וְאֶת־ (を) H0853 מִכְסֵהוּ その-おおいを H4372 אֶת־ (を) H0853 קְרָסָיו その-留め金と H7165 וְאֶת־ (を) H0853 קְרָשָׁיו その-板と H7175

אֶת־ (を) H0853 בְּרִיחָו その-横木と H1280 אֶת־ (を) H0853 עַמֻּדָיו その-柱と H5982 וְאֶת־ (を) H0853 אַדְנֵיו: その-台座を H0134

すなわち幕屋、その天幕と、そのおおい、その鉤と、その枠、その横木、その柱と、その座、

12 אֶת־ (を) H0853 הָאָרֹן 契約の箱と H0727 וְאֶת־ (を) H0853 בַּדָּיו その-棒と H0905 אֶת־ (を) H0853 הַכַּפֹּרֶת 贖いの蓋と H3727 וְאֶת־ (を) H0853 פָּרֹכֶת 仕切りの H6532 הַמָּסָךְ: 幕を H4539

箱と、そのさお、贖罪所、隔ての垂幕、

13 אֶת־ (を) H0853 הַשֻּׁלְחָן 机と H7979 וְאֶת־ (を) H0853 בַּדָּיו その-棒と H0905 וְאֶת־ (を) H0853 כָּל־ その-すべての H3605 כֵּלָיו 器具と H3627 וְאֶת־ (を) H0853 לֶחֶם 供えの H3899 הַפָּנִים: パンを H6440

机と、そのさお、およびそのもろもろの器、供えのパン、

14 וְאֶת־ (を) H0853 מְנֹרַת ともしびの H4501 הַמָּאֹור 燭台と H3974 וְאֶת־ (を) H0853 כֵּלֶיהָ その-器具と H3627 וְאֶת־ (を) H0853 גְּרֹתֶיהָ その-ともし皿と H8081 שֶׁמֶן ともしびの H0853 וְאֶת־ (を)

הַמָּאֹור: 油を H3974

また、ともしびのための燭台と、その器、ともし皿と、ともし油、

15 וְאֶת־ (を) H0853 מִזְבַּח 香の H4196 הַקְּטֹרֶת 祭壇と H7004 וְאֶת־ (を) H0853 בַּדָּיו その-棒と H0905 וְאֶת־ (を) H0853 שֶׁמֶן 注ぎの H8081 וְאֶת־ (を) H0853 הַמִּשְׁחָה 油と H7004 וְאֶת־ (を) H0853 קְטֹרֶת 香の H5561 הַסַּמִּים (を) H0853

הַמִּשְׁכָּן: 幕屋の H4908 לְפֶתַח 入口の-ための H6607 הַפֶּתַח 幕と H6607 מָסַךְ 入口の H4539

香の祭壇と、そのさお、注ぎ油、香ばしい薫香、幕屋の入口のとばり、

16 וְאֶת־ (を) H0853 מִזְבַּח 全焼の-ささげ物の H4196 הָעֹלָה 祭壇と H0853 וְאֶת־ (を) H0853 מִכְבָּר 青銅の H4345 הַנְּחֹשֶׁת 格子と H0853 אֲשֶׁר־ (〜した) לֹו それに-属する H0853 אֶת־ (を)

כַּנֹּו: その-台を H3653 וְאֶת־ (を) H0853 הַכִּיֹּר 洗盤と H3595 אֶת־ (を) H0853 כֵּלָיו 器具と H3627 כָּל־ その-すべての H3605 וְאֶת־ (を) H0853 בַּדָּיו その-棒と H0905

燔祭の祭壇およびその青銅の網、そのさおと、そのもろもろの器、洗盤と、その台、

17 אֶת (を) H0853 קַלְעֵי 庭の H7138 הֶחָצֵר 掛け幕と H2691 אֶת־ (を) H0853 עַמֻּדָיו その-柱と H5982 וְאֶת־ (を) H0853 אַדְנֵיהֶם その-台座と H0134 וְאֶת (を) H0853 מָסַךְ 門の H4539 שַׁעַר 幕を H8179 הֶחָצֵר: 庭の

庭のあげばり、その柱とその座、庭の門のとばり、

18 אֶת־ (を) H0853 יִתְדֹת 幕屋の H3489 הַמִּשְׁכָּן 杭と H4908 וְאֶת־ (を) H0853 יִתְדֹת 庭の H3489 הֶחָצֵר 杭と H0853 וְאֶת־ (を) H0853 מֵיתְרֵיהֶם: その-綱を H4340

幕屋の釘、庭の釘およびそのひも、

19 אֶת־ בִּגְדֵי הַשְּׂרָד לְשָׁרֵת בַּקֹּדֶשׁ אֶת־ בִּגְדֵי הַקֹּדֶשׁ
(を) 聖所で仕える–ための儀式用の–衣と 聖所で–仕える–ための (を) 衣を 聖なる
H0853 H6944 H8334 H8278 H0853 H6944

לְכַהֵן׃ בָּנָיו בִּגְדֵי וְאֶת־ הַכֹּהֵן לְאַהֲרֹן
祭司として–仕える–ための 衣を その–息子たちの (を) 祭司の アロンの–ための
H3547 H0853 H3548 H0175

聖所における務のための編物の服、すなわち祭司の務をなすための祭司アロンの聖なる服およびその子たちの服」。

20 מֹשֶׁה׃ מִלִּפְנֵי יִשְׂרָאֵל בְּנֵי־ עֲדַת כָּל־ וַיֵּצְאוּ
モーセの モーセの–前から 子らの イスラエルの 会衆は すべての そして–出て行った
H4872 H6440 H3478 H5712 H3605 H3318

イスラエルの人々の全会衆はモーセの前を去り、

21 אֲשֶׁר־ אִישׁ כָּל־ וַיָּבֹאוּ
(〜した) 人が すべての そして–来た
H0376 H3605 H0935

וְכָל לִבּוֹ נְשָׂאוֹ אֲשֶׁר־ וְכֹל
そして–すべての その–心の 心が–奮い立った (〜した)
H3605 H5375

אֹהֶל לִמְלֶאכֶת יְהוָה תְּרוּמַת אֶת־ הֵבִיאוּ אֹתוֹ רוּחוֹ נָדְבָה
天幕の 会見の 主への 奉納物を (を) 持って来た 彼を その–霊が 進んで–ささげた
H0168 H4399 H3068 H8641 H0853 H0935 H0853 H7307 H5068

הַקֹּדֶשׁ׃ וּלְבִגְדֵי עֲבֹדָתוֹ וּלְכָל מוֹעֵד
衣の–ために 聖なる その–務めと そして–すべての 仕事の–ために
H6944 H5656 H3605 H4150

すべて心に感じた者、すべて心から喜んでする者は、会見の幕屋の作業と、そのもろもろの奉仕と、聖なる服とのために、主にささげる物を携えてきた。

22 וַיָּבֹאוּ הָאֲנָשִׁים עַל־ הַנָּשִׁים וְכֹל נְדִיב לֵב הֵבִיאוּ חָח
そして–来た 男たちは (〜と–共に) 女たちと すべて 心の–進んだ 者は 持って来た 鼻輪と
H0935 H0376 H0802 H3605 H5081 H0935 H2397

וְכָל־ אִישׁ אֲשֶׁר הֵנִיף
人は そして–すべての 揺り動かした (〜した)
H0376 H3605

זָהָב כְּלִי כָּל־ וְכוּמָז וְטַבָּעַת וְנָזֶם
飾りを 金の あらゆる 首飾りと 指輪と 耳輪と
H2091 H3627 H3605 H3558 H2885 H5141

זָהָב תְּנוּפַת לַיהוָה׃
金の 揺祭を 主に
H2091 H8573 H3068

すなわち、すべて心から喜んでする男女は、鼻輪、耳輪、指輪、首飾り、およびすべての金の飾りを携えてきた。すべて金のささげ物を主にささげる者はそのようにした。

23 וְכָל־ אִישׁ נִמְצָא אֲשֶׁר־ אִתּוֹ תְּכֵלֶת וְאַרְגָּמָן וְתוֹלַעַת שָׁנִי
そして–すべての 人は 見つかった (〜した) その–もとに 青い–糸と 紫の–糸と 緋色の 糸と
H3605 H0376 H4672 H0854 H8504 H0713 H8144

הֵבִיאוּ׃ תְּחָשִׁים וְעֹרֹת מְאָדָּמִים אֵילִם וְעֹרֹת וְעִזִּים וְשֵׁשׁ
持って来た 皮を じゅごんの 皮と 雄羊の 赤く–染めた やぎの–毛と 亜麻布と
H0935 H8476 H5785 H0119 H5785 H5795

すべて青糸、紫糸、緋糸、亜麻糸、やぎの毛糸、あかね染めの雄羊の皮、じゅごんの皮を持っている者は、それを携えてきた。

24 כָּל־ すべて H3605 | מֵרִים ささげる–者は | תְּרוּמַת 銀の H8641 | כֶּסֶף וּנְחֹשֶׁת 奉納物と 青銅を H3701 | הֵבִיאוּ 持って来た H0935 | אֵת (を) H0853 | תְּרוּמַת 奉納物を H8641 | יְהוָה 主への H3068

וְכֹל וְ–すべて | נִמְצָא 見つかった | אִשֶׁר (〜した) | עֲצֵי アカシヤの H6086 | שִׁטִּים 木を H7848 | לְכָל־ すべての H3605 | מְלֶאכֶת 仕事の–ための H4399

הֵבִיאוּ׃ 持って来た H0935 | הָעֲבֹדָה 務めの H5656

すべて銀、青銅のささげ物をささげることのできる者は、それを主にささげる物として携えてきた。また、すべて組立ての工事に用いるアカシヤ材を持っている者は、それを携えてきた。

25 וְכָל־ そして–すべての H3605 | אִשָּׁה 知恵の–ある H0802 | חַכְמַת־ 心の H2450 | לֵב 女は | בְּיָדֶיהָ その–手で H3027 | טָווּ 紡いだ H2901 | וַיָּבִיאוּ そして–持って来た H0935 | מַטְוֶה 紡いだ–糸を H4299

הַשֵּׁשׁ׃ 亜麻布を | וְאֶת־ (を) H0853 | הַשָּׁנִי 糸と H8144 | תּוֹלַעַת 緋色の | אֶת־ (を) H0853 | הָאַרְגָּמָן 紫の–糸と H0713 | וְאֶת־ (を) H0853 | הַתְּכֵלֶת 青い–糸と H8504 | אֶת־ (を) H0853

また、すべて心に知恵ある女たちは、その手をもって紡ぎ、その紡いだ青糸、紫糸、緋糸、亜麻糸を携えてきた。

26 וְכָל־ そして–すべての H3605 | הַנָּשִׁים 女たちは H0802 | אֲשֶׁר (〜した) | נָשָׂא 心が–奮い立った H5375 | לִבָּן その–心の | אֹתָנָה 彼女たちを H0853 | בְּחָכְמָה 知恵をもって H2451 | טָווּ 紡いだ H2901

הָעִזִּים׃ やぎの–毛を | אֶת־ (を) H0853

すべて知恵があって、心に感じた女たちは、やぎの毛を紡いだ。

27 וְהַנְּשִׂאִם そして–族長たちは | הֵבִיאוּ 持って来た H0935 | אֶת (を) H0853 | אַבְנֵי 縞めのうの H0068 | הַשֹּׁהַם 石と H7718 | וְאֶת (を) H0853 | אַבְנֵי はめ込みの H0068 | הַמִּלֻּאִים 石を H4394

וְלַחֹשֶׁן׃ 胸当ての–ための H2833 | לָאֵפוֹד エポデの–ための H0646

また、かしらたちは縞めのう、およびエポデと胸当にはめる宝石を携えてきた。

28 וְאֶת־ (を) H0853 | הַבֹּשֶׂם 香料と H1314 | וְאֶת־ (を) H0853 | הַשָּׁמֶן 油と H8081 | וְאֶת־ (を) H0853 | לְמָאוֹר ともしびの–ための H3974 | וּלְשֶׁמֶן 注ぎの H8081 | הַמִּשְׁחָה 油の–ための | וְלִקְטֹרֶת 香の H7004 | הַסַּמִּים׃ 香料を H5561

29 כָּל־ すべての H3605 | אִישׁ 男と H0376 | וְאִשָּׁה 女で H0802 | אֲשֶׁר (〜した) | נָדַב 進んで–ささげた H5068 | לִבָּם その–心が | אֹתָם 彼らを H0853 | לְהָבִיא 持って来る–ために H0935 | לְכָל־ すべての H3605

הֵבִיאוּ 持って来た H0935 | מֹשֶׁה モーセの H4872 | בְּיַד־ モーセの–手を–通して H3027 | לַעֲשׂוֹת 行うように | יְהוָה 主が H3068 | צִוָּה 命じた H6680 | אֲשֶׁר (〜した) | הַמְּלָאכָה 仕事の–ために H4399

פ (段落記号) | לַיהוָה׃ 主に H3068 | נְדָבָה 自発の–ささげ物を H5071 | יִשְׂרָאֵל 子らは H3478 | בְּנֵי־ イスラエルの

このようにイスラエルの人々は自発のささげ物を主に携えてきた。すなわち主がモーセによって、なせと命じられたすべての工作のために、物を携えてこようと、心から喜んでする男女はみな、そのようにした。

30 וַיֹּאמֶר מֹשֶׁה אֶל־בְּנֵי יִשְׂרָאֵל רְאוּ קָרָא יְהוָה בְּשֵׁם
そして–言った モーセは (〜に) イスラエルの 子らに 見よ 呼んだ 主は 名を–もって
H0559 H4872 H0413 H3478 H7200 H7121 H3068 H8034

בְּצַלְאֵל בֶּן־אוּרִי בֶּן־חוּר לְמַטֵּה יְהוּדָה׃
ベツァルエルを ウリの 子 フルの 子 ユダの 部族の
H1212 H0221 H2354 H4294 H3063

モーセはイスラエルの人々に言った、「見よ、主はユダの部族に属するホルの子なるウリの子ベザレルを名ざして召し、

31 וַיְמַלֵּא אֹתוֹ רוּחַ אֱלֹהִים בְּחָכְמָה בִּתְבוּנָה וּבְדַעַת וּבְכָל־
そして–満たした 彼を 神の 霊で 知恵と 英知と 知識と あらゆる
H4390 H0853 H7307 H0430 H2451 H8394 H1847 H3605

מְלָאכָה׃
技で
H4399

彼に神の霊を満たして、知恵と悟りと知識と諸種の工作に長ぜしめ、

32 לַעֲשֹׂת מַחֲשֶׁבֶת וְלַחְשֹׁב בַּזָּהָב וּבַכֶּסֶף וּבַנְּחֹשֶׁת׃
造る–ために 巧みな–設計を そして–考案する–ために 金と 銀と 青銅で
H2803 H4284 H2091 H3701

工夫を凝らして金、銀、青銅の細工をさせ、

33 וּבַחֲרֶשֶׁת אֶבֶן לְמַלֹּאת וּבַחֲרֶשֶׁת עֵץ לַעֲשׂוֹת בְּכָל־מְלֶאכֶת מַחֲשָׁבֶת׃
宝石を–彫る 石を はめ込む–ために 木を–彫る 木で 造る–ために あらゆる 巧みな 仕事を
H2799 H0068 H4390 H2799 H6086 H3605 H4399 H4284

また宝石を切りはめ、木を彫刻するなど、諸種の工作をさせ、

34 וּלְהוֹרֹת נָתַן בְּלִבּוֹ הוּא וְאָהֳלִיאָב בֶּן־אֲחִיסָמָךְ לְמַטֵּה־
そして–教える–力を 与えた その–心に 彼と オホリアブに アヒサマクの 子 ダンの
H5414 H1931 H0171 H0294 H4294

דָן׃
部族の
H1835

また人を教えうる力を、彼の心に授けられた。彼とダンの部族に属するアヒサマクの子アホリアブとが、それである。

35 מִלֵּא אֹתָם חָכְמַת־לֵב לַעֲשׂוֹת כָּל־מְלֶאכֶת חָרָשׁ וְחֹשֵׁב
満たした 彼らを 知恵の–ある 心で 行う–ために あらゆる 彫刻師の 仕事を 織物師と
H4390 H0853 H2451 H3605 H4399 H2796 H2803

וְרֹקֵם בַּתְּכֵלֶת וּבָאַרְגָּמָן וּבְתוֹלַעַת הַשָּׁנִי וּבַשֵּׁשׁ וְאֹרֵג עֹשֵׂי
刺繍師の 青い–糸と 紫の–糸と 緋色の 糸と 亜麻布で そして–織り手の 行う–者たちの
H7551 H8504 H0713 H8144 H8144 H0707

כָּל־מְלָאכָה וְחֹשְׁבֵי מַחֲשָׁבֹת׃
あらゆる 仕事を 考案する–者たちの 巧みな–設計を
H3605 H4399 H2803 H4284

主は彼らに知恵の心を満たして、諸種の工作をさせられた。すなわち彫刻、浮き織および青糸、紫糸、緋糸、亜麻糸の縫取り、また機織など諸種の工作をさせ、工夫を凝らして巧みなわざをさせられた。

Chapter 36

1

וְעָשָׂה֙ בְּצַלְאֵ֣ל וְאָהֳלִיאָ֔ב וְכֹ֖ל אִ֣ישׁ חֲכַם־לֵ֑ב אֲשֶׁ֨ר
そして-造った ベツァルエルと オホリアブと そして-すべての 人は 知恵の-ある 心の (〜した)
H0853 H1212 H0171 H3605 H0376 H2450 H3605

נָתַ֣ן יְהוָ֣ה חָכְמָ֣ה וּתְבוּנָ֗ה בָּהֵ֜מָּה לָדַ֤עַת לַֽעֲשׂוֹת֙ אֶת־כָּל־
与えた 主が 知恵と 英知を 彼らの-中に 知る-ために 行う-ために (を) すべての 仕事を
H5414 H3068 H2451 H8394 H1992 H3045 H6213 H0853 H3605 H4399

מְלֶ֣אכֶת֔ עֲבֹדַ֖ת הַקֹּ֑דֶשׁ לְכֹ֣ל אֲשֶׁ֔ר צִוָּ֖ה יְהוָֽה׃
務めの 聖所の すべて (〜した) 命じた 主が
H5656 H6944 H3605 H0834 H6680 H3068

ベザレルとアホリアブおよびすべて心に知恵ある者、すなわち主が知恵と悟りとを授けて、聖所の組立ての諸種の工事を、いかになすかを知らせられた者は、すべて主が命じられたようにしなければならない」。

2

וַיִּקְרָ֣א מֹשֶׁ֗ה אֶל־בְּצַלְאֵ֤ל וְאֶל־אָהֳלִיאָב֙ וְאֶל־כָּל־
そして-呼んだ モーセは (〜に) ベツァルエルと (〜に) オホリアブと (〜に) すべての
H7121 H4872 H0413 H1212 H0413 H0171 H0413 H3605

אִ֣ישׁ חֲכַם־לֵ֔ב אֲשֶׁ֥ר נָתַ֛ן יְהוָ֥ה חָכְמָ֖ה בִּלְבָּ֑וֹ כֹּ֚ל
知恵の-ある 心の 人を (〜した) 与えた 主が 知恵を その-心に すべて
H0376 H2450 H3605 H5414 H3068 H2451 H3824 H3605

אֲשֶׁר֙ נְשָׂאוֹ֣ לִבּ֔וֹ לְקָרְבָ֥ה אֶל־הַמְּלָאכָ֖ה לַֽעֲשֹׂ֥ת אֹתָֽהּ׃
(〜した) 心が-奮い立った その-心の 近づく-ために (〜に) 仕事に 行う-ために それを
H5375 H3824 H7126 H0413 H4399 H6213 H0853

そこで、モーセはベザレルとアホリアブおよびすべて心に知恵ある者、すなわち、その心に主が知恵を授けられた者、またきて、その工事をなそうと心に望むすべての者を召し寄せた。

3

וַיִּקְח֣וּ מִלִּפְנֵ֣י מֹשֶׁ֗ה אֵת֙ כָּל־הַתְּרוּמָ֔ה אֲשֶׁ֥ר הֵבִ֖יאוּ
そして-受け取った モーセの-前から モーセの (を) すべての 奉納物を (〜した) 持って来た
H3947 H6440 H4872 H0853 H3605 H8641 H0834 H0935

אֵלָ֑יו ה֣וּא עוֹד֩ נְדָבָ֨ה בַבֹּ֜קֶר בַּבֹּ֗קֶר לַֽעֲשֹׂת֙ אֹתָ֔הּ וְהֵ֖ם
彼に なおも 自発の-ささげ物を 朝ごとに 朝ごとに それを 造る-ために しかし-彼らは
H0413 H5750 H5071 H1242 H1242 H0853 H6213 H1992

הֵבִ֣יאוּ עֹ֔וד אֵלָ֖יו וַיֹּאמְר֣וּ כָל־הָֽעֹשִׂ֗ים אִ֚ישׁ אִ֣ישׁ מִמְּלַאכְתּ֔וֹ
持って来た なおも 彼に 行っている すべての 人が それぞれ その-仕事から
H0935 H5750 H0413 H6213 H3605 H0376 H4399

אֲשֶׁ֥ר עָשִׂ֖ים הַמְּלָאכָ֑ה
(〜した) 行っていた 彼らが 仕事を
H0834 H6213 H1992 H4399

彼らは聖所の組立ての工事をするために、イスラエルの人々が携えてきたもろもろのささげ物を、モーセから受け取ったが、民はなおも朝ごとに、自発のささげ物を彼のもとに携えてきた。

4

וַיָּבֹ֣אוּ כָל־הַחֲכָמִ֗ים הָֽעֹשִׂים֙ אֶת־כָּל־מְלֶ֣אכֶת הַקֹּ֔דֶשׁ אִ֥ישׁ
そして-来た すべての 知恵ある-者たちが 行っている (を) すべての 聖所の 仕事を それぞれ
H0935 H3605 H2450 H6213 H0853 H3605 H4399 H6944 H0376

מִמְּלַאכְתּ֖וֹ אֲשֶׁ֥ר הֵ֖מָּה עֹשִֽׂים׃
その-仕事から (〜した) 彼らが 行っていた
H4399 H0834 H1992 H6213

そこで聖所のもろもろの工事をする賢い人々はみな、おのおのしていた工事をやめて、

5

וַיֹּאמְר֣וּ אֶל־מֹשֶׁ֔ה לֵאמֹ֖ר מַרְבִּ֣ים הָעָ֑ם לְהָבִ֣יא מִדֵּ֔י הָֽעֲבֹדָ֔ה
そして-言った (〜に) モーセに 言って 多すぎる 民が 持って来ることが 十分-以上の 務めの
H0559 H0413 H4872 H0559 H7235 H5971 H0935 H1767 H5656

לַֽמְלָאכָ֔ה אֲשֶׁ֥ר צִוָּ֖ה יְהוָ֑ה לַֽעֲשֹׂ֥ת אֹתָֽהּ׃
仕事の-ための (〜した) 命じた 主が 行う-ために それを
H4399 H0834 H6680 H3068 H6213 H0853

モーセに言った「民があまりに多く携えて来るので、主がせよと命じられた組立ての工事には余ります」。

אַל־	וְאִשָּׁה	אִישׁ	לֵאמֹר׀	בְּמַחֲנֶה׀	קוֹל	וַיַּעֲבִירוּ	מֹשֶׁה	וַיְצַו	6
(〜ない)	女も	男も	言って	陣営に–おいて	声を	そして–告げさせた	モーセは	そして–命じた	
H0408	H0802	H0376	H0559	H4264			H4872	H6680	

הָעָם	וַיִּכָּלֵא	הַקֹּדֶשׁ	לִתְרוּמַת	מְלֶאכֶת	עוֹד	יַעֲשׂוּ־
民は	そして–やめた	奉納物の–ために	聖なる	仕事を	もはや	造っては–ならない
	H3607	H6944	H8641	H4399	H5750	

מֵהָבִיא׃
持って来ることを
H0935

モーセは命令を発し、宿営中にふれさせて言った、「男も女も、もはや聖所のために、ささげ物をするに及ばない」。それで民は携えて来ることをやめた。

אֹתָהּ	לַעֲשׂוֹת	הַמְּלָאכָה	לְכָל־	דַּיָּם	הָיְתָה	וְהַמְּלָאכָה	7
それを	造る–ために	仕事の–ために	すべての	十分であった	あった	そして–材料は	
H0853		H4399	H3605	H1767	H1961	H4399	

ס	וְהוֹתֵר׃
(段落記号)	そして–余りがあった
	H3498

材料はすべての工事をするのにじゅうぶんで、かつ余るからである。

הַמִּשְׁכָּן	אֶת־	הַמְּלָאכָה	בְּעֹשֵׂי	לֵב	חֲכַם־	כָּל־	וַיַּעֲשׂוּ	8
幕屋を	(を)	仕事の	仕事を–する–者たちの–中の	心の	知恵の–ある	すべての	そして–造った	
H4908	H0853	H4399			H2450	H3605		

מַעֲשֵׂה	כְּרֻבִים	שֵׁנִי	וְתוֹלַעַת	וְאַרְגָּמָן	וּתְכֵלֶת	מָשְׁזָר	שֵׁשׁ	יְרִיעֹת	עֶשֶׂר
巧みな	ケルビムを	糸で	緋色の	紫の–糸と	青い–糸と	亜麻布と	撚り–合わせた	幕で	十の
H4639	H3742	H8144		H0713	H8504	H7806		H3407	H6235

אֹתָם׃	עָשָׂה	חֹשֵׁב
それらを	造った	織物師の–わざで
H0853		H2803

すべて工作をする者のうちの心に知恵ある者は、十枚の幕で幕屋を造った。すなわち亜麻の撚糸、青糸、紫糸、緋糸で造り、巧みなわざをもって、それにケルビムを織り出した。

אַרְבַּע	וְרֹחַב׀	בָּאַמָּה	וְעֶשְׂרִים׀	שְׁמֹנֶה	הָאַחַת	הַיְרִיעָה	אֹרֶךְ	9
四	そして–幅は	キュビトで	キュビトであった	二十八	幕の	一つの	長さは	
H0702	H7341		H6242	H8083	H0259	H3407	H0753	

הַיְרִיעֹת׃	לְכָל־	אַחַת	מִדָּה	הָאֶחָת	הַיְרִיעָה	בָּאַמָּה
幕の	すべての	同じ	寸法は	幕の	一つの	キュビトであった
H3407	H3605	H0259		H0259	H3407	

幕の長さは、おのおの二十八キュビト、幕の幅は、おのおの四キュビトで、幕はみな同じ寸法である。

יְרִיעֹת׀	וְחָמֵשׁ	אַחַת	אֶל־	אַחַת	הַיְרִיעֹת	חֲמֵשׁ	אֶת־	וַיְחַבֵּר׀	10
幕を	そして–五つの	一つに	(〜に)	一つを	幕を	五つの	(を)	そして–つなぎ合わせた	
H3407	H2568	H0259	H0413	H0259	H3407	H2568	H0853	H2266	

אַחַת׃	אֶל־	אַחַת	חִבֵּר
一つに	(〜に)	一つを	つなぎ合わせた
H0259	H0413	H0259	H2266

その幕五枚を互に連ね合わせ、また他の五枚の幕をも互に連ね合わせ、

11 וַיַּעַשׂ לֵלְאֹת תְּכֵלֶת עַל שְׂפַת הַיְרִיעָה הָאֶחָת מִקָּצָה בַּמַּחְבֶּרֶת

וַיַּעַשׂ	לֵלְאֹת	תְּכֵלֶת	עַל	שְׂפַת	הַיְרִיעָה	הָאֶחָת	מִקָּצָה	בַּמַּחְבֶּרֶת
そして-造った	輪を	青い-糸の	(〜の-上に)	端に	一つの-幕の	一組目の	端に	つなぎ目の
	H3924	H8504		H8193	H3407	H0259	H7098	H4225

הַשֵּׁנִית׃ בַּמַּחְבֶּרֶת הַקִּיצוֹנָה הַיְרִיעָה בִּשְׂפַת עָשָׂה כֵּן

הַשֵּׁנִית׃	בַּמַּחְבֶּרֶת	הַקִּיצוֹנָה	הַיְרִיעָה	בִּשְׂפַת	עָשָׂה	כֵּן
二組目の	つなぎ目の	端に	外側の-幕の	もう-一方の-端に	造った	同じように
H8145	H4225	H7020	H3407	H8193		

その一連の端にある幕の縁に青色の乳をつけ、他の一連の端にある幕の縁にも、そのようにした。

12 חֲמִשִּׁים לֵלְאֹת עָשָׂה בַיְרִיעָה הָאֶחָת וַחֲמִשִּׁים לֵלְאֹת עָשָׂה בִּקְצֵה

חֲמִשִּׁים	לֵלְאֹת	עָשָׂה	בַיְרִיעָה	הָאֶחָת	וַחֲמִשִּׁים	לֵלְאֹת	עָשָׂה	בִּקְצֵה
五十の	輪を	造った	一つの-幕に	一方の	そして-五十の	輪を	造った	もう-一方の
H2572	H3924		H3407	H0259	H2572	H3924		

אֶחָת׃ אֶל־ אַחַת הַלֶּלְאֹת מַקְבִּילֹת הַשֵּׁנִית בַּמַּחְבֶּרֶת אֲשֶׁר הַיְרִיעָה

אֶחָת׃	אֶל־	אַחַת	הַלֶּלְאֹת	מַקְבִּילֹת	הַשֵּׁנִית	בַּמַּחְבֶּרֶת	אֲשֶׁר	הַיְרִיעָה
一つに	(〜に)	一つが	輪は	向かい合わせに	二組目の	つなぎ目の	(〜した)	幕の-端に
H0259	H0413	H0259	H3924	H6901	H8145	H4225		H3407

その一枚の幕に乳五十をつけ、他の一連の幕の端にも、乳五十をつけた。その乳を互に相向かわせた。

13 וַיַּעַשׂ חֲמִשִּׁים קַרְסֵי זָהָב וַיְחַבֵּר אֶת־ הַיְרִיעֹת אַחַת אֶל־

וַיַּעַשׂ	חֲמִשִּׁים	קַרְסֵי	זָהָב	וַיְחַבֵּר	אֶת־	הַיְרִיעֹת	אַחַת	אֶל־
そして-造った	五十の	金の	留め金を	そして-つなぎ合わせた	(を)	幕を	一つを	(〜に)
	H2572	H7165	H2091	H2266	H0853	H3407	H0259	H0413

אֶחָד׃ הַמִּשְׁכָּן וַיְהִי בַּקְרָסִים אַחַת ס

אֶחָד׃	הַמִּשְׁכָּן	וַיְהִי	בַּקְרָסִים	אַחַת	ס	
一つに	幕屋は	そして-なった	留め金で	一つに	(段落記号)	
H0259	H4908	H1961	H7165	H0259		

そして金の輪五十を作り、その輪で、幕を互に連ね合わせたので、一つの幕屋になった。

14 עִזִּים יְרִיעֹת וַיַּעַשׂ לְאֹהֶל עַל־ הַמִּשְׁכָּן עַשְׁתֵּי־ עֶשְׂרֵה יְרִיעֹת

עִזִּים	יְרִיעֹת	וַיַּעַשׂ	לְאֹהֶל	עַל־	הַמִּשְׁכָּן	עַשְׁתֵּי־	עֶשְׂרֵה	יְרִיעֹת
やぎの-毛の	幕を	そして-造った	天幕の-ための	(〜の-上の)	幕屋の	十一の	幕を	十一の
	H3407		H0168		H4908	H6249	H6240	H3407

עָשָׂה אֹתָם׃
造った それらを
H0853

また、やぎの毛糸で幕を作り、幕屋をおおう天幕にした。すなわち幕十一枚を作った。

15 אֹרֶךְ הָאַחַת הַיְרִיעָה רֹחַב אַמּוֹת וְאַרְבַּע בָּאַמָּה שְׁלֹשִׁים הָאַחַת הַיְרִיעָה

אֹרֶךְ	הָאַחַת	הַיְרִיעָה	רֹחַב	אַמּוֹת	וְאַרְבַּע	בָּאַמָּה	שְׁלֹשִׁים	הָאַחַת	הַיְרִיעָה
長さは	幕の	一つの	幅であった	キュビトは	そして-四	キュビトであった	三十	幕の	一つの
H0753	H0259	H3407	H7341		H0702		H7970	H0259	H3407

יְרִיעֹת׃ עֶשְׂרֵה לְעַשְׁתֵּי אַחַת מִדָּה הָאַחַת
幕の すべての 十一の 同じ 寸法は 幕の
H3407 H6240 H6249 H0259 H0259

おのおのの幕の長さは三十キュビト、おのおのの幕の幅は四キュビトで、その十一枚の幕は同じ寸法である。

16 לְבָד׃ הַיְרִיעֹת שֵׁשׁ וְאֶת־ לְבָד חֲמֵשׁ הַיְרִיעֹת וַיְחַבֵּר אֶת־

לְבָד׃	הַיְרִיעֹת	שֵׁשׁ	וְאֶת־	לְבָד	חֲמֵשׁ	הַיְרִיעֹת	וַיְחַבֵּר	אֶת־
別々に	幕を	六つの	そして-(を)	別々に	五つの	幕を	そして-つなぎ合わせた	(を)
H0905	H3407	H8337	H0853	H0905	H2568	H3407	H2266	H0853

そして、その幕五枚を一つに連ね合わせ、また、その幕六枚を一つに連ね合わせ、

17 וַיַּעַשׂ לְלָאֹת חֲמִשִּׁים עַל שְׂפַת הַיְרִיעָה הַקִּיצֹנָה בַּמַּחְבָּרֹת
そして-造った 輪を 五十 (〜の-上に) 端に 一つの-幕の 外側の つなぎ目の
H3924 H2572 H5921 H8193 H3407 H7020 H4225

הַשֵּׁנִית׃ הַמְחֻבֶּרֶת הַיְרִיעָה שְׂפַת עַל־ עָשָׂה לְלָאֹת וַחֲמִשִּׁים
二組目の つなぎ合わせの 一つの-幕の 端に (〜の-上に) 造った 輪を そして-五十の
H8145 H2279 H3407 H8193 H5921 H6213 H3924 H2572

その一連の端にある幕の縁に、乳五十をつけ、他の一連の幕の縁にも、乳五十をつけた。

18 וַיַּעַשׂ קַרְסֵי נְחֹשֶׁת חֲמִשִּׁים לְחַבֵּר אֶת־ הָאֹהֶל לִהְיֹת
そして-造った 青銅の 留め金を 五十の つなぎ合わせる-ために (を) 天幕を なる-ために
H7165 H5178 H2572 H2266 H853 H0168 H1961

אֶחָד׃
一つに
H0259

そして、青銅の輪五十を作り、その天幕を連ね合わせて一つにした。

19 וַיַּעַשׂ מִכְסֵה לָאֹהֶל עֹרֹת אֵלִּים מְאָדָּמִים וּמִכְסֵה
そして-造った おおいを 天幕の-ための 赤く-染めた 雄羊の 皮の そして-おおいを
H6213 H4372 H0168 H5785 H0352 H0119 H4372

עֹרֹת תְּחָשִׁים מִלְמָעְלָה׃ ס
じゅごんの 皮の 上に (段落記号)
H5785 H8476 H4605

また、あかね染めの雄羊の皮で、天幕のおおいと、じゅごんの皮で、その上にかけるおおいとを作った。

20 וַיַּעַשׂ אֶת־ הַקְּרָשִׁים לַמִּשְׁכָּן עֲצֵי שִׁטִּים עֹמְדִים׃
そして-造った (を) 板を 幕屋の-ための アカシヤの 木の 立てる
H6213 H853 H7175 H4908 H6086 H7848 H5975

21 עֶשֶׂר אַמּוֹת אָרֶךְ הַקָּרֶשׁ הָאֶחָד וְאַמָּה וַחֲצִי רֹחַב
十 キュビトは 長さであった 一つの-板の そして-一-キュビト 半の 幅であった
H6235 H0753 H7175 H0259 H0259 H2677 H7341

הָאֶחָד׃ הַקָּרֶשׁ
各々の 一つの-板の
H0259 H7175

枠の長さは十キュビト、枠の幅は、おのおの一キュビト半とし、

22 שְׁתֵּי יָדֹת לְכָל־ קַרְשֵׁי הַמִּשְׁכָּן׃ עָשָׂה כֵּן אֶחָת אֶל־ אַחַת מְשֻׁלֶּבֶת הָאֶחָד לַקֶּרֶשׁ
二つの ほぞを すべての 幕屋の 板を 造った このように 一つに (〜に) 一つを 組み合わせて 各々の 一つの-板に
H8147 H3027 H3605 H4908 H7175 H6213 H3651 H0259 H0413 H0259 H7947 H0259 H7175

枠ごとに二つの柄を造って、かれとこれとをくい合わせ、幕屋のすべての枠にこのようにした。

23 וַיַּעַשׂ אֶת־ הַקְּרָשִׁים לַמִּשְׁכָּן עֶשְׂרִים קֶרֶשׁ לִפְאַת נֶגֶב תֵּימָנָה׃
そして-造った (を) 板を 幕屋の-ための 二十の 板を 南の-側の 南の 方に
H6213 H853 H7175 H4908 H6242 H7175 H6285 H5045 H8486

幕屋のために枠を造った。すなわち南側のために枠二十を造った。

24 וְאַרְבָּעִים אַדְנֵי־כֶסֶף עָשָׂה תַּחַת עֶשְׂרִים הַקְּרָשִׁים שְׁנֵי אַדָנִים
そして-四十の 銀の 台座を 造った (〜の-下に) 二十の 板の 二つの 台座を
H0705 H0134 H3701 H6242 H8478 H7175 H8147 H0134

תַּחַת־ הַקֶּרֶשׁ וּשְׁנֵי אַדָנִים תַּחַת־ שְׁתֵּי יְרֻתָיו הָאֶחָד לִשְׁתֵּי יְרֻתָיו׃
(〜の-下に) 一つの-板の そして-二つの 台座を (〜の-下に) 二つの ほぞの-ための 一方の 二つの ほぞの-ための
H8478 H7175 H8147 H0259 H8478 H3027 H8147 H3027

הָאֶחָד הַקֶּרֶשׁ
もう-一方の 一つの-板の
H0259 H7175

その二十の枠の下に銀の座四十を造って、この枠の下に、その二つの柄のために二つの座を置き、かの枠の下にも、その二つの柄のために二つの座を置いた。

25 וּלְצֶלַע הַמִּשְׁכָּן הַשֵּׁנִית לִפְאַת צָפוֹן עָשָׂה עֶשְׂרִים קְרָשִׁים׃
そして-もう-一方の-側の 幕屋の 二番目の 北の-側の 方に 造った 二十の 板を
H6763 H4908 H8145 H6285 H6828 H6242 H7175

また幕屋の他の側、すなわち北側のためにも枠二十を造った。

26 וְאַרְבָּעִים אַדְנֵיהֶם כֶּסֶף שְׁנֵי אַדָנִים תַּחַת הַקֶּרֶשׁ הָאֶחָד וּשְׁנֵי
そして-四十の 銀の 台座を 二つの 台座を (〜の-下に) 一つの-板の 一方の そして-二つの
H0705 H0134 H3701 H0134 H8147 H8478 H7175 H0259 H8147

הָאֶחָד׃ הַקֶּרֶשׁ תַּחַת אַדָנִים
もう-一方の 一つの-板の (〜の-下に) 台座を
H0259 H7175 H8478 H0134

その銀の座四十を造って、この枠の下にも二つの座を置き、かの枠の下にも二つの座を置いた。

27 וּלְיֶרְכְּתֵי הַמִּשְׁכָּן יָמָּה עָשָׂה שִׁשָּׁה קְרָשִׁים׃
そして-幕屋の 奥の 西の-方の 造った 六つの 板を
H3411 H4908 H3220 H6213 H8337 H7175

また幕屋のうしろ、西側のために枠六つを造り、

28 וּשְׁנֵי קְרָשִׁים עָשָׂה לְמִקְצַעֹת הַמִּשְׁכָּן בַּיְרֵכָתָיִם׃
そして-二つの 板を 造った 隅の-ための 幕屋の 奥の-両側に
H8147 H7175 H6213 H4742 H4908 H3411

幕屋のうしろの二つのすみのために枠二つを造った。

29 וְהָיוּ רָאשׁוֹ אֶל־ תַּמִּים יִהְיֶה וְיַחְדָּו מִלְּמַטָּה תֹּאֲמִם וְהָיוּ
そして-あった その-上まで (〜の-方へ) ぴったりと あった そして-共に 下から 対に-なって そして-あった
H1961 H7218 H0413 H8382 H1961 H3162 H4295 H8382 H1961

לִשְׁנֵיהֶם לִשְׁתֵּי לִמְקֻצֹעֹת׃ הַמִּקְצֹעֹת עָשָׂה כֵּן הָאֶחָת אֶל־ הַטַּבָּעַת
両方とも 二つの 隅の-ための 造った このように 環に (〜の-方へ) 一つの
H8147 H8147 H4742 H6213 H3651 H0259 H0413 H2885

これらは、下で重なり合い、同じくその頂でも第一の環まで重なり合うようにし、その二つとも二つのすみのために、そのように造った。

30 וְהָיוּ שְׁמֹנָה קְרָשִׁים וְאַדְנֵיהֶם כֶּסֶף שִׁשָּׁה עָשָׂר אַדָנִים שְׁנֵי אַדָנִים שְׁנֵי
そして-あった 八つの 板と それらの 銀の 十六の 台座が あった 台座が 二つの
H1961 H8083 H7175 H0134 H3701 H8337 H6240 H0134 H8147 H0134 H8147

הָאֶחָד׃ הַקֶּרֶשׁ תַּחַת אַדָנִים
各々の 一つの-板の (〜の-下に) 台座が
H0259 H7175 H8478 H0134

こうして、その枠は八つ、その銀の座は十六、おのおのの枠の下に、二つずつ座があった。

31 וַיַּעַשׂ בְּרִיחֵי עֲצֵי שִׁטִּים חֲמִשָּׁה לְקַרְשֵׁי צֶלַע־ הָאֶחָת׃ הַמִּשְׁכָּן
そして–造った 横木を アカシヤの 木の 五本を 幕屋の 一方の–側の 一方の 板の–ための
H1280 H6086 H7848 H2568 H7175 H6763 H0259 H4908

またアカシヤ材の横木を造った。すなわち幕屋のこの側の枠のために五つ、

32 וַחֲמִשָּׁה בְרִיחִם לְקַרְשֵׁי צֶלַע־ הַמִּשְׁכָּן הַשֵּׁנִית לְצַלַע חֲמִשָּׁה בְרִיחֵ֑י
そして–五本の 横木を 幕屋の もう–一方の–側の 板の–ための 二番目の 五本の 横木を
H2568 H1280 H7175 H6763 H4908 H8145 H2568 H1280

יָמָּה׃ לַיַּרְכָתַיִם הַמִּשְׁכָּן לְקַרְשֵׁי
西の–方の 奥の 板の–ための 幕屋の
H3220 H3411 H4908 H7175

また幕屋のかの側の枠のために横木五つ、幕屋のうしろの西側の枠のために横木五つを造った。

33 וַיַּעַשׂ אֶת־ הַמַּהֲרֹן הָאֶמְצָעִי בָּרִיחַ לִבְרֹחַ בְּתוֹךְ הַקְּרָשִׁים מִן־ הַקָּצֶה
そして–造った (を) 中央の 横木を 通す–ために 真ん中を 一方の 端から
H0853 H1280 H8484 H1272 H8432 H7175 H0413 H7097

אֶל־ הַקָּצֶה׃
もう–一方の 端まで
H0413

枠のまん中にある中央の横木は、端から端まで通るようにした。

34 וְאֶת־ הַקְּרָשִׁים צִפָּה זָהָב וְאֶת־ טַבְּעֹתָם עָשָׂה זָהָב לְבָתִּים
そして–(を) 板を 金で–覆った 金で そして–(を) それらの–環を 造った 金で
H0853 H7175 H6823 H2091 H0853 H2885 H6213 H2091

לַבְּרִיחִם׃ בָּתִּים וַיְצַף אֶת־ הַבְּרִיחִם זָהָב׃
受け口として 横木の–ための そして–覆った (を) 横木を 金で
H1280 H6823 H0853 H1280 H2091

そして、その枠を金でおおい、また横木を通すその環を金で造り、またその横木を金でおおった。

35 וַיַּעַשׂ אֶת־ הַפָּרֹכֶת תְּכֵלֶת וְאַרְגָּמָן וְתוֹלַעַת שָׁנִי וְשֵׁשׁ
そして–造った (を) 仕切りの–幕を 青い–糸と 紫の–糸と 緋色の 糸と 撚り–合わせた
H6532 H0853 H8504 H0713 H8144

מָשְׁזָר מַעֲשֵׂה חֹשֵׁב עָשָׂה אֹתָהּ כְּרֻבִים׃
亜麻布で 巧みな 織物師の–わざで 造った それを ケルビムを
H7806 H4639 H2803 H6213 H0853 H3742

また青糸、紫糸、緋糸、亜麻の撚糸で、垂幕を作り、巧みなわざをもって、それにケルビムを織り出した。

36 וַיַּעַשׂ לָהֶם אַרְבָּעָה עַמּוּדֵי שִׁטִּים וַיְצַף זָהָב וָוֵיהֶם זָהָב
そして–造った それの–ための 四本の アカシヤの 柱を そして–覆った 金で それらの–鉤は 金で
H6213 H0702 H5982 H7848 H6823 H2091 H2053 H2091

לָהֶם אַרְבָּעָה אַדְנֵי־ כָסֶף׃
それらの–ための 四つの 銀の 台座を
H3701 H0134 H0702

וַיִּצֹק זָהָב׃
そして–鋳造した 金であった
H3332 H2091

また、これがためにアカシヤ材の柱四本を作り、金でこれをおおい、その鉤を金にし、その柱のために銀の座四つを鋳た。

37 וַיַּעַשׂ מָסָךְ לְפֶתַח הָאֹהֶל תְּכֵלֶת וְאַרְגָּמָן וְתוֹלַעַת שָׁנִי
そして-造った 幕を 天幕の-入口の-ための 天幕の 青い-糸と 紫の-糸と 緋色の 糸と
H4539 H6607 H0168 H8504 H0712 H8144

מְשְׁזָר מַעֲשֵׂה רֹקֵם׃
撚り-合わせた 亜麻布で 刺繍師の わざで
H7806 H4639 H7551

また幕屋の入口のために青糸、紫糸、緋糸、亜麻の撚糸で、色とりどりに織ったとばりを作った。

38 וְאֶת־ חֲמִשָּׁה עַמּוּדָיו וְאֶת־ וָוֵיהֶם רָאשֵׁיהֶם
そして-(を) 五本の その-五本の-柱と そして-(を) それらの-頭と
H0853 H2568 H5982 H0853 H2053 H6823

וְחִשֻּׁקֵיהֶם וַחֲמִשָּׁה בַּנְיֵהֶם וְאַדְנֵיהֶם זָהָב וְצִפָּה
それらの-帯を 五つの それらの-台座は そして-金で 覆った
H2838 H2568 H0134 H2091 H6823

נְחֹשֶׁת׃ חֲמִשָּׁה וְאַדְנֵיהֶם זָהָב וְצִפָּה פ
青銅であった 五つの そして-それらの-台座は 金で 覆った (段落記号)
H2568 H0134 H2091 H6823

その柱五本と、その鉤とを造り、その柱の頭と桁とを金でおおった。ただし、その五つの座は青銅であった。

Chapter 37

1 וַיַּעַשׂ בְּצַלְאֵל אֶת־ הָאָרֹן עֲצֵי שִׁטִּים אַמָּתַיִם וָחֵצִי
そして-作った ベツァルエルは ～を 契約の箱を 木の アカシヤの 二-キュビトと そして-半の
H2677 H1212 H0853 H0727 H6086 H7848 H0520 H2677

קֹמָתוֹ׃ וָחֵצִי וְאַמָּה רָחְבּוֹ וָחֵצִי וְאַמָּה אָרְכּוֹ
高さの そして-半の そして-一-キュビトと 幅の そして-半の そして-一-キュビトと 長さの
H6967 H2677 H0520 H7341 H2677 H0520 H0753

ベザレルはアカシヤ材の箱を造った。長さは二キュビト半、幅は一キュビト半、高さは一キュビト半である。

2 וַיְצַפֵּהוּ טָהוֹר מִבַּיִת וּמִחוּץ וַיַּעַשׂ לוֹ זֵר זָהָב
そして-被せた 純粋な 内側と そして-外側を そして-作った それに 縁飾りを 金の
H6823 H2889 H2091 H2351 H6213 H2091

סָבִיב׃
周囲に
H5439

純金で、内そとをおおい、その周囲に金の飾り縁を造った。

3 וַיִּצֹק לוֹ אַרְבַּע טַבְּעֹת זָהָב עַל אַרְבַּע פַּעֲמֹתָיו וּשְׁתֵּי
そして-鋳造した それに 四つの 環を 金の ～の-上に 四つの 脚に そして-二つの
H3332 H0702 H2885 H2091 H0702 H6471 H8147

טַבְּעֹת עַל־ צַלְעוֹ הָאֶחָת וּשְׁתֵּי טַבָּעוֹת עַל־ צַלְעוֹ הַשֵּׁנִית׃
環を ～の-上に 側面の 一方の そして-二つの 環を ～の-上に 側面の もう一方の
H2885 H5921 H6763 H0259 H8147 H2885 H5921 H6763 H8145

また金の環四つを鋳て、その四すみに取りつけた。すなわち二つの環をこちら側に、二つの環をあちら側に取りつけた。

4 וַיַּעַשׂ בַּדֵּי עֲצֵי שִׁטִּים וַיְצַף אֹתָם זָהָב׃
そして-作った 棒を 木の アカシヤの そして-被せた それらを 金で
H0905 H6086 H7848 H6823 H0853 H2091

またアカシヤ材のさおを造り、金でこれをおおい、

5 וַיַּ֣עַשׂ אֶת־הַבַּדִּ֗ים עֲצֵי֙ שִׁטִּ֔ים וַיְצַפֵּ֥ם זָהָ֖ב לָשֵׂ֥את אֶת־הָאָֽרֹן׃

そして-作った	木の	アカシヤの	そして-覆った	金で	担ぐ-ために	～を	箱の	～を
H6213	H6086	H7848	H6823	H2091	H5375	H0853	H0727	H0853

そのさおを箱の側面の環に通して、箱をかつぐようにした。

6 וַיַּ֣עַשׂ כַּפֹּ֣רֶת זָהָ֔ב טָה֖וֹר אַמָּתַ֣יִם וָחֵצִ֑י אָרְכָּֽהּ׃

そして-作った	贖いの-蓋を	金の	純粋な	二-キュビトと	そして-半の	長さの
H6213	H3727	H2091	H2889	H0520	H2677	H0753

וְאַמָּ֣ה וָחֵצִ֔י רָחְבָּֽהּ׃

そして-一-キュビトと	そして-半の	幅の
H0520	H2677	H7341

また純金で贖罪所を造った。長さは二キュビト半、幅は一キュビト半である。

7 וַיַּ֣עַשׂ שְׁנֵ֣י כְרֻבִ֗ים זָהָב֙ מִקְשָׁ֔ה עָשָׂ֖ה אֹתָ֑ם מִשְּׁנֵ֥י קְצ֖וֹת הַכַּפֹּֽרֶת׃

そして-作った	二つの	ケルビムを	金の	打ち物で	作った	それらを	二つの	端から	贖いの蓋の
H6213	H8147	H3742	H2091	H4749	H6213	H0853	H8147	H7098	H3727

また金で、二つのケルビムを造った。すなわち、これを打物造りとし、贖罪所の両端に置いた。

8 מִן־הַמִּזֶּ֥ה מִקְצָ֖ה אֶחָ֣ד וּכְרוּב־מִזֶּ֥ה מִקְצָ֖ה אֶחָ֑ד כְּרוּב־קְצוֹתָ֖יו׃ (קצוותו) מִשְּׁנֵ֥י הַכְּרֻבִ֛ים אֶת־עָשָׂ֥ה הַכַּפֹּֽרֶת׃

～から	あちらの	端に	一つを	そして-ケルビム	こちらの	端に	一つを	ケルビム	端から	端から	二つの	ケルビムを	～を	作った	贖いの蓋から
H4480	H2088	H7098	H0259	H3742	H2088	H7098	H0259	H3742	H7098	H7117	H8147	H3742	H0853	H6213	H3727

一つのケルブをこの端に、一つのケルブをかの端に置いた。すなわちケルビムを贖罪所の一部として、その両端に造った。

9 וַיִּהְי֣וּ הַכְּרֻבִים֮ פֹּרְשֵׂ֣י כְנָפַ֗יִם לְמַעְלָה֙ סֹכְכִ֣ים בְּכַנְפֵיהֶם֮ עַל־הַכַּפֹּ֒רֶת֒ וּפְנֵיהֶ֣ם אִ֣ישׁ אֶל־אָחִ֔יו אֶל־הַכַּפֹּ֖רֶת הָי֣וּ פְּנֵ֑י הַכְּרֻבִֽים׃ פ

そして-あった	ケルビムは	広げる-者で	翼を	上に	覆っていた	翼で	～の-上を	贖いの蓋の	そして-顔は	互いに	～に	向かい合って	～に	贖いの蓋に	向いていた	顔は
H1961	H3742	H6566	H3671	H4605		H3671		H3727	H6440	H0376	H0413	H0251	H0413	H3727	H1961	H6440

ケルビムは翼を高く伸べ、その翼で贖罪所をおおい、顔は互に向かい合った。すなわちケルビムの顔は贖罪所に向かっていた。

10 וַיַּ֣עַשׂ אֶת־הַשֻּׁלְחָ֗ן עֲצֵי֙ שִׁטִּ֔ים אַמָּתַ֥יִם אָרְכּ֖וֹ וְאַמָּ֣ה רָחְבּ֑וֹ וְאַמָּ֥ה וָחֵצִ֖י קֹמָתֽוֹ׃

そして-作った	～を	机を	木の	アカシヤの	二-キュビトの	長さの	そして-一-キュビトの	幅の	そして-一-キュビトと	そして-半の	高さの
H6213	H0853	H7979	H6086	H7848	H0520	H0753	H0520	H7341	H0520	H2677	H6967

またアカシヤ材で、机を造った。長さは二キュビト、幅は一キュビト、高さは一キュビト半である。

11 וַיִּצַף אֹתוֹ זָהָב טָהוֹר וַיַּעַשׂ לוֹ זֵר זָהָב סָבִיב׃
そして-被せた それを 金で 純粋な そして-作った それに 縁飾りを 金の 周囲に
H6823 H0853 H2091 H2889 H3335 H0853 H2213 H2091 H5439

純金でこれをおおい、その周囲に金の飾り縁を造った。

12 וַיַּעַשׂ לוֹ מִסְגֶּרֶת טֹפַח סָבִיב לְמִסְגַּרְתּוֹ זָהָב זֵר׃
そして-作った それに 枠を 一-手幅の 周囲に 枠の-ために 金の 縁飾りを
H6213 H0853 H4526 H2948 H5439 H4526 H2091 H2213

סָבִיב׃
周囲に
H5439

またその周囲に手幅の桟を造り、その周囲の桟に金の飾り縁を造った。

13 וַיִּצֹק לוֹ אַרְבַּע טַבְּעֹת זָהָב וַיִּתֵּן אֶת־הַטַּבָּעֹת עַל אַרְבַּע
そして-鋳造した それに 四つの 環を 金の 環を ～を そして-付けた ～の-上に 四つの
H3332 H0853 H0702 H2885 H2091 H5414 H0853 H2885 H0702

רַגְלָיו׃ לְאַרְבַּע אֲשֶׁר הַפֵּאָת
脚の 四つの それは 隅に
H7272 H0702 H0834 H6285

またこれがために金の環四つを鋳て、その四つの足のすみ四か所にその環を取りつけた。

14 לְעֻמַּת בָּתִּים לַבַּדִּים מִסְגֶּרֶת הַטַּבָּעֹת הָיוּ לְשֵׂאת אֶת־הַשֻּׁלְחָן׃
～に-接して 枠に 環は あった 担ぐ-ために ～を 机を
H5980 H4526 H2885 H1961 H5375 H0853 H7979

その環は桟のわきにあって、机をかつぐさおを入れる所とした。

15 וַיַּעַשׂ אֶת־הַבַּדִּים עֲצֵי שִׁטִּים וַיְצַף אֹתָם זָהָב לְשֵׂאת
そして-作った ～を 棒を 木の アカシヤの そして-被せた それらを 金で 担ぐ-ために
H6213 H0853 H0905 H6086 H7848 H6823 H0853 H2091 H5375

הַשֻּׁלְחָן׃ אֶת־
机を ～を
H7979 H0853

またアカシヤ材で、机をかつぐさおを造り、金でこれをおおった。

16 וַיַּעַשׂ אֶת־הַכֵּלִים אֲשֶׁר עַל־הַשֻּׁלְחָן אֶת־קְעָרֹתָיו וְאֶת־כַּפֹּתָיו
そして-作った ～を 器具を それは ～の-上の 机の ～を 皿と そして 匙と
H6213 H0853 H3627 H0834 H5921 H7979 H0853 H7086 H0853 H3709

וְאֶת־מְנַקִּיֹּתָיו אֲשֶׁר יֻסַּךְ בָּהֶן זָהָב זָהָב׃ טָהוֹר׃ פ
そして 杯と それは 注がれる それらで 金の 金の 純粋な
H0853 H4518 H0834 H5258 H2004 H2091 H2091 H2889

また机の上の器、すなわちその皿、乳香を盛る杯および灌祭を注ぐための鉢と瓶とを純金で造った。

17 וַיַּעַשׂ אֶת־הַמְּנֹרָה מִקְשָׁה זָהָב טָהוֹר יְרֵכָהּ הַמְּנֹרָה עָשָׂה אֶת־
そして-作った ～を 燭台を 打ち物で 金の 純粋な 台座と 燭台を 作った ～を
H6213 H0853 H4501 H4749 H2091 H2889 H3409 H4501 H6213 H0853

גְּבִיעֶיהָ כַּפְתֹּרֶיהָ וּפְרָחֶיהָ מִמֶּנָּה הָיוּ׃ וְקָנָהּ
杯と 節と そして-花を それから 出ていた そして-幹と
H1375 H3730 H6525 H4480 H1961 H7070

また純金の燭台を造った。すなわち打物造りで燭台を造り、その台、幹、萼、節、花を一つに連ねた。

18 וְשִׁשָּׁה קָנִים יֹצְאִים מִצִּדֶּיהָ שְׁלֹשָׁה קְנֵי מְנֹרָה מִצִּדָּהּ הָאֶחָד
そして-六つの 枝が 出ていた 両側から 三つの 枝が 燭台の 側面から 一方の
H8337 H7070 H3318 H6654 H7969 H7070 H4501 H6654 H0259

וּשְׁלֹשָׁה קְנֵי מְנֹרָה מִצִּדָּהּ הַשֵּׁנִי׃
そして-三つの 枝が 燭台の 側面から もう一方の
H7969 H7070 H4501 H6654 H8145

また六つの枝をそのわきから出させた。すなわち燭台の三つの枝をこの側から、燭台の三つの枝をかの側から出させた。

19 שְׁלֹשָׁה גְבִעִים מְשֻׁקָּדִים בַּקָּנֶה הָאֶחָד כַּפְתֹּר וָפֶרַח וּשְׁלֹשָׁה גְבִעִים
三つの 杯が アーモンド形の 枝に 一つの 節と そして-花が そして-三つの 杯が
H7969 H1375 H8246 H7070 H0259 H3730 H6525 H7969 H1375

מִן־ הַיֹּצְאִים הַקָּנִים לְשִׁשָּׁה כֵּן וָפֶרַח כַּפְתֹּר אֶחָד בְּקָנֶה מְשֻׁקָּדִים
〜から 出ている 枝に 六つの 同様に そして-花が 節と 一つの 枝に アーモンド形の
H3318 H7070 H8337 H6525 H3730 H0259 H7070 H8246

הַמְּנֹרָה׃
燭台から
H4501

あめんどうの花の形をした三つの萼が、節と花とをもって、この枝にあり、また、あめんどうの花の形をした三つの萼が、節と花とをもって、かの枝にあり、燭台から出る六つの枝をみなそのようにした。

20 וּבַמְּנֹרָה אַרְבָּעָה גְבִעִים מְשֻׁקָּדִים כַּפְתֹּרֶיהָ וּפְרָחֶיהָ׃
そして-燭台には 四つの 杯が アーモンド形の 節と そして-花が
H4501 H0702 H1375 H8246 H3730 H6525

また燭台の幹には、あめんどうの花の形をした四つの萼を、その節と花とをもたせて取りつけた。

21 וְכַפְתֹּר תַּחַת שְׁנֵי הַקָּנִים מִמֶּנָּה וְכַפְתֹּר תַּחַת שְׁנֵי הַקָּנִים מִמֶּנָּה וְכַפְתֹּר תַּחַת־ שְׁנֵי הַקָּנִים מִמֶּנָּה לְשִׁשֶּׁת הַקָּנִים הַיֹּצְאִים מִמֶּנָּה׃
そして-節が 下に 二つの 枝の そこから そして-節が 下に 二つの 枝の そこから そして-節が 下に 二つの 枝の そこから 六つの 枝の 出ている そこから
H3730 H8478 H8147 H7070 H3730 H8478 H8147 H7070 H3730 H8478 H8147 H7070 H8337 H7070 H3318 H4480

また二つの枝の下に一つの節を取りつけ、次の二つの枝の下に一つの節を取りつけ、さらに次の二つの枝の下に一つの節を取りつけ、燭台の幹から出る六つの枝に、みなそのようにした。

22 כַּפְתֹּרֵיהֶם וּקְנֹתָם מִמֶּנָּה הָיוּ כֻלָּה מִקְשָׁה אַחַת זָהָב טָהוֹר׃
節と そして-枝は そこから 出ていた すべて 打ち物で 一つの 金の 純粋な
H3730 H7070 H4480 H1961 H3605 H4749 H0259 H2091 H2889

それらの節と枝を一つに連ね、ことごとく純金の打物造りとした。

23 וַיַּעַשׂ אֶת־ נֵרֹתֶיהָ שִׁבְעָה וּמַלְקְחֶיהָ וּמַחְתֹּתֶיהָ זָהָב טָהוֹר׃
そして-作った 〜を ともしび皿を 七つの そして-芯切り-鋏と そして-火皿を 金の 純粋な
H6213 H0853 H5216 H7651 H4457 H4289 H2091 H2889

また、それのともしび皿七つと、その芯切りばさみと、芯取り皿とを純金で造った。

24 פ כִּכַּר זָהָב טָהוֹר עָשָׂה אֹתָהּ וְאֶת כָּל־ כֵּלֶיהָ׃
キカルの 金の 純粋な 作った それを そして すべての 器具を
H3603 H2091 H2889 H6213 H0853 H3605 H3627

すなわち純金一タラントをもって、燭台とそのすべての器とを造った。

25 וַיַּעַשׂ אֶת־מִזְבַּח הַקְּטֹרֶת עֲצֵי שִׁטִּים אַמָּה אָרְכּוֹ
そして-作った ～を 祭壇を 香の 木の アカシヤの 一-キュビトの 長さの
H6213 H0853 H4196 H7004 H6086 H7848 H0753

וְאַמָּתַיִם רָחְבּוֹ רִבּוּעַ יִהְיוּ מִמֶּנּוּ קַרְנֹתָיו׃
そして-二-キュビトの 正方形で 幅の そして-一-キュビトの 角が あった そこから 高さの
H1961 H6967 H7341 H7251

またアカシヤ材で香の祭壇を造った。長さ一キュビト、幅一キュビトの四角にし、高さ二キュビトで、これにその一部として角をつけた。

26 וַיְצַף אֹתוֹ זָהָב טָהוֹר אֶת־גַּגּוֹ וְאֶת־קִירֹתָיו סָבִיב וְאֶת־קַרְנֹתָיו
そして-被せた それを 金で 純粋な ～を 上面と そして-～を 壁と 周囲と そして-～を 角を
H6823 H0853 H2091 H2889 H0853 H1406 H0853 H7023 H5439 H0853

וַיַּעַשׂ לוֹ זֵר זָהָב סָבִיב׃
そして-作った それに 縁飾りを 金の 周囲に
H6213 H2213 H2091 H5439

そして、その頂、その周囲の側面、その角を純金でおおい、その周囲に金の飾り縁を造った。

27 וּשְׁתֵּי טַבְּעֹת זָהָב עָשָׂה־לוֹ וְלִזְרֹתָו מִתָּחַת לְצַלְעֹתָיו
そして-二つの 環を 金の 作った それに 下に 縁飾りの 側面に
H8147 H2885 H2091 H6213 H8478 H2213 H6763

שְׁתֵּי עַל לְבָתִּים לְבַדִּים לָשֵׂאת אֹתוֹ בָּהֶם׃
二つの ～の-上に 受け口として 棒の-ための 担ぐ-ために それを それらで
H8147 H5921 H0905 H0905 H5375 H0853

צְדָיו שְׁנֵי עַל
側に 両方の ～の-上に
H6654 H8147

また、その両側に、飾り縁の下に金の環二つを、そのために造った。すなわちその二つの側にこれを造った。これはそれをかつぐさおを通す所である。

28 וַיַּעַשׂ אֶת־הַבַּדִּים עֲצֵי שִׁטִּים וַיְצַף אֹתָם זָהָב׃
そして-作った ～を 棒を 木の アカシヤの そして-被せた それらを 金で
H6213 H0853 H0905 H6086 H7848 H6823 H0853 H2091

そのさおはアカシヤ材で造り、金でこれをおおった。

29 וַיַּעַשׂ אֶת־שֶׁמֶן הַמִּשְׁחָה קֹדֶשׁ וְאֶת־קְטֹרֶת סַמְּנֵי טָהוֹר מַעֲשֵׂה רֹקֵחַ׃
そして-作った ～を 油を 注ぎの 聖なる そして-～を 香を 香料の 純粋な 仕事の 調合者の
H6213 H0853 H8081 H4888 H6944 H0853 H7004 H5561 H2889 H4639 H7543

פ

また香料を造るわざにしたがって、聖なる注ぎ油と純粋の香料の薫香とを造った。

Chapter 38

1 וַיַּעַשׂ אֶת־מִזְבַּח הָעֹלָה עֲצֵי שִׁטִּים חָמֵשׁ אַמּוֹת אָרְכּוֹ וְחָמֵשׁ
そして-作った ～を 祭壇を 燔祭の 木の アカシヤの 五 キュビトの 長さの そして-五
H6213 H0853 H4196 H5930 H6086 H7848 H2568 H0520 H0753 H2568

אַמּוֹת רָחְבּוֹ רִבּוּעַ וְשָׁלֹשׁ אַמּוֹת קוֹמָתוֹ׃
キュビトの 幅の 正方形で そして-三 キュビトの 高さの
H0520 H7341 H7251 H7969 H0520 H6967

またアカシヤ材で燔祭の祭壇を造った。長さ五キュビト、幅五キュビトの四角で、高さは三キュビトである。

2 וַיַּעַשׂ קַרְנֹתָיו עַל אַרְבַּע פִּנֹּתָיו מִמֶּנּוּ הָיוּ קַרְנֹתָיו וַיְצַף אֹתוֹ נְחֹשֶׁת׃

וַיַּעַשׂ
そして-作った
H6213

קַרְנֹתָיו
角を
H7161

עַל
〜の-上に
H5921

אַרְבַּע
四つの
H0702

פִּנֹּתָיו
隅に
H6438

מִמֶּנּוּ
そこから
H4480

הָיוּ
あった
H1961

קַרְנֹתָיו
角は
H7161

וַיְצַף
そして-被せた
H6823

אֹתוֹ
それを
H0853

נְחֹשֶׁת׃
青銅で

その四すみの上に、その一部とし、それの角を造り、青銅で祭壇をおおった。

3 וַיַּעַשׂ אֶת־כָּל־כֵּלָיו הַמִּזְבֵּחַ אֶת־וְאֶת־הַסִּירֹת וְאֶת־הַיָּעִים

וַיַּעַשׂ
そして-作った
H6213

אֶת־
〜を
H0853

כָּל־
すべての
H3605

כֵּלָיו
器具を
H3627

הַמִּזְבֵּחַ
祭壇の
H4196

אֶת־
〜を
H0853

וְאֶת־
そして
H0853

הַסִּירֹת
壷と
H5518

וְאֶת־
そして
H0853

הַיָּעִים
シャベルと
H3257

הַמִּזְרָקֹת אֶת־וְאֶת־הַמִּזְלָגֹת וְאֶת־הַמַּחְתֹּת כָּל־כְּלֵיהֶם עָשָׂה נְחֹשֶׁת׃

הַמִּזְרָקֹת
鉢と
H4219

אֶת־
〜を
H0853

הַמִּזְלָגֹת
肉叉と
H4207

וְאֶת־
そして
H0853

הַמַּחְתֹּת
火皿を
H4289

כָּל־
すべての
H3605

כְּלֵיהֶם
器具を
H3627

עָשָׂה
作った
H6213

נְחֹשֶׁת׃
青銅で

また祭壇のもろもろの器、すなわち、つぼ、十能、鉢、肉叉、火皿を造った。そのすべての器を青銅で造った。

4 וַיַּעַשׂ לַמִּזְבֵּחַ מִכְבָּר מַעֲשֵׂה רֶשֶׁת נְחֹשֶׁת תַּחַת כַּרְכֻּבּוֹ מִלְמַטָּה עַד־חֲצִיוֹ׃

וַיַּעַשׂ
そして-作った
H6213

לַמִּזְבֵּחַ
祭壇の-ために
H4196

מִכְבָּר
格子を
H4345

מַעֲשֵׂה
仕事の
H4639

רֶשֶׁת
網の
H7568

נְחֹשֶׁת
青銅の
H5178

תַּחַת
下に
H8478

כַּרְכֻּבּוֹ
出張りの
H3749

מִלְמַטָּה
下から
H4295

עַד־
〜まで
H5704

חֲצִיוֹ׃
その-半分まで
H2677

また祭壇のために、青銅の網細工の格子を造り、これを祭壇の出張りの下に取りつけて、祭壇の高さの半ばに達するようにした。

5 וַיִּצֹק אַרְבַּע טַבָּעֹת בְּאַרְבַּע הַקְּצָוֹת לִמְכֹבָר הַנְּחֹשֶׁת בָּתִּים לַבַּדִּים׃

וַיִּצֹק
そして-鋳造した
H3332

אַרְבַּע
四つの
H0702

טַבָּעֹת
環を
H2885

בְּאַרְבַּע
四つの
H0702

הַקְּצָוֹת
端に
H7117

לִמְכֹבָר
格子の
H4345

הַנְּחֹשֶׁת
青銅の
H5178

בָּתִּים
受け口として

לַבַּדִּים׃
棒の-ための
H0905

また青銅の格子の四すみのために、環四つを鋳て、さおを通す所とした。

6 וַיַּעַשׂ אֶת־הַבַּדִּים עֲצֵי שִׁטִּים וַיְצַף אֹתָם נְחֹשֶׁת׃

וַיַּעַשׂ
そして-作った
H6213

אֶת־
〜を
H0853

הַבַּדִּים
棒を
H0905

עֲצֵי
木の
H6086

שִׁטִּים
アカシヤの
H7848

וַיְצַף
そして-被せた
H6823

אֹתָם
それらを
H0853

נְחֹשֶׁת׃
青銅で

アカシヤ材で、そのさおを造り、青銅でこれをおおい、

7 וַיָּבֵא אֶת־הַבַּדִּים בְּטַבָּעֹת עַל צַלְעֹת הַמִּזְבֵּחַ לָשֵׂאת אֹתוֹ נָבוּב בָּהֶם עָשָׂה אֹתוֹ׃ ס

וַיָּבֵא
そして-通した
H0935

אֶת־
〜を
H0853

הַבַּדִּים
棒を
H0905

בְּטַבָּעֹת
環に
H2885

עַל
〜の-上の
H5921

צַלְעֹת
側面の
H6763

הַמִּזְבֵּחַ
祭壇の
H4196

לָשֵׂאת
担ぐ-ために
H5375

אֹתוֹ
それを
H0853

נָבוּב
中空の
H5014

בָּהֶם
それらで

עָשָׂה
作った
H6213

אֹתוֹ׃
それを
H0853

ס

そのさおを祭壇の両側にある環に通して、それをかつぐようにした。祭壇は板をもって、空洞に造った。

8 וַיַּעַשׂ אֶת הַכִּיֹּר נְחֹשֶׁת וְאֶת כַּנּוֹ נְחֹשֶׁת בְּמַרְאֹת הַצֹּבְאֹת

וַיַּעַשׂ
そして-作った
H6213

אֶת
〜を
H0853

הַכִּיֹּר
洗盤を
H3595

נְחֹשֶׁת
青銅の
H5178

וְאֶת
そして
H0853

כַּנּוֹ
その-台を
H3653

נְחֹשֶׁת
青銅の
H5178

בְּמַרְאֹת
鏡で

הַצֹּבְאֹת
奉仕する-女たちの
H6633

פֶּתַח אֹהֶל מוֹעֵד׃ ס

אֲשֶׁר צָבְאוּ
その者たちは
H6633

פֶּתַח
入口で
H6607

אֹהֶל
天幕の
H0168

מוֹעֵד׃
会見の
H4150

ס

また洗盤と、その台を青銅で造った。すなわち会見の幕屋の入口で務をなす女たちの鏡をもって造った。

מֵאָה	מְשֹׁזָר	שֵׁשׁ	הֶחָצֵר׀	קַלְעֵי	תֵימָנָה	נֶגֶב	וּלְפֵאַת	הֶחָצֵר	אֶת־	וַיַּעַשׂ	9
百	撚りの	亜麻の	庭の	幕を	南方の	南の	側面の	庭を	～を	そして-作った	
H3967	H7806				H8486	H5045	H6285		H0853		

בָּאַמָּה׃
キュビトの

また庭を造った。その南側のために百キュビトの亜麻の撚糸の庭のあげばりを設けた。

כָּסֶף׃	וַחֲשֻׁקֵיהֶם	הָעַמֻּדִים	וָוֵי	נְחֹשֶׁת	עֶשְׂרִים	וְאַדְנֵיהֶם	עֶשְׂרִים	עַמּוּדֵיהֶם	10
銀の	そして-帯は	柱の	鉤は	青銅の	二十の	そして-台座は	二十で	柱は	
H3701	H2838	H5982	H2053		H6242	H0134	H6242	H5982	

その柱は二十、その柱の二十の座は青銅で、その柱の鉤と桁は銀とした。

נְחֹשֶׁת	עֶשְׂרִים	וְאַדְנֵיהֶם	עֶשְׂרִים	עַמּוּדֵיהֶם	בָּאַמָּה	מֵאָה	צָפוֹן׀	וְלִפְאַת	11
青銅の	二十の	そして-台座は	二十で	柱は	キュビトの	百	北の	そして-側面の	
	H6242	H0134	H6242	H5982		H3967	H6828	H6285	

כָּסֶף׃	וַחֲשֻׁקֵיהֶם	הָעַמֻּדִים	וָוֵי	
銀の	そして-帯は	柱の	鉤は	
H3701	H2838	H5982	H2053	

また北側のためにも百キュビトのあげばりを設けた。その柱二十、その柱の二十の座は青銅で、その柱の鉤と桁は銀とした。

עֶשְׂרֵה	וְאַדְנֵיהֶם	עֲשָׂרָה	עַמּוּדֵיהֶם	בָּאַמָּה	חֲמִשִּׁים	קַלְעִים׀	יָם	וְלִפְאַת־	12
十の	そして-台座は	十で	柱は	キュビトの	五十	幕は	西の	そして-側面の	
H6235	H0134	H6235	H5982		H2572		H3220	H6285	

כָּסֶף׃	וַחֲשׁוּקֵיהֶם	הָעַמֻּדִים	וָוֵי	
銀の	そして-帯は	柱の	鉤は	
H3701	H2838	H5982	H2053	

また西側のために、五十キュビトのあげばりを設けた。その柱は十、その座も十で、その柱の鉤と桁は銀とした。

אַמָּה׃	חֲמִשִּׁים	מִזְרָחָה	קֵדְמָה	וְלִפְאַת	13
キュビト	五十	日の-昇る方の	東の	そして-側面の	
	H2572	H4217		H6285	

また東側のためにも、五十キュビトのあげばりを設けた。

שְׁלֹשָׁה׃	וְאַדְנֵיהֶם	שְׁלֹשָׁה	עַמּוּדֵיהֶם	הַכָּתֵף	אֶל־	אַמָּה	עֶשְׂרֵה	חֲמֵשׁ־	קַלְעִים	14
三の	そして-台座は	三で	柱は	腋の	～の-方の	キュビトの	十五	十五	幕は	
H7969	H0134	H7969	H5982	H3802	H0413		H6240	H2568		

その一方に十五キュビトのあげばりを設けた。その柱は三つ、その座も三つ。

עֶשְׂרֵה	חָמֵשׁ	קַלְעִים	הֶחָצֵר	לְשַׁעַר	וּמִזֶּה׀	מִזֶּה	הַשֵּׁנִית	וְלַכָּתֵף	15
十五	十五	幕は	庭の	門の	そして-あちら側の	こちら側と	もう一方の	そして-腋の	
H6240	H2568			H8179	H2088	H2088	H8145	H3802	

שְׁלֹשָׁה׃	וְאַדְנֵיהֶם	שְׁלֹשָׁה	עַמּוּדֵיהֶם	אַמָּה
三の	そして-台座は	三で	柱は	キュビトの
H7969	H0134	H7969	H5982	

また他の一方にも、同じようにした。すなわち庭の門のこなたかなたともに、十五キュビトのあげばりを設けた。その柱は三つ、その座も三つ。

16 כָּל־ קַלְעֵי֙ הֶחָצֵ֔ר סָבִ֖יב שֵׁ֣שׁ מָשְׁזָֽר׃
すべての 幕は 庭の 周囲の 亜麻の 據りの
H3605 H7806 H5439

庭の周囲のあげばりはみな亜麻の撚糸である。

17 וְהָאֲדָנִ֣ים לָֽעַמֻּדִ֗ים נְחֹ֙שֶׁת֙ וָוֵ֣י הָעַמּוּדִ֔ים וַחֲשׁוּקֵיהֶ֖ם כֶּ֣סֶף וְצִפּ֤וּי רָאשֵׁיהֶם֙ כֶּ֔סֶף וְהֵ֛ם מְחֻשָּׁקִ֥ים כֶּ֖סֶף עַמֻּדֵ֣י הֶחָצֵ֑ר׃
そして–台座は 柱の–ための 青銅の 鉤は 柱の 銀の そして–帯は そして–覆いは 頭の
H0134 H5982 H5982 H2053 H5982 H3701 H2838 H6826
そして–それらは 結ばれていた 銀で すべての 柱は 庭の
H1992 H3701 H3605 H5982

柱の座は青銅、柱の鉤と桁とは銀、柱の頭のおおいも銀である。庭の柱はみな銀の桁で連ねた。

18 וּמָסַ֣ךְ שַׁ֣עַר הֶחָצֵר֮ מַעֲשֵׂ֣ה רֹקֵם֒ תְּכֵ֣לֶת וְאַרְגָּמָ֗ן וְתוֹלַ֙עַת֙ שָׁנִ֔י
そして–幕は 門の 仕事の 織り師の 青色と そして–紫色と そして–緋色の 糸と
H4539 H8179 H4639 H7551 H8504 H0713 H8144

וְשֵׁ֣שׁ מָשְׁזָ֔ר וְעֶשְׂרִ֥ים אַמָּ֖ה אֹ֣רֶךְ וְקוֹמָ֞ה בְּרֹ֤חַב חֲמֵ֙שׁ֙ אַמּ֣וֹת
そして–亜麻の 據りの そして–二十 キュビトの 長さの 高さは 幅の 五 キュビトの
H7806 H6242 H0753 H6967 H7341 H2568

לְעֻמַּ֖ת קַלְעֵ֥י הֶחָצֵֽר׃
合わせて 幕に 庭の
H5980

庭の門のとばりは青糸、紫糸、緋糸、亜麻の撚糸で、色とりどりに織ったものであった。長さは二十キュビト、幅なる高さは五キュビトで、庭のあげばりと等しかった。

19 וְעַמֻּדֵיהֶ֣ם אַרְבָּעָ֔ה וַאֲדָנֵיהֶ֖ם אַרְבָּעָ֑ה נְחֹ֙שֶׁת֙ וָוֵיהֶ֔ם כֶּ֣סֶף וְצִפּ֤וּי רָאשֵׁיהֶם֙ כֶּ֔סֶף וַחֲשֻׁקֵיהֶ֖ם כָּֽסֶף׃
そして–柱は 四つで 四つの 青銅の 鉤は 銀の そして–覆いは 頭の 銀の そして–帯は
H5982 H0702 H0702 H2838 H3701 H2053 H3701 H6826

その柱は四つ、その座も四つで、ともに青銅。その鉤は銀、柱の頭のおおいと桁は銀である。

20 וְכָל־ יִתְדֹּ֤ת לַמִּשְׁכָּן֙ וְלֶחָצֵ֔ר סָבִ֖יב נְחֹ֑שֶׁת׃ ס
そして–すべての 杭は 幕屋の–ための 庭の 周囲の 青銅の
H3605 H3489 H4908 H5439

ただし、幕屋および、その周囲の庭の釘はみな青銅であった。

21 אֵ֚לֶּה פְּקוּדֵ֣י הַמִּשְׁכָּ֔ן מִשְׁכַּ֖ן הָעֵדֻ֑ת אֲשֶׁ֣ר פֻּקַּ֗ד עַל־ פִּי֙ מֹשֶׁ֔ה עֲבֹדַ֥ת הַלְוִיִּ֖ם בְּיַ֣ד אִיתָמָ֑ר בֶּן־ אַהֲרֹ֖ן הַכֹּהֵֽן׃
これが 数えられた–ものである 幕屋の 幕屋の あかしの それは 数えられた ～の–命令で 口の
H0428 H4908 H4908 H5715 H0428 H6310
モーセの 奉仕は レビ人の 手により イタマルの 息子の アロンの 祢司の
H4872 H5656 H3881 H3027 H0385 H1121 H0175 H3548

幕屋、すなわちあかしの幕屋に用いた物の総計は次のとおりである。すなわちモーセの命に従い、祭司アロンの子イタマルがレビびとを用いて量ったものである。

22

כֹּל־ すべてを H3605 | אֵת ～を H0853 | עָשָׂה 作った | יְהוּדָה ユダの H3063 | לְמַטֵּה 部族の H4294 | חוּר フルの H2354 | בֶּן־ 息子の | אוּרִי ウリの H0221 | בֶּן־ 息子の | וּבְצַלְאֵל そして-ベツァルエルは H1212

אֲשֶׁר־ それは | צִוָּה 命じた H6680 | יְהוָה 主が H3068 | אֶת־ ～を H0853 | מֹשֶׁה׃ モーセに H4872

ユダの部族に属するホルの子なるウリの子ベザレルは、主がモーセに命じられた事をことごとくした。

23

וְחֹשֵׁב そして-織物師で H2803 | חָרָשׁ 彫刻師で H2796 | דָּן ダンの H1835 | לְמַטֵּה־ 部族の H4294 | אֲחִיסָמָךְ アヒサマクの H0294 | בֶּן־ 息子の | אָהֳלִיאָב オホリアブは H0171 | וְאִתּוֹ そして-彼と共に H0854

ס | וּבַשׁ׃ そして-亜麻の | הַשָּׁנִי 糸と H8144 | וּבְתוֹלַעַת そして-綻色の | וּבָאַרְגָּמָן そして-紫色と H0713 | בִּתְכֵלֶת 青色と H8504 | וְרֹקֵם そして-刺繍師で H7551

ダンの部族に属するアヒサマクの子アホリアブは彼と共にあって彫刻、浮き織をなし、また青糸、紫糸、緋糸、亜麻糸で、縫取りをする者であった。

24

זְהַב 金は H2091 | וַיְהִי そして-あった H1961 | הַקֹּדֶשׁ 聖所の H6944 | מְלֶאכֶת 仕事の H4399 | בְּכָל すべての H3605 | לִמְלָאכָה 仕事の-ために H4399 | הֶעָשׂוּי 使われた | הַזָּהָב 金は H2091 | כָּל־ すべての H3605

בְּשֶׁקֶל シェケルで H8255 | שֶׁקֶל シェケルで H8255 | וּשְׁלֹשִׁים そして-三十 H7970 | מֵאוֹת 七百 H3967 | וּשְׁבַע そして-七百 H7651 | כִּכָּר キカルと H3603 | וְעֶשְׂרִים そして-二十 H6242 | תֵּשַׁע 二十九 H8672 | הַתְּנוּפָה 奉納の H8573

הַקֹּדֶשׁ׃ 聖所の H6944

聖所のもろもろの工作に用いたすべての金、すなわち、ささげ物なる金は聖所のシケルで、二十九タラント七百三十シケルであった。

25

וַחֲמִשָּׁה そして-五 H2568 | מֵאוֹת 七百 H3967 | וּשְׁבַע そして-七百 H7651 | וְאֶלֶף׃ そして-千 H0505 | כִּכָּר キカルと H3603 | מְאַת 百 H3967 | הָעֵדָה 会衆の H5712 | פְּקוּדֵי 数えられた-者の | וְכֶסֶף そして-銀は H3701

הַקֹּדֶשׁ׃ 聖所の H6944 | בְּשֶׁקֶל シェケルで H8255 | שֶׁקֶל シェケルで H8255 | וְשִׁבְעִים そして-七十 H7657

会衆のうちの数えられた者のささげた銀は聖所のシケルで、百タラント千七百七十五シケルであった。

26

הָעֹבֵר 通り-過ぎた者の | לְכֹל すべての H3605 | הַקֹּדֶשׁ 聖所の H6944 | בְּשֶׁקֶל シェケルで H8255 | הַשֶּׁקֶל シェケルの H8255 | מַחֲצִית 半分の H4276 | לַגֻּלְגֹּלֶת 一人-あたり H1538 | בֶּקַע ベカで H1235

וּשְׁלֹשֶׁת そして-三 H7969 | אֶלֶף 千 H0505 | מֵאוֹת 万 H3967 | לְשֵׁשׁ־ 六十 H8337 | וָמַעְלָה そして-以上の H4605 | שָׁנָה 歳 H8141 | עֶשְׂרִים 二十 H6242 | מִבֶּן ～から | הַפְּקֻדִים 数えられた者の | עַל־ ～の-中の

וַחֲמִשִּׁים׃ そして-五十人 H2572 | מֵאוֹת 五百 H3967 | וַחֲמֵשׁ そして-五百 H2568 | אֲלָפִים 千 H0505

これはひとり当り一ベカ、すなわち聖所のシケルの半シケルであって、すべて二十歳以上で数えられた者が六十万三千五百五十人であったからである。

27 וַיְהִי מְאַת כִּכַּר הַכֶּסֶף לָצֶקֶת אֶת אַדְנֵי הַקֹּדֶשׁ וְאֶת אַדְנֵי הַפָּרֹכֶת מְאַת אֲדָנִים לִמְאַת הַכִּכָּר כִּכָּר לָאָדֶן׃
そして–あった 百 銀は 鋳造する–ために ～を 台座を 聖所の そして 台座を 百 幕の 台座–ごとに キカルが キカルで 百の 台座を 百 幕の 台座–ごとに キカルが
H1961 H3967 H3701 H3332 H0853 H0134 H6944 H0853 H0134 H3967 H6532 H0134 H3603 H3603 H3967 H0134 H3967 H6532 H0134 H3603

聖所の座と垂幕の座とを鋳るために用いた銀は百タラントであった。すなわち百座につき百タラント、一座につき一タラントである。

28 וְאֶת הָאֶלֶף וּשְׁבַע הַמֵּאוֹת וַחֲמִשָּׁה וְשִׁבְעִים עָשָׂה וָוִים לָעַמּוּדִים וְצִפָּה רָאשֵׁיהֶם וְחִשַּׁק אֹתָם׃
そして 千と そして–七百 七百の そして–五 そして–七十で 作った 鉤を 柱の–ための そして–結んだ 頭を そして–被せた それらを
H0853 H0505 H7651 H3967 H2568 H7657 H6213 H2053 H5982 H2836 H7218 H6823 H0853

また千七百七十五シケルで柱の鉤を造り、また柱の頭をおおい、柱のために桁を造った。

29 וּנְחֹשֶׁת הַתְּנוּפָה שִׁבְעִים כִּכָּר וְאַלְפַּיִם כִּכָּר וְאַרְבַּע מֵאוֹת שֶׁקֶל׃
そして–青銅は 奉納の 七十 キカルと そして–二千 キカルと 四百 シェケル
H5178 H8573 H7657 H3603 H0505 H3603 H0702 H3967 H8255

ささげ物なる青銅は七十タラント二千四百シケルであった。

30 וַיַּעַשׂ בָּהּ וְאֶת פֶּתַח אֹהֶל מוֹעֵד וְאֶת מִזְבַּח הַנְּחֹשֶׁת וְאֶת כָּל כְּלֵי הַמִּזְבֵּחַ׃
そして–作った それで 入口の 天幕の 会見の そして 祭壇を 青銅の そして 器具を すべての 祭壇の
H6213 H0853 H6607 H0168 H4150 H0853 H4196 H5178 H0853 H3627 H3605 H4196

これを用いて会見の幕屋の入口の座、青銅の祭壇と、それにつく青銅の格子、および祭壇のもろもろの器を造った。

31 וְאֶת אַדְנֵי הַחָצֵר סָבִיב וְאֶת אַדְנֵי שַׁעַר הֶחָצֵר וְאֶת כָּל יִתְדֹת הַמִּשְׁכָּן וְאֶת כָּל יִתְדֹת הֶחָצֵר סָבִיב׃
そして 台座を 庭の 周囲の そして 台座を 門の 庭の そして すべての 杭を 幕屋の そして すべての 杭を 庭の 周囲の
H0853 H0134 H2691 H5439 H0853 H0134 H8179 H2691 H0853 H3605 H3489 H4908 H0853 H3605 H3489 H2691 H5439

また庭の周囲の座、庭の門の座、および幕屋のもろもろの釘と、庭の周囲のもろもろの釘を造った。

Chapter 39

וּמִן־ הַתְּכֵלֶת וְהָאַרְגָּמָן וְתוֹלַעַת הַשָּׁנִי עָשׂוּ בִּגְדֵי־ שְׁרָד 1
そして-〜から 青色と そして-紫色と そして-綻色の 糸で 作った 衣服を 式典の
H8504 H0713 H8144

לְשָׁרֵת בַּקֹּדֶשׁ וַיַּעֲשׂוּ אֶת־ בִּגְדֵי הַקֹּדֶשׁ אֲשֶׁר לְאַהֲרֹן כַּאֲשֶׁר
仕える-ための 聖所で そして-作った 〜を 衣服を 聖なる それは アロンの-ための 〜の-通りに
H8334 H6944 H0853 H6944 H0175

פ ׃מֹשֶׁה אֶת־ יְהוָה צִוָּה
モーセに 〜を 主が 命じた
H4872 H0853 H3068 H6680

彼らは青糸、紫糸、緋糸で、聖所の務のための編物の服を作った。またアロンのために聖なる服を作った。主がモーセに命じられたとおりである。

וְשֵׁשׁ שְׁנִי וְתוֹלַעַת וְאַרְגָּמָן תְּכֵלֶת זָהָב הָאֵפֹד אֶת־ וַיַּעַשׂ 2
そして-亜麻の 糸と そして-綻色の そして-紫色と 青色と 金と エポデを 〜を そして-作った
H8144 H0713 H8504 H2091 H0646 H0853

׃מְשֻׂזָּר
据りの
H7806

また金糸、青糸、紫糸、緋糸、亜麻の撚糸でエポデを作った。

הַתְּכֵלֶת לַעֲשׂוֹת בְּתָוֶךְ פְּתִילִם וְקִצֵּץ הַזָּהָב פַּחֵי אֶת־ וַיְרַקְּעוּ 3
青色の 中に 作る-ために 糸に そして-切った 金の 薄板を 〜を そして-延べた
H8504 H8432 H6616 H7112 H2091 H0853 H7554

׃חֹשֵׁב מַעֲשֵׂה הַשֵּׁשׁ וּבְתוֹךְ הַשָּׁנִי תוֹלַעַת וּבְתוֹךְ הָאַרְגָּמָן וּבְתוֹךְ
織物師の 仕事の 亜麻の そして-中に 糸の 綻色の そして-中に 紫色の そして-中に
H2803 H4639 H8432 H8144 H8432 H0713 H8432

また金を打ち延べて板とし、これを切って糸とし、青糸、紫糸、緋糸、亜麻の撚糸に交えて、巧みな細工とした。

׃חֻבָּר)קְצוֹתָיו( ]קצוותן[שְׁנֵי עַל־ חֹבְרֹת לוֹ עָשׂוּ־ כְּתֵפֹת 4
つながれた 端に 端に 二つの 〜の-上に つなぐ-ものを それに 作った 肩当てを
H2266 H7098 H7117 H8147 H2266 H3802

また、これがために肩ひもを作ってこれにつけ、その両端でこれにつけた。

תְּכֵלֶת זָהָב כְּמַעֲשֵׂהוּ הוּא מִמֶּנּוּ עָלָיו אֲשֶׁר אֲפָדָתוֹ וְחֵשֶׁב 5
青色と 金と 同じ-仕事の 一体で そこから その-上に それは エポデの そして-帯は
H8504 H2091 H4639 H1931 H0642 H2805

אֶת־ יְהוָה צִוָּה כַּאֲשֶׁר מְשֻׁזָּר וְשֵׁשׁ שְׁנִי וְתוֹלַעַת וְאַרְגָּמָן
〜を 主が 命じた 〜の-通りに 据りの そして-亜麻の 糸と そして-綻色の そして-紫色と
H0853 H3068 H6680 H7806 H8144 H0713

׃מֹשֶׁה
モーセに
H4872

エポデの上で、これをつかねる帯は、同じきれで、同じように、金糸、青糸、紫糸、緋糸、亜麻の撚糸で作った。主がモーセに命じられたとおりである。

חוֹתָם פִּתּוּחֵי מְפֻתָּחֹת זָהָב מִשְׁבְּצֹת מְסַבֹּת הַשֹּׁהַם אַבְנֵי אֶת־ וַיַּעֲשׂוּ 6
印章の 彫りの 彫られた 金の 織り-枠の 囲まれた 縞瑪瑙の 石を 〜を そして-作った
H2368 H6603 H2091 H4865 H4142 H7718 H0068 H0853

׃יִשְׂרָאֵל בְּנֵי שְׁמֹת עַל־
イスラエルの 子たちの 名の 〜の-上に
H3478 H8034

また、縞めのうを細工して、金糸の編細工にはめ、これに印を彫刻するように、イスラエルの子たちの名を刻み、

7 וַיָּשֶׂם אֹתָם עַל כִּתְפֹת הָאֵפֹד אַבְנֵי זִכָּרֹון לִבְנֵי
そして-置いた それらを ～の-上に 肩当ての エポデの 石として 記念の 子たちの-ために
H7760 H0853 H5921 H3802 H0646 H0068 H2146

יִשְׂרָאֵל כַּאֲשֶׁר צִוָּה יְהוָה אֶת־מֹשֶׁה׃ פ
イスラエルの ～の-通りに 命じた 主が ～を モーセに
H3478 H3605 H6680 H3068 H0853 H4872

これをエポデの肩ひもにつけて、イスラエルの子たちの記念の石とした。主がモーセに命じられたとおりである。

8 וַיַּעַשׂ אֶת־הַחֹשֶׁן מַעֲשֵׂה חֹשֵׁב כְּמַעֲשֵׂה אֵפֹד זָהָב
そして-作った ～を 胸当てを 仕事の 織物師の 同じ-仕事の エポデの 金と
H6213 H0853 H2833 H4639 H2803 H4639 H0646 H2091

תְּכֵלֶת וְאַרְגָּמָן וְתוֹלַעַת שָׁנִי וְשֵׁשׁ מָשְׁזָר׃
青色と そして-紫色と そして-緋色の 糸と そして-亜麻の 據りの
H8504 H0713 H8144 H8144 H7806

また胸当を巧みなわざをもって、エポデの作りのように作った。すなわち金糸、青糸、紫糸、緋糸、亜麻の撚糸で作った。

9 רָבוּעַ הָיָה כָּפוּל יִעֲשׂוּ אֶת־הַחֹשֶׁן זֶרֶת אָרְכּוֹ וְזֶרֶת
正方形で あった 二重の 作った ～を 胸当てを 一-ゼレトの 長さの そして-一-ゼレトの
H7251 H1961 H3717 H6213 H0853 H2833 H2239 H0753 H2239

רָחְבּוֹ כָּפוּל׃
幅の 二重の
H7341 H3717

胸当は二つに折って四角にした。すなわち二つに折って、長さを一指当りとし、幅も一指当りとした。

10 וּמִלְאוּ־בוֹ אַרְבָּעָה טּוּרֵי אָבֶן טּוּר אֹדֶם פִּטְדָה וּבָרֶקֶת
そして-はめた その-中に 四つの 列の 石を 列は ルビーと トパーズと そして-エメラルドの
H4390 H0000 H0702 H2905 H0068 H2905 H0124 H6357 H1304

הַטּוּר הָאֶחָד׃
列が 第一の
H2905 H0259

その中に宝石四列をはめた。すなわち、紅玉髄、貴かんらん石、水晶の列を第一列とし、

11 וְהַטּוּר הַשֵּׁנִי נֹפֶךְ סַפִּיר וְיָהֲלֹם׃
そして-列の 第二の ターコイズと サファイアと そして-ダイヤモンド
H2905 H8145 H5306 H5601 H3095

第二列は、ざくろ石、るり、赤縞めのう、

12 וְהַטּוּר הַשְּׁלִישִׁי לֶשֶׁם שְׁבוֹ וְאַחְלָמָה׃
そして-列の 第三の ヒヤシンスと 瑪瑙と そして-アメジスト
H2905 H7992 H3958 H7618 H0306

第三列は黄水晶、めのう、紫水晶、

13 וְהַטּוּר הָרְבִיעִי תַּרְשִׁישׁ שֹׁהַם וְיָשְׁפֵה מוּסַבֹּת זָהָב מִשְׁבְּצוֹת בְּמִלּוּאָתָם׃
そして-列の 第四の 緑柱石と 縞瑪瑙と そして-碧玉 囲まれた 金の 織り-枠の はめ込みの
H2905 H7243 H8658 H7718 H3471 H4142 H2091 H4865 H4396

第四列は黄碧玉、縞めのう、碧玉であって、これらを金の編細工の中にはめ込んだ。

14 וְהָאֲבָנִים עַל־שְׁמֹת בְּנֵי־יִשְׂרָאֵל הֵנָּה שְׁתֵּים עֶשְׂרֵה עַל־שְׁמֹתָם פִּתּוּחֵי חוֹתָם אִישׁ עַל־שְׁמוֹ לִשְׁנֵים עָשָׂר שֵׁבֶט׃

そして-石は 名の 子たちの イスラエルの それらは 十二の 十二 ～の-上に 名の 彫りの 印章の それぞれ ～の-上に 名の 十二 十二の 部族の

H0068 H8034 H8034 H3478 H2007 H8147 H6240 H8034 H6603 H2368 H0376 H0413 H8034 H6240 H8147 H7626

その宝石はイスラエルの子たちの名にしたがい、その名と等しく十二とし、おのおの印の彫刻のように、十二部族のためにその名を刻んだ。

15 וַיַּעֲשׂוּ עַל־הַחֹשֶׁן שַׁרְשְׁרֹת גַּבְלֻת מַעֲשֵׂה עֲבֹת זָהָב טָהוֹר׃

そして-作った ～の-上に 胸当ての 鎖を 綱の 仕事の 網み-紐の 金の 純粋な

H6213 H0413 H2833 H8333 H1383 H4639 H5688 H2091 H2889

またひも細工にねじた純金のくさりを胸当につけた。

16 וַיַּעֲשׂוּ שְׁתֵּי מִשְׁבְּצֹת זָהָב וּשְׁתֵּי טַבְּעֹת זָהָב וַיִּתְּנוּ אֶת־שְׁתֵּי הַטַּבָּעֹת שְׁתֵּי קְצוֹת הַחֹשֶׁן׃

そして-作った 二つの 織り-枠を 金の 二つの そして-二つの 環を 金の そして-付けた ～を 二つの 環の 端に 胸当ての

H6213 H8147 H4865 H2091 H8147 H2885 H2091 H5414 H0853 H8147 H7098 H2833

また金の二つの編細工と、二つの金の環とを作り、その二つの環を胸当の両端につけた。

17 וַיִּתְּנוּ שְׁתֵּי הָעֲבֹתֹת הַזָּהָב עַל־שְׁתֵּי הַטַּבָּעֹת עַל־קְצוֹת הַחֹשֶׁן׃

そして-付けた 二つの 網み-紐を 金の ～の-上に 二つの 環に ～の-上の 端の 胸当ての

H5414 H8147 H5688 H2091 H0413 H8147 H2885 H0413 H7098 H2833

かの二筋の金のひもを胸当の端の二つの環につけた。

18 וְאֵת שְׁתֵּי קְצוֹת שְׁתֵּי הָעֲבֹתֹת נָתְנוּ עַל־שְׁתֵּי הַמִּשְׁבְּצֹת וַיִּתְּנֵם עַל־כְּתֵפֹת הָאֵפֹד מוּל פָּנָיו׃

そして 二つの 端を 二つの 網み-紐の 付けた ～の-上に 二つの 織り-枠に そして-付けた ～の-上に 肩当てに エポデの ～に 前の 面の

H0853 H8147 H7098 H8147 H5688 H5414 H0413 H8147 H4865 H5414 H0413 H3802 H0646 H0413 H4136 H6440

ただし、その二筋のひもの他の両端を、かの二つの編細工につけ、エポデの肩ひもにつけて前にくるようにした。

19 וַיַּעֲשׂוּ שְׁתֵּי טַבְּעֹת זָהָב וַיָּשִׂימוּ עַל־שְׁתֵּי קְצוֹת הַחֹשֶׁן עַל־שְׂפָתוֹ אֲשֶׁר אֶל־עֵבֶר הָאֵפֹד בָּיְתָה׃

そして-作った 二つの 環を 金の そして-置いた ～の-上に 二つの 端に 胸当ての 縁の それは ～に 側の エポデの 内側の

H6213 H8147 H2885 H2091 H7760 H0413 H8147 H7098 H2833 H8193 H0834 H0413 H5676 H0646

また二つの金の環を作って、これを胸当の両端につけた。すなわちエポデに接する内側の縁にこれをつけた。

20 וַיַּעֲשׂוּ שְׁתֵּי טַבְּעֹת זָהָב וַיִּתְּנֵם עַל־שְׁתֵּי כִתְפֹת הָאֵפֹד מִלְמַטָּה מִמּוּל פָּנָיו לְעֻמַּת מֶחְבַּרְתּוֹ מִמַּעַל לְחֵשֶׁב הָאֵפֹד׃

そして-作った 二つの 環を 金の そして-付けた ～の-上に 二つの 肩当てに エポデの 下に 前の 面の 接して 継ぎ目に 上に 帯の エポデの

H6213 H8147 H2885 H2091 H5414 H0413 H8147 H3802 H0646 H4295 H4136 H6440 H5980 H4225 H4605 H2805 H0646

また金の環二つを作って、これをエポデの二つの肩ひもの下の部分につけ、前の方で、そのつなぎ目に近く、エポデの帯の上の方にくるようにした。

21 וַיִּרְכְּסוּ֙ אֶת־ מִטַּבְּעֹתָ֣יו ׀ הַחֹ֗שֶׁן בְּפְתִ֤יל טַבְּעֹת֙ אֶל־ טַבְּעֹ֣ת הָאֵפֹ֔ד תְּכֵ֖לֶת
そして–結びつけた を〜 その–環から 胸当てを 〜に 環に エポデの 紐で 青色の
H7405 H0853 H2885 H2833 H0413 H2885 H0646 H6616 H8504

מֵעַ֣ל הַחֹ֔שֶׁן יִזַּ֖ח וְלֹא־ הָאֵפֹ֑ד יִפָּ֥רֵד וְלֹ֣א הָאֵפֹ֔ד מֵעַ֣ל לִהְיֹ֔ת
〜から 胸当てが ずれない そして–ない–ように エポデの 帯の 〜の–上に ある–ために
H2833 H2118 H3808 H0646 H2805 H5921 H1961

מֹשֶׁ֑ה׃ אֶת־ יְהוָ֖ה צִוָּ֥ה כַּאֲשֶׁ֛ר הָאֵפֹ֑ד
モーセに を〜 主が 命じた 〜の–通りに エポデから
H4872 H0853 H3068 H6680 H0646

胸当は青ひもをもって、その環をエポデの環に結びつけ、エポデの帯の上の方にくるようにした。こうして、胸当がエポデから離れないようにした。主がモーセに命じられたとおりである。

22 וַיַּ֣עַשׂ אֶת־ מְעִ֥יל הָאֵפֹ֖ד מַעֲשֵׂ֣ה אֹרֵ֑ג כְּלִ֥יל תְּכֵֽלֶת׃
そして–作った を〜 上着を エポデの 仕事の 織師の 全体が 青色の
H6213 H0853 H4598 H0646 H4639 H0707 H3632 H8504

またエポデに属する上服は、すべて青地の織物で作った。

23 וּפִי־ הַמְּעִ֔יל בְּתוֹכ֑וֹ כְּפִ֣י תַחְרָ֗א שָׂפָ֤ה לְפִיו֙ סָבִ֣יב לֹ֣א
そして–襲ぐりは 上着の その–中に 〜の–ように 鎧の 縁が 襲ぐりの 周囲に ない–ように
H6310 H4598 H8432 H6310 H8473 H8193 H6310 H5439 H3808

יִקָּרֵֽעַ׃
裂けない
H7167

上服の口はそのまん中にあって、その口の周囲には、よろいのえりのように縁をつけて、ほころびないようにした。

24 וַיַּעֲשׂוּ֙ עַל־ שׁוּלֵ֣י הַמְּעִ֔יל רִמֹּנֵ֖י תְּכֵ֣לֶת וְאַרְגָּמָ֣ן וְתוֹלַ֣עַת שָׁנִ֑י
そして–作った 〜の–上に 裾に 上着の ザクロを 青色と そして–紫色と そして–緋色 糸の
H6213 H5921 H7757 H4598 H7416 H8504 H0713 H8144

מָשְׁזָֽר׃
據りの
H7806

上服のすそには青糸、紫糸、緋糸、亜麻の撚糸で、ざくろを作りつけ、

25 וַיַּעֲשׂ֥וּ פַעֲמֹנֵ֖י זָהָ֣ב טָה֑וֹר וַיִּתְּנ֣וּ אֶת־ הַפַּעֲמֹנִ֗ים בְּתוֹךְ֙ הָרִמֹּנִ֔ים
そして–作った 鈴を 金の 純粋な そして–付けた を〜 鈴を 中に ザクロの
H6213 H6472 H2091 H2889 H5414 H0853 H6472 H8432 H7416

עַל־ שׁוּלֵ֣י הַמְּעִ֔יל סָבִ֣יב בְּתוֹךְ֙ הָרִמֹּנִ֑ים׃
〜の–上の 裾に 上着の 周囲に 中に ザクロの
H5921 H7757 H4598 H5439 H8432 H7416

また純金で鈴を作り、その鈴を上服のすその周囲の、ざくろとざくろとの間につけた。

26 פַּעֲמֹ֣ן וְרִמֹּ֔ן פַּעֲמֹ֣ן וְרִמֹּ֔ן לְשָׁרֵ֑ת סָבִ֣יב הַמְּעִ֔יל שׁוּלֵ֣י עַל־
鈴と そして–ザクロと 鈴と そして–ザクロが 仕える–ために 周囲に 上着の 裾に 〜の–上の
H6472 H7416 H6472 H7416 H8334 H5439 H4598 H7757 H5921

ס
׃ מֹשֶׁ֑ה אֶת־ יְהוָ֖ה צִוָּ֥ה כַּאֲשֶׁ֛ר
モーセに を〜 主が 命じた 〜の–通りに
H4872 H0853 H3068 H6680

すなわち鈴にざくろ、鈴にざくろと、務の上服のすその周囲につけた。主がモーセに命じられたとおりである。

27 וַיַּעֲשׂוּ אֶת־הַכְּתֹנֶת שֵׁשׁ מַעֲשֵׂה אֹרֶג לְאַהֲרֹן וּלְבָנָיו׃
そして-作った ～を 下着を 亜麻の 仕事の 織師の アロンの-ために そして-息子たちの
H0853 H3801 H4639 H0707 H0175

またアロンとその子たちのために、亜麻糸で織った下服を作り、

28 וְאֵת הַמִּצְנֶפֶת שֵׁשׁ וְאֶת־פַּאֲרֵי הַמִּגְבָּעֹת שֵׁשׁ וְאֶת־מִכְנְסֵי הַבָּד שֶׁשׁ מָשְׁזָר׃
そして かぶり物を 亜麻の そして 飾りを 帽子の 亜麻の そして 股引きを 亜麻布の 亜麻の 据りの
H0853 H4701 H8336 H0853 H6287 H4021 H8336 H0853 H4370 H0906 H8336 H7806

亜麻布で帽子を作り、亜麻布で麗しい頭布を作り、亜麻の撚糸の布で、下ばきを作り、

29 וְאֶת־הָאַבְנֵט שֵׁשׁ מָשְׁזָר וְתֹכֶלֶת וְאַרְגָּמָן וְתוֹלַעַת שָׁנִי מַעֲשֵׂה רֹקֵם כַּאֲשֶׁר צִוָּה יְהוָה אֶת־מֹשֶׁה׃ ס
そして 帯を 亜麻の 据りの そして-青色と そして-紫色と そして-緋色の 糸の 仕事の 刺繍師の ～の-通りに 命じた 主が ～を モーセに
H0853 H0073 H8336 H7806 H8504 H0713 H8144 H4639 H7551 H0834 H6680 H3068 H0853 H4872

亜麻の撚糸および青糸、紫糸、緋糸で、色とりどりに織った帯を作った。主がモーセに命じられたとおりである。

30 וַיַּעֲשׂוּ אֶת־צִיץ נֵזֶר הַקֹּדֶשׁ זָהָב טָהוֹר וַיִּכְתְּבוּ עָלָיו מִכְתַּב פִּתּוּחֵי חוֹתָם קֹדֶשׁ לַיהוָה׃
そして-作った ～を 花飾りを 冠の 聖なる 金の 純粋な そして-書いた その-上に 文字で 彫りの 印章の 聖なる 主に
H0853 H6731 H5145 H6944 H2091 H2889 H3789 H5921 H4385 H6603 H2368 H6944 H3068

また純金をもって、聖なる冠の前板を作り、印の彫刻のように、その上に「主に聖なる者」という文字を書き、

31 וַיִּתְּנוּ עָלָיו פְּתִיל תְּכֵלֶת לָתֶת עַל־הַמִּצְנֶפֶת מִלְמָעְלָה כַּאֲשֶׁר צִוָּה יְהוָה אֶת־מֹשֶׁה׃ ס
そして-付けた その-上に 紐を 青色の 置く-ために ～の-上に かぶり物の 上に ～の-通りに 命じた 主が ～を モーセに
H5414 H5921 H6616 H8504 H5414 H5921 H4701 H4605 H0834 H6680 H3068 H0853 H4872

これに青ひもをつけて、それを帽子の上に結びつけた。主がモーセに命じられたとおりである。

32 וַתֵּכֻל כָּל־עֲבֹדַת מִשְׁכַּן אֹהֶל מוֹעֵד וַיַּעֲשׂוּ בְּנֵי יִשְׂרָאֵל כְּכֹל אֲשֶׁר צִוָּה יְהוָה אֶת־מֹשֶׁה כֵּן עָשׂוּ׃ פ
そして-終わった すべての 仕事が 幕屋の 天幕の 会見の そして-行った 子たちは イスラエルの それは 命じた 主が ～を モーセに その-通りに 行った
H3615 H3605 H5656 H4908 H0168 H4150 H6213 H1121 H3478 H0834 H6680 H3068 H0853 H4872 H3651

こうして会見の天幕なる幕屋の、もろもろの工事が終った。イスラエルの人々はすべて主がモーセに命じられたようにおこなった。

33

כֵּלָיו	כָּל־	וְאֶת־	הָאֹהֶל	אֶת־	מֹשֶׁה	אֶל־	הַמִּשְׁכָּן	אֶת־	וַיָּבִיאוּ
器具と	すべての	そして	天幕と	～を	モーセに	～に	幕屋を	～を	そして-持って-来た
H3627	H3605	H0853	H0168	H0853	H4872	H0413	H4908	H0853	H0935

וְאַדָנָיו׃	וְעַמֻּדָיו	בְּרִיחָיו)	]בריחו[	קְרָשָׁיו	קְרָסָיו
そして-台座を	そして-柱と	横木と	横木と	板と	留め金と
H0134	H5982	H1280	H1280	H7175	H7165

彼らは幕屋と天幕およびそのもろもろの器をモーセのもとに携えてきた。すなわち、その鉤、その枠、その横木、その柱、その座、

34

פָּרֹכֶת	וְאֶת	הַתְּחָשִׁים	עֹרֹת	מִכְסֵה	וְאֶת־	הַמְאָדָּמִים	הָאֵילִם	עוֹרֹת	מִכְסֵה	וְאֶת־
幕を	そして	ジュゴンの	皮の	覆いを	そして	赤く-染めた	雄羊の	皮の	覆いを	そして
H6532	H0853	H8476	H5785	H4372	H0853	H0119		H5785	H4372	H0853

הַמָּסָךְ׃
仕切りの
H4539

あかね染めの雄羊の皮のおおい、じゅごんの皮のおおい、隔ての垂幕、

35

הַכַּפֹּרֶת׃	וְאֶת	בַּדָּיו	וְאֶת־	הָעֵדֻת	אֲרֹן	אֶת־
贖いの蓋を	そして	棒と	そして	あかしの	箱を	～を
H3727	H0853	H0905	H0853	H5715	H0727	H0853

あかしの箱と、そのさお、贖罪所、

36

הַפָּנִים׃	לֶחֶם	וְאֶת	כֵּלָיו	כָּל־	אֶת־	הַשֻּׁלְחָן	אֶת־
供えの	パンを	そして	器具と	すべての	～を	机と	～を
H6440	H3899	H0853	H3627	H3605	H0853	H7979	H0853

机と、そのもろもろの器、供えのパン、

37

כָּל־	וְאֶת־	הַמַּעֲרָכָה	נֵרֹתֶיהָ	נֵרֹת	הַטְּהֹרָה	אֶת־	הַמְּנֹרָה	אֶת־
すべての	そして	並べる-ものの	ともしび皿と	ともしび皿と	純粋な	～を	燭台と	～を
H3605	H0853	H4634			H2889	H0853	H4501	H0853

הַמָּאוֹר׃	שֶׁמֶן	וְאֶת	כֵּלֶיהָ
照明の	油を	そして	器具と
H3974	H8081	H0853	H3627

純金の燭台と、そのともしび皿、すなわち列に並べるともしび皿と、そのもろもろの器、およびそのともし油、

38

פֶּתַח	מָסַךְ	וְאֶת	הַסַּמִּים	קְטֹרֶת	וְאֶת	הַמִּשְׁחָה	שֶׁמֶן	וְאֶת	הַזָּהָב	מִזְבַּח	וְאֶת
入口の	幕と	そして	香料の	香と	そして	注ぎの	油と	そして	金の	祭壇と	そして
H6607	H4539	H0853	H5561	H7004	H0853		H8081	H0853	H2091	H4196	H0853

הָאֹהֶל׃
天幕の
H0168

金の祭壇、注ぎ油、香ばしい薫香、幕屋の入口のとばり、

39

כָּל־	וְאֶת־	בַּדָּיו	אֶת־	לּוֹ	אֲשֶׁר־	הַנְּחֹשֶׁת	מִכְבָּר	וְאֶת־	הַנְּחֹשֶׁת	מִזְבַּח	וְאֶת
すべての	そして	棒と	～を	その	それは	青銅の	格子と	そして	青銅の	祭壇と	～を
H3605	H0853	H0905	H0853				H4345	H0853		H4196	H0853

כַּנּוֹ׃	וְאֶת־	הַכִּיֹּר	אֶת־	כֵּלָיו
その-台を	そして	洗盤と	～を	器具と
H3653	H0853	H3595	H0853	H3627

青銅の祭壇、その青銅の格子と、そのさお、およびそのもろもろの器、洗盤とその台、

אֶת־	הֶחָצֵר	לְשַׁעַר	הַמָּסָךְ׀	וְאֶת־	אַדְנֶיהָ	וְאֶת־	עַמֻּדֶיהָ	אֶת־	הֶחָצֵר	קַלְעֵי	אֶת־	40
～を	庭の	門の	幕と	そして	台座と	そして	柱と	～を	庭の	幕と	～を	
H0853		H8179	H4539	H0853	H0134	H0853	H5982	H0853			H0853	

מוֹעֵד׃	לְאֹהֶל	הַמִּשְׁכָּן	עֲבֹדַת	כְּלֵי	כָּל־	וְאֵת	וִיתֵדֹתֶיהָ	מֵיתָרָיו
会見の	天幕の–ための	幕屋の	奉仕の	器具と	すべての	そして	そして–杭と	綱と
H4150	H0168	H4908	H5656	H3627	H3605	H0853	H3489	H4340

庭のあげばり、その柱とその座、庭の門のとばり、そのひもとその釘、また会見の天幕の幕屋に用いるもろもろの器、

הַכֹּהֵן	לְאַהֲרֹן	הַקֹּדֶשׁ	בִּגְדֵי	אֶת־	בַּקֹּדֶשׁ	לְשָׁרֵת	הַשָּׂרָד	בִּגְדֵי	אֶת־	41
祢司の	アロンの–ための	聖なる	衣服と	～を	聖所で	仕える–ための	式典の	衣服と	～を	
H3548	H0175	H6944		H0853	H6944	H8334	H8278		H0853	

לְכַהֵן׃	בָּנָיו	בִּגְדֵי	וְאֶת־
祢司として–仕えるための	息子たちの	衣服と	そして
H3547			H0853

聖所で務をなす編物の服、すなわち祭司の務をなすための祭司アロンの聖なる服およびその子たちの服。

									42
בְּנֵי	עָשׂוּ	כֵּן	מֹשֶׁה	אֶת־	יְהוָה	צִוָּה	אֲשֶׁר־	כְּכָל	
子たちは	行った	その–通りに	モーセに	～を	主が	命じた	それは	すべての–通りに	
			H4872	H0853	H3068	H6680		H3605	

הָעֲבֹדָה׃	כָּל־	אֶת	יִשְׂרָאֵל
仕事を	すべての	～を	イスラエルの
H5656	H3605	H0853	H3478

イスラエルの人々は、すべて主がモーセに命じられたように、そのすべての工事をした。

										43
כַּאֲשֶׁר	אֹתָהּ	עָשׂוּ	וְהִנֵּה	הַמְּלָאכָה	כָּל־	אֶת־	מֹשֶׁה	וַיַּרְא		
～の–通りに	それを	行った	そして–見よ	仕事を	すべての	～を	モーセは	そして–見た		
	H0853		H2009	H4399	H3605	H0853	H4872	H7200		

פ	מֹשֶׁה׃	אֹתָם	וַיְבָרֶךְ	עָשׂוּ	כֵּן	יְהוָה	צִוָּה
▯	モーセは	彼らを	そして–祝福した	行った	その–通りに	主が	命じた
	H4872	H0853	H1288			H3068	H6680

モーセがそのすべての工事を見ると、彼らは主が命じられたとおりに、それをなしとげていたので、モーセは彼らを祝福した。

Chapter 40

לֵאמֹר׃	מֹשֶׁה	אֶל־	יְהוָה	וַיְדַבֵּר	1
言って	モーセに	～に	主は	そして–語った	
H0559	H4872	H0413	H3068	H1696	

主はモーセに言われた。

מוֹעֵד׃	אֹהֶל	מִשְׁכַּן	אֶת־	תָּקִים	לַחֹדֶשׁ	בְּאֶחָד	הָרִאשׁוֹן	הַחֹדֶשׁ	בְּיוֹם־	2
会見の	天幕の	幕屋を	～を	建てなさい	月の	一日に	第一の	月の	日に	
H4150	H0168	H4908	H0853		H2320	H0259	H7223	H2320	H3117	

「正月の元日にあなたは会見の天幕なる幕屋を建てなければならない。

3 וְשַׂמְתָּ שָּׁם אֶת־אֲרֹן הָעֵדוּת וְסַכֹּתָ עַל־הָאָרֹן אֶת־
そして-置きなさい そこに 箱を あかしの そして-覆いなさい ～の-上を 箱の ～で
H8033 H0853 H0727 H5715 H0727 H0854

הַפָּרֹכֶת׃
幕で
H6532

そして、その中にあかしの箱を置き、垂幕で、箱を隔て隠し、

4 וְהֵבֵאתָ אֶת־הַשֻּׁלְחָן וְעָרַכְתָּ אֶת־עֶרְכּוֹ וְהֵבֵאתָ
そして-持ち込みなさい 机を ～を そして-並べなさい 供え物を ～を そして-持ち込みなさい
H0935 H7979 H0853 H6187 H0853 H0935

אֶת־הַמְּנֹרָה וְהַעֲלִיתָ אֶת־נֵרֹתֶיהָ׃
～を 燭台を そして-灯しなさい ～を ともしび皿を
H0853 H4501 H5927 H0853

また、机を携え入れ、それに並べるものを並べ、燭台を携え入れて、そのともしびをともさなければならない。

5 וְנָתַתָּה אֶת־מִזְבַּח הַזָּהָב לִקְטֹרֶת לִפְנֵי אֲרוֹן הָעֵדֻת וְשַׂמְתָּ
そして-置きなさい ～を 祭壇を 金の 香の-ための 前に 箱の あかしの そして-掛けなさい
H5414 H0853 H4196 H2091 H7004 H6440 H0727 H5715

אֶת־מָסַךְ הַפֶּתַח לְמִשְׁכָּן׃
～を 幕を 入口の 幕屋の
H0853 H4539 H6607 H4908

あなたはまた金の香の祭壇を、あかしの箱の前にすえ、とばりを幕屋の入口にかけなければならない。

6 וְנָתַתָּה אֶת מִזְבַּח הָעֹלָה לִפְנֵי פֶּתַח מִשְׁכַּן אֹהֶל־מוֹעֵד׃
そして-置きなさい ～を 祭壇を 燔祭の 前に 入口の 幕屋の 天幕の 会見の
H5414 H0853 H4196 H6440 H6607 H4908 H0168 H4150

また燔祭の祭壇を会見の天幕なる幕屋の入口の前にすえ、

7 וְנָתַתָּ אֶת־הַכִּיֹּר בֵּין־אֹהֶל מוֹעֵד וּבֵין הַמִּזְבֵּחַ וְנָתַתָּ
そして-置きなさい ～を 洗盤を 間に 天幕の 会見の そして-間に 祭壇の そして-入れなさい
H5414 H0853 H3595 H0996 H0168 H4150 H0996 H4196 H5414

שָּׁם מָיִם׃
そこに 水を
H8033 H4325

洗盤を会見の天幕と祭壇との間にすえて、これに水を入れなければならない。

8 וְשַׂמְתָּ אֶת־הֶחָצֵר סָבִיב לַמִּשְׁכָּן וְאֶת־הַמִּזְבֵּחַ וְנָתַתָּ אֶת־מָסַךְ שַׁעַר
そして-置きなさい ～を 庭を 周囲に 幕屋を そして ～を 祭壇を そして-掛けなさい ～を 幕を 門の
H5414 H0853 H2351 H5439 H4908 H0853 H4196 H5414 H0853 H4539 H8179

הֶחָצֵר׃
庭の

また周囲に庭を設け、庭の門にとばりをかけなければならない。

9 וְלָקַחְתָּ אֶת־שֶׁמֶן הַמִּשְׁחָה וּמָשַׁחְתָּ אֶת־הַמִּשְׁכָּן וְאֶת־כָּל־
そして-取りなさい ～を 油を 注ぎの そして-注ぎなさい ～を 幕屋を そして すべてを
H3947 H0853 H8081 H4886 H0853 H4908 H0853 H3605

אֲשֶׁר־בּוֹ וְקִדַּשְׁתָּ אֹתוֹ וְאֶת־כָּל־כֵּלָיו וְהָיָה קֹדֶשׁ׃
それは その-中の そして-聖別しなさい それを そして すべての 器具を そして-なる 聖いものに
H6942 H0853 H0853 H3605 H3627 H1961 H6944

そして注ぎ油をとって、幕屋とその中のすべてのものに注ぎ、それとそのもろもろの器とを聖別しなければならない、こうして、それは聖となるであろう。

10 וּמָשַׁחְתָּ֙ אֶת־ מִזְבַּ֣ח הָעֹלָ֔ה וְאֶת־ כָּל־ כֵּלָ֖יו וְכִיַּ֣רְתָּ אֶת־ הַכִּיֹּ֑ר וְאֶת־ כַּנּ֖וֹ וְקִדַּשְׁתָּ֥ אֹתָֽוֹ׃
〜を H0853 そして–注ぎなさい H4886 祭壇を H4196 燔祭の H0853 そして H0853 すべての H3605 器具を H3627 そして–聖別しなさい H6942 その–台を H3653
וְהָיָ֥ה הַמִּזְבֵּ֖חַ קֹ֣דֶשׁ קָדָשִׁ֑ים׃
そして–なる H1961 祭壇を H4196 聖なる H6944 祭壇は H4196 至聖の–ものに H6944

あなたはまた燔祭の祭壇と、そのすべての器に油を注いで、その祭壇を聖別しなければならない。こうして祭壇は、いと聖なるものとなるであろう。

11 וְאֶת־ הַכִּיֹּ֖ר וְאֶת־ כַּנּ֑וֹ וְקִדַּשְׁתָּ֖ אֹתֽוֹ׃
洗盤を H3595 そして H0853 その–台を H3653 そして–聖別しなさい H6942 それを H0853
וּמָשַׁחְתָּ֙ אֶת־
そして–注ぎなさい H4886 〜を H0853

また洗盤と、その台とに油を注いで、これを聖別し、

12 וְהִקְרַבְתָּ֙ אֶת־ אַהֲרֹ֣ן וְאֶת־ בָּנָ֔יו אֶל־ פֶּ֖תַח אֹ֣הֶל מוֹעֵ֑ד
そして–連れて–来なさい H7126 〜を H0853 アロンと H0175 そして H0853 息子たちを H1121 〜に H0413 入口に H6607 天幕の H0168 会見の H4150
וְרָחַצְתָּ֥ אֹתָ֖ם בַּמָּֽיִם׃
そして–洗いなさい H7364 彼らを H0853 水で H4325

アロンとその子たちを会見の幕屋の入口に連れてきて、水で彼らを洗い、

13 וְהִלְבַּשְׁתָּ֙ אֶת־ אַהֲרֹ֔ן אֶת־ בִּגְדֵ֖י הַקֹּ֑דֶשׁ וּמָשַׁחְתָּ֥ אֹת֖וֹ וְקִדַּשְׁתָּ֥ אֹתֽוֹ
〜を H0853 アロンに H0175 〜を H0854 衣服を H0899 聖なる H6944 そして–注ぎなさい H4886 彼を H0853 そして–聖別しなさい H6942
וְכִהֵ֥ן לִֽי׃
そして–祢司として–仕える H3547 私に

アロンに聖なる服を着せ、これに油を注いで聖別し、祭司の務をさせなければならない。

14 וְאֶת־ בָּנָ֖יו תַּקְרִ֑יב וְהִלְבַּשְׁתָּ֖ אֹתָ֥ם כֻּתֳּנֹֽת׃
そして H0853 息子たちを H1121 連れて–来なさい H7126 そして–着せなさい H3847 彼らに H0853 下着を H3801

また彼の子たちを連れてきて、これに服を着せ、

15 וּמָשַׁחְתָּ֙ אֹתָ֔ם כַּאֲשֶׁ֥ר מָשַׁ֖חְתָּ אֶת־ אֲבִיהֶ֑ם וְכִהֲנ֥וּ לִ֖י
彼らを H0853 〜の–通りに H3651 注いだ H4886 〜を H0853 父を H1 そして–祢司として–仕える H3547 私に
וְהָיְתָ֤ה לָהֶם֙ מָשְׁחָתָ֣ם לְכְהֻנַּ֔ת עוֹלָ֖ם לְדֹרֹתָֽם׃
そして–なる H1961 彼らに H0 注ぎが H4888 祢司職の–ための H3550 永遠の H5769 世代にわたって H1755

その父に油を注いだように、彼らにも油を注いで、祭司の務をさせなければならない。彼らが油そそがれることは、代々ながく祭司職のためになすべきことである」。

16 וַיַּעַשׂ מֹשֶׁה כְּכֹל אֲשֶׁר צִוָּה יְהוָה אֹתוֹ כֵּן עָשָׂה׃
そして-行った モーセは すべての-通りに それは 命じた 主が 彼に その-通りに 行った
H6213 H4872 H3605 H834 H6680 H3068 H853 H3651 H6213

ס

モーセはそのように行った。すなわち主が彼に命じられたように行った。

17 וַיְהִי בַּחֹדֶשׁ הָרִאשׁוֹן בַּשָּׁנָה הַשֵּׁנִית בְּאֶחָד לַחֹדֶשׁ הוּקַם הַמִּשְׁכָּן׃
そして-あった 月に 第一の 年の 第二の 一日に 月の 建てられた 幕屋が
H1961 H2320 H7223 H8141 H8145 H0259 H2320 H6965 H4908

第二年の正月になって、その月の元日に幕屋は建った。

18 וַיָּקֶם מֹשֶׁה אֶת־אֲדָנָיו וַיִּתֵּן אֶת־קְרָשָׁיו וַיָּשֶׂם אֶת־בְּרִיחָיו וַיָּקֶם אֶת־עַמּוּדָיו׃
そして-建てた モーセは ～を 幕屋を そして-置いた ～を 台座を そして-置いた ～を 柱を
H6965 H4872 H853 H4908 H5414 H853 H0134 H7760 H853 H5982

すなわちモーセは幕屋を建て、その座をすえ、その枠を立て、その横木をさし込み、その柱を立て、

19 וַיִּפְרֹשׂ אֶת־הָאֹהֶל עַל־הַמִּשְׁכָּן וַיָּשֶׂם אֶת־מִכְסֵה הָאֹהֶל מִלְמָעְלָה עָלָיו כַּאֲשֶׁר צִוָּה יְהוָה אֶת־מֹשֶׁה׃ ס
そして-広げた ～を 天幕を ～の-上に 幕屋の そして-置いた ～を 覆いを 天幕の 上に その-上に ～の-通りに 命じた 主が ～を モーセに
H6566 H853 H0168 H5921 H4908 H7760 H853 H4372 H0168 H4605 H5921 H834 H6680 H3068 H853 H4872 H5765

幕屋の上に天幕をひろげ、その上に天幕のおおいをかけた。主がモーセに命じられたとおりである。

20 וַיִּקַּח וַיִּתֵּן אֶת־הָעֵדֻת אֶל־הָאָרֹן וַיָּשֶׂם אֶת־הַבַּדִּים עַל־הָאָרֹן וַיִּתֵּן אֶת־הַכַּפֹּרֶת עַל־הָאָרֹן מִלְמָעְלָה׃
そして-取った そして-入れた ～を あかしを ～に 箱に そして-置いた ～を 棒を ～の-上に 箱の そして-置いた ～を 贖いの蓋を ～の-上に 箱の 上に
H3947 H5414 H853 H5715 H413 H727 H7760 H853 H905 H5921 H727 H5414 H853 H3727 H5921 H727 H4605

彼はまたあかしの板をとって箱に納め、さおを箱につけ、贖罪所を箱の上に置き、

21 וַיָּבֵא אֶת־הָאָרֹן וַיָּשֶׂם אֶת־הַמָּסָךְ פָּרֹכֶת וַיָּסֶךְ עַל אֲרוֹן הָעֵדֻת כַּאֲשֶׁר צִוָּה יְהוָה אֶת־מֹשֶׁה׃ ס
そして-運んだ ～を 箱を ～に 幕屋に そして-掛けた 幕を 仕切りの ～を 箱の あかしの ～の-上を そして-覆った ～を 主が 命じた ～の-通りに モーセに
H0935 H853 H727 H413 H4908 H7760 H853 H6532 H4539 H5921 H727 H5715 H5921 H5526 H853 H3068 H6680 H834 H853 H4872 H5765

箱を幕屋に携え入れ、隔ての垂幕をかけて、あかしの箱を隠した。主がモーセに命じられたとおりである。

22 וַיִּתֵּן אֶת־הַשֻּׁלְחָן בְּאֹהֶל מוֹעֵד עַל יֶרֶךְ מִחוּץ צָפְנָה לַמִּשְׁכָּן׃
そして-置いた ～を 机を 天幕に 会見の ～の-上に 側の 外側に 北側の 幕屋の
H5414 H853 H7979 H0168 H4150 H5921 H3409 H2351 H6828 H4908

לַפָּרֹכֶת׃
幕の
H6532

彼はまた会見の天幕なる幕屋の内部の北側、垂幕の外に机をすえ、

אֶת־	יְהוָה	צִוָּה	כַּאֲשֶׁר	יְהוָה	לִפְנֵי	לֶחֶם	עֶרֶךְ	עָלָיו	וַיַּעֲרֹךְ	23
～を	主が	命じた	～の–通りに	主の	前に	パンを	供え物の	その–上に	そして–並べた	
H0853	H3068	H6680		H3068	H6440	H3899	H6187			

ס		
׃	מֹשֶׁה	
	モーセに	
	H4872	

その上にパンを列に並べて、主の前に供えた。主がモーセに命じられたとおりである。

הַמִּשְׁכָּן	יֶרֶךְ	עַל	הַשֻּׁלְחָן	נֹכַח	מוֹעֵד	בְּאֹהֶל	הַמְּנֹרָה	אֶת־	וַיָּשֶׂם	24
幕屋の	側の	～の–上に	机の	向かいに	会見の	天幕に	燭台を	～を	そして–置いた	
H4908	H3409		H7979	H5227	H4150	H0168	H4501	H0853		

נֶגְבָּה׃	
南側の	
H5045	

彼はまた会見の天幕なる幕屋の内部の南側に、机にむかい合わせて燭台をすえ、

ס	מֹשֶׁה׃	אֶת־	יְהוָה	צִוָּה	כַּאֲשֶׁר	יְהוָה	לִפְנֵי	הַנֵּרֹת	וַיַּעַל	25
׃	モーセに	～を	主が	命じた	～の–通りに	主の	前に	ともしび皿を	そして–灯した	
	H4872	H0853	H3068	H6680		H3068	H6440		H5927	

主の前にともしびをともした。主がモーセに命じられたとおりである。

הַפָּרֹכֶת׃	לִפְנֵי	מוֹעֵד	בְּאֹהֶל	הַזָּהָב	מִזְבַּח	אֶת־	וַיָּשֶׂם	26
幕の	前に	会見の	天幕に	金の	祭壇を	～を	そして–置いた	
H6532	H6440	H4150	H0168	H2091	H4196	H0853		

彼は会見の幕屋の中、垂幕の前に金の祭壇をすえ、

פ	מֹשֶׁה׃	אֶת־	יְהוָה	צִוָּה	כַּאֲשֶׁר	סַמִּים	קְטֹרֶת	עָלָיו	וַיַּקְטֵר	27
׃	モーセに	～を	主が	命じた	～の–通りに	香料の	香を	その–上で	そして–焚いた	
	H4872	H0853	H3068	H6680		H5561	H7004			

その上に香ばしい薫香をたいた。主がモーセに命じられたとおりである。

לַמִּשְׁכָּן׃	הַפֶּתַח	מָסַךְ	אֶת־	וַיָּשֶׂם	28
幕屋の	入口の	幕を	～を	そして–掛けた	
H4908	H6607	H4539	H0853		

彼はまた幕屋の入口にとばりをかけ、

אֶת־	עָלָיו	וַיַּעַל	מוֹעֵד	אֹהֶל־	מִשְׁכַּן	פֶּתַח	שָׂם	הָעֹלָה	מִזְבַּח	וְאֵת	29
～を	その–上に	そして–摺げた	会見の	天幕の	幕屋の	入口に	置いた	燔祭の	祭壇を	そして	
H0853		H5927	H4150	H0168	H4908	H6607			H4196	H0853	

ס	מֹשֶׁה׃	אֶת־	יְהוָה	צִוָּה	כַּאֲשֶׁר	הַמִּנְחָה	וְאֶת־	הָעֹלָה
׃	モーセに	～を	主が	命じた	～の–通りに	穀物の–供え物を	そして	燔祭と
	H4872	H0853	H3068	H6680		H4503	H0853	

燔祭の祭壇を会見の天幕なる幕屋の入口にすえ、その上に燔祭と素祭をささげた。主がモーセに命じられたとおりである。

30 וַיָּ֤שֶׂם אֶת־הַכִּיֹּר֙ בֵּין־אֹ֣הֶל מוֹעֵ֔ד וּבֵ֖ין הַמִּזְבֵּ֑חַ וַיִּתֵּ֥ן שָׁ֛מָּה מַ֖יִם לְרָחְצָֽה׃

そして-置いた	を	洗盤を	間に	天幕の	会見の	そして-間に	祭壇の	そして-入れた	そこに
H7364	H0853	H3595	H0996	H0168	H4150	H0996	H4196	H5414	H8033

水を	洗う-ために
H4325	H7364

彼はまた会見の天幕と祭壇との間に洗盤を置き、洗うためにそれに水を入れた。

31 וְרָחֲצ֣וּ מִמֶּ֗נּוּ מֹשֶׁה֙ וְאַהֲרֹ֣ן וּבָנָ֔יו אֶת־יְדֵיהֶ֖ם וְאֶת־רַגְלֵיהֶֽם׃

そして-洗った	そこから	モーセと	そして-アロンと	そして-息子たちが	を	手と	そして	
H7364	H4872	H0175	H0996	H0853	H3027	H0853		

足を
H7272

モーセとアロンおよびその子たちは、それで手と足を洗った。

32 בְּבֹאָ֞ם אֶל־אֹ֣הֶל מוֹעֵ֗ד וּבְקָרְבָתָם֙ אֶל־הַמִּזְבֵּ֔חַ יִרְחָ֑צוּ כַּאֲשֶׁ֥ר צִוָּ֖ה יְהוָ֥ה אֶת־מֹשֶֽׁה׃ ס

入る-ときに		天幕に	会見の	そして-近づく-ときに		祭壇に	洗った		～の-通りに
H0935	H0413	H0168	H4150	H7126	H0413	H4196	H7364		

命じた	主が	を	モーセに	
H6680	H3068	H0853	H4872	

すなわち会見の天幕にはいるとき、また祭壇に近づくとき、そこで洗った。主がモーセに命じられたとおりである。

33 וַיָּ֤קֶם אֶת־הֶחָצֵר֙ סָבִ֣יב לַמִּשְׁכָּ֔ן וְלַמִּזְבֵּ֖חַ וַיִּתֵּ֣ן אֶת־מָסַ֣ךְ שַׁ֣עַר הֶחָצֵ֑ר וַיְכַ֣ל מֹשֶׁ֔ה אֶת־הַמְּלָאכָ֖ה פ

建てた	そして-終えた	モーセは	を	仕事を		庭の	門の	幕を	
H6213	H3615	H4872	H0853	H4399		H2691	H8179	H4539	

そして-掛けた	を	祭壇の	そして-～に	幕屋の	周囲に	庭を	を	そして-建てた	
H5414	H0853	H4196		H4908	H5439	H2691	H0853		

また幕屋と祭壇の周囲に庭を設け、庭の門にとばりをかけた。このようにしてモーセはその工事を終えた。

34 וַיְכַ֤ס הֶֽעָנָן֙ אֶת־אֹ֣הֶל מוֹעֵ֔ד וּכְבוֹד֙ יְהוָ֔ה מָלֵ֖א אֶת־הַמִּשְׁכָּֽן׃

そして-覆った	雲が	を	天幕を	会見の	そして-栄光が	主の	満たした	を	幕屋を
H3680	H6051	H0853	H0168	H4150	H3519	H3068	H4390	H0853	H4908

そのとき、雲は会見の天幕をおおい、主の栄光が幕屋に満ちた。

35 וְלֹא־יָכֹ֤ל מֹשֶׁה֙ לָבוֹא֙ אֶל־אֹ֣הֶל מוֹעֵ֔ד כִּֽי־שָׁכַ֥ן עָלָ֖יו הֶֽעָנָ֑ן וּכְבוֹד֙ יְהוָ֔ה מָלֵ֖א אֶת־הַמִּשְׁכָּֽן׃

そして-ない-できた		モーセは	入る-ことが	～に	天幕に	会見の	なぜなら				
H3808	H3201	H4872	H0935	H0413	H0168	H4150					

宿っていた	その-上に	雲が	そして-栄光が	主の	満たしていた	を	幕屋を	
H7931	H5921	H6051	H3519	H3068	H4390	H0853	H4908	

モーセは会見の幕屋に、はいることができなかった。雲がその上にとどまり、主の栄光が幕屋に満ちていたからである。

36

וּבְהֵעָלוֹת	הֶעָנָן	מֵעַל	הַמִּשְׁכָּן	יִסְעוּ	בְּנֵי	יִשְׂרָאֵל	בְּכֹל
そして–上がる–とき	雲が	～から	幕屋から	出発した	子たちは	イスラエルの	すべての
H5927	H6051		H4908	H5265		H3478	H3605

מַסְעֵיהֶם׃
旅の–中で
H4550

雲が幕屋の上からのぼる時、イスラエルの人々は道に進んだ。彼らはその旅路において常にそうした。

37

וְאִם־	לֹא	יֵעָלֶה	הֶעָנָן	וְלֹא	יִסְעוּ	עַד־	יוֹם	הֵעָלֹתוֹ׃
そして–もし	ない–なら	上がらない	雲が	そして–ない	出発しない	～まで	日まで	上がる–その
	H3808	H5927	H6051	H3808	H5265	H5704	H3117	H5927

しかし、雲がのぼらない時は、そののぼる日まで道に進まなかった。

38

כִּי	עֲנַן	יְהוָה	עַל־	הַמִּשְׁכָּן	יוֹמָם	וְאֵשׁ	תִּהְיֶה	בַלָּיְלָה	בּוֹ
なぜなら	雲が	主の	～の–上に	幕屋の	昼に	そして–火が	あった	夜に	その–中に
	H6051	H3068		H4908	H3119	H0784	H1961	H3915	

מַסְעֵיהֶם׃	בְּכָל־	יִשְׂרָאֵל	בֵּית־	כָּל־
旅の–中で	すべての	イスラエルの	家の	すべての
H4550	H3605	H3478		H3605

すなわちイスラエルの家のすべての者の前に、昼は幕屋の上に主の雲があり、夜は雲の中に火があった。彼らの旅路において常にそうであった。

Leviticus

Chapter 1

1 וַיִּקְרָא אֶל־ מֹשֶׁה וַיְדַבֵּר יְהוָה אֵלָיו מֵאֹהֶל מוֹעֵד לֵאמֹר׃
そして–呼ばれた に モーシェ 語られた そして–主 彼に から–幕屋の 会見の 言って
H7121 H0413 H4872 H1696 H3068 H0413 H0168 H4150 H0559

主はモーセを呼び、会見の幕屋からこれに告げて言われた、

2 דַּבֵּר אֶל־ בְּנֵי יִשְׂרָאֵל וְאָמַרְתָּ אֲלֵהֶם אָדָם כִּי־ יַקְרִיב מִכֶּם קָרְבָּן לַיהוָה מִן־ הַבְּהֵמָה מִן־ הַבָּקָר וּמִן־ הַצֹּאן תַּקְרִיבוּ אֶת־ קָרְבַּנְכֶם׃
語りなさい に 子らに イスラエルの そして–言いなさい 彼らに 人が もし 捧げるなら
H1696 H0413 H1121 H3478 H0559 H0413 H0120 H3588 H7126

あなたがたの–中から 捧げ物を から 主に から 家畜の–中から から 牛の–群れから また–から
H4480 H7133 H3068 H4480 H0929 H4480 H1241 H4480

あなたがたの–捧げ物を を 捧げなければならない 羊の–群れから
H7133 H0853 H7126 H6629

「イスラエルの人々に言いなさい、『あなたがたのうちだれでも家畜の供え物を主にささげるときは、牛または羊を供え物としてささげなければならない。

3 אִם־ עֹלָה קָרְבָּנוֹ מִן־ הַבָּקָר הַבָּקָר זָכָר תָּמִים יַקְרִיבֶנּוּ אֶל־ פֶּתַח אֹהֶל מוֹעֵד לִרְצֹנוֹ לִפְנֵי יְהוָה׃
もし 全焼の–捧げ物が 彼の–捧げ物で から 牛の–群れからなら 雄で 傷の–ないものを
H0518 H5930 H7133 H4480 H1241 H2145 H8549

それを 捧げなければならない 会見の 幕屋の 入り口の に 捧げなければならない
H0853 H7126 H4150 H0168 H6607 H0413 H7126

主の 御前で 受け入れられるために
H3068 H6440 H7522

もしその供え物が牛の燔祭であるならば、雄牛の全きものをささげなければならない。会見の幕屋の入口で、主の前に受け入れられるように、これをささげなければならない。

4 וְסָמַךְ יָדוֹ עַל רֹאשׁ הָעֹלָה וְנִרְצָה לוֹ לְכַפֵּר עָלָיו׃
そして–置く 手を の–上に 頭の 全焼の–捧げ物の そして–受け入れられる 彼の–ために
H5564 H3027

彼の–ために 贖うために

彼はその燔祭の獣の頭に手を置かなければならない。そうすれば受け入れられて、彼のためにあがないとなるであろう。

5 וְשָׁחַט אֶת־ בֶּן הַבָּקָר לִפְנֵי יְהוָה וְהִקְרִיבוּ בְּנֵי אַהֲרֹן
そして-屠る を 若い-雄牛を 牛の-群れの 御前で 主の そして-捧げる 子らが アハロンの
H0853 H1241 H6440 H3068 H7126 H0175

הַכֹּהֲנִים אֶת־ הַדָּם וְזָרְקוּ אֶת־ הַמִּזְבֵּחַ סָּבִיב אֲשֶׁר־
祭司たちが を 血を そして-振りかける を 血を の-上に 祭壇の 周りに そこは
H3548 H0853 H1818 H2236 H0853 H1818 H5439 H4196

פֶּתַח אֹהֶל מוֹעֵד׃
入り口の 幕屋の 会見の
H6607 H0168 H4150

彼は主の前でその子牛をほふり、アロンの子なる祭司たちは、その血を携えてきて、会見の幕屋の入口にある祭壇の周囲に、その血を注ぎかけなければならない。

6 וְהִפְשִׁיט אֶת־ הָעֹלָה וְנִתַּח אֹתָהּ לְנְתָחֶיהָ׃
そして-皮を-剥ぎ を 全焼の-捧げ物の そして-切り分ける それを その-各部に
H6584 H0853 H5408 H0853 H5409

彼はまたその燔祭の獣の皮をはぎ、節々に切り分かたなければならない。

7 וְנָתְנוּ בְּנֵי אַהֲרֹן הַכֹּהֵן אֵשׁ עַל־ הַמִּזְבֵּחַ וְעָרְכוּ עֵצִים עַל־
そして-置く 子らが アハロンの 祭司の 火を の-上に 祭壇の そして-並べる 薪を の-上に
H5414 H0175 H3548 H0784 H6086

הָאֵשׁ׃
火の
H0784

祭司アロンの子たちは祭壇の上に火を置き、その火の上にたきぎを並べ、

8 וְעָרְכוּ בְּנֵי אַהֲרֹן הַכֹּהֲנִים אֶת־ הַנְּתָחִים אֶת־ הָרֹאשׁ וְאֶת־
そして-並べる 子らが アハロンの 祭司たちが を 切り分けた-肉を と 頭と そして
H0853 H0853 H5409 H0853 H3548 H0175

הַמִּזְבֵּחַ׃ עַל־ אֲשֶׁר הָאֵשׁ עַל־ אֲשֶׁר הָעֵצִים עַל־ הַפָּדֶר
祭壇の の-上にある それは 火の の-上にある それは 薪の の-上に 脂肪を
H4196 H0784 H6086 H6309

アロンの子なる祭司たちはその切り分けたものを、頭および脂肪と共に、祭壇の上にある火の上のたきぎの上に並べなければならない。

9 וְקִרְבּוֹ וּכְרָעָיו יִרְחַץ בַּמָּיִם וְהִקְטִיר הַכֹּהֵן אֶת־ הַכֹּל
そして-内臓と そして-足を 洗う 水で そして-焼いて-煙にする 祭司が を すべてを
H7130 H3767 H7364 H4325 H6548 H3548 H0853 H3605

הַמִּזְבֵּחָה עֹלָה אִשֶּׁה רֵיחַ־ נִיחוֹחַ לַיהוָה׃ ס
祭壇の-上で 全焼の-捧げ物として 火による-捧げ物 良い-香りの なだめの 主への —
H4196 H5930 H0801 H7381 H5207 H3068

その内臓と足とは水で洗わなければならない。こうして祭司はそのすべてを祭壇の上で焼いて燔祭としなければならない。これは火祭であって、主にささげる香ばしいかおりである。

10 וְאִם־ מִן הַצֹּאן קָרְבָּנוֹ מִן הַכְּשָׂבִים אוֹ מִן הָעִזִּים
そして-もし から 羊の-群れから 彼の-捧げ物が から 子羊から または から 山羊から
H0518 H4480 H6629 H7133 H4480 H3775 H0176 H4480 H5795

לְעֹלָה זָכָר תָּמִים יַקְרִיבֶנּוּ׃
全焼の-捧げ物として 雄で 傷の-ないものを 捧げなければならない
H5930 H2145 H8549 H7126

もしその燔祭の供え物が群れの羊または、やぎであるならば、雄の全きものをささげなければならない。

11 וְשָׁחַט אֹתוֹ עַל יֶרֶךְ הַמִּזְבֵּחַ צָפֹנָה לִפְנֵי יְהוָה וְזָרְקוּ בְּנֵי
そしてそれを屠る の側で 祭壇の 北側で 主の 御前で そして振りかける 子らが
H3548 H0175 H1818 H0853 H4196 H3409 H6828 H6440 H2236

הַכֹּהֲנִים אֶת דָּמוֹ עַל הַמִּזְבֵּחַ סָבִיב׃
祭司たちが を その血を の上に 祭壇の 周りに
H3548 H0853 H1818 H5921 H4196 H5439

彼は祭壇の北側で、主の前にこれをほふり、アロンの子なる祭司たちは、その血を祭壇の周囲に注ぎかけなければならない。

12 וְנִתַּח אֹתוֹ לְנִתָחָיו וְאֶת רֹאשׁוֹ וְאֶת פִּדְרֹו וְעָרַךְ
そして切り分ける それを 各部に その頭と そして その脂肪を そして並べる
H5408 H0853 H5409 H0853 H7218 H0853 H6309 H6186

הַכֹּהֵן אֹתָם עַל הָעֵצִים אֲשֶׁר עַל הָאֵשׁ אֲשֶׁר עַל הַמִּזְבֵּחַ׃
祭司が それらを の上に 薪の それは の上にある 火の それは の上にある 祭壇の
H3548 H0853 H5921 H6086 H0834 H5921 H0784 H0834 H5921 H4196

彼はまたこれを節々に切り分かち、祭司はこれを頭および脂肪と共に、祭壇の上にある火の上のたきぎの上に並べなければならない。

13 וְהַקֶּרֶב וְהַכְּרָעַיִם יִרְחַץ בַּמָּיִם וְהִקְרִיב הַכֹּהֵן אֶת הַכֹּל
そして内臓と そして足を 洗う 水で そして捧げる 祭司が を すべてを
H7130 H3767 H7364 H4325 H7126 H3548 H0853 H3605

וְהִקְטִיר הַמִּזְבֵּחָה עֹלָה הִוא אִשֵּׁה רֵיחַ נִיחֹחַ
そして焼いて煙にする 祭壇の上で 全焼の捧げ物 それは 火による捧げ物 良い香りの なだめの
H7126 H5921 H4196 H5930 H1931 H0801 H7381 H5207

לַיהוָה׃ פ
主への —
H3068

その内臓と足とは水で洗わなければならない。こうして祭司はそのすべてを祭壇の上で焼いて燔祭としなければならない。これは火祭であって、主にささげる香ばしいかおりである。

14 וְאִם מִן הָעוֹף קָרְבָּנוֹ עֹלָה לַיהוָה וְהִקְרִיב
もし から 鳥の 彼の捧げ物として 全焼の捧げ物を 主に そして捧げる
H7126 H3068 H5775 H7133 H5930

מִן הַתֹּרִים אוֹ מִן בְּנֵי הַיּוֹנָה אֶת קָרְבָּנוֹ׃
から または 山鳩から から 雛の 鳩の を 彼の捧げ物を
H8449 H0176 H4053 H3123 H0853 H7133

もし主にささげる供え物が、鳥の燔祭であるならば、山ばと、または家ばとのひなを、その供え物としてささげなければならない。

15 וְהִקְרִיבוֹ הַכֹּהֵן אֶל הַמִּזְבֵּחַ וּמָלַק אֶת רֹאשׁוֹ
そして捧げる 祭司が に 祭壇に そして首を ひねり を その頭を
H7126 H3548 H0413 H4196 H4454 H0853 H7218

וְנִמְצָה עַל קִיר הַמִּזְבֵּחַ דָּמוֹ וְהִקְטִיר הַמִּזְבֵּחָה
そして絞り出す の上に 壁の 祭壇の その血を そして焼いて煙にする 祭壇の上で
H4680 H5921 H7023 H4196 H1818 H7126 H5921 H4196

祭壇の北側で、主の前にこれをほふり、アロンの子なる祭司たちは、その血を祭壇の周囲に注ぎかけなければならない。

祭司はこれを祭壇に携えて行き、その首を摘み破り、祭壇の上で焼かなければならない。その血は絞り出して祭壇の側面に塗らなければならない。

16 וְהֵסִיר֙ אֶת־מְרָאָתֹ֔ו בְּנֹצָתָ֖הּ וְהִשְׁלִ֣יךְ אֹתָ֑הּ אֶצֶל֙ הַמִּזְבֵּ֔חַ
そして–取り除く を その–素嚢を その–羽と–共に そして–投げる それを そばの 祭壇の
H5493 H0853 H4760 H5133 H7993 H0853 H0681 H4196

קֶ֖דְמָה אֶל־מְקֹ֥ום הַדֶּ֛שֶׁן׃
東側に に 場所の 灰の
H6924 H0413 H4725 H1880

またその餌袋は羽と共に除いて、祭壇の東の方にある灰捨場に捨てなければならない。

17 וְשִׁסַּ֥ע אֹתֹ֛ו בִּכְנָפָ֖יו לֹ֣א יַבְדִּ֑יל וְהִקְטִ֨יר
そして–裂く それを その–翼の–ところで ない 引き離しては–ならない そして–焼いて–煙にする
H8156 H0853 H3671 H3808 H0914 H7993

הַכֹּהֵ֣ן אֹתֹ֗ו הַמִּזְבֵּ֛חָה עַל־הָעֵצִ֥ים אֲשֶׁר־עַל־הָאֵ֖שׁ עֹלָ֣ה הִ֑וא
祭司が それを 祭壇の–上で の–上の 薪の それは の–上にある 火の 全焼の–捧げ物 それは
H3548 H0853 H4196 H5921 H6086 H0834 H5921 H0784 H5930 H1931

ס לַיהוָֽה׃ נִיחֹ֥חַ רֵ֖יחַ אִשֶּֽׁה׃
一 主への なだめの 良い–香りの 火による–捧げ物
H3068 H5207 H7381 H0801

これは、その翼を握って裂かなければならない。ただし引き離してはならない。祭司はこれを祭壇の上で、火の上のたきぎの上で燔祭として焼かなければならない。これは火祭であって、主にささげる香ばしいかおりである。

Chapter 2

1 וְנֶ֣פֶשׁ כִּֽי־תַקְרִ֗יב קָרְבַּן֙ מִנְחָ֣ת לַיהוָ֔ה סֹ֖לֶת
そして–人が もし 捧げるなら 捧げ物として 穀物の–捧げ物を 主に 上質の–小麦粉で
H5315 H3588 H7126 H7133 H4503 H3068 H5560

יִהְיֶ֣ה עָלֶ֔יהָ וְנָתַ֥ן עָלֶ֖יהָ שֶׁ֑מֶן וְיָצַ֥ק עָלֶ֖יהָ לְבֹנָֽה׃
あるべきである その–捧げ物は そして–注ぐ その–上に 油を そして–置く その–上に 乳香を
H1961 H7133 H3332 H5921 H8081 H5414 H5921 H3828

2 וְהֵבִיאָ֣ה אֶל־בְּנֵ֣י אַהֲרֹ֗ן הַכֹּהֲנִים֙ וְקָמַ֤ץ
そして–持って–来る に 子らの アハロンの 祭司たちの–もとへ そして–ひとつかみを–取る
H0935 H0413 H1121 H0175 H3548 H7061

מִשָּׁ֣ם מְלֹ֤א קֻמְצֹו֙ מִסָּלְתָּ֣הּ וּמִשַּׁמְנָ֔הּ עַל־כָּל־לְבֹנָתָ֑הּ
そこから 満たして 彼の–手を その–上質の–小麦粉から そして–その–油から 加えて すべての
H8033 H4393 H7062 H5560 H8081 H5921 H3605

וְהִקְטִ֣יר הַכֹּהֵ֗ן אֶת־אַזְכָּרָתָהּ֙ הַמִּזְבֵּ֔חָה אִשֶּׁ֖ה רֵ֥יחַ נִיחֹ֖חַ לַיהוָֽה׃
そして–焼いて–煙にする 祭司が を その–記念の–分を 祭壇の–上で 火による–捧げ物 その–乳香を 良い–香りの なだめの 主への
H6999 H3548 H0853 H0234 H4196 H0801 H3828 H7381 H5207 H3068

これをアロンの子なる祭司たちのもとに携えて行かなければならない。祭司はその麦粉とその油の一握りを乳香の全部と共に取り、これを記念の分として、祭壇の上で焼かなければならない。これは火祭であって、主にささげる香ばしいかおりである。

וְהַנּוֹתֶרֶת	מִן־	הַמִּנְחָה	לְאַהֲרֹן	וּלְבָנָיו	קֹדֶשׁ		3
そして–残りは	から	穀物の–捧げ物の	アハロンと	そして–彼の–子らの–ものである	聖なる		
H3498		H4503	H0175		H6944		

קָדָשִׁים	מֵאִשֵּׁי	יְהוָה׃	ס	
聖なる–ものの–中の	火による–捧げ物から	主の	—	
H6944	H0801	H3068		

素祭の残りはアロンとその子らのものになる。これは主の火祭のいと聖なる物である。

סֹלֶת	תַּנּוּר	מַאֲפֵה	מִנְחָה	קָרְבָּן	תַּקְרִיב	וְכִי	4
上質の–小麦粉の	窯の	窯で–焼いた	穀物の–捧げ物を	捧げ物として	捧げるなら	そして–もし	
H5560	H8574	H3989	H4503		H7126		

חַלֹּת	מַצֹּת	בְּלוּלֹת	בַּשָּׁמֶן	וּרְקִיקֵי	מַצּוֹת	מְשֻׁחִים	בַּשָּׁמֶן׃	ס
輪型の–パンで	種なしの	混ぜた	油で	そして–薄焼きの–パンで	種なしの	塗った	油で	—
H2471	H4682		H8081	H7550	H4682	H4886	H8081	

あなたが、もし天火で焼いたものを素祭としてささげるならば、それは麦粉に油を混ぜて作った種入れぬ菓子、または油を塗った種入れぬ煎餅でなければならない。

בְּלוּלָה	סֹלֶת	קָרְבָּנֶךָ	הַמַּחֲבַת	עַל־	מִנְחָה	וְאִם־	5
混ぜた	上質の–小麦粉を	あなたの–捧げ物なら	鉄板の	の–上で	穀物の–捧げ物が	そして–もし	
	H5560		H4227		H4503		

תִּהְיֶה׃	מַצָּה	בַּשָּׁמֶן	
あるべきである	種なしの–もので	油で	
H1961	H4682	H8081	

あなたの供え物が、もし、平鍋で焼いた素祭であるならば、それは麦粉に油を混ぜて作った種入れぬものでなければならない。

ס	הוּא׃	מִנְחָה	שֶׁמֶן	עָלֶיהָ	וְיָצַקְתָּ	פִּתִּים	אֹתָהּ	פָּתוֹת	6
—	それは	穀物の–捧げ物	油を	その–上に	そして–注ぎなさい	小片に	それを	割りなさい	
	H1931	H4503	H8081		H3332		H0853	H6626	

あなたはそれを細かく砕き、その上に油を注がなければならない。これは素祭である。

בַּשָּׁמֶן	סֹלֶת	קָרְבָּנֶךָ	מַרְחֶשֶׁת	מִנְחַת	וְאִם־	7
油で	上質の–小麦粉を	あなたの–捧げ物とするなら	深鍋で	穀物の–捧げ物を	そして–もし	
H8081	H5560		H4802	H4503		

תֵּעָשֶׂה׃
作らなければならない

あなたの供え物が、もし深鍋で煮た素祭であるならば、麦粉に油を混ぜて作らなければならない。

וְהִקְרִיבָהּ	לַיהוָה	מֵאֵלֶּה	יֵעָשֶׂה	אֲשֶׁר	הַמִּנְחָה	אֶת־	וְהֵבִאתָ	8
そして–捧げる	主に	これらから	作られた	それは	穀物の–捧げ物を	を	そして–持って–来る	
H7126	H3068	H0428			H4503	H0853	H0935	

הַמִּזְבֵּחַ׃	אֶל־	וְהִגִּישָׁהּ	הַכֹּהֵן	אֶל־
祭壇に	に	そして–近づける	祭司に	に
H4196	H0413	H5066	H3548	H0413

あなたはこれらの物で作った素祭を、主に携えて行かなければならない。それを祭司に渡すならば、祭司はそれを祭壇に携えて行き、

9 וְהֵרִים הַכֹּהֵן מִן־ הַמִּנְחָה אֶת־ אַזְכָּרָתָהּ
そして–取り上げる 祭司が から 穀物の–捧げ物から を その–記念の–分を
H7126 H3548 H4503 H853 H0234

וְהִקְטִיר הַמִּזְבֵּחָה אִשֶּׁה רֵיחַ נִיחֹחַ לַיהוָה׃
そして–焼いて–煙にする 祭壇の–上で 火による–捧げ物 良い–香りの なだめの 主への
H7126 H4196 H0801 H7381 H5207 H3068

その素祭のうちから記念の分を取って、祭壇の上で焼かなければならない。これは火祭であって、主にささげる香ばしいかおりである。

10 וְהַנּוֹתֶרֶת מִן־ הַמִּנְחָה לְאַהֲרֹן וּלְבָנָיו קֹדֶשׁ
そして–残りは から 穀物の–捧げ物の アハロンと そして–彼の–子らの–ものである 聖なる
H7126 H3498 H4503 H0175 H6944

קָדָשִׁים מֵאִשֵּׁי יְהוָה׃
聖なる–ものの–中の 火による–捧げ物から 主の
H6944 H0801 H3068

素祭の残りはアロンとその子らのものになる。これは、主の火祭のいと聖なる物である。

11 כָּל־ הַמִּנְחָה אֲשֶׁר תַּקְרִיבוּ לַיהוָה לֹא תֵעָשֶׂה חָמֵץ
すべての 穀物の–捧げ物は それを 捧げる 主に ない 作っては–ならない パン種を–入れて
H3605 H4503 H834 H7126 H3068 H3808 H6213 H2557

כִּי כָל־ שְׂאֹר וְכָל־ דְּבַשׁ לֹא תַקְטִירוּ מִמֶּנּוּ אִשֶּׁה לַיהוָה׃
なぜなら すべての パン種と そして–すべての 蜂蜜は ない 焼いて–煙にしては–ならない それの–どれも 火による–捧げ物として 主に
H3588 H3605 H7603 H3605 H1706 H3808 H6999 H4480 H0802 H3068

あなたがたが主にささげる素祭は、すべて種を入れて作ってはならない。パン種も蜜も、すべて主にささげる火祭として焼いてはならないからである。

12 קָרְבַּן רֵאשִׁית תַּקְרִיבוּ אֹתָם לַיהוָה וְאֶל־ הַמִּזְבֵּחַ לֹא
捧げ物として 初物の ことができる 捧げる それらを 主に しかし–に 祭壇の–上には ない
H7133 H7225 H7126 H853 H3068 H0413 H4196 H3808

יַעֲלוּ לְרֵיחַ נִיחֹחַ׃
上げては–ならない 香りの–ための なだめの
H5927 H7381 H5207

ただし、初穂の供え物としては、これらを主にささげることができる。しかし香ばしいかおりとして祭壇にささげてはならない。

13 וְכָל־ קָרְבָּן מִנְחָתְךָ תִּמְלָח וְלֹא תַשְׁבִּית מֶלַח בְּרִית
そして–すべての 捧げ物に あなたの–穀物の–捧げ物に 塩を–つけなさい そして–ない 塩で 契約の 塩を 絶やしては–ならない
H3605 H7133 H4503 H4417 H4414 H3808 H4414 H1285 H4417 H7673

אֱלֹהֶיךָ מֵעַל מִנְחָתֶךָ עַל־ כָּל־ קָרְבָּנְךָ תַּקְרִיב מֶלַח׃ ס
あなたの–神の から あなたの–穀物の–捧げ物から の–上に すべての 捧げ物の–あなたの 捧げなさい 塩を —
H0430 H4480 H4503 H5921 H3605 H7133 H7126 H4417 H5978

あなたの素祭の供え物は、すべて塩をもって味をつけなければならない。あなたの素祭に、あなたの神の契約の塩を欠いてはならない。すべて、あなたの供え物は、塩を添えてささげなければならない。

14 וְאִם־ תַּקְרִיב מִנְחַת בִּכּוּרִים לַיהוָה אָבִיב קָלוּי בָּאֵשׁ
そして-もし 捧げるなら 穀物の-捧げ物を 初穂の 主に 若い-穂を 炒った 火で
H7126 H4503 H1061 H3068 H0024 H7033 H0784

גֶּרֶשׂ כַּרְמֶל תַּקְרִיב אֶת מִנְחַת בִּכּוּרֶיךָ׃
砕いた-穀物を 新しい-穂の 捧げなさい を 穀物の-捧げ物として あなたの-初穂の
H1643 H3759 H7126 H0853 H4503 H1061

もしあなたが初穂の素祭を主にささげるならば、火で穂を焼いたもの、新穀の砕いたものを、あなたの初穂の素祭としてささげなければならない。

15 וְנָתַתָּ עָלֶיהָ שֶׁמֶן וְשַׂמְתָּ עָלֶיהָ לְבֹנָה מִנְחָה הִוא׃
そして-注ぐ その-上に 油を そして-置く その-上に 乳香を 穀物の-捧げ物 それは
H5414 H8081 H7760 H5921 H3828 H4503 H1931

あなたはそれに油を加え、その上に乳香を置かなければならない。これは素祭である。

16 וְהִקְטִיר הַכֹּהֵן אֶת־ אַזְכָּרָתָהּ מִגִּרְשָׂהּ וּמִכָּל־ לְבֹנָתָהּ אִשֶּׁה לַיהוָה׃ פ
そして-焼いて-煙にする 祭司が を その-記念の-分を その-砕いた-穀物から そして-その-油から その-乳香を すべての 加えて 火による-捧げ物 主への —
H7126 H3548 H0853 H0234 H1643 H4503 H8081 H3828 H3605 H5921 H0801 H3068

祭司は、その砕いた物およびその油のうちから記念の分を取って、乳香の全部と共に焼かなければならない。これは主にささげる火祭である。

Chapter 3

1 וְאִם־ זֶבַח שְׁלָמִים קָרְבָּנוֹ אִם מִן־ הַבָּקָר הוּא הַקָּרֵב
そして-もし いけにえの 和解の 彼の-捧げ物なら もし から 牛の-群れから 彼が 捧げるなら
H7126 H2077 H8002 H7133 H0518 H4480 H1241 H1931

לִפְנֵי יְקָרִיבֶנּוּ תָּמִים נְקֵבָה אִם־ זָכָר אִם־ מַקְרִיב
御前で 捧げなければならない 傷の-ないものを 雌であれ もし 雄であれ もし 捧げるなら
H6440 H7126 H8549 H5347 H518 H2145 H518 H7126

יְהוָה׃
主の
H3068

もし彼の供え物が酬恩祭の犠牲であって、牛をささげるのであれば、雌雄いずれであっても、全きものを主の前にささげなければならない。

2 וְסָמַךְ יָדוֹ עַל־ רֹאשׁ קָרְבָּנוֹ וְשָׁחַט פֶּתַח אֹהֶל מוֹעֵד
そして-置く 手を の-上に 頭の 彼の-捧げ物の そして-屠る 入り口で 幕屋の 会見の
H5564 H3027 H5921 H7218 H7133 H8179 H6607 H168 H4150

וְזָרְקוּ בְּנֵי אַהֲרֹן הַכֹּהֲנִים אֶת־ הַדָּם עַל־ הַמִּזְבֵּחַ סָבִיב׃
そして-振りかける 子らが アハロンの 祭司たちが を 血を の-上に 祭壇の 周りに
H2236 H1121 H175 H3548 H0853 H1818 H5921 H4196 H5439

彼はその供え物の頭に手を置き、会見の幕屋の入口で、これをほふらなければならない。そしてアロンの子なる祭司たちは、その血を祭壇の周囲に注ぎかけなければならない。

3

הַמְכַסֶּה	הַחֵלֶב	אֶת־	לַיהוָה	אִשֶּׁה	הַשְּׁלָמִים	מִזֶּבַח	וְהִקְרִיבוֹ	
覆う	脂肪を	を	主に	火による–捧げ物として	和解の–いけにえの	から	そして–捧げる	
H3680	H2459	H0853	H3068	H0801	H8002	H2077	H7126	

הַקֶּרֶב׃	עַל־	אֲשֶׁר	הַחֵלֶב	כָּל־	וְאֶת	הַקֶּרֶב	אֶת־	
内臓の	の–上にある	それは	脂肪を	すべての	そして	内臓を	を	
H7130			H2459	H3605	H0853	H7130	H0853	

彼はまたその酬恩祭の犠牲のうちから火祭を主にささげなければならない。すなわち内臓をおおう脂肪と、内臓の上のすべての脂肪、

4

הַכְּסָלִים	עַל־	אֲשֶׁר	עֲלֵהֶן	אֲשֶׁר	הַחֵלֶב	וְאֶת־	הַכְּלָיֹת	שְׁתֵּי	וְאֶת
腰の	の–上にある	それは	それらの–上の	それは	脂肪を	そして	腎臓と	二つの	そして
					H2459	H0853	H3629	H8147	H0853

יְסִירֶנָּה׃	הַכְּלָיוֹת	עַל־	הַכָּבֵד	עַל־	הַיֹּתֶרֶת	וְאֶת־	
取り除く	腎臓を	と–共に	肝臓の	の–上の	付いている–ものを	そして	
H5493	H3629		H3516		H3508	H0853	

二つの腎臓とその上の腰のあたりにある脂肪、ならびに腎臓と共にとられる肝臓の上の小葉である。

5

הָעֹלָה	עַל־	הַמִּזְבֵּחָה	אַהֲרֹן	בְּנֵי־	אֹתוֹ	וְהִקְטִירוּ	
全焼の–捧げ物の	の–上の	祭壇の–上で	アハロンの	子らが	それを	そして–焼いて–煙にする	
		H4196	H0175		H0853		

נִיחֹחַ	רֵיחַ	אִשֶּׁה	הָאֵשׁ	עַל־	אֲשֶׁר	הָעֵצִים	עַל־	אֲשֶׁר
なだめの	良い–香りの	火による–捧げ物	火の	の–上にある	それは	薪の	の–上にある	それは
H5207	H7381	H0801	H0784			H6086		

פ	לַיהוָה׃	
—	主への	
	H3068	

そしてアロンの子たちは祭壇の上で、火の上のたきぎの上に置いた燔祭の上で、これを焼かなければならない。これは火祭であって、主にささげる香ばしいかおりである。

6

זָכָר	לַיהוָה	שְׁלָמִים	לְזֶבַח	קָרְבָּנוֹ	הַצֹּאן	מִן־	וְאִם־	
雄であれ	主にならば	和解の	いけにえの–ための	彼の–捧げ物が	羊の–群れから	から	そして–もし	
H2145	H3068	H8002	H2077		H6629			

יַקְרִיבֶנּוּ׃	תָּמִים	נְקֵבָה	אוֹ
捧げなければならない	傷の–ないものを	雌であれ	または
H7126	H8549	H5347	

もし彼の供え物が主にささげる酬恩祭の犠牲で、それが羊であるならば、雌雄いずれであっても、全きものをささげなければならない。

7

לִפְנֵי	אֹתוֹ	וְהִקְרִיב	קָרְבָּנוֹ	אֶת־	מַקְרִיב	הוּא־	כֶּשֶׂב	אִם־
御前で	それを	そして–捧げる	彼の–捧げ物として	を	捧げるなら	彼が	子羊を	もし
H6440	H0853	H7126		H0853	H7126	H1931	H3775	

יְהוָה׃
主の
H3068

もし小羊を供え物としてささげるならば、それを主の前に連れてきて、

אָהֳל	לִפְנֵי	אֹתוֹ	וְשָׁחַט	קָרְבָּנוֹ	רֹאשׁ	עַל־	יָדוֹ	אֶת־	וְסָמַךְ
幕屋の	御前で	それを	そして–屠る	彼の–捧げ物の	頭の	の–上に	手を	を	そして–置く
H0168	H6440	H0853					H3027	H0853	H5564

סָבִיב׃	הַמִּזְבֵּחַ	עַל־	דָּמוֹ	אֶת־	אַהֲרֹן	בְּנֵי	וְזָרְקוּ	מוֹעֵד
周りに	祭壇の	の–上に	その–血を	を	アハロンの	子らが	そして–振りかける	会見の
H5439	H4196		H1818	H0853	H0175		H2236	H4150

その供え物の頭に手を置き、それを会見の幕屋の前で、ほふらなければならない。そしてアロンの子たちはその血を祭壇の周囲に注ぎかけなければならない。

הָאַלְיָה	חֶלְבּוֹ	לַיהוָה	אִשֶּׁה	הַשְּׁלָמִים	מִזֶּבַח	וְהִקְרִיב		
尾を–丸ごと	その–脂肪を	主に	火による–捧げ物として	和解の–いけにえの	から	そして–捧げる		
H0451	H2459	H3068	H0801	H8002	H2077	H7126		

וְאֵת	הַקֶּרֶב	אֶת־	הַמְכַסֶּה	הַחֵלֶב	וְאֶת־	יְסִירֶנָּה	הֶעָצֶה	לְעֻמַּת
そして	内臓を	を	覆う	脂肪を	そして	取り除く	背骨の	接する–ところから
H0853	H7130	H0853	H3680	H2459	H0853	H5493	H6096	H5980

תְּמִימָה	כָּל־	הַחֵלֶב	אֲשֶׁר	עַל־	הַקֶּרֶב׃	
完全に	すべての	脂肪を	それは	の–上にある	内臓の	
H8549	H3605	H2459			H7130	

彼はその酬恩祭の犠牲のうちから、火祭を主にささげなければならない。すなわちその脂肪、背骨に接して切り取る脂尾の全部、内臓をおおう脂肪と内臓の上のすべての脂肪、

הַכְּסָלִים	עַל־	אֲשֶׁר	עֲלֵהֶן	אֲשֶׁר	הַחֵלֶב	וְאֶת־	הַכְּלָיֹת	שְׁתֵּי	וְאֵת
腰の	の–上にある	それは	それらの–上の	それは	脂肪を	そして	腎臓と	二つの	そして
H3689					H2459	H0853	H3629	H8147	H0853

יְסִירֶנָּה׃	הַכְּלָיֹת	עַל־	הַכָּבֵד	עַל־	הַיֹּתֶרֶת	וְאֶת־	
取り除く	腎臓を	と–共に	肝臓の	の–上の	付いている–ものを	そして	
H5493	H3629		H3516		H3508	H0853	

二つの腎臓とその上の腰のあたりにある脂肪、ならびに腎臓と共に取られる肝臓の上の小葉である。

פ	לַיהוָה׃	אִשֶּׁה	לֶחֶם	הַמִּזְבֵּחָה	הַכֹּהֵן	וְהִקְטִירוֹ	
—	主への	火による–捧げ物	食物として	祭壇の–上で	祭司が	そして–焼いて–煙にする	
	H3068	H0801	H3899	H4196	H3548		

祭司はこれを祭壇の上で焼かなければならない。これは火祭であって、主にささげる食物である。

יְהוָה׃	לִפְנֵי	וְהִקְרִיבוֹ	קָרְבָּנוֹ	עֵז	וְאִם	
主の	御前で	そして–捧げる	彼の–捧げ物なら	山羊が	そして–もし	
H3068	H6440	H7126		H5795		

もし彼の供え物が、やぎであるならば、それを主の前に連れてきて、

מוֹעֵד	אָהֳל	לִפְנֵי	אֹתוֹ	וְשָׁחַט	רֹאשׁוֹ	עַל־	יָדוֹ	אֶת־	וְסָמַךְ
会見の	幕屋の	御前で	それを	そして–屠る	その–頭の	の–上に	手を	を	そして–置く
H4150	H0168	H6440	H0853				H3027	H0853	H5564

סָבִיב׃	הַמִּזְבֵּחַ	עַל־	דָּמוֹ	אֶת־	אַהֲרֹן	בְּנֵי	וְזָרְקוּ	
周りに	祭壇の	の–上に	その–血を	を	アハロンの	子らが	そして–振りかける	
H5439	H4196		H1818	H0853	H0175		H2236	

その頭に手を置き、それを会見の幕屋の前で、ほふらなければならない。そしてアロンの子たちは、その血を祭壇の周囲に注ぎかけなければならない。

14 וְהִקְרִיב מִמֶּנּוּ קָרְבָּנוֹ אִשֶּׁה לַיהוָה אֶת־הַחֵלֶב הַמְכַסֶּה
そして–捧げる それから 彼の–捧げ物として 火による–捧げ物 主に を 脂肪を 覆う
H7126 H4480 H7133 H0801 H3068 H0853 H2459 H3680

אֶת־הַקֶּרֶב: עַל אֲשֶׁר הַחֵלֶב כָּל וְאֵת הַקֶּרֶב אֶת־
内臓の の–上にある それは 脂肪を すべての そして 内臓を を
H7130 H5921 H0834 H2459 H3605 H0853 H7130 H0853

彼はまたそのうちから供え物を取り、火祭として主にささげなければならない。すなわち内臓をおおう脂肪と内臓の上のすべての脂肪、

15 וְאֵת שְׁתֵּי הַכְּלָיֹת וְאֵת הַחֵלֶב אֲשֶׁר עֲלֵהֶן אֲשֶׁר עַל־הַכְּסָלִים
そして 二つの 腎臓と そして 脂肪を それは それらの–上の それは の–上にある 腰の
H0853 H8147 H3629 H0853 H2459 H0834 H5921 H0834 H5921 H3689

וְאֶת־הַיֹּתֶרֶת עַל־הַכָּבֵד עַל־הַכְּלָיֹת יְסִירֶנָּה:
そして 付いている–ものを の–上の 肝臓の と–共に 腎臓を 取り除く
H0853 H3508 H5921 H3516 H5921 H3629 H5493

二つの腎臓とその上の腰のあたりにある脂肪、ならびに腎臓と共に取られる肝臓の上の小葉である。

16 וְהִקְטִירָם הַכֹּהֵן הַמִּזְבֵּחָה אִשֵּׁה לֶחֶם לְרֵיחַ
そして–焼いて–煙にする 祭司が 祭壇の–上で 食物として 火による–捧げ物 良い–香りの–ために
H6999 H3548 H4196 H3899 H0801 H7381

נִיחֹחַ כָּל־חֵלֶב לַיהוָה:
なだめの すべての 脂肪は 主の–ものである
H5207 H3605 H2459 H3068

祭司はこれを祭壇の上で焼かなければならない。これは火祭としてささげる食物であって、香ばしいかおりである。脂肪はみな主に帰すべきものである。

17 חֻקַּת עוֹלָם לְדֹרֹתֵיכֶם בְּכֹל מוֹשְׁבֹתֵיכֶם כָּל־חֵלֶב
定め 永遠の あなたがたの–代々の すべての–中で あなたがたの–住まいの すべての 脂肪と
H2708 H5769 H1755 H3605 H4186 H3605 H2459

וְכָל־דָּם לֹא תֹאכֵלוּ: פ
そして–すべての 血を ない 食べては–ならない —
H3605 H1818 H3808 H0398

あなたがたは脂肪と血とをいっさい食べてはならない。これはあなたがたが、すべてその住む所で、代々守るべき永久の定めである』」。

Chapter 4

1 וַיְדַבֵּר יְהוָה אֶל־מֹשֶׁה לֵאמֹר:
そして–語られた 主が に モーシェに 言って
H1696 H3068 H0413 H4872 H0559

主はまたモーセに言われた、

2 דַּבֵּר אֶל־בְּנֵי יִשְׂרָאֵל לֵאמֹר נֶפֶשׁ כִּי־תֶחֱטָא בִּשְׁגָגָה
語りなさい に 子らに イスラエルの 言って 人が もし 罪を-犯すなら 過ちにより
H1696 H0413 H1121 H3478 H0559 H5315 H3588 H2398 H7684

מִכֹּל מִצְוֹת יְהוָה אֲשֶׁר לֹא תֵעָשֶׂינָה וְעָשָׂה מֵאַחַת
いずれかの-中から 戒めの 主の それは ない 行っては-ならない-事の そして-行うなら 一つを
H3605 H4687 H3068 H0834 H3808 H6213 H6213 H0259

מֵהֵנָּה׃
それらの-中から
H2007

「イスラエルの人々に言いなさい、『もし人があやまって罪を犯し、主のいましめにそむいて、してはならないことの一つをした時は次のようにしなければならない。

3 אִם הַכֹּהֵן הַמָּשִׁיחַ יֶחֱטָא לְאַשְׁמַת הָעָם וְהִקְרִיב עַל
もし 祭司が 油注がれた 罪を-犯すなら 咎の-ために 民の そして-捧げる の-ために
H0518 H3548 H4899 H2398 H0819 H5971 H7126 H5921

חַטָּאתוֹ אֲשֶׁר חָטָא פַּר בֶּן־בָּקָר תָּמִים לַיהוָה לְחַטָּאת׃
彼の-罪の それは 犯した 若い-雄牛を 子の 牛の 傷の-ないものを 主に 罪の-捧げ物として
H2403 H0834 H2398 H6499 H1121 H1241 H8549 H3068 H2403

すなわち、油注がれた祭司が罪を犯して、とがを民に及ぼすならば、彼はその犯した罪のために雄の全き子牛を罪祭として主にささげなければならない。

4 וְהֵבִיא אֶת־הַפָּר אֶל־פֶּתַח אֹהֶל מוֹעֵד לִפְנֵי יְהוָה
そして-持って-来る を 若い-雄牛を に 入り口の 幕屋の 会見の 御前で 主の
H0935 H0853 H6499 H0413 H6607 H0168 H4150 H6440 H3068

וְסָמַךְ אֶת־יָדוֹ עַל־רֹאשׁ הַפָּר וְשָׁחַט אֶת־הַפָּר לִפְנֵי יְהוָה׃
そして-置く を 手を の-上に 頭の 若い-雄牛の そして-屠る を 若い-雄牛を 御前で 主の
H5564 H0853 H3027 H5921 H7218 H6499 H0853 H6499 H6440 H3068

その子牛を会見の幕屋の入口に連れてきて主の前に至り、その子牛の頭に手を置き、その子牛を主の前で、ほふらなければならない。

5 וְלָקַח הַכֹּהֵן הַמָּשִׁיחַ מִדַּם הַפָּר וְהֵבִיא אֹתוֹ אֶל־
そして-取る 祭司が 油注がれた 血の-一部を 若い-雄牛の そして-持って-来る それを に
H3947 H3548 H4899 H1818 H6499 H0935 H0853 H0413

אֹהֶל מוֹעֵד׃
幕屋の 会見の
H0168 H4150

油注がれた祭司は、その子牛の血を取って、それを会見の幕屋に携え入り、

6 וְטָבַל הַכֹּהֵן אֶת־אֶצְבָּעוֹ בַּדָּם וְהִזָּה מִן־הַדָּם שֶׁבַע פְּעָמִים
そして-浸す 祭司が を 彼の-指を 血に そして-振りかける から 血から 七 回
H2881 H3548 H0853 H0676 H1818 H5137 H4480 H1818 H7651 H6471

לִפְנֵי יְהוָה אֵת פְּנֵי פָּרֹכֶת הַקֹּדֶשׁ׃
御前で 主の の 前に 幕の 聖所の
H6440 H3068 H0854 H6440 H6532 H6944

そして祭司は指をその血に浸して、聖所の垂幕の前で主の前にその血を七たび注がなければならない。

7 וְנָתַן֮ הַכֹּהֵן֒ מִן־הַדָּם֙ עַל־קַרְנ֣וֹת מִזְבַּ֣ח קְטֹ֣רֶת הַסַּמִּ֗ים לִפְנֵי֙ יְהוָ֔ה
そして-つける 祭司が から 血から の-上に 角の 祭壇の 香の 香料の 御前で 主の
H5414 H3548 H4150 H1818 H6499 H7004 H4196 H5561 H6440 H3068

אֲשֶׁ֖ר בְּאֹ֣הֶל מוֹעֵ֑ד וְאֵת֙ כָּל־הַדָּ֔ם יִשְׁפֹּ֕ךְ אֶל־יְס֖וֹד מִזְבַּ֥ח הָעֹלָ֛ה
それは 幕屋の-中にある 会見の そして すべての 血を 若い-雄牛の 注ぎ出す に 土台の
H0168 H4150 H0853 H3605 H1818 H6499 H8210 H0413 H3247

אֲשֶׁר־פֶּ֥תַח אֹֽהֶל־מוֹעֵֽד׃
それは 入り口の 幕屋の 会見の
H0834 H6607 H0168 H4150

祭司はまたその血を取り、主の前で会見の幕屋の中にある香ばしい薫香の祭壇の角に、それを塗らなければならない。その子牛の血の残りはことごとく会見の幕屋の入口にある燔祭の祭壇のもとに注がなければならない。

8 וְאֶת־כָּל־חֵ֤לֶב פַּר֙ הַחַטָּ֔את מִמֶּ֖נּוּ יָרִ֑ים אֶת־הַחֵ֙לֶב֙ הַמְכַסֶּ֣ה עַל־הַקֶּ֔רֶב
そして すべての 脂肪を 若い-雄牛の 罪の-捧げ物の から 取り上げる それから を 脂肪を
H0853 H3605 H2459 H6499 H2403 H4480 H7311 H0853 H2459

וְאֵת֙ כָּל־הַקֶּ֔רֶב וְאֵת֙ שְׁתֵּ֣י הַכְּלָיֹ֔ת וְאֶת־הַחֵ֙לֶב֙ אֲשֶׁ֣ר עֲלֵיהֶ֔ן אֲשֶׁ֖ר עַל־הַכְּסָלִ֑ים
そして すべての 内臓を そして 二つの 腎臓と そして 脂肪を それは それらの-上の それは の-上にある 腰の
H0853 H3605 H7130 H0853 H8147 H3629 H0853 H2459 H0834 H5921 H3689

וְאֶת־הַיֹּתֶ֙רֶת֙ עַל־הַכָּבֵ֔ד עַל־הַכְּלָיֹ֖ת יְסִירֶ֑נָּה׃
そして-付いている-ものを の-上の 肝臓の と-共に 腎臓を 取り除く
H0853 H3508 H5921 H3516 H5921 H3629 H5493

二つの腎臓とその上の腰のあたりにある脂肪、ならびに腎臓と共に取られる肝臓の上の小葉である。

10 כַּאֲשֶׁ֣ר יוּרַ֗ם מִשּׁ֙וֹר֙ זֶ֣בַח הַשְּׁלָמִ֔ים וְהִקְטִירָ֖ם הַכֹּהֵ֑ן עַ֖ל מִזְבַּ֥ח הָעֹלָֽה׃
ちょうど-同じように 取り除かれる 雄牛から いけにえの 和解の そして-焼いて-煙にする 祭司が の-上で 祭壇の 全焼の-捧げ物の
H3548 H8002 H2077 H7794 H7311 H3548 H5921 H4196 H5930

これを取るには酬恩祭の犠牲の雄牛から取るのと同じようにしなければならない。そして祭司はそれを燔祭の祭壇の上で焼かなければならない。

11 וְאֶת־עֹר֙ הַפָּ֔ר וְאֶת־כָּל־בְּשָׂר֔וֹ עַל־רֹאשׁ֖וֹ וְעַל־כְּרָעָ֑יו וְקִרְבּ֖וֹ וּפִרְשֽׁוֹ׃
そして 皮と 若い-雄牛の そして すべての その-肉と と-共に その-頭と そして その-足と
H0853 H5785 H6499 H0853 H3605 H1320 H5921 H7218 H5921 H3767 H7130 H6569

その子牛の皮とそのすべての肉、およびその頭と足と内臓と汚物など、

12

וְהוֹצִיא אֶת־כָּל־הַפָּר אֶל־מִחוּץ לַמַּחֲנֶה אֶל־מָקוֹם טָהוֹר
そして–運び–出す を すべての 若い–雄牛を に 外の 宿営の に 場所の 清い
H3318 H0853 H3605 H6499 H0413 H2351 H4264 H0413 H4725 H2889

אֶל־שֶׁפֶךְ הַדֶּשֶׁן וְשָׂרַף אֹתוֹ עַל־עֵצִים בָּאֵשׁ עַל־שֶׁפֶךְ הַדֶּשֶׁן יִשָּׂרֵף׃ פ
に 捨て場の 灰の そして–焼く それを の–上で 薪の 火で の–上で 捨て場の 灰の 焼かなければならない —
H0413 H8211 H1880 H8313 H0853 H6086 H0784 H8211 H1880 H8313

すべてその子牛の残りは、これを宿営の外の、清い場所なる灰捨場に携え出し、火をもってこれをたきぎの上で焼き捨てなければならない。すなわちこれは灰捨場で焼き捨てらるべきである。

13

וְאִם כָּל־עֲדַת יִשְׂרָאֵל יִשְׁגּוּ וְנֶעְלַם דָּבָר מֵעֵינֵי
そして–もし すべての 会衆が イスラエルの 過ちを–犯すなら そして–隠れていて 事が 目から
H3808 H3605 H5712 H3478 H7686 H5956 H1697 H5668

וְעָשׂוּ אַחַת מִכָּל־מִצְוֹת יְהוָה אֲשֶׁר לֹא־תֵעָשֶׂינָה וְאָשֵׁמוּ׃
そして–行ったなら 一つを すべての–中から 戒めの 主の それは ない 行っては–ならない–事の そして–咎があるなら
H6213 H0259 H3605 H4687 H3068 H0834 H3808 H6213 H0816

もしイスラエルの全会衆があやまちを犯し、そのことが会衆の目に隠れていても、主のいましめにそむいて、してはならないことの一つをなして、とがを得たならば、

14

וְנוֹדְעָה הַחַטָּאת אֲשֶׁר חָטְאוּ עָלֶיהָ וְהִקְרִיבוּ הַקָּהָל פָּר
そして–知られたとき 罪が それは 犯した それについて そして–捧げる 会衆が 若い–雄牛を
H3045 H2403 H0834 H2398 H5921 H7126 H6951 H6499

בֶּן־בָּקָר לְחַטָּאת וְהֵבִיאוּ אֹתוֹ לִפְנֵי אֹהֶל מוֹעֵד׃
子の 牛の 罪の–捧げ物として そして–持って–来る それを 御前に 幕屋の 会見の
H1121 H1241 H2403 H0935 H0853 H6440 H0168 H4150

その犯した罪が現れた時、会衆は雄の子牛を罪祭としてささげなければならない。すなわちそれを会見の幕屋の前に連れてきて、

15

וְסָמְכוּ זִקְנֵי הָעֵדָה אֶת־יְדֵיהֶם עַל־רֹאשׁ הַפָּר לִפְנֵי יְהוָה
そして–置く 長老たちが 会衆の を 彼らの–手を の–上に 頭の 若い–雄牛の 御前で 主の
H5564 H2205 H5712 H0853 H3027 H5921 H7218 H6499 H6440 H3068

וְשָׁחַט אֶת־הַפָּר לִפְנֵי יְהוָה׃
そして–屠る を 若い–雄牛を 御前で 主の
H7819 H0853 H6499 H6440 H3068

会衆の長老たちは、主の前でその子牛の頭に手を置き、その子牛を主の前で、ほふらなければならない。

16

וְהֵבִיא הַכֹּהֵן הַמָּשִׁיחַ מִדַּם הַפָּר אֶל־אֹהֶל מוֹעֵד׃
そして–持って–来る 祭司が 油注がれた 血の–一部を 若い–雄牛の に 幕屋の 会見の
H0935 H3548 H4899 H1818 H6499 H0413 H0168 H4150

そして、油注がれた祭司は、その子牛の血を会見の幕屋に携え入り、

17 וְטָבַל֙ הַכֹּהֵ֔ן אֶצְבָּעוֹ֙ מִן־הַדָּ֔ם וְהִזָּ֥ה שֶׁ֛בַע פְּעָמִ֖ים לִפְנֵ֣י יְהוָ֑ה
そして–浸す 祭司が 指を から 血から そして–振りかける 七 回 御前で 主の
H2881 H3548 H0676 H1818 H6471 H6440 H3068

:הַפָּרֹכֶת אֵת פְּנֵי
幕の 前に の
H6532 H6440 H0854

祭司は指をその血に浸し、垂幕の前で主の前に七たび注がなければならない。

18 וּמִן־הַדָּ֗ם יִתֵּן֙ עַל־קַרְנֹ֣ת הַמִּזְבֵּ֔חַ אֲשֶׁ֖ר לִפְנֵ֣י יְהוָ֑ה אֲשֶׁ֥ר
そして–から 血から つける 角の の–上に 祭壇の それは 御前の 主の それは
H1818 H5414 H7161 H4196 H6440 H3068

בְּאֹ֣הֶל מוֹעֵ֗ד וְאֵת֙ כָּל־הַדָּ֣ם יִשְׁפֹּ֔ךְ אֶל־יְסוֹד֙ מִזְבַּ֣ח הָעֹלָ֔ה
幕屋の–中にある 会見の そして すべての 血を 注ぎ出す に 土台の 祭壇の 全焼の–捧げ物の
H0168 H4150 H0853 H3605 H1818 H8210 H0413 H3247 H4196 H5930

:אֲשֶׁר־פֶּ֥תַח אֹ֖הֶל מוֹעֵֽד
それは 入り口の 幕屋の 会見の
H6607 H0168 H4150

またその血を取って、会見の幕屋の中の主の前にある祭壇の角に、それを塗らなければならない。その血の残りはことごとく会見の幕屋の入口にある燔祭の祭壇のもとに注がなければならない。

19 וְאֶת־כָּל־חֶלְבּוֹ֙ יָרִ֣ים מִמֶּ֔נּוּ וְהִקְטִ֖יר הַמִּזְבֵּֽחָה׃
そして すべての その–脂肪を 取り上げる それから そして–焼いて–煙にする 祭壇の–上で
H0853 H3605 H2459 H7311 H4196

またそのすべての脂肪を取って祭壇の上で焼かなければならない。

20 וְעָשָׂ֥ה לְפַ֛ר כַּאֲשֶׁ֥ר עָשָׂ֖ה לְפַ֣ר הַחַטָּ֑את כֵּ֥ן יַעֲשֶׂ֖ה לָהֶ֥ם וְנִסְלַ֥ח לָהֶֽם׃
そして–行う 若い–雄牛に ちょうど–同じように 若い–雄牛に 行った 若い–雄牛に 罪の–捧げ物の そのように 彼らは そして–赦される 祭司が 彼らの–ために そして–贖う それに 行う
H6213 H6499 H3548 H6499 H6213 H2398 H3651 H1992 H5545 H3548 H3722 H3722 H6213

すなわち祭司は罪祭の雄牛にしたように、この雄牛にも、しなければならない。こうして、祭司が彼らのためにあがないをするならば、彼らはゆるされるであろう。

21 וְהוֹצִ֣יא אֶת־הַפָּ֔ר אֶל־מִח֖וּץ לַמַּחֲנֶ֑ה וְשָׂרַ֕ף אֹת֖וֹ
そして–運び–出す を 若い–雄牛を に 外の 宿営の そして–焼く それを
H3318 H0853 H6499 H0413 H2351 H4264 H8313 H0853

פ :הִוא הַקָּהָ֔ל חַטָּ֖את הָרִאשֹׁ֑ן הַפָּ֕ר כַּאֲשֶׁ֥ר שָׂרַ֖ף אֶת־הַפָּ֥ר
— それは 会衆の 罪の–捧げ物 最初の 若い–雄牛を ちょうど–同じように を 若い–雄牛を 焼いた
H1931 H6951 H2403 H7223 H6499 H0853 H8313

そして、彼はその雄牛を宿営の外に携え出し、はじめの雄牛を焼き捨てたように、これを焼き捨てなければならない。これは会衆の罪祭である。

22 אֲשֶׁ֤ר נָשִׂיא֙ יֶחֱטָ֔א וְעָשָׂ֗ה אַחַ֛ת מִכֹּל־מִצְוֹ֥ת יְהוָ֖ה אֱלֹהָ֑יו לֹא־תֵעָשֶׂ֣ינָה בִּשְׁגֶ֔גֶה וְאָשֵֽׁם׃
もし 指導者が 罪を–犯すなら そして–行ったなら 一つを すべての–中から 戒めの 主の それは 彼の–神の ない 行っては–ならない–事の 過ちにより そして–咎があるなら
H0834 H5387 H2398 H6213 H0259 H3605 H4687 H3068 H0834 H0430 H3808 H6213 H7684 H0816

またつかさたる者が罪を犯し、あやまって、その神、主のいましめにそむき、してはならないことの一つをして、とがを得、

23 אֹ֣ו הוֹדַ֤ע אֵלָיו֙ חַטָּאתֹ֣ו אֲשֶׁר־ חָטָ֔א בָּהּ֙ וְהֵבִ֣יא אֶת־
または 知らされたなら 彼に 彼の–罪が それは 犯した それにより そして–持って–来る を
H0853 H0935 H2398 H0413 H3045

תָּמִֽים׃ זָכָ֔ר עִזִּ֖ים שְׂעִ֣יר קָרְבָּנֹ֑ו
傷の–ないものを 雄で 山羊の 雄の–山羊を 彼の–捧げ物として
H8549 H2145 H5795

もしその犯した罪を知るようになったときは、供え物として雄やぎの全きものを連れてきて、

24 וְסָמַךְ֙ יָדֹ֣ו עַל־ רֹ֣אשׁ הַשָּׂעִ֔יר וְשָׁחַט֙ אֹתֹ֣ו בִּמְקֹ֔ום אֲשֶׁר־ יִשְׁחַ֖ט
そして–置く 手を の–上に 頭の 雄の–山羊の そして–屠る それを 場所で そこでは 屠る
H3027 H5564 H0853 H4725

חַטָּאת֙ הֽוּא׃ לִפְנֵ֥י יְהוָ֖ה הָעֹלָ֑ה אֶת־
罪の–捧げ物 それは 主の 御前で 全焼の–捧げ物を を
H1931 H3068 H6440 H0853

そのやぎの頭に手を置き、燔祭をほふる場所で、主の前にこれをほふらなければならない。これは罪祭である。

25 וְלָקַ֤ח הַכֹּהֵן֙ מִדַּ֣ם הַחַטָּאת֔ בְּאֶצְבָּעֹ֖ו וְנָתַ֑ן עַל־
そして–取る 祭司が 血の–一部を 罪の–捧げ物の 指で そして–つける の–上に
H3947 H3548 H1818 H0676 H5414

קַרְנֹ֣ת
角の
H5414

הָעֹלָ֖ה אֶת־ וְאֶת־ דָּמֹ֛ו יִשְׁפֹּ֥ךְ אֶל־ יְסֹ֖ד מִזְבַּ֥ח הָעֹלָֽה׃
全焼の–捧げ物の 祭壇の 土台の に 注ぎ出す その–血を そして 全焼の–捧げ物の 祭壇の
H4196 H3247 H0413 H8210 H1818 H0853 H4196

祭司は指でその罪祭の血を取り、燔祭の祭壇の角にそれを塗り、残りの血は燔祭の祭壇のもとに注がなければならない。

26 וְאֶת־ כָּל־ חֶלְבֹּ֖ו יַקְטִ֣יר הַמִּזְבֵּ֑חָה כְּחֵ֣לֶב זֶ֧בַח הַשְּׁלָמִ֛ים
そして すべての その–脂肪を 焼いて–煙にする 祭壇の–上で 脂肪の–ように いけにえの 和解の
H0853 H3605 H2459 H4196 H2077 H8002

וְכִפֶּ֥ר עָלָ֛יו הַכֹּהֵ֖ן מֵחַטָּאתֹ֑ו וְנִסְלַ֣ח לֹ֔ו׃ פ
そして–贖う 彼の–ために 祭司が 彼の–罪から そして–赦される 彼は —
H3548 H5545

また、そのすべての脂肪は、酬恩祭の犠牲の脂肪と同じように、祭壇の上で焼かなければならない。こうして、祭司が彼のためにその罪のあがないをするならば、彼はゆるされるであろう。

27 וְאִם־ נֶ֤פֶשׁ אַחַת֙ מֵעַ֣ם הָאָ֔רֶץ בִּשְׁגָגָ֕ה בַּעֲשֹׂתָ֖הּ תֶּחֱטָ֣א אַחַ֑ת
そして–もし 人が 一人 罪を–犯すなら 過ちにより 民の–中から 地の 行ったとき 一つを
H0259 H5315 H0259 H2398 H7684 H0776 H6213 H0259

וְאָשֵֽׁם׃ תֵּעָשֶׂ֔ינָה לֹ֣א אֲשֶׁ֔ר יְהוָ֖ה מִמִּצְוֹ֥ת
そして–咎があるなら 行っては–ならない–事の ない それは 主の 戒めの–中から
H0816 H3808 H3068 H4687

また一般の人がもしあやまって罪を犯し、主のいましめにそむいて、してはならないことの一つをして、とがを得、

28 וְהֵבִ֣יא קָרְבָּנֹ֔ו חַטָּאתֹ֣ו אֲשֶׁר־ חָטָ֑א אֹ֣ו הוֹדַ֤ע אֵלָיו֙
そして–持って–来る 彼の–捧げ物として 彼の–罪が それは 犯した または 知らされたなら
H0935 H2398 H0413 H3045

חַטָּאת֖ וְנִקְבָּ֣ה תְמִימָ֑ה עַל־ חַטָּאתֹ֥ו אֲשֶׁר־ חָטָֽא׃ שְׂעִרַ֣ת עִזִּ֔ים
罪の–捧げ物 雌を 傷の–ない の–ために 彼の–罪の それは 犯した 雌の–山羊を 山羊の
H1931 H5347 H8549 H5795 H8166

その犯した罪を知るようになったときは、その犯した罪のために供え物として雌やぎの全きものを連れてきて、

29 וְסָמַךְ֙ אֶת־יָדוֹ֙ עַל־רֹ֣אשׁ הַֽחַטָּ֔את וְשָׁחַ֖ט אֶת־הַֽחַטָּ֑את
そして-置く を 手を の-上に 頭の 罪の-捧げ物の そして-屠る を 罪の-捧げ物を
H5564 H0853 H3027 H0853 H0853

בִּמְקֹ֖ום הָעֹלָֽה׃
場所で 全焼の-捧げ物の
H4725

その罪祭の頭に手を置き、燔祭をほふる場所で、その罪祭をほふらなければならない。

30 וְלָקַ֤ח הַכֹּהֵן֙ מִדָּמָ֔הּ בְּאֶצְבָּעֹ֖ו וְנָתַ֣ן עַל־קַרְנֹ֣ת מִזְבַּ֔ח
そして-取る 祭司が その-血の-一部を 指で そして-つける 角の 祭壇の
H3947 H3548 H1818 H0676 H5414 H4196

וְאֶת־כָּל־דָּמָ֖הּ יִשְׁפֹּ֣ךְ אֶל־יְסֹ֣וד הַמִּזְבֵּֽחַ׃
そして すべての その-血を 注ぎ出す に 土台の 祭壇の
H0853 H3605 H1818 H8210 H0413 H3247 H4196

そして祭司は指でその血を取り、燔祭の祭壇の角にこれを塗り、残りの血をことごとく祭壇のもとに注がなければならない。

31 וְאֶת־כָּל־חֶלְבָּ֣הּ יָסִ֔יר כַּאֲשֶׁ֥ר הוּסַ֖ר חֵ֣לֶב מֵעַ֣ל
そして すべての その-脂肪を 取り除く ちょうど-同じように 取り除かれる 脂肪が から
H0853 H3605 H2459 H5493 H5493 H2459

וְהִקְטִ֤יר הַכֹּהֵן֙ הַמִּזְבֵּ֔חָה לְרֵ֥יחַ נִיחֹ֖חַ לַֽיהוָ֑ה
そして-焼いて-煙にする 祭司が 祭壇の-上で 良い-香りの-ために なだめの
H7381 H3548 H4196 H7381 H5207

וְכִפֶּ֥ר עָלָ֛יו הַכֹּהֵ֖ן וְנִסְלַ֥ח לֹֽו׃ פ
そして-贖う 彼の-ために 祭司が そして-赦される 彼は —
H5545 H3548 H3068

またそのすべての脂肪は酬恩祭の犠牲から脂肪を取るのと同じように取り、これを祭壇の上で焼いて主にささげる香ばしいかおりとしなければならない。こうして祭司が彼のためにあがないをするならば、彼はゆるされるであろう。

32 וְאִם־כֶּ֥בֶשׂ יָבִ֛יא קָרְבָּנֹ֖ו לְחַטָּ֑את נְקֵבָ֖ה
そして-もし 子羊を 持って-来るなら 彼の-捧げ物として 罪の-捧げ物の-ために 雌で
H3532 H0935 H5347

תְּמִימָ֖ה יְבִיאֶֽנָּה׃
傷の-ないものを 持って-来なければならない
H8549 H0935

もし小羊を罪祭のために供え物として連れてくるならば、雌の全きものを連れてこなければならない。

33 וְסָמַךְ֙ אֶת־יָדֹ֔ו עַל־רֹ֖אשׁ הַֽחַטָּ֑את וְשָׁחַ֣ט אֹתָ֔הּ לְחַטָּ֖את
そして-置く を 手を の-上に 頭の 罪の-捧げ物の そして-屠る それを 罪の-捧げ物として
H5564 H0853 H3027 H0853 H0853

בִּמְקֹ֗ום אֲשֶׁ֤ר יִשְׁחַט֙ אֶת־הָעֹלָ֔ה׃
場所で そこでは 屠る を 全焼の-捧げ物を
H4725 H0853

その罪祭の頭に手を置き、燔祭をほふる場所で、これをほふり、罪祭としなければならない。

34 וְלָקַח הַכֹּהֵן מִדַּם הַחַטָּאת בְּאֶצְבָּעוֹ וְנָתַן עַל־קַרְנֹת
そして-取る 祭司が 血の-一部を 罪の-捧げ物の 指で そして-つける の-上に 角の
H3947 H3548 H1818 H2398 H0676 H5414 H5414

הַמִּזְבָּחַ וְאֶת־כָּל־דָּמָהּ יִשְׁפֹּךְ אֶל־יְסוֹד הַמִּזְבֵּחַ׃
祭壇の 全焼の-捧げ物の そして すべての その-血を 注ぎ出す に 土台の 祭壇の
H4196 H0853 H3605 H1818 H8210 H0413 H3247 H4196

そして祭司は指でその罪祭の血を取り、燔祭の祭壇の角にそれを塗り、残りの血はことごとく祭壇のもとに注がなければならない。

35 וְאֶת־כָּל־חֶלְבָּהּ יָסִיר כַּאֲשֶׁר יוּסַר חֵלֶב־הַכֶּשֶׂב
そして すべての その-脂肪を 取り除く ちょうど-同じように 取り除かれる 脂肪が 子羊の
H0853 H3605 H2459 H5493 H0834 H5493 H2459 H3775

מִזֶּבַח וְהִקְטִיר הַכֹּהֵן אֹתָם עַל הַמִּזְבֵּחַ עַל אִשֵּׁי יְהוָה
から 和解の-いけにえの そして-焼いて-煙にする 祭司が それらを 祭壇の-上で の-上に 火による-捧げ物の 主の
H2077 H8002 H7001 H3548 H0853 H4196 H5921 H0801 H3068

וְכִפֶּר עָלָיו הַכֹּהֵן עַל־חַטָּאתוֹ אֲשֶׁר־חָטָא וְנִסְלַח לוֹ׃ פ
そして-贖う 彼の-ために 祭司が の-ために 彼の-罪の それは 犯した そして-赦される 彼は —
H3722 H5921 H3548 H5921 H2403 H0834 H2398 H5545 H0000

またそのすべての脂肪は酬恩祭の犠牲から小羊の脂肪を取るのと同じように取り、祭司はこれを主にささげる火祭のように祭壇の上で焼かなければならない。こうして祭司が彼の犯した罪のためにあがないをするならば、彼はゆるされるであろう。

Chapter 5

1 וְנֶפֶשׁ כִּי־תֶחֱטָא וְשָׁמְעָה קוֹל אָלָה וְהוּא עֵד אוֹ
もし-人が もし 罪を-犯し そして-聞いた 誓いの 声を そして-彼は 証人であり あるいは
H5315 H3588 H2398 H8085 H0423 H7621 H1931 H5707 H0176

רָאָה אוֹ יָדָע אִם־לֹא יַגִּיד וְנָשָׂא עֲוֹנוֹ׃
見た あるいは 知っていた もし ない 告げるなら そして-負う その-咎を
H7200 H0176 H3045 H0518 H3808 H5046 H5375 H5771

もし人が証人に立ち、誓いの声を聞きながら、その見たこと、知っていることを言わないで、罪を犯すならば、彼はそのとがを負わなければならない。

2 אוֹ נֶפֶשׁ אֲשֶׁר תִּגַּע בְּכָל־דָּבָר טָמֵא אוֹ בְנִבְלַת חַיָּה טְמֵאָה
あるいは 人が もし 触れた すべての 物に 汚れた あるいは 死体に 獣の 汚れた
H0176 H5315 H0834 H5060 H3605 H1697 H2931 H0176 H5038 H2416 H2931

אוֹ בְנִבְלַת בְּהֵמָה טְמֵאָה אוֹ בְנִבְלַת שֶׁרֶץ טָמֵא וְנֶעְלַם
あるいは 死体に 家畜の 汚れた あるいは 死体に 這うものの 汚れた そして-隠れていて
H0176 H5038 H0929 H2931 H0176 H5038 H8318 H2931 H5956

מִמֶּנּוּ וְהוּא טָמֵא וְאָשֵׁם׃
彼から 彼は 汚れ 罪ある-者となった
H4480 H1931 H2931 H0816

また、もし人が汚れた野獣の死体、汚れた家畜の死体、汚れた這うものの死体など、すべて汚れたものに触れるならば、そのことに気づかなくても、彼は汚れたものとなって、とがを得る。

3

בָּהּ	יִטְמָא	אֲשֶׁר	טֻמְאָתוֹ	לְכֹל	אָדָם	בְּטֻמְאַת	יִגַּע	כִּי	אוֹ
それに	汚れる	それによって	その–汚れに	すべての	人の	汚れに	触れた	もし	あるいは
			H2932	H3605	H0120	H2932	H5060		

וְאָשֵׁם׃	יָדַע	וְהוּא	מִמֶּנּוּ	וְנֶעְלַם	
罪ある–者となった	知り	そして–彼は	彼から	そして–隠れていて	
H0816	H3045	H1931		H5956	

また、もし彼が人の汚れに触れるならば、その人の汚れが、どのような汚れであれ、それに気づかなくても、彼がこれを知るようになった時は、とがを得る。

4

לְכֹל	לְהֵיטִיב	אוֹ	וּלְהָרַע	בִּשְׂפָתַיִם	לְבַטֵּא	תִּשָּׁבַע	כִּי	נֶפֶשׁ	אוֹ
すべての	善を–なすか	あるいは	害を–なすか	唇で	軽率に	誓って	もし	人が	あるいは
H3605	H3190			H8193	H0981	H7650		H5315	

יָדַע	וְהוּא־	מִמֶּנּוּ	וְנֶעְלַם	בִּשְׁבֻעָה	הָאָדָם	יְבַטֵּא	אֲשֶׁר
知り	そして–彼は	彼から	そして–隠れていて	誓いによって	人が	軽率に–語る	ことについて
H3045	H1931		H5956	H7621	H0120	H0981	

מֵאֵלֶּה׃	לְאַחַת	וְאָשֵׁם
これらの	一つに–ついて	罪ある–者となった
H0428	H0259	H0816

また、もし人がみだりにくちびるで誓い、悪をなそう、または善をなそうと言うならば、その人が誓ってみだりに言ったことは、それがどんなことであれ、それに気づかなくても、彼がこれを知るようになった時は、これらの一つについて、とがを得る。

5

אֲשֶׁר	וְהִתְוַדָּה	מֵאֵלֶּה	לְאַחַת	וְאָשֵׁם	כִּי־	וְהָיָה	
その	そして–告白し	これらの	一つに–ついて	罪ある–者となった	もし	そして–なる	
	H3034	H0428	H0259	H0816		H1961	

עָלֶיהָ׃	חָטָא
それについて	罪を–犯した
	H2398

もしこれらの一つについて、とがを得たときは、その罪を犯したことを告白し、

6

חָטָא	אֲשֶׁר	חַטָּאתוֹ	עַל	לַיהוָה	אֲשָׁמוֹ	אֶת־	וְהֵבִיא	
犯した	その	その–罪の	〜の–ための	主に	その–罪の–償いを	[を]	そして–持って–来る	
H2398				H3068	H0817	H0853	H0935	

וְכִפֶּר	לְחַטָּאת	עִזִּים	שְׂעִירַת	אוֹ־	כִּשְׂבָּה	הַצֹּאן	מִן־	נְקֵבָה	
そして–贖う	罪の–献げ物として	やぎの	雌の–やぎを	あるいは	子羊か	群れの	〜から	雌の	
		H5795	H8166		H3776	H6629		H5347	

מֵחַטָּאתוֹ׃	הַכֹּהֵן	עָלָיו
その–罪から	祭司が	彼の–ために
	H3548	

その犯した罪のために償いとして、雌の家畜、すなわち雌の小羊または雌やぎを主のもとに連れてきて、罪祭としなければならない。こうして祭司は彼のために罪のあがないをするであろう。

7 וְאִם־ לֹא תַגִּיעַ יָדוֹ דֵּי שֶׂה וְהֵבִיא
そして–もし ない 届かない その–手が 十分な 羊に そして–持って–来る
H3808 H5060 H3027 H1767 H7716 H0935

אֶת־ אֲשֶׁר חָטָא שְׁתֵּי תֹרִים אוֹ־ שְׁנֵי בְּנֵי־ יוֹנָה לַיהוָה אֶחָד
[を] その 犯した 二羽の 山鳩か 二羽の 子の 鳩を 主に 一羽を
H0853 H2398 H8147 H8449 H8147 H1121 H3123 H3068 H0259

אֶשְׁמּוֹ לְחַטָּאת וְאֶחָד לְעֹלָה׃
その–罪の–償いを 罪の–献げ物として そして–一羽を 全焼の–献げ物として
H0817 H0259

もし小羊に手のとどかない時は、山ばと二羽か、家ばとのひな二羽かを、彼が犯した罪のために償いとして主に携えてきて、一羽を罪祭に、一羽を燔祭にしなければならない。

8 וְהֵבִיא אֹתָם אֶל־ הַכֹּהֵן וְהִקְרִיב אֵת־ אֲשֶׁר לַחַטָּאת רִאשֹׁנָה וּמָלַק אֶת־ רֹאשׁוֹ מִמּוּל עָרְפּוֹ
そして–持って–来る それらを ～に 祭司の–もとに そして–献げる [を] その 罪の–献げ物の–ための 最初の–ものを そして–ちぎる その–頭を ～の–前で その–首の–うしろの
H0935 H0853 H0413 H3548 H7126 H0853 H7223 H4454 H0853 H4136 H6203

וְלֹא יַבְדִּיל׃
しかし–ない 切り–離さない
H3808 H0914

すなわち、これらを祭司に携えてきて、祭司はその罪祭のものを先にささげなければならない。すなわち、その頭を首の根のところで、摘み破らなければならない。ただし、切り離してはならない。

9 וְהִזָּה מִדַּם הַחַטָּאת עַל־ קִיר הַמִּזְבֵּחַ וְהַנִּשְׁאָר בַּדָּם יִמָּצֶה אֶל־ יְסוֹד הַמִּזְבֵּחַ חַטָּאת הִוא׃
そして–振りかける 血を 罪の–献げ物の ～の–上に 壁に 祭壇の そして–残りの 血を 絞り–出す ～に 土台に 祭壇の 罪の–献げ物 それは
H1818 H2398 H5921 H7023 H4196 H7604 H1818 H4680 H0413 H3247 H4196 H2403 H1931

そしてその罪祭の血を祭壇の側面に注ぎ、残りの血は祭壇のもとに絞り出さなければならない。これは罪祭である。

10 וְאֶת־ הַשֵּׁנִי יַעֲשֶׂה עֹלָה כַּמִּשְׁפָּט וְכִפֶּר עָלָיו הַכֹּהֵן מֵחַטָּאתוֹ אֲשֶׁר־ חָטָא וְנִסְלַח לוֹ׃ ס
そして–[を] 第二の–ものを 作る 全焼の–献げ物として 定めに–従って そして–贖う 彼の–ために 祭司が その–罪から その 犯した そして–赦される 彼は [区切り]
H0853 H8145 H6213 H5930 H4941 H3722 H3548 H2403 H0834 H2398 H5545 H0000

また第二のものは、定めにしたがって燔祭としなければならない。こうして、祭司が彼のためにその犯した罪のあがないをするならば、彼はゆるされるであろう。

11 וְאִם־ לֹא֩ תַשִּׂ֨יג יָדוֹ֙ לִשְׁתֵּ֣י תֹרִ֔ים אוֹ֙ לִשְׁנֵ֣י בְנֵי־ יוֹנָ֔ה
そして–もし ない 届かない その–手が 二羽の 山鳩か あるいは 二羽の 子の 鳩に
H3808 H5381 H3027 H8147 H8449 H8147 H1121 H3123

וְהֵבִ֞יא אֶת־ קָרְבָּנ֣וֹ אֲשֶׁר־ חָטָ֗א עֶשִׂירִת֙ הָאֵפָ֣ה סֹ֔לֶת
そして–持って–来る [を] その–献げ物を その 犯した 十分の–一の エパの 上等の–小麦粉を
H0935 H0853 H3027 H2398 H6224 H0374 H5560

לְחַטָּ֑את לֹא־ יָשִׂ֤ים עָלֶ֙יהָ֙ שֶׁ֔מֶן וְלֹא־ יִתֵּ֥ן עָלֶ֖יהָ לְבֹנָ֑ה כִּ֥י
罪の–献げ物として ない 置く その–上に 油を そして–ない 置く その–上に 乳香を なぜなら
H2398 H3808 H5414 H3828

חַטָּ֥את הִֽוא׃
それは 罪の–献げ物
H1931

もし二羽の山ばとにも、二羽の家ばとのひなにも、手の届かないときは、彼の犯した罪のために、供え物として麦粉十分の一エパを携えてきて、これを罪祭としなければならない。ただし、その上に油をかけてはならない。またその上に乳香を添えてはならない。これは罪祭だからである。

12 וְהֵבִיאָ֣הּ אֶל־ הַכֹּהֵ֗ן וְקָמַ֤ץ הַכֹּהֵן֙ מִמֶּ֔נָּה מְלֹ֖וא קֻמְצ֑וֹ
そして–それを–持って–来る ～に 祭司の–もとに そして–つかむ 祭司が それから 満ちた
H0935 H0413 H3548 H7061 H3548 H4393

וְהִקְטִ֣יר הַמִּזְבֵּ֔חָה עַ֚ל אִזְכָּרָתָ֣הּ אֶת־ קֻמְצ֔וֹ
そして–焼いて–煙とする 祭壇の–上で ～の–上で その–記念の–分を [を] その–ひとつかみの
H7062 H0853 H0234 H4196 H7062

חַטָּ֥את הִֽוא׃ יְהוָ֖ה אִשֵּׁ֑י
それは 罪の–献げ物 主への 火による–献げ物の
H1931 H3068 H0801

彼はこれを祭司のもとに携えて行き、祭司は一握りを取って、記念の分とし、これを主にささげる火祭のように、祭壇の上で焼かなければならない。これは罪祭である。

13 וְכִפֶּ֤ר עָלָיו֙ הַכֹּהֵ֔ן עַל־ חַטָּאת֖וֹ אֲשֶׁר־ חָטָ֣א מֵאַחַ֑ת מֵאֵ֣לֶּה
そして–贖う 彼の–ために 祭司が ～について その–罪から その 犯した 一つから これらの
H3722 H5921 H3548 H5921 H2403 H0834 H2398 H0259 H0428

וְנִסְלַ֣ח לֽוֹ׃ וְהָיְתָ֥ה לַכֹּהֵ֖ן כַּמִּנְחָ֑ה ס׃
そして–赦される 彼は そして–それは–なる 祭司の–ものと 穀物の–献げ物の–ように [区切り]
H5545 H0003 H1961 H3548 H4503 H0005

こうして、祭司が彼のため、すなわち、彼がこれらの一つを犯した罪のために、あがないをするならば、彼はゆるされるであろう。そしてその残りは素祭と同じく、祭司に帰するであろう』」。

14 וַיְדַבֵּ֥ר יְהוָ֖ה אֶל־ מֹשֶׁ֥ה לֵאמֹֽר׃
そして–語った 主は ～に モーセに 言って
H1696 H3068 H0413 H4872 H0559

主はまたモーセに言われた、

15 נֶ֣פֶשׁ כִּֽי־ תִמְעֹ֣ל וְחָטְאָ֗ה בִּשְׁגָגָה֙ מִקָּדְשֵׁ֣י יְהוָ֔ה
人が もし 不実を-行い そして-罪を-犯した 過ちによって 聖なる-ものに-対して 主の
H5315 H4603 H4604 H2398 H7684 H6944 H3068

וְהֵבִיא֙ אֶת־ אֵילוֹ֙ לַיהוָ֔ה אֲשָׁמ֖וֹ מִן־ הַצֹּ֑אן מִן־ תְּמִימִ֣ם
そして-持って-来る [を] その-罪の-償いを 主に 雄羊を ～から 傷の-ない 群れから
H0935 H0853 H0817 H3068 H0835 H8549 H6629

לְאָשָׁ֔ם בְּשֶׁקֶל־ הַקֹּ֖דֶשׁ שְׁקָלִ֑ים כֶּ֣סֶף־ בְּעֶרְכֶּ֔ךָ׃
罪の-償いとして 聖所の シェケルの シェケルで 銀の あなたの-評価額に-よる
H0817 H6944 H8255 H8255 H3701 H6187

「もし人が不正をなし、あやまって主の聖なる物について罪を犯したときは、その償いとして、あなたの値積りにしたがい、聖所のシケルで、銀数シケルに当る雄羊の全きものを、群れのうちから取り、それを主に携えてきて、愆祭としなければならない。

16 וְאֶת־ אֲשֶׁר֙ חָטָ֣א מִן־ הַקֹּ֔דֶשׁ יְשַׁלֵּ֖ם וְאֶת־ חֲמִישִׁתּ֣וֹ
そして-[を] その 罪を-犯した ～から 聖なる-ものから 償う そして-[を] その-五分の-一を
H0853 H0834 H2398 H4480 H6944 H7999 H0853 H2549

וְנָתַ֤ן עָלָיו֙ וְאֶת־ הָאֵ֔יל בְּאֵיל֙ הַכֹּהֵ֔ן וְהִכַּפֶּ֥ר יוֹסֵ֖ף
そして-与える その-上に 加える それを 雄羊で 罪の-償いの 祭司に そして-祭司は 贖う 彼の-ために
H5414 H5921 H3254 H0853 H0835 H0817 H3548 H3548 H3722 H5921

לוֹ׃ וְנִסְלַ֖ח וְהָאָשָׁ֑ם פ
彼は そして-赦される 雄羊で [区切り]
H0853 H5545 H0817

そしてその聖なる物について犯した罪のために償いをし、またその五分の一をこれに加えて、祭司に渡さなければならない。こうして祭司がその愆祭の雄羊をもって、彼のためにあがないをするならば、彼はゆるされるであろう。

17 וְאִם־ נֶ֣פֶשׁ כִּֽי תֶחֱטָ֗א וְעָשְׂתָ֤ה אַחַת֙ מִכָּל־ מִצְוֹת֙ יְהוָ֔ה אֲשֶׁ֖ר
そして-もし 人が もし 罪を-犯し そして-行い 一つを すべての 戒めに 主の それは
H0518 H5315 H3588 H2398 H6213 H0259 H4480 H4687 H3068 H0834

לֹ֣א תֵעָשֶׂ֔ינָה וְלֹ֣א יָדַ֔ע וְאָשֵׁ֖ם וְנָשָׂ֥א עֲוֹנֽוֹ׃
ない 行ってはならないもの そして-ない 知らなくても 罪あり そして-負う その-咎を
H3808 H6213 H3808 H3045 H0816 H5375 H5771

また人がもし罪を犯し、主のいましめにそむいて、してはならないことの一つをしたときは、たといそれを知らなくても、彼は罪を得、そのとがを負わなければならない。

18 לְאָשָׁ֔ם בְּעֶרְכֶּ֣ךָ הַכֶּ֔בֶשׂ מִן־ הַצֹּ֣אן מִן־ תְּמִימִ֣ם אַיִל֙ וְהֵבִיא֙
罪の-償いとして あなたの-評価額に-よる 群れから ～から 傷の-ない 雄羊を そして-持って-来る
H0817 H6187 H6629 H4480 H8549 H0352 H0935

שְׁגָגָ֖תוֹ אֲשֶׁר־ שָׁגָ֑ג עַל֙ הַכֹּהֵ֔ן עָלָיו֙ וְכִפֶּ֣ר הַכֹּהֵ֔ן אֶל־
その-過ちから その 犯した ～について 祭司が 彼の-ために そして-贖う 祭司の-もとに ～に
H7684 H0834 H7683 H5921 H3548 H5921 H3722 H3548 H0413

וְנִסְלַ֖ח לוֹ׃ יָדַ֔ע לֹ֣א וְהוּא֙
そして-赦される 彼は 知らなかった ない そして-彼は
H5545 H3045 H3808 H1931

彼はあなたの値積りにしたがって、雄羊の全きものを群れのうちから取り、愆祭としてこれを祭司のもとに携えてこなければならない。こうして、祭司が彼のために、すなわち彼が知らないで、しかもあやまって犯した過失のために、あがないをするならば、彼はゆるされるであろう。

19 אָשָׁ֥ם הוּא֙ אָשֹׁ֣ם אָשַׁ֔ם לַיהוָ֖ה׃ פ
罪の-償い それは 確かに 罪を-犯した 主に-対して [区切り]
H0817 H1931 H0816 H0816 H3068

これは愆祭である。彼は確かに主の前にとがを得たからである」。

Chapter 6

1 וַיְדַבֵּר יְהוָה אֶל־מֹשֶׁה לֵּאמֹר׃
そして-語った 主は ～に モーセに 言って
H1696 H3068 H0413 H4872 H0559

主はまたモーセに言われた、

2 נֶפֶשׁ כִּי תֶחֱטָא מַעַל וּמָעֲלָה בַּיהוָה וְכִחֵשׁ בַּעֲמִיתוֹ
人が もし 罪を-犯し 不正を そして-不実を-行い 主に-対して そして-欺いた その-隣人を
H5315 H3588 H2398 H4604 H4603 H3068 H3584 H5997

אוֹ בִּפְקֻדּוֹן אוֹ בִּגְזֵל אוֹ עָשָׁק
あるいは 預かり物に-ついて あるいは 強奪に-ついて あるいは 搾取した
H0176 H6487 H0176 H1498 H0176 H6231

אֶת־עֲמִיתוֹ׃ אוֹ בִּתְשׂוּמֶת יָד אוֹ
[を] その-隣人を 手付けに-ついて 手の あるいは
H0853 H5997 H8667 H3027 H0176

「もし人が罪を犯し、主に対して不正をなしたとき、すなわち預かり物、手にした質草、またはかすめた物について、その隣人を欺き、あるいはその隣人をしえたげ、

3 אוֹ מָצָא אֲבֵדָה וְכִחֵשׁ בָּהּ וְנִשְׁבַּע עַל־שֶׁקֶר
あるいは 見つけた 落とし物を そして-否認し それを そして-誓った ～の-上に 偽りの
H0176 H4672 H0009 H3584 H7650 H8267

עַל־אַחַת מִכָּל אֲשֶׁר יַעֲשֶׂה הָאָדָם לַחֲטֹא בָּהֵנָּה׃
～に-ついて 一つの すべての その 行う 人が 罪を-犯す これらに-おいて
H0259 H3605 H0834 H6213 H0120 H2398 H2007

あるいは落し物を拾い、それについて欺き、偽って誓うなど、すべて人がそれをなして罪となることの一つについて、

4 וְהָיָה כִּי־יֶחֱטָא וְאָשֵׁם וְהֵשִׁיב אֶת־הַגְּזֵלָה אֲשֶׁר
そして-なる もし 罪を-犯し 罪ある-者と-なった そして-返す [を] その-奪った-物を その
H1961 H3588 H2398 H0816 H7725 H0853 H1500 H0834

גָּזָל אוֹ אֶת־הָעֹשֶׁק אֲשֶׁר עָשָׁק אוֹ אֶת־הַפִּקָּדוֹן אֲשֶׁר
奪った あるいは [を] その-搾取した-物を 搾取した その あるいは [を] その-預かり物を その
H1497 H0176 H0853 H6233 H0834 H6231 H0176 H0853 H6487 H0834

הָפְקַד אֹתוֹ אוֹ אֶת־הָאֲבֵדָה אֲשֶׁר מָצָא׃
預けられた 彼に あるいは [を] その-落とし物を その 見つけた
H6485 H0854 H0176 H0853 H0009 H0834 H4672

罪を犯し、とがを得たならば、彼はそのかすめた物、しえたげて取った物、預かった物、拾った落し物、

5 אוֹ מִכֹּל אֲשֶׁר יִשָּׁבַע עָלָיו לַשֶּׁקֶר וְשִׁלַּם אֹתוֹ
あるいは すべてから その 誓った 上に-その 偽りで そして-償う それを
H0176 H3605 H0834 H7650 H5921 H8267 H7999 H0853

בְּרֹאשׁוֹ וַחֲמִשְׁתָּיו יֹסֵף עָלָיו לַאֲשֶׁר הוּא לוֹ יִתְּנֶנּוּ
その-元金で そして-その-五分の-一を 加える 上に-その その-人に それは 彼の-もの 与える
H7218 H2549 H3254 H5921 H0834 H1931 H0 H5414

בְּיוֹם אַשְׁמָתוֹ׃
～の-日に その-罪の-償いの
H3117 H0817

または偽り誓ったすべての物を返さなければならない。すなわち残りなく償い、更にその五分の一をこれに加え、彼が愆祭をささげる日に、これをその元の持ち主に渡さなければならない。

6 וְאֶת־ H0853 そして-[を] | אֲשָׁמוֹ H0817 その-罪の-償いを | יָבִיא H0935 持って-来る | לַיהוָה H3068 主に | אַיִל H0352 雄羊を | תָּמִים H8549 傷の-ない | מִן־ H4480 ～から | הַצֹּאן H6629 群れから

הַכֹּהֵן׃ H3548 祭司の-もとに | אֶל־ H0413 ～に | לְאָשָׁם H0817 罪の-償いとして | בְּעֶרְכְּךָ H6187 あなたの-評価額に-よる

彼はその償いとして、あなたの値積りにしたがい、雄羊の全きものを、群れの中から取り、これを祭司のもとに携えてきて、愆祭として主にささげなければならない。

7 וְכִפֶּר H3722 そして-贖う | עָלָיו H5921 彼の-ために | הַכֹּהֵן H3548 祭司が | לִפְנֵי H6440 ～の-前で | יְהוָה H3068 主の | וְנִסְלַח H5545 そして-赦される | לוֹ H0 彼は | עַל־ H5921 ～に-ついて | אַחַת H0259 一つの

פ [区切り] | בָּהּ׃ H0 それに-おいて | לְאַשְׁמָה H0819 罪を-犯す | יַעֲשֶׂה H6213 行う | אֲשֶׁר־ H834 その | מִכֹּל H3605 すべてから

こうして、祭司が主の前で彼のためにあがないをするならば、彼はそのいずれを行ってとがを得てもゆるされるであろう」。

8 וַיְדַבֵּר H1696 そして-語った | יְהוָה H3068 主は | אֶל־ H0413 ～に | מֹשֶׁה H4872 モーセに | לֵאמֹר׃ H0559 言って

主はまたモーセに言われた、

9 צַו H6680 命じよ | אֶת־ H853 [を] | אַהֲרֹן H0175 アロンと | וְאֶת־ H853 そして-[を] | בָּנָיו H1121 その-子らに | לֵאמֹר H0559 言って | זֹאת H2063 これは | תּוֹרַת H8451 おきてである | הָעֹלָה H5930 全焼の-献げ物の

הָעֹלָה H5930 全焼の-献げ物 | עַל־ H5921 ～の-上の | הִוא H1931 それは | הָעֹלָה H5930 全焼の-献げ物 | עַל־ H5921 ～の-上の | מוֹקְדָה H4169 燃える-所の | עַל־ H5921 ～の-上の | הַמִּזְבֵּחַ H4196 祭壇の | כָּל־ H3605 すべての | הַלַּיְלָה H3915 夜の-間 | עַד־ H5704 ～まで

בּוֹ׃ H0 その-上で | תּוּקַד H3344 燃え-続ける | הַמִּזְבֵּחַ H4196 祭壇の | וְאֵשׁ H0784 そして-火は | הַבֹּקֶר H1242 朝まで

「アロンとその子たちに命じて言いなさい、『燔祭のおきては次のとおりである。燔祭は祭壇の炉の上に、朝まで夜もすがらあるようにし、そこに祭壇の火を燃え続かせなければならない。

10 וְלָבַשׁ H3847 そして-着る | הַכֹּהֵן H3548 祭司は | מִדּוֹ H4055 その-衣を | בַּד H906 亜麻布の | וּמִכְנְסֵי־ H4370 そして-下着を | בַּד H906 亜麻布の | עַל־ H5921 ～の-上に | בְּשָׂרוֹ H1320 その-肌の

עַל־ H5921 ～の-上の | הָעֹלָה H5930 全焼の-献げ物を | אֶת־ H853 [を] | הָאֵשׁ H784 火が | תֹּאכַל H398 食い-尽くした | אֲשֶׁר H834 その | הַדֶּשֶׁן H1880 その-灰を | אֶת־ H853 [を] | וְהֵרִים H7311 そして-取り-除く

הַמִּזְבֵּחַ׃ H4196 祭壇の | אֵצֶל H681 ～の-そばに | וְשָׂמוֹ H7760 そして-置く | הַמִּזְבֵּחַ H4196 祭壇の

祭司は亜麻布の服を着、亜麻布のももひきを身につけ、祭壇の上で火に焼けた燔祭の灰を取って、これを祭壇のそばに置き、

11 וּפָשַׁט֙ אֶת־בְּגָדָ֔יו וְלָבַ֖שׁ בְּגָדִ֣ים אֲחֵרִ֑ים וְהוֹצִ֣יא אֶת־הַדֶּ֔שֶׁן

そして-脱ぐ [を] その-衣を そして-着る 別の 衣を そして-運び-出す その-灰を

H6584 H0853 H0853 H3847 H0312 H3318 H1880

אֶל־מָקוֹם֙ טָה֔וֹר מִח֖וּץ לַֽמַּחֲנֶ֑ה אֶל־מָקוֹם֙ טָה֔וֹר׃

～へ 外の 宿営の ～へ 場所へ 清い

H0413 H2351 H4264 H0413 H4725 H2889

その衣服を脱ぎ、ほかの衣服を着て、その灰を宿営の外の清い場所に携え出さなければならない。

12 וְהָאֵ֕שׁ עַל־הַמִּזְבֵּ֖חַ תּוּקַ֣ד בּ֑וֹ לֹ֥א תִכְבֶּ֖ה וּבִעֵ֣ר עָלֶ֗יהָ הַכֹּהֵן֙ עֵצִ֣ים בַּבֹּ֣קֶר בַּבֹּ֣קֶר וְעָרַ֤ךְ עָלֶ֙יהָ֙ הָעֹלָ֔ה

そして-火は ～の-上の 燃え-続ける ない 消えない そして-燃やす その-上で 祭壇の

H0784 H5921 H3344 H3808 H3518 H1197 H0776 H4196

祭司は 薪を 朝-ごとに 朝-ごとに その-上に そして-並べる 全焼の-献げ物を

H3548 H6086 H1242 H1242 H5921 H6186 H5930

וְהִקְטִ֖יר עָלֶ֑יהָ חֶלְבֵּ֖י הַשְּׁלָמִֽים׃

そして-焼いて-煙とする 脂肪を その-上で 和解の-献げ物の

H6999 H2459 H5921 H8002

祭壇の上の火は、そこに燃え続かせ、それを消してはならない。祭司は朝ごとに、たきぎをその上に燃やし、燔祭をその上に並べ、また酬恩祭の脂肪をその上で焼かなければならない。

13 אֵ֚שׁ תָּמִ֣יד תּוּקַ֔ד עַל־הַמִּזְבֵּ֖חַ לֹ֣א תִכְבֶּ֑ה ס

火は 絶えず 燃え-続ける ～の-上で 祭壇の ない 消えない [区切り]

H0784 H8548 H3344 H5921 H4196 H3808 H3518

火は絶えず祭壇の上に燃え続かせ、これを消してはならない。

14 וְזֹ֣את תּוֹרַ֔ת הַמִּנְחָ֑ה הַקְרֵ֤ב אֹתָהּ֙ בְּנֵי־אַהֲרֹ֔ן לִפְנֵ֖י יְהוָ֥ה

そして-これは おきてである 穀物の-献げ物の それを 献げる 子らが アロンの ～の-前で 主の

H2063 H8451 H4503 H853 H7126 H1121 H175 H6440 H3068

אֶל־פְּנֵ֖י הַמִּזְבֵּֽחַ׃

～の-前で 面の 祭壇の

H0413 H6440 H4196

素祭のおきては次のとおりである。アロンの子たちはそれを祭壇の前で主の前にささげなければならない。

15 וְהֵרִ֣ים מִמֶּ֗נּוּ בְּקֹמְצוֹ֙ מִסֹּ֣לֶת הַמִּנְחָ֔ה וּמִשַּׁמְנָ֖הּ

そして-取る それから その-ひとつかみで 上等の-小麦粉から 穀物の-献げ物の そして-その-油から

H7311 H4480 H7062 H5560 H4503 H8081

וְאֵת֙ כָּל־הַלְּבֹנָ֔ה אֲשֶׁ֖ר עַל־הַמִּנְחָ֑ה וְהִקְטִ֖יר הַמִּזְבֵּ֔חָה

そして-[を] すべての 乳香を その ～の-上の 穀物の-献げ物の そして-焼いて-煙とする

H853 H3605 H3828 H834 H5921 H4503 H6999 H4196

אַזְכָּרָתָ֖הּ נִיחֹ֣חַ רֵ֣יחַ לַֽיהוָ֑ה׃

その-記念の-分として なだめの 香りの 主への

H0234 H5207 H7381 H3068

すなわち素祭の麦粉一握りとその油を、素祭の上にある全部の乳香と共に取って、祭壇の上で焼き、香ばしいかおりとし、記念の分として主にささげなければならない。

16 וְהַנּוֹתֶרֶת מִמֶּנָּה יֹאכְלוּ אַהֲרֹן וּבָנָיו מַצּוֹת תֵּאָכֵל בִּמְקוֹם
そして-残りを それから 食べる アロンと その-子らが 種なし-パンとして 食べる 場所で
H3498 H4682 H0398 H0175 H0398 H4725

קֹדֶשׁ בַּחֲצַר אֹהֶל־מוֹעֵד יֹאכְלוּהָ׃
聖なる 庭で 幕屋の 会見の それを-食べる
H6918 H0168 H4150 H0398

その残りはアロンとその子たちが食べなければならない。すなわち、種を入れずに聖なる所で食べなければならない。会見の幕屋の庭でこれを食べなければならない。

17 לֹא תֵאָפֶה חֶלְקָם נְתַתִּי אֹתָהּ
ない 焼かない 彼らの-分として わたしは-与えた それを
H3808 H0644 H2706 H5414 H0853

וְכָאָשָׁם׃ כַּחַטָּאת הִוא קָדָשִׁים קֹדֶשׁ מֵאִשָּׁי
罪の-償いの-献げ物の-ように 罪の-献げ物と それは 中の-聖 聖の わたしの-火による-献げ物から
H0817 H1931 H6944 H6944 H0801

これは種を入れて焼いてはならない。わたしはこれをわたしの火祭のうちから彼らの分として与える。これは罪祭および愆祭と同様に、いと聖なるものである。

18 כָּל־זָכָר בִּבְנֵי אַהֲרֹן יֹאכְלֶנָּה חָק־עוֹלָם
すべての 男子が 子らの-うちの アロンの それを-食べる 定め 永遠の
H3605 H2145 H1755 H0175 H0398 H2706 H5769

לְדֹרֹתֵיכֶם מֵאִשֵּׁי יְהוָה כֹּל אֲשֶׁר־יִגַּע בָּהֶם
あなたがたの-代々に-わたって 火による-献げ物から 主の すべての その 触れる それらに
H1755 H0801 H3068 H3605 H0801 H5060

פ יִקְדָּשׁ׃
[区切り] 聖なる-者と-なる
H6942

アロンの子たちのうち、すべての男子はこれを食べることができる。これは主にささげる火祭のうちから、あなたがたが代々永久に受けるように定められた分である。すべてこれに触れるものは聖となるであろう』」。

19 וַיְדַבֵּר יְהוָה אֶל־מֹשֶׁה לֵאמֹר׃
そして-語った 主は ～に モーセに 言って
H1696 H3068 H0413 H4872 H0559

主はまたモーセに言われた、

20 זֶה קָרְבַּן אַהֲרֹן וּבָנָיו אֲשֶׁר־יַקְרִיבוּ לַיהוָה בְּיוֹם הִמָּשַׁח
これは 献げ物である アロンと その-子らの その 主に ～の-日に 油-注がれる
H2088 H7133 H0175 H1121 H7126 H3068 H3117 H4886

עֲשִׂירִת הָאֵפָה סֹלֶת מִנְחָה תָּמִיד מַחֲצִיתָהּ בַּבֹּקֶר
十分の-一の エパの 上等の-小麦粉を 穀物の-献げ物として 常に その-半分を 朝に
H6224 H0374 H5560 H4503 H8548 H4276 H1242

וּמַחֲצִיתָהּ בָּעֶרֶב׃ אֹתוֹ
そして-その-半分を 夕べに 彼が
H4276 H6153 H0853

「アロンとその子たちが、アロンの油注がれる日に、主にささぐべき供え物は次のとおりである。すなわち麦粉十分の一エパを、絶えずささげる素祭とし、半ばは朝に、半ばは夕にささげなければならない。

21 עַל־ 〜の–上で H4227 מַחֲבַת 鉄板で H8081 בַּשָּׁמֶן 油で H7246 תֵּעָשֶׂה 作る H0935 מֻרְבֶּכֶת よく–混ぜて H0935 תָּבִיאֶנָּה 持って–来る H8601 תֻּפִינֵי 焼いた–ものを H4503 מִנְחַת 穀物の–献げ物の
פְּתִתִים 砕いた–ものとして H7126 תַּקְרִיב 献げる H7381 רֵיחַ־ 香りの H5207 נִיחֹחַ なだめの H3068 לַיהוָה׃ 主への

それは油をよく混ぜて平鍋で焼き、それを携えてきて、細かく砕いた素祭とし、香ばしいかおりとして、主にささげなければならない。

22 וְהַכֹּהֵן そして–祭司が H3548 הַמָּשִׁיחַ 油–注がれた H4899 תַּחְתָּיו その–代わりに H8478 מִבָּנָיו その–子らから H6213 יַעֲשֶׂה 行う H0853 אֹתָהּ それを H2706 חָק־ 定め H5769 עוֹלָם 永遠の H3068 לַיהוָה 主への
כָּלִיל 全部を H3632 תָּקְטָר׃ 焼いて–煙とする

彼の子たちのうち、油注がれて彼についで祭司となる者は、これをささげなければならない。これは永久に主に帰する分として、全く焼きつくすべきものである。

23 וְכָל־ そして–すべての H3605 מִנְחַת 穀物の–献げ物は H4503 כֹּהֵן 祭司の H3548 כָּלִיל 全部 H3632 תִּהְיֶה である H1961 לֹא ない H3808 תֵּאָכֵל׃ 食べてはならない H0398 פ [区切り]

すべて祭司の素祭は全く焼きつくすべきものであって、これを食べてはならない」。

24 וַיְדַבֵּר そして–語った H1696 יְהוָה 主は H3068 אֶל־ 〜に H0413 מֹשֶׁה モーセに H4872 לֵאמֹר׃ 言って H0559

主はまたモーセに言われた、

25 דַּבֵּר 語れ H1696 אֶל־ 〜に H0413 אַהֲרֹן アロンに H0175 וְאֶל־ そして–〜に H0413 בָּנָיו その–子らに H3441 לֵאמֹר 言って H0559 זֹאת これは H2063 תּוֹרַת おきてである H8451 הַחַטָּאת 罪の–献げ物の
בְּמִקּוֹם 場所で H4725 אֲשֶׁר־ そこで H8104 תִּשְׁחַט 屠る H7819 הָעֹלָה 全焼の–献げ物を H5930 תִּשְׁחַט 屠る H7819 הַחַטָּאת 罪の–献げ物を H6440 לִפְנֵי 〜の–前で H3068 יְהוָה 主の H6944 קֹדֶשׁ 聖の H6944 קָדָשִׁים 中の–聖
הִוא׃ それは H1931

「アロンとその子たちに言いなさい、『罪祭のおきては次のとおりである。罪祭は燔祭をほふる場所で、主の前にほふらなければならない。これはいと聖なる物である。

26 הַכֹּהֵן 祭司が H3548 הַמְחַטֵּא 罪の–献げ物を–行う H2398 אֹתָהּ それを H0853 יֹאכְלֶנָּה 食べる H0398 בִּמְקוֹם 場所で H4725 קֹדֶשׁ 聖なる H6918 תֵּאָכֵל 食べる H0398 בַּחֲצַר 庭で H2691 אֹהֶל 幕屋の H0168 מוֹעֵד׃ 会見の H4150

罪のためにこれをささげる祭司が、これを食べなければならない。すなわち会見の幕屋の庭の聖なる所で、これを食べなければならない。

27 כָּל־ אֲשֶׁר־ יִגַּע בִּבְשָׂרָהּ יִקְדָּשׁ וַאֲשֶׁר יִזֶּה מִדָּמָהּ
すべての その 触れる その-肉に 聖なる-者と-なる そして-もし 振りかかる その-血が
H3605 H0834 H5060 H1320 H6942 H0834 H5137 H1818

עַל־ הַבֶּגֶד אֲשֶׁר יִזֶּה עָלֶיהָ תִּכַּבֵּס בִּמְקוֹם קָדֹשׁ׃
～の-上に 衣に その 振りかかった その-上に 洗う 場所で 聖なる
H5921 H0899 H0834 H5137 H5921 H3526 H4725 H6918

すべてその肉に触れる者は聖となるであろう。もしその血が衣服にかかったならば、そのかかったものは聖なる所で洗わなければならない。

28 וּכְלִי־ חֶרֶשׂ אֲשֶׁר תְּבֻשַּׁל־ בּוֹ יִשָּׁבֵר וְאִם־ בִּכְלִי נְחֹשֶׁת בֻּשָּׁלָה
そして-器は 土の その 煮た その-中で 砕く そして-もし 器で 青銅の 煮たなら
H3627 H2789 H0834 H1310 H0996 H7665 H0518 H3627 H5178 H1310

וְשֻׁטַּף בַּמָּיִם׃ וּמֹרַק
そして-すすぐ 水で そして-磨き
H7857 H4325 H4838

またそれを煮た土の器は砕かなければならない。もし青銅の器で煮たのであれば、それはみがいて、水で洗わなければならない。

29 כָּל־ זָכָר בַּכֹּהֲנִים יֹאכַל אֹתָהּ קֹדֶשׁ קָדָשִׁים הִוא׃
すべての 男子が 祭司の-うちの 食べる それを 聖なる 中の-聖 それは
H3605 H2145 H3548 H0398 H0853 H6944 H6944 H1931

祭司たちのうちのすべての男子は、これを食べることができる。これはいと聖なるものである。

30 וְכָל־ חַטָּאת אֲשֶׁר־ יוּבָא מִדָּמָהּ אֶל־ אֹהֶל מוֹעֵד לְכַפֵּר בַּקֹּדֶשׁ לֹא תֵאָכֵל בָּאֵשׁ תִּשָּׂרֵף׃ פ
そして-すべての 罪の-献げ物で その 持ち-込まれた その-血が 幕屋の 会見の [区切り] 贖うために 聖所で ない 食べてはならない 焼く
H3605 H2403 H0834 H0935 H1818 H0413 H0168 H4150 H6 H3722 H6944 H3808 H0398 H0784 H8313

しかし、その血を会見の幕屋に携えていって、聖所であがないに用いた罪祭は食べてはならない。これは火で焼き捨てなければならない。

Chapter 7

1 וְזֹאת תּוֹרַת הָאָשָׁם קֹדֶשׁ קָדָשִׁים הִוא׃
そして-これは おきてである 罪の-償いの-献げ物の 聖なる 中の-聖 それは
H2063 H8451 H0817 H6944 H6944 H1931

愆祭のおきては次のとおりである。それはいと聖なる物である。

2 וְאֶת־ הָאָשָׁם יִשְׁחֲטוּ אֶת־ עֹלַת בִּמְקוֹם אֲשֶׁר יִשְׁחֲטוּ אֶת־ הָעֹלָה
そして-[を] 罪の-償いの-献げ物を [を] 屠る 全焼の-献げ物を [を] 屠る そこで 場所で
H0853 H0817 H0853 H7819 H5930 H0853 H7819 H0834 H4725

עַל־ הַמִּזְבֵּחַ סָּבִיב׃ יִזְרֹק דָּמוֹ
～の-上に 祭壇の 周りに 振り-かける その-血を
H5921 H4196 H5439 H2236 H1818

愆祭は燔祭をほふる場所でほふらなければならない。そして祭司はその血を祭壇の周囲に注ぎかけ、

3
וְאֶת־ כָּל־ יַקְרִיב מִמֶּנּוּ אֶת הַחֵלֶב חֶלְבּוֹ
そして-[を] すべての 献げる それから [を] 尾の-脂肪を その-脂肪を
H0853 H3605 H7126 H0853 H0451 H2459

הַמְכַסֶּה אֶת־ הַקֶּרֶב׃
覆う [を] 内臓を
H3680 H0853 H7130

そのすべての脂肪をささげなければならない。すなわち脂尾、内臓をおおう脂肪、

4
וְאֶת שְׁתֵּי הַכְּלָיֹת וְאֶת־ הַחֵלֶב אֲשֶׁר עֲלֵיהֶן אֲשֶׁר
そして-[を] 二つの 腎臓を そして-[を] 脂肪を その それらの-上の その
H0853 H8147 H3629 H0853 H2459

עַל־
〜の-上の
H5921

הַכְּסָלִים וְאֶת־ הַיֹּתֶרֶת עַל־ הַכָּבֵד הַכְּלָיֹת וְאֶת־ יְסִירֶנָּה׃
腰の そして-[を] 小葉を 〜の-上の 肝臓の 腎臓と 〜と-共に 取り-除く
H3689 H0853 H3508 H5921 H3516 H3629 H0853 H5493

二つの腎臓とその上の腰のあたりにある脂肪、腎臓と共に取られる肝臓の上の小葉である。

5
וְהִקְטִיר הַכֹּהֵן הַמִּזְבֵּחָה עֹלַת אִשֶּׁה לַיהוָה
そして-焼いて-煙とする それらを 祭司が 祭壇の-上で 火による-献げ物として 主への
H7001 H0853 H3548 H4196 H0801 H3068

אָשָׁם הוּא׃
罪の-償いの-献げ物 それは
H0817 H1931

祭司はこれを祭壇の上で焼いて、主に火祭としなければならない。これは愆祭である。

6
כָּל־ זָכָר בַּכֹּהֲנִים יֹאכְלֶנּוּ בִּמְקוֹם קָדוֹשׁ יֹאכַל קֹדֶשׁ קָדָשִׁים הוּא׃
すべての 男子が 祭司の-うちの それを-食べる 聖なる 場所で 食べる 聖の 中の-聖 それは
H3605 H2145 H3548 H0398 H6918 H4725 H0398 H6944 H6944 H1931

祭司たちのうちのすべての男子は、これを食べることができる。これは聖なる所で食べなければならない。これはいと聖なる物である。

7
כַּחַטָּאת כָּאָשָׁם תּוֹרָה אַחַת לָהֶם הַכֹּהֵן אֲשֶׁר
罪の-献げ物の-ように 罪の-償いの-献げ物の-ように おきては 一つ 彼らの-ための 祭司が その
H0817 H8451 H0259 H3548

לוֹ יִהְיֶה׃ בּוֹ יְכַפֵּר־
彼の-ものと なる それで 贖う
H1961

罪祭も愆祭も、そのおきては一つであって、異なるところはない。これは、あがないをなす祭司に帰する。

8
וְהַכֹּהֵן הַמַּקְרִיב אֶת־ עֹלַת אִישׁ עוֹר עֹלָה אֲשֶׁר הִקְרִיב
そして-祭司が 献げる [を] 全焼の-献げ物を 人の 皮は 全焼の-献げ物の その 献げた
H3548 H7126 H0853 H5785 H0376 H5930 H3548 H7126

לַכֹּהֵן לוֹ יִהְיֶה׃
祭司の-ものと 彼の-ものと なる
H3548 H0376 H1961

人が携えてくる燔祭をささげる祭司、その祭司に、そのささげる燔祭のものの皮は帰する。

9 וְכָל־ מִנְחָה אֲשֶׁר תֵּאָפֶה בַּתַּנּוּר וְכָל־ נַעֲשָׂה בַּמַּרְחֶשֶׁת
そして–すべての 穀物の–献げ物で その 焼いた かまどで そして–すべての 作った 深鍋で
H3605 H4503 H0644 H8574 H3605 H4802

לַכֹּהֵן הַמַּקְרִיב אֹתָהּ לוֹ תִּהְיֶה׃
祭司の–ものと 献げる それを 彼の–ものと なる
H3548 H7126 H0853 H1961

וְעַל־ מַחֲבַת לַכֹּהֵן הַמַּקְרִיב אֹתָהּ לוֹ תִּהְיֶה׃
そして–〜の–上で 鉄板で 祭司の–ものと 献げる それを 彼の–ものと なる
H4227 H3548 H7126 H0853 H1961

すべて天火で焼いた素祭、またすべて深鍋または平鍋で作ったものは、これをささげる祭司に帰する。

10 וְכָל־ מִנְחָה בְּלוּלַת־ בַּשָּׁמֶן וְחֲרֵבָה לְכָל־ בְּנֵי
そして–すべての 穀物の–献げ物で 混ぜた 油で そして–乾いた–ものは すべての 子らの–ものと
H3605 H4503 H8081 H3605

אַהֲרֹן תִּהְיֶה אִישׁ כְּאָחִיו׃ פ
アロンの なる 各自 その–兄弟の–ように [区切り]
H0175 H1961 H0376 H0251

すべて素祭は、油を混ぜたものも、かわいたものも、アロンのすべての子たちにひとしく帰する。

11 וְזֹאת תּוֹרַת זֶבַח הַשְּׁלָמִים אֲשֶׁר יַקְרִיב לַיהוָה׃
そして–これは おきてである いけにえの 和解の–献げ物の その 献げる 主に
H2063 H8451 H2077 H8002 H0834 H7126 H3068

主にささぐべき酬恩祭の犠牲のおきては次のとおりである。

12 אִם עַל־ תּוֹדָה יַקְרִיבֶנּוּ וְהִקְרִיב עַל־ זֶבַח הַתּוֹדָה חַלּוֹת
もし 〜の–ために 感謝の 献げるなら そして–献げる 〜と–共に いけにえの 感謝の 菓子を
H0518 H5921 H8426 H7133 H7126 H5921 H2077 H8426 H2471

מְשֻׁחִים בַּשָּׁמֶן מַצּוֹת וּרְקִיקֵי מַצּוֹת בְּלוּלֹת בַּשָּׁמֶן וְסֹלֶת
塗った 油で 種なしの そして–薄い–パンを 種なしの 混ぜた 油で そして–上等の–小麦粉を
H4886 H8081 H4682 H7550 H4682 H1101 H8081 H5560

מֻרְבֶּכֶת בְּלוּלֹת בַּשָּׁמֶן׃
よく–混ぜた 混ぜた 油で
H7246 H1101 H8081

もしこれを感謝のためにささげるのであれば、油を混ぜた種入れぬ菓子と、油を塗った種入れぬ煎餅と、よく混ぜた麦粉に油を混ぜて作った菓子とを、感謝の犠牲に合わせてささげなければならない。

13 עַל־ חַלַּת לֶחֶם חָמֵץ יַקְרִיב קָרְבָּנוֹ עַל־ זֶבַח תּוֹדַת
〜と–共に 菓子の パンを 酵母入りの 献げる その–献げ物を 〜と–共に いけにえの 感謝の
H5921 H2471 H3899 H2557 H7126 H7133 H5921 H2077 H8426

שְׁלָמָיו׃
和解の–献げ物の
H8002

また種を入れたパンの菓子をその感謝のための酬恩祭の犠牲に合わせ、供え物としてささげなければならない。

14 וְהִקְרִיב מִמֶּנּוּ אֶחָד מִכָּל־ תְּרוּמָה לַיהוָה לַכֹּהֵן
そして–献げる それから 一つを すべての 奉納物として 主に 祭司の–ものと
H7126 H4480 H4480 H0259 H3605 H8641 H3068 H3548

הַזֹּרֵק אֶת־ דַּם הַשְּׁלָמִים לוֹ יִהְיֶה׃
振り–かける [を] 血を 和解の–献げ物の 彼の–ものと なる
H2236 H0853 H1818 H8002 H0834 H1961

すなわちこのすべての供え物のうちから、菓子一つずつを取って主にささげなければならない。これは酬恩祭の血を注ぎかける祭司に帰する。

15 וּבְשַׂר זֶבַח תּוֹדַת שְׁלָמָיו בְּיוֹם קָרְבָּנוֹ יֵאָכֵל לֹא־
そして-肉は いけにえの 感謝の 和解の-献げ物の ～の-日に その-献げ物の 食べる ない
H1320 H2077 H8426 H8002 H3117 H7133 H0398 H3808

יַנִּיחַ מִמֶּנּוּ עַד־בֹּקֶר׃
残してはならない それから ～まで 朝まで
H3240 H4480 H5704 H1242

その感謝のための酬恩祭の犠牲の肉は、その供え物をささげた日のうちに食べなければならない。少しでも明くる朝まで残して置いてはならない。

16 וְאִם־נֶדֶר אוֹ נְדָבָה זֶבַח קָרְבָּנוֹ בְּיוֹם הַקְרִיבוֹ
そして-もし 誓願か あるいは 自発の-献げ物 いけにえの その-献げ物なら ～の-日に 献げた
H1320 H5088 H0176 H5071 H2077 H7133 H3117 H7126

יֵאָכֵל׃ וּמִמָּחֳרָת וְהַנּוֹתָר מִמֶּנּוּ
食べる それから そして-翌日に そして-残りも それから
H0398 H4480 H4283 H3498 H4480

זִבְחוֹ אֶת־ יֵאָכֵל בְּיוֹם הַזָּבַח מִבְשַׂר וְהַנּוֹתָר
その-いけにえを [を] 食べる ～の-日に いけにえの 肉から そして-残りは
H2077 H0853 H0398 H3117 H2077 H1320 H3498

しかし、その供え物の犠牲がもし誓願の供え物、または自発の供え物であるならば、その犠牲をささげた日のうちにそれを食べ、その残りはまた明くる日に食べることができる。

17 בָּאֵשׁ יִשָּׂרֵף׃ הַשְּׁלִישִׁי בַּיּוֹם
焼く 火で 三日目の ～の-日に
H8313 H0784 H7992 H3117

ただし、その犠牲の肉の残りは三日目には火で焼き捨てなければならない。

18 וְאִם הֵאָכֹל יֵאָכֵל מִבְשַׂר שְׁלָמָיו בַּיּוֹם הַשְּׁלִישִׁי
そして-もし 食べること 食べたなら 肉を 和解の-献げ物の ～の-日に 三日目の
H0398 H0398 H1320 H2077 H8002 H3117 H7992

לֹא יֵרָצֶה הַמַּקְרִיב אֹתוֹ לֹא פִּגּוּל יִהְיֶה
ない 受け-入れられない 献げる それを ない 汚れた-ものと なる
H3808 H7521 H7126 H0853 H3808 H6292 H1961

וְהַנֶּפֶשׁ הָאֹכֶלֶת מִמֶּנּוּ עֲוֹנָהּ תִּשָּׂא׃ לוֹ יֵחָשֵׁב
そして-人が 食べる それから その-咎を 負う 彼に 数えられない
H5315 H0398 H4480 H5771 H5375 H0408 H2803

もしその酬恩祭の犠牲の肉を三日目に少しでも食べるならば、それは受け入れられず、また供え物と見なされず、かえって忌むべき物となるであろう。そしてそれを食べる者はとがを負わなければならない。

19 וְהַבָּשָׂר אֲשֶׁר־ יִגַּע בְּכָל־ טָמֵא לֹא יֵאָכֵל בָּאֵשׁ יִשָּׂרֵף
そして-肉で その 触れた すべての 汚れた-ものに ない 食べてはならない 火で 焼く
H1320 H0834 H5060 H3605 H2931 H3808 H0398 H0784 H8313

כָּל־ טָהוֹר יֹאכַל בָּשָׂר׃ וְהַבָּשָׂר
すべての 清い-者が 食べる 肉を そして-肉は
H3605 H2889 H0398 H1320 H1320

その肉がもし汚れた物に触れるならば、それを食べることなく、火で焼き捨てなければならない。犠牲の肉はすべて清い者がこれを食べることができる。

20 וְהַנֶּפֶשׁ֙ אֲשֶׁר־ תֹּאכַ֣ל בָּשָׂ֔ר מִזֶּ֖בַח הַשְּׁלָמִ֑ים אֲשֶׁ֥ר לַיהוָ֛ה
そして–人が その 食べた 肉を いけにえから 和解の–献げ物の その 主の
H5315 H0398 H1320 H2077 H8002 H0834 H3068

וְטֻמְאָת֥וֹ עָלָ֖יו וְנִכְרְתָ֣ה הַנֶּ֑פֶשׁ הַהִ֖וא מֵעַמֶּ֥יהָ׃
そして–その–汚れが 彼の–上に–あるなら そして–断たれる その–人は その 民から
H2932 H5921 H3772 H5315 H1931 H5971

もし人がその身に汚れがあるのに、主にささげた酬恩祭の犠牲の肉を食べるならば、その人は民のうちから断たれるであろう。

21 וְנֶ֨פֶשׁ֙ כִּֽי־ תִגַּ֣ע בְּכָל־ טָמֵ֗א בְּטֻמְאַ֤ת אָדָם֙ וְאוֹ֙ בִּבְהֵמָ֣ה
そして–人が もし 触れた すべての 汚れた–ものに 汚れに 人の あるいは 家畜に
H5315 H3588 H5060 H3605 H2931 H2932 H0120 H0176 H0929

וְאָכַ֕ל מִבְּשַׂ֖ר זֶ֣בַח הַשְּׁלָמִ֑ים אֲשֶׁ֥ר לַיהוָ֛ה
そして–食べた 肉を いけにえの 和解の–献げ物の その 主の
H0398 H1320 H2077 H8002 H0834 H3068

וְטֻמְאָת֥וֹ עָלָ֖יו וְנִכְרְתָ֣ה הַנֶּ֑פֶשׁ הַהִ֖וא מֵעַמֶּ֥יהָ׃ פ
その–汚れが 彼の–上に–あるなら そして–断たれる その–人は その 民から [区切り]
H2932 H5921 H3772 H5315 H1931 H5971

また人がもしすべて汚れたもの、すなわち人の汚れ、あるいは汚れた獣、あるいは汚れた這うものに触れながら、主にささげた酬恩祭の犠牲の肉を食べるならば、その人は民のうちから断たれるであろう』」。

22 וַיְדַבֵּ֥ר יְהוָ֖ה אֶל־ מֹשֶׁ֥ה לֵאמֹֽר׃
そして–語った 主は モーセに ～に 言って
H1696 H3068 H4872 H0413 H0559

主はまたモーセに言われた、

23 דַּבֵּ֞ר אֶל־ בְּנֵ֣י יִשְׂרָאֵ֗ל לֵאמֹר֙ כָּל־ שׁ֣וֹר וָכֶ֔שֶׂב וָעֵ֖ז
語れ ～に 子らに イスラエルの 言って すべての 牛の そして–羊の そして–やぎの
H1696 H0413 H3478 H0559 H3605 H7794 H3775 H5795

לֹ֥א תֹאכֵֽלוּ׃
ない 食べてはならない
H3808 H0398

「イスラエルの人々に言いなさい、『あなたがたは、すべて牛、羊、やぎの脂肪を食べてはならない。

24 וְחֵ֣לֶב נְבֵלָ֗ה וְחֵ֣לֶב טְרֵפָה֮ יֵֽעָשֶׂה֒ לְכָל־ מְלָאכָ֔ה
そして–脂肪を 死んだ–獣の そして–脂肪を 引き–裂かれた–獣の 使う すべての 仕事に
H2459 H5038 H2459 H2966 H6213 H3605 H4399

וְאָכֹ֥ל לֹ֖א תֹּאכְלֻֽהוּ׃
しかし–食べること ない 食べてはならない
H0398 H3808 H0398

自然に死んだ獣の脂肪および裂き殺された獣の脂肪は、さまざまのことに使ってもよい。しかし、それは決して食べてはならない。

25 כִּ֣י כָל־ אֹכֵ֣ל חֵ֔לֶב מִן־ הַבְּהֵמָ֕ה אֲשֶׁ֥ר יַקְרִ֖יב מִמֶּ֣נָּה
なぜなら すべての 食べる–者は 脂肪を ～から 家畜から その 献げる それから
H3588 H3605 H0398 H2459 H4480 H0929 H0834 H7126 H4480

אִשֶּׁ֣ה לַיהוָ֑ה וְנִכְרְתָ֣ה הַנֶּ֔פֶשׁ הָאֹכֶ֖לֶת מֵעַמֶּ֥יהָ׃
火による–献げ物として 主に そして–断たれる その–人は 食べる–者は その 民から
H0801 H3068 H3772 H5315 H0398 H5971

だれでも火祭として主にささげる獣の脂肪を食べるならば、これを食べる人は民のうちから断たれるであろう。

26 וְכָל־ דָּם לֹא תֹאכְלוּ בְּכֹל מוֹשְׁבֹתֵיכֶם לָעוֹף וְלַבְּהֵמָה׃
そして–すべての 血を ない 食べてはならない すべての あなたがたの–住まいで 鳥のも そして–家畜のも
H3605 H1818 H3808 H0398 H3605 H4186 H5775 H0929

またあなたがたはすべてその住む所で、鳥にせよ、獣にせよ、すべてその血を食べてはならない。

27 כָּל־ נֶפֶשׁ אֲשֶׁר־ תֹּאכַל כָּל־ דָּם וְנִכְרְתָה הַנֶּפֶשׁ הַהִוא מֵעַמֶּיהָ׃
すべての 人が その 食べた すべての 血を 断たれる その–人は その その–民から
H3605 H5315 H0834 H0398 H3605 H1818 H3772 H5315 H1931

פ
[区切り]

だれでもすべて血を食べるならば、その人は民のうちから断たれるであろう』」。

28 וַיְדַבֵּר יְהוָה אֶל־ מֹשֶׁה לֵאמֹר׃
そして–語った 主は ～に モーセに 言って
H1696 H0413 H3068 H4872 H0559

主はまたモーセに言われた、

29 דַּבֵּר אֶל־ בְּנֵי יִשְׂרָאֵל לֵאמֹר הַמַּקְרִיב אֶת־ זֶבַח שַׁלְמָיו לַיהוָה יָבִיא אֶת־ קָרְבָּנוֹ לַיהוָה מִזֶּבַח שַׁלְמָיו׃
語れ ～に 子らに イスラエルの 言って 献げる–者は [を] いけにえを 和解の–献げ物の 主に 持って–来る [を] その–献げ物を 主に いけにえから 和解の–献げ物の
H1696 H0413 H0853 H3478 H0559 H7126 H0853 H2077 H8002 H3027 H0935 H0853 H7133 H3068 H2077 H8002

「イスラエルの人々に言いなさい、『酬恩祭の犠牲を主にささげる者は、その酬恩祭の犠牲のうちから、その供え物を主に携えてこなければならない。

30 יָדָיו תְּבִיאֶינָה אֶת אִשֵּׁי יְהוָה אֶת־ הַחֵלֶב עַל־ הֶחָזֶה הֶחָזֶה לְהָנִיף אֹתוֹ תְּנוּפָה לִפְנֵי יְהוָה׃
その–手が 持って–来る [を] 火による–献げ物を 主への [を] 脂肪を ～の–上の 胸の 揺り–動かすために それを 揺らし–ての–献げ物として ～の–前で 主の
H3027 H0935 H0853 H0801 H3068 H0853 H2459 H5921 H2373 H5130 H0853 H8573 H6440 H3068

主の火祭は手ずからこれを携えてこなければならない。すなわちその脂肪と胸とを携えてきて、その胸を主の前に揺り動かして、揺祭としなければならない。

31 וְהִקְטִיר הַכֹּהֵן אֶת־ הַחֵלֶב הַמִּזְבֵּחָה וְהָיְתָה הֶחָזֶה לְאַהֲרֹן וּלְבָנָיו׃
そして–焼いて–煙とする 祭司が [を] 脂肪を 祭壇の–上で そして–なる 胸は アロンの–ものと そして–その–子らの
H6999 H3548 H0853 H2459 H4196 H1961 H2373 H0175 H1121

そして祭司はその脂肪を祭壇の上で焼かなければならない。その胸はアロンとその子たちに帰する。

32 וְאֶת־ שׁוֹק הַיָּמִין תִּתְּנוּ תְּרוּמָה לַכֹּהֵן מִזִּבְחֵי
そして-[を] ももを 右の 与える 奉納物として 祭司に いけにえから
H0853 H7785 H3225 H5414 H8641 H3548 H2077

שַׁלְמֵיכֶם׃
あなたがたの-和解の-献げ物の
H8002

あなたがたの酬恩祭の犠牲のうちから、その右のももを挙祭として、祭司に与えなければならない。

33 הַמַּקְרִיב אֶת־ דַּם הַשְּׁלָמִים וְאֶת־ הַחֵלֶב מִבְּנֵי אַהֲרֹן
献げる-者が [を] 血を 和解の-献げ物の そして-[を] 脂肪を 子らの-うちの アロンの
H7126 H0853 H1818 H8002 H0853 H2459 H0175

לְמָנָה׃ הַיָּמִין שׁוֹק תִּהְיֶה לוֹ
分け前として 右の ももは なる 彼の-ものと
H4490 H3225 H7785 H1961

アロンの子たちのうち、酬恩祭の血と脂肪とをささげる者は、その右のももを自分の分として、獲るであろう。

34 כִּי־ אֶת־ חֲזֵה הַתְּנוּפָה וְאֶת־ שׁוֹק הַתְּרוּמָה לָקַחְתִּי
なぜなら [を] 胸を 揺らし-ての-献げ物の そして-[を] ももを 奉納の わたしは-取った
H3947 H0853 H2373 H8573 H0853 H7785 H8641 H3947

מֵאֵת בְּנֵי־ יִשְׂרָאֵל מִזִּבְחֵי שַׁלְמֵיהֶם וָאֶתְּנָן אֹתָם לְאַהֲרֹן
～から 子らから イスラエルの いけにえから 和解の-献げ物の そして-与えた それらを アロンに
H0854 H3478 H2077 H8002 H5414 H0853 H0175

הַכֹּהֵן וּלְבָנָיו לְחָק־ עוֹלָם מֵאֵת בְּנֵי יִשְׂרָאֵל׃
祭司に そして-その-子らに 定めとして 永遠の ～から 子らから イスラエルの
H3548 H3478 H0854 H5769 H2706

わたしはイスラエルの人々の酬恩祭の犠牲のうちから、その揺祭の胸と挙祭のももを取って、祭司アロンとその子たちに与え、これをイスラエルの人々から永久に彼らの受くべき分とする。

35 זֹאת מִשְׁחַת אַהֲרֹן וּמִשְׁחַת בָּנָיו מֵאִשֵּׁי יְהוָה בְּיוֹם
これは 分け前である アロンの そして-分け前 その-子らの 火による-献げ物から 主の ～の-日に
H2063 H4888 H0175 H4888 H1121 H0801 H3068 H3117

הִקְרִיב אֹתָם לְכַהֵן לַיהוָה׃
彼らを 献げた 祭司として-仕えるために 主に
H0853 H7126 H3547 H3068

これは主の火祭のうちから、アロンの受ける分と、その子たちの受ける分とであって、祭司の職をなすため、彼らが主にささげられた日に定められたのである。

36 אֲשֶׁר צִוָּה יְהוָה לָתֵת לָהֶם בְּיוֹם מָשְׁחוֹ אֹתָם מֵאֵת בְּנֵי
それは 命じた 主が 与えるように 彼らに ～の-日に 油-注いだ 彼らに ～から 子らから
H0834 H6680 H3068 H5414 H0853 H3117 H4886 H0853 H0854 H1121

יִשְׂרָאֵל חֻקַּת עוֹלָם לְדֹרֹתָם׃
イスラエルの 定めとして 永遠の 代々に-わたって
H3478 H2708 H5769 H1755

すなわち、これは彼らに油を注ぐ日に、イスラエルの人々が彼らに与えるように、主が命じられたものであって、代々永久に受くべき分である』」。

37 זֹאת (これは H2063) הַתּוֹרָה (おきてである H8451) לָעֹלָה (全焼の–献げ物の) לַמִּנְחָה (穀物の–献げ物の H4503) וְלַחַטָּאת (そして–罪の–献げ物の)
וְלָאָשָׁם (そして–罪の–償いの–献げ物の H0817) וְלַמִּלּוּאִים (そして–任職の–献げ物の H4394) וּלְזֶבַח (そして–いけにえの H2077) הַשְּׁלָמִים׃ (和解の–献げ物の H8002)

これは燔祭、素祭、罪祭、愆祭、任職祭、酬恩祭の犠牲のおきてである。

38 אֲשֶׁר (それは) צִוָּה (命じた H6680) יְהוָה (主が H3068) אֶת־ ([を] H0853) מֹשֶׁה (モーセに H4872) בְּהַר (〜の–山で H2022) סִינָי (シナイの H5514) בְּיוֹם (〜の–日に H3117) צַוֹּתוֹ (命じた H6680) אֶת־ ([を] H0853) בְּנֵי (子らに)
פ ([区切り]) סִינָי׃ (シナイの H5514) בְּמִדְבַּר (〜の–荒野で) לַיהוָה (主に H3068) קָרְבְּנֵיהֶם (その–献げ物を) אֶת־ ([を] H0853) לְהַקְרִיב (献げるために H7126) יִשְׂרָאֵל (イスラエルの H3478)

すなわち、主がシナイの荒野においてイスラエルの人々にその供え物を主にささげることを命じられた日に、シナイ山でモーセに命じられたものである。

Chapter 8

1 וַיְדַבֵּר (そして–語った H1696) יְהוָה (主は H3068) אֶל־ (〜に H0413) מֹשֶׁה (モーセに H4872) לֵאמֹר׃ (言って H0559)

主はまたモーセに言われた、

2 קַח (取れ H3947) אֶת־ ([を] H0853) אַהֲרֹן (アロンと H0175) וְאֶת־ (そして–[を] H0853) בָּנָיו (その–子らを) וְאֶת־ (そして–[を] H0853) אִתּוֹ (彼と–共に H0854) הַבְּגָדִים (衣服を) וְאֶת (そして–[を] H0853)
שֶׁמֶן (油を H8081) הַמִּשְׁחָה (注ぎの) וְאֵת (そして–[を] H0853) פַּר (雄牛を H6499) הַחַטָּאת (罪の–献げ物の) וְאֵת (そして–[を] H0853) שְׁנֵי (二頭の H8147) הָאֵילִים (雄羊を) וְאֵת (そして–[を] H0853)
וְסַל (籠を H5536) הַמַּצּוֹת׃ (種なし–パンの H4682)

「あなたはアロンとその子たち、およびその衣服、注ぎ油、罪祭の雄牛、雄羊二頭、種入れぬパン一かごを取り、

3 וְאֵת (そして–[を] H0853) כָּל־ (すべての H3605) הָעֵדָה (会衆を H5712) הַקְהֵל (集めよ H6950) אֶל־ (〜に H0413) פֶּתַח (入口に H6607) אֹהֶל (幕屋の H0168) מוֹעֵד׃ (会見の H4150)

また全会衆を会見の幕屋の入口に集めなさい」。

4 וַיַּעַשׂ (そして–行った) מֹשֶׁה (モーセは H4872) כַּאֲשֶׁר (その–ように) צִוָּה (命じた H6680) יְהוָה (主が H3068) אֹתוֹ (彼に H0853) וַתִּקָּהֵל (そして–集まった H6950) הָעֵדָה (会衆が H5712) אֶל־ (〜に H0413)
פֶּתַח (入口に H6607) אֹהֶל (幕屋の H0168) מוֹעֵד׃ (会見の H4150)

モーセは主が命じられたようにした。そして会衆は会見の幕屋の入口に集まった。

5

לַעֲשׂוֹת׃	יְהוָה	צִוָּה	אֲשֶׁר־	הַדָּבָר	זֶה	הָעֵדָה	אֶל־	מֹשֶׁה	וַיֹּאמֶר
行うように	主が	命じた	その	ことである	これが	会衆に	～に	モーセは	そして–言った
	H3068	H6680		H1697	H2088	H5712	H0413	H4872	H0559

そこでモーセは会衆にむかって言った、「これは主があなたがたにせよと命じられたことである」。

6

אֹתָם	וַיִּרְחַץ	בָּנָיו	וְאֶת־	אַהֲרֹן	אֶת־	מֹשֶׁה	וַיַּקְרֵב	
彼らを	そして–洗った	その–子らを	そして–[を]	アロンと	[を]	モーセは	そして–連れて–来た	
H0853	H7364		H0853	H0175	H0853	H4872	H7126	

בַּמָּיִם׃	
水で	
H4325	

そしてモーセはアロンとその子たちを連れてきて、水で彼らを洗い清め、

7

אֹתוֹ	וַיַּלְבֵּשׁ	בָּאַבְנֵט	אֹתוֹ	וַיַּחְגֹּר	הַכֻּתֹּנֶת	אֶת־	עָלָיו	וַיִּתֵּן
彼に	そして–着せた	帯で	彼に	そして–締めた	下着を	[を]	彼の–上に	そして–着せた
H0853	H3847	H0073	H0853	H2296	H3801	H0853		H5414

בְּחֵשֶׁב	אֹתוֹ	וַיַּחְגֹּר	הָאֵפֹד	אֶת־	עָלָיו	וַיִּתֵּן	הַמְּעִיל	אֶת־
飾り–帯で	彼に	そして–締めた	エポデを	[を]	彼の–上に	そして–置いた	上着を	[を]
H2805	H0853	H2296	H0646	H0853		H5414	H4598	H0854

בּוֹ׃	לוֹ	וַיֶּאְפֹּד	הָאֵפֹד
それで	彼に	そして–結び–つけた	エポデの
		H0640	H0646

アロンに服を着させ、帯をしめさせ、衣をまとわせ、エポデを着けさせ、エポデの帯をしめさせ、それをもってエポデを身に結いつけ、

8

הָאוּרִים	אֶת־	הַחֹשֶׁן	אֶל־	וַיִּתֵּן	הַחֹשֶׁן	אֶת־	עָלָיו	וַיָּשֶׂם
ウリムと	[を]	胸当てに	～に	そして–入れた	胸当てを	[を]	彼の–上に	そして–置いた
H0224	H0853	H2833	H0413	H5414	H2833	H0853		

הַתֻּמִּים׃	וְאֶת־
トンミムを	そして–[を]
H8550	H0853

また胸当を着けさせ、その胸当にウリムとトンミムを入れ、

9

הַמִּצְנֶפֶת	עַל־	וַיָּשֶׂם	רֹאשׁוֹ	עַל־	הַמִּצְנֶפֶת	אֶת־	וַיָּשֶׂם	
かぶり物の	～の–上に	そして–置いた	その–頭の	～の–上に	かぶり物を	[を]	そして–置いた	
H4701					H4701	H0853		

אֶת־	יְהוָה	צִוָּה	כַּאֲשֶׁר	הַקֹּדֶשׁ	נֵזֶר	הַזָּהָב	צִיץ	אֶת	פְּנֵיו	מוּל	אֶל־
[を]	主が	命じた	その–ように	聖なる	冠を	金の	花の–飾りを	[を]	面の	前の	～に
H0853	H3068	H6680		H6944	H5145	H2091		H0853	H6440	H4136	H0413

מֹשֶׁה׃	
モーセに	
H4872	

その頭に帽子をかぶらせ、その帽子の前に金の板、すなわち聖なる冠をつけさせた。主がモーセに命じられたとおりである。

10 וַיִּקַּח מֹשֶׁה אֶת־שֶׁמֶן הַמִּשְׁחָה וַיִּמְשַׁח אֶת־הַמִּשְׁכָּן וְאֶת־
そして-取った モーセは [を] 油を 注ぎの そして-注いだ [を] 幕屋と そして-[を]
H3947 H4872 H0853 H8081 H4886 H0853 H4908 H0853

כָּל־אֲשֶׁר־בּוֹ וַיְקַדֵּשׁ אֹתָם׃
すべてと その 中の そして-聖めた それらを
H3605 H6942 H0853

モーセはまた注ぎ油を取り、幕屋とそのうちのすべての物に油を注いでこれを聖別し、

11 וַיִּז מִמֶּנּוּ עַל־הַמִּזְבֵּחַ שֶׁבַע פְּעָמִים וַיִּמְשַׁח אֶת־הַמִּזְבֵּחַ וְאֶת־
そして-振り-かけた それから ～の-上に 祭壇の 七 回 そして-注いだ [を] 祭壇と
H4196 H7651 H6471 H4886 H0853 H4196

כָּל־כֵּלָיו וְאֶת־הַכִּיֹּר וְאֶת־כַּנּוֹ לְקַדְּשָׁם׃
すべての その-器と 洗盤と そして-[を] その-台を 聖めるために
H3605 H3627 H3595 H0853 H3653 H6942

かつ、それを七たび祭壇に注ぎ、祭壇とそのもろもろの器、洗盤とその台に油を注いでこれを聖別し、

12 וַיִּצֹק מִשֶּׁמֶן הַמִּשְׁחָה עַל־רֹאשׁ אַהֲרֹן וַיִּמְשַׁח אֹתוֹ לְקַדְּשׁוֹ׃
そして-注いだ 油を 注ぎの ～の-上に 頭の アロンの そして-注いだ 彼に 聖めるために
H3332 H8081 H4886 H0175 H6942

また注ぎ油をアロンの頭に注ぎ、彼に油を注いでこれを聖別した。

13 וַיַּקְרֵב מֹשֶׁה אֶת־בְּנֵי אַהֲרֹן וַיַּלְבִּשֵׁם כֻּתֳּנֹת וַיַּחְגֹּר
そして-連れて-来た モーセは [を] 子らを アロンの そして-着せた 下着を そして-締めた
H7126 H4872 H0853 H0175 H3847 H3801 H2296

אֹתָם אַבְנֵט וַיַּחֲבֹשׁ לָהֶם מִגְבָּעוֹת כַּאֲשֶׁר צִוָּה יְהוָה אֶת־מֹשֶׁה׃
彼らに 帯を そして-被せた 帽子を その-ように 命じた 主が [を] モーセに
H0853 H0073 H2280 H4021 H6680 H3068 H0853 H4872

モーセはまたアロンの子たちを連れてきて、服を彼らに着させ、帯を彼らにしめさせ、頭巾を頭に巻かせた。主がモーセに命じられたとおりである。

14 וַיַּגֶּשׁ אֶת־פַּר הַחַטָּאת וַיִּסְמֹךְ אַהֲרֹן וּבָנָיו אֶת־
そして-連れて-来た [を] 雄牛を 罪の-献げ物の そして-置いた アロンと その-子らは [を]
H5066 H0853 H6499 H2403 H5564 H0175 H0853

רֹאשׁ פַּר הַחַטָּאת׃ וַיִּתֵּן עַל־יְדֵיהֶם
頭の 雄牛の 罪の-献げ物の ～の-上に その-手を
H6499 H3027

彼はまた罪祭の雄牛を連れてこさせ、アロンとその子たちは、その罪祭の雄牛の頭に手を置いた。

15 וַיִּשְׁחָט וַיִּקַּח מֹשֶׁה אֶת־הַדָּם וַיִּתֵּן עַל־קַרְנוֹת הַמִּזְבֵּחַ
そして-屠った そして-取った モーセは [を] 血を そして-つけた 角に 祭壇の
H4196 H5414 H1818 H0853 H4872 H3947

סָבִיב וַיְחַטֵּא אֶת־הַמִּזְבֵּחַ וְאֶת־הַדָּם יָצַק אֶל־יְסוֹד
周りに そして-清めた [を] 祭壇を そして-[を] 血を 注いだ ～に 土台に
H5439 H2398 H0853 H4196 H0853 H1818 H3332 H0413 H3247

בְּאֶצְבָּעוֹ וַיְקַדְּשֵׁהוּ לְכַפֵּר עָלָיו׃ וַיְקַדֵּשׁ אֶת־הַמִּזְבֵּחַ
その-指で 周りに その-上で 贖うために そして-聖めた 祭壇の
H0676 H5439 H6942 H4196

モーセはこれをほふり、その血を取り、指をもってその血を祭壇の四すみの角につけて祭壇を清め、また残りの血を祭壇のもとに注いで、これを聖別し、これがためにあがないをした。

16 וַיִּקַּח֙ אֶת־ כָּל־ הַחֵלֶב֙ אֲשֶׁר֙ עַל־ הַקֶּרֶב֙ וְאֶת֙ יֹתֶרֶת֙ הַכָּבֵ֔ד
そして–取った [を] すべての 脂肪を その 内臓の 〜の–上の そして–[を] 小葉を 肝臓の
H3947 H0853 H3605 H2459 H7130 H0853 H3508 H3516

וַיְקַטֵּר֙ מֹשֶׁ֔ה אֶת־ הַחֲלָבִ֖ן וְאֶת־ הַכְּלָיֹ֣ת וְאֶת־ שְׁתֵּ֑י
そして–焼いて–煙とした モーセは その–脂肪を そして–[を] 腎臓を 二つの そして–[を]
H2459 H4872 H0853 H3629 H8147 H0853

וְאֶת־ חֲלָבָ֣ן הַמִּזְבֵּֽחָה׃
その–脂肪を 祭壇の–上で
H2459 H4196

モーセはまたその内臓の上のすべての脂肪、肝臓の小葉、二つの腎臓とその脂肪とを取り、これを祭壇の上で焼いた。

17 וְאֶת־ הַפָּ֥ר וְאֶת־ עֹר֖וֹ וְאֶת־ בְּשָׂר֑וֹ וְאֶת־ פִּרְשֽׁוֹ
そして–[を] 雄牛と そして–[を] その–皮と そして–[を] その–肉と そして–[を] その–糞を
H6499 H0853 H5785 H0853 H1320 H0853 H6569

מֹשֶׁ֔ה אֶת־ יְהוָ֖ה צִוָּ֥ה כַּאֲשֶׁ֛ר לַמַּחֲנֶ֥ה מִח֖וּץ בָּאֵ֣שׁ שָׂרָֽף׃
モーセに [を] 主が 命じた その–ように 宿営の 外で 火で 焼いた
H4872 H0853 H3068 H6680 H4264 H2351 H0784 H8313

ただし、その雄牛の皮と肉と汚物は宿営の外で、火をもって焼き捨てた。主がモーセに命じられたとおりである。

18 וַיַּקְרֵ֕ב אֶת־ אֵ֖יל הָעֹלָ֑ה וַיְסִמְכ֣וּ אַהֲרֹ֗ן וּבָנָיו֙ אֶת־ יְדֵיהֶ֔ם
そして–連れて–来た [を] 雄羊を 全焼の–献げ物の そして–置いた アロンと その–子らは [を]
H7126 H0853 H0353 H5564 H0175 H1121 H0853

עַל־ רֹ֥אשׁ הָאָֽיִל׃
〜の–上に 頭の 雄羊の
H3027

彼はまた燔祭の雄羊を連れてこさせ、アロンとその子たちは、その雄羊の頭に手を置いた。

19 וַיִּשְׁחָ֑ט וַיִּזְרֹק֩ מֹשֶׁ֨ה אֶת־ הַדָּ֜ם עַל־ הַמִּזְבֵּ֧חַ סָבִֽיב׃
そして–屠った そして–振り–かけた モーセは [を] 血を 〜の–上に 祭壇の 周りに
H7819 H2236 H4872 H0853 H1818 H5921 H4196 H5439

モーセはこれをほふって、その血を祭壇の周囲に注ぎかけた。

20 וְאֶת־ הָאַ֖יִל נִתַּ֣ח לְנְתָחָ֑יו וַיְקַטֵּ֥ר מֹשֶׁ֛ה אֶת־ הָרֹ֥אשׁ
そして–[を] 雄羊を 切り–分けた その–部分に そして–焼いて–煙とした モーセは [を] 頭と
H0853 H0352 H5408 H5409 H6999 H4872 H0853 H7218

וְאֶת־ הַנְּתָחִ֖ים וְאֶת־ הַפָּֽדֶר׃
そして–[を] 部分と そして–[を] 内臓の–脂肪を
H0853 H5409 H0853 H6309

そして、モーセはその雄羊を節々に切り分かち、その頭と切り分けたものと脂肪とを焼いた。

21 וְאֶת־הַקֶּרֶב וְאֶת־הַכְּרָעַיִם רָחַץ בַּמָּיִם וַיַּקְטֵר מֹשֶׁה

そして-[を] 内臓と そして-[を] 脚を 洗った 水で そして-焼いて-煙とした モーセは
H0853 H7130 H0853 H3767 H7364 H4325 H6999 H4872

אֶת־כָּל־הָאַיִל הַמִּזְבֵּחָה עֹלָה הִוא רֵיחַ־נִיחֹחַ אִשֶּׁה

[を] すべての 雄羊を 祭壇の-上で 全焼の-献げ物 それは 香りの なだめの 火による-献げ物
H0853 H3605 H0376 H4196 H5930 H1931 H7381 H5207 H0801

לַיהוָה הוּא צִוָּה יְהוָה אֶת־מֹשֶׁה׃

主への それは 命じた 主が [を] モーセに
H3068 H1931 H6680 H3068 H0853 H4872

またモーセは水でその内臓と足とを洗い、その雄羊をことごとく祭壇の上で焼いた。これは香ばしいかおりのための燔祭であって、主にささげる火祭である。主がモーセに命じられたとおりである。

22 וַיִּקְרַב אֶת־הָאַיִל הַשֵּׁנִי אֵיל הַמִּלֻּאִים וַיְסִמְכוּ אַהֲרֹן

そして-連れて-来た [を] 第二の 雄羊を 任職の 雄羊 そして-置いた アロンと
H7126 H0853 H8145 H0352 H4394 H5564 H0175

וּבָנָיו אֶת־יְדֵיהֶם עַל־רֹאשׁ הָאָיִל׃

その-子らは [を] その-手を ～の-上に 頭の 雄羊の
H1121 H0853 H3027 H5921 H7218 H0352

彼はまたほかの雄羊、すなわち任職の雄羊を連れてこさせ、アロンとその子たちは、その雄羊の頭に手を置いた。

23 וַיִּשְׁחָט וַיִּקַּח מֹשֶׁה מִדָּמוֹ וַיִּתֵּן עַל־תְּנוּךְ אֹזֶן־

そして-屠った そして-取った モーセは その-血から そして-つけた ～の-上に 耳たぶに 耳の
H7819 H3947 H4872 H1818 H5414 H5921 H8571 H0241

בֹּהֶן וְעַל־בֹּהֶן יָדוֹ הַיְמָנִית וְעַל־בֹּהֶן רַגְלוֹ

親指に そして-～の-上に 手の 右の そして-～の-上に 親指に 足の
H0931 H5921 H0931 H3027 H3233 H5921 H0931 H7272

הַיְמָנִית׃ אַהֲרֹן הַיְמָנִית

右の アロンの 右の
H3233 H0175 H3233

モーセはこれをほふり、その血を取って、アロンの右の耳たぶと、右手の親指と、右足の親指とにつけた。

24 וַיַּקְרֵב אֶת־בְּנֵי אַהֲרֹן וַיִּתֵּן מֹשֶׁה מִן־הַדָּם עַל־

そして-連れて-来た [を] 子らを アロンの そして-つけた モーセは ～から 血から ～の-上に
H7126 H0853 H1121 H0175 H5414 H4872 H4480 H1818 H5921

תְּנוּךְ אֹזֶן־בֹּהֶן וְעַל־בֹּהֶן יָדָם הַיְמָנִית וְעַל־בֹּהֶן

耳たぶに 耳の 親指に そして-～の-上に その-手の 右の そして-～の-上に 親指に
H8571 H0241 H0931 H5921 H0931 H3027 H3233 H5921 H0931

אָזְנָם הַיְמָנִית תְּנוּךְ אָזֶן בְּנֵיהֶם וְעַל־בֹּהֶן

その-耳の 右の 耳たぶに 耳の 彼らの そして-～の-上に 親指に
H0241 H3233 H8571 H0241 H1121 H5921 H0931

יָדָם הַיְמָנִית וְעַל־בֹּהֶן רַגְלָם הַיְמָנִית וַיִּזְרֹק מֹשֶׁה

その-手の 右の 親指に その-足の 右の そして-振り-かけた モーセは
H3027 H3233 H0931 H7272 H3233 H2236 H4872

אֶת־הַדָּם עַל־הַמִּזְבֵּחַ סָבִיב׃

[を] 血を ～の-上に 祭壇の 周りに
H0853 H1818 H5921 H4196 H5439

またモーセはアロンの子たちを連れてきて、その血を彼らの右の耳たぶと、右手の親指と、右足の親指とにつけた。そしてモーセはその残りの血を、祭壇の周囲に注ぎかけた。

25 וַיִּקַּ֞ח אֶת־ הַחֵ֣לֶב וְאֶת־ הָאַלְיָ֗ה וְאֶת־ כָּל־ הַחֵ֙לֶב֙ אֲשֶׁ֣ר
そして-取った [を] 脂肪を そして-[を] 尾の-脂肪を そして-[を] すべての 脂肪を その
H3947 H0853 H2459 H0853 H0451 H0853 H3605 H2459

עַל־ הַקֶּ֔רֶב וְאֶת־ יֹתֶ֥רֶת הַכָּבֵ֖ד וְאֶת־ שְׁתֵּ֣י הַכְּלָיֹ֑ת וְאֶת־
～の-上の 内臓の そして-[を] 小葉を 肝臓の 二つの 腎臓を そして-[を]
H7130 H0853 H3508 H3516 H8147 H0853 H3629 H0853

חֶלְבְּהֶ֖ן וְאֵ֥ת שׁ֖וֹק הַיָּמִֽין׃
その-脂肪を そして-[を] ももを 右の
H2459 H0853 H7785 H3225

彼はまたその脂肪、すなわち脂尾、内臓の上のすべての脂肪、肝臓の小葉、二つの腎臓とその脂肪、ならびにその右のももを取り、

26 וּמִסַּ֞ל לִפְנֵ֣י יְהוָ֗ה וְאֶת־ הַמַּצּוֹת֙ אֲשֶׁ֣ר
そして-籠から 主の ～の-前の その 種なし-パンの
H5536 H3068 H6440 H4682

אַחַ֔ת וְחַלַּ֥ת לֶ֖חֶם אַחַ֑ת וְרָקִ֣יק אֶחָ֔ד וַיָּ֖שֶׂם עַל־
一つと 菓子を パンの 一つ そして-薄い-パンを 一つ そして-置いた ～の-上に
H0259 H2471 H3899 H0259 H7550 H0259 H7760 H5921

חֵלֶב֙ וְעַ֣ל שׁ֔וֹק הַיָּמִֽין׃
脂肪の そして-～の-上に ももの 右の
H2459 H0752 H7785 H3225

また主の前にある種入れぬパンのかごから種入れぬ菓子一つと、油を入れたパンの菓子一つと、煎餅一つとを取って、かの脂肪と右のももとの上に載せ、

27 וַיִּתֵּ֣ן אֶת־ הַכֹּ֗ל עַל֙ כַּפֵּ֣י אַהֲרֹ֔ן וְעַ֖ל כַּפֵּ֣י
そして-置いた [を] すべてを ～の-上に 手の-ひらの アロンの そして-～の-上に 手の-ひらの
H5414 H0853 H3605 H5921 H3709 H0175 H5921 H3709

בָּנָ֑יו וַיָּ֥נֶף אֹתָ֖ם תְּנוּפָ֥ה לִפְנֵ֖י יְהוָֽה׃
その-子らの そして-揺らした それらを 揺らし-ての-献げ物として ～の-前で 主の
H1121 H5130 H0853 H8573 H6440 H3068

これをすべてアロンの手と、その子たちの手に渡し、主の前に揺り動かさせて揺祭とした。

28 וַיִּקַּ֣ח מֹשֶׁ֔ה אֹתָ֖ם מֵעַ֣ל כַּפֵּיהֶ֑ם וַיַּקְטֵ֥ר
そして-取った モーセは それらを ～の-上から その-手の-ひらから そして-焼いて-煙とした
H3947 H4872 H0853 H5921 H3709 H6999

הָעֹלָ֖ה עַל־ הַמִּזְבֵּ֑חַ מִלֻּאִ֣ים הֵ֔ם לְרֵ֥יחַ נִיחֹ֖חַ אִשֶּׁ֥ה
全焼の-献げ物の ～の-上の 祭壇の-上で 任職の-献げ物 それらは 香りの なだめの 火による-献げ物
H5930 H5921 H4196 H4394 H1992 H7381 H5207 H0801

הִ֖וא לַיהוָֽה׃
それは 主への
H1931 H3068

そしてモーセはこれを彼らの手から取り、祭壇の上で燔祭と共に焼いた。これは香ばしいかおりとする任職の供え物であって、主にささげる火祭である。

29 וַיִּקַּח מֹשֶׁה אֶת־הֶחָזֶה וַיְנִיפֵהוּ תְּנוּפָה לִפְנֵי
そして-取った モーセは [を] 胸を そして-揺らした 揺らし-ての-献げ物として ～の-前で
H3947 H4872 H0853 H2373 H5130 H8573 H6440

יְהוָה מִן־אֵיל הַמִּלֻּאִים לְמֹשֶׁה הָיָה לְמָנָה כַּאֲשֶׁר צִוָּה יְהוָה אֶת־מֹשֶׁה׃
主の 雄羊から 任職の モーセの-ものと なった 分け前として その-ように 命じた 主が [を] モーセに
H3068 H0352 H4394 H4872 H1961 H4490 H0834 H6680 H3068 H0853 H4872

そしてモーセはその胸を取り、主の前にこれを揺り動かして揺祭とした。これは任職の雄羊のうちモーセに帰すべき分であった。主がモーセに命じられたとおりである。

30 וַיִּקַּח מֹשֶׁה מִשֶּׁמֶן הַמִּשְׁחָה וּמִן־הַדָּם אֲשֶׁר עַל־הַמִּזְבֵּחַ
そして-取った モーセは 油から 注ぎの そして-～から 血から その ～の-上の 祭壇の
H3947 H4872 H8081 H4888 H1818 H0834 H5921 H4196

וַיַּז עַל־אַהֲרֹן עַל־בְּגָדָיו וְעַל־בָּנָיו וְעַל־בִּגְדֵי בָנָיו אִתּוֹ׃
そして-振り-かけた ～の-上に アロンに ～に-上に その-衣服に その-子らに そして-～の-上に その-子らに 彼と-共に
H5137 H5921 H0175 H5921 H0899 H5921 H1121 H0854

וַיְקַדֵּשׁ אֶת־אַהֲרֹן וְאֶת־בְּגָדָיו וְאֶת־בָּנָיו וְאֶת־בִּגְדֵי בָנָיו אִתּוֹ׃
そして-聖めた [を] アロンと [を] 衣服に その-子らの 彼と-共に
H6942 H0853 H0175 H0853 H0899 H1121 H0854

モーセはまた注ぎ油と祭壇の上の血とを取り、これをアロンとその服、またその子たちとその服とに注いで、アロンとその服、およびその子たちと、その服とを聖別した。

31 וַיֹּאמֶר מֹשֶׁה אֶל־אַהֲרֹן וְאֶל־בָּנָיו בַּשְּׁלוּ אֶת־הַבָּשָׂר
そして-言った モーセは ～に アロンに そして-～に その-子らに 煮よ [を] 肉を
H0559 H4872 H0413 H0175 H0413 H1121 H1310 H0853 H1320

בְּסַל מִלֻּאִים אֲשֶׁר הַלֶּחֶם וְאֹתוֹ תֹּאכְלוּ וְשָׁם מוֹעֵד אָהֶל פֶּתַח
籠の-中の その パンを そして-[を] それを 食べよ そして-そこで 会見の 幕屋の 入口で
H5536 H0834 H3899 H0853 H0853 H0398 H8033 H4150 H0168 H6607

יֹאכְלֵהוּ׃ וּבָנָיו אַהֲרֹן לֵאמֹר צִוִּיתִי כַּאֲשֶׁר הַמִּלֻּאִים
それを-食べよ その-子らが アロンと 言って わたしは-命じた その-ように 任職の
H0398 H1121 H0175 H0559 H6680 H0834 H4394

モーセはまたアロンとその子たちに言った、「会見の幕屋の入口でその肉を煮なさい。そして任職祭のかごの中のパンと共に、それをその所で食べなさい。これは『アロンとその子たちが食べなければならない、と言え』とわたしが命じられたとおりである。

32 וְהַנּוֹתָר בַּבָּשָׂר וּבַלֶּחֶם בָּאֵשׁ תִּשְׂרֹפוּ׃
そして-残りを 肉の そして-パンの 火で 焼け
H3498 H1320 H3899 H0784 H8313

あなたがたはその肉とパンとの残ったものを火で焼き捨てなければならない。

33 וּמִפֶּתַח֙ אֹ֣הֶל מוֹעֵ֔ד לֹ֥א תֵצְא֖וּ שִׁבְעַ֣ת יָמִ֑ים עַ֚ד יוֹם֙ מְלֹ֣את
そして-入口から 幕屋の 会見の ない 出てはならない 七 日間 ～まで 日の 満ちる
H4390 H3117 H5704 H3117 H7651 H3318 H3808 H4150 H0168 H6607

יְמֵ֥י מִלֻּאֵיכֶ֖ם כִּ֣י שִׁבְעַ֣ת יָמִ֔ים יְמַלֵּ֖א אֶת־יֶדְכֶֽם׃
日々が あなたがたの-任職の なぜなら 七 日間 満たす [を] あなたがたの-手を
H3117 H4394 H3117 H7651 H3117 H4390 H0853 H3027

あなたがたはその任職祭の終る日まで七日の間、会見の幕屋の入口から出てはならない。あなたがたの任職は七日を要するからである。

34 כַּאֲשֶׁ֣ר עָשָׂ֔ה בַּיּ֥וֹם הַזֶּ֖ה צִוָּ֣ה יְהוָ֑ה לַעֲשֹׂ֥ת לְכַפֵּ֖ר עֲלֵיכֶֽם׃
その-ように 行った この ～の-日に 命じた 主が 行うように 贖うために あなたがたの-ために
H3068 H6680 H2088 H3117

きょう行ったように、あなたがたのために、あがないをせよ、と主はお命じになった。

35 וּפֶ֥תַח אֹ֣הֶל מוֹעֵ֗ד תֵּשְׁבוּ֙ יוֹמָ֣ם וָלַ֔יְלָה שִׁבְעַ֖ת יָמִ֑ים וּשְׁמַרְתֶּ֗ם אֶת־
そして-入口で 幕屋の 会見の 座れ 昼も そして-夜も 七 日間 守れ そして-[を]
H6607 H0168 H4150 H3427 H3119 H3915 H7651 H3117 H8104 H0853

מִשְׁמֶ֣רֶת יְהוָ֔ה וְלֹ֥א תָמֻ֖תוּ כִּ֣י כֵ֑ן צִוֵּ֖יתִי׃
務めを 主の そして-ない 死んではならない なぜなら その-ように わたしは-命じられた
H4931 H3068 H3808 H4191 H3588 H6680

あなたがたは会見の幕屋の入口に七日の間、日夜とどまり、主の仰せを守って、死ぬことのないようにしなければならない。わたしはそのように命じられたからである」。

36 וַיַּ֣עַשׂ אַהֲרֹ֔ן וּבָנָ֖יו אֵ֣ת כָּל־הַדְּבָרִ֑ים אֲשֶׁ֣ר צִוָּ֣ה יְהוָ֔ה בְּיַד־
そして-行った アロンと その-子らは [を] すべての ことを その 命じた 主が
H0175 H0853 H3605 H1697 H0834 H6680 H3068

מֹשֶׁ֖ה׃ ס
モーセを [区切り]
H4872

アロンとその子たちは主がモーセによってお命じになったことを、ことごとく行った。

Chapter 9

1 וַיְהִ֗י בַּיּ֤וֹם הַשְּׁמִינִי֙ קָרָ֣א מֹשֶׁ֔ה לְאַהֲרֹ֖ן וּלְבָנָ֑יו וּלְזִקְנֵ֖י
そして-なった 八日目の ～の-日に 呼んだ モーセは アロンと その-子らと そして-長老たちと
H1961 H8066 H3117 H7121 H4872 H0175 H0853 H2205

יִשְׂרָאֵֽל׃
イスラエルの
H3478

八日目になって、モーセはアロンとその子たち、およびイスラエルの長老たちを呼び寄せ、

2 וַיֹּ֣אמֶר֮ אֶל־אַהֲרֹן֒ קַ֣ח לְךָ֗ עֵ֚גֶל בֶּן־בָּקָ֣ר לְחַטָּ֔את וְאַ֖יִל
そして-言った ～に アロンに 取れ あなたの-ために 子牛を 子の 牛の 罪の-献げ物として そして-雄羊を
H0559 H0413 H0175 H3947 H0853 H5695 H1121 H1241 H0376

לְעֹלָ֑ה תְּמִימִ֖ם וְהַקְרֵ֥ב לִפְנֵ֖י יְהוָֽה׃
全焼の-献げ物として 傷の-ない そして-献げよ ～の-前で 主の
H5930 H8549 H7126 H6440 H3068

アロンに言った、「あなたは雄の子牛の全きものを罪祭のために取り、また雄羊の全きものを燔祭のために取って、主の前にささげなさい。

3 וְאֶל־ בְּנֵי יִשְׂרָאֵל תְּדַבֵּר לֵאמֹר קְחוּ שְׂעִיר־ עִזִּים לְחַטָּאת
そして-〜に 子らに イスラエルの 語れ 言って 取れ 雄の-やぎを やぎの 罪の-献げ物として
H0413 H1121 H3478 H1696 H0559 H3947 H8163 H5795

וְעֵגֶל וְכֶבֶשׂ בְּנֵי־ שָׁנָה תְּמִימִם לְעֹלָה׃
そして-子牛と そして-子羊を 子の 一歳の 傷の-ない 全焼の-献げ物として
H5695 H3532 H1121 H8141 H8549

あなたはまたイスラエルの人々に言いなさい、『あなたがたは雄やぎを罪祭のために取り、また一歳の全き子牛と小羊とを燔祭のために取りなさい、

4 וְשׁוֹר וְאַיִל לִשְׁלָמִים לִזְבֹּחַ לִפְנֵי יְהוָה
そして-雄牛と そして-雄羊を 和解の-献げ物として いけにえに-するために 〜の-前で 主の
H7794 H0352 H8002 H2076 H6440 H3068

וּמִנְחָה בְלוּלָה בַשָּׁמֶן כִּי הַיּוֹם יְהוָה נִרְאָה אֲלֵיכֶם׃
そして-穀物の-献げ物を 混ぜた 油で なぜなら 今日 主が 現れる あなたがたに
H4503 H1101 H8081 H3588 H3117 H3068 H7200 H0413

また主の前にささげる酬恩祭のために雄牛と雄羊とを取り、また油を混ぜた素祭を取りなさい。主がきょうあなたがたに現れたもうからである』」。

5 וַיִּקְחוּ אֵת אֲשֶׁר צִוָּה מֹשֶׁה אֶל־ פְּנֵי אֹהֶל מוֹעֵד
そして-取った [を] その 命じた モーセが 〜の-前に 面の 幕屋の 会見の
H3947 H0853 H0834 H6680 H4872 H0413 H6440 H0168 H4150

וַיִּקְרְבוּ כָּל־ הָעֵדָה וַיַּעַמְדוּ לִפְנֵי יְהוָה׃
そして-近づいた すべての 会衆が そして-立った 〜の-前で 主の
H7126 H3605 H5712 H5975 H6440 H3068

彼らはモーセが命じたものを会見の幕屋の前に携えてきた。会衆がみな近づいて主の前に立ったので、

6 וַיֹּאמֶר מֹשֶׁה זֶה הַדָּבָר אֲשֶׁר־ צִוָּה יְהוָה תַּעֲשׂוּ וְיֵרָא
そして-言った モーセは これが ことである その 命じた 主が 行え そして-現れる
H0559 H4872 H2088 H1697 H0834 H6680 H3068 H6213 H7200

אֲלֵיכֶם כְּבוֹד יְהוָה׃
あなたがたに 栄光が 主の
H0413 H3519 H3068

モーセは言った、「これは主があなたがたに、せよと命じられたことである。こうして主の栄光はあなたがたに現れるであろう」。

7 וַיֹּאמֶר מֹשֶׁה אֶל־ אַהֲרֹן קְרַב אֶל־ הַמִּזְבֵּחַ וַעֲשֵׂה אֶת־
そして-言った モーセは 〜に 近づけ アロンに 〜に 祭壇に そして-行え [を]
H0559 H4872 H0413 H7126 H0175 H0413 H4196 H6213 H0853

חַטָּאתְךָ וְאֶת־ עֹלָתֶךָ וְכַפֵּר בַּעַדְךָ
あなたの-罪の-献げ物を そして-[を] あなたの-全焼の-献げ物を そして-贖え あなたの-ために
H2403 H0853 H5930 H3722 H1157

וּבְעַד הָעָם וְעֲשֵׂה קָרְבַּן הָעָם וְכַפֵּר בַּעֲדָם
そして-〜の-ために 民の そして-行え [を] 献げ物を 民の そして-贖え 彼らの-ために
H1157 H5971 H6213 H0853 H7133 H5971 H3722 H1157

כַּאֲשֶׁר צִוָּה יְהוָה׃
その-ように 命じた 主が
H3644 H6680 H3068

モーセはまたアロンに言った、「あなたは祭壇に近づき、あなたの罪祭と燔祭をささげて、あなたのため、また民のためにあがないをし、また民の供え物をささげて、彼らのためにあがないをし、すべて主がお命じになったようにしなさい」。

8 וַיִּקְרַב אַהֲרֹן אֶל־הַמִּזְבֵּחַ וַיִּשְׁחַט אֶת־עֶגֶל הַחַטָּאת אֲשֶׁר־
そして–近づいた アロンは ～に 祭壇に そして–屠った [を] 子牛を 罪の–献げ物の その
H7126 H0175 H0413 H4196 H0853 H5695

לוֹ׃
彼の–ための

そこでアロンは祭壇に近づき、自分のための罪祭の子牛をほふった。

9 וַיַּקְרִבוּ בְּנֵי אַהֲרֹן אֵת־הַדָּם אֵלָיו וַיִּטְבֹּל אֶצְבָּעוֹ בַּדָּם
そして–持って–来た 子らが アロンの [を] 血を 彼に そして–浸した その–指を 血に
H7126 H0175 H0853 H1818 H0413 H2881 H0676 H1818

וַיִּתֵּן עַל־קַרְנוֹת הַמִּזְבֵּחַ וְאֶת־הַדָּם יָצַק אֶל־יְסוֹד הַמִּזְבֵּחַ׃
そして–つけた ～の–上に 角に 祭壇の そして–[を] 血を 注いだ ～に 土台に 祭壇の
H5414 H0413 H4196 H0853 H1818 H3332 H0413 H3247 H4196

そしてアロンの子たちは、その血を彼のもとに携えてきたので、彼は指をその血に浸し、それを祭壇の角につけ、残りの血を祭壇のもとに注ぎ、

10 וְאֶת־הַחֵלֶב וְאֶת־הַכְלָיֹת וְאֶת־הַיֹּתֶרֶת מִן־הַכָּבֵד מִן־
そして–[を] 脂肪と そして–[を] 腎臓と そして–[を] 小葉を ～から 肝臓から ～から
H0853 H2459 H0853 H3629 H0853 H3508 H3516

הַזֶּבַח הִקְטִיר הַמִּזְבֵּחָה כַּאֲשֶׁר צִוָּה יְהוָה אֶת־מֹשֶׁה׃
罪の–献げ物から 焼いて–煙とした 祭壇の–上で その–ように 命じた 主が [を] モーセに
H2403 H6999 H4196 H3602 H6680 H3068 H0853 H4872

また罪祭の脂肪と腎臓と肝臓の小葉とを祭壇の上で焼いた。主がモーセに命じられたとおりである。

11 וְאֶת־הָעוֹר וְאֶת־בְּשָׂרוֹ עַל־הָאֵשׁ בָּמַחוּץ לַמַּחֲנֶה׃
そして–[を] 皮を そして–[を] 肉と 火で 外で 宿営の
H0853 H5785 H0853 H1320 H0784 H2351 H4264

またその肉と皮とは宿営の外で火をもって焼き捨てた。

12 וַיִּשְׁחַט אֶת־הָעֹלָה וַיַּמְצִאוּ בְּנֵי אַהֲרֹן אֵלָיו אֶת־הַדָּם
そして–屠った [を] 全焼の–献げ物を そして–渡した 子らが アロンの 彼に 血を
H7819 H0853 H5930 H4672 H1121 H0175 H0413 H1818

וַיִּזְרְקֵהוּ עַל־הַמִּזְבֵּחַ סָבִיב׃
そして–振り–かけた ～の–上に 祭壇の 周りに
H2236 H4196 H5439

彼はまた燔祭の獣をほふり、アロンの子たちがその血を彼に渡したので、これを祭壇の周囲に注ぎかけた。

13 וְאֶת־הָרֹאשׁ וְאֶת־לְנִתָחֶיהָ אֵלָיו וְהַמְצִיאוּ הָעֹלָה וְאֶת־
そして–[を] 頭を そして–[を] その–部分ごとに 彼に 渡した 全焼の–献げ物を そして–[を]
H0853 H7218 H0853 H5409 H0413 H4672 H5930 H0853

הַמִּזְבֵּחַ׃ עַל־ וַיְקַטֵּר
祭壇の ～の–上で そして–焼いて–煙とした
H4196 H5927

彼らがまた燔祭のもの、すなわち、その切り分けたものと頭とを彼に渡したので、彼はこれを祭壇の上で焼いた。

14 וַיִּרְחַץ אֶת־הַקֶּרֶב וְאֶת־הַכְּרָעָיִם וַיַּקְטֵר עַל־
そして-洗った [を] 内臓と そして-[を] 脚を そして-焼いて-煙とした ～の-上の
H7364 H0853 H7130 H0853 H3767

הָעֹלָה הַמִּזְבֵּחָה׃
全焼の-献げ物の 祭壇の-上で
H4196

またその内臓と足とを洗い、祭壇の上で燔祭と共にこれを焼いた。

15 וַיַּקְרֵב אֶת־הָקָרְבָּן הָעָם וַיִּקַּח אֶת־שְׂעִיר הַחַטָּאת
そして-連れて-来た [を] 献げ物を 民の そして-取った 雄の-やぎを 罪の-献げ物の
H7126 H0853 H3947 H0853

אֲשֶׁר לָעָם וַיִּשְׁחָטֵהוּ וַיְחַטְּאֵהוּ בָרִאשֹׁנָה׃
その 民の-ための そして-屠った そして-罪の-献げ物とした 最初の-ように
H7223 H2398

彼はまた民の供え物をささげた。すなわち、民のための罪祭のやぎを取ってこれをほふり、前のようにこれを罪のためにささげた。

16 וַיַּקְרֵב אֶת־הָעֹלָה וַיַּעֲשֶׂהָ כַּמִּשְׁפָּט׃
そして-連れて-来た [を] 全焼の-献げ物を そして-行った 定めに-従って
H7126 H0853 H4941

また燔祭をささげた。すなわち、これを定めのようにささげた。

17 וַיַּקְרֵב אֶת־הַמִּנְחָה וַיְמַלֵּא כְפֹו מִמֶּנָּה
そして-連れて-来た [を] 穀物の-献げ物を そして-満たした その-手の-ひらを それから
H7126 H0853 H4503 H4390 H3709

וְהַקְטֵר הַמִּזְבֵּחָה עַל־ מִלְבַד עֹלַת הַבֹּקֶר׃
そして-焼いて-煙とした 祭壇の ～の-上で のほかに 全焼の-献げ物の 朝の
H4196 H0905 H1242

また素祭をささげ、そのうちから一握りを取り、朝の燔祭に加えて、これを祭壇の上で焼いた。

18 וַיִּשְׁחַט אֶת־הַשּׁוֹר וְאֶת־הָאַיִל זֶבַח הַשְּׁלָמִים אֲשֶׁר
そして-屠った [を] 雄牛と そして-[を] 雄羊を いけにえの 和解の-献げ物の その
H7794 H0853 H0853 H2077 H8002

לָעָם וַיִּמְצְאוּ בְּנֵי אַהֲרֹן אֶת־הַדָּם אֵלָיו וַיִּזְרְקֵהוּ עַל־
民の-ための そして-渡した 子らが アロンの [を] 血を 彼に そして-振り-かけた ～の-上に
H4672 H0175 H0853 H1818 H0413 H2236

הַמִּזְבֵּחַ סָבִיב׃
祭壇の 周りに
H4196 H5439

彼はまた民のためにささげる酬恩祭の犠牲の雄牛と雄羊とをほふり、アロンの子たちが、その血を彼に渡したので、彼はこれを祭壇の周囲に注ぎかけた。

19 וְאֶת־הַחֲלָבִים מִן־הַשּׁוֹר מִן־הָאַיִל וּמִן־הַמְכַסֶּה
そして-[を] 脂肪を ～から 雄牛から ～から 雄羊から そして-～から そして-覆う-ものと
H2459 H7794 H0451 H4374

וְהַכְּלָיֹת׃ וְיֹתֶרֶת הַכָּבֵד
そして-腎臓と そして-小葉を 肝臓の
H3629 H3508 H3516

またその雄牛と雄羊との脂肪、すなわち、脂尾、内臓をおおうもの、腎臓、肝臓の小葉。

20 וַיָּשִׂימוּ אֶת־הַחֲלָבִים עַל־הֶחָזוֹת וַיַּקְטֵר הַחֲלָבִים הַמִּזְבֵּחָה׃
そして-置いた [を] 脂肪を 〜の-上に 胸の そして-焼いて-煙とした 脂肪を 祭壇の-上で
H0853 H2459 H2373 H0853 H2459 H4196

これらの脂肪を彼らはその胸の上に載せて携えてきたので、彼はその脂肪を祭壇の上で焼いた。

21 וְאֶת־הֶחָזוֹת וְאֶת־שׁוֹק הַיָּמִין הֵנִיף אַהֲרֹן תְּנוּפָה
そして-[を] 胸と そして-[を] ももを 右の 揺らした アロンは 揺らし-ての-献げ物として
H0853 H2373 H0853 H7785 H3225 H0175 H8573

לִפְנֵי יְהוָה כַּאֲשֶׁר צִוָּה מֹשֶׁה׃
〜の-前で 主の その-ように 命じた モーセが
H6440 H3068 H6680 H4872

その胸と右のももとは、アロンが主の前に揺り動かして揺祭とした。モーセが命じたとおりである。

22 וַיִּשָּׂא אַהֲרֹן אֶת־יָדוֹ [יָדָיו] אֶל־הָעָם וַיְבָרְכֵם
そして-上げた アロンは [を] [その-手を] その-手を 〜に 民に そして-祝福した
H5375 H0175 H0853 H3027 H3027 H0413 H1288

וַיֵּרֶד מֵעֲשֹׂת הַחַטָּאת וְהָעֹלָה וְהַשְּׁלָמִים׃
そして-降りた 〜を-行ってから 罪の-献げ物と そして-全焼の-献げ物と そして-和解の-献げ物を
H3381 H6213 H2403 H5930 H8002

アロンは民にむかって手をあげて、彼らを祝福し、罪祭、燔祭、酬恩祭をささげ終って降りた。

23 וַיָּבֹא מֹשֶׁה וְאַהֲרֹן אֶל־אֹהֶל מוֹעֵד וַיֵּצְאוּ וַיְבָרְכוּ
そして-入った モーセと そして-アロンは 〜に 幕屋に 会見の そして-出た そして-祝福した
H0935 H4872 H0175 H0413 H0168 H4150 H3318 H1288

אֶת־הָעָם וַיֵּרָא כְּבוֹד־יְהוָה אֶל־כָּל־הָעָם׃
[を] 民を そして-現れた 栄光が 主の 〜に すべての 民に
H0853 H5971 H7200 H3519 H3068 H0413 H3605 H5971

モーセとアロンは会見の幕屋に入り、また出てきて民を祝福した。そして主の栄光はすべての民に現れ、

24 וַתֵּצֵא אֵשׁ מִלִּפְנֵי יְהוָה וַתֹּאכַל עַל־הַמִּזְבֵּחַ אֶת־הָעֹלָה וְאֶת־הַחֲלָבִים
そして-出た 火が 〜の-前から 主の そして-食い-尽くした 〜の-上の 祭壇の [を] 全焼の-献げ物と そして-[を] 脂肪を
H3318 H0784 H6440 H3068 H0398 H5921 H4196 H0853 H5930 H0853 H2459

עַל־הַמִּזְבֵּחַ וַיַּרְא כָּל־הָעָם וַיָּרֹנּוּ וַיִּפְּלוּ עַל־פְּנֵיהֶם׃
〜の-上の 祭壇の そして-見た すべての 民は そして-叫んだ そして-ひれ伏した 〜の-上に その-顔の
H5921 H4196 H7200 H3605 H5971 H7442 H5307 H5921 H6440

主の前から火が出て、祭壇の上の燔祭と脂肪とを焼きつくした。民はみな、これを見て喜びよばわり、そしてひれ伏した。

Chapter 10

1

וַיִּתְּנ֖וּ מַחְתָּתֹ֑ו אִ֣ישׁ וַאֲבִיה֗וּא נָדָב֙ אַֽהֲרֹ֔ן בְּנֵי־ וַיִּקְח֥וּ
そして-入れた その-火皿を 各自 そして-アビフは ナダブと アロンの 子らが そして-取った
H5414 H4289 H0376 H0030 H5070 H0175 H3947

זָרָ֔ה אֵ֖שׁ יְהוָ֑ה לִפְנֵ֣י וַיִּקְרְבוּ֙ קְטֹ֔רֶת עָלֶ֖יהָ וַיָּשִׂ֣ימוּ אֵ֔שׁ בָּהֶֽן׃
異なる 火を 主の ～の-前で そして-献げた 香を その-上に そして-置いた 火を それらに
H0784 H3068 H6440 H7126 H7004 H0784 H2004

אֹתָֽם׃ צִוָּ֖ה לֹ֥א אֲשֶׁ֛ר
彼らに 命じていない ない それは
H0853 H6680 H3808

さてアロンの子ナダブとアビフとは、おのおのその香炉を取って火をこれに入れ、薫香をその上に盛って、異火を主の前にささげた。これは主の命令に反することであったので、

2

לִפְנֵ֣י וַיָּמֻ֔תוּ אוֹתָ֑ם וַתֹּאכַ֣ל יְהוָ֖ה מִלִּפְנֵ֥י אֵ֛שׁ וַתֵּצֵ֥א
～の-前で そして-死んだ 彼らを そして-食い-尽くした 主の ～の-前から 火が そして-出た
H6440 H4191 H0853 H0398 H3068 H6440 H0784 H3318

יְהוָֽה׃
主の
H3068

主の前から火が出て彼らを焼き滅ぼし、彼らは主の前に死んだ。

3

לֵאמֹ֔ר יְהוָ֖ה דִּבֶּ֣ר אֲשֶׁר־ הוּא֙ אַֽהֲרֹ֔ן אֶל־ מֹשֶׁ֖ה וַיֹּ֣אמֶר
言って 主が 語った その それは アロンに ～に モーセは そして-言った
H0559 H3068 H1696 H1931 H0175 H0413 H4872 H0559

הָעָ֑ם כָּל־ פְּנֵ֣י וְעַל־ אֶקָּדֵ֖שׁ בִּקְרֹבַ֥י
民の すべての 顔の そして-～の-前で わたしは-聖と-される わたしに-近づく-者によって
H3605 H6440 H6942 H7138

אַֽהֲרֹ֔ן וַיִּדֹּ֖ם אֶכָּבֵֽד׃
アロンは そして-黙った わたしは-崇められる
H0175 H3513

その時モーセはアロンに言った、「主は、こう仰せられた。すなわち『わたしは、わたしに近づく者のうちに、わたしの聖なることを示し、すべての民の前に栄光を現すであろう』」。アロンは黙していた。

4

עֻזִּיאֵ֔ל בְּנֵי֙ אֶלְצָפָ֣ן וְאֶל֙ מִישָׁאֵ֔ל אֶל־ מֹשֶׁ֖ה וַיִּקְרָ֣א
ウズィエルの 子らに エルツァファンに そして-～に ミシャエルと ～に モーセは そして-呼んだ
H5816 H0469 H0413 H4332 H0413 H4872 H7121

מֵאֵ֥ת אֲחֵיכֶ֛ם אֶת־ שְׂא֥וּ קָרֵ֖בוּ אֲלֵהֶ֑ם וַיֹּ֣אמֶר אַֽהֲרֹ֔ן דֹּ֖ד
～から あなたがたの-兄弟を [を] 運べ 近づけ 彼らに そして-言った アロンの おじに
H0854 H0251 H0853 H5375 H7126 H0413 H0559 H0175 H1730

לַמַּחֲנֶֽה׃ מִחוּץ֙ אֶל־ הַקֹּ֔דֶשׁ פְּנֵי־
宿営の 外へ ～へ 聖所の 顔の-前から
H4264 H2351 H0413 H6944 H6440

モーセはアロンの叔父ウジエルの子ミシヤエルとエルザパンとを呼び寄せて彼らに言った、「近寄って、あなたがたの兄弟たちを聖所の前から、宿営の外に運び出しなさい」。

5

דִּבֶּ֖ר כַּאֲשֶׁ֑ר לַמַּחֲנֶ֔ה מִחוּץ֙ אֶל־ בְּכֻתָּנְתָּ֔ם וַיִּשָּׂאֵ֥ם וַיִּקְרְבוּ֙
語った その-ように 宿営の 外へ ～へ その-下着ごと そして-運んだ そして-近づいた
H1696 H4264 H2351 H0413 H3801 H5375 H7126

מֹשֶֽׁה׃
モーセが
H4872

彼らは近寄って、彼らをその服のまま宿営の外に運び出し、モーセの言ったようにした。

6 וַיֹּ֣אמֶר מֹשֶׁ֗ה אֶֽל־אַהֲרֹן֙ וְאֶל־אֶלְעָזָ֣ר וְאֶל־אִיתָמָ֔ר בָּנָ֖יו
そして–言った モーセは ～に アロンと そして–エルアザルと そして–イタマルに その–子らに
H0559 H4872 H0413 H0175 H0499 H0385

רָ֣אשֵׁיכֶם֮ אַל־תִּפְרָ֣עוּ֒ וּבִגְדֵיכֶם֙ לֹ֣א תִפְרֹ֔מוּ
あなたがたの–頭を ない 乱してはならない そして–あなたがたの–衣服を 引き–裂いてはならない
H0408 H6533

וְעַל֙ כָּל־הָעֵדָ֣ה יִקְצֹ֔ף וַאֲחֵיכֶ֣ם כָּל־בֵּ֣ית יִשְׂרָאֵ֔ל יִבְכּ֕וּ אֶת־הַשְּׂרֵפָ֖ה
そして–～の–上に すべての 会衆の 怒りが–くる そして–兄弟たちは すべての 家が イスラエルの 泣け [を] 焼かれた–ことを
H5712 H3605 H4191 H3808 H0251 H3068 H8313

אֲשֶׁ֥ר שָׂרַ֖ף יְהוָֽה׃
その 焼いた 主が
H3068 H8313

モーセはまたアロンおよびその子エレアザルとイタマルとに言った、「あなたがたは髪の毛を乱し、また衣服を裂いてはならない。あなたがたが死ぬことのないため、また主の怒りが、すべての会衆に及ぶことのないためである。ただし、あなたがたの兄弟イスラエルの全家は、主が火をもって焼き滅ぼしたもうたことを嘆いてもよい。

7 וּמִפֶּ֣תַח֮ אֹ֣הֶל מוֹעֵד֒ לֹ֣א תֵצְא֗וּ פֶּן־תָּמֻ֙תוּ֙ כִּֽי־שֶׁ֣מֶן
そして–入口から 幕屋の 会見の ない 出てはならない さもなくば 死ぬ なぜなら 油が
H6607 H0168 H4150 H3808 H3318 H6435 H4191 H8081

מִשְׁחַ֥ת יְהוָ֖ה עֲלֵיכֶ֑ם וַיַּעֲשׂ֕וּ כִּדְבַ֥ר מֹשֶׁ֖ה׃ פ
注ぎの 主の あなたがたの–上に–ある そして–行った 言葉の–とおりに モーセの [区切り]
H3068 H4872 H1697

また、あなたがたは死ぬことのないように、会見の幕屋の入口から外へ出てはならない。あなたがたの上に主の注ぎ油があるからである」。彼らはモーセの言葉のとおりにした。

8 וַיְדַבֵּ֥ר יְהוָ֖ה אֶל־אַהֲרֹ֥ן לֵאמֹֽר׃
言って アロンに ～に 主は そして–語った
H0559 H0175 H0413 H3068 H1696

主はアロンに言われた、

9 יַ֣יִן וְשֵׁכָ֗ר אַל־תֵּ֤שְׁתְּ אַתָּה֙ וּבָנֶ֣יךָ
ぶどう酒と 強い–酒を ない 飲んではならない あなたも そして–あなたの–子らも
H3196 H7941 H0408 H8354

אִתָּ֔ךְ בְּבֹאֲכֶ֖ם אֶל־אֹ֣הֶל מוֹעֵ֑ד וְלֹ֥א תָמֻ֖תוּ חֻקַּ֥ת
共に–あなたと 入る–ときに ～に 幕屋に 会見の そして–ない 死んではならない 定めとして
H0854 H0935 H0413 H0168 H4150 H3808 H4191 H2708

עוֹלָ֛ם לְדֹרֹתֵיכֶֽם׃
永遠の あなたがたの–代々に–わたって
H5769 H1755

「あなたも、あなたの子たちも会見の幕屋にはいる時には、死ぬことのないように、ぶどう酒と濃い酒を飲んではならない。これはあなたがたが代々永く守るべき定めとしなければならない。

וּבֵין
そして-〜の-間を
H0996

הַחֹל
俗なる-ものの
H2455

וּבֵין
そして-〜の-間を
H0996

הַקֹּדֶשׁ
聖なる-ものと
H6944

בֵּין
〜の-間を
H0996

וְלַהַבְדִּיל
そして-区別するために
H0914

10

הַטָּהוֹר׃
清い-ものの
H2889

וּבֵין
そして-〜の-間を
H0996

הַטָּמֵא
汚れた-ものと
H2931

これはあなたがたが聖なるものと俗なるもの、汚れたものと清いものとの区別をすることができるため、

יְהוָה
主が
H3068

דִּבֶּר
語った
H1696

אֲשֶׁר
その
H0834

הַחֻקִּים
定めを
H2706

כָּל־
すべての
H3605

אֶת
[を]
H0853

יִשְׂרָאֵל
イスラエルの
H3478

בְּנֵי
子らに
H1121

אֶת־
[を]
H0853

וּלְהוֹרֹת
そして-教えるために
H3384

11

פ
[区切り]

מֹשֶׁה׃
モーセを
H4872

בְּיַד־
〜を-通して
H3027

אֲלֵיהֶם
彼らに
H0413

また主がモーセによって語られたすべての定めを、イスラエルの人々に教えることができるためである」。

וַיְדַבֵּר
そして-語った
H1696

מֹשֶׁה
モーセは
H4872

אֶל־
〜に
H0413

אַהֲרֹן
アロンと
H0175

וְאֶל
そして-〜に
H0413

אֶלְעָזָר
エルアザルと
H0499

וְאֶל־
そして-〜に
H0413

אִיתָמָר
イタマルに
H0385

12

בָּנָיו
その-子らに
H1121

הַנּוֹתָרִים
残った
H3498

קְחוּ
取れ
H3947

אֶת־
[を]
H0853

הַמִּנְחָה
穀物の-献げ物を
H4503

הַנּוֹתֶרֶת
残った
H3498

מֵאִשֵּׁי
火による-献げ物から
H0801

יְהוָה
主の
H3068

וְאִכְלוּהָ
そして-食べよ
H0398

מַצּוֹת
種なし-パンとして
H4682

בְּאֵצֶל
〜の-そばで
H0681

הַמִּזְבֵּחַ
祭壇の
H4196

כִּי
なぜなら
H3588

קֹדֶשׁ
聖の
H6944

קָדָשִׁים
中の-聖
H6944

הִוא׃
それは
H1931

モーセはまたアロンおよびその残っている子エレアザルとイタマルとに言った、「あなたがたは主の火祭のうちから素祭の残りを取り、パン種を入れずに、これを祭壇のかたわらで食べなさい。これはいと聖なる物である。

וַאֲכַלְתֶּם
そして-食べよ
H0398

אֹתָהּ
それを
H0853

בִּמְקוֹם
場所で
H4725

קֹדֶשׁ
聖なる
H6918

כִּי
なぜなら
H3588

חָקְךָ
あなたの-分け前
H2706

וְחָק־
そして-分け前
H2706

בָּנֶיךָ
あなたの-子らの

13

צִוֵּיתִי׃
わたしは-命じられた
H6680

כֵּן
その-ように
H3651

כִּי־
なぜなら
H3588

יְהוָה
主の
H3068

מֵאִשֵּׁי
火による-献げ物から
H0801

הִוא
それは
H1931

これは主の火祭のうちからあなたの受ける分、またあなたの子たちの受ける分であるから、あなたがたはこれを聖なる所で食べなければならない。わたしはこのように命じられたのである。

וְאֶת
そして-[を]
H0853

חֲזֵה
胸を
H2373

הַתְּנוּפָה
揺らし-ての-献げ物の
H8573

וְאֵת
そして-[を]
H0853

שׁוֹק
ももを
H7785

הַתְּרוּמָה
奉納の
H8641

תֹּאכְלוּ
食べよ
H0398

בִּמְקוֹם
場所で
H4725

טָהוֹר
清い
H2889

14

אַתָּה
あなたと

וּבָנֶיךָ
そして-あなたの-息子たちと

וּבְנֹתֶיךָ
そして-あなたの-娘たちが

אִתָּךְ
あなたと-共に
H0854

כִּי־
なぜなら

חָקְךָ
あなたの-分け前
H2706

וְחָק
そして-分け前
H2706

בָּנֶיךָ
あなたの-子らの

נִתְּנוּ
与えられた
H5414

מִזִּבְחֵי
いけにえから
H2077

שַׁלְמֵי
和解の-献げ物の
H8002

בְּנֵי
子らの
H1121

יִשְׂרָאֵל׃
イスラエルの
H3478

また揺り動かした胸とささげたももとは、あなたとあなたのむすこ、娘たちがこれを清い所で食べなければならない。これはイスラエルの人々の酬恩祭の犠牲の中からあなたの分、あなたの子たちの分として与えられるものだからである。

15 שׁוֹק הַתְּרוּמָה וְחֶזֵה הַתְּנוּפָה עַל אִשֵּׁי הַחֲלָבִים
ももを 奉納の そして-胸を 揺らし-ての-献げ物の ～と-共に 火による-献げ物の 脂肪の
H7785 H8641 H2373 H8573 H5921 H0801 H2459

לְךָ וְלִבְנֶיךָ אִתָּךְ לְחָק עוֹלָם כַּאֲשֶׁר צִוָּה יְהוָה׃
あなたの-ものと そして-あなたの-子らの-ものと あなたと-共に 定めとして 永遠の その-ように 命じた 主が
H0853 H2706 H5769 H6680 H3068

לְהָנִיף תְּנוּפָה לִפְנֵי יְהוָה וְהָיָה לְךָ
揺らすために 揺らし-ての-献げ物として ～の-前で 主の そして-なる あなたの-ものと
H0935 H8573 H6440 H3068 H1961

彼らはそのささげたももと揺り動かした胸とを、火祭の脂肪と共に携えてきて、これを主の前に揺り動かして揺祭としなければならない。これは主がお命じになったように、長く受くべき分としてあなたと、あなたの子たちとに帰するであろう」。

16 וְאֵת שְׂעִיר הַחַטָּאת דָּרֹשׁ דָּרַשׁ מֹשֶׁה וְהִנֵּה שָׂרֻף
そして-[を] 雄の-やぎを 罪の-献げ物の 尋ねて 尋ねた モーセは そして-見よ 焼かれて-いた
H0853 H8163 H2403 H4872 H2009 H8313

עַל אֶלְעָזָר וְעַל אִיתָמָר בְּנֵי אַהֲרֹן הַנּוֹתָרִם לֵאמֹר׃
～に-対して エルアザルと ～に-対して そして-～に-対して イタマルに 子らに アロンの 残った 言って
H0413 H0499 H0413 H0385 H0853 H0175 H3498 H0559

さてモーセは罪祭のやぎを、ていねいに捜したが、見よ、それがすでに焼かれていたので、彼は残っているアロンの子エレアザルとイタマルとにむかい、怒って言った、

17 מַדּוּעַ לֹא אֲכַלְתֶּם אֶת הַחַטָּאת בִּמְקוֹם הַקֹּדֶשׁ כִּי קֹדֶשׁ קָדָשִׁים הִוא
なぜ ない [を] 食べなかった 罪の-献げ物を 場所で 聖なる なぜなら 聖の 中の-聖
H4069 H3808 H0853 H0398 H2403 H4725 H6944 H3588 H6944 H6944

וְאֹתָהּ נָתַן לָכֶם לָשֵׂאת אֶת עֲוֹן הָעֵדָה לְכַפֵּר עֲלֵיהֶם לִפְנֵי יְהוָה׃
そして-それを 与えた あなたがたに 負うために [を] 咎を 会衆の 贖うために 彼らの-ために ～の-前で 主の
H0853 H5414 H3588 H5375 H0853 H5771 H5712 H6440 H3068

「あなたがたは、なぜ罪祭のものを聖なる所で食べなかったのか。これはいと聖なる物であって、あなたがたが会衆の罪を負って、彼らのために主の前にあがないをするため、あなたがたに賜わった物である。

18 הֵן לֹא הוּבָא אֶת דָּמָהּ אֶל הַקֹּדֶשׁ פְּנִימָה אָכוֹל תֹּאכְלוּ אֹתָהּ בַּקֹּדֶשׁ כַּאֲשֶׁר צִוִּיתִי׃
見よ ない 持ち-込まれていない [を] その-血は ～に 聖所に 内側に 食べること それを 聖所で 聖なる その-ように わたしは-命じた
H2005 H3808 H0935 H0853 H1818 H0413 H6944 H6441 H0398 H0853 H6944 H6944 H3588 H6680

見よ、その血は聖所の中に携え入れなかった。その肉はわたしが命じたように、あなたがたは必ずそれを聖なる所で食べるべきであった」。

חַטָּאתָם	אֶת־	הִקְרִיבוּ	הַיּוֹם	הֵן	מֹשֶׁה	אֶל־	אַהֲרֹן	וַיְדַבֵּר	19
その–罪の–献げ物と	[を]	献げた	今日	見よ	モーセに	～に	アロンは	そして–語った	
	H0853	H7126	H3117	H2005	H4872	H0413	H0175	H1696	

כָּאֵלֶּה	אֹתִי	וַתִּקְרֶאנָה	יְהוָה	לִפְנֵי	עֹלָתָם	וְאֶת־	
この–ような–ことが	わたしに	そして–起こった	主の	～の–前で	その–全焼の–献げ物を	そして–[を]	
H0428	H0853	H7122	H3068	H6440		H0853	

יְהוָה׃	בְּעֵינָי	הַיִיטַב	הַיּוֹם	חַטָּאת	וְאָכַלְתִּי
主の	～の–目に	良い–だろうか	今日	罪の–献げ物を	そして–食べたなら
H3068		H3190	H3117		H0398

アロンはモーセに言った、「見よ、きょう、彼らはその罪祭と燔祭とを主の前にささげたが、このような事がわたしに臨んだ。もしわたしが、きょう罪祭のものを食べたとしたら、主はこれを良しとせられたであろうか」。

פ	בְּעֵינָיו׃	וַיִּיטַב	מֹשֶׁה	וַיִּשְׁמַע	20
[区切り]	その–目に	そして–良いと–思った	モーセは	そして–聞いた	
		H3190	H4872	H8085	

モーセはこれを聞いて良しとした。

Chapter 11

אֲלֵהֶם׃	לֵאמֹר	אַהֲרֹן	וְאֶל־	מֹשֶׁה	אֶל־	יְהוָה	וַיְדַבֵּר		1
彼らに	言って	アロンに	そして–～に	モーセと	～に	主は	そして–語った		
H0413	H0559	H0175	H0413	H4872	H0413	H3068	H1696		

主はまたモーセとアロンに言われた、

מִכָּל־	תֹּאכְלוּ	אֲשֶׁר	הֶחָיָה	זֹאת	לֵאמֹר	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי	אֶל־	דַּבְּרוּ	2
すべての	食べる	その	生き物である	これが	言って	イスラエルの	子らに	～に	語れ	
H3605	H0398			H2063	H0559	H3478		H0413	H1696	

הָאָרֶץ׃	עַל־	אֲשֶׁר	הַבְּהֵמָה
地の	～の–上の	その	家畜から
H0776			H0929

「イスラエルの人々に言いなさい、『地にあるすべての獣のうち、あなたがたの食べることができる動物は次のとおりである。

בַּבְּהֵמָה	גֵּרָה	מַעֲלַת	פְּרָסֹת	שֹׁסַעַ	וְשֹׁסַעַת	פְּרָסָה	מַפְרֶסֶת	וְכֹל	3
家畜の–うちの	反芻を	反芻する	ひづめの	割れ目の	そして–割れた	ひづめを	分ける	すべての	
H0929	H1625	H5927	H6541	H8157	H8156	H6541	H6536	H3605	

תֹּאכֵלוּ׃	אֹתָהּ	
食べてよい	それを	
H0398	H0853	

獣のうち、すべてひずめの分かれたもの、すなわち、ひずめの全く切れたもの、反芻するものは、これを食べることができる。

4

אַךְ	אֶת־	זֶה	לֹא	תֹאכְלוּ	מִמַּעֲלֵי	הַגֵּרָה	וּמִמַּפְרִיסֵי
ただし	[を]	これを	ない	食べてはならない	反芻する-ものから	反芻を	そして-分ける-ものから
H0389	H0853	H2088	H3808	H0398	H5927	H1625	H6536

הַפַּרְסָה	אֶת־	הַגָּמָל	כִּי־	מַעֲלֵה	גֵרָה	הִוא	וּפַרְסָה	אֵינֶנּוּ	מַפְרִיס
ひづめを	[を]	らくだを	なぜなら	反芻する	反芻を	それは	そして-ひづめを	ない	分けない
H6541	H0853	H1581		H5927	H1625	H1931	H6541	H0369	H6536

טָמֵא	הִוא	לָכֶם׃
汚れた-もの	それは	あなたがたに
H2931	H1931	

ただし、反芻するもの、またはひずめの分かれたもののうち、次のものは食べてはならない。すなわち、らくだ、これは、反芻するけれども、ひずめが分かれていないから、あなたがたには汚れたものである。

5

וְאֶת־	הַשָּׁפָן	כִּי־	מַעֲלֵה	גֵרָה	הִוא	וּפַרְסָה	לֹא	יַפְרִיס
そして-[を]	岩たぬきを	なぜなら	反芻する	反芻を	それは	そして-ひづめを	ない	分けない
H0853			H5927	H1625	H1931	H6541	H3808	H6536

טָמֵא	הִוא	לָכֶם׃
汚れた-もの	それは	あなたがたに
H2931	H1931	

岩たぬき、これは、反芻するけれども、ひずめが分かれていないから、あなたがたには汚れたものである。

6

וְאֶת־	הָאַרְנֶבֶת	כִּי־	מַעֲלַת	גֵרָה	הִוא	וּפַרְסָה	לֹא	הִפְרִיסָה
そして-[を]	野うさぎを	なぜなら	反芻する	反芻を	それは	そして-ひづめを	ない	分けない
H0853	H0768		H5927	H1625	H1931	H6541	H3808	H6536

טְמֵאָה	הִוא	לָכֶם׃
汚れた-もの	それは	あなたがたに
H2931	H1931	

野うさぎ、これは、反芻するけれども、ひずめが分かれていないから、あなたがたには汚れたものである。

7

וְאֶת־	הַחֲזִיר	כִּי־	מַפְרִיס	פַּרְסָה	הִוא	וְשֹׁסַע	שֵׁסַע	פַּרְסָה
そして-[を]	豚を	なぜなら	分ける	ひづめを	それは	そして-割れた	割れ目の	ひづめの
H0853	H2386		H6536	H6541	H1931	H8156	H8157	H6541

וְהוּא	לֹא־	גֵרָה	יִגַּר	טָמֵא	הִוא	לָכֶם׃	
そして-それは	ない	反芻を	反芻しない	汚れた-もの	それは	あなたがたに	
H1931	H3808	H1625	H1641	H2931	H1931		

豚、これは、ひずめが分かれており、ひずめが全く切れているけれども、反芻することをしないから、あなたがたには汚れたものである。

8

מִבְּשָׂרָם	לֹא	תֹאכֵלוּ	וּבְנִבְלָתָם	לֹא	תִגָּעוּ	טְמֵאִים	
その-肉を	ない	食べてはならない	そして-その-死体に	ない	触れてはならない	汚れた-もの	
H1320	H3808	H0398	H5038	H3808	H5060	H2931	

הֵם	לָכֶם׃	
それらは	あなたがたに	
H1992		

あなたがたは、これらのものの肉を食べてはならない。またその死体に触れてはならない。これらは、あなたがたには汚れたものである。

9 אֶת־ זֶה֙ תֹּאכְל֔וּ מִכֹּ֛ל אֲשֶׁר־ בַּמַּ֖יִם אֲשֶׁ֣ר כָּל־ לוֹ֙ סְנַפִּ֣יר
[を] これを 食べてよい すべての その 水の–中の すべての それに ひれと
H0853 H2088 H0398 H3605 H4325 H3605 H5579

וְקַשְׂקֶ֑שֶׂת בַּמַּ֣יִם בַּיַּמִּ֣ים וּבַנְּחָלִ֔ים אֹתָ֖ם תֹּאכֵֽלוּ׃
そして–うろこが–ある 海でも 水の–中の 海でも そして–川でも それらを 食べてよい
H7193 H3220 H4325 H3220 H0853 H0398

水の中にいるすべてのもののうち、あなたがたの食べることができるものは次のとおりである。すなわち、海でも、川でも、すべて水の中にいるもので、ひれと、うろこのあるものは、これを食べることができる。

10 וְכֹל֙ אֲשֶׁ֣ר אֵין־ לוֹ֙ סְנַפִּ֣יר וְקַשְׂקֶ֑שֶׂת בַּיַּמִּ֣ים וּבַנְּחָלִ֔ים מִכֹּ֛ל
そして–すべての その ない それに ひれと 海でも そして–うろこが 海でも そして–川でも すべての
H3605 H0369 H5579 H7193 H3220 H3605

בַּמַּ֖יִם אֲשֶׁ֣ר הַחַיָּ֑ה נֶ֣פֶשׁ וּמִכֹּ֛ל הַמַּ֖יִם שֶׁ֥רֶץ שֶׁ֖קֶץ
水の–中の その 生きた 生き物の そして–すべての 水の 這う–ものの 忌まわしい–もの
H4325 H0834 H2416 H5315 H3605 H4325 H8318 H8263

הֵ֥ם לָכֶֽם׃
それらは あなたがたに
H1992

すべて水に群がるもの、またすべての水の中にいる生き物のうち、すなわち、すべて海、また川にいて、ひれとうろこのないものは、あなたがたに忌むべきものである。

11 וְאֶת־ תֹּאכְל֑וּ לֹ֣א מִבְשָׂרָ֖ם לָכֶ֥ם יִהְי֛וּ וְשֶׁ֥קֶץ
そして–[を] 食べてはならない ない その–肉を あなたがたに である そして–忌まわしい–もの
H0853 H0398 H3808 H1320 H1961 H8263

תְּשַׁקְּצ֖וּ נִבְלָתָ֥ם׃
忌み–嫌え その–死体を
H8262 H5038

これらはあなたがたに忌むべきものであるから、あなたがたはその肉を食べてはならない。またその死体は忌むべきものとしなければならない。

12 כָּל֙ אֲשֶׁ֣ר אֵין־ לוֹ֙ סְנַפִּ֣יר וְקַשְׂקֶ֑שֶׂת בַּמָּ֖יִם שֶׁ֥קֶץ הֽוּא׃
すべての その ない それに ひれと そして–うろこが 水の–中の 忌まわしい–もの それは
H3605 H0369 H5579 H7193 H4325 H8263 H1931

לָכֶֽם׃
あなたがたに

すべて水の中にいて、ひれも、うろこもないものは、あなたがたに忌むべきものである。

13 וְאֶת־ אֵ֠לֶּה תְּשַׁקְּצ֨וּ מִן־ הָעֹ֜וף לֹ֣א יֵאָכְל֗וּ שֶׁ֥קֶץ הֵ֛ם
そして–[を] これらを 忌み–嫌え ～から 鳥から ない 食べてはならない 忌まわしい–もの それらは
H0853 H0428 H8262 H0853 H3808 H5775 H0398 H8263 H1992

וְאֶת־ הַנָּ֖שֶׁר וְאֶת־ הַפֶּ֣רֶס וְאֶת־ הָעָזְנִיָּ֑ה׃
そして–[を] 鷲と そして–[を] ひげわしと そして–[を] みさごを
H0853 H5404 H0853 H6538 H0853 H5822

鳥のうち、次のものは、あなたがたに忌むべきものとして、食べてはならない。それらは忌むべきものである。すなわち、はげわし、ひげはげわし、みさご、

14 וְאֶת־ הַדָּאָ֖ה וְאֶת־ הָאַיָּ֑ה לְמִינָֽהּ׃
そして–[を] とびと そして–[を] たかを その–種類の
H0853 H1676 H0853 H0344 H4327

とび、はやぶさの類、

15 אֶת [を] H0853 כָּל־ すべての H3605 עֹרֵב からすを H6158 לְמִינוֹ׃ その–種類の H4327

もろもろのからすの類、

16 וְאֶת [を] H0853 בַּת 娘を H1323 הַיַּעֲנָה だちょうの H3284 וְאֶת־ そして–[を] H0853 הַתַּחְמָס よたかと H8464 וְאֶת־ そして–[を] H0853 הַשָּׁחַף かもめを H7828 וְאֶת־ そして–[を] H0853 הַנֵּץ はいたかを לְמִינֵהוּ׃ その–種類の H4327

だちょう、よたか、かもめ、たかの類、

17 וְאֶת־ そして–[を] H0853 הַשָּׁלָךְ ペリカンと H7994 וְאֶת־ そして–[を] H0853 הַכּוֹס このはずくと וְאֶת־ そして–[を] H0853 הַיַּנְשׁוּף׃ みみずくを H3244

ふくろう、う、みみずく、

18 וְאֶת־ そして–[を] H0853 הַתִּנְשֶׁמֶת めんふくろうと H8580 וְאֶת־ そして–[を] H0853 הַקָּאָת ペリカンと H6893 וְאֶת־ そして–[を] H0853 הָרָחָם׃ はげわしを H7360

むらさきばん、ペリカン、はげたか、

19 וְאֶת [を] H0853 הַחֲסִידָה こうのとりと H2624 הָאֲנָפָה さぎを H0601 לְמִינָהּ その–種類の H4327 וְאֶת־ そして–[を] H0853 הַדּוּכִיפַת やつがしらと H1744 וְאֶת־ そして–[を] H0853 הָעֲטַלֵּף׃ こうもりを H5847

こうのとり、さぎの類、やつがしら、こうもり。

20 כֹּל すべての H3605 שֶׁרֶץ 這う–ものは H8318 הָעוֹף 鳥の H5775 הַהֹלֵךְ 歩く H1980 עַל־ ～の–上を אַרְבַּע 四本足で H0702 שֶׁקֶץ 忌まわしい–もの H8263 הוּא それは H1931 לָכֶם׃ あなたがたに

ס [区切り]

また羽があって四つの足で歩くすべての這うものは、あなたがたに忌むべきものである。

21 אַךְ ただし H0389 אֶת־ [を] H0853 זֶה これを H2088 תֹּאכְלוּ 食べてよい H0398 מִכֹּל すべての H3605 שֶׁרֶץ 這う–ものの H8318 הָעוֹף 鳥の H5775 הַהֹלֵךְ 歩く H1980 עַל־ ～の–上を אַרְבַּע 四本足で H0702 אֲשֶׁר־ その [それに] H3808 לֹא( )לוֹ それに כְרָעַיִם 足が–ある H3767 מִמַּעַל ～の–上に H4605 לְרַגְלָיו その–足の H7272 לְנַתֵּר 跳ねるために בָּהֵן それで H2004 עַל־ ～の–上を הָאָרֶץ׃ 地の H0776

ただし、羽があって四つの足で歩くすべての這うもののうち、その足のうえに、跳ね足があり、それで地の上をはねるものは食べることができる。

22 אֶת־ אֵלֶּה מֵהֶם תֹּאכְלוּ אֶת־ הָאַרְבֶּה לְמִינֹו וְאֶת־ הַסָּלְעָם
これらを [を] それらから 食べてよい [を] いなごを その–種類の そして–[を] 大いなごを
H0428 H0853 H1992 H0398 H0853 H0697 H4327 H0853 H5556

לְמִינֵהוּ: הֶחָגָב לְמִינֵהוּ וְאֶת־ הַחַרְגֹּל לְמִינֵהוּ וְאֶת־ לְמִינֵהוּ
その–種類の ばったを その–種類の そして–[を] こおろぎを その–種類の そして–[を] その–種類の
H4327 H2284 H4327 H0853 H2728 H4327 H0853 H4327

すなわち、そのうち次のものは食べることができる。移住いなごの類、遍歴いなごの類、大いなごの類、小いなごの類である。

23 וְכֹל שֶׁרֶץ הָעוֹף אֲשֶׁר־ לוֹ אַרְבַּע רַגְלָיִם שֶׁקֶץ הוּא
そして–すべての 這う–ものは 鳥の その それに 四本の 足が–ある 忌まわしい–もの それは
H3605 H8318 H5775 H0834 H0702 H7272 H8263 H1931

לָכֶם:
あなたがたに

しかし、羽があって四つの足で歩く、そのほかのすべての這うものは、あなたがたに忌むべきものである。

24 וּלְאֵלֶּה תִּטַּמְּאוּ כָּל־ הַנֹּגֵעַ בְּנִבְלָתָם יִטְמָא עַד־ הָעֶרֶב:
そして–これらによって 汚れる すべての 触れる–者は その–死体に 汚れる ～まで 夕べまで
H0428 H3605 H5060 H5038 H5704 H6153

あなたがたは次の場合に汚れたものとなる。すなわち、すべてこれらのものの死体に触れる者は夕まで汚れる。

25 וְכָל־ הַנֹּשֵׂא מִנִּבְלָתָם יְכַבֵּס בְּגָדָיו וְטָמֵא עַד־ הָעֶרֶב:
そして–すべての 運ぶ–者は その–死体を 洗う その–衣服を そして–汚れる ～まで 夕べまで
H3605 H5375 H5038 H3526 H0899 H5704 H6153

すべてこれらのものの死体を運ぶ者は、その衣服を洗わなければならない。彼は夕まで汚れる。

26 לְכָל־ הַבְּהֵמָה אֲשֶׁר הוּא מַפְרֶסֶת פַּרְסָה וְשֹׁסַעַת אֵינֶנָּה שֹׁסַעַת
すべての 家畜に–ついて その それは 分ける ひづめを そして–割れ目の ない 割れない
H3605 H0929 H0834 H1931 H6536 H6541 H8156 H0369 H8157

וְגֵרָה אֵינֶנָּה מַעֲלַת הֵם טְמֵאִים לָכֶם כָּל־ הַנֹּגֵעַ
そして–反芻を ない 反芻しない それらは 汚れた–もの あなたがたに すべての 触れる–者は
H1625 H0369 H5927 H1992 H2931 H3605 H5060

בָּהֶם יִטְמָא:
それらに 汚れる

すべて、ひずめの分かれた獣で、その切れ目の切れていないもの、また、反芻することをしないものは、あなたがたに汚れたものである。すべて、これに触れる者は汚れる。

27 וְכֹל הוֹלֵךְ עַל־ כַּפָּיו בְּכָל־ הַחַיָּה הַהֹלֶכֶת עַל־
そして–すべての 歩く ～の–上を その–手の–ひらで すべての 獣の–うちの 歩く ～の–上を
H3605 H1980 H3709 H3605 H2416 H1980 H5921

אַרְבַּע הַנֹּגֵעַ בְּנִבְלָתָם יִטְמָא עַד־ הָעֶרֶב:
四本足で 触れる–者は その–死体に 汚れる ～まで 夕べまで
H0702 H5060 H5038 H2931 H5704 H6153

すべて四つの足で歩く獣のうち、その足の裏のふくらみで歩くものは皆あなたがたに汚れたものである。すべてその死体に触れる者は夕まで汚れる。

28 וְהַנֹּשֵׂא אֶת־נִבְלָתָם יְכַבֵּס בִּגְדָיו וְטָמֵא עַד־הָעָרֶב
そして-運ぶ-者は [を] その-死体を 洗う その-衣服を そして-汚れる ～まで 夕べまで
H5375 H0853 H5038 H3526 H0899 H5704 H6153

טְמֵאִים הֵמָּה לָכֶם׃ ס
汚れた-もの それらは あなたがたに [区切り]
H2931 H1992

その死体を運ぶ者は、その衣服を洗わなければならない。彼は夕まで汚れる。これは、あなたがたに汚れたものである。

29 וְזֶה לָכֶם הַטָּמֵא בַּשֶּׁרֶץ הַשֹּׁרֵץ עַל־הָאָרֶץ
そして-これは あなたがたに 汚れた-ものである 這う-もののうちの 這う 地の ～の-上を
H2088 H2931 H8318 H8317 H0776

הַחֹלֶד וְהָעַכְבָּר וְהַצָּב לְמִינֵהוּ׃
もぐらと そして-ねずみと そして-大とかげを その-種類の
H2467 H5909 H0899 H4327

地にはう這うもののうち、次のものはあなたがたに汚れたものである。すなわち、もぐらねずみ、とびねずみ、とげ尾とかげの類、

30 וְהָאֲנָקָה וְהַכֹּחַ וְהַלְטָאָה וְהַחֹמֶט וְהַתְּנִשְׁמֶת׃
そして-やもりと そして-カメレオンと そして-とかげと そして-かたつむりと そして-もぐらを
H0604 H3911 H2546 H8580

やもり、大とかげ、とかげ、すなとかげ、カメレオン。

31 אֵלֶּה לָכֶם הַטְּמֵאִים בְּכָל־הַשֹּׁרֵץ כָּל־הַנֹּגֵעַ
これらは あなたがたに 汚れた-ものである すべての-うちの 這う-もののうちの すべての 触れる-者は
H0428 H2931 H3605 H8318 H3605 H5060

בְּמֹתָם יִטְמָא עַד־הָעָרֶב׃
その-死ぬ-ときに 汚れる ～まで 夕べまで
H4194 H3605 H5704 H6153

もろもろの這うもののうち、これらはあなたがたに汚れたものである。すべてそれらのものが死んで、それに触れる者は夕まで汚れる。

32 וְכָל אֲשֶׁר־יִפֹּל עָלָיו מֵהֶם בְּמֹתָם יִטְמָא מִכָּל־כְּלִי
そして-すべての その 落ちる その-上に それらから その-死ぬ-ときに 汚れる すべての 器の
H3605 H0834 H5307 H5921 H1992 H4194 H3605 H3627

עֵץ אוֹ בֶגֶד אוֹ עוֹר אוֹ שָׂק כָּל־כְּלִי אֲשֶׁר־יֵעָשֶׂה
木の あるいは 衣服か あるいは 皮か 袋か すべての 器で その 使う
H6086 H0176 H0899 H0176 H5785 H8242 H3605 H3627 H0834 H6213

בָּהֶם יְבוֹא בַּמָּיִם וְטָמֵא עַד־הָעָרֶב וְטָהֵר׃
それで 入れる 水に そして-汚れる ～まで 夕べまで そして-清く-なる
H0935 H4325 H2930 H5704 H6153 H2891

またそれらのものが死んで、それが落ちかかった物はすべて汚れる。木の器であれ、衣服であれ、皮であれ、袋であれ、およそ仕事に使う器はそれを水に入れなければならない。それは夕まで汚れているが、そののち清くなる。

33 וְכָל־כְּלִי־חֶרֶשׂ אֲשֶׁר־יִפֹּל מֵהֶם אֶל־תּוֹכוֹ כֹּל אֲשֶׁר בְּתוֹכוֹ יִטְמָא וְאֹתוֹ תִשְׁבֹּרוּ׃
そして-すべての 器は その 土の 落ちる それらから ～の-中に その-中に すべての その 汚れる そして-それを 砕け
H3605 H8432 H0413 H1992 H5307 H2789 H3627 H3605 H8432 H0853 H7665

またそれらのものが、土の器の中に落ちたならば、その中にあるものは皆汚れる。あなたがたはその器をこわさなければならない。

34 וְכָל־מַאֲכָל אֲשֶׁר יֵאָכֵל אֲשֶׁר יָבוֹא עָלָיו מַיִם יִטְמָא וְכָל־מִשְׁקֶה אֲשֶׁר יִשָּׁתֶה בְּכָל־כְּלִי יִטְמָא׃
そして-すべての 食べ物で その 食べる その 来る その-上に 水が 汚れる すべての 飲み物で その 飲む すべての 器の 汚れる
H3605 H0400 H0398 H0935 H4325 H3605 H8354 H3627

またすべてその中にある食物で、水分のあるものは汚れる。またすべてそのような器の中にある飲み物も皆汚れる。

35 וְכֹל אֲשֶׁר־יִפֹּל מִנִּבְלָתָם עָלָיו יִטְמָא תַּנּוּר וְכִירַיִם יֻתָּץ טְמֵאִים הֵם וְטְמֵאִים יִהְיוּ לָכֶם׃
そして-すべての その 落ちる それらから その-死体から その-上に 汚れる かまどと 炉を 壊す 汚れた-もの それらは 汚れた-もの である あなたがたに
H3605 H5307 H1992 H5038 H2931 H8574 H3600 H5422 H2931 H1961

またそれらのものの死体が落ちかかったならば、その物はすべて汚れる。天火であれ、かまどであれ、それをこわさなければならない。これらは汚れたもので、あなたがたに汚れたものとなる。

36 אַךְ מַעְיָן וּבּוֹר מִקְוֵה־מָיִם יִהְיֶה טָהוֹר וְנֹגֵעַ בְּנִבְלָתָם טָמֵא יִטְמָא׃
ただし 泉と そして-水溜めと 集めた 水の である 清い そして-触れる-者は その-死体に 汚れる
H0389 H4599 H1961 H4325 H2889 H5060 H5038

ただし、泉、あるいは水の集まった水たまりは汚れない。しかし、その死体に触れる者は汚れる。

37 וְכִי יִפֹּל מִנִּבְלָתָם עַל־כָּל־זֶרַע זָרוּעַ אֲשֶׁר יִזָּרֵעַ טָהוֹר הוּא׃
そして-もし 落ちる その-死体から ～の-上に すべての 種の 蒔く その 蒔く 清い それは
H5307 H5038 H5921 H3605 H2233 H2221 H0834 H2232 H2889 H1931

それらのものの死体が、まく種の上に落ちても、それは汚れない。

38 וְכִי־יֻתַּן מַיִם עַל־זֶרַע וְנָפַל מִנִּבְלָתָם עָלָיו טָמֵא הוּא לָכֶם׃ ס
そして-もし 置かれた 水が ～の-上に 種の そして-落ちる その-死体から その-上に 汚れた-もの それは あなたがたに [区切り]
H5414 H4325 H5921 H2233 H5307 H5038 H5921 H2931 H1931

ただし、種の上に水がかかっていて、その上にそれらのものの死体が、落ちるならば、それはあなたがたに汚れたものとなる。

39 וְכִי־ יָמוּת֙ מִן־ הַבְּהֵמָ֔ה אֲשֶׁר־ הִ֥יא לָכֶ֖ם לְאָכְלָ֑ה הַנֹּגֵ֥עַ בְּנִבְלָתָ֖הּ יִטְמָ֥א עַד־ הָעָֽרֶב׃

וְכִי	יָמוּת֙	מִן־	הַבְּהֵמָ֔ה	אֲשֶׁר־	הִ֥יא	לָכֶ֖ם	לְאָכְלָ֑ה	הַנֹּגֵ֥עַ
そして–もし	死ぬ	～から	家畜から	その	それは	あなたがたに	食べる–ための	触れる–者は
	H4191		H0929		H1931		H0402	H5060

בְּנִבְלָתָ֖הּ	יִטְמָ֥א	עַד־	הָעָֽרֶב׃
その–死体に	汚れる	～まで	夕べまで
H5038		H5704	H6153

あなたがたの食べる獣が死んだ時、その死体に触れる者は夕まで汚れる。

40 וְהָאֹכֵל֙ מִנִּבְלָתָ֔הּ יְכַבֵּ֥ס בְּגָדָ֖יו וְטָמֵ֣א עַד־ הָעָֽרֶב׃ וְהַנֹּשֵׂ֖א אֶת־ נִבְלָתָ֑הּ יְכַבֵּ֥ס בְּגָדָ֖יו וְטָמֵ֣א עַד־ הָעָֽרֶב׃

וְהָאֹכֵל֙	מִנִּבְלָתָ֔הּ	יְכַבֵּ֥ס	בְּגָדָ֖יו	וְטָמֵ֣א	עַד־	הָעָֽרֶב׃		
そして–食べる–者は	その–死体から	洗う	その–衣服を	そして–汚れる	～まで	夕べまで		
H0398	H5038	H3526			H5704	H6153		

וְהַנֹּשֵׂ֖א	אֶת־	נִבְלָתָ֑הּ	יְכַבֵּ֥ס	בְּגָדָ֖יו	וְטָמֵ֣א	עַד־	הָעָֽרֶב׃	
そして–運ぶ–者は	[を]	その–死体を	洗う	その–衣服を	そして–汚れる	～まで	夕べまで	
H5375	H0853	H5038	H3526			H5704	H6153	

その死体を食べる者は、その衣服を洗わなければならない。夕まで汚れる。その死体を運ぶ者も、その衣服を洗わなければならない。夕まで汚れる。

41 וְכָל־ הַשֶּׁרֶץ֙ הַשֹּׁרֵ֣ץ עַל־ הָאָ֔רֶץ שֶׁ֖קֶץ הִ֣וא לֹ֑א יֵאָכֵֽל׃

וְכָל־	הַשֶּׁרֶץ֙	הַשֹּׁרֵ֣ץ	עַל־	הָאָ֔רֶץ	שֶׁ֖קֶץ	הִ֣וא	לֹ֑א	יֵאָכֵֽל׃
そして–すべての	這う–ものは	這う	～の–上を	地の	忌まわしい–もの	それは	ない	食べてはならない
H3605	H8318	H8317		H0776	H8263	H1931	H3808	H0398

すべて地にはう這うものは忌むべきものである。これを食べてはならない。

42 כָּל־ הוֹלֵךְ֙ עַל־ גָּח֔וֹן וְכֹ֖ל הוֹלֵ֣ךְ עַל־ אַרְבַּ֑ע עַד־ כָּל־ הָרֹבֶ֣ה רַגְלַ֔יִם כִּ֣י תֹאכְלֻ֔ם לֹ֚א הַשֶּׁ֣רֶץ הַשֹּׁרֵ֔ץ עַל־ הָאָ֖רֶץ לָכֶ֥ם לְאָכְלָֽה׃ כִּ֥י שֶׁ֖קֶץ הֵֽם׃

כָּל־	הוֹלֵךְ֙	עַל־	גָּח֔וֹן	וְכֹ֖ל	הוֹלֵ֣ךְ	עַל־	אַרְבַּ֑ע	עַד־
すべての	歩く	～の–上を	腹で	そして–すべての	歩く	～の–上を	四本足で	～まで
H3605	H1980		H1512	H3605	H1980		H0702	H5704

כָּל־	הָרֹבֶ֣ה	רַגְלַ֔יִם	כִּ֣י	תֹאכְלֻ֔ם	לֹ֚א	הַשֶּׁ֣רֶץ	הַשֹּׁרֵ֔ץ	עַל־
すべての	多くの	足の	なぜなら	食べてはならない	ない	地の	這う	～の–上を
H3605		H7272		H0398	H3808	H0776	H8317	

הָאָ֖רֶץ	לָכֶ֥ם	לְאָכְלָֽה׃	כִּ֥י	שֶׁ֖קֶץ	הֵֽם׃
地の	あなたがたに	食べる–ための	なぜなら	忌まわしい–もの	それらは
H0776		H0402		H8263	H1992

すべて腹ばい行くもの、四つ足で歩くもの、あるいは多くの足をもつもの、すなわち、すべて地にはう這うものは、あなたがたはこれを食べてはならない。それらは忌むべきものだからである。

43 וְלֹ֣א תְשַׁקְּצ֗וּ אֶת־ נַפְשֹׁתֵיכֶם֙ בְּכָל־ הַשֶּׁ֣רֶץ הַשֹּׁרֵ֔ץ וְלֹ֥א תִטַּמְּא֖וּ בָּהֶ֑ם וְנִטְמֵתֶ֖ם בָּֽם׃

וְלֹ֣א	תְשַׁקְּצ֗וּ	אֶת־	נַפְשֹׁתֵיכֶם֙	בְּכָל־	הַשֶּׁ֣רֶץ	הַשֹּׁרֵ֔ץ	וְלֹ֥א	תִטַּמְּא֖וּ
そして–ない	汚してはならない	[を]	あなたがたの–魂を	すべての	這う–もので	這う		汚れてはならない
H3808	H8262	H0853	H5315	H3605	H8318	H8317		H0408

בָּהֶ֑ם	וְנִטְמֵתֶ֖ם	בָּֽם׃		
それらで	そして–汚れる	それらで		

あなたがたはすべて這うものによって、あなたがたの身を忌むべきものとしてはならない。また、これをもって身を汚し、あるいはこれによって汚されてはならない。

44 כִּי קְדֹשִׁים וִהְיִיתֶם וְהִתְקַדִּשְׁתֶּם אֱלֹהֵיכֶם יְהוָה אֲנִי כִּי
なぜなら 聖なる-者に そして-なれ そして-聖めよ あなたがたの-神 主である わたしは なぜなら
H6918 H1961 H6942 H0430 H3068 H0589

הַשֶּׁרֶץ בְּכָל־ נַפְשֹׁתֵיכֶם אֶת־ תְּטַמְּאוּ וְלֹא אֲנִי קָדוֹשׁ
這う-もので すべての あなたがたの-魂を [を] 汚してはならない そして-ない わたしは 聖である
H8318 H3605 H5315 H0853 H3808 H0589 H6918

הָאָרֶץ׃ עַל־ הָרֹמֵשׂ
地の ～の-上を 動く
H0776 H7430

わたしはあなたがたの神、主であるから、あなたがたはおのれを聖別し、聖なる者とならなければならない。わたしは聖なる者である。地にはう這うものによって、あなたがたの身を汚してはならない。

45 לִהְיוֹת מִצְרַיִם מֵאֶרֶץ אֶתְכֶם הַמַּעֲלֶה יְהוָה אֲנִי כִּי
なるために エジプトの 地から あなたがたを 導いた 主である わたしは なぜなら
H1961 H4714 H0776 H0853 H5927 H3068 H0589

אֲנִי׃ קָדוֹשׁ כִּי קְדֹשִׁים וִהְיִיתֶם לֵאלֹהִים לָכֶם
わたしは 聖である なぜなら 聖なる-者に そして-なれ 神と あなたがたに
H0589 H6918 H6918 H1961 H0430

わたしはあなたがたの神となるため、あなたがたをエジプトの国から導き上った主である。わたしは聖なる者であるから、あなたがたは聖なる者とならなければならない』」。

46 הָרֹמֶשֶׂת הַחַיָּה נֶפֶשׁ וְכֹל וְהָעוֹף הַבְּהֵמָה תּוֹרַת זֹאת
動く 生きた 生き物の そして-すべての そして-鳥の 家畜の おきてである これは
H7430 H5315 H3605 H5775 H0929 H8451 H2063

הָאָרֶץ׃ עַל־ הַשֹּׁרֶצֶת נֶפֶשׁ וּלְכָל־ בַּמָּיִם
地の ～の-上を 這う 生き物の そして-すべての 水の-中の
H0776 H8317 H5315 H3605 H4325

これは獣と鳥と、水の中に動くすべての生き物と、地に這うすべてのものに関するおきてであって、

47 וּבֵין הַטָּהֹר וּבֵין הַטָּמֵא בֵּין לְהַבְדִּיל
そして-～の-間を 清い-ものの そして-～の-間を 汚れた-ものと ～の-間を 区別するために
H0996 H2889 H0996 H2931 H0996 H0914

פ תֵּאָכֵל׃ לֹא אֲשֶׁר הַחַיָּה וּבֵין הַנֶּאֱכָלֶת הַחַיָּה
[区切り] 食べてはならない ない その 生き物と そして-～の-間を 食べて-よい 生き物と
H0398 H3808

汚れたものと清いもの、食べられる生き物と、食べられない生き物とを区別するものである。

Chapter 12

1 לֵאמֹר׃ מֹשֶׁה אֶל־ יְהוָה וַיְדַבֵּר
言われた モーセ [に] 主は そして-語った
H0559 H4872 H0413 H3068 H1696

主はまたモーセに言われた、

2 זָכָר יָלְדָה וְ תַזְרִיעַ כִּי אִשָּׁה לֵאמֹר יִשְׂרָאֵל בְּנֵי אֶל־ דַּבֵּר
男の子を そして-産んだなら 身ごもり もし 女が 言え イスラエルの 子らに [に] 告げよ
H2145 H3205 H2232 H0802 H0559 H3478 H0413 H1696

תִּטְמָא׃ נִדַּת דְּוֹתָהּ כִּימֵי יָמִים שִׁבְעַת וְטָמְאָה
彼女は-汚れる その-病の 月のもの 期間-のように 日間 七 彼女は-汚れる
H1738 H5079 H3117 H3117 H7651

「イスラエルの人々に言いなさい、『女がもし身ごもって男の子を産めば、七日のあいだ汚れる。すなわち、月のさわりの日かずほど汚れるであろう。

3
וּבַיּוֹם הַשְּׁמִינִי יִמּוֹל בְּשַׂר עָרְלָתוֹ׃
そして–八日目に 八番目の 割礼を–施す 肉に その–包皮の
H3117 H8066 H4135 H1320 H6190

八日目にはその子の前の皮に割礼を施さなければならない。

4
וּשְׁלֹשִׁים יוֹם וְשָׁלֹשֶׁת יָמִים תֵּשֵׁב בִּדְמֵי טָהֳרָהּ בְּכָל־קֹדֶשׁ לֹא תִגָּע וְאֶל־הַמִּקְדָּשׁ לֹא תָבֹא עַד־מְלֹאת יְמֵי טָהֳרָהּ׃
そして–三十 日 と–三 日間 彼女は–留まる 血の中に 清めの すべての 聖なるものに [否定] 触れてはならない そして–[へ] 聖所に [否定] 入ってはならない [まで] 満ちるまで 日が 彼女の–清めの
H7970 H3117 H7969 H3117 H1818 H2893 H3605 H6944 H3808 H5060 H0413 H4720 H3808 H0935 H5704 H4390 H3117 H2893

その女はなお、血の清めに三十三日を経なければならない。その清めの日の満ちるまでは、聖なる物に触れてはならない。また聖なる所にはいってはならない。

5
וְאִם־נְקֵבָה תֵלֵד וְטָמְאָה שְׁבֻעַיִם כְּנִדָּתָהּ וְשִׁשִּׁים יוֹם וְשֵׁשֶׁת יָמִים תֵּשֵׁב עַל־דְּמֵי טָהֳרָהּ׃
しかし–もし 女の子を 産んだなら 彼女は–汚れる 二週間 月のもの–のように そして–六十 日
H3117 H8337 H3117 H1818 H2893 H3427 H0413 H3205 H7620 H5079 H8346 H3117

もし女の子を産めば、二週間、月のさわりと同じように汚れる。その女はなお、血の清めに六十六日を経なければならない。

6
וּבִמְלֹאת יְמֵי טָהֳרָהּ לְבֵן אוֹ לְבַת תָּבִיא כֶּבֶשׂ בֶּן־שְׁנָתוֹ לְעֹלָה וּבֶן־יוֹנָה אוֹ־תֹר לְחַטָּאת אֶל־פֶּתַח אֹהֶל־מוֹעֵד אֶל־הַכֹּהֵן׃
そして–満ちたとき 日が 彼女の–清めの 息子–のため あるいは 娘–のため 彼女は–持って来る 小羊を 一歳の その–年の 全焼の–献げ物として そして–子の 鳩の あるいは 山鳩を 罪の–献げ物として [へ] 入り口に 会見の 天幕の [へ] 祭司の–もとへ
H4390 H3117 H2893 H1121 H0176 H1323 H0935 H3532 H1121 H8141 H5930 H1123 H0176 H8449 H2403 H0413 H6607 H0168 H4150 H0413 H3548

男の子または女の子についての清めの日が満ちるとき、女は燔祭のために一歳の小羊、罪祭のために家ばとのひな、あるいは山ばとを、会見の幕屋の入口の、祭司のもとに、携えてこなければならない。

7
וְהִקְרִיבוֹ לִפְנֵי יְהוָה וְכִפֶּר עָלֶיהָ וְטָהֲרָה מִמְּקֹר דָּמֶיהָ זֹאת תּוֹרַת הַיֹּלֶדֶת לִזָּכָר אוֹ לִנְקֵבָה׃
そして–それを–ささげる 主の–前に 主の そして–贖いをする 彼女の–ために そして–彼女は–清くなる その–源から 彼女の–血の これが 律法である 産んだ–女の 男の子–について あるいは 女の子–について
H7126 H6440 H3068 H3722 H2891 H4726 H1818 H2063 H8451 H3205 H2145 H0176 H5347

祭司はこれを主の前にささげて、その女のために、あがないをしなければならない。こうして女はその出血の汚れが清まるであろう。これは男の子または女の子を産んだ女のためのおきてである。

8
תֹּרִים שְׁתֵּי־ וְלָקְחָה שֶׂה דֵּי יָדָהּ תִּמְצָא לֹא וְאִם־
山鳩を 二羽の 彼女は–取る 小羊を 十分な 彼女の–手が 手が–届かないなら [否定] しかし–もし
H8449 H8147 H3947 H7716 H1767 H3027 H4672 H3808

לְחַטָּאת
罪の–献げ物として

וְאֶחָד
そして–一羽を
H0259

לְעֹלָה
全焼の–献げ物として

אֶחָד יוֹנָה בְּנֵי שְׁנֵי אוֹ
一羽を 鳩を 子の 二羽の あるいは
H0259 H3123 H8147

פ וְטָהֲרָה׃ הַכֹּהֵן עָלֶיהָ וְכִפֶּר
[区切り] そして–彼女は–清くなる 祭司が 彼女の–ために そして–贖いをする
H2891 H3548

もしその女が小羊に手の届かないときは、山ばと二羽か、家ばとのひな二羽かを取って、一つを燔祭、一つを罪祭とし、祭司はその女のために、あがないをしなければならない。こうして女は清まるであろう』」。

Chapter 13

1
לֵאמֹר׃ אַהֲרֹן וְאֶל־ מֹשֶׁה אֶל־ יְהוָה וַיְדַבֵּר
言われた アロン そして–[に] モーセ [に] 主は そして–語った
H0559 H0175 H0413 H4872 H0413 H3068 H1696

主はまたモーセとアロンに言われた、

2
בְּהֶרֶת אוֹ סַפַּחַת אוֹ־ שְׂאֵת בְּשָׂרוֹ בְּעוֹר־ יִהְיֶה כִּי־ אָדָם
光る–斑点が あるいは かさぶた あるいは 腫れもの その–肉の 皮膚に あるなら もし 人が
H0934 H5597 H7613 H1320 H5785 H1961 H0120

אַהֲרֹן אֶל־ וְהוּבָא צָרַעַת לְנֶגַע בְּשָׂרוֹ בְּעוֹר־ וְהָיָה
アロン [へ] その者は–連れて行かれる ツァラアトの 疫病の その–肉の 皮膚に そして–なったなら
H0175 H0413 H0935 H6883 H5061 H1320 H5785 H1961

הַכֹּהֲנִים׃ מִבָּנָיו אֶחָד אֶל־ אוֹ הַכֹּהֵן
祭司たちの–もとへ その–子らの 一人の [へ] あるいは 祭司の–もとへ
H3548 H0259 H0413 H3548

「人がその身の皮に腫、あるいは吹出物、あるいは光る所ができ、これがその身の皮にらい病の患部のようになるならば、その人を祭司アロンまたは、祭司なるアロンの子たちのひとりのもとに、連れて行かなければならない。

3
וְהָפַךְ בַּנֶּגַע וְשֵׂעָר הַבָּשָׂר־ בְּעוֹר־ הַנֶּגַע אֶת־ הַכֹּהֵן וְרָאָה
変わっている 患部の そして–毛が 肉の 皮膚の その–患部を [を] 祭司が そして–調べる
H2015 H5061 H8181 H1320 H5785 H5061 H0853 H3548 H7200

הִוא צָרַעַת נֶגַע בְּשָׂרוֹ מֵעוֹר עָמֹק הַנֶּגַע וּמַרְאֵה לָבָן
である ツァラアト 患部は その–肉の 皮膚より 深い 患部の そして–見た目が 白く
H1931 H6883 H5061 H1320 H5785 H6013 H5061 H4758 H3836

אֹתוֹ׃ וְטִמְּאוֹ הַכֹּהֵן וְרָאָהוּ
その者を そして–汚れていると–宣告する 祭司は そして–調べた後
H0853 H3548 H7200

祭司はその身の皮の患部を見、その患部の毛がもし白く変り、かつ患部が、その身の皮よりも深く見えるならば、それはらい病の患部である。祭司は彼を見て、これを汚れた者としなければならない。

4

מַרְאֶה	אֵין־	וְעָמֹק	בְּשָׂרוֹ	בְּעוֹר	הִוא	לְבָנָה	בַּהֶרֶת	וְאִם־
その–見た目が	[否定]	そして–深く	その–肉の	皮膚に	もので	白い	光る–斑点が	しかし–もし
H4758	H0369	H6013	H1320	H5785	H1931	H3836	H0934	

אֶת־	הַכֹּהֵן	וְהִסְגִּיר	לָבֶן	הָפַךְ	לֹא־	וּשְׂעָרָה	הָעוֹר	מִן־
[を]	祭司は	そして–隔離する	白く	変わっていない	[否定]	そして–その–毛が	皮膚より	[より]
H0853	H3548	H5462	H3836	H2015	H3808	H8181	H5785	

הַנָּגַע	שִׁבְעַת	יָמִים׃
患部のある者を	七	日間
H5061	H7651	H3117

もしまたその身の皮の光る所が白くて、皮よりも深く見えず、また毛も白く変っていないならば、祭司はその患者を七日のあいだ留め置かなければならない。

5

לֹא־	בְּעֵינָיו	עָמַד	הַנָּגַע	וְהִנֵּה	הַשְּׁבִיעִי	בַּיּוֹם	הַכֹּהֵן	וְרָאָהוּ
[否定]	その–目に	止まっている	患部が	そして–見よ	第七の	その–日に	祭司が	そして–調べる
H3808		H5975	H5061	H2009	H7637	H3117	H3548	H7200

שֵׁנִית׃	יָמִים	שִׁבְעַת	הַכֹּהֵן	וְהִסְגִּירוֹ	בָּעוֹר	הַנָּגַע	פָּשָׂה	
二度目に	日間	七	祭司は	そして–隔離する	皮膚に	患部が	広がっていない	
H8145	H3117	H7651	H3548	H5462	H5785	H5061	H6581	

七日目に祭司はこれを見て、もし患部の様子に変りがなく、また患部が皮に広がっていないならば、祭司はその人をさらに七日のあいだ留め置かなければならない。

6

הַנָּגַע	כָּהָה	וְהִנֵּה	שֵׁנִית	הַשְּׁבִיעִי	בַּיּוֹם	אֹתוֹ	הַכֹּהֵן	וְרָאָהוּ
患部が	薄くなった	そして–見よ	二度目に	第七の	その–日に	その者を	祭司が	そして–調べる
H5061	H3544	H2009	H8145	H7637	H3117	H0853	H3548	H7200

הִיא	מִסְפָּחַת	הַכֹּהֵן	וְטִהֲרוֹ	בָּעוֹר	הַנָּגַע	פָּשָׂה	וְלֹא־	
である	かさぶた	祭司は	そして–清いと–宣告する	皮膚に	患部が	広がっていない	そして–[否定]	
H1931	H4556	H3548	H2891	H5785	H5061	H6581	H3808	

וְטָהֵר׃	בְּגָדָיו	וְכִבַּס	
そして–清くなる	その–衣を	そして–洗う	
H2891		H3526	

七日目に祭司は再びその人を見て、患部がもし薄らぎ、また患部が皮に広がっていないならば、祭司はこれを清い者としなければならない。これは吹出物である。その人は衣服を洗わなければならない。そして清くなるであろう。

7

הַכֹּהֵן	אֶל־	הֵרָאֹתוֹ	אַחֲרֵי	בָּעוֹר	הַמִּסְפַּחַת	תִּפְשֶׂה	פָּשָׂה	וְאִם־
祭司に	[に]	彼が–見せた	その後に	皮膚に	かさぶたが	広がるなら	広がり	しかし–もし
H3548	H0413	H7200		H5785	H4556	H6581	H6581	

הַכֹּהֵן׃	אֶל־	שֵׁנִית	וְנִרְאָה	לְטָהֳרָתוֹ	
祭司の–もとに	[に]	二度目に	そして–現れる	清めの–ために	
H3548	H0413	H8145	H7200	H2893	

しかし、その人が祭司に見せて清い者とされた後に、その吹出物が皮に広くひろがるならば、再び祭司にその身を見せなければならない。

8

בָּעוֹר	הַמִּסְפַּחַת	פָּשְׂתָה	וְהִנֵּה	הַכֹּהֵן	וְרָאָהוּ	
皮膚に	かさぶたが	広がっている	そして–見よ	祭司が	そして–調べる	
H5785	H4556	H6581	H2009	H3548	H7200	

פ	הִוא׃	צָרַעַת	הַכֹּהֵן	וְטִמְּאוֹ	
[区切り]	である	ツァラアト	祭司は	そして–汚れていると–宣告する	
	H1931	H6883	H3548		

祭司はこれを見て、その吹出物が皮に広がっているならば、祭司はその人を汚れた者としなければならない。これはらい病である。

9

נֶגַע	צָרַעַת	כִּי	תִהְיֶה	בְּאָדָם	וְהוּבָא	אֶל־	הַכֹּהֵן׃
患部が	ツァラアトの	もし	あるなら	人に	その者は–連れて行かれる	[へ]	祭司の–もとへ
H5061	H6883		H1961	H0120	H0935	H0413	H3548

もし人にらい病の患部があるならば、その人を祭司のもとに連れて行かなければならない。

10

שֵׂעָר	הָפְכָה	וְהִיא	בָּעוֹר	לְבָנָה	שְׂאֵת־	וְהִנֵּה	הַכֹּהֵן	וְרָאָה
毛を	変えた	そして–それが	皮膚に	白い	腫れものが	そして–見よ	祭司が	そして–調べる
H8181	H2015	H1931	H5785	H3836	H7613	H2009	H3548	H7200

לְבָן	וּמִחְיַת	בָּשָׂר	חַי	בַּשְּׂאֵת׃	
白く	そして–生きた–肉が	肉の	生きた	腫れものに	
H3836	H4241	H1320		H7613	

祭司がこれを見て、その皮に白い腫があり、その毛も白く変り、かつその腫に生きた生肉が見えるならば、

11

צָרַעַת	נוֹשֶׁנֶת	הִוא	בְּעוֹר	בְּשָׂרוֹ	וְטִמְּאוֹ	הַכֹּהֵן	לֹא	
ツァラアト	古い	ものである	皮膚に	その–肉の	そして–汚れていると–宣告する	祭司は	[否定]	
H6883	H3462	H1931	H5785	H1320		H3548	H3808	

יַסְגִּרֶנּוּ	כִּי	טָמֵא	הִוא׃	
隔離しない	なぜなら	汚れている	からである	
H5462		H2931	H1931	

これは古いらい病がその身の皮にあるのであるから、祭司はその人を汚れた者としなければならない。その人は汚れた者であるから、これを留め置くに及ばない。

12

וְאִם־	פָּרוֹחַ	תִּפְרַח	הַצָּרַעַת	בָּעוֹר	וְכִסְּתָה	הַצָּרַעַת	אֶת	
しかし–もし	広がり	広がるなら	ツァラアトが	皮膚に	そして–覆ったなら	ツァラアトが	[を]	
			H6883	H5785	H3680	H6883	H0853	

כָּל־	עוֹר	הַנֶּגַע	מֵרֹאשׁוֹ	וְעַד־	רַגְלָיו	לְכָל־	מַרְאֵה	
すべての	皮膚を	患部のある者の	その–頭から	そして–[まで]	その–足まで	すべての	見える–ところ	
	H5785	H5061		H5704	H7272	H3605	H4758	

עֵינֵי	הַכֹּהֵן׃
目の	祭司の
	H3548

もしらい病が広く皮に出て、そのらい病が、その患者の皮を頭から足まで、ことごとくおおい、祭司の見るところすべてに及んでおれば、

13

בְּשָׂרוֹ	כָּל־	אֶת־	הַצָּרַעַת	כִּסְּתָה	וְהִנֵּה	הַכֹּהֵן	וְרָאָה
その–肉を	すべての	[を]	ツァラアトが	覆っている	そして–見よ	祭司が	そして–調べる
H1320	H3605	H0853	H6883	H3680	H2009	H3548	H7200

הִוא׃	טָהוֹר	לָבָן	הָפַךְ	כֻּלּוֹ	הַנֶּגַע	אֶת־	וְטִהַר
ものである	清い	白く	変わった	すべてが	患部のある者を	[を]	そして–清いと–宣告する
H1931	H2889	H3836	H2015	H3605	H5061	H0853	H2891

祭司はこれを見、もしらい病がその身をことごとくおおっておれば、その患者を清い者としなければならない。それはことごとく白く変ったから、彼は清い者である。

14

יִטְמָא׃	חַי	בָּשָׂר	בּוֹ	הֵרָאוֹת	וּבְיוֹם	
汚れる	生きた	肉が	そこに	現れた	しかし–日に	
		H1320		H7200	H3117	

しかし、もし生肉がその人に現れておれば、汚れた者である。

15 וְרָאָה הַכֹּהֵן אֶת־הַבָּשָׂר הַחַי וְטִמְּאוֹ הַבָּשָׂר הַחַי טְמֵא הוּא׃
そして-調べる 祭司が [を] その-肉を 生きた そして-汚れていると-宣告する その-肉は 生きた
H7200 H3548 H0853 H1320 H2416 H1320 H2416

祭司はその生肉を見て、その人を汚れた者としなければならない。生肉は汚れたものであって、それはらい病である。

16 אוֹ כִי יָשׁוּב הַבָּשָׂר הַחַי וְנֶהְפַּךְ לְלָבָן וּבָא אֶל־הַכֹּהֵן׃
あるいは もし 戻るなら その-肉が 生きた そして-変わり 白く そして-来る [へ] 祭司の-もとへ
H0176 H3588 H7725 H1320 H2416 H2015 H3836 H0935 H0413 H3548

もしまたその生肉が再び白く変るならば、その人は祭司のもとに行かなければならない。

17 וְרָאָהוּ הַכֹּהֵן וְהִנֵּה נֶהְפַּךְ הַנֶּגַע לְלָבָן וְטִהַר הַכֹּהֵן פ הַנֶּגַע׃
そして-調べる 祭司が そして-見よ 変わった 患部が 白く 祭司は [区切り] 患部のある者を
H7200 H3548 H2009 H2015 H5061 H3836 H2891 H3548 H5061

祭司はその人を見て、もしその患部が白く変っておれば、祭司はその患者を清い者としなければならない。その人は清い者である。

18 וּבָשָׂר כִּי־יִהְיֶה בּוֹ בְּעֹרוֹ שְׁחִין וְנִרְפָּא׃
そして-肉に もし あるなら そこに その-皮膚に 腫れ物が そして-癒えた
H2416 H3588 H1961 H0935 H7822 H7495

また身の皮に腫物があったが、直って、

19 וְהָיָה בִּמְקוֹם הַשְּׁחִין שְׂאֵת לְבָנָה אוֹ בַהֶרֶת לְבָנָה אֲדַמְדֶּמֶת וְנִרְאָה אֶל־הַכֹּהֵן׃
そして-あった その-場所に 腫れ物の 腫れが 白い あるいは 光る-斑点が 白くて 赤みがかった そして-見せる [に] 祭司に
H1961 H4725 H7822 H7613 H3836 H0176 H0934 H3836 H0125 H7200 H0413 H3548

その腫物の場所に白い腫、または赤みをおびた白い光る所があれば、これを祭司に見せなければならない。

20 וְרָאָה הַכֹּהֵן וְהִנֵּה מַרְאֵהוּ שָׁפָל מִן־הָעוֹר וּשְׂעָרָה הָפַךְ לָבָן וְטִמְּאוֹ הַכֹּהֵן נֶגַע־צָרַעַת הוּא בַּשְּׁחִין פָּרָחָה׃
そして-調べる 祭司が そして-見よ その-見た目が 低い [より] 皮膚より そして-その-毛が 白く そして-汚れていると-宣告する 祭司は 患部は ツァラアトの ものである 腫れ物から 広がった
H7200 H3548 H2009 H4758 H8217 H4480 H5785 H8181 H2015 H3836 H2416 H3548 H5061 H6883 H1931 H7822 H6524

祭司はこれを見て、もし皮よりも低く見え、その毛が白く変っていれば、祭司はその人を汚れた者としなければならない。それは腫物に起ったらい病の患部だからである。

אֵינֶנָּה	וּשְׁפָלָה	לֹבֶן	שְׂעָר	בָּהּ	אֵין־	וְהִנֵּה	הַכֹּהֵן	יִרְאֶנָּה	וְאִם	21
ないなら	そして–低く	白い	毛が	そこに	[否定]	そして–見よ	祭司が	調べて	しかし–もし	
H0369	H8217	H3836	H8181		H0369	H2009	H3548	H7200		

יָמִים׃	שִׁבְעַת	הַכֹּהֵן	וְהִסְגִּירוֹ	כֵּהָה	וְהֵיא	הָעוֹר	מִן־
日間	七	祭司は	そして–隔離する	薄いなら	そして–それが	皮膚より	[より]
H3117	H7651	H3548	H5462	H3544	H1931	H5785	

しかし、祭司がこれを見て、もしその所に白い毛がなく、また皮よりも低い所がなく、かえって薄らいでいるならば、祭司はその人を七日のあいだ留め置かなければならない。

נֶגַע	אֹתוֹ	הַכֹּהֵן	וְטִמְּא	בָּעוֹר	תִּפְשֶׂה	פָּשֹׂה	וְאִם־		22
患部	その者を	祭司は	そして–汚れていると–宣告する	皮膚に	広がるなら	広がり	しかし–もし		
H5061	H0853	H3548		H5785	H6581	H6581			

הֶוא׃
である
H1931

そしてもし皮に広くひろがっているならば、祭司はその人を汚れた者としなければならない。それは患部だからである。

הַשְּׂחִין	צָרֶבֶת	פָּשְׂתָה	לֹא	הַבַּהֶרֶת	תַּעֲמֹד	תַּחְתֶּיהָ	וְאִם־	23
その–傷跡	腫れ物の–跡	広がらないなら	[否定]	光る–斑点が	留まるなら	その–場所に	しかし–もし	
H7822		H6581	H3808	H0934	H5975	H8478		

ס	הַכֹּהֵן׃	וְטִהֲרוֹ	הֶוא
[区切り]	祭司は	そして–清いと–宣告する	である
	H3548	H2891	H1931

しかし、その光る所がもしその所にとどまって広がらなければ、それは腫物の跡である。祭司はその人を清い者としなければならない。

מְחָיַת	וְהָיְתָה	אֵשׁ	מִכְוַת־	בְּעֹרוֹ	יִהְיֶה	כִּי־	בָּשָׂר	אוֹ	24
生きた–肉が	そして–あった	火の	火傷が	その–皮膚に	あるなら	もし	肉に	あるいは	
H4241	H1961	H0784	H4348	H5785	H1961		H1320		

לְבָנָה׃	אוֹ	אַדַּמְדֶּמֶת	לְבָנָה	בַּהֶרֶת	הַמִּכְוָה
白い	あるいは	赤みがかった	白くて	光る–斑点が	火傷の
H3836		H0125	H3836	H0934	H4348

また身の皮にやけどがあって、そのやけどの生きた肉がもし赤みをおびた白、または、ただ白くて光る所となるならば、

בַּבַּהֶרֶת	לֹבֶן	שְׂעָר	נֶהְפַּךְ	וְהִנֵּה	הַכֹּהֵן	אֹתָהּ	וְרָאָה		25
光る–斑点の中に	白く	毛が	変わった	そして–見よ	祭司が	それを	そして–調べる		
H0934	H3836	H8181	H2015	H2009	H3548	H0853	H7200		

פָּרְחָה	בַּמִּכְוָה	הִוא	צָרַעַת	הָעוֹר	מִן־	עָמֹק	וּמַרְאֶהָ
広がった	火傷から	である	ツァラアト	皮膚より	[より]	深い	そして–その–見た目が
	H4348	H1931	H6883	H5785		H6013	H4758

הֶוא׃	צָרַעַת	נֶגַע	הַכֹּהֵן	אֹתוֹ	וְטִמְּא
ものである	ツァラアトの	患部は	祭司は	その者を	そして–汚れていると–宣告する
H1931	H6883	H5061	H3548	H0853	

祭司はこれを見なければならない。そしてもし、その光る所にある毛が白く変って、そこが皮よりも深く見えるならば、これはやけどに生じたらい病である。祭司はその人を汚れた者としなければならない。これはらい病の患部だからである。

26 וְאִם֙ יִרְאֶ֣נָּה הַכֹּהֵ֔ן וְהִנֵּ֥ה אֵין־שֵׂעָ֖ר לָבָ֑ן וְהִ֣יא שְׁפָלָ֔ה
しかし–もし 調べて 祭司が そして–見よ [否定] 光る–斑点に 毛が 白い そして–低く
H3808 H7200 H3548 H2009 H0369 H0934 H8181 H3836 H8217

וְהִסְגִּירוֹ֙ הַכֹּהֵ֔ן שִׁבְעַ֖ת יָמִֽים׃
そして–隔離する 祭司は 七 日間
H5462 H3548 H7651 H3117

けれども祭司がこれを見て、その光る所に白い毛がなく、また皮よりも低い所がなく、かえって薄らいでいるならば、祭司はその人を七日のあいだ留め置き、

27 וְרָאָ֥הוּ הַכֹּהֵ֖ן בַּיּ֣וֹם הַשְּׁבִיעִ֑י אִם־פָּשֹׂ֤ה תִפְשֶׂה֙ בָּעוֹר֔
そして–調べる 祭司が その–日に 第七の もし 広がり 広がるなら 皮膚に
H7200 H3548 H3117 H7637 H6581 H6581 H5785

וְטִמְּא֥וֹ הַכֹּהֵ֖ן אֹת֑וֹ נֶ֥גַע צָרַ֖עַת הֽוּא׃
そして–汚れていると–宣告する 祭司は その者を 患部は ツァラアトの ものである
H2891 H3548 H0853 H5061 H6883 H1931

七日目に祭司は彼を見なければならない。もし皮に広くひろがっているならば、祭司はその人を汚れた者としなければならない。これはらい病の患部だからである。

28 וְאִם־תַּחְתֶּ֣יהָ תַעֲמֹ֔ד הַבַּהֶ֖רֶת לֹא־פָשְׂתָ֣ה בָעוֹר֑ וְהִ֣וא
しかし–もし その–場所に 留まるなら 光る–斑点が [否定] 広がらないなら 皮膚に そして–それが
H1931 H6581 H5785 H3808 H0934 H5975 H8478

שְׂאֵ֥ת הַמִּכְוָ֖ה צָרֶ֣בֶת כִּֽי־נֶ֑תֶק וְטִהֲר֥וֹ הַכֹּהֵ֖ן כִּֽי־צָרֶ֥בֶת הַמִּכְוָ֖ה הִֽוא׃
腫れは 火傷の 傷跡 なぜなら 祭司は そして–清いと–宣告する ものである 火傷の
H7613 H4348 H6482 H3548 H2891 H1931 H4348

פ
[区切り]

もしその光る所が、その所にとどまって、皮に広がらずに、かえって薄らいでいるならば、これはやけどの腫である。祭司はその人を清い者としなければならない。これはやけどの跡だからである。

29 וְאִישׁ֙ אִשָּׁ֔ה כִּֽי־יִהְיֶ֥ה בּ֛וֹ נֶ֖גַע בְּרֹ֣אשׁ אוֹ־בְזָקָֽן׃
そして–男が 女が もし そこに 患部が 頭に あるいは あごに
H0376 H0802 H1961 H0869 H5061 H7218 H2206

男あるいは女がもし、頭またはあごに患部が生じたならば、

30 וְרָאָ֥ה הַכֹּהֵ֖ן אֶת־הַנֶּ֑גַע וְהִנֵּ֤ה מַרְאֵהוּ֙ עָמֹ֣ק מִן־הָעוֹר֔
そして–調べる 祭司が [を] その–患部を そして–見よ その–見た目が 深い [より] 皮膚より
H7200 H3548 H0853 H5061 H2009 H4758 H6013 H4480 H5785

וְטִמְּא֥וֹ הַכֹּהֵ֖ן אֹת֑וֹ נֶ֥תֶק הֽוּא׃
そして–汚れていると–宣告する 祭司は その者を はげがある
H2891 H3548 H0853 H5424

וְהִנֵּ֤ה בּוֹ֙ שֵׂעָ֣ר צָהֹ֔ב דָּ֖ק וְרָאָ֥ה הַכֹּהֵ֛ן אֹת֖וֹ נֶ֣תֶק הֽוּא׃
そして–そこに 毛が 黄色い 細い そして–調べる 祭司は その者を はげがある ものである
H1931 H5424 H3548 H0853 H7200 H1851 H6669 H8181 H1931

הַזָּקָ֑ן אוֹ־בְרֹאשׁ֙ הָרֶ֣אשׁ צָרַ֔עַת הֽוּא׃
あごの あるいは 頭の ツァラアト ものである
H2206 H6883 H1931

祭司はその患部を見なければならない。もしそれが皮よりも深く見え、またそこに黄色の細い毛があるならば、祭司はその人を汚れた者としなければならない。それはかいせんであって、頭またはあごのらい病だからである。

31 וְכִי־ יִרְאֶה הַכֹּהֵן אֶת־ נֶגַע הַנֶּתֶק וְהִנֵּה אֵין־ מַרְאֵהוּ
しかし-もし 調べて 祭司が [を] 患部を はげのある そして-見よ [否定] その-見た目が
H3588 H7200 H3548 H0853 H5061 H5424 H2009 H0369 H4758

עָמֹק מִן־ הָעוֹר וּשְׂעָר שָׁחֹר אֵין בּוֹ וְהִסְגִּיר הַכֹּהֵן אֶת־
深く [より] 皮膚より そして-毛が 黒い [否定] そこに そして-隔離する 祭司は [を]
H6013 H4480 H5785 H8181 H7838 H0369 H1931 H5462 H3548 H0853

נֶגַע הַנָּתֶק שִׁבְעַת יָמִים׃
患部のある はげのある者を 七 日間
H5061 H5424 H7651 H3117

また祭司がそのかいせんの患部を見て、もしそれが皮よりも深く見えず、またそこに黒い毛がないならば、祭司はそのかいせんの患者を七日のあいだ留め置き、

32 וְרָאָה הַכֹּהֵן אֶת־ הַנֶּגַע בַּיּוֹם הַשְּׁבִיעִי וְהִנֵּה לֹא־ פָשָׂה
そして-調べる 祭司が [を] 患部を その-日に 第七の そして-見よ [否定] 広がっていない
H7200 H3548 H0853 H5061 H3117 H7637 H2009 H3808 H6581

הַנָּתֶק וְלֹא־ הָיָה בּוֹ שֵׂעָר צָהֹב וּמַרְאֵה עָמֹק אֵין
はげが そして-[否定] ない そこに 毛が 黄色い そして-見た目が 深くない [否定]
H5424 H3808 H1961 H1931 H8181 H6669 H4758 H6013 H3369

מִן־ הָעוֹר׃
[より] 皮膚より
H4480 H5785

七日目に祭司はその患部を見なければならない。そのかいせんがもし広がらず、またそこに黄色の毛がなく、そのかいせんが皮よりも深く見えないならば、

33 לֹא יִגָּלַח וְהִסְגִּיר הַכֹּהֵן אֶת־ הַנֶּתֶק וְהִתְגַּלַּח וְאֶת־
そらない [否定] はげのあるところは そして-そりを-そる しかし-[を] 祭司は そして-隔離する
H1548 H3808 H5424 H1548 H0853 H3548 H5462

שֵׁנִית׃ יָמִים שִׁבְעַת הַנָּתֶק אֶת־
二度目に 日間 七 はげのある者を [を]
H8145 H3117 H7651 H5424 H0853

その人は身をそらなければならない。ただし、そのかいせんをそってはならない。祭司はそのかいせんのある者をさらに七日のあいだ留め置き、

34 וְרָאָה הַכֹּהֵן אֶת־ הַנֶּתֶק בַּיּוֹם הַשְּׁבִיעִי וְהִנֵּה לֹא־
そして-調べる 祭司が [を] はげのあるところを その-日に 第七の そして-見よ [否定]
H7200 H3548 H0853 H5424 H3117 H7637 H2009 H3808

פָשָׂה הַנֶּתֶק בָּעוֹר וּמַרְאֵהוּ אֵינֶנּוּ עָמֹק מִן־ הָעוֹר
広がっていない はげが 皮膚に そして-その-見た目が ない 深く [より] 皮膚より
H6581 H5424 H5785 H4758 H0369 H6013 H4480 H5785

וְטִהֲרוֹ׃ אֶת־ הַכֹּהֵן וְכִבֶּס בְּגָדָיו
そして-清くなる その者を 祭司は そして-洗う その-衣を
H2891 H0853 H3548 H3526 H0899

七日目に祭司はそのかいせんを見なければならない。もしそのかいせんが皮に広がらず、またそれが皮よりも深く見えないならば、祭司はその人を清い者としなければならない。その人はまたその衣服を洗わなければならない。そして清くなるであろう。

35 וְאִם־ פָּשֹׂה יִפְשֶׂה הַנֶּתֶק בָּעוֹר אַחֲרֵי טָהֳרָתוֹ׃
しかし–もし 広がり 広がるなら はげが 皮膚に その後に その–清めの
H6581 H6581 H5424 H5785

しかし、もし彼が清い者とされた後に、そのかいせんが、皮に広くひろがるならば、

36 וְרָאָהוּ הַכֹּהֵן וְהִנֵּה פָּשָׂה הַנֶּתֶק בָּעוֹר לֹא־ יְבַקָּר הַכֹּהֵן לַשֵּׂעָר הַצָּהֹב טָמֵא הוּא׃
そして–調べる 祭司が そして–見よ 広がっている はげが 皮膚に [否定] 探さない 祭司は 黄色い 汚れている ものである
H7200 H3548 H2009 H6581 H5424 H5785 H3808 H1239 H3548 H6669 H2931 H1931

黄色い–毛を
H8181

祭司はその人を見なければならない。もしそのかいせんが皮に広がっているならば、祭司は黄色の毛を捜すまでもなく、その人は汚れた者である。

37 וְאִם־ בְּעֵינָיו עָמַד הַנֶּתֶק שְׂעָר שָׁחֹר צָמַח־ בּוֹ נִרְפָּא׃ ס וְטִהֲרוֹ הַכֹּהֵן׃ הוּא טָהוֹר הַנֶּתֶק
しかし–もし その–目に 止まっているなら はげが 黒い 生えたなら そこに 癒えた [区切り] そして–清いと–宣告する 祭司は ものである 清い はげが
H7495 H5424 H5975 H7838 H8181 H6779 H3548 H2891 H1931 H2889 H5424

しかし、もしそのかいせんの様子に変りなく、そこに黒い毛が生じているならば、そのかいせんは直ったので、その人は清い。祭司はその人を清い者としなければならない。

38 וְאִישׁ אוֹ־ אִשָּׁה כִּי־ יִהְיֶה בְעוֹר־ בְּשָׂרָם בֶּהָרֹת בֶּהָרֹת לְבָנֹת׃
そして–男が あるいは 女が もし あるなら 皮膚に その–肉の 光る–斑点が 光る–斑点が 白い
H0376 H0802 H3588 H1961 H5785 H1320 H0934 H0934 H3836

また男あるいは女がもし、その身の皮に光る所、すなわち白い光る所があるならば、

39 וְרָאָה הַכֹּהֵן וְהִנֵּה בְעוֹר־ בְּשָׂרָם בָּהֶרֶת כֵּהוֹת לְבָנֹת בָּהַק׃ ס הוּא טָהֹר פָּרַח הוּא׃ בָּעוֹר
そして–調べる 祭司が そして–見よ 皮膚に その–肉の 光る–斑点が 薄い 白い 白なまず [区切り] ものである 清い 現れた である 皮膚に
H7200 H3548 H2009 H5785 H1320 H0934 H3544 H3836 H0933 H1931 H2889 H6524 H1931 H5785

祭司はこれを見なければならない。もしその身の皮の光る所が、鈍い白であるならば、これはただ白せんがその皮に生じたのであって、その人は清い。

40 וְאִישׁ כִּי יִמָּרֵט רֹאשׁוֹ קֵרֵחַ הוּא טָהֹר הוּא׃
そして–男が もし 抜けるなら その–頭の–毛が はげている ものである 清い ものである
H0376 H3588 H4803 H7142 H1931 H2889 H1931

人がもしその頭から毛が抜け落ちても、それがはげならば清い。

41 וְאִם מִפְּאַת פָּנָיו יִמָּרֵט רֹאשׁוֹ גִּבֵּחַ הוּא טָהֹר הוּא׃
そして–もし 前の–方から その–顔の 抜けるなら その–頭の–毛が 額が–はげている ものである 清い ものである
H0518 H6285 H6440 H4803 H7218 H1931 H2889 H1931

もしその額の毛が抜け落ちても、それが額のはげならば清い。

אֲדַמְדָּם	לָבָן	נֶגַע	בַּנַּבַּחַת	אוֹ	בַּקָּרַחַת	יִהְיֶה	וְכִי־	42
赤みがかった	白く	患部が	はげた-額に	あるいは	はげた-頭に	あるなら	しかし-もし	
H0125	H3836	H5061	H1372		H7146	H1961		

בְּנַבַּחְתּוֹ׃	אוֹ	בְּקָרַחְתּוֹ	הֽוּא	פַּרַחַת	צָרַעַת	
その-はげた-額に	あるいは	その-はげた-頭に	ものである	広がっている	ツァラアトが	
H1372		H7146	H1931		H6883	

けれども、もしそのはげ頭または、はげ額に赤みをおびた白い患部があるならば、それはそのはげ頭または、はげ額にらい病が発したのである。

אֲדַמְדֶּמֶת	לְבָנָה	הַנֶּגַע	שְׂאֵת־	וְהִנֵּה	הַכֹּהֵן	אֹתוֹ	וְרָאָה	43
赤みがかった	白くて	患部の	腫れものが	そして-見よ	祭司が	その者を	そして-調べる	
H0125	H3836	H5061	H7613	H2009	H3548	H0853	H7200	

בָּשָׂר׃	עוֹר	צָרַעַת	כְּמַרְאֵה	בְּנַבַּחְתּוֹ	אוֹ	בְּקָרַחְתּוֹ	
肉の	皮膚の	ツァラアトの	見た目が-のように	その-はげた-額に	あるいは	その-はげた-頭に	
H1320	H5785	H6883	H4758	H1372		H7146	

祭司はこれを見なければならない。もしそのはげ頭または、はげ額の患部の腫が白く赤みをおびて、身の皮にらい病があらわれているならば、

הַכֹּהֵן	יְטַמְּאֶנּוּ	טָמֵא	הוּא	טָמֵא	הוּא	צָרוּעַ	אִישׁ־	44
祭司は	宣告する	汚れていると	ものである	汚れている	である	ツァラアトの-者	男は	
H3548			H1931	H2931	H1931	H6879	H0376	

נִגְעוֹ׃	בְּרֹאשׁוֹ
その-患部がある	その-頭に
H5061	

その人はらい病に冒された者であって、汚れた者である。祭司はその人を確かに汚れた者としなければならない。患部が頭にあるからである。

פְּרֻמִים	יִהְיוּ	בְּגָדָיו	הַנֶּגַע	בּוֹ	אֲשֶׁר־	וְהַצָּרוּעַ		45
引き裂かれる	[である]	その-衣は	患部がある	そこに	[の]	そして-ツァラアトの-者は		
H6533	H1961		H5061			H6879		

וְטָמֵא	יַעְטֶה	שָׂפָם	וְעַל־	פָּרוּעַ	יִהְיֶה	וְרֹאשׁוֹ	
そして-汚れている	覆う	口ひげを	そして-[の上に]	乱れた	[である]	そして-その-頭は	
H2931		H8222			H1961		

יִקְרָא׃	טָמֵא
叫ぶ	汚れていると
H7121	H2931

患部のあるらい病人は、その衣服を裂き、その頭を現し、その口ひげをおおって『汚れた者、汚れた者』と呼ばわらなければならない。

יֵשֵׁב	בָּדָד	הוּא	טָמֵא	יִטְמָא	בּוֹ	הַנֶּגַע	אֲשֶׁר	יְמֵי	כָּל־	46
住む	独りで	ものである	汚れている	汚れる	そこに-ある	患部が	[の]	日間	すべての	
H3427	H0909	H1931	H2931			H5061		H3117	H3605	

ס	מוֹשָׁבוֹ׃	לְמַחֲנֶה	מִחוּץ
[区切り]	その-住まいは	宿営の	外に
	H4186	H4264	H2351

その患部が身にある日の間は汚れた者としなければならない。その人は汚れた者であるから、離れて住まなければならない。すなわち、そのすまいは宿営の外でなければならない。

47 וְהַבֶּגֶד כִּי־ יִהְיֶה בּוֹ נֶגַע צָרַעַת בְּבֶגֶד צֶמֶר אוֹ בְּבֶגֶד
そして-衣に もし あるなら そこに 患部が ツァラアトの 衣に 羊毛の あるいは
H1961 H5061 H6883 H6785

פִּשְׁתִּים׃
亜麻の
H6593

また衣服にらい病の患部が生じた時は、それが羊毛の衣服であれ、亜麻の衣服であれ、

48 אוֹ בִשְׁתִי אוֹ בְעֵרֶב לַפִּשְׁתִּים וְלַצֶּמֶר וְאוֹ בְעוֹר אוֹ בְכָל־
あるいは 縦糸に あるいは 横糸に あるいは 亜麻の と-羊毛の あるいは 皮に あるいは すべての
H8359 H6593 H6785 H5785 H3605

מְלֶאכֶת עוֹר׃
製品に 皮の
H4399 H5785

あるいは亜麻または羊毛の縦糸であれ、横糸であれ、あるいは皮であれ、皮で作ったどのような物であれ、

49 וְהָיָה הַנֶּגַע וְיִרְקְרַק אוֹ אֲדַמְדָּם בַּבֶּגֶד אוֹ בָעוֹר אוֹ־
そして-あった 患部が 緑がかった あるいは 赤みがかった 衣に あるいは 皮に あるいは
H1961 H5061 H3422 H0125 H5785

בַשְׁתִי אוֹ־ בָעֵרֶב אוֹ־ בְּכָל־ כְּלִי־ עוֹר נֶגַע צָרַעַת הִוא
縦糸に あるいは 横糸に あるいは すべての 道具に 皮の 患部は ツァラアトの ものである
H8359 H3605 H3627 H5785 H5061 H6883 H1931

וְהָרְאָה אֶת־ הַכֹּהֵן׃
そして-見せる [に] 祭司に
H7200 H0853 H3548

もしその衣服あるいは皮、あるいは縦糸、あるいは横糸、あるいは皮で作ったどのような物であれ、その患部が青みをおびているか、あるいは赤みをおびているならば、これはらい病の患部である。これを祭司に見せなければならない。

50 וְרָאָה הַכֹּהֵן אֶת־ הַנֶּגַע וְהִסְגִּיר אֶת־ הַנֶּגַע שִׁבְעַת
そして-調べる 祭司が [を] 患部を そして-隔離する [を] 患部のあるものを 七
H7200 H3548 H0853 H5061 H5462 H0853 H5061 H7651

יָמִים׃
日間
H3117

祭司はその患部を見て、その患部のある物を七日のあいだ留め置き、

51 וְרָאָה אֶת־ הַנֶּגַע בַּיּוֹם הַשְּׁבִיעִי כִּי־ פָשָׂה הַנֶּגַע בַּבֶּגֶד
そして-調べる [を] 患部を その-日に 第七の もし 広がっているなら 患部が 衣に
H7200 H0853 H5061 H3117 H7637 H6581 H5061

אוֹ־ בַשְׁתִי אוֹ־ בָעֵרֶב אוֹ בָעוֹר לְכָל אֲשֶׁר־ יֵעָשֶׂה הָעוֹר לִמְלָאכָה
あるいは 縦糸に あるいは 横糸に あるいは 皮に すべての [の] 作られた 皮の 製品に
H8359 H3605 H5785 H4399

הִוא׃ טְמֵאָה הַנֶּגַע מַמְאֶרֶת צָרַעַת
ものである 汚れている 患部は 悪性の ツァラアトは
H1931 H2931 H5061 H3992 H6883

七日目に患部を見て、もしその衣服、あるいは縦糸、あるいは横糸、あるいは皮、またどのように用いられている皮であれ、患部が広がっているならば、その患部は悪性のらい病であって、それは汚れた物である。

52 וְשָׂרַף֙ אֶת־הַבֶּ֣גֶד אוֹ֩ אֶת־הַשְּׁתִ֨י אוֹ֜ אֶת־הָעֵרֶ֗ב
そして-焼く [を] その-衣を あるいは [を] その-縦糸を あるいは [を] その-横糸を
H8313 H0853 H0853 H8359 H0853 H0853

בַּצֶּ֣מֶר אוֹ֩ בַּפִּשְׁתִּ֨ים אוֹ֜ כָּל־כְּלִ֣י הָעֹ֗ור אֲשֶׁר־
羊毛の あるいは 亜麻の あるいは すべての 道具を 皮の [の]
H6785 H6593 H0853 H3605 H3627 H5785 H1961

תִּהְיֶ֤ה בּוֹ֙ הַנֶּ֔גַע כִּ֥י צָרַ֖עַת מַמְאֶ֣רֶת הִ֑וא בָּאֵ֥שׁ תִּשָּׂרֵֽף׃
ある そこに 患部が なぜなら ツァラアトは 悪性の ものである 火で 焼く
H1961 H5061 H6883 H3992 H1931 H0784 H8313

彼はその患部のある衣服、あるいは羊毛、または亜麻の縦糸、または横糸、あるいはすべて皮で作った物を焼かなければならない。これは悪性のらい病であるから、その物を火で焼かなければならない。

53 וְאִם֙ יִרְאֶ֣ה הַכֹּהֵ֔ן וְהִנֵּ֥ה לֹא־פָשָׂ֖ה הַנֶּ֑גַע בַּבֶּ֣גֶד אוֹ֩
しかし-もし 調べて 祭司が そして-見よ [否定] 広がっていない 患部が 衣に あるいは
H7200 H3548 H2009 H3808 H6581 H5061 H0899

בַּשְׁתִּ֨י אוֹ֜ בָעֵרֶ֗ב אוֹ֙ כָּל־כְּלִי־עֹ֔ור׃
縦糸に あるいは 横糸に あるいは すべての 道具に 皮の
H8359 H0176 H5668 H3605 H3627 H5785

しかし、祭司がこれを見て、もし患部がその衣服、あるいは縦糸、あるいは横糸、あるいはすべて皮で作った物に広がっていないならば、

54 וְצִוָּה֙ הַכֹּהֵ֔ן וְכִבְּס֕וּ אֵ֥ת אֲשֶׁר־בּ֖וֹ הַנֶּ֑גַע וְהִסְגִּירֹ֖ו שִׁבְעַ֥ת־
そして-命じる 祭司が そして-洗う [を] [の] そこに-ある 患部を そして-隔離する 七
H6680 H3548 H3526 H0853 H0834 H0996 H5462 H7651

יָמִֽים׃ שֵׁנִֽית׃
日間 二度目に
H3117 H8145

祭司は命じて、その患部のある物を洗わせ、さらに七日の間これを留め置かなければならない。

55 וְרָאָ֣ה הַכֹּהֵ֔ן וְהִנֵּ֥ה לֹא־הָפַ֖ךְ הַנֶּ֑גַע אֶת־הַנֶּ֣גַע וְאַחֲרֵ֤י הֻכַּבֶּס֙
そして-調べる 祭司が そして-見よ [否定] 変わっていない 患部を [を] 洗った後 その後に
H7200 H3548 H2009 H3808 H2015 H5061 H0853 H3526

אֶת־עֵינֹ֔ו וְהַנֶּ֥גַע לֹא־פָשָׂ֖ה הַנֶּ֣גַע הִ֑וא בָּאֵ֥שׁ תִּשְׂרְפֶ֖נּוּ
[を] その-色を 患部が そして-患部が [否定] 広がっていない 患部が ものである 火で 焼く
H0853 H5061 H3808 H6581 H5061 H1931 H0784 H8313

פְּחָתֹ֥ת הִ֖וא בְּקָרַחְתֹּ֑ו אֹ֥ו בְּגַבַּחְתֹּֽו׃
食い込み である その-はげた-部分に あるいは その-はげた-部分に
H6356 H1931 H7146 H0176 H1372

そしてその患部を洗った後、祭司はそれを見て、もし患部の色が変らなければ、患部が広がらなくても、それは汚れた物である。それが表にあっても裏にあっても腐れであるから、それを火で焼かなければならない。

56 וְאִם֙ רָאָ֣ה הַכֹּהֵ֔ן וְהִנֵּ֥ה כֵהָ֖ה הַנֶּ֑גַע אַחֲרֵ֤י הֻכַּבֶּס֙ אֹתֹ֔ו
しかし-もし 調べて 祭司が そして-見よ 薄くなった 患部が その後に 洗った後 それを
H7200 H3548 H2009 H3544 H5061 H0310 H3526 H0853

וְקָרַ֣ע אֹתֹ֗ו מִן־הַבֶּ֙גֶד֙ אֹ֣ו מִן־הָעֹ֔ור אֹ֥ו מִן־הַשְּׁתִ֖י אֹ֥ו מִן־הָעֵֽרֶב׃
そして-引き裂く それを [から] その-衣から あるいは [から] その-皮から あるいは [から] その-縦糸から あるいは [から] その-横糸から
H7167 H0853 H4480 H0899 H4480 H5785 H0176 H4480 H8359 H0176 H4480 H6154

しかし、祭司がこれを見て、それを洗った後に、その患部が薄らいだならば、その衣服、あるいは皮、あるいは縦糸、あるいは横糸から、それを切り取らなければならない。

57 וְאִם־תֵּרָאֶה עוֹד בַּבֶּגֶד אוֹ־בַשְּׁתִי אוֹ־בָעֵרֵב אוֹ־בְכָל־
しかし–もし 現れるなら 再び 衣に あるいは 縦糸に あるいは 横糸に あるいは すべての
H7200 H5750 H8359 H0176 H8359

הַנֶּגַע׃ בּוֹ אֲשֶׁר־ אֵת תִּשְׂרְפֶנּוּ בָּאֵשׁ הִוא פְּרַחַת עוֹר כְּלִי־
患部を そこに–ある [の] [を] 焼く 火で ものである 広がっている 皮の 道具に
H5061 H0853 H8313 H0784 H1931 H5785 H3627

しかし、なおその衣服、あるいは縦糸、あるいは横糸、あるいはすべて皮で作った物にそれが現れれば、それは再発したのである。その患部のある物を火で焼かなければならない。

58 וְהַבֶּגֶד אוֹ־הַשְּׁתִי אוֹ־הָעֵרֵב אוֹ־כָל־כְּלִי הָעוֹר אֲשֶׁר
そして–衣は 縦糸は あるいは 横糸は あるいは すべての 道具は 皮の [の]
H8359 H8359 H0176 H3605 H3627 H5785

תְּכַבֵּס וְסָר מֵהֶם הַנֶּגַע וְכֻבַּס שֵׁנִית וְטָהֵר׃
洗ったなら そして–去ったなら そこから 患部が そして–洗う 二度目に そして–清くなる
H3526 H5493 H1992 H5061 H3526 H8145 H2891

また洗った衣服、あるいは縦糸、あるいは横糸、あるいはすべて皮で作った物から、患部が消え去るならば、再びそれを洗わなければならない。そうすれば清くなるであろう」。

59 זֹאת תּוֹרַת נֶגַע־ צָרַעַת בֶּגֶד וְהַצֶּמֶר הַשְּׁתִי אוֹ
これが 律法である 患部の ツァラアトの 衣の 羊毛の あるいは 縦糸の あるいは
H2063 H8451 H5061 H6883 H0899 H6785 H6593 H8359 H0176

הָעֵרֵב אוֹ כָל־כְּלִי עוֹר לְטַהֲרוֹ אוֹ לְטַמְּאוֹ׃ פ
横糸の あるいは すべての 道具の 皮の 清いと–宣告するため あるいは 汚れていると–宣告するため [区切り]
H3605 H3627 H5785 H2891 H0176 H0176

これは羊毛または亜麻の衣服、あるいは縦糸、あるいは横糸、あるいはすべて皮で作った物に生じるらい病の患部について、それを清い物とし、または汚れた物とするためのおきてである。

Chapter 14

1 וַיְדַבֵּר יְהוָה אֶל־מֹשֶׁה לֵאמֹר׃
そして–語った 主は [に] モーセ 言われた
H1696 H3068 H0413 H4872 H0559

主はまたモーセに言われた、

2 זֹאת תִּהְיֶה תּוֹרַת הַמְּצֹרָע בְּיוֹם טָהֳרָתוֹ וְהוּבָא
これが [である] 律法である ツァラアトの–者の その–日に その–清めの その者は–連れて行かれる
H2063 H1961 H8451 H6879 H3117 H2893 H0935

אֶל־הַכֹּהֵן׃
[へ] 祭司の–もとへ
H0413 H3548

「らい病人が清い者とされる時のおきては次のとおりである。すなわち、その人を祭司のもとに連れて行き、

3 וְיָצָא֙ הַכֹּהֵ֔ן וְרָאָה֙ לַמִּחוּץ֔ לַֽמַּחֲנֶ֖ה וְהִנֵּ֣ה נִרְפָּ֔א נֶ֖גַע צָרַ֥עַת הַצָּרֽוּעַ׃ מִן־ [から] H3548 H3318 H7200 H4264 H2351 H0413 H3548 H7495 H2009 H5061 H6879 H6883

祭司は宿営の外に出て行って、その人を見、もしらい病の患部がいえているならば、

4 וְצִוָּה֙ הַכֹּהֵ֔ן וְלָקַ֣ח לַמִּטַּהֵ֔ר שְׁתֵּי־ צִפֳּרִ֥ים חַיּ֖וֹת טְהֹרֹ֑ות וְעֵ֣ץ אֶ֔רֶז וּשְׁנִ֖י תּוֹלַ֥עַת וְאֵזֹֽב׃ [から] H3548 H3947 H2891 H8147 H6833 H2889 H6086 H0730 H8144 H6680 H0231

祭司は命じてその清められる者のために、生きている清い小鳥二羽と、香柏の木と、緋の糸と、ヒソプとを取ってこさせ、

5 וְצִוָּה֙ הַכֹּהֵ֔ן וְשָׁחַ֣ט אֶת־ [を] H0853 הַצִּפֹּ֔ור הָאֶחָ֖ת אֶל־ [の上に] H0413 כְּלִי־ H3627 חֶ֣רֶשׂ עַל־ [の上に] H5921 מַ֥יִם חַיִּֽים׃ H4325

祭司はまた命じて、その小鳥の一羽を、流れ水を盛った土の器の上で殺させ、

6 אֶת־ [を] H0853 הַצִּפֹּ֔ור הַחַיָּ֖ה יִקַּ֣ח אֹתָ֑הּ וְאֶת־ [を] H0853 עֵ֣ץ H6086 הָאֶ֔רֶז וְאֶת־ [を] H0853 שְׁנִ֖י H8144 הַתּוֹלָ֥עַת וְאֶת־ [を] H0853 הָאֵזֹ֛ב וְטָבַ֥ל אֹתָ֛ם וְאֶת־ [を] H0853 הַצִּפֹּ֥ור הַחַיָּ֖ה בְּדַ֣ם H1818 הַצִּפֹּ֣ור הַשְּׁחוּטָ֑ה עַל־ [の上に] H5921 מַ֥יִם חַיִּֽים׃ H4325

そして生きている小鳥を、香柏の木と、緋の糸と、ヒソプと共に取って、これをかの流れ水を盛った土の器の上で殺した小鳥の血に、その生きている小鳥と共に浸し、

7 וְהִזָּ֣ה עַל־ [に] H5921 הַמִּטַּהֵ֔ר מִן־ [から] H4480 שֶׁ֥בַע פְּעָמִ֖ים וְטִהֲרֹ֑ו וְשִׁלַּ֥ח אֶת־ [を] H0853 הַצִּפֹּ֖ור הַחַיָּ֥ה עַל־ [の上に] H5921 פְּנֵ֖י הַשָּׂדֶֽה׃ 回 H6471 七 H7651 ツァラアトから H6883 清めを-受ける者に H2891 そして-振りかける そして-放つ そして-清いと-宣告する 面の-上に H6440 生きた その-鳥を H6833 野の

これをらい病から清められる者に七たび注いで、その人を清い者とし、その生きている小鳥は野に放たなければならない。

8 וְכִבֶּס֙ הַמְטַהֵ֔ר אֶת־בְּגָדָ֖יו וְגִלַּ֣ח אֶת־כָּל־שְׂעָר֑וֹ
そして–洗う 清めを–受ける者は [を] その–衣を そして–剃る [を] すべての その–毛を
H3526 H2891 H0853 H1548 H0853 H3605 H8181

וְרָחַ֥ץ בַּמַּ֖יִם וְטָהֵ֑ר וְאַחַ֛ר יָבֹ֥וא אֶל־הַֽמַּחֲנֶ֖ה וְיָשַׁ֥ב מִח֖וּץ
そして–洗う 水で そして–清くなる そして–その後に 入る [に] 宿営に そして–住む 外に
H7364 H4325 H2891 H0413 H0935 H4264 H3427 H2351

לְאָהֳלֹ֑ו שִׁבְעַ֥ת יָמִֽים׃
その–天幕の 七 日間
H0168 H7651 H3117

清められる者はその衣服を洗い、毛をことごとくそり落し、水に身をすすいで清くなり、その後、宿営にはいることができる。ただし七日の間はその天幕の外にいなければならない。

9 וְהָיָה֙ בַּיֹּ֣ום הַשְּׁבִיעִ֔י יְגַלַּ֣ח אֶת־כָּל־שְׂעָר֗וֹ אֶת־רֹאשׁ֤וֹ
そして–ある その–日に 第七の そる [を] すべての その–毛を [を] その–頭を
H1961 H3117 H7637 H1548 H0853 H3605 H8181 H0853

וְאֶת־זְקַנֹּ֣ו וְאֶת־גַּבֹּ֣ת עֵינָ֗יו וְאֶת־כָּל־שְׂעָרֹ֙ו֙ יְגַלַּ֔ח
そして–[を] その–あごを そして–[を] まゆ毛を その–目の そして–[を] すべての その–毛を そる
H0853 H2206 H0853 H1354 H0853 H3605 H8181 H1548

וְכִבֶּ֥ס אֶת־בְּגָדָ֖יו וְרָחַ֣ץ אֶת־בְּשָׂר֑וֹ בַּמָּ֖יִם וְטָהֵֽר׃
そして–洗う [を] その–衣を そして–洗う [を] その–肉を 水で そして–清くなる
H3526 H0853 H0853 H7364 H1320 H4325 H2891

そして七日目に毛をことごとくそらなければならい。頭の毛も、ひげも、まゆも、ことごとくそらなければならない。彼はその衣服を洗い、水に身をすすいで清くなるであろう。

10 וּבַיֹּ֣ום הַשְּׁמִינִ֗י יִקַּ֞ח שְׁנֵי־כְבָשִׂ֤ים תְּמִימִם֙ וְכַבְשָׂ֣ה אַחַ֣ת בַּת־
そして–八日目に 取る 二匹の 小羊を 傷のない 雌の–小羊 そして–一匹 一歳の
H3117 H3947 H8147 H3532 H8549 H3535 H0259 H1323

שָׁנָ֔ה וּשְׁלֹשָׁ֥ה עֶשְׂרֹנִ֛ים סֹ֥לֶת מִנְחָ֖ה בְּלוּלָ֣ה בַשָּׁ֑מֶן
その–年の 傷のない そして–三 十分の一の 上質の–粉を 穀物の–献げ物として 混ぜた 油で
H8141 H8549 H7969 H6241 H5560 H4503 H1101 H8081

וְלֹ֥ג אֶחָ֖ד שָֽׁמֶן׃
そして–一–ログの 一 油を
H3849 H0259 H8081

八日目にその人は雄の小羊の全きもの二頭と、一歳の雌の小羊の全きもの一頭とを取り、また麦粉十分の三エパに油を混ぜた素祭と、油一ログとを取らなければならない。

11 וְהֶעֱמִ֣יד הַכֹּהֵ֗ן הַמְטַהֵר֙ אֶת־הָאִ֣ישׁ הַמִּטַּהֵ֔ר וְאֹתָ֖ם
そして–立たせる 祭司が 清めを–行う [を] その–男を 清めを–受ける者を そして–それらを
H5975 H3548 H2891 H0853 H0376 H2891 H0853

לִפְנֵ֣י יְהוָ֔ה פֶּ֖תַח אֹ֣הֶל מֹועֵֽד׃
主の–前に 主の 入り口に 会見の 天幕の
H6440 H3068 H6607 H0168 H4150

清めをなす祭司は、清められる人とこれらの物とを、会見の幕屋の入口で主の前に置き、

12 וְלָקַ֣ח הַכֹּהֵ֔ן אֶת־הָאֶחָ֖ד הַכֶּ֑בֶשׂ וְהִקְרִ֣יב אֹתֹ֔ו
そして–取る 祭司が [を] 一匹を その–小羊を それを そして–ささげる
H3947 H3548 H0853 H0259 H3532 H0853 H7126

לְאָשָׁ֗ם וְאֶת־הַלֹּ֙ג֙ שָׁמֶ֔ן וְהֵנִ֥יף אֹתָ֛ם תְּנוּפָ֖ה לִפְנֵ֥י יְהוָֽה׃
贖罪の–献げ物として 油を 一–ログの それらを そして–揺り動かす 揺り–献げ物として 主の–前に 主の
H0817 H8081 H3849 H0853 H7493 H8573 H6440 H3068

祭司は、かの雄の小羊一頭を取って、これを一ログの油と共に愆祭としてささげ、またこれを主の前に揺り動かして揺祭としなければならない。

13 וְשָׁחַט אֶת־ הַכֶּבֶשׂ בִּמְקוֹם אֲשֶׁר יִשְׁחַט אֶת־ הַחַטָּאת וְאֶת־
そして–屠る [を] その–小羊を その–場所で [の] 屠る [を] 罪の–献げ物を そして–[を]
H0853 H3532 H4725 H0853 H0853 H0817 H0853

הָעֹלָה וְשָׁחַט אֶת־ הָאָשָׁם בִּמְקוֹם הַקֹּדֶשׁ כִּי כַּחַטָּאת הָאָשָׁם הוּא
全焼の–献げ物を そして–屠る [を] 贖罪の–献げ物は その–場所で 聖なる なぜなら 罪の–献げ物のように 贖罪の–献げ物は それは
H0817 H4725 H6944 H0817 H1931

לַכֹּהֵן הוּא קֹדֶשׁ קָדָשִׁים הוּא׃
祭司の–ものである 聖なる 至聖の–ものの ものである
H3548 H6944 H6944 H1931

この雄の小羊は罪祭および燔祭をほふる場所、すなわち聖なる所で、これをほふらなければならない。愆祭は罪祭と同じく、祭司に帰するものであって、いと聖なる物である。

14 וְלָקַח הַכֹּהֵן מִדַּם הָאָשָׁם וְנָתַן הַכֹּהֵן עַל־ תְּנוּךְ
そして–取る 祭司が [から] 贖罪の–献げ物の–血から そして–つける 祭司が [の上に] 耳たぶに
H3947 H3548 H1818 H0817 H5414 H3548 H8571

אֹזֶן הַמִּטַהֵר הַיְמָנִית וְעַל־ בֹּהֶן יָדוֹ הַיְמָנִית וְעַל־ בֹּהֶן רַגְלוֹ הַיְמָנִית׃
耳の 清めを–受ける者の 右の そして–[の上に] 親指に その–手の 右の そして–[の上に] 親指に その–足の 右の
H0241 H2891 H3233 H0931 H3027 H3233 H0931 H7272 H3233

そして祭司はその愆祭の血を取り、これを清められる者の右の耳たぶと、右の手の親指と、右の足の親指とにつけなければならない。

15 וְלָקַח הַכֹּהֵן מִלֹּג הַשָּׁמֶן וְיָצַק עַל־ כַּף הַכֹּהֵן הַשְּׂמָאלִית׃
そして–取る 祭司が [から] 油の–一–ログから そして–注ぐ [の上に] 祭司の 手のひらに 左の
H3947 H3548 H3849 H8081 H3332 H0676 H3548 H3709 H8042

祭司はまた一ログの油を取って、これを自分の左の手のひらに注ぎ、

16 וְטָבַל הַכֹּהֵן אֶת־ אֶצְבָּעוֹ הַיְמָנִית מִן־ הַשֶּׁמֶן אֲשֶׁר עַל־ כַּפּוֹ
そして–浸す 祭司が [を] その–指を 右の [から] 油から [の上に] その–手のひらの
H2881 H3548 H0853 H0676 H3233 H0676 H8081 H3709

וְהִזָּה מִן־ הַשֶּׁמֶן הַשְּׂמָאלִית בְּאֶצְבָּעוֹ שֶׁבַע פְּעָמִים לִפְנֵי יְהוָה׃
そして–振りかける [から] 油を 左の その–指で 七 回 主の–前に 主の
H5137 H4480 H8081 H8042 H0676 H7651 H6471 H6440 H3068

そして祭司は右の指を左の手のひらにある油に浸し、その指をもって、その油を七たび主の前に注がなければならない。

17 וּמִיֶּתֶר הַשֶּׁמֶן אֲשֶׁר עַל־ כַּפּוֹ יִתֵּן הַכֹּהֵן עַל־ תְּנוּךְ
そして–残りの 油を [の上に] [の] その–手のひらの つける 祭司が [の上に] 耳たぶに
H8081 H3709 H5414 H3548 H8571

וְעַל־ הַיְמָנִית יָדוֹ בֹּהֶן וְעַל־ הַיְמָנִית הַמְּטַהֵר אֶזֶן
そして–[の上に] 右の その–手の 親指に そして–[の上に] 右の 清めを–受ける者の 耳の
H3233 H3027 H0931 H3233 H2891 H0241

הָאָשָׁם׃ דָּם עַל הַיְמָנִית רַגְלוֹ בֹּהֶן
贖罪の–献げ物の 血の–上に [の上に] 右の その–足の 親指に
H0817 H1818 H3233 H7272 H0931

祭司は手のひらにある油の残りを、清められる者の右の耳たぶと、右の手の親指と、右の足の親指とに、さきにつけた愆祭の血の上につけなければならない。

18 רֹאשׁ עַל־ יִתֵּן הַכֹּהֵן כַּף עַל־ אֲשֶׁר בַּשֶּׁמֶן וְהַנּוֹתָר
頭に [の上に] つける 祭司の 手のひらの [の上に] [の] 油を そして–残りの
H5414 H3548 H3709 H8081 H3498

יְהוָה׃ לִפְנֵי הַכֹּהֵן עָלָיו וְכִפֶּר הַמְּטַהֵר
主の 主の–前に 祭司が その者の–ために そして–贖いをする 清めを–受ける者の
H3068 H6440 H3548 H2891

そして祭司は手のひらになお残っている油を、清められる者の頭につけ、主の前で、その人のためにあがないをしなければならない。

19 הַמְּטַהֵר עַל־ וְכִפֶּר הַחַטָּאת אֶת־ הַכֹּהֵן וְעָשָׂה
清めを–受ける者の–ために [のために] そして–贖いをする 罪の–献げ物を [を] 祭司が そして–行う
H2891 H0853 H3548

הָעֹלָה׃ אֶת־ יִשְׁחַט וְאַחַר מִטֻּמְאָתוֹ
全焼の–献げ物を [を] 屠る そして–その後に その–汚れから
H0853 H2932

また祭司は罪祭をささげて、汚れのゆえに、清められねばならぬ者のためにあがないをし、その後、燔祭のものをほふらなければならない。

20 הַמִּזְבֵּחָה הַמִּנְחָה וְאֶת־ הָעֹלָה אֶת־ הַכֹּהֵן וְהֶעֱלָה
祭壇の–上に 穀物の–献げ物を そして–[を] 全焼の–献げ物を [を] 祭司が そして–ささげる
H4196 H4503 H0853 H0853 H3548 H5927

ס וְטָהֵר׃ הַכֹּהֵן עָלָיו וְכִפֶּר
[区切り] そして–清くなる 祭司が その者の–ために そして–贖いをする
H2891 H3548

そして祭司は燔祭と素祭とを祭壇の上にささげ、その人のために、あがないをしなければならない。こうしてその人は清くなるであろう。

21 וְאִם־ דַּל הוּא וְאֵין יָדוֹ מַשֶּׂגֶת וְלָקַח כֶּבֶשׂ אֶחָד
しかし–もし 貧しい もので そして–[否定] その–手が 届かないなら そして–取る 小羊を 一匹
H1800 H1931 H0369 H3027 H5381 H3947 H3532 H0259

וְעִשָּׂרוֹן עָלָיו לְכַפֵּר לְתְנוּפָה אָשָׁם
そして–十分の一の その者の–ために 贖いをする–ために 揺り–献げ物として 贖罪の–献げ物として
H6241 H8573 H0817

שָׁמֶן׃ וְלֹג לְמִנְחָה בַּשָּׁמֶן בָּלוּל אֶחָד סֹלֶת
油を そして–一–ログの 穀物の–献げ物として 油で 混ぜた 一 上質の–粉を
H8081 H3849 H4503 H8081 H0259 H5560

その人がもし貧しくて、それに手の届かない時は、自分のあがないのために揺り動かす愆祭として、雄の小羊一頭を取り、また素祭として油を混ぜた麦粉十分の一エパと、油一ログとを取り、

22

וְהָיָה	יָדוֹ	תַּשִּׂיג	אֲשֶׁר	יוֹנָה	בְּנֵי	שְׁנֵי	אוֹ	תֹרִים	וּשְׁתֵּי
そして-ある	その-手が	届く	[の]	鳩を	子の	二羽の	あるいは	山鳩を	そして-二羽の
H1961	H3027	H5381		H3123		H8147		H8449	H8147

עֹלָה׃	וְהָאֶחָד	חַטָּאת	אֶחָד
全焼の-献げ物として	そして-一羽が	罪の-献げ物として	一羽が
	H0259		H0259

さらにその手の届く山ばと二羽、または家ばとのひな二羽を取らなければならない。その一つは罪祭のため、他の一つは燔祭のためである。

23

אֶל־	הַכֹּהֵן	אֶל־	לְטָהֳרָתוֹ	הַשְּׁמִינִי	בַּיּוֹם	אֹתָם	וְהֵבִיא	
[へ]	祭司の-もとへ	[へ]	その-清めの-ために	八番目の	その-日に	それらを	そして-持って来る	
H0413	H3548	H0413	H2893	H8066	H3117	H0853	H0935	

יְהוָה׃	לִפְנֵי	מוֹעֵד	אֹהֶל־	פֶּתַח
主の	主の-前に	天幕の	会見の	入り口に
H3068	H6440	H4150	H0168	H6607

そして八日目に、その清めのために会見の幕屋の入口におる祭司のもと、主の前にこれを携えて行かなければならない。

24

הַשָּׁמֶן	לֹג	וְאֶת־	הָאָשָׁם	כֶּבֶשׂ	אֶת־	הַכֹּהֵן	וְלָקַח	
油を	一-ログの	そして-[を]	贖罪の-献げ物の	小羊を	[を]	祭司が	そして-取る	
H8081	H3849	H0853	H0817	H3532	H0853	H3548	H3947	

יְהוָה׃	לִפְנֵי	תְנוּפָה	הַכֹּהֵן	אֹתָם	וְהֵנִיף
主の	主の-前に	揺り-献げ物として	祭司が	それらを	そして-揺り動かす
H3068	H6440	H8573	H3548	H0853	

祭司はその愆祭の雄の小羊と、一ログの油とを取り、これを主の前に揺り動かして揺祭としなければならない。

25

הָאָשָׁם	מִדַּם	הַכֹּהֵן	וְלָקַח	הָאָשָׁם	כֶּבֶשׂ	אֶת־	וְשָׁחַט	
贖罪の-献げ物の-血から	[から]	祭司が	そして-取る	贖罪の-献げ物の	小羊を	[を]	そして-屠る	
H0817	H1818	H3548	H3947	H0817	H3532	H0853		

בֹּהֶן	וְעַל־	הַיְמָנִית	הַמִּטַהֵר	אֹזֶן־	תְּנוּךְ	עַל־	וְנָתָן	
親指に	そして-[の上に]	右の	清めを-受ける者の	耳の	耳たぶに	[の上に]	そして-つける	
H0931		H3233	H2891	H0241	H8571		H5414	

הַיְמָנִית׃	רַגְלוֹ	בֹּהֶן	וְעַל־	הַיְמָנִית	יָדוֹ	
右の	その-足の	親指に	そして-[の上に]	右の	その-手の	
H3233	H7272	H0931		H3233	H3027	

そして祭司は愆祭の雄の小羊をほふり、その愆祭の血を取って、これを清められる者の右の耳たぶと、右の手の親指と、右の足の親指とにつけなければならない。

26

הַשְּׂמָאלִית׃	הַכֹּהֵן	כַּף	עַל־	הַכֹּהֵן	יִצֹּק	הַשָּׁמֶן	וּמִן־
左の	祭司の	手のひらに	[の上に]	祭司が	注ぐ	油を	そして-[から]
H8042	H3548	H3709		H3548	H3332	H8081	

また祭司はその油を自分の左の手のひらに注ぎ、

27

כַּפּוֹ	עַל־	אֲשֶׁר	הַשֶּׁמֶן	מִן־	הַיְמָנִית	בְּאֶצְבָּעוֹ	הַכֹּהֵן	וְהִזָּה
その-手のひらの	[の上に]	[の]	油を	[から]	右の	その-指で	祭司が	そして-振りかける
H3709			H8081		H3233	H0676	H3548	

יְהוָה׃	לִפְנֵי	פְּעָמִים	שֶׁבַע	הַשְּׂמָאלִית
主の	主の-前に	回	七	左の
H3068	H6440	H6471	H7651	H8042

祭司はその右の指をもって、左の手のひらにある油を、七たび主の前に注がなければならない。

28 וְנָתַן הַכֹּהֵן מִן־הַשֶּׁמֶן אֲשֶׁר עַל־כַּפּוֹ עַל־תְּנוּךְ
そして-つける 祭司が [から] 油を [の] [の上に] その-手のひらの [の上に] 耳たぶに
H5414 H3548 H8081 H3709 H8571

וְעַל־ הַיְמָנִית יָדוֹ בֹּהֶן עַל־ וְעַל־ הַיְמָנִית הַמִּטַּהֵר אֹזֶן
そして-[の上に] 右の その-手の 親指に そして-[の上に] 右の 清めを-受ける者の 耳の
H3233 H3027 H0931 H3233 H2891 H0241

הָאָשָׁם׃ דַּם מִקְוֹם עַל־ הַיְמָנִית רַגְלוֹ בֹּהֶן
贖罪の-献げ物の 血の 場所の-上に [の上に] 右の その-足の 親指に
H0817 H1818 H4725 H3233 H7272 H0931

また祭司はその手のひらにある油を、清められる者の右の耳たぶと、右の手の親指と、右の足の親指とに、すなわち、愆祭の血をつけたところにつけなければならない。

29 וְהַנּוֹתָר מִן־הַשֶּׁמֶן אֲשֶׁר עַל־כַּף הַכֹּהֵן יִתֵּן עַל־רֹאשׁ
そして-残りの 油を [から] [の] [の上に] 手のひらの 祭司の つける [の上に] 頭に
H3498 H8081 H3709 H3548 H5414

יְהוָה׃ לִפְנֵי עָלָיו לְכַפֵּר הַמִּטַּהֵר
主の 主の-前に その者の-ために 贖いをする-ために 清めを-受ける者の
H3068 H6440

また祭司は手のひらに残っている油を、清められる者の頭につけ、主の前で、その人のために、あがないをしなければならない。

30 וְעָשָׂה אֶת־ הָאֶחָד מִן־ הַתֹּרִים מִן־ אוֹ בְנֵי הַיּוֹנָה מֵאֲשֶׁר
そして-行う [を] その-一羽を [から] 山鳩から [から] あるいは 子の 鳩から [の]
H0853 H0259 H8449 H3123

תַּשִּׂיג יָדוֹ׃
届く その-手が
H5381 H3027

その人はその手の届く山ばと一羽、または家ばとのひな一羽をささげなければならない。

31 אֵת אֲשֶׁר־ תַּשִּׂיג יָדוֹ אֶת־ הָאֶחָד הָאֶחָד וְאֶת־ חַטָּאת
[を] [の] 届く その-手が [を] その-一羽を そして-[を] 罪の-献げ物として
H0853 H0853 H3027 H5381 H0853 H0259 H0259

עֹלָה עַל־ הַמִּנְחָה עַל הַכֹּהֵן וְכִפֶּר
全焼の-献げ物として [と共に] 穀物の-献げ物と-共に [のために] 祭司が そして-贖いをする
H5930 H5921 H4503 H5921 H3548 H3722

יְהוָה׃ לִפְנֵי הַמִּטַּהֵר
主の 主の-前に 清めを-受ける者の-ために
H3068 H6440 H2891

すなわち、その手の届くものの一つを罪祭とし、他の一つを燔祭として素祭と共にささげなければならない。こうして祭司は清められる者のために、主の前にあがないをするであろう。

32 זֹאת תּוֹרַת אֲשֶׁר־ בּוֹ נֶגַע אֲשֶׁר צָרַעַת לֹא־ תַּשִּׂיג
これが 律法である [の] そこに 患部が-ある ツァラアトの [の] [否定] 届かない
H2063 H8451 H3808 H6883 H5061 H3808 H5381

בְּטָהֳרָתוֹ׃ פ יָדוֹ
その-清めに [区切り] その-手が
H2893 H3027

これはらい病の患者で、その清めに必要なものに、手の届かない者のためのおきてである」。

33 וַיְדַבֵּר יְהוָה אֶל־מֹשֶׁה וְאֶל־אַהֲרֹן לֵאמֹר׃
そして–語った 主は [に] モーセ [に] そして–[に] アロン 言われた
H1696 H3068 H0413 H4872 H0413 H0175 H0559

主はまたモーセとアロンに言われた、

34 כִּי תָבֹאוּ אֶל־אֶרֶץ כְּנַעַן אֲשֶׁר אֲנִי נֹתֵן לָכֶם לַאֲחֻזָּה
もし 入るなら [に] 地に カナンの [の] わたしが 与える あなたがたに 所有地として
H0272 H5414 H0589 H0776 H0413 H0935

וְנָתַתִּי נֶגַע בְּבֵית אֶרֶץ אֲחֻזַּתְכֶם׃
そして–わたしが–置くなら 患部を ツァラアトの 家に 地の あなたがたの–所有地の
H5414 H5061 H6883 H0776 H0272

「あなたがたに所有として与えるカナンの地に、あなたがたがはいる時、その所有の地において、家にわたしがらい病の患部を生じさせることがあれば、

35 וּבָא אֲשֶׁר־לוֹ הַבַּיִת וְהִגִּיד לַכֹּהֵן לֵאמֹר כְּנֶגַע
そして–来る [の] その 家の–主人が そして–告げる 祭司に 言って 患部の–ようなものが
H0935 H0834 H0376 H1004 H5046 H3548 H0559 H5061

נִרְאָה לִי בַּבָּיִת׃
見えた わたしに 家に
H7200

その家の持ち主はきて、祭司に告げ、『患部のようなものが、わたしの家にあります』と言わなければならない。

36 וְצִוָּה הַכֹּהֵן וּפִנּוּ אֶת־הַבַּיִת בְּטֶרֶם יָבֹא הַכֹּהֵן לִרְאוֹת
そして–命じる 祭司が そして–空にする [を] その–家を [前に] 来る–前に 祭司が 見る–ために
H6680 H3548 H6437 H0853 H1004 H2962 H0935 H3548 H7200

וְאַחַר כֵּן יָבֹא וְלֹא יִטְמָא כָּל־אֲשֶׁר בַּבָּיִת וְאַחַר כֵּן יָבֹא הַכֹּהֵן לִרְאוֹת אֶת־הַבָּיִת׃
そして–その後に 家に–あるものが [の] すべての 汚れない–ように そして–[否定] 患部を [を] その–家を [を] 見る–ために 祭司が 来る そのように
H0310 H1004 H0834 H3605 H2930 H3808 H5061 H0853 H1004 H0853 H7200 H3548 H0935 H3651

祭司は命じて、祭司がその患部を見に行く前に、その家をあけさせ、その家にあるすべての物が汚されないようにし、その後、祭司は、はいってその家を見なければならない。

37 וְרָאָה אֶת־הַנֶּגַע וְהִנֵּה הַנֶּגַע בְּקִירֹת הַבַּיִת שְׂקַעֲרוּרֹת
そして–調べる [を] その–患部を そして–見よ 患部が 壁に 家の くぼみがある
H7200 H0853 H5061 H2009 H5061 H7023 H1004 H8258

יְרַקְרַקֹּת אוֹ אֲדַמְדַּמֹּת וּמַרְאֵיהֶן שָׁפֵל מִן־הַקִּיר׃
緑がかった あるいは 赤みがかった そして–その–見た目が 低い [より] 壁より
H3422 H0176 H0125 H4758 H8217 H0004 H7023

その患部を見て、もしその患部が家の壁にあって、青または赤のくぼみをもち、それが壁よりも低く見えるならば、

38 וְיָצָא הַכֹּהֵן מִן־הַבַּיִת אֶל־פֶּתַח הַבַּיִת וְהִסְגִּיר אֶת־הַבַּיִת
そして–出る 祭司が [から] 家から [へ] 入り口に 家の そして–隔離する [を] その–家を
H3318 H3548 H0004 H1004 H0413 H6607 H1004 H5462 H0853 H1004

שִׁבְעַת יָמִים׃
七 日間
H7651 H3117

祭司はその家を出て、家の入口にいたり、七日の間その家を閉鎖しなければならない。

39 וְשָׁב הַכֹּהֵן בַּיּוֹם הַשְּׁבִיעִי וְרָאָה וְהִנֵּה פָּשְׂתָה הַנֶּגַע
そして-戻る 祭司が その-日に 第七の そして-調べる そして-見よ 広がっている 患部が
H7725 H3548 H3117 H7200 H2009 H6581 H5061

בְּקִירֹת הַבָּיִת׃
壁に 家の
H7023

祭司は七日目に、またきてそれを見、その患部がもし家の壁に広がっているならば、

40 וְצִוָּה הַכֹּהֵן וְחִלְצוּ אֶת־הָאֲבָנִים אֲשֶׁר בָּהֶן הַנָּגַע
そして-命じる 祭司が そして-取り出す [を] その-石を [の] そこに-ある 患部が
H6680 H3548 H0853 H0068 H0853 H0413 H5061

וְהִשְׁלִיכוּ אֹתָן אֶל־מִחוּץ לָעִיר אֶל־מָקוֹם טָמֵא׃
そして-投げ捨てる それらを [へ] 外に [へ] 町の [へ] 場所に 汚れた
H7993 H0853 H0413 H2351 H0413 H4725 H2931

祭司は命じて、その患部のある石を取り出し、町の外の汚れた物を捨てる場所に捨てさせ、

41 וְאֶת־הַבַּיִת יַקְצַע מִבַּיִת סָבִיב וְשָׁפְכוּ אֶת־הֶעָפָר אֲשֶׁר
そして-[を] その-家を 削り取る 内側から 周囲を そして-捨てる [を] その-塗壁を [の]
H0853 H6083 H5439 H8210 H0853 H6083 H0413

הִקְצוּ אֶל־מָקוֹם טָמֵא׃
削り取った [へ] 場所に 汚れた
H7096 H0413 H4725 H2931

またその家の内側のまわりを削らせ、その削ったしっくいを町の外の汚れた物を捨てる場所に捨てさせ、

42 וְלָקְחוּ אֲבָנִים אֲחֵרוֹת וְהֵבִיאוּ אֶל־תַּחַת הָאֲבָנִים וְעָפָר אַחֵר
そして-取る 石を 別の そして-持って来る [に] 代わりに その-石の そして-塗壁を
H3947 H0068 H0312 H0935 H0413 H8478 H0068 H6083 H0312

וְטָח אֶת־הַבָּיִת׃
そして-塗る [を] その-家を
H3947 H0853

ほかの石を取って、元の石のところに入れさせ、またほかのしっくいを取って、家を塗らせなければならない。

43 וְאִם־יָשׁוּב הַנֶּגַע וּפָרַח בַּבַּיִת אַחַר חִלַּץ אֶת־
しかし-もし 戻るなら 患部が そして-広がるなら 家に その後に 取り出した後 [を]
H7725 H5061 H0853

הָאֲבָנִים וְאַחֲרֵי הִקְצוֹת אֶת־הַבַּיִת וְאַחֲרֵי הִטְּחַ׃
その-石を そして-その後に 削り取った後 [を] その-家を そして-その後に 塗った後
H0068 H7096 H0853

このように石を取り出し、家を削り、塗りかえた後に、その患部がもし再び家に出るならば、

44 וּבָא הַכֹּהֵן וְרָאָה וְהִנֵּה פָּשְׂתָה הַנֶּגַע בַּבַּיִת צָרַעַת
そして-来る 祭司が そして-調べる そして-見よ 広がっている 患部が 家に ツァラアトは
H0935 H3548 H7200 H2009 H6581 H5061 H6883

מַמְאֶרֶת הִוא בַּבַּיִת טָמֵא הוּא׃
悪性の ものである 家に 汚れている ものである
H3992 H1931 H2931 H1931

祭司はまたきて見なければならない。患部がもし家に広がっているならば、これは家にある悪性のらい病であって、これは汚れた物である。

45 וְנָתַץ אֶת־הַבַּיִת אֶת־אֲבָנָיו וְאֶת־עֵצָיו וְאֶת־כָּל־
そして-壊す [を] その-家を [を] その-石を そして-[を] その-木を すべての
H5422 H0853 H0853 H0068 H0853 H6086 H0853 H3605

עֲפַר הַבָּיִת וְהוֹצִיא אֶל־מִחוּץ לָעִיר אֶל־מָקוֹם טָמֵא׃
塗壁を その-家の そして-運び出す [へ] 外に [へ] 町の [に] 場所に 汚れた
H6083 H3318 H0413 H2351 H0413 H4725 H2931

その家は、こぼち、その石、その木、その家のしっくいは、ことごとく町の外の汚れた物を捨てる場所に運び出さなければならない。

46 וְהַבָּא אֶל־הַבַּיִת כָּל־יְמֵי הִסְגִּיר אֹתוֹ יִטְמָא עַד־הָעָרֶב׃
そして-入る者は [に] その-家に すべての 日間 隔離された それが 汚れる [まで] 夕方まで
H0935 H0413 H3605 H3117 H5462 H0853 H2931 H5704 H6153

その家が閉鎖されている日の間に、これにはいる者は夕まで汚れるであろう。

47 וְהַשֹּׁכֵב אֶת־בַּבַּיִת יְכַבֵּס אֶת־בְּגָדָיו וְהָאֹכֵל בַּבַּיִת יְכַבֵּס אֶת־בְּגָדָיו׃
そして-寝る者は その-家に 洗う [を] その-衣を そして-食べる者は その-家に 洗う [を] その-衣を
H7901 H0853 H3526 H0853 H0398 H0853 H3526 H0853 H0853

その家に寝る者はその衣服を洗わなければならない。その家で食する者も、その衣服を洗わなければならない。

48 וְאִם־בֹּא יָבֹא הַכֹּהֵן וְרָאָה וְהִנֵּה לֹא־פָשָׂה הַנֶּגַע בַּבַּיִת
しかし-もし 来て 来るなら 祭司が そして-調べる そして-見よ [否定] 広がっていない 患部が その-家を
H0935 H0935 H3548 H7200 H2009 H3808 H6581 H5061 H0853

אַחֲרֵי הִטַּח אֶת־הַבַּיִת וְטִהַר הַכֹּהֵן אֶת־הַבָּיִת כִּי־נִרְפָּא הַנָּגַע׃
その後に 塗った後 [を] その-家を そして-清いと-宣告する 祭司は [を] その-家を なぜなら 患部が
H0853 H0853 H2891 H3548 H0853 H0853 H7495 H5061

しかし、祭司がはいって見て、もし家を塗りかえた後に、その患部が家に広がっていなければ、これはその患部がいえたのであるから、祭司はその家を清いものとしなければならない。

49 וְלָקַח לְחַטֵּא אֶת־הַבַּיִת שְׁתֵּי צִפֳּרִים וְעֵץ אֶרֶז וּשְׁנִי
そして-取る ために-清める [を] その-家を 二羽の 鳥を そして-木を 杉の そして-緑色の
H3947 H2398 H0853 H8147 H6833 H6086 H0730 H8144

וְאֵזֹב׃ תּוֹלַעַת
そして-ヒソプを 虫の
H0231

また彼はその家を清めるために、小鳥二羽と、香柏の木と、緋の糸と、ヒソプとを取り、

50 וְשָׁחַט אֶת־הָאֶחָת הַצִּפֹּר אֶל־כְּלִי־חֶרֶשׂ עַל־מַיִם חַיִּים׃
そして-屠る [を] 一羽を その-鳥の-一羽を [の上に] 器の上に [の上に] 土の [の上に] 水の-上に 流れる
H0853 H0259 H6833 H0413 H3627 H2789 H0413 H4325

その小鳥の一羽を流れ水を盛った土の器の上で殺し、

51 וְלָקַח֙ אֶת־עֵ֣ץ הָאֶ֔רֶז וְאֶת־הָאֵזֹ֖ב וְאֶת־שְׁנִ֣י הַתּוֹלָ֑עַת
そして-取る [を] 木を 杉の そして-[を] ヒソプを そして-[を] 緑色の 虫の
H3947 H0853 H6086 H0730 H0853 H0231 H0853 H8144

וְאֶת־הַצִּפֳּר֙ הַחַיָּ֔ה וְטָבַ֣ל אֹתָ֔ם בְּדַ֥ם הַשְּׁחוּטָ֖ה וּבַמַּ֣יִם
そして-[を] その-鳥を 生きた そして-浸す それらを 血に 屠られた そして-水に
H0853 H6833 H2881 H0853 H1818 H6833 H4325

הַחַיִּ֑ים וְהִזָּ֣ה אֶל־הַבַּ֔יִת שֶׁ֥בַע פְּעָמִֽים׃
流れる そして-振りかける [に] その-家に 七 回
H6471 H7651 H0413

香柏の木と、ヒソプと、緋の糸と、生きている小鳥とを取って、その殺した小鳥の血と流れ水に浸し、これを七たび家に注がなければならない。

52 וְחִטֵּ֣א אֶת־הַבַּ֔יִת בְּדַ֥ם הַצִּפּ֖וֹר וּבַמַּ֣יִם וּבַצִּפֹּ֣ר הַחַיָּ֑ה
そして-清める [を] その-家を 血で その-鳥の そして-水で そして-鳥で 生きた
H2398 H0853 H1818 H6833 H4325 H6833

הַחַיִּ֔ים וּבָעֵ֥ץ הָאֶ֖רֶז וּבָאֵזֹ֥ב וּבִשְׁנִ֖י הַתּוֹלָֽעַת׃
流れる そして-木で 杉の そして-ヒソプで そして-緑色の 虫で
H6086 H0730 H0231 H8144

こうして祭司は小鳥の血と流れ水と、生きている小鳥と、香柏の木と、ヒソプと、緋の糸とをもって家を清め、

53 וְשִׁלַּ֣ח אֶת־הַצִּפֹּ֗ר הַחַיָּה֙ אֶל־מִח֣וּץ לָעִ֔יר אֶל־פְּנֵ֖י הַשָּׂדֶ֑ה
そして-放つ [を] その-鳥を 生きた [へ] 外に [へ] 町の 面の-上に 野の
H7971 H0853 H6833 H0413 H2351 H0413 H6440

וְכִפֶּ֥ר עַל־הַבַּ֖יִת וְטָהֵֽר׃
そして-贖いをする [のために] その-家の-ために そして-清くなる
H2891

その生きている小鳥は町の外の野に放して、その家のために、あがないをしなければならない。こうして、それは清くなるであろう」。

54 זֹ֚את הַתּוֹרָ֔ה לְכֹ֖ל נֶ֣גַע הַצָּרַ֑עַת וְלַנָּתֶֽק׃
これが 律法である すべての 患部の ツァラアトの そして-はげの
H2063 H8451 H3605 H5061 H6883 H5424

これはらい病のすべての患部、かいせん、

55 וּלְצָרַ֣עַת הַבֶּ֔גֶד וְלַבָּֽיִת׃
そして-ツァラアトの 衣の そして-家の
H6883

および衣服と家のらい病、

56 וְלַשְּׂאֵ֥ת וְלַסַּפַּ֖חַת וְלַבֶּהָרֶֽת׃
そして-腫れの そして-かさぶたの そして-光る-斑点の
H7613 H5597 H0934

ならびに腫と、吹出物と、光る所とに関するおきてであって、

57 לְהוֹרֹ֥ת בְּי֖וֹם הַטָּמֵ֣א וּבְי֑וֹם הַטָּהֹ֔ר זֹ֚את תּוֹרַ֣ת הַצָּרָ֔עַת׃
教える-ために その-日に 汚れた そして-その-日に 清い これが 律法である ツァラアトの
H3117 H2931 H3117 H2889 H2063 H8451 H6883

ס
[区切り]

いつそれが汚れているか、いつそれが清いかを教えるものである。これがらい病に関するおきてである。

Chapter 15

1

וַיְדַבֵּר	יְהוָה	אֶל־	מֹשֶׁה	וְאֶל־	אַהֲרֹן	לֵאמֹר׃	
そして–語った	主は	～に	モーセ	そして～に	アロン	言って	
H1696	H3068	H0413	H4872	H0413	H0175	H0559	

主はまた、モーセとアロンに言われた、

2

דַּבְּרוּ	אֶל־	בְּנֵי	יִשְׂרָאֵל	וַאֲמַרְתָּם	אֲלֵהֶם	אַישׁ	אַישׁ	כִּי	יִהְיֶה
語れ	～に	子らに	イスラエルの	そして–言え	彼らに	人が	人が	もし	ある
H1696	H0413		H3478	H0559	H0413	H0376	H0376		H1961

זָב	מִבְּשָׂרוֹ	זוֹבוֹ	טָמֵא	הוּא׃
漏出する者で	その–肉体から	その–漏出は	汚れた	ものである
H2100	H1320	H2101	H2931	H1931

「イスラエルの人々に言いなさい、『だれでもその肉に流出があれば、その流出は汚れである。

3

אֶת־	בְּשָׂרוֹ	רָר	בְּזוֹבוֹ	טֻמְאָתוֹ	תִּהְיֶה	וְזֹאת	
（～を）	彼の–肉体が	流れる	その–漏出において	彼の–汚れ	～となる	そして–これが	
H0853	H1320	H7325	H2101	H2932	H1961	H2063	

הוּא׃	טֻמְאָתוֹ	מִזּוֹבוֹ	בְּשָׂרוֹ	הֶחְתִּים	אוֹ־	זוֹבוֹ
である	彼の–汚れ	その–漏出から	彼の–肉体が	塞がった	あるいは	その–漏出を
H1931	H2932	H2101	H1320	H2856		H2101

その流出による汚れは次のとおりである。すなわち、その肉の流出が続いていても、あるいは、その肉の流出が止まっていても、共に汚れである。

4

הַכֶּלִי	וְכָל־	יִטְמָא	הַזָּב	עָלָיו	יִשְׁכַּב	אֲשֶׁר	הַמִּשְׁכָּב	כָּל־
器は	そして–すべての	汚れる	漏出する者が	その上に	横たわる	その上に	寝床は	すべての
H3627	H3605		H2100		H7901		H4904	H3605

יִטְמָא׃	עָלָיו	יֵשֵׁב	אֲשֶׁר־
汚れる	その上に	座る	その上に
		H3427	

流出ある者の寝た床はすべて汚れる。またその人のすわった物はすべて汚れるであろう。

5

וְרָחַץ	בְּגָדָיו	יְכַבָּס	בְּמִשְׁכָּבוֹ	יִגַּע	אֲשֶׁר	וְאִישׁ	
そして–洗い	自分の–衣服を	洗わなければならない	彼の–寝床に	触れる者は	その	そして–人は	
H7364		H3526	H4904	H5060		H0376	

בַּמָּיִם	וְטָמֵא	עַד־	הָעָרֶב׃	
水で	そして–汚れる	～まで	夕方	
H4325		H5704	H6153	

その床に触れる者は、その衣服を洗い、水に身をすすがなければならない。彼は夕まで汚れるであろう。

6

יְכַבָּס	הַזָּב	עָלָיו	יֵשֵׁב	אֲשֶׁר־	הַכֶּלִי	עַל־	וְהַיֹּשֵׁב
洗わなければならない	漏出する者が	その上に	座った	その上に	器に	～の上に	そして–座る者は
H3526	H2100		H3427		H3627		H3427

הָעָרֶב׃	עַד־	וְטָמֵא	בַּמָּיִם	וְרָחַץ	בְּגָדָיו
夕方	～まで	そして–汚れる	水で	そして–洗い	自分の–衣服を
H6153	H5704		H4325	H7364	

流出ある者のすわった物の上にすわる者は、その衣服を洗い、水に身をすすがなければならない。彼は夕まで汚れるであろう。

7 וְהַנֹּגֵעַ בִּבְשַׂר הַזָּב וּבְזָבוֹ יְכַבָּס וְרָחַץ בַּמָּיִם וְטָמֵא עַד־הָעָרֶב׃
そして–触れる者は 肉体に 漏出する者の 洗わなければならない 自分の–衣服を そして–洗い 水で そして–汚れる 〜まで 夕方
H5060 H1320 H2100 H3526 H0853 H7364 H4325 H5704 H6153

流出ある者の肉に触れる者は衣服を洗い、水に身をすすがなければならない。彼は夕まで汚れるであろう。

8 וְכִי־יָרֹק הַזָּב בַּטָּהוֹר וְכִבֶּס בְּגָדָיו וְרָחַץ בַּמָּיִם וְטָמֵא עַד־הָעָרֶב׃
そして–もし 唾を–吐く 漏出する者が 清い者に そして–洗い 自分の–衣服を そして–洗い 水で そして–汚れる 〜まで 夕方
H7556 H2100 H2889 H3526 H0853 H7364 H4325 H5704 H6153

流出ある者のつばきが、清い者にかかったならば、その人は衣服を洗い、水に身をすすがなければならない。彼は夕まで汚れるであろう。

9 וְכָל־הָרֶכֶב אֲשֶׁר יִרְכַּב עָלָיו הַזָּב טְמֵא׃
そして–すべての 鞍は その上に 乗る その上に 漏出する者が 汚れる
H3605 H4817 H5921 H7392 H2100 H2930

流出ある者の乗った鞍はすべて汚れる。

10 וְכָל־הַנֹּגֵעַ בְּכֹל אֲשֶׁר יִהְיֶה תַחְתָּיו יְטַמֵּא עַד־הָעָרֶב וְהַנּוֹשֵׂא אוֹתָם יְכַבֶּס בְּגָדָיו וְרָחַץ בַּמָּיִם וְטָמֵא עַד־הָעָרֶב׃
そして–すべての 触れる者は すべてに その ある 彼の–下に 汚れる 〜まで 夕方 そして–運ぶ者は それらを 洗わなければならない 自分の–衣服を そして–洗い 水で そして–汚れる 〜まで 夕方
H3605 H5060 H3605 H0834 H1961 H8478 H2930 H5704 H6153 H5375 H0853 H3526 H0899 H7364 H4325 H2930 H5704 H6153

また彼の下になった物に触れる者は、すべて夕まで汚れるであろう。またそれらの物を運ぶ者は、その衣服を洗い、水に身をすすがなければならない。彼は夕まで汚れるであろう。

11 וְכֹל אֲשֶׁר יִגַּע־בּוֹ הַזָּב וְיָדָיו לֹא־שָׁטַף בַּמָּיִם וְכִבֶּס בְּגָדָיו וְרָחַץ בַּמָּיִם וְטָמֵא עַד־הָעָרֶב׃
そして–すべて その 触れた それに 漏出する者が 手を そして–その–（しないで） 洗い流さないで 水で そして–洗い 自分の–衣服を そして–洗い 水で そして–汚れる 〜まで 夕方
H3605 H0834 H5060 H2100 H3027 H3808 H7857 H4325 H3526 H0899 H7364 H4325 H2930 H5704 H6153

流出ある者が、水で手を洗わずに人に触れるならば、その人は衣服を洗い、水に身をすすがなければならない。彼は夕まで汚れるであろう。

12 וְכְלִי־ חֶרֶשׂ אֲשֶׁר־ יִגַּע־ בּוֹ הַזָּב תִּשָּׁבֵר וְכָל־ כְּלִי־ עֵץ יִשָּׁטֵף בַּמָּיִם׃

וְכְלִי־	חֶרֶשׂ	אֲשֶׁר־	יִגַּע־	בּוֹ	הַזָּב	תִּשָּׁבֵר	וְכָל־	כְּלִי־
そして–土の	器は	それに	触れた	それに	漏出する者が	砕かれる	そして–すべての	木の
H3627	H2789		H5060		H2100	H7665	H3605	H3627

עֵץ	יִשָּׁטֵף	בַּמָּיִם׃
器は	洗い流される	水で
H6086	H7857	H4325

流出ある者が触れた土の器は砕かなければならない。木の器はすべて水で洗わなければならない。

13 וְכִי־ יִטְהַר הַזָּב מִזּוֹבוֹ וְסָפַר לוֹ שִׁבְעַת יָמִים לְטָהֳרָתוֹ וְכִבֶּס בְּגָדָיו וְרָחַץ בְּשָׂרוֹ בְּמַיִם חַיִּים וְטָהֵר׃

וְכִי־	יִטְהַר	הַזָּב	מִזּוֹבוֹ	וְסָפַר	לוֹ	שִׁבְעַת	יָמִים		
そして–もし	清くなった	漏出する者が	その–漏出から	そして–数える	彼のために	七	日を		
H3117	H2891	H2100	H2101			H7651	H3117		

לְטָהֳרָתוֹ	וְכִבֶּס	בְּגָדָיו	וְרָחַץ	בְּשָׂרוֹ	בְּמַיִם	חַיִּים	
その–清めのために	そして–洗い	自分の–衣服を	そして–洗い	自分の–肉体を	流れる	水で	
H2893	H3526		H7364	H1320	H4325		

וְטָהֵר׃
そして–清くなる
H2891

流出ある者の流出がやんで清くなるならば、清めのために七日を数え、その衣服を洗い、流れ水に身をすすがなければならない。そうして清くなるであろう。

14 וּבַיּוֹם הַשְּׁמִינִי יִקַּח־ לוֹ שְׁתֵּי תֹרִים אוֹ שְׁנֵי בְנֵי יוֹנָה וּבָא לִפְנֵי יְהוָה אֶל־ פֶּתַח אֹהֶל מוֹעֵד וְנָתָנָם אֶל־ הַכֹּהֵן׃

וּבַיּוֹם	הַשְּׁמִינִי	יִקַּח־	לוֹ	שְׁתֵּי	תֹרִים	אוֹ	שְׁנֵי	בְנֵי	יוֹנָה	
そして–八日目に	八番目の	取る	彼のために	二羽の	山鳩を	あるいは	二羽の	子らを	鳩の	
H3117	H8066	H3947		H8147	H8449		H8147		H3123	

וּבָא	לִפְנֵי	יְהוָה	אֶל־	פֶּתַח	אֹהֶל	מוֹעֵד	וְנָתָנָם	אֶל־	הַכֹּהֵן׃
そして–来る	～の前に	主の	～へ	入口に	天幕の	会見の	そして–渡す	～に	祭司に
H0935	H6440	H3068	H0413	H6607	H0168	H4150	H5414	H0413	H3548

八日目に、山ばと二羽、または家ばとのひな二羽を取って、会見の幕屋の入口に行き、主の前に出て、それを祭司に渡さなければならない。

15 וְעָשָׂה הַכֹּהֵן אֶחָד חַטָּאת וְהָאֶחָד עֹלָה וְכִפֶּר עָלָיו הַכֹּהֵן לִפְנֵי יְהוָה מִזּוֹבוֹ׃

וְעָשָׂה	הַכֹּהֵן	אֶחָד	חַטָּאת	וְהָאֶחָד	עֹלָה	וְכִפֶּר	עָלָיו	הַכֹּהֵן	לִפְנֵי	יְהוָה	מִזּוֹבוֹ׃
そして–ささげる	祭司は	一つを	罪の–献げ物として	そして–もう一つを	全焼の–献げ物として	そして–贖いをする	彼のために	祭司が	～の前で	主の	その–漏出から
	H3548	H0259		H0259				H3548	H6440	H3068	H2101

ס
（段落）

祭司はその一つを罪祭とし、他の一つを燔祭としてささげなければならない。こうして祭司はその人のため、その流出のために主の前に、あがないをするであろう。

16 וְאִישׁ כִּי־ תֵצֵא מִמֶּנּוּ שִׁכְבַת־ זָרַע וְרָחַץ בַּמַּיִם אֶת־ כָּל־ בְּשָׂרוֹ וְטָמֵא עַד־ הָעָרֶב׃

וְאִישׁ	כִּי־	תֵצֵא	מִמֶּנּוּ	שִׁכְבַת־	זָרַע	וְרָחַץ	בַּמַּיִם	אֶת־	כָּל־
そして–人は	もし	出る	彼から	精の	漏出が	そして–洗う	水で	（～を）	すべての
H0376		H3318		H7902	H2233	H7364	H4325	H0853	H3605

בְּשָׂרוֹ	וְטָמֵא	עַד־	הָעָרֶב׃
肉体を	そして–汚れる	～まで	夕方
H1320		H5704	H6153

人がもし精を漏らすことがあれば、その全身を水にすすがなければならない。彼は夕まで汚れるであろう。

17 וְכָל־בֶּגֶד וְכָל־עוֹר אֲשֶׁר־יִהְיֶה עָלָיו שִׁכְבַת־זָרַע
そして–すべての 衣服と そして–すべての 皮は ある その上に 精の 漏出が
H3605 H3605 H5785 H1961 H7902 H2233

וְטָמֵא עַד־הָעָרֶב׃ וְכֻבַּס בַּמָּיִם פ
そして–汚れる ～まで 夕方 そして–洗われる 水で （段落）
H5704 H6153 H3526 H4325

すべて精のついた衣服および皮で作った物は水で洗わなければならない。これは夕まで汚れるであろう。

18 וְאִשָּׁה אֲשֶׁר יִשְׁכַּב אִישׁ אֹתָהּ שִׁכְבַת־זָרַע וְרָחֲצוּ בַּמָּיִם
そして–女は その 共に–横たわった 男が 彼女と 精の 漏出で そして–洗う 水で
H0802 H0834 H7901 H0376 H0853 H7902 H2233 H7364 H4325

וְטָמְאוּ עַד־הָעָרֶב׃
そして–汚れる ～まで 夕方
H5704 H6153

男がもし女と寝て精を漏らすことがあれば、彼らは共に水に身をすすがなければならない。彼らは夕まで汚れるであろう。

19 וְאִשָּׁה כִּי־תִהְיֶה זָבָה דָּם יִהְיֶה זֹבָהּ בִּבְשָׂרָהּ שִׁבְעַת
そして–女が もし ある 漏出する者で 血の ある その–漏出が 彼女の–肉体に 七
H0802 H3588 H1961 H2101 H1818 H1961 H2100 H1320 H7651

יָמִים וְכָל־הַנֹּגֵעַ בָּהּ יִטְמָא עַד־הָעָרֶב׃
日間 そして–すべての 触れる者は 彼女に 汚れる ～まで 夕方
H3117 H3605 H5060 H0929 H5704 H6153

וְכָל־אֲשֶׁר תִּשְׁכַּב עָלָיו בְּנִדָּתָהּ יִטְמָא וְכָל־אֲשֶׁר תֵּשֶׁב עָלָיו יִטְמָא׃
そして–すべての その上に 横たわった その–月経の中に 汚れる そして–すべての その上に 座った その上に 汚れる
H3605 H5921 H7901 H5079 H0929 H3605 H5921 H3427 H5921 H0929

また女に流出があって、その身の流出がもし血であるならば、その女は七日のあいだ不浄である。すべてその女に触れる者は夕まで汚れるであろう。

20 וְכָל־הַנֹּגֵעַ בְּכָל־כֵּלִים אֲשֶׁר תֵּשֶׁב עָלֵיהֶם יִטְמָא׃
そして–すべての 触れる者は 器に すべての 座った その上に 汚れる
H3605 H5060 H3627 H3605 H3427 H5921 H0929

その不浄の間に、その女の寝た物はすべて汚れる。またその女のすわった物も、すべて汚れるであろう。

21 וְכָל־הַנֹּגֵעַ בְּמִשְׁכָּבָהּ יְכַבֵּס בְּגָדָיו וְרָחַץ בַּמָּיִם
そして–すべての 触れる者は 彼女の–寝床に 洗わなければならない 自分の–衣服を そして–洗い 水で
H3605 H5060 H4904 H3526 H0899 H7364 H4325

וְטָמֵא עַד־הָעָרֶב׃
そして–汚れる ～まで 夕方
H5704 H6153

すべてその女の床に触れる者は、その衣服を洗い、水に身をすすがなければならない。彼は夕まで汚れるであろう。

22 וְכָל־הַנֹּגֵעַ בְּכָל־אֲשֶׁר תֵּשֶׁב עָלָיו יְכַבֵּס בְּגָדָיו וְרָחַץ בַּמָּיִם
そして–すべての 触れる者は すべての 座った その上に 器に 洗わなければならない 自分の–衣服を そして–洗い 水で
H3605 H5060 H3605 H3427 H5921 H3627 H3526 H0899 H7364 H4325

וְטָמֵא עַד־הָעָרֶב׃
そして–汚れる ～まで 夕方
H5704 H6153

すべてその女のすわった物に触れる者は皆その衣服を洗い、水に身をすすがなければならない。彼は夕まで汚れるであろう。

23 וְאִם עַל־הַמִּשְׁכָּב הִוא אֲשֶׁר־הַכְּלִי עַל־אֲוֹ הִוא בְּנָגְעוֹ־בָ יִטְמָא עַד־הָעָרֶב׃ יֹשֶׁבֶת־עָלָיו
そして–もし 寝床か それが 器の上に その上に 彼女が 座っている
H1931 H3627 H5060 H5704 H6153 H4904 H1931 H3427

またその女が床の上、またはすわる物の上におる時、それに触れるならば、その人は夕まで汚れるであろう。

24 וְאִם שָׁכֹב יִשְׁכַּב אִישׁ אֹתָהּ וּתְהִי נִדָּתָהּ עָלָיו וְטָמֵא שִׁבְעַת יָמִים וְכָל־הַמִּשְׁכָּב אֲשֶׁר־יִשְׁכַּב עָלָיו יִטְמָא׃
そして–もし 共に–横たわり 共に–横たわった 男が 彼女と そして–なる 彼女の–月経が 彼の上に
H7901 H7901 H7901 H0376 H0853 H1961 H5079

そして–汚れる 七 日間 日は 寝床は その上に 横たわった
H7651 H3117 H3605 H4904 H7901

פ
（段落）

男がもし、その女と寝て、その不浄を身にうけるならば、彼は七日のあいだ汚れるであろう。また彼の寝た床はすべて汚れるであろう。

25 וְאִשָּׁה כִּי־יָזוּב זוֹב דָּמָהּ יָמִים רַבִּים בְּלֹא עֶת־נִדָּתָהּ אוֹ כִּי־תָזוּב עַל־נִדָּתָהּ כָּל־יְמֵי זוֹב טֻמְאָתָהּ כִּימֵי נִדָּתָהּ תִּהְיֶה טְמֵאָה הִוא׃
そして–女が もし 漏出する 漏出が 彼女の–血の 多い 日が その–時でなく 時の
H0802 H2100 H2101 H1818 H3117 H3808 H6256

彼女の–月経の 日々のように 彼女の–月経の ある 汚れた ものである
H5079 H3117 H5079 H1961 H2931 H1931

女にもし、その不浄の時のほかに、多くの日にわたって血の流出があるか、あるいはその不浄の時を越して流出があれば、その汚れの流出の日の間は、すべてその不浄の時と同じように、その女は汚れた者である。

26 כָּל־הַמִּשְׁכָּב אֲשֶׁר־תִּשְׁכַּב עָלָיו כָּל־יְמֵי זוֹבָהּ כְּמִשְׁכַּב נִדָּתָהּ תִּהְיֶה־לָּהּ וְכָל־הַכְּלִי אֲשֶׁר תֵּשֵׁב עָלָיו טָמֵא יִהְיֶה כְּטֻמְאַת נִדָּתָהּ׃
すべての 寝床は その上に 横たわった その上に 日々は 彼女の–漏出の 寝床のように
H3605 H4904 H3605 H7901 H3117 H2101 H4904

すべての 器は 座った その上に 汚れた
H3605 H3427 H3627 H2931

なる そして–すべての 彼女にとって 彼女の–月経の 汚れのように ものとなる
H1961 H3605 H5079 H2932 H1961

その流出の日の間に、その女の寝た床は、すべてその女の不浄の時の床と同じようになる。すべてその女のすわった物は、不浄の汚れのように汚れるであろう。

27 וְכָל־ הַנּוֹגֵעַ בָּהֶם יִטְמָא וְכִבַּס בְּגָדָיו וְרָחַץ בַּמַּיִם וְטָמֵא עַד־ הָעָרֶב׃
そして-すべて 触れる者は それらに 汚れる そして-洗い 自分の-衣服を そして-洗い 水で
H3605 H5060 H6153 H5704 H3526 H7364 H4325

すべてこれらの物に触れる人は汚れる。その衣服を洗い、水に身をすすがなければならない。彼は夕まで汚れるであろう。

28 וְאִם־ טָהֲרָה מִזּוֹבָהּ וְסָפְרָה לָהּ שִׁבְעַת יָמִים וְאַחַר תִּטְהָר׃
そして-もし 清くなった 彼女の-漏出から そして-数える 彼女のために 七 日を そして-その後 清くなる
H2891 H2101 H2891 H7651 H3117

しかし、その女の流出がやんで、清くなるならば、自分のために、なお七日を数えなければならない。そして後、清くなるであろう。

29 וּבַיּוֹם הַשְּׁמִינִי תִּקַּח־ לָהּ שְׁתֵּי תֹרִים אוֹ שְׁנֵי בְנֵי יוֹנָה וְהֵבִיאָה אוֹתָם אֶל־ הַכֹּהֵן אֶל־ פֶּתַח אֹהֶל מוֹעֵד׃
そして-八日目に 八番目の 取る 彼女のために 二羽の 山鳩を あるいは 二羽の 子らを 鳩の そして-持って来る それらを ～に 祭司に ～へ 入口に 天幕の 会見の
H3117 H8066 H3947 H8147 H8449 H8147 H3123 H0935 H0853 H0413 H3548 H0413 H6607 H0168 H4150

その女は八日目に山ばと二羽、または家ばとのひな二羽を自分のために取り、それを会見の幕屋の入口におる祭司のもとに携えて行かなければならない。

30 וְעָשָׂה הַכֹּהֵן אֶת־ הָאֶחָד חַטָּאת וְאֶת־ הָאֶחָד עֹלָה וְכִפֶּר עָלֶיהָ הַכֹּהֵן לִפְנֵי יְהוָה מִזּוֹב טֻמְאָתָהּ׃
そして-ささげる 祭司は 一つを （～を） 罪の-献げ物として もう一つを そして（～を） 全焼の-献げ物として そして-贖いをする 彼女のために 祭司が ～の前で 主の 漏出の 彼女の-汚れから
H3548 H0259 H0853 H2403 H0259 H0853 H5930 H3722 H3548 H6440 H3068 H2101 H2932

祭司はその一つを罪祭とし、他の一つを燔祭としてささげなければならない。こうして祭司はその女のため、その汚れの流出のために主の前に、あがないをするであろう。

31 וְהִזַּרְתֶּם אֶת־ בְּנֵי יִשְׂרָאֵל מִטֻּמְאָתָם וְלֹא יָמֻתוּ בְּטֻמְאָתָם בְּטַמְּאָם אֶת־ מִשְׁכָּנִי אֲשֶׁר בְּתוֹכָם׃
そして-分離させよ （～を） 子らを イスラエルの 彼らの-汚れから そして-ないように 死なないように 彼らの-汚れの中で 彼らが-汚す時に わたしの-幕屋を それは 彼らの-中にある
H0853 H1121 H3478 H2932 H3808 H4191 H2932 H2930 H0853 H4908 H8432

このようにしてあなたがたは、イスラエルの人々を汚れから離さなければならない。これは彼らのうちにあるわたしの幕屋を彼らが汚し、その汚れのために死ぬことのないためである』」。

32

זֹאת これが H2063
תּוֹרַת 律法である H8451
הַזָּב 漏出する者と H2100
וַאֲשֶׁר そして-その H3318
תֵּצֵא 出る H3318
מִמֶּנּוּ 彼から
שִׁכְבַת־ 精の H7902
זֶרַע 漏出が H2233
לְטָמְאָה־ それによって-汚れる
בָהּ׃ それによって

これは流出ある者、精を漏らして汚れる者、

33

וְהַדָּוָה そして-病む者と H1739
בְּנִדָּתָהּ 彼女の-月経における H5079
וְהַזָּב そして-漏出する者 H2100
אֶת־ （〜の） H0853
זוֹבוֹ その-漏出を H2101
לַזָּכָר 男にも H2145
וְלִאִישׁ そして-人が H0376
אֲשֶׁר その
יִשְׁכַּב 共に-横たわる H7901
עִם־ 〜と
טְמֵאָה׃ 汚れた者と H2931
וְלַנְּקֵבָה そして-女にも H5347
פ （段落）

不浄をわずらう女、ならびに男あるいは女の流出ある者、および不浄の女と寝る者に関するおきてである。

Chapter 16

1

וַיְדַבֵּר そして-語った H1696
יְהוָה 主は H3068
אֶל־ 〜に H0413
מֹשֶׁה モーセ H4872
אַחֲרֵי 〜の後に H0310
מוֹת 死の H4194
שְׁנֵי 二人の H8147
בְּנֵי 子らの
אַהֲרֹן アロンの H0175
בְּקָרְבָתָם 彼らが-近づいた時に H7126
לִפְנֵי־ 〜の前に H6440
יְהוָה 主の H3068
וַיָּמֻתוּ׃ そして-死んだ H4191

アロンのふたりの子が、主の前に近づいて死んだ後、

2

וַיֹּאמֶר そして-言った H0559
יְהוָה 主は H3068
אֶל־ 〜に H0413
מֹשֶׁה モーセ H4872
דַּבֵּר 語れ H1696
אֶל־ 〜に H0413
אַהֲרֹן アロン H0175
אָחִיךָ あなたの-兄に H0251
וְאַל־ そして-しないように H0408
יָבֹא 来る H0935
בְּכָל־ すべての H3605
עֵת 時に H6256
אֶל־ 〜へ H0413
הַקֹּדֶשׁ 聖所に H6944
מִבֵּית 〜の内側に
לַפָּרֹכֶת 垂れ幕の H6532
אֶל־ 〜へ H0413
פְּנֵי 面の前に H6440
הַכַּפֹּרֶת 贖いの蓋の H3727
אֲשֶׁר その
עַל־ 〜の上の
הָאָרֹן 箱の H0727
וְלֹא そして-ないように H3808
יָמוּת 死ぬ H4191
כִּי なぜなら
בֶּעָנָן 雲の中に H6051
אֵרָאֶה わたしは-現れる H7200
עַל־ 〜の上に
הַכַּפֹּרֶת׃ 贖いの蓋の H3727

主はモーセに言われた、「あなたの兄弟アロンに告げて、彼が時をわかたず、垂幕の内なる聖所に入り、箱の上なる贖罪所の前に行かぬようにさせなさい。彼が死を免れるためである。なぜなら、わたしは雲の中にあって贖罪所の上に現れるからである。

3

לְחַטָּאת	בָּקָר	בֶּן־	בְּפַר	הַקֹּדֶשׁ	אֶל־	אַהֲרֹן	יָבֹא	בְּזֹאת
罪の–献げ物として	牛の	子の	若い–雄牛で	聖所に	～へ	アロンは	来る	これをもって
	H1241		H6499	H6944	H0413	H0175	H0935	H2063

לְעֹלָה׃	וְאַיִל
全焼の–献げ物として	そして–雄羊で

アロンが聖所に、はいるには、次のようにしなければならない。すなわち雄の子牛を罪祭のために取り、雄羊を燔祭のために取り、

4

בְּשָׂרוֹ	עַל־	יִהְיוּ	בַד	וּמִכְנְסֵי־	יִלְבָּשׁ	קֹדֶשׁ	בַּד	כְּתֹנֶת־
その–肉体に	～の上に	ある	亜麻布の	そして–股引きを	着る	聖なる	亜麻布の	長い–衣を
	H1320	H1961	H0906	H4370	H3847	H6944	H0906	H3801

הֵם	קֹדֶשׁ	בִּגְדֵי־	יִצֹּק	בָּד	וּבְמִצְנֶפֶת	יַחְגֹּר	בַּד	וּבְאַבְנֵט
ものである	聖なる	衣は	巻く	亜麻布の	そして–かぶり物で	締める	亜麻布の	そして–帯で
H1992	H6944		H6801	H0906	H4701	H2296	H0906	H0073

וְלִבֵּשָׁם׃	בְּשָׂרוֹ	אֶת־	בַּמַּיִם	וְרָחַץ
そして–着る	その–肉体を	（～を）	水で	そして–洗う
H3847	H1320	H0853	H4325	H7364

聖なる亜麻布の服を着、亜麻布のももひきをその身にまとい、亜麻布の帯をしめ、亜麻布の帽子をかぶらなければならない。これらは聖なる衣服である。彼は水に身をすすいで、これを着なければならない。

5

לְחַטָּאת	עִזִּים	שְׂעִירֵי	שְׁנֵי־	יִקַּח	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי	עֲדַת	וּמֵאֵת
罪の–献げ物として	山羊の	雄山羊を	二匹の	取る	イスラエルの	子らの	会衆の	そして–から
	H5795		H8147	H3947	H3478		H5712	H0853

לְעֹלָה׃	אֶחָד	וְאַיִל
全焼の–献げ物として	一匹	そして–雄羊を
	H0259	

またイスラエルの人々の会衆から雄やぎ二頭を罪祭のために取り、雄羊一頭を燔祭のために取らなければならない。

6

לוֹ	אֲשֶׁר־	הַחַטָּאת	פַּר	אֶת־	אַהֲרֹן	וְהִקְרִיב	
彼のものである	その	罪の–献げ物の	雄牛を	（～を）	アロンは	そして–近づける	
			H6499	H0853	H0175	H7126	

בֵּיתוֹ׃	וּבְעַד	בַּעֲדוֹ	וְכִפֶּר
その–家の	そして–ために	自分のために	そして–贖いをする
	H1157	H1157	

そしてアロンは自分のための罪祭の雄牛をささげて、自分と自分の家族のために、あがないをしなければならない。

7

פֶּתַח	יְהוָה	לִפְנֵי	אֹתָם	וְהֶעֱמִיד	הַשְּׂעִירִם	שְׁנֵי	אֶת־	וְלָקַח
入口に	主の	～の前に	それらを	そして–立たせる	雄山羊を	二匹の	（～を）	そして–取り
H6607	H3068	H6440	H0853	H5975		H8147	H0853	H3947

מוֹעֵד׃	אֹהֶל
会見の	天幕の
H4150	H0168

アロンはまた二頭のやぎを取り、それを会見の幕屋の入口で主の前に立たせ、

8

לַיהוָה	אֶחָד	גּוֹרָל	גּוֹרָלוֹת	הַשְּׂעִירִם	שְׁנֵי	עַל־	אַהֲרֹן	וְנָתַן
主のために	一つは	くじ	くじを	雄山羊の上に	二匹の	～の上に	アロンは	そして–置く
H3068	H0259	H1486	H1486		H8147		H0175	H5414

לַעֲזָאזֵל׃	אֶחָד	וְגוֹרָל	
アザゼルのために	一つは	そして–くじ	
H5799	H0259	H1486	

その二頭のやぎのために、くじを引かなければならない。すなわち一つのくじは主のため、一つのくじはアザゼルのためである。

9 וְהִקְרִיב אַהֲרֹן אֶת־הַשָּׂעִיר אֲשֶׁר עָלָה עָלָיו הַגּוֹרָל לַיהוָה
そして–近づける アロンは （〜を） 雄山羊を その 上がった その上に くじが 主のために
H7126 H0175 H0853 H5927 H1486 H3068

וְעָשָׂהוּ חַטָּאת׃
そして–ささげる 罪の–献げ物として

そしてアロンは主のためのくじに当ったやぎをささげて、これを罪祭としなければならない。

10 וְהַשָּׂעִיר אֲשֶׁר עָלָה עָלָיו הַגּוֹרָל לַעֲזָאזֵל יָעֳמַד־חַי
そして–雄山羊は その 上がった その上に くじが アザゼルのために 立たせられる 生きたまま
H5927 H1486 H5799 H5975

לְכַפֵּר עָלָיו לְשַׁלַּח אֹתוֹ לַעֲזָאזֵל הַמִּדְבָּרָה׃
贖いをするために その上に 送り出すために それを アザゼルのために 荒野へ
H3068 H6440 H7971 H0853 H5799

しかし、アザゼルのためのくじに当ったやぎは、主の前に生かしておき、これをもって、あがないをなし、これをアザゼルのために、荒野に送らなければならない。

11 וְהִקְרִיב אַהֲרֹן אֶת־פַּר הַחַטָּאת אֲשֶׁר־לוֹ
そして–近づける アロンは （〜を） 雄牛を 罪の–献げ物の その 彼のものである
H7126 H0175 H0853 H6499

וְכִפֶּר בַּעֲדוֹ וּבְעַד בֵּיתוֹ וְשָׁחַט אֶת־פַּר
そして–贖いをする 自分のために そして–ために その–家の そして–屠る （〜を） 雄牛を
H1157 H1157 H0853 H6499

הַחַטָּאת אֲשֶׁר־לוֹ׃
罪の–献げ物の その 彼のものである

すなわち、アロンは自分のための罪祭の雄牛をささげて、自分と自分の家族のために、あがないをしなければならない。彼は自分のための罪祭の雄牛をほふり、

12 וְלָקַח מְלֹא־הַמַּחְתָּה גַּחֲלֵי־אֵשׁ מֵעַל הַמִּזְבֵּחַ מִלִּפְנֵי יְהוָה
そして–取る 満杯の 火皿を 炭火の 火の 〜の上から 祭壇の 〜の前から 主の
H3947 H4393 H4289 H1513 H0784 H4196 H6440 H3068

וּמְלֹא חָפְנָיו קְטֹרֶת סַמִּים דַּקָּה וְהֵבִיא מִבֵּית לַפָּרֹכֶת׃
そして–満杯の 両手に 香を 香料の 細かい そして–持ち込む 〜の内側へ 垂れ幕の
H4393 H2651 H7004 H5561 H1851 H0935 H6532

主の前の祭壇から炭火を満たした香炉と、細かくひいた香ばしい薫香を両手いっぱい取って、これを垂幕の内に携え入り、

13 וְנָתַן אֶת־הַקְּטֹרֶת עַל־הָאֵשׁ לִפְנֵי יְהוָה וְכִסָּה עֲנַן הַקְּטֹרֶת
そして–置く （〜を） 香を 〜の上に 火の 〜の前に 主の そして–覆う 雲が 香の
H5414 H0853 H7004 H5921 H0784 H6440 H3068 H3680 H6051 H7004

אֶת־הַכַּפֹּרֶת אֲשֶׁר עַל־הָעֵדוּת וְלֹא יָמוּת׃
贖いの蓋を （〜を） その 〜の上の あかしの そして–ないように 死ぬ
H3727 H0853 H5921 H5715 H3808 H4191

主の前で薫香をその火にくべ、薫香の雲に、あかしの箱の上なる贖罪所をおおわせなければならない。こうして、彼は死を免れるであろう。

14 וְלָקַח֙ מִדַּ֣ם הַפָּ֔ר וְהִזָּ֥ה בְאֶצְבָּע֖וֹ עַל־פְּנֵ֣י הַכַּפֹּ֑רֶת קֵ֣דְמָה
そして–取る 血を 雄牛の そして–振りかける その–指で ～の上に 表面に 贖いの蓋の 東の方に
H3947 H1818 H6499 H2076 H0676 H6440 H3727

וְלִפְנֵ֣י הַכַּפֹּ֔רֶת יַזֶּ֛ה שֶׁ֥בַע־פְּעָמִ֖ים מִן־הַדָּ֑ם בְּאֶצְבָּעֹֽו׃
そして–前で 贖いの蓋の 振りかける 七 回 ～から 血を その–指で
H6440 H3727 H2076 H7651 H6471 H4480 H1818 H0676

彼はまたその雄牛の血を取り、指をもってこれを贖罪所の東の面に注ぎ、また指をもってその血を贖罪所の前に、七たび注がなければならない。

15 וְשָׁחַ֞ט אֶת־שְׂעִ֤יר הַחַטָּאת֙ אֲשֶׁ֣ר לָעָ֔ם וְהֵבִ֤יא אֶת־דָּמוֹ֙
そして–屠る （～を） 雄山羊を 罪の–献げ物の その 民のための そして–持ち込む （～を） ちょうど–そのように
H7819 H0853 H8163 H2403 H0834 H5971 H0935 H0853 H3588

כַּאֲשֶׁ֣ר דָּמ֔וֹ וְעָשָׂ֥ה אֶת־דָּמ֖וֹ לַפָּרֹ֑כֶת וְהִזָּ֥ה אֹתוֹ֙ עַל־הַכַּפֹּ֔רֶת
その–血を （～を） そして–する 垂れ幕の ～の内側へ ～へ その–血を 贖いの蓋に ～の上に それを そして–振りかける
H1818 H0853 H6213 H6532 H0413 H1818 H3727 H5921 H0853 H2076

וְלִפְנֵ֣י הַכַּפֹּ֔רֶת׃ עָשָׂ֖ה לְדַ֣ם הַפָּ֑ר
そして–前で 贖いの蓋の 血に 雄牛の した
H6440 H3727 H1818 H6499 H6213

また民のための罪祭のやぎをほふり、その血を垂幕の内に携え入り、その血をかの雄牛の血のように、贖罪所の上と、贖罪所の前に注ぎ、

16 וְכִפֶּ֞ר עַל־הַקֹּ֣דֶשׁ מִטֻּמְאֹ֣ת בְּנֵ֣י יִשְׂרָאֵ֔ל וּמִפִּשְׁעֵיהֶ֖ם
そして–贖いをする ～のために 聖所を 汚れから 子らの イスラエルの そして–彼らの–背きから
H3722 H5921 H6944 H2931 H1121 H3478 H4480 H6588

לְכָל־חַטֹּאתָ֑ם וְכֵ֣ן יַעֲשֶׂ֗ה לְאֹ֙הֶל֙ מוֹעֵ֣ד הַשֹּׁכֵ֥ן אִתָּ֖ם בְּתוֹךְ֙
すべての 彼らの–罪について そして–同様に する 天幕に 会見の 住む 彼らと共に ～の中に
H3605 H2403 H3651 H6213 H0168 H4150 H7931 H0854 H8432

טֻמְאֹתָֽם׃
彼らの–汚れの
H2931

イスラエルの人々の汚れと、そのとが、すなわち、彼らのもろもろの罪のゆえに、聖所のためにあがないをしなければならない。また彼らの汚れのうちに、彼らと共にある会見の幕屋のためにも、そのようにしなければならない。

17 וְכָל־אָדָ֗ם לֹא־יִהְיֶה֙ בְּאָהֶל֙ מוֹעֵ֔ד בְּבֹאֹ֖ו
そして–すべての 人は いてはならない いてはならない 天幕の–中に 会見の 彼が–入る時に
H3605 H0120 H3808 H1961 H0168 H4150 H0935

לְכַפֵּ֣ר בַּקֹּ֔דֶשׁ עַד־צֵאתֹ֑ו וְכִפֶּ֣ר בַּעֲדֹ֔ו וּבְעַ֖ד
贖いをするために 聖所で ～まで 彼が–出るまで そして–贖いをする 自分のために そして–ために
H3722 H6944 H5704 H3318 H3722 H1157 H1157

כָּל־קְהַ֥ל יִשְׂרָאֵֽל׃ וּבְעַ֖ד בֵּיתֹֽו׃
すべての 会衆の イスラエルの そして–ために その–家の
H3605 H6951 H3478 H1157

彼が聖所であがないをするために、はいった時は、自分と自分の家族と、イスラエルの全会衆とのために、あがないをなし終えて出るまで、だれも会見の幕屋の内にいてはならない。

18 וְיָצָא אֶל־ הַמִּזְבֵּחַ אֲשֶׁר לִפְנֵי־ יְהוָה וְכִפֶּר עָלָיו וְלָקַח
そして–出て ～へ 祭壇に その 主の ～の前の そして–贖いをする その上に そして–取る
H3318 H0413 H4196 H0413 H3068 H6440 H3068 H3947

מִדַּם הַפָּר וּמִדַּם הַשָּׂעִיר וְנָתַן עַל־ קַרְנוֹת הַמִּזְבֵּחַ סָבִיב׃
血を 雄牛の そして–血を 雄山羊の そして–塗る ～の上に 角に 祭壇の 周りに
H1818 H6499 H1818 H8163 H5414 H5921 H7161 H4196 H5439

そして彼は主の前の祭壇のもとに出てきて、これがために、あがないをしなければならない、すなわち、かの雄牛の血と、やぎの血とを取って祭壇の四すみの角につけ、

19 וְהִזָּה עָלָיו מִן־ הַדָּם בְּאֶצְבָּעוֹ שֶׁבַע פְּעָמִים וְטִהֲרוֹ
そして–振りかける その上に ～から 血を その–指で 七 回 そして–清める
H5137 H5921 H4480 H1818 H0676 H7651 H6471 H2891

וְקִדְּשׁוֹ מִטֻּמְאֹת בְּנֵי יִשְׂרָאֵל׃
そして–聖別する 汚れから 子らの イスラエルの
H6942 H2932 H1121 H3478

また指をもって七たびその血をその上に注ぎ、イスラエルの人々の汚れを除いてこれを清くし、聖別しなければならない。

20 וְכִלָּה מִכַּפֵּר אֶת־ הַקֹּדֶשׁ וְאֶת־ אֹהֶל מוֹעֵד
そして–終えた時 贖いを–することを （～を） 聖所と （～を） 天幕を 会見の
H3615 H3722 H0853 H6944 H0853 H0168 H4150

וְאֶת־ הַמִּזְבֵּחַ וְהִקְרִיב אֶת־ הַשָּׂעִיר הֶחָי׃
そして（～を） 祭壇を そして–近づける （～を） 雄山羊を 生きた
H0853 H4196 H7126 H0853 H8163 H2416

こうして聖所と会見の幕屋と祭壇とのために、あがないをなし終えたとき、かの生きているやぎを引いてこなければならない。

21 וְסָמַךְ אַהֲרֹן אֶת־ שְׁתֵּי יָדָיו (ידו) עַל רֹאשׁ הַשָּׂעִיר
アロンは そして–置く 両方の （～を） その–手を その–両手を 頭に 雄山羊の
H0175 H5564 H8147 H0853 H3027 H3027 H5921 H7218 H8163

וְהִתְוַדָּה עָלָיו אֶת־ כָּל־ עֲוֹנֹת בְּנֵי יִשְׂרָאֵל וְאֶת־
そして–告白する その上に （～を） すべての 咎を 子らの イスラエルの そして（～を）
H3034 H5921 H0853 H3605 H5771 H1121 H3478 H0853

כָּל־ פִּשְׁעֵיהֶם לְכָל־ חַטֹּאתָם עַל רֹאשׁ וְנָתַן אֹתָם
すべての 彼らの–背きを すべての 彼らの–罪について 頭に ～の上に それらを そして–載せる
H3605 H6588 H3605 H2403 H7218 H5921 H5414 H0853

הַשָּׂעִיר וְשִׁלַּח בְּיַד־ אִישׁ עִתִּי הַמִּדְבָּרָה׃
雄山羊の そして–送り出す 手によって 人の 備えられた 荒野へ
H8163 H7971 H3027 H0376 H6261 H4057

そしてアロンは、その生きているやぎの頭に両手をおき、イスラエルの人々のもろもろの悪と、もろもろのとが、すなわち、彼らのもろもろの罪をその上に告白して、これをやぎの頭にのせ、定めておいた人の手によって、これを荒野に送らなければならない。

22 וְנָשָׂא הַשָּׂעִיר עָלָיו אֶת־ כָּל־ עֲוֹנֹתָם אֶל־ אֶרֶץ גְּזֵרָה
そして–負う 雄山羊は その上に （～を） すべての 彼らの–咎を ～へ 地へ 隔絶した
H5375 H8163 H5921 H0853 H3605 H5771 H0413 H0776 H1509

וְשִׁלַּח אֶת־ הַשָּׂעִיר בַּמִּדְבָּר׃
そして–送り出す （～を） 雄山羊を 荒野に
H7971 H0853 H8163 H4057

こうしてやぎは彼らのもろもろの悪をになって、人里離れた地に行くであろう。すなわち、そのやぎを荒野に送らなければならない。

23 וּבָ֣א אַהֲרֹ֗ן אֶל־ אֹ֙הֶל֙ מוֹעֵ֔ד וּפָשַׁ֕ט אֶת־ בִּגְדֵ֥י הַבָּ֖ד אֲשֶׁ֣ר לָבַ֑שׁ בְּבֹא֣וֹ אֶל־ הַקֹּ֔דֶשׁ וְהִנִּיחָ֥ם שָֽׁם׃

そして–来る アロンは 〜へ 天幕に 会見の 脱ぐ そして–〜を 衣を 亜麻布の その
そして–着ていた 彼が–入った時に 〜へ 聖所に そして–置く そこに

24 וְרָחַ֤ץ אֶת־ בְּשָׂרוֹ֙ בַּמַּ֔יִם בִּמְק֖וֹם קָד֑וֹשׁ וְלָבַ֣שׁ אֶת־ בְּגָדָ֗יו וְיָצָ֤א וְעָשָׂה֙ אֶת־ עֹלָת֣וֹ וְאֶת־ עֹלַ֣ת הָעָ֔ם וְכִפֶּ֥ר בַּעֲד֖וֹ וּבְעַ֣ד הָעָֽם׃

そして–洗う 〜を その–肉体を 水で 聖なる 場所で そして–着る 〜を その–衣を
そして–出て そして–ささげる 〜を 自分の–全焼の–献げ物と そして 〜を 全焼の–献げ物を
そして–贖いをする 自分のために そして–ために 民の

聖なる所で水に身をすすぎ、他の衣服を着、出てきて、自分の燔祭と民の燔祭とをささげて、自分のため、また民のために、あがないをしなければならない。

25 וְאֵ֛ת חֵ֥לֶב הַחַטָּ֖את יַקְטִ֣יר הַמִּזְבֵּֽחָה׃

そして 〜を 脂肪を 罪の–献げ物の 煙として–焼く 祭壇の上で

また罪祭の脂肪を祭壇の上で焼かなければならない。

26 וְהַמְשַׁלֵּ֣חַ אֶת־ הַשָּׂעִיר֮ לַעֲזָאזֵל֒ יְכַבֵּ֣ס בְּגָדָ֗יו וְרָחַ֥ץ אֶת־ בְּשָׂר֛וֹ בַּמַּ֖יִם וְאַחֲרֵי־ כֵ֥ן יָבוֹא֙ אֶל־ הַֽמַּחֲנֶ֔ה׃

そして–送り出す者は 〜を 雄山羊を アザゼルのために 洗わなければならない 自分の–衣を
そして–洗い 〜を その–肉体を 水で そして–その後に 来る 〜へ 宿営に

かのやぎをアザゼルに送った者は衣服を洗い、水に身をすすがなければならない。その後、宿営に入ることができる。

27 וְאֵת֩ הַפָּ֨ר הַחַטָּ֜את וְאֵת֙ שְׂעִ֣יר הַחַטָּ֔את אֲשֶׁ֣ר הוּבָ֔א אֶת־ דָּמָ֖ם לְכַפֵּ֣ר בַּקֹּ֑דֶשׁ יוֹצִ֞יא אֶל־ מִח֣וּץ לַֽמַּחֲנֶ֗ה וְשָׂרְפ֤וּ בָאֵשׁ֙ אֶת־ עֹֽרֹתָ֣ם וְאֶת־ בְּשָׂרָ֔ם וְאֶת־ פִּרְשָׁ֖ם׃

そして 〜を 雄牛を 罪の–献げ物の そして 〜を 雄山羊を 罪の–献げ物の その
持ち込まれた 〜を それらの–血を 贖いをするために 聖所で 運び出す 〜へ 外へ 宿営の
そして–焼く 火で 〜を それらの–皮と そして 〜を それらの–肉と そして 〜を
それらの–糞を

聖所で、あがないをするために、その血を携え入れられた罪祭の雄牛と、罪祭のやぎとは、宿営の外に携え出し、その皮と肉と汚物とは、火で焼き捨てなければならない。

28 וְהַשֹּׂרֵף
そして-焼く者は
H8313
אֹתָם
それらを
H0853
יְכַבֵּס
洗わなければならない
H3526
בְּגָדָיו
自分の-衣を
H0853
וְרָחַץ
そして-洗い
H7364
אֶת־
（〜を）
H0853
בְּשָׂרוֹ
その-肉体を
H1320
וְאַחֲרֵי־
そして-その後に
H0310
כֵן
（そう）
H3651
יָבוֹא
来る
H0935
אֶל־
〜へ
H0413
הַמַּחֲנֶה׃
宿営に
H4264
בַּמָּיִם
水で
H4325

これを焼く者は衣服を洗い、水に身をすすがなければならない。その後、宿営に入ることができる。

29 וְהָיְתָה
そして-なる
H1961
לָכֶם
あなたがたにとって
H0853
לְחֻקַּת
永遠の
H2708
עוֹלָם
定めとして
H5769
בַּחֹדֶשׁ
第七の
H2320
הַשְּׁבִיעִי
月の
H7637
בֶּעָשׂוֹר
十日に
H6218
לַחֹדֶשׁ
月の
H2320
תְּעַנּוּ
苦しめよ
H6031
וְכָל־
そして-すべての
H3605
מְלָאכָה
仕事を
H4399
לֹא
してはならない
H3808
תַעֲשׂוּ
してはならない
H6213
הָאֶזְרָח
土地の者も
H0249
אֶת־
（〜を）
H0853
נַפְשֹׁתֵיכֶם
あなたがたの-魂を
H5315
וְהַגֵּר
そして-寄留者も
H1616
הַגָּר
寄留する
H1481
בְּתוֹכְכֶם׃
あなたがたの-中に
H8432

これはあなたがたが永久に守るべき定めである。すなわち、七月になって、その月の十日に、あなたがたは身を悩まし、何の仕事もしてはならない。この国に生れた者も、あなたがたのうちに宿っている寄留者も、そうしなければならない。

30 כִּי־
なぜなら
H3588
בַיּוֹם
この-日に
H3117
הַזֶּה
この
H2088
יְכַפֵּר
贖いをする
H3722
עֲלֵיכֶם
あなたがたのために
H5921
לְטַהֵר
清めるために
H2891
אֶתְכֶם
あなたがたを
H0853
מִכֹּל
すべての
H3605
חַטֹּאתֵיכֶם
あなたがたの-罪から
H2403
לִפְנֵי
〜の前で
H6440
יְהוָה
主の
H3068
תִּטְהָרוּ׃
清くなる
H2891

この日にあなたがたのため、あなたがたを清めるために、あがないがなされ、あなたがたは主の前に、もろもろの罪が清められるからである。

31 שַׁבַּת
安息の
H7676
שַׁבָּתוֹן
安息日である
H7677
הִיא
それは
H1931
לָכֶם
あなたがたにとって
H0853
וְעִנִּיתֶם
そして-苦しめよ
H6031
אֶת־
（〜を）
H0853
נַפְשֹׁתֵיכֶם
あなたがたの-魂を
H5315
חֻקַּת
永遠の
H2708
עוֹלָם׃
定めである
H5769

これはあなたがたの全き休みの安息日であって、あなたがたは身を悩まさなければならない。これは永久に守るべき定めである。

32 וְכִפֶּר
そして-贖いをする
H3722
הַכֹּהֵן
祭司が
H3548
אֲשֶׁר־
その
H0834
יְמֻשַׁח
油注がれた
H4886
אֹתוֹ
彼を
H0853
וַאֲשֶׁר
そして-その
H0834
יְמַלֵּא
満たした
H4390
יָדוֹ
その-手を
H3027
אֶת־
（〜を）
H0853
לְכַהֵן
祭司として-仕えるために
H3547
תַּחַת
代わりに
H8478
אָבִיו
その-父の
H0001
וְלָבַשׁ
そして-着る
H3847
אֶת־
（〜を）
H0853
בִּגְדֵי
衣を
H0899
הַבָּד
亜麻布の
H0906
בִּגְדֵי
衣を
H0899
הַקֹּדֶשׁ׃
聖なる
H6944

油を注がれ、父に代って祭司の職に任じられる祭司は、亜麻布の衣服、すなわち、聖なる衣服を着て、あがないをしなければならない。

33 וְכִפֶּר֙ מִקְדַּ֣שׁ אֶת־ הַקֹּ֔דֶשׁ וְאֶת־ אֹ֥הֶל מוֹעֵ֖ד וְאֶת־ הַמִּזְבֵּ֑חַ וְעַל־ הַכֹּהֲנִ֣ים וְעַל־ כָּל־ עַ֥ם הַקָּהָ֖ל יְכַפֵּֽר׃

そして–贖いをする 至聖所を （〜を） H0853 聖なる H6944 H4720 H0853 そして（〜を） H0853 天幕を H0168 会見の H4150 そして（〜を） H0853 祭壇を H4196 そして–ために H3548 祭司たちの 民の H3605 すべての そして–ために H6951 会衆の 贖いをする H3548 H4196 H0853 H0168 H4150 H0853 H6944 H4720 H0853 H3605 H6951 H3548 H4196 H0853 H0168 H4150 H0853 H6944 H4720 H0853

彼は至聖所のために、あがないをなし、また会見の幕屋のためと、祭壇のために、あがないをなし、また祭司たちのためと、民の全会衆のために、あがないをしなければならない。

34 וְהָיְתָה־ זֹּ֣את לָכֶ֗ם לְחֻקַּ֤ת עוֹלָם֙ לְכַפֵּ֣ר עַל־ בְּנֵ֔י

これは 永遠の 定めとして 贖いをするために 〜のために 子らの H2063 H2708 H5769 H1961 H3478 H6680 H8141 H0259 H3605 H4872 H0853 H3068 H0559 H0413 H3068 H1696 H0175 H0413 H1696 H0559 H3068 H6680 H1697 H2088 H0413 H0559 H5795 H0176 H3775 H0176 H7794 H7819 H0834 H3478 H0376 H0376 H4264 H2351 H0834 H0176 H4264 H2063 H2708 H5769 H3722 H3722 H3478 H3605 H0413 H0175 H0413 H1696 H0559 H3068 H6680 H0834

イスラエルの家のだれでも、牛、羊あるいは、やぎを宿営の内でほふり、または宿営の外でほふり、

קָרְבָּן 献げ物を H7126 לְהַקְרִיב 近づけるために H0935 הֵבִיאוֹ 持って–来ない H3808 לֹא （しないで） H4150 מוֹעֵד 会見の H0168 אֹהֶל 天幕の H6607 פֶּתַח 入口に H0413 וְאֶל־ そして–〜へ 4

שָׁפַךְ 流した H1818 דָּם 血を H1931 הַהוּא その H0376 לָאִישׁ その–人に H2803 יֵחָשֵׁב 数えられる H1818 דָּם 血が H3068 יְהוָה 主の H4908 מִשְׁכָּן 幕屋の H6440 לִפְנֵי 〜の前に H3068 לַיהוָה 主に

עַמּוֹ׃ その–民の מִקֶּרֶב 〜の中から H7130 הַהוּא その H1931 הָאִישׁ その–人は H0376 וְנִכְרַת そして–断たれる H3772

それを会見の幕屋の入口に携えてきて主の幕屋の前で、供え物として主にささげないならば、その人は血を流した者とみなされる。彼は血を流したゆえ、その民のうちから断たれるであろう。

הֵם 彼らが H1992 אֲשֶׁר その H2077 זִבְחֵיהֶם 彼らの–犠牲を H0853 אֶת־ （〜を） H3478 יִשְׂרָאֵל イスラエルの H1121 בְּנֵי 子らが H0935 יָבִיאוּ 持ってくる H0834 אֲשֶׁר （その） H4616 לְמַעַן そのために 5

אֹהֶל 天幕の H6607 פֶּתַח 入口に H0413 אֶל־ 〜へ H3068 לַיהוָה 主に H0935 וְהֵבִיאָם そして–持って–来る H7704 הַשָּׂדֶה 野の H6440 פְּנֵי 表面で H5921 עַל־ 〜の上で H2076 זֹבְחִים 犠牲を–ささげている

אוֹתָם׃ それらを H0853 לַיהוָה 主に H3068 שְׁלָמִים 和解の H8002 זְבָחֵי 犠牲として H2076 וְזָבְחוּ そして–ささげる H2076 הַכֹּהֵן 祭司に H3548 אֶל־ 〜に H0413 מוֹעֵד 会見の H4150

これはイスラエルの人々に、彼らが野のおもてでほふるのを常としていた犠牲を主のもとにひいてこさせ、会見の幕屋の入口における祭司のもとにきて、これを主にささげる酬恩祭の犠牲としてほふらせるためである。

מוֹעֵד 会見の H4150 אֹהֶל 天幕の H6607 פֶּתַח 入口で H3068 יְהוָה 主の H4196 מִזְבַּח 祭壇に H5921 עַל־ 〜の上に H1818 הַדָּם 血を H0853 אֶת־ （〜を） H3548 הַכֹּהֵן 祭司は H2236 וְזָרַק そして–振りかける 6

לַיהוָה׃ 主への H3068 נִיחֹחַ なだめの H5207 לְרֵיחַ 香りとして H7381 הַחֵלֶב 脂肪を H2459 וְהִקְטִיר そして–煙として–焼く

祭司はその血を会見の幕屋の入口にある主の祭壇に注ぎかけ、またその脂肪を焼いて香ばしいかおりとし、主にささげなければならない。

הֵם 彼らが H1992 אֲשֶׁר その H8163 לַשְּׂעִירִם 悪霊たちに H2077 זִבְחֵיהֶם 彼らの–犠牲を H0853 אֶת־ （〜を） H5750 עוֹד もう H2076 יִזְבְּחוּ ささげる H3808 וְלֹא־ そして–ない–ように 7

לָהֶם 彼らにとって H1992 זֹאת これは H2063 תִּהְיֶה־ なる H1961 עוֹלָם 定めである H5769 חֻקַּת 永遠の H2708 אַחֲרֵיהֶם 彼らに–従って H310 זֹנִים 姦淫している H2181

לְדֹרֹתָם׃ 彼らの–代々に–わたって H1755

彼らが慕って姦淫をおこなったみだらな神に、再び犠牲をささげてはならない。これは彼らが代々ながく守るべき定めである』。

8 וְאֶל־אֲהֶם תֹּאמַר אִישׁ אִישׁ מִבֵּית יִשְׂרָאֵל וּמִן־הַגֵּר אֲשֶׁר־
その 寄留者から そして-〜から イスラエルの 家から 人が 人が 言え そして-彼らに
H1616 H3478 H0376 H0376 H0559 H0413

יָגוּר בְּתוֹכָם אֲשֶׁר־יַעֲלֶה עֹלָה אוֹ־זָבַח׃
寄留する 彼らの-中に その ささげる 全焼の-献げ物を あるいは 犠牲を
H8432 H5927 H2077

あなたはまた彼らに言いなさい、『イスラエルの家の者、またはあなたがたのうちに宿る寄留者のだれでも、燔祭あるいは犠牲をささげるのに、

9 וְאֶל־פֶּתַח אֹהֶל מוֹעֵד לֹא יְבִיאֶנּוּ לַעֲשׂוֹת אֹתוֹ לַיהוָה
そして-〜へ 入口に 天幕の 会見の （しないで） 持って-来ない ささげるために それを 主に
H0413 H6607 H0168 H4150 H3808 H0935 H0853 H3068

וְנִכְרְתָה הַנֶּפֶשׁ הַהִוא מֵעַמֶּיהָ׃
そして-断たれる その-人は その その-民から
H3772 H0376 H1931

これを会見の幕屋の入口に携えてきて、主にささげないならば、その人は、その民のうちから断たれるであろう。

10 וְאִישׁ אִישׁ מִבֵּית יִשְׂרָאֵל וּמִן־הַגֵּר הַגָּר בְּתוֹכָם
そして-人が 人が 家から イスラエルの そして-〜から 寄留者から 寄留する 彼らの-中に
H0376 H0376 H3478 H1616 H8432

אֲשֶׁר יֹאכַל כָּל־דָּם וְנָתַתִּי פָנַי בַּנֶּפֶשׁ הָאֹכֶלֶת
その 食べる いかなる 血も そして-わたしは-向ける わたしの-顔を その-者に-向けて 食べる
H0398 H3605 H1818 H5414 H6440 H5315 H0398

וְהִכְרַתִּי אֹתָהּ מִקֶּרֶב עַמָּהּ׃
そして-断つ その者を 〜の中から その-民の
H3772 H0853 H7130

イスラエルの家の者、またはあなたがたのうちに宿る寄留者のだれでも、血を食べるならば、わたしはその血を食べる人に敵して、わたしの顔を向け、これをその民のうちから断つであろう。

11 כִּי נֶפֶשׁ הַבָּשָׂר בַּדָּם הִוא וַאֲנִי נְתַתִּיו לָכֶם
なぜなら 命は 肉の 血の-中に ある そして-わたしは それを-与えた あなたがたに
H5315 H1320 H1818 H1931 H0589 H5414

עַל־הַמִּזְבֵּחַ לְכַפֵּר עַל־נַפְשֹׁתֵיכֶם כִּי־הַדָּם הוּא בַּנֶּפֶשׁ יְכַפֵּר׃
〜の上で 祭壇の 贖いをするために 〜のために あなたがたの-魂の なぜなら 血は それが 命によって 贖いをする
H5921 H4196 H3722 H5315 H1818 H1931 H5315

肉の命は血にあるからである。あなたがたの魂のために祭壇の上で、あがないをするため、わたしはこれをあなたがたに与えた。血は命であるゆえに、あがなうことができるからである。

12 עַל־כֵּן אָמַרְתִּי לִבְנֵי יִשְׂרָאֵל כָּל־נֶפֶשׁ מִכֶּם לֹא־תֹאכַל דָּם
それゆえ （そのように） わたしは-言った 子らに イスラエルの すべての 者は あなたがたの-うちの 食べては-ならない 血を
H5921 H3651 H0559 H1121 H3478 H3605 H5315 H4480 H3808 H0398 H1818

וְהַגֵּר הַגָּר בְּתוֹכָכֶם לֹא־תֹאכַל דָּם׃ ס
そして-寄留者も 寄留する あなたがたの-中に 食べては-ならない 血を （段落）
H1616 H8432 H3808 H0398 H1818

このゆえに、わたしはイスラエルの人々に言った。あなたがたのうち、だれも血を食べてはならない。またあなたがたのうちに宿る寄留者も血を食べてはならない。

13

בְּתוֹכָם	הַגָּר	הַגֵּר	וּמִן־	יִשְׂרָאֵל	מִבְּנֵי	אִישׁ	וְאִישׁ
彼らの–中に	寄留する	寄留者から	そして–〜から	イスラエルの	子らから	人が	そして–人が
H8432		H1616		H3478		H0376	H0376

אֶת־	וְשָׁפַךְ	יֵאָכֵל	אֲשֶׁר	עוֹף	אוֹ־	חַיָּה	צַיִד	יָצוּד	אֲשֶׁר
（〜を）	そして–流す	食べられる	その	鳥の	あるいは	獣の	獲物を	狩りをする	その
H0853	H8210	H0398		H5775					

בֶּעָפָר׃	וְכִסָּהוּ	דָּמּוֹ
土で	そして–覆う	その–血を
H6083	H3680	H1818

イスラエルの人々のうち、またあなたがたのうちに宿る寄留者のうち、だれでも、食べてもよい獣あるいは鳥を狩り獲た者は、その血を注ぎ出し、土でこれをおおわなければならない。

14

וָאֹמַר	הוּא	בְנַפְשׁוֹ	דָּמוֹ	בָּשָׂר	כָּל־	נֶפֶשׁ	כִּי־
そして–わたしは–言った	ある	その–命において	その–血は	肉の	すべての	命は	なぜなら
H0559	H1931	H5315	H1818	H1320	H3605	H5315	

נֶפֶשׁ	כִּי	תֹאכֵלוּ	לָא	בָּשָׂר	כָּל־	דָּם	יִשְׂרָאֵל	לִבְנֵי
命は	なぜなら	食べては–ならない	食べては–ならない	肉の	すべての	血を	イスラエルの	子らに
H5315		H0398	H3808	H1320	H3605	H1818	H3478	

יִכָּרֵת׃	אֹכְלָיו	כָּל־	הִוא	דָּמוֹ	בָּשָׂר	כָּל־
断たれる	食べる–者は	すべて	である	その–血	肉の	すべての
H3772	H0398	H3605	H1931	H1818	H1320	H3605

すべて肉の命は、その血と一つだからである。それで、わたしはイスラエルの人々に言った。あなたがたは、どんな肉の血も食べてはならない。すべて肉の命はその血だからである。すべて血を食べる者は断たれるであろう。

15

בָּאֶזְרָח	וּטְרֵפָה	נְבֵלָה	תֹּאכַל	אֲשֶׁר	נֶפֶשׁ	וְכָל־
土地の–者も	そして–引き裂かれた–獣を	死んだ–獣を	食べる	その	者は	そして–すべての
H0249	H2966	H5038	H0398		H5315	H3605

הָעֶרֶב	עַד־	וְטָמֵא	בַּמָּיִם	וְרָחַץ	בְּגָדָיו	וְכִבֶּס	וּבַגֵּר
夕方	〜まで	そして–汚れる	水で	そして–洗い	自分の–衣を	そして–洗い	そして–寄留者も
H6153	H5704		H4325	H7364		H3526	H1616

וְטָהֵר׃
そして–清くなる
H2891

自然に死んだもの、または裂き殺されたものを食べる人は、国に生れた者であれ、寄留者であれ、その衣服を洗い、水に身をすすがなければならない。彼は夕まで汚れているが、その後、清くなるであろう。

16

וְנָשָׂא	יְרַחֵץ	לָא	וּבְשָׂרוֹ	יְכַבֵּס	לָא	וְאִם
そして–負う	洗わない	（しないで）	そして–その–肉体を	洗わない	（しないで）	そして–もし
H5375	H7364	H3808	H1320	H3526	H3808	

עֲוֹנוֹ׃	פ	
その–咎を	（段落）	
H5771		

もし、洗わず、また身をすすがないならば、彼はその罪を負わなければならない』」。

Chapter 18

1 וַיְדַבֵּר יְהוָה אֶל־מֹשֶׁה לֵאמֹר׃
言って モーセ ～に 主は そして–語った
H0559 H4872 H0413 H3068 H1696

主はまたモーセに言われた、

2 דַּבֵּר אֶל־בְּנֵי יִשְׂרָאֵל וְאָמַרְתָּ אֲלֵהֶם אֲנִי יְהוָה אֱלֹהֵיכֶם׃
語れ ～に 子らに イスラエルの そして–言え 彼らに わたしは 主 あなたがたの–神である
H1696 H0413 H3478 H0559 H0413 H0589 H3068 H0430

「イスラエルの人々に言いなさい、『わたしはあなたがたの神、主である。

3 כְּמַעֲשֵׂה אֶרֶץ־מִצְרַיִם אֲשֶׁר יְשַׁבְתֶּם־בָּהּ לֹא תַעֲשׂוּ וּכְמַעֲשֵׂה אֶרֶץ כְּנַעַן אֲשֶׁר אֲנִי מֵבִיא אֶתְכֶם שָׁמָּה לֹא תַעֲשׂוּ וּבְחֻקֹּתֵיהֶם לֹא תֵלֵכוּ׃
行いの–ように 地の エジプトの その あなたがたが–住んだ その中に してはならない
H4639 H0776 H4714 H0834 H3427 H0996 H3808

そして–行いの–ように 地の カナンの その わたしが 連れて行く あなたがたを してはならない
H4639 H0776 H3667 H0834 H0589 H0935 H0853 H3808

歩んではならない そして–彼らの–定めに してはならない してはならない そこに
H3212 H2708 H3808 H3808 H8033

あなたがたの住んでいたエジプトの国の習慣を見習ってはならない。またわたしがあなたがたを導き入れるカナンの国の習慣を見習ってはならない。また彼らの定めに歩んではならない。

4 אֶת־מִשְׁפָּטַי תַּעֲשׂוּ וְאֶת־חֻקֹּתַי תִּשְׁמְרוּ לָלֶכֶת בָּהֶם אֲנִי יְהוָה אֱלֹהֵיכֶם׃
（～を） わたしの–裁きを 行え そして（～を） わたしの–定めを 守れ 歩むために それらに わたしは 主 あなたがたの–神である
H0853 H4941 H6213 H0853 H2708 H8104 H3212 H0589 H3068 H0430

わたしのおきてを行い、わたしの定めを守り、それに歩まなければならない。わたしはあなたがたの神、主である。

5 וְשָׁמַרְתֶּם אֶת־חֻקֹּתַי וְאֶת־מִשְׁפָּטַי אֲשֶׁר יַעֲשֶׂה אֹתָם הָאָדָם וָחַי בָּהֶם אֲנִי יְהוָה׃ ס
そして–守れ （～を） わたしの–定めを （～を） わたしの–裁きを 行う それらを 人は そして–生きる それらによって わたしは 主である （段落）
H8104 H0853 H2708 H0853 H6213 H0853 H0120 H2425 H0589 H3068

あなたがたはわたしの定めとわたしのおきてを守らなければならない。もし人が、これを行うならば、これによって生きるであろう。わたしは主である。

6 אִישׁ אִישׁ אֶל־כָּל־שְׁאֵר בְּשָׂרוֹ לֹא תִקְרְבוּ לְגַלּוֹת עֶרְוָה אֲנִי יְהוָה׃ ס
人は 人は ～に すべての 肉親の その–肉体の 近づいてはならない 近づいてはならない あらわにするために 裸を わたしは 主である （段落）
H0376 H0376 H0413 H3605 H7607 H1320 H7126 H3808 H1540 H6172 H0589 H3068

あなたがたは、だれも、その肉親の者に近づいて、これを犯してはならない。わたしは主である。

תְּגַלֶּה	לֹא	אִמְּךָ	וְעֶרְוַת	אָבִיךָ	עֶרְוַת	7
あらわにしてはならない	あらわにしてはならない	あなたの–母の	そして–裸を	あなたの–父の	裸を	
H1540	H3808	H0517	H6172	H0001	H6172	

ס	:עֶרְוָתָהּ	תְּגַלֶּה	לֹא	הִוא	אִמְּךָ
（段落）	彼女の–裸を	あらわにしてはならない	あらわにしてはならない	ある	あなたの–母で
	H6172	H1540	H3808	H1931	H0517

あなたの母を犯してはならない。それはあなたの父をはずかしめることだからである。彼女はあなたの母であるから、これを犯してはならない。

אָבִיךָ	עֶרְוַת	תְּגַלֶּה	לֹא	אָבִיךָ	אֵשֶׁת־	עֶרְוַת	8
あなたの–父の	裸は	あらわにしてはならない	あらわにしてはならない	あなたの–父の	妻の	裸を	
H0001	H6172	H1540	H3808	H0001	H0802	H6172	

ס	:הִוא	
（段落）	それである	
	H1931	

あなたの父の妻を犯してはならない。それはあなたの父をはずかしめることだからである。

בַּיִת	מוֹלֶדֶת	אִמְּךָ	בַת־	אוֹ	אָבִיךָ	בַת־	אֲחוֹתְךָ	עֶרְוַת	9
家で	生まれた	あなたの–母の	娘の	あるいは	あなたの–父の	娘の	あなたの–姉妹の	裸を	
H4138	H0517	H1323		H0001	H1323	H0269	H6172		

ס	:עֶרְוָתָן	תְּגַלֶּה	לֹא	חוּץ	מוֹלֶדֶת	אוֹ	
（段落）	彼女らの–裸を	あらわにしてはならない	あらわにしてはならない	外で	生まれた	あるいは	
	H6172	H1540	H3808	H2351	H4138		

あなたの姉妹、すなわちあなたの父の娘にせよ、母の娘にせよ、家に生れたのと、よそに生れたのとを問わず、これを犯してはならない。

לֹא	בִתְּךָ	בַת־	אוֹ	בִּנְךָ	בַת־	עֶרְוַת	10
あらわにしてはならない	あなたの–娘の	娘の	あるいは	あなたの–息子の	娘の	裸を	
H3808	H1323	H1323			H1323	H6172	

ס	:הֵנָּה	עֶרְוָתֵךְ	כִּי	עֶרְוָתָן	תְּגַלֶּה
（段落）	あるからである	あなたの–裸で	なぜなら	彼女らの–裸を	あらわにしてはならない
	H2007	H6172		H6172	H1540

あなたのむすこの娘、あるいは、あなたの娘の娘を犯してはならない。それはあなた自身をはずかしめることだからである。

הִוא	אֲחוֹתְךָ	אָבִיךָ	מוֹלֶדֶת	אָבִיךָ	אֵשֶׁת	בַת־	עֶרְוַת	11
ある	あなたの–姉妹で	あなたの–父から	生まれた	あなたの–父の	妻の	娘の	裸を	
H1931	H0269	H0001	H4138	H0001	H0802	H1323	H6172	

ס	:עֶרְוָתָהּ	תְּגַלֶּה	לֹא	
（段落）	彼女の–裸を	あらわにしてはならない	あらわにしてはならない	
	H6172	H1540	H3808	

あなたの父の妻があなたの父によって産んだ娘は、あなたの姉妹であるから、これを犯してはならない。

שְׁאֵר	תְּגַלֶּה	לֹא	אָבִיךָ	אֲחוֹת־	עֶרְוַת	12
肉親で	あらわにしてはならない	あらわにしてはならない	あなたの–父の	姉妹の	裸を	
H7607	H1540	H3808	H0001	H0269	H6172	

ס	:הִוא	אָבִיךָ	
（段落）	ある	あなたの–父の	
	H1931	H0001	

あなたの父の姉妹を犯してはならない。彼女はあなたの父の肉親だからである。

13 עֶרְוַת אֲחוֹת־ אִמְּךָ לֹא תְגַלֶּה כִּי־ שְׁאֵר
裸を 姉妹の あなたの–母の あらわにしてはならない あらわにしてはならない なぜなら 肉親で
H6172 H0269 H0517 H3808 H1540 H0559 H7607

אִמְּךָ הִוא׃ ס
あなたの–母の ある （段落）
H0517 H1931

またあなたの母の姉妹を犯してはならない。彼女はあなたの母の肉親だからである。

14 עֶרְוַת אֲחִי־ אָבִיךָ לֹא תְגַלֶּה אֶל־ אִשְׁתּוֹ
裸を 兄弟の あなたの–父の あらわにしてはならない あらわにしてはならない ～に その–妻に
H6172 H0251 H0001 H3808 H1540 H0413 H0802

דֹדָתְךָ הִוא׃ ס לֹא תִקְרָב
あなたの–おばで ある （段落） 近づいてはならない 近づいてはならない
H1733 H1931 H7126 H3808

あなたの父の兄弟の妻を犯し、父の兄弟をはずかしめてはならない。彼女はあなたのおばだからである。

15 עֶרְוַת כַּלָּתְךָ לֹא תְגַלֶּה אֵשֶׁת בִּנְךָ
裸を あなたの–嫁の あらわにしてはならない あらわにしてはならない 妻で あなたの–息子の
H6172 H3618 H3808 H1540 H0802

לֹא תְגַלֶּה עֶרְוָתָהּ׃ ס הִוא
あらわにしてはならない 彼女の–裸を （段落） ある
H3808 H1540 H6172 H1931

あなたの嫁を犯してはならない。彼女はあなたのむすこの妻であるから、これを犯してはならない。

16 עֶרְוַת אֵשֶׁת־ אָחִיךָ לֹא תְגַלֶּה עֶרְוַת
裸を 妻の あなたの–兄弟の あらわにしてはならない あらわにしてはならない 裸は
H6172 H0802 H0251 H3808 H1540 H6172

אָחִיךָ הִוא׃ ס
あなたの–兄弟の それである （段落）
H0251 H1931

あなたの兄弟の妻を犯してはならない。それはあなたの兄弟をはずかしめることだからである。

17 עֶרְוַת אִשָּׁה וּבִתָּהּ לֹא תְגַלֶּה אֶת־ בַּת־
裸を 女と そして–その–娘の あらわにしてはならない あらわにしてはならない （～を） 娘を
H6172 H0802 H1323 H3808 H1540 H0853 H1323

בְּנָהּ לֹא תִקַּח וְאֶת־ בַּת־ בִּתָּהּ לֹא
その–息子の めとってはならない そして（～を） 娘を その–娘の めとってはならない
H1121 H3947 H0853 H1323 H1323 H3808

תְגַלֶּה עֶרְוָתָהּ לִנְלוֹת שַׁאֲרָה הֵנָּה זִמָּה הִוא׃
あらわにするために 彼女の–裸を 肉親で ある 淫行で ある
H1540 H6172 H7608 H2007 H2154 H1931

あなたは女とその娘とを一緒に犯してはならない。またその女のむすこの娘、またはその娘の娘を取って、これを犯してはならない。彼らはあなたの肉親であるから、これは悪事である。

18 וְאִשָּׁה אֶל־ אֲחֹתָהּ לֹא תִקָּח לְצָרֹר
そして–女を ～に その–姉妹に めとってはならない めとってはならない 苦しめるために
H0802 H0413 H0269 H3808 H3947

לְגַלּוֹת עֶרְוָתָהּ עָלֶיהָ בְּחַיֶּיהָ׃
あらわにするために 彼女の–裸を 彼女の上に その–生きている–間に
H1540 H6172

あなたは妻のなお生きているうちにその姉妹を取って、同じく妻となし、これを犯してはならない。

19 וְאֶל־ אִשָּׁה בְּנִדַּת טֻמְאָתָהּ לֹא תִקְרַב לְגַלּוֹת עֶרְוָתָהּ׃
そして–～に 女に 月経の その–汚れの 近づいてはならない 近づいてはならない
H0413 H0802 H5079 H2932 H3808 H7126
あらわにするために 彼女の–裸を
H1540 H6172

あなたは月のさわりの不浄にある女に近づいて、これを犯してはならない。

20 וְאֶל־ אֵשֶׁת עֲמִיתְךָ לֹא תִתֵּן שְׁכָבְתְּךָ לְזָרַע לְטָמְאָה־ בָּהּ׃
そして–～に 妻に あなたの–隣人の 与えてはならない 与えてはならない あなたの–寝所を 種として それによって 汚れるために
H0413 H0802 H5997 H3808 H5414 H7903 H2233

隣の妻と交わり、彼女によって身を汚してはならない。

21 וּמִזַּרְעֲךָ לֹא־ תִתֵּן לְהַעֲבִיר לַמֹּלֶךְ וְלֹא תְחַלֵּל אֶת־ שֵׁם אֱלֹהֶיךָ אֲנִי יְהוָה׃
そして–あなたの–子孫から 与えてはならない 通らせるために モレクに そして–してはならない （～を） 名を あなたの–神の わたしは 主である
H2233 H3808 H5414 H4432 H3808 H0853 H8034 H0430 H0589 H3068

あなたの子どもをモレクにささげてはならない。またあなたの神の名を汚してはならない。わたしは主である。

22 וְאֶת־ זָכָר לֹא תִשְׁכַּב מִשְׁכְּבֵי אִשָּׁה תּוֹעֵבָה הִוא׃
そして–～と 男と 横たわってはならない 横たわってはならない 寝所のように 女の 忌み嫌うべきことで ある
H0854 H2145 H3808 H7901 H4904 H0802 H8441 H1931

あなたは女と寝るように男と寝てはならない。これは憎むべきことである。

23 וּבְכָל־ בְּהֵמָה לֹא תִתֵּן שְׁכָבְתְּךָ לְטָמְאָה־ בָּהּ וְאִשָּׁה לֹא תַעֲמֹד לִפְנֵי בְהֵמָה לְרִבְעָהּ תֶּבֶל הִוא׃
そして–すべての 獣と 与えてはならない 与えてはならない あなたの–寝所を 汚れるために それによって そして–女は 立ってはならない 立ってはならない ～の前に 獣の 交わるために ある 堕落で
H3605 H0929 H5414 H3808 H7903 H2233 H0802 H3808 H5975 H6440 H0929 H7250 H1931 H8397

あなたは獣と交わり、これによって身を汚してはならない。また女も獣の前に立って、これと交わってはならない。これは道にはずれたことである。

24

אֵלֶּה	בְּכָל־	כִּי	אֵלֶּה	בְּכָל־	תִּטַּמְּאוּ	אַל־
これらによって	すべての	なぜなら	これらによって	すべての	汚れてはならない	してはならない
H0428	H3605		H0428	H3605		H0408

מִפְּנֵיכֶם׃	מְשַׁלֵּחַ	אֲנִי	אֲשֶׁר־	הַגּוֹיִם	נִטְמְאוּ
あなたがたの–前から	追い出す	わたしが	その	諸国民は	汚れた
H6440	H7971	H0589			

あなたがたはこれらのもろもろの事によって身を汚してはならない。わたしがあなたがたの前から追い払う国々の人は、これらのもろもろの事によって汚れ、

25

הָאָרֶץ	וַתִּקָּא	עָלֶיהָ	עֲוֹנָהּ	וָאֶפְקֹד	הָאָרֶץ	וַתִּטְמָא
地は	そして–吐き出した	その上に	その–咎を	そして–わたしは–罰した	地は	そして–汚れた
H0776	H6958		H5771		H0776	

יֹשְׁבֶיהָ׃	אֶת־
その–住民を	（〜を）
H3427	H0853

その地もまた汚れている。ゆえに、わたしはその悪のためにこれを罰し、その地もまたその住民を吐き出すのである。

26

מִשְׁפָּטַי	וְאֶת־	חֻקֹּתַי	אֶת־	אַתֶּם	וּשְׁמַרְתֶּם
わたしの–裁きを	そして（〜を）	わたしの–定めを	（〜を）	あなたがたは	そして–守れ
H4941	H0853	H2708	H0853		H8104

הָאֶזְרָח	הָאֵלֶּה	הַתּוֹעֵבֹת	מִכֹּל	תַּעֲשׂוּ	וְלֹא
土地の者も	これらの	忌むべきことの	すべての	してはならない	そして–してはならない
H0249	H0428	H8441	H3605		H3808

בְּתוֹכְכֶם׃	הַגָּר	וְהַגֵּר
あなたがたの–中に	寄留する	そして–寄留者も
H8432		H1616

ゆえに、あなたがたはわたしの定めとわたしのおきてを守り、これらのもろもろの憎むべき事の一つでも行ってはならない。国に生れた者も、あなたがたのうちに宿っている寄留者もそうである。

27

אֲשֶׁר	הָאָרֶץ	אַנְשֵׁי־	עָשׂוּ	הָאֵל	הַתּוֹעֵבֹת	כָּל־	אֶת־	כִּי
その	地の	人々は	した	これらの	忌むべきことを	すべての	（〜を）	なぜなら
	H0776	H0376		H0411	H8441	H3605	H0853	

הָאָרֶץ׃	וַתִּטְמָא	לִפְנֵיכֶם
地は	そして–汚れた	あなたがたの–前にいた
H0776		H6440

あなたがたの先にいたこの地の人々は、これらのもろもろの憎むべき事を行ったので、その地も汚れたからである。

28

אֹתָהּ	בְּטַמַּאֲכֶם	אֶתְכֶם	הָאָרֶץ	תָּקִיא	וְלֹא־
それを	あなたがたが–汚す時に	あなたがたを	地が	吐き出さないように	そして–しないように
H0853		H0853	H0776	H6958	H3808

לִפְנֵיכֶם׃	אֲשֶׁר	הַגּוֹי	אֶת־	קָאָה	כַּאֲשֶׁר
あなたがたの–前にいた	その	国民を	（〜を）	吐き出した	ちょうど–そのように
H6440			H0853	H6958	

これは、あなたがたがこの地を汚して、この地があなたがたの先にいた民を吐き出したように、あなたがたをも吐き出すことのないためである。

הַנְּפָשׁוֹת	וְנִכְרְתוּ	הָאֵלֶּה	הַתּוֹעֵבוֹת	מִכֹּל	יַעֲשֶׂה	אֲשֶׁר	כָּל־	כִּי	29
魂は	そして–断たれる	これらの	忌むべきことの	すべての	する	その	すべて	なぜなら	
H5315	H3772	H0428	H8441	H3605			H3605		

עַמָּם׃	מִקֶּרֶב	הָעֹשֹׂת
その–民の	～の中から	行う–者は
	H7130	

これらのもろもろの憎むべき事の一つでも行う者があれば、これを行う人は、だれでもその民のうちから断たれるであろう。

אֲשֶׁר	הַתּוֹעֵבֹת	מֻחֻקּוֹת	עֲשׂוֹת	לְבִלְתִּי	מִשְׁמַרְתִּי	אֶת־	וּשְׁמַרְתֶּם		30
その	忌むべき	定めの	行わないために	しないために	わたしの–命令を	（～を）	そして–守れ		
	H8441	H2708		H1115	H4931	H0853	H8104		

יְהוָה	אֲנִי	בָּהֶם	תִּטַּמְּאוּ	וְלֹא	לִפְנֵיכֶם	נַעֲשׂוּ	
主	わたしは	それらによって	汚れてはならない	そして–しないように	あなたがたの–前に	なされた	
H3068	H0589			H3808	H6440		

פ	אֱלֹהֵיכֶם׃
（段落）	あなたがたの–神である
	H0430

それゆえに、あなたがたはわたしの言いつけを守り、先に行われたこれらの憎むべき風習の一つをも行ってはならない。またこれによって身を汚してはならない。わたしはあなたがたの神、主である』」。

Chapter 19

לֵאמֹר	מֹשֶׁה	אֶל־	יְהוָה	וַיְדַבֵּר	1
言って	モーセ	～に	主は	そして–語った	
H0559	H4872	H0413	H3068	H1696	

主はモーセに言われた、

תִּהְיוּ	קְדֹשִׁים	אֱלֹהֵיהֶם	וְאָמַרְתָּ	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי־	עֲדַת	כָּל־	אֶל־	דַּבֵּר	2
聖くあれ	聖くあれ	彼らに	そして–言え	イスラエルの	子らの	会衆に	すべての	～に	語れ	
H1961	H6918	H0413	H0559	H3478		H5712	H3605	H0413	H1696	

אֱלֹהֵיכֶם׃	יְהוָה	אֲנִי	קָדוֹשׁ	כִּי
あなたがたの–神である	主	わたしは	聖である	なぜなら
H0430	H3068	H0589	H6918	

「イスラエルの人々の全会衆に言いなさい、『あなたがたの神、主なるわたしは、聖であるから、あなたがたも聖でなければならない。

אֲנִי	תִּשְׁמֹרוּ	שַׁבְּתֹתַי	וְאֶת־	תִּירָאוּ	וְאָבִיו	אִמּוֹ	אִישׁ		3
わたしは	守れ	わたしの–安息日を	そして（～を）	畏れよ	そして–その–父を	その–母と	人は		
H0589	H8104	H7676	H0853	H3372	H0001	H0517	H0376		

אֱלֹהֵיכֶם׃	יְהוָה	
あなたがたの–神である	主	
H0430	H3068	

あなたがたは、おのおのその母とその父とをおそれなければならない。またわたしの安息日を守らなければならない。わたしはあなたがたの神、主である。

לֹא מַסֵּכָה וֵאלֹהֵי הָאֱלִילִים אֶל־ תִּפְנוּ אַל־ 4
してはならない 鋳物の そして-神々を 偶像に ～に 向いてはならない してはならない
H3808 H0430 H0457 H0413 H6437 H0408

אֱלֹהֵיכֶם׃ יְהוָה אֲנִי לָכֶם תַּעֲשׂוּ
あなたがたの-神である 主 わたしは あなたがたのために 作ってはならない
H0430 H3068 H0589

むなしい神々に心を寄せてはならない。また自分のために神々を鋳て造ってはならない。わたしはあなたがたの神、主である。

תִּזְבְּחֻהוּ׃ לְרְצֹנְכֶם לַיהוָה שְׁלָמִים זֶבַח תִּזְבְּחוּ וְכִי 5
ささげよ あなたがたの-喜びのために 主に 和解の 犠牲を ささげるなら そして-もし
H2076 H7522 H3068 H8002 H2077 H2076

酬恩祭の犠牲を主にささげるときは、あなたがたが受け入れられるように、それをささげなければならない。

בְּיוֹם זִבְחֲכֶם יֵאָכֵל וּמִמָּחֳרָת וְהַנּוֹתָר עַד־ יוֹם 6
日の ～まで そして-残ったものは そして-翌日に 食べられる あなたがたの-犠牲の 日に
H3117 H5704 H3498 H4283 H0398 H2077 H3117

יִשָּׂרֵף׃ בָּאֵשׁ הַשְּׁלִישִׁי
焼かれる 火で 三日目に
H8313 H0784 H7992

それは、ささげた日と、その翌日とに食べ、三日目まで残ったものは、それを火で焼かなければならない。

פִּגּוּל הוּא וְאִם 7
ある 汚らわしいもので 三日目の 三日目の-日に 食べるならば 食べて そして-もし
H1931 H6292 H7992 H3117 H0398 H0398

לֹא יֵרָצֶה׃
受け入れられない 受け入れられない
H7521 H3808

もし三日目に、少しでも食べるならば、それは忌むべきものとなって、あなたは受け入れられないであろう。

חִלַּל יְהוָה קֹדֶשׁ אֶת־ כִּי־ יִשָּׂא עֲוֹנוֹ וְאֹכְלָיו 8
汚した 主の 聖なるものを （～を） なぜなら 負う その-咎を そして-食べる-者は
H3068 H6944 H0853 H5375 H5771 H0398

מֵעַמֶּיהָ׃ הַהוּא הַנֶּפֶשׁ וְנִכְרְתָה
その-民から その その-魂は そして-断たれる
H1931 H5315 H3772

それを食べる者は、主の聖なる物を汚すので、そのとがを負わなければならない。その人は民のうちから断たれるであろう。

לֹא אַרְצְכֶם קְצִיר אֶת־ וּבְקֻצְרְכֶם 9
してはならない あなたがたの-地の 収穫を （～を） そして-あなたがたが-刈り入れる時に
H3808 H0776 H0853

קְצִירְךָ וְלֶקֶט לִקְצֹר שָׂדְךָ פְּאַת תְּכַלֶּה
あなたの-収穫の そして-落ち穂を 刈り入れてはならない あなたの-畑の 隅を し尽くしてはならない
H3951 H6285 H3615

תְלַקֵּט׃ לֹא
拾ってはならない 拾ってはならない
H3950 H3808

あなたがたの地の実のりを刈り入れるときは、畑のすみずみまで刈りつくしてはならない。またあなたの刈入れの落ち穂を拾ってはならない。

10

וּפֶרֶט	תְּעוֹלֵל	לֹא	וְכַרְמְךָ
そして–落ちた–実を	二度–摘み取ってはならない	してはならない	そして–あなたの–葡萄園を
H6528		H3808	H3754

תַּעֲזֹב	וְלַגֵּר	לֶעָנִי	תְּלַקֵּט	לֹא	כַּרְמְךָ
残せ	そして–寄留者のために	貧しい者と	拾ってはならない	拾ってはならない	あなたの–葡萄園の
	H1616	H6041	H3950	H3808	H3754

אֱלֹהֵיכֶם׃	יְהוָה	אֲנִי	אֹתָם
あなたがたの–神である	主	わたしは	それらを
H0430	H3068	H0589	H0853

あなたのぶどう畑の実を取りつくしてはならない。またあなたのぶどう畑に落ちた実を拾ってはならない。貧しい者と寄留者とのために、これを残しておかなければならない。わたしはあなたがたの神、主である。

11

וְלֹא־	תְכַחֲשׁוּ	וְלֹא־	תִגְנְבוּ	לֹא
そして–してはならない	欺いてはならない	そして–してはならない	盗んではならない	盗んではならない
H3808	H3584	H3808	H1589	H3808

בַּעֲמִיתוֹ׃	אִישׁ	תְּשַׁקְּרוּ
その–隣人に	人が	偽ってはならない
H5997	H0376	H8266

あなたがたは盗んではならない。欺いてはならない。互に偽ってはならない。

12

שֵׁם	אֶת־	וְחִלַּלְתָּ	לַשָּׁקֶר	בִּשְׁמִי	תִּשָּׁבְעוּ	וְלֹא־
名を	（〜を）	そして–汚す	偽りに	わたしの–名によって	誓ってはならない	そして–してはならない
H8034	H0853		H8267	H8034	H7650	H3808

יְהוָה׃	אֲנִי	אֱלֹהֶיךָ
主である	わたしは	あなたの–神の
H3068	H0589	H0430

わたしの名により偽り誓って、あなたがたの神の名を汚してはならない。わたしは主である。

13

וְלֹא	רֵעֲךָ	אֶת־	תַּעֲשֹׁק	לֹא־
そして–してはならない	あなたの–隣人を	（〜を）	虐げてはならない	してはならない
H3808	H7453	H0853	H6231	H3808

בֹּקֶר׃	עַד־	אִתְּךָ	שְׂכִיר	פְּעֻלַּת	תָּלִין	לֹא־	תִגְזֹל
朝まで	〜まで	あなたの–元に	雇い人の	賃いを	留めてはならない	してはならない	奪ってはならない
H1242	H5704	H0854	H7916	H6468		H3808	H1497

あなたの隣人をしえたげてはならない。また、かすめてはならない。日雇人の賃銀を明くる朝まで、あなたのもとにとどめておいてはならない。

14

עִוֵּר	וְלִפְנֵי	חֵרֵשׁ	תְּקַלֵּל	לֹא־
目の–見えない–者の	そして–前に	耳の–聞こえない–者を	呪ってはならない	してはならない
H5787	H6440	H2795	H7043	H3808

יְהוָה׃	אֲנִי	מֵאֱלֹהֶיךָ	וְיָרֵאתָ	מִכְשֹׁל	תִּתֵּן	לֹא
主である	わたしは	あなたの–神を	そして–畏れよ	つまずきを	置いてはならない	置いてはならない
H3068	H0589	H0430	H3372	H4383	H5414	H3808

耳しいを、のろってはならない。目しいの前につまずく物を置いてはならない。あなたの神を恐れなければならない。わたしは主である。

15

לֹא־	תַעֲשׂוּ	עָוֶל	בַּמִּשְׁפָּט	לֹא־	תִשָּׂא	פְּנֵי־
してはならない	行ってはならない	不正を	裁きにおいて	してはならない	かたよってはならない	顔を
H3808	H6213	H5766	H4941	H3808	H5375	H6440

לֹא	וְלֹא	תֶהְדַּר	פְּנֵי	גָדוֹל	בְּצֶדֶק	תִשְׁפֹּט	עֲמִיתֶךָ׃
してはならない	そして–してはならない	敬ってはならない	顔を	大いなる–者の	正しく	裁け	あなたの–隣人を
H3808	H3808	H1921	H6440	H1419	H6664	H8199	H5997

						דָּל	
						貧しい–者の	
						H1800	

さばきをするとき、不正を行ってはならない。貧しい者を片よってかばい、力ある者を曲げて助けてはならない。ただ正義をもって隣人をさばかなければならない。

16

לֹא	תֵלֵךְ	רָכִיל	בְּעַמֶּיךָ	לֹא־	תַעֲמֹד
してはならない	歩いてはならない	中傷する者として	あなたの–民の–中で	してはならない	立ってはならない
H3808	H3212	H7400	H5971	H3808	H5975

עַל־	דַּם	רֵעֶךָ	אֲנִי	יְהוָה׃		
～に–対して	血に	あなたの–隣人の	わたしは	主である		
H5921	H1818	H7453	H0589	H3068		

民のうちを行き巡って、人の悪口を言いふらしてはならない。あなたの隣人の血にかかわる偽証をしてはならない。わたしは主である。

17

לֹא־	תִשְׂנָא	אֶת־	אָחִיךָ	בִּלְבָבֶךָ	הוֹכֵחַ	תּוֹכִיחַ
してはならない	憎んではならない	（～を）	あなたの–兄弟を	あなたの–心の–中で	戒めて	戒めよ
H3808	H8130	H0853	H0251	H3824	H3198	H3198

אֶת־	עֲמִיתֶךָ	וְלֹא־	תִשָּׂא	עָלָיו	חֵטְא׃	
（～を）	あなたの–隣人を	そして–してはならない	負ってはならない	彼の上に	罪を	
H0853	H5997	H3808	H5375	H5921	H2399	

あなたは心に兄弟を憎んではならない。あなたの隣人をねんごろにいさめて、彼のゆえに罪を身に負ってはならない。

18

אֶת־	תִּטֹּר	וְלֹא־	תִקֹּם	לֹא־	תִטֹּר	
（～を）	恨みを–抱いてはならない	そして–してはならない	復讐してはならない	してはならない		
H0853	H5201	H3808	H5358	H3808		

יְהוָה׃	אֲנִי	כָּמוֹךָ	לְרֵעֶךָ	וְאָהַבְתָּ	עַמֶּךָ	בְּנֵי	
主である	わたしは	あなたの–ように	あなたの–隣人を	そして–愛せよ	あなたの–民の	子らに	
H3068	H0589	H3644	H7453	H0157			

あなたはあだを返してはならない。あなたの民の人々に恨みをいだいてはならない。あなた自身のようにあなたの隣人を愛さなければならない。わたしは主である。

19

כִּלְאַיִם	תַּרְבִּיעַ	לֹא־	בְהֶמְתְּךָ	תִשְׁמֹרוּ	חֻקֹּתַי	אֶת־
異種で	交配させてはならない	してはならない	あなたの–家畜を	守れ	わたしの–定めを	（～を）
H3610	H7250	H3808	H0929	H8104	H2708	H0853

שַׂדְךָ	לֹא־	תִזְרָע	כִּלְאָיִם	וּבֶגֶד	כִּלְאַיִם	שַׁעַטְנֵז	
あなたの–畑に	してはならない	蒔いてはならない	異種を	そして–衣を	異種の	混織の	
	H3808	H2232	H3610		H3610	H8162	

לֹא	יַעֲלֶה	עָלֶיךָ׃		פ
してはならない	着てはならない	あなたの–上に		（段落）
H3808	H5927			

あなたがたはわたしの定めを守らなければならない。あなたの家畜に異なった種をかけてはならない。あなたの畑に二種の種をまいてはならない。二種の糸の混ぜ織りの衣服を身につけてはならない。

20 וְאִישׁ כִּי־ יִשְׁכַּב אֶת־ אִשָּׁה זֶרַע שִׁכְבַת־ וְהִוא שִׁפְחָה
そして–人が もし 共に–横たわった 女と ～と 精の そして–彼女は 女奴隷で
H0376 H3588 H7901 H0802 H0854 H7902 H1931 H8198

נֶחֱרֶפֶת לְאִישׁ וְחָפְדֵה נִפְדֶּתָה אוֹ חָפְשָׁה לֹא
婚約した 人に そして–贖われて （いない） あるいは 贖われていない 自由が （いない）
H2778 H0376 H6299 H3808 H0176 H6299 H2668 H3808

נִתַּן־ לָהּ בִּקֹּרֶת תִּהְיֶה לֹא יוּמָתוּ כִּי־ לֹא
与えられて–いない 彼女に 罰が ある しない 殺されない なぜなら （ない）
H5414 H3808 H1961 H3808 H4191 H3588 H3808

חָפְשָׁה׃
自由になっていない
H2666

だれでも、人と婚約のある女奴隷で、まだあがなわれず、自由を与えられていない者と寝て交わったならば、彼らふたりは罰を受ける。しかし、殺されることはない。彼女は自由の女ではないからである。

21 וְהֵבִיא אֶת־ אֲשָׁמוֹ לַיהוָה פֶּתַח אֶל־ אֹהֶל מוֹעֵד אַיִל
そして–持ってくる （～を） その–償いの–献げ物を 主に ～へ 入口に 天幕の 会見の 雄羊を
H0935 H0853 H0817 H3068 H0413 H6607 H0168 H4150

אָשָׁם׃
償いの–献げ物として
H0817

しかし、その男は愆祭を主に携えてこなければならない。すなわち、愆祭の雄羊を、会見の幕屋の入口に連れてこなければならない。

22 וְכִפֶּר עָלָיו הַכֹּהֵן בְּאֵיל הָאָשָׁם לִפְנֵי יְהוָה עַל־
そして–贖いをする 彼のために 祭司が 雄羊で 償いの–献げ物の ～の前で 主の ～のために
H3722 H5921 H3548 H0376 H0817 H6440 H3068 H5921

חָטָאתוֹ אֲשֶׁר מֵחַטָּאתוֹ לוֹ וְנִסְלַח חָטָא אֲשֶׁר חָטָא׃ פ
その–罪について その その–罪から 彼に そして–赦される 犯した その 犯した （段落）
H2403 H0834 H2403 H0376 H5545 H0834 H2398

そして、祭司は彼の犯した罪のためにその愆祭の雄羊をもって、主の前に彼のために、あがないをするであろう。こうして彼の犯した罪はゆるされるであろう。

23 וְכִי תָבֹאוּ אֶל־ הָאָרֶץ וּנְטַעְתֶּם כָּל־ עֵץ מַאֲכָל
そして–もし 入るなら ～へ 地に そして–植えるなら すべての 木を 食物の
H3588 H0935 H0413 H0776 H5193 H3605 H6086 H3978

וְעָרַלְתֶּם עָרְלָתוֹ אֶת־ פִּרְיוֹ שָׁלֹשׁ שָׁנִים יִהְיֶה
そして–割礼なきものとする その–割礼なきものを （～を） その–果実を 三 年間 ある
H6188 H6190 H0853 H6529 H7969 H8141 H1961

לָכֶם עֲרֵלִים עֲרֵלָתוֹ לֹא יֵאָכֵל׃
あなたがたにとって 割礼なきもので 食べてはならない 食べてはならない
H3808 H6189 H3808 H0398

あなたがたが、かの地にはいって、もろもろのくだものの木を植えるときは、その実はまだ割礼をうけないものと、見なさなければならない。すなわち、それは三年の間あなたがたには、割礼のないものであって、食べてはならない。

24 וּבַשָּׁנָה הָרְבִיעִת יִהְיֶה כָּל־ פִּרְיוֹ קֹדֶשׁ הִלּוּלִים לַיהוָה׃
そして–四年目に 四番目の ある すべての その–果実は 聖なる 賛美の 主への
H8141 H7243 H1961 H3605 H6529 H6944 H1974 H3068

四年目には、そのすべての実を聖なる物とし、それをさんびの供え物として主にささげなければならない。

25 וּבַשָּׁנָה הַחֲמִישִׁת תֹּאכְלוּ אֶת־פִּרְיוֹ לְהוֹסִיף לָכֶם
そして–五年目に 五番目の 食べる （〜を） その–果実を 増やすために あなたがたのために
H8141 H2549 H0398 H0853 H6529 H3254

תְּבוּאָתוֹ אֲנִי יְהוָה אֱלֹהֵיכֶם׃
その–産物を わたしは 主 あなたがたの–神である
H8393 H0589 H3068 H0430

しかし五年目には、あなたがたはその実を食べることができるであろう。こうするならば、それはあなたがたのために、多くの実を結ぶであろう。わたしはあなたがたの神、主である。

26 לֹא תֹאכְלוּ עַל־הַדָּם לֹא תְנַחֲשׁוּ לֹא תְעוֹנֵנוּ׃
食べてはならない ～の上に 血の してはならない 占ってはならない そして–してはならない まじないを–行ってはならない
H3808 H1818 H3808 H5172 H3808

あなたがたは何をも血のままで食べてはならない。また占いをしてはならない。魔法を行ってはならない。

27 לֹא תַקִּפוּ פְּאַת רֹאשְׁכֶם וְלֹא תַשְׁחִית אֶת־פְּאַת זְקָנֶךָ׃
してはならない 切り–取ってはならない 隅を あなたがたの–頭の そして–してはならない そこなってはならない （〜を） 隅を あなたの–ひげの
H3808 H6285 H3808 H7843 H0853 H6285 H2206

あなたがたのびんの毛を切ってはならない。ひげの両端をそこなってはならない。

28 וְשֶׂרֶט לָנֶפֶשׁ לֹא תִתְּנוּ בִּבְשַׂרְכֶם וּכְתֹבֶת קַעֲקַע לֹא תִתְּנוּ בָּכֶם אֲנִי יְהוָה׃
そして–傷を 死者のために つけてはならない つけてはならない あなたがたの–肉体に そして–入れ墨を 刺青の 入れてはならない 入れてはならない あなたがたに わたしは 主である
H5315 H3808 H5414 H1320 H3793 H7085 H3808 H5414 H0589 H3068

死人のために身を傷つけてはならない。また身に入墨をしてはならない。わたしは主である。

29 אַל־תַּחֵל אֶת־בִּתְּךָ לְהַזְנוֹתָהּ וְלֹא־תִזְנֶה הָאָרֶץ וּמָלְאָה הָאָרֶץ זִמָּה׃
してはならない 汚してはならない （〜を） あなたの–娘を 娼婦に–させてはならない そして–しないように 地が 淫行しないように 地が そして–満ちる 淫行で
H0408 H2490 H0853 H1323 H2181 H3808 H0776 H2181 H0776 H4390 H2154

あなたの娘に遊女のわざをさせて、これを汚してはならない。これはみだらな事が国に行われ、悪事が地に満ちないためである。

30 אֶת־שַׁבְּתֹתַי תִּשְׁמֹרוּ וּמִקְדָּשִׁי תִּירָאוּ אֲנִי יְהוָה׃
（〜を） わたしの–安息日を 守れ そして–わたしの–聖所を 畏れよ わたしは 主である
H0853 H7676 H8104 H4720 H3372 H0589 H3068

あなたがたはわたしの安息日を守り、わたしの聖所を敬わなければならない。わたしは主である。

31

אַל־	הַיִּדְּעֹנִים	וְאֶל־	הָאֹבֹת	אֶל־	תִּפְנוּ	אַל־
してはならない	口寄せに	そして–〜に	霊媒に	〜に	向いてはならない	してはならない
H0408	H3049	H0413	H0178	H0413	H6437	H0408

אֱלֹהֵיכֶם׃	יְהוָה	אֲנִי	בָּהֶם	לְטָמְאָה	תִּבָּקְשׁוּ
あなたがたの–神である	主	わたしは	それらによって	汚れるために	求めてはならない
H0430	H3068	H0589			H1245

あなたがたは口寄せ、または占い師のもとにおもむいてはならない。彼らに問うて汚されてはならない。わたしはあなたがたの神、主である。

32

אֲנִי	מֵאֱלֹהֶיךָ	וְיָרֵאתָ	זָקֵן	פְּנֵי	וְהָדַרְתָּ	תָּקוּם	שֵׂיבָה	מִפְּנֵי
わたしは	あなたの–神を	そして–畏れよ	老人の	顔を	そして–敬え	立て	白髪の	〜の前で
H0589	H0430	H3372	H2205	H6440	H1921		H7872	H6440

	יְהוָה׃
פ	
（段落）	主である
	H3068

あなたは白髪の人の前では、起立しなければならない。また老人を敬い、あなたの神を恐れなければならない。わたしは主である。

33

לֹא	בְּאַרְצְכֶם	גֵּר	אִתְּךָ	יָגוּר	וְכִי־
してはならない	あなたがたの–地に	寄留者が	あなたと–共に	寄留するなら	そして–もし
H3808	H0776	H1616	H0854		

	תוֹנוּ	אֹתוֹ׃
	虐げてはならない	彼を
	H3238	H0853

もし他国人があなたがたの国に寄留して共にいるならば、これをしえたげてはならない。

34

הַגֵּר	וְהַגֵּר	לָכֶם	יִהְיֶה	מִכֶּם	כְּאֶזְרָח
寄留する	寄留者は	あなたがたにとって	ある	あなたがたの–うちの	土地の–者のように
	H1616		H1961		H0249

בְּאֶרֶץ	הֱיִיתֶם	גֵּרִים	כִּי־	כָמוֹךָ	לוֹ	וְאָהַבְתָּ	אִתְּכֶם
地に	あった	寄留者で	なぜなら	あなたの–ように	彼を	そして–愛せよ	あなたがたと–共に
H0776	H1961	H1616		H3644		H0157	H0854

אֱלֹהֵיכֶם׃	יְהוָה	אֲנִי	מִצְרָיִם
あなたがたの–神である	主	わたしは	エジプトの
H0430	H3068	H0589	H4714

あなたがたと共にいる寄留の他国人を、あなたがたと同じ国に生れた者のようにし、あなた自身のようにこれを愛さなければならない。あなたがたもかつてエジプトの国で他国人であったからである。わたしはあなたがたの神、主である。

35

בַּמִּשְׁקָל	בַּמִּדָּה	בַּמְּשֹׁפָט	עָוֶל	תַּעֲשׂוּ	לֹא־
重さにおいて	度量において	裁きにおいて	不正を	してはならない	してはならない
H4948		H4941			H3808

	וּבַמְּשׂוֹרָה׃
	そして–分量において
	H4884

あなたがたは、さばきにおいても、物差しにおいても、はかりにおいても、ますにおいても、不正を行ってはならない。

36

לָכֶם	יִהְיֶה	צֶדֶק	וְהִין	צֶדֶק	אֵיפַת	צֶדֶק	אַבְנֵי־	צֶדֶק	מָאזְנֵי
あなたがたにとって	ある	正しい	そして-ヒンを	正しい	升を	正しい	重りを	正しい	秤を
	H1961	H6664	H1969	H6664	H0374	H6664	H0068	H6664	H3976

מִצְרָיִם׃	מֵאֶרֶץ	אֶתְכֶם	הוֹצֵאתִי	אֲשֶׁר־	אֱלֹהֵיכֶם	יְהוָה	אֲנִי
エジプトの	地から	あなたがたを	導き-出した	その	あなたがたの-神である	主	わたしは
H4714	H0776	H0853	H3318		H0430	H3068	H0589

あなたがたは正しいてんびん、正しいおもり石、正しいエパ、正しいヒンを使わなければならない。わたしは、あなたがたをエジプトの国から導き出したあなたがたの神、主である。

37

מִשְׁפָּטַי	כָּל־	וְאֶת־	חֻקֹּתַי	כָּל־	אֶת־	וּשְׁמַרְתֶּם	
わたしの-裁きを	すべての	そして（～を）	わたしの-定めを	すべての	（～を）	そして-守れ	
H4941	H3605	H0853	H2708	H3605	H0853	H8104	

פ	יְהוָה׃	אֲנִי	אֹתָם	וַעֲשִׂיתֶם	
（段落）	主である	わたしは	それらを	そして-行え	
	H3068	H0589	H0853		

あなたがたはわたしのすべての定めと、わたしのすべてのおきてを守って、これを行わなければならない。わたしは主である』」。

Chapter 20

1

לֵאמֹר׃	מֹשֶׁה	אֶל־	יְהוָה	וַיְדַבֵּר	
言って	モーセ	～に	主は	そして-語った	
H0559	H4872	H0413	H3068	H1696	

主はまたモーセに言われた、

2

יִשְׂרָאֵל	מִבְּנֵי	אִישׁ	אִישׁ	תֹּאמַר	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי	וְאֶל־	
イスラエル	～の-子らから	人	人が	あなたは-言え	イスラエル	子らの	そして～に	
H3478		H0376	H0376	H0559	H3478		H0413	

מוֹת	לַמֹּלֶךְ	מִזַּרְעוֹ	יִתֵּן	אֲשֶׁר	בְּיִשְׂרָאֵל	הַגָּר	וְהַגָּר	וּמִן־
必ず	モレクに	その-子孫を	与えるなら	その者が	イスラエルに	寄留する	寄留者の	また～から
H4191	H4432	H2233	H5414		H3478		H1616	

בָּאֶבֶן׃	יִרְגְּמֻהוּ	הָאָרֶץ	עַם	יוּמָת
石で	彼を-石で打て	その-地の	民は	殺されなければならない
H0068	H7275	H0776		H4191

「イスラエルの人々に言いなさい、『イスラエルの人々のうち、またイスラエルのうちに寄留する他国人のうち、だれでもその子供をモレクにささげる者は、必ず殺されなければならない。すなわち、国の民は彼を石で撃たなければならない。

3

אֹתוֹ	וְהִכְרַתִּי	הַהוּא	בָּאִישׁ	פָּנַי	אֶת־	אֶתֵּן	וַאֲנִי	
彼を	そして-断つ	その	その-人に	わたしの-顔を	（を）	向ける	そして-わたしは	
H0853	H3772	H1931	H0376	H6440	H0853	H5414	H0589	

אֶת־	טִמֵּא	לְמַעַן	לַמֹּלֶךְ	נָתַן	מִזַּרְעוֹ	כִּי	עַמּוֹ	מִקֶּרֶב
（を）	汚し	そのために	モレクに	与えた	その-子孫を	なぜなら	その-民	～の-中から
H0853		H4616	H4432	H5414	H2233			H7130

קָדְשִׁי׃	שֵׁם	אֶת־	וּלְחַלֵּל	מִקְדָּשִׁי	
わたしの-聖なる	名を	（を）	そして-冒涜し	わたしの-聖所を	
H6944	H8034	H0853		H4720	

わたしは顔をその人に向け、彼を民のうちから断つであろう。彼がその子供をモレクにささげてわたしの聖所を汚し、またわたしの聖なる名を汚したからである。

4 וְאִם הַעְלֵם יַעְלִימוּ עַם הָאָרֶץ אֶת־עֵינֵיהֶם מִן־הָאִישׁ הַהוּא
もし 隠して 目を-そらすなら 民が その-地の （を） その-目を ～から その-人 その
H5956 H5956 H5956 H5956 H0776 H0853 H0853 H0376 H1931

אֹתוֹ׃ הָמֵית לְבִלְתִּי לַמֹּלֶךְ מִזַּרְעוֹ בְּתִתּוֹ
彼を 殺す ～しないために モレクに その-子孫を 彼が-与える-時に
H0853 H4191 H1115 H4432 H2233 H5414

その人が子供をモレクにささげるとき、国の民がもしことさらに、この事に目をおおい、これを殺さないならば、

5 וְשַׂמְתִּי אֲנִי אֶת־פָּנַי בָּאִישׁ הַהוּא וּבְמִשְׁפַּחְתּוֹ
そして-わたしは-置く わたし （を） わたしの-顔を その-人に その その-家族にも
H0589 H0853 H6440 H0376 H1931 H4940

וְהִכְרַתִּי אֹתוֹ וְאֵת כָּל־הַזֹּנִים אַחֲרָיו לִזְנוֹת אַחֲרֵי הַמֹּלֶךְ
そして-断つ 彼を そして すべての 淫行する-者たちを 彼に-従って 淫行し ～に-従って モレク
H3772 H0853 H0853 H3605 H2181 H2181 H0310 H2181 H4432

מִקֶּרֶב עַמָּם׃
～の-中から その-民
H7130 H5971

わたし自身、顔をその人とその家族とに向け、彼および彼に見ならってモレクを慕い、これと姦淫する者を、すべて民のうちから断つであろう。

6 וְהַנֶּפֶשׁ אֲשֶׁר תִּפְנֶה אֶל־הָאֹבֹת וְאֶל־הַיִּדְּעֹנִים לִזְנוֹת
そして-その-人が もし 向かうなら ～に 口寄せや また～に 霊媒に 淫行して
H5315 H0834 H6437 H0413 H0178 H0413 H3049 H2181

אַחֲרֵיהֶם וְנָתַתִּי אֶת־פָּנַי בַּנֶּפֶשׁ הַהִוא וְהִכְרַתִּי אֹתוֹ
彼らに-従って わたしは-向ける （を） わたしの-顔を その人に その 断つ 彼を
H0310 H5414 H0853 H6440 H5315 H1931 H3772 H0853

מִקֶּרֶב עַמָּם׃
～の-中から その-民
H7130 H5971

もし口寄せ、または占い師のもとにおもむき、彼らを慕って姦淫する者があれば、わたしは顔をその人に向け、これを民のうちから断つであろう。

7 וְהִתְקַדִּשְׁתֶּם וִהְיִיתֶם קְדֹשִׁים כִּי אֲנִי יְהוָה
そして-なれ あなたがたは-自分を-聖別せよ なぜなら わたしは 主
H1961 H6942 H3588 H0589 H3068

אֱלֹהֵיכֶם׃
あなたがたの-神
H0430

ゆえにあなたがたは、みずからを聖別し、聖なる者とならなければならない。わたしはあなたがたの神、主である。

8 וּשְׁמַרְתֶּם אֶת־חֻקֹּתַי וַעֲשִׂיתֶם אֹתָם אֲנִי יְהוָה
そして-守れ （を） わたしの-掟を そして-行え それらを わたしは 主
H8104 H0853 H2708 H6213 H0853 H0589 H3068

מְקַדִּשְׁכֶם׃
あなたがたを-聖別する-方
H6942

あなたがたはわたしの定めを守って、これを行わなければならない。わたしはあなたがたを聖別する主である。

9 כִּי־ אִישׁ אִישׁ אֲשֶׁר יְקַלֵּל אֶת־ (を) אָבִיו (その-父を) וְאֶת־ また אִמּוֹ (その-母を) מָוֹת 必ず
H4191 H0517 H0853 H0001 H0853 H7043 H0376 H0376

בּוֹ׃ 彼に-ある דָּמָיו (その-血は) קִלֵּל のろった וְאִמּוֹ (その-母を) אָבִיו (その-父と) יוּמָת 殺されなければならない
H1818 H7043 H0517 H0001 H4191

だれでも父または母をのろう者は、必ず殺されなければならない。彼が父または母をのろったので、その血は彼に帰するであろう。

10 וְאִישׁ そして-人が אֲשֶׁר もし יִנְאַף 姦淫するなら אֶת־ ～と אֵשֶׁת 妻と אִישׁ 人の אֲשֶׁר もし יִנְאַף 姦淫するなら אֶת־ ～と אֵשֶׁת 妻と
H0376 H0376 H0802 H0854 H5003 H0376 H0802 H5003 H0854 H5003

וְהַנֹּאֶפֶת׃ 姦淫した-女も הַנֹּאֵף 姦淫した-男も יוּמָת 殺されなければならない מוֹת־ 必ず רֵעֵהוּ その-隣人の
H5003 H5003 H4191 H4191 H7453

人の妻と姦淫する者、すなわち隣人の妻と姦淫する者があれば、その姦夫、姦婦は共に必ず殺されなければならない。

11 וְאִישׁ そして-人が אֲשֶׁר もし יִשְׁכַּב 寝るなら אֶת־ ～と אֵשֶׁת 妻と אָבִיו その-父の עֶרְוַת 裸を גִּלָּה さらした מוֹת־ 必ず
H0376 H0376 H7901 H0854 H0802 H0001 H6172 H1540 H4191

בָּם׃ 彼らに-ある דְּמֵיהֶם その-血は שְׁנֵיהֶם 二人とも יוּמָתוּ 殺されなければならない
H1818 H8147 H4191

その父の妻と寝る者は、その父をはずかしめる者である。彼らはふたりとも必ず殺されなければならない。その血は彼らに帰するであろう。

12 וְאִישׁ そして-人が אֲשֶׁר もし יִשְׁכַּב 寝るなら אֶת־ ～と כַּלָּתוֹ その-嫁と מוֹת 必ず יוּמָתוּ 殺されなければならない שְׁנֵיהֶם 二人とも
H0376 H0376 H7901 H0854 H3618 H4191 H4191 H8147

בָּם׃ 彼らに-ある דְּמֵיהֶם その-血は עָשׂוּ 行った תֶּבֶל 道義に-そむく-行い
H1818 H8397

子の妻と寝る者は、ふたり共に必ず殺されなければならない。彼らは道ならぬことをしたので、その血は彼らに帰するであろう。

13 וְאִישׁ そして-人が אֲשֶׁר もし יִשְׁכַּב 寝るなら אֶת־ ～と זָכָר 男と מִשְׁכְּבֵי 女と-寝る-ように אִשָּׁה 女の תּוֹעֵבָה 忌み嫌う-べきこと עָשׂוּ 行った
H0376 H0376 H7901 H0854 H2145 H4904 H0802 H8441

בָּם׃ 彼らに-ある דְּמֵיהֶם その-血は יוּמָתוּ 殺されなければならない מוֹת 必ず שְׁנֵיהֶם 二人とも
H1818 H4191 H4191 H8147

女と寝るように男と寝る者は、ふたりとも憎むべき事をしたので、必ず殺されなければならない。その血は彼らに帰するであろう。

14

בָּאֵ֑שׁ	הִ֣וא	זִמָּ֔ה	אִמָּ֖הּ	וְאֶת־	אִשָּׁ֥ה	אֶת־	יִקַּ֛ח	אֲשֶׁ֥ר	וְאִ֖ישׁ
火で	それは	みだらな-行い	その-母を	また	女と	（を）	めとるなら	もし	そして-人が
H0784	H1931	H2154	H0517	H0853	H0802	H0853	H3947		H0376

בְּתוֹכְכֶ֖ם׃	זִמָּ֥ה	תִּהְיֶ֛ה	וְלֹא־	וְאֶתְהֶ֧ן	אֹתוֹ֙	יִשְׂרְפ֣וּ
あなたがたの-中に	みだらな-行いが	あってはならない	そして-ないように	彼女たちは	彼と	焼かれる
H8432	H2154	H1961	H3808	H0853	H0853	H8313

女をその母と一緒にめとるならば、これは悪事であって、彼も、女たちも火に焼かれなければならない。このような悪事をあなたがたのうちになくするためである。

15

וְאֶת־	יוּמָ֖ת	מ֣וֹת	בִּבְהֵמָ֑ה	שִׁכְבָתּ֥וֹ	יִתֵּ֛ן	אֲשֶׁ֥ר	וְאִ֖ישׁ
また	殺されなければならない	必ず	獣と	その-交わりを	与えるなら	もし	そして-人が
H0853	H4191	H4191	H0929	H7903	H5414		H0376

הַבְּהֵמָ֖ה	תַּהַרְגוּ׃
その-獣も	殺せ
H0929	H2026

男がもし、獣と寝るならば彼は必ず殺されなければならない。あなたがたはまた、その獣を殺さなければならない。

16

וְהָרַגְתָּ	אֹתָ֖הּ	לִרְבָעָ֑ה	בִּבְהֵמָ֣ה	כָּל־	אֶל־	תִּקְרַ֥ב	אֲשֶׁ֛ר	וְאִשָּׁ֖ה
そして-殺せ	それと	交わる-ために	獣にも	いかなる	～に	近づくなら	もし	そして-女が
H2026	H0854	H7250	H0929	H3605	H0413	H7126		H0802

בָּֽם׃	דְּמֵיהֶ֖ם	יוּמָתוּ֙	מ֣וֹת	הַבְּהֵמָ֔ה	וְאֶת־	הָאִשָּׁ֥ה	אֶת־
彼らに-ある	その-血は	殺されなければならない	必ず	その-獣を	また	その-女を	（を）
	H1818	H4191	H4191	H0929	H0853	H0802	H0853

女がもし、獣に近づいて、これと寝るならば、あなたは、その女と獣とを殺さなければならない。彼らは必ず殺さるべきである。その血は彼らに帰するであろう。

17

בַּת־	אֹ֥ו	אָבִ֖יו	בַּת־	אֲחֹתֹ֑ו	אֶת־	יִקַּ֛ח	אֲשֶׁר־	וְאִ֖ישׁ
娘	あるいは	その-父の	娘	その-姉妹を	（を）	めとるなら	もし	そして-人が
H1323		H0001	H1323	H0269	H0853	H3947		H0376

עֶרְוָתֹ֖ו	אֶת־	תִּרְאֶ֣ה	וְהִ֤יא־	עֶרְוָתָהּ֙	אֶת־	וְרָאָ֣ה	אִמֹּ֔ו
彼の-裸を	（を）	見るなら	そして-彼女が	彼女の-裸を	（を）	そして-見るなら	その-母の
H6172	H0853	H7200	H1931	H6172	H0853	H7200	H0517

אֲחֹתֹ֖ו	עֶרְוַ֣ת	עַמָּ֑ם	בְּנֵ֣י	לְעֵינֵ֔י	וְנִכְרְתוּ֙	הִ֣וא	חֶ֔סֶד
その-姉妹の	裸を	その-民	子らの	～の-目の-前で	そして-断たれる	それは	恥ずべき-こと
H0269	H6172				H3772	H1931	

יִשָּֽׂא׃	עֲוֹנָ֖ם	גִּלָּ֥ה
負う	その-咎を	さらした
H5375	H5771	H1540

人がもし、その姉妹、すなわち父の娘、あるいは母の娘に近づいて、その姉妹のはだを見、女はその兄弟のはだを見るならば、これは恥ずべき事である。彼らは、その民の人々の目の前で、断たれなければならない。彼は、その姉妹を犯したのであるから、その罪を負わなければならない。

18

עֶרְוָתָהּ	אֶת־	וְגִלָּה	דָּוָה	אִשָּׁה	אֶת־	יִשְׁכַּב	אֲשֶׁר־	וְאִישׁ
彼女の–裸を	（を）	そして–さらすなら	月のさわりの	女と	～と	寝るなら	もし	そして–人が
H6172	H0853	H1540	H1739	H0802	H0854	H7901		H0376

דָּמֶיהָ	מְקֹור	אֶת־	גִּלְתָּה	וְהִיא	הֶעֱרָה	מְקֹרָהּ	אֶת־
その–血の	源を	（を）	さらした	そして–彼女も	むき出しにした	その–源を	（を）
H1818	H4726	H0853	H1540	H1931	H6168	H4726	H0853

עַמָּם׃	מִקֶּרֶב	שְׁנֵיהֶם	וְנִכְרְתוּ
その–民	～の–中から	二人とも	そして–断たれる
	H7130	H8147	H3772

人がもし、月のさわりのある女と寝て、そのはだを現すならば、男は女の源を現し、女は自分の血の源を現したのであるから、ふたり共にその民のうちから断たれなければならない。

19

לֹא	אָבִיךָ	וַאֲחוֹת	אִמְּךָ	אֲחֹת	וְעֶרְוַת	
さらしては–ならない	あなたの–父の	また–姉妹の	あなたの–母の	姉妹の	また–裸を	
H3808	H0001	H0269	H0517	H0269	H6172	

יִשָּׂאוּ׃	עֹנָם	הֶעֱרָה	שְׁאֵרוֹ	אֶת־	כִּי	תְגַלֶּה
彼らは–負う	その–咎を	むき出しにした	その–肉親を	（を）	なぜなら	さらしては–ならない
H5375	H5771	H6168	H7607	H0853		H1540

あなたの母の姉妹、またはあなたの父の姉妹を犯してはならない。これは、自分の肉親の者を犯すことであるから、彼らはその罪を負わなければならない。

20

חֶטְאָם	גִּלָּה	דֹּדוֹ	עֶרְוַת	דֹּדָתוֹ	אֶת־	יִשְׁכַּב	אֲשֶׁר	וְאִישׁ
その–罪を	さらした	その–おじの	裸を	その–おばと	～と	寝るなら	もし	そして–人が
H2399	H1540	H1730	H6172	H1733	H0854	H7901		H0376

יָמֻתוּ׃	עֲרִירִים	יִשָּׂאוּ
死ぬ	子なくして	彼らは–負う
H4191	H6185	H5375

人がもし、そのおばと寝るならば、これはおじをはずかしめることであるから、彼らはその罪を負い、子なくして死ぬであろう。

21

אָחִיו	עֶרְוַת	הִוא	נִדָּה	אָחִיו	אֵשֶׁת	אֶת־	יִקַּח	אֲשֶׁר	וְאִישׁ
その–兄弟の	裸を	それは	汚れ	その–兄弟の	妻を	（を）	めとるなら	もし	そして–人が
H0251	H6172	H1931	H5079	H0251	H0802	H0853	H3947		H0376

יִהְיוּ׃	עֲרִירִים	גִּלָּה
彼らは–なる	子なくして	さらした
H1961	H6185	H1540

人がもし、その兄弟の妻を取るならば、これは汚らわしいことである。彼はその兄弟をはずかしめたのであるから、彼らは子なき者となるであろう。

22

וַעֲשִׂיתֶם	מִשְׁפָּטַי	כָּל־	וְאֶת־	חֻקֹּתַי	כָּל־	אֶת־	וּשְׁמַרְתֶּם	
そして–行え	わたしの–定めを	すべての	また	わたしの–掟と	すべての	（を）	そして–守れ	
	H4941	H3605	H0853	H2708	H3605	H0853	H8104	

מֵבִיא	אֲנִי	אֲשֶׁר	הָאָרֶץ	אֶתְכֶם	תָּקִיא	וְלֹא־	אֹתָם	
導き–入れる	わたしが	その	その–地が	あなたがたを	吐き出さない	そして–ないように	それらを	
H0935	H0589		H0776	H0853	H6958	H3808	H0853	

בָּהּ׃	לָשֶׁבֶת	שָׁמָּה	אֶתְכֶם	
そこに	住む–ために	そこへ	あなたがたを	
	H3427	H8033	H0853	

あなたがたはわたしの定めとおきてとをことごとく守って、これを行わなければならない。そうすれば、わたしがあなたがたを住まわせようと導いて行く地は、あなたがたを吐き出さぬであろう。

23

וְלֹא	תֵלְכוּ	בְּחֻקַּת	הַגּוֹי	אֲשֶׁר־	אֲנִי	מְשַׁלֵּחַ
そして〜ならない	歩んでは	掟に−従って	その−国の	その	わたしが	追い出す
H3808	H3212	H2708	H1471	H0834	H0589	H7971

וָאָקֹץ	עָשׂוּ	אֱלֹהֶ	כָּל־	אֶת־	כִּי	מִפְּנֵיכֶם
そして−わたしは−忌み嫌った	行った	すべてを	これらの	（を）	なぜなら	あなたがたの−前から
H6973		H0428	H3605	H0853		H6440

:כֶּם
彼らを

あなたがたの前からわたしが追い払う国びとの風習に、あなたがたは歩んではならない。彼らは、このもろもろのことをしたから、わたしは彼らを憎むのである。

24

אַדְמָתָם	אֶת־	תִּירְשׁוּ	אַתֶּם	לָכֶם	וָאֹמַר	
彼らの−土地を	（を）	受け継ぐ	あなたがたは	あなたがたに	そして−わたしは−言った	
H0127	H0853	H3423			H0559	

וּדְבָשׁ	חָלָב	זָבַת	אֶרֶץ	אֹתָהּ	לָרֶשֶׁת	לָכֶם	אֶתְּנֶנָּהּ	וַאֲנִי
蜜の	乳と	流れる	地	それを	受け継ぐ−ために	あなたがたに	与える	そして−わたしは
H1706	H2461	H2100	H0776	H0853	H3423		H5414	H0589

הָעַמִּים׃	מִן־	אֶתְכֶם	הִבְדַּלְתִּי	אֲשֶׁר־	אֱלֹהֵיכֶם	יְהוָה	אֲנִי
諸国の−民	〜から	あなたがたを	区別した	その	あなたがたの−神	主	わたしは
		H0853	H0914		H0430	H3068	H0589

わたしはあなたがたに言った、「あなたがたは、彼らの地を獲るであろう。わたしはこれをあなたがたに与えて、これを獲させるであろう。これは乳と蜜との流れる地である」。わたしはあなたがたを他の民から区別したあなたがたの神、主である。

25

לַטָּהֳרָה	הַטָּמֵא	הָעוֹף	וּבֵין־	לַטָּמֵאָה	הַטְּהֹרָה	הַבְּהֵמָה	בֵּין־	וְהִבְדַּלְתֶּם	
清い	汚れた	鳥の	また〜の−間を	汚れた	清い	獣の	〜の−間を	そして−区別せよ	
H2889	H2931	H5775	H0996	H2931	H2889	H0929	H0996	H0914	

וּבְכֹל	וּבָעוֹף	בַּבְּהֵמָה	נַפְשֹׁתֵיכֶם	אֶת־	תְּשַׁקְּצוּ	וְלֹא־	
すべての	鳥や	獣や	あなたがたの−いのちを	（を）	忌み嫌う−ものとしては	そして〜ならない	
H3605	H5775	H0929	H5315	H0853	H8262	H3808	

לְטַמְּא׃	לָכֶם	הִבְדַּלְתִּי	אֲשֶׁר־	הָאֲדָמָה	תִּרְמֹשׂ	אֲשֶׁר	
汚れた−ものとして	あなたがたのために	わたしが−区別した	その	地の	這う	もの	
		H0914		H0127	H7430		

あなたがたは清い獣と汚れた獣、汚れた鳥と清い鳥を区別しなければならない。わたしがあなたがたのために汚れたものとして区別した獣、または鳥またはすべて地を這うものによって、あなたがたの身を忌むべきものとしてはならない。

26

וַאַבְדֵּל	יְהוָה	אֲנִי	קָדוֹשׁ	כִּי	קְדֹשִׁים	לִי	וִהְיִיתֶם	
そして−わたしは−区別した	主	わたしは	聖なる	なぜなら	聖なる−者と	わたしに	そして−なれ	
H0914	H3068	H0589	H6918		H6918		H1961	

לִי׃	לִהְיוֹת	הָעַמִּים	מִן־	אֶתְכֶם	
わたしの−もの	なる−ために	諸国の−民	〜から	あなたがたを	
	H1961			H0853	

あなたがたはわたしに対して聖なる者でなければならない。主なるわたしは聖なる者で、あなたがたをわたしのものにしようと、他の民から区別したからである。

27 וְאִישׁ אוֹ־אִשָּׁה כִּי־יִהְיֶה בָהֶם אוֹב אוֹ יִדְּעֹנִי מוֹת
そして-男 あるいは 女が もし あるなら 彼らに 口寄せ あるいは 霊媒が 必ず
H0376 H0802 H0413 H1961 H0178 H3049 H4191

יוּמָתוּ בָּאֶבֶן יִרְגְּמוּ אֹתָם דְּמֵיהֶם עֲלֵיהֶם׃ פ
殺されなければならない 石で 打て 彼らを その-血は 彼らに-ある (段落)
H4191 H0068 H7275 H0853 H1818

男または女で、口寄せ、または占いをする者は、必ず殺されなければならない。すなわち、石で撃ち殺さなければならない。その血は彼らに帰するであろう』」。

Chapter 21

1 וַיֹּאמֶר יְהוָה אֶל־מֹשֶׁה אֱמֹר אֶל־הַכֹּהֲנִים בְּנֵי אַהֲרֹן וְאָמַרְתָּ
そして-言った 主は ～に モーセ 告げよ ～に 祭司たちに 子らの アロン そして-言え
H0559 H3068 H0413 H4872 H0559 H0413 H3548 H0120 H0559

אֲלֵהֶם לְנֶפֶשׁ לֹא־יִטַּמָּא בְּעַמָּיו׃
彼らに 死人に-よって してはならない 汚れては その-民の-中で
H0413 H5315 H3808 H2930 H5971

主はまたモーセに言われた、「アロンの子なる祭司たちに告げて言いなさい、『民のうちの死人のために、身を汚す者があってはならない。

2 כִּי אִם־לִשְׁאֵרוֹ הַקָּרֹב אֵלָיו לְאִמּוֹ וּלְאָבִיו וְלִבְנוֹ וְלִבְתּוֹ
ただし ～のためには その-肉親の 近い 彼に その-母や その-父や その-息子や その-娘や
H3588 H0518 H7607 H7138 H0413 H0517 H1 H1121 H1323

וּלְאָחִיו׃
その-兄弟
H0251

ただし、近親の者、すなわち、父、母、むすこ、娘、兄弟のため、

3 וְלַאֲחֹתוֹ הַבְּתוּלָה הַקְּרוֹבָה אֵלָיו אֲשֶׁר לְאִישׁ לֹא הָיְתָה
また-その-姉妹の 処女で 近い 彼に あの 夫の-ある なっていない
H0269 H1330 H7138 H0413 H0834 H0376 H1961

לָהּ עָלֶיהָ יִטַּמָּא׃
彼女のために 汚れてもよい
H0259 H5921 H2930

また彼の近親で、まだ夫のない処女なる姉妹のためには、その身を汚してもよい。

4 לֹא יִטַּמָּא בַּעַל בְּעַמָּיו לְהֵחַלּוֹ׃
してはならない 汚れては 夫たる-者は その-民の-中で 自分を-汚して
H3808 H2930 H1167 H5971 H2490

しかし、夫にとついだ姉妹のためには、身を汚してはならない。

5 לֹא־יקרחה [יִקְרְחָה] (יִקְרְחוּ) קָרְחָה בְרֹאשָׁם וּפְאַת זְקָנָם
してはならない [そるな] そっては はげの-しるしを その-頭に また-端を その-ひげの
H3808 H7139 H7139 H7144 H7218 H6285 H2206

לֹא יִשְׂרְטוּ שָׂרֶטֶת׃
してはならない 切り傷を-つけては 切り傷を
H3808 H8295 H8296

לֹא יִגְלָחוּ וּבִבְשָׂרָם לֹא יִשְׂרְטוּ שָׂרֶטֶת׃
してはならない そっては また-その-肉に してはならない 切り傷を
H3808 H1548 H1320 H3808 H8295 H8296

彼らは頭の頂をそってはならない。ひげの両端をそり落してはならない。また身に傷をつけてはならない。

קְדֹשִׁים יִהְיוּ לֵאלֹהֵיהֶם וְלֹא יְחַלְּלוּ שֵׁם אֱלֹהֵיהֶם 6
聖なる–者で なければならない その–神に そして–してはならない 汚しては 名を その–神の
H6918 H1961 H0430 H3808 H2181 H8034 H0430

כִּי אֶת־אִשֵּׁי יְהוָה לֶחֶם אֱלֹהֵיהֶם הֵם מַקְרִיבִם
なぜなら （を） 火による–ささげ物を 主の パンを その–神の 彼らは ささげる–者
H3588 H0853 H0801 H3068 H3899 H0430 H1992 H7126

וְהָיוּ קֹדֶשׁ׃
そして–ならなければならない 聖なる
H1961 H6944

彼らは神に対して聖でなければならない。また神の名を汚してはならない。彼らは主の火祭、すなわち、神の食物をささげる者であるから、聖でなければならない。

אִשָּׁה וְזֹנָה וַחֲלָלָה לֹא יִקָּחוּ וְאִשָּׁה גְּרוּשָׁה מֵאִישָׁהּ 7
女で 遊女や 汚れた–女を してはならない めとっては また–女で 離縁された–女を その–夫から
H0802 H2181 H2490 H3808 H3947 H0802 H1644 H0376

כִּי קָדֹשׁ הוּא לֵאלֹהָיו׃
なぜなら 聖なる 彼は その–神に
H3588 H6918 H1931 H0430

לֹא יִקָּחוּ
してはならない めとっては
H3808 H3947

彼らは遊女や汚れた女をめとってはならない。また夫に出された女をめとってはならない。祭司は神に対して聖なる者だからである。

קָדֹשׁ מַקְרִיב הוּא אֱלֹהֶיךָ לֶחֶם אֶת־ כִּי־ וְקִדַּשְׁתּוֹ 8
聖なる ささげる–者 彼は あなたの–神の パンを （を） なぜなら そして–聖別せよ–彼を
H6918 H7126 H1931 H0430 H3899 H0853 H3588 H6942

מְקַדִּשְׁכֶם׃ יְהוָה אֲנִי קָדוֹשׁ כִּי קָדוֹשׁ לְךָ הָיָה־
あなたがたを–聖別する–方 主 わたしは 聖なる なぜなら あなたに ならなければならない
H6942 H3068 H0589 H6918 H3588 H0000 H1961

あなたは彼を聖としなければならない。彼はあなたの神の食物をささげる者だからである。彼はあなたにとって聖なる者でなければならない。あなたがたを聖とする主、すなわち、わたしは聖なる者だからである。

וּבַת אִישׁ כֹּהֵן כִּי תָחֵל לִזְנוֹת אֶת־ אָבִיהָ הִיא מְחַלֶּלֶת 9
そして–娘が 人の 祭司の もし 始めるなら 淫行を （を） その–父を 彼女は 汚している
H1323 H0376 H3548 H3588 H2490 H2181 H0853 H0001 H1931

בָּאֵשׁ תִּשָּׂרֵף׃ ס
火で 焼かれる (空白)
H0784 H8313

祭司の娘である者が、淫行をなして、その身を汚すならば、その父を汚すのであるから、彼女を火で焼かなければならない。

וְהַכֹּהֵן הַגָּדוֹל מֵאֶחָיו אֲשֶׁר־ יוּצַק עַל־ רֹאשׁוֹ שֶׁמֶן 10
そして–祭司で 大いなる その–兄弟の–中で その 注がれた ～の–上に その–頭に 油が
H3548 H1419 H0251 H0834 H3332 H5921 H7218 H8081

הַמִּשְׁחָה וּמִלֵּא יָדוֹ אֶת־ לִלְבֹּשׁ אֶת־ הַבְּגָדִים אֶת־ רֹאשׁוֹ
注ぎの そして–満たされた その–手が （を） 着る–ために （を） その–衣を （を） その–頭を
H4888 H4390 H3027 H0853 H3847 H0853 H0853 H7218

לֹא יִפְרָע וּבְגָדָיו לֹא יִפְרֹם׃
乱しては また–その–衣を してはならない 裂いては
H6544 H0935 H3808 H6533

その兄弟のうち、頭に注ぎ油を注がれ、職に任ぜられて、その衣服をつけ、大祭司となった者は、その髪の毛を乱してはならない。またその衣服を裂いてはならない。

11

לְאָבִיו	יָבֹא	לֹא	מֵת	נַפְשֹׁת	כָּל־	וְעַל
その-父のためでも	行っては	してはならない	死んだ	死人の	いかなる	そして〜の-もとへ
H0001	H0935	H3808	H4191	H5315	H3605	

יִטַּמָּא׃	לֹא	וּלְאִמּוֹ
汚れては	してはならない	その-母のためでも
	H3808	H0517

死人のところに、はいってはならない。また父のためにも母のためにも身を汚してはならない。

12

מִקְדָּשׁ	אֵת	יְחַלֵּל	וְלֹא	יֵצֵא	לֹא	הַמִּקְדָּשׁ	וּמִן־	
聖所を	（を）	汚しては	そして〜ならない	出ては	してはならない	聖所から	また〜から	
H4720	H0853		H3808	H3318	H3808	H4720		

יְהוָה׃	אֲנִי	עָלָיו	אֱלֹהָיו	מִשְׁחַת	שֶׁמֶן	נֵזֶר	כִּי	אֱלֹהָיו
主	わたしは	彼の-上に-ある	その-神の	注ぎの	油の	冒の	なぜなら	その-神の
H3068	H0589		H0430		H8081	H5145		H0430

また聖所から出てはならない。神の聖所を汚してはならない。その神の注ぎ油による聖別が、彼の上にあるからである。わたしは主である。

13

יִקָּח׃	בִּבְתוּלֶיהָ	אִשָּׁה	וְהוּא
めとれ	処女の	女を	そして-彼は
H3947	H1331	H0802	H1931

彼は処女を妻にめとらなければならない。

14

יִקָּח	לֹא	אֵלֶּה	אֶת־	זֹנָה	וַחֲלָלָה	וּגְרוּשָׁה	אַלְמָנָה
めとっては	してはならない	これらを	（を）	遊女を	汚れた-女や	離縁された-女や	やもめや
H3947	H3808	H0428	H0853	H2181		H1644	H0490

אִשָּׁה׃	יִקַּח	מֵעַמָּיו	בְּתוּלָה	אִם־	כִּי
妻として	めとれ	その-民から	処女を	〜のみ	ただし
	H3947		H1330		

寡婦、出された女、汚れた女、遊女などをめとってはならない。ただ、自分の民のうちの処女を、妻にめとらなければならない。

15

יְהוָה	אֲנִי	כִּי	בְעַמָּיו	זַרְעוֹ	יְחַלֵּל	וְלֹא־
主	わたしは	なぜなら	その-民の-中で	その-子孫を	汚しては	そして〜ならない
H3068	H0589			H2233		H3808

פ	מְקַדְּשׁוֹ׃
(段落)	彼を-聖別する-方
	H6942

そうすれば、彼は民のうちに、自分の子孫を汚すことはない。わたしは彼を聖別する主だからである』」。

16

לֵאמֹר׃	מֹשֶׁה	אֶל־	יְהוָה	וַיְדַבֵּר
言って	モーセ	〜に	主は	そして-語った
H0559	H4872	H0413	H3068	H1696

主はまたモーセに言われた、

17 דַּבֵּר אֶל־אַהֲרֹן לֵאמֹר אִישׁ מִזַּרְעֲךָ לְדֹרֹתָם אֲשֶׁר יִהְיֶה בּוֹ
語れ ～に アロン 言って 人が あなたの–子孫の 代々に–わたって その あるなら 彼に
H1696 H0413 H0175 H0559 H0376 H2233 H1755 H1961

מוּם לֹא יִקְרַב לְהַקְרִיב לֶחֶם אֱלֹהָיו׃
傷が してはならない 近づいては ささげる–ために パンを その–神の
H3808 H7126 H7126 H3899 H0430

「アロンに告げて言いなさい、『あなたの代々の子孫で、だれでも身にきずのある者は近寄って、神の食物をささげてはならない。

18 כִּי כָל־אִישׁ אֲשֶׁר־בּוֹ מוּם לֹא יִקְרָב אִישׁ עִוֵּר אוֹ פִסֵּחַ אוֹ חָרֵם אוֹ שָׂרוּעַ׃
なぜなら すべての 人で その 彼に 傷が–ある–者は してはならない 近づいては 人で
H3605 H0376 H3808 H7126 H0376

盲目の あるいは 足の–不自由な あるいは 鼻の–つぶれた あるいは 手足の–伸びた
H5787 H6455 H0176 H2763 H0176 H8311

すべて、その身にきずのある者は近寄ってはならない。すなわち、目しい、足なえ、鼻のかけた者、手足の不つりあいの者、

19 אוֹ אִישׁ אֲשֶׁר־יִהְיֶה בּוֹ שֶׁבֶר רָגֶל אוֹ שֶׁבֶר יָד׃
あるいは 人で その あるなら 彼に 骨折が 足の あるいは 骨折が 手の
H0176 H0376 H0834 H1961 H7667 H7272 H0176 H7667 H3027

足の折れた者、手の折れた者、

20 אוֹ גִבֵּן אוֹ דַק אוֹ תְּבַלֻּל בְּעֵינוֹ אוֹ גָרָב אוֹ יַלֶּפֶת אוֹ מְרוֹחַ אָשֶׁךְ׃
あるいは せむしの あるいは やせた あるいは 白斑が その–目に–ある あるいは かいせんの あるいは 湿疹の あるいは つぶれた 睾丸の
H0176 H1384 H0176 H1851 H0176 H8400 H5869 H0176 H3217 H4790 H0810

せむし、こびと、目にきずのある者、かいせんの者、かさぶたのある者、こうがんのつぶれた者などである。

21 כָּל־אִישׁ אֲשֶׁר־בּוֹ מוּם מִזֶּרַע אַהֲרֹן הַכֹּהֵן לֹא יִגַּשׁ לְהַקְרִיב אִשֵּׁי יְהוָה מוּם בּוֹ לֶחֶם אֱלֹהָיו לְהַקְרִיב׃
すべての 人で その 彼に 傷が–ある–者は 子孫から アロンの 祭司の してはならない 近づいては ささげる–ために （を） 火による–ささげ物を 主の 傷が 彼に–ある （を） パンを その–神の ささげる–ために
H3605 H0376 H0834 H0834 H3548 H0175 H2233 H3808 H5066 H7126 H0853 H0801 H3068 H0834 H0853 H3899 H0430 H7126

すべて祭司アロンの子孫のうち、身にきずのある者は近寄って、主の火祭をささげてはならない。彼は身にきずがあるから、神の食物をささげるために、近寄ってはならない。

22 לֶחֶם אֱלֹהָיו מִקָּדְשֵׁי וּמִן־הַקֳּדָשִׁים הַקֳּדָשִׁים יֹאכֵל׃
パンを その–神の 至聖の–ものからも また～から 聖なる 聖なる–ものからも 食べてよい
H3899 H0430 H6944 H4480 H6944 H6944 H0398

彼は神の食物の聖なる物も、最も聖なる物も食べることができる。

23

יִגַּשׁ	לֹא	הַמִּזְבֵּחַ	וְאֶל־	יָבֹא	לֹא	הַפָּרֹכֶת	אֶל־	אַךְ
近づいては	してはならない	祭壇に	また〜に	近づいては	してはならない	幕に	〜に	ただし
H5066	H3808	H4196	H0413	H0935	H3808	H6532	H0413	H0389

כִּי	מְקַדְּשַׁי	אֶת־	יְחַלֵּל	וְלֹא	בּוֹ	מוּם	כִּי־	
なぜなら	わたしの–聖所を	（を）	汚しては	そして〜ならない	彼に–ある	傷が	なぜなら	
	H4720	H0853		H3808				

מְקַדְּשָׁם׃	יְהוָה	אֲנִי
彼らを–聖別する–方	主	わたしは
H6942	H3068	H0589

ただし、垂幕に近づいてはならない。また祭壇に近寄ってはならない。身にきずがあるからである。彼はわたしの聖所を汚してはならない。わたしはそれを聖別する主である』」。

24

בְּנֵי	כָּל־	וְאֶל־	בָּנָיו	וְאֶל־	אַהֲרֹן	אֶל־	מֹשֶׁה	וַיְדַבֵּר
子らの	すべての	また〜に	その–子らと	また〜に	アロンと	〜に	モーセは	そして–語った
	H3605	H0413		H0413	H0175	H0413	H4872	H1696

פ	יִשְׂרָאֵל׃	
(段落)	イスラエル	
	H3478	

モーセはこれをアロンとその子ら及びイスラエルのすべての人々に告げた。

Chapter 22

1

לֵאמֹר׃	מֹשֶׁה	אֶל־	יְהוָה	וַיְדַבֵּר	
言って	モーセ	〜に	主は	そして–語った	
H0559	H4872	H0413	H3068	H1696	

主はまたモーセに言われた、

2

בְּנֵי־	מְקַדְּשֵׁי	וְיִנָּזְרוּ	בָּנָיו	וְאֶל־	אַהֲרֹן	אֶל־	דַּבֵּר	
子らの	聖なる–ものから	そして–遠ざけよ	その–子らに	また〜に	アロンと	〜に	語れ	
	H6944			H0413	H0175	H0413	H1696	

הֵם	אֲשֶׁר	קָדְשֵׁי	שֵׁם	אֶת־	יְחַלְּלוּ	וְלֹא	יִשְׂרָאֵל	
彼らは	その	わたしの–聖なる	名を	（を）	汚しては	そして〜ならない	イスラエル	
H1992		H6944	H8034	H0853		H3808	H3478	

יְהוָה׃	אֲנִי	לִי	מַקְדִּישִׁים
主	わたしは	わたしに	聖別している
H3068	H0589		H6942

「アロンとその子たちに告げて、イスラエルの人々の聖なる物、すなわち、彼らがわたしにささげる物をみだりに用いて、わたしの聖なる名を汚さないようにさせなさい。わたしは主である。

3

אֱמֹר לָהֶם לְדֹרֹתֵיכֶם כָּל־אִישׁ וְאִישׁ אֲשֶׁר־יִקְרַב מִכָּל־
言え 彼らに 代々に-わたって すべての 人で その 近づくなら すべての-中から
H0559 H0413 H1755 H3605 H0376 H0407 H7126 H3605

זַרְעֲכֶם אֶל־הַקֳּדָשִׁים אֲשֶׁר יַקְדִּישׁוּ בְּנֵי־יִשְׂרָאֵל לַיהוָה
あなたがたの-子孫で ～に 聖なる-ものに その 子らが イスラエルの 主に
H2233 H0413 H6944 H0834 H6942 H1121 H3478 H3068

וְטֻמְאָתוֹ עָלָיו וְנִכְרְתָה הַנֶּפֶשׁ הַהִוא מִלְּפָנַי אֲנִי
そして-その-汚れが 彼に-あるなら そして-断たれる その-人は その わたしの-前から わたしは
H2932 H5921 H3772 H5315 H1931 H6440 H0589

יְהוָה׃
主
H3068

彼らに言いなさい、『あなたがたの代々の子孫のうち、だれでも、イスラエルの人々が主にささげる聖なる物に、汚れた身をもって近づく者があれば、その人はわたしの前から断たれるであろう。わたしは主である。

4

אִישׁ אִישׁ מִזֶּרַע אַהֲרֹן וְהוּא צָרוּעַ אוֹ זָב בַּקֳּדָשִׁים לֹא יֹאכַל
人が 人 子孫から アロンの そして-彼が らい病に-かかった あるいは 漏出が-ある-者は 聖なる-ものを してはならない 食べては
H0376 H0376 H2233 H0175 H1931 H6879 H0176 H2100 H6944 H3808 H0398

עַד אֲשֶׁר יִטְהָר וְהַנֹּגֵעַ בְּכָל־טְמֵא נֶפֶשׁ אוֹ אִישׁ אֲשֶׁר־תֵּצֵא
～まで その 清くなる また-触れる-者は すべての 汚れた 死人に あるいは 人で その 出た
H5704 H0834 H2891 H5060 H3605 H2931 H5315 H0176 H0376 H0834 H3318

מִמֶּנּוּ שִׁכְבַת־זָרַע׃
彼から 精液の 漏れが-ある-者も
H7902 H2233

アロンの子孫のうち、だれでも、らい病の者、また流出ある者は清くなるまで、聖なる物を食べてはならない。また、すべて死体によって汚れた物に触れた者、精を漏らした者、

5

אוֹ אִישׁ אֲשֶׁר יִגַּע בְּכָל־שֶׁרֶץ אֲשֶׁר יִטְמָא־לוֹ אוֹ
あるいは 人で その 触れるなら すべての 這う-ものに その 汚れる 彼に あるいは
H0176 H0376 H0834 H5060 H3605 H8318 H0834 H2930 H0176

בְּאָדָם אֲשֶׁר יִטְמָא־לוֹ לְכָל טֻמְאָתוֹ׃
人に その 汚れる 彼に すべての その-汚れに-よって
H0120 H0834 H2930 H0176 H3605 H2932

または、すべて人を汚す這うものに触れた者、または、どのような汚れにせよ、人を汚れさせる人に触れた者、

6

נֶפֶשׁ אֲשֶׁר תִּגַּע־בּוֹ וְטָמְאָה עַד־הָעֶרֶב וְלֹא יֹאכַל
人が その 触れるなら それに そして-汚れる ～まで 夕まで そして～ならない 食べては
H5315 H0834 H5060 H0176 H2930 H5704 H6153 H3808 H0398

מִן־הַקֳּדָשִׁים כִּי אִם־רָחַץ בְּשָׂרוֹ בַּמָּיִם׃
～から 聖なる-ものを ただし ～のみ 洗ったなら その-体を 水で
H4480 H6944 H3588 H0518 H7364 H1320 H4325

このようなものに触れた人は夕まで汚れるであろう。彼はその身を水にすすがないならば、聖なる物を食べてはならない。

7

וּבָא הַשֶּׁמֶשׁ וְטָהֵר וְאַחַר יֹאכַל מִן־הַקֳּדָשִׁים כִּי
そして-沈む 太陽が そして-清くなる その-後 食べてよい ～から 聖なる-ものを なぜなら
H0935 H8121 H2891 H0310 H0398 H4480 H6944 H3588

לַחְמוֹ הוּא׃
その-パン それは
H3899 H1931

日が入れば、彼は清くなるであろう。そののち、聖なる物を食べることができる。それは彼の食物だからである。

8 נְבֵלָה וּטְרֵפָה לֹא יֹאכַל לְטָמְאָה־בָּהּ אֲנִי
わたしは それで 汚れる–ために 食べては してはならない 引き裂かれた–ものを 死んだ–ものや
H0589 H0398 H3808 H2966 H5038

יְהוָה׃
主
H3068

自然に死んだもの、または裂き殺されたものを食べ、それによって身を汚してはならない。わたしは主である。

9 וְשָׁמְרוּ אֶת־מִשְׁמַרְתִּי וְלֹא־יִשְׂאוּ עָלָיו חֵטְא וּמֵתוּ
そして–守れ （を） わたしの–命令を そして〜ならない 負っては その–上に 罪を そして–死ぬ
H8104 H0853 H4931 H3808 H5375 H2399 H4191

בְּוֹ כִּי יְחַלְלֻהוּ אֲנִי יְהוָה מְקַדְּשָׁם׃
それに–よって なぜなら 汚すなら–それを わたしは 主 彼らを–聖別する–方
H6942 H3068 H0589

それゆえに、彼らはわたしの言いつけを守らなければならない。彼らがこれを汚し、これがために、罪を獲て死ぬことのないためである。わたしは彼らを聖別する主である。

10 וְכָל־ זָר לֹא־יֹאכַל קֹדֶשׁ תּוֹשָׁב כֹּהֵן
そして–すべての よそ者は してはならない 食べては 聖なる–ものを 寄留者や 祭司の
H3605 H3808 H0398 H6944 H8453 H3548

וְשָׂכִיר לֹא־יֹאכַל קֹדֶשׁ׃
また–雇い人も してはならない 食べては 聖なる–ものを
H7916 H3808 H0398 H6944

すべて一般の人は聖なる物を食べてはならない。祭司の同居人や雇人も聖なる物を食べてはならない。

11 וְכֹהֵן כִּי־ יִקְנֵה נֶפֶשׁ קִנְיַן כַּסְפּוֹ הוּא יֹאכַל בּוֹ
しかし–祭司が もし 買ったなら 人を 買い取って その–銀で 彼は 食べてよい それを
H3548 H3588 H7069 H5315 H7075 H3701 H1931 H0398

וְיִלִּיד בֵּיתוֹ הֵם יֹאכְלוּ בִלַּחְמוֹ׃
また–家で–生まれた–者も その–家の 彼らは 食べてよい その–パンを
H3211 H1992 H0398 H3899

しかし、祭司が金をもって人を買った時は、その者はこれを食べることができる。またその家に生れた者も祭司の食物を食べることができる。

12 וּבַת־ כֹּהֵן כִּי תִהְיֶה לְאִישׁ זָר הִוא מִתְּרוּמַת הַקֳּדָשִׁים
そして–娘が 祭司の なるなら もし 人の–妻に よその 彼女は 奉納物の 聖なる–ものの
H1323 H3548 H1961 H3588 H0376 H2114 H1931 H8641 H6944

לֹא תֹאכֵל׃
してはならない 食べては
H3808 H0398

もし祭司の娘が一般の人にとついだならば、彼女は聖なる供え物を食べてはならない。

13 וּבַת־ כֹּהֵן֮ תִּהְיֶה֒ כִּי֩ אַלְמָנָ֨ה וּגְרוּשָׁ֜ה וְזֶ֣רַע֗ אֵ֚ין לָ֔הּ
そして–娘が 祭司の なるなら もし やもめや 離縁されて そして–子が ないなら 彼女に
H1323 H3548 H1961 H0490 H1644 H2233 H0369

וְשָׁבָ֣ה אֶל־ בֵּ֣ית אָבִ֔יהָ כִּנְעוּרֶ֖יהָ מִלֶּ֣חֶם אָבִ֑יהָ תֹּאכֵ֗ל
そして–帰るなら ～に 家に その–父の 若い–時の–ように パンを その–父の 食べてよい
H7725 H0413 H1004 H0001 H3899 H0001 H0398

וְכָל־ זָ֖ר לֹא־ יֹאכַ֥ל בּ֛וֹ׃ ס
しかし–すべての よそ者は してはならない 食べては それを (空白)
H3605 H3808 H0398

もし祭司の娘が、寡婦となり、または出されて、子供もなく、その父の家に帰り、娘の時のようであれば、その父の食物を食べることができる。ただし、一般の人は、すべてこれを食べてはならない。

14 וְאִ֕ישׁ כִּֽי־ יֹאכַ֥ל קֹ֖דֶשׁ בִּשְׁגָגָ֑ה וְיָסַ֥ף חֲמִשִׁיתוֹ֙ עָלָ֔יו
そして–人が もし 食べるなら 聖なる–ものを 過って 五分の–一を それに
H0376 H0398 H6944 H7684 H3254 H2549

וְנָתַ֥ן לַכֹּהֵ֖ן אֶת־ הַקֹּֽדֶשׁ׃
そして–与えよ 祭司に （を） その–聖なる–ものを
H5414 H3548 H0853 H6944

もし人があやまって聖なる物を食べるならば、それにその五分の一を加え、聖なる物としてこれを祭司に渡さなければならない。

15 וְלֹ֣א יְחַלְּל֗וּ אֶת־ קָדְשֵׁ֛י בְּנֵ֥י יִשְׂרָאֵ֖ל אֵ֣ת אֲשֶׁר־ יָרִ֑ימוּ
そして～ならない 汚しては （を） 聖なる–ものを 子らの イスラエル （を） その ささげる
H3808 H2490 H0853 H6944 H1121 H3478 H0853 H3513

לַיהוָֽה׃
主に
H3068

祭司はイスラエルの人々が、主にささげる聖なる物を汚してはならない。

16 וְהִשָּׂ֣יאוּ אוֹתָ֗ם עֲוֹ֚ן אַשְׁמָ֔ה בְּאָכְלָ֖ם אֶת־ קָדְשֵׁיהֶ֑ם
そして–負わせる 彼らに 咎の 罪を 食べる–ことに–よって （を） その–聖なる–ものを
H5375 H0853 H5771 H0819 H0398 H0853 H6944

כִּ֥י אֲנִ֛י יְהוָ֖ה מְקַדְּשָֽׁם׃ פ
なぜなら わたしは 主 彼らを–聖別する–方 (段落)
H0589 H3068 H6942

人々が聖なる物を食べて、その罪のとがを負わないようにさせなければならない。わたしは彼らを聖別する主である』」。

17 וַיְדַבֵּ֥ר יְהוָ֖ה אֶל־ מֹשֶׁ֥ה לֵאמֹֽר׃
そして–語った 主は ～に モーセ 言って
H1696 H3068 H0413 H4872 H0559

主はまたモーセに言われた、

18 דַּבֵּר אֶל־אַהֲרֹן וְאֶל־בָּנָיו וְאֶל־כָּל־בְּנֵי יִשְׂרָאֵל
語れ ～に アロンと また～に その–子らと また～に すべての 子らの イスラエル
H1696 H0413 H0175 H0413 H0413 H3605 H1696 H3478

וְאָמַרְתָּ אֲלֵהֶם אִישׁ אִישׁ מִבֵּית יִשְׂרָאֵל וּמִן־הַגֵּר בְּיִשְׂרָאֵל
そして–言え 彼らに 人が 人 家から イスラエルの また～から 寄留者から イスラエルに–いる
H0559 H0413 H0376 H0376 H1616 H3478 H1616 H3478

אֲשֶׁר יַקְרִיב קָרְבָּנוֹ לְכָל־נִדְרֵיהֶם וּלְכָל־נִדְבוֹתָם
その ささげるなら その–ささげ物を すべての その–誓願や また–すべての
H0834 H7126 H7126 H7133 H3605 H5088 H3605 H5071

אֲשֶׁר־יַקְרִיבוּ לַיהוָה לְעֹלָה׃
その ささげる 主に 全燔の–ささげ物として
H0834 H7126 H3068 H5930

「アロンとその子たち、およびイスラエルのすべての人々に言いなさい、『イスラエルの家の者、またはイスラエルにおる他国人のうちのだれでも、誓願の供え物、または自発の供え物を燔祭として主にささげようとするならば、

19 לִרְצֹנְכֶם תָּמִים זָכָר בַּבָּקָר בַּכְּשָׂבִים וּבָעִזִּים׃
受け入れられる–ために 傷のない 雄 牛か 小羊か 山羊の
H7522 H8549 H2145 H1241 H3775 H5795

あなたがたの受け入れられるように牛、羊、あるいはやぎの雄の全きものをささげなければならない。

20 כֹּל אֲשֶׁר־בּוֹ מוּם לֹא תַקְרִיבוּ כִּי־לֹא לְרָצוֹן יִהְיֶה לָכֶם׃
すべての その 彼に 傷が–ある–ものは してはならない ささげては ～ない なぜなら あなたがたに ならない 受け入れられ
H3605 H0834 H0996 H4764 H3808 H7126 H3808 H1961 H7522

すべてきずのあるものはささげてはならない。それはあなたがたのために、受け入れられないからである。

21 וְאִישׁ כִּי־יַקְרִיב זֶבַח שְׁלָמִים לַיהוָה לְפַלֵּא־נֶדֶר אוֹ לִנְדָבָה בַּבָּקָר וְצֹאן תָּמִים יִהְיֶה לְרָצוֹן כָּל־מוּם לֹא־יִהְיֶה־בּוֹ׃
そして–人が もし ささげるなら 感謝の 和解の–ささげ物を 主に 果たす–ために 誓願を あるいは 自由意志の–ささげ物として 牛か 羊で 傷のない なければならない 受け入れられる–ために いかなる 傷も してはならない あって それに
H0376 H3588 H7126 H2077 H8002 H3068 H6381 H5088 H0176 H1241 H0834 H6629 H8549 H1961 H7522 H3605 H4764 H3808 H1961 H0996

もし人が特別の誓願をなすため、または自発の供え物のために、牛または羊を酬恩祭の犠牲として、主にささげようとするならば、その受け入れられるために、それは全きものでなければならない。それには、どんなきずもあってはならない。

22 עִוֵּר אוֹ שָׁבוּר אוֹ חָרוּץ אוֹ יַבֶּלֶת אוֹ גָרָב אוֹ
あるいは 盲目や あるいは 骨折や あるいは 切り傷や あるいは いぼや あるいは かいせんや あるいは
H0176 H5849 H0176 H7665 H0176 H2782 H0176 H2990 H0176 H1618 H0176

יַלֶּפֶת לֹא־תִתְּנוּ מֵהֶם עַל־הַמִּזְבֵּחַ לַיהוָה׃ וְאִשֶּׁה
湿疹の–ものを してはならない 置いては それらから ～の–上に 祭壇に 主に また–火による–ささげ物として
H3217 H3808 H5414 H1992 H0005 H4196 H3068 H0801

すなわち獣のうちで、めくらのもの、折れた所のあるもの、切り取った所のあるもの、うみの出る者、かいせんの者、かさぶたのある者など、あなたがたは、このようなものを主にささげてはならない。また祭壇の上に、これらを火祭として、主にささげてはならない。

נְדָבָה׀	וְקָלֽוּט	שָׂרוּעַ	וָשֶׂה	וְשׁוֹר	23
自由意志の-ささげ物として	また-縮んだ-ものは	手足の-伸びたものや	また-羊で	そして-牛や	
H5071	H7038	H8311	H7716	H7794	

יֵרָצֶֽה׃	לֹא	וּלְנֵדֶר	אֹתוֹ	תַּעֲשֶׂה
受け入れられては	してはならない	しかし-誓願の-ためには	それを	してもよい
H7521	H3808	H5088	H0853	

牛あるいは羊で、足の長すぎる者、または短すぎる者は、あなたがたが自発の供え物とすることはできるが、誓願の供え物としては受け入れられないであろう。

לֹא	וְכָרוּת	וְנָתוּק	וְכָתוּת׀	וּמָעוּךְ	24
してはならない	また-切り取られた-ものを	また-引き裂かれた	また-打ち砕かれた	また-つぶされた	
H3808	H3772	H5423	H3807	H4600	

תַּעֲשׂוּ׃	לֹא	וּבְאַרְצְכֶם	לַיהוָה	תַּקְרִיבוּ
行っては	してはならない	また-あなたがたの-地で	主に	ささげては
	H3808	H0776	H3068	H7126

あなたがたは、こうがんの破れたもの、つぶれたもの、裂けたもの、または切り取られたものを、主にささげてはならない。またあなたがたの国のうちで、このようなことを、行ってはならない。

אֱלֹהֵיכֶם	לֶחֶם	אֶת־	תַּקְרִיבוּ	לֹא	נֵכָר	בֶּן־	וּמִיַּד	25
あなたがたの-神の	パンを	（を）	ささげては	してはならない	異国の	子の	また～の-手から	
H0430	H3899	H0853	H7126	H3808	H5236		H3027	

בָּם	מוּם	בָּהֵמּ	מָשְׁחָתָם	כִּי	אֵלֶּה	מִכֹּל־	
それらに-ある	傷が	それらに-あり	その-損傷が	なぜなら	これらの	すべての-中から	
					H0428	H3605	

פ	לָכֶם׃	יֵרָצוּ	לֹא
(段落)	あなたがたに	受け入れられては	してはならない
		H7521	H3808

また、あなたがたは異邦人の手からこれらのものを受けて、あなたがたの神の食物としてささげてはならない。これらのものには欠点があり、きずがあって、あなたがたのために受け入れられないからである』」。

לֵאמֹר׃	מֹשֶׁה	אֶל־	יְהוָה	וַיְדַבֵּר	26
言って	モーセ	～に	主は	そして-語った	
H0559	H4872	H0413	H3068	H1696	

主はまたモーセに言われた、

יָמִים	שִׁבְעַת	וְהָיָה	יִוָּלֵד	כִּי	עֵז׀	אוֹ־	כֶּשֶׂב	אוֹ־	שׁוֹר	27
日間	七	そして-ある	生まれたなら	もし	山羊が	あるいは	小羊	あるいは	牛	
H3117	H7651	H1961	H3205		H5795		H3775		H7794	

לְקָרְבָּן	יֵרָצֶה	וָהָלְאָה׀	הַשְּׁמִינִי׀	וּמִיּוֹם	אִמּוֹ	תַּחַת	
ささげ物として	受け入れられる	そして-それ以降	八日目	そして～の-日から	その-母の	～の-もとに	
	H7521	H1973	H8066	H3117	H0517	H8478	

לַיהוָה׃	אִשֶּׁה
主に	火による-ささげ物の
H3068	H0801

「牛、または羊、またはやぎが生れたならば、これを七日の間その母親のもとに置かなければならない。八日目からは主にささげる火祭として受け入れられるであろう。

בְּיוֹם	תִּשְׁחֲטוּ	לֹא	בְּנוֹ	וְאֶת־	אֹתוֹ	שֶׂה	אוֹ־	וְשׁוֹר	28
同じ–日に	屠っては	してはならない	その–子を	また	それと	羊を	あるいは	そして–牛	
H3117		H3808		H0853	H0853	H7716		H7794	

אֶחָד׃	
一つの	
H0259	

あなたがたは雌牛または雌羊をその子と同じ日にほふってはならない。

תִּזְבָּחוּ׃	לְרְצֹנְכֶם	לַיהוָה	תּוֹדָה	זֶבַח־	תִּזְבְּחוּ	וְכִי־	29
ささげよ	受け入れられる–ように	主に	ささげ物を	感謝の	ささげるなら	そして–もし	
H2076	H7522	H3068	H8426	H2077	H2076		

あなたがたが感謝の犠牲を主にささげるときは、あなたがたの受け入れられるようにささげなければならない。

אֲנִי	בֹּקֶר	עַד־	מִמֶּנּוּ	תּוֹתִירוּ	לֹא־	יֵאָכֵל	הַהוּא׀	בַּיּוֹם	30
わたしは	朝まで	～まで	それから	残しては	してはならない	食べられる	その	その–日に	
H0589	H1242	H5704		H3498	H3808	H0398	H1931	H3117	

יְהוָה׃	
主	
H3068	

これはその日のうちに食べなければならない。明くる日まで残しておいてはならない。わたしは主である。

יְהוָה׃	אֲנִי	אֹתָם	וַעֲשִׂיתֶם	מִצְוֹתַי	וּשְׁמַרְתֶּם׀	31
主	わたしは	それらを	そして–行え	わたしの–戒めを	そして–守れ	
H3068	H0589	H0853		H4687	H8104	

あなたがたはわたしの戒めを守り、これを行わなければならない。わたしは主である。

בְּתוֹךְ	וְנִקְדַּשְׁתִּי	קָדְשִׁי	שֵׁם	אֶת־	תְּחַלְּלוּ	וְלֹא	32
～の–中で	そして–わたしは–聖とされる	わたしの–聖なる	名を	（を）	汚しては	そして～ならない	
H8432	H6942	H6944	H8034	H0853		H3808	

מְקַדִּשְׁכֶם׃	יְהוָה	אֲנִי	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי	
あなたがたを–聖別する–方	主	わたしは	イスラエル	子らの	
H6942	H3068	H0589	H3478		

あなたがたはわたしの聖なる名を汚してはならない。かえって、わたしはイスラエルの人々のうちに聖とされなければならない。わたしはあなたがたを聖別する主である。

אֲנִי	לֵאלֹהִים	לָכֶם	לִהְיוֹת	מִצְרַיִם	מֵאֶרֶץ	אֶתְכֶם	הַמּוֹצִיא	33
わたしは	神と	あなたがたに	なる–ために	エジプトの	地から	あなたがたを	導き–出した–方	
H0589	H0430		H1961	H4714	H0776	H0853	H3318	

יְהוָה׃	פ	
主	（段落）	
H3068		

あなたがたの神となるために、あなたがたをエジプトの国から導き出した者である。わたしは主である」。

Chapter 23

לֵאמֹר׃	מֹשֶׁה	אֶל־	יְהוָה	וַיְדַבֵּר	1
言って	モーセ	～に	主は	そして–語った	
H0559	H4872	H0413	H3068	H1696	

主はまたモーセに言われた、

2 דַּבֵּר אֶל־ בְּנֵי יִשְׂרָאֵל וְאָמַרְתָּ אֲלֵהֶם יְהוָה מוֹעֲדֵי אֲשֶׁר־ תִּקְרְאוּ
語れ ～に 子らの イスラエル そして-言え 彼らに 主の 定めの-祭りは その 宣言せよ
H1696 H0413 H1121 H3478 H0559 H0413 H3068 H4150 H0834 H7121

אֹתָם מִקְרָאֵי קֹדֶשׁ אֵלֶּה הֵם מוֹעֲדָי׃
それらを 聖なる-会合として 聖なる これらが それらである わたしの-定めの-祭り
H0853 H4744 H6944 H0428 H1992 H4150

「イスラエルの人々に言いなさい、『あなたがたが、ふれ示して聖会とすべき主の定めの祭は次のとおりである。これらはわたしの定めの祭である。

3 שֵׁשֶׁת יָמִים תֵּעָשֶׂה מְלָאכָה וּבַיּוֹם הַשְּׁבִיעִי שַׁבָּת שַׁבָּתוֹן מִקְרָא־
六 日間 行われる 仕事が そして-その-日に 第七の 安息日の 全き-休み 聖なる-会合
H8337 H3117 H6213 H4399 H3117 H7637 H7676 H7677 H4744

קֹדֶשׁ כָּל־ מְלָאכָה לֹא תַעֲשׂוּ שַׁבָּת הִוא לַיהוָה בְּכֹל
聖なる すべての 仕事を してはならない 行っては 安息日 それは 主に すべての
H6944 H3605 H4399 H3808 H6213 H7676 H1931 H3068 H3605

מוֹשְׁבֹתֵיכֶם׃ פ
あなたがたの-住まいに-おいて (段落)
H4186

六日の間は仕事をしなければならない。第七日は全き休みの安息日であり、聖会である。どのような仕事もしてはならない。これはあなたがたのすべてのすまいにおいて守るべき主の安息日である。

4 אֵלֶּה מוֹעֲדֵי יְהוָה מִקְרָאֵי קֹדֶשׁ אֲשֶׁר־ תִּקְרְאוּ אֹתָם
これらが 定めの-祭りである 主の 聖なる-会合 聖なる その 宣言せよ それらを
H0428 H4150 H3068 H4744 H6944 H0834 H7121 H0853

בְּמוֹעֲדָם׃
その-定めの-時に
H4150

その時々に、あなたがたが、ふれ示すべき主の定めの祭なる聖会は次のとおりである。

5 בָּרִאשׁוֹן בְּאַרְבָּעָה עָשָׂר לַחֹדֶשׁ בֵּין הָעַרְבָּיִם פֶּסַח לַיהוָה׃
第一の 十四 日 その-月の ～の-間 夕暮れの 過越が 主の
H7223 H0702 H3117 H2320 H0996 H6153 H6453 H3068

正月の十四日の夕は主の過越の祭である。

6 וּבַחֲמִשָּׁה עָשָׂר יוֹם לַחֹדֶשׁ הַזֶּה חַג שִׁבְעֹת יָמִים מַצּוֹת לַיהוָה
そして-十五 日に その-月の この 祭りが 七 日間 種入れぬ-パンの 主の
H2568 H3117 H2320 H2088 H2282 H7651 H3117 H4682 H3068

תֹּאכֵלוּ׃
食べよ
H0398

またその月の十五日は主の種入れぬパンの祭である。あなたがたは七日の間は種入れぬパンを食べなければならない。

7 בַּיּוֹם הָרִאשׁוֹן מִקְרָא־ קֹדֶשׁ יִהְיֶה לָכֶם כָּל־ מְלֶאכֶת עֲבֹדָה
その-日に 第一の 聖なる-会合が 聖なる ある あなたがたに すべての 労働の 仕事を
H3117 H7223 H4744 H6944 H1961 H3605 H4399 H5656

לֹא תַעֲשׂוּ׃
してはならない 行っては
H3808

その初めの日に聖会を開かなければならない。どんな労働もしてはならない。

8 וְהִקְרַבְתֶּם אִשֶּׁה לַיהוָה שִׁבְעַת יָמִים בַּיּוֹם הַשְּׁבִיעִי מִקְרָא־
そして-ささげよ 火による-ささげ物を 主に 七 日間 その-日に 第七の 聖なる-会合が
H7126 H0801 H3068 H7651 H3117 H3117 H7637 H4744

קֹדֶשׁ כָּל־ מְלֶאכֶת עֲבֹדָה לֹא תַעֲשׂוּ׃ פ
聖なる すべての 労働の 仕事を してはならない 行っては (段落)
H6944 H3605 H4399 H5656 H3808 H6944

あなたがたは七日の間、主に火祭をささげなければならない。第七日には、また聖会を開き、どのような労働もしてはならない』」。

9 וַיְדַבֵּר יְהוָה אֶל־ מֹשֶׁה לֵאמֹר׃
そして-語った 主は ～に モーセ 言って
H1696 H3068 H0413 H4872 H0559

主はまたモーセに言われた、

10 דַּבֵּר אֶל־ בְּנֵי יִשְׂרָאֵל וְאָמַרְתָּ אֲלֵהֶם כִּי־ תָבֹאוּ אֶל־ הָאָרֶץ
語れ ～に 子らの イスラエル そして-言え 彼らに もし 入るなら ～に その-地に
H1696 H0413 H1121 H3478 H0559 H0413 H0935 H0413 H0776

אֲשֶׁר אֲנִי נֹתֵן לָכֶם וּקְצַרְתֶּם אֶת־ קְצִירָהּ
その 私が 与える あなたがたに そして-刈り入れるなら （を） その-収穫を
H0834 H0589 H5414 H3834 H7105

וַהֲבֵאתֶם אֶת־ עֹמֶר רֵאשִׁית קְצִירְכֶם אֶל־ הַכֹּהֵן׃
そして-持って-来よ （を） 束を 初穂の あなたがたの-収穫の ～に 祭司に
H0935 H0853 H6016 H7225 H7105 H0413 H3548

「イスラエルの人々に言いなさい、『わたしが与える地にはいって穀物を刈り入れるとき、あなたがたは穀物の初穂の束を、祭司のところへ携えてこなければならない。

11 וְהֵנִיף אֶת־ הָעֹמֶר לִפְנֵי יְהוָה לְרֹצֹנְכֶם מִמָּחֳרַת הַשַּׁבָּת
そして-振り動かせ （を） その-束を 主の ～の-前で 受け入れられる-ために 翌日に 安息日の
H0853 H5130 H6440 H3068 H7522 H4283 H7676

יְנִיפֶנּוּ הַכֹּהֵן׃
振り動かせ 祭司が
H5130 H3548

彼はあなたがたの受け入れられるように、その束を主の前に揺り動かすであろう。すなわち、祭司は安息日の翌日に、これを揺り動かすであろう。

12 וַעֲשִׂיתֶם בַּיּוֹם הֲנִיפְכֶם אֶת־ הָעֹמֶר כֶּבֶשׂ בֶּן־ תְּמִימִם שְׁנָתוֹ
そして-ささげよ その-日に 振り動かす-時に （を） その-束を 小羊を 一歳の 傷のない 子の
H6213 H3117 H5130 H3834 H6016 H3532 H1121 H8549 H8141

לַיהוָה׃ לְעֹלָה
主に 全燔の-ささげ物として
H3068 H5930

またその束を揺り動かす日に、一歳の雄の小羊の全きものを燔祭として主にささげなければならない。

13 וּמִנְחָתוֹ שְׁנֵי עֶשְׂרֹנִים סֹלֶת בְּלוּלָה בַשָּׁמֶן
また–その–穀物の–ささげ物は 二 十分の–一の 上等の–小麦粉で 混ぜた 油で
H4503 H8147 H6241 H5560 H8081

אִשֶּׁה לַיהוָה נִיחֹחַ רֵיחַ וְנִסְכָּהּ יַיִן רְבִיעִת
火による–ささげ物 主に なだめる 香りの また–その–注ぎの–ささげ物は ぶどう酒 四分の–一
H0801 H3068 H5207 H7381 H5262 H3196 H7243

הַהִין׃
ヒンの
H1969

その素祭には油を混ぜた麦粉十分の二エパを用い、これを主にささげて火祭とし、香ばしいかおりとしなければならない。またその灌祭には、ぶどう酒一ヒンの四分の一を用いなければならない。

14 וְלֶחֶם וְקָלִי וְכַרְמֶל לֹא תֹאכְלוּ עַד־ עֶצֶם הַיּוֹם
また–パンや また–炒り–麦や また–新穂を してはならない 食べては ～まで まさに–その 日まで
H3899 H7039 H3759 H3808 H0398 H5704 H6106 H3117

עוֹלָם חֻקַּת אֱלֹהֵיכֶם קָרְבָּן אֶת־ הֲבִיאֲכֶם עַד הַזֶּה
永遠の 掟である あなたがたの–神の ささげ物を （を） 持って–来る ～まで この
H5769 H2708 H0430 H0853 H0935 H5704 H2088

ס מֹשְׁבֹתֵיכֶם׃ בְּכֹל לְדֹרֹתֵיכֶם
(空白) あなたがたの–住まいに–おいて すべての 代々に–わたって
H4186 H3605 H1755

あなたがたの神にこの供え物をささげるその日まで、あなたがたはパンも、焼麦も、新穀も食べてはならない。これはあなたがたのすべてのすまいにおいて、代々ながく守るべき定めである。

15 וּסְפַרְתֶּם לָכֶם מִמָּחֳרַת הַשַּׁבָּת מִיּוֹם הֲבִיאֲכֶם אֶת־ עֹמֶר
そして–数えよ あなたがたのために 翌日から 安息日の その–日から 持って–来た （を） 束の
H5608 H3605 H4283 H7676 H3117 H0935 H0853 H6016

תְּהְיֶינָה׃ תְּמִימֹת שַׁבָּתוֹת שֶׁבַע הַתְּנוּפָה
ならなければならない 完全な 安息日が 七つの 振り–ささげ物の
H1961 H8549 H7676 H7651 H8573

また安息日の翌日、すなわち、揺祭の束をささげた日から満七週を数えなければならない。

16 עַד מִמָּחֳרַת הַשַּׁבָּת הַשְּׁבִיעִת תִּסְפְּרוּ חֲמִשִּׁים יוֹם וְהִקְרַבְתֶּם מִנְחָה
～まで 翌日まで 安息日の 第七の 数えよ 五十 日を そして–ささげよ 穀物の–ささげ物を
H5704 H4283 H7676 H7637 H5608 H2572 H3117 H7126 H4503

לַיהוָה׃ חֲדָשָׁה
主に 新しい
H3068 H2319

すなわち、第七の安息日の翌日までに、五十日を数えて、新穀の素祭を主にささげなければならない。

17 מִמּוֹשְׁבֹתֵיכֶם תָּבִיאוּ לֶחֶם תְּנוּפָה שְׁתַּיִם שְׁנֵי עֶשְׂרֹנִים
あなたがたの–住まいから 持って–来よ パンを 振り–ささげの 二つ 二 十分の–一の
H4186 H0935 H3899 H8573 H8147 H8147 H6241

לַיהוָה׃ בִּכּוּרִים תֵּאָפֶינָה חָמֵץ תִּהְיֶינָה סֹלֶת
主に 初穂の 焙かれる 種を–入れて ならなければならない 上等の–小麦粉で
H3068 H1061 H0644 H2556 H1961 H5560

またあなたがたのすまいから、十分の二エパの麦粉に種を入れて焼いたパン二個を携えてきて揺祭としなければならない。これは初穂として主にささげるものである。

18 וְהִקְרַבְתֶּם עַל־ הַלֶּחֶם שִׁבְעַת כְּבָשִׂים תְּמִימִם בְּנֵי שָׁנָה
そして–ささげよ ～と–共に その–パンと 七匹の 小羊を 傷のない 一歳の 子の
H7126 H0413 H3899 H7651 H3532 H8549 H1121 H8141

וּפַר בֶּן־ בָּקָר אֶחָד וְאֵילִם שְׁנָיִם יִהְיוּ
また–若い–雄牛を 子の 牛の 一頭と また–雄羊を 二頭 ならなければならない
H6499 H1121 H1241 H0259 H0352 H8147 H1961

עֹלָה לַיהוָה וּמִנְחָתָם וְנִסְכֵּיהֶם
全燔の–ささげ物として 主に また–その–穀物の–ささげ物と その–注ぎの–ささげ物も
H0801 H3068 H4503 H5262

אִשֵּׁה רֵיחַ־ נִיחֹחַ לַיהוָה׃
火による–ささげ物 香りの なだめる 主に
H0801 H7381 H5207 H3068

あなたがたはまたパンのほかに、一歳の全き小羊七頭と、若き雄牛一頭と、雄羊二頭をささげなければならない。すなわち、これらをその素祭および灌祭とともに主にささげて燔祭としなければならない。これは火祭であって、主に香ばしいかおりとなるであろう。

19 וַעֲשִׂיתֶם שְׂעִיר־ עִזִּים אֶחָד לְחַטָּאת וּשְׁנֵי כְבָשִׂים בְּנֵי שָׁנָה
そして–ささげよ 雄山羊を 山羊の 一頭 罪の–ささげ物として また–二頭の 小羊を 一歳の
H6842 H8163 H5795 H0259 H2403 H8147 H3532 H1121

שְׁלָמִים׃ לְזֶבַח שָׁנָה
和解の 和解の–ささげ物として 子の
H8002 H2077 H8141

また雄やぎ一頭を罪祭としてささげ、一歳の小羊二頭を酬恩祭の犠牲としてささげなければならない。

20 וְהֵנִיף הַכֹּהֵן אֹתָם עַל לֶחֶם הַבִּכּוּרִים תְּנוּפָה
そして–振り動かせ 祭司が それらを ～と–共に パンと 初穂の 振り–ささげ物として
H8573 H3548 H0853 H5921 H3899 H1061 H8573

לִפְנֵי יְהוָה שְׁנֵי כְבָשִׂים קֹדֶשׁ יִהְיוּ לַיהוָה
～の–前で 主の ～と–共に 二頭の 小羊と 聖なる–もの ならなければならない 主に
H6440 H3068 H5921 H8147 H3532 H6944 H1961 H3068

לַכֹּהֵן׃
祭司の–ために
H3548

そして祭司はその初穂のパンと共に、この二頭の小羊を主の前に揺祭として揺り動かさなければならない。これらは主にささげる聖なる物であって、祭司に帰するであろう。

21 וּקְרָאתֶם בְּעֶצֶם הַיּוֹם הַזֶּה מִקְרָא־ קֹדֶשׁ יִהְיֶה לָכֶם כָּל־
そして–宣言せよ まさに–その 日に この 聖なる–会合が 聖なる ある あなたがたに すべての
H7121 H6106 H3117 H2088 H4744 H6944 H1961 H3605

מְלֶאכֶת עֲבֹדָה לֹא תַעֲשׂוּ עוֹלָם חֻקַּת בְּכֹל־ מוֹשְׁבֹתֵיכֶם
労働の 仕事を してはならない 行っては 掟である 永遠の すべての あなたがたの–住まいに–おいて
H4399 H5656 H3808 H6213 H2708 H5769 H3605 H4186

לְדֹרֹתֵיכֶם׃
代々に–わたって
H1755

あなたがたは、その日にふれ示して、聖会を開かなければならない。どのような労働もしてはならない。これはあなたがたのすべてのすまいにおいて、代々ながく守るべき定めである。

22 וּבְקֻצְרְכֶם | אֶת־ | קְצִיר | אַרְצְכֶם | לֹא־ | תְכַלֶּה | פְּאַת
そして-刈り入れる-時に | (を) | 収穫を | あなたがたの-地の | してはならない | 刈り尽くしては | 端を
H0853 | H7105 | H0776 | H3808 | H3615 | H6285

שָׂדְךָ | לְקֹצְרֶךָ | וְלֶקֶט | קְצִירְךָ | לֹא | תְלַקֵּט
あなたの-畑の | 刈り入れる-時に | また-落ち-穂を | あなたの-収穫の | してはならない | 拾っては
H7704 | H7105 | H3951 | H7105 | H3808 | H3950

וְלַגֵּר | תַּעֲזֹב | אֹתָם | אֲנִי | יְהוָה | אֱלֹהֵיכֶם׃ | ס
寄留者の-ために | 残せ | それらを | わたしは | 主 | あなたがたの-神 | (空白)
H1616 | H5800 | H0853 | H0589 | H3068 | H0430

貧しい-者や | לָעָנִי
H6041

あなたがたの地の穀物を刈り入れるときは、その刈入れにあたって、畑のすみずみまで刈りつくしてはならない。またあなたの穀物の落ち穂を拾ってはならない。貧しい者と寄留者のために、それを残しておかなければならない。わたしはあなたがたの神、主である』」。

23 וַיְדַבֵּר | יְהוָה | אֶל־ | מֹשֶׁה | לֵאמֹר׃
そして-語った | 主は | ～に | モーセ | 言って
H1696 | H3068 | H0413 | H4872 | H0559

主はまたモーセに言われた、

24 דַּבֵּר | אֶל־ | בְּנֵי | יִשְׂרָאֵל | לֵאמֹר | בַּחֹדֶשׁ | הַשְּׁבִיעִי | בְּאֶחָד | לַחֹדֶשׁ | יִהְיֶה
語れ | ～に | 子らの | イスラエル | 言って | その-月の | 第七の | 第一 | その-月の | ある
H1696 | H0413 | H1121 | H3478 | H0559 | H2320 | H7637 | H0259 | H2320 | H1961

שַׁבָּתוֹן | זִכְרוֹן | תְּרוּעָה | מִקְרָא־ | קֹדֶשׁ׃
全き-休みが | 記念の | ラッパの-吹き鳴らしの | 聖なる-会合 | 聖なる
H7677 | H2146 | H8643 | H4744 | H6944

לָכֶם׃

あなたがたに
H0853

「イスラエルの人々に言いなさい、『七月一日をあなたがたの安息の日とし、ラッパを吹き鳴らして記念する聖会としなければならない。

25 כָּל־ | מְלֶאכֶת | עֲבֹדָה | לֹא | תַעֲשׂוּ | וְהִקְרַבְתֶּם | אִשֶּׁה
すべての | 労働の | 仕事を | してはならない | 行っては | そして-ささげよ | 火による-ささげ物を
H3605 | H4399 | H5656 | H3808 | H6213 | H7126 | H0801

לַיהוָה׃ | ס
主に | (空白)
H3068

どのような労働もしてはならない。しかし、主に火祭をささげなければならない』」。

26 וַיְדַבֵּר | יְהוָה | אֶל־ | מֹשֶׁה | לֵאמֹר׃
そして-語った | 主は | ～に | モーセ | 言って
H1696 | H3068 | H0413 | H4872 | H0559

主はまたモーセに言われた、

27 אַךְ | בֶּעָשׂוֹר | לַחֹדֶשׁ | הַשְּׁבִיעִי | הַזֶּה | יוֹם | הַכִּפֻּרִים | הוּא | מִקְרָא־ | קֹדֶשׁ
ただし | 十日に | その-月の | 第七の | この | 日である | 贖罪の | それは | 聖なる-会合が | 聖なる
H0389 | H6218 | H2320 | H7637 | H2088 | H3117 | H3725 | H1931 | H4744 | H6944

יִהְיֶה | לָכֶם | וְעִנִּיתֶם | אֶת־ | נַפְשֹׁתֵיכֶם | וְהִקְרַבְתֶּם
ある | あなたがたに | そして-苦しめよ | (を) | あなたがたの-いのちを | そして-ささげよ
H1961 | H0853 | H5315 | H7126

אִשֶּׁה | לַיהוָה׃
火による-ささげ物を | 主に
H0801 | H3068

「特にその七月の十日は贖罪の日である。あなたがたは聖会を開き、身を悩まし、主に火祭をささげなければならない。

28 וְכָל־ מְלָאכָה לֹא תַעֲשׂוּ בְּעֶצֶם הַיּוֹם הַזֶּה כִּי יוֹם
そして–すべての 仕事を してはならない 行っては まさに–その 日に この 日である
H3605 H4399 H3808 H6106 H3117 H2088 H3117

כִּפֻּרִים הוּא לְכַפֵּר עֲלֵיכֶם לִפְנֵי יְהוָה אֱלֹהֵיכֶם׃
贖罪の それは 贖う–ために あなたがたの–ために ～の–前で 主 あなたがたの–神
H3725 H1931 H3722 H5921 H6440 H3068 H0430

その日には、どのような仕事もしてはならない。これはあなたがたのために、あなたがたの神、主の前にあがないをなすべき贖罪の日だからである。

29 כִּי כָל־ הַנֶּפֶשׁ אֲשֶׁר לֹא־ תְעֻנֶּה בְּעֶצֶם הַיּוֹם הַזֶּה
なぜなら すべての 人で その 苦しまない 苦しまない–者は まさに–その 日に この
H3605 H5315 H3808 H6106 H3117 H2088

וְנִכְרְתָה מֵעַמֶּיהָ׃
そして–断たれる その–民から
H3772

すべてその日に身を悩まさない者は、民のうちから断たれるであろう。

30 וְכָל־ הַנֶּפֶשׁ אֲשֶׁר תַּעֲשֶׂה כָּל־ מְלָאכָה בְּעֶצֶם הַיּוֹם הַזֶּה
そして–すべての 人で その 行うなら いかなる 仕事を まさに–その 日に この
H3605 H5315 H3605 H4399 H6106 H3117 H2088

וְהַאֲבַדְתִּי אֶת־ הַנֶּפֶשׁ הַהִוא מִקֶּרֶב עַמָּהּ׃
そして–滅ぼす （を） その–人を その ～の–中から その–民
H0006 H0853 H5315 H1931 H7130 H5971

またすべてその日にどのような仕事をしても、その人をわたしは民のうちから滅ぼし去るであろう。

31 כָּל־ מְלָאכָה לֹא תַעֲשׂוּ חֻקַּת עוֹלָם לְדֹרֹתֵיכֶם בְּכֹל
すべての 仕事を してはならない 行っては 掟である 永遠の 代々に–わたって すべての
H3605 H4399 H3808 H6213 H2708 H5769 H1755 H3605

מוֹשְׁבֹתֵיכֶם׃
あなたがたの–住まいに–おいて
H4186

あなたがたはどのような仕事もしてはならない。これはあなたがたのすべてのすまいにおいて、代々ながく守るべき定めである。

32 שַׁבַּת שַׁבָּתוֹן הִוא לָכֶם וְעִנִּיתֶם אֶת־ נַפְשֹׁתֵיכֶם
安息日の 全き–休み それは あなたがたに そして–苦しめよ （を） あなたがたの–いのちを
H7676 H7677 H1931 H3605 H6031 H0853 H5315

בְּתִשְׁעָה לַחֹדֶשׁ בָּעֶרֶב מֵעֶרֶב עַד־ עֶרֶב תִּשְׁבְּתוּ שַׁבַּתְכֶם׃ פ
九日に その–月の 夕に 夕から ～まで 夕まで 休め あなたがたの–安息日を (段落)
H8672 H2320 H6153 H6153 H5704 H6153 H7676

これはあなたがたの全き休みの安息日である。あなたがたは身を悩まさなければならない。またその月の九日の夕には、その夕から次の夕まで安息を守らなければならない」。

33 וַיְדַבֵּר יְהוָה אֶל־ מֹשֶׁה לֵאמֹר׃
そして–語った 主は ～に モーセ 言って
H1696 H3068 H0413 H4872 H0559

主はまたモーセに言われた、

34 דַּבֵּר אֶל־בְּנֵי יִשְׂרָאֵל לֵאמֹר בַּחֲמִשָּׁה עָשָׂר יוֹם לַחֹדֶשׁ הַשְּׁבִיעִי הַזֶּה
語れ ～に 子らの イスラエル 言って 十五 日に その-月の 第七の この
H1696 H0413 H3478 H0559 H2568 H6240 H3117 H2320 H7637 H2088

חַג סֻכּוֹת שִׁבְעַת יָמִים לַיהוָה׃
祭りが 仮庵の 七 日間 主の
H2282 H5521 H7651 H3117 H3068

「イスラエルの人々に言いなさい、『その七月の十五日は仮庵の祭である。七日の間、主の前にそれを守らなければならない。

35 בַּיּוֹם הָרִאשׁוֹן מִקְרָא־קֹדֶשׁ כָּל־מְלֶאכֶת עֲבֹדָה לֹא תַעֲשׂוּ׃
その-日に 第一の 聖なる-会合が 聖なる 労働の 仕事を してはならない 行っては
H3117 H7223 H4744 H6944 H4399 H5656 H3808

初めの日に聖会を開かなければならない。どのような労働もしてはならない。

36 שִׁבְעַת יָמִים תַּקְרִיבוּ אִשֶּׁה לַיהוָה בַּיּוֹם הַשְּׁמִינִי מִקְרָא־קֹדֶשׁ יִהְיֶה לָכֶם
七 日間 ささげよ 火による-ささげ物を 主に その-日に 第八の 聖なる-会合が 聖なる
H7651 H3117 H7126 H0801 H3068 H3117 H8066 H4744 H6944

וְהִקְרַבְתֶּם אִשֶּׁה לַיהוָה עֲצֶרֶת הִוא כָּל־מְלֶאכֶת עֲבֹדָה לֹא תַעֲשׂוּ׃
そして-ささげよ 火による-ささげ物を 主に 聖会である それは すべての 労働の 仕事を してはならない 行っては
H7126 H0801 H3068 H6116 H1931 H3605 H4399 H5656 H3808

また七日の間、主に火祭をささげなければならない。八日目には聖会を開き、主に火祭をささげなければならない。これは聖会の日であるから、どのような労働もしてはならない。

37 אֵלֶּה מוֹעֲדֵי יְהוָה אֲשֶׁר־תִּקְרְאוּ אֹתָם מִקְרָאֵי קֹדֶשׁ לְהַקְרִיב אִשֶּׁה לַיהוָה
これらが 定めの-祭りである 主の その 宣言せよ それらを 聖会として 聖なる 火による-ささげ物を 主に ささげる-ために
H0428 H4150 H3068 H0834 H7121 H0853 H4744 H6944 H0801 H3068 H7126

עֹלָה וּמִנְחָה זֶבַח וּנְסָכִים דְּבַר־יוֹם בְּיוֹמוֹ׃
全燔の-ささげ物や 穀物の-ささげ物や 感謝の-ささげ物や 注ぎの-ささげ物を 定めの 日の その-日ごとに
H5930 H4503 H2077 H5262 H1697 H3117 H3117

これらは主の定めの祭であって、あなたがたがふれ示して聖会とし、主に火祭すなわち、燔祭、素祭、犠牲および灌祭を、そのささぐべき日にささげなければならない。

38 מִלְּבַד שַׁבְּתֹת יְהוָה וּמִלְּבַד מַתְּנוֹתֵיכֶם וּמִלְּבַד כָּל־נִדְרֵיכֶם וּמִלְּבַד כָּל־נִדְבוֹתֵיכֶם
それらは-別に 安息日の 主の また-それらは-別に あなたがたの-贈り物や また-それらは-別に あなたがたの-誓願や すべての あなたがたの-自由意志の-ささげ物で
H0905 H7676 H3068 H0905 H4979 H0905 H5088 H3605 H5071

אֲשֶׁר תִּתְּנוּ לַיהוָה׃
その 与える 主に
H5414 H3068

このほかに主の安息日があり、またほかに、あなたがたのささげ物があり、またほかに、あなたがたのもろもろの誓願の供え物があり、またそのほかに、あなたがたのもろもろの自発の供え物がある。これらは皆あなたがたが主にささげるものである。

39 אַךְ בַּחֲמִשָּׁה עָשָׂר יוֹם לַחֹדֶשׁ הַשְּׁבִיעִי בְּאָסְפְּכֶם אֶת־תְּבוּאַת הָאָרֶץ
ただし 十五 日 日に 第七の 集めた–時に 収穫を （を） その–地の
H0389 H2568 H6240 H3117 H7637 H0622 H8393 H0853 H0776

חָגֹּתֶם אֶת־חַג יְהוָה שִׁבְעַת יָמִים בַּיּוֹם הָרִאשׁוֹן שַׁבָּתוֹן וּבַיּוֹם הַשְּׁמִינִי שַׁבָּתוֹן׃
祭りを–祝え （を） 祭り 七 日間 その–日に 第一の 全き–休み そして–その–日に 第八の 全き–休み
H2287 H0853 H2282 H3068 H7651 H3117 H3117 H7223 H7677 H3117 H8066 H7677

あなたがたが、地の産物を集め終ったときは、七月の十五日から七日のあいだ、主の祭を守らなければならない。すなわち、初めの日にも安息をし、八日目にも安息をしなければならない。

40 וּלְקַחְתֶּם לָכֶם בַּיּוֹם הָרִאשׁוֹן פְּרִי עֵץ הָדָר כַּפֹּת תְּמָרִים
そして–取れ あなたがたのために その–日に 第一の 実を 木の 麗しい 枝と なつめの
H3947 H3117 H7223 H6529 H6086 H1926 H3709 H8558

וַעֲנַף עֵץ־עָבֹת וְעַרְבֵי־נָחַל וּשְׂמַחְתֶּם לִפְנֵי יְהוָה אֱלֹהֵיכֶם שִׁבְעַת יָמִים׃
また–枝と 木の– 茂った また–柳を 川の そして–喜べ ～の–前で 主 あなたがたの–神の 七 日間
H6057 H6086 H5687 H6155 H5158 H8055 H6440 H3068 H0430 H7651 H3117

初めの日に、美しい木の実と、なつめやしの枝と、茂った木の枝と、谷のはこやなぎの枝を取って、七日の間あなたがたの神、主の前に楽しまなければならない。

41 חַג אֹתוֹ חַגֹּתֶם לַיהוָה שִׁבְעַת יָמִים בַּשָּׁנָה חֻקַּת עוֹלָם לְדֹרֹתֵיכֶם
祭りとして それを そして–祭え 主に 七 日間 年に 掟である 永遠の 代々に–わたって
H2282 H0853 H2287 H3068 H7651 H3117 H8141 H2708 H5769 H1755

בַּחֹדֶשׁ הַשְּׁבִיעִי תָּחֹגּוּ אֹתוֹ׃
その–月に 第七の 祭え それを
H2320 H7637 H2287 H0853

あなたがたは年に七日の間、主にこの祭を守らなければならない。これはあなたがたの代々ながく守るべき定めであって、七月にこれを守らなければならない。

42 בַּסֻּכֹּת תֵּשְׁבוּ שִׁבְעַת יָמִים כָּל־הָאֶזְרָח בְּיִשְׂרָאֵל יֵשְׁבוּ בַּסֻּכֹּת׃
仮庵に 住め 七 日間 すべての– 生まれながらの–者は イスラエルに–おいて 住め 仮庵に
H5521 H3427 H7651 H3117 H3605 H0249 H3478 H3427 H5521

あなたがたは七日の間、仮庵に住み、イスラエルで生れた者はみな仮庵に住まなければならない。

43 לְמַעַן יֵדְעוּ דֹרֹתֵיכֶם כִּי בַסֻּכּוֹת הוֹשַׁבְתִּי אֶת־בְּנֵי
それは～ために 知る あなたがたの–後の–世代が そのことを 仮庵に 住まわせた （を） 子らを
H4616 H3045 H1755 H3588 H5521 H3427 H0853 H1121

יִשְׂרָאֵל בְּהוֹצִיאִי אוֹתָם מֵאֶרֶץ מִצְרָיִם אֲנִי יְהוָה אֱלֹהֵיכֶם׃
イスラエルの 導き–出した–時に 彼らを 地から エジプトの わたしは 主 あなたがたの–神
H3478 H3318 H0853 H0776 H4714 H0589 H3068 H0430

これはわたしがイスラエルの人々をエジプトの国から導き出したとき、彼らを仮庵に住まわせた事を、あなたがたの代々の子孫に知らせるためである。わたしはあなたがたの神、主である』」。

פ	יִשְׂרָאֵל׃	בְּנֵי	אֶל־	יְהוָה	מֹעֲדֵי	אֶת־	מֹשֶׁה	וַיְדַבֵּר	44
(段落)	イスラエル	子らの	～に	主の	定めの-祭りを	（を）	モーセは	そして-語った	
	H3478		H0413	H3068	H4150	H0853	H4872	H1696	

モーセは主の定めの祭をイスラエルの人々に告げた。

Chapter 24

לֵאמֹר׃	מֹשֶׁה	אֶל־	יְהוָה	וַיְדַבֵּר	1
言って	モーセ	～に	主は	そして-語った	
H0559	H4872	H0413	H3068	H1696	

主はまたモーセに言われた、

זַיִת	שֶׁמֶן	אֵלֶיךָ	וְיִקְחוּ	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי	אֶת־	צַו		2
オリーブの	油を	あなたのもとに	そして-持って来させよ	イスラエルの	子らに	（を）	命じよ		
H2132	H8081	H0413	H3947	H3478		H0853	H6680		
תָּמִיד׃	נֵר	לְהַעֲלֹת	לַמָּאוֹר	כָּתִית	זָךְ				
常に	灯火を	ともし続けるために	ともしびの-ために	搾った	純粋な				
H8548		H5927	H3974	H3795	H2134				

「イスラエルの人々に命じて、オリブを砕いて採った純粋の油を、ともしびのためにあなたの所へ持ってこさせ、絶えずともしびをともさせなさい。

| | | | | | | | | | |

あなたは麦粉を取り、それで十二個の菓子を焼かなければならない。菓子一個に麦粉十分の二エパを用いなければならない。

6

הַטָּהֹר	הַשֻּׁלְחָן	עַל	הַמַּעֲרֶכֶת	שֵׁשׁ	מַעֲרֹכוֹת	שְׁתַּיִם	אוֹתָם	וְשַׂמְתָּ
純金の	食卓の	～の上に	一列に	六つずつ	列に	二つの	それらを	そして-並べよ
H2889	H7979		H4635	H8337	H4634	H8147	H0853	

לִפְנֵי	יְהוָה׃
主の-前に	主の
H6440	H3068

そしてそれを主の前の純金の机の上に、ひと重ね六個ずつ、ふた重ねにして置かなければならない。

7

לַלֶּחֶם	וְהָיְתָה	זַכָּה	לִבְנָה	הַמַּעֲרֶכֶת	עַל־	וְנָתַתָּ	
パンの-ための	そして-それは-なる	純粋な	乳香を	その-列の	～の上に	そして-置け	
H3899	H1961	H2134	H3828	H4635		H5414	

לַיהוָה׃	אִשֶּׁה	לְאַזְכָּרָה
主への	火による-ささげ物	記念の-ささげ物として
H3068	H0801	H0234

あなたはまた、おのおのの重ねの上に、純粋の乳香を置いて、そのパンの記念の分とし、主にささげて火祭としなければならない。

8

מֵאֵת	תָּמִיד	יְהוָה	לִפְנֵי	יַעַרְכֶנּוּ	הַשַּׁבָּת	בְּיוֹם	הַשַּׁבָּת	בְּיוֹם
～から	常に	主の	主の-前に	これを-整えよ	安息日の	安息日ごとに	安息日の	安息日ごとに
H0854	H8548	H3068	H6440		H7676	H3117	H7676	H3117

עוֹלָם׃	בְּרִית	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי־
永遠の	永遠の-契約として	イスラエルの	子らの
H5769	H1285	H3478	

安息日ごとに絶えず、これを主の前に整えなければならない。これはイスラエルの人々のささぐべきものであって、永遠の契約である。

9

בְּמָקוֹם	וַאֲכָלֻהוּ	וּלְבָנָיו	לְאַהֲרֹן	וְהָיְתָה	
聖なる-場所で	そして-彼らは-それを-食べよ	その-息子たちの	アロンの-ものとなり	そして-それは	
H4725	H0398		H0175	H1961	

לוֹ	הִוא	קָדָשִׁים	קֳדָשִׁים	כִּי	קֹדֶשׁ
彼にとって	それは	聖なるものの	最も-聖なるもの	なぜなら	聖なる
	H1931	H6944	H6944		H6918

ס	עוֹלָם׃	חָק־	יְהוָה	מֵאִשֵּׁי	
(空白)	永遠の	永遠の-定めである	主の	主への-火による-ささげ物の-中から	
	H5769	H2706	H3068	H0801	

これはアロンとその子たちに帰する。彼らはこれを聖なる所で食べなければならない。これはいと聖なる物であって、主の火祭のうち彼に帰すべき永久の分である」。

10

בְּתוֹךְ	מִצְרִי	אִישׁ	בֶּן־	וְהוּא	יִשְׂרְאֵלִית	אִשָּׁה	בֶּן־	וַיֵּצֵא	
中で	エジプト人の	男の	息子で	そして-彼は	イスラエル人の	女の	息子が	そして-出て来た	
H8432	H4713	H0376		H1931	H3482	H0802		H3318	

וְאִישׁ	הַיִּשְׂרְאֵלִית	בֵּן	בְּמַחֲנֶה	וַיִּנָּצוּ	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי
そして-男	イスラエル人の-女の	息子が	陣営の-中で	そして-争った	イスラエルの	子らの
H0376	H3482		H4264		H3478	

הַיִּשְׂרְאֵלִי׃
イスラエル人の
H3481

イスラエルの女を母とし、エジプトびとを父とするひとりの者が、イスラエルの人々のうちに出てきて、そのイスラエルの女の産んだ子と、ひとりのイスラエルびとが宿営の中で争いをし、

11 וַיִּקֹּב בֶּן־ הָאִשָּׁה הַיִּשְׂרְאֵלִית אֶת־ הַשֵּׁם וַיְקַלֵּל
そして-冒瀆した 息子が その-女の イスラエル人の (を) 御名を そして-のろった
H5344 H1121 H0802 H3482 H0853 H8034 H7043

וַיָּבִיאוּ אֹתוֹ וְשֵׁם אִמּוֹ שְׁלֹמִית בַּת־ דִּבְרִי
そして-連れて来た 彼を そして-名は 彼の-母の シェロミト 娘で ディブリの
H0935 H0853 H8034 H0517 H8018 H1323 H1704

לְמַטֵּה־ דָן׃
部族の ダンの
H4294 H1835

そのイスラエルの女の産んだ子が主の名を汚して、のろったので、人々は彼をモーセのもとに連れてきた。その母はダンの部族のデブリの娘で、名をシロミテといった。

12 וַיַּנִּיחֻהוּ בַּמִּשְׁמָר לִפְרֹשׁ לָהֶם עַל־ פִּי יְהוָה׃ פ
そして-彼を-留め置いた 拘留所に 明らかにされるために 彼らに ～によって 御口の 主の (段落)
H3240 H4929 H6567 H1992 H5921 H6310 H3068

人々は彼を閉じ込めて置いて、主の示しを受けるのを待っていた。

13 וַיְדַבֵּר יְהוָה אֶל־ מֹשֶׁה לֵאמֹר׃
そして-語った 主は ～に モーセ 言って
H1696 H3068 H0413 H4872 H0559

時に主はモーセに言われた、

14 הוֹצֵא אֶת־ הַמְקַלֵּל אֶל־ מִחוּץ לַמַּחֲנֶה וְסָמְכוּ כָּל־ הַשֹּׁמְעִים
連れ出せ (を) のろった-者を ～へ 外に 陣営の そして-置け すべての 聞いた-者たちは
H3318 H0853 H7043 H0413 H2351 H4264 H5564 H3605 H8085

אֶת־ יְדֵיהֶם עַל־ רֹאשׁוֹ וְרָגְמוּ אֹתוֹ כָּל־ הָעֵדָה׃
(を) その-手を ～の上に 彼の-頭の そして-石で打て 彼を 全 会衆が
H0853 H3027 H5921 H7218 H7275 H0853 H3605 H5712

「あの、のろいごとを言った者を宿営の外に引き出し、それを聞いた者に、みな手を彼の頭に置かせ、全会衆に彼を石で撃たせなさい。

15 וְאֶל־ בְּנֵי יִשְׂרָאֵל תְּדַבֵּר לֵאמֹר אִישׁ אִישׁ כִּי יְקַלֵּל
そして-～に 子らに イスラエルの 語れ 言って だれでも だれでも もし のろうなら
H0413 H1121 H3478 H1696 H0559 H0376 H0376 H3588 H7043

אֱלֹהָיו וְנָשָׂא חֶטְאוֹ׃
自分の-神を そして-負う 自分の-罪を
H0430 H5375 H2399

あなたはまたイスラエルの人々に言いなさい、『だれでも、その神をのろう者は、その罪を負わなければならない。

16 וְנֹקֵב שֵׁם־ יְהוָה מוֹת יוּמָת רָגוֹם יִרְגְּמוּ־ בּוֹ כָּל־
そして-冒瀆する-者は 御名を 主の 必ず 殺されなければならない 必ず 石で打て 彼を 全
H5344 H8034 H3068 H4191 H4191 H7275 H7275 H0376 H3605

יוּמָת׃ שֵׁם בְּנָקְבוֹ־ כָּאֶזְרָח כַּגֵּר
殺されなければならない 御名を 御名を-冒瀆するとき 生まれながらの-市民も 寄留者も
H4191 H8034 H5344 H0249 H1616

הָעֵדָה
会衆が
H5712

主の名を汚す者は必ず殺されるであろう。全会衆は必ず彼を石で撃たなければならない。他国の者でも、この国に生れた者でも、主の名を汚すときは殺されなければならない。

17 וְאִישׁ כִּי יַכֶּה כָּל־ נֶפֶשׁ אָדָם מוֹת יוּמָת׃
そして–人が もし 打ち殺すなら いかなる 命でも 人の 必ず 殺されなければならない
H0376 H3605 H5315 H0120 H4191 H4191

だれでも、人を撃ち殺した者は、必ず殺されなければならない。

18 וּמַכֵּה בְהֵמָה נֶפֶשׁ־ יְשַׁלְּמֶנָּה נֶפֶשׁ תַּחַת נָפֶשׁ׃
そして–打ち殺す–者は 家畜の 命を 償わなければならない 命には ～の代わりに 命を
H5221 H0929 H5315 H5315 H8478 H5315

獣を撃ち殺した者は、獣をもってその獣を償わなければならない。

19 וְאִישׁ כִּי־ יִתֵּן מוּם בַּעֲמִיתוֹ כַּאֲשֶׁר עָשָׂה כֵּן
そして–人が もし 与えるなら 傷を 隣人に ～したとおりに 彼が–したように そのように
H0376 H5414 H5997

לוֹ׃ יֵעָשֶׂה
彼に 彼にも–なされる

もし人が隣人に傷を負わせるなら、その人は自分がしたように自分にされなければならない。

20 שֶׁבֶר תַּחַת עַיִן עַיִן תַּחַת שֵׁן שֵׁן תַּחַת שֶׁבֶר שֶׁבֶר
骨折には ～の代わりに 目には 目 ～の代わりに 歯には 歯 ～の代わりに 骨折 骨折には
H7667 H8478 H5869 H5869 H8478 H8127 H8127 H8478 H7667 H7667

בּוֹ׃ יִתֵּן כֵּן בָּאָדָם מוּם יִתֵּן כַּאֲשֶׁר
彼にも 与えられる そのように 人に 傷を 与えるなら ～したとおりに
H5414 H0120 H5414

すなわち、骨折には骨折、目には目、歯には歯をもって、人に傷を負わせたように、自分にもされなければならない。

21 וּמַכֵּה בְהֵמָה יְשַׁלְּמֶנָּה וּמַכֵּה אָדָם
そして–打ち殺す–者は 家畜を 償わなければならない そして–打ち殺す–者は 人を
H5221 H0929 H5221 H0120

יוּמָת׃
殺されなければならない
H4191

獣を撃ち殺した者はそれを償い、人を撃ち殺した者は殺されなければならない。

22 מִשְׁפָּט אֶחָד יִהְיֶה לָכֶם כַּגֵּר כָּאֶזְרָח יִהְיֶה
一つの–裁きが 一つの 同じである 寄留者にも 生まれながらの–市民にも 同じである
H4941 H0259 H1961 H1616 H0249 H1961

כִּי אֲנִי יְהוָה אֱלֹהֵיכֶם׃
なぜなら わたしは 主 あなたがたの–神である
H0589 H3068 H0430

他国の者にも、この国に生れた者にも、あなたがたは同一のおきてを用いなければならない。わたしはあなたがたの神、主だからである』」。

23 וַיְדַבֵּר מֹשֶׁה אֶל־בְּנֵי יִשְׂרָאֵל וַיּוֹצִיאוּ אֶת־הַמְקַלֵּל
そして-語った モーセは 〜に 子らに イスラエルの (を) そして-連れ出した のろった-者を
H1696 H4872 H0413 H3478 H0853 H3318 H7043

אֶל־מִחוּץ לַמַּחֲנֶה וַיִּרְגְּמוּ אֹתוֹ אֶבֶן וּבְנֵי־יִשְׂרָאֵל עָשׂוּ
〜へ 外に 陣営の そして-石で打った 彼を 石で そして-子らは イスラエルの 行った
H0413 H2351 H4264 H7275 H0853 H0068 H3478

כַּאֲשֶׁר צִוָּה יְהוָה אֶת־מֹשֶׁה׃ פ
〜のとおりに 命じた 主が (を) モーセに (段落)
H6680 H3068 H0853 H4872

モーセがイスラエルの人々に向かい、「あの、のろいごとを言った者を宿営の外に引き出し、石で撃て」と命じたので、イスラエルの人々は、主がモーセに命じられたようにした。

Chapter 25

1 וַיְדַבֵּר יְהוָה אֶל־מֹשֶׁה בְּהַר סִינַי לֵאמֹר׃
そして-語った 主は 〜に モーセ 山で シナイの 言って
H1696 H3068 H0413 H4872 H2022 H5514 H0559

主はシナイ山で、モーセに言われた、

2 דַּבֵּר אֶל־בְּנֵי יִשְׂרָאֵל וְאָמַרְתָּ אֲלֵהֶם כִּי תָבֹאוּ אֶל־הָאָרֶץ
語れ 〜に 子らに イスラエルの そして-言え 彼らに もし 入るなら 〜へ その-地に
H1696 H0413 H0413 H3478 H0559 H0413 H0935 H0776

אֲשֶׁר אֲנִי נֹתֵן לָכֶם וְשָׁבְתָה הָאָרֶץ שַׁבָּת לַיהוָה׃
〜という わたしが 与える あなたがたに そして-安息を-守れ その-地は 安息を 主への
H0589 H5414 H0776 H7676 H3068

「イスラエルの人々に言いなさい、『わたしが与える地に、あなたがたがはいったときは、その地にも、主に向かって安息を守らせなければならない。

3 שֵׁשׁ שָׁנִים תִּזְרַע שָׂדֶךָ וְשֵׁשׁ שָׁנִים תִּזְמֹר כַּרְמֶךָ
六 年の-間 種を-蒔け あなたの-畑に そして-六 年の-間 刈り込め あなたの-ぶどう畑を
H8337 H8141 H2232 H7704 H8337 H8141 H2168 H3754

וְאָסַפְתָּ אֶת־תְּבוּאָתָהּ׃
そして-集めよ (を) その-収穫を
H0622 H0853 H8393

六年の間あなたは畑に種をまき、また六年の間ぶどう畑の枝を刈り込み、その実を集めることができる。

4 וּבַשָּׁנָה הַשְּׁבִיעִת שַׁבָּתוֹן יִהְיֶה לָאָרֶץ שַׁבָּת לַיהוָה לֹא
そして-第 七の-年には 安息の 全き休みが ある 地に 主への 〜ない
H8141 H7637 H7676 H7677 H1961 H0776 H3068 H3808

תִזְרָע שָׂדְךָ וְכַרְמְךָ לֹא תִזְמֹר׃
種を-蒔いては そして-あなたの-ぶどう畑を 〜ない 刈り込んでは
H2232 H3754 H3808 H2168

しかし、七年目には、地に全き休みの安息を与えなければならない。これは、主に向かって守る安息である。あなたは畑に種をまいてはならない。また、ぶどう畑の枝を刈り込んではならない。

5

עִנְּבֵי	וְאֶת־	תִּקְצֹר	לֹא	קְצִירְךָ	סְפִיחַ	אֶת
ぶどうを	そして（を）	刈り取っては	～ない	あなたの–刈り入れの	自然に–生えた–もの	（を）
H6025	H0853		H3808			H0853

לָאָרֶץ׃	יִהְיֶה	שַׁבָּתוֹן	שָׁנַת	תִּבְצֹר	לֹא	נְזִירֶךָ
地にとって	ある	全き休みが	安息の–年で	摘み取っては	～ない	手入れしていない–木の
H0776	H1961	H7677	H8141	H1219	H3808	H5139

あなたの穀物の自然に生えたものは刈り取ってはならない。また、あなたのぶどうの枝の手入れをしないで結んだ実は摘んではならない。これは地のために全き休みの年だからである。

6

לְךָ	לְאָכְלָה	לָכֶם	הָאָרֶץ	שַׁבַּת	וְהָיְתָה
あなたと	食物として	あなたがたの	地の	安息の–年の	そして–なる
	H0402		H0776	H7676	H1961

וְלִשְׁכִּירֶךָ	וְלַאֲמָתֶךָ	וּלְעַבְדְּךָ
そして–あなたの–雇い人と	そして–あなたの–女の–しもべと	そして–あなたの–男の–しもべと
H7916	H0519	H5650

עִמָּךְ׃	הַגָּרִים	וּלְתוֹשָׁבְךָ
あなたと–共に	住んでいる	そして–あなたの–寄留者と

安息の年の地の産物は、あなたがたの食物となるであろう。すなわち、あなたと、男女の奴隷と、雇人と、あなたの所に宿っている他国人と、

7

כָּל־	תִּהְיֶה	בְּאַרְצֶךָ	אֲשֶׁר	וְלַחַיָּה	וְלִבְהֶמְתֶּךָ	
すべての	なる	あなたの–地にいる	～という	そして–その–野の–獣にも	そして–あなたの–家畜にも	
H3605	H1961	H0776			H0929	

ס	לֶאֱכֹל׃	תְּבוּאָתָהּ
(空白)	食物と	その–収穫は
	H0398	H8393

あなたの家畜と、あなたの国のうちの獣とのために、その産物はみな、食物となるであろう。

8

וְהָיוּ	פְּעָמִים	שֶׁבַע	שָׁנִים	שֶׁבַע	שָׁנִים	שַׁבְּתֹת	שֶׁבַע	לְךָ	וְסָפַרְתָּ
そして–なる	回	七	年を	七	年を	安息の	七つの	あなたのために	そして–数えよ
H1961	H6471	H7651	H8141	H7651	H8141	H7676	H7651		

שָׁנָה׃	וְאַרְבָּעִים	תֵּשַׁע	הַשָּׁנִים	שַׁבְּתֹת	שֶׁבַע	יְמֵי	לְךָ
年と	そして–九	四十	年の	安息の	七つの	日数は	あなたにとって
H8141	H0705	H8672	H8141	H7676	H7651	H3117	

あなたは安息の年を七たび、すなわち、七年を七回数えなければならない。安息の年七たびの年数は四十九年である。

9

לַחֹדֶשׁ	בֶּעָשׂוֹר	הַשְּׁבִעִי	בַּחֹדֶשׁ	תְּרוּעָה	שׁוֹפָר	וְהַעֲבַרְתָּ
その–月の	十日に	第七の	第–七の–月の	喜びの–叫びの	角笛を	そして–鳴り響かせよ
H2320	H6218	H7637	H2320	H8643	H7782	

אַרְצְכֶם׃	בְּכָל־	שׁוֹפָר	תַּעֲבִירוּ	הַכִּפֻּרִים	בְּיוֹם
あなたがたの–地に	すべての	角笛を	鳴り響かせよ	贖罪の	贖罪の–日に
H0776	H3605	H7782		H3725	H3117

七月の十日にあなたはラッパの音を響き渡らせなければならない。すなわち、贖罪の日にあなたがたは全国にラッパを響き渡らせなければならない。

10 וְקִדַּשְׁתֶּם אֵת שְׁנַת הַחֲמִשִּׁים שָׁנָה וּקְרָאתֶם דְּרוֹר בָּאָרֶץ לְכָל־
そして–聖別せよ (を) 第 五十の 年を そして–宣言せよ 解放を 地に すべての
H6942 H0853 H8141 H2572 H8141 H7121 H1865 H0776 H3605

יֹשְׁבֶיהָ יוֹבֵל הִוא תִּהְיֶה לָכֶם וְשַׁבְתֶּם אִישׁ אֶל־
住む–者に ヨベルの–年で それは ある あなたがたにとって そして–帰れ 各人が ～へ
H3427 H3104 H1931 H1961 H7725 H0376 H0413

אֲחֻזָּתוֹ וְאִישׁ אֶל־ מִשְׁפַּחְתּוֹ תָּשֻׁבוּ׃
自分の–所有地に そして–各人が ～へ 自分の–家族に 帰れ
H0272 H0376 H0413 H4940 H7725

その五十年目を聖別して、国中のすべての住民に自由をふれ示さなければならない。この年はあなたがたにはヨベルの年であって、あなたがたは、おのおのその所有の地に帰り、おのおのその家族に帰らなければならない。

11 יוֹבֵל הִוא שְׁנַת הַחֲמִשִּׁים שָׁנָה תִּהְיֶה לָכֶם לֹא תִזְרָעוּ
ヨベルの–年で それは 第 五十の 年は ある あなたがたにとって ～ない 種を–蒔いては
H3104 H1931 H8141 H2572 H8141 H1961 H3808 H2232

וְלֹא תִבְצְרוּ אֶת־ סְפִיחֶיהָ וְלֹא תִקְצְרוּ אֶת־ נְזִרֶיהָ׃
そして–～ない 摘み取っては (を) 自然に–生えた–ものを そして–～ない 刈り取っては (を)
H3808 H1219 H0853 H3808 H0853 H5139

手入れしていない–ぶどうを

その五十年目はあなたがたにはヨベルの年である。種をまいてはならない。また自然に生えたものは刈り取ってはならない。手入れをしないで結んだぶどうの実は摘んではならない。

12 כִּי יוֹבֵל הִוא קֹדֶשׁ תִּהְיֶה לָכֶם מִן־ הַשָּׂדֶה תֹּאכְלוּ
なぜなら ヨベルの–年は それは 聖なるもの である あなたがたにとって ～から 畑から 食べよ
H3104 H1931 H6944 H1961 H0398

אֶת־ תְּבוּאָתָהּ׃
(を) その–収穫を
H0853 H8393

この年はヨベルの年であって、あなたがたに聖であるからである。あなたがたは畑に自然にできた物を食べなければならない。

13 בִּשְׁנַת הַיּוֹבֵל הַזֹּאת תָּשֻׁבוּ אִישׁ אֶל־ אֲחֻזָּתוֹ׃
ヨベルの–年の ヨベルの この 帰れ 各人が ～へ 自分の–所有地に
H8141 H3104 H2063 H7725 H0376 H0413 H0272

このヨベルの年には、おのおのその所有の地に帰らなければならない。

14 וְכִי־ תִמְכְּרוּ מִמְכָּר לַעֲמִיתֶךָ אוֹ קָנֹה מִיַּד עֲמִיתֶךָ
そして–もし 売るなら 売り物を あなたの–隣人に あるいは 買うなら 手から あなたの–隣人の
H4376 H4465 H5997 H0176 H7069 H3027 H5997

אִישׁ אֶת־ אָחִיו׃ תּוֹנוּ אַל־ תּוֹנוּ
各人が (を) 自分の–兄弟を 搾取しては してはならない
H0376 H0853 H0251 H3238 H0408

あなたの隣人に物を売り、また隣人から物を買うときは、互に欺いてはならない。

15 בְּמִסְפָּר שָׁנִים אַחַר הַיּוֹבֵל תִּקְנֶה מֵאֵת עֲמִיתֶךָ
年数に–応じて 年の 後の ヨベルの–年の 買え ～から あなたの–隣人から
H4557 H8141 H3104 H7069 H0854 H5997

בְּמִסְפַּר שְׁנֵי־תְבוּאֹת יִמְכָּר־לָךְ׃
年数に–応じて 収穫の 収穫の–年の 彼は–売る あなたに
H4557 H8393 H8141 H4376

ヨベルの後の年の数にしたがって、あなたは隣人から買い、彼もまた畑の産物の年数にしたがって、あなたに売らなければならない。

16 לְפִי וּלְפִי הַשָּׁנִים תַּרְבֶּה מִקְנָתוֹ וּלְפִי מְעַט הַשָּׁנִים
～に応じて 多ければ 年の 増やせ その–買い値を そして–～に応じて 少なければ 年の
H6310 H7230 H8141 H4736 H6310 H4591 H8141

תַּמְעִיט מִקְנָתוֹ כִּי מִסְפַּר תְּבוּאֹת הוּא מֹכֵר לָךְ׃
減らせ その–買い値を なぜなら 数の 収穫の それを 売る–のだから あなたに
H4591 H4736 H3588 H4557 H8393 H1931 H4376

年の数の多い時は、その値を増し、年の数の少ない時は、値を減らさなければならない。彼があなたに売るのは産物の数だからである。

17 וְלֹא תוֹנוּ אִישׁ אֶת־עֲמִיתוֹ וְיָרֵאתָ מֵאֱלֹהֶיךָ כִּי
そして–～ない 搾取しては 各人が （を） 自分の–隣人を そして–恐れよ あなたの–神を なぜなら
H3808 H3238 H0376 H0853 H5997 H3372 H0430 H3588

אֲנִי יְהוָה אֱלֹהֵיכֶם׃
わたしは 主 あなたがたの–神である
H0589 H3068 H0430

あなたがたは互に欺いてはならない。あなたの神を恐れなければならない。わたしはあなたがたの神、主である。

18 וַעֲשִׂיתֶם אֶת־חֻקֹּתַי וְאֶת־מִשְׁפָּטַי תִּשְׁמְרוּ וַעֲשִׂיתֶם אֹתָם
そして–行え わたしの–定めを （を） そして–行え 守れ わたしの–裁きを （を） そして–行え
H6213 H2708 H0853 H4941 H8104 H6213 H0853

וִישַׁבְתֶּם עַל־הָאָרֶץ לָבֶטַח׃
そして–住め その–地の ～の上に 安らかに
H3427 H0776 H5921 H0983

あなたがたはわたしの定めを行い、またわたしのおきてを守って、これを行わなければならない。そうすれば、あなたがたは安らかにその地に住むことができるであろう。

19 וְנָתְנָה הָאָרֶץ פִּרְיָהּ וַאֲכַלְתֶּם לָשֹׂבַע וִישַׁבְתֶּם לָבֶטַח
そして–与える その–地は その–実りを そして–食べよ 満ち足りるまで そして–住め 安らかに
H5414 H0776 H6529 H0398 H7648 H3427 H0983

עָלֶיהָ׃
その–上に

地はその実を結び、あなたがたは飽きるまでそれを食べ、安らかにそこに住むことができるであろう。

20 וְכִי תֹאמְרוּ מַה־נֹּאכַל בַּשָּׁנָה הַשְּׁבִיעִת הֵן לֹא נִזְרָע
そして–もし 言うなら 何を 食べようか 第–七の–年に 第七の 見よ ～ない 種を–蒔かず
H3588 H0559 H4100 H0398 H8141 H7637 H2005 H3808 H2232

וְלֹא נֶאֱסֹף אֶת־תְּבוּאָתֵנוּ׃
そして–～ない （を） 集めない われらの–収穫を
H3808 H0853 H0622 H8393

「七年目に種をまくことができず、また産物を集めることができないならば、わたしたちは何を食べようか」とあなたがたは言うのか。

21 וְצִוִּיתִי אֶת־ בִּרְכָתִי לָכֶם בַּשָּׁנָה הַשִּׁשִּׁית וְעָשָׂת
そして–命じる （を） わたしの–祝福を あなたがたに 第–六の–年に 第六の そして–産み出す
H6680 H0853 H1293 H0853 H8141 H8345 H6213

אֶת־ הַתְּבוּאָה לִשְׁלֹשׁ הַשָּׁנִים׃
（を） その–収穫を 三 年分の
H0853 H8393 H7969 H8141

わたしは命じて六年目に、あなたがたに祝福をくだし、三か年分の産物を実らせるであろう。

22 וּזְרַעְתֶּם אֶת הַשָּׁנָה הַשְּׁמִינִת מִן־ הַתְּבוּאָה יָשָׁן וַאֲכַלְתֶּם
そして–蒔け （を） 第–八の–年に 第八の ～から その–収穫の 古い–ものを そして–食べよ
H2232 H0853 H8141 H8066 H4480 H8393 H3465 H0398

עַד־ בּוֹא תְּבוּאָתָהּ הַתְּשִׁעִת עַד־ הַשָּׁנָה הַתְּשִׁעִת תֹּאכְלוּ יָשָׁן׃
～まで 入る その–新しい–収穫が 第九の ～まで 第–九の–年に 食べよ 古い–ものを
H5704 H0935 H8393 H8671 H5704 H8141 H0398 H3465

あなたがたは八年目に種をまく時には、なお古い産物を食べているであろう。九年目にその産物のできるまで、あなたがたは古いものを食べることができるであろう。

23 וְהָאָרֶץ לֹא תִמָּכֵר לִצְמִתֻת כִּי־ לִי הָאָרֶץ
そして–地は ～ない 売られては–ならない 永久に なぜなら わたしの–ものである 地は
H0776 H3808 H4376 H6783 H3588 H0776

כִּי־ גֵרִים וְתוֹשָׁבִים אַתֶּם עִמָּדִי׃
なぜなら 寄留者であり そして–居留者である あなたがたは わたしと–共に
H3588 H1616 H8453 H0859 H5978

地は永代には売ってはならない。地はわたしのものだからである。あなたがたはわたしと共にいる寄留者、また旅びとである。

24 וּבְכֹל אֶרֶץ אֲחֻזַּתְכֶם גְּאֻלָּה תִּתְּנוּ לָאָרֶץ׃ ס
そして–すべての 地の あなたがたの–所有する 買い戻しの–権利を 与えよ 地に （空白）
H3605 H0776 H0272 H1353 H5414 H0776

あなたがたの所有としたどのような土地でも、その土地の買いもどしに応じなければならない。

25 כִּי־ יָמוּךְ אָחִיךָ וּמָכַר מֵאֲחֻזָּתוֹ וּבָא
もし なるなら 貧しく あなたの–兄弟が そして–売るなら 自分の–所有地の–一部を そして–来る
H3588 H4134 H0251 H4376 H0272 H0935

וְגָאַל אֶת מִמְכַּר אָחִיו׃ הַקָּרֹב אֵלָיו גֹּאֲלוֹ
そして–買い戻す （を） 売られた–ものを 彼の–兄弟の 近い 彼に 彼の–買い戻す–者が
H1350 H0853 H4465 H0251 H7138 H0413 H1350

あなたの兄弟が落ちぶれてその所有の地を売った時は、彼の近親者がきて、兄弟の売ったものを買いもどさなければならない。

26 וְאִישׁ כִּי לֹא יִהְיֶה־ לוֹ וְגֹאֵל וְהִשִּׂיגָה יָדוֹ
そして–人が もし ～ない いないなら 彼には 買い戻す–者が そして–十分に–得る 彼の–手が
H0376 H3588 H3808 H1961 H0 H1350 H5381 H3027

וּמָצָא כְּדֵי גְאֻלָּתוֹ׃
そして–見つける 十分な–ものを 買い戻しの–ための
H4672 H1767 H1353

たといその人に、それを買いもどしてくれる人がいなくても、その人が富み、自分でそれを買いもどすことができるようになったならば、

27 וְחִשַּׁב֙ אֶת־שְׁנֵ֣י מִמְכָּרֹ֔ו וְהֵשִׁ֖יב אֶת־הָעֹדֵ֑ף לָאִ֣ישׁ
そして-計算せよ (を) 年数を 売った-時からの そして-返せ (を) その-残額を その-人に
H2803 H0853 H8141 H4465 H7725 H0853 H5736 H0376

אֲשֶׁר־מָכַ֥ר לֹ֛ו וְשָׁ֖ב לַאֲחֻזָּתֹֽו׃
～という 売った 彼に そして-帰れ 自分の-所有地に
H4376 H7725 H0272

それを売ってからの年を数えて残りの分を買い手に返さなければならない。そうすればその人はその所有の地に帰ることができる。

28 וְאִם֙ לֹא־מָצְאָ֣ה יָדֹ֔ו וְהָיָ֣ה הַנִּמְכָּ֗ר בְּיַד֙ הַקֹּנֶ֔ה עַ֖ד שְׁנַ֣ת הַיֹּבֵ֑ל וְיָצָ֣א בַיֹּבֵל֙ וְשָׁ֖ב לַאֲחֻזָּתֹֽו׃
そして-もし ～ない 見つからないなら 彼の-手に 十分な-ものが 彼に 返す-ための そして-なる そして-出る ヨベルの-年に そして-帰る 自分の-所有地に
H1961 H3808 H4672 H3027 H1767 H0369 H7725 H3318 H3104 H7725 H0272

買い手の 手に-ある 売られた-ものは それを ～まで ヨベルの-年の ヨベルの-年
H7069 H3027 H4465 H0853 H5704 H8141 H3104

しかし、もしそれを買いもどすことができないならば、その売った物はヨベルの年まで買い主の手にあり、ヨベルにはもどされて、その人はその所有の地に帰ることができるであろう。

29 וְאִ֣ישׁ כִּֽי־יִמְכֹּ֞ר בֵּ֣ית מֹושַׁ֗ב עִ֚יר חֹומָ֔ה וְהָיְתָ֥ה גְאֻלָּתֹ֖ו עַד־תֹּ֣ם שְׁנַת֙ מִמְכָּרֹ֔ו יָמִ֖ים תִּהְיֶ֣ה גְאֻלָּתֹֽו׃
そして-人が もし 家を 住んでいる 城壁のある-町の 城壁のある そして-ある 買い戻しの-権利が 売った-年の 満ちる ～まで 日数の-間 ある 買い戻しの-権利が
H0376 H3808 H4376 H4186 H2346 H1961 H1353 H8141 H4465 H8537 H5704 H3117 H1961 H1353

しかし人が城壁のある町の住宅を売った時は、売ってから満一年の間は、それを買いもどすことができる。その間は彼に買いもどすことを許さなければならない。

30 וְאִם֙ לֹא־יִגָּאֵ֣ל עַד־מְלֹ֣את לֹ֔ו שְׁנָ֖ה תְּמִימָ֑ה וְקָ֥ם
そして-もし ～ない 買い戻されないなら ～までに 満ちる 彼に 年が 完全な そして-確定する
H0376 H3808 H1353 H5704 H4390 H3808 H8141 H8549

הַבַּ֣יִת אֲשֶׁר־בָּעִ֣יר אֲשֶׁר־לֹ֣א (לֹו) חֹומָ֔ה לִצְמִיתֻ֖ת לַקֹּנֶ֑ה לֹ֥א יֵצֵ֖א בַּיֹּבֵֽל׃
その-家は ～という その-町の ～という [否] (それに) 城壁のある 永久に 買い手の-ものとなる ～ない 出ない ヨベルの-年に
H1004 H0834 H1004 H0834 H3808 H3808 H2346 H6783 H7069 H3808 H3318 H3104

満一年のうちに、それを買いもどさない時は、城壁のある町の内のその家は永代にそれを買った人のものと定まって、代々の所有となり、ヨベルの年にももどされないであろう。

31 וּבָתֵּ֣י הַחֲצֵרִ֗ים אֲשֶׁ֤ר אֵין־לָהֶם֙ חֹומָ֔ה סָבִ֖יב עַל־שְׂדֵ֣ה הָאָ֑רֶץ
そして-家々は 村の ～という ～ない それらには 城壁が 周りに ～として 畑の 地の
H1004 H2733 H0834 H0369 H1992 H2346 H5439 H5921 H7704 H0776

גְּאֻלָּ֤ה תִֽהְיֶה־לֹּו֙ וּבַיֹּבֵ֣ל יֵצֵ֔א וְשָׁ֖ב בָּתֵּ֥י מִמְכַּ֛ר עָרָ֥יו אֲחֻזָּתֹ֖ו יֵחָשֵֽׁב׃
買い戻しの-権利が ある それには そして-ヨベルの-年に 出る 帰る 家々は 売った 町の 所有地 みなされる
H1353 H1961 H3808 H3104 H3318 H7725 H1004 H4465 H5892 H0272 H2803

しかし、周囲に城壁のない村々の家は、その地方の畑に附属するものとみなされ、買いもどすことができ、またヨベルの年には、もどされるであろう。

32 וְעָרֵי הַלְוִיִּם בָּתֵּי עָרֵי אֲחֻזָּתָם גְּאֻלַּת עוֹלָם תִּהְיֶה
そして–町々は レビ人の 家々は 町の 彼らの–所有の 買い戻しの 永遠の–権利が ある
H3881 H0272 H1353 H5769 H1961

לַלְוִיִּם׃
レビ人には
H3881

レビびとの町々、すなわち、彼らの所有の町々の家は、レビびとはいつでも買いもどすことができる。

33 וַאֲשֶׁר יִגְאַל מִן־הַלְוִיִּם וְיָצָא מִמְכַּר־בַּיִת וְעִיר
そして–〜という 買い戻すなら 〜から レビ人の そして–出る 売られた–家も 家も そして–町の
H4465 H3318 H3881

אֲחֻזָּתָם הִוא בְּתוֹךְ בְּנֵי יִשְׂרָאֵל׃ בַּיֹּבֵל כִּי בָּתֵּי עָרֵי הַלְוִיִּם
彼らの–所有地である それは 町の 家々は なぜなら ヨベルの–年に 彼の–所有の
H0272 H1931 H3881 H3104 H0272

H8432 H3478
中にある 子らの イスラエルの

レビびとのひとりが、それを買いもどさない時は、その所有の町にある売った家はヨベルの年にはもどされるであろう。レビびとの町々の家はイスラエルの人々のうちに彼らがもっている所有だからである。

34 וּשְׂדֵה מִגְרַשׁ עָרֵיהֶם לֹא יִמָּכֵר כִּי־אֲחֻזַּת
永遠の–所有地で なぜなら 売られては–ならない 〜ない 彼らの–町の 放牧地の そして–放牧地は
H0272 H4376 H3808 H4054

עוֹלָם הִוא׃ ס לָהֶם׃
永遠の それは (空白) 彼らの–ものである
H5769 H1931

ただし、彼らの町々の周囲の放牧地は売ってはならない。それは彼らの永久の所有だからである。

35 וְכִי־ יָמוּךְ אָחִיךָ וּמָטָה יָדוֹ עִמָּךְ
そして–もし 貧しくなるなら あなたの–兄弟が そして–衰えるなら 彼の–手が あなたと–共に
H4134 H0251 H4131 H3027

וְחַי עִמָּךְ׃ וְתוֹשָׁב וְגָר בּוֹ וְהֶחֱזַקְתָּ
そして–生きよ あなたと–共に そして–居留者も 寄留者も 彼を そして–支えよ
H2421 H1616 H2388

あなたの兄弟が落ちぶれ、暮して行けない時は、彼を助け、寄留者または旅びとのようにして、あなたと共に生きながらえさせなければならない。

36 אַל־תִּקַּח מֵאִתּוֹ נֶשֶׁךְ וְתַרְבִּית וְיָרֵאתָ מֵאֱלֹהֶיךָ
あなたの–神を そして–恐れよ そして–高利も 利子も 彼から 取っては してはならない
H0430 H3372 H8636 H5392 H0854 H3947 H0408

וְחֵי אָחִיךָ עִמָּךְ׃
そして–生きよ あなたの–兄弟が あなたと–共に
H2421 H0251

彼から利子も利息も取ってはならない。あなたの神を恐れ、あなたの兄弟をあなたと共に生きながらえさせなければならない。

37 אֶת־ (を) H0853
כַּסְפְּךָ あなたの–金を H3701
לֹא־ ～ない H3808
תִתֵּן 貸しては H5414
לוֹ 彼に
בִּנֶּשֶׁךְ 利子付きで H5392
וּבְמַרְבִּית そして–高利で H4768
לֹא־ ～ない H3808
תִתֵּן 与えては H5414
אָכְלֶךָ׃ あなたの–食物を H0400

あなたは利子を取って彼に金を貸してはならない。また利益をえるために食物を貸してはならない。

38 אֲנִי わたしは H0589
יְהוָה 主 H3068
אֱלֹהֵיכֶם あなたがたの–神である H0430
אֲשֶׁר־ ～という H3318
הוֹצֵאתִי 導いた H3318
אֶתְכֶם あなたがたを H0853
מֵאֶרֶץ 地から H0776
מִצְרַיִם エジプトの H4714
לָתֶת 与えるために H5414
לָכֶם あなたがたに
אֶת־ (を) H0853
אֶרֶץ 地を H0776
כְּנַעַן カナンの
לִהְיוֹת なるために H1961
לָכֶם あなたがたにとって
לֵאלֹהִים׃ 神と H0430

ס
(空白)

わたしはあなたがたの神、主であって、カナンの地をあなたがたに与え、かつあなたがたの神となるためにあなたがたをエジプトの国から導き出した者である。

39 וְכִי־ そして–もし
יָמוּךְ 貧しくなるなら H4134
אָחִיךָ あなたの–兄弟が H0251
עִמָּךְ あなたと–共に
וְנִמְכַּר־ そして–売られるなら H4376
לָךְ あなたに
לֹא־ ～ない H3808
תַעֲבֹד 働かせては H5647
בּוֹ 彼を
עֲבֹדַת 奴隷の H5650
עָבֶד׃ 奴隷の–働きを H5656

あなたの兄弟が落ちぶれて、あなたに身を売るときは、奴隷のように働かせてはならない。

40 כְּשָׂכִיר 雇い人のように H7916
כְּתוֹשָׁב 寄留者のように
יִהְיֶה あるべきである H1961
עִמָּךְ あなたと–共に
עַד־ ～まで H5704
שְׁנַת ヨベルの–年の H8141
הַיֹּבֵל ヨベルの–年 H3104
יַעֲבֹד׃ 仕えるべきである H5647
עִמָּךְ あなたと–共に

彼を雇人のように、また旅びとのようにしてあなたの所におらせ、ヨベルの年まであなたの所で勤めさせなさい。

41 וְיָצָא そして–出る H3318
מֵעִמָּךְ あなたの–もとから
הוּא 彼は H1931
וּבָנָיו そして–彼の–息子たちも
עִמּוֹ 彼と–共に
וְשָׁב そして–帰る H7725
אֶל־ ～へ H0413
מִשְׁפַּחְתּוֹ 自分の–家族に H4940
וְאֶל־ そして–～へ H0413
אֲחֻזַּת 自分の–所有地に H0272
אֲבֹתָיו 先祖の H0001
יָשׁוּב׃ 帰る H7725

その時には、彼は子供たちと共にあなたの所から出て、その一族のもとに帰り、先祖の所有の地にもどるであろう。

42 כִּי־ なぜなら
עֲבָדַי わたしの–僕である H5650
הֵם 彼らは H1992
אֲשֶׁר־ ～という H3318
הוֹצֵאתִי 導いた H3318
אֹתָם 彼らを H0853
מֵאֶרֶץ 地から H0776
מִצְרָיִם エジプトの H4714
לֹא ～ない H3808
יִמָּכְרוּ 売られては–ならない H4376
מִמְכֶּרֶת 売り物としての H4466
עָבֶד׃ 奴隷として H5650

彼らはエジプトの国からわたしが導き出したわたしのしもべであるから、身を売って奴隷となってはならない。

43

לֹא־	תִרְדֶּה	בּוֹ	בְּפָרֶךְ	וְיָרֵאתָ	מֵאֱלֹהֶיךָ׃
～ない	支配しては	彼を	過酷に	そして–恐れよ	あなたの–神を
H3808			H6531	H3372	H0430

あなたは彼をきびしく使ってはならない。あなたの神を恐れなければならない。

44

מֵאֵת	לָךְ	יִהְיוּ־	אֲשֶׁר	וַאֲמָתְךָ	וְעַבְדְּךָ	
～から	あなたに	ある	～という	そして–あなたの–女の–しもべは	そして–あなたの–男の–しもべと	
H0854		H1961		H0519	H5650	

עֶבֶד	תִּקְנוּ	מֵהֶם	סְבִיבֹתֵיכֶם	אֲשֶׁר	הַגּוֹיִם
男の–しもべと	買え	彼らから	あなたがたの–周りにいる	～という	彼らの–諸国民から
H5650	H7069	H1992	H5439		

וְאָמָה׃	
そして–女の–しもべを	
H0519	

あなたがもつ奴隷は男女ともにあなたの周囲の異邦人のうちから買わなければならない。すなわち、彼らのうちから男女の奴隷を買うべきである。

45

תִּקְנוּ	מֵהֶם	עִמָּכֶם	הַגָּרִים	הַתּוֹשָׁבִים	מִבְּנֵי	וְגַם
買え	彼らから	あなたがたと–共に	住んでいる	居留者の	子らからも	そして–また
H7069	H1992					H1571

בְּאַרְצְכֶם	הוֹלִידוּ	אֲשֶׁר	עִמָּכֶם	אֲשֶׁר	וּמִמִּשְׁפַּחְתָּם
あなたがたの–地で	生まれた	～という	あなたがたと–共にいる	～という	そして–その–家族からも
H0776	H3205				H4940

לַאֲחֻזָּה׃	לָכֶם	וְהָיוּ
所有と	あなたがたにとって	そして–なる
H0272		H1961

また、あなたがたのうちに宿っている旅びとの子供のうちからも買うことができる。また彼らのうちあなたがたの国で生れて、あなたがたと共におる人々の家族からも買うことができる。そして彼らはあなたがたの所有となるであろう。

46

אֲחֻזָּה	לָרֶשֶׁת	אַחֲרֵיכֶם	לִבְנֵיכֶם	אֹתָם	וְהִתְנַחַלְתֶּם
所有地として	所有する–ために	あなたがたの–後に	あなたがたの–子らに	彼らを	そして–受け継がせよ
H0272	H3423			H0853	H5157

אִישׁ	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי־	וּבְאַחֵיכֶם	תַּעֲבֹדוּ	בָהֶם	לְעֹלָם
各人が	イスラエルの	子らを	そして–あなたがたの–兄弟を	働かせてよい	彼らを	永遠に
H0376	H3478		H0251	H5647		H5769

ס	בְּפָרֶךְ׃	בּוֹ	תִרְדֶּה	לֹא־	בְּאָחִיו
(空白)	過酷に	彼を	支配しては	～ない	自分の–兄弟を
	H6531			H3808	H0251

47 וְכִי תַשִּׂיג יַד גֵּר וְתוֹשָׁב עִמָּךְ וּמָךְ עִמָּךְ
そして-もし 得るなら 手が 寄留者の そして-居留者の あなたと-共にいる そして-貧しくなるなら
H5381 H3027 H1616 H8432 H4134

וְנִמְכַּר לְגֵר תּוֹשָׁב עִמָּךְ אוֹ לְעֵקֶר מִשְׁפַּחַת גֵּר׃
そして-売られるなら 寄留者に 居留者の あなたと-共にいる あるいは
H4376 H1616 H8432

אָחִיךָ עִמּוֹ
あなたの-兄弟が 彼と-共に
H0251

לְעֵקֶר מִשְׁפַּחַת גֵּר׃
子孫に 家族の 寄留者の
H6133 H4940 H1616

あなたと共にいる寄留者または旅びとが富み、そのかたわらにいるあなたの兄弟が落ちぶれて、あなたと共にいるその寄留者、旅びと、または寄留者の一族のひとりに身を売った場合、

48 אַחֲרֵי נִמְכַּר גְּאֻלָּה תִּהְיֶה־ לּוֹ אֶחָד מֵאֶחָיו
売られた-後に 売られた 買い戻しの-権利が ある 彼には 一人が 彼の-兄弟の-中から
H4376 H1353 H1961 H0259 H0251

יִגְאָלֶנּוּ׃
彼を-買い戻せる

身を売った後でも彼を買いもどすことができる。その兄弟のひとりが彼を買いもどさなければならない。

49 אוֹ־ דֹּדוֹ אוֹ בֶן־ דֹּדִוֹ אוֹ מִשְׁאֵר
あるいは 彼の-おじが あるいは 息子が 彼の-おじの あるいは 近い-親族の
H1730 H1730 H7607

בְּשָׂרוֹ מִמִּשְׁפַּחְתּוֹ יִגְאָלֶנּוּ אוֹ־ הִשִּׂיגָה יָדוֹ
彼の-肉親の 彼の-家族の 彼を-買い戻せる あるいは 十分に-得るなら 彼の-手が
H1320 H4940 H3027 H5381

וְנִגְאָל׃
そして-自分を-買い戻せる

あるいは、おじ、または、おじの子が彼を買いもどさなければならない。あるいは一族の近親の者が、彼を買いもどさなければならない。あるいは自分に富ができたならば、自分で買いもどさなければならない。

50 וְחִשַּׁב עִם־ קֹנֵהוּ מִשְּׁנַת הִמָּכְרוֹ לּוֹ עַד
そして-計算せよ ～と共に 彼の-買い手と 売られた-年から 売られた-年から 彼に ～まで
H2803 H7069 H8141 H4376

שְׁנַת הַיֹּבֵל וְהָיָה כֶּסֶף מִמְכָּרוֹ בִּמְסַפֵּר שָׁנִים
ヨベルの-年 そして-なる 代金は 売られた-値の 年数に-応じて 年の
H3104 H1961 H3701 H4465 H4557 H8141

כִּימֵי שָׂכִיר יִהְיֶה עִמּוֹ׃
雇い人の-日数のように 雇い人の あるべきである 彼と-共に
H3117 H7916 H1961

その時、彼は自分の身を売った年からヨベルの年までを、その買い主と共に数え、その年数によって、身の代金を決めなければならない。その年数は雇われた年数として数えなければならない。

51 אִם־ עוֹד רַבּוֹת בַּשָּׁנִים לְפִיהֶן יָשִׁיב גְּאֻלָּתוֹ מִכֶּסֶף
もし まだ 多くの 年が-あるなら その-年数に-応じて 返せ 彼の-買い戻しの-代金を 代金から
H5750 H7227 H8141 H6310 H7725 H1353 H3701

מִקְנַת׃
彼の-買い値の
H4736

なお残りの年が多い時は、その年数にしたがい、買われた金額に照して、あがないの金を払わなければならない。

52	וְאִם־	מְעַט	נִשְׁאָר	בַּשָּׁנִים	עַד־	שְׁנַת	הַיֹּבֵל
	そして–もし	少なく	残っているなら	年が–〜まで	〜まで	ヨベルの–年の	ヨベルの–年
		H4592	H7604	H8141	H5704	H8141	H3104

וְחִשַּׁב־	לוֹ	כְּפִי	שָׁנָיו	יָשִׁיב	אֶת־	וְאֶלְתּוֹ׃
そして–計算せよ	彼に	その–年数に–応じて	彼の–年の	返せ	（を）	彼の–買い戻しの–代金を
H2803		H6310	H8141	H7725	H0853	H1353

またヨベルの年までに残りの年が少なければ、その人と共に計算し、その年数にしたがって、あがないの金を払わなければならない。

53	כִּשְׂכִיר	שָׁנָה	בְּשָׁנָה	יִהְיֶה	עִמּוֹ	לֹא־	יִרְדֶּנּוּ	בְּפָרֶךְ
	雇い人のように	年ごとに	年ごとに	あるべきである	彼と–共に	〜ない	支配しては	過酷に
	H7916	H8141	H8141	H1961		H3808		H6531

לְעֵינֶיךָ׃
あなたの–目の–前で

彼は年々雇われる人のように扱われなければならない。あなたの目の前で彼をきびしく使わせてはならない。

54	וְאִם־	לֹא	יִגָּאֵל	בְּאֵלֶּה	וְיָצָא	בִּשְׁנַת
	そして–もし	〜ない	買い戻されないなら	これらの–方法で	そして–出る	ヨベルの–年の
		H3808		H0428	H3318	H8141

הַיֹּבֵל	הוּא	וּבָנָיו	עִמּוֹ׃	
ヨベルの–年に	彼は	そして–彼の–息子たちも	彼と–共に	
H3104	H1931			

もし彼がこのようにしてあがなわれないならば、ヨベルの年に彼は子供と共に出て行くことができる。

55	כִּי־	לִי	בְנֵי־	יִשְׂרָאֵל	עֲבָדִים	עֲבָדַי	הֵם
	なぜなら	わたしの–ものである	子らは	イスラエルの	僕である	わたしの–僕である	彼らは
				H3478	H5650	H5650	H1992

אֲשֶׁר־	הוֹצֵאתִי	אוֹתָם	מֵאֶרֶץ	מִצְרָיִם	אֲנִי	יְהוָה	אֱלֹהֵיכֶם׃
〜という	導いた	彼らを	地から	エジプトの	わたしは	主	あなたがたの–神である
H3318	H3318	H0853	H0776	H4714	H0589	H3068	H0430

イスラエルの人々は、わたしのしもべだからである。彼らはわたしがエジプトの国から導き出したわたしのしもべである。わたしはあなたがたの神、主である。

Chapter 26

1	לֹא־	תַעֲשׂוּ	לָכֶם	אֱלִילִם	וּפֶסֶל	וּמַצֵּבָה	לֹא־	תָקִימוּ
	〜ない	作っては	あなたがたのために	偶像を	そして–彫像も	そして–石柱も	〜ない	立てては
	H3808			H0457	H6459	H4676	H3808	

לְהִשְׁתַּחֲוֹת	בְּאַרְצְכֶם	תִּתְּנוּ	לֹא	מַשְׂכִּית	וְאֶבֶן	לָכֶם	
ひれ伏す–ために	あなたがたの–地に	置いては	〜ない	像を	そして–石の	あなたがたのために	
H7812	H0776	H5414	H3808	H4906	H0068		

אֱלֹהֵיכֶם׃	יְהוָה	אֲנִי	כִּי	עָלֶיהָ	
あなたがたの–神である	主	わたしは	なぜなら	それに	
H0430	H3068	H0589			

あなたがたは自分のために、偶像を造ってはならない。また刻んだ像も石の柱も立ててはならない。またあなたがたの地に石像を立てて、それを拝んではならない。わたしはあなたがたの神、主だからである。

2 אֶת־ שַׁבְּתֹתַי תִּשְׁמֹרוּ וּמִקְדָּשִׁי תִּירָאוּ אֲנִי יְהוָה׃ ס
（を） わたしの–安息日を 守れ そして–わたしの–聖所を 恐れよ わたしは 主である （空白）
H0853 H7676 H8104 H4720 H3372 H0589 H3068

あなたがたはわたしの安息日を守り、またわたしの聖所を敬わなければならない。わたしは主である。

3 אִם־ בְּחֻקֹּתַי תֵּלֵכוּ וְאֶת־ מִצְוֹתַי תִּשְׁמְרוּ וַעֲשִׂיתֶם
もし わたしの–定めに 歩むなら そして（を） わたしの–戒めを 守り そして–行うなら
H2708 H3212 H0853 H4687 H8104

אֹתָם׃
それらを
H0853

もしあなたがたがわたしの定めに歩み、わたしの戒めを守って、これを行うならば、

4 וְנָתַתִּי גִּשְׁמֵיכֶם בְּעִתָּם וְנָתְנָה הָאָרֶץ יְבוּלָהּ
そして–与える あなたがたの–雨を 時にかなって そして–与える その–地は その–産物を
H5414 H1653 H6256 H5414 H0776 H2981

וְעֵץ הַשָּׂדֶה יִתֵּן פִּרְיוֹ׃
そして–木は 畑の 与える その–実りを
H6086 H7704 H5414 H6529

わたしはその季節季節に、雨をあなたがたに与えるであろう。地は産物を出し、畑の木々は実を結ぶであろう。

5 וְהִשִּׂיג לָכֶם דַּיִשׁ אֶת־ בָּצִיר וּבָצִיר יַשִּׂיג
そして–続く 脱穀が （を） ぶどうの–収穫まで そして–ぶどうの–収穫が 続く
H5381 H1786 H0853 H1210 H1210 H5381

וַאֲכַלְתֶּם לַחְמְכֶם לָשֹׂבַע וִישַׁבְתֶּם לָבֶטַח
そして–食べよ あなたがたの–パンを 満ち足りるまで そして–住め 安らかに
H0398 H3899 H7648 H3427 H0983

בְּאַרְצְכֶם׃ זֶרַע אֶת־
あなたがたの–地に 種まきまで （を）
H0776 H2233 H0853

あなたがたの麦打ちは、ぶどうの取入れの時まで続き、ぶどうの取入れは、種まきの時まで続くであろう。あなたがたは飽きるほどパンを食べ、またあなたがたの地に安らかに住むであろう。

6 וְנָתַתִּי שָׁלוֹם בָּאָרֶץ וְשָׁכַבְתֶּם וְאֵין מַחֲרִיד
そして–与える 平和を 地に そして–横たわるとき そして–ない おびえさせる–ものは
H5414 H7965 H0776 H7901 H0369 H2729

וְהִשְׁבַּתִּי חַיָּה רָעָה מִן־ בְּאַרְצְכֶם׃ תַּעֲבֹר לֹא־ וְחֶרֶב
そして–取り除く 獣を 悪い ～から 地から 通らない ～ない そして–剣は あなたがたの–地を
H2719 H3808 H0776 H7451 H7462 H2416 H0776

わたしが国に平和を与えるから、あなたがたは安らかに寝ることができ、あなたがたを恐れさすものはないであろう。わたしはまた国のうちから悪い獣を絶やすであろう。つるぎがあなたがたの国を行き巡ることはないであろう。

7 וְרָדְפוּ אֶת־ אֹיְבֵיכֶם וְנָפְלוּ לִפְנֵיכֶם לֶחָרֶב
そして–追い （を） あなたがたの–敵を そして–倒れる あなたがたの–前に 剣によって
H7291 H0853 H0341 H5307 H6440 H2719

あなたがたは敵を追うであろう。彼らは、あなたがたのつるぎに倒れるであろう。

8 וְרָדְפוּ מִכֶּם חֲמִשָּׁה מֵאָה וּמֵאָה מִכֶּם רִבָּבָה יִרְדֹּפוּ
そして–追う あなたがたの–五人が 百人を 五人が あなたがたの–百人が 万人を 追う
H7291 H2568 H3967 H3967 H7291

וְנָפְלוּ אֹיְבֵיכֶם לִפְנֵיכֶם לָחֶרֶב׃
そして–倒れる あなたがたの–敵は あなたがたの–前に 剣によって
H5307 H0341 H6440 H2719

あなたがたの五人は百人を追い、百人は万人を追い、あなたがたの敵はつるぎに倒れるであろう。

9 וּפָנִיתִי אֲלֵיכֶם וְהִפְרֵיתִי אֶתְכֶם וְהִרְבֵּיתִי אֶתְכֶם
そして–顧みる あなたがたを そして–実り豊かにする あなたがたを そして–増やす あなたがたを
H6437 H0413 H6509 H0853 H0853

וַהֲקִימֹתִי אֶת־ בְּרִיתִי אִתְּכֶם׃
そして–立てる （を） わたしの–契約を あなたがたと
H0853 H1285 H0854

わたしはあなたがたを顧み、多くの子を獲させ、あなたがたを増し、あなたがたと結んだ契約を固めるであろう。

10 וַאֲכַלְתֶּם יָשָׁן נוֹשָׁן וְיָשָׁן מִפְּנֵי חָדָשׁ
そして–食べよ 古い–ものを 古くなった–ものも そして–古い–ものを 新しい–ものの–前に 新しい
H0398 H3465 H3462 H3465 H6440 H2319

תּוֹצִיאוּ׃
出さねばならない
H3318

あなたがたは古い穀物を食べている間に、また新しいものを獲て、その古いものを捨てるようになるであろう。

11 וְנָתַתִּי מִשְׁכָּנִי בְּתוֹכְכֶם וְלֹא־ תִגְעַל נַפְשִׁי
そして–置く わたしの–住まいを あなたがたの–中に そして–〜ない 嫉み嫌わない わたしの–魂は
H5414 H4908 H8432 H3808 H1602 H5315

אֶתְכֶם׃
あなたがたを
H0853

わたしは幕屋をあなたがたのうちに建て、心にあなたがたを忌みきらわないであろう。

12 וְהִתְהַלַּכְתִּי בְּתוֹכְכֶם וְהָיִיתִי לָכֶם לֵאלֹהִים וְאַתֶּם
そして–歩み回る あなたがたの–中を そして–なる あなたがたにとって 神と そして–あなたがたは
H1980 H8432 H1961 H0430

תִּהְיוּ־ לִי לְעָם׃
なる わたしにとって 民と
H1961

わたしはあなたがたのうちに歩み、あなたがたの神となり、あなたがたはわたしの民となるであろう。

13 אֲנִי יְהוָה אֱלֹהֵיכֶם אֲשֶׁר הוֹצֵאתִי אֶתְכֶם מֵאֶרֶץ מִצְרַיִם
わたしは 主 あなたがたの–神である 〜という 導いた あなたがたを 地から エジプトの
H0589 H3068 H0430 H0834 H3318 H0853 H0776 H4714

מִהְיוֹת לָהֶם עֲבָדִים וָאֶשְׁבֹּר מֹטֹת עֻלְּכֶם
から–ならない–ために 彼らにとって 奴隷と そして–折った 横木を あなたがたの–軛の
H1961 H5650 H7665 H4133 H5923

וָאוֹלֶךְ אֶתְכֶם קוֹמְמִיּוּת׃ פ
そして–歩かせた あなたがたを 背筋を–伸ばして (段落)
H3212 H0853 H6968

わたしはあなたがたの神、主であって、あなたがたをエジプトの国から導き出して、奴隷の身分から解き放った者である。わたしはあなたがたのくびきの横木を砕いて、まっすぐに立って歩けるようにしたのである。

14 וְאִם־ לֹא תִשְׁמְעוּ לִי וְלֹא תַעֲשׂוּ אֶת־ כָּל־
そして–もし ～ない 聞かないなら わたしに そして–～ない 行わないなら （を） すべての
H3808 H8085 H3808 H0853 H3605

הַמִּצְוֹת הָאֵלֶּה׃
これらの–戒めを これらの
H4687 H0428

しかし、あなたがたがもしわたしに聞き従わず、またこのすべての戒めを守らず、

15 וְאִם־ בְּחֻקֹּתַי תִּמְאָסוּ וְאִם־ אֶת־ מִשְׁפָּטַי תִּגְעַל
そして–もし 退けるなら わたしの–定めを そして–もし （を） わたしの–裁きを 嫉み嫌うなら
H2708 H0853 H4941 H1602

נַפְשְׁכֶם לְבִלְתִּי עֲשׂוֹת אֶת־ כָּל־ מִצְוֹתָי לְהַפְרְכֶם אֶת־
あなたがたの–魂が ～しない–ために 行う （を） すべての わたしの–戒めを 破る–ために （を）
H5315 H1115 H0853 H3605 H4687 H0853

בְּרִיתִי׃
わたしの–契約を
H1285

わたしの定めを軽んじ、心にわたしのおきてを忌みきらって、わたしのすべての戒めを守らず、わたしの契約を破るならば、

16 אַף־ אֲנִי זֹאת אֶעֱשֶׂה־ לָכֶם וְהִפְקַדְתִּי עֲלֵיכֶם
それならば わたしもまた これを 行う あなたがたに そして–訪れさせる あなたがたの–上に
H0637 H0589 H2063

בֶּהָלָה אֶת־ הַשַּׁחֶפֶת וְאֶת־ הַקַּדַּחַת מְכַלּוֹת עֵינַיִם וּמְדִיבַת נָפֶשׁ
恐怖を （を） 肺病と そして（を） 熱病を 衰えさせる 目を そして–弱らせる 魂を
H0928 H0853 H7829 H6920 H3615 H1727 H5315

וְזָרַעְתֶּם לָרִיק וְאֹיְבֵיכֶם׃ וַאֲכָלֻהוּ זַרְעֲכֶם
そして–蒔いても 空しく あなたがたの–種を そして–食べる あなたがたの–敵が
H2232 H7385 H2233 H0398 H0341

わたしはあなたがたにこのようにするであろう。すなわち、あなたがたの上に恐怖を臨ませ、肺病と熱病をもって、あなたがたの目を見えなくし、命をやせ衰えさせるであろう。あなたがたが種をまいてもむだである。敵がそれを食べるであろう。

17 וְנָתַתִּי פָנַי בָּכֶם וְנִגַּפְתֶּם לִפְנֵי
そして–向ける わたしの–顔を あなたがたに–向かって そして–打ち負かされる 敵の–前で
H5414 H6440 H5062 H6440

אֹיְבֵיכֶם וְרָדוּ בָכֶם שֹׂנְאֵיכֶם וְנַסְתֶּם
あなたがたの–敵の そして–支配する あなたがたを あなたがたを–憎む–者が そして–逃げる
H0341 H8130 H5127

וְאֵין־ רֹדֵף אֶתְכֶם׃ ס
そして–いない 追う–者は あなたがたを (空白)
H0369 H7291 H0853

わたしは顔をあなたがたにむけて攻め、あなたがたは敵の前に撃ちひしがれるであろう。またあなたがたの憎む者があなたがたを治めるであろう。あなたがたは追う者もないのに逃げるであろう。

18 וְאִם־ עַד־ אֵלֶּה לֹא תִשְׁמְעוּ לִי וְיָסַפְתִּי לְיַסְּרָה
そして-もし ～までも これらで ～ない 聞かないなら わたしに そして-加える 懲らしめを
H0428 H5704 H0428 H3808 H8085 H0428 H3254 H3256

אֶתְכֶם שֶׁבַע עַל־ חַטֹּאתֵיכֶם׃
あなたがたを 七 倍に あなたがたの-罪に-応じて
H0853 H7651 H5704 H2398

それでもなお、あなたがたがわたしに聞き従わないならば、わたしはあなたがたの罪を七倍重く罰するであろう。

19 וְשָׁבַרְתִּי אֶת־ גְּאוֹן עֻזְּכֶם וְנָתַתִּי אֶת־ שְׁמֵיכֶם
そして-折る （を） 誇りを あなたがたの-力の そして-する （を） あなたがたの-空を
H7665 H0853 H1347 H5797 H5414 H0853 H8064

כַּבַּרְזֶל וְאֶת־ אַרְצְכֶם כַּנְּחֹשֶׁת׃
鉄のように そして（を） あなたがたの-地を 青銅のように
H1270 H0853 H0776 H5154

わたしはあなたがたの誇とする力を砕き、あなたがたの天を鉄のようにし、あなたがたの地を青銅のようにするであろう。

20 וְתַם לָרִיק כֹּחֲכֶם וְלֹא־ תִתֵּן אַרְצְכֶם אֶת־
そして-尽きる 空しく あなたがたの-力は そして-～ない 与えない あなたがたの-地は （を）
H8552 H7385 H3808 H5414 H0776 H0853

וְעֵץ הָאָרֶץ לֹא יִתֵּן פִּרְיוֹ׃ יְבוּלָהּ
そして-木は 地の ～ない 与えない その-実りを その-産物を
H6086 H0776 H3808 H5414 H6529 H2981

あなたがたの力は、むだに費されるであろう。すなわち、地は産物をいださず、国のうちの木々は実を結ばないであろう。

21 וְאִם־ תֵּלְכוּ עִמִּי וְלֹא תֹאבוּ לִשְׁמֹעַ קֶרִי
そして-もし 歩むなら わたしと-共に 敵意を-もって そして-～ない 応じようと-しないなら 聞く
H3212 H5973 H7147 H3808 H0014 H8085

כְּחַטֹּאתֵיכֶם׃ שֶׁבַע מַכָּה עֲלֵיכֶם וְיָסַפְתִּי לִי
あなたがたの-罪に-応じて 七 打撃を あなたがたの-上に そして-加える わたしに
H7651 H4347 H5921 H3254

もしあなたがたがわたしに逆らって歩み、わたしに聞き従わないならば、わたしはあなたがたの罪に従って七倍の災をあなたがたに下すであろう。

22 וְהִשְׁלַחְתִּי בָּכֶם אֶת־ חַיַּת הַשָּׂדֶה וְשִׁכְּלָה אֶתְכֶם
そして-送る あなたがたの-中に （を） 獣を 野の そして-子を-失わせる あなたがたから
H7971 H0853 H2416 H7704 H0853

וְהִכְרִיתָה אֶת־ בְּהֶמְתְּכֶם וְהִמְעִיטָה אֶתְכֶם וְנָשְׁמוּ
そして-絶やす （を） あなたがたの-家畜を そして-減らす あなたがたを そして-荒れ果てる
H3772 H0853 H0929 H4591 H0853 H8074

דַּרְכֵיכֶם׃
あなたがたの-道は
H1870

わたしはまた野獣をあなたがたのうちに送るであろう。それはあなたがたの子供を奪い、また家畜を滅ぼし、あなたがたの数を少なくするであろう。あなたがたの大路は荒れ果てるであろう。

23 וְאִם־ そして–もし
בְּאֵלֶּה これらによっても H0428
לֹא ～ない H3808
תִוָּסְרוּ 戻らないなら H3256
לִי わたしに
וְהָלַכְתֶּם そして–歩むなら H1980
עִמִּי わたしと–共に

קֶרִי׃ 敵意を–もって H7147

もしあなたがたがこれらの懲しめを受けてもなお改めず、わたしに逆らって歩むならば、

24 וְהָלַכְתִּי そして–歩む H1980
אַף־ それならば H0637
אֲנִי わたしもまた H0589
עִמָּכֶם あなたがたと–共に
בְּקֶרִי 敵意を–もって H7147
וְהִכֵּיתִי そして–打つ H5221

אֶתְכֶם あなたがたを H0853
גַּם־ まことに H1571
אֲנִי わたしもまた H0589
שֶׁבַע 七 H7651
עַל־ 倍に
חַטֹּאתֵיכֶם׃ あなたがたの–罪に–応じて

わたしもまたあなたがたに逆らって歩み、あなたがたの罪を七倍重く罰するであろう。

25 וְהֵבֵאתִי そして–もたらす H0935
עֲלֵיכֶם あなたがたの–上に
חֶרֶב 剣を H2719
נֹקֶמֶת 復讐する H5358
נְקַם־ 復讐の H5359
בְּרִית 契約の H1285
וְנֶאֱסַפְתֶּם そして–集まる H0622
אֶל־ ～へ H0413

עָרֵיכֶם あなたがたの–町々に
דֶּבֶר 疫病を H1698
וְשִׁלַּחְתִּי そして–送る H7971
בְּתוֹכְכֶם あなたがたの–中に H8432
וְנִתַּתֶּם そして–渡される H5414
בְּיַד־ 手に H3027
אוֹיֵב׃ 敵の H0341

わたしはあなたがたの上につるぎを臨ませ、違約の恨みを報いるであろう。あなたがたが町々に集まる時は、あなたがたのうちに疫病を送り、あなたがたは敵の手にわたされるであろう。

26 בְּשִׁבְרִי 折る–とき H7665
לָכֶם あなたがたの
מַטֵּה־ パンの–詩えを H4294
לֶחֶם パンの H3899
עֶשֶׂר 十人の H6235
נָשִׁים 女が H0802
וְאָפוּ そして–焼く H0644
לַחְמְכֶם あなたがたの–パンを H3899

בְּתַנּוּר 一つの–かまどで H8574
אֶחָד 一つの H0259
וְהֵשִׁיבוּ そして–返す H7725
לַחְמְכֶם あなたがたの–パンを H3899
בַּמִּשְׁקָל 重さで–量って H4948
וַאֲכַלְתֶּם そして–食べても H0398

וְלֹא そして–～ない H3808
תִשְׂבָּעוּ׃ 満たされない H7646
ס (空白)

わたしがあなたがたのつえとするパンを砕くとき、十人の女が一つのかまどでパンを焼き、それをはかりにかけてあなたがたに渡すであろう。あなたがたは食べても満たされないであろう。

27 וְאִם־ そして–もし
בְּזֹאת これでも H2063
לֹא ～ない H3808
תִשְׁמְעוּ 聞かないなら H8085
לִי わたしに
וְהָלַכְתֶּם そして–歩むなら H1980
עִמִּי わたしと–共に

בְּקֶרִי׃ 敵意を–もって H7147

それでもなお、あなたがたがわたしに聞き従わず、わたしに逆らって歩むならば、

28 וְהָלַכְתִּי そして–歩む H1980
עִמָּכֶם あなたがたと–共に
בַּחֲמַת־ 激しい–怒りを–もって H2534
קֶרִי 敵意の H7147
וְיִסַּרְתִּי そして–懲らしめる H3256
אֶתְכֶם あなたがたを H0853

אַף־ まことに H0637
אֲנִי わたしもまた H0589
שֶׁבַע 七 H7651
עַל־ 倍に
חַטֹּאתֵיכֶם׃ あなたがたの–罪に–応じて

わたしもあなたがたに逆らい、怒りをもって歩み、あなたがたの罪を七倍重く罰するであろう。

29 וַאֲכַלְתֶּם בְּשַׂר בְּנֵיכֶם וּבְשַׂר בְּנֹתֵיכֶם תֹּאכֵלוּ׃
そして–食べる 肉を あなたがたの–息子の そして–肉を あなたがたの–娘の 食べる
H0398 H1320 H1320 H1323

あなたがたは自分のむすこの肉を食べ、また自分の娘の肉を食べるであろう。

30 וְהִשְׁמַדְתִּי אֶת־ בָּמֹתֵיכֶם וְהִכְרַתִּי אֶת־ חַמָּנֵיכֶם
そして–滅ぼす （を） あなたがたの–高き–所を （を） そして–切り倒す （を） あなたがたの–香の–台を
H8045 H0853 H1116 H0853 H3772 H0853 H2553

וְנָתַתִּי אֶת־ פִּגְרֵיכֶם עַל־ גִּלּוּלֵיכֶם וְנָעֲלָה
そして–置く （を） あなたがたの–死体を ～の上に 死体の あなたがたの–偶像の そして–嫁み嫌う
H5414 H0853 H6297 H6297 H1544 H1602

נַפְשִׁי אֶתְכֶם׃
わたしの–魂は あなたがたを
H5315 H0853

わたしはあなたがたの高き所をこぼち、香の祭壇を倒し、偶像の死体の上に、あなたがたの死体を投げ捨てて、わたしは心にあなたがたを忌みきらうであろう。

31 וְנָתַתִּי אֶת־ עָרֵיכֶם חָרְבָּה וְהַשְׁמּוֹתִי אֶת־ מִקְדְּשֵׁיכֶם
そして–する （を） あなたがたの–町々を 廃墟と そして–荒らす （を） あなたがたの–聖所を
H5414 H0853 H2723 H8074 H0853 H4720

וְלֹא אָרִיחַ בְּרֵיחַ נִיחֹחֲכֶם׃
そして–～ない 喜ばない 香りを あなたがたの–なだめの–香の
H3808 H7306 H7381 H5207

わたしはまたあなたがたの町々を荒れ地とし、あなたがたの聖所を荒らすであろう。またわたしはあなたがたのささげる香ばしいかおりをかがないであろう。

32 וְהַשֹּׁמֹתִי אֲנִי אֶת־ הָאָרֶץ וְשָׁמְמוּ עָלֶיהָ אֹיְבֵיכֶם
そして–荒らす わたし自身が （を） その–地を そして–驚く それを–見て あなたがたの–敵は
H8074 H0589 H0853 H0776 H8074 H0341

הַיֹּשְׁבִים בָּהּ׃
住む–者たちは そこに
H3427

わたしがその地を荒らすゆえ、そこに住むあなたがたの敵はそれを見て驚くであろう。

33 וְאֶתְכֶם אזרה בַּגּוֹיִם וַהֲרִיקֹתִי אַחֲרֵיכֶם חָרֶב וְהָיְתָה
そして–あなたがたを 散らす 諸国民の–中に そして–抜く あなたがたの–後に 剣を そして–なる
H0853 H2219 H7324 H2719 H1961

וְעָרֵיכֶם יִהְיוּ חָרְבָּה׃ שְׁמָמָה אַרְצְכֶם
そして–あなたがたの–町々は なる 廃墟と 荒れ地と あなたがたの–地は
H1961 H2723 H0776

わたしはあなたがたを国々の間に散らし、つるぎを抜いて、あなたがたの後を追うであろう。あなたがたの地は荒れ果て、あなたがたの町々は荒れ地となるであろう。

34 אָז תִּרְצֶה הָאָרֶץ אֶת־שַׁבְּתֹתֶיהָ כָּל־יְמֵי הָשַּׁמָּה

その時 喜ぶ その地は （を） その–安息日を すべての 日々の–間 荒らされた
H0776 H7521 H0776 H0853 H7676 H3605 H3117 H8074

וְאַתֶּם בְּאֶרֶץ אֹיְבֵיכֶם אָז תִּשְׁבַּת הָאָרֶץ וְהִרְצָת אֶת־שַׁבְּתֹתֶיהָ׃

そして–あなたがたは 地にいる あなたがたの–敵の その時 休む その–地は そして–喜ぶ （を）
H0776 H0341 H0776 H7521 H0853

その–安息日を
H7676

こうしてその地が荒れ果てて、あなたがたは敵の国にある間、地は安息を楽しむであろう。すなわち、その時、地は休みを得て、安息を楽しむであろう。

35 כָּל־יְמֵי הָשַּׁמָּה לֹא־שָׁבְתָה אֵת תִּשְׁבֹּת בְּשַׁבְּתֹתֵיכֶם בְּשִׁבְתְּכֶם עָלֶיהָ׃

すべての 日々の–間 荒らされた 休む （を） ～という ～ない 休まなかった その–安息日に あなたがたが–住んでいた–ときに その–上に
H3605 H3117 H8074 H7676 H0853 H3427

それは荒れ果てている日の間、休むであろう。あなたがたがそこに住んでいる間、あなたがたの安息のときに休みを得なかったものである。

36 וְהַנִּשְׁאָרִים בָּכֶם וְהֵבֵאתִי מֹרֶךְ בִּלְבָבָם בְּאַרְצֹת אֹיְבֵיהֶם וְרָדַף אֹתָם קוֹל עָלֶה נִדָּף וְנָסוּ מְנֻסַּת־חֶרֶב וְנָפְלוּ וְאֵין רֹדֵף׃

そして–残る–者たちに あなたがたの–中の そして–もたらす 臆病を 彼らの–心に 地で 彼らの–敵の そして–追う 彼らを 音が 葉の 舞い–散る そして–逃げる 逃げるように 剣から そして–倒れる いない 追う–者は
H7604 H0935 H4816 H3824 H0776 H0341 H7291 H0853 H0369 H5929 H5086 H5127 H4499 H2719 H5307 H0369 H7291

またあなたがたのうちの残っている者の心に、敵の国でわたしは恐れをいだかせるであろう。彼らは木の葉の動く音にも驚いて逃げ、つるぎを避けて逃げる者のように逃げて、追う者もないのにころび倒れるであろう。

37 וְכָשְׁלוּ אִישׁ־בְּאָחִיו כְּמִפְנֵי־חֶרֶב וְרֹדֵף אָיִן וְלָכֶם לֹא־תִהְיֶה תְקוּמָה לִפְנֵי אֹיְבֵיכֶם׃

そして–つまずく 各人が 兄弟の–上に 剣の–前の–ように 剣の 追う–者は いない あなたがたには ない そして–～ない 敵の–前に 立ち向かう–力が あなたがたの–敵の
H3782 H0376 H0251 H6440 H2719 H7291 H0369 H0341 H1961 H3808 H6440 H8617 H0341

彼らは追う者もないのに、つるぎをのがれる者のように折り重なって、つまずき倒れるであろう。あなたがたは敵の前に立つことができないであろう。

38 וַאֲבַדְתֶּם בַּגּוֹיִם וְאָכְלָה אֶתְכֶם אֶרֶץ אֹיְבֵיכֶם׃

そして–滅びる 諸国民の–中で そして–食い尽くす あなたがたを 地が あなたがたの–敵の
H0006 H0398 H0853 H0776 H0341

あなたがたは国々のうちにあって滅びうせ、あなたがたの敵の地はあなたがたをのみつくすであろう。

39 וְהַנִּשְׁאָרִים בָּכֶם יִמַּקּוּ בַּעֲוֹנָם בְּאַרְצֹת אֹיְבֵיכֶם
そして–残る–者たちは あなたがたの–中の 腐り枝れる 自分の–咎の–中で 地で あなたがたの–敵の
H7604 H0853 H5771 H0776 H0341

וְאַף בַּעֲוֹנֹת אֲבֹתָם אִתָּם יִמָּקּוּ׃
そして–また 先祖の–咎の–中でも 先祖の 彼らと–共に 腐り枝れる
H0637 H5771 H0001 H0854 H4743

あなたがたのうちの残っている者は、あなたがたの敵の地で自分の罪のゆえにやせ衰え、また先祖たちの罪のゆえに彼らと同じようにやせ衰えるであろう。

40 וְהִתְוַדּוּ אֶת־עֲוֹנָם וְאֶת־עֲוֹן אֲבֹתָם בְּמַעֲלָם אֲשֶׁר מָעֲלוּ־
そして–告白する （を） 自分の–咎を （を） 先祖の 咎を そして（を） 背きの–中で 〜という 背いた
H3034 H0853 H5771 H0853 H0001 H5771 H0853 H4604 H0834 H4603

בִי וְאַף אֲשֶׁר הָלְכוּ עִמִּי בְּקֶרִי׃
わたしに また 〜という 歩んだ わたしと–共に 敵意を–もって
H0637 H0834 H1980 H5973 H7147

しかし、彼らがもし、自分の罪と、先祖たちの罪、すなわち、わたしに反逆し、またわたしに逆らって歩んだことを告白するならば、

41 אַף־אֲנִי אֵלֵךְ עִמָּם בְּקֶרִי וְהֵבֵאתִי אוֹתָם בְּאֶרֶץ
それならば わたしもまた 歩む 彼らと–共に 敵意を–もって そして–連れて行く 彼らを 地へ
H0637 H0589 H3212 H5973 H7147 H0935 H0853 H0776

אֹיְבֵיהֶם אוֹ אָז יִכָּנַע לְבָבָם הֶעָרֵל וְאָז יִרְצוּ אֶת־
彼らの–敵の あるいは その時 へりくだる 彼らの–心が 割礼の–ない そして–その時 償う （を）
H0341 H0176 H0227 H3665 H3824 H6189 H0227 H7521 H0853

עֲוֹנָם׃
自分の–咎を
H5771

たといわたしが彼らに逆らって歩み、彼らを敵の国に引いて行っても、もし彼らの無割礼の心が砕かれ、あまんじて罪の罰を受けるならば、

42 וְזָכַרְתִּי אֶת־בְּרִיתִי יַעֲקוֹב וְאַף אֶת־בְּרִיתִי אַבְרָהָם אֶזְכֹּר
そして–思い出す （を） わたしの–契約を ヤコブとの そして–また （を） わたしの–契約を アブラハムとの 思い出す
H2142 H0853 H1285 H3290 H0637 H0853 H1285 H0085 H2142

וְהָאָרֶץ אֶזְכֹּר׃ וְאַף אֶת־בְּרִיתִי יִצְחָק
そして–その–地を 思い出す そして–また （を） わたしの–契約を イサクとの
H0776 H2142 H0637 H0853 H1285 H3327

そのときわたしはヤコブと結んだ契約を思い起し、またイサクと結んだ契約およびアブラハムと結んだ契約を思い起し、またその地を思い起すであろう。

43

וְהָאָרֶץ	תֵּעָזֵב	מֵהֶם	וְתֵרֶץ	אֶת־	שַׁבְּתֹתֶיהָ	בָּהְשַׁמָּהּ
そして–その–地は	見捨てられる	彼らから	そして–喜ぶ	（を）	その–安息日を	荒らされて
H0776	H1992	H7521	H0853	H7676	H8074	

וְהֵם	מֵהֶם	וּבְיַעַן	יַעַן	עֹנָם	אֶת־	יִרְצוּ	
そして–彼らは	彼らから	そして–〜だからである	〜だからである	自分の–咎を	（を）	償う	
H1992	H1992	H3282	H3282	H5771	H0853	H7521	

בְּמִשְׁפָּטַי	מָאָסוּ	וְאֶת־	חֻקֹּתַי	נִפְשָׁם׃	נְעָלָה
わたしの–裁きを	退けた	そして（を）	わたしの–定めを	彼らの–魂が	嫌み嫌った
H4941		H0853	H2708	H5315	H1602

しかし、彼らが地を離れて地が荒れ果てている間、地はその安息を楽しむであろう。彼らはまた、あまんじて罪の罰を受けるであろう。彼らがわたしのおきてを軽んじ、心にわたしの定めを忌みきらったからである。

44

מְאַסְתִּים	לֹא־	אֹיְבֵיהֶם	בְּאֶרֶץ	בִּהְיוֹתָם	זֹאת	גַּם־	וְאַף־
退けなかった	〜ない	彼らの–敵の	地に–ある	ある–とき	これでも	また	そして–それでも
	H3808	H0341	H0776	H1961	H2063	H1571	H0637

כִּי	אִתָּם	בְּרִיתִי	לְהָפֵר	לְכַלֹּתָם	גְּעַלְתִּים	וְלֹא־	
なぜなら	彼らとの	わたしの–契約を	破る–ために	滅ぼす–ために	嫌み嫌わなかった	そして–〜ない	
	H0854	H1285		H3615	H1602	H3808	

אֱלֹהֵיהֶם׃	יְהוָה	אֲנִי
彼らの–神である	主	わたしは
H0430	H3068	H0589

それにもかかわらず、なおわたしは彼らが敵の国におるとき、彼らを捨てず、また忌みきらわず、彼らを滅ぼし尽さず、彼らと結んだわたしの契約を破ることをしないであろう。わたしは彼らの神、主だからである。

45

מֵאֶרֶץ	אֹתָם	הוֹצֵאתִי־	אֲשֶׁר	רִאשֹׁנִים	בְּרִית	לָהֶם	וְזָכַרְתִּי
地から	彼らを	導いた	〜という	先の–者たちとの	契約を	彼らの–ために	そして–思い出す
H0776	H0853	H3318		H7223	H1285		H2142

יְהוָה׃	אֲנִי	לֵאלֹהִים	לָהֶם	לִהְיֹת	הַגּוֹיִם	לְעֵינֵי	מִצְרַיִם
主である	わたしは	神と	彼らにとって	なるために	諸国民の	目の–前で	エジプトの
H3068	H0589	H0430		H1961			H4714

わたしは彼らの先祖たちと結んだ契約を彼らのために思い起すであろう。彼らはわたしがその神となるために国々の人の目の前で、エジプトの地から導き出した者である。わたしは主である』」。

46

בֵּינוֹ	יְהוָה	נָתַן	אֲשֶׁר	וְהַתּוֹרֹת	וְהַמִּשְׁפָּטִים	הַחֻקִּים	אֵלֶּה
自分と	主が	与えた	〜という	そして–律法である	そして–裁きと	定めと	これらは
H0996	H3068	H5414		H8451	H4941	H2706	H0428

פ	מֹשֶׁה׃	בְּיַד־	סִינַי	בְּהַר	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי	וּבֵין	
(段落)	モーセの	手によって	シナイの	山で	イスラエルの	子らとの	そして–〜との–間に	
	H4872	H3027	H5514	H2022	H3478		H0996	

これらは主が、シナイ山で、自分とイスラエルの人々との間に、モーセによって立てられた定めと、おきてと、律法である。

Chapter 27

1

לֵאמֹר׃	מֹשֶׁה	אֶל־	יְהוָה	וַיְדַבֵּר	
言って	モーセ	〜に	主は	そして–語った	
H0559	H4872	H0413	H3068	H1696	

主はモーセに言われた、

2 דַּבֵּר אֶל־ בְּנֵי יִשְׂרָאֵל וְאָמַרְתָּ אֲלֵהֶם אִישׁ כִּי יַפְלִא
語れ ～に 子らに イスラエルの そして-言え 彼らに 人が もし 特別な-誓いを-立てるなら
H1696 H0413 H0559 H0413 H0376 H3478

נֶדֶר בְּעֶרְכְּךָ נְפָשֹׁת לַיהוָה׃
誓約を 人々の あなたの-見積もりに-応じて 主への
H5088 H5315 H6187 H3068

「イスラエルの人々に言いなさい、『人があなたの値積りに従って主に身をささげる誓願をする時は、

3 וְהָיָה עֶרְכְּךָ הַזָּכָר מִבֶּן עֶשְׂרִים שָׁנָה וְעַד
そして-ある あなたの-見積もりは 男の 二十-歳から 歳 そして-～まで
H1961 H6187 H2145 H6242 H8141 H5704

בֶּן־ שִׁשִּׁים שָׁנָה וְהָיָה עֶרְכְּךָ חֲמִשִּׁים שֶׁקֶל כֶּסֶף
六十-歳までの 六十 歳 そして-ある あなたの-見積もりは 五十 シェケルの 銀
H8346 H8141 H1961 H6187 H2572 H8255 H3701

בְּשֶׁקֶל הַקֹּדֶשׁ׃
シェケルで 聖所の
H8255 H6944

あなたの値積りは、二十歳から六十歳までの男には、その値積りを聖所のシケルに従って銀五十シケルとし、

4 וְאִם־ נְקֵבָה הִוא וְהָיָה עֶרְכְּךָ שְׁלֹשִׁים שֶׁקֶל׃
そして-もし 女なら それは そして-ある あなたの-見積もりは 三十 シェケル
H1961 H5347 H1931 H1961 H6187 H7970 H8255

女には、その値積りは三十シケルとしなければならない。

5 וְאִם מִבֶּן־ חָמֵשׁ שָׁנִים וְעַד שְׁנֵים עֶשְׂרִים בֶּן־ וְהָיָה
そして-もし 五-歳から 五 歳 そして-～まで 二十-歳までの 二十 歳 そして-ある
H1961 H2568 H8141 H5704 H6242 H8141 H1961

עֶרְכְּךָ הַזָּכָר עֶשְׂרִים שְׁקָלִים וְלַנְּקֵבָה עֲשֶׂרֶת שְׁקָלִים׃
あなたの-見積もりは 男の 二十 シェケル そして-女は 十 シェケル
H6187 H2145 H6242 H8255 H5347 H6235 H8255

また五歳から二十歳までは、男にはその値積りを二十シケルとし、女には十シケルとしなければならない。

6 וְאִם מִבֶּן־ חֹדֶשׁ וְעַד חָמֵשׁ שָׁנִים וְהָיָה
そして-もし 一-か月から か月 そして-～まで 五 歳 そして-ある
H1961 H2320 H5704 H2568 H8141 H1961

עֶרְכְּךָ הַזָּכָר חֲמִשָּׁה שְׁקָלִים כֶּסֶף וְלַנְּקֵבָה עֶרְכְּךָ שְׁלֹשֶׁת
あなたの-見積もりは 男の 五 シェケルの 銀 そして-女は あなたの-見積もりは 三
H6187 H2145 H2568 H8255 H3701 H5347 H6187 H7969

שְׁקָלִים כָּסֶף׃
シェケルの 銀
H8255 H3701

一か月から五歳までは、男にはその値積りを銀五シケルとし、女にはその値積りを銀三シケルとしなければならない。

7

וְהָיָה	זָכָר	אִם־	וּמֵעִלָּה	שָׁנָה	שִׁשִּׁים	מִבֶּן־	וְאִם
そして-ある	男なら	もし	そして-それ以上なら	歳	六十	六十-歳から	そして-もし
H1961	H2145		H4605	H8141	H8346		

שְׁקָלִים׃	עֲשָׂרֶה	וְלַנְּקֵבָה	שֶׁקֶל	עָשָׂר	חֲמִשָּׁה	עֶרְכְּךָ	
シェケル	十	そして-女は	シェケル	五	十	あなたの-見積もりは	
H8255	H6235	H5347	H8255	H6240	H2568	H6187	

また六十歳以上は、男にはその値積りを十五シケルとし、女には十シケルとしなければならない。

8

וְהֶעֱרִיךְ	הַכֹּהֵן	לִפְנֵי	וְהֶעֱמִידוֹ	מֵעֶרְכֶּךָ	הוּא	מָךְ	וְאִם־
そして-見積もれ	祓司の	前に	そして-立たせよ	見積もりより	彼が	貧しい-者なら	そして-もし
	H3548	H6440	H5975	H6187	H1931	H4134	

ס	הַכֹּהֵן׃	יַעֲרִיכֶנּוּ	הַנֹּדֵר	יַד	תַּשִּׂיג	אֲשֶׁר	פִּי	עַל־	הַכֹּהֵן	אֹתוֹ
(空白)	祓司が	見積もる	誓う-者の	手が	得る	～という	力に	～に応じて	祓司が	彼を
	H3548		H5087	H3027	H5381		H6310		H3548	H0853

もしその人が貧しくて、あなたの値積りに応じることができないならば、祭司の前に立ち、祭司の値積りを受けなければならない。祭司はその誓願者の力に従って値積らなければならない。

9

אֲשֶׁר	כָּל	לַיהוָה	קָרְבָּן	מִמֶּנּוּ	יַקְרִיבוּ	אֲשֶׁר	בְּהֵמָה	וְאִם־
～という	すべての	主に	ささげ物として	それから	ささげる	～という	家畜で	そして-もし
	H3605	H3068			H7126		H0929	

קֹדֶשׁ׃	יִהְיֶה־	לַיהוָה	מִמֶּנּוּ	יִתֵּן
聖なるものと	なる	主に	それから	与える
H6944	H1961	H3068		H5414

主に供え物とすることができる家畜で、人が主にささげるものはすべて聖なる物となる。

10

אוֹ־	בְּרָע	טוֹב	אֹתוֹ	יָמִיר	וְלֹא־	יַחֲלִיפֶנּוּ	לֹא
あるいは	悪い-ものと	良い-ものを	それを	交換しては	そして-～ない	取り替えては	～ない
			H0853	H4171	H3808	H2498	H3808

הוּא	וְהָיָה־	בִּבְהֵמָה	בִּבְהֵמָה	יָמִיר	הָמֵר	וְאִם־	בְּטוֹב	רָע
それも	そして-なる	家畜と	家畜を	交換するなら	必ず	そして-もし	良い-ものと	悪い-ものを
H1931	H1961	H0929	H0929	H4171	H4171			

קֹדֶשׁ׃	יִהְיֶה־	וּתְמוּרָתוֹ	
聖なるものと	なる	そして-その-交換の-ものも	
H6944	H1961	H8545	

ほかのものをそれに代用してはならない。良い物を悪い物に、悪い物を良い物に取り換えてはならない。もし家畜と家畜とを取り換えるならば、その物も、それと取り換えた物も共に聖なる物となるであろう。

11

קָרְבָּן	מִמֶּנּוּ	יַקְרִיבוּ	לֹא־	אֲשֶׁר	טְמֵאָה	בְּהֵמָה	כָּל־	וְאִם
ささげ物として	それから	ささげては	～ない	～という	汚れた	家畜でも	いかなる	そして-もし
		H7126	H3808		H2931	H0929	H3605	

הַכֹּהֵן׃	לִפְנֵי	הַבְּהֵמָה	אֶת־	וְהֶעֱמִיד	לַיהוָה	
祓司の	前に	その-家畜を	(を)	そして-立たせよ	主に	
H3548	H6440	H0929	H0853	H5975	H3068	

もしそれが汚れた家畜で、主に供え物としてささげられないものであるならば、その人はその家畜を祭司の前に引いてこなければならない。

12 וְהֶעֱרִיךְ֙ הַכֹּהֵ֔ן אֹתָ֖הּ בֵּ֣ין טֹ֑וב בֵּ֣ין רָ֔ע וּבֵ֕ין
そして-見積もれ 祇司が それを ～の間で 良い-ものと ～の間で 悪い-ものと そして-～の間で
H3548 H0853 H0996 H0996

כְּעֶרְכְּךָ֥ הַכֹּהֵ֖ן יִהְיֶ֑ה כֵּ֚ן׃
あなたの-見積もりの-とおりに 祇司の なる そのとおりに
H6187 H3548 H1961

祭司はその良い悪いに従って、それを値積らなければならない。それは祭司が値積るとおりになるであろう。

13 וְאִם־ גָּאֹ֥ל יִגְאָלֶ֖נָּה וְיָסַ֥ף חֲמִישִׁתֹ֛ו עַל־
そして-もし 必ず 買い戻すなら そして-加えよ 五分の-一を ～の上に
H3254 H2549

עֶרְכְּךָ׃
あなたの-見積もりの
H6187

もしその人が、それをあがなおうとするならば、その値積りにその五分の一を加えなければならない。

14 וְאִ֗ישׁ כִּֽי־ יַקְדִּ֤ישׁ אֶת־ בֵּיתֹו֙ קֹ֣דֶשׁ לַיהוָ֔ה וְהֶעֱרִיכֹ֖ו
そして-人が もし 聖別するなら （を） 自分の-家を 聖なるものとして 主に そして-見積もれ
H0376 H6942 H0853 H0376 H6944 H3068

הַכֹּהֵ֔ן בֵּ֥ין טֹ֖וב בֵּ֣ין רָ֑ע כַּאֲשֶׁ֨ר יַעֲרִ֤יךְ אֹתֹו֙
祇司が ～の間で 良い-ものと そして-～の間で 悪い-ものと ～のとおりに 見積もる それを
H3548 H0996 H0996

הַכֹּהֵ֔ן כֵּ֖ן יָקֻ֑ם׃
祇司が そのとおりに 定まる
H3548

もし人が自分の家を主に聖なる物としてささげるときは、祭司はその良い悪いに従って、それを値積らなければならない。それは祭司が値積ったとおりになるであろう。

15 וְאִם־ הַמַּקְדִּ֣ישׁ יִגְאַ֗ל אֶת־ בֵּיתֹו֙ וְיָסַ֣ף חֲמִישִׁ֣ית כֶּֽסֶף־
そして-もし 聖別した-者が 買い戻すなら （を） 自分の-家を そして-加えよ 五分の-一の 銀を
H3701 H2549 H3254 H0853 H0376 H6942

עֶרְכְּךָ֔ עָלָ֖יו וְהָיָ֥ה לֹֽו׃
あなたの-見積もりの その-上に そして-なる 彼の-ものと
H6187 H1961

もしその家をささげる人が、それをあがなおうとするならば、その値積りの金に、その五分の一を加えなければならない。そうすれば、それは彼のものとなるであろう。

16 וְאִם֙ מִשְּׂדֵ֣ה אֲחֻזָּתֹ֔ו יַקְדִּ֥ישׁ אִ֖ישׁ לַיהוָ֑ה וְהָיָ֥ה
そして-もし 畑から 自分の-所有地の 聖別するなら 人が 主に そして-ある
H0272 H6942 H0376 H3068 H1961

עֶרְכְּךָ֔ לְפִ֖י זֶ֣רַע זֶ֑רַע חֹ֣מֶר שְׂעֹרִ֔ים בַּחֲמִשִּׁ֥ים שֶׁ֖קֶל כֶּֽסֶף׃
あなたの-見積もりは ～に応じて その-種の 種の ホメルの 大麦が 五十 シェケルの 銀
H6187 H6310 H2233 H2233 H2572 H8255 H3701

もし人が相続した畑の一部を主にささげるときは、あなたはそこにまく種の多少に応じて、値積らなければならない。すなわち、大麦一ホメルの種を銀五十シケルに値積らなければならない。

17 אִם־ מִשְּׁנַ֥ת הַיֹּבֵ֖ל יַקְדִּ֣ישׁ שָׂדֵ֑הוּ כְּעֶרְכְּךָ֖
もし ヨベルの-年 ヨベルの-年から 聖別するなら 自分の-畑を あなたの-見積もりの-とおりに
H3104 H8141 H6942

יָקֻֽם׃
定まる

もしその畑をヨベルの年からささげるのであれば、その価はあなたの値積りのとおりになるであろう。

18 וְאִם־ הַיֹּבֵל֙ יַקְדִּישׁ֙ שָׂדֵ֣הוּ֔ וְחִשַּׁב־ לּ֖וֹ הַכֹּהֵ֑ן
そして–もし ヨベルの–年の 聖別するなら 自分の–畑を そして–計算せよ 彼に 祝司が
H3104 H6942 H2803 H3548

אַחַ֣ר הַיֹּבֵ֗ל וְנִגְרַ֛ע מֵעֶרְכֶּֽךָ׃ שָׁנִ֥ים הַנּוֹתָ֖רֹת עַד֙ שְׁנַ֣ת הַיֹּבֵ֔ל וְנָתַ֥ן
後に ヨベルの–年の そして–差し引かれる あなたの–見積もりから 年の 残りの ～まで ヨベルの–年の （を） その–銀を 年数に ～に応じて
H3104 H1639 H6187 H8141 H3498 H5704 H8141 H6310 H0853 H3701

הַכֶּ֖סֶף אֶת־ פִּ֥י עַל־ שָׁנִ֑ים
その–銀を （を） 年数に ～に応じて
H3701 H0853 H6310

もしその畑をヨベルの年の後にささげるのであれば、祭司はヨベルの年までに残っている年の数に従ってその金を数え、それをあなたの値積りからさし引かなければならない。

19 וְאִם־ גָּאֹ֤ל יִגְאַל֙ אֶת־ הַשָּׂדֶ֔ה הַמַּקְדִּ֖ישׁ אֹתָ֑ו וְיָסַ֣ף
そして–もし 必ず 買い戻すなら （を） その–畑を 奉納した–者が それを 加えなければならない
H3254 H0853 H6942 H0853 H1350

עָלָ֗יו וְקָם֙ לֹ֔ו׃ עֶרְכְּךָ֣ כֶּ֤סֶף חֲמִשִׁית֙
それに 確定する 彼のものとして あなたの–見積もりの 銀の 五分の一を
H6187 H3701 H2549

もしまた、その畑をささげる人が、それをあがなおうとするならば、あなたの値積りの金にその五分の一を加えなければならない。そうすれば、それは彼のものと決まるであろう。

20 וְאִם־ לֹ֣א יִגְאַל֮ אֶת־ הַשָּׂדֶה֒ וְאִם־ מָכֹ֤ר הַשָּׂדֶה֙ אֶת־
しかし–もし ない 買い戻さない （を） その–畑を あるいは–もし 売った （を） その–畑を
H3808 H0853 H4376

לְאִ֣ישׁ אַחֵ֔ר לֹ֥א יִגָּאֵ֖ל עֹֽוד׃
別の–人に 他の ない 買い戻されることはない もはや
H0376 H0312 H3808 H5750

しかし、もしその畑をあがなわず、またそれを他の人に売るならば、それはもはやあがなうことができないであろう。

21 וְהָיָ֤ה הַשָּׂדֶה֙ בְּצֵאתֹ֣ו בַּיֹּבֵ֔ל קֹ֖דֶשׁ לַיהוָ֑ה
そして–なる その–畑は それが–出るとき ヨベルの年に 聖なるものと 主に–対して
H1961 H3318 H3104 H6944 H3068

כִּשְׂדֵ֥ה הַחֵ֖רֶם לַכֹּהֵ֥ן תִּהְיֶ֛ה אֲחֻזָּתֹֽו׃
奉納の–畑のように 聖絶の 祭司に なる 彼の–所有地として
H0272 H1961 H3548 H2764

その畑は、ヨベルの年になって期限が切れるならば、奉納の畑と同じく、主の聖なる物となり、祭司の所有となるであろう。

22 וְאִם֙ אֶת־ שְׂדֵ֣ה מִקְנָתֹ֔ו אֲשֶׁ֥ר לֹ֖א מִשְׂדֵ֣ה אֲחֻזָּתֹ֑ו
また–もし （を） 畑を 彼が–買った それは ない 相続の–畑でない 彼の–所有地の
H0853 H7704 H4736 H0834 H3808 H4735 H0272

יַקְדִּ֖ישׁ לַיהוָֽה׃
奉納するなら 主に
H6942 H3068

もしまた相続した畑の一部でなく、買った畑を主にささげる時は、

23 וְחִשַּׁב־ לוֹ הַכֹּהֵן אֶת מִכְסַת הָעֶרְכְּךָ עַד שְׁנַת הַיֹּבֵל
そして–計算する 彼のために 祭司が (を) 金額を あなたの–見積もりの まで 年の ヨベルの
H2803 H3548 H0853 H4373 H6187 H5704 H8141 H3104

וְנָתַן אֶת־ הָעֶרְכְּךָ בַּיּוֹם הַהוּא קֹדֶשׁ לַיהוָה׃
そして–支払う (を) あなたの–見積もりを その–日に その 聖なるものとして 主に
H5414 H0853 H6187 H3117 H1931 H6944 H3068

祭司は値積りしてヨベルの年までの金を数えなければならない。その人はその値積りの金をその日に主にささげて、聖なる物としなければならない。

24 בִּשְׁנַת הַיּוֹבֵל יָשׁוּב הַשָּׂדֶה לַאֲשֶׁר קָנָהוּ מֵאִתּוֹ לַאֲשֶׁר־ לוֹ
ヨベルの–年に ヨベルの 戻る その–畑は その者に それを–買った 彼から その者に 彼の
H8141 H3104 H7725 H7069 H0854 H0776

אֲחֻזָּת הָאָרֶץ׃
所有地としての その–地の
H0272 H0776

ヨベルの年にその畑は売り主であるその地の相続者に返るであろう。

25 וְכָל־ עֶרְכְּךָ יִהְיֶה בְּשֶׁקֶל הַקֹּדֶשׁ עֶשְׂרִים גֵּרָה יִהְיֶה הַשָּׁקֶל׃ ס
そして–すべての あなたの–見積もりは である シェケルで 聖所の 二十 ゲラが である —–シェケル (段落)
H3605 H6187 H1961 H8255 H6944 H6242 H1626 H1961 H8255

すべてあなたの値積りは聖所のシケルによってしなければならない。二十ゲラを一シケルとする。

26 אַךְ־ בְּכוֹר אֲשֶׁר־ יִבָּכֵר לַיהוָה בִּבְהֵמָה לֹא־ יַקְדִּישׁ אִישׁ אֹתוֹ אִם־ שׁוֹר אִם־ שֶׂה לַיהוָה הוּא׃
ただし 初子は それは 初生として–生まれた 主に–属する 家畜の–中で ない 奉納してはならない 人は それを 牛であれ それが 羊であれ 主のもの それは
H0389 H1060 H0834 H1069 H3068 H0929 H3808 H6942 H0376 H0853 H7794 H0518 H7716 H3068 H1931

しかし、家畜のういごは、ういごとしてすでに主のものだから、だれもこれをささげてはならない。牛でも羊でも、それは主のものである。

27 וְאִם בַּבְּהֵמָה הַטְּמֵאָה וּפָדָה בְּעֶרְכֶּךָ וְיָסַף חֲמִשִׁתּוֹ עָלָיו וְאִם־ לֹא יִגָּאֵל וְנִמְכַּר בְּעֶרְכֶּךָ׃
そして–加える あなたの–見積もりで そして–買い戻し 汚れた 汚れた–家畜の場合は しかし–もし その–五分の一を それに ない しかし–もし 買い戻されないなら そして–売られる あなたの–見積もりで
H3254 H6187 H6299 H2931 H0929 H0518 H2549 H5921 H3808 H0518 H1350 H4376 H6187

もし汚れた家畜であるならば、あなたの値積りにその五分の一を加えて、その人はこれをあがなわなければならない。もしあがなわないならば、それを値積りに従って売らなければならない。

28 אַךְ־ ただし H0389 כָּל־ すべての H3605 חֵרֶם 聖絶のものは אֲשֶׁר それは יַחֲרֹם 聖絶として–捧げた אִישׁ 人が H0376 לַיהוָה 主に H3068 מִכָּל־ すべての–中から H3605

אֲשֶׁר־ 彼に–属するもの לוֹ 彼の מֵאָדָם 人から H0120 וּבְהֵמָה׀ また–家畜 H0929 וּמִשְׂדֵה また–畑から אֲחֻזָּתוֹ 彼の–所有地の H0272 לֹא ない H3808 יִמָּכֵר 売ってはならない H4376

לַיהוָה׃ 主に–属する H3068 הִוא それは H1931 קֹדֶשׁ 聖なるもの H6944 קָדָשִׁים 至聖の H6944 חֵרֶם 聖絶のものは כָּל־ すべての H3605 יִגָּאֵל 買い戻してはならない וְלֹא そして–ない H3808

ただし、人が自分の持っているもののうちから奉納物として主にささげたものは、人であっても、家畜であっても、また相続の畑であっても、いっさいこれを売ってはならない。またあがなってはならない。奉納物はすべて主に属するいと聖なる物である。

29 כָּל־ すべての H3605 חֵרֶם 聖絶のものは אֲשֶׁר それは יָחֳרַם 聖絶に–定められた מִן־ から הָאָדָם 人の–中から H0120 לֹא ない H3808 יִפָּדֶה 贖われることはない H6299

מוֹת 必ず H4191 יוּמָת׃ 殺されなければならない H4191

またすべて人のうちから奉納物としてささげられた人は、あがなってはならない。彼は必ず殺されなければならない。

30 וְכָל־ そして–すべての H3605 מַעְשַׂר 十分の一は H4643 הָאָרֶץ 地の H0776 מִזֶּרַע 種から H2233 הָאָרֶץ 地の H0776 מִפְּרִי 実から H6529 הָעֵץ 木の H6086 לַיהוָה 主のもの H3068 הִוא それは H1931 קֹדֶשׁ 聖なるもの H6944

לַיהוָה׃ 主に–属する H3068

地の十分の一は地の産物であれ、木の実であれ、すべて主のものであって、主に聖なる物である。

31 וְאִם־ もし אִישׁ 人が H0376 יִגְאַל 買い戻すなら גָּאֹל 必ず יִגְאַל 加えなければならない H3254 חֲמִשִׁתּוֹ その–五分の一を H2549 מִמַּעַשְׂרוֹ 彼の–十分の一から H4643

עָלָיו׃ それに

もし人がその十分の一をあがなおうとする時は、それにその五分の一を加えなければならない。

32 וְכָל־ そして–すべての H3605 מַעְשַׂר 十分の一は H4643 בָּקָר 牛の H1241 וְצֹאן また–羊の H6629 כָּל すべて H3605 אֲשֶׁר־ それは עֹבֵר 通るもの תַּחַת 下を H8478 הַשָּׁבֶט 杖の H7626

לַיהוָה׃ 主に–属する H3068 קֹדֶשׁ 聖なるもの H6944 יִהְיֶה־ なる H1961 הָעֲשִׂירִי 十番目のものは H6224

牛または羊の十分の一については、すべて牧者のつえの下を十番目に通るものは、主に聖なる物である。

33

וְאִם־	יְמִירֵנּוּ	וְלֹא	לָרַע	טוֹב	בֵּין־	יְבַקֵּר	לֹא
もし	取り替えてはならない	そして–ない	悪いもの	良いもの	間を	吟味してはならない	ない
	H4171	H3808			H0996	H1239	H3808

לֹא	קֹדֶשׁ	יִהְיֶה־	וּתְמוּרָתוֹ	הָוּא	וְהָיָה־	יְמִירֶנּוּ	הָמֵר
ない	聖なるもの	なる	また–その–代わりのものも	それと	そして–なる	取り替えるなら	必ず
H3808	H6944	H1961	H8545	H1931	H1961	H4171	H4171

יִגָּאֵל׃
買い戻してはならない

その良い悪いを問うてはならない。またそれを取り換えてはならない。もし取り換えたならば、それと、その取り換えたものとは、共に聖なる物となるであろう。それをあがなうことはできない』」。

34

בְּנֵי	אֶל־	מֹשֶׁה	אֶת־	יְהוָה	צִוָּה	אֲשֶׁר	הַמִּצוֹת	אֵלֶּה
イスラエルの–子らに	対して	モーセに	(を)	主が	命じた	それは	戒めである	これらは
	H0413	H4872	H0853	H3068	H6680		H4687	H0428

סִינָי׃	בְּהַר	יִשְׂרָאֵל
シナイの	山で	イスラエルの
H5514	H2022	H3478

これらは主が、シナイ山で、イスラエルの人々のために、モーセに命じられた戒めである。

Numbers

Chapter 1

1

בְּאֶחָד	מוֹעֵד	בְּאֹהֶל	סִינַי	בְּמִדְבָּר	מֹשֶׁה	אֶל־	יְהוָה	וַיְדַבֵּר
第一–日に	会見の	天幕の–中で	シナイの	荒野の–中で	モーセに	～に	主は	そして–語られた
H0259	H4150	H0168	H5514		H4872	H0413	H3068	H1696

לֵאמֹר׃	מִצְרַיִם	מֵאֶרֶץ	לְצֵאתָם	הַשֵּׁנִית	בַּשָּׁנָה	הַשֵּׁנִי	לַחֹדֶשׁ
言って	エジプトの	地–から	彼らが–出た–時	第二の	年の	第二の	月の
H0559	H4714	H0776	H3318	H8145	H8141	H8145	H2320

エジプトの国を出た次の年の二月一日に、主はシナイの荒野において、会見の幕屋で、モーセに言われた、

2

אֲבֹתָם	לְבֵית	לְמִשְׁפְּחֹתָם	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי־	עֲדַת	כָּל־	רֹאשׁ	שְׂאוּ
父たちの	家–ごとに	氏族–ごとに	イスラエルの	子らの	会衆の	すべての	頭数を	～を
H0001		H4940	H3478		H5712	H3605		H0853

לְגֻלְגְּלֹתָם׃	זָכָר	כָּל־	שֵׁמוֹת	בְּמִסְפָּר
一人–ずつ	男子を	すべての	名の	数–によって
H1538	H2145	H3605	H8034	H4557

「あなたがたは、イスラエルの人々の全会衆を、その氏族により、その父祖の家によって調査し、そのすべての男子の名の数を、ひとりびとり数えて、その総数を得なさい。

3

אֹתָם	תִּפְקְדוּ	בְּיִשְׂרָאֵל	צָבָא	יֹצֵא	כָּל־	וָמַעְלָה	שָׁנָה	עֶשְׂרִים	מִבֶּן
彼らを	数えよ	イスラエル–において	軍務に	出る–者	すべて	以上の	歳	二十	～から
H0853		H3478		H3318	H3605	H4605	H8141	H6242	

וְאַהֲרֹן׃	אַתָּה	לְצִבְאֹתָם
アロンが	あなたと	軍団–ごとに
H0175		

イスラエルのうちで、すべて戦争に出ることのできる二十歳以上の者を、あなたとアロンとは、その部隊にしたがって数えなければならない。

4

רֹאשׁ	אִישׁ	לְמַטֵּה	אִישׁ	אִישׁ	יִהְיוּ	וְאִתְּכֶם	
かしらで	一人の–人が	部族–ごとに	それぞれ	一人の–人が	いるべきだ	そして–あなたがたと	
	H0376	H4294	H0376	H0376	H1961	H0854	

הוּא׃	אֲבֹתָיו	לְבֵית־
ある	父たちの	家の
H1931	H0001	

また、すべての部族は、おのおの父祖の家の長たるものを、ひとりずつ出して、あなたがたと協力させなければならない。

5 וְאֵלֶּה שְׁמוֹת הָאֲנָשִׁים אֲשֶׁר יַעַמְדוּ אִתְּכֶם לִרְאוּבֵן
そして-これらが 名である 人々の ところの 立つ-べき あなたがたと-共に ルベン-のためには
H0428 H8034 H0376 H0427 H5975 H0854 H7205

אֱלִיצוּר בֶּן־שְׁדֵיאוּר׃
エリツル 子 シェデウルの
H0468 H7707

すなわち、あなたがたに協力すべき人々の名は、次のとおりである。ルベンからはシデウルの子エリツル。

6 לְשִׁמְעוֹן שְׁלֻמִיאֵל בֶּן־צוּרִישַׁדָּי׃
シメオン-のためには シェルミエル 子 ツリシャダイの
H8095 H8017 H1121 H6701

シメオンからはツリシャダイの子シルミエル。

7 לִיהוּדָה נַחְשׁוֹן בֶּן־עַמִּינָדָב׃
ユダ-のためには ナフション 子 アミナダブの
H3063 H5177 H1121 H5992

ユダからはアミナダブの子ナション。

8 לְיִשָּׂשכָר נְתַנְאֵל בֶּן־צוּעָר׃
イッサカル-のためには ネタヌエル 子 ツアルの
H3485 H5417 H1121 H6686

イッサカルからはツアルの子ネタニエル。

9 לִזְבוּלֻן אֱלִיאָב בֶּן־חֵלֹן׃
ゼブルン-のためには エリアブ 子 ヘロンの
H2074 H0446 H1121 H2497

ゼブルンからはヘロンの子エリアブ。

10 לִבְנֵי יוֹסֵף לְאֶפְרַיִם אֱלִישָׁמָע בֶּן־עַמִּיהוּד
子らの-ためには ヨセフの エフライム-のためには エリシャマ 子 アミフドの
H3130 H0669 H0476 H1121 H5989

לִמְנַשֶּׁה גַּמְלִיאֵל בֶּן־פְּדָהצוּר׃
マナセ-のためには ガムリエル 子 ペダツルの
H4519 H1583 H1121 H6301

ヨセフの子たちのうち、エフライムからはアミホデの子エリシャマ、マナセからはパダツルの子ガマリエル。

11 לִבְנְיָמִן אֲבִידָן בֶּן־גִּדְעֹנִי׃
ベニヤミン-のためには アビダン 子 ギデオニの
H1144 H0027 H1121 H1441

ベニヤミンからはギデオニの子アビダン。

12 לְדָן אֲחִיעֶזֶר בֶּן־עַמִּישַׁדָּי׃
ダン-のためには アヒエゼル 子 アミシャダイの
H1835 H0295 H1121 H5996

ダンからはアミシャダイの子アヒエゼル。

13 לְאָשֵׁר פַּגְעִיאֵל בֶּן־עָכְרָן׃
アシェル-のためには パグイエル 子 オクランの
H0836 H6295 H1121 H5918

アセルからはオクランの子パギエル。

14 לְגָ֖ד אֶלְיָסָ֣ף בֶּן־ דְּעוּאֵֽל׃
ガド–のためには エルヤサフ 子 デウエルの
H1410 H0460 H1845

ガドからはデウエルの子エリアサフ。

15 לְנַפְתָּלִ֖י אֲחִירַ֣ע בֶּן־ עֵינָֽן׃
ナフタリ–のためには アヒラ 子 エナンの
H5321 H0299 H5881

ナフタリからはエナンの子アヒラ」。

16 אֵ֚לֶּה קְרִיאֵ֣י (קְרוּאֵ֔י) הָעֵדָ֖ה נְשִׂיאֵ֣י מַטּ֑וֹת אֲבוֹתָ֖ם רָאשֵׁ֥י
[ケティブ] これらは 招集–された–者たち 会衆の 長たちで 部族の 父たちの かしらたちで
[H7148] H0428 H7121 H5712 H5387 H4294 H0001

אַלְפֵ֥י יִשְׂרָאֵ֖ל הֵֽם׃
千人–隊の イスラエルの あった
H0505 H3478 H1992

これらは会衆のうちから選び出された人々で、その父祖の部族のつかさたち、またイスラエルの氏族のかしらたちである。

17 וַיִּקַּ֣ח מֹשֶׁ֔ה וְאַהֲרֹ֖ן אֶת־ הָאֲנָשִׁ֥ים הָאֵ֖לֶּה אֲשֶׁ֥ר נִקְּבֽוּ׃
そして–取った モーセと アロンは ～を 人々を これらの ところの 名–で–指名–された
H3947 H4872 H0175 H0853 H0376 H0428 H0834 H5344

בְּשֵׁמֹֽת׃
名–によって
H8034

こうして、モーセとアロンが、ここに名を掲げた人々を引き連れて、

18 וְאֶת־ כָּל־ הָעֵדָ֗ה הִקְהִ֙ילוּ֙ בְּאֶחָד֙ לַחֹ֣דֶשׁ הַשֵּׁנִ֔י וַיִּתְיַלְּד֥וּ עַל־
すべての 会衆を 集めた 第一–日に 月の 第二の そして–登録した ～に–基づいて
H3605 H5712 H6950 H0259 H2320 H8145 H3205

מִשְׁפְּחֹתָ֑ם לְבֵ֣ית אֲבֹתָ֗ם בְּמִסְפַּ֙ר֙ שֵׁמֹ֣ות מִבֶּ֔ן עֶשְׂרִ֥ים שָׁנָ֖ה וָמַ֣עְלָ֑ה לְגֻלְגְּלֹתָֽם׃
氏族–ごとに 家–ごとに 父たちの 数–によって 名の ～から 二十 歳 以上の 一人–ずつ
H4940 H1004 H1 H4557 H8034 H4480 H6242 H8141 H4605 H1538

二月一日に会衆をことごとく集めたので、彼らはその氏族により、その父祖の家により、その名の数にしたがって二十歳以上のものが、ひとりびとり登録した。

19 כַּאֲשֶׁ֥ר צִוָּ֖ה יְהוָ֣ה אֶת־ מֹשֶׁ֑ה וַיִּפְקְדֵ֖ם בְּמִדְבַּ֥ר סִינָֽי׃ פ
主が 命じた–とおりに 主は ～に モーセに そして–数えた 荒野の–中で シナイの —
H6680 H3068 H0853 H4872 H6485 H4057 H5514

主が命じられたように、モーセはシナイの荒野で彼らを数えた。

20 וַיִּֽהְי֗וּ בְּנֵי־ רְאוּבֵן֙ בְּכֹ֣ר יִשְׂרָאֵ֔ל תּוֹלְדֹתָ֖ם לְמִשְׁפְּחֹתָ֑ם לְבֵ֣ית אֲבֹתָ֗ם
そして–いた 子らは ルベンの 長子の イスラエルの 系図は 氏族–ごとに 家–ごとに 父たちの
H1961 H1121 H7205 H1060 H3478 H8435 H4940 H1004 H1

בְּמִסְפַּ֙ר֙ שֵׁמֹ֣ות לְגֻלְגְּלֹתָ֔ם כָּל־ זָכָ֖ר מִבֶּ֥ן עֶשְׂרִ֛ים שָׁנָ֥ה וָמַ֖עְלָה כָּל־
数–によって 名の 一人–ずつ すべての 男子で ～から 二十 歳 以上の すべて
H4557 H8034 H1538 H3605 H2145 H4480 H6242 H8141 H4605 H3605

יֹצֵ֥א צָבָֽא׃
出る–者で 軍務の
H3318

すなわち、イスラエルの長子ルベンの子たちから生れたものを、その氏族により、その父祖の家によって調べ、すべて戦争に出ることのできる二十歳以上の男子の名の数を、ひとりびとり得たが、

פ	מֵאוֹת׃	וַחֲמֵשׁ	אֶלֶף	וְאַרְבָּעִים	שִׁשָּׁה	רְאוּבֵן	לְמַטֵּה	פְּקֻדֵיהֶם	21
一	百	と-五	千	と-四十	六	ルベンの	部族の	その-登録-された-者は	
	H3967	H2568	H0505	H0705	H8337	H7205	H4294		

ルベンの部族のうちで、数えられたものは四万六千五百人であった。

פְּקֻדָיו		אֲבֹתָם	לְבֵית	לְמִשְׁפְּחֹתָם	תּוֹלְדֹתָם	שִׁמְעוֹן	לִבְנֵי	22
その-登録-された-者は		父たちの	家-ごとに	氏族-ごとに	系図は	シメオンの	子らの	
		H0001		H4940	H8435	H8095		

כֹּל	וָמַעְלָה	שָׁנָה	עֶשְׂרִים	מִבֶּן	זָכָר	כָּל־	לְגֻלְגְּלֹתָם	שֵׁמוֹת	בְּמִסְפָּר
すべて	以上の	歳	二十	～から	男子で	すべての	一人-ずつ	名の	数-によって
H3605	H4605	H8141	H6242		H2145	H3605	H1538	H8034	H4557

צָבָא׃	יֹצֵא
軍務の	出る-者で
	H3318

またシメオンの子たちから生れたものを、その氏族により、その父祖の家によって調べ、すべて戦争に出ることのできる二十歳以上の男子の名の数を、ひとりびとり得たが、

פ	מֵאוֹת׃	וּשְׁלֹשׁ	אֶלֶף	וַחֲמִשִּׁים	תִּשְׁעָה	שִׁמְעוֹן	לְמַטֵּה	פְּקֻדֵיהֶם	23
一	百	と-三	千	と-五十	九	シメオンの	部族の	その-登録-された-者は	
	H3967	H7969	H0505	H2572	H8672	H8095	H4294		

シメオンの部族のうちで、数えられたものは五万九千三百人であった。

עֶשְׂרִים	מִבֶּן	שֵׁמוֹת	בְּמִסְפָּר	אֲבֹתָם	לְבֵית	לְמִשְׁפְּחֹתָם	תּוֹלְדֹתָם	גָּד	לִבְנֵי	24
二十	～から	名の	数-によって	父たちの	家-ごとに	氏族-ごとに	系図は	ガドの	子らの	
H6242		H8034	H4557	H0001		H4940	H8435	H1410		

צָבָא׃	יֹצֵא	כֹּל	וָמַעְלָה	שָׁנָה
軍務の	出る-者で	すべて	以上の	歳
	H3318	H3605	H4605	H8141

またガドの子たちから生れたものを、その氏族により、その父祖の家によって調べ、すべて戦争に出ることのできる二十歳以上の者の名の数を得たが、

פ	וַחֲמִשִּׁים׃	מֵאוֹת	וְשֵׁשׁ	אֶלֶף	וְאַרְבָּעִים	חֲמִשָּׁה	גָּד	לְמַטֵּה	פְּקֻדֵיהֶם	25
一	と-五十	百	と-六	千	と-四十	五	ガドの	部族の	その-登録-された-者は	
	H2572	H3967	H8337	H0505	H0705	H2568	H1410	H4294		

ガドの部族のうちで、数えられたものは四万五千六百五十人であった。

עֶשְׂרִים	מִבֶּן	שֵׁמֹת	בְּמִסְפָּר	אֲבֹתָם	לְבֵית	לְמִשְׁפְּחֹתָם	תּוֹלְדֹתָם	יְהוּדָה	לִבְנֵי	26
二十	～から	名の	数-によって	父たちの	家-ごとに	氏族-ごとに	系図は	ユダの	子らの	
H6242		H8034	H4557	H0001		H4940	H8435	H3063		

צָבָא׃	יֹצֵא	כֹּל	וָמַעְלָה	שָׁנָה
軍務の	出る-者で	すべて	以上の	歳
	H3318	H3605	H4605	H8141

ユダの子たちから生れたものを、その氏族により、その父祖の家によって調べ、すべて戦争に出ることのできる二十歳以上の者の名の数を得たが、

פ	מֵאוֹת׃	וְשֵׁשׁ	אֶלֶף	וְשִׁבְעִים	אַרְבָּעָה	יְהוּדָה	לְמַטֵּה	פְּקֻדֵיהֶם	27
一	百	と-六	千	と-七十	四	ユダの	部族の	その-登録-された-者は	
	H3967	H8337	H0505	H7657	H0702	H3063	H4294		

ユダの部族のうちで、数えられたものは七万四千六百人であった。

מִבֶּן	שֵׁמֹת	בְּמִסְפַּר	אַבֹתָם	לְבֵית	לְמִשְׁפְּחֹתָם	תּוֹלְדֹתָם	יִשָּׂשכָר	לִבְנֵי	28
～から	名の	数-によって	父たちの	家-ごとに	氏族-ごとに	系図は	イッサカルの	子らの	
	H8034	H4557	H0001		H4940	H8435	H3485		

צָבָא׃	יֹצֵא	כֹּל	וָמַעְלָה	שָׁנָה	עֶשְׂרִים
軍務の	出る-者で	すべて	以上の	歳	二十
	H3318	H3605	H4605	H8141	H6242

イッサカルの子たちから生れたものを、その氏族により、その父祖の家によって調べ、すべて戦争に出ることのできる二十歳以上の者の名の数を得たが、

פ	מֵאוֹת׃	וְאַרְבָּע	אֶלֶף	וַחֲמִשִּׁים	אַרְבָּעָה	יִשָּׂשכָר	לְמַטֵּה	פְּקֻדֵיהֶם	29
一	百	と-四	千	と-五十	四	イッサカルの	部族の	その-登録-された-者は	
	H3967	H0702	H0505	H2572	H0702	H3485	H4294		

イッサカルの部族のうちで、数えられたものは五万四千四百人であった。

מִבֶּן	שֵׁמֹת	בְּמִסְפַּר	אַבֹתָם	לְבֵית	לְמִשְׁפְּחֹתָם	תּוֹלְדֹתָם	זְבוּלֻן	לִבְנֵי	30
～から	名の	数-によって	父たちの	家-ごとに	氏族-ごとに	系図は	ゼブルンの	子らの	
	H8034	H4557	H0001		H4940	H8435	H2074		

צָבָא׃	יֹצֵא	כֹּל	וָמַעְלָה	שָׁנָה	עֶשְׂרִים
軍務の	出る-者で	すべて	以上の	歳	二十
	H3318	H3605	H4605	H8141	H6242

ゼブルンの子たちから生れたものを、その氏族により、その父祖の家によって調べ、すべて戦争に出ることのできる二十歳以上の者の名の数を得たが、

פ	מֵאוֹת׃	וְאַרְבָּע	אֶלֶף	וַחֲמִשִּׁים	שִׁבְעָה	זְבוּלֻן	לְמַטֵּה	פְּקֻדֵיהֶם	31
一	百	と-四	千	と-五十	七	ゼブルンの	部族の	その-登録-された-者は	
	H3967	H0702	H0505	H2572	H7651	H2074	H4294		

ゼブルンの部族のうちで、数えられたものは五万七千四百人であった。

בְּמִסְפַּר	אַבֹתָם	לְבֵית	לְמִשְׁפְּחֹתָם	תּוֹלְדֹתָם	אֶפְרַיִם	לִבְנֵי	יוֹסֵף	לִבְנֵי	32
数-によって	父たちの	家-ごとに	氏族-ごとに	系図は	エフライムの	子らの	ヨセフの	子らの	
H4557	H0001		H4940	H8435	H0669		H3130		

צָבָא׃	יֹצֵא	כֹּל	וָמַעְלָה	שָׁנָה	עֶשְׂרִים	מִבֶּן	שֵׁמֹת	
軍務の	出る-者で	すべて	以上の	歳	二十	～から	名の	
	H3318	H3605	H4605	H8141	H6242		H8034	

ヨセフの子たちのうち、エフライムの子たちから生れたものを、その氏族により、その父祖の家によって調べ、すべて戦争に出ることのできる二十歳以上の者の名の数を得たが、

פ	מֵאוֹת׃	וַחֲמֵשׁ	אֶלֶף	אַרְבָּעִים	אֶפְרָיִם	לְמַטֵּה	פְּקֻדֵיהֶם	33
一	百	と-五	千	四十	エフライムの	部族の	その-登録-された-者は	
	H3967	H2568	H0505	H0705	H0669	H4294		

エフライムの部族のうちで、数えられたものは四万五百人であった。

מִבֶּן	שֵׁמוֹת	בְּמִסְפַּר	אַבֹתָם	לְבֵית	לְמִשְׁפְּחֹתָם	תּוֹלְדֹתָם	מְנַשֶּׁה	לִבְנֵי	34
～から	名の	数-によって	父たちの	家-ごとに	氏族-ごとに	系図は	マナセの	子らの	
	H8034	H4557	H0001		H4940	H8435	H4519		

צָבָא׃	יֹצֵא	כֹּל	וָמַעְלָה	שָׁנָה	עֶשְׂרִים
軍務の	出る-者で	すべて	以上の	歳	二十
	H3318	H3605	H4605	H8141	H6242

マナセの子たちから生れたものを、その氏族により、その父祖の家によって調べ、すべて戦争に出ることのできる二十歳以上の者の名の数を得たが、

פְּקֻדֵיהֶם	לְמַטֵּה	מְנַשֶּׁה	שְׁנַיִם	וּשְׁלֹשִׁים	אֶלֶף	וּמָאתָיִם:	פ
その-登録-された-者は	部族の	マナセの	二	と-三十	千	と-二百	—
	H4294	H4519	H8147	H7970	H0505	H3967	

35

マナセの部族のうちで、数えられたものは三万二千二百人であった。

לִבְנֵי	בִנְיָמִן	תּוֹלְדֹתָם	לְמִשְׁפְּחֹתָם	לְבֵית	אֲבֹתָם	בְּמִסְפַּר	שֵׁמֹת	מִבֶּן
子らの	ベニヤミンの	系図は	氏族-ごとに	家-ごとに	父たちの	数-によって	名の	～から
	H1144	H8435	H4940		H0001	H4557	H8034	

36

עֶשְׂרִים	שָׁנָה	וָמַעְלָה	כֹּל	יֹצֵא	צָבָא:
二十	歳	以上の	すべて	出る-者で	軍務の
H6242	H8141	H4605	H3605	H3318	

ベニヤミンの子たちから生れたものを、その氏族により、その父祖の家によって調べ、すべて戦争に出ることのできる二十歳以上の者の名の数を得たが、

פְּקֻדֵיהֶם	לְמַטֵּה	בִנְיָמִן	חֲמִשָּׁה	וּשְׁלֹשִׁים	אֶלֶף	וְאַרְבַּע	מֵאוֹת:	פ
その-登録-された-者は	部族の	ベニヤミンの	五	と-三十	千	と-四	百	—
	H4294	H1144	H2568	H7970	H0505	H0702	H3967	

37

ベニヤミンの部族のうちで、数えられたものは三万五千四百人であった。

לִבְנֵי	דָּן	תּוֹלְדֹתָם	לְמִשְׁפְּחֹתָם	לְבֵית	אֲבֹתָם	בְּמִסְפַּר	שֵׁמֹת	מִבֶּן	עֶשְׂרִים
子らの	ダンの	系図は	氏族-ごとに	家-ごとに	父たちの	数-によって	名の	～から	二十
	H1835	H8435	H4940		H0001	H4557	H8034		H6242

38

שָׁנָה	וָמַעְלָה	כֹּל	יֹצֵא	צָבָא:
歳	以上の	すべて	出る-者で	軍務の
H8141	H4605	H3605	H3318	

ダンの子たちから生れたものを、その氏族により、その父祖の家によって調べ、すべて戦争に出ることのできる二十歳以上の者の名の数を得たが、

פְּקֻדֵיהֶם	לְמַטֵּה	דָּן	שְׁנַיִם	וְשִׁשִּׁים	אֶלֶף	וּשְׁבַע	מֵאוֹת:	פ
その-登録-された-者は	部族の	ダンの	二	と-六十	千	と-七	百	—
	H4294	H1835	H8147	H8346	H0505	H7651	H3967	

39

ダンの部族のうちで、数えられたものは六万二千七百人であった。

לִבְנֵי	אָשֵׁר	תּוֹלְדֹתָם	לְמִשְׁפְּחֹתָם	לְבֵית	אֲבֹתָם	בְּמִסְפָּר	שֵׁמֹת	מִבֶּן
子らの	アシェルの	系図は	氏族-ごとに	家-ごとに	父たちの	数-によって	名の	～から
	H0836	H8435	H4940		H0001	H4557	H8034	

40

עֶשְׂרִים	שָׁנָה	וָמַעְלָה	כֹּל	יֹצֵא	צָבָא:
二十	歳	以上の	すべて	出る-者で	軍務の
H6242	H8141	H4605	H3605	H3318	

アセルの子たちから生れたものを、その氏族により、その父祖の家によって調べ、すべて戦争に出ることのできる二十歳以上の者の名の数を得たが、

פְּקֻדֵיהֶם	לְמַטֵּה	אָשֵׁר	אֶחָד	וְאַרְבָּעִים	אֶלֶף	וַחֲמֵשׁ	מֵאוֹת:	פ
その-登録-された-者は	部族の	アシェルの	一	と-四十	千	と-五	百	—
	H4294	H0836	H0259	H0705	H0505	H2568	H3967	

41

アセルの部族のうちで、数えられたものは四万一千五百人であった。

42 בְּנֵי נַפְתָּלִי לְמִשְׁפְּחֹתָם תּוֹלְדֹתָם לְבֵית אֲבֹתָם בְּמִסְפַּר שֵׁמֹת מִבֶּן
子らの ナフタリの 系図は 氏族-ごとに 家-ごとに 父たちの 数-によって 名の ～から
H5321 H8435 H4940 H1004 H4557 H8034

צָבָא׃ יֹצֵא כָּל וָמַעְלָה שָׁנָה עֶשְׂרִים
軍務の 出る-者で すべて 以上の 歳 二十
H3318 H3605 H4605 H8141 H6242

ナフタリの子たちから生れたものを、その氏族により、その父祖の家によって調べ、すべて戦争に出ることのできる二十歳以上の者の名の数を得たが、

43 פְּקֻדֵיהֶם לְמַטֵּה נַפְתָּלִי שְׁלֹשָׁה וַחֲמִשִּׁים אֶלֶף וְאַרְבַּע מֵאוֹת׃ פ
その-登録-された-者は 部族の ナフタリの 三 と-五十 千 と-四 百 一
H4294 H5321 H7969 H2572 H0505 H0702 H3967

ナフタリの部族のうちで、数えられたものは、五万三千四百人であった。

44 הַפְּקֻדִים אֲשֶׁר פָּקַד מֹשֶׁה וְאַהֲרֹן וּנְשִׂיאֵי יִשְׂרָאֵל אֵלֶּה
登録-された-者たちで ところの 数えた モーセと アロンと 長たちが イスラエルの これらは
H4872 H0175 H3478 H0428

אִישׁ עָשָׂר שְׁנֵים אִישׁ אִישׁ־אֶחָד לְבֵית־אֲבֹתָיו הָיוּ׃
人の 二 十 人が 一人 家の 父たちの いた
H0376 H6240 H8147 H0376 H0259 H1004 H0001 H1961

これらが数えられた人々であって、モーセとアロンとイスラエルのつかさたちとが数えた人々である。そのつかさたちは十二人であって、おのおのその父祖の家のために出たものである。

45 וַיִּהְיוּ כָּל־פְּקוּדֵי בְנֵי־יִשְׂרָאֵל לְבֵית אֲבֹתָם מִבֶּן
そして-いた すべての 登録-された-者は 子らの イスラエルの 家-ごとに 父たちの ～から
H1961 H3605 H0001 H3478

צָבָא׃ בְּיִשְׂרָאֵל יֹצֵא כָּל וָמַעְלָה שָׁנָה עֶשְׂרִים
軍務に 出る-者で すべて 以上の 歳 二十
H3318 H3605 H4605 H8141 H6242

そしてイスラエルの人々のうち、その父祖の家にしたがって数えられた者は、すべてイスラエルのうち、戦争に出ることのできる二十歳以上の者であって、

46 וַיִּהְיוּ כָּל־הַפְּקֻדִים שֵׁשׁ־מֵאוֹת אֶלֶף וּשְׁלֹשֶׁת אֲלָפִים וַחֲמֵשׁ מֵאוֹת׃
そして-いた すべての 登録-された-者は 六 百 千 と-三 千 と-五 百
H1961 H3605 H8337 H3967 H0505 H7969 H2568 H3967

וַחֲמִשִּׁים׃
と-五十
H2572

その数えられた者は合わせて六十万三千五百五十人であった。

47 וְהַלְוִיִּם לְמַטֵּה אֲבֹתָם לֹא הָתְפָּקְדוּ בְּתוֹכָם׃ פ
しかし-レビ人は 部族の 父たちの ない 登録-されなかった その-中で
H3881 H4294 H0001 H3808 H8432

しかし、レビびとは、その父祖の部族にしたがって、そのうちに数えられなかった。

48 וַיְדַבֵּר יְהוָה אֶל־מֹשֶׁה לֵאמֹר׃
そして-語られた 主は ～に モーセに 言って
H1696 H3068 H0413 H4872 H0559

すなわち、主はモーセに言われた、

49 אַךְ פְּקֻדֵיהֶם לֹא תִשָּׂא בְּתוֹךְ בְּנֵי יִשְׂרָאֵל׃
ただし 〜を H0853 上げては–ならない H5375 子らの H1992 中で H8432 イスラエルの H3478

לֹא תִפְקֹד וְאֶת־רֹאשָׁם לֹא תִשָּׂא׃ וְאַתָּה הַפְקֵד אֶת־הַלְוִיִּם עַל־מִשְׁכַּן הָעֵדֻת וְעַל כָּל־כֵּלָיו וְעַל כָּל־אֲשֶׁר־לוֹ הֵמָּה יִשְׂאוּ אֶת־הַמִּשְׁכָּן וְאֶת־כָּל־כֵּלָיו וְהֵם יְשָׁרְתֻהוּ וְסָבִיב לַמִּשְׁכָּן יַחֲנוּ׃
ない H3808 レビの H3878 部族の H4294 〜を H0853 その–頭数を 数えては–ならない 〜を H0853 また 任命せよ あなたは 器具に 〜の–上に 幕屋の 〜を 運ぶ 彼らが それに 〜に–属する すべての 器具を 幕屋を 〜を 彼らが 仕える 周りに 宿営する

「あなたはレビの部族だけは数えてはならない。またその総数をイスラエルの人々のうちに数えあげてはならない。

50 וְאַתָּה הַפְקֵד אֶת־הַלְוִיִּם עַל־מִשְׁכַּן הָעֵדֻת וְעַל כָּל־כֵּלָיו וְעַל כָּל־אֲשֶׁר־לוֹ וְהֵם יִשְׂאוּ אֶת־הַמִּשְׁכָּן וְאֶת־כָּל־כֵּלָיו וְהֵם יְשָׁרְתֻהוּ וְסָבִיב לַמִּשְׁכָּן יַחֲנוּ׃
あなたは 任命せよ 〜を H0853 レビ人を H3881 〜の–上に 幕屋の H4908 あかしの H5715 また すべての 器具に H3605 H3627 また 〜に–属する それに 彼らが 運ぶ 〜を 幕屋を 〜を 器具を 宿営する 幕屋の 周りに 仕える そして–彼らが

あなたはレビびとに、あかしの幕屋と、そのもろもろの器と、それに附属するもろもろの物を管理させなさい。彼らは幕屋と、そのもろもろの器とを持ち運び、またそこで務をし、幕屋のまわりに宿営しなければならない。

51 וּבִנְסַע הַמִּשְׁכָּן יוֹרִידוּ אֹתוֹ הַלְוִיִּם וּבַחֲנֹת הַמִּשְׁכָּן יָקִימוּ וְהַזָּר הַקָּרֵב יוּמָת׃
移動–する–とき 幕屋が H4908 取り降ろす それを H0853 レビ人が H3881 宿営–する–とき 幕屋を H4908 組み立てる 殺される H4191 近づく–者は 部外者は レビ人が H3881 それを H0853

幕屋が進む時は、レビびとがこれを取りくずし、幕屋を張る時は、レビびとがこれを組み立てなければならない。ほかの人がこれに近づく時は殺されるであろう。

52 וְחָנוּ בְּנֵי יִשְׂרָאֵל אִישׁ עַל־מַחֲנֵהוּ וְאִישׁ עַל־דִּגְלוֹ לְצִבְאֹתָם׃
そして–宿営する H2583 子らは イスラエルの H3478 各自が H0376 〜の–そばに 自分の–陣営に H4264 各自が H0376 〜の–そばに 自分の–旗の–もとに H1714 軍団–ごとに

イスラエルの人々はその部隊にしたがって、おのおのその宿営に、おのおのその旗のもとにその天幕を張らなければならない。

53 וְהַלְוִיִּם יַחֲנוּ סָבִיב לְמִשְׁכַּן הָעֵדֻת וְלֹא־יִהְיֶה קֶצֶף עַל־עֲדַת בְּנֵי יִשְׂרָאֵל וְשָׁמְרוּ הַלְוִיִּם אֶת־מִשְׁמֶרֶת מִשְׁכַּן הָעֵדֻת׃
しかし–レビ人は H3881 宿営する H2583 周りに H5439 幕屋の H4908 あかしの H5715 そうすれば–ない H3808 起こらない H1961 怒りが 〜の–上に 会衆の H5712 子らの イスラエルの H3478 そして–守る H8104 レビ人が H3881 〜を H0853 務めを H4931 幕屋の H4908 あかしの H5715

しかし、レビびとは、あかしの幕屋のまわりに宿営しなければならない。そうすれば、主の怒りはイスラエルの人々の会衆の上に臨むことがないであろう。レビびとは、あかしの幕屋の務を守らなければならない」。

54

מֹשֶׁה	אֶת־	יְהוָה	צִוָּה	אֲשֶׁר	כְּכֹל	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי	וַיַּעֲשׂוּ
モーセに	～に	主が	命じた	ところの	すべての–とおりに	イスラエルの	子らは	そして–行った
H4872	H0853	H3068	H6680		H3605	H3478		

פ	עָשׂוּ׃	כֵּן
—	行った	そのように

イスラエルの人々はこのようにして、すべて主がモーセに命じられたように行った。

Chapter 2

1

לֵאמֹר׃	אַהֲרֹן	וְאֶל־	מֹשֶׁה	אֶל־	יְהוָה	וַיְדַבֵּר	
言って	アロンに	また–～に	モーセに	～に	主は	そして–語られた	
H0559	H0175	H0413	H4872	H0413	H3068	H1696	

主はモーセとアロンに言われた、

2

בְּנֵי	יַחֲנוּ	אֲבֹתָם	לְבֵית	בְּאֹתֹ֖	דִּגְלוֹ	עַל־	אִישׁ	
子らは	宿営する	父たちの	家–ごとに	しるし–のもとに	自分の–旗の	～の–そばに	各自が	
H2583	H0001			H0226	H1714		H0376	

יַחֲנוּ׃	מוֹעֵד	לְאֹהֶל־	סָבִיב	מִנֶּגֶד	יִשְׂרָאֵל	
宿営する	会見の	天幕の	周りに	向かいに	イスラエルの	
H2583	H4150	H0168	H5439	H5048	H3478	

「イスラエルの人々は、おのおのその部隊の旗のもとに、その父祖の家の旗印にしたがって宿営しなければならない。また会見の幕屋のまわりに、それに向かって宿営しなければならない。

3

וְנָשִׂיא	לְצִבְאֹתָם	יְהוּדָה	מַחֲנֵה	דֶּגֶל	מִזְרָחָה	קֵדְמָה	וְהַחֹנִים	
長は	軍団–ごとに	ユダの	陣営の	旗は	日の出–の方に	東–側に	そして–宿営する–者たちは	
		H3063	H4264	H1714	H4217		H2583	

עַמִּינָדָב׃	בֶּן־	נַחְשׁוֹן	יְהוּדָה	לִבְנֵי
アミナダブの	子	ナフション	ユダの	子らの
H5992		H5177	H3063	

すなわち、日の出る方、東に宿営するものは、ユダの宿営の旗につく者であって、その部隊にしたがって宿営し、アミナダブの子ナションが、ユダの子たちのつかさとなるであろう。

4

מֵאוֹת׃	וְשֵׁשׁ	אֶלֶף	וְשִׁבְעִים	אַרְבָּעָה	וּפְקֻדֵיהֶם	וּצְבָאוֹ	
百	と–六	千	と–七十	四	その–登録–された–者は	その–軍勢と	
H3967	H8337	H0505	H7657	H0702			

その部隊、すなわち、数えられた者は七万四千六百人である。

5

יִשָּׂשכָר	לִבְנֵי	וְנָשִׂיא	יִשָּׂשכָר	מַטֵּה	עָלָיו	וְהַחֹנִים	
イッサカルの	子らの	長は	イッサカルの	部族は	その–そばに	そして–宿営する–者たちは	
H3485			H3485	H4294		H2583	

צוּעָר׃	בֶּן־	נְתַנְאֵל
ツアルの	子	ネタヌエル
H6686		H5417

そのかたわらに宿営する者はイッサカルの部族で、ツアルの子ネタニエルが、イッサカルの子たちのつかさとなるであろう。

6

ס	מֵאוֹת׃	וְאַרְבַּע	אֶלֶף	וַחֲמִשִּׁים	אַרְבָּעָה	וּפְקֻדָיו	וּצְבָאוֹ	
—	百	と–四	千	と–五十	四	その–登録–された–者は	その–軍勢と	
	H3967	H0702	H0505	H2572	H0702			

その部隊、すなわち、数えられた者は五万四千四百人である。

חֶלֹן׃	בֶּן־	אֱלִיאָב	זְבוּלֻן	לִבְנֵי	וְנָשִׂיא	זְבוּלֻן	מַטֵּה	7
ヘロンの	子	エリアブ	ゼブルンの	子らの	長は	ゼブルンの	部族は	
H2497		H0446	H2074			H2074	H4294	

次はゼブルンの部族で、ヘロンの子エリアブが、ゼブルンの子たちのつかさとなるであろう。

מֵאוֹת׃	וְאַרְבָּע	אֶלֶף	וַחֲמִשִּׁים	שִׁבְעָה	וּפְקֻדָיו	וּצְבָאוֹ	8
百	と-四	千	と-五十	七	その-登録-された-者は	その-軍勢と	
H3967	H0702	H0505	H2572	H7651			

その部隊、すなわち、数えられた者は五万七千四百人である。

אַלְפִים	וְשֵׁשֶׁת־	אֶלֶף	וּשְׁמֹנִים	אֶלֶף	מְאַת	יְהוּדָה	לְמַחֲנֵה	הַפְּקֻדִּים	כָּל־	9
千	と-六	千	と-八十	千	百	ユダの	陣営の	登録-された-者は	すべての	
H0505	H8337	H0505	H8084	H0505	H3967	H3063	H4264		H3605	

ס	יִסָּעוּ׃	רִאשֹׁנָה	לְצִבְאֹתָם	מֵאוֹת	וְאַרְבַּע־
—	出発する	最初に	軍団-ごとに	百で	と-四
	H5265	H7223		H3967	H0702

ユダの宿営の、その部隊にしたがって数えられた者は、合わせて十八万六千四百人である。これらの者は、まっ先に進まなければならない。

בֶּן־	אֱלִיצוּר	רְאוּבֵן	לִבְנֵי	וְנָשִׂיא	לְצִבְאֹתָם	תֵּימָנָה	רְאוּבֵן	מַחֲנֵה	דֶּגֶל	10
子	エリツル	ルベンの	子らの	長は	軍団-ごとに	南-側に	ルベンの	陣営の	旗は	
	H0468	H7205				H8486	H7205	H4264	H1714	

שְׁדֵיאוּר׃
シェデウルの
H7707

南の方では、ルベンの宿営の旗につく者が、その部隊にしたがっており、シデウルの子エリツルが、ルベンの子たちのつかさとなるであろう。

מֵאוֹת׃	וַחֲמֵשׁ	אֶלֶף	וְאַרְבָּעִים	שִׁשָּׁה	וּפְקֻדָיו	וּצְבָאוֹ	11
百	と-五	千	と-四十	六	その-登録-された-者は	その-軍勢と	
H3967	H2568	H0505	H0705	H8337			

その部隊、すなわち、数えられた者は四万六千五百人である。

שְׁלֻמִיאֵל	שִׁמְעוֹן	לִבְנֵי	וְנָשִׂיא	שִׁמְעֹנִי	מַטֵּה	עָלָיו	וְהַחֹנִם	12
シェルミエル	シメオンの	子らの	長は	シメオンの	部族は	その-そばに	そして-宿営する-者は	
H8017	H8095			H8095	H4294		H2583	

צוּרִי־שַׁדָּי׃	בֶּן־
ツリシャダイの	子
H6701	

そのかたわらに宿営する者はシメオンの部族で、ツリシャダイの子シルミエルが、シメオンの子たちのつかさとなるであろう。

מֵאוֹת׃	וּשְׁלֹשׁ	אֶלֶף	וַחֲמִשִּׁים	תִּשְׁעָה	וּפְקֻדֵיהֶם	וּצְבָאוֹ	13
百	と-三	千	と-五十	九	その-登録-された-者は	その-軍勢と	
H3967	H7969	H0505	H2572	H8672			

その部隊、すなわち、数えられた者は五万九千三百人である。

רְעוּאֵל׃	בֶּן־	אֶלְיָסָף	גָּד	לִבְנֵי	וְנָשִׂיא	גָּד	וְמַטֵּה	14
レウエルの	子	エルヤサフ	ガドの	子らの	長は	ガドの	そして-部族は	
H7467		H0460	H1410			H1410	H4294	

次はガドの部族で、デウエルの子エリアサフが、ガドの子たちのつかさとなるであろう。

15 וּצְבָאוֹ׃ וּפְקֻדֵיהֶם חֲמִשָּׁה וְאַרְבָּעִים אֶלֶף וְשֵׁשׁ מֵאוֹת וַחֲמִשִּׁים׃
その-軍勢と その-登録-された-者は 五 と-四十 千 と-六 百 と-五十
H6635 H6485 H2568 H0705 H0505 H8337 H3967 H2572

その部隊、すなわち、数えられた者は四万五千六百五十人である。

16 כָּל־ הַפְּקֻדִּים לְמַחֲנֵה רְאוּבֵן מְאַת אֶלֶף וַאֲחַד וַחֲמִשִּׁים אֶלֶף וְאַרְבַּע־
すべての 登録-された-者は 陣営の ルベンの 百 千 と-一 と-五十 千 と-四
H3605 H6485 H4264 H7205 H3967 H0505 H0259 H2572 H0505 H0702

ס מֵאוֹת יִסָּעוּ׃ וּשְׁנִים לְצִבְאֹתָם וַחֲמִשִּׁים מֵאוֹת
— 出発する 二番目に 軍団-ごとに と-五十で 百
H5265 H8145 H2572 H3967

ルベンの宿営の、その部隊にしたがって数えられた者は、合わせて十五万一千四百五十人である。これらの者は二番目に進まなければならない。

17 יַחֲנוּ כַּאֲשֶׁר הַמַּחֲנֹת בְּתוֹךְ הַלְוִיִּם מַחֲנֵה מוֹעֵד אֹהֶל־ וְנָסָע
宿営した 宿営する-ように 陣営の 真ん中で レビ人の 陣営が 会見の 天幕が そして-出発する
H2583 H4264 H8432 H3881 H4264 H4150 H0168 H5265

ס לְדִגְלֵיהֶם׃ יָדוֹ עַל־ אִישׁ יִסְעוּ כֵּן
— 旗-ごとに 自分の-位置に ～の-そばに 各自が 出発する そのように
H1714 H3027 H0376 H5265

その次に会見の幕屋を、レビびとの宿営とともに、もろもろの宿営の中央にして進まなければならない。彼らは宿営するのと同じように、おのおのその位置で、その旗にしたがって進まなければならない。

18 דֶּגֶל מַחֲנֵה אֶפְרַיִם לְצִבְאֹתָם יָמָּה וְנָשִׂיא לִבְנֵי אֶפְרָיִם אֱלִישָׁמָע
旗は 陣営の エフライムの 軍団-ごとに 西-側に 長は 子らの エフライムの エリシャマ
H1714 H4264 H0669 H6635 H3220 H5387 H1121 H0669 H0476

בֶּן־ עַמִּיהוּד׃
子 アミフドの
H1121 H5989

西の方では、エフライムの宿営の旗につく者が、その部隊にしたがっており、アミホデの子エリシャマが、エフライムの子たちのつかさとなるであろう。

19 וּצְבָאוֹ׃ וּפְקֻדֵיהֶם אַרְבָּעִים אֶלֶף וַחֲמֵשׁ מֵאוֹת׃
その-軍勢と その-登録-された-者は 四十 千 と-五 百
H6635 H6485 H0705 H0505 H2568 H3967

その部隊、すなわち、数えられた者は四万五百人である。

20 וְעָלָיו מַטֵּה מְנַשֶּׁה לִבְנֵי וְנָשִׂיא מְנַשֶּׁה גַּמְלִיאֵל בֶּן־ פְּדָהצוּר׃
その-そばに 部族は マナセの 子らの 長は マナセの ガムリエル 子 ペダツルの
H6635 H4294 H4519 H1121 H5387 H4519 H1583 H1121 H6301

そのかたわらにマナセの部族がおって、パダヅルの子ガマリエルが、マナセの子たちのつかさとなるであろう。

21 וּצְבָאוֹ׃ וּפְקֻדֵיהֶם שְׁנַיִם וּשְׁלֹשִׁים אֶלֶף וּמָאתָיִם׃
その-軍勢と その-登録-された-者は 二 と-三十 千 と-二百
H6635 H6485 H8147 H7970 H0505 H3967

その部隊、すなわち、数えられた者は三万二千二百人である。

22 וּמַטֵּה בִּנְיָמִן לִבְנֵי וְנָשִׂיא בִּנְיָמִן בֶּן־ גִּדְעֹנִי׃
そして-部族は ベニヤミンの 子らの 長は ベニヤミンの 子 ギデオニの
H4294 H1144 H1121 H5387 H1144 H1121 H1441

次にベニヤミンの部族がおって、ギデオニの子アビダンが、ベニヤミンの子たちのつかさとなるであろう。

23 וּצְבָאוֹ / その-軍勢と
H6635
וּפְקֻדֵיהֶם / その-登録-された-者は
H6485
חֲמִשָּׁה / 五
H2568
וּשְׁלֹשִׁים / と-三十
H7970
אֶלֶף / 千
H0505
וְאַרְבָּע / と-四
H0702
מֵאוֹת׃ / 百
H3967

その部隊、すなわち、数えられた者は三万五千四百人である。

24 כָּל־ / すべての
H3605
הַפְּקֻדִים / 登録-された-者は
H6485
לְמַחֲנֵה / 陣営の
H4264
אֶפְרַיִם / エフライムの
H0669
מְאַת / 百
H3967
אֶלֶף / 千
H0505
וּשְׁמֹנַת־ / と-八
H8083
אֲלָפִים / 千
H0505
וּמֵאָה / と-百で
H3967

לְצִבְאֹתָם / 軍団-ごとに
H6635
וּשְׁלִשִׁים / 三番目に
H7992
יִסָּעוּ׃ / 出発する
H5265
ס / —

エフライムの宿営の、その部隊にしたがって数えられた者は、合わせて十万八千百人である。これらの者は三番目に進まなければならない。

25 דֶּגֶל / 旗は
H1714
מַחֲנֵה / 陣営の
H4264
דָּן / ダンの
H1835
צָפְנָה / 北-側に
H6828
לְצִבְאֹתָם / 軍団-ごとに
H6635
וְנָשִׂיא / 長は
H5387
לִבְנֵי / 子らの
H1121
דָן / ダンの
H1835
אֲחִיעֶזֶר / アヒエゼル
H0295
בֶּן־ / 子
H1121

עַמִּישַׁדָּי׃ / アミシャダイの
H5996

北の方では、ダンの宿営の旗につく者が、その部隊にしたがっており、アミシャダイの子アヒエゼルが、ダンの子たちのつかさとなるであろう。

26 וּצְבָאוֹ / その-軍勢と
H6635
וּפְקֻדֵיהֶם / その-登録-された-者は
H6485
שְׁנָיִם / 二
H8147
וְשִׁשִּׁים / と-六十
H8346
אֶלֶף / 千
H0505
וּשְׁבַע / と-七
H7651
מֵאוֹת׃ / 百
H3967

その部隊、すなわち、数えられた者は六万二千七百人である。

27 וְהַחֹנִים / そして-宿営する-者たちは
H2583
עָלָיו / その-そばに
H5921
מַטֵּה / 部族は
H4294
אָשֵׁר / アシェルの
H0836
וְנָשִׂיא / 長は
H5387
לִבְנֵי / 子らの
H1121
פַּגְעִיאֵל / パグイエル
H6295
אָשֵׁר / アシェルの
H0836

בֶּן־ / 子
H1121
עָכְרָן׃ / オクランの
H5918

そのかたわらに宿営する者は、アセルの部族であって、オクランの子パギエルが、アセルの子たちのつかさとなるであろう。

28 וּצְבָאוֹ / その-軍勢と
H6635
וּפְקֻדֵיהֶם / その-登録-された-者は
H6485
אֶחָד / 一
H0259
וְאַרְבָּעִים / と-四十
H0705
אֶלֶף / 千
H0505
וַחֲמֵשׁ / と-五
H2568
מֵאוֹת׃ / 百
H3967

その部隊、すなわち、数えられた者は四万一千五百人である。

29 וּמַטֵּה / そして-部族は
H4294
נַפְתָּלִי / ナフタリの
H5321
וְנָשִׂיא / 長は
H5387
לִבְנֵי / 子らの
H1121
נַפְתָּלִי / ナフタリの
H5321
אֲחִירַע / アヒラ
H0299
בֶּן־ / 子
H1121
עֵינָן׃ / エナンの
H5881

次にナフタリの部族がおって、エナンの子アヒラが、ナフタリの子たちのつかさとなるであろう。

30 וּצְבָאוֹ / その-軍勢と
H6635
וּפְקֻדֵיהֶם / その-登録-された-者は
H6485
שְׁלֹשָׁה / 三
H7969
וַחֲמִשִּׁים / と-五十
H2572
אֶלֶף / 千
H0505
וְאַרְבַּע / と-四
H0702
מֵאוֹת׃ / 百
H3967

その部隊、すなわち、数えられた者は五万三千四百人である。

31 כָּל־ すべての H3605 הַפְּקֻדִים לְמַחֲנֵה 登録-された-者は 陣営の H4264 דָּן מְאַת ダンの 百 H1835 H3967 אֶלֶף וְשִׁבְעָה 千 と-七 H0505 H7651 וַחֲמִשִּׁים מֵאוֹת と-五十 百 H2572 H3967 וְשֵׁשֶׁת אָלֶף と-六 千 H8337 H0505

לְאַחֲרֹנָה יִסְעוּ 最後に 出発する H0314 H5265 לְדִגְלֵיהֶם׃ 旗-ごとに H1714 פ —

ダンの宿営の、数えられた者は合わせて十五万七千六百人である。これらの者はその旗にしたがって、最後に進まなければならない」。

32 אֵלֶּה これらは H0428 פְּקוּדֵי 登録-された-者たちで 子らの H3478 יִשְׂרָאֵל イスラエルの 家-ごとに H1004 לְבֵית אֲבֹתָם 父たちの H0001 כָּל־ すべての H3605

הַמַּחֲנֹת 陣営の H4264 לְצִבְאֹתָם 軍団-ごとに H8337 שֵׁשׁ־ 六 H0505 אֶלֶף 千 H3967 מֵאוֹת 百 H7969 וּשְׁלֹשֶׁת と-三 H0505 אַלְפִים 千 H2568 וַחֲמֵשׁ と-五 H3967 מֵאוֹת 百

פְּקוּדֵי 登録-された-者は

וַחֲמִשִּׁים׃ と-五十 H2572

これがイスラエルの人々の、その父祖の家にしたがって数えられた人々である。もろもろの宿営の、その部隊にしたがって数えられた者は合わせて六十万三千五百五十人であった。

33 וְהַלְוִיִּם しかし-レビ人は H3881 לֹא ない H3808 הָתְפָּקְדוּ 登録-されなかった 中で H8432 בְּתוֹךְ בְּנֵי 子らの イスラエルの H3478 יִשְׂרָאֵל כַּאֲשֶׁר 主が 命じた-とおりに H6680 צִוָּה

יְהוָה 主は H3068 אֶת־ ～に H0853 מֹשֶׁה׃ モーセに H4872

しかし、レビびとはイスラエルの人々のうちに数えられなかった。主がモーセに命じられたとおりである。

34 וַיַּעֲשׂוּ そして-行った בְּנֵי 子らは イִשְׂרָאֵל イスラエルの כְּכֹל すべての-とおりに צִוָּה 命じた יְהוָה 主が אֶת־ ～に H0853 מֹשֶׁה モーセに H4872

כֵּן־ そのように חָנוּ 宿営した לְדִגְלֵיהֶם 旗-ごとに וְכֵן そのように נָסָעוּ 出発した אִישׁ 各自が לְמִשְׁפְּחֹתָיו 氏族-ごとに עַל־ ～の-そばに בֵּית 家の

אֲבֹתָיו׃ 父たちの H0001

イスラエルの人々は、すべて主がモーセに命じられたとおりに行い、その旗にしたがって宿営し、おのおのその氏族に従い、その父祖の家に従って進んだ。

Chapter 3

1 וְאֵלֶּה תּוֹלְדֹת אַהֲרֹן וּמֹשֶׁה בְּיוֹם דִּבֶּר יְהוָה אֶת־מֹשֶׁה בְּהַר סִינָי׃
そして–これらは 系図である アロンと モーセの 日に 語られた 主が ～に モーセに 山で シナイの
H0428 H8435 H0175 H4872 H3117 H1696 H3068 H0854 H4872 H2022 H5514

主がシナイ山で、モーセと語られた時の、アロンとモーセの一族は、次のとおりであった。

2 וְאֵלֶּה שְׁמוֹת בְּנֵי־אַהֲרֹן הַבְּכוֹר נָדָב וַאֲבִיהוּא אֶלְעָזָר וְאִיתָמָר׃
そして–これらが 名である 子らの アロンの 長子は ナダブ そして–アビフ エルアザル そして–イタマル
H0428 H8034 H0175 H1060 H5070 H0030 H0499 H0385

アロンの子たちの名は、次のとおりである。長子はナダブ、次はアビウ、エレアザル、イタマル。

3 אֵלֶּה שְׁמוֹת בְּנֵי אַהֲרֹן הַכֹּהֲנִים הַמְּשֻׁחִים אֲשֶׁר־מִלֵּא יָדָם לְכַהֵן׃
これらが 名である 子らの アロンの 祭司たちの 油–注がれた ところの 満たされた その–手が 祭司と–して–仕える–ために
H0428 H8034 H0175 H3548 H4886 H0834 H4390 H3027 H3547

これがアロンの子たちの名であって、彼らはみな油を注がれ、祭司の職に任じられて祭司となった。

4 וַיָּמָת נָדָב וַאֲבִיהוּא לִפְנֵי יְהוָה בְּהַקְרִבָם אֵשׁ זָרָה לִפְנֵי יְהוָה בְּמִדְבַּר סִינָי וּבָנִים לֹא־הָיוּ לָהֶם וַיְכַהֵן אֶלְעָזָר וְאִיתָמָר עַל־פְּנֵי אַהֲרֹן אֲבִיהֶם׃ פ
そして–死んだ ナダブと アビフは 前で 主の 彼らが–ささげた–とき 異なる 火を 前で
H4191 H5070 H0030 H6440 H3068 H7126 H2114 H0784 H6440

そして–子どもが ない いた 彼らには そして–祭司と–して–仕えた
H1121 H3808 H1961 H0000 H3547

シナイの 荒野の–中で 主の
H5514 H4057 H3068

— 彼らの–父の アロンの 顔の ～の–前で イタマルが エルアザルと
H0001 H0175 H6440 H0413 H0385 H0499

ナダブとアビウとは、シナイの荒野において、異火を主の前にささげたので、主の前で死んだ。彼らには子供がなかった。そしてエレアザルとイタマルとが、父アロンの前で祭司の務をした。

5 וַיְדַבֵּר יְהוָה אֶל־מֹשֶׁה לֵאמֹר׃
そして–語られた 主は ～に モーセに 言って
H1696 H3068 H0413 H4872 H0559

主はまたモーセに言われた、

6 הַקְרֵב אֶת־מַטֵּה לֵוִי וְהַעֲמַדְתָּ אֹתוֹ לִפְנֵי אַהֲרֹן הַכֹּהֵן וְשֵׁרְתוּ אֹתוֹ׃
近づけよ ～を 部族を レビの そして–立たせよ 彼を 前に アロンの 祭司の 彼に そして–仕えさせよ
H7126 H0853 H4294 H3878 H5975 H0853 H6440 H0175 H3548 H0853 H8334

「レビの部族を召し寄せ、祭司アロンの前に立って仕えさせなさい。

7 וְשָׁמְרוּ֙ אֶת־מִשְׁמַרְתּ֣וֹ וְאֶת־מִשְׁמֶ֔רֶת כָּל־הָעֲדָ֖ה לִפְנֵ֣י אֹ֑הֶל מוֹעֵ֖ד לַעֲבֹ֥ד אֶת־עֲבֹדַ֖ת הַמִּשְׁכָּֽן׃

וְשָׁמְרוּ	אֶת־	מִשְׁמַרְתּוֹ	וְאֶת־	מִשְׁמֶרֶת	כָּל־	הָעֲדָה	לִפְנֵי	אֹהֶל	מוֹעֵד	לַעֲבֹד	אֶת־
そして–守る	～を	その–務めを	また	務めを	すべての	会衆の	前で	天幕の	会見の	仕える–ために	～を
H8104	H0853	H4931	H0853	H4931	H3605	H5712	H6440	H0168	H4150	H5647	H0853

עֲבֹדַת	אֶת־	הַמִּשְׁכָּן׃	
務めを	～を	幕屋の	
H5656	H0853	H4908	

彼らは会見の幕屋の前にあって、アロンと全会衆のために、その務をし、幕屋の働きをしなければならない。

8 וְשָׁמְרוּ֙ אֶת־כָּל־כְּלֵ֣י אֹ֔הֶל מוֹעֵ֖ד וְאֶת־מִשְׁמֶ֣רֶת בְּנֵ֣י יִשְׂרָאֵ֑ל לַעֲבֹ֥ד אֶת־עֲבֹדַ֖ת הַמִּשְׁכָּֽן׃

וְשָׁמְרוּ	אֶת־	כָּל־	כְּלֵי	אֹהֶל	מוֹעֵד	וְאֶת־	מִשְׁמֶרֶת	בְּנֵי	יִשְׂרָאֵל	לַעֲבֹד	אֶת־
そして–守る	～を	すべての	器具を	天幕の	会見の	また	務めを	子らの	イスラエルの	仕える–ために	～を
H8104	H0853	H3605	H3627	H0168	H4150	H0853	H4931	子らの	H3478	H5647	H0853

עֲבֹדַת	אֶת־	הַמִּשְׁכָּן׃	
務めを	～を	幕屋の	
H5656	H0853	H4908	

すなわち、彼らは会見の幕屋の、すべての器をまもり、イスラエルの人々のために務をし、幕屋の働きをしなければならない。

9 וְנָתַתָּה֙ אֶת־הַלְוִיִּ֔ם לְאַהֲרֹ֖ן וּלְבָנָ֑יו נְתוּנִ֥ם נְתוּנִ֛ם הֵ֖מָּה לֽוֹ׃

וְנָתַתָּה	אֶת־	הַלְוִיִּם	לְאַהֲרֹן	וּלְבָנָיו	נְתוּנִם	נְתוּנִם	הֵמָּה	לוֹ
そして–与える	～を	レビ人を	アロンに	その–子らに	与えられた	与えられた	彼らは	彼に
H5414	H0853	H3881	H0175		H5414	H5414	H1992	

מֵאֵת	בְּנֵי	יִשְׂרָאֵל׃
～から	子らの	イスラエルの
H0854		H3478

あなたはレビびとを、アロンとその子たちとに、与えなければならない。彼らはイスラエルの人々のうちから、全くアロンに与えられたものである。

10 וְאֶת־אַהֲרֹ֣ן וְאֶת־בָּנָ֗יו תִּפְקֹד֙ וְשָׁמְר֣וּ אֶת־כְּהֻנָּתָ֔ם וְהַזָּ֥ר הַקָּרֵ֖ב יוּמָֽת׃ פ

וְאֶת־	אַהֲרֹן	וְאֶת־	בָּנָיו	תִּפְקֹד	וְשָׁמְרוּ	אֶת־	כְּהֻנָּתָם	וְהַזָּר	
そして	アロンと	また	その–子らを	任命せよ	そして–守る	～を	その–祭司職を	部外者は	
H0853	H0175	H0853			H8104	H0853	H3550		

הַקָּרֵב	יוּמָת׃		פ
近づく–者は	殺される		—
H7126	H4191		

あなたはアロンとその子たちとを立てて、祭司の職を守らせなければならない。ほかの人で近づくものは殺されるであろう」。

11 וַיְדַבֵּ֥ר יְהוָ֖ה אֶל־מֹשֶׁ֥ה לֵאמֹֽר׃

וַיְדַבֵּר	יְהוָה	אֶל־	מֹשֶׁה	לֵאמֹר׃
そして–語られた	主は	～に	モーセに	言って
H1696	H3068	H0413	H4872	H0559

主はまたモーセに言われた、

12 וַאֲנִ֗י הִנֵּ֤ה לָקַחְתִּי֙ אֶת־הַלְוִיִּ֔ם מִתּ֖וֹךְ בְּנֵ֣י יִשְׂרָאֵ֑ל תַּ֖חַת כָּל־בְּכ֣וֹר פֶּ֔טֶר רֶ֖חֶם מִבְּנֵ֣י יִשְׂרָאֵ֑ל וְהָי֥וּ לִ֖י הַלְוִיִּֽם׃

וַאֲנִי	הִנֵּה	לָקַחְתִּי	אֶת־	הַלְוִיִּם	מִתּוֹךְ	בְּנֵי	יִשְׂרָאֵל	תַּחַת	כָּל־	בְּכוֹר	פֶּטֶר	רֶחֶם	מִבְּנֵי	יִשְׂרָאֵל	וְהָיוּ	לִי	
そして–わたしは	見よ	取った	～を	レビ人を	中から	子らの	イスラエルの	代わりに	すべての	長子の	初めに–開く	胎を	子らの–中から	イスラエルの	そして–なる	わたしの–ものに	
H0589	H2009	H3947	H0853	H3881	H8432	子らの	H3478	H8478	H3605	H1060		H7358		H3478	H1961		

הַלְוִיִּם׃	
レビ人は	
H3881	

「わたしは、イスラエルの人々のうちの初めに生れたすべてのういごの代りに、レビびとをイスラエルの人々のうちから取るであろう。レビびとは、わたしのものとなるであろう。

13

בְּאֶרֶץ	בְּכוֹר	כָּל־	הִכֹּתִי	בְּיוֹם	בְּכוֹר	כָּל־	לִי	כִּי
地で	長子を	すべての	わたしが-打った	日に	長子は	すべての	わたしの-もの	なぜなら
H0776	H1060	H3605	H5221	H3117	H1060	H3605		

בְּהֵמָה	עַד־	מֵאָדָם	בְּיִשְׂרָאֵל	בְּכוֹר	כָּל־	לִי	הִקְדַּשְׁתִּי	מִצְרַיִם
家畜まで	～まで	人-から	イスラエル-において	長子を	すべての	わたしに	聖別した	エジプトの
H0929	H5704	H0120	H3478	H1060	H3605		H6942	H4714

ס	יְהוָה׃	אֲנִי	יִהְיוּ	לִי
—	主である	わたしは	である	わたしの-もの
	H3068	H0589	H1961	

ういごはすべてわたしのものだからである。わたしは、エジプトの国において、すべてのういごを撃ち殺した日に、イスラエルのういごを、人も獣も、ことごとく聖別して、わたしに帰せしめた。彼らはわたしのものとなるであろう。わたしは主である」。

14

לֵאמֹר׃	סִינַי	בְּמִדְבַּר	מֹשֶׁה	אֶל־	יְהוָה	וַיְדַבֵּר
言って	シナイの	荒野の-中で	モーセに	～に	主は	そして-語られた
H0559	H5514		H4872	H0413	H3068	H1696

主はまたシナイの荒野でモーセに言われた、

15

מִבֶּן־	זָכָר	כָּל־	לְמִשְׁפְּחֹתָם	אֲבֹתָם	לְבֵית	לֵוִי	בְּנֵי	אֶת־	פְּקֹד
～から	男子を	すべての	氏族-ごとに	父たちの	家-ごとに	レビの	子らを	～を	数えよ
	H2145	H3605	H4940	H0001		H3878		H0853	

תִּפְקְדֵם׃	וָמַעְלָה	חֹדֶשׁ
数えよ	以上の	月
	H4605	H2320

「あなたはレビの子たちを、その父祖の家により、その氏族によって数えなさい。すなわち、一か月以上の男子を数えなければならない」。

16

צִוָּה׃	כַּאֲשֶׁר	יְהוָה	פִּי	עַל־	מֹשֶׁה	אֹתָם	וַיִּפְקֹד
命じられた	命じられた-とおりに	主の	口の	～の-とおりに	モーセは	彼らを	そして-数えた
H6680		H3068	H6310		H4872	H0853	

それでモーセは主の言葉にしたがって、命じられたとおりに、それを数えた。

17

וּמְרָרִי׃	וּקְהָת	גֵּרְשׁוֹן	בִּשְׁמֹתָם	לֵוִי	בְּנֵי־	אֵלֶּה	וַיִּהְיוּ־
そして-メラリ	ケハト	ゲルション	名-によると	レビの	子らで	これらが	そして-いた
H4847	H6955	H1648	H8034	H3878		H0428	H1961

レビの子たちの名は次のとおりである。すなわち、ゲルション、コハテ、メラリ。

18

וְשִׁמְעִי׃	לִבְנִי	לְמִשְׁפְּחֹתָם	גֵּרְשׁוֹן	בְּנֵי־	שְׁמוֹת	וְאֵלֶּה
シムイ	リブニと	氏族-ごとに	ゲルションの	子らの	名である	そして-これらが
H8096	H3845	H4940	H1648		H8034	H0428

ゲルションの子たちの名は、その氏族によれば次のとおりである。すなわち、リブニ、シメイ。

19

וְעֻזִּיאֵל׃	חֶבְרוֹן	וְיִצְהָר	עַמְרָם	לְמִשְׁפְּחֹתָם	קְהָת	וּבְנֵי	
そして-ウジエル	ヘブロン	イツハル	アムラム	氏族-ごとに	ケハトの	そして-子らは	
H5816		H3324	H6019	H4940	H6955		

コハテの子たちは、その氏族によれば、アムラム、イツハル、ヘブロン、ウジエル。

20 וּבְנֵי מְרָרִי לְמִשְׁפְּחֹתָם מַחְלִי וּמוּשִׁי אֵלֶּה הֵם מִשְׁפְּחֹת הַלֵּוִי
そして-子らは メラリの 氏族-ごとに マフリと ムシ これらが その 氏族で レビの
H1992 H0428 H4187 H4249 H4940 H4847 H4940 H3881

לְבֵית אֲבֹתָם׃
家-ごとの 父たちの
H0001

メラリの子たちは、その氏族によれば、マヘリ、ムシ。これらはその父祖の家によるレビの氏族である。

21 לְגֵרְשׁוֹן מִשְׁפַּחַת הַלִּבְנִי וּמִשְׁפַּחַת הַשִּׁמְעִי אֵלֶּה הֵם מִשְׁפַּחַת
ゲルション-には 氏族は リブニ族と 氏族は シムイ族で これらが その 氏族で
H1648 H4940 H3846 H4940 H8097 H0428 H1992 H4940

הַגֵּרְשֻׁנִּי׃
ゲルション族の
H1649

ゲルションからリブニびとの氏族と、シメイびとの氏族とが出た。これらはゲルションびとの氏族である。

22 פְּקֻדֵיהֶם בְּמִסְפַּר כָּל־ זָכָר מִבֶּן־ חֹדֶשׁ וָמָעְלָה
その-登録-された-者は 数-によって すべての 男子で ～から 月 以上の
H4557 H3605 H2145 H2320 H4605

פְּקֻדֵיהֶם שִׁבְעַת אֲלָפִים וַחֲמֵשׁ מֵאוֹת׃
その-登録-された-者は 七 千 と-五 百
H7651 H0505 H2568 H3967

その数えられた者、すなわち、一か月以上の男子の数は合わせて七千五百人であった。

23 מִשְׁפְּחֹת הַגֵּרְשֻׁנִי אַחֲרֵי הַמִּשְׁכָּן יַחֲנוּ יָמָּה׃
氏族は ゲルション族の 後ろに 幕屋の 宿営する 西-側に
H4940 H1649 H0310 H4908 H2583 H3220

ゲルションびとの氏族は幕屋の後方、すなわち、西の方に宿営し、

24 וְנָשִׂיא בֵּית־ אָב לַגֵּרְשֻׁנִי אֶלְיָסָף בֶּן־ לָאֵל׃
長は 家の 父の ゲルション族の エルヤサフ 子 ラエルの
H5387 H1004 H0001 H1649 H0460 H1121 H3815

ラエルの子エリアサフが、ゲルションびとの父祖の家のつかさとなるであろう。

25 וּמִשְׁמֶרֶת בְּנֵי־ גֵרְשׁוֹן בְּאֹהֶל מוֹעֵד הַמִּשְׁכָּן וְהָאֹהֶל מְכַסֵּהוּ
そして-務めは 子らの ゲルションの 天幕の 会見の 幕屋と 天幕と その-覆いと
H4931 H1121 H1648 H0168 H4150 H4908 H0168 H4372

וּמָסַךְ פֶּתַח אֹהֶל מוֹעֵד׃
幕と 入口の 天幕の 会見の
H4539 H6607 H0168 H4150

会見の幕屋の、ゲルションの子たちの務は、幕屋、天幕とそのおおい、会見の幕屋の入口のとばり、

26 וְקַלְעֵי הֶחָצֵר וְאֶת־ מָסַךְ פֶּתַח הֶחָצֵר אֲשֶׁר עַל־ הַמִּשְׁכָּן וְעַל־
そして-掛け幕と 庭の また 幕と 入口の 庭の ところの ～の-周りの 幕屋と また
H0853 H4539 H6607 H2691 H7023 H5921 H4908

מֵיתָרָיו וְאֶת כָּל עֲבֹדָתוֹ׃
その-綱と また すべての その-務めの
H4340 H0853 H3605 H5656

וְאֶת סְבִיב הַמִּזְבֵּחַ
また 周りの 祭壇の
H0853 H5439 H4196

庭のあげばり、幕屋と祭壇のまわりの庭の入口のとばり、そのひも、およびすべてそれに用いる物を守ることである。

27 וְלִקְהָ֣ת מִשְׁפַּ֣חַת הָעַמְרָמִ֗י וּמִשְׁפַּ֤חַת הַיִּצְהָרִי֙ וּמִשְׁפַּ֣חַת הַחֶבְרֹנִ֔י וּמִשְׁפַּ֥חַת הָעֻזִּיאֵ֖לִי

そして-ケハト-には 氏族は アムラム族と 氏族は イツハル族と 氏族は ヘブロン族と 氏族は ウジエル族で 氏族は
H6955 H4940 H6020 H4940 H3325 H4940 H2276 H4940 H5817 H4940

הַקְהָתִֽי׃ מִשְׁפְּחֹ֥ת הֵ֖ם אֵ֑לֶּה

ケハト族の 氏族で その これらが
H6956 H4940 H1992 H0428

また、コハテからアムラムびとの氏族、イヅハルびとの氏族、ヘブロンびとの氏族、ウジエルびとの氏族が出た。これらはコハテびとの氏族である。

28 בְּמִסְפַּ֣ר כָּל־זָכָ֗ר מִבֶּן־חֹ֤דֶשׁ וָמַ֙עְלָה֙ שְׁמֹנַ֣ת אֲלָפִ֔ים וְשֵׁ֥שׁ מֵא֖וֹת

数-によって すべての 男子で ～から 月 以上は 八 千 と-六 百で
H4557 H3605 H2145 H1961 H4605 H8083 H0505 H8337 H3967

מִשְׁמֶ֥רֶת הַקֹּֽדֶשׁ׃ שֹׁמְרֵ֖י

務めを 聖所の 守る-者たちで
H4931 H6944 H8104

一か月以上の男子の数は、合わせて八千六百人であって、聖所の務を守る者たちである。

29 מִשְׁפְּחֹ֣ת בְּנֵי־קְהָ֔ת יַחֲנ֖וּ עַל־יֶ֣רֶךְ הַמִּשְׁכָּ֑ן תֵּימָנָֽה׃

氏族は 子らの ケハトの 宿営する ～の 側面に 幕屋の 南-側に
H4940 H1121 H6955 H2583 H5921 H3409 H4908 H8486

コハテの子たちの氏族は、幕屋の南の方に宿営し、

30 וּנְשִׂיא֙ בֵּ֣ית־אָ֔ב לְמִשְׁפְּחֹ֖ת הַקְהָתִ֑י אֱלִיצָפָ֖ן בֶּן־עֻזִּיאֵֽל׃

長は 家の 父の 氏族の ケハト族の エリツァファン 子 ウジエルの
H5387 H1004 H0001 H4940 H6956 H0469 H1121 H5816

ウジエルの子エリザパンが、コハテびとの氏族の父祖の家のつかさとなるであろう。

31 וּמִשְׁמַרְתָּ֗ם וְהַשֻּׁלְחָן֙ וְהַמְּנֹרָ֣ה וְהַמִּזְבְּחֹ֔ת וּכְלֵי֙ הַקֹּ֔דֶשׁ אֲשֶׁ֥ר יְשָׁרְתוּ־בָ֖ם

そして-その-務めは 箱と 机と 燭台と 祭壇と 器具と 聖所の ところの 仕える
H4931 H0727 H7979 H4501 H4196 H3627 H6944 H834 H8334

וְהַמָּסָ֖ךְ וְכָל־עֲבֹדָתֽוֹ׃ וּבָהֶֽם

そして-幕と すべての その-務めの それらで
H4539 H3605 H5656

彼らの務は、契約の箱、机、燭台、二つの祭壇、聖所の務に用いる器、とばり、およびすべてそれに用いる物を守ることである。

32 וּנְשִׂיא֙ נְשִׂיאֵ֣י הַלֵּוִ֔י אֶלְעָזָ֖ר בֶּן־אַהֲרֹ֣ן הַכֹּהֵ֑ן פְּקֻדַּ֕ת שֹׁמְרֵ֖י

そして-長で 長たちの レビの エルアザル 子 アロンの 祭司の 監督で 守る-者たちの
H5387 H5387 H3881 H0499 H1121 H0175 H3548 H6486 H8104

מִשְׁמֶ֥רֶת הַקֹּֽדֶשׁ׃

務めを 聖所の
H4931 H6944

祭司アロンの子エレアザルが、レビびとのつかさたちの長となり、聖所の務を守るものたちを監督するであろう。

33 לִמְרָרִ֣י מִשְׁפַּ֣חַת הַמּ֔וּשִׁי וּמִשְׁפַּ֥חַת הַמַּחְלִ֖י מִשְׁפַּ֣חַת הָעַנְמִ֑י

マフリ族と 氏族は ムシ族で 氏族は メラリ-には 氏族は
H4250 H4940 H4188 H4940 H4847 H4940

מְרָרִֽי׃ מִשְׁפְּחֹ֥ת הֵ֖ם אֵ֑לֶּה

メラリの 氏族で その これらが
H4847 H4940 H1992 H0428

メラリからマヘリびとの氏族と、ムシびとの氏族とが出た。これらはメラリの氏族である。

34 וּפְקֻדֵיהֶם בְּמִסְפַּר כָּל־זָכָר מִבֶּן חֹדֶשׁ וָמָעְלָה שֵׁשֶׁת אֲלָפִים
その–登録–された–者は 数–によって すべての 男子で ～から 月 以上は 六 千
H6485 H4557 H3605 H2145 H3117 H2320 H4605 H8337 H0505

וּמָאתָיִם׃
と–二百
H3967

その数えられた者、すなわち、一か月以上の男子の数は、合わせて六千二百人であった。

35 וּנְשִׂיא בֵּית־אָב לְמִשְׁפְּחֹת מְרָרִי צוּרִיאֵל בֶּן־אֲבִיחָיִל עַל יֶרֶךְ
長は 家の 父の 氏族の メラリの ツリエル 子 アビハイルの ～の 側面に
H5387 H1004 H1 H4940 H4847 H6700 H1121 H0030 H5921 H3409

הַמִּשְׁכָּן צָפֹנָה׃ יַחֲנוּ
幕屋の 北–側に 宿営する
H4908 H6828 H2583

アビハイルの子ツリエルが、メラリの氏族の父祖の家のつかさとなるであろう。彼らは幕屋の北の方に宿営しなければならない。

36 וּפְקֻדַת מִשְׁמֶרֶת בְּנֵי מְרָרִי קַרְשֵׁי הַמִּשְׁכָּן וּבְרִיחָיו וְעַמֻּדָיו וַאֲדָנָיו וְכָל־
そして–務めは 守るべき メラリの 子らの 板と 幕屋の 横木と 柱と 台座と すべての
H6486 H4931 H4847 H1121 H7175 H4908 H1280 H5982 H0134 H3605

עֲבֹדָתוֹ׃ וְכֹל כֵּלָיו
その–務めの すべての 器具と
H5656 H3605 H3627

メラリの子たちが、その務として管理すべきものは、幕屋の枠、その横木、その柱、その座、そのすべての器、およびそれに用いるすべての物、

37 וְעַמֻּדֵי הֶחָצֵר סָבִיב וִיתֵדֹתָם וְאַדְנֵיהֶם וּמֵיתְרֵיהֶם׃
そして–柱と 庭の 周りの その–台座と その–杭と その–綱である
H5982 H2691 H5439 H0134 H3489 H4340

ならびに庭のまわりの柱とその座、その釘、およびそのひもである。

38 וְהַחֹנִים לִפְנֵי הַמִּשְׁכָּן לִפְנֵי מִזְרָחָה קֶדְמָה מֹשֶׁה וְאַהֲרֹן וּבָנָיו
そして–宿営する–者たちは 前に 幕屋の 前に 東–側に 東–の方に モーセと
H2583 H6440 H4908 H6440 H6924 H4217 H4872

שֹׁמְרִים מִשְׁמֶרֶת הַמִּקְדָּשׁ לְמִשְׁמֶרֶת בְּנֵי יִשְׂרָאֵל וְהַזָּר הַקָּרֵב
守る–者たちで 務めを 聖所の 務めとして 子らの イスラエルの アロンと その–子らで 会見の 天幕の
H8104 H4931 H4720 H4931 H1121 H3478 H0175 H1121 H4150 H0168

יוּמָת׃
殺される
H4191

また幕屋の前、その東の方、すなわち、会見の幕屋の東の方に宿営する者は、モーセとアロン、およびアロンの子たちであって、イスラエルの人々の務に代って、聖所の務を守るものである。ほかの人で近づく者は殺されるであろう。

39 כָּל־פְּקוּדֵי הַלְוִיִּם אֲשֶׁר פָּקַד מֹשֶׁה וְאַהֲרֹן עַל־פִּי
すべての レビ人の 登録–された–者は ところの 数えた モーセと アロンが ～の–とおりに 口の
H3605 H3881 H6485 H4872 H0175 H5921 H6310

יְהוָה לְמִשְׁפְּחֹתָם כָּל־זָכָר מִבֶּן חֹדֶשׁ וָמָעְלָה שְׁנַיִם וְעֶשְׂרִים אָלֶף׃ ס
主の 氏族–ごとに すべての 男子で ～から 月 以上は 二 と–二十 千 ―
H3068 H4940 H3605 H2145 H1121 H2320 H4605 H8147 H6242 H0505

モーセとアロンとが、主の言葉にしたがって数えたレビびとで、その氏族によって数えられた者、一か月以上の男子は、合わせて二万二千人であった。

40 וַיֹּאמֶר יְהוָה אֶל־מֹשֶׁה פְּקֹד בְּכָל־זְכַר לִבְנֵי יִשְׂרָאֵל בְּכֹר
そして-言われた 主は モーセに 数えよ すべての 男子の 子らの 長子を
H0559 H3068 H0413 H4872 H3605 H2145 H3478 H1060

מִבֶּן־ חֹדֶשׁ וָמָעְלָה תִּשָּׂא אֶת־ מִסְפַּר שְׁמֹתָם׃
～から 月 以上の そして-上げよ ～を 数を 名の
H2320 H4605 H5375 H0853 H4557 H8034

主はまたモーセに言われた、「あなたは、イスラエルの人々のうち、すべてういごである男子の一か月以上のものを数えて、その名の数を調べなさい。

41 וְלָקַחְתָּ לִי הַלְוִיִּם אֲנִי יְהוָה תַּחַת כָּל־ בְּכֹר
そして-取れ わたしに レビ人を わたしは 主である 代わりに すべての 長子の
H3947 H0589 H3881 H3068 H8478 H3605 H1060

מִבְּנֵי יִשְׂרָאֵל וְאֶת־ בְּהֵמַת הַלְוִיִּם תַּחַת כָּל־ בְּכוֹר בִּבְהֵמָת
子らの-中の イスラエルの また 家畜を レビ人の 代わりに すべての 長子の 家畜の-中の
H1060 H3478 H0853 H0929 H3881 H8478 H3605 H1060 H0929

בְּנֵי יִשְׂרָאֵל׃
子らの イスラエルの
H3478

また主なるわたしのために、イスラエルの人々のうちの、すべてのういごの代りにレビびとを取り、またイスラエルの人々の家畜のうちの、すべてのういごの代りに、レビびとの家畜を取りなさい」。

42 וַיִּפְקֹד מֹשֶׁה כַּאֲשֶׁר צִוָּה יְהוָה אֹתוֹ אֶת־ כָּל־ בְּכֹר בִּבְנֵי
主が 命じた 主が モーセは そして-数えた 彼に ～を すべての 長子を 子らの-中の
H3068 H6680 H4872 H0853 H0853 H3605 H1060

יִשְׂרָאֵל׃
イスラエルの
H3478

そこでモーセは主の命じられたように、イスラエルの人々のうちの、すべてのういごを数えた。

43 וַיִּהְיוּ כָּל־ בְּכוֹר זָכָר בְּמִסְפַּר שֵׁמוֹת מִבֶּן־ חֹדֶשׁ וָמָעְלָה
そして-いた すべての 長子は 男子の 数-によると 名の ～から 月 以上は
H1961 H3605 H1060 H2145 H4557 H8034 H2320 H4605

לִפְקֻדֵיהֶם שְׁנַיִם וְעֶשְׂרִים אֶלֶף שְׁלֹשָׁה וְשִׁבְעִים וּמָאתָיִם׃ פ
その-登録-された-者は 二 と-二十 千 三 と-七十 と-二百 ー
H8147 H6242 H0505 H7969 H7657 H3967

その数えられたういごの男子、すべて一か月以上の者は、その名の数によると二万二千二百七十三人であった。

44 וַיְדַבֵּר יְהוָה אֶל־ מֹשֶׁה לֵאמֹר׃
そして-語られた 主は ～に モーセに 言って
H1696 H3068 H0413 H4872 H0559

主はモーセに言われた、

45 קַח אֶת־ הַלְוִיִּם תַּחַת כָּל־ בְּכוֹר בִּבְנֵי יִשְׂרָאֵל וְאֶת־ בְּהֵמַת
取れ ～を レビ人を 代わりに すべての 長子の 子らの-中の イスラエルの また 家畜を
H3947 H0853 H3881 H8478 H3605 H1060 H3478 H0853 H0929

הַלְוִיִּם לִי וְהָיוּ־ בְּהֵמְתָם תַּחַת בְּכוֹר בִּבְנֵי יִשְׂרָאֵל אֲנִי יְהוָה׃
レビ人の 代わりに 彼らの-家畜の そして-なる わたしの-ものに レビ人は わたしは 主である
H3881 H8478 H0929 H1961 H3881 H0589 H3068

「あなたはイスラエルの人々のうちの、すべてのういごの代りに、レビびとを取り、また彼らの家畜の代りに、レビびとの家畜を取りなさい。レビびとはわたしのものとなる。わたしは主である。

46 וְאֶת־ 並び H0853 / פְּדוּיֵי 贖い-の H6302 / הַשְּׁלֹשָׁה 三の H7969 / וְהַמָּאתַיִם と-二百の H3967 / וְהַשִּׁבְעִים と-七十の H7657 / הָעֹדְפִים 余った H5736 / עַל־ ～より H5725 / הַלְוִיִּם レビ人より H3881 / מִבְּכוֹר 長子の-中から H1060
בְּנֵי 子らの H1121 / יִשְׂרָאֵל׃ イスラエルの H3478

またイスラエルの人々のういごは、レビびとの数を二百七十三人超過しているから、そのあがないのために、

47 וְלָקַחְתָּ そして-取れ H3947 / חֲמֵשֶׁת 五 H2568 / חֲמֵשֶׁת 五 H2568 / שְׁקָלִים シェケルを H8255 / לַגֻּלְגֹּלֶת 一人-ごとに H1538 / בְּשֶׁקֶל シェケルで H8255 / הַקֹּדֶשׁ 聖所の H6944 / תִּקַּח 取れ H3947 / עֶשְׂרִים 二十 H6242 / גֵּרָה ゲラが H1626
הַשֶּׁקֶל׃ ―シェケル H8255

そのあたまかずによって、ひとりごとに銀五シケルを取らなければならない。すなわち、聖所のシケルにしたがって、それを取らなければならない。一シケルは二十ゲラである。

48 וְנָתַתָּה そして-与えよ H5414 / הַכֶּסֶף 銀を H3701 / לְאַהֲרֹן アロンに H0175 / וּלְבָנָיו その-子らに H1121 / פִּדוּיֵי 贖い-の H6302 / הָעֹדְפִים 余った-者たちの H5736 / בָּהֶם׃ 彼らの-中の H1992

あなたは、その超過した者をあがなう金を、アロンと、その子たちに渡さなければならない」。

49 וַיִּקַּח そして-取った H3947 / מֹשֶׁה モーセは H4872 / אֶת 〜を H0853 / כֶּסֶף 銀を H3701 / הַפִּדְיֹם 贖い-の H6302 / מֵאֵת 〜から H0854 / הָעֹדְפִים 余った-者たちから H5736 / עַל 〜の H5921 / פִּדוּיֵי 贖い-の H6302
הַלְוִיִּם׃ レビ人の H3881

そこでモーセは、レビびとによってあがなわれた者を超過した人々から、あがないの金を取った。

50 מֵאֵת 〜から H0854 / בְּכוֹר 長子の H1060 / בְּנֵי 子らの H1121 / יִשְׂרָאֵל イスラエルの H3478 / לָקַח 取った H3947 / אֶת־ 〜を H0853 / הַכֶּסֶף 銀を H3701 / חֲמִשָּׁה 五 H2568 / וְשִׁשִּׁים と-六十 H8346 / וּשְׁלֹשׁ と-三 H7969 / מֵאוֹת 百 H3967
הַקֹּדֶשׁ׃ 聖所の H6944 / בְּשֶׁקֶל シェケルで H8255 / וָאֶלֶף と-千 H0505

すなわち、モーセは、イスラエルの人々のういごから、聖所のシケルにしたがって千三百六十五シケルの銀を取り、

51 וַיִּתֵּן そして-与えた H5414 / מֹשֶׁה モーセは H4872 / אֶת־ 〜を H0853 / כֶּסֶף 銀を H3701 / הַפִּדְיֹם 贖い-の H6302 / לְאַהֲרֹן アロンに H0175 / וּלְבָנָיו その-子らに H1121 / עַל־ 〜の-とおりに H5921 / פִּי 口の H6310
פ ―
מֹשֶׁה׃ モーセに H4872 / אֶת־ 〜に H0853 / יְהוָה 主が H3068 / צִוָּה 命じた H6680 / כַּאֲשֶׁר 主が H3068 / יְהוָה 主の H3068

Chapter 4

1 וַיְדַבֵּר יְהוָה אֶל־מֹשֶׁה וְאֶל־אַהֲרֹן לֵאמֹר׃
そして–語られた 主は ～に モーセに また–～に アロンに 言って
H1696 H3068 H0413 H4872 H0413 H0175 H0559

主はまたモーセとアロンに言われた、

2 נְשֹׂא אֶת־רֹאשׁ בְּנֵי קְהָת מִתּוֹךְ בְּנֵי לֵוִי לְמִשְׁפְּחֹתָם לְבֵית
数えよ ～を 頭数を 子らの ケハトの 中から 子らの レビの 氏族–ごとに 家–ごとに
H5375 H0853 H7218 H1121 H6955 H8432 H1121 H3878 H4940 H1004

אֲבֹתָם׃
父たちの
H0001

「レビの子たちのうちから、コハテの子たちの総数を、その氏族により、その父祖の家にしたがって調べ、

3 מִבֶּן שְׁלֹשִׁים שָׁנָה וָמַעְלָה וְעַד בֶּן־חֲמִשִּׁים שָׁנָה כָּל־בָּא לַצָּבָא
～から 三十 歳 以上 そして～まで ～の 五十 歳の すべて 入る–者で 務めに
H7970 H8141 H4605 H5704 H1121 H2572 H8141 H3605 H0935 H6635

לַעֲשׂוֹת מְלָאכָה בְּאֹהֶל מוֹעֵד׃
行う–ために 仕事を 天幕の–中で 会見の
H6213 H4399 H0168 H4150

三十歳以上五十歳以下で、務につき、会見の幕屋で働くことのできる者を、ことごとく数えなさい。

4 זֹאת עֲבֹדַת בְּנֵי־קְהָת בְּאֹהֶל מוֹעֵד קֹדֶשׁ הַקָּדָשִׁים׃
これが 務めである 子らの ケハトの 天幕の–中で 会見の 聖なる 至聖の
H2063 H5656 H1121 H6955 H0168 H4150 H6944 H6944

コハテの子たちの、会見の幕屋の務は、いと聖なる物にかかわるものであって、次のとおりである。

5 וּבָא אַהֲרֹן וּבָנָיו בִּנְסַע הַמַּחֲנֶה וְהוֹרִדוּ אֵת פָּרֹכֶת
そして–入る アロンと その–子らが 移動–する–とき 陣営が そして–取り降ろす ～を 幕を
H0935 H0175 H1121 H5265 H4264 H3381 H0853 H6532

הָעֵדֻת׃ אֲרֹן אֶת בָּהּ וְכִסּוּ הַמָּסָךְ
あかしの 箱を ～を それで そして–覆う 仕切りの
H5715 H0727 H0853 H0996 H3680 H4539

すなわち、宿営の進む時に、アロンとその子たちとは、まず、はいって、隔ての垂幕を取りおろし、それをもって、あかしの箱をおおい、

6 וְנָתְנוּ עָלָיו כְּסוּי עֹרֹת תָּחַשׁ וּפָרְשׂוּ בֶגֶד־כְּלִיל תְּכֵלֶת
そして–置く その–上に 覆いを 皮の タハシュの 広げる そして– 布を 全体の 青の
H5414 H5921 H3681 H5785 H8476 H6566 H0899 H3632 H8504

מִלְמָעְלָה וְשָׂמוּ בַדָּיו׃
上に そして–差す その–棒を
H4605 H7760 H0905

その上に、じゅごんの皮のおおいを施し、またその上に総青色の布をうちかけ、環にさおをさし入れる。

7

וְעַל שֻׁלְחַן הַפָּנִים יִפְרְשׂוּ בֶּגֶד תְּכֵלֶת וְנָתְנוּ עָלָיו אֶת־
そして–〜の–上に 机の 供えの–パンの 広げる 青の 布を そして–置く 〜を
H7979 H6440 H6566 H8504 H5414 H0853

הַקְּעָרֹת וְאֶת־הַכַּפֹּת וְאֶת־הַמְנַקִּית הַנָּסֶךְ וְלֶחֶם הַתָּמִיד
また 皿と また ひしゃくと また 杯と 注ぎの そして–パンは 常の
H0853 H7086 H0853 H3709 H0853 H4518 H5262 H3899 H8548

עָלָיו יִהְיֶה׃
その–上に ある
H1961

また供えのパンの机の上には、青色の布をうちかけ、その上に、さら、乳香を盛る杯、鉢、および灌祭の瓶を並べ、また絶やさず供えるパンを置き、

8

וּפָרְשׂוּ עֲלֵיהֶם בֶּגֶד תּוֹלַעַת שָׁנִי וְכִסּוּ אֹתוֹ בְּמִכְסֵה עוֹר
そして–広げる その–上に 布を 緑虫の 紅の そして–覆う それを 覆いで 皮の
H6566 H8144 H3680 H4372 H5785

תָּחַשׁ וְשָׂמוּ אֶת־בַּדָּיו׃
タハシュの そして–差す 〜を その–棒を
H8476 H0853 H0905

緋色の布をその上にうちかけ、じゅごんの皮のおおいをもって、これをおおい、さおをさし入れる。

9

וְלָקְחוּ בֶּגֶד תְּכֵלֶת וְכִסּוּ אֶת־מְנֹרַת הַמָּאוֹר וְאֶת־נֵרֹתֶיהָ וְאֶת־
そして–取る 布を 青の そして–覆う 〜を 燭台を 光の また その–灯と また
H3947 H0853 H8504 H3680 H0853 H4501 H3974 H0853 H5216

מַלְקְחֹתֶיהָ וְאֶת־כָּל־כְּלֵי שַׁמְנָהּ אֲשֶׁר יְשָׁרְתוּ־לָהּ׃
その–芯切りと また その–火皿と また すべての 器具を 油の ところの 仕える それに
H4457 H0853 H4289 H0853 H3605 H3627 H8081 H0834 H8334 H0834

בָּהֶם׃
それらで

また青色の布を取って、燭台とそのともし火ざら、芯切りばさみ、芯取りざら、およびそれに用いるもろもろの油の器をおおい、

10

וְנָתְנוּ אֹתָהּ וְאֶת־כָּל־כֵּלֶיהָ אֶל־מִכְסֵה עוֹר תָּחַשׁ וְנָתְנוּ עַל־
そして–置く それを また すべての その–器具を 〜の–中に 覆いの 皮の タハシュの 〜の–上に
H5414 H0853 H0853 H3605 H3627 H0413 H4372 H5785 H8476 H5921

הַמּוֹט׃
担ぎ–棒の
H4132

じゅごんの皮のおおいのうちに、燭台とそのもろもろの器をいれて、担架に載せる。

11

וְעַל מִזְבַּח הַזָּהָב יִפְרְשׂוּ בֶּגֶד תְּכֵלֶת וְכִסּוּ אֹתוֹ בְּמִכְסֵה עוֹר
そして–〜の–上に 祭壇の 金の 広げる 布を 青の そして–覆う それを 覆いで 皮の
H5785 H4372 H0853 H3680 H8504 H6566 H2091 H4196

וְשָׂמוּ אֶת־בַּדָּיו׃
そして–差す 〜を その–棒を
H8476 H0853 H0905

また、金の祭壇の上に青色の布をうちかけ、じゅごんの皮のおおいで、これをおおい、そのさおをさし入れる。

12 וְלָקְחוּ֙ אֶת־כָּל־כְּלֵ֣י הַשָּׁרֵ֔ת אֲשֶׁ֥ר יְשָׁרְתוּ־בָ֖ם בַּקֹּ֑דֶשׁ

וְלָקְחוּ֙ (H3947) そして–取る / אֶת־ (H0853) ～を / כָּל־ (H3605) すべての / כְּלֵ֣י (H3627) 器具を / הַשָּׁרֵ֔ת (H8335) 務めの / אֲשֶׁ֥ר (H0834) ところの / יְשָׁרְתוּ־ (H8334) 仕える / בָ֖ם (H0996) それらで / בַּקֹּ֑דֶשׁ (H6944) 聖所の–中で

וְנָתְנ֗וּ (H5414) そして–置く / אֶל־ (H0413) ～の–中に / בֶּ֙גֶד֙ (H0899) 布の / תְּכֵ֣לֶת (H8504) 青の / וְכִסּ֥וּ (H3680) そして–覆う / אוֹתָ֖ם (H0853) それらを / בְּמִכְסֵ֣ה (H4372) 覆いで / עֹ֣ור (H5785) 皮の / תָּ֑חַשׁ (H8476) タハシュの

וְנָתְנ֖וּ (H5414) そして–置く / עַל־ (H5921) ～の–上に / הַמּֽוֹט׃ (H4132) 担ぎ–棒の

また聖所の務に用いる務の器をみな取り、青色の布に包み、じゅごんの皮のおおいで、これをおおって、担架に載せる。

13 וְדִשְּׁנ֖וּ אֶת־הַמִּזְבֵּ֑חַ וּפָרְשׂ֥וּ עָלָ֛יו בֶּ֥גֶד אַרְגָּמָֽן׃

וְדִשְּׁנ֖וּ (H1878) そして–取り除く / אֶת־ (H0853) ～を / הַמִּזְבֵּ֑חַ (H4196) 祭壇の–灰を / וּפָרְשׂ֥וּ (H6566) そして–広げる / עָלָ֛יו (H5921) その–上に / בֶּ֥גֶד (H0899) 布を / אַרְגָּמָֽן׃ (H0713) 紫の

また祭壇の灰を取り去って、紫の布をその祭壇の上にうちかけ、

14 וְנָתְנ֣וּ עָלָ֗יו אֶת־כָּל־כֵּלָיו֙ אֲשֶׁ֣ר יְשָׁרְתוּ־בָ֣ם עֲלֵיהֶ֔ם אֶת־הַמִּזְבֵּ֖חַ כְּלֵ֣י הַמִּזְבֵּ֑חַ

וְנָתְנ֣וּ (H5414) そして–置く / עָלָ֗יו (H5921) その–上に / אֶת־ (H0853) ～を / כָּל־ (H3605) すべての / כֵּלָיו֙ (H3627) 器具を / אֲשֶׁ֣ר (H0834) ところの / יְשָׁרְתוּ־ (H8334) 仕える / בָ֣ם (H0996) それらで / עֲלֵיהֶ֔ם (H5921) その–上で / אֶת־ (H0853) ～を / הַמִּזְבֵּ֖חַ (H4196) 祭壇の / כְּלֵ֣י (H3627) 器具で / הַמִּזְבֵּ֑חַ (H4196) 祭壇の

כָּל֙ (H3605) すべての / מִכְסֵ֣ה (H4372) 鉢を / תַּחַ֔שׁ (H8476) また / וְאֶת־ (H0853) シャベルと / הַיָּעִ֖ים (H3257) また / וְאֶת־ (H0853) 肉–叉と / הַמִּזְלָגֹ֑ת (H4207) ～を / וְאֶת־ (H0853) 火皿と / הַמִּזְרָקֹ֣ת (H4219)

וְשִׁמְּ֖וּ (H7760) そして–差す / בַּדָּ֑יו׃ (H0905) その–棒を / תַּחַ֔שׁ (H8476) タハシュの / עֹ֣ור (H5785) 皮の / כִּסּ֥וּי (H3681) 覆いを / עָלָ֛יו (H5921) その–上に / וּפָרְשׂ֥וּ (H6566) そして–広げる

その上に、務をするのに用いるもろもろの器、すなわち、火ざら、肉さし、十能、鉢、および祭壇のすべての器を載せ、またその上に、じゅごんの皮のおおいをうちかけ、そしてさおをさし入れる。

15 וְכִלָּ֣ה אַהֲרֹ֣ן וּבָנָ֗יו֙ לְכַסֹּ֣ת אֶת־הַקֹּ֣דֶשׁ וְאֶת־כָּל־כְּלֵ֣י הַקֹּ֔דֶשׁ בִּנְסַ֥ע הַֽמַּחֲנֶ֖ה וְאַחֲרֵי־כֵ֑ן יָבֹ֣אוּ בְנֵי־קְהָ֗ת לָשֵׂ֙את֙ וְלֹ֣א יִגְּע֔וּ אֶל־קֹ֖דֶשׁ וָמֵ֑תוּ אֵ֚לֶּה מַשָּׂ֣א בְנֵי־קְהָ֔ת בְּאֹ֖הֶל מֹועֵֽד׃

וְכִלָּ֣ה (H3615) そして–終える / אַהֲרֹ֣ן (H0175) アロンと / וּבָנָ֗יו֙ (H1121) その–子らが / לְכַסֹּ֣ת (H3680) 覆う–ことを / אֶת־ (H0853) ～を / הַקֹּ֣דֶשׁ (H6944) 聖所と / וְאֶת־ (H0853) また / כָּל־ (H3605) すべての / כְּלֵ֣י (H3627) 器具を / הַקֹּ֔דֶשׁ (H6944) 聖所の

בִּנְסַ֥ע (H5265) 移動–する–とき / הַֽמַּחֲנֶ֖ה (H4264) 陣営が / וְאַחֲרֵי־ (H0310) その–後に / כֵ֑ן (H3651) それから / יָבֹ֣אוּ (H0935) 来る / בְנֵי־ (H1121) 子らが / קְהָ֗ת (H6955) ケハトの / לָשֵׂ֙את֙ (H5375) 運ぶ–ために

וְלֹ֣א (H3808) しかし–ない / יִגְּע֔וּ (H5060) 触れては–ならない / אֶל־ (H0413) ～に / קֹ֖דֶשׁ (H6944) 聖なる–ものに / וָמֵ֑תוּ (H4191) そうすれば–死ぬ / אֵ֚לֶּה (H0428) これらが / מַשָּׂ֣א (H4853) 荷である / בְנֵי־ (H1121) 子らの

בְּאֹ֖הֶל (H0168) 天幕の–中の / מֹועֵֽד׃ (H4150) 会見の / קְהָ֗ת (H6955) ケハトの

宿営の進むとき、アロンとその子たちとが、聖所と聖所のすべての器をおおうことを終ったならば、その後コハテの子たちは、それを運ぶために、はいってこなければならない。しかし、彼らは聖なる物に触れてはならない。触れると死ぬであろう。会見の幕屋のうちの、これらの物は、コハテの子たちが運ぶものである。

16 וּפְקֻדַּ֗ת אֶלְעָזָר֙ בֶּן־אַהֲרֹ֣ן הַכֹּהֵ֔ן שֶׁ֖מֶן הַמָּא֑וֹר וּקְטֹ֣רֶת הַסַּמִּ֗ים
そして-監督は エルアザル 子 アロンの 祭司の 油と 光の 香と 芳香の
H6486 H0499 H0175 H3548 H8081 H3974 H7004 H5561

וּמִנְחַ֤ת הַתָּמִיד֙ וְשֶׁ֣מֶן הַמִּשְׁחָ֔ה פְּקֻדַּ֖ת כָּל־הַמִּשְׁכָּ֣ן וְכָל־
また-穀物の-供え物と 常の そして-油と 注ぎの 監督で すべての 幕屋と すべての
H4503 H8548 H8081 H4503 H6486 H3605 H4908 H3605

אֲשֶׁר־ בּ֥וֹ וּבְכֵלָ֖יו בְּקֹ֣דֶשׁ׃ ס
それに その-器具の 聖所の-中の ～に-属する —
H6944 H3627

祭司アロンの子エレアザルは、ともし油、香ばしい薫香、絶やさず供える素祭および注ぎ油をつかさどり、また幕屋の全体と、そのうちにあるすべての聖なる物、およびその所のもろもろの器をつかさどらなければならない」。

17 וַיְדַבֵּ֥ר יְהוָ֖ה אֶל־מֹשֶׁ֥ה וְאֶל־אַהֲרֹ֖ן לֵאמֹֽר׃
そして-語られた 主は ～に モーセに また-～に アロンに 言って
H1696 H3068 H0413 H4872 H0413 H0175 H0559

主はまた、モーセとアロンに言われた、

18 אַל־ תַּכְרִ֔יתוּ מִתּ֖וֹךְ הַקְּהָתִ֑י מִשְּׁפְחֹ֣ת שֵׁ֔בֶט אֶת־ תַּכְרִ֔יתוּ אַל־
ない 断っては-ならない ～を 部族を 氏族の ケハト族の 中から レビ人の
H0408 H3772 H0853 H7626 H4940 H6956 H8432 H3881

「あなたがたはコハテびとの一族を、レビびとのうちから絶えさせてはならない。

19 וְחָיוּ֙ וְלֹ֣א יָמֻ֔תוּ בְּגִשְׁתָּ֖ם אֶת־ קֹ֥דֶשׁ הַקֳּדָשִׁ֑ים וְזֹ֣את עֲשׂ֤וּ לָהֶם֙
そうすれば-生きる そして-ない 死ぬ 近づく-とき ～に 聖なる 至聖の-ものに そして-これを 行え 彼らに
H2421 H3808 H4191 H5066 H0853 H6944 H6944 H2063 H6213 H1992

וּבָנָ֖יו וּבָ֣אוּ אַהֲרֹ֑ן עַל־ אִ֣ישׁ אִ֔ישׁ אוֹתָ֖ם וְשָׂמ֥וּ
その-子らが 入る アロンと ～の-上に それぞれ 各自を 彼らを そして-置く
H1121 H0935 H0175 H0376 H0376 H0853 H7760

מַשָּׂאֽוֹ׃ וְאֶל־ עֲבֹדָתֽוֹ׃
その-荷に また-～の-上に その-務めに
H4853 H0413 H5656

彼らがいと聖なる物に近づく時、死なないで、命を保つために、このようにしなさい、すなわち、アロンとその子たちが、まず、はいり、彼らをおのおのその働きにつかせ、そのになうべきものを取らせなさい。

20 וְלֹא־ יָבֹ֣אוּ לִרְאוֹת֙ כִּבְלַ֣ע הַקֹּ֔דֶשׁ אֶת־ וְלֹ֥א יָמֻֽתוּ׃
そして-ない 入っては-ならない 見る-ために 一瞬でも 聖なる-ものを ～を そうすれば-死ぬ
H3808 H0935 H7200 H1104 H6944 H0853 H4191

פ
—

しかし、彼らは、はいって、ひと目でも聖なる物を見てはならない。見るならば死ぬであろう」。

21 וַיְדַבֵּ֥ר יְהוָ֖ה אֶל־מֹשֶׁ֥ה לֵאמֹֽר׃
そして-語られた 主は ～に モーセに 言って
H1696 H3068 H0413 H4872 H0559

主はまたモーセに言われた、

22 נְשָׂ֗א אֶת־ רֹ֚אשׁ בְּנֵ֣י גֵרְשׁ֔וֹן גַּם־ הֵ֑ם לְבֵ֣ית אֲבֹתָ֔ם לְמִשְׁפְּחֹתָ֖ם׃
数えよ ～を 頭数を 子らの ゲルションの もまた 彼らも 家-ごとに 父たちの 氏族-ごとに
H5375 H0853 H7218 H1121 H1648 H1571 H1992 H1004 H0001 H4940

「あなたはまたゲルションの子たちの総数を、その父祖の家により、その氏族にしたがって調べ、

23 מִבֶּן שְׁלֹשִׁים שָׁנָה וָמַעְלָה עַד־בֶּן חֲמִשִּׁים שָׁנָה תִּפְקֹד אוֹתָם כָּל־
～から 三十 歳 以上 ～まで 五十 歳の 数えよ 彼らを すべて
H7970 H8141 H4605 H5704 H2572 H8141 H6485 H853 H3605

הַבָּא לַצָּבָא לַעֲבֹד עֲבֹדָה בְּאֹהֶל מוֹעֵד׃
入る–者で 務めに–就く 仕える–ために 務めを 天幕の–中で 会見の
H0935 H6633 H5647 H5656 H0168 H4150

三十歳以上五十歳以下で、務につき、会見の幕屋で働くことのできる者を、ことごとく数えなさい。

24 וְלַמַּשָּׂא׃ לַעֲבֹד הַגֵּרְשֻׁנִּי מִשְׁפְּחֹת עֲבֹדַת זֹאת
また–運ぶ–ために 仕える–ために ゲルション族の 氏族の 務めである これが
H5647 H1649 H4940 H5656 H2063

ゲルションびとの氏族の務として働くことと、運ぶ物とは次のとおりである。

25 וְנָשְׂאוּ אֶת־ יְרִיעֹת הַמִּשְׁכָּן וְאֶת־ מוֹעֵד אֹהֶל מִכְסֵהוּ וּמִכְסֵה הַתָּחַשׁ
そして–運ぶ ～を 幕を 幕屋の また 会見の 天幕を その–覆いと 覆いと タハシュの
H5375 H0853 H3407 H4908 H0853 H4150 H0168 H4372 H4372 H8476

מוֹעֵד׃ אֹהֶל פֶּתַח מָסַךְ וְאֶת־ מִלְמָעְלָה עָלָיו אֲשֶׁר־
会見の 天幕の 入口の 幕と また 上の その–上の ところの
H4150 H0168 H6607 H4539 H0853 H4605

すなわち、彼らは幕屋の幕、会見の幕屋およびそのおおいと、その上のじゅごんの皮のおおい、ならびに会見の幕屋の入口のとばりを運び、

26 וְאֶת קַלְעֵי הֶחָצֵר וְאֶת־ מָסַךְ פֶּתַח שַׁעַר הֶחָצֵר אֲשֶׁר עַל־
また 掛け幕と 庭の 入口の 門の 庭の ところの ～の–周りの
H0853 H7050 H6607 H4539 H0853 H8179 H2691 H834 H5921

הַמִּשְׁכָּן וְעַל הַמִּזְבֵּחַ סָבִיב וְאֶת מֵיתְרֵיהֶם וְאֶת כָּל־ כְּלֵי וְאֶת כָּל־
また 祭壇の 周りの また その–綱と また 器具を すべての その–務めの すべての
H0853 H4196 H5439 H0853 H4340 H0853 H3627 H0853 H5656 H3605

עֲבֹדָתָם וְעָבָדוּ׃ לָהֶם יֵעָשֶׂה אֲשֶׁר
そして–仕える 彼らに なされる ところの
H5647

また庭のあげばり、および幕屋と祭壇のまわりの庭の門の入口のとばりと、そのひも、ならびにそれに用いるすべての器を運ばなければならない。そして彼らはすべてこれらのものについての働きをしなければならない。

27 עַל־ פִּי אַהֲרֹן וּבָנָיו תִּהְיֶה עֲבֹדַת כָּל־ בְּנֵי
～の–とおりに 口の アロンと その–子らの あるべきだ 務めは すべての 子らの
H6310 H0175 H1961 H5656 H3605

הַגֵּרְשֻׁנִּי לְכָל־ מַשָּׂאָם וּלְכָל עֲבֹדָתָם וּפִקַּדְתֶּם עֲלֵהֶם בְּמִשְׁמֶרֶת
ゲルション族の すべての その–荷の すべての 務めの そして–任命せよ 彼らに 務めとして
H1649 H3605 H4853 H3605 H5656 H6485 H5921 H4931

מַשָּׂאָם׃ כָּל־ אֶת
その–荷を すべての ～を
H3605 H0853

ゲルションびとの子たちのすべての務、すなわち、その運ぶことと、働くこととは、すべてアロンとその子たちの命に従わなければならない。あなたがたは彼らにすべてその運ぶべき物を定めて、これを守らせなければならない。

28 זֹאת עֲבֹדַת מִשְׁפְּחֹת בְּנֵי הַגֵּרְשֻׁנִּי בְּאֹהֶל מוֹעֵד וּמִשְׁמַרְתָּם
これが 務めである 氏族の 子らの ゲルション族の 天幕の-中の 会見の その-務めは
H2063 H5656 H4940 H1649 H0168 H4150 H4931

פ בְּיַד אִיתָמָר בֶּן־אַהֲרֹן הַכֹּהֵן׃
— 手の-もとに イタマルの 子の アロンの 祭司の
H3027 H0385 H0175 H3548

これはすなわちゲルションびとの子たちの氏族が、会見の幕屋でする働きであって、彼らの務は祭司アロンの子イタマルの指揮のもとにおかなければならない。

29 בְּנֵי מְרָרִי לְמִשְׁפְּחֹתָם לְבֵית־אֲבֹתָם תִּפְקֹד אֹתָם׃
子らを メラリの 氏族-ごとに 家-ごとに 父たちの 数えよ 彼らを
H0853 H4847 H4940 H0001 H6485

メラリの子たちをもまたあなたはその氏族により、その祖父の家にしたがって調べ、

30 מִבֶּן שְׁלֹשִׁים שָׁנָה וָמַעְלָה וְעַד בֶּן־חֲמִשִּׁים שָׁנָה כָּל־הַבָּא
〜から 三十 歳 以上 〜まで 〜の 五十 歳の すべて 入る-者で
H4480 H7970 H8141 H4605 H5704 H1121 H2572 H8141 H3605 H0935

לַעֲבֹד אֶת־עֲבֹדַת אֹהֶל מוֹעֵד׃
務めに 仕える-ために 〜を 務めを 天幕の 会見の
H5647 H0853 H5656 H0168 H4150

三十歳以上五十歳以下で、務につき、会見の幕屋の働きをすることのできる者を、ことごとく数えなさい。

31 וְזֹאת מִשְׁמֶרֶת מַשָּׂאָם לְכָל־עֲבֹדָתָם בְּאֹהֶל מוֹעֵד קַרְשֵׁי הַמִּשְׁכָּן
そして-これが 務めである その-荷の すべての その-務めの 天幕の-中の 会見の 板と 幕屋の
H2063 H4931 H4853 H3605 H5656 H0168 H4150 H7175 H4908

וּבְרִיחָיו וְעַמּוּדָיו וַאֲדָנָיו׃
横木と 柱と 台座と
H1280 H5982 H0134

彼らが会見の幕屋でするすべての務にしたがって、その運ぶ責任のある物は次のとおりである。すなわち、幕屋の枠、その横木、その柱、その座、

32 וְעַמּוּדֵי הֶחָצֵר סָבִיב וְאַדְנֵיהֶם וְיִתְדֹתָם וּמֵיתְרֵיהֶם לְכָל־כְּלֵיהֶם וְלִכְלָל
そして-柱と 庭の 周りの その-台座と その-杭と その-綱と すべての その-器具と すべての
H5982 H2691 H5439 H0134 H3489 H4340 H3605 H3627 H3605

עֲבֹדָתָם כְּלֵי אֲשֶׁר־תִּפְקְדוּ בִּשְׁמֹת אֶת־כְּלֵי מַשָּׂאָם׃
その-務めの 器具を 任命せよ 〜を 名-によって 務めの その-荷の
H5656 H3627 H6485 H0853 H8034 H4931 H4853

庭のまわりの柱、その座、その釘、そのひも、またそのすべての器、およびそれに用いるすべてのものである。あなたがたは彼らが運ぶ責任のある器を、その名によって割り当てなければならない。

33 זֹאת עֲבֹדַת מִשְׁפְּחֹת בְּנֵי מְרָרִי לְכָל־עֲבֹדָתָם בְּאֹהֶל מוֹעֵד
これが 務めである 氏族の 子らの メラリの すべての その-務めの 天幕の-中の 会見の
H2063 H5656 H4940 H1121 H4847 H3605 H5656 H0168 H4150

בְּיַד אִיתָמָר בֶּן־אַהֲרֹן הַכֹּהֵן׃
手の-もとに イタマルの 子の アロンの 祭司の
H3027 H0385 H1121 H0175 H3548

これはすなわちメラリの子たちの氏族の働きであって、彼らは祭司アロンの子イタマルの指揮のもとに、会見の幕屋で、このすべての働きをしなければならない」。

34 וַיִּפְקֹ֣ד מֹשֶׁ֗ה וְאַהֲרֹן֙ וּנְשִׂיאֵ֣י הָעֵדָ֔ה אֶת־בְּנֵ֥י הַקְּהָתִ֖י לְמִשְׁפְּחֹתָ֑ם
וַיִּפְקֹד｜そして-数えた　מֹשֶׁה｜モーセと　וְאַהֲרֹן｜アロンと　וּנְשִׂיאֵי｜長たちが　הָעֵדָה｜会衆の　אֶת־｜～を　בְּנֵי｜子らを　הַקְּהָתִי｜ケハト族の　לְמִשְׁפְּחֹתָם｜氏族-ごとに
H4940 H6956 H0853 H5712 H0175 H4872

וּלְבֵ֖ית אֲבֹתָֽם׃
וּלְבֵית｜家-ごとに　אֲבֹתָם׃｜父たちの
H0001

そこでモーセとアロン、および会衆のつかさたちは、コハテの子たちをその氏族により、その父祖の家にしたがって調べ、

35 מִבֶּ֣ן שְׁלֹשִׁ֗ים שָׁנָה֙ וְעַ֣ד בֶּן־חֲמִשִּׁ֣ים שָׁנָ֔ה כָּל־הַבָּ֖א לַצָּבָ֑א
מִבֶּן｜～から　שְׁלֹשִׁים｜三十　שָׁנָה｜歳　וְעַד｜～まで　בֶּן־｜～の　חֲמִשִּׁים｜五十　שָׁנָה｜歳の　כָּל־｜すべて　הַבָּא｜入る-者で　לַצָּבָא｜務めに
H4605 H8141 H7970 H5704 H2572 H8141 H3605 H0935

לַעֲבֹדָ֖ה בְּאֹ֥הֶל מוֹעֵֽד׃
לַעֲבֹדָה｜務めの-ために　בְּאֹהֶל｜天幕の-中の　מוֹעֵד׃｜会見の
H5656 H0168 H4150

三十歳以上五十歳以下で、務につき、会見の幕屋で働くことのできる者を、ことごとく数えたが、

36 וַיִּהְיוּ֙ פְּקֻדֵיהֶ֔ם לְמִשְׁפְּחֹתָ֑ם אַלְפַּ֤יִם חֲמֵ֙שׁ֙ מֵא֣וֹת שְׁבָ֔ע וַחֲמִשִּׁ֖ים׃
וַיִּהְיוּ｜そして-いた　פְּקֻדֵיהֶם｜その-登録-された-者は　לְמִשְׁפְּחֹתָם｜氏族-ごとに　אַלְפַּיִם｜二千　חֲמֵשׁ｜七　מֵאוֹת｜百　וַחֲמִשִּׁים׃｜と-五十
H1961 H4940 H0505 H7651 H3967 H2572

その氏族にしたがって数えられた者は二千七百五十人であった。

37 אֵ֚לֶּה פְּקוּדֵ֣י מִשְׁפַּ֣חַת הַקְּהָתִ֔י כָּל־הָעֹבֵ֖ד מוֹעֵ֑ד
אֵלֶּה｜これらが　פְּקוּדֵי｜登録-された-者で　מִשְׁפַּחַת｜氏族の　הַקְּהָתִי｜ケハト族の　כָּל־｜すべて　הָעֹבֵד｜仕える-者で　מוֹעֵד｜会見の
H0428 H6956 H4940 H5647 H3605 H0168 H4150

ס אֲשֶׁ֣ר פָּקַ֔ד מֹשֶׁ֥ה וְאַהֲרֹ֖ן עַל־פִּ֣י יְהוָ֔ה בְּיַד־מֹשֶׁ֖ה׃
אֲשֶׁר｜ところの　פָּקַד｜数えた　מֹשֶׁה｜モーセと　וְאַהֲרֹן｜アロンが　עַל־｜～の-とおりに　פִּי｜口の　יְהוָה｜主の　בְּיַד־｜手-によって　מֹשֶׁה׃｜モーセの
H4872 H4872 H0175 H6310 H3068 H3027 H4872

これはすなわち、コハテびとの氏族の数えられた者で、すべて会見の幕屋で働くことのできる者であった。モーセとアロンが、主のモーセによって命じられたところにしたがって数えたのである。

38 וּפְקוּדֵ֣י בְנֵי־גֵרְשׁ֗וֹן לְמִשְׁפְּחֹתָם֙ וּלְבֵ֣ית אֲבֹתָֽם׃
וּפְקוּדֵי｜そして-登録-された-者は　בְנֵי｜子らの　גֵרְשׁוֹן｜ゲルションの　לְמִשְׁפְּחֹתָם｜氏族-ごとに　וּלְבֵית｜家-ごとに　אֲבֹתָם׃｜父たちの
H4940 H1648 H0001

またゲルションの子たちを、その氏族により、その父祖の家にしたがって調べ、

39 מִבֶּ֣ן שְׁלֹשִׁ֗ים שָׁנָה֙ וְעַ֣ד בֶּן־חֲמִשִּׁ֣ים שָׁנָ֔ה כָּל־הַבָּ֖א לַצָּבָ֑א
מִבֶּן｜～から　שְׁלֹשִׁים｜三十　שָׁנָה｜歳　וְעַד｜～まで　בֶּן־｜～の　חֲמִשִּׁים｜五十　שָׁנָה｜歳の　כָּל־｜すべて　הַבָּא｜入る-者で　לַצָּבָא｜務めに
H4605 H8141 H7970 H5704 H2572 H8141 H3605 H0935

לַעֲבֹדָ֖ה בְּאֹ֥הֶל מוֹעֵֽד׃
לַעֲבֹדָה｜務めの-ために　בְּאֹהֶל｜天幕の-中の　מוֹעֵד׃｜会見の
H5656 H0168 H4150

三十歳以上五十歳以下で、務につき、会見の幕屋で働くことのできる者を、ことごとく数えたが、

40 וַיִּהְיוּ֙ פְּקֻדֵיהֶ֔ם לְמִשְׁפְּחֹתָ֑ם לְבֵ֣ית אֲבֹתָ֔ם אַלְפַּ֕יִם וְשֵׁ֖שׁ מֵא֥וֹת׃
וַיִּהְיוּ｜そして-いた　פְּקֻדֵיהֶם｜その-登録-された-者は　לְמִשְׁפְּחֹתָם｜氏族-ごとに　לְבֵית｜家-ごとに　אֲבֹתָם｜父たちの　אַלְפַּיִם｜二千　וְשֵׁשׁ｜と-六　מֵאוֹת｜百
H1961 H4940 H0001 H0505 H8337 H3967

וּשְׁלֹשִֽׁים׃
וּשְׁלֹשִׁים׃｜と-三十
H7970

その氏族により、その父祖の家にしたがって数えられた者は二千六百三十人であった。

41 בְּאֹהֶל הָעֹבֵד כָּל־ גֵּרְשׁוֹן בְּנֵי מִשְׁפְּחֹת פְּקוּדֵי אֱלֶּה
天幕の–中の 仕える–者で すべて ゲルションの 子らの 氏族の 登録–された–者で これらが
H0168 H5647 H3605 H1648 H4940 H0428

יְהוָה׃ פִּי עַל־ וְאַהֲרֹן מֹשֶׁה פָּקַד אֲשֶׁר מוֹעֵד
主の 口の ～の–とおりに アロンが モーセと 数えた ところの 会見の
H3068 H6310 H4150

これはすなわち、ゲルションの子たちの氏族の数えられた者で、すべて会見の幕屋で働くことのできる者であった。モーセとアロンが、主の命にしたがって数えたのである。

42 אֲבֹתָם׃ לְבֵית לְמִשְׁפְּחֹתָם מְרָרִי בְּנֵי מִשְׁפְּחֹת וּפְקוּדֵי
父たちの 家–ごとに 氏族–ごとに メラリの 子らの 氏族の そして–登録–された–者は
H0001 H4940 H4847 H4940

またメラリの子たちの氏族を、その氏族により、その父祖の家にしたがって調べ、

43 לַצָּבָא הַבָּא כָּל־ שָׁנָה חֲמִשִּׁים בֶּן־ וְעַד וָמַעְלָה שָׁנָה שְׁלֹשִׁים מִבֶּן
務めに 入る–者で すべて 歳の 五十 ～の ～まで 以上 歳 三十 ～から
H0935 H3605 H8141 H2572 H5704 H4605 H8141 H7970

מוֹעֵד׃ בְּאֹהֶל לַעֲבֹדָה
会見の 天幕の–中の 務めの–ために
H4150 H0168 H5656

三十歳以上五十歳以下で、務につき、会見の幕屋で働くことのできる者を、ことごとく数えたが、

44 וּמָאתָיִם׃ אֲלָפִים שְׁלֹשֶׁת לְמִשְׁפְּחֹתָם פְּקֻדֵיהֶם וַיִּהְיוּ
と–二百 千 三 氏族–ごとに その–登録–された–者は そして–いた
H3967 H0505 H7969 H4940 H1961

その氏族にしたがって数えられた者は三千二百人であった。

45 וְאַהֲרֹן מֹשֶׁה פָּקַד אֲשֶׁר מְרָרִי בְּנֵי מִשְׁפְּחֹת פְּקוּדֵי אֱלֶּה
アロンが モーセと 数えた ところの メラリの 子らの 氏族の 登録–された–者で これらが
H0175 H4872 H4847 H4940 H0428

מֹשֶׁה׃ בְּיַד־ יְהוָה פִּי עַל־
モーセの 手–によって 主の 口の ～の–とおりに
H4872 H3027 H3068 H6310

これはすなわち、メラリの子たちの氏族の数えられた者で、モーセとアロンが、主のモーセによって命じられたところにしたがって数えたのである。

46 אֶת־ יִשְׂרָאֵל וּנְשִׂיאֵי וְאַהֲרֹן מֹשֶׁה פָּקַד אֲשֶׁר־ הַפְּקֻדִים כָּל־
～を イスラエルの 長たちが アロンと モーセと 数えた ところの 登録–された–者は すべての
H0853 H3478 H0175 H4872 H3605

אֲבֹתָם׃ וּלְבֵית לְמִשְׁפְּחֹתָם הַלְוִיִּם
父たちの 家–ごとに 氏族–ごとに レビ人を
H0001 H4940 H3881

モーセとアロン、およびイスラエルのつかさたちは、レビびとを、その氏族により、その父祖の家にしたがって調べ、

47 מִבֶּן שְׁלֹשִׁים שָׁנָה וָמַעְלָה וְעַד בֶּן־ חֲמִשִּׁים שָׁנָה כָּל־ הַבָּא לַעֲבֹד
～から 三十 歳 以上 ～まで ～の 五十 歳の すべて 入る–者で 仕える–ために
H7970 H8141 H4605 H5704 H2572 H8141 H3605 H0935 H5647

עֲבֹדַת עֲבֹדָה וַעֲבֹדַת מַשָּׂא בְּאֹהֶל מוֹעֵד׃
務めの 務めと 務めと 荷の 天幕の–中の 会見の
H5656 H5656 H5656 H4150 H0168 H4150

三十歳以上五十歳以下で、会見の幕屋にはいって務の働きをし、また、運ぶ働きをする者を、ことごとく数えたが、

48 וַיִּהְיוּ פְקֻדֵיהֶם שְׁמֹנַת אֲלָפִים וַחֲמֵשׁ מֵאוֹת וּשְׁמֹנִים׃
そして–いた その–登録–された–者は 八 千 と–五 百 と–八十
H1961 H8083 H0505 H2568 H3967 H8084

その数えられた者は八千五百八十人であった。

49 עַל־ פִּי יְהוָה פָּקַד אוֹתָם בְּיַד־ מֹשֶׁה אִישׁ אִישׁ עַל־
～の–とおりに 口の 主の 数えた 彼らを 手–によって モーセの 各自が それぞれ ～の–上に
H6310 H3068 H6485 H0853 H3027 H4872 H0376 H0376 H5921

עֲבֹדָתוֹ וְעַל־ מַשָּׂאוֹ וּפְקֻדָּיו אֲשֶׁר־ צִוָּה יְהוָה אֶת־
その–務めに また–～の–上に その–荷に その–登録–された–者と ところの 命じた 主が ～に
H5656 H5921 H4853 H6485 H3068 H6680 H0853

מֹשֶׁה׃ פ
モーセに
H4872 —

彼らは主の命により、モーセによって任じられ、おのおのその働きにつき、かつその運ぶところを受け持った。こうして彼らは主のモーセに命じられたように数えられたのである。

Chapter 5

1 וַיְדַבֵּר יְהוָה אֶל־ מֹשֶׁה לֵאמֹר׃
そして–語られた 主は ～に モーセに 言って
H1696 H3068 H0413 H4872 H0559

主はまたモーセに言われた、

2 צַו אֶת־ בְּנֵי יִשְׂרָאֵל וְיִשַׁלְּחוּ מִן־ הַמַּחֲנֶה כָּל־ צָרוּעַ
命じよ ～に 子らに イスラエルの そして–送り出せ 陣営から ～から すべての らい病人と
H6680 H0853 H1121 H3478 H7971 H4264 H3605 H6879

וְכָל־ זָב וְכֹל טָמֵא לָנָפֶשׁ׃
すべての 漏れの–ある–者と すべての 汚れた–者を 死人に–よる
H3605 H2100 H3605 H2931 H5315

「イスラエルの人々に命じて、らい病人、流出のある者、死体にふれて汚れた者を、ことごとく宿営の外に出させなさい。

3 מִזָּכָר עַד־ נְקֵבָה תְּשַׁלְּחוּ אֶל־ מִחוּץ לַמַּחֲנֶה תְּשַׁלֵּחוּ וְלֹא יְטַמְּאוּ
男–から ～まで 女まで 送り出せ 外に ～に 送り出せ 陣営の 送り出せ そうすれば–ない 汚さない
H2145 H5704 H5347 H7971 H2351 H0413 H7971 H4264 H7971 H3808 H2930

אֶת־ מַחֲנֵיהֶם אֲשֶׁר אֲנִי שֹׁכֵן בְּתוֹכָם׃
～を その–陣営を ところの わたしが 住んでいる その–中に
H0853 H4264 H834 H0589 H7931 H8432

男でも女でも、あなたがたは彼らを宿営の外に出してそこにおらせ、彼らに宿営を汚させてはならない。わたしがその中に住んでいるからである」。

4	וַיַּעֲשׂוּ־	כֵן	בְּנֵי	יִשְׂרָאֵל	וַיְשַׁלְּחוּ	אוֹתָם	אֶל־	מִחוּץ	לַמַּחֲנֶה
	そして–行った	そのように	子らは	イスラエルの	そして–送り出した	彼らを	～に	外に	陣営の
				H3478	H7971	H0853	H0413	H2351	H4264

פ	יִשְׂרָאֵל׃	בְּנֵי	עָשׂוּ	כֵּן	מֹשֶׁה	אֶל־	יְהוָה	דִּבֶּר	כַּאֲשֶׁר
—	イスラエルの	子らは	行った	そのように	モーセに	～に	主が	語られた–とおりに	主が
	H3478				H4872	H0413	H3068	H1696	

イスラエルの人々はそのようにして、彼らを宿営の外に出した。すなわち、主がモーセに言われたようにイスラエルの人々は行った。

5	וַיְדַבֵּר	יְהוָה	אֶל־	מֹשֶׁה	לֵאמֹר׃
	そして–語られた	主は	～に	モーセに	言って
	H1696	H3068	H0413	H4872	H0559

主はまたモーセに言われた、

6	דַּבֵּר	אֶל־	בְּנֵי	יִשְׂרָאֵל	אִישׁ	אוֹ־	אִשָּׁה	כִּי	יַעֲשׂוּ	מִכָּל־	חַטֹּאת
	語れ	～に	子らに	イスラエルの	男が	または	女が	もし	行うなら	どれかの	罪を
	H1696	H0413		H3478	H0376		H0802			H3605	

הָאָדָם	לִמְעֹל	מַעַל	בַּיהוָה	וְאָשְׁמָה	הַנֶּפֶשׁ	הַהִוא׃
人の	背く–ことによって	背きを	主に–対して	そして–罪ある	その–人は	その
H0120	H4603	H4604	H3068	H0816	H5315	H1931

「イスラエルの人々に告げなさい、『男または女が、もし人の犯す罪をおかして、主に罪を得、その人がとがある者となる時は、

7	וְהִתְוַדּוּ	אֶת־	חַטָּאתָם	אֲשֶׁר	עָשׂוּ	וְהֵשִׁיב	אֶת־	אַשְׁמוֹ	בְּרֹאשׁוֹ
	そして–告白する	～を	その–罪を	ところの	行った	そして–返す	～を	その–賠償を	全額で
	H3034	H0853				H7725	H0853	H0817	

וַחֲמִישִׁתוֹ	יֹסֵף	עָלָיו	וְנָתַן	לַאֲשֶׁר	אָשָׁם	לוֹ׃
その–五分の–一を	加える	その–上に	そして–与える	～に	罪を–犯した–相手に	彼に
H2549	H3254		H5414		H0816	

その犯した罪を告白し、その物の価にその五分の一を加えて、彼がとがを犯した相手方に渡し、そのとがをことごとく償わなければならない。

8	וְאִם־	אֵין	לָאִישׁ	גֹּאֵל	לְהָשִׁיב	הָאָשָׁם	אֵלָיו	הָאָשָׁם	הַמּוּשָׁב	לַיהוָה
	もし	いないなら	その–人に	贖い–主が	返す–ための	賠償を	彼に	賠償を	返される	主に
		H0369	H0376		H7725	H0817	H0413	H0817	H7725	H3068

לַכֹּהֵן	מִלְבַד	אֵיל	הַכִּפֻּרִים	אֲשֶׁר	יְכַפֶּר־	בּוֹ	עָלָיו׃
祭司に	それに–加えて	雄羊を	贖いの	ところの	贖う	それで	彼の–ために
H3548	H0905		H3725				

しかし、もし、そのとがの償いを受け取るべき親族も、その人にない時は、主にそのとがの償いをして、これを祭司に帰せしめなければならない。なお、このほか、そのあがないをするために用いた贖罪の雄羊も、祭司に帰せしめなければならない。

9	וְכָל־	תְּרוּמָה	לְכָל־	קָדְשֵׁי	בְּנֵי־	יִשְׂרָאֵל	אֲשֶׁר־	יַקְרִיבוּ	לַכֹּהֵן
	すべての	奉納物は	すべての	聖なる–ものの	子らの	イスラエルの	ところの	ささげる	祭司に
		H8641	H3605	H6944		H3478		H7126	H3548

לוֹ	יִהְיֶה׃	
彼の–ものに	なる	
	H1961	

イスラエルの人々が、祭司のもとに携えて来るすべての聖なるささげ物は、みな祭司に帰せしめなければならない。

10 וְאִישׁ אֶת־ קָדָשָׁיו לוֹ יִהְיוּ אִישׁ אֲשֶׁר־ יִתֵּן לַכֹּהֵן לוֹ׃ פ יִהְיֶה׃

וְאִישׁ	אֶת־	קָדָשָׁיו	לוֹ	יִהְיוּ	אִישׁ	אֲשֶׁר־	יִתֵּן	לַכֹּהֵן	לוֹ׃
各自の	～を	聖なる-ものは	彼の-ものに	なる	人が	ところの	与える	祭司に	彼の-ものに
H0376	H0853	H6944	H0413	H1961	H0376	H0834	H5414	H3548	H0413

פ
—

יִהְיֶה׃
なる
H1961

すべて人の聖なるささげ物は祭司に帰し、すべて人が祭司に与える物は祭司に帰するであろう』」。

11 וַיְדַבֵּר יְהוָה אֶל־ מֹשֶׁה לֵאמֹר׃

וַיְדַבֵּר	יְהוָה	אֶל־	מֹשֶׁה	לֵאמֹר׃
そして-語られた	主は	～に	モーセに	言って
H1696	H3068	H0413	H4872	H0559

主はまたモーセに言われた、

12 דַּבֵּר אֶל־ בְּנֵי יִשְׂרָאֵל וְאָמַרְתָּ אֲלֵהֶם אִישׁ אִישׁ כִּי־ תִשְׂטֶה

דַּבֵּר	אֶל־	בְּנֵי	יִשְׂרָאֵל	וְאָמַרְתָּ	אֲלֵהֶם	אִישׁ	אִישׁ	כִּי־	תִשְׂטֶה
語れ	～に	子らに	イスラエルの	そして-言え	彼らに	男の	誰でも	もし	それたなら
H1696	H0413	H3478	H0559	H0413	H0376	H0376	H0376	H0834	H7847

וּמָעֲלָה בּוֹ מָעַל׃ אִשְׁתּוֹ

וּמָעֲלָה	בּוֹ	מָעַל׃	אִשְׁתּוֹ
そして-背いた	彼に-対して	背きを	その-妻が
H4603	H0413	H4604	H0802

「イスラエルの人々に告げなさい、『もし人の妻たる者が、道ならぬ事をして、その夫に罪を犯し、

13 וְשָׁכַב אִישׁ אֹתָהּ שִׁכְבַת־ זֶרַע וְנֶעְלַם מֵעֵינֵי אִישָׁהּ

וְשָׁכַב	אִישׁ	אֹתָהּ	שִׁכְבַת־	זֶרַע	וְנֶעְלַם	מֵעֵינֵי	אִישָׁהּ
そして-寝た	男が	彼女と	寝る-ことの	種の	そして-隠れた	目から	その-夫の
H7901	H0376	H0853	H7902	H2233	H5956	H5869	H0376

וְהִוא בָּהּ וְעֵד אֵין וְנִטְמָאָה וְהָיְתָה וְנִסְתָּרָה

וְהִוא	בָּהּ	וְעֵד	אֵין	וְנִטְמָאָה	וְהָיְתָה	וְנִסְתָּרָה	
そして-彼女は	彼女に-対して	そして-証人が	いない	汚れた	そして-彼女は	そして-秘密だった	
H1931	H0413	H5707	H0369	H2930	H1961	H5641	

לֹא נִתְפָּשָׂה׃
ない　捕らえられなかった
H3808　H8610

人が彼女と寝たのに、その事が夫の目に隠れて現れず、彼女はその身を汚したけれども、それに対する証人もなく、彼女もまたその時に捕えられなかった場合、

14 וְעָבַר עָלָיו רוּחַ־ קִנְאָה וְקִנֵּא אֶת־ אִשְׁתּוֹ וְהִוא

וְעָבַר	עָלָיו	רוּחַ־	קִנְאָה	וְקִנֵּא	אֶת־	אִשְׁתּוֹ	וְהִוא
そして-過ぎた	彼の-上を	霊が	嫉妬の	そして-嫉妬した	～を	その-妻を	そして-彼女は
H5674	H5921	H7307	H7068	H7065	H0853	H0802	H1931

אוֹ־ עָבַר עָלָיו רוּחַ־ קִנְאָה וְקִנֵּא אֶת־ אִשְׁתּוֹ

אוֹ־	עָבַר	עָלָיו	רוּחַ־	קִנְאָה	וְקִנֵּא	אֶת־	אִשְׁתּוֹ
または	過ぎた	彼の-上を	霊が	嫉妬の	そして-嫉妬した	～を	その-妻を
H0176	H5674	H5921	H7307	H7068	H7065	H0853	H0802

וְהִוא נִטְמָאָה׃ לֹא
そして-彼女は　汚れていなかった　ない
H1931　H3808

すなわち、妻が身を汚したために、夫が疑いの心を起して妻を疑うことがあり、または妻が身を汚した事がないのに、夫が疑いの心を起して妻を疑うことがあれば、

15 וְהֵבִיא הָאִישׁ אֶת־אִשְׁתּוֹ אֶל־הַכֹּהֵן וְהֵבִיא אֶת־קָרְבָּנָהּ עָלֶיהָ עֲשִׂירִת הָאֵיפָה קֶמַח שְׂעֹרִים לֹא־יִצֹּק עָלָיו שֶׁמֶן וְלֹא־יִתֵּן עָלָיו לְבֹנָה כִּי־מִנְחַת קְנָאֹת הִוא מִנְחַת זִכָּרוֹן מַזְכֶּרֶת עָוֹן׃

אֶת־	וְהֵבִיא	הַכֹּהֵן	אֶל־	אִשְׁתּוֹ	אֶת־	הָאִישׁ	וְהֵבִיא		יִצֹּק	לֹא־	שְׂעֹרִים	קֶמַח	הָאֵיפָה	עֲשִׂירִת	עָלֶיהָ	קָרְבָּנָהּ
～を	そして–持って–来る	祭司の–もとに	～に	その–妻を	～を	夫が	そして–連れて–来る		注いでは–ならない	ない	大麦の	粉の	エパの	十分の–一の	彼女の–ために	その–供え物を
H0853	H0935	H3548	H0413	H0802	H0853	H0376	H0935		H3332	H3808	H8184	H7058	H0374	H6224		

מִנְחַת	כִּי־	לְבֹנָה	עָלָיו	יִתֵּן	וְלֹא־	שֶׁמֶן	עָלָיו		
穀物の–供え物で	なぜなら	乳香を	その–上に	置いては–ならない	また–ない	油を	その–上に		
H4503		H3828		H5414	H3808	H8081			

עָוֹן׃	מַזְכֶּרֶת	זִכָּרוֹן	מִנְחַת	הִוא	קְנָאֹת	
罪を	思い–起こす	記念の	穀物の–供え物で	それは	嫉妬の	
H5771	H2142	H2146	H4503	H1931	H7068	

夫は妻を祭司のもとに伴い、彼女のために大麦の粉一エパの十分の一を供え物として携えてこなければならない。ただし、その上に油を注いではならない。また乳香を加えてはならない。これは疑いの供え物、覚えの供え物であって罪を覚えさせるものだからである。

16 וְהִקְרִיב אֹתָהּ הַכֹּהֵן וְהֶעֱמְדָהּ לִפְנֵי יְהוָה׃

וְהִקְרִיב	אֹתָהּ	הַכֹּהֵן	וְהֶעֱמְדָהּ	לִפְנֵי	יְהוָה׃
そして–近づける	彼女を	祭司が	そして–立たせる	前に	主の
H7126	H0853	H3548	H5975	H6440	H3068

祭司はその女を近く進ませ、主の前に立たせなければならない。

17 וְלָקַח הַכֹּהֵן מַיִם קְדֹשִׁים בִּכְלִי־חֶרֶשׂ וּמִן־הֶעָפָר אֲשֶׁר יִהְיֶה בְּקַרְקַע הַמִּשְׁכָּן יִקַּח הַכֹּהֵן וְנָתַן אֶל־הַמָּיִם׃

וְלָקַח	הַכֹּהֵן	מַיִם	קְדֹשִׁים	בִּכְלִי־	חֶרֶשׂ	וּמִן־	הֶעָפָר	אֲשֶׁר	יִהְיֶה	בְּקַרְקַע	הַמִּשְׁכָּן	יִקַּח	הַכֹּהֵן	וְנָתַן	אֶל־	הַמָּיִם׃
そして–取る	祭司が	水を	聖なる	器の–中に	土の	また–～から	塵を	ところの	ある	床の	幕屋の	取る	祭司が	そして–入れる	～の–中に	水の
H3947	H3548	H4325	H6918	H3627	H2789		H6083		H1961	H7172	H4908	H3947	H3548	H5414	H0413	H4325

祭司はまた土の器に聖なる水を入れ、幕屋のゆかのちりを取ってその水に入れ、

18 וְהֶעֱמִיד הַכֹּהֵן אֶת־הָאִשָּׁה לִפְנֵי יְהוָה וּפָרַע אֶת־רֹאשׁ הָאִשָּׁה וְנָתַן עַל־כַּפֶּיהָ אֶת מִנְחַת הַזִּכָּרוֹן מִנְחַת קְנָאֹת הִוא וּבְיַד הַכֹּהֵן יִהְיוּ מֵי הַמָּרִים הַמְאָרֲרִים׃

וְהֶעֱמִיד	הַכֹּהֵן	אֶת־	הָאִשָּׁה	לִפְנֵי	יְהוָה	וּפָרַע	אֶת־	רֹאשׁ	הָאִשָּׁה	וְנָתַן	עַל־	כַּפֶּיהָ	אֶת	מִנְחַת	הַזִּכָּרוֹן	מִנְחַת	קְנָאֹת
そして–立たせる	祭司が	～を	女を	前に	主の	そして–ほどく	～を	頭を	女の	そして–置く	～の–上に	その–手の	～を	穀物の–供え物を	記念の	穀物の–供え物で	嫉妬の
H5975	H3548	H0853	H0802	H6440	H3068		H0853		H0802	H5414		H3709	H0853	H4503	H2146	H4503	H7068

הַמְאָרֲרִים׃	הַמָּרִים	מֵי	יִהְיוּ	הַכֹּהֵן	וּבְיַד	הִוא		
呪いの	苦い	水が	ある	祭司の	そして–手に	それは		
H0779	H4751	H4325	H1961	H3548	H3027	H1931		

その女を主の前に立たせ、女にその髪の毛をほどかせ、覚えの供え物すなわち、疑いの供え物を、その手に持たせなければならない。そして祭司は、のろいの苦い水を手に取り、

19 וְהִשְׁבִּיעַ הַכֹּהֵן אֹתָהּ וְאָמַר הַכֹּהֵן אֶל־הָאִשָּׁה אִם־לֹא שָׁכַב אִישׁ אֹתָךְ וְאִם־לֹא שָׂטִית טֻמְאָה תַּחַת אִישֵׁךְ הִנָּקִי מִמֵּי הַמָּרִים הַמְאָרֲרִים הָאֵלֶּה׃

וְהִשְׁבִּיעַ	הַכֹּהֵן	אֹתָהּ	וְאָמַר	הַכֹּהֵן	אֶל־	הָאִשָּׁה	אִם־	לֹא	שָׁכַב	אִישׁ	אֹתָךְ	וְאִם־	לֹא	שָׂטִית	טֻמְאָה	תַּחַת	אִישֵׁךְ	הִנָּקִי	מִמֵּי	הַמָּרִים	הַמְאָרֲרִים	הָאֵלֶּה׃
そして–誓わせる	祭司が	彼女に	そして–言う	祭司が	～に	女に	もし	ない	寝なかったなら	男が		また–もし	ない	それなかったなら	汚れに	～の–もとで	あなたの–夫の	清められよ	～から	水の	苦い	呪いの–この
H7650	H3548	H0853	H0559	H3548	H0413	H0802	H0518	H3808	H7901	H0376	H0853		H3808	H7847	H2932	H8478	H0376	H5352	H4325	H4751	H0779	H0428

女に誓わせて、これに言わなければならない、「もし人があなたと寝たことがなく、またあなたが、夫のもとにあって、道ならぬ事をして汚れたことがなければ、のろいの苦い水も、あなたに害を与えないであろう。

20 וְאַתְּ כִּי שָׂטִית תָּחַת אִישֵׁךְ וְכִי נִטְמֵאת
しかし–あなたは もし それたなら ～の–もとで あなたの–夫の そして–もし 汚れたなら
H7847 H8478 H0376

וַיִּתֵּן אִישׁ בָּךְ אֶת־ שְׁכָבְתּוֹ מִבַּלְעֲדֵי אִישֵׁךְ׃
与えた そして–男が ～に その–精を 以外の–者の あなたの–夫の
H5414 H0376 H7903 H0853 H1107 H0376

しかし、あなたが、もし夫のもとにあって、道ならぬことをして身を汚し、あなたの夫でない人が、あなたと寝たことがあるならば、――

21 וְהִשְׁבִּיעַ הַכֹּהֵן אֶת־ הָאִשָּׁה בִּשְׁבֻעַת הָאָלָה וְאָמַר הַכֹּהֵן לָאִשָּׁה יִתֵּן
させよ 女に 祭司が そして–言う 呪いの 誓いで 女に ～に 祭司が そして–誓わせる
H5414 H0802 H3548 H0559 H0423 H7621 H0802 H0853 H3548 H7650

יְהוָה אֹתָךְ לְאָלָה וְלִשְׁבֻעָה בְּתוֹךְ עַמֶּךָ בִּתֵּת יְהוָה אֶת־
主が あなたを 呪いに 誓いに 中で あなたの–民の する–ことによって 主が ～を
H3068 H0853 H0423 H7621 H8432 H5414 H3068 H0853

יְרֵכֵךְ נֹפֶלֶת וְאֶת־ בִּטְנֵךְ צָבָה׃
あなたの–腰を 落ちる–ものに また ～を あなたの–腹を 膨れる–ものに
H3409 H5307 H0853 H0990 H6639

祭司はその女に、のろいの誓いをもって誓わせ、その女に言わなければならない。――主はあなたのももをやせさせ、あなたの腹をふくれさせて、あなたを民のうちの、のろいとし、また、ののしりとされるように。

22 וּבָאוּ הַמַּיִם הַמְאָרְרִים הָאֵלֶּה בְּמֵעַיִךְ לַצְבּוֹת בֶּטֶן וְלַנְפֵּל
そして–入る 水が 呪いの この あなたの–内臓に 膨らせる–ために 腹を 落ちる–ために
H0935 H4325 H0779 H0428 H4578 H6638 H0990 H7307

יָרֵךְ וְאָמְרָה הָאִשָּׁה אָמֵן וְאָמֵן׃
腰を そして–答える 女が アーメン アーメン
H3409 H0559 H0802 H0543 H0543

また、のろいの水が、あなたの腹にはいってあなたの腹をふくれさせ、あなたのももをやせさせるように」。その時、女は「アァメン、アァメン」と言わなければならない。

23 וְכָתַב אֶת־ הָאָלֹת הָאֵלֶּה הַכֹּהֵן בַּסֵּפֶר וּמָחָה אֶל־ מֵי
水の ～の–中に そして–洗い–流す 書物に 祭司が これらの 呪いを ～を そして–書く
H4325 H0413

הַמָּרִים׃
苦い
H4751

祭司は、こののろいを書き物に書きしるし、それを苦い水に洗い落し、

24 וְהִשְׁקָה אֶת־ הָאִשָּׁה אֶת־ מֵי הַמָּרִים הַמְאָרְרִים וּבָאוּ בָהּ הַמַּיִם
女に ～に そして–飲ませる 女に ～を 水を 苦い 呪いの そして–入る 彼女に 水が
H0802 H0853 H8248 H0802 H0853 H4325 H4751 H0779 H0935 H4325

לְמָרִים׃ הַמְאָרְרִים
苦い–ものとなって 呪いの
H4751 H0779

女にそののろいの水を飲ませなければならない。そののろいの水は彼女のうちにはいって苦くなるであろう。

25 וְלָקַח הַכֹּהֵן מִיַּד הָאִשָּׁה אֵת מִנְחַת הַקְּנָאָת וְהֵנִיף אֶת־
そして-取る 祭司が 手から 女の 〜を 穀物の-供え物を 嫉妬の そして-揺り動かす 〜を
H3947 H3548 H3027 H0802 H0853 H4503 H7068 H0853

הַמִּנְחָה לִפְנֵי יְהוָה וְהִקְרִיב אֹתָהּ אֶל־ הַמִּזְבֵּחַ׃
供え物を 前で 主の そして-ささげる それを 〜の-上で 祭壇の
H4503 H6440 H3068 H7126 H0853 H0413 H4196

そして祭司はその女の手から疑いの供え物を取り、その供え物を主の前に揺り動かして、それを祭壇に持ってこなければならない。

26 וְקָמַץ הַכֹּהֵן מִן־ הַמִּנְחָה אֶת־ אֲזְכָּרָתָהּ וְהִקְטִיר
そして-つかむ 祭司が 〜から 供え物から 〜を その-記念の-部分を そして-煙にする
H7061 H3548 H4503 H0853 H0234

הַמִּזְבֵּחָה וְאַחַר יַשְׁקֶה אֶת־ הָאִשָּׁה אֶת־ הַמָּיִם׃
祭壇の-上で その-後に 飲ませる 〜に 女に 〜を 水を
H4196 H0310 H8248 H0853 H0802 H0853 H4325

祭司はその供え物のうちから、覚えの分、一握りを取って、それを祭壇で焼き、その後、女にその水を飲ませなければならない。

27 וְהִשְׁקָהּ וְהָיְתָה אִם־ נִטְמְאָה וַתִּמְעֹל מַעַל
そして-飲ませる そして-なる もし 汚れていたなら そして-背いたなら 背きを
H8248 H1961 H0518 H2930 H4603 H4604

בְּאִישָׁהּ וּבָאוּ הַמַּיִם הַמְאָרְרִים לְמָרִים וְצָבְתָה
その-夫に-対して そして-入る 彼女に 水が 呪いの 苦い-ものとなって そして-膨れる
H0376 H0935 H1931 H4325 H0779 H4751 H6638

בִּטְנָהּ וְנָפְלָה יְרֵכָהּ וְהָיְתָה הָאִשָּׁה בְּקֶרֶב עַמָּהּ׃
その-腹が そして-落ちる その-腰が そして-なる 女は 中で 民の
H0990 H5307 H3409 H1961 H0802 H7130 H5971

その水を女に飲ませる時、もしその女が身を汚し、夫に罪を犯した事があれば、そののろいの水は女のうちにはいって苦くなり、その腹はふくれ、ももはやせて、その女は民のうちののろいとなるであろう。

28 וְאִם־ לֹא נִטְמְאָה הָאִשָּׁה וּטְהוֹרָה הִוא וְנִקְּתָה וְנִזְרְעָה
しかし-もし ない 汚れては-おらず 女が 清いなら 彼女は そして-清められる そして-孕む
H3808 H0802 H2889 H1931 H5352 H2232

זָרַע׃
子を
H2233

しかし、もし女が身を汚した事がなく、清いならば、害を受けないで、子を産むことができるであろう。

29 זֹאת תּוֹרַת הַקְּנָאֹת אֲשֶׁר תִּשְׂטֶה אִשָּׁה תַּחַת אִישָׁהּ וְנִטְמָאָה׃
これが 律法である 嫉妬の ところの それた 女が 〜の-もとで その-夫の そして-汚れた
H2063 H8451 H7068 H0834 H7847 H0802 H8478 H0376

これは疑いのある時のおきてである。妻たる者が夫のもとにあって、道ならぬ事をして身を汚した時、

אִשְׁתּוֹ	אֶת־	וְקִנְּאָה	קִנְאַת	רוּחַ	עָלָיו	וְהִתְעַבַּר	אֲשֶׁר	אִישׁ	אוֹ	30
その-妻を	～を	そして-嫉妬する	嫉妬の	霊が	彼の-上を	過ぎる	ところの	男が	または	
H0802	H0853	H7065	H7068	H7307				H0376		

הַתּוֹרָה	כָּל־	אֵת	הַכֹּהֵן	לָהּ	וְעָשָׂה	יְהוָה	לִפְנֵי	הָאִשָּׁה	אֶת־	וְהֶעֱמִיד
律法を	すべての	～を	祭司が	彼女に	そして-行う	主の	前に	女を	～を	そして-立たせる
H8451	H3605	H0853	H3548			H3068	H6440	H0802	H0853	H5975

הַזֹּאת׃
この
H2063

または夫たる者が疑いの心を起して、妻を疑う時、彼はその女を主の前に立たせ、祭司はこのおきてを、ことごとく彼女に行わなければならない。

פ	עֲוֹנָהּ׃	אֶת־	תִּשָּׂא	הַהִוא	וְהָאִשָּׁה	מֵעָוֹן	הָאִישׁ	וְנִקָּה	31
—	その-罪を	～を	負う	その	そして-女は	罪から	夫は	そして-清められる	
	H5771	H0853	H5375	H1931	H0802	H5771	H0376	H5352	

こうするならば、夫は罪がなく、妻は罪を負うであろう』」。

Chapter 6

לֵאמֹר׃	מֹשֶׁה	אֶל־	יְהוָה	וַיְדַבֵּר	1
言って	モーセに	～に	主は	そして-語られた	
H0559	H4872	H0413	H3068	H1696	

主はまたモーセに言われた、

כִּי	אִשָּׁה	אִישׁ	אוֹ־	אִישׁ	אֲלֵהֶם	וְאָמַרְתָּ	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי	אֶל־	דַּבֵּר	2
もし	女が	または		男が	彼らに	そして-言え	イスラエルの	子らに	～に	語れ	
	H0802			H0376	H0413	H0559	H3478		H0413	H1696	

לַיהוָה׃	לְהַזִּיר	נָזִיר	נֶדֶר	לִנְדֹּר	יַפְלִא
主に	聖別する-ために	ナジル人の	誓願を	誓う-ことを	特別に-誓うなら
H3068		H5139	H5088	H5087	H6381

「イスラエルの人々に言いなさい、『男または女が、特に誓いを立て、ナジルびととなる誓願をして、身を主に聖別する時は、

לֹא	שֵׁכָר	וְחֹמֶץ	יַיִן	חֹמֶץ	יַזִּיר	וְשֵׁכָר	מִיַּיִן	3
ない	濃い-酒の	また-酢を	ぶどう酒の	酢を	遠ざかる	濃い-酒から	ぶどう酒-から	
H3808	H7941	H2558	H3196	H2558		H7941	H3196	

לַחִים	וַעֲנָבִים	יִשְׁתֶּה	לֹא	עֲנָבִים	מִשְׁרַת	וְכָל־	יִשְׁתֶּה	
生の	また-ぶどうを	飲んでは-ならない	ない	ぶどうの	汁も	また-すべての	飲んでは-ならない	
H3892	H6025	H8354	H3808	H6025	H4952	H3605	H8354	

יֹאכֵל׃	לֹא	וִיבֵשִׁים	
食べては-ならない	ない	乾いたものも	
H0398	H3808	H3002	

ぶどう酒と濃い酒を断ち、ぶどう酒の酢となったもの、濃い酒の酢となったものを飲まず、また、ぶどうの汁を飲まず、また生でも干したものでも、ぶどうを食べてはならない。

4

מֵחַרְצַנִּים	הַיַּיִן	מִגֶּפֶן	יֵעָשֶׂה	אֲשֶׁר	מִכֹּל׀	נִזְרוֹ	יְמֵי	כָּל
種から	酒の	ぶどうの-木から	作られる	ところの	どんな	その-聖別の	日の-間	すべての
H2785	H3196	H1612			H3605	H5145	H3117	H3605

יֹאכֵֽל׃	לֹא	זָג	וְעַד־	
食べては-ならない	ない	皮まで	～まで	
H0398	H3808	H2085	H5704	

ナジルびとである間は、すべて、ぶどうの木からできるものは、種も皮も食べてはならない。

5

רֹאשׁוֹ	עַל־	יַעֲבֹר	לֹא־	תָעַר	נִזְרוֹ	נֵדֶר	יְמֵי	כָּל־	
その-頭を	～の-上を	通っては-ならない	ない	剃刀が	その-聖別の	誓願の	日の-間	すべての	
			H3808	H8593	H5145	H5088	H3117	H3605	

שְׂעַר	פֶּרַע	גַּדֵּל	יִהְיֶה	קָדֹשׁ	לַיהוָה	יַזִּיר	אֲשֶׁר־	הַנָּמִים	מִלֹּאת	עַד־
髪の	髪を	伸ばす	である	聖なる	主に	聖別する	ところの	日が	満ちる	～まで
H8181	H6545	H1431	H1961	H6918	H3068			H3117	H4390	H5704

רֹאשׁוֹ׃
その-頭の

また、ナジルびとたる誓願を立てている間は、すべて、かみそりを頭に当ててはならない。身を主に聖別した日数の満ちるまで、彼は聖なるものであるから、髪の毛をのばしておかなければならない。

6

יָבֹֽא׃	לֹא	מֵת	נֶפֶשׁ	עַל־	לַיהוָה	הַזִּירוֹ	יְמֵי	כָּל־
近づいては-ならない	ない	死んだ	死人に	～の-そばに	主に	その-聖別の	日の-間	すべての
H0935	H3808	H4191	H5315		H3068	H5145	H3117	H3605

身を主に聖別している間は、すべて死体に近づいてはならない。

7

יִטְמָא	לֹא־	וּלְאַחֹתוֹ	לְאָחִיו	וּלְאִמּוֹ	לְאָבִיו	
汚れては-ならない	ない	姉妹の-ためにも	兄弟の-ためにも	母の-ためにも	父の-ためにも	
	H3808	H0269	H0251	H0517	H0001	

רֹאשׁוֹ׃	עַל־	אֱלֹהָיו	נֵזֶר	כִּי	בְּמֹתָם	לָהֶם
その-頭の	～の-上に	その-神の	聖別が	なぜなら	その-死において	彼らの-ために
		H0430	H5145		H4194	

父母、兄弟、姉妹が死んだ時でも、そのために身を汚してはならない。神に聖別したしるしが、頭にあるからである。

8

לַיהוָה׃	הוּא	קָדֹשׁ	נִזְרוֹ	יְמֵי	כָּל
主に	彼は	聖なる	その-聖別の	日の-間	すべての
H3068	H1931	H6918	H5145	H3117	H3605

彼はナジルびとである間は、すべて主の聖なる者である。

9

נִזְרוֹ	רֹאשׁ	וְטִמֵּא	פִּתְאֹם	בְּפֶתַע	עָלָיו׀	מֵת	יָמוּת	וְכִי־
その-聖別の	頭を	そして-汚す	急に	突然に	彼の-そばで	死人が	死ぬなら	もし
H5145			H6597	H6621		H4191	H4191	

יְגַלַּח־	הַשְּׁבִיעִי	בַּיּוֹם	טָהֳרָתוֹ	בְּיוֹם	רֹאשׁוֹ	וְגִלָּח	
剃る	第七の	日に	その-清めの	日に	その-頭を	そして-剃る	
H1548	H7637	H3117	H2893	H3117		H1548	

もし人がはからずも彼のかたわらに死んで、彼の聖別した頭を汚したならば、彼は身を清める日に、頭をそらなければならない。すなわち、七日目にそれをそらなければならない。

10 וּבַיּוֹם הַשְּׁמִינִי יָבִא שְׁתֵּי תֹרִים אוֹ שְׁנֵי בְנֵי יוֹנָה אֶל־
そして-日に 第八の 持って-来る 二-羽の 山鳩を 二-羽の または 子を 鳩の ～に
H3117 H8066 H0935 H8147 H8449 H8147 H0035 H3123 H0413

הַכֹּהֵן אֶל־ פֶּתַח אֹהֶל מוֹעֵד׃
祭司の-もとに ～に 入口の 天幕の 会見の
H3548 H0413 H6607 H0168 H4150

そして八日目に山ばと二羽、または家ばとのひな二羽を携えて、会見の幕屋の入口における祭司の所に行かなければならない。

11 וְעָשָׂה הַכֹּהֵן אֶחָד לַחַטָּאת וְאֶחָד לָעֹלָה וְכִפֶּר
そして-ささげる 祭司が 一-羽を 罪の-供え物に 一-羽を 全焼の-供え物に そして-贖う
H3548 H0259 H2398 H0259

עָלָיו מֵאֲשֶׁר חָטָא עַל־ הַנֶּפֶשׁ וְקִדַּשׁ אֶת־ רֹאשׁוֹ בַּיּוֹם
彼の-ために ～から 罪を-犯した ～に-ついて 死人に そして-聖別する ～を その-頭を 日に
H5315 H6942 H0853 H7218 H3117

הַהוּא׃
その
H1931

祭司はその一羽を罪祭に、一羽を燔祭にささげて、彼が死体によって得た罪を彼のためにあがない、その日に彼の頭を聖別しなければならない。

12 וְהִזִּיר לַיהוָה אֶת־ יְמֵי נִזְרוֹ וְהֵבִיא כֶבֶשׂ בֶּן־ שְׁנָתוֹ
そして-聖別する 主に 日を ～を その-聖別の そして-持って-来る 小羊を 子の 一-歳の
H3068 H0853 H3117 H5145 H0035 H3532 H1121 H8141

לְאָשָׁם וְהַיָּמִים הָרִאשֹׁנִים יִפְּלוּ כִּי טָמֵא נִזְרוֹ׃
賠償の-供え物に そして-日は 以前の 無効に-なる なぜなら 汚れた その-聖別が
H0817 H3117 H7223 H5307 H3588 H2930 H5145

彼はまたナジルびとたる日の数を、改めて主に聖別し、一歳の雄の小羊を携えてきて、愆祭としなければならない。それ以前の日は、彼がその聖別を汚したので、無効になるであろう。

13 וְזֹאת תּוֹרַת הַנָּזִיר בְּיוֹם מְלֹאת יְמֵי נִזְרוֹ יָבִיא אֹתוֹ
そして-これが 律法である ナジル人の 日に 満ちる 日が その-聖別の 連れて-来る 彼を
H2063 H8451 H5139 H3117 H4390 H3117 H5145 H0935 H0853

פֶּתַח אֹהֶל מוֹעֵד׃ אֶל־
入口の 天幕の 会見の ～に
H6607 H0168 H4150 H0413

これがナジルびとの律法である。聖別の日数が満ちた時は、その人を会見の幕屋の入口に連れてこなければならない。

14 וְהִקְרִיב קָרְבָּנוֹ לַיהוָה כֶּבֶשׂ בֶּן־ שְׁנָתוֹ תָּמִים אֶחָד
そして-ささげる その-供え物を 主に 小羊を 子の 一-歳の 全き 一-匹を
H7126 H0853 H7133 H3068 H3532 H1121 H8141 H8549 H0259

לְעֹלָה וְכַבְשָׂה אַחַת בַּת־ שְׁנָתָהּ תְּמִימָה וְאַיִל־
全焼の-供え物に また-雌の-小羊を 一-匹 子の 一-歳の 全き また-雄羊を
H3068 H3535 H0259 H1323 H8141 H8549 H0352

לְשַׁלְמִים׃ תָּמִים אֶחָד
和解の-供え物に 全き 一-匹
H8002 H8549 H0259

そしてその人は供え物を主にささげなければならない。すなわち、一歳の雄の小羊の全きもの一頭を燔祭とし、一歳の雌の小羊の全きもの一頭を罪祭とし、雄羊の全きもの一頭を酬恩祭とし、

15

וְסַל מַצּוֹת חַלֹּת סֹלֶת בְּלוּלֹת בַּשָּׁמֶן וּרְקִיקֵי
また-かごを 種なし-パンの 小麦粉の 輪型-パンを 練り-込まれた 油で また-薄-パンを
H5536 H4682 H5560 H2471 H8081 H7550

וְנִסְכֵּיהֶם׃ וּמִנְחָתָם מְשֻׁחִים בַּשָּׁמֶן מַצּוֹת
その-注ぎの-供え物を また-その-穀物の-供え物と 油-塗られた 油で 種なしの
H5262 H4503 H4886 H8081 H4682

また種入れぬパンの一かご、油を混ぜて作った麦粉の菓子、油を塗った種入れぬ煎餅、および素祭と灌祭を携えてこなければならない。

16

וְאֶת־ חַטָּאתוֹ וְאֶת־ וְעָשָׂה לִפְנֵי יְהוָה הַכֹּהֵן וְהִקְרִיב
また ～を そして-行う 主の 前で 祭司が そして-ささげる
H0853 H0853 H3068 H6440 H3548 H7126

עֹלָתוֹ׃
その-全焼の-供え物を

祭司はこれを主の前に携えてきて、その罪祭と燔祭とをささげ、

17

וְאֶת־ הָאַיִל שְׁלָמִים לַיהוָה עַל סַל
また 雄羊を ささげる いけにえとして 和解の-供え物を 主に ～と-共に かご
H0853 H0853 H3548 H2077 H8002 H3068 H5536

נִסְכּוֹ׃ וְאֶת־ מִנְחָתוֹ וְאֶת־ הַכֹּהֵן וְעָשָׂה הַמַּצּוֹת
その-注ぎの-供え物を また その-穀物の-供え物と ～を 祭司が そして-行う 種なし-パンの
H5262 H0853 H4503 H0853 H3548 H4682

また雄羊を種入れぬパンの一かごと共に、酬恩祭の犠牲として、主にささげなければならない。祭司はまたその素祭と灌祭をもささげなければならない。

18

וְנִלַּח פֶּתַח הַנָּזִיר אֹהֶל מוֹעֵד אֶת־ רֹאשׁ נִזְרוֹ וְלָקַח אֶת־
そして-剃る 入口で ナジル人が 天幕の 会見の 頭を その-聖別の そして-取る ～を
H1548 H6607 H5139 H0168 H4150 H0853 H5145 H3947 H0853

זֶבַח שְׁעַר רֹאשׁ נִזְרוֹ וְנָתַן עַל־ הָאֵשׁ אֲשֶׁר־ תַּחַת
いけにえの 髪を 頭の その-聖別の そして-置く ～の-上に 火の ところの ～の-下の
H2077 H8181 H7218 H5145 H5414 H5921 H0784 H0834 H8478

הַשְּׁלָמִים׃
和解の-供え物の
H8002

そのナジルびとは会見の幕屋の入口で、聖別した頭をそり、その聖別した頭の髪を取って、これを酬恩祭の犠牲の下にある火の上に置かなければならない。

19

וְלָקַח הַכֹּהֵן אֶת־ הַזְּרֹעַ בְּשֵׁלָה מִן־ הָאַיִל וְחַלַּת מַצָּה אַחַת
そして-取る 祭司が ～を 腕を 煮た ～から 雄羊から また-輪型-パンを 種なしの 一-つ
H3947 H3548 H0853 H2220 H1311 H4480 H0352 H2471 H4682 H0259

וְנָתַן עַל־ כַּפֵּי הַנָּזִיר מִן־ הַסַּל מַצָּה אֶחָד וּרְקִיק
そして-置く ～の-上に 手の ナジル人の ～から かごから 種なしの 一-つ また-薄-パンを
H5414 H5921 H3709 H5139 H4480 H5536 H4682 H0259 H7550

נִזְרוֹ׃ אֶת־ הִתְנַלְּחוֹ אַחַר
その-聖別を ～を 剃った-後に 後に
H5145 H0853 H1548

祭司はその雄羊の肩の煮えたものと、かごから取った種入れぬ菓子一つと、種入れぬ煎餅一つを取って、これをナジルびとが、その聖別した頭をそった後、その手に授け、

20 וְהֵנִיף֩ הַכֹּהֵ֨ן אוֹתָ֜ם תְּנוּפָ֣ה לִפְנֵ֣י יְהוָ֗ה קֹ֚דֶשׁ הוּא֙ לַכֹּהֵ֔ן עַל־חֲזֵ֥ה הַתְּנוּפָ֖ה וְעַל־שׁ֣וֹק הַתְּרוּמָ֑ה וְאַחַ֕ר יִשְׁתֶּ֥ה הַנָּזִ֖יר יָֽיִן׃

そして–揺り動かす / 祭司が / それらを / 揺り–動かしの–供え物として / 主の / 前で / それは / 聖なる / その–後に / 奉納の–供え物の / ももと / また / 揺り–動かしの–供え物の / 胸と / ～と–共に / 祭司に / ぶどう酒を / ナジル人は / 飲む

祭司は主の前でこれを揺り動かして揺祭としなければならない。これは聖なる物であって、その揺り動かした胸と、ささげたももと共に、祭司に帰するであろう。こうして後、そのナジルびとは、ぶどう酒を飲むことができる。

21 זֹ֚את תּוֹרַ֣ת הַנָּזִ֔יר אֲשֶׁ֥ר יִדֹּ֖ר קָרְבָּנ֣וֹ לַיהוָ֑ה עַל־נִזְר֗וֹ מִלְבַד֙ אֲשֶׁר־תַּשִּׂ֣יג יָדֹ֔ו כְּפִ֣י נְדָרֹ֔ו אֲשֶׁ֥ר יִדֹּ֖ר כֵּ֥ן יַעֲשֶׂ֛ה עַל־תּוֹרַ֥ת נִזְרֹֽו׃ פ

これが / 律法である / ナジル人の / 誓う / ところの / その–供え物を / 主に / ～の–上に / その–聖別の / それに–加えて / 届く / ところの / その–手が / ～の–とおりに / その–誓願の / 誓う / ところの / そのように / 律法の / ～の–上に / 行う / その–聖別の / —

これは誓願をするナジルびとと、そのナジルびとたる事のために、主にささげる彼の供え物についての律法である。このほかにその力の及ぶ物をささげることができる。すなわち、彼はその誓う誓願のように、ナジルびとの律法にしたがって行わなければならない』」。

22 וַיְדַבֵּ֥ר יְהוָ֖ה אֶל־מֹשֶׁ֥ה לֵאמֹֽר׃

そして–語られた / 主は / ～に / モーセに / 言って

主はまたモーセに言われた、

23 דַּבֵּ֞ר אֶל־אַהֲרֹ֣ן וְאֶל־בָּנָ֗יו לֵאמֹר֙ כֹּ֣ה תְבָרֲכ֔וּ אֶת־בְּנֵ֖י יִשְׂרָאֵ֑ל אָמֹ֖ור לָהֶֽם׃ ס

語れ / ～に / アロンに / また–～に / その–子らに / 言って / このように / 祝福せよ / ～を / 子らを / 言って / イスラエルの / —

「アロンとその子たちに言いなさい、『あなたがたはイスラエルの人々を祝福してこのように言わなければならない。

24 יְבָרֶכְךָ֥ יְהוָ֖ה וְיִשְׁמְרֶֽךָ׃ ס

祝福して–くださる–ように / 主が / そして–守って–くださる–ように / —

「願わくは主があなたを祝福し、あなたを守られるように。

25

יָאֵ֥ר	יְהוָ֖ה	פָּנָ֑יו	אֵלֶ֕יךָ	וְיִחֻנֶּֽךָּ׃
照らして–くださる–ように	主が	その–御顔を	あなたに	そして–恵みを–与えて–くださる–ように
H0215	H3068	H6440	H0413	

ס
—

願わくは主がみ顔をもってあなたを照し、あなたを恵まれるように。

26

יִשָּׂ֥א	יְהוָ֖ה	פָּנָ֑יו	אֵלֶ֕יךָ	וְיָשֵׂ֥ם	לְךָ֖	
上げて–くださる–ように	主が	その–御顔を	あなたに	そして–与えて–くださる–ように	あなたに	
H5375	H3068	H6440	H0413			

שָׁלֽוֹם׃	ס	
平安を	—	
H7965		

願わくは主がみ顔をあなたに向け、あなたに平安を賜わるように」』。

27

וְשָׂמ֥וּ	אֶת־	שְׁמִ֖י	עַל־	בְּנֵ֣י	יִשְׂרָאֵ֑ל	וַאֲנִ֖י	אֲבָרֲכֵֽם׃
そして–置く	～を	わたしの–名を	～の–上に	子らの	イスラエルの	そして–わたしが	祝福する
	H0853	H8034			H3478	H0589	H1288

פ
—

こうして彼らがイスラエルの人々のために、わたしの名を唱えるならば、わたしは彼らを祝福するであろう」。

Chapter 7

1

הַמִּשְׁכָּ֔ן	אֶת־	לְהָקִ֖ים	מֹשֶׁ֣ה	כַּלּ֗וֹת	בְּיוֹם֙	וַיְהִ֡י
幕屋を	—	建てることを	モーセが	モーセが–完了した	日に	そして–あった
H4908	H0853		H4872	H3615	H3117	H1961

הַמִּזְבֵּ֑חַ	וְאֶת־	כֵּלָ֖יו	כָּל־	וְאֶת־	אֹתֹ֛ו	וַיְקַדֵּ֥שׁ	אֹתֹ֖ו
祭壇を	そして	器具を	すべての	そして	それを	そして–聖別した	それに
H4196	H0853	H3627	H3605	H0853	H0853	H6942	H0853

וַיִּמְשַׁ֥ח	אֹתָ֖ם׃	וַיְקַדֵּ֥שׁ	וַיִּמְשָׁחֵ֑ם	כֵּלָ֖יו	כָּל־	וְאֶת־
そして–油を–注いだ	それらを	そして–聖別した	そして–油を–注いだ	器具を	すべての	そして
H4886	H0853	H6942	H4886	H3627	H3605	H0853

モーセが幕屋を建て終り、これに油を注いで聖別し、またそのすべての器、およびその祭壇と、そのすべての器に油を注いで、これを聖別した日に、

2

הַמַּטֹּ֔ת	נְשִׂיאֵ֖י	הֵ֣ם	אֲבֹתָ֑ם	בֵּ֣ית	רָאשֵׁ֗י	יִשְׂרָאֵל֙	נְשִׂיאֵ֣י
部族の	長たち	彼らは	父祖たちの	家の	頭たち	イスラエルの	長たちは
H4294		H1992	H0001			H3478	

וַיַּקְרִ֔יבוּ	הֵ֖ם	הָעֹמְדִ֥ים	עַל־	הַפְּקֻדִֽים׃
そして–捧げた	彼らは	立っていた–者たち	の–上に	登録された–者たちの
H7126	H1992	H5975		

イスラエルのつかさたち、すなわち、その父祖の家の長たちは、ささげ物をした。彼らは各部族のつかさたちであって、その数えられた人々をつかさどる者どもであった。

3 וַיָּבִיאוּ אֶת־ そして-持って-来た H0935 H0853 — קָרְבָּנָם 彼らの-捧げ物を לִפְנֵי の-前に H6440 יְהוָה 主 H3068 שֵׁשׁ־ 六つの H8337 עֶגְלַת 荷車を H5699 עָב 覆いの-ある
וּשְׁנֵי そして-二頭の H8147 עָשָׂר 十の H6240 בָּקָר 牛を H1241 עֶגְלָה 荷車-一台を H5699 עַל־ の-上に שְׁנֵי 二人の H8147 הַנְּשִׂאִים 長たちに וְשׁוֹר そして-牛-一頭を H7794 לְאֶחָד 一人-ずつに H0259
וַיַּקְרִיבוּ そして-捧げた H7126 אוֹתָם それらを H0853 לִפְנֵי の-前に H6440 הַמִּשְׁכָּן׃ 幕屋 H4908

彼らはその供え物を、主の前に携えてきたが、おおいのある車六両と雄牛十二頭であった。つかさふたりに車一両、ひとりに雄牛一頭である。彼らはこれを幕屋の前に引いてきた。

4 וַיֹּאמֶר そして-言われた H0559 יְהוָה 主は H3068 אֶל־ に H0413 מֹשֶׁה モーセ H4872 לֵאמֹר׃ 言って H0559

その時、主はモーセに言われた、

5 קַח 受け取れ H3947 מֵאִתָּם 彼らから H0854 וְהָיוּ そして-なるように H1961 לַעֲבֹד 仕えるために H5647 אֶת־ — H0853 עֲבֹדַת 奉仕に H5656 אֹהֶל 天幕の H0168 מוֹעֵד 会見の H4150
וְנָתַתָּה そして-与えよ H5414 אוֹתָם それらを H0853 אֶל־ に H0413 הַלְוִיִּם レビ人たちに H3881 אִישׁ 各人に H0376 כְּפִי に-従って H6310 עֲבֹדָתוֹ׃ その-奉仕 H5656

「あなたはこれを会見の幕屋の務に用いるために、彼らから受け取って、レビびとに、おのおのその務にしたがって、渡さなければならない」。

6 וַיִּקַּח そして-取った H3947 מֹשֶׁה モーセは H4872 אֶת־ — H0853 עֶגְלַת 荷車を H5699 וְאֶת־ そして H0853 הַבָּקָר 牛を H1241 וַיִּתֵּן そして-与えた H5414 אוֹתָם それらを H0853 אֶל־ に H0413
הַלְוִיִּם׃ レビ人たちに H3881

そこでモーセはその車と雄牛を受け取って、これをレビびとに渡した。

7 וְאֵת — H0853 שְׁתֵּי 二台の H8147 עֶגְלַת 荷車を H5699 וְאֶת そして H0853 אַרְבַּעַת 四頭の H0702 הַבָּקָר 牛を H1241 נָתַן 与えた H5414 לִבְנֵי の-子らに גֵּרְשׁוֹן ゲルション H1648 כְּפִי に-従って H6310
עֲבֹדָתָם׃ その-奉仕 H5656

すなわち、ゲルションの子たちには、その務にしたがって、車二両と雄牛四頭を渡し、

8 וְאֵת そして H0853 עֶגְלַת 荷車を H5699 אַרְבַּע 四台の H0702 וְאֵת そして H0853 שְׁמֹנַת 八頭の H8083 הַבָּקָר 牛を H1241 נָתַן 与えた H5414 לִבְנֵי の-子らに מְרָרִי メラリ H4847 כְּפִי に-従って H6310
עֲבֹדָתָם בְּיַד־ の-手に-より H3027 אִיתָמָר בֶּן־ の-子 H0385 אַהֲרֹן アロン H0175 הַכֹּהֵן׃ 祭司の H3548

メラリの子たちには、その務にしたがって車四両と雄牛八頭を渡し、祭司アロンの子イタマルに、これを監督させた。

9 וְלִבְנֵי לֹא נָתָן כִּי־ עֲבֹדַת הַקֹּדֶשׁ עֲלֵהֶם
קְהָת ケハト H6955
そして-の-子らには
なかった H3808
与え H5414
なぜなら
奉仕は H5656
聖なる-ものの H6944
彼らの-上に-あった

בַּכָּתֵף יִשָּׂאוּ׃
肩で H3802
運んだ H5375

しかし、コハテの子たちには、何をも渡さなかった。彼らの務は聖なる物を、肩ににになって運ぶことであったからである。

10 וַיַּקְרִיבוּ הַנְּשִׂאִים אֶת־ חֲנֻכַּת הַמִּזְבֵּחַ בְּיוֹם הִמָּשַׁח אֹתוֹ וַיַּקְרִיבוּ
そして-捧げた H7126
それに H0853
油が-注がれた H4886
日に H3117
祭壇の H4196
奉献の H2598
— H0853
長たちは H5387
そして-捧げた H7126

לִפְנֵי הַמִּזְבֵּחַ׃ קָרְבָּנָם
の-前に H6440
彼らの-捧げ物を
祭壇 H4196
— H0853
長たちは

つかさたちは、また祭壇に油を注ぐ日に、祭壇奉納の供え物を携えてきて、その供え物を祭壇の前にささげた。

11 וַיֹּאמֶר יְהוָה אֶל־ מֹשֶׁה נָשִׂיא לְיוֹם אֶחָד נָשִׂיא לְיוֹם יַקְרִיבוּ
そして-言われた H0559
主は H3068
に H0413
モーセ H4872
長-一人
一人 H0259
日に H3117
長-一人
捧げよ H7126

אֶת־ קָרְבָּנָם לַחֲנֻכַּת הַמִּזְבֵּחַ׃ ס
— H0853
彼らの-捧げ物を
奉献の-ために H2598
祭壇の H4196
— H0853

主はモーセに言われた、「つかさたちは一日にひとりずつ、祭壇奉納の供え物をささげなければならない」。

12 וַיְהִי הַמַּקְרִיב בַּיּוֹם הָרִאשׁוֹן נַחְשׁוֹן קָרְבָּנוֹ אֶת־ בֶּן־ עַמִּינָדָב
そして-あった H1961
捧げた-者は H7126
日に H3117
第一の H7223
— H0853
その-捧げ物を
ナフション H5177
の-子 H1121
アミナダブ H5992

לְמַטֵּה יְהוּדָה׃
部族の H4294
ユダ H3063

第一日に供え物をささげた者は、ユダの部族のアミナダブの子ナションであった。

13 וְקָרְבָּנוֹ קַעֲרַת־ כֶּסֶף אַחַת מֵאָה וּמִשְׁקָלָהּ מִזְרָק אֶחָד כֶּסֶף
そして-その-捧げ物は
銀の皿 H7086
銀の H3701
一つ H0259
銀の H3701
百-三十 H7970
と-百 H3967
その-重さは H4948
銀の鉢 H4219
一つ H0259
銀の H3701

שִׁבְעִים שֶׁקֶל שְׁנֵיהֶם מְלֵאִים סֹלֶת בְּלוּלָה בַשָּׁמֶן
七十 H7657
シェケル H8255
二つ-とも H8147
満ちた H4392
小麦粉 H5560
混ぜた H1101
油と H8081

בְּשֶׁקֶל הַקֹּדֶשׁ לְמִנְחָה׃
シェケルで H8255
聖所の H6944
穀物-供え物の-ための H4503

その供え物は銀のさら一つ、その重さは百三十シケル、銀の鉢一つ、これは七十シケル、共に聖所のシケルによる。この二つには素祭に使う油を混ぜた麦粉を満たしていた。

14 כַּף אַחַת עֲשָׂרָה זָהָב מְלֵאָה קְטֹרֶת׃
匙-一つ H3709
一つ H0259
十シェケルの H6235
金の H2091
満ちた H4392
香で H7004

また十シケルの金の杯一つ。これには薫香を満たしていた。

לְעֹלָֽה׃	שְׁנָתוֹ	בֶּן־	אֶחָד	כֶּבֶשׂ־	אֶחָד	אַיִל	בָּקָר	בֶּן־	אֶחָד	פָּר	15
全焼の–捧げ物の–ために	一歳の	の–子	一頭	小羊	一頭	雄羊	牛の	の–子	一頭	雄牛	
	H8141		H0259	H3532	H0259		H1241		H0259	H6499	

また燔祭に使う若い雄牛一頭、雄羊一頭、一歳の雄の小羊一頭。

לְחַטָּֽאת׃	אֶחָד	עִזִּים	שְׂעִיר־	16
罪の–捧げ物の–ために	一頭	山羊の	雄山羊	
	H0259	H5795		

罪祭に使う雄やぎ一頭。

כְּבָשִׂים	חֲמִשָּׁה	עַתּוּדִים	חֲמִשָּׁה	אֵילִם	שְׁנַיִם	בָּקָר	הַשְּׁלָמִים		וּלְזֶבַח	17
小羊	五頭	雄山羊	五頭	雄羊	二頭	牛	交わりの–いけにえの–ために		そして–和解の	
H3532	H2568	H6260	H2568		H8147	H1241	H8002		H2077	

פ	עַמִּינָדָֽב׃	בֶּן־	נַחְשׁוֹן	קָרְבָּן	זֶה	חֲמִשָּׁה	שְׁנָה	בְּנֵי־
—	アミナダブの	の–子	ナフション	捧げ物	これが	五頭	一歳の	の–子ら
	H5992		H5177		H2088	H2568	H8141	

酬恩祭の犠牲に使う雄牛二頭、雄羊五頭、雄やぎ五頭、一歳の雄の小羊五頭であって、これはアミナダブの子ナションの供え物であった。

יִשָּׂשכָֽר׃	נְשִׂיא	צוּעַר	בֶּן־	נְתַנְאֵל	הִקְרִיב	הַשֵּׁנִי	בַּיּוֹם	18
イッサカルの	長	ツアル	の–子	ネタヌエル	捧げた	第二の	日に	
H3485		H6686		H5417	H7126	H8145	H3117	

第二日にはイッサカルのつかさ、ツアルの子ネタニエルがささげ物をした。

מִזְרָק	מִשְׁקָלָהּ	וּמֵאָה	שִׁלְשִׁים	אַחַת	כֶּסֶף	קַעֲרַת־	קָרְבָּנוֹ	אֶת־	הִקְרִיב	19
銀の–鉢	その–重さは	と–百	百–三十	一つ	銀の	銀の–皿	その–捧げ物を	—	捧げた	
H4219	H4948	H3967	H7970	H0259	H3701	H7086		H0853	H7126	

בַּשָּׁמֶן	בְּלוּלָה	סֹלֶת	מְלֵאִים	וּשְׁנֵיהֶם	הַקֹּדֶשׁ	בְּשֶׁקֶל	שֶׁקֶל	שִׁבְעִים	כֶּסֶף	אֶחָד
油と	混ぜた	小麦粉	満ちた	二つ–とも	聖所の	シェケルで	シェケル	七十	銀の	一つ
H8081		H5560	H4392	H8147	H6944	H8255	H8255	H7657	H3701	H0259

לְמִנְחָֽה׃
穀物–供え物の–ための
H4503

そのささげた供え物は銀のさら一つ、その重さは百三十シケル、銀の鉢一つ、これは七十シケル、共に聖所のシケルによる。この二つには素祭に使う油を混ぜた麦粉を満たしていた。

קְטֹֽרֶת׃	מְלֵאָה	זָהָב	עֲשָׂרָה	אַחַת	כַּף	20
香で	満ちた	金の	十シェケルの	一つ	匙–一つ
H7004	H4392	H2091	H6235	H0259	H3709

また十シケルの金の杯一つ、これには薫香を満たしていた。

לְעֹלָֽה׃	שְׁנָתוֹ	בֶּן־	אֶחָד	כֶּבֶשׂ־	אֶחָד	אַיִל	בָּקָר	בֶּן־	אֶחָד	פָּר	21
全焼の–捧げ物の–ために	一歳の	の–子	一頭	小羊	一頭	雄羊	牛の	の–子	一頭	雄牛	
	H8141		H0259	H3532	H0259		H1241		H0259	H6499	

また燔祭に使う若い雄牛一頭、雄羊一頭、一歳の雄の小羊一頭。

לְחַטָּֽאת׃	אֶחָד	עִזִּים	שְׂעִיר־	22
罪の–捧げ物の–ために	一頭	山羊の	雄山羊	
	H0259	H5795		

罪祭に使う雄やぎ一頭。

כְּבָשִׂים	חֲמִשָּׁה	עַתּוּדִים	חֲמִשָּׁה	אֵילִם	שְׁנֵים	בָּקָר	הַשְּׁלָמִים	וּלְזֶבַח	23
小羊	五頭	雄山羊	五頭	雄羊	二頭	牛	交わりの-いけにえの-ために	そして-和解の	
H3532	H2568	H6260	H2568		H8147	H1241	H8002	H2077	

פ	צוֹעַר׃	בֶּן־	נְתַנְאֵל	קָרְבַּן	זֶה	חֲמִשָּׁה	שְׁנָה	בְּנֵי־
—	ツアルの	の-子	ネタヌエル	捧げ物	これが	五頭	一歳の	の-子ら
	H6686		H5417		H2088	H2568	H8141	

酬恩祭の犠牲に使う雄牛二頭、雄羊五頭、雄やぎ五頭、一歳の雄の小羊五頭であって、これはツアルの子ネタニエルの供え物であった。

חֶלֹן׃	בֶּן־	אֱלִיאָב	זְבוּלֻן	לִבְנֵי	נָשִׂיא	הַשְּׁלִישִׁי	בַּיּוֹם	24
ヘロンの	の-子	エリアブ	ゼブルン	の-子らの	長	第三の	日に	
H2497		H0446	H2074			H7992	H3117	

第三日にはゼブルンの子たちのつかさ、ヘロンの子エリアブ。

כֶּסֶף	אֶחָד	מִזְרָק	מִשְׁקָלָהּ	וּמֵאָה	שְׁלֹשִׁים	אַחַת	כֶּסֶף	קְעָרַת־	קָרְבָּנוֹ	25
銀の	一つ	銀の-鉢	その-重さは	と-百	百-三十	一つ	銀の	銀の-皿	その-捧げ物は	
H3701	H0259	H4219	H4948	H3967	H7970	H0259	H3701	H7086		

בַּשָּׁמֶן	בְּלוּלָה	סֹלֶת	מְלֵאִים	וּשְׁנֵיהֶם	הַקֹּדֶשׁ	בְּשֶׁקֶל	שֶׁקֶל	שִׁבְעִים
油と	混ぜた	小麦粉	満ちた	二つ-とも	聖所の	シェケルで	シェケル	七十
H8081		H5560	H4392	H8147	H6944	H8255	H8255	H7657

לְמִנְחָה׃
穀物-供え物の-ための
H4503

その供え物は銀のさら一つ、その重さは百三十シケル、銀の鉢一つ、これは七十シケル、共に聖所のシケルによる。この二つには素祭に使う油を混ぜた麦粉を満たしていた。

קְטֹרֶת׃	מְלֵאָה	זָהָב	עֲשָׂרָה	אַחַת	כַּף	26
香で	満ちた	金の	十シェケルの	一つ	匙-一つ	
H7004	H4392	H2091	H6235	H0259	H3709	

また十シケルの金の杯一つ、これには薫香を満たしていた。

לְעֹלָה׃	שְׁנָתוֹ	בֶּן־	אֶחָד	כֶּבֶשׂ־	אֶחָד	אַיִל	בָּקָר	בֶּן־	אֶחָד	פָּר	27
全焼の-捧げ物の-ために	一歳の	の-子	一頭	小羊	一頭	雄羊	牛の	の-子	一頭	雄牛	
	H8141		H0259	H3532	H0259		H1241		H0259	H6499	

また燔祭に使う若い雄牛一頭、雄羊一頭、一歳の雄の小羊一頭。

לְחַטָּאת׃	אֶחָד	עִזִּים	שְׂעִיר־	28
罪の-捧げ物の-ために	一頭	山羊の	雄山羊	
	H0259	H5795		

罪祭に使う雄やぎ一頭。

כְּבָשִׂים	חֲמִשָּׁה	עַתּוּדִים	חֲמִשָּׁה	אֵילִם	שְׁנֵים	בָּקָר	הַשְּׁלָמִים	וּלְזֶבַח	29
小羊	五頭	雄山羊	五頭	雄羊	二頭	牛	交わりの-いけにえの-ために	そして-和解の	
H3532	H2568	H6260	H2568		H8147	H1241	H8002	H2077	

פ	חֶלֹן׃	בֶּן־	אֱלִיאָב	קָרְבַּן	זֶה	חֲמִשָּׁה	שְׁנָה	בְּנֵי־
—	ヘロンの	の-子	エリアブ	捧げ物	これが	五頭	一歳の	の-子ら
	H2497		H0446		H2088	H2568	H8141	

酬恩祭の犠牲に使う雄牛二頭、雄羊五頭、雄やぎ五頭、一歳の雄の小羊五頭であって、これはヘロンの子エリアブの供え物であった。

30 בַּיּוֹם הָרְבִיעִי נָשִׂיא לִבְנֵי רְאוּבֵן אֱלִיצוּר בֶּן־ שְׁדֵיאוּר׃
日に 第四の 長 の–子らの ルベン エリツル の–子 シェデウルの
H3117 H7243 H3117 H7205 H0468 H7707

第四日にはルベンの子たちのつかさ、シデウルの子エリヅル。

31 קָרְבָּנוֹ קְעָרַת־ כֶּסֶף אַחַת שְׁלֹשִׁים וּמֵאָה מִשְׁקָלָהּ מִזְרָק כֶּסֶף אֶחָד
その–捧げ物は 銀の–皿 銀の 一つ 百–三十 と–百 その–重さは 銀の–鉢 銀の 一つ
H7086 H3701 H0259 H7970 H3967 H4948 H4219 H3701 H0259

שִׁבְעִים שֶׁקֶל בְּשֶׁקֶל הַקֹּדֶשׁ שְׁנֵיהֶם מְלֵאִים סֹלֶת בְּלוּלָה בַשָּׁמֶן
七十 シェケル シェケルで 聖所の 二つ–とも 満ちた 小麦粉 混ぜた 油と
H7657 H8255 H8255 H6944 H8147 H4392 H5560 H1101 H8081

לְמִנְחָה׃
穀物–供え物の–ための
H4503

その供え物は銀のさら一つ、その重さは百三十シケル、銀の鉢一つ、これは七十シケル、共に聖所のシケルによる。この二つには素祭に使う油を混ぜた麦粉を満たしていた。

32 קְטֹרֶת מְלֵאָה זָהָב עֲשָׂרָה אַחַת כָּף
香で 満ちた 金の 十シェケルの 一つ 匙–一つ
H7004 H4392 H2091 H6235 H0259 H3709

また十シケルの金の杯一つ、これには薫香を満たしていた。

33 לְעֹלָה׃ שְׁנָתוֹ בֶּן־ אֶחָד כֶּבֶשׂ־ אֶחָד אַיִל בָּקָר בֶּן־ אֶחָד פָּר
全焼の–捧げ物の–ために 一歳の の–子 一頭 小羊 一頭 雄羊 牛の の–子 一頭 雄牛
H8141 H0259 H3532 H0259 H0259 H1241 H0259 H6499

また燔祭に使う若い雄牛一頭、雄羊一頭、一歳の雄の小羊一頭。

34 לְחַטָּאת׃ אֶחָד עִזִּים שְׂעִיר־
罪の–捧げ物の–ために 一頭 山羊の 雄山羊
H0259 H5795

罪祭に使う雄やぎ一頭。

35 וּלְזֶבַח הַשְּׁלָמִים בָּקָר שְׁנַיִם אֵילִם חֲמִשָּׁה עַתֻּדִים חֲמִשָּׁה כְּבָשִׂים
そして–和解の 交わりの–いけにえの–ために 牛 二頭 雄羊 五頭 雄山羊 五頭 小羊
H2077 H8002 H1241 H8147 H0352 H2568 H6260 H2568 H3532

פ בְּנֵי־ שְׁנָה חֲמִשָּׁה זֶה קָרְבַּן אֱלִיצוּר בֶּן־ שְׁדֵיאוּר׃
— の–子ら 一歳の 五頭 これが 捧げ物 エリツル の–子 シェデウルの
H8141 H2568 H2088 H0468 H7707

酬恩祭の犠牲に使う雄牛二頭、雄羊五頭、雄やぎ五頭、一歳の雄の小羊五頭であって、これはシデウルの子エリヅルの供え物であった。

36 בַּיּוֹם הַחֲמִישִׁי נָשִׂיא לִבְנֵי שִׁמְעוֹן שְׁלֻמִיאֵל בֶּן־ צוּרִישַׁדָּי׃
日に 第五の 長 の–子らの シメオン シェルミエル の–子 ツリシャダイの
H3117 H2549 H3117 H8095 H8017 H7701

第五日にはシメオンの子たちのつかさ、ツリシャダイの子シルミエル。

37 קָרְבָּנוֹ קַעֲרַת־כֶּסֶף אַחַת שְׁלֹשִׁים וּמְאָה מִשְׁקָלָהּ מִזְרָק אֶחָד כֶּסֶף
その-捧げ物は 銀の-皿 一つ 百-三十 と-百 その-重さは 銀の-鉢 一つ 銀の
H7086 H3701 H0259 H7970 H3967 H4948 H4219 H0259 H3701

שֶׁבַע שֶׁקֶל שֶׁקֶל בְּשֶׁקֶל הַקֹּדֶשׁ שְׁנֵיהֶם מְלֵאִים סֹלֶת בְּלוּלָה בַּשָּׁמֶן
七十 シェケル シェケル で シェケル 聖所の 二つ-とも 満ちた 小麦粉 混ぜた 油と
H7657 H8255 H8255 H6944 H8147 H4392 H5560 H1101 H8081

לְמִנְחָה׃
穀物-供え物の-ための
H4503

その供え物は銀のさら一つ、その重さは百三十シケル、銀の鉢一つ、これは七十シケル、共に聖所のシケルによる。この二つには素祭に使う油を混ぜた麦粉を満たしていた。

38 כַּף אַחַת זָהָב עֲשָׂרָה מְלֵאָה קְטֹרֶת׃
匙-一つ 一つ 金の 十シェケルの 満ちた 香で
H3709 H0259 H2091 H6235 H4392 H7004

また十シケルの金の杯一つ、これには薫香を満たしていた。

39 פָּר אֶחָד בֶּן־בָּקָר אַיִל אֶחָד כֶּבֶשׂ־אֶחָד שְׁנָתוֹ בֶּן־ לְעֹלָה׃
雄牛 一頭 の-子 牛の 雄羊 一頭 小羊 一頭 一歳の の-子 全焼の-捧げ物の-ために
H6499 H0259 H1241 H0259 H3532 H0259 H8141

また燔祭に使う若い雄牛一頭、雄羊一頭、一歳の雄の小羊一頭。

40 שְׂעִיר־ עִזִּים אֶחָד לְחַטָּאת
雄山羊 山羊の 一頭 罪の-捧げ物の-ために
H5795 H0259

罪祭に使う雄やぎ一頭。

41 כְּבָשִׂים חֲמִשָּׁה עַתֻּדִים חֲמִשָּׁה אֵילִם שְׁנֵים בָּקָר הַשְּׁלָמִים וּלְזֶבַח
小羊 五頭 雄山羊 五頭 雄羊 二頭 牛 交わりの-いけにえの-ために そして-和解の
H3532 H2568 H6260 H2568 H8147 H1241 H8002 H2077

פ צוּרִישַׁדָּי׃ בֶּן־ שְׁלֻמִיאֵל קָרְבַּן זֶה חֲמִשָּׁה שְׁנָה בְּנֵי־
一 ツリシャダイの の-子 シェルミエル 捧げ物 これが 五頭 一歳の の-子ら
H6701 H8017 H2088 H2568 H8141

酬恩祭の犠牲に使う雄牛二頭、雄羊五頭、雄やぎ五頭、一歳の雄の小羊五頭であって、これはツリシャダイの子シルミエルの供え物であった。

42 בַּיּוֹם הַשִּׁשִּׁי נָשִׂיא לִבְנֵי גָד אֶלְיָסָף בֶּן־ דְּעוּאֵל׃
日に 第六の 長 の-子らの ガド エルヤサフ の-子 デウエルの
H3117 H8345 H5387 H1121 H1410 H0460 H1121 H1845

第六日にはガドの子たちのつかさ、デウエルの子エリアサフ。

43 קָרְבָּנוֹ קַעֲרַת־כֶּסֶף אַחַת שְׁלֹשִׁים וּמְאָה מִשְׁקָלָהּ מִזְרָק אֶחָד כֶּסֶף
その-捧げ物は 銀の-皿 一つ 百-三十 と-百 その-重さは 銀の-鉢 一つ 銀の
H7086 H3701 H0259 H7970 H3967 H4948 H4219 H0259 H3701

שֶׁבַע שֶׁקֶל שֶׁקֶל בְּשֶׁקֶל הַקֹּדֶשׁ שְׁנֵיהֶם מְלֵאִים סֹלֶת בְּלוּלָה בַּשָּׁמֶן
七十 シェケル シェケル で シェケル 聖所の 二つ-とも 満ちた 小麦粉 混ぜた 油と
H7657 H8255 H8255 H6944 H8147 H4392 H5560 H1101 H8081

לְמִנְחָה׃
穀物-供え物の-ための
H4503

その供え物は銀のさら一つ、その重さは百三十シケル、銀の鉢一つ、これは七十シケル、共に聖所のシケルによる。この二つには素祭に使う油を混ぜた麦粉を満たしていた。

44
קְטֹֽרֶת׃ מְלֵאָה זָהָב עֲשָׂרָה אַחַת כָּף
香で 満ちた 金の 十シェケルの 一つ 匙-一つ
H7004 H4392 H2091 H6235 H0259 H3709

また十シケルの金の杯一つ、これには薫香を満たしていた。

45
לְעֹלָֽה׃ שְׁנָתוֹ בֶּן־ אֶחָד כֶּבֶשׂ־ אֶחָד אַיִל בָּקָר בֶּן־ אֶחָד פָּר
全焼の-捧げ物の-ために 一歳の の-子 一頭 小羊 一頭 雄羊 牛の の-子 一頭 雄牛
H8141 H0259 H3532 H0259 H6499 H1241 H0259 H6499

また燔祭に使う若い雄牛一頭、雄羊一頭、一歳の雄の小羊一頭。

46
לְחַטָּֽאת׃ אֶחָד עִזִּים שְׂעִיר־
罪の-捧げ物の-ために 一頭 山羊の 雄山羊
H0259 H5795

罪祭に使う雄やぎ一頭。

47
כְּבָשִׂים חֲמִשָּׁה עַתֻּדִים חֲמִשָּׁה אֵילִם שְׁנֵים בָּקָר הַשְּׁלָמִים וּלְזֶבַח
小羊 五頭 雄山羊 五頭 雄羊 二頭 牛 交わりの-いけにえの-ために そして-和解の
H3532 H2568 H6260 H2568 H8147 H1241 H8002 H2077

פ דְּעוּאֵֽל׃ בֶּן־ אֶלְיָסָף קָרְבָּן זֶה חֲמִשָּׁה שְׁנָה בְּנֵי־
— デウエルの の-子 エルヤサフ 捧げ物 これが 五頭 一歳の の-子ら
H1845 H0460 H2088 H2568 H8141

酬恩祭の犠牲に使う雄牛二頭、雄羊五頭、雄やぎ五頭、一歳の雄の小羊五頭であって、これはデウエルの子エリアサフの供え物であった。

48
עַמִּיהֽוּד׃ בֶּן־ אֶלִישָׁמָע אֶפְרָיִם לִבְנֵי נָשִׂיא הַשְּׁבִיעִי בַּיּוֹם
アミフドの の-子 エリシャマ エフライム の-子らの 長 第七の 日に
H5989 H0476 H0669 H7637 H3117

第七日にはエフライムの子たちのつかさ、アミホデの子エリシャマ。

49
כֶּסֶף אֶחָד מִזְרָק מִשְׁקָלָהּ וּמֵאָה שְׁלֹשִׁים אַחַת כֶּסֶף קְעָרַת־ קָרְבָּנוֹ
銀の 一つ 銀の-鉢 その-重さは と-百 百-三十 一つ 銀の 銀の-皿 その-捧げ物は
H3701 H0259 H4219 H4948 H3967 H7970 H0259 H3701 H7086

בַּשֶּׁמֶן בְּלוּלָה סֹלֶת מְלֵאִים וּשְׁנֵיהֶם הַקֹּדֶשׁ בְּשֶׁקֶל שֶׁקֶל שִׁבְעִים
油と 混ぜた 小麦粉 満ちた 二つ-とも 聖所の シェケルで シェケル 七十
H8081 H5560 H4392 H8147 H6944 H8255 H8255 H7657

לְמִנְחָֽה׃
穀物-供え物の-ための
H4503

その供え物は銀のさら一つ、その重さは百三十シケル、銀の鉢一つ、これは七十シケル、共に聖所のシケルによる。この二つには素祭に使う油を混ぜた麦粉を満たしていた。

50
קְטֹֽרֶת׃ מְלֵאָה זָהָב עֲשָׂרָה אַחַת כָּף
香で 満ちた 金の 十シェケルの 一つ 匙-一つ
H7004 H4392 H2091 H6235 H0259 H3709

また十シケルの金の杯一つ、これには薫香を満たしていた。

51
לְעֹלָֽה׃ שְׁנָתוֹ בֶּן־ אֶחָד כֶּבֶשׂ־ אֶחָד אַיִל בָּקָר בֶּן־ אֶחָד פָּר
全焼の-捧げ物の-ために 一歳の の-子 一頭 小羊 一頭 雄羊 牛の の-子 一頭 雄牛
H8141 H0259 H3532 H0259 H6499 H1241 H0259 H6499

また燔祭に使う若い雄牛一頭、雄羊一頭、一歳の雄の小羊一頭。

52	שְׂעִיר־	עִזִּים	אֶחָד	לְחַטָּאת׃
	雄山羊	山羊の	一頭	罪の-捧げ物の-ために
		H5795	H0259	

罪祭に使う雄やぎ一頭。

53	וּלְזֶבַח	הַשְּׁלָמִים	בָּקָר	שְׁנֵים	אֵילִם	חֲמִשָּׁה	עַתֻּדִים	חֲמִשָּׁה	כְּבָשִׂים	
	そして-和解の	交わりの-いけにえの-ために	牛	二頭	雄羊	五頭	雄山羊	五頭	小羊	
	H2077	H8002	H1241	H8147		H2568	H6260	H2568	H3532	

פ	עַמִּיהוּד׃	בֶּן־	אֱלִישָׁמָע	קָרְבַּן	זֶה	חֲמִשָּׁה	שְׁנָה	בְּנֵי־
—	アミフドの	の-子	エリシャマ	捧げ物	これが	五頭	一歳の	の-子ら
	H5989		H0476		H2088	H2568	H8141	

酬恩祭の犠牲に使う雄牛二頭、雄羊五頭、雄やぎ五頭、一歳の雄の小羊五頭であって、これはアミホデの子エリシャマの供え物であった。

54	פְּדָה־צוּר׃	בֶּן־	גַּמְלִיאֵל	מְנַשֶּׁה	לִבְנֵי	נָשִׂיא	הַשְּׁמִינִי	בְּיוֹם
	ペダツルの	の-子	ガマリエル	マナセ	の-子らの	長	第八の	日に
	H6301		H1583	H4519			H8066	H3117

第八日にはマナセの子たちのつかさ、パダツルの子ガマリエル。

55	קָרְבָּנוֹ	קְעָרַת־	כֶּסֶף	אַחַת	שְׁלֹשִׁים	וּמֵאָה	מִשְׁקָלָהּ	מִזְרָק	אֶחָד	כֶּסֶף
	その-捧げ物は	銀の-皿	銀の	一つ	百-三十	と-百	その-重さは	銀の-鉢	一つ	銀の
		H7086	H3701	H0259	H7970	H3967	H4948	H4219	H0259	H3701

שִׁבְעִים	שֶׁקֶל	בְּשֶׁקֶל	הַקֹּדֶשׁ	וּשְׁנֵיהֶם	מְלֵאִים	סֹלֶת	בְּלוּלָה	בַּשָּׁמֶן
七十	シェケル	シェケルで	聖所の	二つ-とも	満ちた	小麦粉	混ぜた	油と
H7657	H8255	H8255	H6944	H8147	H4392	H5560		H8081

לְמִנְחָה
穀物-供え物の-ための
H4503

その供え物は銀のさら一つ、その重さは百三十シケル、銀の鉢一つ、これは七十シケル、共に聖所のシケルによる。この二つには素祭に使う油を混ぜた麦粉を満たしていた。

56	קְטֹרֶת׃	מְלֵאָה	זָהָב	עֲשָׂרָה	אַחַת	כַּף
	香で	満ちた	金の	十シェケルの	一つ	匙-一つ
	H7004	H4392	H2091	H6235	H0259	H3709

また十シケルの金の杯一つ、これには薫香を満たしていた。

57	לְעֹלָה׃	שְׁנָתוֹ	בֶּן־	אֶחָד	כֶּבֶשׂ־	אֶחָד	אַיִל	בָּקָר	בֶּן־	אֶחָד	פָּר
	全焼の-捧げ物の-ために	一歳の	の-子	一頭	小羊	一頭	雄羊	牛の	の-子	一頭	雄牛
		H8141		H0259	H3532	H0259		H1241		H0259	H6499

また燔祭に使う若い雄牛一頭、雄羊一頭、一歳の雄の小羊一頭。

58	שְׂעִיר־	עִזִּים	אֶחָד	לְחַטָּאת׃
	雄山羊	山羊の	一頭	罪の-捧げ物の-ために
		H5795	H0259	

罪祭に使う雄やぎ一頭。

59 וּלְזֶבַח הַשְּׁלָמִים שְׁנַיִם בָּקָר אֵילִם חֲמִשָּׁה עַתֻּדִים חֲמִשָּׁה כְּבָשִׂים

そして-和解の 交わりの-いけにえの-ために 二頭 牛 雄羊 五頭 雄山羊 五頭 小羊

H2077 H8002 H8147 H1241 H2568 H6260 H2568 H3532

בְּנֵי־ שָׁנָה חֲמִשָּׁה זֶה קָרְבָּן גַּמְלִיאֵל בֶּן־ צוּר׃פְּדָה פ

の-子ら 一歳の 五頭 これが 捧げ物 ガマリエル の-子 ペダツルの 一

H8141 H2568 H2088 H1583 H6301

酬恩祭の犠牲に使う雄牛二頭、雄羊五頭、雄やぎ五頭、一歳の雄の小羊五頭であって、これはパダヅルの子ガマリエルの供え物であった。

60 בַּיּוֹם הַתְּשִׁיעִי נָשִׂיא לִבְנֵי בִנְיָמִן אֲבִידָן בֶּן־ גִּדְעֹנִי׃

日に 第九の 長 の-子らの ベニヤミン アビダン の-子 ギデオニの

H3117 H8671 H5387 H1121 H1144 H0027 H1441

第九日にはベニヤミンの子らのつかさ、ギデオニの子アビダン。

61 קָרְבָּנוֹ קְעָרַת־ כֶּסֶף אַחַת שְׁלֹשִׁים וּמֵאָה מִשְׁקָלָהּ מִזְרָק אֶחָד כֶּסֶף

その-捧げ物は 銀の-皿 銀の 一つ 百-三十 と-百 その-重さは 銀の-鉢 一つ 銀の

H7086 H3701 H0259 H7970 H3967 H4948 H4219 H0259 H3701

שִׁבְעִים שֶׁקֶל בְּשֶׁקֶל הַקֹּדֶשׁ שְׁנֵיהֶם מְלֵאִים סֹלֶת בְּלוּלָה בַשָּׁמֶן

七十 シェケル シェケルで 聖所の 二つ-とも 満ちた 小麦粉 混ぜた 油と

H7657 H8255 H8255 H6944 H8147 H4392 H5560 H1101 H8081

לְמִנְחָה׃

穀物-供え物の-ための

H4503

その供え物は銀のさら一つ、その重さは百三十シケル、銀の鉢一つ、これは七十シケル、共に聖所のシケルによる。この二つには素祭に使う油を混ぜた麦粉を満たしていた。

62 כַּף אַחַת עֲשָׂרָה זָהָב מְלֵאָה קְטֹרֶת׃

匙-一つ 十シェケルの 金の 満ちた 香で

H3709 H0259 H6235 H2091 H4392 H7004

また十シケルの金の杯一つ、これには薫香を満たしていた。

63 פַּר אֶחָד בֶּן־ בָּקָר אַיִל אֶחָד כֶּבֶשׂ־ אֶחָד שְׁנָתוֹ לְעֹלָה׃

雄牛 一頭 の-子 牛の 雄羊 一頭 小羊 一頭 一歳の 全焼の-捧げ物の-ために

H6499 H0259 H1121 H1241 H0259 H3532 H0259 H8141

また燔祭に使う若い雄牛一頭、雄羊一頭、一歳の雄の小羊一頭。

64 שְׂעִיר־ עִזִּים אֶחָד לְחַטָּאת׃

雄山羊 山羊の 一頭 罪の-捧げ物の-ために

H5795 H0259

罪祭に使う雄やぎ一頭。

65 וּלְזֶבַח הַשְּׁלָמִים שְׁנַיִם בָּקָר אֵילִם חֲמִשָּׁה עַתֻּדִים חֲמִשָּׁה כְּבָשִׂים

そして-和解の 交わりの-いけにえの-ために 二頭 牛 雄羊 五頭 雄山羊 五頭 小羊

H2077 H8002 H8147 H1241 H2568 H6260 H2568 H3532

בְּנֵי־ שָׁנָה חֲמִשָּׁה זֶה קָרְבָּן אֲבִידָן בֶּן־ גִּדְעֹנִי׃פ

の-子ら 一歳の 五頭 これが 捧げ物 アビダン の-子 ギデオニの 一

H8141 H2568 H2088 H0027 H1441

酬恩祭の犠牲に使う雄牛二頭、雄羊五頭、雄やぎ五頭、一歳の雄の小羊五頭であって、これはギデオニの子アビダンの供え物であった。

66 בְּיוֹם הָעֲשִׂירִי נָשִׂיא לִבְנֵי דָן אֲחִיעֶזֶר בֶּן־עַמִּישַׁדָּי׃
日に 第十の 長 の-子らの ダン アヒエゼル の-子 アミシャダイの
H3117 H6224 H5996

第十日にはダンの子たちのつかさ、アミシャダイの子アヒエゼル。

67 קָרְבָּנוֹ קְעֲרַת־כֶּסֶף אַחַת שְׁלֹשִׁים וּמֵאָה מִשְׁקָלָהּ מִזְרָק כֶּסֶף אֶחָד
その-捧げ物は 銀の-皿 一つ 百-三十 と-百 その-重さは 銀の-鉢 銀の 一つ
H7086 H3701 H0259 H7970 H3967 H4948 H4219 H3701 H0259

שִׁבְעִים שֶׁקֶל כְּשֶׁקֶל הַקֹּדֶשׁ שְׁנֵיהֶם מְלֵאִים סֹלֶת בְּלוּלָה בַשָּׁמֶן
七十 シェケル シェケルで 聖所の 二つ-とも 満ちた 小麦粉 混ぜた 油と
H7657 H8255 H8255 H6944 H8147 H4392 H5560 H8081

לְמִנְחָה׃
穀物-供え物の-ための
H4503

その供え物は銀のさら一つ、その重さは百三十シケル、銀の鉢一つ、これは七十シケル、共に聖所のシケルによる。この二つには素祭に使う油を混ぜた麦粉を満たしていた。

68 קְטֹרֶת מְלֵאָה זָהָב עֲשָׂרָה אַחַת כָּף
香で 満ちた 金の 十シェケルの 一つ 匙-一つ
H7004 H4392 H2091 H6235 H0259 H3709

また十シケルの金の杯一つ、これには薫香を満たしていた。

69 לְעֹלָה׃ שְׂנָתוֹ בֶּן־ כֶּבֶשׂ־ אֶחָד אַיִל בָּקָר בֶּן־ אֶחָד פָּר
全焼の-捧げ物の-ために 一歳の の-子 一頭 小羊 一頭 雄羊 牛の の-子 一頭 雄牛
H8141 H0259 H3532 H0259 H1241 H0259 H6499

また燔祭に使う若い雄牛一頭、雄羊一頭、一歳の雄の小羊一頭。

70 לְחַטָּאת׃ אֶחָד עִזִּים שְׂעִיר־
罪の-捧げ物の-ために 一頭 山羊の 雄山羊
H0259 H5795

罪祭に使う雄やぎ一頭。

71 וְלִזְבַח הַשְּׁלָמִים בָּקָר שְׁנַיִם אֵילִם חֲמִשָּׁה עַתֻּדִים חֲמִשָּׁה כְּבָשִׂים חֲמִשָּׁה
そして-和解の 交わりの-いけにえの-ために 牛 二頭 雄羊 五頭 雄山羊 五頭 小羊 五頭
H2077 H8002 H1241 H8147 H0352 H2568 H6260 H2568 H3532 H2568

זֶה קָרְבַּן אֲחִיעֶזֶר בֶּן־ עַמִּישַׁדָּי׃ פ נְחָשׁוֹן בֶּן־ עַמִּינָדָב
これが 捧げ物 アヒエゼル の-子 アミシャダイの 一 ナフション の-子 アミナダブ
H2088 H7133 H0295 H5996 H5172 H3642

酬恩祭の犠牲に使う雄牛二頭、雄羊五頭、雄やぎ五頭、一歳の雄の小羊五頭であって、これはアミシャダイの子アヒエゼルの供え物であった。

72 בְּיוֹם עָשָׂר עַשְׂתֵּי יוֹם נָשִׂיא לִבְנֵי אָשֵׁר פַּגְעִיאֵל בֶּן־ עָכְרָן׃
日に 十-一 十の 日の 長 の-子らの アシェル パグイエル の-子 オクランの
H3117 H6249 H6240 H3117 H5387 H0836 H6295 H3117 H5918

第十一日にはアセルの子たちのつかさ、オクランの子パギエル。

73 קְעָרַת־כֶּסֶף אַחַת מִזְרָק מִשְׁקָלָהּ וּמֵאָה שְׁלֹשִׁים אַחַת כֶּסֶף קְעָרַת־ קָרְבָּנוֹ
その–捧げ物は 銀の–皿 銀の 一つ その–重さは と–百 百–三十 一つ 銀の 銀の–鉢 一つ 銀の
H7086 H3701 H0259 H7970 H3967 H4948 H4219 H0259 H3701

שִׁבְעִים שֶׁקֶל בְּשֶׁקֶל הַקֹּדֶשׁ וּשְׁנֵיהֶם מְלֵאִים סֹלֶת בְּלוּלָה בַשָּׁמֶן
七十 シェケル シェケルで 聖所の 二つ–とも 満ちた 小麦粉 混ぜた 油と
H7657 H8255 H8255 H6944 H8147 H4392 H5560 H8081

לְמִנְחָה׃
穀物–供え物の–ための
H4503

その供え物は銀のさら一つ、その重さは百三十シケル、銀の鉢一つ、これは七十シケル、共に聖所のシケルによる。この二つには素祭に使う油を混ぜた麦粉を満たしていた。

74 קְטֹרֶת׃ מְלֵאָה זָהָב עֲשָׂרָה אַחַת כָּף
香で 満ちた 金の 十シェケルの 一つ 匙–一つ
H7004 H4392 H2091 H6235 H0259 H3709

また十シケルの金の杯一つ、これには薫香を満たしていた。

75 לְעֹלָה׃ שְׁנָתוֹ בֶּן־ אֶחָד כֶּבֶשׂ־ אֶחָד אַיִל בָּקָר בֶּן־ אֶחָד פָּר
全焼の–捧げ物の–ために 一歳の の–子 一頭 小羊 一頭 雄羊 牛の の–子 一頭 雄牛
H8141 H0259 H3532 H0259 H6499 H1241 H0259

また燔祭に使う若い雄牛一頭、雄羊一頭、一歳の雄の小羊一頭。

76 לְחַטָּאת׃ אֶחָד עִזִּים שְׂעִיר־
罪の–捧げ物の–ために 一頭 山羊の 雄山羊
H0259 H5795

罪祭に使う雄やぎ一頭。

77 כְּבָשִׂים חֲמִשָּׁה עַתֻּדִים חֲמִשָּׁה אֵילִם שְׁנֵים בָּקָר הַשְּׁלָמִים וּלְזֶבַח
小羊 五頭 雄山羊 五頭 雄羊 二頭 牛 交わりの–いけにえの–ために そして–和解の
H3532 H2568 H6260 H2568 H8147 H1241 H8002 H2077

פ עָכְרָן׃ בֶּן־ פַּגְעִיאֵל קָרְבַּן זֶה חֲמִשָּׁה שְׁנָה בְּנֵי־
一 オクランの の–子 パグイエル 捧げ物 これが 五頭 一歳の の–子ら
H5918 H6295 H2088 H2568 H8141

酬恩祭の犠牲に使う雄牛二頭、雄羊五頭、雄やぎ五頭、一歳の雄の小羊五頭であって、これはオクランの子パギエルの供え物であった。

78 עֵינָן׃ בֶּן־ אֲחִירַע נַפְתָּלִי לִבְנֵי נְשִׂיא יוֹם עֶשֶׂר שְׁנֵים בְּיוֹם
エナンの の–子 アヒラ ナフタリ の–子らの 長 日の 十の 十–二 日に
H5881 H0299 H5321 H3117 H6240 H8147 H3117

第十二日にはナフタリの子たちのつかさ、エナンの子アヒラ。

79 כֶּסֶף קְעָרַת־ קָרְבָּנוֹ
銀の 銀の–皿 その–捧げ物は
H3701 H7086

אַחַת כֶּסֶף מִזְרָק מִשְׁקָלָהּ וּמֵאָה שְׁלֹשִׁים אַחַת כֶּסֶף קְעָרַת־ קָרְבָּנוֹ
一つ 銀の 銀の–鉢 その–重さは と–百 百–三十 一つ 銀の 銀の–皿 その–捧げ物は
H0259 H3701 H4219 H4948 H3967 H7970 H0259 H3701 H7086

בַּשָּׁמֶן בְּלוּלָה סֹלֶת מְלֵאִים וּשְׁנֵיהֶם הַקֹּדֶשׁ בְּשֶׁקֶל שֶׁקֶל שִׁבְעִים
油と 混ぜた 小麦粉 満ちた 二つ–とも 聖所の シェケルで シェケル 七十
H8081 H5560 H4392 H8147 H6944 H8255 H8255 H7657

לְמִנְחָה׃
穀物–供え物の–ための
H4503

その供え物は銀のさら一つ、その重さは百三十シケル、銀の鉢一つ、これは七十シケル、共に聖所のシケルによる。この二つには素祭に使う油を混ぜた麦粉を満たしていた。

קְטֹֽרֶת׃	מְלֵאָה	זָהָב	עֲשָׂרָה	אַחַת	כָּף	80
香で	満ちた	金の	十シェケルの	一つ	匙-一つ	
H7004	H4392	H2091	H6235	H0259	H3709	

また十シケルの金の杯一つ、これには薫香を満たしていた。

לְעֹלָֽה׃	שְׁנָתוֹ	בֶּן־	אֶחָד	כֶּבֶשׂ־	אֶחָד	אַיִל	בָּקָר	בֶּן־	אֶחָד	פָּר	81
全焼の-捧げ物の-ために	一歳の	の-子	一頭	小羊	一頭	雄羊	牛の	の-子	一頭	雄牛	
	H8141		H0259	H3532	H0259		H1241		H0259	H6499	

また燔祭に使う若い雄牛一頭、雄羊一頭、一歳の雄の小羊一頭。

לְחַטָּֽאת׃	אֶחָד	עִזִּים	שְׂעִיר־	82
罪の-捧げ物の-ために	一頭	山羊の	雄山羊	
	H0259	H5795		

罪祭に使う雄やぎ一頭。

כְּבָשִׂים	חֲמִשָּׁה	עַתֻּדִים	חֲמִשָּׁה	אֵילִם	שְׁנֵים	בָּקָר	הַשְּׁלָמִים	וּלְזֶבַח		83
小羊	五頭	雄山羊	五頭	雄羊	二頭	牛	交わりの-いけにえの-ために	そして-和解の		
H3532	H2568	H6260	H2568		H8147	H1241	H8002	H2077		

פ	עֵינָֽן׃	בֶּן־	אֲחִירַע	קָרְבַּן	זֶה	חֲמִשָּׁה	שָׁנָה	בְּנֵי־
—	エナンの	の-子	アヒラ	捧げ物	これが	五頭	一歳の	の-子ら
	H5881		H0299		H2088	H2568	H8141	

酬恩祭の犠牲に使う雄牛二頭。雄羊五頭、雄やぎ五頭、一歳の雄の小羊五頭であって、これはエナンの子アヒラの供え物であった。

קַעֲרַת	יִשְׂרָאֵל	נְשִׂיאֵי	מֵאֵת	אֹתוֹ	הִמָּשַׁח	בְּיוֹם	הַמִּזְבֵּחַ	חֲנֻכַּת	וְזֹאת	84
銀の-皿	イスラエルの	長たちの	から	それに	油が-注がれた	日に	祭壇の	奉献の	これが	
H7086	H3478		H0854	H0853	H4886	H3117	H4196	H2598	H2063	

עֶשְׂרֵֽה׃	שְׁתֵּים	זָהָב	כַּפּוֹת	עֶשֶׂר	שְׁנֵים	כֶּסֶף	מְזֻרְקֵי־	עֶשְׂרֵה	שְׁתֵּים	כֶּסֶף
十の	十-二	金の	金の-匙	十の	十-二	銀の	銀の-鉢	十の	十-二	銀の
H6240	H8147	H2091	H3709	H6240	H8147	H3701	H4219	H6240	H8147	H3701

以上は祭壇に油を注ぐ日に、イスラエルのつかさたちが、祭壇を奉納する供え物として、ささげたものである。すなわち、銀のさら十二、銀の鉢十二、金の杯十二。

כֶּסֶף	כָּל	הָאֶחָד	הַמִּזְרָק	וְשִׁבְעִים	כֶּסֶף	הָאַחַת	הַקְּעָרָה	וּמֵאָה	שְׁלֹשִׁים	85
銀の	すべての	一つ	鉢-一つは	そして-七十	銀の	一つ	皿-一つは	と-百	百-三十	
H3701	H3605	H0259	H4219	H7657	H3701	H0259	H7086	H3967	H7970	

הַקֹּֽדֶשׁ׃	בְּשֶׁקֶל	מֵאוֹת	וְאַרְבַּע־	אַלְפַּיִם	הַכֵּלִים
聖所の	シェケルで	百	と-四	二-千	器は
H6944	H8255	H3967	H0702	H0505	H3627

銀のさらはそれぞれ百三十シケル、鉢はそれぞれ七十シケル、聖所のシケルによれば、この銀の器は合わせて二千四百シケル。

הַקֹּֽדֶשׁ	בְּשֶׁקֶל	הַכָּף	עֲשָׂרֵה	עֲשָׂרֵה	קְטֹֽרֶת	מְלֵאֹת	עֶשְׂרֵה	שְׁתֵּים־	זָהָב	כַּפּוֹת	86
聖所の	シェケルで	匙-一つは	十ずつ	十	香の	満ちた	十の	十-二	金の	金の-匙	
H6944	H8255	H3709	H6235	H6235	H7004	H4392	H6240	H8147	H2091	H3709	

וּמֵאָה׃	עֶשְׂרִים	הַכַּפּוֹת	זָהָב	כָּל־
と-百	百-二十	匙は	金の	すべての
H3967	H6242	H3709	H2091	H3605

また薫香の満ちている十二の金の杯は、聖所のシケルによれば、それぞれ十シケル、その杯の金は合わせて百二十シケルであった。

87

כֻּלּ֣וֹ הַבָּקָ֗ר לְעֹלָה֙ שְׁנֵ֣ים עָשָׂ֔ר פָּרִ֖ים אֵילִ֣ם שְׁנֵֽי־ עָשָׂ֑ר כְּבָשִׂ֣ים עָשָׂ֔ר
すべての 牛は 全焼の–捧げ物の–ための 十–二 十の 雄牛 雄羊 十–二 十の 小羊
H3605 H1241 H8147 H6240 H6499 H8147 H6240 H3532

בְּנֵי־ שָׁנָה֙ שְׁנֵ֣ים עָשָׂ֔ר עִזִּ֖ים וּשְׂעִירֵ֣י וּמִנְחָתָ֑ם
の–子ら 一歳の 十–二 十の 山羊の そして–雄山羊 そして–その–穀物–供え物と
H8141 H8147 H6240 H5795 H4503

לְחַטָּֽאת׃
罪の–捧げ物の–ために

また燔祭に使う雄牛は合わせて十二、雄羊は十二、一歳の雄の小羊は十二、このほかにその素祭のものがあった。また罪祭に使う雄やぎは十二。

88

וְכֹ֣ל וּבְקַ֣ר זֶ֔בַח הַשְּׁלָמִ֑ים עֶשְׂרִ֖ים וְאַרְבָּעָ֣ה פָּרִ֔ים אֵילִ֣ם שִׁשִּׁ֔ים
そして–すべての 牛 いけにえの 交わりの–いけにえの 二十–四 と–四の 雄牛 雄羊 六十
H3605 H1241 H2077 H8002 H6242 H0702 H6499 H0352 H8346

הַמָּשְׁחָ֑ה אַחֲרֵ֣י הַמִּזְבֵּ֗חַ חֲנֻכַּ֣ת זֹ֚את שִׁשִּׁ֔ים שְׁנָ֖ה בְּנֵי־ כְּבָשִׂ֣ים שִׁשִּׁ֔ים עַתֻּדִ֖ים
油が–注がれた 後に 祭壇の 奉献の これが 六十 一歳の の–子ら 小羊 六十 雄山羊
H4886 H4196 H2598 H2063 H8346 H8141 H3532 H8346 H6260

אֹתֽוֹ׃
それに
H0853

酬恩祭の犠牲に使う雄牛は合わせて二十四、雄羊は六十、雄やぎは六十、一歳の雄の小羊は六十であって、これは祭壇に油を注いだ後に、祭壇奉納の供え物としてささげたものである。

89

וּבְבֹא֙ מֹשֶׁ֣ה אֶל־ אֹ֣הֶל מוֹעֵ֔ד לְדַבֵּ֖ר אִתּ֑וֹ וַיִּשְׁמַ֣ע אֶת־
そして–入った–とき に モーセが 天幕 会見の 語るために 彼と そして–聞いた —
H0935 H0413 H4872 H0168 H4150 H1696 H0854 H8085 H0853

מִבֵּ֣ין הָעֵדֻ֔ת אֲרֹ֣ן עַל־ אֲשֶׁ֣ר הַכַּפֹּ֑רֶת מֵעַ֣ל אֵלָ֔יו מִדַּבֵּ֖ר הַקֹּ֣ול
の–間から あかしの 契約の–箱 の–上の それは 贖いの–蓋 の–上から 彼に 語りかける 声を
H0996 H5715 H0727 H0413 H3727 H1696

פ וַיְדַבֵּ֥ר אֵלָ֖יו׃ הַכְּרֻבִ֔ים שְׁנֵ֣י
— 彼に そして–語られた ケルビムの 二つの
H0413 H1696 H3742 H8147

さてモーセは主と語るために、会見の幕屋にはいって、あかしの箱の上の、贖罪所の上、二つのケルビムの間から自分に語られる声を聞いた。すなわち、主は彼に語られた。

Chapter 8

1

וַיְדַבֵּ֥ר יְהוָ֖ה אֶל־ מֹשֶׁ֥ה לֵאמֹֽר׃
そして–語られた 主は に モーセ 言って
H1696 H3068 H0413 H4872 H0559

主はモーセに言われた、

2 דַּבֵּר אֶל־אַהֲרֹן וְאָמַרְתָּ אֵלָיו בְּהַעֲלֹתְךָ אֶת־הַנֵּרֹת אֶל מוּל
語れ に アロン そして-言え 彼に あなたが-ともすとき ―を ともしびを に 向かって
H1696 H0413 H0175 H0559 H0413 H5927 H0853 H5927 H0413 H4136

פְּנֵי הַמְּנוֹרָה יָאִירוּ שִׁבְעַת הַנֵּרוֹת׃
前に 燭台の 照らすように 七つの ともしびが
H6440 H4501 H0215 H7651

「アロンに言いなさい、『あなたがともし火をともす時は、七つのともし火で燭台の前方を照すようにしなさい』」。

3 וַיַּעַשׂ כֵּן אַהֲרֹן אֶל־מוּל פְּנֵי הַמְּנוֹרָה הֶעֱלָה נֵרֹתֶיהָ
そして-した そのように アロンは に 向かって 前に 燭台の ともした その-ともしびを
H0413 H0175 H4136 H6440 H4501 H5927

כַּאֲשֶׁר צִוָּה יְהוָה אֶת־מֹשֶׁה׃
のように 命じた 主が ―を モーセに
H6680 H3068 H0853 H4872

アロンはそのようにした。すなわち、主がモーセに命じられたように、燭台の前方を照すように、ともし火をともした。

4 וְזֶה מַעֲשֵׂה הַמְּנֹרָה מִקְשָׁה זָהָב עַד־יְרֵכָהּ עַד־פִּרְחָהּ
そして-これが 造りの 燭台の 打ち出しの 金の まで その-台から まで その-花まで
H2088 H4639 H4501 H4749 H2091 H5704 H3409 H5704 H6525

מִקְשָׁה הִוא כַּמַּרְאֶה אֲשֶׁר הֶרְאָה יְהוָה אֶת־מֹשֶׁה כֵּן עָשָׂה
打ち出し であった 幻の-ように それは 示された 主が ―を モーセに そのように 造った
H4749 H1931 H4758 H7200 H3068 H0853 H4872 H3651 H6213

פ אֶת־הַמְּנֹרָה׃
― ―を 燭台を
H0853 H4501

燭台の造りは次のとおりである。それは金の打ち物で、その台もその花も共に打物造りであった。モーセは主に示された型にしたがって、そのようにその燭台を造った。

5 וַיְדַבֵּר יְהוָה אֶל־מֹשֶׁה לֵאמֹר׃
そして-語られた 主は に モーセ 言って
H1696 H3068 H0413 H4872 H0559

主はまたモーセに言われた、

6 קַח אֶת־הַלְוִיִּם מִתּוֹךְ בְּנֵי יִשְׂרָאֵל וְטִהַרְתָּ אֹתָם׃
取れ ―を レビ人たちを の-中から の-子らの イスラエル そして-清めよ 彼らを
H3947 H0853 H3881 H8432 H1121 H3478 H2891 H0853

「レビびとをイスラエルの人々のうちから取って、彼らを清めなさい。

7 וְכֹה־תַעֲשֶׂה לָהֶם לְטַהֲרָם הַזֵּה עֲלֵיהֶם מֵי חַטָּאת
そして-このように しなさい 彼らに 清めるために 振りかけよ 彼らの-上に 水を 罪の-清めの
H3541 H6213 H0413 H2891 H5137 H5921 H4325 H2403

וְהֶעֱבִירוּ תַעַר עַל־כָּל־בְּשָׂרָם וְכִבְּסוּ בִגְדֵיהֶם וְהִטֶּהָרוּ׃
そして-通せ 剃刀を の-上に すべての 彼らの-体に そして-洗え 彼らの-衣を そして-清まるように
H5674 H8593 H5921 H3605 H1320 H3526 H0899 H2891

あなたはこのようにして彼らを清めなければならない。すなわち、罪を清める水を彼らに注ぎかけ、彼らに全身をそらせ、衣服を洗わせて、身を清めさせ、

8

וְלָקְחוּ	פַּר	בֶּן־	בָּקָר	וּמִנְחָתוֹ	סֹלֶת	בְּלוּלָה	בַשָּׁמֶן	וּפַר־
そして-取れ	雄牛	の-子	牛の	そして-その-穀物-供え物	小麦粉	混ぜた	油と	そして-雄牛
H3947	H6499		H1241	H4503	H5560		H8081	H6499

שֵׁנִי	בֶּן־	בָּקָר	תִּקַּח	לְחַטָּאת׃
もう-一頭の	の-子	牛の	取れ	罪の-捧げ物の-ために
H8145		H1241	H3947	

そして彼らに若い雄牛一頭と、油を混ぜた麦粉の素祭とを取らせなさい。あなたはまた、ほかに若い雄牛を罪祭のために取らなければならない。

9

כָּל־	אֶת־	וְהַקְהַלְתָּ	מוֹעֵד	אֹהֶל	לִפְנֵי	הַלְוִיִּם	אֶת־	וְהִקְרַבְתָּ
すべての	—	そして-集めよ	会見の	天幕	の-前に	レビ人たちを	—	そして-近づけよ
H3605	H0853	H6950	H4150	H0168	H6440	H3881	H0853	H7126

יִשְׂרָאֵל׃	בְּנֵי	עֲדַת
イスラエル	の-子らの	会衆を
H3478		H5712

そして、あなたはレビびとを会見の幕屋の前に連れてきて、イスラエルの人々の全会衆を集め、

10

אֶת־	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי־	וְסָמְכוּ	יְהוָה	לִפְנֵי	הַלְוִיִּם	אֶת־	וְהִקְרַבְתָּ
—	イスラエル	の-子らは	そして-置け	主	の-前に	レビ人たちを	—	そして-近づけよ
H0853	H3478		H5564	H3068	H6440	H3881	H0853	H7126

הַלְוִיִּם׃	עַל־	יְדֵיהֶם
レビ人たちの	の-上に	彼らの-手を
H3881		H3027

レビびとを主の前に進ませ、イスラエルの人々をして、手をレビびとの上に置かせなければならない。

11

יְהוָה	לִפְנֵי	תְּנוּפָה	הַלְוִיִּם	אֶת־	אַהֲרֹן	וְהֵנִיף	
主	の-前に	揺り動かしの-捧げ物として	レビ人たちを	—	アロンは	そして-揺れ動かせ	
H3068	H6440	H8573	H3881	H0853	H0175		

יְהוָה׃	עֲבֹדַת	אֶת־	לַעֲבֹד	וְהָיוּ	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי	מֵאֵת
主の	奉仕に	—	仕えるために	そして-なるように	イスラエル	の-子らの	から
H3068	H5656	H0853	H5647	H1961	H3478		H0854

そしてアロンは、レビびとをイスラエルの人々のささげる揺祭として、主の前にささげなければならない。これは彼らに主の務をさせるためである。

12

וְעָשָׂה	הַפָּרִים	רֹאשׁ	עַל	יְדֵיהֶם	אֶת־	יִסְמְכוּ	וְהַלְוִיִּם	
そして-ささげよ	雄牛たちの	頭	の-上に	彼らの-手を	—	置く	そして-レビ人たちは	
	H6499			H3027	H0853	H5564	H3881	

עַל־	לְכַפֵּר	לַיהוָה	עֹלָה	הָאֶחָד	וְאֶת־	חַטָּאת	הָאֶחָד	אֶת־
の-上の	贖うために	主に	全焼の-捧げ物として	一頭を	そして	罪の-捧げ物として	一頭を	—
		H3068		H0259	H0853		H0259	H0853

הַלְוִיִּם׃
レビ人たちの
H3881

それからあなたはレビびとをして、手をかの雄牛の頭の上に置かせ、その一つを罪祭とし、一つを燔祭として主にささげ、レビびとのために罪のあがないをしなければならない。

13 וְהַעֲמַדְתָּ֙ אֶת־ הַלְוִיִּ֔ם לִפְנֵ֖י אַהֲרֹ֣ן וְלִפְנֵ֣י בָנָ֑יו
そして–立たせよ — レビ人たちを の–前に アロン そして–の–前に その–子らの
H5975 H0853 H3881 H6440 H0175 H6440

וְהֵנַפְתָּ֥ אֹתָ֖ם תְּנוּפָ֥ה לַיהוָֽה׃
そして–揺り動かせ 彼らを 揺り動かしの–捧げ物として 主に
H0853 H8573 H3068

あなたはレビびとを、アロンとその子たちの前に立たせ、これを揺祭として主にささげなければならない。

14 וְהִבְדַּלְתָּ֙ אֶת־ הַלְוִיִּ֔ם מִתּ֖וֹךְ בְּנֵ֣י יִשְׂרָאֵ֑ל וְהָי֥וּ לִ֖י
そして–分けよ — レビ人たちを の–中から の–子らの イスラエル そして–なる わたしのもの
H0914 H0853 H3881 H8432 H1961

הַלְוִיִּֽם׃
レビ人たちは
H3881

こうして、あなたはレビびとをイスラエルの人々のうちから分かち、レビびとをわたしのものとしなければならない。

15 וְאַחֲרֵי־ כֵ֞ן יָבְא֣וּ הַלְוִיִּ֗ם לַעֲבֹד֙ אֶת־ אֹ֣הֶל מוֹעֵ֔ד וְטִהַרְתָּ֖
そして–その–後 そうして 入る レビ人たちは 仕えるために — 天幕 会見の そして–清めよ
H0935 H3881 H5647 H0853 H0168 H4150 H2891

אֹתָ֥ם וְהֵנַפְתָּ֖ אֹתָ֥ם תְּנוּפָֽה׃
彼らを そして–揺り動かせ 彼らを 揺り動かしの–捧げ物として
H0853 H0853 H8573

こうして後レビびとは会見の幕屋にはいって務につくことができる。あなたは彼らを清め、彼らをささげて揺祭としなければならない。

16 כִּ֣י נְתֻנִ֤ים נְתֻנִים֙ הֵ֣מָּה לִ֔י מִתּ֖וֹךְ בְּנֵ֣י יִשְׂרָאֵ֑ל
なぜなら 与えられた–者 与えられた–者 彼らは わたしに の–中から の–子らの イスラエル
H5414 H5414 H1992 H8432

תַּחַת֙ פִּטְרַ֣ת כָּל־ רֶ֔חֶם בְּכ֖וֹר כָּל־ מִבְּנֵ֣י יִשְׂרָאֵ֑ל לְקַחְתִּ֖י אֹתָ֥ם
の–代わりに 開く–者の すべての 胎を 初子 すべての の–子らから イスラエル 取った 彼らを
H8478 H6363 H3605 H7358 H1060 H3605 H3947 H0853

לִֽי׃
わたしのものとして

彼らはイスラエルの人々のうちから、全くわたしにささげられたものだからである。イスラエルの人々のうちの初めに生れた者、すなわち、すべてのういごの代りに、わたしは彼らを取ってわたしのものとした。

17 כִּ֣י לִ֔י כָּל־ בְּכ֖וֹר בִּבְנֵ֣י יִשְׂרָאֵ֑ל בָּאָדָ֥ם וּבַבְּהֵמָ֖ה
なぜなら わたしのもの すべての 初子は の–子らの–中の イスラエル 人の–中でも そして–家畜の–中でも
H3605 H1060 H0120 H3478

בְּי֣וֹם הַכֹּתִ֤י כָל־ בְּכוֹר֙ בְּאֶ֣רֶץ מִצְרַ֔יִם הִקְדַּ֥שְׁתִּי
日に 打った–わたしが すべての 初子を の–地で エジプト 聖別した
H3117 H5221 H3605 H1060 H0776 H4714 H6942

אֹתָ֖ם לִ֥י יִהְיֽוּ׃
彼らを わたしのものとして
H0853

イスラエルの人々のうちのういごは、人も獣も、みなわたしのものだからである。わたしはエジプトの地で、すべてのういごを撃ち殺した日に、彼らを聖別してわたしのものとした。

18 וָאֶקַּח֙ אֶת־הַלְוִיִּ֔ם תָּחַ֖ת כָּל־בְּכ֣וֹר בִּבְנֵ֑י יִשְׂרָאֵֽל׃

そして-取った	—	レビ人たちを	の-代わりに	すべての	初子の	の-子らの-中の	イスラエル
H3947	H0853	H3881	H8478	H3605	H1060		H3478

それでわたしはイスラエルの人々のうちの、すべてのういごの代りにレビびとを取った。

19 וָאֶתְּנָ֞ה אֶת־הַלְוִיִּ֣ם נְתֻנִ֗ים לְאַהֲרֹן֙ וּלְבָנָ֔יו מִתּ֖וֹךְ

そして-与えた	—	レビ人たちを	与えられた-者として	アロンに	そして-その-子らに	の-中から	
H5414	H0853	H3881	H5414	H0175		H8432	

מֹועֵ֑ד בְּאֹ֣הֶל יִשְׂרָאֵ֗ל בְּנֵי־֙ עֲבֹדַ֣ת אֶת־֙ לַעֲבֹ֣ד יִשְׂרָאֵל֙ בְּנֵ֔י

会見の	の-天幕で	イスラエル	の-子らの	奉仕に	—	仕えるために	イスラエル	の-子らの
H4150	H0168	H3478		H5656	H0853	H5647	H3478	

בִּבְנֵ֑י יְהִ֣י וְלֹֽא֙ יִשְׂרָאֵ֔ל בְּנֵ֖י עַל־ וּלְכַפֵּ֥ר

の-子らの-中に	ある	そして-ないように	イスラエル	の-子らを	の-上の	そして-贖うために
	H1961	H3808	H3478			

הַקֹּ֔דֶשׁ׃ אֶל־ יִשְׂרָאֵ֗ל בְּנֵי־֙ בְּגֶ֣שֶׁת נֶ֖גֶף יִשְׂרָאֵֽל׃

聖所に	に	イスラエル	の-子らが	近づく-とき	災い	イスラエル
H6944	H0413	H3478		H5066	H5063	H3478

わたしはイスラエルの人々のうちからレビびとを取って、アロンとその子たちに与え、彼らに会見の幕屋で、イスラエルの人々に代って務をさせ、またイスラエルの人々のために罪のあがないをさせるであろう。これはイスラエルの人々が、聖所に近づいて、イスラエルの人々のうちに災の起ることのないようにするためである」。

20 וַיַּ֣עַשׂ מֹשֶׁ֗ה וְאַהֲרֹן֙ וְכָל־ עֲדַ֣ת בְּנֵי־֙ יִשְׂרָאֵ֔ל

そして-した	モーセと	そして-アロンと	そして-すべての	会衆は	の-子らの	イスラエル
	H4872	H0175	H3605	H5712		H3478

לַלְוִיִּ֑ם מֹשֶׁ֣ה אֶת־ יְהוָ֖ה צִוָּ֥ה אֲשֶׁר־ כְּכֹ֛ל לַלְוִיִּ֖ם

レビ人たちについて	モーセに	—	主が	命じた	それ	すべての-ように	レビ人たちに
H3881	H4872	H0853	H3068	H6680		H3605	H3881

יִשְׂרָאֵ֖ל׃ בְּנֵ֥י לָהֶ֛ם עָשׂ֥וּ כֵּ֥ן

イスラエル	の-子らは	彼らに	した	そのように
H3478				

モーセとアロン、およびイスラエルの人々の全会衆は、すべて主がレビびとの事につき、モーセに命じられた所にしたがって、レビびとに行った、すなわち、イスラエルの人々は、そのように彼らに行った。

21 וַיִּתְחַטְּא֖וּ וַיְכַבְּס֣וּ בִּגְדֵיהֶ֑ם וַיָּ֥נֶף אַהֲרֹ֛ן

そして-身を-清めた	そして-洗った	彼らの-衣を	そして-揺り動かした	アロンは		
H2398	H3526			H0175		

אֹתָ֔ם אַהֲרֹ֣ן וַיְכַפֵּ֥ר עֲלֵיהֶ֖ם לִפְנֵ֣י יְהוָ֑ה תְּנוּפָ֣ה

彼らを	アロンは	そして-贖った	彼らの-上を	の-前に	主	揺り動かしの-捧げ物として
H0853	H0175			H6440	H3068	H8573

לְטַהֵֽרָם׃

清めるために
H2891

そこでレビびとは身を清め、その衣服を洗った。アロンは彼らを主の前にささげて揺祭とした。アロンはまた彼らのために、罪のあがないをして彼らを清めた。

22 וְאַחֲרֵי־ כֵּן בָּאוּ הַלְוִיִּם לַעֲבֹד אֶת־ עֲבֹדָתָם֙ בְּאֹ֣הֶל
そして–その–後 そうして 入った レビ人たちは 仕えるために ―に その–奉仕を の–天幕で
H0935 H5647 H3881 H0853 H5656 H0168

מוֹעֵ֔ד לִפְנֵי֙ אַהֲרֹ֣ן וְלִפְנֵ֔י בָּנָ֖יו כַּאֲשֶׁ֣ר צִוָּ֔ה יְהוָ֖ה אֶת־ מֹשֶׁ֑ה
会見の の–前で アロン そして–の–前で その–子らの のように 命じた 主が ―に モーセに
H4150 H6440 H0175 H6440 H6680 H3068 H0853 H4872

כֵּ֖ן עָשׂ֥וּ לָהֶ֛ם׃ ס הַלְוִיִּ֑ם עַל־
そのように した 彼らに ― レビ人たちの について
H3881

こうして後、レビびとは会見の幕屋にはいって、アロンとその子たちに仕えて務をした。すなわち、彼らはレビびとの事について、主がモーセに命じられた所にしたがって、そのように彼らに行った。

23 וַיְדַבֵּ֥ר יְהוָ֖ה אֶל־ מֹשֶׁ֥ה לֵאמֹֽר׃
そして–語られた 主は に モーセ 言って
H1696 H3068 H0413 H4872 H0559

主はまたモーセに言われた、

24 זֹ֣את אֲשֶׁ֣ר לַלְוִיִּ֗ם מִבֶּן֙ חָמֵ֣שׁ וְעֶשְׂרִ֔ים שָׁנָ֖ה וָמַ֣עְלָ֑ה יָבוֹא֙
これが それは レビ人たちのため の–歳から 五 と–二十 歳 以上は 入る
H2063 H0834 H3881 H4480 H2568 H6242 H8141 H4605 H0935

בַּעֲבֹדַ֖ת אֹ֥הֶל מוֹעֵֽד׃ לִצְבָ֔א צָבָ֖א
の–奉仕で 天幕 会見の 従軍するために 軍務に
H5656 H0168 H4150 H6633 H6635

「レビびとは次のようにしなければならない。すなわち、二十五歳以上の者は務につき、会見の幕屋の働きをしなければならない。

25 וּמִבֶּן֙ חֲמִשִּׁ֣ים שָׁנָ֔ה יָשׁ֖וּב מִצְּבָ֣א הָעֲבֹדָ֑ה וְלֹ֥א יַעֲבֹ֖ד עֽוֹד׃
そして–の–歳から 五十 歳 退く から 奉仕の–軍務 そして–ない 仕える もはや
H2572 H8141 H7725 H4480 H6635 H5656 H3808 H5647 H5750

しかし、五十歳からは務の働きを退き、重ねて務をしてはならない。

26 וְשֵׁרֹ֣ת אֶת־ אֶחָ֗יו בְּאֹ֣הֶל מוֹעֵד֮ לִשְׁמֹ֣ר מִשְׁמֶ֣רֶת וַעֲבֹדָה֒
そして–奉仕する ―を その–兄弟たちに の–天幕で 会見の 守るために 任務を しかし–奉仕は
H8334 H0853 H0251 H0168 H4150 H8104 H4931 H5656

פ לָ֣א תַעֲשֶׂ֔ה כָּכָ֖ה לַלְוִיִּ֑ם בְּמִשְׁמֶרְתָּֽם׃
― しなさい このように レビ人たちに その–任務において
H3808 H5647 H3602 H3881 H4931

ただ、会見の幕屋でその兄弟たちの務の助けをすることができる。しかし、務をしてはならない。あなたがレビびとにその務をさせるには、このようにしなければならない」。

Chapter 9

1 וַיְדַבֵּ֥ר יְהוָ֖ה אֶל־ מֹשֶׁ֣ה בְּמִדְבַּר־ סִינַ֗י בַּשָּׁנָה֙ הַשֵּׁנִ֔ית לְצֵאתָ֖ם מֵאֶ֣רֶץ
そして–語られた 主は ～に モーセ 荒野の シナイ 年の 第二の 彼らが–出た–後 地から
H1696 H3068 H0413 H4872 H4057 H5514 H8141 H8145 H3318 H0776

מִצְרַ֑יִם בַּחֹ֣דֶשׁ הָרִאשׁ֔וֹן לֵאמֹֽר׃
エジプト 月の 第一の 言われた
H4714 H2320 H7223 H0559

エジプトの国を出た次の年の正月、主はシナイの荒野でモーセに言われた、

2 וְיַעֲשׂוּ בְּנֵי־יִשְׂרָאֵל אֶת־הַפָּסַח בְּמוֹעֲדוֹ׃
行わせよ 子らに イスラエルの ～を 過越の-祭りを その-定めの-時に
H6213 H1121 H3478 H0853 H6453 H4150

「イスラエルの人々に、過越の祭を定めの時に行わせなさい。

3 בְּאַרְבָּעָה עָשָׂר־יוֹם בַּחֹדֶשׁ הַזֶּה בֵּין הָעַרְבָּיִם תַּעֲשׂוּ אֹתוֹ בְּמוֹעֲדוֹ
第四 十 日の 月の この 間に 夕暮れの 行いなさい それを その-定めの-時に
H0702 H6240 H3117 H2320 H2088 H0996 H6153 H0853 H4150

כְּכָל־חֻקֹּתָיו וְכִכְלֹ־מִשְׁפָּטָיו תַּעֲשׂוּ אֹתוֹ׃
すべての 掟に-従い また-すべての 定めに-従い 行いなさい それを
H3605 H2708 H3605 H4941 H6213 H0853

この月の十四日の夕暮、定めの時に、それを行わなければならない。あなたがたは、そのすべての定めと、そのすべてのおきてにしたがって、それを行わなければならない」。

4 וַיְדַבֵּר מֹשֶׁה אֶל־בְּנֵי יִשְׂרָאֵל לַעֲשֹׂת הַפָּסַח׃
そして-語った モーセは ～に 子らに イスラエルの 行うよう 過越の-祭りを
H1696 H4872 H0413 H1121 H3478 H6213 H6453

そこでモーセがイスラエルの人々に、過越の祭を行わなければならないと言ったので、

5 וַיַּעֲשׂוּ אֶת־הַפֶּסַח בָּרִאשׁוֹן בְּאַרְבָּעָה עָשָׂר יוֹם לַחֹדֶשׁ בֵּין הָעַרְבָּיִם
そして-行った ～を 過越の-祭り 第一の-月に 第四 十 日の 月の 間に 夕暮れの
H6213 H0853 H6453 H7223 H0702 H6240 H3117 H2320 H0996 H6153

כְּכֹל אֲשֶׁר צִוָּה יְהוָה אֶת־מֹשֶׁה כֵּן עָשׂוּ בְּנֵי יִשְׂרָאֵל׃
～の-とおりに 命じられた 主が ～を モーセに そのように 行った 子らは イスラエルの
H3605 H6680 H3068 H0853 H4872 H3651 H6213 H1121 H3478

彼らは正月の十四日の夕暮、シナイの荒野で過越の祭を行った。すなわち、イスラエルの人々は、すべて主がモーセに命じられたようにおこなった。

6 וַיְהִי אֲנָשִׁים אֲשֶׁר הָיוּ טְמֵאִים לְנֶפֶשׁ אָדָם
そして-いた 人々が ～で-ある なっていた 汚れた-者と 人の-魂に-よって 死者の
H1961 H0376 H0834 H1961 H2931 H5315 H0120

וְלֹא־יָכְלוּ לַעֲשֹׂת הַפֶּסַח בַּיּוֹם הַהוּא וַיִּקְרְבוּ לִפְנֵי מֹשֶׁה וְלִפְנֵי אַהֲרֹן בַּיּוֹם הַהוּא׃
そして-できなかった 行うことが 過越の-祭りを その 日に 前に そして-近づいた
H3808 H6213 H6453 H1931 H3117 H6440 H7126

また-前に アロンの 日に その
H6440 H0175 H3117 H1931

ところが人の死体に触れて身を汚したために、その日に過越の祭を行うことのできない人々があって、その日モーセとアロンの前にきて、

7 וַיֹּ֣אמְרוּ הָהֵ֗מָּה הָאֲנָשִׁים֙ אֵלָ֔יו אֲנַ֥חְנוּ טְמֵאִ֖ים לְנֶ֣פֶשׁ אָדָ֑ם לָ֤מָּה נִגָּרַע֙ לְבִלְתִּ֣י הַקְרִ֔ב אֶת־קָרְבַּ֥ן יְהוָ֖ה בְּמֹעֲדֹ֑ו בְּת֖וֹךְ בְּנֵ֥י יִשְׂרָאֵֽל׃

וַיֹּ֣אמְרוּ	הָהֵ֗מָּה	הָאֲנָשִׁים֙	אֵלָ֔יו	אֲנַ֥חְנוּ	טְמֵאִ֖ים	לְנֶ֣פֶשׁ	אָדָ֑ם	לָ֤מָּה
そして–言った	それらの	人々は	彼に	私たちは	汚れている	人の–魂に–よって	死者の	なぜ
H0559	H1992	H0376	H0413	H0587	H2931	H5315	H0120	H4100

נִגָּרַ֣ע	לְבִלְתִּ֤י	הַקְרִב֙	אֶת־	קָרְבַּ֣ן	יְהוָ֔ה	בְּמֹעֲדֹ֑ו	בְּת֖וֹךְ	בְּנֵ֥י
退けられるのか	～しない–ために	捧げる	～を	供え物を	主の	その–定めの–時に	中で	子らの
H1639	H1115	H7126	H0853	H7126	H3068	H4150	H8432	

יִשְׂרָאֵֽל׃
イスラエルの
H3478

その人々は彼に言った、「わたしたちは人の死体に触れて身を汚しましたが、なぜその定めの時に、イスラエルの人々と共に、主に供え物をささげることができないのですか」。

8 וַיֹּ֤אמֶר אֲלֵהֶם֙ מֹשֶׁ֔ה עִמְד֖וּ וְאֶשְׁמְעָ֑ה מַה־יְצַוֶּ֥ה יְהוָ֖ה לָכֶֽם׃ פ

וַיֹּ֤אמֶר	אֲלֵהֶם֙	מֹשֶׁ֔ה	עִמְד֖וּ	וְאֶשְׁמְעָ֑ה	מַה־	יְצַוֶּ֥ה	יְהוָ֖ה
そして–言った	彼らに	モーセは	待ちなさい	私が–聞こう	何を	命じられるか	主が
H0559	H0413	H4872	H5975	H8085	H4100	H6680	H3068

לָכֶֽם׃	פ
あなたがたに	—

モーセは彼らに言った、「しばらく待て。主があなたがたについて、どう仰せになるかを聞こう」。

9 וַיְדַבֵּ֥ר יְהוָ֖ה אֶל־מֹשֶׁ֥ה לֵאמֹֽר׃

וַיְדַבֵּ֥ר	יְהוָ֖ה	אֶל־	מֹשֶׁ֥ה	לֵאמֹֽר׃	
そして–語られた	主は	～に	モーセ	言われた	
H1696	H3068	H0413	H4872	H0559	

主はモーセに言われた、

10 דַּבֵּ֣ר אֶל־בְּנֵ֣י יִשְׂרָאֵ֗ל לֵאמֹר֙ אִ֣ישׁ אִ֣ישׁ כִּֽי־יִהְיֶ֣ה טָמֵ֗א לָנֶ֤פֶשׁ אֹו֙ בְּדֶ֣רֶךְ רְחֹקָ֔ה לָכֶ֖ם וְאֹ֑ו וְעָשָׂ֥ה פֶ֖סַח לַיהוָֽה׃

דַּבֵּ֣ר	אֶל־	בְּנֵ֣י	יִשְׂרָאֵ֗ל	לֵאמֹר֙	אִ֣ישׁ	אִ֣ישׁ	כִּֽי־	יִהְיֶ֣ה
語りなさい	～に	子らに	イスラエルの	言いなさい	人が	だれでも	もし	なるなら
H1696	H0413		H3478	H0559	H0376	H0376		H1961

טָמֵ֗א	לָנֶ֤פֶשׁ	אֹו֙	בְּדֶ֣רֶךְ	רְחֹקָ֔ה	לָכֶ֖ם	וְאֹ֑ו	וְעָשָׂ֥ה	פֶ֖סַח
汚れた–者に	死者に–よって	あるいは	旅の	遠い–道に	あなたがたの–うちで	あるいは	行いなさい	過越の–祭りを
H2931	H5315		H1870	H7350				

לַיהוָֽה׃	וְעָשָׂ֥ה	לְדֹרֹתֵיכֶֽם
主に	行いなさい	代々に–わたって
H3068		H1755

「イスラエルの人々に言いなさい、『あなたがたのうち、また、あなたがたの子孫のうち、死体に触れて身を汚した人も、遠い旅路にある人も、なお、過越の祭を主に対して行うことができるであろう。

11 בַּחֹ֨דֶשׁ הַשֵּׁנִ֜י בְּאַרְבָּעָ֣ה עָשָׂ֗ר יֹום֙ בֵּ֣ין הָעַרְבָּ֔יִם יַעֲשׂ֥וּ אֹתֹ֖ו עַל־מַצֹּ֣ות וּמְרֹרִ֑ים יֹאכְלֻֽהוּ׃

בַּחֹ֨דֶשׁ	הַשֵּׁנִ֜י	בְּאַרְבָּעָ֣ה	עָשָׂ֗ר	יֹום֙	בֵּ֣ין	הָעַרְבָּ֔יִם	יַעֲשׂ֥וּ	אֹתֹ֖ו
月の	第二の	第四	十	日の	間に	夕暮れの	行いなさい	それを
H2320	H8145	H0702	H6240	H3117	H0996	H6153		H0853

עַל־	מַצֹּ֣ות	וּמְרֹרִ֑ים	יֹאכְלֻֽהוּ׃
と共に	種なし–パンと	苦い–草で	食べなさい
	H4682	H4844	H0398

すなわち、二月の十四日の夕暮、それを行い、種入れぬパンと苦菜を添えて、それを食べなければならない。

12 לֹא־יַשְׁאִ֤ירוּ מִמֶּנּוּ֙ עַד־בֹּ֔קֶר וְעֶ֥צֶם לֹא־יִשְׁבְּרוּ־בֹ֖ו כְּכָל־חֻקַּ֣ת הַפֶּ֑סַח יַעֲשׂ֖וּ אֹתֹֽו׃

לֹא־	יַשְׁאִ֤ירוּ	מִמֶּנּוּ֙	עַד־	בֹּ֔קֶר	וְעֶ֥צֶם	לֹא־	יִשְׁבְּרוּ־	בֹ֖ו
～ない	残しては–ならない	それから	～まで	朝	また–骨を	～ない	折っては–ならない	それの
H3808	H7604		H5704	H1242	H6106	H3808	H7665	

כְּכָל־	חֻקַּ֣ת	הַפֶּ֑סַח	יַעֲשׂ֖וּ	אֹתֹֽו׃		
すべての	掟に–従い	過越の–祭りの	行いなさい	それを		
H3605	H2708	H6453		H0853		

これを少しでも朝まで残しておいてはならない。またその骨は一本でも折ってはならない。過越の祭のすべての定めにしたがってこれを行わなければならない。

וְהָאִישׁ֩ אֲשֶׁר־ הוּא֙ טָה֔וֹר וּבְדֶ֖רֶךְ לֹא־ הָיָ֑ה וְחָדַל֙ 13
しかし–人が ～で–ある その者が 清くて また–旅にも ～ない いないのに しかも–怠って
H0376 H0834 H1931 H2889 H1870 H3808 H1961 H2308

לַעֲשׂ֣וֹת הַפָּ֗סַח וְנִכְרְתָ֤ה הַנֶּ֙פֶשׁ֙ הַהִ֣וא מֵֽעַמֶּ֔יהָ כִּ֣י קָרְבַּ֔ן יְהוָ֖ה לֹ֣א
行うことを 過越の–祭りを 断たれる その–魂は その 民から なぜなら 供え物を 主の ～ない
H6213 H6453 H3772 H5315 H1931 H5971 H3588 H7133 H3068 H3808

הַהֽוּא׃ הָאִ֖ישׁ יִשָּׂ֥א חֶטְאֹ֛ו בְּמֹעֲדֹ֥ו הִקְרִֽיב׃
その 人は 負う その–罪を 定めの–時に 捧げなかった
H1931 H0376 H5375 H2399 H4150 H7126

しかし、その身は清く、旅に出てもいないのに、過越の祭を行わないときは、その人は民のうちから断たれるであろう。このような人は、定めの時に主の供え物をささげないゆえ、その罪を負わなければならない。

וְכִֽי־ יָג֤וּר אִתְּכֶם֙ גֵּ֔ר וְעָשָׂ֥ה פֶ֖סַח לַיהוָ֑ה 14
もし 寄留するなら あなたがたの–中に 寄留者が そして–行うなら 過越の–祭りを 主に
H3588 H1481 H0854 H1616 H6213 H6453 H3068

כְּחֻקַּ֥ת הַפֶּ֖סַח וּכְמִשְׁפָּטֹ֑ו כֵּ֚ן יַעֲשֶׂ֔ה חֻקָּ֥ה אַחַ֛ת יִהְיֶ֥ה
掟に–従い 過越の–祭りの また–その–定めに–従い そのように 行いなさい 掟は 一つの 同じである
H2708 H6453 H4941 H3651 H6213 H2708 H0259 H1961

פ הָאָ֖רֶץ׃ וּלְאֶזְרַ֣ח וְלַגֵּ֔ר לָכֶֽם׃
— その地の また–土地の–者にも 寄留者にも あなたがたに
H0776 H0249 H1616

もし他国の人が、あなたがたのうちに寄留していて、主に対して過越の祭を行おうとするならば、過越の祭の定めにより、そのおきてにしたがって、これを行わなければならない。あなたがたは他国の人にも、自国の人にも、同一の定めを用いなければならない』」。

וּבְיוֹם֙ הָקִ֣ים אֶת־ הַמִּשְׁכָּ֔ן כִּסָּ֥ה הֶעָנָ֖ן אֶת־ הַמִּשְׁכָּ֑ן לְאֹ֣הֶל הָעֵדֻ֔ת 15
そして–日に 建てた ～を 幕屋を 覆った 雲が ～を 幕屋を あかしの 天幕の
H3117 H0853 H4908 H3680 H6051 H0853 H4908 H0168 H5715

וּבָעֶ֖רֶב יִהְיֶ֣ה עַל־ הַמִּשְׁכָּ֗ן כְּמַרְאֵה־ אֵשׁ֙ עַד־ בֹּ֔קֶר׃
そして–夕べには あった 上に 幕屋の 姿の–ような 火の ～まで 朝
H6153 H1961 H5921 H4908 H4758 H0784 H5704 H1242

幕屋を建てた日に、雲は幕屋をおおった。すれはすなわち、あかしの幕屋であって、夕には、幕屋の上に、雲は火のように見えて、朝にまで及んだ。

כֵּ֚ן יִהְיֶ֣ה תָמִ֔יד הֶעָנָ֖ן יְכַסֶּ֑נּוּ וּמַרְאֵה־ אֵ֖שׁ לָֽיְלָה׃ 16
そのように あった 常に 雲が 覆い また–姿の–ような 火の 夜には
H3651 H1961 H8548 H6051 H3680 H4758 H0784 H3915

常にそうであって、昼は雲がそれをおおい、夜は火のように見えた。

וְלִפְּי֙ הֵעָל֣וֹת הֶעָנָ֔ן מֵעַ֖ל הָאֹ֑הֶל וְאַחֲרֵי־ כֵ֗ן יִסְעוּ֙ בְּנֵ֣י 17
そして–ときには 上がると 雲が 上から 天幕の そして–その–後 すると 旅立った 子らは
H6310 H5927 H6051 H5921 H0168 H0310 H3651 H5265 H1121

יִשְׂרָאֵ֔ל וּבִמְקֹ֕ום אֲשֶׁ֥ר יִשְׁכֹּ֛ן שָׁ֖ם הֶעָנָ֑ן שָׁ֣ם יַחֲנ֥וּ בְנֵֽי׃
イスラエルの また–場所に ～の 留まった そこに 雲が そこに 宿営した 子らは
H3478 H4725 H0834 H7931 H8033 H6051 H8033 H2583 H1121

יִשְׂרָאֵֽל׃
イスラエルの
H3478

雲が幕屋を離れてのぼる時は、イスラエルの人々は、ただちに道に進んだ。また雲がとどまる所に、イスラエルの人々は宿営した。

18 עַל־ פִּי יְהוָה יִסְעוּ בְּנֵי יִשְׂרָאֵל וְעַל־ פִּי יְהוָה יַחֲנוּ׃ עַל־ כָּל־ יְמֵי אֲשֶׁר יִשְׁכֹּן הֶעָנָן עַל־ הַמִּשְׁכָּן יַחֲנוּ׃

18 命令に–よって 主の 口の 旅立った 子らは イスラエルの また–命令に–よって 主の 口の
H5921 H3068 H6310 H5265 H1121 H3478 H5921 H3068 H6310

宿営した 幕屋の 上に 雲が 留まった 〜の–間 日々 すべての 宿営した
H2583 H4908 H5921 H6051 H7931 H3117 H3605 H2583

すなわち、イスラエルの人々は、主の命によって道に進み、主の命によって宿営し、幕屋の上に雲がとどまっている間は、宿営していた。

19 וּבְהַאֲרִיךְ הֶעָנָן עַל־ הַמִּשְׁכָּן יָמִים רַבִּים וְשָׁמְרוּ בְּנֵי־ יִשְׂרָאֵל אֶת־ מִשְׁמֶרֶת יְהוָה וְלֹא יִסָּעוּ׃

19 そして–長く 雲が 上に 幕屋の 日々 多くの 守った 子らは 〜を 務めを 主の
H0748 H6051 H5921 H4908 H3117 H7227 H8104 H1121 H3478 H853 H4931 H3068

そして–旅立たなかった
H3808

旅立たなかった
H5265

幕屋の上に、日久しく雲のとどまる時は、イスラエルの人々は主の言いつけを守って、道に進まなかった。

20 וְיֵשׁ אֲשֶׁר יִהְיֶה הֶעָנָן יָמִים מִסְפָּר עַל־ הַמִּשְׁכָּן עַל־ פִּי יְהוָה יַחֲנוּ וְעַל־ פִּי יְהוָה יִסָּעוּ׃

20 また–あった 〜の–とき あった 雲が 日々 数えられる–ほどの 上に 幕屋の 命令に–よって
H3426 H834 H1961 H6051 H3117 H4557 H5921 H4908 H5921

また–命令に–よって 宿営し 主の 口の 旅立った 主の 口の
H5921 H2583 H3068 H6310 H5265 H3068 H6310

また幕屋の上に、雲のとどまる日の少ない時もあったが、彼らは、ただ主の命にしたがって宿営し、主の命にしたがって、道に進んだ。

21 וְיֵשׁ אֲשֶׁר־ יִהְיֶה הֶעָנָן מֵעֶרֶב עַד־ בֹּקֶר וְנַעֲלָה הֶעָנָן בַּבֹּקֶר וְנָסָעוּ אוֹ יוֹמָם וְלַיְלָה וְנַעֲלָה הֶעָנָן וְנָסָעוּ׃

21 また–あった 〜の–とき あった 雲が 夕べから 朝 〜まで 朝 雲が そして–上がると
H3426 H834 H1961 H6051 H6153 H1242 H5704 H1242 H6051 H5927

旅立った 雲が 上がると 夜も 昼も あるいは 旅立った
H5265 H6051 H5927 H3915 H3119 H176 H5265

また雲は夕から朝まで、とどまることもあったが、朝になって、雲がのぼる時は、彼らは道に進んだ。また昼でも夜でも、雲がのぼる時は、彼らは道に進んだ。

22 אוֹ־ יָמִים אוֹ־ חֹדֶשׁ אוֹ־ יָמִים בְּהַאֲרִיךְ הֶעָנָן עַל־ הַמִּשְׁכָּן לִשְׁכֹּן עָלָיו יַחֲנוּ בְּנֵי־ יִשְׂרָאֵל וְלֹא יִסָּעוּ וּבְהֵעָלֹתוֹ יִסָּעוּ׃

22 あるいは 二日間 あるいは 一か月 あるいは 長い–日々 長く 雲が 上に 幕屋の
H176 H3117 H176 H2320 H176 H3117 H748 H6051 H5921 H4908

留まり その上に 宿営した 子らは イスラエルの そして–旅立たなかった 旅立たなかった
H7931 H5921 H2583 H1121 H3478 H3808 H5265

旅立った しかし–上がると
H5265 H5927

ふつかでも、一か月でも、あるいはそれ以上でも、幕屋の上に、雲がとどまっている間は、イスラエルの人々は宿営していて、道に進まなかったが、それがのぼると道に進んだ。

23 עַל־ פִּי יְהוָה יַחֲנוּ וְעַל־ פִּי יְהוָה יִסָּעוּ אֶת־ מִשְׁמֶרֶת
命令に-よって 口の 主の 宿営し また-命令に-よって 口の 主の 旅立った ～を 務めを
H5921 H6310 H3068 H2583 H5921 H6310 H3068 H5265 H0853 H4931

פ יְהוָה שָׁמָרוּ עַל־ פִּי יְהוָה בְּיַד־ מֹשֶׁה׃
— 主の 守った 命令に-よって 口の 主の 手を-通して モーセの
H3068 H8104 H5921 H6310 H3068 H3027 H4872

すなわち、彼らは主の命にしたがって宿営し、主の命にしたがって道に進み、モーセによって、主が命じられたとおりに、主の言いつけを守った。

Chapter 10

1 וַיְדַבֵּר יְהוָה אֶל־ מֹשֶׁה לֵאמֹר׃
そして-語られた 主は ～に モーセ 言って
H1696 H3068 H0413 H4872 H0559

主はモーセに言われた、

2 עֲשֵׂה לְךָ֣ שְׁתֵּי חֲצֹצְרֹת כֶּסֶף מִקְשָׁה תַּעֲשֶׂה אֹתָם
作りなさい あなたの-ために 二つの ラッパを 銀の 打ち物で 作りなさい それらを
H6213 H0853

וְהָיוּ לְךָ֣ לְמִקְרָא הָעֵדָה וְלִמַּסַּע אֶת־ הַמַּחֲנוֹת׃
そして-用いよ あなたの-ために 招集の-ため 会衆の そして-出発の-ため ～の 宿営の
H1961 H4744 H5712 H4550 H0853 H4264

「銀のラッパを二本つくりなさい。すなわち、打物造りとし、それで会衆を呼び集め、また宿営を進ませなさい。

3 וְתָקְעוּ בָהֶן֒ וְנוֹעֲדוּ אֵלֶיךָ֣ כָּל־ הָעֵדָה אֶל־ פֶּתַח אֹהֶל
そして-吹くなら それらを そして-集まる あなたの-もとに 全ての 会衆が ～の 入口に 天幕の
H8628 H3259 H0413 H3605 H5712 H0413 H6607 H0168

מוֹעֵד׃
会見の
H4150

この二つを吹くときは、全会衆が会見の幕屋の入口に、あなたの所に集まってこなければならない。

4 וְאִם־ בְּאַחַת יִתְקָעוּ וְנוֹעֲדוּ אֵלֶיךָ֣ הַנְּשִׂיאִים רָאשֵׁי אַלְפֵי
もし 一つだけ 吹くなら そして-集まる あなたの-もとに 族長たちが 頭たち 千人-隊の
H0259 H8628 H3259 H0413 H5387 H7218 H0505

יִשְׂרָאֵל׃
イスラエルの
H3478

もしその一つだけを吹くときは、イスラエルの氏族の長であるつかさたちが、あなたの所に集まってこなければならない。

5 וּתְקַעְתֶּם תְּרוּעָה וְנָסְעוּ הַמַּחֲנוֹת הַחֹנִים קֵדְמָה׃
そして-吹くとき 鋭い-音を そして-出発する 宿営は 陣を-張る-者たち 東に
H8628 H8643 H5265 H4264 H2583

またあなたがたが警報を吹き鳴らす時は、東の方の宿営が、道に進まなければならない。

6	וּתְקַעְתֶּם	תְּרוּעָה	וְנָסְעוּ	שֵׁנִית	תְּרוּעָה	הַמַּחֲנוֹת	הַחֹנִים	תֵּימָנָה
	そして–吹くとき	鋭い–音を	そして–出発する	二度目に	鋭い–音を	宿営は	陣を–張る–者たち	南に
	H8628	H8643	H5265	H8145	H8643	H4264	H2583	H8486

לְמַסְעֵיהֶם׃	יִתְקְעוּ	תְּרוּעָה
彼らの–出発の–ために	吹かなければならない	鋭い–音を
H4550	H8628	H8643

二度目の警報を吹き鳴らす時は、南の方の宿営が、道に進まなければならない。すべて道に進む時は、警報を吹き鳴らさなければならない。

7	וּבְהַקְהִיל	אֶת־	הַקָּהָל	תִּתְקְעוּ	וְלֹא	תָרִיעוּ׃
	そして–集会を–招集する–とき	～の	集会を	吹きなさい	しかし–ない	鋭い–音を
	H6950	H0853	H6951	H8628	H3808	H7321

また会衆を集める時にも、ラッパを吹き鳴らすが、警報は吹き鳴らしてはならない。

8	וּבְנֵי	אַהֲרֹן	הַכֹּהֲנִים	יִתְקְעוּ	בַּחֲצֹצְרוֹת	וְהָיוּ	לָכֶם
	そして–息子たちが	アロンの	祭司たちが	吹く	ラッパを	そして–なる	あなたがたの–ために
	H1961	H0175	H3548	H8628	H2689	H1961	

לְחֻקַּת	עוֹלָם	לְדֹרֹתֵיכֶם׃
定めとして	永遠の	代々の
H2708	H5769	H1755

アロンの子である祭司たちが、ラッパを吹かなければならない。これはあなたがたが、代々ながく守るべき定めとしなければならない。

9	וְכִי־	תָבֹאוּ	מִלְחָמָה	בְּאַרְצְכֶם	עַל־	הַצַּר	הַצֹּרֵר
	そして–もし	行くなら	戦いに	あなたがたの–地で	～に–対して	敵が	苦しめる–者が
		H0935	H4421	H0776			

אֶתְכֶם	וַהֲרֵעֹתֶם	בַּחֲצֹצְרוֹת	וְנִזְכַּרְתֶּם	לִפְנֵי	יְהוָה	אֱלֹהֵיכֶם
あなたがたを	そして–鳴り響かせよ	ラッパを	そして–覚えられる	御前で	主	あなたがたの–神の
H0853	H7321	H2689	H2142	H6440	H3068	H0430

וְנוֹשַׁעְתֶּם	מֵאֹיְבֵיכֶם׃
そして–救われる	あなたがたの–敵から
H3467	H0341

また、あなたがたの国で、あなたがたをしえたげるあだとの戦いに出る時は、ラッパをもって、警報を吹き鳴らさなければならない。そうするならば、あなたがたは、あなたがたの神、主に覚えられて、あなたがたの敵から救われるであろう。

10	וּבְיוֹם	שִׂמְחַתְכֶם	וּבְמוֹעֲדֵיכֶם	וּבְרָאשֵׁי
	そして–日に	あなたがたの–喜びの	そして–あなたがたの–祭りの–日に	そして–月の–初めに
	H3117	H8057	H4150	

חָדְשֵׁיכֶם	וְתִקַעְתֶּם	בַּחֲצֹצְרֹת	עַל	עֹלֹתֵיכֶם
あなたがたの–月々の	そして–吹きなさい	ラッパを	～の–上で	あなたがたの–全焼の–ささげ物
H2320	H8628	H2689		

וְעַל	זִבְחֵי	שַׁלְמֵיכֶם	וְהָיוּ	לָכֶם	לְזִכָּרוֹן	לִפְנֵי
そして–上で	いけにえの	あなたがたの–和解の	そして–なる	あなたがたの–ために	記念として	御前で
	H2077	H8002	H1961		H2146	H6440

אֱלֹהֵיכֶם׃	יְהוָה	אֲנִי	אֱלֹהֵיכֶם	פ
あなたがたの–神である	主	わたしは	あなたがたの–神の	段落
H0430	H3068	H0589	H0430	

また、あなたがたの喜びの日、あなたがたの祝いの時、および月々の第一日には、あなたがたの燔祭と酬恩祭の犠牲をささげるに当って、ラッパを吹き鳴らさなければならない。そうするならば、あなたがたの神は、それによって、あなたがたを覚えられるであろう。わたしはあなたがたの神、主である」。

11 וַיְהִי בַּשָּׁנָה הַשֵּׁנִית בַּחֹדֶשׁ הַשֵּׁנִי בְּעֶשְׂרִים בַּחֹדֶשׁ נַעֲלָה הֶעָנָן מֵעַל
そして-あった 年の 第二の 月の 第二の 月の 二十-日に 上がった 雲は 上から
H1961 H8141 H8145 H2320 H8145 H2320 H6242 H5927 H6051 H5921

מִשְׁכַּן הָעֵדֻת׃
幕屋の あかしの
H4908 H5715

第二年の二月二十日に、雲があかしの幕屋を離れてのぼったので、

12 וַיִּסְעוּ בְּנֵי־יִשְׂרָאֵל לְמַסְעֵיהֶם מִמִּדְבַּר סִינָי וַיִּשְׁכֹּן
そして-出発した 息子たちは イスラエルの 彼らの-旅路で 荒野から シナイの そして-とどまった
H5265 H1121 H3478 H4550 H4057 H5514 H7931

הֶעָנָן בְּמִדְבַּר פָּארָן׃
雲は 荒野に パランの
H6051 H4057 H6290

イスラエルの人々は、シナイの荒野を出て、その旅路に進んだが、パランの荒野に至って、雲はとどまった。

13 וַיִּסְעוּ בָּרִאשֹׁנָה עַל־פִּי יְהוָה בְּיַד־מֹשֶׁה׃
そして-出発した 初めに ～に-よって 口の 主の 手に-よって モーセの
H5265 H7223 H5921 H6310 H3068 H3027 H4872

こうして彼らは、主がモーセによって、命じられたところにしたがって、道に進むことを始めた。

14 וַיִּסַּע דֶּגֶל מַחֲנֵה בְּנֵי־יְהוּדָה בָּרִאשֹׁנָה לְצִבְאֹתָם וְעַל־
そして-出発した 旗は 宿営の 息子たちの ユダの 最初に 彼らの-軍団に-従い そして-率いた
H5265 H1714 H4264 H1121 H3063 H7223 H6635 H5921

צְבָאוֹ נַחְשׁוֹן בֶּן־עַמִּינָדָב׃
その-軍勢を ナフション 息子-は アミナダブの
H6635 H5177 H1121 H5992

先頭には、ユダの子たちの宿営の旗が、その部隊を従えて進んだ。ユダの部隊の長はアミナダブの子ナション、

15 וְעַל־צְבָא מַטֵּה בְּנֵי יִשָּׂשכָר נְתַנְאֵל בֶּן־צוּעָר׃
そして-率いた 軍勢を 部族の 息子たちの イッサカルの ネタヌエル 息子-は ツアルの
H5921 H6635 H4294 H1121 H3485 H5417 H1121 H6686

イッサカルの子たちの部族の部隊の長はツアルの子ネタニエル、

16 וְעַל־צְבָא מַטֵּה בְּנֵי זְבוּלֻן אֱלִיאָב בֶּן־חֵלוֹן׃
そして-率いた 軍勢を 部族の 息子たちの ゼブルンの エリアブ 息子-は ヘロンの
H5921 H6635 H4294 H1121 H2074 H0446 H1121 H2497

ゼブルンの子たちの部族の部隊の長はヘロンの子エリアブであった。

17 וְהוּרַד הַמִּשְׁכָּן וְנָסְעוּ בְּנֵי־גֵרְשׁוֹן וּבְנֵי מְרָרִי
そして-降ろされた 幕屋は そして-出発した 息子たちは ゲルションの そして-息子たちは メラリの
H3381 H4908 H5265 H1121 H1648 H1121 H4847

נֹשְׂאֵי הַמִּשְׁכָּן׃ ס
運ぶ-者たち 幕屋の 区切り
H5375 H4908

そして幕屋は取りくずされ、ゲルションの子たち、およびメラリの子たちは幕屋を運び進んだ。

18 וְנָסַע דֶּגֶל מַחֲנֵה רְאוּבֵן לְצִבְאֹתָם וְעַל־ צְבָאוֹ
そして-出発した 旗は 宿営の ルベンの 彼らの-軍団に-従い そして-率いた その-軍勢を
H5265 H1714 H4264 H7205

אֱלִיצוּר בֶּן־ שְׁדֵיאוּר׃
エリツル 息子-は シェデウルの
H0468 H7707

次にルベンの宿営の旗が、その部隊を従えて進んだ。ルベンの部隊の長はシデウルの子エリヅル、

19 וְעַל־ צְבָא מַטֵּה בְּנֵי שִׁמְעוֹן שְׁלֻמִיאֵל בֶּן־ צוּרִי־שַׁדָּי׃
そして-率いた 軍勢を 部族の 息子たちの シメオンの シェルミエル 息子-は ツリシャダイの
H6701 H8095 H8017

シメオンの子たちの部族の部隊の長はツリシャダイの子シルミエル、

20 וְעַל־ צְבָא מַטֵּה בְּנֵי־ גָד אֶלְיָסָף בֶּן־ דְּעוּאֵל׃
そして-率いた 軍勢を 部族の 息子たちの ガドの エルヤサフ 息子-は デウエルの
H1845 H1410 H0460

ガドの子たちの部族の部隊の長はデウエルの子エリアサフであった。

21 וְנָסְעוּ הַקְּהָתִים נֹשְׂאֵי הַמִּקְדָּשׁ וְהֵקִימוּ אֶת־ הַמִּשְׁכָּן עַד־ בֹּאָם׃ ס
そして-出発した ケハテ人は 運ぶ-者たち 聖所の そして-立てた 幕屋を ～を ～まで 彼らが-来る-まで 区切り
H5265 H6956 H5375 H4720 H0853 H4908 H5704 H0935

そしてコハテびとは聖なる物を運び進んだ。これが着くまでに、人々は幕屋を建て終るのである。

22 וְנָסַע דֶּגֶל מַחֲנֵה בְּנֵי־ אֶפְרַיִם לְצִבְאֹתָם וְעַל־
そして-出発した 旗は 宿営の 息子たちの エフライムの 彼らの-軍団に-従い そして-率いた
H5265 H1714 H4264 H0669

צְבָאוֹ אֱלִישָׁמָע בֶּן־ עַמִּיהוּד׃
その-軍勢を エリシャマ 息子-は アミフドの
H0476 H5989

次にエフライムの子たちの宿営の旗が、その部隊を従えて進んだ。エフライムの部隊の長はアミホデの子エリシャマ、

23 וְעַל־ צְבָא מַטֵּה בְּנֵי מְנַשֶּׁה גַּמְלִיאֵל בֶּן־ פְּדָהצוּר׃
そして-率いた 軍勢を 部族の 息子たちの マナセの ガムリエル 息子-は ペダ- ツルの
H6301 H6301 H1583 H4519

マナセの子たちの部族の部隊の長はパダツルの子ガマリエル、

24 וְעַל־ צְבָא מַטֵּה בְּנֵי בִנְיָמִן אֲבִידָן בֶּן־ גִּדְעוֹנִי׃ ס
そして-率いた 軍勢を 部族の 息子たちの ベニヤミンの アビダン 息子-は ギデオニの 区切り
H1441 H0027 H1144

ベニヤミンの子たちの部族の部隊の長はギデオニの子アビダンであった。

25 וְנָסַע דֶּגֶל מַחֲנֵה בְנֵי־דָן מְאַסֵּף לְכָל־ הַמַּחֲנֹת
そして-出発した 旗は 宿営の 息子たちの ダンの しんがりとして 全ての 宿営の
H5265 H1714 H4264 H0622 H3605 H4264

לְצִבְאֹתָם וְעַל־ צְבָאוֹ אֲחִיעֶזֶר בֶּן־ עַמִּישַׁדָּי׃
彼らの-軍団に-従い そして-率いた その-軍勢を アヒエゼル 息子-は アミシャダイの
H0295 H5996

次にダンの子たちの宿営の旗が、その部隊を従えて進んだ。この部隊はすべての宿営のしんがりであった。ダンの部隊の長はアミシャダイの子アヒエゼル、

26 וְעַל־ צְבָא מַטֵּה בְּנֵי אָשֵׁר פַּגְעִיאֵל בֶּן־ עָכְרָן׃
そして-率いた 軍勢を 部族の 息子たちの アシェルの パグイエル 息子-は オクランの
H5918 H6295 H0836 H4294

アセルの子たちの部族の部隊の長はオクランの子パギエル、

27 וְעַל־ צְבָא מַטֵּה בְּנֵי נַפְתָּלִי אֲחִירַע בֶּן־ עֵינָן׃
そして-率いた 軍勢を 部族の 息子たちの ナフタリの アヒラ 息子-は エナンの
H5881 H0299 H5321 H4294

ナフタリの子たちの部族の部隊の長はエナンの子アヒラであった。

28 אֵלֶּה מַסְעֵי בְנֵי־ יִשְׂרָאֵל לְצִבְאֹתָם וַיִּסָּעוּ׃ ס
これらが 旅路である 息子たちの イスラエルの 彼らの-軍団に-従い そして-出発した 区切り
H0428 H4550 H3478 H5265

イスラエルの人々が、その道に進む時は、このように、その部隊に従って進んだ。

29 וַיֹּאמֶר מֹשֶׁה לְחֹבָב בֶּן־ רְעוּאֵל הַמִּדְיָנִי חֹתֵן מֹשֶׁה
そして-言った モーセは ホバブに 息子-の レウエルの ミデヤン人の しゅうとの モーセの
H0559 H4872 H2246 H7467 H4084 H2859 H4872

נֹסְעִים אֲנַחְנוּ אֶל־ הַמָּקוֹם אֲשֶׁר אָמַר יְהוָה אֹתוֹ אֶתֵּן לָכֶם לְכָה
旅立つ 私たちは ～へ 場所へ ～の 言われた 主が それを 与える あなたがたに 来なさい
H5265 H0587 H0413 H4725 H0834 H0559 H3068 H0853 H5414 H3212

עִמָּנוּ וְהֵטַבְנוּ לָךְ כִּי־ יְהוָה דִּבֶּר־ טוֹב עַל־
私たちと-共に そして-良く-する あなたに なぜなら 主は 語られた 良いことを ～に-ついて
H0854 H3190 H3068 H1696

יִשְׂרָאֵל׃
イスラエルの
H3478

さて、モーセは、妻の父、ミデヤンびとリウエルの子ホバブに言った、「わたしたちは、かつて主がおまえたちに与えると約束された所に向かって進んでいます。あなたも一緒においでください。あなたが幸福になられるようにいたしましょう。主がイスラエルに幸福を約束されたのですから」。

30 וַיֹּאמֶר אֵלָיו לֹא אֵלֵךְ כִּי אִם־ אֶל־ אַרְצִי וְאֶל־ מוֹלַדְתִּי אֵלֵךְ׃
そして-言った 彼に ない 行く なぜなら ただ ～へ 私の-地に そして-～へ 私の-故郷に 行く
H0559 H0413 H3808 H3212 H0518 H0776 H0413 H4138 H3212

彼はモーセに言った、「わたしは行きません。わたしは国に帰って、親族のもとに行きます」。

31 וַיֹּאמֶר נָא אַל־תַּעֲזֹב אֹתָנוּ כִּי עַל־כֵּן יָדַעְתָּ חֲנֹתֵנוּ בַּמִּדְבָּר וְהָיִיתָ לָּנוּ לְעֵינָיִם׃

וַיֹּאמֶר	נָא	אַל־	תַּעֲזֹב	אֹתָנוּ	כִּי	עַל־	כֵּן	
そして–言った	お願いだ	どうか	去らないでくれ	私たちを	なぜなら	それ–ゆえ	こそ	
H0559	H4994	H0408	H5800	H0853	H3588	H5921	H3651	

חֲנֹתֵנוּ	בַּמִּדְבָּר	וְהָיִיתָ	לָּנוּ			
私たちの–宿営する–場所を	荒野で	そして–なってほしい	私たちの–ために			
H2583	H5158	H1961				

יָדַעְתָּ						
あなたは–知っている						
H3045						

לְעֵינָיִם׃						
目として						

モーセはまた言った、「どうかわたしたちを見捨てないでください。あなたは、わたしたちが荒野のどこに宿営すべきかを御存じですから、わたしたちの目となってください。

32 וְהָיָה כִּי־תֵלֵךְ עִמָּנוּ וְהָיָה הַטּוֹב הַהוּא אֲשֶׁר יֵיטִיב יְהוָה עִמָּנוּ וְהֵטַבְנוּ לָךְ׃

וְהָיָה	כִּי־	תֵלֵךְ	עִמָּנוּ	וְהָיָה	הַטּוֹב	הַהוּא	אֲשֶׁר	
そして–なる	もし	行くなら	私たちと–共に	そして–あるもの	良い–こと	その	～の	
H1961		H3212		H1961		H1931		

יֵיטִיב	יְהוָה	עִמָּנוּ	וְהֵטַבְנוּ	לָךְ׃		
良く–される	主が	私たちに	そして–良く–する	あなたに		
H3190	H3068		H3190			

もしあなたが一緒においでくださるなら、主がわたしたちに賜わる幸福をあなたにも及ぼしましょう」。

33 וַיִּסְעוּ מֵהַר יְהוָה דֶּרֶךְ שְׁלֹשֶׁת יָמִים וַאֲרוֹן בְּרִית־יְהוָה נֹסֵעַ לִפְנֵיהֶם דֶּרֶךְ שְׁלֹשֶׁת יָמִים לָתוּר לָהֶם מְנוּחָה׃

וַיִּסְעוּ	מֵהַר	יְהוָה	דֶּרֶךְ	שְׁלֹשֶׁת	יָמִים	וַאֲרוֹן	בְּרִית־	יְהוָה
そして–出発した	山から	主の	道のりを	三	日の	そして–契約の–箱は	契約の	主の
H5265	H2022	H3068	H1870	H7969	H3117	H0727	H1285	H3068

נֹסֵעַ	לִפְנֵיהֶם	דֶּרֶךְ	שְׁלֹשֶׁת	יָמִים	לָתוּר	לָהֶם	מְנוּחָה׃	
進んだ	彼らの–前を	道のりを	三	日の	探すため	彼らの–ために	安息の–場所を	
H5265	H6440	H1870	H7969	H3117	H8446		H4496	

こうして彼らは主の山を去って、三日の行程を進んだ。主の契約の箱は、その三日の行程の間、彼らに先立って行き、彼らのために休む所を尋ねもとめた。

34 וְעֲנַן יְהוָה עֲלֵיהֶם יוֹמָם בְּנָסְעָם מִן־הַמַּחֲנֶה׃ ס

וְעֲנַן	יְהוָה	עֲלֵיהֶם	יוֹמָם	בְּנָסְעָם	מִן־	הַמַּחֲנֶה׃	ס	
そして–雲は	主の	彼らの–上に	昼に	彼らが–出発する–とき	～から	宿営の	区切り	
H6051	H3068		H3119	H5265		H4264		

彼らが宿営を出て、道に進むとき、昼は主の雲が彼らの上にあった。

35 וַיְהִי בִּנְסֹעַ הָאָרֹן וַיֹּאמֶר מֹשֶׁה קוּמָה יְהוָה וְיָפֻצוּ אֹיְבֶיךָ וְיָנֻסוּ מְשַׂנְאֶיךָ מִפָּנֶיךָ׃

וַיְהִי	בִּנְסֹעַ	הָאָרֹן	וַיֹּאמֶר	מֹשֶׁה	קוּמָה	יְהוָה	וְיָפֻצוּ	אֹיְבֶיךָ
そして–あった	箱が–出発する–とき	箱が	そして–言った	モーセは	立ち上がってください	主よ	そして–散らされよ	あなたの–敵が
H1961	H5265	H0727	H0559	H4872		H3068		H0341

וְיָנֻסוּ	מְשַׂנְאֶיךָ	מִפָּנֶיךָ׃				
そして–逃げよ	あなたを–憎む–者たちが	あなたの–御顔から				
H5127	H8130	H6440				

契約の箱の進むときモーセは言った、「主よ、立ちあがってください。あなたの敵は打ち散らされ、あなたを憎む者どもは、あなたの前から逃げ去りますように」。

36 וּבְנֻחֹה יֹאמַר שׁוּבָה יְהוָה רִבְבוֹת אַלְפֵי יִשְׂרָאֵל׃ ס

וּבְנֻחֹה	יֹאמַר	שׁוּבָה	יְהוָה	רִבְבוֹת	אַלְפֵי	יִשְׂרָאֵל׃	ס	
そして–とどまる–とき	言った	帰ってください	主よ	幾万の	幾千の	イスラエルの	区切り	
H5117	H0559	H7725	H3068	H7233	H0505	H3478		

またそのとどまるとき、彼は言った、「主よ、帰ってきてください、イスラエルのちよろずの人に」。

Chapter 11

1 וַיְהִי הָעָם כְּמִתְאֲנַנִּים רָע בְּאָזְנֵי יְהוָה וַיִּשְׁמַע יְהוָה וַיִּחַר אַפּוֹ וַתִּבְעַר־בָּם אֵשׁ יְהוָה וַתֹּאכַל בִּקְצֵה׃ הַמַּחֲנֶה׃

そして–あった 民は 不平を–言う–者の–ように 悪いことを 耳に 主の 聞いた そして–主は
H1961 H5971 H0596 H7451 H0241 H3068 H8085 H3068

その–怒りが そして–燃えた 彼らの–中で 火が 主の そして–焼き尽くした 端を
H0639 H2734 H0784 H3068 H0398

宿営の
H4264

さて、民は災難に会っている人のように、主の耳につぶやいた。主はこれを聞いて怒りを発せられ、主の火が彼らのうちに燃えあがって、宿営の端を焼いた。

2 וַיִּצְעַק הָעָם אֶל־מֹשֶׁה וַיִּתְפַּלֵּל מֹשֶׁה אֶל־יְהוָה וַתִּשְׁקַע׃ הָאֵשׁ׃

そして–叫んだ 民は ～に モーセに そして–祈った モーセは ～に 主に そして–沈んだ
H6817 H5971 H0413 H4872 H6419 H4872 H0413 H3068 H8257

火は
H0784

そこで民はモーセにむかって叫んだ。モーセが主に祈ったので、その火はしずまった。

3 וַיִּקְרָא שֵׁם־הַמָּקוֹם הַהוּא תַּבְעֵרָה כִּי־בָעֲרָה בָם אֵשׁ יְהוָה׃

そして–呼んだ 名を その–場所の その タブエラと なぜなら 燃えた 彼らの–中で 火が 主の
H7121 H8034 H4725 H1931 H8404 H3588 H1197 H0784 H3068

主の
H3068

主の火が彼らのうちに燃えあがったことによって、その所の名はタベラと呼ばれた。

4 וְהָאסַפְסֻף אֲשֶׁר בְּקִרְבּוֹ הִתְאַוּוּ תַּאֲוָה וַיָּשֻׁבוּ וַיִּבְכּוּ גַּם בְּנֵי יִשְׂרָאֵל וַיֹּאמְרוּ מִי יַאֲכִלֵנוּ בָּשָׂר׃

そして–入り混じった–人々が ～の 彼らの–中の 欲しがった 欲望を そして–戻った そして–泣いた
H0628 H0834 H7130 H0183 H8378 H7725 H1058

また 息子たちも イスラエルの そして–言った 誰が 食べさせてくれるのか 肉を
H1571 H3478 H0559 H4310 H0398 H1320

また彼らのうちにいた多くの寄り集まりびとは欲心を起し、イスラエルの人々もまた再び泣いて言った、「ああ、肉が食べたい。

5 זָכַרְנוּ אֶת־הַדָּגָה אֲשֶׁר נֹאכַל בְּמִצְרַיִם חִנָּם אֶת־הַקִּשֻּׁאִים וְאֶת־הָאֲבַטִּחִים׃ וְאֶת־הֶחָצִיר וְאֶת־הַבְּצָלִים וְאֶת־הַשּׁוּמִים׃

思い–出す ～を 魚を 食べた ～を エジプトで ただで ～を きゅうりを そして～を
H2142 H0853 H1710 H0398 H0834 H4714 H2600 H0853 H7180 H0853

すいかを そして～を にらを そして～を たまねぎを そして～を にんにくを
H0020 H0853 H2809 H0853 H1211 H0853 H7762

われわれは思い起すが、エジプトでは、ただで、魚を食べた。きゅうりも、すいかも、にらも、たまねぎも、そして、にんにくも。

6 וְעַתָּה נַפְשֵׁנוּ יְבֵשָׁה אֵין כֹּל בִּלְתִּי אֶל־ הַמָּן עֵינֵינוּ׃
しかし–今 私たちの–魂は 乾いている ない 何も ～以外に ～に マナに 私たちの–目は
H6258 H5315 H3002 H0369 H3605 H1115 H0413

しかし、いま、われわれの精根は尽きた。われわれの目の前には、このマナのほか何もない」。

7 וְהַמָּן כִּזְרַע־ גַּד הוּא וְעֵינוֹ כְּעֵין הַבְדֹלַח׃
そして–マナは 種の–ような コエンドロの それであった そして–その–色は 色の–ような ベドラクの
H2233 H1407 H1931 H0916

マナは、こえんどろの実のようで、色はブドラクの色のようであった。

8 שָׁטוּ הָעָם וְלָקְטוּ וְטָחֲנוּ בָרֵחַיִם אוֹ דָכוּ בַּמְּדֹכָה וּבִשְּׁלוּ בַּפָּרוּר וְעָשׂוּ אֹתוֹ עֻגוֹת וְהָיָה טַעְמוֹ כְּטַעַם לְשַׁד׃
さまよった 民は そして–集めた そして–ひいた ひき臼で あるいは ついた 臼で そして–煮た 鍋で そして–作った それを 菓子に そして–あった その–味は 味の–ような 油の
H7347 H3950 H2912 H7347 H0176 H1743 H4085 H1310 H6517 H6213 H0853 H5692 H1961 H2940 H2940 H3955

菓子の
H8081

民は歩きまわって、これを集め、ひきうすでひき、または、うすでつき、かまで煮て、これをもちとした。その味は油菓子の味のようであった。

9 וּבְרֶדֶת הַטַּל עַל־ הַמַּחֲנֶה לָיְלָה יֵרֶד הַמָּן עָלָיו׃
そして–降りる–とき 露が ～の–上に 宿営の 夜に 降りた マナは その–上に
H3381 H2919 H6440 H3915 H4264 H3381

夜、宿営の露がおりるとき、マナはそれと共に降った。

10 וַיִּשְׁמַע מֹשֶׁה בֹּכֶה הָעָם לְמִשְׁפְּחֹתָיו אִישׁ לְפֶתַח אָהֳלוֹ וַיִּחַר־ אַף יְהוָה מְאֹד וּבְעֵינֵי מֹשֶׁה רָע׃
そして–聞いた モーセは 泣くのを 民が ～を 家族ごとに 各々が 入口で その–天幕の そして–燃えた 怒りが 主の 非常に そして–目に モーセの 悪いことだった
H8085 H4872 H1058 H5971 H4940 H0376 H6607 H0168 H2734 H0639 H3068 H3966 H5869 H4872 H7451

モーセは、民が家ごとに、おのおのその天幕の入口で泣くのを聞いた。そこで主は激しく怒られ、またモーセは不快に思った。

11 וַיֹּאמֶר מֹשֶׁה אֶל־ יְהוָה לָמָּה הֲרֵעֹתָ לְעַבְדֶּךָ וְלָמָּה לֹא־ מָצָתִי חֵן בְּעֵינֶיךָ לָשׂוּם אֶת־ מַשָּׂא כָּל־ הָעָם הַזֶּה עָלָי׃
そして–言った モーセは ～に 主に なぜ 悪いことを–されるのか あなたの–僕に なぜ そして–なぜ 恵みを 見いだしたのか あなたの–目に 置くのか 重荷を 全ての 民の この 私の–上に
H0559 H4872 H0413 H3068 H4100 H7451 H5650 H4100 H2580 H4672 H5869 H7760 H4853 H3605 H5971 H2088

そして、モーセは主に言った、「あなたはなぜ、しもべに悪い仕打ちをされるのですか。どうしてわたしはあなたの前に恵みを得ないで、このすべての民の重荷を負わされるのですか。

12

כִּי־	יְלַדְתִּיהוּ	אָנֹכִי	אִם־	הַזֶּה	הָעָם	כָּל־	אֶת	הָרִיתִי	הֲאָנֹכִי
なぜなら	産んだのか	私が	あるいは	この	民を	全ての	～を	孕んだのか	私が
	H3205	H0595		H2088		H3605	H0853	H2029	H0595

אֶת־	הָאֹמֵן	יִשָּׂא	כַּאֲשֶׁר	בְּחֵיקֶךָ	שָׂאֵהוּ	אֵלַי	תֹּאמַר
～を	養い–親が	抱くように	ちょうど–ように	あなたの–懐に	抱きなさい	私に	言われる
H0853	H0539	H5375		H2436	H5375	H0413	H0559

לַאֲבֹתָיו׃	נִשְׁבַּעְתָּ	אֲשֶׁר	הָאֲדָמָה	עַל	הַיֹּנֵק
その–先祖たちに	誓われた	～の	地へ	～へ	乳飲み子を
H0001	H7650		H0127		H3243

わたしがこのすべての民を、はらんだのですか。わたしがこれを生んだのですか。そうではないのに、あなたはなぜわたしに『養い親が乳児を抱くように、彼らをふところに抱いて、あなたが彼らの先祖たちに誓われた地に行け』と言われるのですか。

13

לֵאמֹר	עָלַי	יִבְכּוּ	כִּי־	הַזֶּה	הָעָם	לְכָל־	תֵּת	בָּשָׂר	לִי	מֵאַיִן
言って	私に–向かって	泣く	なぜなら	この	民に	全ての	与えるのか	肉を	私に	どこから
H0559		H1058		H2088		H3605	H5414	H1320		H0370

וְנֹאכְלָה׃	בָּשָׂר	לָנוּ	תְּנָה־
そして–食べたい	肉を	私たちに	与えてくれ
H0398	H1320		H5414

わたしはどこから肉を獲て、このすべての民に与えることができましょうか。彼らは泣いて、『肉を食べさせよ』とわたしに言っているのです。

14

כָּבֵד	כִּי	הַזֶּה	הָעָם	כָּל־	אֶת־	לָשֵׂאת	לְבַדִּי	אָנֹכִי	אוּכַל	לֹא־
重すぎる	なぜなら	この	民を	全ての	～を	担うことが	独りで	私は	できない	ない
H3515		H2088		H3605	H0853	H5375	H0905	H0595	H3201	H3808

מִמֶּנִּי׃
私には

わたしひとりでは、このすべての民を負うことができません。それはわたしには重過ぎます。

15

הָרֹג	נָא	הָרְגֵנִי	לִי	עָשֶׂה	אַתְּ־	וְכָכָה	וְאִם־
殺してください	どうか	殺してください	私に	するのなら	あなたが	この–ように	そして–もし
H2026	H4994	H2026				H3602	

בְּרָעָתִי׃	אֶרְאֶה	וְאַל־	בְּעֵינֶיךָ	חֵן	מָצָאתִי	אִם־
私の–悲惨さを	見ないで済むように	そして–ない	あなたの–目に	恵みを	見いだしたのなら	もし
	H7200	H0408		H2580	H4672	

פ
段落

もしわたしがあなたの前に恵みを得ますならば、わたしにこのような仕打ちをされるよりは、むしろ、ひと思いに殺し、このうえ苦しみに会わせないでください」。

16 וַיֹּאמֶר יְהוָה אֶל־מֹשֶׁה אֶסְפָּה־לִּי שִׁבְעִים אִישׁ
そして-言われた 主は ～に モーセに 集めなさい 私の-ために 七十-人の 人を
H0559 H3068 H0413 H4872 H0622 H7657 H0376

מִזִּקְנֵי יִשְׂרָאֵל אֲשֶׁר יָדַעְתָּ כִּי־הֵם זִקְנֵי
長老たちの-中から イスラエルの ～を あなたが-知っている なぜなら 彼らが 長老たちである
H2205 H3478 H3045 H2205 H1992 H2205

הָעָם וְשֹׁטְרָיו וְלָקַחְתָּ אֹתָם אֶל־אֹהֶל מוֹעֵד
民の そして-その-つかさたち そして-連れて-行きなさい 彼らを ～へ 天幕へ 会見の
H7860 H3947 H0853 H0413 H0168 H4150

וְהִתְיַצְּבוּ שָׁם עִמָּךְ׃
そして-立たせなさい そこに あなたと-共に
H3320 H8033

主はモーセに言われた、「イスラエルの長老たちのうち、民の長老となり、つかさとなるべきことを、あなたが知っている者七十人をわたしのもとに集め、会見の幕屋に連れてきて、そこにあなたと共に立たせなさい。

17 וְיָרַדְתִּי וְדִבַּרְתִּי שָׁם עִמָּךְ וְאָצַלְתִּי מִן־הָרוּחַ אֲשֶׁר
そして-降りる そして-語る そこで あなたと-共に そして-取り分ける ～から 霊の ～の
H3381 H1696 H8033 H0680 H7307

עָלֶיךָ וְשַׂמְתִּי עֲלֵיהֶם וְנָשְׂאוּ אִתְּךָ בְּמַשָּׂא הָעָם וְלֹא־
あなたの-上の そして-置く 彼らの-上に そして-担う あなたと-共に 重荷を 民の そして-ない
H5375 H0854 H4853 H5921 H7760

תִשָּׂא אַתָּה לְבַדֶּךָ׃
担う あなたが 独りで
H5375 H0905

わたしは下って、その所で、あなたと語り、またわたしはあなたの上にある霊を、彼らにも分け与えるであろう。彼らはあなたと共に、民の重荷を負い、あなたが、ただひとりで、それを負うことのないようにするであろう。

18 וְאֶל־הָעָם תֹּאמַר הִתְקַדְּשׁוּ לְמָחָר וַאֲכַלְתֶּם בָּשָׂר כִּי
そして-～に 民に 言いなさい 身を-清めなさい 明日の-ために そして-食べる 肉を なぜなら
H0413 H5971 H0559 H6942 H4279 H0398 H1320 H3588

בְּכִיתֶם בְּאָזְנֵי יְהוָה לֵאמֹר מִי יַאֲכִלֵנוּ בָּשָׂר כִּי־טוֹב
泣いた 耳に 主の 言って 誰が 食べさせてくれるのか 肉を なぜなら 良かった
H1058 H0241 H3068 H0559 H4310 H0398 H1320 H3588 H2895

לָנוּ כִּי עוֹב לָנוּ בְּמִצְרָיִם וְנָתַן יְהוָה לָכֶם בָּשָׂר וַאֲכַלְתֶּם׃
私たちには なぜなら 良かった 私たちには エジプトで 与える 主は あなたがたに 肉を そして-食べる
H0398 H1320 H5414 H3068 H3588 H1320 H0398

あなたはまた民に言いなさい、『あなたがたは身を清めて、あすを待ちなさい。あなたがたは肉を食べることができるであろう。あなたがたが泣いて主の耳に、わたしたちは肉が食べたい。エジプトにいた時は良かったと言ったからである。それゆえ、主はあなたがたに肉を与えて食べさせられるであろう。

19 לֹא יוֹם אֶחָד תֹּאכְלוּן וְלֹא יוֹמַיִם וְלֹא חֲמִשָּׁה יָמִים
ない 一日だけ 一日でなく 食べる そして-ない 二日でなく そして-ない 五 日でなく
H3808 H3117 H0259 H0398 H3808 H3117 H3808 H2568 H3117

וְלֹא עֲשָׂרָה יָמִים וְלֹא עֶשְׂרִים יוֹם׃
そして-ない 十 日でなく そして-ない 二十 日でもない
H3808 H6235 H3117 H3808 H6242 H3117

あなたがたがそれを食べるのは、一日や二日や五日や十日や二十日ではなく、

20 וְעַד חֹדֶשׁ יָמִים עַד אֲשֶׁר־ יֵצֵא מֵאַפְּכֶם וְהָיָה לָכֶם
～まで 月の 日々 ～まで ～の 出るまで あなたがたの-鼻から そして-なる あなたがたには
H5704 H2320 H3117 H5704 H3318 H0639 H1961

לְזָרָא כִּי־ מְאַסְתֶּם אֶת־ יְהוָה אֲשֶׁר בְּקִרְבְּכֶם וַתִּבְכּוּ
嫁悪に なぜなら 退けた ～を 主を ～の あなたがたの-中の そして-泣いた
H2214 H3282 H0853 H3068 H7130 H1058

לְפָנָיו לֵאמֹר לָמָּה זֶּה יָצָאנוּ מִמִּצְרָיִם׃
その-前で 言って なぜ ここに 出たのか エジプトから
H6440 H0559 H4100 H2088 H3318 H4714

一か月に及び、ついにあなたがたの鼻から出るようになり、あなたがたは、それに飽き果てるであろう。それはあなたがたのうちにおられる主を軽んじて、その前に泣き、なぜ、わたしたちはエジプトから出てきたのだろうと言ったからである』」。

21 וַיֹּאמֶר מֹשֶׁה שֵׁשׁ־ מֵאוֹת אֶלֶף רַגְלִי הָעָם אֲשֶׁר אָנֹכִי בְּקִרְבּוֹ
そして-言った モーセは 六 百 千の 徒歩の 民が ～の 私が その-中に-いる
H0559 H4872 H8337 H3967 H0505 H7273 H5414 H0595 H7130

וְאַתָּה אָמַרְתָּ בָּשָׂר אֶתֵּן לָהֶם וְאָכְלוּ חֹדֶשׁ יָמִים׃
そして-あなたは 言われた 肉を 与えると 彼らに そして-食べる 月の 日々
H0559 H1320 H5414 H0398 H2320 H3117

モーセは言った、「わたしと共におる民は徒歩の男子だけでも六十万です。ところがあなたは、『わたしは彼らに肉を与えて一か月のあいだ食べさせよう』と言われます。

22 הֲצֹאן וּבָקָר יִשָּׁחֵט לָהֶם וּמָצָא לָהֶם אִם אֶת־
羊と そして-牛を ほふるのか 彼らの-ために そして-足りるのか あるいは ～を
H6629 H1241 H7819 H3605 H4672 H0853

כָּל־ דְּגֵי הַיָּם יֵאָסֵף לָהֶם וּמָצָא לָהֶם׃ פ
全ての 魚を 海の 集めるのか 彼らの-ために そして-足りるのか 彼らに 段落
H3605 H1709 H3220 H0622 H4672

羊と牛の群れを彼らのためにほふって、彼らを飽きさせるというのですか。海のすべての魚を彼らのために集めて、彼らを飽きさせるというのですか」。

23 וַיֹּאמֶר יְהוָה אֶל־ מֹשֶׁה הֲיַד תִּקְצָר עַתָּה תִּרְאֶה
そして-言われた 主は ～に モーセに 手が 短いのか 今 見るだろう
H0559 H3068 H0413 H4872 H3027 H6258 H7200

הֲיִקְרְךָ דְבָרִי אִם־ לֹא׃
かなうかどうか 私の-言葉が か-否か そうでないか
H1697 H0518 H3808

主はモーセに言われた、「主の手は短かろうか。あなたは、いま、わたしの言葉の成るかどうかを見るであろう」。

24 וַיֵּצֵא מֹשֶׁה וַיְדַבֵּר אֶל־ הָעָם אֶת דִּבְרֵי יְהוָה וַיֶּאֱסֹף
そして-出た モーセは そして-語った ～に 民に ～を 言葉を 主の そして-集めた
H3318 H4872 H1696 H0413 H5971 H0853 H1697 H3068 H0622

שִׁבְעִים אִישׁ מִזִּקְנֵי הָעָם וַיַּעֲמֵד אֹתָם סָבִיב לָאֹהֶל׃
七十-人の 人を 長老たちの-中から 民の そして-立たせた 彼らを 周りに 天幕の
H7657 H0376 H2205 H5971 H0853 H5439 H0168

この時モーセは出て、主の言葉を民に告げ、民の長老たち七十人を集めて、幕屋の周囲に立たせた。

25 וַיֵּ֣רֶד יְהוָ֔ה בֶּֽעָנָ֖ן וַיְדַבֵּ֣ר אֵלָ֑יו וַיָּ֣אצֶל מִן־ הָרוּחַ֩ אֲשֶׁ֨ר עָלָ֜יו וַיִּתֵּ֗ן עַל־ שִׁבְעִ֧ים אִ֛ישׁ הַזְּקֵנִ֖ים וַיְהִ֣י כְנֻ֣חַ עֲלֵיהֶ֗ם הָרוּחַ֙ וַיִּתְנַבְּא֔וּ וְלֹ֖א יָסָֽפוּ׃

主は雲のうちにあって下り、モーセと語られ、モーセの上にある霊を、その七十人の長老たちにも分け与えられた。その霊が彼らの上にとどまった時、彼らは預言した。ただし、その後は重ねて預言しなかった。

26 וַיִּשָּׁאֲרוּ֩ שְׁנֵי־ אֲנָשִׁ֨ים בַּֽמַּחֲנֶ֜ה שֵׁ֣ם הָאֶחָ֗ד וְשֵׁם֙ הַשֵּׁנִ֔י אֶלְדָּ֖ד וּמֵידָ֑ד וַתָּ֤נַח עֲלֵיהֶם֙ הָרוּחַ֙ וְהֵ֣מָּה בַכְּתֻבִ֔ים וְלֹ֥א יָצְא֖וּ הָאֹ֑הֱלָה וַיִּתְנַבְּא֖וּ בַּֽמַּחֲנֶֽה׃

その時ふたりの者が、宿営にとどまっていたが、ひとりの名はエルダデと言い、ひとりの名はメダデといった。彼らの上にも霊がとどまった。彼らは名をしるされた者であったが、幕屋に行かなかったので、宿営のうちで預言した。

27 וַיָּ֣רָץ הַנַּ֔עַר וַיַּגֵּ֖ד לְמֹשֶׁ֣ה וַיֹּאמַ֑ר אֶלְדָּ֣ד וּמֵידָ֔ד מִתְנַבְּאִ֖ים בַּֽמַּחֲנֶֽה׃

その時ふたりの者が、宿営にとどまっていたが、ひとりの名はエルダデと言い、ひとりの名はメダデといった。彼らの上にも霊がとどまった。彼らは名をしるされた者であったが、幕屋に行かなかったので、宿営のうちで預言した。

時にひとりの若者が走ってきて、モーセに告げて言った、「エルダデとメダデとが宿営のうちで預言しています」。

28 וַיַּ֣עַן יְהוֹשֻׁ֣עַ בִּן־ נ֠וּן מְשָׁרֵ֨ת מֹשֶׁ֜ה מִבְּחֻרָ֗יו וַיֹּאמַר֙ אֲדֹנִ֣י מֹשֶׁ֔ה כְּלָאֵֽם׃

若い時からモーセの従者であったヌンの子ヨシュアは答えて言った、「わが主、モーセよ、彼らをさし止めてください」。

29

וּמִי לִי אַתָּה הַמְקַנֵּא מֹשֶׁה לוֹ וַיֹּאמֶר
そして-誰が 私の-ために あなたは ねたんでいるのか モーセは 彼に そして-言った
H4310 H7065 H4872 H0559

יְהוָה יִתֵּן כִּי־ נְבִיאִים יְהוָה עַם כָּל־ יִתֵּן
主が 与えてくださる なぜなら 預言者に-なることを 主の 民が 全ての 与えてくれるだろう
H3068 H5414 H5030 H3068 H3605 H5414

עֲלֵיהֶם׃ רוּחוֹ אֶת־
彼らの-上に その-霊を ～を
H7307 H0853

モーセは彼に言った、「あなたは、わたしのためを思って、ねたみを起しているのか。主の民がみな預言者となり、主がその霊を彼らに与えられることは、願わしいことだ」。

30

יִשְׂרָאֵל׃ וְזִקְנֵי הוּא הַמַּחֲנֶה אֶל־ מֹשֶׁה וַיֵּאָסֵף
イスラエルの そして-長老たちは 彼と 宿営へ ～へ モーセは そして-引き上げた
H3478 H2205 H1931 H4264 H0413 H4872 H0622

こうしてモーセはイスラエルの長老たちと共に、宿営に引きあげた。

31

הַיָּם מִן־ שַׂלְוִים וַיָּגָז יְהוָה מֵאֵת וְנָסַע וְרוּחַ
海から ～から うずらを そして-切り離した 主から ～から 出発した そして-風が
H3220 H7958 H1468 H3068 H0854 H5265 H7307

וּכְדֶרֶךְ כֹּה יוֹם כְּדֶרֶךְ הַמַּחֲנֶה עַל־ וַיִּשְׁטֹשׁ
そして-道のりの-ように こちらに 一-日の 道のりの-ように 宿営の ～の-上に そして-散らした
H1870 H3541 H3117 H1870 H4264 H5203

הָאָרֶץ׃ פְּנֵי עַל־ וּכְאַמָּתַיִם הַמַּחֲנֶה סְבִיבוֹת כֹּה יוֹם
地の 面の ～の-上に そして-二-アンマほど 宿営の 周囲に あちらに 一-日の
H0776 H6440 H4264 H5439 H3541 H3117

さて、主のもとから風が起り、海の向こうから、うずらを運んできて、これを宿営の近くに落した。その落ちた範囲は、宿営の周囲で、こちら側も、おおよそ一日の行程、あちら側も、おおよそ一日の行程、地面から高さおおよそ二キュビトであった。

32

יוֹם וְכָל הַלַּיְלָה וְכָל־ הַהוּא הַיּוֹם כָּל־ הָעָם וַיָּקָם
日の そして-全ての 夜の そして-全ての その 日の 全ての 民は そして-立ち上がった
H3117 H3605 H3915 H3605 H1931 H3117 H3605

חֲמֹרִים עֲשָׂרָה אָסַף הַמַּמְעִיט הַשְּׂלָו אֶת־ וַיַּאַסְפוּ הַמָּחֳרָת
ホメルを 十 集めた 最も-少ない-者でも うずらを ～を そして-集めた 翌日の
H6235 H0622 H4591 H7958 H0853 H0622 H4283

הַמַּחֲנֶה׃ סְבִיבוֹת שָׁטוֹחַ לָהֶם וַיִּשְׁטְחוּ
宿営の 周囲に 干して 彼らの-ために そして-広げた
H4264 H5439 H7849 H7849

そこで民は立ち上がってその日は終日、その夜は終夜、またその次の日も終日、うずらを集めたが、集める事の最も少ない者も、十ホメルほど集めた。彼らはみな、それを宿営の周囲に広げておいた。

33

חָרָה יְהוָה וְאַף יִכְרֹת טֶרֶם שִׁנֵּיהֶם בֵּין עוֹדֶנּוּ הַבָּשָׂר
燃えた 主の そして-怒りが 断たれる かみ-切る-前に 彼らの-歯の ～の-間に まだ 肉は
H2734 H3068 H0639 H3772 H2962 H8127 H0996 H5750 H1320

מְאֹד׃ רַבָּה מַכָּה בָּעָם יְהוָה וַיַּךְ בָּעָם
非常に 大きな 打撃で 民を 主は そして-打った 民に-対して
H3966 H4347 H3068 H5221

その肉がなお、彼らの歯の間にあって食べつくさないうちに、主は民にむかって怒りを発し、主は非常に激しい疫病をもって民を撃たれた。

קָבְרוּ	שָׁם	כִּי־	הַתַּאֲוָה־קִבְרוֹת	הַהוּא	הַמָּקוֹם	שֵׁם־	אֶת־	וַיִּקְרָא	34
葬った	そこに	なぜなら	キブロト-ハタアワと	その	その-場所の	名を	～を	そして-呼んだ	
H6912	H8033		H6914	H1931	H4725	H8034	H0853	H7121	

הַמִּתְאַוִּים׃	הָעָם	אֶת־	
欲張りの	民を	～を	
H0183		H0853	

これによって、その所の名はキブロテ・ハッタワと呼ばれた。欲心を起した民を、そこに埋めたからである。

פ	בַּחֲצֵרוֹת׃	וַיִּהְיוּ	חֲצֵרוֹת	הָעָם	נָסְעוּ	הַתַּאֲוָה־מִקִבְרוֹת	35
段落	ハツェロトに	そして-いた	ハツェロトへ	民は	出発した	キブロト-ハタアワから	
	H2698	H1961	H2698		H5265	H6914	

キブロテ・ハッタワから、民はハゼロテに進み、ハゼロテにとどまった。

Chapter 12

הַכֻּשִׁית	הָאִשָּׁה	אֹדוֹת	עַל־	בְּמֹשֶׁה	וְאַהֲרֹן	מִרְיָם	וַתְּדַבֵּר	1
クシ人の	女の	件の	～に-ついて	モーセに-対して	そして-アロンは	ミリアムは	そして-語った	
H3571	H0802	H0182		H4872	H0175	H4813	H1696	

לָקָח׃	כֻּשִׁית	אִשָּׁה	כִּי־	לָקָח	אֲשֶׁר
娶った	クシ人の	女を	なぜなら	娶った	～を
H3947	H3571	H0802		H3947	

モーセはクシの女をめとっていたが、そのクシの女をめとったゆえをもって、ミリアムとアロンはモーセを非難した。

גַּם־	הֲלֹא	יְהוָה	דִּבֶּר	בְּמֹשֶׁה	אַךְ־	הֲרַק	וַיֹּאמְרוּ	2
また	では-ないか	主は	語られたのか	モーセを-通して	ただ	ただ	そして-言った	
H1571	H3808	H3068	H1696	H4872	H0389	H7535	H0559	

יְהוָה׃	וַיִּשְׁמַע	דִּבֶּר	בָּנוּ
主は	そして-聞いた	語られた	私たちを-通しても
H3068	H8085	H1696	

彼らは言った、「主はただモーセによって語られるのか。われわれによっても語られるのではないのか」。主はこれを聞かれた。

אֲשֶׁר	הָאָדָם	מִכֹּל	מְאֹד	)עָנָיו(	]ענו[	מֹשֶׁה	וְהָאִישׁ	3
～の	人の	全ての-中で	非常に	柔和であった	柔和であった	モーセは	そして-人は	
	H0120	H3605	H3966	H6040	H6035	H4872	H0376	

ס	הָאֲדָמָה׃	פְּנֵי	עַל־
区切り	地の	面の	～の-上の
	H0127	H6440	

モーセはその人となり柔和なこと、地上のすべての人にまさっていた。

מִרְיָם	וְאֶל־	אַהֲרֹן	וְאֶל־	מֹשֶׁה	אֶל־	פִּתְאֹם	יְהוָה	וַיֹּאמֶר	4
ミリアムに	そして-～に	アロンに	そして-～に	モーセに	～に	突然	主は	そして-言われた	
H4813	H0413	H0175	H0413	H4872	H0413	H6597	H3068	H0559	

שְׁלָשְׁתָּם׃	וַיֵּצְאוּ	מוֹעֵד	אֹהֶל	אֶל־	שְׁלָשְׁתְּכֶם	צְאוּ
三人とも	そして-出た	会見の	天幕へ	～へ	三人とも	出なさい
H7969	H3318	H4150	H0168	H0413	H7969	H3318

そこで、主は突然モーセとアロン、およびミリアムにむかって「あなたがた三人、会見の幕屋に出てきなさい」と言われたので、彼ら三人は出てきたが、

וַיִּקְרָא	הָאֹהֶל	פֶּתַח	וַיַּעֲמֹד	עָנָן	בְּעַמּוּד	יְהוָה	וַיֵּרֶד	5
そして-呼んだ	天幕の	入口に	そして-立った	雲の	雲の-柱の-中で	主は	そして-降りた	
H7121	H0168	H6607	H5975	H6051	H5982	H3068	H3381	

שְׁנֵיהֶם׃	וַיֵּצְאוּ	וּמִרְיָם	אַהֲרֹן
二人とも	そして-出た	そして-ミリアムを	アロンと
H8147	H3318	H4813	H0175

主は雲の柱のうちにあって下り、幕屋の入口に立って、アロンとミリアムを呼ばれた。彼らふたりが進み出ると、

יְהוָה	נְבִיאֶכֶם	יִהְיֶה	אִם־	דְּבָרָי	נָא	שִׁמְעוּ־	וַיֹּאמֶר	6
主の	あなたがたの-預言者が	いるなら	もし	私の-言葉を	どうか	聞きなさい	そして-言われた	
H3068	H5030	H1961		H1697	H4994	H8085	H0559	

בּוֹ׃	אֲדַבֶּר־	בַּחֲלוֹם	אֶתְוַדָּע	אֵלָיו	בַּמַּרְאָה
彼に	語る	夢の-中で	知らせる	彼に	幻の-中で
	H1696	H2472	H3045	H0413	

彼らに言われた、「あなたがたは、いま、わたしの言葉を聞きなさい。あなたがたのうちに、もし、預言者があるならば、主なるわたしは幻をもって、これにわたしを知らせ、また夢をもって、これと語るであろう。

הוּא׃	נֶאֱמָן	בֵּיתִי	בְּכָל־	מֹשֶׁה	עַבְדִּי	כֵּן	לֹא־	7
彼は	忠実である	私の-家に	全ての-中で	モーセは	私の-僕は	そうではない	ない-そうではない	
H1931	H0539		H3605	H4872	H5650		H3808	

しかし、わたしのしもべモーセとは、そうではない。彼はわたしの全家に忠信なる者である。

וּתְמֻנַת	בְּחִידֹת	וְלֹא	וּמַרְאֶה	בּוֹ	אֲדַבֶּר־	פֶּה	אֶל־	פֶּה	8
そして-姿を	謎ではなく	そして-ない	そして-明らかに	彼に	語る	口へ	～へ	口から	
H8544	H2420	H3808	H4758		H1696	H6310	H0413	H6310	

בְּמֹשֶׁה׃	בְּעַבְדִּי	לְדַבֵּר	יְרֵאתֶם	לֹא	וּמַדּוּעַ	יַבִּיט	יְהוָה
モーセに-対して	私の-僕に-対して	語ることを	恐れなかったのか	ない	そして-なぜ	見る	主の
H4872	H5650	H1696	H3372	H3808	H4069	H5027	H3068

彼とは、わたしは口ずから語り、明らかに言って、なぞを使わない。彼はまた主の形を見るのである。なぜ、あなたがたはわたしのしもべモーセを恐れず非難するのか」。

וַיֵּלְךְ׃	בָּם	יְהוָה	אַף	וַיִּחַר	9
そして-去った	彼らに-対して	主の	怒りが	そして-燃えた	
H3212		H3068	H0639	H2734	

主は彼らにむかい怒りを発して去られた。

כַּשָּׁלֶג	מְצֹרַעַת	מִרְיָם	וְהִנֵּה	הָאֹהֶל	מֵעַל	סָר	וְהֶעָנָן	10
雪の-ように	らい病に-かかった	ミリアムは	そして-見よ	天幕の	上から	去った	そして-雲が	
H7950	H6879	H4813	H2009	H0168		H5493	H6051	

מְצֹרַעַת׃	וְהִנֵּה	מִרְיָם	אֶל־	אַהֲרֹן	וַיִּפֶן
らい病に-かかっていた	そして-見よ	ミリアムの	～の-方へ	アロンは	そして-振り向いた
H6879	H2009	H4813	H0413	H0175	H6437

雲が幕屋の上を離れ去った時、ミリアムは、らい病となり、その身は雪のように白くなった。アロンがふり返ってミリアムを見ると、彼女はらい病になっていた。

11

נָ֣א	אַל־	אֲדֹנָ֗י	בִּ֤י	מֹשֶׁה֙	אֶל־	אַהֲרֹ֔ן	וַיֹּ֣אמֶר	
お願いだ	どうか–ない	わが–主よ	ああ	モーセに	～に	アロンは	そして–言った	
H4994	H0408	H0113	H0994	H4872	H0413	H0175	H0559	

חָטָאנוּ׃	וַאֲשֶׁר	נוֹאַלְנוּ	אֲשֶׁר	חַטָּאת	עָלֵ֣ינוּ	תָּשֶׂם
罪を–犯した	そして～の	愚かに–行った	～の	罪を	私たちの–上に	置かないでください
H2398		H2973				H7896

そこで、アロンはモーセに言った、「ああ、わが主よ、わたしたちは愚かなことをして罪を犯しました。どうぞ、その罰をわたしたちに受けさせないでください。

12

אִמּוֹ	מֵרֶ֖חֶם	בְּצֵאתוֹ֙	אֲשֶׁ֣ר	כַּמֵּ֔ת	תְּהִ֥י	נָ֣א	אַל־
その–母の	胎から	出る–とき	～の	死人の–ように	ならないでください	お願いだ	どうか–ない
H0517	H7358	H3318		H4191	H1961	H4994	H0408

בְּשָׂרוֹ׃	חֲצִ֥י	וַיֵּאָכֵֽל
その–肉の	半分が	そして–食い–尽くされる
H1320	H2677	H0398

どうぞ彼女を母の胎から肉が半ば滅びうせて出る死人のようにしないでください」。

13

לָ֑הּ׃	נָ֣א	רְפָ֖א	נָ֣א	אֵ֥ל	לֵאמֹ֛ר	יְהוָ֖ה	אֶל־	מֹשֶׁ֥ה	וַיִּצְעַ֣ק
彼女を	どうか	癒してください	どうか	神よ	言って	主に	～に	モーセは	そして–叫んだ
	H4994	H7495	H4994	H0410	H0559	H3068	H0413	H4872	H6817

פ
段落

その時モーセは主に呼ばわって言った、「ああ、神よ、どうぞ彼女をいやしてください」。

14

יָרֹ֨ק	יָרַ֜ק	וְאָבִ֣יהָ	מֹשֶׁה֮	אֶל־	יְהוָה֒	וַיֹּ֣אמֶר	
吐きかけたなら	吐きかけて	そして–その–父が	モーセに	～に	主は	そして–言われた	
H3417	H3417	H0001	H4872	H0413	H3068	H0559	

מִחוּץ֙	יָמִ֣ים	שִׁבְעַ֔ת	תִּסָּגֵ֖ר	יָמִ֑ים	שִׁבְעַ֣ת	תִּכָּלֵ֔ם	הֲלֹ֣א	בְּפָנֶ֖יהָ
外に	日の–間	七	閉じ込められよ	日の–間	七	恥じるだろう	では–ないか	彼女の–顔に
H2351	H3117	H7651	H5462	H3117	H7651	H3637	H3808	H6440

תֵּאָסֵ֥ף׃	וְאַחַ֖ר	לַמַּחֲנֶ֑ה
迎え入れられよ	そして–その–後	宿営の
H0622		H4264

主はモーセに言われた、「彼女の父が彼女の顔につばきしてさえ、彼女は七日のあいだ、恥じて身を隠すではないか。彼女を七日のあいだ、宿営の外で閉じこめておかなければならない。その後、連れもどしてもよい」。

15

לֹ֣א	וְהָעָ֗ם	יָמִים֙	שִׁבְעַ֣ת	לַמַּחֲנֶ֔ה	מִח֖וּץ	מִרְיָ֑ם	וַתִּסָּגֵ֥ר	
ない	そして–民は	日の–間	七	宿営の	外に	ミリアムは	そして–閉じ込められた	
H3808		H3117	H7651	H4264	H2351	H4813	H5462	

מִרְיָ֔ם׃	הֵאָסֵ֖ף	עַד־	נָסַ֥ע
ミリアムが	迎え入れられる–まで	～まで	出発しなかった
H4813	H0622	H5704	H5265

そこでミリアムは七日のあいだ、宿営の外で閉じこめられた。民はミリアムが連れもどされるまでは、道に進まなかった。

16

פ	פָּארָ֔ן׃	בְּמִדְבָּ֖ר	וַיַּחֲנ֥וּ	מֵחֲצֵר֖וֹת	הָעָ֑ם	נָסְע֣וּ	וְאַחַ֔ר	
段落	パランの	荒野に	そして–宿営した	ハツェロトから	民は	出発した	そして–その–後	
	H6290		H2583	H2698		H5265		

その後、民はハゼロテを立って進み、パランの荒野に宿営した。

Chapter 13

1 וַיְדַבֵּר יְהוָה אֶל־מֹשֶׁה לֵּאמֹר׃
そして-語った 主は ～に モーセに 言って
H1696 H3068 H0413 H4872 H0559

主はモーセに言われた、

2 שְׁלַח־לְךָ אֲנָשִׁים וְיָתֻרוּ אֶת־אֶרֶץ כְּנַעַן אֲשֶׁר־אֲנִי נֹתֵן לִבְנֵי יִשְׂרָאֵל אִישׁ אֶחָד אִישׁ אֶחָד לְמַטֵּה אֲבֹתָיו תִּשְׁלָחוּ כֹּל נָשִׂיא בָהֶם׃
遣わせ あなたのために 人々を そして-偵察させよ ～を 地を カナンの ～する わたしが 与える ～の-子らに イスラエルの 人を 一人 人を 一人 部族の 彼らの-先祖の 遣わしなさい すべて 族長を 彼らの-中から
H7971 H0376 H8446 H0853 H0776 H3605 H0589 H5414 H0259 H0376 H0259 H0376 H4294 H0001 H7971 H3605 H5414 H3478

「人をつかわして、わたしがイスラエルの人々に与えるカナンの地を探らせなさい。すなわち、その父祖の部族ごとに、すべて彼らのうちのつかさたる者ひとりずつをつかわしなさい」。

3 וַיִּשְׁלַח מֹשֶׁה אֹתָם מִמִּדְבַּר פָּארָן עַל־פִּי יְהוָה כֻּלָּם אֲנָשִׁים רָאשֵׁי בְנֵי־יִשְׂרָאֵל הֵמָּה׃
そして-遣わした モーセは 彼らを 荒野から ～の-荒野から パランの ～に-従い 命令に 主の すべて 人々は かしらたちで ～の-子らの イスラエルの 彼らであった
H7971 H4872 H0853 H4057 H6290 H5921 H6310 H3068 H3605 H0376 H7218 H1121 H3478 H1992

モーセは主の命にしたがって、パランの荒野から彼らをつかわした。その人々はみなイスラエルの人々のかしらたちであった。

4 וְאֵלֶּה שְׁמוֹתָם לְמַטֵּה רְאוּבֵן שַׁמּוּעַ זַכּוּר׃
そして-これらは 彼らの-名前である 部族の ルベンの シャムアは ～の-子 ザクルの
H0428 H8034 H4294 H7205 H8051 H1121 H2139

彼らの名は次のとおりである。ルベンの部族ではザックルの子シャンマ、

5 לְמַטֵּה שִׁמְעוֹן שָׁפָט בֶּן־חוֹרִי׃
部族の シメオンの シャファトは ～の-子 ホリの
H4294 H8095 H8202 H1121 H2753

シメオンの部族ではホリの子シャパテ、

6 לְמַטֵּה יְהוּדָה כָּלֵב בֶּן־יְפֻנֶּה׃
部族の ユダの カレブは ～の-子 エフネの
H4294 H3063 H3612 H1121 H3312

ユダの部族ではエフンネの子カレブ、

7 לְמַטֵּה יִשָּׂשכָר יִגְאָל בֶּן־יוֹסֵף׃
部族の イッサカルの イグアルは ～の-子 ヨセフの
H4294 H3485 H3008 H1121 H3130

イッサカルの部族ではヨセフの子イガル、

לְמַטֵּה	אֶפְרַיִם	הוֹשֵׁעַ	בִּן־	נוּן׃	8
部族の	エフライムの	ホシェアは	～の-子	ヌンの	
H4294	H0669	H1954		H5126	

エフライムの部族ではヌンの子ホセア、

לְמַטֵּה	בִנְיָמִן	פַּלְטִי	בֶּן־	רָפוּא׃	9
部族の	ベニヤミンの	パルティは	～の-子	ラフの	
H4294	H1144	H6406		H7505	

ベニヤミンの部族ではラフの子パルテ、

לְמַטֵּה	זְבוּלֻן	גַּדִּיאֵל	בֶּן־	סוֹדִי׃	10
部族の	ゼブルンの	ガディエルは	～の-子	ソディの	
H4294	H2074	H1427		H5476	

ゼブルンの部族ではソデの子ガデエル、

לְמַטֵּה	יוֹסֵף	לְמַטֵּה	מְנַשֶּׁה	גַּדִּי	בֶּן־	סוּסִי׃	11
部族の	ヨセフの	部族の	マナセの	ガディは	～の-子	スシの	
H4294	H3130	H4294	H4519	H1426		H5485	

ヨセフの部族すなわち、マナセの部族ではスシの子ガデ、

לְמַטֵּה	דָּן	עַמִּיאֵל	בֶּן־	גְּמַלִּי׃	12
部族の	ダンの	アミエルは	～の-子	ゲマリの	
H4294	H1835	H5988		H1582	

ダンの部族ではゲマリの子アンミエル、

לְמַטֵּה	אָשֵׁר	סְתוּר	בֶּן־	מִיכָאֵל׃	13
部族の	アシェルの	セトルは	～の-子	ミカエルの	
H4294	H0836	H5639		H4317	

アセルの部族ではミカエルの子セトル、

לְמַטֵּה	נַפְתָּלִי	נַחְבִּי	בֶּן־	וָפְסִי׃	14
部族の	ナフタリの	ナフビは	～の-子	ワフシの	
H4294	H5321	H5147		H2058	

ナフタリの部族ではワフシの子ナヘビ、

לְמַטֵּה	גָּד	גְּאוּאֵל	בֶּן־	מָכִי׃	15
部族の	ガドの	ゲウエルは	～の-子	マキの	
H4294	H1410	H1345		H4352	

ガドの部族ではマキの子ギウエル。

הָאָרֶץ	אֶת־	לָתוּר	מֹשֶׁה	שָׁלַח	אֲשֶׁר־	הָאֲנָשִׁים	שְׁמוֹת	אֵלֶּה	16
その-地を	～を	偵察するために	モーセが	遣わした	～する	その-人々の	名前で	これらは	
H0776	H0853	H8446	H4872	H7971		H0376	H8034	H0428	

יְהוֹשֻׁעַ׃	נוּן	בִּן־	לְהוֹשֵׁעַ	מֹשֶׁה	וַיִּקְרָא
ヨシュアと	ヌンの	～の-子	ホシェアを	モーセは	そして-呼んだ
H3091	H5126		H1954	H4872	H7121

以上はモーセがその地を探らせるためにつかわした人々の名である。そしてモーセはヌンの子ホセアをヨシュアと名づけた。

17 וַיִּשְׁלַ֤ח מֹשֶׁה֙ אֹתָ֔ם לָתֻ֖ר אֶת־אֶ֣רֶץ כְּנָ֑עַן וַיֹּ֨אמֶר֙ אֲלֵהֶ֔ם עֲל֥וּ זֶ֖ה בַּנֶּ֑גֶב וַעֲלִיתֶ֖ם אֶת־הָהָֽר׃

וַיִּשְׁלַ֤ח	מֹשֶׁה֙	אֹתָ֔ם	לָתֻ֖ר	אֶת־	אֶ֣רֶץ	כְּנָ֑עַן	וַיֹּ֨אמֶר֙	אֲלֵהֶ֔ם
そして–遣わした	モーセは	彼らを	偵察するために	～を	地を	カナンの	そして–言った	彼らに
H7971	H4872	H0853	H8446	H0853	H0776		H0559	H0413

עֲל֥וּ	זֶ֖ה	בַּנֶּ֑גֶב	וַעֲלִיתֶ֖ם	אֶת־	הָהָֽר׃
上れ	この	ネゲブに	そして–上れ	～を	その–山地に
H5927	H2088	H5045	H5927	H0853	H2022

モーセは彼らをつかわし、カナンの地を探らせようとして、これに言った、「あなたがたはネゲブに行って、山に登り、

18 וּרְאִיתֶ֖ם אֶת־הָאָ֑רֶץ מַה־הִ֣וא וְאֶת־הָעָ֗ם הַיֹּשֵׁ֤ב עָלֶ֙יהָ֙ הֲחָזָ֣ק הוּא֮ הָרָפֶ֣ה הַמְעַט־הִ֣וא אִם־רָ֔ב׃

וּרְאִיתֶ֖ם	אֶת־	הָאָ֑רֶץ	מַה־	הִ֣וא	וְאֶת־	הָעָ֗ם	הַיֹּשֵׁ֤ב	עָלֶ֙יהָ֙
そして–見よ	～を	その–地を	何で	あるか	そして–～を	その–民を	住んでいる	その–上に
H7200	H0853	H0776	H4100	H1931	H0853		H3427	

הֲחָזָ֣ק	הוּא֮	הָרָפֶ֣ה	הַמְעַט־	הִ֣וא	אִם־	רָ֔ב׃	
強いか	彼らは	弱いか	少ないか	彼らは	あるいは	多いか	
H2389	H1931	H7504	H4592	H1931			

その地の様子を見、そこに住む民は、強いか弱いか、少ないか多いか、

19 וּמָ֣ה הָאָ֗רֶץ אֲשֶׁר־הוּא֙ יוֹשֵׁ֣ב בָּ֔הּ הֲטוֹבָ֥ה הִ֖וא אִם־רָעָ֑ה וּמָ֣ה הֶעָרִ֗ים אֲשֶׁר־הוּא֙ יוֹשֵׁ֣ב בָּהֶ֔נָּה הַבְּמַחֲנִ֥ים אִם֙ בְּמִבְצָרִ֔ים׃

וּמָ֣ה	הָאָ֗רֶץ	אֲשֶׁר־	הוּא֙	יוֹשֵׁ֣ב	בָּ֔הּ	הֲטוֹבָ֥ה	הִ֖וא	אִם־
そして–どうか	その–地は	～する	彼らが	住んでいる	そこに	良いか	それは	あるいは
H4100	H0776		H1931	H3427			H1931	

רָעָ֑ה	וּמָ֣ה	הֶעָרִ֗ים	אֲשֶׁר־	הוּא֙	יוֹשֵׁ֣ב	בָּהֶ֔נָּה	הַבְּמַחֲנִ֥ים	אִם֙	בְּמִבְצָרִ֔ים׃
悪いか	そして–どうか	その–町々は	～する	彼らが	住んでいる	そこに	宿営地か	あるいは	城塞か
	H4100			H1931	H3427	H2007	H4264		H4013

また彼らの住んでいる地は、良いか悪いか。人々の住んでいる町々は、天幕か、城壁のある町か、

20 וּמָ֣ה הָאָ֗רֶץ הַשְּׁמֵנָ֥ה הִ֛וא אִם־רָזָ֖ה הֲיֵ֣שׁ־בָּ֑הּ עֵ֔ץ אִם־אֵ֔ין וְהִתְחַזַּקְתֶּ֖ם וּלְקַחְתֶּ֣ם מִפְּרִ֣י הָאָ֑רֶץ וְהַיָּמִ֕ים יְמֵ֖י בִּכּוּרֵ֥י עֲנָבִֽים׃

וּמָ֣ה	הָאָ֗רֶץ	הַשְּׁמֵנָ֥ה	הִ֛וא	אִם־	רָזָ֖ה	הֲיֵ֣שׁ־	בָּ֑הּ	עֵ֔ץ
そして–どうか	その–地は	肥えているか	それは	あるいは	やせているか	あるか	そこに	木は
H4100	H0776	H8082	H1931		H7330	H3426		H6086

אִם־	אַ֣יִן	וְהִתְחַזַּקְתֶּ֖ם	וּלְקַחְתֶּ֣ם	מִפְּרִ֣י	הָאָ֑רֶץ	וְהַיָּמִ֕ים		
あるいは	ないか	そして–勇気を出して	そして–取れ	～の–果実を	その–地の	そして–その–日々は		
	H0369	H2388	H3947	H6529	H0776	H3117		

יְמֵ֖י	בִּכּוּרֵ֥י	עֲנָבִֽים׃	
時期で	初物の	ぶどうの	
H3117	H1061	H6025	

その地は、肥えているか、やせているか、そこには、木があるかないかを見なさい。あなたがたは、勇んで行って、その地のくだものを取ってきなさい」。時は、ぶどうの熟し始める季節であった。

21 וַיַּעֲל֖וּ וַיָּתֻ֣רוּ אֶת־הָאָ֑רֶץ מִמִּדְבַּר־צִ֔ן עַד־רְחֹ֖ב לְבֹ֥א חֲמָֽת׃

וַיַּעֲל֖וּ	וַיָּתֻ֣רוּ	אֶת־	הָאָ֑רֶץ	מִמִּדְבַּר־	צִ֔ן	עַד־	רְחֹ֖ב	לְבֹ֥א	חֲמָֽת׃
そして–上って行った	そして–偵察した	～を	その–地を	～の–荒野から	ツィンの	～まで	レホブの	入り口で	ハマトの
H5927	H8446	H0853	H0776		H6790	H5704	H7340	H0935	H2574

そこで、彼らはのぼっていって、その地をチンの荒野からハマテの入口に近いレホブまで探った。

22 וַיַּעֲלוּ בַנֶּגְבָּה וַיָּבֹא עַד־חֶבְרוֹן וְשָׁם אֲחִימַן שֵׁשַׁי

そして–上った ネゲブに そして–来た ～まで ヘブロンに そして–そこに アヒマンと シェシャイと
H5927 H5045 H0935 H5704 H2275 H8033 H0289 H8344

וְתַלְמַי יְלִידֵי הָעֲנָק לִפְנֵי נִבְנְתָה שֶׁבַע שָׁנִים לְצֹעַן מִצְרָיִם׃

そして–タルマイが 子孫で アナクの ～の–前に 建てられた 七 年 ツォアンの エジプトの
H8526 H3211 H6061 H6440 H1129 H7651 H8141 H6814 H4714

彼らはネゲブにのぼって、ヘブロンまで行った。そこにはアナクの子孫であるアヒマン、セシャイ、およびタルマイがいた。ヘブロンはエジプトのゾアンよりも七年前に建てられたものである。

23 וַיָּבֹאוּ עַד־נַחַל אֶשְׁכֹּל וַיִּכְרְתוּ מִשָּׁם זְמוֹרָה וְאֶשְׁכֹּול

そして–来た ～まで 谷の エシュコルの そして–切り取った そこから 枝を そして–一房の
H0935 H5704 H5158 H0812 H3772 H8033 H2156 H0811

עֲנָבִים וַיִּשְׂאֻהוּ בַמּוֹט בִּשְׁנָיִם וּמִן־הָרִמֹּנִים וּמִן־הַתְּאֵנִים׃

ぶどうの 一つの そして–担いだ 棒で 二人で そして–～から ざくろと そして–～から いちじくを
H6025 H0259 H5375 H4132 H8147 H4480 H7416 H4480 H8384

ついに彼らはエシコルの谷に行って、そこで一ふさのぶどうの枝を切り取り、これを棒をもって、ふたりでかつぎ、また、ざくろといちじくをも取った。

24 לַמָּקוֹם הַהוּא קָרָא נַחַל אֶשְׁכּוֹל עַל אֹדוֹת אֲשֶׁר־כָּרְתוּ מִשָּׁם בְּנֵי יִשְׂרָאֵל׃

その–場所を その 呼んだ 谷と エシュコルと ～の–ゆえに 事情の ～する 切り取った そこから ～の–子らは イスラエルの
H4725 H1931 H7121 H5158 H0812 H5921 H0182 H0834 H3772 H8033 H1121 H3478

イスラエルの人々が、そこで切り取ったぶどうの一ふさにちなんで、その所はエシコルの谷と呼ばれた。

25 וַיָּשֻׁבוּ מִתּוּר הָאָרֶץ מִקֵּץ אַרְבָּעִים יוֹם׃

そして–帰った 偵察から その–地の ～の–終わりに 四十 日の
H7725 H8446 H0776 H7093 H0705 H3117

四十日の後、彼らはその地を探り終って帰ってきた。

26 וַיֵּלְכוּ וַיָּבֹאוּ אֶל־מֹשֶׁה וְאֶל־אַהֲרֹן

そして–行った そして–来た ～の–もとに モーセの ～の–もとに アロンの
H3212 H0935 H0413 H4872 H0413 H0175

וְאֶל־כָּל־עֲדַת בְּנֵי־יִשְׂרָאֵל אֶל־מִדְבַּר פָּארָן

そして–～の–もとに すべての 会衆の ～の–子らの イスラエルの ～へ 荒野の パランの
H0413 H3605 H5712 H1121 H3478 H0413 H4057 H6290

קָדֵשָׁה וַיָּשִׁיבוּ אוֹתָם דָּבָר וְאֶת־כָּל־הָעֵדָה וַיּוֹרֻאוּם אֶת־

カデシュに そして–報告した 彼らに 言葉を そして–～を すべての 会衆に そして–見せた ～を
H6946 H7725 H0853 H1697 H0853 H3605 H5712 H7200 H0853

פְּרִי הָאָרֶץ׃

果実を その–地の
H6529 H0776

そして、パランの荒野にあるカデシにいたモーセとアロン、およびイスラエルの人々の全会衆のもとに行って、彼らと全会衆とに復命し、その地のくだものを彼らに見せた。

27 וַיְסַפְּרוּ־ לוֹ וַיֹּאמְרוּ בָּאנוּ אֶל־ הָאָרֶץ אֲשֶׁר שְׁלַחְתָּנוּ וְגַם
そして-語った 彼に そして-言った 行った ～へ その-地に ～する 遣わした そして-また
H0559 H0935 H0413 H0776 H7971 H1571

זָבַת חָלָב וּדְבָשׁ הִוא וְזֶה־ פְּרִיָהּ׃
流れる 乳と 蜜が それは そして-これが その-果実だ
H2100 H2461 H1706 H1931 H2088 H6529

彼らはモーセに言った、「わたしたちはあなたが、つかわした地へ行きました。そこはまことに乳と蜜の流れている地です。これはそのくだものです。

28 אֶפֶס כִּי־ עַז הָעָם הַיֹּשֵׁב בָּאָרֶץ וְהֶעָרִים בְּצֻרוֹת
しかし 確かに 強い その-民は 住んでいる その-地に そして-町々は 城壁があり
H0657 H3588 H5794 H5971 H3427 H0776 H6186 H1219

גְּדֹלֹת מְאֹד וְגַם־ יְלִדֵי הָעֲנָק רָאִינוּ שָׁם׃
非常に-大きい とても そして-また 子孫を アナクの 見た そこで
H1419 H3966 H1571 H3211 H6061 H7200 H8033

しかし、その地に住む民は強く、その町々は堅固で非常に大きく、わたしたちはそこにアナクの子孫がいるのを見ました。

29 עֲמָלֵק יוֹשֵׁב בְּאֶרֶץ הַנֶּגֶב וְהַחִתִּי וְהַיְבוּסִי וְהָאֱמֹרִי יוֹשֵׁב
アマレクが 住んでいる ～の-地に ネゲブの そして-ヒッタイト人と そして-エブス人と
H6002 H3427 H0776 H5045 H2850 H2983

בָּהָר וְהַכְּנַעֲנִי יוֹשֵׁב עַל־ יַד הַיָּם וְעַל יַד הַיַּרְדֵּן׃
山地に 住んでいる そして-カナン人が 海の ～の-そばに 岸の ヨルダン川の そして-～の-そばに
H2022 H3427 H3669 H3220 H3027 H3383

またネゲブの地には、アマレクびとが住み、山地にはヘテびと、エブスびと、アモリびとが住み、海べとヨルダンの岸べには、カナンびとが住んでいます」。

30 וַיַּהַס כָּלֵב אֶת־ הָעָם אֶל־ מֹשֶׁה וַיֹּאמֶר עָלֹה נַעֲלֶה
そして-静めた カレブは ～を その-民を ～の-前で モーセの そして-言った 必ず 上って行こう
H2013 H3612 H0853 H5971 H0413 H4872 H0559 H5927

וְיָרַשְׁנוּ אֹתָהּ כִּי־ יָכוֹל נוּכַל לָהּ׃
そして-征服しよう それを なぜなら きっと できる それを
H3423 H0853 H3588 H3201 H3201 H0853

そのとき、カレブはモーセの前で、民をしずめて言った、「わたしたちはすぐにのぼって、攻め取りましょう。わたしたちは必ず勝つことができます」。

31 וְהָאֲנָשִׁים אֲשֶׁר־ עָלוּ עִמּוֹ אָמְרוּ לֹא נוּכַל לַעֲלוֹת
しかし-その-人々は ～した 上った 彼と-共に 言った できない 我々は 上ることは
H0376 H0834 H5927 H5973 H0559 H3808 H3201 H5927

אֶל־ הָעָם כִּי־ חָזָק הוּא מִמֶּנּוּ׃
～に-向かって その-民に なぜなら 強い 彼らは 我々より
H0413 H5971 H3588 H2389 H1931 H4480

しかし、彼とともにのぼって行った人々は言った、「わたしたちはその民のところへ攻めのぼることはできません。彼らはわたしたちよりも強いからです」。

32 וַיּוֹצִיאוּ דִבַּת הָאָרֶץ אֲשֶׁר תָּרוּ אֹתָהּ אֶל־בְּנֵי יִשְׂרָאֵל
そして-広めた 悪い-噂を その-地の ～する 偵察した それを ～に 子らに イスラエルの
H3318 H1681 H0776 H0853 H8446 H0413 H3478

לֵאמֹר הָאָרֶץ אֲשֶׁר עָבַרְנוּ בָהּ לָתוּר אֹתָהּ אֶרֶץ אֹכֶלֶת יוֹשְׁבֶיהָ
言って その-地は ～する 通った その-中を 偵察するために それを 地は 食い尽くす 住民を
H0559 H0776 H0776 H8446 H0853 H0776 H0398 H3427

מִדּוֹת׃ אַנְשֵׁי בְתוֹכָהּ רָאִינוּ אֲשֶׁר־ הָעָם וְכָל־ הִוא
巨大であった 人々は その-中で 見た ～する その-民で そして-すべての それは
H0376 H8432 H7200 H3605 H1931

そして彼らはその探った地のことを、イスラエルの人々に悪く言いふらして言った、「わたしたちが行き巡って探った地は、そこに住む者を滅ぼす地です。またその所でわたしたちが見た民はみな背の高い人々です。

33 וְשָׁם רָאִינוּ אֶת־ הַנְּפִילִים בְּנֵי עֲנָק מִן־ הַנְּפִלִים וַנְּהִי
そして-そこで 見た ～を ネフィリムを 子らで アナクの ～から ネフィリムの そして-なった
H8033 H7200 H0853 H5303 H6061 H5303 H1961

בְּעֵינֵינוּ וְכֵן הָיִינוּ בְּעֵינֵיהֶם׃
我々の-目に そして-そのように であった 彼らの-目にも
H2284 H1961

わたしたちはまたそこで、ネピリムから出たアナクの子孫ネピリムを見ました。わたしたちには自分が、いなごのように思われ、また彼らにも、そう見えたに違いありません」。

Chapter 14

1 וַתִּשָּׂא וַתִּתֵּן כָּל־ הָעֵדָה הָעָם וַיִּבְכּוּ קוֹלָם אֶת־ וַיָּרִימוּ
そして-上げた そして-あげた すべての 会衆は その-声を ～を 民は そして-泣いた
H5375 H5414 H3605 H5712 H0853 H1058

הַהִוא׃ בַּלַּיְלָה
その その-夜に
H1931 H3915

そこで、会衆はみな声をあげて叫び、民はその夜、泣き明かした。

2 וְעַל־ כָּל בְּנֵי וַיִּלֹּנוּ עַל־ מֹשֶׁה אַהֲרֹן
そして-～に-対して すべての 子らが そして-つぶやいた ～に-対して モーセに アロンに
H3605 H4872 H0175

מִתְנוּ לוּ־ הָעֵדָה כָּל־ אֱלֹהֵם וַיֹּאמְרוּ יִשְׂרָאֵל מִצְרַיִם בְּאֶרֶץ
死んでいたなら もし 会衆は すべての 彼らに そして-言った イスラエルの エジプトの ～の-地で
H4191 H3863 H5712 H3605 H0413 H0559 H4714 H0776

מָתְנוּ׃ לוּ־ הַזֶּה בַּמִּדְבָּר אוֹ
死んでいたなら もし この ～の-荒野で あるいは
H4191 H3863 H2088

またイスラエルの人々はみなモーセとアロンにむかってつぶやき、全会衆は彼らに言った、「ああ、わたしたちはエジプトの国で死んでいたらよかったのに。この荒野で死んでいたらよかったのに。

3

בַּחֶרֶב	לִנְפֹּל	הַזֹּאת	הָאָרֶץ	אֹתָנוּ	מֵבִיא	יְהוָה	וְלָמָּה	
剣に-よって	倒れるために	この	この-地へ	～へ	我々を	連れて来るのか	主は	そして-なぜ
H2719	H5307	H2063	H0776	H0413	H0853	H0935	H3068	H4100

לָנוּ	טוֹב	הֲלוֹא	לָבַז	יִהְיוּ	וְטַפֵּנוּ	נָשֵׁינוּ
我々には	良い	ではないか	略奪物に	なるだろう	そして-我々の-幼子たちは	我々の-妻たちと
		H3808	H0957	H1961	H2945	H0802

מִצְרָיְמָה׃	שׁוּב
エジプトへ	帰ることが
H4714	H7725

なにゆえ、主はわたしたちをこの地に連れてきて、つるぎに倒れさせ、またわたしたちの妻子をえじきとされるのであろうか。エジプトに帰る方が、むしろ良いではないか」。

4

מִצְרָיְמָה׃	וְנָשׁוּבָה	רֹאשׁ	נִתְּנָה	אָחִיו	אֶל־	אִישׁ	וַיֹּאמְרוּ
エジプトへ	そして-帰ろう	かしらを	立てよう	その-兄弟に	～に	人が	そして-言った
H4714	H7725		H5414	H0251	H0413	H0376	H0559

彼らは互に言った、「わたしたちはひとりのかしらを立てて、エジプトに帰ろう」。

5

קְהַל	כָּל־	לִפְנֵי	פְּנֵיהֶם	עַל־	וְאַהֲרֹן	מֹשֶׁה	וַיִּפֹּל
集会の	すべての	～の-前で	その-顔を	～の-上に	そして-アロンは	モーセと	そして-ひれ伏した
H6951	H3605	H6440	H6440		H0175	H4872	H5307

יִשְׂרָאֵל׃	בְּנֵי	עֵדַת
イスラエルの	子らの	会衆の
H3478		H5712

そこで、モーセとアロンはイスラエルの人々の全会衆の前でひれふした。

6

מִן־	יְפֻנֶּה	בֶּן־	וְכָלֵב	נוּן	בִּן־	וִיהוֹשֻׁעַ	
～の-中から	エフネの	～の-子	そして-カレブは	ヌンの	～の-子	そして-ヨシュアと	
	H3312		H3612	H5126		H3091	

בִּגְדֵיהֶם׃	קָרְעוּ	הָאָרֶץ	אֶת־	הַתָּרִים
その-衣を	引き裂いた	その-地を	～を	偵察した者たちの
	H7167	H0776	H0853	H8446

このとき、その地を探った者のうちのヌンの子ヨシュアとエフンネの子カレブは、その衣服を裂き、

7

עָבְרוּ	אֲשֶׁר	הָאָרֶץ	לֵאמֹר	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי־	עֲדַת	כָּל־	אֶל־	וַיֹּאמְרוּ
通った	～する	その-地は	言って	イスラエルの	子らに	会衆の	すべての	～に	そして-言った
	H0776	H0559	H3478		H5712	H3605	H0413	H0559	

מְאֹד׃	מְאֹד	הָאָרֶץ	טוֹבָה	אֹתָהּ	לָתוּר	בָּהּ
非常に	非常に	その-地は	良い	それを	偵察するために	その-中を
H3966	H3966	H0776		H0853	H8446	

イスラエルの人々の全会衆に言った、「わたしたちが行き巡って探った地は非常に良い地です。

8

הַזֹּאת	הָאָרֶץ	אֶל־	אֹתָנוּ	וְהֵבִיא	יְהוָה	בָּנוּ	חָפֵץ	אִם־
この	この-地へ	～へ	我々を	そして-連れて来て	主が	我々を	喜ぶなら	もし
H2063	H0776	H0413	H0853	H0935	H3068			

וּדְבָשׁ׃	חָלָב	זָבַת	הִוא	אֲשֶׁר־	אֶרֶץ	לָנוּ	וְנָתְנָה
蜜が	乳と	流れる	それは	～する	地を	我々に	そして-与えるだろう
H1706	H2461	H2100	H1931		H0776		H5414

もし、主が良しとされるならば、わたしたちをその地に導いて行って、それをわたしたちにくださるでしょう。それは乳と蜜の流れている地です。

9 אַךְ בַּיהוָה אַל־תִּמְרֹדוּ וְאַתֶּם אַל־תִּירְאוּ אֶת־עַם
ただ 主に-対して 背くな ～するな そして-あなたがたは 恐れるな ～を 民を
H0389 H3068 H4775 H0408 H3372 H0853

הָאָרֶץ כִּי לַחְמֵנוּ הֵם סָר צִלָּם מֵעֲלֵיהֶם וַיהוָה
その-地の なぜなら 我々の-食物だ 彼らは 去った その-陰は 彼らから そして-主は
H0776 H3899 H1992 H5493 H6738 H4480 H3068

אִתָּנוּ אַל־תִּירָאֻם׃
我々と-共にいる ～するな 彼らを-恐れるな
H0854 H0408 H3372

ただ、主にそむいてはなりません。またその地の民を恐れてはなりません。彼らはわたしたちの食い物にすぎません。彼らを守る者は取り除かれます。主がわたしたちと共におられますから、彼らを恐れてはなりません」。

10 וַיֹּאמְרוּ כָּל־הָעֵדָה לְרָגְמוֹ בָאֲבָנִים וּכְבוֹד יְהוָה נִרְאָה
そして-言った すべての 会衆は 石で打て 彼らを 石で しかし-栄光が 主の 現れた
H0559 H3605 H5712 H7275 H0853 H0068 H3519 H3068 H7200

בְּאֹהֶל מוֹעֵד אֶל־כָּל־בְּנֵי יִשְׂרָאֵל׃ פ
～の-幕屋に 会見の ～に すべての 子らに イスラエルの —
H0168 H4150 H0413 H3605 H1121 H3478

ところが会衆はみな石で彼らを撃ち殺そうとした。そのとき、主の栄光が、会見の幕屋からイスラエルのすべての人に現れた。

11 וַיֹּאמֶר יְהוָה אֶל־מֹשֶׁה עַד־אָנָה יְנַאֲצֵנִי הָעָם הַזֶּה וְעַד־אָנָה
そして-言った 主は モーセに いつ-まで 侮るのか この-民は この
H0559 H3068 H4872 H5704 H0575 H5006 H2088

לֹא־יַאֲמִינוּ בִּי בְּכֹל הָאֹתוֹת אֲשֶׁר עָשִׂיתִי בְקִרְבּוֹ׃
～ない 信じないのか わたしを すべての しるしに-もかかわらず ～する 行った その-中で
H3808 H0539 H0413 H3605 H0226 H6213 H7130

主はモーセに言われた、「この民はいつまでわたしを侮るのか。わたしがもろもろのしるしを彼らのうちに行ったのに、彼らはいつまでわたしを信じないのか。

12 אַכֶּנּוּ וַאֲוֹרִשֶׁנּוּ וְאֶעֱשֶׂה אֹתְךָ לְגוֹי־גָּדוֹל וְעָצוּם מִמֶּנּוּ׃
打とう そして-滅ぼそう そして-なそう あなたを 大いなる ～の-国民に そして-強い 彼らより
H5221 H3423 H6213 H0853 H1419 H1471 H6099 H4480

わたしは疫病をもって彼らを撃ち滅ぼし、あなたを彼らよりも大いなる強い国民としよう」。

13 וַיֹּאמֶר מֹשֶׁה אֶל־יְהוָה וְשָׁמְעוּ מִצְרַיִם כִּי־הֶעֱלִיתָ בְכֹחֲךָ אֶת־הָעָם הַזֶּה מִקִּרְבּוֹ׃
そして-言った モーセは 主に 聞くだろう そして-エジプト人が ～を 上らせた その-力で ～を この-民を この その-中から
H0559 H4872 H3068 H8085 H4713 H3588 H5927 H0853 H2088 H7130

モーセは主に言った、「エジプトびとは、あなたが力をもって、この民を彼らのうちから導き出されたことを聞いて、

14 וְאָמְרוּ֙ אֶל־ יוֹשֵׁ֣ב הָאָ֔רֶץ הַזֹּ֑את שָׁמְע֗וּ כִּי־ אַתָּ֤ה יְהוָה֙ בְּקֶ֣רֶב
そして-言うだろう ～に 住民に この-地の この 聞いた ～を あなたが 主よ ～の-中に
H0559 H0413 H3427 H0776 H2063 H8085 H0413 H3068 H7130

הָעָ֣ם הַזֶּ֔ה אֲשֶׁר־ עַ֥יִן בְּעַ֖יִן נִרְאָ֑ה אַתָּ֤ה יְהוָה֙ וַעֲנָנְךָ֣
この-民の この ～する 目と 目が 見える あなたが 主よ そして-あなたの-雲が
H2088 H0834 H5869 H5869 H7200 H0413 H3068 H6051

עֹמֵ֔ד עָלֵיהֶ֑ם וּבְעַמֻּ֣ד עָנָ֗ן אַתָּ֤ה הֹלֵךְ֙ לִפְנֵיהֶ֔ם יוֹמָ֖ם
立っている 彼らの-上に そして-柱の-中に 雲の あなたは 歩いている 彼らの-前を 昼に
H5975 H5921 H5982 H6051 H0859 H1980 H6440 H3119

וּבְעַמֻּ֥ד אֵ֖שׁ לָֽיְלָה׃
そして-柱の-中に 火の 夜に
H5982 H0784 H3915

この地の住民に告げるでしょう。彼らは、主なるあなたが、この民のうちにおられ、主なるあなたが、まのあたり現れ、あなたの雲が、彼らの上にとどまり、昼は雲の柱のうちに、夜は火の柱のうちにあって、彼らの前に行かれるのを聞いたのです。

15 וְהֵמַתָּ֣ה אֶת־ הָעָ֣ם הַזֶּ֗ה כְּאִ֤ישׁ אֶחָד֙ וְאָמְר֣וּ הַגּוֹיִ֔ם
そして-殺すなら ～を この-民を この 一人の-人の-ように 一度に そして-言うだろう 諸国民は
H4191 H0853 H2088 H0376 H0259 H0559 H1471

אֲשֶׁר־ שָׁמְע֥וּ אֶת־ שִׁמְעֲךָ֖ לֵאמֹֽר׃
～する 聞いた ～を あなたの-名声を 言って
H0834 H8085 H0853 H8088 H0559

いま、もし、あなたがこの民をひとり残らず殺されるならば、あなたのことを聞いた国民は語って、

16 מִבְּלִ֣תִּי יְכֹלֶ֣ת יְהוָ֗ה לְהָבִיא֙ אֶת־ הָעָ֣ם הַזֶּ֔ה אֶל־ הָאָ֖רֶץ
できなかった-ゆえに 能力が 主には 連れて来る ～を この-民を ～へ その-地へ
H1115 H3201 H3068 H0935 H0853 H2088 H0413 H0776

אֲשֶׁר־ נִשְׁבַּ֣ע לָהֶ֑ם וַיִּשְׁחָטֵ֖ם בַּמִּדְבָּֽר׃
～する 誓った 彼らに そして-殺した 荒野で
H0834 H7650 H0853 H2026 H4057

『主は与えると誓った地に、この民を導き入れることができなかったため、彼らを荒野で殺したのだ』と言うでしょう。

17 וְעַתָּ֕ה יִגְדַּל־ נָ֖א כֹּ֣חַ אֲדֹנָ֑י כַּאֲשֶׁ֥ר דִּבַּ֖רְתָּ לֵאמֹֽר׃
そして-今 大きく-なりますように どうか 力が わが-主の ～の-とおりに 語った 言って
H6258 H1431 H4994 H3581 H0136 H0834 H1696 H0559

どうぞ、あなたが約束されたように、いま主の大いなる力を現してください。

18 יְהוָה֙ אֶ֣רֶךְ אַפַּ֔יִם וְרַב־ חֶ֖סֶד נֹשֵׂ֣א עָוֹ֑ן וְנַקֵּ֣ה לֹ֣א יְנַקֶּ֔ה
主は 遅い 怒りに そして-豊かな 恵みに 赦す 咎と しかし-罰せずには
H3068 H0750 H0639 H7227 H2617 H5375 H5771 H5352

פֹּקֵ֤ד עֲוֹן־ אָבוֹת֙ עַל־ בָּנִ֔ים עַל־ שִׁלֵּשִׁ֖ים וְעַל־ רִבֵּעִֽים׃
報いる 咎を 父たちの ～の-上に 子らの ～の-上に 三代目と そして-～の-上に 四代目の
H6485 H5771 H1 H5921 H1121 H5921 H7992 H5921 H7256

あなたはかつて、『主は怒ることおそく、いつくしみに富み、罪ととがをゆるす者、しかし、罰すべき者は、決してゆるさず、父の罪を子に報いて、三、四代に及ぼす者である』と言われました。

19

חַסְדֶּךָ	כְּגֹדֶל	הַזֶּה	הָעָם	לַעֲוֹן	נָא	סְלַח־
あなたの–恵みの	～の–大きさに–従って	この	この–民の	～の–咎を	どうか	赦してください
	H1433	H2088		H5771	H4994	H5545

הֵנָּה׃	וְעַד־	מִמִּצְרַיִם	הַזֶּה	לָעָם	נָשָׂאתָה	וְכַאֲשֶׁר
ここまで	そして–～まで	エジプトから	この	この–民を	赦した	そして–～の–とおりに
H2008	H5704	H4714	H2088		H5375	

どうぞ、あなたの大いなるいつくしみによって、エジプトからこのかた、今にいたるまで、この民をゆるされたように、この民の罪をおゆるしください」。

20

כִּדְבָרֶךָ׃	סָלַחְתִּי	יְהוָה	וַיֹּאמֶר	
あなたの–言葉の–とおりに	赦した	主は	そして–言った	
H1697	H5545	H3068	H0559	

主は言われた、「わたしはあなたの言葉のとおりにゆるそう。

21

כָּל־	אֶת־	יְהוָה	כְּבוֹד־	וְיִמָּלֵא	אֲנִי	חַי־	וְאוּלָם
すべての	～を	主の	～の–栄光が	そして–満ちる	わたしは	生きている	しかし–まことに
H3605	H0853	H3068	H3519	H4390	H0589		H0199

הָאָרֶץ׃
地に
H0776

しかし、わたしは生きている。また主の栄光が、全世界に満ちている。

22

אֹתֹתַי	וְאֶת־	כְּבֹדִי	אֶת־	הָרֹאִים	הָאֲנָשִׁים	כָּל־	כִּי		
わたしの–しるしを	そして–～を	わたしの–栄光と	～を	見た	人々で	すべての	なぜなら		
H0226	H0853	H3519	H0853	H7200	H0376	H3605			

פְּעָמִים	עֶשֶׂר	זֶה	אֹתִי	וַיְנַסּוּ	וּבַמִּדְבָּר	בְּמִצְרַיִם	עָשִׂיתִי	אֲשֶׁר־
回も	十	これ	わたしを	そして–試みた	そして–荒野で	エジプトで	行った	～する
H6471	H6235	H2088	H0853	H5254		H4714		

בְּקוֹלִי׃	שָׁמְעוּ	וְלֹא
わたしの–声に	聞かなかった	そして–～ない
	H8085	H3808

わたしの栄光と、わたしがエジプトと荒野で行ったしるしを見ながら、このように十度もわたしを試みて、わたしの声に聞きしたがわなかった人々はひとりも、

23

וְכָל־	לַאֲבֹתָם	נִשְׁבַּעְתִּי	אֲשֶׁר	הָאָרֶץ	אֶת־	יִרְאוּ	אִם־
そして–すべての	その–先祖たちに	誓った	～する	その–地を	～を	見ないだろう	決して–～ない
H3605	H0001	H7650		H0776	H0853	H7200	

יִרְאוּהָ׃	לֹא	מְנַאֲצַי
見ないだろう	～ない	わたしを–侮る者は
H7200	H3808	H5006

わたしがかつて彼らの先祖たちに与えると誓った地を見ないであろう。またわたしを侮った人々も、それを見ないであろう。

24

וַיְמַלֵּא עִמּוֹ אַחֶרֶת רוּחַ הָיְתָה עֵקֶב כָּלֵב וְעַבְדִּי
そして-従った 彼と-共に 異なる 霊が あった ～の-ゆえに カレブは しかし-わたしの-しもべ
H4390 H0312 H7307 H1961 H6118 H3612 H5650

וְזַרְעוֹ שָׁמָּה בָּא אֲשֶׁר־ הָאָרֶץ אֶל־ וַהֲבִיאֹתִיו אַחֲרָי
そして-その-子孫が そこに 入った ～する その-地へ ～へ そして-連れて行く わたしに-完全に
H2233 H8033 H0935 H0776 H0413 H0935

יוֹרִשֶׁנָּה׃
受け継ぐだろう
H3423

ただし、わたしのしもべカレブは違った心をもっていて、わたしに完全に従ったので、わたしは彼が行ってきた地に彼を導き入れるであろう。彼の子孫はそれを所有するにいたるであろう。

25

וְהָעֲמָלֵקִי וְהַכְּנַעֲנִי יוֹשֵׁב בָּעֵמֶק מָחָר פְּנוּ וְסָעוּ
そして-アマレク人と そして-カナン人が 住んでいる 谷に 明日 向きを変えて そして-旅立て
H6003 H3427 H6010 H4279 H6437 H5265

פ סוּף׃ יַם־ דֶּרֶךְ הַמִּדְבָּרָה לָכֶם
― 葦の ～の-海の 道を 荒野へ あなたがたの-ために
H5488 H3220 H1870

谷にはアマレクびととカナンびとが住んでいるから、あなたがたは、あす、身をめぐらして紅海の道を荒野へ進みなさい」。

26

וַיְדַבֵּר יְהוָה אֶל־ מֹשֶׁה וְאֶל־ אַהֲרֹן לֵאמֹר׃
そして-語った 主は ～に モーセと そして-～に アロンに 言って
H1696 H3068 H0413 H4872 H0413 H0175 H0559

主はモーセとアロンに言われた、

27

עַד־ מָתַי לָעֵדָה הָרָעָה הַזֹּאת אֲשֶׁר מַלִּינִים הֵמָּה עָלַי אֶת־
いつ-まで ～まで ～の-会衆は 悪い この ～する つぶやく 彼らが わたしに-対して ～を
H5704 H4970 H5712 H7451 H2063 H0834 H3885 H1992 H5921 H0853

תְּלֻנּוֹת בְּנֵי יִשְׂרָאֵל אֲשֶׁר מַלִּינִים הֵמָּה עָלַי שָׁמָעְתִּי׃
不平を 子らの イスラエルの ～する つぶやく 彼らが わたしに-対して 聞いた
H8519 H1121 H3478 H0834 H3885 H1992 H5921 H8085

「わたしにむかってつぶやくこの悪い会衆をいつまで忍ぶことができようか。わたしはイスラエルの人々が、わたしにむかってつぶやくのを聞いた。

28

אֱמֹר אֲלֵהֶם חַי־ אָנִי נְאֻם־ יְהוָה אִם־ לֹא כַּאֲשֶׁר דִּבַּרְתֶּם
言え 彼らに 生きている わたしは ～の-告げる 主の 必ず ～ない ～の-とおりに 語った
H0559 H0413 H2416 H0589 H5002 H3068 H0518 H3808 H0834 H1696

בְּאָזְנָי כֵּן אֶעֱשֶׂה לָכֶם׃
わたしの-耳に そのように 行う あなたがたに
H0241

あなたは彼らに言いなさい、『主は言われる、「わたしは生きている。あなたがたが、わたしの耳に語ったように、わたしはあなたがたにするであろう。

29

בַּמִּדְבָּר הַזֶּה יִפְּלוּ פִּגְרֵיכֶם וְכָל־ פְּקֻדֵיכֶם לְכֹל־
荒野で この 倒れる あなたがたの-死体は そして-すべての 登録された者で すべての
H1697 H2088 H5307 H6297 H3605 H6485 H3605

מִבֶּן עֶשְׂרִים שָׁנָה וָמַעְלָה אֲשֶׁר הֲלִינֹתֶם עָלָי׃
～の-歳から 二十 歳 以上の ～した つぶやいた わたしに-対して
H6242 H8141 H4605 H0834 H3885 H5921

מִסְפַּרְכֶם
あなたがたの-数の
H4557

あなたがたは死体となって、この荒野に倒れるであろう。あなたがたのうち、わたしにむかってつぶやいた者、すなわち、すべて数えられた二十歳以上の者はみな倒れるであろう。

30

אִם־ אַתֶּם תָּבֹאוּ אֶל־ הָאָרֶץ אֲשֶׁר נָשָׂאתִי אֶת־ יָדִי
決して–〜ない あなたがたは 入らない 〜へ その–地に 〜する 上げた 〜を わたしの–手を
H3027 H0853 H5375 H0776 H0413 H0935

לְשַׁכֵּן אֶתְכֶם בָּהּ כִּי אִם־ כָּלֵב בֶּן־ יְפֻנֶּה
住まわせるために あなたがたを そこに ただし 〜を除いて カレブと 〜の–子 エフネの
H7931 H0853 H3312

וִיהוֹשֻׁעַ בִּן־ נוּן׃
そして–ヨシュア 〜の–子 ヌンの
H3091 H5126

エフンネの子カレブと、ヌンの子ヨシュアのほかは、わたしがかつて、あなたがたを住まわせようと、手をあげて誓った地に、はいることができないであろう。

31

וְטַפְּכֶם אֲשֶׁר אֲמַרְתֶּם לָבַז יִהְיֶה וְהֵבִיאתִי אֹתָם
そして–あなたがたの–幼子は 〜する 言った 略奪物に なると 連れて行く そして–彼らを
H2945 H0559 H0957 H1961 H0935 H0853

וְיָדְעוּ אֶת־ הָאָרֶץ אֲשֶׁר מְאַסְתֶּם בָּהּ׃
そして–知るだろう 〜を その–地を 〜する 退けた それを
H3045 H0853 H0776 H0834 H0853

しかし、あなたがたが、えじきになるであろうと言ったあなたがたの子供は、わたしが導いて、はいるであろう。彼らはあなたがたが、いやしめた地を知るようになるであろう。

32

וּפִגְרֵיכֶם אַתֶּם יִפְּלוּ בַּמִּדְבָּר הַזֶּה׃
しかし–あなたがたの–死体は あなたがたは 倒れる 荒野で この
H6297 H5307 H2088

しかしあなたがたは死体となってこの荒野に倒れるであろう。

33

וּבְנֵיכֶם יִהְיוּ רֹעִים בַּמִּדְבָּר אַרְבָּעִים שָׁנָה וְנָשְׂאוּ אֶת־
そして–あなたがたの–子らは なる 遊牧民として 荒野で 四十 年間 そして–負う 〜を
H1961 H7462 H4057 H0705 H8141 H5375 H0853

זְנוּתֵיכֶם עַד־ תֹּם פִּגְרֵיכֶם בַּמִּדְבָּר׃
あなたがたの–不信仰を 〜まで 尽きる あなたがたの–死体が 荒野で
H2184 H5704 H8552 H6297

あなたがたの子たちは、あなたがたの死体が荒野に朽ち果てるまで四十年のあいだ、荒野で羊飼となり、あなたがたの不信の罪を負うであろう。

34

בְּמִסְפַּר הַיָּמִים אֲשֶׁר־ תַּרְתֶּם אֶת־ הָאָרֶץ אַרְבָּעִים יוֹם
〜の–数に–従って 日数の 〜した 偵察した 〜を その–地を 四十 日間
H4557 H3117 H8446 H0853 H0776 H0705 H3117

יוֹם לַשָּׁנָה יוֹם לַשָּׁנָה תִּשְׂאוּ אֶת־ עֲוֹנֹתֵיכֶם אַרְבָּעִים שָׁנָה וִידַעְתֶּם
一日を 一年として 一日を 一年として 負う 〜を あなたがたの–咎を 四十 年間 そして–知るだろう
H3117 H8141 H3117 H8141 H5375 H0853 H5771 H0705 H8141 H3045

אֶת־ תְּנוּאָתִי׃
〜を わたしの–敵意を
H0853 H8569

あなたがたは、かの地を探った四十日の日数にしたがい、その一日を一年として、四十年のあいだ、自分の罪を負い、わたしがあなたがたを遠ざかったことを知るであろう」。

35

הַזֹּאת	הָרָעָה	הָעֵדָה	לְכָל־	אֶעֱשֶׂה	זֹּאת	וְלֹא	אִם־	דִּבַּרְתִּי	יְהוָה	אֲנִי
この	悪い	会衆に	すべての	行う	この	～ない	必ず	語った	主は	わたしが
H2063	H7451	H5712	H3605		H2063	H3808		H1696	H3068	H0589

יָמֻתוּ׃	וְשָׁם	יִתַּמּוּ	הַזֶּה	בַּמִּדְבָּר	עָלָי	הַנּוֹעָדִים
死ぬ	そして–そこで	滅びる	この	荒野で	わたしに–対して	集まった
H4191	H8033	H8552	H2088			H3259

主なるわたしがこれを言う。わたしは必ずわたしに逆らって集まったこの悪い会衆に、これをことごとく行うであろう。彼らはこの荒野に朽ち、ここで死ぬであろう』」。

36

הָאָרֶץ	אֶת־	לָתוּר	מֹשֶׁה	שָׁלַח	אֲשֶׁר־	וְהָאֲנָשִׁים
その–地を	～を	偵察するために	モーセが	遣わした	～した	そして–その–人々は
H0776	H0853	H8446	H4872	H7971		H0376

לְהוֹצִיא	הָעֵדָה	כָּל־	אֶת־	עָלָיו	(וַיַּלִּינוּ)	[וילונו]	וַיָּשֻׁבוּ
広めて	会衆を	すべての	～を	彼に–対して	つぶやかせた	つぶやかせた	そして–帰って来て
H3318	H5712	H3605	H0853				H7725

הָאָרֶץ׃	עַל־	דִּבָּה
その–地の	～について	悪い–噂を
H0776		H1681

こうして、モーセにつかわされ、かの地を探りに行き、帰ってきて、その地を悪く言い、全会衆を、モーセにむかって、つぶやかせた人々、

37

לִפְנֵי	בַּמַּגֵּפָה	רָעָה	הָאָרֶץ	דִּבַּת־	מוֹצְאֵי	הָאֲנָשִׁים	וַיָּמֻתוּ
～の–前で	疫病で	悪い	その–地の	悪い–噂を	広めた者たちは	その–人々は	そして–死んだ
H6440	H4046		H0776	H1681	H3318	H0376	H4191

יְהוָה׃
主の
H3068

すなわち、その地を悪く言いふらした人々は、疫病にかかって主の前に死んだが、

38

מִן־	חָיוּ	יְפֻנֶּה	בֶּן־	וְכָלֵב	נוּן	בִּן־	וִיהוֹשֻׁעַ
～の–中から	生き残った	エフネの	～の–子	そして–カレブは	ヌンの	～の–子	しかし–ヨシュアと
	H2421	H3312		H3612	H5126		H3091

הָאָרֶץ׃	אֶת־	לָתוּר	הַהֹלְכִים	הָהֵם	הָאֲנָשִׁים
その–地を	～を	偵察するために	行った者たちの	それらの	その–人々の
H0776	H0853	H8446	H1980	H1992	H0376

その地を探りに行った人々のうち、ヌンの子ヨシュアと、エフンネの子カレブとは生き残った。

39

יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי	כָּל־	אֶל־	הָאֵלֶּה	הַדְּבָרִים	אֶת־	מֹשֶׁה	וַיְדַבֵּר
イスラエルの	子らに	すべての	～に	これらの	これらの–言葉を	～を	モーセは	そして–語った
H3478		H3605	H0413	H0428	H1697	H0853	H4872	H1696

מְאֹד׃	הָעָם	וַיִּתְאַבְּלוּ
非常に	民は	そして–嘆いた
H3966		H0056

モーセが、これらのことを、イスラエルのすべての人々に告げたとき、民は非常に悲しみ、

40 וַיַּשְׁכִּמוּ בַבֹּקֶר וַיַּעֲלוּ אֶל־רֹאשׁ הָהָר לֵאמֹר הִנֶּנּוּ
そして-早く起きた 朝に そして-上った ～へ 頂上に その-山の 言って ここに-いる
H7925 H1242 H5927 H0413 H7218 H2022 H0559 H2009

וְנַעֲלֶה אֶל־הַמָּקוֹם אֲשֶׁר־אָמַר יְהוָה כִּי חָטָאנוּ׃
そして-上ろう ～へ その-場所へ ～する 言った 主が なぜなら 罪を犯した
H5927 H0413 H4725 H0834 H0559 H3068 H3282 H2398

朝早く起きて山の頂きに登って言った、「わたしたちはここにいる。さあ、主が約束された所へ上って行こう。わたしたちは罪を犯したのだから」。

41 וַיֹּאמֶר מֹשֶׁה לָמָּה זֶּה אַתֶּם עֹבְרִים אֶת־פִּי יְהוָה
そして-言った モーセは なぜ これは あなたがたは 背いている ～を 命令に 主の
H0559 H4872 H4100 H2088 H0859 H5674 H0853 H6310 H3068

וְהוּא לֹא תִצְלָח׃
しかし-それは ～ない 成功しない
H1931 H3808 H6743

モーセは言った、「あなたがたは、それをなし遂げることもできないのに、どうして、そのように主の命にそむくのか。

42 אַל־תַּעֲלוּ כִּי אֵין יְהוָה בְּקִרְבְּכֶם וְלֹא תִנָּגְפוּ
～するな 上るな なぜなら いない 主は あなたがたの-中に そして-～ない 打ち負かされるな
H0408 H5927 H3588 H0369 H3068 H7130 H3808 H5062

לִפְנֵי אֹיְבֵיכֶם׃
～の-前で あなたがたの-敵の
H6440 H0341

あなたがたは上って行ってはならない。主があなたがたのうちにおられないから、あなたがたは敵の前に、撃ち破られるであろう。

43 כִּי הָעֲמָלֵקִי וְהַכְּנַעֲנִי שָׁם לִפְנֵיכֶם וּנְפַלְתֶּם בֶּחָרֶב
なぜなら アマレク人と そして-カナン人が そこに あなたがたの-前に そして-倒れる 剣に-よって
H3588 H6003 H3669 H8033 H6440 H5307 H2719

כִּי־עַל־כֵּן שַׁבְתֶּם מֵאַחֲרֵי יְהוָה וְלֹא־יִהְיֶה יְהוָה עִמָּכֶם׃
なぜなら ～の-ゆえに そのように 背いた ～に-従うことから 主に そして-～ない いないだろう あなたがたと-共に 主は
H3588 H5921 H3651 H7725 H310 H3068 H3808 H1961 H5973 H3068

そこには、アマレクびとと、カナンびとがあなたがたの前にいるから、あなたがたは、つるぎに倒れるであろう。あなたがたがそむいて、主に従わなかったゆえ、主はあなたがたと共におられないからである」。

44 וַיַּעְפְּלוּ לַעֲלוֹת אֶל־רֹאשׁ הָהָר וַאֲרוֹן בְּרִית־יְהוָה
しかし-無謀にも-進んだ 上るために ～へ 頂上に その-山の しかし-契約の-箱と 契約の 主の
H5999 H5927 H0413 H7218 H2022 H0727 H1285 H3068

וּמֹשֶׁה לֹא־מָשׁוּ מִקֶּרֶב הַמַּחֲנֶה׃
そして-モーセは ～なかった 動かなかった ～の-中から その-陣営の
H4872 H3808 H4185 H7130 H4264

しかし、彼らは、ほしいままに山の頂に登った。ただし、主の契約の箱と、モーセとは、宿営の中から出なかった。

45 וַיֵּרֶד וַיַּכּוּם הָעֲמָלֵקִי וְהַכְּנַעֲנִי הַיֹּשֵׁב בָּהָר הַהוּא וַיַּכּוּם
そして-下って来た アマレク人と そして-カナン人が 住んでいた その-山に そして-打った
H3381 H6003 H3427 H2022 H1931 H5221

עַד־ הָחָרְמָה׃ וַיַּכְּתוּם
～まで ホルマまで そして-打ち砕いた
H5704 H2767 H3807

פ
—

そこで、その山に住んでいたアマレクびとと、カナンびとが下ってきて、彼らを撃ち破り、ホルマまで追ってきた。

Chapter 15

1 וַיְדַבֵּר יְהוָה אֶל־ מֹשֶׁה לֵאמֹר׃
そして-語った 主は ～に モーセに 言って
H1696 H3068 H0413 H4872 H0559

主はモーセに言われた、

2 דַּבֵּר אֶל־ בְּנֵי יִשְׂרָאֵל וְאָמַרְתָּ אֲלֵהֶם כִּי תָבֹאוּ אֶל־ אֶרֶץ
語れ ～に 子らに イスラエルの そして-言え 彼らに ～するとき 入る ～へ 地に
H1696 H0413 H1121 H3478 H0559 H0413 H3588 H0935 H0413 H0776

מוֹשְׁבֹתֵיכֶם אֲשֶׁר אֲנִי נֹתֵן לָכֶם׃
あなたがの-住まいの ～する わたしが 与える あなたがたに
H4186 H0834 H0589 H5414

「イスラエルの人々に言いなさい、『あなたがたが、わたしの与えて住ませる地に行って、

3 וַעֲשִׂיתֶם אִשֶּׁה לַיהוָה עֹלָה אוֹ־ זֶבַח לְפַלֵּא־ נֶדֶר אוֹ בִנְדָבָה אוֹ
そして-ささげよ 火による-ささげ物を 主に 全焼のいけにえとして いけにえとして 特別な-誓いを-果たすために 誓願の あるいは 自発の-ささげ物として あるいは
H6213 H0801 H3068 H5930 H6381 H5088 H0176 H5071 H0176

בְּמֹעֲדֵיכֶם לַעֲשׂוֹת רֵיחַ נִיחֹחַ לַיהוָה מִן־ הַבָּקָר אוֹ מִן־ הַצֹּאן׃
あなたがの-祝祭の-時に 作るために 香りを なだめの 主への ～から 牛の-群れから あるいは ～から 羊の-群れから
H4150 H6213 H7381 H5207 H3068 H4480 H1241 H0176 H4480 H6629

主に火祭をささげる時、すなわち特別の誓願の供え物、あるいは自発の供え物、あるいは祝のときの供え物として、牛または羊を燔祭または犠牲としてささげ、主に香ばしいかおりとするとき、

4 וְהִקְרִיב הַמַּקְרִיב קָרְבָּנוֹ לַיהוָה מִנְחָה סֹלֶת עִשָּׂרוֹן בָּלוּל
そして-ささげよ ささげる-者が その-ささげ物を 主に 穀物の-ささげ物として 細かい-粉を 十分の一の 混ぜた
H7126 H7126 H7133 H3068 H4503 H5560 H6241 H1101

בִּרְבִעִת הַהִין שָׁמֶן׃
四分の一の ヒンの 油で
H7243 H1969 H8081

עַל־ 〜の-上に
תַּעֲשֶׂה ささげよ
הַהִין ヒンを H1969
רְבִיעִית 四分の一の H7243
לַנָּסֶךְ 注ぎの-ささげ物として H5262
וְיַיִן そして-ぶどう酒を H3196 5

הָאֶחָד׃ 一頭ごとに H0259
לַכֶּבֶשׂ 子羊の H3532
לַזָּבַח いけにえに H2077
אוֹ あるいは
הָעֹלָה 全焼のいけにえの

その供え物を主にささげる者は、燔祭または犠牲と共に、小羊一頭ごとに、麦粉一エパの十分の一に、油一ヒンの四分の一を混ぜたものを、素祭としてささげ、ぶどう酒一ヒンの四分の一を、灌祭としてささげなければならない。

בְּלוּלָה 混ぜた
עֶשְׂרֹנִים 十分の一の H6241
שְׁנֵי 二 H8147
סֹלֶת 細かい-粉を H5560
מִנְחָה 穀物の-ささげ物として H4503
תַּעֲשֶׂה ささげよ
לָאַיִל 雄羊には
אוֹ あるいは 6

הַהִין׃ ヒンの H1969
שְׁלִשִׁית 三分の一の H7992
בַּשָּׁמֶן 油で H8081

もし、また雄羊を用いるときは、麦粉一エパの十分の二に、油一ヒンの三分の一を混ぜたものを、素祭としてささげ、

נִיחֹחַ なだめの H5207
רֵיחַ־ 香りとして H7381
תַּקְרִיב ささげよ H7126
הַהִין ヒンを H1969
שְׁלִשִׁית 三分の一の H7992
לַנָּסֶךְ 注ぎの-ささげ物として H5262
וְיַיִן そして-ぶどう酒を H3196 7

לַיהוָה׃ 主への H3068

また、ぶどう酒一ヒンの三分の一を、灌祭としてささげて、主に香ばしいかおりとしなければならない。

זֶבַח いけにえとして H2077
אוֹ־ あるいは
עֹלָה 全焼のいけにえとして
בָּקָר 牛の H1241
בֶּן־ 〜の-子を
תַּעֲשֶׂה ささげる
וְכִי־ そして-〜するとき 8

לַיהוָה׃ 主に H3068
שְׁלָמִים 和解の-ささげ物として H8002
אוֹ־ あるいは
נֶדֶר 誓願の H5088
לְפַלֵּא־ 特別な-誓いを-果たすために H6381

またあなたが特別の誓願の供え物、あるいは酬恩祭を、主にささげる時、若い雄牛を、燔祭または犠牲とするならば、

שְׁלֹשָׁה 三 H7969
סֹלֶת 細かい-粉を H5560
מִנְחָה 穀物の-ささげ物として H4503
הַבָּקָר 牛の H1241
בֶּן־ 〜の-子の
עַל־ 〜の-上に
וְהִקְרִיב そして-ささげよ H7126 9

עֶשְׂרֹנִים 十分の一の H6241
בָּלוּל 混ぜた
בַּשָּׁמֶן 油で H8081
חֲצִי 半分の H2677
הַהִין׃ ヒンの H1969

麦粉一エパの十分の三に、油一ヒンの二分の一を混ぜたものを、素祭として、若い雄牛と共にささげ、

אִשֶּׁה 火による-ささげ物として H0801
הַהִין ヒンを H1969
חֲצִי 半分の H2677
לַנָּסֶךְ 注ぎの-ささげ物として H5262
תַּקְרִיב ささげよ H7126
וְיַיִן そして-ぶどう酒を H3196 10

לַיהוָה׃ 主への H3068
נִיחֹחַ なだめの H5207
רֵיחַ־ 香りとして H7381

また、ぶどう酒一ヒンの二分の一を、灌祭としてささげなければならない。これは火祭であって、主に香ばしいかおりとするものである。

לַשֶּׂה	אוֹ־	הָאֶחָד	לָאַיִל	אוֹ	הָאֶחָד	לַשּׁוֹר	יֵעָשֶׂה	כָּכָה	11
小羊の	あるいは	一頭ごとに	雄羊の	あるいは	一頭ごとに	雄牛の	なされる	このように	
H7716		H0259			H0259	H7794		H3602	

בַּכְּבָשִׂים׃	אוֹ	בָּעִזִּים׃
子羊の–中の	あるいは	山羊の–中の
H3532		H5795

雄牛、あるいは雄羊、あるいは小羊、あるいは子やぎは、一頭ごとに、このようにしなければならない。

כְּמִסְפָּרָם׃	לָאֶחָד	תַּעֲשׂוּ	כָּכָה	תַּעֲשׂוּ	אֲשֶׁר	כְּמִסְפָּר	12
その–数に–従い	一頭ごとに	ささげよ	そのように	ささげる	～する	～の–数に–従い	
H4557	H0259		H3602			H4557	

すなわち、あなたがたのささげる数にてらし、その数にしたがって、一頭ごとに、このようにしなければならない。

לְהַקְרִיב	אֱלֹהֶ	אֶת־	כָּכָה	יַעֲשֶׂה־	הָאֶזְרָח	כָּל־	13
ささげるために	これらを	～を	このように	ささげよ	生まれた–者は	すべての	
H7126	H0428	H0853	H3602		H0249	H3605	

לַיהוָה׃	נִיחֹחַ	רֵיחַ־	אִשֶּׁה
主への	なだめの	香りとして	火による–ささげ物を
H3068	H5207	H7381	H0801

すべて国に生れた者が、火祭をささげて、主に香ばしいかおりとするときは、このように、これらのことを行わなければならない。

בְּתוֹכְכֶם	אֲשֶׁר־	אוֹ	גֵּר	אִתְּכֶם	יָגוּר	וְכִי־	14
あなたがたの–中に	～する	あるいは	寄留者が	あなたがたと–共に	寄留する	そして–～するとき	
H8432			H1616	H0854			

לַיהוָה	נִיחֹחַ	רֵיחַ־	אִשֶּׁה	וְעָשָׂה	לְדֹרֹתֵיכֶם
主に	なだめの	香りとして	火による–ささげ物を	そして–ささげるなら	あなたがたの–代々にわたり
H3068	H5207	H7381	H0801		H1755

יַעֲשֶׂה׃	כֵּן	תַּעֲשׂוּ	כַּאֲשֶׁר
するべきである	そのように	あなたがたが–する	～の–とおりに

またあなたがたのうちに寄留している他国人、またはあなたがたのうちに、代々ながく住む者が、火祭をささげて、主に香ばしいかおりとしようとする時は、あなたがたがするように、その人もしなければならない。

עוֹלָם	חֻקַּת	הַגֵּר	וְלַגֵּר	לָכֶם	אַחַת	חֻקָּה	הַקָּהָל	15
永遠の	掟は	寄留する	そして–寄留者にも	あなたがたにも	一つで	掟は	集会は	
H5769	H2708		H1616		H0259	H2708	H6951	

יְהוָה׃	לִפְנֵי	יִהְיֶה	כַּגֵּר	כָּכֶם	לְדֹרֹתֵיכֶם
主の	～の–前に	である	寄留者も	あなたがたの–ように	あなたがたの–代々にわたり
H3068	H6440	H1961	H1616		H1755

会衆たる者は、あなたがたも、あなたがたのうちに寄留している他国人も、同一の定めに従わなければならない。これは、あなたがたが代々ながく守るべき定めである。他国の人も、主の前には、あなたがたと等しくなければならない。

הַגֵּר	וְלַגֵּר	לָכֶם	יִהְיֶה	אֶחָד	וּמִשְׁפָּט	אַחַת	תּוֹרָה	16
寄留する	そして–寄留者にも	あなたがたにも	ある	一つで	そして–裁きは	一つで	律法は	
	H1616		H1961	H0259	H4941	H0259	H8451	

אִתְּכֶם׃	פ
あなたがたと–共に	—
H0854	

すなわち、あなたがたも、あなたがたのうちに寄留している他国人も、同一の律法、同一のおきてに従わなければならない』」。

17 וַיְדַבֵּר יְהוָה אֶל־מֹשֶׁה לֵאמֹר׃
そして–語った 主は ～に モーセに 言って
H1696 H3068 H0413 H4872 H0559

主はまたモーセに言われた、

18 דַּבֵּר אֶל־בְּנֵי יִשְׂרָאֵל וְאָמַרְתָּ אֲלֵהֶם בְּבֹאֲכֶם אֶל־הָאָרֶץ אֲשֶׁר
語れ ～に 子らに イスラエルの そして–言え 彼らに 入るとき ～へ その–地に ～する
H1696 H0413 H3478 H0559 H0413 H0935 H0413 H0776 H0776

אֲנִי מֵבִיא אֶתְכֶם שָׁמָּה׃
わたしが 連れて行く あなたがたを そこへ
H0589 H0935 H0853 H8033

「イスラエルの人々に言いなさい、『わたしが導いて行く地に、あなたがたがはいって、

19 וְהָיָה בַּאֲכָלְכֶם מִלֶּחֶם הָאָרֶץ תָּרִימוּ תְרוּמָה לַיהוָה׃
そして–ある 食べるとき ～の–パンを その–地の ささげよ 奉納物を 主に
H1961 H0398 H3899 H0776 H8641 H3068

その地の食物を食べるとき、あなたがたは、ささげ物を主にささげなければならない。

20 רֵאשִׁית עֲרִסֹתֵיכֶם חַלָּה תָּרִימוּ תְרוּמָה כִּתְרוּמַת גֹּרֶן
初物の あなたがたの–練り粉の 菓子を ささげよ 奉納物として ～の–奉納物の–ように 打ち場の
H7225 H6182 H2471 H8641 H8641 H8641 H1637

כֵּן תָּרִימוּ אֹתָהּ׃
そのように ささげよ それを
H0853

すなわち、麦粉の初物で作った菓子を、ささげ物としなければならない。これを、打ち場からのささげ物のように、ささげなければならない。

21 מֵרֵאשִׁית עֲרִסֹתֵיכֶם תִּתְּנוּ לַיהוָה תְּרוּמָה לְדֹרֹתֵיכֶם׃ ס
初物から あなたがたの–練り粉の 与えよ 主に 奉納物を あなたがたの–代々にわたり —
H7225 H6182 H5414 H3068 H8641 H1755

あなたがたは代々その麦粉の初物で、主にささげ物をしなければならない。

22 וְכִי תִשְׁגּוּ וְלֹא תַעֲשׂוּ אֵת כָּל־הַמִּצְוֹת הָאֵלֶּה אֲשֶׁר
そして–もし 誤るなら ～ない そして–～ない ～を すべての 戒めを これらの ～する
H1696 H7686 H3808 H0853 H3605 H4687 H0428 H0834

דִּבֶּר יְהוָה אֶל־מֹשֶׁה׃
語った 主が ～に モーセに
H1696 H3068 H0413 H4872

あなたがたが、もしあやまって、主がモーセに告げられたこのすべての戒めを行わず、

23 אֵת כָּל־אֲשֶׁר צִוָּה יְהוָה אֲלֵיכֶם בְּיַד־מֹשֶׁה מִן־הַיּוֹם אֲשֶׁר
～を すべて ～した 命じた 主が あなたがたに ～の–手を–通して モーセの ～から その–日から ～した
H0853 H3605 H0834 H6680 H3068 H0413 H3027 H4872 H3117 H0834

צִוָּה יְהוָה וָהָלְאָה לְדֹרֹתֵיכֶם׃
命じた 主が そして–以降 あなたがたの–代々にわたり
H6680 H3068 H1973 H1755

主がモーセによって戒めを与えられた日からこのかた、代々にわたり、あなたがたに命じられたすべての事を行わないとき、

24 וְהָיָה אִם מֵעֵינֵי הָעֵדָה נֶעֱשְׂתָה לִשְׁגָגָה וְעָשׂוּ כָּל־
そして–あるならば もし 〜の–目から 会衆の なされた 誤りとして そして–ささげよ すべての
H1961 H0518 H5869 H5712 H6213 H7684 H6213 H3605

הָעֵדָה פַּר בֶּן־בָּקָר אֶחָד לְעֹלָה לְרֵיחַ נִיחֹחַ לַיהוָה
会衆は 雄牛を 〜の–子の 牛の 一頭を 全焼のいけにえとして 香りとして なだめの 主への
H5712 H6499 H1121 H1241 H0259 H5930 H7381 H5207 H3068

וּמִנְחָתוֹ וְנִסְכּוֹ כַּמִּשְׁפָּט וּשְׂעִיר־
そして–その–穀物の–ささげ物と そして–その–注ぎの–ささげ物を 定めの–とおりに そして–雄山羊を
H4503 H5262 H4941 H6213

עִזִּים אֶחָד לְחַטָּת׃
山羊の 一頭を 罪の–ささげ物として
H5795 H0259 H2403

すなわち、会衆が知らずに、あやまって犯した時は、全会衆は若い雄牛一頭を、燔祭としてささげ、主に香ばしいかおりとし、これに素祭と灌祭とを定めのように加え、また雄やぎ一頭を、罪祭としてささげなければならない。

25 וְכִפֶּר הַכֹּהֵן עַל־כָּל־עֲדַת בְּנֵי יִשְׂרָאֵל וְנִסְלַח
そして–贖え 祭司は 〜の–ために すべての 会衆の 子らの イスラエルの そして–赦される
H3722 H3548 H5921 H3605 H5712 H1121 H3478 H5545

לָהֶם כִּי־שְׁגָגָה הוּא וְהֵם הֵבִיאוּ אֶת־קָרְבָּנָם
彼らに なぜなら 過失で あった そして–彼らは 持って来た 〜を その–ささげ物を
H3588 H7684 H1961 H1992 H0935 H0853 H6240

אִשֶּׁה לַיהוָה וְחַטָּאתָם לִפְנֵי יְהוָה עַל־
火による–ささげ物として 主への そして–その–罪の–ささげ物を 〜の–前に 主の 〜の–ために
H0801 H3068 H2403 H6440 H3068 H5921

שִׁגְגָתָם׃
その–過失の
H7684

そして祭司は、イスラエルの人々の全会衆のために、罪のあがないをしなければならない。そうすれば、彼らはゆるされるであろう。それは過失だからである。彼らはその過失のために、その供え物として、火祭を主にささげ、また罪祭を主の前にささげなければならない。

26 וְנִסְלַח לְכָל־עֲדַת בְּנֵי יִשְׂרָאֵל וְלַגֵּר הַגָּר בְּתוֹכָם
そして–赦される すべての 会衆に 子らの イスラエルの そして–寄留者にも 寄留する その–中に
H5545 H3605 H5712 H1121 H3478 H1616 H1481 H8432

כִּי לְכָל־הָעָם בִּשְׁגָגָה׃ ס
なぜなら すべての 民が 過失であったから —
H3588 H3605 H5971 H7684

そうすれば、イスラエルの人々の全会衆はゆるされ、また彼らのうちに寄留している他国人も、ゆるされるであろう。民はみな過失を犯したからである。

27 וְאִם־נֶפֶשׁ אַחַת תֶּחֱטָא בִּשְׁגָגָה וְהִקְרִיבָה עֵז בַּת־
そして–もし 人が 一人の 罪を犯すなら 過失で そして–ささげよ 山羊を 〜の–歳の
H3588 H5315 H0259 H2398 H7684 H7126 H5795 H1323

שְׁנָתָהּ לְחַטָּאת׃
— 罪の–ささげ物として
H8141 H2403

もし人があやまって罪を犯す時は、一歳の雌やぎ一頭を罪祭としてささげなければならない。

28 וְכִפֶּר הַכֹּהֵן עַל־הַנֶּפֶשׁ הַשֹּׁגֶגֶת בְּחֶטְאָהּ בִּשְׁגָגָה לִפְנֵי יְהוָה
そして–贖え 祭司は ～の–ために その–人を 誤った 罪を犯した–とき 過失で ～の–前で 主の
H3548 H7684 H2398 H7683 H6440 H3068

וְנִסְלַח לוֹ׃ עָלָיו לְכַפֵּר
そして–赦される 彼に その–上に 贖うために
H5545

そして祭司は、人があやまって罪を犯した時、そのあやまって罪を犯した人のために、主の前に罪のあがないをして、その罪をあがなわなければならない。そうすれば、彼はゆるされるであろう。

29 תּוֹרָה בְּתוֹכָם הַגֵּר וְלַגֵּר בִּבְנֵי יִשְׂרָאֵל הָאֶזְרָח
律法は その–中に 寄留する そして–寄留者にも イスラエルの 子らの–中の 生まれた–者にも
H8451 H8432 H1616 H3478 H0249

בִּשְׁגָגָה׃ לָעֲשֹׂה לָכֶם יִהְיֶה אַחַת
過失で 行う–者に あなたがたに ある 一つで
H7684 H1961 H0259

イスラエルの人々のうちの、国に生れた者でも、そのうちに寄留している他国人でも、あやまって罪を犯す者には、あなたがたは同一の律法を用いなければならない。

30 וְהַנֶּפֶשׁ אֲשֶׁר־ תַּעֲשֶׂה בְּיָד רָמָה מִן־ הָאֶזְרָח וּמִן־
そして–人で しかし–人で ～する 行う 手で 高ぶりの ～から 生まれた–者でも そして–～から
H5315 H0249

הַגֵּר אֶת־ יְהוָה הוּא מְגַדֵּף וְנִכְרְתָה הַנֶּפֶשׁ הַהִוא מִקֶּרֶב
寄留者でも ～を 主を その–者は 冒涜する そして–断たれる その–人は その ～の–中から
H1616 H0853 H3068 H1931 H1442 H3772 H5315 H1931 H7130

עַמָּהּ׃
その–民の

しかし、国に生れた者でも、他国の人でも、故意に罪を犯す者は主を汚すもので、その人は民のうちから断たれなければならない。

31 כִּי דְבַר־ יְהוָה בָּזָה וְאֶת־ מִצְוָתוֹ הֵפַר הִכָּרֵת תִּכָּרֵת
なぜなら ～の–言葉を 主の 侮った そして–～を その–戒めを 破った 必ず 断たれる
H1697 H3068 H0959 H0853 H4687 H3772 H3772

הַנֶּפֶשׁ הַהִוא עֲוֹנָהּ בָּהּ׃ פ
その–人は その その–咎が その–上に ―
H5315 H1931 H5771

彼は主の言葉を侮り、その戒めを破ったのであるから、必ず断たれ、その罪を負わなければならない』」。

32 וַיִּהְיוּ בְנֵי־ יִשְׂרָאֵל בַּמִּדְבָּר וַיִּמְצְאוּ אִישׁ מְקֹשֵׁשׁ עֵצִים בְּיוֹם
そして–いた 子らが イスラエルの 荒野に そして–見つけた 人を 集めている 薪を ～の–日に
H1961 H3478 H4672 H0376 H6086 H3117

הַשַּׁבָּת׃
安息日の
H7676

イスラエルの人々が荒野におるとき、安息日にひとりの人が、たきぎを集めるのを見た。

33 וַיַּקְרִיבוּ אֹתוֹ הַמֹּצְאִים עֵצִים מְקֹשֵׁשׁ אֹתוֹ אֶל־מֹשֶׁה
そして-連れて来た 彼を 見つけた-者たちは 薪を 集めている 彼を ～の-もとに モーセの
H7126 H0853 H4672 H6086 H0853 H0413 H4872

וְאֶל־אַהֲרֹן וְאֶל־כָּל־הָעֵדָה׃
そして-～の-もとに アロンの そして-～に すべての 会衆の
H0413 H0175 H0413 H3605 H5712

そのたきぎを集めるのを見た人々は、その人をモーセとアロン、および全会衆のもとに連れてきたが、

34 וַיַּנִּיחוּ אֹתוֹ בַּמִּשְׁמָר כִּי לֹא פֹרַשׁ מַה־יֵּעָשֶׂה לוֹ׃
そして-置いた 彼を 監禁に なぜなら ～ない 明らかにされていなかった 何を すべきか 彼に
H3240 H0853 H4929 H3808 H4100

ס
—

どう取り扱うべきか、まだ示しを受けていなかったので、彼を閉じ込めておいた。

35 וַיֹּאמֶר יְהוָה אֶל־מֹשֶׁה מוֹת יוּמַת הָאִישׁ רָגוֹם יִרְגְּמוּ אֹתוֹ
そして-言った 主は ～に モーセに 必ず 殺されるべきだ その-人は 石で打て 彼を
H0559 H3068 H0413 H4872 H4191 H4191 H0376 H7275 H0853

כָּל־הָעֵדָה מִחוּץ לַמַּחֲנֶה׃ בָּאֲבָנִים
すべての 会衆が 外で 陣営の 石で
H3605 H5712 H2351 H4264 H0068

そのとき、主はモーセに言われた、「その人は必ず殺されなければならない。全会衆は宿営の外で、彼を石で撃ち殺さなければならない」。

36 וַיֹּצִיאוּ אֹתוֹ כָּל־הָעֵדָה אֶל־מִחוּץ לַמַּחֲנֶה וַיִּרְגְּמוּ אֹתוֹ
そして-連れ出した 彼を すべての 会衆は ～へ 外に 陣営の そして-石で打った 彼を
H3318 H0853 H3605 H5712 H0413 H2351 H4264 H7275 H0853

בָּאֲבָנִים וַיָּמָת כַּאֲשֶׁר צִוָּה יְהוָה אֶת־מֹשֶׁה׃ פ
石で そして-死んだ ～の-とおりに 命じた 主が ～を モーセに —
H0068 H4191 H6680 H3068 H0853 H4872

そこで、全会衆は彼を宿営の外に連れ出し、彼を石で撃ち殺し、主がモーセに命じられたようにした。

37 וַיֹּאמֶר יְהוָה אֶל־מֹשֶׁה לֵאמֹר׃
そして-言った 主は ～に モーセに 言って
H0559 H3068 H0413 H4872 H0559

主はまたモーセに言われた、

38 דַּבֵּר אֶל־בְּנֵי יִשְׂרָאֵל וְאָמַרְתָּ אֲלֵהֶם וְעָשׂוּ לָהֶם צִיצִת
語れ ～に 子らに イスラエルの そして-言え 彼らに そして-作れ 彼ら-自身の-ために ふさを
H1696 H0413 H0413 H3478 H0559 H0413 H6734

עַל־כַּנְפֵי בִגְדֵיהֶם לְדֹרֹתָם וְנָתְנוּ עַל־צִיצִת הַכָּנָף פְּתִיל תְּכֵלֶת׃
～の-上に 裾に ふさの ～の-上に そして-つけよ 代々にわたり その-衣の 裾に 紐を 青い
H0413 H3671 H6734 H5414 H1755 H0413 H3671 H6616 H8504

「イスラエルの人々に命じて、代々その衣服のすその四すみにふさをつけ、そのふさを青ひもで、すその四すみにつけさせなさい。

39 וְהָיָה לָכֶם לְצִיצִת וּרְאִיתֶם אֹתוֹ וּזְכַרְתֶּם אֶת־כָּל־
そして-なる あなたがたに ふさとして そして-見るとき それを そして-思い出せ ～を すべての
H1961 H3605 H0853 H2142 H0853 H7200 H6734 H3605 H0853 H2142

מִצְוֹת יְהוָה וַעֲשִׂיתֶם אֹתָם וְלֹא־תָתֻרוּ אַחֲרֵי לְבַבְכֶם
戒めを 主の そして-行え それらを そして-～ない さまよい出るな ～に-従って あなたがたの-心に
H4687 H3068 H0853 H3808 H8446 H0310 H3824

וְאַחֲרֵי עֵינֵיכֶם אֲשֶׁר־אַתֶּם זֹנִים אַחֲרֵיהֶם׃
そして-～に-従って あなたがたの-目に ～する あなたがたが 迷い出る それらに-従って
H0310 H5869 H0834 H0853 H2181 H0310

あなたがたが、そのふさを見て、主のもろもろの戒めを思い起して、それを行い、あなたがたが自分の心と、目の欲に従って、みだらな行いをしないためである。

40 לְמַעַן תִּזְכְּרוּ וַעֲשִׂיתֶם אֶת־כָּל־מִצְוֹתָי וִהְיִיתֶם קְדֹשִׁים
～するために 思い出して そして-行え ～を すべての わたしの-戒めを そして-なれ 聖なる-者と
H4616 H2142 H6213 H0853 H3605 H4687 H1961 H6918

לֵאלֹהֵיכֶם׃
あなたがたの-神に
H0430

こうして、あなたがたは、わたしのもろもろの戒めを思い起して、それを行い、あなたがたの神に聖なる者とならなければならない。

41 אֲנִי יְהוָה אֱלֹהֵיכֶם אֲשֶׁר הוֹצֵאתִי אֶתְכֶם מֵאֶרֶץ מִצְרַיִם
わたしは 主で あなたがたの-神で ～した 導き出した あなたがたを ～の-地から エジプトの
H0589 H3068 H0430 H0834 H3318 H0853 H0776 H4714

לִהְיוֹת לָכֶם לֵאלֹהִים אֲנִי יְהוָה אֱלֹהֵיכֶם׃ פ
なるために あなたがたの 神に わたしは 主で あなたがたの-神である —
H1961 H0430 H0589 H3068 H0430

わたしはあなたがたの神、主であって、あなたがたの神となるために、あなたがたをエジプトの国から導き出した者である。わたしはあなたがたの神、主である」。

Chapter 16

1 וַיִּקַּח קֹרַח בֶּן־יִצְהָר בֶּן־קְהָת בֶּן־לֵוִי וְדָתָן
そして-取った コラは ～の-子 イツハルの ～の-子 ケハトの ～の-子 レビの そして-ダタンと
H3947 H7141 H0120 H3324 H0120 H6955 H0120 H3878 H1885

וַאֲבִירָם בְּנֵי אֱלִיאָב וְאוֹן בֶּן־פֶּלֶת בְּנֵי רְאוּבֵן׃
そして-アビラムは 子らで エリアブの ～の-子 そして-オンは ～の-子 ペレトの 子らで ルベンの
H0048 H0676 H0441 H0203 H0120 H6431 H0676 H7205

ここに、レビの子コハテの子なるイヅハルの子コラと、ルベンの子なるエリアブの子ダタンおよびアビラムと、ルベンの子なるペレテの子オンとが相結び、

2 וַיָּקֻמוּ לִפְנֵי מֹשֶׁה וַאֲנָשִׁים מִבְּנֵי־יִשְׂרָאֵל חֲמִשִּׁים
そして-立ち上がった ～の-前に モーセの そして-人々が ～の-子らから イスラエルの 二百
H6965 H6440 H4872 H0582 H1121 H3478 H2572

נְשִׂיאֵי עֵדָה קְרָאֵי מוֹעֵד אַנְשֵׁי־שֵׁם׃
族長たちで 会衆の 招かれた-者で 会議の 人々で 名のある
H5387 H5712 H7148 H4150 H0582 H8034

וּמְאַתָּיִם חֲמִשִּׁים
五十人の
H3967

イスラエルの人々のうち、会衆のうちから選ばれて、つかさとなった名のある人々二百五十人と共に立って、モーセに逆らった。

3

אֲלֵהֶם׃	וַיֹּאמְרוּ	אַהֲרֹן	וְעַל־	מֹשֶׁה	עַל־	וַיִּקָּהֲלוּ	
彼らに	そして–言った	アロンに	そして–〜に–対して	モーセに	〜に–対して	そして–集まった	
H0413	H0559	H0175		H4872		H6950	

וּבְתוֹכָם	קְדֹשִׁים	כֻּלָּם	הָעֵדָה	כָּל־	כִּי	לָכֶם	רַב־	
そして–その–中に	聖であり	その–すべてが	会衆は	すべての	なぜなら	あなたがたは	十分だ	
H8432	H6918	H3605	H5712	H3605				

יְהוָה׃	קְהַל	עַל־	תִּתְנַשְּׂאוּ	וּמַדּוּעַ	יְהוָה	
主の	集会の	〜の–上に	高ぶるのか	そして–なぜ	主がいる	
H3068	H6951		H5375	H4069	H3068	

彼らは集まって、モーセとアロンとに逆らって言った、「あなたがたは、分を越えています。全会衆は、ことごとく聖なるものであって、主がそのうちにおられるのに、どうしてあなたがたは、主の会衆の上に立つのですか」。

4

פָּנָיו׃	עַל־	וַיִּפֹּל	מֹשֶׁה	וַיִּשְׁמַע	
その–顔を	〜の–上に	そして–ひれ伏した	モーセは	そして–聞いた	
H6440		H5307	H4872	H8085	

モーセはこれを聞いてひれ伏した。

5

בֹּקֶר	לֵאמֹר	עֲדָתוֹ	כָּל־	וְאֶל־	קֹרַח	אֶל־	וַיְדַבֵּר	
明日の–朝	言って	その–会衆に	すべての	そして–〜に	コラに	〜に	そして–語った	
H1242	H0559	H5712	H3605	H0413	H7141	H0413	H1696	

וְהִקְרִיב	הַקָּדוֹשׁ	וְאֶת־	לוֹ	אֲשֶׁר־	אֶת־	יְהוָה	וְיֹדַע	
そして–近づける	聖なる–者を	そして–〜を	その–者を	〜である	〜を	主は	そして–知らせる	
H7126	H6918	H0853			H0853	H3068	H3045	

אֵלָיו׃	יַקְרִיב	בּוֹ	יִבְחַר־	אֲשֶׁר	וְאֶת	אֵלָיו
彼に	近づける	その–者を	選ぶ	〜である	そして–〜を	彼に
H0413	H7126		H0977		H0853	H0413

やがて彼はコラと、そのすべての仲間とに言った、「あす、主は、主につくものはだれ、聖なる者はだれであるかを示して、その人をみもとに近づけられるであろう。すなわち、その選んだ人を、みもとに近づけられるであろう。

6

עֲדָתוֹ׃	וְכָל־	קֹרַח	מַחְתּוֹת	לָכֶם	קְחוּ־	עֲשׂוּ	זֹאת
その–会衆よ	そして–すべての	コラと	火皿を	あなたがた–自身の–ために	取れ	せよ	これを
H5712	H3605	H7141	H4289		H3947		H2063

それで、次のようにしなさい。コラとそのすべての仲間とは、火ざらを取り、

7

מָחָר	יְהוָה	לִפְנֵי	קְטֹרֶת	עֲלֵיהֶן	וְשִׂימוּ	אֵשׁ	וּבְתֵן	וּתְנוּ
明日	主の	〜の–前に	香を	その–上に	そして–置け	火を	その–中に	そして–入れよ
H4279	H3068	H6440	H7004			H0784	H2004	H5414

לָכֶם	רַב־	הַקָּדוֹשׁ	הַוּא	יְהוָה	יִבְחַר־	אֲשֶׁר־	הָאִישׁ	וְהָיָה
あなたがたは	十分だ	聖なる–者だ	その–者が	主が	選ぶ	〜する	その–人で	そして–ある
		H6918	H1931	H3068	H0977		H0376	H1961

לֵוִי׃	בְּנֵי
レビの	子らよ
H3878	

その中に火を入れ、それに薫香を盛って、あす、主の前に出なさい。その時、主が選ばれる人は聖なる者である。レビの子たちよ、あなたがたこそ、分を越えている」。

8

לֵוִי׃	בְּנֵי	נָא	שִׁמְעוּ־	קֹרַח	אֶל־	מֹשֶׁה	וַיֹּאמֶר
レビの	子らよ	どうか	聞け	コラに	〜に	モーセは	そして–言った
H3878		H4994	H8085	H7141	H0413	H4872	H0559

モーセはまたコラに言った、「レビの子たちよ、聞きなさい。

9 הַמְעַט מִכֶּם כִּי־הִבְדִּיל אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל אֶתְכֶם
あなたがたにとって ～を 分けた 神が イスラエルの あなたがたを
H4592 H0914 H0430 H3478 H0853

מֵעֲדַת יִשְׂרָאֵל לְהַקְרִיב אֶתְכֶם אֵלָיו לַעֲבֹד אֶת־עֲבֹדַת
～の–会衆から イスラエルの 近づけるために あなたがたを 彼に 仕えるために ～を 務めを
H5712 H3478 H7126 H0853 H0413 H5647 H0853 H5656

יְהוָה מִשְׁכַּן לִפְנֵי הָעֵדָה לְשָׁרְתָם׃ וְלַעֲמֹד
主の 幕屋の ～の–前に 会衆の 仕えるために そして–立つために
H3068 H4908 H6440 H5712 H8334 H5975

イスラエルの神はあなたがたをイスラエルの会衆のうちから分かち、主に近づかせて、主の幕屋の務めをさせ、かつ会衆の前に立って仕えさせられる。これはあなたがたにとって、小さいことであろうか。

10 וַיַּקְרֵב אֹתְךָ וְאֶת־כָּל־אַחֶיךָ בְּנֵי־לֵוִי
そして–近づけた あなたを そして–～を すべての あなたの–兄弟たちを 子らを レビの
H7126 H0853 H3605 H0251 H3878

וּבְקַשְׁתֶּם גַּם־כְּהֻנָּה׃ אִתָּךְ
そして–求めるのか さらに 祠司職も あなたと–共に
H1245 H1571 H3550 H0854

神はあなたとあなたの兄弟なるレビの子たちをみな近づけられた。あなたがたはなお、その上に祭司となることを求めるのか。

11 לָכֵן אַתָּה וְכָל־עֲדָתְךָ הַנֹּעָדִים עַל־יְהוָה
それゆえ あなたと そして–すべての あなたの–会衆は 集まった ～に–対して 主に
H3605 H5712 H3259 H3068

וְאַהֲרֹן מָה־הוּא כִּי תלונו [תַלִּינוּ] עָלָיו׃
そして–アロンは 何であるか 彼は なぜなら つぶやくのか つぶやくのか 彼に–対して
H0175 H4100 H1931

あなたとあなたの仲間は、みなそのために集まって主に敵している。あなたがたはアロンをなんと思って、彼に対してつぶやくのか」。

12 וַיִּשְׁלַח מֹשֶׁה לִקְרֹא לְדָתָן וְלַאֲבִירָם בְּנֵי אֱלִיאָב
そして–遣わした モーセは 呼ぶために ダタンと そして–アビラムを 子らで エリアブの
H7971 H4872 H7121 H1885 H0048 H0446

וַיֹּאמְרוּ לֹא נַעֲלֶה׃
そして–言った ～ない 上らない
H0559 H3808 H5927

モーセは人をやって、エリアブの子ダタンとアビラムとを呼ばせたが、彼らは言った、「わたしたちは参りません。

13 הַמְעַט כִּי הַעֲלִיתָנוּ מֵאֶרֶץ זָבַת חָלָב וּדְבַשׁ לַהֲמִיתֵנוּ בַּמִּדְבָּר
小さいことか ～を 上らせた ～の–地から 流れる 乳と そして–蜜が 殺すために 荒野で
H4592 H5927 H0776 H2100 H2461 H1706 H4191

כִּי־תִשְׂתָּרֵר עָלֵינוּ גַּם־הִשְׂתָּרֵר׃
～を 支配するのか 我々の–上に さらに 支配するのか
H8323 H5921 H1571 H8323

あなたは乳と蜜の流れる地から、わたしたちを導き出して、荒野でわたしたちを殺そうとしている。これは小さいことでしょうか。その上、あなたはわたしたちに君臨しようとしている。

14

לָּנוּ וַתִּתֶּן־ הֲבִיאֹתָנוּ וּדְבַשׁ חָלָב זָבַת אֶרֶץ אֶל־ לֹא אַף
我々に そして-与えたか 連れて来たか そして-蜜の 乳と 流れる 地へ ～へ ～ない その-上
H5414 H0935 H1706 H2461 H2100 H0776 H0413 H3808 H0637

לֹא תְנַקֵּר הָהֵם הָאֲנָשִׁים הַעֵינֵי וְכֶרֶם שָׂדֶה נַחֲלַת
～ない えぐるのか それらの その-人々の ～の-目を そして-ぶどう畑の 畑と 相続地を
H3808 H5365 H1992 H0376 H3754 H5159

נַעֲלֶה׃
上らない
H5927

かつまた、あなたはわたしたちを、乳と蜜の流れる地に導いて行かず、畑と、ぶどう畑とを嗣業として与えもしない。これらの人々の目をくらまそうとするのですか。わたしたちは参りません」。

15

אֶל־ תֶּפֶן אַל־ יְהוָה אֶל־ וַיֹּאמֶר מְאֹד לְמֹשֶׁה וַיִּחַר
～を 顧みるな ～するな 主に ～に そして-言った 非常に モーセは そして-怒った
H0413 H6437 H0408 H3068 H0413 H0559 H3966 H4872 H2734

הָרַעְתִּי וְלֹא נָשָׂאתִי מֵהֶם אֶחָד חֲמוֹר וְלֹא מִנְחָתָם
害しなかった そして-～ない 取らなかった 彼らから 一頭も ろばを ～ない 彼らの-ささげ物を
H3808 H5375 H1992 H0259 H2543 H3808 H4503

מֵהֶם׃ אַחַד אֶת־
彼らの 一人も ～を
H1992 H0259 H0853

モーセは大いに怒って、主に言った、「彼らの供え物を顧みないでください。わたしは彼らから、ろば一頭をも取ったことなく、また彼らのひとりをも害したことはありません」。

16

הֱיוֹ עֲדָתְךָ וְכָל־ אַתָּה קֹרַח אֶל־ מֹשֶׁה וַיֹּאמֶר
いよ あなたの-会衆は そして-すべての あなたと コラに ～に モーセは そして-言った
H1961 H5712 H3605 H7141 H0413 H4872 H0559

מָחָר׃ וְאַהֲרֹן וָהֵם אַתָּה יְהוָה לִפְנֵי
明日 そして-アロンも そして-彼らと あなたと 主の ～の-前に
H4279 H0175 H1992 H3068 H6440

そしてモーセはコラに言った、「あなたとあなたの仲間はみなアロンと一緒に、あす、主の前に出なさい。

17

לִפְנֵי וְהִקְרִבְתֶּם קְטֹרֶת עֲלֵיהֶם וּנְתַתֶּם מַחְתָּתוֹ אִישׁ וּקְחוּ
～の-前に そして-ささげよ 香を その-上に そして-入れよ その-火皿を 各自が そして-取れ
H6440 H7126 H7004 H5414 H4289 H0376 H3947

אִישׁ וְאַהֲרֹן וְאַתָּה מַחְתֹּת וּמְאתַיִם חֲמִשִּׁים מַחְתָּתוֹ אִישׁ יְהוָה
各自 そして-アロンも そして-あなたも 火皿を 五十の 二百 その-火皿を 各自が 主の
H0376 H0175 H4289 H3967 H2572 H4289 H0376 H3068

מַחְתָּתוֹ׃
その-火皿を
H4289

あなたがたは、おのおの火ざらを取って、それに薫香を盛り、おのおのその火ざらを主の前に携えて行きなさい。その火ざらは会わせて二百五十。あなたとアロンも、おのおの火ざらを携えて行きなさい」。

18

עֲלֵיהֶם וַיָּשִׂימוּ אֵשׁ עֲלֵיהֶם וַיִּתְּנוּ מַחְתָּתוֹ אִישׁ וַיִּקְּחוּ
その-上に そして-置いた 火を その-上に そして-入れた その-火皿を 各自が そして-取った
H0784 H5414 H4289 H0376 H3947

וְאַהֲרֹן׃ וּמֹשֶׁה מוֹעֵד אֹהֶל פֶּתַח וַיַּעַמְדוּ קְטֹרֶת
そして-アロンも そして-モーセと 会見の 幕屋の 入り口に そして-立った 香を
H0175 H4872 H4150 H0168 H6607 H5975 H7004

彼らは、おのおの火ざらを取り、火をその中に入れ、それに薫香を盛り、モーセとアロンも共に、会見の幕屋の入口に立った。

19 וַיַּקְהֵל עֲלֵיהֶם קֹרַח אֶת־כָּל־הָעֵדָה אֶל־פֶּתַח אֹהֶל מוֹעֵד
そして-集めた 彼らに-対して コラは ～を すべての ～に 会衆を ～に 入り口に 幕屋の 会見の
H6950 H5921 H7141 H0853 H3605 H0413 H5712 H0413 H6607 H0168 H4150

וַיֵּרָא כְבוֹד־יְהוָה אֶל־כָּל־הָעֵדָה׃ פ
そして-現れた 栄光が 主の ～に すべての 会衆に —
H7200 H3519 H3068 H0413 H3605 H5712

そのとき、コラは会衆を、ことごとく会見の幕屋の入口に集めて、彼らふたりに逆らわせようとしたが、主の栄光は全会衆に現れた。

20 וַיְדַבֵּר יְהוָה אֶל־מֹשֶׁה וְאֶל־אַהֲרֹן לֵאמֹר׃
そして-語った 主は ～に モーセと そして-～に アロンに 言って
H1696 H3068 H0413 H4872 H0413 H0175 H0559

主はモーセとアロンに言われた、

21 הִבָּדְלוּ מִתּוֹךְ הָעֵדָה הַזֹּאת וַאֲכַלֶּה אֹתָם כְּרֶגַע׃
離れよ ～の-中から 会衆の この そして-滅ぼそう 彼らを 一瞬で
H0914 H8432 H5712 H2063 H3615 H0853 H7281

「あなたがたはこの会衆を離れなさい。わたしはただちに彼らを滅ぼすであろう」。

22 וַיִּפְּלוּ עַל־פְּנֵיהֶם וַיֹּאמְרוּ אֵל אֱלֹהֵי הָרוּחֹת לְכָל־בָּשָׂר
そして-ひれ伏した ～の-上に その-顔を そして-言った 神よ 神よ 霊の すべての 肉体の
H5307 H5921 H6440 H0559 H0410 H0430 H7307 H3605 H1320

הַאִישׁ אֶחָד יֶחֱטָא וְעַל כָּל־הָעֵדָה תִּקְצֹף׃ פ
一人の-人が 一人 罪を犯し そして-～に-対して すべての 会衆に 怒るのか —
H0376 H0259 H2398 H5921 H3605 H5712 H7107

彼らふたりは、ひれ伏して言った、「神よ、すべての肉なる者の命の神よ、このひとりの人が、罪を犯したからといって、あなたは全会衆に対して怒られるのですか」。

23 וַיְדַבֵּר יְהוָה אֶל־מֹשֶׁה לֵאמֹר׃
そして-語った 主は ～に モーセに 言って
H1696 H3068 H0413 H4872 H0559

主はモーセに言われた、

24 דַּבֵּר אֶל־הָעֵדָה לֵאמֹר הֵעָלוּ מִסָּבִיב לְמִשְׁכַּן־קֹרַח דָּתָן
語れ ～に 会衆に 言って 退け 周囲から ～の-住まいの コラの ダタンの
H1696 H0413 H5712 H0559 H5927 H5439 H4908 H7141 H1885

וַאֲבִירָם׃
そして-アビラムの
H0048

「あなたは会衆に告げて、コラとダタンとアビラムのすまいの周囲を去れと言いなさい」。

25 וַיָּקָם מֹשֶׁה וַיֵּלֶךְ אֶל־דָּתָן וַאֲבִירָם וַיֵּלְכוּ אַחֲרָיו זִקְנֵי יִשְׂרָאֵל׃
そして-立ち上がった モーセは そして-行った ～へ ダタンの-もとへ そしてアビラムの そして-行った 彼に-従って 長老たちが イスラエルの
H6965 H4872 H3212 H0413 H1885 H0048 H3212 H0310 H2205 H3478

モーセは立ってダタンとアビラムのもとに行ったが、イスラエルの長老たちも、彼に従って行った。

26 וַיָּ֣קָם ׀ אֶל־ הָעֵדָ֗ה לֵאמֹר֙ סֽוּרוּ־ נָ֣א מֵעַ֔ל ׀ אָהֳלֵ֖י הָאֲנָשִׁ֣ים הָרְשָׁעִ֑ים
そして–語った ～に 会衆に 言って 離れよ ～から 幕屋から 人々の 悪い
H1696 H0413 H5712 H0559 H5493 H4994 H0168 H0376 H7563

וְאַל־ תִּגְּעוּ֙ בְּכָל־ אֲשֶׁ֣ר לָהֶ֔ם פֶּן־ תִּסָּפּ֖וּ בְּכָל־ חַטֹּאתָֽם׃
そして–～するな 触れるな すべての ～である 彼らの–ものに そうでないと 滅ぼされる
H0408 H5060 H3605 H0834 H0428 H6435 H5595

彼らの–罪に–よって すべての
H3605

モーセは会衆に言った、「どうぞ、あなたがたはこれらの悪い人々の天幕を離れてください。彼らのものには何にも触れてはならない。彼らのもろもろの罪によって、あなたがたも滅ぼされてはいけないから」。

27 וַיַּעֲל֣וּ מִמִּשְׁכַּן־ קֹ֣רַח דָּתָ֣ן וַאֲבִירָ֗ם מִסָּבִ֛יב וְדָתָ֥ן
そして–退いた ～から 住まいの コラの ダタンの そして–アビラムの 周囲から そして–ダタンと
H5927 H4480 H4908 H7141 H1885 H0048 H5439 H1885

וַיֵּצְא֣וּ נִצָּבִ֗ים פֶּ֚תַח אָהֳלֵיהֶם֙ וְנָשֵׁיהֶ֔ם
そして–アビラムは 出て来た 立って 入り口に その–幕屋の そして–その–妻たちと
H0048 H3318 H5324 H6607 H0168 H0802

そして–幼子たちも そして–その–子らと
H2945

そこで人々はコラとダタンとアビラムのすまいの周囲を離れ去った。そして、ダタンとアビラムとは、妻、子、および幼児と一緒に出て、天幕の入口に立った。

28 וַיֹּ֣אמֶר מֹשֶׁה֮ בְּזֹאת֒ תֵּדְעוּן֙ כִּֽי־ יְהוָ֣ה שְׁלָחַ֔נִי לַעֲשׂ֖וֹת אֵ֑ת
そして–言った モーセは これに–よって 知るだろう ～を 主が 遣わした 行うために ～を
H0559 H4872 H2063 H3045 H3068 H7971 H6213 H0853

כִּ֥י לֹא־ מִלִּבִּ֖י׃ לֹ֣א כִי־ הָאֵ֔לֶּה הַמַּעֲשִׂ֖ים כָּל־
わたしの–心からでは ～ない なぜなら これらの これらの–業を すべての
H3820 H3808 H3588 H0428 H4639 H3605

モーセは言った、「あなたがたは主がこれらのすべての事をさせるために、わたしをつかわされたこと、またわたしが、これを自分の心にしたがって行うものでないことを、次のことによって知るであろう。

29 אִם־ כְּמ֥וֹת כָּל־ הָאָדָ֖ם יְמֻתֻ֑ן וּפְקֻדַּ֤ת אֵלֶּה֙ כָּל־ הָאָדָ֔ם
もし 死の–ように すべての 人の そして–運命が これらの–者が 死ぬなら すべての 人の
H0518 H4194 H3605 H0120 H6486 H0428 H4191 H3605 H0120

יְהוָ֖ה שְׁלָחָ֥נִי׃ לֹ֣א עֲלֵיהֶ֔ם יִפָּקֵ֖ד
主は ～ない 彼らの–上に 訪れるなら
H3068 H3808 H5921 H6485

すなわち、もしこれらの人々が、普通の死に方で死に、普通の運命に会うのであれば、主がわたしをつかわされたのではない。

30

פִּיהָ	אֶת־	הָאֲדָמָה	וּפָצְתָה	יְהוָה	יִבְרָא	בְּרִיאָה	וְאִם־
その–口を	～を	地が	そして–開くなら	主が	創造するなら	新しい–ことを	しかし–もし
H6310	H0853	H0127	H6475	H3068		H1278	

וְיָרְדוּ	לָהֶם	אֲשֶׁר	כָּל־	וְאֶת־	אֹתָם	וּבָלְעָה
そして–下るなら	彼らの–ものを	～である	すべて	そして–～を	彼らを	そして–飲み込むなら
H3381			H3605	H0853	H0853	H1104

יְהוָה׃	אֶת־	הָאֵלֶּה	הָאֲנָשִׁים	נִאֲצוּ	כִּי	וְיַדַעְתֶּם	שְׁאֹלָה	חַיִּים
主を	～を	これらの	これらの–人々が	侮った	～を	そして–知るだろう	よみの–国に	生きたまま
H3068	H0853	H0428	H0376	H5006		H3045	H7585	

しかし、主が新しい事をされ、地が口を開いて、これらの人々と、それに属する者とを、ことごとくのみつくして、生きながら陰府に下らせられるならば、あなたがたはこれらの人々が、主を侮ったのであることを知らなければならない」。

31

וַתִּבְקַע	הָאֵלֶּה	הַדְּבָרִים	כָּל־	אֶת	לְדַבֵּר	כְּכַלֹּתוֹ	וַיְהִי	
そして–裂けた	これらの	これらの–言葉を	すべての	～を	語ることを	終えると	そして–あった	
H1234	H0428	H1697	H3605	H0853	H1696	H3615	H1961	

תַּחְתֵּיהֶם׃	אֲשֶׁר	הָאֲדָמָה
彼らの–下の	～である	地が
H8478		H0127

モーセが、これらのすべての言葉を述べ終ったとき、彼らの下の土地が裂け、

32

בָּתֵּיהֶם	וְאֶת־	אֹתָם	וַתִּבְלַע	פִּיהָ	אֶת־	הָאָרֶץ	וַתִּפְתַּח
その–家を	そして–～を	彼らを	そして–飲み込んだ	その–口を	～を	地が	そして–開いた
	H0853	H0853	H1104	H6310	H0853	H0776	

הָרְכוּשׁ׃	כָּל־	וְאֶת	לְקֹרַח	אֲשֶׁר	הָאָדָם	כָּל־	וְאֶת
財産を	すべての	そして–～を	コラに–属する	～である	人を	すべての	そして–～を
H7399	H3605	H0853	H7141		H0120	H3605	H0853

地は口を開いて、彼らとその家族、ならびにコラに属するすべての人々と、すべての所有物をのみつくした。

33

שְׁאֹלָה	חַיִּים	לָהֶם	אֲשֶׁר	וְכָל־	הֵם	וַיֵּרְדוּ	
よみの–国に	生きたまま	彼らの–ものも	～である	そして–すべて	彼らは	そして–下った	
H7585				H3605	H1992	H3381	

הַקָּהָל׃	מִתּוֹךְ	וַיֹּאבְדוּ	הָאָרֶץ	עֲלֵיהֶם	וַתְּכַס
集会の	～の–中から	そして–滅びた	地が	彼らの–上を	そして–覆った
H6951	H8432	H0006	H0776		H3680

すなわち、彼らと、彼らに属するものは、皆生きながら陰府に下り、地はその上を閉じふさいで、彼らは会衆のうちから、断ち滅ぼされた。

34

אָמְרוּ	כִּי	לְקֹלָם	נָסוּ	סְבִיבֹתֵיהֶם	אֲשֶׁר	יִשְׂרָאֵל	וְכָל־	
言った	なぜなら	その–叫び声に	逃げた	彼らの–周囲の	～である	イスラエルは	そして–すべての	
H0559			H5127	H5439		H3478	H3605	

הָאָרֶץ׃	תִּבְלָעֵנוּ	פֶּן־	
地に	飲み込まれない–ように	～しない–ように	
H0776	H1104	H6435	

この時、その周囲にいたイスラエルの人々は、みな彼らの叫びを聞いて逃げ去り、「恐らく地はわたしたちをも、のみつくすであろう」と言った。

35 וְאֵ֗שׁ יָצְאָ֤ה מֵאֵת֙ יְהוָ֔ה וַתֹּ֣אכַל אֶת־הַחֲמִשִּׁ֔ים וּמָאתַ֖יִם אִ֑ישׁ
そして-火が 出た 主から ～から そして-焼き尽くした ～を 二百 五十人の 人を
H0784 H3318 H3068 H0854 H0398 H0853 H2572 H3967 H0376

פ מַקְרִיבֵ֥י הַקְּטֹֽרֶת׃
— ささげた-者たちを 香を
H7126 H7004

また主のもとから火が出て、薫香を供える二百五十人をも焼きつくした。

36 וַיְדַבֵּ֥ר יְהוָ֖ה אֶל־מֹשֶׁ֥ה לֵאמֹֽר׃
そして-語った 主は ～に モーセに 言って
H1696 H0413 H4872 H0559

主はモーセに言われた、

37 אֱמֹ֞ר אֶל־אֶלְעָזָ֣ר בֶּן־אַהֲרֹ֣ן הַכֹּהֵ֗ן וְיָרֵם֙ אֶת־הַמַּחְתֹ֔ת
言え ～に エルアザルに ～の-子 アロンの 祭司に そして-拾い上げよ ～を 火皿を
H0559 H0413 H0499 H0175 H3548 H0853 H4289

וְאֶת־הָאֵ֖שׁ זְרֵה־הָלְאָ֑ה כִּ֥י קָדְשׁ֖וּ׃
そして-～を 火を まき散らせ 向こうに なぜなら 聖くなった
H0784 H0853 H2219 H1973 H6942

הַשְּׂרֵפָ֔ה מִבֵּ֥ין
燃え残りの ～の-間から
H8316 H0996

「あなたは祭司アロンの子エレアザルに告げて、その燃える火の中から、かの火ざらを取り出させ、その中の火を遠く広くまき散らさせなさい。それらの火ざらは聖となったから、

38 אֶת־מַחְתּ֣וֹת הַֽחַטָּאִ֣ים הָאֵ֔לֶּה בְּנַפְשֹׁתָ֑ם וְעָשׂ֤וּ אֹתָם֙ רִקֻּעֵ֣י
火皿を ～を これらの 罪人たちの その-命に-よって そして-作れ それらを 打ち-延ばした
H4289 H0853 H0428 H2400 H5315 H6213 H0853 H7555

וַיִּֽהְיוּ֙ וַיְקַדְּשׁ֔וּ יְהוָ֖ה לִפְנֵי־ הִקְרִיבָ֣ם כִּי־ לַמִּזְבֵּ֔חַ צִפּ֥וּי פַּחִ֖ים
そして-なる そして-聖くなった 主の ～の-前に ささげた なぜなら 祭壇の 覆いとして 板として
H1961 H6942 H3068 H6440 H7126 H3588 H4196 H6826 H6341

לְאֹ֥ות לִבְנֵ֖י יִשְׂרָאֵֽל׃
しるしとして 子らに イスラエルの
H0226 H1121 H3478

罪を犯して命を失った人々の、これらの火ざらを、広い延べ板として、祭壇のおおいとしなさい。これは主の前にささげられて、聖となったからである。こうして、これはイスラエルの人々に、しるしとなるであろう」。

39 וַיִּקַּ֣ח אֶלְעָזָר֮ הַכֹּהֵן֒ אֶת֩ מַחְתּ֨וֹת הַנְּחֹ֜שֶׁת אֲשֶׁ֣ר הִקְרִ֗יבוּ
そして-取った 祭司は エルアザルは 青銅の ～である ささげた
H3947 H3548 H0499 H0853 H4289 H5178 H5066 H7126

וַיְרַקְּעֻ֥ם צִפּ֖וּי לַמִּזְבֵּֽחַ׃ הַשְּׂרֵפִֽים
そして-打ち延ばした 覆いとして 祭壇の 焼かれた-者たちが
H7554 H6826 H4196 H8313

そこで祭司エレアザルは、かの焼き殺された人々が供えた青銅の火ざらを取り、これを広く打ち延ばして、祭壇のおおいとし、

זָ֔ר אִ֥ישׁ יִקְרַ֖ב לֹֽא־ אֲשֶׁ֑ר לְמַ֣עַן יִשְׂרָאֵ֗ל לִבְנֵי֙ זִכָּר֣וֹן 40
よそ者が 人が 近づかない ～ない ～する ～の–ために イスラエルの 子らに 記念として
H0376 H7126 H3808 H4616 H3478 H2146

יְהוָ֔ה לִפְנֵי֙ קְטֹ֣רֶת לְהַקְטִ֤יר הוּא֙ אַהֲרֹ֔ן מִזֶּ֣רַע לֹֽא־ אֲשֶׁ֖ר
主の ～の–前で 香を たくために その–者は アロンの 子孫で ～でない ～である
H3068 H6440 H7004 H1931 H0175 H2233 H3808

יְהוָ֔ה דִּבֶּ֥ר כַּאֲשֶׁ֖ר וְכַעֲדָתֹ֑ו כְּקֹ֣רַח יְהִ֔י וְלֹא־
主が 語った ～の–とおりに そして–その–会衆の–ように コラの–ように ならない そして–～ない
H3068 H1696 H5712 H7141 H1961 H3808

בְּיַד־ מֹשֶׁ֖ה לֹֽו׃
～の–手を–通して モーセの 彼に
H3027 H4872

これをイスラエルの人々の記念の物とした。これはアロンの子孫でないほかの人が、主の前に近づいて、薫香をたくことのないようにするため、またその人がコラ、およびその仲間のようにならないためである。すなわち、主がモーセによってエレアザルに言われたとおりである。

מֹשֶׁ֣ה עַל־ מָחֳרָ֗ת יִשְׂרָאֵל֙ בְּנֵי־ עֲדַ֣ת כָּל־ וַיִּלֹּ֗נוּ 41
モーセに ～に–対して 翌日に イスラエルの 子らの 会衆が すべての そして–つぶやいた
H4872 H4283 H3478 H5712 H3605

יְהוָ֔ה עַ֖ם אֶת־ הַמְתֶּ֣ם אַתֶּ֑ם לֵאמֹ֣ר אַהֲרֹ֔ן וְעַל־
主の 民を ～を 殺した あなたがたが 言って アロンに そして–～に–対して
H3068 H0853 H4191 H0559 H0175

その翌日、イスラエルの人々の会衆は、みなモーセとアロンとにつぶやいて言った、「あなたがたは主の民を殺しました」。

אַהֲרֹ֔ן וְעַל־ מֹשֶׁ֖ה עַל־ הָעֵדָ֑ה בְּהִקָּהֵל֙ וַיְהִ֗י 42
アロンに そして–～に–対して モーセに ～に–対して 会衆が 集まったとき そして–あった
H0175 H4872 H5712 H6950 H1961

כְּבֹ֣וד וַיֵּרָ֔א הֶעָנָ֖ן כִּסָּ֣הוּ וְהִנֵּ֑ה מֹועֵ֣ד אֹ֔הֶל וַיִּפְנ֖וּ
栄光が そして–現れた 雲が 覆った そして–見よ 会見の 幕屋の ～の–方へ そして–向いた
H3519 H7200 H6051 H3680 H2009 H4150 H0168 H0413 H6437

יְהוָֽה׃
主の
H3068

会衆が集まって、モーセとアロンとに逆らったとき、会見の幕屋を望み見ると、雲がこれをおおい、主の栄光が現れていた。

פ מֹועֵ֑ד אֹ֔הֶל פְּנֵ֖י אֶל־ וְאַהֲרֹ֔ן מֹשֶׁ֖ה וַיָּבֹֽא 43
— 会見の 幕屋の 前に ～の–前に そして–アロンは モーセと そして–来た
H4150 H0168 H6440 H0413 H0175 H4872 H0935

モーセとアロンとが、会見の幕屋の前に行くと、

לֵאמֹֽר׃ מֹשֶׁ֖ה אֶל־ יְהוָ֔ה וַיְדַבֵּ֥ר 44
言って モーセに ～に 主は そして–語った
H0559 H4872 H0413 H3068 H1696

主はモーセに言われた、

וַיִּפְּלוּ
そして-ひれ伏した
H5307
כְּרֶגַע
一瞬で
H7281
אֹתָם
彼らを
H0853
וַאֲכַלֶּה
そして-滅ぼそう
H3615
הַזֹּאת
この
H2063
הָעֵדָה
会衆の
H5712
מִתּוֹךְ
~の-中から
H8432
הֵרֹמּוּ
離れよ
H7426
45

פְּנֵיהֶם׃
その-顔を
H6440
עַל־
~の-上に

「あなたがたはこの会衆を離れなさい。わたしはただちに彼らを滅ぼそう」。そこで彼らふたりは、ひれ伏した。

אֵשׁ
火を
H0784
עָלֶיהָ
その-上に
וְתֵן־
そして-入れよ
H5414
הַמַּחְתָּה
火皿を
H4289
אֶת־
~を
H0853
קַח
取れ
H3947
אַהֲרֹן
アロンに
H0175
אֶל־
~に
H0413
מֹשֶׁה
モーセは
H4872
וַיֹּאמֶר
そして-言った
H0559
46

וְכַפֵּר
そして-贖え
הָעֵדָה
会衆へ
אֶל־
~へ
מְהֵרָה
急いで
וְהוֹלֶךְ
そして-行け
H3212
קְטֹרֶת
香を
H7004
וְשִׂים
そして-置け
הַמִּזְבֵּחַ
祭壇から
H4196
מֵעַל
~から

הַנָּגֶף׃
疫病が
הֵחֵל
始まった
יְהוָה
主の
H3068
מִלִּפְנֵי
~の-前から
H6440
הַקֶּצֶף
怒りが
יָצָא
出た
H3318
כִּי־
なぜなら
עֲלֵיהֶם
彼らの-ために

モーセはアロンに言った、「あなたは火ざらを取って、それに祭壇から取った火を入れ、その上に薫香を盛り、急いでそれを会衆のもとに持って行って、彼らのために罪のあがないをしなさい。主が怒りを発せられ、疫病がすでに始まったからです」。

תָּוֹךְ
中へ
אֶל־
~の-中へ
וַיָּרָץ
そして-走った
H7323
מֹשֶׁה
モーセが
H4872
דִּבֶּר
語った
H1696
וּכַאֲשֶׁר
~の-とおりに
אַהֲרֹן
アロンは
H0175
וַיִּקַּח
そして-取った
H3947
47

וַיְכַפֵּר
そして-贖った
הַקְּטֹרֶת
香を
H7004
אֶת־
~を
H0853
וַיִּתֵּן
そして-置いた
H5414
בָּעָם
民の-中に
הַנָּגֶף
疫病が
הֵחֵל
始まっていた
וְהִנֵּה
そして-見よ
H2009
הַקָּהָל
集会の
H6951

הָעָם׃
民の
עַל־
~の-ために

そこで、アロンはモーセの言ったように、それを取って会衆の中に走って行ったが、疫病はすでに民のうちに始まっていたので、薫香をたいて、民のために罪のあがないをし、

הַמַּגֵּפָה׃
疫病は
H4046
וַתֵּעָצַר
そして-止まった
H6113
הַחַיִּים
生者の
וּבֵין
そして-~の-間に
H0996
הַמֵּתִים
死者の
H4191
בֵּין־
~の-間に
H0996
וַיַּעֲמֹד
そして-立った
H5975
48

すでに死んだ者と、なお生きている者との間に立つと、疫病はやんだ。

הַמֵּתִים
死んだ-者は
H4191
מִלְבַד
別にして
H0905
מֵאוֹת
人で
H3967
וּשְׁבַע
七百
H7651
אֶלֶף
七百
H0505
עָשָׂר
四千
H6240
אַרְבָּעָה
一万
H0702
בַּמַּגֵּפָה
疫病で
H4046
הַמֵּתִים
死んだ-者は
H4191
וַיִּהְיוּ
そして-いた
H1961
49

קֹרַח׃
コラの
H7141
דְּבַר־
事の
H1697
עַל־
~の-事に-よる

コラの事によって死んだ者のほかに、この疫病によって死んだ者は一万四千七百人であった。

וְהַמַּגֵּפָה
そして-疫病は
H4046
מֹועֵד
会見の
H4150
אֹהֶל
幕屋の
H0168
פֶּתַח
入り口に
H6607
אֶל־
～へ
H0413
מֹשֶׁה
モーセの
H4872
אֶל־
～の-もとに
H0413
אַהֲרֹן
アロンは
H0175
וַיָּשָׁב
そして-戻った
H7725
50

פ
一
נֶעֱצָרָה׃
止まった
H6113

アロンは会見の幕屋の入口にいるモーセのもとに帰った。こうして疫病はやんだ。

Chapter 17

וַיְדַבֵּר
そして-語った
H1696
יְהוָה
主は
H3068
אֶל־
～に
H0413
מֹשֶׁה
モーセに
H4872
לֵאמֹר׃
言って
H0559
1

主はモーセに言われた、

וְדַבֵּר
語れ
H1696
אֶל־
～に
H0413
בְּנֵי
子らに
H1121
יִשְׂרָאֵל
イスラエルの
H3478
וְקַח
そして-取れ
H3947
מֵאִתָּם
彼らから
H0854
מַטֶּה
杖を
H4294
מַטֶּה
杖を
H4294
לְבֵית
家の-ために
H1004
אָב
父の
H0001
2

מֵאֵת
～から
H0854
כָּל־
すべての
H3605
נְשִׂיאֵהֶם
族長たちから
H5387
לְבֵית
家の-ために
H1004
אֲבֹתָם
彼らの-先祖の
H0001
שְׁנֵים
十
H8147
עָשָׂר
二
H6240
מַטֹּות
本の-杖を
H4294
אִישׁ
各人の
H0376

אֶת־
（を）
H0853
שְׁמוֹ
その-名を
H8034
תִּכְתֹּב
書き記せ
H3789
עַל־
～の-上に
H0413
מַטֵּהוּ׃
その-杖に
H4294

「イスラエルの人々に告げて、彼らのうちから、おのおのの父祖の家にしたがって、つえ一本ずつを取りなさい。すなわち、そのすべてのつかさたちから、父祖の家にしたがって、つえ十二本を取り、その人々の名を、おのおのそのつえに書きしるし、

וְאֶת
そして
H0853
שֵׁם
名を
H8034
אַהֲרֹן
アロンの
H0175
תִּכְתֹּב
書き記せ
H3789
עַל־
～の-上に
H0413
מַטֵּה
杖に
H4294
לֵוִי
レビの
H3878
כִּי
なぜなら
H3588
אֶחָד
一つ
H0259
מַטֵּה
杖は
H4294
לְרֹאשׁ
頭の-ために
H7218
3

בֵּית
家の
H1004
אֲבֹתָם׃
彼らの-先祖の
H0001

レビのつえにはアロンの名を書きしるしなさい。父祖の家のかしらは、おのおののつえ一本を出すのだからである。

וְהִנַּחְתָּם
そして-置け
H3240
בְּאֹהֶל
幕屋の-中に
H0168
מוֹעֵד
会見の
H4150
לִפְנֵי
～の-前に
H6440
הָעֵדוּת
あかしの
H5715
אֲשֶׁר
そこで
H0834
אִוָּעֵד
わたしが-会う
H3259
לָכֶם
あなたがたに
4

שָׁמָּה׃
そこで
H8033

そして、これらのつえを、わたしがあなたがたに会う会見の幕屋の中の、あかしの箱の前に置きなさい。

5

וְהָיָה הָאִישׁ אֲשֶׁר אֶבְחַר־בּוֹ מַטֵּהוּ יִפְרָח
そして-なるであろう その-人の わたしが 選ぶ 彼を その-杖は 芽を-出す
H1961 H0376 H0834 H0977 H0996 H4294

וְהַשְׁכֹּתִי מֵעָלַי אֶת־תְּלֻנּוֹת בְּנֵי יִשְׂרָאֵל אֲשֶׁר הֵם
そして-わたしは-鎮める わたしの-上から （を） 不平を 子らの イスラエルの 彼らが 彼ら
H7918 H5921 H0853 H8519 H1121 H3478 H0834 H1992

עֲלֵיכֶם׃ מַלִּינִם
あなたがたに-対して つぶやいている

わたしの選んだ人のつえには、芽が出るであろう。こうして、わたしはイスラエルの人々が、あなたがたにむかって、つぶやくのをやめさせるであろう」。

6

וַיְדַבֵּר מֹשֶׁה אֶל־בְּנֵי יִשְׂרָאֵל וַיִּתְּנוּ אֵלָיו כָּל־נְשִׂיאֵיהֶם
そして-語った モーセは ～に 子らに イスラエルの そして-渡した 彼に すべての 族長たちは
H1696 H4872 H0413 H1121 H3478 H5414 H0413 H3605 H5387

שְׁנֵים עָשָׂר מַטֶּה לְנָשִׂיא אֶחָד לְנָשִׂיא מַטֵּה אֶחָד לְבֵית אֲבֹתָם
十 二 杖を 族長-ごとに 一人の 家の-ために 彼らの-先祖の
H8147 H6240 H4294 H5387 H0259 H1004 H1 H0001

וּמַטֵּה אַהֲרֹן בְּתוֹךְ מַטּוֹתָם׃
そして-アロンの-杖も ～の-中に 彼らの-杖の
H4294 H0175 H8432 H4294

モーセが、このようにイスラエルの人々に語ったので、つかさたちはみな、その父祖の家にしたがって、おのおの、つえ一本ずつを彼に渡した。そのつえは合わせて十二本。アロンのつえも、そのつえのうちにあった。

7

וַיַּנַּח מֹשֶׁה אֶת־הַמַּטֹּת לִפְנֵי יְהוָה בְּאֹהֶל הָעֵדֻת׃
そして-置いた モーセは （を） 杖を ～の-前に 主の 幕屋の-中に あかしの
H3240 H4872 H0853 H4294 H6440 H3068 H0168 H5715

モーセは、それらのつえを、あかしの幕屋の中の、主の前に置いた。

8

וַיְהִי מִמָּחֳרָת וַיָּבֹא מֹשֶׁה אֶל־אֹהֶל הָעֵדוּת וְהִנֵּה
そして-なった 翌日 そして-入った モーセは ～に 幕屋に あかしの すると-見よ
H1961 H4283 H0935 H4872 H0413 H0168 H5715 H2009

פָּרַח מַטֵּה־אַהֲרֹן לְבֵית לֵוִי וַיֹּצֵא וַיֹּצֶץ פֶּרַח
芽を-出していた 杖は アロンの 家の-ために レビの そして-生じさせた 花を そして-咲かせた
H6524 H4294 H0175 H1004 H3878 H3318 H6525 H6524

וַיִּגְמֹל שְׁקֵדִים׃ צִיץ
そして-実らせた アーモンドを つぼみを
H1580 H8247 H6731

その翌日、モーセが、あかしの幕屋にはいって見ると、レビの家のために出したアロンのつえは芽をふき、つぼみを出し、花が咲いて、あめんどうの実を結んでいた。

9

וַיֹּצֵא מֹשֶׁה אֶת־כָּל־הַמַּטֹּת מִלִּפְנֵי יְהוָה אֶל־כָּל־בְּנֵי יִשְׂרָאֵל וַיִּרְאוּ וַיִּקְחוּ אִישׁ מַטֵּהוּ׃ ס
そして-取り出した モーセは （を） すべての 杖を 主の ～の-前から ～に すべての 子らに イスラエルの そして-彼らは-見た そして-取った 各人が 自分の-杖を ס
H3318 H4872 H0853 H3605 H4294 H3068 H6440 H0413 H3605 H1121 H3478 H7200 H3947 H0376 H4294 ס

モーセがそれらのつえを、ことごとく主の前から、イスラエルのすべての人の所に持ち出したので、彼らは見て、おのおの自分のつえを取った。

10 וַיֹּ֤אמֶר יְהוָה֙ אֶל־מֹשֶׁ֔ה הָשֵׁ֛ב אֶת־מַטֵּ֥ה אַהֲרֹ֖ן לִפְנֵ֣י הָעֵדֻ֑ת
そして-言った 主は ～に モーセに 戻せ （を） 杖を アロンの ～の-前に あかしの
H0559 H3068 H0413 H4872 H7725 H0853 H4294 H0140 H6440 H5715

לְמִשְׁמֶ֣רֶת לְאֹ֔ות לִבְנֵי־מֶ֖רִי וּתְכַ֣ל תְּלוּנֹתָ֤ם מֵעָלַי֙ וְלֹ֣א יָמֻ֔תוּ׃
保管の-ために しるしと-して 子らへの 反逆の そして-終わらせよ 彼らの-不平を わたしの-上から 彼らが-死ぬことが そして-ない
H4931 H0226 H1121 H4805 H3615 H8519 H4191 H3808

主はモーセに言われた、「アロンのつえを、あかしの箱の前に持ち帰り、そこに保存して、そむく者どものために、しるしとしなさい。こうして、彼らのわたしに対するつぶやきをやめさせ、彼らの死ぬのをまぬかれさせなければならない」。

11 וַיַּ֣עַשׂ מֹשֶׁ֔ה כַּאֲשֶׁ֥ר צִוָּ֛ה יְהוָ֖ה אֹתֹ֑ו כֵּ֥ן עָשָׂ֖ה׃ ס
そして-行った モーセは ～のように 命じた 主が 彼に その-通りに 行った ס
H6213 H4872 H6680 H3068 H0853 H3651 H6213

モーセはそのようにして、主が彼に命じられたとおりに行った。

12 וַיֹּאמְר֤וּ בְנֵֽי־יִשְׂרָאֵל֙ אֶל־מֹשֶׁ֔ה לֵאמֹ֖ר הֵ֣ן גָּוַ֑עְנוּ אָבַ֥דְנוּ כֻלָּ֖נוּ אָבָֽדְנוּ׃
そして-言った 子らは イスラエルの ～に モーセに 言って 見よ 私たちは-息絶えた 私たちは-滅びた 私たち-みな 滅びた
H0559 H1121 H3478 H0413 H4872 H0559 H2005 H1478 H0006 H3605 H0006

イスラエルの人々は、モーセに言った、「ああ、わたしたちは死ぬ。破滅です、全滅です。

13 כָּל־הַקָּרֵ֣ב הַקָּרֵ֗ב אֶל־מִשְׁכַּן֙ יְהוָ֔ה יָמֻ֖ת הֲתֻמְּנ֥וּ לִגְוֹ֑עַ׃ ס
すべて 近づく-者が 近づく-者は ～に 幕屋に 主の 死ぬ 本当に 私たちは-尽きたのか 死に-絶えるまで ס
H3605 H7131 H7131 H0413 H4908 H3068 H4191 H0518 H8552 H1478

主の幕屋に近づく者が、みな死ぬのであれば、わたしたちは死に絶えるではありませんか」。

Chapter 18

1 וַיֹּ֤אמֶר יְהוָה֙ אֶל־אַהֲרֹ֔ן אַתָּ֥ה וּבָנֶ֛יךָ וּבֵית־אָבִ֥יךָ אִתָּ֖ךְ תִּשְׂאוּ֙ אֶת־עֲוֹ֣ן הַמִּקְדָּ֔שׁ וְאַתָּ֥ה וּבָנֶ֛יךָ תִּשְׂאוּ֙ אֶת־עֲוֹ֣ן כְּהֻנַּתְכֶ֑ם׃
そして-言った 主は ～に アロンに あなたと あなたの-息子たちと そして-家と あなたの-父の 共に-あなたと 負わなければならない （を） 咎を 聖所の そして-あなたと あなたの-息子たちは 負わなければならない （を） 咎を あなたがたの-祭司職の
H0559 H3068 H0413 H0175 H0859 H1121 H0853 H1004 H0001 H0854 H5375 H0853 H5771 H4720 H0859 H1121 H5375 H0853 H5771 H3550

そこで、主はアロンに言われた、「あなたとあなたの子たち、およびあなたの父祖の家の者は、聖所に関する罪を負わなければならない。また、あなたとあなたの子たちとは、祭司職に関する罪を負わなければならない。

2

הַקְרֵב	אָבִיךָ	שֵׁבֶט	לֵוִי	מַטֵּה	אָחִיךָ	אֶת־	וְגַם	
近づけよ	あなたの–父の	氏族の	レビの	部族の	あなたの–兄弟たちを	（を）	そして–また	
H7126	H0001	H7626	H3878	H4294	H0251	H0853	H1571	

וּבָנֶיךָ	וְאַתָּה	וְיִשָּׁרְתוּךָ	עָלֶיךָ	וְיִלְוּוּ	אִתָּךְ	
あなたの–息子たちは	そして–あなたと	そして–仕えさせよ	あなたに	そして–加わらせよ	あなたと–共に	
		H8334			H0854	

הָעֵדֻת׃	אֹהֶל	לִפְנֵי	אִתָּךְ
あかしの	幕屋の	～の–前で	あなたと–共に
H5715	H0168	H6440	H0854

あなたはまた、あなたの兄弟なるレビの部族の者、すなわち、あなたの父祖の部族の者どもを、あなたに近づかせ、あなたに連なり、あなたに仕えさせなければならない。ただし、あなたとあなたの子たちとは、共にあかしの幕屋の前で仕えなければならない。

3

הַקֹּדֶשׁ	כְּלֵי	אֶל־	אַךְ	הָאֹהֶל	כָּל־	וּמִשְׁמֶרֶת	מִשְׁמַרְתְּךָ	וְשָׁמְרוּ
聖なる	器に	～に	ただし	幕屋の	すべての	そして–務めを	あなたの–務めを	そして–守らせよ
H6944	H3627	H0413	H0389	H0168	H3605	H4931	H4931	H8104

גַּם־	הֵם	גַּם־	יָמֻתוּ	וְלֹא־	יִקְרְבוּ	לֹא	הַמִּזְבֵּחַ	וְאֶל־
～も	彼らも	～も	死なない–ように	そして–ない	近づいては	ない	祭壇に	そして–～に
H1571	H1992	H1571	H4191	H3808	H7126	H3808	H4196	H0413

אַתֶּם׃
あなたがたも

彼らは、あなたの務と、すべての幕屋の務とを守らなければならない。ただし、聖所の器と、祭壇とに近づいてはならない。彼らもあなたがたも、死ぬことのないためである。

4

עֲבֹדַת	לְכָל	מוֹעֵד	אֹהֶל	מִשְׁמֶרֶת	אֶת־	וְשָׁמְרוּ	עָלֶיךָ	וְנִלְווּ
奉仕の	すべての–ための	会見の	幕屋の	務めを	（を）	そして–守れ	あなたに	そして–加わり
H5656	H3605	H4150	H0168	H4931	H0853	H8104		

אֲלֵיכֶם׃	יִקָּרֵב	לֹא־	וְזָר	הָאֹהֶל
あなたがたに	近づいては	ない	そして–よそ者は	幕屋の
H0413	H7126	H3808		H0168

彼らはあなたに連なって、会見の幕屋の務を守り、幕屋のもろもろの働きをしなければならない。ほかの者は、あなたがたに近づいてはならない。

5

יִהְיֶה	וְלֹא־	הַמִּזְבֵּחַ	מִשְׁמֶרֶת	וְאֵת	הַקֹּדֶשׁ	מִשְׁמֶרֶת	אֶת	וּשְׁמַרְתֶּם
ある–ことが	そして–ない	祭壇の	務めを	そして（を）	聖所の	務めを	（を）	そして–守れ
H1961	H3808	H4196	H4931	H0853	H6944	H4931	H0853	H8104

יִשְׂרָאֵל׃	בְּנֵי	עַל־	קֶצֶף	עוֹד
イスラエルの	子らに	～の–上に	怒りが	もはや
H3478				H5750

このように、あなたがたは、聖所の務と、祭壇の務とを守らなければならない。そうすれば、主の激しい怒りは、かさねてイスラエルの人々に臨まないであろう。

6

מִתּוֹךְ	הַלְוִיִּם	אֲחֵיכֶם	אֶת־	לָקַחְתִּי	הִנֵּה	וַאֲנִי
～の–中から	レビ人たちを	あなたがたの–兄弟たちを	（を）	取った	見よ	そして–わたしは
H8432	H3881	H0251	H0853	H3947	H2009	H0589

לַעֲבֹד	לַיהוָה	נְתֻנִים	מַתָּנָה	לָכֶם	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי
仕える–ために	主に	与えられた–者として	贈り物として	あなたがたに	イスラエルの	子らの
H5647	H3068	H5414	H4979		H3478	

מוֹעֵד׃	אֹהֶל	עֲבֹדַת	אֶת־
会見の	幕屋の	奉仕を	（を）
H4150	H0168	H5656	H0853

わたしはあなたがたの兄弟たるレビびとを、イスラエルの人々のうちから取り、主のために、これを賜物として、あなたがたに与え、会見の幕屋の働きをさせる。

7

אֶת־	תִּשְׁמְרוּ	אָתְּךָ	וּבָנֶיךָ	וְאַתָּה
（を）	守らなければならない	あなたと–共に	あなたの–息子たちは	そして–あなたと
H0853	H8104	H0854		

וַעֲבַדְתֶּם	לַפָּרֹכֶת	וּלְמִבָּית	הַמִּזְבֵּחַ	דְּבַר	לְכֹל־	כְּהֻנַּתְכֶם
そして–仕えよ	垂れ幕の	そして–内側の	祭壇の	事柄の	すべての–ことに–つき	あなたがたの–祭司職を
H5647	H6532		H4196	H1697	H3605	H3550

הַקָּרֵב	וְהַזָּר	כְּהֻנַּתְכֶם	אֶת־	אֶתֵּן	מַתָּנָה	עֲבֹדַת
近づく–者は	そして–よそ者が	あなたがたの–祭司職を	（を）	わたしは–与える	賜物として	奉仕を
H7126		H3550	H0853	H5414	H4979	H5656

ס	
ס	יוּמָת׃
	殺される
	H4191

あなたとあなたの子たちは共に祭司職を守って、祭壇と、垂幕のうちのすべての事を執り行い、共に勤めなければならない。わたしは祭司の職務を賜物として、あなたがたに与える。ほかの人で近づく者は殺されるであろう」。

8

מִשְׁמֶרֶת	אֶת־	לְךָ	נָתַתִּי	הִנֵּה	וַאֲנִי	אַהֲרֹן	אֶל־	יְהוָה	וַיְדַבֵּר
管理を	（を）	あなたに	与えた	見よ	そして–わたしは	アロンに	～に	主は	そして–語った
H4931	H0853		H5414	H2009	H0589	H0175	H0413	H3068	H1696

לְךָ	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי־	קֹדֶשׁ	לְכֹל־	תְּרוּמֹתָי	
あなたに	イスラエルの	子らの	聖なる–ものの	すべての	わたしの–奉納物の	
	H3478		H6918	H3605	H8641	

עוֹלָם׃	לְחָק־	וּלְבָנֶיךָ	לְמָשְׁחָה	נְתַתִּים
永遠の	定めとして	そして–あなたの–息子たちに	油注ぎの–分として	わたしは–与えた–それらを
H5769	H2706			H5414

主はまたアロンに言われた、「わたしはイスラエルの人々の、すべての聖なる供え物で、わたしにささげる物の一部をあなたに与える。すなわち、わたしはこれをあなたと、あなたの子たちに、その分け前として与え、永久に受くべき分とする。

9 זֶה־ יִהְיֶה לְךָ מִקֹּדֶשׁ הַקֳּדָשִׁים מִן־ הָאֵשׁ כָּל־
これが なる あなたのものに 至聖の 聖なる-もののうち ～から 火の すべての
H2088 H1961 H6944 H6944 H0784 H3605

קָרְבָּנָם לְכָל־ מִנְחָתָם וּלְכָל־ חַטָּאתָם
彼らの-供え物の すべての 彼らの-穀物の-捧げ物と そして-すべての 彼らの-罪の-捧げ物と
H3605 H4503 H3605

וּלְכָל־ אֲשָׁמָם אֲשֶׁר יָשִׁיבוּ לִי קֹדֶשׁ קָדָשִׁים
そして-すべての 彼らの-罪過の-捧げ物を それは 彼らが-返す わたしに 聖なる 至聖の-ものとして
H3605 H0817 H7725 H6944 H6944

לְךָ הוּא וּלְבָנֶיךָ׃
あなたに それは そして-あなたの-息子たちの-ものである
H1931

いと聖なる供え物のうち、火で焼かずに、あなたに帰すべきものは次のとおりである。すなわち、わたしにささげるすべての供え物、素祭、罪祭、愆祭はみな、いと聖なる物であって、あなたとあなたの子たちに帰するであろう。

10 בְּקֹדֶשׁ הַקָּדָשִׁים תֹּאכְלֶנּוּ כָּל־ זָכָר יֹאכַל אֹתוֹ קֹדֶשׁ יִהְיֶה־
至聖の 聖なる-所で それを-食べよ すべての 男子が 食べる それを 聖なる-ものとして なる
H6944 H6944 H3605 H2145 H0398 H0853 H6944 H1961

לָךְ׃
あなたに

いと聖なる所で、それを食べなければならない。男子はみな、それを食べることができる。それはあなたに帰すべき聖なる物である。

11 וְזֶה־ לְךָ תְּרוּמַת מַתָּנָם לְכָל־ תְּנוּפַת בְּנֵי
そして-これが あなたの-ものである 奉納物の 彼らの-贈り物の すべての 奉納の-捧げ物の 子らの
H2088 H8641 H4976 H3605 H8573

יִשְׂרָאֵל לְךָ נְתַתִּים וּלְבָנֶיךָ
イスラエルの あなたに わたしは-与えた-それらを そして-あなたの-息子たちに
H3478 H5414

וְלִבְנֹתֶיךָ אִתְּךָ לְחָק־ עוֹלָם כָּל־ טָהוֹר בְּבֵיתְךָ
そして-あなたの-娘たちに あなたと-共に 定めとして 永遠の すべての 清い-者が あなたの-家で
H1323 H0854 H2706 H5769 H3605 H2889

יֹאכַל אֹתוֹ׃
食べる それを
H0398 H0853

またあなたに帰すべきものはこれである。すなわち、イスラエルの人々のささげる供え物のうち、すべて揺祭とするものであって、これをあなたとあなたのむすこ娘に与えて、永久に受くべき分とする。あなたの家の者のうち、清い者はみな、これを食べることができる。

12 כָּל־ חֵלֶב יִצְהָר וְחֵלֶב כָּל־ וְכָל־ תִּירוֹשׁ וְדָגָן רֵאשִׁיתָם אֲשֶׁר־
すべての 最良の 油の 最良の そして-すべての ぶどう酒と 穀物の その-初物を 彼らが
H3605 H2459 H3323 H2459 H3605 H8492 H1715 H7225

נָתְנוּ לַיהוָה לְךָ נְתַתִּים׃
捧げる 主に あなたに わたしは-与えた-それらを
H5414 H3068 H5414

すべて油の最もよい物、およびすべて新しいぶどう酒と、穀物の最も良い物など、人々が主にささげる初穂をあなたに与える。

לְךָ	לַיהוָה	יָבִיאוּ	אֲשֶׁר־	בְּאַרְצָם	אֲשֶׁר	כָּל־	בִּכּוּרֵי	13
あなたの	主に	持って来る	彼らが	彼らの–地に–ある	～の	すべての	初なりの–実の	
	H3068	H0935		H0776		H3605	H1061	

יֹאכְלֻנּוּ׃	בְּבֵיתְךָ	טָהוֹר	כָּל־	יִהְיֶה
食べる–それを	あなたの–家で	清い–者が	すべての	ものとなる
H0398		H2889	H3605	H1961

国のすべての産物の初物で、人々が主のもとに携えてきたものは、あなたに帰するであろう。あなたの家の者のうち、清い者はみな、これを食べることができる。

יִהְיֶה׃	לְךָ	בְּיִשְׂרָאֵל	חֵרֶם	כָּל־	14
ものとなる	あなたの	イスラエルにおける	奉納物は	すべての	
H1961		H3478		H3605	

イスラエルのうちの奉納物はみな、あなたに帰する。

בָּאָדָם	לַיהוָה	יַקְרִיבוּ	אֲשֶׁר־	בָּשָׂר	לְכָל־	רֶחֶם	פֶּטֶר	כָּל־	15
人の–うち	主に	捧げる	彼らが	肉の	すべての	胎を–開く–ものの	初子の	すべての	
H0120	H3068	H7126		H1320	H3605	H7358		H3605	

בְּכוֹר	אֶת	תִּפְדֶּה	פָּדֹה	וְאַךְ	לָךְ	יִהְיֶה־	וּבַבְּהֵמָה	
初子を	（を）	贖わなければならない	必ず	ただし	あなたの–ものに	なる	そして–家畜の–うち	
H1060	H0853	H6299	H6299	H0389		H1961	H0929	

תִּפְדֶּה׃	הַטְּמֵאָה	הַבְּהֵמָה	בְּכוֹר־	וְאֶת	הָאָדָם
贖わなければならない	汚れた	家畜の	初子を	そして（を）	人の
H6299	H2931	H0929	H1060	H0853	H0120

すべて肉なる者のういごであって、主にささげられる者はみな、人でも獣でも、あなたに帰する。ただし、人のういごは必ずあがなわなければならない。また汚れた獣のういごも、あがなわなければならない。

שְׁקָלִים	חֲמֵשֶׁת	כֶּסֶף	בְּעֶרְכְּךָ	תִּפְדֶּיהָ	חֹדֶשׁ	מִבֶּן־	וּפְדוּיָו		16
シェケルの	五	銀	あなたの–値踏みで	贖え	月の	～から	そして–その–贖いは		
H8255	H2568	H3701	H6187	H6299	H2320		H6299		

הוּא׃	גֵּרָה	עֶשְׂרִים	הַקֹּדֶשׁ	בְּשֶׁקֶל
それである	ゲラが	二十	聖所の	シェケルで
H1931	H1626	H6242	H6944	H8255

人のういごは生後一か月で、あがなわなければならない。そのあがない金はあなたの値積りにより、聖所のシケルにしたがって、銀五シケルでなければならない。一シケルは二十ゲラである。

תִּפְדֶּה	לֹא	עֵז	בְּכוֹר	אוֹ־	כֶּשֶׂב	בְּכוֹר	אוֹ־	שׁוֹר	בְּכוֹר־	אַךְ	17
贖っては	ない	山羊の	初子は	あるいは	羊の	初子は	あるいは	牛の	初子は	ただし	
H6299	H3808	H5795	H1060		H3775	H1060		H7794	H1060	H0389	

חֶלְבָּם	וְאֶת־	הַמִּזְבֵּחַ	עַל־	תִּזְרֹק	דָּמָם	אֶת־	הֵם	קֹדֶשׁ
その–脂肪を	そして（を）	祭壇の	～の–上に	振りかけよ	その–血を	（を）	それらは	聖なる
H2459	H0853	H4196		H2236	H1818	H0853	H1992	H6944

לַיהוָה׃	נִיחֹחַ	לְרֵיחַ	אִשֶּׁה	תַּקְטִיר	
主への	なだめの	香りの–ための	火による–捧げ物として	焼いて–捧げよ	
H3068	H5207	H7381	H0801		

しかし、牛のういご、羊のういご、やぎのういごは、あがなってはならない。これらは聖なるものである。その血を祭壇に注ぎかけ、その脂肪を焼いて火祭とし、香ばしいかおりとして、主にささげなければならない。

18 וּבְשָׂרָם֙ יִהְיֶה־לְּךָ֔ כַּחֲזֵ֥ה הַתְּנוּפָ֖ה וְכִשְׁר֥וֹק הַיָּמִ֥ין לְךָ֖ יִהְיֶֽה׃
そして–その–肉は なる あなたの–ものに 奉納の 胸の–ように そして–もも肉の–ように 右の
H1320 H1961 H3068 H0559 H0175 H0413 H3068 H0776 H3808 H5157 H3808 H0854 H1931 H5769 H4417 H1285

その肉はあなたに帰する。それは揺祭の胸や右のももと同じく、あなたに帰する。

19 כָּל־תְּרוּמֹ֣ת הַקֳּדָשִׁ֗ים אֲשֶׁ֨ר יָרִ֜ימוּ בְּנֵ֤י יִשְׂרָאֵל֙ לַיהוָ֔ה נָתַ֥תִּי לְךָ֖ וְלִבְנֶ֣יךָ וְלִבְנֹתֶ֑יךָ אִתָּךְ֙ לְחָ֣ק עוֹלָ֔ם בְּרִ֥ית מֶ֛לַח עוֹלָ֥ם הִוא֙ לִפְנֵ֣י יְהוָ֔ה לְךָ֖ וְלִזַרְעֲךָ֥ אִתָּֽךְ׃
すべての 奉納物を 聖なる–ものの それは 捧げる 子らが イスラエルの 主に わたしは–与えた 共に あなたと–定めとして 永遠の 塩の 契約は 永遠の それは ～の–前で 主の あなたに そして–あなたの–娘たちに そして–あなたの–息子たちに あなたに 共に あなたと そして–あなたの–子孫に あなたに
H3605 H8641 H6944 H3478 H7311 H0834 H3068 H5414 H0854 H2706 H5769 H1323 H1121 H0853 H0854 H2233 H3068 H6440 H1931 H5769 H4417 H1285

イスラエルの人々が、主にささげる聖なる供え物はみな、あなたとあなたのむすこ娘とに与えて、永久に受ける分とする。これは主の前にあって、あなたとあなたの子孫とに対し、永遠に変らぬ塩の契約である」。

20 וַיֹּ֥אמֶר יְהוָ֖ה אֶל־אַהֲרֹ֑ן בְּאַרְצָם֙ לֹ֣א תִנְחָ֔ל וְחֵ֥לֶק לֹא־ תִהְיֶה־לָּ֖ךְ בְּתוֹכָ֑ם אֲנִ֥י חֶלְקְךָ֖ וְנַחֲלָתֶ֣ךָ בְּת֥וֹךְ בְּנֵ֖י יִשְׂרָאֵֽל׃ ס
そして–言った 主は ～に アロンに 彼らの–地で ない 相続しては ない そして–分け前は ない ある あなたに 彼らの–中に わたしが あなたの–分け前であり そして–あなたの–相続地である ～の–中で 子らの イスラエルの ס
H0559 H3068 H0413 H0175 H0776 H3808 H5157 H3808 H2506 H3808 H1961 H0834 H8432 H0589 H2506 H5159 H8432 H1121 H3478

主はまたアロンに言われた、「あなたはイスラエルの人々の地のうちに、嗣業をもってはならない。また彼らのうちに、何の分をも持ってはならない。彼らのうちにあって、わたしがあなたの分であり、あなたの嗣業である。

21 וְלִבְנֵ֣י לֵוִ֗י הִנֵּ֤ה נָתַ֙תִּי֙ כָּל־ מַעֲשֵׂ֣ר בְּיִשְׂרָאֵ֔ל לְנַחֲלָ֔ה חֶלְפָּ֖ם אֲשֶׁר־ הֵ֣ם עֹבְדִ֑ים אֶת־ עֲבֹדַ֖ת אֹ֥הֶל מוֹעֵֽד׃
そして–子らに レビの 見よ わたしは–与えた すべての 十分の一を イスラエルにおける 相続地として 報いとして 彼らが 彼らが 彼らの–奉仕の 幕屋の 奉仕を （を） 仕えている 会見の
H3878 H2009 H5414 H3605 H4643 H3478 H5159 H2500 H0834 H5647 H1992 H0834 H5656 H0168 H5656 H0853 H5647 H4150

わたしはレビの子孫にはイスラエルにおいて、すべて十分の一を嗣業として与え、その働き、すなわち、会見の幕屋の働きに報いる。

22 וְלֹא־ そして–ない H3808 יִקְרְבוּ 近づいては H7126 עוֹד もはや H5750 בְּנֵי 子らは H1413 אֶל־ ～に H3478 יִשְׂרָאֵל イスラエルの H0168 אֹהֶל 幕屋に H4150 מוֹעֵד 会見の H5375 לָשֵׂאת 負って H2399 חֵטְא 罪を
לָמוּת׃ H4191 死ぬ–ことが–ないように

イスラエルの人々は、かさねて会見の幕屋に近づいてはならない。罪を得て死なないためである。

23 וְעָבַד そして–仕える H5647 הַלֵּוִי レビ人が H3881 הוּא 彼ら自身が H1931 אֶת־ （を） H0853 עֲבֹדַת 奉仕を H5656 אֹהֶל 幕屋の H0168 מוֹעֵד 会見の H4150 וְהֵם そして–彼らが H1992 יִשְׂאוּ 負う H5375
עוֹלָם 永遠の H5769 לְדֹרֹתֵיכֶם あなたがたの–代々に–わたり H1755 וּבְתוֹךְ そして–～の–中で H8432 בְּנֵי 子らの H3478 יִשְׂרָאֵל イスラエルの H3478
נַחֲלָה׃ 相続地を H5159 יִנְחֲלוּ 相続しない H5157 לֹא ない H3808

レビびとだけが会見の幕屋の働きをしなければならない。彼らがその罪を負うであろう。彼らがイスラエルの人々のうちに、嗣業の地を持たないことをもって、あなたがたの代々ながく守るべき定めとしなければならない。

24 כִּי なぜなら H3588 אֶת־ （を） H0853 מַעְשַׂר 十分の一を H4643 בְּנֵי־ 子らの H3478 יִשְׂרָאֵל イスラエルの H3478 אֲשֶׁר 彼らが H834 יָרִימוּ 捧げる H7311 לַיהוָה 主に H3068 תְּרוּמָה 奉納物として H8641
לָלֵוִיִּם レビ人たちに H3881 נָתַתִּי わたしは–与えた H5414 לְנַחֲלָה 相続地として H5159 עַל־ それ–ゆえに H5921 כֵּן そのように H3651 אָמַרְתִּי わたしは–言った H0559 לָהֶם 彼らに H1992
פ
נַחֲלָה׃ 相続地を H5159 יִנְחֲלוּ 相続しない H5157 לֹא ない H3808 יִשְׂרָאֵל イスラエルの H3478 בְּנֵי 子らの H1121 בְּתוֹךְ ～の–中で H8432

わたしはイスラエルの人々が供え物として主にささげる十分の一を、レビびとに嗣業として与えた。それで『彼らはイスラエルの人々のうちに、嗣業の地を持ってはならない』と、わたしは彼らに言ったのである」。

25 וַיְדַבֵּר そして–語った H1696 יְהוָה 主は H3068 אֶל־ ～に H0413 מֹשֶׁה モーセに H4872 לֵאמֹר׃ 言って H0559

主はモーセに言われた、

26 וְאֶל־ そして–～に H0413 הַלְוִיִּם レビ人たちに H3881 תְּדַבֵּר 語れ H1696 וְאָמַרְתָּ そして–言え H0559 אֲלֵהֶם 彼らに H0413 כִּי־ ～のとき H3588 תְּקָחוּ あなたがたが–受け取る H3947 מֵאֵת ～から H0854
בְּנֵי־ 子らから H1121 יִשְׂרָאֵל イスラエルの H3478 מֵאִתָּם 彼らから H0854 לָכֶם あなたがたに H3588 נָתַתִּי 与えた H5414 אֲשֶׁר わたしが H834 הַמַּעֲשֵׂר 十分の一を H4643 אֶת־ （を） H0853
בְּנַחֲלַתְכֶם あなたがたの–相続地として H5159 וַהֲרֵמֹתֶם そして–あなたがたは–捧げよ H7311 מִמֶּנּוּ それから H4480 תְּרוּמַת 奉納物を H8641 יְהוָה 主への H3068 מַעֲשֵׂר 十分の一の H4643
מִן־ ～から H4480 הַמַּעֲשֵׂר׃ 十分の一から H4643

「レビびとに言いなさい、『わたしがイスラエルの人々から取って、嗣業として与える十分の一を受ける時、あなたがたはその十分の一の十分の一を、主にささげなければならない。

27 וְנֶחְשַׁב לָכֶם תְּרוּמַתְכֶם כְּדָגָן מִן־הַגֹּרֶן
そして-みなされる あなたがたに あなたがたの-奉納物は 穀物の-ように ～から 打ち場からの
H2803 H8641 H1715 H1637

וְכִמְלֵאָה מִן־הַיָּקֶב׃
そして-豊かさの-ように ～から 酒ぶねからの
H4395 H3342

あなたがたのささげ物は、打ち場からの穀物や、酒ぶねからのぶどう酒と同じように見なされるであろう。

28 כֵּן תָּרִימוּ גַם־אַתֶּם תְּרוּמַת יְהוָה מִכֹּל
そのように あなたがたも-捧げよ ～も あなたがたも 奉納物を 主への すべての
H1571 H8641 H3068 H3605

מַעְשְׂרֹתֵיכֶם אֲשֶׁר תִּקְחוּ מֵאֵת בְּנֵי יִשְׂרָאֵל
あなたがたの-十分の一から それは 受け取る-あなたがたが- ～から 子らから イスラエルの
H4643 H3947 H0854 H3478

וּנְתַתֶּם מִמֶּנּוּ תְּרוּמַת יְהוָה לְאַהֲרֹן הַכֹּהֵן׃
そして-あなたがたは-与えよ それから （を） 奉納物を 主への アロンに 祭司に
H5414 H0853 H8641 H3068 H0175 H3548

そのようにあなたがたもまた、イスラエルの人々から受けるすべての十分の一の物のうちから、主に供え物をささげ、主にささげたその供え物を、祭司アロンに与えなければならない。

29 מִכֹּל מַתְּנֹתֵיכֶם תָּרִימוּ אֵת כָּל־תְּרוּמַת יְהוָה מִכָּל־
すべての あなたがたの-贈り物から 捧げよ （を） すべての 奉納物を 主への すべての
H3605 H4979 H0853 H3605 H8641 H3068 H3605

מִמֶּנּוּ אֶת־מִקְדְּשׁוֹ חֶלְבּוֹ מִן־הַטּוּב׃
そこから 聖なる-分を （を） 最良の-ものから
H4720 H0853 H2459

あなたがたの受けるすべての贈物のうちから、その良いところ、すなわち、聖なる部分を取って、ことごとく供え物として、主にささげなければならない』。

30 וְאָמַרְתָּ אֲלֵהֶם בְּהָרִימְכֶם אֶת־חֶלְבּוֹ מִמֶּנּוּ וְנֶחְשַׁב
そして-言え 彼らに あなたがたが-捧げるとき （を） 最良の-ものを そこから そして-みなされる
H0559 H0413 H0853 H2459 H2803

לַלְוִיִּם כִּתְבוּאַת גֹּרֶן וְכִתְבוּאַת יָקֶב׃
レビ人たちに 収穫の-ように 打ち場の 収穫の-ように 酒ぶねの
H3881 H8393 H1637 H8393 H3342

あなたはまた彼らに言いなさい、『あなたがたが、そのうちから良いところを取ってささげる時、その残りの部分はレビびとには、打ち場の産物や、酒ぶねの産物と同じように見なされるであろう。

31 וַאֲכַלְתֶּם אֹתוֹ בְּכָל־מָקוֹם אַתֶּם וּבֵיתְכֶם כִּי־שָׂכָר
そして-食べよ それを すべての 場所で あなたがたと あなたがたの-家族は なぜなら 報酬
H0398 H0853 H3605 H4725

הוּא לָכֶם חֵלֶף עֲבֹדַתְכֶם בְּאֹהֶל מוֹעֵד׃
それは あなたがたの-ものである 報いとして あなたがたの-奉仕の 幕屋での 会見の
H1931 H2500 H5656 H0168 H4150

あなたがたと、あなたがたの家族とは、どこでそれを食べてもよい。これは会見の幕屋であなたがたがする働きの報酬である。

32 וְלֹא־ תִשְׂאוּ עָלָיו חֵטְא בְּהָרִימְכֶם אֶת־ חֵלֶב׀ וְלֹא־ תְחַלְּלוּ אֶת־ קָדְשֵׁי בְנֵי־ יִשְׂרָאֵל וְלֹא תָמֻתוּ׃ מִמֶּנּוּ
そして–ない 負っては 罪を それに–ついて あなたがたが–捧げるとき （を） 最良の–ものを そこから （を） 聖なる–ものを 子らの イスラエルの ない 汚しては そして–ない
H3808 H5375 H2399 H6918 H0853 H3478 H0853 H2459 H4191

פ פ
死なない–ように

あなたがたが、その良いところをささげるときは、それによって、あなたがたは罪を負わないであろう。あなたがたはイスラエルの人々の聖なる供え物を汚してはならない。死をまぬかれるためである』」。

Chapter 19

1 וַיְדַבֵּר יְהוָה אֶל־ מֹשֶׁה וְאֶל־ אַהֲרֹן לֵאמֹר׃
そして–語った 主は ～に モーセに ～に そして–～に アロンに 言って
H1696 H3068 H0413 H4872 H0413 H0175 H0559

主はモーセとアロンに言われた、

2 זֹאת חֻקַּת הַתּוֹרָה אֲשֶׁר־ צִוָּה יְהוָה לֵאמֹר דַּבֵּר אֶל־ בְּנֵי יִשְׂרָאֵל וְיִקְחוּ אֵלֶיךָ פָּרָה אֲדֻמָּה תְּמִימָה אֲשֶׁר־ אֵין־ בָּהּ מוּם אֲשֶׁר לֹא־ עָלָה עָלֶיהָ עֹל׃
これが 定めである 律法の それは 命じた 主が 言って 語れ ～に 子らに イスラエルの そして–連れて–来させよ あなたの–もとに 雌牛を 赤い 完全な ない それに 傷が それには 置かれた–ことの それの–上に くびきが
H2063 H2708 H8451 H8451 H6680 H3068 H1696 H0413 H0559 H0413 H6510 H0413 H3947 H8549 H0369 H0369 H5927 H5923

「主の命じられた律法の定めは次のとおりである。すなわち『イスラエルの人々に告げて、完全で、傷がなく、まだくびきを負ったことのない赤い雌牛を、あなたのもとに引いてこさせ、

3 וְנָתַתֶּם אֹתָהּ אֶל־ אֶלְעָזָר הַכֹּהֵן וְהוֹצִיא אֹתָהּ אֶל־ מִחוּץ לַמַּחֲנֶה וְשָׁחַט אֹתָהּ לְפָנָיו׃
そして–渡せ それを ～に 外に 宿営の そして–連れ出せ それを ～に 祭司に エルアザルに それを 彼の–前で
H5414 H0853 H0413 H2351 H4264 H3318 H0853 H0413 H3548 H0499 H0853 H6440

これを祭司エレアザルにわたして、宿営の外にひき出させ、彼の前でこれをほふらせなければならない。

4 וְלָקַח אֶלְעָזָר הַכֹּהֵן מִדָּמָהּ בְּאֶצְבָּעוֹ וְהִזָּה אֶל־ נֹכַח פְּנֵי אֹהֶל־ מוֹעֵד שֶׁבַע פְּעָמִים׃ מִדָּמָהּ
そして–取れ エルアザルは 祭司は その–血から 彼の–指で そして–振りかけよ ～に–向かって 面の 幕屋の 会見の 七 回 その–血を
H3947 H0499 H3548 H1818 H0676 H5227 H0168 H4150 H7651 H6471 H1818

そして祭司エレアザルは、指をもってその血を取り、会見の幕屋の表に向かって、その血を七たびふりかけなければならない。

וְשָׁרַף 5
そして-焼け
H8313
אֶת־ הַפָּרָה
（を） 雌牛を
H0853 H6510
לְעֵינָיו אֶת־ עֹרָהּ וְאֶת־ בְּשָׂרָהּ
彼の-目の-前で （を） その-皮も そして（を） その-肉も
H0853 H5785 H0853 H1320
וְאֶת־ דָּמָהּ עַל־ פִּרְשָׁהּ יִשְׂרֹף׃
そして（を） その-血も ～と-共に その-糞も 焼け
H0853 H1818 H6569 H8313

ついでその雌牛を自分の目の前で焼かせ、その皮と肉と血とは、その汚物と共に焼かなければならない。

וְלָקַח 6
そして-取れ
H3947
הַכֹּהֵן עֵץ אֶרֶז וְאֵזוֹב וּשְׁנִי
祭司は 木を 杉の そして-ヒソプと そして-緋色の
H3548 H6086 H0730 H0231 H8144
וְהִשְׁלִיךְ תּוֹלַעַת
そして-投げ入れよ 糸とを
H7993
אֶל־ תּוֹךְ שְׂרֵפַת הַפָּרָה׃
～の-中に 中に 焼く-所の 雌牛の
H0413 H8432 H8316 H6510

そして祭司は香柏の木と、ヒソプと、緋の糸とを取って雌牛の燃えているなかに投げ入れなければならない。

וְכִבֶּס 7
そして-洗え
H3526
הַכֹּהֵן בְּגָדָיו
祭司は 彼の-衣服を
H3548
וְרָחַץ בְּשָׂרוֹ בַּמַּיִם וְאַחַר
そして-洗え 彼の-体を 水で そして-後に
H7364 H1320 H4325
יָבוֹא אֶל־ הַמַּחֲנֶה וְטָמֵא הַכֹּהֵן עַד־ הָעָרֶב׃
入れ ～に 宿営に そして-汚れている 祭司は ～まで 夕べまで
H0935 H0413 H4264 H2930 H3548 H5704 H6153

そして祭司は衣服を洗い、水に身をすすいで後、宿営に、はいることができる。ただし祭司は夕まで汚れる。

וְהַשֹּׂרֵף 8
そして-焼く-者は
H8313
אֹתָהּ יְכַבֵּס בְּגָדָיו בַּמַּיִם וְרָחַץ בְּשָׂרוֹ בַּמָּיִם
それを 洗え 彼の-衣服を 水で そして-洗え 彼の-体を 水で
H0853 H3526 H7364 H1320 H4325
וְטָמֵא עַד־ הָעָרֶב׃
そして-汚れている ～まで 夕べまで
H2930 H5704 H6153

またその雌牛を焼いた者も水で衣服を洗い、水に身をすすがなければならない。彼も夕まで汚れる。

וְאָסַף 9
そして-集めよ
H0622
אִישׁ טָהוֹר אֶת אֵפֶר הַפָּרָה וְהִנִּיחַ מִחוּץ לַמַּחֲנֶה בְּמָקוֹם
人が 清い （を） 灰を 雌牛の そして-置け 外に 宿営の 場所に
H0376 H2889 H0853 H0665 H6510 H3240 H2351 H4264 H4725
טָהוֹר וְהָיְתָה לְעֵדַת בְּנֵי־ יִשְׂרָאֵל לְמִשְׁמֶרֶת לְמֵי נִדָּה חַטָּאת הִוא׃
清い そして-なる 会衆の-ために 子らの イスラエルの 保管の-ために 清めの-水の-ために 汚れの 罪の-捧げ物 それは
H2889 H1961 H5712 H1121 H3478 H4931 H4325 H5079 H2403 H1931

それから身の清い者がひとり、その雌牛の灰を集め、宿営の外の清い所にたくわえておかなければならない。これはイスラエルの人々の会衆のため、汚れを清める水をつくるために備えるものである。

10 וְכִבֶּס הָאֹסֵף אֶת־אֵפֶר הַפָּרָה וְטָמֵא בְּגָדָיו אֶת־ עַד־
そして–洗え 集める–者は （を） 灰を 雌牛の （を） 彼の–衣服を そして–汚れている ～まで
H3526 H0622 H0853 H0665 H6510 H0853 H5704

הַגָּר וְלַגֵּר לִבְנֵי יִשְׂרָאֵל וְהָיְתָה הָעֶרֶב
住む そして–在留者に–とって 子らに–とって イスラエルの そして–なる 夕べまで
H1616 H3478 H1961 H6153

לְחֻקַּת עוֹלָם׃
定めとして 永遠の
H2708 H5769

その雌牛の灰を集めた者は衣服を洗わなければならない。その人は夕まで汚れる。これはイスラエルの人々と、そのうちに宿っている他国人との、永久に守るべき定めとしなければならない。

11 הַנֹּגֵעַ בְּמֵת בְּנֶפֶשׁ אָדָם וְטָמֵא שִׁבְעַת יָמִים׃
触れる–者は 死人に 人の 人の すべての 汚れる 七 日間
H5060 H4191 H5315 H0120 H3605 H7651 H3117

すべて人の死体に触れる者は、七日のあいだ汚れる。

12 הוּא יִתְחַטָּא־בּוֹ בַּיּוֹם הַשְּׁלִישִׁי וּבַיּוֹם הַשְּׁבִיעִי יִטְהָר וְאִם־ לֹא
彼は 身を–清めよ それで 日に 第三の そして–日に 第七の 清くなる そして–もし ない
H1931 H2398 H3117 H7992 H3117 H7637 H2891 H3808

יִתְחַטָּא בַּיּוֹם הַשְּׁלִישִׁי וּבַיּוֹם הַשְּׁבִיעִי לֹא יִטְהָר׃
身を–清めないなら 日に 第三の そして–日に 第七の ない 清くならない
H2398 H3117 H7992 H3117 H7637 H3808 H2891

その人は三日目と七日目とに、この灰の水をもって身を清めなければならない。そうすれば清くなるであろう。しかし、もし三日目と七日目とに、身を清めないならば、清くならないであろう。

13 כָּל־ הַנֹּגֵעַ בְּמֵת בְּנֶפֶשׁ הָאָדָם אֲשֶׁר־ יָמוּת וְלֹא יִתְחַטָּא
すべての 触れる–者が 死人に 人の 人の 死んだ 死ぬ そして–ない 身を–清めないなら
H3605 H5060 H4191 H0120 H5315 H4191 H3808 H2398

אֶת־ מִשְׁכַּן יְהוָה טִמֵּא וְנִכְרְתָה הַנֶּפֶשׁ הַהִוא מִיִּשְׂרָאֵל כִּי
（を） 幕屋を 主の 汚したのである そして–断たれる その–人は その イスラエルから なぜなら
H0853 H4908 H3068 H2930 H3772 H5315 H1931 H3478

מֵי נִדָּה לֹא־ זֹרַק עָלָיו טָמֵא יִהְיֶה עוֹד טָמְאָתוֹ בּוֹ׃
水が 清めの ない 振りかけられた–ことが 彼の–上に 汚れた なる なお 彼の–汚れが 彼に–ある
H4325 H5079 H3808 H2236 H2930 H1961 H5750 H2932

すべて死人の死体に触れて、身を清めない者は主の幕屋を汚す者で、その人はイスラエルから断たれなければならない。汚れを清める水がその身に注ぎかけられないゆえ、その人は清くならず、その汚れは、なお、その身にあるからである。

14 זֹאת הַתּוֹרָה אָדָם כִּי־ יָמוּת בְּאֹהֶל כָּל־ הַבָּא אֶל־ הָאֹהֶל
これが 律法である 人が ～のとき 死ぬ 幕屋の–中で すべての 入る–者と ～に 幕屋に
H2063 H8451 H0120 H4191 H0168 H3605 H0935 H0413 H0168

וְכָל־ אֲשֶׁר בָּאֹהֶל יִטְמָא שִׁבְעַת יָמִים׃
そして–すべての ～が 幕屋に–いる–者が 汚れる 七 日間
H3605 H0168 H7651 H3117

人が天幕の中で死んだ時に用いる律法は次のとおりである。すなわち、すべてその天幕にはいった者、およびすべてその天幕にいた者は七日のあいだ汚れる。

15 וְכֹל֙ כְּלִי־אֲשֶׁ֣ר אֵין־צָמִ֣יד פָּתִ֔יל עָלָ֖יו טָמֵ֣א הֽוּא׃
そして–すべての 器で 開いた それに ない 蓋が 紐で–縛った その–上に 汚れた それは
H3605 H3627 H6605 H0834 H0369 H6603 H6616 H5921 H2931 H1931

ふたで上をおおわない器はみな汚れる。

16 וְכֹל֙ אֲשֶׁר־יִגַּ֣ע עַל־פְּנֵ֣י הַשָּׂדֶ֗ה בֶּחָלָל֙ חֶ֣רֶב
そして–すべての ～が 触れる–者は ～の–上で 面の 野の 剣に–よる–殺された–者に 剣の
H3605 H0834 H5060 H5921 H6440 H7704 H2491 H2719

אֹ֚ו בְּמֵ֣ת אֹ֔ו בְּעֶ֥צֶם אָדָ֖ם אֹ֣ו בַּקֶּ֑בֶר יִטְמָ֥א שִׁבְעַ֖ת יָמִֽים׃
あるいは 死人に あるいは 骨に 人の あるいは 墓に 汚れる 七 日間
H0176 H4191 H0176 H6106 H0120 H0176 H6913 H2930 H7651 H3117

つるぎで殺された者、または死んだ者、または人の骨、または墓などに、野外で触れる者は皆、七日のあいだ汚れる。

17 וְלָֽקְח֣וּ לַטָּמֵ֗א מֵעֲפַר֙ שְׂרֵפַ֣ת חַטָּ֔את וְנָתַ֥ן עָלָ֖יו מַ֥יִם חַיִּ֑ים
そして–取れ 汚れた–者の–ために 塵から 焼いた 罪の–捧げ物の そして–注げ その–上に 水を 生きた
H3947 H2931 H6083 H8316 H2403 H5414 H5921 H4325 H2416

כֶּֽלִי׃
器の
H3627

汚れた者があった時には、罪を清める焼いた雌牛の灰を取って器に入れ、流れの水をこれに加え、

18 וְלָקַ֣ח אֵז֔וֹב וְטָבַ֥ל בַּמַּ֖יִם אִ֣ישׁ טָה֑וֹר וְהִזָּ֣ה עַל־הָאֹ֗הֶל
そして–取れ ヒソプを そして–浸せ 水に 人が 清い そして–振りかけよ ～の–上に 幕屋に
H3947 H0231 H2881 H4325 H0376 H2889 H5137 H5921 H0168

וְעַל־כָּל־הַכֵּלִ֣ים וְעַל־הַנְּפָשׁ֡וֹת אֲשֶׁ֣ר שָׁם֩ הָי֨וּ־שָׁ֜ם
そして–～の–上に すべての 器に そして–～の–上に 人々に ～が いた そこに
H5921 H3605 H3627 H5921 H5315 H0834 H1961 H8033

אֹ֚ו בַּקֶּ֔בֶר׃ אֹ֚ו בַּמֵּ֔ת אֹ֚ו בֶּחָלָ֔ל אֹ֚ו בַּעֶ֔צֶם אֹ֚ו בַּנֹּגֵ֔עַ וְעַל־
あるいは 墓に あるいは 死人に あるいは 殺された–者に あるいは 骨に あるいは 触れた–者に そして–～の–上に
H0176 H6913 H0176 H4191 H0176 H2491 H0176 H6106 H0176 H5060 H5921

身の清い者がひとりヒソプを取って、その水に浸し、これをその天幕と、すべての器と、そこにいた人々と、骨、あるいは殺された者、あるいは死んだ者、あるいは墓などに触れた者とにふりかけなければならない。

19 וְהִזָּ֣ה הַטָּהֹ֗ר עַל־הַטְּמֵ֛א בַּיֹּ֥ום הַשְּׁלִישִׁ֖י וּבַיֹּ֣ום הַשְּׁבִיעִ֑י
そして–振りかけよ 清い–者が ～の–上に 汚れた–者に 日に 第三の そして–日に 第七の
H5137 H2889 H5921 H2931 H3117 H7992 H3117 H7637

וְחִטֵּ֤א אֹתֹו֙ בַּיֹּ֣ום הַשְּׁבִיעִ֔י וְכִבֶּ֥ס בְּגָדָ֖יו וְרָחַ֣ץ בַּמַּ֑יִם וְטָהֵ֖ר
そして–清めよ–彼を 日に 第七の そして–洗え 彼の–衣服を そして–洗え 水で そして–清くなる
H2398 H3117 H7637 H3526 H1004 H7364 H4325 H2891

בָּעָֽרֶב׃
夕べに
H6153

すなわちその身の清い人は三日目と七日目とにその汚れたものに、それをふりかけなければならない。そして七日目にその人は身を清め、衣服を洗い、水に身をすすがなければならない。そうすれば夕になって清くなるであろう。

20 וְאִישׁ אֲשֶׁר־יִטְמָא וְלֹא יִתְחַטָּא וְנִכְרְתָה הַנֶּפֶשׁ הַהִוא מִתּוֹךְ הַקָּהָל כִּי אֶת־מִקְדַּשׁ יְהוָה טִמֵּא מֵי נִדָּה לֹא זֹרַק עָלָיו טָמֵא הוּא׃

וְאִישׁ	אֲשֶׁר־	יִטְמָא	וְלֹא	יִתְחַטָּא	וְנִכְרְתָה	הַנֶּפֶשׁ	הַהִוא		
そして–人が	～が	汚れて	そして–ない	身を–清めないなら	そして–断たれる	その–人は	その		
H0376	H0834	H2930	H3808	H2398	H3772	H5315	H1931		
מִתּוֹךְ	הַקָּהָל	כִּי	אֶת־	מִקְדַּשׁ	יְהוָה	טִמֵּא	מֵי	נִדָּה	לֹא
～の–中から	会衆の	なぜなら	（を）	聖所を	主の	汚したのである	水が	清めの	ない
H8432	H6951	H3588	H0853	H4720	H3068	H2930	H4325	H5079	H3808
							עָלָיו	זֹרַק	
							彼の–上に	振りかけられた–ことが	
							H5921	H2236	

しかし、汚れて身を清めない人は主の聖所を汚す者で、その人は会衆のうちから断たれなければならない。汚れを清める水がその身に注ぎかけられないゆえ、その人は汚れているからである。

21 וְהָיְתָה לָהֶם לְחֻקַּת עוֹלָם וּמַזֵּה מֵי־הַנִּדָּה יְכַבֵּס וְהַנֹּגֵעַ בְּמֵי הַנִּדָּה יִטְמָא עַד־הָעָרֶב׃

וְהָיְתָה	לָהֶם	לְחֻקַּת	עוֹלָם	וּמַזֵּה	מֵי־	הַנִּדָּה	יְכַבֵּס		
そして–なる	彼らに–とって	定めとして	永遠の	そして–振りかける–者は	水を	清めの	洗え		
H1961	H0	H2708	H5769		H4325	H5079	H3526		
וְהַנֹּגֵעַ	בְּמֵי	הַנִּדָּה	יִטְמָא	עַד־	הָעָרֶב׃				
そして–触れる–者は	水に	清めの	汚れる	～まで	夕べまで				
H5060	H4325	H5079	H2930	H5704	H6153				
בְּגָדָיו									
彼の–衣服を									

これは彼らの永久に守るべき定めとしなければならない。すなわち汚れを清める水をふりかけた者は衣服を洗わなければならない。また汚れを清める水に触れた者も夕まで汚れるであろう。

22 וְכָל אֲשֶׁר־יִגַּע בּוֹ הַטָּמֵא יִטְמָא וְהַנֶּפֶשׁ הַנֹּגַעַת תִּטְמָא עַד־הָעָרֶב׃ פ

וְכָל	אֲשֶׁר־	יִגַּע	בּוֹ	הַטָּמֵא	יִטְמָא	וְהַנֶּפֶשׁ	הַנֹּגַעַת	תִּטְמָא	
そして–すべての	～に	触れる–ものは	それに	汚れた–者が	汚れる	そして–人は	触れる	汚れる	
H3605	H0834	H5060	H0	H2931	H2930	H5315	H5060	H2930	
עַד־	הָעָרֶב׃	פ							
～まで	夕べまで								
H5704	H6153								

すべて汚れた人の触れる物は汚れる。またそれに触れる人も夕まで汚れるであろう』」。

Chapter 20

1 וַיָּבֹאוּ בְנֵי־כָל־הָעֵדָה מִדְבַּר־צִן בַּחֹדֶשׁ הָרִאשׁוֹן וַיֵּשֶׁב הָעָם בְּקָדֵשׁ וַתָּמָת שָׁם מִרְיָם וַתִּקָּבֵר שָׁם׃

וַיָּבֹאוּ	בְנֵי־	כָל־	הָעֵדָה	מִדְבַּר־	צִן	בַּחֹדֶשׁ	הָרִאשׁוֹן		
そして–来た	子らは	すべての	会衆が	荒野に	ツィンの	月に	第一の		
H0935	H1121	H3605	H5712	H4057	H6790	H2320	H7223		
וַיֵּשֶׁב	הָעָם	בְּקָדֵשׁ	וַתָּמָת	שָׁם	מִרְיָם	וַתִּקָּבֵר	שָׁם׃		
そして–とどまった	民は	カデシュに	そして–死んだ	そこで	ミリアムが	そして–葬られた	そこに		
H3427	H5971	H6946	H4191	H8033	H4813	H6912	H8033		

イスラエルの人々の全会衆は正月になってチンの荒野にはいった。そして民はカデシにとどまったが、ミリアムがそこで死んだので、彼女をそこに葬った。

2 וְלֹא־הָיָה מַיִם לָעֵדָה וַיִּקָּהֲלוּ עַל־מֹשֶׁה וְעַל־אַהֲרֹן׃

וְלֹא־	הָיָה	מַיִם	לָעֵדָה	וַיִּקָּהֲלוּ	עַל־	מֹשֶׁה			
そして–なかった	なかった	水が	会衆に–は	そして–集まった	～に–対して	モーセに			
H3808	H1961	H4325	H5712	H6950	H5921	H4872			
וְעַל־	אַהֲרֹן׃								
そして–～に–対して	アロンに								
H5921	H0175								

そのころ会衆は水が得られなかったため、相集まってモーセとアロンに迫った。

3

וְלוּ	לֵאמֹר	וַיֹּאמְרוּ	מֹשֶׁה	עִם־	הָעָם	וַיָּרֶב
～であれば–よかったのに	言って	そして–言った	モーセと	～と	民は	そして–争った
H3863	H0559	H0559	H4872			H7378

יְהוָה׃	לִפְנֵי	אַחֵינוּ	בְגְוָע	גָוַעְנוּ
主の	～の–前で	私たちの–兄弟たちが	死んだ–ときに	私たちが–死んでいたら
H3068	H6440	H0251	H1478	H1478

すなわち民はモーセと争って言った、「さきにわれわれの兄弟たちが主の前に死んだ時、われわれも死んでいたらよかったものを。

4

הַזֶּה	הַמִּדְבָּר	אֶל־	יְהוָה	קְהַל	אֶת־	הֲבֵאתֶם	וְלָמָּה
この	荒野に	～に	主の	会衆を	（を）	あなたがたは–連れて–来たのか	そして–なぜ
H2088		H0413	H3068	H6951	H0853	H0935	H4100

וּבְעִירֵנוּ׃	אֲנַחְנוּ	שָׁם	לָמוּת
そして–私たちの–家畜が	私たちと	そこで	死ぬ–ために
H1165	H0587	H8033	H4191

なぜ、あなたがたは主の会衆をこの荒野に導いて、われわれと、われわれの家畜とを、ここで死なせようとするのですか。

5

אֶל־	אֹתָנוּ	לְהָבִיא	מִמִּצְרַיִם	הֶעֱלִיתָנוּ		וְלָמָּה
～に	私たちを	連れて–来る–ために	エジプトから	あなたがたは–上らせたのか–私たちを		そして–なぜ
H0413	H0853	H0935	H4714	H5927		H4100

וְרִמֹּון	וְגֶפֶן	וּתְאֵנָה	זֶרַע	מְקוֹם	וְלֹא	הַזֶּה	הָרָע	הַמָּקוֹם
そして–ざくろも	そして–ぶどうも	そして–いちじくも	種の	場所では	ない	この	悪い	場所に
H7416	H1612	H8384	H2233	H4725	H3808	H2088		H4725

לִשְׁתּוֹת׃	אַיִן	וּמַיִם
飲む–ための	ない	そして–水も
H8354	H0369	H4325

どうしてあなたがたはわれわれをエジプトから上らせて、この悪い所に導き入れたのですか。ここには種をまく所もなく、いちじくもなく、ぶどうもなく、ざくろもなく、また飲む水もありません」。

6

מוֹעֵד	אֹהֶל	פֶּתַח	אֶל־	הַקָּהָל	מִפְּנֵי	וְאַהֲרֹן	מֹשֶׁה	וַיָּבֹא
会見の	幕屋の	入口に	～に	会衆の	～の–前から	そして–アロンは	モーセと	そして–来た
H4150	H0168	H6607	H0413	H6951	H6440	H0175	H4872	H0935

פ	:אֲלֵיהֶם	יְהוָה	כְּבוֹד־	וַיֵּרָא	פְּנֵיהֶם	עַל־	וַיִּפְּלוּ
פ	彼らに	主の	栄光が	そして–現れた	彼らの–顔の	～の–上に	そして–ひれ伏した
	H0413	H3068	H3519	H7200	H6440		H5307

そこでモーセとアロンは会衆の前を去り、会見の幕屋の入口へ行ってひれ伏した。すると主の栄光が彼らに現れ、

7

לֵאמֹר׃	מֹשֶׁה	אֶל־	יְהוָה	וַיְדַבֵּר	
言って	モーセに	～に	主は	そして–語った	
H0559	H4872	H0413	H3068	H1696	

主はモーセに言われた、

8

קַח　אֶת־　הַמַּטֶּה　וְהַקְהֵל　אַתָּה　וְאַהֲרֹן　אָחִיךָ
取れ　（を）　杖を　そして-集めよ　あなたと　そして-アロンと　あなたの-兄弟と
H3947　H0853　H4294　H6950　H0853　H0175　H0251

וְדִבַּרְתֶּם　אֶל־　הַסֶּלַע　לְעֵינֵיהֶם　וְנָתַן　מֵימָיו　וְהוֹצֵאתָ　לָהֶם　מַיִם
そして-語れ　～に　岩に　彼らの-目の-前で　そして-出す　その-水を　そして-出せ　彼らに　水を
H1696　H0413　H5553　H5414　H4325　H3318　H4325

וְאֶת־　הָעֵדָה　אֶת־　וְהִשְׁקִיתָ　הַסֶּלַע　מִן־
そして（を）　会衆を　（を）　そして-飲ませよ　岩から　～から
H1165　H0853　H5712　H0853　H8248　H5553

בְּעִירָם׃
彼らの-家畜を
H1165

「あなたは、つえをとり、あなたの兄弟アロンと共に会衆を集め、その目の前で岩に命じて水を出させなさい。こうしてあなたは彼らのために岩から水を出して、会衆とその家畜に飲ませなさい」。

9

וַיִּקַּח　מֹשֶׁה　אֶת־　הַמַּטֶּה　מִלִּפְנֵי　יְהוָה　כַּאֲשֶׁר　צִוָּהוּ׃
そして-取った　モーセは　（を）　杖を　～の-前から　主の　～の-ように　命じた-通りに
H3947　H4872　H0853　H4294　H6440　H3068　H6680

モーセは命じられたように主の前にあるつえを取った。

10

וַיַּקְהִלוּ　מֹשֶׁה　וְאַהֲרֹן　אֶת־　הַקָּהָל　אֶל־　פְּנֵי　הַסֶּלַע
そして-集めた　モーセと　そして-アロンは　（を）　会衆を　～の-前に　面の　岩の
H6950　H4872　H0175　H0853　H6951　H0413　H6440　H5553

נוֹצִיא　הַזֹּה　הַסֶּלַע　הַמִּן־　הַמֹּרִים　נָא　שִׁמְעוּ־　לָהֶם　וַיֹּאמֶר
出せるのか　この　岩から　～から　反逆の-者たちよ　どうか　聞け　彼らに　そして-言った
H3318　H2088　H5553　H4784　H4994　H8085　H0559

מָיִם׃　לָכֶם
水を　あなたがたに
H4325

モーセはアロンと共に会衆を岩の前に集めて彼らに言った、「そむく人たちよ、聞きなさい。われわれがあなたがたのためにこの岩から水を出さなければならないのであろうか」。

11

פַּעֲמָיִם　בְּמַטֵּהוּ　הַסֶּלַע　אֶת־　וַיַּךְ　יָדוֹ　אֶת־　מֹשֶׁה　וַיָּרֶם
二度　彼の-杖で　岩を　（を）　そして-打った　彼の-手を　（を）　モーセは　そして-上げた
H6471　H4294　H5553　H0853　H5221　H3027　H0853　H4872

ס　וּבְעִירָם׃　הָעֵדָה　וַתֵּשְׁתְּ　רַבִּים　מַיִם　וַיֵּצְאוּ
ס　そして-彼らの-家畜が　会衆が　そして-飲んだ　多くの　水が　そして-出た
H1165　H5712　H8354　H4325　H3318

モーセは手をあげ、つえで岩を二度打つと、水がたくさんわき出たので、会衆とその家畜はともに飲んだ。

12

לֹא־　יַעַן　אַהֲרֹן　וְאֶל־　מֹשֶׁה　אֶל־　יְהוָה　וַיֹּאמֶר
ない　～ゆえに　アロンに　そして-～に　モーセに　～に　主は　そして-言った
H3808　H3282　H0175　H0413　H4872　H0413　H3068　H0559

יִשְׂרָאֵל　בְּנֵי　לְעֵינַי　לְהַקְדִּישֵׁנִי　בִּי　הֶאֱמַנְתֶּם
イスラエルの　子らの　目の-前で　聖とする-ために-わたしを　わたしを　信じなかった-ゆえに
H3478　H6942　H0539

לָהֶם׃　נָתַתִּי　אֲשֶׁר־　הָאָרֶץ　אֶל־　הַזֹּה　הַקָּהָל　אֶת־　תָּבִיאוּ　לָא　לָכֵן
彼らに　与えた　わたしが　地に　～に　この　会衆を　（を）　導かない　ない　それゆえに
H5414　H0776　H0413　H2088　H6951　H0853　H0935　H3808

そのとき主はモーセとアロンに言われた、「あなたがたはわたしを信じないで、イスラエルの人々の前にわたしの聖なることを現さなかったから、この会衆をわたしが彼らに与えた地に導き入れることができないであろう」。

13

יְהוָה	אֶת־	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי־	רָבוּ	אֲשֶׁר־	מְרִיבָה	מֵי	הֵמָּה
主と	～と	イスラエルの	子らが	争った	そこで	メリバの	水である	これが
H3068	H0854	H3478		H7378		H4809	H4325	H1992

וַיִּקָּדֵשׁ	בָּם׃	ס	ס
そして–聖とされた	彼らの–中で		
H6942			

これがメリバの水であって、イスラエルの人々はここで主と争ったが、主は自分の聖なることを彼らのうちに現された。

14

אָמַר	כֹּה	אֱדוֹם	מֶלֶךְ	אֶל־	מִקָּדֵשׁ	מַלְאָכִים	מֹשֶׁה	וַיִּשְׁלַח
言った	このように	エドムの	王に	～に	カデシュから	使いを	モーセは	そして–遣わした
H0559	H3541	H0123	H4428	H0413	H6946	H4397	H4872	H7971

אֲשֶׁר	הַתְּלָאָה	כָּל־	אֵת	יָדַעְתָּ	אַתָּה	יִשְׂרָאֵל	אָחִיךָ
それが	苦難を	すべての	（を）	知っている	あなたは	イスラエルは	あなたの–兄弟である
	H8513	H3605	H0853	H3045		H3478	H0251

מְצָאָתְנוּ׃
私たちに–降りかかった
H4672

さて、モーセはカデシからエドムの王に使者をつかわして言った、「あなたの兄弟、イスラエルはこう申します、『あなたはわたしたちが遭遇したすべての患難をご存じです。

15

רַבִּים	יָמִים	בְּמִצְרַיִם	וַנֵּשֶׁב	מִצְרַיְמָה	אֲבֹתֵינוּ	וַיֵּרְדוּ	
多くの	日々を	エジプトに	そして–住んだ	エジプトに	私たちの–先祖が	そして–下った	
	H3117	H4714	H3427	H4714	H0001	H3381	

וְלַאֲבֹתֵינוּ׃	מִצְרַיִם	לָנוּ	וַיָּרֵעוּ
そして–私たちの–先祖を	エジプト人は	私たちを	そして–苦しめた
H0001	H4713		

わたしたちの先祖はエジプトに下って行って、わたしたちは年久しくエジプトに住んでいましたが、エジプトびとがわたしたちと、わたしたちの先祖を悩ましたので、

16

מַלְאָךְ	וַיְשַׁלַּח	קֹלֵנוּ	וַיִּשְׁמַע	יְהוָה	אֶל־	וַנִּצְעַק		
御使いを	そして–遣わした	私たちの–声を	そして–聞いた	主に	～に	そして–叫んだ		
H4397	H7971		H8085	H3068	H0413	H6817		

קְצֵה	עִיר	בְּקָדֵשׁ	אֲנַחְנוּ	וְהִנֵּה	מִמִּצְרָיִם	וַיּוֹצִאֵנוּ	
端の	町に	カデシュに–いる	私たちは	そして–見よ	エジプトから	そして–導き–出した–私たちを	
		H6946	H0587	H2009	H4714	H3318	

גְּבוּלֶךָ׃
あなたの–領土の
H1366

わたしたちが主に呼ばわったとき、主はわたしたちの声を聞き、ひとりの天の使をつかわして、わたしたちをエジプトから導き出されました。わたしたちは今あなたの領地の端にあるカデシの町におります。

17 נַעְבְּרָה־נָּא בְּאַרְצֶךָ לֹא־נַעֲבֹר בִּשָּׂדֶה וּבְכֶרֶם וְלֹא
通らせて–ください どうか あなたの–地を ない 通らない 畑を そして–ぶどう園を そして–ない
H4994 H0776 H3808 H5186 H3754 H3808

נִשְׁתֶּה מַיִם בְּאֵר דֶּרֶךְ הַמֶּלֶךְ נֵלֵךְ לֹא עַד וְשְׂמֹאול
飲まない 水を 井戸の 道を 王の 行く ない ～まで そして–左に
H8354 H4325 H0875 H1870 H4428 H3212 H3808 H5704 H8040

יָמִין נטה לֹא עַד אֲשֶׁר־נַעֲבֹר גְּבוּלֶךָ׃
右に 曲がらない ない ～まで 通り–過ぎる あなたの–領土を
H3225 H5186 H3808 H5704 H1366

どうぞ、わたしたちにあなたの国を通らせてください。わたしたちは畑もぶどう畑も通りません。また井戸の水も飲みません。ただ王の大路を通り、あなたの領地を過ぎるまでは右にも左にも曲りません』」。

18 וַיֹּאמֶר אֵלָיו בְּחֶרֶב לֹא תַעֲבָר בִּי פֶּן־בַּחֶרֶב אֵצֵא לִקְרָאתֶךָ׃
そして–言った 彼に エドムは ない 通っては わたしの–中を さもなくば 剣を–もって 出て–行く あなたを–迎えに
H0559 H0413 H0123 H3808 H5674 H6435 H2719 H3318 H7125

しかし、エドムはモーセに言った、「あなたはわたしの領地をとおってはなりません。さもないと、わたしはつるぎをもって出て、あなたに立ちむかうでしょう」。

19 וַיֹּאמְרוּ אֵלָיו בְּנֵי־יִשְׂרָאֵל בְּמְסִלָּה נַעֲלֶה וְאִם־מֵימֶיךָ נִשְׁתֶּה
そして–言った 彼に 子らは イスラエルの 大路を 上る もし そして– あなたの–水を 飲むなら
H0559 H0413 H1121 H3478 H4546 H5927 H0518 H4325 H8354

אֲנִי וּמִקְנַי וְנָתַתִּי כַּסְפָּם רַק אֵין־דָּבָר בְּרַגְלַי אֶעְבְּרָה׃
私と そして–私の–家畜が そして–払う その–代金を ただ ない– ことは 徒歩で 通り–過ぎたい
H0589 H4735 H5414 H4377 H7535 H0369 H1697 H7272 H5674

イスラエルの人々はエドムに言った、「わたしたちは大路を通ります。もしわたしたちとわたしたちの家畜とが、あなたの水を飲むことがあれば、その価を払います。わたしは徒歩で通るだけですから何事もないでしょう」。

20 וַיֹּאמֶר לֹא תַעֲבֹר וַיֵּצֵא אֵדוֹם לִקְרָאתוֹ בְּעַם כָּבֵד וּבְיָד חֲזָקָה׃
そして–言った ない 通っては そして–出て–来た エドムは 彼を–迎えに 民と–共に 大勢の そして–手で 強い
H0559 H3808 H5674 H3318 H0123 H7125 H5971 H3515 H3027 H2389

しかし、エドムは「あなたは通ることはなりません」と言って、多くの民と強い軍勢とを率い、出て、これに立ちむかってきた。

21 וַיְמָאֵן אֱדוֹם נְתֹן אֶת־יִשְׂרָאֵל עֲבֹר בִּגְבֻלוֹ וַיֵּט מֵעָלָיו׃ פ
そして–拒んだ エドムは 与える–ことを （を） イスラエルに 通る–ことを 彼の–領土を そして–曲がった 彼から–離れて
H3985 H0123 H5414 H0853 H3478 H5674 H1366 H5186 H4480

このようにエドムはイスラエルに、その領地を通ることを拒んだので、イスラエルはエドムからほかに向かった。

22 וַיִּסְעוּ מִקָּדֵשׁ וַיָּבֹאוּ בְנֵי־יִשְׂרָאֵל כָּל־הָעֵדָה הֹר׃
そして–出発した カデシュから そして–来た 子らは イスラエルの すべての 会衆が ホルに
H5265 H6946 H0935 H3478 H3605 H5712 H2023

הָהָר׃
山の
H2022

こうしてイスラエルの人々の全会衆はカデシから進んでホル山に着いた。

23 וַיֹּאמֶר יְהוָה אֶל־מֹשֶׁה וְאֶל־אַהֲרֹן בְּהֹר הָהָר עַל־גְּבוּל אֶרֶץ־אֱדוֹם לֵאמֹר׃
そして–言った 主は ～に モーセに そして–～に アロンに ホルで 山の ～の–上で 境の 地の エドムの 言って
H0559 H3068 H0413 H4872 H0413 H0175 H2023 H2022 H5921 H1366 H0776 H0123 H0559

主はエドムの国境に近いホル山で、モーセとアロンに言われた、

24 יֵאָסֵף אַהֲרֹן אֶל־עַמָּיו כִּי לֹא יָבֹא אֶל־הָאָרֶץ אֲשֶׁר
加えられる アロンは ～に 彼の–民に なぜなら ない 入らない ～に 地に わたしが
H0622 H0175 H0413 H5971 H3588 H3808 H0935 H0413 H0776 H0834

נָתַתִּי לִבְנֵי יִשְׂרָאֵל עַל אֲשֶׁר־מְרִיתֶם אֶת־פִּי
与えた 子らに イスラエルの ～の–ゆえに あなたがたが 逆らった–ことの （を） わたしの–命令に
H5414 H1121 H3478 H5921 H834 H4784 H853 H6310

לְמֵי מְרִיבָה׃
水の–ところで メリバの
H4325 H4809

「アロンはその民に連ならなければならない。彼はわたしがイスラエルの人々に与えた地に、はいることができない。これはメリバの水で、あなたがたがわたしの言葉にそむいたからである。

25 קַח אֶת־אַהֲרֹן וְאֶת־אֶלְעָזָר בְּנוֹ וְהַעַל אֹתָם
取れ （を） アロンを そして（を） エルアザルを 彼の–息子を そして–上らせよ 彼らを
H3947 H853 H175 H853 H499 H1121 H5927 H853

הֹר הָהָר׃
ホルに 山の
H2023 H2022

あなたはアロンとその子エレアザルを連れてホル山に登り、

26 וְהַפְשֵׁט אֶת־אַהֲרֹן אֶת־בְּגָדָיו וְהַלְבַּשְׁתָּם אֶת־אֶלְעָזָר בְּנוֹ וְאַהֲרֹן יֵאָסֵף וָמֵת שָׁם׃
そして–脱がせ （を） アロンから （を） 彼の–衣服を そして–着せよ–それらを （を） 彼の–息子に そして–アロンは 加えられる そして–死ぬ そこで
H6584 H853 H175 H853 H899 H3847 H853 H1121 H175 H622 H4191 H8033

アロンに衣服を脱がせて、それをその子エレアザルに着せなさい。アロンはそのところで死んで、その民に連なるであろう」。

27 וַיַּעַשׂ מֹשֶׁה כַּאֲשֶׁר צִוָּה יְהוָה וַיַּעֲלוּ אֶל־הָהָר הָר
そして-行った モーセは ～の-ように 命じた 主が そして-上った ～に ホルに 山の
H6680 H4872 H3068 H5927 H0413 H2023 H2022

לְעֵינֵי כָּל־הָעֵדָה׃
目の-前で すべての 会衆の
H3605 H5712

モーセは主が命じられたとおりにし、連れだって全会衆の目の前でホル山に登った。

28 וַיַּפְשֵׁט מֹשֶׁה אֶת־אַהֲרֹן אֶת־בְּגָדָיו וַיַּלְבֵּשׁ אֶת־אֶלְעָזָר בְּנוֹ
そして-脱がせた モーセは （を） アロンから （を） 彼の-衣服を そして-着せた （を） それらを
H6584 H4872 H0853 H0175 H0853 H3847 H0853

וְאַהֲרֹן יָמֹת שָׁם בְּרֹאשׁ הָהָר וַיֵּרֶד מֹשֶׁה וְאֶלְעָזָר מִן־הָהָר׃
そして-エルアザルに 彼の-息子に そして-死んだ アロンは そこで 頂の-上で 山の 山から ～から そして-エルアザルは モーセと そして-下った
H0499 H1121 H4191 H0175 H8033 H7218 H2022 H4480 H0499 H4872 H3381

そしてモーセはアロンに衣服を脱がせ、それをその子エレアザルに着せた。アロンはその山の頂で死んだ。そしてモーセとエレアザルは山から下ったが、

29 וַיִּרְאוּ כָּל־הָעֵדָה כִּי גָוַע אַהֲרֹן וַיִּבְכּוּ אֶת־אַהֲרֹן שְׁלֹשִׁים יוֹם כָּל־בֵּית יִשְׂרָאֵל׃ ס
そして-見た すべての 会衆は それを 息絶えた-ことを アロンが そして-泣いた （を） ス
H7200 H3605 H5712 H3588 H1478 H0175 H1058 H0853

アロンの-ために 三十 日間 すべての 家が イスラエルの
H0175 H7970 H3117 H3605 H1004 H3478

全会衆がアロンの死んだのを見たとき、イスラエルの全家は三十日の間アロンのために泣いた。

Chapter 21

1 וַיִּשְׁמַע הַכְּנַעֲנִי מֶלֶךְ־עֲרָד יֹשֵׁב הַנֶּגֶב כִּי בָּא יִשְׂרָאֵל דֶּרֶךְ הָאֲתָרִים וַיִּלָּחֶם בְּיִשְׂרָאֵל וַיִּשְׁבְּ מִמֶּנּוּ שֶׁבִי׃
そして-聞いた カナン人が 王-である アラドの 住む ネゲブに 来た-ことを それを 捕虜を 彼らから そして-捕らえた
H8085 H3669 H4428 H6166 H3427 H5045 H0935 H3588 H7628 H4480 H7617

イスラエルが 道を アタリムの そして-戦った イスラエルと
H3478 H1870 H0871 H3478

時にネゲブに住んでいたカナンびとアラデの王は、イスラエルがアタリムの道をとおって来ると聞いて、イスラエルを攻撃し、そのうちの数人を捕虜にした。

2 וַיִּדַּר יִשְׂרָאֵל נֶדֶר לַיהוָה וַיֹּאמַר אִם־נָתֹן תִּתֵּן אֶת־הָעָם הַזֶּה בְּיָדִי וְהַחֲרַמְתִּי אֶת־עָרֵיהֶם׃
そして-誓った イスラエルは 誓いを 主に そして-言った もし 必ず 与えるなら （を） 民を この 私の-手に そして-全滅させる （を） 彼らの-町を
H5087 H3478 H5088 H3068 H0559 H0518 H5414 H0853 H5971 H2088 H3027 H2763 H0853 H5892

そこでイスラエルは主に誓いを立てて言った、「もし、あなたがこの民をわたしの手にわたしてくださるならば、わたしはその町々をことごとく滅ぼしましょう」。

וַיִּשְׁמַע יְהוָה בְּקוֹל יִשְׂרָאֵל וַיִּתֵּן אֶת־הַכְּנַעֲנִי וַיַּחֲרֵם 3
そして–聞いた 主は 声に イスラエルの そして–与えた （を） カナン人を そして–全滅させた
H8085 H3068 H0853 H5414 H3478 H0853

וַיִּקְרָא שֵׁם־הַמָּקוֹם הָהִרְמָה׃ פ
そして–呼んだ 名を その–場所の ホルマと
H7121 H8034 H4725 H2767

וְאֶת־עָרֵיהֶם וַיִּקְרָא שֵׁם־הַמָּקוֹם הָהִרְמָה׃ פ
そして（を） 彼らの–町を そして–呼んだ 名を その–場所の ホルマと
H0853 H7121 H8034 H4725 H2767

主はイスラエルの言葉を聞きいれ、カナンびとをわたされたので、イスラエルはそのカナンびとと、その町々とをことごとく滅ぼした。それでその所の名はホルマと呼ばれた。

וַיִּסְּעוּ מֵהָר הָהָר דֶּרֶךְ יַם־סוּף לִסְבֹב אֶת־אֶרֶץ 4
そして–出発した ホルから 山から 道を 海の 葡萄の 迂回する–ために （を） 地を
H5265 H2023 H2022 H1870 H3220 H5488 H5437 H0853 H0776

אֱדוֹם וַתִּקְצַר נֶפֶשׁ־הָעָם בַּדָּרֶךְ׃
エドムの そして–短くなった 魂が 民の 道で
H0123 H5315 H1870

民はホル山から進み、紅海の道をとおって、エドムの地を回ろうとしたが、民はその道に堪えがたくなった。

וַיְדַבֵּר הָעָם בֵּאלֹהִים וּבְמֹשֶׁה לָמָּה הֶעֱלִיתֻנוּ 5
そして–語った 民は 神に–対して そして–モーセに–対して なぜ 上らせたのか–私たちを
H1696 H0430 H4872 H4100 H5927

מִמִּצְרַיִם לָמוּת בַּמִּדְבָּר כִּי אֵין לֶחֶם וְאֵין מַיִם
エジプトから 死ぬ–ために 荒野で なぜなら ない パンが そして–ない 水が
H4714 H4191 H0369 H3899 H0369 H4325

וְנַפְשֵׁנוּ קָקְטָה בַּלֶּחֶם הַקְּלֹקֵל׃
そして–私たちの–魂は うんざりしている パンに 粗末な
H5315 H6973 H3899 H7052

民は神とモーセとにむかい、つぶやいて言った、「あなたがたはなぜわたしたちをエジプトから導き上って、荒野で死なせようとするのですか。ここには食物もなく、水もありません。わたしたちはこの粗悪な食物はいやになりました」。

וַיְשַׁלַּח יְהוָה בָּעָם אֶת הַנְּחָשִׁים הַשְּׂרָפִים וַיְנַשְּׁכוּ אֶת־הָעָם 6
そして–遣わした 主は 民の–中に （を） 蛇を 燃える そして–噛んだ 民を （を）
H7971 H3068 H0853 H5175 H8314 H0853

וַיָּמָת עַם־רָב מִיִּשְׂרָאֵל׃
そして–死んだ 民が 多くの イスラエルから
H4191 H5971 H7227 H3478

そこで主は、火のへびを民のうちに送られた。へびは民をかんだので、イスラエルの民のうち、多くのものが死んだ。

7 וַיָּבֹא֙ הָעָ֔ם אֶל־מֹשֶׁ֖ה וַיֹּאמְר֣וּ חָטָ֔אנוּ כִּֽי־
そして-来た 民は ～に モーセの-もとに そして-言った 私たちは-罪を-犯した なぜなら
H0935 H0413 H4872 H0559 H2398

דִבַּ֤רְנוּ בַֽיהוָה֙ וָבָ֔ךְ הִתְפַּלֵּ֖ל אֶל־יְהוָ֑ה
語った-からである 主に-対して そして-あなたに 祈ってください ～に 主に
H1696 H3068 H6419 H0413 H3068

וַיִּתְפַּלֵּ֥ל מֹשֶׁ֖ה בְּעַ֣ד הָעָֽם׃ וַיְסֵר֙ מֵעָלֵ֔ינוּ אֶת־הַנָּחָ֖שׁ
そして-祈った モーセは ～の-ために 民の 取り除いてください 私たちの-上から （を） 蛇を
H6419 H4872 H1157 H5493 H5175 H0853

民はモーセのもとに行って言った、「わたしたちは主にむかい、またあなたにむかい、つぶやいて罪を犯しました。どうぞへびをわたしたちから取り去られるように主に祈ってください」。モーセは民のために祈った。

8 וַיֹּ֤אמֶר יְהוָה֙ אֶל־מֹשֶׁ֔ה עֲשֵׂ֥ה לְךָ֖ שָׂרָ֑ף וְשִׂ֤ם אֹתוֹ֙
そして-言った 主は ～に モーセに 作れ あなたの-ために 燃える-蛇を そして-置け それを
H0559 H3068 H0413 H4872 H6213 H7565 H7760 H0853

וְהָיָ֗ה כָּל־הַנָּשׁוּךְ֙ וְרָאָ֣ה אֹת֔וֹ וָחָֽי׃
そして-なった すべての 噛まれた-者が そして-見るなら それを そして-生きる
H1961 H3605 H5391 H7200 H0853 H2425

そこで主はモーセに言われた、「火のへびを造って、それをさおの上に掛けなさい。すべてのかまれた者が仰いで、それを見るならば生きるであろう」。

9 וַיַּ֣עַשׂ מֹשֶׁ֔ה נְחַ֥שׁ נְחֹ֖שֶׁת וַיְשִׂמֵ֑הוּ עַל־הַנֵּ֔ס וְהָיָ֕ה
そして-作った モーセは 蛇を 青銅の そして-置いた-それを ～の-上に 旗竿の そして-なった
H6213 H4872 H5175 H5178 H7760 H5251 H1961

אִם־נָשַׁ֤ךְ נָחָשׁ֙ אֶל־אִ֣ישׁ וְהִבִּ֔יט וָחָ֖י
もし 噛んだなら 蛇が 人を （を） 蛇を ～を そして-見つめるなら そして-生きた
H5391 H5175 H0376 H0853 H5175 H0413 H5027 H2425

モーセは青銅で一つのへびを造り、それをさおの上に掛けて置いた。すべてへびにかまれた者はその青銅のへびを仰いで見て生きた。

10 וַיִּסְע֥וּ בְנֵֽי־יִשְׂרָאֵ֖ל וַיַּחֲנ֥וּ בְאֹֽבֹת׃
そして-出発した 子らは イスラエルの そして-宿営した オボトに
H5265 H1121 H3478 H2583 H0088

イスラエルの人々は道を進んでオボテに宿営した。

11 וַיִּסְע֖וּ מֵאֹבֹ֑ת וַיַּחֲנ֣וּ בְּעִיֵּ֣י הָעֲבָרִ֔ים בַּמִּדְבָּ֕ר אֲשֶׁ֖ר
そして-出発した オボトから そして-宿営した イエ-アバリムに 荒野に それは
H5265 H0088 H2583 H5863 H4057 H0834

עַל־פְּנֵ֥י מוֹאָ֖ב מִמִּזְרַ֥ח הַשָּֽׁמֶשׁ׃
～の-上に 面の モアブの 日の-出の-方から 太陽の
H5921 H6440 H4124 H4217 H8121

またオボテから進んで東の方、モアブの前にある荒野において、イエアバリムに宿営した。

12 מִשָּׁ֖ם נָסָ֑עוּ וַיַּחֲנ֖וּ בְּנַ֥חַל זָֽרֶד׃
そこから 出発した そして-宿営した 谷に ゼレドの
H8033 H5265 H2583 H5158 H2218

またそこから進んでゼレデの谷に宿営し、

13 מִשָּׁם נָסָעוּ וַיַּחֲנוּ בְּעֵבֶר אַרְנֹן אֲשֶׁר בַּמִּדְבָּר הַיֹּצֵא מִגְּבוּל הָאֱמֹרִי כִּי אַרְנֹן גְּבוּל מוֹאָב בֵּין מוֹאָב וּבֵין הָאֱמֹרִי׃

そこから 出発した 向こう–側に アルノンの それは 荒野に–ある 出て–いる
H5265 H5676 H0769 H0834 H4057 H3318

そして–宿営した
H2583

境から アモリ人の なぜなら アルノンは 境である モアブの モアブと
H1366 H0567 H3588 H0769 H1366 H4124 H0996

アモリ人の そして–〜の–間の
H0567 H0996

さらにそこから進んでアルノン川のかなたに宿営した。アルノン川はアモリびとの境から延び広がる荒野を流れるもので、モアブとアモリびととの間にあって、モアブの境をなしていた。

14 עַל־כֵּן יֵאָמַר בְּסֵפֶר מִלְחֲמֹת יְהוָה אֶת־וָהֵב בְּסוּפָה וְהַנְּחָלִים אַרְנֹן׃

それ–ゆえに そのように 言われる 書に 戦いの 主の （を） ワヘブを スファで
H5921 H3651 H0559 H5612 H4421 H3068 H0853 H2052 H5492

そして（を） 谷を アルノンの
H0853 H5158 H0769

15 וְאֶשֹׁד הַנְּחָלִים אֲשֶׁר נָטָה לְשֶׁבֶת עָר וְנִשְׁעַן לִגְבוּל מוֹאָב׃

そして–斜面を 谷の それは 延びる 住居に–向かって アルの そして–もたれかかる 境に モアブの
H0793 H5158 H0834 H5186 H3427 H6144 H8172 H1366 H4124

谷々の斜面、アルの町まで傾き、モアブの境に寄りかかる」。

16 וּמִשָּׁם בְּאֵרָה הִוא הַבְּאֵר אֲשֶׁר אָמַר יְהוָה לְמֹשֶׁה אֱסֹף אֶת־הָעָם וְאֶתְּנָה לָהֶם מָיִם׃ ס

そして–そこから ベエルへ それは 井戸である それに–ついて 言った 主が モーセに 集めよ 民を （を） 与える そして–彼らに 水を
H8033 H0876 H1931 H0875 H0834 H0559 H3068 H4872 H0622 H5971 H0853 H5414 H0853 H4325

彼らはそこからベエルへ進んで行った。これは主がモーセにむかって、「民を集めよ。わたしはかれらに水を与えるであろう」と言われた井戸である。

17 אָז יָשִׁיר יִשְׂרָאֵל אֶת־הַשִּׁירָה הַזֹּאת עֲלִי בְאֵר עֲנוּ־לָהּ׃

その–時 歌った イスラエルは （を） 歌を この 湧け 井戸よ 歌え それに
H0227 H7891 H3478 H0853 H7892 H2063 H5927 H0875 H6030 H0853

その時イスラエルはこの歌をうたった。「井戸の水よ、わきあがれ、人々よ、この井戸のために歌え、

18 בְּאֵר חָפָרוּהָ שָׂרִים כָּרוּהָ נְדִיבֵי הָעָם בְּמְחֹקֵק בְּמִשְׁעֲנֹתָם וּמִמִּדְבָּר מַתָּנָה׃

井戸よ 掘った–それを 首領たちが 掘った–それを 高貴な–者たちが 民の 笠の–竿で 彼らの–杖で そして–荒野から マタナへ
H0875 H2658 H8269 H3738 H5081 H5971 H2710 H4938 H4980

笏とつえとをもってつかさたちがこの井戸を掘り、民のおさたちがこれを掘った」。そして彼らは荒野からマッタナに進み、

	בָּמוֹת׃	וּמִנַּחֲלִיאֵל	נַחֲלִיאֵל	וּמִמַּתָּנָה	19
	バモトへ	そして-ナハリエルから	ナハリエルへ	そして-マタナから	
	H1120	H5160	H5160	H4980	

マッタナからナハリエルに、ナハリエルからバモテに、

וְנִשְׁקְפָה	הַפִּסְגָּה	רֹאשׁ	מוֹאָב	בִּשְׂדֵה	אֲשֶׁר	הַגַּיְא	וּמִבָּמוֹת	20
そして-見渡せる	ピスガの	頂きに	モアブの	野に-ある	それは	谷へ	そして-バモトから	
H8259	H6449		H4124			H1516	H1120	

פ	הַיְשִׁימֹן׃	פְּנֵי	עַל־
פ	荒野の	面の	～の-上に
	H3452	H6440	

バモテからモアブの野にある谷に行き、荒野を見おろすピスガの頂に着いた。

לֵאמֹר׃	הָאֱמֹרִי	מֶלֶךְ־	סִיחֹן	אֶל־	מַלְאָכִים	יִשְׂרָאֵל	וַיִּשְׁלַח	21
言って	アモリ人の	王-である	シホンに	～に	使いを	イスラエルは	そして-遣わした	
H0559	H0567	H4428	H5511	H0413	H4397	H3478	H7971	

ここでイスラエルはアモリびとの王シホンに使者をつかわして言わせた、

נִשְׁתֶּה	לֹא	וּבְכֶרֶם	בְּשָׂדֶה	נִטֶּה	לֹא	בְּאַרְצֶךָ	אֶעְבְּרָה	22
飲まない	ない	そして-ぶどう園に	畑に	曲がらない	ない	あなたの-地を	通らせてください	
H8354	H3808	H3754		H5186	H3808	H0776		

גְּבֻלֶךָ׃	נַעֲבֹר	אֲשֶׁר־	עַד	נֵלֵךְ	הַמֶּלֶךְ	בְּדֶרֶךְ	בְּאֵר	מַיִם
あなたの-領土を	通り-過ぎる	～まで	～まで	行く	王の	道を	井戸の	水を
H1366			H5704	H3212	H4428	H1870	H0875	H4325

「わたしにあなたの国を通らせてください。わたしたちは畑にもぶどう畑にも、はいりません。また井戸の水も飲みません。わたしたちはあなたの領地を通り過ぎるまで、ただ王の大路を通ります」。

בִּגְבֻלוֹ׃	עֲבֹר	יִשְׂרָאֵל	אֶת־	סִיחֹן	נָתַן	וְלֹא־	23
彼の-領土を	通る-ことを	イスラエルに	（を）	シホンは	与えなかった	そして-ない	
H1366		H3478	H0853	H5511	H5414	H3808	

יִשְׂרָאֵל	לִקְרַאת	וַיֵּצֵא	עַמּוֹ	כָּל־	אֶת־	סִיחֹן	וַיֶּאֱסֹף
イスラエルを	迎えに	そして-出た	彼の-民を	すべての	（を）	シホンは	そして-集めた
H3478	H7125	H3318		H3605	H0853	H5511	H0622

בְּיִשְׂרָאֵל׃	וַיִּלָּחֶם	יָהְצָה	וַיָּבֹא	הַמִּדְבָּרָה
イスラエルと	そして-戦った	ヤハツに	そして-来た	荒野に
H3478		H3096	H0935	

しかし、シホンはイスラエルに自分の領地を通ることを許さなかった。そしてシホンは民をことごとく集め、荒野に出て、イスラエルを攻めようとし、ヤハズにきてイスラエルと戦った。

אַרְצוֹ	אֶת־	וַיִּירַשׁ	חָרֶב	לְפִי־	יִשְׂרָאֵל	וַיַּכֻּהוּ	24
彼の-地を	（を）	そして-占領した	剣の	剣の-刃で	イスラエルは	そして-打った-彼を	
H0776	H0853	H3423	H2719	H6310	H3478	H5221	

בְּנֵי	גְּבוּל	עֹז	כִּי	עַמּוֹן	בְּנֵי	עַד־	יַבֹּק	עַד־	מֵאַרְנֹן
子らの	境が	強かった	なぜなら	アンモンの	子らの	～まで	ヤボクまで	～まで	アルノンから
	H1366	H5794		H5983		H5704	H2999	H5704	H0769

עַמּוֹן׃
アンモンの
H5983

イスラエルは、やいばで彼を撃ちやぶり、アルノンからヤボクまで彼の地を占領し、アンモンびとの境に及んだ。ヤゼルはアンモンびとの境だからである。

25 וַיִּקַּח יִשְׂרָאֵל אֶת־כָּל־הָעָרִים הָאֵלֶּה וַיֵּשֶׁב יִשְׂרָאֵל בְּכָל־עָרֵי הָאֱמֹרִי בְּחֶשְׁבּוֹן וּבְכָל־בְּנֹתֶיהָ׃

יִשְׂרָאֵל	וַיֵּשֶׁב	הָאֵלֶּה	הֶעָרִים	כָּל־	אֶת	יִשְׂרָאֵל	וַיִּקַּח	25
イスラエルは	そして–住んだ	これらの	町を	すべての	（を）	イスラエルは	そして–取った	
H3478	H3427	H0428		H3605	H0853	H3478	H3947	
בְּנֹתֶיהָ׃	וּבְכָל־	בְּחֶשְׁבּוֹן	הָאֱמֹרִי	עָרֵי	בְּכָל־			
その–属する–町に	そして–すべての	ヘシボンに	アモリ人の	町に	すべての			
H1323	H3605	H2809	H0567		H3605			

こうしてイスラエルはこれらの町々をことごとく取った。そしてイスラエルはアモリびとのすべての町々に住み、ヘシボンとそれに附属するすべての村々にいた。

26 כִּי עִיר חֶשְׁבּוֹן הִוא עִיר סִיחֹן מֶלֶךְ הָאֱמֹרִי הַהוּא וְהוּא נִלְחַם בְּמֶלֶךְ

כִּי	עִיר	חֶשְׁבּוֹן	עִיר	סִיחֹן	מֶלֶךְ	הָאֱמֹרִי	הַהוּא	וְהוּא	נִלְחַם	בְּמֶלֶךְ	26
なぜなら	町である	ヘシボンは		シホンの	王の	アモリ人の	それは	そして–彼は	戦った	王と	
		H2809		H5511	H4428	H0567	H1931	H1931		H4428	

מוֹאָב הָרִאשׁוֹן וַיִּקַּח אֶת־כָּל־אַרְצוֹ מִיָּדוֹ עַד־אַרְנֹן׃

מוֹאָב	הָרִאשׁוֹן	וַיִּקַּח	אֶת־	כָּל־	אַרְצוֹ	מִיָּדוֹ	עַד־	אַרְנֹן׃
モアブの	前の	そして–取った	（を）	すべての	彼の–地を	彼の–手から	～まで	アルノンまで
H4124	H7223	H3947	H0853	H3605	H0776	H3027	H5704	H0769

ヘシボンはアモリびとの王シホンの都であって、シホンはモアブの以前の王と戦って、彼の地をアルノンまで、ことごとくその手から奪い取ったのである。

27 עַל־כֵּן יֹאמְרוּ הַמֹּשְׁלִים בָּאוּ חֶשְׁבּוֹן תִּבָּנֶה וְתִכּוֹנֵן עִיר סִיחֹן׃

עַל־	כֵּן	יֹאמְרוּ	הַמֹּשְׁלִים	בָּאוּ	חֶשְׁבּוֹן	תִּבָּנֶה	וְתִכּוֹנֵן	27
それ–ゆえに	そのように	言う	謡い–手たちは	来よ	ヘシボンに	建てられよ	そして–堅くされよ	
		H0559		H0935	H2809	H1129		
עִיר	סִיחֹן׃							
町は	シホンの							
	H5511							

それゆえに歌にうたわれている。「人々よ、ヘシボンにきたれ、シホンの町を築き建てよ。

28 כִּי־אֵשׁ יָצְאָה מֵחֶשְׁבּוֹן לֶהָבָה מִקִּרְיַת סִיחֹן אָכְלָה עָר מוֹאָב בַּעֲלֵי בָּמוֹת אַרְנֹן׃

כִּי־	אֵשׁ	יָצְאָה	מֵחֶשְׁבּוֹן	לֶהָבָה	מִקִּרְיַת	סִיחֹן	אָכְלָה	עָר	מוֹאָב		28
なぜなら	火が	出た	ヘシボンから	炎が	町から	シホンの	食い尽くした	アルを	モアブの		
	H0784	H3318	H2809	H3852	H7151	H5511	H0398	H6144	H4124		
בַּעֲלֵי	בָּמוֹת	אַרְנֹן׃									
主たちを	高き–所の	アルノンの									
H1167	H1116	H0769									

ヘシボンから火が燃え出し、シホンの都から炎が出て、モアブのアルを焼き尽し、アルノンの高地の君たちを滅ぼしたからだ。

29 אוֹי־לְךָ מוֹאָב אָבַדְתָּ עַם־כְּמוֹשׁ נְתַן בָּנָיו וּבְנֹתָיו בַּשְׁבִית לְמֶלֶךְ אֱמֹרִי סִיחֹן׃

אוֹי־	לְךָ	מוֹאָב	אָבַדְתָּ	עַם־	כְּמוֹשׁ	נְתַן	בָּנָיו				29
わざわいだ	あなたに	モアブよ	滅びた	民よ	ケモシュの	与えた	彼の–息子たちを				
H0188		H4124	H0006		H3645	H5414					
פְּלֵיטִם	וּבְנֹתָיו	בַּשְׁבִית	לְמֶלֶךְ	אֱמֹרִי	סִיחֹן׃						
逃れた–者として	そして–彼の–娘たちを	捕虜として	王に	アモリ人の	シホンに						
	H1323		H4428	H0567	H5511						

モアブよ、お前はわざわいなるかな、ケモシの民よ、お前は滅ぼされるであろう。彼は、むすこらを逃げ去らせ、娘らをアモリびとの王シホンの捕虜とならせた。

30

עַד־	וַנַּשִּׁם	דִּיבֹן	עַד־	חֶשְׁבּוֹן	אָבַד	וַנִּירֶם
～まで	そして–荒らした	ディボンまで	～まで	ヘシボンは	滅びた	そして–私たちは–射った–彼らを
H5704	H8074	H1769	H5704	H2809	H0006	

מֵידְבָא׃	עַד־	אֲשֶׁר	נֹפַח
メデバまで	～まで	それは	ノパフまで
H4311	H5704		H5302

彼らの子らは滅び去った、ヘシボンからデボンまで。われわれは荒した、火はついてメデバに及んだ」。

31

הָאֱמֹרִי׃	בְּאֶרֶץ	יִשְׂרָאֵל	וַיֵּשֶׁב
アモリ人の	地に	イスラエルは	そして–住んだ
H0567	H0776	H3478	H3427

こうしてイスラエルはアモリびとの地に住んだが、

32

בְּנֹתֶיהָ	וַיִּלְכְּדוּ	יַעְזֵר	אֶת־	לְרַגֶּל	מֹשֶׁה	וַיִּשְׁלַח
その–属する–町を	そして–捕らえた	ヤエゼルを	（を）	偵察する–ために	モーセは	そして–遣わした
H1323	H3920	H3270	H0853	H7270	H4872	H7971

שָׁם׃	אֲשֶׁר־	הָאֱמֹרִי	אֶת־	(וַיּוֹרֶשׁ)	[ויירש]
そこに	そこに–いた	アモリ人を	（を）	そして–追い–出した	そして–追い–出した
H8033		H0567	H0853	H3423	H3423

モーセはまた人をつかわしてヤゼルを探らせ、ついにその村々を取って、そこにいたアモリびとを追い出し、

33

מֶלֶךְ־	עוֹג	וַיֵּצֵא	הַבָּשָׁן	דֶּרֶךְ	וַיַּעֲלוּ	וַיִּפְנוּ
王–である	オグが	そして–出て–来た	バシャンの	道を	そして–上った	そして–向きを–変えた
H4428	H5747	H3318	H1316	H1870	H5927	H6437

אֶדְרֶעִי׃	לַמִּלְחָמָה	עַמּוֹ	וְכָל־	הוּא	לִקְרָאתָם	הַבָּשָׁן
エドレイで	戦いの–ために	彼の–民が	そして–すべての	彼と	迎えに–彼らを	バシャンの
H0154	H4421		H3605	H1931	H7125	H1316

転じてバシャンの道に上って行ったが、バシャンの王オグは、その民をことごとく率い、エデレイで戦おうとして出迎えた。

34

בְיָדֶךָ	כִּי	אֹתוֹ	תִירָא	אַל־	מֹשֶׁה	אֶל־	יְהוָה	וַיֹּאמֶר
あなたの–手に	なぜなら	彼を	恐れるな	ない	モーセに	～に	主は	そして–言った
H3027		H0853	H3372	H0408	H4872	H0413	H3068	H0559

וְעָשִׂיתָ	אַרְצוֹ	וְאֶת־	עַמּוֹ	כָּל־	וְאֶת־	אֹתוֹ	נָתַתִּי
そして–行え	彼の–地を	そして（を）	彼の–民を	すべての	そして（を）	彼を	わたしは–与えた
	H0776	H0853		H3605	H0853	H0853	H5414

בְּחֶשְׁבּוֹן׃	יוֹשֵׁב	אֲשֶׁר	הָאֱמֹרִי	מֶלֶךְ	לְסִיחֹן	עָשִׂיתָ	כַּאֲשֶׁר	לּוֹ
ヘシボンに	住んでいた	彼が	アモリ人の	王の	シホンに	行った	～の–ように	彼に
H2809	H3427		H0567	H4428	H5511			

主はモーセに言われた、「彼を恐れてはならない。わたしは彼とその民とその地とを、ことごとくあなたの手にわたす。あなたはヘシボンに住んでいたアモリびとの王シホンにしたように彼にもするであろう」。

35

עַמּוֹ	כָּל־	וְאֶת־	בָּנָיו	וְאֶת־	אֹתוֹ	וַיַּכּוּ
彼の–民を	すべての	そして（を）	彼の–息子たちを	そして（を）	彼を	そして–打ち–殺した
	H3605	H0853		H0853	H0853	H5221

אַרְצוֹ׃	אֶת־	וַיִּירְשׁוּ	שָׂרִיד	לוֹ	הִשְׁאִיר־	בִּלְתִּי	עַד־
彼の–地を	（を）	そして–占領した	生き残りが	彼に	残らない–ほどに	～ない–ほどに	～まで
H0776	H0853	H3423	H8300		H7604	H1115	H5704

そこで彼とその子とすべての民とを、ひとり残らず撃ち殺して、その地を占領した。

Chapter 22

מֵעֵבֶר	מוֹאָב	בְּעַרְבוֹת	וַיַּחֲנוּ	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי	וַיִּסְעוּ	1
向こう–側に	モアブの	平野に	そして–宿営した	イスラエルの	子らは	そして–出発した	
H5676	H4124	H6160	H2583	H3478		H5265	

ס	יְרֵחוֹ׃	לִירַדֵּן	
ס	エリコの	ヨルダンの	
	H3405	H3383	

さて、イスラエルの人々はまた道を進んで、エリコに近いヨルダンのかなたのモアブの平野に宿営した。

עָשָׂה	אֲשֶׁר־	כֹּל־	אֵת	צִפּוֹר	בֶּן־	בָּלָק	וַיַּרְא	2
行った–ことを	～を	すべてを	（を）	ツィポルの	息子–である	バラクは	そして–見た	
	H3605		H0853	H6834		H1111	H7200	

לָאֱמֹרִי׃	יִשְׂרָאֵל
アモリ人に	イスラエルが
H0567	H3478

チッポルの子バラクはイスラエルがアモリびとにしたすべての事を見たので、

הֵמָּה	רַב־	כִּי	מְאֹד	הָעָם	מִפְּנֵי	מוֹאָב	וַיָּגָר	3
彼らは	多かった	なぜなら	非常に	民の	～の–前で	モアブは	そして–恐れた	
H1931			H3966		H6440	H4124		

יִשְׂרָאֵל׃	בְּנֵי	מִפְּנֵי	מוֹאָב	וַיָּקָץ
イスラエルの	子らの	～の–前で	モアブは	そして–うんざりした
H3478		H6440	H4124	H6973

モアブは大いにイスラエルの民を恐れた。その数が多かったためである。モアブはイスラエルの人々をひじょうに恐れたので、

אֵת־	הַקָּהָל	יְלַחֲכוּ	עַתָּה	מִדְיָן	זִקְנֵי	אֶל־	מוֹאָב	וַיֹּאמֶר	4
（を）	この–群れは	なめ尽くす	今	ミディアンの	長老たちに	～に	モアブは	そして–言った	
H0853	H6951	H3897	H6258	H4080	H2205	H0413	H4124	H0559	

וּבָלָק	הַשָּׂדֶה	יֶרֶק	אֵת	הַשּׁוֹר	כִּלְחֵךְ	סְבִיבֹתֵינוּ	כֹּל־	
そして–バラクは	野の	草を	（を）	牛が	なめる–ように	私たちの–周りの	すべてを	
H1111		H3418	H0853	H7794	H3897	H5439	H3605	

הַהִוא׃	בָּעֵת	לְמוֹאָב	מֶלֶךְ	צִפּוֹר	בֶּן־
その	時に	モアブの	王であった	ツィポルの	息子–である
H1931	H6256	H4124	H4428	H6834	

ミデアンの長老たちに言った、「この群衆は牛が野の草をなめつくすように、われわれの周囲の物をみな、なめつくそうとしている」。チッポルの子バラクはこの時モアブの王であった。

אֲשֶׁר
それは

פְּתוֹרָה
ペトルに
H6604

בְּעוֹר
ベオルの
H1160

בֶּן־
息子–である

בִּלְעָם
バラムに

אֶל־
～に
H0413

מַלְאָכִים
使いを
H4397

וַיִּשְׁלַח 5
そして–遣わした
H7971

עַם
民が

הִנֵּה
見よ
H2009

לֵאמֹר
言って
H0559

לוֹ
彼を

לִקְרֹא־
呼ぶ–ために
H7121

עַמּוֹ
彼の–民の

בְּנֵי־
子らの

אֶרֶץ
地に
H0776

הַנָּהָר
川の
H5104

עַל־
～の–ほとりに–ある

יֹשֵׁב
住んでいる
H3427

וְהוּא
そして–彼らは
H1931

הָאָרֶץ
地の
H0776

עֵין
面を

אֶת־
（を）
H0853

כִּסָּה
覆った
H3680

הִנֵּה
見よ
H2009

מִמִּצְרַיִם
エジプトから
H4714

יָצָא
出て–来た
H3318

מִמֻּלִי׃
私の–向かいに
H4136

彼はアンモンびとの国のユフラテ川のほとりにあるペトルに使者をつかわし、ベオルの子バラムを招こうとして言わせた、「エジプトから出てきた民があり、地のおもてをおおってわたしの前にいます。

כִּי־
なぜなら

הַזֶּה
この
H2088

הָעָם
民を

אֹתִי־
（を）
H0853

לִי
私の–ために

אָרָה־
呪ってください
H0779

נָא
どうか
H4994

לְכָה־
来てください
H3212

וְעַתָּה 6
そして–今
H6258

וַאֲגָרְשֶׁנּוּ
そして–追い–出そう–彼らを
H1644

בּוֹ
彼らを

נַכֶּה־
打つ–ことが
H5221

אוּכַל
できるだろう
H3201

אוּלַי
たぶん
H0194

מִמֶּנִּי
私よりも

הוּא
彼らは
H1931

עָצוּם
強い
H6099

מְבֹרָךְ
祝福される
H1288

תְּבָרֵךְ
あなたが–祝福する–者は
H1288

אֲשֶׁר־
～を

אֵת
（を）
H0853

יָדַעְתִּי
私は–知っている
H3045

כִּי
なぜなら

הָאָרֶץ
地から
H0776

מִן־
～から

יוּאָר׃
呪われる
H0779

תָּאֹר
あなたが–呪う–者は
H0779

וַאֲשֶׁר
そして–～を

どうぞ今きてわたしのためにこの民をのろってください。彼らはわたしよりも強いのです。そうしてくだされば、われわれは彼らを撃って、この国から追い払うことができるかもしれません。あなたが祝福する者は祝福され、あなたがのろう者はのろわれることをわたしは知っています」。

וּקְסָמִים
そして–占いの–報酬を
H7081

מִדְיָן
ミディアンの
H4080

וְזִקְנֵי
そして–長老たちは
H2205

מוֹאָב
モアブの
H4124

זִקְנֵי
長老たちは
H2205

וַיֵּלְכוּ 7
そして–行った
H3212

בָלָק׃
バラクの
H1111

דִּבְרֵי
言葉を
H1697

אֵלָיו
彼に
H0413

וַיְדַבְּרוּ
そして–語った
H1696

בִּלְעָם
バラムの–もとに

אֶל־
～に
H0413

וַיָּבֹאוּ
そして–来た
H0935

בְּיָדָם
彼らの–手に
H3027

モアブの長老たちとミデアンの長老たちは占いの礼物を手にして出発し、バラムのもとへ行って、バラクの言葉を告げた。

כַּאֲשֶׁר
～の–ように

דָּבָר
答えを
H1697

אֶתְכֶם
あなたがたに
H0853

וַהֲשִׁבֹתִי
そして–返す
H7725

הַלַּיְלָה
今夜
H3915

פֹּה
ここに
H6311

לִינוּ
泊まれ

אֲלֵיהֶם
彼らに
H0413

וַיֹּאמֶר 8
そして–言った
H0559

בִּלְעָם׃
バラムと

עִם־
～と–共に

מוֹאָב
モアブの
H4124

שָׂרֵי־
首領たちは
H8269

וַיֵּשְׁבוּ
そして–とどまった
H3427

אֵלָי
私に
H0413

יְהוָה
主が
H3068

יְדַבֵּר
語る
H1696

バラムは彼らに言った、「今夜ここに泊まりなさい。主がわたしに告げられるとおりに、あなたがたに返答しましょう」。それでモアブのつかさたちはバラムのもとにとどまった。

9 וַיָּבֹא אֱלֹהִים אֶל־בִּלְעָם מִי הָאֲנָשִׁים הָאֵלֶּה עִמָּךְ׃
そして–来た 神が ～の–もとに バラムの そして–言った 誰が 人々は これらの
H0935 H0430 H0413 H0559 H4310 H0376 H0428

ときに神はバラムに臨んで言われた、「あなたのところにいるこの人々はだれですか」。

10 וַיֹּאמֶר אֱלֹהִים אֶל־בִּלְעָם מִי הָאֲנָשִׁים הָאֵלֶּה עִמָּךְ׃
そして–言った ～に バラムは 神に バラクが 息子–である ツィポルの 王–である モアブの
H0559 H0413 H1111 H0430 H6834 H4428 H4124

וַיֹּאמֶר בִּלְעָם אֶל־הָאֱלֹהִים בָּלָק בֶּן־צִפּוֹר מֶלֶךְ מוֹאָב שָׁלַח אֵלָי׃
そして–言った バラムは ～に 神に バラクが 息子–である ツィポルの 王–である モアブの 遣わした 私に
H0559 H0413 H0430 H1111 H6834 H4428 H4124 H7971

バラムは神に言った、「モアブの王チッポルの子バラクが、わたしに人をよこして言いました。

11 הִנֵּה הָעָם הַיֹּצֵא מִמִּצְרַיִם וַיְכַס אֶת־עֵין הָאָרֶץ עַתָּה
民が 出て–来た エジプトから そして–覆った （を） 面を 地の 今
H2009 H3318 H4714 H3680 H0853 H0776 H6258

לְכָה קָּבָה־לִּי אֹתוֹ אוּלַי אוּכַל לְהִלָּחֶם בּוֹ וְגֵרַשְׁתִּיו׃
来てください 呪ってください 私の–ために 彼らを たぶん できるだろう 戦う–ことが 彼らと そして–追い–出そう–彼らを
H3212 H6895 H0194 H0853 H3201 H1644

『エジプトから出てきた民があり、地のおもてをおおっています。どうぞ今きてわたしのために彼らをのろってください。そうすればわたしは戦って、彼らを追い払うことができるかもしれません』」。

12 וַיֹּאמֶר אֱלֹהִים אֶל־בִּלְעָם לֹא תֵלֵךְ עִמָּהֶם לֹא תָאֹר אֶת־הָעָם כִּי בָרוּךְ הוּא׃
そして–言った 神は ～に バラムに ない 行っては 彼らと–共に ない 呪っては （を） 民を 祝福されている 彼らは
H0559 H0430 H0413 H0408 H0408 H0408

14 וַיָּקֻ֣מוּ שָׂרֵי־מוֹאָ֗ב וַיָּבֹ֤אוּ אֶל־בָּלָק֙ וַיֹּאמְר֔וּ מָאֵ֥ן
そして-起ちた モアブの 首領たちは そして-来た ～の-もとに バラクの そして-言った 拒んだ
H3985 H0559 H1111 H0413 H0935 H4124 H8269 H0559 H3985

בִּלְעָ֖ם הָלֹ֣ךְ לָ֑כֶת וַיֵּלֶךְ֙ אֱלֹהִ֔ים אֶל־בִּלְעָ֖ם לַ֥יְלָה
バラムは 行く-ことを 私たちと-共に
H1980 H0430 H3915

וַיֹּ֣אמֶר אֵלָ֗יו אִם־לִקְרֹ֤א לְךָ֙ בָּ֣אוּ הָאֲנָשִׁ֔ים קוּם֙ לֵ֣ךְ אִתָּ֔ם
そして-言った 彼に 呼ぶために あなたを-～が 来た 人々は 起きて 行け 彼らと-共に
H0559 H0413 H7121 H0935 H0376 H6965 H1980 H0854

וְאַ֛ךְ אֶת־הַדָּבָ֥ר אֲשֶׁר־אֲדַבֵּ֥ר אֵלֶ֖יךָ אֹת֣וֹ תַעֲשֶׂ֑ה
しかし 事を 私が-語る ～を あなたに 彼を 行う
H0389 H0853 H1697 H0834 H0413 H0853 H6213

וַיָּ֥קָם בִּלְעָ֖ם בַּבֹּ֑קֶר וַיַּחֲבֹ֣שׁ אֶת־אֲתֹנ֗וֹ וַיֵּלַךְ֙ עִם־שָׂרֵ֣י מוֹאָֽב׃
そして-起きた バラムは 朝に そして-鞍をつけた ～を 彼の-ろばに そして-行った 共に 首領たちは モアブの
H6965 H1109 H0853 H0853 H0853 H0854 H8269 H4124

モアブのつかさたちは立ってバラクのもとに行って言った、「バラムはわたしたちと一緒に来ることを承知しません」。

15 וַיֹּ֣סֶף עוֹד֮ בָּלָק֒ שְׁלֹ֤חַ שָׂרִים֙ רַבִּ֣ים וְנִכְבָּדִ֔ים מֵאֵ֖לֶּה׃
そして-再び-した また バラクは 遣わす-ことを 首領たちを 多くの そして-尊い これらよりも
H3254 H5750 H1111 H7971 H8269 H7227 H0428

バラクはまた前の者よりも身分の高いつかさたちを前よりも多くつかわした。

16 וַיָּבֹ֣אוּ אֶל־בִּלְעָ֗ם וַיֹּאמְרוּ֙ לוֹ֙ כֹּ֣ה אָמַ֔ר בָּלָ֖ק
そして-来た ～の-もとに バラムの そして-言った 彼に このように 言った バラクが
H0935 H0413 H1109 H0559 H0559 H3541 H0559 H1111

בֶּן־צִפּ֑וֹר אַל־נָ֣א תִמָּנַ֔ע מֵהֲלֹ֖ךְ אֵלָֽי׃
息子-である ツィポルの ない どうか 拒まないでください 行く-ことを 私の-もとに
H1121 H6834 H0408 H4994 H4513 H1980 H0413

彼らはバラムのところへ行って言った、「チッポルの子バラクはこう申します、『どんな妨げをも顧みず、どうぞわたしのところへおいでください。

17 כִּֽי־כָבֹ֣ד אֲכַבֶּדְךָ֮ מְאֹד֒ וְכֹ֣ל אֲשֶׁר־תֹּאמַ֣ר אֵלַ֔י אֶֽעֱשֶׂ֑ה
なぜなら 必ず 重く-もてなす 非常に そして-すべての ～を あなたが-言う 私に 行う
H3588 H3513 H3513 H3966 H3605 H0834 H0559 H0413 H6213

וּלְכָ֥ה נָּ֛א קָבָ֥ה־לִּ֖י אֶת־הָעָ֥ם הַזֶּֽה׃
そして-来てください どうか 呪ってください 私の-ために （を） 民を この
H3212 H4994 H6895 H0853 H5971 H2088

わたしはあなたを大いに優遇します。そしてあなたがわたしに言われる事はなんでもいたします。どうぞきてわたしのためにこの民をのろってください』」。

18 וַיַּ֣עַן בִּלְעָ֔ם וַיֹּאמֶר֙ אֶל־עַבְדֵ֣י בָלָ֔ק אִם־יִתֶּן־לִ֥י
そして-答えた バラムは そして-言った ～に 僕たちに バラクの たとえ 与えるとしても 私に
H6030 H1109 H0559 H0413 H5650 H1111 H0518 H5414

בֵּיתוֹ֙ כֶּ֣סֶף וְזָהָ֔ב לֹ֥א אוּכַ֖ל לַעֲבֹ֣ר אֶת־פִּ֣י
彼の-家を 銀と そして-金で ない できない 越える-ことが （を） 命令を
H1004 H3701 H2091 H3808 H3201 H5674 H0853 H6310

יְהוָ֥ה אֱלֹהָ֖י לַעֲשׂ֣וֹת קְטַנָּ֑ה אוֹ֥ גְדוֹלָֽה׃
主の 私の-神の 行う-ことが 小さい-ことも あるいは 大きい-ことも
H3068 H0430 H6213 H6996 H0176 H1419

しかし、バラムはバラクの家来たちに答えた、「たといバラクがその家に満ちるほどの金銀をわたしに与えようとも、事の大小を問わず、わたしの神、主の言葉を越えては何もすることができません。

19 וְעַתָּ֣ה שְׁבוּ־נָ֤א בָזֶה֙ גַּם־אַתֶּ֣ם הַלָּ֔יְלָה וְאֵדְעָ֕ה מַה־יֹּ֥סֶף
そして-今 とどまれ どうか ここに ～も あなたがたも 今夜 そして-知ろう 何を 加えて
H6258 H7931 H4994 H2088 H1571 H0859 H3915 H3045 H4100 H3254

יְהוָ֖ה דַּבֵּ֥ר עִמִּֽי׃
主が 語るか 私に
H3068 H1696 H5973

それで、どうぞ、あなたがたも今夜ここにとどまって、主がこの上、わたしになんと仰せられるかを確かめさせてください」。

20 וַיָּבֹא אֱלֹהִים אֶל־בִּלְעָם לַיְלָה וַיֹּאמֶר לוֹ אִם־לִקְרֹא
そして-来た 神が ～の-もとに バラムの 夜に そして-言った 彼に もし 呼ぶ-ために
H0935 H0430 H0413 H3915 H0559 H7121

לְךָ בָּאוּ הָאֲנָשִׁים קוּם לֵךְ אִתָּם וְאַךְ אֶת־הַדָּבָר אֲשֶׁר־
あなたを 来たのなら 人々が 起て 行け 彼らと-共に ただし （を） 言葉を わたしが
H0935 H0376 H0853 H3212 H0854 H0389 H0853 H1697

אֲדַבֶּר אֵלֶיךָ אֹתוֹ תַּעֲשֶׂה׃
語る あなたに それを 行え
H1696 H0413 H0853

夜になり、神はバラムに臨んで言われた、「この人々はあなたを招きにきたのだから、立ってこの人々と一緒に行きなさい。ただしわたしが告げることだけを行わなければならない」。

21 וַיָּקָם בִּלְעָם בַּבֹּקֶר וַיַּחֲבֹשׁ אֶת־אֲתֹנוֹ וַיֵּלֶךְ
そして-起きた バラムは 朝に そして-鞍を-置いた （を） 彼の-ろばに そして-行った
H1242 H2280 H0853 H0860 H3212

עִם־שָׂרֵי מוֹאָב׃
～と-共に 首領たちと モアブの
H8269 H4124

明くる朝起きてバラムは、ろばにくらをおき、モアブのつかさたちと一緒に行った。

22 וַיִּחַר־אַף אֱלֹהִים כִּי־הוֹלֵךְ הוּא וַיִּתְיַצֵּב מַלְאַךְ
怒りが 神の なぜなら 行っていた 彼が そして-立ちはだかった 御使いが
H2734 H0430 H3212 H1931 H3320 H4397

יְהוָה בַּדֶּרֶךְ לְשָׂטָן לוֹ וְהוּא רֹכֵב עַל־אֲתֹנוֹ וּשְׁנֵי
主の 道に 敵対者として 彼に そして-彼は 乗って-いた ～の-上に 彼の-ろばに そして-二人の
H3068 H1870 H7854 H0860 H1931 H7392 H0860 H8147

נְעָרָיו עִמּוֹ׃
彼の-僕が 彼と-共に
H5288

しかるに神は彼が行ったために怒りを発せられ、主の使は彼を妨げようとして、道に立ちふさがっていた。バラムは、ろばに乗り、そのしもべふたりも彼と共にいたが、

23 וַתֵּרֶא הָאָתוֹן אֶת־מַלְאַךְ יְהוָה נִצָּב בַּדֶּרֶךְ וְחַרְבּוֹ שְׁלוּפָה
そして-見た ろばは （を） 御使いを 主の 立って-いる 道に そして-彼の-剣が 抜かれて
H7200 H0860 H0853 H4397 H3068 H5324 H1870 H2719 H8025

בְּיָדוֹ וַתֵּט הָאָתוֹן מִן־הַדֶּרֶךְ וַתֵּלֶךְ בַּשָּׂדֶה וַיַּךְ בִּלְעָם
彼の-手に そして-それた ろばは ～から 道から そして-行った 畑に そして-打った バラムは
H3027 H5186 H0860 H1870 H3212 H5221

אֶת־הָאָתוֹן לְהַטֹּתָהּ הַדָּרֶךְ׃
（を） ろばを 向ける-ために-それを 道に
H0853 H0860 H5186 H1870

ろばは主の使が、手に抜き身のつるぎをもって、道に立ちふさがっているのを見、道をそれて畑にはいったので、バラムは、ろばを打って道に返そうとした。

24 וַיַּעֲמֹד מַלְאַךְ יְהוָה בִּמְשִׁעוֹל הַכְּרָמִים גֶּדֶר מִזֶּה וְגֶדֶר
そして-立った 御使いは 主の 小道に ぶどう園の 壁が こちらに そして-壁が
H5975 H4397 H3068 H4934 H3754 H1447 H2088 H1447

מִזֶּה׃
あちらに
H2088

しかるに主の使はまたぶどう畑の間の狭い道に立ちふさがっていた。道の両側には石がきがあった。

25 וַתֵּרֶא֙ הָאָתוֹן֙ אֶת־מַלְאַ֣ךְ יְהוָ֔ה וַתִּלָּחֵץ֙ אֶל־הַקִּ֔יר וַתִּלְחַ֥ץ אֶת־רֶגֶל־בִּלְעָ֖ם אֶל־הַקִּ֑יר וַיֹּ֥סֶף לְהַכֹּתָֽהּ׃

そして–見た ろばは 主の 御使いを （を） そして–押し–つけた 壁に ～に 足を （を） そして–押し–つけた バラムの 壁に ～に 再び–した 打つ–ことを–それを

H7200 H0860 H3068 H4397 H0853 H3905 H7023 H0413 H7272 H0853 H3905 H7023 H0413 H3254 H5221

ろばは主の使を見て、石がきにすり寄り、バラムの足を石がきに押しつけたので、バラムは、また、ろばを打った。

26 וַיּוֹסֶף֙ מַלְאַ֣ךְ יְהוָ֔ה וַיַּעֲמֹ֖ד בִּמְקוֹם־צָ֣ר אֲשֶׁ֑ר אֵֽין־דֶּ֥רֶךְ לִנְטוֹת֙ יָמִ֣ין וּשְׂמֹ֔אול׃

そして–再び–した 御使いは 主の 通り–過ぎる–ことを そして–立った 場所に 狭い そこには ない 道が それる–ための 右に そして–左に

H3254 H4397 H3068 H5674 H5975 H4725 H6862 H0369 H1870 H5186 H3225 H8040

主の使はまた先に進んで、狭い所に立ちふさがっていた。そこは右にも左にも、曲る道がなかったので、

27 וַתֵּ֣רֶא הָאָתוֹן֮ אֶת־מַלְאַךְ֣ יְהוָה֒ וַתִּרְבַּ֤ץ תַּחַת֙ בִּלְעָ֔ם וַיִּחַ֥ר אַף־בִּלְעָ֖ם וַיַּךְ֙ אֶת־הָאָתוֹן֙ בַּמַּקֵּֽל׃

そして–見た ろばは 主の 御使いを （を） そして–うずくまった ～の–下に バラムの そして–燃えた 怒りが バラムの そして–打った 杖で ろばを （を）

H7200 H0860 H3068 H4397 H0853 H7257 H8478 H2734 H0639 H1288 H5221 H4731 H0860 H0853

ろばは主の使を見てバラムの下に伏した。そこでバラムは怒りを発し、つえでろばを打った。

28 וַיִּפְתַּ֤ח יְהוָה֙ אֶת־פִּ֣י הָאָתוֹן֔ וַתֹּ֥אמֶר לְבִלְעָ֖ם מֶה־עָשִׂ֣יתִי לָ֑ךְ כִּ֚י הִכִּיתַ֣נִי זֶ֔ה שָׁלֹ֖שׁ רְגָלִֽים׃

そして–開いた 主は 口を （を） ろばの そして–言った バラムに 何を 私が–したのか なぜなら あなたに あなたが–打ったのか–私を この 三 度も

H7200 H3068 H6310 H0853 H0860 H0559 H1288 H4100 H6258 H3069 H2088 H7969 H7272

すると、主が、ろばの口を開かれたので、ろばはバラムにむかって言った、「わたしがあなたに何をしたというのですか。あなたは三度もわたしを打ったのです」。

29 וַיֹּ֤אמֶר בִּלְעָם֙ לָאָתוֹן֔ כִּ֥י הִתְעַלַּ֖לְתְּ בִּ֑י לוּ֙ יֶשׁ־חֶ֣רֶב בְּיָדִ֔י כִּ֥י עַתָּ֖ה הֲרַגְתִּֽיךְ׃

そして–言った バラムは ろばに なぜなら あなたが–あなどったからだ 私を もし あれば 剣が 殺していただろう–お前を 今こそ なぜなら 私の–手に

H0559 H1288 H0860 H3069 H5953 H0834 H3863 H3426 H2719 H2026 H6258 H3588 H3027

バラムは、ろばに言った、「お前がわたしを侮ったからだ。わたしの手につるぎがあれば、いま、お前を殺してしまうのだが」。

30 וַתֹּאמֶר אֶל־הָאָתוֹן אֲשֶׁר־
そして–言った ろばは ～に バラムに ～ではないか 私は あなたの–ろばである あなたが
H0559 H0860 H0413 בִּלְעָם H3808 אָנֹכִי H0595 אֲתָנְךָ H0860 H0834

רָכַבְתָּ עָלַי מֵעוֹדְךָ עַד־ הַיּוֹם הַזֶּה הֲתַהַסְכֵּן הִסְכַּנְתִּי
乗って–きた 私の–上に あなたの–生涯–ずっと ～まで 日まで この いつも した–ことが–あるか
H7392 H5921 H5750 H5704 H3117 H2088 H5532 H5532

לֹא׃ וַיֹּאמֶר כֹּה לְךָ לַעֲשׂוֹת
いいえ そして–言った このように あなたに する–ことを
H3808 H0559 H3541

ろばはまたバラムに言った、「わたしはあなたが、きょうまで長いあいだ乗られたろばではありませんか。わたしはいつでも、あなたにこのようにしたでしょうか」。バラムは言った、「いや、しなかった」。

31 וַיְגַל יְהוָה אֶת־עֵינֵי בִלְעָם וַיַּרְא אֶת־מַלְאַךְ יְהוָה
そして–開いた 主は （を） 目を バラムの そして–見た （を） 御使いを 主の
H1540 H3068 H0853 H5869 H7200 H0853 H4397 H3068

נִצָּב בַּדֶּרֶךְ וְחַרְבּוֹ שְׁלֻפָה בְיָדוֹ וַיִּקֹּד וַיִּשְׁתָּחוּ
立って–いる 道に そして–彼の–剣が 抜かれて 彼の–手に そして–ひれ伏した そして–ひざまずいた
H5324 H1870 H2719 H8025 H3027 H6915 H7812

לְאַפָּיו׃
彼の–顔の–上に
H0639

このとき主がバラムの目を開かれたので、彼は主の使が手に抜き身のつるぎをもって、道に立ちふさがっているのを見て、頭を垂れてひれ伏した。

32 וַיֹּאמֶר אֵלָיו יְהוָה עַל־ מָה הִכִּיתָ אֶת־ אֲתָנְךָ
そして–言った 彼に 主の 御使いは なぜ 何の–ために 打ったのか （を） あなたの–ろばを
H0559 H0413 H3068 H4397 H5921 H4100 H5221 H0853 H0860

זֶה שָׁלֹשׁ רְגָלִים הִנֵּה אָנֹכִי יָצָאתִי לְשָׂטָן כִּי־ יָרַט הַדֶּרֶךְ
この 三 度も 見よ 私は 出て–来た 敵対者として なぜなら 逆らった 道が
H2088 H7969 H7272 H2009 H0595 H3318 H7854 H3474 H1870

לְנֶגְדִּי׃
私の–前で
H5048

主の使は彼に言った、「なぜあなたは三度もろばを打ったのか。あなたが誤って道を行くので、わたしはあなたを妨げようとして出てきたのだ。

33 וַתִּרְאַנִי אוּלַי שָׁלֹשׁ רְגָלִים זֶה לְפָנַי וַתֵּט הָאָתוֹן
そして–見た–私を たぶん 三 度 この 私の–前から そして–それた ろばは
H7200 H0194 H7969 H7272 H2088 H6440 H5186 H0860

וְאוֹתָהּ הָרַגְתִּי אוֹתְכָה גַּם־ עַתָּה כִּי מִפָּנַי נָטְתָה
そして–それを 殺していた あなたを ～も 今こそ なぜなら 私の–前から それなかったら
H0853 H2026 H0853 H1571 H6258 H3588 H6440 H5186

הֶחֱיִיתִי׃
生かしていた
H2421

ろばはわたしを見て三度も身を巡らしてわたしを避けた。もし、ろばが身を巡らしてわたしを避けなかったなら、わたしはきっと今あなたを殺して、ろばを生かしておいたであろう」。

34 וַיֹּאמֶר בִּלְעָם אֶל־מַלְאַךְ יְהוָה חָטָאתִי כִּי לֹא יָדַעְתִּי
そして-言った バラムは ～に 御使いに 主の 私は-罪を-犯した なぜなら ない 知らなかった
H0559 H1111 H0413 H4397 H3068 H2398 H3808 H3045

כִּי אַתָּה נִצַּב לִקְרָאתִי בַּדֶּרֶךְ וְעַתָּה אִם־רַע
それを あなたが 立って-いた-ことを 迎えに-私を 道で 今 もし 悪いなら
H0559 H5324 H7125 H1870 H6258 H0518 H7451

בְּעֵינֶיךָ אָשׁוּבָה לִי׃
あなたの-目に 引き-返そう 私は
H5869 H7725 H0589

バラムは主の使に言った、「わたしは罪を犯しました。あなたがわたしをとどめようとして、道に立ちふさがっておられるのを、わたしは知りませんでした。それで今、もし、お気に召さないのであれば、わたしは帰りましょう」。

35 וַיֹּאמֶר יְהוָה מַלְאַךְ בִּלְעָם אֶל־הָאֲנָשִׁים וְאֶפֶס אֶת־
そして-言った 主の 御使いは バラムに ～に 人々と ただし （を）
H0559 H3068 H4397 H1111 H0413 H0376 H0657 H0853

דְּבַר אֲשֶׁר אֲדַבֵּר אֵלֶיךָ אֹתוֹ תִדַּבֵּר וַיֵּלֶךְ בִּלְעָם עִם־
言葉を わたしが 語る あなたに それを 語れ そして-行った バラムは ～と-共に
H1697 H0834 H1696 H0413 H0853 H1696 H3212 H1111 H0854

שָׂרֵי בָלָק׃
首領たちと バラクの
H8269 H1111

主の使はバラムに言った、「この人々と一緒に行きなさい。ただし、わたしが告げることのみを述べなければならない」。こうしてバラムはバラクのつかさたちと一緒に行った。

36 וַיִּשְׁמַע בָּלָק כִּי בָא בִלְעָם וַיֵּצֵא לִקְרָאתוֹ אֶל־עִיר
そして-聞いた バラクは それを 来た-ことを バラムが そして-出た 迎えに-彼を ～に 町に
H0559 H1111 H0834 H0935 H1111 H3318 H7125 H0413 H5892

מוֹאָב אֲשֶׁר עַל־גְּבוּל אַרְנֹן אֲשֶׁר בִּקְצֵה גְּבוּל הַגְּבוּל׃
モアブの それは ～の-上に-ある 境の アルノンの それは 端に-ある 境の 境の
H4124 H0834 H0413 H1366 H0769 H0834 H1366 H1366 H1366

さて、バラクはバラムがきたと聞いて、国境のアルノン川のほとり、国境の一端にあるモアブの町まで出て行って迎えた。

37 וַיֹּאמֶר בָּלָק אֶל־בִּלְעָם הֲלֹא שָׁלֹחַ שָׁלַחְתִּי
そして-言った バラクは ～に バラムに ～ではないか 確かに 遣わしたのではないか-私は
H0559 H1111 H0413 H1111 H3808 H7971 H7971

אֵלֶיךָ לִקְרֹא־לְךָ לָמָּה לֹא־הָלַכְתָּ אֵלַי לֹא הַאָמְנָם
あなたに 呼ぶ-ために あなたを なぜ ない 来なかったのか 私の-もとに ない 本当に
H0413 H7121 H0413 H4100 H3808 H1980 H0413 H3808 H0551

אוּכַל כַּבְּדֶךָּ׃
できないのか もてなす-ことが-あなたを
H3201 H3513

そしてバラクはバラムに言った、「わたしは人をつかわしてあなたを招いたではありませんか。あなたはなぜわたしのところへきませんでしたか。わたしは実際あなたを優遇することができないでしょうか」。

38 וַיֹּאמֶר בִּלְעָם אֶל־בָּלָק הִנֵּה־בָאתִי אֵלֶיךָ עַתָּה הֲיָכֹל
そして-言った バラムは ～に バラクに 見よ 来た-のだ あなたの-もとに 今 できる-のか
H0559 H1111 H0413 H2009 H0935 H0413 H6258 H3201

אֹתוֹ אֲדַבֵּר׃ בְּפִי אֱלֹהִים יָשִׂים אֲשֶׁר הַדָּבָר מְאוּמָה דַּבֵּר אוּכָל
それを 語る 私の-口に 神が 置く それは 言葉を 何かを 語る-ことが できるのか
H0853 H1696 H6310 H0430 H7760 H0834 H1697 H3972 H1696 H3201

バラムはバラクに言った、「ごらんなさい。わたしはあなたのところにきています。しかし、今、何事かをみずから言うことができましょうか。わたしはただ神がわたしの口に授けられることを述べなければなりません」。

39 וַיֵּלֶךְ בִּלְעָם עִם־בָּלָק וַיָּבֹאוּ קִרְיַת חֻצוֹת׃
そして-行った バラムは ～と-共に バラクと そして-来た キルヤト-フツォトに
H3212 H1111 H0935 H7155

こうしてバラムはバラクと一緒に行き、キリアテ・ホゾテにきたとき、

40 וַיִּזְבַּח בָּלָק וַיִּשְׁלַח לְבִלְעָם וְלַשָּׂרִים אֲשֶׁר אִתּוֹ׃
そして-屠った バラクは 牛と そして-羊を そして-送った バラムに そして-首領たちに 彼と-共に-いる
H2076 H1111 H1241 H6629 H7971 H0854 H1696

バラクは牛と羊とをほふって、バラムおよび彼と共にいたバラムを連れてきたつかさたちに贈った。

41 וַיְהִי בַּבֹּקֶר וַיִּקַּח בָּלָק אֶת־בִּלְעָם וַיַּעֲלֵהוּ בָּמוֹת בָּעַל וַיַּרְא מִשָּׁם קְצֵה הָעָם׃
そして-なった 朝に そして-取った バラクは （を） バラムを そして-上らせた-彼を バモト-バアルに そして-見た そこから 端を 民の
H1961 H1242 H3947 H1111 H0853 H1120 H7200 H8033

明くる朝バラクはバラムを伴ってバモテバアルにのぼり、そこからイスラエルの民の宿営の一端をながめさせた。

Chapter 23

1 וַיֹּאמֶר בִּלְעָם אֶל־בָּלָק בְּנֵה־לִי בָזֶה שִׁבְעָה מִזְבְּחֹת וְהָכֵן לִי בָּזֶה שִׁבְעָה פָרִים וְשִׁבְעָה אֵילִים׃
そして-言った バラム-は ～に バラク 建てよ 私-に ここ-に 七つ-の 祭壇-を そして-備えよ 私-に ここ-に 七頭-の 雄牛-を そして-七頭-の 雄羊-を
H0559 H1111 H0413 H1129 H7760 H2088 H7651 H4196 H3559 H1111 H6499 H7651 H2088 H7651

バラムはバラクに言った、「わたしのために、ここに七つの祭壇を築き、七頭の雄牛と七頭の雄羊とを整えなさい」。

2 וַיַּעַשׂ בָּלָק כַּאֲשֶׁר דִּבֶּר בִּלְעָם וַיַּעַל בָּלָק וּבִלְעָם פָּר וָאַיִל בַּמִּזְבֵּחַ׃
そして-行った バラク-は ～の-通り-に 語った バラム-が そして-献げた バラク-と バラム-は 雄牛-を そして-雄羊-を 祭壇-の-上-に
H1111 H1111 H1696 H0834 H1111 H5927 H1111 H0776 H6499 H0352 H4196

バラクはバラムの言ったとおりにした。そしてバラクとバラムとは、その祭壇ごとに雄牛一頭と雄羊一頭とをささげた。

3

עֹלָתֶךָ	עַל־	הִתְיַצָּב	לְבָלָק	בִּלְעָם	וַיֹּאמֶר
あなた–の–焼き尽くす–献げ物	～の–そば–に	立って–いよ	バラク–に	バラム–は	そして–言った
		H3320	H1111		H0559

מַה־	וְדִבֶּר	לִקְרָאתִי	יְהוָה	יִקֶּרֶה	אוּלַי	וְאֵלְכָה
何でも	そして–言葉–を	私–に–会い–に	主–が	現れる–だろう	もしかすると	そして–私–は–行こう
H4100	H1697	H7125	H3068		H0194	H3212

שֵׁפִי׃	וַיֵּלֶךְ	לָךְ	וְהִגַּדְתִּי	יַרְאֵנִי
裸–の–丘–へ	そして–行った	あなた–に	そして–告げよう	示される–もの–を
H8205	H3212		H5046	H7200

バラムはバラクに言った、「あなたは燔祭のかたわらに立っていてください。その間にわたしは行ってきます。主はたぶんわたしに会ってくださるでしょう。そして、主がわたしに示される事はなんでもあなたに告げましょう」。こうして彼は一つのはげ山に登った。

4

הַמִּזְבֵּחַת	שִׁבְעַת	אֶת־	אֵלָיו	וַיֹּאמֶר	בִּלְעָם	אֶל־	אֱלֹהִים	וַיִּקָּר
祭壇–を	七つ–の	（～を）	彼–に	そして–言った	バラム	～に	神–が	そして–現れた
H4196	H7651	H0853	H0413	H0559		H0413	H0430	

בַּמִּזְבֵּחַ׃	וָאָיִל	פָּר	וָאַעַל	עָרַכְתִּי
祭壇–の–上–に	そして–雄羊–を	雄牛–を	そして–献げた	私–は–整えた
H4196		H6499	H5927	

神がバラムに会われたので、バラムは神に言った、「わたしは七つの祭壇を設け、祭壇ごとに雄牛一頭と雄羊一頭とをささげました」。

5

בָּלָק	אֶל־	שׁוּב	וַיֹּאמֶר	בִּלְעָם	בְּפִי	דָּבָר	יְהוָה	וַיָּשֶׂם
バラク	～の–もと–へ	戻れ	そして–言った	バラム	～の–口–に	言葉–を	主–は	そして–置いた
H1111	H0413	H7725	H0559		H6310	H1697	H3068	

תְּדַבֵּר׃	וְכֹה	
語れ	そして–この–ように	
H1696	H3541	

主はバラムの口に言葉を授けて言われた、「バラクのもとに帰ってこう言いなさい」。

6

עֹלָתוֹ	עַל־	נִצָּב	וְהִנֵּה	אֵלָיו	וַיָּשָׁב	
彼–の–焼き尽くす–献げ物	～の–そば–に	立って–いた	すると–見よ	彼–の–もと–に	そして–戻った	
		H5324	H2009	H0413	H7725	

מוֹאָב׃	שָׂרֵי	וְכָל־	הוּא
モアブ–の	首長–たち	そして–すべて–の	彼–は
H4124	H8269	H3605	H1931

彼がバラクのもとに帰ってみると、バラクはモアブのすべてのつかさたちと共に燔祭のかたわらに立っていた。

7

בָּלָק	יַנְחֵנִי	אֲרָם	מִן־	וַיֹּאמֶר	מְשָׁלוֹ	וַיִּשָּׂא	
バラク–が–私–を	連れて–来た	アラム	～から	そして–言った	彼–の–たとえ–を	そして–取り上げた	
H1111	H5148	H0758		H0559	H4912	H5375	

זֹעֲמָה	וּלְכָה	יַעֲקֹב	לִי	אָרָה־	לְכָה	קֶדֶם	מֵהַרְרֵי־	מוֹאָב	מֶלֶךְ־
憤れ	そして–来て	ヤコブ–を	私–に	呪え	来て	東方	東–の–山々–から	モアブ–の	王–の
H2194	H3212	H3290		H0779	H3212		H2042	H4124	H4428

יִשְׂרָאֵל׃
イスラエル–に
H3478

バラムはこの託宣を述べた。「バラクはわたしをアラムから招き寄せ、モアブの王はわたしを東の山から招き寄せて言う、『きてわたしのためにヤコブをのろえ、きてイスラエルをのろえ』と。

8

לֹא אֶזְעֹם וּמָה אֵל קֹבָה לֹא אֶקֹּב מָה
（〜ない） 憤れよう–か そして–どうして 神–が 呪わない （〜ない） 呪えよう–か どうして
H3808 H2194 H4100 H0410 H6895 H3808 H4100

יְהוָה׃ זָעַם
主–が 怒らない
H3068 H2194

神ののろわない者を、わたしがどうしてのろえよう。主ののろわない者を、わたしがどうしてのろえよう。

9

לְבָדָד עָם הֵן אֶשּׁוּרֶנּוּ וּמִגְבָעוֹת אֶרְאֶנּוּ צֻרִים מֵרֹאשׁ כִּי־
独り–で 民–は 見よ 私–は–眺める そして–丘–から 私–は–見る 岩々 岩–の–頂–から なぜなら
H0910 H2005 H7789 H1389 H7200 H6697

יִתְחַשָּׁב׃ לֹא וּבַגּוֹיִם יִשְׁכֹּן
数えられない （〜ない） そして–諸国–の–中–に 住む
H2803 H3808 H7931

岩の頂からながめ、丘の上から見たが、これはひとり離れて住む民、もろもろの国民のうちに並ぶものはない。

10

יִשְׂרָאֵל רֹבַע אֶת־ וּמִסְפָּר יַעֲקֹב עֲפַר מָנָה מִי
イスラエル–の 四分–の–一–を （〜の） そして–数–を ヤコブ–の 塵–を 数えられよう–か 誰–が
H3478 H7255 H0853 H4557 H3290 H6083 H4487 H4310

כָּמֹהוּ׃ אַחֲרִיתִי וּתְהִי יְשָׁרִים מוֹת נַפְשִׁי תָּמֹת
彼–の–よう–に 私–の–末期–が そして–なれ 正しい–者–の 死–を 私–の–魂–は 死にたい
H3644 H0319 H1961 H3477 H4194 H5315 H4191

だれがヤコブの群衆を数え、イスラエルの無数の民を数え得よう。わたしは義人のように死に、わたしの終りは彼らの終りのようでありたい」。

11

אֹיְבַי לְקַב לִי עָשִׂיתָ מֶה בִלְעָם אֶל־ בָּלָק וַיֹּאמֶר
私–の–敵–を 呪う–ため–に 私–に した–の–か 何–を バラム 〜に バラク–は そして–言った
H0341 H6895 H4100 H0413 H1111 H0559

בֵּרַכְתָּ בָּרֵךְ׃ וְהִנֵּה לְקַחְתִּיךָ
祝福–を 祝福–した 見よ 連れて–きた–のに
H1288 H1288 H2009 H3947

そこでバラクはバラムに言った、「あなたはわたしに何をするのですか。わたしは敵をのろうために、あなたを招いたのに、あなたはかえって敵を祝福するばかりです」。

12

בְּפִי יְהוָה יָשִׂים אֲשֶׁר אֵת הֲלֹא וַיֹּאמֶר וַיַּעַן
私–の–口–に 主–が 置かれる 〜の–こと–を （〜を） （〜ではないか） 言った そして–答えて
H6310 H3068 H0853 H3808 H0559

לְדַבֵּר׃ אֶשְׁמֹר אֹתוֹ
語らなければ–ならない 守って それ–を
H1696 H8104 H0853

バラムは答えた、「わたしは、主がわたしの口に授けられる事だけを語るように注意すべきではないでしょうか」。

13

וַיֹּאמֶר	אֶל־	אָבְיו	בָּלָק	[לֶךְ־]	(לְכָה־	נָא	אִתִּי	אֶל־
そして–言った	～に	彼–に	バラク–は	来て–くれ	来て–くれ	どうか	私–と–一緒–に	～へ
H0559	H0413	H1111	H3212	H3212	H4994	H0854	H0413	H4725

אַחֵר	אֲשֶׁר	תִּרְאֶנּוּ	מִשָּׁם	אֶפֶס	קְצֵהוּ	תִּרְאֶה	וְכֻלּוֹ	לֹא
別–の	そこ–から	見える–だろう	そこ–から	ただ	その–端–だけ	見える–が	全体–は	（～ない）
H0312	H0833	H7200	H8033			H7200	H3605	H3808

תִּרְאֶה	וְקָבְנוֹ־	לִי	מִשָּׁם׃
見えない	そして–呪え	私–の–ため–に	そこ–から
H7200	H6895		H8033

バラクは彼に言った、「わたしと一緒にほかのところへ行って、そこから彼らをごらんください。あなたはただ彼らの一端を見るだけで、全体を見ることはできないでしょうが、そこからわたしのために彼らをのろってください」。

14

שִׁבְעָה	וַיִּבֶן	הַפִּסְגָּה	רֹאשׁ	אֶל־	צֹפִים	שְׂדֵה	וַיִּקָּחֵהוּ
七つ–の	そして–建てた	ピスガ	頂–の	～へ	見張り–の	ツォフィム–の–野	そして–連れて–行った
H7651	H1129	H6449		H0413	H6839		H3947

בַּמִּזְבֵּחַ׃	וָאַיִל	פָּר	וַיַּעַל	מִזְבֵּחַ
祭壇–の–上–に	そして–雄羊–を	雄牛–を	そして–献げた	祭壇–を
H4196		H6499	H5927	H4196

そして彼はバラムを連れてゾピムの野に行き、ピスガの頂に登って、そこに七つの祭壇を築き、祭壇ごとに雄牛一頭と雄羊一頭とをささげた。

15

עֹלָתֶךָ	עַל־	כֹּה	הִתְיַצָּב	בָּלָק	אֶל־	וַיֹּאמֶר
あなた–の–焼き尽くす–献げ物	～の–そば–に	ここ–に	立って–いよ	バラク	～に	そして–言った
		H3541	H3320	H1111	H0413	H0559

כֹּה׃	אִקָּרֶה	וְאָנֹכִי
あちら–で	現れ–を–待とう	そして–私–は
H3541		H0595

ときにはバラムはバラクに言った、「あなたはここで、燔祭のかたわらに立っていてください。わたしは向こうへ行って、主に伺いますから」。

16

שׁוּב	וְיֹאמֶר	בְּפִיו	דָּבָר	וַיָּשֶׂם	בִּלְעָם	אֶל־	יְהוָה	וַיִּקָּר
戻れ	そして–言った	彼–の–口–に	言葉–を	そして–置いた	バラム	～に	主–が	そして–現れた
H7725	H0559	H6310	H1697			H0413	H3068	

תְּדַבֵּר׃	וְכֹה	בָּלָק	אֶל־
語れ	そして–この–ように	バラク	～の–もと–へ
H1696	H3541	H1111	H0413

主はバラムに臨み、言葉を口に授けて言われた、「バラクのもとに帰ってこう言いなさい」。

17

עֹלָתוֹ	עַל־	נִצָּב	וְהִנֵּה	אֵלָיו	וַיָּבֹא
彼–の–焼き尽くす–献げ物	～の–そば–に	立って–いた	すると–見よ	彼–の–もと–に	そして–来た
		H5324	H2009	H0413	H0935

דִּבֶּר	מַה־	בָּלָק	לוֹ	וַיֹּאמֶר	אִתּוֹ	מוֹאָב	וְשָׂרֵי
語った–か	何–を	バラク–は	彼–に	そして–言った	彼–と–共–に	モアブ–の	そして–首長–たち
H1696	H4100	H1111		H0559	H0854	H4124	H8269

יְהוָה׃
主–は
H3068

彼がバラクのところへ行って見ると、バラクは燔祭のかたわらに立ち、モアブのつかさたちも共にいた。バラクはバラムに言った、「主はなんと言われましたか」。

18 וַיִּשָּׂא מְשָׁלוֹ וַיֹּאמַר קוּם בָּלָק וּשְׁמָע הַאֲזִינָה עָדַי בְּנוֹ צִפֹּר׃
そして-取り上げた 彼-の-たとえ-を そして-言った 立て バラク-よ そして-聞け 耳-を-傾けよ 私-に 息子-よ ツィポル-の
H5375 H4912 H0559 H0877 H1111 H8085 H0238 H5704 H6834

そこでバラムはまたこの託宣を述べた。「バラクよ、立って聞け、チッポルの子よ、わたしに耳を傾けよ。

19 לֹא אִישׁ אֵל וְיְכַזֵּב וּבֶן אָדָם וְיִתְנֶחָם הֲהוּא אָמַר וְלֹא וְדִבֶּר וְלֹא יַעֲשֶׂה וְלֹא יְקִימֶנָּה׃
（〜ない） 人-は 神 偽る-もの-ではない また-人-の 子-は 悔いる-もの-ではない 彼-が 言って （〜ない） そして-語って （〜ない） 行わない-こと-が-あろう-か （〜ない） 成し遂げない-こと-が-あろう-か
H3808 H0376 H0410 H3576 H0120 H5162 H1931 H0559 H3808 H1696 H3808

神は人のように偽ることはなく、また人の子のように悔いることもない。言ったことで、行わないことがあろうか、語ったことで、しとげないことがあろうか。

20 הִנֵּה בָרֵךְ לָקָחְתִּי וּבֵרַךְ וְלֹא אֲשִׁיבֶנָּה׃
見よ 祝福-する-こと-を 私-は-受けた 彼-が-祝福-した そして-（〜ない） 私-は-覆せない
H2009 H1288 H3947 H1288 H3808 H7725

祝福せよとの命をわたしはうけた、すでに神が祝福されたものを、わたしは変えることができない。

21 לֹא הִבִּיט אָוֶן בְּיַעֲקֹב וְלֹא־ רָאָה עָמָל יְהוָה אֱלֹהָיו עִמּוֹ וּתְרוּעַת מֶלֶךְ בְּיִשְׂרָאֵל בּוֹ׃
（〜ない） 見ない 不義-を ヤコブ-の-中-に また-（〜ない） 見ない 災い-を その-神-は 共-に-おられ そして-王-への-喜び-の-叫び-が 王-の 主 イスラエル-の-中-に その-中-に-ある
H3808 H5027 H0205 H3290 H3808 H7200 H5999 H0430 H5973 H8643 H4428 H3068 H3478

だれもヤコブのうちに災のあるのを見ない、またイスラエルのうちに悩みのあるのを見ない。彼らの神、主が共にいまし、王をたたえる声がその中に聞える。

22 אֵל מוֹצִיאָם מִמִּצְרַיִם כְּתוֹעֲפֹת רְאֵם לוֹ׃
神-は 導き出された エジプト-から 野牛-の-角-の-ような 野牛 力-が-ある
H0410 H3318 H4714 H8443 H7214

神は彼らをエジプトから導き出された、彼らは野牛の角のようだ。

23

קֶסֶם	וְלֹא־	בְיַעֲקֹב	נַחַשׁ	לֹא־	כִי
占い–は	また–（〜ない）	ヤコブ–に–効かず	まじない–は	（〜ない）	まことに
H7081	H3808	H3290	H5173	H3808	

מַה־	וּלְיִשְׂרָאֵל	לְיַעֲקֹב	יֵאָמֵר	כָּעֵת	בְיִשְׂרָאֵל	
何–を	また–イスラエル–について	ヤコブ–について	告げられる	時–が–来れば	イスラエル–に–効かない	
H4100	H3478	H3290	H0559	H6256	H3478	

אֵל׃	פָּעַל
神–は–と	行った–か
H0410	H6466

ヤコブには魔術がなく、イスラエルには占いがない。神がそのなすところを時に応じてヤコブに告げ、イスラエルに示されるからだ。

24

לֹא	יִתְנַשָּׂא	וְכַאֲרִי	יָקוּם	כְלָבִיא	עָם	הֵן־	
（〜ない）	身–を–起こす	そして–獅子–の–ように	立ち上がり	雌獅子–の–ように	民–は	見よ	
H3808	H5375					H2005	

יִשְׁתֶּה׃	חַלָלִים	וְדַם־	טֶרֶף	יֹאכַל	עַד־	יִשְׁכַּב
飲む	倒された–者–の	そして–血–を	獲物–を	食らう	〜まで	伏さない
H8354		H1818	H2964	H0398	H5704	H7901

見よ、この民は雌じしのように立ち上がり、雄じしのように身を起す。これはその獲物を食らい、その殺した者の血を飲むまでは身を横たえない」。

25

גַם־	תְקַבֶנּוּ	לֹא	קֹב	גַם־	בִלְעָם	אֶל־	בָלָק	וַיֹּאמֶר
また–決して	呪うな	（〜ない）	呪う	決して	バラム	〜に	バラク–は	そして–言った
H1571		H3808	H6895	H1571		H0413	H1111	H0559

תְבָרֲכֶנּוּ׃	לֹא	בָרֵךְ
祝福–するな	（〜ない）	祝福–する
H1288	H3808	H1288

バラクはバラムに言った、「あなたは彼らをのろうことも祝福することも、やめてください」。

26

אֵלֶיךָ	דִבַּרְתִי	הֲלֹא	בָלָק	אֶל־	וַיֹּאמֶר	בִלְעָם	וַיַּעַן
あなた–に	語った	（〜ではないか）	バラク	〜に	そして–言った	バラム–は	そして–答えた
H0413	H1696	H3808	H1111	H0413	H0559		

אֶעֱשֶׂה׃	אֹתוֹ	יְהוָה	יְדַבֵּר	אֲשֶׁר־	כָל	לֵאמֹר	
私–は–行う	それ–を	主–が	語る	〜の–こと–を	すべて	言って	
	H0853	H3068	H1696		H3605	H0559	

バラムは答えてバラクに言った、「主の言われることは、なんでもしなければならないと、わたしはあなたに告げませんでしたか」。

27

אַחֵר	מָקוֹם	אֶל־	אֶקָחֲךָּ	נָא	לְכָה־	בִלְעָם	אֶל־	בָלָק	וַיֹּאמֶר
別–の	場所	〜へ	連れて–行こう	どうか	来て–くれ	バラム	〜に	バラク–は	そして–言った
H0312	H4725	H0413	H3947	H4994	H3212		H0413	H1111	H0559

לִי	וְקַבְתּוֹ	הָאֱלֹהִים	בְעֵינֵי	יִישַׁר	אוּלַי	
私–の–ため–に	そして–呪える–だろう	神	〜の–目–に	良い–と–思われる–なら	もしかすると	
	H6895	H0430		H3474	H0194	

מִשָּׁם׃
そこ–から
H8033

バラクはバラムに言った、「どうぞ、おいでください。わたしはあなたをほかの所へお連れしましょう。神はあなたがそこからわたしのために彼らをのろうことを許されるかもしれません」。

עַל־	הַנִּשְׁקָף	הַפְּעוֹר	רֹאשׁ	בִּלְעָם	אֶת־	בָּלָק	וַיִּקַּח	28
～の–上–に	見下ろす	ペオル–の	頂–へ	バラム–を	（～を）	バラク–は	そして–連れて–行った	
	H8259	H6465			H0853	H1111	H3947	

הַיְשִׁמֹן׃	פְּנֵי
荒野	面–の
H3452	H6440

そしてバラクはバラムを連れて、荒野を見おろすペオルの頂に行った。

מִזְבְּחֹת	שִׁבְעָה	בָּזֶה	לִי	בְּנֵה־	בָּלָק	אֶל־	בִּלְעָם	וַיֹּאמֶר	29
祭壇–を	七つ–の	ここ–に	私–に	建てよ	バラク	～に	バラム–は	そして–言った	
H4196	H7651	H2088		H1129	H1111	H0413		H0559	

אֵילִים׃	וְשִׁבְעָה	פָּרִים	שִׁבְעָה	בָּזֶה	לִי	וְהָכֵן
雄羊–を	そして–七頭–の	雄牛–を	七頭–の	ここ–に	私–に	そして–備えよ
	H7651	H6499	H7651	H2088		

バラムはバラクに言った、「わたしのためにここに七つの祭壇を築き、雄牛七頭と、雄羊七頭とを整えなさい」。

פָּר	וַיַּעַל	בִּלְעָם	אָמַר	כַּאֲשֶׁר	בָּלָק	וַיַּעַשׂ		30
雄牛–を	そして–献げた	バラム–が	言った	～の–通り–に	バラク–は	そして–行った		
H6499	H5927		H0559		H1111			

בַּמִּזְבֵּחַ׃	וָאָיִל
祭壇–の–上–に	そして–雄羊–を
H4196	

バラクはバラムの言ったとおりにし、その祭壇ごとに雄牛一頭と雄羊一頭とをささげた。

Chapter 24

אֶת־	לְבָרֵךְ	יְהוָה	בְּעֵינֵי	טּוֹב	כִּי	בִּלְעָם	וַיַּרְא		1
（～を）	祝福–する–こと–が	主	～の–目–に	良い–と	～こと–を	バラム–は	そして–見た		
H0853	H1288	H3068		H2895			H7200		

לִקְרַאת	בַּפַּעַם	כְּפַעַם־	הָלַךְ	וְלֹא־	יִשְׂרָאֵל	
求め–に	先回–の–よう–に	先回–の–よう–に	行かなかった	そして–（～ない）	イスラエル–を	
H7125	H6471	H6471	H1980	H3808	H3478	

פָּנָיו׃	הַמִּדְבָּר	אֶל־	וַיָּשֶׁת	נְחָשִׁים
彼–の–顔–を	荒野	～の–方–へ	そして–向けた	まじない–を
H6440		H0413	H7896	H5173

バラムはイスラエルを祝福することが主の心にかなうのを見たので、今度はいつものように行って魔術を求めることをせず、顔を荒野にむけ、

יִשְׂרָאֵל	אֶת־	וַיַּרְא	עֵינָיו	אֶת־	בִּלְעָם	וַיִּשָּׂא		2
イスラエル–が	（～を）	そして–見た	彼–の–目–を	（～を）	バラム–は	そして–上げた		
H3478	H0853	H7200		H0853		H5375		

אֱלֹהִים׃	רוּחַ	עָלָיו	וַתְּהִי	לִשְׁבָטָיו	שֹׁכֵן
神–の	霊–が	彼–の–上–に	そして–臨んだ	部族–ごと–に	宿営–して–いる–の–を
H0430	H7307		H1961	H7626	H7931

目を上げて、イスラエルがそれぞれ部族にしたがって宿営しているのを見た。その時、神の霊が臨んだので、

3

וּנְאֻם	בְּעֹר	בְּנוֹ	בִּלְעָם	נְאֻם	וַיֹּאמַר	מְשָׁלוֹ	וַיִּשָּׂא
また–宣言	ベオル	息子–の	バラム–の	宣言	そして–言った	彼–の–たとえ–を	そして–取り上げた
H5002	H1160			H5002	H0559	H4912	H5375

הָעָיִן׃	שְׁתֻם	הַגֶּבֶר
目–の	開かれた	男–の
	H8365	H1397

彼はこの託宣を述べた。「ベオルの子バラムの言葉、目を閉じた人の言葉、

4

נֹפֵל	וּגְלוּי	שַׁדַּי	מַחֲזֵה	אֲשֶׁר	אֵל	אִמְרֵי־	שֹׁמֵעַ	נְאֻם
倒れ–伏し	見る–者	全能者–の	幻–を	～ところ–の	神–の	御言葉–を	聞く–者–の	宣言
H5307	H2372	H7706	H4236		H0410	H0561	H8085	H5002

עֵינָיִם׃	וּגְלוּי
目–の–者	そして–開かれた
	H1540

神の言葉を聞く者、全能者の幻を見る者、倒れ伏して、目の開かれた者の言葉。

5

יִשְׂרָאֵל׃	מִשְׁכְּנֹתֶיךָ	יַעֲקֹב	אָהָלֶיךָ	טֹבוּ	מַה־	
イスラエル–よ	あなた–の–住まい–は	ヤコブ–よ	あなた–の–天幕–は	麗しい	何と	
H3478	H4908	H3290	H0168	H2895	H4100	

ヤコブよ、あなたの天幕は麗しい、イスラエルよ、あなたのすまいは、麗しい。

6

נָטַע	כַּאֲהָלִים	נָהָר	עֲלֵי	כִּנְּתֹת	נְטָיוּ	כִּנְחָלִים	
植えた	沈香–の–木–の–よう–に	川	～の–そば–の	園–の–よう–に	広がり	谷川–の–よう–に	
H5193	H0174	H5104		H1593	H5186		

מָיִם׃	עֲלֵי־	כַּאֲרָזִים	יְהוָה
水	～の–そば–の	杉–の–木–の–よう–に	主–が
H4325		H0730	H3068

それは遠くひろがる谷々のよう、川べの園のよう、主が植えられた沈香樹のよう、流れのほとりの香柏のようだ。

7

וְיָרֹם	רַבִּים	בְּמַיִם	וְזַרְעוֹ	מִדָּלָיו	מַיִם	יִזַּל־	
そして–高く–なる	多く–の	豊か–な–水–の	そして–彼–の–子孫–は	彼–の–桶–から	水–が	流れ–出る	
		H4325	H2233	H1805	H4325	H5140	

מַלְכֻתוֹ׃	וְתִנַּשֵּׂא	מַלְכּוֹ	מֵאֲגַג
彼–の–王国–は	そして–上げられる	彼–の–王–は	アガグ–より–も
H4438	H5375	H4428	H0090

水は彼らのかめからあふれ、彼らの種は水の潤いに育つであろう。彼らの王はアガグよりも高くなり、彼らの国はあがめられるであろう。

8

יֹאכַל	לוֹ	רְאֵם	כְּתוֹעֲפֹת	מִמִּצְרַיִם	מוֹצִיאוֹ	אֵל	
食い–尽くす	力–が–ある	野牛	野牛–の–角–の–ような	エジプト–から	導き–出された	神–は	
H0398		H7214	H8443	H4714	H3318	H0410	

יִמְחָץ׃	וְחִצָּיו	יְגָרֵם	וְעַצְמֹתֵיהֶם	צָרָיו	גּוֹיִם
撃ち抜く	そして–その–矢–で	砕き	そして–その–骨–を	彼–の–敵–の	諸国–を
H4272	H2671		H6106		

神は彼らをエジプトから導き出された、彼らは野牛の角のようだ。彼らは敵なる国々の民を滅ぼし、その骨を砕き、矢をもって突き通すであろう。

9

יְקִימֶנּוּ	מִי	וּכְלָבִיא	כַּאֲרִי	שָׁכַב	כָּרַע
起こそう–か	誰–が	そして–雌獅子–の–ように	獅子–の–ように	伏した	かがみ
	H4310			H7901	H3766

אָרוּר׃	וְאֹרְרֶיךָ	בָּרוּךְ	מְבָרֲכֶיךָ
呪われる	そして–あなた–を–呪う–者–は	祝福–され	あなた–を–祝福–する–者–は
H0779	H0779	H1288	H1288

彼らは雄じしのように身をかがめ、雌じしのように伏している。だれが彼らを起しえよう。あなたを祝福する者は祝福され、あなたをのろう者はのろわれるであろう」。

10

אֶת־	וַיִּסְפֹּק	בִּלְעָם	אֶל־	בָּלָק	אַף	וַיִּחַר־
（〜を）	そして–打ち–合わせた	バラム	〜に–対して	バラク–の	怒り–が	そして–燃えた
H0853			H0413	H1111	H0639	H2734

קְרָאתִיךָ	אֹיְבַי	לְקַלֵּב	בִּלְעָם	אֶל־	בָּלָק	וַיֹּאמֶר	כַּפָּיו
私–は–呼んだ	私–の–敵–を	呪う–ため–に	バラム	〜に	バラク–は	そして–言った	彼–の–手–を
H7121	H0341	H6895		H0413	H1111	H0559	H3709

פְּעָמִים׃	שָׁלֹשׁ	זֶה	בָּרֵךְ	בֵּרַכְתָּ	וְהִנֵּה
回–も	三	これ–で	祝福–を	祝福–した	見よ
H6471	H7969	H2088	H1288	H1288	H2009

そこでバラクはバラムにむかって怒りを発し、手を打ち鳴らした。そしてバラクはバラムに言った、「敵をのろうために招いたのに、あなたはかえって三度までも彼らを祝福した。

11

אֲכַבֶּדְךָ	כַּבֵּד	אָמַרְתִּי	מְקוֹמֶךָ	אֶל־	לְךָ	בְּרַח־	וְעַתָּה	
お前–を–重く–報いる–と	重く–報いる–と	私–は–言った	場所–へ	〜の	お前–の	逃げろ	それで–今	
H3513	H3513	H0559	H4725	H0413		H1272	H6258	

מִכָּבוֹד׃	יְהוָה	מְנָעֲךָ	וְהִנֵּה	
栄誉–から	主–が	妨げた	見よ	
H3519	H3068	H4513	H2009	

それで今あなたは急いで自分のところへ帰ってください。わたしはあなたを大いに優遇しようと思った。しかし、主はその優遇をあなたに得させないようにされました」。

12

מַלְאָכֶיךָ	אֶל־	גַּם	הֲלֹא	בָּלָק	אֶל־	בִּלְעָם	וַיֹּאמֶר	
あなた–の–使者–に	〜に	また	（〜ではないか）	バラク	〜に	バラム–は	そして–言った	
H4397	H0413	H1571	H3808	H1111	H0413		H0559	

לֵאמֹר׃	דִּבַּרְתִּי	אֵלַי	שָׁלַחְתָּ	אֲשֶׁר־
言って	語った	私–に	遣わした	〜の–こと–を
H0559	H1696	H0413	H7971	

バラムはバラクに言った、「わたしはあなたがつかわされた使者たちに言ったではありませんか、

13

וְזָהָב	כֶּסֶף	בֵּיתוֹ	מָלְא	בָּלָק	לִי	יִתֶּן־	אִם־	
そして–金–を	銀–と	彼–の–家–を	満たす–ほど–の	バラク–が	私–に	与えて–も	たとえ	
H2091	H3701		H4393	H1111		H5414		

טוֹבָה	לַעֲשׂוֹת	יְהוָה	פִּי	אֶת־	לַעֲבֹר	אוּכַל	לֹא
良い–こと–も	行う–こと–は	主–の	口–に	（〜を）	背く–こと–は	私–は–できない	（〜ない）
		H3068	H6310	H0853		H3201	H3808

אֲדַבֵּר׃	אֹתוֹ	יְהוָה	יְדַבֵּר	אֲשֶׁר־	מִלִּבִּי	רָעָה	אוֹ
私–は–語る	それ–を	主–が	語る	〜の–こと–を	私–の–心–から–は	悪い–こと–も	または
H1696	H0853	H3068	H1696				

『たといバラクがその家に満ちるほどの金銀をわたしに与えようとも、主の言葉を越えて心のままに善も悪も行うことはできません。わたしは主の言われることを述べるだけです』。

14 וְעַתָּה הִנֵּנִי הוֹלֵךְ לְעַמִּי לְכָה אִיעָצְךָ אֲשֶׁר יַעֲשֶׂה
それで–今 見よ–私–は 行く 私–の–民–の–もと–へ 来て 助言–しよう ～の–こと–を する–だろう
H6258 H2009 H1980 H5971 H3212 H3289 H834 H6213

הַיָּמִים׃ בְּאַחֲרִית לְעַמְּךָ הַזֹּאת הָעָם
これら–の–日–に 終わり–の–日–に あなた–の–民–に この この–民–が
H3117 H0319 H5971 H2088 H5971

わたしは今わたしの民のところへ帰って行きます。それでわたしはこの民が後の日にあなたの民にどんなことをするかをお知らせしましょう」。

15 וַיִּשָּׂא מְשָׁלוֹ וַיֹּאמַר נְאֻם בִּלְעָם בְּנוֹ בְעֹר וְנְאֻם
そして–取り上げた 彼–の–たとえ–を そして–言った 宣言 バラム–の 息子–の ベオル また–宣言
H5375 H4912 H0559 H5002 H1161 H1160 H5002

הָעָיִן׃ שְׁתֻם הַגֶּבֶר
目–の 開かれた 男–の
H5869 H8365 H1397

そしてこの託宣を述べた。「ベオルの子バラムの言葉、目を閉じた人の言葉。

16 נְאֻם שֹׁמֵעַ אִמְרֵי־אֵל וְיֹדֵעַ דַּעַת עֶלְיוֹן מַחֲזֵה
宣言 聞く–者–の 御言葉–を 神–の そして–知る–者–の 知識–を いと高き–方–の 幻–を
H5002 H8085 H0561 H0410 H3045 H1847 H5945 H4236

שַׁדַּי חֱזֵה נֹפֵל וּגְלוּי עֵינָיִם׃
全能者–の 見る–者 倒れ–伏し そして–開かれた 目–の–者
H7706 H2372 H5307 H1540 H5869

神の言葉を聞く者、いと高き者の知識をもつ者、全能者の幻を見、倒れ伏して、目の開かれた者の言葉。

17 אֶרְאֶנּוּ וְלֹא עַתָּה אֲשׁוּרֶנּוּ וְלֹא קָרוֹב
私–は–見る しかし–（～ない） 今–ではない 私–は–眺める しかし–（～ない） 近く–ではない
H7200 H3808 H6258 H7789 H3808 H7138

דָּרַךְ כּוֹכָב מִיַּעֲקֹב וְקָם שֵׁבֶט מִיִּשְׂרָאֵל וּמָחַץ
踏み–出す 星–が ヤコブ–から そして–起ち上がる 王笏–が イスラエル–から そして–打ち–砕く
H1869 H3556 H3290 H6965 H7626 H3478 H4272

שֵׁת׃ בְּנֵי־ כָּל־ וְקַרְקַר מוֹאָב פַּאֲתֵי
セツ–の 息子–たち–を すべて–の そして–打ち–壊す モアブ–の 額–を
H8352 H1121 H3605 H7167 H4124 H6285

わたしは彼を見る、しかし今ではない。わたしは彼を望み見る、しかし近くではない。ヤコブから一つの星が出、イスラエルから一本のつえが起り、モアブのこめかみと、セツのすべての子らの脳天を撃つであろう。

18 וְהָיָה אֱדוֹם וְהָיְתָה יְרֵשָׁה יְרֵשָׁה וְהָיְתָה שֵׂעִיר אֹיְבָיו
そして–なる エドム–は 所有–に そして–なる 所有–に そして–なる 彼–の–敵–の
H1961 H0123 H3424 H1961 H3424 H8164 H0341

חָיִל׃ עֹשֶׂה וְיִשְׂרָאֵל
力強く 行う そして–イスラエル–は
H2428 H6213 H3478

敵のエドムは領地となり、セイルもまた領地となるであろう。そしてイスラエルは勝利を得るであろう。

19 וְיֵרֵד מִיַּעֲקֹב וְהֵאֲבִיד שָׂרִיד מֵעִיר׃
そして–支配–する ヤコブ–から–出た–者–が そして–滅ぼす 生き残り–を 町–から
H7287 H3290 H0006 H8300 H5892

権を執る者がヤコブから出、生き残った者を町から断ち滅ぼすであろう」。

20 וַיַּרְא וַיִּשָּׂא מְשָׁלוֹ וַיֹּאמַר רֵאשִׁית
そして–見た そして–取り上げた 彼–の–たとえ–を そして–言った 初め–の
H7200 H5375 H4912 H0559 H7225

עֲמָלֵק אֵת־ גּוֹיִם וְאַחֲרִיתוֹ עֲדֵי אֹבֵד׃
アマレク–を （〜を） 諸国–の しかし–その–終わり–は 永遠–に 滅びる
H6002 H0853 H0319 H5703 H0008

バラムはまたアマレクを望み見て、この託宣を述べた。「アマレクは諸国民のうちの最初のもの、しかし、ついに滅び去るであろう」。

21 וַיַּרְא וַיִּשָּׂא מְשָׁלוֹ וַיֹּאמַר אֵיתָן
そして–見た そして–取り上げた 彼–の–たとえ–を そして–言った 堅固–な
H7200 H5375 H4912 H0559 H0386

הַקֵּינִי אֵת־ מוֹשָׁבֶךָ בַּסֶּלַע וְשִׂים קִנֶּךָ׃
ケニ人–を （〜を） あなた–の–住まい–は 岩–の–上–に そして–置かれた あなた–の–巣–は
H7017 H0853 H4186 H5553 H7760 H7064

またケニびとを望み見てこの託宣を述べた。「お前のすみかは堅固だ、岩に、お前は巣をつくっている。

22 כִּי אִם־ יִהְיֶה לְבָעֵר קָיִן עַד־ מָה תִּשְׁבֶּךָּ׃
しかし たとえ なる–だろう 焼き–尽くされる–もの–に カイン–は いつ–まで いつ–まで 捕らえる–の–か
H1961 H7704 H4100 H7617

אַשּׁוּר׃
アッシリア–が
H0804

しかし、カインは滅ぼされるであろう。アシュルはいつまでお前を捕虜とするであろうか」。

23 וַיִּשָּׂא מְשָׁלוֹ וַיֹּאמַר אֹוי מִי יִחְיֶה
そして–取り上げた 彼–の–たとえ–を そして–言った ああ 誰–が 生きられよう–か
H5375 H4912 H0559 H0188 H4310 H2421

מְשֻׂמוֹ אֵל׃
定められた–時–に 神–が
H0410

彼はまたこの託宣を述べた。「ああ、神が定められた以上、だれが生き延びることができよう。

24 וְצִים מִיַּד כִּתִּים וְעִנּוּ אַשּׁוּר וְעִנּוּ עֵבֶר
そして–船–が 岸–から キティム–の そして–苦しめる アッシリア–を そして–苦しめる エベル–を
H6716 H3027 H3794 H6031 H0804 H5677

וְגַם־ הוּא עֲדֵי אֹבֵד׃
そして–また 彼–も 永遠–に 滅びる
H1571 H1931 H5703 H0008

キッテムの海岸から舟がきて、アシュルを攻めなやまし、エベルを攻めなやますであろう。そして彼もまたついに滅び去るであろう」。

25 וַיָּקָם וַיֵּלֶךְ וַיָּשָׁב לִמְקֹמוֹ וְגַם־
そして–立ち上がった そして–行った そして–帰った 彼–の–場所–へ そして–また
H6965 H3212 H7725 H4725 H1571

בִּלְעָם בָּלָק הָלַךְ לְדַרְכּוֹ׃ פ
バラム–は バラク–も 行った 彼–の–道–へ —
H1111 H1980 H1870

こうしてバラムは立ち上がって、自分のところへ帰っていった。バラクもまた立ち去った。

Chapter 25

1 וַיֵּשֶׁב יִשְׂרָאֵל בַּשִּׁטִּים וַיָּחֶל הָעָם לִזְנוֹת אֶל־בְּנוֹת
そして–住んだ イスラエルは シッテムに そして–始めた 民は 淫行を–する ～と 娘たちと
H3427 H3478 H7851 H2181 H0413 H1323

מוֹאָב׃
モアブの
H4124

イスラエルはシッテムにとどまっていたが、民はモアブの娘たちと、みだらな事をし始めた。

2 וַתִּקְרֶאן לָעָם לְזִבְחֵי אֱלֹהֵיהֶן וַיֹּאכַל הָעָם וַיִּשְׁתַּחֲווּ
そして–招いた 民を 犠牲の–食事に 彼女たちの–神々の そして–食べた 民は そして–ひれ伏した
H7121 H2077 H0430 H0398 H7812

לֵאלֹהֵיהֶן׃
彼女たちの–神々に
H0430

その娘たちが神々に犠牲をささげる時に民を招くと、民は一緒にそれを食べ、娘たちの神々を拝んだ。

3 וַיִּצָּמֶד יִשְׂרָאֵל לְבַעַל פְּעוֹר וַיִּחַר־אַף יְהוָה
そして–結びついた イスラエルは バアル・ペオルに そして–燃えた 怒りが 主の
H6775 H3478 H1187 H2734 H0639 H3068

בְּיִשְׂרָאֵל׃
イスラエルに–対して
H3478

イスラエルはこうしてペオルのバアルにつきしたがったので、主はイスラエルにむかって怒りを発せられた。

4 וַיֹּאמֶר יְהוָה אֶל־מֹשֶׁה קַח אֶת־כָּל־רָאשֵׁי הָעָם
そして–言った 主は ～に モーセに 取れ ～を すべての かしらたちを 民の
H0559 H3068 H0413 H4872 H3947 H0853 H3605

וְהוֹקַע אוֹתָם לַיהוָה נֶגֶד הַשָּׁמֶשׁ וְיָשֹׁב חֲרוֹן אַף־יְהוָה
そして–さらせ 彼らを 主の–前に ～に–向かって 太陽に そして–去る–ように 燃える 怒りが 主の
H3363 H0853 H3068 H5048 H8121 H7725 H2740 H0639 H3068

מִיִּשְׂרָאֵל׃
イスラエルから
H3478

そして主はモーセに言われた、「民の首領をことごとく捕え、日のあるうちにその人々を主の前で処刑しなさい。そうすれば主の怒りはイスラエルを離れるであろう」。

5 וַיֹּאמֶר מֹשֶׁה אֶל־שֹׁפְטֵי יִשְׂרָאֵל הִרְגוּ אִישׁ אַנְשָׁיו
そして–言った モーセは ～に さばきつかさたちに イスラエルの 殺せ おのおの 自分の–部下で
H0559 H4872 H0413 H8199 H3478 H2026 H0376 H0376

הַנִּצְמָדִים לְבַעַל פְּעוֹר׃
結びついた–者たちを バアル・ペオルに
H6775 H1187

モーセはイスラエルのさばきびとたちにむかって言った、「あなたがたはおのおの、配下の者どもでペオルのバアルにつきしたがったものを殺しなさい」。

6

וַיִּקְרֵב	בָּא	יִשְׂרָאֵל	מִבְּנֵי	אִישׁ	וְהִנֵּה	
そして-連れて来た	来て	イスラエルの	～の-子らの-中から	ひとりの-男が	すると-見よ	
H7126	H0935	H3478		H0376	H2009	

וּלְעֵינֵי	מֹשֶׁה	לְעֵינֵי	הַמִּדְיָנִית	אֶת־	אֶחָיו	אֶל־
そして-～の-目の前で	モーセの	～の-目の前で	ミデヤンの-女を	～を	兄弟たちの	～の-もとに
	H4872		H4084	H0853	H0251	H0413

מוֹעֵד׃	אֹהֶל	פֶּתַח	בֹּכִים	וְהֵמָּה	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי־	עֵדַת	כָּל־
会見の	幕屋の	入り口で	泣いていた	彼らは	イスラエルの	子らの	会衆の	すべての
H4150	H0168	H6607	H1058	H1992	H3478		H5712	H3605

モーセとイスラエルの人々の全会衆とが会見の幕屋の入口で泣いていた時、彼らの目の前で、ひとりのイスラエルびとが、その兄弟たちの中に、ひとりのミデアンの女を連れてきた。

7

וַיָּקָם	הַכֹּהֵן	אַהֲרֹן	בֶּן־	אֶלְעָזָר	בֶּן־	פִּינְחָס	וַיַּרְא
そして-立ち上がった	祭司は	アロンの	～の-子	エルアザルの	～の-子	ピネハスは	そして-見た
	H3548	H0175		H0499		H6372	H7200

בְּיָדוֹ׃	רֹמַח	וַיִּקַּח	הָעֵדָה	מִתּוֹךְ	
手に	槍を	そして-取った	会衆の	～の-中から	
H3027	H7420	H3947	H5712	H8432	

祭司アロンの子なるエレアザルの子ピネハスはこれを見て、会衆のうちから立ち上がり、やりを手に執り、

8

הַקֻּבָּה	אֶל־	יִשְׂרָאֵל	אִישׁ־	אַחַר	וַיָּבֹא	
天幕の-中に	～の-中に	イスラエルの	イスラエルの-男の	～の-後を追って	そして-入った	
H6898	H0413	H3478	H0376		H0935	

וְאֶת־	יִשְׂרָאֵל	אִישׁ	אֶת	שְׁנֵיהֶם	אֶת־	וַיִּדְקֹר	
そして-～を	イスラエルの	イスラエルの-男と	～を	ふたりとも	～を	そして-突き刺した	
H0853	H3478	H0376	H0853	H8147	H0853	H1856	

יִשְׂרָאֵל׃	בְּנֵי	מֵעַל	הַמַּגֵּפָה	וַתֵּעָצַר	קֻבָּתָהּ	אֶל־	הָאִשָּׁה
イスラエルの	子らの	～から	疫病は	そして-止められた	腹を	～の	その-女を
H3478			H4046	H6113	H6897	H0413	H0802

そのイスラエルの人の後を追って、奥の間に入り、そのイスラエルの人を突き、またその女の腹を突き通して、ふたりを殺した。こうして疫病がイスラエルの人々に及ぶのがやんだ。

9

פ	אָלֶף׃	וְעֶשְׂרִים	אַרְבָּעָה	בַּמַּגֵּפָה	הַמֵּתִים	וַיִּהְיוּ	
—	千であった	四	二万	疫病で	死んだ-者は	そして-なった	
	H0505	H6242	H0702	H4046	H4191	H1961	

しかし、その疫病で死んだ者は二万四千人であった。

10

לֵאמֹר׃	מֹשֶׁה	אֶל־	יְהוָה	וַיְדַבֵּר		
言って	モーセに	～に	主は	そして-語った		
H0559	H4872	H0413	H3068	H1696		

主はモーセに言われた、

11

חֲמָתִי	אֶת־	הֵשִׁיב	הַכֹּהֵן	אַהֲרֹן	בֶּן־	אֶלְעָזָר	בֶּן־	פִּינְחָס
わたしの–怒りを	～を	静めた	祭司は	アロンの	～の–子	エルアザルの	～の–子	ピネハスは
H2534	H0853	H7725	H3548	H0175		H0499		H6372

בְּתוֹכָם	קִנְאָתִי	אֶת־	בְּקַנְאוֹ	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי־	מֵעַל
彼らの–中で	わたしの–ねたみを	～を	熱心を–もって	イスラエルの	子らの	～から
H8432	H7068	H0853	H7065	H3478		

בְּקִנְאָתִי׃	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי־	אֶת־	כִּלִּיתִי	וְלֹא־
わたしの–ねたみの–中で	イスラエルの	子らを	～を	滅ぼさなかった	そして–わたしは–しなかった
H7068	H3478		H0853	H3615	H3808

「祭司アロンの子なるエレアザルの子ピネハスは自分のことのように、わたしの憤激をイスラエルの人々のうちに表わし、わたしの怒りをそのうちから取り去ったので、わたしは憤激して、イスラエルの人々を滅ぼすことをしなかった。

12

שָׁלוֹם׃	בְּרִיתִי	אֶת־	לוֹ	נֹתֵן	הִנְנִי	אֱמֹר	לָכֵן
平和の	わたしの–契約を	～を	彼に	与える	見よ–わたしは	言え	それゆえ
H7965	H1285	H0853		H5414	H2009	H0559	

このゆえにあなたは言いなさい、『わたしは平和の契約を彼に授ける。

13

אֲשֶׁר	תַּחַת	עוֹלָם	כְּהֻנַּת	בְּרִית	אַחֲרָיו	וּלְזַרְעוֹ	לוֹ	וְהָיְתָה
～した	～のゆえに	永遠の	祭司職の	契約は	彼の–後の	そして–彼の–子孫に	彼に	そして–なる
H8478		H5769	H3550	H1285		H2233		H1961

יִשְׂרָאֵל׃	בְּנֵי	עַל־	וַיְכַפֵּר	לֵאלֹהָיו	קִנֵּא
イスラエルの	子らの	～のために	そして–贖いをした	彼の–神の–ために	熱心を–示した
H3478				H0430	H7065

これは彼とその後の子孫に永遠の祭司職の契約となるであろう。彼はその神のために熱心であって、イスラエルの人々のために罪のあがないをしたからである』と」。

14

אֶת־	הֻכָּה	אֲשֶׁר	הַמֻּכָּה	יִשְׂרָאֵל	אִישׁ	וְשֵׁם	
～と–共に	打たれた	～した	打たれた	イスラエルの	イスラエルの–男の	さて–名は	
H0854	H5221		H5221	H3478	H0376	H8034	

לַשִּׁמְעֹנִי׃	אָב	בֵּית־	נְשִׂיא	סָלּוּא	בֶּן־	זִמְרִי	הַמִּדְיָנִית
シメオン人の	父の	父の–家の	長であった	サルの	～の–子	ジムリといい	ミデヤンの–女と
H8099	H0001						H4084

ミデアンの女と共に殺されたイスラエルの人の名はジムリといい、サルの子で、シメオンびとのうちの一族のつかさであった。

15

רֹאשׁ	צוּר	בַּת־	כָּזְבִּי	הַמִּדְיָנִית	הַמֻּכָּה	הָאִשָּׁה	וְשֵׁם	
かしらであった	ツルの	～の–娘	コズビといい	ミデヤンの–女の	打たれた	その–女の	そして–名は	
	H6698	H1323	H3579	H4084	H5221	H0802	H8034	

פ	הוּא׃	בְּמִדְיָן	אָב	בֵּית־	אֻמּוֹת
—	彼は	ミデヤンの	父の	父の–家の	氏族の
	H1931	H4080	H0001		H0523

またその殺されたミデアンの女の名はコズビといい、ツルの娘であった。ツルはミデアンの民の一族のかしらであった。

16

לֵאמֹר׃	מֹשֶׁה	אֶל־	יְהוָה	וַיְדַבֵּר	
言って	モーセに	～に	主は	そして–語った	
H0559	H4872	H0413	H3068	H1696	

主はまたモーセに言われた、

17 צָרֹ֥ר אֶת־ הַמִּדְיָנִ֖ים וְהִכִּיתֶ֥ם אוֹתָֽם׃
敵対せよ ～を H0853 ミデヤン人たちに H4084 そして–打て H5221 彼らを H0853

「ミデアンびとを打ち悩ましなさい。

18 כִּ֣י צֹרְרִ֗ים הֵם֙ לָכֶ֔ם בְּנִכְלֵיהֶ֖ם אֲשֶׁר־ נָכְל֣וּ לָכֶ֑ם
なぜなら 敵対している 彼らは H1992 あなたがたに 彼らの–策略で H5231 ～した H0853 あなたがたを 欺いた H5230

עַל־ דְּבַר־ פְּעֹ֔ור וְעַל־ דִּבַּ֥ר כָּזְבִּ֖י בַּת־ נְשִׂ֣יא מִדְיָ֑ן
～に–関して H0853 事の H1697 ペオルの H6465 そして–～に–関して H1697 事の H1697 コズビの H3579 ～の–娘の H1323 長の ミデヤンの H4080

אֲחֹתָ֔ם הַמֻּכָּ֖ה בְּיֹ֣ום ׀ הַמַּגֵּפָ֑ה עַל־ דְּבַר־ פְּעֹ֖ור׃
彼らの–姉妹の H0269 打たれた H5221 ～の–日に H3117 疫病の H4046 ～に–関して 事の H1697 ペオルの H6465

彼らはたくらみをもって、あなたがたを悩まし、ペオルの事と、彼らの姉妹、ミデアンのつかさの娘コズビ、すなわちペオルの事により、疫病の起った日に殺された女の事とによって、あなたがたを惑わしたからである」。

Chapter 26

1 וַיְהִ֗י אַחֲרֵי֙ הַמַּגֵּפָ֔ה פ וַיֹּ֨אמֶר֙ יְהוָ֣ה אֶל־ מֹשֶׁ֔ה וְאֶ֖ל אֶלְעָזָ֣ר בֶּן־ אַהֲרֹ֣ן הַכֹּהֵ֑ן לֵאמֹֽר׃
そして–あった H1961 ～の–後に 疫病の H4046 ― そして–言った H0559 主は H3068 ～に H0413 モーセに H4872 そして–～に H0413 言って H0559 祭司に H3548 アロンの H0175 ～の–子 エルアザルに H0499

疫病の後、主はモーセと祭司アロンの子エレアザルとに言われた、

2 שְׂא֞וּ אֶת־ רֹ֣אשׁ כָּל־ עֲדַ֣ת בְּנֵי־ יִשְׂרָאֵ֗ל מִבֶּן־ עֶשְׂרִ֤ים שָׁנָה֙ וָמַ֔עְלָה לְבֵ֖ית אֲבֹתָ֑ם כָּל־ יֹצֵ֥א צָבָ֖א בְּיִשְׂרָאֵֽל׃
数えよ H5375 ～を H0853 頭数を 会衆の H5712 子らの 全ての H3605 ～の–子から 二十 H6242 歳 H8141 父祖たちの H0001 ～の–家ごとに 以上の H4605 出る–者 H3318 軍務に イスラエルで H3478 イスラエルの H3478

「イスラエルの人々の全会衆の総数をその父祖の家にしたがって調べ、イスラエルにおいて、すべて戦争に出ることのできる二十歳以上の者を数えなさい」。

3 וַיְדַבֵּ֨ר מֹשֶׁ֜ה וְאֶלְעָזָ֣ר הַכֹּהֵ֗ן אֹתָם֙ בְּעַרְבֹ֣ת מֹואָ֔ב עַל־ יַרְדֵּ֖ן יְרֵחֹ֑ו לֵאמֹֽר׃
そして–語った H1696 モーセと H4872 祭司は H3548 エルアザルは H0499 彼らに H0853 平野で H6160 モアブの H4124 ～のほとりの 言って H0559 エリコの H3405 ヨルダンの H3383

そこでモーセと祭司エレアザルとは、エリコに近いヨルダンのほとりにあるモアブの平野で彼らに言った、

4 מִבֶּן עֶשְׂרִים שָׁנָה וָמַעְלָה כֹּל אֲשֶׁר־ צִוָּה יְהוָה אֶת־ מֹשֶׁה
～の–子から 二十 歳 以上を ～の–とおりに 命じた 主が ～を モーセに
H4872 H0853 H3068 H6680 H4605 H8141 H6242 H4714 H0776 H3318 H3478 H1121

וּבְנֵי יִשְׂרָאֵל הַיֹּצְאִים מֵאֶרֶץ מִצְרָיִם׃
そして–子らは イスラエルの 出て来た–者たちは ～の–地から エジプトの
H6384 H4940

「主がモーセに命じられたように、あなたがたのうちの二十歳以上の者を数えなさい」。エジプトの地から出てきたイスラエルの人々は次のとおりである。

5 וְרֹאוּבֵן בְּכוֹר יִשְׂרָאֵל בְּנֵי רְאוּבֵן חֲנוֹךְ מִשְׁפַּחַת הַחֲנֹכִי לְפַלּוּא
ルベンは 長子で イスラエルの 子らは ルベンの ハノクから 氏族は ハノク人の パルから
H7205 H1060 H3478 H7205 H2585 H4940 H2599 H6396

מִשְׁפַּחַת הַפַּלְאִי׃
氏族は パル人の
H4940 H6384

ルベンはイスラエルの長子である。ルベンの子孫は、ヘノクからヘノクびとの氏族が出、パルからパルびとの氏族が出、

6 לְחֶצְרֹן מִשְׁפַּחַת הַחֶצְרוֹנִי לְכַרְמִי מִשְׁפַּחַת הַכַּרְמִי׃
ヘツロンから 氏族は ヘツロン人の カルミから 氏族は カルミ人の
H2696 H4940 H2697 H3756 H4940 H3757

ヘヅロンからヘヅロンびとの氏族が出、カルミからカルミびとの氏族が出た。

7 אֵלֶּה מִשְׁפְּחֹת הָרְאוּבֵנִי וַיִּהְיוּ פְקֻדֵיהֶם שִׁלְשָׁה וְאַרְבָּעִים אֶלֶף וּשְׁבַע
これらは 氏族で ルベン人の そして–なった 登録された–者は 四万 三 千 七
H0428 H4940 H7206 H1961 H7970 H3967 H0505 H7651

מֵאוֹת וּשְׁלֹשִׁים׃
百 三十であった
H3967 H7970

これらはルベンびとの氏族であって、数えられた者は四万三千七百三十人であった。

8 וּבְנֵי פַלּוּא אֱלִיאָב׃
そして–子らは パルの エリアブであった
H6396 H0446

またパルの子はエリアブ。

9 וּבְנֵי אֱלִיאָב נְמוּאֵל וְדָתָן וַאֲבִירָם הוּא־ דָתָן
そして–子らは エリアブの ネムエルと ダタンと アビラムであった これは ダタンと
H1885 H1931 H0048 H1885 H5241 H0446

וַאֲבִירָם אֲשֶׁר הִצּוּ עַל־ מֹשֶׁה וְעַל־ עֲדַת הָעֵדָה בְּהַצֹּתָם
アビラムであった 召された 名高い–者たち 会衆の ～した 争った ～に–対して モーセと
H0048 H7121 H7148 H5712 H4872

עַל־ יְהוָה׃ וְעַל־ קֹרַח בַּעֲדַת־ אַהֲרֹן
そして–～に–対して アロンに ～の–仲間で コラの 彼らが–争った–とき ～に–対して 主に
H3068 H0175 H5712 H7141

エリアブの子はネムエル、ダタン、アビラムである。このダタンとアビラムとは会衆のうちから選び出された者で、コラのともがらと共にモーセとアロンとに逆らって主と争った時、

10

קֹרַח	וְאֵת־	אֹתָם	וַתִּבְלַע	פִּיהָ	אֶת־	הָאָרֶץ	וַתִּפְתַּח
コラを	そして–〜を	彼らを	そして–飲み込んだ	その–口を	〜を	地は	そして–開いた
H7141	H0853	H0853	H1104	H6310	H0853	H0776	

אִישׁ	וּמָאתַיִם	חֲמִשִּׁים	אֶת	הָאֵשׁ	בַּאֲכָל	הָעֵדָה	בְּמוֹת	
人を	と–二百	五十	〜を	火が	〜が–焼き尽くした–とき	仲間たちが	〜が–死んだ–とき	
H0376	H3967	H2572	H0853	H0784	H0398	H5712	H4194	

לְנֵס׃	וַיִּהְיוּ	
警告と	そして–なった	
H5251	H1961	

地は口を開いて彼らとコラとをのみ、その仲間は死んだ。その時二百五十人が火に焼き滅ぼされて、戒めの鏡となった。

11

ס	מֵתוּ׃	לֹא־	קֹרַח	וּבְנֵי־	
—	死ななかった	〜しなかった	コラの	しかし–子らは	
	H4191	H3808	H7141		

ただし、コラの子たちは死ななかった。

12

מִשְׁפַּחַת	לְיָמִּין	הַנְּמוּאֵלִי	מִשְׁפַּחַת	לִנְמוּאֵל	לְמִשְׁפְּחֹתָם	שִׁמְעוֹן	בְּנֵי
氏族は	ヤミンから	ネムエル人の	氏族は	ネムエルから	氏族ごとに	シメオンの	子らは
H4940	H3226	H5242	H4940	H5241	H4940	H8095	

הַיָּכִינִי׃	מִשְׁפַּחַת	לְיָכִין	הַיָּמִינִי	
ヤキン人の	氏族は	ヤキンから	ヤミン人の	
H3200	H4940	H3199	H3228	

シメオンの子孫は、その氏族によれば、ネムエルからネムエルびとの氏族が出、ヤミンからヤミンびとの氏族が出、ヤキンからヤキンびとの氏族が出、

13

הַשָּׁאוּלִי׃	מִשְׁפַּחַת	לְשָׁאוּל	הַזַּרְחִי	מִשְׁפַּחַת	לְזֶרַח
シャウル人の	氏族は	シャウルから	ゼラ人の	氏族は	ゼラから
H7587	H4940	H7586	H2227	H4940	H2226

ゼラからゼラびとの氏族が出、シャウルからシャウルびとの氏族が出た。

14

ס	וּמָאתָיִם׃	אֶלֶף	וְעֶשְׂרִים	שְׁנָיִם	הַשִּׁמְעֹנִי	מִשְׁפָּחֹת	אֵלֶּה
—	二百であった	千	二	二万	シメオン人の	氏族で	これらは
	H3967	H0505	H6242	H8147	H8099	H4940	H0428

これらはシメオンびとの氏族であって、数えられた者は二万二千二百人であった。

15

מִשְׁפַּחַת	לְחַגִּי	הַצְּפוֹנִי	מִשְׁפַּחַת	לְצִפּוֹן	לְמִשְׁפְּחֹתָם	גָּד	בְּנֵי
氏族は	ハギから	ツェフォン人の	氏族は	ツェフォンから	氏族ごとに	ガドの	子らは
H4940	H2291	H6831	H4940	H6827	H4940	H1410	

הַשּׁוּנִי׃	מִשְׁפַּחַת	לְשׁוּנִי	הַחַגִּי	
シュニ人の	氏族は	シュニから	ハギ人の	
H7765	H4940	H7764	H2291	

ガドの子孫は、その氏族によれば、ゼポンからゼポンびとの氏族が出、ハギからハギびとの氏族が出、シュニからシュニびとの氏族が出、

16

הָעֵרִי׃	מִשְׁפַּחַת	לְעֵרִי	הָאֶזְנִי	מִשְׁפַּחַת	לְאֶזְנִי
エリ人の	氏族は	エリから	オズニ人の	氏族は	オズニから
H6180	H4940	H6179		H4940	

オズニからオズニびとの氏族が出、エリからエリびとの氏族が出、

17	לַאֲרֹדִי	מִשְׁפַּחַת	לְאַרְאֵלִי	הָאֲרֹדִי	מִשְׁפַּחַת	לַאֲרֹד
	アロドから	氏族は	アルエリから	アロド人の	氏族は	アロドから
	H0720	H4940	H0692	H0722	H4940	H0692

	הָאַרְאֵלִי׃	מִשְׁפַּחַת	לְאַרְאֵלִי	הָאֲרֹדִי	מִשְׁפַּחַת	לַאֲרֹד		
	アルエリ人の	氏族は	アルエリから	アロド人の	氏族は	アロドから		
	H0692	H4940	H0692	H0722	H4940	H0720		

アロドからアロドびとの氏族が出、アレリからアレリびとの氏族が出た。

18	מֵאוֹת׃	וַחֲמֵשׁ	אֶלֶף	אַרְבָּעִים	לִפְקֻדֵיהֶם	גָּד	בְּנֵי־	מִשְׁפְּחֹת	אֵלֶּה
	百であった	五	千	四万	登録された–者は	ガドの	子らの	氏族で	これらは
	H3967	H2568	H0505	H0705		H1410		H4940	H0428

ס	מֵאוֹת׃	וַחֲמֵשׁ	אֶלֶף	אַרְבָּעִים	לִפְקֻדֵיהֶם	גָּד	בְּנֵי־	מִשְׁפְּחֹת	אֵלֶּה
—	百であった	五	千	四万	登録された–者は	ガドの	子らの	氏族で	これらは
	H3967	H2568	H0505	H0705		H1410		H4940	H0428

これらはガドの子孫の氏族であって、数えられた者は四万五百人であった。

19	כְּנָעַן׃	בְּאֶרֶץ	וְאוֹנָן	עֵר	וַיָּמָת	וְאוֹנָן	עֵר	יְהוּדָה	בְּנֵי
	カナンの	～の–地で	オナンは	エルと	そして–死んだ	オナンであった	エルと	ユダの	子らは
		H0776	H0209	H6147	H4191	H0209	H6147	H3063	

ユダの子らはエルとオナンとであって、エルとオナンとはカナンの地で死んだ。

20	מִשְׁפָּחַת	לְפֶרֶץ	הַשֵּׁלָנִי	מִשְׁפַּחַת	לְשֵׁלָה	לְמִשְׁפְּחֹתָם	יְהוּדָה	בְּנֵי־	וַיִּהְיוּ
	氏族は	ペレツから	シェラ人の	氏族は	シェラから	氏族ごとに	ユダの	子らは	そして–なった
	H4940	H6557	H8024	H4940	H7956	H4940	H3063		H1961

	הַזַּרְחִי׃	מִשְׁפַּחַת	לְזֶרַח	הַפַּרְצִי
	ゼラ人の	氏族は	ゼラから	ペレツ人の
	H2227	H4940	H2226	H6558

ユダの子孫は、その氏族によれば、シラからシラびとの氏族が出、ペレヅからペレヅびとの氏族が出、ゼラからゼラびとの氏族が出た。

21	מִשְׁפַּחַת	לְחֶמּוּל	הַחֶצְרֹנִי	מִשְׁפַּחַת	לְחֶצְרֹן	פֶּרֶץ	בְּנֵי־	וַיִּהְיוּ
	氏族は	ハムルから	ヘツロン人の	氏族は	ヘツロンから	ペレツの	子らは	そして–なった
	H4940	H2538	H2697	H4940	H2696	H6557		H1961

	הַחֲמוּלִי׃
	ハムル人の
	H2539

ペレヅの子孫は、ヘヅロンからヘヅロンびとの氏族が出、ハムルからハムルびとの氏族が出た。

22	מֵאוֹת׃	וַחֲמֵשׁ	אֶלֶף	וְשִׁבְעִים	שִׁשָּׁה	לִפְקֻדֵיהֶם	יְהוּדָה	מִשְׁפְּחֹת	אֵלֶּה
	百であった	五	千	六	七万	登録された–者は	ユダの	氏族で	これらは
	H3967	H2568	H0505	H7657	H8337		H3063	H4940	H0428

ס	מֵאוֹת׃	וַחֲמֵשׁ	אֶלֶף	וְשִׁבְעִים	שִׁשָּׁה	לִפְקֻדֵיהֶם	יְהוּדָה	מִשְׁפְּחֹת	אֵלֶּה
—	百であった	五	千	六	七万	登録された–者は	ユダの	氏族で	これらは
	H3967	H2568	H0505	H7657	H8337		H3063	H4940	H0428

これらはユダの氏族であって、数えられた者は七万六千五百人であった。

23	הַפּוּנִי׃	מִשְׁפַּחַת	לְפֻוָּה	הַתּוֹלָעִי	מִשְׁפַּחַת	תּוֹלָע	לְמִשְׁפְּחֹתָם	יִשָּׂשכָר	בְּנֵי
	プニ人の	氏族は	プワから	トラ人の	氏族は	トラから	氏族ごとに	イッサカルの	子らは
	H6324	H4940	H6312	H8440	H4940	H8439	H4940	H3485	

イッサカルの子孫は、その氏族によれば、トラからトラびとの氏族が出、プワからプワびとの氏族が出、

24	הַשִּׁמְרֹנִי׃	מִשְׁפַּחַת	לְשִׁמְרֹן	הַיָּשׁוּבִי	מִשְׁפַּחַת	לְיָשׁוּב
	シムロン人の	氏族は	シムロンから	ヤシュブ人の	氏族は	ヤシュブから
	H8117	H4940		H3432	H4940	H3437

ヤシュブからヤシュブびとの氏族が出、シムロンからシムロンびとの氏族が出た。

25 אֵלֶּה מִשְׁפְּחֹת יִשָּׂשכָר לִפְקֻדֵיהֶם אַרְבָּעָה וְשִׁשִּׁים אֶלֶף וּשְׁלֹשׁ מֵאוֹת׃
これらは 氏族で イッサカルの 登録された-者は 六万 四 千 三 百であった
H0428 H4940 H3485 H0702 H8346 H0505 H7969 H3967

ס
—

これらはイッサカルの氏族であって、数えられた者は六万四千三百人であった。

26 בְּנֵי זְבוּלֻן לְמִשְׁפְּחֹתָם לְסֶרֶד מִשְׁפַּחַת הַסַּרְדִּי לְאֵלוֹן מִשְׁפַּחַת הָאֵלֹנִי לְיַחְלְאֵל מִשְׁפַּחַת הַיַּחְלְאֵלִי׃
子らは ゼブルンの 氏族ごとに セレドから 氏族は セレド人の エロンから 氏族は エロン人の ヤフレエルから 氏族は ヤフレエル人の
H2074 H4940 H5624 H4940 H5625 H0356 H4940 H0440 H3177 H4940 H3178

ゼブルンの子孫は、その氏族によれば、セレデからセレデびとの氏族が出、エロンからエロンびとの氏族が出、ヤリエルからヤリエルびとの氏族が出た。

27 אֵלֶּה מִשְׁפְּחֹת הַזְּבוּלֻנִי לִפְקֻדֵיהֶם שִׁשִּׁים אֶלֶף וַחֲמֵשׁ מֵאוֹת׃ ס
これらは 氏族で ゼブルン人の 登録された-者は 六万 千 五 百であった —
H0428 H4940 H2075 H8346 H0505 H2568 H3967

これらはゼブルンびとの氏族であって、数えられた者は六万五百人であった。

28 בְּנֵי יוֹסֵף לְמִשְׁפְּחֹתָם מְנַשֶּׁה וְאֶפְרָיִם׃
子らは ヨセフの 氏族ごとに マナセと エフライムであった
H3130 H4940 H4519 H0669

ヨセフの子らは、その氏族によれば、マナセとエフライムとであって、

29 בְּנֵי מְנַשֶּׁה לְמָכִיר מִשְׁפַּחַת הַמָּכִירִי וּמָכִיר הוֹלִיד אֶת־גִּלְעָד לְגִלְעָד מִשְׁפַּחַת הַגִּלְעָדִי׃
子らは マナセの マキルから 氏族は マキル人の そして-マキルは 生んだ ～を ギルアドを ギルアドから 氏族は ギルアド人の
H4519 H4353 H4940 H4354 H4353 H3205 H0853 H1568 H1568 H4940 H1569

マナセの子孫は、マキルからマキルびとの氏族が出た。マキルからギレアデが生れ、ギレアデからギレアデびとの氏族が出た。

30 אֵלֶּה בְּנֵי גִלְעָד אִיעֶזֶר מִשְׁפַּחַת הָאִיעֶזְרִי חֶלֶק מִשְׁפַּחַת הַחֶלְקִי׃
これらは 子らで ギルアドの イエゼルから 氏族は イエゼル人の ヘレクから 氏族は ヘレク人の
H0428 H1568 H0372 H4940 H0373 H2507 H4940 H2516

ギレアデの子孫は次のとおりである。イエゼルからイエゼルびとの氏族が出、ヘレクからヘレクびとの氏族が出、

31 וְאַשְׁרִיאֵל מִשְׁפַּחַת הָאַשְׂרִיאֵלִי וְשֶׁכֶם מִשְׁפַּחַת הַשֶּׁכְמִי׃
アスリエルから 氏族は アスリエル人の シェケムから 氏族は シェケム人の
H0844 H4940 H0845 H7928 H4940 H7930

アスリエルからアスリエルびとの氏族が出、シケムからシケムびとの氏族が出、

32	וּשְׁמִידָ֑ע	הַשְּׁמִידָעִ֖י	וְחֵ֥פֶר	מִשְׁפַּ֛חַת	מִשְׁפָּחַ֥ת	הַחֵפְרִֽי׃
	シェミダから	シェミダ人の	ヘフェルから	氏族は	氏族は	ヘフェル人の
	H8061	H8062	H2660	H4940	H4940	H2662

セミダからセミダびとの氏族が出、ヘペルからヘペルびとの氏族が出た。

33	וּצְלָפְחָ֖ד	בֶּן־	חֵ֥פֶר	לֹא־	הָיוּ	לוֹ	בָּנִ֔ים	כִּ֣י
	そして–ツェロフハドは	～の–子	ヘフェルの	～しなかった	いなかった	彼には	息子は	ただ
	H6765			H3808	H1961			

חָגְלָ֥ה	וְנֹעָ֛ה	מַחְלָ֥ה	צְלָפְחָ֖ד	בְּנ֣וֹת	וְשֵׁ֣ם	בָּנ֑וֹת	אִם־
ホグラと	ノアと	マフラと	ツェロフハドの	娘たちの	そして–名は	娘たちだけであった	～だけ
H2295	H5270	H4244	H6765	H1323	H8034	H1323	

וְתִרְצָֽה׃	מִלְכָּֽה
ティルツァであった	ミルカと
H8656	H4435

ヘペルの子ゼロペハデには男の子がなく、ただ女の子のみで、ゼロペハデの女の子の名はマアラ、ノア、ホグラ、ミルカ、テルザといった。

34	אֵ֔לֶּה	מִשְׁפַּ֥חַת	מְנַשֶּׁ֖ה	וּפְקֻדֵיהֶ֑ם	שְׁנַ֣יִם	וַחֲמִשִּׁ֔ים	אֶ֖לֶף	וּשְׁבַ֥ע	מֵא֥וֹת׃	ס
	これらは	氏族で	マナセの	登録された–者は	五万	二	千	七	百であった	—
	H0428	H4940	H4519		H8147	H2572	H0505	H7651	H3967	

これらはマナセの氏族であって、数えられた者は五万二千七百人であった。

35	אֵ֔לֶּה	בְּנֵי־	אֶפְרַ֖יִם	לְמִשְׁפְּחֹתָ֑ם	לְשׁוּתָ֖לַח	מִשְׁפַּ֥חַת	הַשָּׁתַלְחִ֛י	לְבֶ֥כֶר
	これらは	子らで	エフライムの	氏族ごとに	シュテラから	氏族は	シュテラ人の	ベケルから
	H0428		H0669	H4940	H7803	H4940	H8364	H1071

הַתַּחֲנִֽי׃	מִשְׁפַּ֥חַת	לְתַּ֖חַן	הַבַּכְרִ֑י	מִשְׁפַּ֥חַת
タハン人の	氏族は	タハンから	ベケル人の	氏族は
H8470	H4940	H8465	H1076	H4940

エフライムの子孫は、その氏族によれば、次のとおりである。シュテラからはシュテラびとの氏族が出、ベケルからベケルびとの氏族が出、タハンからタハンびとの氏族が出た。

36	וְאֵ֔לֶּה	בְּנֵ֥י	שׁוּתָ֖לַח	לְעֶרָ֑ן	מִשְׁפַּ֥חַת	הָעֶרָנִֽי׃
	そして–これらは	子らで	シュテラの	エランから	氏族は	エラン人の
	H0428		H7803	H6197	H4940	H6198

またシュテラの子孫は次のとおりである。すなわちエランからエランびとの氏族が出た。

37	אֵ֔לֶּה	מִשְׁפָּחֹ֥ת	בְּנֵי־	אֶפְרַ֖יִם	לִפְקֻדֵיהֶ֑ם	שְׁנַ֣יִם	וּשְׁלֹשִׁ֔ים	אֶ֖לֶף	וַחֲמֵ֥שׁ
	これらは	氏族で	子らの	エフライムの	登録された–者は	三万	二	千	五
	H0428	H4940		H0669		H8147	H7970	H0505	H2568

ס	לְמִשְׁפְּחֹתָֽם׃	יוֹסֵ֖ף	בְּנֵי־	אֵ֑לֶּה	מֵא֥וֹת
—	氏族ごとであった	ヨセフの	子らで	これらは	百であった
	H4940	H3130		H0428	H3967

これらはエフライムの子孫の氏族であって、数えられた者は三万二千五百人であった。以上はヨセフの子孫で、その氏族によるものである。

38 בְּנֵי בִנְיָמִן לְמִשְׁפְּחֹתָם לְבֶלַע מִשְׁפַּחַת הַבַּלְעִי לְאַשְׁבֵּל מִשְׁפַּחַת
子らは ベニヤミンの 氏族ごとに ベラから 氏族は ベラ人の アシュベルから 氏族は
H1144 H4940 H4940 H1108 H0788 H4940

הָאַשְׁבֵּלִי לְאֶחִירָם מִשְׁפַּחַת לְאֶחִירָם׃ הָאֲחִירָמִי
アシュベル人の アヒラムから 氏族は アヒラム人の
H0789 H0297 H4940 H0298

ベニヤミンの子孫は、その氏族によれば、ベラからベラびとの氏族が出、アシベルからアシベルびとの氏族が出、アヒラムからアヒラムびとの氏族が出、

39 לְשֻׁפּוּפָם מִשְׁפַּחַת הַשּׁוּפָמִי לְחוּפָם מִשְׁפַּחַת הַחוּפָמִי׃
シェファファムから 氏族は シュファム人の ファファムから 氏族は ファファム人の
H4940 H7781 H2349 H4940 H2350

シュパムからシュパムびとの氏族が出、ホパムからホパムびとの氏族が出た。

40 וַיִּהְיוּ בְּנֵי־בֶלַע אַרְדְּ וְנַעֲמָן מִשְׁפַּחַת הָאַרְדִּי לְנַעֲמָן
そして-なった 子らは ベラの アルドと ナアマンであった 氏族は アルド人の ナアマンから
H1961 H0714 H5283 H4940 H0716 H5283

מִשְׁפַּחַת הַנַּעֲמִי׃
氏族は ナアマン人の
H4940 H5280

ベラの子はアルデとナアマンとであって、アルデからアルデびとの氏族が出、ナアマンからナアマンびとの氏族が出た。

41 אֵלֶּה בְּנֵי־בִנְיָמִן לְמִשְׁפְּחֹתָם וּפְקֻדֵיהֶם חֲמִשָּׁה וְאַרְבָּעִים אֶלֶף
これらは ベニヤミンの 氏族ごとであった 登録された-者は 四万 五 千
H0428 H1144 H4940 H2568 H0705 H0505

וְשֵׁשׁ מֵאוֹת׃ ס
六 百であった
H8337 H3967

これらはベニヤミンの子孫であって、その氏族によれば数えられた者は四万五千六百人であった。

42 אֵלֶּה בְּנֵי־דָן לְמִשְׁפְּחֹתָם לְשׁוּחָם מִשְׁפַּחַת הַשּׁוּחָמִי מִשְׁפְּחֹת
これらは ダンの 氏族ごとに シュハムから 氏族は シュハム人の 氏族で
H0428 H1835 H4940 H7748 H4940 H7749 H4940

דָּן לְמִשְׁפְּחֹתָם׃
ダンの 氏族ごとであった
H1835 H4940

ダンの子孫は、その氏族によれば、次のとおりである。シュハムからシュハムびとの氏族が出た。これらはダンの氏族であって、その氏族によるものである。

43 כָּל־מִשְׁפְּחֹת הַשּׁוּחָמִי לִפְקֻדֵיהֶם אַרְבָּעָה וְשִׁשִּׁים אֶלֶף וְאַרְבַּע מֵאוֹת׃
すべての 氏族の シュハム人の 登録された-者は 六万 四 千 四 百であった
H3605 H4940 H7749 H0702 H8346 H0505 H0702 H3967

ס
—

シュハムびとのすべての氏族のうち、数えられた者は六万四千四百人であった。

44 בְּנֵי אֲשֵׁר לְמִשְׁפְּחֹתָם לִימְנָה מִשְׁפַּחַת הַיִּמְנָה לִישְׁוִי מִשְׁפַּחַת
子らは アシェルの 氏族ごとに イムナから 氏族は イムナ人の イシュビから 氏族は
H1121 H0836 H4940 H3232 H4940 H3232 H3440 H4940

הַיִּשְׁוִי׃ לִבְרִיעָה מִשְׁפַּחַת הַבְּרִיעִי׃
イシュビ人の ベリアから 氏族は ベリア人の
H3441 H1283 H4940 H1284

アセルの子孫は、その氏族によれば、エムナからエムナびとの氏族が出、エスイからエスイびとの氏族が出、ベリアからベリアびとの氏族が出た。

45 לִבְנֵי בְרִיעָה לַחֶבֶר מִשְׁפַּחַת הַחֶבְרִי לְמַלְכִּיאֵל מִשְׁפַּחַת הַמַּלְכִּיאֵלִי׃
子らの ベリアの ヘベルから 氏族は ヘベル人の マルキエルから 氏族は マルキエル人の
H1121 H1283 H2268 H4940 H2277 H4439 H4940 H4440

ベリアの子孫のうちヘベルからヘベルびとの氏族が出、マルキエルからマルキエルびとの氏族が出た。

46 וְשֵׁם בַּת־אָשֵׁר שָׂרַח׃
そして-名は 娘の アシェルの セラであった
H8034 H1323 H0836 H8294

アセルの娘の名はサラといった。

47 אֵלֶּה מִשְׁפְּחֹת לִבְנֵי־אָשֵׁר לִפְקֻדֵיהֶם שִׁלֹּשָׁה חֲמִשִּׁים וְאַרְבַּע
これらは 氏族で 子らの アシェルの 登録された-者は 五万 三 千 四
H0428 H4940 H1121 H0836 H7969 H2572 H0505 H0702

מֵאוֹת׃ ס
百であった —
H3967

これらはアセルの子孫の氏族であって、数えられた者は五万三千四百人であった。

48 בְּנֵי נַפְתָּלִי לִמְשְׁפְּחֹתָם לְיַחְצְאֵל מִשְׁפַּחַת הַיַּחְצְאֵלִי לְגוּנִי מִשְׁפַּחַת
子らは ナフタリの 氏族ごとに ヤフツェエルから 氏族は ヤフツェエル人の グニから 氏族は
H1121 H5321 H4940 H3183 H4940 H3184 H1476 H4940

הַגּוּנִי׃
グニ人の
H1477

ナフタリの子孫は、その氏族によれば、ヤジエルからヤジエルびとの氏族が出、グニからグニびとの氏族が出、

49 לְיֵצֶר מִשְׁפַּחַת הַיִּצְרִי לְשִׁלֵּם מִשְׁפַּחַת הַשִּׁלֵּמִי׃
エツェルから 氏族は エツェル人の シレムから 氏族は シレム人の
H3337 H4940 H3340 H8006 H4940 H8016

エゼルからエゼルびとの氏族が出、シレムからシレムびとの氏族が出た。

50 אֵלֶּה מִשְׁפְּחֹת נַפְתָּלִי לְמִשְׁפְּחֹתָם וּפְקֻדֵיהֶם חֲמִשָּׁה אֲלָפִים וְאַרְבָּעִים
これらは 氏族で ナフタリの 氏族ごとであった 登録された-者は 四万 五 千
H0428 H4940 H5321 H4940 H2568 H0705 H0505

מֵאוֹת׃ וְאַרְבָּע
百であった 四
H3967 H0702

これらはナフタリの氏族であって、その氏族により、数えられた者は四万五千四百人であった。

51

מֵאוֹת	שִׁבְעַ	וְאֶלֶף	אֶלֶף	מֵאוֹת	שֵׁשׁ־	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי	פְּקוּדֵי	אֵלֶּה
百	七	と-千	千	万	六十	イスラエルの	子らの	登録された-者で	これらは
H3967	H7651	H0505	H0505	H3967	H8337	H3478			H0428

פ	וּשְׁלֹשִׁים׃
—	三十であった
	H7970

これらはイスラエルの子孫の数えられた者であって、六十万一千百三十人であった。

52

לֵאמֹר׃	מֹשֶׁה	אֶל־	יְהוָה	וַיְדַבֵּר
言って	モーセに	～に	主は	そして-語った
H0559	H4872	H0413	H3068	H1696

主はモーセに言われた、

53

שֵׁמוֹת׃	בְּמִסְפַּר	בְּנַחֲלָה	הָאָרֶץ	תֵּחָלֵק	לָאֵלֶּה
名の	～の-数に-従って	嗣業として	地は	分けられる	これらの-者に
H8034	H4557	H5159	H0776		H0428

「これらの人々に、その名の数にしたがって地を分け与え、嗣業とさせなさい。

54

לְפִי	אִישׁ	נַחֲלָתוֹ	תַּמְעִיט	וְלַמְעַט	נַחֲלָתוֹ	תַּרְבֶּה׀	לָרַב
～に-従って	おのおの	その-嗣業を	減らせ	少ない-者には	その-嗣業を	増やせ	多い-者には
H6310	H0376	H5159	H4591	H4592	H5159		

נַחֲלָתוֹ׃	יִתָּן	פְּקֻדָּיו
その-嗣業は	与えられる	登録された-数に
H5159	H5414	

大きい部族には多くの嗣業を与え、小さい部族には少しの嗣業を与えなさい。すなわち数えられた数にしたがって、おのおのの部族にその嗣業を与えなければならない。

55

יִנְחָלוּ׃	אֲבֹתָם	מַטּוֹת־	לִשְׁמוֹת	הָאָרֶץ	אֶת־	יֵחָלֵק	בְּגוֹרָל	אַךְ־
受け継ぐ	父祖たちの	部族の	～の-名に-従って	地は	～を	分けられる	くじで	ただし
H5157	H0001	H4294	H8034	H0776	H0853		H1486	H0389

ただし地は、くじをもって分け、その父祖の部族の名にしたがって、それを継がなければならない。

56

לְמִעָט׃	רָב	בֵּין	נַחֲלָתוֹ	תֵּחָלֵק	הַגּוֹרָל	פִּי	עַל־
少ない-者との	多い-者と	～の-間で	その-嗣業は	分けられる	くじの	～の-定めに	～に-従って
H4592		H0996	H5159		H1486	H6310	

ס
—

すなわち、くじをもってその嗣業を大きいものと、小さいものとに分けなければならない」。

57

הַגֵּרְשֻׁנִּי	מִשְׁפַּחַת	לִגֵרְשׁוֹן	לְמִשְׁפְּחֹתָם	הַלֵּוִי	פְּקוּדֵי	וְאֵלֶּה
ゲルション人の	氏族は	ゲルションから	氏族ごとに	レビ人の	登録された-者で	そして-これらは
H1649	H4940	H1648	H4940	H3881		H0428

הַמְּרָרִי׃	מִשְׁפַּחַת	לְמֵרָרִי	הַקְּהָתִי	מִשְׁפַּחַת	לִקְהָת
メラリ人の	氏族は	メラリから	ケハト人の	氏族は	ケハトから
H4848	H4940	H4847	H6956	H4940	H6955

レビびとのその氏族にしたがって数えられた者は次のとおりである。ゲルションからゲルションびとの氏族が出、コハテからコハテびとの氏族が出、メラリからメラリびとの氏族が出た。

58 וְאֵלֶּה מִשְׁפְּחֹת לֵוִי מִשְׁפַּחַת הַלִּבְנִי מִשְׁפַּחַת הַחֶבְרֹנִי מִשְׁפַּחַת הַמַּחְלִי

これらは 氏族で レビの 氏族は リブニ人の 氏族は ヘブロン人の 氏族は マフリ人の
H0428 H4940 H3881 H4940 H3846 H4940 H2276 H4940 H4250

מִשְׁפַּחַת הַמּוּשִׁי מִשְׁפַּחַת הַקָּרְחִי מִשְׁפַּחַת קְהָת וְאֶת־הוֹלֵד עַמְרָם׃

氏族は ムシ人の 氏族は コラ人の 氏族は そして-ケハトは 生んだ ～を アムラムを
H4940 H4188 H4940 H7145 H4940 H6955 H3205 H0853 H6019

レビの氏族は次のとおりである。すなわちリブニびとの氏族、ヘブロンびとの氏族、マヘリびとの氏族、ムシびとの氏族、コラびとの氏族であって、コハテからアムラムが生れた。

59 וְשֵׁם אֵשֶׁת עַמְרָם יוֹכֶבֶד בַּת־לֵוִי אֲשֶׁר יָלְדָה אֹתָהּ לְלֵוִי בְּמִצְרָיִם

そして-名は 妻の アムラムの ヨケベドといい 娘で レビの ～した 産まれた 彼女は レビに エジプトで
H8034 H0802 H6019 H3115 H1323 H3878 H0834 H3205 H0853 H3878 H4714

וַתֵּלֶד לְעַמְרָם אֶת־אַהֲרֹן וְאֶת־מֹשֶׁה וְאֶת מִרְיָם אֲחֹתָם׃

そして-産んだ アムラムに ～を アロンと そして-～を モーセと そして-～を ミリアムを 彼らの-姉を
H3205 H6019 H0853 H0175 H0853 H4872 H0853 H4813 H0269

アムラムの妻の名はヨケベデといって、レビの娘である。彼女はエジプトでレビに生れた者であるが、アムラムにとついで、アロンとモーセおよびその姉妹ミリアムを産んだ。

60 וַיִּוָּלֵד לְאַהֲרֹן אֶת־נָדָב וְאֶת־אֲבִיהוּא אֶת־אֶלְעָזָר וְאֶת־אִיתָמָר׃

そして-生まれた アロンに ～が ナダブと ～が アビフと ～が エルアザルと そして-～が イタマルが
H3205 H0175 H0853 H5070 H0853 H0030 H0853 H0499 H0385

アロンにはナダブ、アビウ、エレアザルおよびイタマルが生れた。

61 וַיָּמָת נָדָב וַאֲבִיהוּא בְּהַקְרִיבָם אֵשׁ זָרָה לִפְנֵי יְהוָה׃

そして-死んだ ナダブと アビフは 彼らが-捧げた-とき 異なる-火を 異なる 前で ～の 主の
H4191 H5070 H0030 H7126 H0784 H2114 H6440 H3068

ナダブとアビウは異火を主の前にささげた時に死んだ。

62 וַיִּהְיוּ כָּל־זָכָר מִבֶּן חֹדֶשׁ וָמַעְלָה בְּפִקְדֵיהֶם שְׁלֹשָׁה וְעֶשְׂרִים אֶלֶף וְשִׁבְעֵת מֵאוֹת

そして-なった 登録された-者は 二万 三 千 男子で ～の-子から 一か月
H1961 H7969 H6242 H0505 H2145 H3605 H1121 H2320

כִּי לֹא הָתְפָּקְדוּ בְּתוֹךְ בְּנֵי יִשְׂרָאֵל כִּי לֹא נִתַּן לָהֶם נַחֲלָה בְּתוֹךְ בְּנֵי יִשְׂרָאֵל׃

なぜなら 以上であった ～しなかった なぜなら 数えられなかった ～の-中で 子らの イスラエルの 彼らには 与えられなかった ～の-中で 子らの イスラエルの
H3588 H4605 H3808 H3588 H6485 H8432 H1121 H3478 H1992 H5414 H8432 H1121 H3478

その数えられた一か月以上のすべての男子は二万三千人であった。彼らはイスラエルの人々のうちに嗣業を与えられなかったため、イスラエルの人々のうちに数えられなかった者である。

63 אֵלֶּה פְּקוּדֵי מֹשֶׁה וְאֶלְעָזָר הַכֹּהֵן אֲשֶׁר פָּקְדוּ אֶת־בְּנֵי
これらは 登録した-者で モーセと エルアザルの 祭司の ～した 数えた ～を 子らを
H0428 H4872 H0499 H3548 H0853

יִשְׂרָאֵל בְּעַרְבֹת מוֹאָב עַל יַרְדֵּן יְרֵחוֹ׃
イスラエルの 平野で モアブの ～のほとりの ヨルダンの エリコの
H3478 H6160 H4124 H3383 H3405

これらはモーセと祭司エレアザルが、エリコに近いヨルダンのほとりにあるモアブの平野で数えたイスラエルの人々の数である。

64 וּבְאֵלֶּה לֹא־הָיָה אִישׁ מִפְּקוּדֵי מֹשֶׁה וְאַהֲרֹן הַכֹּהֵן אֲשֶׁר פָּקְדוּ אֶת־בְּנֵי
しかし-これらの-中に ～しなかった いなかった 人は 登録した-者の-中に モーセと アロンの 祭司の ～した 数えた ～を 子らを
H0428 H3808 H1961 H0376 H4872 H0175 H3548 H0853

יִשְׂרָאֵל בְּמִדְבַּר סִינָי׃
イスラエルの 荒野で シナイの
H3478 H5514

ただしそのうちには、モーセと祭司アロンがシナイの荒野でイスラエルの人々を数えた時に数えられた者はひとりもなかった。

65 כִּי־ אָמַר יְהוָה לָהֶם מוֹת יָמֻתוּ בַּמִּדְבָּר וְלֹא־ נוֹתַר
なぜなら 言った 主が 必ず 死ぬと 荒野で そして-～しなかった 残らなかった
H0559 H3068 H4191 H4191 H3808 H3498

מֵהֶם אִישׁ כִּי אִם־ כָּלֵב בֶּן־ יְפֻנֶּה וִיהוֹשֻׁעַ בִּן־ נוּן׃ ס
彼らの-中から 人は ただ ～を-除いて カレブと ～の-子 エフネの ～の-子 ヨシュアと ～の-子 ヌンの —
H1992 H0376 H3588 H0853 H3612 H1121 H3312 H1121 H3091 H5126

それは主がかつて彼らについて「彼らは必ず荒野で死ぬであろう」と言われたからである。それで彼らのうちエフンネの子カレブとヌンの子ヨシュアのほか、ひとりも残った者はなかった。

Chapter 27

1 וַתִּקְרַבְנָה בְּנוֹת צְלָפְחָד בֶּן־ חֵפֶר בֶּן־ גִּלְעָד בֶּן־ מָכִיר בֶּן־ מְנַשֶּׁה
そして-近づいた 娘たちは ツェロフハドの ～の-子 ヘフェルの ～の-子 ギルアドの ～の-子 マキルの ～の-子 マナセの
H7126 H1323 H6765 H1121 H2276 H1121 H1568 H1121 H4519

לְמִשְׁפְּחֹת מְנַשֶּׁה בֶּן־ יוֹסֵף וְאֵלֶּה שְׁמוֹת
～の-氏族の マナセの ～の-子 ヨセフの そして-これらは 名であった
H4940 H4519 H1121 H3130 H0428 H8034

בְּנֹתָיו מַחְלָה נֹעָה וְחָגְלָה וּמִלְכָּה וְתִרְצָה׃
彼の-娘たちの マフラと ノアと ホグラと ミルカと ティルツァであった
H1323 H4244 H5270 H2295 H4435 H8656

さて、ヨセフの子マナセの氏族のうちのヘペルの子、ゼロペハデの娘たちが訴えてきた。ヘペルはギレアデの子、ギレアデはマキルの子、マキルはマナセの子である。その娘たちは名をマアラ、ノア、ホグラ、ミルカ、テルザといったが、

2 וַתַּעֲמֹדְנָה לִפְנֵי מֹשֶׁה וְלִפְנֵי אֶלְעָזָר הַכֹּהֵן וְלִפְנֵי הַנְּשִׂיאִם
そして-立った ～の-前に モーセの そして-～の-前に エルアザルの 祭司の そして-～の-前に
H5975 H6440 H4872 H6440 H0499 H3548 H6440

וְכָל־ הָעֵדָה פֶּתַח אֹהֶל־ מוֹעֵד לֵאמֹר׃
すべての 会衆の 入り口で 幕屋の 会見の 言って
H3605 H5712 H6607 H0168 H4150 H0559

族長たちと

彼らは会見の幕屋の入口でモーセと、祭司エレアザルと、つかさたちと全会衆との前に立って言った、

3

הָעֵדָה	בְּתוֹךְ	הָיָה	לֹא־	וְהוּא	בַּמִּדְבָּר	מֵת	אָבִינוּ
仲間の	～の–中に	いなかった	～しなかった	しかし–彼は	荒野で	死にました	私たちの–父は
H5712	H8432	H1961	H3808	H1931		H4191	H0001

בְּחֶטְאֹו	כִּי־	קֹרַח	בַּעֲדַת־	יְהוָה	עַל־	הַנּוֹעָדִים	
彼の–罪の–ゆえに	なぜなら	コラの	～の–仲間で	主に	～に–対して	集まった–者たちの	
H2399		H7141	H5712	H3068		H3259	

לוֹ׃	הָיוּ	לֹא־	וּבָנִים		מֵת
彼には	いなかった	～しなかった	そして–息子は		死んだのです
	H1961	H3808			H4191

「わたしたちの父は荒野で死にました。彼は、コラの仲間となって主に逆らった者どもの仲間のうちには加わりませんでした。彼は自分の罪によって死んだのですが、男の子がありませんでした。

4

אֵין	כִּי	מִשְׁפַּחְתּוֹ	מִתּוֹךְ	אָבִינוּ	שֵׁם־	יִגָּרַע	לָמָּה
いない	～なので	彼の–氏族の	～の–中から	私たちの–父の	名が	減らされるのですか	なぜ
H0369		H4940	H8432	H0001	H8034	H1639	H4100

אָבִינוּ׃	אֶחֵי	בְּתוֹךְ	אֲחֻזָּה	לָנוּ	תְּנָה־	בֵן	לוֹ
私たちの–父の	兄弟たちの	～の–中に	所有地を	私たちに	与えてください	息子が	彼には
H0001	H0251	H8432	H0272		H5414		

男の子がないからといって、どうしてわたしたちの父の名がその氏族のうちから削られなければならないのでしょうか。わたしたちの父の兄弟と同じように、わたしたちにも所有地を与えてください」。

5

ס	יְהוָה׃	לִפְנֵי	מִשְׁפָּטָן	אֶת־	מֹשֶׁה	וַיַּקְרֵב
—	主の	～の–前に	彼女たちの–訴えを	～を	モーセは	そして–持っていった
	H3068	H6440	H4941	H0853	H4872	H7126

モーセがその事を主の前に述べると、

6

לֵאמֹר׃	מֹשֶׁה	אֶל־	יְהוָה	וַיֹּאמֶר
言って	モーセに	～に	主は	そして–言った
H0559	H4872	H0413	H3068	H0559

主はモーセに言われた、

7

נַחֲלָה	אֲחֻזַּת	לָהֶם	תִּתֵּן	נָתֹן	דֹּבְרֹת	צְלָפְחָד	בְּנוֹת	כֵּן
嗣業を	所有の	彼女たちに	与えよ	必ず	語っている	ツェロフハドの	娘たちは	正しい
H5159	H0272		H5414	H5414	H1696	H6765	H1323	

לָהֶן׃	אֲבִיהֶן	נַחֲלַת	אֶת־	וְהַעֲבַרְתָּ	אֲבִיהֶם	אֶחֵי	בְּתוֹךְ	
彼女たちに	彼女たちの–父の	嗣業を	～を	そして–移せ	彼女たちの–父の	兄弟たちの	～の–中で	
	H0001	H5159	H0853		H0001	H0251	H8432	

「ゼロペハデの娘たちの言うことは正しい。あなたは必ず彼らの父の兄弟たちと同じように、彼らにも嗣業の所有地を与えなければならない。すなわち、その父の嗣業を彼らに渡さなければならない。

8

אֵין	וּבֶן	יָמוּת	כִּי־	אִישׁ	לֵאמֹר	תְּדַבֵּר	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי
いない	そして–息子が	死んで	もし	人が	言って	語れ	イスラエルの	子らに
H0369		H4191		H0376	H0559	H1696	H3478	

וְאֶל־	לוֹ	וְהַעֲבַרְתֶּם	אֶת־	נַחֲלָתוֹ	לִבְתּוֹ׃
そして–～に	彼に	そして–移せ	～を	彼の–嗣業を	彼の–娘に
H0413			H0853	H5159	H1323

あなたはイスラエルの人々に言いなさい、『もし人が死んで、男の子がない時は、その嗣業を娘に渡さなければならない。

9

וְאִם־	אֵין	לוֹ	בַּת	וּנְתַתֶּם	אֶת־	נַחֲלָתוֹ	לְאֶחָיו׃
もし	いない	彼に	娘が	そして-与えよ	～を	彼の-嗣業を	彼の-兄弟たちに
H0369	H0369		H1323	H5414	H0853	H5159	H0251

もしまた娘もない時は、その嗣業を兄弟に与えなければならない。

10

וְאִם־	אֵין	לוֹ	אַחִים	וּנְתַתֶּם	אֶת־	נַחֲלָתוֹ	לַאֲחֵי	אָבִיו׃
もし	いない	彼に	兄弟が	そして-与えよ	～を	彼の-嗣業を	彼の-父の-兄弟たちに	彼の-父の
H0369	H0369		H0251	H5414	H0853	H5159	H0251	H0001

もし兄弟もない時は、その嗣業を父の兄弟に与えなければならない。

11

וְאִם־	אֵין	אַחִים	לְאָבִיו	וּנְתַתֶּם	אֶת־	נַחֲלָתוֹ	לִשְׁאֵרוֹ	
もし	いない	兄弟が	彼の-父に	そして-与えよ	～を	彼の-嗣業を	彼の-最も-近い-親族に	
H0369	H0369	H0251	H0001	H5414	H0853	H5159	H7607	

הַקָּרֹב	אֵלָיו	מִמִּשְׁפַּחְתּוֹ	וְיָרַשׁ	אֹתָהּ	וְהָיְתָה	לִבְנֵי	יִשְׂרָאֵל
近い	彼に	彼の-氏族の-中から	そして-受け継ぐ	それを	そして-なる	子らに	イスラエルの
H7138	H0413	H4940	H3423	H0853	H1961		H3478

לְחֻקַּת	מִשְׁפָּט	כַּאֲשֶׁר	צִוָּה	יְהוָה	אֶת־	מֹשֶׁה׃	ס
～の-定めとして	裁きの	～の-とおりに	命じた	主が	～を	モーセに	—
H2708	H4941		H6680	H3068	H0853	H4872	

もしまた父に兄弟がない時は、その氏族のうちで彼に最も近い親族にその嗣業を与えて所有させなければならない』。主がモーセに命じられたようにイスラエルの人々は、これをおきての定めとしなければならない」。

12

אֶת־	וּרְאֵה	הַזֶּה	הָעֲבָרִים	הַר	אֶל־	עֲלֵה	מֹשֶׁה	אֶל־	יְהוָה	וַיֹּאמֶר
～を	そして-見よ	この	アバリムの	山に	～に	登れ	モーセに	～に	主は	そして-言った
H0853	H7200	H2088	H5682	H2022	H0413	H5927	H4872	H0413	H3068	H0559

יִשְׂרָאֵל׃	לִבְנֵי	נָתַתִּי	אֲשֶׁר	הָאָרֶץ
イスラエルの	子らに	わたしが-与えた	～した	地を
H3478		H5414		H0776

主はモーセに言われた、「このアバリムの山に登って、わたしがイスラエルの人々に与える地を見なさい。

13

אַתָּה	גַּם־	עַמֶּיךָ	אֶל־	וְנֶאֱסַפְתָּ	אֹתָהּ	וְרָאִיתָה	
あなたも	～もまた	あなたの-民の	～の-もとに	そして-集められる	それを	そして-見たなら	
	H1571		H0413	H0622	H0853	H7200	

כַּאֲשֶׁר	נֶאֱסַף	אַהֲרֹן	אָחִיךָ׃
～の-ように	集められた	アロンが	あなたの-兄が
	H0622	H0175	H0251

あなたはそれを見てから、兄弟アロンのようにその民に加えられるであろう。

14

כַּאֲשֶׁר־	מְרִיתֶם	פִּי	בְּמִדְבַּר־	צִן	בִּמְרִיבַת	הָעֵדָה	
～の-ように	あなたがたが-逆らった	わたしの-口に	～の-荒野で	ツィンの	～の-争いで	会衆の	
	H4784	H6310		H6790	H4808	H5712	

לְהַקְדִּישֵׁנִי	בַּמַּיִם	לְעֵינֵיהֶם	הֵם	מֵי־	מְרִיבַת	קָדֵשׁ
わたしを-聖とする-ために	水の-前で	彼らの-目の前で	それは	水で	メリバの	カデシュの
H6942	H4325		H1992	H4325	H4809	H6946

מִדְבַּר־	צִן׃	פ	
～の-荒野の	ツィンの	—	
	H6790		

これは会衆がチンの荒野で逆らい争った時、あなたがたはわたしの命にそむき、あの水のかたわらで彼らの目の前にわたしの聖なることを現さなかったからである」。これはチンの荒野にあるカデシのメリバの水である。

15 וַיְדַבֵּר מֹשֶׁה אֶל־יְהוָה לֵאמֹר׃
そして–語った モーセは ～に 主に 言って
H1696 H4872 H0413 H3068 H0559

モーセは主に言った、

16 יְפָקֵד יְהוָה אֱלֹהֵי הָרוּחֹת לְכָל־בָּשָׂר אִישׁ עַל־הָעֵדָה׃
任命してください 主よ 神よ 霊の すべての 肉なる–者の 人を ～の–上に 会衆の
H3068 H0430 H7307 H3605 H1320 H0376 H5712

「すべての肉なるものの命の神、主よ、どうぞ、この会衆の上にひとりの人を立て、

17 אֲשֶׁר־יֵצֵא לִפְנֵיהֶם וַאֲשֶׁר יָבֹא לִפְנֵיהֶם וַאֲשֶׁר יוֹצִיאֵם
～する 出て行く 彼らの–前に そして–～する 入る 彼らの–前に そして–～する 彼らを–導き出す
H3318 H6440 H0935 H6440 H3318

וְלֹא תִהְיֶה עֲדַת יְהוָה כַּצֹּאן אֲשֶׁר אֵין־לָהֶם רֹעֶה׃
～する 羊の–ように 主の 会衆が なる そして–～しない–ように 彼らを–導き入れる そして–～する
H6629 H3068 H5712 H1961 H3808 H0935

牧者が 彼らに いない
H0369

彼らの前に出入りし、彼らを導き出し、彼らを導き入れる者とし、主の会衆を牧者のない羊のようにしないでください」。

18 וַיֹּאמֶר יְהוָה אֶל־מֹשֶׁה קַח־לְךָ אֶת־יְהוֹשֻׁעַ בִּן־נוּן אִישׁ אֲשֶׁר־רוּחַ בּוֹ וְסָמַכְתָּ אֶת־יָדְךָ עָלָיו׃
そして–言った 主は ～に モーセに 取れ あなたのために ～を ヨシュアを ～の–子 ヌンの 人を ～する 霊が 彼の–内に–ある そして–置け あなたの–手を 彼の–上に
H0559 H3068 H0413 H4872 H3947 H3027 H0853 H3091 H1121 H5126 H0376 H0834 H7307 H5564 H3027

主はモーセに言われた、「神の霊のやどっているヌンの子ヨシュアを選び、あなたの手をその上におき、

19 וְהַעֲמַדְתָּ אֹתוֹ לִפְנֵי אֶלְעָזָר הַכֹּהֵן לִפְנֵי כָּל־הָעֵדָה וְצִוִּיתָה אֹתוֹ לְעֵינֵיהֶם׃
そして–立たせよ 彼を ～の–前に エルアザルの 祭司の そして–～の–前に すべての 会衆の 彼に そして–命じよ 彼らの–目の前で
H5975 H0853 H6440 H0499 H3548 H6440 H3605 H5712 H6680 H0853

彼を祭司エレアザルと全会衆の前に立たせて、彼らの前で職に任じなさい。

20 וְנָתַתָּה מֵהוֹדְךָ עָלָיו לְמַעַן יִשְׁמְעוּ כָּל־עֲדַת בְּנֵי יִשְׂרָאֵל׃
そして–与えよ あなたの–威光の–一部を 彼の–上に ～する–ために 聞く すべての 会衆が 子らの イスラエルの
H5414 H1935 H5921 H4616 H8085 H3605 H5712 H1121 H3478

そして彼にあなたの権威を分け与え、イスラエルの人々の全会衆を彼に従わせなさい。

21 וְלִפְנֵי אֶלְעָזָר הַכֹּהֵן יַעֲמֹד וְשָׁאַל לוֹ בְּמִשְׁפַּט הָאוּרִים
そして–～の–前に エルアザルの 祭司の 立つ そして–求める 彼のために ～の–裁きで ウリムの
H6440 H0499 H3548 H5975 H7592 H0413 H4941 H0224

הוּא וְיָבֹאוּ וּבְנֵי עַל־ וְעַל יֵצְאוּ פִּיו עַל־ יְהוָה לִפְנֵי
彼と 入る 彼の–命令に そして–～に–従って 出て行く 彼の–命令に ～に–従って 主の ～の–前で
H1931 H0935 H6310 H3318 H6310 H3068 H6440

:הָעֵדָה וְכָל־ אִתּוֹ יִשְׂרָאֵל בְּנֵי־ וְכָל־
会衆が そして–すべての 彼と–共に イスラエルの 子らと そして–すべての
H5712 H3605 H0854 H3478 H3605

彼は祭司エレアザルの前に立ち、エレアザルは彼のためにウリムをもって、主の前に判断を求めなければならない。ヨシュアとイスラエルの人々の全会衆とはエレアザルの言葉に従っていで、エレアザルの言葉に従ってはいらなければならない」。

22 וַיַּעַשׂ מֹשֶׁה כַּאֲשֶׁר צִוָּה יְהוָה אֹתוֹ וַיִּקַּח יְהוֹשֻׁעַ אֶת־
そして–行った モーセは ～の–とおりに 命じた 主が 彼に そして–取った ヨシュアを ～を
H5564 H4872 H6680 H3068 H0853 H3947 H3091 H0853

וַיַּעֲמֵד אֹתוֹ וְלִפְנֵי הַכֹּהֵן אֶלְעָזָר לִפְנֵי וַיַּעֲמִדֵהוּ
そして–立たせた ～の–前に エルアザルの 祭司の そして–～の–前に すべての 会衆の
H5975 H6440 H0499 H3548 H6440 H3605 H5712

:הָעֵדָה כָּל־

そこでモーセは主が命じられたようにし、ヨシュアを選んで、祭司エレアザルと全会衆の前に立たせ、

23 וַיְסֶמֶךְ אֶת־ יָדָיו עָלָיו וַיְצַוֵּהוּ כַּאֲשֶׁר דִּבֶּר יְהוָה
そして–置いた ～を 彼の–手を 彼の–上に そして–命じた ～の–とおりに 語った 主が
H5564 H0853 H3027 H6680 H1696 H3068

בְּיַד־ מֹשֶׁה: פ
～の–手を–通して モーセの —
H3027 H4872

彼の上に手をおき、主がモーセによって語られたとおりに彼を任命した。

Chapter 28

1 וַיְדַבֵּר יְהוָה אֶל־ מֹשֶׁה לֵאמֹר:
そして–語った 主は ～に モーセに 言って
H1696 H3068 H0413 H4872 H0559

主はモーセに言われた、

2 צַו אֶת־ בְּנֵי יִשְׂרָאֵל וְאָמַרְתָּ אֲלֵהֶם אֶת־ קָרְבָּנִי
命じよ ～を 子らに イスラエルの そして–言え 彼らに ～を わたしの–供え物を
H6680 H0853 H1121 H3478 H0559 H0413 H0853 H7133

לַחְמִי לְאִשַּׁי רֵיחַ נִיחֹחִי תִּשְׁמְרוּ לְהַקְרִיב
わたしの–パンを わたしの–火の–供え物として 快い–香りの なだめの–香りの 守れ 捧げる–ことを
H3899 H0801 H7381 H5207 H8104 H7126

:בְּמוֹעֲדוֹ לִי
定められた–時に わたしに
H4150

「イスラエルの人々に命じて言いなさい、『あなたがたは香ばしいかおりとしてわたしにささげる火祭、すなわち、わたしの供え物、わたしの食物を定めの時にわたしにささげることを怠ってはならない』。

3 וְאָמַרְתָּ לָהֶם זֶה הָאִשֶּׁה אֲשֶׁר תַּקְרִיבוּ לַיהוָה כְּבָשִׂים בְּנֵי־שָׁנָה
そして-言え 彼らに これが 火の-供え物で ～する 捧げる 主に 小羊を ～の-子の 一歳の
H0559 H0559 H2088 H0801 H7126 H3068 H3532 H0559 H8141

שְׁנַיִם תְּמִימִם לַיּוֹם עֹלָה תָּמִיד׃
二匹を 傷のない 毎日の 全焼の-供え物として 常に
H8147 H8549 H3117 H0801 H8548

また彼らに言いなさい、『あなたがたが主にささぐべき火祭はこれである。すなわち一歳の雄の全き小羊二頭を毎日ささげて常燔祭としなければならない。

4 אֶת־הַכֶּבֶשׂ אֶחָד תַּעֲשֶׂה בַבֹּקֶר וְאֵת הַכֶּבֶשׂ הַשֵּׁנִי תַּעֲשֶׂה בֵּין
～を 小羊の 一匹を 捧げよ 朝に そして-～を 小羊の 第二の 捧げよ ～の-間に
H0853 H3532 H0259 H6213 H1242 H0853 H3532 H8145 H6213 H0996

הָעַרְבָּיִם׃
夕方の
H6153

すなわち一頭の小羊を朝にささげ、一頭の小羊を夕にささげなければならない。

5 וַעֲשִׂירִית סֹלֶת מִנְחָה בְלוּלָה בְּשֶׁמֶן כָּתִית רְבִיעִת הַהִין׃
そして-十分の-一の 上質の-小麦粉を 穀物の-供え物として 混ぜた 油で 潰した 四分の-一の ヒンの
H6224 H5560 H4503 H1101 H8081 H3795 H7243 H1969

また麦粉一エパの十分の一に、砕いて取った油一ヒンの四分の一を混ぜて素祭としなければならない。

6 עֹלַת תָּמִיד הָעֲשִׂיָה בְּהַר סִינַי לְרֵיחַ נִיחֹחַ אִשֶּׁה לַיהוָה׃
全焼の-供え物で 常の 定められた ～の-山で シナイの 快い-香りの なだめの 火の-供え物として 主に
H5930 H8548 H6213 H2022 H5514 H7381 H5207 H0801 H3068

これはシナイ山で定められた常燔祭であって、主に香ばしいかおりとしてささげる火祭である。

7 וְנִסְכּוֹ רְבִיעִת הַהִין לַכֶּבֶשׂ הָאֶחָד בַּקֹּדֶשׁ תַּסֵּךְ שֵׁכָר נֶסֶךְ לַיהוָה׃
そして-その-注ぎの-供え物は 四分の-一の ヒンの 小羊-一匹に-つき 一匹の 聖所で 注げ 濃い-酒を 注ぎの-供え物を 主に
H5262 H7243 H1969 H3532 H0259 H6944 H5262 H7941 H5262 H3068

またその灌祭は小羊一頭について一ヒンの四分の一をささげなければならない。すなわち聖所において主のために濃い酒をそそいで灌祭としなければならない。

8

וְאֶת֙	הַכֶּ֣בֶשׂ	הַשֵּׁנִ֔י	תַּעֲשֶׂ֖ה	בֵּ֣ין	הָעַרְבָּ֑יִם	כְּמִנְחַ֤ת	הַבֹּ֙קֶר֙
そして–〜を	小羊の	第二の	捧げよ	〜の–間に	夕方の	〜の–ような–穀物の–供え物と	朝の
H0853	H3532	H8145	H6213	H0996	H6153	H4503	H1242

וּכְנִסְכּ֖וֹ	תַּעֲשֶׂ֑ה	אִשֵּׁ֛ה	רֵ֥יחַ	נִיחֹ֖חַ	לַיהוָֽה׃
そして–〜の–ような–注ぎの–供え物として	捧げよ	火の–供え物として	快い–香りの	なだめの	主に
H5262	H6213	H0801	H7381	H5207	H3068

פ
—

夕には他の一頭の小羊をささげなければならない。その素祭と灌祭とは朝のものと同じようにし、その小羊を火祭としてささげ、主に香ばしいかおりとしなければならない。

9

וּשְׁנֵ֣י	תְמִימִ֔ם	שָׁנָ֖ה	בְּנֵי־	כְבָשִׂ֑ים	שְׁנֵי־	הַשַּׁבָּ֣ת	וּבְיוֹם֙
そして–二–十分の–一の	傷のない	一歳の	〜の–子の	小羊を	二–匹の	安息日の	そして–〜の–日に
H8147	H8549	H8141		H3532	H8147	H7676	H3117

וְנִסְכּֽוֹ׃	בַּשֶּׁ֖מֶן	בְּלוּלָ֑ה	מִנְחָ֔ה	סֹ֛לֶת	עֶשְׂרֹנָ֥יִם
そして–その–注ぎの–供え物を	油で	混ぜた	穀物の–供え物として	上質の–小麦粉を	十分の–一の
H5262	H8081		H4503	H5560	H6241

また安息日には一歳の雄の全き小羊二頭と、麦粉一エパの十分の二に油を混ぜた素祭と、その灌祭とをささげなければならない。

10

הַתָּמִ֔יד	עֹלַ֖ת	עַל־	בְּשַׁבַּתּ֑וֹ	שַׁבָּ֣ת	עֹלַ֤ת	
常の	全焼の–供え物と	〜に–加えて	その–安息日ごとの	安息日の	全焼の–供え物で	
H8548			H7676	H7676		

וְנִסְכָּֽהּ׃	ס	
そして–その–注ぎの–供え物を	—	
H5262		

これは安息日ごとの燔祭であって、常燔祭とその灌祭とに加えらるべきものである。

11

בְּנֵי־	פָרִ֣ים	לַיהוָ֗ה	עֹלָה֙	תַּקְרִ֣יבוּ	חָדְשֵׁיכֶ֔ם	וּבְרָאשֵׁ֣י	
〜の–子の	雄牛を	主に	全焼の–供え物を	捧げよ	あなたがたの–月の	そして–〜の–初めに	
	H6499	H3068		H7126	H2320		

תְּמִימִֽם׃	שִׁבְעָ֖ה	שָׁנָ֑ה	בְּנֵי־	כְּבָשִׂ֣ים	אֶחָ֔ד	וְאַ֥יִל	שְׁנֵ֛ים	בָּקָ֥ר
傷のない	七匹を	一歳の	〜の–子の	小羊を	一匹と	そして–雄羊を	二匹と	牛の
H8549	H7651	H8141		H3532	H0259		H8147	H1241

またあなたがたは月々の第一日に燔祭を主にささげなければならない。すなわち若い雄牛二頭、雄羊一頭、一歳の雄の全き小羊七頭をささげ、

12

בַּשֶּׁ֖מֶן	בְּלוּלָ֑ה	מִנְחָ֔ה	סֹ֛לֶת	עֶשְׂרֹנָ֥יִם	וּשְׁלֹשָׁ֖ה	
油で	混ぜた	穀物の–供え物として	上質の–小麦粉を	十分の–一の	そして–三–十分の–一の	
H8081		H4503	H5560	H6241	H7969	

מִנְחָ֣ה	סֹ֔לֶת	עֶשְׂרֹנִ֖ים	וּשְׁנֵ֣י	הָאֶחָ֑ד	לַפָּ֛ר	
穀物の–供え物として	上質の–小麦粉を	十分の–一の	そして–二–十分の–一の	一匹の	雄牛–一匹に–つき	
H4503	H5560	H6241	H8147	H0259	H6499	

הָאֶחָֽד׃	לָאַ֖יִל	בַּשֶּׁ֑מֶן	בְּלוּלָ֔ה	
一匹の	雄羊–一匹に–つき	油で	混ぜた	
H0259		H8081		

雄牛一頭には麦粉一エパの十分の三に油を混ぜたものを素祭とし、雄羊一頭には麦粉一エパの十分の二に油を混ぜたものを素祭とし、

13 וְעִשָּׂרֹן עִשָּׂרוֹן סֹלֶת מִנְחָה בְלוּלָה בַשָּׁמֶן
そして-十分の-一ずつ 十分の-一の 上質の-小麦粉を 穀物の-供え物として 混ぜた 油で
H6241 H6241 H5560 H4503 H1101 H8081

לַיהוָה׃ אִשֶּׁה נִיחֹחַ רֵיחַ עֹלָה הָאֶחָד לַכֶּבֶשׂ
主に 火の-供え物として なだめの 快い-香りの 全焼の-供え物として 一匹の 小羊-一匹に-つき
H3068 H0801 H5207 H7381 H5930 H0259 H3532

小羊一頭には麦粉十分の一に油を混ぜたものを素祭とし、これを香ばしいかおりの燔祭として主のために火祭としなければならない。

14 וְנִסְכֵּיהֶם חֲצִי הַהִין וּשְׁלִישִׁת הַהִין לַפָּר יִהְיֶה הַהִין
そして-その-注ぎの-供え物は 半分の ヒンの 雄牛に-つき である ヒンの 三分の-一の ヒンの
H5262 H2677 H1969 H6499 H1961 H1969 H7992 H1969

עֹלַת זֹאת יָיִן לַכֶּבֶשׂ הַהִין וּרְבִיעִת לָאַיִל
全焼の-供え物で これが ぶどう酒である 小羊に-つき ヒンの そして-四分の-一の 雄羊に-つき
H5930 H2063 H3196 H3532 H1969 H7243 H0352

חָדְשׁוֹ בְּחָדְשׁוֹ לְחָדְשֵׁי הַשָּׁנָה׃
毎月の その-月ごとの ～の-月ごとに 年の
H2320 H2320 H2320 H8141

またその灌祭は雄牛一頭についてぶどう酒一ヒンの二分の一、雄羊一頭について一ヒンの三分の一、小羊一頭について一ヒンの四分の一をささげなければならない。これは年の月々を通じて、新月ごとにささぐべき燔祭である。

15 וּשְׂעִיר עִזִּים אֶחָד לְחַטָּאת לַיהוָה עַל־ עֹלַת הַתָּמִיד
そして-雄山羊を 山羊の 一匹を 罪の-供え物として 主に ～に-加えて 全焼の-供え物と 常の
H8163 H5795 H0259 H2403 H3068 H5921 H5930 H8548

ס וְנִסְכּוֹ׃ יֵעָשֶׂה
— そして-その-注ぎの-供え物を 捧げられる
H5262

また常燔祭とその灌祭とのほかに、雄やぎ一頭を罪祭として主にささげなければならない。

16 וּבַחֹדֶשׁ הָרִאשׁוֹן בְּאַרְבָּעָה עָשָׂר יוֹם לַחֹדֶשׁ פֶּסַח לַיהוָה׃
そして-～の-月に 第一の 十四 日の 日に その-月の 過越である 主の
H2320 H7223 H0702 H6240 H3117 H2320 H6453 H3068

正月の十四日は主の過越の祭である。

17 וּבַחֲמִשָּׁה עָשָׂר יוֹם לַחֹדֶשׁ הַזֶּה חָג שִׁבְעַת יָמִים מַצּוֹת
そして-十五 日の 日に その-月の この 祭りである 七-日の-間 日間 種入れぬ-パンを
H2568 H6240 H3117 H2320 H2088 H2282 H7651 H3117 H4682

יֵאָכֵל׃
食べる
H0398

またその月の十五日は祭日としなければならない。七日のあいだ種入れぬパンを食べなければならない。

18 בַּיּוֹם הָרִאשׁוֹן מִקְרָא־ קֹדֶשׁ כָּל־ מְלֶאכֶת עֲבֹדָה לֹא
～の-日に 第一の 聖なる集会が-ある 聖なる すべての 仕事の 労働の してはならない
H3117 H7223 H4744 H6944 H3605 H4399 H5656 H3808

תַּעֲשׂוּ׃
してはならない

その初めの日には聖会を開かなければならない。なんの労役をもしてはならない。

19 וְהִקְרַבְתֶּם אִשֶּׁה עֹלָה לַיהוָה פָּרִים בְּנֵי־בָקָר שְׁנָיִם
そして-捧げよ 火の-供え物として 全焼の-供え物を 主に 雄牛を ～の-子の 牛の 二匹と
H7126 H0801 H5930 H3068 H6499 H1241 H8147

וְאַיִל אֶחָד וְשִׁבְעָה כְבָשִׂים בְּנֵי שָׁנָה תְּמִימִם יִהְיוּ לָכֶם׃
そして-雄羊を 一匹と そして-七匹の 小羊を ～の-子の 一歳の 傷のない である あなたがたに
H0259 H7651 H3532 H1121 H8141 H8549 H1961

あなたがたは火祭として主に燔祭をささげなければならない。すなわち若い雄牛二頭、雄羊一頭、一歳の雄の小羊七頭をささげなければならない。これらはみな全きものでなければならない。

20 וּמִנְחָתָם סֹלֶת בְּלוּלָה בַשָּׁמֶן שְׁלֹשָׁה עֶשְׂרֹנִים
そして-その-穀物の-供え物は 上質の-小麦粉で 混ぜた 油で 三-十分の-一を 十分の-一の
H4503 H5560 H1101 H8081 H7969 H6241

לַפָּר תַּעֲשׂוּ׃ וּשְׁנֵי עֶשְׂרֹנִים לָאָיִל
雄牛に-つき 捧げよ そして-二-十分の-一を 十分の-一の 雄羊に-つき
H6499 H6213 H8147 H6241 H0352

その素祭には油を混ぜた麦粉をささげなければならない。すなわち雄牛一頭につき麦粉一エパの十分の三、雄羊一頭につき十分の二をささげ、

21 עִשָּׂרוֹן עִשָּׂרוֹן תַּעֲשֶׂה לַכֶּבֶשׂ הָאֶחָד לִשְׁבַעַת הַכְּבָשִׂים׃
十分の-一ずつ 十分の-一を 捧げよ 小羊-一匹に-つき 一匹の 七匹の 小羊に
H6241 H6241 H6213 H3532 H0259 H7651 H3532

また七頭の小羊にはその一頭ごとに十分の一をささげなければならない。

22 וּשְׂעִיר חַטָּאת אֶחָד לְכַפֵּר עֲלֵיכֶם׃
そして-雄山羊を 罪の-供え物として 一匹を 贖いをする-ために あなたがたの-ために
H8163 H2403 H0259 H3722 H5921

また雄やぎ一頭を罪祭としてささげ、あなたがたのために罪のあがないをしなければならない。

23 מִלְבַד עֹלַת הַבֹּקֶר אֲשֶׁר לְעֹלַת הַתָּמִיד תַּעֲשׂוּ אֶת־
～の-ほかに 全焼の-供え物と 朝の ～する 全焼の-供え物としての 常の 捧げよ ～を
H0905 H5930 H1242 H0834 H8548 H6213 H0853

אֵלֶּה׃
これらを
H0428

あなたがたは朝にささげる常燔祭の燔祭のほかに、これらをささげなければならない。

24 כָּאֵלֶּה תַּעֲשׂוּ לַיּוֹם שִׁבְעַת יָמִים לֶחֶם אִשֵּׁה רֵיחַ־
これらの-ように 捧げよ 毎日の 七-日の-間 パンとして 火の-供え物として 快い-香りの
H3644 H6213 H3117 H7651 H3117 H3899 H0801 H7381

נִיחֹחַ לַיהוָה עַל עוֹלַת הַתָּמִיד יֵעָשֶׂה וְנִסְכּוֹ׃
なだめの 主に ～に-加えて 全焼の-供え物と 常の 捧げられる そして-その-注ぎの-供え物を
H5207 H3068 H5921 H5930 H8548 H6213 H5262

このようにあなたがたは七日のあいだ毎日、火祭の食物をささげて、主に香ばしいかおりとしなければならない。これは常燔祭とその灌祭とのほかにささぐべきものである。

25 וּבַיּוֹם הַשְּׁבִיעִי מִקְרָא־קֹדֶשׁ יִהְיֶה לָכֶם כָּל־מְלֶאכֶת
そして–〜の–日に 第七の 聖なる–集会が–ある 聖なる である あなたがたに すべての 仕事の
H3117 H7637 H4744 H6944 H1961 H3605 H4399

עֲבֹדָה לֹא תַעֲשׂוּ׃ ס
労働の しては–ならない してはならない —
H5656 H3808

そして第七日に、あなたがたは聖会を開かなければならない。なんの労役をもしてはならない。

26 וּבְיוֹם הַבִּכּוּרִים בְּהַקְרִיבְכֶם מִנְחָה חֲדָשָׁה לַיהוָה
そして–〜の–日に 初穂の あなたがたが–捧げる–とき 穀物の–供え物を 新しい 主に
H3117 H1061 H7126 H4503 H2319 H3068

בְּשָׁבֻעֹתֵיכֶם מִקְרָא־קֹדֶשׁ יִהְיֶה לָכֶם כָּל־מְלֶאכֶת
あなたがたの–週の–祭りに 聖なる–集会が–ある 聖なる である あなたがたに すべての 仕事の
H7620 H4744 H6944 H1961 H3605 H4399

עֲבֹדָה לֹא תַעֲשׂוּ׃
労働の しては–ならない してはならない
H5656 H3808

あなたがたは七週の祭、すなわち新しい素祭を主にささげる初穂の日にも聖会を開かなければならない。なんの労役をもしてはならない。

27 וְהִקְרַבְתֶּם עֹלָה לְרֵיחַ נִיחֹחַ לַיהוָה פָּרִים בְּנֵי־בָקָר שְׁנָיִם
そして–捧げよ 全焼の–供え物を 快い–香りの なだめの 主に 雄牛を 〜の–子の 牛の 二匹と
H7126 H5930 H7381 H5207 H3068 H6499 H1121 H1241 H8147

אֶחָד אַיִל שִׁבְעָה כְבָשִׂים בְּנֵי שָׁנָה׃
一匹と 雄羊を 七匹の 小羊を 〜の–子の 一歳の
H0259 H0352 H7651 H3532 H1121 H8141

あなたがたは燔祭をささげて、主に香ばしいかおりとしなければならない。すなわち若い雄牛二頭、雄羊一頭、一歳の雄の小羊七頭をささげなければならない。

28 וּמִנְחָתָם סֹלֶת בְּלוּלָה בַשָּׁמֶן שְׁלֹשָׁה עֶשְׂרֹנִים
そして–その–穀物の–供え物は 上質の–小麦粉で 混ぜた 油で 三–十分の–一を 十分の–一の
H4503 H5560 H1101 H8081 H7969 H6241

לַפָּר שְׁנֵי עֶשְׂרֹנִים לָאַיִל הָאֶחָד׃
一匹の 雄牛–一匹に–つき 二–十分の–一を 十分の–一の 雄羊に–つき 一匹の
H0259 H6499 H8147 H6241 H0352 H0259

その素祭には油を混ぜた麦粉をささげなければならない。すなわち雄牛一頭につき一エパの十分の三、雄羊一頭につき十分の二をささげ、

29 עִשָּׂרוֹן עִשָּׂרוֹן לַכֶּבֶשׂ הָאֶחָד לְשִׁבְעַת הַכְּבָשִׂים׃
十分の–一ずつ 十分の–一を 小羊–一匹に–つき 一匹の 七匹の 小羊に
H6241 H6241 H3532 H0259 H7651 H3532

また七頭の小羊には一頭ごとに十分の一をささげなければならない。

30 שְׂעִיר עִזִּים אֶחָד לְכַפֵּר עֲלֵיכֶם׃
雄山羊を 山羊の 一匹を 贖いをする–ために あなたがたの–ために
H8163 H5795 H0259 H3722 H5921

また雄やぎ一頭をささげてあなたがたのために罪のあがないをしなければならない。

31 מִלְּבַד עֹלַת הַתָּמִיד וּמִנְחָתוֹ תַּעֲשׂוּ תְּמִימִם יִהְיוּ־לָכֶם וְנִסְכֵּיהֶם׃ פ

מִלְּבַד	עֹלַת	הַתָּמִיד	וּמִנְחָתוֹ	תַּעֲשׂוּ	תְּמִימִם	יִהְיוּ־	
～の–ほかに	全焼の–供え物と	常の	そして–その–穀物の–供え物を	捧げよ	傷のない	である	
H0905	H5930	H8548	H4503	H6213	H8549	H1961	
לָכֶם	וְנִסְכֵּיהֶם׃	פ					
あなたがたに	そして–その–注ぎの–供え物を	—					
	H5262						

あなたがたは常燔祭とその素祭とその灌祭とのほかに、これらをささげなければならない。これらはみな、全きものでなければならない。

Chapter 29

1 וּבַחֹדֶשׁ הַשְּׁבִיעִי בְּאֶחָד לַחֹדֶשׁ מִקְרָא־קֹדֶשׁ יִהְיֶה לָכֶם כָּל־מְלֶאכֶת עֲבֹדָה לֹא תַעֲשׂוּ יוֹם תְּרוּעָה יִהְיֶה לָכֶם׃

וּבַחֹדֶשׁ	הַשְּׁבִיעִי	בְּאֶחָד	לַחֹדֶשׁ	מִקְרָא־	קֹדֶשׁ	יִהְיֶה							
そして–～の–月に	第七の	～の–一日に	その–月の	聖なる–集会が–ある	聖なる	である							
H2320	H7637	H0259	H2320	H4744	H6944	H1961							
לָכֶם	כָּל־	מְלֶאכֶת	עֲבֹדָה	לֹא	תַעֲשׂוּ	יוֹם							
あなたがたに	すべての	仕事の	労働の	しては–ならない	してはならない	～の–日							
	H3605	H4399	H5656	H3808		H3117							
לָכֶם׃	יִהְיֶה	תְּרוּעָה											
あなたがたに	である	ラッパの–吹き鳴らしの											
	H1961	H8643											

七月には、その月の第一日に聖会を開かなければならない。なんの労役をもしてはならない。これはあなたがたがラッパを吹く日である。

2 וַעֲשִׂיתֶם עֹלָה לְרֵיחַ נִיחֹחַ לַיהוָה פָּר בֶּן־בָּקָר אֶחָד אַיִל אֶחָד כְּבָשִׂים בְּנֵי־שָׁנָה שִׁבְעָה תְּמִימִם׃

וַעֲשִׂיתֶם	עֹלָה	לְרֵיחַ	נִיחֹחַ	לַיהוָה	פָּר	בֶּן־	בָּקָר	אֶחָד					
そして–捧げよ	全焼の–供え物を	快い–香りの	なだめの	主に	雄牛を	～の–子の	牛の	一匹と					
	H5930	H7381	H5207	H3068	H6499		H1241	H0259					
אַיִל	אֶחָד	כְּבָשִׂים	בְּנֵי־	שָׁנָה	שִׁבְעָה	תְּמִימִם׃							
雄羊を	一匹と	小羊を	～の–子の	一歳の	七匹を	傷のない							
	H0259	H3532		H8141	H7651	H8549							

あなたがたは燔祭をささげて、主に香ばしいかおりとしなければならない。すなわち若い雄牛一頭、雄羊一頭、一歳の雄の全き小羊七頭をささげなければならない。

3 וּמִנְחָתָם סֹלֶת בְּלוּלָה בַשָּׁמֶן שְׁלֹשָׁה עֶשְׂרֹנִים לַפָּר שְׁנֵי עֶשְׂרֹנִים לָאָיִל׃

וּמִנְחָתָם	סֹלֶת	בְּלוּלָה	בַשָּׁמֶן	שְׁלֹשָׁה	עֶשְׂרֹנִים								
そして–その–穀物の–供え物は	上質の–小麦粉で	混ぜた	油で	三–十分の–一を	十分の–一の								
H4503	H5560		H8081	H7969	H6241								
לַפָּר	שְׁנֵי	עֶשְׂרֹנִים	לָאָיִל׃										
雄牛に–つき	二–十分の–一を	十分の–一の	雄羊に–つき										
H6499	H8147	H6241											

その素祭には油を混ぜた麦粉をささげなければならない。すなわち雄牛一頭について一エパの十分の三、雄羊一頭について十分の二をささげ、

4 וְעִשָּׂרוֹן אֶחָד לַכֶּבֶשׂ הָאֶחָד לִשְׁבָעַת הַכְּבָשִׂים׃

וְעִשָּׂרוֹן	אֶחָד	לַכֶּבֶשׂ	הָאֶחָד	לִשְׁבָעַת	הַכְּבָשִׂים׃								
そして–十分の–一を	一つ	小羊–一匹に–つき	一匹の	七匹の	小羊に								
H6241	H0259	H3532	H0259	H7651	H3532								

また七頭の小羊には一頭ごとに十分の一をささげなければならない。

5 וּשְׂעִיר־עִזִּים אֶחָד חַטָּאת לְכַפֵּר עֲלֵיכֶם׃

וּשְׂעִיר־	עִזִּים	אֶחָד	חַטָּאת	לְכַפֵּר	עֲלֵיכֶם׃								
そして–雄山羊を	山羊の	一匹を	罪の–供え物として	贖いをする–ために	あなたがたの–ために								
	H5795	H0259											

また雄やぎ一頭を罪祭としてささげ、あなたがたのために罪のあがないをしなければならない。

הַתָּמִיד׀	וְעֹלַת	וּמִנְחָתָהּ	הַחֹדֶשׁ	עֹלַת	מִלְבַד׀	6
常の	そして-全焼の-供え物と	そして-その-穀物の-供え物と	月の	全焼の-供え物と	～の-ほかに	
H8548		H4503	H2320		H0905	

נִיחֹחַ	לְרֵיַח	כְּמִשְׁפָּטָם	וְנִסְכֵּיהֶם	וּמִנְחָתָהּ	
なだめの	快い-香りの	その-定めに-従って	そして-その-注ぎの-供え物を	そして-その-穀物の-供え物と	
H5207	H7381	H4941	H5262	H4503	

	ס	יְהוָה׃	אִשֶּׁה
	—	主に	火の-供え物として
		H3068	H0801

これは新月の燔祭とその素祭、常燔祭とその素祭、および灌祭のほかのものであって、これらのものの定めにしたがい、香ばしいかおりとして、主に火祭としなければならない。

לָכֶם	יִהְיֶה	קֹדֶשׁ	מִקְרָא־	הַזֶּה	הַשְּׁבִיעִי	לַחֹדֶשׁ	וּבֶעָשׂוֹר׀	7
あなたがたに	である	聖なる	聖なる-集会が-ある	この	第七の	その-月の	そして-十日に	
H1961		H6944	H4744	H2088	H7637	H2320	H6218	

תַּעֲשׂוּ׃	לֹא	מְלָאכָה	כָּל־	נַפְשֹׁתֵיכֶם	אֶת־	וְעִנִּיתֶם
してはならない	しては-ならない	仕事を	すべての	あなたがたの-魂を	～を	そして-苦しめよ
	H3808	H4399	H3605	H5315	H0853	

またその七月の十日に聖会を開き、かつあなたがたの身を悩まさなければならない。なんの仕事もしてはならない。

אֶחָד	בָּקָר	בֶּן־	פָּר	נִיחֹחַ	רֵיַח	לַיהוָה	עֹלָה	וְהִקְרַבְתֶּם	8
一匹と	牛の	～の-子の	雄牛を	なだめの	快い-香りの	主に	全焼の-供え物を	そして-捧げよ	
H0259	H1241		H6499	H5207	H7381	H3068		H7126	

לָכֶם׃	יִהְיוּ	תְמִימִם	שִׁבְעָה	שָׁנָה׀	בְּנֵי־	כְּבָשִׂים	אֶחָד	אַיִל
あなたがたに	である	傷のない	七匹を	一歳の	～の-子の	小羊を	一匹と	雄羊を
	H1961	H8549	H7651	H8141		H3532	H0259	

あなたがたは主に燔祭をささげて、香ばしいかおりとしなければならない。すなわち若い雄牛一頭、雄羊一頭、一歳の雄の小羊七頭をささげなければならない。これらはみな全きものでなければならない。

עֶשְׂרֹנִים	שְׁלֹשָׁה	בַּשָּׁמֶן	בְּלוּלָה	סֹלֶת	וּמִנְחָתָם	9
十分の-一の	三-十分の-一を	油で	混ぜた	上質の-小麦粉で	そして-その-穀物の-供え物は	
H6241	H7969	H8081		H5560	H4503	

הָאֶחָד׃	לָאַיִל	עֶשְׂרֹנִים	שְׁנֵי	לַפָּר
一匹の	雄羊に-つき	十分の-一の	二-十分の-一を	雄牛に-つき
H0259		H6241	H8147	H6499

その素祭には油を混ぜた麦粉をささげなければならない。すなわち雄牛一頭につき一エパの十分の三、雄羊一頭につき十分の二をささげ、

הַכְּבָשִׂים׃	לִשְׁבִעַת	הָאֶחָד	לַכֶּבֶשׂ	עִשָּׂרוֹן	עִשָּׂרוֹן׀	10
小羊に	七匹の	一匹の	小羊-一匹に-つき	十分の-一を	十分の-一ずつ	
H3532	H7651	H0259	H3532	H6241	H6241	

また七頭の小羊には一頭ごとに十分の一をささげなければならない。

הַכִּפֻּרִים׀	חַטָּאת	מִלְּבַד	חַטָּאת	אֶחָד	עִזִּים	שְׂעִיר־	11
贖罪の	罪の-供え物と	～の-ほかに	罪の-供え物として	一匹を	山羊の	雄山羊を	
H3725		H0905		H0259	H5795		

פ	וְנִסְכֵּיהֶם׃	וּמִנְחָתָהּ	הַתָּמִיד	וְעֹלַת
—	そして-その-注ぎの-供え物を	そして-その-穀物の-供え物と	常の	そして-全焼の-供え物と
	H5262	H4503	H8548	

また雄やぎ一頭を罪祭としてささげなければならない。これらは贖罪の罪祭と常燔祭とその素祭、および灌祭のほかのものである。

12 וּבַחֲמִשָּׁה֙ עָשָׂר֙ יוֹם֙ לַחֹ֣דֶשׁ הַשְּׁבִיעִ֔י מִקְרָא־קֹ֖דֶשׁ יִהְיֶ֣ה
そして–十五–日に 十五 日に その–月の 第七の 聖なる–集会が–ある である
H2568 H6240 H3117 H2320 H7637 H4744 H6944 H1961

לָכֶ֑ם כָּל־מְלֶ֥אכֶת עֲבֹדָ֖ה לֹ֣א תַעֲשׂ֔וּ וְחַגֹּתֶ֥ם חַ֛ג
あなたがたに すべての 仕事の 労働の しては–ならない してはならない そして–祝え 祭りを
H3605 H4399 H5656 H3808 H6213 H2287 H2282

לַיהוָ֖ה שִׁבְעַ֥ת יָמִֽים׃
主に 七–日の–間 日間
H3068 H7651 H3117

七月の十五日に聖会を開かなければならない。なんの労役もしてはならない。七日のあいだ主のために祭をしなければならない。

13 וְהִקְרַבְתֶּ֤ם עֹלָה֙ אִשֵּׁ֣ה רֵ֣יחַ נִיחֹ֔חַ לַיהוָ֖ה פָּרִ֣ים
そして–捧げよ 全焼の–供え物を 火の–供え物として 快い–香りの なだめの 主に 雄牛を
H7126 H5930 H0801 H7381 H5207 H3068 H6499

בְּנֵי־בָקָ֑ר שְׁלֹשָׁה֙ עָשָׂ֣ר אֵילִ֔ם שְׁנֵ֥י כְבָשִׂ֖ים אַרְבָּעָ֥ה עָשָׂ֛ר
〜の–子の 牛の 十三匹と 雄羊を 二匹と 小羊を 十四匹を 十四
H1121 H1241 H7969 H6240 H0352 H8147 H0702 H6240

בְּנֵי־שָׁנָ֥ה תְמִימִ֖ם יִהְי֥וּ׃
〜の–子の 一歳の 傷のない である
H1121 H8141 H8549 H1961

あなたがたは燔祭をささげて、主に香ばしいかおりの火祭としなければならない。すなわち若い雄牛十三頭、雄羊二頭、一歳の雄の小羊十四頭をささげなければならない。これらはみな全きものでなければならない。

14 וּמִנְחָתָ֑ם סֹ֣לֶת בְּלוּלָ֣ה בַשָּׁ֗מֶן שְׁלֹשָׁ֤ה עֶשְׂרֹנִים֙
そして–その–穀物の–供え物は 上質の–小麦粉で 混ぜた 油で 三–十分の–一を 十分の–一の
H4503 H5560 H1101 H8081 H7969 H6241

לַפָּ֣ר הָאֶחָ֔ד לִשְׁלֹשָׁ֖ה עֶשְׂרֹנֵ֥י פָרִ֛ים שְׁנֵ֥י עֶשְׂרֹנִ֖ים לָאַ֥יִל
雄牛–一匹に–つき 一匹の 十三匹の 十三 雄牛に 二–十分の–一を 十分の–一の 雄羊–一匹に–つき
H6499 H0259 H7969 H6240 H6499 H8147 H6241

הָאֶחָֽד׃ לִשְׁנֵ֥י הָאֵילִֽם׃
一匹の 二匹の 雄羊に
H0259 H8147

その素祭には油を混ぜた麦粉をささげなければならない。すなわち十三頭の雄牛には一頭ごとに十分の三、その二頭の雄羊には一頭ごとに十分の二をささげ、

15 וְעִשָּׂרוֹן֙ עִשָּׂרוֹן֙ לַכֶּ֣בֶשׂ הָאֶחָ֔ד לְאַרְבָּעָ֖ה עָשָׂ֣ר כְּבָשִׂ֑ים׃
そして–十分の–一ずつ 十分の–一を 小羊–一匹に–つき 一匹の 十四匹の 十四 小羊に
H6241 H6241 H3532 H0259 H0702 H6240 H3532

その十四頭の小羊には一頭ごとに十分の一をささげなければならない。

16 וּשְׂעִיר־עִזִּ֖ים אֶחָ֑ד חַטָּ֣את מִלְּבַד֙ עֹלַ֣ת הַתָּמִ֔יד
そして–雄山羊を 山羊の 一匹を 罪の–供え物として ～の–ほかに 全焼の–供え物と 常の
H8163 H5795 H0259 H2403 H0905 H5930 H8548

ס וְנִסְכָּֽהּ׃ מִנְחָתָ֖הּ
— そして–その–注ぎの–供え物を その–穀物の–供え物と
H5262 H4503

また雄やぎ一頭を罪祭としてささげなければならない。これらは常燔祭とその素祭および灌祭のほかのものである。

17 וּבַיּוֹם הַשֵּׁנִי פָּרִים בְּנֵי־בָקָר שְׁנֵים עָשָׂר אֵילִם שְׁנָיִם כְּבָשִׂים
そして–〜の–日に 第二の 雄牛を 〜の–子の 牛の 十二匹と 雄羊を 二匹と 小羊を
H3117 H8145 H6499 H1241 H8147 H6240 H8147 H3532

בְּנֵי־שָׁנָה אַרְבָּעָה עָשָׂר תְּמִימִם׃
一歳の 十四匹を 十四 傷のない
H8141 H0702 H6240 H8549

第二日には若い雄牛十二頭、雄羊二頭、一歳の雄の全き小羊十四頭をささげなければならない。

18 וּמִנְחָתָם וְנִסְכֵּיהֶם לַפָּרִים לָאֵילִם
そして–その–穀物の–供え物と そして–その–注ぎの–供え物を 雄牛に–つき 雄羊に–つき
H4503 H5262 H6499

וְלַכְּבָשִׂים בְּמִסְפָּרָם כַּמִּשְׁפָּט׃
そして–小羊に–つき その–数に–従って 定めの–とおりに
H3532 H4557 H4941

その雄牛と雄羊と小羊とのための素祭と灌祭とはその数にしたがって、定めのようにささげなければならない。

19 וּשְׂעִיר־עִזִּים אֶחָד חַטָּאת עַל מִלְבַד עֹלַת הַתָּמִיד
そして–雄山羊を 山羊の 一匹を 罪の–供え物として 〜の–ほかに 全焼の–供え物と 常の
H8548 H0905 H5795 H0259 H2403 H5930

וּמִנְחָתָהּ וְנִסְכֵּיהֶם׃ ס
そして–その–穀物の–供え物と そして–その–注ぎの–供え物を 一
H4503 H5262

また雄やぎ一頭を罪祭としてささげなければならない。これらは常燔祭とその素祭および灌祭のほかのものである。

20 וּבַיּוֹם הַשְּׁלִישִׁי פָּרִים עַשְׁתֵּי־עָשָׂר כְּבָשִׂים שְׁנֵים אֵילִם עָשָׂר
そして–〜の–日に 第三の 雄牛を 十一匹と 十一 小羊を 二匹と 雄羊を 十一
H3117 H7992 H6499 H6249 H6240 H3532 H8147 H0352

בְּנֵי־שָׁנָה תְּמִימִם׃
一歳の 傷のない
H8141 H8549

第三日には雄牛十一頭、雄羊二頭、一歳の雄の全き小羊十四頭をささげなければならない。

21 וּמִנְחָתָם וְנִסְכֵּיהֶם לַפָּרִים לָאֵילִם
そして–その–穀物の–供え物と そして–その–注ぎの–供え物を 雄牛に–つき 雄羊に–つき
H4503 H5262 H6499

וְלַכְּבָשִׂים בְּמִסְפָּרָם כַּמִּשְׁפָּט׃
そして–小羊に–つき その–数に–従って 定めの–とおりに
H3532 H4557 H4941

その雄牛と雄羊と小羊とのための素祭と灌祭とは、その数にしたがって定めのようにささげなければならない。

22 וּשְׂעִיר חַטָּאת אֶחָד מִלְבַד עֹלַת הַתָּמִיד
そして–雄山羊を 罪の–供え物として 一匹を 〜の–ほかに 全焼の–供え物と 常の
H8548 H0905 H0259 H2403

וּמִנְחָתָהּ וְנִסְכָּהּ׃ ס
そして–その–穀物の–供え物と そして–その–注ぎの–供え物を 一
H4503 H5262

また雄やぎ一頭を罪祭としてささげなければならない。これらは常燔祭とその素祭および灌祭のほかのものである。

וּבַיּוֹם	הָרְבִיעִי	פָּרִים	עֲשָׂרֵה	אֵילִם	שְׁנַיִם	כְּבָשִׂים	בְּנֵי־	שָׁנָה	אַרְבָּעָה
そして–〜の–日に	第四の	雄牛を	十匹と	雄羊を	二匹と	小羊を	〜の–子の	一歳の	十四匹を
H3117	H7243	H6499	H6235	H8549	H8147	H3532		H8141	H0702

עָשָׂר	תְּמִימִם׃
十四	傷のない
H6240	H8549

第四日には雄牛十頭、雄羊二頭、一歳の雄の全き小羊十四頭をささげなければならない。

וְלַכְבָשִׂים	לָאֵילִם	לַפָּרִים	וְנִסְכֵּיהֶם	מִנְחָתָם
そして–小羊に–つき	雄羊に–つき	雄牛に–つき	そして–その–注ぎの–供え物を	その–穀物の–供え物と
H3532		H6499	H5262	H4503

כַּמִּשְׁפָּט׃	בְּמִסְפָּרָם
定めの–とおりに	その–数に–従って
H4941	H4557

その雄牛と雄羊と小羊とのための素祭と灌祭とは、その数にしたがって定めのようにささげなければならない。

הַתָּמִיד	עֹלַת	מִלְבַד	חַטָּאת	אֶחָד	עִזִּים	וּשְׂעִיר־
常の	全焼の–供え物と	〜の–ほかに	罪の–供え物として	一匹を	山羊の	そして–雄山羊を
H8548		H0905		H0259	H5795	

ס	וְנִסְכָּהּ׃		מִנְחָתָהּ
—	そして–その–注ぎの–供え物を		その–穀物の–供え物と
	H5262		H4503

また雄やぎ一頭を罪祭としてささげなければならない。これらは常燔祭とその素祭および灌祭のほかのものである。

וּבַיּוֹם	הַחֲמִישִׁי	פָּרִים	תִּשְׁעָה	אֵילִם	שְׁנַיִם	כְּבָשִׂים	בְּנֵי־	שָׁנָה	אַרְבָּעָה
そして–〜の–日に	第五の	雄牛を	九匹と	雄羊を	二匹と	小羊を	〜の–子の	一歳の	十四匹を
H3117	H2549	H6499	H8672	H8549	H8147	H3532		H8141	H0702

עָשָׂר	תְּמִימִם׃
十四	傷のない
H6240	H8549

第五日には雄牛九頭、雄羊二頭、一歳の雄の全き小羊十四頭をささげなければならない。

לָאֵילִם	לַפָּרִים	וְנִסְכֵּיהֶם	וּמִנְחָתָם	
雄羊に–つき	雄牛に–つき	そして–その–注ぎの–供え物を	そして–その–穀物の–供え物と	
	H6499	H5262	H4503	

כַּמִּשְׁפָּט׃	בְּמִסְפָּרָם	וְלַכְבָשִׂים
定めの–とおりに	その–数に–従って	そして–小羊に–つき
H4941	H4557	H3532

その雄牛と雄羊と小羊とのための素祭と灌祭とは、その数にしたがって定めのようにささげなければならない。

הַתָּמִיד	עֹלַת	מִלְבַד	אֶחָד	חַטָּאת	וּשְׂעִיר	
常の	全焼の–供え物と	〜の–ほかに	一匹を	罪の–供え物として	そして–雄山羊を	
H8548		H0905	H0259			

ס	וְנִסְכָּהּ׃	וּמִנְחָתָהּ
—	そして–その–注ぎの–供え物を	そして–その–穀物の–供え物と
	H5262	H4503

また雄やぎ一頭を罪祭としてささげなければならない。これらは常燔祭とその素祭および灌祭のほかのものである。

29 וּבַיּוֹם H3117 そして–〜の–日に | הַשִּׁשִּׁי H8345 第六の | פָּרִים H6499 雄牛を | שְׁמֹנָה H8083 八匹と | אֵילִם H0352 雄羊を | שְׁנַיִם H8147 二匹と | כְּבָשִׂים H3532 小羊を | בְּנֵי־ 〜の–子の | שָׁנָה H8141 一歳の | אַרְבָּעָה H0702 十四匹を

עָשָׂר H6240 十四 | תְּמִימִם׃ H8549 傷のない

第六日には雄牛八頭、雄羊二頭、一歳の雄の全き小羊十四頭をささげなければならない。

30 וּמִנְחָתָם H4503 そして–その–穀物の–供え物と | וְנִסְכֵּיהֶם H5262 そして–その–注ぎの–供え物を | לַפָּרִים H6499 雄牛に–つき | לָאֵילִם 雄羊に–つき

וְלַכְּבָשִׂים H3532 そして–小羊に–つき | בְּמִסְפָּרָם H4557 その–数に–従って | כַּמִּשְׁפָּט׃ H4941 定めの–とおりに

その雄牛と雄羊と小羊とのための素祭と灌祭とは、その数にしたがって定めのようにささげなければならない。

31 וּשְׂעִיר H8163 そして–雄山羊を | חַטָּאת 罪の–供え物として | אֶחָד H0259 一匹を | מִלְּבַד H0905 〜の–ほかに | עֹלַת H5930 全焼の–供え物と | הַתָּמִיד H8548 常の

וְנִסְכֶּיהָ׃ H5262 そして–その–注ぎの–供え物を | פ — | מִנְחָתָהּ H4503 その–穀物の–供え物と

また雄やぎ一頭を罪祭としてささげなければならない。これらは常燔祭とその素祭および灌祭のほかのものである。

32 וּבַיּוֹם H3117 そして–〜の–日に | הַשְּׁבִיעִי H7637 第七の | פָּרִים H6499 雄牛を | שִׁבְעָה H7651 七匹と | אֵילִם H0352 雄羊を | שְׁנַיִם H8147 二匹と | כְּבָשִׂים H3532 小羊を | בְּנֵי־ 〜の–子の | שָׁנָה H8141 一歳の | אַרְבָּעָה H0702 十四匹を

עָשָׂר H6240 十四 | תְּמִימִם׃ H8549 傷のない

第七日には雄牛七頭、雄羊二頭、一歳の雄の全き小羊十四頭をささげなければならない。

33 וּמִנְחָתָם H4503 そして–その–穀物の–供え物と | וְנִסְכֵּיהֶם H5262 そして–その–注ぎの–供え物を | לַפָּרִים H6499 雄牛に–つき | לָאֵילִם 雄羊に–つき

וְלַכְּבָשִׂים H3532 そして–小羊に–つき | בְּמִסְפָּרָם H4557 その–数に–従って | כְּמִשְׁפָּטָם׃ H4941 その–定めの–とおりに

その雄牛と雄羊と小羊とのための素祭と灌祭とは、その数にしたがって定めのようにささげなければならない。

34 וּשְׂעִיר H8163 そして–雄山羊を | חַטָּאת 罪の–供え物として | אֶחָד H0259 一匹を | מִלְּבַד H0905 〜の–ほかに | עֹלַת H5930 全焼の–供え物と | הַתָּמִיד H8548 常の

וְנִסְכָּהּ׃ H5262 そして–その–注ぎの–供え物を | פ — | מִנְחָתָהּ H4503 その–穀物の–供え物と

また雄やぎ一頭を罪祭としてささげなければならない。これらは常燔祭とその素祭および灌祭のほかのものである。

35 בַּיּוֹם H3117 הַשְּׁמִינִי H8066 עֲצֶרֶת H6116 תִּהְיֶה H1961 לָכֶם H3605 כָּל־ H4399 מְלֶאכֶת H5656 עֲבֹדָה
〜の−日に 第八の 終わりの−集会が−ある である あなたがたに すべての 仕事の 労働の

לֹא H3808 תַעֲשׂוּ׃
しては−ならない してはならない

第八日にはまた集会を開かなければならない。なんの労役をもしてはならない。

36 וְהִקְרַבְתֶּם H7126 עֹלָה H0801 אִשֶּׁה H7381 רֵיחַ H5207 נִיחֹחַ H3068 לַיהוָה H6499 פָּר H0259 אֶחָד
そして−捧げよ 全焼の−供え物を 火の−供え物として 快い−香りの なだめの 主に 雄牛を 一匹と

אַיִל H3532 כְּבָשִׂים H0259 אֶחָד H8141 בְּנֵי־ H7651 שִׁבְעָה H8549 תְּמִימִם׃
雄羊を 小羊を 一匹と 一歳の 〜の−子の 七匹を 傷のない

あなたがたは燔祭をささげて主に香ばしいかおりの火祭としなければならない。すなわち雄牛一頭、雄羊一頭、一歳の雄の全き小羊七頭をささげなければならない。

37 מִנְחָתָם H4503 וְנִסְכֵּיהֶם H5262 לַפָּר H6499 לָאַיִל H3532 וְלַכְּבָשִׂים
その−穀物の−供え物と そして−その−注ぎの−供え物を 雄牛に−つき 雄羊に−つき そして−小羊に−つき

כַּמִּשְׁפָּט׃ H4941 בְּמִסְפָּרָם H4557
定めの−とおりに その−数に−従って

その雄牛と雄羊と小羊とのための素祭と灌祭とは、その数にしたがって定めのようにささげなければならない。

38 הַתָּמִיד H8548 עֹלַת H4905 מִלְּבַד H0259 אֶחָד H2403 חַטָּאת H8163 וּשְׂעִיר
常の 全焼の−供え物と 〜の−ほかに 一匹を 罪の−供え物として そして−雄山羊を

וְנִסְכָּהּ׃ H5262 וּמִנְחָתָהּ H4503
そして−その−注ぎの−供え物を そして−その−穀物の−供え物と

また雄やぎ一頭を罪祭としてささげなければならない。これらは常燔祭とその素祭および灌祭のほかのものである。

39 מִנִּדְרֵיכֶם H5088 לְבַד H0905 בְּמוֹעֲדֵיכֶם H4150 לַיהוָה H6213 תַּעֲשׂוּ H0428 אֵלֶּה
あなたがたの−誓願の−供え物と 〜の−ほかに あなたがたの−定められた−時に 主に 捧げよ これらを

וּלְמִנְחֹתֵיכֶם H4503 לְעֹלֹתֵיכֶם וְנִדְבֹתֵיכֶם H5071
そして−あなたがたの−穀物の−供え物と あなたがたの−全焼の−供え物と そして−あなたがたの−自発の−供え物と

וּלְשַׁלְמֵיכֶם׃ H8002 וּלְנִסְכֵּיכֶם H5262
そして−あなたがたの−和解の−供え物を そして−あなたがたの−注ぎの−供え物と

あなたがたは定めの祭の時に、これらのものを主にささげなければならない。これらはあなたがたの誓願、または自発の供え物としてささげる燔祭、素祭、灌祭および酬恩祭のほかのものである』」。

40

יְהוָה	צִוָּה	אֲשֶׁר־	כְּכֹל	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי	אֶל־	מֹשֶׁה	וַיֹּאמֶר
主が	命じた	～した	すべての–とおりに	イスラエルの	子らに	～に	モーセは	そして–言った
H3068	H6680		H3605	H3478		H0413	H4872	H0559

פ	מֹשֶׁה׃	אֶת־
—	モーセに	～を
	H4872	H0853

モーセは主が命じられた事をことごとくイスラエルの人々に告げた。

Chapter 30

1

לֵאמֹר	יִשְׂרָאֵל	לִבְנֵי	הַמַּטּוֹת	רָאשֵׁי	אֶל־	מֹשֶׁה	וַיְדַבֵּר	
言って	イスラエルの	子らの–ための	部族の	かしらたちに	～に	モーセは	そして–語った	
H0559	H3478		H4294		H0413	H4872	H1696	

יְהוָה׃	צִוָּה	אֲשֶׁר	הַדָּבָר	זֶה
主が	命じられた	～ところの	そのことばである	これが
H3068	H6680		H1697	H2088

モーセはイスラエルの人々の部族のかしらたちに言った、「これは主が命じられた事である。

2

אִסָּר	לֶאְסֹר	שְׁבֻעָה	הִשָּׁבַע	אוֹ־	לַיהוָה	נֶדֶר	יִדֹּר	כִּי־	אִישׁ
誓約で	縛るために	誓いを	誓って	あるいは	主に	誓願を	誓願を–立てるなら	もし	人が
H0632	H0631	H7621	H7650		H3068	H5088	H5087		H0376

הַיֹּצֵא	כְּכָל־	דְּבָרוֹ	יַחֵל	לֹא	נַפְשׁוֹ	עַל־
出てくるものの	すべての–とおりに	自分のことばを	破っては–ならない	～ない	自分自身を	～の–上に
H3318	H3605	H1697		H3808	H5315	

יַעֲשֶׂה׃	מִפִּיו
行わなければならない	自分の–口から
	H6310

もし人が主に誓願をかけ、またはその身に物断ちをしようと誓いをするならば、その言葉を破ってはならない。口で言ったとおりにすべて行わなければならない。

3

אָבִיהָ	בְּבֵית	אִסָּר	וְאָסְרָה	לַיהוָה	נֶדֶר	תִּדֹּר	כִּי־	וְאִשָּׁה
父の	～の–家で	誓約で	そして–縛るなら	主に	誓願を	誓願を–立てるなら	もし	また–女が
H0001		H0632	H0631	H3068	H5088	H5087		H0802

בִּנְעֻרֶיהָ׃
若い–時に

またもし女がまだ若く、父の家にいて、主に誓願をかけ、またはその身に物断ちをしようとする時、

4

אָסְרָה	אֲשֶׁר	וֶאֱסָרָהּ	נִדְרָהּ	אֶת־	אָבִיהָ	וְשָׁמַע
彼女が–縛った	～ところの	そして–彼女の–誓約を	彼女の–誓願を	～を	彼女の–父が	そして–聞いて
H0631		H0632	H5088	H0853	H0001	H8085

וְקָמוּ	אָבִיהָ	לָהּ	וְהֶחֱרִישׁ	נַפְשָׁהּ	עַל־		
すると–有効と–なる	彼女の–父が	彼女に–対して	そして–黙っていたなら	自分自身を	～の–上に		
	H0001			H5315			

נַפְשָׁהּ	עַל־	אָסְרָה	אֲשֶׁר־	אִסָּר	וְכָל־	נִדְרֶיהָ	כָּל־	
自分自身を	～の–上に	彼女が–縛った	～ところの	誓約は	そして–すべての	彼女の–誓願は	すべての	
H5315		H0631		H0632	H3605	H5088	H3605	

יָקוּם׃
有効と–なる

父が彼女の誓願、または彼女の身に断った物断ちのことを聞いて、彼女に何も言わないならば、彼女はすべて誓願を行い、またその身に断った物断ちをすべて守らなければならない。

5

נִדְרֶיהָ	כָּל־	שָׁמְעוֹ	בְיוֹם	אֹתָהּ	אָבִיהָ	הֵנִיא	וְאִם־
彼女の–誓願も	すべての	聞いた	その–日に	彼女を	彼女の–父が	取り消したなら	しかし–もし
H5088	H3605	H8085	H3117	H0853	H0001	H5106	

יָקוּם	לֹא	נַפְשָׁהּ	עַל־	אָסְרָה	אֲשֶׁר־	וֶאֱסָרֶיהָ	
有効と–ならない	～ない	自分自身を	～の–上に	彼女が–縛った	～ところの	そして–彼女の–誓約も	
	H3808	H5315		H0631		H0632	

אֹתָהּ׃	אָבִיהָ	הֵנִיא	כִּי־	לָהּ	יְסָלַח־	וַיהוָה
彼女を	彼女の–父が	取り消した	なぜなら	彼女を	赦してくださる	そして–主は
H0853	H0001	H5106			H5545	H3068

しかし、彼女の父がそれを聞いた日に、それを承認しない時は、彼女はその誓願、またはその身に断った物断ちをすべてやめることができる。父が承認しないのであるから、主は彼女をゆるされるであろう。

6

אוֹ	עָלֶיהָ	וּנְדָרֶיהָ	לְאִישׁ	תִּהְיֶה	הָיוֹ	וְאִם־	
あるいは	彼女の–上に–あり	そして–彼女の–誓願が	夫に	嫁いだなら	まことに	もし	
		H5088	H0376	H1961	H1961		

נַפְשָׁהּ׃	עַל־	אָסְרָה	אֲשֶׁר	שְׂפָתֶיהָ	מִבְטָא	
自分自身を	～の–上に	彼女が–縛った	～ところの	彼女の–唇の	口から–出た	
H5315		H0631		H8193	H4008	

またもし夫のある身で、みずから誓願をかけ、またはその身に物断ちをしようと、軽々しく口で言った場合、

7

לָהּ	וְהֶחֱרִישׁ	שָׁמְעוֹ	בְיוֹם	אִישָׁהּ	וְשָׁמַע	
彼女に–対して	そして–黙っていたなら	聞いた	その–日に	彼女の–夫が	そして–聞いて	
		H8085	H3117	H0376	H8085	

עַל־	אָסְרָה	אֲשֶׁר־	וֶאֱסָרֶיהָ	נִדְרֶיהָ	וְקָמוּ	
～の–上に	彼女が–縛った	～ところの	そして–彼女の–誓約は	彼女の–誓願は	すると–有効と–なる	
	H0631		H0632	H5088		

יָקֻמוּ׃	נַפְשָׁהּ
有効と–なる	自分自身を
	H5315

夫がそれを聞き、それを聞いた日に彼女に何も言わないならば、彼女はその誓願を行い、その身に断った物断ちを守らなければならない。

8

אֶת־	וְהֵפֵר	אוֹתָהּ	יָנִיא	אִישָׁהּ	שָׁמַע	בְּיוֹם	וְאִם
～を	そして–破棄するなら	彼女を	取り消すなら	彼女の–夫が	聞いた	その–日に	しかし–もし
H0853		H0853	H5106	H0376	H8085	H3117	

אֲשֶׁר	שְׂפָתֶיהָ	מִבְטָא	וְאֶת	עָלֶיהָ	אָשַׁר	נִדְרָהּ
～ところの	彼女の–唇の	口から–出た	そして–～を	彼女の–上に–ある	～ところの	彼女の–誓願を
	H8193	H4008	H0853			H5088

לָהּ׃	יְסַלַּח־	וַיהוָה	נַפְשָׁהּ	עַל־	אָסְרָה
彼女を	赦してくださる	そして–主は	自分自身を	～の–上に	彼女が–縛った
	H5545	H3068	H5315		H0631

しかし、もし夫がそれを聞いた日に、それを承認しないならば、夫はその女がかけた誓願、またはその身に物断ちをしようと、軽々しく口に言ったことをやめさせることができる。主はその女をゆるされるであろう。

9

עַל־	אָסְרָה	אֲשֶׁר־	כָּל	וּגְרוּשָׁה	אַלְמָנָה	וְנֵדֶר	
～の–上に	彼女が–縛った	～ところの	すべての	そして–離縁された–女の	やもめの	しかし–誓願は	
	H0631		H3605	H1644	H0490	H5088	

עָלֶיהָ׃	יָקוּם	נַפְשָׁהּ
彼女の–上に	有効と–なる	自分自身を
		H5315

しかし、寡婦あるいは離縁された女の誓願、すべてその身に断った物断ちは、それを守らなければならない。

10

עַל־	אִסָּר	אָסְרָה	אֹו־	נָדְרָה	אִישָׁהּ	בֵּית	וְאִם־	
～の–上に	誓約で	縛ったなら	あるいは	誓願を–立てたなら	彼女の–夫の	～の–家で	もし	
	H0632	H0631		H5087	H0376			

בִּשְׁבֻעָה׃	נַפְשָׁהּ
誓いによって	自分自身を
H7621	H5315

もし女が夫の家で誓願をかけ、またはその身に物断ちをしようと誓った時、

11

הֵנִיא	לֹא	לָהּ	וְהֶחֱרִשׁ	אִישָׁהּ	וְשָׁמַע		
取り消さなかったなら	～ない	彼女に–対して	そして–黙っていたなら	彼女の–夫が	そして–聞いて		
H5106	H3808			H0376	H8085		

אֲשֶׁר־	אִסָּר	וְכָל־	נִדְרֵיהָ	כָּל־	וְקָמוּ	אֹתָהּ	
～ところの	誓約は	そして–すべての	彼女の–誓願は	すべての	すると–有効と–なる	彼女を	
	H0632	H3605	H5088	H3605		H0853	

יָקוּם׃	נַפְשָׁהּ	עַל־	אָסְרָה
有効と–なる	自分自身を	～の–上に	彼女が–縛った
	H5315		H0631

夫がそれを聞いて、彼女に何も言わず、またそれに反対しないならば、その誓願はすべて行わなければならない。またその身に断った物断ちはすべて守らなければならない。

12

כָּל־	שְׁמָעוֹ	בְּיוֹם	אִישָׁהּ	וְאַתָּם	יָפֵר	הָפֵר	וְאִם־	
すべての	聞いた	その–日に	彼女の–夫が	それらを	破棄するなら	破棄して	しかし–もし	
H3605	H8085	H3117	H0376	H0853				

לֹא	נַפְשָׁהּ	וְלֶאְסָר	לְנִדְרֵיהָ	שְׂפָתֶיהָ	מוֹצָא	
～ない	自分自身の	そして–彼女の–自身の–誓約の	彼女の–誓願の–ための	彼女の–唇の	口から–出たもの	
H3808	H5315	H0632	H5088	H8193	H4161	

לָהּ׃	יְסַלַּח־	וַיהוָה	הֵפֵרָם	אִישָׁהּ	יָקוּם
彼女を	赦してくださる	そして–主は	破棄した–それらを	彼女の–夫が	有効と–ならない
	H5545	H3068		H0376	

しかし、もし夫がそれを聞いた日にそれを認めないならば、彼女の誓願、または身の物断ちについて、彼女が口で言った事は、すべてやめることができる。夫がそれを認めなかったのだから、主はその女をゆるされるであろう。

13 כָּל־ נֶדֶר וְכָל־ שְׁבֻעַת אִסָּר לְעַנֹּת נֶפֶשׁ אִישָׁהּ
すべての 誓願と 誓いの 誓約は 苦しめるための 自分自身を 彼女の–夫が
H3605 H5088 H7621 H0632 H6680 H5315 H0376

יְקִימֶנּוּ וְאִישָׁהּ הֵפֵר יְפֵרֶנּוּ׃
有効に–できる–それを そして–彼女の–夫が 破棄できる–それを
H0376

すべての誓願およびすべてその身を悩ます物断ちの誓約は、夫がそれを守らせることができ、または夫がそれをやめさせることができる。

14 וְאִם־ הַחֲרֵשׁ יַחֲרִישׁ לָהּ אִישָׁהּ מִיּוֹם אֶל־ יוֹם
しかし–もし 黙って 黙り続けるなら 彼女に–対して 彼女の–夫が 日から ～へ 日へ
H3117 H0413 H3117 H0376

וְהֵקִים אֶת־ כָּל־ נְדָרֶיהָ אוֹ אֶת־ כָּל־ אֲסָרֶיהָ
すると–有効に–した ～を すべての 彼女の–誓願を あるいは ～を すべての 彼女の–誓約を
H0853 H3605 H5088 H0853 H3605 H0853

עָלֶיהָ הֵקִים אֹתָם כִּי־ הֶחֱרִשׁ לָהּ בְּיוֹם
彼女の–上に–ある 有効に–した それらを なぜなら 黙っていた 彼女に–対して その–日に
H0853 H3117

אֲשֶׁר שָׁמְעוֹ׃
～ところの 聞いた
H8085

もし夫が彼女に何も言わずに日を送るならば、彼は妻がした誓願、または物断ちをすべて認めたのである。彼はそれを聞いた日に妻に何も言わなかったのだから、それを認めたのである。

15 וְאִם־ הָפֵר יָפֵר אֹתָם אַחֲרֵי שָׁמְעוֹ וְנָשָׂא אֶת־
しかし–もし 破棄して 破棄するなら それらを ～の–後に 聞いた すると–彼は–負う ～を
H0853 H5375 H8085 H0853

עֲוֹנָהּ׃
彼女の–咎を
H5771

しかし、もし夫がそれを聞き、あとになって、それを認めないならば、彼は妻の罪を負わなければならない」。

16 אֵלֶּה הַחֻקִּים אֲשֶׁר צִוָּה יְהוָה אֶת־ מֹשֶׁה בֵּין אִישׁ
これらが 掟である ～ところの 命じられた 主が ～を モーセに ～の–間の 夫と
H0428 H2706 H6680 H3068 H0853 H4872 H0996 H0376

לְאִשְׁתּוֹ בֵּין אָב לִבְתּוֹ בִּנְעֻרֶיהָ בְּבֵית אָבִיהָ׃ פ
その–妻との ～の–間の 父と その–娘との 若い–時の ～の–家における 彼女の–父の —
H0802 H0996 H0001 H1323 H0001

これらは主がモーセに命じられた定めであって、夫と妻との間、および父とまだ若くて父の家にいる娘との間に関するものである。

Chapter 31

1 וַיְדַבֵּר יְהוָה אֶל־ מֹשֶׁה לֵאמֹר׃
そして–語った 主は ～に モーセに 言って
H1696 H3068 H0413 H4872 H0559

さて主はモーセに言われた、

2 נְקֹם נִקְמַת בְּנֵי יִשְׂרָאֵל מֵאֵת הַמִּדְיָנִים אַחַר תֵּאָסֵף אֶל־
復讐せよ 復讐を 子らの イスラエルの ～から ミデヤン人に その-後 加えられる ～へ
H5358 H5360 H1121 H3478 H0854 H4084 H0310 H0622 H0413

עַמֶּיךָ׃
あなたの-民に

「ミデアンびとにイスラエルの人々のあだを報いなさい。その後、あなたはあなたの民に加えられるであろう」。

3 וַיְדַבֵּר מֹשֶׁה אֶל־הָעָם לֵאמֹר הֶחָלְצוּ מֵאִתְּכֶם אֲנָשִׁים לַצָּבָא
そして-語った モーセは ～に 民に 言って 武装せよ あなたがたの-中から 人々を 軍のために
H1696 H4872 H0413 H5971 H0559 H2505 H0854 H0376 H6635

וְיִהְיוּ עַל־מִדְיָן לָתֵת נִקְמַת־יְהוָה בְּמִדְיָן׃
そして-なるように ～に-対して ミデヤンに 与えるために 復讐を 主の ミデヤンに
H1961 H5921 H4080 H5414 H5360 H3068 H4080

モーセは民に言った、「あなたがたのうちから人を選んで戦いのために武装させ、ミデアンびとを攻めて、主のためミデアンびとに復讐しなさい。

4 אֶלֶף אֶלֶף לַמַּטֶּה לְכֹל מַטּוֹת יִשְׂרָאֵל תִּשְׁלְחוּ לַצָּבָא׃
千人ずつ 部族ごとに すべての 部族の イスラエルの 送り出せ 軍のために
H0505 H4294 H3605 H4294 H3478 H7971 H6635

すなわちイスラエルのすべての部族から、部族ごとに千人ずつを戦いに送り出さなければならない」。

5 וַיִּמָּסְרוּ מֵאַלְפֵי יִשְׂרָאֵל אֶלֶף לַמַּטֶּה שְׁנֵים־עָשָׂר אֶלֶף
そして-引き渡された 数千の-中から イスラエルの 千人ずつ 部族ごとに 十二 ×十 千人の
H4560 H0505 H3478 H0505 H4294 H8147 H6240 H0505

חֲלוּצֵי צָבָא׃
武装した 軍勢が

そこでイスラエルの部族のうちから部族ごとに千人ずつを選び、一万二千人を得て、戦いのために武装させた。

6 וַיִּשְׁלַח אֹתָם מֹשֶׁה אֶלֶף לַמַּטֶּה אֹתָם לַצָּבָא וְאֶת־
そして-送り出した 彼らを モーセは 千人ずつ 部族ごとに 軍のために 彼らと そして-～を
H7971 H0853 H4872 H0505 H4294 H0853 H6635 H0853

וְהַחֲצֹצְרוֹת הַקֹּדֶשׁ וּכְלֵי הַכֹּהֵן לַצָּבָא אֶלְעָזָר בֶּן־פִּינְחָס
そして-ラッパと 聖なる そして-器具と 祭司を 軍のために エルアザルの 息子の ピネハスを
H2689 H6944 H3627 H3548 H6635 H0499 H1121 H6372

בְּיָדוֹ׃ הַתְּרוּעָה
その-手に 吹き鳴らすための
H3027 H8643

モーセは各部族から千人ずつを戦いにつかわし、また祭司エレアザルの子ピネハスに、聖なる器と吹き鳴らすラッパとを執らせて、共に戦いにつかわした。

7 וַיִּצְבְּאוּ עַל־מִדְיָן כַּאֲשֶׁר צִוָּה יְהוָה אֶת־מֹשֶׁה
そして-戦った ～に-対して ミデヤンに ～のとおりに 命じられた 主が ～を モーセに
H6633 H5921 H4080 H3605 H6680 H3068 H0853 H4872

וַיַּהַרְגוּ כָל־זָכָר׃
そして-殺した すべての 男を
H2026 H3605 H2145

彼らは主がモーセに命じられたようにミデアンびとと戦って、その男子をみな殺した。

8

אֱוִי	אֶת־	חַלְלֵיהֶם	עַל־	הָרְגוּ	מִדְיָן	מַלְכֵי	וְאֶת־
エビを	～を	彼らの–殺された者に	～に–加えて	殺した	ミデヤンの	王たちを	そして–～を
H0189	H0853			H2026	H4080	H4428	H0853

חֲמֵשֶׁת	רֶבַע	וְאֶת־	חוּר	וְאֶת־	צוּר	וְאֶת־	רֶקֶם
五人の	レバを	そして–～を	フルを	そして–～を	ツルを	そして–～を	レケムを
H2568	H7254	H0853	H2354	H0853	H6698	H0853	H7552

וְאֶת־	מַלְכֵי	מִדְיָן	וְאֶת־	בִּלְעָם	בֶּן־	בְּעוֹר	הָרְגוּ	בֶּחָרֶב׃
そして–～を	王たちを	ミデヤンの	そして–～を	バラムを	息子の	ベオルの	殺した	剣で
H0853	H4428	H4080	H0853			H1160	H2026	H2719

その殺した者のほかにまたミデアンの王五人を殺した。その名はエビ、レケム、ツル、フル、レバである。またベオルの子バラムをも、つるぎにかけて殺した。

9

וְאֶת־	מִדְיָן	נָשָׁי	אֶת־	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי־	וַיִּשְׁבּוּ	
そして–～を	ミデヤンの	女たちを	～を	イスラエルの	子らは	そして–捕虜にした	
H0853	H4080	H0802	H0853	H3478		H7617	

מִקְנֵהֶם	כָּל־	וְאֶת־	בְּהֶמְתָּם	כָּל־	וְאֶת	טַפָּם	
彼らの–群れを	すべての	そして–～を	彼らの–家畜を	すべての	そして–～を	彼らの–幼い者を	
H4735	H3605	H0853	H0929	H3605	H0853	H2945	

בָּזָזוּ׃	חֵילָם	כָּל־	וְאֶת־	
奪い取った	彼らの–財産を	すべての	そして–～を	
H0962	H2428	H3605	H0853	

またイスラエルの人々はミデアンの女たちとその子供たちを捕虜にし、その家畜と、羊の群れと、貨財とをことごとく奪い取り、

10

טִירֹתָם	כָּל־	וְאֶת	בְּמוֹשְׁבֹתָם	עָרֵיהֶם	כָּל־	וְאֶת	
彼らの–陣営を	すべての	そして–～を	彼らの–住まいの	彼らの–町々を	すべての	そして–～を	
H2918	H3605	H0853	H4186		H3605	H0853	

בָּאֵשׁ׃	שָׂרְפוּ
火で	焼いた
H0784	H8313

そのすまいのある町々と、その部落とを、ことごとく火で焼いた。

11

וּבְהֵמָה׃	בָּאָדָם	הַמַּלְקוֹחַ	כָּל־	וְאֶת	הַשָּׁלָל	כָּל־	אֶת־	וַיִּקְחוּ
そして–家畜も	人も	獲物を	すべての	そして–～を	戦利品を	すべての	～を	そして–取った
H0929	H0120		H3605	H0853	H7998	H3605	H0853	H3947

こうして彼らはすべて奪ったものと、かすめたものとは人をも家畜をも取り、

12

עֲדַת	וְאֶל־	הַכֹּהֵן	אֶלְעָזָר	וְאֶל־	מֹשֶׁה	אֶל־	וַיָּבֹאוּ	
会衆へ	そして–～へ	祭司と	エルアザルと	そして–～へ	モーセと	～へ	そして–持って来た	
H5712	H0413	H3548	H0499	H0413	H4872	H0413	H0935	

הַמַּחֲנֶה	אֶל־	הַשָּׁלָל	וְאֶת־	הַמַּלְקוֹחַ	וְאֶת־	הַשִּׁבְיָ	אֶת־	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי־
陣営へ	～へ	戦利品を	そして–～を	獲物と	そして–～を	捕虜と	～を	イスラエルの	子らの
H4264	H0413	H7998	H0853		H0853		H0853	H3478	

ס	יְרֵחוֹ׃	יַרְדֵּן	עַל־	אֲשֶׁר	מוֹאָב	עַרְבֹת	אֶל־
—	エリコの	ヨルダン川の	～のほとりの	～ところの	モアブの	平原の	～の
	H3405	H3383			H4124	H6160	H0413

その生けどった者と、かすめたものと、奪ったものとを携えて、エリコに近いヨルダンのほとりのモアブの平野の宿営におるモーセと祭司エレアザルとイスラエルの人々の会衆のもとへもどってきた。

13 וַיֵּצְאוּ מֹשֶׁה וְאֶלְעָזָר הַכֹּהֵן וְכֹל־ נְשִׂיאֵי הָעֵדָה
そして-出て来た モーセと そして-エルアザルと 祭司と そして-すべての 指導者たちは 会衆の
H3318 H4872 H0499 H3548 H3605 H5712

לִקְרָאתָם מִחוּץ אֶל־ לַמַּחֲנֶה׃
迎えるために-彼らを 外へ ～の 陣営の
H7125 H2351 H0413 H4264

ときにモーセと祭司エレアザルと会衆のつかさたちはみな宿営の外に出て迎えたが、

14 וַיִּקְצֹף מֹשֶׁה עַל פְּקוּדֵי הֶחָיִל שָׂרֵי הָאֲלָפִים וְשָׂרֵי
そして-怒った モーセは ～に対して 指揮官たちに 軍の 長たち 千人の そして-長たち
H7107 H4872 H0413 H6485 H2428 H8269 H0505 H8269

הַבָּאִים מִצְּבָא הַמִּלְחָמָה׃
帰って来た ～から 戦いの-軍から
H0935 H4421

モーセは軍勢の将たち、すなわち戦場から帰ってきた千人の長たちと、百人の長たちに対して怒った。

15 וַיֹּאמֶר אֲלֵיהֶם מֹשֶׁה הַחִיִּיתֶם כָּל־ נְקֵבָה׃
そして-言った 彼らに モーセは 生かしておいたのか すべての 女を
H0559 H0413 H4872 H2421 H3605 H5347

モーセは彼らに言った、「あなたがたは女たちをみな生かしておいたのか。

16 הֵן הֵנָּה הָיוּ לִבְנֵי יִשְׂרָאֵל בִּדְבַר בִּלְעָם
見よ 彼女たちこそ ～であった 子らに-対して イスラエルの ～のことばにより バラムの
H2005 H2007 H1961 H3478 H1697

לִמְסָר־ מָעַל בַּיהוָה עַל־ דִּבְרַ־ פְּעוֹר וַתְּהִי הַמַּגֵּפָה
背かせる-ための 背信を 主に-対する ～の-ことで ～の-事で ペオルの そして-あった 疫病が
H4560 H4604 H3068 H5921 H1697 H6465 H1961 H4046

בַּעֲדַת יְהוָה׃
会衆の-中に 主の
H5712 H3068

彼らはバラムのはかりごとによって、イスラエルの人々に、ペオルのことで主に罪を犯させ、ついに主の会衆のうちに疫病を起すに至った。

17 וְעַתָּה הִרְגוּ כָל־ זָכָר בַּטָּף וְכָל־ אִשָּׁה יֹדַעַת אִישׁ
そして-今 殺せ すべての 男の子を 幼い者の-中の そして-すべての 女で 知っている 男の
H6258 H2026 H3605 H2145 H2945 H3605 H0802 H3045 H0376

לְמִשְׁכַּב זָכָר הֲרֹגוּ׃
寝床の 男の 殺せ
H4904 H2145 H2026

それで今、この子供たちのうちの男の子をみな殺し、また男と寝て、男を知った女をみな殺しなさい。

18 וְכָל־ הַטָּף בַּנָּשִׁים אֲשֶׁר־ לֹא יָדְעוּ מִשְׁכַּב זָכָר הַחֲיוּ
そして-すべての 幼い者は 女の-中の ～ない 知らない 寝床の 男の 生かしておけ
H3605 H2945 H0802 H3808 H3045 H4904 H2145 H2421

לָכֶם׃
あなたがたの-ために

ただし、まだ男と寝ず、男を知らない娘はすべてあなたがたのために生かしておきなさい。

19 וְאַתֶּם חֲנוּ מִחוּץ לַמַּחֲנֶה שִׁבְעַת יָמִים כֹּל הֹרֵג נָפֶשׁ וְכֹל נֹגֵעַ בֶּחָלָל תִּתְחַטְּאוּ בַיּוֹם הַשְּׁלִישִׁי וּבַיּוֹם הַשְּׁבִיעִי אַתֶּם וּשְׁבִיכֶם׃

そしてあなたがたは七日のあいだ宿営の外にとどまりなさい。あなたがたのうちすべて人を殺した者、およびすべて殺された者に触れた者は、あなたがた自身も、あなたがたの捕虜も共に、三日目と七日目とに身を清めなければならない。

20 וְכָל בֶּגֶד וְכָל כְּלִי עוֹר וְכָל מַעֲשֵׂה עִזִּים וְכָל כְּלִי עֵץ תִּתְחַטָּאוּ׃ ס

またすべての衣服と、すべての皮の器と、すべてやぎの毛で作ったものと、すべての木の器とを清めなければならない」。

21 וַיֹּאמֶר אֶלְעָזָר הַכֹּהֵן אֶל אַנְשֵׁי הַצָּבָא הַבָּאִים לַמִּלְחָמָה זֹאת חֻקַּת הַתּוֹרָה אֲשֶׁר צִוָּה יְהוָה אֶת מֹשֶׁה׃

祭司エレアザルは戦いに出たいくさびとたちに言った、「これは主がモーセに命じられた律法の定めである。

22 אַךְ אֶת הַזָּהָב וְאֶת הַכֶּסֶף אֶת הַנְּחֹשֶׁת אֶת הַבַּרְזֶל אֶת הַבְּדִיל וְאֶת הָעֹפָרֶת׃

金、銀、青銅、鉄、すず、鉛など、

23 כָּל דָּבָר אֲשֶׁר יָבֹא בָאֵשׁ וְהָעֲבַרְתָּ בָאֵשׁ וְטָהֵר אַךְ בְּמֵי נִדָּה יִתְחַטָּא וְכֹל אֲשֶׁר לֹא יָבֹא בָאֵשׁ תַּעֲבִירוּ בַּמָּיִם׃

すべて火に耐える物は火の中を通さなければならない。そうすれば清くなるであろう。なおその上、汚れを清める水で、清めなければならない。しかし、すべて火に耐えないものは水の中を通さなければならない。

24

וְאַחַר	וְטִהַרְתֶּם	הַשְּׁבִיעִי	בַּיּוֹם	בִּגְדֵיכֶם	וְכִבַּסְתֶּם
そして–その後	そして–清くなる	七番目の	その–日に	あなたがたの–衣服を	そして–洗いなさい
	H2891	H7637	H3117		H3526

פ	הַמַּחֲנֶה׃	אֶל־	תָּבֹאוּ
—	陣営に	～に	入りなさい
	H4264	H0413	H0935

あなたがたは七日目に衣服を洗わなければならない。そして清くなり、その後宿営にはいることができる」。

25

לֵאמֹר׃	מֹשֶׁה	אֶל־	יְהוָה	וַיֹּאמֶר
言って	モーセに	～に	主は	そして–言った
H0559	H4872	H0413	H3068	H0559

主はモーセに言われた、

26

וְאֶלְעָזָר	אַתָּה	וּבִבְהֵמָה	בָּאָדָם	הַשְּׁבִי	מַלְקוֹחַ	רֹאשׁ	אֶת	שָׂא
そして–エルアザルと	あなたと	そして–家畜も	人も	捕虜の	獲物の	総数を	～を	数えよ
H0499		H0929	H0120				H0853	H5375

הָעֵדָה׃	אֲבוֹת	וְרָאשֵׁי	הַכֹּהֵן
会衆の	父祖の	そして–かしらたちが	祭司と
H5712	H0001		H3548

「あなたと祭司エレアザルおよび会衆の氏族のかしらたちは、その生けどった人と家畜の獲物の総数を調べ、

27

לַצָּבָא	הַיֹּצְאִים	הַמִּלְחָמָה	תִּפְשֵׂי	בֵּין	הַמַּלְקוֹחַ	אֶת־	וְחָצִיתָ
軍に	出て行った	戦いの	戦った者たちと	～の–間で	獲物を	～を	そして–分けなさい
	H3318	H4421	H8610	H0996		H0853	H2673

הָעֵדָה׃	כָּל־	וּבֵין	
会衆の	すべての	そして–～の–間で	
H5712	H3605	H0996	

その獲物を戦いに出た勇士と、全会衆とに折半しなさい。

28

אֶחָד	לַצָּבָא	הַיֹּצְאִים	הַמִּלְחָמָה	אַנְשֵׁי	מֵאֵת	לַיהוָה	מֶכֶס	וְהַרֵמֹתָ
一つの	軍に	出て行った	戦いの	人々から	～から	主に	税を	そして–弾納しなさい
H0259		H3318	H4421	H0376	H0854	H3068	H4371	

הַחֲמֹרִים	וּמִן־	הַבָּקָר	וּמִן־	הָאָדָם	מִן־	הַמָּאוֹת	מֵחֲמֵשׁ	נֶפֶשׁ
ろばと	そして–～から	牛と	そして–～から	人と	～から	百の	五百の–中から	人を
H2543		H1241		H0120		H3967	H2568	H5315

הַצֹּאן׃	וּמִן־	
羊と	そして–～から	
H6629		

そして戦いに出たいくさびとに、人または牛、またはろば、または羊を、おのおの五百ごとに一つを取り、みつぎとして主にささげさせなさい。

29

יְהוָה׃	תְּרוּמַת	הַכֹּהֵן	לְאֶלְעָזָר	וְנָתַתָּה	תִּקְחוּ	מְמָחֲצִיתָם
主の	奉納物として	祭司に	エルアザルに	そして–与えなさい	取りなさい	彼らの–半分から
H3068	H8641	H3548	H0499	H5414	H3947	H4276

すなわち彼らが受ける半分のなかから、それを取り、主にささげる物として祭司エレアザルに渡しなさい。

מִן־ ～から H2572
הַחֲמִשִּׁים 五十の-中から
מִן־ ～から
אֶחָז 取った H0270
וְאֶחָד 一つを H0259
וּתְקַח 取りなさい H3947
יִשְׂרָאֵל イスラエルの H3478
בְּנֵי־ 子らの
וּמִמַּחֲצַת そして-半分から H4276 30

הַבְּהֵמָה 家畜の H0929
מִכֹּל־ すべての-中から H3605
הַצֹּאן 羊と H6629
וּמִן־ そして-～から
הַחֲמֹרִים ろばと H2543
מִן־ ～から
הַבָּקָר 牛と H1241
מִן־ ～から
הָאָדָם 人と H0120

יְהוָה׃ 主の H3068
מִשְׁכָּן 幕屋の H4908
מִשְׁמֶרֶת 任務を H4931
שֹׁמְרֵי 守る者たちに H8104
לַלְוִיִּם レビ人に H3881
אֹתָם それらを H0853
וְנָתַתָּה そして-与えなさい H5414

またイスラエルの人々が受ける半分のなかから、その獲た人または牛、またはろば、または羊などの家畜を、おのおの五十ごとに一つを取り、主の幕屋の務をするレビびとに与えなさい」。

אֶת־ ～を H0853
יְהוָה 主が H3068
צִוָּה 命じられた H6680
כַּאֲשֶׁר ～のとおりに
הַכֹּהֵן 祭司は H3548
וְאֶלְעָזָר そして-エルアザルは H0499
מֹשֶׁה モーセと H4872
וַיַּעַשׂ そして-行った 31

מֹשֶׁה׃ モーセに H4872

モーセと祭司エレアザルとは主がモーセに命じられたとおりに行った。

שֵׁשׁ־ 六 H8337
צֹאן 羊が H6629
הַבָּאָה 軍の
עָם 民が
בָּזְזוּ 奪い取った H0962
אֲשֶׁר ～ところの
הַבָּז 戦利品の H0957
יֶתֶר 残りの
הַמַּלְקוֹחַ 獲物は
וַיְהִי そして-あった H1961 32

אֲלָפִים׃ 千 H0505
וַחֲמֻשֶּׁת־ そして-五 H2568
אֲלָף 千 H0505
וְשִׁבְעִים そして-七十 H7657
אֲלָף 千 H0505
מֵאוֹת 百 H3967

そこでその獲物、すなわち、いくさびとたちが奪い取ったものの残りは羊六十七万五千、

אֲלָף׃ 千 H0505
וְשִׁבְעִים そして-七十 H7657
שְׁנָיִם 二 H8147
וּבָקָר そして-牛が H1241 33

牛七万二千、

אֲלָף׃ 千 H0505
וְשִׁשִּׁים そして-六十 H8346
אֶחָד 一 H0259
וַחֲמֹרִים そして-ろばが H2543 34

ろば六万一千、

כָּל־ すべての H3605
זָכָר 男の H2145
מִשְׁכַּב 寝床の H4904
יָדְעוּ 知らない H3045
לֹא־ ～ない H3808
אֲשֶׁר ～ところの
הַנָּשִׁים 女たちの-中の H0802
מִן־ ～から
אָדָם 人は H0120
וְנֶפֶשׁ そして-人の H5315 35

אֲלָף׃ 千 H0505
וּשְׁלֹשִׁים そして-三十 H7970
שְׁנָיִם 二 H8147
נֶפֶשׁ 人は H5315

人三万二千、これはみな男と寝ず、男を知らない女であった。

36 וַתְּהִי֙ הַֽמֶּחֱצָ֔ה חֵ֖לֶק הַיֹּצְאִ֣ים בַּצָּבָ֑א מִסְפַּ֗ר הַצֹּ֛אן שְׁלֹשׁ־מֵא֥וֹת

そして-あった 半分は 分け前の 出て行った者たちの 軍に 数は 羊の 三 百
H1961 H4275 H2506 H3318 H6635 H4557 H6629 H7969 H3967

אֶ֖לֶף וּשְׁלֹשִׁ֥ים וְשִׁבְעַ֛ת אֲלָפִ֖ים וַחֲמֵ֥שׁ מֵאֽוֹת׃

千 そして-三十 そして-七 千 そして-五 百
H0505 H7970 H7651 H0505 H2568 H3967

そしてその半分、すなわち戦いに出た者の分は羊三十三万七千五百、

37 וַיְהִ֛י הַמֶּ֥כֶס לַֽיהוָ֖ה מִן־הַצֹּ֑אן שֵׁ֥שׁ מֵא֖וֹת וַחֲמִשִּׁ֥ים וְשִׁבְעִֽים׃

そして-あった 税は 主への ～から 羊から 六 百 五 そして-七十五
H1961 H4371 H3068 H6635 H6629 H8337 H3967 H2568 H7657

主にみつぎとした羊は六百七十五。

38 וְהַבָּקָ֛ר שִׁשָּׁ֥ה וְשִׁבְעִ֖ים אָ֑לֶף וּשְׁלֹשִׁ֥ים לַֽיהוָ֖ה מִכְסָֽם׃

そして-牛は 六 そして-三十 千 そして-七十二 主への そして-その-税は
H1241 H8337 H7970 H0505 H7657 H3068 H4371

牛は三万六千、そのうちから主にみつぎとしたものは七十二。

39 וַחֲמֹרִ֛ים שִׁשִּׁ֥ים אֶ֖לֶף וַחֲמֵ֣שׁ מֵא֑וֹת לַֽיהוָ֖ה מִכְסָֽם׃ וְשִׁשִּֽׁים׃

そしてろばは 三十 千 そして-五 百 主への そして-その-税は そして-六十一
H2543 H7970 H0505 H2568 H3967 H3068 H4371 H8346

ろばは三万五百、そのうちから主にみつぎとしたものは六十一。

40 וְנֶ֣פֶשׁ אָדָ֔ם שִׁשָּׁ֥ה עָשָׂ֖ר אֶ֑לֶף וּמִכְסָ֗ם לַֽיהוָה֙ שְׁנַ֣יִם וּשְׁלֹשִׁ֔ים נָֽפֶשׁ׃

そして-人は 人は 十六 千 ×十 税は 主への 二 人
H5315 H0120 H8337 H0505 H6240 H4371 H3068 H8147 H7970 H5315

人は一万六千、そのうちから主にみつぎとしたものは三十二人であった。

41 וַיִּתֵּ֣ן מֹשֶׁ֗ה אֶת־מֶ֙כֶס֙ תְּרוּמַ֣ת יְהוָ֔ה לְאֶלְעָזָ֖ר הַכֹּהֵ֑ן כַּאֲשֶׁ֥ר

そして-与えた モーセは ～を 税の 奉納物を 主の エルアザルに 祭司に ～のとおりに
H5414 H4872 H0853 H4371 H8641 H3068 H0499 H3548

צִוָּ֥ה יְהוָ֖ה אֶת־מֹשֶֽׁה׃

命じられた 主が ～を モーセに
H6680 H3068 H0853 H4872

モーセはそのみつぎを主にささげる物として祭司エレアザルに渡した。主がモーセに命じられたとおりである。

42 וּמִמַּחֲצִ֣ית בְּנֵֽי־יִשְׂרָאֵ֗ל אֲשֶׁ֤ר חָצָה֙ מֹשֶׁ֔ה מִן־הָאֲנָשִׁ֖ים

そして-半分から 子らの イスラエルの ～ところの 分けた モーセが ～から 人々から
H4276 H1121 H3478 H0834 H2673 H4872 H0376

הַצֹּבְאִֽים׃

戦った者たちから
H6633

モーセが戦いに出た人々とは別にイスラエルの人々に与えた半分、

43 וַתְּהִ֣י מֶחֱצַ֔ת הָעֵדָ֖ה מִן־הַצֹּ֑אן שְׁלֹשׁ־מֵא֥וֹת אֶ֙לֶף֙ וּשְׁלֹשִׁ֣ים שִׁבְעַ֔ת

そして-あった 半分は 会衆の ～から 羊から 三 百 千 そして-三十 七
H1961 H4275 H5712 H6635 H6629 H7969 H3967 H0505 H7970 H7651

אֲלָפִ֖ים וַחֲמֵ֥שׁ מֵאֽוֹת׃

千 そして-五 百
H0505 H2568 H3967

すなわち会衆の受けた半分は羊三十三万七千五百、

44 וּבָקָר שִׁשָּׁה וּשְׁלֹשִׁים אָלֶף׃
そして-牛が 六 そして-三十 千
H1241 H8337 H7970 H0505

牛三万六千、

45 וַחֲמֹרִים שְׁלֹשִׁים אֶלֶף וַחֲמֵשׁ מֵאוֹת׃
そして-ろばが 三十 千 そして-五 百
H2543 H7970 H0505 H2568 H3967

ろば三万五百、

46 וְנֶפֶשׁ אָדָם שִׁשָּׁה עָשָׂר אָלֶף׃
そして-人は 人は 十六 ×十 千
H5315 H0120 H8337 H6240 H0505

人一万六千であって、

47 וַיִּקַּח מֹשֶׁה מִמַּחֲצַת בְּנֵי־יִשְׂרָאֵל אֶת־הָאָחֻז אֶחָד מִן־
そして-取った モーセは 半分から 子らの イスラエルの ～を 取った 一つの ～から
H3947 H4872 H4276 H0853 H3478 H0270 H0259

הָאֲנָשִׁים הַצֹּבְאִים וַיִּתֵּן אֹתָם לַלְוִיִּם
人の 軍の そして-与えた それらを レビ人に
H0376 H6635 H5414 H0853 H3881

וּמִן־ הַבְּהֵמָה וְאֶת־ הָאָדָם מִן־ חֲמִשִּׁים
そして-～から 家畜と 人と ～から 五十の-中から
H0929 H0120 H2572

מִשְׁמֶרֶת מִשְׁכַּן יְהוָה כַּאֲשֶׁר צִוָּה יְהוָה אֶת־ מֹשֶׁה׃
任務を 幕屋の 主の ～のとおりに 命じられた 主が ～を モーセに
H4931 H4908 H3068 H6680 H3068 H0853 H4872

モーセはイスラエルの人々の受けた半分のなかから、人および獣をおのおの五十ごとに一つを取って、主の幕屋の務をするレビびとに与えた。主がモーセに命じられたとおりである。

48 וַיִּקְרְבוּ אֶל־ מֹשֶׁה הַפְקֻדִים אֲשֶׁר לְאַלְפֵי הַצָּבָא הַשָּׂרֵי
そして-近づいた ～に モーセに 指揮官たちは ～ところの 千人の-部隊の 軍の 長たちは
H7126 H0413 H4872 H6485 H0834 H0505 H6635 H8269

וְשָׂרֵי הַמֵּאוֹת׃ הָאֲלָפִים
そして-長たちは 百人の 千人の
H8269 H3967 H0505

時に軍勢の将であったものども、すなわち千人の長たちと百人の長たちとがモーセのところにきて、

49 וַיֹּאמְרוּ אֶל־ מֹשֶׁה עֲבָדֶיךָ נָשְׂאוּ אֶת־ רֹאשׁ אַנְשֵׁי הַמִּלְחָמָה
そして-言った ～に モーセに あなたの-僕べたちは 数えました ～を 総数を 人々の 戦いの
H0559 H0413 H4872 H5650 H5375 H0853 H7218 H0376 H4421

אֲשֶׁר בְּיָדֵנוּ וְלֹא־ נִפְקַד מִמֶּנּוּ אִישׁ׃
～ところの 私たちの-手に-ある そして-～ない 欠けて-いない 私たちから 一人も
H0834 H3027 H3808 H6485 H4480 H0376

モーセに言った、「しもべらは、指揮下のいくさびとを数えましたが、われわれのうち、ひとりも欠けた者はありませんでした。

50 וַנַּקְרֵב אֶת־קָרְבַּן יְהוָה אִישׁ אֲשֶׁר מָצָא כְלִי־זָהָב אֲצְעָדָה
そして–捨げます ～を 供え物を 主に 各人が ～ところの 見つけた 器を 金の 腕輪と
H7126 H0853 H0685 H3068 H0376 H0834 H4672 H3627 H2091 H0685

וְצָמִיד טַבַּעַת עָגִיל וְכוּמָז לְכַפֵּר עַל־נַפְשֹׁתֵינוּ לִפְנֵי
そして–腕飾りと 指輪と 耳飾りと そして–首飾りを 贖うために ～の–上に 私たちの–魂を ～の–前に
H6785 H2885 H5694 H3558 H3722 H5921 H5315 H6440

יְהוָה׃
主の
H3068

それで、われわれは、おのおの手に入れた金の飾り物、すなわち腕飾り、腕輪、指輪、耳輪、首飾りなどを主に携えてきて供え物とし、主の前にわれわれの命のあがないをしようと思います」。

51 וַיִּקַּח מֹשֶׁה וְאֶלְעָזָר הַכֹּהֵן אֶת־הַזָּהָב מֵאִתָּם כָּל
そして–受け取った モーセと そして–エルアザルは 祭司は ～を 金を 彼らから すべての
H3947 H4872 H0499 H3548 H0853 H2091 H0854 H3605

מַעֲשֵׂה׃ כְּלִי
細工の 器の
H4639 H3627

モーセと祭司エレアザルとは、彼らから細工を施した金の飾り物を受け取った。

52 וַיְהִי כָּל־זְהַב הַתְּרוּמָה אֲשֶׁר הֵרִימוּ לַיהוָה שִׁשָּׁה עָשָׂר אֶלֶף
そして–あった すべての 金の 奉納物の ～ところの 奉納した 主に 十六 ×十 千
H1961 H3605 H2091 H8641 H0834 H7311 H3068 H8337 H6240 H0505

שְׂרֵי וּמֵאֵת הָאֲלָפִים שָׂרֵי מֵאֵת שֶׁקֶל וַחֲמִשִּׁים מֵאוֹת שִׁבְעַ־
長たちから そして–～から 千人の 長たちから ～から シェケル そして–五十 百 七
H8269 H0853 H0505 H8269 H0854 H8255 H2572 H3967 H7651

מֵאוֹת׃ הַמֵּאוֹת
百人の
H3967

千人の長たちと百人の長たちとが、主にささげものとした金は合わせて一万六千七百五十シケル。

53 אַנְשֵׁי הַצָּבָא בָּזְזוּ אִישׁ לוֹ׃
人々は 軍の 奪い取った 各人が 自分の–ために
H0376 H6635 H1497 H0376 H0376

いくさびとは、おのおの自分のぶんどり物を獲た。

54 וַיִּקַּח מֹשֶׁה וְאֶלְעָזָר הַכֹּהֵן אֶת־הַזָּהָב מֵאֵת שָׂרֵי
そして–受け取った モーセと そして–エルアザルは 祭司は ～を 金を ～から 長たちから
H3947 H4872 H0499 H3548 H0853 H2091 H0854 H8269

וַיָּבִאוּ אֹתוֹ אֶל־אֹהֶל מוֹעֵד זִכָּרוֹן לִבְנֵי יִשְׂרָאֵל לִפְנֵי יְהוָה׃ פ
そして–持って来た それを ～へ 天幕へ 会見の 記念として 子らの–ための イスラエルの ～の–前に 主の —
H0935 H0853 H0413 H0168 H4150 H2146 H1121 H3478 H6440 H3068

モーセと祭司エレアザルとは、千人の長たちと百人の長たちとから、その金を受け取り、それを携えて会見の幕屋に入り、主の前に置いてイスラエルの人々のために記念とした。

Chapter 32

1 וּמִקְנֶה רַב הָיָה לִבְנֵי רְאוּבֵן וְלִבְנֵי־ גָד עָצוּם מְאֹד
そして–家畜が 多く あった ルベンの 子らに そして–子らに ガドの 非常に 多く
H4735 H7205 H1961 H1410 H6099 H3966

וַיִּרְאוּ אֶת־ אֶרֶץ יַעְזֵר וְאֶת־ אֶרֶץ גִּלְעָד וְהִנֵּה הַמָּקוֹם
そして–見た ヤゼルの 地を そして–〜を ギルアデの 地を そして–見よ その–場所は
H7200 H3270 H0776 H0853 H1568 H0776 H2009 H4725

מָקוֹם׃ מִקְנֶה
場所であった 家畜の
H4725 H4735

ルベンの子孫とガドの子孫とは非常に多くの家畜の群れを持っていた。彼らがヤゼルの地と、ギレアデの地とを見ると、そこは家畜を飼うのに適していたので、

2 וַיָּבֹאוּ בְנֵי־ גָד וּבְנֵי רְאוּבֵן וַיֹּאמְרוּ אֶל־ מֹשֶׁה
そして–来た 子らは ガドの そして–子らは ルベンの そして–言った 〜に モーセに
H0935 H1410 H7205 H0559 H0413 H4872

וְאֶל־ אֶלְעָזָר הַכֹּהֵן וְאֶל־ נְשִׂיאֵי הָעֵדָה לֵאמֹר׃
そして–〜に 祭司に エルアザルに そして–〜に 指導者たちに 会衆の 言って
H0413 H3548 H0499 H0413 H5712 H0559

ガドの子孫とルベンの子孫とがきて、モーセと、祭司エレアザルと、会衆のつかさたちとに言った、

3 עֲטָרוֹת וְדִיבֹן וְיַעְזֵר וְנִמְרָה וְחֶשְׁבּוֹן
アタロトと そして–ディボンと そして–ヤゼルと そして–ニムラと そして–ヘシボンと
H5852 H1769 H3270 H5247 H2809

וְאֶלְעָלֵה וְשְׂבָם וּנְבוֹ וּבְעֹן׃
そして–エルアレと そして–シバムと そして–ネボと そして–ベオンは
H0500 H7643 H5015 H1194

「アタロテ、デボン、ヤゼル、ニムラ、ヘシボン、エレアレ、シバム、ネボ、ベオン、

4 הָאָרֶץ אֲשֶׁר הִכָּה יְהוָה לִפְנֵי עֲדַת יִשְׂרָאֵל אֶרֶץ מִקְנֶה
その–地は 〜ところの 打ち破った 主が 会衆の イスラエルの 地である 家畜の
H0776 H0834 H5221 H3068 H5712 H3478 H0776 H4735

הִוא לַעֲבָדֶיךָ וְלָנוּ מִקְנֶה׃ ס
それは あなたの–僕べたちには そして–家畜がある —
H1931 H5650 H4735

すなわち主がイスラエルの会衆の前に撃ち滅ぼされた国は、家畜を飼うのに適した地ですが、しもべらは家畜を持っています」。

5 וַיֹּאמְרוּ אִם־ מָצָאנוּ חֵן בְּעֵינֶיךָ יִתֶּן אֶת־
そして–言った もし 見いだしたなら 恵みを あなたの–目に 与えられますように 〜を
H0559 H0518 H4672 H2580 H5869 H5414 H0853

עֲבָדֶיךָ אֶת־ הָאָרֶץ הַזֹּאת לַאֲחֻזָּה וְאַל־ תַּעֲבִרֵנוּ
この–地が この 所有地として 〜ないでください 渡らせないでください–私たちを
H0776 H2063 H0272 H0408 H5674

אֶת־ הַיַּרְדֵּן׃
〜を ヨルダン川を
H0853 H3383

彼らはまた言った、「それでもし、あなたの恵みを得られますなら、どうぞこの地をしもべらの領地にして、われわれにヨルダンを渡らせないでください」。

6

וַיֹּאמֶר	מֹשֶׁה	לִבְנֵי־	גָד	וְלִבְנֵי	רְאוּבֵן	הַאֲחֵיכֶם
そして–言った	モーセは	子らに	ガドの	そして–子らに	ルベンの	あなたがたの–兄弟たちは
H0559	H4872		H1410		H7205	H0251

לַמִּלְחָמָה	וְאַתֶּם	תֵּשְׁבוּ	פֹּה׃		
戦いに	そして–あなたがたは	座るのか	ここに		
H4421		H3427	H6311		

יָבֹאוּ
行くのか
H0935

モーセはガドの子孫とルベンの子孫とに言った、「あなたがたは兄弟が戦いに行くのに、ここにすわっていようというのか。

7

וְלָמָּה	תנואון[	תְּנִיאֻון)	אֶת־	לֵב	בְּנֵי	יִשְׂרָאֵל	מֵעֲבֹר	אֶל־
そして–なぜ	くじくのか	くじくのか	～を	心を	子らの	イスラエルの	渡ることから	～へ
H4100	H5106	H5106	H0853			H3478		H0413

יְהוָה׃	לָהֶם	נָתַן	אֲשֶׁר־	הָאָרֶץ	
主が	彼らに	与えた	～ところの	その–地へ	
H3068		H5414		H0776	

どうしてあなたがたはイスラエルの人々の心をくじいて、主が彼らに与えられる地に渡ることができないようにするのか。

8

כֹּה	עָשׂוּ	אֲבֹתֵיכֶם	בְּשָׁלְחִי	אֹתָם	מִקַּדֵּשׁ־בַּרְנֵעַ
このように	行った	あなたがたの–父たちは	私が–遣わした–時に	彼らを	カデシュ・バルネアから
H3541		H0001	H7971	H0853	H6947

לִרְאוֹת	אֶת־	הָאָרֶץ׃
見るために	～を	その–地を
H7200	H0853	H0776

あなたがたの先祖も、わたしがカデシ・バルネアから、その地を見るためにつかわした時に、同じようなことをした。

9

וַיַּעֲלוּ	עַד־	נַחַל	אֶשְׁכֹּול	וַיִּרְאוּ	אֶת־	הָאָרֶץ	וַיְנַאֲצוּ	
そして–上った	～まで	谷まで	エシュコルの	そして–見た	～を	その–地を	そして–くじいた	
H5927	H5704		H0812	H7200	H0853	H0776	H5106	

אֶת־	לֵב	בְּנֵי	יִשְׂרָאֵל	לְבִלְתִּי־	בֹּא	אֶל־	הָאָרֶץ	אֲשֶׁר־	
～を	心を	子らの	イスラエルの	入らない–ように	入ることから	～へ	その–地へ	～ところの	
H0853			H3478	H1115	H0935	H0413	H0776		

נָתַן	לָהֶם	יְהוָה׃
与えた	彼らに	主が
H5414		H3068

すなわち彼らはエシコルの谷に行って、その地を見たとき、イスラエルの人々の心をくじいて、主が与えられる地に行くことができないようにした。

10

וַיִּחַר־	אַף	יְהוָה	בַּיּוֹם	הַהוּא	וַיִּשָּׁבַע	לֵאמֹר׃
そして–燃えた	怒りが	主の	その–日に	その	そして–誓った	言って
H2734	H0639	H3068	H3117	H1931	H7650	H0559

そこでその時、主は怒りを発し、誓って言われた、

11

אִם־ 決して–〜ない H0518
יִרְאוּ 見ない H7200
הָאֲנָשִׁים 人々は H0376
הָעֹלִים 上って来た H5927
מִמִּצְרַיִם エジプトから H4714
מִבֶּן 〜から–息子の H1121
עֶשְׂרִים 二十 H6242
שָׁנָה 歳の H8141

וְלִיַעֲקֹב そして–ヤコブに H3290
לְיִצְחָק イサクと H3327
לְאַבְרָהָם アブラハムと H0085
נִשְׁבָּעְתִּי 私が–誓った H7650
אֲשֶׁר 〜ところの H0834
הָאֲדָמָה その–地を H0127
אֶת 〜を H0853
וָמַעְלָה そして–以上の H4605

כִּי なぜなら H3588
לֹא־ 〜ない H3808
מִלְאוּ 従わなかった H4390
אַחֲרָי׃ 私に H0310

『エジプトから出てきた人々で二十歳以上の者はひとりもわたしがアブラハム、イサク、ヤコブに誓った地を見ることはできない。彼らはわたしに従わなかったからである。

12

בִּלְתִּי 〜を–除いて H1115
כָּלֵב カレブを H3612
בֶּן־ 息子の H1121
יְפֻנֶּה エフンネの H3312
הַקְּנִזִּי ケナズ人と H7074
וִיהוֹשֻׁעַ そして–ヨシュアを H3091
בִּן־ 息子の H1121
נוּן ヌンの H5126

כִּי なぜなら H3588
מִלְאוּ 従った H4390
אַחֲרֵי 〜の–後に H0310
יְהוָה׃ 主の H3068

ただケニズびとエフンネの子カレブとヌンの子ヨシュアとはそうではない。このふたりは全く主に従ったからである』。

13

וַיִּחַר־ そして–燃えた H2734
אַף 怒りが H0639
יְהוָה 主の H3068
בְּיִשְׂרָאֵל イスラエルに–対して H3478
וַיְנִעֵם そして–さまよわせた–彼らを H5128
בַּמִּדְבָּר 荒野で H4057
אַרְבָּעִים 四十 H0705

שָׁנָה 年の–間 H8141
עַד־ 〜まで H5704
תֹּם 消え尽くす H8552
כָּל־ すべての H3605
הַדּוֹר その–世代が H1755
הָעֹשֶׂה 行った H6213
הָרַע 悪を H7451
בְּעֵינֵי 〜の–目に H5869
יְהוָה׃ 主の H3068

主はこのようにイスラエルにむかって怒りを発し、彼らを四十年のあいだ荒野にさまよわされたので、主の前に悪を行ったその世代の人々は、ついにみな滅びた。

14

וְהִנֵּה そして–見よ H2009
קַמְתֶּם 立ち上がった H6965
תַּחַת 〜に–代わって H8478
אֲבֹתֵיכֶם あなたがたの–父たちに H0001
תַּרְבּוּת 仕種として H8635
אַנְשִׁים 人々の H0376
חַטָּאִים 罪深い H2400

לְסֹפֶת 増し加えるために H5595
עוֹד なおも H5750
עַל 〜の–上に H5921
חֲרוֹן 燃える H2740
אַף־ 怒りを H0639
יְהוָה 主の H3068
אֶל־ 〜に–対する H0413
יִשְׂרָאֵל׃ イスラエルに H3478

あなたがたはその父に代って立った罪びとのやからであって、主のイスラエルに対する激しい怒りをさらに増そうとしている。

15

כִּי なぜなら H3588
תְשׁוּבֶן 背くなら H7725
מֵאַחֲרָיו 彼に–従うことから H0310
וְיָסַף そして–続ける H3254
עוֹד なお H5750
לְהָנִיחַ 捨て置くことを–彼らを H3240
בַּמִּדְבָּר 荒野に H4057

וְשִׁחַתֶּם そして–滅ぼす H7843
לְכָל־ すべての–ために H3605
הָעָם この–民を H5971
הַזֶּה׃ この H2088
ס —

あなたがたがもしそむいて主に従わないならば、主はまたこの民を荒野にすておかれるであろう。そうすればあなたがたはこの民をことごとく滅ぼすに至るであろう」。

16

וַיִּגְּשׁוּ אֵלָיו וַיֹּאמְרוּ גְּדֵרֹת צֹאן נִבְנֶה לְמִקְנֵנוּ פֹּה
そして–近づいた 彼に そして–言った 囲いを 羊の 建てます 私たちの–家畜のために ここに
H5066 H0413 H0559 H1448 H6629 H1129 H4735 H6311

וְעָרִים לְטַפֵּנוּ׃
そして–町々を 私たちの–幼い者のために
H2945

彼らはモーセのところへ進み寄って言った、「われわれはこの所に、群れのために羊のおりを建て、また子供たちのために町々を建てようと思います。

17

וַאֲנַחְנוּ נֵחָלֵץ חֻשִׁים לִפְנֵי בְּנֵי יִשְׂרָאֵל עַד אֲשֶׁר אִם־
そして–私たちは 武装する 急いで ～の–前に 子らの イスラエルの ～まで ～ところの もし
H0587 H2704

הֲבִיאֹתִים אֶל־מְקוֹמָם וְיָשַׁב טַפֵּנוּ בְּעָרֵי הַמִּבְצָר מִפְּנֵי׃ יֹשְׁבֵי הָאָרֶץ׃
導いたなら–彼らを ～へ 彼らの–場所へ そして–住む 私たちの–幼い者は 町々に 要塞の その–地の 住民の ～から–離れて
H0935 H0413 H6440 H3427 H2945 H4013 H0776 H3427 H6440

しかし、われわれは武装してイスラエルの人々の前に進み、彼らをその所へ導いて行きましょう。ただわれわれの子供たちは、この地の住民の害をのがれるため、堅固な町々に住ませておかなければなりません。

18

לֹא נָשׁוּב אֶל־בָּתֵּינוּ עַד הִתְנַחֵל בְּנֵי יִשְׂרָאֵל אִישׁ
～ない 帰らない ～へ 私たちの–家へ ～まで 受け継ぐ 子らが イスラエルの 各人が
H3808 H7725 H0413 H5704 H5157 H1121 H3478 H0376

נַחֲלָתוֹ׃
その–相続地を
H5159

われわれはイスラエルの人々が、おのおのその嗣業を受けるまでは、家に帰りません。

19

כִּי לֹא נִנְחַל אִתָּם וָהָלְאָה כִּי־ לִירֵדֵן מִזְרָחָה׃ פ הַיַּרְדֵּן מֵעֵבֶר אֵלֵינוּ מֵעֵבֶר נַחֲלָתֵנוּ בָּאָה
なぜなら ～ない 受け継がない 彼らと–共に 向こう側で ヨルダン川の そして–向こうに なぜなら 東に — ヨルダン川の 向こう側で 私たちに 私たちの–相続地は 来た
H3808 H5157 H0854 H5676 H3383 H1973 H4217 H3383 H5676 H0413 H5159 H0935

またわれわれはヨルダンのかなたで彼らとともには嗣業を受けません。われわれはヨルダンのこなた、すなわち東の方で嗣業を受けるからです」。

20

וַיֹּאמֶר אֲלֵיהֶם מֹשֶׁה אִם־ תַּעֲשׂוּן אֶת־ הַדָּבָר הַזֶּה אִם־
そして–言った 彼らに モーセは もし 行うなら ～を この–ことを もし
H0559 H0413 H4872 H0853 H1697 H2088

תֵּחָלְצוּ לִפְנֵי יְהוָה לַמִּלְחָמָה׃
武装するなら ～の–前に 主の 戦いのために
H6440 H3068 H4421

モーセは彼らに言った、「もし、あなたがたがそのようにし、みな武装して主の前に行って戦い、

21 וְעָבַר לָכֶם כָּל־ חָלוּץ אֵת־ הַיַּרְדֵּן לִפְנֵי
そして–渡るなら あなたがたの–ために すべての 武装した者が ～を ヨルダン川を ～の–前に
H5674 H3605 H0853 H3383 H6440

יְהוָה עַד ׀ הוֹרִישׁוֹ אֶת־ אֹיְבָיו מִפָּנָיו׃
主の ～まで 追い出す–彼が ～を その–敵を その–前から
H3068 H5704 H3423 H0853 H0341 H6440

みな武装して主の前に行ってヨルダン川を渡り、主がその敵を自分の前から追い払われて、

22 וְנִכְבְּשָׁה הָאָרֶץ לִפְנֵי יְהוָה וְאַחַר תָּשֻׁבוּ וְהְיִיתֶם
そして–征服されたら その–地が ～の–前で 主の そして–その後 帰りなさい そして–なる
H3533 H0776 H6440 H3068 H7725 H1961

נְקִיִּם מֵיְהוָה וּמִיִּשְׂרָאֵל וְהָיְתָה הַזֹּאת לָכֶם
無罪の者と 主から そして–イスラエルから そして–なる この この–地が あなたがたの–ための
H3068 H3478 H1961 H2063 H0776

לִפְנֵי לַאֲחֻזָּה יְהוָה׃
～の–前で 所有地と 主の
H6440 H0272 H3068

この国が主の前に征服されて後、帰ってくるならば、あなたがたは主の前にも、イスラエルの前にも、とがめはないであろう。そしてこの地は主の前にあなたがたの所有となるであろう。

23 וְאִם־ לֹא תַעֲשׂוּן כֵּן הִנֵּה חֲטָאתֶם לַיהוָה וְדְעוּ
しかし–もし ～ない 行わないなら そのように 見よ 罪を–犯した 主に–対して そして–知れ
H3808 H6213 H3541 H2009 H2398 H3068 H3045

חַטַּאתְכֶם אֲשֶׁר תִּמְצָא אֶתְכֶם׃
あなたがたの–罪が ～ところの 見つけ出す あなたがたを
H3068 H4672 H0853

しかし、そうしないならば、あなたがたは主にむかって罪を犯した者となり、その罪は必ず身に及ぶことを知らなければならない。

24 בְּנוּ־ לָכֶם עָרִים וּגְדֵרֹת לְטַפְּכֶם
建てなさい あなたがたの–ために 町々を そして–囲いを あなたがたの–幼い者のために
H1129 H6213 H5892 H1448 H2945

וְהַיֹּצֵא מִפִּיכֶם תַּעֲשׂוּ׃
そして–出たものを あなたがたの–口から 行いなさい
H3318 H6310

לְצֹנַאֲכֶם
あなたがたの–羊のために
H6792

あなたがたは子供たちのために町々を建て、羊のために、おりを建てなさい。しかし、あなたがたは約束したことは行わなければならない」。

25 וַיֹּאמֶר בְּנֵי־ גָד וּבְנֵי רְאוּבֵן אֶל־ מֹשֶׁה לֵאמֹר
そして–言った 子らは ガドの そして–子らは ルベンの ～に モーセに 言って
H0559 H1410 H6213 H7205 H0413 H4872 H0559

עֲבָדֶיךָ יַעֲשׂוּ כַּאֲשֶׁר אֲדֹנִי מְצַוֶּה׃
あなたの–僕べたちは 行います ～のとおりに 私の–主人が 命じる
H5650 H6213 H3651 H0113 H6680

ガドの子孫とルベンの子孫とは、モーセに言った、「しもべらはあなたの命じられたとおりにいたします。

26

טַפֵּנוּ	נָשֵׁינוּ	מִקְנֵנוּ	וְכָל־	בְּהֶמְתֵּנוּ	יִהְיוּ־
私たちの–幼い者と	私たちの–妻たちと	私たちの–家畜と	そして–すべての	私たちの–動物は	いる
H2945	H0802	H4735	H3605	H0929	H1961

שָׁם	בְּעָרֵי	הַגִּלְעָד׃
そこに	町々に	ギルアデの
H8033		H1568

われわれの子供たちと妻と羊と、すべての家畜とは、このギレアデの町々に残します。

27

יְהוָה	לִפְנֵי	צָבָא	חֲלוּץ	כָּל־	יַעַבְרוּ	וַעֲבָדֶיךָ
主の	～の–前に	軍の	武装した者が	すべての	渡ります	そして–あなたの–僕べたちは
H3068	H6440			H3605		H5650

דִּבֶּר׃	אֲדֹנִי	כַּאֲשֶׁר	לַמִּלְחָמָה
言う	私の–主人が	～のとおりに	戦いのために
H1696	H0113		H4421

しかし、しもべらはみな武装して、あなたの言われるとおり、主の前に渡って行って戦います」。

28

יְהוֹשֻׁעַ	וְאֶת	הַכֹּהֵן	אֶלְעָזָר	אֶת	מֹשֶׁה	לָהֶם֙	וַיְצַו
ヨシュアと	そして–～を	祭司と	エルアザルと	～を	モーセは	彼らに–ついて	そして–命じた
H3091	H0853	H3548	H0499	H0853	H4872		H6680

יִשְׂרָאֵל׃	לִבְנֵי	הַמַּטּוֹת	אֲבוֹת	רָאשֵׁי	וְאֶת־	נוּן	בִּן־
イスラエルの	子らの	部族の	父祖の	かしらたちと	そして–～を	ヌンと	息子の
H3478		H4294	H0001		H0853	H5126	

モーセは彼らのことについて、祭司エレアザルと、ヌンの子ヨシュアと、イスラエルの人々の部族のうちの氏族のかしらたちとに命じた。

29

וְרֹאוּבֵן	וּבְנֵי־	גָד	בְנֵי־	יַעַבְרוּ	אִם־	אֲלֵהֶם	מֹשֶׁה	וַיֹּאמֶר
ルベンの	そして–子らが	ガドの	子らが	渡るなら	もし	彼らに	モーセは	そして–言った
H7205		H1410				H0413	H4872	H0559

יְהוָה	לִפְנֵי	לַמִּלְחָמָה	חָלוּץ	כָּל־	הַיַּרְדֵּן	אֶת־	אִתְּכֶם
主の	～の–前に	戦いのために	武装した者が	すべての	ヨルダン川を	～を	あなたがたと–共に
H3068	H6440	H4421		H3605	H3383	H0853	H0854

אֶרֶץ	אֶת־	לָהֶם	וּנְתַתֶּם	לִפְנֵיכֶם	הָאָרֶץ	וְנִכְבְּשָׁה
地を	～を	彼らに	そして–与えなさい	あなたがたの–前に	その–地が	そして–征服されたら
H0776	H0853		H5414	H6440	H0776	H3533

לַאֲחֻזָּה׃	הַגִּלְעָד	
所有地として	ギルアデの	
H0272	H1568	

そしてモーセは彼らに言った、「ガドの子孫と、ルベンの子孫とが、おのおの武装してあなたがたと一緒にヨルダンを渡り、主の前に戦って、その地をあなたがたが征服するならば、あなたがたは彼らにギレアデの地を領地として与えなければならない。

30

וְנֶאֶחֲזוּ	אִתְּכֶם	חֲלוּצִים	יַעַבְרוּ	לֹא	וְאִם־	
そして–所有地を–得る	あなたがたと–共に	武装した者が	渡らないなら	～ない	しかし–もし	
H0270	H0854			H3808		

כְּנָעַן׃	בְּאֶרֶץ	בְּתֹכְכֶם
カナンの	～の–地に	あなたがたの–中に
	H0776	H8432

しかし、もし彼らが武装してあなたがたと一緒に渡って行かないならば、彼らはカナンの地であなたがたのうちに領地を獲なければならない」。

31 וַיַּעֲנוּ בְנֵי־גָד וּבְנֵי רְאוּבֵן לֵאמֹר אֵת אֲשֶׁר דִּבֶּר
そして–答えた 子らは ガドの そして–子らは ルベンの 言って ～を ～ところの 語られた
H1696 H0853 H0559 H7205 H1410

יְהוָה אֶל־עֲבָדֶיךָ כֵּן נַעֲשֶׂה׃
主が ～に あなたの–僕べたちに そのとおりに 行います
H3068 H0413 H5650

ガドの子孫と、ルベンの子孫とは答えて言った、「しもべらは主が言われたとおりにいたします。

32 נַחְנוּ נַעֲבָר חֲלוּצִים לִפְנֵי יְהוָה אֶרֶץ כְּנָעַן וְאִתָּנוּ
私たちは 渡ります 武装して ～の–前に 主の 地へ カナンの そして–私たちの–ものとして
H5168 H6440 H3068 H0776 H0854

אֲחֻזַּת נַחֲלָתֵנוּ מֵעֵבֶר לַיַּרְדֵּן׃
所有地の 私たちの–相続地は 向こう側で ヨルダン川の
H0272 H5159 H5676 H3383

われわれは武装して、主の前にカナンの地へ渡って行きますが、ヨルダンのこなたで、われわれの嗣業をもつことにします」。

33 וַיִּתֵּן מֹשֶׁה לָהֶם לִבְנֵי־גָד וְלִבְנֵי רְאוּבֵן וְלַחֲצִי
そして–与えた 彼らに モーセは 子らに ガドの そして–子らに ルベンの そして–半部族に
H5414 H4872 H1410 H7205 H2677

שֵׁבֶט מְנַשֶּׁה בֶּן־יוֹסֵף מַמְלֶכֶת סִיחֹן מֶלֶךְ הָאֱמֹרִי וְאֶת־
部族の マナセの 息子の ヨセフの ～を 王国を シホンの 王の アモリ人の そして–～を
H7626 H4519 H3130 H0853 H4467 H5511 H4428 H0567 H0853

מַמְלֶכֶת עוֹג מֶלֶךְ הַבָּשָׁן הָאָרֶץ בְּעָרֶיהָ לִגְבֻלֹת עָרֵי הָאָרֶץ סָבִיב׃
王国を オグの 王の バシャンの その–地を その–町々と 境界の 町々と その–地の 周囲の
H4467 H5747 H4428 H1316 H0776 H1367 H5892 H0776 H5439

そこでモーセはガドの子孫と、ルベンの子孫と、ヨセフの子マナセの部族の半ばとに、アモリびとの王シホンの国と、バシャンの王オグの国とを与えた。すなわち、その国およびその領内の町々とその町々の周囲の地とを与えた。

34 וַיִּבְנוּ בְנֵי־גָד אֶת־דִּיבֹן וְאֶת־עֲטָרֹת וְאֶת
そして–建てた 子らは ガドの ～を ディボンと そして–～を アタロトと そして–～を
H1129 H1410 H0853 H1769 H0853 H5852 H0853

עֲרֹעֵר׃
アロエルと
H6177

こうしてガドの子孫は、デボン、アタロテ、アロエル、

35 וְאֶת־שׁוֹפָן וְאֶת־יַעְזֵר וְיָגְבְּהָה׃
そして–～を アトロト・ショファンと そして–～を ヤゼルと そして–ヨグベハを
H0853 H5855 H0853 H3270 H3011

アテロテ・ショパン、ヤゼル、ヨグベハ、

36 וְאֶת־בֵּית נִמְרָה וְאֶת־בֵּית הָרָן עָרֵי מִבְצָר וְגִדְרֹת צֹאן׃
そして–～を ベト・ニムラと そして–～を ベト・ハランを 町々を 要塞の そして–囲いを 羊の
H0853 H1039 H0853 H1028 H4013 H1448 H6629

ベテニムラ、ベテハランなどの堅固な町々を建て、羊のおりを建てた。

37 וּבְנֵי רְאוּבֵן בָּנוּ אֶת־חֶשְׁבּוֹן וְאֶת־אֶלְעָלֵא וְאֶת
そして–子らは ルベンの 建てた ～を ヘシボンと そして–～を エルアレと そして–～を
H1129 H7205 H0853 H2809 H0853 H0500 H0853

קִרְיָתָיִם׃
キルヤタイムを
H7156

またルベンの子孫は、ヘシボン、エレアレ、キリヤタイム、

38 וְאֶת־נְבוֹ וְאֶת־בַּעַל מְעוֹן מוּסַבֹּת שֵׁם וְאֶת־שִׂבְמָה
そして–～を ネボと そして–～を バアル・メオンを 変えられた 名が そして–～を シブマを
H0853 H5437 H8034 H0853 H1186 H0853 H7643

בָּנוּ׃ אֲשֶׁר הֶעָרִים שְׁמוֹת אֶת־ בְּשֵׁמוֹת וַיִּקְרְאוּ
建てた ～ところの 町々の 名前を ～を 名で そして–呼んだ
H1129 H8034 H0853 H8034 H7121

および後に名を改めたネボと、バアル・メオンの町を建て、またシブマの町を建てた。彼らは建てた町々に新しい名を与えた。

39 וַיֵּלְכוּ בְּנֵי מָכִיר בֶּן־מְנַשֶּׁה גִּלְעָדָה וַיִּלְכְּדָהּ
そして–行った 子らは マキルの 息子の マナセの ギルアデへ そして–占領した–それを
H3212 H4353 H0853 H4519 H1568 H3920

וַיּוֹרֶשׁ אֶת־ הָאֱמֹרִי אֲשֶׁר־ בָּהּ׃
そして–追い出した ～を アモリ人を ～ところの そこに–いた
H3423 H0853 H0567 H0853

またマナセの子マキルの子孫はギレアデに行って、そこを取り、その住民アモリびとを追い払ったので、

40 וַיִּתֵּן מֹשֶׁה לְמָכִיר בֶּן־מְנַשֶּׁה הַגִּלְעָד וַיֵּשֶׁב בָּהּ׃
そして–与えた モーセは ギルアデを マキルに 息子の マナセの そして–住んだ そこに
H5414 H4872 H0853 H4353 H1568 H3427

モーセはギレアデをマナセの子マキルに与えてそこに住まわせた。

41 וְיָאִיר בֶּן־מְנַשֶּׁה הָלַךְ וַיִּלְכֹּד אֶת־חַוֹּתֵיהֶם וַיִּקְרָא
そして–ヤイルは 息子の マナセの 行った そして–占領した ～を 彼らの–村々を そして–呼んだ
H2971 H1980 H4519 H3920 H0853 H2333 H7121

אֹתָן חַוֹּת יָאִיר׃
それらを ハボト・ヤイルと
H0853 H2334

またマナセの子ヤイルは行って村々を取り、それをハオテヤイルと名づけた。

42 וְנֹבַח הָלַךְ וַיִּלְכֹּד אֶת־קְנָת וְאֶת־בְּנֹתֶיהָ
そして–ノバフは 行った そして–占領した ～を ケナトと そして–～を その–娘たちを
H5025 H1980 H3920 H7079 H0853 H1323

פ וַיִּקְרָא לָהּ נֹבַח בִּשְׁמוֹ׃
— それを ノバフと 自分の–名で
H7121 H5025 H8034

またノバは行ってケナテとその村々を取り、自分の名にしたがって、それをノバと名づけた。

Chapter 33

1 אֵ֚לֶּה מַסְעֵ֣י בְנֵי־יִשְׂרָאֵ֗ל אֲשֶׁ֤ר יָצְאוּ֙ מֵאֶ֣רֶץ מִצְרַ֔יִם
これらが 旅程である 子らの イスラエルの ～ところの 出た ～の–地から エジプトから
H0428 H4550 H0428 H3478 H3318 H0776 H4714

לְצִבְאֹתָ֑ם בְּיַד־מֹשֶׁ֖ה וְאַהֲרֹֽן׃
彼らの–軍勢ごとに ～の–手によって モーセの そして–アロンの
H0428 H3027 H4872 H0175

イスラエルの人々が、モーセとアロンとに導かれ、その部隊に従って、エジプトの国を出てから経た旅路は次のとおりである。

2 וַיִּכְתֹּ֣ב מֹשֶׁ֗ה אֶת־מוֹצָאֵיהֶם֙ לְמַסְעֵיהֶ֔ם עַל־פִּ֖י יְהוָ֑ה
そして–書いた モーセは ～を 彼らの–出発地を 彼らの–旅程の–ための ～に–従って 口に 主の
H3789 H4872 H0853 H4161 H4550 H6310 H3068

וְאֵ֖לֶּה מַסְעֵיהֶ֥ם לְמוֹצָאֵיהֶ֖ם׃
そして–これらが 彼らの–旅程である 彼らの–出発地ごとの
H0428 H4550 H4161

モーセは主の命により、その旅路にしたがって宿駅を書きとめた。その宿駅にしたがえば旅路は次のとおりである。

3 וַיִּסְעוּ֙ מֵרַעְמְסֵ֔ס בַּחֹ֥דֶשׁ הָרִאשׁ֖וֹן בַּחֲמִשָּׁ֣ה עָשָׂ֣ר יוֹם֮ לַחֹ֣דֶשׁ הָרִאשׁוֹן֒
そして–出発した ラメセスから その–月に 第一の 十五 ×十 その–月の 日の 第一の
H5265 H7486 H2320 H7223 H2568 H6240 H2320 H3117 H7223

מִמָּחֳרַ֣ת הַפֶּ֗סַח יָצְא֤וּ בְנֵי־יִשְׂרָאֵל֙ בְּיָ֣ד רָמָ֔ה לְעֵינֵ֖י כָּל־מִצְרָֽיִם׃
翌日に 過越の 出た 子らは イスラエルの 手で 高く–上げた ～の–目の–前で すべての エジプト人の
H4283 H6453 H3318 H0853 H3478 H3027 H7311 H5869 H3605 H4713

彼らは正月の十五日にラメセスを出立した。すなわち過越の翌日イスラエルの人々は、すべてのエジプトびとの目の前を意気揚々と出立した。

4 וּמִצְרַ֗יִם מְקַבְּרִים֙ אֵ֣ת כָּל־בְּכוֹר֔ אֲשֶׁ֥ר הִכָּ֖ה יְהוָ֣ה בָּהֶ֑ם וּבֵאלֹהֵיהֶ֥ם עָשָׂ֖ה יְהוָ֥ה שְׁפָטִֽים׃
そして–エジプト人は 葬っていた ～を 初子を すべての 彼らの–中の 主が 打った ～ところの ～を 裁きを 主は 行った そして–彼らの–神々に
H4713 H6912 H0853 H1060 H3605 H1931 H3068 H5221 H0834 H0853 H8201 H3068 H6213 H0430

その時エジプトびとは、主に撃ち殺されたすべてのういごを葬っていた。主はまた彼らの神々にも罰を加えられた。

5 וַיִּסְעוּ֙ בְּנֵי־יִשְׂרָאֵ֔ל מֵרַעְמְסֵ֖ס וַיַּחֲנ֣וּ בְסֻכֹּֽת׃
そして–出発した 子らは イスラエルの ラメセスから そして–宿営した スコトに
H5265 H1121 H3478 H7486 H2583 H5523

こうしてイスラエルの人々はラメセスを出立してスコテに宿営し、

6 וַיִּסְעוּ֙ מִסֻּכֹּ֔ת וַיַּחֲנ֖וּ בְּאֵתָ֑ם אֲשֶׁ֥ר בִּקְצֵ֖ה הַמִּדְבָּֽר׃
そして–出発した スコトから そして–宿営した エタムに ～ところの 端に–ある 荒野の
H5265 H5523 H2583 H0864 H0834 H7097 H4057

スコテを出立して荒野の端にあるエタムに宿営し、

אֲשֶׁר	הַחִירֹת־פִּי	עַל־	וַיָּשָׁב	מֵאֵתָם	וַיִּסְעוּ	7
～ところの	ピ・ハヒロトの	～の-方へ	そして-引き返した	エタムから	そして-出発した	
	H6367		H7725	H0864	H5265	

מִגְדֹּל׃	לִפְנֵי	וַיַּחֲנוּ	צְפוֹן־בַּעַל	פְּנֵי	עַל־	
ミグドルの	～の-前に	そして-宿営した	バアル・ツェフォンの	前に	～の-前に-ある	
	H6440	H2583	H1189	H6440		

エタムを出立してバアル・ゼポンの前にあるピハヒロテに引き返してミグドルの前に宿営し、

הַמִּדְבָּרָה	הַיָּם	בְּתוֹךְ־	וַיַּעַבְרוּ	הַחִירֹת	מִפְּנֵי	וַיִּסְעוּ	8
荒野へ	海の	～の-中を	そして-渡った	ハヒロトの	～の-前から	そして-出発した	
	H3220	H8432		H6367	H6440	H5265	

בְּמָרָה׃	וַיַּחֲנוּ	אֵתָם	בְּמִדְבָּר	יָמִים	שְׁלֹשֶׁת	דֶּרֶךְ	וַיֵּלְכוּ	
マラに	そして-宿営した	エタムの	荒野の-中を	日の	三つの	道を	そして-行った	
H4785	H2583	H0864		H3117	H7969	H1870	H3212	

ピハヒロテを出立して、海のなかをとおって荒野に入り、エタムの荒野を三日路ほど行って、マラに宿営し、

עֵינֹת	עֶשְׂרֵה	שְׁתֵּים	וּבְאֵילִם	אֵילִמָה	וַיָּבֹאוּ	מִמָּרָה	וַיִּסְעוּ	9
泉が	×十	十二の	そして-エリムには	エリムへ	そして-来た	マラから	そして-出発した	
	H6240	H8147	H0362	H0362	H0935	H4785	H5265	

שָׁם׃	וַיַּחֲנוּ־	תְּמָרִים	וְשִׁבְעִים	מַיִם	
そこに	そして-宿営した	なつめの木が	そして-七十の	水の	
H8033	H2583	H8558	H7657	H4325	

メラを出立し、エリムに行って宿営した。エリムには水の泉十二と、なつめやし七十本とがあった。

סוּף׃	יַם־	עַל־	וַיַּחֲנוּ	מֵאֵילִם	וַיִּסְעוּ	10
葦の	海の	～の-ほとりに	そして-宿営した	エリムから	そして-出発した	
H5488	H3220		H2583	H0362	H5265	

エリムを出立して紅海のほとりに宿営し、

סִין׃	בְּמִדְבַּר־	וַיַּחֲנוּ	סוּף	מִיַּם־	וַיִּסְעוּ	11
シンの	荒野に	そして-宿営した	葦の	海から	そして-出発した	
		H2583	H5488	H3220	H5265	

紅海を出立してシンの荒野に宿営し、

בְּדָפְקָה׃	וַיַּחֲנוּ	סִין	מִמִּדְבַּר־	וַיִּסְעוּ	12
ドフカに	そして-宿営した	シンの	荒野から	そして-出発した	
H1850	H2583			H5265	

シンの荒野を出立してドフカに宿営し、

בְּאָלוּשׁ׃	וַיַּחֲנוּ	מִדָּפְקָה	וַיִּסְעוּ	13
アルシュに	そして-宿営した	ドフカから	そして-出発した	
H0442	H2583	H1850	H5265	

ドフカを出立してアルシに宿営し、

שָׁם	הָיָה	וְלֹא־	בִּרְפִידִם	וַיַּחֲנוּ	מֵאָלוּשׁ	וַיִּסְעוּ	14
そこに	あった	そして-～なかった	レフィディムに	そして-宿営した	アルシュから	そして-出発した	
H8033	H1961	H3808	H7508	H2583	H0442	H5265	

לִשְׁתּוֹת׃	לָעָם	מָיִם	
飲むための	民が	水が	
H8354		H4325	

アルシを出立してレピデムに宿営した。そこには民の飲む水がなかった。

15 וַיִּסְעוּ מֵרִפִּידִם וַיַּחֲנוּ בְּמִדְבַּר סִינָי׃
そして–出発した レフィディムから そして–宿営した 荒野に シナイの
H5265 H7508 H2583 H5514

レピデムを出立してシナイの荒野に宿営し、

16 וַיִּסְעוּ מִמִּדְבַּר סִינָי וַיַּחֲנוּ בְּקִבְרֹת הַתַּאֲוָה׃
そして–出発した 荒野から シナイの そして–宿営した キブロト・ハタアワに
H5265 H6914 H2583 H5514

シナイの荒野を出立してキブロテ・ハッタワに宿営し、

17 וַיִּסְעוּ מִקִּבְרֹת הַתַּאֲוָה וַיַּחֲנוּ בַּחֲצֵרֹת׃
そして–出発した キブロト・ハタアワから そして–宿営した ハツェロトに
H5265 H6914 H2583 H2698

キブロテ・ハッタワを出立してハゼロテに宿営し、

18 וַיִּסְעוּ מֵחֲצֵרֹת וַיַּחֲנוּ בְּרִתְמָה׃
そして–出発した ハツェロトから そして–宿営した リトマに
H5265 H2698 H2583 H7575

ハゼロテを出立してリテマに宿営し、

19 וַיִּסְעוּ מֵרִתְמָה וַיַּחֲנוּ בְּרִמֹּן פָּרֶץ׃
そして–出発した リトマから そして–宿営した リモン・ペレツに
H5265 H7575 H2583 H7428

リテマを出立してリンモン・パレツに宿営し、

20 וַיִּסְעוּ מֵרִמֹּן פָּרֶץ וַיַּחֲנוּ בְּלִבְנָה׃
そして–出発した リモン・ペレツから そして–宿営した リブナに
H5265 H7428 H2583 H3841

リンモン・パレツを出立してリブナに宿営し、

21 וַיִּסְעוּ מִלִּבְנָה וַיַּחֲנוּ בְּרִסָּה׃
そして–出発した リブナから そして–宿営した リッサに
H5265 H3841 H2583 H7446

リブナを出立してリッサに宿営し、

22 וַיִּסְעוּ מֵרִסָּה וַיַּחֲנוּ בִּקְהֵלָתָה׃
そして–出発した リッサから そして–宿営した ケヘラタに
H5265 H7446 H2583 H6954

リッサを出立してケヘラタに宿営し、

23 וַיִּסְעוּ מִקְּהֵלָתָה וַיַּחֲנוּ בְּהַר־שָׁפֶר׃
そして–出発した ケヘラタから そして–宿営した 山に シェフェルの
H5265 H6954 H2583 H2022 H8234

ケヘラタを出立してシャペル山に宿営し、

24 וַיִּסְעוּ מֵהַר־שָׁפֶר וַיַּחֲנוּ בַּחֲרָדָה׃
そして–出発した 山から シェフェルの そして–宿営した ハラダに
H5265 H2022 H8234 H2583 H2732

シャペル山を出立してハラダに宿営し、

25	וַיִּסְעוּ	מֵחַרָדָה	וַיַּחֲנוּ	בְּמַקְהֵלֹת׃
	そして–出発した	ハラダから	そして–宿営した	マカヘロトに
	H5265	H2732	H2583	H4722

ハラダを出立してマケロテに宿営し、

26	וַיִּסְעוּ	מִמַּקְהֵלֹת	וַיַּחֲנוּ	בְּתָחַת׃
	そして–出発した	マカヘロトから	そして–宿営した	タハトに
	H5265	H4722	H2583	H8480

マケロテを出立してタハテに宿営し、

27	וַיִּסְעוּ	מִתָּחַת	וַיַּחֲנוּ	בְּתָרַח׃
	そして–出発した	タハトから	そして–宿営した	テラフに
	H5265	H8480	H2583	H8646

タハテを出立してテラに宿営し、

28	וַיִּסְעוּ	מִתָּרַח	וַיַּחֲנוּ	בְּמִתְקָה׃
	そして–出発した	タラから	そして–宿営した	ミトカに
	H5265	H8646	H2583	H4989

テラを出立してミテカに宿営し、

29	וַיִּסְעוּ	מִמִּתְקָה	וַיַּחֲנוּ	בְּחַשְׁמֹנָה׃
	そして–出発した	ミトカから	そして–宿営した	ハシュモナに
	H5265	H4989	H2583	H2832

ミテカを出立してハシモナに宿営し、

30	וַיִּסְעוּ	מֵחַשְׁמֹנָה	וַיַּחֲנוּ	בְּמֹסֵרוֹת׃
	そして–出発した	ハシュモナから	そして–宿営した	モセロテに
	H5265	H2832	H2583	

ハシモナを出立してモセラに宿営し、

31	וַיִּסְעוּ	מִמֹּסֵרוֹת	וַיַּחֲנוּ	בִּבְנֵי־יַעֲקָן׃
	そして–出発した	モセロテから	そして–宿営した	ベネ・ヤアカンに
	H5265		H2583	H1142

モセラを出立してベネヤカンに宿営し、

32	וַיִּסְעוּ	מִבְּנֵי־יַעֲקָן	וַיַּחֲנוּ	הַגִּדְגָּד׃בְּחֹר
	そして–出発した	ベネ・ヤアカンから	そして–宿営した	ホル・ハギデガデに
	H5265	H1142	H2583	H2735

ベネヤカンを出立してホル・ハギデガデに宿営し、

33	וַיִּסְעוּ	מֵהַגִּדְגָּד	וַיַּחֲנוּ	בְּיָטְבָתָה׃
	そして–出発した	ホル・ハギデガデから	そして–宿営した	ヨテバタに
	H5265	H2735	H2583	H3193

ホル・ハギデガデを出立してヨテバタに宿営し、

34	וַיִּסְעוּ	מִיָּטְבָתָה	וַיַּחֲנוּ	בְּעַבְרֹנָה׃
	そして–出発した	ヨテバタから	そして–宿営した	アブロナに
	H5265	H3193	H2583	H5684

ヨテバタを出立してアブロナに宿営し、

	עֶצְיֹן־גָּבֶר׃	וַיַּחֲנוּ	מֵעַבְרֹנָה	וַיִּסְעוּ	35
	エツヨン・ゲベルに	そして-宿営した	アブロナから	そして-出発した	
	H6100	H2583	H5684	H5265	

アブロナを出立してエジオン・ゲベルに宿営し、

הִוא	צִן	בְּמִדְבַּר־	וַיַּחֲנוּ	עֶצְיֹן־גָּבֶר	וַיִּסְעוּ	36
すなわち	ツィン	ツィンの-荒野に	そして-宿営した	エツヨン・ゲベルから	そして-出発した	
H1931	H6790		H2583	H6100	H5265	

קָדֵשׁ׃
カデシュ
H6946

エジオン・ゲベルを出立してチンの荒野すなわちカデシに宿営し、

אֱדֹום׃	אֶרֶץ	בִּקְצֵה	הָהָר	בְּהֹר	וַיַּחֲנוּ	מִקָּדֵשׁ	וַיִּסְעוּ	37
エドム	地の	その-端に	その-山	ホルに	そして-宿営した	カデシュから	そして-出発した	
H0123	H0776		H2022	H2023	H2583	H6946	H5265	

カデシを出立してエドムの国の端にあるホル山に宿営した。

יְהוָה	פִּי	עַל־	הָהָר	הֹר	אֶל־	הַכֹּהֵן	אַהֲרֹן	וַיַּעַל	38
主の	命令の	～に-従って	その-山に	ホル	～へ	祭司は	アロンは	そして-上った	
H3068	H6310		H2022	H2023	H0413	H3548	H0175	H5927	

מִצְרַיִם	מֵאֶרֶץ	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי־	לְצֵאת	הָאַרְבָּעִים	בִּשְׁנַת	שָׁם	וַיָּמָת
エジプトの	地から	イスラエルの	子らが	出た-時	四十	第～年に	そこで	そして-死んだ
H4714	H0776	H3478		H3318	H0705	H8141	H8033	H4191

לַחֹדֶשׁ׃	בְּאֶחָד	הַחֲמִישִׁי	בַּחֹדֶשׁ
その-月の	一日に	五の	第～月に
H2320	H0259	H2549	H2320

イスラエルの人々がエジプトの国を出て四十年目の五月一日に、祭司アロンは主の命によりホル山に登って、その所で死んだ。

הָהָר׃	בְּהֹר	בְּמֹתוֹ	שָׁנָה	וּמְאַת	וְעֶשְׂרִים	שָׁלֹשׁ	בֶּן־	וְאַהֲרֹן	39
その-山	ホルにて	死んだ-時に	歳であった	と-百	と-二十	三	～の-息子で	そして-アロンは	
H2022	H2023	H4194	H8141	H3967	H6242	H7969		H0175	

ס
—

アロンはホル山で死んだとき百二十三歳であった。

כְּנַעַן	בְּאֶרֶץ	בַּנֶּגֶב	יֹשֵׁב	וְהוּא־	עֶרָד	מֶלֶךְ	הַכְּנַעֲנִי	וַיִּשְׁמַע	40
カナンの	地に	ネゲブに	住んでいた	彼は	アラデの	王	カナン人の	そして-聞いた	
	H0776	H5045	H3427	H1931		H4428		H8085	

יִשְׂרָאֵל׃	בְּנֵי	בְּבֹא
イスラエルの	子らが	来た-時に
H3478		H0935

カナンの地のネゲブに住んでいたカナンびとアラデの王は、イスラエルの人々の来るのを聞いた。

צַלְמֹנָה׃	וַיַּחֲנוּ	הָהָר	מֵהָר	וַיִּסְעוּ	41
ツァルモナに	そして-宿営した	その-山	ホルから	そして-出発した	
H6758	H2583	H2022	H2023	H5265	

ついで、ホル山を出立してザルモナに宿営し、

42 וַיִּסְעוּ מִצַּלְמֹנָה וַיַּחֲנוּ בְּפוּנֹן׃
そして–出発した ツァルモナから そして–宿営した プノンに
H5265 H6758 H2583 H6325

ザルモナを出立してプノンに宿営し、

43 וַיִּסְעוּ מִפּוּנֹן וַיַּחֲנוּ בְּאֹבֹת׃
そして–出発した プノンから そして–宿営した オボトに
H5265 H6325 H2583 H0088

プノンを出立してオボテに宿営し、

44 וַיִּסְעוּ מֵאֹבֹת וַיַּחֲנוּ בְּעִיֵּי הָעֲבָרִים בִּגְבוּל מוֹאָב׃
そして–出発した オボトから そして–宿営した イエ・ハアバリムに 境界の モアブの
H5265 H0088 H2583 H5863 H1366 H4124

オボテを出立してモアブの境にあるイエ・アバリムに宿営し、

45 וַיִּסְעוּ מֵעִיִּים וַיַּחֲנוּ בְּדִיבֹן גָּד׃
そして–出発した イイムから そして–宿営した ディボンに ガドの
H5265 H5864 H2583 H1769 H1410

イエ・アバリムを出立してデボン・ガドに宿営し、

46 וַיִּסְעוּ מִדִּיבֹן גָּד וַיַּחֲנוּ עַלְמֹן דִּבְלָתָיְמָה׃
そして–出発した ディボンから ガドの そして–宿営した アルモン・ディブラタイムに
H5265 H1769 H1410 H2583 H5963

デボン・ガドを出立してアルモン・デブラタイムに宿営し、

47 וַיִּסְעוּ מֵעַלְמֹן דִּבְלָתָיְמָה וַיַּחֲנוּ בְּהָרֵי הָעֲבָרִים לִפְנֵי נְבוֹ׃
そして–出発した アルモン・ディブラタイムから そして–宿営した 山々に アバリムの 前に ネボの
H5265 H5963 H2583 H2022 H5682 H6440

アルモン・デブラタイムを出立してネボの前にあるアバリムの山に宿営し、

48 וַיִּסְעוּ מֵהָרֵי הָעֲבָרִים וַיַּחֲנוּ בְּעַרְבֹת מוֹאָב עַל יְרֵחוֹ יַרְדֵּן׃
そして–出発した 山々から アバリムの そして–宿営した 平野に モアブの ～の–ほとりに エリコ ヨルダンの
H5265 H2022 H5682 H2583 H6160 H4124 H3405 H3383

アバリムの山を出立してエリコに近いヨルダンのほとりのモアブの平野に宿営した。

49 וַיַּחֲנוּ עַל־הַיַּרְדֵּן מִבֵּית הַיְשִׁמֹּת עַד אָבֵל הַשִּׁטִּים בְּעַרְבֹת מוֹאָב׃ ס
そして–宿営した ～の–ほとりに ヨルダンの ベト・エシモトから ～まで アベル・ハシティム 平野に モアブの —
H2583 H3383 H1020 H5704 H0063 H6160 H4124

すなわちヨルダンのほとりのモアブの平野で、ベテエシモテとアベル・シッテムとの間に宿営した。

50 וַיְדַבֵּר יְהוָה אֶל־מֹשֶׁה בְּעַרְבֹת מוֹאָב עַל־יַרְדֵּן יְרֵחוֹ׃
そして-話した 主は モーセに 平野で モアブの ～の-ほとりの ヨルダンの エリコの
H1696 H3068 H0413 H4872 H6160 H4124 H5676 H3383 H3405

לֵאמֹר׃
言って
H0559

エリコに近いヨルダンのほとりのモアブの平野で、主はモーセに言われた、

51 דַּבֵּר אֶל־בְּנֵי יִשְׂרָאֵל וְאָמַרְתָּ אֲלֵהֶם כִּי אַתֶּם עֹבְרִים אֶת־הַיַּרְדֵּן אַרְצָה כְּנָעַן׃
話しなさい ～に 子らに イスラエルの そして-言いなさい 彼らに ～とき あなたがたが 渡る-なら ―　ヨルダンを 地へ カナンの
H1696 H0413 H1121 H3478 H0559 H0413 H3383 H0853 H0776 H3667

「イスラエルの人々に言いなさい。あなたがたがヨルダンを渡ってカナンの地にはいるときは、

52 וְהוֹרַשְׁתֶּם אֶת־כָּל־יֹשְׁבֵי הָאָרֶץ מִפְּנֵיכֶם וְאִבַּדְתֶּם אֶת־כָּל־מַשְׂכִּיֹּתָם וְאֶת־כָּל־צַלְמֵי מַסֵּכֹתָם תְּאַבֵּדוּ וְאֶת־כָּל־בָּמוֹתָם תַּשְׁמִידוּ׃
そして-追い出しなさい ― すべての 住民を その-地の あなたがたの-前から そして-滴ぼしなさい ― すべての 彫像を 彼らの-石像を そして 像を 彼らの-鋳物の そして 破壊しなさい 彼らの-高き所を すべての そして
H3423 H0853 H3605 H3427 H0776 H6440 H0006 H0853 H3605 H4906 H0853 H3605 H6754 H4541 H8045 H1116 H3605 H0853 H8045

その地の住民をことごとくあなたがたの前から追い払い、すべての石像をこぼち、すべての鋳像をこぼち、すべての高き所を破壊しなければならない。

53 וְהוֹרַשְׁתֶּם אֶת־הָאָרֶץ וְיָשַׁבְתֶּם־בָּהּ כִּי לָכֶם נָתַתִּי אֶת־הָאָרֶץ לָרֶשֶׁת אֹתָהּ׃
そして-占領しなさい ― その-地を そして-住みなさい そこに なぜなら あなたがたに わたしは-与えた ― 所有する-ために その-地を それを
H3423 H0853 H0776 H3427 H8033 H3588 H0853 H5414 H0853 H3423 H0776 H0853

またあなたがたはその地の民を追い払って、そこに住まなければならない。わたしがその地をあなたがたの所有として与えたからである。

54 וְהִתְנַחַלְתֶּם אֶת־הָאָרֶץ בְּגוֹרָל לְמִשְׁפְּחֹתֵיכֶם לָרַב תַּרְבֶּה אֶת־נַחֲלָתוֹ וְלַמְעַט תַּמְעִיט אֶת־נַחֲלָתוֹ אֶל אֲשֶׁר־יֵצֵא לוֹ שָׁמָּה הַגּוֹרָל לוֹ יִהְיֶה לְמַטּוֹת אֲבֹתֵיכֶם תִּתְנַחָלוּ׃
そして-相続しなさい その-地を ― くじに-よって あなたがたの-氏族ごとに 多い-者には 増やしなさい ― その-相続地を 少ない-者には 減らしなさい ― その-相続地を ～へ ～の-所 出る 彼に そこで その-くじが 彼の なる 部族ごとに あなたがたの-父の
H3423 H0853 H1486 H4940 H7235 H0853 H5159 H4591 H0853 H5159 H0413 H0834 H3318 H0259 H8033 H1486 H1961 H4294 H0001 H5157

相続しなさい
H5157

あなたがたは、おのおの氏族ごとにくじを引き、その地を分けて嗣業としなければならない。大きい部族には多くの嗣業を与え、小さい部族には少しの嗣業を与えなければならない。そのくじの当った所がその所有となるであろう。あなたがたは父祖の部族にしたがって、それを継がなければならない。

55

מִפְּנֵיכֶם	הָאָרֶץ	יֹשְׁבֵי	אֶת־	תּוֹרִישׁוּ	לֹא	וְאִם־	
あなたがたの–前から	その–地の	住民を	—	追い出さない–なら	～ないなら	しかし–もし	
H6440	H0776	H3427	H0853	H3423	H3808		

בְּעֵינֵיכֶם	לְשֹׂכִים	מֵהֶם	תּוֹתִירוּ	אֲשֶׁר	וְהָיָה
あなたがたの–目に	とげと–なり	彼らの–うち	あなたがたが–残す	–の者が	そうすれば–なる
	H7899	H1992	H3498		H1961

אֲשֶׁר	הָאָרֶץ	עַל־	אֶתְכֶם	וְצָרְרוּ	בְּצִדֵּיכֶם	וְלִצְנִנִם
～の	その–地の	～の–上で	あなたがたを	そして–苦しめる	あなたがたの–脇腹に	いばらと–なり
	H0776		H0853		H6654	H6796

בָּהּ׃	יֹשְׁבִים	אַתֶּם
そこに	住んでいる	あなたがたが
	H3427	

しかし、その地の住民をあなたがたの前から追い払わないならば、その残して置いた者はあなたがたの目にとげとなり、あなたがたの脇にいばらとなり、あなたがたの住む国において、あなたがたを悩ますであろう。

56

לָכֶם׃	אֶעֱשֶׂה	לָהֶם	לַעֲשׂוֹת	דִּמִּיתִי	כַּאֲשֶׁר	וְהָיָה
あなたがたに	わたしは–する	彼らに	する–ことを	わたしが–考えた	～の–ように	そして–なる
				H1819		H1961

פ
—

また、わたしは彼らにしようと思ったとおりに、あなたがたにするであろう」。

Chapter 34

1

לֵאמֹר׃	מֹשֶׁה	אֶל־	יְהוָה	וַיְדַבֵּר	
言って	モーセに	～に	主は	そして–話した	
H0559	H4872	H0413	H3068	H1696	

主はモーセに言われた、

2

אַתָּם	כִּי־	אֱלֹהִים	וְאָמַרְתָּ	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי	אֶת־	צַו
あなたがたが	～とき	彼らに	そして–言いなさい	イスラエルの	子らに	—	命じなさい
		H0413	H0559	H3478		H0853	H6680

לָכֶם	תִּפֹּל	אֲשֶׁר	הָאָרֶץ	זֹאת	כְּנַעַן	הָאָרֶץ	אֶל־	בָּאִים
あなたがたに	割り当てられる	～の	その–地である	これが	カナンの	地へ	～へ	入る–なら
	H5307		H0776	H2063		H0776	H0413	H0935

לִגְבֻלֹתֶיהָ׃	כְּנָעַן	אֶרֶץ	בְּנַחֲלָה	
その–境界に–従って	カナンの	地	相続地として	
H1367		H0776	H5159	

「イスラエルの人々に命じて言いなさい。あなたがたがカナンの地にはいるとき、あなたがたの嗣業となるべき地はカナンの地で、その全域は次のとおりである。

3 וְהָיָה לָכֶם פְּאַת־נֶגֶב מִמִּדְבַּר־צִן עַל־יְדֵי
そして–なる あなたがたに 側は 南の ツィンの–荒野から ツィンの ～に–沿って 側の
H1961 H6285 H5045 H6790 H3027

אֱדוֹם וְהָיָה לָכֶם גְּבוּל נֶגֶב מִקְצֵה יָם־הַמֶּלַח קֵדְמָה׃
エドムの そして–なる あなたがたに 境界は 南の 端から 海の 塩の 東に–向かって
H0123 H1961 H1366 H5045 H3220 H4417

南の方はエドムに接するチンの荒野に始まり、南の境は、東は塩の海の端に始まる。

4 וְנָסַב לָכֶם גְּבוּל הַנֶּגֶב מִנֶּגֶב לְמַעֲלֵה עַקְרַבִּים וְעָבַר
そして–回る あなたがたに その–境界は ネゲブから アクラビムの–坂へ アクラビム そして–通り
H5437 H1366 H5045 H4610 H4610

צִנָה וְהיה] [וְהָיוּ תּוֹצְאֹתָיו בְּרְנֵעַלְקָדֵשׁ וְיָצָא
ツィンへ ―― そして–なる その–先端は カデシュ・バルネアへ そして–出て
H6790 H1961 H8444 H6947 H3318

חֲצַר־אַדָּר וְעָבַר עַצְמֹנָה׃
ハツァル・アダルへ そして–通り アツモンへ
H2692 H6111

その境はアクラビムの坂の南を巡ってチンに向かい、カデシ・バルネアの南に至り、ハザル・アダルに進み、アズモンに及ぶ。

5 וְנָסַב הַגְּבוּל מֵעַצְמוֹן נַחְלָה מִצְרַיִם וְהָיוּ תּוֹצְאֹתָיו הַיָּמָה׃
そして–回る その–境界は アツモンから 川へ エジプトの そして–なる その–先端は 海へ
H5437 H1366 H6111 H5158 H4714 H1961 H8444 H3220

その境はまたアズモンから転じてエジプトの川に至り、海に及んで尽きる。

6 וּגְבוּל וּפְנֵי הַיָּם לָכֶם וְהָיָה הַגָּדוֹל הַיָּם לָכֶם יִהְיֶה זֶה־
そして–境界は 海の そして–なる あなたがたに 海が 大いなる 境界と–なる なる これが
H1366 H3220 H1961 H3220 H1366 H2088 H1961

גְּבוּל לָכֶם לְיָם׃
境界の あなたがたに 西の
H1366 H3220

西の境はおおうみとその沿岸で、これがあなたがたの西の境である。

7 וְזֶה־לָּכֶם גְּבוּל יִהְיֶה לָכֶם הַגָּדֹל הַיָּם מִן־צָפוֹן תְּאָוּ
そして–これが あなたがたに 境界の 北の 海から ～から 大いなる 引きなさい
H2088 H1961 H1366 H6828 H3220 H4480 H1419 H8376

לָכֶם הֹר הָהָר׃
あなたがたに ホルへ その–山
H2023 H2022

あなたがたの北の境は次のとおりである。すなわちおおうみからホル山まで線を引き、

8 מֵהֹר הָהָר תְּאָוּ לְבֹא חֲמָת וְהָיוּ תּוֹצְאֹת הַגְּבֻל צְדָדָה׃
ホルから その–山 引きなさい 入り口へ ハマトの なる 先端は その–境界の ツェダドへ
H2023 H2022 H8376 H0935 H2574 H1961 H8444 H1366 H6657

ホル山からハマテの入口まで線を引き、その境をゼダデに至らせ、

9 וְיָצָא הַגְּבֻל זִפְרֹנָה וְהָיוּ תּוֹצְאֹתָיו עֵינָן חֲצַר זֶה־ יִהְיֶה
そして-出る その-境界は ツィフロンへ そして-なる その-先端は ハツァル・エナン これが なる
H3318 H1366 H2202 H1961 H8444 H2704 H2088 H1961

לָכֶם גְּבוּל צָפוֹן׃
あなたがたに 境界の 北の
H0184 H1366 H6828

またその境はジフロンに進み、ハザル・エノンに至って尽きる。これがあなたがたの北の境である。

10 וְהִתְאַוִיתֶם לָכֶם לִגְבוּל קֶדְמָה עֵינָן מֵחֲצַר שְׁפָמָה׃
そして-引きなさい あなたがたに 境界を 東の ハツァル・エナンから シェファムへ
H0184 H1366 H6924 H2704 H8221

あなたがたの東の境は、ハザル・エノンからシパムまで線を引き、

11 וְיָרַד מִקֶּדֶם לָעָיִן הָרִבְלָה מִשְּׁפָם הַגְּבֶל וְיָרַד
そして-下る 東の-側から アインへ リブラへ シェファムから その-境界は そして-下る
H3381 H6924 H5871 H7247 H8221 H1366 H3381

וְיָרַד הַגְּבוּל כִּנֶּרֶת קֶדְמָה׃
そして-下る その-境界は キネレトの 東に-向かって
H3381 H1366 H3672 H6924

またその境はアインの東の方で、シパムからリブラに下り、またその境は下ってキンネレテの海の東の斜面に至り、

12 וְיָרַד הַגְּבוּל הַיַּרְדֵּנָה וְהָיוּ תּוֹצְאֹתָיו אֶל־ הַיָּם הַמֶּלַח זֹאת תִּהְיֶה
そして-下る その-境界は ヨルダンへ そして-なる その-先端は 海へ 塩の これが なる
H3381 H1366 H3383 H1961 H8444 H3220 H4417 H2063 H1961

לָכֶם הָאָרֶץ לִגְבֻלֹתֶיהָ סָבִיב׃
あなたがたに その-地である その-境界に-従って 周りの
H0776 H1367 H5439

またその境はヨルダンに下り、塩の海に至って尽きる。あなたがたの国の周囲の境は以上のとおりである」。

13 וַיְצַו מֹשֶׁה אֶת־ בְּנֵי יִשְׂרָאֵל לֵאמֹר זֹאת הָאָרֶץ אֲשֶׁר
命じた モーセは 子らに イスラエルの 言って これが その-地である ～の
H6680 H4872 H0853 H3478 H0559 H2063 H0776

תִּתְנַחֲלוּ אֹתָהּ בְּגוֹרָל אֲשֶׁר צִוָּה יְהוָה לָתֵת לְתִשְׁעַת
あなたがたが-相続する それを くじに-よって ～の 命じた 主が 与える-ことを 九つの
H5157 H0853 H1486 H0834 H6680 H3068 H5414 H8672

הַמַּטּוֹת וַחֲצִי הַמַּטֶּה׃
部族に そして-半 その-部族
H4294 H2677 H4294

モーセはイスラエルの人々に命じて言った、「これはあなたがたが、くじによって継ぐべき地である。主はこれを九つの部族と半部族とに与えよと命じられた。

14 כִּי לָקְחוּ מַטֵּה בְּנֵי הָרְאוּבֵנִי לְבֵית אֲבֹתָם וּמַטֵּה בְּנֵי־
なぜなら 受けた 部族は 子らの ルベン人の 家に-従って 彼らの-父の そして-部族は 子らの
H3947 H4294 H7206 H1004 H0001 H4294

וַחֲצִי מַטֵּה מְנַשֶּׁה לָקְחוּ נַחֲלָתָם׃
そして-半 部族の マナセの 受けた 彼らの-相続地を
H2677 H4294 H4519 H3947 H5159

גָּדִי לְבֵית אֲבֹתָם לִבְנֵי
ガド人の 家に-従って 彼らの-父の 子らの
H1425 H1004 H0001 H1121

それはルベンの子孫の部族とガドの子孫の部族とが共に父祖の家にしたがって、すでにその嗣業を受け、またマナセの半部族もその嗣業を受けていたからである。

15 שְׁנֵי הַמַּטּוֹת וַחֲצִי הַמַּטֶּה לָקְחוּ נַחֲלָתָם מֵעֵבֶר לַיַּרְדֵּן
二つの 部族と その–部族は 受けた 彼らの–相続地を 向こう–側で ヨルダンの
H8147 H4294 H4294 H3947 H5159 H5676 H3383

יְרֵחוֹ קֶדְמָה מִזְרָחָה׃ פ
エリコの 東に–向かって 日の–昇る–方へ —
H3405 H6924 H4217

この二つの部族と半部族とはエリコに近いヨルダンのかなた、すなわち東の方、日の出る方で、その嗣業を受けた」。

16 וַיְדַבֵּר יְהוָה אֶל־מֹשֶׁה לֵאמֹר׃
そして–話した 主は ～に モーセに 言って
H1696 H3068 H0413 H4872 H0559

主はまたモーセに言われた、

17 אֵלֶּה שְׁמוֹת הָאֲנָשִׁים אֲשֶׁר־יִנְחֲלוּ לָכֶם אֶת־הָאָרֶץ אֶלְעָזָר
これらが 名である その–人々の ～の 分配する あなたがたに —　その–地を エルアザル
H0428 H8034 H0376 H0834 H5157 H0776 H0499

הַכֹּהֵן וִיהוֹשֻׁעַ בִּן־נוּן׃
祭司と そして–ヨシュア 息子の ヌンの
H3548 H3091 H0834 H5126

「あなたがたに、嗣業として地を分け与える人々の名は次のとおりである。すなわち祭司エレアザルと、ヌンの子ヨシュアとである。

18 וְנָשִׂיא אֶחָד אֶחָד מִמַּטֵּה תִּקְחוּ לִנְחֹל אֶת־הָאָרֶץ׃
そして–指導者を 一人 一人 部族から 取りなさい 分配する–ために —　その–地を
H0259 H0259 H4294 H3947 H5157 H0834 H0776

あなたがたはまた、おのおの部族から、つかさひとりずつを選んで、地を分け与えさせなければならない。

19 וְאֵלֶּה שְׁמוֹת הָאֲנָשִׁים לְמַטֵּה יְהוּדָה כָּלֵב בֶּן־יְפֻנֶּה׃
そして–これらが 名である その–人々の 部族から ユダの カレブ 息子の エフネの
H0428 H8034 H0376 H4294 H3063 H3612 H0834 H3312

その人々の名は次のとおりである。すなわちユダの部族ではエフンネの子カレブ、

20 וּלְמַטֵּה בְּנֵי שִׁמְעוֹן שְׁמוּאֵל בֶּן־עַמִּיהוּד׃
そして–部族から 子らの シメオンの シェムエル 息子の アミフドの
H4294 H1121 H8095 H8050 H0834 H5989

シメオンの子孫の部族ではアミホデの子サムエル、

21 לְמַטֵּה בִּנְיָמִן אֱלִידָד בֶּן־כִּסְלוֹן׃
部族から ベニヤミンの エリダデ 息子の キスロンの
H4294 H1144 H0449 H0834 H3692

ベニヤミンの部族ではキスロンの子エリダデ、

22 וּלְמַטֵּה בְנֵי־דָן נָשִׂיא בֻּקִּי בֶּן־יָגְלִי׃
そして–部族から 子らの ダンの 指導者 ブキ 息子の ヨグリの
H4294 H1121 H1835 H5387 H1231 H0834 H3020

ダンの子孫の部族ではヨグリの子つかさブッキ、

אֶפֹד׃	בֶּן־	חַנִיאֵל	נָשִׂיא	מְנַשֶּׁה	בְּנֵי־	לְמַטֵּה	יוֹסֵף	לִבְנֵי	23
エポドの	息子の	ハニエル	指導者	マナセの	子らの	部族から	ヨセフの	子らから	
H0641		H2592		H4519		H4294	H3130		

ヨセフの子孫、すなわちマナセの部族ではエポデの子つかさハニエル、

שִׁפְטָן׃	בֶּן־	קְמוּאֵל	נָשִׂיא	אֶפְרַיִם	בְּנֵי־	וּלְמַטֵּה	24
シフタンの	息子の	ケムエル	指導者	エフライムの	子らの	そして–部族から	
H8204		H7055		H0669		H4294	

エフライムの子孫の部族ではシフタンの子つかさケムエル、

פַּרְנָךְ׃	בֶּן־	אֱלִיצָפָן	נָשִׂיא	זְבוּלֻן	בְּנֵי־	וּלְמַטֵּה	25
パルナクの	息子の	エリツァファン	指導者	ゼブルンの	子らの	そして–部族から	
H6535		H0469		H2074		H4294	

ゼブルンの子孫の部族ではパルナクの子つかさエリザパン、

עַזָּן׃	בֶּן־	פַּלְטִיאֵל	נָשִׂיא	יִשָּׂשכָר	בְּנֵי־	וּלְמַטֵּה	26
アザンの	息子の	パルティエル	指導者	イッサカルの	子らの	そして–部族から	
H5821		H6409		H3485		H4294	

イッサカルの子孫の部族ではアザンの子つかさパルテエル、

שְׁלֻמִי׃	בֶּן־	אֲחִיהוּד	נָשִׂיא	אָשֵׁר	בְּנֵי־	וּלְמַטֵּה	27
シェロミの	息子の	アヒフド	指導者	アシェルの	子らの	そして–部族から	
H8015		H0282		H0836		H4294	

アセルの子孫の部族ではシロミの子つかさアヒウデ、

עַמִּיהוּד׃	בֶּן־	פְּדַהְאֵל	נָשִׂיא	נַפְתָּלִי	בְּנֵי־	וּלְמַטֵּה	28
アミフドの	息子の	ペダヘル	指導者	ナフタリの	子らの	そして–部族から	
H5989		H6300		H5321		H4294	

ナフタリの子孫の部族では、アミホデの子つかさパダヘル。

בְּאֶרֶץ	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי־	אֶת־	לְנַחֵל	יְהוָה	צִוָּה	אֲשֶׁר	אֵלֶּה	29
地で	イスラエルの	子らに	—	分配する–ことを	主が	命じた	～の–者である	これらが	
H0776	H3478		H0853	H5157	H3068	H6680		H0428	

פ	כְּנָעַן׃
—	カナンの

カナンの地でイスラエルの人々に嗣業を分け与えることを主が命じられた人々は以上のとおりである」。

Chapter 35

יְרֵחוֹ	יַרְדֵּן	עַל־	מוֹאָב	בְּעַרְבֹת	מֹשֶׁה	אֶל־	יְהוָה	וַיְדַבֵּר	1
エリコの	ヨルダンの	～の–ほとりの	モアブの	平野で	モーセに	～に	主は	そして–話した	
H3405	H3383		H4124	H6160	H4872	H0413	H3068	H1696	

לֵאמֹר׃
言って
H0559

エリコに近いヨルダンのほとりのモアブの平野で、主はモーセに言われた、

2 צַו֙ אֶת־בְּנֵ֣י יִשְׂרָאֵ֔ל וְנָתְנ֣וּ לַלְוִיִּ֗ם מִנַּחֲלַ֛ת אֲחֻזָּתָ֖ם

命じなさい —–H6680 子らに–H1121 イスラエルの–H3478 そして–与えなさい–H5414 レビ人に–H3881 相続地から–H5159 彼らの–所有地の–H0272

עָרִ֥ים לָשֶׁ֖בֶת וּמִגְרָ֣שׁ תִּתְּנ֑וּ סְבִיבֹתֵיהֶ֖ם לֶֽעָרִ֥ים לַלְוִיִּֽם׃

町々を–H5892 住む–ための–H3427 そして–放牧地を–H4054 その–町々の–H5892 周りの–H5439 与えなさい–H5414 レビ人に–H3881

「イスラエルの人々に命じて、その獲た嗣業のうちから、レビびとに住むべき町々を与えさせなさい。また、あなたがたは、その町々の周囲の放牧地をレビびとに与えなければならない。

3 וְהָי֤וּ הֶֽעָרִים֙ לָהֶ֣ם לָשֶׁ֔בֶת וּמִגְרְשֵׁיהֶ֖ם לִבְהֶמְתָּ֑ם

そして–なる–H1961 その–町々は–H5892 彼らに–H1121 住む–ための–H3427 そして–その–放牧地は–H4054 彼らの–家畜の–ために–H0929

וְלִרְכֻשָׁ֖ם וּלְכָל־חַיָּתָֽם׃

そして–彼らの–財産の–ために–H7399 そして–すべての–H3605 彼らの–生き物の–ために

その町々は彼らの住む所、その放牧地は彼らの家畜と群れ、およびすべての獣のためである。

4 וּמִגְרַ֣שׁ הֶֽעָרִ֗ים אֲשֶׁ֤ר תִּתְּנוּ֙ לַלְוִיִּ֔ם מִקִּ֥יר הָעִ֖יר וָח֑וּצָה

そして–放牧地は–H4054 その–町々の–H5892 〜の–H834 あなたがたが–与える–H5414 レビ人に–H3881 城壁から–H7023 その–町の–H5892 外側へ–H2351

אַלְפַּ֥יִם אַמָּ֖ה סָבִֽיב׃

千–H0505 キュビト–H0520 周りに–H5439

あなたがたがレビびとに与える町々の放牧地は、町の石がきから一千キュビトの周囲としなければならない。

5 וּמַדִּתֶּ֣ם מִח֗וּץ לָעִיר֙ אֶת־פְּאַ֣ת קֵדְמָ֔ה אַלְפַּ֥יִם בָּאַמָּ֖ה וְאֶת־פְּאַ֣ת

そして–測りなさい–H4058 外側から–H2351 その–町の–H5892 —–H0853 側を–H6285 東の–H6921 二千–H0505 キュビトで–H0520 そして–H0853 側を–H6285

נֶ֑גֶב וְאַלְפַּ֣יִם בָּאַמָּ֗ה וְאֶת־פְּאַת֙ יָ֔ם וְאַלְפַּ֣יִם בָּאַמָּ֔ה וְאֶת־פְּאַ֥ת

南の–H5045 二千–H0505 キュビトで–H0520 そして–H0853 側を–H6285 西の–H3220 二千–H0505 キュビトで–H0520 そして–H0853 側を–H6285

צָפ֖וֹן וְאַלְפַּ֣יִם בָּאַמָּ֑ה וְזֶ֣ה יִהְיֶ֤ה לָהֶם֙ מִגְרַשׁ֙ לֶֽעָרִ֔ים וְהָעִ֖יר בְּתָוֶ֑ךְ

北の–H6828 二千–H0505 キュビトで–H0520 これが–H2088 なる–H1961 彼らに–H1121 放牧地と–なる–H4054 そして–その–町が–H5892 中央に–ある–H8432

זֶ֥ה יִהְיֶֽה־לָּהֶ֖ם מִגְרְשֵׁ֥י הֶֽעָרִֽים׃

これが–H2088 なる–H1961 彼らに–H1121 放牧地と–なる–H4054 その–町々の–H5892

あなたがたは町の外で東側に二千キュビト、南側に二千キュビト、西側に二千キュビト、北側に二千キュビトを計り、町はその中央にしなければならない。彼らの町の放牧地はこのようにしなければならない。

6 וְאֵת֙ הֶֽעָרִ֔ים אֲשֶׁ֥ר תִּתְּנ֖וּ לַלְוִיִּ֑ם אֵ֚ת שֵׁ֣שׁ־עָרֵ֣י הַמִּקְלָ֔ט

そして–H0853 その–町々の–うち–H5892 〜の–H834 あなたがたが–与える–H5414 レビ人に–H3881 —–H0853 六つの–H8337 町を–H5892 逃れの–H4733

אֲשֶׁ֥ר תִּתְּנ֖וּ לָנֻ֣ס שָׁ֑מָּה וְעֲלֵיהֶ֖ם תִּתְּנ֥וּ אֲרְבָּעִ֖ים וּשְׁתָּ֥יִם עִֽיר׃

〜の–H834 あなたがたが–与える–H5414 逃げる–ために–H5127 そこへ–H8033 人を–殺した–者が–H7523 そして–それらに–加えて 町を–H5892 と–二の–H8147 四十–H0705 与えなさい–H5414

あなたがたがレビびとに与える町々は六つで、のがれの町とし、人を殺した者がのがれる所としなければならない。なおこのほかに四十二の町を与えなければならない。

7

כָּל־ הֶעָרִים אֲשֶׁר תִּתְּנוּ לַלְוִיִּם אַרְבָּעִים וּשְׁמֹנֶה עִיר
すべての その–町々は ～の あなたがたが–与える レビ人に 四十 と–八の 町である
H3605 H5414 H3881 H0705 H8083

אֶתְהֶן וְאֶת־ מִגְרְשֵׁיהֶן׃
それらを そして その–放牧地を
H0853 H0853 H4054

すなわちあなたがたがレビびとに与える町は合わせて四十八で、これをその放牧地と共に与えなければならない。

8

וְהֶעָרִים אֲשֶׁר תִּתְּנוּ מֵאֲחֻזַּת בְּנֵי־ יִשְׂרָאֵל מֵאֵת
そして–その–町々は ～の あなたがたが–与える 所有地から 子らの イスラエルの ～から
H0854 H3478 H0272 H5414

הָרַב תַּרְבּוּ וּמֵאֵת הַמְעַט תַּמְעִיטוּ אִישׁ כְּפִי
多い–者からは 増やしなさい そして–～から 少ない–者からは 減らしなさい 各自が ～に–応じて
H6310 H0376 H4591 H4592 H0853 H3478

נַחֲלָתוֹ אֲשֶׁר יִנְחֲלוּ יִתֵּן מֵעָרָיו לַלְוִיִּם׃ פ
その–相続地の ～の 彼らが–相続する 与える その–町々から レビ人に —
H5159 H5157 H5414 H3881

あなたがたがイスラエルの人々の所有のうちからレビびとに町々を与えるには、大きい部族からは多く取り、小さい部族からは少なく取り、おのおの受ける嗣業にしたがって、その町々をレビびとに与えなければならない」。

9

וַיְדַבֵּר יְהוָה אֶל־ מֹשֶׁה לֵאמֹר׃
そして–話した 主は ～に モーセに 言って
H1696 H3068 H0413 H4872 H0559

主はモーセに言われた、

10

דַּבֵּר אֶל־ בְּנֵי יִשְׂרָאֵל וְאָמַרְתָּ אֲלֵהֶם כִּי אַתֶּם
話しなさい ～に 子らに イスラエルの そして–言いなさい 彼らに ～とき あなたがたが
H1696 H0413 H3478 H0559 H0413

עֹבְרִים אֶת־ הַיַּרְדֵּן אַרְצָה כְּנָעַן׃
渡る–なら — ヨルダンを 地へ カナンの
H5674 H0853 H3383 H0776

「イスラエルの人々に言いなさい。あなたがたがヨルダンを渡ってカナンの地にはいるときは、

11

וְהִקְרִיתֶם לָכֶם עָרִים מִקְלָט תִּהְיֶינָה לָכֶם וְנָס
そして–定めなさい あなたがたに 町々を 町と–して 逃れの なる あなたがたに そして–逃げる
H7136 H3605 H5892 H4733 H1961 H3605 H5127

שָׁמָּה כָּל־ מַכֵּה נֶפֶשׁ בִּשְׁגָגָה׃
そこへ すべての 打った–者が 人を 過失に–よって
H8033 H3605 H5221 H5315 H7684

あなたがたのために町を選んで、のがれの町とし、あやまって人を殺した者を、そこにのがれさせなければならない。

12

וְהָיוּ לָכֶם הֶעָרִים לְמִקְלָט מִגֹּאֵל וְלֹא יָמוּת
そして–なる あなたがたに その–町々は 逃れの–場所と 復讐者からの そして–ない 死ぬ–ことは
H1961 H3605 H4733 H1350 H3808 H4191

הָרֹצֵחַ עַד־ עָמְדוֹ לִפְנֵי הָעֵדָה לַמִּשְׁפָּט׃
人を–殺した–者が ～まで 立つ–まで 前に 会衆の 裁判の–ための
H7523 H5704 H5975 H6440 H5712 H4941

これはあなたがたが復讐する者を避けてのがれる町であって、人を殺した者が会衆の前に立って、さばきを受けないうちに、殺されることのないためである。

13 וְהֶעָרִים אֲשֶׁר־ תִּתְּנוּ שֵׁשׁ־ עָרֵי מִקְלָט תִּהְיֶינָה לָכֶם׃
そして–その–町々は ～の あなたがたが–与える 六つの 町が 逃れの なる あなたがたに
H5414 H8337 H4733 H1961

あなたがたが与える町々のうち、六つをのがれの町としなければならない。

14 וְאֶת־ שְׁלֹשׁ הֶעָרִים תִּתְּנוּ מֵעֵבֶר לַיַּרְדֵּן וְאֶת־ שְׁלֹשׁ הֶעָרִים תִּתְּנוּ בְּאֶרֶץ כְּנָעַן עָרֵי מִקְלָט תִּהְיֶינָה׃
— 三つの その–町を 与えなさい その–町を 三つの そして ヨルダンの 向こう–側に 三つの その–町を
H0853 H7969 H5414 H5676 H3383 H0853 H7969

なる 逃れの 町と–して カナンの 地に 与えなさい
H1961 H4733 H0776 H5414

すなわちヨルダンのかなたで三つの町を与え、カナンの地で三つの町を与えて、のがれの町としなければならない。

15 לִבְנֵי יִשְׂרָאֵל וְלַגֵּר וְלַתּוֹשָׁב בְּתוֹכָם תִּהְיֶינָה שֵׁשׁ־ הֶעָרִים הָאֵלֶּה לְמִקְלָט לָנוּס שָׁמָּה כָּל־ מַכֵּה־ נֶפֶשׁ בִּשְׁגָגָה׃
子らに–とって イスラエルの そして–在留者に–とって そして–対留者に–とって 彼らの–中の なる
H3478 H1616 H8432 H1961

六つの その–町々は これらの 逃れの–場所と 逃げる–ための そこへ すべての 打った–者が 人を
H8337 H0428 H4733 H5127 H8033 H3605 H5221 H5315

過失に–よって
H7684

これらの六つの町は、イスラエルの人々と、他国の人および寄留者のために、のがれの場所としなければならない。すべてあやまって人を殺した者が、そこにのがれるためである。

16 וְאִם־ בִּכְלִי בַרְזֶל הִכָּהוּ וַיָּמֹת מוֹת הוּא רֹצֵחַ הוּא מוֹת יוּמַת הָרֹצֵחַ׃
そして–もし 鉄の–器具で 打った–なら そして–死んだ 必ず 彼は 殺人者で–ある その–殺人者は 殺される
H1270 H3627 H5221 H4191 H4191 H1931 H7523 H4191

もし人が鉄の器で、人を打って死なせたならば、その人は故殺人である。故殺人は必ず殺されなければならない。

17 וְאִם־ בְּאֶבֶן יָד אֲשֶׁר־ יָמוּת בָּהּ הִכָּהוּ וַיָּמֹת רֹצֵחַ הוּא מוֹת יוּמַת הָרֹצֵחַ׃
そして–もし 石で 手の ～の 死ぬ–であろう それに–よって 打った–なら そして–死んだ その–殺人者は 殺される 必ず 彼は 殺人者で–ある
H0068 H3027 H4191 H4191 H5221 H7523 H4191 H4191 H1931 H7523

またもし人を殺せるほどの石を取って、人を打って死なせたならば、その人は故殺人である。故殺人は必ず殺されなければならない。

18 אוֹ בִכְלִי עֵץ־ יָד אֲשֶׁר־ יָמוּת בּוֹ הִכָּהוּ וַיָּמֹת רֹצֵחַ הוּא מוֹת יוּמַת הָרֹצֵחַ׃
あるいは 木の–器具で 木の 手の ～の 死ぬ–であろう それに–よって 打った–なら そして–死んだ 殺人者で–ある 必ず 殺される その–殺人者は
H3627 H6086 H3027 H4191 H5221 H4191 H1931 H7523 H4191 H7523

あるいは人を殺せるほどの木の器を取って、人を打って死なせたならば、その人は故殺人である。故殺人は必ず殺されなければならない。

19 גֹּאֵל הַדָּם הוּא יָמִית אֶת־ הָרֹצֵחַ בְּפִגְעוֹ־ בּוֹ הוּא יְמִיתֶנּוּ׃
復讐者が 血の 彼が 殺す — その–殺人者を 出会った–ときに 彼に 彼が 殺す
H1818 H1931 H4191 H0853 H7523 H6293 H1931 H4191

血の復讐をする者は、自分でその故殺人を殺すことができる。すなわち彼に出会うとき、彼を殺すことができる。

20 וְאִם־ בְּשִׂנְאָה יֶהְדָּפֶנּוּ אוֹ־ הִשְׁלִיךְ עָלָיו בְּצִדִּיָּה וַיָּמֹת׃
そして–もし 憎しみを–もって 突き–飛ばした–なら あるいは 投げた–なら 彼の–上に 待ち–伏せて そして–死んだ
H1931 H8135 H1920 H0853 H7993 H6660 H4191

またもし恨みのために人を突き、あるいは故意に人に物を投げつけて死なせ、

21 אוֹ בְאֵיבָה הִכָּהוּ וַיָּמָת מוֹת־ יוּמַת הַמַּכֶּה רֹצֵחַ הוּא גֹּאֵל הַדָּם יְמִית אֶת־ הָרֹצֵחַ בְּפִגְעוֹ־ בּוֹ׃
あるいは 敵意を–もって 打った–なら その–手で そして–死んだ 必ず 殺される その–打った–者は 殺人者で–ある 復讐者が 殺す — その–殺人者を 出会った–ときに 彼に
H0342 H5221 H3027 H4191 H4191 H4191 H7523 H1931 H1818 H4191 H0853 H7523 H6293

あるいは恨みによって手で人を打って死なせたならば、その打った者は必ず殺されなければならない。彼は故殺人だからである。血の復讐をする者は、その故殺人に出会うとき殺すことができる。

22 וְאִם־ בְּפֶתַע בְּלֹא־ אֵיבָה אוֹ־ הִשְׁלִיךְ עָלָיו כָּל־ כְּלִי בְּלֹא צְדִיָּה׃
そして–もし 突然に ～なく 敵意なく あるいは 投げた–なら 彼の–上に どんな 器具も ～なく 待ち–伏せなくて
H6621 H3808 H0342 H7993 H3605 H3627 H3808 H6660

しかし、もし恨みもないのに思わず人を突き、または、なにごころなく人に物を投げつけ、

23 אוֹ בְכָל־ אֶבֶן אֲשֶׁר־ יָמוּת בָּהּ בְּלֹא רְאוֹת וְנָפַל עָלָיו וַיָּמָת וְהוּא לֹא־ אוֹיֵב לוֹ וְלֹא מְבַקֵּשׁ רָעָתוֹ׃
あるいは どんな–でも 石で ～の 死ぬ–であろう それに–よって ～なく 見ずに そして–落とした 彼の–上に そして–死んだ そして–彼は ～でなく 敵では 彼に そして–～でなく 求めて–いない 彼の–害を
H0068 H3605 H4191 H1931 H3808 H0341 H3808 H5307 H4191 H1931 H3808 H1245

あるいは人のいるのも見ずに、人を殺せるほどの石を投げつけて死なせた場合、その人がその敵でもなく、また害を加えようとしたのでもない時は、

24 וְשָׁפְטוּ הָעֵדָה בֵּין הַמַּכֶּה וּבֵין גֹּאֵל הַדָּם עַל הַמִּשְׁפָּטִים הָאֵלֶּה׃
そして–裁く 会衆が ～の–間で 打った–者と そして–～の–間で 復讐者と 血の ～に–従って その–定めに これらの
H8199 H5712 H0996 H5221 H0996 H1818 H4941 H0428

会衆はこれらのおきてによって、その人を殺した者と、血の復讐をする者との間をさばかなければならない。

25 וְהִצִּילוּ הָעֵדָה אֶת־הָרֹצֵחַ מִיַּד גֹּאֵל הַדָּם וְהֵשִׁיבוּ אֹתוֹ

そして-救い出す 会衆が — その-殺人者を 手から 復讐者の 血の 彼を
H5337 H5712 H0853 H7523 H3027 H1818 H7725 H0853

הָעֵדָה אֶל־עִיר מִקְלָטוֹ אֲשֶׁר־נָס שָׁמָּה וְיָשַׁב בָּהּ עַד־מוֹת הַכֹּהֵן

会衆が 町へ 逃れの-彼の ～の 逃げた そこへ そして-住む そこに ～まで 死ぬ-まで
H5712 H0413 H4733 H4733 H5127 H8033 H3427 H0413 H5704 H4194

הַגָּדֹל אֲשֶׁר־מָשַׁח אֹתוֹ בְּשֶׁמֶן הַקֹּדֶשׁ׃

大いなる ～の 油-注いだ-者が 彼に 油で 聖なる
H3548 H4886 H0853 H8081 H6944

すなわち会衆はその人を殺した者を血の復讐をする者の手から救い出して、逃げて行ったのがれの町に返さなければならない。その者は聖なる油を注がれた大祭司の死ぬまで、そこにいなければならない。

26 וְאִם־יָצֹא יֵצֵא הָרֹצֵחַ אֶת־גְּבוּל עִיר מִקְלָטוֹ אֲשֶׁר יָנוּס שָׁמָּה׃

そして-もし 出て 出た-なら その-殺人者が — 境界を 町の 逃れの-彼の ～の 逃げた そこへ
H3318 H3318 H3318 H7523 H0853 H1366 H4733 H4733 H5127 H8033

しかし、もし人を殺した者が、その逃げて行ったのがれの町の境を出た場合、

27 וּמָצָא גֹּאֵל אֹתוֹ מִחוּץ לִגְבוּל עִיר מִקְלָטוֹ וְרָצַח גֹּאֵל הַדָּם אֶת־הָרֹצֵחַ אֵין לוֹ דָּם׃

そして-見つけた 復讐者が 彼を 外で 境界の 町の 逃れの-彼の そして-殺した 復讐者の 血の — その-殺人者を ない 彼に 血の-罪は
H4672 H1818 H0853 H2351 H1366 H4733 H7523 H1818 H0369 H0853 H7523 H1818

血の復讐をする者は、のがれの町の境の外で、これに出会い、血の復讐をする者が、その人を殺した者を殺しても、彼には血を流した罪はない。

28 כִּי בְעִיר מִקְלָטוֹ יֵשֵׁב עַד־מוֹת הַכֹּהֵן הַגָּדֹל וְאַחֲרֵי מוֹת הַכֹּהֵן הַגָּדֹל יָשׁוּב הָרֹצֵחַ אֶל־אֶרֶץ אֲחֻזָּתוֹ׃

なぜなら 町に 逃れの-彼の 住まねば-ならない ～まで 死ぬ-まで 祭司が 大いなる そして-後に 祭司が 死んだ 大いなる 帰る-ことが-できる その-殺人者は ～へ 地へ 彼の-所有地の
H3588 H5892 H4733 H3427 H5704 H4194 H3548 H3548 H4194 H7725 H7523 H0413 H0776 H0272

彼は大祭司の死ぬまで、そののがれの町におるべきものだからである。大祭司の死んだ後は、人を殺した者は自分の所有の地にかえることができる。

29 וְהָיוּ אֵלֶּה לָכֶם לְחֻקַּת מִשְׁפָּט לְדֹרֹתֵיכֶם בְּכֹל מוֹשְׁבֹתֵיכֶם׃

そして-なる これらは あなたがたに 定めの-ための 裁判の あなたがたの-代々に すべての あなたがたの-住まいに-おいて
H1961 H0428 H5892 H2708 H4941 H1755 H3605 H4186

これらのことはすべてあなたがたの住む所で、代々あなたがたのためのおきての定めとしなければならない。

30

וְעֵד	הָרֹצֵחַ	אֶת־	יִרְצַח	עֵדִים	לְפִי	נֶפֶשׁ	מַכֵּה־	כָּל־
そして–証人	その–殺人者は	—	殺される	証人の	～に–基づいて	人を	打った–者は	すべての
H5707	H7523	H0853	H7523	H5707	H6310	H5315	H5221	H3605

לָמוּת׃	בְּנֶפֶשׁ	יַעֲנֶה	לֹא־	אֶחָד
死ぬ–ために	人に–対して	証言する–ことは	～でない	一人の
H4191	H5315		H3808	H0259

人を殺した者、すなわち故殺人はすべて証人の証言にしたがって殺されなければならない。しかし、だれもただひとりの証言によって殺されることはない。

31

רָשָׁע	הוּא	אֲשֶׁר־	רֹצֵחַ	לְנֶפֶשׁ	כֹּפֶר	תִּקְחוּ	וְלֹא־
有罪で–ある	彼が	～の	殺人者の	命の–ために	身代金を	受け取る–ことは	そして–～ない
H7563	H1931		H7523	H5315		H3947	H3808

יוּמָת׃	מוֹת	כִּי־	לָמוּת
殺される	必ず	なぜなら	死ぬ–べき
H4191	H4191		H4191

あなたがたは死に当る罪を犯した故殺人の命のあがないしろを取ってはならない。彼は必ず殺されなければならない。

32

לָשׁוּב	מִקְלָטוֹ	עִיר	אֶל־	לָנוּס	כֹּפֶר	תִּקְחוּ	וְלֹא־
帰る–ために	逃れの–彼の	町へ	～へ	逃げる–ために	身代金を	受け取る–ことは	そして–～ない
H7725	H4733		H0413	H5127		H3947	H3808

הַכֹּהֵן׃	מוֹת	עַד־	בָּאָרֶץ	לָשֶׁבֶת
その–祭司が	死ぬ–まで	～まで	その–地に	住む–ために
H3548	H4194	H5704	H0776	H3427

また、のがれの町にのがれた者のために、あがないしろを取って大祭司の死ぬ前に彼を自分の地に帰り住まわせてはならない。

33

הַדָּם	כִּי	בָּהּ	אַתֶּם	אֲשֶׁר	הָאָרֶץ	אֶת־	תַּחֲנִיפוּ	וְלֹא־
血が	なぜなら	そこに–いる	あなたがたが	～の	その–地を	—	汚しては	そして–～ない
H1818					H0776	H0853	H2610	H3808

לַדָּם	יְכֻפַּר	לֹא־	וְלָאָרֶץ	הָאָרֶץ	אֶת־	יַחֲנִיף	הוּא
血の–ために	贖われる–ことは	～でない	そして–その–地の–ために	その–地を	—	汚す	それが
H1818		H3808	H0776	H0776	H0853	H2610	H1931

שֹׁפְכוֹ׃	בְּדַם	אִם	כִּי־	בָּהּ	שֻׁפַּךְ־	אֲשֶׁר
それを–流した–者の	血に–よって	～でなければ	～でなければ	そこに	流された	～の
H8210	H1818				H8210	

あなたがたはそのおる所の地を汚してはならない。流血は地を汚すからである。地の上に流された血は、それを流した者の血によらなければあがなうことができない。

34

אֲשֶׁר	בָּהּ	יֹשְׁבִים	אַתֶּם	אֲשֶׁר	הָאָרֶץ	אֶת־	תְּטַמֵּא	וְלֹא
～の	そこに	住んでいる	あなたがたが	～の	その–地を	—	汚しては	そして–～ない
		H3427			H0776	H0853		H3808

בְּנֵי	בְּתוֹךְ	שֹׁכֵן	יְהוָה	אֲנִי	כִּי	בְּתוֹכָהּ	שֹׁכֵן	אֲנִי
子らの	中に	住んでいる	主で–ある	わたしが	なぜなら	その–中に	住んでいる	わたしが
	H8432	H7931	H3068	H0589		H8432	H7931	H0589

יִשְׂרָאֵל׃	פ	
イスラエルの	—	
H3478		

あなたがたは、その住む所の地、すなわちわたしのおる地を汚してはならない。主なるわたしがイスラエルの人々のうちに住んでいるからである」。

Chapter 36

1 וַיִּקְרְב֗וּ רָאשֵׁי֙ הָאָב֣וֹת לְמִשְׁפַּחַ֣ת בְּנֵי־גִלְעָ֣ד בֶּן־מָכִ֗יר בֶּן־בְּנֵי֙ יוֹסֵ֔ף וַיְדַבְּר֖וּ לִפְנֵ֣י מֹשֶׁ֑ה וְלִפְנֵ֣י הַנְּשִׂאִ֔ים רָאשֵׁ֖י אָב֥וֹת לִבְנֵֽי־יִשְׂרָאֵ֖ל׃

そして–近づいた 氏族の 息子の 子らの ギルアデの 息子の マキルの 息子の 父の かしらが
H7126 H4940 H1568 H4940 H4353 H0001

指導者たちの そして–前で モーセの 前で そして–話した ヨセフの 子らの 氏族から マナセの
H6440 H4872 H6440 H1696 H3130 H4940 H4519

イスラエルの 子らの 父の かしらの
H3478 H0001

ヨセフの子孫の氏族のうち、マナセの子マキルの子であるギレアデの子らの氏族のかしらたちがきて、モーセとイスラエルの人々のかしらであるつかさたちとの前で語って、

2 וַיֹּאמְר֗וּ אֶת־הָאָ֙רֶץ֙ בְּגוֹרָ֣ל לָתֵ֔ת לִבְנֵ֖י יְהוָ֑ה צִוָּ֣ה אֲדֹנִ֗י אֶת־יְהוָה֙ בְּיַד־מֹשֶׁ֔ה וַאדֹנִ֖י צֻוָּ֣ה לָתֵ֔ת אֶת־צְלָפְחָ֖ד אֲחִ֣ינוּ לִבְנֹתָֽיו׃

そして–言った 一 その–地を
H0559 H0853 H0776

与える–ことを 主が 命じた わたしの–主人に 一 相続地として
H5414 H3068 H6680 H0113 H0853 H5159

くじに–よって 子らに イスラエルの そして–わたしの–主人は 命じられた 主に–よって
H1486 H1121 H3478 H0113 H6680 H3068

彼の–娘たちに われらの–兄弟の ツェロフハデの 相続地を 一 与える–ことを
H1323 H0251 H6765 H5159 H0853 H5414

言った、「イスラエルの人々に、その嗣業の地をくじによって与えることを主はあなたに命じられ、あなたもまた、われわれの兄弟ゼロペハデの嗣業を、その娘たちに与えるよう、主によって命じられました。

3 וְהָי֞וּ לְנָשִׁ֗ים לִבְנֵי֙ בְּנֵ֣י שִׁבְטֵ֔י יִשְׂרָאֵל֙ וְנִגְרַ֣ע נַחֲלָתָ֔ן מִנַּחֲלַ֖ת אֲבֹתֵ֑ינוּ וְנוֹסַ֗ף עַל־נַחֲלַ֙ת֙ הַמַּטֶּ֔ה אֲשֶׁ֥ר יִהְיֶ֖ינָה לָהֶ֑ם וּמִגּוֹרָ֣ל נַחֲלָתֵ֔נוּ יִגָּרֵֽעַ׃

そして–なるなら 一人に 部族の 子らの–うちの 妻と–なる
H1961 H0259 H7626 H1121 H0802

相続地から 彼女らの–相続地が そして–減らされる 相続地に ～に そして–加えられる われらの–父の
H5159 H5159 H1639 H5159 H5921 H3254 H0001

われらの–相続地が そして–くじから 彼らに なる–なら ～の その–部族の
H5159 H1486 H1961 H834 H4294

減らされる
H1639

その娘たちがもし、イスラエルの人々のうちの他の部族のむすこたちにとつぐならば、彼女たちの嗣業は、われわれの父祖の嗣業のうちから取り除かれて、そのとつぐ部族の嗣業に加えられるでしょう。こうしてそれはわれわれの嗣業の分から取り除かれるでしょう。

4

נַחֲלָתָן	וְנוֹסְפָה	יִשְׂרָאֵל	לִבְנֵי	הַיֹּבֵל	יִהְיֶה	וְאִם־
彼女らの–相続地が	そして–加えられる	イスラエルの	子らに	ヨベルの–年が	なる–なら	そして–もし
H5159	H3254	H3478		H3104	H1961	

אֲבֹתֵינוּ	מַטֵּה	וּמִנַּחֲלַת	לָהֶם	תִּהְיֶינָה	אֲשֶׁר	הַמַּטֶּה	נַחֲלַת	עַל
われらの–父の	部族の	そして–相続地から	彼らに	なる–なら	～の	その–部族の	相続地に	～に
H0001	H4294	H5159		H1961		H4294	H5159	

נַחֲלָתָן׃	יִגָּרַע
彼女らの–相続地が	減らされる
H5159	H1639

そしてイスラエルの人々のヨベルの年がきた時、彼女たちの嗣業は、そのとついだ部族の嗣業に加えられるでしょう。こうして彼女たちの嗣業は、われわれの父祖の部族の嗣業のうちから取り除かれるでしょう」。

5

כֵּן	לֵאמֹר	יְהוָה	פִּי	עַל־	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי	אֶת־	מֹשֶׁה	וַיְצַו
正しい	言って	主の	命令の	～に–従って	イスラエルの	子らに	—	モーセは	そして–命じた
	H0559	H3068	H6310		H3478		H0853	H4872	H6680

דֹּבְרִים׃	יוֹסֵף	בְּנֵי־	מַטֵּה
話して–いる	ヨセフの	子らの	部族は
H1696	H3130		H4294

モーセは主の言葉にしたがって、イスラエルの人々に命じて言った、「ヨセフの子孫の部族の言うところは正しい。

6

לֵאמֹר	צְלָפְחָד	לִבְנוֹת	יְהוָה	צִוָּה	אֲשֶׁר־	הַדָּבָר	זֶה
言って	ツェロフハデの	娘たちに–ついて	主が	命じた	～の	その–ことで–ある	これが
H0559	H6765	H1323	H3068	H6680		H1697	H2088

אֲבִיהֶם	מַטֵּה	לְמִשְׁפַּחַת	אַךְ	לְנָשִׁים	תִּהְיֶינָה	בְּעֵינֵיהֶם	לַטּוֹב
彼らの–父の	部族の	氏族の	ただし	妻と	なる–べきである	彼らの–目に	良い–と–思う–者に
H0001	H4294	H4940	H0389	H0802	H1961		

לְנָשִׁים׃	תִּהְיֶינָה
妻と	なる–べきである
H0802	H1961

ゼロペハデの娘たちについて、主が命じられたことはこうである。すなわち『彼女たちはその心にかなう者にとついでもよいが、ただその父祖の部族の一族にのみ、とつがなければならない。

7

כִּי	מַטֵּה	אֶל־	מִמַּטֶּה	יִשְׂרָאֵל	לִבְנֵי	נַחֲלָה	תִסֹּב	וְלֹא־
なぜなら	部族へ	～へ	部族から	イスラエルの	子らの	相続地が	移る–ことは	そして–～ない
	H4294	H0413	H4294	H3478		H5159	H5437	H3808

יִשְׂרָאֵל׃	בְּנֵי	יִדְבְּקוּ	אֲבֹתָיו	מַטֵּה	בְּנַחֲלַת	אִישׁ
イスラエルの	子らは	属する	彼らの–父の	部族の	相続地に	各自が
H3478		H1692	H0001	H4294	H5159	H0376

そうすればイスラエルの人々の嗣業は、部族から部族に移るようなことはないであろう。イスラエルの人々は、おのおのその父祖の部族の嗣業をかたく保つべきだからである。

8

מִמִּשְׁפַּחַת	לְאֶחָד	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי	מִמַּטּוֹת	נַחֲלָה	יֹרֶשֶׁת	בַּת	וְכָל־
氏族の–中の	一人に	イスラエルの	子らの	部族から	相続地を	相続する	娘が	そして–すべての
H4940	H0259	H3478		H4294	H5159	H3423	H1323	H3605

יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי	יִירְשׁוּ	לְמַעַן	לְאִשָּׁה	תִּהְיֶה	אָבִיהָ	מַטֵּה
イスラエルの	子らが	相続する–ように	それは–～ため	妻と	なる–べきである	彼女の–父の	部族の
H3478		H3423	H4616	H0802	H1961	H0001	H4294

אֲבֹתָיו׃	נַחֲלַת	אִישׁ
彼らの–父の	相続地を	各自が
H0001	H5159	H0376

イスラエルの人々の部族のうち、嗣業をもっている娘はみな、その父の部族に属する一族にとつがなければならない。そうすればイスラエルの人々は、おのおのその父祖の嗣業を保つことができる。

9

בְּנַחֲלָתוֹ	אִישׁ	כִּי־	אַחֵר	לְמַטֶּה	מִמַּטֶּה	נַחֲלָה	תִּסֹּב	וְלֹא־	
その–相続地に	各自が	なぜなら	他の	部族へ	部族から	相続地が	移る–ことは	そして–〜ない	
H5159	H0376		H0312	H4294	H4294	H5159	H5437	H3808	

יִשְׂרָאֵל׃	בְּנֵי	מַטּוֹת	יִדְבְּקוּ
イスラエルの	子らの	部族は	属する
H3478		H4294	H1692

こうして嗣業は一つの部族から他の部族に移ることはなかろう。イスラエルの人々の部族はおのおのその嗣業をかたく保つべきだからである』」。

10

צְלָפְחָד׃	בְּנוֹת	עָשׂוּ	כֵּן	מֹשֶׁה	אֶת־	יְהוָה	צִוָּה	כַּאֲשֶׁר
ツェロフハデの	娘たちは	行った	その–ように	モーセに	—	主が	命じた	〜の–ように
H6765	H1323			H4872	H0853	H3068	H6680	

そこでゼロペハデの娘たちは、主がモーセに命じられたようにした。

11

בְּנוֹת	וְנֹעָה	וּמִלְכָּה	וְחָגְלָה	תִּרְצָה	מַחְלָה	וַתִּהְיֶינָה	
娘たちは	そして–ノアは	そして–ミルカは	そして–ホグラは	ティルツァは	マヘラは	そして–なった	
H1323	H5270	H4435	H2295	H8656	H4244	H1961	

לְנָשִׁים׃	דֹּדֵיהֶן	לִבְנֵי	צְלָפְחָד
妻と–なった	彼女らの–おじの	子らに	ツェロフハデの
H0802	H1730		H6765

すなわちゼロペハデの娘たち、マアラ、テルザ、ホグラ、ミルカおよびノアは、その父の兄弟のむすこたちにとついだ。

12

נַחֲלָתָן	וַתְּהִי	לְנָשִׁים	הָיוּ	יוֹסֵף	בֶּן־	מְנַשֶּׁה	בְּנֵי־	מִמִּשְׁפְּחֹת
彼女らの–相続地は	そして–残った	妻と	なった	ヨセフの	息子の	マナセの	子らの	氏族から
H5159	H1961	H0802	H1961	H3130		H4519		H4940

אֲבִיהֶן׃	מִשְׁפַּחַת	מַטֵּה	עַל־
彼女らの–父の	氏族の	部族の	〜の–上に
H0001	H4940	H4294	

彼女たちはヨセフの子マナセのむすこたちの一族にとついだので、その嗣業はその父の一族の属する部族にとどまった。

13

אֶל־	מֹשֶׁה	בְּיַד־	יְהוָה	צִוָּה	אֲשֶׁר	וְהַמִּשְׁפָּטִים	הַמִּצְוֹת	אֱלֶּה	
〜に	モーセの	手を–通して	主が	命じた	〜の	そして–定めで–ある	定めで–ある	これらが	
H0413	H4872	H3027	H3068	H6680		H4941	H4687	H0428	

יְרֵחוֹ׃	יַרְדֵּן	עַל	מוֹאָב	בְּעַרְבֹת	יִשְׂרָאֵל
エリコの	ヨルダンの	〜の–ほとりの	モアブの	平野で	イスラエルの
H3405	H3383		H4124	H6160	H3478

בְּנֵי
子らに

これらはエリコに近いヨルダンのほとりのモアブの平野で、主がモーセによってイスラエルの人々に命じられた命令とおきてである。

Deuteronomy

Chapter 1

בְּעֵבֶר	יִשְׂרָאֵל	כָּל־	אֶל־	מֹשֶׁה	דִּבֶּר	אֲשֶׁר	הַדְּבָרִים	אֵלֶּה		1
向こう側で	イスラエルに	すべての	～に	モーセが	語った	あり	言葉で	これらは		
H5676	H3478	H3605	H0413	H4872	H1696		H1697	H0428		
וְלָבָן	תֹּפֶל	וּבֵין־	פָּארָן	בֵּין־	סוּף	מוֹל	בָּעֲרָבָה	בַּמִּדְבָּר	הַיַּרְדֵּן	
ラバンと	トフェルと	～の–間の	パランと	～の–間	スフの	前の	アラバで	荒野で	ヨルダンの	
	H8603	H0996	H6290	H0996	H5489	H4136	H6160		H3383	
							זָהָב׃	וְדִי	וַחֲצֵרֹת	
							ディ・ザハブで		ハツェロテと	
							H1774		H2698	

これはヨルダンの向こうの荒野、パランと、トペル、ラバン、ハゼロテ、デザハブとの間の、スフの前にあるアラバにおいて、モーセがイスラエルのすべての人に告げた言葉である。

עַד	שֵׂעִיר	הַר־	דֶּרֶךְ	מֵחֹרֵב	יוֹם	עָשָׂר	אַחַד		2
～まで	セイルを–通り	山の	道を–経て	ホレブから	日の–道のりで	一	十		
H5704		H2022	H1870	H2722	H3117	H6240	H0259		
							בְּרְנֵעַ׃	קָדֵשׁ	
							カデシュ・バルネアに		
							H6947		

ホレブからセイル山の道を経て、カデシ・バルネアに達するには、十一日の道のりである。

מֹשֶׁה	דִּבֶּר	לַחֹדֶשׁ	בְּאֶחָד	חֹדֶשׁ	עָשָׂר	בִּשְׁתֵּי־	שָׁנָה	בְּאַרְבָּעִים	וַיְהִי	3
モーセは	語った	日に	一	月の	一	十	年目の	四十	そして–あった	
H4872	H1696	H2320	H0259	H2320	H6240	H6249	H8141	H0705	H1961	
אֲלֵהֶם׃	אֹתוֹ	יְהוָה	צִוָּה	אֲשֶׁר	כֹּל	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי	אֶל־		
彼らへ	彼に	主が	命じた	～の	すべてに–従い	イスラエルの	子らに	～に		
H0413	H0853	H3068	H6680		H3605	H3478		H0413		

第四十年の十一月となり、その月の一日に、モーセはイスラエルの人々にむかって、主が彼らのため彼に授けられた命令を、ことごとく告げた。

בְּחֶשְׁבּוֹן	יוֹשֵׁב	אֲשֶׁר	הָאֱמֹרִי	מֶלֶךְ	סִיחֹן	אֶת	הִכָּה	אַחֲרֵי	4
ヘシュボンに	住んでいた	（彼は）	アモリ人の	王	シホンを	（を）	打ち–倒してから	後に	
H2809	H3427		H0567	H4428	H5511	H0853	H5221		
בְּאֶדְרֶעִי׃	בְּעַשְׁתָּרֹת	יוֹשֵׁב	אֲשֶׁר־	הַבָּשָׁן	מֶלֶךְ	עוֹג	וְאֵת		
エドレイで	アシュタロテに	住んでいた	（彼は）	バシャンの	王	オグを	そして		
H0154	H6252	H3427		H1316	H4428	H5747	H0853		

これはモーセがヘシボンに住んでいたアモリびとの王シホン、およびアシタロテとエデレイとに住んでいたバシャンの王オグを殺した後であった。

5

הַתּוֹרָה	אֶת־	בֵּאֵר	מֹשֶׁה	הוֹאִיל	מוֹאָב	בְּאֶרֶץ	הַיַּרְדֵּן	בְּעֵבֶר
律法を	（を）	説き-明かすことを	モーセは	始めた	モアブの	地で	ヨルダンの	向こう側で
H8451	H0853	H0874	H4872	H2974	H4124	H0776	H3383	H5676

לֵאמֹר׃	הַזֹּאת
言って	この
H0559	H2063

すなわちモーセはヨルダンの向こうのモアブの地で、みずから、この律法の説明に当った、そして言った、

6

שָׁבֶת	לָכֶם	רַב־	לֵאמֹר	בְּחֹרֵב	אֵלֵינוּ	דִּבֶּר	אֱלֹהֵינוּ	יְהוָה
留まった	あなたがたは	十分に-長く	言って	ホレブで	私たちに	語られた	私たちの-神は	主は
H3427			H0559	H2722	H0413	H1696	H0430	H3068

הַזֶּה׃	בָּהָר
（この）	この-山に
H2088	H2022

「われわれの神、主はホレブにおいて、われわれに言われた、『あなたがたはすでに久しく、この山にとどまっていたが、

7

שְׁכֵנָיו	כָּל־	וְאֶל־	הָאֱמֹרִי	הָר	וּבֹאוּ	לָכֶם	וְסָעוּ	וּפְנוּ
近隣の-地へ	すべての	そして-〜へ	アモリ人の	山へ	行け	あなたがたは	出発せよ	向きを-変え
H7934	H3605	H0413	H0567	H2022	H0935		H5265	H6437

עַד־	וְהַלְּבָנוֹן	הַכְּנַעֲנִי	אֶרֶץ	הַיָּם	וּבְחוֹף	וּבַנֶּגֶב	וּבַשְּׁפֵלָה	בָּהָר	בָּעֲרָבָה
〜まで	レバノンに	カナン人の	地に	岸辺に	海の	ネゲブに	低地に	山地に	アラバに
H5704	H3844		H0776	H3220	H2348	H5045	H8219	H2022	H6160

פְּרָת׃	נְהַר־	הַגָּדֹל	הַנָּהָר
ユーフラテスまで	川	大いなる	川の
H6578	H5104		H5104

身をめぐらして道に進み、アモリびとの山地に行き、その近隣のすべての所、アラバ、山地、低地、ネゲブ、海べ、カナンびとの地、またレバノンに行き、大川ユフラテにまで行きなさい。

8

הָאָרֶץ	אֶת־	וּרְשׁוּ	בֹּאוּ	הָאָרֶץ	אֶת־	לִפְנֵיכֶם	נָתַתִּי	רְאֵה
この-地を	（を）	所有せよ	入れ	この-地を	（を）	あなたがたの-前に	わたしは-与えた	見よ
H0776	H0853	H3423	H0935	H0776	H0853	H6440	H5414	H7200

לָהֶם	לָתֵת	וְלִיעֲקֹב	לְיִצְחָק	לְאַבְרָהָם	לַאֲבֹתֵיכֶם	יְהוָה	נִשְׁבַּע	אֲשֶׁר
彼らに	与えると	ヤコブに	イサクに	アブラハムに	あなたがたの-先祖に	主が	誓った	（それは）
	H5414	H3290	H3327	H0085	H0001	H3068	H7650	

אַחֲרֵיהֶם׃	וּלְזַרְעָם
彼らの-後の	その-子孫に
	H2233

見よ、わたしはこの地をあなたがたの前に置いた。この地にはいって、それを自分のものとしなさい。これは主が、あなたがたの先祖アブラハム、イサク、ヤコブに誓って、彼らとその後の子孫に与えると言われた所である』。

9

שְׂאֵת	לְבַדִּי	אוּכַל	לֹא־	לֵאמֹר	הַהוּא	בָּעֵת	אֲלֵכֶם	וָאֹמַר
担うことを	一人で	私は-できない	〜ない	言って	（その）	その-時	あなたがたに	私は-言った
H5375	H0905	H3201	H3808	H0559	H1931	H6256	H0413	H0559

אֶתְכֶם׃	
あなたがたを	
H0853	

あの時、わたしはあなたがたに言った、『わたしはひとりであなたがたを負うことができない。

10

יְהוָה אֱלֹהֵיכֶם הִרְבָּה אֶתְכֶם וְהִנְּכֶם הַיּוֹם כְּכוֹכְבֵי
主は あなたがたの–神は 増やされた あなたがたを 見よ–あなたがたは 今日 星の–ように
H3068 H0430 H0853 H2009 H3117 H3556

הַשָּׁמָיִם לָרֹב׃
天の 多い
H8064 H7230

あなたがたの神、主はあなたがたを多くされたので、あなたがたは、きょう、空の星のように多い。

11

יְהוָה אֱלֹהֵי אֲבוֹתֵיכֶם יֹסֵף עֲלֵיכֶם כָּכֶם אֶלֶף
主が 神が あなたがたの–先祖の 加えて–くださるように あなたがたに あなたがたの–ように 千
H3068 H0430 H0001 H3254 H0002 H0505

פְּעָמִים וִיבָרֵךְ אֶתְכֶם כַּאֲשֶׁר דִּבֶּר לָכֶם׃
倍も 祝福して–くださるように あなたがたを ～の–通りに 約束された あなたがたに
H6471 H1288 H0853 H1696

――どうぞ、あなたがたの先祖の神、主があなたがたを、今あるより千倍も多くし、またあなたがたに約束されたように、あなたがたを恵んでくださるように。――

12

אֵיכָה אֶשָּׂא לְבַדִּי טָרְחֲכֶם וּמַשַּׂאֲכֶם וְרִיבְכֶם׃
どうして 担えようか 一人で あなたがたの–重荷と あなたがたの–負担と あなたがたの–争いを
H0905 H5375 H2960 H7379

わたしひとりで、どうして、あなたがたを負い、あなたがたの重荷と、あなたがたの争いを処理することができようか。

13

הָבוּ לָכֶם אֲנָשִׁים חֲכָמִים וּנְבֹנִים וְיֹדְעִים לְשִׁבְטֵיכֶם
選び–出しなさい あなたがたのために 人々を 知恵–ある 聡明な 名の–知れた 各–部族から
H3051 H0376 H2450 H0995 H3045 H7626

וַאֲשִׂימֵם בְּרָאשֵׁיכֶם׃
私が–立てよう あなたがたの–上に
H7760

あなたがたは、おのおの部族ごとに、知恵があり、知識があって、人に知られている人々を選び出しなさい。わたしはその人々を、あなたがたのかしらとするであろう』。

14

וַתַּעֲנוּ אֹתִי וַתֹּאמְרוּ טוֹב־ הַדָּבָר אֲשֶׁר־ דִּבַּרְתָּ לַעֲשׂוֹת׃
あなたがたは–答えた 私に 言った 良い ことだ （それは） あなたが–語った 行うべき
H6030 H0853 H0559 H2896 H1697 H0834 H1696

その時、あなたがたはわたしに答えた、『あなたがしようと言われることは良いことです』。

15

וָאֶקַּח אֶת־ רָאשֵׁי שִׁבְטֵיכֶם אֲנָשִׁים חֲכָמִים וְיֹדְעִים
私は–取った （を） かしらを あなたがたの–部族の 人々を 知恵–ある 名の–知れた
H3947 H0853 H7218 H7626 H0376 H2450 H3045

וָאֶתֵּן אֹתָם רָאשִׁים עֲלֵיכֶם שָׂרֵי אֲלָפִים וְשָׂרֵי מֵאוֹת
私は–任命した 彼らを かしらとして あなたがたの–上に 長として 千人の 長として 百人の
H5414 H0853 H7218 H5921 H8269 H0505 H8269 H3967

וְשֹׁטְרִים לְשִׁבְטֵיכֶם׃
つかさとして あなたがたの–部族の
H7860 H7626

וְשָׂרֵי חֲמִשִּׁים וְשָׂרֵי עֲשָׂרֹת
長として 五十人の 長として 十人の
H8269 H2572 H8269 H6235

そこで、わたしは、あなたがたのうちから、知恵があり、人に知られている人々を取って、あなたがたのかしらとした。すなわち千人の長、百人の長、五十人の長、十人の長とし、また、あなたがたの部族のつかさびととした。

16 וָאֲצַוֶּה אֶת־שֹׁפְטֵיכֶם בָּעֵת הַהִוא לֵאמֹר שָׁמֹעַ בֵּין־
私は-命じた (を) あなたがたの-さばき人に その-時 (その) 言って 聞き ～の-間の
H6680 H0853 H8199 H6256 H1931 H0559 H8085 H0996

אֲחֵיכֶם וּשְׁפַטְתֶּם צֶדֶק בֵּין־אִישׁ וּבֵין־אָחִיו וּבֵין גֵּרוֹ׃
兄弟たちの-訴えを 公正に-さばけ 正しく ～の-間で 人と ～の-間で その-兄弟と ～の-間で 寄留者との
H0251 H8199 H6664 H0996 H0376 H0996 H0251 H0996 H1616

また、あのとき、わたしはあなたがたのさばきびとたちに命じて言った、『あなたがたは、兄弟たちの間の訴えを聞き、人とその兄弟、または寄留の他国人との間を、正しくさばかなければならない。

17 לֹא־תַכִּירוּ פָנִים בַּמִּשְׁפָּט כַּקָּטֹן כַּגָּדֹל לֹא תָגוּרוּ
～ない えこひいき-するな さばきにおいて 小さい-者も 大きい-者も 同じく-聞け ～ない
H3808 H6440 H4941 H6996 H1419 H8085 H3808

מִפְּנֵי־אִישׁ כִּי הַמִּשְׁפָּט לֵאלֹהִים הוּא וְהַדָּבָר אֲשֶׁר
人を ～の-前で 恐れるな なぜなら さばきは 神の-ものだ (からだ) そして-訴えで (それが)
H0376 H6440 H3372 H4941 H0430 H1931 H1697

יִקָּשֶׁה מִכֶּם תַּקְרִבוּן אֵלַי וּשְׁמַעְתִּיו׃
難しい-ものは あなたがたにとって 持って-来よ 私に 私が-聞こう
H7185 H0413 H7126

あなたがたは、さばきをする時、人を片寄り見てはならない。小さい者にも大いなる者にも聞かなければならない。人の顔を恐れてはならない。さばきは神の事だからである。あなたがたで決めるのにむずかしい事は、わたしのところに持ってこなければならない。わたしはそれを聞くであろう』。

18 וָאֲצַוֶּה אֶתְכֶם בָּעֵת הַהִוא אֶת כָּל־הַדְּבָרִים אֲשֶׁר
私は-命じた あなたがたに その-時 (その) (を) すべての ことを (それは)
H6680 H0853 H6256 H1931 H0853 H3605 H1697

תַּעֲשׂוּן׃
行うべき-ことだ

わたしはまた、あの時、あなたがたがしなければならないことを、ことごとく命じた。

19 וַנִּסַּע מֵחֹרֵב וַנֵּלֶךְ אֶת כָּל־הַמִּדְבָּר הַגָּדוֹל וְהַנּוֹרָא הַהוּא
私たちは-出発した ホレブから 進んだ (を-通って) すべての 荒野を 大きく 恐ろしい あの
H5265 H2722 H3212 H0853 H3605 H4057 H1419 H3372 H1931

אֲשֶׁר רְאִיתֶם דֶּרֶךְ הָרָ֫ר הָאֱמֹרִי כַּאֲשֶׁר צִוָּה יְהוָה
(それは) あなたがたが-見た 道を-経て 山の アモリ人の ～の-通りに 命じられた 主が
H7200 H1870 H2022 H0567 H6680 H3068

אֱלֹהֵינוּ אֹתָנוּ וַנָּבֹא עַד בְּרְנֵעַ קָדֵשׁ׃
私たちの-神が 私たちに 着いた ～まで カデシュ・バルネアに
H0430 H0853 H0935 H5704 H6947

われわれの神、主が命じられたように、われわれは、ホレブを出立して、あなたがたが見た、あの大きな恐ろしい荒野を通り、アモリびとの山地へ行く道によって、カデシ・バルネアにきた。

20

אֱלֹהֵינוּ	יְהוָה	אֲשֶׁר־	הָאֱמֹרִי	הַר	עַד־	בָּאתָם	אֲלֵכֶם	וָאֹמַר
私たちの–神が	主が	（それは）	アモリ人の	山に	～まで	着いた	あなたがたに	私は–言った
H0430	H3068		H0567	H2022	H5704	H0935	H0413	H0559

לָנוּ׃	נֹתֵן
私たちに	与えようとする
	H5414

その時わたしはあなたがたに言った、『あなたがたは、われわれの神、主がお与えになるアモリびとの山地に着いた。

21

רֵשׁ	עֲלֵה	הָאָרֶץ	אֶת־	לְפָנֶיךָ	אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה	נָתַן	רְאֵה
所有せよ	上って–行け	この–地を	（を）	あなたの–前に	あなたの–神が	主が	与えられた	見よ
H3423	H5927	H0776	H0853	H6440	H0430	H3068	H5414	H7200

וְאַל־	תִּירָא	אַל־	לָךְ	אֲבֹתֶיךָ	אֱלֹהֵי	יְהוָה	דִּבֶּר	כַּאֲשֶׁר
～ない	恐れるな	～ない	あなたに	あなたの–先祖の	神が	主が	語られた	～の–通りに
H0408	H3372	H0408		H0001	H0430	H3068	H1696	

תֵּחָת׃
おののくな
H2865

見よ、あなたの神、主はこの地をあなたの前に置かれた。あなたの先祖の神、主が告げられたように、上って行って、これを自分のものとしなさい。恐れてはならない。おののいてはならない』。

22

וְנַחְפְּרוּ־	לְפָנֵינוּ	אֲנָשִׁים	וְיַחֲפְרוּ־	וַתֹּאמְרוּ	כֻלְּכֶם	אֵלַי	וַתִּקְרְבוּן	
探らせよう	先に	人々を	遣わそう	言った	皆が	私に	あなたがたは–近づいた	
H2658	H6440	H0376	H7971	H0559	H3605	H0413	H7126	

אֲשֶׁר	הַדֶּרֶךְ	אֶת־	דָּבָר	אֹתָנוּ	וְיָשִׁבוּ	הָאָרֶץ	אֶת־	לָנוּ
（それは）	道を	（を）	知らせを	私たちに	報告させよう	この–地を	（を）	私たちのために
	H1870	H0853	H1697	H0853	H7725	H0776	H0853	

אֲלֵיהֶן׃	נָבֹא	אֲשֶׁר	הֶעָרִים	וְאֵת	בָּהּ	נַעֲלֶה־
先の	行く	（それは）	町々を	そして	べき–道と	上って–行く
H0413	H0935			H0853		H5927

あなたがたは皆わたしに近寄って言った、『われわれは人をさきにつかわして、その地を探らせ、どの道から上るべきか、どの町々に入るべきかを、復命させましょう』。

23

אִישׁ	אֲנָשִׁים	עָשָׂר	שְׁנֵים	מִכֶּם	וָאֶקַּח	הַדָּבָר	בְּעֵינַי	וַיִּיטַב
一	人を	二	十	あなたがたから	私は–選んだ	そのことは	私の–目に	良かった
H0376	H0376	H6240	H8147		H3947	H1697		H3190

לְשָׁבֶט׃	אֶחָד
部族ごとに	人ずつ
H7626	H0259

このことは良いと思ったので、わたしはあなたがたのうち、おのおのの部族から、ひとりずつ十二人の者を選んだ。

24

אֹתָהּ׃	וַיְרַגְּלוּ	אֶשְׁכֹּל	נַחַל	עַד־	וַיָּבֹאוּ	הָהָרָה	וַיַּעֲלוּ	וַיִּפְנוּ
そこを	偵察した	エシュコルに	谷の	～まで	来た	山地に	上って–行った	彼らは–向かい
H0853	H7270	H0812		H5704	H0935	H2022	H5927	H6437

彼らは身をめぐらして、山地に上って行き、エシコルの谷へ行ってそれを探り、

25 וַיִּקְחוּ֙ בְּיָדָ֔ם מִפְּרִ֖י הָאָ֑רֶץ וַיּוֹרִדוּ֙ אֵלֵ֔ינוּ וַיָּשִׁ֥בוּ אֹתָ֖נוּ דָּבָ֑ר וַיֹּאמְר֗וּ
取った 手に ～の-実を その-地の 持ち-帰り 私たちに 報告した 知らせを 言った
H3947 H3027 H6529 H0776 H3381 H0413 H7725 H1697 H0559

טוֹבָ֔ה הָאָ֕רֶץ אֲשֶׁר־ יְהוָ֥ה אֱלֹהֵ֖ינוּ נֹתֵ֥ן לָֽנוּ׃
良い 地だ （それは） 主が 私たちの-神が 与えようとする 私たちに
H0776 H3068 H0430 H5414

その地のくだものを手に取って、われわれのところに持って下り、復命して言った、『われわれの神、主が賜わる地は良い地です』。

26 וְלֹ֣א אֲבִיתֶ֔ם לַעֲלֹ֖ת וַתַּמְר֣וּ אֶת־ פִּ֑י יְהוָ֖ה
しかし-ない あなたがたは-望まなかった 上って-行くことを 逆らった （を） 命令に 主の
H3808 H0014 H5927 H4784 H0853 H6310 H3068

אֱלֹהֵיכֶֽם׃
あなたがたの-神の
H0430

しかし、あなたがたは上って行くことを好まないで、あなたがたの神、主の命令にそむいた。

27 וַתָּרֹנְנ֖וּ בְּאָהֳלֵיכֶ֑ם וַתֹּאמְר֗וּ בְּשִׂנְאַ֤ת יְהוָה֙ אֹתָ֔נוּ הוֹצִיאָ֖נוּ מֵאֶ֣רֶץ
つぶやいた 天幕の-中で 言った 憎しみ-ゆえに 主が 私たちを 連れ-出した 地から
H7279 H0168 H0559 H8135 H3068 H0853 H3318 H0776

מִצְרַ֔יִם לְהַשְׁמִידֵ֥נוּ בְּיַד־ הָאֱמֹרִ֖י לָתֵ֣ת אֹתָ֑נוּ
エジプトの 滅ぼすために 手に アモリ人の 渡すために 私たちを
H4714 H8045 H3027 H0567 H5414 H0853

וְאָנָ֖ה אֲנַ֣חְנוּ עֹלִ֑ים אַחֵ֙ינוּ֙ הֵמַ֣סּוּ אֶת־ לְבָבֵ֔נוּ לֵאמֹ֗ר עַ֚ם
どこへ 私たちは 上るのか 兄弟たちが くじけさせた （を） 心を 言って 民は
H0575 H0587 H5927 H0251 H4549 H0853 H3824 H0559 H5971

גָּד֣וֹל וָרָ֔ם עָרִ֥ים גְּדֹלֹ֖ת וּבְצ֣וּרֹת בַּשָּׁמָ֑יִם וְגַם־ בְּנֵ֥י עֲנָקִ֖ים רָאִ֥ינוּ שָֽׁם׃
大きく 背が-高い 町々は 大きく 堅固で 天に-届く さらに 子らを アナクの そこで 見た
H1419 H7311 H5892 H1219 H8064 H1571 H1121 H6062 H7200

28 われわれはどこへ上って行くのか。兄弟たちは、「その民はわれわれよりも大きくて、背も高い。町々は大きく、その石がきは天に届いている。われわれは、またアナクびとの子孫をその所で見た」と言って、われわれの心をくじいた』。

29 וָאֹמַ֣ר אֲלֵכֶ֔ם לֹא־ תַעַרְצ֥וּן וְלֹא־ תִירְא֖וּן מֵהֶֽם׃
私は-言った あなたがたに ～ない おびえるな ～ない 恐れるな 彼らを
H0559 H0413 H3808 H6206 H3808 H3372 H1992

その時、わたしはあなたがたに言った、『彼らをこわがってはならない。また恐れてはならない。

30 יְהוָ֣ה אֱלֹהֵיכֶ֗ם הַהֹלֵךְ֙ לִפְנֵיכֶ֔ם הוּא֙ יִלָּחֵ֣ם לָכֶ֔ם
主が 歩まれる あなたがたの-神が あなたがたの-前を 主が 戦って-くださる あなたがたのために
H3068 H1980 H0430 H6440 H1931 H3898 H0376

לְעֵינֵיכֶ֑ם בְּמִצְרַ֖יִם אִתְּכֶ֣ם עָשָׂ֔ה אֲשֶׁ֥ר כְּכֹ֛ל
あなたがたの-目の-前で エジプトで あなたがたと-ともに なさった （それは） すべてに-従い
H3605 H0834 H6213 H0854 H4714

先に立って行かれるあなたがたの神、主はエジプトにおいて、あなたがたの目の前で、すべてのことを行われたように、あなたがたのために戦われるであろう。

אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה	נְשָׂאֲךָ	אֲשֶׁר	רָאִיתָ	אֲשֶׁר	וּבַמִּדְבָּר	31
あなたの–神が	主が	あなたを–負い	（そこで）	あなたが–見た	（それは）	荒野でも	
H0430	H3068	H5375		H7200			

הַלַּכְתֶּם	אֲשֶׁר	הַדֶּרֶךְ	בְּכָל־	בְּנוֹ	אֶת־	אִישׁ	יִשָּׂא־	כַּאֲשֶׁר
あなたがたが–歩んだ	（それは）	道で	すべての	自分の–子を	（を）	人が	負う	～の–ように
H1980		H1870	H3605		H0853	H0376	H5375	

הַזֶּה׃	הַמָּקוֹם	עַד־	בֹּאֲכֶם	עַד־
この	場所に	～まで	あなたがたが–来る	～まで
H2088	H4725	H5704	H0935	H5704

あなたがたはまた荒野で、あなたの神、主が、人のその子を抱くように、あなたを抱かれるのを見た。あなたがたが、この所に来るまで、その道すがら、いつもそうであった』。

אֱלֹהֵיכֶם׃	בַּיהוָה	מַאֲמִינִם	אֵינְכֶם	הַזֶּה	וּבַדָּבָר	32
あなたがたの–神を	主を	信じて	あなたがたは–いない	（この）	しかし–このことにおいても	
H0430	H3068	H0539	H0369	H2088	H1697	

このように言っても、あなたがたはなお、あなたがたの神、主を信じなかった。

לַחֲנֹתְכֶם	מָקוֹם	לָכֶם	לָתוּר	בַּדֶּרֶךְ	לִפְנֵיכֶם	הַהֹלֵךְ	33
宿営する–ための	場所を	あなたがたのために	探される	道で	あなたがたの–前を	歩まれる–方	
H2583	H4725		H8446	H1870	H6440	H1980	

יוֹמָם׃	וּבֶעָנָן	בָּהּ	תֵּלְכוּ־	אֲשֶׁר	בַּדֶּרֶךְ	לַרְאֹתְכֶם	לַיְלָה	וּבָאֵשׁ
昼は	雲で	道を	行くべき	（それは）	道を	あなたがたに–見せるため	夜は	火で
H3119	H6051		H3212		H1870	H7200	H3915	H0784

主は道々あなたがたの先に立って行き、あなたがたが宿営する場所を捜し、夜は火のうちにあり、昼は雲のうちにあって、あなたがたに行くべき道を示された。

לֵאמֹר׃	וַיִּשָּׁבַע	וַיִּקְצֹף	דִּבְרֵיכֶם	קוֹל	אֶת־	יְהוָה	וַיִּשְׁמַע	34
言って	誓われた	怒られた	あなたがたの–言葉の	声を	（を）	主は	聞かれた	
H0559	H7650	H7107	H1697		H0853	H3068	H8085	

主は、あなたがたの言葉を聞いて怒り、誓って言われた、

הָאָרֶץ	אֶת	הַזֶּה	הָרָע	הַדּוֹר	הָאֵלֶּה	בָּאֲנָשִׁים	אִישׁ	יִרְאֶה	אִם־	35
地を	（を）	この	悪い	世代の	この	これらの–人々の–中で	人が	見る–なら	もし	
H0776	H0853	H2088		H1755	H0428	H0376	H0376	H7200		

לַאֲבֹתֵיכֶם׃	לָתֵת	נִשְׁבַּעְתִּי	אֲשֶׁר	הַטּוֹבָה
あなたがたの–先祖に	与えると	誓った	（決して–見ない）	良い
H0001	H5414	H7650		

『この悪い世代の人々のうちには、わたしが、あなたがたの先祖たちに与えると誓ったあの良い地を見る者は、ひとりもないであろう。

אֲשֶׁר	הָאָרֶץ	אֶת־	אֶתֵּן	וְלוֹ־	יִרְאֶנָּה	הוּא	יְפֻנֶּה	בֶּן־	כָּלֵב	זוּלָתִי	36
（それは）	地を	（を）	与える	彼に	見る–だろう	彼は	エフネの	子	カレブは	ただし	
	H0776	H0853	H5414		H7200	H1931	H3312		H3612	H2108	

יְהוָה׃	אַחֲרֵי	מִלֵּא	אֲשֶׁר	יַעַן	וּלְבָנָיו	בָּהּ	דָּרַךְ־
主に	～に	完全に–従った	（彼は）	ゆえに	その–子らに	（その–地を）	踏んだ
H3068		H4390		H3282			H1869

ただエフンネの子カレブだけはそれを見ることができるであろう。彼が踏んだ地を、わたしは彼とその子孫に与えるであろう。彼が全く主に従ったからである』。

37 בִּגְלַלְכֶם יְהוָה הִתְאַנַּף בִּי גַּם־אַתָּה לֹא־תָבֹא
あなたがたの–ゆえに 主は 怒られた 私にも また 入らない
H1558 H3068 H0599 H1571 H0559 H1571 H3808 H0935

שָׁם׃
そこに
H8033

主はまた、あなたがたのゆえに、わたしをも怒って言われた、『おまえもまた、そこにはいることができないであろう。

38 יְהוֹשֻׁעַ בִּן נוּן הָעֹמֵד לְפָנֶיךָ הוּא יָבֹא שָׁמָּה אֹתוֹ
ヨシュアが 子 ヌンの 仕えている–者 あなたの–前に 彼が 入る–だろう そこに 彼を
H3091 H1121 H5126 H5975 H6440 H1931 H0935 H8033 H0853

יִשְׂרָאֵל׃ אֶת־ יַנְחִלֶנָּה הוּא כִּי־ חַזֵּק
イスラエルに （を） 受け–継がせる 彼が なぜなら 強くせよ
H3478 H0853 H5157 H1931 H3588 H2388

おまえに仕えているヌンの子ヨシュアが、そこにはいるであろう。彼を力づけよ。彼はイスラエルにそれを獲させるであろう。

39 וְטַפְּכֶם֙ אֲמַרְתֶּם אֲשֶׁר לָבַז יִהְיֶה
あなたがたの–幼子たちは （彼らを） あなたがたが–言った 獲物に–なると なるだろうと
H2945 H0559 H0834 H0957 H1961

וּבְנֵיכֶם֙ אֲשֶׁר לֹא־ הַיּוֹם֙ יָדְעוּ טוֹב וָרָע הֵמָּה יָבֹאוּ
あなたがたの–子らは （彼らは） ～ない 今日 知らない 善と 悪を 彼らが 入る–だろう
H3117 H3045 H3808 H0834 H1992 H0935

וְהֵם֙ אֶתְּנֶנָּה וְלָהֶם֙ שָׁמָּה יִירָשׁוּהָ׃
彼らが 与える 彼らに そこに 所有する–だろう
H1992 H5414 H8033 H3423

またあなたがたが、かすめられるであろうと言ったあなたがたのおさなごたち、およびその日にまだ善悪をわきまえないあなたがたの子供たちが、そこにはいるであろう。わたしはそれを彼らに与える。彼らはそれを所有とするであろう。

40 וְאַתֶּם֙ פְּנוּ לָכֶם֙ וְסָעוּ הַמִּדְבָּרָה דֶּרֶךְ יַם־ סוּף׃
しかし–あなたがたは 向きを–変え （行け） 出発せよ 荒野へ 道を–経て 海の 紅–（海の）
H6437 H3212 H5265 H4057 H1870 H3220 H5488

あなたがたは身をめぐらし、紅海の道によって、荒野に進んで行きなさい』。

41 וַתַּעֲנוּ֙ וַתֹּאמְרוּ֙ אֵלַ֔י חָטָאנוּ֙ לַיהוָ֔ה אֲנַ֖חְנוּ נַעֲלֶ֑ה
あなたがたは–答えた 言った 私に 罪を–犯しました 主に–対して 私たちが 上って–行き
H6030 H0559 H0413 H2398 H3068 H0587 H5927

וְנִלְחַמְנוּ֙ כְּכֹ֣ל אֲשֶׁר־ צִוָּ֔נוּ יְהוָ֖ה אֱלֹהֵ֑ינוּ וַתַּחְגְּרוּ֙ אִ֣ישׁ אֶת־
戦います すべてに–従い （それは） 命じられた 主が 私たちの–神が 帯びた 各自が （を）
H3605 H0834 H6680 H3068 H0430 H2296 H0376 H0853

כְּלֵ֣י מִלְחַמְתּ֔וֹ וַתָּהִ֖ינוּ לַעֲלֹ֥ת הָהָֽרָה׃
武具を 戦いの 軽く–考えた 上って–行くことを 山地に
H3627 H4421 H1951 H5927 H2022

しかし、あなたがたはわたしに答えて言った、『われわれは主にむかって罪を犯しました。われわれの神、主が命じられたように、われわれは上って行って戦いましょう』。そして、おのおの武器を身に帯びて、かるがるしく山地へ上って行こうとした。

כִּי	תִלָּחֲמוּ	וְלֹא־	תֵעָלוּ	לָא	לָהֶם	אֱמֹר	אֲלֵי	יְהוָה	וַיֹּאמֶר	42
なぜなら	戦うな	～ない	上って–行くな	～ない	彼らに	言え	私に	主は	言われた	
		H3808	H5927	H3808		H0559	H0413	H3068	H0559	

אֹיְבֵיכֶם׃	לִפְנֵי	תִּנָּגְפוּ	וְלֹא	בְּקִרְבְּכֶם	אֵינֶנִּי	
敵の	前で	打ち–負かされるだろう	～ない	あなたがたの–中に	わたしは–いない	
H0341	H6440	H5062	H3808	H7130	H0369	

その時、主はわたしに言われた、『彼らに言いなさい、「あなたがたは上って行ってはならない。また戦ってはならない。わたしはあなたがたのうちにいない。おそらく、あなたがたは敵に撃ち敗られるであろう」』。

וַתָּזִדוּ	יְהוָה	פִּי	אֶת־	וַתַּמְרוּ	שְׁמַעְתֶּם	וְלֹא	אֲלֵיכֶם	וָאֲדַבֵּר		43
高慢にも	主の	命令に	（を）	逆らった	聞かなかった	しかし–ない	あなたがたに	私は–語った		
H2102	H3068	H6310	H0853	H4784	H8085	H3808	H0413	H1696		

הָהָרָה׃	וַתַּעֲלוּ
山地に	上って–行った
H2022	H5927

このようにわたしが告げたのに、あなたがたは聞かないで主の命令にそむき、ほしいままに山地へ上って行ったが、

אֶתְכֶם	וַיִּרְדְּפוּ	לִקְרַאתְכֶם	הַהוּא	בָּהָר	הַיֹּשֵׁב	הָאֱמֹרִי	וַיֵּצֵא			44
あなたがたを	追いかけた	あなたがたを–迎え–撃ち	あの	山に	住んでいる	アモリ人が	出て–来た			
H0853	H7291	H7125	H1931	H2022	H3427	H0567	H3318			

חָרְמָה׃	עַד־	בְּשֵׂעִיר	אֶתְכֶם	וַיַּכּוּ	הַדְּבֹרִים	תַּעֲשֶׂינָה	כַּאֲשֶׁר
ホルマまで	～まで	セイルで	あなたがたを	打ち–負かした	蜂が	する	～の–ように
H2767	H5704		H0853	H3807	H1682		

その山地に住んでいるアモリびとが、あなたがたに向かって出てきて、はちが追うように、あなたがたを追いかけ、セイルで撃ち敗って、ホルマにまで及んだ。

וְלֹא	בְּקֹלְכֶם	יְהוָה	שָׁמַע	וְלֹא־	יְהוָה	לִפְנֵי	וַתִּבְכּוּ	וַתָּשֻׁבוּ		45
～ない	あなたがたの–声を	主は	聞かれなかった	しかし–ない	主の	前で	泣いた	戻って		
H3808		H3068	H8085	H3808	H3068	H6440	H1058	H7725		

אֲלֵיכֶם׃	הֶאֱזִין
あなたがたに	耳を–傾けなかった
H0413	H0238

あなたがたは帰ってきて、主の前で泣いたが、主はあなたがたの声を聞かず、あなたがたに耳を傾けられなかった。

יְשַׁבְתֶּם׃	אֲשֶׁר	כַּיָּמִים	רַבִּים	יָמִים	בְּקָדֵשׁ	וַתֵּשְׁבוּ		46
あなたがたが–留まった	（それは）	日々の–ように	多くの	日々	カデシュに	留まった		
H3427		H3117		H3117	H6946	H3427		

こうしてあなたがたは、日久しくカデシにとどまった。あなたがたのそこにとどまった日数のとおりである。

Chapter 2

דָּבָר	כַּאֲשֶׁר	סוּף	יַם־	דֶּרֶךְ	הַמִּדְבָּרָה	נִסַּע	וַנִּפֶן		1
語られた	～の–通りに	紅（海の）	海の	道を–経て	荒野へ	出発した	私たちは–向きを–変え		
H1696		H5488	H3220	H1870		H5265	H6437		

ס	רַבִּים׃	יָמִים	שֵׂעִיר	הַר־	אֶת־	וַנָּסָב	אֵלַי	יְהוָה
—	多くの	日々	セイルの	山を	（を）	巡った	私に	主が
		H3117		H2022	H0853	H5437	H0413	H3068

それから、われわれは身をめぐらし、主がわたしに告げられたように、紅海の方に向かって荒野に進み入り、日久しくセイル山を行きめぐっていたが、

2 וַיֹּאמֶר יְהוָה אֵלַי לֵאמֹר׃
言われた 主は 私に 言って
H0559 H3068 H0413 H0559

主はわたしに言われた、

3 רַב־לָכֶם סֹב אֶת־הָהָר הַזֶּה פְּנוּ צָפְנָה׃
十分に–長く あなたがたは 巡った （を） 山を この 向きを–変え （行け） 北へ
H6828 H6437 H2088 H2022 H0853 H5437

『あなたがたは既に久しくこの山を行きめぐっているが、身をめぐらして北に進みなさい。

4 וְאֶת־הָעָם צַו לֵאמֹר אַתֶּם עֹבְרִים בִּגְבוּל אֲחֵיכֶם בְּנֵי־עֵשָׂו
そして 民に 命じよ 言って あなたがたは 通り–過ぎる 領土を 兄弟の 子らの エサウの
H0853 H6680 H0559 H5674 H1366 H0251 H6215

הַיֹּשְׁבִים בְּשֵׂעִיר וְיִרְאוּ מִכֶּם וְנִשְׁמַרְתֶּם מְאֹד׃
住んでいる セイルに 彼らは–恐れる あなたがたを 気を–つけよ 十分に
H3427 H3372 H4480 H8104 H3966

おまえはまた民に命じて言え、「あなたがたは、エサウの子孫、すなわちセイルに住んでいるあなたがたの兄弟の領内を通ろうとしている。彼らはあなたがたを恐れるであろう。それゆえ、あなたがたはみずから深く慎み、

5 אַל־תִּתְגָּרוּ בָם כִּי לֹא־אֶתֵּן לָכֶם מֵאַרְצָם עַד
～ない 挑発するな なぜなら 彼らを ～ない 与えない あなたがたに 彼らの–地から ～まで
H0408 H1624 H3588 H0776 H5414 H3808 H0776 H5704

מִדְרַךְ כַּף־רָגֶל כִּי־יְרֻשָּׁה לְעֵשָׂו נָתַתִּי אֶת־הָר שֵׂעִיר׃
踏む–ほどの 足の 裏（ほども） なぜなら 所有地として エサウに 与えた （を） 山を セイルの
H4096 H3709 H7272 H3588 H3425 H6215 H5414 H0853 H2022 H8165

彼らと争ってはならない。彼らの地は、足の裏で踏むほどでも、あなたがたに与えないであろう。わたしがセイル山をエサウに与えて、領地とさせたからである。

6 אָכֹל תִּשְׁבְּרוּ מֵאִתָּם בַּכֶּסֶף וְאָכַלְתֶּם גַּם־מַיִם תִּכְרוּ מֵאִתָּם בַּכֶּסֶף וּשְׁתִיתֶם׃
食べ物を 買え 彼らから 銀で 食べよ また 水も 買え 彼らから 銀で 飲め
H0400 H7666 H0854 H3701 H0398 H1571 H4325 H3738 H0854 H3701 H8354

あなたがたは彼らから金で食物を買って食べ、また金で水を買って飲まなければならない。

7 כִּי יְהוָה אֱלֹהֶיךָ בֵּרַכְךָ בְּכֹל מַעֲשֵׂה יָדֶךָ יָדַע
なぜなら 主が あなたの–神が 祝福された すべての 業に あなたの–手の 知っておられる
H3588 H3068 H0430 H1288 H3605 H4639 H3027 H3045

לֶכְתְּךָ אֶת־הַמִּדְבָּר הַגָּדֹל הַזֶּה זֶה אַרְבָּעִים שָׁנָה יְהוָה אֱלֹהֶיךָ עִמָּךְ
あなたが–歩んだことを （を） 荒野を 大いなる この この 四十 年の間 主が あなたの–神が あなたと–共に
H3212 H0853 H4057 H1419 H2088 H2088 H0705 H8141 H3068 H0430 H5973

לֹא חָסַרְתָּ דָּבָר׃
～ない 欠けなかった 何も
H3808 H2637 H1697

あなたの神、主が、あなたのするすべての事において、あなたを恵み、あなたがこの大いなる荒野を通るのを、見守られたからである。あなたの神、主がこの四十年の間、あなたと共におられたので、あなたは何も乏しいことがなかった」』。

8

הָעֲרָבָה	מִדֶּרֶךְ	בְּשֵׂעִיר	הַיֹּשְׁבִים	עֵשָׂו	בְּנֵי־	אַחֵינוּ	מֵאֵת	וַנַּעֲבֹר
アラバの	道から	セイルに	住んでいる	エサウの	子らの	兄弟の	～から	私たちは–通り–過ぎた
H6160	H1870		H3427	H6215		H0251	H0854	

מוֹאָב׃	מִדְבָּר	דֶּרֶךְ	וַנַּעֲבֹר	וַנֵּפֶן	ס	גִּבְרוֹמֵעֶצְיֹן	מֵאֵילַת
モアブの	荒野の	道を–経て	通り–過ぎた	向きを–変えて	—	エツヨン・ゲベルから	エイラテから
H4124		H1870		H6437		H6100	

こうしてわれわれは、エサウの子孫でセイルに住んでいる兄弟を離れ、アラバの道を避け、エラテとエジオン・ゲベルを離れて進んだ。われわれは転じて、モアブの荒野の方に向かって進んだ。

9

בָּם	תִּתְגָּר	וְאַל־	מוֹאָב	אֶת־	תָּצַר	אֵל־	אֵלַי	יְהוָה	וַיֹּאמֶר	
彼らに	挑発するな	～ない	モアブを	（を）	苦しめるな	～ない	私に	主は	言われた	
	H1624	H0408	H4124	H0853		H0408	H0413	H3068	H0559	

לוֹט	לִבְנֵי־	כִּי	יְרֻשָּׁה	מֵאַרְצוֹ	לְךָ	אֶתֵּן	לֹא־	כִּי	מִלְחָמָה
ロトの	子らに	なぜなら	所有地として	彼の–地を	あなたに	与えない	～ない	なぜなら	戦いを
H3876			H3425	H0776		H5414	H3808		H4421

יְרֻשָּׁה׃	עָר	אֶת־	נָתַתִּי
所有地として	アルを	（を）	与えた
H3425	H6144	H0853	H5414

その時、主はわたしに言われた、『モアブを敵視してはならない。またそれと争い戦ってはならない。彼らの地は、領地としてあなたに与えない。ロトの子孫にアルを与えて、領地とさせたからである。

10

כָּעֲנָקִים׃	וָרָם	וְרַב	וְנָדוֹל	עַם	בָּהּ	יָשְׁבוּ	לְפָנִים	הָאֱמִים
アナク人のように	背が–高く	多く	大きく	民は	そこに	住んでいた	以前は	エミム人が
H6062						H3427	H6440	H0368

（むかし、エミびとがこの所に住んでいた。この民は大いなる民であって、数も多く、アナクびとのように背も高く、

11

לָהֶם	יִקְרְאוּ	וְהַמֹּאָבִים	כָּעֲנָקִים	הֵם	אַף־	יֶחְשְׁבוּ	רְפָאִים	
彼らを	呼んでいた	モアブ人は	アナク人のように	彼らも	また	みなされていた	レファイム人と	
	H7121	H4125	H6062	H1992	H0637	H2803		

אֱמִים׃
エミム人と
H0368

またアナクびとと同じくレパイムであると、みなされていたが、モアブびとは、これをエミびとと呼んでいた。

12

מִפְּנֵיהֶם	וַיַּשְׁמִידוּם	וַיֵּרָשׁוּם	עֵשָׂו	וּבְנֵי	לְפָנִים	הַחֹרִים	יָשְׁבוּ	וּבְשֵׂעִיר	
彼らの–前から	滅ぼし	追い–払い	エサウの	子らが	以前は	ホリ人が	住んでいた	セイルには	
H6440	H8045	H3423	H6215		H6440	H2752	H3427		

אֲשֶׁר־	יְרֻשָּׁתוֹ	לָאָרֶץ	יִשְׂרָאֵל	עָשָׂה	כַּאֲשֶׁר	תַּחְתָּם	וַיֵּשְׁבוּ	
（それは）	その–所有の	地に	イスラエルが	行った	～の–ように	彼らの–代わりに	住んだ	
	H3425	H0776	H3478			H8478	H3427	

לָהֶם׃	יְהוָה	נָתַן
彼らに	主が	与えた
	H3068	H5414

ホリびとも、むかしはセイルに住んでいたが、エサウの子孫がこれを追い払い、これを滅ぼし、彼らに代ってそこに住んだ。主が賜わった所有の地に、イスラエルがおこなったのと同じである。）

13 עַתָּה קֻמוּ וְעִבְרוּ לָכֶם אֶת־נַחַל זָרֶד וַנַּעֲבֹר אֶת־נַחַל זָרֶד׃
今 立ち-上がれ 渡れ （行け） （を） 谷を ゼレデの 私たちは-渡った （を） 谷を ゼレデの
H6258 H6965 H5674 H3605 H0853 H5158 H0853 H2218

あなたがたは、いま、立ちあがってゼレデ川を渡りなさい』。そこでわれわれはゼレデ川を渡った。

14 וְהַיָּמִים אֲשֶׁר־הָלַכְנוּ מִקָּדֵשׁ בַּרְנֵעַ עַד אֲשֶׁר־עָבַרְנוּ אֶת־נַחַל זָרֶד שְׁלֹשִׁים וּשְׁמֹנֶה שָׁנָה עַד־תֹּם כָּל־הַדּוֹר אַנְשֵׁי הַמִּלְחָמָה מִקֶּרֶב כַּאֲשֶׁר נִשְׁבַּע יְהוָה לָהֶם׃
日々は （それは） 歩んだ カデシュ・バルネアから （それは） 渡った （を） 谷を ゼレデの 三十 八 年で ～まで 尽きた すべての 世代が 人々の 戦いの 中から 彼らに 主が 誓われた ～の-通りに 陣営の
H3117 H0834 H1980 H6947 H5704 H0834 H5674 H0853 H2218 H7970 H8083 H8141 H5704 H8552 H3605 H1755 H0376 H4421 H7130 H3068 H7650 H0834 H4264

カデシ・バルネアを出てこのかた、ゼレデ川を渡るまでの間の日は三十八年であって、その世代のいくさびとはみな死に絶えて、宿営のうちにいなくなった。主が彼らに誓われたとおりである。

15 וְגַם יַד־יְהוָה הָיְתָה בָּם לְהֻמָם מִקֶּרֶב הַמַּחֲנֶה עַד־תֻּמָם׃
また 手が 主の あった 彼らに 滅ぼすため 中から 陣営の ～まで 尽きるまで
H1571 H3027 H3068 H1961 H1571 H2000 H7130 H4264 H5704 H8552

まことに主の手が彼らを攻め、宿営のうちから滅ぼし去られたので、彼らはついに死に絶えた。

16 וַיְהִי כַּאֲשֶׁר־תַּמּוּ כָּל־אַנְשֵׁי הַמִּלְחָמָה לָמוּת מִקֶּרֶב הָעָם׃ ס
そして-あった ～のとき 尽きた すべての 人々が 戦いの 死に 中から 民の —
H1961 H3605 H0376 H4421 H4191 H7130 H5971

いくさびとがみな民のうちから死に絶えたとき、

17 וַיְדַבֵּר יְהוָה אֵלַי לֵאמֹר׃
語られた 主は 私に 言って
H1696 H3068 H0413 H0559

主はわたしに言われた、

18 אַתָּה עֹבֵר הַיּוֹם אֶת־גְּבוּל מוֹאָב אֶת־עָר׃
あなたは 通る 今日 （を） 領土を モアブの （を） アルを
H0859 H5674 H3117 H0853 H1366 H4124 H0853 H6144

『おまえは、きょう、モアブの領地アルを通ろうとしている。

19 וְקָרַבְתָּ מוּל בְּנֵי עַמּוֹן אַל־תְּצֻרֵם וְאַל־תִּתְגָּר בָּם כִּי לֹא־אֶתֵּן מֵאֶרֶץ בְּנֵי־עַמּוֹן לְךָ לִירֻשָּׁה כִּי לִבְנֵי־לוֹט נְתַתִּיהָ לִירֻשָּׁה׃
近づく 前に 子らの アンモンの ～ない 苦しめるな ～ない 挑発するな なぜなら 彼らを なぜなら ロトの 子らに 所有地として 与えない 地から 子らの アンモンの あなたに 所有地として 与えた
H7126 H4136 H1121 H5983 H0408 H6887 H0408 H1624 H3588 H1121 H3808 H5414 H0776 H1121 H5983 H3423 H3588 H3876 H1121 H3423 H5414

アンモンの子孫に近づく時、おまえは彼らを敵視してはならない。また争ってはならない。わたしはアンモンの子孫の地を領地として、おまえに与えない。それをロトの子孫に領地として与えたからである。

20

בָּהּ	וַיֵּשְׁבוּ־	רְפָאִים	הֵוּא	אַף־	תֵּחָשֵׁב	רְפָאִים	אֶרֶץ־
そこに	住んで-いた	レファイム人が	それも	また	みなされていた	レファイム人の	地は
	H3427		H1931	H0637	H2803		H0776

זַמְזֻמִּים׃	לָהֶם	יִקְרְאוּ	וְהָעַמֹּנִים	לְפָנִים
ザムズミム人と	彼らを	呼んでいた	アンモン人は	以前は
H2157		H7121	H5984	H6440

（これもまたレパイムの国とみなされた。むかし、レパイムがここに住んでいたからである。しかし、アンモンびとは彼らをザムズミびとと呼んだ。

21

מִפְּנֵיהֶם	יְהוָה	וַיַּשְׁמִידֵם	כָּעֲנָקִים	וָרָם	וְרַב	גָּדוֹל	עַם
彼らの-前から	主に	滅ぼされた	アナク人のように	背が-高く	多く	大きく	民は
H6440	H3068	H8045	H6062				

תַּחְתָּם׃	וַיֵּשְׁבוּ	וַיִּירָשֵׁם
彼らの-代わりに	住んだ	追い-払われた
H8478	H3427	H3423

この民は大いなる民であって数も多く、アナクびとのように背も高かったが、主はアンモンびとの前から、これを滅ぼされ、アンモンびとがこれを追い払って、彼らに代ってそこに住んだ。

22

אֶת־	הִשְׁמִיד	אֲשֶׁר	בְּשֵׂעִיר	הַיֹּשְׁבִים	עֵשָׂו	לִבְנֵי	עָשָׂה	כַּאֲשֶׁר
（を）	滅ぼされた	（主が）	セイルに	住んでいる	エサウの	子らに	なされた	～の-ように
H0853	H8045			H3427	H6215			

הַזֶּה׃	הַיּוֹם	עַד	תַּחְתָּם	וַיֵּשְׁבוּ	וַיִּירָשֵׁם	מִפְּנֵיהֶם	הַחֹרִי	
この	日の	～まで	彼らの-代わりに	住んだ	追い-払い	彼らの-前から	ホリ人を	
H2088	H3117	H5704	H8478	H3427	H3423	H6440	H2752	

この事は、セイルに住んでいるエサウの子孫のためにその前から、ホリびとを滅ぼされたのと同じである。彼らはホリびとを追い払い、これに代って今日までそこに住んでいる。

23

מִכַּפְתֹּור	הַיֹּצְאִים	כַּפְתֹּרִים	עַזָּה	עַד־	בַּחֲצֵרִים	הַיֹּשְׁבִים	וְהָעַוִּים	
カフトルから	出て-来た	カフトル人が	ガザまで	～まで	村々に	住んでいた	アビム人も	
H3731	H3318	H3732	H5804	H5704	H2699	H3427	H5761	

תַּחְתָּם׃	וַיֵּשְׁבוּ	הִשְׁמִידֵם	
彼らの-代わりに	住んだ	滅ぼし	
H8478	H3427	H8045	

またカフトルから出たカフトルびとは、ガザにまで及ぶ村々に住んでいたアビびとを滅ぼして、これに代ってそこに住んでいる。）

24

בְּיָדְךָ	נָתַתִּי	רְאֵה	אַרְנֹן	נַחַל	אֶת־	וְעִבְרוּ	סְעוּ	קוּמוּ
あなたの-手に	わたしは-与えた	見よ	アルノンの	谷を	（を）	渡れ	出発せよ	立ち-上がれ
H3027	H5414	H7200	H0769		H0853		H5265	

רֵשׁ	הָחֵל	אַרְצוֹ	וְאֶת־	הָאֱמֹרִי	חֶשְׁבֹּון	מֶלֶךְ־	סִיחֹן	אֶת־
所有することを	始めよ	その-地を	そして	アモリ人の	ヘシュボンの	王	シホンを	（を）
H3423		H0776	H0853	H0567	H2809	H4428	H5511	H0853

מִלְחָמָה׃	בּוֹ	וְהִתְנַגֵּר	
戦いを	彼に	挑め	
H4421		H1624	

あなたがたは立ちあがり、進んでアルノン川を渡りなさい。わたしはヘシボンの王アモリびとシホンとその国とを、おまえの手に渡した。それを征服し始めよ。彼と争って戦え。

25

הַיּוֹם	הַזֶּה	אָחֵל	תֵּת	פַּחְדְּךָ	וְיִרְאָתְךָ
この–日	（この）	わたしは–始める	置くことを	あなたへの–恐れと	あなたへの–おののきを
H3117	H2088	H2490	H5414	H6343	H3374

עַל־	פְּנֵי	הָעַמִּים	תָּחַת	כָּל־	הַשָּׁמַיִם	אֲשֶׁר	יִשְׁמְעוּן
～の–上に	顔の–上に	諸国の–民の	下に	すべての	天の	（彼らは）	聞く–だろう
H5921	H6440	H5971	H8478	H3605	H8064	H834	H8085

שִׁמְעָתֶךָ	וְרָגְזוּ	וְחָלוּ	מִפָּנֶיךָ׃
あなたの–うわさを	震え	おののく–だろう	あなたの–前で
	H7264		H6440

きょうから、わたしは全天下の民に、おまえをおびえ恐れさせるであろう。彼らはおまえのうわさを聞いて震え、おまえのために苦しむであろう』。

26

וָאֶשְׁלַח	מַלְאָכִים	מִמִּדְבָּר	קְדֵמוֹת	אֶל־	סִיחֹן	מֶלֶךְ	חֶשְׁבּוֹן	דִּבְרֵי
私は–遣わした	使者を	荒野から	ケデモテの	～へ	シホンに	王	ヘシュボンの	言葉を
H7971	H4397	H4057	H6932	H413	H5511	H4428	H2809	H1697

לֵאמֹר׃	שָׁלוֹם
言って	平和の
H0559	H7965

そこでわたしは、ケデモテの荒野から、ヘシボンの王シホンに使者をつかわし、平和の言葉を述べさせた。

27

וּשְׂמֹאול׃	יָמִין	אָסוּר	לֹא	אֵלֵךְ	בַּדֶּרֶךְ	בַּדֶּרֶךְ	בְּאַרְצְךָ	אֶעְבְּרָה
左にも	右にも	それない	～ない	行きます	道だけを	道を	あなたの–地を	通らせて–ください
H8040	H3225	H5493	H3808	H3212	H1870	H1870	H0776	H5674

『あなたの国を通らせてください。わたしは大路をとおっていきます、右にも左にも曲りません。

28

אֹכֶל	בַּכֶּסֶף	תַּשְׁבִּרֵנִי	וְאָכַלְתִּי	וּמַיִם	תִּתֵּן־	בַּכֶּסֶף	וְשָׁתִיתִי	לִי	רַק
食物を	銀で	売って–ください	食べます	水も	与えて	銀で	飲みます	ください	ただ
H0400	H3701	H7666	H0398	H4325	H5414	H3701	H8354		H7535

אֶעְבְּרָה	בְרַגְלָי׃
通らせて–ください	徒歩で
	H7272

金で食物を売ってわたしに食べさせ、金をとって水を与えてわたしに飲ませてください。徒歩で通らせてくださるだけでよいのです。

29

הַיֹּשְׁבִים	וְהַמּוֹאָבִים	בְּשֵׂעִיר	הַיֹּשְׁבִים	עָשָׂו	בְּנֵי	לִי	עָשׂוּ־	כַּאֲשֶׁר
住んでいる	モアブ人も	セイルに	住んでいる	エサウの	子らが	私に	して–くれた	～の–ように
H3427	H4125		H3427	H6215				

יְהוָה	אֲשֶׁר־	הָאָרֶץ	אֶל־	הַיַּרְדֵּן	אֶת־	אֶעֱבֹר	אֲשֶׁר־	עַד	בְּעָר
主が	（それは）	地へ	～へ	ヨルダンを	（を）	渡る	（私が）	～まで	アルに
H3068		H0776	H0413	H3383	H0853	H5674		H5704	H6144

אֱלֹהֵינוּ	נֹתֵן	לָנוּ׃
私たちの–神が	与えようとする	私たちに
H0430	H5414	

セイルに住むエサウの子孫と、アルに住むモアブびとが、わたしにしたようにしてください。そうすれば、わたしはヨルダンを渡って、われわれの神、主が賜わる地に行きます』。

30

כִּי־	בְּוֹ	הַעֲבִרֵנוּ	חֶשְׁבּוֹן	מֶלֶךְ	סִיחֹן	אָבָה	וְלֹא
なぜなら	（彼の–地を）	通らせることを	ヘシュボンの	王	シホンは	望まなかった	しかし–ない
			H2809	H4428	H5511	H0014	H3808

לְמַעַן	לְבָבוֹ	אֶת־	וְאַמֵּץ	רוּחוֹ	אֶת־	אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה	הִקְשָׁה
～の–ために	彼の–心を	（を）	強くされた	彼の–霊を	（を）	あなたの–神が	主が	頑なに–された
H4616	H3824	H0853	H0553	H7307	H0853	H0430	H3068	H7185

ס	הַזֶּה׃	כַּיּוֹם	בְּיָדֶךָ	תִּתּוֹ
—	（この）	この–日の–ように	あなたの–手に	渡すため
	H2088	H3117	H3027	H5414

しかし、ヘシボンの王シホンは、われわれを通らせるのを好まなかった。あなたの神、主が彼をあなたの手に渡すため、その気を強くし、その心をかたくなにされたからである。今日見るとおりである。

31

סִיחֹן	אֶת־	לְפָנֶיךָ	תֵּת	הַחִלֹּתִי	רְאֵה	אֵלַי	יְהוָה	וַיֹּאמֶר
シホンと	（を）	あなたの–前に	与えることを	わたしは–始めた	見よ	私に	主は	言われた
H5511	H0853	H6440	H5414		H7200	H0413	H3068	H0559

אַרְצוֹ׃	אֶת־	לָרֶשֶׁת	רָשׁ	הָחֵל	אַרְצוֹ	וְאֶת־
その–地を	（を）	所有する–ために	所有することを	始めよ	その–地を	そして
H0776	H0853	H3423	H3423		H0776	H0853

時に主はわたしに言われた、『わたしはシホンと、その地とを、おまえに渡し始めた。おまえはそれを征服しはじめ、その地を自分のものとせよ』。

32

יָהְצָה׃	לַמִּלְחָמָה	עַמּוֹ	וְכָל־	הוּא	לְקָרָאתֵנוּ	סִיחֹן	וַיֵּצֵא
ヤハツに	戦いのために	その–民が	すべての	彼と	私たちを–迎え–撃つため	シホンが	出て–来た
H3096	H4421		H3605	H1931	H7125	H5511	H3318

そこでシホンは、われわれを攻めようとして、その民をことごとく率い、出てきてヤハズで戦ったが、

33

(בָּנָיו)	[בנו]	וְאֶת־	אֹתוֹ	נָגַף	לְפָנֵינוּ	אֱלֹהֵינוּ	יְהוָה	וַיִּתְּנֵהוּ
その–子らを	—	そして	彼を	打ち–倒した	私たちの–前に	私たちの–神が	主が	渡された
		H0853	H0853	H5221	H6440	H0430	H3068	H5414

עַמּוֹ׃	כָּל־	וְאֶת־
その–民を	すべての	そして
	H3605	H0853

われわれの神、主が彼を渡されたので、われわれは彼とその子らと、そのすべての民とを撃ち殺した。

34

כָּל־	אֶת־	וַנַּחֲרֵם	הַהוּא	בָּעֵת	עָרָיו	כָּל־	אֶת־	וַנִּלְכֹּד
すべての	（を）	聖絶した	（その）	その–時	その–町々を	すべての	（を）	攻め–取った
H3605	H0853		H1931	H6256		H3605	H0853	H3920

שָׂרִיד׃	הִשְׁאַרְנוּ	לֹא	וְהַטָּף	וְהַנָּשִׁים	מְתִם	עִיר
生き残りを	残さなかった	～ない	子どもたちを	女たちを	男たちを	町を
H8300	H7604	H3808	H2945	H0802	H4962	

その時、われわれは彼のすべての町を取り、そのすべての町の男、女および子供を全く滅ぼして、ひとりをも残さなかった。

35

לָּנוּ׃	אֲשֶׁר	הֶעָרִים	וּשְׁלַל	לָּנוּ	בָּזַזְנוּ	הַבְּהֵמָה	רַק
攻め–取った	（それは）	町々の	戦利品も	自分たちのために	奪い–取った	家畜は	ただし
H3920			H7998		H0962	H0929	H7535

ただその家畜は、われわれが取った町々のぶんどり物と共に、われわれが獲て自分の物とした。

36

בַּנַּחַל	אֲשֶׁר	וְהָעִיר	אַרְנֹן	נַחַל	שְׂפַת־	עַל־	אֲשֶׁר	מֵעֲרֹעֵר
谷の–中の	（それは）	町も	アルノンの	谷の	岸の	～の–上の	（それは）	アロエルから
			H0769		H8193			H6177

אֶת־	מִמֶּנּוּ	שָׂגְבָה	אֲשֶׁר	קִרְיָה	הָיְתָה	לֹא	הַגִּלְעָד	וְעַד־
（を）	私たちよりも	堅固で–あった	（それは）	町は	なかった	～ない	ギルアデまで	～まで
H0853		H7682		H7151	H1961	H3808	H1568	H5704

לְפָנֵינוּ׃	אֱלֹהֵינוּ	יְהוָה	נָתַן	הַכֹּל
私たちの–前に	私たちの–神が	主が	与えられた	すべてを
H6440	H0430	H3068	H5414	H3605

アルノンの谷のほとりにあるアロエルおよび谷の中にある町からギレアデに至るまで、われわれが攻めて取れなかった町は一つもなかった。われわれの神、主がことごとくわれわれに渡されたのである。

37

נַחַל	יַד־	כָּל־	קָרַבְתָּ	לֹא	עַמּוֹן	בְּנֵי־	אֶרֶץ	אֶל־	רַק
谷の	沿岸の	すべての	近づかなかった	～ない	アンモンの	子らの	地には	～に	ただし
	H3027	H3605	H7126	H3808	H5983		H0776	H0413	H7535

אֱלֹהֵינוּ׃	יְהוָה	צִוָּה	אֲשֶׁר־	וְכֹל	הָהָר	וְעָרֵי	יַבֹּק
私たちの–神が	主が	命じられた	（それは）	すべて	山の	町々にも	ヤボクの
H0430	H3068	H6680		H3605	H2022		H2999

ただアンモンの子孫の地、すなわちヤボク川の全岸、および山地の町々、またすべてわれわれの神、主が禁じられた所には近寄らなかった。

Chapter 3

1

הַבָּשָׁן	מֶלֶךְ־	עוֹג	וַיֵּצֵא	הַבָּשָׁן	דֶּרֶךְ	וַנַּעַל	וַנֵּפֶן
バシャンの	王	オグが	出て–来た	バシャンの	道を–経て	上って–行った	私たちは–向きを–変え
H1316	H4428	H5747	H3318	H1316	H1870	H5927	H6437

אֶדְרֶעִי׃	לַמִּלְחָמָה	עַמּוֹ	וְכָל־	הוּא	לְקָרָאתֵנוּ
エドレイで	戦いのために	その–民が	すべての	彼と	私たちを–迎え–撃つため
H0154	H4421		H3605	H1931	H7125

そしてわれわれは身をめぐらして、バシャンの道を上って行ったが、バシャンの王オグは、われわれを迎え撃とうとして、その民をことごとく率い、出てきてエデレイで戦った。

2

וְאֶת־	אֹתוֹ	נָתַתִּי	בְיָדְךָ	כִּי	אֹתוֹ	תִירָא	אַל־	אֵלַי	יְהוָה	וַיֹּאמֶר
そして	彼を	与えた	あなたの–手に	なぜなら	彼を	恐れるな	～ない	私に	主は	言われた
H0853	H0853	H5414	H3027		H0853	H3372	H0408	H0413	H3068	H0559

מֶלֶךְ	לְסִיחֹן	עָשִׂיתָ	כַּאֲשֶׁר	לוֹ	וְעָשִׂיתָ	אַרְצוֹ	וְאֶת־	עַמּוֹ	כָּל־
王	シホンに	した	～の–ように	彼に	せよ	その–地を	そして	その–民を	すべての
H4428	H5511					H0776	H0853		H3605

בְּחֶשְׁבּוֹן׃	יוֹשֵׁב	אֲשֶׁר	הָאֱמֹרִי
ヘシュボンに	住んでいた	（彼は）	アモリ人の
H2809	H3427		H0567

時に主はわたしに言われた、『彼を恐れてはならない。わたしは彼と、そのすべての民と、その地をおまえの手に渡している。おまえはヘシボンに住んでいたアモリびとの王シホンにしたように、彼にするであろう』。

3

הַבָּשָׁן	מֶלֶךְ־	עוֹג	אֶת־	גַּם	בְיָדֵנוּ	אֱלֹהֵינוּ	יְהוָה	וַיִּתֵּן
バシャンの	王	オグを	（を）	また	私たちの–手に	私たちの–神が	主が	与えられた
H1316	H4428	H5747	H0853	H1571	H3027	H0430	H3068	H5414

שָׂרִיד׃	לוֹ	הִשְׁאִיר־	בִּלְתִּי	עַד־	וַנַּכֵּהוּ	עַמּוֹ	כָּל־	וְאֶת־
生き残りを	彼に	残さなかった	～ない	～まで	打ち–倒した	その–民を	すべての	そして
H8300		H7604	H1115	H5704	H5221		H3605	H0853

こうしてわれわれの神、主はバシャンの王オグと、そのすべての民を、われわれの手に渡されたので、われわれはこれを撃ち殺して、ひとりをも残さなかった。

4 וַנַּלְכֹּד אֶת־ כָּל־ עָרָיו בָּעֵת הַהִוא לֹא הָיְתָה קִרְיָה
攻め-取った (を) すべての その-町々を その-時 (その) ～ない なかった 町は
H3920 H0853 H3605 H5892 H1931 H3808 H1961 H7151

אֲשֶׁר לֹא־ הָלָקְחנוּ מֵאִתָּם שִׁשִּׁים עִיר כָּל־ חֶבֶל אַרְגֹּב מַמְלֶכֶת
(それは) ～ない 取らなかった 彼らから 六十の 町を すべての 地域の アルゴブの 王国を
H834 H3808 H3947 H4480 H8346 H5892 H3605 H2256 H0709 H4467

עוֹג בַּבָּשָׁן׃
オグの バシャンの
H5747 H1316

その時、われわれは彼の町々を、ことごとく取った。われわれが取らなかった町は一つもなかった。取った町は六十。アルゴブの全地方であって、バシャンにおけるオグの国である。

5 כָּל־ אֵלֶּה עָרִים בְּצֻרוֹת חוֹמָה גְּבֹהָה דְּלָתַיִם וּבְרִיחַ לְבַד
すべての これらの 町々は 堅固で 城壁が-あり 高く 扉と かんぬきが-あった 別に
H3605 H0428 H5892 H1219 H2346 H1364 H1817 H1280 H0905

מִפְרָזִי הַרְבֵּה מְאֹד׃
町々も 城壁の-ない 非常に 多く-あった
H5892 H6521 H7235 H3966

これらは皆、高い石がきがあり、門があり、貫の木のある堅固な町であった。このほかに石がきのない町は、非常に多かった。

6 וַנַּחֲרֵם כַּאֲשֶׁר עָשִׂינוּ לְסִיחֹן מֶלֶךְ חֶשְׁבּוֹן הַחֲרֵם כָּל־
聖絶した ～の-ように した シホンに 王 ヘシュボンの 聖絶した すべての
H2763 H3651 H6213 H5511 H4428 H2809 H2763 H3605

אוֹתָם מְתִם הַנָּשִׁים וְהַטָּף׃ עִיר
それらを 男たちを 女たちを 子どもたちを 町を
H0853 H4962 H0802 H2945 H5892

われわれはヘシボンの王シホンにしたように、これらを全く滅ぼし、そのすべての町の男、女および子供をことごとく滅ぼした。

7 וְכָל־ הַבְּהֵמָה שָׁלַל וּבִזַּת הֶעָרִים בָּזְזנוּ לָנוּ׃
すべての 家畜と 戦利品は 町々の 奪い-取った 自分たちのために
H3605 H0929 H7998 H5892 H0962

ただし、そのすべての家畜と、その町々からのぶんどり物とは、われわれが獲て自分の物とした。

8 וַנִּקַּח בָּעֵת הַהִוא אֶת־ הָאָרֶץ מִיַּד שְׁנֵי מַלְכֵי הָאֱמֹרִי
私たちは-取った その-時 (その) (を) 地を 手から 二人の 王たちの アモリ人の
H3947 H6256 H1931 H0853 H0776 H3027 H8147 H4428 H0567

אֲשֶׁר בְּעֵבֶר הַיַּרְדֵּן מִנַּחַל אַרְנֹן עַד־ הַר חֶרְמוֹן׃
(それは) 向こう側の ヨルダンの 谷から アルノンの ～まで 山の ヘルモンまで
H834 H5676 H3383 H4480 H5158 H0769 H5704 H2022 H2768

その時われわれはヨルダンの向こう側にいるアモリびとのふたりの王の手から、アルノン川からヘルモン山までの地を取った。

9 צִידֹנִים יְקָרְאוּ לְחֶרְמוֹן שִׂרְיֹן וְהָאֱמֹרִי יְקָרְאוּ־ לוֹ שִׂנִיר׃
シドン人は 呼んでいる ヘルモンを シリオンと アモリ人は 呼んでいる それを セニルと
H6722 H7121 H2768 H8303 H0567 H7121 H1931 H8149

（シドンびとはヘルモンをシリオンと呼び、アモリびとはこれをセニルと呼んでいる。）

10 וְכָל־ עָרֵי֙ הַמִּישֹׁ֔ר וְכָל־ הַגִּלְעָ֖ד וְכָל־ הַבָּשָׁ֑ן עַד־ סַלְכָ֖ה וְאֶדְרֶעִ֥י עָרֵי֙ מַמְלֶכֶ֣ת עוֹג֔ בַּבָּשָׁ֖ן׃

すべての 町々と 高原の すべての ギルアデと すべての バシャンと ～まで サルカと
H3605 H5704 H1316 H3605 H1568 H3605 H4334 H5704 H5548

バシャンの オグの 王国の 町々で エドレイに
H1316 H5747 H4467 H0154

すなわち高原のすべての町、ギレアデの全地、バシャンの全地、サルカおよびエデレイまで、バシャンにあるオグの国の町々をことごとく取った。

11 כִּ֣י רַ֗ק עוֹג֙ מֶ֣לֶךְ הַבָּשָׁ֔ן נִשְׁאַ֖ר מִיֶּ֣תֶר הָרְפָאִ֑ים הִנֵּ֣ה עַרְשׂ֗וֹ עֶרֶשׂ־ בַּרְזֶ֛ל הֲלֹ֥ה הוּא֙ בְּרַבַּ֣ת בְּנֵ֣י עַמּ֔וֹן תֵּ֥שַׁע אַמּ֖וֹת אָרְכָּ֑הּ וְאַרְבַּ֥ע אַמּ֛וֹת רָחְבָּ֖הּ בְּאַמַּ֥ת אִֽישׁ׃

なぜなら ただ オグだけが 王 バシャンの 残っていた 残りの レファイム人の 見よ
H3588 H7535 H5747 H4428 H1316 H7604 H3499 H7497 H2009

キュビトの 九 アンモンの 子らの ラバに–ある （それは） それは 鉄の 寝台で 彼の–寝台は
H0520 H8672 H5983 H1121 H7237 H1931 H3808 H1270 H6210 H6210

人の キュビトで–測って 幅で キュビトの 四 長さで
H0376 H0520 H7341 H0520 H0702 H0753

（バシャンの王オグはレパイムのただひとりの生存者であった。彼の寝台は鉄の寝台であった。これは今なおアンモンびとのラバにあるではないか。これは普通のキュビト尺で、長さ九キュビト、幅四キュビトである。）

12 וְאֶת־ הָאָ֣רֶץ הַזֹּ֗את יָרַ֙שְׁנוּ֙ בָּעֵ֣ת הַהִ֔וא מֵעֲרֹעֵ֖ר אֲשֶׁ֣ר עַל־ נַ֣חַל אַרְנֹ֑ן וַחֲצִ֤י הַר־ הַגִּלְעָד֙ וְעָרָ֔יו נָתַ֖תִּי לָרֽאוּבֵנִ֥י וְלַגָּדִֽי׃

そして 地を この 所有した その–時 （その） アロエルから ～の–上の 谷の
H0853 H0776 H2063 H3423 H6256 H1931 H6177 H5921 H5158

ガド人に ルベン人と 与えた その–町々を ギルアデの 山の 半分と アルノンの
H1425 H7206 H5414 H5892 H1568 H2022 H2677 H0769

その時われわれは、この地を獲た。そしてわたしはアルノン川のほとりのアロエルから始まる地と、ギレアデの山地の半ばと、その町々とは、ルベンびとと、ガドびととに与えた。

13 וְיֶתֶר֙ גִּלְעָ֣ד וְכָל־ הַבָּשָׁ֔ן מַמְלֶ֖כֶת עוֹג֑ נָתַ֙תִּי֙ לַחֲצִ֣י שֵׁ֔בֶט הַמְנַשֶּׁ֖ה כָּל־ חֶ֥בֶל הָאַרְגֹּ֖ב לְכָל־ הַבָּשָׁ֥ן הַה֛וּא יִקָּרֵ֥א אֶֽרֶץ־ רְפָאִֽים׃

残りの ギルアデと すべての バシャンの 王国を オグの 与えた 半部族に 部族の マナセの
H3499 H1568 H3605 H1316 H4467 H5747 H5414 H2677 H7626 H4519

レファイム人の 地と 呼ばれる それは バシャンを すべての アルゴブの 地域の すべての
H7497 H0776 H7121 H1931 H1316 H3605 H0709 H2256 H3605

わたしはまたギレアデの残りの地と、オグの国であったバシャンの全地とは、マナセの半部族に与えた。すなわちアルゴブの全地方である。（そのバシャンの全地はレパイムの国と唱えられる。

14 יָאִ֣יר בֶּן־ מְנַשֶּׁ֗ה לָקַ֙ח֙ אֶת־ כָּל־ חֶ֣בֶל אַרְגֹּ֔ב עַד־ גְּב֖וּל הַגִּשׂוּרִ֣י וְהַמַּעֲכָתִ֑י וַיִּקְרָ֨א אֹתָ֜ם בְּשָׁמ֗וֹ אֶת־ הַבָּשָׁן֙ עַל־ שְׁמ֣וֹת יָאִ֔יר חַוֹּ֖ת עַד־ הַיּ֥וֹם הַזֶּֽה׃

ヤイルは マナセの 子 （を） 取った すべての 地域の アルゴブの ～まで 領土の
H2971 H4519 H1121 H853 H3947 H3605 H2256 H0709 H5704 H1366

ゲシュル人と マアカ人の 及び 彼は–呼んだ それらを ～に–ちなんで 自分の–名で （を） バシャンを
H1651 H4602 H3947 H7121 H853 H5921 H8034 H853 H1316

ハヴォテ・ヤイルと ～まで 日の この
H2334 H5704 H3117 H2088

マナセの子ヤイルは、アルゴブの全地方を取って、ゲシュルびとと、マアカびとの境にまで達し、自分の名にしたがって、バシャンをハボテ・ヤイルと名づけた。この名は今日にまでおよんでいる。）

15

וּלְמָכִיר	נָתַתִּי	אֶת־	הַגִּלְעָד׃	
マキルには	与えた	（を）	ギルアデを	
H4353	H5414	H0853	H1568	

またわたしはマキルにはギレアデを与えた。

16

וְלָרְאוּבֵנִי	וְלַגָּדִי	נָתַתִּי	מִן־	הַגִּלְעָד	וְעַד־	נַחַל	אַרְנֹן	תּוֹךְ
ルベン人と	ガド人には	与えた	～から	ギルアデから	～まで	谷の	アルノンまで	中間の
H7206	H1425	H5414		H1568	H5704		H0769	H8432

הַנַּחַל	וּגְבֶל	וְעַד	יַבֹּק	הַנַּחַל	גְּבוּל	בְּנֵי	עַמּוֹן׃
谷の	境と	～まで	ヤボクの	谷の	境の	子らの	アンモンの
H1366	H5704		H2999		H1366		H5983

ルベンびとと、ガドびとには、ギレアデからアルノン川までを与え、その川のまん中をもって境とし、またアンモンびとの境であるヤボク川にまで達せしめた。

17

וְהָעֲרָבָה	וְהַיַּרְדֵּן	וּגְבֶל	מִכִּנֶּרֶת	וְעַד	יָם	הָעֲרָבָה	יָם	תַּחַת	אַשְׁדֹּת	
アラバと	ヨルダンと	境と	キネレトから	～まで	海の	アラバの	海の	下の	旅の	
H6160	H3383	H1366	H3672	H5704	H3220	H6160	H3220	H8478	H0794	

הַפִּסְגָּה	מִזְרָחָה׃		
ピスガの	東側の		
H6449	H4217		

またヨルダンを境として、キンネレテからアラバの海すなわち塩の海まで、アラバをこれに与えて、東の方ピスガのふもとに達せしめた。

18

נָתַן	אֱלֹהֵיכֶם	יְהוָה	לֵאמֹר	הַהוּא	בָּעֵת	אֶתְכֶם	וָאֲצַו	
与えられた	あなたがたの–神が	主が	言って	（その）	その–時	あなたがたに	私は–命じた	
H5414	H0430	H3068	H0559	H1931	H6256	H0853	H6680	

בְּנֵי־	אֲחֵיכֶם	לִפְנֵי	תַּעַבְרוּ	חֲלוּצִים	לְרִשְׁתָּהּ	הַזֹּאת	הָאָרֶץ	אֶת־	לָכֶם
子らの	兄弟の	前に	渡れ	武装して	所有するために	この	地を	（を）	あなたがたに
	H0251	H6440			H3423	H2063	H0776	H0853	

כָּל־	בְּנֵי־	חָיִל׃		
すべての	息子たちの	勇士の		
H3605		H2428		

その時わたしはあなたがたに命じて言った、『あなたがたの神、主はこの地をあなたがたに与えて、これを獲させられるから、あなたがた勇士はみな武装して、兄弟であるイスラエルの人々に先立って、渡って行かなければならない。

19

מִקְנֵה	כִּי־	יָדַעְתִּי	וּמִקְנֵיכֶם	וְטַפְּכֶם	נְשֵׁיכֶם	רַק		
家畜が	（それは）	私は–知っている	家畜は	幼子たちと	あなたがたの–妻たちと	ただし		
H4735		H3045	H4735	H2945	H0802	H7535		

לָכֶם׃	נָתַתִּי	אֲשֶׁר	בְּעָרֵיכֶם	יֵשְׁבוּ	לָכֶם	רַב	
あなたがたに	与えた	（それは）	あなたがたの–町々に	留まれ	あなたがたには	多いことを	
	H5414			H3427			

ただし、あなたがたの妻と、子供と、家畜とは、わたしが与えた町々にとどまらなければならない。（わたしはあなたがたが多くの家畜を持っているのを知っている。）

20

נַם־ וְיָרְשׁוּ כָכֶם לַאֲחֵיכֶם וַיהוָה יָנִיחַ אֲשֶׁר־ עַד
また 所有する あなたがたの–ように あなたがたの–兄弟を 主が 休ませる （それは） ～まで
H1571 H3423 H0251 H3068 H5117 H5704

בְּעֵבֶר לָהֶם נֹתֵן אֱלֹהֵיכֶם יְהוָה אֲשֶׁר הָאָרֶץ אֶת־ הֵם
向こう側の 彼らに 与えようとする あなたがたの–神が 主が （それは） 地を （を） 彼らも
H5676 H1992 H5414 H0430 H3068 H0776 H0853 H1992

לָכֶם׃ נָתַתִּי אֲשֶׁר לִירֻשָּׁתוֹ אִישׁ וְשַׁבְתֶּם הַיַּרְדֵּן
あなたがたに 与えた （それは） 自分の–所有地に 各自が その時–帰れ ヨルダンの
H5414 H3425 H0376 H7725 H3383

主がすでにあなたがたに与えられたように、あなたがたの兄弟にも安息を与えられて、彼らもまたヨルダンの向こう側で、あなたがたの神、主が与えられる地を獲るようになったならば、あなたがたはおのおのわたしがあなたがたに与えた領地に帰ることができる』。

21

כָּל־ אֶת־ הָרֹאֹת עֵינֶיךָ לֵאמֹר הַהוּא בָּעֵת צִוִּיתִי יְהוֹשֻׁעַ וְאֶת־
すべてを （を） 見ている あなたの–目が 言って （その） その–時 命じた ヨシュアに そして
H3605 H0853 H7200 H0559 H1931 H6256 H6680 H3091 H0853

כֵּן־ הָאֵלֶּה הַמַּלְכִים לִשְׁנֵי אֱלֹהֵיכֶם יְהוָה עָשָׂה אֲשֶׁר יַעֲשֶׂה
同じように これらの 王たちに 二人の あなたがたの–神が 主が なさった （それは） なさる
H0428 H4428 H8147 H0430 H3068

שָׁמָּה׃ עֹבֵר אַתָּה אֲשֶׁר הַמַּמְלָכוֹת לְכָל־ יְהוָה
そこへ 渡る あなたが （それは） 王国に すべての 主は
H8033 H4467 H3605 H3068

その時わたしはヨシュアに命じて言った、『あなたの目はあなたがたの神、主がこのふたりの王に行われたすべてのことを見た。主はまたあなたが渡って行くもろもろの国にも、同じように行われるであろう。

22

לָכֶם׃ הַנִּלְחָם הוּא אֱלֹהֵיכֶם יְהוָה כִּי תִירָאוּם לֹא
あなたがたのために 戦って–くださる 主が あなたがたの–神が 主が なぜなら 恐れるな ～ない
H1931 H0430 H3068 H3372 H3808

ס
—

彼らを恐れてはならない。あなたがたの神、主があなたがたのために戦われるからである』。

23

לֵאמֹר׃ הַהוּא בָּעֵת יְהוָה אֶל־ וָאֶתְחַנַּן
言って （その） その–時 主に ～に 私は–懇願した
H0559 H1931 H6256 H3068 H0413

その時わたしは主に願って言った、

24

אֶת־ עַבְדְּךָ אֶת־ לְהַרְאוֹת הַחִלּוֹתָ אַתָּה יְהוִה אֲדֹנָי
（を） あなたの–僕に （を） 見せることを 始められた あなたは 神よ 主よ
H0853 H5650 H0853 H7200 H3069 H0136

וּבָאָרֶץ בַּשָּׁמַיִם אֵל מִי־ אֲשֶׁר הַחֲזָקָה יָדֶךָ וְאֶת־ גְּדֻלָּתֶךָ
地において 天に 神が 誰が （それは） 力強い あなたの–御手と そして あなたの–偉大さと
H0776 H8064 H0410 H4310 H2389 H3027 H0853 H1433

וּכְגִבוּרֹתֶךָ׃ כְּמַעֲשֶׂיךָ יַעֲשֶׂה אֲשֶׁר־
あなたの–力のように あなたの–わざのように なしうるか （誰が）
H1369 H4639

『主なる神よ、あなたの大いなる事と、あなたの強い手とを、たった今、しもべに示し始められました。天にも地にも、あなたのようなわざをなし、あなたのような力あるわざのできる神が、ほかにありましょうか。

25

הַיַּרְדֵּן	בְּעֵבֶר	אֲשֶׁר	הַטּוֹבָה	הָאָרֶץ	אֶת־	וְאֶרְאֶה	נָּא	אֶעְבְּרָה־
ヨルダンの	向こう側の	（それは）	良い	地を	（を）	見たい	どうか	渡らせて–ください
H3383	H5676			H0776	H0853	H7200	H4994	

וְהַלְּבָנוֹן׃	הַזֶּה	הַטּוֹב	הָהָר
レバノンも	この	良い	山を
H3844	H2088		H2022

どうぞ、わたしにヨルダンを渡って行かせ、その向こう側の良い地、あの良い山地、およびレバノンを見ることのできるようにしてください』。

26

יְהוָה	וַיֹּאמֶר	אֵלַי	שָׁמַע	וְלֹא	לְמַעַנְכֶם	בִּי	יְהוָה	וַיִּתְעַבַּר
主は	言われた	私に	聞かれなかった	～ない	あなたがたの–ゆえに	私に	主は	怒られた
H3068	H0559	H0413	H8085	H3808	H4616		H3068	

הַזֹּאת׃	בַּדָּבָר	עוֹד	אֵלַי	דַּבֵּר	תּוֹסֶף	אַל־	לָךְ	רַב־	אֵלַי
（この）	この–件について	もはや	私に	語ることを	続けるな	～ない	あなたには	十分だ	私に
H2088	H1697	H5750	H0413	H1696	H3254	H0408			H0413

しかし主はあなたがたのゆえにわたしを怒り、わたしに聞かれなかった。そして主はわたしに言われた、『おまえはもはや足りている。この事については、重ねてわたしに言ってはならない。

27

בְּעֵינֶיךָ	וּרְאֵה	וּמִזְרָחָה	וְתֵימָנָה	וְצָפְנָה	יָמָּה	עֵינֶיךָ	וְשָׂא	הַפִּסְגָּה	רֹאשׁ	וְעֲלֵה
あなたの–目で	見よ	東に	南に	北に	西に	目を	上げよ	ピスガの	頂に	上れ
	H7200	H4217	H8486	H6828	H3220		H5375	H6449		H5927

הַזֶּה׃	הַיַּרְדֵּן	אֶת־	תַּעֲבֹר	לֹא	כִּי־
この	ヨルダンを	（を）	渡らない	～ない	なぜなら
H2088	H3383	H0853		H3808	

おまえはピスガの頂に登り、目をあげて西、北、南、東を望み見よ。おまえはこのヨルダンを渡ることができないからである。

28

הָעָם	לִפְנֵי	יַעֲבֹר	הוּא	כִּי־	וְאַמְּצֶהוּ	וְחַזְּקֵהוּ	יְהוֹשֻׁעַ	אֶת־	וְצַו
民の	前に	渡る–だろう	彼が	なぜなら	雄々しくせよ	強くせよ	ヨシュアに	（を）	命じよ
	H6440		H1931		H0553	H2388	H3091	H0853	H6680

תִּרְאֶה׃	אֲשֶׁר	הָאָרֶץ	אֶת־	אוֹתָם	יַנְחִיל	וְהוּא	הַזֶּה
あなたが–見る	（それは）	地を	（を）	彼らに	受け–継がせる	彼が	この
H7200		H0776	H0853	H0853	H5157	H1931	H2088

しかし、おまえはヨシュアに命じ、彼を励まし、彼を強くせよ。彼はこの民に先立って渡って行き、彼らにおまえの見る地を継がせるであろう』。

29

פְּעוֹר׃	בֵּית	מוּל	בַּגָּיְא	וַנֵּשֶׁב
ベト・ペオルの		前の	谷に	私たちは–留まった
H1047		H4136	H1516	H3427

こうしてわれわれはベテペオルに対する谷にとどまっていた。

Chapter 4

1

מְלַמֵּד	אָנֹכִי	אֲשֶׁר	הַמִּשְׁפָּטִים	וְאֶל־	הַחֻקִּים	אֶל־	שְׁמַע	יִשְׂרָאֵל	וְעַתָּה
教えている	私が	（それは）	きまりを	そして	定めを	～を	聞け	イスラエルよ	そして–今
H3925	H0595		H4941	H0413	H2706	H0413	H8085	H3478	H6258

אֲשֶׁר	הָאָרֶץ	אֶת־	וִירִשְׁתֶּם	וּבָאתֶם	תִּחְיוּ	לְמַעַן	לַעֲשׂוֹת	אֶתְכֶם
（それは）	地を	（を）	所有するために	入って	生きて	～の–ために	行うために	あなたがたに
	H0776	H0853	H3423	H0935	H2421	H4616		H0853

לָכֶם׃	נֹתֵן	אֲבֹתֵיכֶם	אֱלֹהֵי	יְהוָה
あなたがたに	与えようとする	あなたがたの–先祖の	神が	主が
	H5414	H0001	H0430	H3068

イスラエルよ、いま、わたしがあなたがたに教える定めと、おきてとを聞いて、これを行いなさい。そうすれば、あなたがたは生きることができ、あなたがたの先祖の神、主が賜わる地にはいって、それを自分のものとすることができよう。

2

תִּגְרְעוּ	וְלֹא	אֶתְכֶם	מְצַוֶּה	אָנֹכִי	אֲשֶׁר	הַדָּבָר	עַל־	תֹּסִפוּ	לֹא
減らすな	～ない	あなたがたに	命じている	私が	（それは）	言葉に	～に	加えるな	～ない
H1639	H3808	H0853	H6680	H0595		H1697		H3254	H3808

מְצַוֶּה	אָנֹכִי	אֲשֶׁר	אֱלֹהֵיכֶם	יְהוָה	מִצְוֹת	אֶת־	לִשְׁמֹר	מִמֶּנּוּ
命じている	私が	（それは）	あなたがたの–神の	主の	戒めを	（を）	守るために	それから
H6680	H0595		H0430	H3068	H4687	H0853	H8104	

אֶתְכֶם׃
あなたがたに
H0853

わたしがあなたがたに命じる言葉に付け加えてはならない。また減らしてはならない。わたしが命じるあなたがたの神、主の命令を守ることのできるためである。

3

כִּי	פְּעוֹר־בְּבַעַל	יְהוָה	עָשָׂה	אֲשֶׁר־	אֶת	הָרֹאֹת	עֵינֵיכֶם
なぜなら	バアル・ペオルで	主が	なさった	（それは）	（を）	見た	あなたがたの–目は
	H1187	H3068			H0853	H7200	

אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה	הִשְׁמִידוֹ	פְּעוֹר־בַּעַל־	אַחֲרֵי	הָלַךְ	אֲשֶׁר	הָאִישׁ	כָּל־
あなたの–神に	主に	滅ぼされた	バアル・ペオルの	後に	従った	（それは）	人で	すべての
H0430	H3068	H8045	H1187		H1980		H0376	H3605

מִקִּרְבֶּךָ׃
あなたの–中から
H7130

あなたがたの目は、主がバアル・ペオルで行われたことを見た。ペオルのバアルに従った人々は、あなたの神、主がことごとく、あなたのうちから滅ぼしつくされたのである。

4

הַיּוֹם׃	כֻּלְּכֶם	חַיִּים	אֱלֹהֵיכֶם	בַּיהוָה	הַדְּבֵקִים	וְאַתֶּם
今日	皆が	生きている	あなたがたの–神に	主に	すがっていた	しかし–あなたがたは
H3117	H3605		H0430	H3068	H1695	

しかし、あなたがたの神、主につき従ったあなたがたは皆、きょう、生きながらえている。

5 וְרְאֵה לִמַּדְתִּי אֶתְכֶם חֻקִּים וּמִשְׁפָּטִים כַּאֲשֶׁר צִוַּנִי יְהוָה אֱלֹהָי
見よ 私は-教えた あなたがたに 定めと きまりを ～の-通りに 命じられた 主が 私の-神が
H7200 H3925 H0853 H2706 H4941 H0776 H3068 H0430

לַעֲשׂוֹת כֵּן בְּקֶרֶב הָאָרֶץ אֲשֶׁר אַתֶּם בָּאִים שָׁמָּה לָרִשְׁתָּהּ׃
行うために その-通りに 中で 地の （それは） あなたがたが 入ろうとする そこに 所有するために
H3423 H8033 H0935 H0776 H7130

わたしはわたしの神、主が命じられたとおりに、定めと、おきてとを、あなたがたに教える。あなたがたがはいって、自分のものとする地において、そのように行うためである。

6 וְשָׁמַרְתֶּם וַעֲשִׂיתֶם כִּי הִוא חָכְמַתְכֶם וּבִינַתְכֶם לְעֵינֵי
守り 行え なぜなら それが あなたがたの-知恵であり あなたがたの-聖明さである 目に
H8104 H6213 H3588 H1931 H2451 H0998

הָעַמִּים אֲשֶׁר יִשְׁמְעוּן אֶת כָּל הַחֻקִּים הָאֵלֶּה וְאָמְרוּ רַק עַם חָכָם
諸国の-民の （彼らは） 聞く-だろう （を） すべての 定めを これらの 言う-だろう まことに 知恵-ある 民は
H5971 H0834 H8085 H0853 H3605 H2706 H0428 H0559 H7535 H2450 H5971

וְנָבוֹן הַגּוֹי הַגָּדוֹל הַזֶּה׃
聡明な 国民だ 大いなる この
H0995 H1471 H1419 H2088

あなたがたは、これを守って行わなければならない。これは、もろもろの民にあなたがたの知恵、また知識を示す事である。彼らは、このもろもろの定めを聞いて、『この大いなる国民は、まことに知恵あり、知識ある民である』と言うであろう。

7 כִּי מִי גּוֹי גָּדוֹל אֲשֶׁר לוֹ אֱלֹהִים קְרֹבִים אֵלָיו
なぜなら どの 国民が 大いなる （それは） 持っているか 神を 近い 自分に
H3588 H4310 H1471 H1419 H0834 H3426 H0430 H7138 H0413

כַּיהוָה אֱלֹהֵינוּ בְּכָל קָרְאֵנוּ אֵלָיו׃
主の-ように 私たちの-神のように すべての 呼び-求めにおいて 主に
H3068 H0430 H3605 H7121 H0413

われわれの神、主は、われわれが呼び求める時、つねにわれわれに近くおられる。いずれの大いなる国民に、このように近くおる神があるであろうか。

8 וּמִי גּוֹי גָּדוֹל אֲשֶׁר לוֹ חֻקִּים וּמִשְׁפָּטִים צַדִּיקִם כְּכֹל
どの 国民が 大いなる （それは） 持っているか 定めと きまりが 正しい すべての-ように
H4310 H1471 H1419 H0834 H3426 H2706 H4941 H6662 H3605

הַתּוֹרָה הַזֹּאת אֲשֶׁר אָנֹכִי נֹתֵן לִפְנֵיכֶם הַיּוֹם׃
律法の この （それは） 私が 置く あなたがたの-前に 今日
H8451 H2063 H0834 H0595 H5414 H6440 H3117

また、いずれの大いなる国民に、きょう、わたしがあなたがたの前に立てるこのすべての律法のような正しい定めと、おきてとがあるであろうか。

9

אֶת־ (を) H0853
תִּשְׁכַּח 忘れるな H7911
פֶּן־ ～ないように H6435
מְאֹד 十分に H3966
נַפְשְׁךָ あなたの–魂を H5315
וּשְׁמֹר 守れ H8104
לְךָ֣ 自分自身に
הִשָּׁמֶר 気を–つけよ H8104
רַק ただし H7535

מִלְּבָבְךָ֔ あなたの–心から H3824
יָסוּרוּ֙ 離れないように H5493
פֶּן־ ～ないように H6435
עֵינֶ֖יךָ あなたの–目が
רָא֑וּ 見た H7200
אֲשֶׁר־ (それは)
הַדְּבָרִ֣ים ことがらを H1697

כֹּ֚ל すべての
יְמֵ֣י 日々の H3117
חַיֶּ֔יךָ あなたの–生涯の
וְהוֹדַעְתָּ֖ם 知らせよ H3045
לְבָנֶ֥יךָ あなたの–子に
וְלִבְנֵ֖י そして–子の
בָּנֶֽיךָ׃ 子に

ただあなたはみずから慎み、またあなた自身をよく守りなさい。そして目に見たことを忘れず、生きながらえている間、それらの事をあなたの心から離してはならない。またそれらのことを、あなたの子孫に知らせなければならない。

10

אֱלַ֗י 私に H0413
יְהוָה֙ 主が H3068
בֶּאֱמֹ֔ר 言われた–とき H0559
בְּחֹרֵ֑ב ホレブで H2722
אֱלֹהֶ֙יךָ֙ あなたの–神の H0430
יְהוָ֣ה 主の H3068
לְפָנַ֔י 前に H6440
עָמַ֥דְתָּ 立った H5975
אֲשֶׁ֨ר (それは)
יוֹם 日を H3117

יִלְמַ֣ד 学ぶために H3925
אֲשֶׁ֔ר (それは)
דְּבָרַ֖י 私の–言葉を H1697
אֶת־ (を) H0853
וְאַשְׁמִיעֵ֑ם 聞かせよう H8085
הָעָ֗ם 民を
אֶת־ (を) H0853
לִ֙י 私に
הַקְהֶל־ 集めよ H6950

הָאֲדָמָ֔ה 地の H0127
עַל־ ～の–上に
חַיִּ֥ים 生きている
הֵ֖ם 彼らが H1992
אֲשֶׁ֣ר (それは)
הַיָּמִ֣ים 日々の間 H3117
כָּל־ すべての H3605
אֹתִ֑י 私を H0853
לְיִרְאָ֔ה 疑れることを H3372

יְלַמְּד֔וּן 教えるために H3925
בְּנֵיהֶ֖ם 子らにも
וְאֶת־ そして H0853

あなたがホレブにおいて、あなたの神、主の前に立った日に、主はわたしに言われた、『民をわたしのもとに集めよ。わたしは彼らにわたしの言葉を聞かせ、地上に生きながらえる間、彼らにわたしを恐れることを学ばせ、またその子供を教えることのできるようにさせよう』。

11

לֵ֔ב 心まで
עַד־ ～まで H5704
בָּאֵ֖שׁ 火で H0784
בֹּעֵ֑ר 燃えていた
וְהָהָ֞ר 山は H2022
הָהָ֣ר 山の H2022
תַּחַ֗ת ふもとに H8478
וַתַּעַמְד֙וּן 立った H5975
וַתִּקְרְב֔וּן あなたがたは–近づき H7126

וַעֲרָפֶֽל׃ 濃い–暗やみの–中で H6205
עָנָ֥ן 雲と H6051
חֹ֖שֶׁךְ 闇と H2822
הַשָּׁמָ֑יִם 天の H8064

そこであなたがたは近づいて、山のふもとに立ったが、山は火で焼けて、その炎は中天に達し、暗黒と雲と濃い雲とがあった。

12

וּתְמוּנָ֔ה 姿は H8544
שֹׁמְעִ֖ים 聞いていた H8085
אַתֶּ֑ם あなたがたは
דְּבָרִ֣ים 言葉の H1697
קֹ֔ול 声を
הָאֵ֖שׁ 火の H0784
מִתּ֣וֹךְ 中から H8432
אֲלֵיכֶ֔ם あなたがたに H0413
יְהוָ֣ה 主は H3068
וַיְדַבֵּ֔ר 語られた H1696

קֹ֖ול׃ 声だけ
זוּלָתִ֣י ただ H2108
רֹ֔אִים 見えなかった H7200
אֵינְכֶ֖ם 見えなかった H0369

時に主は火の中から、あなたがたに語られたが、あなたがたは言葉の声を聞いたけれども、声ばかりで、なんの形も見なかった。

13 וַיַּגֶּד לָכֶם אֵת־ בְּרִיתוֹ אֲשֶׁר צִוָּה אֶתְכֶם לַעֲשׂוֹת
告げられた あなたがたに 命じられた （それは） 契約を （を） あなたがたに 告げられた
H5046 H0853 H6680 H1285 H0853

עֲשֶׂרֶת הַדְּבָרִים וַיִּכְתְּבֵם עַל־ שְׁנֵי לֻחוֹת אֲבָנִים׃
十の 言葉を 書かれた ～の-上に 二枚の 板に 石の
H6235 H1697 H3789 H8147 H3871 H0068

主はその契約を述べて、それを行うように、あなたがたに命じられた。それはすなわち十誡であって、主はそれを二枚の石の板に書きしるされた。

14 וְאֹתִי צִוָּה יְהוָה אֶתְכֶם לְלַמֵּד חֻקִּים וּמִשְׁפָּטִים
私にも 命じられた 主は その-時 （その） 教えるように あなたがたに 定めと きまりを
H0853 H6680 H3068 H6256 H1931 H3925 H0853 H2706 H4941

לַעֲשֹׂתְכֶם אֹתָם בָּאָרֶץ אֲשֶׁר אַתֶּם עֹבְרִים שָׁמָּה לְרִשְׁתָּהּ׃
行うために それらを 地で （それは） あなたがたが 渡る そこに 所有するために
H0853 H0776 H0834 H0853 H5674 H8033 H3423

その時、主はわたしに命じて、あなたがたに定めと、おきてとを教えさせられた。あなたがたが渡って行って自分のものとする地で、行わせるためであった。

15 וְנִשְׁמַרְתֶּם מְאֹד לְנַפְשֹׁתֵיכֶם כִּי לֹא רְאִיתֶם כָּל־ תְּמוּנָה
気を-つけよ 十分に あなたがたの-魂に-ついて なぜなら ～ない 見なかった いかなる 姿も
H8104 H3966 H5315 H3808 H7200 H3605 H8544

בְּיוֹם דִּבֶּר יְהוָה אֲלֵיכֶם בְּחֹרֵב מִתּוֹךְ הָאֵשׁ׃
日に 語られた 主が あなたがたに ホレブで 中から 火の
H3117 H1696 H3068 H0413 H2722 H8432 H0784

それゆえ、あなたがたはみずから深く慎まなければならない。ホレブで主が火の中からあなたがたに語られた日に、あなたがたはなんの形も見なかった。

16 פֶּן־ תַּשְׁחִתוּן וַעֲשִׂיתֶם לָכֶם פֶּסֶל תְּמוּנַת כָּל־ סָמֶל תַּבְנִית זָכָר
～ないように 声られるな 作るな 自分のために 偶像を 姿の いかなる 像も 形を 男の
H6435 H7843 H6213 H6459 H8544 H3605 H5566 H8403 H2145

אוֹ נְקֵבָה׃
または 女の
H5347

それであなたがたは道を誤って、自分のために、どんな形の刻んだ像をも造ってはならない。男または女の像を造ってはならない。

17 תַּבְנִית כָּל־ בְּהֵמָה אֲשֶׁר בָּאָרֶץ תַּבְנִית כָּל־ צִפּוֹר כָּנָף אֲשֶׁר
形を いかなる 獣も （それは） 地にいる 形を いかなる 鳥のも 翼のある （それは）
H8403 H3605 H0929 H0834 H0776 H8403 H3605 H6833 H3671 H0834

תָּעוּף בַּשָּׁמָיִם׃
飛ぶ 天に
H5774 H8064

すなわち地の上におるもろもろの獣の像、空を飛ぶもろもろの鳥の像、

18 תַּבְנִית כָּל־ רֹמֶשׂ בָּאֲדָמָה תַּבְנִית כָּל־ דָּגָה אֲשֶׁר־ בַּמַּיִם
形を いかなる 這う-もののも 地にいる 形を いかなる 魚のも （それは） 水の-中の
H8403 H3605 H7430 H0127 H8403 H3605 H1710 H0834 H4325

מִתָּחַת לָאָרֶץ׃
下の 地の
H8478 H0776

地に這うもろもろの物の像、地の下の水の中におるもろもろの魚の像を造ってはならない。

וְאֶת־ そして H0853 | הַיָּרֵחַ 月と H3394 | וְאֶת־ そして H0853 | הַשֶּׁמֶשׁ 太陽と H8121 | אֶת־ （を） H0853 | וְרָאִיתָ 見るな H7200 | הַשָּׁמַיְמָה 天に H8064 | עֵינֶיךָ 目を | תִּשָּׂא 上げるな H5375 | וּפֶן־ ～ないように H6435 | 19

אֲשֶׁר （それは） | וַעֲבַדְתָּם 仕えるな H5647 | לָהֶם それらに | וְהִשְׁתַּחֲוִיתָ ひれ伏し H7812 | וְנִדַּחְתָּ 引き-入れられて H5080 | הַשָּׁמַיִם 天の H8064 | צְבָא 軍勢を | כָּל すべての H3605 | הַכּוֹכָבִים 星々と H3556

הַשָּׁמָיִם׃ 天の H8064 | כָּל־ すべての H3605 | תָּחַת 下の H8478 | הָעַמִּים 諸国の-民に | לְכֹל すべての H3605 | אֹתָם それらを H0853 | אֱלֹהֶיךָ あなたの-神が H0430 | יְהוָה 主が H3068 | חָלַק 割り-当てられた

あなたはまた目を上げて天を望み、日、月、星すなわちすべて天の万象を見、誘惑されてそれを拝み、それに仕えてはならない。それらのものは、あなたの神、主が全天下の万民に分けられたものである。

מִמִּצְרָיִם エジプトから H4714 | הַבַּרְזֶל 鉄の H1270 | מִכּוּר 炉から H3564 | אֶתְכֶם あなたがたを H0853 | וַיּוֹצֵא 導き-出した H3318 | יְהוָה 主は H3068 | לָקַח 取られた H3947 | וְאֶתְכֶם しかし-あなたがたを H0853 | 20

הַזֶּה׃ （この） H2088 | כַּיּוֹם この-日の-ように H3117 | נַחֲלָה 相続の H5159 | לְעַם 民となるために | לוֹ 主にとって | לִהְיוֹת なるために H1961

しかし、主はあなたがたを取って、鉄の炉すなわちエジプトから導き出し、自分の所有の民とされた。きょう、見るとおりである。

אֶת־ （を） H0853 | עָבְרִי 渡らないと | לְבִלְתִּי ～ないと H1115 | וַיִּשָּׁבַע 誓われた H7650 | דִּבְרֵיכֶם あなたがたの-言葉の H1697 | עַל־ ～の-ゆえに | בִּי 私に | הִתְאַנַּף־ 怒られた H0599 | וַיהוָה 主は H3068 | 21

אֱלֹהֶיךָ あなたの-神が H0430 | יְהוָה 主が H3068 | אֲשֶׁר （それは） | הַטּוֹבָה 良い | הָאָרֶץ 地に H0776 | אֶל־ ～に H0413 | בֹּא 入らないと H0935 | וּלְבִלְתִּי־ ～ないと H1115 | הַיַּרְדֵּן ヨルダンを H3383

נַחֲלָה׃ 相続地として H5159 | לְךָ あなたに | נֹתֵן 与えようとする H5414

ところで主はあなたがたのゆえに、わたしを怒り、わたしがヨルダンを渡って行くことができないことと、あなたの神、主が嗣業としてあなたに賜わる良い地にはいることができないこととを誓われた。

הַיַּרְדֵּן ヨルダンを H3383 | אֶת־ （を） H0853 | עֹבֵר 渡ることが | אֵינֶנִּי 私は-ない H0369 | הַזֹּאת この H2063 | בָּאָרֶץ 地で H0776 | מֵת 死ぬ H4191 | אָנֹכִי 私は H0595 | כִּי なぜなら | 22

הַזֹּאת׃ この H2063 | הַטּוֹבָה 良い | הָאָרֶץ 地を H0776 | אֶת־ （を） H0853 | וְיִרְשְׁתֶּם 所有する H3423 | עֹבְרִים 渡る | וְאַתֶּם しかし-あなたがたは

わたしはこの地で死ぬ。ヨルダンを渡って行くことはできない。しかしあなたがたは渡って行って、あの良い地を獲るであろう。

23

הִשָּׁמְרוּ	לָכֶם	פֶּן־	תִּשְׁכְּחוּ	אֶת־	בְּרִית	יְהוָה	אֱלֹהֵיכֶם
気を-つけよ	自分たちに	～ないように	忘れるな	（を）	契約を	主の	あなたがたの-神の
H8104		H6435	H7911	H0853	H1285	H3068	H0430

אֲשֶׁר	כָּרַת	עִמָּכֶם	וַעֲשִׂיתֶם	לָכֶם	פֶּסֶל	תְּמוּנַת	כֹּל
（それは）	結んだ	あなたがたと	作るな	自分のために	偶像を	姿の	いかなる-ものも
	H3772				H6459	H8544	H3605

אֲשֶׁר	צִוְּךָ	יְהוָה	אֱלֹהֶיךָ׃
（それは）	命じられた	主が	あなたの-神が
	H6680	H3068	H0430

あなたがたは慎み、あなたがたの神、主があなたがたと結ばれた契約を忘れて、あなたの神、主が禁じられたどんな形の刻んだ像をも造ってはならない。

24

פ	קַנָּא׃	אֵל	הוּא	אֹכְלָה	אֵשׁ	אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה	כִּי
—	煩る	神である	（火である）	焼き-尽くす	火である	あなたの-神は	主は	なぜなら
	H7067	H0410	H1931	H0398	H0784	H0430	H3068	

あなたの神、主は焼きつくす火、ねたむ神である。

25

וַעֲשִׂיתֶם	וְהִשְׁחַתֶּם	בָּאָרֶץ	וְנוֹשַׁנְתֶּם	בָּנִים	וּבְנֵי	בָּנִים	תּוֹלִיד	כִּי־
作るなら	声られるなら	地に	久しく-住み	子らを	そして-子の	子らを	生むなら	もし
	H7843	H0776	H3462				H3205	

לְהַכְעִיסוֹ׃	אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה־	בְּעֵינֵי	הָרַע	וַעֲשִׂיתֶם	כֹּל	תְּמוּנַת	פֶּסֶל
怒らせるなら	あなたの-神の	主の	目に	悪を	行うなら	いかなる-ものも	姿の	偶像を
H3707	H0430	H3068				H3605	H8544	H6459

あなたがたが子を生み、孫を得、長くその地におるうちに、道を誤って、すべて何かの形に刻んだ像を造り、あなたの神、主の目の前に悪をなして、その憤りを引き起すことがあれば、

26

אָבֹד	כִּי־	הָאָרֶץ	וְאֶת־	הַשָּׁמַיִם	אֶת־	הַיּוֹם	בָּכֶם	הַעִידֹתִי
完全に	必ず	地を-証人に	そして	天と	（を）	今日	あなたがたに-対して	私は-呼ぶ
H0006		H0776	H0853	H8064	H0853	H3117		

שָׁמָּה	הַיַּרְדֵּן	אֶת־	עֹבְרִים	אַתֶּם	אֲשֶׁר	הָאָרֶץ	מֵעַל	מַהֵר	תֹּאבְדוּן
そこに	ヨルダンを	（を）	渡る	あなたがたが	（それは）	地から	～から	たちまちに	滅びる
H8033	H3383	H0853				H0776			H0006

תִּשָּׁמְדוּן׃	הִשָּׁמֵד	כִּי	עָלֶיהָ	יָמִים	תַּאֲרִיכֻן	לֹא־	לְרִשְׁתָּהּ
滅ぼされる	完全に	必ず	その-上に	日々が	長く-ない	～ない	所有するために
H8045	H8045			H3117	H0748	H3808	H3423

わたしは、きょう、天と地を呼んであなたがたに対してあかしとする。あなたがたはヨルダンを渡って行って獲る地から、たちまち全滅するであろう。あなたがたはその所で長く命を保つことができず、全く滅ぼされるであろう。

27

בַּגּוֹיִם	מִסְפָּר	מְתֵי	וְנִשְׁאַרְתֶּם	בָּעַמִּים	אֶתְכֶם	יְהוָה	וְהֵפִיץ
諸国の-中で	数だけ	わずかな	残る	諸国の-民の-中に	あなたがたを	主が	散らされる
	H4557	H4962	H7604		H0853	H3068	

שָׁמָּה׃	אֶתְכֶם	יְהוָה	יְנַהֵג	אֲשֶׁר
そこへ	あなたがたを	主が	導かれる	（そこに）
H8033	H0853	H3068		

主はあなたがたを国々に散らされるであろう。そして主があなたがたを追いやられる国民のうちに、あなたがたの残る者の数は少ないであろう。

28

יִרְאוּן	לֹא־	אֲשֶׁר	וָאֶבֶן	עֵץ	אָדָם	יְדֵי	מַעֲשֵׂה	אֱלֹהִים	שָׁם	וַעֲבַדְתֶּם־
見えない	～ない	（それらは）	石で	木と	人の	手の	業である	神々に	そこで	仕える
H7200	H3808		H0068	H6086	H0120	H3027	H4639	H0430	H8033	H5647

יְרִיחֵן׃	וְלֹא	יֹאכְלוּן	וְלֹא	יִשְׁמְעוּן	וְלֹא
嗅がない	～ない	食べない	～ない	聞こえない	～ない
H7306	H3808	H0398	H3808	H8085	H3808

その所であなたがたは人が手で作った、見ることも、聞くことも、食べることも、かぐこともない木や石の神々に仕えるであろう。

29

תִּדְרְשֶׁנּוּ	כִּי	וּמָצָאתָ	אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה	אֶת־	מִשָּׁם	וּבִקַּשְׁתָּם	
尋ねるなら	それは	見つける	あなたの–神を	主を	（を）	そこから	そこで–求めるなら	
H1875		H4672	H0430	H3068	H0853	H8033	H1245	

נַפְשֶׁךָ׃	וּבְכָל־	לְבָבְךָ	בְּכָל־
魂で	すべての	心で	すべての
H5315	H3605	H3824	H3605

しかし、その所からあなたの神、主を求め、もし心をつくし、精神をつくして、主を求めるならば、あなたは主に会うであろう。

30

הַיָּמִים	בְּאַחֲרִית	הָאֵלֶּה	הַדְּבָרִים	כָּל	וּמְצָאוּךָ	לְךָ	בַּצַּר	
日々に	終わりの	これらの	ことがらが	すべての	見いだすなら	あなたに	苦しい–とき	
H3117	H0319	H0428	H1697	H3605	H4672			

בְּקֹלוֹ׃	וְשָׁמַעְתָּ	אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה	עַד־	וְשַׁבְתָּ	
その–声に	聞くなら	あなたの–神に	主に	～に	立ち–帰るなら	
	H8085	H0430	H3068	H5704	H7725	

後の日になって、あなたがなやみにあい、これらのすべての事が、あなたに臨むとき、もしあなたの神、主に立ち帰ってその声に聞きしたがうならば、

31

יַשְׁחִיתֶךָ	וְלֹא	יַרְפֶּךָ	לֹא	אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה	רַחוּם	אֵל	כִּי	
滅ぼさない	～ない	見捨てない	～ない	あなたの–神は	主は	あわれみ–深い	神は	なぜなら	
H7843	H3808	H7503	H3808	H0430	H3068	H7349	H0410		

לָהֶם׃	נִשְׁבַּע	אֲשֶׁר	אֲבֹתֶיךָ	בְּרִית	אֶת־	יִשְׁכַּח	וְלֹא
彼らに	誓われた	（それは）	あなたの–先祖の	契約を	（を）	忘れない	～ない
	H7650		H0001	H1285	H0853	H7911	H3808

あなたの神、主はいつくしみの深い神であるから、あなたを捨てず、あなたを滅ぼさず、またあなたの先祖に誓った契約を忘れられないであろう。

32

לְמִן־	לְפָנֶיךָ	הָיוּ	אֲשֶׁר־	רִאשֹׁנִים	לְיָמִים	נָא	שְׁאַל־	כִּי	
～から	あなたの–前に	あった	（それは）	昔の	日々を	どうか	尋ねて–みよ	尋ねて–みよ	
	H6440	H1961		H7223	H3117	H4994	H7592		

הַשָּׁמַיִם	וּלְמִקְצֵה	הָאָרֶץ	עַל־	אָדָם	וֵאלֹהִים	בָּרָא	אֲשֶׁר	הַיּוֹם
天の	果てから–果てまで	地の	～の–上に	人を	神が	創造された	（それは）	日から
H8064		H0776		H0120	H0430			H3117

הֲנִשְׁמַע	אוֹ	הַזֹּאת	הַגְּדוֹלָה	כַּדָּבָר	הֲנִהְיָה	הַשָּׁמַיִם	קְצֵה	וְעַד־
聞かれたか	または	この	大いなる	ことがらの–ような	あったか	天の	果てまで	～まで
H8085		H2088		H1697	H1961	H8064		H5704

כָּמֹהוּ׃
そのようなことが
H3644

試みにあなたの前に過ぎ去った日について問え。神が地上に人を造られた日からこのかた、天のこの端から、かの端までに、かつてこのように大いなる事があったであろうか。このようなことを聞いたことがあったであろうか。

33 הֲשָׁמַע עָם קוֹל אֱלֹהִים מְדַבֶּר מִתּוֹךְ־הָאֵשׁ כַּאֲשֶׁר־אַתָּה שָׁמַעְתָּ וַיָּחִי׃
聞いたか 民が 声を 神の 語る 中から 火の ～の–ように あなたが 聞いた 生きていたか
H8085 H5971 H6963 H0430 H1696 H8432 H0784 H0834 H0859 H8085 H2421

火の中から語られる神の声をあなたが聞いたように、聞いてなお生きていた民がかつてあったであろうか。

34 אוֹ הֲנִסָּה אֱלֹהִים לָבוֹא לָקַחַת לוֹ גּוֹי מִקֶּרֶב גּוֹי בְּמַסֹּת
または 試みたか 神が 来て 取ることを 自分のために 国民を 中から 国民の 試みと
H0176 H5254 H0430 H0935 H3947 H0000 H5971 H7130 H1471 H4531

בְּאֹתֹת וּבְמוֹפְתִים וּבְמִלְחָמָה וּבְיָד חֲזָקָה וּבִזְרוֹעַ נְטוּיָה וּבְמוֹרָאִים
しるしと 不思議と 戦いと 強い–手と 力強い 伸ばした–腕と 伸ばされた 恐ろしい–業と
H0226 H4159 H4421 H3027 H2389 H2220 H5186 H4172

כְּכֹל אֲשֶׁר־עָשָׂה לָכֶם יְהוָה אֱלֹהֵיכֶם בְּמִצְרַיִם לְעֵינֶיךָ׃
すべての–ように （それは） なされた あなたがたのために 主が あなたがたの–神が エジプトで あなたの–目の–前で
H3605 H0834 H6213 H0000 H3068 H0430 H4714 H5869

あるいはまた、あなたがたの神、主がエジプトにおいて、あなたがたの目の前に、あなたがたのためにもろもろの事をなされたように、試みと、しるしと、不思議と、戦いと、強い手と、伸ばした腕と、大いなる恐るべき事とをもって臨み、一つの国民を他の国民のうちから引き出して、自分の民とされた神が、かつてあったであろうか。

35 אַתָּה הָרְאֵתָ לָדַעַת כִּי יְהוָה הוּא הָאֱלֹהִים אֵין עוֹד מִלְבַדּוֹ׃
あなたは 見せられた 知るために （それは） 主が 主こそ 神であることを いない 他に 主のほかに
H0859 H7200 H3045 H0834 H3068 H1931 H0430 H0369 H5750 H0905

あなたにこの事を示したのは、主こそ神であって、ほかに神のないことを知らせるためであった。

36 מִן־הַשָּׁמַיִם הִשְׁמִיעֲךָ אֶת־קֹלוֹ לְיַסְּרֶךָּ וְעַל־הָאָרֶץ הֶרְאֲךָ אִשּׁוֹ הַגְּדוֹלָה וּדְבָרָיו שָׁמַעְתָּ מִתּוֹךְ הָאֵשׁ׃
～から 天から 聞かせられた （を） 御声を 戒めるために そして–～の–上で 見せられた 御火を 大いなる 御言葉を 聞いた 中から 火の
H4480 H8064 H8085 H0853 H6963 H3256 H5921 H0776 H7200 H0784 H1419 H1697 H8085 H8432 H0784

あなたを訓練するために、主は天からその声を聞かせ、地上では、またその大いなる火を示された。あなたはその言葉が火の中から出るのを聞いた。

37 וְתַחַת כִּי אָהַב אֶת־אֲבֹתֶיךָ וַיִּבְחַר בְּזַרְעוֹ אַחֲרָיו וַיּוֹצִאֲךָ בְּפָנָיו בְּכֹחוֹ הַגָּדֹל מִמִּצְרָיִם׃
その–ゆえに （それは） 愛された （を） あなたの–先祖を 選ばれた その–子孫を 彼らの–後の 導き–出された 御前で 御力で 大いなる エジプトから
H8478 H3588 H0157 H0853 H0001 H0977 H2233 H0310 H3318 H6440 H3581 H1419 H4714

主はあなたの先祖たちを愛されたので、その後の子孫を選び、大いなる力をもって、みずからあなたをエジプトから導き出し、

38

לְהוֹרִישׁ גּוֹיִם גְּדֹלִים וַעֲצֻמִים מִמְּךָ מִפָּנֶיךָ לַהֲבִיאֲךָ
追い-払うために 国々を 大きく 強い あなたよりも あなたの-前から 導き-入れるために
H3423 H1471 H6099 H4480 H6440 H0935

לָתֶת־ לְךָ אֶת־ אַרְצָם לַנַּחֲלָה כַּיּוֹם הַזֶּה׃
与えるために あなたに （を） 彼らの-地を 相続地として この-日の-ように （この）
H5414 H0853 H0776 H5159 H3117 H2088

あなたよりも大きく、かつ強いもろもろの国民を、あなたの前から追い払い、あなたをその地に導き入れて、これを嗣業としてあなたに与えようとされること、今日見るとおりである。

39

וְיָדַעְתָּ הַיּוֹם וַהֲשֵׁבֹתָ אֶל־ לְבָבֶךָ כִּי יְהוָה הוּא הָאֱלֹהִים
知り 今日 心に-刻め ～に あなたの-心に （それは） 主こそ 神であることを
H3045 H3117 H7725 H0413 H3824 H3068 H1931 H0430

בַּשָּׁמַיִם מִמַּעַל וְעַל־ הָאָרֶץ מִתָּחַת אֵין עוֹד׃
天に 上に そして-～の-上に 地の 下に いない 他に
H8064 H4605 H0776 H8478 H0369 H5750

それゆえ、あなたは、きょう知って、心にとめなければならない。上は天、下は地において、主こそ神にいまし、ほかに神のないことを。

40

וְשָׁמַרְתָּ אֶת־ חֻקָּיו וְאֶת־ מִצְוֹתָיו אֲשֶׁר אָנֹכִי מְצַוְּךָ הַיּוֹם אֲשֶׁר
守れ （を） 定めを そして 戒めを （それは） 私が 命じている 今日 （それは）
H8104 H0853 H2706 H0853 H4687 H0595 H6680 H3117

לְךָ וּלְבָנֶיךָ אַחֲרֶיךָ וּלְמַעַן תַּאֲרִיךְ יָמִים
良く-なるために あなたに あなたの-子にも あなたの-後に ～の-ために 長く-するために 日々を
H3190 H3117 H4616 H0748 H3117

עַל־ הָאֲדָמָה אֲשֶׁר יְהוָה אֱלֹהֶיךָ נֹתֵן לְךָ כָּל־ הַיָּמִים׃
～の-上に 地の （それは） 主が あなたの-神が 与えようとする あなたに すべての 日々の間
H5921 H0127 H0834 H3068 H0430 H5414 H0853 H3605 H3117

פ
—

あなたは、きょう、わたしが命じる主の定めと命令とを守らなければならない。そうすれば、あなたとあなたの後の子孫はさいわいを得、あなたの神、主が永久にあなたに賜わる地において、長く命を保つことができるであろう」。

41

אָז יַבְדִּיל מֹשֶׁה שָׁלֹשׁ עָרִים בְּעֵבֶר הַיַּרְדֵּן מִזְרְחָה שָׁמֶשׁ׃
その時 別ち-置いた モーセは 三つの 町を 向こう側に ヨルダンの 日の-昇る-方に 太陽の
H0227 H0914 H4872 H7969 H5892 H5676 H3383 H4217 H8121

42

לָנֻס שָׁמָּה רוֹצֵחַ אֲשֶׁר יִרְצַח אֶת־ רֵעֵהוּ בִּבְלִי־ דַעַת
逃れるために そこへ 殺した-者が （それは） 殺した （を） 隣人を 知らずに -知らずに
H5127 H8033 H7523 H0834 H7523 H0853 H7453 H1097 H1847

וְהוּא לֹא־ שֹׂנֵא לוֹ מִתְּמוֹל שִׁלְשֹׁם וְנָס אֶל־ אַחַת מִן־
彼が ～ない 憎んでいなかった 彼を 以前から 以前から 逃れるなら ～に 一つの ～から
H1931 H3808 H8130 H0369 H8543 H8032 H5127 H0413 H0259

וְחָי׃ הָאֵל הֶעָרִים
生きる これらの 町の
H2425 H0411 H5892

過去の恨みによるのではなく、あやまって隣人を殺した者をそこにのがれさせ、その町の一つにのがれて、命を全うさせるためであった。

43 בַּגִּלְעָד רָאמֹת וְאֶת־ לָרֻאובֵנִי הַמִּישֹׁר בְּאֶרֶץ בַּמִּדְבָּר בָּצֶר אֶת־
ギルアデの ラモテを そして ルベン人のために 高原の 地の 荒野の ベツェルを （それは）
H1568 H7216 H0853 H7206 H4334 H0776 H1221 H0853

וְאֶת־ לַגָּדִי הַגֹּלָן בַּבָּשָׁן לַמְנַשִּׁי׃
そして ガド人のために ゴランを バシャンの マナセ人のために
H0853 H1425 H1474 H1316 H4520

すなわちルベンびとのためには荒野の中の高地にあるベゼルを、ガドびとのためにはギレアデのラモテを、マナセびとのためにはバシャンのゴランを定めた。

44 וְזֹאת הַתּוֹרָה אֲשֶׁר־ שָׂם מֹשֶׁה לִפְנֵי בְּנֵי יִשְׂרָאֵל׃
これが 律法である （それは） 置いた モーセが 前に 子らの イスラエルの
H2063 H8451 H7760 H4872 H6440 H1121 H3478

モーセがイスラエルの人々の前に示した律法はこれである。

45 אֵלֶּה הָעֵדֹת וְהַחֻקִּים וְהַמִּשְׁפָּטִים אֲשֶׁר דִּבֶּר מֹשֶׁה אֶל־ בְּנֵי
これらは 証しと 定めと きまりである （それは） 語った モーセが ～に 子らに
H0428 H5715 H2706 H4941 H1696 H4872 H0413 H1121

בְּצֵאתָם מִמִּצְרָיִם׃ יִשְׂרָאֵל
出た-とき エジプトから イスラエルの
H3318 H4714 H3478

イスラエルの人々がエジプトから出たとき、モーセが彼らに述べたあかしと、定めと、おきてとはこれである。

46 בְּעֵבֶר הַיַּרְדֵּן בַּגַּיְא מוּל בֵּית פְּעוֹר בְּאֶרֶץ סִיחֹן מֶלֶךְ הָאֱמֹרִי
向こう側で ヨルダンの 谷で 前の ベト・ペオルの 地で シホンの 王 アモリ人の
H5676 H3383 H1516 H4136 H1047 H0776 H5511 H4428 H0567

אֲשֶׁר יוֹשֵׁב בְּחֶשְׁבּוֹן אֲשֶׁר הִכָּה מֹשֶׁה וּבְנֵי יִשְׂרָאֵל
（彼は） 住んでいた ヘシュボンに （彼を） 打ち-倒した モーセと 子らが イスラエルの
H3427 H2809 H5221 H4872 H1121 H3478

בְּצֵאתָם מִמִּצְרָיִם׃
出た-とき エジプトから
H3318 H4714

すなわちヨルダンの向こう側、アモリびとの王シホンの国のベテペオルに対する谷においてこれを述べた。シホンはヘシボンに住んでいたが、モーセとイスラエルの人々が、エジプトを出てきた時、これを撃ち敗って、

47 וַיִּירְשׁוּ אֶת־ אַרְצוֹ וְאֶת־ אֶרֶץ עוֹג מֶלֶךְ־ שְׁנֵי מַלְכֵי הָאֱמֹרִי
所有した （を） その-地を そして 地を オグの 王 二人の 王たちの アモリ人の
H3423 H0853 H0776 H0853 H5747 H4428 H8147 H4428 H0567

אֲשֶׁר בְּעֵבֶר הַיַּרְדֵּן מִזְרַח שָׁמֶשׁ׃
（彼らは） 向こう側の ヨルダンの 日の-昇る-方の 太陽の
H0834 H5676 H3383 H4217 H8121

その国を獲、またバシャンの王オグの国を獲た。このふたりはアモリびとの王であって、ヨルダンの向こう側、東の方におった。

48 מֵעֲרֹעֵר אֲשֶׁר עַל־ שְׂפַת נַחַל אַרְנֹן וְעַד־ הַר שִׂיאֹן
アロエルから （それは） ～の-上の 岸の 谷の アルノンの ～まで 山の シオンまで
H6177 H0834 H5921 H8193 H5158 H0769 H5704 H2022 H7865

הוּא חֶרְמוֹן׃
それは ヘルモンである
H1931 H2768

彼らの獲た地はアルノン川のほとりにあるアロエルからシリオン山すなわちヘルモンに及び、

אַשְׁדֹּת	תַּחַת	הָעַרָבָה	יָם	וְעַד	מִזְרָחָה	הַיַּרְדֵּן	עֵבֶר	הָעַרָבָה	כָּל־	49
旅の	下の	アラバの	海の	～まで	東側と	ヨルダンの	向こう側の	アラバと	すべての	
H0794	H8478	H6160	H3220	H5704	H4217	H3383	H5676	H6160	H3605	

פ	הַפִּסְגָּה׃
—	ピスガの
	H6449

ヨルダンの東側のアラバの全部をかねて、アラバの海に達し、ピスガのふもとに及んだ。

Chapter 5

שְׁמַע	אֲלֵהֶם	וַיֹּאמֶר	יִשְׂרָאֵל	כָּל־	אֶל־	מֹשֶׁה	וַיִּקְרָא	1
聞け	彼らに	そして–言った	イスラエルを	すべての	に	モーセは	そして–呼んだ	
H8085	H0413	H0559	H3478	H3605	H0413	H4872	H7121	

בְּאָזְנֵיכֶם	דֹּבֵר	אָנֹכִי	אֲשֶׁר	הַמִּשְׁפָּטִים	וְאֶת־	הַחֻקִּים	אֶת־	יִשְׂרָאֵל
あなたがたの–耳に	語る	わたしが	それは	定めを	そして（を）	掟と	（を）	イスラエルよ
H0241	H1696	H0595		H4941	H0853	H2706	H0853	H3478

לַעֲשֹׂתָם׃	וּשְׁמַרְתֶּם	אֹתָם	וּלְמַדְתֶּם	הַיּוֹם
行いなさい	そして–守り	それらを	そして–学び	今日
	H8104	H0853	H3925	H3117

さてモーセはイスラエルのすべての人を召し寄せて言った、「イスラエルよ、きょう、わたしがあなたがたの耳に語る定めと、おきてを聞き、これを学び、これを守って行え。

בְּחֹרֵב׃	בְּרִית	עִמָּנוּ	כָּרַת	אֱלֹהֵינוּ	יְהוָה	2
ホレブで	契約を	我々と	結ばれた	我々の–神は	主は	
H2722	H1285		H3772	H0430	H3068	

われわれの神、主はホレブで、われわれと契約を結ばれた。

כִּי	הַזֹּאת	הַבְּרִית	אֶת־	יְהוָה	כָּרַת	אֲבֹתֵינוּ	אֶת־	לֹא		3
むしろ	この	この–契約を	（を）	主は	結ばれた	我々の–先祖たちと	（と）	ではなく		
	H2063	H1285	H0853	H3068	H3772	H0001	H0854	H3808		

חַיִּים׃	כֻּלָּנוּ	הַיּוֹם	פֹּה	אֵלֶּה	אֲנַחְנוּ	אִתָּנוּ
生きている者たち	我々–すべて	今日	ここに	これら	我々	我々と
	H3605	H3117	H6311	H0428	H0587	H0854

主はこの契約をわれわれの先祖たちとは結ばず、きょう、ここに生きながらえているわれわれすべての者と結ばれた。

הָאֵשׁ׃	מִתּוֹךְ	בָּהָר	עִמָּכֶם	יְהוָה	דִּבֶּר	בְּפָנִים	וּפָנִים	4
火	の–中から	山で	あなたがたに	主は	語られた	顔を–合わせて	顔と	
H0784	H8432	H2022		H3068	H1696	H6440	H6440	

主は山で火の中から、あなたがたと顔を合わせて語られた。

5

לְהַגִּיד	הַהוּא	בָּעֵת	וּבֵינֵיכֶם	יְהוָה	בֵּין־	עֹמֵד	אָנֹכִי
告げるために	その	その–時に	あなたがたとの	主と	の–間に	立っていた	わたしは
H5046	H1931	H6256	H0996	H3068	H0996	H5975	H0595

וְלֹא־	הָאֵשׁ	מִפְּנֵי	יִרְאֶתְכֶם	כִּי	יְהוָה	דְּבַר	אֶת־	לָכֶם
そして–なかった	火	の–前で	恐れていた	なぜなら	主の	言葉を	（を）	あなたがたに
H3808	H0784	H6440	H3372		H3068	H1697	H0853	

	ס	לֵאמֹר׃	בָּהָר	עֲלִיתֶם
	（区切り）	言って	山に	登らなかった
		H0559	H2022	H5927

その時、わたしは主とあなたがたとの間に立って主の言葉をあなたがたに伝えた。あなたがたは火のゆえに恐れて山に登ることができなかったからである。主は言われた、

6

מִבֵּית	מִצְרַיִם	מֵאֶרֶץ	הוֹצֵאתִיךָ	אֲשֶׁר	אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה	אָנֹכִי
の–家から	エジプト	の–地から	あなたを–導き出した	それは	あなたの–神	主	わたしは
	H4714	H0776	H3318		H0430	H3068	H0595

עֲבָדִים׃
奴隷
H5650

『わたしはあなたの神、主であって、あなたをエジプトの地、奴隷の家から導き出した者である。

7

פָּנָי׃	עַל־	אֲחֵרִים	אֱלֹהִים	לְךָ	יִהְיֶה־	לֹא
わたし	の–前に	他の	他の–神々が	あなたに	あってはならない	ない
H6440		H0312	H0430		H1961	H3808

あなたはわたしのほかに何ものをも神としてはならない。

8

מִמַּעַל	וַאֲשֶׁר	תִּתְמוּנָה	כָּל־	וּפֶסֶל	לְךָ	תַּעֲשֶׂה־	לֹא־
上の	天に	それは	形も	いかなる	偶像を	あなたの–ために	造っては–ならない	ない
H4605	H8064		H8544	H3605	H6459			H3808

לָאָרֶץ׃	מִתָּחַת	וּבַמָּיִם	וַאֲשֶׁר	מִתָּחַת	בָּאָרֶץ	וַאֲשֶׁר
地	の–下の	水の中に	また	下の	地に	また
H0776	H8478	H4325		H8478	H0776	

あなたは自分のために刻んだ像を造ってはならない。上は天にあるもの、下は地にあるもの、また地の下の水の中にあるものの、どのような形をも造ってはならない。

9

יְהוָה	אָנֹכִי	כִּי	תָּעָבְדֵם	וְלֹא	לָהֶם	תִּשְׁתַּחֲוֶה	לֹא־
主	わたしは	なぜなら	仕えては–ならない	そして–ない	それらに	ひれ伏しては–ならない	ない
H3068	H0595		H5647	H3808		H7812	H3808

שִׁלֵּשִׁים	וְעַל־	בָּנִים	עַל־	אָבוֹת	עֲוֹן	פֹּקֵד	קַנָּא	אֵל	אֱלֹהֶיךָ
三代目に	そして–上に	子たちに	の–上に	父たちの	咎を	罰する	神	ねたむ	あなたの–神
H8029				H0001	H5771		H7067	H0410	H0430

לְשֹׂנְאָי׃	רִבֵּעִים	וְעַל־	
わたしを–憎む者の	四代目に	そして–上に	
H8130	H7256		

それを拝んではならない。またそれに仕えてはならない。あなたの神、主であるわたしは、ねたむ神であるから、わたしを憎むものには、父の罪を子に報いて三、四代に及ぼし、

10

וְעֹשֶׂה	חֶסֶד	לַאֲלָפִים	לְאֹהֲבַי	וּלְשֹׁמְרֵי	[מצותו]
そして-行う	慈しみを	千代にまで	わたしを-愛する者と	そして-守る者に	（異読）
	H2617	H0505	H0157	H8104	H4687

(מִצְוֹתָי׃)	ס	
わたしの-戒めを	（区切り）	
H4687		

わたしを愛し、わたしの戒めを守る者には恵みを施して千代に至るであろう。

11

לֹא	כִּי	לַשָּׁוְא	אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה	שֵׁם־	אֶת־	תִּשָּׂא	לֹא
ない	なぜなら	みだりに	あなたの-神の	主の	名を	（を）	唱えてはならない	ない
H3808		H7723	H0430	H3068	H8034	H0853	H5375	H3808

ס	לַשָּׁוְא׃	שְׁמוֹ	אֶת־	יִשָּׂא	אֲשֶׁר־	אֵת	יְהוָה	יְנַקֶּה
（区切り）	みだりに	その-名を	（を）	唱える	する者を	（を）	主は	罰せずには-おかない
	H7723	H8034	H0853	H5375		H0853	H3068	H5352

あなたの神、主の名をみだりに唱えてはならない。主はその名をみだりに唱える者を罰しないではおかないであろう。

12

אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה	צִוְּךָ	כַּאֲשֶׁר	לְקַדְּשׁוֹ	הַשַּׁבָּת	יוֹם	אֶת־	שָׁמֹר
あなたの-神が	主が	命じられた	のように	聖なるものとして	安息の	日を	（を）	守れ
H0430	H3068	H6680		H6942	H7676	H3117	H0853	H8104

安息日を守ってこれを聖とし、あなたの神、主があなたに命じられたようにせよ。

13

מְלַאכְתֶּךָ׃	כָּל־	וְעָשִׂיתָ	תַּעֲבֹד	יָמִים	שֵׁשֶׁת
あなたの-仕事を	すべての	そして-行え	働き	日間	六
H4399	H3605		H5647	H3117	H8337

六日のあいだ働いて、あなたのすべてのわざをしなければならない。

14

כָּל־	תַּעֲשֶׂה	לֹא	אֱלֹהֶיךָ	לַיהוָה	שַׁבָּת	הַשְּׁבִיעִי	וְיוֹם	
いかなる	してはならない	ない	あなたの-神の	主の	安息日である	第七の	しかし-日は	
H3605		H3808	H0430	H3068	H7676	H7637	H3117	

וַאֲמָתֶךָ	וְעַבְדְּךָ־	וּבִתֶּךָ	וּבִנְךָ־	אַתָּה	מְלָאכָה
あなたの-女奴隷も	あなたの-男奴隷も	あなたの-娘も	そして-あなたの-息子も	あなたも	仕事も
H0519	H5650	H1323			H4399

אֲשֶׁר	וְגֵרְךָ	בְּהֶמְתֶּךָ	וְכָל־	וַחֲמֹרְךָ	וְשׁוֹרְךָ
いる	あなたの-寄留者も	あなたの-家畜も	そして-すべての	あなたの-ろばも	あなたの-牛も
	H1616	H0929	H3605	H2543	H7794

וַאֲמָתֶךָ	עַבְדְּךָ	יָנוּחַ	לְמַעַן	בִּשְׁעָרֶיךָ	
あなたの-女奴隷も	あなたの-男奴隷も	休むことが-できるように	ために	あなたの-門の-中に	
H0519	H5650	H5117	H4616	H8179	

כָּמוֹךָ׃
あなたの-ように
H3644

七日目はあなたの神、主の安息であるから、なんのわざをもしてはならない。あなたも、あなたのむすこ、娘、しもべ、はしため、牛、ろば、もろもろの家畜も、あなたの門のうちにおる他国の人も同じである。こうしてあなたのしもべ、はしためを、あなたと同じように休ませなければならない。

15 וְזָכַרְתָּ֗ כִּ֤י עֶ֙בֶד֙ הָיִ֣יתָ בְּאֶ֣רֶץ מִצְרַ֔יִם וַיֹּצִ֨אֲךָ֜ יְהוָ֤ה אֱלֹהֶ֙יךָ֙ מִשָּׁ֔ם בְּיָ֥ד חֲזָקָ֖ה וּבִזְרֹ֣עַ נְטוּיָ֑ה עַל־כֵּ֗ן צִוְּךָ֙ יְהוָ֣ה אֱלֹהֶ֔יךָ לַֽעֲשׂ֖וֹת אֶת־י֥וֹם הַשַּׁבָּֽת׃ ס

וְזָכַרְתָּ֗	כִּ֤י	עֶ֙בֶד֙	הָיִ֣יתָ	בְּאֶ֣רֶץ	מִצְרַ֔יִם	וַיֹּצִ֨אֲךָ֜	יְהוָ֤ה	אֱלֹהֶ֙יךָ֙	מִשָּׁ֔ם	בְּיָ֥ד	חֲזָקָ֖ה	וּבִזְרֹ֣עַ	נְטוּיָ֑ה	עַל־כֵּ֗ן	צִוְּךָ֙	יְהוָ֣ה	אֱלֹהֶ֔יךָ	לַֽעֲשׂ֖וֹת	אֶת־	י֥וֹם	הַשַּׁבָּֽת׃	ס
そして-思い出せ	こと	奴隷	であった	の-地で	エジプト	導き出された	主が	あなたの-神が	そこから	の-手で	力強い	そして-腕で	伸ばされた	の-ゆえに	それ	命じられた	主は	守るように	(を)	日を	安息の	(区切り)
H2142		H5650	H1961	H0776	H4714	H3318	H3068	H0430	H8033	H3027	H2389	H2220	H5186			H6680	H3068		H0853	H3117	H7676	

あなたはかつてエジプトの地で奴隷であったが、あなたの神、主が強い手と、伸ばした腕とをもって、そこからあなたを導き出されたことを覚えなければならない。それゆえ、あなたの神、主は安息日を守ることを命じられるのである。

16 כַּבֵּ֗ד אֶת־אָבִ֙יךָ֙ וְאֶת־אִמֶּ֔ךָ כַּאֲשֶׁ֣ר צִוְּךָ֔ יְהוָ֖ה אֱלֹהֶ֑יךָ לְמַ֣עַן יַאֲרִיכֻ֣ן יָמֶ֔יךָ וּלְמַ֙עַן֙ יִיטַ֣ב לָ֔ךְ עַ֚ל הָאֲדָמָ֔ה אֲשֶׁר־יְהוָ֥ה אֱלֹהֶ֖יךָ נֹתֵ֥ן לָֽךְ׃ ס

כַּבֵּ֗ד	אֶת־	אָבִ֙יךָ֙	וְאֶת־	אִמֶּ֔ךָ	כַּאֲשֶׁ֣ר	צִוְּךָ֔	יְהוָ֖ה	אֱלֹהֶ֑יךָ	לְמַ֣עַן	יַאֲרִיכֻ֣ן	יָמֶ֔יךָ	וּלְמַ֙עַן֙	יִיטַ֣ב	לָ֔ךְ	עַ֚ל	הָאֲדָמָ֔ה	אֲשֶׁר־	יְהוָ֥ה	אֱלֹהֶ֖יךָ	נֹתֵ֥ן	לָֽךְ׃	ס
敬え	(を)	あなたの-父を	そして(を)	あなたの-母を	のように	命じられた	主が	あなたの-神が	ために	長くなるように	あなたの-日々が	そして-ために	良くなるように	あなたに	の-上で	土地の	それは	主が	あなたの-神が	与える	あなたに	(区切り)
H3513		H0001		H0517		H6680	H3068	H0430	H4616	H0748	H3117	H4616	H3190			H0127		H3068	H0430	H5414		

あなたの神、主が命じられたように、あなたの父と母とを敬え。あなたの神、主が賜わる地で、あなたが長く命を保ち、さいわいを得ることのできるためである。

17 לֹ֥א תִרְצָ֖ח׃ ס

לֹ֥א	תִרְצָ֖ח׃	ס	
ない	殺しては-ならない	(区切り)	
H3808	H7523		

あなたは殺してはならない。

18 וְלֹ֥א תִנְאָ֖ף׃ ס

וְלֹ֥א	תִנְאָ֖ף׃	ס	
そして-ない	姦淫しては-ならない	(区切り)	
H3808	H5003		

あなたは姦淫してはならない。

19 וְלֹ֥א תִגְנֹֽב׃ ס

וְלֹ֥א	תִגְנֹֽב׃	ס	
そして-ない	盗んでは-ならない	(区切り)	
H3808	H1589		

あなたは盗んではならない。

20 וְלֹֽא־תַעֲנֶ֥ה בְרֵעֲךָ֖ עֵ֣ד שָׁ֑וְא׃ ס

וְלֹֽא־	תַעֲנֶ֥ה	בְרֵעֲךָ֖	עֵ֣ד	שָׁ֑וְא׃	ס	
そして-ない	証言しては-ならない	隣人に-対して	証言を	偽りの	(区切り)	
H3808		H7453	H5707	H7723		

あなたは隣人について偽証してはならない。

21

תִּתְאַוֶּה	וְלֹא	ס	רֵעֶךָ	אֵשֶׁת	תַּחְמֹד	וְלֹא	
むさぼっては–ならない	そして–ない	（区切り）	隣人の	妻を	欲しては–ならない	そして–ない	
H0183	H3808		H7453	H0802		H3808	

וְכֹל	וַחֲמֹרוֹ	שׁוֹרוֹ	וַאֲמָתוֹ	וְעַבְדּוֹ	שָׂדֵהוּ	רֵעֶךָ	בַּיִת
そして–すべて	その–ろばも	その–牛も	その–女奴隷も	その–男奴隷も	その–畑も	隣人の	家を
H3605	H2543	H7794	H0519	H5650		H7453	

	ס	לְרֵעֶךָ׃	אֲשֶׁר
	（区切り）	隣人の–もの	それは
		H7453	

あなたは隣人の妻をむさぼってはならない。また隣人の家、畑、しもべ、はしため、牛、ろば、またすべて隣人のものをほしがってはならない』。

22

בָּהָר	קְהַלְכֶם	כֹּל־	אֶל־	יְהוָה	דִּבֶּר	הָאֵלֶּה	הַדְּבָרִים	אֶת־
山で	あなたがたの–会衆に	すべての	に	主は	語られた	これらの	言葉を	（を）
H2022	H6951	H3605	H0413	H3068	H1696	H0428	H1697	H0853

יָסָף	וְלֹא	גָּדוֹל	קוֹל	וְהָעֲרָפֶל	הֶעָנָן	הָאֵשׁ	מִתּוֹךְ
加えなかった	そして–ない	大いなる	声で	暗闇の–中で	雲と	火と	の–中から
H3254	H3808			H6205	H6051	H0784	H8432

אֵלָי׃	וַיִּתְּנֵם	אֲבָנִים	לֻחֹת	שְׁנֵי	עַל־	וַיִּכְתְּבֵם
わたしに	そして–与えた	石の	板に	二枚の	の–上に	そして–書き記した
H0413	H5414	H0068	H3871	H8147		H3789

主はこれらの言葉を山で火の中、雲の中、濃い雲の中から、大いなる声をもって、あなたがたの全会衆にお告げになったが、このほかのことは言われず、二枚の石の板にこれを書きしるして、わたしに授けられた。

23

בֹּעֵר	וְהָהָר	הַחֹשֶׁךְ	מִתּוֹךְ	הַקּוֹל	אֶת־	כְּשָׁמְעֲכֶם	וַיְהִי	
燃えていた	そして–山が	闇の	の–中から	声を	（を）	あなたがたが–聞いた時	そして–なった	
	H2022	H2822	H8432		H0853	H8085	H1961	

וְזִקְנֵיכֶם׃	שִׁבְטֵיכֶם	רָאשֵׁי	כֹּל־	אֵלַי	וַתִּקְרְבוּן	בָּאֵשׁ	
あなたがたの–長老たち	あなたがたの–部族の	頭たち	すべての	わたしに	近づいた	火で	
H2205	H7626		H3605	H0413	H7126	H0784	

時に山は火で燃えていたが、あなたがたが暗黒のうちから聞える声を聞くに及んで、あなたがたの部族のすべてのかしらと長老たちは、わたしに近寄って、

24

וְאֶת־	כְּבֹדוֹ	אֶת־	אֱלֹהֵינוּ	יְהוָה	הֶרְאָנוּ	הֵן	וַתֹּאמְרוּ	
そして（を）	その–栄光を	（を）	我々の–神が	主が	示された	見よ	そして–言った	
H0853	H3519	H0853	H0430	H3068	H7200	H2005	H0559	

כִּי־	רָאִינוּ	הַזֶּה	הַיּוֹם	הָאֵשׁ	מִתּוֹךְ	שָׁמַעְנוּ	קֹלוֹ	וְאֶת־	גְּדֹלּוֹ
ことを	見た	この	今日	火の	の–中から	聞いた	その–声を	そして（を）	その–偉大さを
	H7200	H2088	H3117	H0784	H8432	H8085		H0853	H1433

וָחָי׃	הָאָדָם	אֶת־	אֱלֹהִים	יְדַבֵּר
なお–生きる	人と	（と）	神が	語られる
H2425	H0120	H0854	H0430	H1696

言った、『われわれの神、主がその栄光と、その大いなることとを、われわれに示されて、われわれは火の中から出るその声を聞きました。きょう、われわれは神が人と語られ、しかもなおその人が生きているのを見ました。

25

וְעַתָּה	לָמָּה	נָמוּת	כִּי	תֹאכְלֵנוּ	הָאֵשׁ	הַגְּדֹלָה	הַזֹּאת	אִם־	וֹסְפִים
そして–今	なぜ	死ぬのか	なぜなら	焼き尽くす	火が	大いなる	この	もし	続けて
H6258	H4100	H4191		H0398	H0784		H2063		H3254

אֲנַחְנוּ	לִשְׁמֹעַ	אֶת־	קוֹל	יְהוָה	אֱלֹהֵינוּ	עוֹד	וָמָתְנוּ׃
我々が	聞くなら	（を）	声を	主の	我々の–神の	さらに	死んでしまう
H0587	H8085	H0853		H3068	H0430	H5750	H4191

われわれはなぜ死ななければならないでしょうか。この大いなる火はわれわれを焼き滅ぼそうとしています。もしこの上なおわれわれの神、主の声を聞くならば、われわれは死んでしまうでしょう。

26

מְדַבֶּר	חַיִּים	אֱלֹהִים	קוֹל	שָׁמַע	אֲשֶׁר	בָּשָׂר	כָּל־	מִי	כִּי
語る	生ける	神の	声を	聞いて	それは	肉なる者の中で	すべての	誰が	なぜなら
H1696		H0430		H8085		H1320	H3605	H4310	

וַיָּחִי׃	כָּמֹנוּ	הָאֵשׁ	מִתּוֹךְ־
なお–生きた者	我々の–ように	火の	の–中から
H2421	H3644	H0784	H8432

およそ肉なる者のうち、だれが、火の中から語られる生ける神の声を、われわれのように聞いてなお生きている者がありましょうか。

27

אֱלֹהֵינוּ	יְהוָה	יֹאמַר	אֲשֶׁר	כָּל־	אֶת	וְשָׁמַע	אַתָּה	קְרַב	
我々の–神が	主が	言われる	それを	すべて	（を）	そして–聞け	あなたが	近づけ	
H0430	H3068	H0559		H3605	H0853	H8085		H7126	

אֵלֶיךָ	אֱלֹהֵינוּ	יְהוָה	יְדַבֵּר	אֲשֶׁר	כָּל־	אֵת	אֵלֵינוּ	תְּדַבֵּר	וְאַתָּה
あなたに	我々の–神が	主が	語られる	それを	すべて	（を）	我々に	語れ	そして–あなたが
H0413	H0430	H3068	H1696		H3605	H0853	H0413	H1696	

וְעָשִׂינוּ׃	וְשָׁמַעְנוּ
そして–行う	そして–聞く
	H8085

あなたはどうぞ近く進んで行って、われわれの神、主が言われることをみな聞き、われわれの神、主があなたにお告げになることをすべてわれわれに告げてください。われわれは聞いて行います』。

28

אֵלָי	בְּדַבֶּרְכֶם	דִּבְרֵיכֶם	קוֹל	אֶת־	יְהוָה	וַיִּשְׁמַע	
わたしに	あなたがたが–語った時	あなたがたの–言葉の	声を	（を）	主は	そして–聞かれた	
H0413	H1696	H1697		H0853	H3068	H8085	

דִּבְּרוּ	אֲשֶׁר	הַזֶּה	הָעָם	דִּבְרֵי	קוֹל	אֶת־	שָׁמַעְתִּי	אֵלַי	יְהוָה	וַיֹּאמֶר
語った	それを	この	民の	言葉の	声を	（を）	聞いた	わたしに	主は	そして–言われた
H1696		H2088		H1697		H0853	H8085	H0413	H3068	H0559

דִּבְּרוּ׃	אֲשֶׁר	כָּל־	הֵיטִיבוּ	אֵלֶיךָ
語った	それを	すべて	良い	あなたに
H1696		H3605	H3190	H0413

あなたがたがわたしに語っている時、主はあなたがたの言葉を聞いて、わたしに言われた、『わたしはこの民がおまえに語っている言葉を聞いた。彼らの言ったことはみな良い。

29

אֹתִי	לְיִרְאָה	לָהֶם	זֶה	לִבָּבָם	וְהָיָה	יִתֵּן	מִי־
わたしを	畏れるように	彼らに	この	彼らの–心が	そして–あるように	与えてほしい	誰か
H0853	H3372		H2088	H3824	H1961	H5414	H4310

יִיטַב	לְמַעַן	הַיָּמִים	כָּל־	מִצְוֹתַי	כָּל־	אֶת־	וְלִשְׁמֹר
良くなるように	ために	日々	すべての	わたしの–戒めを	すべての	（を）	そして–守るように
H3190	H4616	H3117	H3605	H4687	H3605	H0853	H8104

לְעֹלָם׃	וְלִבְנֵיהֶם	לָהֶם
永遠に	そして–その–子たちに	彼らに
H5769		

ただ願わしいことは、彼らがつねにこのような心をもってわたしを恐れ、わたしのすべての命令を守って、彼らもその子孫も永久にさいわいを得るにいたることである。

30

לְאָהֳלֵיכֶם׃	לָכֶם	שׁוּבוּ	לָהֶם	אֱמֹר	לֵךְ
あなたがたの–天幕に	あなたがたは	戻れ	彼らに	言え	行け
H0168		H7725		H0559	H3212

おまえは行って彼らに、「あなたがたはおのおのその天幕に帰れ」と言え。

31

הַמִּצְוָה	כָּל־	אֶת	אֵלַיִךְ	וַאֲדַבְּרָה	עִמָּדִי	עֲמֹד	פֹּה	וְאַתָּה
戒めと	すべての	（を）	あなたに	そして–語ろう	わたしと–共に	立て	ここに	しかし–あなたは
H4687	H3605	H0853	H0413	H1696	H5978	H5975	H6311	

נֹתֵן	אָנֹכִי	אֲשֶׁר	בָּאָרֶץ	וְעָשׂוּ	תְלַמְּדֵם	אֲשֶׁר	וְהַמִּשְׁפָּטִים	וְהַחֻקִּים
与える	わたしが	それは	その–地で	そして–行え	教えよ	それを	そして–定めを	そして–掟と
H5414	H0595		H0776		H3925		H4941	H2706

לְרִשְׁתָּהּ׃	לָהֶם
所有する–ために	彼らに
H3423	

しかし、おまえはこの所でわたしのそばに立て。わたしはすべての命令と、定めと、おきてとをおまえに告げ示すであろう。おまえはこれを彼らに教え、わたしが彼らに与えて獲させる地において、これを行わせなければならない』。

32

לֹא	אִתְּכֶם	אֱלֹהֵיכֶם	יְהוָה	צִוָּה	כַּאֲשֶׁר	לַעֲשׂוֹת	וּשְׁמַרְתֶּם
ない	あなたがたに	あなたがたの–神が	主が	命じられた	のように	行え	そして–守り
H3808	H0853	H0430	H3068	H6680			H8104

וּשְׂמֹאל׃	יָמִין	תָּסֻרוּ
左にも	右にも	逸れるな
H8040	H3225	H5493

それゆえ、あなたがたの神、主が命じられたとおりに、慎んで行わなければならない。そして左にも右にも曲ってはならない。

33

לְמַעַן	תֵּלֵכוּ	אִתְּכֶם	אֱלֹהֵיכֶם	יְהוָה	צִוָּה	אֲשֶׁר	הַדֶּרֶךְ	בְּכָל־
ために	歩め	あなたがたに	あなたがたの–神が	主が	命じられた	それを	道を	すべての
H4616	H3212	H0853	H0430	H3068	H6680		H1870	H3605

אֲשֶׁר	בָּאָרֶץ	יָמִים	וְהַאֲרַכְתֶּם	לָכֶם	וְטוֹב	תִּחְיוּן׃
それを	その–地で	日々が	そして–長くなるように	あなたがたに	そして–良くなるように	生きるように
	H0776	H3117	H0748		H2895	H2421

תִּירָשׁוּן׃
受け継ぐ
H3423

あなたがたの神、主が命じられた道に歩まなければならない。そうすればあなたがたは生きることができ、かつさいわいを得て、あなたがたの獲る地において、長く命を保つことができるであろう。

Chapter 6

1

וְזֹאת	הַמִּצְוָה	הַחֻקִּים	וְהַמִּשְׁפָּטִים	אֲשֶׁר	צִוָּה	יְהוָה	אֱלֹהֵיכֶם
そして–これが	戒めであり	掟と	定めである	それを	命じられた	主が	あなたがたの–神が
H2063	H4687	H2706	H4941		H6680	H3068	H0430

לְלַמֵּד	אֶתְכֶם	לַעֲשׂוֹת	בָּאָרֶץ	אֲשֶׁר	אַתֶּם	עֹבְרִים	שָׁמָּה
教えるために	あなたがたに	行うように	その–地で	それへ	あなたがたが	渡っていく	そこへ
H3925	H0853		H0776				H8033

לְרִשְׁתָּהּ׃
所有する–ために
H3423

これはあなたがたの神、主があなたがたに教えよと命じられた命令と、定めと、おきてであって、あなたがたは渡って行って獲る地で、これを行わなければならない。

2

חֻקָּתָיו	כָּל־	אֶת־	לִשְׁמֹר	אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה	אֶת־	תִּירָא	לְמַעַן	
その–掟と	すべての	（を）	守るために	あなたの–神を	主を	（を）	畏れるように	ために	
H2708	H3605	H0853	H8104	H0430	H3068	H0853	H3372	H4616	

בִּנְךָ	וּבֶן־	וּבִנְךָ	אַתָּה	מְצַוְּךָ	אָנֹכִי	אֲשֶׁר	וּמִצְוֹתָיו
あなたの–息子の	の–子も	あなたの–息子も	あなたも	命じている	わたしが	それを	その–戒めを
				H6680	H0595		H4687

יָמֶיךָ׃	יַאֲרִכֻן	וּלְמַעַן	חַיֶּיךָ	יְמֵי	כָּל	
あなたの–日々が	長くなるように	そして–ために	あなたの–生涯の	日々	すべての	
H3117	H0748	H4616		H3117	H3605	

これはあなたが子や孫と共に、あなたの生きながらえる日の間、つねにあなたの神、主を恐れて、わたしが命じるもろもろの定めと、命令とを守らせるため、またあなたが長く命を保つことのできるためである。

3

וְלָמַעַן	לְךָ	יִיטַב	אֲשֶׁר	לַעֲשׂוֹת	וְשָׁמַרְתָּ	יִשְׂרָאֵל	וְשָׁמַעְתָּ
そして	あなたに	良くなる	そうすれば	行え	そして–守り	イスラエルよ	そして–聞け
		H3190			H8104	H3478	H8085

אֶרֶץ	לָךְ	אֲבֹתֶיךָ	אֱלֹהֵי	יְהוָה	דִּבֶּר	כַּאֲשֶׁר	מְאֹד	תִּרְבֻּן
地は	あなたに	あなたの–先祖の	の–神が	主が	語られた	のように	非常に	大いに–増える
H0776		H0001	H0430	H3068	H1696		H3966	

פ	וּדְבַשׁ׃	חָלָב	זָבַת	
（区切り）	蜜の	乳と	流れる	
	H1706	H2461	H2100	

それゆえ、イスラエルよ、聞いて、それを守り行え。そうすれば、あなたはさいわいを得、あなたの先祖の神、主があなたに言われたように、乳と蜜の流れる国で、あなたの数は大いに増すであろう。

4

אֶחָד׃	וַיהוָה	אֱלֹהֵינוּ	יְהוָה	יִשְׂרָאֵל	שְׁמַע
唯一である	主は	我々の–神	主は	イスラエルよ	聞け
H0259	H3068	H0430	H3068	H3478	H8085

イスラエルよ聞け。われわれの神、主は唯一の主である。

וּבְכָל־ そして–すべての H3605 לְבָבְךָ あなたの–心で H3824 בְּכָל־ すべての H3605 אֱלֹהֶיךָ あなたの–神を H0430 יְהוָה 主を H3068 אֵת （を） H0853 וְאָהַבְתָּ そして–愛せよ H0157 5

מְאֹדֶךָ׃ あなたの–力で H3966 וּבְכָל־ そして–すべての H3605 נַפְשְׁךָ あなたの–魂で H5315

あなたは心をつくし、精神をつくし、力をつくして、あなたの神、主を愛さなければならない。

לְבָבֶךָ׃ あなたの–心の H3824 עַל־ の–上に הַיּוֹם 今日 H3117 מְצַוְּךָ 命じている H6680 אָנֹכִי わたしが H0595 אֲשֶׁר それを הָאֵלֶּה これらの H0428 הַדְּבָרִים 言葉が H1697 וְהָיוּ そして–あれ H1961 6

きょう、わたしがあなたに命じるこれらの言葉をあなたの心に留め、

בְּבֵיתֶךָ あなたの–家で וּבְשִׁבְתְּךָ 座っている–時に H3427 בָּם それらを וְדִבַּרְתָּ そして–語れ H1696 לְבָנֶיךָ あなたの–子どもたちに וְשִׁנַּנְתָּם そして–教え込め H8150 7

וּבְקוּמֶךָ׃ そして–起きる–時に וּבְשָׁכְבְּךָ そして–寝る–時に H7901 בַּדֶּרֶךְ 道を H1870 וּבְלֶכְתְּךָ そして–歩いている–時に H3212

努めてこれをあなたの子らに教え、あなたが家に座している時も、道を歩く時も、寝る時も、起きる時も、これについて語らなければならない。

בֵּין の–間に H0996 לְטוֹטָפֹת 額飾りと–して H2903 וְהָיוּ そして–あれ H1961 יָדֶךָ あなたの–手の H3027 עַל־ の–上に לְאוֹת しるしとして H0226 וּקְשַׁרְתָּם そして–結べ H7194 8

עֵינֶיךָ׃ あなたの–目の

またあなたはこれをあなたの手につけてしるしとし、あなたの目の間に置いて覚えとし、

ס （区切り） וּבִשְׁעָרֶיךָ׃ あなたの–門に H8179 בֵּיתֶךָ あなたの–家の מְזוּזוֹת 門柱に H4201 עַל־ の–上に וּכְתַבְתָּם そして–書け H3789 9

またあなたの家の入口の柱と、あなたの門とに書きしるさなければならない。

נִשְׁבַּע 誓われた H7650 אֲשֶׁר それを הָאָרֶץ その–地に H0776 אֶל־ に H0413 אֱלֹהֶיךָ あなたの–神が H0430 יְהוָה 主が H3068 וְהָיָה そして–なる H1961 כִּי 時に וְהֵבִיאֲךָ 導き入れる H0935 10

גְּדֹלֹת 大きな עָרִים 町々を לָךְ あなたに לָתֵת 与えると H5414 וְלִיעֲקֹב そして–ヤコブに H3290 לְיִצְחָק イサクに H3327 לְאַבְרָהָם アブラハムに H0085 לַאֲבֹתֶיךָ あなたの–先祖たちに H0001

בָּנִית׃ 建てた לֹא־ ない H3808 אֲשֶׁר それを וְטֹבֹת そして–良い H1129

あなたの神、主は、あなたの先祖アブラハム、イサク、ヤコブに向かって、あなたに与えると誓われた地に、あなたをはいらせられる時、あなたが建てたものでない大きな美しい町々を得させ、

11 וּבָתִּים מְלֵאִים כָּל־ טוּב אֲשֶׁר לֹא־ מִלֵּאתָ וּבֹרֹת חֲצוּבִים
そして–家々を 満ちた すべての 良い–ものに それを ない 満たした そして–水溜めを 掘られた
H1004 H4392 H3605 H2898 H834 H3808 H4390 H1952 H2672

וְאָכַלְתָּ נָטַעְתָּ לֹא־ אֲשֶׁר וְזֵיתִים כְּרָמִים חָצַבְתָּ לֹא־ אֲשֶׁר
そして–食べ 植えた ない それを オリーブの–木を ぶどう畑と 掘った ない それを
H398 H5193 H3808 H834 H2132 H3754 H2672 H3808 H834

וְשָׂבָעְתָּ׃
そして–満ち足りる
H7646

あなたが満たしたものでないもろもろの良い物を満たした家を得させ、あなたが掘ったものでない掘り井戸を得させ、あなたが植えたものでないぶどう畑とオリブの畑とを得させられるであろう。あなたは食べて飽きるであろう。

12 הִשָּׁמֶר לְךָ֣ פֶּן־ תִּשְׁכַּח אֶת־ יְהוָה֮ אֲשֶׁר֒ הוֹצִיאֲךָ֣ מֵאֶ֣רֶץ
気をつけよ あなた自身に ないように 忘れる を（を） 主を それは 導き出された の–地から
H8104 H7911 H6435 H0853 H3068 H834 H3318 H0776

מִצְרַיִם מִבֵּ֣ית עֲבָדִים׃
エジプト の–家から 奴隷の
H4714 H1004 H5650

その時、あなたはみずから慎み、エジプトの地、奴隷の家から導き出された主を忘れてはならない。

13 אֶת־ יְהוָ֣ה אֱלֹהֶ֣יךָ תִּירָ֔א וְאֹת֖וֹ תַּעֲבֹ֑ד וּבִשְׁמ֖וֹ תִּשָּׁבֵֽעַ׃
（を） 主を あなたの–神を 畏れよ そして–その方に 仕えよ そして–その–名によって 誓え
H0853 H3068 H430 H3372 H853 H5647 H853 H8034 H7650

あなたの神、主を恐れてこれに仕え、その名をさして誓わなければならない。

14 לֹ֣א תֵלְכ֗וּן אַחֲרֵי֙ אֱלֹהִ֣ים אֲחֵרִ֔ים מֵאֱלֹהֵ֖י הָעַמִּ֣ים אֲשֶׁ֑ר
ない 従ってはならない の–後に 他の–神々に 他の 神々の それは 諸国の–民の
H3808 H3212 H310 H430 H312 H430 H834 H5971

סְבִיבוֹתֵיכֶֽם׃
あなたがたの–周りの
H5439

あなたがたは他の神々すなわち周囲の民の神々に従ってはならない。

15 כִּ֣י אֵ֤ל קַנָּא֙ יְהוָ֣ה אֱלֹהֶ֔יךָ בְּקִרְבֶּ֑ךָ פֶּן־ יֶֽחֱרֶ֤ה אַף־
なぜなら ねたむ 神は 主は あなたの–神は あなたの–中に–おられる ないように 燃える 怒りが
H3588 H410 H7067 H3068 H430 H7130 H6435 H2734 H639

יְהוָ֣ה אֱלֹהֶ֔יךָ בָּ֑ךְ וְהִשְׁמִידְךָ֖ מֵעַ֥ל פְּנֵ֖י הָאֲדָמָֽה׃
主の あなたの–神の あなたに–対して そして–滅ぼされる の–上から 面から 地の
H3068 H430 H898 H8045 H5921 H6440 H127

ס
（区切り）

あなたのうちにおられるあなたの神、主はねたむ神であるから、おそらく、あなたに向かって怒りを発し、地のおもてからあなたを滅ぼし去られるであろう。

16 לֹ֣א תְנַסּ֔וּ אֵ֖ת יְהוָ֣ה אֱלֹהֵיכֶ֑ם כַּאֲשֶׁ֥ר נִסִּיתֶ֖ם בַּמַּסָּֽה׃
ない 試みてはならない （を） 主を あなたがたの–神を のように 試みた マサで
H3808 H5254 H853 H3068 H430 H834 H5254 H4532

あなたがたがマッサでしたように、あなたがたの神、主を試みてはならない。

17 שָׁמֹר תִּשְׁמְרוּן מִצְוֹת יְהוָה אֱלֹהֵיכֶם וְעֵדֹתָיו וְחֻקָּיו אֲשֶׁר
必ず 守れ 戒めを 主の あなたがたの-神の そして-その-証しと その-掟を それを
H8104 H8104 H4687 H3068 H0430 H0853 H6680

צִוָּךְ׃
命じられた

あなたがたの神、主があなたがたに命じられた命令と、あかしと、定めとを、努めて守らなければならない。

18 וְעָשִׂיתָ הַיָּשָׁר וְהַטּוֹב בְּעֵינֵי יְהוָה לְמַעַן יִיטַב לָךְ
そして-行え 正しいことと 良いことを の-目に 主の ために 良くなるように あなたに
H3477 H3190

וּבָאתָ וְיָרַשְׁתָּ אֶת־הָאָרֶץ הַטֹּבָה אֲשֶׁר־נִשְׁבַּע יְהוָה
そして-入り そして-所有せよ その-地を 良い それを 誓われた 主が
H0935 H3423 H0776 H0853 H7650 H3068

לַאֲבֹתֶיךָ׃
あなたの-先祖たちに

あなたは主が見て正しいとし、良いとされることを行わなければならない。そうすれば、あなたはさいわいを得、かつ主があなたの先祖に誓われた、あの良い地にはいって、自分のものとすることができるであろう。

19 לְהַדֹּף אֶת־כָּל־אֹיְבֶיךָ מִפָּנֶיךָ כַּאֲשֶׁר דִּבֶּר יְהוָה׃
追い出す-ために すべての 敵を あなたの-前から のように 語られた 主が
H1920 H3605 H0341 H6440 H1696 H3068

ס
（区切り）

また主が仰せられたように、あなたの敵を皆あなたの前から追い払われるであろう。

20 כִּי־יִשְׁאָלְךָ בִנְךָ מָחָר לֵאמֹר מָה הָעֵדֹת וְהַחֻקִּים וְהַמִּשְׁפָּטִים
時に 尋ねる あなたの-息子が 明日 言って 何か 証しと そして-掟と そして-定めは
H7592 H4279 H0559 H4100 H4941 H2706

אֲשֶׁר צִוָּה יְהוָה אֱלֹהֵינוּ אֶתְכֶם׃
それを 命じられた 主が 我々の-神が あなたがたに
H6680 H3068 H0430 H0853

後の日となって、あなたの子があなたに問うて言うであろう、『われわれの神、主があなたがたに命じられたこのあかしと、定めと、おきてとは、なんのためですか』。

21 וְאָמַרְתָּ לְבִנְךָ עֲבָדִים הָיִינוּ לְפַרְעֹה בְּמִצְרָיִם וַיּוֹצִיאֵנוּ
そして-言え あなたの-息子に 奴隷 であった パロの-もとで エジプトで そして-導き出された
H0559 H5650 H1961 H6547 H4714 H3318

יְהוָה מִמִּצְרַיִם בְּיָד חֲזָקָה׃
主が エジプトから の-手で 力強い
H3068 H4714 H3027 H2389

その時あなたはその子に言わなければならない。『われわれはエジプトでパロの奴隷であったが、主は強い手をもって、われわれをエジプトから導き出された。

22 וַיִּתֵּן יְהוָה אֹתֹת וּמֹפְתִים גְּדֹלִים וְרָעִים בְּמִצְרַיִם בְּפַרְעֹה
そして–与えた 主は しるしと 奇跡を 大いなる そして–恐ろしい エジプトに パロと
H5414 H3068 H0226 H4159 H1419 H4714 H6547

וּבְכָל־ בֵּיתוֹ לְעֵינֵינוּ׃
そして–すべての その–家に–対して 我々の–目の前で
H3605

主はわれわれの目の前で、大きな恐ろしいしるしと不思議とをエジプトと、パロとその全家とに示され、

23 וְאוֹתָנוּ הוֹצִיא מִשָּׁם לְמַעַן הָבִיא אֹתָנוּ לָתֶת לָנוּ אֶת־
そして–我々を 導き出した そこから ために 導き入れる 我々を 与えるために 我々に （を）
H0853 H3318 H8033 H4616 H0935 H0853 H5414 H0853

הָאָרֶץ אֲשֶׁר נִשְׁבַּע לַאֲבֹתֵינוּ׃
その–地を それを 誓われた 我々の–先祖たちに
H0776 H7650 H0001

われわれをそこから導き出し、かつてわれわれの先祖に誓われた地にはいらせ、それをわれわれに賜わった。

24 וַיְצַוֵּנוּ יְהוָה לַעֲשׂוֹת אֶת־ כָּל־ הַחֻקִּים הָאֵלֶּה לְיִרְאָה אֶת־
そして–命じられた 主は 行うように （を） すべての 掟を これらの 畏れるために （を）
H6680 H3068 H6213 H0853 H3605 H2706 H0428 H3372 H0853

יְהוָה אֱלֹהֵינוּ לְטוֹב לָנוּ כָּל־ הַיָּמִים לְחַיֹּתֵנוּ כְּהַיּוֹם הַזֶּה׃
主を 我々の–神を 良いために 我々に すべての 日々 生かすために 今日の–ように この
H3068 H0430 H2896 H3605 H3117 H2421 H3117 H2088

そして主はこのすべての定めを行えと、われわれに命じられた。これはわれわれの神、主を恐れて、われわれが、つねにさいわいであり、また今日のように、主がわれわれを守って命を保たせるためである。

25 וּצְדָקָה תִּהְיֶה־ לָּנוּ כִּי־ נִשְׁמֹר לַעֲשׂוֹת אֶת־ כָּל־ הַמִּצְוָה הַזֹּאת
そして–義と なる 我々に もし 守り 行うなら （を） すべての 戒めを この
H6666 H1961 H3588 H8104 H6213 H0853 H3605 H4687 H2063

לִפְנֵי יְהוָה אֱלֹהֵינוּ כַּאֲשֶׁר צִוָּנוּ׃ ס
の–前で 主の 我々の–神の のように 命じられた （区切り）
H6440 H3068 H0430 H3588 H6680

もしわれわれが、命じられたとおりに、このすべての命令をわれわれの神、主の前に守って行うならば、それはわれわれの義となるであろう』。

Chapter 7

1 כִּי יְבִיאֲךָ יְהוָה אֱלֹהֶיךָ אֶל־ הָאָרֶץ אֲשֶׁר־ אַתָּה בָא־ שָׁמָּה
時に 導き入れる 主が あなたの–神が に その–地に あなたが 入る そこへ
H3588 H0935 H3068 H0430 H0413 H0776 H0834 H0859 H0935 H8033

לָרִשְׁתָּהּ וְנָשַׁל גּוֹיִם־ רַבִּים מִפָּנֶיךָ הַחִתִּי וְהָאֱמֹרִי
所有する–ために そして–追い出す 諸国の–民を 多くの あなたの–前から ヒッタイ人と ギルガシ人と
H3423 H5394 H1471 H6440 H2850 H1622

וְהַכְּנַעֲנִי וְהַפְּרִזִּי וְהַחִוִּי וְהַיְבוּסִי שִׁבְעָה גוֹיִם רַבִּים וַעֲצוּמִים
そして–カナン人と そして–ペリジ人と そして–ヒビ人と そして–エブス人を 七つの 国々は 多く そして–強い
H3669 H6522 H2340 H2983 H7651 H1471 H7227 H6099

מִמֶּךָּ׃
あなたより

あなたの神、主が、あなたの行って取る地にあなたを導き入れ、多くの国々の民、ヘテびと、ギルガシびと、アモリびと、カナンびと、ペリジびと、ヒビびと、およびエブスびと、すなわちあなたよりも数多く、また力のある七つの民を、あなたの前から追いはらわれる時、

2

אֹתָם	תַּחֲרִים	הַחֲרֵם	וְהִכִּיתָם	לְפָנֶיךָ	אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה	וּנְתָנָם
彼らを	滅ぼせ	必ず	そして–打ち破れ	あなたの–前に	あなたの–神が	主が	そして–渡される
H0853			H5221	H6440	H0430	H3068	H5414

תְּחָנֵּם׃	וְלֹא	בְּרִית	לָהֶם	תִּכְרֹת	לֹא־		
悠ましてはならない	そして–ない	契約を	彼らと	結んではならない	ない		
	H3808	H1285		H3772	H3808		

すなわちあなたの神、主が彼らをあなたに渡して、これを撃たせられる時は、あなたは彼らを全く滅ぼさなければならない。彼らとなんの契約をもしてはならない。彼らに何のあわれみをも示してはならない。

3

לִבְנוֹ	תִּתֵּן	לֹא־	בִּתְּךָ	בָּם	תִּתְחַתֵּן	וְלֹא	
その–息子に	与えてはならない	ない	あなたの–娘を	彼らと	婚姻してはならない	そして–ない	
	H5414	H3808	H1323			H3808	

לִבְנֶךָ׃	תִּקַּח	לֹא־	וּבִתּוֹ		
あなたの–息子に	娶ってはならない	ない	そして–その–娘を		
	H3947	H3808	H1323		

また彼らと婚姻をしてはならない。あなたの娘を彼のむすこに与えてはならない。かれの娘をあなたのむすこにめとってはならない。

4

וְעָבְדוּ	מֵאַחֲרַי	בִּנְךָ	אֶת־	יָסִיר	כִּי־		
そして–仕えるようになる	わたしに–従うことから	あなたの–息子を	（を）	背かせる	なぜなら		
H5647			H0853	H5493			

וְהִשְׁמִידְךָ	בָּכֶם	יְהוָה	אַף־	וְחָרָה	אֱלֹהִים	אֲחֵרִים	
そして–滅ぼされる	あなたがたに–対して	主の	怒りが	そして–燃える	他の–神々に	他の	
H8045		H3068	H0639	H2734	H0430	H0312	

מַהֵר׃	
たちまちに	

それは彼らがあなたのむすこを惑わしてわたしに従わせず、ほかの神々に仕えさせ、そのため主はあなたがたにむかって怒りを発し、すみやかにあなたがたを滅ぼされることとなるからである。

5

תְּשַׁבֵּרוּ	וּמַצֵּבֹתָם	תְּתֹצוּ	מִזְבְּחֹתֵיהֶם	לָהֶם	תַּעֲשׂוּ	כֹּה	אִם־	כִּי־
砕け	そして–彼らの–石柱を	壊せ	彼らの–祢壇を	彼らに	せよ	こう	このように	むしろ
H7665	H4676	H5422	H4196	H1992		H3541		

בָּאֵשׁ׃	תִּשְׂרְפוּן	וּפְסִילֵיהֶם	תְּגַדֵּעוּן	וַאֲשֵׁירֵהֶם	
火で	焼け	そして–彼らの–偶像を	切り倒せ	そして–彼らの–アシェラ像を	
H0784	H8313	H6456	H1438	H0842	

むしろ、あなたがたはこのように彼らに行わなければならない。すなわち彼らの祭壇をこぼち、その石の柱を撃ち砕き、そのアシラ像を切り倒し、その刻んだ像を火で焼かなければならない。

6

יְהוָה	וּבָחַר	בְּךָ	אֱלֹהֶיךָ	לַיהוָה	אַתָּה	קָדוֹשׁ	עַם	כִּי
主は	選ばれた	あなたを	あなたの–神の	主に–属する	あなたは	聖なる	民である	なぜなら
H3068	H0977		H0430	H3068		H6918		

עַל־	אֲשֶׁר	הָעַמִּים	מִכֹּל	סְגֻלָּה	לְעַם	לוֹ	לִהְיוֹת	אֱלֹהֶיךָ
の–上に	それは	諸国の–民の	すべての–中から	宝の	の–民と	その方の	なるために	あなたの–神が
			H3605	H5459			H1961	H0430

ס	הָאֲדָמָה׃	פְּנֵי
（区切り）	地の	面の
	H0127	H6440

あなたはあなたの神、主の聖なる民である。あなたの神、主は地のおもてのすべての民のうちからあなたを選んで、自分の宝の民とされた。

7

בָּכֶם	יְהוָה	חָשַׁק	הָעַמִּים	מִכָּל־	מֵרֻבְּכֶם	לֹא
あなたがたを	主は	愛された	諸国の–民の	すべての–中で	多いからではなく	ない
	H3068			H3605	H7230	H3808

הָעַמִּים׃	מִכָּל־	הַמְעַט	אַתֶּם	כִּי־	בָכֶם	וַיִּבְחַר
諸国の–民の	すべての–中で	最も–少ない	あなたがたは	むしろ	あなたがたを	そして–選ばれた
	H3605	H4592				H0977

主があなたがたを愛し、あなたがたを選ばれたのは、あなたがたがどの国民よりも数が多かったからではない。あなたがたはよろずの民のうち、もっとも数の少ないものであった。

8

אֲשֶׁר	הַשְּׁבֻעָה	אֶת־	וּמִשָּׁמְרוֹ	אֶתְכֶם	יְהוָה	מֵאַהֲבַת	כִּי
それを	誓いを	（を）	そして–守るために	あなたがたへの	主の	愛から–である	むしろ
	H7621	H0853	H8104	H0853	H3068	H0160	

חֲזָקָה	בְּיָד	אֶתְכֶם	יְהוָה	הוֹצִיא	לַאֲבֹתֵיכֶם	נִשְׁבַּע
力強い	の–手で	あなたがたを	主は	導き出した	あなたがたの–先祖たちに	誓われた
H2389	H3027	H0853	H3068	H3318	H0001	H7650

מִצְרָיִם׃	מֶלֶךְ־	פַּרְעֹה	מִיַּד	עַבָדִים	מִבֵּית	וַיִּפְדְּךָ
エジプトの	の–王	パロ	の–手から	奴隷の	の–家から	そして–贖われた
H4714	H4428	H6547	H3027	H5650		H6299

ただ主があなたがたを愛し、またあなたがたの先祖に誓われた誓いを守ろうとして、主は強い手をもってあなたがたを導き出し、奴隷の家から、エジプトの王パロの手から、あがない出されたのである。

9

שֹׁמֵר	הַנֶּאֱמָן	הָאֵל	הָאֱלֹהִים	הַהוּא	אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה	כִּי־	וְיָדַעְתָּ
守る	忠実な	神である	まことの–神であり	その方が	あなたの–神が	主が	ことを	そして–知れ
H8104	H0539	H0410	H0430	H1931	H0430	H3068		H3045

לְאֶלֶף	(מִצְוֹתָיו	[מצותו]	וּלְשֹׁמְרֵי	לְאֹהֲבָיו	וְהַחֶסֶד	הַבְּרִית
千の	その–戒めを	（異読）	そして–その–戒めを–守る者に	その方を–愛する者と	慈しみを	契約と
H0505	H4687	H4687	H8104	H0157		H1285

דּוֹר׃
代にまで
H1755

それゆえあなたは知らなければならない。あなたの神、主は神にましまし、真実の神にましまして、彼を愛し、その命令を守る者には、契約を守り、恵みを施して千代に及び、

10

יְאַחֵר	לֹא	לְהַאֲבִידוֹ	פָּנָיו	אֶל־	לְשֹׂנְאָיו	וּמְשַׁלֵּם
遅れない	ない	滅ぼすために	その	の–顔に	その方を–憎む者に	そして–報いる
H0309	H3808	H0006	H6440	H0413	H8130	

לוֹ׃	יְשַׁלֵּם־	פָּנָיו	אֶל־	לְשֹׂנְאוֹ
その者に	報いる	その	の–顔に	その方を–憎む者に
		H6440	H0413	H8130

また彼を憎む者には、めいめいに報いて滅ぼされることを。主は自分を憎む者には猶予することなく、めいめいに報いられる。

11

אָנֹכִי	אֲשֶׁר	הַמִּשְׁפָּטִים	וְאֶת־	הַחֻקִּים	וְאֶת־	הַמִּצְוָה	אֶת־	וְשָׁמַרְתָּ
わたしが	それを	定めを	そして（を）	掟と	そして（を）	戒めと	（を）	そして–守れ
H0595		H4941	H0853	H2706	H0853	H4687	H0853	H8104

פ	לַעֲשׂוֹתָם׃	הַיּוֹם	מְצַוְּךָ
（区切り）	行うために	今日	命じている
		H3117	H6680

それゆえ、きょうわたしがあなたに命じる命令と、定めと、おきてとを守って、これを行わなければならない。

12

וְעָשִׂיתֶם	וּשְׁמַרְתֶּם	הָאֵלֶּה	הַמִּשְׁפָּטִים	אֶת	תִּשְׁמְעוּן	עֵקֶב	וְהָיָה
そして–行うなら	そして–守り	これらの	定めを	（を）	聞くなら	の–報いとして	そして–なる
	H8104	H0428	H4941	H0853	H8085	H6118	H1961

הַחֶסֶד	וְאֶת־	הַבְּרִית	אֶת־	לְךָ	אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה	וְשָׁמַר	אֹתָם
慈しみを	そして（を）	契約と	（を）	あなたに	あなたの–神が	主が	そして–守られる	それらを
	H0853	H1285	H0853		H0430	H3068	H8104	H0853

לַאֲבֹתֶיךָ׃	נִשְׁבַּע	אֲשֶׁר
あなたの–先祖たちに	誓われた	それを
H0001	H7650	

あなたがたがこれらのおきてを聞いて守り行うならば、あなたの神、主はあなたの先祖たちに誓われた契約を守り、いつくしみを施されるであろう。

13

בִּטְנְךָ	פְּרִי־	וּבֶרֶךְ	וְהִרְבֶּךָ	וּבֵרַכְךָ	וַאֲהֵבְךָ
あなたの–胎の	の–実を	そして–祝福する	そして–増やす	そして–祝福し	そして–愛し
H0990	H6529	H1288		H1288	H0157

שְׁנַר־	וְיִצְהָרֶךָ	וְתִירֹשֶׁךָ	דְּגָנֶךָ	אַדְמָתֶךָ	וּפְרִי־
の–子を	あなたの–油と	あなたの–ぶどう酒と	あなたの–穀物と	あなたの–土地の	そして–の–実を
H7698	H3323	H8492	H1715	H0127	H6529

נִשְׁבַּע	אֲשֶׁר־	הָאֲדָמָה	עַל	צֹאנֶךָ	וְעַשְׁתְּרֹת	אֲלָפֶיךָ
誓われた	それを	土地の	の–上で	あなたの–羊の	そして–の–群れを	あなたの–牛の
H7650		H0127		H6629	H6251	H0504

לָךְ׃	לָתֶת	לַאֲבֹתֶיךָ
あなたに	与えると	あなたの–先祖たちに
	H5414	H0001

あなたを愛し、あなたを祝福し、あなたの数を増し、あなたに与えると先祖たちに誓われた地で、あなたの子女を祝福し、あなたの地の産物、穀物、酒、油、また牛の子、羊の子を増されるであろう。

14

עָקָר	בְּךָ	יִהְיֶה	לֹא־	הָעַמִּים	מִכָּל־	תִּהְיֶה	בָּרוּךְ
不妊の–男も	あなたの–中に	いない	ない	諸国の–民の	すべての–中で	なる	祝福される
H6135		H1961	H3808		H3605	H1961	H1288

וּבִבְהֶמְתֶּךָ׃	וְעֵקָרָה
あなたの–家畜にも	不妊の–女も
H0929	H6135

あなたは万民にまさって祝福されるであろう。あなたのうち、男も女も子のないものはなく、またあなたの家畜にも子のないものはないであろう。

15 וְהֵסִיר יְהוָה מִמְּךָ כָּל־חֳלִי וְכָל־מַדְוֵי מִצְרַיִם
そして-取り除く 主は あなたから すべての 病を そして-すべての の-疫病を エジプトの
H5493 H3068 H3605 H2483 H3605 H4064 H4714

אֲשֶׁר יָדַעְתָּ לֹא יְשִׂימָם בָּךְ וּנְתָנָם בְּכָל־שֹׂנְאֶיךָ׃
それを 知っている ない 置かない あなたに そして-置く すべての あなたを-憎む者に
H3045 H3808 H5414 H3605 H8130

主はまたすべての病をあなたから取り去り、あなたの知っている、あのエジプトの悪疫にかからせず、ただあなたを憎むすべての者にそれを臨ませられるであろう。

16 וְאָכַלְתָּ כָּל־עַמִּים אֲשֶׁר יְהוָה אֱלֹהֶיךָ נֹתֵן לָךְ
そして-滅ぼせ すべての 諸国の-民を それを 主が あなたの-神が 与える あなたに
H0398 H3605 H5971 H0853 H3068 H0430 H5414

לֹא־תָחוֹס עֵינְךָ עֲלֵיהֶם וְלֹא־תַעֲבֹד אֶת־אֱלֹהֵיהֶם כִּי־הוּא מוֹקֵשׁ לָךְ׃ ס
ない 惜しんではならない あなたの-目は 彼らを そして-ない 仕えてはならない （を） 彼らの-神々に なぜなら それは 罠である あなたに （区切り）
H3808 H2347 H5647 H0853 H0430 H3808 H1931 H4170

あなたの神、主があなたに渡される国民を滅ぼしつくし、彼らを見てあわれんではならない。また彼らの神々に仕えてはならない。それがあなたのわなとなるからである。

17 כִּי תֹאמַר בִּלְבָבְךָ רַבִּים הַגּוֹיִם הָאֵלֶּה מִמֶּנִּי אֵיכָה אוּכַל
もし 言うなら あなたの-心の-中で 多い 国々は これらの わたしより どうして できるか
H3201 H3824 H7227 H1471 H0428 H4480 H0349 H3201

לְהוֹרִישָׁם׃
追い出すことが
H3423

あなたは心のうちで『これらの国民はわたしよりも多いから、どうしてこれを追い払うことができようか』と言うのか。

18 לֹא תִירָא מֵהֶם זָכֹר תִּזְכֹּר אֵת אֲשֶׁר־עָשָׂה יְהוָה אֱלֹהֶיךָ
ない 恐れるな 彼らを 必ず 思い出せ （を） それを なされた 主が あなたの-神が
H3808 H3372 H1992 H2142 H2142 H0853 H0834 H6213 H3068 H0430

לְפַרְעֹה וּלְכָל־מִצְרָיִם׃
パロと そして-すべての エジプトに
H6547 H3605 H4714

彼らを恐れてはならない。あなたの神、主がパロと、すべてのエジプトびとにされたことを、よく覚えなさい。

19 הַמַּסֹּת הַגְּדֹלֹת אֲשֶׁר־רָאוּ עֵינֶיךָ וְהָאֹתֹת וְהַמֹּפְתִים וְהַיָּד
の-試練を 大いなる それを 見た あなたの-目が そして-しるしと 奇跡と そして-の-手と
H4531 H1419 H0834 H7200 H5869 H0226 H4159 H3027

הַחֲזָקָה וְהַזְּרֹעַ הַנְּטוּיָה אֲשֶׁר הוֹצִאֲךָ יְהוָה אֱלֹהֶיךָ כֵּן
力強い そして-の-腕と 伸ばされた それによって 導き出された 主が あなたの-神が そのように
H2389 H2220 H5186 H0834 H3318 H3068 H0430 H3651

יַעֲשֶׂה יְהוָה אֱלֹהֶיךָ לְכָל־הָעַמִּים אֲשֶׁר־אַתָּה יָרֵא מִפְּנֵיהֶם׃
なさる 主は あなたの-神は すべての 諸国の-民に それを あなたが 恐れている 彼らの-前で
H6213 H3068 H0430 H3605 H5971 H0834 H0859 H3372 H6440

すなわち、あなたが目で見た大いなる試みと、しるしと、不思議と、強い手と、伸ばした腕とを覚えなさい。あなたの神、主はこれらをもって、あなたを導き出されたのである。またそのように、あなたの神、主はあなたが恐れているすべての民にされるであろう。

20 וְגַם֙ אֶת־הַצִּרְעָ֔ה יְשַׁלַּ֥ח יְהוָ֖ה אֱלֹהֶ֑יךָ בָּ֔ם עַד־אֲבֹ֗ד הַנִּשְׁאָרִ֤ים וְהַנִּסְתָּרִים֙ מִפָּנֶ֔יךָ׃

そして–また (H1571) / （を） (H0853) / 雀蜂を (H6880) / 送る (H7971) / 主が (H3068) / あなたの–神が (H0430) / 彼らの–中に / まで (H5704) / 滅びる (H0006)

残った–者と (H7604) / 隠れた–者が (H5641) / あなたの–前から (H6440)

あなたの神、主はまた、くまばちを彼らのうちに送って、なお残っている者と逃げ隠れている者を滅ぼしつくされるであろう。

21 לֹ֣א תַעֲרֹ֤ץ מִפְּנֵיהֶם֙ כִּֽי־יְהוָ֣ה אֱלֹהֶ֔יךָ בְּקִרְבֶּ֑ךָ אֵ֥ל גָּד֖וֹל וְנוֹרָֽא׃

ない (H3808) / おののくな (H6206) / 彼らの–前で (H6440) / なぜなら / 主が (H3068) / あなたの–神が (H0430) / あなたの–中に–おられる (H7130) / 神である (H0410)

そして–畏るべき (H3372) / 大いなる

あなたは彼らを恐れてはならない。あなたの神、主である大いなる恐るべき神があなたのうちにおられるからである。

22 וְנָשַׁל֙ יְהוָ֣ה אֱלֹהֶ֔יךָ אֶת־הַגּוֹיִם֙ הָאֵ֔ל מִפָּנֶ֖יךָ מְעַ֣ט מְעָ֑ט לֹ֤א תוּכַל֙ כַּלֹּתָ֣ם מַהֵ֔ר פֶּן־תִּרְבֶּ֥ה עָלֶ֖יךָ חַ֥ית הַשָּׂדֶֽה׃

そして–追い出す (H5394) / 主が (H3068) / あなたの–神が (H0430) / これらの (H0411) / 国々を / （を） (H0853) / 少しずつ (H4592) / あなたの–前から (H6440)

の–獣が / あなたの–上に / 増える (H7235) / ないように (H6435) / たちまちに (H4118) / 滅ぼすことは (H3615) / できない (H3201) / ない (H3808) / 少しずつ (H4592)

野の

あなたの神、主はこれらの国民を徐々にあなたの前から追い払われるであろう。あなたはすみやかに彼らを滅ぼしつくしてはならない。そうでなければ、野の獣が増してあなたを害するであろう。

23 וּנְתָנָ֣ם יְהוָ֣ה אֱלֹהֶ֔יךָ לְפָנֶ֖יךָ וְהָמָ֣ם מְהוּמָ֑ה גְּדֹלָ֥ה עַד־הִשָּׁמְדָֽם׃

そして–渡す (H5414) / 主が (H3068) / あなたの–神が (H0430) / あなたの–前に (H6440) / そして–混乱させる (H2000) / 混乱で (H4103) / 大いなる / まで (H5704)

滅ぼす (H8045)

しかし、あなたの神、主は彼らをあなたに渡し、大いなる混乱におとしいれて、ついに滅ぼされるであろう。

24 וְנָתַן֙ מַלְכֵיהֶ֣ם בְּיָדֶ֔ךָ וְהַאֲבַדְתָּ֣ אֶת־שְׁמָ֔ם מִתַּ֖חַת הַשָּׁמָ֑יִם לֹא־יִתְיַצֵּ֥ב אִישׁ֙ בְּפָנֶ֔יךָ עַ֥ד הִשְׁמְדֵ֖ךְ אֹתָֽם׃

そして–渡す (H5414) / その–王たちを (H4428) / あなたの–手に (H3027) / そして–滅ぼせ (H0006) / （を） (H0853) / 彼らの–名を (H8034) / の–下から (H8478) / 天の (H8064)

ない (H3808) / 立ち向かえない (H3320) / 誰も (H0376) / あなたの–前に (H6440) / まで (H5704) / 滅ぼす (H8045) / 彼らを (H0853)

また彼らの王たちをあなたの手に渡されるであろう。あなたは彼らの名を天の下から消し去るであろう。あなたに立ちむかうものはなく、あなたはついに彼らを滅ぼすにいたるであろう。

25

עֲלֵיהֶם	וְזָהָב	כֶּסֶף	תַּחְמֹד	לֹא־	בָּאֵשׁ	תִּשְׂרְפוּן	אֱלֹהֵיהֶם	פְּסִילֵי
それらの–上の	金を	銀と	欲してはならない	ない	火で	焼け	彼らの–神々の	の–偶像を
	H2091	H3701		H3808	H0784	H8313	H0430	H6456

כִּי	בּוֹ	תִּוָּקֵשׁ	פֶּן	לְךָ	וְלָקַחְתָּ	
なぜなら	それによって	罠にかかる	ないように	あなたの–ために	そして–取ってはならない	
		H3369	H6435		H3947	

הוּא׃	אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה	תּוֹעֲבַת
それは	あなたの–神の	主の	忌み–である
H1931	H0430	H3068	H8441

あなたは彼らの神々の彫像を火に焼かなければならない。それに着せた銀または金をむさぼってはならない。これを取って自分のものにしてはならない。そうでなければ、あなたはこれによって、わなにかかるであろう。これはあなたの神が忌みきらわれるものだからである。

26

וְהָיִיתָ	בֵיתֶךָ	אֶל־	תּוֹעֵבָה	תָּבִיא	וְלֹא־	
そして–なる	あなたの–家に	に	忌むべきものを	持ち込んではならない	そして–ない	
H1961		H0413	H8441	H0935	H3808	

כִּי־	תְתַעֲבֶנּוּ	וְתַעֵב	תְּשַׁקְּצֶנּוּ	וְשַׁקֵּץ	כָּמֹהוּ	חֵרֶם
なぜなら	忌み–嫌え	忌み–嫌え	忌み–嫌え	忌み–嫌え	それの–ように	滅びに–定められたものに
	H8581	H8581	H8262	H8262	H3644	

פ	הוּא׃	חֵרֶם	
（区切り）	それは	滅びに–定められたもの	
	H1931		

あなたは忌むべきものを家に持ちこんで、それと同じようにあなた自身も、のろわれたものとなってはならない。あなたはそれを全く忌みきらわなければならない。それはのろわれたものだからである。

Chapter 8

1

לְמַעַן	לַעֲשׂוֹת	תִּשְׁמְרוּן	הַיּוֹם	מְצַוְּךָ	אָנֹכִי	אֲשֶׁר	הַמִּצְוָה	כָּל־
ために	行うために	守れ	今日	命じている	わたしが	それを	戒めを	すべての
H4616		H8104	H3117	H6680	H0595		H4687	H3605

אֲשֶׁר־	הָאָרֶץ	אֶת־	וִירִשְׁתֶּם	וּבָאתֶם	וּרְבִיתֶם		תִּחְיוּן
それを	その–地を	（を）	そして–所有せよ	そして–入り	そして–増えるように		生きるように
	H0776	H0853	H3423	H0935			H2421

לַאֲבֹתֵיכֶם׃	יְהוָה	נִשְׁבַּע	
あなたがたの–先祖たちに	主が	誓われた	
H0001	H3068	H7650	

わたしが、きょう、命じるこのすべての命令を、あなたがたは守って行わなければならない。そうすればあなたがたは生きることができ、かつふえ増し、主があなたがたの先祖に誓われた地にはいって、それを自分のものとすることができるであろう。

2

וְזָכַרְתָּ אֶת־כָּל־הַדֶּרֶךְ אֲשֶׁר הֹלִיכְךָ יְהוָה אֱלֹהֶיךָ
そして–思い出せ （を） すべての 道を それを 導かれた 主が あなたの–神が
H2142 H0853 H3605 H1870 H0853 H3212 H3068 H0430

זֶה אַרְבָּעִים שָׁנָה בַּמִּדְבָּר לְמַעַן עַנֹּתְךָ לְנַסֹּתְךָ לָדַעַת אֶת־אֲשֶׁר
この 四十 年 荒野で ために へりくだらせ 試みるために 知るために （を） それを
H2088 H0705 H8141 H4616 H6031 H5254 H3045 H0853 H0834

בִּלְבָבְךָ הֲתִשְׁמֹר (מצותו) [מִצְוֹתָיו] אִם־לֹא׃
あなたの–心の–中に 守るかどうか （異読） その–戒めを か–否か 否か
H3824 H8104 H4687 H4687 H0518 H3808

あなたの神、主がこの四十年の間、荒野であなたを導かれたそのすべての道を覚えなければならない。それはあなたを苦しめて、あなたを試み、あなたの心のうちを知り、あなたがその命令を守るか、どうかを知るためであった。

3

וַיְעַנְּךָ וַיַּרְעִבֶךָּ וַיַּאֲכִלְךָ אֶת הַמָּן לֹא־אֲשֶׁר
そして–へりくだし そして–飢えさせ そして–食べさせた （を） マナを ない それを
H6031 H7456 H0398 H0853 H4478 H3808 H0834

יָדַעְתָּ וְלֹא יָדְעוּן אֲבֹתֶיךָ לְמַעַן הוֹדִעֲךָ כִּי לְמַעַן לְבַדּוֹ
知らなかった そして–ない 知らなかった あなたの–先祖たちも ために 知らせるために ことを ない
H3045 H3808 H3045 H0001 H4616 H3045 H3588 H3808

כָּל־מוֹצָא עַל־כָּל יִחְיֶה הָאָדָם כִּי עַל־הַלֶּחֶם
すべての の–すべてによって むしろ 人は 生きるのではない だけで パン の–みによって
H3605 H4480 H3588 H0120 H2421 H0905 H3899 H5921

מִפִּי יְהוָה יִחְיֶה הָאָדָם׃
の–口から 出るもの 主の 生きる 人は
H6310 H4161 H3068 H2421 H0120

それで主はあなたを苦しめ、あなたを飢えさせ、あなたも知らず、あなたの先祖たちも知らなかったマナをもって、あなたを養われた。人はパンだけでは生きず、人は主の口から出るすべてのことばによって生きることをあなたに知らせるためであった。

4

שִׂמְלָתְךָ לֹא בָלְתָה מֵעָלֶיךָ וְרַגְלְךָ לֹא בָצֵקָה
あなたの–衣服は ない 擦り切れなかった あなたから そして–あなたの–足は ない 腫れなかった
H8071 H3808 H1086 H4480 H5921 H7272 H3808 H1216

זֶה אַרְבָּעִים שָׁנָה׃
この 四十 年
H2088 H0705 H8141

この四十年の間、あなたの着物はすり切れず、あなたの足は、はれなかった。

5

וְיָדַעְתָּ עִם־לְבָבֶךָ כִּי כַּאֲשֶׁר יִסַּר אִישׁ אֶת־בְּנוֹ יְהוָה אֱלֹהֶיךָ מְיַסְּרֶךָּ׃
そして–知れ の–中で あなたの–心の ことを のように 譲る 人が （を） その–息子を 主は あなたの–神は 譲っておられる
H3045 H5973 H3824 H3588 H3602 H3256 H0376 H0853 H1121 H3068 H0430 H3256

あなたはまた人がその子を訓練するように、あなたの神、主もあなたを訓練されることを心にとめなければならない。

6 וְשָׁמַרְתָּ֙ אֵת־ מִצְוֹת֙ יְהוָ֣ה אֱלֹהֶ֔יךָ לָלֶ֖כֶת בִּדְרָכָ֑יו וּלְיִרְאָ֖ה
そして–守れ (を) 戒めを 主の あなたの–神の 歩むために その–道を そして–畏れるために
H8104 H0853 H4687 H3068 H0430 H3212 H1870 H3372

אֹתֽוֹ׃
その方を
H0853

あなたの神、主の命令を守り、その道に歩んで、彼を恐れなければならない。

7 כִּ֣י יְהוָ֣ה אֱלֹהֶ֗יךָ מְבִיאֲךָ֙ אֶל־ אֶ֣רֶץ טוֹבָ֔ה אֶ֖רֶץ נַחֲלֵ֣י
なぜなら 主が あなたの–神が 導き入れる に 地に 良い 地である の–川と
H3068 H0430 H0935 H0413 H0776 H2896 H0776 H5158

מָ֑יִם עֲיָנֹ֤ת וּתְהֹמֹת֙ יֹצְאִ֣ים בַּבִּקְעָ֔ה וּבָהָ֖ר׃
水の 泉と 深い–水源が 湧き出る 谷に そして–山に
H4325 H5869 H8415 H3318 H1237 H2022

それはあなたの神、主があなたを良い地に導き入れられるからである。そこは谷にも山にもわき出る水の流れ、泉、および淵のある地、

8 אֶ֣רֶץ חִטָּ֣ה וּשְׂעֹרָ֗ה וְגֶ֨פֶן֙ וּתְאֵנָ֣ה וְרִמּ֔וֹן אֶֽרֶץ־ זֵ֥ית שֶׁ֖מֶן
地である 小麦と 大麦と ぶどうと いちじくと ざくろと の–地である オリーブと 油と
H0776 H2406 H8184 H1612 H8384 H7416 H0776 H2132 H8081

וּדְבָֽשׁ׃
蜜の
H1706

小麦、大麦、ぶどう、いちじく及びざくろのある地、油のオリブの木、および蜜のある地、

9 אֶ֣רֶץ אֲשֶׁ֣ר לֹא־ בְמִסְכֵּנֻ֣ת תֹּאכַל־ בָּ֣הּ לֶ֔חֶם לֹ֥א תֶחְסַ֖ר כֹּ֑ל בָּ֣הּ
地である そこでは ない 乏しく 食べる そこで パンを ない 何も そこでは
H0776 H3808 H4544 H0398 H1931 H3899 H3808 H3605 H1931

אַבְנֶ֙יהָ֙ אֲשֶׁ֣ר בַּרְזֶ֔ל וּמֵֽהָרָ֖יהָ תַּחְצֹ֥ב נְחֹֽשֶׁת׃
石は その 鉄であり そして–その–山から 掘り出せる 銅を
H0068 H0834 H1270 H2042 H2672 H5178

あなたが食べる食物に欠けることなく、なんの乏しいこともない地である。その地の石は鉄であって、その山からは銅を掘り取ることができる。

10 וְאָכַלְתָּ֖ וְשָׂבָ֑עְתָּ וּבֵרַכְתָּ֙ אֵת֙ יְהוָ֣ה אֱלֹהֶ֔יךָ עַל־ הָאָ֖רֶץ
そして–食べ そして–満ち足り そして–祝福せよ (を) 主を あなたの–神を の–ゆえに 地の
H0398 H7646 H1288 H0853 H3068 H0430 H5921 H0776

הַטֹּבָ֥ה אֲשֶׁ֖ר נָתַ֥ן לָֽךְ׃
良い それを 与えられた あなたに
H2896 H0834 H5414 H0

あなたは食べて飽き、あなたの神、主がその良い地を賜わったことを感謝するであろう。

11 הִשָּׁמֶ֣ר לְךָ֗ פֶּן־ תִּשְׁכַּח֙ אֵת֙ יְהוָ֣ה אֱלֹהֶ֔יךָ לְבִלְתִּ֖י
気をつけよ あなた自身に ないように 忘れる (を) 主を あなたの–神を ないように
H8104 H0 H6435 H7911 H0853 H3068 H0430 H1115

שְׁמֹ֣ר מִצְוֹתָ֣יו וּמִשְׁפָּטָ֣יו וְחֻקֹּתָ֔יו אֲשֶׁ֥ר אָנֹכִ֛י מְצַוְּךָ֥ הַיּֽוֹם׃
守らない その–戒めと その–定めと その–掟を それを わたしが 命じている 今日
H8104 H4687 H4941 H2708 H0834 H0595 H6680 H3117

あなたは、きょう、わたしが命じる主の命令と、おきてと、定めとを守らず、あなたの神、主を忘れることのないように慎まなければならない。

12 פֶּן־ תֹּאכַל וְשָׂבָעְתָ וּבָתִּים טוֹבִים תִּבְנֶה וְיָשָׁבְתָ׃
ないように 食べて 満ち足りて そして-良い-家々を 良い 建てて 住み
H6435 H0398 H7646 H1129 H3427

あなたは食べて飽き、麗しい家を建てて住み、

13 וּבְקָרְךָ וְצֹאנְךָ יִרְבְּיֻן וְכֶסֶף וְזָהָב יִרְבֶּה־ לָּךְ וְכֹל
そして-あなたの-牛が あなたの-羊が 増え そして-銀と 金が 増え あなたに そして-すべて
H1241 H6629 H3701 H2091 H3605

אֲשֶׁר־ לְךָ יִרְבֶּה׃
それが あなたに 増えても

また牛や羊がふえ、金銀が増し、持ち物がみな増し加わるとき、

14 וְרָם לְבָבֶךָ וְשָׁכַחְתָּ אֶת־ יְהוָה אֱלֹהֶיךָ הַמּוֹצִיאֲךָ
そして-高ぶる あなたの-心が そして-忘れる (を) 主を あなたの-神を 導き出された
H3824 H7911 H0853 H3068 H0430 H3318

מֵאֶרֶץ מִצְרַיִם מִבֵּית עֲבָדִים׃
の-地から エジプト の-家から 奴隷の
H0776 H4714 H5650

おそらく心にたかぶり、あなたの神、主を忘れるであろう。主はあなたをエジプトの地、奴隷の家から導き出し、

15 הַמּוֹלִיכְךָ וּבַמִּדְבָּר הַגָּדֹל וְהַנּוֹרָא נָחָשׁ שָׂרָף וְעַקְרָב וְצִמָּאוֹן
導かれた 荒野を-通って 大きな そして-恐ろしい 蛇と 火の-蛇と さそりのいる そして-渇きの
H3212 H6774 H3372 H5175 H7565 H6137 H6774

הַמּוֹצִיא לְךָ מַיִם מִצּוּר הַחַלָּמִישׁ׃
出された あなたのために 水を の-岩から 硬い
H3318 H4325 H6697 H2496

あなたを導いて、あの大きな恐ろしい荒野、すなわち火のへびや、さそりがいて、水のない、かわいた地を通り、あなたのために堅い岩から水を出し、

16 אֲשֶׁר לֹא־ יָדְעוּן אֲבֹתֶיךָ לְמַעַן הַמַּאֲכִלְךָ מָן בַּמִּדְבָּר אֲשֶׁר לֹא־
ない それを 荒野で マナを 食べさせた ために あなたの-先祖たちも 知らなかった
H3808 H0398 H4616 H0001 H3045

יְדָעוּן אֲבֹתֶיךָ לְמַעַן עַנֹּתְךָ וּלְמַעַן נַסֹּתֶךָ לְהֵיטִבְךָ בְּאַחֲרִיתֶךָ׃
あなたの-将来に 良くするために 試みるために そして-ために へりくだすために
H0319 H3190 H5254 H4616

先祖たちも知らなかったマナを荒野であなたに食べさせられた。それはあなたを苦しめ、あなたを試みて、ついにはあなたをさいわいにするためであった。

17 וְאָמַרְתָּ בִּלְבָבֶךָ כֹּחִי וְעֹצֶם יָדִי עָשָׂה לִי אֶת־ הַחַיִל הַזֶּה׃
そして-言うな あなたの-心の-中で わたしの-力と そして-の-強さが わたしの-手の 得た わたしに (を) この-富を この
H0559 H3824 H3581 H6108 H3027 H0853 H2428 H2088

あなたは心のうちに『自分の力と自分の手の働きで、わたしはこの富を得た』と言ってはならない。

18 וְזָכַרְתָּ֣ אֵת־ יְהוָ֣ה אֱלֹהֶ֗יךָ כִּ֤י הוּא֙ הַנֹּתֵ֣ן לְךָ֔

あなたに 与える方である その方が なぜなら あなたの–神を 主を （を） そして–思い出せ
H5414 H1931 H0430 H3068 H0853 H2142

כֹּ֖חַ לַֽעֲשׂ֣וֹת חָ֑יִל לְמַ֙עַן֙ הָקִ֣ים אֶת־ בְּרִית֔וֹ אֲשֶׁר־ נִשְׁבַּ֥ע

力を 得るための 富を ために 立てるために （を） その–契約を それを 誓われた
H2428 H4616 H7650

לַאֲבֹתֶ֖יךָ כַּיּ֥וֹם הַזֶּֽה׃ פ

あなたの–先祖たちに 今日の–ように この （区切り）
H0001 H3117 H2088

あなたはあなたの神、主を覚えなければならない。主はあなたの先祖たちに誓われた契約を今日のように行うために、あなたに富を得る力を与えられるからである。

19 וְהָיָ֗ה אִם־ שָׁכֹחַ֤ תִּשְׁכַּח֙ אֶת־ יְהוָ֣ה אֱלֹהֶ֔יךָ וְהָלַכְתָּ֣ אַחֲרֵ֔י

もし 忘れて 忘れるなら （を） 主を あなたの–神を そして–従うなら の–後に
H7911 H7911 H0853 H3068 H0430 H1980

וַעֲבַדְתָּ֖ם וְהִשְׁתַּחֲוִ֣יתָ לָהֶ֑ם הַעִדֹתִ֨י בָכֶ֤ם הַיּוֹם֙ כִּ֥י אָבֹ֖ד תֹּאבֵדֻֽן׃

そして–仕えるなら そして–ひれ伏すなら 彼らに 警告する あなたがたに 今日 ことを 滅びる
H5647 H7812 H0006 H3117

他の 他の–神々に
H0312 H0430

必ず
H0006

もしあなたの神、主を忘れて他の神々に従い、これに仕え、これを拝むならば、――わたしは、きょう、あなたがたに警告する。――あなたがたはきっと滅びるであろう。

20 כַּגּוֹיִ֗ם אֲשֶׁ֤ר יְהוָה֙ מַאֲבִ֣יד מִפְּנֵיכֶ֔ם כֵּ֖ן תֹּאבֵדֻ֑ן עֵ֚קֶב

国々の–ように それを 主が 滅ぼされる あなたがたの–前から そのように 滅びる の–ゆえに
H3068 H0006 H6440 H0006 H6118

לֹ֣א תִשְׁמְע֔וּן בְּקֹ֖ול יְהוָ֣ה אֱלֹהֵיכֶ֑ם׃ פ

ない 聞かないから の–声に 主の あなたがたの–神の （区切り）
H3808 H8085 H3068 H0430

主があなたがたの前から滅ぼし去られる国々の民のように、あなたがたも滅びるであろう。あなたがたの神、主の声に従わないからである。

Chapter 9

1 שְׁמַ֣ע יִשְׂרָאֵ֗ל אַתָּ֤ה עֹבֵר֙ הַיּ֣וֹם אֶת־ הַיַּרְדֵּ֔ן לָבֹא֙ לָרֶ֣שֶׁת

聞け イスラエルよ あなたは 渡る 今日 （を） ヨルダンを 入るために 所有するために
H8085 H3478 H5674 H3117 H0853 H3383 H0935 H3423

גֹּיִ֥ם גְּדֹלִ֛ים וַעֲצֻמִ֖ים מִמֶּ֑ךָּ עָרִ֣ים גְּדֹלֹ֧ת וּבְצֻר֛וֹת בַּשָּׁמָֽיִם׃

国々を 大きな そして–強い あなたより 町々を 大きな そして–要塞のある 天に–届くほどの
H1471 H1419 H6099 H4480 H5892 H1419 H1219 H8064

イスラエルよ、聞きなさい。あなたは、きょう、ヨルダンを渡って行って、あなたよりも大きく、かつ強い国々を取ろうとしている。その町々は大きく、石がきは天に達している。

2

יָדַעְתָּ	אַתָּה	אֲשֶׁר	עֲנָקִים	בְּנֵי	וָרָם	גָּדוֹל	עַם־
知っている	あなたが	それを	アナク	の–子らである	そして–背が–高い	大きく	民は
H3045			H6062				

	עֲנָק׃	בְּנֵי	לִפְנֵי	יִתְיַצֵּב	מִי	שָׁמַעְתָּ	וְאַתָּה
	アナクの	の–子ら	の–前に	立ち向かえるか	誰が	聞いた	そして–あなたが
	H6061		H6440	H3320	H4310	H8085	

その民は、あなたの知っているアナクびとの子孫であって、大きく、また背が高い。あなたはまた『アナクの子孫の前に、だれが立つことができようか』と人の言うのを聞いた。

3

לְפָנֶיךָ	הָעֹבֵר	הוּא־	אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה	כִּי	הַיּוֹם	וְיָדַעְתָּ
あなたの–前を	渡って–行かれる	その方こそ	あなたの–神が	主が	ことを	今日	そして–知れ
H6440		H1931	H0430	H3068		H3117	H3045

וְהוֹרַשְׁתָּם	לְפָנֶיךָ	יַכְנִיעֵם	וְהוּא	יַשְׁמִידֵם	הוּא	אֹכְלָה	אֵשׁ
そして–追い出し	あなたの–前で	屈服させる	その方が	滅ぼし	その方が	焼き尽くす	火として
H3423	H6440	H3665	H1931	H8045	H1931	H0398	H0784

לָךְ׃	יְהוָה	דִּבֶּר	כַּאֲשֶׁר	מַהֵר	וְהַאֲבַדְתָּם
あなたに	主が	語られた	のように	たちまちに	そして–滅ぼせ
	H3068	H1696			H0006

それゆえ、あなたは、きょう、あなたの神、主は焼きつくす火であって、あなたの前に進まれることを知らなければならない。主は彼らを滅ぼし、彼らをあなたの前に屈伏させられるであろう。主があなたに言われたように、彼らを追い払い、すみやかに滅ぼさなければならない。

4

מִלְּפָנֶיךָ	וְאֹתָם	אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה	בַּהֲדֹף	בִּלְבָבְךָ	תֹּאמַר	אַל־
あなたの–前から	彼らを	あなたの–神が	主が	追い出す–時に	あなたの–心の–中で	言うな	ない
H6440	H0853	H0430	H3068	H1920	H3824	H0559	H0408

הַזֹּאת	הָאָרֶץ	אֶת־	לָרֶשֶׁת	יְהוָה	הֱבִיאַנִי	בְּצִדְקָתִי	לֵאמֹר
この	この–地を	(を)	所有するために	主が	導き入れた	わたしの–正しさの–ゆえに	言って
H2063	H0776	H0853	H3423	H3068	H0935	H6666	H0559

מִפָּנֶיךָ׃	מוֹרִישָׁם	יְהוָה	הָאֵלֶּה	הַגּוֹיִם	וּבִרְשָׁעַת
あなたの–前から	追い出しておられる	主が	これらの	国々の	むしろ–の–悪の–ゆえに
H6440	H3423	H3068	H0428		H7564

あなたの神、主があなたの前から彼らを追い払われた後に、あなたは心のなかで『わたしが正しいから主はわたしをこの地に導き入れてこれを獲させられた』と言ってはならない。この国々の民が悪いから、主はこれをあなたの前から追い払われるのである。

5

אַתָּה	לְבָבֶךָ	וּבִישֶׁר	בְּצִדְקָתְךָ	לֹא
あなたは	あなたの–心の	また–の–正しさに–よってでもなく	あなたの–正しさに–よってではなく	ない
	H3824	H3476	H6666	H3808

יְהוָה	הָאֵלֶּה	הַגּוֹיִם	וּבִרְשָׁעַת	כִּי	אַרְצָם	אֶת־	לָרֶשֶׁת	בָּא
主が	これらの	国々の	の–悪の–ゆえに	むしろ	彼らの–地を	(を)	所有するために	入るのではない
H3068	H0428		H7564		H0776	H0853	H3423	H0935

הַדָּבָר	אֶת־	הָקִים	וּלְמַעַן	מִפָּנֶיךָ	מוֹרִישָׁם	אֱלֹהֶיךָ
言葉を	(を)	立てるために	そして–ために	あなたの–前から	追い出しておられる	あなたの–神が
H1697	H0853		H4616	H6440	H3423	H0430

וּלְיַעֲקֹב׃	לְיִצְחָק	לְאַבְרָהָם	לַאֲבֹתֶיךָ	יְהוָה	נִשְׁבַּע	אֲשֶׁר
そして–ヤコブに	イサクに	アブラハムに	あなたの–先祖たちに	主が	誓われた	それを
H3290	H3327	H0085	H0001	H3068	H7650	

あなたが行ってその地を獲るのは、あなたが正しいからではなく、またあなたの心がまっすぐだからでもない。この国々の民が悪いから、あなたの神、主は彼らをあなたの前から追い払われるのである。これは主があなたの先祖アブラハム、イサク、ヤコブに誓われた言葉を行われるためである。

6

נֹתֵן	אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה	בְּצִדְקָתְךָ	לֹא	כִּי	וְיָדַעְתָּ	
与える	あなたの-神が	主が	あなたの-正しさの-ゆえにではなく	ない	ことを	そして-知れ	
H5414	H0430	H3068	H6666	H3808		H3045	

עֹרֶף	קְשֵׁה-	עַם-	כִּי	לְרִשְׁתָּהּ	הַזֹּאת	הַטּוֹבָה	הָאָרֶץ	אֶת-	לְךָ
首の	強情な	の-民である	なぜなら	所有するために	この	良い	この-地を	(を)	あなたに
H6203	H7186			H3423	H2063		H0776	H0853	

אָתָּה׃
あなたは

それであなたは、あなたの神、主があなたにこの良い地を与えてこれを得させられるのは、あなたが正しいからではないことを知らなければならない。あなたは強情な民である。

7

בַּמִּדְבָּר	אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה	אֶת-	הִקְצַפְתָּ	אֲשֶׁר-	אֶת	תִּשְׁכַּח	אַל-	זְכֹר
荒野で	あなたの-神を	主を	(を)	怒らせたことを	それを	(を)	忘れるな	ない	思い出せ
	H0430	H3068	H0853	H7107		H0853	H7911	H0408	H2142

הַזֶּה	הַמָּקוֹם	עַד-	בֹּאֲכֶם	עַד-	מִצְרַיִם	מֵאֶרֶץ	וָתֵצְאוּ	אֲשֶׁר-	הַיּוֹם	לְמִן-
この	この-場所に	まで	来た時	まで	エジプト	の-地から	出た	それを	日	から
H2088	H4725	H5704	H0935	H5704	H4714	H0776	H3318		H3117	

יְהוָה׃	עִם-	הֱיִיתֶם	מַמְרִים
主に	に-対して	であった	逆らっていた
H3068		H1961	H4784

あなたは荒野であなたの神、主を怒らせたことを覚え、それを忘れてはならない。あなたがたはエジプトの地を出た日からこの所に来るまで、いつも主にそむいた。

8

לְהַשְׁמִיד	בָּכֶם	יְהוָה	וַיִּתְאַנַּף	יְהוָה	אֶת-	הִקְצַפְתֶּם	וּבְחֹרֵב	
滅ぼすほどに	あなたがたに	主が	そして-怒られた	主を	(を)	怒らせた	そして-ホレブで	
H8045		H3068	H0599	H3068	H0853	H7107	H2722	

אֶתְכֶם׃
あなたがたを
H0853

またホレブにおいてさえ、あなたがたが主を怒らせたので、主は怒ってあなたがたを滅ぼそうとされた。

9

יְהוָה	כָּרַת	אֲשֶׁר-	הַבְּרִית	לוּחֹת	הָאֲבָנִים	לוּחֹת	לָקַחַת	הָהָרָה	בַּעֲלֹתִי
主が	結ばれた	それを	契約の	板を	石の	板を	受けるために	山に	昇った-時
H3068	H3772		H1285	H3871	H0068	H3871	H3947	H2022	H5927

לֹא	לֶחֶם	לַיְלָה	וְאַרְבָּעִים	יוֹם	אַרְבָּעִים	בָּהָר	וָאֵשֵׁב	עִמָּכֶם
ない	パンを	夜	そして-四十	日	四十	山に	そして-留まった	あなたがたと
H3808	H3899	H3915	H0705	H3117	H0705	H2022	H3427	

שָׁתִיתִי׃	לֹא	וּמַיִם	אָכַלְתִּי
飲まなかった	ない	そして-水も	食べなかった
H8354	H3808	H4325	H0398

わたしが石の板すなわち主があなたがたと結ばれた契約の板を受けるために山に登った時、わたしは四十日四十夜、山にいて、パンも食べず水も飲まなかった。

10 וַיִּתֵּן יְהוָה אֵלַי אֶת־שְׁנֵי לוּחֹת הָאֲבָנִים כְּתֻבִים בְּאֶצְבַּע אֱלֹהִים
神の の–指で 書かれた 石の 板を 二枚の (を) わたしに 主が そして–与えた
H0430 H0676 H3789 H0068 H3871 H8147 H0853 H0413 H3068 H5414

וַעֲלֵיהֶם כְּכָל־הַדְּבָרִים אֲשֶׁר דִּבֶּר יְהוָה עִמָּכֶם בָּהָר
そして–その–上に すべての–ように 言葉の それを 語られた 主が あなたがたと 山で
H1697 H3605 H1696 H3068 H2022

מִתּוֹךְ הָאֵשׁ בְּיוֹם הַקָּהָל׃
の–中から 火の の–日に 集会の
H8432 H0784 H3117 H6951

主は神の指をもって書きしるした石の板二枚をわたしに授けられた。その上には、集会の日に主が山で火の中から、あなたがたに告げられた言葉が、ことごとく書いてあった。

11 וַיְהִי מִקֵּץ אַרְבָּעִים יוֹם וְאַרְבָּעִים לָיְלָה נָתַן יְהוָה אֵלַי אֶת־
そして–なった の–終わりに 四十 日と 四十 夜の 与えた 主が わたしに (を)
H1961 H7093 H0705 H3117 H0705 H3915 H5414 H3068 H0413 H0853

שְׁנֵי לֻחֹת הָאֲבָנִים לֻחֹת הַבְּרִית׃
二枚の 板を 石の 板を 契約の
H8147 H3871 H0068 H3871 H1285

すなわち四十日四十夜が終った時、主はわたしにその契約の板である石の板二枚を授け、

12 וַיֹּאמֶר יְהוָה אֵלַי קוּם רֵד מַהֵר מִזֶּה כִּי שִׁחֵת
そして–言われた 主が わたしに 立て 降れ 急いで ここから なぜなら 堕落した
H0559 H3068 H0413 H6965 H3381 H4118 H2088 H3588 H7843

עַמְּךָ אֲשֶׁר הוֹצֵאתָ מִמִּצְרָיִם סָרוּ מַהֵר מִן־הַדֶּרֶךְ אֲשֶׁר צִוִּיתִם
あなたの–民が それを 導き出した エジプトから 背いた 急いで から 道から それを 命じた
H5971 H3318 H4714 H5493 H4118 H4480 H1870 H6680

עָשׂוּ לָהֶם מַסֵּכָה׃
造った 自分たちの–ために 鋳物の–像を
H6213 H0853 H4541

そして主はわたしに言われた、『おまえは立って、すみやかにこの所から降りなさい。おまえがエジプトから導き出した民は悪を行ったからである。彼らはわたしが命じた道を早くも離れて、鋳た像を自分たちのために造った』。

13 וַיֹּאמֶר יְהוָה אֵלַי לֵאמֹר רָאִיתִי אֶת־הָעָם הַזֶּה וְהִנֵּה
そして–言われた 主が わたしに 言って 見た (を) この民を そして–見よ
H0559 H3068 H0413 H0559 H7200 H0853 H5971 H2088 H2009

עַם־קְשֵׁה עֹרֶף הוּא׃
の–民である 強情な 首の それは
H5971 H7186 H6203 H1931

主はまたわたしに言われた、『この民を見るのに、これは強情な民である。

14 הֶרֶף מִמֶּנִּי וְאַשְׁמִידֵם וְאֶמְחֶה אֶת־שְׁמָם מִתַּחַת
放っておけ わたしから そして–滅ぼそう そして–消し去ろう (を) 彼らの–名を の–下から
H7503 H4480 H8045 H4229 H0853 H8034 H8478

הַשָּׁמָיִם וְאֶעֱשֶׂה אֹתְךָ לְגוֹי עָצוּם וְרָב מִמֶּנּוּ׃
天の そして–つくろう あなたを の–国民と 強い そして–多い 彼らより
H8064 H6213 H0853 H1471 H6099 H7227 H4480

わたしを止めるな。わたしは彼らを滅ぼし、彼らの名を天の下から消し去り、おまえを彼らよりも強く、かつ大いなる国民としよう』。

15 וָאֵפֶן וָאֵרֵד מִן־ הָהָר וְהָהָר בֹּעֵר בָּאֵשׁ וּשְׁנֵי
そして-向きを-変え そして-降りた から 山から そして-山は 燃えていた 火で そして-二枚の
H6437 H3381 H2022 H2022 H1197 H0784 H8147

לֻחֹת הַבְּרִית עַל שְׁתֵּי יָדָי׃
板が 契約の の-上に 二つの わたしの-手の
H3871 H1285 H5921 H8147 H3027

そこでわたしは身をめぐらして山を降りたが、山は火で焼けていた。契約の板二枚はわたしの両手にあった。

16 וָאֶרְא וְהִנֵּה חֲטָאתֶם לַיהוָה אֱלֹהֵיכֶם עֲשִׂיתֶם לָכֶם
そして-見た そして-見よ 罪を-犯した 主に-対して あなたがたの-神に 造った 自分たちの-ために
H7200 H2009 H2398 H3068 H0430 H6213 H0853

מַהֵר סַרְתֶּם מִן־ הַדֶּרֶךְ אֲשֶׁר־ צִוָּה יְהוָה אֶתְכֶם׃
急いで 背いた から 道から それを 命じられた 主が あなたがたに
H4118 H5493 H4480 H1870 H834 H6680 H3068 H0853

מַסֵּכָה עֵגֶל
鋳物の-像を 子牛の
H4541 H5695

そしてわたしが見ると、あなたがたは、あなたがたの神、主にむかって罪を犯し、自分たちのために鋳物の子牛を造って、主が命じられた道を早くも離れたので、

17 וָאֶתְפֹּשׂ וָאַשְׁלִךְ מֵעַל שְׁתֵּי בִשְׁנֵי הַלֻּחֹת וָאֲשַׁבְּרֵם
そして-つかみ そして-投げ捨てた から 二つの 二枚の 板を そして-砕いた
H8610 H7993 H4480 H8147 H8147 H3871 H7665

לְעֵינֵיכֶם׃ יְדָי׃
あなたがたの-目の-前で わたしの-手から
H5869 H3027

わたしはその二枚の板をつかんで、両手から投げ出し、あなたがたの目の前でこれを砕いた。

18 וָאֶתְנַפַּל לִפְנֵי יְהוָה כָּרִאשֹׁנָה אַרְבָּעִים יוֹם אַרְבָּעִים וְאַרְבָּעִים לַיְלָה לֶחֶם
そして-ひれ伏した 主の の-前に 最初の-ように 四十 日 四十 そして-四十 夜 パンを
H5307 H6440 H3068 H7223 H0705 H3117 H0705 H0705 H3915 H3899

לֹא וּמַיִם לֹא אָכָלְתִּי לֹא שָׁתִיתִי עַל כָּל־ חַטַּאתְכֶם
ない そして-水も ない 食べなかった ない 飲まなかった の-ゆえに すべての あなたがたの-罪の
H3808 H4325 H3808 H0398 H3808 H8354 H5921 H3605 H2403

אֲשֶׁר לַעֲשׂוֹת הָרַע בְּעֵינֵי יְהוָה לְהַכְעִיסוֹ׃
それを 行った 悪を の-目に 主の 怒らせるために
H834 H6213 H7451 H5869 H3068 H3707

חַטָּאתֶם H2398
犯した

そしてわたしは前のように四十日四十夜、主の前にひれ伏し、パンも食べず、水も飲まなかった。これはあなたがたが主の目の前に悪をおこない、罪を犯して主を怒らせたすべての罪によるのである。

19 כִּי יָגֹרְתִי מִפְּנֵי הָאַף וְהַחֵמָה אֲשֶׁר קָצַף יְהוָה עֲלֵיכֶם
なぜなら 恐れた の-前で 怒りと 激しい-怒りの それを 怒った 主が あなたがたに-対して
H3025 H6440 H0639 H2534 H834 H7107 H3068 H5921

לְהַשְׁמִיד אֶתְכֶם וַיִּשְׁמַע יְהוָה אֵלַי גַּם בַּפַּעַם הַהִוא׃
滅ぼすほどに あなたがたを そして-聞かれた 主が わたしに もまた その-時も その
H8045 H0853 H8085 H3068 H0413 H1571 H6471 H1931

主は怒りを発し、憤りを起し、あなたがたを怒って滅ぼそうとされたので、わたしは恐れたが、その時もまた主はわたしの願いを聞かれた。

20 וּבְאַהֲרֹן הִתְאַנַּף יְהוָה מְאֹד לְהַשְׁמִידוֹ וָאֶתְפַּלֶּל גַּם־
そして-アロンに-対しても 怒られた 主は 非常に 滅ぼすほどに そして-祈った もまた
H0175 H0599 H3068 H3966 H8045 H6419 H1571

בָּעֵת הַהִוא אַהֲרֹן בְּעַד
その 時に アロンの の-ためにも
H1931 H6256 H0175 H1157

主はまた、はなはだしくアロンを怒って、彼を滅ぼそうとされたが、わたしはその時もまたアロンのために祈った。

21 וְאֶת־ חַטַּאתְכֶם אֲשֶׁר־ עֲשִׂיתֶם אֶת־ הָעֵגֶל לָקַחְתִּי וָאֶשְׂרֹף אֹתוֹ
そして(を) あなたがたの-罪を それを 造った (を) 子牛を 取った そして-焼いた それを
H0853 H0784 H0834 H6213 H0853 H5695 H3947 H8313 H0853

וָאֶכֶת בָּאֵשׁ טָחוֹן אֹתוֹ הֵיטֵב עַד אֲשֶׁר־ דָּק לְעָפָר
そして-打ち砕いた 火で 磨いて それを 彻底的に まで それが 細かくなった 塵に
H3807 H0784 H2912 H0853 H3190 H5704 H0834 H1854 H6083

וָאַשְׁלִךְ אֶת־ עֲפָרוֹ אֶל־ הַנַּחַל הַיֹּרֵד מִן־ הָהָר׃
そして-投げた (を) その-塵を に 川に 流れる から 山から
H7993 H0853 H6083 H0413 H5158 H3381 H0582 H2022

わたしはあなたがたが造って罪を得た子牛を取り、それを火で焼き、それを撃ち砕き、よくひいて細かいちりとし、そのちりを山から流れ下る谷川に投げ捨てた。

22 וּבְתַבְעֵרָה וּבְמַסָּה וּבְקִבְרֹת הַתַּאֲוָה מַקְצִפִים הָיִיתֶם אֶת־
そして-タベラでも そして-マサでも そして-キブロト・ハタアワでも 怒らせた であった (を)
H8404 H4532 H6914 H7107 H1961 H0853

יְהוָה׃
主を
H3068

あなたがたはタベラ、マッサおよびキブロテ・ハッタワにおいてもまた主を怒らせた。

23 וּבְשָׁלְחַ יְהוָה אֶתְכֶם מִרְנַעַמְקָדֵשׁ לֵאמֹר עֲלוּ
そして-遣わされた-時に 主が あなたがたを カデシュ・バルネアから 言って 上れ
H7971 H3068 H0853 H6947 H0559 H5927

וְרִשְׁתֶּם אֶת־ הָאָרֶץ אֲשֶׁר נָתַתִּי לָכֶם וַתַּמְרוּ אֶת־ פִּי
そして-所有せよ (を) その-地を 与えた それを あなたがたに そして-逆らった (を) の-命令に
H3423 H0853 H0776 H5414 H0834 H0853 H4784 H6310

וְלֹא שְׁמַעְתֶּם בְּקוֹלוֹ׃ וְלֹא הֶאֱמַנְתֶּם לוֹ וְלֹא אֱלֹהֵיכֶם יְהוָה
そして-ない 聞かなかった その-声に そして-ない その方を 信じなかった そして-ない あなたがたの-神の 主の
H3808 H8085 H3808 H0539 H3808 H0430 H3068

また主はカデシ・バルネアから、あなたがたをつかわそうとされた時、『上って行って、わたしが与える地を占領せよ』と言われた。ところが、あなたがたはあなたがたの神、主の命令にそむき、彼を信ぜず、また彼の声に聞き従わなかった。

24 מַמְרִים הָיִיתֶם עִם־ יְהוָה מִיּוֹם דַּעְתִּי אֶתְכֶם׃
逆らっていた であった に-対して 主に の-日から 知った あなたがたを
H4784 H1961 H0854 H3068 H3117 H3045 H0853

わたしがあなたがたを知ったその日からこのかた、あなたがたはいつも主にそむいた。

25 וָאֶתְנַפַּל לִפְנֵי יְהוָה אַרְבָּעִים אֵת הַיּוֹם וְאֵת־ אַרְבָּעִים הַלָּיְלָה אֲשֶׁר

そして–ひれ伏した | の–前に | 主の | (を) | 日と | 四十 | そして(を) | 夜 | それを
H5307 | H6440 | H3068 | H0853 | H3117 | H0705 | H0853 | H3915

הִתְנַפָּלְתִּי כִּי־ אָמַר יְהוָה לְהַשְׁמִיד אֶתְכֶם׃

ひれ伏した | なぜなら | 言われた | 主が | 滅ぼすと | あなたがたを
H5307 | H0559 | H3068 | H8045 | H0853

そしてわたしは、さきにひれ伏したように、四十日四十夜、主の前にひれ伏した。主があなたがたを滅ぼすと言われたからである。

26 וָאֶתְפַּלֵּל אֶל־ יְהוָה וָאֹמַר אֲדֹנָי יְהוִה אַל־ תַּשְׁחֵת

そして–祈った | に | 主に | そして–言った | 主よ | ない | 滅ぼさないでください
H6419 | H0413 | H3068 | H0559 | H0136 | H0408 | H7843

עַמְּךָ וְנַחֲלָתְךָ אֲשֶׁר פָּדִיתָ בִגְדֻלֶּךָ אֲשֶׁר־ הוֹצֵאתָ

あなたの–民を | そして–あなたの–嗣業を | それを | 贖われた | あなたの–偉大さで | それを | 導き出された
H5159 | H6299 | H1433 | H3318

מִמִּצְרַיִם בְּיָד חֲזָקָה׃

エジプトから | の–手で | 力強い
H4714 | H3027 | H2389

わたしは主に祈って言った、『主なる神よ、あなたが大いなる力をもってあがない、強い手をもってエジプトから導き出されたあなたの民、あなたの嗣業を滅ぼさないでください。

27 זְכֹר לְעַבָדֶיךָ לְאַבְרָהָם לְיִצְחָק וְלְיַעֲקֹב אַל־

思い出してください | あなたの–僕べを | アブラハムと | イサクと | そして–ヤコブを | ない
H2142 | H5650 | H0085 | H3327 | H3290 | H0408

תֵּפֶן אֶל־ קְשִׁי הָעָם הַזֶּה וְאֶל־ רִשְׁעוֹ וְאֶל־ חַטָּאתוֹ׃

顧みないでください | に | の–強情さを | この–民の | この | そして–に | その–悪を | そして–に
H6437 | H0413 | H7190 | H0408 | H2088 | H0413 | H7562 | H0413

あなたのしもべアブラハム、イサク、ヤコブを覚えてください。この民の強情と悪と罪とに目をとめないでください。

28 פֶּן־ יֹאמְרוּ הָאָרֶץ מִשָּׁם הוֹצִיאָנוּ אֲשֶׁר מִבְּלִי יְכֹלֶת יְהוָה

ないように | 言う | の–地の–人が | そこから | 導き出した | そこから | できない–から | できない | 主が
H6435 | H0559 | H0776 | H8033 | H3318 | H0834 | H1097 | H3201 | H3068

לָהֲבִיאָם אֶל־ הָאָרֶץ אֲשֶׁר־ דִּבֶּר לָהֶם וּמִשִּׂנְאָתוֹ אוֹתָם

導き入れることが | に | その–地に | それを | 語られた | 彼らに | そして–その–憎しみの–ゆえに | 彼らを
H0935 | H0413 | H0776 | H0834 | H1696 | H0853 | H8135 | H0853

הוֹצִיאָם לַהֲמִתָם בַּמִּדְבָּר׃

導き出した | 殺すために | 荒野で
H3318 | H4191

あなたがわれわれを導き出された国の人はおそらく、「主は、約束した地に彼らを導き入れることができず、また彼らを憎んだので、彼らを導き出して荒野で殺したのだ」と言うでしょう。

29

בְּכֹחֲךָ	הוֹצֵאתָ	אֲשֶׁר	וְנַחֲלָתֶךָ	עַמְּךָ	וְהֵם	
あなたの–力で	導き出された	それを	そして–あなたの–嗣業である	あなたの–民であり	しかし–彼らは	
	H3318		H5159		H1992	

פ	הַנְּטוּיָה׃	וּבִזְרֹעֲךָ	הַגָּדֹל
(区切り)	伸ばされた	そして–あなたの–腕で	大いなる
	H5186	H2220	

しかし彼らは、あなたの民、あなたの嗣業であって、あなたが大いなる力と伸ばした腕とをもって導き出されたのです』。

Chapter 10

1

אֲבָנִים	לֻחֹת	שְׁנֵי־	לְךָ	פְּסָל־	אֵלַי	יְהוָה	אָמַר	הַהִוא	בָּעֵת
石の	板を	二枚の	あなたの–ために	切り出せ	わたしに	主は	言われた	その	その–時に
H0068	H3871	H8147		H6458	H0413	H3068	H0559	H1931	H6256

עֵץ׃	אֲרוֹן	לְךָ	וְעֲשֵׂיתָ	הָהָרָה	אֵלַי	וַעֲלֵה	כָרִאשֹׁנִים
木の	箱を	あなたの–ために	そして–造れ	山に	わたしのもとに	そして–上れ	最初の–ように
H6086	H0727			H2022	H0413	H5927	H7223

その時、主はわたしに言われた、『おまえは、前のような石の板二枚を切って作り、山に登って、わたしのもとにきなさい。また木の箱一つを作りなさい。

2

הָרִאשֹׁנִים	הַלֻּחֹת	עַל־	הָיוּ	אֲשֶׁר	הַדְּבָרִים	אֶת־	הַלֻּחֹת	עַל־	וְאֶכְתֹּב
最初の	板の	の–上に	あった	それを	言葉を	(を)	板に	の–上に	そして–書く
H7223	H3871		H1961		H1697	H0853	H3871		H3789

בָּאָרוֹן׃	וְשַׂמְתָּם	שִׁבַּרְתָּ	אֲשֶׁר
箱に	そして–納めよ	砕いた	それを
H0727		H7665	

さきにおまえが砕いた二枚の板に書いてあった言葉を、わたしはその板に書きしるそう。おまえはそれをその箱におさめなければならない』。

3

כָרִאשֹׁנִים	אֲבָנִים	לֻחֹת	שְׁנֵי־	וָאֶפְסֹל	שִׁטִּים	עֲצֵי	אֲרוֹן	וָאַעַשׂ	
最初の–ように	石の	板を	二枚の	そして–切り出した	アカシア	の–木で	箱を	そして–造った	
H7223	H0068	H3871	H8147	H6458	H7848	H6086	H0727		

בְּיָדִי׃	הַלֻּחֹת	וּשְׁנֵי	הָהָרָה	וָאַעַל	
わたしの–手に	板が	そして–二枚の	山に	そして–上った	
H3027	H3871	H8147	H2022	H5927	

そこでわたしはアカシヤ材の箱一つを作り、また前のような石の板二枚を切って作り、その二枚の板を手に持って山に登った。

4

אֲשֶׁר	הַדְּבָרִים	עֲשֶׂרֶת	אֶת	הָרִאשׁוֹן	כַּמִּכְתָּב	הַלֻּחֹת	עַל־	וַיִּכְתֹּב	
それを	言葉を	十の	(を)	最初の	の–書き方の–ように	板に	の–上に	そして–書かれた	
	H1697	H6235	H0853	H7223	H4385	H3871		H3789	

יְהוָה	וַיִּתְּנֵם	הַקָּהָל	בְּיוֹם	הָאֵשׁ	מִתּוֹךְ	בָּהָר	אֲלֵיכֶם	יְהוָה	דִּבֶּר	
主は	そして–与えた	集会の	の–日に	火の	の–中から	山で	あなたがたに	主が	語られた	
H3068	H5414	H6951	H3117	H0784	H8432	H2022	H0413	H3068	H1696	

אֵלָי׃
わたしに
H0413

主はかつて、かの集会の日に山で火の中からあなたがたに告げられた十誡を書きしるされたように、その板に書きしるし、それを主はわたしに授けられた。

5

וָאָפֵן וַאֵרֵד מִן־הָהָר וָאָשִׂם אֶת־הַלֻּחֹת בָּאָרוֹן אֲשֶׁר
そして–向きを–変え そして–降りた から 山から そして–納めた (を) 板を 箱に それを
H6437 H3381 H0853 H3871 H0727

עָשִׂיתִי וַיִּהְיוּ שָׁם כַּאֲשֶׁר צִוַּנִי יְהוָה׃
造った そして–あった そこに のように 命じられた 主が
H1961 H8033 H6680 H3068

それでわたしは身をめぐらして山から降り、その板を、わたしが作った箱におさめた。今なおその中にある。主がわたしに命じられたとおりである。

6

וּבְנֵי יִשְׂרָאֵל נָסְעוּ מִבְּאֵרֹת־בְּנֵי־יַעֲקָן מוֹסֵרָה שָׁם מֵת
そして–の–子らは イスラエルの 旅立った ベエロト・ベネ・ヤアカンから モセラへ そこで 死んだ
H1961 H3478 H5265 H0885 H4191 H8033

אַהֲרֹן וַיִּקָּבֵר שָׁם וַיְכַהֵן אֶלְעָזָר בְּנוֹ תַּחְתָּיו׃
アロンは そして–葬られた そこに そして–祈司となった エルアザルが その–息子が その–後を–継いで
H0175 H6912 H8033 H3547 H0499 H1961 H8478

（こうしてイスラエルの人々はベエロテ・ベネ・ヤカンを出立してモセラに着いた。アロンはその所で死んでそこに葬られ、その子エレアザルが彼に代って祭司となった。

7

מִשָּׁם נָסְעוּ וַיַּחֲנוּ גֻּדְגֹּדָה וּמִגֻּדְגֹּדָה יָטְבָתָה אֶרֶץ נַחֲלֵי מָיִם׃
そこから 旅立った グドゴダへ そして–から グドゴダから ヨトバタへ 地である の–川の 水の
H8033 H5265 H1412 H1412 H0776 H3193 H0776 H4325

またそこを出立してグデゴダに至り、グデゴダを出立してヨテバタに着いた。この地には多くの水の流れがあった。

8

בָּעֵת הַהִוא הִבְדִּיל יְהוָה אֶת־שֵׁבֶט הַלֵּוִי לָשֵׂאת אֶת־אֲרוֹן בְּרִית־
その–時に その 分けた 主は (を) 部族を レビの 担ぐために (を) 箱を の–契約の
H6256 H1931 H0914 H3068 H0853 H7626 H3878 H5375 H0853 H0727 H1285

יְהוָה לִפְנֵי יְהוָה לְשָׁרְתוֹ וּלְבָרֵךְ בִּשְׁמוֹ עַד הַיּוֹם הַזֶּה׃
主の の–前に 主の 仕えるために そして–祝福するために その–名によって まで この 今日の
H3068 H6440 H3068 H8334 H1288 H8034 H5704 H2088 H3117

その時、主はレビの部族を選んで、主の契約の箱をかつぎ、主の前に立って仕え、また主の名をもって祝福することをさせられた。この事は今日に及んでいる。

9

עַל־כֵּן לֹא־הָיָה לְלֵוִי חֵלֶק וְנַחֲלָה עִם־אֶחָיו יְהוָה הוּא נַחֲלָתוֹ
ゆえに– それ ない ある レビには 分け前も 嗣業も の–共に その–兄弟たちと 主こそ その方が その–嗣業である 主が 語られた のように あなたの–神が その方に
H3068 H0251 H5159 H2506 H3878 H1961 H3808 H3651 H5159 H1931 H3068 H1696 H3068 H0430

כַּאֲשֶׁר דִּבֶּר לוֹ׃

そのためレビは兄弟たちと一緒には分け前がなく、嗣業もない。あなたの神、主が彼に言われたとおり、主みずからが彼の嗣業であった。）

10 וְאָנֹכִי עָמַדְתִּי בָהָר כַּיָּמִים הָרִאשֹׁנִים אַרְבָּעִים יוֹם וְאַרְבָּעִים
そして-わたしは 留まった 山に の-日々の-ように 最初の 四十 日 そして-四十
H0595 H5975 H2022 H3117 H7223 H0705 H3117 H0705

לָיְלָה וַיִּשְׁמַע יְהוָה אֵלַי גַּם בַּפַּעַם הַהִוא לֹא־אָבָה יְהוָה
夜 そして-聞かれた 主は わたしに もまた その-時も その ない 望まなかった 主は
H3915 H8085 H3068 H0413 H1571 H6471 H1931 H3808 H0014 H3068

הַשְׁחִיתֶךָ׃
滅ぼすことを
H7843

わたしは前の時のように四十日四十夜、山におったが、主はその時にもわたしの願いを聞かれた。主はあなたを滅ぼすことを望まれなかった。

11 וַיֹּאמֶר יְהוָה אֵלַי קוּם לֵךְ לְמַסָּע לִפְנֵי הָעָם וְיָבֹאוּ
そして-言われた 主が わたしに 立て 行け 旅立て の-前に 民の そして-入り
H0559 H3068 H0413 H0559 H3212 H4550 H6440 H0935

וְיִרְשׁוּ אֶת־הָאָרֶץ אֲשֶׁר־נִשְׁבַּעְתִּי לַאֲבֹתָם לָתֵת לָהֶם׃ פ
そして-所有せよ (を) その-地を それを 誓った その-先祖たちに 与えると 彼らに (区切り)
H3423 H0853 H0776 H0834 H7650 H0001 H5414

12 וְעַתָּה יִשְׂרָאֵל מָה יְהוָה אֱלֹהֶיךָ שֹׁאֵל מֵעִמָּךְ כִּי
そして-今 イスラエルよ 何を 主が あなたの-神が 求めておられるか あなたから それは-ただ
H6258 H3478 H4100 H3068 H0430 H7592 H5973 H3588

אִם־לְיִרְאָה אֶת־יְהוָה אֱלֹהֶיךָ לָלֶכֶת בְּכָל־דְּרָכָיו וּלְאַהֲבָה
のみ 畏れること (を) 主を あなたの-神を 歩むこと すべての その-道を そして-愛すること
H0518 H3372 H0853 H3068 H0430 H3212 H3605 H1870 H0157

אֹתוֹ וְלַעֲבֹד אֶת־יְהוָה אֱלֹהֶיךָ בְּכָל־לְבָבְךָ וּבְכָל־
その方を そして-仕えること (を) 主に あなたの-神に すべての あなたの-心で そして-すべての
H0853 H5647 H0853 H3068 H0430 H3605 H3824 H3605

נַפְשֶׁךָ׃
あなたの-魂で
H5315

イスラエルよ、今、あなたの神、主があなたに求められる事はなんであるか。ただこれだけである。すなわちあなたの神、主を恐れ、そのすべての道に歩んで、彼を愛し、心をつくし、精神をつくしてあなたの神、主に仕え、

13 לִשְׁמֹר אֶת־מִצְוֹת יְהוָה וְאֶת־חֻקֹּתָיו אֲשֶׁר אָנֹכִי מְצַוְּךָ הַיּוֹם
守ること (を) 戒めを 主の そして(を) その-掟を それを わたしが 命じている 今日
H8104 H0853 H4687 H3068 H0853 H2708 H0834 H0595 H6680 H3117

לְטוֹב לָךְ׃
良いために あなたに

また、わたしがきょうあなたに命じる主の命令と定めとを守って、さいわいを得ることである。

14 הֵן לַיהוָה אֱלֹהֶיךָ הַשָּׁמַיִם וּשְׁמֵי וְכָל־הָאָרֶץ
見よ 主の-ものである あなたの-神の 天も そして-の-天も 天の 地も そして-すべて
H2005 H3068 H0430 H8064 H8064 H8064 H0776 H3605

אֲשֶׁר־בָּהּ׃
それは その-中の

見よ、天と、もろもろの天の天、および地と、地にあるものとはみな、あなたの神、主のものである。

15 רַק בַּאֲבֹתֶיךָ חָשַׁק יְהוָה לְאַהֲבָה אוֹתָם וַיִּבְחַר בְּזַרְעָם
ただ あなたの-先祖たちに 慈しまれた 主は 愛して 彼らを そして-選ばれた その-子孫を
H7535 H0001 H2233 H3068 H0157 H0853 H0977 H2233

אַחֲרֵיהֶם בָּכֶם מִכָּל־ הָעַמִּים כַּיּוֹם הַזֶּה׃
彼らの-後の あなたがたを すべての-中から 諸国の-民の 今日の-ように この
H0310 H0853 H3605 H5971 H3117 H2088

そうであるのに、主はただあなたの先祖たちを喜び愛し、その後の子孫であるあなたがたを万民のうちから選ばれた。今日見るとおりである。

16 וּמַלְתֶּם אֶת עָרְלַת לְבַבְכֶם וְעָרְפְּכֶם לֹא
そして-割礼せよ (を) の-包皮を あなたがたの-心の そして-あなたがたの-首を ない
H3808 H6203 H3824 H6190 H0853 H4139

תַקְשׁוּ עוֹד׃
かたくなにするな もはや
H7185 H5750

それゆえ、あなたがたは心に割礼をおこない、もはや強情であってはならない。

17 כִּי יְהוָה אֱלֹהֵיכֶם הוּא אֱלֹהֵי הָאֱלֹהִים וַאֲדֹנֵי
なぜなら 主は あなたがたの-神は その方が の-神である 神々の そして-の-主である
H0136 H0430 H0430 H1931 H0430 H3068 H3588

הָאֲדֹנִים הָאֵל הַגָּדֹל הַגִּבֹּר וְהַנּוֹרָא אֲשֶׁר לֹא־ יִשָּׂא פָנִים
主人たちの 神である 大いなる 力ある そして-畏るべき その方は ない 偏らない 顔を
H0113 H0410 H1419 H1368 H3372 H0834 H3808 H5375 H6440

וְלֹא יִקַּח שֹׁחַד׃
そして-ない 受けない 賄賂を
H3808 H3947 H7810

あなたがたの神である主は、神の神、主の主、大いにして力ある恐るべき神にましまし、人をかたより見ず、また、まいないを取らず、

18 עֹשֶׂה מִשְׁפַּט יָתוֹם וְאַלְמָנָה וְאֹהֵב גֵּר לָתֶת לוֹ לֶחֶם
行われる 正義を 孤児と 寡婦の-ために そして-愛される 寄留者を 与えて その者に パンと
H6213 H4941 H3490 H0490 H0157 H1616 H5414 H3899

וְשִׂמְלָה׃
衣服を
H8071

みなし子とやもめのために正しいさばきを行い、また寄留の他国人を愛して、食物と着物を与えられるからである。

19 וַאֲהַבְתֶּם אֶת־ הַגֵּר כִּי־ גֵרִים הֱיִיתֶם בְּאֶרֶץ מִצְרָיִם׃
そして-愛せよ (を) 寄留者を なぜなら 寄留者 であった の-地で エジプトの
H0157 H0853 H1616 H3588 H1616 H1961 H0776 H4714

それゆえ、あなたがたは寄留の他国人を愛しなさい。あなたがたもエジプトの国で寄留の他国人であった。

20 אֶת־ יְהוָה אֱלֹהֶיךָ תִירָא אֹתוֹ תַעֲבֹד וּבוֹ תִדְבָּק
(を) 主を あなたの-神を 畏れよ その方に 仕えよ そして-その方に つき従え
H0853 H3068 H0430 H3372 H0853 H5647 H0996 H1692

וּבִשְׁמֹו תִּשָּׁבֵעַ׃
そして-その-名によって 誓え
H8034 H7650

あなたの神、主を恐れ、彼に仕え、彼に従い、その名をさして誓わなければならない。

21

עָשָׂה	אֲשֶׁר־	אֱלֹהֶיךָ	וְהוּא	תְּהִלָּתְךָ	הוּא	
なされた	それを	あなたの–神である	そして–その方が	あなたの–賛美である	その方が	
		H0430	H1931	H8416	H1931	

רָאוּ	אֲשֶׁר	הָאֵלֶּה	הַנּוֹרָאֹת	וְאֶת־	הַגְּדֹלֹת	אֶת־	אִתָּךְ
見た	それを	これらの	畏るべき–ことを	そして(を)	大いなる–ことを	(を)	あなたと–共に
H7200		H0428	H3372	H0853		H0853	H0854

עֵינֶיךָ׃
あなたの–目が

彼はあなたのさんびすべきもの、またあなたの神であって、あなたが目に見たこれらの大いなる恐るべき事を、あなたのために行われた。

22

יְהוָה	שָׁמְךָ	וְעַתָּה	מִצְרַיְמָה	אֲבֹתֶיךָ	יָרְדוּ	נֶפֶשׁ	בְּשִׁבְעִים
主は	された	そして–今	エジプトへ	あなたの–先祖たちは	下った	人で	七十
H3068		H6258	H4714	H0001	H3381	H5315	H7657

לָרֹב׃	הַשָּׁמַיִם	כְּכוֹכְבֵי	אֱלֹהֶיךָ	
多く	天の	の–星の–ように	あなたの–神は	
H7230	H8064	H3556	H0430	

あなたの先祖たちは、わずか七十人でエジプトに下ったが、いま、あなたの神、主はあなたを天の星のように多くされた。

Chapter 11

1

וּמִשְׁפָּטָיו	וְחֻקָּתָיו	מִשְׁמַרְתּוֹ	וְשָׁמַרְתָּ	אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה	אֶת	וְאָהַבְתָּ
その–定めと	その–掟と	その–務めと	そして–守れ	あなたの–神を	主を	(を)	そして–愛せよ
H4941	H2708	H4931	H8104	H0430	H3068	H0853	H0157

הַיָּמִים׃	כָּל־	וּמִצְוֹתָיו
日々	すべての	その–戒めを
H3117	H3605	H4687

それゆえ、あなたの神、主を愛し、常にそのさとしと、定めと、おきてと、戒めとを守らなければならない。

2

לֹא־	אֲשֶׁר	בְּנֵיכֶם	אֶת־	לֹא	כִּי	הַיּוֹם	וְיִדַעְתֶּם
ない	それを	あなたがたの–子どもたちではなく	(を)	ない	ことを	今日	そして–知れ
H3808			H0854	H3808		H3117	H3045

גְּדֻלּוֹ	אֶת־	אֱלֹהֵיכֶם	יְהוָה	מוּסַר	אֶת־	רָאוּ	לֹא־	וַאֲשֶׁר	יָדְעוּ
その–偉大さを	(を)	あなたがたの–神の	主の	訓練を	(を)	見なかった	ない	そして	知らない
H1433	H0853	H0430	H3068	H4148	H0853	H7200	H3808		H3045

הַנְּטוּיָה׃	וּזְרֹעוֹ	הַחֲזָקָה	יָדוֹ	אֶת־
伸ばされた	そして–その–腕を	力強い	その–手を	(を)
H5186	H2220	H2389	H3027	H0853

あなたがたは、きょう、次のことを知らなければならない。わたしが語るのは、あなたがたの子供たちに対してではない。彼らはあなたがたの神、主の訓練と、主の大いなる事と、その強い手と、伸べた腕とを知らず、また見なかった。

3 וְאֶת־ אֹתֹתָיו֙ וְאֶת־ מַעֲשָׂיו֙ אֲשֶׁר֙ עָשָׂה֙ בְּתוֹךְ֙ מִצְרַ֔יִם
そして(を) その-しるしと そして(を) その-わざを それを なされた の-中で エジプトの
H0853 H0226 H0853 H4639 H0853 H8432 H4714

לְפַרְעֹ֥ה מֶֽלֶךְ־ מִצְרַ֖יִם וּלְכָל־ אַרְצֽוֹ׃
パロと の-王 エジプトの そして-すべての その-地に
H6547 H4428 H4714 H3605 H0776

また彼らは主がエジプトで、エジプト王パロとその全国に対して行われたしるしと、わざ、

4 וַאֲשֶׁר֙ עָשָׂ֔ה לְחֵ֥יל מִצְרַ֖יִם לְסוּסָ֑יו וּלְרִכְבּ֗וֹ אֲשֶׁ֤ר הֵצִיף֙ אֶת־
そして なされたことを の-軍勢に エジプトの その-馬と その-戦車に それを 溢れさせた (を)
H2428 H4714 H0853 H7393 H0853 H6687

מֵי־ יַם־ סוּף֙ עַל־ פְּנֵיהֶ֔ם בְּרָדְפָ֖ם אַחֲרֵיכֶ֑ם וַיְאַבְּדֵ֣ם
の-水を の-海 葦の の-上に 彼らの-顔に 追って-来た-時に あなたがたの-後を そして-滅ぼされた
H4325 H3220 H5488 H0853 H6440 H7291 H0853 H0006

יְהוָ֖ה עַד֙ הַיּ֣וֹם הַזֶּ֔ה׃
主が まで 今日の この
H3068 H5704 H3117 H2088

また主がエジプトの軍勢とその馬と戦車とに行われた事、すなわち彼らがあなたがたのあとを追ってきた時に、紅海の水を彼らの上にあふれさせ、彼らを滅ぼされて、今日に至った事、

5 וַאֲשֶׁ֤ר עָשָׂה֙ לָכֶ֔ם בַּמִּדְבָּ֖ר עַד־ בֹּאֲכֶ֣ם עַד־ הַמָּקוֹם֙ הַזֶּ֔ה׃
そして なされたことを あなたがたに 荒野で まで 来た-時 まで この-場所に この
H2088 H4725 H5704 H0935 H5704 H6440 H0853 H2088

またあなたがたがこの所に来るまで、主が荒野で、あなたがたに行われた事、

6 וַאֲשֶׁ֤ר עָשָׂה֙ לְדָתָ֣ן וְלַאֲבִירָ֔ם בְּנֵ֣י אֱלִיאָ֔ב בֶּן־ רְאוּבֵ֑ן
そして なされたことを ダタンと アビラムに の-子らである エリアブの の-子 ルベンの
H2088 H1885 H0048 H0853 H0446 H1121 H7205

אֲשֶׁ֣ר פָּצְתָ֣ה הָאָ֗רֶץ אֶת־ פִּיהָ֙ וַתִּבְלַ֣ע אֹתָ֔ם וְאֶת־ בָּתֵּיהֶ֖ם
それを 開いた 地が その-口を (を) そして-飲み込んだ そして(を) 彼らの-家を そして(を)
H0853 H6475 H0776 H6310 H0853 H1104 H0853 H0853

וְאֶת־ כָּל־ הָקְנִ֣ין אֲשֶׁר֩ לָהֶ֨ם בְּקֶ֜רֶב כָּל־ בְּרַגְלֵיהֶ֗ם הַיְקוּם֙
そして(を) すべての の-中で 彼らの-足もとの それは 財産を
H0853 H3605 H7130 H7272 H0834 H3351

וְאֶת־ כָּל־ אָהֳלֵיהֶם֙ אֲשֶׁ֣ר לְיִשְׂרָאֵ֔ל׃
そして(を) すべての 彼らの-天幕を イスラエルの
H0853 H3605 H0168 H3478

およびルベンの子のエリアブの子、ダタンとアビラムとにされた事、すなわちイスラエルのすべての人々の中で、地が口を開き、彼らと、その家族と、天幕と、彼らに従うすべてのものを、のみつくした事などを彼らは知らず、また見なかった。

7 כִּ֣י עֵינֵיכֶ֗ם הָרֹא֤ת אֶת־ כָּל־ מַעֲשֵׂ֣ה יְהוָה֮ הַגָּדֹל֒ אֲשֶׁ֥ר עָשָׂ֖ה׃
なぜなら あなたがたの-目が 見た (を) すべての わざを 主の 大いなる なされた それを
H3068 H4639 H3605 H0853 H7200

しかし、あなたがたは主が行われたこれらの大いなる事を、ことごとく目に見たのである。

8 וּשְׁמַרְתֶּם֙ אֶת־כָּל־הַמִּצְוָ֔ה אֲשֶׁ֥ר אָנֹכִ֛י מְצַוְּךָ֥ הַיּ֖וֹם לְמַ֑עַן
そして–守れ (を) すべての 戒めを それを わたしが 命じている 今日 ために
H8104 H0853 H3605 H4687 H0595 H6680 H3117 H4616

וְיָרַשְׁתֶּם֙ אֶת־הָאָ֔רֶץ אֲשֶׁ֥ר אַתֶּ֛ם עֹבְרִ֥ים שָׁ֖מָּה לְרִשְׁתָּֽהּ׃
そして–所有せよ (を) その–地を そこへ あなたがたが 渡っていく
H3423 H0853 H0776 H0834 H0853 H5674

וּבָאתֶם֙ וִֽירִשְׁתֶּם֙ אֶת־הָאָ֔רֶץ אֲשֶׁ֥ר נִשְׁבַּ֛ע יְהוָ֖ה לַאֲבֹתֵיכֶ֑ם
そして–入り そして–所有せよ (を) その–地を そこへ 誓われた 主が
H0935 H3423 H0853 H0776 H0834 H7650 H3068 H1

לָהֶ֥ם וּלְזַרְעָ֖ם אַחֲרֵיהֶֽם׃ וּלְמַ֣עַן תַּאֲרִיכוּ֩ יָמִ֨ים עַל־הָאֲדָמָ֜ה
彼らに そして–その–子孫に その–後の 与えると 土地の の–上で
H0376 H2233 H0310 H5414 H0127 H5921

9 אֲשֶׁ֣ר נִשְׁבַּ֣ע יְהוָ֗ה לַאֲבֹתֶ֙יךָ֙ לָתֵ֣ת לָהֶ֔ם כִּימֵ֖י הַשָּׁמַ֥יִם עַל־הָאָֽרֶץ׃
それを 誓われた 主が あなたがたの–先祖たちに 与えると 彼らに 日々が の–上で 地の
H0834 H7650 H3068 H0001 H5414 H0376 H3117 H5921 H0776

וְזָבַת֙ חָלָ֣ב וּדְבַ֔שׁ וּלְמַ֣עַן תַּאֲרִכ֔וּן יְמִ֖ים עַל־הָאֲדָמָ֑ה אֲשֶׁ֨ר
流れる 乳と 蜜の そして–ために 長くなるように 日々が の–上で 土地の それを
H2100 H2461 H1706 H4616 H0748 H3117 H5921 H0127 H0834

10 כִּ֣י הָאָ֗רֶץ אֲשֶׁ֨ר אַתָּ֤ה בָא־שָׁ֙מָּה֙ לָרֶ֣שֶׁת אֹתָ֔הּ לֹ֣א
なぜなら その–地は そこへ あなたが 入る そこへ 所有するために ない
H3588 H0776 H0834 H0859 H0935 H8033 H3423 H3808

כְּאֶ֥רֶץ מִצְרַ֖יִם הִ֣וא אֲשֶׁ֣ר יְצָאתֶ֣ם מִשָּׁ֑ם אֲשֶׁ֨ר תִּזְרַ֤ע אֶת־זַרְעֲךָ֙
の–地のようではない それは そこから 出た そこから そこでは 蒔く (を)
H0776 H1931 H0834 H3318 H8033 H0834 H2232 H853

וְהִשְׁקִיתָ֖ בְּרַגְלְךָ֑ כְּגַ֖ן הַיָּרָֽק׃ וְהָאָ֗רֶץ אֲשֶׁ֨ר אַתֶּ֤ם עֹבְרִים֙ שָׁ֣מָּה
そして–潅がせる あなたの–足で の–畑の–ように 野菜の しかし–その–地は そこへ 渡っていく あなたがたが
H8248 H7272 H3527 H3419 H0776 H0834 H8033 H5674

11 לָרֶ֣שֶׁת אֹתָ֔הּ אֶ֥רֶץ הָרִ֖ים וּבְקָעֹ֑ת לִמְטַ֥ר הַשָּׁמַ֖יִם תִּשְׁתֶּ֥ה מָֽיִם׃
所有するために 地である 山と 谷の の–雨で 天の 飲む 水を
H3423 H0776 H2022 H1237 H4306 H8064 H8354 H4325

12 אֶ֣רֶץ אֲשֶׁר־יְהוָ֣ה אֱלֹהֶ֗יךָ דֹּרֵ֤שׁ אֹתָהּ֙ תָּמִ֔יד עֵינֵ֥י יְהוָ֖ה
地である それを 主が あなたの–神が 求めておられる 常に の–目が 主の
H0776 H0834 H3068 H0430 H1875 H0853 H8548 H5869 H3068

בָּ֑הּ מֵֽרֵשִׁ֥ית הַשָּׁנָ֖ה וְעַ֥ד אַחֲרִ֖ית שָׁנָ֑ה ס
その–上に から 年の–初め そして–まで の–終わりまで 年の (区切り)
H0776 H7225 H8141 H5704 H0319 H8141

ゆえに、わたしが、きょう、あなたがたに命じる戒めを、ことごとく守らなければならない。そうすればあなたがたは強くなり、渡って行って取ろうとする地にはいって、それを取ることができ、

かつ、主が先祖たちに誓って彼らとその子孫とに与えようと言われた地、乳と蜜の流れる国において、長く生きることができるであろう。

あなたがたが行って取ろうとする地は、あなたがたが出てきたエジプトの地のようではない。あそこでは、青物畑でするように、あなたがたは種をまき、足でそれに水を注いだ。

しかし、あなたがたが渡って行って取る地は、山と谷の多い地で、天から降る雨で潤っている。

その地は、あなたの神、主が顧みられる所で、年の始めから年の終りまで、あなたの神、主の目が常にその上にある。

13 וְהָיָה אִם־שָׁמֹעַ תִּשְׁמְעוּ אֶל־מִצְוֹתַי אֲשֶׁר אָנֹכִי מְצַוֶּה
そして-なる もし 必ず 聞くなら に わたしの-戒めに が それを 命じている
H1961 H0518 H8085 H8085 H0413 H4687 H0595 H6680

אֶתְכֶם הַיּוֹם לְאַהֲבָה אֶת־יְהוָה אֱלֹהֵיכֶם וּלְעָבְדוֹ בְּכָל־
あなたがたに 今日 愛するために を (を) 主を あなたがたの-神を そして-仕えるために すべての
H0853 H3117 H0157 H0853 H3068 H0430 H5647 H3605

לְבַבְכֶם וּבְכָל־נַפְשְׁכֶם׃
あなたがたの-心で そして-すべての あなたがたの-魂で
H3824 H3605 H5315

もし、きょう、あなたがたに命じるわたしの命令によく聞き従って、あなたがたの神、主を愛し、心をつくし、精神をつくして仕えるならば、

14 וְנָתַתִּי מְטַר־אַרְצְכֶם בְּעִתּוֹ יוֹרֶה וּמַלְקוֹשׁ וְאָסַפְתָּ
そして-与える の-雨を あなたがたの-地に その-時に 秋の-雨と 春の-雨を そして-集める
H5414 H4306 H0776 H6256 H3138 H4456 H0622

דְגָנְךָ וְתִירֹשְׁךָ וְיִצְהָרֶךָ׃
あなたの-穀物と あなたの-ぶどう酒と あなたの-油を
H1715 H8492 H3323

主はあなたがたの地に雨を、秋の雨、春の雨ともに、時にしたがって降らせ、穀物と、ぶどう酒と、油を取り入れさせ、

15 וְנָתַתִּי עֵשֶׂב בְּשָׂדְךָ לִבְהֶמְתֶּךָ וְאָכַלְתָּ וְשָׂבָעְתָּ׃
そして-与える 草を あなたの-野に あなたの-家畜の-ために そして-食べ そして-満ち足りる
H5414 H6212 H7704 H0929 H0398 H7646

また家畜のために野に草を生えさせられるであろう。あなたは飽きるほど食べることができるであろう。

16 הִשָּׁמְרוּ לָכֶם פֶּן יִפְתֶּה לְבַבְכֶם וְסַרְתֶּם
気をつけよ あなたがた自身に ないように 惑わされる あなたがたの-心が そして-背き
H8104 H7704 H6435 H5377 H3824 H5493

וַעֲבַדְתֶּם אֱלֹהִים אֲחֵרִים וְהִשְׁתַּחֲוִיתֶם לָהֶם׃
そして-仕える 他の 他の-神々に そして-ひれ伏す 彼らに
H5647 H0312 H0430 H7812

あなたがたは心が迷い、離れ去って、他の神々に仕え、それを拝むことのないよう、慎まなければならない。

17 וְחָרָה אַף־יְהוָה בָּכֶם וְעָצַר אֶת־הַשָּׁמַיִם וְלֹא־יִהְיֶה
そして-燃える 怒りが 主の あなたがたに そして-閉ざす (を) 天を そして-ない なる
H2734 H0639 H3068 H7704 H6113 H0853 H8064 H3808 H1961

מָטָר וְהָאֲדָמָה לֹא תִתֵּן אֶת־יְבוּלָהּ וַאֲבַדְתֶּם מְהֵרָה
雨が そして-地が ない 与えない (を) その-産物を そして-滅びる たちまちに
H4306 H0127 H3808 H5414 H0853 H2981 H0006 H4120

מֵעַל הָאָרֶץ הַטֹּבָה אֲשֶׁר יְהוָה נֹתֵן לָכֶם׃
の-上から その-地の 良い が 主が 与える あなたがたに
H0776 H2896 H3068 H5414

おそらく主はあなたがたにむかい怒りを発して、天を閉ざされるであろう。そのため雨は降らず、地は産物を出さず、あなたがたは主が賜わる良い地から、すみやかに滅びうせるであろう。

וְשַׂמְתֶּם 18
そして-置け
H0853

אֶת־
(を)

דְּבָרַי
わたしの-言葉を
H1697

אֵלֶּה
これらの
H0428

עַל־
の-上に

לְבַבְכֶם
あなたがたの-心の
H3824

וְעַל־

וְהָיוּ
そして-あれ
H1961

יֶדְכֶם
あなたがたの-手の
H3027

עַל־
の-上に

לְאוֹת
しるしとして
H0226

אֹתָם
それらを
H0853

וּקְשַׁרְתֶּם
そして-結べ
H7194

נַפְשְׁכֶם
あなたがたの-魂の
H5315

עֵינֵיכֶם׃
あなたがたの-目の

בֵּין
の-間に
H0996

לְטוֹטָפֹת
額飾りと-して
H2903

それゆえ、これらのわたしの言葉を心と魂におさめ、またそれを手につけて、しるしとし、目の間に置いて覚えとし、

וְלִמַּדְתֶּם 19
そして-教えよ
H3925

אֹתָם
それらを
H0853

אֶת־
(を)

בְּנֵיכֶם
あなたがたの-子どもたちに

לְדַבֵּר
語るために
H1696

בָּם
それらを

בְּשִׁבְתְּךָ
座っている-時に
H3427

וּבְקוּמֶךָ׃
そして-起きる-時に

וּבְשָׁכְבְּךָ
そして-寝る-時に
H7901

בַּדֶּרֶךְ
道を
H1870

וּבְלֶכְתְּךָ
そして-歩いている-時に
H3212

בְּבֵיתֶךָ
あなたの-家で

これを子供たちに教え、家に座している時も、道を歩く時も、寝る時も、起きる時も、それについて語り、

וּכְתַבְתָּם 20
そして-書け
H3789

עַל־
の-上に

מְזוּזוֹת
門柱に
H4201

בֵּיתֶךָ
あなたの-家の

וּבִשְׁעָרֶיךָ׃
あなたの-門に
H8179

また家の入口の柱と、門にそれを書きしるさなければならない。

לְמַעַן 21
ために
H4616

יִרְבּוּ
増えるように

יְמֵיכֶם
あなたがたの-日々が
H3117

וִימֵי
そして-の-日々が
H3117

בְּנֵיכֶם
あなたがたの-子どもたちの

עַל
の-上で

הָאֲדָמָה
土地の
H0127

אֲשֶׁר
それを

נִשְׁבַּע
誓われた
H7650

יְהוָה
主が
H3068

לַאֲבֹתֵיכֶם
あなたがたの-先祖たちに

לָתֵת
与えると
H5414

לָהֶם
彼らに

כִּימֵי
の-日々の-ように
H3117

הַשָּׁמַיִם
天の
H8064

עַל־
の-上に

הָאָרֶץ׃
地の
H0776

ס
(区切り)

そうすれば、主が先祖たちに与えようと誓われた地に、あなたがたの住む日数およびあなたがたの子供たちの住む日数は、天が地をおおう日数のように多いであろう。

כִּי 22
なぜなら

אִם־
もし

תִּשְׁמֹר
守るなら
H8104

שָׁמוֹר
必ず
H8104

אֶת־
(を)

כָּל־
すべての
H3605

הַמִּצְוָה
戒めを
H4687

הַזֹּאת
この
H2063

אֲשֶׁר
それを

אָנֹכִי
わたしが
H0595

מְצַוֶּה
命じている
H6680

אֶתְכֶם
あなたがたに
H0853

לַעֲשֹׂתָהּ
行うために

לְאַהֲבָה
愛するために
H0157

אֶת־
(を)

יְהוָה
主を
H3068

אֱלֹהֵיכֶם
あなたがたの-神を
H0430

לָלֶכֶת
歩むために
H3212

בְּכָל־
すべての
H3605

דְּרָכָיו
その-道を
H1870

וּלְדָבְקָה־
そして-つき従うために
H1692

בוֹ׃
その方に

もしわたしがあなたがたに命じるこのすべての命令をよく守って行い、あなたがたの神、主を愛し、そのすべての道に歩み、主につき従うならば、

וְיִרַשְׁתֶּם	מִלִּפְנֵיכֶם	הָאֵלֶּה	הַגּוֹיִם	כָּל־	אֶת־	יְהוָה	וְהוֹרִישׁ		23
そして–所有する	あなたがたの–前から	これらの	国々を	すべての	(を)	主が	そして–追い出す		
H3423	H6440	H0428		H3605	H0853	H3068	H3423		
						מִכֶּם׃	וַעֲצֻמִים	גְּדֹלִים	גּוֹיִם
						あなたがたより	そして–強い	大きな	国々を
							H6099		

主はこの国々の民を皆、あなたがたの前から追い払われ、あなたがたはあなたがたよりも大きく、かつ強い国々を取るに至るであろう。

לָכֶם	בּוֹ	רַגְלְכֶם	כַּף־	תִּדְרָךְ	אֲשֶׁר	הַמָּקוֹם	כָּל־		24
あなたがたの–ものと	そこを	あなたがたの–足の	の–足の–裏が	踏む	そこに	場所は	すべての		
		H7272	H3709	H1869		H4725	H3605		
הַיָּם	וְעַד	פְּרָת	נְהַר־	הַנָּהָר	מִן־	וְהַלְּבָנוֹן	הַמִּדְבָּר	מִן־	יִהְיֶה
海まで	そして–まで	ユーフラテスの	の–川	川から	から	レバノンと	荒野から	から	なる
H3220	H5704	H6578	H5104	H5104		H3844			H1961
						גְּבֻלְכֶם׃	יִהְיֶה	הָאַחֲרוֹן	
						あなたがたの–領土と	なる	西の	
						H1366	H1961	H0314	

あなたがたが足の裏で踏む所は皆、あなたがたのものとなり、あなたがたの領域は荒野からレバノンに及び、また大川ユフラテから西の海に及ぶであろう。

יְהוָה	וְיִתֵּן	וּמוֹרַאֲכֶם	פַּחְדְּכֶם	בְּפְנֵיכֶם	אִישׁ	יִתְיַצֵּב	לֹא־		25
主が	置く	おののきを	あなたがたへの–恐れと	あなたがたの–前に	誰も	立ち向かえない	ない		
H3068	H5414		H6343	H6440	H0376	H3320	H3808		
דִּבֶּר	כַּאֲשֶׁר	בָּהּ	תִּדְרְכוּ־	אֲשֶׁר	הָאָרֶץ	כָּל־	פְּנֵי	עַל־	אֱלֹהֵיכֶם
語られた	のように	そこを	踏む	そこを	地の	すべての	面の	の–上に	あなたがたの–神が
H1696			H1869		H0776	H3605	H6440		H0430
							ס	לָכֶם׃	
							(区切り)	あなたがたに	

だれもあなたがたに立ち向かうことのできる者はないであろう。あなたがたの神、主は、かつて言われたように、あなたがたの踏み入る地の人々が、あなたがたを恐れおののくようにされるであろう。

וּקְלָלָה׃	בְּרָכָה	הַיּוֹם	לִפְנֵיכֶם	נֹתֵן	אָנֹכִי	רְאֵה	26
呪いを	祝福と	今日	あなたがたの–前に	置く	わたしは	見よ	
H7045	H1293	H3117	H6440	H5414	H0595	H7200	

見よ、わたしは、きょう、あなたがたの前に祝福と、のろいとを置く。

אָנֹכִי	אֲשֶׁר	אֱלֹהֵיכֶם	יְהוָה	מִצְוֹת	אֶל־	תִּשְׁמְעוּ	אֲשֶׁר	הַבְּרָכָה	אֶת־	27
わたしが	それを	あなたがたの–神の	主の	戒めに	に	聞くなら	もし	祝福を	(を)	
H0595		H0430	H3068	H4687	H0413	H8085		H1293	H0853	
							הַיּוֹם׃	אֶתְכֶם	מְצַוֶּה	
							今日	あなたがたに	命じている	
							H3117	H0853	H6680	

もし、きょう、わたしがあなたがたに命じるあなたがたの神、主の命令に聞き従うならば、祝福を受けるであろう。

וְסַרְתֶּם	אֱלֹהֵיכֶם	יְהוָה	מִצוֹת	אֶל־	תִּשְׁמְעוּ	לֹא	אִם־	וְהַקְלָלָה	28
そして–背き	あなたがたの–神の	主の	戒めに	に	聞かないなら	ない	もし	そして–呪いを	
H5493	H0430	H3068	H4687	H0413	H8085	H3808		H7045	

אַחֲרֵי	לָלֶכֶת	הַיּוֹם	אֶתְכֶם	מְצַוֶּה	אָנֹכִי	אֲשֶׁר	הַדֶּרֶךְ	מִן־
の–後に	従うために	今日	あなたがたに	命じている	わたしが	それを	道から	から
	H3212	H3117	H0853	H6680	H0595		H1870	

ס	יְדַעְתֶּם׃	לֹא־	אֲשֶׁר	אֲחֵרִים	אֱלֹהִים
(区切り)	知らない	ない	それを	他の	他の–神々に
	H3045	H3808		H0312	H0430

もしあなたがたの神、主の命令に聞き従わず、わたしが、きょう、あなたがたに命じる道を離れ、あなたがたの知らなかった他の神々に従うならば、のろいを受けるであろう。

בָּא־	אַתָּה	אֲשֶׁר־	הָאָרֶץ	אֶל־	אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה	יְבִיאֲךָ	כִּי	וְהָיָה	29
入る	あなたが	そこへ	その–地に	に	あなたの–神が	主が	導き入れる	時に	そして–なる	
H0935			H0776	H0413	H0430	H3068	H0935		H1961	

הַקְּלָלָה	וְאֶת־	גְּרִזִים	הָר	עַל־	הַבְּרָכָה	אֶת־	וְנָתַתָּה	לְרִשְׁתָּהּ	שָׁמָּה
呪いを	そして(を)	ゲリジム	山の	の–上に	祝福を	(を)	そして–置け	所有するために	そこへ
H7045	H0853	H1630	H2022		H1293	H0853	H5414	H3423	H8033

עֵיבָל׃	הָר	עַל־
エバル	山の	の–上に
	H2022	

あなたの神、主が、あなたの行って占領する地にあなたを導き入れられる時、あなたはゲリジム山に祝福を置き、エバル山にのろいを置かなければならない。

הַשֶּׁמֶשׁ	מְבוֹא	דֶּרֶךְ	אַחֲרֵי	הַיַּרְדֵּן	בְּעֵבֶר	הֵמָּה	הֲלֹא־	30
太陽の	の–日の入りの	の–方向に	の–後の	ヨルダンの	の–向こうに	それらは	ではないか	
H8121	H3996	H1870		H3383	H5676	H1992	H3808	

מֹרֶה׃	אֵלוֹנֵי	אֵצֶל	הַגִּלְגָּל	מוּל	בָּעֲרָבָה	הַיֹּשֵׁב	הַכְּנַעֲנִי	בְּאֶרֶץ
モレの	の–樫の–木の	の–そばに	ギルガルの	の–前に	アラバに	住んでいる	カナン人の	の–地に
H4176	H0436	H0681	H1537	H4136	H6160	H3427		H0776

これらの山はヨルダンの向こう側、アラバに住んでいるカナンびとの地で、日の入る方の道の西側にあり、ギルガルに向かいあって、モレのテレビンの木の近くにあるではないか。

הָאָרֶץ	אֶת־	לָרֶשֶׁת	לָבֹא	הַיַּרְדֵּן	אֶת־	עֹבְרִים	אַתֶּם	כִּי	31
その–地を	(を)	所有するために	入るために	ヨルダンを	(を)	渡る	あなたがたは	なぜなら	
H0776	H0853	H3423	H0935	H3383	H0853				

בָּהּ׃	וִישַׁבְתֶּם־	אֹתָהּ	וִירִשְׁתֶּם	לָכֶם	נֹתֵן	אֱלֹהֵיכֶם	יְהוָה	אֲשֶׁר־
そこに	そして–住む	それを	そして–所有し	あなたがたに	与える	あなたがたの–神が	主が	それを
	H3427	H0853	H3423		H5414	H0430	H3068	

あなたがたはヨルダンを渡り、あなたがたの神、主が賜わる地にはいって、それを占領しようとしている。あなたがたはそれを占領して、そこに住むであろう。

נֹתֵן	אָנֹכִי	אֲשֶׁר	הַמִּשְׁפָּטִים	וְאֶת־	הַחֻקִּים	כָּל־	אֵת	לַעֲשׂוֹת	וּשְׁמַרְתֶּם	32
与える	わたしが	それを	定めを	そして(を)	掟と	すべての	(を)	行え	そして–守り	
H5414	H0595		H4941	H0853	H2706	H3605	H0853		H8104	

הַיּוֹם׃	לִפְנֵיכֶם
今日	あなたがたの–前に
H3117	H6440

それゆえ、わたしが、きょう、あなたがたに授ける定めと、おきてをことごとく守って行わなければならない。

Chapter 12

1

בָּאָרֶץ	לַעֲשֹׂת	תִּשְׁמְרוּן	אֲשֶׁר	וְהַמִּשְׁפָּטִים	הַחֻקִּים	אֵלֶּה
その–地で	行わなければならない	あなたがたは–守り	それを	定めであり	掟と	これらは
H0776		H8104		H4941	H2706	H0428

כָּל־	לְרִשְׁתָּהּ	לְךָ	אֲבֹתֶיךָ	אֱלֹהֵי	יְהוָה	נָתַן	אֲשֶׁר־
すべての	所有するために	あなたに	あなたの–先祖たちの	神、	主が	与えられた	（それを）
H3605	H3423		H0001	H0430	H3068	H5414	

הָאֲדָמָה׃	עַל־	חַיִּים	אַתֶּם	אֲשֶׁר־	הַיָּמִים
その–地の–上で	（上に）	生きている	あなたがたが	（その間）	日々
H0127					H3117

これはあなたの先祖たちの神、主が所有として賜わる地で、あなたがたが世に生きながらえている間、守り行わなければならない定めと、おきてである。

2

שָׁם	עָבְדוּ־	אֲשֶׁר	הַמְקֹמוֹת	כָּל־	אֶת־	תְּאַבְּדוּן	אַבֵּד
そこで	仕えていた	そこで	場所を	すべての	（を）	滅ぼさなければならない	徹底的に
H8033	H5647		H4725	H3605	H0853	H0006	H0006

הָהָרִים	עַל־	אֱלֹהֵיהֶם	אֶת־	אֹתָם	יֹרְשִׁים	אַתֶּם	אֲשֶׁר	הַגּוֹיִם
高い–山々の–上	（上の）	神々に	（を）	彼らの	追い出す	あなたがたが	（その）	諸国の–民が
H2022		H0430	H0853	H0853	H3423			

רַעֲנָן׃	עֵץ	כָּל־	וְתַחַת	הַגְּבָעוֹת	וְעַל־	הָרָמִים
下で	青々とした–木の	すべての	また–下の	丘の–上	また（上の）	高い
	H6086	H3605	H8478	H1389		

あなたがたの追い払う国々の民が、その神々に仕えた所は、高い山にあるものも、丘にあるものも、青木の下にあるものも、ことごとくこわし、

3

מַצֵּבֹתָם	אֶת־	וְשִׁבַּרְתֶּם	מִזְבְּחֹתָם	אֶת־	וְנִתַּצְתֶּם	
彼らの–石柱を	（を）	砕かなければならない	彼らの–祭壇を	（を）	打ち壊さなければならない	
H4676	H0853	H7665	H4196	H0853	H5422	

אֱלֹהֵיהֶם	וּפְסִילֵי	בָּאֵשׁ	תִּשְׂרְפוּן	וַאֲשֵׁרֵיהֶם	
彼らの–神々の	また–彫像を	火で	焼かなければならない	彼らの–アシェラ像を	
H0430	H6456	H0784	H8313	H0842	

הַמָּקוֹם	מִן־	שְׁמָם	אֶת־	וְאִבַּדְתֶּם		תְּגַדְּעוּן	
その–場所	（から）	彼らの–名を	（を）	消し去らなければならない		切り倒さなければならない	
H4725		H8034	H0853	H0006		H1438	

הַהוּא׃
から
H1931

その祭壇をこぼち、柱を砕き、アシラ像を火で焼き、また刻んだ神々の像を切り倒して、その名をその所から消し去らなければならない。

4

אֱלֹהֵיכֶם׃	לַיהוָה	כֵּן	תַּעֲשׂוּן	לֹא־
あなたがたの–神に–対して	主、	そのように	してはならない	（してはならない）
H0430	H3068			H3808

ただし、あなたがたの神、主にはそのようにしてはならない。

5

כִּי־ אִם־ אֶל־ הַמָּקוֹם אֲשֶׁר־ יִבְחַר יְהוָה אֱלֹהֵיכֶם מִכָּל־
ただ （もし） （へ） その–場所に （そこを） 選ばれる 主が あなたがたの–神、 すべての
H3605 H0430 H3068 H0977

לְשַׁכְּנוֹ שָׁם שְׁמוֹ אֶת־ לָשׂוּם שִׁבְטֵיכֶם
住まわせるために そこに ご自分の–名を （を） 置くために あなたがたの–部族の–中から
H7933 H8033 H8034 H0853 H7626

וּבָאתָ שָּׁמָּה׃ תִּדְרְשׁוּ
行かなければならない そこへ あなたがたは–求め
H0935 H8033 H1875

あなたがたの神、主がその名を置くために、あなたがたの全部族のうちから選ばれる場所、すなわち主のすまいを尋ね求めて、そこに行き、

6

וְאֵת וְזִבְחֵיכֶם עֹלֹתֵיכֶם שָׁמָּה וְהֲבֵאתֶם
また（を） あなたがたの–犠牲と あなたがたの–全焼のいけにえ そこへ そして–持って行きなさい
H0853 H2077 H8033 H0935

וְנִדְרֵיכֶם תְּרוּמַת יֶדְכֶם וְאֵת מַעְשְׂרֹתֵיכֶם
あなたがたの–誓願のささげ物 あなたがたの–手の 奉納物を また（を） あなたがたの–十分の一と
H5088 H3027 H8641 H0853 H4643

וְצֹאנְכֶם׃ בְּקַרְכֶם וּבְכֹרֹת וְנִדְבֹתֵיכֶם
あなたがたの–羊の あなたがたの–牛の また–初子を あなたがたの–自発のささげ物と
H6629 H1241 H1062 H5071

あなたがたの燔祭と、犠牲と、十分の一と、ささげ物と、誓願の供え物と、自発の供え物および牛、羊のういごをそこに携えて行って、

7

וְאָכַלְתֶּם־ שָׁם לִפְנֵי יְהוָה אֱלֹהֵיכֶם וּשְׂמַחְתֶּם בְּכֹל
そして–食べなさい そこで 御前で 主、 あなたがたの–神の そして–喜びなさい すべての
H0398 H8033 H6440 H3068 H0430 H8055 H3605

מִשְׁלַח יֶדְכֶם אַתֶּם וּבָתֵּיכֶם אֲשֶׁר בֵּרַכְךָ יְהוָה
手の–業に あなたがたと あなたがたの–手の あなたがたの–家族は （そのように） 祝福された 主が
H3068 H1288

אֱלֹהֶיךָ׃
あなたの–神、
H0430

そこであなたがたの神、主の前で食べ、あなたがたも、家族も皆、手を労して獲るすべての物を喜び楽しまなければならない。これはあなたの神、主の恵みによって獲るものだからである。

8

לֹא תַעֲשׂוּן כֻּלָּנוּ אֲשֶׁר אֲנַחְנוּ עֹשִׂים פֹּה הַיּוֹם
（してはならない） してはならない すべて （そのように） 私たちが 行っている ここで 今日
H3808 H3605 H0587 H6311 H3117

בְּעֵינָיו׃ הַיָּשָׁר כָּל־ אִישׁ
自分の–目に 正しいと–思うことを すべて 各自が
H3477 H3605 H0376

そこでは、われわれがきょうここでしているように、めいめいで正しいと思うようにふるまってはならない。

9 כִּי לֹא־ בָאתֶם עַד־ עָתָּה אֶל־ הַמְּנוּחָה וְאֶל־
なぜなら まだ あなたがたは–来ていない （まで） 今まで （へ） 安息の–地へ また（へ）
H3808 H0935 H5704 H6258 H0413 H4496 H0413

הַנַּחֲלָה אֲשֶׁר־ יְהוָה אֱלֹהֶיךָ נֹתֵן לָךְ׃
嗣業の–地へ （それを） 主、 あなたの–神が 与えようとしている あなたに
H5159 H3068 H0430 H5414

あなたがたはまだ、あなたがたの神、主から賜わる安息と嗣業の地に、はいっていないのである。

10 וַעֲבַרְתֶּם אֶת־ הַיַּרְדֵּן וְיִשַּׁבְתֶּם בָּאָרֶץ אֲשֶׁר־ יְהוָה
あなたがたが–渡り （を） ヨルダン川を 住むとき その–地に （それを） 主、
H3068 H0853 H3383 H3427 H0776 H3068

מִכֹּל־ לָכֶם וְהֵנִיחַ אֶתְכֶם מַנְחִיל אֱלֹהֵיכֶם
すべての あなたがたに 安息を–与え あなたがたに 嗣業として–与える あなたがたの–神が
H3605 H5117 H0853 H5157 H0430

מִסָּבִיב וְיִשַּׁבְתֶּם־ בָּטַח׃ אֹיְבֵיכֶם
周囲の 住むが–あなたがたが– 安全に あなたがたの–敵から
H5439 H3427 H0983 H0341

しかし、あなたがたがヨルダンを渡り、あなたがたの神、主が嗣業として賜わる地に住むようになり、さらに主があなたがたの周囲の敵をことごとく除いて、安息を与え、あなたがたが安らかに住むようになる時、

11 וְהָיָה הַמָּקוֹם אֲשֶׁר־ יִבְחַר יְהוָה אֱלֹהֵיכֶם בּוֹ לְשַׁכֵּן
そのとき その–場所に （そこを） 選ばれる 主、 あなたがたの–神が そこに 住まわせるために
H1961 H4725 H7931 H0977 H3068 H0430 H0834 H7931

שְׁמוֹ שָׁם תָּבִיאוּ אֵת כָּל־ אֲשֶׁר אָנֹכִי
ご自分の–名を そこに そこへ 持って行きなさい （を） すべて （それを） わたしが
H8034 H8033 H8033 H0935 H0853 H3605 H0834 H0595

מְצַוֶּה עֹלֹתֵיכֶם וְזִבְחֵיכֶם מַעְשְׂרֹתֵיכֶם אֶתְכֶם
命じる あなたがたの–全焼のいけにえ あなたがたの–犠牲と あなたがたの–十分の一と あなたがたに
H6680 H5930 H2077 H4643 H0853

וּתְרֻמַת יְדֵכֶם וְכֹל מִבְחַר נִדְרֵיכֶם אֲשֶׁר
奉納物を あなたがたの–手の またすべての 最良の あなたがたの–誓願のささげ物を （それを）
H8641 H3027 H3605 H4005 H5088

תִּדְּרוּ לַיהוָה׃
あなたがたが–誓う 主に
H5087 H3068

あなたがたの神、主はその名を置くために、一つの場所を選ばれるであろう。あなたがたはそこにわたしの命じる物をすべて携えて行かなければならない。すなわち、あなたがたの燔祭と、犠牲と、十分の一と、ささげ物およびあなたがたが主に誓ったすべての誓願の供え物とを携えて行かなければならない。

12 וּשְׂמַחְתֶּם לִפְנֵי יְהוָה אֱלֹהֵיכֶם אַתֶּם וּבְנֵיכֶם
あなたがたの–息子たち あなたがたと あなたがたの–神の 主、 御前で そして–喜びなさい
H0430 H3068 H6440 H8055

וְהַלֵּוִי וַאֲמָהֹתֵיכֶם וְעַבְדֵיכֶם וּבְנֹתֵיכֶם
またレビ人 あなたがたの–女の–しもべたちと あなたがたの–男の–しもべたち あなたがたの–娘たち
H3881 H0519 H5650 H1323

וְנַחֲלָה חֵלֶק לוֹ אֵין כִּי בִּשְׁעָרֵיכֶם אֲשֶׁר
嗣業も 分け前も 彼には （ない） なぜなら あなたがたの–町々に–いる （その者は）
H5159 H0369 H8179

אִתְּכֶם׃
あなたがたと–共に–ない
H0854

そしてあなたがたのむすこ、娘、しもべ、はしためと共にあなたがたの神、主の前に喜び楽しまなければならない。また町の内におるレビびととも、そうしなければならない。彼はあなたがたのうちに分け前がなく、嗣業を持たないからである。

13 הִשָּׁמֶר לְךָ פֶּן־ תַּעֲלֶה עֹלֹתֶיךָ
あなた自身 気をつけなさい （ないように） ささげる–ことが–ないように あなたの–全焼のいけにえを
H8104 H6435 H5927

בְּכָל־ מָקוֹם אֲשֶׁר תִּרְאֶה׃
どこでも 場所で （その） あなたが–見る
H3605 H4725 H7200

慎んで、すべてあなたがよいと思う場所で、みだりに燔祭をささげないようにしなければならない。

14 כִּי אִם־ בַּמָּקוֹם אֲשֶׁר־ יִבְחַר יְהוָה בְּאַחַד שְׁבָטֶיךָ שָׁם
ただ （もし） その–場所で （そこを） 選ばれる 主が 一つの あなたの–部族の–中で そこで
H4725 H0977 H3068 H0259 H7626 H8033

תַּעֲלֶה עֹלֹתֶיךָ וְשָׁם תַּעֲשֶׂה כָּל אֲשֶׁר אָנֹכִי
ささげなさい あなたの–全焼のいけにえを そこで 行いなさい すべて （それを） わたしが
H5927 H8033 H3605 H0595

מְצַוֶּךָּ׃
あなたに–命じる
H6680

ただあなたの部族の一つのうちに、主が選ばれるその場所で、燔祭をささげ、またわたしが命じるすべての事をしなければならない。

15 רַק בְּכָל־ אַוַּת נַפְשְׁךָ תִּזְבַּח וְאָכַלְתָּ בָשָׂר כְּבִרְכַּת יְהוָה
ただし どこでも 望みの–ままに あなたの–心の 屠り 食べてよい 肉を 祝福に–従い 主、
H7535 H3605 H0185 H5315 H2076 H0398 H1320 H1293 H3068

אֱלֹהֶיךָ אֲשֶׁר נָתַן־ לְךָ בְּכָל־ שְׁעָרֶיךָ הַטָּמֵא וְהַטָּהוֹר
あなたの–神の （それを） 与えられた あなたに すべての あなたの–町々で 汚れた–者も 清い–者も
H0430 H5414 H3605 H8179 H2931 H2889

יֹאכְלֶנּוּ כַּצְבִי וְכָאַיָּל׃
食べてよい–それを かもしかや 鹿のように
H0398 H0354

しかし、あなたの神、主が賜わる恵みにしたがって、すべて心に好む獣を、どの町ででも殺して、その肉を食べることができる。すなわち、かもしかや雄じかの肉と同様にそれを、汚れた人も、清い人も、食べることができる。

16

תִּשְׁפְּכֶנּוּ	הָאָרֶץ	עַל־	תֹּאכֵלוּ	לֹא	הַדָּם	רַק
注ぎ出しなさい	地の	地の–上に	食べてはならない	（してはならない）	血は	ただし
H8210	H0776		H0398	H3808	H1818	H7535

כַּמָּיִם׃
水のように
H4325

ただし、その血は食べてはならない。水のようにそれを地に注がなければならない。

17

מַעְשַׂר	בִּשְׁעָרֶיךָ	לֶאֱכֹל	תּוּכַל	לֹא־	
十分の一を	あなたの–町々で	食べる–ことは	食べることは–できない	（してはならない）	
H4643	H8179	H0398	H3201	H3808	

וְצֹאנֶךָ	בְּקָרְךָ	וּבְכֹרֹת	וְיִצְהָרֶךָ	וְתִירֹשְׁךָ	דְּגָנְךָ
あなたの–羊の	あなたの–牛の	初子も	あなたの–油の	あなたの–新しい–ぶどう酒の	あなたの–穀物の
H6629	H1241	H1062	H3323	H8492	H1715

וְנִדְבֹתֶיךָ	תִּדֹּר	אֲשֶׁר	נְדָרֶיךָ	וְכֹל־	
あなたの–自発のささげ物も	あなたが–誓う	（それを）	あなたの–誓願のささげ物も	またすべての	
H5071	H5087		H5088	H3605	

יָדֶךָ׃	וּתְרוּמַת
あなたの–手の	奉納物も
H3027	H8641

あなたの穀物と、ぶどう酒と、油との十分の一および牛、羊のういご、ならびにあなたが立てる誓願の供え物と、自発の供え物およびささげ物は、町の内で食べることはできない。

18

בַּמָּקוֹם	תֹּאכְלֶנּוּ	אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה	לִפְנֵי	אִם־	כִּי
その–場所で	食べなければならない–それを	あなたの–神の	主、	御前で	（もし）	ただ
H4725	H0398	H0430	H3068	H6440		

וּבִתֶּךָ	וּבִנְךָ	אַתָּה	בּוֹ	אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה	יִבְחַר	אֲשֶׁר
あなたの–娘と	あなたの–息子と	あなたと	そこを	あなたの–神が	主、	選ばれる	（そこを）
H1323				H0430	H3068	H0977	

בִּשְׁעָרֶיךָ	אֲשֶׁר	וְהַלֵּוִי	וַאֲמָתֶךָ	וְעַבְדְּךָ	
あなたの–町々に–いる	（その者は）	レビ人と	あなたの–女の–しもべと	あなたの–男の–しもべと	
H8179		H3881	H0519	H5650	

יָדֶךָ׃	מִשְׁלַח	בְּכֹל	אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה	לִפְנֵי	וְשָׂמַחְתָּ
あなたの–手の	手の–業に	すべての	あなたの–神の	主、	御前で	そして–喜びなさい
H3027		H3605	H0430	H3068	H6440	H8055

あなたの神、主が選ばれる場所で、あなたの神、主の前でそれを食べなければならない。すなわちあなたのむすこ、娘、しもべ、はしため、および町の内におるレビびとと共にそれを食べ、手を労して獲るすべての物を、あなたの神、主の前に喜び楽しまなければならない。

19

הַלֵּוִי	אֶת־	תַּעֲזֹב	פֶּן־	לְךָ	הִשָּׁמֶר
レビ人を	（を）	見捨てる–ことが–ないように	（ないように）	あなた自身	気をつけなさい
H3881	H0853		H6435		H8104

ס	אַדְמָתֶךָ׃	עַל־	יָמֶיךָ	כָּל־
（区切り）	あなたの–地の–上で	（上で）	あなたの–日々	すべての
	H0127		H3117	H3605

慎んで、あなたが世に生きながらえている間、レビびとを捨てないようにしなければならない。

כַּאֲשֶׁר
約束された–とおりに

גְּבוּלֶךָ׃
あなたの–領土を
H1366

אֶת־
（を）
H0853

אֱלֹהֶיךָ
あなたの–神が
H0430

יְהוָה
主、
H3068

יַרְחִיב
広げられる
H7337

כִּי־
（もし）

20

נַפְשֶׁךָ
あなたの–心が
H5315

תְּאַוֶּה
欲する
H0183

כִּי־
（なぜなら）

בָשָׂר
肉を
H1320

אֹכְלָה
食べよう
H0398

וְאָמַרְתָּ
そして–あなたが–言う
H0559

לְךָ׀
あなたに

דִּבֶּר־
語られた
H1696

בָּשָׂר׃
肉を
H1320

תֹּאכַל
食べてよい
H0398

נַפְשֶׁךָ
あなたの–心の
H5315

אַוַּת
望みの–ままに
H0185

בְּכָל־
どこでも
H3605

בָּשָׂר
肉を
H1320

לֶאֱכֹל
食べることを
H0398

あなたの神、主が約束されたように、あなたの領域を広くされるとき、あなたは肉を食べたいと願って、『わたしは肉を食べよう』と言うであろう。その時、あなたはほしいだけ肉を食べることができる。

אֱלֹהֶיךָ
あなたの–神が
H0430

יְהוָה
主、
H3068

יִבְחַר
選ばれる
H0977

אֲשֶׁר
（そこを）

הַמָּקוֹם
その–場所が
H4725

מִמְּךָ
あなたから

יִרְחַק
遠い–なら
H7368

כִּי־
もし

21

אֲשֶׁר
（それを）

וּמִצֹּאנְךָ
あなたの–羊から
H6629

מִבְּקָרְךָ
あなたの–牛から
H1241

וְזָבַחְתָּ
屠りなさい
H2076

שָׁם
そこに
H8033

שְׁמוֹ
ご自分の–名を
H8034

לָשׂוּם
置くために

בִּשְׁעָרֶיךָ
あなたの–町々で
H8179

וְאָכַלְתָּ
そして–食べなさい
H0398

צִוִּיתֶךָ
わたしが–命じた
H6680

כַּאֲשֶׁר
命じた–とおりに

לְךָ׀
あなたに

יְהוָה
主が
H3068

נָתַן
与えられた
H5414

נַפְשֶׁךָ׃
あなたの–心の
H5315

אַוַּת
望みの–ままに
H0185

בְּכָל
すべて
H3605

もしあなたの神、主がその名を置くために選ばれる場所が、遠く離れているならば、わたしが命じるように、主が賜わる牛、羊をほふり、門の内で、ほしいだけ食べることができる。

כֵּן
そのように

הַצְּבִי
かもしかや

וְאֶת־
（を）
H0853

הָאַיָּל
鹿が
H0354

אֶת־
（を）
H0853

יֵאָכֵל
食べられる–ように
H0398

כַּאֲשֶׁר
ちょうど

אַךְ
ただし
H0389

תֹּאכְלֶנּוּ׃
食べてよい–それを
H0398

יַחְדָּו
共に

וְהַטָּהוֹר
清い–者も
H2889

הַטָּמֵא
汚れた–者も
H2931

תֹּאכְלֶנּוּ
食べてよい–それを
H0398

22

かもしかや、雄じかを食べるように、それを食べることができる。すなわち汚れた人も、清い人も一様にそれを食べることができる。

הַנֶּפֶשׁ
いのちである
H5315

הִוא
それは
H1931

הַדָּם
血は
H1818

כִּי
なぜなら

הַדָּם
血を
H1818

אֹכַל
食べてはならない
H0398

לְבִלְתִּי
決して
H1115

חֲזַק
強く–あって
H2388

רַק
ただ
H7535

הַבָּשָׂר׃
肉と
H1320

עִם־
共に

הַנֶּפֶשׁ
いのちを
H5315

תֹּאכַל
食べては–ならない
H0398

וְלֹא־
食べてはならない
H3808

23

ただ堅く慎んで、その血を食べないようにしなければならない。血は命だからである。その命を肉と一緒に食べてはならない。

כַּמָּיִם׃
水のように
H4325

תִּשְׁפְּכֶנּוּ
注ぎ出しなさい
H8210

הָאָרֶץ
地の
H0776

עַל־
地の–上に

תֹּאכְלֶנּוּ
食べてはならない–それを
H0398

לֹא
（してはならない）
H3808

24

あなたはそれを食べてはならない。水のようにそれを地に注がなければならない。

25

וּלְבָנֶיךָ	לְךָ	יִיטַב	לְמַעַן	תֹּאכְלֶנּוּ	לֹא
あなたの–子孫も	あなたも	幸いを–得る	そうすれば	食べてはならない–それを	（してはならない）
		H3190	H4616	H0398	H3808

יְהוָה׃	בְּעֵינֵי	הַיָּשָׁר	תַּעֲשֶׂה	כִּי־	אַחֲרֶיךָ
主の	目に	正しいことを	あなたが–行う	なぜなら	あなたの–後に
H3068		H3477			

あなたはそれを食べてはならない。こうして、主が正しいと見られる事を行うならば、あなたにも後の子孫にも、さいわいがあるであろう。

26

לְךָ	יִהְיוּ	אֲשֶׁר־	קָדָשֶׁיךָ	רַק	
あなたの	あなたに–あるもの	（それは）	あなたの–聖なるささげ物と	ただし	
	H1961		H6944	H7535	

יְהוָה׃	יִבְחַר	אֲשֶׁר־	הַמָּקוֹם	אֶל־	וּבָאתָ	תִּשָּׂא	וּנְדָרֶיךָ
主が	選ばれる	（そこを）	その–場所へ	（へ）	行きなさい	携えて	あなたの–誓願のささげ物を
H3068	H0977		H4725	H0413	H0935	H5375	H5088

ただあなたのささげる聖なる物と、誓願の物とは、主が選ばれる場所へ携えて行かなければならない。

27

יְהוָה	מִזְבַּח	עַל־	וְהַדָּם	הַבָּשָׂר	עֹלֹתֶיךָ	וְעָשִׂיתָ
主、	祭壇の–上で	（上で）	血を	肉と	あなたの–全焼のいけにえを	そして–ささげなさい
H3068	H4196		H1818	H1320		

אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה	מִזְבַּח	עַל־	יִשָּׁפֵךְ	זִבְחֶיךָ	וְדַם־	אֱלֹהֶיךָ
あなたの–神の	主、	祭壇の–上に	（上に）	注がれる	あなたの–犠牲の	また–血は	あなたの–神の
H0430	H3068	H4196		H8210	H2077	H1818	H0430

תֹּאכֵל׃	וְהַבָּשָׂר
食べてよい	しかし–肉は
H0398	H1320

そして燔祭をささげる時は、肉と血とをあなたの神、主の祭壇の上にささげなければならない。犠牲をささげる時は、血をあなたの神、主の祭壇にそそぎかけ、肉はみずから食べることができる。

28

אָנֹכִי	אֲשֶׁר	הָאֵלֶּה	הַדְּבָרִים	כָּל־	אֵת	וְשָׁמַעְתָּ	שְׁמֹר
わたしが	（それを）	これらの	言葉を	すべての	（を）	そして–聞きなさい	守りなさい
H0595		H0428	H1697	H3605	H0853	H8085	H8104

עַד־	אַחֲרֶיךָ	וּלְבָנֶיךָ	לְךָ	יִיטַב	לְמַעַן	מְצַוֶּךָּ
（まで）	あなたの–後に	あなたの–子孫も	あなたも	幸いを–得る	そうすれば	あなたに–命じる
H5704				H3190	H4616	H6680

ס	אֱלֹהֶיךָ׃	יְהוָה	בְּעֵינֵי	וְהַיָּשָׁר	הַטּוֹב	תַּעֲשֶׂה	כִּי	עוֹלָם
（区切り）	あなたの–神の	主、	目に	正しいことを	良いことと	あなたが–行う	なぜなら	永遠に
	H0430	H3068		H3477				H5769

あなたはわたしが命じるこれらの事を、ことごとく聞いて守らなければならない。こうしてあなたの神、主が見て良いとし、正しいとされる事を行うならば、あなたにも後の子孫にも、長くさいわいがあるであろう。

29 כִּי־ יַכְרִית֨ יְהוָ֜ה אֱלֹהֶ֗יךָ אֶת־ הַגּוֹיִם֙ אֲשֶׁ֣ר אַתָּ֔ה
(もし) 断ち滅ぼされる 主、 あなたの–神が （を） 諸国の–民を （その地に） あなたが
H3772 H3068 H0430 H0853

בָּ֣א־ שָׁ֔מָּה לָרֶ֥שֶׁת אוֹתָ֖ם מִפָּנֶ֑יךָ וְיָרַשְׁתָּ֣ אֹתָ֔ם
入って–行く そこへ 追い出すために 彼らを あなたの–前から あなたが–彼らを–追い出し 彼らの
H0935 H8033 H3423 H0853 H6440 H3423 H0853

וְיָשַׁבְתָּ֖ בְּאַרְצָֽם׃
住むとき 彼らの–地に
H3427 H0776

あなたの神、主が、あなたの行って追い払おうとする国々の民を、あなたの前から断ち滅ぼされ、あなたがついにその国々を獲て、その地に住むようになる時、

30 הִשָּׁמֶ֣ר לְךָ֔ פֶּן־ תִּנָּקֵ֖שׁ אַחֲרֵיהֶ֑ם אַחֲרֵיהֶ֣ם
気をつけなさい あなた自身 （ないように） 罠に–かかる–ことが–ないように 彼らに–従って 彼らが
H8104 H6435 H5367

וּפֶן־ תִּדְרֹ֣שׁ לֵאלֹהֵיהֶ֗ם מִפָּנֶ֙יךָ֙ הִשָּׁמְדָ֔ם
また（ないように） 尋ね求める–ことが–ないように 彼らの–神々を あなたの–前から 滅ぼされた–後に
H6435 H1875 H6440 H8045

לֵאמֹ֔ר אֵיכָ֣ה יַעַבְד֤וּ הַגּוֹיִם֙ הָאֵ֣לֶּה אֶת־ אֱלֹהֵיהֶ֔ם
言って どのように これらの–国々は これらの （を） 彼らの–神々に
H0559 H0428 H0853 H0430

וְאֶֽעֱשֶׂה־ כֵּ֖ן גַּם־ אָֽנִי׃
わたしも–そのように–しよう そのように また わたしも
H0589 H1571

あなたはみずから慎み、彼らがあなたの前から滅ぼされた後、彼らにならって、わなにかかってはならない。また彼らの神々を尋ね求めて、『これらの国々の民はどのようにその神々に仕えたのか、わたしもそのようにしよう』と言ってはならない。

31 לֹא־ תַעֲשֶׂ֣ה כֵ֔ן לַיהוָ֖ה אֱלֹהֶ֑יךָ כִּ֣י כָל־
（してはならない） してはならない そのように 主、 あなたの–神に–対して なぜなら すべての
H3808 H3068 H0430 H3605

תּוֹעֲבַ֤ת יְהוָה֙ אֲשֶׁ֣ר שָׂנֵ֔א עָשׂ֖וּ לֵאלֹהֵיהֶ֑ם כִּ֣י גַם־
忌み嫌うべきことを 主が （それを） 憎む 彼らは–行った 彼らの–神々に–対して なぜなら さえも
H8441 H3068 H8130 H0430 H1571

בְּנֵיהֶם֙ וְאֶת־ בְּנֹתֵיהֶ֔ם יִשְׂרְפ֥וּ בָאֵ֖שׁ לֵאלֹהֵיהֶֽם׃
自分の–息子たちを また（を） 自分の–娘たちを 焼いた 火で 彼らの–神々に–対して
H1323 H0853 H8313 H0784 H0430

あなたの神、主に対しては、そのようにしてはならない。彼らは主の憎まれるもろもろの忌むべき事を、その神々にむかって行い、むすこ、娘をさえ火に焼いて、神々にささげたからである。

32 אֵ֣ת כָּל־ הַדָּבָ֗ר אֲשֶׁ֨ר אָנֹכִ֤י מְצַוֶּה֙ אֶתְכֶ֔ם אֹת֥וֹ תִשְׁמְר֖וּ
（を） すべての 言葉を （それを） わたしが 命じる あなたがたに それを 守り
H0853 H3605 H1697 H0595 H6680 H0853 H8104

לַעֲשׂ֑וֹת לֹ֤א תֹסֵף֙ עָלָ֔יו וְלֹ֥א תִגְרַ֖ע מִמֶּֽנּוּ׃ פ
行いなさい 加えては–ならない 加えては それに また（してはならない） 減らしては–ならない それから （区切り）
H3808 H3254 H3808 H1639

あなたがたはわたしが命じるこのすべての事を守って行わなければならない。これにつけ加えてはならない。また減らしてはならない。

Chapter 13

1

וְנָתַן	חֲלוֹם	חֹלֵם	אוֹ	נָבִיא	בְּקִרְבֶּךָ	יָקוּם	כִּי־
そして–示し	夢を	夢を–見る者	あるいは	預言者が	あなたがたの–中に	現れるなら	もし
H5414	H2472			H5030	H7130		

מוֹפֵת׃	אוֹ	אוֹת	אֵלֶיךָ
不思議を	あるいは	しるしを	あなたに
H4159		H0226	H0413

あなたがたのうちに預言者または夢みる者が起って、しるしや奇跡を示し、

2

נֵלְכָה	לֵאמֹר	אֱלֹהֶיךָ	דִּבֶּר	אֲשֶׁר־	וְהַמּוֹפֵת	הָאוֹת	וּבָא
行こう	言って	あなたに	語った	それについて	そして–不思議が	その–しるしが	そして–起こり
H3212	H0559	H0413	H1696		H4159	H0226	H0935

וְנָעָבְדֵם׃	יְדַעְתָּם	לֹא־	אֲשֶׁר	אֱלֹהִים	אֲחֵרִים	אַחֲרֵי
そして–仕えよう	ことのない	知らなかった	あなたが	異なる	他の–神々	に–従って
H5647	H3045	H3808		H0312	H0430	

あなたに告げるそのしるしや奇跡が実現して、あなたがこれまで知らなかった『ほかの神々に、われわれは従い仕えよう』と言っても、

3

חוֹלֵם	אֶל־	אוֹ	הַהוּא	הַנָּבִיא	דִּבְרֵי	אֶל־	תִּשְׁמַע	לֹא
夢を–見る者	～に	あるいは	その	その–預言者の	言葉を	～に	聞いては	聞いては–ならない
	H0413		H1931	H5030	H1697	H0413	H8085	H3808

לָדַעַת	אֶתְכֶם	אֱלֹהֵיכֶם	יְהוָה	מְנַסֶּה	כִּי	הַהוּא	הַחֲלוֹם
知るために	あなたがたを	あなたがたの–神	主が	試みておられる	なぜなら	その	その–夢の
H3045	H0853	H0430	H3068	H5254		H1931	H2472

וּבְכָל־	לְבַבְכֶם	בְּכָל־	אֱלֹהֵיכֶם	יְהוָה	אֶת־	אֹהֲבִים	הֲיִשְׁכֶם
そして–すべての	心を–もって	すべての	あなたがたの–神	主を	～を	愛しているかを	はたして
H3605	H3824	H3605	H0430	H3068	H0853	H0157	H3426

נַפְשְׁכֶם׃
魂を–もって
H5315

あなたはその預言者または夢みる者の言葉に聞き従ってはならない。あなたがたの神、主はあなたがたが心をつくし、精神をつくして、あなたがたの神、主を愛するか、どうかを知ろうと、このようにあなたがたを試みられるからである。

4

מִצְוֹתָיו	וְאֶת־	תִּירָאוּ	וְאֹתוֹ	תֵּלֵכוּ	אֱלֹהֵיכֶם	יְהוָה	אַחֲרֵי
その–戒めを	そして	畏れなさい	そして–主を	歩みなさい	あなたがたの–神	主	～に–従って
H4687	H0853	H3372	H0853	H3212	H0430	H3068	

תִּדְבָּקוּן׃	וּבוֹ	תַּעֲבֹדוּ	וְאֹתוֹ	תִּשְׁמְעוּ	וּבְקֹלוֹ	תִּשְׁמֹרוּ
すがりなさい	そして–主に	仕えなさい	そして–主に	聞き従いなさい	そして–その–声に	守りなさい
H1692		H5647	H0853	H8085		H8104

あなたがたの神、主に従って歩み、彼を恐れ、その戒めを守り、その言葉に聞き従い、彼に仕え、彼につき従わなければならない。

יוּמָ֔ת הַה֣וּא הַחֲל֣וֹם חֹלֵ֗ם אוֹ֩ הַה֨וּא וְהַנָּבִ֜יא 5
殺されなければならない その者は その–夢の 夢を–見る者 あるいは その そして–その–預言者は
H4191 H1931 H2472 H1931 H5030

וְאֶתְכֶ֑ם הַמּוֹצִ֨יא אֱלֹהֵיכֶ֜ם יְהוָ֣ה עַל־ סָ֠רָה דִּבֶּר־ כִּ֣י
あなたがたを 導き出された–方 あなたがたの–神 主 ～に–対して 背きの–言葉を 語った なぜなら
H0853 H3318 H0430 H3068 H5627 H1696

מִן־ לְהַדִּיחֲךָ֙ עֲבָדִ֔ים מִבֵּ֖ית וְהַפְדְּךָ֥ מֵאֶ֣רֶץ מִצְרָ֑יִם
～から 迷わせようと–したからだ 奴隷の ～の–家から そして–贖い出された–方 エジプト ～の–地から
H5080 H5650 H6299 H4714 H0776

וּבְעַרְתָּ֣ בָּה֮ לָלֶ֣כֶת אֱלֹהֶ֒יךָ֒ יְהוָ֗ה צִוְּךָ֣ אֲשֶׁ֣ר הַדֶּ֣רֶךְ
そして–除き去りなさい その–道を 歩むことを あなたの–神 主が 命じられた それを その–道
H3212 H0430 H3068 H6680 H1870

מִקִּרְבֶּֽךָ׃ הָרָ֖ע
あなたがたの–中から 悪を
H7130

その預言者または夢みる者を殺さなければならない。あなたがたをエジプトの国から導き出し、奴隷の家からあがなわれたあなたがたの神、主にあなたがたをそむかせ、あなたの神、主が歩めと命じられた道を離れさせようとして語るゆえである。こうしてあなたがたのうちから悪を除き去らなければならない。

בִּנְךָ֤ אוֹ־ אִמֶּךָ֙ בֶּן־ אָחִ֣יךָ יְסִיתְךָ֤ כִּי 6
あなたの–息子が あるいは あなたの–母の ～の–息子 あなたの–兄弟が そそのかすなら もし
H0517 H0251 H5496

אֲשֶׁ֣ר רֵעֲךָ֔ אוֹ֙ חֵיקֶ֔ךָ אֵ֖שֶׁת וְאוֹ֙ בִּתְּךָ֔ אוֹ־
その者が あなたの–友が あるいは あなたの–懐の 妻が あるいは あなたの–娘が あるいは
H7453 H2436 H0802 H1323

אֲשֶׁר֙ אֱלֹהִ֣ים אֲחֵרִ֔ים וְנַעַבְדָ֖ה נֵלְכָ֣ה לֵאמֹ֑ר בַּסֵּ֣תֶר כְּנַפְשֶׁ֗ךָ
あなたが 異なる 他の–神々に そして–仕えよう 行こう 言って ひそかに あなた–自身の–ような
H0312 H0430 H5647 H3212 H0559 H5315

וַאֲבֹתֶֽיךָ׃ אַתָּ֖ה יָדַ֥עְתָּ לֹ֣א
あなたの–先祖たちも あなたも ことのない 知らなかった
H0001 H3045 H3808

同じ母に生れたあなたの兄弟、またはあなたのむすこ、娘、またはあなたのふところの妻、またはあなたと身命を共にする友が、ひそかに誘って『われわれは行って他の神々に仕えよう』と言うかも知れない。これはあなたも先祖たちも知らなかった神々、

אוֹ֙ אֵלֶ֔יךָ הַקְּרֹבִ֖ים סְבִיבֹתֵיכֶ֑ם אֲשֶׁ֣ר הָעַמִּ֗ים מֵאֱלֹהֵ֣י 7
あるいは あなたに 近くにいる あなたがたの–周りの それらは 諸国の–民の ～の–神々に
H0413 H7138 H5439 H0430

הָאָ֔רֶץ קְצֵ֖ה וְעַד־ הָאָ֣רֶץ מִקְצֵ֑ה מִמֶּךָּ֙ הָרְחֹקִ֣ים׃
地の 果て そして–～まで 地 ～の–果てから あなたから 遠くにいる
H0776 H5704 H0776 H7350

すなわち地のこのはてから、地のかのはてまで、あるいは近く、あるいは遠く、あなたの周囲にある民の神々である。

8

אֵלָיו	תִּשְׁמַע	וְלֹא	לוֹ	תֹאבֶה	לֹא־
その者に	耳を–傾けては	そして–聞いては–ならない	その者に	従っては	同意しては–ならない
H0413	H8085	H3808		H0014	H3808

וְלֹא־	תַחְמֹל	וְלֹא־	עָלָיו	עֵינְךָ	תָּחוֹס	וְלֹא־
そして	容赦しては–ならない	そして	その者を	あなたの–目が	哀れんでは–ならない	そして
H3808	H2550	H3808			H2347	H3808

עָלָיו׃	תְכַסֶּה
その者を	かばっては–ならない
	H3680

しかし、あなたはその人に従ってはならない。その人の言うことを聞いてはならない。その人をあわれんではならない。その人を惜しんではならない。その人をかばってはならない。

9

בָּרִאשֹׁנָה	בּוֹ	תִּהְיֶה־	יָדְךָ	תָּהַרְגֶנּוּ	הָרֹג	כִּי
最初に	その者に–対して	なりなさい	あなたの–手が	殺しなさい	殺さなければならない	必ず
H7223		H1961	H3027	H2026	H2026	

בָּאַחֲרֹנָה׃	הָעָם	כָּל־	וְיַד	לַהֲמִיתֽוֹ
最後に	民の	すべての	そして–手が	殺すために
H0314		H3605	H3027	H4191

必ず彼を殺さなければならない。彼を殺すには、あなたがまず彼に手を下し、その後、民がみな手を下さなければならない。

10

יְהוָה	מֵעַל	לְהַדִּיחֲךָ	בִקֵּשׁ	כִּי	וָמֵת	בָּאֲבָנִים	וּסְקַלְתּוֹ
主	～から–離して	迷わせようと	求めた	なぜなら	殺しなさい	石で	そして–石を–投げて
H3068		H5080	H1245		H4191	H0068	H5619

עֲבָדִים׃	מִבֵּית	מִצְרַיִם	מֵאֶרֶץ	הַמּוֹצִיאֲךָ	אֱלֹהֶיךָ
奴隷の	～の–家から	エジプト	～の–地から	導き出された–方	あなたの–神
H5650		H4714	H0776	H3318	H0430

彼はエジプトの国、奴隷の家からあなたを導き出されたあなたの神、主からあなたを離れさせようとしたのであるから、あなたは石をもって彼を撃ち殺さなければならない。

11

לַעֲשׂוֹת	יוֹסִפוּ	וְלֹא־	וְיִרְאוּן	יִשְׁמְעוּ	יִשְׂרָאֵל	וְכָל־	
行うことを	行わないであろう	そして–再び	恐れるであろう	聞いて	イスラエルは	そして–すべての	
	H3254	H3808	H3372	H8085	H3478	H3605	

ס	בְקִרְבֶּךָ׃	הַזֶּה	הָרָע	כַּדָּבָר
[区切り]	あなたがたの–中で	この	悪い	このような
	H7130	H2088		H1697

そうすればイスラエルは皆聞いて恐れ、重ねてこのような悪い事を、あなたがたのうちに行わないであろう。

12

לְךָ	נֹתֵן	אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה	אֲשֶׁר	עָרֶיךָ	בְּאַחַת	תִּשְׁמַע	כִּי־
あなたに	与えられる	あなたの–神	主が	それを	あなたの–町々で	一つの	聞いたなら	もし
	H5414	H0430	H3068			H0259	H8085	

לֵאמֹר׃	שָׁם	לָשֶׁבֶת
言って	そこに	住むために
H0559	H8033	H3427

あなたの神、主があなたに与えて住まわせられる町の一つで、

13

יָצְאוּ	אֲנָשִׁים	בְּנֵי־	בְלִיַּעַל	מִקִּרְבֶּךָ	וַיַּדִּיחוּ	אֶת־
出て行った	人々が	～の–子ら	よこしまな者の	あなたがたの–中から	そして–惑わした	～を
H3318	H0376		H1100	H7130	H5080	H0853

יֹשְׁבֵי	עִירָם	לֵאמֹר	נֵלְכָה	וְנַעַבְדָה	אֱלֹהִים	אֲחֵרִים	אֲשֶׁר
住民を	彼らの–町の	言って	行こう	そして–仕えよう	他の–神々に	異なる	あなたがたが
H3427		H0559	H3212	H5647	H0430	H0312	

לֹא־	יְדַעְתֶּם׃	
知らなかった	ことのない	
H3808	H3045	

よこしまな人々があなたがたのうちに起って、あなたがたの知らなかった『ほかの神々に、われわれは行って仕えよう』と言って、その町に住む人々を誘惑したことを聞くならば、

14

נָכוֹן	אֱמֶת֙	וְהִנֵּה	הֵיטֵב	וְשָׁאַלְתָּ	וְדָרַשְׁתָּ	וְחָקַרְתָּ	
確かなら	真実であり	そして–見よ	十分に	そして–よく–尋ねなさい	そして–調べ	そして–探り	
	H0571	H2009	H3190	H7592	H1875	H2713	

בְּקִרְבֶּךָ׃	הַזֹּאת֙	הַתּוֹעֵבָה	נֶעֱשְׂתָה	הַדָּבָ֔ר
あなたがたの–中で	この	この–忌まわしいことが	行われた	その–事が
H7130	H2063	H8441		H1697

あなたはそれを尋ね、探り、よく問いたださなければならない。そして、そのような憎むべき事があなたがたのうちに行われた事が、真実で、確かならば、

15

הַחֲרֵם	תַּחֲרִ֣ים	לְפִי־	(הַהִוא֮	[ההוא]	הָעִיר	יֹשְׁבֵי	אֶת־	תַּכֶּה	הַכֵּה
聖絶しなさい	剣の	～の–刃で	その	[その]	その–町の	住民を	～を	打ちなさい	必ず
	H2719	H6310	H1992	H1931		H3427	H0853	H5221	H5221

חָרֶב׃	לְפִי־	בְּהֶמְתָּהּ	וְאֶת־	בָּהּ	אֲשֶׁר־	כָּל־	וְאֶת־	אֹתָהּ
剣の	～の–刃で	その–家畜も	そして	その–中にある	～を	すべての	そして	それを
H2719	H6310	H0929	H0853			H3605	H0853	H0853

あなたは必ず、その町に住む者をつるぎの刃にかけて撃ち殺し、その町と、そのうちにおるすべての者、およびその家畜をつるぎの刃にかけて、ことごとく滅ぼさなければならない。

16

וְשָׂרַפְתָּ	רְחֹבָהּ֙	תּ֣וֹךְ	אֶל־	תִּקְבֹּץ֙	שְׁלָלָהּ֙	כָּל־	וְאֶת־	
そして–焼きなさい	その–広場の	真ん中	～の–中に	集めなさい	その–分捕り物を	すべての	そして	
H8313	H7339	H8432	H0413	H6908	H7998	H3605	H0853	

אֱלֹהֶ֔יךָ	לַיהוָ֣ה	כָּלִ֔יל	שְׁלָלָהּ֙	כָּל־	וְאֶת־	הָעִ֣יר	אֶת־	בָּאֵ֖שׁ	
あなたの–神	主への	ことごとく	その–分捕り物を	すべての	そして	その–町を	～を	火で	
H0430	H3068	H3632	H7998	H3605	H0853		H0853	H0784	

עֽוֹד׃	תִּבָּנֶ֖ה	לֹ֣א	עוֹלָ֑ם	תֵּ֣ל	וְהָיְתָ֥ה	
もう	再建されない	決して	永遠の	廃墟の–丘と	そして–なるであろう	
H5750	H1129	H3808	H5769	H8510	H1961	

またそのすべてのぶんどり物は、町の広場の中央に集め、火をもってその町と、すべてのぶんどり物とを、ことごとく焼いて、あなたの神、主にささげなければならない。これはながく荒塚となって、再び建て直されないであろう。

17

לְמַעַן	הַחֵרֶם	מִן־	מְאוּמָה	בְּיָדְךָ	יִדְבַּק	וְלֹא־	
そうすれば	聖絶の–物の	～から	何も	あなたの–手に	くっつかないようにしなさい	そして	
H4616			H3972	H3027	H1692	H3808	

וְרִחַמְךָ	רַחֲמִים׀	לְךָ	וְנָתַן־	אַפּוֹ	מֵחֲרוֹן	יְהוָה	יָשׁוּב
そして–憐れんでくださり	憐れみを	あなたに	そして–与え	激しい	～の–怒りから	主は	立ち返り
H7355			H5414	H0639	H2740	H3068	H7725

לַאֲבֹתֶיךָ׃	נִשְׁבַּע	כַּאֲשֶׁר	וְהִרְבֶּךָ	
あなたの–先祖たちに	誓われた	～の–とおりに	そして–増やしてくださる	
H0001	H7650			

そののろわれた物は一つもあなたの手に留めおいてはならない。主が激しい怒りをやめ、あなたに慈悲を施して、あなたをあわれみ、先祖たちに誓われたように、あなたの数を多くされるためである。

18

מִצְוֹתָיו	כָּל־	אֶת־	לִשְׁמֹר׀	אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה	בְּקוֹל׀	תִּשְׁמַע	כִּי	
その–戒めを	すべての	～を	守って	あなたの–神	主	～の–声に	聞き従うなら	もし	
H4687	H3605	H0853	H8104	H0430	H3068		H8085		

אֱלֹהֶיךָ׃	יְהוָה	בְּעֵינֵי	הַיָּשָׁר	לַעֲשׂוֹת׀	הַיּוֹם	מְצַוְּךָ	אָנֹכִי	אֲשֶׁר
あなたの–神	主	～の–目に	正しいことを	行い	今日	あなたに–命じている	わたしが	それを
H0430	H3068		H3477		H3117	H6680	H0595	

ס
[区切り]

あなたの神、主の言葉に聞き従い、わたしが、きょう、命じるすべての戒めを守り、あなたの神、主が正しいと見られる事を行うならば、このようになるであろう。

Chapter 14

1

תִּתְגֹּדְדוּ	לֹא	אֱלֹהֵיכֶם	לַיהוָה	אַתֶּם	בָּנִים	
身を–傷つけては	してはならない	あなたがたの–神	主の	あなたがたは	子らで	
H1413	H3808	H0430	H3068			

לָמֵת׃	עֵינֵיכֶם	בֵּין	קָרְחָה	תָּשִׂימוּ	וְלֹא־
死者の–ために	あなたがたの–目の	～の–間に	はげ頭を	つけては	そして–してはならない
H4191		H0996	H7144		H3808

あなたがたはあなたがたの神、主の子供である。死んだ人のために自分の身に傷をつけてはならない。また額の髪をそってはならない。

2

יְהוָה	בָּחַר	וּבְךָ֨	אֱלֹהֶיךָ	לַיהוָה	אַתָּה	קָדוֹשׁ	עָם	כִּי	
主が	選ばれた	そして–あなたを	あなたの–神	主に	あなたは	聖なる	民	なぜなら	
H3068	H0977		H0430	H3068		H6918			

פְּנֵי	עַל־	אֲשֶׁר	הָעַמִּים	מִכֹּל׀	סְגֻלָּה	לְעַם	לוֹ	לִהְיוֹת
表面	～の–上にいる	それらは	諸国の–民の	すべての–中から	宝の	民と	主の	なるために
H6440				H3605	H5459			H1961

ס
[区切り]

הָאֲדָמָה׃
地の
H0127

あなたはあなたの神、主の聖なる民だからである。主は地のおもてのすべての民のうちからあなたを選んで、自分の宝の民とされた。

3

לֹ֥א	תֹאכַ֖ל	כָּל־	תּוֹעֵבָֽה׃
食べてはならない	食べては	いかなる	忌まわしい-ものも
H3808	H0398	H3605	H8441

忌むべき物は、どんなものでも食べてはならない。

4

זֹ֣את	הַבְּהֵמָ֗ה	אֲשֶׁ֤ר	תֹּאכְלוּ֙	שׁ֣וֹר	שֵׂ֔ה	כְּשָׂבִ֖ים	וְשֵׂ֥ה	עִזִּֽים׃
これが	家畜で	それを	食べてよい	牛	羊	小羊の	そして-やぎ	やぎの
H2063	H0929		H0398	H7794	H7716	H3775	H7716	H5795

あなたがたの食べることができる獣は次のとおりである。すなわち牛、羊、やぎ、

5

אַיָּ֥ל	וּצְבִ֖י	וְיַחְמ֑וּר	וְאַקּ֣וֹ	וְדִישֹׁ֔ן	וְתְאֹ֖ו	וְזֶֽמֶר׃
鹿	そして-かもしか	そして-大鹿	そして-野やぎ	そして-おおじか	そして-野牛	そして-かもしか
H0354		H3180	H0689	H1788	H8377	H2169

雄じか、かもしか、こじか、野やぎ、くじか、おおじか、野羊など、

6

מַעֲלַ֣ת	פַּרְסֹ֗ות	שְׁתֵּי֙	שֹׁסַ֣ע	וְשֹׁסַ֤עַת	פַּרְסָה֙	מַפְרֶ֣סֶת	בְּהֵמָ֔ה	וְכָל־
反芻する	ひづめを	二つの	裂け目の	そして-裂けた	ひづめを	分かれた	家畜で	そして-すべての
H5927	H6541	H8147	H8157	H8156	H6541	H6536	H0929	H3605

תֹּאכֵֽלוּ׃	אֹתָ֖הּ	בַּבְּהֵמָ֑ה	גֵּרָ֣ה
食べてよい	それを	家畜の-中で	食べ物を
H0398	H0853	H0929	H1625

獣のうち、すべて、ひずめの分れたもの、ひずめが二つに切れたもので、反芻するものは食べることができる。

7

הַגֵּרָ֔ה	מִמַּעֲלֵי֙	תֹּאכְל֣וּ	לֹ֣א	זֶ֔ה	אֶת־	אַ֚ךְ
反芻する-ものや	～の-中から	食べては	食べてはならない	これは	～を	しかし
H1625	H5927	H0398	H3808	H2088	H0853	H0389

הַשָּׁפָ֑ן	וְאֶת־	הָאַרְנֶ֣בֶת	וְאֶת־	הַגָּמָ֗ל	אֶת־	הַשִּׁסּוּעָה֙	הַפַּרְסָ֔ה	וּמְמַפְרִיסֵ֖י
岩だぬき	そして	野うさぎ	そして	らくだ	～を	裂けた	ひづめの	そして-～の-中から
	H0853	H0768	H0853	H1581	H0853	H8156	H6541	H6536

הֵ֑ם	טְמֵאִ֖ים	הִפְרִ֥יסוּ	לֹ֛א	וּפַרְסָ֥ה	הֵ֣מָּה	גֵּרָ֔ה	מַעֲלֵ֥ה	כִּי־
それらは	汚れている	いない	分かれて	しかし-ひづめが	それらは	食べ物を	反芻する	なぜなら
H1992	H2931	H6536	H3808	H6541	H1992	H1625	H5927	

לָכֶֽם׃
あなたがたには

ただし、反芻するものと、ひずめの分れたもののうち、次のものは食べてはならない。すなわち、らくだ、野うさぎ、および岩だぬき、これらは反芻するけれども、ひずめが分れていないから汚れたものである。

8

טָמֵ֥א	גֵּרָ֖ה	וְלֹ֣א	הוּא֮	פַּרְסָה֒	מַפְרִ֣יס	כִּי־	הַחֲזִ֗יר	וְאֶת־
汚れている	しない	しかし-反芻	それは	ひづめは	分かれている	なぜなら	豚は	そして
H2931	H1625	H3808	H1931	H6541	H6536		H2386	H0853

לֹ֣א	וּבְנִבְלָתָ֖ם	תֹּאכֵ֑לוּ	לֹ֣א	מִבְּשָׂרָ֔ם	לָכֶ֖ם	הֽוּא׃
触れては	そして-その-死体に	食べては	食べてはならない	その-肉を	あなたがたには	それは
H3808	H5038	H0398	H3808	H1320		H1931

ס	תִּגָּֽעוּ׃
[区切り]	ならない
	H5060

また豚、これは、ひずめが分れているけれども、反芻しないから、汚れたものである。その肉を食べてはならない。またその死体に触れてはならない。

9

אֲשֶׁר־	כָּל	בַּמָּיִם	אֲשֶׁר	מִכֹּל	תֹּאכְלוּ	זֶה	אֶת־
それに	すべての-もので	水の-中にいる	それらは	すべての-中から	食べてよい	これは	～を
	H3605	H4325		H3605	H0398	H2088	H0853

תֹּאכֵלוּ׃	וְקַשְׂקֶשֶׂת	סְנַפִּיר	לוֹ
食べてよい	そして-うろこが	ひれと	ある
H0398	H7193	H5579	

水の中にいるすべての物のうち、次のものは食べることができる。すなわち、すべて、ひれと、うろこのあるものは、食べることができる。

10

תֹּאכֵלוּ	לֹא	וְקַשְׂקֶשֶׂת	סְנַפִּיר	לוֹ	אֵין־	אֲשֶׁר	וְכֹל
食べては	食べてはならない	そして-うろこが	ひれと	もの	ない	それに	そして-すべての-ものに
H0398	H3808	H7193	H5579		H0369	H3605	

ס	לָכֶם׃	הוּא	טָמֵא
[区切り]	あなたがたには	それは	汚れている
		H1931	H2931

すべて、ひれと、うろこのないものは、食べてはならない。これは汚れたものである。

11

תֹּאכֵלוּ׃	טְהֹרָה	צִפּוֹר	כֹּל־
食べてよい	清い-ものは	鳥で	すべての
H0398	H2889	H6833	H3605

すべて清い鳥は食べることができる。

12

וְהַפָּרֹס	הַנֶּשֶׁר	מֵהֶם	תֹּאכְלוּ	לֹא־	אֲשֶׁר	וְזֶה
そして-はげわし	わし	それらの-中から	食べては	食べてはならない	それらは	そして-これは
H6538	H5404	H1992	H0398	H3808		H2088

וְהָעָזְנִיָּה׃
そして-みさご
H5822

ただし、次のものは食べてはならない。すなわち、はげわし、ひげはげわし、みさご、

13

לְמִינָהּ׃	וְהַדַּיָּה	הָאַיָּה	וְאֶת־	וְהָרָאָה
その-種類の	そして-とび	はやぶさ	そして	そして-とび
H4327	H1772	H0344	H0853	H7201

黒とび、はやぶさ、とびの類。

14

לְמִינוֹ׃	עֹרֵב	כָּל־	וְאֶת
その-種類の	からす	すべての	そして
H4327	H6158	H3605	H0853

各種のからすの類。

15

לְמִינֵהוּ׃	הַנֵּץ	וְאֶת־	הַשָּׁחַף	וְאֶת־	הַתַּחְמָס	וְאֶת־	הַיַּעֲנָה	בַּת	וְאֶת
その-種類の	たか	そして	かもめ	そして	よたか	そして	だちょうの	娘を	そして
H4327		H0853	H7828	H0853	H8464	H0853	H3284	H1323	H0853

だちょう、夜たか、かもめ、たかの類。

16

וְהַתִּנְשֶׁמֶת׃	הַיַּנְשׁוּף	וְאֶת־	הַכּוֹס	אֶת־
そして-しらさぎ	みみずく	そして	ふくろう	～を
H8580	H3244	H0853		H0853

ふくろう、みみずく、むらさきばん、

17 וְהַקָּאָת וְאֶת־הָרָחָמָה וְאֶת־הַשָּׁלָךְ׃
そして-ペリカン そして はげたか そして 鵜
H6893 H0853 H7360 H0853 H7994

ペリカン、はげたか、う、

18 וְהַחֲסִידָה וְהָאֲנָפָה לְמִינָהּ וְהַדּוּכִיפַת וְהָעֲטַלֵּף׃
そして-こうのとり そして-さぎ その-種類の そして-やつがしら そして-こうもり
H2624 H0601 H4327 H1744 H5847

こうのとり、さぎの類。やつがしら、こうもり。

19 וְכֹל לֹא טָמֵא הוּא לָכֶם עוֹף שֶׁרֶץ הָעוֹף טְמֵאִים הֵם לֹא יֵאָכֵלוּ׃
そして-すべての 群がる-もの 翼の-ある 汚れている それは あなたがたには 食べてはならない
H3605 H8318 H5775 H2931 H1931 H3808
食べられない
H0398

またすべて羽があって這うものは汚れたものである。それを食べてはならない。

20 כָּל־טָהוֹר עוֹף תֹּאכֵלוּ׃
いかなる 清い-ものは 鳥で すべての
H3605 H2889 H5775 H3605
食べてよい
H0398

すべて翼のある清いものは食べることができる。

21 לֹא תֹאכְלוּ כָּל־נְבֵלָה לַגֵּר אֲשֶׁר־בִּשְׁעָרֶיךָ תִּתְּנֶנָּה וַאֲכָלָהּ אוֹ מָכֹר לְנָכְרִי כִּי עַם קָדוֹשׁ אַתָּה לַיהוָה אֱלֹהֶיךָ לֹא תְבַשֵּׁל גְּדִי בַּחֲלֵב אִמּוֹ׃ פ
食べてはならない 食べては いかなる 死んだ-ものも 寄留者に あなたの あなたの-門の-中にいる
H3808 H0398 H3605 H5038 H1616 H0834 H8179
与えなさい そして-食べさせなさい あるいは 売りなさい 外国人に なぜなら 民 聖なる
H5414 H0398 H0176 H4376 H5237 H3588 H5971 H6918
あなたは 主に あなたの-神 煮てはならない 煮ては 子やぎを 乳の-中で その-母の [区切り]
H0859 H3068 H0430 H3808 H1310 H1423 H2461 H0517

すべて自然に死んだものは食べてはならない。町の内におる寄留の他国人に、それを与えて食べさせることができる。またそれを外国人に売ってもよい。あなたはあなたの神、主の聖なる民だからである。子やぎをその母の乳で煮てはならない。

22 עַשֵּׂר תְּעַשֵּׂר אֵת כָּל־תְּבוּאַת זַרְעֶךָ הַיֹּצֵא הַשָּׂדֶה שָׁנָה שָׁנָה׃
必ず 十分の一を-献げなさい ～の すべての 収穫を あなたの-種の 出る-ものの 畑から 年ごとに 毎年
H6237 H6237 H0853 H3605 H8393 H2233 H3318 H8141 H8141

あなたは毎年、畑に種をまいて獲るすべての産物の十分の一を必ず取り分けなければならない。

23

וְאָכַלְתָּ לִפְנֵי יְהוָה אֱלֹהֶיךָ בַּמָּקוֹם אֲשֶׁר־יִבְחַר לְשַׁכֵּן
そして–食べなさい ～の–前で 主 あなたの–神 その–場所で そこを 選ばれる 住まわせるために
H0398 H6440 H3068 H0430 H4725 H0977 H7931

שְׁמוֹ שָׁם דְּגָנְךָ תִּירֹשְׁךָ וְיִצְהָרֶךָ
その–名を そこに あなたの–穀物 あなたの–新しい–ぶどう酒 そして–あなたの–油
H8034 H8033 H1715 H8492 H3323

מַעְשַׂר בְּקָרְךָ וּבְכֹרֹת צֹאנֶךָ וְלָמַדְתָּ לְיִרְאָה אֶת־
十分の一の あなたの–牛の そして–初子を そして–あなたの–羊の そうすれば 学ぶであろう 畏れることを ～を
H4643 H1241 H1062 H6629 H4616 H3925 H3372 H0853

יְהוָה אֱלֹהֶיךָ כָּל־הַיָּמִים׃
主を あなたの–神 すべての 日々
H3068 H0430 H3605 H3117

そしてあなたの神、主の前、すなわち主がその名を置くために選ばれる場所で、穀物と、ぶどう酒と、油との十分の一と、牛、羊のういごを食べ、こうして常にあなたの神、主を恐れることを学ばなければならない。

24

וְכִי־יִרְבֶּה מִמְּךָ הַדֶּרֶךְ כִּי לֹא תוּכַל שְׂאֵתוֹ
そして–もし 遠すぎるなら あなたにとって 道が なぜなら できない 運ぶことが それを
H3808 H3201 H5375

כִּי־יִרְחַק מִמְּךָ הַמָּקוֹם אֲשֶׁר יִבְחַר יְהוָה אֱלֹהֶיךָ לָשׂוּם
なぜなら 遠いから あなたから その–場所は そこを 選ばれる 主が あなたの–神 置くために
H7368 H4725 H0977 H3068 H0430

שְׁמוֹ שָׁם כִּי יְבָרֶכְךָ יְהוָה אֱלֹהֶיךָ׃
その–名を そこに なぜなら 祝福される 主が あなたの–神
H8034 H8033 H1288 H3068 H0430

ただし、その道があまりに遠く、あなたの神、主がその名を置くために選ばれる場所が、非常に遠く離れていて、あなたの神、主があなたを恵まれるとき、それを携えて行くことができないならば、

25

וְנָתַתָּה בַכֶּסֶף וְצַרְתָּ הַכֶּסֶף בְּיָדֶךָ וְהָלַכְתָּ
そして–換えなさい 銀に そして–包みなさい その–銀を あなたの–手に そして–行きなさい
H5414 H3701 H6696 H3701 H3027 H1980

אֶל־הַמָּקוֹם אֲשֶׁר יִבְחַר יְהוָה אֱלֹהֶיךָ בּוֹ׃
～の–所へ その–場所 そこを 選ばれる 主が あなたの–神 そこに
H0413 H4725 H0977 H3068 H0430

あなたはその物を金に換え、その金を包んで手に取り、あなたの神、主が選ばれる場所に行き、

26

וְנָתַתָּה הַכֶּסֶף בְּכֹל אֲשֶׁר־תְּאַוֶּה נַפְשְׁךָ בַּבָּקָר וּבַצֹּאן
そして–使いなさい その–銀を すべての–ものに それを 望む あなたの–魂が 牛に そして–羊に
H5414 H3701 H3605 H0183 H5315 H1241 H6629

וּבַיַּיִן וּבְכָל אֲשֶׁר תִּשְׁאָלְךָ נַפְשֶׁךָ וּבְשֵׂכָר
そして–ぶどう酒に そして–すべての–ものに それを 求める あなたの–魂が そして–強い–飲み物に
H3196 H3605 H7592 H5315 H7941

וְאָכַלְתָּ שָׁם לִפְנֵי יְהוָה אֱלֹהֶיךָ וְשָׂמַחְתָּ אַתָּה
そして–食べなさい そこで ～の–前で 主 あなたの–神 そして–喜びなさい あなたと
H0398 H8033 H6440 H3068 H0430 H8055

וּבֵיתֶךָ׃
あなたの–家族が

その金をすべてあなたの好む物に換えなければならない。すなわち牛、羊、ぶどう酒、濃い酒など、すべてあなたの欲する物に換え、その所であなたの神、主の前でそれを食べ、家族と共に楽しまなければならない。

27

לֹו	אין	כי	תעזבנו	לא	בשעריך	אשר־	והלוי	
彼には	ない	なぜなら	ならない	見捨てては	あなたの–門の–中にいる	あなたの	そして–レビ人を	
	H0369			H3808	H8179		H3881	

ס	עמך׃	ונחלה	חלק
[区切り]	あなたと–共に	そして–相続地も	分け前も
		H5159	

町の内におるレビびとを捨ててはならない。彼はあなたがたのうちに分がなく、嗣業を持たない者だからである。

28

בשנה	תבואתך	מעשר	כל־	את־	תוציא	שנים	שלש	ומקצה
その–年の	あなたの–収穫の	十分の一を	すべての	～を	持ち出しなさい	終わりに	年の	三
H8141	H8393	H4643	H3605	H0853	H3318	H8141	H7969	

בשעריך׃	ונחת	ההוא
あなたの–門の–中に	そして–置きなさい	その
H8179	H3240	H1931

三年の終りごとに、その年の産物の十分の一を、ことごとく持ち出して、町の内にたくわえ、

29

עמך	ונחלה	חלק	לו׀	אין־	כי	הלוי	ובא	
あなたと–共に	そして–相続地も	分け前も	彼には	ない	なぜなら	レビ人が	そして–来て	
	H5159			H0369		H3881	H0935	

ואכלו	בשעריך	אשר	והאלמנה	והיתום	והגר	
そして–食べて	あなたの–門の–中にいる	あなたの	そして–やもめが	そして–孤児と	そして–寄留者と	
H0398	H8179		H0490	H3490	H1616	

מעשה	בכל־	אלהיך	יהוה	יברכך	למען	ושבעו	
業に–おいて	すべての	あなたの–神	主が	祝福してくださる	そうすれば	そして–満ち足りるように	
H4639	H3605	H0430	H3068	H1288	H4616	H7646	

ס	תעשה׃	אשר	ידך
[区切り]	あなたが–行う	それを	あなたの–手の
			H3027

あなたがたのうちに分け前がなく、嗣業を持たないレビびと、および町の内におる寄留の他国人と、孤児と、寡婦を呼んで、それを食べさせ、満足させなければならない。そうすれば、あなたの神、主はあなたが手で行うすべての事にあなたを祝福されるであろう。

Chapter 15

1

שמטה׃	תעשה	שנים	שבע־	מקץ
免除を	行いなさい	年の	七	終わりに
H8059		H8141	H7651	H7093

あなたは七年の終りごとに、ゆるしを行わなければならない。

2

וְזֶה֙ דְּבַ֣ר הַשְּׁמִטָּ֔ה שָׁמ֥וֹט כָּל־ בַּֽעַל֙ מַשַּׁ֣ה יָד֔וֹ
そして-これが 定めで 免除の 免除しなさい すべての 持ち主が 貨した-ものの その-手の
H2088 H1697 H8059 H8058 H3605 H1167 H4874 H3027

אֲשֶׁ֥ר יַשֶּׁ֖ה בְּרֵעֵ֑הוּ לֹא־ יִגֹּ֗שׂ אֶת־ רֵעֵ֙הוּ֙ וְאֶת־ אָחִ֔יו כִּֽי־ קָרָ֥א שְׁמִטָּ֖ה לַֽיהוָֽה׃
貨した その-隣人に 取り立ててはならない ～を その-隣人から そして ～の 免除が 宣言された なぜなら
H5383 H7453 H3808 H5065 H0853 H7453 H0853 H8059 H7121 H3068 H0251

そのゆるしのしかたは次のとおりである。すべてその隣人に貸した貸主はそれをゆるさなければならない。その隣人または兄弟にそれを督促してはならない。主のゆるしが、ふれ示されたからである。

3

אֶת־ הַנָּכְרִ֖י תִּגֹּ֑שׂ וַאֲשֶׁ֨ר יִֽהְיֶ֤ה לְךָ֙ אֶת־ אָחִ֔יךָ
外国人からは ～から 取り立ててよい しかし-それを あるなら あなたに ～の あなたの-兄弟の
H5237 H0853 H5065 H0834 H1961 H0834 H0251

תַּשְׁמֵ֖ט יָדֶֽךָ׃
免除しなさい あなたの-手を
H8058 H3027

外国人にはそれを督促することができるが、あなたの兄弟に貸した物はゆるさなければならない。

4

כִּ֣י לֹא֩ יִֽהְיֶה־ בְּךָ֨ אֶבְי֜וֹן כִּֽי־ בָרֵ֤ךְ יְבָרֶכְךָ֙
実に いなくなる あなたがたの-中に 貧しい-者が なぜなら 必ず 祝福される
H3808 H1961 H0034 H0834 H1288 H1288

יְהוָ֔ה אֲשֶׁ֣ר יְהוָ֔ה אֱלֹהֶ֖יךָ נֹתֵ֣ן לְךָ֑ נַחֲלָ֣ה לְרִשְׁתָּֽהּ׃
主が それを その-地で 主が あなたの-神 与えられる あなたに 相続地として 所有するために
H3068 H0834 H0776 H3068 H0430 H5414 H0834 H5159 H3423

しかしあなたがたのうちに貧しい者はなくなるであろう。（あなたの神、主が嗣業として与えられる地で、あなたを祝福されるからである。）

5

רַ֗ק אִם־ שָׁמ֤וֹעַ תִּשְׁמַע֙ בְּקוֹל֙ יְהוָ֣ה אֱלֹהֶ֔יךָ לִשְׁמֹ֛ר לַעֲשׂ֥וֹת אֶת־
ただし もし 必ず 聞き従うなら ～の-声に 主 あなたの-神 守って 行うために ～を
H7535 H0518 H8085 H8085 H0430 H3068 H0430 H8104 H6213 H0853

כָּל־ הַמִּצְוָ֥ה הַזֹּ֖את אֲשֶׁ֣ר אָנֹכִ֑י מְצַוְּךָ֖ הַיּֽוֹם׃
すべての この-戒めを それを わたしが あなたに-命じている 今日
H3605 H4687 H2063 H0834 H0595 H6680 H3117

ただ、あなたの神、主の言葉に聞き従って、わたしが、きょう、あなたに命じることの戒めを、ことごとく守り行うとき、そのようになるであろう。

6

כִּֽי־ יְהוָ֣ה אֱלֹהֶ֗יךָ בָּרַכְךָ֙ כַּאֲשֶׁ֣ר דִּבֶּ֣ר לָ֔ךְ
なぜなら 主が あなたの-神 祝福される ～の-とおりに 語られた あなたに
H3068 H0430 H1288 H0834 H1696

וְעָבַטְתָּ֞ גּוֹיִ֣ם רַבִּ֗ים וְאַתָּה֙ לֹ֣א תַעֲבֹ֔ט וּמָשַׁלְתָּ֞ בְּגוֹיִ֣ם רַבִּ֔ים וּבְךָ֖ לֹ֣א יִמְשֹׁ֑לוּ ס
そして-貸し与えるであろう 多くの 多くの-国々に しかし-あなたは 借りない 借りは 治めは [区切り]
H5670 H7227 H1471 H5670 H3808 治めない H4910 H1121 H7227 H4910 H3808

あなたの神、主が約束されたようにあなたを祝福されるから、あなたは多くの国びとに貸すようになり、借りることはないであろう。またあなたは多くの国びとを治めるようになり、彼らがあなたを治めることはないであろう。

7

כִּי־ יִהְיֶה בְךָ אֶבְיוֹן מֵאַחַד אַחֶיךָ בְּאַחַד שְׁעָרֶיךָ בְּאַרְצְךָ אֲשֶׁר־ יְהוָה אֱלֹהֶיךָ נֹתֵן לָךְ לֹא
もし いるなら あなたがたの–中に 貧しい–者が 一人の あなたの–兄弟の 一つの あなたの–町の
H3808 H5414 H0430 H3068 H0776 H1961 H0034 H0251 H0259 H8179

תְאַמֵּץ אֶת־ לְבָבְךָ וְלֹא תִקְפֹּץ אֶת־ יָדְךָ מֵאָחִיךָ הָאֶבְיוֹן׃
かたくなにしては ～を あなたの–心を そして–閉じては–ならない 閉じては ～を あなたの–手を あなたの–兄弟から 貧しい
H0553 H0853 H3824 H3808 H7092 H0853 H3027 H0251 H0034

あなたの神、主が賜わる地で、もしあなたの兄弟で貧しい者がひとりでも、町の内におるならば、その貧しい兄弟にむかって、心をかたくなにしてはならない。また手を閉じてはならない。

8

כִּי־ פָתֹחַ תִּפְתַּח אֶת־ יָדְךָ לוֹ וְהַעֲבֵט תַּעֲבִיטֶנּוּ
必ず 開きなさい 開きなさい ～を あなたの–手を 彼に そして–必ず 貸して–あげなさい
H3027 H0853 H5670 H5670 H1767 H4270 H2637 H1961 H1697 H3824

דֵּי מַחְסֹרוֹ אֲשֶׁר יֶחְסַר לוֹ׃
十分な その–不足の–ために それを 不足している 彼に
H1767 H4270 H2637

必ず彼に手を開いて、その必要とする物を貸し与え、乏しいのを補わなければならない。

9

הִשָּׁמֶר לְךָ פֶּן־ יִהְיֶה דָבָר עִם־ לְבָבְךָ בְּלִיַּעַל לֵאמֹר קָרְבָה שְׁנַת־ הַשֶּׁבַע שְׁנַת הַשְּׁמִטָּה וְרָעָה עֵינְךָ
気をつけなさい あなた自身 ～しないように あらないように 考えが あなたの–心の 言って よこしまな 近づいている 年が 七の 年の 免除の そして–悪くなり あなたの–目が
H8104 H6435 H1961 H1697 H3824 H0559 H1100 H7126 H8141 H7651 H8141 H8059 H7451 H5869

בְּאָחִיךָ הָאֶבְיוֹן וְלֹא תִתֵּן לוֹ וְקָרָא עָלֶיךָ אֶל־ יְהוָה וְהָיָה בְךָ חֵטְא׃
あなたの–兄弟に–対して 貧しい そして–与えない 彼に そして–叫ぶ あなたに–対して ～に 主に あるであろう あなたに 罪が
H0251 H0034 H3808 H5414 H7121 H5921 H0413 H3068 H1961 H0413 H2399

あなたは心に邪念を起し、『第七年のゆるしの年が近づいた』と言って、貧しい兄弟に対し、物を惜しんで、何も与えないことのないように慎まなければならない。その人があなたを主に訴えるならば、あなたは罪を得るであろう。

10

נָתוֹן תִּתֵּן לוֹ וְלֹא־ יֵרַע לְבָבְךָ בְּתִתֶּךָ כִּי בִּגְלַל הַדָּבָר הַזֶּה יְבָרֶכְךָ יְהוָה אֱלֹהֶיךָ בְּכָל־
必ず 与えなさい 彼に そして–惨めに–思っては 惨めに あなたの–心が–思っては 与える–ときに なぜなら ～の–ゆえに この–事の 祝福される 主が あなたの–神 すべての
H5414 H5414 H3808 H7451 H3824 H5414 H3588 H1558 H2088 H1697 H1288 H3068 H0430 H3605

מַעֲשֶׂךָ וּבְכֹל מִשְׁלַח יָדֶךָ׃
あなたの–業に そして–すべての 手の–業に あなたの–手の
H4639 H3605 H4916 H3027

あなたは心から彼に与えなければならない。彼に与える時は惜しんではならない。あなたの神、主はこの事のために、あなたをすべての事業と、手のすべての働きにおいて祝福されるからである。

11

כֵּן	עַל־	הָאָרֶץ	מִקֶּרֶב	אֶבְיוֹן	יֶחְדָּל	לֹא־	כִּי
ゆえに	それ–ゼ	地の	～の–中から	貧しい–者が	絶えない	いなくなることはない	なぜなら
		H0776	H7130	H0034	H2308	H3808	

לְאָחִיךָ	יָדְךָ	אֶת־	תִּפְתַּח	פָּתֹחַ	לֵאמֹר	מְצַוְּךָ	אָנֹכִי
あなたの–兄弟に	あなたの–手を	～を	開きなさい	必ず	言って	あなたに–命じている	わたしは
H0251	H3027	H0853			H0559	H6680	H0595

ס	בְּאַרְצֶךָ׃	וּלְאֶבְיֹנְךָ	לַעֲנִיֶּךָ
[区切り]	あなたの–地で	そして–あなたの–貧しい–者に	あなたの–苦しむ–者に
	H0776	H0034	H6041

貧しい者はいつまでも国のうちに絶えることがないから、わたしは命じて言う、『あなたは必ず国のうちにいるあなたの兄弟の乏しい者と、貧しい者とに、手を開かなければならない』。

12

הָעִבְרִיָּה	אוֹ	הָעִבְרִי	אָחִיךָ	לְךָ	יִמָּכֵר	כִּי־	
ヘブル人の–女が	あるいは	ヘブル人の	あなたの–兄弟が	あなたに	売られるなら	もし	
H5680		H5680	H0251		H4376		

חָפְשִׁי	תְּשַׁלְּחֶנּוּ	הַשְּׁבִיעִת	וּבַשָּׁנָה	שָׁנִים	שֵׁשׁ	וַעֲבָדֶךָ	
自由の–身として	去らせなさい	第七の	そして–その–年に	年の–間	六	そして–仕えるなら	
H2670	H7971	H7637	H8141	H8141	H8337	H5647	

מֵעִמָּךְ׃
あなたの–もとから

もしあなたの兄弟であるヘブルの男、またはヘブルの女が、あなたのところに売られてきて、六年仕えたならば、第七年には彼に自由を与えて去らせなければならない。

13

תְּשַׁלְּחֶנּוּ	לֹא	מֵעִמָּךְ	חָפְשִׁי	תְּשַׁלְּחֶנּוּ	וְכִי־	
去らせては	去らせては–ならない	あなたの–もとから	自由の–身として	去らせるなら	そして–もし	
H7971	H3808		H2670	H7971		

רֵיקָם׃
空手で
H7387

彼に自由を与えて去らせる時は、から手で去らせてはならない。

14

וּמִגַּרְנְךָ	מִצֹּאנְךָ	לוֹ	תַּעֲנִיק	הַעֲנֵיק		
そして–あなたの–脱穀場から	あなたの–羊の–群れから	彼に	贈り物を–しなさい	必ず		
H1637	H6629		H6059	H6059		

לוֹ׃	תִּתֶּן־	אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה	בֵּרַכְךָ	אֲשֶׁר	וּמִיִּקְבֶךָ	
彼に	与えなさい	あなたの–神	主が	祝福された	それを	そして–あなたの–酒ぶねから	
	H5414	H0430	H3068	H1288		H3342	

群れと、打ち場と、酒ぶねのうちから取って、惜しみなく彼に与えなければならない。すなわちあなたの神、主があなたを恵まれたように、彼に与えなければならない。

15

וַיִּפְדְּךָ	מִצְרַיִם	בְּאֶרֶץ	הָיִיתָ	עֶבֶד	כִּי	וְזָכַרְתָּ
そして–贖い出された	エジプト	～の–地で	あったことを	奴隷で	あなたが	そして–思い出しなさい
H6299	H4714	H0776	H1961	H5650		H2142

הַיּוֹם׃	הַזֶּה	הַדָּבָר	אֶת־	מְצַוְּךָ	אָנֹכִי	כֵּן	עַל־	אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה
今日	この	この–事を	～を	あなたに–命じている	わたしは	ゆえに	それ–ゼ	あなたの–神	主が
H3117	H2088	H1697	H0853	H6680	H0595			H0430	H3068

あなたはかつてエジプトの国で奴隷であったが、あなたの神、主があなたをあがない出された事を記憶しなければならない。このゆえにわたしは、きょう、この事を命じる。

16

מֵעִמָּךְ	אֵצֵא	לֹא	אֵלֶיךָ	יֹאמַר	כִּי־	וְהָיָה
あなたの–もとから	出て	出て–行かない	あなたに	言うなら	もし	そして–もし–あるなら
	H3318	H3808	H0413	H0559		H1961

עִמָּךְ׃	לוֹ	טוֹב	כִּי־	בֵּיתֶךָ	וְאֶת־	אֲהֵבְךָ	כִּי
あなたと–共に	彼にとって	良い	なぜなら	あなたの–家を	そして	愛している	なぜなら
		H2895			H0853	H0157	

しかしその人があなたと、あなたの家族を愛し、あなたと一緒にいることを望み、『わたしはあなたを離れて去りたくありません』と言うならば、

17

וְהָיָה	וּבַדֶּלֶת	בְּאָזְנוֹ	וְנָתַתָּה	הַמַּרְצֵעַ	אֶת־	וְלָקַחְתָּ	
そして–なるであろう	そして–戸に	彼の–耳に	そして–刺しなさい	錐を	～を	そして–取りなさい	
H1961		H0241	H5414	H4836	H0853	H3947	

כֵּן׃	תַּעֲשֶׂה־	לַאֲמָתֶךָ	וְאַף	עוֹלָם	עֶבֶד	לְךָ
同様に	行いなさい	あなたの–女奴隷にも	そして–また	永遠の	僕として	あなたの
		H0519	H0637	H5769	H5650	

あなたは、きりを取って彼の耳を戸に刺さなければならない。そうすれば、彼はいつまでもあなたの奴隷となるであろう。女奴隷にもそうしなければならない。

18

חָפְשִׁי	אֹתוֹ	בְּשַׁלְּחֲךָ	בְּעֵינֶיךָ	יִקְשֶׁה	לֹא־	
自由の–身として	彼を	去らせる–ときに	あなたの–目に	難く	難く–思っては–ならない	
H2670	H0853	H7971		H7185	H3808	

שָׁנִים	שֵׁשׁ	עֲבָדְךָ	שְׂכִיר	שְׂכַר	מִשְׁנֶה	כִּי	מֵעִמָּךְ
年の–間	六	仕えたのだから	雇い人の	賃金で	二倍の	なぜなら	あなたの–もとから
H8141	H8337	H5647	H7916	H7939	H4932		

פ	תַּעֲשֶׂה׃	אֲשֶׁר	בְּכֹל	אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה	וּבֵרַכְךָ
[区切り]	あなたが–行う	それを	すべての–事に	あなたの–神	主が	そして–祝福される
			H3605	H0430	H3068	H1288

彼に自由を与えて去らせる時には、快く去らせなければならない。彼が六年間、賃銀を取る雇人の二倍あなたに仕えて働いたからである。あなたがそうするならば、あなたの神、主はあなたが行うすべての事にあなたを祝福されるであろう。

19

הַזָּכָר	וּבְצֹאנְךָ	בִּבְקָרְךָ	יִוָּלֵד	אֲשֶׁר	הַבְּכוֹר	כָּל־	
雄の	そして–あなたの–羊の–中で	あなたの–牛の–中で	生まれる	それは	初子を	すべての	
H2145	H6629	H1241	H3205		H1060	H3605	

שׁוֹרְךָ	בִּבְכֹר	תַּעֲבֹד	לֹא	אֱלֹהֶיךָ	לַיהוָה	תַּקְדִּישׁ
あなたの–牛の	初子で	働かせては	働かせては–ならない	あなたの–神	主に	聖別しなさい
H7794	H1060	H5647	H3808	H0430	H3068	H6942

צֹאנֶךָ׃	בְּכוֹר	תָּגֹז	וְלֹא
あなたの–羊の	初子の	刈っては	そして–刈っては–ならない
H6629	H1060	H1494	H3808

牛、羊の産む雄のういごは皆あなたの神、主に聖別しなければならない。牛のういごを用いてなんの仕事をもしてはならない。また羊のういごの毛を切ってはならない。

20 לִפְנֵי֙ יְהוָ֔ה אֱלֹהֶ֖יךָ תֹּאכְלֶ֣נּוּ שָׁנָ֣ה בְשָׁנָ֑ה בַּמָּקוֹם֙ אֲשֶׁר־ יִבְחַ֣ר יְהוָ֔ה
～の–前で 主 あなたの–神 食べなさい 毎年 年ごとに その–場所で そこを 選ばれる 主が
H6440 H3068 H0430 H0398 H8141 H8141 H4725 H0977 H3068

אַתָּ֖ה וּבֵיתֶֽךָ׃
あなたと あなたの–家族が

あなたの神、主が選ばれる所で、主の前にあなたは家族と共に年ごとにそれを食べなければならない。

21 וְכִֽי־ יִהְיֶ֤ה בּוֹ֙ מ֣וּם פִּסֵּ֔חַ עִוֵּ֖ר אוֹ֣ כֹ֑ל מ֥וּם רָ֛ע
そして–もし あるなら それに 傷が 足の–不自由や 盲目や あるいは 何か 傷の 悪い
H1961 H6455 H5787 H3605

לֹ֥א תִזְבָּחֶ֖נּוּ לַיהוָ֥ה אֱלֹהֶֽיךָ׃
牺牲にしては 主に あなたの–神
H3808 H2076 H3068 H0430

しかし、その獣がもし傷のあるもの、すなわち足なえまたは、めくらなど、すべて悪い傷のあるものである時は、あなたの神、主にそれを犠牲としてささげてはならない。

22 בִּשְׁעָרֶ֖יךָ תֹּאכְלֶ֣נּוּ הַטָּמֵ֥א וְהַטָּה֛וֹר יַחְדָּ֑ו כַּצְּבִ֖י
あなたの–門の–中で 食べなさい 汚れた–者も そして–清い–者も 共に かもしかの–ように
H8179 H0398 H2931 H2889

וְכָאַיָּֽל׃
そして–鹿の–ように
H0354

町の内でそれを食べなければならない。汚れた人も、清い人も、かもしかや、雄じかと同様にそれを食べることができる。

23 רַ֚ק אֶת־ דָּמ֣וֹ לֹ֣א תֹאכֵ֔ל עַל־ הָאָ֖רֶץ תִּשְׁפְּכֶ֥נּוּ כַּמָּֽיִם׃
ただし ～を その–血を 食べては–ならない 地の ～の–上に 流しなさい 水の–ように
H7535 H0853 H1818 H3808 H0776 H8210 H4325

פ
[区切り]

ただし、その血は食べてはならない。水のようにそれを地にそそがなければならない。

Chapter 16

1 שָׁמוֹר֙ אֶת־ חֹ֣דֶשׁ הָאָבִ֔יב וְעָשִׂ֥יתָ פֶּ֖סַח לַיהוָ֣ה אֱלֹהֶ֑יךָ
守りなさい ～を 月を アビブの そして–行いなさい 過越の–祭りを 主に あなたの–神
H8104 H0853 H2320 H0024 H6453 H3068 H0430

כִּ֣י בְחֹ֤דֶשׁ הָאָבִיב֙ הוֹצִ֣יאֲךָ֔ יְהוָ֥ה אֱלֹהֶ֖יךָ מִמִּצְרַ֥יִם לָ֖יְלָה׃
なぜなら ～の–月に アビブの 導き出された 主が あなたの–神 エジプトから 夜に
H3588 H2320 H0024 H3318 H3068 H0430 H4714 H3915

あなたはアビブの月を守って、あなたの神、主のために過越の祭を行わなければならない。アビブの月に、あなたの神、主が夜の間にあなたをエジプトから導き出されたからである。

2

בַּמָּקוֹם	וּבָקָר	צֹאן	אֱלֹהֶיךָ	לַיהוָה	פֶּסַח	וְזָבַחְתָּ
その–場所で	そして–牛を	羊と	あなたの–神	主に	過越の–いけにえを	そして–牛牲にしなさい
H4725	H1241	H6629	H0430	H3068	H6453	H2076

שָׁם׃	שְׁמוֹ	לְשַׁכֵּן	יְהוָה	יִבְחַר	אֲשֶׁר־
そこに	その–名を	住まわせるために	主が	選ばれる	そこを
H8033	H8034	H7931	H3068	H0977	

主がその名を置くために選ばれる場所で、羊または牛をあなたの神、主に過越の犠牲としてほふらなければならない。

3

עָלָיו	תֹּאכַל־	יָמִים	שִׁבְעַת	חָמֵץ	עָלָיו	תֹּאכַל	לֹא־	
それと–共に	食べなさい	日の–間	七	種入れパンを	それと–共に	食べては	食べてはならない	
	H0398	H3117	H7651			H0398	H3808	

לְמַעַן	מִצְרַיִם	מֵאֶרֶץ	יָצָאתָ	בְּחִפָּזוֹן	כִּי	עֹנִי	לֶחֶם	מַצּוֹת
そうすれば	エジプト	～の–地から	出た	急いで	なぜなら	苦しみの	パンを	種なしパンを
H4616	H4714	H0776	H3318	H2649		H6040	H3899	H4682

יְמֵי	כֹּל	מִצְרַיִם	מֵאֶרֶץ	צֵאתְךָ	יוֹם	אֶת־	תִּזְכֹּר	
日々の–間	すべての	エジプト	～の–地から	あなたが–出た	日を	～を	思い出すであろう	
H3117	H3605	H4714	H0776	H3318	H3117	H0853	H2142	

חַיֶּיךָ׃
あなたの–生涯の

種を入れたパンをそれと共に食べてはならない。七日のあいだ、種入れぬパンすなわち悩みのパンを、それと共に食べなければならない。あなたがエジプトの国から出るとき、急いで出たからである。こうして世に生きながらえる日の間、エジプトの国から出てきた日を常に覚えなければならない。

4

שִׁבְעַת	גְּבֻלְךָ	בְּכָל־	שְׂאֹר	לְךָ	יֵרָאֶה	וְלֹא־	
七	あなたの–領土に	すべての	パン種が	あなたに	見えては	そして–見えては–ならない	
H7651	H1366	H3605	H7603		H7200	H3808	

בַּיּוֹם	בָּעֶרֶב	תִּזְבַּח	אֲשֶׁר	הַבָּשָׂר	מִן־	יָלִין	וְלֹא־	יָמִים
その–日の	夕方に	牺牲にした	それを	肉が	～の	残っては	そして–残っては–ならない	日の–間
H3117	H6153	H2076		H1320			H3808	H3117

הָרִאשׁוֹן	לַבֹּקֶר׃
最初の	朝まで
H7223	H1242

その七日の間は、国の内どこにもパン種があってはならない。また初めの日の夕暮にほふるものの肉を、翌朝まで残しておいてはならない。

5

אֲשֶׁר־	שְׁעָרֶיךָ	בְּאַחַד	הַפֶּסַח	אֶת־	לִזְבֹּחַ	תּוּכַל	לֹא
それを	あなたの–町では	一つの	過越の–いけにえを	～を	牺牲にすることが	できない	できない
	H8179	H0259	H6453	H0853	H2076	H3201	H3808

לָךְ׃	נֹתֵן	אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה
あなたに	与えられる	あなたの–神	主が
	H5414	H0430	H3068

あなたの神、主が賜わる町の内で、過越の犠牲をほふってはならない。

6
כִּי אִם־ אֶל־ הַמָּקוֹם אֲשֶׁר־ יִבְחַר יְהוָה אֱלֹהֶיךָ
ただし ～のみ ～の–所で その–場所 そこを 選ばれる 主が あなたの–神
H3588 H0413 H4725 H0834 H0977 H3068 H0430
לְשַׁכֵּן
住まわせるために
H7931
הַשֶּׁמֶשׁ כְּבוֹא בָּעֶרֶב הַפֶּסַח אֶת־ תִּזְבַּח שָׁם שְׁמוֹ
太陽の ～の–沿む–ころに 夕方に 過越の–いけにえを ～を 牺牲にしなさい そこに その–名を
H8121 H0935 H6153 H6453 H0853 H2076 H8033 H8034
מִמִּצְרָיִם׃ צֵאתְךָ מוֹעֵד
エジプトから あなたが–出た 時に
H4714 H3318 H4150

ただあなたの神、主がその名を置くために選ばれる場所で、夕暮の日の入るころ、あなたがエジプトから出た時刻に、過越の犠牲をほふらなければならない。

7
וּבִשַּׁלְתָּ וְאָכַלְתָּ בַּמָּקוֹם אֲשֶׁר יִבְחַר יְהוָה אֱלֹהֶיךָ בּוֹ
そして–調理して そして–食べなさい その–場所で そこを 選ばれる 主が あなたの–神 そこで
H1310 H0398 H4725 H0834 H0977 H3068 H0430
וּפָנִיתָ בַבֹּקֶר וְהָלַכְתָּ לְאׇהָלֶיךָ׃
そして–向きを–変えて 朝に そして–帰りなさい あなたの–天幕に
H6437 H1242 H1980 H0168

そしてあなたの神、主が選ばれる場所で、それを焼いて食べ、朝になって天幕に帰らなければならない。

8
שֵׁשֶׁת יָמִים תֹּאכַל מַצּוֹת וּבַיּוֹם הַשְּׁבִיעִי עֲצֶרֶת לַיהוָה אֱלֹהֶיךָ
六 日の–間 食べなさい 種なしパンを そして–その–日に 第七の 聖会を 主に あなたの–神
H8337 H3117 H0398 H4682 H3117 H7637 H6116 H3068 H0430
ס מְלָאכָה׃ תַּעֲשֶׂה לֹא
[区切り] 仕事を しては してはならない
H4399 H3808

六日のあいだ種入れぬパンを食べ、七日目にあなたの神、主のために聖会を開かなければならない。なんの仕事もしてはならない。

9
שָׁבְעָה שָׁבֻעֹת תִּסְפָּר־ לָךְ מֵהָחֵל חֶרְמֵשׁ בַּקָּמָה תָּחֵל
七 週を 数えなさい あなた自身の–ために 始めてから 鎌を 立ち–穂に 始めなさい
H7651 H7620 H5608 H0853 H2770 H7054
שָׁבֻעוֹת׃ שָׁבְעָה לִסְפֹּר
週を 七 数えることを
H7620 H7651

また七週間を数えなければならない。すなわち穀物に、かまを入れ始める時から七週間を数え始めなければならない。

10
וְעָשִׂיתָ חַג שָׁבֻעוֹת לַיהוָה אֱלֹהֶיךָ מִסַּת נִדְבַת יָדְךָ
そして–行いなさい 祭りを 週の 主に あなたの–神 十分な 自発の–ささげ物を あなたの–手の
H6213 H2282 H7620 H3068 H0430 H4530 H5071 H3027
אֲשֶׁר כַּאֲשֶׁר יְבָרֶכְךָ יְהוָה אֱלֹהֶיךָ׃ תִּתֵּן
それを ～の–とおりに 祝福される 主が あなたの–神 ささげなさい
H0834 H3588 H1288 H3068 H0430 H5414

そしてあなたの神、主のために七週の祭を行い、あなたの神、主が賜わる祝福にしたがって、力に応じ、自発の供え物をささげなければならない。

11

וּבִנְךָ
そして–あなたの–息子と

אַתָּה
あなたと

אֱלֹהֶיךָ
あなたの–神
H0430

יְהוָה
主
H3068

וְלִפְנֵי
～の–前で
H6440

וְשָׂמַחְתָּ
そして–喜びなさい
H8055

אֲשֶׁר
あなたの

וְהַלֵּוִי
そして–レビ人と
H3881

וַאֲמָתֶךָ
そして–あなたの–女–僕と
H0519

וְעַבְדְּךָ
そして–あなたの–男–僕と
H5650

וּבִתֶּךָ
そして–あなたの–娘と
H1323

אֲשֶׁר
それらは

וְהָאַלְמָנָה
そして–やもめと
H0490

וְהַיָּתוֹם
そして–孤児と
H3490

וְהַגֵּר
そして–寄留者と
H1616

בִּשְׁעָרֶיךָ
あなたの–門の–中にいる
H8179

לְשַׁכֵּן
住まわせるために
H7931

אֱלֹהֶיךָ
あなたの–神
H0430

יְהוָה
主が
H3068

יִבְחַר
選ばれる
H0977

אֲשֶׁר
そこを

בַּמָּקוֹם
その–場所で
H4725

בְּקִרְבֶּךָ
あなたがたの–中にいる
H7130

שָׁם׃
そこに
H8033

שְׁמוֹ
その–名を
H8034

こうしてあなたはむすこ、娘、しもべ、はしためおよび町の内におるレビびと、ならびにあなたがたのうちにおる寄留の他国人と孤児と寡婦と共に、あなたの神、主がその名を置くために選ばれる場所で、あなたの神、主の前に喜び楽しまなければならない。

12

וְשָׁמַרְתָּ
そして–守りなさい
H8104

בְּמִצְרַיִם
エジプトで
H4714

הָיִיתָ
あったことを
H1961

עֶבֶד
奴隷で
H5650

כִּי־
あなたが

וְזָכַרְתָּ
そして–思い出しなさい
H2142

פ
[区切り]

הָאֵלֶּה׃
これらの
H0428

הַחֻקִּים
これらの–定めを
H2706

אֶת־
～を
H0853

וְעָשִׂיתָ
そして–行いなさい

あなたはかつてエジプトで奴隷であったことを覚え、これらの定めを守り行わなければならない。

13

בְּאָסְפְּךָ
収穫する–ときに
H0622

יָמִים
日の–間
H3117

שִׁבְעַת
七
H7651

לְךָ
あなた自身の–ために

תַּעֲשֶׂה
行いなさい

חַג
祭りを
H2282

הַסֻּכֹּת
仮庵の
H5521

וּמִיִּקְבֶךָ׃
そして–あなたの–酒ぶねから
H3342

מִגָּרְנְךָ
あなたの–脱穀場から
H1637

打ち場と、酒ぶねから取入れをしたとき、七日のあいだ仮庵の祭を行わなければならない。

14

וּבִתֶּךָ
そして–あなたの–娘と
H1323

וּבִנְךָ
そして–あなたの–息子と

אַתָּה
あなたと

בְּחַגֶּךָ
あなたの–祭りの–時に
H2282

וְשָׂמַחְתָּ
そして–喜びなさい
H8055

וְהַיָּתוֹם
そして–孤児と
H3490

וְהַגֵּר
そして–寄留者と
H1616

וְהַלֵּוִי
そして–レビ人と
H3881

וַאֲמָתֶךָ
そして–あなたの–女–僕と
H0519

וְעַבְדְּךָ
そして–あなたの–男–僕と
H5650

בִּשְׁעָרֶיךָ׃
あなたの–門の–中にいる
H8179

אֲשֶׁר
それらは

וְהָאַלְמָנָה
そして–やもめと
H0490

その祭の時には、あなたはむすこ、娘、しもべ、はしためおよび町の内におるレビびと、寄留の他国人、孤児、寡婦と共に喜び楽しまなければならない。

15 שִׁבְעַת יָמִים תָּחֹג לַיהוָה אֱלֹהֶיךָ בַּמָּקוֹם אֲשֶׁר־יִבְחַר יְהוָה
七 日の-間 祭りを-行いなさい 主に あなたの-神 その-場所で 選ばれる 主が
H7651 H3117 H2287 H3068 H0430 H4725 H0977 H3068

כִּי יְבָרֶכְךָ יְהוָה אֱלֹהֶיךָ בְּכֹל תְּבוּאָתְךָ וּבְכֹל מַעֲשֵׂה
なぜなら 祝福される 主が あなたの-神 すべての あなたの-収穫に そして-すべての 業に
H3588 H1288 H3068 H0430 H3605 H8393 H3605 H4639

יָדֶיךָ וְהָיִיתָ אַךְ שָׂמֵחַ׃
あなたの-手の そして-なるであろう ただ 喜びの-ものと
H3027 H1961 H0389 H8056

主が選ばれる場所で七日の間、あなたの神、主のために祭を行わなければならない。あなたの神、主はすべての産物と、手のすべてのわざとにおいて、あなたを祝福されるから、あなたは大いに喜び楽しまなければならない。

16 שָׁלוֹשׁ פְּעָמִים בַּשָּׁנָה יֵרָאֶה כָל־זְכוּרְךָ אֶת־פְּנֵי יְהוָה
三 度 年に 現れなさい すべての あなたの-男子は ～の 御-前に 主
H7969 H6471 H8141 H7200 H3605 H2138 H0853 H6440 H3068

אֱלֹהֶיךָ בַּמָּקוֹם אֲשֶׁר יִבְחָר בְּחַג הַמַּצּוֹת וּבְחַג
あなたの-神 その-場所で そこを 選ばれる ～の-祭りに 種なしパンの ～の-祭りに そして-～の-祭りに
H0430 H4725 H0834 H0977 H2282 H4682 H2282 H2282

הַשָּׁבֻעוֹת וְחַג הַסֻּכּוֹת וְלֹא יֵרָאֶה אֶת־פְּנֵי יְהוָה
週の 仮庵の そして-～の-祭りに 現れては ～の 御-前に 主の
H7620 H5521 H2282 H3808 H7200 H0853 H6440 H3068

רֵיקָם׃
空手で
H7387

あなたのうちの男子は皆あなたの神、主が選ばれる場所で、年に三度、すなわち種入れぬパンの祭と、七週の祭と、仮庵の祭に、主の前に出なければならない。ただし、から手で主の前に出てはならない。

17 אִישׁ כְּמַתְּנַת יָדוֹ כְּבִרְכַּת יְהוָה אֱלֹהֶיךָ אֲשֶׁר
各人が ～の-贈り物に-応じて その-手の ～の-祝福に-応じて 主 あなたの-神 それを
H0376 H4979 H3027 H1293 H3068 H0430 H0834

נָתַן־לָךְ׃ ס
与えられた あなたに [区切り]
H5414

あなたの神、主が賜わる祝福にしたがい、おのおの力に応じて、ささげ物をしなければならない。

18 שֹׁפְטִים וְשֹׁטְרִים תִּתֶּן־לְךָ בְּכָל־שְׁעָרֶיךָ אֲשֶׁר
裁き人と そして-役人を 置きなさい あなた自身の-ために すべての 町々に それを
H8199 H7860 H5414 H0834 H3605 H8179 H0834

יְהוָה אֱלֹהֶיךָ נֹתֵן לְךָ לִשְׁבָטֶיךָ וְשָׁפְטוּ אֶת־הָעָם
主が あなたの-神 与えられる あなたに あなたの-部族の-ために そして-裁きなさい ～を 民を
H3068 H0430 H5414 H0834 H7626 H8199 H0834 H0834

מִשְׁפַּט־צֶדֶק׃
正しい 裁きで
H4941 H6664

あなたの神、主が賜わるすべての町々の内に、部族にしたがって、さばきびとと、つかさびととを、立てなければならない。そして彼らは正しいさばきをもって民をさばかなければならない。

19

פָּנִים	תַּכִּיר	לֹא	מִשְׁפָּט	תַּטֶּה	לֹא־
顔を	えこひいきしては	してはならない	裁きを	曲げては	曲げては–ならない
H6440		H3808	H4941	H5186	H3808

חֲכָמִים	עֵינֵי	יְעַוֵּר	הַשֹּׁחַד	כִּי	שֹׁחַד	תִּקָּח	וְלֹא־
賢い–者の	目を	くらます	賄賂は	なぜなら	賄賂を	受けては	そして–受けては–ならない
H2450		H5786	H7810		H7810	H3947	H3808

צַדִּיקִם׃	דִּבְרֵי	וְיסַלֵּף
正しい–者の	言葉を	そして–曲げる
H6662	H1697	H5557

あなたはさばきを曲げてはならない。人をかたより見てはならない。また賄賂を取ってはならない。賄賂は賢い者の目をくらまし、正しい者の事件を曲げるからである。

20

צֶדֶק	צֶדֶק	תִּרְדֹּף	לְמַעַן	תִּחְיֶה	וְיָרַשְׁתָּ	אֶת־	הָאָרֶץ	אֲשֶׁר־
義を	義を	追い求めなさい	そうすれば	生きて	そして–所有するであろう	～を	地を	それを
H6664	H6664	H7291	H4616	H2421	H3423	H0853	H0776	

ס	לָךְ׃	נֹתֵן	אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה
[区切り]	あなたに	与えられる	あなたの–神	主が
		H5414	H0430	H3068

ただ公義をのみ求めなければならない。そうすればあなたは生きながらえて、あなたの神、主が賜わる地を所有するにいたるであろう。

21

מִזְבַּח	אֵצֶל	עֵץ	כָּל־	אֲשֵׁרָה	לְךָ	תִּטַּע	לֹא־
祭壇の	そばに	木の	いかなる	アシェラ像を	あなた自身の–ために	植えては	植えては–ならない
H4196	H0681	H6086	H3605	H0842		H5193	H3808

ס	לָךְ׃	תַּעֲשֶׂה־	אֲשֶׁר	אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה
[区切り]	あなたが–自分の–ために	造る	それを	あなたの–神	主
				H0430	H3068

あなたの神、主のために築く祭壇のかたわらに、アシラの木像をも立ててはならない。

22

יְהוָה	שָׂנֵא	אֲשֶׁר	מַצֵּבָה	לְךָ	תָּקִים	וְלֹא־
主が	憎まれる	それを	石の–柱を	あなた自身の–ために	立てては	そして–立てては–ならない
H3068	H8130		H4676			H3808

ס	אֱלֹהֶיךָ׃	
[区切り]	あなたの–神	
	H0430	

またあなたの神、主が憎まれる柱を立ててはならない。

Chapter 17

1

יִהְיֶה	אֲשֶׁר	וָשֶׂה	שׁוֹר	אֱלֹהֶיךָ	לַיהוָה	תִּזְבַּח	לֹא־
ある	それに	そして–羊で	牛や	あなたの–神	主に	牺牲にしては	牺牲にしては–ならない
H1961		H7716	H7794	H0430	H3068	H2076	H3808

אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה	תּוֹעֲבַת	כִּי	רָע	דָּבָר	כָּל	מוּם	בּוֹ
あなたの–神	主にとって	忌まわしい–ことである	なぜなら	悪い	ものの	何か	傷が	それに
H0430	H3068	H8441			H1697	H3605		

ס	הוּא׃
[区切り]	それは
	H1931

すべて傷があり、欠けた所のある牛または羊はあなたの神、主にささげてはならない。そのようなものはあなたの神、主の忌みきらわれるものだからである。

2

כִּי־ יִמָּצֵא בְקִרְבְּךָ בְּאַחַד שְׁעָרֶיךָ אֲשֶׁר־ יְהוָה אֱלֹהֶיךָ
もし 見つかるなら あなたがたの–中に 一つの あなたの–町の それを 主が あなたの–神
H3588 H4672 H7130 H0259 H8179 H0834 H3068 H0430

נֹתֵן לָךְ אִישׁ אוֹ־ אִשָּׁה אֲשֶׁר יַעֲשֶׂה אֶת־ הָרַע בְּעֵינֵי
与えられる あなたに 男か あるいは 女が その者が 行う ～を 悪い–ことを ～の–目に
H5414 H0376 H0176 H0802 H0834 H6213 H0853 H7451 H5869

יְהוָה־ אֱלֹהֶיךָ לַעֲבֹר בְּרִיתוֹ׃
主 あなたの–神 破るために その–契約を
H3068 H0430 H5674 H1285

あなたの神、主が賜わる町で、あなたがたのうちに、もし男子または女子があなたの神、主の前に悪事をおこなって、契約にそむき、

3

וַיֵּלֶךְ וַיַּעֲבֹד וַיִּשְׁתָּחוּ לָהֶם וְלַשֶּׁמֶשׁ
そして–行って そして–仕える 異なる 他の–神々に そして–ひれ伏す それらに そして–太陽や
H3212 H5647 H0312 H0430 H7812 H0834 H8121

וְלַיָּרֵחַ אוֹ לְכֹל צְבָא הַשָּׁמַיִם אֲשֶׁר לֹא צִוִּיתִי׃
あるいは 月や すべての 軍勢に 天の それを 命じなかった 命じなかった
H0176 H3394 H3605 H6635 H8064 H0834 H3808 H6680

行って他の神々に仕え、それを拝み、わたしの禁じる、日や月やその他の天の万象を拝むことがあり、

4

וְהֻגַּד־ לְךָ וְשָׁמָעְתָּ וְדָרַשְׁתָּ הֵיטֵב וְהִנֵּה אֱמֶת
そして–告げられ そして–聞いたなら あなたに そして–調べなさい 十分に 見よ 真実であり
H5046 H8085 H0859 H1875 H3190 H2009 H0571

נָכוֹן הַדָּבָר נֶעֱשְׂתָה הַתּוֹעֵבָה הַזֹּאת בְּיִשְׂרָאֵל׃
確かなら その–事が 行われた この–忌まわしいことが この イスラエルの–中で
H3559 H1697 H6213 H8441 H2063 H3478

その事を知らせる者があって、あなたがそれを聞くならば、あなたはそれをよく調べなければならない。そしてその事が真実であり、そのような憎むべき事が確かにイスラエルのうちに行われていたならば、

5

וְהוֹצֵאתָ אֶת־ הָאִישׁ הַהוּא אוֹ אֶת־ הָאִשָּׁה הַהִוא אֲשֶׁר
そして–連れ出しなさい ～を その–男を その ～を その–女を その 者が
H3318 H0853 H0376 H1931 H0853 H0802 H1931 H0834

עָשׂוּ אֶת־ הַדָּבָר הָרָע הַזֶּה אֶל־ שְׁעָרֶיךָ אֶת־ הָאִישׁ אוֹ
行った ～を この–事を 悪い この ～の–所へ あなたの–門の ～を その–男か あるいは
H6213 H0853 H1697 H7451 H2088 H0413 H8179 H0853 H0376 H0176

הָאִשָּׁה וְסָקַלְתָּם בָּאֲבָנִים וָמֵתוּ׃
その–女を ～を そして–石で そして–殺しなさい
H0802 H0853 H5619 H0068 H4191

あなたはその悪事をおこなった男子または女子を町の門にひき出し、その男子または女子を石で撃ち殺さなければならない。

6

עַל־ פִּי שְׁנַיִם עֵדִים אוֹ שְׁלֹשָׁה עֵדִים יוּמַת הַמֵּת
～の–証言で 口の 二人の 証人の あるいは 三人の 証人の 殺される 死ぬ–者は
H5921 H6310 H8147 H5707 H0176 H7969 H5707 H4191 H4191

לֹא יוּמַת עַל־ פִּי עֵד אֶחָד׃
殺されては–ならない 殺されては ～の–証言で 口の 証人の 一人の
H3808 H4191 H5921 H6310 H5707 H0259

ふたりの証人または三人の証人の証言によって殺すべき者を殺さなければならない。ただひとりの証人の証言によって殺してはならない。

כָּל־	וְיַד	לַהֲמִיתוֹ	בָּרִאשֹׁנָה	בּוֹ	תִּהְיֶה־	הָעֵדִים	יַד־	7
すべての	そして-手が	殺すために	最初に	その者に-対して	なりなさい	証人たちの	手が	
H3605	H3027	H4191	H7223		H1961	H5707	H3027	

פ	מִקִּרְבֶּךָ׃	הָרָע	וּבְעַרְתָּ	בָּאַחֲרֹנָה	הָעָם
[区切り]	あなたがたの-中から	悪を	そして-除き去りなさい	最後に	民の
	H7130			H0314	

そのような者を殺すには、証人がまず手を下し、それから民が皆、手を下さなければならない。こうしてあなたのうちから悪を除き去らなければならない。

לְדָם	וְדָם	בֵּין־	לַמִּשְׁפָּט	דָּבָר	מִמְּךָ	יִפָּלֵא	כִּי	8
流血の	流血と	～の-間の	裁きの-ために	事件が	あなたにとって	難しすぎるなら	もし	
H1818	H1818	H0996	H4941	H1697		H6381		

רִיבֹת	דִּבְרֵי	לָנֶגַע	וְנֶגַע	וּבֵין	לְדִין	דִּין	בֵּין־
争いの	争いの-事柄が	傷害の	傷害と	そして-～の-間の	訴えの	訴えと	～の-間の
H7379	H1697	H5061	H5061	H0996	H1779	H1779	H0996

יְהוָה	יִבְחַר	אֲשֶׁר	הַמָּקוֹם	אֶל־	וְעָלִיתָ	וְקַמְתָּ	בִּשְׁעָרֶיךָ
主が	選ばれる	そこを	その-場所	～の-所へ	そして-上りなさい	そして-立ち	あなたの-町の-中で
H3068	H0977			H0413	H5927		H8179

בּוֹ׃	אֱלֹהֶיךָ
そこに	あなたの-神
	H0430

町の内に訴え事が起り、その事件がもし血を流す事、または権利を争う事、または人を撃った事などであって、あなたが、さばきかねるものである時は、立ってあなたの神、主が選ばれる場所にのぼり、

יִהְיֶה	אֲשֶׁר	הַשֹּׁפֵט	וְאֶל־	הַלְוִיִּם	הַכֹּהֲנִים	אֶל־	וּבָאתָ	9
いる	その者が	裁き人	そして-～の-所へ	レビ人の	祭司たち	～の-所へ	そして-行きなさい	
H1961		H8199	H0413	H3881	H3548	H0413	H0935	

הַמִּשְׁפָּט׃	דְּבַר	אֵת	לְךָ	וְהִגִּידוּ	וְדָרַשְׁתָּ	הָהֵם	בַּיָּמִים
裁きの	言葉を	～を	あなたに	そして-告げるであろう	そして-尋ねなさい	その	その-日々に
H4941	H1697	H0853		H5046	H1875	H1992	H3117

レビびとである祭司と、その時の裁判人とに行って尋ねなければならない。彼らはあなたに判決の言葉を告げるであろう。

מִן־	לְךָ	יַגִּידוּ	אֲשֶׁר	הַדָּבָר	פִּי	עַל־	וְעָשִׂיתָ	10
～から	あなたに	告げる	それを	その-言葉の	口の	～の-とおりに	そして-行いなさい	
		H5046		H1697	H6310			

אֲשֶׁר	כְּכֹל	לַעֲשׂוֹת	וְשָׁמַרְתָּ	יְהוָה	יִבְחַר	אֲשֶׁר	הַהוּא	הַמָּקוֹם
それを	すべての-とおりに	行いなさい	そして-守って	主が	選ばれる	そこを	その	その-場所
	H3605		H8104	H3068	H0977		H1931	H4725

יוֹרוּךָ׃
教える

あなたは、主が選ばれるその場所で、彼らが告げる言葉に従っておこない、すべて彼らが教えるように守り行わなければならない。

11 עַל־ פִּי הַתּוֹרָה אֲשֶׁר יוֹרוּךָ וְעַל־ הַמִּשְׁפָּט אֲשֶׁר־ יֹאמְרוּ
〜の–とおりに 口の 律法の それを 教える そして–〜の–とおりに 裁きの それを 言う
H6310 H8451 H3808 H4941 H0559

לָךְ תַּעֲשֶׂה לֹא תָסוּר מִן־ הַדָּבָר אֲשֶׁר־ יַגִּידוּ לְךָ
あなたに 行いなさい それては–ならない それては 〜から その–言葉から それを 告げる あなたに
H1697 H5493 H3808 H5046

יָמִין וּשְׂמֹאל׃
右にも そして–左にも
H3225 H8040

すなわち彼らが教える律法と、彼らが告げる判決とに従って行わなければならない。彼らが告げる言葉にそむいて、右にも左にもかたよってはならない。

12 וְהָאִישׁ אֲשֶׁר־ יַעֲשֶׂה בְזָדוֹן לְבִלְתִּי שְׁמֹעַ אֶל־ הַכֹּהֵן הָעֹמֵד
そして–その–人が その者が 行う 傲慢に 聞かずに 聞かずに 〜に 祭司に 立っている
H0376 H2087 H1115 H8085 H0413 H3548 H5975

לְשָׁרֶת שָׁם אֶת־ יְהוָה אֱלֹהֶיךָ אוֹ אֶל־ הַשֹּׁפֵט וּמֵת
仕えるために そこで 〜を 主に あなたの–神 あるいは 〜に 裁き人に そして–死ななければならない
H8334 H8033 H0853 H3068 H0430 H0176 H0413 H8199 H4191

הָאִישׁ הַהוּא וּבִעַרְתָּ הָרָע מִיִּשְׂרָאֵל׃
その–人は その 除き去りなさい 悪を イスラエルから
H0376 H1931 H7451 H3478

もし人がほしいままにふるまい、あなたの神、主の前に立って仕える祭司または裁判人に聞き従わないならば、その人を殺して、イスラエルのうちから悪を除かなければならない。

13 וְכָל־ הָעָם יִשְׁמְעוּ וְיִרָאוּ וְלֹא יָזִידוּן עוֹד׃ ס
そして–すべての 民が 聞いて そして–恐れるであろう そして–再び 傲慢に–振る舞わないであろう もう [区切り]
H3605 H8085 H3372 H3808 H2102 H5750

そうすれば民は皆、聞いて恐れ、重ねてほしいままにふるまうことをしないであろう。

14 כִּי־ תָבֹא אֶל־ הָאָרֶץ אֲשֶׁר יְהוָה אֱלֹהֶיךָ נֹתֵן לָךְ וִירִשְׁתָּהּ וְיָשַׁבְתָּה בָּהּ וְאָמַרְתָּ אָשִׂימָה עָלַי מֶלֶךְ
もし 入るなら その–地 それを 主が あなたの–神 与えられる あなたに そして–所有して そして–住んで そこに そして–言うなら 立てよう 自分の–上に 王を
H0935 H0776 H0834 H3068 H0430 H5414 H3423 H3427 H0559 H7760 H4428

כְּכָל־ הַגּוֹיִם אֲשֶׁר סְבִיבֹתָי׃
すべての–とおりに 諸国の–民の それらは わたしの–周りの
H3605 H1471 H5439

あなたの神、主が賜わる地に行き、それを獲てそこに住むようになる時、もしあなたが『わたしも周囲のすべての国びとのように、わたしの上に王を立てよう』と言うならば、

15

בּוֹ	אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה	יִבְחַר	אֲשֶׁר	מֶלֶךְ	עָלֶיךָ	תָּשִׂים	שׂוֹם
その者を	あなたの–神	主が	選ばれる	その者を	王を	自分の–上に	立てなさい	必ず
	H0430	H3068	H0977		H4428			

לָתֵת	תּוּכַל	לֹא	מֶלֶךְ	עָלֶיךָ	תָּשִׂים	אַחֶיךָ	מִקֶּרֶב
置くことが	できない	できない	王を	自分の–上に	立てなさい	あなたの–兄弟の	～の–中から
H5414	H3201	H3808	H4428			H0251	H7130

הוּא׃	אָחִיךָ	לֹא־	אֲשֶׁר	נָכְרִי	אִישׁ	עָלֶיךָ
その者は	あなたの–兄弟	ではない	その者は	外国の	人を	自分の–上に
H1931	H0251	H3808		H5237	H0376	

必ずあなたの神、主が選ばれる者を、あなたの上に立てて王としなければならない。同胞のひとりを、あなたの上に立てて王としなければならない。同胞でない外国人をあなたの上に立ててはならない。

16

יָשִׁיב	וְלֹא־	סוּסִים׀	לוֹ	יַרְבֶּה־	לֹא־	רַק׀
戻しては	そして–戻しては–ならない	馬を	自分の–ために	増やしては	増やしては–ならない	ただし
H7725	H3808				H3808	H7535

לָכֶם	אָמַר	וַיהוָה׀	סוּס	הַרְבּוֹת	לְמַעַן	מִצְרַיְמָה	הָעָם׀	אֶת־
あなたがたに	言われた	そして–主は	馬を	増やす	～の–ために	エジプトへ	民を	～を
	H0559	H3068			H4616	H4714		H0853

עוֹד׃	הַזֶּה	בַּדֶּרֶךְ	לָשׁוּב	תֹּסִפוּן	לֹא	
もう	この	この–道を	帰ることを	しては	再び–しては–ならない	
H5750	H2088	H1870	H7725	H3254	H3808	

王となる人は自分のために馬を多く獲ようとしてはならない。また馬を多く獲るために民をエジプトに帰らせてはならない。主はあなたがたにむかって、『この後かさねてこの道に帰ってはならない』と仰せられたからである。

17

יָסוּר	וְלֹא	נָשִׁים	לוֹ	יַרְבֶּה־	וְלֹא	
それては	そして–それては–ならない	妻を	自分の–ために	増やしては	そして–増やしては–ならない	
H5493	H3808	H0802			H3808	

מְאֹד׃	לוֹ	יַרְבֶּה־	לֹא	וְזָהָב	וְכֶסֶף	לְבָבוֹ
非常に	自分の–ために	増やしては	増やしては–ならない	そして–金を	そして–銀と	その–心が
H3966			H3808	H2091	H3701	H3824

また妻を多く持って心を、迷わしてはならない。また自分のために金銀を多くたくわえてはならない。

18

וְכָתַב	מַמְלַכְתּוֹ	כִּסֵּא	עַל	כְּשִׁבְתּוֹ	וְהָיָה	
そして–書き写しなさい	その–王国の	王座の	～の–上に	座る–ときに	そして–なるであろう	
H3789	H4467	H3678		H3427	H1961	

הַכֹּהֲנִים	מִלִּפְנֵי	סֵפֶר	עַל־	הַזֹּאת׀	הַתּוֹרָה	מִשְׁנֶה	אֶת־	לוֹ
祭司たちの	～の–前から	書物の	～の–上に	この	この–律法の	写しを	～を	自分の–ために
H3548	H6440			H2063	H8451	H4932	H0853	

הַלְוִיִּם׃
レビ人の
H3881

彼が国の王位につくようになったら、レビびとである祭司の保管する書物から、この律法の写しを一つの書物に書きしるさせ、

19

חַיָּיו	יְמֵי	כֹּל־	בּוֹ	וְקָרָא	עִמּוֹ	וְהָיְתָה	
その–生涯の	日々の–間	すべての	それを	そして–読むであろう	彼と–共に	そして–あるであろう	
	H3117	H3605		H7121		H1961	

דִּבְרֵי	כָּל־	אֶת־	לִשְׁמֹר	אֱלֹהָיו	יְהוָה	אֶת־	לְיִרְאָה	יִלְמַד	לְמַעַן
言葉を	すべての	～を	守るために	その–神	主を	～を	畏れることを	学ぶであろう	そうすれば
H1697	H3605	H0853	H8104	H0430	H3068	H0853	H3372	H3925	H4616

לַעֲשֹׂתָם׃	הָאֵלֶּה	הַחֻקִּים	וְאֶת־	הַזֹּאת	הַתּוֹרָה	
行うために	これらの	これらの–定めを	そして	この	この–律法の	
	H0428	H2706	H0853	H2063	H8451	

世に生きながらえる日の間、常にそれを自分のもとに置いて読み、こうしてその神、主を恐れることを学び、この律法のすべての言葉と、これらの定めとを守って行わなければならない。

20

וּלְבִלְתִּי	מֵאֶחָיו	לְבָבוֹ	רוּם־	לְבִלְתִּי
そして–それないために	その–兄弟たちより	その–心が	高ぶらない	そうして–高ぶらないために
H1115	H0251	H3824		H1115

יָמִים	יַאֲרִיךְ	לְמַעַן	וּשְׂמֹאול	יָמִין	הַמִּצְוָה	מִן־	סוּר	
日々を	長くするであろう	そうすれば	そして–左にも	右にも	その–戒めから	～から	それない	
H3117	H0748	H4616	H8040	H3225	H4687		H5493	

ס	יִשְׂרָאֵל׃	בְּקֶרֶב	וּבָנָיו	הוּא	מַמְלַכְתּוֹ	עַל־	
[区切り]	イスラエルの	～の–中で	そして–その–子らが	彼と	その–王国の	～の–上で	
	H3478	H7130		H1931	H4467		

そうすれば彼の心が同胞を見くだして、高ぶることなく、また戒めを離れて、右にも左にも曲ることなく、その子孫と共にイスラエルにおいて、長くその位にとどまることができるであろう。

Chapter 18

1

וְנַחֲלָה	חֵלֶק	לֵוִי	שֵׁבֶט	כָּל־	הַלְוִיִּם	לַכֹּהֲנִים	יִהְיֶה	לֹא־
そして–相続地も	分け前も	レビの	部族	すべての	レビ人の	祭司たちには	ない	ない
H5159		H3878	H7626	H3605	H3881	H3548	H1961	H3808

יֹאכֵלוּן׃	וְנַחֲלָתוֹ	יְהוָה	אִשֵּׁי	יִשְׂרָאֵל	עִם־
食べるであろう	そして–その–相続分を	主の	火による–ささげ物を	イスラエル	～と–共に
H0398	H5159	H3068	H0801	H3478	

レビびとである祭司すなわちレビの全部族はイスラエルのうちに、分も嗣業も持たない。彼らは主にささげられる火祭の物と、その他のささげ物とを食べなければならない。

2

נַחֲלָתוֹ	הוּא	יְהוָה	אֶחָיו	בְּקֶרֶב	לוֹ	יִהְיֶה־	לֹא־	וְנַחֲלָה	
相続分である	その者の	主が	その–兄弟の	～の–中に	彼には	ない	ない	そして–相続地は	
H5159	H1931	H3068	H0251	H7130		H1961	H3808	H5159	

ס	לוֹ׃	דִּבֶּר־	כַּאֲשֶׁר	
[区切り]	彼に	語られた	～の–とおりに	
		H1696		

彼らはその兄弟のうちに嗣業を持たない。かつて彼らに約束されたとおり主が彼らの嗣業である。

3

מֵאֵת	הָעָם	מֵאֵת	הַכֹּהֲנִים	מִשְׁפַּט	יִהְיֶה֙	וְזֶה
～から	民からの	～からの	祭司たちの	定め	なるであろう	そして-これが
H0854		H0854	H3548	H4941	H1961	H2088

לַכֹּהֵ֔ן	וְנָתַ֖ן	שֶׂה	אִם־	שׁ֑וֹר	אִם־	הַזֶּ֣בַח	זֹבְחֵ֗י
祭司に	そして-与えなさい	羊であれ	それが	牛であれ	それが	牺牲の	牺牲を-ささげる-者から
H3548	H5414	H7716		H7794		H2077	H2076

וְהַקֵּבָֽה׃	וְהַלְּחָיַ֥יִם	הַזְּרֹֽעַ
そして-胃を	そして-頬と	前足と
H6896	H3895	H2220

祭司が民から受ける分は次のとおりである。すなわち犠牲をささげる者は、牛でも、羊でも、その肩と、両方のほおと、胃とを祭司に与えなければならない。

4

וְרֵאשִׁ֣ית	וְיִצְהָרְךָ֗	תִּירֹשְׁךָ֙	דְּגָנְךָ֔	רֵאשִׁ֖ית
そして-初めての	そして-あなたの-油の	あなたの-新しい-ぶどう酒の	あなたの-穀物の	初穂を
H7225	H3323	H8492	H1715	H7225

לֽוֹ׃	תִּתֶּן־	צֹאנְךָ֖	גֵּ֥ז
彼に	与えなさい	あなたの-羊の	刈り取りを
	H5414	H6629	H1488

また穀物と、ぶどう酒と、油の初物および羊の毛の初物をも彼に与えなければならない。

5

לַעֲמֹ֔ד	שִׁבְטֶ֖יךָ	מִכָּל־	אֱלֹהֶ֣יךָ	יְהוָ֑ה	בָּחַ֨ר	ב֤וֹ	כִּי	
立つために	あなたの-部族の	すべての-中から	あなたの-神	主が	選ばれた	彼を	なぜなら	
H5975	H7626	H3605	H0430	H3068	H0977			

ס	הַיָּמִֽים׃	כָּל־	וּבָנָ֔יו	הֽוּא	יְהוָ֖ה	בְּשֵׁ֣ם־	לְשָׁרֶ֥ת
[区切り]	日々	すべての	そして-その-子らが	彼と	主の	～の-名によって	仕えるために
	H3117	H3605		H1931	H3068	H8034	H8334

あなたの神、主がすべての部族のうちから彼を選び出して、彼とその子孫を長く主の名によって立って仕えさせられるからである。

6

יִשְׂרָאֵ֔ל	מִכָּל־	שְׁעָרֶ֖יךָ	מֵאַחַ֑ד	הַלֵּוִ֣י	יָבֹ֗א	וְכִי־	
イスラエルの	すべての-中のどこからでも	あなたの-町から	一つの	レビ人が	来るなら	そして-もし	
H3478	H3605	H8179	H0259	H3881	H0935		

אֶל־	נַפְשׁ֔וֹ	אַוַּ֖ת	בְּכָל־	וּבָ֣א	שָׁ֔ם	גָּ֖ר	הֽוּא	אֲשֶׁר־
～の-所へ	その-魂の	望みを-もって	すべての	そして-来るなら	そこに	住んでいた	彼が	そこに
H0413	H5315	H0185	H3605	H0935	H8033		H1931	

יְהוָֽה׃	יִבְחַ֖ר	אֲשֶׁר־	הַמָּקֽוֹם
主が	選ばれる	そこを	その-場所
H3068	H0977		H4725

レビびとはイスラエルの全地のうち、どこにいる者でも、彼が宿っている町を出て、主が選ばれる場所に行くならば、

7

אֶחָ֔יו	כְּכָל־	אֱלֹהָ֖יו	יְהוָ֑ה	בְּשֵׁ֣ם	וְשֵׁרַ֔ת
その-兄弟たちの	すべての-とおりに	その-神	主	～の-名によって	そして-仕えるであろう
H0251	H3605	H0430	H3068	H8034	H8334

יְהוָֽה׃	לִפְנֵ֥י	שָׁ֖ם	הָעֹמְדִ֥ים	הַלְוִיִּ֛ם
主の	～の-前に	そこに	立っている	レビ人の
H3068	H6440	H8033	H5975	H3881

彼は主の前に立っているすべての兄弟レビびとと同じように、その神、主の名によって仕えることができる。

חֵלֶק	כְּחֶלֶק	יֹאכֵלוּ	לְבַד	מִמְכָּרָיו	עַל־	הָאָבוֹת׃	8
分け前を	同じ–分け前の	食べるであろう	それとは–別に	その–売却分を	～の–上に	先祖からの	
		H0398	H0905	H4465		H0001	

ס
[区切り]

彼が食べる分は彼らと同じである。ただし彼はこのほかに父の遺産を売って獲た物を持つことができる。

כִּי	אַתָּה	בָּא	אֶל־	הָאָרֶץ	אֲשֶׁר־	יְהוָה	אֱלֹהֶיךָ	נֹתֵן
あなたが	あなたは	入る–ときに	～の–所へ	その–地	それを	主が	あなたの–神	与えられる
		H0935	H0413	H0776		H3068	H0430	H5414

לְךָ	לֹא־	תִלְמַד	לַעֲשׂוֹת	כְּתוֹעֲבֹת	הַגּוֹיִם	9
あなたに	学んでは–ならない	学んでは	行うことを	～の–忌まわしい–ことの–とおりに	諸国の–民の	
	H3808	H3925		H8441		

הָהֵם׃
それらの
H1992

あなたの神、主が賜わる地にはいったならば、その国々の民の憎むべき事を習いおこなってはならない。

וּבִתּוֹ	בְּנוֹ־	מַעֲבִיר	בְּךָ	יִמָּצֵא	לֹא־		10
そして–娘を	その–息子や	くぐらせる–者が	あなたがたの–中に	見つかっては	見つかっては–ならない		
H1323				H4672	H3808		

וּמְכַשֵּׁף׃	וּמְנַחֵשׁ	מְעוֹנֵן	קֹסֵמִים	קֹסֵם	בָּאֵשׁ	
そして–魔術師や	そして–まじない師や	占星術師や	占いを	占う–者	火の–中に	
H3784	H5172		H7080	H7081	H0784	

あなたがたのうちに、自分のむすこ、娘を火に焼いてささげる者があってはならない。また占いをする者、卜者、易者、魔法使、

וְדֹרֵשׁ	וְיִדְּעֹנִי	אוֹב	וְשֹׁאֵל	חָבֶר	וְחֹבֵר		11
そして–尋ねる–者が	そして–占い師を	口寄せを	そして–尋ねる–者	呪文を	そして–呪文を–唱える–者や		
H1875	H3049	H0178	H7592	H2267	H2266		

הַמֵּתִים׃	אֶל־	
死者に	～に	
H4191	H0413	

呪文を唱える者、口寄せ、かんなぎ、死人に問うことをする者があってはならない。

וּבִגְלַל	אֵלֶּה	עֹשֵׂה	כָּל־	יְהוָה	תּוֹעֲבַת	כִּי־		12
そして–～の–ゆえに	これらを	行う–者は	すべての	主にとって	忌まわしい–ことである	なぜなら		
H1558	H0428		H3605	H3068	H8441			

מִפָּנֶיךָ׃	אוֹתָם	מוֹרִישׁ	אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה	הָאֵלֶּה	הַתּוֹעֵבֹת	
あなたの–前から	彼らを	追い出される	あなたの–神	主が	これらの	これらの–忌まわしい–ことの	
H6440	H0853	H3423	H0430	H3068	H0428	H8441	

主はすべてこれらの事をする者を憎まれるからである。そしてこれらの憎むべき事のゆえにあなたの神、主は彼らをあなたの前から追い払われるのである。

ס	אֱלֹהֶיךָ׃	יְהוָה	עִם	תִּהְיֶה	תָּמִים	13
[区切り]	あなたの–神	主	～と–共に	ありなさい	全き	
	H0430	H3068		H1961	H8549	

あなたの神、主の前にあなたは全き者でなければならない。

14

אֶל־	אוֹתָם	יוֹרֵשׁ	אַתָּה	אֲשֶׁר	הָאֱלֹהִים	הַגּוֹיִם	כִּי
～に	彼らを	追い出す	あなたが	それらを	これらの	これらの–諸国の–民は	なぜなら
H0413	H0853	H3423			H0428		

כֵּן	לֹא	וְאַתָּה	יִשְׁמְעוּ	קֹסְמִים	וְאֶל־	מְעֹנְנִים
そのようには	そのようには	しかし–あなたには	聞く	占い師に	そして–～に	占星術師に
	H3808		H8085	H7080	H0413	

אֱלֹהֶיךָ׃	יְהוָה	לְךָ	נָתַן
あなたの–神	主が	あなたに	許されていない
H0430	H3068		H5414

あなたが追い払うかの国々の民は卜者、占いをする者に聞き従うからである。しかし、あなたには、あなたの神、主はそうする事を許されない。

15

לְךָ	יָקִים	כָּמֹנִי	מֵאַחֶיךָ	מִקִּרְבְּךָ	נָבִיא
あなたの–ために	起こされる	わたしの–ような	あなたの–兄弟から	あなたがたの–中から	預言者を
		H3644	H0251	H7130	H5030

תִּשְׁמָעוּן׃	אֵלָיו	אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה
聞き従いなさい	彼に	あなたの–神	主が
H8085	H0413	H0430	H3068

あなたの神、主はあなたのうちから、あなたの同胞のうちから、わたしのようなひとりの預言者をあなたのために起されるであろう。あなたがたは彼に聞き従わなければならない。

16

הַקָּהָל	בְּיוֹם	בְּחֹרֵב	אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה	מֵעִם	שָׁאַלְתָּ	אֲשֶׁר־	כְּכֹל
集会の	～の–日に	ホレブで	あなたの–神	主	～から	求めた	それを	すべての–とおりに
H6951	H3117	H2722	H0430	H3068		H7592		H3605

וְאֶת־	אֱלֹהָי	יְהוָה	קוֹל	אֶת־	לִשְׁמֹעַ	אֹסֵף	לֹא	לֵאמֹר
そして	わたしの–神	主	声を	～を	聞くことを	聞きたくない	再び–聞きたくない	言って
H0853	H0430	H3068		H0853	H8085	H3254	H3808	H0559

אָמוּת׃	וְלֹא	עוֹד	אֶרְאֶה	לֹא־	הַזֹּאת	הַגְּדֹלָה	הָאֵשׁ
死にたくない	そして–死にたくない	もう	見たくない	見たくない	この	大きな	この–火を
H4191	H3808	H5750	H7200	H3808	H2063		H0784

これはあなたが集会の日にホレブであなたの神、主に求めたことである。すなわちあなたは『わたしが死ぬことのないようにわたしの神、主の声を二度とわたしに聞かせないでください。またこの大いなる火を二度と見させないでください』と言った。

17

דִּבְּרוּ׃	אֲשֶׁר	הֵיטִיבוּ	אֵלַי	יְהוָה	וַיֹּאמֶר
語ったことは	それは	正しい	わたしに	主が	そして–言われた
H1696		H3190	H0413	H3068	H0559

主はわたしに言われた、『彼らが言ったことは正しい。

18

כָּמוֹךָ	אַחֵיהֶם	מִקֶּרֶב	לָהֶם	אָקִים	נָבִיא
あなたの–ような	彼らの–兄弟の	～の–中から	彼らの–ために	起こすであろう	預言者を
H3644	H0251	H7130	H1992		H5030

אֵת	אֲלֵיהֶם	וְדִבֶּר	בְּפִיו	דְּבָרַי	וְנָתַתִּי
～を	彼らに	そして–語るであろう	その–口に	わたしの–言葉を	そして–置うであろう
H0853	H0413	H1696	H6310	H1697	H5414

אֲצַוֶּנּוּ׃	אֲשֶׁר	כָּל־
命じる	それを	すべての–ことを
H6680		H3605

わたしは彼らの同胞のうちから、おまえのようなひとりの預言者を彼らのために起して、わたしの言葉をその口に授けよう。彼はわたしが命じることを、ことごとく彼らに告げるであろう。

19

אֲשֶׁר	דְּבָרַי	אֶל־	יִשְׁמַע	לֹא־	אֲשֶׁר	הָאִישׁ	וְהָיָה
それを	わたしの-言葉に	～に	聞かないなら	聞かない	その者が	その-人が	そして-なるであろう
	H1697	H0413	H8085	H3808		H0376	H1961

מֵעִמּוֹ׃	אֶדְרֹשׁ	אָנֹכִי	בִּשְׁמִי	יְדַבֵּר
彼に	問うであろう	わたしが	わたしの-名によって	語る
	H1875	H0595	H8034	H1696

彼がわたしの名によって、わたしの言葉を語るのに、もしこれに聞き従わない者があるならば、わたしはそれを罰するであろう。

20

אֲשֶׁר	אֵת	בִּשְׁמִי	דָּבָר	לְדַבֵּר	יָזִיד	אֲשֶׁר	הַנָּבִיא	אַךְ
それを	～を	わたしの-名によって	言葉を	語るなら	傲慢に	その者が	預言者が	しかし
	H0853	H8034	H1697	H1696	H2102		H5030	H0389

בְּשֵׁם	יְדַבֵּר	וַאֲשֶׁר	לְדַבֵּר	צִוִּיתִיו	לֹא־
～の-名によって	語るなら	あるいは-その者が	語ることを	命じなかったことを	命じなかった
H8034	H1696		H1696	H6680	H3808

הַהוּא׃	הַנָּבִיא	וּמֵת	אֱלֹהִים	אֲחֵרִים	
その	その-預言者は	そして-死ななければならない	他の-神々の	異なる	
H1931	H5030	H4191	H0430	H0312	

ただし預言者が、わたしが語れと命じないことを、わたしの名によってほしいままに語り、あるいは他の神々の名によって語るならば、その預言者は殺さなければならない』。

21

אֲשֶׁר	הַדָּבָר	אֶת־	נֵדַע	אֵיכָה	בִּלְבָבֶךָ	תֹּאמַר	וְכִי
それを	その-言葉を	～を	知るのか	どうして	あなたの-心の-中で	言うなら	そして-もし
	H1697	H0853	H3045		H3824	H0559	

יְהוָה׃	דְּבָרוֹ	לֹא־
主が	語らなかったことを	語らなかった
H3068	H1696	H3808

あなたは心のうちに『われわれは、その言葉が主の言われたものでないと、どうして知り得ようか』と言うであろう。

22

הַדָּבָר	יִהְיֶה	וְלֹא־	יְהוָה	בְּשֵׁם	הַנָּבִיא	יְדַבֵּר	אֲשֶׁר	
その-事が	起こらないなら	そして-起こらない	主の	～の-名によって	預言者が	語る	それを	
H1697	H1961	H3808	H3068	H8034	H5030	H1696		

דִּבְּרוֹ	לֹא־	אֲשֶׁר	הַדָּבָר	הַהוּא	יָבוֹא	וְלָא
語らなかったことである	語らなかった	それを	その-言葉であり	それが	来ない	そして-来ないなら
H1696	H3808		H1697	H1931	H0935	H3808

ס	מִמֶּנּוּ׃	תָגוּר	לֹא	הַנָּבִיא	דִּבְּרוֹ	בְּזָדוֹן
[区切り]	彼を	恐れては	恐れては-ならない	その-預言者は	語ったのである	傲慢に
			H3808	H5030	H1696	H2087

יְהוָה
主が
H3068

もし預言者があって、主の名によって語っても、その言葉が成就せず、またその事が起らない時は、それは主が語られた言葉ではなく、その預言者がほしいままに語ったのである。その預言者を恐れるに及ばない。

Chapter 19

1

כִּי־	יַכְרִית	יְהוָה	אֱלֹהֶיךָ	אֶת־	הַגּוֹיִם	אֲשֶׁר	יְהוָה	אֱלֹהֶיךָ
もし	滅ぼされるなら	主が	あなたの–神	～を	諸国の–民を	それらの	主が	あなたの–神
	H3772	H3068	H0430	H0853			H3068	H0430

נָתַן	לְךָ	אֶת־	אַרְצָם	וְיָרַשְׁתָּם	וְיָשַׁבְתָּ	בְעָרֵיהֶם	
与えられる	あなたに	～を	その–地を	そして–所有して	そして–住むなら	その–町々に	
H5414		H0853	H0776	H3423	H3427		

וּבְבָתֵּיהֶם׃
そして–その–家々に

あなたの神、主が国々の民を滅ぼしつくして、あなたの神、主がその地を賜わり、あなたがそれを獲て、その町々と、その家々に住むようになる時は、

2

יְהוָה	אֲשֶׁר	אַרְצְךָ	בְּתוֹךְ	לָךְ	תַּבְדִּיל	עָרִים	שָׁלוֹשׁ	
主が	それを	あなたの–地の	～の–中に	あなた自身の–ために	分けなさい	町を	三つの	
H3068		H0776	H8432		H0914		H7969	

לְרִשְׁתָּהּ׃	לָךְ	נֹתֵן	אֱלֹהֶיךָ
所有するために	あなたに	与えられる	あなたの–神
H3423		H5414	H0430

あなたの神、主が与えて獲させられる地のうちに、三つの町をあなたのために指定しなければならない。

3

אַרְצְךָ	גְּבוּל	אֶת־	וְשִׁלַּשְׁתָּ	הַדֶּרֶךְ	לְךָ	תָּכִין		
あなたの–地の	領土を	～を	そして–三つに–分けなさい	道を	あなた自身の–ために	整えなさい		
H0776	H1366	H0853	H8027	H1870				

כָּל־	שָׁמָּה	לָנוּס	וְהָיָה	אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה	יַנְחִילְךָ	אֲשֶׁר	
すべての	そこへ	逃れる–ために	そして–なるであろう	あなたの–神	主が	相続させられる	それを	
H3605	H8033	H5127	H1961	H0430	H3068	H5157		

רֹצֵחַ׃
殺人者が
H7523

そしてそこに行く道を備え、またあなたの神、主があなたに継がせられる地の領域を三区に分け、すべて人を殺した者をそこにのがれさせなければならない。

4

אֲשֶׁר	וָחָי	שָׁמָּה	יָנוּס	אֲשֶׁר־	הָרֹצֵחַ	דִּבַּר	וְזֶה	
その者が	そして–生きる	そこへ	逃れるなら	その者が	殺人者の	定めで	そして–これが	
	H2425	H8033	H5127		H7523	H1697	H2088	

שֹׂנֵא	לֹא־	וְהוּא	דַּעַת	בִּבְלִי־	רֵעֵהוּ	אֶת־	הִכָּה	
憎んで	憎んで–いなかった	そして–その者が	知らずに	知らずに	その–隣人を	～を	打ったなら	
H8130	H3808	H1931	H1847	H1097	H7453	H0853	H5221	

שִׁלְשֹׁם׃	מִתְּמֹל	לוֹ	
以前から	以前から	その者を	
H8032	H8543		

人を殺した者がそこにのがれて、命を全うすべき場合は次のとおりである。すなわち以前から憎むこともないのに、知らないでその隣人を殺した場合、

5

וְנִדְּחָה
そして–振るわれ
H5080

עֵצִים
木を
H6086

לַחְטֹב
切るために
H2404

בַּיַּעַר
森に
H3265

רֵעֵהוּ
その–隣人と
H7453

אֶת־
～と–共に
H0854

יָבֹא
行くなら
H0935

וַאֲשֶׁר
そして–その者が

הָעֵץ
柄から
H6086

מִן־
～から

הַבַּרְזֶל
鉄が
H1270

וְנָשַׁל
そして–抜け落ちて
H5394

הָעֵץ
木を
H6086

לִכְרֹת
切り–倒すために
H3772

בַּגַּרְזֶן
斧で
H1631

יָדוֹ
その–手が
H3027

אַחַת
一つの
H0259

אֶל־
～の–所へ
H0413

יָנוּס
逃れなさい
H5127

הוּא
その者は
H1931

וָמֵת
そして–死ぬなら
H4191

רֵעֵהוּ
その–隣人に
H7453

אֶת־
～に
H0853

וּמָצָא
そして–当たるなら
H4672

וָחָי׃
そして–生きなさい
H2425

הָאֵלֶּה
これらの
H0428

הֶעָרִים־
これらの–町の

たとえば人が木を切ろうとして、隣人と一緒に林に入り、手におのを取って、木を切り倒そうと撃ちおろすとき、その頭が柄から抜け、隣人にあたって、死なせたような場合がそれである。そういう人はこれらの町の一つにのがれて、命を全うすることができる。

6

לִבָּבוֹ
その–心が
H3824

יֵחַם
熱くなる
H3179

כִּי־
なぜなら

הָרֹצֵחַ
殺人者の
H7523

אַחֲרֵי
～の–後を

הַדָּם
血の
H1818

גֹּאֵל
復讐者が

יִרְדֹּף
追いかける
H7291

פֶּן־
～しないように
H6435

אֵין
ない
H0369

וְלוֹ
しかし–その者には

נֶפֶשׁ
命を
H5315

וְהִכָּהוּ
そして–打ち殺し
H5221

הַדֶּרֶךְ
道が
H1870

יִרְבֶּה
遠すぎる

כִּי־
なぜなら

וְהִשִּׂיגוֹ
そして–追いついて
H5381

שִׁלְשֹׁם׃
以前から
H8032

מִתְמֹל
以前から
H8543

לוֹ
その者を

הוּא
その者は
H1931

שֹׂנֵא
憎んで
H8130

לֹא
憎んで–いなかった
H3808

כִּי
なぜなら

מָוֶת
死の
H4194

מִשְׁפַּט־
死の–裁きが
H4941

そうしなければ、復讐する者が怒って、その殺した者を追いかけ、道が長いために、ついに追いついて殺すであろう。しかし、その人は以前から彼を憎んでいた者でないから、殺される理由はない。

7

תַּבְדִּיל
分けなさい
H0914

עָרִים
町を

שָׁלֹשׁ
三つの
H7969

לֵאמֹר
言って
H0559

מְצַוְּךָ
あなたに–命じている
H6680

אָנֹכִי
わたしは
H0595

כֵּן
ゆえに

עַל־
それ–ゼ

ס
[区切り]

לָךְ׃
あなた自身の–ために

それでわたしはあなたに命じて『三つの町をあなたのために指定しなければならない』と言ったのである。

8

נִשְׁבַּע
誓われた
H7650

כַּאֲשֶׁר
～の–とおりに

גְּבֻלְךָ
あなたの–領土を
H1366

אֶת־
～を
H0853

אֱלֹהֶיךָ
あなたの–神
H0430

יְהוָה
主が
H3068

יַרְחִיב
広げられるなら
H7337

וְאִם־
そして–もし

דִּבֶּר
語られた
H1696

אֲשֶׁר
それを

הָאָרֶץ
その–地を
H0776

כָּל־
すべての
H3605

אֶת־
～を
H0853

לְךָ
あなたに

וְנָתַן
そして–与えられるなら
H5414

לַאֲבֹתֶיךָ
あなたの–先祖たちに
H0001

לַאֲבֹתֶיךָ׃
あなたの–先祖たちに
H0001

לָתֶת
与えると
H5414

あなたの神、主が先祖たちに誓われたように、あなたの領域を広め、先祖たちに与えると言われた地を、ことごとく賜わる時、――

9 כִּי־ תִשְׁמֹר֗ אֶת־ כָּל־ הַמִּצְוָה֮ הַזֹּאת֒ לַעֲשֹׂתָהּ֮ אֲשֶׁר֒ אָנֹכִי֮
もし 守るなら ～を すべての この–戒めを この 行うために それを わたしが
H8104 H0853 H3605 H4687 H2063 H0853 H0595

מְצַוְּךָ֣ הַיּוֹם֮ לְאַהֲבָה֒ אֶת־ יְהוָה֮ אֱלֹהֶ֣יךָ֒ וְלָלֶכֶת֮ בִּדְרָכָיו֒
あなたに–命じている 今日 愛して ～を 主を あなたの–神 そして–歩むために その–道に
H6680 H3117 H0157 H0853 H3068 H0430 H3212 H1870

עַל֮ שָׁלֹשׁ֒ עָרִים֮ עוֹד֒ לָךְ֮ וְיָסַפְתָּ֣ הַיָּמִים֮ כָּל־
～の–上に 町を 三つの さらに あなた自身の–ために そして–加えなさい 日々 すべての
H7969 H5750 H3254 H3117 H3605

הַשָּׁלֹשׁ׃ הָאֵֽלֶּה֒
これらの–三つの これらの
H7969 H0428

わたしが、きょう、命じるこのすべての戒めを守って、それをおこない、あなたの神、主を愛して、常にその道に歩む時――あなたはこれら三つの町のほかに、また三つの町をあなたのために増し加えなければならない。

10 יְהוָה֮ אֲשֶׁר֒ אַרְצְךָ֮ בְּקֶרֶב֒ נָקִי֮ דָּם֒ יִשָּׁפֵךְ֮ וְלֹא֒
主が それを あなたの–地の ～の–中で 罪のない 血が 流されない そして–流されないために
H3068 H0776 H7130 H1818 H8210 H3808

דָּמִים׃ עָלֶיךָ֮ וְהָיָה֒ נֹתֵן֮ לְךָ֒ נַחֲלָה֮ אֱלֹהֶ֣יךָ֒
血の–罪が あなたの–上に そして–あるであろう 相続地として あなたに 与えられる あなたの–神
H1818 H1961 H5159 H5414 H0430

ס
[区切り]

これはあなたの神、主が与えて嗣業とされる地のうちで、罪のない者の血が流されないようにするためである。そうしなければ、その血を流したとがは、あなたに帰するであろう。

11 וְכִי־ יִהְיֶה֮ אִישׁ֒ שֹׂנֵא֮ לְרֵעֵהוּ֒ וְאָרַב֮ לוֹ֒
そして–しかし–もし いるなら 人が 憎んで その–隣人を そして–待ち伏せて その者に
H1961 H0376 H8130 H7453 H0693

וְנָס֮ אֶל־ אַחַת֒ הָעָרִים֮ הָאֵֽל׃ וְקָם֮ וְהִכָּהוּ֒ נֶפֶשׁ֮ וָמֵת֒ וְנָס֮
そして–逃げるなら ～の–所へ 一つの これらの–町の これらの そして–立ち上がって そして–打って 命を そして–死ぬなら そして–逃げるなら
H5127 H0413 H0259 H0411 H5221 H5315 H4191 H5127

וְשָׁלְחוּ֮ זִקְנֵי֒ עִירוֹ֮ וְלָקְחוּ֒ אֹתוֹ֮ מִשָּׁם֒ 12
そして–遣わしなさい 長老たちが その–町の そして–取りなさい その者を そこから
H7971 H2205 H3947 H0853 H8033

וָמֵת׃ הַדָּם֮ גֹּאֵל֒ בְּיַד֮ אֹתוֹ֒ וְנָתְנוּ֮
そして–死ななければならない 血の 復讐者の ～の–手に その者を そして–引き渡しなさい
H4191 H1818 H3027 H0853 H5414

その町の長老たちは人をつかわして彼をそこから引いてこさせ、復讐する者にわたして殺させなければならない。

13

הַנָּקִי	דַּם־	וּבְעַרְתָּ	עֶלָיו	עֵינְךָ	תָּחוֹס	לֹא־
罪のない	血を	そして-除き去りなさい	その者を	あなたの-目が	哀れんでは	哀れんでは-ならない
	H1818				H2347	H3808

ס	לָךְ׃	וְטוֹב		מִיִּשְׂרָאֵל
[区切り]	あなたにとって	そして-良くなるであろう		イスラエルから
				H3478

彼をあわれんではならない。罪のない者の血を流したとがを、イスラエルから除かなければならない。そうすればあなたにさいわいがあるであろう。

14

רִאשֹׁנִים	גְּבָלוּ	אֲשֶׁר	רֵעֲךָ	גְּבוּל	תַּסִּיג	לֹא
先人たちが	定めた	それを	あなたの-隣人の	境界を	動かしては	動かしては-ならない
H7223	H1379		H7453	H1366	H5253	H3808

לְךָ	נֹתֵן	אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה	אֲשֶׁר	בָּאָרֶץ	תִּנְחַל	אֲשֶׁר	בְּנַחֲלָתְךָ
あなたに	与えられる	あなたの-神	主が	それを	その-地で	相続する	それを	あなたの-相続地で
	H5414	H0430	H3068		H0776	H5157		H5159

ס	לָרִשְׁתָּהּ׃	
[区切り]	所有するために	
	H3423	

あなたの神、主が与えて獲させられる地で、あなたが継ぐ嗣業において、先祖の定めたあなたの隣人の土地の境を移してはならない。

15

וּלְכָל־	עָוֹן	לְכָל־	בְּאִישׁ	אֶחָד	עֵד	יָקוּם	לֹא־
そして-いかなる	不正にも	いかなる	人に-対して	一人の	証人が	立っては	立っては-ならない
H3605	H5771	H3605	H0376	H0259	H5707		H3808

אוֹ	עֵדִים	שְׁנֵי	וּפִי	עַל־	יֶחֱטָא	אֲשֶׁר	חֵטְא	בְּכָל־	חַטָּאת
あるいは	証人の	二人の	口の	～の-証言で	犯す	それを	過ちにも	いかなる	罪にも
	H5707	H8147	H6310		H2398		H2399	H3605	

דָּבָר׃	יָקוּם	עֵדִים	שְׁלֹשָׁה־	פִּי	עַל־	
事柄が	確定する	証人の	三人の	口の	～の-証言で	
H1697		H5707	H7969	H6310		

どんな不正であれ、どんなとがであれ、すべて人の犯す罪は、ただひとりの証人によって定めてはならない。ふたりの証人の証言により、または三人の証人の証言によって、その事を定めなければならない。

16

סָרָה׃	בּוֹ	לַעֲנוֹת	בְּאִישׁ	חָמָס	עֵד־	יָקוּם	כִּי־
背きの-言葉を	その者を	告発するために	人に-対して	悪意の	証人が	立つなら	もし
H5627			H0376	H2555	H5707		

もし悪意のある証人が起って、人に対して悪い証言をすることがあれば、

17

לִפְנֵי	יְהוָה	לִפְנֵי	הָרִיב	לָהֶם	אֲשֶׁר־	הָאֲנָשִׁים	שְׁנֵי־	וְעָמְדוּ
～の-前に	主の	～の-前に	争いが	ある	その者たちに	その-人々が	二人の	そして-立ちなさい
H6440	H3068	H6440	H7379	H1992		H0376	H8147	H5975

הָהֵם׃	בַּיָּמִים	יִהְיוּ	אֲשֶׁר	וְהַשֹּׁפְטִים	הַכֹּהֲנִים	
その	その-日々に	いる	その者たちが	そして-裁き人たちの	祭司たちの	
H1992	H3117	H1961		H8199	H3548	

その相争うふたりの者は主の前に行って、その時の祭司と裁判人の前に立たなければならない。

18 וְדָרְשׁוּ הַשֹּׁפְטִים הֵיטֵב וְהִנֵּה עֵד־שֶׁקֶר שִׁקֶּר הָעֵד עָנָה בְאָחִיו׃

וְדָרְשׁוּ	הַשֹּׁפְטִים	הֵיטֵב	וְהִנֵּה	עֵד־	שֶׁקֶר	שִׁקֶּר	הָעֵד
そして–調べるであろう	裁き人たちが	十分に	そして–見よ	証人が	偶りの	偶りを	その–証人が
H1875	H8199	H3190	H2009	H5707	H8267	H8267	H5707

עָנָה	בְאָחִיו׃
証言した	その–兄弟に–対して
	H0251

その時、裁判人は詳細にそれを調べなければならない。そしてその証人がもし偽りの証人であって、兄弟にむかって偽りの証言をした者であるならば、

19 וַעֲשִׂיתֶם לּוֹ כַּאֲשֶׁר זָמַם לַעֲשׂוֹת לְאָחִיו וּבָעַרְתָּ הָרָע מִקִּרְבֶּךָ׃

וַעֲשִׂיתֶם	לּוֹ	כַּאֲשֶׁר	זָמַם	לַעֲשׂוֹת	לְאָחִיו
そして–行いなさい	その者に	～の–とおりに	たくらんだ	行うことを	その–兄弟に
			H2161		H0251

וּבָעַרְתָּ	הָרָע	מִקִּרְבֶּךָ׃
そして–除き去りなさい	悪を	あなたがたの–中から
	H7451	H7130

あなたがたは彼が兄弟にしようとしたことを彼に行い、こうしてあなたがたのうちから悪を除き去らなければならない。

20 וְהַנִּשְׁאָרִים יִשְׁמְעוּ וְיִרָאוּ וְלֹא־יֹסִפוּ לַעֲשׂוֹת כַּדָּבָר הָרָע הַזֶּה בְּקִרְבֶּךָ׃

וְהַנִּשְׁאָרִים	יִשְׁמְעוּ	וְיִרָאוּ	וְלֹא־	יֹסִפוּ	לַעֲשׂוֹת	כַּדָּבָר	הָרָע	הַזֶּה
そして–残りの–者たちが	聞いて	そして–恐れるであろう	そして–再び	行わないであろう	行うことを	このような	悪い	この
H7604	H8085	H3372	H3808	H3254		H1697		H2088

בְּקִרְבֶּךָ׃	עוֹד
あなたがたの–中で	もう
H7130	H5750

そうすれば他の人たちは聞いて恐れ、その後ふたたびそのような悪をあなたがたのうちに行わないであろう。

21 וְלֹא תָחוֹס עֵינֶךָ נֶפֶשׁ בְּנֶפֶשׁ עַיִן בְּעַיִן שֵׁן בְּשֵׁן יָד בְּיָד רֶגֶל בְּרָגֶל׃ ס

וְלֹא	תָחוֹס	עֵינֶךָ	נֶפֶשׁ	בְּנֶפֶשׁ	עַיִן	בְּעַיִן	שֵׁן	בְּשֵׁן	יָד
そして–哀れんでは–ならない	哀れんでは	あなたの–目が	命を	命には	目には	目を	歯には	歯を	手には
H3808	H2347		H5315	H5315			H8127		H3027

בְּיָד	רֶגֶל	בְּרָגֶל׃	ס
手を	足には	足を	[区切り]
H3027	H7272	H7272	

あわれんではならない。命には命、目には目、歯には歯、手には手、足には足をもって償わせなければならない。

Chapter 20

1 כִּי־תֵצֵא לַמִּלְחָמָה עַל־אֹיְבֶיךָ וְרָאִיתָ סוּס וָרֶכֶב עַם רַב מִמְּךָ לֹא תִירָא מֵהֶם כִּי־יְהוָה אֱלֹהֶיךָ עִמָּךְ הַמַּעֲלְךָ מֵאֶרֶץ מִצְרָיִם׃

כִּי־	תֵצֵא	לַמִּלְחָמָה	עַל־	אֹיְבֶיךָ	וְרָאִיתָ	סוּס	וָרֶכֶב
もし	出るなら	戦いに	～に–対して	あなたの–敵に	そして–見て	馬や	そして–戦車や
	H3318	H4421		H0341	H7200		H7393

עַם	רַב	מִמְּךָ	לֹא	תִירָא	מֵהֶם	כִּי־	יְהוָה	אֱלֹהֶיךָ
民が	多い	あなたより	恐れては–ならない	恐れては	彼らを	なぜなら	主が	あなたの–神
			H3808	H3372	H1992		H3068	H0430

עִמָּךְ	הַמַּעֲלְךָ	מֵאֶרֶץ	מִצְרָיִם׃
あなたと–共におられる	導き上られた–方	～の–地から	エジプト
	H5927	H0776	H4714

あなたが敵と戦うために出る時、馬と戦車と、あなたよりも大ぜいの軍隊を見ても、彼らを恐れてはならない。あなたをエジプトの国から導きのぼられたあなたの神、主が共におられるからである。

2

הַכֹּהֵן	וְנִגַּשׁ	הַמִּלְחָמָה	אֶל־	כְּקָרַבְכֶם	וְהָיָה	
祭司が	そして–進み出るであろう	戦いに	～の–所へ	近づく–ときに	そして–なるであろう	
H3548	H5066	H4421	H0413	H7126	H1961	

הָעָם׃	אֶל־	וְדִבֶּר	
民に	～に	そして–語るであろう	
	H0413	H1696	

あなたがたが戦いに臨むとき、祭司は進み出て民に告げて、

3

לַמִּלְחָמָה	הַיּוֹם	קְרֵבִים	אַתֶּם	יִשְׂרָאֵל	שְׁמַע	אֱלֹהֵם	וְאָמַר
戦いに	今日	近づいている	あなたがたは	イスラエルよ	聞け	彼らに	そして–言うであろう
H4421	H3117	H7131		H3478	H8085	H0413	H0559

תִּירְאוּ	אַל־	לְבַבְכֶם	יֵרַךְ	אַל־	אֹיְבֵיכֶם	עַל־
恐れるな	恐れるな	あなたがたの–心が	弱くなるな	弱くなるな	あなたがたの–敵に	～に–対して
H3372	H0408	H3824	H7401	H0408	H0341	

מִפְּנֵיהֶם׃	תָּעַרְצוּ	וְאַל־	תַּחְפְּזוּ	וְאַל־
彼らの–前で	おののくな	そして–おののくな	慈てるな	そして–慈てるな
H6440	H6206	H0408	H2648	H0408

彼らに言わなければならない、『イスラエルよ聞け。あなたがたは、きょう、敵と戦おうとしている。気おくれしてはならない。恐れてはならない。あわててはならない。彼らに驚いてはならない。

4

לָכֶם	לְהִלָּחֶם	עִמָּכֶם	הַהֹלֵךְ	אֱלֹהֵיכֶם	יְהוָה	כִּי	
あなたがたの–ために	戦うために	あなたがたと–共に	歩まれる	あなたがたの–神	主が	なぜなら	
			H1980	H0430	H3068		

אֶתְכֶם׃	לְהוֹשִׁיעַ	אֹיְבֵיכֶם	עִם־
あなたがたを	救うために	あなたがたの–敵と	～と
H0853	H3467	H0341	

あなたがたの神、主が共に行かれ、あなたがたのために敵と戦って、あなたがたを救われるからである』。

5

בֵּית־	בָּנָה	אֲשֶׁר	הָאִישׁ	מִי־	לֵאמֹר	הָעָם	אֶל־	הַשֹּׁטְרִים	וְדִבְּרוּ
家を	建てた	その者が	人で	誰か	言って	民に	～に	役人たちが	そして–語るであろう
	H1129		H0376	H4310	H0559		H0413	H7860	H1696

פֶּן־	לְבֵיתוֹ	וְיָשָׁב	יֵלֵךְ	חֲנָכוֹ	וְלֹא	חָדָשׁ
～しないように	その–家に	そして–帰りなさい	行きなさい	奉献していないなら	そして–まだ	新しい
H6435		H7725	H3212	H2596	H3808	H2319

יַחְנְכֶנּוּ׃	אַחֵר	וְאִישׁ	בַּמִּלְחָמָה	יָמוּת
奉献することの–ないように	別の	そして–人が	戦いで	死ぬ
H2596	H0312	H0376	H4421	H4191

次につかさたちは民に告げて言わなければならない。『新しい家を建てて、まだそれをささげていない者があれば、その人を家に帰らせなければならない。そうしなければ、彼が戦いに死んだとき、ほかの人がそれをささげるようになるであろう。

6

וּמִי־	הָאִישׁ	אֲשֶׁר־	נָטַע	כֶּרֶם	וְלֹא	חִלְּלוֹ
そして–誰か	人で	その者が	植えた	ぶどう園を	そして–まだ	その–実を–享受していないなら
H4310	H0376		H5193	H3754	H3808	

וְיָלֵךְ	וְיָשָׁב	לְבֵיתוֹ	פֶּן־	יָמוּת	בַּמִּלְחָמָה	וְאִישׁ	אַחֵר
行きなさい	そして–帰りなさい	その–家に	～しないように	死ぬ	戦いで	そして–人が	別の
H3212	H7725		H6435	H4191	H4421	H0376	H0312

יְחַלְּלֶנּוּ׃	
享受することの–ないように	

ぶどう畑を作って、まだその実を食べていない者があれば、その人を家に帰らせなければならない。そうしなければ彼が戦いに死んだとき、ほかの人がそれを食べるようになるであろう。

7

וּמִי־	הָאִישׁ	אֲשֶׁר־	אֵרַשׂ	אִשָּׁה	וְלֹא	לְקָחָהּ
そして–誰か	人で	その者が	婚約した	女と	そして–まだ	娶っていないなら
H4310	H0376		H0781	H0802	H3808	H3947

וְיָשָׁב	לְבֵיתוֹ	פֶּן־	יָמוּת	בַּמִּלְחָמָה	וְאִישׁ	אַחֵר	וְיָלֵךְ
そして–帰りなさい	その–家に	～しないように	死ぬ	戦いで	そして–人が	別の	行きなさい
H7725		H6435	H4191	H4421	H0376	H0312	H3212

יִקָּחֶנָּה׃	
娶ることの–ないように	
H3947	

女と婚約して、まだその女をめとっていない者があれば、その人を家に帰らせなければならない。そうしなければ彼が戦いに死んだとき、ほかの人が彼女をめとるようになるであろう』。

8

הַיָּרֵא	הָאִישׁ	מִי־	וְאָמְרוּ	הָעָם	אֶל־	לְדַבֵּר	הַשֹּׁטְרִים
恐れて	人で	誰か	そして–言うであろう	民に	～に	語るであろう	役人たちが
H3373	H0376	H4310	H0559		H0413	H1696	H7860

וְיָסְפוּ	וְיָלֵךְ	הַלֵּבָב	וְרַךְ	יִמַּס	וְלֹא	לְבֵיתוֹ	וְיָשָׁב
そして–続けて	行きなさい	心の	そして–弱い	くじかない	そして–くじかないために	その–家に	そして–帰りなさい
H3254		H3824	H7390	H4549	H3808		H7725

כִּלְבָבוֹ׃	אֶחָיו	לְבַב	אֶת־
彼の–心の–ように	その–兄弟たちの	心を	～を
H3824	H0251	H3824	H0853

つかさたちは、また民に告げて言わなければならない。『恐れて気おくれする者があるならば、その人を家に帰らせなければならない。そうしなければ、兄弟たちの心が彼の心のようにくじけるであろう』。

9

וּפָקְדוּ	הָעָם	אֶל־	לְדַבֵּר	הַשֹּׁטְרִים	כְּכַלּוֹת	וְהָיָה	
そして–任命しなさい	民に	～に	語ることを	役人たちが	終える–ときに	そして–なるであろう	
		H0413	H1696	H7860	H3615	H1961	

ס	הָעָם׃	בְּרֹאשׁ	צִבְאוֹת	שָׂרֵי	
[区切り]	民の	～の–先頭に	軍勢の	軍の–長を	
				H8269	

つかさたちがこのように民に告げ終ったならば、軍勢のかしらたちを立てて民を率いさせなければならない。

10

אֵלֶיהָ	וְקָרָאתָ	עָלֶיהָ	לְהִלָּחֶם	עִיר	אֶל־	תִּקְרַב	כִּי־
それに	そして–呼びかけなさい	それに–対して	戦うために	町に	～の–所へ	近づくなら	もし
H0413	H7121				H0413	H7126	

לְשָׁלוֹם׃	
平和を	
H7965	

一つの町へ進んで行って、それを攻めようとする時は、まず穏やかに降服することを勧めなければならない。

11 וְהָיָה לְךָ֣ וּפְתִחָה֮ תַּעֲנְךָ֣ שָׁלוֹם֒ אִם־ וְהָיָה֙
そして–なるであろう あなたに そして–開くなら 答えるなら 平和で もし そして–なるであろう
H1961 H7965 H1961

לָמַס לְךָ֣ יִהְיוּ֙ בָּ֔הּ הַנִּמְצָא־ הָעָ֖ם כָּל־
強制–労働の–者と あなたの–ために なるであろう その–中に 見いだされる 民が すべての
H4522 H4672 H3605

וַעֲבָדְוּךָ׃
そして–仕えるであろう
H5647

もしその町が穏やかに降服しようと答えて、門を開くならば、そこにいるすべての民に、みつぎを納めさせ、あなたに仕えさせなければならない。

12 מִלְחָמָה֙ עִמְּךָ֔ וְעָשְׂתָ֖ה עִמָּ֑ךְ תַּשְׁלִ֣ים לֹ֗א וְאִם־
戦いを あなたに–対して そして–行うなら あなたと 結ばない 和を–結ばないなら そして–もし
H4421 H3808

וְצַרְתָּ֖ עָלֶֽיהָ׃
それを そして–囲みなさい

もし穏やかに降服せず、戦おうとするならば、あなたはそれを攻めなければならない。

13 כָּל־ אֹתָ֛ם וְהִכִּיתָ֥ בְיָדֶ֖ךָ אֱלֹהֶ֑יךָ יְהוָה֙ וּנְתָנָ֣ה
すべての ～を そして–打ちなさい あなたの–手に あなたの–神 主が そして–渡されるとき
H3605 H0853 H5221 H3027 H0430 H3068 H5414

חָֽרֶב׃ לְפִי־ זְכוּרָ֔הּ
剣の ～の–刃で その–男子を
H2719 H6310 H2138

そしてあなたの神、主がそれをあなたの手にわたされる時、つるぎをもってそのうちの男をみな撃ち殺さなければならない。

14 יִהְיֶ֣ה אֲשֶׁ֣ר וְכָל֩ וְהַבְּהֵמָ֨ה וְהַטַּ֜ף הַנָּשִׁ֗ים רַ֣ק
ある それを そして–すべての–ものを そして–家畜と そして–子供と 女と ただし
H1961 H3605 H0929 H2945 H0802 H7535

וְאָכַלְתָּ֞ לְךָ֗ תָּבֹז֙ שְׁלָלָ֔הּ כָּל־ בָּעִ֑יר
そして–食べなさい あなた自身の–ために 奪い取りなさい その–分捕り物を すべての その–町の–中に
H0398 H0962 H7998 H3605

לָֽךְ׃ אֱלֹהֶ֖יךָ יְהוָ֥ה נָתַ֛ן אֲשֶׁ֥ר אֹיְבֶ֑יךָ שְׁלַ֣ל אֶת־
あなたに あなたの–神 主が 与えられた それを あなたの–敵の 分捕り物を ～を
H0430 H3068 H5414 H0341 H7998 H0853

ただし女、子供、家畜およびすべて町のうちにあるもの、すなわちぶんどり物は皆、戦利品として取ることができる。また敵からぶんどった物はあなたの神、主が賜わったものだから、あなたはそれを用いることができる。

15 לֹא־ אֲשֶׁ֣ר מְאֹ֔ד מִמְּךָ֖ הָרְחֹקֹ֥ת הָעָרִ֛ים לְכָל־ תַּעֲשֶׂ֥ה כֵּ֖ן
ではない それらは 非常に あなたから 遠い 町々に–対して すべての 行いなさい このように
H3808 H3966 H7350 H3605

הֵֽנָּה׃ הָאֵ֖לֶּה הַגּוֹיִ֥ם־ מֵעָרֵ֑י
それらは これらの これらの–諸国の–民の ～の–町では
H2007 H0428

遠く離れている町々、すなわちこれらの国々に属さない町々には、すべてこのようにしなければならない。

נֹתֵן	אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה	אֲשֶׁר	הָאֵלֶּה	הָעַמִּים	מֵעָרֵי	רַק	16
与えられる	あなたの–神	主が	それを	これらの	これらの–諸国の–民の	～の–町々からは	ただし	
H5414	H0430	H3068		H0428			H7535	

נְשָׁמָה׃	כָּל־	תְּחַיֶּה	לֹא	נַחֲלָה	לְךָ
息ある–ものも	いかなる	生かしておいては	生かしておいては–ならない	相続地として	あなたに
H5397	H3605	H2421	H3808	H5159	

ただし、あなたの神、主が嗣業として与えられるこれらの民の町々では、息のある者をひとりも生かしておいてはならない。

הַכְּנַעֲנִי	וְהָאֱמֹרִי	הַחִתִּי	תַּחֲרִימֵם	הַחֲרֵם	כִּי־	17
カナン人と	そして–アモリ人と	ヒッタイト人と	聖絶しなさい	聖絶しなさい	必ず	
	H0567	H2850				

אֱלֹהֶיךָ׃	יְהוָה	צִוְּךָ	כַּאֲשֶׁר	וְהַיְבוּסִי	הַחִוִּי	וְהַפְּרִזִּי
あなたの–神	主が	命じられた	～の–とおりに	そして–エブス人を	ヒビ人と	そして–ペリジ人と
H0430	H3068	H6680		H2983	H2340	H6522

すなわちヘテびと、アモリびと、カナンびと、ペリジびと、ヒビびと、エブスびとはみな滅ぼして、あなたの神、主が命じられたとおりにしなければならない。

לַעֲשׂוֹת	אִתְּכֶם	יְלַמְּדוּ	לְבִלְתִּי־	אֲשֶׁר	לְמַעַן	18
行うことを	あなたがたに	教えない	教えないためである	それは	そうして–～の–ために	
	H0853	H3925	H3808		H4616	

וַחֲטָאתֶם	לֵאלֹהֵיהֶם	עָשׂוּ	אֲשֶׁר	תּוֹעֲבֹתָם	כְּכֹל
そして–罪を–犯すであろう	彼らの–神々に	行った	それを	彼らの–忌まわしい–ことの	すべての–とおりに
H2398	H0430			H8441	H3605

ס	אֱלֹהֵיכֶם׃	לַיהוָה
[区切り]	あなたがたの–神	主に–対して
	H0430	H3068

これは彼らがその神々を拝んでおこなったすべての憎むべき事を、あなたがたに教えて、それを行わせ、あなたがたの神、主に罪を犯させることのないためである。

לְתָפְשָׂהּ	עָלֶיהָ	לְהִלָּחֶם	רַבִּים	יָמִים	עִיר	אֶל־	תָּצוּר	כִּי־	19
取るために	それに–対して	戦うために	多くの	日々の–間	町を	～を	囲むなら	もし	
H8610				H3117		H0413			

כִּי	גַרְזֶן	עָלָיו	לְנָדַּח	עֵצָהּ	אֶת־	תַּשְׁחִית	לֹא־	
なぜなら	斧を	それに–対して	振るうために	その–木を	～を	滅ぼしては	滅ぼしては–ならない	
	H1631		H5080		H0853	H7843	H3808	

הָאָדָם	כִּי	תִכְרֹת	לֹא	וְאֹתוֹ	תֹּאכַל	מִמֶּנּוּ
人が	なぜなら	切り倒しては	切り倒しては–ならない	そして–それを	食べるからだ	それから
H0120		H3772	H3808	H0853	H0398	

בַּמָּצוֹר׃	מִפָּנֶיךָ	לָבֹא	הַשָּׂדֶה	עֵץ
包囲の–中に	あなたの–前から	来るために	野の	木なのか
H4692	H6440	H0935		H6086

長く町を攻め囲んで、それを取ろうとする時でも、おのをふるって、そこの木を切り枯らしてはならない。それはあなたの食となるものだから、切り倒してはならない。あなたは田野の木までも、人のように攻めなければならないであろうか。

20

אֹתוֹ	הוּא	מַאֲכָל	עֵץ	לֹא־	כִּי־	תֵדַע	אֲשֶׁר־	עֵץ	רַק
それを	それは	食べ物の	木は	ではない	それが	知っている	それを	木で	ただし
H0853	H1931	H3978	H6086	H3808		H3045		H6086	H7535

אֲשֶׁר־	הָעִיר	עַל־	מָצוֹר	וּבָנִיתָ	וְכָרַתָּ		תַּשְׁחִית
それは	その–町に	～に–対して	包囲の–壁を	そして–築きなさい	そして–切り倒しなさい		滅ぼしなさい
			H4692	H1129	H3772		H7843

פ	רִדְתָּהּ׃	עַד	מִלְחָמָה	עִמָּךְ	עֹשָׂה	הוּא
[区切り]	降伏するまで	～まで	戦いを	あなたに–対して	行っている	それが
	H3381	H5704	H4421			H1931

ただし実を結ばない木とわかっている木は切り倒して、あなたと戦っている町にむかい、それをもってとりでを築き、陥落するまで、それを攻めることができる。

Chapter 21

1

לְךָ	נֹתֵן	אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה	אֲשֶׁר	בָּאֲדָמָה	חָלָל	יִמָּצֵא	כִּי־
あなたに	与える	あなたの–神が	主	その	地に	殺された–者が	見つかり	もし
	H5414	H0430	H3068		H0127		H4672	

הֻכֵּהוּ׃	מִי	נוֹדַע	לֹא	בַּשָּׂדֶה	נֹפֵל	לְרִשְׁתָּהּ
打った–か	誰が	知られず	なく	野に	倒れている	所有する–ために
H5221	H4310	H3045	H3808		H5307	H3423

あなたの神、主が与えて獲させられる地で、殺されて野に倒れている人があって、だれが殺したのかわからない時は、

2

סְבִיבֹת	אֲשֶׁר	הֶעָרִים	אֶל־	וּמָדְדוּ	וְשֹׁפְטֶיךָ	זְקֵנֶיךָ	וְיָצְאוּ	
周囲の	その	町々を	～への	測り	あなたの–裁き人たちが	あなたの–長老たちと	出て–行き	
H5439			H0413	H4058	H8199	H2205	H3318	

הֶחָלָל׃
殺された–者の

長老たちと、さばきびとたちが出てきて、その殺された者のある所から、周囲の町々までの距離をはからなければならない。

3

עֶגְלַת	הַהִוא	הָעִיר	זִקְנֵי	וְלָקְחוּ	הֶחָלָל	אֶל־	הַקְּרֹבָה	הָעִיר	וְהָיָה
雌牛の	その	その–町の	長老たちが	取り	殺された–者に	～に	最も–近い	町が	そして
	H1931		H2205	H3947		H0413	H7138		H1961

בְּעֹל׃	מָשְׁכָה	לֹא־	אֲשֶׁר	בָּהּ	עֹבַד	לֹא־	אֲשֶׁר	בָּקָר
軛で	引いた–ことのない	まだ	その	それで	使われた–ことのない	まだ	その	子を
H5923	H4900	H3808			H5647	H3808		H1241

そしてその殺された者のある所に最も近い町の長老たちは、まだ使わない、まだくびきを負わせて引いたことのない若い雌牛をとり、

4

לֹא־	אֲשֶׁר	אֵיתָן	נַחַל	אֶל־	הָעֶגְלָה	אֶת־	הַהִוא	הָעִיר	זִקְנֵי
まだ	そこは	流れに	谷の	～へ	雌牛を	～を	その	その–町の	長老たちが
H3808		H0386		H0413		H0853	H1931		H2205

וְהוֹרִדוּ	זְקֵנֵי	הָעִיר	הַהִוא	אֶת־	אֵלֶיהָ	נַחַל	בַּנָּחַל׃
連れ–下り	長老たちが	その–町の	その	～を	～へ	谷の	谷で
H3381	H2205		H1931	H0853	H0413		

יֵעָבֵד	בּוֹ	וְלֹא	יִזָּרֵעַ	וְעָרְפוּ־	שָׁם	אֶת־	הָעֶגְלָה
耕されず	そこで	また	種–蒔かれない	そして–首を–折り	そこで	～を	雌牛の
H5647		H3808	H2232	H6202	H8033	H0853	

その町の長老たちはその雌牛を、耕すことも、種まくこともしない、絶えず水の流れている谷へ引いていって、その谷で雌牛のくびを折らなければならない。

5 וְנִגְּשׁוּ הַכֹּהֲנִים בְּנֵי לֵוִי כִּי בָם בָּחַר יְהוָה אֱלֹהֶיךָ לְשָׁרְתוֹ
近づき 祭司たち 子らが レビの なぜなら 彼らを 選んだ 主 あなたの–神が 仕える–ために
H5066 H3548 H1121 H3878 H3588 H1931 H977 H3068 H430 H8334

וּלְבָרֵךְ בְּשֵׁם יְהוָה עַל־פִּיהֶם יִהְיֶה כָּל־רִיב וְכָל־נָגַע׃
祝福する–ために 名に–よって 主の そして–〜に–よって 彼らの–口 なされる すべての 争いと すべての 傷の
H1288 H8034 H3068 H5921 H6310 H1961 H3605 H7379 H3605 H5061

その時レビの子孫である祭司たちは、そこに進み出なければならない。彼らはあなたの神、主が自分に仕えさせ、また主の名によって祝福させるために選ばれた者で、すべての論争と、すべての暴行は彼らの言葉によって解決されるからである。

6 וְכֹל הַזְּקֵנִים הָעִיר הַהִוא הַקְּרֹבִים אֶל־הֶחָלָל יִרְחֲצוּ אֶת־יְדֵיהֶם עַל־הָעֶגְלָה הָעֲרוּפָה בַּנָּחַל׃
すべての 長老たちが その–町の その 最も–近い 〜に 殺された–者に 洗い 〜を 彼らの–手を 〜の–上で 雌牛の 首を–折られた 谷で
H3605 H2205 H1931 H5892 H7138 H413 H2491 H7364 H853 H3027 H5921 H5697 H6202 H5158

そしてその殺された者のある所に最も近い町の長老たちは皆、彼らが谷でくびを折った雌牛の上で手を洗い、

7 וְעָנוּ וְאָמְרוּ יָדֵינוּ לֹא שָׁפְכוּ(שפכה) [שפכה] אֶת־הַדָּם הַזֶּה וְעֵינֵינוּ לֹא רָאוּ׃
応えて 言う なく 私たちの–手は [流し] 流さ–なかった 〜を この 血を 私たちの–目も なく 見な–かった
H6030 H559 H3808 H3027 H8210 H8210 H853 H2088 H1818 H5869 H3808 H7200

証言して言わなければならない、『われわれの手はこの血を流さず、われわれの目もそれを見なかった。

8 כַּפֵּר לְעַמְּךָ יִשְׂרָאֵל אֲשֶׁר־פָּדִיתָ יְהוָה וְאַל־תִּתֵּן דָּם נָקִי בְּקֶרֶב עַמְּךָ יִשְׂרָאֵל וְנִכַּפֶּר לָהֶם דָּם׃
贖って–ください あなたの–民を イスラエルを その 贖われた 主よ 置か–ないで–ください 血の 罪なき 中に あなたの–民 イスラエルの そして–贖われる 彼らから 血が
H3722 H5971 H3478 H834 H6299 H3068 H408 H1818 H5355 H7130 H5971 H3478 H3722 H1992 H1818

主よ、あなたがあがなわれた民イスラエルをおゆるしください。罪のない者の血を流したとがを、あなたの民イスラエルのうちにとどめないでください。そして血を流したとがをおゆるしください』。

9 וְאַתָּה תְּבַעֵר הַדָּם הַנָּקִי מִקִּרְבֶּךָ כִּי־תַעֲשֶׂה הַיָּשָׁר בְּעֵינֵי יְהוָה׃ ס
あなたは 除き去り 血の 罪なき あなたの–中から なぜなら 行う–なら 正しい–ことを 目に 主の [区切り]
H859 H1197 H1818 H5355 H7130 H3588 H6213 H3477 H5869 H3068 H5

このようにして、あなたは主が正しいと見られる事をおこない、罪のない者の血を流したとがを、あなたがたのうちから除き去らなければならない。

10 כִּי־ תֵצֵא לַמִּלְחָמָה עַל־ אֹיְבֶיךָ וּנְתָנוֹ יְהוָה אֱלֹהֶיךָ
もし 出て-行き 戦い-のために ～に-対して あなたの-敵に 主が あなたの-神が
H3318 H4421 H0341 H5414 H3068 H0430

בְּיָדֶךָ וְשָׁבִיתָ שִׁבְיוֹ׃
あなたの-手に 捕らえて 捕虜を
H3027 H7617

あなたが出て敵と戦う際、あなたの神、主がそれをあなたの手にわたされ、あなたがそれを捕虜とした時、

11 וְרָאִיתָ בַּשִּׁבְיָה אֵשֶׁת יְפַת־ תֹּאַר וְחָשַׁקְתָּ בָּהּ וְלָקַחְתָּ
見て 捕虜の-中に 女で 美しい 姿の 慕い 彼女を めとる-なら
H7200 H7633 H0802 H3303 H8389 H2836 H0929 H3947

לְךָ לְאִשָּׁה׃
あなたの-ために 妻として
H0802

もし捕虜のうちに美しい女のあるのを見て、それを好み、妻にめとろうとするならば、

12 וְהֵבֵאתָהּ אֶל־ תּוֹךְ בֵּיתֶךָ וְגִלְּחָה אֶת־ רֹאשָׁהּ וְעָשְׂתָה אֶת־ צִפָּרְנֶיהָ׃
連れて-来て ～へ 中に あなたの-家の 剃り ～を 彼女の-頭を 整え ～を 彼女の-爪を
H0935 H0413 H8432 H1548 H0853 H7218 H6856

その女をあなたの家に連れて帰らなければならない。女は髪をそり、つめを切り、

13 וְהֵסִירָה אֶת־ שִׂמְלַת שִׁבְיָהּ מֵעָלֶיהָ וְיָשְׁבָה בְּבֵיתֶךָ וּבָכְתָה
脱がせ ～を 衣を 捕虜の 彼女から 住み あなたの-家に 泣き
H5493 H0853 H8071 H7633 H5921 H3427 H1004 H1058

אֶת־ אָבִיהָ וְאֶת־ אִמָּהּ יָרֵחַ יָמִים וְאַחַר כֵּן תָּבוֹא אֵלֶיהָ וּבְעַלְתָּהּ
～を 彼女の-父と ～を 彼女の-母を 月 日々 その-後に こそ 入り 彼女の-もとに 夫と-なり
H0853 H0517 H3391 H3117 H0310 H0935 H0413 H1166

וְהָיְתָה לְךָ לְאִשָּׁה׃
なる あなたの 妻と
H1961 H0802

また捕虜の着物を脱ぎすてて、あなたの家におり、自分の父母のために一か月のあいだ嘆かなければならない。そして後、あなたは彼女の所にはいって、その夫となり、彼女を妻とすることができる。

14 וְהָיָה אִם־ לֹא חָפַצְתָּ בָּהּ וְשִׁלַּחְתָּהּ לְנַפְשָׁהּ וּמָכֹר לֹא־
もし ない-なら 望まなく 彼女を 去らせ 自由に 売る-こと 決して
H1961 H0518 H3808 H2654 H7971 H5315 H4376 H3808

תִמְכְּרֶנָּה בַּכֶּסֶף תִּתְעַמֵּר בָּהּ תַּחַת אֲשֶׁר עִנִּיתָהּ׃ ס
売っては-ならない 金で 決して 奴隷-として-扱っては-ならない 彼女を ～ゆえに その 辱めた-から [区切り]
H4376 H3701 H3808 H6031 H8478

その後あなたがもし彼女を好まなくなったならば、彼女を自由に去らせなければならない。決して金で売ってはならない。あなたはすでに彼女をはずかしめたのだから、彼女を奴隷のようにあしらってはならない。

15 כִּי־ תִהְיֶיןָ לְאִישׁ שְׁתֵּי נָשִׁים הָאַחַת וְהָאַחַת אֲהוּבָה וְשְׂנוּאָה וְיָלְדוּ־
もし ある-なら 人に 二人の 妻が 一人は 一人は 愛される-者 疎まれる-者 産んだ-なら
H3205 H8130 H0259 H0157 H0259 H0802 H8147 H0376 H1961 H3205

לוֹ בָּנִים הָאֲהוּבָה וְהַשְּׂנוּאָה וְהָיָה הַבֵּן הַבְּכוֹר לַשְּׂנִיאָה׃
彼に 息子たちを 愛される-者と 疎まれる-者が そして 息子が 長子が 疎まれる-者の
H0157 H8130 H1961 H1060 H8146

人がふたりの妻をもち、そのひとりは愛する者、ひとりは気にいらない者であって、その愛する者と気にいらない者のふたりが、ともに男の子を産み、もしその長子が、気にいらない女の産んだ者である時は、

16 יוּכַל לֹא לוֹ יִהְיֶה אֲשֶׁר־ אֶת בָּנָיו אֶת־ הַנְחִילוֹ בְיוֹם וְהָיָה
する-ことが できない 彼に もの ある ～を 息子たちに ～を 相続させる 日に そして
H3201 H3808 H1961 H0853 H0853 H5157 H3117 H1961

הַבְּכֹר׃ הַשְּׂנוּאָה בֶּן־ פְּנֵי עַל־ הָאֲהוּבָה בֶּן־ אֶת־ לְבַכֵּר
長子の 疎まれる-者の 息子の 面前に ～より-上に 愛される-者の 息子を ～を 長子と-する
H1060 H8130 H6440 H0157 H1069

その子たちに自分の財産を継がせる時、気にいらない女の産んだ長子をさしおいて、愛する女の産んだ子を長子とすることはできない。

17 כִּי־ אֶת־ הַבְּכֹר בֶּן־ הַשְּׂנוּאָה יַכִּיר לָתֵת לוֹ פִּי שְׁנַיִם
むしろ ～を 長子を 息子の 疎まれる-者の 認め 与え-るために 彼に 二倍の 分を
H0853 H1060 H0853 H5414 H6310 H8147

ס בְּכֹרָה׃ מִשְׁפַּט לוֹ אֹנוֹ רֵאשִׁית הוּא כִּי־ לוֹ יִמָּצֵא אֲשֶׁר־ בְּכָל
[区切り] 長子権の 権利は 彼に 力 初めの 彼は なぜなら 彼に もの ある すべての
H1062 H4941 H0202 H7225 H1931 H4672 H3605

必ずその気にいらない者の産んだ子が長子であることを認め、自分の財産を分ける時には、これに二倍の分け前を与えなければならない。これは自分の力の初めであって、長子の特権を持っているからである。

18 וּבְקוֹל אָבִיו בְּקוֹל שֹׁמֵעַ אֵינֶנּוּ וּמוֹרֶה סוֹרֵר בֵּן לְאִישׁ יִהְיֶה כִּי־
声にも 父の 声に 従わず 聞かず 反抗する 頑固で 息子が 人に ある-なら もし
H0001 H8085 H0369 H4784 H5637 H1961

אֵלֵיהֶם׃ יִשְׁמַע וְלֹא אֹתוֹ וְיִסְּרוּ אִמּוֹ
彼らに 聞かない なお 彼を 懲らし-ても 母の
H0413 H8085 H3808 H0853 H3256 H0517

もし、わがままで、手に負えない子があって、父の言葉にも、母の言葉にも従わず、父母がこれを懲らしてもきかない時は、

19 וְאֶל־ עִירוֹ זִקְנֵי אֶל־ אֹתָו וְהוֹצִיאוּ וְאִמּוֹ אָבִיו בּוֹ וְתָפְשׂוּ
そして-～へ 町の 長老たちの-もとに ～へ 彼を 連れ出し 母が 父と 彼を 捕らえて
H0413 H2205 H0413 H0853 H3318 H0517 H0001 H8610

מְקֹמוֹ׃ שַׁעַר
場所の 門に
H4725 H8179

その父母はこれを捕えて、その町の門に行き、町の長老たちの前に出し、

20 וְאָמְרוּ֙ אֶל־ זִקְנֵי עִירוֹ בְּנֵנוּ זֶה סוֹרֵר וּמֹרֶה אֵינֶנּוּ שֹׁמֵעַ
言う ～に 長老たちに 町の 私たちの-息子は この 頑固で 反抗し 聞かず 従わず
H0559 H0413 H2205 H5637 H4784 H0369 H8085

וְסֹבֵא׃ זוֹלֵל בְּקֹלֵנוּ
大酒飲みです 大食いで 私たちの-声に
H5435

町の長老たちに言わなければならない、『わたしたちのこの子はわがままで、手に負えません。わたしたちの言葉に従わず、身持ちが悪く、大酒飲みです』。

וְכָל־ すべての H3605 | מִקִּרְבֶּךָ あなたの-中から H7130 | הָרָע 悪を H7451 | וּבִעַרְתָּ 除き去り | וָמֵת 死なせ H4191 | בָּאֲבָנִים 石で H0068 | עִירוֹ 町の | אַנְשֵׁי 人々が H0376 | כָל־ すべての H3605 | וּרְגָמֻהוּ 石で-打ち H7275 | 21

ס [区切り] | וְיִרָאוּ׃ 恐れる H3372 | יִשְׁמְעוּ 聞いて H8085 | יִשְׂרָאֵל イスラエルが H3478

そのとき、町の人は皆、彼を石で撃ち殺し、あなたがたのうちから悪を除き去らなければならない。そうすれば、イスラエルは皆聞いて恐れるであろう。

וְכִי־ もし | יִהְיֶה ある-なら H1961 | בְּאִישׁ 人に H0376 | חֵטְא 罪が H2399 | מִשְׁפַּט־ 裁き-による H4941 | מָוֶת 死の H4194 | וְהוּמָת 処刑-された-なら H4191 | וְתָלִיתָ 掛ける H8518 | אֹתוֹ 彼を H0853 | עַל־ ～に | 22

עֵץ׃ 木に H6086

もし人が死にあたる罪を犯して殺され、あなたがそれを木の上にかける時は、

לֹא־ 残しては-ならない H3808 | תָלִין 掛けた-まま | נִבְלָתוֹ 彼の-死体を H5038 | עַל־ ～に | הָעֵץ 木に H6086 | כִּי־ 必ず | קָבוֹר 葬り H6912 | תִקְבְּרֵנּוּ 葬らなければ-ならない H6912 | 23

תְטַמֵּא 汚しては-ならない | וְלֹא 汚しては-ならない H3808 | תָלוּי 吊るされた-者は H8518 | אֱלֹהִים 神の H0430 | קְלֻלַת 呪いだ H7045 | כִּי־ なぜなら | הַהוּא その H1931 | בַּיּוֹם その-日に H3117

ס [区切り] | נַחֲלָה׃ 相続地-として H5159 | לְךָ あなたに | נֹתֵן 与える H5414 | אֱלֹהֶיךָ あなたの-神が H0430 | יְהוָה 主 H3068 | אֲשֶׁר その | אַדְמָתְךָ あなたの-地を H0127 | אֶת־ ～を H0853

翌朝までその死体を木の上に留めておいてはならない。必ずそれをその日のうちに埋めなければならない。木にかけられた者は神にのろわれた者だからである。あなたの神、主が嗣業として賜わる地を汚してはならない。

Chapter 22

נִדָּחִים 迷っている H5080 | שֵׂיוֹ 羊を H7716 | אֶת־ ～を H0853 | אוֹ または | אָחִיךָ あなたの-兄弟の H0251 | שׁוֹר 牛を H7794 | אֶת־ ～を H0853 | תִרְאֶה 見て H7200 | לֹא־ 見ては-ならない H3808 | 1

לְאָחִיךָ׃ あなたの-兄弟に H0251 | תְּשִׁיבֵם 連れ-戻し H7725 | הָשֵׁב 必ず H7725 | מֵהֶם それらを H1992 | וְהִתְעַלַּמְתָּ 知らん-ふりしては-ならない H5956

あなたの兄弟の牛、または羊の迷っているのを見て、それを見捨てておいてはならない。必ずそれを兄弟のところへ連れて帰らなければならない。

2

וְאִם־	לֹא	קָרוֹב	אָחִיךָ	אֵלֶיךָ	וְלֹא	יְדַעְתּוֹ	וַאֲסַפְתּוֹ	אֶל־
もし	ない–なら	近くに	あなたの–兄弟が	あなたに	また	知らない–なら	集めて	～へ
	H3808	H7138	H0251	H0413	H3808	H3045	H0622	H0413

וַהֲשֵׁבֹתוֹ	אֹתוֹ	אָחִיךָ	דָּרֹשׁ	עַד	עִמְּךָ	וְהָיָה	בֵּיתֶךָ	תּוֹךְ
返し	それを	あなたの–兄弟が	尋ねる	～まで	あなたの–もとに	おいて	あなたの–家の	中に
H7725	H0853	H0251	H1875	H5704		H1961		H8432

לוֹ׃
彼に

もしその兄弟が近くの者でなく、知らない人であるならば、それを自分の家にひいてきて、あなたのところにおき、その兄弟が尋ねてきた時に、それを彼に返さなければならない。

3

אֲבֵדַת	לְכָל־	תַּעֲשֶׂה	וְכֵן	לְשִׂמְלָתוֹ	תַּעֲשֶׂה	וְכֵן	לַחֲמֹרוֹ	תַּעֲשֶׂה	וְכֵן
落とし–物に	すべての	行い	同様に	衣にも	行い	同様に	ろばにも	行い	同様に
H0009	H3605			H8071			H2543		

תּוּכַל	לֹא	וּמְצָאתָה	מִמֶּנּוּ	תֹּאבַד	אֲשֶׁר־	אָחִיךָ	
知らん–ふりする–ことは	できない	見つけた–なら	彼から	失われた	その	あなたの–兄弟の	
H3201	H3808	H4672		H0006		H0251	

ס	לְהִתְעַלָּם׃	
[区切り]	[区切り]	
	H5956	

あなたの兄弟のろばの場合も、そうしなければならない。着物の場合も、そうしなければならない。またすべてあなたの兄弟の失った物を見つけた場合も、そうしなければならない。それを見捨てておくことはできない。

4

בַּדָּרֶךְ	נֹפְלִים	שׁוֹרוֹ	אוֹ	אָחִיךָ	חֲמוֹר	אֶת־	תִּרְאֶה	לֹא־
道で	倒れている	牛が	または	あなたの–兄弟の	ろばを	～を	見て	見ては–ならない
H1870	H5307	H7794		H0251	H2543	H0853	H7200	H3808

ס	עִמּוֹ׃	תָּקִים	הָקֵם	מֵהֶם	וְהִתְעַלַּמְתָּ	
[区切り]	共に	起こし	必ず	それらを	知らん–ふりしては–ならない	
				H1992	H5956	

あなたの兄弟のろばまたは牛が道に倒れているのを見て、見捨てておいてはならない。必ずそれを助け起さなければならない。

5

יִלְבַּשׁ	וְלֹא־	אִשָּׁה	עַל־	גֶּבֶר	כְּלִי־	יִהְיֶה	לֹא־	
着ては–ならない	また–ない	女に	～に	男の	道具が	ある–べきでない	あっては–ならない	
H3847	H3808	H0802		H1397	H3627	H1961	H3808	

אֱלֹהֶיךָ׃	עֹשֵׂה	כָּל־	אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה	תּוֹעֲבַת	כִּי	אִשָּׁה	שִׂמְלַת	גָּבֶר
これらを	行う–者は	すべて	あなたの–神の	主の	忌み–である	なぜなら	女の	衣を	男が
H0428		H3605	H0430	H3068	H8441		H0802	H8071	H1397

פ
[区切り]

女は男の着物を着てはならない。また男は女の着物を着てはならない。あなたの神、主はそのような事をする者を忌みきらわれるからである。

6

כִּי	יִקָּרֵא	קַן־	צִפּוֹר	לְפָנֶיךָ	בַּדֶּרֶךְ	בְּכָל־	עֵץ	אוֹ
もし	見つかる–なら	巣が	鳥の	あなたの–前に	道で	どの–〜にでも	木に	または
	H7122	H7064	H6833	H6440	H1870	H3605	H6086	

הָאֵפְרֹחִים	עַל־	רֹבֶצֶת	וְהָאֵם	בֵּיצִים	אוֹ	אֶפְרֹחִים	הָאָרֶץ	עַל־
雛の	〜の–上に	伏して–いるなら	母–鳥が	卵が–あり	または	雛が	地の	〜の–上に
H0667		H7257	H0517	H1000		H0667	H0776	

הַבָּנִים׃	עַל־	הָאֵם	תִּקַּח	לֹא־	הַבֵּיצִים	עַל־	אוֹ
子らを	子と–共に	母–鳥を	取っては–ならない	取っては–ならない	卵の	〜の–上に	または
		H0517	H3947	H3808	H1000		

もしあなたが道で、木の上、または地面に鳥の巣のあるのを見つけ、その中に雛または卵があって、母鳥がその雛または卵を抱いているならば、母鳥を雛と一緒に取ってはならない。

7

לְמַעַן	לָךְ	תִּקַּח־	הַבָּנִים	וְאֶת־	הָאֵם	אֶת־	תְּשַׁלַּח	שַׁלֵּחַ
その–ために	あなたの–ために	取り	子らを	そして–〜を	母–鳥を	〜を	去らせ	必ず
H4616		H3947		H0853	H0517	H0853	H7971	H7971

ס	יָמִים׃	וְהַאֲרַכְתָּ	לָּךְ	יִיטַב
[区切り]	日々を	長く–し	あなたに	よく–なり
	H3117	H0748		H3190

必ず母鳥を去らせ、ただ雛だけを取らなければならない。そうすればあなたはさいわいを得、長く生きながらえることができるであろう。

8

תָּשִׂים	וְלֹא־	לְגַגֶּךָ	מַעֲקֶה	וְעָשִׂיתָ	חָדָשׁ	בַּיִת	תִּבְנֶה	כִּי
置いては–ならない	置いては–ならない	屋上に	欄干を	作り	新しい	家を	建てる–なら	もし
	H3808	H1406	H4624		H2319		H1129	

ס	מִמֶּנּוּ׃	הַנֹּפֵל	יִפֹּל	כִּי־	בְּבֵיתֶךָ	דָּמִים	
[区切り]	そこから	落ちる–者が	落ちる–なら	もし	あなたの–家に	血の–罪を	
		H5307	H5307			H1818	

新しい家を建てる時は、屋根に欄干を設けなければならない。それは人が屋根から落ちて、血のとがをあなたの家に帰することのないようにするためである。

9

פֶּן־	כִּלְאַיִם	כַּרְמְךָ	תִּזְרַע	לֹא־	
さもなくば	二種の–種を	あなたの–ぶどう–畑に	種–蒔いては–ならない	種–蒔いては–ならない	
H6435	H3610	H3754	H2232	H3808	

ס	הַכָּרֶם׃	וּתְבוּאַת	תִּזְרָע	אֲשֶׁר	הַזֶּרַע	הַמְלֵאָה	תִּקְדָּשׁ
[区切り]	ぶどう–畑の	収穫も	蒔いた	その	種の	実りの	聖別–される
	H3754	H8393	H2232		H2233	H4395	H6942

ぶどう畑に二種の種を混ぜてまいてはならない。そうすればあなたがまいた種から産する物も、ぶどう畑から出る物も、みな忌むべき物となるであろう。

10

ס	יַחְדָּו׃	וּבַחֲמֹר	בְּשׁוֹר־	תַּחֲרֹשׁ	לֹא־
[区切り]	共に	ろばとで	牛と	耕しては–ならない	耕しては–ならない
		H2543	H7794		H3808

牛と、ろばとを組み合わせて耕してはならない。

11

ס	יַחְדָּו׃	פִּשְׁתִּים	צֶמֶר	שַׁעַטְנֵז	תִּלְבַּשׁ	לֹא
[区切り]	共に	亜麻を	羊毛と	混織りの–布を	着ては–ならない	着ては–ならない
		H6593	H6785	H8162	H3847	H3808

羊毛と亜麻糸を混ぜて織った着物を着てはならない。

12 גְּדִלִים תַּעֲשֶׂה־לָּךְ עַל־אַרְבַּע כַּנְפוֹת כְּסוּתְךָ אֲשֶׁר תְּכַסֶּה־בָּהּ׃ ס
房を 作り あなたの–ために ～の 四つの 端に あなたの–上着の その 覆う それで [区切り]
H1434 H6213 H3605 H0702 H3671 H3682 H0834 H3680

身にまとう上着の四すみに、ふさをつけなければならない。

13 כִּי־יִקַּח אִישׁ אִשָּׁה וּבָא אֵלֶיהָ וּשְׂנֵאָהּ׃
もし めとる–なら 人が 女を 入り 彼女の–もとに 嫌う–なら
H3947 H0376 H0802 H0935 H0413 H8130

もし人が妻をめとり、妻のところにはいって後、その女をきらい、

14 וְשָׂם לָהּ עֲלִילֹת דְּבָרִים וְהוֹצִיא עָלֶיהָ שֵׁם רָע וְאָמַר אֶת־הָאִשָּׁה הַזֹּאת לָקַחְתִּי וָאֶקְרַב אֵלֶיהָ וְלֹא־מָצָאתִי לָהּ בְּתוּלִים׃
付けて 彼女に 言いがかりの 言葉を 出して 彼女に–対して 悪い 名を 言い ～を 女を この 取った 近づいた 彼女に 見つから–なかった 彼女に 見つから–なかった 処女の–証を
H7760 H3808 H1697 H3318 H5921 H7451 H8034 H0559 H0853 H0802 H2063 H3947 H7126 H0413 H4672 H3808 H1331

『わたしはこの女をめとって近づいた時、彼女に処女の証拠を見なかった』と言って虚偽の非難をもって、その女に悪名を負わせるならば、

15 וְלָקַח אֲבִי [הנער] (הַנַּעֲרָה) וְאִמָּהּ וְהוֹצִיאוּ אֶת־בְּתוּלֵי [הנער] (הַנַּעֲרָה) אֶל־זִקְנֵי הָעִיר הַשָּׁעְרָה׃
取り 父が [娘の] 娘の 母が 出して ～を 処女の–証を [娘の] 娘の ～へ 長老たちの–もとに 町の 門に
H3947 H0001 H5291 H5291 H0517 H3318 H0853 H1331 H5291 H5291 H0413 H2205 H5892 H8179

その女の父と母は、彼女の処女の証拠を取って、門におる町の長老たちに差し出し、

16 וְאָמַר אֲבִי [הנער] (הַנַּעֲרָה) אֶל־הַזְּקֵנִים אֶת־בִּתִּי נָתַתִּי הַזֹּאת לָאִישׁ לְאִשָּׁה וַיִּשְׂנָאֶהָ׃
言う 父が [娘の] 娘の ～に 長老たちに ～を 私の–娘を 与えた この 人に 妻として 嫌った
H0559 H0001 H5291 H5291 H0413 H2205 H0853 H1323 H5414 H2088 H0376 H0802 H8130

そして彼女の父は長老たちに言わなければならない。『わたしはこの人に娘を与えて妻にさせましたが、この人は娘をきらい、

17 וְהִנֵּה־ הִוא שָׂם עֲלִילֹת דְּבָרִים לֵאמֹר לֹא־ מָצָאתִי
見よ 彼は 付けた 言いがかりの 言葉を 言って 見つから–なかった 見つから–なかった
H2009 H1931 H7760 H5949 H1697 H0559 H3808 H4672

זְקֵנֵי לִפְנֵי הַשִּׂמְלָה וּפָרְשׂוּ בְתִי בְּתוּלֵי וְאֵלֶּה בְּתוּלִים לְבִתְּךָ
長老たちの 前に 布を 広げる 私の–娘の 処女の–証 これが 処女の–証を あなたの–娘に
H2205 H6440 H8071 H6566 H1323 H1331 H0428 H1331 H1323

הָעִיר׃
町の

虚偽の非難をもって、「わたしはあなたの娘に処女の証拠を見なかった」と言います。しかし、これがわたしの娘の処女の証拠です』と言って、その父母はかの布を町の長老たちの前にひろげなければならない。

18 וְלָקְחוּ זִקְנֵי הָעִיר־ הַהִוא אֶת־ הָאִישׁ וְיִסְרוּ אֹתוֹ׃
取り 長老たちが その–町の その 〜を その–人を 懲らし 彼を
H3947 H2205 H1931 H0853 H0376 H3256 H0853

その時、町の長老たちは、その人を捕えて撃ち懲らし、

19 וְעָנְשׁוּ אֹתוֹ מֵאָה כֶּסֶף וְנָתְנוּ לַאֲבִי הַנַּעֲרָה כִּי הוֹצִיא שֵׁם רָע עַל
罰し 彼を 百の 銀で 与える 父に 娘の なぜなら 出した 名を 悪い 〜に–対して
H6064 H0853 H3967 H3701 H5414 H0001 H5291 H3318 H8034 H7451

יִשְׂרָאֵל וְלוֹ־ תִּהְיֶה לְאִשָּׁה לֹא־ יוּכַל לְשַׁלְּחָהּ כָּל־
イスラエルの 彼の なる 妻に できない する–ことが 去らせる–ことが すべての
H3478 H1961 H0802 H3808 H3201 H7971 H3605

בְּתוּלַת הָיָמָיו׃ ס
処女に 日々 [区切り]
H1330 H3117

また銀百シケルの罰金を課し、それを女の父に与えなければならない。彼はイスラエルの処女に悪名を負わせたからである。彼はその女を妻とし、一生その女を出すことはできない。

20 וְאִם־ אֱמֶת הָיָה הַדָּבָר הַזֶּה לֹא־
しかし–もし 真実 である–なら この–ことが この 見つから–なかった–なら
H0571 H1961 H1697 H2088 H3808

נִמְצְאוּ בְתוּלִים לנער] [לַנַּעֲרָה׃)
見つから–なかった–なら 処女の–証が [娘に] 娘に
H4672 H1331 H5291 H5291

しかし、この非難が真実であって、その女に処女の証拠が見られない時は、

21 וְהוֹצִיאוּ אֶת־ הנער] [הַנַּעֲרָה) אֶל־ פֶּתַח בֵּית־ אָבִיהָ וְסָקְלוּהָ אַנְשֵׁי עִירָהּ
連れ出し 〜を [娘を] 娘を) 〜へ 入口に 家の– 父の 石打ちにし 人々が 町の
H3318 H0853 H5291 H5291 H0413 H6607 H1004 H1 H5619 H0376 H5892

בָּאֲבָנִים וָמֵתָה כִּי־ עָשְׂתָה נְבָלָה בְּיִשְׂרָאֵל לִזְנוֹת בֵּית אָבִיהָ וּבִעַרְתָּ
石で 死ぬ なぜなら 行った 恥を イスラエルに–おいて 姦淫して 家で 父の 除き去り
H0068 H4191 H3478 H5039 H6213 H1004 H1 H2181 H1004 H1 H0001 H1197

הָרָע מִקִּרְבֶּךָ׃ ס
悪を あなたの–中から [区切り]
H7451 H7130

その女を父の家の入口にひき出し、町の人々は彼女を石で撃ち殺さなければならない。彼女は父の家で、みだらな事をおこない、イスラエルのうちに愚かな事をしたからである。あなたはこうしてあなたがたのうちから悪を除き去らなければならない。

22 כִּי־ יִמָּצֵא אִישׁ שֹׁכֵב עִם־ אִשָּׁה בְּעֻלַת־ בָּעַל וּמֵתוּ גַּם־
見つかる–なら 見つかる–なら 人が 寝ている ～と 女と 嫌われた 夫の–ある 死ぬ 共に
H4672 H0376 H7901 H0802 H1166 H1167 H4191 H1571

שְׁנֵיהֶם הָאִישׁ הַשֹּׁכֵב עִם־ הָאִשָּׁה וְהָאִשָּׁה וּבִעַרְתָּ הָרָע מִיִּשְׂרָאֵל׃ ס
二人とも 男も 寝た ～と 女と 女も 除き去り 悪を イスラエルから [区切り]
H8147 H0376 H7901 H0802 H0802 H7451 H3478

もし夫のある女と寝ている男を見つけたならば、その女と寝た男およびその女を一緒に殺し、こうしてイスラエルのうちから悪を除き去らなければならない。

23 כִּי יִהְיֶה ׀ נַעֲרָה (בְתוּלָה) מְאֹרָשָׂה לְאִישׁ וּמְצָאָהּ אִישׁ בָּעִיר
ある–なら [娘が] 娘が 処女で 婚約した 人に 見つけた–なら 人が 町で
H1961 [H5291] H5291 H1330 H0781 H0376 H4672 H0376

וְשָׁכַב עִמָּהּ׃
彼女と 寝た–なら
H7901

もし処女である女が、人と婚約した後、他の男が町の内でその女に会い、これを犯したならば、

24 וְהוֹצֵאתֶם אֶת־ שְׁנֵיהֶם אֶל־ שַׁעַר הָעִיר הַהִוא וּסְקַלְתֶּם אֹתָם בָּאֲבָנִים וָמֵתוּ
連れ出し ～を 二人を ～へ 門に 町の その 石打ちにし 彼らを 石で 死ぬ
H3318 H0853 H8147 H0413 H8179 H5892 H1931 H0853 H0068 H4191

הַנַּעֲרָה (הַנַּעֲרָה) ׀ [הנער] אֶת־ עַל־ דְּבַר אֲשֶׁר לֹא־ צָעֲקָה בָּעִיר
娘を [娘を] ～を ～の–ゆえに ことの その 叫ば–なかった 叫ば–なかった 町で
H5291 [H5291] H0853 H5921 H1697 H0834 H6817 H3808 H5892

וְאֶת־ הָאִישׁ עִנָּה אֲשֶׁר־ דְּבַר עַל־ אֵשֶׁת רֵעֵהוּ וּבִעַרְתָּ הָרָע מִקִּרְבֶּךָ׃ ס
そして–～を 人を ～の–ゆえに ことの その 辱めた ～を 妻を 隣人の 除き去り 悪を [区切り]
H0853 H0376 H5921 H1697 H0834 H6031 H0853 H0802 H7453 H1980 H7451 H7130

あなたがたはそのふたりを町の門にひき出して、石で撃ち殺さなければならない。これはその女が町の内におりながら叫ばなかったからであり、またその男は隣人の妻をはずかしめたからである。あなたはこうしてあなたがたのうちから悪を除き去らなければならない。

25 וְאִם־ בַּשָּׂדֶה יִמְצָא הָאִישׁ אֶת־ הַנַּעֲרָה (הַנַּעֲרָה) ׀ [הנער] הַמְאֹרָשָׂה וְהֶחֱזִיק־
しかし–もし 野で 見つけた–なら 人が ～を [娘を] 娘を 婚約した 捕らえ
H4672 H7704 H0376 H853 [H5291] H5291 H0781 H2388

בָּהּ הָאִישׁ שָׁכַב עִמָּהּ וּמֵת הָאִישׁ אֲשֶׁר־ שָׁכַב עִמָּהּ לְבַדּוֹ׃
彼女を 人が 寝た–なら 彼女と 死ぬ 人が 寝た その 彼女と だけ
H0853 H0376 H7901 H5973 H4191 H0376 H7901 H5973 H0905

しかし、男が、人と婚約した女に野で会い、その女を捕えてこれを犯したならば、その男だけを殺さなければならない。

26 וּלְנַעֲרָה֙ לְנַ֣עַר֔ אֵ֥ין דָּבָ֖ר תַּעֲשֶׂ֑ה לֹא־ וּלְנַעֲרָה֙ לְנַ֣עַר֔
死の 罪が 娘には [娘には] ない 何も する–ことはない ない 娘には [娘には]
H4194 H2399 H5291 H5291 H0369 H1697 H3808 H5291 H5291

כֵּ֚ן נֶ֣פֶשׁ וּרְצָח֔וֹ רֵעֵ֖הוּ עַל־ אִ֥ישׁ קָ֛וּם כַּאֲשֶׁ֥ר כִּֽי־
その–ように 人を 殺す–ように 隣人に ～に–対して 人が 立ち–上がる ちょうど なぜなら
H5315 H7523 H7453 H0376

הַדָּבָ֥ר הַזֶּֽה׃
この この–ことも
H2088 H1697

その女には何もしてはならない。女には死にあたる罪がない。人がその隣人に立ちむかって、それを殺したと同じ事件だからである。

27 כִּ֣י בַשָּׂדֶ֗ה מְצָאָ֤הּ הַנַּ֙עַר֙ צָעֲקָ֣ה הַנַּעֲרָ֔ה וְאֵ֥ין הַמְאָרָ֖שָׂה הַנַּעֲרָ֑ה לָ֖הּ מוֹשִׁ֥יעַ׃
なぜなら 野で 見つけた [娘が] 叫んだ 娘が いなかった 婚約した 娘が 彼女に 救う–者が
H3467 H0369 H0781 H5291 H5291 H6817 H4672

ס
[区切り]

これは男が野で女に会ったので、人と婚約したその女が叫んだけれども、救う者がなかったのである。

28 כִּֽי־ יִמְצָ֤א אִישׁ֙ נַ֣עַר֔ בְּתוּלָ֖ה נַעֲרָ֑ה אֲשֶׁ֥ר לֹא־ אֹרָ֖שָׂה וְנִמְצָ֥אוּ׃ עִמָּ֖הּ וְשָׁכַ֥ב וּתְפָשָׂ֛הּ
見つける–なら 見つける–なら 人が [娘を] 娘を 処女の その まだ 婚約して–いない 見つかった–なら 彼女と 寝た–なら 捕らえて
H4672 H0376 H5291 H5291 H1330 H3808 H0781 H4672 H7901 H8610

まだ人と婚約しない処女である女に、男が会い、これを捕えて犯し、ふたりが見つけられたならば、

29 וְנָתַ֣ן הָאִ֗ישׁ הַשֹּׁכֵב֙ עִמָּ֔הּ לַאֲבִ֣י [הַנַּעֲרָ֔ה] חֲמִשִּׁ֣ים כֶּ֔סֶף וְלוֹ֙ תִּהְיֶ֣ה לְאִשָּׁ֔ה
与える 人は 寝た 彼女と 父に [娘の] 娘の 五十の 銀を 彼の なる 妻に
H5414 H0376 H7901 H5291 H5291 H0001 H5572 H3701 H1961 H0802

ס יָמָֽיו׃ כָּל־ שַׁלְּחָ֖הּ יוּכַ֥ל לֹא־ עִנָּ֑הּ אֲשֶׁ֥ר תַּ֖חַת
[区切り] 日々 すべての 去らせる–ことが する–ことが できない 辱めた–から その ～の–ゆえに
H3117 H3605 H7971 H3201 H3808 H8478

女を犯した男は女の父に銀五十シケルを与えて、女を自分の妻としなければならない。彼はその女をはずかしめたゆえに、一生その女を出すことはできない。

30 וְלֹ֣א אָבִ֔יו אֵ֖שֶׁת אֶת־ אִ֥ישׁ יִקַּ֛ח לֹא־
あらわしては–ならない 父の 妻を ～を 人が めとっては–ならない めとっては–ならない
H3808 H0001 H0802 H0853 H0376 H3947 H3808

ס יְגַלֶּ֖ה כְּנַ֥ף אָבִֽיו׃
[区切り] 父の 裾を あらわしては–ならない
H0001 H3671 H1540

だれも父の妻をめとってはならない。父の妻と寝てはならない。

Chapter 23

1

בְּקָהַל	שָׁפְכָה	וּכְרוּת	דַּכָּא	פְּצוּעַ־	יָבֹא	לֹא־
会衆に	肌の	また-切られた	砲かれた-者は	傷ついた	入っては-ならない	入っては-ならない
H6951	H8212	H3772	H1795	H6481	H0935	H3808

ס	יְהוָה׃	
[区切り]	主の	
	H3068	

すべて去勢した男子は主の会衆に加わってはならない。

2

עֲשִׂירִי	דּוֹר	גַּם	יְהוָה	בִּקְהַל	מַמְזֵר	יָבֹא	לֹא־
十の	代の	も	主の	会衆に	私生児は	入っては-ならない	入っては-ならない
H6224	H1755	H1571	H3068	H6951	H4464	H0935	H3808

ס	יְהוָה׃	בִּקְהַל	לוֹ	יָבֹא	לֹא־
[区切り]	主の	会衆に	彼に	入っては-ならない	入っては-ならない
	H3068	H6951		H0935	H3808

私生児は主の会衆に加わってはならない。その子孫は十代までも主の会衆に加わってはならない。

3

דּוֹר	גַּם	יְהוָה	בִּקְהַל	וּמוֹאָבִי	עַמּוֹנִי	יָבֹא	לֹא־
代の	も	主の	会衆に	モアブ人は	アンモン人と	入っては-ならない	入っては-ならない
H1755	H1571	H3068	H6951	H4125	H5984	H0935	H3808

עוֹלָם׃	עַד־	יְהוָה	בִּקְהַל	לָהֶם	יָבֹא	לֹא־	עֲשִׂירִי
永遠に	～まで	主の	会衆に	彼らに	入っては-ならない	入っては-ならない	十の
H5769	H5704	H3068	H6951	H1992	H0935	H3808	H6224

アンモンびととモアブびとは主の会衆に加わってはならない。彼らの子孫は十代までも、いつまでも主の会衆に加わってはならない。

4

בְּצֵאתְכֶם	בַּדֶּרֶךְ	וּבַמַּיִם	בַּלֶּחֶם	אֶתְכֶם	קִדְּמוּ	לֹא־	אֲשֶׁר	דְּבַר	עַל־
出た-とき	道で	水で	パンで	あなたがたを	迎え	なかった	その	ことの	～の-ゆえに
H3318	H1870	H4325	H3899	H0853	H6923	H3808		H1697	

מִפְתּוֹר	בְּעוֹר	בֶּן־	בִּלְעָם	אֶת־	עָלֶיךָ	שָׂכַר	וַאֲשֶׁר֙	מִמְצְרָיִם
ペトルの	ベオルの	息子を	バラムを	～を	あなたに-対して	雇った	また	エジプトから
H6604	H1160			H0853				H4714

לְקַלְלֶךָּ׃	נַהֲרַיִם֙אֲרָם
呪う-ために	アラム-ナハライムから
H7043	H0763

これはあなたがたがエジプトから出てきた時に、彼らがパンと水を携えてあなたがたを道に迎えず、アラム・ナハライムのペトルからベオルの子バラムを雇って、あなたをのろわせようとしたからである。

5

יְהוָה	וַיַּהֲפֹךְ֩	בִּלְעָם	אֶל־	לִשְׁמֹעַ	אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה	אָבָה	וְלֹא־
主が	変えた	バラムを	～を	聞く-ことを	あなたの-神は	主は	望まなかった	しかし-なかった
H3068	H2015		H0413	H8085	H0430	H3068	H0014	H3808

אֱלֹהֶיךָ׃	יְהוָה	אֲהֵבְךָ	כִּי	לִבְרָכָה	הַקְּלָלָה	אֶת־	לְךָ	אֱלֹהֶיךָ
あなたの-神が	主が	愛した	なぜなら	祝福に	呪いを	～を	あなたの-ために	あなたの-神が
H0430	H3068	H0157		H1293	H7045	H0853		H0430

しかし、あなたの神、主はバラムの言うことを聞こうともせず、あなたの神、主はあなたのために、そののろいを変えて、祝福とされた。あなたの神、主があなたを愛されたからである。

6

יָמֶיךָ	כָּל־	וְטֹבָתָם	שְׁלֹמָם	תִּדְרֹשׁ	לֹא־
あなたの–日々	すべての	彼らの–幸福も	彼らの–平和も	求めては–ならない	求めては–ならない
H3117	H3605		H7965	H1875	H3808

ס	לְעוֹלָם׃
[区切り]	永遠に
	H5769

あなたは一生いつまでも彼らのために平安をも、幸福をも求めてはならない。

7

הוּא	אָחִיךָ	כִּי	אֱדֹמִי	תְתַעֵב	לֹא־
である	あなたの–兄弟	なぜなら	エドム人を	忌み–嫌っては–ならない	忌み–嫌っては–ならない
H1931	H0251		H0130	H8581	H3808

הָיִיתָ	גֵּר	כִּי־	מִצְרִי	תְתַעֵב	לֹא־	ס
であった	寄留者	なぜなら	エジプト人を	忌み–嫌っては–ならない	忌み–嫌っては–ならない	[区切り]
H1961	H1616		H4713	H8581	H3808	

בְּאַרְצוֹ׃
彼の–地に
H0776

あなたはエドムびとを憎んではならない。彼はあなたの兄弟だからである。またエジプトびとを憎んではならない。あなたはかつてその国の寄留者であったからである。

8

ס	יְהוָה׃	בִּקְהַל	לָהֶם	יָבֹא	שִׁלִּשִׁי	דּוֹר	לָהֶם	יִוָּלְדוּ	אֲשֶׁר־	בָּנִים
[区切り]	主の	会衆に	彼らに	入れる	三の	代の	彼らに	生まれた	その	子らは
	H3068	H6951		H0935	H7992	H1755		H3205		

そして彼らが産んだ子どもは三代目には、主の会衆に加わることができる。

9

רָע׃	דָּבָר	מִכֹּל	וְנִשְׁמַרְתָּ	אֹיְבֶיךָ	עַל־	מַחֲנֶה	תֵּצֵא	כִּי־
悪い	ものから	すべての	守り	あなたの–敵に	～に–対して	陣営として	出る–なら	もし
	H1697	H3605	H8104	H0341		H4264	H3318	

敵を攻めるために出て陣営におる時は、すべての汚れた物を避けなければならない。

10

לַיְלָה	מִקְרֵה־	טָהוֹר	יִהְיֶה	לֹא־	אֲשֶׁר	אִישׁ	בְּךָ	יִהְיֶה	כִּי־
夜の	出来事に–よる	清く	ない	ない–なら	その	人が	あなたの–中に	ある–なら	もし
H3915	H7137	H2889	H1961	H3808		H0376		H1961	

הַמַּחֲנֶה׃	תּוֹךְ	אֶל־	יָבֹא	לֹא	לַמַּחֲנֶה	מִחוּץ	אֶל־	וְיָצָא
陣営の	中に	～の	入っては–ならない	入っては–ならない	陣営の	外に	～へ	出て
H4264	H8432	H0413	H0935	H3808	H4264	H2351	H0413	H3318

あなたがたのうちに、夜の思いがけない事によって身の汚れた人があるならば、陣営の外に出なければならない。陣営の内に、はいってはならない。

11

הַמַּחֲנֶה׃	תּוֹךְ	אֶל־	יָבֹא	הַשֶּׁמֶשׁ	וּכְבֹא	בַּמַּיִם	יִרְחַץ	עֶרֶב	לִפְנוֹת־	וְהָיָה
陣営の	中に	～の	入る	太陽が	沈む–とき	水で	洗い	夕方に	夕方に–なると	そして
H4264	H8432	H0413	H0935	H8121	H0935	H4325	H7364	H6153	H6437	H1961

しかし、夕方になって、水で身を洗い、日が没して後、陣営の内に、はいることができる。

12

חוּץ׃	שָׁמָּה	וְיָצָאתָ	לַמַּחֲנֶה	מִחוּץ	לְךָ	תִּהְיֶה	וְיָד	
外に	そこへ	出て	陣営の	外に	あなたの–ために	ある	場所が	
H2351	H8033	H3318	H4264	H2351		H1961	H3027	

あなたはまた陣営の外に一つの所を設けておいて、用をたす時、そこに出て行かなければならない。

13 וְיָתֵד תִּהְיֶה לְךָ עַל־ אָזְנֶךָ וְהָיָה בְּשִׁבְתְּךָ חוּץ וְחָפַרְתָּה
ある 杖が あなたの–ために ～の–上に あなたの–帯に ときに 座る–とき 外で 掘り
H1961 H3489 H6627 H0240 H1961 H3427 H2351 H2658

וְשַׁבְתָּ וְכִסִּיתָ אֶת־ צֹאֶתֶךָ׃ בָּהּ
戻って 覆い ～を あなたの–排泄物を それで
H7725 H3680 H0853 H6627 H3588

また武器と共に、くわを備え、外に出て、かがむ時、それをもって土を掘り、向きをかえて、出た物をおおわなければならない。

14 כִּי יְהוָה אֱלֹהֶיךָ מִתְהַלֵּךְ בְּקֶרֶב מַחֲנֶךָ לְהַצִּילְךָ וְלָתֵת
主 なぜなら あなたの–神は 歩まれる 中を あなたの–陣営の 救う–ために 渡す–ために
H3068 H0430 H1980 H7130 H4264 H5337 H5414

אֹיְבֶיךָ לְפָנֶיךָ וְהָיָה מַחֲנֶיךָ קָדוֹשׁ וְלֹא־ יִרְאֶה
あなたの–敵を あなたの–前に ある あなたの–陣営は 聖なる 見えては–ならない 見えては–ならない
H0341 H6440 H1961 H4264 H6918 H3808 H7200

בְּךָ עֶרְוַת דָּבָר וְשָׁב מֵאַחֲרֶיךָ׃ ס
あなたの–中に 裸の ものが 去る あなたの–後ろから [区切り]
H7725 H1697 H6172

あなたの神、主があなたを救い、敵をあなたにわたそうと、陣営の中を歩まれるからである。ゆえに陣営は聖なる所として保たなければならない。主があなたのうちにきたない物のあるのを見て、離れ去られることのないためである。

15 לֹא־ תַסְגִּיר עֶבֶד אֶל־ אֲדֹנָיו אֲשֶׁר־ יִנָּצֵל
引き–渡しては–ならない 奴隷を ～へ 主人に その 逃れて–きた
H3808 H5462 H5650 H0413 H0113 H3588 H5337

אֵלֶיךָ מֵעִם אֲדֹנָיו׃
あなたの–もとに ～から 主人から
H0413 H5973 H0113

主人を避けて、あなたのところに逃げてきた奴隷を、その主人にわたしてはならない。

16 עִמְּךָ יֵשֵׁב בְּקִרְבְּךָ בַּמָּקוֹם אֲשֶׁר־ יִבְחַר בְּאַחַד שְׁעָרֶיךָ בַּטּוֹב
あなたと–共に 住ませ あなたの–中に 場所に その 選ぶ あなたの–一つの 町の 良い
H5973 H3427 H7130 H4725 H3588 H0977 H0259 H8179 H2896

לוֹ לֹא תוֹנֶנּוּ׃ ס
彼に 虐げては–ならない [区切り]
H3238 H3808

その者をあなたがたのうちに、あなたと共におらせ、町の一つのうち、彼が好んで選ぶ場所に住ませなければならない。彼を虐待してはならない。

17 לֹא־ תִהְיֶה קְדֵשָׁה מִבְּנוֹת יִשְׂרָאֵל וְלֹא־
あっては–ならない 神殿娼婦が 娘たちの–中に イスラエルの また–ない
H3808 H1961 H6948 H1323 H3478 H3808

יִהְיֶה קָדֵשׁ מִבְּנֵי יִשְׂרָאֵל׃
あっては–ならない 神殿男娼が 息子たちの–中に イスラエルの
H1961 H6945 H1121 H3478

イスラエルの女子は神殿娼婦となってはならない。またイスラエルの男子は神殿男娼となってはならない。

18

יְהוָה	בֵּית	כֶּלֶב	וּמְחִיר	זוֹנָה	אֶתְנַן	תָּבִיא	לֹא־	
主の	家に	犬の	代金も	遊女の	報酬を	持ち–込んでは–ならない	持ち–込んでは–ならない	
H3068		H3611	H4242	H2181	H0868	H0935	H3808	

גַּם־	אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה	תּוֹעֲבַת	כִּי	נֶדֶר	לְכָל־	אֱלֹהֶיךָ
共に	あなたの–神の	主の	忌み–である	なぜなら	誓願の	どの–〜の–ためにも	あなたの–神の
H1571	H0430	H3068	H8441		H5088	H3605	H0430

שְׁנֵיהֶם׃
両方とも
H8147

娼婦の得た価または男娼の価をあなたの神、主の家に携えて行って、どんな誓願にも用いてはならない。これはともにあなたの神、主の憎まれるものだからである。

19

נֶּשֶׁךְ	אֹכֶל	נֶּשֶׁךְ	כֶּסֶף	נֶּשֶׁךְ	לְאָחִיךָ	תַּשִּׁיךְ	לֹא־
利息も	食物の	利息も	金の	利息を	あなたの–兄弟から	取っては–ならない	取っては–ならない
H5392	H0400	H5392	H3701	H5392	H0251		H3808

יֹשֶׁךְ׃	אֲשֶׁר	דָּבָר	כָּל־
利息が–つく	その	ものの	すべての
		H1697	H3605

兄弟に利息を取って貸してはならない。金銭の利息、食物の利息などすべて貸して利息のつく物の利息を取ってはならない。

20

יְהוָה	יְבָרֶכְךָ	לְמַעַן	תַּשִּׁיךְ	לֹא	וּלְאָחִיךָ	תַּשִּׁיךְ	לַנָּכְרִי	
主が	祝福する	その–ために	取っては–ならない	ない	あなたの–兄弟からは	取れる	外国人には	
H3068	H1288	H4616		H3808	H0251		H5237	

שָׁמָּה	בָּא־	אַתָּה	אֲשֶׁר־	הָאָרֶץ	עַל־	יָדֶךָ	מִשְׁלַח	בְּכֹל	אֱלֹהֶיךָ
そこへ	入る	あなたが	その	地の	〜の–上で	あなたの	手の–業に	すべての	あなたの–神が
H8033	H0935			H0776		H3027		H3605	H0430

ס	לְרִשְׁתָּהּ׃
[区切り]	所有する–ために
	H3423

外国人には利息を取って貸してもよい。ただ兄弟には利息を取って貸してはならない。これはあなたが、はいって取る地で、あなたの神、主がすべてあなたのする事に祝福を与えられるためである。

21

תְּאַחֵר	לֹא	אֱלֹהֶיךָ	לַיהוָה	נֶּדֶר	תִּדֹּר	כִּי־
遅らせては–ならない	遅らせては–ならない	あなたの–神に	主に	誓願を	誓う–なら	もし
H0309	H3808	H0430	H3068	H5088	H5087	

חֵטְא׃	בְּךָ	וְהָיָה	מֵעִמָּךְ	אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה	יְדָרְשֶׁנּוּ	דָּרוֹשׁ	כִּי־	לְשַׁלְּמוֹ
罪が	あなたに	なる	あなたから	あなたの–神が	主が	求める	求め	必ず	果たす–ことを
H2399		H1961		H0430	H3068	H1875	H1875		

あなたの神、主に誓願をかける時、それを果すことを怠ってはならない。あなたの神、主は必ずそれをあなたに求められるからである。それを怠るときは罪を得るであろう。

22

חֵטְא׃	בְּךָ	יִהְיֶה	לֹא־	לִנְדֹּר	תֶּחְדַּל	וְכִי
罪は	あなたに	ない	ない	誓う–ことを	やめる–なら	しかし–もし
H2399		H1961	H3808	H5087	H2308	

しかし、あなたが誓願をかけないならば、罪を得ることはない。

23

אֱלֹהֶיךָ	לַיהוָה	נָדַרְתָּ	כַּאֲשֶׁר	וְעָשִׂיתָ	תִּשְׁמֹר	שְׂפָתֶיךָ	מוֹצָא
あなたの–神に	主に	誓った	ちょうど	行い	守り	あなたの–唇の	出た–ものを
H0430	H3068	H5087			H8104	H8193	H4161

ס	בְּפִיךָ׃	דִּבַּרְתָּ	אֲשֶׁר	נְדָבָה
[区切り]	あなたの–口で	語った	その	自由の–ささげとして
	H6310	H1696		H5071

あなたが口で言った事は守って行わなければならない。あなたが口で約束した事は、あなたの神、主にあなたが自発的に誓願したのだからである。

24

כְּנַפְשְׁךָ	עֲנָבִים	וְאָכַלְתָּ	רֵעֶךָ	בְּכֶרֶם	תָּבֹא	כִּי	
気の–済む–まで	ぶどうを	食べる–ことができる	隣人の	ぶどう–畑に	入る–なら	もし	
H5315	H6025	H0398	H7453	H3754	H0935		

ס	תִּתֵּן׃	לֹא	כֵלְיְךָ	וְאֶל־	שָׂבְעֶךָ
[区切り]	入れては–ならない	ない	あなたの–器に	入れては–ならない	満足–する–まで
	H5414	H3808	H3627	H0413	H7648

あなたが隣人のぶどう畑にはいる時、そのぶどうを心にまかせて飽きるほど食べてもよい。しかし、あなたの器の中に取り入れてはならない。

25

לֹא	וְחֶרְמַשׁ	בְּיָדֶךָ	מִלִּילֹת	וְקָטַפְתָּ	רֵעֶךָ	בְּקָמַת	תָּבֹא	כִּי
ない	しかし–鎌を	手で	穂を	摘める	隣人の	穂畑に	入る–なら	もし
H3808	H2770	H3027	H4425	H6998	H7453	H7054	H0935	

ס	רֵעֶךָ׃	קָמַת	עַל	תָּנִיף
[区切り]	隣人の	穂畑に	～に	振るっては–ならない
	H7453	H7054		

あなたが隣人の麦畑にはいる時、手でその穂を摘んで食べてもよい。しかし、あなたの隣人の麦畑にかまを入れてはならない。

Chapter 24

1

תֵּן	תִּמְצָא־	לֹא	אִם־	וְהָיָה	וּבְעָלָהּ	אִשָּׁה	אִישׁ	יִקַּח	כִּי־
恩を	見いださ–ない	ない–なら	もし	もし	夫と–なり	女を	人が	めとる–なら	もし
H2580	H4672	H3808		H1961	H1166	H0802	H0376	H3947	

וְנָתַן	כְּרִיתֻת	סֵפֶר	לָהּ	וְכָתַב	דָּבָר	עֶרְוַת	בָּהּ	מָצָא	כִּי־	בְּעֵינָיו
渡し	離婚の	書を	彼女に	書き	ことを	裸の	彼女に	見いだした	なぜなら	彼の–目に
H5414	H3748			H3789	H1697	H6172		H4672		

מִבֵּיתוֹ׃	וְשִׁלְּחָהּ	בְּיָדָהּ	
彼の–家から	去らせる	彼女の–手に	
	H7971	H3027	

人が妻をめとって、結婚したのちに、その女に恥ずべきことのあるのを見て、好まなくなったならば、離縁状を書いて彼女の手に渡し、家を去らせなければならない。

2

אַחֵר׃	לְאִישׁ־	וְהָיְתָה	וְהָלְכָה	מִבֵּיתוֹ	וְיָצְאָה	
別の	人の	なる	行き	彼の–家から	出て	
H0312	H0376	H1961	H1980		H3318	

女がその家を出てのち、行って、ほかの人にとつぎ、

וְשִׁלְּחָהּ מִבֵּיתוֹ׃ וְיָצְאָה מִבֵּיתוֹ וְהָלְכָה וְהָיְתָה לְאִישׁ אַחֵר׃ וְשָׂנֵאָהּ הָאִישׁ הָאַחֲרוֹן וְכָתַב לָהּ סֵפֶר כְּרִיתֻת וְנָתַן בְּיָדָהּ וְשִׁלְּחָהּ מִבֵּיתוֹ אוֹ כִּי יָמוּת הָאִישׁ הָאַחֲרוֹן אֲשֶׁר־לְקָחָהּ לוֹ לְאִשָּׁה׃ 3

去らせる 彼女の–手に 渡し 離婚の 書を 彼女に 書き 後の 人が 嫌う–なら
H7971 H3027 H5414 H3748 H3789 H0314 H0376 H8130

彼の–家から または もし 死ぬ–なら 人が 後の その めとった 彼女を 妻として
H0802 H3947 H0314 H0376 H4191

後の夫も彼女をきらって、離縁状を書き、その手に渡して家を去らせるか、または妻にめとった後の夫が死んだときは、

לֹא־יוּכַל בַּעְלָהּ הָרִאשׁוֹן אֲשֶׁר־שִׁלְּחָהּ לָשׁוּב לִהְיוֹת לוֹ לְאִשָּׁה אַחֲרֵי אֲשֶׁר הֻטַּמְּאָה כִּי־תוֹעֵבָה הִוא לִפְנֵי יְהוָה וְלֹא תַחֲטִיא אֶת־הָאָרֶץ אֲשֶׁר יְהוָה אֱלֹהֶיךָ נֹתֵן לְךָ נַחֲלָה׃ ס 4

できない する–ことが 夫は 最初の その 去らせた 戻って なる–ことが 妻に その–後 汚れた–後に なぜなら 忌み–である それは 前に 主の 罪を–犯させては–ならない 罪を–犯させては–ならない 地を 主 あなたの–神が 相続地–として [区切り]
H3808 H3201 H1167 H7223 H7971 H7725 H1961 H0802 H0310 H2930 H3588 H8441 H1931 H6440 H3068 H2398 H3808 H0776 H3068 H0430 H5159

彼女はすでに身を汚したのちであるから、彼女を去らせた先の夫は、ふたたび彼女を妻にめとることはできない。これは主の前に憎むべき事だからである。あなたの神、主が嗣業としてあなたに与えられる地に罪を負わせてはならない。

כִּי־יִקַּח אִישׁ אִשָּׁה חֲדָשָׁה לֹא־יֵצֵא בַּצָּבָא לֹא־יַעֲבָר עָלָיו לְכָל־דָּבָר נָקִי יִהְיֶה לְבֵיתוֹ שָׁנָה אַחַת וְשִׂמַּח אֶת־אִשְׁתּוֹ אֲשֶׁר־לָקָח׃ ס 5

もし 人が めとる–なら 新しい 妻を 出ては–ならない 軍に 負わせては–ならない 負わせては–ならない すべての–〜を 用件を 自由で ある 家に 一の 年 喜ばせる 〜を 妻を なぜなら [区切り]
H3947 H0376 H2319 H0802 H3318 H3808 H5921 H1697 H5355 H1961 H0259 H8141 H8055 H0853 H0802 H3588 H3947

人が新たに妻をめとった時は、戦争に出してはならない。また何の務もこれに負わせてはならない。その人は一年の間、束縛なく家にいて、そのめとった妻を慰めなければならない。

לֹא־יַחֲבֹל רֵחַיִם וָרָכֶב כִּי־נֶפֶשׁ הִוא עָבוֹט׃ ס 6

質に–取っては–ならない 臼を 上石も なぜなら 命を それは 質に–取っては–ならない
H3808 H7347 H7393 H3588 H5315 H1931 H2254

ひきうす、またはその上石を質にとってはならない。これは命をつなぐものを質にとることだからである。

כִּי־יִמָּצֵא אִישׁ גֹּנֵב נֶפֶשׁ מֵאֶחָיו מִבְּנֵי יִשְׂרָאֵל וְהִתְעַמֶּר־בּוֹ וּמְכָרוֹ וּמֵת הַגַּנָּב הַהוּא וּבִעַרְתָּ הָרָע מִקִּרְבֶּךָ׃ 7

見つかる–なら 人が 誘拐した 人を 兄弟たちから 子らから イスラエルの 奴隷として–扱い 彼を 売った–なら 死ぬ 盗人は その 除き去り 悪を あなたの–中から
H4672 H0376 H1589 H5315 H0251 H1121 H3478 H5647 H0853 H4376 H4191 H1590 H1931 H1197 H7451 H7130

イスラエルの人々のうちの同胞のひとりをかどわかして、これを奴隷のようにあしらい、またはこれを売る者を見つけたならば、そのかどわかした者を殺して、あなたがたのうちから悪を除き去らなければならない。

8 הִשָּׁמֶר בְּנֶגַע־הַצָּרַעַת לִשְׁמֹר מְאֹד וְלַעֲשׂוֹת כְּכֹל אֲשֶׁר־
気をつけなさい 病に-おいて らい病の 守り よく 行い すべての その
H8104 H5061 H6883 H8104 H3966 H3605

יוֹרוּ כֵּן תִּשְׁמְרוּ לַעֲשׂוֹת׃ ס
教える 守り 行いなさい [区切り]
H3384 H8104 H6213

כַּאֲשֶׁר צִוִּיתִם הַלְוִיִּם הַכֹּהֲנִים אֶתְכֶם
ちょうど 命じた レビ人の 祭司たちが あなたがたに
H6680 H3881 H3548 H0853

תִּשְׁמְרוּ לַעֲשׂוֹת׃
守り 行いなさい
H8104 H6213

らい病の起った時は気をつけて、すべてレビびとたる祭司が教えることを、よく守って行わなければならない。すなわちわたしが彼らに命じたように、あなたがたはそれを守って行わなければならない。

9 זָכֹר אֵת אֲשֶׁר־עָשָׂה יְהוָה אֱלֹהֶיךָ לְמִרְיָם בַּדֶּרֶךְ בְּצֵאתְכֶם
思い出しなさい ～を その した-ことを 主 あなたの-神が ミリアムに 道で 出た-とき
H2142 H0853 H6213 H3068 H0430 H4813 H1870 H3318

מִמִּצְרָיִם׃ ס
エジプトから [区切り]
H4714

あなたがたがエジプトから出てきたとき、道であなたの神、主がミリアムにされたことを記憶しなければならない。

10 כִּי־תַשֶּׁה בְרֵעֲךָ מַשַּׁאת מְאוּמָה לֹא־תָבֹא אֶל־
もし 貸す-なら 隣人に 貸し-物を 何かの 入っては-ならない ～へ
H3588 H5383 H7453 H4859 H3972 H3808 H0935 H0413

בֵּיתוֹ לַעֲבֹט עֲבֹטוֹ׃
彼の-家に 取り-に 質を
H1004 H5670 H5667

あなたが隣人に物を貸すときは、自分でその家にはいって、質物を取ってはならない。

11 בַּחוּץ תַּעֲמֹד וְהָאִישׁ אֲשֶׁר אַתָּה נֹשֶׁה בּוֹ תּוֹצִיא אֵלֶיךָ אֶת־
外で 立ち 人が その あなたが 貸して-いる 彼に 出して あなたに ～を
H2351 H5975 H0376 H0834 H0859 H5383 H0935 H3318 H0413 H0853

הָעֲבוֹט הַחוּצָה׃
質を 外に
H5667 H2351

あなたは外に立っていて、借りた人が質物を外にいるあなたのところへ持ち出さなければならない。

12 וְאִם־אִישׁ עָנִי הוּא לֹא תִשְׁכַּב בַּעֲבֹטוֹ׃
もし 人が 貧しい なら 寝ては-ならない 彼の-質で
H0518 H0376 H6041 H1931 H3808 H7901 H5667

もしその人が貧しい人である時は、あなたはその質物を留めおいて寝てはならない。

13 הָשֵׁב תָּשִׁיב לוֹ אֶת־הָעֲבוֹט כְּבֹא הַשֶּׁמֶשׁ וְשָׁכַב בְּשַׂלְמָתוֹ וּבֵרַכְךָ
必ず 返し 彼に ～を 質を 沈む-ときに 太陽が 寝られる 彼の-上着で 祝福し
H7725 H7725 H0853 H5667 H0935 H8121 H7901 H8008 H1288

וְלְךָ תִּהְיֶה צְדָקָה לִפְנֵי יְהוָה אֱלֹהֶיךָ׃ ס
なる 義が 前に 主の あなたの-神の [区切り]
H1961 H6666 H6440 H3068 H0430

その質物は日の入るまでに、必ず返さなければならない。そうすれば彼は自分の上着をかけて寝ることができて、あなたを祝福するであろう。それはあなたの神、主の前にあなたの義となるであろう。

14 לֹא־ תַעֲשֹׁק שָׂכִיר עָנִי וְאֶבְיוֹן מֵאַחֶיךָ אוֹ
虐げては–ならない 雇い人を 貧しい 乏しい あなたの–兄弟からも または
H3808 H6231 H7916 H6041 H0034 H0251

מִגֵּרְךָ אֲשֶׁר בְּאַרְצְךָ בְּשַׁעֲרֶיךָ׃
寄留者からも その あなたの–地に–いる あなたの–町に–いる
H1616 H0776 H8179

貧しく乏しい雇人は、同胞であれ、またはあなたの国で、町のうちに寄留している他国人であれ、それを虐待してはならない。

15 בְּיוֹמוֹ תִתֵּן שְׂכָרוֹ וְלֹא־ תָבוֹא עָלָיו הַשֶּׁמֶשׁ כִּי
その–日に 与え 彼の–賃金を 沈ま–ない–うちに 沈ま–ない–うちに 太陽が なぜなら
H3117 H5414 H7939 H3808 H0935 H8121

וְלֹא־ יִקְרָא אֵלֶיךָ וְהוּא עָנִי וְהוּא נֹשֵׂא אֶת־ נַפְשׁוֹ
叫ば–ない–ように 叫ば–ない–ように ～へ あり 貧しく 向けて–いる ～を 彼の–命を
H3808 H7121 H0413 H1931 H6041 H5375 H0853 H5315

וְהָיָה בְךָ חֵטְא׃ ס יְהוָה אֶל־ עָלֶיךָ
なる あなたに 罪が [区切り] 主に ～へ あなたに–対して
H1961 H2399 H3068 H0413

賃銀はその日のうちに払い、それを日の入るまで延ばしてはならない。彼は貧しい者で、その心をこれにかけているからである。そうしなければ彼はあなたを主に訴えて、あなたは罪を得るであろう。

16 לֹא־ יוּמְתוּ אָבוֹת עַל־ בָּנִים וּבָנִים
殺されては–ならない 父が 殺されては–ならない ～の–ために 子の 子も
H3808 H4191 H0001

לֹא־ יוּמְתוּ׃ ס בְּחֶטְאוֹ אִישׁ אָבוֹת עַל־ יוּמָתוּ
殺されては–ならない 死ぬ [区切り] 自分の–罪で 各人が 父の ～の–ために 殺されては–ならない
H3808 H4191 H2399 H0376 H0001 H4191

父は子のゆえに殺さるべきではない。子は父のゆえに殺さるべきではない。おのおの自分の罪のゆえに殺さるべきである。

17 לֹא תַטֶּה מִשְׁפַּט גֵּר יָתוֹם וְלֹא
曲げては–ならない 裁きを 寄留者の 孤児の 質に–取っては–ならない
H3808 H5186 H4941 H1616 H3490 H3808

תַחֲבֹל בֶּגֶד אַלְמָנָה׃
質に–取っては–ならない 衣を やもめの
H0490

寄留の他国人または孤児のさばきを曲げてはならない。寡婦の着物を質に取ってはならない。

18 וְזָכַרְתָּ כִּי עֶבֶד הָיִיתָ בְּמִצְרַיִם וַיִּפְדְּךָ יְהוָה אֱלֹהֶיךָ מִשָּׁם
思い出しなさい かつて 奴隷 であった エジプトで 贖った 主 あなたの–神が そこから
H2142 H5650 H1961 H4714 H6299 H3068 H0430 H8033

עַל־ כֵּן אָנֹכִי מְצַוְּךָ לַעֲשׂוֹת אֶת־ הַדָּבָר הַזֶּה׃ ס
～の–ゆえに この 私は 命じる 行う–ことを ～を ことを この [区切り]
H0595 H6680 H0853 H1697 H2088

あなたはかつてエジプトで奴隷であったが、あなたの神、主がそこからあなたを救い出されたことを記憶しなければならない。それでわたしはあなたにこの事をせよと命じるのである。

19

לֹא	בַשָּׂדֶה	עֹמֶר	וְשָׁכַחְתָּ	בְּשָׂדֶךָ	קְצִירְךָ	תִּקְצֹר	כִּי
戻っては–ならない	畑に	束を	忘れた–なら	あなたの–畑で	収穫を	刈り–入れる–とき	もし
H3808			H7911				

יְהוָה	יְבָרֶכְךָ	לְמַעַן	יִהְיֶה	וְלָאַלְמָנָה	לַיָּתוֹם	לַגֵּר	לְקַחְתּוֹ	תָּשׁוּב
主が	祝福する	その–ために	なる	やもめに	孤児に	寄留者に	取りに	戻っては–ならない
H3068	H1288	H4616	H1961	H0490	H3490	H1616	H3947	H7725

יָדֶיךָ׃	מַעֲשֵׂה	בְּכֹל	אֱלֹהֶיךָ
あなたの–手の	業に	すべての	あなたの–神が
H3027	H4639	H3605	H0430

あなたが畑で穀物を刈る時、もしその一束を畑におき忘れたならば、それを取りに引き返してはならない。それは寄留の他国人と孤児と寡婦に取らせなければならない。そうすればあなたの神、主はすべてあなたがする事において、あなたを祝福されるであろう。

20

אַחֲרֶיךָ	תְפָאֵר	לֹא	זֵיתְךָ	תַחְבֹּט	כִּי
後に	取り–尽くしては–ならない	取り–尽くしては–ならない	オリーブを	打つ–なら	もし
		H3808	H2132	H2251	

ס	יִהְיֶה׃	וְלָאַלְמָנָה	לַיָּתוֹם	לַגֵּר
[区切り]	なる	やもめに	孤児に	寄留者に
	H1961	H0490	H3490	H1616

あなたがオリブの実をうち落すときは、ふたたびその枝を捜してはならない。それを寄留の他国人と孤児と寡婦に取らせなければならない。

21

תְעוֹלֵל	לֹא	כַּרְמְךָ	תִבְצֹר	כִּי
取り–尽くしては–ならない	取り–尽くしては–ならない	あなたの–ぶどう–畑を	摘む–なら	もし
	H3808	H3754	H1219	

יִהְיֶה׃	וְלָאַלְמָנָה	לַיָּתוֹם	לַגֵּר	אַחֲרֶיךָ
なる	やもめに	孤児に	寄留者に	後に
H1961	H0490	H3490	H1616	

またぶどう畑のぶどうを摘み取るときは、その残ったものを、ふたたび捜してはならない。それを寄留の他国人と孤児と寡婦に取らせなければならない。

22

מְצוָּךָ	אָנֹכִי	כֵּן	עַל־	מִצְרָיִם	בְּאֶרֶץ	הָיִיתָ	עֶבֶד	כִּי־	וְזָכַרְתָּ
命じる	私は	この	～の–ゆえに	エジプトの	地に	であった	奴隷	かつて	思い出しなさい
H6680	H0595			H4714	H0776	H1961	H5650		H2142

ס	הַזֶּה׃	הַדָּבָר	אֶת־	לַעֲשׂוֹת
[区切り]	この	ことを	～を	行う–ことを
	H2088	H1697	H0853	

あなたはかつてエジプトの国で奴隷であったことを記憶しなければならない。それでわたしはあなたにこの事をせよと命じるのである。

Chapter 25

1

וּשְׁפָטוּם	הַמִשְׁפָּט	אֶל־	וְנִגְּשׁוּ	אֲנָשִׁים	בֵּין	רִיב	יִהְיֶה	כִּי־
そして–裁かれ	裁きに	～へ	そして–近づいて	人々の	間に	争いが	ある–なら	もし
H8199	H4941	H0413	H5066	H0376	H0996	H7379	H1961	

הָרָשָׁע׃	אֶת־	וְהִרְשִׁיעוּ	הַצַּדִּיק	אֶת־	וְהִצְדִּיקוּ
悪い–者を	～を	そして–有罪と–した	正しい–者を	～を	そして–正しいと–した
H7563	H0853	H7561	H6662	H0853	H6663

人と人との間に争い事があって、さばきを求めてきたならば、さばきびとはこれをさばいて、正しい者を正しいとし、悪い者を悪いとしなければならない。

2 וְהָיָה אִם־ בֶּן הַכּוֹת הָרָשָׁע וְהִפִּילוֹ הַשֹּׁפֵט וְהִכָּהוּ
そして–なる もし 値する–者で 打たれる 悪い–者が そして–伏せさせ 裁き人が そして–打たせた
H1961 H3808 H1121 H5221 H7563 H5307 H8199 H5221

לִפָּנָיו כְּדֵי רִשְׁעָתוֹ בְּמִסְפָּר׃
その–前で ～に–応じて その–悪さに 数で
H6440 H1767 H7564 H4557

その悪い者が、むち打つべき者であるならば、さばきびとは彼を伏させ、自分の前で、その罪にしたがい、数えて彼をむち打たせなければならない。

3 אַרְבָּעִים יַכֶּנּוּ לֹא יֹסִיף פֶּן־ יֹסִיף וְהִכָּהוּ עַל־
四十 打つ–ことができる ない 超えては–ならない さもないと 超えて 打つ–なら ～の–上に
H0705 H5221 H3808 H3254 H6435 H3254 H5221

ס לְעֵינֶיךָ׃ אָחִיךָ וְנִקְלָה רַבָּה מַכָּה אֱלֹהֶיהָ
— あなたの–目の–前で あなたの–兄弟が そして–卑しめられる 多くの 打撃が これら
H0251 H7034 H4347 H0428

彼をむち打つには四十を越えてはならない。もしそれを越えて、それよりも多くむちを打つときは、あなたの兄弟はあなたの目の前で、はずかしめられることになるであろう。

4 לֹא־ תַחְסֹם שׁוֹר בְּדִישׁוֹ׃ ס
ない 口籠を–するな 牛に 脱穀する–時に —
H3808 H2629 H7794 H1758

脱穀をする牛にくつこを掛けてはならない。

5 כִּי־ יֵשְׁבוּ אַחִים יַחְדָּו וּמֵת וְאַחַד מֵהֶם וּבֵן
もし 住んでいて 兄弟たちが 共に そして–死んだ–なら 一人が 彼らの–中の そして–息子が
H3427 H0251 H3162 H4191 H0259 H1992

אֵין־ לוֹ לֹא־ תִהְיֶה אֵשֶׁת־ הַמֵּת הַחוּצָה לְאִישׁ זָר
いない 彼に ない なっては–ならない 妻が 死んだ–者の 外の 男の よその
H0369 H0376 H3808 H1961 H0802 H4191 H2351 H0376 H2114

יְבָמָהּ עָלֶיהָ יִבָא וְלָקְחָהּ לוֹ לְאִשָּׁה
その–夫の–兄弟が 入り 彼女の–もとに そして–めとり 彼の 妻と–して
H2993 H0935 H5921 H3947 H0802

וְיִבְמָהּ׃
そして–義兄弟の–務めを–果たせ
H2992

兄弟が一緒に住んでいて、そのうちのひとりが死んで子のない時は、その死んだ者の妻は出て、他人にとついではならない。その夫の兄弟が彼女の所にはいり、めとって妻とし、夫の兄弟としての道を彼女につくさなければならない。

6 וְהָיָה הַבְּכוֹר אֲשֶׁר תֵּלֵד יָקוּם עַל־ שֵׁם אֲחִיו הַמֵּת
そして–なる 長子は その 彼女が–産む 立てられる ～の–上に 名の その–兄弟の 死んだ
H1961 H1060 H0834 H3205 H5975 H5921 H8034 H0251 H4191

וְלֹא־ יִמָּחֶה שְׁמוֹ מִיִּשְׂרָאֵל׃
そして–ない 消されない その–名が イスラエルから
H3808 H4229 H8034 H3478

そしてその女が初めに産む男の子に、死んだ兄弟の名を継がせ、その名をイスラエルのうちに絶やさないようにしなければならない。

7

וְאִם־ (ve'im-) — そして-もし — H0518
לֹא (lo') — ない — H3808
יַחְפֹּץ (yachpotz) — 望まない-なら — H2654
הָאִישׁ (ha'ish) — その-男が — H0376
לָקַחַת (laqachat) — めとる-ことを — H3947
אֶת־ (et-) — ～を — H0853
יְבִמְתּוֹ (yevimto) — その-兄弟の-妻を — H2994
וְעָלְתָה (ve'alta) — そして-上がり — H5927
הִיא (hi') — 彼女が — H1931
הַשַּׁעְרָה (hasha'ra) — 門に — H8179
אֶל־ (el-) — ～へ — H0413
הַזְּקֵנִים (hazeqenim) — 長老たちの-もとに — H2205
וְאָמְרָה (ve'amra) — そして-言った — H0559
מֵאֵן (me'en) — 拒んでいる — H3985
יְבִמִי (yevimi) — 私の-夫の-兄弟が — H2993
לְהָקִים (leqim) — 起こす-ことを — H6965
לְאָחִיו (le'achiv) — その-兄弟の-ために — H0251
שֵׁם (shem) — 名を — H8034
בְּיִשְׂרָאֵל (beYisra'el) — イスラエルの-中で — H3478
לֹא (lo') — ない — H3808
אָבָה (avah) — 望まなかった — H0014
יַבְמִי׃ (yavmi) — 私に-義兄弟の-務めを — H2992

しかしその人が兄弟の妻をめとるのを好まないならば、その兄弟の妻は町の門へ行って、長老たちに言わなければならない、『わたしの夫の兄弟はその兄弟の名をイスラエルのうちに残すのを拒んで、夫の兄弟としての道をつくすことを好みません』。

8

וְקָרְאוּ־ (veqar'u-) — そして-呼んだ — H7121
לוֹ (lo) — 彼を — H0
זִקְנֵי־ (ziqnei-) — 長老たちが — H2205
עִירוֹ (iro) — その-町の — H5892
וְדִבְּרוּ (vedibru) — そして-話した — H1696
אֵלָיו (elav) — 彼に — H0413
וְעָמַד (ve'amad) — そして-立って — H5975
וְאָמַר (ve'amar) — そして-言った — H0559
לֹא (lo') — ない — H3808
חָפַצְתִּי (chafatzti) — 望まなかった — H2654
לְקַחְתָּהּ׃ (leqachtah) — 彼女を-めとる-ことを — H3947

そのとき町の長老たちは彼を呼び寄せて、さとさなければならない。もし彼が固執して、『わたしは彼女をめとることを好みません』と言うならば、

9

וְנִגְּשָׁה (venigeshah) — そして-近づいた — H5066
אֵלָיו (elav) — 彼の-もとに — H0413
יְבִמְתּוֹ (yevimto) — その-兄弟の-妻が — H2994
לְעֵינֵי (le'einei) — 目の-前で — H5869
הַזְּקֵנִים (hazeqenim) — 長老たちの — H2205
וְחָלְצָה (vechaletzah) — そして-脱がせた — H2502
נַעֲלוֹ (na'alo) — その-履物を — H5275
מֵעַל (me'al) — ～の-上から — H5921
רַגְלוֹ (raglo) — その-足の — H7272
וְיָרְקָה (veyarqah) — そして-唾を-吐いた — H7556
בְּפָנָיו (bepanav) — その-顔に — H6440
וְעָנְתָה (ve'anetah) — そして-答えて — H6030
וְאָמְרָה (ve'amrah) — そして-言った — H0559
כָּכָה (kakah) — このように — H3602
יֵעָשֶׂה (ye'aseh) — なされる — H6213
לָאִישׁ (la'ish) — その-男に — H0376
אֲשֶׁר (asher) — その — H834
לֹא־ (lo-) — ない — H3808
יִבְנֶה (yivneh) — 建てない — H1129
אֶת־ (et-) — ～を — H0853
בֵּית (beit) — 家を — H1004
אָחִיו (achiv) — その-兄弟の — H0251

その兄弟の妻は長老たちの目の前で、彼のそばに行き、その足のくつを脱がせ、その顔につばきして、答えて言わなければならない。『兄弟の家をたてない者には、このようにすべきです』。

10

וְנִקְרָא (venigra) — そして-呼ばれた — H7121
שְׁמוֹ (shemo) — その-名が — H8034
בְּיִשְׂרָאֵל (beYisra'el) — イスラエルの-中で — H3478
בֵּית (beit) — 家 — H1004
חֲלוּץ (chalutz) — 脱がされた — H2502
הַנָּעַל׃ (hana'al) — 履物の — H5275
ס — —

そして彼の家の名は、くつを脱がされた者の家と、イスラエルのうちで呼ばれるであろう。

11 כִּי־ יִנָּצוּ אֲנָשִׁים יַחְדָּו׀ אִישׁ וְאָחִיו וְקָרְבָה אֵשֶׁת הָאֶחָד
もし 争っている–時に 男たちが 共に 男と その–兄弟が そして–近づいて 一方の 妻が
H3068 H5414 H0430 H0430 H3068 H8441 H3605 H0428 H3605 H0430 H3068 H0430 H0853 H5337

וְהֵחֲזִיקָה יָדָהּ וְשָׁלְחָה מַכֵּהוּ מִיַּד אִישָׁהּ אֶת־ לְהַצִּיל
そして–つかんだ その–手を そして–伸ばし 打つ–者の ～の–手から その–夫を ～を 救おうと–して
H2388 H3027 H7971 H5221 H3027 H0376 H0853 H5337

בְּמְבֻשָׁיו׃
その–隠し所を
H4016

ふたりの人が互に争うときに、そのひとりの人の妻が、打つ者の手から夫を救おうとして近づき、手を伸べて、その人の隠し所をつかまえるならば、

12 וְקִצִּתָה כַּפָּהּ לֹא תָחוֹס עֵינֶךָ׃ ס
そして–切り落とせ その–手を ない 憐れんでは–ならない あなたの–目は —
H7112 H3709 H3808 H2347

その女の手を切り落さなければならない。あわれみをかけてはならない。

13 לֹא־ יִהְיֶה לְךָ בְכִיסְךָ אֶבֶן וָאָבֶן גְּדוֹלָה וּקְטַנָּה׃
ない あっては–ならない あなたに あなたの–袋の–中に 重りが 二種類の 大きいのと 小さいのが
H3808 H1961 H3599 H0068 H0068 H1961 H3808

ס
—

あなたの袋に大小二種の重り石を入れておいてはならない。

14 לֹא־ יִהְיֶה לְךָ בְּבֵיתְךָ אֵיפָה וְאֵיפָה גְּדוֹלָה וּקְטַנָּה׃
ない あっては–ならない あなたに あなたの–家の–中に 升が 二種類の 大きいのと 小さいのが
H3808 H1961 H3599 H0374 H0374 H1961 H3808

あなたの家に大小二種のますをおいてはならない。

15 אֶבֶן שְׁלֵמָה וָצֶדֶק יִהְיֶה־ לָךְ אֵיפָה שְׁלֵמָה וָצֶדֶק יִהְיֶה־ לָךְ
重りは 完全で 正しい–ものが なければ–ならない あなたに 升は 完全で 正しい–ものが
H0068 H8003 H6664 H1961 H0374 H8003 H6664

לְמַעַן יַאֲרִיכוּ יָמֶיךָ עַל הָאֲדָמָה אֲשֶׁר־ יְהוָה אֱלֹהֶיךָ נֹתֵן לָךְ׃
そうすれば 長くなる あなたの–日々が ～の–上で その–地の その
H4616 H0748 H3117 H0127 H1961 H3068 H0430 H5414 H3605

不足のない正しい重り石を持ち、また不足のない正しいますを持たなければならない。そうすればあなたの神、主が賜わる地で、あなたは長く命を保つことができるであろう。

16 כִּי תוֹעֲבַת יְהוָה אֱלֹהֶיךָ כָּל־ עֹשֵׂה כָּל־ עֲשֵׂה אֵלֶּה עָוֶל׃ פ
なぜなら 忌み嫌うもの 主の あなたの–神の すべて 行う–者は すべて これらを 行う–者は 不正を —
H3068 H8441 H3605 H0430 H3605 H0428

H0259 H0802 H7126 H0251 H0376 H0376

すべてこのような不正をする者を、あなたの神、主が憎まれるからである。

17 זָכֹ֔ור אֵ֥ת אֲשֶׁר־ עָשָׂ֖ה לְךָ֣ עֲמָלֵ֑ק בַּדָּ֔רֶךְ בְּצֵאתְכֶ֖ם
覚えよ ～を その 行った–ことを あなたに アマレクが 道で あなたがたが–出た–時に
H2142 H0853 H0834 H6213 H0000 H6002 H1870 H3318

מִמִּצְרָֽיִם׃
エジプトから
H4714

あなたがエジプトから出てきた時、道でアマレクびとがあなたにしたことを記憶しなければならない。

18 הַנֶּחֱשָׁלִ֗ים כָּל־ בְּךָ֙ וַיְזַנֵּ֣ב בַּדֶּ֔רֶךְ קָרְךָ֖ אֲשֶׁ֥ר
遅れた–者たちを すべての あなたの–中の そして–尾を–攻撃した 道で あなたに–出会い その
H2826 H3605 H0000 H2179 H1870 H7136 H0834

וְזָנָ֣ב וְאַתָּ֔ה עָיֵ֖ף וְיָגֵ֑עַ וְלֹ֥א יָרֵ֖א אֱלֹהִֽים׃
そして–尾を そして–あなたは 疲れて 衰えていた そして–ない 恐れなかった 神を
H2179 H0859 H5889 H3023 H3808 H3373 H0430

すなわち彼らは道であなたに出会い、あなたがうみ疲れている時、うしろについてきていたすべての弱っている者を攻め撃った。このように彼らは神を恐れなかった。

19 וְהָיָה֙ בְּהָנִ֣יחַ יְהוָ֣ה לְךָ֗ מִכָּל־ אֹיְבֶ֜יךָ
そして–なる 安息を–与えた–時に 主が あなたに すべての 敵から
H1961 H5117 H3068 H0000 H3605 H0341

מִסָּבִיב֙ בָּאָ֣רֶץ אֲשֶׁר־ יְהוָ֣ה אֱלֹהֶ֤יךָ נֹתֵן֙ לְךָ֣ נַחֲלָ֔ה לְרִשְׁתָּ֖הּ
周囲の その–地で その 主が あなたの–神が 与える あなたに 相続地と–して 所有する–ために
H5439 H0776 H0834 H3068 H0430 H5414 H0000 H5159 H3423

תִּמְחֶ֖ה אֶת־ זֵ֣כֶר עֲמָלֵ֑ק מִתַּ֥חַת הַשָּׁמַ֖יִם לֹ֥א תִּשְׁכָּ֛ח׃ פ
消し去れ ～を 記憶を アマレクの ～の–下から 天の ない 忘れては–ならない —
H4229 H0853 H2142 H6002 H8478 H8064 H3808 H7911

それで、あなたの神、主が嗣業として賜わる地で、あなたの神、主があなたの周囲のすべての敵を征服して、あなたに安息を与えられる時、あなたはアマレクの名を天の下から消し去らなければならない。この事を忘れてはならない。

Chapter 26

1 וְהָיָה֙ כִּֽי־ תָבֹ֔וא אֶל־ הָאָ֣רֶץ אֲשֶׁ֗ר יְהוָ֤ה אֱלֹהֶ֙יךָ֙
そして–なる もし あなたが–入った–時に ～へ その–地に 主が あなたの–神が
H1961 H3588 H0935 H0413 H0776 H0834 H3068 H0430

נֹתֵ֥ן לְךָ֖ נַחֲלָ֑ה וְיָרַשְׁתָּ֣הּ וְיָשַׁבְתָּ֖ בָּֽהּ׃
与えている あなたに 相続地として そして–所有して そして–住んだ–ならば その–中に
H5414 H0000 H5159 H3423 H3427 H0000

あなたの神、主が嗣業として賜わる国にはいって、それを所有し、そこに住む時は、

2

תָּבִיא אֲשֶׁר הָאֲדָמָה פְּרִי כָּל־ וּמֵרֵאשִׁית וְלָקַחְתָּ
あなたが–もたらす その その–地の 実の すべての 初物から そして–取りなさい
H0935 H0127 H6529 H3605 H7225 H3947

בַּטֶּנֶא וְשַׂמְתָּ לָךְ נֹתֵן אֱלֹהֶיךָ יְהוָה אֲשֶׁר מֵאַרְצֶךָ
籠に そして–入れなさい あなたに 与えている あなたの–神が 主が その あなたの–地から
H2935 H5414 H0430 H3068 H0776

לְשַׁכֵּן אֱלֹהֶיךָ יְהוָה יִבְחַר אֲשֶׁר הַמָּקוֹם אֶל־ וְהָלַכְתָּ
住まわせる–ために あなたの–神が 主が 選ぶ その その–場所に ～へ そして–行きなさい
H7931 H0430 H3068 H0977 H4725 H0413 H1980

שָׁם׃ שְׁמוֹ
そこに その–名を
H8033 H8034

あなたの神、主が賜わる国にできる、地のすべての実の初物を取ってかごに入れ、あなたの神、主がその名を置くために選ばれる所へ携えて行かなければならない。

3

וְאָמַרְתָּ הָהֵם בַּיָּמִים יִהְיֶה אֲשֶׁר הַכֹּהֵן אֶל־ וּבָאתָ
そして–言いなさい その その–日々に いる その その–祭司の–もとに ～へ そして–来て
H0559 H1992 H3117 H1961 H3548 H0413 H0935

הָאָרֶץ אֶל־ בָּאתִי כִּי־ אֱלֹהֶיךָ לַיהוָה הַיּוֹם הִגַּדְתִּי אֵלָיו
その–地に ～へ 私は–来ました まことに あなたの–神に 主に 今日 私は–告げます 彼に
H0776 H0413 H0935 H3068 H3117 H5046 H0413

לָנוּ׃ לָתֶת לַאֲבֹתֵינוּ יְהוָה נִשְׁבַּע אֲשֶׁר
私たちに 与える–ために 私たちの–先祖たちに 主が 誓った その
H5414 H0001 H3068 H7650

そしてその時の祭司の所へ行って彼に言わなければならない、『きょう、あなたの神、主にわたしは申します。主がわれわれに与えると先祖たちに誓われた国に、わたしははいることができました』。

4

יְהוָה מִזְבַּח לִפְנֵי וְהִנִּיחוֹ מִיָּדֶךָ הַטֶּנֶא הַכֹּהֵן וְלָקַח
主の 祭壇の ～の–前に そして–置いた あなたの–手から その–籠を その–祭司が そして–取り
H3068 H4196 H6440 H3240 H3027 H2935 H3548 H3947

אֱלֹהֶיךָ׃
あなたの–神の
H0430

そのとき祭司はあなたの手からそのかごを受け取ってあなたの神、主の祭壇の前に置かなければならない。

5

אֹבֵד אֲרַמִּי אֱלֹהֶיךָ יְהוָה וְלִפְנֵי וְאָמַרְתָּ וְעָנִיתָ
滅びかけた アラム人で あなたの–神の 主の ～の–前で そして–言いなさい そして–答えて
H0006 H0761 H0430 H3068 H6440 H0559

וַיְהִי־ מְעַט בִּמְתֵי שָׁם וַיָּגָר מִצְרַיְמָה וַיֵּרֶד אָבִי
そして–なった 少ない わずかな–者で そこに そして–寄留した エジプトへ そして–下った 私の–父は
H1961 H4592 H4962 H8033 H4714 H3381 H0001

וָרָב׃ עָצוּם גָּדוֹל לְגוֹי שָׁם
そして–多い 力ある 大きな 国民に そこで
H6099 H8033

そして、あなたはあなたの神、主の前に述べて言わなければならない、『わたしの先祖は、さすらいの一アラムびとでありましたが、わずかの人を連れてエジプトへ下って行って、その所に寄留し、ついにそこで大きく、強い、人数の多い国民になりました。

6 וַיָּרֵעוּ אֹתָנוּ הַמִּצְרִים וַיְעַנּוּנוּ וַיִּתְּנוּ עֲלֵינוּ עֲבֹדָה קָשָׁה׃
そして–苦しめた 私たちを エジプト人たちが 虐げた そして–課した 私たちの–上に 労役を 厳しい
H7451 H0853 H4713 H6031 H5414 H5921 H5656 H7186

ところがエジプトびとはわれわれをしえたげ、また悩まして、つらい労役を負わせましたが、

7 וַנִּצְעַק אֶל־יְהוָה אֱלֹהֵי אֲבֹתֵינוּ וַיִּשְׁמַע יְהוָה אֶת־קֹלֵנוּ וַיַּרְא אֶת־עָנְיֵנוּ וְאֶת־עֲמָלֵנוּ וְאֶת־לַחֲצֵנוּ׃
そして–叫んだ ～へ 主に 神に 私たちの–先祖たちの そして–聞いた 主が ～を 私たちの–声を そして–見た ～を 私たちの–苦しみを そして–～を 私たちの–労苦を そして–～を 私たちの–圧迫を
H6817 H0413 H3068 H0430 H0001 H8085 H3068 H0853 H7200 H0853 H6040 H0853 H5999 H0853 H3906

われわれが先祖たちの神、主に叫んだので、主はわれわれの声を聞き、われわれの悩みと、骨折りと、しえたげとを顧み、

8 וַיּוֹצִאֵנוּ יְהוָה מִמִּצְרַיִם בְּיָד חֲזָקָה וּבִזְרֹעַ נְטוּיָה וּבְמֹרָא גָּדֹל וּבְאֹתוֹת וּבְמֹפְתִים׃
そして–導き出した 主が エジプトから 手で 力強い そして–腕で 伸ばした そして–恐れで 大いなる そして–しるしで そして–不思議で
H3318 H3068 H4714 H3027 H2389 H2220 H5186 H4172 H0226 H4159

主は強い手と、伸べた腕と、大いなる恐るべき事と、しるしと、不思議とをもって、われわれをエジプトから導き出し、

9 וַיְבִאֵנוּ אֶל־הַמָּקוֹם הַזֶּה וַיִּתֶּן־לָנוּ אֶת־הָאָרֶץ הַזֹּאת אֶרֶץ זָבַת חָלָב וּדְבָשׁ׃
そして–連れて–来た ～へ この場所に この 与えた そして–～を 私たちに この–地を この 流れる 乳と 蜜の
H0935 H0413 H4725 H2088 H5414 H0853 H0776 H2063 H2100 H2461 H1706

われわれをこの所へ連れてきて、乳と蜜の流れるこの地をわれわれに賜わりました。

10 וְעַתָּה הִנֵּה הֵבֵאתִי אֶת־רֵאשִׁית פְּרִי הָאֲדָמָה אֲשֶׁר־נָתַתָּה לִי יְהוָה וְהִנַּחְתּוֹ לִפְנֵי יְהוָה אֱלֹהֶיךָ וְהִשְׁתַּחֲוִיתָ לִפְנֵי יְהוָה אֱלֹהֶיךָ׃
そして–今 見よ 私は–持って–来ました ～を 初物を 実の その–地の あなたが–与えた 主よ 私に 置きなさい そして–～の–前に 主の あなたの–神の そして–ひれ伏しなさい ～の–前に 主の あなたの–神の
H6258 H2009 H0935 H0853 H7225 H6529 H0127 H0834 H5414 H3068 H0589 H5117 H6440 H3068 H0430 H7812 H6440 H3068 H0430

主よ、ごらんください。あなたがわたしに賜わった地の実の初物を、いま携えてきました』。そしてあなたはそれをあなたの神、主の前に置いて、あなたの神、主の前に礼拝し、

11

אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה	לְךָ	נָתַן־	אֲשֶׁר	הַטּוֹב	בְּכָל־	וְשָׂמַחְתָּ
あなたの–神が	主が	あなたに	与えた	その	良い–ものに	すべての	そして–喜びなさい
H0430	H3068		H5414			H3605	H8055

ס	בְּקִרְבֶּךָ׃	אֲשֶׁר	וְהַגֵּר	וְהַלֵּוִי	אַתָּה	וּלְבֵיתֶךָ	
—	あなたの–中にいる	その	そして–寄留者が	そして–レビ人が	あなたが	そして–あなたの–家に	
	H7130		H1616	H3881			

あなたの神、主があなたとあなたの家とに賜わったすべての良い物をもって、レビびとおよびあなたのなかにいる寄留の他国人と共に喜び楽しまなければならない。

12

תְּבוּאָתֶךָ	מַעְשַׂר	כָּל־	אֶת־	לַעְשֵׂר	תְּכַלֶּה	כִּי	
あなたの–収穫の	十分の一を	すべての	～を	十分の一を–納める–ことを	終えた–時に	あなたが	
H8393	H4643	H3605	H0853	H6237	H3615		

לַיָּתוֹם	לַגֵּר	לַלֵּוִי	וְנָתַתָּה	הַמַּעֲשֵׂר	שְׁנַת	הַשְּׁלִישִׁת	בַּשָּׁנָה
孤児に	寄留者に	レビ人に	そして–与えなさい	十分の一の	年に	第三の	その–年の
H3490	H1616	H3881	H5414	H4643	H8141	H7992	H8141

וְשָׂבְעוּ׃	בִּשְׁעָרֶיךָ	וְאָכְלוּ	וְלָאַלְמָנָה
そして–満たされよ	あなたの–門の–中で	そして–食べて	そして–寡婦に
H7646	H8179	H0398	H0490

第三年すなわち十分の一を納める年に、あなたがすべての産物の十分の一を納め終って、それをレビびとと寄留の他国人と孤児と寡婦とに与え、町のうちで彼らに飽きるほど食べさせた時、

13

מִן־	הַקֹּדֶשׁ	בִּעַרְתִּי	אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה	לִפְנֵי	וְאָמַרְתָּ	
～から	聖なる–ものを	私は–取り除きました	あなたの–神の	主の	～の–前で	そして–言いなさい	
	H6944		H0430	H3068	H6440	H0559	

וְלָאַלְמָנָה	לַיָּתוֹם	וְלַגֵּר	לַלֵּוִי	נְתַתִּיו	וְגַם	הַבַּיִת	
そして–寡婦に	孤児に	そして–寄留者に	レビ人に	私は–与えました	そして–また	その–家から	
H0490	H3490	H1616	H3881	H5414	H1571		

עָבַרְתִּי	לֹא־	צִוִּיתָנִי	אֲשֶׁר	מִצְוָתֶךָ	כְּכָל־	
私は–逸脱しなかった	ない	あなたが–命じた	その	あなたの–命令の–通りに	すべての	
	H3808	H6680		H4687	H3605	

שָׁכַחְתִּי׃	וְלֹא	מִמְּצַוֹתֶיךָ	
私は–忘れなかった	そして–ない	あなたの–命令から	
H7911	H3808	H4687	

あなたの神、主の前で言わなければならない、『わたしはその聖なる物を家から取り出し、またレビびとと寄留の他国人と孤児と寡婦とにそれを与え、すべてあなたが命じられた命令のとおりにいたしました。わたしはあなたの命令にそむかず、またそれを忘れませんでした。

14

מִמֶּנּוּ	בִּעַרְתִּי	וְלֹא־	מִמֶּנּוּ	בְּאֹנִי	אָכַלְתִּי	לֹא־	
それから	私は–取り除かなかった	そして–ない	それから	嘆きの–中で	私は–食べなかった	ない	
		H3808		H0205	H0398	H3808	

בְּקוֹל	שָׁמַעְתִּי	לְמֵת	מִמֶּנּוּ	נָתַתִּי	וְלֹא־	בְּטָמֵא	
声に	私は–聞き従いました	死者の–ために	それから	私は–与えなかった	そして–ない	汚れた–状態で	
	H8085	H4191		H5414	H3808	H2931	

צִוִּיתָנִי׃	אֲשֶׁר	כְּכֹל	עָשִׂיתִי	אֱלֹהָי	יְהוָה	
あなたが–命じた–ことを	その	すべて	私は–行いました	私の–神の	主の	
H6680		H3605		H0430	H3068	

わたしはその聖なる物を喪のうちで食べたことがなく、また汚れた身でそれを取り出したことがなく、また死人にそれを供えたことがありませんでした。わたしはわたしの神、主の声に聞き従い、すべてあなたがわたしに命じられたとおりにいたしました。

15

אֶת־	וּבָרֵךְ	הַשָּׁמַיִם	מִן־	קָדְשְׁךָ	מִמְּעוֹן	הַשְׁקִיפָה׀
～を	そして–祝福してください	天から	～から	あなたの–聖なる	住まいから	見下ろしてください
H0853	H1288	H8064		H6944	H4583	H8259

לָנוּ	נָתַתָּה	אֲשֶׁר	הָאֲדָמָה	וְאֶת	יִשְׂרָאֵל	אֶת־	עַמְּךָ
私たちに	あなたが–与えた	その	その–地を	そして–～を	イスラエルを	～を	あなたの–民を
	H5414		H0127	H0853	H3478	H0853	

ס	וּדְבָשׁ׃	חָלָב	זָבַת	אֶרֶץ	לַאֲבֹתֵינוּ	נִשְׁבַּעְתָּ	כַּאֲשֶׁר
—	蜜の	乳と	流れる	地	私たちの–先祖たちに	あなたが–誓った	その–通りに
	H1706	H2461	H2100	H0776	H0001	H7650	

あなたの聖なるすみかである天からみそなわして、あなたの民イスラエルと、あなたがわれわれに与えられた地とを祝福してください。これはあなたがわれわれの先祖に誓われた乳と蜜の流れる地です』。

16

הַחֻקִּים	אֶת־	לַעֲשׂוֹת	מְצַוְּךָ	אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה	הַזֶּה	הַיּוֹם
これらの–掟と	～を	行う–ことを	あなたに–命じている	あなたの–神が	主が	この	この–日
H2706	H0853		H6680	H0430	H3068	H2088	H3117

בְּכָל־	אוֹתָם	וְעָשִׂיתָ	וְשָׁמַרְתָּ	הַמִּשְׁפָּטִים	וְאֶת־	הָאֵלֶּה
すべての	それらを	そして–行いなさい	そして–守り	定めを	そして–～を	これらの
H3605	H0853		H8104	H4941	H0853	H0428

נַפְשֶׁךָ׃	וּבְכָל־	לְבָבְךָ
あなたの–魂で	そして–すべての	あなたの–心で
H5315	H3605	H3824

きょう、あなたの神、主はこれらの定めと、おきてとを行うことをあなたに命じられる。それゆえ、あなたは心をつくし、精神をつくしてそれを守り行わなければならない。

17

וְלָלֶכֶת	לֵאלֹהִים	לְךָ	לִהְיוֹת׀	הַיּוֹם	הֶאֱמַרְתָּ	יְהוָה	אֶת־
そして–歩む–ことを	神と	あなたの	なる–ことを	今日	あなたは–宣言した	主を	～を
H3212	H0430		H1961	H3117	H0559	H3068	H0853

וּמִשְׁפָּטָיו	וּמִצְוֹתָיו	חֻקָּיו	וְלִשְׁמֹר	בִּדְרָכָיו	
そして–その–定めを	そして–その–命令と	その–掟と	そして–守る–ことを	その–道に	
H4941	H4687	H2706	H8104	H1870	

בְּקֹלוֹ׃	וְלִשְׁמֹעַ	
その–声に	そして–聞き従う–ことを	
	H8085	

きょう、あなたは主をあなたの神とし、かつその道に歩み、定めと、戒めと、おきてとを守り、その声に聞き従うことを明言した。

18

דִּבֶּר־	כַּאֲשֶׁר	סְגֻלָּה	לְעַם	לוֹ׀	לִהְיוֹת	הַיּוֹם	הֶאֱמִירְךָ	וַיהוָה
語った	その–通りに	宝の	民と	その	なる–ことを	今日	あなたを–宣言した	そして–主が
H1696		H5459			H1961	H3117	H0559	H3068

מִצְוֹתָיו׃	כָּל־	וְלִשְׁמֹר	לָךְ	
その–命令を	すべての	そして–守る–ことを	あなたに	
H4687	H3605	H8104		

そして、主は先に約束されたように、きょう、あなたを自分の宝の民とされること、また、あなたがそのすべての命令を守るべきことを明言された。

19

לְתִהְלָה	עָשָׂה	אֲשֶׁר	הַגּוֹיִם	כָּל־	עַל	עֶלְיוֹן	וּלְתִתְךָ
賛美の–ために	造った	その	国々の	すべての	～の–上に	高く	そして–あなたを–置く–ために
H8416				H3605			H5414

לַיהוָה	קֹדֶשׁ	עַם־	וְלִהְיֹתְךָ	וּלְתִפְאֶרֶת	וּלְשֵׁם	
主の	聖なる	民と	そして–あなたが–なる–ために	そして–栄光の–ために	そして–名の–ために	
H3068	H6918		H1961	H8597	H8034	

ס	דִּבֶּר׃	כַּאֲשֶׁר	אֱלֹהֶיךָ
—	語った	その–通りに	あなたの–神の
	H1696		H0430

主は誉と良き名と栄えとをあなたに与えて、主の造られたすべての国民にまさるものとされるであろう。あなたは主が言われたように、あなたの神、主の聖なる民となるであろう」。

Chapter 27

1

שָׁמֹר	לֵאמֹר	הָעָם	אֶת־	יִשְׂרָאֵל	וְזִקְנֵי	מֹשֶׁה	וַיְצַו	
守りなさい	言って	その–民に	～を	イスラエルの	そして–長老たちが	モーセと	そして–命じた	
H8104	H0559		H0853	H3478	H2205	H4872	H6680	

הַיּוֹם׃	אֶתְכֶם	מְצַוֶּה	אָנֹכִי	אֲשֶׁר	הַמִּצְוָה	כָּל־	אֶת־
今日	あなたがたに	命じている	私が	その	命令を	すべての	～を
H3117	H0853	H6680	H0595		H4687	H3605	H0853

モーセとイスラエルの長老たちとは民に命じて言った、「わたしが、きょう、あなたがたに命じるすべての戒めを守りなさい。

2

אֲשֶׁר־	הָאָרֶץ	אֶל־	הַיַּרְדֵּן	אֶת־	תַּעַבְרוּ	אֲשֶׁר	בְּיוֹם	וְהָיָה
その	その–地に	～へ	ヨルダンを	～を	あなたがたが–渡る	その	その–日に	そして–なる
	H0776	H0413	H3383	H0853			H3117	H1961

גְּדֹלוֹת	אֲבָנִים	לְךָ	וַהֲקֵמֹתָ	לָךְ	נֹתֵן	אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה	
大きな	石を	あなたの–ために	そして–立てなさい	あなたに	与えている	あなたの–神が	主が	
	H0068				H5414	H0430	H3068	

בַּשִּׂיד׃	אֹתָם	וְשַׂדְתָּ
漆喰を	それらに	そして–塗りなさい
H7875	H0853	H7874

あなたがたがヨルダンを渡ってあなたの神、主が賜わる国にはいる時、あなたは大きな石数個を立てて、それにしっくいを塗り、

3

בְּעָבְרֶךָ	הַזֹּאת	הַתּוֹרָה	דִּבְרֵי	כָּל־	אֶת־	עֲלֵיהֶן	וְכָתַבְתָּ	
あなたが–渡る–時に	この	この–律法の	言葉を	すべての	～を	その–上に	そして–書きなさい	
	H2063	H8451	H1697	H3605	H0853		H3789	

נֹתֵן	וְאֱלֹהֶיךָ	יְהוָה	אֲשֶׁר־	הָאָרֶץ	אֶל־	תָּבֹא	אֲשֶׁר	לְמַעַן
与えている	あなたの–神が	主が	その	その–地に	～へ	あなたは–入る	その	そうすれば
H5414	H0430	H3068		H0776	H0413	H0935		H4616

אֲבֹתֶיךָ	אֱלֹהֵי־	יְהוָה	דִּבֶּר	כַּאֲשֶׁר	וּדְבַשׁ	חָלָב	זָבַת	אֶרֶץ	לָךְ
あなたの–先祖たちの	神が	主が	語った	その–通りに	蜜の	乳と	流れる	地	あなたに
H0001	H0430	H3068	H1696		H1706	H2461	H2100	H0776	

לָךְ׃
あなたに

そしてあなたが渡って、あなたの先祖たちの神、主が約束されたようにあなたの神、主が賜わる地、すなわち乳と蜜の流れる地にはいる時、この律法のすべての言葉をその上に書きしるさなければならない。

4 וְהָיָה בְּעָבְרְכֶם אֶת־הַיַּרְדֵּן תָּקִימוּ אֶת־הָאֲבָנִים
そして-なる あなたがたが-渡る-時に を-ヨルダンを 立てなさい を-これらの-石を
H1961 H0853 H3383 H0853 H0068

אֲשֶׁר אָנֹכִי מְצַוֶּה אֶתְכֶם הַיּוֹם בְּהַר עֵיבָל וְשַׂדְתָּ
その 私が 命じている あなたがたに 今日 ～の-山に エバルの そして-塗りなさい
H0428 H0595 H6680 H0853 H3117 H2022 H7874

אֹתָם בַּשִּׂיד׃
それらに 漆喰を
H0853 H7875

すなわち、あなたがたが、ヨルダンを渡ったならば、わたしが、きょう、あなたがたに命じるそれらの石をエバル山に立て、それにしっくいを塗らなければならない。

5 וּבָנִיתָ שָּׁם מִזְבַּח לַיהוָה אֱלֹהֶיךָ מִזְבַּח אֲבָנִים לֹא־תָנִיף
そして-築きなさい そこに 祭壇を 主の-ために 祭壇を あなたの-神の 石の ない 振るうな
H1129 H8033 H4196 H3068 H0430 H4196 H0068 H3808

עֲלֵיהֶם בַּרְזֶל׃
その-上に 鉄を
H1270

またそこにあなたの神、主のために、祭壇、すなわち石の祭壇を築かなければならない。鉄の器を石に当てず、

6 אֲבָנִים שְׁלֵמוֹת תִּבְנֶה אֶת־מִזְבַּח יְהוָה אֱלֹהֶיךָ וְהַעֲלִיתָ
石で 完全な 築きなさい を-祭壇を 主の あなたの-神の そして-ささげなさい
H0068 H8003 H1129 H0853 H4196 H3068 H0430 H5927

עָלָיו עוֹלֹת לַיהוָה אֱלֹהֶיךָ׃
その-上に 全焼の-ささげ物を 主に あなたの-神に
H5927 H3068 H0430

自然のままの石であなたの神、主のために祭壇を築き、その上であなたの神、主に燔祭をささげなければならない。

7 וְזָבַחְתָּ שְׁלָמִים וְאָכַלְתָּ שָּׁם וְשָׂמַחְתָּ לִפְנֵי
そして-ささげなさい 和解の-ささげ物を そして-食べなさい そこで そして-喜びなさい ～の-前で
H2076 H8002 H0398 H8033 H8055 H6440

יְהוָה אֱלֹהֶיךָ׃
主の あなたの-神の
H3068 H0430

また酬恩祭の犠牲をささげて、その所で食べ、あなたの神、主の前で喜び楽しまなければならない。

8 וְכָתַבְתָּ עַל־הָאֲבָנִים אֶת־כָּל־דִּבְרֵי הַתּוֹרָה הַזֹּאת בַּאֵר
そして-書きなさい ～の-上に その-石に を-すべての 言葉を この-律法の この 明らかに
H3789 H5921 H0853 H3605 H1697 H8451 H2063 H0874

הֵיטֵב׃ ס
よく ―
H3190

あなたはこの律法のすべての言葉をその石の上に明らかに書きしるさなければならない」。

9 וַיְדַבֵּר מֹשֶׁה וְהַכֹּהֲנִים הַלְוִיִּם אֶל־כָּל־יִשְׂרָאֵל לֵאמֹר
そして-語った モーセと そして-祭司たちが レビ人の ～に すべての イスラエルに 言って
H1696 H4872 H3548 H3881 H0413 H3605 H3478 H0559

הַסְכֹּת וּשְׁמַע יִשְׂרָאֵל הַיּוֹם הַזֶּה נִהְיֵיתָ לְעָם לַיהוָה אֱלֹהֶיךָ׃
静まれ そして-聞け イスラエルよ 今日 この あなたは-なった 民と 主の あなたの-神の
H5535 H8085 H3478 H3117 H2088 H1961 H0430

またモーセとレビびとたる祭司たちとは、イスラエルのすべての人々に言った、「イスラエルよ、静かに聞きなさい。あなたは、きょう、あなたの神、主の民となった。

10 וְשָׁמַעְתָּ בְּקוֹל יְהוָה אֱלֹהֶיךָ וְעָשִׂיתָ אֶת־מִצְוֹתָו
そして-聞き従いなさい 声に 主の あなたの-神の そして-行いなさい ～を その-命令と
H8085 H0430 H3068 H0853 H4687

וְאֶת־חֻקָּיו אֲשֶׁר אָנֹכִי מְצַוְּךָ הַיּוֹם׃ ס
そして-～を その 私が あなたに-命じている 今日 —
H0853 H2706 H0595 H6680 H3117

それゆえ、あなたの神、主の声に聞き従い、わたしが、きょう、命じる戒めと定めとを行わなければならない」。

11 וַיְצַו מֹשֶׁה אֶת־הָעָם בַּיּוֹם הַהוּא לֵאמֹר׃
モーセが ～を その民に その-日に その 言って
H4872 H0853 H3117 H1931 H0559

その日またモーセは民に命じて言った、

12 אֵלֶּה יַעַמְדוּ לְבָרֵךְ אֶת־הָעָם עַל־הַר גְּרִזִים
これらの-者が 立つ 祝福する-ために ～を その民を ～の-上に 山の ゲリジムの
H0428 H5975 H1288 H0853 H5921 H2022 H1630

בְּעָבְרְכֶם אֶת־הַיַּרְדֵּן שִׁמְעוֹן וְלֵוִי וִיהוּדָה
あなたがたが-渡った-時に ～を ヨルダンを シメオンと そして-レビと そして-ユダと
H3383 H0853 H8095 H3878 H3063

וְיִשָּׂשכָר וְיוֹסֵף וּבִנְיָמִן׃
そして-イッサカルと そして-ヨセフと そして-ベニヤミン
H3485 H3130 H1144

「あなたがたがヨルダンを渡った時、次の人たちはゲリジム山に立って民を祝福しなければならない。すなわちシメオン、レビ、ユダ、イッサカル、ヨセフおよびベニヤミン。

13 וְאֵלֶּה יַעַמְדוּ עַל־הַקְּלָלָה בְּהַר עֵיבָל רְאוּבֵן גָּד
そして-これらの-者が 立つ ～の-上に 呪いの 山の エバルの ルベンと ガドと
H0428 H5975 H5921 H7045 H2022 H5858 H7205 H1410

וְאָשֵׁר וּזְבוּלֻן דָּן וְנַפְתָּלִי׃
そして-アシェルと そして-ゼブルンと ダンと そして-ナフタリ
H0836 H2074 H1835 H5321

また次の人たちはエバル山に立ってのろわなければならない。すなわちルベン、ガド、アセル、ゼブルン、ダンおよびナフタリ。

14 וְעָנוּ הַלְוִיִּם וְאָמְרוּ אֶל־כָּל־אִישׁ יִשְׂרָאֵל קוֹל רָם׃
そして-答えて レビ人たちが そして-言った ～に すべての 人に イスラエルの 声で 大きな
H6030 H3881 H0559 H0413 H3605 H0376 H3478 H6963 H7311

ס
—

そしてレビびとは大声でイスラエルのすべての人々に告げて言わなければならない。

15 אָרוּר הָאִישׁ אֲשֶׁר יַעֲשֶׂה פֶּסֶל וּמַסֵּכָה תּוֹעֲבַת יְהוָה מַעֲשֵׂה יְדֵי חָרָשׁ
呪われよ その–人は 造る その 偶像と 忌み嫌うもの 主の 業 手の 職人の
H0779 H0376 H6459 H3068 H8441 H4639 H3027 H2796

וְשָׂם בַּסָּתֶר וְעָנוּ כָּל־ הָעָם וְאָמְרוּ אָמֵן׃ ס
そして–置いた 隠れた–所に そして–答えて すべての 民が そして–言った アーメン —
H0559 H0543

『工人の手の作である刻んだ像、または鋳た像は、主が憎まれるものであるから、それを造って、ひそかに安置する者はのろわれる』。民は、みな答えてアァメンと言わなければならない。

16 אָרוּר מְקַלֵּה אָבִיו וְאִמּוֹ וְאָמַר כָּל־ הָעָם אָמֵן׃
呪われよ 軽んじる–者は その–父と そして–その–母を そして–言った すべての 民が アーメン
H0779 H7034 H0001 H0517 H0559 H3605 H0543

ס
—

『父や母を軽んずる者はのろわれる』。民はみなアァメンと言わなければならない。

17 אָרוּר מַסִּיג גְּבוּל רֵעֵהוּ וְאָמַר כָּל־ הָעָם אָמֵן׃ ס
呪われよ 動かす–者は 境界を その–隣人の そして–言った すべての 民が アーメン —
H0779 H5253 H1366 H7453 H0559 H3605 H0543

『隣人との土地の境を移す者はのろわれる』。民はみなアァメンと言わなければならない。

18 אָרוּר מַשְׁגֶּה עִוֵּר בַּדָּרֶךְ וְאָמַר כָּל־ הָעָם אָמֵן׃ ס
呪われよ 迷わせる–者は 盲人を 道で そして–言った すべての 民が アーメン —
H0779 H7686 H5787 H1870 H0559 H3605 H0543

『盲人を道に迷わす者はのろわれる』。民はみなアァメンと言わなければならない。

19 אָרוּר מַטֶּה מִשְׁפַּט גֵּר־ יָתוֹם וְאַלְמָנָה וְאָמַר כָּל־ הָעָם
呪われよ 曲げる–者は 裁きを 寄留者の 孤児の そして–寡婦の そして–言った すべての 民が
H0779 H5186 H4941 H1616 H3490 H0490 H0559 H3605 H0543

אָמֵן׃ ס
アーメン —

『寄留の他国人や孤児、寡婦のさばきを曲げる者はのろわれる』。民はみなアァメンと言わなければならない。

20 אָרוּר שֹׁכֵב עִם־ אֵשֶׁת אָבִיו כִּי גִלָּה כְּנַף אָבִיו וְאָמַר כָּל־ הָעָם אָמֵן׃ ס
呪われよ 寝る–者は ～と 妻と その–父の なぜなら あらわにした 裾を その–父の そして–言った すべての 民が アーメン —
H0779 H7901 H0802 H0001 H3671 H1540 H0001 H0559 H3605 H0543

『父の妻を犯す者は、父を恥ずかしめるのであるからのろわれる』。民はみなアァメンと言わなければならない。

21 אָרוּר שֹׁכֵב עִם־ כָּל־ בְּהֵמָה וְאָמַר כָּל־ הָעָם אָמֵן׃ ס
呪われよ 寝る–者は ～と いかなる 家畜とも そして–言った すべての 民が アーメン —
H0779 H7901 H0802 H3605 H0929 H0559 H3605 H0543

『すべて獣を犯す者はのろわれる』。民はみなアァメンと言わなければならない。

22 אָרוּר שֹׁכֵב עִם־ בַּת־ אֲחֹתוֹ בַּת־ אָבִיו אוֹ בַּת־ אִמּוֹ
呪われよ 寝る-者は ～と その-姉妹と 娘と その-父の あるいは 娘と その-母の
H0779 H7901 H0269 H1323 H0001 H1323 H0517

וְאָמַר כָּל־ הָעָם אָמֵן׃ ס
そして-言った すべての 民が アーメン ―
H0559 H3605 H0543

『父の娘、または母の娘である自分の姉妹を犯す者はのろわれる』。民はみなアァメンと言わなければならない。

23 אָרוּר שֹׁכֵב עִם־ חֹתַנְתּוֹ וְאָמַר כָּל־ הָעָם אָמֵן׃ ס
呪われよ 寝る-者は ～と その-義母と そして-言った すべての 民が アーメン ―
H0779 H7901 H0559 H3605 H0543

『妻の母を犯す者はのろわれる』。民はみなアァメンと言わなければならない。

24 אָרוּר מַכֵּה רֵעֵהוּ בַּסָּתֶר וְאָמַר כָּל־ הָעָם אָמֵן׃ ס
呪われよ 打つ-者は その-隣人を 隠れた-所で そして-言った すべての 民が アーメン ―
H0779 H5221 H7453 H0559 H3605 H0543

『ひそかに隣人を撃ち殺す者はのろわれる』。民はみなアァメンと言わなければならない。

25 אָרוּר לֹקֵחַ שֹׁחַד לְהַכּוֹת נֶפֶשׁ דָּם נָקִי וְאָמַר כָּל־ הָעָם אָמֵן׃ ס
呪われよ 受け取る-者は 賄賂を 殺す-ために 命を 血の 罪のない そして-言った すべての 民が アーメン ―
H0779 H3947 H7810 H5221 H5315 H1818 H0559 H3605 H0543

『まいないを取って罪なき者を殺す者はのろわれる』。民はみなアァメンと言わなければならない。

26 אָרוּר אֲשֶׁר לֹא־ יָקִים אֶת־ דִּבְרֵי הַתּוֹרָה־ הַזֹּאת לַעֲשׂוֹת
呪われよ その ない 確立しない-者は ～を 言葉を この この-律法の 行う-ために
H0779 H3808 H0853 H1697 H8451 H2063

וְאָמַר כָּל־ הָעָם אָמֵן׃ פ
そして-言った すべての 民が アーメン ―
H0559 H3605 H0543

『この律法の言葉を守り行わない者はのろわれる』。民はみなアァメンと言わなければならない。

Chapter 28

1 וְהָיָה אִם־ שָׁמוֹעַ תִּשְׁמַע בְּקוֹל יְהוָה אֱלֹהֶיךָ לִשְׁמֹר
そして-なる もし 聞いて 聞き従う-ならば 声に 主の あなたの-神の 守り
H1961 H8085 H8085 H0430 H3068

לַעֲשׂוֹת אֶת־ כָּל־ מִצְוֹתָיו אֲשֶׁר אָנֹכִי מְצַוְּךָ הַיּוֹם
そして-行う-ならば ～を すべての その-命令を その 私が あなたに-命じている 今日
H0853 H3605 H4687 H0595 H6680 H3117

וְנָתַנְךָ יְהוָה אֱלֹהֶיךָ עֶלְיוֹן עַל כָּל־ גּוֹיֵי הָאָרֶץ׃
そして-置く 主が あなたの-神が 高く ～の-上に すべての 国々の 地の
H5414 H3068 H0430 H5945 H0776

もしあなたが、あなたの神、主の声によく聞き従い、わたしが、きょう、命じるすべての戒めを守り行うならば、あなたの神、主はあなたを地のもろもろの国民の上に立たせられるであろう。

2

תִּשְׁמַע	כִּי	וְהִשִּׂגֲךָ	הָאֵלֶּה	הַבְּרָכוֹת	כָּל־	עָלֶיךָ	וּבָאוּ
聞き従う	なぜなら	そして–追いつく	これらの	祝福が	すべての	あなたの–上に	そして–来る
H8085		H5381	H0428	H1293	H3605		H0935

בְּקוֹל	יְהוָה	אֱלֹהֶיךָ׃	
声に	主の	あなたの–神の	
	H3068	H0430	

もし、あなたがあなたの神、主の声に聞き従うならば、このもろもろの祝福はあなたに臨み、あなたに及ぶであろう。

3

בָּרוּךְ	אַתָּה	בָּעִיר	וּבָרוּךְ	אַתָּה	בַּשָּׂדֶה׃
祝福される	あなたは	町で	そして–祝福される	あなたは	野で
H1288			H1288		

あなたは町の内でも祝福され、畑でも祝福されるであろう。

4

בְּהֶמְתֶּךָ	וּפְרִי	אַדְמָתְךָ	וּפְרִי	בִטְנְךָ	פְּרִי־	בָּרוּךְ	
あなたの–家畜の	そして–実は	あなたの–地の	そして–実は	あなたの–胎の	実は	祝福される	
H0929	H6529	H0127	H6529	H0990	H6529	H1288	

צֹאנֶךָ׃	וְעַשְׁתְּרוֹת	אֲלָפֶיךָ	שְׁגַר
あなたの–羊の	そして–群れ	あなたの–牛の	産むもの
H6629	H6251	H0504	H7698

またあなたの身から生れるもの、地に産する物、家畜の産むもの、すなわち牛の子、羊の子は祝福されるであろう。

5

וּמִשְׁאֲרֹתֶךָ׃	טַנְאֶךָ	בָּרוּךְ	
そして–あなたの–こね鉢は	あなたの–籠と	祝福される	
H4863	H2935	H1288	

またあなたのかごと、こねばちは祝福されるであろう。

6

בְּצֵאתֶךָ׃	אַתָּה	וּבָרוּךְ	בְּבֹאֶךָ	אַתָּה	בָּרוּךְ	
あなたが–出る–時に	あなたは	そして–祝福される	あなたが–入る–時に	あなたは	祝福される	
H3318		H1288	H0935		H1288	

あなたは、はいるにも祝福され、出るにも祝福されるであろう。

7

נִגָּפִים	עָלֶיךָ	הַקָּמִים	אֹיְבֶיךָ	אֶת־	יְהוָה	יִתֵּן
打たれた–者と–して	あなたに–対して	立ち上がる	あなたの–敵を	～を	主が	与える
H5062			H0341	H0853	H3068	H5414

יָנוּסוּ	דְּרָכִים	וּבְשִׁבְעָה	אֵלֶיךָ	יֵצְאוּ	אֶחָד	בְּדֶרֶךְ	לְפָנֶיךָ
逃げる	道で	そして–七つの	あなたに–向かい	出て–来て	一つの	道で	あなたの–前に
H5127	H1870	H7651	H0413	H3318	H0259	H1870	H6440

לְפָנֶיךָ׃	
あなたの–前から	
H6440	

敵が起ってあなたを攻める時は、主はあなたにそれを撃ち敗らせられるであろう。彼らは一つの道から攻めて来るが、あなたの前で七つの道から逃げ去るであろう。

8

יְצַו	יְהוָה	אִתְּךָ	אֶת־	הַבְּרָכָה	בַּאֲסָמֶיךָ	וּבְכֹל	מִשְׁלַח
命じる	主が	あなたと–共に	～を	祝福を	あなたの–倉に	そして–すべてに	業の
H6680	H3068	H0854	H0853	H1293	H0618	H3605	

יָדֶךָ	וּבֵרַכְךָ	בָּאָרֶץ	אֲשֶׁר־	יְהוָה	אֱלֹהֶיךָ	נֹתֵן	לָךְ׃
あなたの–手の	そして–祝福する	その–地で	その	主が	あなたの–神が	与えている	あなたに
H3027	H1288	H0776		H3068	H0430	H5414	

主は命じて祝福をあなたの倉と、あなたの手のすべてのわざにくだし、あなたの神、主が賜わる地であなたを祝福されるであろう。

9

תִּשְׁמֹר	כִּי	לָךְ	נִשְׁבַּע־	כַּאֲשֶׁר	קָדוֹשׁ	לְעַם	לוֹ	יְהוָה	יְקִימְךָ
あなたが–守り	なぜなら	あなたに	誓った	その–通りに	聖なる	民として	その	主が	確立する
H8104			H7650		H6918			H3068	

בִּדְרָכָיו׃	וְהָלַכְתָּ	אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה	מִצְוֹת	אֶת־
その–道に	そして–歩む–ならば	あなたの–神の	主の	命令を	～を
H1870	H1980	H0430	H3068	H4687	H0853

もし、あなたの神、主の戒めを守り、その道を歩むならば、主は誓われたようにあなたを立てて、その聖なる民とされるであろう。

10

עָלֶיךָ	נִקְרָא	יְהוָה	שֵׁם	כִּי	הָאָרֶץ	עַמֵּי	כָּל־	וְרָאוּ
あなたの–上に	呼ばれている	主の	名が	まことに	地の	民が	すべての	そして–見る
	H7121	H3068	H8034		H0776		H3605	H7200

מִמֶּךָּ׃	וְיָרְאוּ
あなたを	そして–恐れる
	H3372

そうすれば地のすべての民は皆あなたが主の名をもって唱えられるのを見てあなたを恐れるであろう。

11

בִּבְהֶמְתֶּךָ	וּבִפְרִי	בִּטְנְךָ	בִּפְרִי	לְטוּבָה	יְהוָה	וְהוֹתִרְךָ	
あなたの–家畜の	そして–実に	あなたの–胎の	実に	良いもので	主が	そして–豊かに–する	
H0929	H6529	H0990	H6529		H3068	H3498	

לַאֲבֹתֶיךָ	יְהוָה	נִשְׁבַּע	אֲשֶׁר	הָאֲדָמָה	עַל	אַדְמָתֶךָ	וּבִפְרִי	
あなたの–先祖たちに	主が	誓った	その	その–地の	～の–上に	あなたの–地の	そして–実に	
H0001	H3068	H7650		H0127		H0127	H6529	

לָךְ׃	לָתֵת
あなたに	与える–ために
	H5414

主があなたに与えると先祖に誓われた地で、主は良い物、すなわちあなたの身から生れる者、家畜の産むもの、地に産する物を豊かにされるであろう。

12

מְטַר־	לָתֵת	הַשָּׁמַיִם	אֶת־	הַטּוֹב	אוֹצָרוֹ	אֶת־	לָךְ	וְיִפְתַּח	יְהוָה
雨を	与える–ために	天を	～を	良い	その–宝庫を	～を	あなたの–ために	開く	主が
H4306	H5414	H8064	H0853		H0214	H0853			H3068

יָדֶךָ	מַעֲשֵׂה	כָּל־	אֶת	וּלְבָרֵךְ	בְּעִתּוֹ	אַרְצְךָ
あなたの–手の	業を	すべての	～を	そして–祝福する–ために	その–時に	あなたの–地の
H3027	H4639	H3605	H0853	H1288	H6256	H0776

תִּלְוֶה׃	לֹא	וְאַתָּה	רַבִּים	גּוֹיִם	וְהִלְוִיתָ
借りない	ない	そして–あなたは	多くの	国々に	そして–貸す
	H3808				

主はその宝の蔵である天をあなたのために開いて、雨を季節にしたがってあなたの地に降らせ、あなたの手のすべてのわざを祝福されるであろう。あなたは多くの国民に貸すようになり、借りることはないであろう。

13

תִּהְיֶה	וְלֹא	לְמַעְלָה	רַק	וְהָיִיתָ	לְזָנָב	וְלֹא	לְרֹאשׁ	יְהוָה	וּנְתָנְךָ
なる	そして-ない	上に	ただ	そして-なる	尾と	そして-ない	頭と	主が	そして-する
H1961	H3808	H4605	H7535	H1961	H2180	H3808		H3068	H5414

מְצַוְּךָ	אָנֹכִי	אֲשֶׁר	אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה	וּמִצְוֹת	אֶל־	תִּשְׁמַע	כִּי־	לְמָטָּה
あなたに-命じている	私が	その	あなたの-神の	主の	命令に	～に	聞き従う	なぜなら	下に
H6680	H0595		H0430	H3068	H4687	H0413	H8085		H4295

וְלַעֲשׂוֹת׃	לִשְׁמֹר	הַיּוֹם
そして-行う-ならば	守り	今日
	H8104	H3117

主はあなたをかしらとならせ、尾とはならせられないであろう。あなたはただ栄えて衰えることはないであろう。きょう、わたしが命じるあなたの神、主の戒めに聞き従って、これを守り行うならば、あなたは必ずこのようになるであろう。

14

הַיּוֹם	אֶתְכֶם	מְצַוֶּה	אָנֹכִי	אֲשֶׁר	הַדְּבָרִים	מִכָּל־	תָּסוּר	וְלֹא
今日	あなたがたに	命じている	私が	その	言葉からも	いかなる	逸れるな	そして-ない
H3117	H0853	H6680	H0595		H1697	H3605	H5493	H3808

ס	לְעָבְדֵם׃	אֲחֵרִים	אֱלֹהִים	אַחֲרֵי	לָלֶכֶת	וּשְׂמֹאול	יָמִין
—	仕える-ために	他の	神々の	後に	行く-ために	そして-左にも	右にも
	H5647	H0312	H0430		H3212	H8040	H3225

きょう、わたしが命じるこのすべての言葉を離れて右または左に曲り、他の神々に従い、それに仕えてはならない。

15

לִשְׁמֹר	אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה	בְּקוֹל	תִּשְׁמַע	לֹא	אִם־	וְהָיָה
守り	あなたの-神の	主の	声に	聞き従わない-ならば	ない	もし	そして-なる
H8104	H0430	H3068		H8085	H3808		H1961

אָנֹכִי	אֲשֶׁר	וְחֻקֹּתָיו	מִצְוֹתָיו	כָּל־	אֶת־	לַעֲשׂוֹת
私が	その	そして-その-掟を	その-命令と	すべての	～を	そして-行う-ことを
H0595		H2708	H4687	H3605	H0853	

הָאֵלֶּה	הַקְּלָלוֹת	כָּל־	עָלֶיךָ	וּבָאוּ	הַיּוֹם	מְצַוְּךָ
これらの	呪いが	すべての	あなたの-上に	そして-来る	今日	あなたに-命じている
H0428	H7045	H3605		H0935	H3117	H6680

וְהִשִּׂיגוּךָ׃
そして-追いつく
H5381

しかし、あなたの神、主の声に聞き従わず、きょう、わたしが命じるすべての戒めと定めとを守り行わないならば、このもろもろののろいがあなたに臨み、あなたに及ぶであろう。

16

בַּשָּׂדֶה׃	אַתָּה	וְאָרוּר	בָּעִיר	אַתָּה	אָרוּר
野で	あなたは	そして-呪われよ	町で	あなたは	呪われよ
		H0779			H0779

あなたは町のうちでものろわれ、畑でものろわれ、

17

וּמִשְׁאֲרֹתֶךָ׃	טַנְאֶךָ	אָרוּר
そして-あなたの-こね鉢は	あなたの-籠と	呪われよ
H4863	H2935	H0779

あなたのかごも、こねばちものろわれ、

18 וְאָרוּר פִּרְיֶךָ וּפְרִי אַדְמָתֶךָ שְׁגַר אלפיך וְעַשְׁתְּרוֹת
あなたの–実は 呪われよ 実は あなたの–胎の そして–実は あなたの–地の 産むもの あなたの–牛の そして–群れ
H6529 H0779 H6529 H0990 H6529 H0127 H7698 H0504 H6251

צֹאנֶךָ׃
あなたの–羊の
H6629

あなたの身から生れるもの、地に産する物、牛の子、羊の子ものろわれるであろう。

19 אָרוּר אַתָּה בְּבֹאֶךָ וְאָרוּר אַתָּה בְּצֵאתֶךָ׃
呪われよ あなたは あなたが–入る–時に そして–呪われよ あなたは あなたが–出る–時に
H0779 H0935 H0779 H3318

あなたは、はいるにものろわれ、出るにものろわれるであろう。

20 יְשַׁלַּח יְהוָה בְּךָ אֶת הַמְּאֵרָה אֶת הַמְּהוּמָה וְאֶת הַמִּגְעָרֶת בְּכֹל
主が 送る あなたに ～を 呪いを ～を 混乱を そして–～を �叱責を すべての
H3068 H7971 H0853 H3994 H0853 H4103 H0853 H4045 H3605

מִשְׁלַח יָדְךָ אֲשֶׁר תַּעֲשֶׂה עַד הִשָּׁמְדְךָ וְעַד אֲבָדְךָ מַהֵר
業に あなたの–手の その あなたが–行う まで あなたが–滅ぼされ そして–まで あなたが–滅びる 速やかに
H3027 H0834 H6213 H5704 H8045 H5704 H0006 H4118

עֲזָבְתָנִי׃ אֲשֶׁר מִפְּנֵי רֹעַ מַעַלְלֶיךָ אֲשֶׁר
あなたが–私を–捨てた その ～の–ために 悪い あなたの–行いの その
H5800 H0834 H6440 H7455 H4611 H0834

主はあなたが手をくだすすべての働きにのろいと、混乱と、懲しめとを送られ、あなたはついに滅び、すみやかにうせ果てるであろう。これはあなたが悪をおこなってわたしを捨てたからである。

21 יַדְבֵּק יְהוָה בְּךָ אֶת הַדָּבֶר עַד כַּלֹּתוֹ אֹתְךָ מֵעַל הָאֲדָמָה
付ける 主が あなたに ～を 疫病を まで それが–尽きる あなたを ～の–上から その–地の
H1692 H3068 H0853 H1698 H5704 H3615 H0853 H5921 H0127

אֲשֶׁר אַתָּה בָא שָׁמָּה לְרִשְׁתָּהּ׃
その あなたが 入って–行く そこに 所有する–ために
H0834 H0859 H0935 H8033 H3423

主は疫病をあなたの身につかせ、あなたが行って取る地から、ついにあなたを断ち滅ぼされるであろう。

22 יַכְּכָה יְהוָה בַּשַּׁחֶפֶת וּבַקַּדַּחַת וּבַדַּלֶּקֶת וּבַחֹרֶב וּבַשִּׁדָּפוֹן
打つ 主が 肺病で そして–熱病で そして–炎症で そして–灼熱で そして–剣で
H5221 H3068 H7829 H6920 H1816 H2746 H2719

וּבַיֵּרָקוֹן וְרָדְפוּךָ עַד אָבְדֶךָ׃
そして–黄ばみで そして–追う まで あなたが–滅びる
H3420 H7291 H5704 H0006

主はまた肺病と熱病と炎症と間けつ熱と、かんばつと、立ち枯れと、腐り穂とをもってあなたを撃たれるであろう。これらのものはあなたを追い、ついにあなたを滅ぼすであろう。

23 וְהָיוּ שָׁמֶיךָ אֲשֶׁר עַל רֹאשְׁךָ נְחֹשֶׁת וְהָאָרֶץ אֲשֶׁר תַּחְתֶּיךָ
そして–なる あなたの–天が その ～の–上の あなたの–頭の 青銅に そして–地が その
H1961 H8064 H0834 H5921 H7218 H5154 H0776 H0834

בַּרְזֶל׃
鉄に
H1270

あなたの頭の上の天は青銅となり、あなたの下の地は鉄となるであろう。

24 יִתֵּן יְהוָה אֶת־מְטַר אַרְצְךָ אָבָק וְעָפָר מִן־הַשָּׁמַיִם יֵרֵד עָלֶיךָ עַד הִשָּׁמְדֶךָ׃
יִתֵּן 主が する H5414
יְהוָה 主が H3068
אֶת־ ～を H0853
מְטַר 雨を H4306
אַרְצְךָ あなたの–地の H0776
אָבָק 塵と H0080
וְעָפָר そして–砂と H6083
מִן־ ～から
הַשָּׁמַיִם 天から H8064
יֵרֵד 降る H3381
עָלֶיךָ あなたの–上に
עַד まで H5704
הִשָּׁמְדֶךָ׃ あなたが–滅ぼされる H8045

主はあなたの地の雨を、ちりと、ほこりに変らせ、それが天からあなたの上にくだって、ついにあなたを滅ぼすであろう。

25 יִתֶּנְךָ יְהוָה נִגָּף לִפְנֵי אֹיְבֶיךָ בְּדֶרֶךְ אֶחָד תֵּצֵא וּבְשִׁבְעָה דְרָכִים תָּנוּס לִפְנֵיהֶם וְהָיִיתָ לְזַעֲוָה לְכֹל
יִתֶּנְךָ あなたは–する H5414
יְהוָה 主が H3068
נִגָּף 打たれた–者と H5062
לִפְנֵי ～の–前で H6440
אֹיְבֶיךָ あなたの–敵の H0341
בְּדֶרֶךְ 道で H1870
אֶחָד 一つの H0259
תֵּצֵא あなたは–出て–行き H3318
וּבְשִׁבְעָה そして–七つの H7651
דְרָכִים 道で H1870
תָּנוּס あなたは–逃げる H5127
לִפְנֵיהֶם 彼の–前から H6440
וְהָיִיתָ そして–なる H1961
לְזַעֲוָה 恐怖と H2189
לְכֹל すべての H3605
אֶלָיו 彼に–向かって
מַמְלְכוֹת 王国の H4467
הָאָרֶץ׃ 地の H0776

主はあなたを敵の前で敗れさせられるであろう。あなたは一つの道から彼らを攻めて行くが、彼らの前で七つの道から逃げ去るであろう。そしてあなたは地のもろもろの国に恐るべき見せしめとなるであろう。

26 וְהָיְתָה נִבְלָתְךָ לְמַאֲכָל לְכָל־עוֹף הַשָּׁמַיִם וְלִבְהֵמַת הָאָרֶץ
וְהָיְתָה そして–なる H1961
נִבְלָתְךָ あなたの–死体が H5038
לְמַאֲכָל 食物と H3978
לְכָל־ すべての H3605
עוֹף 鳥の H5775
הַשָּׁמַיִם 天の H8064
וְלִבְהֵמַת そして–獣の H0929
הָאָרֶץ 地の H0776
וְאֵין そして–いない H0369
מַחֲרִיד׃ 追い払う–者が H2729

またあなたの死体は空のもろもろの鳥と、地の獣とのえじきとなり、しかもそれを追い払う者はないであろう。

27 יַכְּךָ יְהוָה בִּשְׁחִין מִצְרַיִם וּבָעְפָלִים וּבַגָּרָב וּבֶחָרֶס
יַכְּךָ 打つ H5221
יְהוָה 主が H3068
בִּשְׁחִין 腫れ物で H7822
מִצְרַיִם エジプトの H4714
וּבָעְפָלִים ― H2914
וּבַגָּרָב そして–かさぶたで H1618
וּבֶחָרֶס そして–湿疹で
לֹא־ ない H3808
תוּכַל できない H3201
לְהֵרָפֵא׃ 癒される–ことが H7495

主はエジプトの腫物と潰瘍と壊血病とひぜんとをもってあなたを撃たれ、あなたはいやされることはないであろう。

28 יַכְּךָ יְהוָה בְּשִׁגָּעוֹן וּבְעִוָּרוֹן וּבְתִמְהוֹן לֵבָב׃
יַכְּךָ 打つ H5221
יְהוָה 主が H3068
בְּשִׁגָּעוֹן 狂気で H7697
וּבְעִוָּרוֹן そして–盲目で
וּבְתִמְהוֹן そして–心の H8541
לֵבָב׃ 錯乱で H3824

また主はあなたを撃って気を狂わせ、目を見えなくし、心を混乱させられるであろう。

29 וְהָיִיתָ מְמַשֵּׁשׁ בַּצָּהֳרַיִם כַּאֲשֶׁר יְמַשֵּׁשׁ הָעִוֵּר בָּאֲפֵלָה וְלֹא
そして-なる 手探りする-者と 真昼に その-ように 手探りする 盲人が 暗闇で ない
H1961 H4959 H6931 H3117 H4959 H5787 H0653 H3808

תַצְלִיחַ אֶת־דְּרָכֶיךָ וְהָיִיתָ רַק עָשׁוּק וְגָזוּל כָּל־הַיָּמִים וְאֵין
栄えない ～を あなたの-道を そして-なる ただ 虐げられ そして-奪われる すべての 日々 そして-ない
H6743 H0853 H1870 H1961 H0389 H6231 H1497 H3605 H3117 H0369

מוֹשִׁיעַ׃
救う-者が
H3467

あなたは盲人が暗やみに手探りするように、真昼にも手探りするであろう。あなたは行く道で栄えることがなく、ただ常にしえたげられ、かすめられるだけで、あなたを救う者はないであろう。

30 אִשָּׁה תְאָרֵשׂ וְאִישׁ אַחֵר יִשְׁכָּבֶנָּה (ישגלנה) בַּיִת תִּבְנֶה
女を あなたが-婚約する そして-男が 他の 彼女と-寝る ― 家を あなたが-建てる
H0802 H0781 H0376 H0312 H7901 H7693 H1004 H1129

כֶּרֶם תִּטַּע וְלֹא תְחַלְּלֶנּוּ׃ בּוֹ תֵּשֵׁב וְלֹא־
ぶどう畑を あなたが-植える そして-ない その-実を-用いない その-中に 住まない そして-ない
H3754 H5193 H3808 H2490 H0996 H3427 H3808

תֹאכַל שׁוֹרְךָ טָבוּחַ לְעֵינֶיךָ וְלֹא תֹאכַל מִמֶּנּוּ חֲמֹרְךָ
食べない あなたの-牛が 屠られる あなたの-目の-前で そして-ない 食べない それから あなたの-ろばが
H0398 H7794 H2873 H5869 H3808 H0398 H4480 H2543

גָּזוּל מִלְּפָנֶיךָ וְלֹא יָשׁוּב לָךְ צֹאנְךָ נְתֻנוֹת
奪われる あなたの-前から そして-ない 戻らない あなたに あなたの-羊が 与えられる
H1497 H6440 H3808 H7725 H0000 H6629 H5414

מוֹשִׁיעַ׃ לָךְ וְאֵין לְאֹיְבֶיךָ
救う-者が あなたの-ための そして-いない あなたの-敵に
H3467 H0000 H0369 H0341

あなたの牛が目の前でほふられても、あなたはそれを食べることができず、あなたのろばが目の前で奪われても、返されないであろう。あなたの羊が敵のものになっても、それを救ってあなたに返す者はないであろう。

32 בָּנֶיךָ וּבְנֹתֶיךָ נְתֻנִים לְעַם אַחֵר וְעֵינֶיךָ
あなたの-息子たちと そして-あなたの-娘たちが 与えられる 民に 他の そして-あなたの-目が
H1121 H1323 H5414 H5971 H0312 H5869

רֹאוֹת וְכָלוֹת אֲלֵיהֶם כָּל־הַיּוֹם וְאֵין לְאֵל יָדֶךָ׃
見て そして-衰え-ゆく 彼らの-ことで すべての 日 そして-いない ～の-力が あなたの-手に
H7200 H3615 H0413 H3605 H3117 H0369 H0410 H3027

あなたのむすこや娘は他国民にわたされる。あなたの目はそれを見、終日、彼らを慕って衰えるが、あなたは手を施すすべもないであろう。

33 פְּרִי אַדְמָתְךָ וְכָל־יְגִיעֲךָ יֹאכַל עַם אֲשֶׁר לֹא־
実を あなたの-地の そして-すべての あなたの-労苦を 食べる 民が その ない
H6529 H0127 H3605 H3018 H0398 H5971 H0834 H3808

תֵדָע עָשׁוּק וְרָצוּץ כָּל־הַיָּמִים׃ וְהָיִיתָ רַק
あなたが-知らない ただ そして-なる 虐げられ そして-砕かれる すべての 日々
H3045 H7535 H1961 H6231 H7533 H3605 H3117

あなたの地の産物およびあなたの労して獲た物はみなあなたの知らない民が食べるであろう。あなたは、ただ常にしえたげられ、苦しめられるのみであろう。

34 וְהָיִיתָ מְשֻׁגָּע מִמַּרְאֵה עֵינֶיךָ אֲשֶׁר תִּרְאֶה׃
そして-なる 狂った-者に 光景から あなたの-目の その あなたが-見る
H1961 H7696 H4758 H7696 H7200

こうしてあなたは目に見る事柄によって、気が狂うにいたるであろう。

35 יַכְּכָה יְהוָה בִּשְׁחִין רָע עַל־הַבִּרְכַּיִם וְעַל־הַשֹּׁקַיִם אֲשֶׁר לֹא־
打つ 主が 腫れ物で 悪い ～の-上に 膝の そして-～の-上に 脛の その ない
H5221 H3068 H7822 H7451 H5921 H1290 H5921 H7785 H834 H3808

תוּכַל לְהֵרָפֵא מִכַּף רַגְלְךָ וְעַד קָדְקֳדֶךָ׃
できない 癒される-ことが 足の-裏から あなたの-足の そして-まで あなたの-頭の-頂まで
H3201 H7495 H3709 H7272 H5704 H6936

主はあなたのひざと、はぎとに悪い、いやし得ない腫物を生じさせて、足の裏から頭の頂にまで及ぼされるであろう。

36 יוֹלֵךְ יְהוָה אֹתְךָ וְאֶת־מַלְכְּךָ אֲשֶׁר תָּקִים עָלֶיךָ
連れて-行く 主が あなたを そして-～を あなたの-王を その あなたが-立てる あなたの-上に
H3212 H3068 H853 H853 H4428 H834 H6965 H5921

אֶל־גּוֹי אֲשֶׁר לֹא יָדַעְתָּ אַתָּה וַאֲבֹתֶיךָ וְעָבַדְתָּ שָׁם אֱלֹהִים אֲחֵרִים עֵץ וָאָבֶן׃
～へ 国に その ない あなたが-知らなかった あなたも そして-あなたの-先祖たちも そして-仕えた そこで 他の 木と そして-石の
H0413 H1471 H834 H3808 H3045 H859 H1 H6086 H0312 H6086 H0068

主はあなたとあなたが立てた王とを携えて、あなたもあなたの先祖も知らない国に移されるであろう。あなたはそこで木や石で造ったほかの神々に仕えるであろう。

37 וְהָיִיתָ לְשַׁמָּה לְמָשָׁל וְלִשְׁנִינָה בְּכֹל הָעַמִּים אֲשֶׁר־יְנַהֵגְךָ יְהוָה שָׁמָּה׃
そして-なる 驚きと たとえと すべての 民の-中で その 導く 主が そこへ
H1961 H8047 H4912 H8148 H3605 H5971 H834 H5090 H3068 H8033

あなたは主があなたを追いやられるもろもろの民のなかで驚きとなり、ことわざとなり、笑い草となるであろう。

38 זֶרַע רַב תּוֹצִיא הַשָּׂדֶה וּמְעַט תֶּאֱסֹף כִּי יַחְסְלֶנּוּ הָאַרְבֶּה׃
種を 多くの あなたは-持ち出す 畑に そして-少なく 集める なぜなら 食い尽くす いなごが
H2233 H7227 H3318 H7704 H4592 H622 H3588 H2628 H697

あなたが多くの種を畑に携えて出ても、その収穫は少ないであろう。いなごがそれを食いつくすからである。

39 כְּרָמִים תִּטַּע וְעָבַדְתָּ וְיַיִן לֹא־תִשְׁתֶּה וְלֹא תֹאגֹר כִּי תֹאכְלֶנּוּ הַתֹּלָעַת׃
ぶどう畑を 植えて あなたは-耕す そして-ぶどう酒を ない 飲まない そして-ない 集めない なぜなら 食べる 虫が
H3754 H5193 H5647 H3196 H3808 H8354 H3808 H622 H3588 H398 H8438

あなたがぶどう畑を作り、それにつちかっても、そのぶどう酒を飲むことができず、その実を集めることもないであろう。虫がそれを食べるからである。

40 זֵיתֶ֖יךָ יִהְיֶ֣ה לְךָ֑ בְּכָל־ גְּבוּלֶ֗ךָ וְשֶׁ֙מֶן֙ לֹ֣א תָסُ֔וךְ כִּ֥י יִשָּׁ֖ל זֵיתֶֽךָ׃

オリーブの-木が ある あなたに すべての あなたの-領土に そして-油を ない 塗らない
H2132 H1961 H3605 H1366 H8081 H3808 H5480
なぜなら 落ちる あなたの-オリーブが
H5394 H2132

あなたの国にはあまねくオリブの木があるであろう。しかし、あなたはその油を身に塗ることができないであろう。その実がみな落ちてしまうからである。

41 בָּנִ֥ים וּבָנ֖וֹת תּוֹלִ֣יד וְלֹא־ יִהְיֽוּ לָ֑ךְ כִּ֥י בַשֶּׁ֖בִי יֵלֵֽכוּ׃

息子たちと そして-娘たちを あなたは-もうける そして-ない あなたの-ものと-ならない あなたに
H1323 H3205 H3808 H1961
なぜなら 行く 捕囚に
H3212

むすこや、娘があなたに生れても、あなたのものにならないであろう。彼らは捕えられて行くからである。

42 כָּל־ עֵ֥ץ אַדְמָתְךָ֖ וּפְרִ֣י יִֽירַ֑שׁ הַצְּלָצַ֖ל׃

すべての あなたの-木と そして-実を あなたの-地の 占領する 蝉が
H3605 H6086 H6529 H0127 H3423

あなたのもろもろの木、および地の産物は、いなごが取って食べるであろう。

43 הַגֵּ֣ר אֲשֶׁ֤ר בְּקִרְבֶּךָ֙ יַעֲלֶ֣ה עָלֶ֔יךָ מַ֥עְלָה מַּ֖עְלָה וְאַתָּ֑ה תֵּרֵ֥ד מַּ֖טָּה מַּ֥טָּה׃

寄留者が その あなたの-中にいる 上がる あなたの-上に 上へ 上へ そして-あなたは
H1616 H7130 H5927 H4605 H4605
下がる 下へ 下へ
H3381 H4295 H4295

あなたのうちに寄留する他国人は、ますます高くなり、あなたの上に出て、あなたはますます低くなるであろう。

44 הוּא֙ יַלְוְךָ֔ וְאַתָּ֖ה לֹ֣א תַלְוֶ֑נּוּ הוּא֙ יִֽהְיֶ֣ה לְרֹ֔אשׁ וְאַתָּ֖ה תִּֽהְיֶ֥ה לְזָנָֽב׃

彼が あなたに-貸す そして-あなたは ない 彼に-貸さない 彼が なる 頭に
H1931 H3808 H1931 H1961
そして-あなたは なる 尾に
H1961 H2180

彼はあなたに貸し、あなたは彼に貸すことができない。彼はかしらとなり、あなたは尾となるであろう。

45 וּבָ֣אוּ עָלֶ֗יךָ כָּל־ הַקְּלָלוֹת֙ הָאֵ֔לֶּה וְרָדָפ֥וּךָ֖ וְהִשִּׂיגֽוּךָ֑ עַ֚ד הִשָּׁמְדֶ֔ךָ כִּֽי־ לֹ֥א שָׁמַ֖עְתָּ בְּקוֹל֙ יְהוָ֣ה אֱלֹהֶ֔יךָ לִשְׁמֹ֥ר מִצְוֹתָ֖יו וְחֻקֹּתָ֑יו אֲשֶׁ֥ר צִוָּֽךְ׃

そして-来る すべての 呪いが これらの 追いつく そして-追い まで
H0935 H3605 H7045 H0428 H5381 H7291 H5704
あなたが-滅ぼされる なぜなら ない あなたが-聞き従わなかった 声に 主の あなたの-神の
H8045 H3068 H3808 H8085 H0430
守る-ために その-命令と そして-その-掟を その 命じた
H8104 H4687 H2708 H6680

このもろもろののろいが、あなたに臨み、あなたを追い、ついに追いついて、あなたを滅ぼすであろう。これはあなたの神、主の声に聞き従わず、あなたに命じられた戒めと定めとを、あなたが守らなかったからである。

46

וְהָיוּ	בְךָ	לְאוֹת	וּלְמוֹפֵת	וּבְזַרְעֲךָ	עַד־	עוֹלָם׃
そして-なる	あなたに	しるしと	そして-不思議と	そして-あなたの-子孫に	まで	永遠に
H1961		H0226	H4159	H2233	H5704	H5769

これらの事は長くあなたとあなたの子孫のうえにあって、しるしとなり、また不思議となるであろう。

47

תַּחַת	אֲשֶׁר	לֹא־	עָבַדְתָּ	אֶת־	יְהוָה	אֱלֹהֶיךָ	בְּשִׂמְחָה
～の-代わりに	その	ない	あなたが-仕えなかった	～を	主に	あなたの-神に	喜びで
H8478		H3808	H5647	H0853	H3068	H0430	H8057

וּבְטוּב	לֵבָב	מֵרֹב	כֹּל׃	
そして-良い	心で	豊かさの-ゆえに	すべての	
H2898	H3824	H7230	H3605	

あなたがすべての物に豊かになり、あなたの神、主に心から喜び楽しんで仕えないので、

48

וְעָבַדְתָּ	אֶת־	אֹיְבֶיךָ	אֲשֶׁר	יְשַׁלְּחֶנּוּ	יְהוָה	בְּךָ	בָּרָעָב	וּבְצָמָא
そして-仕えた	～に	あなたの-敵に	その	送る	主が	あなたに	飢えで	そして-渇きで
H5647	H0853	H0341		H7971	H3068		H7458	H6772

וּבְעֵירֹם	וּבְחֹסֶר	כֹּל	וְנָתַן	עֹל	בַּרְזֶל	עַל־	צַוַּארֶךָ	עַד
そして-裸で	そして-欠乏で	すべての	そして-置いた	軛を	鉄の	～の-上に	あなたの-首に	まで
H5903	H2640	H3605	H5414	H5923	H1270			H5704

הִשְׁמִידֽוֹ׃	אֹתָךְ׃
滅ぼす	あなたを
H8045	H0853

あなたは飢え、かわき、裸になり、すべての物に乏しくなって、主があなたにつかわされる敵に仕えるであろう。敵は鉄のくびきをあなたのくびにかけ、ついにあなたを滅ぼすであろう。

49

יִשָּׂא	יְהוָה	עָלֶיךָ	גּוֹי	מֵרָחוֹק	מִקְצֵה	הָאָרֶץ	כַּאֲשֶׁר	יִדְאֶה
もたらす	主が	あなたの-上に	国を	遠くから	果てから	地の	その-ように	飛ぶ
H5375	H3068			H7350		H0776		H1675

הַנָּשֶׁר	לְשֹׁנוֹ׃	תִּשְׁמַע	לֹא־	אֲשֶׁר	גּוֹי
鷲が	その-言葉を	あなたが-理解しない	ない	その	国を
H5404	H3956	H8085	H3808		

すなわち主は遠い所から、地のはてから一つの民を、はげたかが飛びかけるように、あなたに攻めきたらせられるであろう。これはあなたがその言葉を知らない民、

50

יָחֹן׃	לֹא	וְנַעַר	לְזָקֵן	פָּנִים	יִשָּׂא	לֹא־	אֲשֶׁר	פָּנִים	עַז	גּוֹי
憐れまない	ない	そして-若者を	老人の	顔を	重んじない	ない	その	顔の	厳しい	国
	H3808	H5288	H2205	H6440	H5375	H3808		H6440	H5794	

顔の恐ろしい民であって、彼らは老人の身を顧みず、幼い者をあわれまず、

51

הַשָּׁמְדָךְ	עַד	אַדְמָתְךָ	וּפְרִי־	בְהֶמְתְּךָ	פְּרִי	וְאָכַל		
あなたが-滅ぼされる	まで	あなたの-地の	そして-実を	あなたの-家畜の	実を	そして-食べる		
H8045	H5704	H0127	H6529	H0929	H6529	H0398		

אֲשֶׁר	לֹא־	יַשְׁאִיר	לְךָ	דָּגָן	תִּירוֹשׁ	וְיִצְהָר	שְׁגַר	אַלְפֶּיךָ
その	ない	残さない	あなたに	穀物も	新しい-ぶどう酒も	そして-油も	産むもの	あなたの-牛の
	H3808	H7604		H1715	H8492	H3323	H7698	H0504

וְעַשְׁתְּרֹת	צֹאנֶךָ	עַד	הַאֲבִידוֹ	אֹתָךְ׃	
そして-群れ	あなたの-羊の	まで	滅ぼす	あなたを	
H6251	H6629	H5704	H0006	H0853	

あなたの家畜が産むものや、地の産物を食って、あなたを滅ぼし、穀物をも、酒をも、油をも、牛の子をも、羊の子をも、あなたの所に残さず、ついにあなたを全く滅ぼすであろう。

52 וְהֵצַר לְךָ בְּכֹל־שְׁעָרֶיךָ עַד־רֶדֶת חֹמֹתֶיךָ הַגְּבֹהוֹת

そして-包囲する あなたを すべての-門で あなたの-門で まで 倒れる あなたの-城壁が 高い
H1364 H2346 H3381 H5704 H8179 H3605 H0776

וְהַבְצֻרוֹת אֲשֶׁר אַתָּה בֹטֵחַ בָּהֶן בְּכֹל־אַרְצֶךָ

そして-堅固な その あなたが 信頼していた それらに すべての あなたの-地の-中で
H1219 H0776 H3605 H0982

וְהֵצַר לְךָ בְּכֹל־שְׁעָרֶיךָ בְּכֹל־אַרְצְךָ אֲשֶׁר נָתַן

そして-包囲する あなたを すべての-門で すべての あなたの-地の-中で その 与えた
H5414 H0776 H3605 H8179 H3605

לְךָ יְהוָה אֱלֹהֶיךָ׃

あなたに あなたの-神が 主が
H0430 H3068

その民は全国ですべての町を攻め囲み、ついにあなたが頼みとする、堅固な高い石がきをことごとく撃ちくずし、あなたの神、主が賜わった国のうちのすべての町々を攻め囲むであろう。

53 וְאָכַלְתָּ פְּרִי־בִטְנְךָ בְּשַׂר בָּנֶיךָ וּבְנוֹתֶיךָ

そして-食べた 実を 肉を あなたの-息子たちの そして-あなたの-娘たちの その
H0398 H6529 H1320 H0990 H1323

אֲשֶׁר נָתַן לְךָ יְהוָה אֱלֹהֶיךָ בְּמָצוֹר וּבְמָצוֹק אֲשֶׁר־יָצִיק

与えた あなたに 主が あなたの-神が 包囲の-中で そして-苦難の-中で その 苦しめる
H5414 H3068 H0430 H4692 H4689 H6693

לְךָ אֹיְבֶךָ׃

あなたを あなたの-敵が
H0341

あなたは敵に囲まれ、激しく攻めなやまされて、ついにあなたの神、主が賜わったあなたの身から生れた者、むすこ、娘の肉を食べるに至るであろう。

54 הָאִישׁ הָרַךְ בְּךָ וְהָעָנֹג מְאֹד תֵּרַע עֵינוֹ

その-男は 柔らかい あなたの-中の そして-甘やかされた とても 悪く-なる その-目が
H0376 H7390 H6028 H3966

בְּאָחִיו וּבְאֵשֶׁת חֵיקוֹ וּבְיֶתֶר בָּנָיו אֲשֶׁר

その-兄弟に-対して そして-妻に-対して その-懐の そして-残りに-対して その-子供たちの その
H0251 H0802 H2436

יוֹתִיר׃

残す
H3498

あなたがたのうちのやさしい、温和な男でさえも、自分の兄弟、自分のふところの妻、最後に残っている子供にも食物を惜しんで与えず、

55 מִתֵּת מִבְּלִי יֹאכַל לְאַחַד מֵהֶם מִבְּשַׂר אֲשֶׁר יֹאכַל מִבְּלִי בָּנָיו

与える-ことから 一人にも 彼らの ～の-肉から その 食べる ～の-ゆえに その-子供たちの
H5414 H0259 H1992 H1320 H0398 H1097

הַשְׁאִיר־לוֹ כֹּל בְּמָצוֹר וּבְמָצוֹק אֲשֶׁר יָצִיק לְךָ אֹיִבְךָ

残さない 彼に 何も 包囲の-中で そして-苦難の-中で その 苦しめる あなたを あなたの-敵が
H7604 H3605 H4692 H4689 H6693 H0341

בְּכֹל־שְׁעָרֶיךָ׃

すべての あなたの-門で
H3605 H8179

自分が自分の子供を食べ、その肉を少しでも、この人々のだれにも与えようとはしないであろう。これは敵があなたのすべての町々を囲み、激しく攻め悩まして、何をもその人に残さないからである。

56

כַּף־ 足の-裏を H3709 | נִסְתָּה 試みなかった H5254 | לֹא־ ない H3808 | אֲשֶׁר その | וְהָעֲנֻגָּה そして-甘やかされた H6028 | בְּךָ あなたの-中の | הָרַכָּה 柔らかな-女は H7390

תֵּרַע 悪く-なる | וּמֵרֹךְ そして-柔らかさの-ゆえに H7391 | מֵהִתְעַנֵּג 甘やかされて H6026 | הָאָרֶץ 地の H0776 | עַל־ ～の-上に | הַצֵּג 置く-ことを H3322 | רַגְלָהּ その-足の H7272

וּבִבְתָּהּ׃ そして-その-娘に-対して H1323 | וּבִבְנָהּ そして-その-息子に-対して | חֵיקָהּ その-懐の H2436 | בְּאִישׁ 夫に-対して H0376 | עֵינָהּ その-目が

またあなたがたのうちのやさしい、柔和な女、すなわち柔和で、やさしく、足の裏を土に付けようともしない者でも、自分のふところの夫や、むすこ、娘にもかくして、

57

תֵּלֵד 産む H3205 | אֲשֶׁר その | וּבִבְנֶיהָ そして-その-子供たちと | רַגְלֶיהָ その-足の H7272 | מִבֵּין ～の-間から H0996 | וְהַיּוֹצֵת 出て-くる H3318 | וְשִׁלְיָתָהּ そして-その-胎盤と H7988

אֲשֶׁר その | וּבְמָצוֹק そして-苦難の-中で H4689 | בְּמָצוֹר 包囲の-中で H4692 | בַּסָּתֶר ひそかに | כָּל すべての H3605 | בְּחֹסֶר־ 欠乏の-中で H2640 | תֹּאכְלֵם 食べる H0398 | כִּי־ なぜなら

בִּשְׁעָרֶיךָ׃ あなたの-門で H8179 | אֹיִבְךָ あなたの-敵が H0341 | לְךָ あなたを | וְצָרַק 苦しめる H6693

自分の足の間からでる後産や、自分の産む子をひそかに食べるであろう。敵があなたの町々を囲み、激しく攻めなやまして、すべての物が欠乏するからである。

58

הַזֹּאת この H2063 | הַתּוֹרָה この-律法の H8451 | דִּבְרֵי 言葉を H1697 | כָּל־ すべての H3605 | אֶת־ ～を H0853 | לַעֲשׂוֹת 行う-ことを | תִּשְׁמֹר あなたが-守らない-ならば H8104 | לֹא ない H3808 | אִם־ もし

הַזֶּה この H2088 | וְהַנּוֹרָא そして-畏るべき H3372 | הַנִּכְבָּד 栄光ある H3513 | הַשֵּׁם この-名を H8034 | אֶת־ ～を H0853 | לְיִרְאָה 畏れる-ために H3372 | הַזֶּה この H2088 | בַּסֵּפֶר この-書に | הַכְּתוּבִים 書かれた H3789

אֱלֹהֶיךָ׃ あなたの-神を H0430 | יְהוָה 主を H3068 | אֶת ～を H0853

もしあなたが、この書物にしるされているこの律法のすべての言葉を守り行わず、あなたの神、主というこの栄えある恐るべき名を恐れないならば、

59

זַרְעֶךָ あなたの-子孫の H2233 | מַכּוֹת 打撃を H4347 | וְאֶת そして-～を H0853 | מַכָּתְךָ あなたの-打撃を H4347 | אֶת־ ～を H0853 | יְהוָה 主が H3068 | וְהִפְלָא そして-驚くべき-ものに-する H6381

וְנֶאֱמָנִים׃ そして-長く-続く H0539 | רָעִים 悪い | וָחֳלָיִם そして-病を H2483 | וְנֶאֱמָנוֹת そして-長く-続く H0539 | גְּדֹלוֹת 大きな | מַכּוֹת 打撃を H4347

主はあなたとその子孫の上に激しい災を下されるであろう。その災はきびしく、かつ久しく、その病気は重く、かつ久しいであろう。

60

וְהֵשִׁיב	בְּךָ	אֵת	כָּל־	מַדְוֵי	מִצְרַיִם	אֲשֶׁר	יָגֹרְתָּ
そして-戻す	あなたに	～を	すべての	疫病を	エジプトの	その	あなたが-恐れた
H7725		H0853	H3605	H4064	H4714		H3025

מִפְּנֵיהֶם	וְדָבְקוּ	בָּךְ׃
それらの-前に	そして-付く	あなたに
H6440	H1692	

主はまた、あなたが恐れた病気、すなわちエジプトのもろもろの病気を再び臨ませて、あなたの身につかせられるであろう。

61

בְּסֵפֶר	כָּתוּב	לֹא	אֲשֶׁר	מַכָּה	וְכָל־	חֳלִי	כָּל־	גַּם
この-書に	書かれていない	ない	その	打撃を	そして-すべての	病と	すべての	また
H3789		H3808		H4347	H3605	H2483	H3605	H1571

הַשְׁמְדֶךָ׃	עַד	עָלֶיךָ	יְהוָה	יַעֲלֵם	הַזֹּאת	הַתּוֹרָה
あなたが-滅ぼされる	まで	あなたの-上に	主が	もたらす	この	この-律法の
H8045	H5704		H3068	H5927	H2063	H8451

またこの律法の書にのせてないもろもろの病気と、もろもろの災とを、主はあなたが滅びるまで、あなたの上に下されるであろう。

62

כְּכוֹכְבֵי	הֱיִיתֶם	אֲשֶׁר	תַּחַת	מְעַט	בִּמְתֵי	וְנִשְׁאַרְתֶּם	
星の-ように	あなたがたが-いた	その	～の-代わりに	少ない	わずかな-者で	そして-残される	
H3556	H1961		H8478	H4592	H4962	H7604	

אֱלֹהֶיךָ׃	יְהוָה	בְּקוֹל	שָׁמַעְתָּ	לֹא	כִּי־	לָרֹב	הַשָּׁמָיִם
あなたの-神の	主の	声に	あなたが-聞き従わなかった	ない	なぜなら	多さで	天の
H0430	H3068		H8085	H3808		H7230	H8064

あなたがたは天の星のように多かったが、あなたの神、主の声に聞き従わなかったから、残る者が少なくなるであろう。

63

אֶתְכֶם	לְהֵיטִיב	עֲלֵיכֶם	יְהוָה	שָׂשׂ	כַּאֲשֶׁר־	וְהָיָה	
あなたがたに	良く-する-ことを	あなたがたの-上で	主が	喜んだ	その-ように	そして-なる	
H0853	H3190		H3068	H7797		H1961	

לְהַאֲבִיד	עֲלֵיכֶם	יְהוָה	יָשִׂישׂ	כֵּן	אֶתְכֶם	וּלְהַרְבּוֹת
滅ぼす-ことを	あなたがたの-上で	主が	喜ぶ	そのように	あなたがたを	そして-増やす-ことを
H0006		H3068	H7797		H0853	

הָאֲדָמָה	מֵעַל	וְנִסַּחְתֶּם	אֶתְכֶם	וּלְהַשְׁמִיד	אֶתְכֶם	
その-地の	～の-上から	そして-引き抜かれる	あなたがたを	そして-滅ぼし-尽くす-ことを	あなたがたを	
H0127		H5255	H0853	H8045	H0853	

לָרִשְׁתָּהּ׃	שָׁמָּה	בָּא־	אַתָּה	אֲשֶׁר־
所有する-ために	そこに	入って-行く	あなたが	その
H3423	H8033	H0935		

さきに主があなたがたを良くあしらい、あなたがたを多くするのを喜ばれたように、主は今あなたがたを滅ぼし絶やすのを喜ばれるであろう。あなたがたは、はいって取る地から抜き去られるであろう。

64

וְהֵפִיצְךָ יְהוָה בְּכָל־ הָעַמִּים מִקְּצֵה הָאָרֶץ וְעַד־ קְצֵה הָאָרֶץ
そして–散らす 主が すべての 民の–中に 果てから 地の そして–まで 果て 地の
H0776 H5704 H0776 H3605 H3068

וְעָבַדְתָּ שָּׁם אֱלֹהִים אֲחֵרִים אֲשֶׁר לֹא־ יָדַעְתָּ אַתָּה
そして–仕えた そこで 神々に 他の その ない あなたが–知らなかった あなたも
H5647 H8033 H0430 H0312 H3808 H3045

וַאֲבֹתֶיךָ עֵץ וָאָבֶן׃
そして–あなたの–先祖たちも 木と そして–石の
H0001 H6086 H0068

主は地のこのはてから、かのはてまでのもろもろの民のうちにあなたがたを散らされるであろう。その所で、あなたもあなたの先祖たちも知らなかった木や石で造ったほかの神々にあなたは仕えるであろう。

65

וּבַגּוֹיִם הָהֵם לֹא תַרְגִּיעַ וְלֹא־ יִהְיֶה מָנוֹחַ לְכַף־
そして–その–国々の–中で その ない 安らがない そして–ない ある 休み場が 足の–裏の–ための
H1992 H3808 H7599 H3808 H1961 H4494 H3709

רַגְלֶךָ וְנָתַן יְהוָה שָׁם לְךָ לֵב רַגָּז וְכִלְיוֹן עֵינַיִם
そして–足の 与える 主が そこで あなたに 心を 震える そして–衰える 目と
H7272 H5414 H3068 H8033 H3824 H7268 H3631

וְדַאֲבוֹן נָפֶשׁ׃
そして–嘆く 魂を
H1671 H5315

その国々の民のうちであなたは安きを得ず、また足の裏を休める所も得られないであろう。主はその所で、あなたの心をおののかせ、目を衰えさせ、精神を打ちしおれさせられるであろう。

66

וְהָיוּ חַיֶּיךָ תְּלֻאִים לְךָ מִנֶּגֶד וּפָחַדְתָּ לַיְלָה וְיוֹמָם
そして–なる あなたの–命が ぶら下がっている あなたに 目の–前に そして–恐れる 夜も そして–昼も
H1961 H2416 H8511 H5048 H6342 H3915 H3119

וְלֹא תַאֲמִין בְּחַיֶּיךָ׃
信じない そして–ない あなたの–命を
H0539 H3808

あなたの命は細い糸にかかっているようになり、夜昼恐れおののいて、その命もおぼつかなく思うであろう。

67

בַּבֹּקֶר תֹּאמַר מִי־ יִתֵּן וְלָעֶרֶב תֹּאמַר מִי־ יִתֵּן עֶרֶב
朝に あなたは–言う 誰が くれようか そして–夕べに あなたは–言う 誰が くれようか 夕べを
H1242 H0559 H4310 H5414 H6153 H0559 H4310 H5414 H6153

מִפַּחַד לְבָבְךָ אֲשֶׁר תִּפְחָד וּמִמַּרְאֵה עֵינֶיךָ
恐れの–ゆえに あなたの–心の その あなたが–恐れる そして–光景の–ゆえに あなたの–目の
H6343 H3824 H6342 H4758

בֹּקֶר אֲשֶׁר תִּרְאֶה׃
朝を その あなたが–見る
H1242 H7200

あなたが心にいだく恐れと、目に見るものによって、朝には『ああ夕であればよいのに』と言い、夕には『ああ朝であればよいのに』と言うであろう。

68

תֹּסֵ֥ף	לֹא־	לְךָ֖	אָמַ֣רְתִּי	אֲשֶׁ֑ר	בַּדֶּ֣רֶךְ	בָּאֳנִיּ֔וֹת	מִצְרַ֙יְמָה֙	וַיהוָ֤ה	וְהֵשִׁיבְךָ֙
再び	ない	あなたに	私が-言った	その	道で	船で	エジプトへ	主が	そして-戻す
H3254	H3808		H0559		H1870	H0591	H4714	H3068	H7725

וְלִשְׁפָחוֹת	לַעֲבָדִ֖ים	לְאֹיְבֶ֑יךָ	שָׁ֔ם	וְהִתְמַכַּרְתֶּ֣ם	לִרְאֹתָ֔הּ	עֹ֖וד
そして-女奴隷として	奴隷として	あなたの-敵に	そこで	そして-売られる	見る-ことは	もう
H8198	H5650	H0341	H8033	H4376	H7200	H5750

ס	קֹנֶֽה׃	וְאֵ֥ין
—	買う-者が	そして-いない
	H7069	H0369

主はあなたを舟に乗せ、かつてわたしがあなたに告げて、『あなたは再びこれを見ることはない』と言った道によって、あなたをエジプトへ連れもどされるであろう。あなたがたはそこで男女の奴隷として敵に売られるが、だれも買う者はないであろう」。

Chapter 29

1

בְּנֵ֣י	אֶת־	לִכְרֹ֗ת	מֹשֶׁה֙	אֶת־	יְהוָ֤ה	צִוָּה֙	אֲשֶׁר־	הַבְּרִ֣ית	דִּבְרֵ֣י	אֵ֔לֶּה
子ら-と	～を	結ぶ-ために	モーセに	～を	主が	命じた	その	契約の	言葉	これらは
	H0854	H3772	H4872	H0853	H3068	H6680		H1285	H1697	H0428

פ	בְּחֹרֵ֑ב׃	אִתָּ֕ם	כָּרַ֖ת	אֲשֶׁר־	הַבְּרִ֥ית	מִלְבַּ֛ד	מוֹאָ֑ב	בְּאֶ֣רֶץ	יִשְׂרָאֵֽל׃
—	ホレブで	彼らと	結んだ	その	契約の	～の-ほかに	モアブの	～の-地で	イスラエルの
	H2722	H0854	H3772		H1285	H0905	H4124	H0776	H3478

これは主がモーセに命じて、モアブの地でイスラエルの人々と結ばせられた契約の言葉であって、ホレブで彼らと結ばれた契約のほかのものである。

2

אַתֶּ֗ם	אֲלֵהֶם֙	וַיֹּ֣אמֶר	יִשְׂרָאֵ֔ל	כָּל־	אֶל־	מֹשֶׁ֖ה	וַיִּקְרָ֣א		
あなたがたは	彼らに	そして-言った	イスラエルに	すべての	～に	モーセが	そして-呼んだ		
	H0413	H0559	H3478	H3605	H0413	H4872	H7121		

מִצְרַ֑יִם	בְּאֶ֣רֶץ	לְעֵינֵיכֶ֔ם	יְהוָ֛ה	עָשָׂ֥ה	אֲשֶׁ֖ר	כָּל־	אֵ֥ת	רְאִיתֶ֗ם
エジプトの	～の-地で	あなたがたの-目の-前で	主が	行った	その	すべて	～を	見た
H4714	H0776		H3068			H3605	H0853	H7200

אַרְצֹ֔ו׃	וּלְכָל־	עֲבָדָ֖יו	וּלְכָל־	לְפַרְעֹ֑ה
その-地に	そして-すべての	その-しもべたちに	そして-すべての	パロに
H0776	H3605	H5650	H3605	H6547

モーセはイスラエルのすべての人を呼び集めて言った、「あなたがたは主がエジプトの地で、パロと、そのすべての家来と、その全地とにせられたすべての事をまのあたり見た。

3

הָהֵ֖ם׃	הַגְּדֹלִ֑ים	וְהַמֹּפְתִ֣ים	הָאֹתֹ֔ת	עֵינֶ֙יךָ֙	רָא֤וּ	אֲשֶׁ֣ר	הַגְּדֹלֹ֔ת	הַמַּסֹּ֥ת
それらの	大きな	そして-不思議を	しるしと	あなたの-目が	見た	その	大きな	試みを
H1992		H4159	H0226		H7200			

すなわちその大きな試みと、しるしと、大きな不思議とをまのあたり見たのである。

4

לִרְאֹ֔ות	וְעֵינַ֥יִם	לָדַ֖עַת	לֵ֣ב	לָכֶ֑ם	יְהוָ֞ה	נָתַ֤ן	וְלֹא־		
見る-ための	そして-目を	知る-ための	心を	あなたがたに	主が	与えた	そして-ない		
H7200		H3045			H3068	H5414	H3808		

הַזֶּֽה׃	הַיּ֔וֹם	עַד	לִשְׁמֹ֣עַ	וְאָזְנַ֔יִם	
この	今日	まで	聞く-ための	そして-耳を	
H2088	H3117	H5704	H8085	H0241	

しかし、今日まで主はあなたがたの心に悟らせず、目に見させず、耳に聞かせられなかった。

5 וְאוֹלֵךְ אֶתְכֶם אַרְבָּעִים שָׁנָה בַּמִּדְבָּר לֹא־בָלוּ שַׂלְמֹתֵיכֶם
そして–導いた あなたがたを 四十 年 荒野で ない すり減らなかった あなたがたの–衣は
H0853 H0705 H8141 H3808 H1086 H8008

מֵעֲלֵיכֶם וְנַעֲלְךָ לֹא־בָלְתָה מֵעַל רַגְלֶךָ׃
あなたがたの–上から そして–あなたの–靴は ない すり減らなかった ～の–上から あなたの–足の
H5275 H3808 H1086 H7272

わたしは四十年の間、あなたがたを導いて荒野を通らせたが、あなたがたの身につけた着物は古びず、足のくつは古びなかった。

6 לֶחֶם לֹא אֲכַלְתֶּם וְיַיִן וְשֵׁכָר לֹא
パンを ない あなたがたは–食べなかった ぶどう酒も そして–強い–酒も ない
H3899 H3808 H0398 H3196 H7941 H3808

שְׁתִיתֶם לְמַעַן תֵּדְעוּ כִּי אֲנִי יְהוָה
あなたがたは–飲まなかった そうすれば あなたがたは–知る まことに 私が 主
H8354 H4616 H3045 H3068 H0589

אֱלֹהֵיכֶם׃
あなたがたの–神–である–ことを
H0430

あなたがたはまたパンも食べず、ぶどう酒も濃い酒も飲まなかった。こうしてあなたがたは、わたしがあなたがたの神、主であることを知るに至った。

7 וַתָּבֹאוּ אֶל־הַמָּקוֹם הַזֶּה וַיֵּצֵא סִיחֹן מֶלֶךְ־חֶשְׁבּוֹן
そして–来た ～に この この–場所に そして–出て–来た シホンが 王 ヘシュボンの
H0935 H0413 H2088 H4725 H3318 H5511 H4428 H2809

וְעוֹג מֶלֶךְ־הַבָּשָׁן לִקְרָאתֵנוּ לַמִּלְחָמָה וַנַּכֻּם׃
そして–オグが 王 バシャンの 私たちを–迎えて 戦い–のために そして–打った
H5747 H4428 H1316 H7125 H4421 H5221

あなたがたがこの所にきたとき、ヘシボンの王シホンと、バシャンの王オグがわれわれを迎えて戦ったが、われわれは彼らを撃ち敗って、

8 וַנִּקַּח אֶת־אַרְצָם וַנִּתְּנָה לְנַחֲלָה לָרְאוּבֵנִי וְלַגָּדִי
そして–取った ～を その–地を そして–与えた 相続地として ルベン人に そして–ガド人に
H3947 H0853 H0776 H5414 H5159 H7206 H1425

וְלַחֲצִי שֵׁבֶט הַמְנַשִּׁי׃
そして–半分に 部族の マナセの
H2677 H7626 H4520

その地を取り、これをルベンびとと、ガドびとと、マナセびとの半ばとに、嗣業として与えた。

9 וּשְׁמַרְתֶּם אֶת־דִּבְרֵי הַבְּרִית הַזֹּאת וַעֲשִׂיתֶם אֹתָם לְמַעַן
そして–守りなさい ～を 言葉を この–契約の この そして–行いなさい それらを そうすれば
H8104 H0853 H1697 H1285 H2063 H6213 H0853 H4616

תַּשְׂכִּילוּ אֵת כָּל־אֲשֶׁר תַּעֲשׂוּן׃ פ
あなたがたは–栄える ～を すべて その あなたがたが–行う —
H0853 H3605

それゆえ、あなたがたはこの契約の言葉を守って、それを行わなければならない。そうすればあなたがたのするすべての事は栄えるであろう。

10

אַתֶּם נִצָּבִים הַיּוֹם כֻּלְּכֶם לִפְנֵי יְהוָה אֱלֹהֵיכֶם
あなたがたは 立っている 今日 あなたがた全員 ～の前に 主の あなたがたの神
H0859 H5324 H3117 H3605 H6440 H3068 H0430

רָאשֵׁיכֶם שִׁבְטֵיכֶם זִקְנֵיכֶם וְשֹׁטְרֵיכֶם
あなたがたの頭たちが あなたがたの部族が あなたがたの長老たちが そして役人たちが
H7218 H7626 H2205 H7860

כָּל אִישׁ יִשְׂרָאֵל׃
すべての 人が イスラエルの
H3605 H0376 H3478

あなたがたは皆、きょう、あなたがたの神、主の前に立っている。すなわちあなたがたの部族のかしらたち、長老たち、つかさたちなど、イスラエルのすべての人々、

11

בְּקִרְבֶּךָ אֲשֶׁר וְגֵרְךָ נְשֵׁיכֶם טַפְּכֶם
～の中に いる その そして あなたの寄留者が あなたがたの妻たちが あなたがたの幼子たちが
H7130 H1616 H0802 H2945

מְחֹטֵב עֵצֶיךָ עַד מִשֹּׁאֵב מֵימֶיךָ׃
あなたの木を切る者から あなたの木の まで あなたの水を汲む者まで あなたの陣営の
H2404 H6086 H5704 H7579 H4264

あなたがたの小さい者たちも、妻たちも、宿営のうちに寄留している他国人も、あなたのために、たきぎを割る者も、水をくむ者も、みな主の前に立って、

12

לְעָבְרְךָ בִּבְרִית יְהוָה אֱלֹהֶיךָ וּבְאָלָתוֹ אֲשֶׁר יְהוָה
あなたが入る ために 契約に 主の あなたの神の そして その 主が
H5674 H1285 H3068 H0430 H0423 H0834 H3068

כֹּרֵת עִמְּךָ הַיּוֹם׃
結んでいる あなたと 今日
H3772 H3117

あなたの神、主が、きょう、あなたと結ばれるあなたの神、主の契約と誓いとに、はいろうとしている。

13

לְמַעַן הָקִים־אֹתְךָ הַיּוֹם לּוֹ וְהוּא יִהְיֶה־לְּךָ לְעָם
そうすれば 確立する あなたを 今日 その そして なる あなたの 民として
H4616 H6965 H0853 H3117 H1931 H1961

כַּאֲשֶׁר דִּבֶּר־לָךְ וְכַאֲשֶׁר נִשְׁבַּע לַאֲבֹתֶיךָ
～通りに 語った あなたに そして～通りに 誓った あなたの先祖たちに
H1696 H0834 H7650 H0001

לְאַבְרָהָם לְיִצְחָק וּלְיַעֲקֹב׃
アブラハムに イサクに そして～ヤコブに
H0085 H3327 H3290

これは主がさきにあなたに約束されたように、またあなたの先祖アブラハム、イサク、ヤコブに誓われたように、きょう、あなたを立てて自分の民とし、またみずからあなたの神となられるためである。

14

וְלֹא אִתְּכֶם לְבַדְּכֶם אָנֹכִי כֹּרֵת אֶת־הַבְּרִית הַזֹּאת וְאֶת־
ない そして だけ あなたがたと 私は 結んでいる ～を この契約を この そして
H3808 H0905 H0854 H0595 H3772 H0853 H1285 H2063 H0853

הָאָלָה הַזֹּאת׃
この誓いを この
H0423 H2063

わたしはただあなたがたとだけ、この契約と誓いとを結ぶのではない。

15 כִּי֩ אֶת־ אֲשֶׁ֨ר יֶשְׁנֹ֜ו פֹּ֗ה עִמָּ֤נוּ֙ הָעֹמֵ֣ד הַיֹּ֔ום לִפְנֵ֖י יְהוָ֣ה
まことに ～と その いる ここに 私たちと–共に 立っている 今日 ～の–前に 主の
H3068 H6440 H3117 H5975 H6311 H3426 H0854

אֱלֹהֵ֑ינוּ וְאֶת֙ אֲשֶׁ֣ר אֵינֶ֔נּוּ פֹּ֖ה עִמָּ֥נוּ הַיֹּֽום׃
私たちの–神の そして–～と その いない ここに 私たちと–共に 今日
H0430 H0854 H0369 H6311 H3426 H3117

きょう、ここで、われわれの神、主の前にわれわれと共に立っている者ならびに、きょう、ここにわれわれと共にいない者とも結ぶのである。

16 כִּ֣י אַתֶּ֗ם יְדַעְתֶּם֙ אֵ֣ת אֲשֶׁר־ יָשַׁ֣בְנוּ בְאֶֽרֶץ־ מִצְרַ֔יִם
なぜなら ～を 知っている あなたがたは ～を その 私たちが–住んだ ～の–地に エジプトの
H0853 H3045 H4714 H0776 H3427

וְאֵת֙ אֲשֶׁר־ עָבַ֣רְנוּ בְקֶ֣רֶב הַגֹּויִ֔ם אֲשֶׁ֖ר עֲבַרְתֶּֽם׃
そして–～を その 私たちが–通った ～の–中を 国々の その あなたがたが–通った
H0853 H7130

われわれがどのようにエジプトの国に住んでいたか、どのように国々の民の中を通ってきたか、それはあなたがたが知っている。

17 וַתִּרְאוּ֙ אֶת־ שִׁקּוּצֵיהֶ֔ם וְאֶת֙ גִּלֻּלֵיהֶ֔ם עֵ֥ץ וְאֶ֖בֶן כֶּ֣סֶף
そして–見た ～を その–忌まわしい–ものを そして–～を その–偶像を 木と そして–石と 銀と
H7200 H0853 H8251 H0853 H1544 H6086 H0068 H3701

וְזָהָ֑ב אֲשֶׁ֥ר עִמָּהֶֽם׃
そして–金の その 彼らの–もとに–ある
H2091

またあなたがたは木や石や銀や金で造った憎むべき物と偶像とが、彼らのうちにあるのを見た。

18 פֶּן־ יֵ֣שׁ בָּכֶ֗ם אִ֤ישׁ אֹו־ אִשָּׁה֙ אֹו֙ מִשְׁפָּחָ֔ה
さもないと いる あなたがたの–中に 男–あるいは あるいは 女–あるいは あるいは 氏族–あるいは
H6435 H3426 H0376 H0802 H4940

אֲשֶׁ֨ר לְבָבֹ֜ו פֹּנֶ֣ה הַיֹּ֗ום עִם֮ מֵעִם֒ יְהוָ֣ה אֱלֹהֵ֔ינוּ
その 心が 向いている 今日 ～から–離れて 主から 私たちの–神から
H3824 H6437 H3117 H5647 H3068 H0430

אֲשֶׁ֨ר יֵ֣שׁ בָּכֶ֗ם שֹׁ֤רֶשׁ פֹּרֶה֙ רֹ֣אשׁ וְלַעֲנָֽה׃
その 根が 生じる 毒を そして–苦さを
H8328 H6509 H7219 H3939

それゆえ、あなたがたのうちに、きょう、その心にわれわれの神、主を離れてそれらの国民の神々に行って仕える男や女、氏族や部族があってはならない。またあなたがたのうちに、毒草や、にがよもぎを生ずる根があってはならない。

19

בִּלְבָבוֹ	וְהִתְבָּרֵךְ	הַזֹּאת	הָאָלָה	דִּבְרֵי	אֶת־	בְּשָׁמְעוֹ	וְהָיָה	
その–心の–中で	そして–自ら–祝福して	この	この–誓いの	言葉を	～を	聞く–時に	そして–なる	
H3824	H1288	H2063	H0423	H1697	H0853	H8085	H1961	

סְפוֹת	לְמַעַן	אֵלֵךְ	לִבִּי	בִּשְׁרִרוּת	כִּי	לִי	יִהְיֶה־	שָׁלוֹם	לֵאמֹר
加える	そうすれば	私は–歩く	私の–心の	頑なさの–中で	なぜなら	私に	ある	平安が	言って
H5595	H4616	H3212		H8307			H1961	H7965	H0559

הַצְּמֵאָה׃	אֶת־	הָרָוָה
渇いた–ものに	～を	潤った–ものが
H6771	H0854	H7302

そのような人はこの誓いの言葉を聞いても、心に自分を祝福して『心をかたくなにして歩んでもわたしには平安がある』と言うであろう。そうすれば潤った者も、かわいた者もひとしく滅びるであろう。

20

יְהוָה	אַף־	יֶעְשַׁן	אָז	כִּי	לוֹ׀	סְלֹחַ	יְהוָה׀	יֹאבֶה	לֹא־
主の	怒りが	燃える	その–時	なぜなら	彼を	赦す–ことを	主が	望まない	ない
H3068	H0639	H6225				H5545	H3068	H0014	H3808

בַּסֵּפֶר	הַכְּתוּבָה	הָאָלָה	כָּל־	בּוֹ	וְרָבְצָה	הַהוּא	בָּאִישׁ	וְקִנְאָתוֹ׀	
この–書に	書かれた	呪いが	すべての	その–上に	そして–伏す	その	その–人に	そして–ねたみが	
H3789	H0423	H3605			H7257	H1931	H0376	H7068	

הַשָּׁמָיִם׃	מִתַּחַת	שְׁמוֹ	אֶת־	יְהוָה׀	וּמָחָה	הַזֶּה
天の	～の–下から	その–名を	～を	主が	そして–消す	この
H8064	H8478	H8034	H0853	H3068		H2088

主はそのような人をゆるすことを好まれない。かえって主はその人に怒りとねたみを発し、この書物にしるされたすべてののろいを彼の上に加え、主はついにその人の名を天の下から消し去られるであろう。

21

אָלוֹת	כְּכֹל	יִשְׂרָאֵל	שִׁבְטֵי	מִכֹּל	לְרָעָה	יְהוָה׀	וְהִבְדִּילוֹ	
呪いに–従い	すべての	イスラエルの	部族の	すべてから	災いの–ために	主が	そして–分ける	
H0423	H3605	H3478	H7626	H3605		H3068	H0914	

הַזֶּה׃	הַתּוֹרָה	בְּסֵפֶר	הַכְּתוּבָה	הַבְּרִית
この	この–律法の	～の–書に	書かれた	契約の
H2088	H8451		H3789	H1285

主はイスラエルのすべての部族のうちからその人を区別して災をくだし、この律法の書にしるされた契約の中のもろもろののろいのようにされるであろう。

22

מֵאַחֲרֵיכֶם	יָקוּמוּ	אֲשֶׁר	בְּנֵיכֶם׀	הָאַחֲרוֹן	הַדּוֹר	וְאָמַר
あなたがたの–後に	起こる	その	あなたがたの–子供たちが	後の	世代が	そして–言う
				H0314	H1755	H0559

הַהוּא	הָאָרֶץ	מַכֹּות	אֶת־	וְרָאוּ	רְחוֹקָה	מֵאֶרֶץ	יָבֹא	אֲשֶׁר	וְהַנָּכְרִי
その	その–地の	打撃を	～を	そして–見る	遠い	～の–地から	来る	その	そして–異国人が
H1931	H0776	H4347	H0853	H7200	H7350	H0776	H0935		H5237

בָּהּ׃	יְהוָה	חִלָּה	אֲשֶׁר־	תַּחֲלֻאֶיהָ	וְאֶת־
それを	主が	病ませた	その	その–病を	そして–～を
	H3068			H8463	H0853

後の代の人、すなわちあなたがたののちに起るあなたがたの子孫および遠い国から来る外国人は、この地の災を見、主がこの地にくだされた病気を見て言うであろう。

תַּצְמִ֖חַ וְלֹ֣א תִזָּרֵ֑עַ לֹ֣א אֵרֶ֤צָה כָּל־ שְׂרֵפָ֙ה וְמֶ֣לַח גָּפְרִ֔ית 23
芽吹かず そして-ない 蒔かれず ない その-地は すべての 焼かれた そして-塩で 硫黄と
H6779 H3808 H2232 H3808 H0776 H3605 H8316 H4417 H1614

וַעֲמֹרָ֔ה סְדֹ֥ם כְּמַהְפֵּכַ֖ת עֵ֣שֶׂב כָּל־ בָּ֑הּ יַֽעֲלֶ֥ה וְלֹא־
そして-ゴモラの ソドムと ～の-覆りの-ように 草も いかなる その-中に 生えない そして-ない
H6017 H5467 H4114 H6212 H3605 H5927 H3808

וּבַחֲמָתֽוֹ׃ בְּאַפּ֖וֹ יְהוָ֥ה הָפַ֛ךְ אֲשֶׁ֥ר]וצביים[(וּצְבוֹיִ֑ם) אַדְמָ֔ה
そして-その-憤りで その-怒りで 主が 覆した その ― そして-ツェボイムの アドマと
H2534 H0639 H3068 H2015 H6636 H6636 H0126

――全地は硫黄となり、塩となり、焼け土となって、種もまかれず、実も結ばず、なんの草も生じなくなって、むかし主が怒りと憤りをもって滅ぼされたソドム、ゴモラ、アデマ、ゼボイムの破滅のようである。――

הַזֹּ֣את לָאָ֔רֶץ כָּכָ֖ה יְהוָ֑ה עָשָׂ֣ה מֶ֔ה עַל־ הַגּוֹיִ֖ם כָּל־ וְאָמְר֥וּ 24
この この-地に このように 主が 行った なぜ ～について 国々が すべての そして-言う
H2063 H0776 H3602 H3068 H4100 H3605 H0559

הַזֶּֽה׃ הַגָּד֥וֹל הָאַ֛ף חֲרִ֥י מֶֽה
この 大きな 怒りの 激しさは 何か
H2088 H0639 H2750 H4100

すなわち、もろもろの国民は言うであろう、『なぜ、主はこの地にこのようなことをされたのか。この激しい大いなる怒りは何ゆえか』。

אֲבֹתָ֔ם אֱלֹהֵ֣י יְהוָ֗ה בְּרִית֙ אֵ֣ת־ עָזְב֔וּ אֲשֶׁ֥ר עַ֖ל וְאָמְר֥וּ 25
その-先祖たちの 神の 主の 契約を ～を 彼らが-捨てた その ～について そして-言う
H0001 H0430 H3068 H1285 H0853 H3772 H0559

מִצְרָֽיִם׃ מֵאֶ֣רֶץ אֹתָ֑ם בְּהוֹצִיאֽוֹ עִמָּ֖ם כָּרַ֥ת אֲשֶׁ֛ר
エジプトの ～の-地から 彼らを 導き出した-時に 彼らと 結んだ その
H4714 H0776 H0853 H3318 H3772

そのとき人々は言うであろう、『彼らはその先祖の神、主がエジプトの国から彼らを導き出して彼らと結ばれた契約をすて、

לֹא־ אֲשֶׁ֤ר אֱלֹהִים֙ לָהֶ֔ם וַיִּשְׁתַּחֲוּ֙ אֲחֵרִ֔ים אֱלֹהִ֖ים וַיַּעַבְד֑וּ וַיֵּלְכ֕וּ 26
ない その 神々に 彼らに そして-ひれ伏した 他の 神々に そして-仕えた そして-行って
H3808 H0430 H7812 H0312 H0430 H5647 H3212

לָהֶֽם׃ חָלַ֖ק וְלֹ֥א יָדָֽעוּם
彼らに 割り当てなかった そして-ない 彼らが-知らなかった
H3808 H3045

行って彼らの知らない、また授からない、ほかの神々に仕えて、それを拝んだからである。

אֵת־ עָלֶ֔יהָ לְהָבִ֣יא הַהֲוָ֔א בָּאָ֖רֶץ יְהוָ֑ה אַף־ וַיִּֽחַר־ 27
～を その-上に もたらす-ために その その-地に-対して 主の 怒りが そして-燃えた
H0853 H0935 H1931 H0776 H3068 H0639 H2734

הַזֹּֽאת׃ בַּסֵּ֖פֶר הַכְּתוּבָ֔ה הַקְּלָלָ֥ה כָּל־
この この-書に 書かれた 呪いを すべての
H2088 H3789 H7045 H3605

それゆえ主はこの地にむかって怒りを発し、この書物にしるされたもろもろののろいをこれにくだし、

28

וַיִּתְּשֵׁם יְהוָה מֵעַל אַדְמָתָם בְּאַף וּבְחֵמָה וּבְקֶצֶף גָּדוֹל
そして–引き抜いた 主が ～の–上から その–地から 怒りで そして–憤りで そして–激しい 大きな
H5428 H3068 H0127 H0639 H2534

וַיַּשְׁלִכֵם אֶל־אֶרֶץ אַחֶרֶת כַּיּוֹם הַזֶּה׃
そして–投げ込んだ ～へ 地に 他の この–日の–ように この
H7993 H0413 H0776 H0312 H3117 H2088

そして主は怒りと、はげしい怒りと大いなる憤りとをもって彼らをこの地から抜き取って、ほかの国に投げやられた。今日見るとおりである』。

29

הַנִּסְתָּרֹת לַיהוָה אֱלֹהֵינוּ וְהַנִּגְלֹת לָנוּ
隠された–ことは 主の–もの 私たちの–神の そして–明らかに–された–ことは 私たちの–もの
H5641 H3068 H0430 H1540

וּלְבָנֵינוּ עַד־עוֹלָם לַעֲשׂוֹת אֶת־כָּל־דִּבְרֵי הַתּוֹרָה הַזֹּאת׃ ס
そして–私たちの–子供たちの–もの ～まで 永遠に 行う–ために ～を すべての 言葉を この–律法の この ―
H5704 H5769 H0853 H3605 H1697 H8451 H2063

隠れた事はわれわれの神、主に属するものである。しかし表わされたことは長くわれわれとわれわれの子孫に属し、われわれにこの律法のすべての言葉を行わせるのである。

Chapter 30

1

וְהָיָה כִּי־יָבֹאוּ עָלֶיךָ כָּל־הַדְּבָרִים הָאֵלֶּה הַבְּרָכָה
そして–なる もし 来た–時に あなたの–上に すべての 事柄が これらの 祝福と
H1961 H3588 H0935 H5921 H3605 H1697 H0428 H1293

וְהַקְּלָלָה אֲשֶׁר נָתַתִּי לְפָנֶיךָ וְהֲשֵׁבֹתָ אֶל־לְבָבְךָ
そして–呪いが その 私が–置いた あなたの–前に そして–思い返した–ならば ～へ あなたの–心に
H7045 H0834 H5414 H6440 H7725 H0413 H3824

בְּכָל־הַגּוֹיִם אֲשֶׁר הִדִּיחֲךָ יְהוָה אֱלֹהֶיךָ שָׁמָּה׃
すべての 国々の–中で その 追いやった 主が あなたの–神が そこに
H3605 H1471 H5080 H3068 H0430 H8033

わたしがあなたがたの前に述べたこのもろもろの祝福と、のろいの事があなたに臨み、あなたがあなたの神、主に追いやられたもろもろの国民のなかでこの事を心に考えて、

2

וְשַׁבְתָּ עַד־יְהוָה אֱלֹהֶיךָ וְשָׁמַעְתָּ בְקֹלוֹ כְּכֹל אֲשֶׁר־
そして–立ち返り ～に 主に あなたの–神に そして–聞き従った–ならば その–声に すべて その–
H7725 H5704 H3068 H0430 H8085 H0870 H3605 H0834

אָנֹכִי מְצַוְּךָ הַיּוֹם אַתָּה וּבָנֶיךָ בְּכָל־לְבָבְךָ וּבְכָל־
私が あなたに–命じている 今日 あなたが そして–あなたの–子供たちが すべての あなたの–心で そして–すべての
H0595 H6680 H3117 H0859 H1121 H3605 H3824 H3605

נַפְשֶׁךָ׃
あなたの–魂で
H5315

あなたもあなたの子供も共にあなたの神、主に立ち帰り、わたしが、きょう、命じるすべてのことにおいて、心をつくし、精神をつくして、主の声に聞き従うならば、

3

וְשָׁב	וְרִחֲמֶךָ	שְׁבוּתְךָ	אֶת־	אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה	וְשָׁב	
そして–再び	そして–憐れむ	あなたの–捕囚を	～を	あなたの–神が	主が	そして–戻す	
H7725	H7355	H7622	H0853	H0430	H3068	H7725	

וְקִבֶּצְךָ	מִכֹּל־	הָעַמִּים	אֲשֶׁר	הֱפִיצְךָ	יְהוָה	אֱלֹהֶיךָ	שָׁמָּה׃
そして–集める	すべてから	民の	その	散らした	主が	あなたの–神が	そこへ
H6908	H3605	H5971	H0834	H6327	H3068	H0430	H8033

あなたの神、主はあなたを再び栄えさせ、あなたをあわれみ、あなたの神、主はあなたを散らされた国々から再び集められるであろう。

4

יְהוָה	יְקַבֶּצְךָ	מִשָּׁם	הַשָּׁמַיִם	בִּקְצֵה	נִדַּחֲךָ	יִהְיֶה	אִם־
主が	集める	そこから	天の	果てに	あなたの–追い散らされた–者が	あった–としても	もし
H3068	H6908	H8033	H8064		H5080	H1961	

יִקָּחֶךָ׃	וּמִשָּׁם	אֱלֹהֶיךָ
あなたを–取る	そして–そこから	あなたの–神が
H3947	H8033	H0430

たといあなたが天のはてに追いやられても、あなたの神、主はそこからあなたを集め、そこからあなたを連れ帰られるであろう。

5

אֲבֹתֶיךָ	יָרְשׁוּ	אֲשֶׁר־	הָאָרֶץ	אֶל־	אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה	וְהֵבִיאֲךָ
あなたの–先祖たちが	所有した	その	その–地に	～へ	あなたの–神が	主が	そして–連れて–来る
H0001	H3423		H0776	H0413	H0430	H3068	H0935

מֵאֲבֹתֶיךָ׃	וְהִרְבְּךָ	וְהֵיטִבְךָ	וְיָרַשְׁתָּהּ
あなたの–先祖たち–よりも	そして–増やす	そして–良く–する	そして–あなたは–所有する
H0001		H3190	H3423

あなたの神、主はあなたの先祖が所有した地にあなたを帰らせ、あなたはそれを所有するに至るであろう。主はまたあなたを栄えさせ、数を増して先祖たちよりも多くされるであろう。

6

לְבָבְךָ	וְאֶת־	לְבַבְךָ	אֶת־	אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה	וּמָל	
心に	そして–～を	あなたの–心に	～を	あなたの–神が	主が	そして–割礼を–施す	
H3824	H0853	H3824	H0853	H0430	H3068		

לְבָבְךָ	בְּכָל־	אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה	אֶת־	לְאַהֲבָה	זַרְעֶךָ	
あなたの–心で	すべての	あなたの–神を	主を	～を	愛する–ために	あなたの–子孫の	
H3824	H3605	H0430	H3068	H0853	H0157	H2233	

חַיֶּיךָ׃	לְמַעַן	נַפְשְׁךָ	וּבְכָל־
あなたは–生きる	そうすれば	あなたの–魂で	そして–すべての
	H4616	H5315	H3605

そしてあなたの神、主はあなたの心とあなたの子孫の心に割礼を施し、あなたをして、心をつくし、精神をつくしてあなたの神、主を愛させ、こうしてあなたに命を得させられるであろう。

7

אֹיְבֶיךָ	עַל־	הָאֵלֹה	הָאָלוֹת	כָּל־	אֶת	אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה	וְנָתַן
あなたの–敵の	～の–上に	これらの	呪いを	すべての	～を	あなたの–神が	主が	そして–置く
H0341		H0428	H0423	H3605	H0853	H0430	H3068	H5414

רְדָפֻוךָ׃	אֲשֶׁר	שֹׂנְאֶיךָ	וְעַל־
あなたを–迫害した	その	あなたを–憎む–者の	そして–～の–上に
H7291		H8130	

あなたの神、主はまた、あなたを迫害する敵と、あなたを憎む者とに、このもろもろののろいをこうむらせられるであろう。

8

כָּל־ / すべての / H3605
אֶת־ / ～を / H0853
וְעָשִׂיתָ / そして-行う
יְהוָה / 主の / H3068
בְּקוֹל / 声に
וְשָׁמַעְתָּ / そして-聞き従う / H8085
תָּשׁוּב / 立ち返り / H7725
וְאַתָּה / そして-あなたは

מְצַוְּךָ / あなたに-命じている / H6680
אָנֹכִי / 私が / H0595
אֲשֶׁר / その
מִצְוֹתָיו / その-命令を / H4687
הַיּוֹם׃ / 今日 / H3117

しかし、あなたは再び主の声に聞き従い、わたしが、きょう、あなたに命じるすべての戒めを守るであろう。

9

בִּטְנְךָ / あなたの-胎の / H0990
בִּפְרִי / 実に / H6529
יָדֶךָ / あなたの-手の / H3027
מַעֲשֵׂה / 業に / H4639
וּבְכֹל / すべての / H3605
אֱלֹהֶיךָ / あなたの-神が / H0430
יְהוָה / 主が / H3068
וְהוֹתִירְךָ֞ / そして-豊かに-する / H3498

יְהוָה / 主が / H3068
יָשׁוּב / 再び / H7725
כִּי / なぜなら
לְטוֹבָה / 良い-もので
אַדְמָתֶךָ / あなたの-地の / H0127
וּבִפְרִי / そして-実に / H6529
בְּהֶמְתְּךָ / あなたの-家畜の / H0929
וּבִפְרִי / そして-実に / H6529

אֲבֹתֶיךָ׃ / あなたの-先祖たちの / H0001
עַל־ / ～の-上で
שָׂשׂ / 喜んだ / H7797
כַּאֲשֶׁר־ / その-通りに
לְטוֹב / 良い-ことのために
עָלֶיךָ / あなたの-上で
לָשׂוּשׂ / 喜ぶ / H7797

そうすればあなたの神、主はあなたのするすべてのことと、あなたの身から生れる者と、家畜の産むものと、地に産する物を豊かに与えて、あなたを栄えさせられるであろう。すなわち主はあなたの先祖たちを喜ばれたように再びあなたを喜んで、あなたを栄えさせられるであろう。

10

וְחֻקֹּתָיו / そして-その-掟を / H2708
מִצְוֹתָיו / その-命令と / H4687
לִשְׁמֹר / 守り / H8104
אֱלֹהֶיךָ / あなたの-神の / H0430
יְהוָה / 主の / H3068
בְּקוֹל / 声に
תִּשְׁמַע / あなたが-聞き従い / H8085
כִּי / なぜなら

אֱלֹהֶיךָ / あなたの-神に / H0430
יְהוָה / 主に / H3068
אֶל־ / ～に / H0413
תָּשׁוּב / あなたが-立ち返る / H7725
כִּי / なぜなら
הַזֶּה / この / H2088
הַתּוֹרָה / この-律法の / H8451
בְּסֵפֶר / この-書に
הַכְּתוּבָה / 書かれた / H3789

פ / —
נַפְשֶׁךָ׃ / あなたの-魂で / H5315
וּבְכָל־ / そして-すべての / H3605
לְבָבְךָ / あなたの-心で / H3824
בְּכָל־ / すべての / H3605

これはあなたが、あなたの神、主の声に聞きしたがい、この律法の書にしるされた戒めと定めとを守り、心をつくし、精神をつくしてあなたの神、主に帰するからである。

11

נִפְלֵאת / 難しく-ない / H6381
לֹא־ / ない / H3808
הַיּוֹם / 今日 / H3117
מְצַוְּךָ / あなたに-命じている / H6680
אָנֹכִי / 私が / H0595
אֲשֶׁר / その
הַזֹּאת / この / H2063
הַמִּצְוָה / この-命令は / H4687
כִּי / まことに

הִוא׃ / それは / H1931
רְחֹקָה / 遠く-ない / H7350
וְלֹא / そして-ない / H3808
מִמְּךָ / あなたに-とって
הִוא / それは / H1931

わたしが、きょう、あなたに命じるこの戒めは、むずかしいものではなく、また遠いものでもない。

12

וְיִקָּחֶהָ / そして-取って-来る / H3947
הַשָּׁמַיְמָה / 天に / H8064
לָנוּ / 私たちの-ために
יַעֲלֶה־ / 上って-行く / H5927
מִי / 誰が / H4310
לֵאמֹר / 言って / H0559
הִוא / それは / H1931
בַּשָּׁמַיִם / 天に / H8064
לֹא / ない / H3808

וְנַעֲשֶׂנָּה׃ / そして-私たちは-行う
אֹתָהּ / それを / H0853
וְיַשְׁמִעֵנוּ / そして-聞かせる / H8085
לָּנוּ / 私たちの-ために

これは天にあるのではないから、『だれがわれわれのために天に上り、それをわれわれのところへ持ってきて、われわれに聞かせ、行わせるであろうか』と言うに及ばない。

13

עֵבֶר	אֶל־	לָנוּ	יַעֲבָר־	מִי	לֵאמֹר	הֻוא	לַיָּם	מֵעֵבֶר	וְלֹא־	
向こうに	～へ	私たちの–ために	渡る	誰が	言って	それは	海の	向こうに	そして–ない	
H5676	H0413			H4310	H0559	H1931	H3220	H5676	H3808	

וְנַעֲשֶׂנָּה׃	אֹתָהּ	וְיַשְׁמִעֵנוּ	לָּנוּ	וְיִקָּחֶהָ	הַיָּמָה
そして–私たちは–行う	それを	そして–聞かせる	私たちの–ために	そして–取って–来る	海の
	H0853	H8085		H3947	H3220

またこれは海のかなたにあるのではないから、『だれがわれわれのために海を渡って行き、それをわれわれのところへ携えてきて、われわれに聞かせ、行わせるであろうか』と言うに及ばない。

14

לַעֲשׂתֽוֹ׃	וּבִלְבָבְךָ	בְּפִיךָ	מְאֹד	הַדָּבָר	אֵלֶיךָ	קָרוֹב	כִּי־	
行う–ために	そして–あなたの–心に	あなたの–口に	とても	その–言葉は	あなたに	近い	まことに	
	H3824	H6310	H3966	H1697	H0413	H7138		

ס

この言葉はあなたに、はなはだ近くあってあなたの口にあり、またあなたの心にあるから、あなたはこれを行うことができる。

15

הַמָּוֶת	וְאֶת־	הַטּוֹב	וְאֶת־	הַחַיִּים	אֶת־	הַיּוֹם	לְפָנֶיךָ	נָתַתִּי	רְאֵה
死と	そして–～を	善と	そして–～を	命と	～を	今日	あなたの–前に	私は–置いた	見よ
H4194	H0853		H0853		H0853	H3117	H6440	H5414	H7200

הָרָע׃	וְאֶת־
悪を	そして–～を
	H0853

見よ、わたしは、きょう、命とさいわい、および死と災をあなたの前に置いた。

16

אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה	אֶת־	לְאַהֲבָה	הַיּוֹם׃	מְצַוְּךָ	אָנֹכִי	אֲשֶׁר	
あなたの–神を	主を	～を	愛する–ことを	今日	あなたに–命じている	私が	その	
H0430	H3068	H0853	H0157	H3117	H6680	H0595		

וּמִשְׁפָּטָיו	וְחֻקָּתָיו	מִצְוֹתָיו	וְלִשְׁמֹר	בִּדְרָכָיו	לָלֶכֶת	
そして–その–定めを	そして–その–掟と	その–命令と	そして–守る–ことを	その–道に	歩む–ことを	
H4941	H2708	H4687	H8104	H1870	H3212	

אַתָּה	אֲשֶׁר־	בָּאָרֶץ	אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה	וּבֵרַכְךָ	וְרָבִיתָ	וְחָיִיתָ	
あなたが	その	その–地で	あなたの–神が	主が	そして–祝福する	そして–増える	そして–生きる	
	H0776	H0430		H3068	H1288		H2421	

לְרִשְׁתָּהּ׃	שָׁמָּה	בָּא־
所有する–ために	そこに	入って–行く
H3423	H8033	H0935

すなわちわたしは、きょう、あなたにあなたの神、主を愛し、その道に歩み、その戒めと定めと、おきてとを守ることを命じる。それに従うならば、あなたは生きながらえ、その数は多くなるであろう。またあなたの神、主はあなたが行って取る地であなたを祝福されるであろう。

17

תִּשְׁמָע	וְלֹא	לְבָבְךָ	יִפְנֶה	וְאִם־	
あなたが–聞かない–ならば	そして–ない	あなたの–心が	向いた–ならば	そして–もし	
H8085	H3808	H3824	H6437		

וַעֲבַדְתָּם׃	אֲחֵרִים	לֵאלֹהִים	וְהִשְׁתַּחֲוִיתָ	וְנִדַּחְתָּ
そして–仕えた–ならば	他の	神々に	そして–ひれ伏した	そして–追いやられ
H5647	H0312	H0430	H7812	H5080

しかし、もしあなたが心をそむけて聞き従わず、誘われて他の神々を拝み、それに仕えるならば、

18 הַגַּדְתִּי לָכֶם הַיּוֹם כִּי אָבֹד תֹּאבֵדוּן לֹא־תַאֲרִיכֻן
私は–告げた あなたがたに 今日 まことに 必ず あなたがたは–滅びる ない 長くならない
H5046 H3117 H0006 H0006 H3808 H0748

יָמִים עַל־ אֲשֶׁר אַתָּה עֹבֵר אֶת־ הַיַּרְדֵּן לָבֹא
日々が ～の–上で その あなたが 渡って–行く ～を ヨルダンを 入る–ために
H3117 H0127 H0834 H0853 H5674 H3383 H0935

שָׁמָּה לְרִשְׁתָּהּ׃
そこに 所有する–ために
H8033 H3423

わたしは、きょう、あなたがたに告げる。あなたがたは必ず滅びるであろう。あなたがたはヨルダンを渡り、はいって行って取る地でながく命を保つことができないであろう。

19 הַעִידֹתִי בָכֶם הַיּוֹם אֶת־ הַשָּׁמַיִם וְאֶת־ הָאָרֶץ הַחַיִּים
私は–証言した あなたがたに–対して 今日 ～を 天と そして–～を 地を 命と
H5749 H3117 H0853 H8064 H0853 H0776 H2416

וְהַמָּוֶת נָתַתִּי לְפָנֶיךָ הַבְּרָכָה וְהַקְּלָלָה וּבָחַרְתָּ בַּחַיִּים
そして–死を 私は–置いた あなたの–前に 祝福と そして–呪いを そして–選びなさい 命を
H4194 H5414 H6440 H1293 H7045 H0977 H2416

וְזַרְעֶךָ׃ אַתָּה תִּחְיֶה לְמַעַן
そして–あなたの–子孫が あなたが あなたが–生きる そうすれば
H2233 H0859 H2421 H4616

わたしは、きょう、天と地を呼んであなたがたに対する証人とする。わたしは命と死および祝福とのろいをあなたの前に置いた。あなたは命を選ばなければならない。そうすればあなたとあなたの子孫は生きながらえることができるであろう。

20 וּלְדָבְקָה־ בְּקֹלוֹ לִשְׁמֹעַ אֱלֹהֶיךָ יְהוָה אֶת־ לְאַהֲבָה
そして–すがりつく–ことを その–声に 聞き従う–ことを あなたの–神を 主を ～を 愛する–ことを
H1692 H0430 H3068 H0853 H0157

עַל־ לָשֶׁבֶת יָמֶיךָ וְאֹרֶךְ חַיֶּיךָ הוּא כִּי בּוֹ
～の–上に 住む–ために あなたの–日々の そして–長さ あなたの–命 その方が なぜなら その方に
H3427 H3117 H0753 H2416 H1931

וְלִיעֲקֹב לְיִצְחָק לְאַבְרָהָם לַאֲבֹתֶיךָ יְהוָה נִשְׁבַּע אֲשֶׁר׀ הָאֲדָמָה
そして–ヤコブに イサクに アブラハムに あなたの–先祖たちに 主が 誓った その その–地に
H3290 H3327 H0085 H0001 H3068 H7650 H0127

פ לָתֶת לָהֶם׃
— 彼らに 与える–ために
H1992 H5414

すなわちあなたの神、主を愛して、その声を聞き、主につき従わなければならない。そうすればあなたは命を得、かつ長く命を保つことができ、主が先祖アブラハム、イサク、ヤコブに与えると誓われた地に住むことができるであろう」。

Chapter 31

1 וַיֵּלֶךְ מֹשֶׁה וַיְדַבֵּר אֶת־ הַדְּבָרִים הָאֵלֶּה אֶל־ כָּל־
そして–行った モーセは そして–語った (を) これらの–言葉を (に) すべての
H3212 H4872 H1696 H0853 H1697 H0428 H0413 H3605

יִשְׂרָאֵל׃
イスラエルに
H3478

そこでモーセは続いてこの言葉をイスラエルのすべての人に告げて、

2 וַיֹּ֣אמֶר אֲלֵהֶ֗ם בֶּן־מֵאָ֨ה וְעֶשְׂרִ֤ים שָׁנָה֙ אָנֹכִ֣י הַיּ֔וֹם לֹא־אוּכַ֥ל עוֹד
そして-言った 彼らに (の)-子で 百 二十の 歳 私は 今日 もはや できない もう
H0559 H0413 H3967 H6242 H8141 H0595 H3117 H3808 H3201 H5750

לָצֵ֖את וְלָב֑וֹא וַיהוָ֣ה אָמַ֤ר אֵלַי֙ לֹ֣א תַעֲבָ֔ר אֶת־
出て-行くことも 入ることも そして-主は 言われた 私に (ない) 渡っては-ならない (を)
H3318 H0935 H3068 H0559 H0413 H3808 H0853

הַיַּרְדֵּ֖ן הַזֶּֽה׃
このヨルダン川を この
H3383 H2088

彼らに言った、「わたしは、きょう、すでに百二十歳になり、もはや出入りすることはできない。また主はわたしに『おまえはこのヨルダンを渡ることはできない』と言われた。

3 יְהוָ֣ה אֱלֹהֶ֗יךָ הוּא֙ עֹבֵ֣ר לְפָנֶ֔יךָ הוּא֙ יַשְׁמִ֣יד אֶת־
主 あなたの-神が ご自身が 渡って-行かれる あなたの-前を ご自身が 滅ぼされる (を)
H3068 H0430 H1931 H5674 H6440 H1931 H8045 H0853

הַגּוֹיִ֣ם הָאֵ֔לֶּה מִלְּפָנֶ֖יךָ וְיָרַשְׁתָּ֑ם יְהוֹשֻׁ֣עַ הוּא֙ עֹבֵ֣ר לְפָנֶ֔יךָ כַּאֲשֶׁ֥ר
これらの-国々を これらの 前から あなたは-それらを-受け継ぐ ヨシュアが 彼が (の-とおりに)
H1471 H0428 H6440 H3423 H3091 H1931 H3605

דִּבֶּ֖ר יְהוָֽה׃
語られた 主が
H1696 H3068

あなたの神、主はみずからあなたに先立って渡り、あなたの前から、これらの国々の民を滅ぼし去って、あなたにこれを獲させられるであろう。また主がかつて言われたように、ヨシュアはあなたを率いて渡るであろう。

4 וְעָשָׂ֤ה יְהוָה֙ לָהֶ֔ם כַּאֲשֶׁ֥ר עָשָׂ֖ה לְסִיחֹ֣ן וּלְעֹ֑וג מַלְכֵ֣י
そして-なされる 主は 彼らに (の-とおりに) なされた シホンに オグに アモリ人の-王たちに
H6213 H3068 H0776 H5511 H5747 H4428

הָאֱמֹרִ֔י וּלְאַרְצָ֖ם אֲשֶׁ֣ר הִשְׁמִ֑יד אֹתָֽם׃
アモリ人の その-地に (を) 滅ぼされた 彼らを
H0567 H0776 H0834 H8045 H0853

主がさきにアモリびとの王シホンとオグおよびその地にされたように、彼らにもおこなって彼らを滅ぼされるであろう。

5 וְנָתַ֥ן אֹתָ֛ם יְהוָ֖ה לִפְנֵיכֶ֑ם וַעֲשִׂיתֶ֣ם לָהֶ֔ם כְּכָל־
そして-引き渡される 主は あなたがたの-前に あなたがたは-行いなさい 彼らに すべての
H5414 H3068 H6440 H6213 H3605

הַמִּצְוָ֕ה אֲשֶׁ֥ר צִוִּ֖יתִי אֶתְכֶֽם׃
命令の-とおりに (を) 命じた あなたがたに
H4687 H0834 H6680 H0853

主は彼らをあなたがたに渡されるから、あなたがたはわたしが命じたすべての命令のとおりに彼らに行わなければならない。

6 חִזְקוּ֙ וְאִמְצ֔וּ אַל־תִּירְא֥וּ וְאַל־תַּעַרְצ֖וּ מִפְּנֵיהֶ֑ם כִּ֣י יְהוָ֤ה
強くあれ 雄々しくあれ (ない) 恐れるな (ない) おののくな 彼らの-前で なぜなら 主
H2388 H0553 H0408 H3372 H0408 H6206 H6440 H3588 H3068

אֱלֹהֶ֙יךָ֙ הוּא֙ הַהֹלֵ֣ךְ עִמָּ֔ךְ לֹ֥א יַרְפְּךָ֖ וְלֹ֥א יַעַזְבֶֽךָּ׃ פ
あなたの-神が ご自身が 歩まれる-方 あなたと-共に 決して 見放さず 決して 見捨てない —
H0430 H1931 H1980 H5973 H3808 H7503 H3808 H5800

あなたがたは強く、かつ勇ましくなければならない。彼らを恐れ、おののいてはならない。あなたの神、主があなたと共に行かれるからである。主は決してあなたを見放さず、またあなたを見捨てられないであろう」。

7 וַיִּקְרָ֣א מֹשֶׁ֔ה וַיֹּ֥אמֶר אֵלָ֖יו לְעֵינֵ֣י כָל־יִשְׂרָאֵ֑ל
そして-呼んだ モーセは ヨシュアを そして-言った 彼に (の)-目の-前で すべての イスラエルの
H7121 H4872 H3091 H0559 H0413 H3605 H3478

חֲזַ֥ק וֶאֱמָ֖ץ כִּ֣י אַתָּ֣ה תָבוֹא֩ אֶת־הָעָ֨ם הַזֶּ֜ה אֶל־
強くあれ 雄々しくあれ なぜなら あなたが 入る-者と-なる (を) この (に)
H2388 H0553 H0413 H0935 H0854 H2088 H0413

הָאָ֗רֶץ אֲשֶׁ֨ר נִשְׁבַּ֤ע יְהוָה֙ לַאֲבֹתָ֔ם לָתֵ֖ת לָהֶ֑ם וְאַתָּ֖ה
その-地に (を) 誓われた 主が 彼らの-先祖に 与えると 彼らに そして-あなたが
H0776 H0834 H7650 H3068 H0001 H5414

תַּנְחִילֶ֥נָּה אוֹתָֽם׃
それを-受け継がせる 彼らに
H5157 H0853

モーセはヨシュアを呼び、イスラエルのすべての人の目の前で彼に言った、「あなたはこの民と共に行き、主が彼らの先祖たちに与えると誓われた地に入るのであるから、あなたは強く、かつ勇ましくなければならない。あなたは彼らにそれを獲させるであろう。

8 וַיהוָ֞ה הוּא֩ הַהֹלֵ֨ךְ לְפָנֶ֜יךָ הוּא֩ יִהְיֶ֨ה עִמָּ֜ךְ לֹ֣א
そして-主が ご自身が 歩まれる-方 あなたの-前を ご自身が おられる あなたと-共に 決して
H3068 H1931 H1980 H6440 H1931 H1961 H3808

יַרְפְּךָ֣ וְלֹ֣א יַעַזְבֶ֑ךָּ לֹ֥א תִירָ֖א וְלֹ֥א תֵחָ֖ת׃
見放さず 決して 見捨てない (ない) 恐れるな (ない) おののくな
H7503 H3808 H5800 H3808 H3372 H3808 H2865

主はみずからあなたに先立って行き、またあなたと共におり、あなたを見放さず、見捨てられないであろう。恐れてはならない、おののいてはならない」。

9 וַיִּכְתֹּ֣ב מֹשֶׁ֗ה אֶת־הַתּוֹרָה֙ הַזֹּ֣את וַיִּתְּנָ֔הּ אֶל־הַכֹּהֲנִ֖ים
そして-書き記した モーセは (を) この-律法を この-律法を そして-渡した (に) 祭司たちに
H3789 H4872 H0853 H2063 H8451 H5414 H0413 H3548

בְּנֵ֣י לֵוִ֔י הַנֹּשְׂאִ֖ים אֶת־אֲר֣וֹן בְּרִ֣ית יְהוָ֑ה וְאֶל־כָּל־
レビの-子らに レビの 担ぐ-者たち (を) 契約の-箱を 契約の 主の そして すべての
H1121 H3878 H5375 H0853 H0727 H1285 H3068 H0413 H3605

זִקְנֵ֖י יִשְׂרָאֵֽל׃
長老たちに イスラエルの
H2205 H3478

モーセはこの律法を書いて、主の契約の箱をかつぐレビの子孫である祭司およびイスラエルのすべての長老たちに授けた。

10 וַיְצַ֣ו מֹשֶׁ֔ה אוֹתָ֖ם לֵאמֹ֑ר מִקֵּ֣ץ שֶׁ֔בַע שָׁנִ֖ים בְּמֹ֥עֵד
そして-命じた モーセは 彼らに 言って 七の-終わりに 七の 年ごとの 定められた-時に
H6680 H4872 H0853 H0559 H7093 H7651 H8141 H4150

שְׁנַ֣ת הַשְּׁמִטָּ֔ה בְּחַ֖ג הַסֻּכּֽוֹת׃
安息の-年の 免除の 仮庵の-祭りに 仮庵の
H8141 H8059 H2282 H5521

そしてモーセは彼らに命じて言った、「七年の終りごとに、すなわち、ゆるしの年の定めの時になり、かりいおの祭に、

11

בְּבֹוא כָל־ יִשְׂרָאֵל לֵרָאוֹת אֶת־ פְּנֵי יְהוָה אֱלֹהֶיךָ
(に) すべての イスラエルが 現れるために (を) 御顔の–前に 主 あなたの–神の
H0935 H3605 H3478 H7200 H0853 H6440 H3068 H0430

בַּמָּקוֹם אֲשֶׁר יִבְחָר תִּקְרָא אֶת־ הַתּוֹרָה הַזֹּאת נֶגֶד
その–場所で (を) 選ばれる あなたは–読み上げなさい (を) この–律法を この (の)–前で
H4725 H0853 H0977 H7121 H0853 H8451 H2063 H5048

כָּל־ יִשְׂרָאֵל בְּאָזְנֵיהֶם׃
すべての イスラエルの 彼らが–聞く–ように
H3605 H3478 H0241

イスラエルのすべての人があなたの神、主の前に出るため、主の選ばれる場所に来るとき、あなたはイスラエルのすべての人の前でこの律法を読んで聞かせなければならない。

12

הַקְהֵל אֶת־ הָעָם הָאֲנָשִׁים וְהַנָּשִׁים וְהַטַּף וְגֵרְךָ אֲשֶׁר
集めなさい (を) 民を 男たちと 女たちと 子どもたちと あなたの–門の–中の–寄留者を (の)
H6950 H0853 H5971 H0376 H0802 H2945 H1616

בִּשְׁעָרֶיךָ יִשְׁמְעוּ לְמַעַן וְלָמְדוּ וְיָרְאוּ אֶת־ יְהוָה
あなたの–門の–中の 聞いて (のために) 学んで 畏れるために (を) 主
H8179 H8085 H4616 H3925 H3372 H0853 H3068

אֱלֹהֵיכֶם וְשָׁמְרוּ לַעֲשׂוֹת אֶת־ כָּל־ דִּבְרֵי הַתּוֹרָה הַזֹּאת׃
あなたがたの–神を そして–守って 行うために (を) すべての 言葉を この–律法の この
H0430 H8104 H6213 H0853 H3605 H1697 H8451 H2063

すなわち男、女、子供およびあなたの町のうちに寄留している他国人など民を集め、彼らにこれを聞かせ、かつ学ばせなければならない。そうすれば彼らはあなたがたの神、主を恐れてこの律法の言葉を、ことごとく守り行うであろう。

13

וּבְנֵיהֶם אֲשֶׁר לֹא־ יָדְעוּ יִשְׁמְעוּ וְלָמְדוּ לְיִרְאָה
そして–彼らの–子どもたちは (は) まだ 知らない–者たちも 聞いて 学ぶ–であろう 畏れることを
H3372 H3925 H8085 H3045 H3808 H0834 H1121

אֶת־ יְהוָה אֱלֹהֵיכֶם כָּל־ הַיָּמִים אֲשֶׁר אַתֶּם חַיִּים
(を) 主 あなたがたの–神を すべての 日々に–わたり (の) あなたがたが 生きている
H0853 H3068 H0430 H3605 H3117 H0834 H0859 H2416

עֹבְרִים אֶת־ הַיַּרְדֵּן שָׁמָּה אַתֶּם אֲשֶׁר אֶת־ עַל־
渡って–行く (を) ヨルダン川を そこへ あなたがたが (を) その–地で (の–上に)
H5674 H0853 H3383 H8033 H0859 H0834 H0853 H5921

פ לְרִשְׁתָּהּ׃
— 占領するために
H3423

また彼らの子供たちでこれを知らない者も聞いて、あなたがたの神、主を恐れることを学ぶであろう。あなたがたがヨルダンを渡って行って取る地にながらえる日のあいだ常にそうしなければならない」。

14

וַיֹּאמֶר יְהוָה אֶל־ מֹשֶׁה הֵן קָרְבוּ יָמֶיךָ לָמוּת קְרָא
そして–言われた 主は (に) モーセに 見よ 近づいた あなたの–日々が 死ぬ–時が 呼びなさい
H0559 H3068 H0413 H4872 H2005 H7126 H3117 H4191 H7121

וְהִתְיַצְּבוּ וַאֲצַוֶּנּוּ וַיֵּלֶךְ מֹשֶׁה וִיהוֹשֻׁעַ אֶת־
立ちなさい わたしが–彼に–命じる そして–行った モーセと ヨシュアを (を)
H3320 H6680 H3212 H4872 H3091 H0853

בְּאֹהֶל מוֹעֵד וַיִּתְיַצְּבוּ בְּאֹהֶל מוֹעֵד׃ וַיהוֹשֻׁעַ
会見の 会見の–幕屋に そして–立った 会見の–幕屋に ヨシュアは
H4150 H0168 H3320 H0168 H4150 H3091

主はまたモーセに言われた、「あなたの死ぬ日が近づいている。ヨシュアを召して共に会見の幕屋に立ちなさい。わたしは彼に務を命じるであろう」。モーセとヨシュアが行って会見の幕屋に立つと、

15

עַל־	הֶעָנָן	עַמּוּד	וַיַּעֲמֹד	עֲנַן	בְּעַמּוּד	בָּאֹהֶל	יְהוָה	וַיֵּרָא
(の–上に)	雲の	雲の–柱は	そして–立った	雲の	雲の–柱の–中に	幕屋に	主は	そして–現れた
	H6051	H5982	H5975	H6051	H5982	H0168	H3068	H7200

ס	הָאֹהֶל׃	פֶּתַח	
—	幕屋の	入り口の–上に	
	H0168	H6607	

主は幕屋で雲の柱のうちに現れられた。その雲の柱は幕屋の入口のかたわらにとどまった。

16

אֲבֹתֶיךָ	עִם־	שֹׁכֵב	הִנְךָ	מֹשֶׁה	אֶל־	יְהוָה	וַיֹּאמֶר	
あなたの–先祖たちと	(と–共に)	横たわる	見よ–あなたは	モーセに	(に)	主は	そして–言われた	
H0001		H7901	H2009	H4872	H0413	H3068	H0559	

אֲשֶׁר	הָאָרֶץ	נֵכַר־	אֱלֹהֵי	וְאַחֲרֵי	וְזָנָה	הַזֶּה	הָעָם	וְקָם
(の)	その–地の	よその	(の)–神々に	(の–後に)	姦淫して	この	この–民は	そして–立ち上がる
	H0776	H5236	H0430		H2181	H2088		

בְּרִיתִי	אֶת־	וְהֵפֵר	וַעֲזָבַנִי	בְּקִרְבּוֹ	שָׁמָּה	בָּא־	הוּא	
わたしの–契約を	(を)	そして–破る	そして–わたしを–捨てる	その–中に	そこに	入る	彼が	
H1285	H0853			H7130	H8033	H0935	H1931	

אִתּוֹ׃	כָּרַתִּי	אֲשֶׁר	
彼と	結んだ	(を)	
H0854	H3772		

主はモーセに言われた、「あなたはまもなく眠って先祖たちと一緒になるであろう。そのときこの民はたちあがり、はいって行く地の異なる神々を慕って姦淫を行い、わたしを捨て、わたしが彼らと結んだ契約を破るであろう。

17

וַעֲזַבְתִּים	הַהוּא	בַּיּוֹם־	בָּם	אַפִּי	וְחָרָה	
わたしは–彼らを–捨てる	その	その–日に	彼らに–対して	わたしの–怒りが	そして–燃える	
	H1931	H3117		H0639	H2734	

וּמְצָאוּהוּ	לֶאֱכֹל	וְהָיָה	מֵהֶם	פָּנַי	וְהִסְתַּרְתִּי	
そして–彼を–見つける	食い–尽くされる–ものと	そして–なる	彼らから	わたしの–顔を	そして–隠す	
H4672	H0398	H1961	H1992	H6440	H5641	

כִּי־	עַל	הֲלֹא	הַהוּא	בַּיּוֹם	וְאָמַר	וְצָרוֹת	רַבּוֹת	רָעוֹת
(の–ゆえに)	(の–ゆえに)	(ではないか)	その	その–日に	そして–言う	苦難が	多くの	多くの–災いと
		H3808	H1931	H3117	H0559			

הָאֵלֶּה׃	הָרָעוֹת	מְצָאוּנִי	בְּקִרְבִּי	אֱלֹהַי	אֵין	
これらの	これらの–災いが	わたしを–見つけた	わたしの–うちに	わたしの–神が	おられない	
H0428		H4672	H7130	H0430	H0369	

その日には、わたしは彼らにむかって怒りを発し、彼らを捨て、わたしの顔を彼らに隠すゆえに、彼らは滅ぼしつくされ、多くの災と悩みが彼らに臨むであろう。そこでその日、彼らは言うであろう、『これらの災がわれわれに臨むのは、われわれの神がわれわれのうちにおられないからではないか』。

18

כָּל־	עַל	הַהוּא	בַּיּוֹם	פָּנַי	אַסְתִּיר	הַסְתֵּר	וְאָנֹכִי	
すべての	(の–ゆえに)	その	その–日に	わたしの–顔を	隠す	必ず	そして–わたしは	
H3605		H1931	H3117	H6440	H5641	H5641	H0595	

אֲחֵרִים׃	אֱלֹהִים	אֶל־	פָּנָה	כִּי	עָשָׂה	אֲשֶׁר	הָרָעָה
ほかの	ほかの–神々に	(に)	向かった	なぜなら	行った	(を)	悪の–ゆえに
H0312	H0430	H0413	H6437				

しかも彼らがほかの神々に帰して、もろもろの悪を行うゆえに、わたしはその日には必ずわたしの顔を隠すであろう。

19

אֶת־	וְלַמְּדָהּ	הַזֹּאת	הַשִּׁירָה	אֶת־	לָכֶם	כִּתְבוּ	וְעַתָּה	
(を)	そして–教えなさい	この	この–歌を	(を)	あなたがたのために	書き記しなさい	そして–今	
H0853	H3925	H2063		H0853		H3789	H6258	

לִי	תִּהְיֶה־	לְמַעַן	בְּפִיהֶם	שִׂימָה	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי־	
わたしのために	この–歌が–なるように	(の–ために)	彼らの–口に	置きなさい	イスラエルの	(の)–子ら	
	H1961	H4616	H6310		H3478		

יִשְׂרָאֵל׃	בִּבְנֵי	לְעֵד	הַזֹּאת	הַשִּׁירָה		
イスラエルの	イスラエルの–子らに–対する	証しと	この	この–歌が		
H3478		H5707	H2063			

それであなたがたは今、この歌を書きしるし、イスラエルの人々に教えてその口に唱えさせ、この歌をイスラエルの人々に対するわたしのあかしとならせなさい。

20

לַאֲבֹתָיו	נִשְׁבַּעְתִּי	אֲשֶׁר־	וְהָאֲדָמָה	אֶל־	אֲבִיאֶנּוּ	כִּי־	
彼の–先祖たちに	わたしが–誓った	(を)	その–地に	(に)	わたしが–彼を–導き入れる	なぜなら	
H0001	H7650		H0127	H0413	H0935		

אֱלֹהִים	אֶל־	וּפָנָה	וְדָשֵׁן	וְשָׂבַע	וְאָכַל	וְדִבַּשׁ	חָלָב	זָבַת	
ほかの–神々に	(に)	そして–向かう	肥え太ると	満ち足り	そして–食べ	蜜の–流れる	乳と	乳と	
H0430	H0413	H6437	H1878	H7646	H0398	H1706	H2461	H2100	

בְּרִיתִי׃	אֶת־	וְהֵפֵר	וְנָאֲצוּנִי	וַעֲבָדוּם	אֱלֹהִים	אֲחֵרִים
わたしの–契約を	(を)	そして–破る	わたしを–侮り	そして–仕え	ほかの	
H1285	H0853		H5006	H5647	H0312	

わたしが彼らの先祖たちに誓った、乳と蜜の流れる地に彼らを導き入れる時、彼らは食べて飽き、肥え太るに及んで、ほかの神々に帰し、それに仕えて、わたしを軽んじ、わたしの契約を破るであろう。

21

הַשִּׁירָה	וְעָנְתָה	וְצָרוֹת	רַבּוֹת	רָעוֹת	אֹתוֹ	תִּמְצֶאן	כִּי־	וְהָיָה
この–歌が	そして–答える	苦難が	多くの	多くの–災いと	彼を	見つける	(の–とき)	そして–なる
					H0853	H4672		H1961

כִּי	זֶרַע	מִפִּי	תִּשָּׁכַח	לֹא	כִּי	לְעֵד	לְפָנָיו	הַזֹּאת
なぜなら	彼の–子孫の	(の)–口から	忘れられない	決して	なぜなら	証しとして	彼の–前で	この
	H2233	H6310	H7911	H3808		H5707	H6440	H2063

בְּטֶרֶם	הַיּוֹם	עֹשֶׂה	הוּא	אֲשֶׁר	יִצְרוֹ	אֶת־	יָדַעְתִּי
まだ	今日	行っている	彼が	(を)	彼の–思いを	(を)	わたしは–知っている
H2962	H3117		H1931		H3336	H0853	H3045

נִשְׁבַּעְתִּי׃	אֲשֶׁר	הָאָרֶץ	אֶל־	אֲבִיאֶנּוּ	
わたしが–誓った	(を)	その–地に	(に)	わたしが–導き入れる–前に	
H7650		H0776	H0413	H0935	

こうして多くの災と悩みとが彼らに臨む時、この歌は彼らに対して、あかしとなるであろう。（それはこの歌が彼らの子孫の口にあって、彼らはそれを忘れないからである。）わたしが誓った地に彼らを導き入れる前、すでに彼らが思いはかっている事をわたしは知っているからである」。

22

אֶת־	וַיְלַמְּדָהּ	הַהוּא	בַּיּוֹם	הַזֹּאת	הַשִּׁירָה	אֶת־	מֹשֶׁה	וַיִּכְתֹּב
(を)	そして–教えた	その	その–日に	この	この–歌を	(を)	モーセは	そして–書き記した
H0853	H3925	H1931	H3117	H2063		H0853	H4872	H3789

יִשְׂרָאֵל׃	בְּנֵי
イスラエルの	(の)–子らに
H3478	

モーセはその日、この歌を書いてイスラエルの人々に教えた。

23 וַיְצַו אֶת־יְהוֹשֻׁעַ בִּן־נוּן וַיֹּאמֶר חֲזַק וֶאֱמָץ כִּי
そして-命じた (を) ヨシュア (の)-子 ヌンの そして-言った 強くあれ 雄々しくあれ なぜなら
H6680 H0853 H3091 H5126 H0559 H2388 H0553

אַתָּה תָּבִיא אֶת־בְּנֵי יִשְׂרָאֵל אֶל־הָאָרֶץ אֲשֶׁר נִשְׁבַּעְתִּי
あなたが 導き入れる (を) イスラエルの (に) その-地に (を) わたしが-誓った
H0935 H0853 H3478 H0413 H0776 H0834 H7650

לָהֶם וְאָנֹכִי אֶהְיֶה עִמָּךְ׃
彼らに そして-わたしが 共に-いる あなたと
H0595 H1961

主はヌンの子ヨシュアに命じて言われた、「あなたはイスラエルの人々をわたしが彼らに誓った地に導き入れなければならない。それゆえ強くかつ勇ましくあれ。わたしはあなたと共にいるであろう」。

24 וַיְהִי כְּכַלּוֹת מֹשֶׁה לִכְתֹּב אֶת־דִּבְרֵי הַתּוֹרָה הַזֹּאת
そして-なった 終えた-とき モーセが 書き記すことを (を) この-律法の-言葉を この-律法の
H1961 H3615 H4872 H3789 H0853 H1697 H8451

עַל־סֵפֶר עַד תֻּמָּם׃
(の-上に) 書に ことごとく 終わるまで
H2063 H5704 H8552

モーセがこの律法の言葉を、ことごとく書物に書き終った時、

25 וַיְצַו מֹשֶׁה אֶת־הַלְוִיִּם נֹשְׂאֵי אֲרוֹן בְּרִית־יְהוָה לֵאמֹר׃
そして-命じた モーセは (を) レビ人たちに 担ぐ-者たち 契約の-箱の 契約の 主の 言って
H6680 H4872 H0853 H3881 H5375 H0727 H1285 H3068 H0559

モーセは主の契約の箱をかつぐレビびとに命じて言った、

26 לָקֹחַ אֵת סֵפֶר הַתּוֹרָה הַזֶּה וְשַׂמְתֶּם אֹתוֹ
取りなさい (を) この-律法の-書を この-律法の この そして-置きなさい それを
H3947 H0853 H8451 H2088 H7760 H0853

מִצַּד אֲרוֹן בְּרִית־יְהוָה אֱלֹהֵיכֶם וְהָיָה־שָׁם
(の)-かたわらに 契約の-箱の 契約の 主 あなたがたの-神の そして-それが-ある そこに
H6654 H0727 H1285 H3068 H0430 H1961 H8033

בְּךָ לְעֵד׃
あなたに-対して 証しとして
H5707

「この律法の書をとって、あなたがたの神、主の契約の箱のかたわらに置き、その所であなたにむかってあかしをするものとしなさい。

27 כִּי אָנֹכִי יָדַעְתִּי אֶת־מֶרְיְךָ וְאֶת־עָרְפְּךָ הַקָּשֶׁה
なぜなら わたしは 知っている (を) あなたの-反逆を (と) あなたの-うなじの かたくなさを
H0559 H0589 H3045 H0853 H4805 H0853 H6203 H7186

עִמָּכֶם חַי הַיּוֹם מַמְרִים הֱיִיתֶם עִם־יְהוָה וְאַף כִּי־אַחֲרֵי מוֹתִי׃
あなたがたと-共に-いる 生きて 今日 逆らって-いた あなたがたは (に) 主に そして-また (の) わたしの-死後は なおさらだ
H5973 H2416 H3117 H4784 H1961 H5973 H3068 H0637 H3588 H0310 H4194

わたしはあなたのそむくことと、かたくななこととを知っている。きょう、わたしが生きながらえて、あなたがたと一緒にいる間ですら、あなたがたは主にそむいた。ましてわたしが死んだあとはどんなであろう。

28

וְשֹׁטְרֵיכֶם שִׁבְטֵיכֶם זִקְנֵי כָּל־ אֵת־ אֵלַי הַקְהִילוּ
つかさたちを あなたがたの–部族の 長老たちを すべての (を) わたしのもとに 集めなさい
H7860 H7626 H2205 H3605 H0853 H0413 H6950

וְאָעִידָה הָאֵלֶּה הַדְּבָרִים אֶת בְּאָזְנֵיהֶם וַאֲדַבְּרָה
そして–証しを–立てよう これらの これらの–言葉を (を) 彼らが–聞く–ように わたしが–語ろう
H0428 H1697 H0853 H0241 H1696

הָאָרֶץ׃ וְאֶת־ הַשָּׁמַיִם אֶת־ בָּם
地を 地を 天と (を) 彼らに–対して
H0776 H0853 H8064 H0853

あなたがたの部族のすべての長老たちと、つかさたちをわたしのもとに集めなさい。わたしはこれらの言葉を彼らに語り聞かせ、天と地とを呼んで彼らにむかってあかしさせよう。

29

הַשְׁחֵת כִּי־ מוֹתִי אַחֲרֵי יָדַעְתִּי כִּי
堕落する 必ず わたしの–死後 わたしの–死後 わたしは–知っている なぜなら
H7843 H4194 H3045

אֶתְכֶם צִוִּיתִי אֲשֶׁר הַדֶּרֶךְ מִן־ וְסַרְתֶּם תַּשְׁחֲתוּן
あなたがたに わたしが–命じた (を) その–道から (から) そして–それる あなたがたは–堕落する
H0853 H6680 H1870 H5493 H7843

אֵת־ תַּעֲשׂוּ כִּי־ הַיָּמִים בְּאַחֲרִית הָרָעָה אֶתְכֶם וְקָרְאָת
(を) あなたがたは–行う なぜなら 日々に 終わりの 災いが あなたがたに そして–降りかかる
H0853 H3117 H0319 H0853 H7122

יְדֵיכֶם׃ בְּמַעֲשֵׂה לְהַכְעִיסוֹ יְהוָה בְּעֵינָי הָרַע
あなたがたの–手の あなたがたの–手の–わざによって 怒らせて 主の (の)–目に 悪を
H3027 H4639 H3707 H3068

わたしは知っている。わたしが死んだのち、あなたがたは必ず悪い事をして、わたしが命じた道を離れる。そして後の日に災があなたがたに臨むであろう。これは主の悪と見られることを行い、あなたがたのすることをもって主を怒らせるからである」。

30

דִּבְרֵי אֵת־ יִשְׂרָאֵל קְהַל כָּל־ בְּאָזְנֵי מֹשֶׁה וַיְדַבֵּר
この–歌の–言葉を (を) イスラエルの 会衆の すべての (の)–耳に モーセは そして–語った
H1697 H0853 H3478 H6951 H3605 H0241 H4872 H1696

פ תָּמֻּם׃ עַד הַזֹּאת הַשִּׁירָה
— 終わるまで ことごとく この この–歌の
H8552 H5704 H2063

そしてモーセはイスラエルの全会衆に次の歌の言葉を、ことごとく語り聞かせた。

Chapter 32

1

פִּי׃ אִמְרֵי־ הָאָרֶץ וְתִשְׁמַע וַאֲדַבְּרָה הַשָּׁמַיִם הַאֲזִינוּ
言葉を わたしの–口の 地よ 聞け わたしが–語る 天よ 耳を–傾けよ
H6310 H0561 H0776 H8085 H1696 H8064 H0238

「天よ、耳を傾けよ、わたしは語る、地よ、わたしの口の言葉を聞け。

2 יַעֲרֹ֤ף כַּמָּטָר֙ לִקְחִ֔י תִּזַּ֖ל כַּטַּ֣ל אִמְרָתִ֑י כִּשְׂעִירִ֣ם עָלֵ֔י וְכִרְבִיבִ֖ים עֵ֥שֶׂב׃ עָלֵ֔י דֶּ֥שֶׁא

したたる	雨の–ように	わたしの–教えは	滴る	露の–ように	わたしの–言葉は	小雨の–ように	(の–上の)	大雨の–ように	草の–上の	(の–上の)	若草の–上の
H6201	H4306	H3948	H5140	H2919		H8164		H7241	H6212		H1877

わたしの教は雨のように降りそそぎ、わたしの言葉は露のようにしたたるであろう。若草の上に降る小雨のように、青草の上にくだる夕立ちのように。

3 כִּ֚י שֵׁ֣ם יְהוָ֔ה אֶקְרָ֑א הָב֥וּ גֹ֖דֶל לֵאלֹהֵֽינוּ׃

なぜなら	御名を	主の	わたしは–呼ぶ	帰せよ	大いなる–栄光を	われらの–神に		
	H8034	H3068	H7121	H3051	H1433	H0430		

わたしは主の名をのべよう、われわれの神に栄光を帰せよ。

4 הַצּ֣וּר תָּמִ֣ים פָּעֳל֔וֹ כִּ֥י כָל־ דְּרָכָ֖יו מִשְׁפָּ֑ט אֵ֣ל אֱמוּנָ֗ה וְאֵ֥ין עָ֛וֶל צַדִּ֥יק וְיָשָׁ֖ר הֽוּא׃

岩である	完全な	その–わざは	なぜなら	すべての	その–道は	公正	まことの–神	誠実で	不正は–ない	不正は	正しく	真っすぐな	方である
H6697	H8549	H6467		H3605	H1870	H4941	H0410	H0530	H0369		H6662	H3477	H1931

主は岩であって、そのみわざは全く、その道はみな正しい。主は真実なる神であって、偽りなく、義であって、正である。

5 שִׁחֵ֤ת לֹו֙ לֹ֣א בָנָ֔יו מוּמָ֑ם דּ֥וֹר עִקֵּ֖שׁ וּפְתַלְתֹּֽל׃

堕落した	彼に–対して	その–子らではない	その–子らでは	その–汚れが	曲がった–世代	曲がった
H7843		H3808			H1755	H6141

ねじれた–者たち
H6618

彼らは主にむかって悪を行い、そのきずのゆえに、もはや主の子らではなく、よこしまで、曲ったやからである。

6 הֲ־ זֹ֚את לַיהוָ֣ה תִּגְמְל֔וּ זֹ֥את עַ֖ם נָבָ֣ל וְלֹ֣א הֲל֤וֹא הוּא֙ אָבִ֔יךָ קָנָ֖ךָ עָשָׂ֥ךְ וַיְכֹנְנֶֽךָ׃

(か)	主に	このように–報いるのか	このように	愚かな–民よ	愚かな	知恵のない–者よ						
H3068	H3068	H1580	H2063		H5036	H3808						
							知恵のない	(ではないか)	この–方は	あなたの–父	この–方が	あなたを–造り
							H2450	H3808	H1931	H0001	H1931	
											あなたを–造られた–方	
											H7069	

あなたを–定められた

愚かな知恵のない民よ、あなたがたはこのようにして主に報いるのか。主はあなたを生み、あなたを造り、あなたを堅く立てられたあなたの父ではないか。

7 זְכֹ֣ר יְמ֣וֹת עוֹלָ֑ם בִּ֥ינוּ שְׁנ֖וֹת דּ֥וֹר־ דֹּ֛ר וָדֹ֑ור שְׁאַ֣ל אָבִ֔יךָ וְיַגֶּ֖דְךָ זְקֵנֶ֥יךָ וְיֹאמְרוּ֙ לָֽךְ׃

思い起こせ	昔の–日々を	昔の	思い巡らせ	年々を	世代また–世代の	世代の	尋ねよ				
H2142	H3117	H5769	H0995	H8141	H1755	H1755	H7592				
								あなたに	彼らが–言う	あなたの–長老たちに	彼が–告げる	あなたの–父に
									H0559	H2205	H5046	H0001

いにしえの日を覚え、代々の年を思え。あなたの父に問え、彼はあなたに告げるであろう。長老たちに問え、彼らはあなたに語るであろう。

8 בְּהַנְחֵל עֶלְיוֹן גּוֹיִם בְּהַפְרִידוֹ בְּנֵי אָדָם
いと高き-方が-分けたとき いと高き-方が 諸国民を 分かたれた-とき 人の-子らを 人の
H5157 H5157 H1471 H6504 H0120 H0120

יַצֵּב גְּבֻלֹת עַמִּים לְמִסְפַּר בְּנֵי יִשְׂרָאֵל׃
定められた 諸民の-境界を 諸民の (の)-数に-応じて (の)-子らの イスラエルの
H5324 H1367 H5971 H4557 H1121 H3478

いと高き者は人の子らを分け、諸国民にその嗣業を与えられたとき、イスラエルの子らの数に照して、もろもろの民の境を定められた。

9 כִּי חֵלֶק יְהוָה עַמּוֹ יַעֲקֹב חֶבֶל נַחֲלָתוֹ׃
なぜなら 受け-分 主の その-民である ヤコブは 受け-約 その-嗣業である
H3588 H2506 H3068 H5971 H3290 H2256 H5159

主の分はその民であって、ヤコブはその定められた嗣業である。

10 יְמְצָאֵהוּ בְּאֶרֶץ מִדְבָּר וּבְתֹהוּ יְלֵל יְשִׁמֹן יְסֹבְבֶנְהוּ יְבוֹנְנֵהוּ יִצְּרֵנְהוּ
見いだされた 荒野の-地で 荒野の 荒涼たる 吠え叫ぶ 荒れ地で 囲まれ 守られ 守り保たれた
H4672 H0776 H4057 H8414 H3214 H3452 H5437 H0995 H5341

כְּאִישׁוֹן עֵינוֹ׃
ひとみの-ように 目の
H0380

主はこれを荒野の地で見いだし、獣のほえる荒れ地で会い、これを巡り囲んでいたわり、目のひとみのように守られた。

11 כְּנֶשֶׁר יָעִיר קִנּוֹ עַל־גּוֹזָלָיו יְרַחֵף יִפְרֹשׂ כְּנָפָיו
鷲の-ように 奮い立たせる その-巣を (の-上で) その-雛たちの-上で 舞い飛ぶ 広げる その-翼を
H5404 H5782 H7064 H5921 H1469 H7363 H6566 H3671

יִקָּחֵהוּ יִשָּׂאֵהוּ עַל־אֶבְרָתוֹ׃
それを-受け取り それを-担い (の-上に) その-羽の-上に
H3947 H5375 H5921 H84

わしがその巣のひなを呼び起し、その子の上に舞いかけり、その羽をひろげて彼らをのせ、そのつばさの上にこれを負うように、

12 יְהוָה בָּדָד יַנְחֶנּוּ וְאֵין עִמּוֹ אֵל נֵכָר׃
主が ただ-独りで 導かれた そして-なかった 共に よその-神は よその
H3068 H0910 H5148 H0369 H5973 H0410 H5236

主はただひとりで彼を導かれて、ほかの神々はあずからなかった。

13 יַרְכִּבֵהוּ עַל־בָּמֳתֵי [במותי] אֶרֶץ וַיֹּאכַל תְּנוּבֹת שָׂדָי
乗せた (の-上に) [地の-高みの-上に 地の そして-食べた 野の-産物を 野の
H7392 H5921 H1116 H776 H398 H8570 H7704

וַיֵּנִקֵהוּ דְבַשׁ מִסֶּלַע וְשֶׁמֶן מֵחַלְמִישׁ צוּר׃
岩から-吸わせた 蜜を 岩から 油を ⊠ite石の-岩から 岩から
H3243 H1706 H5553 H8081 H2496 H6697

主は彼に地の高き所を乗り通らせ、田畑の産物を食わせ、岩の中から蜜を吸わせ、堅い岩から油を吸わせ、

14 חֶמְאַ֣ת בָּקָ֗ר וַחֲלֵב֙ צֹ֔אן עִם־חֵ֖לֶב כָּרִ֑ים וְאֵילִ֗ים בְּנֵי־
牛の-凝乳と 牛の H1241 羊の H6629 と-共に(に) 小羊の-脂肪と H2459 小羊の 雄羊と (の)-子らと

בָשָׁן֙ וְעַתּוּדִ֔ים עִם־חֵ֖לֶב כִּלְיֹ֣ות חִטָּ֑ה וְדַם־עֵ֖נָב תִּשְׁתֶּ֥ה חָֽמֶר׃
バシャンの H1316 雄山羊と H6260 と-共に(と) 小麦の-最良の H2459 小麦の-精髄と H3629 小麦の H2406 ぶどうの-血 H1818 ぶどうの H6025 飲んだ H8354 泡立つ-酒を H2561

牛の凝乳、羊の乳、小羊と雄羊の脂肪、バシャンの牛と雄やぎ、小麦の良い物を食わせられた。またあなたはぶどうのしるのあわ立つ酒を飲んだ。

15 וַיִּשְׁמַ֥ן יְשֻׁרוּן֙ וַיִּבְעָ֔ט שָׁמַ֥נְתָּ עָבִ֖יתָ כָּשִׂ֑יתָ וַיִּטֹּ֣שׁ
そして-肥えた H8080 イスラエルは H3484 そして-蹴った H1163 太り H8080 厚くなり H5666 丸くなった H3780 そして-捨てた H5203

אֱלֹוהַ֙ עָשָׂ֔הוּ וַיְנַבֵּ֖ל צ֣וּר יְשׁוּעָתֹֽו׃
造られた-神を H0433 造られた H0433 そして-侮った H5034 救いの-岩を H6697 救いの H3444

しかるにエシュルンは肥え太って、足でけった。あなたは肥え太って、つややかになり、自分を造った神を捨て、救の岩を侮った。

16 יַקְנִאֻ֙הוּ֙ בְּזָרִ֔ים בְּתֹועֵבֹ֖ת יַכְעִיסֻֽהוּ׃
嫁妖を-起こした H7065 よそ者によって 忌まわしい-もので H8441 怒らせた H3707

彼らはほかの神々に仕えて、主のねたみを起し、憎むべきおこないをもって主の怒りをひき起した。

17 יִזְבְּח֣וּ לַשֵּׁדִ֔ים לֹ֣א אֱלֹ֑הַּ אֱלֹהִ֣ים לֹ֣א יְדָע֔וּם חֲדָשִׁ֥ים מִקָּרֹ֖ב בָּ֣אוּ
いけにえを-ささげた H2076 悪霊に H7700 神ではない H0433 知らない-神々に H0430 知らなかった H3808 現れた-ものに H0935 新しく H2319 近ごろに H7138 おそれなかった H3808

לֹ֥א שְׂעָרֻ֖ום אֲבֹתֵיכֶֽם׃
知らなかった H3045 おそれなかった H3808 あなたがたの-先祖は H0001

彼らは神でもない悪霊に犠牲をささげた。それは彼らがかつて知らなかった神々、近ごろ出た新しい神々、先祖たちの恐れることもしなかった者である。

18 צ֥וּר יְלָדְךָ֖ תֶּ֑שִׁי וַתִּשְׁכַּ֖ח מְחֹלְלֶֽךָ׃
岩を H6697 あなたを-生んだ-方を H3205 忘れた H7876 そして-忘れた H7911 産み出した

あなたは自分を生んだ岩を軽んじ、自分を造った神を忘れた。

19 וַיִּרְאָ֣ה יְהוָ֔ה וַיִּנְאַ֖ץ מִכַּ֣עַס בָּנָ֥יו וּבְנֹתָֽיו׃
そして-見た H7200 主は H3068 そして-退けた H5006 怒りの-ゆえに H3708 その-息子と H1121 その-娘たちの H1323

主はこれを見、そのむすこ、娘を怒ってそれを捨てられた。

20

אַחֲרִיתָם	מָה	אֶרְאֶה	מֵהֶם	פָּנַי	אַסְתִּירָה	וַיֹּאמֶר
彼らの–終わりとなるか	何が	見よう	彼らから	わたしの–顔を	隠そう	そして–言われた
H0319	H4100	H7200	H1992	H6440	H5641	H0559

אֱמֻן	לֹא־	בָּנִים	הֵמָּה	תַּהְפֻּכֹת	דּוֹר	כִּי	
誠実さのない	誠実さのない	誠実さのない–子ら	彼らは	曲がった	曲がった–世代	なぜなら	
H0529	H3808		H1992	H8419	H1755		

בָּם׃
彼らの–中に

そして言われた、『わたしはわたしの顔を彼らに隠そう。わたしは彼らの終りがどうなるかを見よう。彼らはそむき、もとるやから、真実のない子らである。

21

בְּהַבְלֵיהֶם	כִּעֲסוּנִי	אֵל	בְּלֹא־	קִנְאוּנִי	הֵם	
その–空しい–もので	怒らせた	神ではない	神ではない–もので	わたしを–嫁妖させた	彼らは	
H1892	H3707	H0410	H3808	H7065	H1992	

אַכְעִיסֵם׃	נָבָל	בְּגוֹי	עָם	בְּלֹא־	אַקְנִיאֵם	וַאֲנִי
怒らせる	愚かな	愚かな–国民で	民でない	民でない–もので	彼らを–嫁妖させる	そして–わたしも
H3707	H5036			H3808	H7065	H0589

彼らは神でもない者をもって、わたしにねたみを起させ、偶像をもって、わたしを怒らせた。それゆえ、わたしは民ともいえない者をもって、彼らにねたみを起させ、愚かな民をもって、彼らを怒らせるであろう。

22

עַד־	וַתִּיקַד	בְּאַפִּי	קָדְחָה	אֵשׁ	כִּי־	
(の)–底まで	そして–燃える	わたしの–怒りによって	燃え上がった	火が	なぜなら–火が	
H5704	H3344	H0639	H6919	H0784		

מוֹסְדֵי	וַתְּלַהֵט	וְיֶבֶל֑	אֶרֶץ	וַתֹּאכַל	תַּחְתִּית	שְׁאוֹל
山々の–基を	そして–燃え上がらせる	その–産物を	地と	そして–食い尽くす	よみの	よみの–底まで
H4146	H3857	H2981	H0776	H0398	H8482	H7585

הָרִים׃
山々の
H2022

わたしの怒りによって、火は燃えいで、陰府の深みにまで燃え行き、地とその産物とを焼きつくし、山々の基を燃やすであろう。

23

בָּם׃	אֲכַלֶּה־	חִצַּי	רָעוֹת	עָלֵימוֹ	אַסְפֶּה
彼らに	尽くそう	わたしの–矢を	災いを	彼らの–上に	集めよう
	H3615	H2671			H5595

わたしは彼らの上に災を積みかさね、わたしの矢を彼らにむかって射つくすであろう。

24

אֲשַׁלַּח־	בְּהֵמוֹת	וְשֶׁן־	מְרִירֵי	וְקֶטֶב	רֶשֶׁף	וּלְחֻמֵי	רָעָב
送り出す	獣の	獣の–歯を	苦い–滅びと	疑疫と	熱病に	熱病に–食われ	飢饉に
H7971	H0929	H8127	H4815	H6986	H7565		H7458

מְזֵי	בֻּם	עִם־	חֲמַת	זֹחֲלֵי	עָפָר׃	
饑餓に–やつれ	彼らに	(と–共に)	地を–這う–ものの–毒と	地を–這う–ものの	地の	
H4198			H2534		H6083	

彼らは飢えて、やせ衰え、熱病と悪い疫病によって滅びるであろう。わたしは彼らを獣の歯にかからせ、地に這うものの毒にあたらせるであろう。

25

יוֹנֵק	בְּתוּלָה	גַּם־	בָּחוּר	גַּם־	אֵימָה	וּמֵחֲדָרִים	חֶרֶב	תְּשַׁכֵּל־	מִחוּץ
乳飲み子も	女も	女も	若者も	若者も	恐怖が	内では	剣が	剣が–奪う	外では
H3243	H1330	H1571	H0970	H1571	H0367	H2315	H2719		H2351

שֵׂיבָה׃	אִישׁ	עִם־
白髪の	白髪の–老人も	(と–共に)
H7872	H0376	

外にはつるぎ、内には恐れがあって、若き男も若き女も、乳のみ子も、しらがの人も滅びるであろう。

26

זִכְרָם׃	מֵאֱנוֹשׁ	אַשְׁבִּיתָה	אַפְאֵיהֶם	אָמַרְתִּי
彼らの–記憶を	人の–中から	絶たせよう	吹き散らそう	わたしは–言った
H2143	H0582		H6284	H0559

わたしはまさに言おうとした、「彼らを遠く散らし、彼らの事を人々が記憶しないようにしよう」。

27

יֹאמְרוּ	פֶּן־	צָרֵימוֹ	יְנַכְּרוּ	פֶּן־	אָגוֹר	אוֹיֵב	כַּעַס	לוּלֵי	
言うことを	その–敵が	その–敵が	誤解することを	その–敵が	恐れた	敵の	敵の–怒りを	しかし	
H0559	H6435			H6435		H0341		H3884	

זֹאת׃	כֹּל־	פָּעַל	יְהוָה	וְלֹא	רָמָה	יָדֵינוּ
これを	すべて	行ったのではない	主が	そして–(ない)	高い	われらの–手が
H2063	H3605	H6466	H3068	H3808		H3027

しかし、わたしは敵が誇るのを恐れる。あだびとはまちがえて言うであろう、「われわれの手が勝ちをえたのだ。これはみな主がされたことではない」』。

28

בָּהֶם	וְאֵין	הֵמָּה	עֲצוֹת	אֹבַד	גּוֹי	כִּי־
彼らの–中に	そして–ない	彼らは	知恵の–ない	なくした	謀の–ない–国民であり	なぜなら–なくした
	H0369	H1992	H6098	H0006		

תְּבוּנָה׃
理解が
H8394

彼らは思慮の欠けた民、そのうちには知識がない。

29

לְאַחֲרִיתָם׃	יָבִינוּ	זֹאת	יַשְׂכִּילוּ	חָכְמוּ	לוּ
彼らの–終わりを	悟るであろう	これを	理解するであろう	智恵が–あれば	もし
H0319	H0995	H2063		H2449	H3863

もし、彼らに知恵があれば、これをさとり、その身の終りをわきまえたであろうに。

30

לֹא	אִם־	רְבָבָה	יָנִיסוּ	וּשְׁנַיִם	אֶלֶף	אֶחָד	יִרְדֹּף	אֵיכָה
(ない)	(でないなら)	万人を	逃走させるのか	二人が	千人を	一人が	追えるのか	どうして
H3808		H7233	H5127	H8147	H0505	H0259	H7291	

הִסְגִּירָם׃	וַיהוָה	מְכָרָם	צוּרָם	כִּי־
引き渡されたのでなければ	主が	売り渡し	彼らの–岩が	(の–ゆえに)
H5462	H3068	H4376	H6697	

彼らの岩が彼らを売らず、主が彼らをわたされなかったならば、どうして、ひとりで千人を追い、ふたりで万人を敗ることができたであろう。

31

פְּלִלִים׃	וְאֹיְבֵינוּ	צוּרָם	כְּצוּרֵנוּ	לֹא	כִּי
判定者である	われらの–敵も	彼らの–岩は	われらの–岩と	同じではない	なぜなら
H6414	H0341	H6697	H6697	H3808	

彼らの岩はわれらの岩に及ばない。われらの敵もこれを認めている。

32 כִּי־ מִגֶּפֶן סְדֹם וּמִשַּׁדְמֹת
なぜなら–(から) ソドムの–ぶどうの–木から ソドムの 彼らの–ぶどうの–木は ゴモラの–畑から
H1612 H5467 H1612 H1612 H7709

עֲנָבְמוֹ עֲנָבֵי־ רֹאשׁ אַשְׁכְּלֹת מְרֹרֹת לָמוֹ׃
彼らの–ぶどうは 毒の–ぶどう 毒の 彼らの–房は 苦い 彼らには
H6025 H6025 H7219 H0811 H4846

彼らのぶどうの木は、ソドムのぶどうの木から出たもの、またゴモラの野から出たもの、そのぶどうは毒ぶどう、そのふさは苦い。

33 חֲמַת תַּנִּינִם יֵינָם וְרֹאשׁ פְּתָנִים אַכְזָר׃
大蛇の–毒 大蛇の 彼らの–酒である 毒蛇の–毎の 毒蛇の 残忍な
H2534 H3196 H7219 H6620 H0393

そのぶどう酒はへびの毒のよう、まむしの恐ろしい毒のようである。

34 הֲלֹא־ הוּא כָּמֻס עִמָּדִי חָתוּם בְּאוֹצְרֹתָי׃
(ではないか) それは 積み上げられて わたしの–もとに 封じられている わたしの–倉の–中に
H3808 H1931 H3647 H5978 H2856 H0214

これはわたしのもとにたくわえられ、わたしの倉に封じ込められているではないか。

35 לִי נָקָם וְשִׁלֵּם לְעֵת תָּמּוּט רַגְלָם כִּי קָרוֹב
わたしの–もの 復讐と 報いは (の)–時に すべる–時に 彼らの–足が なぜなら 近い
H5359 H8005 H6256 H4131 H7272 H7138

לָמוֹ׃ עֲתִדֹת וְחָשׁ אֵידָם יוֹם
彼らに 定められた–ものは 急ぎ 彼らの–災いの 彼らの–災いの–日は
H6264 H0343 H3117

彼らの足がすべるとき、わたしはあだを返し、報いをするであろう。彼らの災の日は近く、彼らの破滅は、すみやかに来るであろう。

36 כִּי־ יָדִין יְהוָה עַמּוֹ וְעַל־ עֲבָדָיו יִתְנֶחָם
なぜなら–さばかれる さばかれる 主は その–民を (の–上に) その–僕べたちを あわれまれる
H1777 H3068 H5971 H5650 H5162

וְעָזּוּב׃ וְאֶפֶס עָצוּר אָזְלַת כִּי־ יִרְאֶה כִּי
捨てられる–者も 囚われる–者も そして–なくなった 力が 尽きたと (の–とき) 見られる なぜなら
H6113 H3027 H0235 H7200

主はついにその民をさばき、そのしもべらにあわれみを加えられるであろう。これは彼らの力がうせ去り、つながれた者もつながれない者も、もはやいなくなったのを、主が見られるからである。

37 בּוֹ׃ חָסָיוּ צוּר אֱלֹהֵימוֹ אֵי
彼らが 頼った 岩は 彼らの–神々は どこに–いるのか
H2620 H6697 H0430 H0335

וְאָמַר
そして–言われる
H0559

そのとき主は言われるであろう、『彼らの神々はどこにいるか、彼らの頼みとした岩はどこにあるか。

38 אֲשֶׁר חֵלֶב זִבְחֵימוֹ יֹאכְלוּ יִשְׁתּוּ יֵין
(を) その–いけにえの–脂肪を その–いけにえの 食べた–者たち 飲んだ その–注ぎの–酒を
H2459 H2077 H0398 H8354 H3196

יָקוּמוּ וְיַעְזְרֻכֶם יְהִי עֲלֵיכֶם סְתָרָה׃ נְסִיכָם
その–注ぎの 立ち上がれ 助けて–くれるがよい あるように あなたがたの–上に 覆いが
H1961 H5826

彼らの犠牲のあぶらを食い、灌祭の酒を飲んだ者はどこにいるか。立ちあがってあなたがたを助けさせよ、あなたがたを守らせよ。

עִמָּדִי	אֱלֹהִים	וְאֵין	הוּא	אֲנִי	אֲנִי	כִּי	עַתָּה	וּרְאוּ	39
わたしの–ほかに	神は	そして–ない	それである	わたしこそ	わたしが	まことに	今	見よ	
H5978	H0430	H0369	H1931	H0589	H0589		H6258	H7200	

מַצִּיל׃	מִיָּדִי	וְאֵין	אֶרְפֵּא	וַאֲנִי	מָחַצְתִּי	וַאֲחַיֶּה	אָמִית	אֲנִי
救える–者は	わたしの–手から	そして–ない	癒す	わたしが	打ち	生かす	殺し	わたしが
H5337	H3027	H0369	H7495	H0589	H4272	H2421	H4191	H0589

今見よ、わたしこそは彼である。わたしのほかに神はない。わたしは殺し、また生かし、傷つけ、またいやす。わたしの手から救い出しうるものはない。

לְעֹלָם׃	אָנֹכִי	חַי	וְאָמַרְתִּי	יָדִי	שָׁמַיִם	אֶל־	אֶשָּׂא	כִּי־	40
永遠に	わたしは	生きている	そして–言う	わたしの–手を	天に	(に)	上げる	なぜなら–上げる	
H5769	H0595		H0559	H3027	H8064	H0413	H5375		

わたしは天にむかい手をあげて誓う、「わたしは永遠に生きる。

בְּמִשְׁפָּט	וְתֹאחֵז	חַרְבִּי	בָּרָק	שַׁנּוֹתִי	אִם־	41
公正を–もって	そして–握る	わたしの–剣を	きらめく–剣を	研ぐならば	もし–わたしが–研ぐならば	
H4941	H0270	H2719		H8150		

אֲשַׁלֵּם׃	וְלִמְשַׂנְאַי	לְצָרָי	אָשִׁיב	נָקָם	יָדִי
報いる	わたしを–憎む–者に	わたしの–敵に	復讐を	報いる	わたしの–手が
	H8130		H5359	H7725	H3027

わたしがきらめくつるぎをとぎ、手にさばきを握るとき、わたしは敵にあだを返し、わたしを憎む者に報復するであろう。

חָלָל	מִדַּם	בָּשָׂר	תֹּאכַל	וְחַרְבִּי	מִדָּם	חִצַּי	אַשְׁכִּיר	42
倒れた–者の	倒れた–者の–血から	肉を	食らう	わたしの–剣が	血に	わたしの–矢を	酔わせる	
	H1818	H1320	H0398	H2719	H1818	H2671	H7937	

אוֹיֵב׃	פַּרְעוֹת	מֵרֹאשׁ	וְשִׁבְיָה	
敵の	敵の–首の	敵の–首から	捕らわれた–者の	
H0341	H6546		H7633	

わたしの矢を血に酔わせ、わたしのつるぎに肉を食わせるであろう。殺された者と捕えられた者の血を飲ませ、敵の長髪の頭の肉を食わせるであろう」』。

עַבָדָיו	דַּם־	כִּי	עַמּוֹ	גּוֹיִם	הַרְנִינוּ		43
その–僕べたちの	その–僕べたちの–血の	なぜなら	その–民と–共に	諸国民よ	喜べ		
H5650	H1818						

פ	עַמּוֹ׃	אַדְמָתוֹ	וְכִפֶּר	לְצָרָיו	יָשִׁיב	וְנָקָם	יִקּוֹם
—	その–民を	その–地と	そして–贖う	その–敵に	報いる	復讐を	復讐を–なされる
		H0127			H7725	H5359	H5358

国々の民よ、主の民のために喜び歌え。主はそのしもべの血のために報復し、その敵にあだを返し、その民の地の汚れを清められるからである」。

הַזֹּאת	הַשִּׁירָה־	דִּבְרֵי	כָּל־	אֶת־	וַיְדַבֵּר	מֹשֶׁה	וַיָּבֹא		44
この	この–歌の	この–歌の–言葉を	すべての	(を)	そして–語った	モーセは	そして–来た		
H2063		H1697	H3605	H0853	H1696	H4872	H0935		

נוּן׃	בִּן־	וְהוֹשֵׁעַ	הוּא	הָעָם	בְּאָזְנֵי
ヌンの	(の)–子	ホシェアは	彼と	民の	(の)–耳に
H5126		H1954	H1931		H0241

モーセとヌンの子ヨシュアは共に行って、この歌の言葉を、ことごとく民に読み聞かせた。

45 וַיְכַל מֹשֶׁה לְדַבֵּר אֶת־כָּל הַדְּבָרִים הָאֵלֶּה אֶל־כָּל יִשְׂרָאֵל׃

כָּל־	אֶל־	הָאֵלֶּה	הַדְּבָרִים	כָּל־	אֶת־	לְדַבֵּר	מֹשֶׁה	וַיְכַל
すべての	(に)	これらの	これらの-言葉を	すべての	(を)	語ることを	モーセは	そして-終えた
H3605	H0413	H0428	H1697	H3605	H0853	H1696	H4872	H3615

יִשְׂרָאֵל׃	
イスラエルに	
H3478	

モーセはこの言葉を、ことごとくイスラエルのすべての人に告げ終って、

46 וַיֹּאמֶר אֲלֵהֶם שִׂימוּ לְבַבְכֶם לְכָל־הַדְּבָרִים אֲשֶׁר

וַיֹּאמֶר	אֲלֵהֶם	שִׂימוּ	לְבַבְכֶם	לְכָל־	הַדְּבָרִים	אֲשֶׁר
そして-言った	彼らに	心に-留めなさい	あなたがたの-心に	すべての	これらの-言葉を	(を)
H0559	H0413	H3824	H3824	H3605	H1697	

אָנֹכִי	מֵעִיד	בָּכֶם	הַיּוֹם	אֲשֶׁר	תְּצַוֶּם	אֶת־	בְּנֵיכֶם
わたしが	警告する	あなたがたに	今日	(を)	命じなさい	(を)	あなたがたの-子らに
H0595			H3117		H6680	H0853	

לַעֲשׂוֹת	אֶת־	כָּל־	דִּבְרֵי	הַתּוֹרָה	הַזֹּאת׃	לִשְׁמֹר
行うように	(を)	すべての	この-律法の-言葉を	この-律法の	この	守って
	H0853	H3605	H1697	H8451	H2063	H8104

彼らに言った、「あなたがたはわたしが、きょう、あなたがたに命じるこのすべての言葉を心におさめ、子供たちにもこの律法のすべての言葉を守り行うことを命じなければならない。

47 כִּי לֹא דָבָר רֵק הוּא מִכֶּם

כִּי	לֹא־	דָבָר	רֵק	הוּא	מִכֶּם
なぜなら	空しい-ことではない	空しい	空しい-言葉では	それは	あなたがたにとって
	H3808	H1697	H7386	H1931	

כִּי־	הִוא	חַיֵּיכֶם	וּבַדָּבָר	הַזֶּה	תַּאֲרִיכוּ	יָמִים	עַל־
なぜなら-それは	それは	あなたがたの-いのち	この-言葉によって	この	長くする	日々を	(の-上で)
	H1931		H1697	H2088	H0748	H3117	

פ	לְרִשְׁתָּהּ׃	שָׁמָּה	הַיַּרְדֵּן	אֶת־	עֹבְרִים	אַתֶּם	אֲשֶׁר	הָאֲדָמָה
—	占領するために	そこへ	ヨルダン川を	(を)	渡って-行く	あなたがたが	(を)	その-地で
	H3423	H8033	H3383	H0853				H0127

この言葉はあなたがたにとって、むなしい言葉ではない。これはあなたがたのいのちである。この言葉により、あなたがたはヨルダンを渡って行って取る地で、長く命を保つことができるであろう」。

48 וַיְדַבֶּר יְהוָה אֶל־מֹשֶׁה בְּעֶצֶם הַיּוֹם הַזֶּה לֵאמֹר׃

וַיְדַבֶּר	יְהוָה	אֶל־	מֹשֶׁה	בְּעֶצֶם	הַיּוֹם	הַזֶּה	לֵאמֹר׃
そして-語られた	主は	(に)	モーセに	まさに-その-日に	その-日に	その	言って
H1696	H3068	H0413	H4872	H6106	H3117	H2088	H0559

この日、主はモーセに言われた、

49 עֲלֵה אֶל־הַר הָעֲבָרִים הַזֶּה הַר־נְבוֹ אֲשֶׁר בְּאֶרֶץ

עֲלֵה	אֶל־	הַר	הָעֲבָרִים	הַזֶּה	הַר־	נְבוֹ	אֲשֶׁר	בְּאֶרֶץ
登りなさい	(に)	(の)-山に	アバリムの	この	ネボ-山に	ネボ	(の)	(の)-地に-ある
H5927	H0413	H2022	H5682	H2088	H2022			H0776

מוֹאָב	אֲשֶׁר	עַל־	פְּנֵי	יְרֵחוֹ	וּרְאֵה	אֶת־	אֶרֶץ	כְּנַעַן
モアブの	(の)	(の-前の)	(の)-前の	エリコの	そして-見よ	(を)	(の)-地を	カナンの
H4124			H6440	H3405	H7200	H0853	H0776	

אֲנִי	נֹתֵן	לִבְנֵי	יִשְׂרָאֵל	לַאֲחֻזָּה׃	
わたしが	与える	(の)-子らに	イスラエルの	所有として	
H0589	H5414		H3478	H0272	

「あなたはエリコに対するモアブの地にあるアバリム山すなわちネボ山に登り、わたしがイスラエルの人々に与えて獲させるカナンの地を見渡たせ。

אֶל־ וְהֵאָסֵף שָׁמָּה עֲלֵה אַתָּה אֲשֶׁר בָּהָר וּמֻת 50
(に) そして–加えられなさい そこに 登る あなたが (の) その–山で そして–死になさい
H0413 H0622 H8033 H5927 H2022 H4191

הָהָר בְּהֹר אָחִיךָ אַהֲרֹן מֵת כַּאֲשֶׁר־ עַמֶּיךָ
ホルの ホルの–山で あなたの–兄弟が アロンが 死んだ–ように (の–ように) あなたの–民に
H2022 H2023 H0251 H0175 H4191

עַמָּיו׃ אֶל־ וַיֵּאָסֶף
彼の–民に (に) そして–加えられた
H0413 H0622

あなたは登って行くその山で死に、あなたの民に連なるであろう。あなたの兄弟アロンがホル山で死んでその民に連なったようになるであろう。

יִשְׂרָאֵל בְּנֵי בְּתוֹךְ בִּי מְעַלְתֶּם אֲשֶׁר עַל 51
イスラエルの (の)–子らの (の)–中で わたしに–対して 背いたから (を) (の–ゆえに)
H3478 H8432 H4603

אֲשֶׁר עַל צִן מִדְבַּר־ קָדֵשׁ מְרִיבַת בְּמֵי־
(を) (の–ゆえに) ツィンの ツィンの–荒野で カデシュの メリバの メリバの–水の–ところで
H6790 H6946 H4808 H4325

יִשְׂרָאֵל׃ בְּנֵי בְּתוֹךְ אוֹתִי קִדַּשְׁתֶּם לֹא־
イスラエルの (の)–子らの (の)–中で わたしを 聖としなかった 聖としなかったから
H3478 H8432 H0853 H6942 H3808

これはあなたがたがチンの荒野にあるメリバテ・カデシの水のほとりで、イスラエルの人々のうちでわたしにそむき、イスラエルの人々のうちでわたしを聖なるものとして敬わなかったからである。

תָּבוֹא לֹא וְשָׁמָּה הָאָרֶץ אֶת־ תִּרְאֶה מִנֶּגֶד כִּי 52
入っては 入っては–ならない しかし–そこに その–地を (を) 見るであろう 向こうから なぜなら
H0935 H3808 H8033 H0776 H0853 H7200 H5048

פ יִשְׂרָאֵל׃ לִבְנֵי נֹתֵן אֲנִי אֲשֶׁר־ הָאָרֶץ אֶל־
— イスラエルの (の)–子らに 与える わたしが (を) その–地に (に)
H3478 H5414 H0589 H0776 H0413

それであなたはわたしがイスラエルの人々に与える地を、目の前に見るであろう。しかし、その地に、はいることはできない」。

Chapter 33

בְּנֵי אֶת־ הָאֱלֹהִים אִישׁ מֹשֶׁה בֵּרַךְ אֲשֶׁר הַבְּרָכָה וְזֹאת 1
(の)–子らを (を) 神の 神の–人 モーセが 祝福した (を) 祝福である そして–これが
H0853 H0430 H0376 H4872 H1288 H2063 H1293

מוֹתוֹ׃ לִפְנֵי יִשְׂרָאֵל
その–死の その–死の–前に イスラエルの
H4194 H6440 H3478

神の人モーセは死ぬ前にイスラエルの人々を祝福した。祝福の言葉は次のとおりである。

2

הוֹפִ֥יעַ	לָ֖מוֹ	מִשֵּׂעִ֑יר	וְזָרַ֤ח	בָּֽא	מִסִּינַ֙י	יְהוָ֔ה	וַיֹּ֣אמֶר
照らされた	彼らに	セイルから	そして-輝いた	来られた	シナイから	主は	そして-言った
H3313			H2224	H0935	H5514	H3068	H0559

[אשדת]	מִֽימִינ֔וֹ	קֹ֖דֶשׁ	מִרִבְבֹ֣ת	וְאָתָ֑ה	פָּארָ֗ן	מֵהָ֣ר
[	その-右手には	聖なる	万の-聖なる-者と-共に	そして-来られた	パランの	パランの-山から
H0799	H3225	H6944	H7233	H0857	H6290	H2022

לָֽמוֹ׃	דָּ֥ת	)אֵ֛שׁ(	
彼らのために	律法が	火の	
	H1881	H0784	

「主はシナイからこられ、セイルからわれわれにむかってのぼられ、パランの山から光を放たれ、ちよろずの聖者の中からこられた。その右の手には燃える火があった。

3

וְהֵ֣ם	בְּיָדֶ֔ךָ	קְדֹשָׁ֖יו	כָּל־	עַמִּ֑ים	חֹבֵ֤ב	אַף
そして-彼らは	あなたの-手の-中に	その-聖なる-者は	すべての	諸民を	愛しておられる	まことに
H1992	H3027	H6918	H3605		H2245	H0637

מִדַּבְּרֹתֶ֖יךָ׃	יִשָּׂ֑א	לְרַגְלֶ֣ךָ	תֻּכּ֔וּ	
あなたの-言葉を	受ける	あなたの-足もとに	ひざまずいている	
H1703	H5375	H7272	H8497	

まことに主はその民を愛される。すべて主に聖別されたものは、み手のうちにある。彼らはあなたの足もとに座して、教をうける。

4

יַעֲקֹֽב׃	קְהִלַּ֥ת	מוֹרָשָׁ֖ה	מֹשֶׁ֣ה	לָ֑נוּ	צִוָּה־	תּוֹרָ֔ה
ヤコブの	ヤコブの-会衆の	嗣業として	モーセが	われらに	命じられた	律法を
H3290	H6952	H4181	H4872		H6680	H8451

モーセはわれわれに律法を授けて、ヤコブの会衆の所有とさせた。

5

יָחַ֔ד	עָ֖ם	רָאשֵׁ֑י	בְּהִתְאַסֵּ֣ף	מֶ֔לֶךְ	בִּישֻׁרוּן֙	וַיְהִ֣י
共に	民の	民の-かしらたちが	集まった-とき	王が	イスラエルに	そして-おられた
			H0622	H4428	H3484	H1961

יִשְׂרָאֵֽל׃	שִׁבְטֵ֖י
イスラエルの	イスラエルの-部族が
H3478	H7626

民のかしらたちが集まり、イスラエルの部族がみな集まった時、主はエシュルンのうちに王となられた」。

6

ס	מִסְפָּֽר׃	מְתָ֥יו	וִיחִ֖י	יָמֹ֑ת	וְאַל־	רְאוּבֵ֣ן	יְחִ֔י
—	多く	その-人数が	あるように	死ぬな	(ない)	ルベンよ	生きよ
	H4557	H4962	H1961	H4191	H0408	H7205	H2421

「ルベンは生きる、死にはしない。しかし、その人数は少なくなるであろう」。

7

וְאֶל־	יְהוּדָ֔ה	קוֹל֙	יְהוָ֣ה	שְׁמַ֔ע	וַיֹּ֣אמֶר	לִֽיהוּדָ֔ה	וְזֹ֣את
そして	ユダの	ユダの-声を	主よ	聞いてください	そして-言った	ユダのための	そして-これは
H0413	H3063		H3068	H8085	H0559	H3063	H2063

וְעֶזֶ֖ר	לֹ֑ו	רָ֣ב	יָדָ֔יו	תָּבִיאֶ֥נּוּ	עַמּ֖וֹ
そして-助けとなってください	彼のために	十分に	その-手で	連れ戻してください	その-民の-もとに
H5828			H3027	H0935	

ס	תִּהְיֶֽה׃	מִצָּרָ֖יו
—	助けとなってください	その-敵からの
	H1961	

ユダについては、こう言った、「主よ、ユダの声を聞いて、彼をその民に導きかえしてください。み手をもって、彼のために戦ってください。彼を助けて、敵に当らせてください」。

8

לְאִ֣ישׁ	וְאוּרֶ֔יךָ	תָּמֶ֖יךָ	אָמַ֑ר	וּלְלֵוִ֣י
あなたの-忠実な-人の-もの	あなたの-ウリムは	あなたの-トンミムと	言った	そして-レビに-ついて
H0376	H0224	H8550	H0559	H3878

מְרִיבָֽה׃	מֵ֥י	עַל־	תְּרִיבֵ֖הוּ	בְּמַסָּ֑ה	נִסִּיתוֹ֙	אֲשֶׁ֣ר	חֲסִידֶֽךָ
メリバの	メリバの-水の	(の-において)	争われた	マッサで	試みられた	(を)	忠実な-人の
H4809	H4325		H7378	H4532	H5254		H2623

レビについては言った、「あなたのトンミムをレビに与えてください。ウリムをあなたに仕える人に与えてください。かつてあなたはマッサで彼を試み、メリバの水のほとりで彼と争われた。

9

הַֽאֹמֵ֣ר	לְאָבִ֔יו	וּלְאִמּ֖וֹ	לֹ֣א	רְאִיתִ֑יו	וְאֶת־	אֶחָ֙יו֙	לֹ֣א	הִכִּ֔יר
言った-者	その-父に	その-母に	(を)	見なかったと	そして	その-兄弟を	(を)	認めなかった
H0559	H0001	H0517	H3808	H7200	H0853	H0251	H3808	

אִמְרָתֶ֔ךָ	שָׁמְר֖וּ	כִּ֣י	יָדָ֑ע	לֹ֣א	(בָּנָ֥יו	[בנו	וְאֶת־	
あなたの-言葉を	守った	なぜなら	知らなかった	(を)	その-子らをも	[	そして	
	H8104		H3045	H3808			H0853	

יִנְצֹֽרוּ׃	וּבְרִיתְךָ֖
保った	あなたの-契約を
H5341	H1285

彼はその父、その母について言った、『わたしは彼らを顧みない』。彼は自分の兄弟をも認めず、自分の子供をも顧みなかった。彼らはあなたの言葉にしたがい、あなたの契約を守ったからである。

10

קְטוֹרָ֔ה	יָשִׂ֖ימוּ	לְיִשְׂרָאֵ֑ל	וְתוֹרָתְךָ֙	לְיַעֲקֹ֣ב	מִשְׁפָּטֶ֔יךָ	יוֹרוּ
香を	置く	イスラエルに	あなたの-律法を	ヤコブに	あなたの-おきてを	教える
H6988		H3478	H8451	H3290	H4941	

מִזְבְּחֶֽךָ׃	עַל־	וְכָלִ֖יל	בְּאַפֶּ֑ךָ	
あなたの-祭壇の-上に	(の-上に)	そして-全き-燔祈を	あなたの-鼻の-前に	
H4196		H3632	H0639	

彼らはあなたのおきてをヤコブに教え、あなたの律法をイスラエルに教え、薫香をあなたの前に供え、燔祭を祭壇の上にささげる。

11

תִּרְצֶ֔ה	יָדָ֖יו	וּפֹ֣עַל	חֵילֹ֑ו	יְהוָ֙ה֙	בָּרֵ֔ךְ	
喜んでください	その-手の	その-手の-わざを	その-力を	主よ	祝福してください	
H7521	H3027	H6467	H2428	H3068	H1288	

ס	יְקוּמֽוּן׃	מִן־	וּמְשַׂנְאָ֖יו	קָמָ֑יו	מָתְנַ֣יִם	מְחַ֔ץ
—	立ち上がれない-ように	(から)	その-憎む-者が	その-敵の	その-敵の-腰を	打ち砕いてください
			H8130		H4975	H4272

主よ、彼の力を祝福し、彼の手のわざを喜び受けてください。彼に逆らう者と、彼を憎む者との腰を打ち砕いて、立ち上がることのできないようにしてください」。

12

חֹפֵ֥ף	עָלָ֖יו	לָבֶ֣טַח	יִשְׁכֹּ֑ן	יְהוָ֙ה֙	יְדִ֣יד	אָמַ֔ר	לְבִנְיָמִ֕ן
覆っておられる	その-上に	安らかに	住む	主の	愛される-者	言った	ベニヤミンに-ついて
H2653		H0983	H7931	H3068		H0559	H1144

ס	שָׁכֵֽן׃	כְּתֵפָ֖יו	וּבֵ֣ין	הַיּ֔וֹם	כָּל־	עָלָ֑יו	
—	住まわれる	その-肩の-間に	そして	終日	終日	彼の-上に	
	H7931	H3802	H0996	H3117	H3605		

ベニヤミンについては言った、「主に愛される者、彼は安らかに主のそばにおり、主は終日、彼を守り、その肩の間にすまいを営まれるであろう」。

13 וְלִיוֹסֵף אָמַר מְבֹרֶכֶת יְהוָה אַרְצוֹ מִמֶּגֶד שָׁמַיִם
そして–ヨセフに–ついて 言った 祝福されている 主によって その–地は 最良の–もので 天の
H3130 H0559 H1288 H3068 H0776 H4022 H8064

מִמְּתְהוֹם וּמִמֶּגֶד רֹבֶצֶת תָּחַת׃
そして–深淵の 最良の–もので 横たわる 下の
H8415 H4022 H7257 H8478

ヨセフについては言った、「どうぞ主が彼の地を祝福されるように。上なる天の賜物と露、下に横たわる淵の賜物、

14 וּמִמֶּגֶד תְּבוּאֹת שֶׁמֶשׁ וּמִמֶּגֶד גֶּרֶשׁ יְרָחִים׃
そして–最良の–もので 太陽の 太陽の–産物の そして–最良の–もので 月の–産物の 月の
H4022 H8121 H8393 H4022 H1645 H3391

日によって産する尊い賜物、月によって生ずる尊い賜物、

15 וּמֵרֹאשׁ הָרְרֵי־ קֶדֶם וּמִמֶּגֶד גִּבְעוֹת עוֹלָם׃
そして–頂から 太古の–山々の 太古の そして–最良の–もので 丘の–もの 永遠の
H4022 H2042 H6936 H4022 H1389 H5769

いにしえの山々の産する賜物、とこしえの丘の尊い賜物、

16 וּמִמֶּגֶד אֶרֶץ וּמְלֹאָהּ וְרְצוֹן שֹׁכְנִי
そして–最良の–もので 地の その–満ちている–ものと 恩寵を 柴の–茂みに–住まわれる–方の
H4022 H0776 H4393 H7522 H7931

תָּבוֹאתָהּ יוֹסֵף לְרֹאשׁ וּלְקָדְקֹד נְזִיר אֶחָיו׃
来たれ ヨセフの (の)–頭の–上に そして–頂の–上に 分かたれた–者の その–兄弟から
H0935 H3130 H6936 H5572 H0251

地とそれに満ちる尊い賜物、しばの中におられた者の恵みが、ヨセフの頭に臨み、その兄弟たちの君たる者の頭の頂にくだるように。

17 בְּכוֹר שׁוֹרוֹ הָדָר לוֹ וְקַרְנֵי רְאֵם קַרְנָיו בָּהֶם
その–初子の–牛は 威光が–あり 彼に そして–角は 野生の–角 その–角である それらで
H1060 H7794 H1926 H7214 H6936 H0776

אַפְסֵי־ אָרֶץ וְהֵם רִבְבוֹת אֶפְרַיִם וְהֵם יַחְדָּו יְנַגַּח עַמִּים
地の–果てまで 地の 共に 突き飛ばす 諸民を 万の–者である エフライムの そして–それらは
H0776 H0776 H5055 H7233 H0669 H1992

ס מְנַשֶּׁה׃ אַלְפֵי וְהֵם
— マナセの 千の–者である そして–それらは
H4519 H0505 H1992

彼の牛のういごは威厳があり、その角は野牛の角のよう、これをもって国々の民をことごとく突き倒し、地のはてにまで及ぶ。このような者はエフライムに幾万とあり、またこのような者はマナセに幾千とある」。

18 וּלְזְבוּלֻן אָמַר שְׂמַח זְבוּלֻן בְּצֵאתֶךָ וְיִשָּׂשכָר
そして–ゼブルンに–ついて 言った 喜べ ゼブルンよ あなたの–出で立ちに そして–イッサカルよ
H2074 H0559 H8055 H2074 H3318 H3485

בְּאָהָלֶיךָ׃
あなたの–天幕に
H0168

ゼブルンについては言った、「ゼブルンよ、あなたは外に出て楽しみを得よ。イッサカルよ、あなたは天幕にいて楽しみを得よ。

19

שָׂפַע	כִּי	צֶדֶק	זִבְחֵי־	יִזְבְּחוּ	שָׁם	יִקְרָאוּ	הַר־	עַמִּים
豊かな-ものを	なぜなら	義の	義の-いけにえを	ささげる	そこで	呼ぶ	山に-呼ぶ	諸民を
H8228		H6664	H2077	H2076	H8033	H7121	H2022	

ס	חוֹל׃	טְמוּנֵי	וּשְׂפוּנֵי	יִינָקוּ	יַמִּים
—	砂の	隠された	そして-隠された-宝と	吸い取る	海の
	H2344	H2934	H8226	H3243	H3220

彼らは国々の民を山に招き、その所で正しい犠牲をささげるであろう。彼らは海の富を吸い、砂に隠れた宝を取るからである」。

20

שֹׁכֵן	כְּלָבִיא	גָּד	מַרְחִיב	בָּרוּךְ	אָמַר	וּלְגָד
住み	獅子の-ように	ガドを	広げる-方	祝福されている	言った	そして-ガドに-ついて
H7931		H1410	H7337	H1288	H0559	H1410

קָדְקֹד׃	אַף־	זְרוֹעַ	וְטָרַף
頭の-頂をも	また-頭の-頂をも	腕を	そして-引き裂く
H6936	H0637	H2220	H2963

ガドについては言った、「ガドを大きくする者は、ほむべきかな。ガドは、ししのように伏し、腕や頭の頂をかき裂くであろう。

21

מְחֹקֵק	חֶלְקַת	שָׁם	כִּי־	לוֹ	רֵאשִׁית	וַיַּרְא
指導者の	指導者の-分が	そこに	なぜなら-そこに	自分のために	最良の-地を	そして-見た
H2710		H8033			H7225	H7200

וּמִשְׁפָּטָיו	עָשָׂה	יְהוָה	צִדְקַת	עִם	רָאשֵׁי	וַיֵּתֵא	סָפוּן
その-さばきを	行った	主の	主の-義を	民の	民の-かしらたちと-共に	そして-来た	隠されていた
H4941		H3068	H6666			H0857	H5603

ס	יִשְׂרָאֵל׃	עִם־	
—	イスラエルと	(と-共に)	
	H3478		

彼は初穂の地を自分のために選んだ。そこには将軍の分も取り置かれていた。彼は民のかしらたちと共にきて、イスラエルと共に主の正義と審判とを行った」。

22

הַבָּשָׁן׃	מִן־	יְזַנֵּק	אַרְיֵה	גּוּר	דָּן	אָמַר	וּלְדָן
バシャンから	(から)	跳び出る	獅子の	獅子の-子である	ダンは	言った	そして-ダンに-ついて
H1316		H2187		H1482	H1835	H0559	H1835

ダンについては言った、「ダンはししの子であって、バシャンからおどりでる」。

23

וּמָלֵא	רָצוֹן	שְׂבַע	נַפְתָּלִי	אָמַר	וּלְנַפְתָּלִי
そして-満ちている	恩寵に	恩寵に-満ちており	ナフタリは	言った	そして-ナフタリに-ついて
H4392	H7522	H7649	H5321	H0559	H5321

ס	יְרָשָׁה׃	וְדָרוֹם	יָם	יְהוָה	בָּרְכָת
—	受け継ぐ	南を	西と	主の	主の-祝福に
	H3423	H1864	H3220	H3068	H1293

ナフタリについては言った、「ナフタリよ、あなたは恵みに満たされ、主の祝福に満ちて、湖とその南の地を所有する」。

24

יְהִי	אָשֵׁר	מִבָּנִים	בָּרוּךְ	אָמַר	וּלְאָשֵׁר
好まれ	アシェルは	子らの-中で	祝福されている	言った	そして-アシェルに-ついて
H1961	H0836		H1288	H0559	H0836

רַגְלוֹ׃	בַּשֶּׁמֶן	וְטֹבֵל	אֶחָיו	רְצוּי
その-足を	油に	そして-浸す	その-兄弟に	喜ばれる-者となり
H7272	H8081	H2881	H0251	H7521

アセルについては言った、「アセルは他の子らにまさって祝福される。彼はその兄弟たちに愛せられ、その足を油にひたすことができるように。

25

דָּבְאֶךָ׃	וּכְיָמֶיךָ	מְנָעָלֶיךָ	וּנְחֹשֶׁת	בַּרְזֶל
あなたの-力は	あなたの-日々の-ように	あなたの-門の-かんぬき	青銅の	鉄と
H1679	H3117	H4515		H1270

あなたの貫の木は鉄と青銅、あなたの力はあなたの年と共に続くであろう」。

26

בְּעֶזְרֶךָ	שְׁמַיִם	רֹכֵב	יְשֻׁרוּן	כָּאֵל	אֵין
あなたを-助けるために	天を	乗って-来られる	イスラエルよ	神の-ような-方は	ない
H5828	H8064	H7392	H3484	H0410	H0369

שְׁחָקִים׃	וּבְגַאֲוָתוֹ
天を	その-威光を-もって
H7834	H1346

「エシュルンよ、神に並ぶ者はほかにない。あなたを助けるために天に乗り、威光をもって空を通られる。

27

וַיְגָרֶשׁ	עוֹלָם	זְרֹעֹת	וּמִתָּחַת	קֶדֶם	אֱלֹהֵי	מְעֹנָה
そして-追い出された	永遠の	永遠の-腕が	その-下には	永遠の	永遠の-神の	住まいである
H1644	H5769	H2220	H8478		H0430	H4585

הַשְׁמֵד׃	וַיֹּאמֶר	אוֹיֵב	מִפָּנֶיךָ
滅ぼせと	そして-言われた	敵を	あなたの-前から
H8045	H0559	H0341	H6440

とこしえにいます神はあなたのすみかであり、下には永遠の腕がある。敵をあなたの前から追い払って、『滅ぼせ』と言われた。

28

אֶרֶץ	אֶל־	יַעֲקֹב	עַיִן	בָּדָד	בֶּטַח	יִשְׂרָאֵל	וַיִּשְׁכֹּן	
(の)-地に	(の-上に)	ヤコブの	ヤコブの-泉は	独りで	安らかに	イスラエルは	そして-住んだ	
H0776	H0413	H3290		H0910	H0983	H3478	H7931	

טָל׃	יַעַרְפוּ	שָׁמָיו	אַף־	וְתִירוֹשׁ		דָּגָן
露を	滴らす	その-天は	また-その-天は	新しい-ぶどう酒の		穀物と
H2919	H6201	H8064	H0637	H8492		H1715

イスラエルは安らかに住み、ヤコブの泉は穀物とぶどう酒の地に、ひとりいるであろう。また天は露をくだすであろう。

29

מָגֵן	בַּיהוָה	נוֹשַׁע	עַם	כָּמוֹךָ	מִי	יִשְׂרָאֵל	אַשְׁרֶיךָ	
盾である	主によって	救われた	民は	あなたの-ような	誰が	イスラエルよ	幸いだ	
H4043	H3068	H3467		H3644	H4310	H3478	H0835	

אֹיְבֶיךָ	וְיִכָּחֲשׁוּ	גַּאֲוָתֶךָ	חֶרֶב	וַאֲשֶׁר־	עֶזְרֶךָ
あなたの-敵は	そして-へつらう	あなたの-威光の	剣である	そして-(である)	あなたの-助けの
H0341	H3584	H1346	H2719		H5828

ס	תִּדְרֹךְ׃	בָּמוֹתֵימוֹ	עַל־	וְאַתָּה	לָךְ
—	踏みしめる	彼らの-高みを	(の-上を)	そして-あなたは	あなたに
	H1869	H1116			

イスラエルよ、あなたはしあわせである。だれがあなたのように、主に救われた民があるであろうか。主はあなたを助ける盾、あなたの威光のつるぎ、あなたの敵はあなたにへつらい服し、あなたは彼らの高き所を踏み進むであろう」。

Chapter 34

1

הַפִּסְגָּה	רֹאשׁ	נְבוֹ	הָר	אֶל־	מוֹאָב	מֵעַרְבֹת	מֹשֶׁה	וַיַּעַל
ピスガの	頂へ	ネボの	(の)–山に	(に)	モアブの	モアブの–草原から	モーセは	そして–登った
H6449			H2022	H0413	H4124	H6160	H4872	H5927

אֶת־	הָאָרֶץ	כָּל־	אֶת־	יְהוָה	וַיַּרְאֵהוּ	יְרֵחוֹ	פְּנֵי	עַל־	אֲשֶׁר
(を)	その–地を	すべての	(を)	主は	そして–見せられた	エリコの	(の)–前の	(の–前の)	(の)
H0853	H0776	H3605	H0853	H3068	H7200	H3405	H6440		

דָּן׃	עַד־	הַגִּלְעָד
ダンまで	(まで)	ギルアデを
H1835	H5704	H1568

モーセはモアブの平野からネボ山に登り、エリコの向かいのピスガの頂へ行った。そこで主は彼にギレアデの全地をダンまで示し、

2

כָּל־	וְאֵת	וּמְנַשֶּׁה	אֶפְרַיִם	אֶרֶץ	וְאֶת־	נַפְתָּלִי	כָּל־	וְאֵת
すべての	そして	マナセの	エフライムの	(の)–地と	そして	ナフタリと	すべての	そして
H3605	H0853	H4519	H0669	H0776	H0853	H5321	H3605	H0853

הָאַחֲרוֹן׃	יָם	עַד	יְהוּדָה	אֶרֶץ
西の	西の–海まで	(まで)	ユダの	(の)–地と
H0314	H3220	H5704	H3063	H0776

ナフタリの全部、エフライムとマナセの地およびユダの全地を西の海まで示し、

3

הַתְּמָרִים	עִיר	יְרֵחוֹ	בִּקְעַת	הַכִּכָּר	וְאֶת־	הַנֶּגֶב	וְאֶת־	
なつめやしの	なつめやしの–町	エリコの	エリコの–谷と	ヨルダンの–谷と	そして	ネゲブと	そして	
H8558		H3405	H1237	H3603	H0853	H5045	H0853	

צֹעַר׃	עַד־
ツォアルまで	(まで)
H6820	H5704

ネゲブと低地、すなわち、しゅろの町エリコの谷をゾアルまで示された。

4

לְאַבְרָהָם	נִשְׁבַּעְתִּי	אֲשֶׁר	הָאָרֶץ	זֹאת	אֵלָיו	יְהוָה	וַיֹּאמֶר	
アブラハムに	わたしが–誓った	(を)	その–地である	これが	彼に	主は	そして–言われた	
H0085	H7650		H0776	H2063	H0413	H3068	H0559	

וְשָׁמָּה	בְּעֵינֶיךָ	הֶרְאִיתִיךָ	אֶתְּנֶנָּה	לְזַרְעֲךָ	לֵאמֹר	וְלִיעֲקֹב	לְיִצְחָק	
しかし–そこに	あなたの–目に	見せた	与えると	あなたの–子孫に	言って	ヤコブに	イサクに	
H8033		H7200	H5414	H2233	H0559	H3290	H3327	

תַּעֲבֹר׃	לֹא
渡っては	渡っては–ならない
	H3808

そして主は彼に言われた、「わたしがアブラハム、イサク、ヤコブに、これをあなたの子孫に与えると言って誓った地はこれである。わたしはこれをあなたの目に見せるが、あなたはそこへ渡って行くことはできない」。

5

עַל־	מוֹאָב	בְּאֶרֶץ	יְהוָה	עֶבֶד־	מֹשֶׁה	שָׁם	וַיָּמָת
(の–に従って)	モアブの	(の)–地で	主の	主の–僕べ	モーセは	そこで	そして–死んだ
	H4124	H0776	H3068	H5650	H4872	H8033	H4191

יְהוָה׃	פִּי
主の	主の–御言葉の–とおりに
H3068	H6310

こうして主のしもべモーセは主の言葉のとおりにモアブの地で死んだ。

6

וְלֹא־	פְּעוֹרָה֑בֵית	מ֣וּל	מוֹאָב	בְּאֶרֶץ	בַּנִּ֖יָ	אֹתוֹ	וַיִּקְבֹּר	
そして–(ない)	ベト・ペオルの	(の)–向かいに	モアブの	(の)–地で	谷に	彼を	そして–葬られた	
H3808	H1047	H4136	H4124	H0776	H1516	H0853	H6912	

הַזֶּה׃	הַיּוֹם	עַד	קְבֻרָתוֹ	אֶת־	אִישׁ	יָדַע	
今日の	今日の–日まで	(まで)	その–墓を	(を)	人は–誰も	知らない	
H2088	H3117	H5704	H6900	H0853	H0376	H3045	

主は彼をベテペオルに対するモアブの地の谷に葬られたが、今日までその墓を知る人はない。

7

לֹא־	בְּמֹתוֹ	שָׁנָה	וְעֶשְׂרִים	מֵאָה	בֶּן־	וּמֹשֶׁה	
衰えていなかった	死の–ときに	歳の–ときに	二十の	百	(の)–子で	そして–モーセは	
H3808	H4194	H8141	H6242	H3967		H4872	

לֵחָה׃	נָס	וְלֹא־	עֵינוֹ	כָּהֲתָה
その–気力は	失われてなかった	そして–(なかった)	その–目は	衰えていなかった
H3893	H5127	H3808		

モーセは死んだ時、百二十歳であったが、目はかすまず、気力は衰えていなかった。

8

מוֹאָב	בְּעַרְבֹת	מֹשֶׁה	אֶת־	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי	וַיִּבְכּוּ	
モアブの	モアブの–草原で	モーセのために	(を)	イスラエルの	(の)–子らは	そして–泣いた	
H4124	H6160	H4872	H0853	H3478		H1058	

מֹשֶׁה׃	אֵבֶל	בְּכִי	יְמֵי	וַיִּתְּמוּ	יוֹם	שְׁלֹשִׁים
モーセの	悲しみの–日々が	泣く	泣く–日々が	そして–終わった	日間	三十
H4872	H0060	H1065	H3117	H8552	H3117	H7970

イスラエルの人々はモアブの平野で三十日の間モーセのために泣いた。そしてモーセのために泣き悲しむ日はついに終った。

9

סָמַךְ	כִּי־	חָכְמָה	רוּחַ	מָלֵא	נוּן	בִּן־	וִיהוֹשֻׁעַ
置いた	なぜなら	知恵の	知恵の–霊に	満たされていた	ヌンの	(の)–子	そして–ヨシュアは
H5564		H2451	H7307	H4392	H5126		H3091

יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי־	אֵלָיו	וַיִּשְׁמְעוּ	עָלָיו	יָדָיו	אֶת־	מֹשֶׁה
イスラエルの	(の)–子らは	彼に	そして–聞き従った	彼の–上に	その–手を	(を)	モーセが
H3478		H0413	H8085		H3027	H0853	H4872

מֹשֶׁה׃	אֶת־	יְהוָה	צִוָּה	כַּאֲשֶׁר	וַיַּעֲשׂוּ	
モーセに	(を)	主が	命じられた	(の–とおりに)	そして–行った	
H4872	H0853	H3068	H6680			

ヌンの子ヨシュアは知恵の霊に満ちた人であった。モーセが彼の上に手を置いたからである。イスラエルの人々は彼に聞き従い、主がモーセに命じられたとおりにおこなった。

10

אֲשֶׁר	כְּמֹשֶׁה	בְּיִשְׂרָאֵל	עוֹד	נָבִיא	קָם	וְלֹא־	
(を)	モーセの–ような	イスラエルに	再び	預言者は	起こらなかった	そして–(なかった)	
	H4872	H3478	H5750	H5030		H3808	

פָּנִים׃	אֶל־	פָּנִים	יְהוָה	יְדָעוֹ		
顔を–合わせて	(に)	顔と	主が	知っておられた		
H6440	H0413	H6440	H3068	H3045		

イスラエルには、こののちモーセのような預言者は起らなかった。モーセは主が顔を合わせて知られた者であった。

11

מִצְרָיִם	בְּאֶרֶץ	לַעֲשׂוֹת	יְהוָה	שְׁלָחוֹ	אֲשֶׁר	וְהַמּוֹפְתִים	הָאֹתוֹת	לְכָל־
エジプトの	(の)–地で	行うために	主が	遣わされた	(を)	不思議に–ついて	しるしと	すべての
H4714	H0776		H3068	H7971		H4159	H0226	H3605

אַרְצוֹ׃	וּלְכָל־	עֲבָדָיו	וּלְכָל־	לְפַרְעֹה
その–地に–対して	そして–すべての	その–家来たちに–対して	そして–すべての	ファラオに–対して
H0776	H3605	H5650	H3605	H6547

主はエジプトの地で彼をパロとそのすべての家来およびその全地につかわして、もろもろのしるしと不思議を行わせられた。

12

עָשָׂה	אֲשֶׁר	הַגָּדוֹל	הַמּוֹרָא	וּלְכֹל	הַחֲזָקָה	הַיָּד	וּלְכֹל	
行った	(を)	大いなる	大いなる–疑いと	そして–すべての	力ある	力ある–手と	そして–すべての	
				H3605	H2389	H3027	H3605	

יִשְׂרָאֵל׃	כָּל־	לְעֵינֵי	מֹשֶׁה
イスラエルの	すべての	(の)–目の–前で	モーセが
H3478	H3605		H4872

モーセはイスラエルのすべての人の前で大いなる力をあらわし、大いなる恐るべき事をおこなった。

Joshua

Chapter 1

1 וַיְהִי אַחֲרֵי מוֹת מֹשֶׁה עֶבֶד יְהוָה וַיֹּאמֶר יְהוָה אֶל־יְהוֹשֻׁעַ
そして-あった 後に 死 モーセの しもべ 主の そして-言われた 主が に ヨシュア
H1961 H0310 H4194 H4872 H5650 H3068 H0559 H3068 H0413 H3091

בִּן־נוּן מְשָׁרֵת מֹשֶׁה לֵאמֹר׃
子 ヌンの 従者 モーセの 言って
H1121 H5126 H8334 H4872 H0559

主のしもべモーセが死んだ後、主はモーセの従者、ヌンの子ヨシュアに言われた、

2 מֹשֶׁה עַבְדִּי מֵת וְעַתָּה קוּם עֲבֹר אַתָּה הַזֶּה הַיַּרְדֵּן אֶת־
モーセ わたしの-しもべは 死んだ 今こそ 立って 渡れ あなたと この ヨルダン川 を
H4872 H5650 H4191 H6258 H0853 H5674 H0859 H2088 H3383 H0853

כָּל־הָעָם הַזֶּה אֶל־הָאָרֶץ אֲשֶׁר אָנֹכִי נֹתֵן לָהֶם לִבְנֵי יִשְׂרָאֵל׃
すべての 民 この へ 地 その わたしが 与える 彼らに 子らに イスラエルの
H3605 H5971 H2088 H0413 H0776 H0834 H0595 H5414 H1992 H1121 H3478

「わたしのしもべモーセは死んだ。それゆえ、今あなたと、このすべての民とは、共に立って、このヨルダンを渡り、わたしがイスラエルの人々に与える地に行きなさい。

3 כָּל־מָקוֹם אֲשֶׁר תִּדְרֹךְ כַּף־רַגְלְכֶם בּוֹ לָכֶם נְתַתִּיו
すべての 場所 そこに 踏む 足の-裏が あなたのの それを あなたがたに わたしは-与えた
H3605 H4725 H0834 H1869 H3709 H7272 H0996 H0996 H5414

כַּאֲשֶׁר דִּבַּרְתִּי אֶל־מֹשֶׁה׃
ように 語った に モーセ
H1696 H0413 H4872

あなたがたが、足の裏で踏む所はみな、わたしがモーセに約束したように、あなたがたに与えるであろう。

4 מֵהַמִּדְבָּר וְהַלְּבָנוֹן הַזֶּה וְעַד־נְהַר הַנָּהָר נְהַר־פְּרָת כֹּל אֶרֶץ
荒野から レバノンの この まで 川 川 大きな 川 ユーフラテス すべて 地
H4057 H3844 H2088 H5704 H5104 H5104 H1419 H6578 H3605 H0776

הַחִתִּים וְעַד־הַיָּם הַגָּדוֹל מְבוֹא הַשָּׁמֶשׁ יִהְיֶה גְּבוּלְכֶם׃
ヒッタイト人の まで 海 大きな 入り口 太陽の なる あなたがたの-領土と
H2850 H5704 H3220 H1419 H3996 H8121 H1961 H1366

あなたがたの領域は、荒野からレバノンに及び、また大川ユフラテからヘテびとの全地にわたり、日の入る方の大海に達するであろう。

5 כָּאֲשֶׁר חַיֶּיךָ יְמֵי כֹּל לְפָנֶיךָ אִישׁ יִתְיַצֵּב לֹא־
ように あなたの-生涯の 日 すべての あなたの-前に 人は 立ち向かえない 誰も
H3644 H2416 H3117 H3605 H6440 H0376 H3320 H3808

יִהְיֶה עִמָּךְ אֶהְיֶה כַּאֲשֶׁר מֹשֶׁה עִמִּי הָיִיתִי לֹא אַרְפְּךָ וְלֹא אֶעֶזְבֶךָּ׃
なる と共に モーセ わたしは-いる ように あなたと-共に 決して 見放さず 決して 見捨てない
H1961 H5973 H4872 H1961 H3644 H5973 H7503 H3808 H5800 H3808

あなたが生きながらえる日の間、あなたに当ることのできる者は、ひとりもないであろう。わたしは、モーセと共にいたように、あなたと共におるであろう。わたしはあなたを見放すことも、見捨てることもしない。

6

הָאָ֔רֶץ	אֶת־	הַזֶּ֖ה	הָעָ֑ם	אֶת־	תַּנְחִ֣יל	אַתָּ֔ה	כִּ֤י	וֶאֱמָ֙ץ֙	חֲזַ֔ק
地	を	この	民	を	受け継がせる	あなたが	なぜなら	雄々しくあれ	強くあれ
H0776	H0853	H2088		H0853	H5157			H0553	H2388

לָהֶֽם׃	לָתֵ֥ת	לַאֲבוֹתָ֖ם	נִשְׁבָּעְתִּ֥י	אֲשֶׁר־
彼らに	与えると	彼らの–先祖に	わたしが–誓った	その
	H5414	H0001	H7650	

強く、また雄々しくあれ。あなたはこの民に、わたしが彼らに与えると、その先祖たちに誓った地を獲させなければならない。

7

צִוְּךָ֣	אֲשֶׁ֣ר	הַתּוֹרָ֗ה	כְּכֹל־	לַעֲשׂוֹת֮	לִשְׁמֹר֒	מְאֹ֣ד	וֶאֱמַ֣ץ	חֲזַ֡ק	רַ֣ק
命じた	その	律法を	すべての	行うために	守り	非常に	雄々しくあれ	強くあれ	ただ
H6680		H8451	H3605		H8104	H3966	H0553	H2388	H7535

תַּשְׂכִּ֔יל	לְמַ֙עַן֙	וּשְׂמֹאול֑	יָמִ֣ין	מִמֶּ֖נּוּ	תָּס֥וּר	אַל־	עַבְדִּ֛י	מֹשֶׁ֥ה
栄える	そうすれば	左にも	右にも	それから	そむくな	決して	わたしの–しもべ	モーセが
	H4616	H8040	H3225		H5493	H0408	H5650	H4872

תֵּלֵֽךְ׃	אֲשֶׁ֥ר	בְּכֹ֖ל
行く	おいて	すべての–ことに
H3212		H3605

ただ強く、また雄々しくあって、わたしのしもべモーセがあなたに命じた律法をことごとく守って行い、これを離れて右にも左にも曲ってはならない。それはすべてあなたが行くところで、勝利を得るためである。

8

יוֹמָ֣ם	בּ֗וֹ	וְהָגִיתָ֙	מִפִּ֔יךָ	הַזֶּ֖ה	הַתּוֹרָ֑ה	סֵ֣פֶר	יָמ֣וּשׁ	לֹֽא־
昼も	それを	そして–唱えよ	あなたの–口から	この	律法の	書を	離れさせるな	決して
H3119		H1897	H6310	H2088	H8451		H4185	H3808

כִּ֚י	בּ֔וֹ	הַכָּת֖וּב	כְּכֹל־	לַעֲשׂ֑וֹת	תִּשְׁמֹ֣ר	לְמַ֗עַן	וְלַ֣יְלָה
そうすれば	その–中に	書かれたことを	すべての	行うことが–できる	守り	そうすれば	夜も
		H3789	H3605		H8104	H4616	H3915

תַּשְׂכִּֽיל׃	וְאָ֖ז	דַּרְכְּךָ֥	אֶת־	תַּצְלִ֔יחַ	אָ֣ז
栄える	そして–その時	あなたの–道	を	繁栄し	その時
		H1870	H0853		

この律法の書をあなたの口から離すことなく、昼も夜もそれを思い、そのうちにしるされていることを、ことごとく守って行わなければならない。そうするならば、あなたの道は栄え、あなたは勝利を得るであろう。

9

וְאַל־	תַּעֲרֹ֑ץ	אַל־	וֶאֱמָ֖ץ	חֲזַ֔ק	צִוִּיתִ֣יךָ	הֲלֹ֥וא
そして–決して	おののくな	決して	雄々しくあれ	強くあれ	あなたに	わたしは–命じたではないか
H0408	H6206	H0408	H0553	H2388	H6680	H3808

תֵּלֵֽךְ׃	אֲשֶׁ֥ר	בְּכֹ֖ל	אֱלֹהֶ֣יךָ	יְהוָ֥ה	עִמְּךָ֛	כִּ֥י	תֵּחַ֖ת
行く	どこへでも	すべての–ところで	あなたの–神が–いる	主	あなたと–共に	なぜなら	恐れるな
H3212		H3605	H0430	H3068			H2865

פ
—

わたしはあなたに命じたではないか。強く、また雄々しくあれ。あなたがどこへ行くにも、あなたの神、主が共におられるゆえ、恐れてはならない、おののいてはならない」。

10

לֵאמֹֽר׃	הָעָ֔ם	שֹׁטְרֵ֣י	אֶת־	יְהוֹשֻׁ֖עַ	וַיְצַ֥ו
言って	民の	つかさたち	に	ヨシュアは	そして–命じた
H0559		H7860	H0853	H3091	H6680

そこでヨシュアは民のつかさたちに命じて言った、

11

וְעִבְרוּ	בְּקֶרֶב	הַמַּחֲנֶה	וְצַוּוּ	אֶת־	הָעָם	לֵאמֹר	הָכִינוּ	לָכֶם
通れ	中を	陣営の	そして-命じよ	に	民	言って	備えよ	あなたがたの-ために
				H0853		H0559		

לָבוֹא	הַזֶּה	הַיַּרְדֵּן	אֶת־	עֹבְרִים	אַתֶּם	יָמִים	שְׁלֹשֶׁת	וּבְעוֹד	כִּי	צֵידָה
入って	この	ヨルダン川	を	渡る	あなたがたは	日で	三	あと	なぜなら	食糧を
H0935	H2088	H3383	H0853			H3117	H7969	H5750		H6720

לָכֶם	נֹתֵן	אֱלֹהֵיכֶם	יְהוָה	אֲשֶׁר	הָאָרֶץ	אֶת־	לָרֶשֶׁת
あなたがたに	与える	あなたがたの-神が	主	その	地	を	所有するために
	H5414	H0430	H3068		H0776	H0853	H3423

ס	לְרִשְׁתָּהּ׃
—	所有する-ために
	H3423

「宿営のなかを巡って民に命じて言いなさい、『糧食の備えをしなさい。三日のうちに、あなたがたはこのヨルダンを渡って、あなたがたの神、主があなたがたに与えて獲させようとされる地を獲るために、進み行かなければならないからである』」。

12

לֵאמֹר׃	יְהוֹשֻׁעַ	אָמַר	הַמְנַשֶּׁה	שֵׁבֶט	וְלַחֲצִי	וְלַגָּדִי	וְלָרְאוּבֵנִי
言って	ヨシュアは	言った	マナセの	部族	半部族	ガド人と	ルベン人と
H0559	H3091	H0559	H4519	H7626	H2677	H1425	H7206

ヨシュアはまたルベンびと、ガドびと、およびマナセの半部族に言った、

13

יְהוָה	לֵאמֹר	יְהוָה	עֶבֶד־	מֹשֶׁה	אֶתְכֶם	צִוָּה	אֲשֶׁר	הַדָּבָר	אֶת־	זִכְרוֹ
主	言って	主の	しもべ	モーセが	あなたがたに	命じた	その	ことば	を	覚えよ
H3068	H0559	H3068	H5650	H4872	H0853	H6680		H1697	H0853	H2142

הַזֹּאת׃	הָאָרֶץ	אֶת־	לָכֶם	וְנָתַן	לָכֶם	מֵנִיחַ	אֱלֹהֵיכֶם
この	地	を	あなたがたに	そして-与える	あなたがたを	休ませる	あなたがたの-神が
H2063	H0776	H0853		H5414		H5117	H0430

「主のしもべモーセがあなたがたに命じて、『あなたがたの神、主はあなたがたのために安息の場所を備え、この地をあなたがたに賜わるであろう』と言った言葉を記憶しなさい。

14

מֹשֶׁה	לָכֶם	נָתַן	אֲשֶׁר	בָּאָרֶץ	יֵשְׁבוּ	וּמִקְנֵיכֶם	טַפְּכֶם	נְשֵׁיכֶם
モーセが	あなたがたに	与えた	その	地に	とどまれ	家畜は	子どもと	あなたがたの-妻と
H4872		H5414		H0776	H3427	H4735	H2945	H0802

כָּל	אֲחֵיכֶם	לִפְנֵי	חֲמֻשִׁים	תַּעַבְרוּ	וְאַתֶּם	הַיַּרְדֵּן	בְּעֵבֶר
すべての	あなたがたの-兄弟の	前に	武装して	渡れ	しかし-あなたがたは	ヨルダン川の	向こう側
H3605	H0251	H6440	H2571			H3383	H5676

אוֹתָם׃	וַעֲזַרְתֶּם	הַחַיִל	גִּבּוֹרֵי
彼らを	そして-助けよ	力ある	勇士
H0853	H5826	H2428	H1368

あなたがたの妻子と家畜とは、モーセがあなたがたに与えたヨルダンのこちら側の地にとどまらなければならない。しかし、あなたがたのうちの勇士はみな武装して、兄弟たちの先に立って渡り、これを助けなければならない。

15

גַּם־	וְיָרְשׁוּ	כָּכֶם׃	לַאֲחֵיכֶם׀	וַיהוָה	יָנִיחַ	אֲשֶׁר־	עַד
また	そして–所有する	あなたがたの–ように	あなたがたの–兄弟を	主が	休ませる	その	まで
H1571	H3423		H0251	H3068	H5117		H5704

לָאָרֶץ	וְשַׁבְתֶּם	לָהֶם	נָתַן	אֱלֹהֵיכֶם	יְהוָה	אֲשֶׁר־	הָאָרֶץ	אֶת־	הַמָּה
地に	そして–帰れ	彼らに	与える	あなたがたの–神が	主	その	地	を	彼らも
H0776	H7725		H5414	H0430	H3068		H0776	H0853	H1992

יְהוָה	עֶבֶד	מֹשֶׁה׀	לָכֶם	נָתַן	וַאֲשֶׁר	אֹתָהּ	וִירִשְׁתֶּם	יְרֻשַּׁתְכֶם׀
主の	しもべ	モーセが	あなたがたに	与えた	その	それを	そして–所有せよ	あなたがたの–所有地
H3068	H5650	H4872		H5414		H0853	H3423	H3425

הַשָּׁמֶשׁ׃	מִזְרַח	הַיַּרְדֵּן	בְּעֵבֶר
太陽の	日の出	ヨルダン川の	向こう側
H8121	H4217	H3383	H5676

そして主があなたがたに賜わったように、あなたがたの兄弟たちにも安息を賜わり、彼らもあなたがたの神、主が賜わる地を獲るようになるならば、あなたがたは、主のしもべモーセから与えられた、ヨルダンのこちら側、日の出の方にある、あなたがたの所有の地に帰って、それを保つことができるであろう」。

16

וְאֵל־	נַעֲשֶׂה	צִוִּיתָנוּ	אֲשֶׁר־	כֹּל	לֵאמֹר	יְהוֹשֻׁעַ	אֶת־	וַיַּעֲנוּ
そして	行います	命じた–ことを	あなたが	すべて	言って	ヨシュア	に	そして–答えた
H0413		H6680		H3605	H0559	H3091	H0853	

נֵלֵךְ׃	תִּשְׁלָחֵנוּ	אֲשֶׁר	כֹּל־
行きます	遣わすなら	どこへでも	すべて
H3212	H7971		H3605

彼らはヨシュアに答えた、「あなたがわれわれに命じられたことをみな行います。あなたがつかわされる所へは、どこへでも行きます。

17

רַק	אֵלֶיךָ	נִשְׁמַע	כֵּן	מֹשֶׁה	אֶל־	שָׁמַעְנוּ	אֲשֶׁר־	כְּכָל
ただ	あなたに	聞き従います	そのように	モーセ	に	聞き従った	のように	すべて
H7535	H0413	H8085		H4872	H0413	H8085		H3605

מֹשֶׁה׃	עִם־	הָיָה	כַּאֲשֶׁר	עִמָּךְ	אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה	יְהִי
モーセ	と共に	いてくださった	ように	あなたと–共に	あなたの–神が	主	いてくださるように
H4872		H1961			H0430	H3068	H1961

われわれはすべてのことをモーセに聞き従ったように、あなたに聞き従います。ただ、どうぞ、あなたの神、主がモーセと共におられたように、あなたと共におられますように。

18

אֶת־	יִשְׁמַע	וְלֹא־	פִּיךָ	אֶת־	יַמְרֶה	אֲשֶׁר־	אִישׁ	כָּל־
に	聞き従わない–者は	そして–聞かず	あなたの–命令	に	逆らう–者は	その	人で	すべて
H0853	H8085	H3808	H6310	H0853	H4784		H0376	H3605

וֶאֱמָץ׃	חֲזַק	רַק	יוּמָת	תְּצַוֶּנּוּ	אֲשֶׁר־	לְכֹל	דְּבָרֶיךָ
雄々しくあれ	強くあれ	ただ	殺される	命じることに	あなたが	すべて–において	あなたの–ことば
H0553	H2388	H7535	H4191	H6680		H3605	H1697

פ
—

だれであっても、あなたの命令にそむき、あなたの命じられる言葉に聞き従わないものがあれば、生かしてはおきません。ただ、強く、また雄々しくあってください」。

Chapter 2

1 וַיִּשְׁלַ֤ח יְהוֹשֻׁעַ֙ בִּן־נ֣וּן מִן־הַשִּׁטִּ֔ים שְׁנַ֥יִם־אֲנָשִׁ֖ים מְרַגְּלִ֣ים חֶ֑רֶשׁ לֵאמֹ֗ר לְכ֛וּ רְא֥וּ אֶת־הָאָ֖רֶץ וְאֶת־יְרִיחֹ֑ו וַיֵּלְכ֗וּ וַיָּבֹ֙אוּ֙ בֵּית־אִשָּׁ֣ה זוֹנָ֔ה וּשְׁמָ֖הּ רָחָ֑ב וַיִּשְׁכְּב֖וּ שָֽׁמָּה׃

ヌンの子ヨシュアは、シッテムから、ひそかにふたりの斥候をつかわして彼らに言った、「行って、その地、特にエリコを探りなさい」。彼らは行って、名をラハブという遊女の家にはいり、そこに泊まったが、

2 וַיֵּאָמַ֣ר לְמֶֽלֶךְ־יְרִיחֹו֮ לֵאמֹר֒ הִנֵּ֣ה בָאוּ֩ הֲלַ֨יְלָה֙ הֵ֣נָּה אַנְשִׁ֤ים מִבְּנֵי־יִשְׂרָאֵל֙ לַחְפֹּ֖ר אֶת־הָאָֽרֶץ׃

エリコの王に、「イスラエルの人々のうちの数名の者が今夜この地を探るために、はいってきました」と言う者があったので、

3 וַיִּשְׁלַ֣ח מֶֽלֶךְ־יְרִיחֹו֮ אֶל־רָחָב֒ לֵאמֹר֙ הֹוצִ֣יאִי֔ הָאֲנָשִׁ֖ים הַבָּאִ֣ים אֵלַ֑יִךְ אֲשֶׁר־בָּ֣אוּ לְבֵיתֵ֔ךְ כִּ֥י לַחְפֹּ֖ר כָּל־הָאָֽרֶץ׃

エリコの王は人をやってラハブに言った、「あなたの所にきて、あなたの家にはいった人々をここへ出しなさい。彼らはこの国のすべてを探るためにきたのです」。

4 וַתִּקַּ֤ח הָאִשָּׁה֙ אֶת־שְׁנֵ֣י הָאֲנָשִׁ֔ים וַתִּצְפְּנָ֖ן וַתֹּ֣אמֶר כֵּ֣ן בָּ֣אוּ אֵלַ֔י וְלֹ֥א יָדַ֖עְתִּי מֵאַ֥יִן הֵֽמָּה׃

しかし、女はすでにそのふたりの人を入れて彼らを隠していた。そして彼女は言った、「確かにその人々はわたしの所にきました。しかし、わたしはその人々がどこからきたのか知りませんでしたが、

וַיְהִי הַשַּׁעַר לִסְגּוֹר בַּחֹשֶׁךְ וְהָאֲנָשִׁים יָצָאוּ לֹא יָדַעְתִּי 5
そして-なった 門が 閉まるとき 暗闇の-中で その-人々は 出て行きました ない 知りません
H1961 H8179 H5462 H2822 H0376 H3318 H3808 H3045

אָנָה הָלְכוּ הָאֲנָשִׁים רִדְפוּ מַהֵר אַחֲרֵיהֶם כִּי תַשִּׂיגוּם׃
どこへ 行ったか その-人々が 追いかけなさい 急いで 彼らの-後を きっと 追いつけるでしょう
H0575 H1980 H0376 H7291 H4118 H0310 H3588 H5381

たそがれ時、門の閉じるころに、その人々は出て行きました。どこへ行ったのかわたしは知りません。急いであとを追いなさい。追いつけるでしょう」。

וְהִיא הֶעֱלָתַם הַגָּגָה וַתִּטְמְנֵם בְּפִשְׁתֵּי הָעֵץ הָעֲרֻכוֹת לָהּ עַל־הַגָּג׃ 6
しかし-彼女は 上らせていた 屋上に そして-隠した 亜麻の-茎の中に 木の 並べてあった 彼女の-ために 上の 屋上に
H1931 H5927 H1406 H2934 H6593 H6086 H6186 H5921 H1406

その実、彼女はすでに彼らを連れて屋根にのぼり、屋上に並べてあった亜麻の茎の中に彼らを隠していたのである。

וְהָאֲנָשִׁים רָדְפוּ אַחֲרֵיהֶם דֶּרֶךְ הַיַּרְדֵּן עַל הַמַּעְבְּרוֹת וְהַשַּׁעַר סֻגָּרוּ כַּאֲשֶׁר יָצְאוּ הָרֹדְפִים אַחֲרֵיהֶם׃ 7
その-人々は 追いかけた 彼らの-後を 道を ヨルダンの の 渡し場まで そして-門は 閉じられた ちょうど 出て行った 追う-者たちが 彼らの-後を
H0376 H7291 H0310 H1870 H3383 H5921 H4569 H8179 H5462 H3588 H3318 H7291 H0310

そこでその人々は彼らのあとを追ってヨルダンの道を進み、渡し場へ向かった。あとを追う者が出て行くとすぐ門は閉ざされた。

וְהֵמָּה טֶרֶם יִשְׁכְּבוּן וְהִיא עָלְתָה עֲלֵיהֶם עַל־הַגָּג׃ 8
そして-彼らが まだ 横になる-前に 彼女は 上った 彼らの-もとに 上の 屋上に
H1992 H2962 H7901 H1931 H5927 H5921 H1406

ふたりの人がまだ寝ないうち、ラハブは屋上にのぼって彼らの所にきた。

וַתֹּאמֶר אֶל־הָאֲנָשִׁים יָדַעְתִּי כִּי־נָתַן יְהוָה לָכֶם אֶת־הָאָרֶץ וְכִי נָפְלָה אֵימַתְכֶם עָלֵינוּ וְכִי נָמֹגוּ כָּל־יֹשְׁבֵי הָאָרֶץ מִפְּנֵיכֶם׃ 9
そして-言った に 知っています ことを 与えられた 主が あなたがたに を 住民が この-地の 前で あなたがたの-恐怖が 私たちの-上に そして 溶け去った すべての
H0559 H0413 H0376 H3045 H3588 H5414 H3068 H0853 H3427 H0776 H6440 H0853 H4127 H3605

そして彼らに言った、「主がこの地をあなたがたに賜わったこと、わたしたちがあなたがたをひじょうに恐れていること、そしてこの地の民がみなあなたがたの前に震えおののいていることをわたしは知っています。

10

כִּי שָׁמַעְנוּ אֵת אֲשֶׁר־הוֹבִישׁ יְהוָה אֶת־מֵי יַם־סוּף
なぜなら 聞いたからです を ことを 干上がらせた 主が を 水を 海の 葦の
H3588 H8085 H0853 H0834 H3001 H3068 H0853 H4325 H3220 H5488

מִפְּנֵיכֶם בְּצֵאתְכֶם מִמִּצְרָיִם וַאֲשֶׁר עֲשִׂיתֶם לִשְׁנֵי מַלְכֵי הָאֱמֹרִי אֲשֶׁר
あなたがたの–前で 出たとき エジプトから そして したことを 二人の 王に アモリ人の ところの
H6440 H3318 H4714 H0834 H6213 H8147 H4428 H0567 H0834

בְּעֵבֶר הַיַּרְדֵּן לְסִיחֹן וּלְעוֹג מֶלֶךְ הַבָּשָׁן הָאֱמֹרִי אֲשֶׁר בְּעַשְׁתָּרֹת
向こう側の ヨルダンの シホンと オグに 王 バシャンの アモリ人の ところの
H5676 H3383 H5511 H5747 H4428 H1316 H0567 H0834 H6252

וַתִּשְׁמְעוּן כִּי הִשְׁמַדְתָּם אוֹתָם׃
聞いたからです なぜなら 滅ぼし尽くした 彼らを
H8085 H3588 H8045 H0853

あなたがたがエジプトから出てこられた時、主があなたがたの前で紅海の水を干されたこと、およびあなたがたが、ヨルダンの向こう側にいたアモリびとのふたりの王シホンとオグにされたこと、すなわちふたりを、全滅されたことを、わたしたちは聞いたからです。

11

וַיִּשְׁמַע וַיִּמַּס לְבָבֵנוּ וְלֹא־קָמָה עוֹד רוּחַ בְּאִישׁ
そして–聞いて 溶けた 私たちの–心は もはや–ない 立つ もう 勇気が だれにも
H8085 H4549 H3824 H3808 H6965 H5750 H7307 H0376

מִפְּנֵיכֶם כִּי יְהוָה אֱלֹהֵיכֶם הוּא אֱלֹהִים בַּשָּׁמַיִם מִמַּעַל וְעַל־הָאָרֶץ מִתָּחַת׃
あなたがたの–前で まことに 主は あなたがたの–神は その–方こそ 神で 天に–おいて 上にも そして 地に–おいて 下にも
H6440 H3588 H3068 H0430 H1931 H0430 H8064 H4605 H6258 H0776 H8478

わたしたちはそれを聞くと、心は消え、あなたがたのゆえに人々は全く勇気を失ってしまいました。あなたがたの神、主は上の天にも、下の地にも、神でいらせられるからです。

12

וְעַתָּה הִשָּׁבְעוּ־נָא לִי בַּיהוָה כִּי עָשִׂיתִי עִמָּכֶם
だから–今 誓ってください 私に どうか 主に–かけて なぜなら 示したからです あなたがたに
H6258 H7650 H4994 H3588 H3068 H3588 H6213 H5973

חֶסֶד וַעֲשִׂיתֶם גַּם־אַתֶּם עִם־בֵּית אָבִי חֶסֶד
真実な–愛を そして–示してください また あなたがたも に 家に 私の–父の 真実な–愛を
H2617 H6213 H1571 H0859 H5973 H1004 H1 H2617

וּנְתַתֶּם לִי אוֹת אֱמֶת׃
そして–与えてください 私に しるしを 確かな
H5414 H3588 H0226 H0571

それで、どうか、わたしがあなたがたを親切に扱ったように、あなたがたも、わたしの父の家を親切に扱われることをいま主をさして誓い、確かなしるしをください。

13

וְהַחֲיִתֶם אֶת־אָבִי וְאֶת־אִמִּי וְאֶת־אַחַי
そして–生かしてください を 私の–父と そして–を 私の–母と そして–を 私の–兄弟たちと
H2421 H0853 H1 H0853 H3384 H0853 H251

וְאֶת־כָּל־אֲשֶׁר לָהֶם וְאֶת־(אַחְיוֹתַי) [אחותי] וְאֶת־
そして–を すべての もの 彼らに–属する そして–を 私の–姉妹たちと 私の–姉妹たちと そして–を
H0853 H3605 H0834 H3588 H0853 H269 H269 H0853

וְהִצַּלְתֶּם אֶת־נַפְשֹׁתֵינוּ מִמָּוֶת׃
そして–救ってください を 私たちの–命を から 死
H5337 H0853 H5315 H4194

そしてわたしの父母、兄弟、姉妹およびすべて彼らに属するものを生きながらえさせ、わたしたちの命を救って、死を免れさせてください」。

14 וַיֹּאמְרוּ֩ לָהּ֙ הָאֲנָשִׁ֜ים נַפְשֵׁ֣נוּ לָכֶ֗ם תַּחְתֵּיכֶם֙ לָמ֣וּת אִם־ לֹ֔א

そして-言った	彼女に	その-人々は	私たちの-命を	あなたがたの-代わりに	死ぬ	もし	ない
H0559	H0559	H0376	H5315	H8478	H4191	H3808	H3808

וְהָיָ֗ה בְּתֵת־ יְהוָה֙ לָ֣נוּ אֶת־ הָאָ֔רֶץ וְעָשִׂ֥ינוּ עִמָּ֖ךְ חֶ֣סֶד וֶאֱמֶֽת׃

を	私たちに	主が	与えられるとき	そうすれば	この	私たちの-言葉を	を	告げなければ	
H0853	H0853	H3068	H5414	H1961	H2088	H1697	H0853	H5046	

この-地を	そして-行います	あなたに	真実な-愛と	誠実を
H0776	H0776	H6213	H2617	H0571

ふたりの人は彼女に言った、「もしあなたがたが、われわれのこのことを他に漏らさないならば、われわれは命にかけて、あなたがたを救います。また主がわれわれにこの地を賜わる時、あなたがたを親切に扱い、真実をつくしましょう」。

15 וַתּוֹרִדֵ֥ם בַּחֶ֖בֶל בְּעַ֣ד הַחַלּ֑וֹן וּבֵיתָ֣הּ בְּקִ֤יר הַחוֹמָה֙ כִּ֔י וּבַחוֹמָ֖ה הִ֥יא יוֹשֶׁ֥בֶת׃

そして-降ろした	綱で	から	窓から	なぜなら	彼女の-家は	壁の-中に	城壁の	
H3381	H2256	H1157	H2474	H3588	H1004	H7023	H2346	

そして-城壁の-中に	彼女は	住んでいた
H2346	H1931	H3427

そこでラハブは綱をもって彼らを窓からつりおろした。その家が町の城壁の上に建っていて、彼女はその城壁の上に住んでいたからである。

16 וַתֹּ֣אמֶר לָהֶ֗ם הָהָ֙רָה֙ לְכ֣וּ פֶּן־ יִפְגְּעוּ֩ בָכֶ֨ם הָרֹדְפִ֜ים וְנַחְבֵּתֶ֣ם שָׁ֗מָּה שְׁלֹשֶׁת֙ יָמִ֔ים עַ֚ד שׁ֣וֹב הָרֹדְפִ֔ים וְאַחַ֖ר תֵּלְכ֥וּ לְדַרְכְּכֶֽם׃

そして-言った	彼らに	山へ	行きなさい	そうでないと	出会う	あなたがたに	追う-者たちが	そして-隠れなさい	そこに	三	日間	まで	戻る	追う-者たちが	その-後で	行きなさい	あなたがたの-道を
H0559	H0559	H2022	H3212	H6435	H6293	H0000	H7291	H2247	H8033	H7969	H3117	H5704	H7725	H7291	H0310	H3212	H1870

ラハブは彼らに言った、「追手に会わないように、あなたがたは山へ行って、三日の間そこに身を隠し、追手の帰って行くのを待って、それから去って行きなさい」。

17 וַיֹּאמְר֣וּ אֵלֶ֔יהָ הָאֲנָשִׁ֖ים נְקִיִּ֣ם אֲנַ֑חְנוּ מִשְּׁבֻעָתֵ֥ךְ הַזֶּ֛ה אֲשֶׁ֥ר הִשְׁבַּעְתָּֽנוּ׃

そして-言った	彼女に	その-人々は	無罪です	私たちは	あなたの-誓いから	この	ところの	
H0559	H0413	H0376	H5355	H0587	H7621	H2088	H0834	

誓わせた
H7650

ふたりの人は彼女に言った、「あなたがわれわれに誓わせたこの誓いについて、われわれは罪を犯しません。

18

בְּחַלּוֹן	תְּקַשְׁרִי	הַזֶּה	הַשָּׁנִי	חוּט	תִּקְוַת	אֶת־	בָּאָרֶץ	בָּאִים	אֲנַחְנוּ	הִנֵּה
窓に	結びなさい	この	緋色の	糸の	紐を	を	この-地に	入るとき	私たちが	見よ
H2474	H7194	H2088	H8144	H2339		H0853	H0776	H0935	H0587	H2009

וְאֶת־	אִמֶּךָ	וְאֶת־	אָבִיךָ	וְאֶת־	בּוֹ	הוֹרַדְתָּנוּ	אֲשֶׁר	
そして-を	あなたの-母と	そして-を	あなたの-父と	そして-を	それで	降ろした	ところの	
H0853	H0517	H0853	H0001	H0853		H3381		

אֵלֶיךָ	תַּאַסְפִּי	אָבִיךָ	בַּיִת	כֹּל־	וְאֶת	אַחֶיךָ	
あなたの-もとに	集めなさい	あなたの-父の	家の	すべての	そして-を	あなたの-兄弟たちと	
H0413	H0622	H0001		H3605	H0853	H0251	

הַבָּיְתָה׃
家の-中に

われわれがこの地に討ち入る時、わたしたちをつりおろした窓に、この赤い糸のひもを結びつけ、またあなたの父母、兄弟、およびあなたの父の家族をみなあなたの家に集めなさい。

19

בְּרֹאשׁוֹ	דָּמוֹ	הַחוּצָה	וּבֵיתָךְ	מִדַּלְתֵי	יֵצֵא	אֲשֶׁר־	כָּל	וְהָיָה	
自分の-頭に	その-血は	外に	あなたの-家の	戸口から	出る	の者が	すべて	そうなれば	
	H1818	H2351			H3318		H3605	H1961	

דָּמוֹ	בַּבַּיִת	אִתָּךְ	יִהְיֶה	אֲשֶׁר	וְכֹל	נְקִיִּם	וַאֲנַחְנוּ	
その-血は	家の-中に	あなたと-ともに	いる	の者が	そして-すべて	無罪です	そして-私たちは	
H1818		H0854	H1961		H3605		H0587	

בּוֹ׃	תִּהְיֶה־	יָד	אִם־	בְּרֹאשֵׁנוּ	
彼に	あれば	手が	もし	私たちの-頭に	
	H1961	H3027			

ひとりでも家の戸口から外へ出て、血を流されることがあれば、その責めはその人自身のこうべに帰すでしょう。われわれに罪はありません。しかしあなたの家の中にいる人に手をかけて血を流すことがあれば、その責めはわれわれのこうべに帰すでしょう。

20

מִשְׁבַּעְתֵּךְ	נְקִיִּם	וְהָיִינוּ	זֶה	דְּבָרֵנוּ	אֶת־	תַּגִּידִי	וְאִם־	
あなたの-誓いから	無罪で	そうすれば-なる	この	私たちの-言葉を	を	告げるなら	もし	
H7621		H1961	H2088	H1697	H0853	H5046		

הִשְׁבַּעְתָּנוּ׃	אֲשֶׁר	
誓わせた	ところの	
H7650		

またあなたが、われわれのこのことを他に漏らすならば、あなたがわれわれに誓わせた誓いについては、われわれに罪はありません」。

21

וַתְּשַׁלְּחֵם	הוּא	כֵּן־	כִּדְבָרֵיכֶם	וַתֹּאמֶר	
そして-送り出した	なるように	そのとおりに	あなたがたの-言葉の-とおりに	そして-言った	
H7971	H1931		H1697	H0559	

בַּחַלּוֹן׃	הַשָּׁנִי	תִּקְוַת	אֶת־	וַתִּקְשֹׁר	וַיֵּלְכוּ	
窓に	緋色の	紐を	を	そして-結んだ	そして-彼らは-行った	
H2474	H8144		H0853	H7194	H3212	

ラハブは言った、「あなたがたの仰せのとおりにいたしましょう」。こうして彼らを送り出したので、彼らは去った。そして彼女は赤いひもを窓に結んだ。

עַד־	יָמִים	שְׁלֹשֶׁת	שָׁם	וַיֵּשְׁבוּ	הָהָרָה	וַיָּבֹאוּ	וַיֵּלְכוּ	22
まで	日間	三	そこに	そして–とどまった	山に	そして–来た	そして–彼らは–行った	
H5704	H3117	H7969	H8033	H3427	H2022	H0935	H3212	

מָצָאוּ׃	וְלֹא	הַדֶּרֶךְ	בְּכָל־	הָרֹדְפִים	וַיְבַקְשׁוּ	הָרֹדְפִים	שָׁבוּ
見つけなかった	しかし–ない	道を	すべての	追う–者たちは	そして–探した	追う–者たちが	戻った
H4672	H3808	H1870	H3605	H7291	H1245	H7291	H7725

彼らは立ち去って山にはいり、追手が帰るのを待って、三日の間そこにとどまった。追手は彼らをあまねく道に捜したが、ついに見つけることができなかった。

אֶל־	וַיָּבֹאוּ	וַיַּעַבְרוּ	מֵהָהָר	וַיֵּרְדוּ	הָאֲנָשִׁים	שְׁנֵי	וַיָּשֻׁבוּ	23
の–もとに	そして–来た	そして–渡った	山から	そして–降りた	人は	二人の	そして–戻った	
H0413	H0935		H2022	H3381	H0376	H8147	H7725	

אוֹתָם׃	הַמִּצְאוֹת	כָּל־	אֵת	לוֹ	וַיְסַפְּרוּ־	נוּן	בִּן־	יְהוֹשֻׁעַ
彼らに	起こったことを	すべての	を	彼に	そして–語った	ヌンの	息子–	ヨシュア
H0853	H4672	H3605	H0853			H5126		H3091

こうしてふたりの人はまた山を下り、川を渡って、ヌンの子ヨシュアのもとにきて、その身に起ったことをつぶさに述べた。

כָּל־	אֶת־	בְּיָדֵנוּ	יְהוָה	נָתַן	כִּי־	יְהוֹשֻׁעַ	אֶל־	וַיֹּאמְרוּ	24
すべての	を	私たちの–手に	主は	与えられた	まことに	ヨシュアに	に	そして–言った	
H3605	H0853	H3027	H3068	H5414		H3091	H0413	H0559	

ס	מִפָּנֵינוּ׃	הָאָרֶץ	יֹשְׁבֵי	כָּל־	נָמֹגוּ	וְגַם־	הָאָרֶץ	
—	私たちの–前で	この–地の	住民は	すべての	溶け去った	そして–また	この–地を	
	H6440	H0776	H3427	H3605	H4127	H1571	H0776	

そしてヨシュアに言った、「ほんとうに主はこの国をことごとくわれわれの手にお与えになりました。この国の住民はみなわれわれの前に震えおののいています」。

Chapter 3

עַד־	וַיָּבֹאוּ	מֵהַשִּׁטִּים	וַיִּסְעוּ	בַּבֹּקֶר	יְהוֹשֻׁעַ	וַיַּשְׁכֵּם		1
まで	そして–来た	シッティムから	そして–出発した	朝に	ヨシュアは	そして–早く起きた		
H5704	H0935	H7851	H5265	H1242	H3091	H7925		

טֶרֶם	שָׁם	וַיָּלִנוּ	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי	וְכָל־	הוּא	הַיַּרְדֵּן	
まだ	そこに	そして–泊まった	イスラエルの	息子たち	そして–すべての	彼と	ヨルダンに	
H2962	H8033		H3478		H3605	H1931	H3383	

יַעֲבֹרוּ׃
渡る–前に

ヨシュアは朝早く起き、イスラエルの人々すべてとともにシッテムを出立して、ヨルダンに行き、それを渡らずに、そこに宿った。

הַמַּחֲנֶה׃	בְּקֶרֶב	הַשֹּׁטְרִים	וַיַּעַבְרוּ	יָמִים	שְׁלֹשֶׁת	מִקְצֵה	וַיְהִי	2
陣営の	中を	つかさたちが	そして–通った	日の	三	終わりに	そして–なった	
H4264	H7130	H7860		H3117	H7969		H1961	

三日の後、つかさたちは宿営の中を行き巡り、

3

וַיְצַוּוּ֙ אֶת־ הָעָ֔ם לֵאמֹ֗ר כִּרְאֹתְכֶם֙ אֵ֣ת אֲר֣וֹן בְּרִית־ יְהוָ֔ה
そして–命じた を 民に 言って 見たとき を 契約の–箱を の 主の
H6680 H0853 H0559 H7200 H0853 H0727 H1285 H3068

אֱלֹהֵיכֶ֔ם וְהַכֹּהֲנִ֖ים וְהַלְוִיִּ֣ם נֹשְׂאִ֑ים אֹתוֹ֙ וְאַתֶּ֣ם תִּסְעוּ֙
あなたがたの–神の そして–祭司たちが レビ人の 担いでいる それを あなたがたは 出発して
H0430 H3548 H3881 H5375 H0853 H0428 H5265

מִמְּקֹמְכֶ֔ם וַהֲלַכְתֶּ֖ם אַחֲרָֽיו׃
あなたがたの–場所から そして–従いなさい その–後に
H4725 H1980

民に命じて言った、「レビびとである祭司たちが、あなたがたの神、主の契約の箱をかきあげるのを見るならば、あなたがたはその所を出立して、そのあとに従わなければならない。

4

בַּמִּדָּ֔ה אַמָּ֖ה כְּאַלְפַּ֣יִם)וּבֵינֵיכֶם֙( ]וּבינו[בְּינֵיכֶ֣ם יְהֹוָ֔ה רָחָ֖וֹק וְאַ֣ךְ
距離を キュビトの 約–二千 それとの–間に それとの–間に あなたがたと 間隔を 遠い ただし
H0505 H0996 H0996 H0996 H1961 H7350 H0389

תָּבֹ֖אוּ אֲשֶׁ֣ר־ הַדֶּ֑רֶךְ אֶת־ תֵּדְע֣וּ לְמַ֣עַן־ אֲשֶׁ֤ר אֵלָיו֙ תִּקְרְב֣וּ אַל־
それで 行く ところの 道を を 知る こそ ために それに 近づいては ない
H3212 H1870 H0853 H3045 H4616 H0413 H7126 H0408

ס׀ שִׁלְשֹׁ֔ום׃ מִתְמ֖וֹל בַּדֶּ֥רֶךְ עֲבַרְתֶּ֛ם לֹ֥א כִּ֣י
— 一昨日も 昨日も この–道を 通ったことが ない なぜなら
H8032 H8543 H1870 H3808

そうすれば、あなたがたは行くべき道を知ることができるであろう。あなたがたは前にこの道をとおったことがないからである。しかし、あなたがたと箱との間には、おおよそ二千キュビトの距離をおかなければならない。それに近づいてはならない」。

5

יְהוָ֔ה יַעֲשֶׂ֥ה מָחָ֖ר כִּ֣י הִתְקַדָּ֑שׁוּ הָעָ֔ם אֶל־ יְהוֹשֻׁ֣עַ וַיֹּ֥אמֶר
主が 行われる 明日 なぜなら 自らを–聖別せよ 民に に ヨシュアは そして–言った
H3068 H4279 H6942 H3091 H0559

בְּקִרְבְּכֶֽם׃ נִפְלָא֖וֹת
あなたがたの–中で 不思議なことを
H7130 H6381

ヨシュアはまた民に言った、「あなたがたは身を清めなさい。あす、主があなたがたのうちに不思議を行われるからである」。

6

הַבְּרִ֔ית אֲר֣וֹן אֶת־ שְׂא֣וּ לֵאמֹ֗ר הַכֹּהֲנִים֙ אֶל־ יְהוֹשֻׁ֣עַ וַיֹּ֥אמֶר
の 契約の–箱を を 担ぎ上げよ 言って 祭司たちに に ヨシュアは そして–言った
H1285 H0727 H0853 H5375 H0559 H3548 H0413 H3091 H0559

לִפְנֵ֖י וַיֵּלְכ֑וּ הַבְּרִ֔ית אֲר֣וֹן אֶת־ וַיִּשְׂא֣וּ הָעָ֔ם לִפְנֵ֖י וְעִבְר֥וּ
前を そして–行った の 契約の–箱を を そして–担ぎ上げた 民の 前を そして–渡れ
H6440 H3212 H1285 H0727 H0853 H5375 H0428 H6440 H5674

ס׀ הָעָֽם׃
— 民の

ヨシュアは祭司たちに言った、「契約の箱をかき、民に先立って渡りなさい」。そこで彼らは契約の箱をかき、民に先立って進んだ。

7

גַּדֶּלְךָ	אָחֵל	הַזֶּה	הַיּוֹם	יְהוֹשֻׁעַ	אֶל־	יְהוָה	וַיֹּאמֶר
あなたを–大いなる者にすることを	始めよう	この	今日	ヨシュアに	に	主は	そして–言われた
H1431		H2088	H3117	H3091	H0413	H3068	H0559

עִם־	הָיִיתִי	כַּאֲשֶׁר	כִּי	יֵדְעוּן	אֲשֶׁר	יִשְׂרָאֵל	כָּל־	בְּעֵינֵי
と–ともに	いたように	ちょうど	ということを	知るように	こそ	イスラエルの	すべての	目に
	H1961			H3045		H3478	H3605	

עִמָּךְ׃	אֶהְיֶה	מֹשֶׁה
あなたと–ともに	いる	モーセと
	H1961	H4872

主はヨシュアに言われた、「きょうからわたしはすべてのイスラエルの前にあなたを尊い者とするであろう。こうしてわたしがモーセと共にいたように、あなたとともにおることを彼らに知らせるであろう。

8

לֵאמֹר	הַבְּרִית	אֲרוֹן־	נֹשְׂאֵי	הַכֹּהֲנִים	אֶת־	תְּצַוֶּה	וְאַתָּה
言って	の	契約の–箱を	担いでいる	祭司たちに	を	命じなさい	そして–あなたは
H0559	H1285	H0727	H5375	H3548	H0853	H6680	

פ	תַּעַמְדוּ׃	בַּיַּרְדֵּן	הַיַּרְדֵּן	מֵי	קְצֵה	עַד־	כְּבֹאֲכֶם
—	立ちなさい	ヨルダンの–中で	ヨルダンの	水の	端に	まで	来たとき
	H5975	H3383	H3383	H4325	H5704		H0935

あなたは契約の箱をかく祭司たちに命じて言わなければならない、『あなたがたは、ヨルダンの水ぎわへ行くと、すぐ、ヨルダンの中に立ちとどまらなければならない』」。

9

הֵנָּה	גְּשׁוּ	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי	אֶל־	יְהוֹשֻׁעַ	וַיֹּאמֶר	
ここに	近づきなさい	イスラエルの	息子たちに	に	ヨシュアは	そして–言った	
H2008	H5066	H3478		H0413	H3091	H0559	

אֱלֹהֵיכֶם׃	יְהוָה	דִּבְרֵי	אֶת־	וְשִׁמְעוּ
あなたがたの–神の	主の	言葉を	を	そして–聞きなさい
H0430	H3068	H1697	H0853	H8085

ヨシュアはイスラエルの人々に言った、「あなたがたはここに近づいて、あなたがたの神、主の言葉を聞きなさい」。

10

חַי	אֵל	כִּי	תֵּדְעוּן	בְּזֹאת	יְהוֹשֻׁעַ	וַיֹּאמֶר	
生きておられる	生ける–神が	ということを	知るであろう	これによって	ヨシュアは	そして–言った	
	H0410		H3045	H2063	H3091	H0559	

וְאֶת־	הַכְּנַעֲנִי	אֶת־	מִפְּנֵיכֶם	יוֹרֵישׁ	וְהוֹרֵשׁ	בְּקִרְבְּכֶם
そして–を	カナン人を	を	あなたがたの–前から	追い払われる	必ず	あなたがたの–中に
H0853		H0853	H6440	H3423	H3423	H7130

וְהָאֱמֹרִי	הַגִּרְגָּשִׁי	וְאֶת־	הַפְּרִזִּי	וְאֶת־	הַחִוִּי	וְאֶת־	הַחִתִּי
アモリ人を	ギルガシ人を	そして–を	ペリジ人を	そして–を	ヒビ人を	そして–を	ヒッタイト人を
H0567	H1622	H0853	H6522	H0853	H2340	H0853	H2850

וְהַיְבוּסִי׃
エブス人を
H2983

そしてヨシュアは言った、「生ける神があなたがたのうちにおいでになり、あなたがたの前から、カナンびと、ヘテびと、ヒビびと、ペリジびと、ギルガシびと、アモリびと、エブスびとを、必ず追い払われることを、次のことによって、あなたがたは知るであろう。

11

בַּיַּרְדֵּן׃	לִפְנֵיכֶם	עֹבֵר	הָאָרֶץ	כָּל־	אֲדוֹן	הַבְּרִית	אֲרוֹן	הִנֵּה
ヨルダンの–中を	あなたがたの–前を	渡る	地の	すべての	主の	の	契約の–箱が	見よ
H3383	H6440		H0776	H3605	H0136	H1285	H0727	H2009

ごらんなさい。全地の主の契約の箱は、あなたがたに先立ってヨルダンを渡ろうとしている。

12

אִישׁ־	יִשְׂרָאֵל	מִשִּׁבְטֵי	אִישׁ	עָשָׂר	שְׁנֵי	לָכֶם׃	קְחוּ	וְעַתָּה	
一	イスラエルの	部族から	人を	二	十	あなたがたのために	取りなさい	だから–今	
H0376	H3478	H7626	H0376	H6240	H8147		H3947	H6258	

לְשֵׁבֶט׃	אֶחָד	אִישׁ־	אֶחָד
部族ごとに	人ずつ	一	人ずつ
H7626	H0259	H0376	H0259

それゆえ、今、イスラエルの部族のうちから、部族ごとにひとりずつ、合わせて十二人を選びなさい。

13

כָּל־	אֲדוֹן	יְהוָה	אֲרוֹן	נֹשְׂאֵי	הַכֹּהֲנִים	רַגְלֵי	כַּפּוֹת	כְּנוֹחַ	וְהָיָה
すべての	主の	主の	箱を	担いでいる	祭司たちの	足の	足の–裏が	とどまるとき	そうすれば
H3605	H0136	H3068	H0727	H5375	H3548	H7272	H3709	H5117	H1961

מִלְמָעְלָה	הַיֹּרְדִים	הַמַּיִם	יִכָּרֵתוּן	הַיַּרְדֵּן	מֵי	הַיַּרְדֵּן	בְּמֵי	הָאָרֶץ
上から	流れ下る	水は	絶たれる	ヨルダンの	水は	ヨルダンの	水の–中に	地の
H4605	H3381	H4325	H3772	H3383	H4325	H3383	H4325	H0776

אֶחָד׃	גֵּד	וְיַעַמְדוּ
一つの	一つの–壁と–なって	そして–立ち上がる
H0259	H5067	H5975

全地の主なる神の箱をかく祭司たちの足の裏が、ヨルダンの水の中に踏みとどまる時、ヨルダンの水は流れをせきとめられ、上から流れくだる水はとどまって、うず高くなるであろう」。

14

וְהַכֹּהֲנִים	הַיַּרְדֵּן	אֶת־	לַעֲבֹר	מֵאָהֳלֵיהֶם	הָעָם	בִּנְסֹעַ	וַיְהִי	
祭司たちが	ヨルダンを	を	渡るために	天幕から	民が	出発したとき	そして–なった	
H3548	H3383	H0853		H0168		H5265	H1961	

הָעָם׃	לִפְנֵי	הַבְּרִית	הָאָרוֹן	נֹשְׂאֵי	
民の	前を	契約の	箱を	担いでいる	
	H6440	H1285	H0727	H5375	

こうして民はヨルダンを渡ろうとして天幕をいで立ち、祭司たちは契約の箱をかき、民に先立って行ったが、

15

נֹשְׂאֵי	הַכֹּהֲנִים	וְרַגְלֵי	הַיַּרְדֵּן	עַד־	הָאָרוֹן	נֹשְׂאֵי	וְכִבּוֹא		
担いでいる	祭司たちの	そして–足が	ヨルダンに	まで	箱を	担いでいる	そして–来たとき		
H5375	H3548	H7272	H3383	H5704	H0727	H5375	H0935		

יְמֵי	כֹּל	גְּדוֹתָיו	כָּל־	עַל־	מָלֵא	וְהַיַּרְדֵּן	הַמַּיִם	בְּקְצֵה	נִטְבְּלוּ	הָאָרוֹן
日々	すべての	岸を	すべての	の–上に	溢れていた	ヨルダンは	水の	端に	浸った	箱を
H3117	H3605	H1415	H3605		H4390	H3383	H4325		H2881	H0727

קָצִיר׃
刈り入れの

箱をかく者がヨルダンにきて、箱をかく祭司たちの足が水ぎわにひたると同時に、――ヨルダンは刈入れの間中、岸一面にあふれるのであるが、――

16

הָרְחֵק	אֶחָד	גֵּד־	קָמוּ	מִלְמַעְלָה	הַיֹּרְדִים	הַמַּיִם	וַיַּעַמְדוּ		
遥か	一つの	一つの–壁と–なって	立ち上がった	上から	流れ下る	水は	そして–立ち止まった		
H7368	H0259	H5067		H4605	H3381	H4325	H5975		

עַל	וְהַיֹּרְדִים	צָרְתָן	מִצַּד	אֲשֶׁר	הָעִיר	)מֵאָדָם(	]באדם[	מְאֹד
向かう	そして–流れ下る	ツァレタンの	そばの	ところの	町で	アダムから	アダムから	非常に
	H3381	H6891	H6654			H0121	H0121	H3966

יְרִיחוֹ׃	נֶגֶד	עָבְרוּ	וְהָעָם	נִכְרְתוּ	תַּמּוּ	הַמֶּלַח	יָם־	הָעֲרָבָה	יָם
エリコの	向かいに	渡った	そして–民は	絶たれた	尽きた	塩の–海へ	海–すなわち	アラバの	海の
H3405	H5048			H3772	H8552	H4417	H3220	H6160	H3220

上から流れくだる水はとどまって、はるか遠くのザレタンのかたわらにある町アダムのあたりで、うず高く立ち、アラバの海すなわち塩の海の方に流れくだる水は全くせきとめられたので、民はエリコに向かって渡った。

17

הַיַּרְדֵּן	בְּתוֹךְ	בֶּחָרָבָה	יְהוָה	בְּרִית־	הָאָרֹון	נֹשְׂאֵי	הַכֹּהֲנִים	וַיַּעַמְדוּ
ヨルダンの	真ん中で	乾いた–地に	主の	契約の	箱を	担いでいる	祭司たちは	そして–立った
H3383	H8432	H2724	H3068	H1285	H0727	H5375	H3548	H5975

כֹּל־	תַּמּוּ	אֲשֶׁר־	עַד	בֶּחָרָבָה	עֹבְרִים	יִשְׂרָאֵל	וְכָל־	הָכֵן
すべての	終えた	ことの	まで	乾いた–地を	渡っていた	イスラエルは	そして–すべての	しっかりと
H3605	H8552		H5704	H2724		H3478	H3605	

הַיַּרְדֵּן׃	אֶת־	לַעֲבֹר	הַגּוֹי
ヨルダンを	を	渡ることを	民が
H3383	H0853		

すべてのイスラエルが、かわいた地を渡って行く間、主の契約の箱をかく祭司たちは、ヨルダンの中のかわいた地に立っていた。そしてついに民はみなヨルダンを渡り終った。

Chapter 4

1

פ	הַיַּרְדֵּן	אֶת־	לַעֲבֹר	הַגּוֹי	כָּל־	תַּמּוּ	כַּאֲשֶׁר־	וַיְהִי	
—	ヨルダンを	を	渡ることを	民が	すべての	終えた	ちょうど	そして–なった	
	H3383	H0853			H3605	H8552		H1961	

לֵאמֹר׃	יְהוֹשֻׁעַ	אֶל־	יְהוָה	וַיֹּאמֶר
言って	ヨシュアに	に	主は	そして–言われた
H0559	H3091	H0413	H3068	H0559

民が皆、ヨルダンを渡り終った時、主はヨシュアに言われた、

2

אִישׁ־	אֶחָד	אִישׁ־	אֲנָשִׁים	עָשָׂר	שְׁנֵים	הָעָם	מִן־	לָכֶם	קְחוּ
一	人ずつ	一	人を	二	十	民の–中から	から	あなたがたのために	取りなさい
H0376	H0259	H0376	H0376	H6240	H8147				H3947

מִשָּׁבֶט׃	אֶחָד
部族から	人ずつ
H7626	H0259

「民のうちから、部族ごとにひとりずつ、合わせて十二人を選び、

3

הַיַּרְדֵּן	מִתָּוךְ	מִזֶּה	לָכֶם	שְׂאוּ־	לֵאמֹר	אוֹתָם	וְצַוּוּ	
ヨルダンの	真ん中から	ここから	あなたがたのために	取り上げよ	言って	彼らに	そして–命じて	
H3383	H8432	H2088		H5375	H0559	H0853	H6680	

וְהַעֲבַרְתֶּם	אֲבָנִים	עֶשְׂרֵה	שְׁתֵּים־	הָכֵן	הַכֹּהֲנִים	רַגְלֵי	מִמַּצַּב
そして–運びなさい	個の–石を	二	十	しっかりと	祭司たちの	足の	立っていた–所から
	H0068	H6240	H8147		H3548	H7272	H4673

בּוֹ	תָּלִינוּ	אֲשֶׁר־	בַּמָּלוֹן	אוֹתָם	וְהַנִּחֻתֶם	עִמָּכֶם	אוֹתָם
そこに	泊まる	ところの	宿営地に	それらを	そして–置きなさい	あなたがたと–ともに	それらを
			H4411	H0853	H3240		H0853

ס	הַלָּיְלָה׃
—	今夜
	H3915

彼らに命じて言いなさい、『ヨルダンの中で祭司たちが足を踏みとどめたその所から、石十二を取り、それを携えて渡り、今夜あなたがたが宿る場所にすえなさい』」。

4

מִבְּנֵי
の–息子たちから

הַכִּין
定めた

אֲשֶׁר
ところの

אִישׁ
人を
H0376

הֶעָשָׂר
二
H6240

שְׁנֵים
十
H8147

אֶל־
を
H0413

יְהוֹשֻׁעַ
ヨシュアは
H3091

וַיִּקְרָא
そして–呼んだ
H7121

מִשָּׁבֶט׃
部族から
H7626

אֶחָד
人ずつ
H0259

אִישׁ־
一
H0376

אֶחָד
人ずつ
H0259

אִישׁ־
一
H0376

יִשְׂרָאֵל
イスラエルの
H3478

そこでヨシュアはイスラエルの人々のうちから、部族ごとに、ひとりずつ、かねて定めておいた十二人の者を召し寄せ、

5

אֶל־
の
H0413

אֱלֹהֵיכֶם
あなたがたの–神の
H0430

יְהוָה
主の
H3068

אֲרוֹן
箱の
H0727

לִפְנֵי
前を
H6440

עִבְרוּ
渡りなさい

יְהוֹשֻׁעַ
ヨシュアは
H3091

לָהֶם
彼らに

וַיֹּאמֶר
そして–言った
H0559

עַל־
の–上に

אַחַת
一つ
H0259

אֶבֶן
石を
H0068

אִישׁ
各自
H0376

לָכֶם
あなたがたのために

וְהָרִימוּ
そして–持ち上げなさい

הַיַּרְדֵּן
ヨルダンの
H3383

תּוֹךְ
真ん中に
H8432

יִשְׂרָאֵל׃
イスラエルの
H3478

בְּנֵי־
息子たちの

שִׁבְטֵי
部族の

לְמִסְפָּר
数に–従って
H4557

שִׁכְמוֹ
自分の–肩に
H7926

ヨシュアは彼らに言った、「あなたがたの神、主の契約の箱の前に立って行き、ヨルダンの中に進み入り、イスラエルの人々の部族の数にしたがって、おのおの石一つを取り上げ、肩にのせて運びなさい。

6

בְּנֵיכֶם
あなたがたの–息子たちが

יִשְׁאָלוּן
尋ねる
H7592

כִּי־
もし

בְּקִרְבְּכֶם
あなたがたの–中で
H7130

אוֹת
しるしと
H0226

זֹאת
これが
H2063

תִּהְיֶה
なる
H1961

לְמַעַן
ために
H4616

לָכֶם׃
あなたがたにとって

הָאֵלֶּה
これらの
H0428

הָאֲבָנִים
石は
H0068

מָה
何か
H4100

לֵאמֹר
言って
H0559

מָחָר
明日
H4279

これはあなたがたのうちに、しるしとなるであろう。後の日になって、あなたがたの子どもたちが、『これらの石は、どうしたわけですか』と問うならば、

7

בְּרִית־
の
H1285

אֲרוֹן
契約の–箱の
H0727

מִפְנֵי
前で
H6440

הַיַּרְדֵּן
ヨルダンの
H3383

מֵימֵי
水が
H4325

נִכְרְתוּ
絶たれた
H3772

אֲשֶׁר
こと

לָהֶם
彼らに

וַאֲמַרְתֶּם
そして–答えなさい
H0559

הָאֵלֶּה
これらの
H0428

הָאֲבָנִים
石は
H0068

וְהָיוּ
そして–なる
H1961

הַיַּרְדֵּן
ヨルダンの
H3383

מֵי
水は
H4325

נִכְרְתוּ
絶たれた
H3772

בְּיַרְדֵּן
ヨルダンの–中を
H3383

בְּעָבְרוֹ
渡ったとき

יְהוָה
主の
H3068

עוֹלָם׃
永遠に
H5769

עַד־
まで
H5704

יִשְׂרָאֵל
イスラエルの
H3478

לִבְנֵי
の–息子たちに

לְזִכָּרוֹן
記念として
H2146

その時あなたがたは彼らに、むかしヨルダンの水が、主の契約の箱の前で、せきとめられたこと、すなわちその箱がヨルダンを渡った時、ヨルダンの水が、せきとめられたことを告げなければならない。こうして、それらの石は永久にイスラエルの人々の記念となるであろう」。

8 וַיַּעֲשׂוּ־כֵן בְּנֵי־יִשְׂרָאֵל כַּאֲשֶׁר צִוָּה יְהוֹשֻׁעַ
そして–行った そのとおりに 息子たちは イスラエルの ちょうど 命じた ヨシュアが
H6213 H3651 H1121 H3478 H834 H6680 H3091

וַיִּשְׂאוּ֩ שְׁתֵּי־עֶשְׂרֵ֨ה אֲבָנִ֜ים מִתּ֣וֹךְ הַיַּרְדֵּ֗ן כַּאֲשֶׁ֨ר דִּבֶּ֤ר יְהוָה֙
そして–取り上げた 十 二 個の–石を 真ん中から ヨルダンの ちょうど 語られた 主が
H5375 H8147 H6240 H0068 H8432 H3383 H834 H1696 H3068

עִמָּהֶ֔ם וַיַּעֲבִרֻ֖ם אֶל־הַמָּלוֹן֙ וַיַּנִּ֣חוּ שָׁ֔ם׃
彼らと–ともに そして–運んだ イスラエルの 息子たちの 部族の 数に–従って ヨシュアに に そこに そして–置いた 宿営地に の–もとに
H5973 H5674 H3478 H1121 H7626 H4557 H3091 H0413 H8033 H3240 H4411 H0413

イスラエルの人々はヨシュアが命じたようにし、主がヨシュアに言われたように、イスラエルの人々の部族の数にしたがって、ヨルダンの中から十二の石を取り、それを携えて渡り、彼らの宿る場所へ行って、そこにすえた。

9 וּשְׁתֵּים עֶשְׂרֵה֙ אֲבָנִ֔ים הֵקִ֖ים יְהוֹשֻׁ֑עַ בְּתוֹךְ֙ הַיַּרְדֵּ֔ן מַצַּ֛ב
そして–十 二 個の–石を 立てた ヨシュアは 真ん中に ヨルダンの 下に 立っていた–所の
H8147 H6240 H0068 H3091 H8432 H3383 H8478 H4673

רַגְלֵ֥י הַכֹּהֲנִ֖ים נֹשְׂאֵ֣י אֲר֣וֹן הַבְּרִ֑ית וַיִּהְי֤וּ שָׁם֙ עַד־הַיּ֣וֹם הַזֶּֽה׃
足の 祭司たちの 担いでいる 箱を の そして–ある そこに まで 今 日の
H7272 H3548 H5375 H0727 H1285 H1961 H8033 H5704 H3117 H2088

ヨシュアはまたヨルダンの中で、契約の箱をかく祭司たちが、足を踏みとどめた所に、十二の石を立てたが、今日まで、そこに残っている。

10 וְהַכֹּהֲנִ֗ים נֹשְׂאִים֙ אֲר֣וֹן הָעֵדֻ֔ת עֹמְדִ֖ים בְּתוֹךְ֙ הַיַּרְדֵּ֔ן עַ֚ד תֹּ֣ם
そして–祭司たちは 担いでいる 箱を 立っていた 真ん中に ヨルダンの まで 終わる すべての
H3548 H5375 H0727 H5975 H8432 H3383 H5704 H8552 H3605

כָּל־הַדָּבָ֗ר אֲשֶׁ֨ר צִוָּ֤ה יְהוָה֙ אֶת־יְהוֹשֻׁ֔עַ לְדַבֵּ֖ר אֶל־הָעָ֑ם כְּכֹ֖ל
ところの 命じた 主が を ヨシュアに 語るために に 民に すべてに–従って
H834 H6680 H3068 H853 H3091 H1696 H0413 H5971 H3605

אֲשֶׁר־צִוָּ֥ה מֹשֶׁ֖ה אֶת־יְהוֹשֻׁ֑עַ וַיְמַהֲר֣וּ הָעָ֔ם וַיַּעֲבֹֽרוּ׃
ところの 命じた モーセが を ヨシュアに 急いだ 民は そして–渡った
H834 H6680 H4872 H853 H3091 H4116 H5971 H5674

箱をかく祭司たちは、主がヨシュアに命じて、民に告げさせられた事が、すべて行われてしまうまで、ヨルダンの中に立っていた。すべてモーセがヨシュアに命じたとおりである。民は急いで渡った。

11 וַיְהִ֗י כַּאֲשֶׁ֨ר תַּ֤ם כָּל־הָעָם֙ לַעֲבֹ֔ר וַיַּעֲבֹ֖ר אֲר֣וֹן יְהוָ֑ה
そして–なった ちょうど 終えた すべての 民が 渡ることを そして–渡った 箱を 主の
H1961 H834 H8552 H3605 H5971 H5674 H0727 H3068

וְהַכֹּהֲנִ֔ים לִפְנֵ֖י הָעָֽם׃
そして–祭司たちも 前を 民の
H3548 H6440 H5971

民がみな渡り終った時、主の箱と祭司たちとは、民の見る前で渡った。

12 וַיַּעַבְר֗וּ בְּנֵי֙ רְאוּבֵ֣ן וּבְנֵי־גָ֔ד וַחֲצִ֖י שֵׁ֣בֶט הַמְנַשֶּׁ֑ה
そして–渡った 息子たちは ルベンの 息子たちは ガドの そして–半 部族の マナセの
H5674 H1121 H7205 H1121 H1410 H2677 H7626 H4519

חֲמֻשִׁ֥ים לִפְנֵ֖י בְּנֵ֣י יִשְׂרָאֵ֑ל כַּאֲשֶׁ֥ר דִּבֶּ֛ר אֲלֵיהֶ֖ם מֹשֶֽׁה׃
武装して 前を 息子たちの イスラエルの ちょうど 語った 彼らに モーセが
H2571 H6440 H1121 H3478 H834 H1696 H0413 H4872

ルベンの子孫とガドの子孫、およびマナセの部族の半ばは、モーセが彼らに命じていたように武装して、イスラエルの人々に先立って渡り、

13

עֲרָבֹות	אֶל	לַמִּלְחָמָה	יְהוָה	לִפְנֵי	עָבְרוּ	הַצָּבָא	חֲלוּצֵי	אֶלֶף	כְּאַרְבָּעִים
平原に	の-もとに	戦いのために	主の	前を	渡った	軍勢が	武装した	人の	約-四万
H6160	H0413	H4421	H3068	H6440				H0505	H0705

יְרִיחֹו׃	ס	
エリコの	—	
H3405		

戦いのために武装したおおよそ四万の者が戦うため、主の前に渡って、エリコの平野に着いた。

14

יִשְׂרָאֵל	כֹּל־	בְּעֵינֵי	יְהוֹשֻׁעַ	אֶת־	יְהוָה	גִּדֶּל	הַהוּא	בַּיֹּום	
イスラエルの	すべての	目に	ヨシュアを	を	主は	大いなる者にされた	その	その-日に	
H3478	H3605		H3091	H0853	H3068	H1431	H1931	H3117	

פ	חַיָּיו׃	יְמֵי	כֹּל־	מֹשֶׁה	אֶת־	יָרְאוּ	כַּאֲשֶׁר	אֹתֹו	וַיִּרְאוּ
—	その-生涯の	日々	すべての	モーセを	を	畏れた	ちょうど	彼を	そして-畏れた
	H3117	H3605		H4872	H0853	H3372		H0853	H3372

この日、主はイスラエルのすべての人の前にヨシュアを尊い者とされたので、彼らはみなモーセを敬ったように、ヨシュアを一生のあいだ敬った。

15

לֵאמֹר׃	יְהוֹשֻׁעַ	אֶל־	יְהוָה	וַיֹּאמֶר
言って	ヨシュアに	に	主は	そして-言われた
H0559	H3091	H0413	H3068	H0559

主はヨシュアに言われた、

16

מִן־	וְיַעֲלוּ	הָעֵדוּת	אֲרֹון	נֹשְׂאֵי	הַכֹּהֲנִים	אֶת־	צַוֵּה
から	上がるように	の	あかしの-箱を	担いでいる	祭司たちに	を	命じなさい
	H5927	H5715	H0727	H5375	H3548	H0853	H6680

הַיַּרְדֵּן׃
ヨルダンから
H3383

「あかしの箱をかく祭司たちに命じて、ヨルダンから上がってこさせなさい」。

17

הַיַּרְדֵּן׃	מִן־	עֲלוּ	לֵאמֹר	הַכֹּהֲנִים	אֶת־	יְהוֹשֻׁעַ	וַיְצַו	
ヨルダンから	から	上がれ	言って	祭司たちに	を	ヨシュアは	そして-命じた	
H3383		H5927	H0559	H3548	H0853	H3091	H6680	

ヨシュアは祭司たちに命じて言った、「ヨルダンから上がってきなさい」。

18

יְהוָה	בְּרִית־	אֲרֹון	נֹשְׂאֵי	הַכֹּהֲנִים	כַּעֲלֹות(	]בעלות	וַיְהִי	
主の	の	契約の-箱を	担いでいる	祭司たちが	上がったとき	上がったとき	そして-なった	
H3068	H1285	H0727	H5375	H3548	H5927	H5927	H1961	

וַיָּשֻׁבוּ	הֶחָרָבָה	אֶל	הַכֹּהֲנִים	רַגְלֵי	כַּפֹּות	נִתְּקוּ	הַיַּרְדֵּן	מְתֹוךְ
そして-戻った	乾いた-地に	に	祭司たちの	足の	足の-裏が	離れた	ヨルダンの	真ん中から
H7725	H2724	H0413	H3548	H7272	H3709	H5423	H3383	H8432

גְּדוֹתָיו׃	כָּל־	עַל־	שִׁלְשֹׁום	כִּתְמוֹל־	וַיֵּלְכוּ	לִמְקוֹמָם	הַיַּרְדֵּן	מֵי־
岸の	すべての	の-上に	ように	以前の-ように	そして-流れた	元の-場所に	ヨルダンの	水は
H1415	H3605		H8032	H8543	H3212	H4725	H3383	H4325

主の契約の箱をかく祭司たちはヨルダンの中から上がってきたが、祭司たちの足の裏がかわいた地にあがると同時に、ヨルダンの水はもとの所に流れかえって、以前のように、その岸にことごとくあふれた。

19 וְהָעָם עָלוּ מִן־הַיַּרְדֵּן בֶּעָשׂוֹר לַחֹדֶשׁ הָרִאשׁוֹן וַיַּחֲנוּ
そして-民は 上がった から ヨルダンから 十日に 月の 第一の そして-陣を-張った
H5927 H3383 H6218 H2320 H7223 H2583

בַּגִּלְגָּל בִּקְצֵה מִזְרַח יְרִיחוֹ׃
ギルガルに 端に 東の エリコの
H1537 H4217 H3405

民は正月の十日に、ヨルダンから上がってきて、エリコの東の境にあるギルガルに宿営した。

20 וְאֶת שְׁתֵּים עֶשְׂרֵה הָאֲבָנִים הָאֵלֶּה אֲשֶׁר לָקְחוּ מִן־הַיַּרְדֵּן הֻקִּים
そして-を 十 二 個の-石を これらの ところの 取った から ヨルダンから 立てた
H0853 H8147 H6240 H0068 H0428 H3947 H3383

בַּגִּלְגָּל׃ יְהוֹשֻׁעַ
ギルガルに ヨシュアは
H1537 H3091

そしてヨシュアは、人々がヨルダンから取ってきた十二の石をギルガルに立て、

21 וַיֹּאמֶר אֶל־בְּנֵי יִשְׂרָאֵל לֵאמֹר אֲשֶׁר יִשְׁאָלוּן בְּנֵיכֶם
に 息子たちに イスラエルの 言って いつか 尋ねる あなたがたの-息子たちが
H0413 H3478 H0559 H0834 H7592

מָחָר אֶת־אֲבוֹתָם לֵאמֹר מָה הָאֲבָנִים הָאֵלֶּה׃
明日 を 父たちに 言って 何か 石は これらの
H4279 H0853 H0001 H0559 H4100 H0068 H0428

イスラエルの人々に言った、「後の日にあなたがたの子どもたちが、その父に『これらの石は、どうしたわけですか』とたずねたならば、

22 וְהוֹדַעְתֶּם אֶת־בְּנֵיכֶם לֵאמֹר בַּיַּבָּשָׁה יִשְׂרָאֵל עָבְרוּ
そして-知らせなさい を 息子たちに 言って 乾いた-地を イスラエルは 渡った
H3045 H0853 H0559 H3004 H3478 H5674

אֶת־הַיַּרְדֵּן הַזֶּה׃
を ヨルダンを この
H0853 H3383 H2088

『むかしイスラエルがこのヨルダンを、かわいた地にされて渡ったのだ』と言って、その子どもたちに知らせなければならない。

23 אֲשֶׁר־הוֹבִישׁ יְהוָה אֱלֹהֵיכֶם אֶת־מֵי הַיַּרְדֵּן מִפְּנֵיכֶם
こと 干上がらせた 主が あなたがたの-神が を 水を ヨルダンの あなたがたの-前で
H3001 H3068 H0430 H0853 H4325 H3383 H6440

עַד־עָבְרֵנוּ כַּאֲשֶׁר עָשָׂה יְהוָה אֱלֹהֵיכֶם לְיַם־סוּף אֲשֶׁר
まで 渡り終える ちょうど された 主が あなたがたの-神が に-対して 葦の-海に ところの
H5704 H5674 H3068 H6213 H0430 H3220 H5488 H0834

הוֹבִישׁ מִפָּנֵינוּ עַד־עָבְרֵנוּ׃
干上がらせた 私たちの-前で まで 渡り終えた
H3001 H6440 H5704

すなわちあなたがたの神、主はヨルダンの水を、あなたがたのために干しからして、あなたがたを渡らせてくださった。それはあたかも、あなたがたの神、主が、われわれのために紅海を干しからして、われわれを渡らせてくださったのと同じである。

24 לְמַעַן הֵיא חֲזָקָה כִּי יְהוָה יַד אֶת־ הָאָרֶץ עַמֵּי כָּל־ רַעַת לְמַעַן
ために それは 力強い まことに 主の 手を を 地の 民が すべての 知る ために
H4616 H1931 H2389 H3068 H3027 H0853 H0776 H3605 H3045 H4616

ס הַיָּמִים׃ כָּל־ אֱלֹהֵיכֶם יְהוָה אֶת־ יְרָאתֶם
— 日々 すべての あなたがたの–神を 主を を 畏れる
H3117 H3605 H0430 H3068 H0853 H3372

このようにされたのは、地のすべての民に、主の手に力のあることを知らせ、あなたがたの神、主をつねに恐れさせるためである」。

Chapter 5

1 הַיַּרְדֵּן בְּעֵבֶר אֲשֶׁר֩ הָאֱמֹרִי מַלְכֵי כָּל־ כִּשְׁמֹעַ וַיְהִי
ヨルダンの 向こう側の ところの アモリ人の 王たちが すべての 聞いたとき そして–なった
H3383 H5676 H0567 H4428 H3605 H8085 H1961

אֲשֶׁר־ אֵת הַיָּם עַל־ אֲשֶׁר הַכְּנַעֲנִי֙ מַלְכֵי וְכָל־ יָמָּה
ことを を 海の の–そばの ところの カナン人の 王たちが そして–すべての 西側の
H0853 H3220 H5921 H0834 H3669 H4428 H3605 H3220

עברנו] עַד־ יִשְׂרָאֵל בְּנֵי־ מִפְנֵי הַיַּרְדֵּן מֵי אֶת־ יְהוָה הוֹבִישׁ
渡り終えた まで イスラエルの 息子たちの 前で ヨルダンの 水を を 主が 干上がらせた
H5704 H3478 H1121 H6440 H3383 H4325 H0853 H3068 H3001

בְּנֵי־ מִפְנֵי רוּחַ עוֹד בָּם הָיָה וְלֹא־ לִבָּם עָבְרָם) וַיִּמַּס
息子たちの 前で 勇気が もう 彼らに あった もはや–ない 彼らの–心は 渡り終えた 溶けた
H1121 H6440 H7307 H5750 H1961 H3808 H3824 H5674 H4549

ס יִשְׂרָאֵל׃
— イスラエルの
H3478

ヨルダンの向こう側、すなわち西の方におるアモリびとの王たちと、海べにおるカナンびとの王たちとは皆、主がイスラエルの人々の前で、ヨルダンの水を干しからして、彼らを渡らせられたと聞いて、イスラエルの人々のゆえに、心は消え、彼らのうちに、もはや元気もなくなった。

2 חֲרָבוֹת לְךָ֖ עֲשֵׂה יְהוֹשֻׁעַ אֶל־ יְהוָה֙ אָמַר הַהִיא בָּעֵת
刀を あなたのために 作りなさい ヨシュアに に 主は 言われた その その–時に
H2719 H3091 H0413 H3068 H0559 H1931 H6256

שֵׁנִית׃ יִשְׂרָאֵל בְּנֵי־ אֶת־ מָל וְשׁוּב צֻרִים
二度目の イスラエルの 息子たちに を 割礼を–施しなさい そして–再び 火打ち石の
H8145 H3478 H1121 H0853 H4135 H7725 H6697

その時、主はヨシュアに言われた、「火打石の小刀を造り、重ねてまたイスラエルの人々に割礼を行いなさい」。

3 אֶת־ וַיָּמָל צֻרִים חֲרָבוֹת יְהוֹשֻׁעַ לוֹ֙ וַיַּעַשׂ־
を そして–割礼を–施した 火打ち石の 刀を ヨシュアは 自分のために そして–作った
H0853 H4135 H6697 H2719 H3091 H0

הָעָרְלוֹת׃ גִּבְעַת אֶל־ יִשְׂרָאֵל בְּנֵי
割礼の 丘に に–おいて イスラエルの 息子たちに
H6190 H1389 H0413 H3478 H1121

そこでヨシュアは火打石の小刀を造り、陽皮の丘で、イスラエルの人々に割礼を行った。

4

וְזֶה דַּבַּר אֲשֶׁר־מָל יְהוֹשֻׁעַ כָּל־הָעָם הַיֹּצֵא
そして-これが ことの 割礼を-施した ヨシュアが すべての 民の 出た
H2088 H1697 H4135 H3091 H3605 H5971 H3318

מִמִּצְרַיִם הַזְּכָרִים כָּל־אַנְשֵׁי הַמִּלְחָמָה מֵתוּ בַּמִּדְבָּר בַּדֶּרֶךְ בְּצֵאתָם
エジプトから 男たちは すべての 戦いの 戦士たちは 死んだ 荒野で 途中で 出たとき
H4714 H2145 H3605 H4421 H0376 H4191 H4057 H1870 H3318

מִמִּצְרָיִם׃
エジプトから
H4714

ヨシュアが人々に割礼を行った理由はこうである。エジプトから出てきた民のうちの、すべての男子、すなわち、いくさびとたちは皆、エジプトを出た後、途中、荒野で死んだが、

5

כִּי־מֻלִים הָיוּ כָּל־הָעָם הַיֹּצְאִים וְכָל־הָעָם הַיְלֻדִים בַּמִּדְבָּר בַּדֶּרֶךְ בְּצֵאתָם
なぜなら 割礼を-受けていた すべての 民は 出た-者たちは しかし-すべての 民の 生まれた-者たちは 荒野で 途中で 出たとき
H3588 H4135 H3605 H1961 H3605 H5971 H3318 H3605 H5971 H3209 H4057 H1870 H3318

מִמִּצְרַיִם לֹא־מָלוּ׃
エジプトから ない 割礼を-受けていなかった
H4714 H3808 H4135

その出てきた民は皆、割礼を受けた者であった。しかし、エジプトを出た後に、途中、荒野で生まれた民は、みな割礼を受けていなかった。

6

כִּי אַרְבָּעִים שָׁנָה הָלְכוּ בְּנֵי־יִשְׂרָאֵל בַּמִּדְבָּר עַד־תֹּם כָּל־הַגּוֹי
なぜなら 四十 年 歩いた 息子たちは イスラエルの 荒野で まで 終わる すべての 民の
H3588 H0705 H8141 H1980 H1121 H3478 H4057 H5704 H8552 H3605 H1471

אַנְשֵׁי הַמִּלְחָמָה הַיֹּצְאִים מִמִּצְרַיִם אֲשֶׁר לֹא־שָׁמְעוּ בְּקוֹל יְהוָה
戦士たちが 戦いの 出た エジプトから ところの ない 聞かなかった 声に 主の
H0376 H4421 H3318 H4714 H834 H3808 H8085 H6963 H3068

אֲשֶׁר נִשְׁבַּע יְהוָה לָהֶם לְהַרְאוֹתָם אֶת־הָאָרֶץ אֲשֶׁר נִשְׁבַּע יְהוָה לַאֲבוֹתָם
それで 誓った 主は 彼らに しないように 見せることを を 地を ところの 誓った 主が 先祖たちに
H834 H7650 H3068 H1115 H7200 H853 H0776 H834 H7650 H3068 H1

לָתֶת לָנוּ אֶרֶץ זָבַת חָלָב וּדְבָשׁ׃
与えると 私たちに 地を 流れる 乳と 蜜の
H5414 H1 H0776 H2100 H2461 H1706

イスラエルの人々は四十年の間、荒野を歩いていて、そのエジプトから出てきた民、すなわち、いくさびとたちは、みな死に絶えた。これは彼らが主の声に聞き従わなかったので、主は彼らの先祖たちに誓って、われわれに与えると仰せられた地、乳と蜜の流れる地を、彼らに見させないと誓われたからである。

7

וְאֶת־בְּנֵיהֶם הֵקִים תַּחְתָּם אֹתָם מָל יְהוֹשֻׁעַ כִּי־עֲרֵלִים הָיוּ כִּי לֹא־מָלוּ
そして-を 彼らの-息子たちを 立てた 代わりに 彼らを 割礼を-施した ヨシュアが なぜなら 割礼のない-者で あった なぜなら ない 割礼を-受けていなかった
H853 H1121 H6965 H8478 H853 H4135 H3091 H3588 H6189 H1961 H3588 H3808 H4135

אוֹתָם בַּדָּרֶךְ׃
彼らに 途中で
H853 H1870

ヨシュアが割礼を行ったのは、この人々についで起されたその子どもたちであった。彼らは途中で割礼を受けていなかったので、無割礼の者であったからである。

8 וַיְהִי כַּאֲשֶׁר־תַּמּוּ כָּל־הַגּוֹי לְהָמּוֹל וַיֵּשְׁבוּ
そして-となった ちょうど 終えた すべての 民が 割礼を-受けることを そして-とどまった
H1961 H8552 H3605 H1471 H3427

פ חַיּוֹתָם׃ עַד בַּמַּחֲנֶה תַּחְתָּם
— 癒える まで 陣営に 自分たちの-場所に
H2421 H5704 H4264 H8478

すべての民に割礼を行うことが終ったので、民は宿営のうちの自分の所にとどまって傷の直るのを待った。

9 וַיֹּאמֶר יְהוָה אֶל־יְהוֹשֻׁעַ הַיּוֹם גַּלּוֹתִי אֶת־חֶרְפַּת מִצְרַיִם
そして-言われた 主は に ヨシュアに 今日 転がした を 恥を エジプトの
H0559 H3068 H0413 H3091 H3117 H1556 H0853 H2781 H4714

מֵעֲלֵיכֶם וַיִּקְרָא שֵׁם הַמָּקוֹם הַהוּא גִּלְגָּל עַד הַיּוֹם הַזֶּה׃
あなたがたから そして-呼んだ 名を その-場所の その ギルガルと まで 今 日の
H7121 H8034 H4725 H1931 H1537 H5704 H3117 H2088

その時、主はヨシュアに言われた、「きょう、わたしはエジプトのはずかしめを、あなたがたからころがし去った」。それでその所の名は、今日までギルガルと呼ばれている。

10 וַיִּחֲנוּ בְּנֵי־יִשְׂרָאֵל בַּגִּלְגָּל וַיַּעֲשׂוּ אֶת־הַפֶּסַח
そして-陣を-張った 息子たちは イスラエルの ギルガルに そして-行った を 過越の-祭りを
H2583 H1121 H3478 H1537 H6213 H0853 H6453

בְּאַרְבָּעָה עָשָׂר יוֹם לַחֹדֶשׁ בָּעֶרֶב בְּעַרְבוֹת יְרִיחוֹ׃
十 四 日に 月の 夕方に 平原で エリコの
H0702 H6240 H3117 H2320 H6153 H6160 H3405

イスラエルの人々はギルガルに宿営していたが、その月の十四日の夕暮、エリコの平野で過越の祭を行った。

11 וַיֹּאכְלוּ מֵעֲבוּר הָאָרֶץ מִמָּחֳרַת הַפֶּסַח מַצּוֹת וְקָלוּי בְּעֶצֶם
そして-食べた 産物から 地の 翌日に 過越の-祭りの 種入れぬ-パンと 炒った-穀物を まさに
H0398 H5669 H0776 H4283 H6453 H4682 H7033 H6106

הַיּוֹם הַזֶּה׃
その-日に その
H3117 H2088

そして過越の祭の翌日、その地の穀物、すなわち種入れぬパンおよびいり麦を、その日に食べたが、

12 וַיִּשְׁבֹּת הַמָּן מִמָּחֳרָת בְּאָכְלָם מֵעֲבוּר הָאָרֶץ וְלֹא־הָיָה עוֹד
そして-止んだ マナは 翌日に 食べたとき 産物から 地の もはや-ない あった もう
H3808 H1961 H5750

לִבְנֵי יִשְׂרָאֵל מָן וַיֹּאכְלוּ מִתְּבוּאַת אֶרֶץ כְּנַעַן בַּשָּׁנָה הַהִיא׃
の-息子たちに マナは イスラエルの そして-食べた 収穫物から 地の カナンの その-年に その
H1931 H8141 H3478 H4482 H0776 H3667 H0398 H4478 H1121

ס
—

その地の穀物を食べた翌日から、マナの降ることはやみ、イスラエルの人々は、もはやマナを獲なかった。その年はカナンの地の産物を食べた。

13 וַיְהִי בִּהְיוֹת יְהוֹשֻׁעַ בִּירִיחוֹ וַיִּשָּׂא עֵינָיו וַיַּרְא
そして-なった いたとき ヨシュアが エリコの-そばに そして-上げた 目を そして-見た
H1961 H1961 H3091 H3405 H5375 H5869 H7200

וְהִנֵּה־ אִישׁ עֹמֵד לְנֶגְדּוֹ וְחַרְבּוֹ שְׁלוּפָה בְיָדוֹ וַיֵּלֶךְ יְהוֹשֻׁעַ
すると-見よ 人が 立っていた 彼の-前に そして-剣が 抜かれて 手に そして-行った ヨシュアは
H2009 H0376 H5975 H5048 H2719 H8025 H3027 H3212 H3091

אֵלָיו וַיֹּאמֶר לוֹ הֲלָנוּ אַתָּה אִם־ לְצָרֵינוּ׃
彼に-向かって そして-言った 彼に 私たちの-側か あなたは それとも 私たちの-敵か
H0413 H0559

ヨシュアがエリコの近くにいたとき、目を上げて見ると、ひとりの人が抜き身のつるぎを手に持ち、こちらに向かって立っていたので、ヨシュアはその人のところへ行って言った、「あなたはわれわれを助けるのですか。それともわれわれの敵を助けるのですか」。

14 וַיֹּאמֶר לֹא כִּי אֲנִי שַׂר־ צְבָא יְהוָה עַתָּה בָּאתִי
そして-言った いいえ そうではなく 私は 将軍である 軍勢の 主の 今 来たのだ
H0559 H3808 H0559 H8269 H6635 H3068 H6258 H0935

וַיִּשְׁתָּחוּ אַרְצָה פָּנָיו אֶל־ יְהוֹשֻׁעַ וַיִּפֹּל וַיֹּאמֶר לוֹ
そして-ひれ伏した 地に 顔を の-上に ヨシュアは そして-ひれ伏した そして-言った 彼に
H7812 H0776 H6440 H0413 H3091 H5307 H0559

מָה אֲדֹנָי אֶל־ מְדַבֵּר עַבְדּוֹ׃
何を わが-主は に 語られますか しもべに
H4100 H0136 H0413 H1696 H5650

彼は言った、「いや、わたしは主の軍勢の将として今きたのだ」。ヨシュアは地にひれ伏し拝して言った、「わが主は何をしもべに告げようとされるのですか」。

15 וַיֹּאמֶר שַׂר־ צְבָא יְהוָה אֶל־ יְהוֹשֻׁעַ שַׁל־ נַעֲלְךָ מֵעַל רַגְלֶךָ
そして-言った 将軍は 軍勢の 主の に ヨシュアに 脱ぎなさい 履物を から 足から
H0559 H8269 H6635 H3068 H0413 H3091 H5394 H5275 H5921 H7272

כִּי הַמָּקוֹם אֲשֶׁר אַתָּה עֹמֵד עָלָיו קֹדֶשׁ הוּא וַיַּעַשׂ
なぜなら 場所は ところの あなたが 立っている その-上に 聖なる それである そして-行った
H4725 H834 H859 H5975 H5921 H6944 H1931 H6213

כֵּן׃ יְהוֹשֻׁעַ
そのとおりに ヨシュアは
H3651 H3091

すると主の軍勢の将はヨシュアに言った、「あなたの足のくつを脱ぎなさい。あなたが立っている所は聖なる所である」。ヨシュアはそのようにした。

Chapter 6

1 וִיְרִיחוֹ סֹגֶרֶת וּמְסֻגֶּרֶת מִפְּנֵי בְּנֵי יִשְׂרָאֵל אֵין
エリコは 閉じられて 固く-閉じられていた 前で 息子たちの イスラエルの だれも-ない
H3405 H5462 H5462 H6440 H1121 H3478 H0369

ס בָּא׃ וְאֵין יוֹצֵא
— 入る-者も そして-ない 出る-者も
H0935 H0369 H3318

さてエリコは、イスラエルの人々のゆえに、かたく閉ざして、出入りするものがなかった。

2 וַיֹּאמֶר יְהוָה אֶל־יְהוֹשֻׁעַ רְאֵה נָתַתִּי בְיָדְךָ אֶת־יְרִיחוֹ
そして-言われた 主は に ヨシュアに 見よ 与えた あなたの-手に を エリコを
H0559 H3068 H0413 H3091 H7200 H5414 H3027 H0853 H3405

וְאֶת־מַלְכָּהּ גִּבּוֹרֵי הֶחָיִל׃
そして-を その-王を 勇士たちを 力の
H0853 H4428 H1368 H2428

主はヨシュアに言われた、「見よ、わたしはエリコと、その王および大勇士を、あなたの手にわたしている。

3 וְסַבֹּתֶם אֶת־הָעִיר כָּל־אַנְשֵׁי הַמִּלְחָמָה הַקֵּיף אֶת־הָעִיר
そして-回りなさい を その-町を すべての 戦士たちが 戦いの 一周して を その-町を
H5437 H0853 H3605 H0376 H4421 H7165 H0853 H5892

פַּעַם אֶחָת תַּעֲשֶׂה כֹּה שֵׁשֶׁת יָמִים׃
一 回 しなさい このように 六 日間
H6471 H0259 H6213 H3541 H8337 H3117

あなたがた、いくさびとはみな、町を巡って、町の周囲を一度回らなければならない。六日の間そのようにしなければならない。

4 וְשִׁבְעָה כֹהֲנִים יִשְׂאוּ שִׁבְעָה שׁוֹפְרוֹת הַיּוֹבְלִים לִפְנֵי הָאָרוֹן וּבַיּוֹם
そして-七人の 祭司が 担ぐ 七つの 角笛を 雄羊の 前を 箱の そして-七日目に
H7651 H3548 H5375 H7651 H7782 H3104 H6440 H0727 H3117

הַשְּׁבִיעִי תָּסֹבּוּ אֶת־הָעִיר שֶׁבַע פְּעָמִים וְהַכֹּהֲנִים יִתְקְעוּ בַּשּׁוֹפָרוֹת׃
の 回りなさい を その-町を 七 回 そして-祭司たちが 吹く 角笛を
H7637 H5437 H0853 H7651 H6471 H3548 H8628 H7782

七人の祭司たちは、おのおの雄羊の角のラッパを携えて、箱に先立たなければならない。そして七日目には七度町を巡り、祭司たちはラッパを吹き鳴らさなければならない。

5 וְהָיָה (כִּמְשֹׁךְ) [בשמעכם] בְּקֶרֶן הַיּוֹבֵל הַשּׁוֹפָר קוֹל אֶת־
そして-なる 吹くとき 角笛を 雄羊の 聞くとき 聞くとき 角笛の 音を を
H1961 H4900 H7782 H3104 H8085 H8085 H7782 H6963 H0853

וְעָלָה הָעִיר תַּחְתֶּיהָ חוֹמַת וְנָפְלָה גְדוֹלָה תְּרוּעָה הָעָם כָּל־
そして-上がる その-場に その-町の 城壁が そして-崩れる 大きな 鬨の-声で 民が すべての
H5927 H8478 H5892 H2346 H5307 H1419 H8643 H5971 H3605

נֶגְדּוֹ׃ אִישׁ הָעָם
真っすぐに 各自 民が
H5048 H0376 H5971

そして祭司たちが雄羊の角を長く吹き鳴らし、そのラッパの音が、あなたがたに聞える時、民はみな大声に呼ばわり、叫ばなければならない。そうすれば、町の周囲の石がきは、くずれ落ち、民はみなただちに進んで、攻め上ることができる」。

6 וַיִּקְרָא יְהוֹשֻׁעַ בִּן־נוּן אֶל־הַכֹּהֲנִים וַיֹּאמֶר אֲלֵהֶם שְׂאוּ
そして-呼んだ ヨシュアは 息子- ヌンの を 祭司たちを そして-言った 彼らに 担ぎ上げよ
H7121 H3091 H1121 H5126 H0413 H3548 H0559 H0413 H5375

אֶת־אֲרוֹן הַבְּרִית וְשִׁבְעָה כֹהֲנִים יִשְׂאוּ שִׁבְעָה שׁוֹפְרוֹת לִפְנֵי יוֹבֵלִים
を 契約の-箱を の そして-七人の 祭司が 担ぐ 七つの 角笛を 前を 雄羊の
H0853 H0727 H1285 H7651 H3548 H5375 H7651 H7782 H6440 H3104

לִפְנֵי אֲרוֹן יְהוָה׃
前を 箱の 主の
H6440 H0727 H3068

ヌンの子ヨシュアは祭司たちを召して言った、「あなたがたは契約の箱をかき、七人の祭司たちは雄羊の角のラッパ七本を携えて、主の箱に先立たなければならない」。

7

הָעִיר	אֶת־	וְסַבּוּ	עִבְרוּ	הָעָם	אֶל־	וַיֹּאמֶר׃)	ויאמרון׃
その–町を	を	そして–回りなさい	進みなさい	民に	に	そして–言った	そして–言った
	H0853	H5437			H0413	H0559	H0559

יְהוָה׃	אֲרוֹן	לִפְנֵי	יַעֲבֹר	וְהֶחָלוּץ
主の	箱の	前を	進む	そして–武装した–者が
H3068	H0727	H6440		

そして民に言った、「あなたがたは進んで行って町を巡りなさい。武装した者は主の箱に先立って進まなければならない」。

8

נֹשְׂאִים׃	הַכֹּהֲנִים	וְשִׁבְעָה	הָעָם׃	אֶל־	יְהוֹשֻׁעַ׃	כֶּאֱמֹר	וַיְהִי	
担いでいる	祭司たちが	そして–七人の	民に	に	ヨシュアが	言ったとき	そして–なった	
H5375	H3548	H7651		H0413	H3091	H0559	H1961	

וַאֲרוֹן׃	בַּשּׁוֹפָרוֹת	וְתָקְעוּ	עָבְרוּ	יְהוָה	לִפְנֵי	הַיּוֹבְלִים׃	שׁוֹפְרוֹת	שִׁבְעָה
そして–契約の–箱が	角笛を	そして–吹いた	進んだ	主の	前を	雄羊の	角笛を	七つの
H0727	H7782	H8628		H3068	H6440	H3104	H7782	H7651

אַחֲרֵיהֶם׃	הֹלֵךְ	יְהוָה	בְּרִית
彼らの–後に	従っていた	主の	の
	H1980	H3068	H1285

ヨシュアが民に命じたように、七人の祭司たちは、雄羊の角のラッパ七本を携えて、主に先立って進み、ラッパを吹き鳴らした。主の契約の箱はそのあとに従った。

9

הַשּׁוֹפָרוֹת	תּוֹקְעִי׃)	תקעון׃	הַכֹּהֲנִים	לִפְנֵי׃	הֹלֵךְ	וְהֶחָלוּץ
角笛を	吹いている	吹いている	祭司たちの	前を	歩いていた	そして–武装した–者が
H7782	H8628	H8628	H3548	H6440	H1980	

בַּשּׁוֹפָרוֹת׃	וְתָקוֹעַ	הָלוֹךְ	הָאָרוֹן	אַחֲרֵי	הֹלֵךְ	וְהַמַּאסֵף	
角笛を	そして–吹いていた	歩いて	箱の	後に	歩いていた	そして–しんがりが	
H7782	H8628	H1980	H0727		H1980	H0622	

武装した者はラッパを吹き鳴らす祭司たちに先立って行き、しんがりは箱に従った。ラッパは絶え間なく鳴り響いた。

10

אֶת־	תַּשְׁמִיעוּ	וְלֹא־	תָּרִיעוּ׃	לֹא	לֵאמֹר	יְהוֹשֻׁעַ	צִוָּה	הָעָם׃	וְאֶת־
を	聞かせては	そして–ない	叫んでは	ない	言って	ヨシュアは	命じた	民に	そして–を
H0853	H8085	H3808	H7321	H3808	H0559	H3091	H6680		H0853

הָרִיעוּ	אֲלֵיכֶם	אָמְרִי	יוֹם	עַד	דָּבָר	מִפִּיכֶם	יֵצֵא	וְלֹא־	קוֹלְכֶם
叫べと	あなたがたに	言う	日の	まで	言葉を	口から	出しては	そして–ない	声を
H7321	H0413	H0559	H3117	H5704	H1697	H6310	H3318	H3808	

וַהֲרִיעֹתֶם׃
そうすれば–叫びなさい
H7321

しかし、ヨシュアは民に命じて言った、「あなたがたは呼ばわってはならない。あなたがたの声を聞えさせてはならない。また口から言葉を出してはならない。ただ、わたしが呼ばわれと命じる日に、あなたがたは呼ばわらなければならない」。

11

הַמַּחֲנֶה	וַיָּבֹאוּ	אֶחָת	פָּעַם	הַקֵּף	הָעִיר	אֶת־	יְהוָה	אֲרוֹן־	וַיָּסָב
陣営に	そして-来た	回	一	一周して	その-町を	を	の	主の-箱を	そして-回らせた
H4264	H0935	H0259	H6471			H0853	H3068	H0727	H5437

	בַּמַּחֲנֶה׃	וַיָּלִינוּ	פ
	陣営に	そして-泊まった	
	H4264		

こうして主の箱を持って、町を巡らせ、その周囲を一度回らせた。人々は宿営に帰り、夜を宿営で過ごした。

12

יְהוָה׃	אֲרוֹן	אֶת־	הַכֹּהֲנִים	וַיִּשְׂאוּ	בַבֹּקֶר	יְהוֹשֻׁעַ	וַיַּשְׁכֵּם
の	主の-箱を	を	祭司たちが	そして-担ぎ上げた	朝に	ヨシュアは	そして-早く起きた
H3068	H0727	H0853	H3548	H5375	H1242	H3091	H7925

翌朝ヨシュアは早く起き、祭司たちは主の箱をかき、

13

יְהוָה	אֲרוֹן	לִפְנֵי	הַיֹּבְלִים	שֹׁפְרוֹת	שִׁבְעָה	נֹשְׂאִים	הַכֹּהֲנִים	וְשִׁבְעָה
主の	箱の	前を	雄羊の	角笛を	七つの	担いでいる	祭司たちが	そして-七人の
H3068	H0727	H6440	H3104	H7782	H7651	H5375	H3548	H7651

לִפְנֵיהֶם	הָלֹךְ	וְהֶחָלוּץ	בַּשֹּׁפָרוֹת	וְתָקְעוּ	הָלוֹךְ	הָלְכִים	
彼らの-前を	歩いていた	そして-武装した-者が	角笛を	そして-吹いていた	歩いて	歩き続けて	
H6440	H1980		H7782	H8628	H1980	H1980	

וְתָקְעוּ	)הָלוֹךְ(	]הולך[	יְהוָה	אֲרוֹן	אַחֲרֵי	הָלַךְ	וְהַמְאַסֵּף	
そして-吹いていた	歩いて	歩いて	主の	箱の	後に	歩いていた	そして-しんがりが	
H8628	H1980	H1980	H3068	H0727		H1980	H0622	

בַּשֹּׁפָרוֹת׃	
角笛を	
H7782	

七人の祭司たちは、雄羊の角のラッパ七本を携えて、主の箱に先立ち、絶えず、ラッパを吹き鳴らして進み、武装した者はこれに先立って行き、しんがりは主の箱に従った。ラッパは絶え間なく鳴り響いた。

14

הַמַּחֲנֶה	וַיָּשֻׁבוּ	אַחַת	פָּעַם	הַשֵּׁנִי	בַּיּוֹם	הָעִיר	אֶת־	וַיָּסֹבּוּ
陣営に	そして-戻った	回	一	二日目の	日に	その-町を	を	そして-回った
H4264	H7725	H0259	H6471	H8145	H3117		H0853	H5437

יָמִים׃	שֵׁשֶׁת	עָשׂוּ	כֹּה	
日間	六	行った	このように	
H3117	H8337		H3541	

その次の日にも、町の周囲を一度巡って宿営に帰った。六日の間そのようにした。

15

אֶת־	וַיָּסֹבּוּ	הַשַּׁחַר	כַּעֲלוֹת	וַיַּשְׁכִּמוּ	הַשְּׁבִיעִי	בַּיּוֹם	וַיְהִי	
を	そして-回った	曙の	上るとき	そして-早く起きた	七日目の	日に	そして-なった	
H0853	H5437	H7837	H5927	H7925	H7637	H3117	H1961	

הָעִיר	אֶת־	סָבְבוּ	הַהוּא	בַּיּוֹם	רַק	פְּעָמִים	שֶׁבַע	הַזֶּה	כַּמִּשְׁפָּט	הָעִיר
その-町を	を	回った	その	日に	ただ	回	七	この	同じ-やり方で	その-町を
	H0853	H5437	H1931	H3117	H7535	H6471	H7651	H2088	H4941	

פְּעָמִים׃	שֶׁבַע
回	七
H6471	H7651

七日目には、夜明けに、早く起き、同じようにして、町を七度めぐった。町を七度めぐったのはこの日だけであった。

וַיְהִי בַּפַּעַם הַשְּׁבִיעִית תָּקְעוּ הַכֹּהֲנִים בַּשּׁוֹפָרוֹת וַיֹּאמֶר 16
そして-なった 七回目の-ときに の 吹いた 祭司たちが 角笛を そして-言った
H1961 H6471 H7637 H8628 H3548 H7782 H0559

יְהוֹשֻׁעַ אֶל־הָעָם הָרִיעוּ כִּי־נָתַן יְהוָה לָכֶם אֶת־הָעִיר׃
ヨシュアは に 民に 叫べ なぜなら 与えられた 主は あなたがたに を その-町を
H3091 H0413 H5971 H7321 H3588 H5414 H3068 H0413 H0853

七度目に、祭司たちがラッパを吹いた時、ヨシュアは民に言った、「呼ばわりなさい。主はこの町をあなたがたに賜わった。

וְהָיְתָה הָעִיר חֵרֶם הִיא וְכָל־אֲשֶׁר 17
そして-なる その-町は 聖絶の-ものに それは そして-すべての もの
H1961 H5971 H2764 H1931 H3605 H0834

בָּהּ רַק רָחָב הַזּוֹנָה תִּחְיֶה הִיא וְכָל־אֲשֶׁר אִתָּהּ
その-中の ただ ラハブは 遊女の 生きる 彼女と そして-すべての 者 彼女と-ともに
H0996 H7535 H7343 H2181 H2421 H1931 H3605 H0834 H0854

בַּבָּיִת כִּי הֶחְבְּאָתָה אֶת־הַמַּלְאָכִים אֲשֶׁר שָׁלָחְנוּ׃
家の-中の なぜなら 隠した を 使者たちを ところの 遣わした
H1004 H3588 H2244 H0853 H4397 H0834 H7971

この町と、その中のすべてのものは、主への奉納物として滅ぼされなければならない。ただし遊女ラハブと、その家に共におる者はみな生かしておかなければならない。われわれが送った使者たちをかくまったからである。

וְאַתֶּם רַק כִּי־תִשְׁמְרוּ מִן־הַחֵרֶם פֶּן־תַּחֲרִימוּ 18
ただし-きっと あなたがたは 気をつけなさい から 聖絶の-ものに そうでないと 取ってはならない
H7535 H0859 H8104 H4480 H2764 H6435 H2763

וְשַׂמְתֶּם אֶת־מַחֲנֵה יִשְׂרָאֵל לְחֵרֶם וְעֲכַרְתֶּם אֹתוֹ׃
そして-取ってはならない から 聖絶の-ものを そうすれば-する を 陣営を イスラエルの
H3947 H4480 H2764 H7760 H0853 H4264 H3478

וְכָל־כֶּסֶף וְזָהָב כְּלֵי נְחֹשֶׁת וּבַרְזֶל קֹדֶשׁ הוּא לַיהוָה אוֹצַר יְהוָה יָבוֹא׃ 19
そして-すべての 銀と 金と 器具の 青銅の そして-鉄の 聖なる それらは 主の-ものである 倉に 主の 入る
H3605 H3701 H2091 H3627 H5178 H1270 H6944 H1931 H3068 H0214 H3068 H0935

それを そして-もたらす 聖絶の-ものに
H0853 H5916 H2764

また、あなたがたは、奉納物に手を触れてはならない。奉納に当り、その奉納物をみずから取って、イスラエルの宿営を、滅ぼさるべきものとし、それを悩ますことのないためである。

וְכָל־כֶּסֶף וְזָהָב כְּלֵי נְחֹשֶׁת וּבַרְזֶל קֹדֶשׁ הוּא לַיהוָה אוֹצַר יְהוָה יָבוֹא׃ 19
そして-すべての 銀と 金と 器具の 青銅の そして-鉄の 聖なる それらは 主の-ものである 倉に 主の 入る
H3605 H3701 H2091 H3627 H5178 H1270 H6944 H1931 H3068 H0214 H3068 H0935

ただし、銀と金、青銅と鉄の器は、みな主に聖なる物であるから、主の倉に携え入れなければならない」。

וַיְהִי כִּשְׁמֹעַ הָעָם אֶת־קוֹל הַשּׁוֹפָר וַיָּרַע הָעָם תְּרוּעָה גְדוֹלָה וַתִּפֹּל הַחוֹמָה תַּחְתֶּיהָ וַיַּעַל הָעָם הָעִיר אִישׁ נֶגְדּוֹ וַיִּלְכְּדוּ אֶת־הָעִיר׃ 20
そして-なった 聞いたとき 民が を 音を そして-叫んだ 民は そして-吹いた 角笛を そして-なった 聞いたとき 民が を 音を
H1961 H8085 H5971 H0853 H6963 H7321 H5971 H8643 H1419 H5307 H2346 H8478 H5927 H5971 H3920 H0853 H5892 H5048 H0376 H5892 H5971 H0853 H6963 H7782 H0853 H6963 H5971 H0853 H6963

そこで民は呼ばわり、祭司たちはラッパを吹き鳴らした。民はラッパの音を聞くと同時に、みな大声をあげて呼ばわったので、石がきはくずれ落ちた。そこで民はみな、すぐに上って町にはいり、町を攻め取った。

21

וַיַּחֲרִימוּ֙ אֵ֣ת כָּל־ אֲשֶׁ֣ר בָּעִ֔יר מֵאִ֥ישׁ וְעַד־ אִשָּׁ֖ה מִנַּ֣עַר וְעַד־ זָקֵ֑ן וְעַד־ שׁ֣וֹר וָשֶׂ֔ה וַחֲמ֖וֹר לְפִי־ חָֽרֶב׃

そして–聖絶に–した を すべての ものを 町の–中の 男から そして–まで 女まで 若者から
H0853 H3605 H0834 H1004 H0376 H5704 H0802 H5288
剣の 刃で ろばも 羊も 牛も そして–まで 老人まで そして–まで
H2719 H6310 H2543 H7716 H7794 H5704 H2205 H5704

そして町にあるものは、男も、女も、若い者も、老いた者も、また牛、羊、ろばをも、ことごとくつるぎにかけて滅ぼした。

22

וִֽלְשְׁנֵ֗ים הָאֲנָשִׁ֤ים הַמְרַגְּלִים֙ אֶת־ הָאָ֔רֶץ אָמַ֖ר יְהוֹשֻׁ֑עַ בֹּ֣אוּ בֵית־ הָאִשָּׁ֔ה

に 人に 偵察した を 地を 言った ヨシュアは 入りなさい 家に その–女の
H8147 H0376 H7270 H0853 H0776 H0559 H3091 H0935 H0853 H0802
そして–出しなさい そこから を その–女を そして–を ものを すべての 彼女に–属する
H3318 H8033 H0853 H0802 H0853 H0834 H3605 H0853
遊女の
H2181
彼女に 誓った ちょうど
H7650

その時ヨシュアは、この地を探ったふたりの人に言った、「あの遊女の家にはいって、その女と彼女に属するすべてのものを連れ出し、彼女に誓ったようにしなさい」。

23

וַיָּבֹ֣אוּ הַנְּעָרִ֣ים הַמְרַגְּלִ֔ים וַיֹּצִ֕יאוּ אֶת־ רָ֖חָב וְאֶת־ אָבִ֣יהָ

そして–入った 若者たちは 偵察した そして–出した を ラハブを そして–を 彼女の–父を
H0935 H5288 H7270 H3318 H0853 H7343 H0853 H0001
そして–を 彼女の–兄弟たちを そして–を 彼女の–母を そして–を
H0853 H0251 H0853 H0517 H0853
すべての ものを 彼女に–属する
H3605 H0834
そして–を
H0853
彼女の–親族を すべての そして–を
H4940 H3605 H0853
イスラエルの 陣営の 外に そして–置いた 出した
H3478 H4264 H2351 H3240 H3318

斥候となったその若い人たちははいって、ラハブとその父母、兄弟、そのほか彼女に属するすべてのものを連れ出し、その親族をみな連れ出して、イスラエルの宿営の外に置いた。

24

וְאֵת֙ כָּל־ אֲשֶׁ֣ר בָּ֔הּ רַ֚ק אֶת־ הַכֶּ֣סֶף וְהַזָּהָ֔ב

そして–町を そして–すべての ものを その–中の ただ 銀と 金と
H5892 H3605 H0834 H1004 H7535 H3701 H2091

וְכֵלֵ֣י וְהַבַּרְזֶ֔ל וְהַנְּחֹ֖שֶׁת נָתְנ֥וּ אוֹצַ֖ר בֵּית־ יְהוָֽה׃

そして–器具の そして–鉄の 青銅の 納めた 倉に 家の 主の
H3627 H1270 H5178 H5414 H0214 H1004 H3068

そして火で町とその中のすべてのものを焼いた。ただ、銀と金、青銅と鉄の器は、主の家の倉に納めた。

25

אֲשֶׁר־	כָּל־	וְאֶת־	אָבִיהָ	בֵּית	וְאֶת־	הַזּוֹנָה	רָחָב	וְאֶת־
ものを	すべての	そして-を	彼女の-父の	家を	そして-を	遊女を	ラハブを	そして-を
	H3605	H0853	H0001		H0853	H2181	H7343	H0853

הַזֶּה	הַיּוֹם	עַד	יִשְׂרָאֵל	בְּקֶרֶב	וַתֵּשֶׁב	יְהוֹשֻׁעַ	הֶחֱיָתָה	לָהּ
日の	今	まで	イスラエルの	中に	そして-住んだ	ヨシュアは	生かした	彼女に-属する
H2088	H3117	H5704	H3478	H7130	H3427	H3091	H2421	

אֶת־	לְרַגֵּל	יְהוֹשֻׁעַ	שָׁלַח	אֲשֶׁר־	הַמַּלְאָכִים	אֶת־	הֶחְבִּיאָה	כִּי
を	偵察するために	ヨシュアが	遣わした	ところの	使者たちを	を	隠した	なぜなら
H0853	H7270	H3091	H7971		H4397	H0853	H2244	

פ	יְרִיחוֹ׃
—	エリコを
	H3405

しかし、遊女ラハブとその父の家の一族と彼女に属するすべてのものとは、ヨシュアが生かしておいたので、ラハブは今日までイスラエルのうちに住んでいる。これはヨシュアがエリコを探らせるためにつかわした使者たちをかくまったためである。

26

אֲשֶׁר	יְהוָה	לִפְנֵי	הָאִישׁ	אָרוּר	לֵאמֹר	הַהִיא	בָּעֵת	יְהוֹשֻׁעַ	וַיִּשְׁבַּע
ところの	主の	前で	人は	呪われよ	言って	その	時に	ヨシュアは	そして-誓わせた
	H3068	H6440	H0376	H0779	H0559	H1931	H6256	H3091	H7650

יְיסְדֶנָּה	בִּבְכֹרוֹ	יְרִיחוֹ	אֶת־	הַזֹּאת	הָעִיר	אֶת־	וּבָנָה	יָקוּם
基を-置く	長子の-上に	エリコを	を	この	町を	を	そして-建てる	立ち上がる
H3245	H1060	H3405	H0853	H2063		H0853	H1129	

דְּלָתֶיהָ׃	יַצִּיב	וּבִצְעִירוֹ
その-門を	立てる	そして-末子の-上に
	H5324	H6810

ヨシュアは、その時、人々に誓いを立てて言った、「おおよそ立って、このエリコの町を再建する人は、主の前にのろわれるであろう。その礎をすえる人は長子を失い、その門を建てる人は末の子を失うであろう」。

27

הָאָרֶץ׃	בְּכָל־	שָׁמְעוֹ	וַיְהִי	יְהוֹשֻׁעַ	אֶת־	יְהוָה	וַיְהִי
地に	すべての	名声が	そして-なった	ヨシュアと	と-ともに	主は	そして-おられた
H0776	H3605	H8089	H1961	H3091	H0854	H3068	H1961

主はヨシュアと共におられ、ヨシュアの名声は、あまねくその地に広がった。

Chapter 7

1

עָכָן	וַיִּקַּח	בַּחֵרֶם	מַעַל	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי־	וַיִּמְעֲלוּ
アカンが	そして-取った	聖絶の-ものに-対して	背きを	イスラエルの	息子たちは	そして-背いた
H5912	H3947		H4604	H3478		H4603

הַחֵרֶם	מִן־	יְהוּדָה	לְמַטֵּה	זֶרַח	בֶּן־	זַבְדִּי	בֶּן־	כַּרְמִי	בֶּן־
聖絶の-ものから	から	ユダの	部族の	ゼラハの	息子-	ザブディの	息子-	カルミの	息子-
		H3063	H4294	H2226		H2067		H3756	

יִשְׂרָאֵל׃	בִּבְנֵי	יְהוָה	אַף	וַיִּחַר־
イスラエルの-息子たちに	に-対して	主の	怒りが	そして-燃えた
H3478		H3068	H0639	H2734

しかし、イスラエルの人々は奉納物について罪を犯した。すなわちユダの部族のうちの、ゼラの子ザブデの子であるカルミの子アカンが奉納物を取ったのである。それで主はイスラエルの人々にむかって怒りを発せられた。

2

וַיִּשְׁלַח֙	יְהוֹשֻׁ֔עַ	אֲנָשִׁ֖ים	מִיְּרִיח֣וֹ	הָעַ֑י	אֲשֶׁ֥ר	עִם־	אָ֨וֶן֙בֵּ֔ית
そして–遣わした	ヨシュアは	人々を	エリコから	アイに	ところの	の–そばの	ベト–アベンの
H7971	H3091	H0376	H3405	H5857			H1007

הָאָ֔רֶץ	אֶת־	וְרִגְּל֖וּ	עֲל֣וּ	לֵאמֹ֑ר	אֲלֵיהֶם֙	וַיֹּ֤אמֶר	לְבֵית־אֵ֔ל	מִקֶּ֖דֶם
地を	を	そして–偵察しなさい	上りなさい	言って	彼らに	そして–言った	ベテルの	東側の
H0776	H0853	H7270	H5927	H0559	H0413	H0559	H1008	

הָעָֽי׃	אֶת־	וַיְרַגְּל֖וּ	הָאֲנָשִׁ֑ים	וַיַּעֲל֖וּ
アイを	を	そして–偵察した	人々は	そして–上った
H5857	H0853	H7270	H0376	H5927

ヨシュアはエリコから人々をつかわし、ベテルの東、ベテアベンの近くにあるアイに行かせようとして、その人々に言った、「上って行って、かの地を探ってきなさい」。人々は上って行って、アイを探ったが、

3

כָּל־	יַעַ֣ל	אַל־	אֵלָ֗יו	וַיֹּאמְרוּ֙	יְהוֹשֻׁ֔עַ	אֶל־	וַיָּשֻׁ֖בוּ	
すべての	上らなくてもよい	ない	彼に	そして–言った	ヨシュアの	の–もとに	そして–戻った	
H3605	H5927	H0408	H0413	H0559	H3091	H0413	H7725	

אַל־	הָעָ֣י	אֶת־	וְיַכּ֣וּ	יַעֲל֣וּ	אִ֔ישׁ	אַלְפַּ֖יִם	כִּשְׁלֹ֣שֶׁת	אֽוֹ	אִ֔ישׁ
ない	アイを	を	打つ	上って	人が	千	約–三	または	人か
H0408	H5857	H0853	H5221	H5927	H0376	H0505	H7969		H0376

אַלְפַּ֥יִם	הָעָ֖ם	תְּיַגַּ֣ע־	שָׁ֑מָּה	אֶת־	כָּל־	הָעָ֛ם	כִּ֥י	מְעַ֖ט	הֵֽמָּה׃
約–二千	民が	疲れさせるな	そこへ	を	すべての	民を	なぜなら	少ない	彼らは
H0505		H3021	H8033	H0853	H3605			H4592	H1992

ヨシュアのもとに帰ってきて言った、「民をことごとく行かせるには及びません。ただ二、三千人を上らせて、アイを撃たせなさい。彼らは少ないのですから、民をことごとくあそこへやってほねおりをさせるには及びません」。

4

לִפְנֵ֣י	וַיָּנֻ֔סוּ	אִ֖ישׁ	אַלְפִּ֑ים	כִּשְׁלֹ֣שֶׁת	שָׁ֔מָּה	הָעָ֖ם	מִן־	וַיַּעֲל֥וּ
前から	そして–逃げた	人が	千	約–三	そこへ	民の–中から	から	そして–上った
H6440	H5127	H0376	H0505	H7969	H8033			H5927

הָעָֽי׃	אַנְשֵׁ֥י
アイの	人々の
H5857	H0376

そこで民のうち、おおよそ三千人がそこに上ったが、ついにアイの人々の前から逃げ出した。

5

וַיִּרְדְּפ֥וּם	אִ֖ישׁ	וְשִׁשָּׁ֑ה	כִּשְׁלֹשִׁ֔ים	הָעַ֣י	אַנְשֵׁ֣י	מֵהֶ֔ם	וַיַּכּ֥וּ
そして–追いかけた	人を	六	約–三十	アイの	人々が	彼らの–中から	そして–打ち殺した
H7291	H0376	H8337	H7970	H5857	H0376	H1992	H5221

הָעָ֔ם	לְבַב־	וַיִּמַּ֖ס	בַּמּוֹרָ֑ד	וַיַּכּ֔וּם	הַשְּׁבָרִ֖ים	עַד־	הַשַּׁעַ֣ר	לִפְנֵ֣י
民の	心が	そして–溶けた	下り坂で	そして–打ち殺した	シェバリムまで	まで	門の	前から
	H3824	H4549	H4174	H5221	H7671	H5704	H8179	H6440

לָֽמָּיִם׃	וַיְהִ֖י	
水の–ように	そして–なった	
H4325	H1961	

アイの人々は彼らのうち、おおよそ三十六人を殺し、更に彼らを門の前からシバリムまで追って、下り坂で彼らを殺したので、民の心は消えて水のようになった。

6 וַיִּקְרַע יְהוֹשֻׁעַ שִׂמְלֹתָיו וַיִּפֹּל עַל־פָּנָיו אַרְצָה לִפְנֵי אֲרוֹן
そして–引き裂いた ヨシュアは 衣を そして–ひれ伏した 顔を 地に 前で 箱の
H7167 H3091 H8071 H5307 H6440 H0776 H6440 H0727

וְהוּא וְזִקְנֵי יִשְׂרָאֵל וַיַּעֲלוּ עָפָר עַל־רָאשָׁם׃
彼と そして–長老たちは イスラエルの そして–かぶった ちりを の–上に
H1931 H2205 H3478 H5927 H6083 H5704 H6153 H3068

頭の

そのためヨシュアは衣服を裂き、イスラエルの長老たちと共に、主の箱の前で、夕方まで地にひれ伏し、ちりをかぶった。

7 וַיֹּאמֶר יְהוֹשֻׁעַ אֲהָהּ אֲדֹנָי יְהוִה לָמָּה הֶעֱבַרְתָּ הַעֲבֵר
そして–言った ヨシュアは ああ わが–主よ 主なる–神よ なぜ 渡らせたのですか 渡らせた
H0559 H3091 H0162 H0136 H3069 H4100

אֹתָנוּ לְהַאֲבִידֵנוּ בְּיַד הָאֱמֹרִי אֹתָנוּ לָתֵת לְהַשְׁמִידֵנוּ
私たちを 与えるために 手に アモリ人の 滅ぼすために
H0853 H5414 H3027 H0567 H0853 H0006

אֶת־הַזֶּה הָעָם אֶת־הַיַּרְדֵּן וְלוּ הוֹאַלְנוּ וְנֵשֶׁב בְּעֵבֶר הַיַּרְדֵּן׃
を この 民を を ヨルダンを もしも 決意していたなら そして–とどまっていたなら 向こう側に ヨルダンの
H0853 H2088 H0853 H3383 H3863 H2974 H3427 H5676 H3383

ヨシュアは言った、「ああ、主なる神よ、あなたはなにゆえ、この民にヨルダンを渡らせ、われわれをアモリびとの手に渡して滅ぼさせられるのですか。われわれはヨルダンの向こうに、安んじてとどまればよかったのです。

8 בִּי אֲדֹנָי מָה אֹמַר אַחֲרֵי אֲשֶׁר הָפַךְ יִשְׂרָאֵל עֹרֶף לִפְנֵי
どうか わが–主よ 何を 言いましょうか 後に ことの 向けた イスラエルが 背を 前で
H0994 H0136 H4100 H0559 H0310 H0834 H2015 H3478 H6203 H6440

אֹיְבָיו׃
敵の
H0341

ああ、主よ。イスラエルがすでに敵に背をむけた今となって、わたしはまた何を言い得ましょう。

9 וְיִשְׁמְעוּ הַכְּנַעֲנִי וְכֹל יֹשְׁבֵי הָאָרֶץ וְנָסַבּוּ עָלֵינוּ וְהִכְרִיתוּ
そして–聞く カナン人と そして–すべての 住民が 地の そして–囲む 私たちを そして–絶つ
H8085 H3605 H3427 H0776 H5437 H5921 H3772

אֶת־שְׁמֵנוּ מִן־הָאָרֶץ וּמָה־תַּעֲשֶׂה לִשְׁמֶךָ הַגָּדוֹל׃ ס
を 私たちの–名を から 地から そして–何を されますか あなたの–名のために 大いなる
H0853 H8034 H4480 H0776 H4100 H6213 H8034 H1419

—

カナンびと、およびこの地に住むすべてのものは、これを聞いて、われわれを攻めかこみ、われわれの名を地から断ち去ってしまうでしょう。それであなたは、あなたの大いなる名のために、何をしようとされるのですか」。

10 וַיֹּאמֶר יְהוָה אֶל־יְהוֹשֻׁעַ קוּם לְךָ לָמָּה זֶּה אַתָּה
そして–言われた 主は に ヨシュアに 立て あなたよ なぜ このように あなたは
H0559 H3068 H0413 H3091 H6965 H0859 H4100 H2088 H0859

נֹפֵל עַל־פָּנֶיךָ׃
ひれ伏しているのか の–上に 顔の
H5307 H5921 H6440

主はヨシュアに言われた、「立ちなさい。あなたはどうして、そのようにひれ伏しているのか。

11
אוֹתָם צִוִּיתִי אֲשֶׁר בְּרִיתִי עָבְרוּ וְגַם יִשְׂרָאֵל חָטְאוּ
彼らに 命じた ところの わたしの-契約を を 破った そして-また イスラエルは 罪を-犯した
H0853 H6680 H1285 H0853 H1571 H3478 H2398

וְגַם כִּחֲשׁוּ וְגַם גָּנְבוּ וְגַם הַחֵרֶם מִן־ לָקְחוּ וְגַם
偽った そして-また 盗んだ そして-また 聖絶の-ものから から 取った そして-また
H3584 H1571 H1589 H1571 H3947 H1571

בִּכְלֵיהֶם׃ שָׂמוּ וְגַם
自分たちの-荷物の-中に 置いた そして-また
H3627 H1571

イスラエルは罪を犯し、わたしが彼らに命じておいた契約を破った。彼らは奉納物を取り、盗み、かつ偽って、それを自分の所有物のうちに入れた。

12
יִפְנוּ עֹרֶף אוֹיְבֵיהֶם לִפְנֵי לָקוּם יִשְׂרָאֵל בְּנֵי יְכֹלּוּ וְלֹא
向ける 背を 敵の 前に 立つことが イスラエルの 息子たちは できない そして-ない
H6437 H6203 H0341 H6440 H3478 H3201 H3808

לִהְיוֹת אוֹסִיף לֹא לַחֵרֶם הָיוּ כִּי אוֹיְבֵיהֶם לִפְנֵי
いることを もはや-しない ない 聖絶の-ものに なった なぜなら 敵の 前で
H1961 H3254 H3808 H1961 H0341 H6440

מִקִּרְבְּכֶם׃ הַחֵרֶם תַּשְׁמִידוּ לֹא אִם־ עִמָּכֶם
あなたがたの-中から 聖絶の-ものを 取り除かなければ ない もし あなたがたと-ともに
H7130 H8045 H3808

それでイスラエルの人々は敵に当ることができず、敵に背をむけた。彼らも滅ぼされるべきものとなったからである。あなたがたが、その滅ぼされるべきものを、あなたがたのうちから滅ぼし去るのでなければ、わたしはもはやあなたがたとは共にいないであろう。

13
כִּי לְמָחָר הִתְקַדְּשׁוּ וְאָמַרְתָּ הָעָם אֶת־ קַדֵּשׁ קוּם
なぜなら 明日のために 自らを-聖別せよ そして-言いなさい 民を を 聖別せよ 立て
H4279 H6942 H0559 H6942

לֹא יִשְׂרָאֵל בְּקִרְבְּךָ חֵרֶם יִשְׂרָאֵל אֱלֹהֵי יְהוָה אָמַר כֹּה׃
ない イスラエルよ あなたの-中に 聖絶の-ものが イスラエルの 神は 主は 言われた このように
H3808 H3478 H7130 H3478 H0430 H3068 H0559 H3541

מִקִּרְבְּכֶם׃ הַחֵרֶם הָסִירֶכֶם עַד־ אוֹיְבֶיךָ לִפְנֵי לָקוּם תּוּכַל
あなたがたの-中から 聖絶の-ものを 取り除く まで 敵の 前に 立つことが できない
H7130 H5493 H5704 H0341 H6440 H3201

立って、民を清めて言いなさい、『あなたがたは身を清めて、あすのために備えなさい。イスラエルの神、主はこう仰せられる、「イスラエルよ、あなたがたのうちに、滅ぼされるべきものがある。その滅ぼされるべきものを、あなたがたのうちから除き去るまでは、敵に当ることはできないであろう」。

14
יְהוָה יִלָּכֵדוּ אֲשֶׁר־ הַשֵּׁבֶט וְהָיָה לִשְׁבְטֵיכֶם בַּבֹּקֶר וְנִקְרַבְתֶּם
主が 捕らえられる 部族が そして-なる 部族ごとに あなたがたの 朝に そして-近づけられる
H3068 H3920 H7626 H1961 H7626 H1242 H7126

לַבָּתִּים תִּקָּרֵב יְהוָה יִלְכֹּדֶנָּה אֲשֶׁר־ וְהַמִּשְׁפָּחוֹת לַמִּשְׁפָּחֹת יִקָּרֵב
そして-近づく 捕らえる 主が 捕らえられる そして-氏族が 氏族ごとに そして-近づく 捕らえる
H7126 H3068 H3920 H4940 H4940 H7126

לַגְּבָרִים׃ יִקָּרֵב יְהוָה יִלְכֹּדֶנּוּ אֲשֶׁר וְהַבַּיִת
そして-近づく 捕らえる 主が 捕らえられる そして-家が 家ごとに
H1397 H7126 H3068 H3920

それゆえ、あすの朝、あなたがたは部族ごとに進み出なければならない。そして主がくじを当てられる部族は、氏族ごとに進みいで、主がくじを当てられる氏族は、家族ごとに進みいで、主がくじを当てられる家族は、男ひとりびとり進み出なければならない。

15 וְהָיָה֙ הַנִּלְכָּ֔ד בַּחֵ֖רֶם יִשָּׂרֵ֣ף בָּאֵ֑שׁ אֹת֥וֹ וְאֶת־
そして–なる 捕らえられる–者は 聖絶の–ものと–ともに 焼かれる 火で 彼と そして–すべての
H1961 H3920 H2764 H8313 H0784 H0853 H0853

כָּל־ אֲשֶׁר־ לֹ֣ו כִּ֤י עָבַר֙ אֶת־ בְּרִ֣ית יְהוָ֔ה
彼に–属する–ものを なぜなら 破った を 契約を 主の そして–なぜなら 行った
H3605 H0834 H0853 H0853 H1285 H3068

וְכִי־ עָשָׂה֙ נְבָלָ֔ה בְּיִשְׂרָאֵ֖ל׃
恥ぶべきことを に–おいて イスラエルに ―
H5039 H3478

そしてその滅ぼされるべきものを持っていて、くじを当てられた者は、その持ち物全部と共に、火で焼かれなければならない。主の契約を破りイスラエルのうちに愚かなことを行ったからである』」。

16 וַיַּשְׁכֵּ֤ם יְהוֹשֻׁעַ֙ בַּבֹּ֔קֶר וַיַּקְרֵ֥ב אֶת־ יִשְׂרָאֵ֖ל לִשְׁבָטָֽיו
そして–早く起きた ヨシュアは 朝に そして–近づけた を イスラエルを 部族ごとに
H7925 H3091 H1242 H7126 H0853 H3478 H7626

וַיִּלָּכֵ֖ד יְהוּדָֽה׃ שֵׁ֥בֶט מִשְׁפָּחֹ֖ת
そして–捕らえられた ユダの 部族が 氏族を
H3920 H3063 H7626 H4940

こうしてヨシュアは朝早く起き、イスラエルを部族ごとに進み出させたところ、ユダの部族がくじに当り、

17 וַיַּקְרֵ֤ב אֶת־ מִשְׁפַּ֙חַת֙ יְהוּדָ֔ה וַיִּלָּכֵ֖ד אֶת־ מִשְׁפַּ֣חַת הַזַּרְחִ֑י
を 氏族を ユダの そして–近づけた を 氏族が そして–捕らえられた ゼラヒ人の
H0853 H4940 H3063 H7126 H0853 H4940 H2227

וַיַּקְרֵ֤ב אֶת־ מִשְׁפַּ֙חַת֙ הַזַּרְחִ֔י לַגְּבָרִ֖ים וַיִּלָּכֵ֥ד זַבְדִּֽי׃
を 氏族を ゼラヒ人の 男ごとに そして–捕らえられた ザブディが
H0853 H4940 H2227 H1397 H3920 H2067

ユダのもろもろの氏族を進み出させたところ、ゼラびとの氏族が、くじに当った。ゼラびとの氏族を家族ごとに進み出させたところ、ザブデの家族が、くじに当った。

18 וַיַּקְרֵ֤ב אֶת־ בֵּיתֹו֙ לַגְּבָרִ֔ים וַיִּלָּכֵ֖ד כַּרְמִ֣י בֶן־ עָכָ֑ן
を 彼の–家を 男ごとに そして–近づけた 息子– アカンが そして–捕らえられた カルミの
H0853 H1004 H1397 H7126 H1121 H5912 H3920 H3756

בֶּן־ זַבְדִּ֖י בֶּן־ זֶ֣רַח לְמַטֵּ֥ה יְהוּדָֽה׃
息子– ザブディの 息子– ゼラハの 部族の ユダの
H1121 H2067 H1121 H2226 H4294 H3063

ザブデの家族を男ひとりびとり進み出させたところ、アカンがくじに当った。アカンはユダの部族のうちの、ゼラの子、ザブデの子なるカルミの子である。

19 וַיֹּ֤אמֶר יְהוֹשֻׁעַ֙ אֶל־ עָכָ֔ן בְּנִ֕י שִׂ֥ים־ נָ֛א כָּב֥וֹד לַיהוָ֖ה
そして–言った ヨシュアは に アカンに わが–子よ 帰しなさい どうか 栄光を 主に
H0559 H3091 H0413 H5912 H1121 H7760 H4994 H3519 H3068

וְתֶן־ לֹ֣ו תֹודָ֔ה וְהַגֶּד־ לִ֥י נָ֖א מֶ֑ה
そして–ささげなさい 主に 告白を そして–告げなさい どうか 私に 何を
H5414 H0413 H8426 H5046 H4994 H0413 H4100

אֱלֹהֵ֣י יִשְׂרָאֵ֔ל וְתַכֵּ֥ד אַל־ תְּכַחֵ֖ד מִמֶּֽנִּי׃
神に イスラエルの そして–隠しては ない したのか 私から
H0430 H3478 H3582 H0408 H4480

その時ヨシュアはアカンに言った、「わが子よ、イスラエルの神、主に栄光を帰し、また主をさんびし、あなたのしたことを今わたしに告げなさい。わたしに隠してはならない」。

20 וַיַּ֣עַן עָכָ֗ן וַיֹּ֤אמֶר יְהוֹשֻׁעַ֙ אָכֵ֣ן אֲנֹכִ֔י חָטָ֖אתִי

そして–答えた アカンは を ヨシュアに そして–言った まことに 私が 罪を–犯しました
H5912 H0853 H3091 H0559 H0546 H0595 H2398

לַיהוָ֣ה אֱלֹהֵ֣י יִשְׂרָאֵ֑ל וְכָזֹ֣את וְכָזֹ֔את עָשִׂ֖יתִי׃

主に–対して 神に イスラエルの そして–このような このような ことを–しました
H3068 H0430 H3478 H2063 H2063

アカンはヨシュアに答えた、「ほんとうにわたしはイスラエルの神、主に対して罪を犯しました。わたしがしたのはこうです。

21 וָאֶרְאֵ֣ה בַשָּׁלָל֮ אַדֶּ֣רֶת שִׁנְעָר֣וֹ אַחַת֒ טוֹבָ֗ה וּמָאתַ֤יִם

そして–見た 戦利品の–中に 外套を シンアルの 一枚の 美しい そして–二百
H7200 H7998 H0155 H8152 H0259 H3967

כֶּ֙סֶף֙ וְאֶחָ֣ד לְשׁוֹנ֣וֹן זָהָ֔ב וַחֲמִשִּׁ֥ים שְׁקָלִ֖ים מִשְׁקָלֹ֑ו וָאֶתְאַוֶּ֣ם

銀を そして–棒を 金の 一本の 五十 シェケルの 重さの そして–欲しがった
H3701 H3956 H2091 H0259 H2572 H8255 H4948

וְהִנָּ֣ם טְמוּנִ֤ים בְּתוֹךְ֙ הָאָ֣הֳלִ֔י וְהַכֶּ֖סֶף תַּחְתָּֽיהָ׃

そして–銀は 私の–天幕の 真ん中に 地の–中に 隠されている 見よ–それらは そして–取った その–下に
H3701 H0168 H8432 H0776 H2934 H2009 H3947 H8478

わたしはぶんどり物のうちに、シナルの美しい外套一枚と銀二百シケルと、目方五十シケルの金の延べ棒一本のあるのを見て、ほしくなり、それを取りました。わたしの天幕の中に、地に隠してあります。銀はその下にあります」。

22 וַיִּשְׁלַ֣ח יְהוֹשֻׁעַ֮ מַלְאָכִים֒ וַיָּרָ֣צוּ הָאָ֔הֳלָה וְהִנֵּ֥ה טְמוּנָ֖ה

そして–遣わした ヨシュアは 使者を そして–走った 天幕に すると–見よ 隠されていた
H7971 H3091 H4397 H7323 H0168 H2009 H2934

וְהַכֶּ֙סֶף֙ תַּחְתָּ֔יהָ בְּאָהֳלֹ֑ו

そして–銀は その–下に 彼の–天幕の–中に
H3701 H8478 H0168

そこでヨシュアは使者たちをつかわした。使者たちが天幕に走っていって見ると、それは彼の天幕に隠してあって、銀もその下にあった。

23 וַיִּקָּחֻ֣ם מִתָּ֣וךְ הָאֹ֗הֶל וַיְבִאוּם֙ אֶל־ יְהוֹשֻׁעַ֙ וְאֶל

そして–取った 真ん中から 天幕の そして–持って–来た の–もとに ヨシュアの そして–の–もとに
H3947 H8432 H0168 H0935 H0413 H3091 H0413

כָּל־ בְּנֵ֣י יִשְׂרָאֵ֔ל וַיַּצִּקֻם֙ לִפְנֵ֣י יְהוָ֔ה׃

すべての 息子たちの イスラエルの そして–並べた 前に 主の
H3605 H1121 H3478 H3332 H6440 H3068

彼らはそれを天幕の中から取り出して、ヨシュアとイスラエルのすべての人々の所に携えてきたので、それを主の前に置いた。

24 וַיִּקַּח יְהוֹשֻׁעַ אֶת־עָכָן בֶּן־זֶרַח וְאֶת־הַכֶּסֶף וְאֶת־הָאַדֶּרֶת וְאֶת־לְשׁוֹן הַזָּהָב וְאֶת־בָּנָיו וְאֶת־בְּנֹתָיו וְאֶת־שׁוֹרוֹ וְאֶת־חֲמֹרוֹ וְאֶת־צֹאנוֹ וְאֶת־אָהֳלוֹ וְאֶת־כָּל־אֲשֶׁר־לוֹ וַיַּעֲלוּ עִמּוֹ יִשְׂרָאֵל וְכָל־אֹהֶל עֵמֶק עָכוֹר׃

そして–取った ヨシュアは を アカンを 息子– ゼラハの そして–を 銀を そして–を
H3947 H3091 H0853 H5912 H1121 H2226 H0853 H3701 H0853

そして–を 棒を 金の そして–を 彼の–息子たちを 彼の–娘たちを そして–を
H0853 H3956 H2091 H0853 H1121 H1323 H0853

そして–を 外套を そして–を 彼の–牛を そして–を 彼の–ろばを そして–を 彼の–羊を そして–を 彼の–天幕を そして–を
H0853 H0155 H0853 H7794 H0853 H2543 H0853 H6629 H0853 H0168 H0853

そして–連れて–上った 彼と–ともに イスラエルは そして–すべての 彼に–属する ものを すべての
H5927 H5973 H3478 H3605 H3605

アコルの 谷に 彼らを
H5911 H6010 H0853

ヨシュアはすべてのイスラエルびとと共に、ゼラの子アカンを捕え、かの銀と外套と金の延べ棒、および彼のむすこ、娘、牛、ろば、羊、天幕など、彼の持ち物をことごとく取って、アコルの谷へ引いていった。

25 וַיֹּאמֶר יְהוֹשֻׁעַ מֶה עֲכַרְתָּנוּ יַעְכָּרְךָ יְהוָה בַּיּוֹם הַזֶּה וַיִּרְגְּמוּ אֹתָם כָּל־יִשְׂרָאֵל בָּאֲבָנִים וַיִּשְׂרְפוּ אֹתָם בָּאֵשׁ וַיִּסְקְלוּ אֹתָם בָּאֲבָנִים׃

そして–言った ヨシュアは なぜ 悩ませたのか 悩ませる 主が 日に この そして–石を–投げた
H0559 H3091 H4100 H5916 H5916 H3068 H3117 H2088 H7275

彼に すべての イスラエルは 石で そして–焼いた 彼らを 火で そして–石を–投げた 彼らに
H0853 H3605 H3478 H0068 H8313 H0853 H0784 H5619 H0853

石で
H0068

そしてヨシュアは言った、「なぜあなたはわれわれを悩ましたのか。主は、きょう、あなたを悩まされるであろう」。やがてすべてのイスラエルびとは石で彼を撃ち殺し、また彼の家族をも石で撃ち殺し、火をもって焼いた。

26 וַיָּקִימוּ עָלָיו גַּל־אֲבָנִים גָּדוֹל עַד הַיּוֹם הַזֶּה וַיָּשָׁב יְהוָה מֵחֲרוֹן אַפּוֹ עַל־כֵּן קָרָא שֵׁם הַמָּקוֹם הַהוּא עֵמֶק עָכוֹר עַד הַיּוֹם׃ פ

そして–積み上げた そして–を–投げた 彼の–上に 山を 石の 大きな まで 今 日の
H7756 H5619 H5921 H1530 H068 H1419 H5704 H3117 H2088

そして–立ち戻った 日の 今 まで 大きな 石の 山を 彼の–上に そして–積み上げた
H7725 H2088 H3117 H5704 H1419 H0068 H1530 H5921 H7756

主は の 燃える–怒りから それゆえ そのように 呼んだ 名を その–場所の その 谷と
H3068 H0639 H2740 H5921 H3651 H7121 H8034 H4725 H1931 H6010

今 まで アコルの
H3117 H5704 H5911

そしてアカンの上に石塚を大きく積み上げたが、それは今日まで残っている。そして主は激しい怒りをやめられたが、このことによって、その所の名は今日までアコルの谷と呼ばれている。

Chapter 8

1

קַח　תֹּאחַת　וְאַל־　תִּירָא　אַל־　יְהוֹשֻׁעַ　אֶל־　יְהוָה　וַיֹּאמֶר
率いよ　おののくな　また−〜するな　恐れるな　〜するな　ヨシュア　〜に　主は　そして−言った
H3947　H2865　H0408　H3372　H0408　H3091　H0413　H3068　H0559

וּרְאֵה　הָעַי　עֲלֵה　וְקוּם　הַמִּלְחָמָה　עַם　כָּל־　אֶת　עִמְּךָ
見よ　アイへ　上れ　そして−立ち上がれ　戦いの　民を　すべての　を　あなたと−共に
H7200　H5857　H5927　H4421　H3605　H0853

עִירוֹ　וְאֶת־　עַמּוֹ　וְאֶת־　הָעַי　מֶלֶךְ　אֶת־　בְּיָדְךָ　נָתַתִּי
その−町を　そして−を　その−民を　そして−を　アイの　王を　を　あなたの−手に　わたしは−与えた
H0853　H0853　H5857　H4428　H0853　H3027　H5414

וְאֶת־　אַרְצוֹ׃
その−地を　そして−を
H0776　H0853

主はヨシュアに言われた、「恐れてはならない、おののいてはならない。いくさびとを皆、率い、立って、アイに攻め上りなさい。わたしはアイの王とその民、その町、その地をあなたの手に授ける。

2

לִירִיחוֹ　עָשִׂיתָ　כַּאֲשֶׁר　וּלְמַלְכָּהּ　לָעַי　וְעָשִׂיתָ
エリコに　あなたが−行ったように　ちょうど−〜のように　そして−その−王に　アイに　そして−行え
H3405　H4428　H5857

לָכֶם　תָּבֹזּוּ　וּבְהֶמְתָּהּ　שְׁלָלָהּ　רַק־　וּלְמַלְכָּהּ
自分たちの−ために　あなたたちは−奪え　そして−その−家畜を　その−分捕り物を　ただし　そして−その−王に
H0962　H0929　H7998　H7535　H4428

מֵאַחֲרֶיהָ׃　לָעִיר　אֹרֶב　לְךָ　שִׂים־
その−背後に　町の−ために　伏兵を　あなた自身のために　配置せよ
H0693

あなたは、さきにエリコとその王にしたとおり、アイとその王とにしなければならない。ただし、ぶんどり物と家畜とは戦利品としてあなたがたのものとすることができるであろう。あなたはまず、町のうしろに伏兵を置きなさい」。

3

הָעָי　לַעֲלוֹת　הַמִּלְחָמָה　עַם　וְכָל־　יְהוֹשֻׁעַ　וַיָּקָם
アイへ　上る−ために　戦いの　民は　そして−すべての　ヨシュアは　そして−立ち上がった
H5857　H5927　H4421　H3605　H3091

לָיְלָה׃　וַיִּשְׁלָחֵם　הַחַיִל　גִּבּוֹרֵי　אִישׁ　אֶלֶף　שְׁלֹשִׁים　יְהוֹשֻׁעַ　וַיִּבְחַר
夜に　そして−彼らを−送った　勇士を　勇敢な　人を　人の　三万　ヨシュアは　そして−選んだ
H3915　H7971　H2428　H1368　H0376　H0505　H7970　H3091　H0977

ヨシュアは立って、すべてのいくさびとと共に、アイに攻め上ろうとして、まず大勇士三万人を選び、それを夜のうちにつかわした。

4

הָעִיר　מֵאַחֲרֵי　לָעִיר　אֹרְבִים　אַתֶּם　רְאוּ　לֵאמֹר　אֹתָם　וַיְצַו
町の　背後から　町の−ために　伏兵と−なって　あなたたちは　見よ　言って　彼らに　そして−命じた
H0693　H7200　H0559　H0853　H6680

נְכֹנִים׃　כֻּלְּכֶם　וְהִיִּיתֶם　מְאֹד　הָעִיר　מִן־　תַּרְחִיקוּ　אַל־
準備して　あなたたち−みな　そして−備えて−おれ　あまりにも　町から　〜から　遠く−離れるな　〜するな
H3605　H1961　H3966　H7368　H0408

ヨシュアは彼らに命じて言った、「あなたがたは町に向かって、町のうしろに伏せていなければならない。町を遠く離れないで、みな備えをしていなければならない。

5

הָעִיר	אֶל־	נִקְרַב	אֹתִי	אֲשֶׁר	הָעָם֙	וְכָל־	וַאֲנִי	
町に	～に	近づこう	私と–共にいる	～する者	民は	そして–すべての	そして–私と	
	H0413	H7126	H0854			H3605	H0589	

כַּאֲשֶׁר	לְקִרָאתֵ֔נוּ	יֵצְא֖וּ	כִּי־	וְהָיָ֣ה	
ちょうど–～のように	我々を–迎え撃つ–ために	彼らが–出て来たら	～の時	そして–なる	
	H7125	H3318		H1961	

לִפְנֵיהֶ֑ם׃	וְנַסְנ֖וּ	בָּרִאשֹׁנָֽה
彼らの–前から	そして–我々は–逃げる	最初の時の–ように
H6440	H5127	H7223

わたしとわたしに従う民とは皆共に、町に攻め寄せよう。そして彼らが前のようにわれわれにむかって出てくるとき、われわれは彼らの前から逃げるであろう。

6

הָעִ֑יר	מִן־	אוֹתָ֔ם	הַתִּיקֻ֖נוּ	עַד	אַחֲרֵינוּ֙	וְיָצְא֣וּ	
町から	～から	彼らを	我々が–引き離す–まで	～まで	我々の–後を	そして–彼らは–出て来る	
		H0853	H5423	H5704		H3318	

בָּרִאשֹׁנָ֔ה	כַּאֲשֶׁ֖ר	לְפָנֵ֑ינוּ	נָסִ֣ים	יֹאמְר֔וּ	כִּ֥י	
最初の時の–ように	ちょうど–～のように	我々の–前から	逃げて–いる	彼らは–言うだろう	なぜなら	
H7223		H6440	H5127	H0559		

לִפְנֵיהֶ֑ם׃	וְנַסְנ֖וּ
彼らの–前から	そして–我々は–逃げる
H6440	H5127

そうすれば彼らはわれわれを追って出てくるであろうから、われわれはついに彼らを町からおびき出すことができる。彼らは言うであろう、『この人々はまた前のように、われわれの前から逃げていく』。こうしてわれわれは彼らの前から逃げるであろう。

7

וּנְתָנָ֖הּ	הָעִ֑יר	אֶת־	וְהוֹרַשְׁתֶּ֣ם	מֵהָאוֹרֵ֔ב	תָּקֻ֖מוּ	וְאַתֶּ֥ם	
そして–与える	町を	を	そして–占領せよ	伏兵の–場所から	立ち上がれ	そして–あなたたちは	
H5414		H0853	H3423	H0693			

בְּיֶדְכֶֽם׃	אֱלֹהֵיכֶ֖ם	יְהוָ֥ה
あなたたちの–手に	あなたたちの–神が	主が
H3027	H0430	H3068

その時、あなたがたは伏せている所から立ち上がって、町を取らなければならない。あなたがたの神、主がそれをあなたがたの手に与えられるからである。

8

בָּאֵ֔שׁ	הָעִיר֙	אֶת־	תַּצִּית֣וּ	הָעִ֖יר	אֶת־	כִּתְפְּשְׂכֶ֑ם	וְהָיָ֣ה	
火で	町に	を	火を–放て	町を	を	あなたたちが–占領したら	そして–なる	
H0784		H0853	H3341		H0853	H8610	H1961	

אֶתְכֶֽם׃	צִוִּיתִ֥י	רְא֖וּ	תַּעֲשׂ֑וּ	יְהוָ֥ה	כִּדְבַ֖ר	
あなたたちに	私は–命じた	見よ	あなたたちは–行え	主の	言葉の–通りに	
H0853	H6680	H7200		H3068	H1697	

あなたがたが、町を取ったならば、町に火を放ち、主が命じられたようにしなければならない。わたしはこう、あなたがたに命じるのである」。

9 וַיִּשְׁלָחֵם יְהוֹשֻׁעַ וַיֵּלְכוּ אֶל־הַמַּאְרָב וַיֵּשְׁבוּ
そして–送り出した ヨシュアは そして–彼らは–行った ～へ 伏兵の–場所へ そして–とどまった
H7971 H3091 H3212 H0413 H3993 H3427

בֵּין בֵּית־אֵל וּבֵין הָעַי מִיָּם לָעַי וַיָּלֶן יְהוֹשֻׁעַ
～の間に ベテルと そして–～の間に アイの 西の方に アイの そして–泊まった ヨシュアは
H0996 H1008 H0996 H5857 H3220 H5857 H3091

בַּלַּיְלָה הַהוּא וּבְתוֹךְ הָעָם׃
その–夜 その 〜の中に 民の
H3915 H1931 H8432

そうしてヨシュアが彼らをつかわしたので、彼らはアイの西方、ベテルとアイの間の待ち伏せする場所に行って身を伏せた。ヨシュアはその夜、民の中に宿った。

10 וַיַּשְׁכֵּם יְהוֹשֻׁעַ בַּבֹּקֶר וַיִּפְקֹד אֶת־הָעָם וַיַּעַל הוּא
そして–早く–起きた ヨシュアは 朝に そして–召集した を 民を そして–上った 彼は
H7925 H3091 H1242 H0853 H5927 H1931

וְזִקְנֵי יִשְׂרָאֵל לִפְנֵי הָעָם אֶל־הָעָי׃
そして–長老たちは イスラエルの 〜の前を 民の アイへ
H2205 H3478 H6440 H5857

ヨシュアは明くる朝、早く起きて、民を集め、イスラエルの長老たちと共に、民に先立って、アイに上っていった。

11 וְכָל־הָעָם הַמִּלְחָמָה אֲשֶׁר עִמּוֹ עָלוּ וַיִּגְּשׁוּ וַיָּבֹאוּ
そして–すべての 民は 戦いの 〜する者 彼と–共にいた 上り そして–近づいた そして–来た
H3605 H5927 H4421 H0854 H5927 H5066 H0935

וַיַּחֲנוּ מִצָּפוֹן לָעַי וְהַגַּי [בינו] (בֵּינָיו) נֶגֶד הָעִיר
そして–陣を–張った 北の方に アイの そして–谷が 彼と–の間に 彼と–の間に 町の ～の正面に
H2583 H6828 H5857 H1516 H0996 H0996 H5048

וּבֵין־הָעָי׃
そして–～との間に アイとの
H0996 H5857

彼と共にいたいくさびとたちもみな上っていって、町の前に近づき、アイの北に陣を取った。彼らとアイの間には、一つの谷があった。

12 וַיִּקַּח כַּחֲמֵשֶׁת אַלְפֵים אִישׁ וַיָּשֶׂם אוֹתָם אֹרֵב בֵּין בֵּית־אֵל
そして–取った 約–五千 人の 人を そして–配置した 彼らを 伏兵と–して ～の間に ベテルと
H3947 H2568 H0505 H0376 H7760 H0853 H693 H996 H1008

וּבֵין הָעַי מִיָּם לָעִיר׃
そして–～の間に アイの 西の方に 町の
H0996 H5857 H3220 H5892

ヨシュアはおおよそ五千人をとって、町の西方、ベテルとアイの間に、伏せておいた。

13 וַיָּשִׂימוּ הָעָם אֶת־כָּל־הַמַּחֲנֶה אֲשֶׁר מִצָּפוֹן לָעִיר וְאֶת־
そして–配置した 民は を すべての 陣営を 〜である 北の方に 町の そして–を
H7760 H5971 H0853 H3605 H4264 H6828 H5892 H0853

אֲחֹרַי הָעִיר וַיֵּלֶךְ יְהוֹשֻׁעַ בַּלַּיְלָה הַהוּא בְּתוֹךְ הָעֵמֶק׃
その 〜の中へ 谷の
H1931 H8432 H6010

עֲקֵבוֹ וַיֵּלֶךְ יְהוֹשֻׁעַ בַּלַּיְלָה הַהוּא בְּתוֹךְ הָעֵמֶק׃
その–しんがりを そして–行った ヨシュアは その–夜 その 〜の中へ 谷の
H6119 H3212 H3091 H3915 H1931 H8432 H6010

こうして民の主力を町の北におき、しんがりを町の西においた。ヨシュアはその夜、谷の中で宿った。

14 וַיְהִי כִּרְאוֹת מֶלֶךְ־הָעַי וַיְמַהֲרוּ וַיַּשְׁכִּימוּ וַיֵּצְאוּ
そして–あった 見た時に 王が アイの そして–急いだ そして–早く–起きた そして–出て来た
H1961 H7200 H4428 H5857 H7925 H3318

אַנְשֵׁי־הָעִיר לִקְרַאת־יִשְׂרָאֵל לַמִּלְחָמָה הוּא וְכָל־עַמּוֹ
人々は 町の 迎え撃つ–ために イスラエルを 戦い–のために 彼は そして–すべての その–民は
H0376 H7125 H3478 H4421 H1931 H3605

כִּי־לֹא יָדַע וְהוּא לִפְנֵי הָעֲרָבָה לַמּוֹעֵד
～ということを 知らなかった ～ない しかし–彼は アラバの ～の前の 定められた–場所で
H3045 H3808 H1931 H6160 H6440 H4150

וּמֵאַחֲרֵי הָעִיר׃ לוֹ אֹרֵב
町の 背後に 彼の–ために 伏兵が–いた
H0693

アイの王はこれを見て、すべての民と共に、急いで、早く起き、アラバに行く下り坂に進み出て、イスラエルと戦った。しかし、王は町のうしろに、すきをうかがう伏兵のおることを知らなかった。

15 וַיִּנָּגְעוּ יְהוֹשֻׁעַ וְכָל־יִשְׂרָאֵל לִפְנֵיהֶם וַיָּנֻסוּ
そして–敗れた–ふりをした ヨシュアと そして–すべての イスラエルは 彼らの–前で そして–逃げた
H5060 H3091 H3605 H3478 H6440 H5127

דֶּרֶךְ הַמִּדְבָּר׃ דֶּרֶךְ
荒野の 荒野の–道を
H1870

ヨシュアはイスラエルのすべての人々と共に、彼らに打ち破られたふりをして、荒野の方向へ逃げだしたので、

16 וַיִּזָּעֲקוּ כָּל־הָעָם אֲשֶׁר [בעיר] (בָּעַי) לִרְדֹּף
そして–呼び集められた すべての 民は ～した者 町に–いた アイに–いた 追いかける–ために
H2199 H3605 H5857 H7291

וַיִּרְדְּפוּ אַחֲרֵי יְהוֹשֻׁעַ וַיִּנָּתְקוּ מִן־הָעִיר׃
そして–追いかけた ～の後を ヨシュアの そして–引き離された ～から 町から
H7291 H3091 H5423

אַחֲרֵיהֶם אַחֲרֵי יְרַדְּפוּ וַיִּנָּתְקוּ יְהוֹשֻׁעַ
彼らの–後を ～の後を そして–追いかけた ヨシュアの そして–引き離された
H7291 H3091 H5423

その町の民はみな呼ばわり集まって彼らのあとを追い、ヨシュアのあとを追って町からおびき出され、

17 וְלֹא־נִשְׁאַר אִישׁ בָּעַי וְאֵל־בֵּית אֲשֶׁר
そして–～ない 残った–者は–いなかった 一人の–人も アイにも ベテルにも ～した者で
H3808 H7604 H0376 H5857 H1008

לֹא־יָצְאוּ אַחֲרֵי יִשְׂרָאֵל וַיַּעַזְבוּ אֶת־הָעִיר
～しなかった 出て–行かなかった ～の後を イスラエルの そして–彼らは–捨てた を 町を
H3808 H3318 H0853

פתוחה וַיִּרְדְּפוּ אַחֲרֵי יִשְׂרָאֵל׃ פ
開け–放して そして–追いかけた ～の後を イスラエルの 節–区切り
H7291 H3478

アイにもベテルにも残っているものはひとりもなく、みな出てイスラエルのあとを追い、町を開け放して、イスラエルのあとを追った。

18

וַיֹּאמֶר יְהוָה אֶל־יְהוֹשֻׁעַ נְטֵה בַכִּידוֹן אֲשֶׁר־בְּיָדְךָ
そして-言った 主は ～に ヨシュアに 差し伸べよ 投げ槍を ～する あなたの-手に-ある
H0559 H3068 H0413 H3091 H5186 H3591 H3027

כִּי בְיָדְךָ אֶתְּנֶנָּה וַיֵּט יְהוֹשֻׁעַ בַּכִּידוֹן אֲשֶׁר־בְּיָדוֹ אֶל־הָעָיר׃
なぜなら あなたの-手に わたしは-それを-与える そして-差し伸べた ヨシュアは 投げ槍を ～する その-手に-あった ～に-向かって 町に
H3588 H3027 H5414 H5186 H3091 H3591 H3027 H0413 H5892

その時、主はヨシュアに言われた、「あなたの手にあるなげやりを、アイの方にさし伸べなさい。わたしはその町をあなたの手に与えるであろう」。そこでヨシュアが手にしていたなげやりを、アイの方にさし伸べると、

19

וְהָאֹרֵב קָם מְהֵרָה מִמְּקוֹמוֹ וַיָּרוּצוּ כְּנָטֹתוֹ יָדוֹ
そして-伏兵は 立ち上がった 素早く その-場所から 走った 彼が-手を-伸ばした時に
H0693 H6965 H4120 H4725 H7323 H3027 H5186

וַיָּבֹאוּ הָעִירָה וַיִּלְכְּדוּהָ וַיְמַהֲרוּ וַיַּצִּיתוּ אֶת־הָעִיר בָּאֵשׁ׃
そして-入った 町に そして-それを-占領した そして-急いだ そして-火を-放った を 町に 火で
H0935 H5892 H3920 H4116 H3341 H0853 H5892 H0784

伏兵はたちまちその場所から立ち上がり、ヨシュアが手をのべると同時に、走って町に入り、それを取って、ただちに町に火をかけた。

20

וַיִּפְנוּ אַנְשֵׁי הָעַי וַיִּרְאוּ וְהִנֵּה עָלָה עֲשַׁן הָעִיר לַשָּׁמָיִם
そして-振り返った 人々は アイの 見た そして-見よ 上っていた 煙が 町の 天に-向かって
H6437 H0376 H5857 H7200 H2009 H5927 H6227 H5892 H8064

וְלֹא־הָיָה בָהֶם יָדַיִם לָנוּס הֵנָּה וְהָעָם הַנָּס הַמִּדְבָּר נֶהְפָּךְ
そして-～ない あった 彼らには 力が 逃げる-ための あちらにも そして-民は 逃げて-いた 荒野へ 向きを-変えた
H3808 H1961 H3027 H5127 H2008 H5971 H5127 H4057 H2015

הָרֹדֵף׃ אֶל־וְהַנִּהְיָה
追撃者に ～に-向かって そして-こちらにも
H7291 H0413 H2008

それでアイの人々が、うしろをふり返って見ると、町の焼ける煙が天に立ちのぼっていたので、こちらへもあちらへも逃げるすべがなかった。荒野へ逃げていった民も身をかえして、追ってきた者に迫った。

21

וַיהוֹשֻׁעַ וְכָל־יִשְׂרָאֵל רָאוּ כִּי־לָכַד הָאֹרֵב אֶת־הָעִיר
そして-ヨシュアと そして-すべての イスラエルは 見た ～ということを 占領した 伏兵が を 町を
H3091 H3605 H3478 H7200 H3588 H3920 H0693 H0853 H5892

וְכִי עָלָה עֲשַׁן הָעִיר וַיָּשֻׁבוּ וַיַּכּוּ אַנְשֵׁי הָעָי׃
そして-～ことを 上っていた 煙が 町の そして-引き返した そして-討った 人々を アイの
H3588 H5927 H6227 H5892 H7725 H5221 H0853 H0376 H5857

ヨシュアとすべてのイスラエルびとは、伏兵が町を取り、町の焼ける煙が立ち上るのを見て、身をかえしてアイの人々を撃った。

22 וְאֵלֶּה יָצְאוּ מִן־הָעִיר לִקְרָאתָם וַיְהִיוּ
そして–これらの者たちは 出て来た ～から 町から 彼らを–迎え撃つ–ために そして–なった
H0428 H3318 H4480 H5892 H7125 H1961

לְיִשְׂרָאֵל בְּתוֹךְ מִזֶּה וְאֵלֶּה מִזֶּה וְאֵלֶּה
イスラエルに–とって 真ん中に こちら側から こちらから そして–あちら側から あちらから
H3478 H8432 H0428 H2088 H0428 H2088

וַיַּכּוּ אוֹתָם עַד־בְּלִתִּי הִשְׁאִיר־לוֹ שָׂרִיד
そして–討った 彼らを ～まで ～しない–ように 残さなかった 彼に 生き残った者も
H5221 H0853 H5704 H1115 H7604 H3808 H8300

וּפְלֵיט׃
そして–逃れた者も

また町を取ったものは町を出て彼らに向かったので、彼らは、こちらとあちらとからイスラエルの中にはさまれた。こうしてイスラエルびとが彼らを撃ったので、生き残ったもの、逃げおおせたものは、ひとりもなかった。

23 וְאֶת־מֶלֶךְ הָעַי תָּפְשׂוּ חָי וַיַּקְרִבוּ אֹתוֹ אֶל־יְהוֹשֻׁעַ׃
そして–を 王を アイの 捕らえた 生きたまま そして–連れて来た 彼を ～の前に ヨシュアの
H0853 H4428 H5857 H8610 H2416 H7126 H0853 H0413 H3091

そしてアイの王を生けどりにして、ヨシュアのもとへ連れてきた。

24 וַיְהִי כְּכַלּוֹת יִשְׂרָאֵל לַהֲרֹג אֶת־כָּל־יֹשְׁבֵי הָעַי בַּשָּׂדֶה
野で アイの 住民を すべての を 殺す–ことを イスラエルは 終えた–時に そして–あった
H7704 H5857 H3427 H3605 H0853 H2026 H3478 H3615 H1961

בַּמִּדְבָּר אֲשֶׁר רָדְפוּם בּוֹ וַיִּפְּלוּ לְפִי־חֶרֶב עַד־תֻּמָּם
荒野で ～した者 追いかけた その–中で そして–倒れた 彼ら–すべてが 剣の–刃に 剣に ～まで
H4057 H0834 H7291 H0996 H5307 H3605 H6310 H2719 H5704

וַיָּשֻׁבוּ כָּל־יִשְׂרָאֵל הָעַי וַיַּכּוּ אֹתָהּ לְפִי־חָרֶב
そして–帰った すべての イスラエルは アイに そして–討った それを 剣の–刃で
H7725 H3605 H3478 H5857 H5221 H0853 H6310

׃חָרֶב
剣で
H2719

イスラエルびとは、荒野に追撃してきたアイの住民をことごとく野で殺し、つるぎをもってひとりも残さず撃ち倒してのち、皆アイに帰り、つるぎをもってその町を撃ち滅ぼした。

25 וַיְהִי כָּל־הַנֹּפְלִים בַּיּוֹם הַהוּא מֵאִישׁ וְעַד־אִשָּׁה שְׁנֵים
そして–あった すべての 倒れた者は その–日に 男から ～まで 女まで 一万
H1961 H3605 H5307 H3117 H1931 H0376 H5704 H0802 H8147

עָשָׂר אֶלֶף כֹּל אַנְשֵׁי הָעָי׃
二千 人であった すべて 人々は アイの
H6240 H0505 H3605 H0376 H5857

その日アイの人々はことごとく倒れた。その数は男女あわせて一万二千人であった。

26 וִיהוֹשֻׁעַ לֹא־הֵשִׁיב יָדוֹ הַנְּטוּיָה אֲשֶׁר בַּכִּידוֹן
そして–ヨシュアは ～ない 引き下ろさなかった その–手を 差し伸べた ～した 投げ槍を–持った
H3091 H3808 H7725 H3027 H5186 H0834 H3591

עַד אֲשֶׁר הֶחֱרִים אֵת כָּל־יֹשְׁבֵי הָעָי׃
～するまで 聖絶した を すべての 住民を アイの
H5704 H3605 H3427 H5857

ヨシュアはアイの住民をことごとく滅ぼしつくすまでは、なげやりをさし伸べた手を引っこめなかった。

27 רַק הַבְּהֵמָה וְהַשָּׁלָל בָּזְזוּ הַהִיא הָעִיר לָהֶם יִשְׂרָאֵל
ただし 家畜と そして-分捕り物は 奪い取った その 町の 自分たちの-ために イスラエルは
H7535 H0929 H7998 H0962 H1931 H5892 H1992 H3478

יְהוֹשֻׁעַ׃ אֶת- צִוָּה אֲשֶׁר יְהוָה כִּדְבַר
ヨシュアに を 命じた ～した 主の 言葉の-通りに
H3091 H0853 H6680 H3068 H1697

ただし、その町の家畜および、ぶんどり品はイスラエルびとが自分たちの戦利品として取った。主がヨシュアに命じられた言葉にしたがったのである。

28 עוֹלָם תֵּל- וַיְשִׂימֶהָ הָעָי אֶת- יְהוֹשֻׁעַ וַיִּשְׂרֹף
永久の 永久の-廃墟と そして-それを-した アイを を ヨシュアは そして-焼いた
H5769 H8510 H5857 H0853 H3091 H8313

הַזֶּה׃ הַיּוֹם עַד שְׁמָמָה
この 今日に ～まで 荒れ果てた-場所と
H2088 H3117 H5704

こうしてヨシュアはアイを焼いて、永久に荒塚としたが、それは今日まで荒れ地となっている。

29 וְאֶת- הָעֵץ עַל- תָּלָה הָעַי מֶלֶךְ עֵת עַד- הָעֶרֶב
そして-を 王を アイの 木に-吊るした ～の上に 木の 時の ～まで 夕方の
H0853 H4428 H5857 H8518 H6086 H6256 H5704 H6153

מִן- נִבְלָתוֹ אֶת- וַיֵּרִידוּ יְהוֹשֻׁעַ צִוָּה הַשֶּׁמֶשׁ וּכְבוֹא
～から その-死体を を そして-降ろした ヨシュアは 命じた 太陽が そして-日が-沈む頃に
H5038 H0853 H3381 H3091 H6680 H8121 H0935

עָלָיו וַיָּקִימוּ הָעִיר שַׁעַר פֶּתַח אֶל- אוֹתָהּ וַיַּשְׁלִיכוּ הָעֵץ
その-上に そして-積み上げた 町の 門の 入口の ～の前に それを そして-投げ捨てた 木から
H8179 H6607 H0413 H0853 H7993 H6086

פ הַזֶּה׃ הַיּוֹם עַד גָּדוֹל אַבְנֵים גַּל-
節-区切り この 今日に ～まで 塚を 石の 大きな
H2088 H3117 H5704 H0068 H1530

ヨシュアはまた、アイの王を夕方まで木に掛けてさらし、日の入るころ、命じて、その死体を木から取りおろし、町の門の入口に投げすて、その上に石の大塚を積み上げさせたが、それは今日まで残っている。

30 עֵיבָל׃ בְּהַר יִשְׂרָאֵל אֱלֹהֵי לַיהוָה מִזְבֵּחַ יְהוֹשֻׁעַ יִבְנֶה אָז
エバル エバル山に イスラエルの 神 主に 祭壇を ヨシュアは 建てた その-時
H2022 H3478 H0430 H3068 H4196 H3091 H1129

そしてヨシュアはエバル山にイスラエルの神、主のために一つの祭壇を築いた。

31 יִשְׂרָאֵל בְּנֵי אֶת- יְהוָה עֶבֶד- מֹשֶׁה צִוָּה כַּאֲשֶׁר
イスラエルの 子たちに を 主の しもべ モーセが 命じた ちょうど-～のように
H3478 H0853 H3068 H5650 H4872 H6680

לֹא- אֲשֶׁר שְׁלֵמוֹת אֲבָנִים מִזְבַּח מֹשֶׁה תּוֹרַת בְּסֵפֶר כַּכָּתוּב
～ない ～する 丸ごとの 石の 祭壇を モーセの 律法の 書に 書かれて-いる通りに
H3808 H8003 H0068 H4196 H4872 H8451 H3789

לַיהוָה עֹלוֹת עָלָיו וַיַּעֲלוּ בַּרְזֶל עֲלֵיהֶן הֵנִיף
主に 全焼の-ささげ物を その-上で そして-ささげた 鉄を その-上に 振るわれた-ことの-ない
H3068 H5927 H1270

שְׁלָמִים׃ וַיִּזְבְּחוּ
和解の-ささげ物を そして-いけにえを-ささげた
H8002 H2076

これは主のしもべモーセがイスラエルの人々に命じたことにもとづき、モーセの律法の書にしるされているように、鉄の道具を当てない自然のままの石の祭壇であって、人々はその上で、主に燔祭をささげ、酬恩祭を供えた。

32 וַיִּכְתָּב־ שָׁם עַל־ הָאֲבָנִים אֵת מִשְׁנֵה תּוֹרַת מֹשֶׁה אֲשֶׁר
そして–書き記した そこに ～の上に 石の–上に を 写しを 律法の モーセの ～した
H3789 H8033 H0853 H0068 H4932 H8451 H4872

כָּתַב לִפְנֵי בְּנֵי יִשְׂרָאֵל׃
書き記した ～の前で 子たちの イスラエルの
H3789 H6440 H3478

その所で、ヨシュアはまたモーセの書きしるした律法を、イスラエルの人々の前で、石に書き写した。

33 וְכָל־ יִשְׂרָאֵל וּזְקֵנָיו וְשֹׁטְרִים וְשֹׁפְטָיו
そして–すべての イスラエルと そして–その–長老たちと そして–つかさたちと そして–さばきびとたちは
H3605 H3478 H2205 H7860 H8199

עֹמְדִים מִזֶּה וּמִזֶּה לִפְנֵי הָאָרוֹן נֶגֶד הַכֹּהֲנִים הַלְוִיִּם
立って–いた こちら側に そして–あちら側に 箱の–前に 向かい合って 祭司たちの レビ人の
H5975 H2088 H2088 H0727 H5048 H3548 H3881

נֹשְׂאֵי אֲרוֹן בְּרִית־ יְהוָה כַּגֵּר כָּאֶזְרָח חֶצְיוֹ אֶל־
担ぐ–者たちの 箱を 契約の 主の 寄留者も 生まれた–者も その–半分は ～に–向かって
H5375 H0727 H1285 H3068 H1616 H0249 H2677 H0413

הַר־ עֵיבָל וְחֶצְיוֹ אֶל־ מוּל הַר־ גְּרִזִּים כַּאֲשֶׁר צִוָּה מֹשֶׁה עֶבֶד־ יְהוָה לְבָרֵךְ אֶת־ הָעָם יִשְׂרָאֵל
山 エバルの ～の正面の ～に–向かって そして–もう–半分は ゲリジムの 山 ～の正面の ちょうど–～のように 命じた モーセが しもべ 主の 祝福する–ために を 民を イスラエルの
H2022 H4136 H0413 H2677 H1630 H2022 H4136 H6680 H4872 H5650 H3068 H1288 H0853 H3478

בָּרִאשֹׁנָה׃
最初に
H7223

こうしてすべてのイスラエルびとは、本国人も、寄留の他国人も、長老、つかさびと、さばきびとと共に、主の契約の箱をかくレビびとである祭司たちの前で、箱のこなたとかなたに分れて、半ばはゲリジム山の前に、半ばはエバル山の前に立った。これは主のしもべモーセがさきに命じたように、イスラエルの民を祝福するためであった。

34 וְאַחֲרֵי־ כֵן קָרָא אֵת־ כָּל־ דִּבְרֵי הַתּוֹרָה הַבְּרָכָה
そして–その–後に そのように 読み上げた を すべての 言葉を 律法の 祝福と
H7121 H0853 H3605 H1697 H8451 H1293

וְהַקְלָלָה כְּכָל־ הַכָּתוּב בְּסֵפֶר הַתּוֹרָה׃
そして–のろいを すべての–通りに 書かれて–いる 書に 律法の
H7045 H3605 H3789 H8451

そして後、ヨシュアはすべての律法の書にしるされている所にしたがって、祝福と、のろいとに関する律法の言葉をことごとく読んだ。

35 לֹא־ דָבָר מִכֹּל אֲשֶׁר־ צִוָּה מֹשֶׁה אֲשֶׁר לֹא־
～ない 言葉は すべての中から ～した モーセが 命じた ～した ～ない
H3808 H1697 H3605 H4872 H6680 H3808 H3808

הָיָה קָרָא יְהוֹשֻׁעַ נֶגֶד כָּל־ קְהַל יִשְׂרָאֵל וְהַנָּשִׁים
あった 読み上げなかった ヨシュアが ～の前で すべての 会衆の イスラエルの そして–女たちと
H1961 H7121 H3091 H5048 H3605 H6951 H3478 H0802

וְהַטַּף וְהַגֵּר הַהֹלֵךְ בְּקִרְבָּם׃ פ
そして–子供たちと そして–寄留者の 歩む–者 彼らの–中で 節–区切り
H2945 H1616 H1980 H7130

モーセが命じたすべての言葉のうち、ヨシュアがイスラエルの全会衆および女と子どもたち、ならびにイスラエルのうちに住む寄留の他国人の前で、読まなかったものは一つもなかった。

Chapter 9

1 וַיְהִי כְּשָׁמְעַ֞ כָּל־ הַמְּלָכִ֣ים אֲשֶׁ֗ר בְּעֵ֤בֶר הַיַּרְדֵּן֙ בָּהָ֔ר וּבַשְּׁפֵלָ֖ה וּבְכֹ֣ל חֹ֣וף הַיָּ֗ם הַגָּדֹול֙ מ֣וּל לְבָנ֔וֹן הַֽחִתִּי֙ וְהָאֱמֹרִ֣י הַֽכְּנַעֲנִ֔י הַפְּרִזִּ֖י הַֽחִוִּ֑י וְהַיְבוּסִֽי׃

そして–あった 聞いた–時に すべての 王たちは ～する者 向こう側に–いた ヨルダン川の 山地に
そして–低地に そして–すべての 沿岸の 海の 大きな ～に–向かって ～の正面の レバノンの
ヘテ人と エモリ人と そして–カナン人と ペリジ人と ヒビ人と そして–エブス人は

さて、ヨルダンの西側の、山地、平地、およびレバノンまでの大海の沿岸に住むもろもろの王たち、すなわちヘテびと、アモリびと、カナンびと、ペリジびと、ヒビびと、エブスびとの王たちは、これを聞いて、

2 כְּפֶ֣ה אֶחָ֑ד פ וַיִּתְקַבְּצ֣וּ יַחְדָּ֔ו לְהִלָּחֵ֖ם עִם־ יְהוֹשֻׁ֥עַ וְעִם־ יִשְׂרָאֵ֖ל פֶּֽה׃

一つの–口で イスラエルと そして–～と ヨシュアと ～と 戦う–ために 共に そして–集まった
節–区切り 一つの

心を合わせ、相集まって、ヨシュアおよびイスラエルと戦おうとした。

3 וְיֹשְׁבֵ֣י גִבְעֹ֗ון שָׁמְע֤וּ אֵת֙ אֲשֶׁ֣ר עָשָׂ֣ה יְהוֹשֻׁ֔עַ לִֽירִיחֹ֖ו וְלָעָֽי׃

そして–住民たちは ギブオンの 聞いた ～を ～したこと 行った ヨシュアが エリコに
そして–アイに

しかし、ギベオンの住民たちは、ヨシュアがエリコとアイにおこなったことを聞いて、

4 וַיַּעֲשׂ֣וּ גַם־ הֵ֗מָּה בְּעָרְמָ֔ה וַיֵּלְכ֕וּ וַיִּצְטַיָּ֖רוּ וַיִּקְּח֑וּ
וּמְצֹרָרִֽים׃ וּמְבֻקָּעִ֔ים וּבְלֹ֣ים יַ֔יִן וְנֹאדֹ֖ות וְלַחֲמֹורֵיהֶ֑ם בָּלִ֣ים שַׂקִּ֔ים

そして–行った 策略で 彼らも また そして–行って そして–使者の–ふりを–した そして–取った
そして–繕った そして–裂けた 古い ぶどう酒の そして–皮袋を 彼らの–ろばの–ために 古い 袋を

自分たちも策略をめぐらし、行って食料品を準備し、古びた袋と、古びて破れたのを繕ったぶどう酒の皮袋とを、ろばに負わせ、

5 וּנְעָלֹ֣ות בָּלֹ֗ות וּשְׂלָמֹות֙ בְּרַגְלֵיהֶ֔ם וּמְטֻלָּאֹ֖ות בָּלֹ֑ות
נְקֻדִּֽים׃ הָיָ֖ה יָבֵ֥שׁ צֵידָ֛ם לֶ֥חֶם וְכֹ֖ל

そして–くつを 古い そして–着物を 彼らの–足に そして–継ぎ当てした 古い 彼らの–上に
そして–すべての パンは 彼らの–食料の 乾いて いた 砕けて

繕った古ぐつを足にはき、古びた着物を身につけた。彼らの食料のパンは、みなかわいて、砕けていた。

6

וַיֵּלְכוּ אֶל־יְהוֹשֻׁעַ הַמַּחֲנֶה אֶל־הַגִּלְגָּל וַיֹּאמְרוּ אֵלָיו
そして-行った ～に ヨシュアの-もとに 陣営の ～に ギルガルの そして-言った 彼に
H0413 H3091 H4264 H0413 H1537 H0559 H0413

וְעַתָּה בָּאנוּ מֵאֶרֶץ רְחוֹקָה וְאִישׁ־אֶל יִשְׂרָאֵל
そして-今 私たちは-来ました 遠い 遠い-国から イスラエルの 人々に そして-～に
H6258 H0935 H7350 H0776 H3478 H0376 H0413

כִּרְתוּ־לָנוּ בְּרִית׃
契約を 私たちと 結んで-ください
H1285 H3772

彼らはギルガルの陣営のヨシュアの所にきて、彼とイスラエルの人々に言った、「われわれは遠い国からまいりました。それで今われわれと契約を結んでください」。

7

וַיֹּאמֶר (וַיאמרו) אִישׁ־יִשְׂרָאֵל אֶל־הַחִוִּי אוּלַי בְּקִרְבִּי
そして-言った そして-言った 人は イスラエルの ～に ヒビ人に もしかしたら 私の-中に
H0559 H0559 H0376 H3478 H0413 H2340 H0194 H7130

וְאֵיךְ (אכרות־) אֶכְרָת־לְךָ בְּרִית׃
そして-どうして 結ぼうか 結ぼうか 契約を
H0559 H3427 H3772 H3772 H1285

しかし、イスラエルの人々はそのヒビびとたちに言った、「あなたがたはわれわれのうちに住んでいるのかも知れないから、われわれはどうしてあなたがたと契約が結べましょう」。

8

וַיֹּאמְרוּ אֶל־יְהוֹשֻׁעַ אֶל־הַחִוִּי וַיֹּאמֶר יְהוֹשֻׁעַ אֲלֵהֶם
そして-言った ～に ヨシュアに あなたの-しもべ 私たちです そして-言った ヨシュアは 彼らに
H0559 H0413 H3091 H5650 H0587 H0559 H3091 H0413

מִי אַתֶּם וּמֵאַיִן תָּבֹאוּ׃
誰 あなたたちは そして-どこから 来るのか
H4310 H0370 H0935

彼らはヨシュアに言った、「われわれはあなたのしもべです」。ヨシュアは彼らに言った、「あなたがたはだれですか。どこからきたのですか」。

9

וַיֹּאמְרוּ אֵלָיו עַבְדֶּיךָ בָּאוּ מְאֹד רְחוֹקָה מֵאֶרֶץ לְשֵׁם
そして-言った 彼に あなたの-しもべたちは 来ました 非常に 遠い 遠い-国から 名の-ゆえに
H0559 H0413 H5650 H0935 H3966 H7350 H0776 H8034

יְהוָה אֱלֹהֶיךָ כִּי־שָׁמַעְנוּ שִׁמְעוֹ וְאֵת כָּל־אֲשֶׁר
主の あなたの-神の なぜなら 私たちは-聞きました その-名声を そして-～を すべて ～した
H3068 H0430 H8085 H8089 H0853 H3605

עָשָׂה בְּמִצְרָיִם׃
行った エジプトで
H4714

彼らはヨシュアに言った、「しもべどもはあなたの神、主の名のゆえに、ひじょうに遠い国からまいりました。われわれは主の名声、および主がエジプトで行われたすべての事を聞き、

10 וְאֵת כָּל־ אֲשֶׁר עָשָׂה לִשְׁנֵי מַלְכֵי הָאֱמֹרִי אֲשֶׁר בְּעֵבֶר
そして–〜を すべて 〜した 行った 二人の 王たちに エモリ人の 〜する者 向こう側に–いた
H0853 H3605 H0834 H6213 H8147 H4428 H0567 H0834 H5676

הַיַּרְדֵּן לְסִיחוֹן מֶלֶךְ חֶשְׁבּוֹן וּלְעוֹג מֶלֶךְ הַבָּשָׁן אֲשֶׁר
ヨルダン川の シホンに 王 ヘシボンの そして–オグに 王 バシャンの 〜する者
H3383 H5511 H4428 H2809 H5747 H4428 H1316 H0834

בְּעַשְׁתָּרוֹת׃
アシュタロテに–いた
H6252

また主がヨルダンの向こう側にいたアモリびとのふたりの王、すなわちヘシボンの王シホン、およびアシタロテにおったバシャンの王オグに行われたすべてのことを聞いたからです。

11 וַיֹּאמְרוּ אֵלֵינוּ וְכָל־ זִקְנֵינוּ וְכֹל יֹשְׁבֵי אַרְצֵנוּ לֵאמֹר
そして–言った 私たちに 私たちの–長老たちと そして–すべての 住民たちは 私たちの–国の 言って
H0559 H0413 H2205 H3605 H3427 H0776 H0559

קְחוּ בְיֶדְכֶם צֵידָה לַדָּרֶךְ וּלְכוּ וַאֲמַרְתֶּם לִקְרָאתָם
取れ あなたたちの–手に 食料を 旅の–ための そして–行って 彼らを–迎える–ために そして–言え
H3947 H3027 H6720 H1870 H3212 H7125 H0559

כִּרְתוּ־ לָנוּ בְּרִית׃ וְעַתָּה אֲנַחְנוּ עַבְדֵיכֶם וְעַתָּה
結んで–ください 私たちと 契約を そして–今 私たちです あなたたちの–しもべ そして–今
H3772 H0587 H6258 H5650 H6258

それで、われわれの長老たち、および国の住民はみなわれわれに言いました、『おまえたちは旅路の食料を手に携えていって、彼らに会って言いなさい、「われわれはあなたがたのしもべです。それで今われわれと契約を結んでください」』。

12 זֶה חַמֵּם הִצְטַיָּדְנוּ אֹתוֹ מִבָּתֵּינוּ בְּיוֹם
この 温かかった 私たちは–用意した それを 私たちの–家から 日に
H2088 H2525 H6679 H0853 H1004 H3117

לַחְמֵנוּ צֵאתֵנוּ לָלֶכֶת אֲלֵיכֶם וְעַתָּה הִנֵּה יָבֵשׁ וְהָיָה
私たちの–パンは 私たちが–出発した 行く–ために あなたたちの–もとへ そして–今 見よ 乾いて そして–なった
H3899 H3318 H3212 H0413 H6258 H2009 H3001 H1961

נִקֻּדִים׃
砕けた–ものに
H5350

ここにあるこのパンは、あなたがたの所に来るため、われわれが出立する日に、おのおの家から、まだあたたかなのを旅の食料として準備したのですが、今はもうかわいて砕けています。

13 וְאֵלֶּה נְאָדוֹת הַיַּיִן אֲשֶׁר מִלֵּאנוּ חֲדָשִׁים וְהִנֵּה
そして–これらの 皮袋は ぶどう酒の 〜した 私たちは–満たした 新しいもの–だった そして–見よ
H0428 H5035 H3196 H0834 H4390 H2319 H2009

שַׂלְמוֹתֵינוּ וְנַעֲלֵינוּ בָּלוּ מֵרֹב הַדֶּרֶךְ מְאֹד׃
私たちの–着物と そして–私たちの–くつは 古く–なった 長さの–ゆえに 旅の 非常に
H8008 H5275 H1086 H7230 H1870 H3966

וְאֵלֶּה הִתְבַּקָּעוּ
そして–これらの 裂けて–しまった
H0428 H1234

またぶどう酒を満たしたこれらの皮袋も、新しかったのですが、破れました。われわれのこの着物も、くつも、旅路がひじょうに長かったので、古びてしまいました」。

14 וַיִּקְחוּ֙ הָאֲנָשִׁ֔ים מִצֵּדָ֖ם וְאֶת־פִּ֣י יְהוָ֑ה לֹ֥א שָׁאָֽלוּ׃
そして-取った 人々は 彼らの-食料から そして-〜を 口を 主の 〜ない 尋ねなかった
H3947 H0376 H4480 H0853 H6310 H3068 H3808 H7592

そこでイスラエルの人々は彼らの食料品を共に食べ、主のさしずを求めようとはしなかった。

15 וַיַּ֣עַשׂ לָהֶ֗ם יְהוֹשֻׁעַ֙ שָׁל֔וֹם וַיִּכְרֹ֥ת לָהֶ֖ם בְּרִ֑ית לְהַֽחֲיוֹתָ֔ם וַיִּשְׁבְּע֥וּ לָהֶ֛ם נְשִׂיאֵ֥י הָעֵדָ֖ה׃
そして-行った 彼らに ヨシュアは 和平を そして-結んだ 彼らと 契約を 彼らを-生かす-ために そして-誓った 彼らに 指導者たちは 会衆の
H3947 H3091 H7965 H3772 H4941 H1285 H2421 H7650 H3478 H5712

そしてヨシュアは彼らと和を講じ、契約を結んで、彼らを生かしておいた。会衆の長たちは彼らに誓いを立てた。

16 וַיְהִ֗י מִקְצֵה֙ שְׁלֹ֣שֶׁת יָמִ֔ים אַחֲרֵ֖י אֲשֶׁר־כָּרְת֣וּ בְרִ֑ית לָהֶ֔ם וַיִּשְׁמְע֖וּ כִּֽי־קְרֹבִ֥ים הֵ֛ם אֵלָ֖יו וּבְקִרְבּ֥וֹ יֹשְׁבִֽים׃
そして-あった 終わりに 三 日の 後に 〜した 結んだ 契約を 彼らと そして-聞いた 〜ということを 近い 彼らは 彼に そして-その-中に 住んで-いた
H1961 H7969 H3117 H0310 H3772 H1285 H0413 H8085 H7138 H1992 H0413 H7130 H3427

契約を結んで三日の後に、彼らはその人々が近くの人々で、自分たちのうちに住んでいるということを聞いた。

17 וַיִּסְע֣וּ בְנֵי־יִשְׂרָאֵ֗ל וַיָּבֹ֙אוּ֙ בַּיּ֣וֹם הַשְּׁלִישִׁ֔י אֶל־עָרֵיהֶ֖ם וְעָרֵיהֶ֣ם גִּבְעוֹן֙ וְהַכְּפִירָ֣ה וּבְאֵר֔וֹת וְקִרְיַ֖ת יְעָרִֽים׃
そして-出発した 子たちは イスラエルの そして-来た 第三の 日に 彼らの-町々に 〜に そして-ギブオンと そして-ケフィラと そして-ベエロテと そして-キルヤテ・エアリムであった
H5265 H1121 H3478 H0935 H3117 H7992 H5892 H1391 H3716 H0881 H7157

イスラエルの人々は進んで、三日目にその町々に着いた。その町々とは、ギベオン、ケピラ、ベエロテおよびキリアテ・ヤリムであった。

18 וְלֹ֣א הִכּ֗וּם בְּנֵ֤י יִשְׂרָאֵל֙ כִּֽי־נִשְׁבְּע֣וּ לָהֶ֔ם נְשִׂיאֵ֖י הָעֵדָ֑ה וַיִּלֹּ֣נוּ כָל־הָעֵדָ֔ה עַל־הַנְּשִׂיאִֽם׃
そして-〜しなかった 討たなかった 子たちは イスラエルの なぜなら 誓った 彼らに 指導者たちが 会衆の そして-つぶやいた すべての 会衆は 〜に対して 指導者たちに
H3808 H5221 H1121 H3478 H3588 H7650 H5921 H5712 H3605 H3884 H5921 H5387

ところで会衆の長たちが、すでにイスラエルの神、主をさして彼らに誓いを立てていたので、イスラエルの人々は彼らを殺さなかった。そこで会衆はみな、長たちにむかってつぶやいた。

19

וַיֹּאמְרוּ	כָּל־	הַנְּשִׂיאִם	אֶל־	כָּל	הָעֵדָה	אֲנַחְנוּ	נִשְׁבַּעְנוּ	לָהֶם
そして–言った	すべての	指導者たちは	～に	すべての	会衆に	私たちは	誓った	彼らに
H0559	H3605		H0413	H3605	H5712	H0587	H7650	

וְעַתָּה	לֹא	נוּכַל	לְנָגַע	בָּהֶם׃			
そして–今	～ない	できない	触れる–ことは	彼らに			
H6258	H3808	H3201	H5060				

יִשְׂרָאֵל	אֱלֹהֵי	בְּיהוָה					
イスラエルの	神	主に–かけて					
H3478	H0430	H3068					

しかし、長たちは皆、全会衆に言った、「われわれはイスラエルの神、主をさして彼らに誓った。それゆえ今、彼らに触れてはならない。

20

זֹאת	נַעֲשֶׂה	לָהֶם	וְהַחֲיֶה	אוֹתָם	וְלֹא־	יִהְיֶה	עָלֵינוּ	
これを	行おう	彼らに	そして–生かそう	彼らを	そして–～ない	あるように	私たちの–上に	
H2063			H2421	H0853	H3808	H1961		

קֶצֶף	עַל־	הַשְּׁבוּעָה	אֲשֶׁר־	נִשְׁבַּעְנוּ	לָהֶם׃		
怒りが	～のゆえに	誓いの	～した	私たちが–誓った	彼らに		
		H7621		H7650			

われわれは、こうして彼らを生かしておこう。そうすれば、われわれが彼らに立てた誓いのゆえに、怒りがわれわれに臨むことはないであろう」。

21

עֵצִים	חֹטְבֵי	וַיִּהְיוּ	וַיִּחְיוּ	הַנְּשִׂיאִם	אֲלֵיהֶם	וַיֹּאמְרוּ	
木の	木を–切る–者たちと	そして–なった	彼らを–生かせ	指導者たちは	彼らに	そして–言った	
H6086	H2404	H1961	H2421		H0413	H0559	

לָהֶם	דִּבְּרוּ	כַּאֲשֶׁר	הָעֵדָה	לְכָל־	מַיִם	וְשֹׁאֲבֵי־	
彼らに	語った	ちょうど–～のように	会衆の	すべての–ための	水の	そして–水を–汲む–者たちと	
	H1696		H5712	H3605	H4325	H7579	

הַנְּשִׂיאִם׃
指導者たちが

長たちはまた人々に「彼らを生かしておこう」と言ったので、彼らはついに、全会衆のために、たきぎを切り、水をくむものとなった。長たちが彼らに言ったとおりである。

22

אֹתָנוּ	רִמִּיתֶם	לָמָּה	לֵאמֹר	אֲלֵיהֶם	וַיְדַבֵּר	יְהוֹשֻׁעַ	לָהֶם	וַיִּקְרָא
私たちを	だました	なぜ	言って	彼らに	そして–語った	ヨシュアは	彼らを	そして–呼んだ
H0853		H4100	H0559	H0413	H1696	H3091		H7121

יֹשְׁבִים׃	בְּקִרְבֵּנוּ	וְאַתֶּם	מְאֹד	מִכֶּם	אֲנַחְנוּ	רְחוֹקִים	לֵאמֹר	
住んで–いる	私たちの–中に	そして–あなたたちは	非常に	あなたたちから	私たちは	遠い	言って	
H3427	H7130		H3966		H0587	H7350	H0559	

ヨシュアは彼らを呼び寄せて言った、「あなたがたは、われわれのうちに住みながら、なぜ『われわれはあなたがたからは遠く離れている』と言って、われわれをだましたのか。

23

עֶבֶד	מִכֶּם	יִכָּרֵת	וְלֹא־	אַתֶּם	אֲרוּרִים	וְעַתָּה	
しもべが	あなたたちから	断たれない	そして–～ない	あなたたちは	呪われた	そして–今	
H5650		H3772	H3808		H0779	H6258	

אֱלֹהָי׃	לְבֵית	מַיִם	וְשֹׁאֲבֵי־	עֵצִים	וְחֹטְבֵי		
私の–神の	家の–ために	水の	そして–水を–汲む–者たちが	木の	そして–木を–切る–者たちと		
H0430		H4325	H7579	H6086	H2404		

それであなたがたは今のろわれ、奴隷となってわたしの神の家のために、たきぎを切り、水をくむものが、絶えずあなたがたのうちから出るであろう」。

24 וַיַּעֲנוּ אֶת־ יְהוֹשֻׁעַ וַיֹּאמְרוּ כִּי הֻגֵּד הֻגַּד
そして–答えた ～に ヨシュアに そして–言った なぜなら 確かに 告げられた
H5046 H5046 H3091 H0559 H0559 H5046 H5046

לַעֲבָדֶיךָ אֶת־ אֲשֶׁר צִוָּה יְהוָה אֶלֹהֶיךָ אֶת־ מֹשֶׁה עַבְדּוֹ
あなたの–しもべたちに ～を ～した 命じた 主が あなたの–神が ～に モーセに そのしもべに
H5650 H0853 H0853 H6680 H3068 H0430 H0853 H4872 H5650

וְלְהַשְׁמִיד אֶת־ כָּל־ יֹשְׁבֵי הָאָרֶץ אֶת־ כָּל־ לָכֶם לָתֵת
そして–滅ぼす–ために ～を すべての 住民を 地を ～を すべての あなたたちに 与える–ために
H8045 H0853 H3605 H3427 H0776 H0853 H3605 H0853 H5414

וַנַּעֲשֶׂה מִפְּנֵיכֶם לְנַפְשֹׁתֵינוּ מְאֹד וַנִּירָא מִפְּנֵיכֶם הָאָרֶץ
そして–行った あなたたちの–前で 私たちの–命を 非常に そして–恐れた あなたたちの–前から 地の
H6440 H5315 H3966 H3372 H6440 H0776

הַזֹּאת׃ הַדָּבָר אֶת־
この この–ことを ～を
H2088 H1697 H0853

彼らはヨシュアに答えて言った、「あなたの神、主がそのしもべモーセに、この地をことごとくあなたがたに与え、この地に住む民をことごとくあなたがたの前から滅ぼし去るようにと、お命じになったことを、しもべどもは明らかに伝え聞きましたので、あなたがたのゆえに、命が危いと、われわれは非常に恐れて、このことをしたのです。

25 וְעַתָּה הִנֵּנוּ בְיָדֶךָ בְּעֵינֶיךָ וְכַיָּשָׁר כַּטּוֹב
そして–今 見よ–私たちは あなたの–手の–中に あなたの–目に そして–正しい–ことを 善い–ことを
H6258 H2009 H3027 H3477

לַעֲשׂוֹת לָנוּ עֲשֵׂה׃
行う–ために 私たちに 行え

われわれは、今、あなたの手のうちにあります。われわれにあなたがして良いと思い、正しいと思うことをしてください」。

26 וַיַּעַשׂ לָהֶם כֵּן וַיַּצֵּל אוֹתָם מִיַּד בְּנֵי־ יִשְׂרָאֵל
そして–行った 彼らに そのように そして–救った 彼らを 手から 子たちの イスラエルの
H5337 H0853 H3027 H3478

וְלֹא הָרָגוּם׃
そして–～しなかった 殺さなかった
H3808 H2026

そこでヨシュアは、彼らにそのようにし、彼らをイスラエルの人々の手から救って殺させなかった。

27 וַיִּתְּנֵם יְהוֹשֻׁעַ בַּיּוֹם הַהוּא חֹטְבֵי עֵצִים וְשֹׁאֲבֵי
そして–定めた ヨシュアは その その–日に 木を–切る–者たちと 木の そして–水を–汲む–者たち
H5414 H3091 H3117 H1931 H2404 H6086 H7579

מַיִם לָעֵדָה וְלִמְזְבַּח יְהוָה אֶלֹ־ הַמָּקוֹם אֲשֶׁר
水の 会衆の–ために そして–祭壇の–ために 主の ～まで この 今日に ～に 場所に ～する
H4325 H5712 H4196 H3068 H5704 H2088 H3117 H0413 H4725

יִבְחָר׃ פ
選ぶ 節–区切り
H0977

しかし、ヨシュアは、その日、彼らを、会衆のため、また主の祭壇のため、主が選ばれる場所で、たきぎを切り、水をくむ者とした。これは今日までつづいている。

Chapter 10

1 וַיְהִי כִּשְׁמֹעַ אֲדֹנִי־צֶדֶק מֶלֶךְ יְרוּשָׁלַם כְּ֠כַד כִּי־
そして-あった 聞いた-時に アドニ・ツェデクは 王 エルサレムの 占領した ～ということを
H1961 H8085 H0139 H4428 H3389 H3920

עָשָׂה כַּאֲשֶׁר לִיְרִיחוֹ וְלִמַלְכָּהּ כֵּן־ עָשָׂה לְעַי וְלִמַלְכָּהּ וַיַּחֲרִימָה אֶת־ הָעַי יְהוֹשֻׁעַ
行った ちょうど-～のように エリコに そして-その-王に そして-聖絶した アイを を ヨシュアが
H6213 H3405 H4428 H2764 H0853 H5857 H3091

וְכִי הִשְׁלִימוּ יֹשְׁבֵי גִבְעוֹן אֶת־ יִשְׂרָאֵל בְּקִרְבָּם׃ וַיִּהְיוּ
そして-～ことを 和を-結んだ 住民たちが ギブオンの ～と その-中に そして-いた
H3605 H7999 H3427 H1391 H0854 H7130 H1961

エルサレムの王アドニゼデクは、ヨシュアがアイを攻め取って、それを全く滅ぼし、さきにエリコとその王とにしたように、アイとその王にもしたこと、またギベオンの住民が、イスラエルと和を講じて、そのうちにおることを聞き、

2 כְּאַחַת עָרֵי הַמְּלוּכָה כִּי עִיר גִּבְעוֹן גְּדוֹלָה כְּ֠עִיר מְאֹד וַיִּירְאוּ
一つの-ように 町々の 王国の なぜなら 町は 大きかった ギブオンは 非常に そして-恐れた
H0259 H4467 H3588 H5892 H1391 H1419 H3966 H3372

מִן־ הָעַי וְכָל־ אַנְשֶׁיהָ גִּבֹּרִים׃ הֵיא גְדוֹלָה כִּי־ מִן־ וְכָל־ הַמִּלְחָמָה
～より アイより そして-すべての その-人々は 勇敢であった それは 大きかった ～ことを ～より そして-すべての 戦いの
H4480 H5857 H3605 H0376 H1368 H1931 H1419 H3588 H4480 H3605 H4421

大いに恐れた。それは、ギベオンが大きな町であって、王の都にもひとしいものであり、またアイより大きくて、そのうちの人々が、すべて強かったからである。

3 וַיִּשְׁלַח אֲדֹנִי־צֶדֶק מֶלֶךְ יְרוּשָׁלַם אֶל־ הוֹהָם מֶלֶךְ חֶבְרוֹן
そして-送った アドニ・ツェデクは 王 エルサレムの ～に ホハムに 王 ヘブロンの
H7971 H0139 H4428 H3389 H0413 H1944 H4428 H2275

וְאֶל־ פִּרְאָם מֶלֶךְ יַרְמוּת וְאֶל־ יָפִיעַ מֶלֶךְ לָכִישׁ וְאֶל־
そして-～に ピルアムに 王 ヤルムトの そして-～に ヤピアに 王 ラキシュの そして-～に
H0413 H6502 H4428 H3412 H0413 H3309 H4428 H3923 H0413

דְּבִיר מֶלֶךְ עֶגְלוֹן לֵאמֹר׃
デビルに 王 エグロンの 言って
H1688 H4428 H5700 H0559

それでエルサレムの王アドニゼデクは、ヘブロンの王ホハム、ヤルムテの王ピラム、ラキシの王ヤピア、およびエグロンの王デビルに人をつかわして言った、

4 עֲלוּ־ אֵלַי וְעִזְרֻנִי וְנַכֶּה אֶת־ גִּבְעוֹן כִּי־
上って-来い 私の-もとに そして-助けてくれ そして-討とう を ギブオンを なぜなら
H5927 H0413 H5826 H5221 H0853 H1391 H3588

יְהוֹשֻׁעַ וְאֶת־ בְּנֵי יִשְׂרָאֵל׃ אֶת־ הִשְׁלִימָה
ヨシュアと そして-～と 子たちと イスラエルの ～と 和を-結んだからだ
H3091 H0854 H1121 H3478 H0854 H7999

「わたしの所に上ってきて、わたしを助けてください。われわれはギベオンを撃ちましょう。ギベオンはヨシュアおよびイスラエルの人々と和を講じたからです」。

מֶלֶךְ־	יְרוּשָׁלַ֗ם	מֶלֶךְ	הָאֱמֹרִי	מַלְכֵי	וַחֲמֵשֶׁת	וַיַּעֲלוּ	וַיֵּאָסְפוּ	5
王	エルサレムの	王	エモリ人の	王たちは	五人の	そして-上った	そして-集まった	
H4428	H3389	H4428	H0567	H4428	H2568	H5927	H0622	

וְכָל־	הֵ֔ם	עֶגְל֖וֹן	מֶלֶךְ־	לָכִ֣ישׁ	מֶלֶךְ־	יַרְמ֑וּת	מֶלֶךְ־	חֶבְרֹ֣ון
そして-すべての	彼らと	エグロンの	王	ラキシュの	王	ヤルムトの	王	ヘブロンの
H3605	H1992	H5700	H4428	H3923	H4428	H3412	H4428	

עָלֶ֖יהָ׃	וַיִּלָּחֲמ֥וּ	גִּבְעֹ֛ון	עַל־	וַיַּחֲנ֥וּ	מַחֲנֵיהֶ֖ם
それに-対して	そして-戦った	ギブオンに	～に-対して	そして-陣を-張った	その-陣営は
		H1391		H2583	H4264

アモリびとの五人の王、すなわちエルサレムの王、ヘブロンの王、ヤルムテの王、ラキシの王、およびエグロンの王は兵を集め、そのすべての軍勢を率いて上ってきて、ギベオンに向かって陣を取り、それを攻めて戦った。

לֵאמֹ֗ר	הַגִּלְגָּ֔לָה	הַמַּחֲנֶ֣ה	אֶל־	יְהוֹשֻׁ֔עַ	אֶל־	גִּבְעֹ֖ון	אֲנָשֵׁ֣י	וַיִּשְׁלְח֣וּ	6
言って	ギルガルの	陣営の	～に	ヨシュアの-もとに	～に	ギブオンの	人々は	そして-送った	
H0559	H1537	H4264	H0413	H3091	H0413	H1391	H0376	H7971	

מְהֵרָ֔ה	אֵלֵ֖ינוּ	עֲלֵ֑ה	מֵעֲבָדֶ֣יךָ	יָדֶ֔יךָ	תָּ֥רֶף	אַל־	
急いで	私たちの-もとへ	上って-来い	あなたの-しもべたちから	あなたの-手を	手を-引くな	～するな	
H4120	H0413	H5927	H5650	H3027	H7503	H0408	

כָּל־	אֵלֵ֔ינוּ	נִקְבְּצ֥וּ	כִּ֛י	וְעָזְר֥וּנוּ	לָ֖נוּ	וְהֹושִׁיעָ֑ה	
すべての	私たちに-対して	集まった	なぜなら	そして-助けてくれ	私たちを	そして-救ってくれ	
H3605	H0413	H6908		H5826		H3467	

הָהָֽר׃	יֹשְׁבֵ֣י	הָאֱמֹרִ֗י	מַלְכֵ֤י
山地の	住む-者たち	エモリ人の	王たちが
H2022	H3427	H0567	H4428

ギベオンの人々は、ギルガルの陣営に人をつかわし、ヨシュアに言った、「あなたの手を引かないで、しもべどもを助けてください。早く、われわれの所に上ってきて、われわれを救い、助けてください。山地に住むアモリびとの王たちがみな集まって、われわれを攻めるからです」。

הַמִּלְחָמָה֙	עַם	וְכָל־	הֽוּא	הַגִּלְגָּ֔ל	מִן־	יְהוֹשֻׁ֖עַ	וַיַּ֣עַל	7
戦いの	民は	そして-すべての	彼と	ギルガルから	～から	ヨシュアは	そして-上った	
H4421		H3605	H1931	H1537		H3091	H5927	

פ	הֶחָֽיִל׃	גִּבֹּורֵ֥י	וְכָל	עִמֹּ֖ו
節-区切り	勇士たちは	勇敢な	そして-すべての	彼と-共に
	H2428	H1368	H3605	

そこでヨシュアはすべてのいくさびとと、すべての大勇士を率いて、ギルガルから上って行った。

בְּיָדֶ֑ךָ	כִּ֣י	מֵהֶ֔ם	תִּירָ֖א	אַל־	יְהוֹשֻׁ֣עַ	אֶל־	יְהוָ֗ה	וַיֹּ֤אמֶר	8
あなたの-手に	なぜなら	彼らを	恐れるな	～するな	ヨシュアに	～に	主は	そして-言った	
H3027		H1992	H3372	H0408	H3091	H0413	H3068	H0559	

בְּפָנֶֽיךָ׃	מֵהֶ֔ם	אִ֥ישׁ	יַעֲמֹ֖ד	לֹא־	נְתַתִּ֥ים
あなたの-前に	彼らの中から	一人の-人も	立てない	～ない	私は-彼らを-与えた
H6440	H1992	H0376	H5975	H3808	H5414

その時、主はヨシュアに言われた、「彼らを恐れてはならない。わたしが彼らをあなたの手にわたしたからである。彼らのうちには、あなたに当ることのできるものは、ひとりもないであろう」。

הַגִּלְגָּֽל׃	מִן־	עָלָ֔ה	הַלַּ֖יְלָה	כָּל־	פִּתְאֹ֑ם	יְהוֹשֻׁ֣עַ	אֲלֵיהֶ֔ם	וַיָּבֹ֥א	9
ギルガルから	～から	上った	夜を	すべての	突然	ヨシュアは	彼らの-もとに	そして-来た	
H1537		H5927	H3915	H3605	H6597	H3091	H0413	H0935	

ヨシュアは、ギルガルから、よもすがら進みのぼって、にわかに彼らに攻めよせたところ、

10

גְּדוֹלָה	מַכָּה־	וַיַּכֵּם	יִשְׂרָאֵל	לִפְנֵי	יְהוָה	וַיְהֻמֵּם
大きな	大きな–打撃を	そして–討った	イスラエルの	～の前で	主が	そして–混乱–させた
	H4347	H5221	H3478	H6440	H3068	H2000

עֲזֵקָה	עַד־	וַיַּכֵּם	בֵּית־חוֹרֹן	מַעֲלֵה	דֶּרֶךְ	וַיִּרְדְּפֵם	בְּגִבְעוֹן
アゼカまで	～まで	そして–討った	ベテ・ホロンの	上り坂の	道を	そして–追いかけた	ギブオンで
H5825	H5704	H5221	H1032		H1870	H7291	H1391

מַקֵּדָה׃	וְעַד־
マケダまで	そして–～まで
H4719	H5704

主は彼らを、イスラエルの前に、恐れあわてさせられたので、イスラエルはギベオンで彼らをおびただしく撃ち殺し、ベテホロンの上り坂をとおって逃げる彼らを、アゼカとマッケダまで追撃した。

11

בֵּית־חוֹרֹן	בְּמוֹרַד	הֵם	יִשְׂרָאֵל	מִפְּנֵי	וּבְנָסָם	וַיְהִי
ベテ・ホロンの	下り坂で	彼らは	イスラエルの	～の前から	彼らが–逃げる–時に	そして–あった
H1032	H4174	H1992	H3478	H6440	H5127	H1961

עֲזֵקָה	עַד־	הַשָּׁמַיִם	מִן־	גְּדֹלוֹת	אֲבָנִים	עֲלֵיהֶם	הִשְׁלִיךְ	וַיהוָה
アゼカまで	～まで	天から	～から	大きな	石を	彼らの–上に	投げつけた	そして–主は
H5825	H5704	H8064			H0068		H7993	H3068

בְּנֵי	הָרְגוּ	מֵאֲשֶׁר	הַבָּרָד	בְּאַבְנֵי	מֵתוּ	אֲשֶׁר־	רַבִּים	וַיָּמֻתוּ
子たちが	殺した	～よりも	雹の	雹の–石で	死んだ	～した者	多くの–者が	そして–死んだ
	H2026		H1259	H0068	H4191			H4191

ס	בֶּחָרֶב׃	יִשְׂרָאֵל
節–区切り	剣で	イスラエルの
	H2719	H3478

彼らがイスラエルの前から逃げ走って、ベテホロンの下り坂をおりていた時、主は天から彼らの上に大石を降らし、アゼカにいたるまでもそうされたので、多くの人々が死んだ。イスラエルの人々がつるぎをもって殺したものよりも、雹に打たれて死んだもののほうが多かった。

12

לִפְנֵי	הָאֱמֹרִי	אֶת־	יְהוָה	תֵּת	בְּיוֹם	לַיהוָה	יְהוֹשֻׁעַ	יְדַבֵּר	אָז
～の前で	エモリ人を	を	主が	与えた	日に	主に	ヨシュアは	語った	その–時
H6440	H0567	H0853	H3068	H5414	H3117	H3068	H3091	H1696	

דֹּם	בְּגִבְעוֹן	שֶׁמֶשׁ	יִשְׂרָאֵל	לְעֵינֵי	וַיֹּאמֶר	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי
止まれ	ギブオンの–上で	太陽よ	イスラエルの	目の–前で	そして–言った	イスラエルの	子たちの
	H1391	H8121	H3478		H0559	H3478	

אַיָּלוֹן׃	בְּעֵמֶק	וְיָרֵחַ
アヤロンの	谷の–上で	そして–月よ
H0357	H6010	H3394

主がアモリびとをイスラエルの人々にわたされた日に、ヨシュアはイスラエルの人々の前で主にむかって言った、「日よ、ギベオンの上にとどまれ、月よ、アヤロンの谷にやすらえ」。

13

אֹיְבָיו	גּוֹי	יִקֹּם	עַד־	עָמַד	וַיַּעֲמֹד	הַשֶּׁמֶשׁ	וַיִּדֹּם
その–敵に	民が	復讐した	～まで	立ち止まった	そして–月は	太陽は	そして–止まった
H0341		H5358	H5704	H5975	H3394	H8121	

הַשֶּׁמֶשׁ	וַיַּעֲמֹד	הַיָּשָׁר	סֵפֶר	עַל־	כְּתוּבָה	הִיא	הֲלֹא־
太陽は	そして–立ち止まった	ヤシャルの	書に	～の上に	書かれて–いる	それは	～ではないか
H8121	H5975	H3477			H3789	H1931	H3808

תָּמִים׃	כְּיוֹם	לָבוֹא	אָץ	וְלֹא־	הַשָּׁמַיִם	בַּחֲצִי
まる一日	ほぼ–一日	沈む–ことを	急がなかった	そして–～なかった	天の	真ん中に
H8549	H3117	H0935	H0213	H3808	H8064	H2677

民がその敵を撃ち破るまで、日はとどまり、月は動かなかった。これはヤシャルの書にしるされているではないか。日が天の中空にとどまって、急いで没しなかったこと、おおよそ一日であった。

14

לִשְׁמֹ֣עַ	וְאַחֲרָ֑יו	לִפְנָ֗יו	הַה֚וּא	כַּיּ֣וֹם	הָיָ֔ה	וְלֹ֣א
聞き入れた	そして–その–後にも	それの–前にも	その	その–日の–ような	あった	そして–〜なかった
H8085		H6440	H1931	H3117	H1961	H3808

פ	לְיִשְׂרָאֵ֖ל׃	נִלְחָ֥ם	יְהוָ֛ה	כִּ֥י	אִ֖ישׁ	בְּקֹ֣ול	יְהוָ֑ה
節–区切り	イスラエルの–ために	戦って–おられた	主が	なぜなら	人の	声を	主が
	H3478		H3068		H0376		H3068

これより先にも、あとにも、主がこのように人の言葉を聞きいれられた日は一日もなかった。主がイスラエルのために戦われたからである。

15

הַגִּלְגָּ֔לָה׃	הַמַּחֲנֶ֖ה	אֶל־	עִמּ֑וֹ	יִשְׂרָאֵ֣ל	וְכָל־	יְהוֹשֻׁ֣עַ	וַיָּ֥שָׁב
ギルガルの	陣営に	〜に	彼と–共に	イスラエルは	そして–すべての	ヨシュアは	そして–帰った
H1537	H4264	H0413		H3478	H3605	H3091	H7725

こうしてヨシュアはイスラエルのすべての人と共にギルガルの陣営に帰った。

16

בְּמַקֵּדָֽה׃	בַּמְּעָרָ֖ה	וַיִּֽחָבְא֑וּ	הָאֵ֣לֶּה	הַמְּלָכִ֗ים	חֲמֵ֚שֶׁת	וַיָּנֻ֔סוּ
マケダの	洞窟に	そして–隠れた	これらの	王たちは	五人の	そして–逃げた
H4719	H4631	H2244	H0428	H4428	H2568	H5127

かの五人の王たちは逃げて行って、マッケダのほら穴に隠れたが、

17

בַּמְּעָרָ֔ה	נֶחְבְּאִ֖ים	הַמְּלָכִ֣ים	חֲמֵ֚שֶׁת	נִמְצְא֣וּ	לֵאמֹ֑ר	לִיהוֹשֻׁ֣עַ	וַיֻּגַּ֔ד
洞窟に	隠れて–いた	王たちが	五人の	見つかった	言って	ヨシュアに	そして–告げられた
H4631	H2244	H4428	H2568	H4672	H0559	H3091	H5046

בְּמַקֵּדָֽה׃	
マケダの	
H4719	

五人の王たちがマッケダのほら穴にかくれているのが見つかったと、ヨシュアに告げる者があったので、

18

וְהַפְקִ֖ידוּ	הַמְּעָרָ֑ה	פִּ֣י	אֶל־	גְּדֹלֹ֔ות	אֲבָנִ֗ים	גֹּ֚לּוּ	יְהוֹשֻׁ֣עַ	וַיֹּ֣אמֶר
そして–置け	洞窟の	入口に	〜に	大きな	石を	転がせ	ヨシュアは	そして–言った
	H4631	H6310	H0413		H0068	H1556	H3091	H0559

לְשָׁמְרָֽם׃	אֲנָשִׁ֖ים	עָלֶ֥יהָ
見張る–ために	人々を	その–そばに
H8104	H0376	

ヨシュアは言った、「ほら穴の口に大石をころがし、そのそばに人を置いて、守らせなさい。

19

אֹיְבֵיכֶ֔ם	אַחֲרֵ֣י	רִדְפ֑וּ	תַּעֲמֹ֣דוּ	אַל־	וְאַתֶּ֖ם	
あなたたちの–敵の	〜の後を	追え	立ち止まるな	〜するな	そして–あなたたちは	
H0341		H7291	H5975	H0408		

כִּ֣י	עָרֵיהֶ֗ם	אֶל־	לָבֹוא֙	תִּתְּנ֣וּם	אַל־	אֹתָ֔ם	וְזַנַּבְתֶּ֖ם
なぜなら	彼らの–町々に	〜に	入る–ことを	入らせるな	〜するな	彼らを	そして–後衛を–討て
		H0413	H0935	H5414	H0408	H0853	H2179

בְּיֶדְכֶֽם׃	אֱלֹהֵיכֶ֖ם	יְהוָ֥ה	נְתָנָ֛ם	
あなたたちの–手に	あなたたちの–神が	主が	与えた	
H3027	H0430	H3068	H5414	

ただし、あなたがたは、そこにとどまらないで、敵のあとを追い、そのしんがりを撃ち、彼らをその町にはいらせてはならない。あなたがたの神、主が彼らをあなたがたの手に渡されたからである」。

20

מַכָּה	לְהַכּוֹתָם	יִשְׂרָאֵל	וּבְנֵי	יְהוֹשֻׁעַ	כְּכַלּוֹת	וַיְהִי
大きな–打撃で	討つ–ことを	イスラエルの	そして–子たちが	ヨシュアと	終えた–時に	そして–あった
H4347	H5221	H3478		H3091	H3615	H1961

מֵהֶם	שָׂרְדוּ	וְהַשְּׂרִידִים	תֻּמָּם	עַד־	מְאֹד	גְּדוֹלָה־
彼らから	逃れた	そして–生き残った者たちは	尽き果てる–まで	～まで	非常に	大きな
H1992	H8277	H8300	H8552	H5704	H3966	

הַמִּבְצָר׃	עָרֵי	אֶל־	וַיָּבֹאוּ
要塞の	町々に	～に	そして–入った
H4013		H0413	H0935

ヨシュアとイスラエルの人々は、大いに彼らを撃ち殺し、ついに彼らを滅ぼしつくしたが、彼らのうちのがれて生き残った者どもは、堅固な町々に逃げこんだので、

21

בְּשָׁלוֹם	מַקֵּדָה	יְהוֹשֻׁעַ	אֶל־	הַמַּחֲנֶה	אֶל־	הָעָם	כָּל־	וַיָּשֻׁבוּ
平安に	マケダに	ヨシュアの–もとに	～に	陣営に	～に	民は	すべての	そして–帰った
H7965	H4719	H3091	H0413	H4264	H0413		H3605	H7725

לְשֹׁנוֹ׃	אֶת־	לְאִישׁ	יִשְׂרָאֵל	לִבְנֵי	חָרַץ	לֹא־
その–舌を	～を	だれも	イスラエルの	子たちに–対して	尖らせなかった	～ない
H3956	H0853	H0376	H3478		H2782	H3808

民はみな安らかにマッケダの陣営のヨシュアのもとに帰ってきたが、イスラエルの人々にむかって舌を鳴らす者はひとりもなかった。

22

אֶת־	אֵלַי	וְהוֹצִיאוּ	הַמְּעָרָה	פִּי	אֶת־	פִּתְחוּ	יְהוֹשֻׁעַ	וַיֹּאמֶר
を	私の–もとへ	そして–連れ出せ	洞窟の	入口を	を	開けよ	ヨシュアは	そして–言った
H0853	H0413	H3318	H4631	H6310	H0853		H3091	H0559

הַמְּעָרָה׃	מִן־	הָאֵלֶּה	הַמְּלָכִים	חֲמֵשֶׁת
洞窟から	～から	これらの	王たちを	五人の
H4631		H0428	H4428	H2568

その時ヨシュアは言った、「ほら穴の口を開いて、ほら穴から、かの五人の王たちを、わたしのもとにひき出しなさい」。

23

הָאֵלֶּה	הַמְּלָכִים	חֲמֵשֶׁת	אֶת־	אֵלָיו	וַיֹּצִיאוּ	כֵּן	וַיַּעֲשׂוּ	
これらの	王たちを	五人の	を	彼の–もとに	そして–連れ出した	そのように	そして–行った	
H0428	H4428	H2568	H0853	H0413	H3318			

יַרְמוּת	מֶלֶךְ	אֶת־	חֶבְרוֹן	מֶלֶךְ	אֶת־	יְרוּשָׁלַם	מֶלֶךְ	וְאֶת	הַמְּעָרָה	מִן־
ヤルムトの	王を	を	ヘブロンの	王を	を	エルサレムの	王を	を	洞窟から	～から
H3412	H4428	H0853		H4428	H0853	H3389	H4428	H0853	H4631	

עֶגְלוֹן׃	מֶלֶךְ	אֶת־	לָכִישׁ	מֶלֶךְ	אֶת־	
エグロンの	王を	を	ラキシュの	王を	を	
H5700	H4428	H0853	H3923	H4428	H0853	

やがて、そのようにして、かの五人の王たち、すなわち、エルサレムの王、ヘブロンの王、ヤルムテの王、ラキシの王、およびエグロンの王を、ほら穴から彼のもとにひき出した。

24 וַיְהִי כְהוֹצִיאָם אֶת־הַמְּלָכִים הָאֵלֶּה אֶל־יְהוֹשֻׁעַ
そして-あった 連れ出した-時に を 王たちを これらの ～に ヨシュアの-もとに
H1961 H3318 H0853 H4428 H0428 H0413 H3091

וַיִּקְרָא יְהוֹשֻׁעַ אֶל־כָּל־אִישׁ יִשְׂרָאֵל וַיֹּאמֶר אֶל־
そして-呼んだ ヨシュアは ～に すべての 人々を イスラエルの そして-言った ～に
H7121 H3091 H0413 H0376 H3605 H3478 H0559 H0413

קְצִינֵי אַנְשֵׁי מַלְחֲמָה הַהֹלְכִים אִתּוֹ קִרְבוּ שִׂימוּ אֶת־
指揮官たちに 人々の 戦いの ～した者 彼と-共に-行った 近づけ 置け を
H7101 H0376 H4421 H1980 H0854 H7126 H7760 H0853

רַגְלֵיכֶם בְּצַוְּארֵי הַמְּלָכִים הָאֵלֶּה וַיִּקְרְבוּ וַיָּשִׂימוּ אֶת־
あなたたちの-足を 首の-上に 王たちの これらの そして-近づいた そして-置いた を
H7272 H6677 H4428 H0428 H7126 H7760 H0853

רַגְלֵיהֶם עַל־צַוְּארֵיהֶם׃
彼らの-足を ～の上に 彼らの-首の-上に
H7272

この王たちをヨシュアのもとにひき出した時、ヨシュアはイスラエルのすべての人々を呼び寄せ、自分と共に行ったいくさびとの長たちに言った、「近寄って、この王たちのくびに足をかけなさい」。そこで近寄って、その王たちのくびに足をかけたので、

25 וַיֹּאמֶר אֲלֵיהֶם יְהוֹשֻׁעַ אַל־תִּירְאוּ וְאַל־תֵּחַתּוּ חִזְקוּ
そして-言った 彼らに ヨシュアは ～するな 恐れるな そして-～するな おののくな 強くあれ
H0559 H0413 H3091 H0408 H3372 H0408 H2865 H2388

וְאִמְצוּ כִּי כָּכָה יַעֲשֶׂה יְהוָה לְכָל־אֹיְבֵיכֶם אֲשֶׁר
雄々しくあれ なぜなら このように 行う 主が すべての-～に あなたたちの-敵に ～する者
H0553 H3588 H3602 H6213 H3068 H3605 H0341 H0834

אַתֶּם נִלְחָמִים אוֹתָם׃
あなたたちが 戦って-いる 彼らと
H0859 H3898

ヨシュアは彼らに言った、「恐れおののいてはならない。強くまた雄々しくあれ。あなたがたが攻めて戦うすべての敵には、主がこのようにされるのである」。

26 וַיַּכֵּם יְהוֹשֻׁעַ אַחֲרֵי־כֵן וַיְמִיתֵם וַיִּתְלֵם עַל
そして-討った ヨシュアは その-後に そのように そして-殺した そして-吊るした ～の上に
H5221 H3091 H0310 H4191 H8518 H5921

עֲצֵי חֲמִשָּׁה עֵצִים וַיִּהְיוּ תְלוּיִם עַל־עֵצִים עַד־עֶרֶב׃
五本の 木に そして-いた 吊るされて ～の上に 木の-上に ～まで 夕方まで
H2568 H6086 H1961 H8518 H5921 H6086 H5704 H6153

そして後ヨシュアは彼らを撃って死なせ、五本の木にかけて、夕暮れまで木の上にさらして置いたが、

27 וַיְהִי לְעֵת בּוֹא הַשֶּׁמֶשׁ צִוָּה יְהוֹשֻׁעַ וַיְרִידוּם מֵעַל
そして-あった 時に 沈む 太陽が 命じた ヨシュアは そして-降ろした ～の上から
H1961 H6256 H0935 H8121 H6680 H3091 H3381 H5921

הָעֵצִים וַיַּשְׁלִכוּ אֹתָם אֶל־הַמְּעָרָה אֲשֶׁר נֶחְבְּאוּ־שָׁם וַיָּשִׂמוּ
木から ～の上から そして-降ろした ヨシュアは 命じた 太陽が 沈む 時に そして-あった
H6086 H5921 H3381 H3091 H6680 H8121 H0935 H6256 H1961

עָלָיו אֲבָנִים גְּדֹלוֹת עַד־עֶצֶם הַיּוֹם הַזֶּה׃ פ
大きな 石を そして-置いた そこに 隠れて-いた ～した 洞窟に ～に そして-投げ入れた
H1419 H0068 H7760 H8033 H2244 H0834 H4631 H0413 H7993

節-区切り この 今日に まさに ～まで 洞窟の 入口に ～の上に
H2088 H3117 H6106 H5704 H4631 H6310 H5921

日の入るころになって、ヨシュアが命じたので、これを木からおろし、彼らが隠れていたほら穴に投げ入れ、ほら穴の口に大石を置いた。これは今日まで残っている。

28 וְאֶת־ מַלְכָּהּ֙ מַקֵּדָ֔ה לָכַ֖ד יְהוֹשֻׁ֣עַ בַּיּ֣וֹם הַה֑וּא וַיַּכֵּ֥הָ לְפִי־ חָ֛רֶב
そして-を マケダを 占領した ヨシュアは その-日に その 討った そして- 剣の-刃で 剣で
H0853 H4719 H3920 H3091 H3117 H1931 H5221 H6310 H2719

וְאֶת־ מַלְכָּ֖הּ וְאֶת־ כָּל־ הַנֶּ֣פֶשׁ אֲשֶׁר־ בָּ֑הּ לֹ֣א הִשְׁאִ֔יר שָׂרִ֖יד
そして-を その-王を そして-を すべての 魂を ～した その中の ～ない 残さなかった 生き残った者を
H0853 H4428 H0853 H3605 H5315 H0834 H1931 H3808 H7604 H8300

לְמֶ֣לֶךְ יְרִיח֔וֹ כַּאֲשֶׁ֥ר עָשָׂ֖ה לְמֶ֣לֶךְ מַקֵּדָ֑ה וַיַּ֣עַשׂ לְ֠מַלְכָּהּ כַּאֲשֶׁ֨ר
王に エリコの ちょうど-～のように 行った 王に マケダの そして-行った 王に-対して ちょうど-～のように
H4428 H3405 H4719 H6213 H4428 H3605

その日ヨシュアはマッケダを取り、つるぎをもって、それと、その王とを撃ち、その中のすべての人を、ことごとく滅ぼして、ひとりも残さず、エリコの王にしたように、マッケダの王にもした。

29 וַיַּעֲבֹ֣ר יְהוֹשֻׁ֗עַ וְכָל־ יִשְׂרָאֵל֙ עִמּ֔וֹ מִמַּקֵּדָ֖ה לִבְנָ֑ה
そして-進んだ ヨシュアは そして-すべての イスラエルは 彼と-共に マケダから リブナへ
H5674 H3091 H3605 H3478 H5973 H4719 H3841

וַיִּלָּ֖חֶם עִם־ לִבְנָֽה׃
そして-戦った ～と リブナと
H3898 H5973 H3841

こうしてヨシュアはイスラエルのすべての人を率いて、マッケダからリブナに進み、リブナを攻めて戦った。

30 וַיִּתְּנֵ֣ם יְהוָ֗ה גַּם־ אוֹתָהּ֙ בְּיַ֣ד יִשְׂרָאֵ֔ל וְאֶת־ מַלְכָּ֖הּ וַיַּכֵּ֥הָ
そして-与えた 主が また それを 手に イスラエルの そして- その-王を そして-討った
H5414 H3068 H1571 H0853 H3027 H3478 H0853 H4428 H5221

לְפִי־ חָ֛רֶב וְאֶת־ כָּל־ הַנֶּ֥פֶשׁ אֲשֶׁר־ בָּ֖הּ לֹא־ הִשְׁאִ֣יר בָּ֑הּ
剣の-刃で 剣で 魂を ～した その中の ～ない 残さなかった その中に
H6310 H2719 H0853 H3605 H5315 H0834 H1931 H3808 H7604 H8300

ס כַּאֲשֶׁ֨ר עָשָׂ֜ה לְמֶ֣לֶךְ יְרִיח֗וֹ כֵּ֚ן עָשָׂ֣ה לְמַלְכָּ֔הּ וַיַּ֣עַשׂ לִבְנָ֑ה
節-区切り ちょうど-～のように 行った 王に エリコの その-王に そして-行った 生き残った者を
H6213 H4428 H3405 H6213 H4428 H6213

主が、それと、その王をも、イスラエルの手に渡されたので、つるぎをもって、それと、その中のすべての人を撃ち滅ぼして、ひとりもその中に残さず、エリコの王にしたように、その王にもした。

31 וַיַּעֲבֹ֣ר יְהוֹשֻׁ֗עַ וְכָל־ יִשְׂרָאֵל֙ עִמּ֔וֹ מִלִּבְנָ֖ה לָכִ֑ישָׁה
そして-進んだ ヨシュアは そして-すべての イスラエルは 彼と-共に リブナから ラキシュへ
H5674 H3091 H3605 H3478 H5973 H3841 H3923

וַיִּלָּ֥חֶם עָלֶ֖יהָ וַיִּחַ֥ן בָּֽהּ׃
そして-戦った それに-対して そして-陣を-張った それと
H3898 H5921 H2583 H5973

ヨシュアはまたイスラエルのすべての人を率いて、リブナからラキシに進み、これに向かって陣をしき、攻め戦った。

32 וַיִּתֵּן יְהוָה אֶת־לָכִישׁ בְּיַד יִשְׂרָאֵל וַיִּלְכְּדֵהוּ בַּיּוֹם
そして–与えた 主が を ラキシュを 手に イスラエルの そして–それを–占領した 日に
H5414 H3068 H0853 H3923 H3027 H3478 H3920 H3117

הַשֵּׁנִי וַיַּכֶּהָ לְפִי־חָרֶב וְאֶת־כָּל־הַנֶּפֶשׁ אֲשֶׁר־בָּהּ
第二の そして–討った 剣の–刃で 剣で そして–を すべての 魂を ～した その中の
H8145 H5221 H6310 H2719 H0853 H3605 H5315 H0834 H0870

כְּכֹל אֲשֶׁר־עָשָׂה לְלִבְנָה׃ פ
すべての–通りに ～した 行った リブナに 節–区切り
H3605 H0834 H6213 H3841

主がラキシをイスラエルの手に渡されたので、ふつか目にこれを取り、つるぎをもって、それと、その中のすべての人を撃ち滅ぼした。すべてリブナにしたとおりであった。

33 אָז עָלָה הוֹרָם מֶלֶךְ גֶּזֶר לַעְזֹר אֶת־לָכִישׁ וַיַּכֵּהוּ
その–時 上った ホラムが 王 ゲゼルの 助ける–ために を ラキシュを そして–討った
H0227 H5927 H2036 H4428 H1507 H5826 H0853 H3923 H5221

יְהוֹשֻׁעַ וְאֶת־עַמּוֹ עַד־בִּלְתִּי הִשְׁאִיר־לוֹ שָׂרִיד׃
ヨシュアは そして–を その–民を ～まで ～しない–まで 残さなかった 彼に 生き残った者を
H3091 H0853 H5971 H5704 H1115 H7604 H0834 H8300

その時、ゲゼルの王ホラムが、ラキシを助けるために上ってきたので、ヨシュアは彼と、その民とを撃ち滅ぼして、ついにひとりも残さなかった。

34 וַיַּעֲבֶר יְהוֹשֻׁעַ וְכָל־יִשְׂרָאֵל עִמּוֹ מִלָּכִישׁ עֶגְלֹנָה
そして–進んだ ヨシュアは そして–すべての イスラエルは 彼と–共に ラキシュから エグロンへ
H5674 H3091 H3605 H3478 H5973 H3923 H5700

וַיַּחֲנוּ עָלֶיהָ וַיִּלָּחֲמוּ עָלֶיהָ׃
そして–陣を–張った それに–対して そして–戦った それに–対して
H2583 H3898 H3898

ヨシュアはまたイスラエルのすべての人を率いて、ラキシからエグロンに進み、これに向かって陣をしき、攻め戦った。

35 וַיִּלְכְּדוּהָ בַּיּוֹם הַהוּא בְּיוֹם וַיַּכּוּהָ לְפִי־חָרֶב וְאֶת־כָּל־
そして–それを–占領した その日に その–日に その そして–討った 剣の–刃で 剣で そして–を すべての
H3920 H3117 H1931 H3117 H5221 H6310 H2719 H0853 H3605

נַפְשׁ הַנֶּפֶשׁ אֲשֶׁר־בָּהּ בַּיּוֹם הַהוּא הֶחֱרִים כֹּל עָשָׂה אֲשֶׁר־
魂を ～した その中の その–日に その 聖絶した すべての–通りに 行った ～した
H5315 H0834 H0870 H3117 H1931 H2763 H3605 H6213 H0834

לְלָכִישׁ׃
ラキシュに
H3923

פ
節–区切り

その日これを取り、つるぎをもって、これを撃ち、その中のすべての人を、ことごとくその日に滅ぼした。すべてラキシにしたとおりであった。

36 וַיַּעַל יְהוֹשֻׁעַ וְכָל־יִשְׂרָאֵל עִמּוֹ מֵעֶגְלוֹנָה חֶבְרוֹנָה
そして–上った ヨシュアは そして–すべての イスラエルは 彼と–共に エグロンから ヘブロンへ
H5927 H3091 H3605 H3478 H5973 H5700

וַיִּלָּחֲמוּ עָלֶיהָ׃
そして–戦った それに–対して
H3898

ヨシュアはまたイスラエルのすべての人を率いて、エグロンからヘブロンに進み上り、これを攻めて戦い、

37 וַיִּלְכְּדֻהָ֔ וַיַּכֻּ֥הָ לְפִי־ חָ֖רֶב וְאֶת־ מַלְכָּ֣הּ וְאֶת־ כָּל־ עָרֶ֑יהָ וְאֶת־ כָּל־ הַנֶּ֣פֶשׁ אֲשֶׁר־ בָּ֗הּ לֹא־ הִשְׁאִ֤יר
そして–それを–占領した そして–討った 剣の–刃で 剣で そして–を その–王を そして–を その–町々を 残さなかった ～ない その中の ～した 魂を すべての
H3920 H5221 H6310 H2719 H0853 H4428 H0853 H0853 H3605 H5315 H3808 H7604

שָׂרִ֔יד כְּכֹ֖ל אֲשֶׁר־ עָשָׂ֣ה לְעֶגְל֑וֹן וַיַּחֲרֵם֙ אוֹתָ֣הּ וְאֶת־
生き残った者を すべての–通りに ～した 行った エグロンに そして–聖絶した それを そして–を
H8300 H3605 H5700 H0853 H0853

כָּל־ הַנֶּ֣פֶשׁ אֲשֶׁר־ בָּ֔הּ׃ ס
すべての 魂を ～した その中の 節–区切り
H3605 H5315

それを取って、それと、その王、およびそのすべての町々と、その中のすべての人を、つるぎをもって撃ち滅ぼし、ひとりも残さなかった。すべてエグロンにしたとおりであった。すなわち、それとその中のすべての人を、ことごとく滅ぼした。

38 וַיֵּ֣שָׁב יְהוֹשֻׁ֗עַ וְכָל־ יִשְׂרָאֵל֙ עִמּ֔וֹ דְּבִרָ֖ה וַיִּלָּ֥חֶם
そして–引き返した ヨシュアは そして–すべての イスラエルは 彼と–共に デビルへ そして–戦った
H7725 H3091 H3605 H3478

עָלֶ֖יהָ׃
それに–対して

またヨシュアはイスラエルのすべての人を率いて、デビルへひきかえし、これを攻めて戦い、

39 וַיִּלְכְּדָ֔הּ וַיַּכֶּ֥הָ עָרֶ֖יהָ כָּל־ וְאֶת־ מַלְכָּ֣הּ וְאֶת־ וְאֶת־ כָּל־ הַנֶּ֣פֶשׁ אֲשֶׁר־ בָּ֑הּ לֹא־ הִשְׁאִ֤יר
そして–それを–占領した そして–討った その–町々を すべての そして–を その–王を そして–を 魂を ～した その中の ～ない 残さなかった
H3920 H5221 H3605 H0853 H4428 H0853 H5315 H3605 H0853 H2719 H6310 H3808 H7604

וַיַּחֲרִימוּ֙ אֶת־ כָּל־ חָ֣רֶב לְפִי־ שָׂרִ֔יד כַּאֲשֶׁ֥ר עָשָׂ֖ה לְחֶבְר֑וֹן כֵּ֣ן עָשָׂ֔ה לִדְבִרָ֖ה
そして–聖絶した を すべての 剣で 剣の–刃で 生き残った者を ちょうど–～のように 行った ヘブロンに そのように 行った デビルに
H2719 H6310 H8300 H3808 H0853 H3605 H5315 H3808 H7604

וּלְמַלְכָּ֥הּ וְכַאֲשֶׁ֛ר עָשָׂ֖ה לְלִבְנָ֥ה וּלְמַלְכָּֽהּ׃
そして–その–王に そして–ちょうど–～のように 行った リブナに そして–その–王に
H4428 H3841 H4428

それと、その王、およびそのすべての町々を取り、つるぎをもってそれを撃ち、その中のすべての人を、ことごとく滅ぼし、ひとりも残さなかった。彼がデビルと、その王にしたことは、ヘブロンにしたとおりであり、またリブナと、その王にしたとおりであった。

40 וַיַּכֵּ֣ה יְהוֹשֻׁ֗עַ אֶת־כָּל־הָאָ֤רֶץ הָהָר֙ וְהַנֶּ֔גֶב וְהַשְּׁפֵלָ֖ה
そして-討った ヨシュアは を すべての 地を 山地と そして-ネゲブと そして-低地と
H5221 H3091 H0853 H3605 H0776 H2022 H5045 H8219

וְאֶת־כָּל־מַלְכֵיהֶ֣ם לֹא־הִשְׁאִ֑יר וְאֶת־כָּל־הַנְּשָׁמָ֣ה הֶחֱרִ֔ים כַּאֲשֶׁ֥ר
そして-斜面と そして-を すべての その-王たちを ～ない 残さなかった 生き残った者を そして-を
H0794 H0853 H3605 H4428 H3808 H7604 H8300 H0853

צִוָּ֖ה יְהוָ֥ה אֱלֹהֵ֥י יִשְׂרָאֵֽל׃
命じた 主が 神 イスラエルの
H6680 H3068 H0430 H3478

こうしてヨシュアはその地の全部、すなわち、山地、ネゲブ、平地、および山腹の地と、そのすべての王たちを撃ち滅ぼして、ひとりも残さず、すべて息のあるものは、ことごとく滅ぼした。イスラエルの神、主が命じられたとおりであった。

41 וַיַּכֵּ֣ם יְהוֹשֻׁ֗עַ מִקָּדֵ֤שׁ בַּרְנֵעַ֙ וְעַד־עַזָּ֔ה וְאֶת־כָּל־אֶ֥רֶץ גֹּ֖שֶׁן וְעַד־גִּבְעֽוֹן׃
そして-討った ヨシュアは カデシュ・バルネアから そして-～まで ガザまで そして-を すべての 地を ゴシェンの そして-～まで ギブオンまで
H5221 H3091 H6947 H5704 H5804 H0853 H3605 H0776 H1657 H5704 H1391

ヨシュアはカデシ・バルネアからガザまでの国々、およびゴセンの全地を撃ち滅ぼして、ギベオンにまで及んだ。

42 וַיִּלְכֹּ֣ד יְהוֹשֻׁ֗עַ פַּ֚עַם אֶחָ֔ת כִּ֥י יְהוָ֖ה אֱלֹהֵ֣י יִשְׂרָאֵ֑ל נִלְחָ֖ם לְיִשְׂרָאֵֽל׃
そして-を 一度に 一度に なぜなら 主が 神 イスラエルの 戦って-おられた イスラエルの-ために
H0853 H6471 H0259 H3588 H3068 H0430 H3478 H3478 H3478

イスラエルの神、主がイスラエルのために戦われたので、ヨシュアはこれらすべての王たちと、その地をいちどきに取った。

43 וַיָּ֣שָׁב יְהוֹשֻׁ֗עַ וְכָל־יִשְׂרָאֵל֙ עִמּ֔וֹ אֶל־הַמַּחֲנֶ֖ה הַגִּלְגָּֽלָה׃
そして-帰った ヨシュアは そして-すべての イスラエルは 彼と-共に ～に 陣営に ギルガルの
H7725 H3091 H3605 H3478 H0413 H4264 H1537

פ
節-区切り

そしてヨシュアはイスラエルのすべての人を率いて、ギルガルの陣営に帰った。

Chapter 11

1 וַיְהִי֙ כִּשְׁמֹ֣עַ יָבִ֔ין מֶ֥לֶךְ חָצ֖וֹר וַיִּשְׁלַ֣ח אֶל־יוֹבָ֗ב מֶ֣לֶךְ מָד֑וֹן וְאֶל־מֶ֣לֶךְ שִׁמְר֔וֹן וְאֶל־מֶ֖לֶךְ אַכְשָֽׁף׃
そして-なった 聞いた-とき ヤビン 王 ハツォル そして-遣わした ～へ ヨバブ 王 マドン そして-～へ シムロン そして-～へ 王 アクシャフ
H1961 H8085 H2985 H4428 H2674 H7971 H0413 H3103 H4428 H4068 H0413 H7931 H0413 H4428 H0407

ハゾルの王ヤビンは、これを聞いて、マドンの王ヨバブ、シムロンの王、およびアクサフの王、

2

כְּנֵרוֹת	נֶגֶב	וּבָעֲרָבָה	בָּהָר	מִצָּפוֹן	אֲשֶׁר	הַמְּלָכִים	וַאֶל־
キンネロテ	南-の	そして-アラバ-に	山地-に	北-から	～の	王たち	そして-～へ
H3672	H5045	H6160	H2022	H6828		H4428	H0413

מָיִם׃	דּוֹר	וּבְנָפוֹת	וּבַשְּׁפֵלָה
西-から	ドル	そして-高地-の	そして-低地-に
H3220	H1756		H8219

また北の山地、キンネロテの南のアラバ、平地、西の方のドルの高地におる王たち、

3

וְהַפְּרִזִּי	וְהַחִתִּי	וְהָאֱמֹרִי	וּמִיָּם	מִמִּזְרָח	הַכְּנַעֲנִי	
そして-ペリジ人	そして-ヒッタイト人	そして-エモリ人	そして-西-から	東-から	カナン人	
H6522	H2850	H0567	H3220	H4217		

הַמִּצְפָּה׃	בְּאֶרֶץ	חֶרְמוֹן	תַּחַת	וְהַחִוִּי	בָּהָר	וְהַיְבוּסִי
ミツパ	～の-地-に	ヘルモン	～の-ふもと	そして-ヒビ人	山地-に	そして-エブス人
H4709	H0776	H2768	H8478	H2340	H2022	H2983

すなわち、東西のカナンびと、アモリびと、ヘテびと、ペリジびと、山地のエブスびと、ミヅパの地にあるヘルモンのふもとのヒビびとに使者をつかわした。

4

כַּחוֹל	רָב	עַם־	עִמָּם	מַחֲנֵיהֶם	וְכָל־	הֵם	וַיֵּצְאוּ
砂-のように	多い	民	彼らと-共に	陣営	そして-すべての	彼ら	そして-出て来た
H2344				H4264	H3605	H1992	H3318

מְאֹד׃	רַב־	וָרֶכֶב	וְסוּס	לָרֹב	הַיָּם	שְׂפַת־	עַל־	אֲשֶׁר
非常に	非常に-多い	そして-戦車	そして-馬	おびただしく	海	岸	～の-上	～の
H3966		H7393		H7230	H3220	H8193		

そして彼らは、そのすべての軍勢を率いて出てきた。その大軍は浜べの砂のように数多く、馬と戦車も、ひじょうに多かった。

5

אֶל־	יַחְדָּו	וַיַּחֲנוּ	וַיָּבֹאוּ	הָאֵלֶּה	הַמְּלָכִים	כֹּל	וַיִּוָּעֲדוּ
～の-そば	共に	そして-陣を-張った	そして-来た	これらの	王たち	すべての	そして-集まった
H0413			H0935	H0428	H4428	H3605	H3259

פ	יִשְׂרָאֵל׃	עִם־	לְהִלָּחֶם	מֵרוֹם	מֵי	
節-区切り	イスラエル	～と	戦う-ため	メロム	水	
	H3478			H4792	H4325	

これらの王たちはみな軍を集め、進んできて、共にメロムの水のほとりに陣をしき、イスラエルと戦おうとした。

6

מָחָר	כִּי־	מִפְּנֵיהֶם	תִּירָא	אַל־	יְהוֹשֻׁעַ	אֶל־	יְהוָה	וַיֹּאמֶר
明日	なぜなら	彼らの-前-で	恐れる	～するな	ヨシュア	～に	主	そして-言った
H4279		H6440	H3372	H0408	H3091	H0413	H3068	H0559

לִפְנֵי	חֲלָלִים	כֻּלָּם	אֶת־	נֹתֵן	אָנֹכִי	הַזֹּאת	כָּעֵת
～の-前-に	殺された-者として	彼ら-すべて-を	～を	渡す	わたしは	この	この-時-に
H6440		H3605	H0853	H5414	H0595	H2063	H6256

בָּאֵשׁ׃	תִּשְׂרֹף	מַרְכְּבֹתֵיהֶם	וְאֶת־	תְּעַקֵּר	סוּסֵיהֶם	אֶת־	יִשְׂרָאֵל
火-で	火-で-焼け	彼らの-戦車	そして-～を	足の-腱を-切れ	彼らの-馬	～を	イスラエル
H0784	H8313	H4818	H0853			H0853	H3478

その時、主はヨシュアに言われた、「彼らのゆえに恐れてはならない。あすの今ごろ、わたしは彼らを皆イスラエルに渡して、ことごとく殺させるであろう。あなたは彼らの馬の足の筋を切り、戦車を火で焼かなければならない」。

7 וַיָּבֹא יְהוֹשֻׁעַ וְכָל־עַם הַמִּלְחָמָה עִמּוֹ עֲלֵיהֶם עַל־
そして-来た ヨシュア そして-すべての 民 戦い-の 彼と-共に 彼ら-に-向かって ～の-そば
H0935 H3091 H3605 H4421

פִּתְאֹם׃ בָּהֶם וַיִּפְלֹוּ מֵי מְרֹום
突然 彼ら-に そして-襲いかかった 水 メロム
H6597 H5307 H4325 H4792

そこでヨシュアは、すべてのいくさびとを率いて、にわかにメロムの水のほとりにおし寄せ、彼らを襲った。

8 וַיִּתְּנֵם יְהוָה בְּיַד־יִשְׂרָאֵל וַיַּכּוּם וַיִּרְדְּפוּם עַד־
そして-渡した 主 イスラエル ～の-手-に そして-打った そして-追った ～まで
H5414 H3068 H3478 H3027 H5221 H7291 H5704

צִידֹון מִזְרָחָה מִצְפֵּה בִקְעַת וְעַד־ מַיִם־מִשְׂרְפוֹת וְעַד רַבָּה
シドン 東-の方 ミツパ 谷 そして-～まで ミスレフォテ・マイム そして-～まで 大いなる
H6721 H4217 H4708 H1237 H5704 H4956 H5704

שָׂרִיד׃ לָהֶם הִשְׁאִיר־ בִּלְתִּי עַד־ וַיַּכֻּם
生き残り 彼ら-に 残す 残さ-ない ～まで そして-打った
H8300 H7604 H1115 H5704 H5221

主は彼らをイスラエルの手に渡されたので、これを撃ち破り、大シドンおよびミスレポテ・マイムまで、これを追撃し、東の方では、ミヅパの谷まで彼らを追い、ついにひとりも残さず撃ちとった。

9 וַיַּעַשׂ לָהֶם יְהוֹשֻׁעַ כַּאֲשֶׁר אָמַר־ לוֹ יְהוָה אֶת־ סוּסֵיהֶם
そして-行った 彼ら-に ヨシュア ～の-とおり 言った 彼-に 主 ～を 彼らの-馬
H0559 H0853 H3068 H3091

עָקַר אֶת־ וְ מַרְכְּבֹתֵיהֶם שָׂרַף בָּאֵשׁ׃ ס
足の-腱を-切った そして-～を 彼らの-戦車 焼いた 火-で 節-区切り
H0853 H4818 H8313 H0784

ヨシュアは主が命じられたとおりに彼らに行い、彼らの馬の足の筋を切り、戦車を火で焼いた。

10 וַיָּשָׁב יְהוֹשֻׁעַ בָּעֵת הַהִיא וַיִּלְכֹּד אֶת־ חָצֹור וְאֶת־
そして-引き返した ヨシュア その-時-に その 占領した ～を ハツォル そして-～を
H7725 H3091 H6256 H1931 H3920 H0853 H2674 H0853

מַלְכָּהּ הִכָּה בֶחָרֶב כִּי־ חָצֹור לְפָנִים הִיא רֹאשׁ כָּל־ הַמַּמְלָכֹות
その-王 打った 剣-で なぜなら ハツォル 以前は それは 首都 すべての 王国
H4428 H5221 H2719 H3588 H2674 H6440 H1931 H7218 H3605 H4467

הָאֵלֶּה׃
これら-の
H0428

その時、ヨシュアはひきかえして、ハゾルを取り、つるぎをもって、その王を撃った。ハゾルは昔、これらすべての国々の盟主であったからである。

11 וַיַּכּוּ אֶת־ כָּל־ הַנֶּפֶשׁ אֲשֶׁר־ בָּהּ לְפִי־ חֶרֶב הַחֲרֵם
そして-打った ～を すべての 命-ある-もの ～の その中-の 剣-の-刃-で 聖絶した
H5221 H0853 H3605 H5315 H3588 H6310 H2719

בָּאֵשׁ׃ שָׂרַף חָצֹור וְאֶת־ נְשָׁמָה כָּל־ נוֹתַר לֹא
火-で 焼いた ハツォル そして-～を 息-ある-もの すべての 残った 残ら-なかった
H0784 H8313 H2674 H0853 H5397 H3605 H3498 H3808

彼らはつるぎをもって、その中のすべての人を撃ち、ことごとくそれを滅ぼし、息のあるものは、ひとりも残さなかった。そして火をもってハゾルを焼いた。

12

מַלְכֵיהֶם	כָּל־	וְאֶת־	הָאֵלֶּה	הַמְּלָכִים־	עָרֵי	כָּל־	וְאֶת־	
彼らの–王たち	すべての	そして–〜を	これら–の	王たち–の	町々	すべての	そして–〜を	
H4428	H3605	H0853	H0428	H4428		H3605	H0853	

צִוָּה	כַּאֲשֶׁר	אוֹתָם	הֶחֱרִים	חֶרֶב	לְפִי־	וַיַּכֵּם	יְהוֹשֻׁעַ	לָכַד
命じた	〜の–とおり	彼ら–を	聖絶した	剣	剣–の–刃–で	そして–打った	ヨシュア	占領した
H6680		H0853		H2719	H6310	H5221	H3091	H3920

יְהוָה׃	עֶבֶד	מֹשֶׁה
主–の	しもべ	モーセ
H3068	H5650	H4872

ヨシュアはこれらの王たちのすべての町々、およびその諸王を取り、つるぎをもって、これを撃ち、ことごとく滅ぼした。主のしもべモーセが命じたとおりであった。

13

שְׂרָפָם	לֹא	תִּלָּם	עַל־	הָעֲמֻדוֹת	הֶעָרִים	כָּל־	רַק
焼かなかった	〜しなかった	その–丘	〜の–上–に	丘–の上に–立つ	町々	すべての	ただし
H8313	H3808	H8510		H5975		H3605	H7535

יְהוֹשֻׁעַ׃	שָׂרַף	לְבַדּ־	חָצוֹר	אֶת־	זוּלָתִי	יִשְׂרָאֵל	
ヨシュア	焼いた	だけ–は	ハツォル	〜を	ただし	イスラエル	
H3091	H8313	H0905	H2674	H0853	H2108	H3478	

ただし、丘の上に立っている町々をイスラエルは焼かなかった。ヨシュアはただハゾルだけを焼いた。

14

בְּנֵי	לָהֶם	בָּזְזוּ	וְהַבְּהֵמָה	הָאֵלֶּה	הֶעָרִים	שְׁלַל	וְכֹל
子ら	自分たち–のため–に	奪い取った	そして–家畜	これら–の	町々–の	戦利品	そして–すべての
	H1992	H0962	H0929	H0428		H7998	H3605

הִשְׁמִדָם	עַד־	חֶרֶב	לְפִי־	הִכּוּ	הָאָדָם	כָּל־	אֶת־	רַק	יִשְׂרָאֵל
滅ぼし–尽くす	〜まで	剣	剣–の–刃–で	打った	人	すべての	〜を	ただし	イスラエル–の
H8045	H5704	H2719	H6310	H5221	H0120	H3605	H0853	H7535	H3478

נְשָׁמָה׃	כָּל־	הִשְׁאִירוּ	לֹא	אוֹתָם
息–ある–もの	すべての	残した	残さ–なかった	彼ら–を
H5397	H3605	H7604	H3808	H0853

これらの町のすべてのぶんどり物と家畜とは、イスラエルの人々が戦利品として取ったが、人はみなつるぎをもって、滅ぼし尽し、息のあるものは、ひとりも残さなかった。

15

אֶת־	מֹשֶׁה	צִוָּה	כֵּן־	עַבְדּוֹ	מֹשֶׁה	אֶת־	יְהוָה	צִוָּה	כַּאֲשֶׁר
〜に	モーセ	命じた	そのように	その–しもべ	モーセ	〜に	主	命じた	〜の–とおり
H0853	H4872	H6680		H5650	H4872	H0853	H3068	H6680	

מִכֹּל	דָּבָר	הֵסִיר	לֹא־	יְהוֹשֻׁעַ	עָשָׂה	וְכֵן	יְהוֹשֻׁעַ
すべて–から	言葉	取り除いた	取り除か–なかった	ヨシュア	行った	そして–そのように	ヨシュア
H3605	H1697	H5493	H3808	H3091			H3091

מֹשֶׁה׃	אֶת־	יְהוָה	צִוָּה	אֲשֶׁר־
モーセ	〜に	主	命じた	〜の
H4872	H0853	H3068	H6680	

主がそのしもべモーセに命じられたように、モーセはヨシュアに命じたが、ヨシュアはそのとおりにおこなった。すべて主がモーセに命じられたことで、ヨシュアが行わなかったことは一つもなかった。

16

הַנֶּגֶב	כָּל־	וְאֶת־	הָהָר	הַזֹּאת	הָאָרֶץ	כָּל־	אֶת־	יְהוֹשֻׁעַ	וַיִּקַּח
ネゲブ	すべての	そして–〜を	山地	この	この–地	すべての	〜を	ヨシュア	そして–取った
H5045	H3605	H0853	H2022	H2063	H0776	H3605	H0853	H3091	H3947

וְאֶת־	הָעֲרָבָה	וְאֶת־	הַשְּׁפֵלָה	וְאֶת־	הַנֶּגֶב	אֶרֶץ	כָּל־	וְאֵת
そして–〜を	アラバ	そして–〜を	低地	そして–〜を	ゴシェン–の	地	すべての	そして–〜を
H0853	H6160	H0853	H8219	H0853	H1657	H0776	H3605	H0853

וּשְׁפֵלָתָהּ׃	יִשְׂרָאֵל	הַר
そして–その–低地	イスラエル–の	山
H8219	H3478	H2022

こうしてヨシュアはその全地、すなわち、山地、ネゲブの全地、ゴセンの全地、平地、アラバならびにイスラエルの山地と平地を取り、

17

הַלְּבָנוֹן	בִּבְקְעַת	גָּד־בַּעַל	וְעַד־	שֵׂעִיר	הָעוֹלֶה	הֶחָלָק	הָהָר	מִן־
レバノン–の	谷–に	バアル・ガド	そして–〜まで	セイル	上る	なだらかな	山	〜から
H3844	H1237	H1171	H5704		H5927	H2510	H2022	

וַיַּכֵּם	לָכַד	מַלְכֵיהֶם	כָּל־	וְאֵת	חֶרְמוֹן	הַר־	תַּחַת	
そして–打った	捕らえた	彼らの–王たち	すべての	そして–〜を	ヘルモン	山	〜の–ふもと	
H5221	H3920	H4428	H3605	H0853	H2768	H2022	H8478	

וַיְמִיתֵם׃
そして–殺した
H4191

セイルへ上って行く道のハラク山から、ヘルモン山のふもとのレバノンの谷にあるバアルガデまでを獲た。そしてそれらの王たちを、ことごとく捕えて、撃ち殺した。

18

מִלְחָמָה׃	הָאֵלֶּה	הַמְּלָכִים	כָּל־	אֶת־	יְהוֹשֻׁעַ	עָשָׂה	רַבִּים	יָמִים
戦い–を	これら–の	王たち	すべての	〜と	ヨシュア	行った	多くの	日々
H4421	H0428	H4428	H3605	H0854	H3091			H3117

ヨシュアはこれらすべての王たちと、長いあいだ戦った。

19

הַחִוִּי	בִּלְתִּי	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי	אֶל־	הִשְׁלִימָה	אֲשֶׁר	עִיר	הָיְתָה	לֹא־
ヒビ人	〜を–除いて	イスラエル–の	子ら	〜と	和を–結んだ	〜の	町	あった	なかった
H2340	H1115	H3478		H0413				H1961	H3808

בַּמִּלְחָמָה׃	לָקְחוּ	הַכֹּל	אֶת־	גִּבְעוֹן	יֹשְׁבֵי
戦い–で	取った	すべて	〜を	ギブオン	住む
H4421	H3947	H3605	H0853	H1391	H3427

ギベオンの住民ヒビびとのほかには、イスラエルの人々と和を講じた町は一つもなかった。町々はみな戦争をして、攻め取ったものであった。

20

הַמִּלְחָמָה	לִקְרַאת	לִבָּם	אֶת־	לְחַזֵּק	הָיְתָה	וְיהוָה	מֵאֵת	כִּי	
戦い–を	迎え撃つ–ため	彼らの–心	〜を	強くする–ため	あった	主	〜から	なぜなら	
H4421	H7125		H0853	H2388	H1961	H3068	H0854		

כִּי	תְּחִנָּה	לָהֶם	הֱיוֹת־	לְבִלְתִּי	הַחֲרִימָם	לְמַעַן	יִשְׂרָאֵל	אֶת־	
なぜなら	憐れみ	彼ら–に	ある	持たない–ように	聖絶する	〜する–ため–に	イスラエル	〜と	
	H8467	H1992	H1961	H1115		H4616	H3478	H0854	

ס	מֹשֶׁה׃	אֶת־	יְהוָה	צִוָּה	כַּאֲשֶׁר	הַשְׁמִידָם	לְמַעַן	
節–区切り	モーセ	〜に	主	命じた	〜の–とおり	滅ぼす	〜する–ため–に	
	H4872	H0853	H3068	H6680		H8045	H4616	

彼らが心をかたくなにして、イスラエルに攻めよせたのは、もともと主がそうさせられたので、彼らがのろわれた者となり、あわれみを受けず、ことごとく滅ぼされるためであった。主がモーセに命じられたとおりである。

21 וַיָּבֹא יְהוֹשֻׁעַ בָּעֵת הַהִיא וַיַּכְרֵת אֶת־הָעֲנָקִים מִן־הָהָר
そして–来た ヨシュア その –時–に そして–断ち–滅ぼした アナク人 ～から 山地
H0935 H3091 H1931 H6256 H3772 H6062 H0853 H3772 H2022

מִכָּל־יְהוּדָה וּמִכָּל־כָּל־הָהָר עִם־עָרֵיהֶם הֶחֲרִימָם יְהוֹשֻׁעַ׃
ユダ–の 山 そして–すべて–から アナブ ～から デビル ～から ヘブロン ～から
H3063 H2022 H3605 H6024 H3478 H2022 H3605

ヨシュア 聖絶した 彼らの–町々 ～と–共に イスラエル–の 山 そして–すべて–から
H3091

その時、ヨシュアはまた行って、山地、ヘブロン、デビル、アナブ、ユダのすべての山地、イスラエルのすべての山地から、アナクびとを断ち、彼らの町々をも共に滅ぼした。

22 לֹא־נוֹתַר עֲנָקִים בְּאֶרֶץ בְּנֵי יִשְׂרָאֵל רַק בְּעַזָּה בְּגַת
残ら–なかった 残った アナク人 ～の–地–に 子ら イスラエル–の ただし ガザ–に ガテ–に
H3808 H3498 H6062 H0776 H1121 H3478 H7535 H5804 H1661

וּבְאַשְׁדּוֹד נִשְׁאָרוּ׃
そして–アシュドド–に 残った
H0795 H7604

それでイスラエルの人々の地に、アナクびとは、ひとりもいなくなった。ただガサ、ガテ、アシドドには、少し残っているだけであった。

23 וַיִּקַּח יְהוֹשֻׁעַ אֶת־כָּל־הָאָרֶץ כְּכֹל אֲשֶׁר דִּבֶּר יְהוָה אֶל־
そして–取った ヨシュア ～を すべての この–地 ～の–とおり 語った 主 ～に
H3947 H3091 H0853 H3605 H0776 H3605 H1696 H3068 H0413

מֹשֶׁה וַיִּתְּנָהּ יְהוֹשֻׁעַ לְנַחֲלָה לְיִשְׂרָאֵל כְּמַחְלְקֹתָם לִשְׁבָטֵיהֶם
モーセ そして–与えた ヨシュア 嗣業–として イスラエル–に その–分割–に–従い その–部族–に–従い
H4872 H5414 H3091 H5159 H3478 H4256 H7626

וְהָאָרֶץ שָׁקְטָה מִמִּלְחָמָה׃ פ
そして–この–地 安らぎを–得た 戦い–から 節–区切り
H0776 H8252 H4421

こうしてヨシュアはその地を、ことごとく取った。すべて主がモーセに告げられたとおりである。そしてヨシュアはイスラエルの部族にそれぞれの分を与えて、嗣業とさせた。こうしてその地に戦争はやんだ。

Chapter 12

1 וְאֵלֶּה מַלְכֵי הָאָרֶץ אֲשֶׁר הִכּוּ בְנֵי־יִשְׂרָאֵל וַיִּרְשׁוּ
そして–これらは 王たち この–地–の ～の 打った 子ら イスラエル–の そして–占領した
H0428 H4428 H0776 H0834 H5221 H1121 H3478 H3423

אֶת־אַרְצָם מֵעֵבֶר לְיַרְדֵּן מִזְרָחָה הַיַּרְדֵּן מִנַּחַל הַשַּׁמֶשׁ מִזְרָחָה עַד־הָר
彼らの–地 ～を ～に向こう側–に ヨルダン 東 日–の 川–から アルノン ～まで 山
H0776 H0853 H5676 H3383 H4217 H8121 H5158 H0769 H5704 H2022

חֶרְמוֹן וְכָל־הָעֲרָבָה מִזְרָחָה׃
ヘルモン そして–すべての アラバ 東–の方
H2768 H3605 H6160 H4217

さてヨルダンの向こう側、日の出の方で、アルノンの谷からヘルモン山まで、および東アラバの全土のうちで、イスラエルの人々が撃ち滅ぼして地を取った国の王たちは、次のとおりである。

2

סִיחֹן	מֶלֶךְ	הָאֱמֹרִי	הַיּוֹשֵׁב	בְּחֶשְׁבּוֹן	מֹשֵׁל	מֵעֲרוֹעֵר	אֲשֶׁר
シホン	王	エモリ人-の	住んでいた	ヘシュボン-に	治めていた	アロエル-から	～の
H5511	H4428	H0567	H3427	H2809	H4910	H6177	

עַל־	שְׂפַת־	נַחַל	אַרְנֹן	וְתוֹךְ	הַנַּחַל	וַחֲצִי	הַגִּלְעָד	וְעַד
～の-上	岸	川	アルノン	そして-中	川-の	そして-半分	ギルアデ-の	そして-～まで
	H8193		H0769	H8432		H2677	H1568	H5704

יַבֹּק	הַנַּחַל	גְּבוּל	בְּנֵי	עַמּוֹן׃
ヤボク	川	境界	子ら	アンモン-の
H2999		H1366		H5983

まず、アモリびとの王シホン。彼はヘシボンに住み、その領地は、アルノンの谷のほとりにあるアロエル、および谷の中の町から、ギレアデの半ばを占めて、アンモンびととの境であるヤボク川に達し、

3

יָם־	הָעֲרָבָה	יָם	וְעַד	מִזְרָחָה	כִּנְרוֹת	יָם	עַד־	וְהָעֲרָבָה
海	アラバ-の	海	そして-～まで	東-の方	キンネロテ	海	～まで	そして-アラバ
H3220	H6160	H3220	H5704	H4217	H3672	H3220	H5704	H6160

הַפִּסְגָּה׃	אַשְׁדּוֹת	תָּחַת	וּמִתֵּימָן	הַיִּשִׁמּוֹתָה	דֶּרֶךְ	מִזְרָחָה	הַמֶּלַח
ピスガ-の	斜面	～の-ふもと	そして-南-から	ベテ・エシモテ-の	道	東-の方	塩-の
H6449	H0794	H8478	H8486	H1020	H1870	H4217	H4417

東の方ではアラバをキンネレテの湖まで占め、またアラバの海すなわち塩の海の東におよび、ベテエシモテの道を経て、南はピスガの山のふもとに達した。

4

בְּעַשְׁתָּרוֹת	הַיּוֹשֵׁב	הָרְפָאִים	מִיֶּתֶר	הַבָּשָׁן	מֶלֶךְ	עוֹג	וּגְבוּל
アシュタロテ-に	住んでいた	レファイム-の	残りの者-の	バシャン-の	王	オグ	そして-領土
H6252	H3427			H1316	H4428	H5747	H1366

וּבְאֶדְרֶעִי׃
そして-エドレイ-に
H0154

次にレパイムの生き残りのひとりであったバシャンの王オグ。彼はアシタロテとエデレイとに住み、

5

גְּבוּל	עַד־	הַבָּשָׁן	וּבְכָל־	וּבְסַלְכָה	חֶרְמוֹן	בְּהַר	וּמֹשֵׁל
境界	～まで	バシャン-に	そして-すべての	そして-サルカ-に	ヘルモン	山-に	そして-治めていた
H1366	H5704	H1316	H3605	H5548	H2768	H2022	H4910

חֶשְׁבּוֹן׃	מֶלֶךְ־	סִיחֹן	גְּבוּל	הַגִּלְעָד	וַחֲצִי	וְהַמַּעֲכָתִי	הַגְּשׁוּרִי
ヘシュボン-の	王	シホン	境界	ギルアデ-の	そして-半分	そして-マアカ人-の	ゲシュル人-の
H2809	H4428	H5511	H1366	H1568	H2677	H4602	H1651

ヘルモン山、サレカ、およびバシャンの全土を領したので、ゲシュルびと、およびマアカびとと境を接し、またギレアデの半ばを領したので、ヘシボンの王シホンと境を接していた。

6

יְהוָה	עֶבֶד־	מֹשֶׁה	וַיַּתְּנָהּ	הִכּוּם	יִשְׂרָאֵל	וּבְנֵי	יְהוָה	עֶבֶד־	מֹשֶׁה
主-の	しもべ	モーセ	そして-与えた	打った	イスラエル-の	そして-子ら	主-の	しもべ	モーセ
H3068	H5650	H4872	H5414	H5221	H3478		H3068	H5650	H4872

סּ	הַמְנַשֶּׁה׃	שֵׁבֶט	וְלַחֲצִי	וְלַגָּדִי	לָרְאוּבֵנִי	יְרֻשָּׁה
節-区切り	マナセ-の	部族	そして-半分-の	そして-ガド人-に	ルベン人-に	所有地-として
	H4519	H7626	H2677	H1425	H7206	H3425

主のしもべモーセと、イスラエルの人々とが、彼らを撃ち滅ぼし、そして主のしもべモーセは、これらの地を、ルベンびと、ガドびと、およびマナセの半部族に与えて所有とさせた。

וְאֵלֶּה	מַלְכֵי	הָאָרֶץ	אֲשֶׁר	הִכָּה	יְהוֹשֻׁעַ	וּבְנֵי	יִשְׂרָאֵל	7
そして-これらは	王たち	この-地-の	～の	打った	ヨシュア	そして-子ら	イスラエル-の	
H0428	H4428	H0776		H5221	H3091		H3478	

בְּעֵבֶר	הַיַּרְדֵּן	יָמָּה	בְּקָעַת	גַּד־מְבָעַל	בִּבְקְעַת	הַלְּבָנוֹן	וְעַד־	הָהָר
～の-向こう側-に	ヨルダン	西-の方	谷-に	バアル・ガド-から	谷-に	レバノン-の	そして-～まで	山
H5676	H3383	H3220	H1237	H1171	H1237	H3844	H5704	H2022

הֶחָלָק	הָעֹלָה	שֵׂעִירָה	וַיִּתְּנָהּ	יְהוֹשֻׁעַ	לִשְׁבָטֵי	יִשְׂרָאֵל	יְרֻשָּׁה
なだらかな	上る	セイル-の方	そして-与えた	ヨシュア	部族-に	イスラエル-の	所有地-として
H2510	H5927			H3091	H7626	H3478	H3425

כְּמַחְלְקָתָם׃
その-分割-に-従い
H4256

ヨルダンのこちら側、西の方にあって、レバノンの谷にあるバアルガデから、セイルへ上って行く道のハラク山までの間で、ヨシュアと、イスラエルの人々とが、撃ち滅ぼした国の王たちは、次のとおりである。ヨシュアは彼らの地をイスラエルの部族に、それぞれの分を与えて嗣業とさせた。

וּבַנֶּגֶב	וּבַמִּדְבָּר	וּבָאֲשֵׁדוֹת	וּבָעֲרָבָה	וּבַשְּׁפֵלָה	וּבָהָר	8
そして-ネゲブ-に	そして-荒野-に	そして-斜面-に	そして-アラバ-に	そして-低地-に	山地-に	
H5045		H0794	H6160	H8219	H2022	

וְהַיְבוּסִי׃	הַחִוִּי	הַפְּרִזִּי	וְהַכְּנַעֲנִי	הָאֱמֹרִי	הַחִתִּי	פ
そして-エブス人	ヒビ人	ペリジ人	そして-カナン人	エモリ人	ヒッタイト人	節-区切り
H2983	H2340	H6522		H0567	H2850	

これは、山地、平地、アラバ、山腹、荒野、およびネゲブであって、ヘテびと、アモリびと、カナンびと、ペリジびと、ヒビびと、エブスびとの所領であった。

אֶחָד׃	בֵּית־אֵל	מִצַּד	אֲשֶׁר־	הָעַי	מֶלֶךְ	אֶחָד	יְרִיחוֹ	מֶלֶךְ	9
―	ベテル	そば-から	～の	アイ-の	王	―	エリコ-の	王	
H0259	H1008	H6654		H5857	H4428	H0259	H3405	H4428	

エリコの王ひとり。ベテルのほとりのアイの王ひとり。

אֶחָד׃	חֶבְרוֹן	מֶלֶךְ	אֶחָד	יְרוּשָׁלַם	מֶלֶךְ	10
―	ヘブロン-の	王	―	エルサレム-の	王	
H0259		H4428	H0259	H3389	H4428	

エルサレムの王ひとり。ヘブロンの王ひとり。

אֶחָד׃	לָכִישׁ	מֶלֶךְ	אֶחָד	יַרְמוּת	מֶלֶךְ	11
―	ラキシュ-の	王	―	ヤルムテ-の	王	
H0259	H3923	H4428	H0259	H3412	H4428	

ヤルムテの王ひとり。ラキシの王ひとり。

אֶחָד׃	גֶּזֶר	מֶלֶךְ	אֶחָד	עֶגְלוֹן	מֶלֶךְ	12
―	ゲゼル-の	王	―	エグロン-の	王	
H0259	H1507	H4428	H0259	H5700	H4428	

エグロンの王ひとり。ゲゼルの王ひとり。

אֶחָד׃	גֶּדֶר	מֶלֶךְ	אֶחָד	דְּבִר	מֶלֶךְ	13
―	ゲデル-の	王	―	デビル-の	王	
H0259	H1445	H4428	H0259		H4428	

デビルの王ひとり。ゲデルの王ひとり。

14	מֶלֶךְ	חָרְמָה	אֶחָד	מֶלֶךְ	עֲרָד	אֶחָד׃
	王	ホルマ-の	一	王	アラド-の	一
	H4428	H2767	H0259	H4428		H0259

ホルマの王ひとり。アラデの王ひとり。

15	מֶלֶךְ	לִבְנָה	אֶחָד	מֶלֶךְ	עֶדְלָם	אֶחָד׃
	王	リブナ-の	一	王	アドラム-の	一
	H4428	H3841	H0259	H4428	H5725	H0259

リブナの王ひとり。アドラムの王ひとり。

16	מֶלֶךְ	מַקֵּדָה	אֶחָד	מֶלֶךְ	בֵּית־אֵל	אֶחָד׃
	王	マケダ-の	一	王	ベテル-の	一
	H4428	H4719	H0259	H4428	H1008	H0259

マッケダの王ひとり。ベテルの王ひとり。

17	מֶלֶךְ	תַּפּוּחַ	אֶחָד	מֶלֶךְ	חֵפֶר	אֶחָד׃
	王	タプアハ-の	一	王	ヘフェル-の	一
	H4428		H0259	H4428		H0259

タップアの王ひとり。ヘペルの王ひとり。

18	מֶלֶךְ	אֲפֵק	אֶחָד	מֶלֶךְ	לַשָּׁרוֹן	אֶחָד׃
	王	アフェク-の	一	王	シャロン-の	一
	H4428	H0663	H0259	H4428	H8289	H0259

アペクの王ひとり。シャロンの王ひとり。

19	מֶלֶךְ	מָדוֹן	אֶחָד	מֶלֶךְ	חָצוֹר	אֶחָד׃
	王	マドン-の	一	王	ハツォル-の	一
	H4428	H4068	H0259	H4428	H2674	H0259

マドンの王ひとり。ハゾルの王ひとり。

20	מֶלֶךְ	מְרֹאוֹן־שִׁמְרוֹן	אֶחָד	מֶלֶךְ	אַכְשָׁף	אֶחָד׃
	王	シムロン・メロン-の	一	王	アクシャフ-の	一
	H4428	H8112	H0259	H4428	H0407	H0259

シムロン・メロンの王ひとり。アクサフの王ひとり。

21	מֶלֶךְ	תַּעְנַךְ	אֶחָד	מֶלֶךְ	מְגִדּוֹ	אֶחָד׃
	王	タアナク-の	一	王	メギド-の	一
	H4428	H8590	H0259	H4428	H4023	H0259

タアナクの王ひとり。メギドの王ひとり。

22	מֶלֶךְ	קֶדֶשׁ	אֶחָד	מֶלֶךְ־	יָקְנְעָם	לַכַּרְמֶל	אֶחָד׃
	王	ケデシュ-の	一	王	ヨクネアム-の	カルメル-の	一
	H4428	H6943	H0259	H4428	H3362	H3760	H0259

ケデシの王ひとり。カルメルのヨクネアムの王ひとり。

23	מֶלֶךְ	דּוֹר	לְנַפַת	דּוֹר	אֶחָד	מֶלֶךְ־	גּוֹיִם	לְגִלְגָּל	אֶחָד׃
	王	ドル-の	高地-の	ドル	一	王	諸国-の	ギルガル-の	一
	H4428	H1756		H1756	H0259	H4428		H1537	H0259

ドルの高地におるドルの王ひとり。ガリラヤのゴイイムの王ひとり。

24

פ	וְאֶחָד׃	שְׁלֹשִׁים	מְלָכִים	כֹּל־	אֶחָד	תִּרְצָה	מֶלֶךְ
節–区切り	そして–一	三十	王たち	すべての	一	ティルツァ–の	王
	H0259	H7970	H4428	H3605	H0259	H8656	H4428

テルザの王ひとり。合わせて三十一王である。

Chapter 13

1

בָּאתָ	זָקַנְתָּה	אַתָּה	אֵלָיו	יְהוָה	וַיֹּאמֶר	בַּיָּמִים	בָּא	זָקֵן	וִיהוֹשֻׁעַ
進んだ	老いた	あなたは	彼–に	主	そして–言った	日々–に	進んだ	老いた	そして–ヨシュア
H0935	H2204		H0413	H3068	H0559	H3117	H0935	H2204	H3091

לְרִשְׁתָּהּ׃	מְאֹד	הָרְבֵּה־	נִשְׁאָרָה	וְהָאָרֶץ	בַּיָּמִים
占領する–ために	多く	非常に	残っている	そして–この–地	日々–に
H3423	H3966		H7604	H0776	H3117

さてヨシュアは年が進んで老いたが、主は彼に言われた、「あなたは年が進んで老いたが、取るべき地は、なお多く残っている。

2

הַגְּשׁוּרִי׃	וְכֹל־	הַפְּלִשְׁתִּים	גְּלִילוֹת	כָּל־	הַנִּשְׁאֶרֶת	הָאָרֶץ	זֹאת
ゲシュル人	そして–すべての	ペリシテ人–の	地域	すべての	残っている	地	これが
H1651	H3605	H6430	H1552	H3605	H7604	H0776	H2063

その残っている地は、次のとおりである。ペリシテびとの全地域、ゲシュルびとの全土、

3

צָפוֹנָה	עֶקְרוֹן	גְּבוּל	וְעַד	מִצְרַיִם	פְּנֵי	עַל־	וְאֲשֶׁר	הַשִּׁחוֹר	מִן־
北–の方	エクロン	境界	そして–～まで	エジプト	面	～の–前	～の	シホル	～から
H6828	H6138	H1366	H5704	H4714	H6440			H7883	

וְהָאַשְׁדּוֹדִי	הָעַזָּתִי	פְּלִשְׁתִּים	סַרְנֵי	וְחֲמִשָּׁה	תֵּחָשֵׁב	לַכְּנַעֲנִי
そして–アシュドド人	ガザ人	ペリシテ人–の	領主たち	五人–の	数えられる	カナン人–に
H0796	H5841	H6430		H2568	H2803	

וְהָעַוִּים׃	וְהָעֶקְרוֹנִי	הַגִּתִּי	הָאַשְׁקְלוֹנִי
そして–アビ人	そして–エクロン人	ガテ人	アシュケロン人
H5757	H6139	H1663	H0832

エジプトの東のシホルから北にのびて、カナンびとに属するといわれるエクロンの境までの地、ペリシテびとの五人の君たちの地、すなわち、ガザ、アシドド、アシケロン、ガテ、およびエクロン。

4

אַפֵקָה	עַד־	לַצִּידֹנִים	אֲשֶׁר	וּמְעָרָה	הַכְּנַעֲנִי	אֶרֶץ	כָּל־	מִתֵּימָן
アフェカ	～まで	シドン人–の	～の	そして–メアラ	カナン人–の	地	すべての	南–から
H0663	H5704	H6722		H4632		H0776	H3605	H8486

הָאֱמֹרִי׃	גְּבוּל	עַד
エモリ人–の	境界	～まで
H0567	H1366	H5704

南のアビびとの地、カナンびとの全地、シドンびとに属するメアラからアモリびとの境にあるアペクまでの部分。

5

תָּחַת	בַּעַל־	הַשֶּׁמֶשׁ	מִזְרָח	הַלְּבָנוֹן	וְכֹל־	הַגִּבְלִי	וְהָאָרֶץ
～の–ふもと	バアル・ガド–から	日–の	東	レバノン	そして–すべての	ゲバル人–の	そして–地
H8478	H1171	H8121	H4217	H3844	H3605	H1382	H0776

חֲמָת׃	לְבוֹא	עַד	חֶרְמוֹן	הַר־
ハマト	入る	～まで	ヘルモン	山
H2574	H0935	H5704	H2768	H2022

またヘルモン山のふもとのバアルガデからハマテの入口に至るゲバルびとの地、およびレバノンの東の全土。

צִידֹנִ֔ים	כָּל־	מַיִם֙מִשְׂרְפֹ֣ת	עַד־	הַלְּבָנ֔וֹן	מִן־	הָהָ֖ר	יֹשְׁבֵ֑י	כָּל־	6
シドン人	すべての	ミスレフォテ・マイム	～まで	レバノン	～から	山地-に	住む	すべての	
H6722	H3605	H4956	H5704	H3844		H2022	H3427	H3605	

לְיִשְׂרָאֵ֖ל	הַפִּלֶָ֥ה	רַ֛ק	יִשְׂרָאֵ֑ל	בְּנֵ֣י	מִפְנֵ֔י	אוֹרִישֵׁ֗ם	אָנֹכִ֙י	
イスラエル-に	分け与えよ	ただし	イスラエル-の	子ら	～の-前-から	追い出す	わたしが	
H3478	H5307	H7535	H3478		H6440	H3423	H0595	

צִוִּיתִֽיךָ׃	כַּאֲשֶׁ֣ר	בְּנַחֲלָ֔ה	
命じた	～の-とおり	嗣業-として	
H6680		H5159	

レバノンからミスレポテ・マイムまでの山地のすべての民、すなわちシドンびとの全土。わたしはみずから彼らをイスラエルの人々の前から追い払うであろう。わたしが命じたように、あなたはその地をイスラエルに分け与えて、嗣業とさせなければならない。

הַשֵּׁבֶט	וַחֲצִי	הַשְּׁבָטִ֖ים	לְתִשְׁעַ֣ת	בְּנַחֲלָ֑ה	הַזֹּ֣את	הָאָ֔רֶץ	אֶת־	חַלֵּ֙ק	וְעַתָּ֤ה	7
部族	そして-半分	部族-に	九-の	嗣業-として	この	この-地	～を	分けよ	そして-今	
H7626	H2677	H7626	H8672	H5159	H2063	H0776	H0853		H6258	

הַמְנַשֶּׁ֖ה׃
マナセ-の
H4519

すなわち、その地を九つの部族と、マナセの半部族とに分け与えて、嗣業とさせなければならない」。

מֹשֶׁ֔ה	לָהֶ֖ם	נָתַ֣ן	אֲשֶׁר֙	נַחֲלָתָ֔ם	לָקְח֣וּ	וְהַגָּדִ֗י	הָרְאוּבֵנִי֙	עִמּ֣וֹ	8
モーセ	彼ら-に	与えた	～の	彼らの-嗣業	受け取った	そして-ガド人	ルベン人	彼と-共に	
H4872		H5414		H5159	H3947	H1425	H7206		

יְהוָֽה׃	עֶ֥בֶד	מֹשֶׁ֛ה	לָהֶ֖ם	נָתַ֑ן	כַּאֲשֶׁ֣ר	מִזְרָ֔חָה	הַיַּרְדֵּ֔ן	בְּעֵ֣בֶר	
主-の	しもべ	モーセ	彼ら-に	与えた	～の-とおり	東-の方	ヨルダン	～の-向こう側-に	
H3068	H5650	H4872		H5414		H4217	H3383	H5676	

マナセの他の半部族と共に、ルベンびとと、ガドびととは、ヨルダンの向こう側、東の方で、その嗣業をモーセから受けた。主のしもべモーセが、彼らに与えたのは、

הַנָּחַ֗ל	בְּתוֹךְ־	אֲשֶׁ֤ר	וְהָעִיר֙	אַרְנ֔וֹן	נַ֣חַל	שְׂפַת־	עַל־	אֲשֶׁר֙	מֵעֲרוֹעֵ֔ר	9
川-の	中-に	～の	そして-町	アルノン	川	岸	～の-上	～の	アロエル-から	
	H8432			H0769		H8193			H6177	

דִּיבֹֽון׃	עַד־	מֵידְבָא֙	הַמִּישֹׁ֔ר	וְכָל־	
ディボン	～まで	メデバ-の	平野	そして-すべての	
H1769	H5704	H4311	H4334	H3605	

アルノンの谷のほとりにあるアロエル、および谷の中にある町から、デボンとメデバの間にある高原のすべての地。

עַד־	בְּחֶשְׁבּ֔וֹן	מָלַ֖ךְ	אֲשֶׁ֣ר	הָאֱמֹרִ֑י	מֶ֣לֶךְ	סִיחֹ֔ן	עָרֵ֣י	וְכֹ֙ל	10
～まで	ヘシュボン-に	治めていた	～の	エモリ人-の	王	シホン-の	町々	そして-すべての	
H5704	H2809			H0567	H4428	H5511		H3605	

עַמּ֖וֹן׃	בְּנֵ֥י	גְּבֻ֛ול
アンモン-の	子ら	境界
H5983		H1366

ヘシボンで世を治めた、アモリびとの王シホンのすべての町々を含めて、アンモンの人々の境までの地。

11

חֶרְמוֹן	הָר	וְכֹל	וְהַמַּעֲכָתִי	הַגְּשׁוּרִי	וּגְבוּל	וְהַגִּלְעָד
ヘルモン	山	そして-すべての	そして-マアカ人-の	ゲシュル人-の	そして-領土	そして-ギルアデ
H2768	H2022	H3605	H4602	H1651	H1366	H1568

סַלְכָה׃	עַד־	הַבָּשָׁן	וְכָל־
サルカ	～まで	バシャン	そして-すべての
H5548	H5704	H1316	H3605

ギレアデと、ゲシュルびと、ならびにマアカびとの領地、ヘルモン山の全土、サルカまでのバシャン全体。

12

וּבְאֶדְרֶעִי	בְּעַשְׁתָּרוֹת	מָלַךְ	אֲשֶׁר־	בַּבָּשָׁן	עוֹג	מַמְלְכוּת	כָּל־
そして-エドレイ-に	アシュタロテ-に	治めていた	～の	バシャン-に	オグ-の	王国	すべての
H0154	H6252			H1316	H5747	H4468	H3605

וַיַּרְשֵׁם׃	מֹשֶׁה	וַיַּכֵּם	הָרְפָאִים	מְיֶתֶר	נִשְׁאַר	הוּא
そして-追い出した	モーセ	そして-打った	レファイム	残りの者-の	残っていた	彼は
H3423	H4872	H5221			H7604	H1931

アシタロテとエデレイで世を治めたバシャンの王オグの全国。オグはレパイムの生き残りであった。モーセはこれらを撃って、追い払った。

13

הַמַּעֲכָתִי	וְאֶת־	הַגְּשׁוּרִי	אֶת־	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי	הוֹרִישׁוּ	וְלֹא
マアカ人	そして-～を	ゲシュル人	～を	イスラエル-の	子ら	追い出した	そして-しなかった
H4602	H0853	H1651	H0853	H3478		H3423	H3808

הַזֶּה׃	הַיּוֹם	עַד	יִשְׂרָאֵל	בְּקֶרֶב	וּמַעֲכָת	גְּשׁוּר	וַיֵּשֶׁב	
この	今日	～まで	イスラエル-の	中-に	そして-マアカ	ゲシュル	そして-住んだ	
H2088	H3117	H5704	H3478	H7130	H4601	H1650	H3427	

ただし、イスラエルの人々は、ゲシュルびとと、マアカびとを追い払わなかった。ゲシュルびとと、マアカびとは、今日までイスラエルのうちに住んでいる。

14

אֱלֹהֵי	יְהוָה	אִשֵּׁי	נַחֲלָה	נָתַן	לֹא	הַלֵּוִי	לְשֵׁבֶט	רַק	
神	主-の	火の-供え物	嗣業	与えた	与え-なかった	レビ-の	部族-に	ただし	
H0430	H3068	H0801	H5159	H5414	H3808	H3878	H7626	H7535	

ס	לוֹ׃	דִּבֶּר־	כַּאֲשֶׁר	נַחֲלָתוֹ	הוּא	יִשְׂרָאֵל	
節-区切り	彼-に	語った	～の-とおり	彼の-嗣業	それが	イスラエル-の	
		H1696		H5159	H1931	H3478	

ただレビの部族には、ヨシュアはなんの嗣業をも与えなかった。イスラエルの神、主の火祭が彼らの嗣業であるからである。主がヨシュアに言われたとおりである。

15

לְמִשְׁפְּחֹתָם׃	רְאוּבֵן	בְּנֵי־	לְמַטֵּה	מֹשֶׁה	וַיִּתֵּן
その-氏族-に-従い	ルベン-の	子ら	部族-に	モーセ	そして-与えた
H4940	H7205		H4294	H4872	H5414

モーセはルベンびとの部族に、その家族にしたがって嗣業を与えたが、

16

אַרְנֹן	נַחַל	שִׂפַת־	עַל־	אֲשֶׁר֙	מֵעֲרוֹעֵר	הַגְּבוּל	לָהֶם	וַיְהִי
アルノン	川	岸	～の-上	～の	アロエル-から	境界	彼ら-に	そして-なった
H0769		H8193			H6177	H1366	H1992	H1961

מֵידְבָא׃	עַל־	הַמִּישֹׁר	וְכָל־	הַנַּחַל	בְּתוֹךְ־	אֲשֶׁר	וְהָעִיר
メデバ	～の-上	平野	そして-すべての	川-の	中-に	～の	そして-町
H4311		H4334	H3605		H8432		

その領域はアルノンの谷のほとりにあるアロエル、および谷の中にある町からメデバのほとりのすべての高原、

17 חֶשְׁבּוֹן וְכָל־ עָרֶיהָ אֲשֶׁר בַּמִּישֹׁר דִּיבוֹן בָּמוֹת בַּעַלוֹ
ヘシュボン そして–すべての その–町々 ～の 平野–に ディボン そして–バモテ・バアル
H2809 H3605 H5892 H4334 H1769 H1120

וּבֵית בָּעַל מְעוֹן׃
そして–ベテ・バアル・メオン
H1010

ヘシボンおよびその高原のすべての町々、デボン、バモテ・バアル、ベテ・バアル・メオン、

18 וְיַהְצָה וּקְדֵמֹת וּמֵפָעַת׃
そして–ヤハツ そして–ケデモト そして–メファアト
H3096 H6932 H4158

ヤハヅ、ケデモテ、メパアテ、

19 וְקִרְיָתַיִם וְשִׂבְמָה וְצֶרֶת הַשַּׁחַר בְּהַר הָעֵמֶק׃
そして–キリヤタイム そして–シブマ そして–ツェレト・ハシャハル 山–に 谷–の
H7156 H7643 H6890 H2022 H6010

キリアタイム、シブマ、谷の中の山にあるゼレテ・シャハル、

20 וּבֵית פְּעוֹר וְאַשְׁדּוֹת הַפִּסְגָּה וּבֵית הַיְשִׁמוֹת׃
そして–ベテ・ペオル そして–斜面 ピスガ–の ベテ・エシモト
H1047 H0794 H6449 H1020

ベテペオル、ピスガの山腹、ベテエシモテ、

21 וְכֹל עָרֵי הַמִּישֹׁר וְכָל־ מַמְלְכוּת סִיחוֹן מֶלֶךְ הָאֱמֹרִי
そして–すべての 町々 平野–の そして–すべての 王国 シホン–の 王 エモリ人–の
H3605 H5892 H4334 H3605 H4468 H5511 H4428 H0567

אֲשֶׁר הִכָּה מֹשֶׁה וְאֹתוֹ נְשִׂיאֵי וְאֶת־
～の 打った モーセ 彼–を そして–～を 首長たち
H5221 H4872 H0853 H0853 H0853

מִדְיָן אֶת־ וְאֶת־ אֱוִי וְאֶת־ רֶקֶם וְאֶת־ צוּר וְאֶת־ חוּר
ミディアン–の ～を そして–～を エヴィ そして–～を レケム そして–～を ツル そして–～を フル
H4080 H0853 H0853 H0189 H0853 H7552 H0853 H6698 H0853 H2354

וְאֶת־ רֶבַע נְסִיכֵי סִיחוֹן יֹשְׁבֵי הָאָרֶץ׃
そして–～を レバ 諸侯 シホン–の 住んでいた この–地–に
H0853 H7254 H5511 H3427 H0776

すなわち高原のすべての町々と、ヘシボンで世を治めたアモリびとの王シホンの全国に及んだ。モーセはシホンを、ミデアンのつかさたちエビ、レケム、ツル、ホルおよびレバと共に撃ち殺した。これらはみなシホンの諸侯であって、その地に住んでいた者である。

22 וְאֶת־ בִּלְעָם בֶּן־ בְּעוֹר הַקּוֹסֵם הָרְגוּ בְּנֵי־ יִשְׂרָאֵל בַּחֶרֶב אֶל־
そして–～を バラム 子 ベオル–の 占い師 殺した 子ら イスラエル–の 剣–で ～と–共に
H0853 H1160 H7080 H2026 H3478 H2719 H0413

חַלְלֵיהֶם׃
彼らの–殺された–者

イスラエルの人々はまたベオルの子、占い師バラムをもつるぎにかけて、そのほかに殺した者どもと共に殺した。

23 וַיְהִי גְּבוּל רְאוּבֵן בְּנֵי־ זֹאת נַחֲלַת בְּנֵי־ רְאוּבֵן לְמִשְׁפְּחֹתָם הֶעָרִים וְחַצְרֵיהֶן׃ פ

そして-なった 境界 ルベン-の 子ら これが 嗣業 ルベン-の 子ら 氏族-に-従い その-町々 その-村々 節-区切り

H1961 H1366 H7205 H1121 H2063 H5159 H7205 H3383 H1366 H4940

ルベンびとの領域はヨルダンを境とした。これはルベンびとが、その家族にしたがって獲た嗣業であって、その町々と村々とを含む。

24 וַיִּתֵּן מֹשֶׁה לְמַטֵּה־ גָּד לִבְנֵי־ גָד לְמִשְׁפְּחֹתָם׃

そして-与えた モーセ 部族-に ガド 子ら-に ガド-の 氏族-に-従い

H5414 H4872 H4294 H1410 H1121 H1410 H4940

モーセはまたガドの部族、ガドの子孫にも、その家族にしたがって、嗣業を与えたが、

25 וַיְהִי לָהֶם הַגְּבוּל יַעְזֵר וְכָל־ עָרֵי הַגִּלְעָד וַחֲצִי

そして-なった 彼ら-に 境界 ヤエゼル そして-すべての 町々 ギルアデ-の 半分

H1961 H1121 H1366 H3270 H3605 H5892 H1568 H2677

אֶרֶץ בְּנֵי עַמּוֹן עַד־ עֲרוֹעֵר אֲשֶׁר עַל־ פְּנֵי רַבָּה׃

地 子ら アンモン-の まで アロエル ～の ～の面 ラバ

H0776 H1121 H5983 H5704 H6177 H0834 H6440 H7237

その領域はヤゼル、ギレアデのすべての町々、アンモンびとの地の半ばで、ラバの東のアロエルまでの地。

26 וּמֵחֶשְׁבּוֹן עַד־ רָמַת הַמִּצְפֶּה וּבְטֹנִים עַד־ מַחֲנַיִם וְעַד־ גְּבוּל לִדְבִר׃

そして-ヘシュボン-から まで ラマテ ミツパ そして-ベトニム まで そして-マハナイム-から まで 境界 リデビル

H2809 H5704 H7434 H4709 H1993 H5704 H4266 H5704 H1366 H3810

ヘシボンからラマテ・ミゾパまでの地、およびベトニム、マハナイムからデビルの境までの地。

27 וּבָעֵמֶק בֵּית הָרָם וּבֵית נִמְרָה וְסֻכּוֹת וְצָפוֹן יֶתֶר

そして-谷-に ベテ・ハラム ベテ・ニムラ そして-スコト そして-ツァフォン 残り

H6010 H1027 H1039 H5523 H6829 H3499

מַמְלְכוּת סִיחוֹן מֶלֶךְ חֶשְׁבּוֹן הַיַּרְדֵּן גְּבֻל וְעַד־ קְצֵה יָם־

王国 シホン-の 王 ヘシュボン-の ヨルダン 境界 そして-まで 端 海

H4468 H5511 H4428 H2809 H3383 H1366 H5704 H7097 H3220

כִּנֶּרֶת עֵבֶר הַיַּרְדֵּן מִזְרָחָה׃

キンネレト-の 向こう側 ヨルダン-の 東-の方

H3672 H5676 H3383 H4217

谷の中ではベテハラム、ベテニムラ、スコテ、およびザポンなど、ヘシボンの王シホンの国の残りの部分。ヨルダンを境として、ヨルダンの東側、キンネレテの湖の南の端までの地。

28 זֹאת נַחֲלַת בְּנֵי־ גָד לְמִשְׁפְּחֹתָם הֶעָרִים וְחַצְרֵיהֶם׃

これが 嗣業 ガド-の 子ら 氏族-に-従い その-町々 その-村々

H2063 H5159 H1410 H1121 H4940 H2691 H7247

これはガドびとが、その家族にしたがって獲た嗣業であって、その町々と村々とを含む。

29 וַיִּתֵּן מֹשֶׁה לַחֲצִי שֵׁבֶט מְנַשֶּׁה וַיְהִי לַחֲצִי מַטֵּה בְנֵי־
そして-与えた モーセ 半分-の 部族 マナセ-の そして-なった 半分-の 部族 子ら
H5414 H4872 H2677 H7626 H4519 H1961 H2677 H4294

מְנַשֶּׁה לְמִשְׁפְּחֹתָם׃
マナセ-の その-氏族-に-従い
H4519 H4940

モーセはまたマナセの半部族にも、嗣業を与えたが、それはマナセの半部族が、その家族にしたがって与えられたものである。

30 וַיְהִי גְבוּלָם מִמַּחֲנַיִם כָּל־הַבָּשָׁן כָּל־מַמְלְכוּת עוֹג
そして-なった 彼らの-境界 マハナイム-から すべての バシャン すべての 王国 オグ-の
H1961 H1366 H4266 H3605 H1316 H3605 H4468 H5747

וְכָל־חַוֹּת יָאִיר אֲשֶׁר בַּבָּשָׁן שִׁשִּׁים עִיר׃
そして-すべての 村々 ヤイル-の ～の バシャン-に 六十 町
H3605 H2333 H2971 H1316 H8346

הַבָּשָׁן לְמָכִיר בֶּן־מְנַשֶּׁה לַחֲצִי בְנֵי־מָכִיר לְמִשְׁפְּחֹתָם׃
バシャン-の 王 マキル-の 子ら 半分-の マナセ-の 子 マキル 子ら-に その-氏族-に-従い
H1316 H4428 H4353 H2677 H4519 H1568 H4353 H4940

その領域はマハナイムからバシャンの全土に及び、バシャンの王オグの全国、バシャンにあるヤイルのすべての町々、すなわちその六十の町。

31 וַחֲצִי הַגִּלְעָד וְעַשְׁתָּרוֹת וְאֶדְרֶעִי עָרֵי מַמְלְכוּת עוֹג
そして-半分 ギルアデ-の そして-アシュタロテ そして-エドレイ 町々 王国 オグ-の
H2677 H1568 H6252 H0154 H4468 H5747

בַּבָּשָׁן לִבְנֵי מָכִיר בֶּן־מָכִיר לַחֲצִי בְנֵי־מְנַשֶּׁה לְמִשְׁפְּחֹתָם׃
バシャン-に 子ら-に マキル 子 マキル-の 半分-の 子ら マナセ-の その-氏族-に-従い
H1316 H4428 H4353 H2677 H4519 H4940

またギレアデの半ば、バシャンのオグの国の町であるアシタロテとエデレイ。これらはマナセの子マキルの子孫に与えられた。すなわちマキルの子孫の半ばが、その家族にしたがって、それを獲た。

32 אֵלֶּה אֲשֶׁר־נָחַל מֹשֶׁה בְּעַרְבוֹת מוֹאָב מֵעֵבֶר לְיַרְדֵּן יְרִיחוֹ
これらは ～の 分け与えた モーセ 平野-に モアブ-の 向こう側-から ヨルダン-の エリコ
H0428 H5157 H4872 H6160 H4124 H5676 H3383 H3405

סּ מִזְרָחָה׃
節-区切り 東-の方
H4217

これらはヨルダンの向こう側、エリコの東のモアブの平野で、モーセが分け与えた嗣業である。

33 וְלִשֵּׁבֶט הַלֵּוִי לֹא־נָתַן מֹשֶׁה נַחֲלָה יְהוָה אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל
そして-部族-に レビ-の 与え-なかった 与えた モーセ 嗣業 主 神 イスラエル-の
H7626 H3878 H3808 H5414 H4872 H5159 H3068 H0430 H3478

כַּאֲשֶׁר דִּבֶּר לָהֶם׃ נַחֲלָתָם הוּא
～の-とおり 語った 彼ら-に 彼らの-嗣業 それが
H1696 H5159 H1931

ただし、レビの部族には、モーセはなんの嗣業をも与えなかった。イスラエルの神、主がその嗣業だからである。主がモーセに言われたとおりである。

Chapter 14

1

וְאֵלֶּה	אֲשֶׁר־	נָחֲלוּ	בְּנֵי־	יִשְׂרָאֵל	בְּאֶרֶץ	כְּנָעַן	אֲשֶׁר
そして–これらは	～の	受け継いだ	子ら	イスラエル–の	～の–地–に	カナン	～の
H0428		H5157		H3478	H0776		

נָחֲלוּ	אוֹתָם	אֶלְעָזָר	הַכֹּהֵן	וִיהוֹשֻׁעַ	בִּן־	נוּן	וְרָאשֵׁי
分け与えた	彼ら–に	エルアザル	祭司	そして–ヨシュア	子	ヌン–の	そして–かしらたち
H5157	H0853	H0499	H3548	H3091		H5126	

אֲבוֹת	הַמַּטּוֹת	לִבְנֵי	יִשְׂרָאֵל׃	
父たち–の	部族–の	子ら–の	イスラエル	
H0001	H4294		H3478	

イスラエルの人々が、カナンの地で受けた嗣業の地は、次のとおりである。すなわち、祭司エレアザル、ヌンの子ヨシュア、およびイスラエルの人々の部族の首長たちが、これを彼らに分かち、

2

לְתִשְׁעַת	מֹשֶׁה	בְּיַד־	יְהוָה	צִוָּה	כַּאֲשֶׁר	נַחֲלָתָם	בְּגוֹרָל
九–の	モーセ	～の–手–によって	主	命じた	～の–とおり	彼らの–嗣業	くじ–によって
H8672	H4872	H3027	H3068	H6680		H5159	H1486

הַמַּטּוֹת׃	וַחֲצִי	הַמַּטֶּה	
部族–の	そして–半分	部族–に	
H4294	H2677	H4294	

主がモーセによって命じられたように、くじによって、これを九つの部族と、半ばの部族とに、嗣業として与えた。

3

לַיַּרְדֵּן	מֵעֵבֶר	הַמַּטֶּה	וַחֲצִי	הַמַּטּוֹת	שְׁנֵי	נַחֲלַת	מֹשֶׁה	נָתַן	כִּי־
ヨルダン–の	向こう側–に	部族–の	そして–半分	部族–に	二–の	嗣業	モーセ	与えた	なぜなら
H3383	H5676	H4294	H2677	H4294	H8147	H5159	H4872	H5414	

בְּתוֹכָם׃	נַחֲלָה	נָתַן	לֹא־	וְלַלְוִיִּם	
彼らの–中–に	嗣業	与えた	与え–なかった	そして–レビ人–に	
H8432	H5159	H5414	H3808	H3881	

これはヨルダンの向こう側で、モーセがすでに他の二つの部族と、半ばの部族とに、嗣業を与えていたからである。ただしレビびとには、彼らの中で嗣業を与えず、

4

וְאֶפְרָיִם	מְנַשֶּׁה	מַטּוֹת	שְׁנֵי	יוֹסֵף	בְּנֵי־	הָיוּ	כִּי־	
そして–エフライム	マナセ	部族	二–の	ヨセフ–の	子ら	あった	なぜなら	
H0669	H4519	H4294	H8147	H3130		H1961		

עָרִים	אִם־	כִּי	בָּאָרֶץ	לַלְוִיִּם	חֵלֶק	נָתְנוּ֙	וְלֹא־	
町々	～を–除いて	ただし	この–地–に	レビ人–に	分け前	与えた	そして–与えなかった	
			H0776	H3881		H5414	H3808	

וּלְקִנְיָנָם׃	לְמִקְנֵיהֶם	וּמִגְרְשֵׁיהֶם	לָשֶׁבֶת
そして–彼らの–財産–のため	彼らの–家畜–のため	そして–その–放牧地	住む–ため–の
H7075	H4735	H4054	H3427

ヨセフの子孫が、マナセと、エフライムの二つの部族となったからである。レビびとには土地の分け前を与えず、ただ、その住むべき町々および、家畜と持ち物とを置くための放牧地を与えたばかりであった。

5

יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי	עָשׂוּ	כֵּן	מֹשֶׁה	אֶת־	יְהוָה	צִוָּה	כַּאֲשֶׁר
イスラエル–の	子ら	行った	そのように	モーセ	～に	主	命じた	～の–とおり
H3478				H4872	H0853	H3068	H6680	

פ	הָאָרֶץ׃	אֶת־	וַיְחַלְּקוּ
節–区切り	この–地	～を	そして–分けた
	H0776	H0853	

イスラエルの人々は、主がモーセに命じられたようにおこなって、その地を分けた。

6 וַיִּגְּשׁוּ בְנֵי־יְהוּדָה אֶל־יְהוֹשֻׁעַ בַּגִּלְגָּל וַיֹּאמֶר אֵלָיו כָּלֵב
そして–近づいた 子ら– ユダ–の 〜に ヨシュア ギルガル–に そして–言った 彼–に カレブ
H5066 H1121 H3063 H0413 H3091 H1537 H0559 H0413 H3612

הַקְּנִזִּי אַתָּה יָדַעְתָּ אֶת־הַדָּבָר אֲשֶׁר־דִּבֶּר יְהוָה אֶל־מֹשֶׁה אִישׁ־הָאֱלֹהִים עָלַי וְעָלֶיךָ בְּקָדֵשׁ בַּרְנֵעַ׃
ケナズ人 あなたは 知っている 〜を この–ことば 〜の 語った 主 モーセ 人 神–の 〜について わたしの–こと そして–〜について あなたの–こと カデシュ・バルネア–で
H7074 H0859 H3045 H0853 H1697 H0834 H1696 H3068 H0413 H0376 H0430 H0589 H0182 H0854 H0182 カデシュ・バルネア–で H6947

時に、ユダの人々がギルガルのヨシュアの所にきて、ケニズびとエフンネの子カレブが、ヨシュアに言った、「主がカデシ・バルネアで、あなたとわたしとについて、神の人モーセに言われたことを、あなたはごぞんじです。

7 בֶּן־אַרְבָּעִים שָׁנָה אָנֹכִי בְּשָׁלְחַ מֹשֶׁה עֶבֶד־יְהוָה אֹתִי מִקָּדֵשׁ בַּרְנֵעַ
〜の–子 四十 歳 わたしは 遣わした–とき モーセ しもべ 主–の わたし–を カデシュ・バルネア–から
H1121 H0705 H8141 H0595 H7971 H4872 H5650 H3068 H0853 H6947

לְרַגֵּל אֶת־הָאָרֶץ וָאָשֶׁב אֹתוֹ דָּבָר כַּאֲשֶׁר עִם־לְבָבִי׃
偵察する–ため 〜を この–地 そして–報告した 彼–に ことば 〜の–とおり 〜と–共に わたしの–心
H7270 H0853 H0776 H7725 H0853 H1697 H0834 H6947 H3824

主のしもべモーセが、この地を探るために、わたしをカデシ・バルネアからつかわした時、わたしは四十歳でした。そしてわたしは、自分の信ずるところを復命しました。

8 וְאַחַי הֶעֱלוּ עָלָיו אֲשֶׁר אֶת־לֵב הָעָם הִמְסִיּוּ עִמִּי
そして–わたしの–兄弟たち 上った 〜の 〜を 民–の 心
H0251 H5927 H0834 H4529 H0853 H3820 わたしと–共に

וְאָנֹכִי מִלֵּאתִי אַחֲרֵי יְהוָה אֱלֹהָי׃
そして–わたしは 従い–尽くした 〜の–後–に 主 わたしの–神
H0589 H4390 H0310 H3068 H0430

しかし、共に上って行った兄弟たちは、民の心をくじいてしまいましたが、わたしは全くわが神、主に従いました。

9 וַיִּשָּׁבַע מֹשֶׁה בַּיּוֹם הַהוּא לֵאמֹר אִם־לֹא הָאָרֶץ אֲשֶׁר דָּרְכָה
そして–誓った モーセ その–日–に その 言って 必ず 〜ではないか 地 〜の 踏んだ
H7650 H4872 H3117 H1931 H0559 H0518 H3808 H0776 H0834 H1869

רַגְלְךָ בָּהּ לְנַחֲלָה תִּהְיֶה לְךָ וּלְבָנֶיךָ עַד־עוֹלָם
あなたの–足 その上–を 嗣業–として なる あなた–に そして–あなたの–子ら–に 〜まで 永遠–に
H7272 H0929 H5159 H1961 H0518 H5704 H5769

כִּי מִלֵּאתָ אַחֲרֵי יְהוָה אֱלֹהָי׃
なぜなら 従い–尽くした 〜の–後–に 主 わたしの–神
H0834 H4390 H0310 H3068 H0430

その日モーセは誓って、言いました、『おまえの足で踏んだ地は、かならず長くおまえと子孫との嗣業となるであろう。おまえが全くわが神、主に従ったからである』。

10

וְעַתָּה	הִנֵּה	חִיָּנִי	יְהוָה	אֹתִי	כַּאֲשֶׁר	דִּבֶּר	זֶה	אַרְבָּעִים
そして–今	見よ	生かしてくださった	主	わたし–を	～の–とおり	語った	この	四十
H6258	H2009	H2421	H3068	H0853		H1696	H2088	H0705

וְחָמֵשׁ	שָׁנָה	מֵאָז	דִּבֶּר	יְהוָה	אֶת־	הַדָּבָר	הַזֶּה	אֶל־	מֹשֶׁה	אֲשֶׁר־	הָלַךְ
そして–五	年	～から	語った	主	～を	この–ことば	この	～に	モーセ	～の	歩んだ
H2568	H8141		H1696	H3068	H0853	H1697	H2088	H0413	H4872		H1980

יִשְׂרָאֵל	בַּמִּדְבָּר	וְעַתָּה	הִנֵּה	אָנֹכִי	הַיּוֹם	בֶּן־	חָמֵשׁ	וּשְׁמוֹנִים	שָׁנָה׃
イスラエル	荒野–で	そして–今	見よ	わたしは	今日	～の–子	五	そして–八十	歳
H3478		H6258	H2009	H0595	H3117		H2568	H8084	H8141

主がこの言葉をモーセに語られた時からこのかた、イスラエルが荒野に歩んだ四十五年の間、主は言われたように、わたしを生きながらえさせてくださいました。わたしは今日すでに八十五歳ですが、

11

עוֹדֶנִּי	הַיּוֹם	חָזָק	כַּאֲשֶׁר	בְּיוֹם	שְׁלָחַנִי	אוֹתִי	מֹשֶׁה
まだ–わたしは	今日	強い	～の–とおり	日–に	遣わした	わたし–を	モーセ
H5750	H3117	H2389		H3117	H7971	H0853	H4872

וְלָצֵאת	לַמִּלְחָמָה	עַתָּה	וּכְכֹחִי	אָז	כְּכֹחִי
そして–出る–ため	戦い–のため–に	今	そして–わたしの–力–のように	その時	わたしの–力–のように
H3318	H4421	H6258			

וְלָבוֹא׃
そして–入る–ため
H0935

今もなお、モーセがわたしをつかわした日のように、健やかです。わたしの今の力は、あの時の力に劣らず、どんな働きにも、戦いにも堪えることができます。

12

וְעַתָּה	תְּנָה־	לִי	אֶת־	הָהָר	הַזֶּה	אֲשֶׁר־	דִּבֶּר	יְהוָה	בַּיּוֹם	הַהוּא
そして–今	与えよ	わたし–に	～を	この–山	この	～の	語った	主	その–日–に	その
H6258	H5414		H0853	H2022	H2088		H1696	H3068	H3117	H1931

כִּי	אַתָּה־	שָׁמַעְתָּ	בַּיּוֹם	הַהוּא	כִּי־	עֲנָקִים	שָׁם	וְעָרִים	גְּדֹלוֹת
なぜなら	あなたは	聞いた	その–日–に	その	なぜなら	アナク人	そこに	そして–町々	大きな
		H8085	H3117	H1931		H6062	H8033		

בְּצֻרוֹת	אוּלַי	יְהוָה	אִתִּי	וְהוֹרַשְׁתִּים	כַּאֲשֶׁר	דִּבֶּר	יְהוָה׃
堅固な	おそらく	主	わたしと–共に	そして–追い出す	～の–とおり	語った	主
H1219	H0194	H3068	H0854	H3423		H1696	H3068

それで主があの日語られたこの山地を、どうか今、わたしにください。あの日あなたも聞いたように、そこにはアナキびとがいて、その町々は大きく堅固です。しかし、主がわたしと共におられて、わたしはついには、主が言われたように、彼らを追い払うことができるでしょう」。

13

וַיְבָרְכֵהוּ	יְהוֹשֻׁעַ	וַיִּתֶּן	אֶת־	חֶבְרוֹן	לְכָלֵב	בֶּן־	יְפֻנֶּה
そして–祝福した	ヨシュア	そして–与えた	～を	ヘブロン	カレブ–に	子	エフンネ–の
H1288	H3091	H5414	H0853		H3612		H3312

לְנַחֲלָה׃
嗣業–として
H5159

そこでヨシュアはエフンネの子カレブを祝福し、ヘブロンを彼に与えて嗣業とさせた。

14

לְנַחֲלָה	הַקְּנִזִּי	יְפֻנֶּה	בֶּן־	לְכָלֵב	חֶבְרוֹן	הָיְתָה־	כֵּן	עַל־
嗣業–として	ケナズ人	エフンネ–の	子	カレブ–の	ヘブロン	なった	そのように	それ–ゆえ
H5159	H7074	H3312		H3612		H1961		

יִשְׂרָאֵל׃	אֱלֹהֵי	יְהוָה	אַחֲרֵי	מִלְּא	אֲשֶׁר	יַעַן	הַזֶּה	הַיּוֹם	עַד
イスラエル–の	神	主	～の–後–に	従い–尽くした	～の	なぜならば	この	今日	～まで
H3478	H0430	H3068		H4390		H3282	H2088	H3117	H5704

こうしてヘブロンは、ケニズびとエフンネの子カレブの嗣業となって、今日に至っている。彼が全くイスラエルの神、主に従ったからである。

15

הוּא	בָּעֲנָקִים	הַגָּדוֹל	הָאָדָם	אַרְבַּעקַרְיַת	לְפָנִים	חֶבְרוֹן	וְשֵׁם	
彼は	アナク人–の中の	大いなる	人	キリヤト・アルバ	以前は	ヘブロン–の	そして–名	
H1931	H6062		H0120	H7153	H6440		H8034	

	פ	מִמִּלְחָמָה׃	שָׁקְטָה	וְהָאָרֶץ	
	節–区切り	戦い–から	安らぎを–得た	そして–この–地	
		H4421	H8252	H0776	

ヘブロンの名は、もとはキリアテ・アルバといった。アルバは、アナキびとのうちの、最も大いなる人であった。こうしてこの地に戦争はやんだ。

Chapter 15

1

אֱדוֹם	גְּבוּל	אֶל־	לְמִשְׁפְּחֹתָם	יְהוּדָה	בְּנֵי	לְמַטֵּה	הַגּוֹרָל	וַיְהִי	
エドム	境界–の	～へ	その–氏族–ごとに	ユダ	子ら–の	部族–の	くじ	そして–あった	
H0123	H1366	H0413	H4940	H3063		H4294	H1486	H1961	

תֵּימָן׃	מִקְצֵה	נֶגְבָּה	צִן	מִדְבַּר־
テマン	端–から	南–へ	ツィン	荒野–の
H8486		H5045	H6790	

ユダの人々の部族が、その家族にしたがって、くじで獲た地は、南の方では、エドムの境に達し、南のはてにあるチンの荒野に及んでいた。

2

נֶגְבָּה׃	הַפְּנֵה	הַלָּשׁוֹן	מִן־	הַמֶּלַח	יָם	מִקְצֵה	נֶגֶב	גְּבוּל	לָהֶם
南–へ	向く	舌状–の	～から	塩	海–の	端–から	南	境界–の	彼ら–に
H5045	H6437	H3956		H4417	H3220		H5045	H1366	H1992

וַיְהִי	
そして–あった	
H1961	

その南の境は、塩の海の南の端の、入海から起り、

3

מִנֶּגֶב	וְעָלָה	צִנָה	וְעָבַר	עַקְרַבִּים	לְמַעֲלֵה	מִנֶּגֶב	אֶל־	וְיָצָא	
南–から	そして–上り	ツィナ	そして–通り	アクラビム	上り坂–の	南–から	～へ	そして–出た	
H5045	H5927	H6790		H4610	H4610	H5045	H0413	H3318	

הַקַּרְקָעָה׃	וְנָסַב	אַדָּרָה	וְעָלָה	חֶצְרוֹן	וְעָבַר	בַּרְנֵעַלְקָדֵשׁ
カルカア	そして–回り	アダラ	そして–上り	ヘツロン	そして–通り	カデシュ・バルネア–へ
H7173	H5437	H0146	H5927	H2696		H6947

アクラビムの坂の南に出てチンに進み、カデシ・バルネアの南から上って、ヘヅロンに進み、アダルに上っていって、カルカに回り、

4

תֹּצְאוֹת	)וְהָיוּ(	]והיה[	מִצְרַיִם	נַחַל	וְיָצָא	עַצְמוֹנָה	וְעָבַר	
境界–の–果て	そして–あった	そして–あった	エジプト	川–の	そして–出た	アツモナ	そして–通り	
H8444	H1961	H1961	H4714		H3318	H6111		

נֶגֶב׃	גְּבוּל	לָכֶם	יִהְיֶה	זֶה־	יָמָּה	הַגְּבוּל	
南	境界–の	あなたがた–に	であった	これ	海–へ	その–境界–の	
H5045	H1366		H1961	H2088	H3220	H1366	

アゾモンに進んで、エジプトの川に達し、その境は海に至って尽きる。これが彼らの南の境である。

צָפוֹנָה	לִפְאַת	וּגְבוּל	הַיַּרְדֵּן	קְצֵה	עַד־	הַמֶּלַח	יָם	קַדְמָה	וּגְבוּל
北–へ	隅–へ	そして–境界–の	ヨルダン	端–の	～まで	塩	海–の	東–へ	そして–境界–の
H6828	H6285	H1366	H3383		H5704	H4417	H3220		H1366

הַיַּרְדֵּן׃	מִקְצֵה	הַיָּם	מִלְשׁוֹן
ヨルダン	端–から	その–海–の	舌状–から
H3383		H3220	H3956

東の境は塩の海であって、ヨルダンの川口に達する。北の方の境は、ヨルダンの川口の、入海から起り、

וְעָלָה	הָעֲרָבָהלְבֵית	מִצְפּוֹן	וְעָבַר	חָגְלָהבֵּית	הַגְּבוּל	וְעָלָה	6
そして–上り	ベト・ハアラバ–へ	北–から	そして–通り	ベト・ホグラ	その–境界–は	そして–上り	
H5927	H1026	H6828		H1031	H1366	H5927	

רְאוּבֵן׃	בֶּן־	בֹּהַן	אֶבֶן	הַגְּבוּל
ルベン	子–の	ボハン	石–の	その–境界–は
H7205		H0932	H0068	H1366

上ってベテホグラに行き、ベテアラバの北を過ぎ、上ってルベンびとボハンの石に達し、

הַגִּלְגָּל	אֶל־	פְּנֵה	וְצָפוֹנָה	עָכוֹר	מֵעֵמֶק	דְּבִרָה	והַגְּבוּל	וְעָלָה	7
ギルガル	～に	向き	そして–北–へ	アコル	谷–から	デビル–へ	その–境界–は	そして–上り	
H1537	H0413	H6437	H6828	H5911	H6010		H1366	H5927	

הַגְּבוּל	וְעָבַר	לַנָּחַל	מִנֶּגֶב	אֲשֶׁר	אֲדֻמִּים	לְמַעֲלֵה	נֹכַח	אֲשֶׁר־
その–境界–は	そして–通り	その–川–の	南–から	～の	アドミム	上り坂–の	向かい–に	～の
H1366			H5045		H0131	H4608	H5227	

רֹגֵל׃	עֵין	אֶל־	תֹּצְאֹתָיו	וְהָיוּ	שֶׁמֶשׁעֵין	מֵי־	אֶל־
エン・ロゲル		～へ	その–果て–は	そして–あった	エン・シェメシュ	水–の	～へ
H5883		H0413	H8444	H1961	H5885	H4325	H0413

またアコルの谷からデビルに上って、北におもむき、川の南にあるアドミムの坂に対するギルガルに向かって進み、エンシメシの水に達し、エンロゲルに至って尽きる。

הִיא	מִנֶּגֶב	הַיְבוּסִי	כָּתֵף	אֶל־	הִנֹּם	בֶּן־	גֵּי	הַגְּבוּל	וְעָלָה	8
それ–は	南–から	エブス人	傍ら–の	～へ	ヒンノム	子–の	谷–の	その–境界–は	そして–上り	
H1931	H5045	H2983	H3802	H0413	H2011		H1516	H1366	H5927	

גֵּי־	פְּנֵי	עַל־	אֲשֶׁר	הָהָר	רֹאשׁ	אֶל־	הַגְּבוּל	וְעָלָה	יְרוּשָׁלִָם
谷–の	面–の	～の–上–の	～の	その–山	頂–の	～へ	その–境界–は	そして–上り	エルサレム
H1516	H6440			H2022		H0413	H1366	H5927	H3389

צָפֹנָה׃	רְפָאִים	עֵמֶק־	בִּקְצֵה	אֲשֶׁר	יָמָּה	הִנֹּם
北–へ	レファイム	谷–の	端–の	～の	西–へ	ヒンノム
H6828		H6010			H3220	H2011

またその境はベンヒンノムの谷に沿って、エブスびとの地、すなわちエルサレムの南のわきに上り、ヒンノムの谷の西にある山の頂に上る。これはレパイムの谷の北の果にあるものである。

וְיָצָא	נֶפְתּוֹחַ	מֵי	מַעְיַן	אֶל־	הָהָר	מֵרֹאשׁ	הַגְּבוּל	וְתָאַר	9
そして–出た	ネフトアハ	水–の	泉–の	～へ	その–山–の	頂–から	その–境界–は	そして–延び	
H3318	H5318	H4325	H4599	H0413	H2022		H1366		

יְעָרִים׃קִרְיַת	הִיא	בַּעֲלָה	הַגְּבוּל	וְתָאַר	עִפְרוֹן	הַר־	עָרֵי	אֶל־
キルヤト・エアリム	それ–は	バアラ	その–境界–は	そして–延び	エフロン	山–の	町々–の	～へ
H7157	H1931	H1173	H1366		H6085	H2022		H0413

その境は、この山の頂からネフトアの水の源に至り、その所からエフロン山の町々に及び、その境は曲ってバアラに達する。これは、すなわちキリアテ・ヤリムである。

וְנָסַב	הַגְּבוּל	מִבַּעֲלָה	יָמָּה	אֶל־	הַר	שֵׂעִיר	וְעָבַר	אֶל־	10
そして–回り	その–境界–は	バアラ–から	西–へ	～へ	山–の	セイル	そして–通り	～へ	
H5437	H1366	H1173	H3220	H0413	H2022			H0413	

וְעָבַר	בֵּית־שֶׁמֶשׁ	וְיָרַד	כְּסָלֹן	הִיא	מִצָּפוֹנָה	יְעָרִים	הַר־	כָּתֵף
そして–通り	ベト・シェメシュ	そして–下り	ケサロン	それ–は	北–から	エアリム	山–の	傍ら–の
	H1053	H3381	H3693	H1931	H6828	H3297	H2022	H3802

תִּמְנָה׃
ティムナ
H8553

その境は、バアラから西に回って、セイル山に及び、ヤリム山、すなわちケサロンの北のわきを経て、ベテシメシに下り、テムナに進み、

הַגְּבוּל	וְתָאַר	צָפוֹנָה	עֶקְרוֹן	כָּתֵף	אֶל־	הַגְּבוּל	וְיָצָא		11
その–境界–は	そして–延び	北–へ	エクロン	傍ら–の	～へ	その–境界–は	そして–出た		
H1366		H6828	H6138	H3802	H0413	H1366	H3318		

תֹּצְאוֹת	וְהָיוּ	יַבְנְאֵל	וְיָצָא	הַבַּעֲלָה	הַר־	וְעָבַר	שִׁכְרוֹנָה	
境界–の–果て	そして–あった	ヤブネエル	そして–出た	バアラ	山–の	そして–通り	シッケロン	
H8444	H1961	H2995	H3318	H1173	H2022		H7942	

יָמָּה׃	הַגְּבוּל
海–へ	その–境界–の
H3220	H1366

エクロンの北の丘のわきに出て、シッケロンに曲り、バアラ山に進み、ヤブネルに達し、海に至って尽きる。

סָבִיב	יְהוּדָה	בְּנֵי־	גְּבוּל	זֶה	וּגְבוּל	הַגָּדוֹל	הַיָּמָּה	יָם	וּגְבוּל	12
周り–の	ユダ	子ら–の	境界–の	これ–が	そして–境界	大きな	大–海	海	そして–境界–の	
H5439	H3063		H1366	H2088	H1366		H3220	H3220	H1366	

לְמִשְׁפְּחֹתָם׃
その–氏族–ごとに
H4940

また西の境は大海であって、海岸を境とした。これがユダの人々の、その家族にしたがって獲た地の四方の境である。

אֶל־	יְהוּדָה	בְּנֵי־	בְּתוֹךְ	חֵלֶק	נָתַן	יְפֻנֶּה	בֶּן־	וּלְכָלֵב	13
～に従い	ユダ	子ら–の	中–に	分け前–を	与えた	エフンネ	子–の	そして–カレブ–に	
H0413	H3063		H8432		H5414	H3312		H3612	

חֶבְרוֹן׃	הִיא	הָעֲנָק	אֲבִי	אַרְבַּעקַרְיַת	אֶת־	לִיהוֹשֻׁעַ	יְהוָה	פִּי
ヘブロン	それ–は	アナク	父–の	キルヤト・アルバ	（を）	ヨシュア–に	主	命令–の
	H1931	H6061	H0001	H7153	H0853	H3091	H3068	H6310

ヨシュアは、主に命じられたように、エフンネの子カレブに、ユダの人々のうちで、キリアテ・アルバ、すなわちヘブロンを与えて、その分とさせた。アルバはアナクの父であった。

שֵׁשַׁי	אֶת־	הָעֲנָק	בְּנֵי	שְׁלוֹשָׁה	אֶת־	כָּלֵב	מִשָּׁם	וַיֹּרֶשׁ	14
シェシャイ	（を）	アナク	子ら–の	三人–の	（を）	カレブ	そこ–から	そして–追い払った	
H8344	H0853	H6061		H7969	H0853	H3612	H8033	H3423	

הָעֲנָק׃	יְלִידֵי	תַּלְמַי	וְאֶת־	אֲחִימַן	וְאֶת־	
アナク	子孫–の	タルマイ	そして（を）	アヒマン	そして（を）	
H6061	H3211	H8526	H0853	H0289	H0853	

カレブはその所から、アナクの子三人を追い払った。すなわち、セシャイ、アヒマン、およびタルマイであって、アナクから出たものである。

15 וַיַּעַל מִשָּׁם אֶל־יֹשְׁבֵי דְּבִר וְשֵׁם־דְּבִר לְפָנִים
そして-上り そこ-から ～へ 住民-の デビル そして-名-は デビル 以前-は
H5927 H8033 H0413 H3427 H8034 H6440

קִרְיַת־סֵפֶר׃
キルヤト・セフェル
H7158

そして彼はこの所からデビルに住む民の所に攻め上った。デビルの名は、もとはキリアテ・セペルといった。

16 וַיֹּאמֶר כָּלֵב וְלָכְדָהּ קִרְיַת־סֵפֶר אֲשֶׁר־יַכֶּה אֶת־
そして-言った カレブ 打ち ～する-者 （を） キルヤト・セフェル そして-これ-を-取る-なら
H0559 H3612 H5221 H0853 H7158 H3920

וְנָתַתִּי לוֹ אֶת־עַכְסָה בִתִּי לְאִשָּׁה׃
わたし-は-与える 彼-に （を） アクサ わたし-の-娘-を 妻-として
H5414 H0853 H5915 H1323 H0802

カレブは言った、「キリアテ・セペルを撃って、これを取る者には、わたしの娘アクサを妻として与えるであろう」。

17 וַיִּלְכְּדָהּ עָתְנִיאֵל בֶּן־קְנַז אֲחִי כָלֵב וַיִּתֶּן־לוֹ אֶת־עַכְסָה
そして-取った オトニエル 子-の ケナズ 兄弟-の カレブ そして-与えた 彼-に （を） アクサ
H3920 H6274 H1121 H7073 H0251 H3612 H5414 H0853 H5915

בִּתּוֹ לְאִשָּׁה׃
娘-を 妻-として
H1323 H0802

ケナズの子で、カレブの弟オテニエルがそれを取ったので、カレブは娘アクサを、妻として彼に与えた。

18 וַיְהִי בְּבוֹאָהּ וַתְסִיתֵהוּ לִשְׁאוֹל מֵאֵת־אָבִיהָ שָׂדֶה
そして-あった 彼女-が-来た-とき そして-勧めた 求める-ために ～から 父-に 畑-を
H1961 H0935 H5496 H7592 H0854 H0001 H7704

וַתִּצְנַח מֵעַל הַחֲמוֹר וַיֹּאמֶר־לָהּ כָּלֵב מַה־לָּךְ׃
そして-降りた 上-から ろば そして-言った 彼女-に カレブ 何-を あなた-は
H6795 H5921 H2543 H0559 H0000 H3612 H4100 H3808

彼女がとつぐ時、畑を父に求めるようにと、オテニエルに勧められた。そして彼女が、ろばから降りたので、カレブは彼女に、何を望むのかとたずねた。

19 וַתֹּאמֶר נְתַתָּנִי בְּרָכָה כִּי אֶרֶץ הַנֶּגֶב נְתַתָּנִי
そして-言った ～を-与えて-ください 祝福-を なぜなら 地-の ネゲブ 与えられました
H0559 H5414 H1293 H3588 H0776 H5045 H5414

וְנָתַתָּה לִי גֻּלֹת מָיִם וַיִּתֶּן־לָהּ אֶת גֻּלֹת עִלִּיּוֹת
そして-与えて-ください わたし-に 泉-を 水-の そして-与えた 彼女-に （を） 泉-を 上-の
H5414 H0000 H1543 H4325 H5414 H0000 H1543 H0853 H5942

וְאֶת גֻּלֹת תַּחְתִּיּוֹת׃ פ
そして（を） 泉-を 下-の 節-区切り
H0853 H1543 H8482

彼女は答えて言った、「わたしに贈り物をください。あなたはネゲブの地に、わたしをやられるのですから、泉をもください」。カレブは彼女に上の泉と下の泉とを与えた。

20 זֹאת נַחֲלַת מַטֵּה בְנֵי־יְהוּדָה לְמִשְׁפְּחֹתָם׃
これ-が 相続地-の 部族-の 子ら-の ユダ その-氏族-ごとに
H2063 H5159 H4294 H1121 H3063 H4940

ユダの人々の部族が、その家族にしたがって獲た嗣業は、次のとおりである。

21 וַיְהִי֙ הֶֽעָרִ֔ים מִקְצֵ֥ה לְמַטֵּ֖ה בְּנֵ֣י יְהוּדָ֑ה אֶ֚ל גְּב֣וּל אֱד֔וֹם בַּנֶּ֖גְבָּה׃
そして-あった その-町々-は 端-から 部族-の 子ら-の ユダ ～へ 境界-の エドム 南-に
H1961 H4294 H3063 H0413 H1366 H0123 H5045

וְיָג֥וּר׃ וְעֵדֶ֖ר קַבְצְאֵֽל
そして-ヤグル そして-エデル カブツェエル
H3017 H6909

ユダの人々の部族が、南でエドムの境の方にもっていた遠くの町々は、カブジエル、エデル、ヤグル、

22 וְעַדְעָדָֽה׃ וְדִימוֹנָ֖ה וְקִינָ֥ה
そして-アドアダ そして-ディモナ そして-キナ
H5735 H1776 H7016

キナ、デモナ、アダダ、

23 וְיִתְנָֽן׃ וְחָצ֥וֹר וְקֶדֶ֖שׁ
そして-イトナン そして-ハツォル そして-ケデシュ
H3497 H2674 H6943

ケデシ、ハゾル、イテナン、

24 וּבְעָל֥וֹת׃ וָטֶ֖לֶם זִ֥יף
そして-ベアロト そして-テレム ジフ
H1175 H2928 H2128

ジフ、テレム、ベアロテ、

25 חָצֹ֖ר׃ הִ֥יא חֶצְר֛וֹן וּקְרִיּ֥וֹת חֲדַתָּ֣ה וְחָצֹ֑ר
ハツォル それ-は ヘツロン そして-ケリヨト そして-ハツォル・ハダッタ
H2674 H1931 H2696 H7152 H2675

ハゾル・ハダッタ、ケリオテ・ヘヅロンすなわちハゾル、

26 וּמוֹלָדָֽה׃ וּשְׁמַ֥ע אָ֖מָם
そして-モラダ そして-シェマ アマム
H4137 H8090 H0538

アマム、シマ、モラダ、

27 פֶּ֥לֶט וּבֵֽית׃ וְחֶשְׁמ֑וֹן נְדָ֣ה הַחַצַּ֖ר
そして-ベト・パレト そして-ヘシュモン そして-ハツァル・ガダ
H1046 H2829 H2693

ハザルガダ、ヘシモン、ベテペレテ、

28 וּבִזְיוֹתְיָֽה׃ שֶׁבַע֥וּבְאֵ֑ר שׁוּעָ֖לוַחַצַּ֥ר
そして-ビズヨテヤ そして-ベエル・シェバ そして-ハツァル・シュアル
H0964 H0884 H2705

ハザル・シュアル、ベエルシバ、ビジョテヤ、

29 וְעֶצֶֽם׃ וְעִיִּ֖ים בַּעֲלָ֥ה
そして-エツェム そして-イイム バアラ
H6107 H5864 H1173

バアラ、イイム、エゼム、

30 וְחָרְמָֽה׃ וּכְסִ֥יל וְאֶלְתּוֹלָֽד
そして-ホルマ そして-ケシル そして-エルトラド
H2767 H3686 H0513

エルトラデ、ケシル、ホルマ、

31 וְצִקְלַג וּמַדְמַנָּה וְסַנְסַנָּה׃
そして-ツィクラグ そして-マドマナ そして-サンサナ
H6860 H4089 H5578

チクラグ、マデマンナ、サンサンナ、

32 וּלְבָאוֹת וְשִׁלְחִים וְעַיִן וְרִמּוֹן כָּל־ עָרִים עֶשְׂרִים
そして-レバオト そして-シルヒム そして-アイン そして-リモン 全て-の 町々 二十
H3822 H7978 H5871 H3605 H3605 H6242

וְתֵשַׁע וַחֲצֵרֵיהֶן׃ ס
そして-九 そして-その-村々 節-区切り
H8672

レバオテ、シルヒム、アイン、リンモン。これらの町は合わせて二十九、ならびにそれに属する村々。

33 בַּשְּׁפֵלָה אֶשְׁתָּאוֹל וְצָרְעָה וְאַשְׁנָה׃
低地-に エシュタオル そして-ツォルア そして-アシュナ
H8219 H0847 H6881 H0823

平地では、エシタオル、ゾラ、アシナ、

34 וְזָנוֹחַ עֵין גַּנִּים תַּפּוּחַ וְהָעֵינָם׃
そして-ザノアハ そして-エン・ガニム タプアハ そして-エナム
H2182 H5873 H5879

ザノア、エンガンニム、タップア、エナム、

35 יַרְמוּת וַעֲדֻלָּם שׂוֹכֹה וַעֲזֵקָה׃
ヤルムト そして-アドラム ソコ そして-アゼカ
H3412 H5725 H7755 H5825

ヤルムテ、アドラム、ソコ、アゼカ、

36 וְשַׁעֲרַיִם וַעֲדִיתַיִם וְהַגְּדֵרָה וּגְדֵרֹתָיִם עָרִים אַרְבַּע־
そして-シャアライム そして-アディタイム そして-ゲデラ そして-ゲデロタイム 町々 十
H8189 H5723 H1449 H1453 H6240 H0702

וְחַצֵרֵיהֶן׃ עֶשְׂרֵה
そして-その-村々 四
H6240

シャアライム、アデタイム、ゲデラ、ゲデロタイム。すなわち十四の町々と、それに属する村々。

37 צְנָן וַחֲדָשָׁה וּמִגְדַּל־ גָּד׃
ツェナン そして-ハダシャ そして-ミグダル・ガド
H6799 H2322 H4028

ゼナン、ハダシャ、ミグダルガデ、

38 וְדִלְעָן וְהַמִּצְפֶּה וְיָקְתְאֵל׃
そして-ディルアン そして-ミツパ そして-ヨクテエル
H1810 H4708 H3371

デラン、ミヅパ、ヨクテル、

39 לָכִישׁ וּבָצְקַת וְעֶגְלוֹן׃
ラキシュ そして-ボツカト そして-エグロン
H3923 H1218 H5700

ラキシ、ボゾカテ、エグロン、

40 וְכַבּוֹן וְלַחְמָס וְכִתְלִישׁ׃
そして–カボン そして–ラフマス そして–キトリシュ
H3522 H3903 H3798

カボン、ラマム、キテリシ、

41 וּגְדֵרוֹת בֵּית־דָּגוֹן וְנַעֲמָה וּמַקֵּדָה עָרִים שֵׁשׁ־עֶשְׂרֵה
そして–ゲデロト ベト・ダゴン そして–ナアマ そして–マケダ 町々 十 六
H1450 H1016 H4719 H8337 H6240

וְחַצֵרֵיהֶן׃ ס
そして–その–村々 節–区切り

ゲデロテ、ベテダゴン、ナアマ、マッケダ。すなわち十六の町々と、それに属する村々。

42 לִבְנָה וָעֶתֶר וְעָשָׁן׃
リブナ そして–エテル そして–アシャン
H3841 H6281 H6228

またリブナ、エテル、アシャン、

43 וְיִפְתָּח וְאַשְׁנָה וְנִצִיב׃
そして–イフタハ そして–アシュナ そして–ネツィブ
H3316 H0823 H5334

イフタ、アシナ、ネジブ、

44 וּקְעִילָה וְאַכְזִיב וּמָרֵאשָׁה עָרִים תֵּשַׁע וְחַצֵרֵיהֶן׃
そして–ケイラ そして–アクジブ そして–マレシャ 町々 九 そして–その–村々
H7084 H0392 H4762 H8672

ケイラ、アクジブ、マレシャ。すなわち九つの町々と、それに属する村々。

45 עֶקְרוֹן וּבְנֹתֶיהָ וַחֲצֵרֶיהָ׃
エクロン そして–その–娘–町–と そして–その–村々
H6138 H1323

エクロンと、その町々、および村々。

46 מֵעֶקְרוֹן וַיָּמָּה כֹּל אֲשֶׁר־עַל־יַד אַשְׁדּוֹד וְחַצֵרֵיהֶן׃
エクロン–から そして–海–へ 全て ～の 傍ら–の 手–の アシュドド そして–その–村々
H6138 H3220 H3605 H3027 H0795

エクロンから海まで、すべてアシドドのほとりにある町々、およびそれに属する村々。

47 אַשְׁדּוֹד בְּנוֹתֶיהָ וַחֲצֵרֶיהָ עַזָּה בְּנוֹתֶיהָ וַחֲצֵרֶיהָ עַד־נַחַל מִצְרַיִם וְהַיָּם הַגָּדוֹל (הגבול) וּגְבוּל׃ ס
アシュドド その–娘–町–と そして–その–村々 ガザ その–娘–町–と そして–その–村々 ～まで 川–の エジプト そして–大–海 大きな 境界 そして–境界 節–区切り
H0795 H1323 H5804 H1323 H5704 H3220 H1366 H1366

アシドドとその町々および村々。ガザとその町々および村々。エジプトの川と大海の海岸までが、その境であった。

48 וּבָהָר שָׁמִיר וְיַתִּיר וְשׂוֹכֹה׃
そして–山地–に シャミル そして–ヤッティル そして–ソコ
H2022 H8069 H3492 H7755

山地では、シャミル、ヤッテル、ソコ、

49 וְדַנָּה וְקִרְיַת־סַנָּה הִיא דְּבִר׃
そして-ダナ そして-キルヤト・サナ それ-は デビル
H1837 H7158 H1931

ダンナ、キリアテ・サンナすなわちデビル、

50 וַעֲנָב וְאֶשְׁתְּמֹה וְעָנִים׃
そして-アナブ そして-エシュテモア そして-アニム
H6024 H0851 H6044

アナブ、エシテモ、アニム、

51 וְגֹשֶׁן וְחֹלֹן וְגִלֹה עָרִים אַחַת־עֶשְׂרֵה וְחַצְרֵיהֶן׃
そして-ゴシェン そして-ホロン そして-ギロ 町々 十 一 そして-その-村々
H1657 H2473 H1542 H0259 H6240

ゴセン、ホロン、ギロ。すなわち十一の町々と、それに属する村々。

52 אֲרַב וְרוּמָה וְאֶשְׁעָן׃
アラブ そして-ドゥマ そして-エシャン
H0694 H1746 H0824

アラブ、ドマ、エシャン、

53 [וינים] (וְיָנוּם) וּבֵית־תַּפּוּחַ וַאֲפֵקָה׃
そして-ヤニム そして-ヤヌム そして-ベト・タプアハ そして-アフェカ
H3241 H3241 H1054 H0664

ヤニム、ベテタップア、アペカ、

54 וְחֻמְטָה אַרְבָּעוקִרְיַת הִיא חֶבְרוֹן וְצִיעֹר תִּשַׁע עָרִים
そして-フムタ そして-キルヤト・アルバ それ-は ヘブロン そして-ツィオル 九 町々
H2547 H7153 H1931 H6730 H8672

וְחַצְרֵיהֶן׃ ס
そして-その-村々 節-区切り

ホムタ、キリアテ・アルバすなわちヘブロン、ヂオル。すなわち九つの町々と、それに属する村々。

55 וּמָעוֹן כַּרְמֶל זִיף וְיוּטָה׃
マオン カルメル ジフ そして-ユタ
H4584 H3760 H2128 H3194

マオン、カルメル、ジフ、ユッタ、

56 וְיִזְרְעֶאל וְיָקְדְעָם וְזָנוֹחַ׃
そして-イズレエル そして-ヨクデアム そして-ザノアハ
H3157 H3347 H2182

エズレル、ヨクデアム、ザノア、

57 הַקַּיִן גִּבְעָה וְתִמְנָה עָרִים עֶשֶׂר וְחַצְרֵיהֶן׃
カイン ギベア そして-ティムナ 町々 十 そして-その-村々
H1390 H8553 H6235

カイン、ギベア、テムナ。すなわち十の町々と、それに属する村々。

58 חַלְחוּל בֵּית־צוּר וְגֶדוֹר׃
ハルフル ベト・ツル そして-ゲドル
H2478 H1049 H1446

ハルホル、ベテズル、ゲドル、

וּמַעֲרָת	וּבֵית־עֲנוֹת	וְאֶלְתְּקֹן	עָרִים	שֵׁשׁ	וְחַצֵרֵיהֶן׃
そして–マアラト	そして–ベト・アノト	そして–エルテコン	町々	六	そして–その–村々
H4638	H1042	H0515		H8337	

59

マアラテ、ベテアノテ、エルテコン。すなわち六つの町々と、それに属する村々。

קִרְיַת־בַּעַל	הִיא	יְעָרִיםקִרְיַת	וְהָרַבָּה	עָרִים	שְׁתַּיִם	וְחַצֵרֵיהֶן׃
キルヤト・バアル	それ–は	キルヤト・エアリム	そして–ラバ	町々	二	そして–その–村々
H7154	H1931	H7157	H7237		H8147	

60

ס
節–区切り

キリアテ・バアルすなわちキリアテ・ヤリム、ラバ。これらの二つの町とそれに属する村々。

בַּמִּדְבָּר	הָעֲרָבָהבֵּית	מִדִּין	וּסְכָכָה׃	
荒野–に	ベト・ハアラバ	ミディン	そして–セカカ	
	H1026	H4081	H5527	

61

荒野では、ベテアラバ、ミデン、セカカ、

וְהַנִּבְשָׁן	וְעִיר־הַמֶּלַח	גֶּדִיעֵין	עָרִים	שֵׁשׁ	וְחַצֵרֵיהֶן׃
そして–ニブシャン	そして–塩–の–町	そして–エン・ゲディ	町々	六	そして–その–村々
H5044	H5898	H5872		H8337	

62

ニブシャン、塩の町、エンゲデ。すなわち六つの町々と、それに属する村々。

וְאֶת־	הַיְבוּסִי	יוֹשְׁבֵי	יְרוּשָׁלַ͏ִם	לֹא־	יוּכְלוּ]	(יָכְלוּ	בְּנֵי־	יְהוּדָה
しかし（を）	エブス人	住民–の	エルサレム	～ない	できなかった	できなかった	子ら–は	ユダ
H0853	H2983	H3427	H3389	H3808	H3201	H3201		H3063

63

לְהוֹרִישָׁם	וַיֵּשֶׁב	הַיְבוּסִי	אֶת־	בְּנֵי	יְהוּדָה	בִּירוּשָׁלַ͏ִם	עַד
追い出す–こと–が	そして–住んだ	エブス人–は	～と共に	子ら–の	ユダ	エルサレム–に	～まで
H3423	H3427	H2983	H0854		H3063	H3389	H5704

הַיּוֹם׃	הַזֶּה	פ
その–日	この	節–区切り
H3117	H2088	

しかし、ユダの人々は、エルサレムの住民エブスびとを追い払うことができなかった。それでエブスびとは今日まで、ユダの人々と共にエルサレムに住んでいる。

Chapter 16

וַיֵּצֵא	הַגּוֹרָל	לִבְנֵי	יוֹסֵף	מִיַּרְדֵּן	יְרִיחוֹ	לְמֵי	יְרִיחוֹ	מִזְרָחָה	הַמִּדְבָּר
そして–出た	くじ	子ら–の	ヨセフ	ヨルダン–から	エリコ	水–の	エリコ	東–へ	荒野
H3318	H1486		H3130		H3405	H4325	H3405	H4217	

1

עֹלָה	מִיְרִיחוֹ	בָּהָר	בֵּית־אֵל׃
上る	エリコ–から	山地–に	ベテル
H5927	H3405	H2022	H1008

ヨセフの子孫が、くじによって獲た地の境は、エリコのほとりのヨルダン、すなわちエリコの水の東から起って、荒野に延び、エリコから山地に上っている荒野を経て、ベテルに至り、

וְיָצָא	מִבֵּית־אֵל	לוּזָה	וְעָבַר	אֶל־	גְּבוּל	הָאַרְכִּי	עֲטָרוֹת׃
そして–出た	ベテル–から	ルズ–へ	そして–通り	～へ	境界–の	アルキ人	アタロト
H3318	H1008	H3870		H0413	H1366	H0757	H5852

2

ベテルからルズにおもむき、アルキびとの領地であるアタロテに進み、

3	וְיָרַד־	יָמָּה	אֶל־	גְּבוּל	הַיַּפְלֵטִי	עַד	גְּבוּל	בֵּית־חוֹרֹן	תַּחְתּוֹן
	そして–下り	西–へ	～へ	境界–の	ヤフレティ人	～まで	境界–の	ベト・ホロン	下–の
	H3381	H3220	H0413	H1366	H3311	H5704	H1366	H1032	H8481

וְעַד־	גָּזֶר	וְהָיוּ	]תצאתו[	)תֹּצְאֹתָיו(	יָמָּה׃	
そして–～まで	ゲゼル	そして–あった	その–果て–は	その–果て–は	海–へ	
H5704	H1507	H1961	H8444	H8444	H3220	

西に下ってヤフレテびとの領地に達し、下ベテホロンの地域に及び、ゲゼルに達し、海に至って尽きる。

4	וַיִּנְחֲלוּ	בְּנֵי־	יוֹסֵף	מְנַשֶּׁה	וְאֶפְרָיִם׃
	そして–受け継いだ	子ら–は	ヨセフ	マナセ	そして–エフライム
	H5157		H3130	H4519	H0669

こうしてヨセフの子孫のマナセと、エフライムとは、その嗣業を受けた。

5	וַיְהִי	גְּבוּל	בְּנֵי־	אֶפְרַיִם	לְמִשְׁפְּחֹתָם	וַיְהִי
	そして–あった	境界–の	子ら–の	エフライム	その–氏族–ごとに	そして–あった
	H1961	H1366		H0669	H4940	H1961

נַחֲלָתָם	מִזְרָחָה	אַדָּר־עַטָּרוֹת	עַד־	חוֹרֹן־בֵּית	עֶלְיוֹן׃	
その–相続地–の	東–へ	アタロト・アダル	～まで	ベト・ホロン	上–の	
H5159	H4217	H5853	H5704	H1032		

エフライムの子孫が、その家族にしたがって獲た地の境は、次のとおりである。彼らの嗣業の東の境は、アタロテ・アダルであって、上ベテホロンに達し、

6	וְיָצָא	הַגְּבוּל	הַמִּכְמְתָת	מִצָּפוֹן	וְנָסַב	הַגְּבוּל	מִזְרָחָה
	そして–出た	その–境界–は	ミクメタト	北–から	そして–回り	その–境界–は	東–へ
	H3318	H1366	H4366	H6828	H5437	H1366	H4217

שִׁלֹּהתַּאֲנַת	וְעָבַר	אוֹתוֹ	מִמִּזְרַח	יָנוֹחָה׃
タアナト・シロ	そして–通り	それ–を	東–から	ヤノハ–へ
H8387		H0853	H4217	

その境は、その所から海に及ぶ。北にはミクメタテがあり、東ではその境はタアナテシロで曲り、進んでヤノアの東に至り、

7	וְיָרַד	מִיָּנוֹחָה	עַטָּרוֹת	וְנַעֲרָתָה	וּפָגַע	בִּירִיחוֹ	וְיָצָא
	そして–下り	ヤノハ–から	アタロト	そして–ナアラタ–へ	そして–達し	エリコ–に	そして–出た
	H3381		H5852		H6293	H3405	H3318

הַיַּרְדֵּן׃
ヨルダン
H3383

ヤノアからアタロテとナアラに下り、エリコに達し、ヨルダンに至って尽きる。

8	מִתַּפּוּחַ	יֵלֵךְ	הַגְּבוּל	יָמָּה	נַחַל	קָנָה	וְהָיוּ	תֹּצְאֹתָיו	הַיָּמָּה
	タプアハ–から	進み	その–境界–は	西–へ	川–の	カナ	そして–あった	その–果て–は	海–へ
	H3212		H1366	H3220		H7071	H1961	H8444	H3220

זֹאת	נַחֲלַת	מַטֵּה	בְּנֵי־	אֶפְרַיִם	לְמִשְׁפְּחֹתָם׃
これ–が	相続地–の	部族–の	子ら–の	エフライム	その–氏族–ごとに
H2063	H5159	H4294		H0669	H4940

タップアからその境は西に進んで、カナの川に達し、海に至って尽きる。これはエフライムの子孫の部族が、その家族にしたがって獲た嗣業である。

9 וְהָעָרִים הַמִּבְדָּלוֹת לִבְנֵי אֶפְרַיִם בְּתוֹךְ נַחֲלַת בְּנֵי־מְנַשֶּׁה
そして–その–町々は 分けられた 子ら–の エフライム 中–に 相続地–の マナセ
H3995 H0669 H8432 H5159 H4519

כָּל־הֶעָרִים וְחַצְרֵיהֶן׃
全て–の その–町々 そして–その–村々
H3605

このほかにマナセの子孫の嗣業のうちにも、エフライムの子孫のために分け与えられた町々があって、そのすべての町々と、それに属する村々を獲た。

10 וְלֹא הוֹרִישׁוּ אֶת־הַכְּנַעֲנִי הַיּוֹשֵׁב בַּגֶּזֶר וַיֵּשֶׁב
しかし–ない 追い払わなかった （を） カナン人 住んでいた ゲゼル–に そして–住んだ
H3808 H3423 H0853 H3669 H1507 H3427

הַכְּנַעֲנִי בְּקֶרֶב אֶפְרַיִם עַד־הַיּוֹם הַזֶּה וַיְהִי לְמַס־עֹבֵד׃ פ
カナン人–は 中–に エフライム ～まで その–日 この そして–なった 苦役–の 僕–と 節–区切り
H7130 H0669 H5704 H3117 H2088 H1961 H4522 H5647

ただし、ゲゼルに住むカナンびとを、追い払わなかったので、カナンびとは今日までエフライムの中に住み、奴隷となって追い使われている。

Chapter 17

1 וַיְהִי לְמַטֵּה מְנַשֶּׁה כִּי־הוּא הַבְּכוֹר לִמְכִיר בְּכוֹר יוֹסֵף הוּא הַגִּלְעָד
そして–あった 部族–の マナセ なぜなら 彼–は 長子–の マキル–に 長子–の ヨセフ
H1961 H4294 H4519 H3588 H1931 H1060 H4353 H1060 H3130

כִּי־הָיָה אִישׁ מִלְחָמָה וַיְהִי־לוֹ גִּלְעָד וְלַבָּשָׁן׃
なぜなら 人–の 戦い あった 彼–は ギルアデ そして–あった 彼–に ギルアデ
H3588 H0376 H4421 H1961 H1931 H1568 H1961 H3518

マナセの部族が、くじによって獲た地は、次のとおりである。マナセはヨセフの長子であった。マナセの長子で、ギレアデの父であるマキルは、軍人であったので、ギレアデとバシャンを獲た。

2 וַיְהִי לִבְנֵי מְנַשֶּׁה הַנּוֹתָרִים לְמִשְׁפְּחֹתָם לִבְנֵי אֲבִיעֶזֶר וְלִבְנֵי־חֵפֶר
そして–あった 子ら–の マナセ 残り–の その–氏族–ごとに 子ら–の アビエゼル そして–子ら–の ヘフェル
H1961 H4519 H3498 H4940 H1121 H0044 H1121 H2660

וְלִבְנֵי־שֶׁמִידָע וְלִבְנֵי־שֶׁכֶם וְלִבְנֵי־חֵפֶר וְלִבְנֵי־אַשְׂרִיאֵל וְלִבְנֵי חֵלֶק׃
そして–子ら–の シェミダ そして–子ら–の シェケム そして–子ら–の ヘレク そして–子ら–の アスリエル そして–子ら–の ヘレク
H1121 H8061 H1121 H7928 H1121 H2507 H1121 H0844 H1121 H2507

וְלִבְנֵי שְׁמִידָע אֵלֶּה בְּנֵי מְנַשֶּׁה בֶּן־יוֹסֵף הַזְּכָרִים לְמִשְׁפְּחֹתָם׃
そして–子ら–の シェミダ これら–が 子ら–の マナセ 子–の ヨセフ 男子–たち その–氏族–ごとに
H1121 H8061 H0428 H1121 H4519 H1121 H3130 H2145 H4940

マナセの部族の他のものにも、その家族にしたがって、地を与えたが、それは、アビエゼル、ヘレク、アスリエル、シケム、ヘペル、セミダで、これらはヨセフの子マナセの男の子孫であって、その家族にしたがって、あげたものである。

3

וְלִצְלָפְחָד֙ בֶּן־חֵ֔פֶר בֶּן־גִּלְעָ֖ד בֶּן־מָכִ֣יר בֶּן־מְנַשֶּׁ֑ה לֹא־
そして–ツェロフハデ–に ヘフェル 子–の ギルアデ 子–の マキル 子–の マナセ ない
H6765 H2660 H1568 H4353 H4519 H3808

הָי֥וּ ל֛וֹ בָּנִ֖ים כִּ֣י אִם־בָּנ֑וֹת וְאֵ֣לֶּה֮ שְׁמ֣וֹת בְּנֹתָיו֒ מַחְלָ֤ה
あった 彼–に 息子–は ただ ～だけ 娘–だけ そして–これら–が 名–の 娘たち–の マヘラ
H1961 H3808 H3426 H1323 H8034 H0428 H1323 H4244

וְנֹעָ֣ה חָגְלָ֔ה מִלְכָּ֖ה וְתִרְצָֽה׃
そして–ノア ホグラ ミルカ そして–ティルツァ
H5270 H2295 H4435 H8656

しかし、マナセの子マキル、その子ギレアデ、その子ヘペル、その子であったゼロペハデには、女の子だけで、男の子がなかった。女の子たちの名は、マヘラ、ノア、ホグラ、ミルカ、テルザといった。

4

וַתִּקְרַ֣בְנָה לִפְנֵי֩ אֶלְעָזָ֨ר הַכֹּהֵ֜ן וְלִפְנֵ֣י יְהוֹשֻׁ֣עַ בִּן־נ֗וּן וְלִפְנֵי֙
そして–近づいた 前–に エルアザル 祭司 そして–前–に ヨシュア 子–の ヌン そして–前–に
H7126 H6440 H0499 H3548 H6440 H3091 H5126 H6440

הַנְּשִׂיאִ֔ם לֵאמֹ֑ר יְהוָ֣ה צִוָּ֗ה בְּיַד־מֹשֶׁה֙ לָתֵ֣ת לָ֔נוּ נַחֲלָ֖ה בְּת֣וֹךְ
指導者たち 言い 主–が 命じた （を） モーセ 与える–ように わたしたち–に 相続地–を 中–に
H5559 H3068 H6680 H0853 H4872 H5414 H0853 H5159 H8432

אֲחֵיהֶ֑ם וַיִּתֵּ֣ן לָהֶ֔ם כְּפִ֥י יְהוָ֖ה נַחֲלָ֥ה בְּת֛וֹךְ אֲחֵ֥י אֲבִיהֶֽן׃
同胞–の 彼女たち–に そして–与えた 命令–の 主 相続地–を 中–に 同胞–の 父–の
H0251 H5414 H6310 H3068 H5159 H8432 H0251 H0001

彼女たちは、祭司エレアザル、ヌンの子ヨシュアおよび、つかさたちの前に進み出て、「わたしたちの兄弟と同じように、わたしたちにも、嗣業を与えよと、主はモーセに命じおきになりました」と言ったので、ヨシュアは主の命にしたがって、彼らの父の兄弟たちと同じように、彼女たちにも嗣業を与えた。

5

וַיִּפְּל֣וּ חַבְלֵי־מְנַשֶּׁ֗ה עֲשָׂרָה֙ לְבַ֣ד מֵאֶ֣רֶץ הַגִּלְעָ֔ד וְהַבָּשָׁ֖ן אֲשֶׁ֥ר
そして–落ちた 分け前–の マナセ 十 別–に 地–の ギルアデ そして–バシャン ～の
H5307 H4519 H6235 H0905 H0776 H1568 H1316 H0834

מֵעֵ֥בֶר לַיַּרְדֵּֽן׃
向こう–の ヨルダン
H5676 H3383

こうしてマナセはヨルダンの向こう側で、ギレアデとバシャンの地のほかに、なお十の部分を獲た。

6

כִּ֣י בְנ֤וֹת מְנַשֶּׁה֙ נָחֲל֣וּ נַחֲלָ֔ה בְּת֖וֹךְ בָּנָ֑יו וְאֶ֥רֶץ הַגִּלְעָ֖ד הָיְתָ֥ה
なぜなら 娘たち–の マナセ 受け継いだ 相続地–を 中–に 息子たち–の そして–地–の ギルアデ あった
H3588 H1323 H4519 H5157 H5159 H8432 H1121 H0776 H1568 H1961

לִבְנֵי־מְנַשֶּׁ֖ה הַנּוֹתָרִֽים׃
子ら–の マナセ 残り–の
H1121 H4519 H3498

マナセの娘たちが、男の子らと共に、嗣業を獲たからである。ギレアデの地は、そのほかのマナセの子孫に分け与えられた。

7

וַיְהִ֣י גְב֤וּל־מְנַשֶּׁה֙ מֵאָשֵׁ֔ר הַמִּכְמְתָ֕ת אֲשֶׁ֖ר עַל־פְּנֵ֣י שְׁכֶ֑ם
そして–あった 境界–の マナセ アシェル–から ミクメタト ～の ～の–上–の 面–の シェケム
H1961 H1366 H4519 H0836 H4366 H0834 H5921 H6440 H7927

וְהָלַ֣ךְ הַגְּב֗וּל אֶל־הַיָּמִין֙ אֶל־יֹשְׁבֵ֣י תַפּ֔וּחַ עֵֽין׃
そして–進み その–境界–は へ 右–へ へ 住民–の エン・タプアハ
H1980 H1366 H0413 H3225 H0413 H3427 H5887

マナセの獲た地の境は、アセルからシケムの東のミクメタテに及び、その境は南に延びて、エンタップアの住民に達する。

8 לִבְנֵי מְנַשֶּׁה גְּבוּל־אֶל־וְתַפּוּחַ תַּפּוּחַ אֶרֶץ הָיְתָה לְמְנַשֶּׁה
子ら–の マナセ 境界–の ～の しかし–タプアハ タプアハ 地–の あった マナセ–の
H4519 H1366 H0413 H0776 H1961 H4519

אֶפְרָיִם׃
エフライム
H0669

タップアの地はマナセに属していたが、マナセの境にあるタップアの町は、エフライムの子孫に属していた。

9 לְאֶפְרַיִם הָאֵלֶּה עָרֵים לַנַּחַל נֶגְבָּה קָנָּה נַחַל הַגְּבוּל וְיָרַד
エフライム–の これら 町々–は その–川–の 南–へ カナ 川–の その–境界–は そして–下り
H0669 H0428 H5045 H7071 H1366 H3381

תֹּצְאֹתָיו וַיְהִי לַנַּחַל מִצָּפוֹן מְנַשֶּׁה וּגְבוּל מְנַשֶּׁה עָרֵי בְּתוֹךְ
その–果て–は そして–あった その–川–の 北–に マナセ そして–境界–の マナセ 町々–の 中–に
H8444 H1961 H6828 H4519 H1366 H4519 H8432

הַיָּמָּה׃
海–へ
H3220

またその境はカナの川に下って、川の南に至る。そこの町々はマナセの町々の中にあって、エフライムに属した。マナセの境は、川の北に沿って進み、海に達して尽きる。

10 גְּבוּלוֹ הַיָּם וַיְהִי לִמְנַשֶּׁה וְצָפוֹנָה לְאֶפְרַיִם נֶגְבָּה
その–境界 海–が そして–あった マナセ–の そして–北–は エフライム–の 南–は
H1366 H3220 H1961 H4519 H6828 H0669 H5045

מִמִּזְרָח׃ וּבְיִשָּׂשכָר וּבְאָשֵׁר יִפְגְּעוּן מִצָּפוֹן וּבְאָשֵׁר
東–に そして–イッサカル–に 北–に 接し そして–アシェル–に
H4217 H3485 H6828 H6293 H0836

その川の南の地は、エフライムに属し、北はマナセに属する。海がその境となる。マナセは北はアセルに接し、東はイッサカルに接する。

11 וַיְהִי לִמְנַשֶּׁה בְּיִשָּׂשכָר וּבְאָשֵׁר בֵּית־שְׁאָן וּבְנוֹתֶיהָ וּ
そして–あった マナセ–に イッサカル–に そして–アシェル–に ベト・シェアン そして–その–娘–町–と
H1961 H4519 H3485 H0836 H1052 H1323

וְיִבְלְעָם וּבְנוֹתֶיהָ וְאֶת־יֹשְׁבֵי דֹאר וּבְנוֹתֶיהָ
そして–イブレアム そして–その–娘–町–と そして（を） 住民–の ドル そして–その–娘–町–と
H2991 H1323 H0853 H3427 H1756 H1323

וְיֹשְׁבֵי עֵין־דֹּר וּבְנוֹתֶיהָ וְיֹשְׁבֵי תַּעְנַךְ וּבְנוֹתֶיהָ
そして–住民–の エン・ドル そして–その–娘–町–と そして–住民–の タアナク そして–その–娘–町–と
H3427 H5874 H1323 H3427 H8590 H1323

וְיֹשְׁבֵי מְגִדּוֹ וּבְנוֹתֶיהָ שְׁלֹשֶׁת הַנָּפֶת׃
そして–住民–の メギド そして–その–娘–町–と 三つ–の 高地
H3427 H4023 H1323 H7969 H5316

マナセはまたイッサカルとアセルの中に、ベテシャンとその村々、イブレアムとその村々、ドルの住民とその村々、エンドルの住民とその村々、タアナクの住民とその村々、メギドの住民とその村々を獲た。このうち第三のものは高地である。

12

הָאֵלֶּה	הֶעָרִים	אֶת־	לְהוֹרִישׁ	מְנַשֶּׁה	בְּנֵי	יָכְלוּ	וְלֹא
これら	その–町々–を	（を）	追い払う–こと–が	マナセ	子ら–は	できた	しかし–ない
H0428		H0853	H3423	H4519		H3201	H3808

הַזֹּאת׃	בָּאָרֶץ	לָשֶׁבֶת	הַכְּנַעֲנִי	וַיּוֹאֶל	
この	その–地–に	住む–こと–を	カナン人–が	そして–始めた	
H2063	H0776	H3427		H2974	

しかし、マナセの子孫は、これらの町々を取ることができなかったので、カナンびとは長くこの地に住み続けようとした。

13

הַכְּנַעֲנִי	אֶת־	וַיִּתְּנוּ	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי	חָזְקוּ	כִּי	וַיְהִי
カナン人–に	（を）	そして–課した	イスラエル	子ら–が	強くなった	～とき	そして–あった
	H0853	H5414	H3478		H2388		H1961

ס	הוֹרִישׁוֹ׃	לֹא	וְהוֹרֵשׁ	לָמַס
節–区切り	追い払った	ない	しかし–追い払う–こと–は	苦役–を
	H3423	H3808	H3423	H4522

しかし、イスラエルの人々が強くなるにしたがって、カナンびとを使役するようになり、ことごとく追い払うことはしなかった。

14

לִי	נָתַתָּה	מַדּוּעַ	לֵאמֹר	יְהוֹשֻׁעַ	אֶת־	יוֹסֵף	בְּנֵי	וַיְדַבְּרוּ
わたし–に	与えた–のか	なぜ	言い	ヨシュア	～に	ヨセフ	子ら–が	そして–話した
	H5414	H4069	H0559	H3091	H0854	H3130		H1696

עַד	רָב	עַם־	וָאֲנִי	אֶחָד	וְחֶבֶל	אֶחָד	גּוֹרָל	נַחֲלָה
～まで	大きな	民–の	そして–わたし–は	一つ–の	そして–分け前	一つ–の	くじ	相続地–を
H5704			H0589	H0259		H0259	H1486	H5159

יְהוָה׃	בֵּרַכְנִי	כֹּה	עַד־	אֲשֶׁר־
主–が	祝福した	この–ように	～まで	～の
H3068	H1288	H3541	H5704	

ヨセフの子孫はヨシュアに言った、「主が今まで、わたしを祝福されたので、わたしは数の多い民となったのに、あなたはなぜ、わたしの嗣業として、ただ一つのくじ、一つの分だけを、くださったのですか」。

15

לְךָ	עֲלֵה	אַתָּה	רַב	עַם־	אִם־	יְהוֹשֻׁעַ	אֲלֵיהֶם	וַיֹּאמֶר
あなた–の–ために	上りなさい	あなた–が	大きな	民–の	もし	ヨシュア	彼ら–に	そして–言った
	H5927					H3091	H0413	H0559

וְהָרְפָאִים	הַפְּרִזִּי	בְּאֶרֶץ	שָׁם	לְךָ	וּבְרֵאתָ	הַיַּעְרָה	
そして–レファイム	ペリジ人	地–の	そこ–に	あなた–の–ために	そして–切り開きなさい	森–へ	
	H6522	H0776	H8033				

אֶפְרָיִם׃	הַר־	לְךָ	אֶץ	כִּי־
エフライム	山–の	あなた–に	狭い	なぜなら
H0669	H2022		H0213	

ヨシュアは彼らに言った、「もしあなたが数の多い民ならば、林に上っていって、そこで、ペリジびとやレパイムびとの地を自分で切り開くがよい。エフライムの山地が、あなたがたには狭いのだから」。

16 וַיֹּאמְרוּ֙ בְּנֵ֣י יוֹסֵ֔ף לֹֽא־יִמָּצֵ֥א לָ֖נוּ הָהָ֑ר וְרֶ֨כֶב֙
そして–言った 子ら–は ヨセフ ない–でしょう 見つかる わたしたち–に その–山 そして–戦車–の
H0559 H3130 H3808 H4672 H0559 H2022 H7393

בַּרְזֶ֔ל לְכֹל־הַֽכְּנַעֲנִ֥י הַיֹּשֵׁ֖ב בְּאֶ֣רֶץ־הָעֵ֑מֶק לַאֲשֶׁ֥ר בְּבֵית־שְׁאָ֛ן
鉄 全て–の カナン人–に 住む 地–の 平地 ～の ベト・シェアン–に
H1270 H3605 H3427 H0776 H6010 H1052

וּבְנוֹתֶ֖יהָ׃ וְלַאֲשֶׁ֥ר בְּעֵמֶק֙ יִזְרְעֶ֔אל
そして–その–娘–町–と そして–～の 平地–の イズレエル
H1323 H6010 H3157

ヨセフの子孫は答えた、「山地はわたしどもに十分ではありません。かつまた平地におるカナンびとは、ベテシャンとその村々におるものも、エズレルの谷におるものも、みな鉄の戦車を持っています」。

17 וַיֹּ֤אמֶר יְהוֹשֻׁעַ֙ אֶל־בֵּ֣ית יוֹסֵ֔ף לְאֶפְרַ֖יִם וְלִמְנַשֶּׁ֑ה לֵאמֹ֗ר עַם־
民–の 言い そして–マナセ–に エフライム–に ヨセフ 家–の ～に ヨシュア そして–言った
H0559 H4519 H0669 H3130 H0413 H3091 H0559

גּוֹרָ֥ל לְךָ֖ יִֽהְיֶה־לֹּ֣א גָד֑וֹל לָ֣ךְ וְכֹ֥חַ אַתָּ֛ה רַ֥ב
くじ あなた–に ある ない–でしょう 大きな あなた–に 力–の そして あなた–は 大きな
H1486 H1961 H3808 H1419 H0376 H3581 H0859

אֶחָֽד׃
一つ–だけ
H0259

ヨシュアはまたヨセフの家、すなわちエフライムとマナセに言った、「あなたは数の多い民で、大きな力をもっています。それでただ一つのくじでは足りません。

18 וּבֵרֵאתֹו֙ הִ֣וא יַ֔עַר כִּֽי־לְךָ֖ יִֽהְיֶה־הָ֑ר כִּ֣י
そして–切り開きなさい それ–は 森 なぜなら あなた–に ある–でしょう 山 なぜなら
H1931 H3293 H3588 H0376 H1961 H2022 H3588

תֹורִ֔ישׁ כִּֽי־תְצֹאתָ֥יו לְךָ֖ וְהָיָ֑ה אֶת־הַֽכְּנַעֲנִ֗י
追い払う–でしょう なぜなら その–果て–は あなた–に そして–ある–でしょう カナン人–を （を）
H3423 H3588 H8444 H0376 H1961 H0853 H3669

הַבַּרְזֶ֖ל רֶ֣כֶב כִּ֥י לֹ֛ו כִּ֥י חָזָ֖ק הֽוּא׃ פ
鉄 戦車–の たとえ 彼–に たとえ 強い 彼–が —
H1270 H7393 H3588 H0376 H3588 H2389 H1931

山地をもあなたのものとしなければなりません。それは林ではあるが、切り開いて、向こうの端まで、自分のものとしなければなりません。カナンびとは鉄の戦車があって、強くはあるが、あなたはそれを追い払うことができます」。

Chapter 18

1 וַיִּקָּהֲלוּ֙ כָּל־עֲדַ֣ת בְּנֵי־יִשְׂרָאֵ֔ל שִׁלֹּ֑ה וַיַּשְׁכִּ֥ינוּ שָׁ֖ם אֶת־
そして–集まった すべての 会衆は 子らの イスラエルの シロに そして–建てた そこに （を）
H6950 H3605 H5712 H1121 H3478 H7887 H7931 H8033 H0853

אָ֔הֶל מֹועֵ֖ד וְהָאָ֥רֶץ נִכְבְּשָׁ֖ה לִפְנֵיהֶֽם׃
天幕を 会見の そして–地は 征服されていた 彼らの–前に
H0168 H4150 H0776 H3533 H6440

そこでイスラエルの人々の全会衆は、その地を征服したので、シロに集まり、そこに会見の幕屋を立てた。

2 וַיִּוָּתְרוּ֙ בִּבְנֵ֣י יִשְׂרָאֵ֔ל אֲשֶׁ֥ר לֹא־ חָלְק֖וּ אֶת־
そして–残っていた 子らの–中に イスラエルの (者) まだ–なかった 分けた (を)
H3498 H3478 H3808 H0853

שִׁבְעָ֣ה שִׁבְטִ֑ים נַֽחֲלָתָֽם׃
七つの 部族が 彼らの–相続地を
H7651 H7626 H5159

その時、イスラエルの人々のうちに、まだ嗣業を分かち取らない部族が、七つ残っていたので、

3 וַיֹּ֣אמֶר יְהוֹשֻׁ֗עַ אֶל־ בְּנֵ֣י יִשְׂרָאֵל֮ עַד־ אָ֣נָה אַתֶּם֒
そして–言った ヨシュアは (に) 子らに (まで) イスラエルの いつまで あなたがたは
H0559 H3091 H0413 H1121 H5704 H3478 H0575 H0859

מִתְרַפִּ֣ים לָבוֹא֮ לָֽרֶשֶׁת֒ אֶת־ הָאָ֣רֶץ אֲשֶׁ֣ר נָתַ֣ן לָכֶ֔ם יְהוָ֖ה
ためらっている 行く–ことを 所有する–ために (を) 地を (こと) 与えた あなたがたに 主が
H7503 H0935 H3423 H0853 H0776 H0834 H5414 H3068

אֱלֹהֵ֥י אֲבוֹתֵיכֶֽם׃
神が あなたがたの–先祖の
H0430 H0001

ヨシュアはイスラエルの人々に言った、「あなたがたは、先祖の神、主が、あなたがたに与えられた地を取りに行くのを、いつまで怠っているのですか。

4 וְיָקֻ֣מוּ וְאִשְׁלְחֵ֣ם לַשֶּׁ֣בֶט אֲנָשִׁ֣ים שְׁלֹשָׁ֣ה לָכֶ֔ם וְיָקֻ֖מוּ הָבְוּ֑
そして–立ち上がり そして–遣わそう 部族–ごとに 人を 三人の あなたがたの–ために 出せ
H7971 H7971 H7626 H0376 H7969 H3051

וְיָבֹ֣אוּ אֵלַ֔י נַֽחֲלָתָ֖ם לְפִ֣י אוֹתָ֑הּ וְיִכְתְּבֻ֣הוּ בָּאָ֗רֶץ וְיִתְהַלְּכ֣וּ
そして–来い 彼らの–相続地 に–応じて それを そして–書き記せ 地を そして–歩き回れ
H0935 H5159 H6310 H0853 H3789 H0776 H1980

אֵלָֽי׃
私の–もとに
H0413

部族ごとに三人ずつを出しなさい。わたしはその人々をつかわしましょう。彼らは立っていって、その地を行き巡り、おのおのの嗣業のために、それを図面にして、わたしのところへ持ってこなければならない。

5 וְהֶחְתַּלְק֣וּ אֹתָ֗הּ לִשְׁבְעָה֙ חֲלָקִ֔ים יְהוּדָ֖ה יַעֲמֹ֣ד עַל־ גְּבוּל֑וֹ
そして–分ける–ように それを 七つの 部分に ユダは 留まる (に) 彼の–境界に
H2505 H0853 H7651 H2506 H3063 H5975 H5921 H1366

מִנֶּ֔גֶב וּבֵ֥ית יוֹסֵ֖ף יַעֲמְד֣וּ עַל־ גְּבוּלָ֑ם מִצָּפֽוֹן׃
南–から そして–家は ヨセフの 留まる (に) 彼らの–境界に 北–から
H5045 H1004 H3130 H5975 H5921 H1366 H6828

彼らはその地を七つの部分に分けなければならない。ユダは南のその領地にとどまり、ヨセフの家は北のその領地にとどまらなければならない。

6 וְאַתֶּ֗ם תִּכְתְּבוּ֙ אֶת־ הָאָ֣רֶץ שִׁבְעָ֣ה חֲלָקִ֔ים וְהֲבֵאתֶ֥ם אֵלַ֖י
そして–あなたがたは 書き記せ (を) 地を 七つの 部分に そして–持って–来い 私の–もとに
H0859 H3789 H0853 H0776 H7651 H2506 H0935 H0413

פֹּ֣ה לִפְנֵ֣י יְהוָ֣ה אֱלֹהֵ֣ינוּ׃ גּוֹרָ֤ל לָכֶם֙ וְיָרִ֣יתִי הֵנָּ֔ה
ここで 前に 主の 我々の–神の くじを あなたがたの–ために そして–投げよう ここに
H6311 H6440 H3068 H0430 H1486 H0834 H7993 H2008

あなたがたは、その地を七つに分けて、図面にし、それをここに、わたしのところへ持ってこなければならない。わたしはここで、われわれの神、主の前に、あなたがたのために、くじを引くであろう。

7 כִּי֙ אֵין־ חֵ֣לֶק לַלְוִיִּ֔ם בְּקִרְבְּכֶ֖ם כְּהֻנַּ֣ת יְהוָ֑ה
なぜなら ない 分け前が レビ人には あなたがたの-中に 祭司の-職 主の
H3588 H0369 H2506 H3881 H7130 H3550 H3068

וְגָ֣ד וְרֽאוּבֵן֮ וַחֲצִי֒ שֵׁ֣בֶט הַמְנַשֶּׁה֮ לָקְח֣וּ נַחֲלָתָם֒
そして-ガドと そして-ルベンと そして-半分の 部族の マナセの 受けた 彼の-相続地
H1410 H7205 H2677 H7626 H4519 H3947 H5159

אֲשֶׁ֣ר נָתַ֣ן לָהֶ֔ם מֹשֶׁ֖ה עֶ֣בֶד יְהוָ֑ה בְּעֵ֣בֶר הַיַּרְדֵּ֔ן מִזְרָ֖חָה
(こと) 与えた 彼らに モーセが しもべの 主の 東-に ヨルダンの 向こう-側の
H0834 H5414 H0853 H4872 H5650 H3068 H4217 H3383 H5676

נָתַ֥ן לָהֶ֖ם מֹשֶׁ֣ה עֶ֣בֶד יְהוָֽה׃
彼らに モーセが しもべの 主の
H5414 H0853 H4872 H5650 H3068

レビびとは、あなたがたのうちに何の分をも持たない。主の祭司たることが、彼らの嗣業だからである。またガドとルベンとマナセの半部族とは、ヨルダンの向こう側、東の方で、すでにその嗣業を受けた。それは主のしもべモーセが、彼らに与えたものである」。

8 וַיָּקֻ֣מוּ הָֽאֲנָשִׁ֗ים וַיֵּלְכ֔וּ וַיְצַ֣ו יְהוֹשֻׁ֔עַ אֶת־ הַהֹלְכִ֖ים
そして-立ち上がった 人々は そして-行った そして-命じた ヨシュアは (を) 行く-者たちに
H0853 H0376 H3212 H6680 H3091 H0853 H1980

לֵאמֹ֗ר לְכ֤וּ וְהִתְהַלְּכוּ֙ בָּאָ֔רֶץ וְכִתְבוּ֖ אוֹתָ֑הּ
言って 行け そして-歩き回れ 地を そして-書き記せ それを
H0559 H3212 H0853 H0776 H1980 H3789 H0853

וְשׁ֥וּבוּ אֵלַ֖י וּפֹ֣ה אַשְׁלִ֣יךְ לָכֶ֔ם גּוֹרָ֖ל לִפְנֵ֣י יְהוָ֑ה בְּשִׁלֹֽה׃
そして-帰れ 私の-もとに そして-ここで 投げよう あなたがたの-ために くじを 前に 主の シロで
H7725 H0413 H6311 H7993 H0853 H1486 H6440 H3068 H7887

そこでその人々は立って行った。その地の図面を作るために出て行く人々に、ヨシュアは命じて言った、「あなたがたは行って、その地を行き巡り、それを図面にして、わたしのところに持って帰りなさい。わたしはシロで、主の前に、あなたがたのために、ここでくじを引きましょう」。

9 וַיֵּלְכ֣וּ הָֽאֲנָשִׁ֗ים וַיַּעַבְר֣וּ בָאָ֔רֶץ וַיִּכְתְּבֻ֥הָ לְעָרִ֖ים לְשִׁבְעָ֣ה
そして-行った 人々は そして-通り-過ぎた 地を そして-書き記した-それを 町々を 七つの
H3212 H0376 H5674 H0776 H3789 H5892 H7651

וַיָּבֹ֥אוּ אֶל־ יְהוֹשֻׁ֖עַ אֶל־ הַמַּחֲנֶ֑ה שִׁלֹֽה׃ עַל־ סֵ֣פֶר חֲלָקִ֔ים
そして-来た (に) ヨシュアの-もとに (に) 陣営に シロの 書物に (に) 部分に
H0935 H0413 H3091 H0413 H4264 H7887 H5612 H2506 H5921

こうしてその人々は行って、その地を経めぐり、町々にしたがって、それを七つの部分とし、図面にして、書物に書きしるし、シロの宿営におるヨシュアのもとへ持ってきた。

10 וַיַּשְׁלֵךְ֩ לָהֶ֨ם יְהוֹשֻׁ֜עַ גּוֹרָ֗ל בְּשִׁלֹה֙ לִפְנֵ֣י יְהוָ֔ה וַיְחַלֵּ֥ק שָׁ֖ם
そして-投げた 彼らの-ために ヨシュアは くじを シロで 前に 主の そして-分けた そこで
H7993 H3091 H1486 H7887 H6440 H3068 H2505 H8033

פ ¶ כְּמַחְלְקֹתָֽם׃ יִשְׂרָאֵל֙ לִבְנֵ֣י הָאָ֔רֶץ אֶת־ יְהוֹשֻׁ֖עַ
彼らの-割り当てに-応じて イスラエルの 子らに 地を (を) ヨシュアは
H4256 H3478 H1121 H0776 H0853 H3091

ヨシュアはシロで、彼らのために主の前に、くじを引いた。そしてヨシュアはその所で、イスラエルの人々に、それぞれの分として、地を分け与えた。

11 וַיַּעַל גּוֹרָל לְמַטֵּה בִנְיָמִן לִמְשְׁפְּחֹתָם בְּנֵי־ וַיֵּצֵא גְּבוּל
そして-上がった くじは 部族の ベニヤミンの 彼らの-氏族に-応じて 子らの そして-出た 境界は
H5927 H1486 H4294 H1144 H4940 H1144 H3318 H1366

גּוֹרָלָם וּבֵין בִּנְיָן יְהוּדָה בְּנֵי בֵּין יוֹסֵף׃ בְּנֵי
彼らの-くじの そして-間に ユダの 子らの 間に ヨセフの 子らの
H1486 H0996 H3063 H1121 H0996 H3130 H1121

まずベニヤミンの子孫の部族のために、その家族にしたがって、くじを引いた。そしてそのくじによって獲た領地は、ユダの子孫と、ヨセフの子孫との間にあった。

12 וַיְהִי לָהֶם הַגְּבוּל לִפְאַת צָפוֹנָה מִן־ הַיַּרְדֵּן וְעָלָה הַגְּבוּל אֶל־
そして-あった 彼らに 境界は 側に 北の (から) ヨルダンから そして-上った 境界は (に)
H1961 H1121 H1366 H6285 H6828 H4480 H3383 H5927 H1366 H0413

וְהָיוּ)([והיה] נֶגְבָּה בָהָר וְעָלָה מִצָּפוֹן יְרִיחוֹ כֶּתֶף
そして-あった [そして-あった] 西-へ 山地を そして-上った 北-から エリコの 側-に
H1961 H1961 H3220 H2022 H5927 H6828 H3405 H3802

בֵּית־אָוֶן׃ בְּבֵית מִדְבָּרָה תְּצֵאוֹתָיו
ベト・アヴェンの 荒野-に その-終わりは
H1007 H8444

すなわち、その北の方の境は、ヨルダンに始まり、エリコの北のわきに上り、また西の方の山地をとおって上り、ベテアベンの荒野に達して尽きる。

13 וְעָבַר הַגְּבוּל מִשָּׁם לוּזָה אֶל־ כֶּתֶף לוּזָה נֶגְבָּה הִיא בֵּית־אֵל
そして-過ぎた そこから ルズへ 境界は ルズの 側-に (に) ルズの 南-の それは ベテル
H5674 H8033 H3870 H1366 H3802 H0413 H3870 H5045 H1931 H1008

תַּחְתּוֹן׃ לְבֵית־חוֹרוֹן מִנֶּגֶב אֲשֶׁר הָהָר עַל־ אֲטָרֹת־אַדָּר הַגְּבוּל וְיָרַד
下の ベト・ホロンの 南-の (ある) 山-の (に) アトロト・アダルへ 境界は そして-下った
H8481 H1032 H5045 H0834 H2022 H5921 H5853 H1366 H3381

そこから、その境はルズに進み、ルズの南のわきに至る。ルズはベテルである。ついでその境は下ベテホロンの南の山にあるアタロテ・アダルに下り、

14 וְתָאַר הַגְּבוּל וְנָסַב לִפְאַת־ יָם נֶגְבָּה מִן־ הָהָר אֲשֶׁר עַל־
そして-曲がった 境界は そして-回った 側-に 海の 南-へ (から) 山から (ある) (に)
H5437 H1366 H5437 H6285 H3220 H5045 H4480 H2022 H0834 H5921

אֶל־ תְּצֵאוֹתָיו)וְהָיוּ([והיה] נֶגְבָּה בֵּית־חוֹרוֹן פְּנֵי
(に) その-終わりは そして-あった [そして-あった] 南-の ベト・ホロンの 面-の
H0413 H8444 H1961 H1961 H5045 H1032 H6440

יָם׃ פְּאַת־ זֹאת יְהוּדָה בְּנֵי עִיר יְעָרִים־קִרְיַת הִיא קִרְיַת־בַּעַל
西の 側の これは ユダの 子らの 町の キルヤト・エアリム それは キルヤト・バアルに
H3220 H6285 H2063 H3063 H1121 H5892 H7157 H1931 H7154

西の方では、ベテホロンの南にある山から南に曲り、ユダの子孫の町キリアテ・バアルに至って尽きる。キリアテ・バアルはキリアテ・ヤリムである。これが西の方の境であった。

15 וְיָצָא הַגְּבוּל מִקְצֵה נֶגְבָּה וּפְאַת־ יְעָרִים־קִרְיַת וַיֵּצֵא הַגְּבוּל נֶגְבָּה אֶל־
そして-出た 境界は 西-へ (に)
H3318 H1366 H3220 H0413

נֶפְתּוֹחַ׃ מֵי מַעְיַן
ネフトアの 水の 泉-に
H5318 H4325 H4599

また南の方は、キリアテ・ヤリムの端に始まり、その境はそこからエフロンにおもむき、ネフトアの水の源に至り、

16 וְיָרַד הַגְּבוּל אֶל־ קְצֵה הָהָר אֲשֶׁר עַל־ פְּנֵי גֵי בֶן־ הִנֹּם
そして-下った 境界は に 端-に 山の (ある) (に) 面の 谷の 息子の ヒノムの
H3381 H1366 H0413 H2022 H6440 H1516

אֲשֶׁר בְּעֵמֶק רְפָאִים צָפוֹנָה וְיָרַד גֵּי הִנֹּם אֶל־ כֶּתֶף הַיְבוּסִי
(ある) 谷に レファイムの 北-に そして-下った 谷-の ヒノムの (に) 側-に エブス人の
H6010 H6828 H3381 H1516 H2011 H0413 H3802 H2983

נֶגְבָּה וְיָרַד רֹגֵל׃ עֵין
南-の そして-下った エン・ロゲルへ
H5045 H3381 H5883

ついでその境は、レパイムの谷の北の端にあるベンヒンノムの谷を見おろす山の端に下り、進んでエブスびとのわきの南、ヒンノムの谷に下り、また下ってエンロゲルに至り、

17 וְתֵאָר מִצָּפוֹן וְיָצָא שֶׁמֶשׁ עֵין וְיָצָא גְּלִילוֹת אֲשֶׁר־
そして-曲がった 北-から そして-出た エン・シェメシュへ そして-出た (に) ゲリロトへ (ある)
H6828 H3318 H5885 H3318 H0413 H1553

מַעֲלֵה נָכַח רְאוּבֵן׃ בֶּן־ בֹּהַן אֶבֶן וְיָרַד אֲדֻמִּים
上り-坂の 向かいの ルベンの 息子の ボハンの 石-の そして-下った アドミムの
H4608 H5227 H7205 H1121 H0932 H0068 H3381 H0131

北に曲ってエンシメシにおもむき、アドミムの坂に対するゲリロテにおもむき、ルベンびとボハンの石に下り、

18 וְעָבַר אֶל־ כֶּתֶף מוּל־ הָעֲרָבָה צָפוֹנָה וְיָרַד הָעֲרָבָה׃
そして-過ぎた (に) 側-に 向かいの アラバの 北-に そして-下った アラバへ
H5674 H0413 H3802 H4136 H6160 H6828 H3381 H6160

ベテアラバのわきを北に進んで、アラバに下り、

19 וְעָבַר הַגְּבוּל אֶל־ כֶּתֶף מוּל־ בֵּית־ חָגְלָה צָפוֹנָה [והיה] וְהָיוּ()
そして-過ぎた 境界は に 側-に 向かいの ベト・ホグラの 北-の [そして-あった] そして-あった
H5674 H1366 H0413 H3802 H4136 H1031 H6828 H1961 H1961

תצאותין[(תֹּצְאוֹת הַגְּבוּל אֶל־ לְשׁוֹן יָם־ הַמֶּלַח צָפוֹנָה קְצֵה הַיַּרְדֵּן
[終わりは] 終わりは(境界の に 入り江-に 海の 塩の 北-の 端-に ヨルダンの
H8444 H8444 H1366 H0413 H3956 H3220 H4417 H6828 H7097 H3383

נֶגְבָּה זֶה גְּבוּל נֶגֶב׃
南-の これは 境界の 南の
H5045 H2088 H1366 H5045

その境は、ベテホグラの北のわきに進み、ヨルダンの南端で、塩の海の北の入海に至って尽きる。これが南の境である。

20 וְהַיַּרְדֵּן יִגְבֹּל־ אֹתוֹ לִפְאַת־ קֵדְמָה זֹאת נַחֲלַת בְּנֵי בִנְיָמִן
そして-ヨルダンが 境界と-なる それの 側の 東の これは 相続地の 子らの ベニヤミンの
H3383 H1379 H0853 H6285 H6924 H2063 H5159 H1121 H1144

לְמִשְׁפְּחֹתָם׃ סָבִיב גְּבֻלֹתֶיהָ
彼らの-氏族に-応じて 回りに 彼らの-境界に-応じて
H4940 H5439 H1367

ヨルダンは東の方の境となっていた。これがベニヤミンの子孫の、その家族にしたがって獲た嗣業の四方の境である。

21 וְהָיוּ הֶעָרִים לְמַטֵּה בְּנֵי בִנְיָמִן לְמִשְׁפְּחוֹתֵיהֶם יְרִיחוֹ
そして-あった 町々は 部族の 子らの ベニヤミンの 彼らの-氏族に-応じて エリコと
H1961 H4294 H1144 H4940 H3405

וּבֵית־חָגְלָה וְעֵמֶק קְצִיץ׃
そして-ベト・ホグラと そして-エメクの 谷と
H1031 H6010 H7104

ベニヤミンの子孫の部族が、その家族にしたがって獲た町々は、エリコ、ベテホグラ、エメクケジツ、

22 וּבֵית־אֵל׃ וּצְמָרַיִם הָעֲרָבָהוּבֵית
そして-ベテルと そして-ツェマライムと そして-ベト・アラバと
H1008 H6787 H1026

ベテアラバ、ゼマライム、ベテル、

23 וְהָעַוִּים וְהַפָּרָה וְעָפְרָה׃
そして-アヴィムと そして-ハパラと そして-オフラと
H5761 H6511 H6084

アビム、パラ、オフラ、

24 [העמני|וּכְפָּר (הָעַמֹּנָה)וּכְפָּר שְׁתֵּים־ עָרִים וְגָבַע וְהָעָפְנִי
そして-ケファルの そして-ケファル・アモナと 十二の 町々は そして-ガバ そして-オフニと
H3726 H3726 H8147 H1387 H6078

וְחַצְרֵיהֶן׃ עֶשְׂרֵה
そして-その-村々 十二
H6240

ケパル・アンモニ、オフニ、ゲバ。すなわち十二の町々と、それに属する村々。

25 גִּבְעוֹן וְהָרָמָה וּבְאֵרוֹת׃
ギブオンと そして-ラマと そして-ベエロトと
H1391 H7414 H0881

またギベオン、ラマ、ベエロテ、

26 וְהַמִּצְפָּה וְהַכְּפִירָה וְהַמֹּצָה׃
そして-ミツパと そして-ケフィラと そして-モツァと
H4708 H3716 H4681

ミヅパ、ケピラ、モザ、

27 וְרֶקֶם וְיִרְפְּאֵל וְתַרְאֲלָה׃
そして-レケムと そして-イルパエルと そして-タルアラと
H7552 H3416 H8634

レケム、イルピエル、タララ、

28 וְצֵלַע הָאֶלֶף וְהַיְבוּסִי הִיא יְרוּשָׁלַם גִּבְעַת קִרְיַת עָרִים
そして-ツェラと エレフと そして-エブス人の それは エルサレム ギブアトと キルヤトと 町々は
H6762 H0507 H2983 H1931 H3389 H1394 H7157

אַרְבָּע־ עֶשְׂרֵה וְחַצְרֵיהֶן זֹאת נַחֲלַת בְּנֵי־ בִנְיָמִן לְמִשְׁפְּחֹתָם׃
十四の 十四 そして-その-村々 これは 相続地の 子らの ベニヤミンの 彼らの-氏族に-応じて
H0702 H6240 H2063 H5159 H1144 H4940

פ
¶

ゼラ、エレフ、エブスすなわちエルサレム、ギベア、キリアテ・ヤリム。すなわち十四の町々と、それに属する村々。これがベニヤミンの子孫の、その家族にしたがって獲た嗣業である。

Chapter 19

1 וַיֵּצֵא הַגּוֹרָל הַשֵּׁנִי לְשִׁמְעוֹן לְמַטֵּה בְנֵי־שִׁמְעוֹן לְמִשְׁפְּחֹתָם
そして-出た くじは 第二の シメオンの-ために 部族の 子らの シメオン 彼らの-氏族に-応じて
H3318 H1486 H8145 H8095 H4294 H1486 H8095 H4940

וַיְהִי נַחֲלָתָם בְּתוֹךְ בְּנֵי־יְהוּדָה׃
そして-あった 彼らの-相続地は 中に 子らの ユダの
H1961 H5159 H8432 H1121 H3063

次にシメオンのため、すなわちシメオンの子孫の部族のために、その家族にしたがって、くじを引いた。その嗣業はユダの子孫の嗣業のうちにあった。

2 וַיְהִי לָהֶם בְּנַחֲלָתָם בְּאֵר־שֶׁבַע וְשֶׁבַע וּמוֹלָדָה׃
そして-あった 彼らに 彼らの-相続地として ベエル・シェバと そして-シェバと そして-モラダと
H1961 H1992 H5159 H0884 H7651 H4137

その嗣業として獲たものは、ベエルシバ、すなわちシバ、モラダ、

3 וְחַצַר שׁוּעָל וּבָלָה וְעָצֶם׃
そして-ハツァル・シュアルと そして-バラと そして-アツェムと
H2705 H1088 H6107

ハザル・シュアル、バラ、エゼム、

4 וְאֶלְתּוֹלַד וּבְתוּל וְחָרְמָה׃
そして-エルトラドと そして-ベトゥルと そして-ホルマと
H0513 H1329 H2767

エルトラデ、ベトル、ホルマ、

5 וְצִקְלַג וּבֵית־הַמַּרְכָּבוֹת וַחֲצַר סוּסָה׃
そして-ツィクラグと そして-ベト・マルカボトと そして-ハツァル・スサと
H6860 H1024 H2701

チクラグ、ベテ・マルカボテ、ハザルスサ、

6 וּבֵית לְבָאוֹת וְשָׁרוּחֶן עָרִים שְׁלֹשׁ־עֶשְׂרֵה וְחַצֵרֵיהֶן׃
そして-ベト・レバオトと そして-シャルヘンと 町々は 十三の 十三 そして-その-村々
H1034 H8287 H7969 H6240

ベテレバオテ、シャルヘン。すなわち十三の町々と、それに属する村々。

7 וְעַיִן רִמּוֹן וְעֶתֶר וְעָשָׁן עָרִים אַרְבַּע וְחַצֵרֵיהֶן׃
そして-アインと リモンと そして-エテルと そして-アシャンと 町々は 四つ そして-その-村々
H5871 H7417 H6281 H6228 H0702

またアイン、リンモン、エテル、アシャン。すなわち四つの町々と、それに属する村々。

8 וְכָל־הַחֲצֵרִים אֲשֶׁר סְבִיבוֹת הֶעָרִים הָאֵלֶּה עַד־בַּעֲלַת בְּאֵר רָמַת נֶגֶב
そして-すべての 村々は (ある) 回りの 町々の これらの (まで) バアラト・ベエルまで ラマト ネゲブの
H3605 H2063 H5045 H7414

זֹאת נַחֲלַת מַטֵּה בְנֵי־שִׁמְעוֹן לְמִשְׁפְּחֹתָם׃
これは 相続地の 部族の 子らの シメオンの 彼らの-氏族に-応じて
H2063 H5159 H4294 H1121 H8095 H4940

およびこれらの町の周囲にあって、バアラテ・ベエル、すなわちネゲブのラマに至るまでのすべての村々。これがシメオンの子孫の部族の、その家族にしたがって獲た嗣業である。

9 מֵחֵבֶל יְהוּדָה בְּנֵי נַחֲלַת שִׁמְעוֹן בְּנֵי כִּי־ הָיָה חֵלֶק בְּנֵי־
部分から ユダの 子らの 相続地は シメオンの 子らの なぜなら あった 分け前は 子らの
H8095 H5159 H3063 H1961

פ ¶ נַחֲלָתָם׃ בְּתוֹךְ שִׁמְעוֹן בְּנֵי־ וַיִּנָּחֲלוּ מֵהֶם רַב יְהוּדָה
彼らの–相続地の 中に シメオンの 子らは そして–相続した 彼らより 大きかった ユダの
H5159 H8432 H8095 H5157 H1992 H3063

シメオンの子孫の嗣業は、ユダの子孫の領域のうちにあった。これはユダの子孫の分が大きかったので、シメオンの子孫が、その嗣業を彼らの嗣業の中に獲たからである。

10 וַיַּעַל הַגּוֹרָל הַשְּׁלִישִׁי לִבְנֵי זְבוּלֻן לְמִשְׁפְּחֹתָם וַיְהִי
そして–上がった くじは 第三の 子らの–ために ゼブルンの 彼らの–氏族に–応じて そして–あった
H5927 H1486 H7992 H2074 H4940 H1961

גְּבוּל נַחֲלָתָם עַד־ שָׂרִיד׃
境界は 彼らの–相続地の (まで) サリドまで
H1366 H5159 H5704 H8301

第三にゼブルンの子孫のために、その家族にしたがって、くじを引いた。その嗣業の領域はサリデに及び、

11 וְעָלָה גְּבוּלָם וּמַרְעֲלָה וּבָטָה לַיָּמָה וּפָגַע בְּדַבֶּשֶׁת
そして–上った 彼らの–境界は そして–マルアラへ 海–へ そして–達した ダベシェトに
H5927 H1366 H4831 H3220 H6293 H1708

וּפָגַע אֶל־ הַנַּחַל אֲשֶׁר עַל־ פְּנֵי יָקְנְעָם׃
そして–達した (に) 川–に (ある) (に) 面–の ヨクネアムの
H6293 H0413 H5158 H6440 H3362

その境は西に上って、マララに至り、ダバセテに達し、ヨクネアムの東にある川に達し、

12 וְשָׁב מִשָּׁרִיד קֵדְמָה מִזְרַח הַשָּׁמֶשׁ עַל־ גְּבוּל תָּבֹר כִּסְלֹת
そして–戻った サリドから 東–へ 東の 太陽の (に) 境界–に キスロト・タボルの
H7725 H8301 H6924 H4217 H8121 H5921 H1366 H3696

וְיָצָא דָּבְרַת וְעָלָה יָפִיעַ׃
そして–出た ダベラトへ そして–上った ヤフィアへ
H3318 H1705 H5927 H3309

サリデから、東の方、日の出の方に曲り、キスロテ・タボルの境に至り、ダベラテに出て、ヤピアに上り、

13 וּמִשָּׁם עָבַר קֵדְמָה מִזְרָחָה חֶפְרִמָּה גִּתָּה קַצִין וְיָצָא
そして–そこから 過ぎた 東–へ 東–に ギタ・ヘフェルへ イッタ・カツィンへ そして–出た
H8033 H5674 H6924 H4217 H1662 H6278 H3318

הַנְּעָה׃ הַמְתְאָר רִמּוֹן
ネアへ 曲がる リモンへ
H5269

そこから東の方、日の出の方に進んで、ガテヘペルとイッタ・カジンに至り、リンモンに進んで、ネアの方に曲る。

14 וְנָסַב גִּי תְּצִאֹתָיו וְהָיוּ חַנָּתֹן מִצְּפוֹן הַגְּבוּל אֹתוֹ
そして–回った 谷–に その–終わりは そして–あった ハナトンへ 北–から 境界は それを
H5437 H1516 H8444 H1961 H2615 H6828 H1366 H0853

יִפְתַּח־אֵל׃
イフタ・エルの
H3317

北ではその境はハンナトンに回り、イフタエルの谷に至って尽きる。

15 וְקַטָּ֥ת וְנַהֲלָ֖ל וְשִׁמְר֑וֹן וְיִדְאֲלָ֖ה וּבֵ֥ית לָֽחֶם׃
そして-カタトと そして-ナハラルと そして-シムロンと そして-イダラと そして-ベトレヘムと
H7005 H5096 H8111 H3030 H1035

עָרִ֖ים שְׁתֵּ֣ים עֶשְׂרֵ֑ה וְחַצְרֵיהֶֽן׃
町々は 十二の 十二 そして-その-村々
H8147 H6240

そしてカッタテ、ナハラル、シムロン、イダラ、ベツレヘムなど十二の町々と、それに属する村々があった。

16 זֹ֚את נַחֲלַ֣ת בְּנֵי־זְבוּלֵ֔ן לְמִשְׁפְּחֹתָ֖ם הֶֽעָרִ֥ים הָאֵ֛לֶּה וְחַצְרֵיהֶֽן׃
これは 相続地の 子らの ゼブルンの 彼らの-氏族に-応じて 町々は これらの そして-その-村々
H2063 H5159 H1121 H2074 H4940 H5892 H0428

פ
¶

これがゼブルンの子孫の、その家族にしたがって獲た嗣業であって、その町々と、それに属する村々とである。

17 לְיִשָּׂשכָ֖ר יָצָ֣א הַגּוֹרָ֑ל הָֽרְבִיעִ֖י לִבְנֵ֥י יִשָּׂשכָ֛ר לְמִשְׁפְּחֹתָֽם׃
イッサカルの-ために 出た くじは 第四の 子らの-ために イッサカルの 彼らの-氏族に-応じて
H3485 H3318 H1486 H7243 H1121 H3485 H4940

第四にイッサカル、すなわちイッサカルの子孫のために、その家族にしたがって、くじを引いた。

18 וַיְהִ֣י גְבוּלָ֔ם יִזְרְעֶאלָ֖ה וְהַכְּסוּלֹ֣ת וְשׁוּנֵֽם׃
そして-あった 彼らの-境界は イズレエルと そして-ケスロトと そして-シュネムと
H1961 H1366 H3157 H3694 H7766

その領域には、エズレル、ケスロテ、シュネム、

19 וְהַפָּרַ֥יִם וְשִׁיאֹ֖ן וַאֲנָחֲרֵֽת׃
そして-ハファライムと そして-シオンと そして-アナハラトと
H2663 H7866 H0588

ハパライム、シオン、アナハラテ、

20 וְהָרַבִּ֥ית וְקִשְׁיֹ֖ן וָאָבֵֽץ׃
そして-ラビトと そして-キシヨンと そして-エベツと
H7245 H7191 H0077

ラビテ、キション、エベツ、

21 וְרֶ֣מֶת וְעֵין־גַּנִּ֖ים חַדַּ֣ה וְעֵ֑ין וּבֵ֥ית פַּצֵֽץ׃
そして-レメトと そして-エン・ガニムと そして-エン・ハダと そして-ベト・パツェツと
H7432 H5873 H5876 H1048

レメテ、エンガンニム、エンハダ、ベテパッゼズがあり、

22 וּפָגַ֣ע הַגְּבוּל֮ בְּתָבֹ֒ור]ושחצומה[(וְשַׂחֲצִימָה֮)
そして-達した 境界は タボルに [そして-シャハツマへ] そして-シャハツィマへ
H6293 H1366 H8396 H7831 H7831

שֵׁ֣שׁ עָרִ֔ים הַיַּרְדֵּ֖ן גְּבוּלָ֑ם תֹּצְאֹ֖ות וְהָיָ֥ו שֶׁמֶשׁוּבֵֽית
十六の 町々は ヨルダンに 彼らの-境界の 終わりは そして-あった そして-ベト・シェメシュへ
H8337 H3383 H1366 H8444 H1961 H1053

וְחַצְרֵיהֶֽן׃ עֶשְׂרֵ֖ה
そして-その-村々 十六
H6240

その境はタボル、シャハヂマ、ベテシメシに達し、その境はヨルダンに至って尽きる。十六の町々と、それに属する村々があった。

וְחַצְרֵיהֶן׃	הֶעָרִים	לְמִשְׁפְּחֹתָם	יִשָּׂשכָר	בְּנֵי־	מַטֵּה	נַחֲלַת	זֹאת	23
そして–その–村々	町々は	彼らの–氏族に–応じて	イッサカルの	子らの	部族の	相続地の	これは	
		H4940	H3485		H4294	H5159	H2063	

פ
¶

これがイッサカルの子孫の部族の、その家族にしたがって獲た嗣業であって、その町々と、それに属する村々とである。

לְמִשְׁפְּחוֹתָם׃	אָשֵׁר	בְּנֵי־	לְמַטֵּה	הַחֲמִישִׁי	הַגּוֹרָל	וַיֵּצֵא	24
彼らの–氏族に–応じて	アシェルの	子らの	部族の–ために	第五の	くじは	そして–出た	
H4940	H0836		H4294	H2549	H1486	H3318	

第五に、アセルの子孫の部族のために、その家族にしたがって、くじを引いた。

וְאַכְשָׁף׃	וָבֶטֶן	וַחֲלִי	חֶלְקַת	גְּבוּלָם	וַיְהִי	25
そして–アクシャフと	そして–ベテンと	そして–ハリと	ヘルカトと	彼らの–境界は	そして–あった	
H0407	H0991	H2482	H2520	H1366	H1961	

その領域には、ヘルカテ、ハリ、ベテン、アクサフ、

הַיָּמָּה	בְּכַרְמֶל	וּפָנַע	וּמִשְׁאָל	וְעַמְעָד	וְאַלַּמֶּלֶךְ	26
海–へ	カルメルに	そして–達した	そして–ミシャルと	そして–アマドと	そして–アラメレクと	
H3220	H3760	H6293	H4861	H6008	H0487	

לְבְנָת׃וּבְשִׁיחֹור
そして–シホル・リブナトへ
H7884

アランメレク、アマデ、ミシャルがあり、その境は西では、カルメルとシホル・リブナテに達し、

וּבְנֵי	בִּזְבֻלוּן	וּפָנַע	דָּגוֹן־בֵּית	הַשֶּׁמֶשׁ	מִזְרַח	וְשָׁב	27
そして–谷–に	ゼブルンに	そして–達した	ベト・ダゴンへ	太陽の	東の	そして–戻った	
H1516	H2074	H6293	H1016	H8121	H4217	H7725	

מִשְׂמְאל׃	כָּבוּל	אֶל־	וְיֵצֵא	וּנְעִיאֵל	הָעֵמֶק־בֵּית	צָפֹונָה	יִפְתַח־אֵל
左–から	カブルへ	(に)	そして–出た	そして–ネイエルと	ベト・エメクと	北–に	イフタ・エルの
H8040	H3521	H0413	H3318	H5272	H1025	H6828	H3317

それから東に折れて、ベテダゴンに至り、北の方ゼブルンと、イプタエルの谷に達し、ベテエメクおよびネイエルに至り、北はカブルにいで、

רַבָּה׃	צִידֹון	עַד	וְקָנָה	וְחַמֹּון	וּרְחֹב	וְעַבְדֹּן	28
大いなる	シドンまで	(まで)	そして–カナと	そして–ハモンと	そして–レホブと	そして–エブロンと	
	H6721	H5704	H7071	H2540	H7340	H5683	

更にエブロン、レホブ、ハンモン、カナを経て、大シドンに及び、

הַגְּבוּל	וְשָׁב	צֹר	מִבְצַר־	עִיר	וְעַד־	הָרָמָה	הַגְּבוּל	וְשָׁב	29
境界は	そして–戻った	ツロの	要塞の	町–の	そして–(まで)	ラマへ	境界は	そして–戻った	
H1366	H7725	H6865	H4013		H5704	H7414	H1366	H7725	

אַכְזִיבָה׃	מֵחֶבֶל	הַיָּמָּה	תֹּצְאֹתָיו	(וְהָיָו)	[ויהיו]	חֹסָה
アクジブの	部分から	海–に	その–終わりは	そして–あった	[そして–あった]	ホサへ
H0392		H3220	H8444	H1961	H1961	H2621

それから、その境はラマに曲り、堅固な町ツロに至る。またその境はホサに曲り、海に至って尽きる。そして、マハラブ、アクジブ、

30 וְעֻמָּה וַאֲפֵק וּרְחֹב עָרִים עֶשְׂרִים וּשְׁתֵּים וְחַצְרֵיהֶן׃
そして-ウマと そして-アフェクと そして-レホブと 町々は 二十二の 二十二
H5981 H0663 H7340 H6242 H8147

ウンマ、アペク、レホブなど、二十二の町々と、それに属する村々があった。

31 זֹאת נַחֲלַת בְּנֵי־ אָשֵׁר לְמִשְׁפְּחֹתָם הֶעָרִים הָאֵלֶּה
これは 相続地の 部族の 子らの アシェルの 彼らの-氏族に-応じて 町々は これらの
H2063 H5159 H4294 H1121 H0836 H4940 H5892 H0428

פ ¶ וְחַצְרֵיהֶן׃
そして-その-村々

これがアセルの子孫の部族の、その家族にしたがって獲た嗣業であって、その町々と、それに属する村々とである。

32 לִבְנֵי נַפְתָּלִי לְמִשְׁפְּחֹתָם׃
子らの-ために ナフタリの 彼らの-氏族に-応じて
H3318 H5321 H4940

第六に、ナフタリの子孫のために、その家族にしたがって、くじを引いた。

33 וַיְהִי גְּבוּלָם מֵחֶלֶף מֵאֵלוֹן בְּצַעֲנַנִּים וַאֲדָמִי הַנֶּקֶב
そして-あった 彼らの-境界は ヘレフから エロンから ツァアナニムの そして-アダミと ネケブの
H1961 H1366 H2501 H0438 H6815 H0129 H5346

וְיַבְנְאֵל עַד־ לַקּוּם תּוֹצְאֹתָיו וַיְהִי הַיַּרְדֵּן׃
そして-ヤブネエルと (まで) ラクムまで その-終わりは そして-あった ヨルダンに
H2995 H5704 H3946 H8444 H1961 H3383

その境はヘレフから、すなわちザアナニイムのかしの木から起り、アダミ・ネケブおよび、ヤブネルを経て、ラクムに至り、ヨルダンに至って尽きる。

34 וְשָׁב הַגְּבוּל יָמָּה אֲזְנוֹת תָּבוֹר וַיֵּצֵא מִשָּׁם חוּקֹקָה וּפָגַע
そして-戻った 境界は 西-へ アズノト・タボルへ そして-出た そこから フコクへ そして-達した
H7725 H1366 H3220 H0243 H3318 H8033 H2710 H6293

מִזְרַח הַשָּׁמֶשׁ׃ הַיַּרְדֵּן וּבִיהוּדָה מִיָּם פָּגַע וּבְאָשֵׁר מִנֶּגֶב בִּזְבֻלוֹן
東の 太陽の ヨルダンの そして-ユダに 西-から 達した そして-アシェルに 南-から ゼブルンに
H4217 H8121 H3383 H3063 H3220 H6293 H0836 H5045 H2074

そしてその境は西に向かって、アズノテ・タボルに至り、そこからホッコクに出る。南はゼブルンに接し、西はアセルに接し、東はヨルダンのユダに達する。

35 וְעָרֵי הַצִּדִּים צֶר מִבְצָר וְחַמָּת רַקַּת וְכִנֶּרֶת׃
そして-町々は ツィディムと ツェルと 要塞の そして-ハマトと ラカトと そして-キネレトと
H5892 H6661 H6863 H4013 H2574 H7557 H3672

その堅固な町々は、ヂデム、ゼル、ハンマテ、ラッカテ、キンネレテ、

36 וַאֲדָמָה וְהָרָמָה וְחָצוֹר׃
そして-アダマと そして-ラマと そして-ハツォルと
H0128 H7414 H2674

アダマ、ラマ、ハゾル、

37 וְקֶדֶשׁ וְאֶדְרֶעִי וְעֵין חָצוֹר׃
そして-ケデシュと そして-エドレイと そして-エン・ハツォルと
H6943 H0154 H5877

ケデシ、エデレイ、エンハゾル、

38 וְיִרְאוֹן וּמִגְדַּל־אֵל חֹרֶם וּבֵית־עֲנָת
そして–イルオンと そして–ミグダル・エルと ホレムと そして–ベト・アナトと
H3375 H4027 H2765 H1043

תִּשַּׁע־עָרִים עֶשְׂרֵה תִּשְׁעָה וְחַצֵרֵיהֶן׃
そして–シェメシュと 町々は 十九の 十九 そして–その–村々
H1053 H8672 H6240

イロン、ミグダルエル、ホレム、ベテアナテ、ベテシメシなどで、十九の町々と、それに属する村々があった。

39 זֹאת נַחֲלַת מַטֵּה בְּנֵי־ נַפְתָּלִי לְמִשְׁפְּחֹתָם הֶעָרִים וְחַצֵרֵיהֶן׃
これは 相続地の 部族の 子らの ナフタリの 彼らの–氏族に–応じて 町々は そして–その–村々
H2063 H5159 H4294 H1121 H5321 H4940

פ
¶

これがナフタリの子孫の部族が、その家族にしたがって獲た嗣業であって、その町々と、それに属する村々とである。

40 לְמַטֵּה בְּנֵי־ דָן לְמִשְׁפְּחֹתָם יָצָא הַגּוֹרָל הַשְּׁבִיעִי׃
部族の–ために 子らの ダンの 彼らの–氏族に–応じて 出た くじは 第七の
H4294 H1121 H1835 H4940 H3318 H1486 H7637

第七に、ダンの子孫の部族のために、その家族にしたがって、くじを引いた。

41 וַיְהִי גְּבוּל נַחֲלָתָם צָרְעָה וְאֶשְׁתָּאוֹל וְעִיר שֶׁמֶשׁ׃
そして–あった 境界は 彼らの–相続地の ツォルアと そして–エシュタオルと そして–イル・シェメシュと
H1961 H1366 H5159 H6881 H0847 H5905

その嗣業の領域には、ゾラ、エシタオル、イルシメシ、

42 וְשַׁעַלַבִּין וְאַיָּלוֹן וְיִתְלָה׃
そして–シャアラビンと そして–アヤロンと そして–イトラと
H8169 H0357 H3494

シャラビム、アヤロン、イテラ、

43 וְאֵילוֹן וְתִמְנָתָה וְעֶקְרוֹן׃
そして–エロンと そして–ティムナと そして–エクロンと
H0356 H8553 H6138

エロン、テムナ、エクロン、

44 וְאֶלְתְּקֵה וְגִבְּתוֹן וּבַעֲלָת׃
そして–エルテケと そして–ギベトンと そして–バアラトと
H0514 H1405 H1191

エルテケ、ギベトン、バアラテ、

45 וְיֵהֻד וּבְנֵי־ בְרַק וְגַת־ רִמּוֹן׃
そして–エフドと そして–ベネ・ベラクと そして–ガト・リモンと
H3055 H1139 H1667

エホデ、ベネベラク、ガテリンモン、

יָפוֹ׃	מוּל	הַגְּבוּל	עִם־	וְהָרַקּוֹן	הַיַּרְקוֹן־וּמֵי	46
ヤフォの	向かいの	境界と	(と-共に)	そして-ラコンと	そして-メ・ヤルコンと	
H3305	H4136	H1366		H7542	H4313	

メヤルコン、ラッコン、およびヨッパと相対する地域があった。

וַיִּלָּחֲמוּ	דָּן	בְּנֵי־	וַיַּעֲלוּ	מֵהֶם	דָּן	בְּנֵי־	גְּבוּל־	וַיֵּצֵא	47
そして-戦った	ダンの	子らは	そして-上った	彼らから	ダンの	子らの	境界は	そして-出た	
H1835			H5927	H1992	H1835		H1366	H3318	

וַיִּרְשׁוּ	חֶרֶב	לְפִי־	אוֹתָהּ	וַיַּכּוּ	וְאוֹתָהּ	וַיִּלְכְּדוּ	לֶשֶׁם	עִם־
そして-所有した	剣の	剣の-刃で	それを	そして-打った	それを	そして-取った	レシェムと	(と)
H3423	H2719	H6310	H0853	H5221	H0853	H3920	H3959	

דָּן	כְּשֵׁם	דָּן	לְלֶשֶׁם	וַיִּקְרְאוּ	בָּהּ	וַיֵּשְׁבוּ	אוֹתָהּ
ダンの	名に-ちなんで	ダンと	レシェムを	そして-呼んだ	そこに	そして-住んだ	それを
H1835	H8034	H1835	H3959	H7121		H3427	H0853

אֲבִיהֶם׃
彼らの-父の
H0001

ただし、ダンの子孫の領域は、彼らのために小さかったので、ダンの子孫は、上って行き、レセムを攻めてそれを取り、つるぎにかけて撃ち滅ぼし、それを獲てそこに住み、先祖ダンの名にしたがって、レセムをダンと名づけた。

הָאֵלֶּה	הֶעָרִים	לְמִשְׁפְּחֹתָם	דָּן	בְּנֵי־	מַטֵּה	נַחֲלַת	זֹאת	48
これらの	町々は	彼らの-氏族に-応じて	ダンの	子らの	部族の	相続地の	これは	
H0428		H4940	H1835		H4294	H5159	H2063	

וְחַצְרֵיהֶן׃	פ
そして-その-村々	¶

これがダンの子孫の部族の、その家族にしたがって獲た嗣業であって、その町々と、それに属する村々とである。

בְּנֵי־	וַיִּתְּנוּ	לִגְבוּלֹתֶיהָ	הָאָרֶץ	אֶת־	לְנַחֲל־	וַיְכַלּוּ	49
子らは	そして-与えた	彼らの-境界に-応じて	地を	(を)	相続地を-分ける-ことを	そして-終えた	
	H5414	H1367	H0776	H0853	H5157	H3615	

בְּתוֹכָם׃	נוּן	בִּן־	לִיהוֹשֻׁעַ	נַחֲלָה	יִשְׂרָאֵל
彼らの-中に	ヌンの	息子の	ヨシュアに	相続地を	イスラエルの
H8432	H5126		H3091	H5159	H3478

こうして国の各地域を嗣業として分け与えることを終ったとき、イスラエルの人々は、自分たちのうちに、一つの嗣業を、ヌンの子ヨシュアに与えた。

תִּמְנַת־סֶרַח	אֶת־	שָׁאַל	אֲשֶׁר	הָעִיר	אֶת־	לוֹ	נָתְנוּ	יְהוָה	פִּי	עַל־	50
ティムナト・セラを	(を)	求めた	(こと)	町を	(を)	彼に	与えた	主の	口に	(に-応じて)	
	H0853	H7592			H0853		H5414	H3068	H6310		

בָּהּ׃	וַיֵּשֶׁב	הָעִיר	אֶת־	וַיִּבֶן	אֶפְרַיִם	בְּהַר
そこに	そして-住んだ	町を	(を)	そして-建てた	エフライムの	山-に
	H3427		H0853	H1129	H0669	H2022

すなわち、主の命に従って、彼が求めた町を与えたが、それはエフライムの山地にあるテムナテ・セラであって、彼はその町を建てなおして、そこに住んだ。

51

נוּן	בִּן־	וִיהוֹשֻׁעַ	וְהַכֹּהֵן	אֶלְעָזָר	נָחֲלוּ	אֲשֶׁר	הַנַּחֲלֹת	אֵלֶּה
ヌンの	息子の	そして-ヨシュアが	祢司の	エルアザルが	相続した	(こと)	相続地の	これらは
H5126		H3091	H3548	H0499	H5157		H5159	H0428

לִפְנֵי	בְּשִׁלֹה	וּבְגוֹרָל	וִישְׂרָאֵל	בְּנֵי־	לְמַטּוֹת	הָאָבוֹת	וְרָאשֵׁי	
前に	シロで	くじに-よって	イスラエルの	子らの	部族の-ための	父たちの	そして-かしらたちが	
H6440	H7887	H1486	H3478		H4294	H0001		

פ	הָאָרֶץ׃	אֶת־	מֵחַלֵּק	וַיְכַלּוּ	מוֹעֵד	אֹהֶל	פֶּתַח	יְהוָה
¶	地を	(を)	分ける-ことを	そして-終えた	会見の	天幕の	入口の	主の
	H0776	H0853		H3615	H4150	H0168	H6607	H3068

これらは、祭司エレアザル、ヌンの子ヨシュア、およびイスラエルの子孫の部族の族長たちが、シロにおいて会見の幕屋の入口で、主の前に、くじを引いて分け与えた嗣業である。こうして地を分けることを終った。

Chapter 20

1

לֵאמֹר׃	יְהוֹשֻׁעַ	אֶל־	יְהוָה	וַיְדַבֵּר
言って	ヨシュアに	～に	主は	そして-語った
H0559	H3091	H0413	H3068	H1696

そこで主はヨシュアに言われた、

2

הַמִּקְלָט	עָרֵי	אֶת־	לָכֶם	תְּנוּ	לֵאמֹר	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי	אֶל־	דַּבֵּר
逃れの	町々を	～を	あなたがたのために	定めよ	言って	イスラエルの	子らに	～に	語れ
H4733		H0853		H5414	H0559	H3478		H0413	H1696

מֹשֶׁה׃	בְּיַד־	אֲלֵיכֶם	דִּבַּרְתִּי	אֲשֶׁר־
モーセの	～の-手を-通して	あなたがたに	わたしが-語った	～の
H4872	H3027	H0413	H1696	

「イスラエルの人々に言いなさい、『先にわたしがモーセによって言っておいた、のがれの町を選び定め、

3

וְהָיוּ	דַּעַת	בִּבְלִי־	בִּשְׁגָגָה	נֶפֶשׁ	מַכֵּה־	רוֹצֵחַ	שָׁמָּה	לָנוּס	
それらは-なる	知らずに	知らずに	過失で	人を	打って	人を-殺した-者が	そこへ	逃れるため	
H1961	H1847	H1097	H7684	H5315	H5221	H7523	H8033	H5127	

הַדָּם׃	מִגֹּאֵל	לְמִקְלָט	לָכֶם	
血の	復讐する-者から	逃れの-場所と	あなたがたのために	
H1818		H4733		

あやまって、知らずに人を殺した者を、そこへのがれさせなさい。これはあなたがたが、あだを討つ者をさけて、のがれる場所となるでしょう。

4

הָעִיר	שַׁעַר	פֶּתַח	וְעָמַד	הָאֵלֶּה	מֵהֶעָרִים	וְאַחַת	אֶל־	וְנָס	
町の	門の	入り口に	そして-立ち	これらの	町々の-中の	一つの	～へ	そして-逃げ	
	H8179	H6607	H5975	H0428		H0259	H0413	H5127	

אֹתוֹ	וְאָסְפוּ	דְּבָרָיו	אֶת־	הַהִיא	הָעִיר	זִקְנֵי־	בְּאָזְנֵי	וְדִבֶּר	
彼を	そして-迎え入れ	自分の-言葉を	～を	その	町の	長老たちの	耳に	そして-語り	
H0853	H0622	H1697	H0853	H1931		H2205	H0241	H1696	

עִמָּם׃	וְיָשַׁב	מָקוֹם	לוֹ	וְנָתְנוּ־	אֲלֵיהֶם	הָעִירָה
彼らと-共に	そして-住む	場所を	彼に	そして-与え	自分たちの-もとへ	町の-中へ
	H3427	H4725		H5414	H0413	

その人は、これらの町の一つにのがれて行って、町の門の入口に立ち、その町の長老たちに、そのわけを述べなければならない。そうすれば、彼らはその人を町に受け入れて、場所を与え、共に住ませるであろう。

וְלֹא־	אַחֲרָיו	הַדָּם֙	גֹּאֵ֔ל	יִרְדֹּ֖ף	וְכִ֣י	5
引き渡しては–ならない	彼の–後を	血の	復讐する–者が	追って–来たなら	もし	
H3808		H1818		H7291		

אֶת־	הַכָּה	דַּ֣עַת	בִּבְלִי־	כִּ֤י	בְיָדֹו֙	הָרֹצֵ֔חַ	אֶת־	יַסְגִּ֖רוּ	
～を	打った	知らずに	知らずに	なぜなら	彼の–手に	殺した–者を	～を	引き渡しては–ならない	
H0853	H5221	H1847	H1097		H3027	H7523	H0853	H5462	

שִׁלְשֹׁ֑ום׃	מִתְמֹ֣ול	לֹ֗ו	הֽוּא	שֹׂנֵ֣א	וְלֹא־	רֵעֵ֖הוּ
一昨日も	昨日も	彼を	彼は	憎んで	そして–ない	隣人を
H8032	H8543		H1931	H8130	H3808	H7453

たとい、あだを討つ者が追ってきても、人を殺したその者を、その手に渡してはならない。彼はあやまって隣人を殺したのであって、もとからそれを憎んでいたのではないからである。

מֹ֔ות	עַד־	לַמִּשְׁפָּ֖ט	הָעֵדָ֑ה	לִפְנֵ֣י	עָמְד֗וֹ	עַד־	הַהִ֣יא	בָּעִ֔יר	וְיָשַׁ֖ב	6
死ぬまで	～まで	裁きの–ために	会衆の	～の–前に	立つ	～まで	その	町に	そして–住む	
H4194	H5704	H4941	H5712	H6440	H5975	H5704	H1931		H3427	

אֶל־	וּבָ֣א	הָרֹצֵ֗חַ	יָשׁ֤וּב	וְאָז֙	הָהֵ֔ם	בַּיָּמִ֖ים	יִהְיֶ֣ה	אֲשֶׁ֤ר	הַגָּדֹ֑ול	הַכֹּהֵ֣ן
～へ	そして–来る	殺した–者は	帰る	その–時	それらの	日々に	いる	～の	大いなる	祭司の
H0413	H0935	H7523	H7725		H1992	H3117	H1961			H3548

מִשָּׁ֖ם׃	נָ֥ס	אֲשֶׁר־	הָעִ֛יר	אֶל־	בֵּיתֹ֥ו	וְאֶל־	עִירֹ֖ו	
そこから	逃げた	～から	町へ	～へ	自分の–家へ	そして–～へ	自分の–町へ	
H8033	H5127			H0413		H0413		

その人は、会衆の前に立って、さばきを受けるまで、あるいはその時の大祭司が死ぬまで、その町に住まなければならない。そして後、彼は自分の町、自分の家に帰って行って、逃げ出してきたその町に住むことができる』」。

שְׁכֶ֤ם	וְאֶת־	נַפְתָּלִי֙	בְּהַ֣ר	בַּגָּלִ֔יל	אֶת־	קֶ֖דֶשׁ	וַיַּקְדִּ֣שׁוּ		7
シェケムを	そして～を	ナフタリの	山地の	ガリラヤの	～を	ケデシュを	そして–聖別した		
H7927	H0853	H5321	H2022	H1551	H0853	H6943	H6942		

יְהוּדָֽה׃	בְּהַ֣ר	חֶבְרֹ֑ון	הִ֣יא	אַרְבַּ֥עקַרְיַ֛ת	וְאֶת־	אֶפְרַ֖יִם	בְּהַ֣ר
ユダの	山地の	ヘブロンを	すなわち	キルヤト・アルバを	そして～を	エフライムの	山地の
H3063	H2022		H1931	H7153	H0853	H0669	H2022

そこで、ナフタリの山地にあるガリラヤのケデシ、エフライムの山地にあるシケム、およびユダの山地にあるキリアテ・アルバすなわちヘブロンを、これがために選び分かち、

בַּמִּישֹׁ֔ר	בַּמִּדְבָּ֖ר	בָּצֶ֣ר	אֶת־	נָתְנ֗וּ	מִזְרָ֣חָה	יְרִיחֹו֮	לְיַרְדֵּן֒	וּמֵעֵ֣בֶר		8
平地の	荒野の	ベツェルを	～を	定めた	東の–方に	エリコの	ヨルダンの	そして–向こう側の		
H4334		H1221	H0853	H5414	H4217	H3405	H3383	H5676		

מִמַּטֵּ֖ה	רְאוּבֵ֑ן	וְאֶת־	בַּגִּלְעָ֛ד	מִמַּטֵּה־	גָּ֥ד	וְאֶת־	]גלון[	
部族の	ルベンの	そして～を	ギルアデの	部族の	ガドの	そして～を	[ガロン]	
H4294	H7205	H0853	H1568	H4294	H1410	H0853	H1474	

מְנַשֶּׁ֖ה׃	מִמַּטֵּה	בַּבָּשָׁ֑ן	)גּוֹלָן(	
マナセの	部族の	バシャンの	ゴランを	
H4519	H4294	H1316	H1474	

またヨルダンの向こう側、エリコの東の方では、ルベンの部族のうちから、高原の荒野にあるベゼル、ガドの部族のうちから、ギレアデのラモテ、マナセの部族のうちから、バシャンのゴランを選び定めた。

9 אֵלֶּה הָיוּ עָרֵי הַמִּוּעָדָה לְכָל בְּנֵי יִשְׂרָאֵל וְלַגֵּר
これらは であった 町々は 指定された すべての 子らの イスラエルの そして-寄留者の
H0428 H1961 H4152 H3605 H3478 H1616
בְּתוֹכָם לָנוּס שָׁמָּה לְכָל מַכֵּה נֶפֶשׁ בִּשְׁגָגָה וְלֹא יָמוּת
彼らの-中に 逃れるため そこへ すべての 打った 人を 過失で そして-ない 死ぬ
H8432 H5127 H8033 H3605 H5221 H5315 H7684 H3808 H4191
פ ¶ לִפְנֵי הָעֵדָה׃ עָמְדוֹ עַד לִפְנֵי גֹּאֵל הַדָּם בְּיַד
~の-前に 会衆の 立つ ~まで ~の-前に 復讐する-者の 血の ~の-手に-よって
H6440 H5712 H5975 H5704 H6440 H1818 H3027

これらは、イスラエルのすべての人々、およびそのうちに寄留する他国人のために設けられた町々であって、すべて、あやまって人を殺した者を、そこにのがれさせ、会衆の前に立たないうちに、あだを討つ者の手にかかって死ぬことのないようにするためである。

Chapter 21

1 וַיִּגְּשׁוּ רָאשֵׁי אֲבוֹת הַלְוִיִּם אֶל אֶלְעָזָר הַכֹּהֵן וְאֶל
そして-近づいた かしらたちが 父祖の レビ人の ~に エルアザルに 祭司の そして~に
H5066 H0001 H3881 H0413 H0499 H3548 H0413
יְהוֹשֻׁעַ בִּן נוּן וְאֶל רָאשֵׁי אֲבוֹת הַמַּטּוֹת לִבְנֵי יִשְׂרָאֵל׃
ヨシュアに 息子の ヌンの そして~に かしらたちに 父祖の 部族の 子らの イスラエルの
H3091 H1121 H5126 H0413 H7218 H0001 H4294 H1121 H3478

時にレビの族長たちは、祭司エレアザル、ヌンの子ヨシュアおよびイスラエルの部族の族長たちのもとにきて、

2 וַיְדַבְּרוּ אֲלֵיהֶם בְּשִׁלֹה בְּאֶרֶץ כְּנַעַן לֵאמֹר יְהוָה צִוָּה
そして-語った 彼らに シロで 地の カナンの 言って 主は 命じた
H1696 H0413 H7887 H0776 H3667 H0559 H3068 H6680
בְּיַד מֹשֶׁה לָתֶת לָנוּ עָרִים לָשָׁבֶת וּמִגְרְשֵׁיהֶן
~の-手を-通して モーセの 与えるように わたしたちに 町々を 住むための そして-その-放牧地を
H3027 H4872 H5414 H0776 H3427 H4054
לִבְהֶמְתֵּנוּ׃
わたしたちの-家畜のために
H0929

カナンの地のシロで彼らに言った、「主はかつて、われわれに住むべき町々を与えることと、それに属する放牧地を、家畜のために与えることを、モーセによって命じられました」。

3 וַיִּתְּנוּ בְנֵי יִשְׂרָאֵל לַלְוִיִּם מִנַּחֲלָתָם כְּפִי יְהוָה אֶל
そして-与えた 子らは イスラエルの レビ人に 自分たちの-相続地から 口に 主の ~に-従って
H5414 H1121 H3478 H3881 H5159 H6310 H3068 H0413
פִּי הָעָרִים הָאֵלֶּה וְאֶת מִגְרְשֵׁיהֶן׃
~を 町々を これらの そして~を その-放牧地を
H0853 H5892 H0428 H0853 H4054

それでイスラエルの人々は、主の命にしたがって、自分たちの嗣業のうちから、次の町々と、その放牧地とを、レビびとに与えた。

4

מִן־	הַכֹּהֵן	אַהֲרֹן	לִבְנֵי֙	וַיְהִי	הַקָּהָתִי	לְמִשְׁפָּחֹת	הַגּוֹרָל	וַיֵּצֵא
～から	祭司の	アロンの	子らに	そして–なった	ケハトの	氏族の	くじが	そして–出た
	H3548	H0175		H1961	H6956	H4940	H1486	H3318

בַּגּוֹרָל	בִּנְיָמִן	וּמִמַּטֵּה	הַשִּׁמְעֹנִי	וּמִמַּטֵּה	יְהוּדָה	מִמַּטֵּה	הַלְוִיִּם
くじに–より	ベニヤミンの	そして–部族の	シメオン人の	そして–部族の	ユダの	部族の	レビ人の
H1486	H1144	H4294	H8099	H4294	H3063	H4294	H3881

ס		עֶשְׂרֵה׃	שְׁלֹשׁ	עָרִים
§		三	十	町々が
		H6240	H7969	

まずコハテびとの氏族のために、くじを引いた。祭司アロンの子孫であるこれらのレビびとは、くじによって、ユダの部族、シメオンの部族、およびベニヤミンの部族のうちから、十三の町を獲た。

5

דָּן	וּמִמַּטֵּה־	אֶפְרַיִם	מַטֵּה־	מִמִּשְׁפָּחֹת	הַנּוֹתָרִים	קְהָת	וְלִבְנֵי
ダンの	そして–部族の	エフライムの	部族の	氏族の	残りの	ケハトの	そして–子らに
H1835	H4294	H0669	H4294	H4940	H3498	H6955	

ס	עָשֶׂר׃	עָרִים	בַּגּוֹרָל	מְנַשֶּׁה	מַטֵּה	וּמֵחֲצִי
§	十	町々が	くじに–より	マナセの	部族の	そして–半部族の
	H6235		H1486	H4519	H4294	H2677

その他のコハテびとは、くじによって、エフライムの部族の氏族、ダンの部族、およびマナセの半部族のうちから、十の町を獲た。

6

אָשֵׁר	וּמִמַּטֵּה־	יִשָּׂשכָר	מַטֵּה־	מִמִּשְׁפָּחוֹת	גֵּרְשׁוֹן	וְלִבְנֵי
アシェルの	そして–部族の	イッサカルの	部族の	氏族の	ゲルションの	そして–子らに
H0836	H4294	H3485	H4294	H4940	H1648	

עָרִים	בַּגּוֹרָל	בַּבָּשָׁן	מְנַשֶּׁה	מַטֵּה	וּמֵחֲצִי	נַפְתָּלִי	וּמִמַּטֵּה
町々が	くじに–より	バシャンの	マナセの	部族の	そして–半部族の	ナフタリの	そして–部族の
	H1486	H1316	H4519	H4294	H2677	H5321	H4294

ס	עֶשְׂרֵה׃	שְׁלֹשׁ
§	三	十
	H6240	H7969

またゲルションびとは、くじによって、イッサカルの部族の氏族、アセルの部族、ナフタリの部族、およびバシャンにあるマナセの半部族のうちから、十三の町を獲た。

7

וּמִמַּטֵּה	גָּד	וּמִמַּטֵּה־	רְאוּבֵן	מִמַּטֵּה	לְמִשְׁפְּחֹתָם	מְרָרִי	לִבְנֵי
そして–部族の	ガドの	そして–部族の	ルベンの	部族の	その–氏族に	メラリの	子らに
H4294	H1410	H4294	H7205	H4294	H4940	H4847	

עֶשְׂרֵה׃	שְׁתָּיִם	עָרִים	זְבוּלֻן
二	十	町々が	ゼブルンの
H6240	H8147		H2074

またメラリびとは、その氏族にしたがって、ルベンの部族、ガドの部族、およびゼブルンの部族のうちから、十二の町を獲た。

8

וְאֶת־	הָאֵלֶּה	הֶעָרִים	אֶת־	לַלְוִיִּם	יִשְׂרָאֵל֙	בְּנֵי־	וַיִּתְּנוּ
そして～を	これらの	町々を	～を	レビ人に	イスラエルの	子らは	そして–与えた
H0853	H0428		H0853	H3881	H3478		H5414

פ	בַּגּוֹרָל׃	מֹשֶׁה	בְּיַד־	יְהוָה	צִוָּה	כַּאֲשֶׁר	מִגְרְשֵׁיהֶן
¶	くじに–より	モーセの	～の–手を–通して	主が	命じた	～の–ように	その–放牧地を
	H1486	H4872	H3027	H3068	H6680		H4054

イスラエルの人々は、主がモーセによって命じられたとおりに、これらの町と、その放牧地とを、くじによって、レビびとに与えた。

9 וַיִּתְּנוּ מִמַּטֵּה יְהוּדָה וּמִמַּטֵּה בְּנֵי שִׁמְעוֹן אֵת הֶעָרִים
そして–与えた 部族から 子らの ユダの そして–部族から シメオンの ～を 町々を
H5414 H4294 H3063 H4294 H8095 H0853

הָאֵלֶּה אֲשֶׁר־ יִקְרָא אֶתְהֶן בְּשֵׁם׃
これらの ～の 命名された それらを 名で
H0428 H7121 H0853 H8034

まずユダの部族と、シメオンの部族のうちから、次に名をあげる町々を与えた。

10 וַיְהִי לִבְנֵי אַהֲרֹן מִמִּשְׁפְּחוֹת הַקְּהָתִי מִבְּנֵי לֵוִי כִּי לָהֶם
そして–なった 子らに アロンの 氏族の ケハト人の 子らの レビの なぜなら 彼らに
H1961 H0175 H4940 H6956 H3878 H1992

הַגּוֹרָל רִאשֹׁנָה׃ הָיָה
くじが 最初に あった
H1486 H7223 H1961

これらはレビびとに属するコハテびとの氏族の一つである、アロンの子孫に与えられた。最初のくじが彼らに当ったからである。

11 וַיִּתְּנוּ לָהֶם אֶת־ קִרְיַת אַרְבַּע אֲבִי הָעֲנָק הִוא חֶבְרוֹן בְּהַר
そして–与えた 彼らに ～を キルヤト・アルバを 父の アナクの すなわち ヘブロンを 山地の
H5414 H1992 H0853 H7153 H0001 H6061 H1931 H2022

יְהוּדָה וְאֶת־ מִגְרְשָׁהּ סְבִיבֹתֶיהָ׃
ユダの そして～を その–放牧地を その–周囲の
H3063 H0853 H4054 H5439

すなわちユダの山地にあるキリアテ・アルバすなわちヘブロンおよびその周囲の放牧地を彼らに与えた。このアルバはアナクの父であった。

12 וְאֶת־ שְׂדֵה הָעִיר וְאֶת־ חַצֵּרֶיהָ נָתְנוּ לְכָלֵב בֶּן־ יְפֻנֶּה
そして～を 町の 畑を そして～を 与えた その–村々を カレブに 息子の エフンネの
H0853 H5892 H0853 H5414 H2691 H3612 H1121 H3312

בַּאֲחֻזָּתוֹ׃ ס
彼の–所有地として §
H0272

ただし、この町の畑と、それに属する村々とは、すでにエフンネの子カレブが、それを受けて所有していた。

13 וְלִבְנֵי אַהֲרֹן הַכֹּהֵן נָתְנוּ עִיר מִקְלַט הָרֹצֵחַ אֶת־ חֶבְרוֹן
そして–子らに アロンの 祭司の 与えた 町を 逃れの 殺した–者の ～を ヘブロンを
H0175 H3548 H5414 H5892 H4733 H7523 H0853 H2275

וְאֶת־ לִבְנָה מִגְרְשָׁהּ׃ וְאֶת־ מִגְרְשָׁהּ וְאֶת־ יַתִּר וְאֶת־ מִגְרְשָׁהּ וְאֶת־
そして～を リブナを その–放牧地を そして～を その–放牧地を そして～を その–放牧地を
H0853 H3841 H4054 H0853 H3492 H0853 H4054 H0853

祭司アロンの子孫に与えたのは、人を殺した者の、のがれる町であるヘブロンとその放牧地、リブナとその放牧地、

14 וְאֶת־ אֶשְׁתְּמֹעַ וְאֶת־ מִגְרְשָׁהּ וְאֶת־ חִילֶן וְאֶת־ מִגְרְשָׁהּ׃
そして～を エシュテモアを そして～を その–放牧地を そして～を ヤティルを そして～を その–放牧地を
H0853 H0851 H0853 H4054 H0853 H3492 H0853 H4054

ヤッテルとその放牧地、エシテモアとその放牧地、

15

וְאֶת־	חֹלֹן	וְאֶת־	מִגְרָשֶׁהָ	וְאֶת־	דְּבִר	וְאֶת־	מִגְרָשֶׁהָ:
そして～を	ホロンを	そして～を	その–放牧地を	そして～を	デビルを	そして～を	その–放牧地を
H0853	H2473	H0853	H4054	H0853		H0853	H4054

ホロンとその放牧地、デビルとその放牧地、

16

וְאֶת־	עַיִן	וְאֶת־	מִגְרָשֶׁהָ	וְאֶת־	יְטָה	וְאֶת־	מִגְרָשֶׁהָ
そして～を	アインを	そして～を	その–放牧地を	そして～を	ユッタを	そして～を	その–放牧地を
H0853	H5871	H0853	H4054	H0853	H3194	H0853	H4054

אֶת־	שְׁמֶשְׁבִּית	וְאֶת־	מִגְרָשָׁהּ	עָרִים	תֵּשַׁע	מֵאֵת	שְׁנֵי	הַשְּׁבָטִים
～を	ベト・シェメシュを	そして～を	その–放牧地を	町々が	九	～から	二つの	部族の
H0853	H1053	H0853	H4054		H8672	H0854	H8147	H7626

פ	הָאֵלֶּה:
¶	これらの
	H0428

アインとその放牧地、ユッタとその放牧地、ベテシメシとその放牧地など、九つの町であって、この二つの部族のうちから分け与えたものである。

17

וּמִמַּטֵּה	בִנְיָמִן	אֶת־	גִּבְעוֹן	וְאֶת־	מִגְרָשָׁהּ	אֶת־	גֶּבַע
そして–部族から	ベニヤミンの	～を	ギベオンを	そして～を	その–放牧地を	～を	ゲバを
H4294	H1144	H0853	H1391	H0853	H4054	H0853	H1387

וְאֶת־	מִגְרָשֶׁהָ:
そして～を	その–放牧地を
H0853	H4054

またベニヤミンの部族のうちから、ギベオンとその放牧地、ゲバとその放牧地、

18

אֶת־	עֲנָתוֹת	וְאֶת־	מִגְרָשָׁהּ	וְאֶת־	עַלְמוֹן	וְאֶת־	מִגְרָשָׁהּ
～を	アナトトを	そして～を	その–放牧地を	そして～を	アルモンを	そして～を	その–放牧地を
H0853	H6068	H0853	H4054	H0853	H5960	H0853	H4054

עָרִים	אַרְבַּע:
町々が	四
	H0702

アナトテとその放牧地、アルモンとその放牧地など、四つの町を与えた。

19

כָּל־	בְּנֵי־	אַהֲרֹן	הַכֹּהֲנִים	שְׁלֹשׁ־	עֶשְׂרֵה	עָרִים	וּמִגְרְשֵׁיהֶן:
すべての	子らの	アロンの	祭司たちの	十	三	町々と	その–放牧地であった
H3605		H0175	H3548	H7969	H6240		H4054

ס
§

アロンの子孫である祭司たちの町は、合わせて十三であって、それに属する放牧地があった。

20

וּלְמִשְׁפְּחוֹת	בְּנֵי־	קְהָת	הָלְוִיִּם	הַנּוֹתָרִים	מִבְּנֵי	קְהָת	וַיְהִי	עָרֵי
そして–氏族に	子らの	ケハトの	レビ人の	残りの	子らの	ケハトの	そして–あった	町々が
H4940		H6955	H3881	H3498		H6955	H1961	

גּוֹרָלָם	מִמַּטֵּה	אֶפְרָיִם:	
彼らの–くじの	部族の	エフライムの	
H1486	H4294	H0669	

その他のコハテびとであるレビびとの氏族は、くじによって、エフライムの部族のうちから町を獲た。

21 וַיִּתְּנוּ־לָהֶם אֶת־עִיר מִקְלָט הָרֹצֵחַ אֶת־שְׁכֶם וְאֶת־
そして−与えた 彼らに 町を 逃れの 殺した−者の ～を シェケムを そして～を
H5414 H0853 H7923 H0853 H4733 H7523 H0853 H7927 H0853

מִגְרָשֶׁהָ וְאֶת־בְּהַר אֶפְרָיִם וְאֶת־גֶּזֶר וְאֶת־מִגְרָשֶׁהָ׃
その−放牧地を 山地の エフライムの そして～を ゲゼルを そして～を その−放牧地を
H4054 H2022 H0669 H0853 H1507 H0853 H4054

すなわち、その町は、人を殺したものの、のがれる町であるエフライムの山地のシケムとその放牧地、ゲゼルとその放牧地、

22 וְאֶת־חוֹרֹן בֵּית וְאֶת־מִגְרָשֶׁהָ וְאֶת־קִבְצַיִם וְאֶת־מִגְרָשֶׁהָ
そして～を ベト・ホロンを そして～を その−放牧地を そして～を キブツァイムを そして～を その−放牧地を
H0853 H1032 H0853 H4054 H0853 H6911 H0853 H4054

ס עָרִים אַרְבַּע׃
§ 四 町々が
H0702

キブザイムとその放牧地、ベテホロンとその放牧地など、四つの町である。

23 וּמִמַּטֵּה־דָן אֶת־אֶלְתְּקֵא אֶת־גִּבְתּוֹן אֶת־מִגְרָשֶׁהָ
そして−部族から ダンの ～を エルテケを ～を ギベトンを その−放牧地を
H4294 H1835 H0853 H0514 H0853 H1405 H4054

וְאֶת־מִגְרָשֶׁהָ׃
そして～を その−放牧地を
H0853 H4054

またダンの部族のうちから分け与えた町は、エルテケとその放牧地、ギベトンとその放牧地、

24 אֶת־אַיָּלוֹן וְאֶת־מִגְרָשֶׁהָ אֶת־גַּת־רִמּוֹן וְאֶת־מִגְרָשֶׁהָ
～を アヤロンを そして～を その−放牧地を ～を ガト・リモンを そして～を その−放牧地を
H0853 H0357 H0853 H4054 H0853 H1667 H0853 H4054

ס עָרִים אַרְבַּע׃
§ 四 町々が
H0702

アヤロンとその放牧地、ガテリンモンとその放牧地など、四つの町である。

25 וּמֵחֲצִית מַטֵּה מְנַשֶּׁה אֶת־תַּעְנַךְ וְאֶת־מִגְרָשֶׁהָ וְאֶת־
そして−半部族から 部族の マナセの ～を タアナクを そして～を その−放牧地を そして～を
H4276 H4294 H4519 H0853 H8590 H0853 H4054 H0853

גַּת־רִמּוֹן וְאֶת־מִגְרָשֶׁהָ עָרִים שְׁתָּיִם׃
ガト・リモンを そして～を その−放牧地を 町々が 二
H1667 H0853 H4054 H8147

またマナセの半部族のうちから分け与えた町は、タアナクとその放牧地、およびガテリンモンとその放牧地など、二つの町である。

26 כָּל־עָרִים עֶשֶׂר וּמִגְרְשֵׁיהֶן לְמִשְׁפְּחוֹת בְּנֵי־קְהָת הַנּוֹתָרִים׃ ס
すべての 町々が 十 そして−その−放牧地 氏族の 子らの ケハトの 残りの §
H3605 H6235 H4054 H4940 H6955 H3498

その他のコハテびとの氏族の町は、合わせて十であって、それに属する放牧地があった。

27 וְלִבְנֵי גֵרְשׁוֹן מִמִּשְׁפַּחַת הַלְוִיִּם מֵחֲצִי מַטֵּה מְנַשֶּׁה אֶת־עִיר
そして-子らに ゲルションの 氏族の レビ人の 半部族の 部族の マナセの ～を 町を
H0853 H4519 H4294 H2677 H3881 H4940 H1648

מִקְלַט הָרֹצֵחַ אֶת־גּוֹלָן(גלון) בַּבָּשָׁן וְאֶת־מִגְרָשָׁהּ וְאֶת־
逃れの 殺した-者の ～を [ガロン] ゴランを バシャンの そして～を その-放牧地を そして～を
H4733 H7523 H0853 H1474 H1474 H1316 H0853 H4054 H0853

בְּעֶשְׁתְּרָה וְאֶת־מִגְרָשֶׁהָ עָרִים שְׁתָּיִם׃ ס §
ベエシュテラを そして～を その-放牧地を 町々が 二
H1203 H0853 H4054 H8147

ゲルションびとであるレビびとの氏族の一つに与えられた町は、マナセの半部族のうちからは、人を殺した者の、のがれる町であるバシャンのゴランとその放牧地、およびベエシテラとその放牧地など、二つの町である。

28 וּמִמַּטֵּה יִשָּׂשכָר אֶת־קִשְׁיוֹן וְאֶת־מִגְרָשֶׁהָ אֶת־דָּבְרַת וְאֶת־
そして-部族から イッサカルの ～を キシヨンを そして～を その-放牧地を ～を ダベラトを
H4294 H3485 H0853 H7191 H0853 H4054 H0853 H1705

מִגְרָשֶׁהָ׃ וְאֶת־
その-放牧地を そして～を
H4054 H0853

イッサカルの部族のうちからは、キションとその放牧地、ダベラテとその放牧地、

29 וְאֶת־יַרְמוּת אֶת־מִגְרָשָׁהּ וְאֶת־עֵין גַּנִּים אֶת־מִגְרָשָׁהּ וְאֶת־
ヤルムトを ～を その-放牧地を ～を エン・ガニムを そして～を その-放牧地を ～を
H3412 H0853 H4054 H0853 H5873 H0853 H4054 H0853

עָרִים אַרְבַּע׃ ס §
町々が 四
H0702

ヤルムテとその放牧地、エンガンニムとその放牧地など、四つの町である。

30 וּמִמַּטֵּה אָשֵׁר מִשְׁאָל אֶת־מִגְרָשֶׁהָ וְאֶת־עַבְדּוֹן אֶת־מִגְרָשָׁהּ וְאֶת־
そして-部族から アシェルの ミシャルを ～を その-放牧地を ～を アブドンを ～を その-放牧地を ～を
H4294 H0836 H4861 H0853 H4054 H0853 H5658 H0853 H4054 H0853

מִגְרָשֶׁהָ׃ וְאֶת־
その-放牧地を そして～を
H4054 H0853

アセルの部族のうちからは、ミシャルとその放牧地、アブドンとその放牧地、

31 וְאֶת־חֶלְקָת אֶת־מִגְרָשָׁהּ וְאֶת־רְחֹב וְאֶת־מִגְרָשָׁהּ וְאֶת־
ヘルカトを ～を その-放牧地を ～を レホブを そして～を その-放牧地を ～を
H2520 H0853 H4054 H0853 H7340 H0853 H4054 H0853

עָרִים אַרְבַּע׃ ס §
町々が 四
H0702

ヘルカテとその放牧地、レホブとその放牧地など、四つの町である。

32 וּמִמַּטֵּה נַפְתָּלִי אֶת־קֶדֶשׁ בַּגָּלִיל וְעִיר מִקְלַט הָרֹצֵחַ אֶת־חֲמֹת דֹּאר וְאֶת־מִגְרָשֶׁהָ וְאֶת־קַרְתָּן וְאֶת־מִגְרָשֶׁהָ שְׁלֹשׁ׃ עָרִים

そして–部族から ナフタリの ～を 町を 逃れの 殺した–者の ～を ケデシュを ガリラヤの
H4294 H5321 H0853 H5943 H4733 H7523 H0853 H6943 H1551

その–放牧地を そして～を ハモト・ドルを そして～を その–放牧地を そして～を
H4054 H0853 H2576 H0853 H4054 H0853

三 町々が その–放牧地を そして～を カルタンを
H7969 H4054 H0853 H7178

ナフタリの部族のうちからは、人を殺した者の、のがれる町であるガリラヤのケデシとその放牧地、ハンモテ・ドルとその放牧地、カルタンとその放牧地など、三つの町である。

33 כָּל־עָרֵי הַגֵּרְשֻׁנִּי לְמִשְׁפְּחֹתָם עֶשְׂרֵה שְׁלֹשׁ־עִיר וּמִגְרְשֵׁיהֶן׃ ס

すべての 町々は ゲルション人の その–氏族に–よる 十 三 町と その–放牧地であった §
H3605 H1649 H4940 H7969 H6240 H4054

ゲルションびとが、その氏族にしたがって獲た町は、合わせて十三の町であって、それに属する放牧地があった。

34 וּלְמִשְׁפְּחוֹת בְּנֵי־מְרָרִי הַלְוִיִּם הַנּוֹתָרִים מֵאֵת זְבוּלֻן מַטֵּה מֵאֵת־ אֶת־ מִגְרָשֶׁהָ׃ וְאֶת־ קַרְתָּה אֶת־ מִגְרָשֶׁהָ וְאֶת־ יָקְנְעָם

そして–氏族に 子らの メラリの レビ人の 残りの ～から 部族の ゼブルンの ～を
H4940 H1121 H4847 H3881 H3498 H0854 H4294 H2074 H0853

その–放牧地を そして～を カルタを ～を その–放牧地を そして～を ヨクネアムを
H4054 H0853 H7177 H0853 H4054 H0853 H3362

その他のレビびとである、メラリびとの氏族に与えられた町は、ゼブルンの部族のうちからは、ヨクネアムとその放牧地、カルタとその放牧地、

35 אֶת־ דִּמְנָה וְאֶת־ נַהֲלָל אֶת־ מִגְרָשֶׁהָ וְאֶת־ קְדֵמוֹת אֶת־ מִגְרָשֶׁהָ עָרִים׃ אַרְבַּע

～を ディムナを そして～を ナハラルを ～を その–放牧地を そして～を ケデモトを ～を その–放牧地を 町々が 四
H0853 H1829 H0853 H5096 H0853 H4054 H0853 H6932 H0853 H4054 H0702

デムナとその放牧地、ナハラルとその放牧地など、四つの町である。

36 וּמִמַּטֵּה רְאוּבֵן אֶת־ בֶּצֶר וְאֶת־ מִגְרָשֶׁהָ וְאֶת־ יַהְצָה וְאֶת־ מִגְרָשֶׁהָ וְאֶת־ מִגְרָשֶׁהָ׃

そして–部族から ルベンの ～を ベツェルを そして～を その–放牧地を そして～を ヤハツを その–放牧地を そして～を
H4294 H7205 H0853 H1221 H0853 H4054 H0853 H3096 H0853 H4054

ルベンの部族のうちからは、ベゼルとその放牧地、ヤハツとその放牧地、

37 אֶת־ קְדֵמוֹת וְאֶת־ מִגְרָשֶׁהָ וְאֶת־ מֵיפָעַת וְאֶת־ מִגְרָשֶׁהָ וְאֶת־ יַהְצָה וְאֶת־ מִגְרָשֶׁהָ׃ אַרְבַּע עָרִים׃ ס

～を ケデモトを そして～を メファアトを そして～を その–放牧地を そして～を その–放牧地を 四 町々が §
H0853 H6932 H0853 H4158 H0853 H4054 H0853 H4054 H0702

ケデモテとその放牧地、メパアテとその放牧地など、四つの町である。

בַּגִּלְעָד	רָמֹת	אֶת־	הָרֹצֵחַ	מִקְלַט	עִיר	אֶת־	גָּד	וּמִמַּטֵּה־	38
ギルアデの	ラモトを	～を	殺した–者の	逃れの	町を	～を	ガドの	そして–部族から	
H1568	H7433	H0853	H7523	H4733		H0853	H1410	H4294	

מִגְרָשֶׁהָ׃	וְאֶת־	מַחֲנַיִם	וְאֶת־	מִגְרָשֶׁהָ	וְאֶת־
その–放牧地を	そして～を	マハナイムを	そして～を	その–放牧地を	そして～を
H4054	H0853	H4266	H0853	H4054	H0853

ガドの部族のうちからは、人を殺した者の、のがれる町であるギレアデのラモテとその放牧地、マハナイムとその放牧地、

מִגְרָשֶׁהָ	וְאֶת־	יַעְזֵר	אֶת־	מִגְרָשֶׁהָ	וְאֶת־	חֶשְׁבּוֹן	אֶת־	39
その–放牧地を	そして～を	ヤエゼルを	～を	その–放牧地を	そして～を	ヘシュボンを	～を	
H4054	H0853	H3270	H0853	H4054	H0853	H2809	H0853	

אַרְבָּע׃	עָרִים	כֹּל־
四	町々が	すべての
H0702		H3605

ヘシボンとその放牧地、ヤゼルとその放牧地など、合わせて四つの町である。

הַלְוִיִּם	מִמִּשְׁפְּחוֹת	הַנּוֹתָרִים	לְמִשְׁפְּחֹתָם	מְרָרִי	לִבְנֵי	הֶעָרִים	כֹּל־	40
レビ人の	氏族の	残りの	その–氏族に–よる	メラリの	子らの	町々は	すべての	
H3881	H4940	H3498	H4940	H4847			H3605	

עֶשְׂרֵה׃	שְׁתֵּים	עָרִים	גּוֹרָלָם	וַיְהִי
二	十	町々が	彼らの–くじは	そして–あった
H6240	H8147		H1486	H1961

これらはみな、ほかのレビびとであるメラリびとが、その氏族にしたがって、くじをもって獲た町であって、合わせて十二であった。

וּשְׁמֹנֶה	אַרְבָּעִים	עָרִים	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי־	אֲחֻזַּת	בְּתוֹךְ	הַלְוִיִּם	עָרֵי	כֹּל	41
八	四十	町々が	イスラエルの	子らの	所有地の	～の–中に	レビ人の	町々は	すべての	
H8083	H0705				H0272	H8432	H3881		H3605	

וּמִגְרְשֵׁיהֶן׃	
その–放牧地と–共に	
H4054	

イスラエルの人々の所有のうちに、レビびとが持った町々は、合わせて四十八であって、それに属する放牧地があった。

לְכֹל־	כֵּן	סְבִיבֹתֵיהֶ֫	וּמִגְרְשֵׁיהֶ֫	עִיר	עִיר	הָאֵלֶּה	הֶעָרִים	תִּהְיֶינָה	42
すべての	この–ように	その–周囲に	その–放牧地が	町ごとに	町ごとに	これらの	町々は	あった	
H3605		H5439	H4054			H0428		H1961	

ס	הָאֵלֶּה׃	הֶעָרִים
§	これらの	町々に
	H0428	

これらの町々は、それぞれその周囲に放牧地があった。これらの町々はみなそうであった。

לָתֵת	נִשְׁבַּע	אֲשֶׁר	הָאָרֶץ	כֹּל־	אֶת־	לְיִשְׂרָאֵל	יְהוָה	וַיִּתֵּן	43
与えると	誓った	～の	地を	すべての	～を	イスラエルに	主は	そして–与えた	
H5414	H7650		H0776	H3605	H0853	H3478	H3068	H5414	

בָּהּ׃	וַיֵּשְׁבוּ	וַיִּרְשׁוּהָ	לַאֲבוֹתָם
そこに	そして–住んだ	そして–受け継いだ	彼らの–父祖たちに
	H3427	H3423	H0001

このように、主が、イスラエルに与えると、その先祖たちに誓われた地を、ことごとく与えられたので、彼らはそれを獲て、そこに住んだ。

44 וַיִּתֵּן יְהוָה לָהֶם כְּכֹל אֲשֶׁר־נִשְׁבַּע לַאֲבוֹתָם וַיַּעַמְדוּ מִכָּל־אוֹיְבֵיהֶם אִישׁ וְלֹא־עָמַד בְּפְנֵיהֶם כָּל־אוֹיְבֵיהֶם נָתַן יְהוָה בְּיָדָם׃

לַאֲבוֹתָם	נִשְׁבַּע	אֲשֶׁר־	כְּכֹל	מִסָּבִיב	לָהֶם	יְהוָה	וַיִּתֵּן		44
彼らの–父祖たちに	誓った	～の	すべての–とおり	周囲の–安息を	彼らに	主は	そして–与えた		
H0001	H7650		H3605	H5439		H3068	H5117		
אֹיְבֵיהֶם	כָּל־	אֶת	אֹיְבֵיהֶם	מִכָּל־	בְּפְנֵיהֶם	אִישׁ	עָמַד	וְלֹא־	
敵たちを	すべての	～を	敵たちの	すべての–中の	彼らの–前に	誰も	立った	そして–ない	
H0341	H3605	H0853	H0341	H3605	H6440	H0376	H5975	H3808	
						בְּיָדָם׃	יְהוָה	נָתַן	
						彼らの–手に	主は	与えた	
						H3027	H3068	H5414	

主は彼らの先祖たちに誓われたように、四方に安息を賜わったので、すべての敵のうち、ひとりも彼らに手向かう者はなかった。主が敵をことごとく彼らの手に渡されたからである。

45 לֹא־נָפַל דָּבָר מִכֹּל הַדָּבָר הַטּוֹב אֲשֶׁר־דִּבֶּר יְהוָה אֶל־בֵּית יִשְׂרָאֵל הַכֹּל בָּא׃ פ ¶

לֹא־	נָפַל	דָּבָר	מִכֹּל	הַדָּבָר	הַטּוֹב	אֲשֶׁר־	דִּבֶּר	יְהוָה	אֶל־	
落ちなかった	落ちなかった	言葉は	すべての–中の	言葉の	良い	～の	語った	主が	～に	
H3808	H5307	H1697	H3605	H1697			H1696	H3068	H0413	
בֵּית	יִשְׂרָאֵל	הַכֹּל	בָּא׃	פ						
家に	イスラエルの	すべてが	成就した	¶						
	H3478	H3605	H0935							

主がイスラエルの家に約束されたすべての良いことは、一つとしてたがわず、みな実現した。

Chapter 22

1 אָז יִקְרָא יְהוֹשֻׁעַ לָרְאוּבֵנִי וְלַגָּדִי וְלַחֲצִי מַטֵּה מְנַשֶּׁה׃

אָז	יִקְרָא	יְהוֹשֻׁעַ	לָרְאוּבֵנִי	וְלַגָּדִי	וְלַחֲצִי	מַטֵּה	מְנַשֶּׁה׃
その–時	呼んだ	ヨシュアは	ルベン人を	そして–ガド人を	そして–半部族を	部族の	マナセの
	H7121	H3091	H7206	H1425	H2677	H4294	H4519

時にヨシュアは、ルベンびと、ガドびと、およびマナセの部族の半ばを呼び集めて、

2 וַיֹּאמֶר אֲלֵיהֶם אַתֶּם שְׁמַרְתֶּם אֵת כָּל־אֲשֶׁר צִוָּה אֶתְכֶם מֹשֶׁה עֶבֶד יְהוָה וַתִּשְׁמְעוּ בְקוֹלִי לְכֹל אֲשֶׁר־צִוִּיתִי אֶתְכֶם׃

וַיֹּאמֶר	אֲלֵיהֶם	אַתֶּם	שְׁמַרְתֶּם	אֵת	כָּל־	אֲשֶׁר	צִוָּה	אֶתְכֶם		2
そして–言った	彼らに	あなたがたは	守った	～を	すべてを	～の	命じた	あなたがたに		
H0559	H0413		H8104	H0853	H3605		H6680	H0853		
מֹשֶׁה	עֶבֶד	יְהוָה	וַתִּשְׁמְעוּ	בְקוֹלִי	לְכֹל	אֲשֶׁר־	צִוִּיתִי			
モーセが	僕の	主の	そして–聞いた	わたしの–声に	すべての	～の	わたしが–命じた			
H4872	H5650	H3068	H8085		H3605		H6680			
							אֶתְכֶם׃			
							あなたがたに			
							H0853			

言った、「あなたがたは主のしもべモーセが命じたことを、ことごとく守り、またわたしの命じたすべての事にも、わたしの言葉に聞きしたがいました。

3 לֹא־עֲזַבְתֶּם אֶת־אֲחֵיכֶם זֶה יָמִים רַבִּים עַד הַיּוֹם הַזֶּה וַתִּשְׁמְרוּ אֶת־מִשְׁמֶרֶת צִוַּת יְהוָה אֱלֹהֵיכֶם׃

לֹא־	עֲזַבְתֶּם	אֶת־	אֲחֵיכֶם	זֶה	יָמִים	רַבִּים	עַד	הַיּוֹם	הַזֶּה	3
捨てなかった	捨てなかった	～を	兄弟たちを	この	日々の	多くの	～まで	今日の	この	
H3808		H0853	H0251	H2088	H3117		H5704	H3117	H2088	
וּשְׁמַרְתֶּם	אֶת־	מִשְׁמֶרֶת	מִצְוַת	יְהוָה	אֱלֹהֵיכֶם׃					
そして–守った	～を	務めを	戒めの	主の	あなたがたの–神の					
H8104	H0853	H4931	H4687	H3068	H0430					

今日まで長い年月の間、あなたがたの兄弟たちを捨てず、あなたがたの神、主の命令を、よく守ってきました。

4 וְעַתָּה לָהֶם דִּבֶּר כַּאֲשֶׁר לַאֲחֵיכֶם אֱלֹהֵיכֶם יְהוָה הֵנִיחַ וְעַתָּה
そして–今 彼らに 語った ～の–ように 兄弟たちに あなたがたの–神は 主は 与えた そして–今
H6258 H1696 H0251 H0430 H3068 H5117 H6258

אֲחֻזַּתְכֶם אֶרֶץ אֶל־ לְאָהֳלֵיכֶם לָכֶם וּלְכוּ פְּנוּ
あなたがたの–所有地の 地へ ～へ 天幕へ あなたがたのために そして–行け 向きを–変えて
H0272 H0776 H0413 H0168 H3212 H6437

הַיַּרְדֵּן׃ בְּעֵבֶר יְהוָה עֶבֶד מֹשֶׁה לָכֶם נָתַן אֲשֶׁר
ヨルダンの 向こう–側に 主の 僕の モーセが あなたがたに 与えた ～の
H3383 H5676 H3068 H5650 H4872 H5414

今はすでに、あなたがたの神、主が、あなたがたの兄弟たちに、先に約束されたとおり、安息を賜わるようになりました。それで、あなたがたは身を返して、主のしもべモーセが、あなたがたに与えたヨルダンの向こう側の所有の地に行き、自分たちの天幕に帰りなさい。

5 צִוָּה אֲשֶׁר הַתּוֹרָה וְאֶת־ הַמִּצְוָה אֶת־ לַעֲשׂוֹת מְאֹד שִׁמְרוּ רַק
命じた ～の 律法を そして～を 戒めを ～を 行うことを 非常に 守れ ただ
H6680 H8451 H0853 H4687 H0853 H3966 H8104 H7535

אֱלֹהֵיכֶם יְהוָה אֶת־ לְאַהֲבָה יְהוָה עֶבֶד־ מֹשֶׁה אֶתְכֶם
あなたがたの–神を 主を ～を 愛することを 主の 僕の モーセが あなたがたに
H0430 H3068 H0853 H0157 H3068 H5650 H4872 H0853

בּוֹ וּלְדָבְקָה־ מִצְוֹתָיו וְלִשְׁמֹר דְּרָכָיו בְּכָל־ וְלָלֶכֶת
主に そして–すがることを 戒めを そして–守ることを 道に すべての そして–歩むことを
H1692 H4687 H8104 H1870 H3605 H3212

נַפְשְׁכֶם׃ וּבְכָל־ לְבַבְכֶם בְּכָל־ וּלְעָבְדוֹ
魂で そして–すべての 心で すべての そして–仕えることを
H5315 H3605 H3824 H3605 H5647

ただ主のしもべモーセが、あなたがたに命じた戒めと、律法とを慎んで行い、あなたがたの神、主を愛し、そのすべての道に歩み、その命令を守って、主につき従い、心をつくし、精神をつくして、主に仕えなさい」。

6 ס § אָהֳלֵיהֶם׃ אֶל־ וַיֵּלְכוּ וַיְשַׁלְּחֵם יְהוֹשֻׁעַ וַיְבָרְכֵם
自分たちの–天幕へ ～へ そして–行った そして–送り出した ヨシュアは そして–祝福した
H0168 H0413 H3212 H7971 H3091 H1288

そしてヨシュアが彼らを祝福して去らせたので、彼らはその天幕に帰った。

7 נָתַן וּלְחֶצְיוֹ בַּבָּשָׁן מֹשֶׁה נָתַן הַמְנַשֶּׁה שֵׁבֶט וּלַחֲצִי
与えた そして–その–半分に バシャンで モーセが 与えた マナセの 部族の そして–半部族に
H5414 H2677 H1316 H4872 H5414 H4519 H7626 H2677

וְגַם יָמָּה הַיַּרְדֵּן)בְּעֵבֶר( ]מעבר[אֲחֵיהֶם עִם־ יְהוֹשֻׁעַ
そして–また 西の–方に ヨルダンの 向こう–側に [向こう側から] 兄弟たちと ～と–共に ヨシュアが
H1571 H3220 H3383 H5676 H5676 H0251 H3091

וַיְבָרְכֵם׃ אָהֳלֵיהֶם אֶל־ יְהוֹשֻׁעַ שִׁלְּחָם כִּי
そして–祝福した 自分たちの–天幕へ ～へ ヨシュアが 送り出した とき
H1288 H0168 H0413 H3091 H7971

マナセの部族の半ばには、すでにモーセがバシャンで所有地を与えたが、他の半ばには、ヨシュアがヨルダンのこちら側、西の方で、その兄弟たちのうちに、所有地を与えた。ヨシュアは、彼らをその天幕に送りかえす時、彼らを祝福して、

8

וּבְמִקְנֶה
そして-家畜の
H4735

אָהָלֵיכֶם
あなたがたの-天幕へ
H0168

אֶל־
～へ
H0413

שׁוּבוּ
帰れ
H7725

רַבִּים
多くの
H5233

בִּנְכָסִים
財産の
H5233

לֵאמֹר
言って
H0559

אֲלֵיהֶם
彼らに
H0413

וַיֹּאמֶר
そして-言った
H0559

מְאֹד
多くの
H3966

הַרְבֵּה
非常に

וּבְשִׂלְמוֹת
そして-衣服と
H8008

וּבְבַרְזֶל
そして-鉄と
H1270

וּבִנְחֹשֶׁת
そして-銅と

וּבְזָהָב
そして-金と
H2091

בְּכֶסֶף
銀と
H3701

מְאֹד
非常に
H3966

רַב־
多くの

פ
¶

אֲחֵיכֶם׃
兄弟たちと
H0251

עִם־
～と-共に

אֹיְבֵיכֶם
敵の
H0341

שְׁלָל־
戦利品を
H7998

חִלְקוּ
分けよ

言った、「あなたがたは多くの貨財と、おびただしい数の家畜と、金、銀、青銅、鉄、および多くの衣服を持って天幕に帰り、敵から獲たぶんどり物を兄弟たちに分けなさい」。

9

שֵׁבֶט
部族の
H7626

וַחֲצִי
そして-半部族の
H2677

גָּד
ガドの
H1410

וּבְנֵי־
そして-子らの

רְאוּבֵן
ルベンの
H7205

בְּנֵי־
子らは

וַיֵּלְכוּ
そして-行った
H3212

וַיָּשֻׁבוּ
そして-帰った
H7725

אֶל־
～へ
H0413

לָלֶכֶת
行くために
H3212

כְּנַעַן
カナンの

בְּאֶרֶץ־
地の
H0776

אֲשֶׁר
～の

מִשִּׁלֹה
シロから
H7887

יִשְׂרָאֵל
イスラエルの
H3478

בְּנֵי
子らの

מֵאֵת
～から
H0854

הַמְנַשֶּׁה
マナセの
H4519

יְהוָה
主の
H3068

פִּי
口に
H6310

עַל־
～に-従って

בְּיַד־
～の-手を-通して

מֹשֶׁה׃
モーセの
H4872

נְאֹחֲזוּ־
得た
H0270

אֲשֶׁר
～の

אֲחֻזָּתָם
所有地の
H0272

אֶרֶץ
地へ
H0776

אֶל־
～へ
H0413

הַגִּלְעָד
ギルアデの
H1568

אֶרֶץ
地へ
H0776

こうしてルベンの子孫、ガドの子孫、およびマナセの部族の半ばは、主がモーセによって命じられたように、すでに自分の所有地となっているギレアデの地に行こうと、カナンの地のシロで、イスラエルの人々と別れて帰って行った。

10

בְּנֵי־
子らは

וַיִּבְנוּ
そして-建てた
H1129

כְּנַעַן
カナンの

בְּאֶרֶץ
地の
H0776

אֲשֶׁר
～の

הַיַּרְדֵּן
ヨルダンの
H3383

גְּלִילוֹת
地域へ
H1552

אֶל־
～へ
H0413

וַיָּבֹאוּ
そして-来た
H0935

עַל־
～の-そばに

מִזְבֵּחַ
祭壇を
H4196

שָׁם
そこに
H8033

הַמְנַשֶּׁה
マナセの
H4519

שֵׁבֶט
部族の
H7626

וַחֲצִי
そして-半部族の
H2677

גָּד
ガドの
H1410

וּבְנֵי־
そして-子らの

רְאוּבֵן
ルベンの
H7205

לְמַרְאֶה׃
見かけの
H4758

גָּדוֹל
大きな

מִזְבֵּחַ
祭壇を
H4196

הַיַּרְדֵּן
ヨルダンの
H3383

ルベンの子孫、ガドの子孫、およびマナセの部族の半ばが、カナンの地のヨルダンのほとりにきた時、その所で、ヨルダンの岸べに一つの祭壇を築いた。それは大きくて遠くから見える祭壇であった。

11

וּבְנֵי־
そして-子らの

רְאוּבֵן
ルベンの
H7205

בְּנֵי־
子らが

בָנוּ
建てた
H1129

הִנֵּה
見よ
H2009

לֵאמֹר
言って
H0559

יִשְׂרָאֵל
イスラエルの
H3478

בְּנֵי־
子らは

וַיִּשְׁמְעוּ
そして-聞いた
H8085

אֶרֶץ
地の
H0776

מוּל
向かいに
H4136

אֶל־
～の-向かいに
H0413

הַמִּזְבֵּחַ
祭壇を
H4196

אֵת־
～を
H0853

הַמְנַשֶּׁה
マナセの
H4519

שֵׁבֶט
部族の
H7626

וַחֲצִי
そして-半部族の
H2677

גָּד
ガドの
H1410

יִשְׂרָאֵל׃
イスラエルの
H3478

בְּנֵי
子らの

עֵבֶר
側に
H5676

אֶל־
～の
H0413

הַיַּרְדֵּן
ヨルダンの
H3383

גְּלִילוֹת
地域に
H1552

אֶל־
～に
H0413

כְּנַעַן
カナンの

イスラエルの人々は、「ルベンの子孫、ガドの子孫、およびマナセの部族の半ばが、カナンの地の国境、ヨルダンのほとりのイスラエルの人々に属する方で、一つの祭壇を築いた」というわさを聞いた。

12

יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי־	עֵדַת	כָּל־	וַיִּקָּהֲלוּ	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי	וַיִּשְׁמְעוּ	
イスラエルの	子らの	会衆の	すべての	そして-集まった	イスラエルの	子らは	そして-聞いた	
H3478		H5712	H3605	H6950	H3478		H8085	

פ	לַצָּבָא׃	עֲלֵיהֶם	לַעֲלוֹת	שִׁלֹה
¶	戦いのために	彼らに-対して	上るために	シロに
			H5927	H7887

イスラエルの人々が、それを聞くとひとしく、イスラエルの人々の全会衆はシロに集まって、彼らの所に攻め上ろうとした。

13

גָּד	בְּנֵי־	וְאֶל־	רְאוּבֵן	בְּנֵי־	אֶל־	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי־	וַיִּשְׁלְחוּ
ガドの	子らへ	そして〜へ	ルベンの	子らへ	〜へ	イスラエルの	子らは	そして-遣わした
H1410		H0413	H7205		H0413	H3478		H7971

בֶּן־	פִּינְחָס	אֶת־	הַגִּלְעָד	אֶרֶץ	אֶל־	מְנַשֶּׁה	שֵׁבֶט־	חֲצִי	וְאֶל־
息子の	ピネハスを	〜を	ギルアデの	地へ	〜へ	マナセの	部族の	半部族へ	そして〜へ
	H6372	H0853	H1568	H0776	H0413	H4519	H7626	H2677	H0413

הַכֹּהֵן׃	אֶלְעָזָר
祭司の	エルアザルの
H3548	H0499

そしてイスラエルの人々は、祭司エレアザルの子ピネハスをギレアデの地のルベンの子孫、ガドの子孫、およびマナセの半部族の所につかわし、

14

אָב	לְבֵית	אֶחָד	נָשִׂיא	אֶחָד	נָשִׂיא	עִמּוֹ	נְשִׂאִים	וַעֲשָׂרָה
父祖の	〜の-家の	一人	指導者が	一人	指導者が	彼と-共に	指導者が	そして-十人の
H0001		H0259		H0259				H6235

לְאַלְפֵי	הֵמָּה	אֲבוֹתָם	בֵּית־	רָאשׁ	וְאִישׁ	יִשְׂרָאֵל	מַטּוֹת	לְכֹל
千人の	彼らは	父祖の	家の	かしらの	そして-各人が	イスラエルの	部族の	すべての
H0505	H1992	H0001			H0376	H3478	H4294	H3605

יִשְׂרָאֵל׃
イスラエルの
H3478

イスラエルの各部族のうちから、父祖の家のつかさ、ひとりずつをあげて、合わせて十人のつかさたちを、彼と共に行かせた。これらはみなイスラエルの氏族のうちで、父祖の家のかしらたる人々であった。

15

שֵׁבֶט־	חֲצִי	וְאֶל־	גָּד	בְּנֵי־	וְאֶל־	רְאוּבֵן	בְּנֵי־	אֶל־	וַיָּבֹאוּ
部族の	半部族へ	そして〜へ	ガドの	子らへ	そして〜へ	ルベンの	子らへ	〜へ	そして-来た
H7626	H2677	H0413	H1410		H0413	H7205		H0413	H0935

לֵאמֹר׃	אִתָּם	וַיְדַבְּרוּ	הַגִּלְעָד	אֶרֶץ	אֶל־	מְנַשֶּׁה
言って	彼らと	そして-語った	ギルアデの	地へ	〜へ	マナセの
H0559	H0854	H1696	H1568	H0776	H0413	H4519

彼らはギレアデの地に行き、ルベンの子孫、ガドの子孫、およびマナセの半部族に語って言った、

16

בֵּאלֹהֵי	מְעַלְתֶּם	אֲשֶׁר	הַזֶּה	הַמָּעַל	מָה־	יְהוָה	עֵדַת	וְכָל	אָמְרוּ	כֹּה
神に–対して	背いた	～の	この	背信だ	何の	主の	会衆の	すべての	言っている	こう
H0430	H4603		H2088	H4604	H4100	H3068	H5712	H3605	H0559	H3541

מִזְבֵּחַ	לָכֶם	בִּבְנוֹתְכֶם	יְהוָה	מֵאַחֲרֵי	הַיּוֹם	לָשׁוּב	יִשְׂרָאֵל
祭壇を	あなたがたのために	建てて	主の	～の–後に	今日	離れて	イスラエルの
H4196		H1129	H3068		H3117	H7725	H3478

בַּיהוָה׃	הַיּוֹם	לִמְרָדְכֶם
主に–対して	今日	反逆するために
H3068	H3117	H4775

「主の全会衆はこう言います、『あなたがたがイスラエルの神にむかって、とがを犯し、今日、ひるがえって主に従うことをやめ、自分のために一つの祭壇を築いて、今日、主にそむこうとするのは何事か。

17

מִמֶּנּוּ	הִטַּהֲרָנוּ	לֹא־	אֲשֶׁר	פְּעוֹר	עֲוֹן	אֶת־	לָנוּ	הַמְעַט־
それから	清めて–いない	清めて–いない	～の	ペオルの	咲いを	～の	わたしたちに	少ないのか
	H2891	H3808		H6465	H5771	H0853		H4592

יְהוָה׃	בַּעֲדַת	הַנֶּגַף	וַיְהִי	הַזֶּה	הַיּוֹם	עַד
主の	会衆に	疫病が	そして–あった	この	日の	～まで
H3068	H5712	H5063	H1961	H2088	H3117	H5704

ペオルで犯した罪で、なお足りないとするのか。それがために主の会衆に災が下ったが、われわれは今日もなお、その罪から清められていない。

18

תִּמְרְדוּ	אַתֶּם	וְהָיָה	יְהוָה	מֵאַחֲרֵי	הַיּוֹם	תָּשֻׁבוּ	וְאַתֶּם
反逆するなら	あなたがたが	そして–なる	主の	～の–後に	今日	離れる	そして–あなたがたは
H4775		H1961	H3068		H3117	H7725	

יִקְצֹף׃	יִשְׂרָאֵל	עֲדַת	כָּל־	אֶל־	וּמָחָר	בַּיהוָה	הַיּוֹם
怒る	イスラエルの	会衆に	すべての	～に–対して	明日	主に–対して	今日
H7107	H3478	H5712	H3605	H0413	H4279	H3068	H3117

しかもあなたがたは、今日、ひるがえって主に従うことをやめようとするのか。あなたがたが、きょう、主にそむくならば、あす、主はイスラエルの全会衆にむかって怒られるであろう。

19

לָכֶם	עִבְרוּ	אֲחֻזַתְכֶם	אֶרֶץ	טְמֵאָה	אִם־	וְאַךְ
あなたがたのために	渡って–来い	あなたがたの–所有地の	地が	汚れて–いるなら	もし	ただし
		H0272	H0776	H2931		H0389

וְהֵאָחֲזוּ	יְהוָה	מִשְׁכַּן	שָׁם	שָׁכַן־	אֲשֶׁר	יְהוָה	אֲחֻזַת	אֶרֶץ	אֶל־
そして–得よ	主の	幕屋が	そこに	住んで–いる	～の	主の	所有地の	地へ	～へ
H0270	H3068	H4908	H8033	H7931		H3068	H0272	H0776	H0413

וְאֹתָנוּ	תִּמְרֹדוּ	אַל־	וּבַיהוָה	בְּתוֹכֵנוּ
そして–わたしたちに–対して	反逆しては	しては–ならない	そして–主に–対して	わたしたちの–中に
H0853	H4775	H0408	H3068	H8432

יְהוָה	מִזְבַּח	מִבַּלְעֲדֵי	מִזְבֵּחַ	לָכֶם	בִּבְנֹתְכֶם	תִּמְרֹדוּ	אֶל־
主の	祭壇の	～の–他に	祭壇を	あなたがたのために	建てて	反逆しては	～に–対して
H3068	H4196	H1107	H4196		H1129	H4775	H0408

אֱלֹהֵינוּ׃
わたしたちの–神の
H0430

もしあなたがたの所有の地が清くないのであれば、主の幕屋の立っている主の所有の地に渡ってきて、われわれのうちに、所有の地を獲なさい。ただ、われわれの神、主の祭壇のほかに、自分のために祭壇を築いて、主にそむき、またわれわれをそむく者とならせないでください。

20 וְהֲלֹוא בֶּן־זֶרַח מָעַל מַעַל בַּחֵרֶם וְעֶבֶן עָכָן
そうでは–なかったか 息子の ゼラの 背いた 背きを 聖絶の–ものに–対して
H3808 H0005 H2226 H4603 H4604 H5912

וְעַל־כָּל־עֲדַת יִשְׂרָאֵל הָיָה קָצֶף וְהוּא אִישׁ אֶחָד
そして–〜に–対して すべての 会衆に イスラエルの あった 怒りが そして–彼は 人で 一人の
H3605 H5712 H3478 H1961 H7107 H1931 H0376 H0259

וְלֹא־גָוַע בְּעֲוֹנוֹ׃ פ ¶
死んだ ない 自分の–咲いに–よって
H1478 H3808 H5771

ゼラの子アカンは、のろわれた物について、とがを犯し、それがためイスラエルの全会衆に、怒りが臨んだではないか。またその罪によって滅びた者は、彼ひとりではなかった』」。

21 וַיַּעֲנוּ בְּנֵי־רְאוּבֵן וּבְנֵי־גָד וְחֲצִי שֵׁבֶט הַמְנַשֶּׁה
そして–答えた 子らは ルベンの そして–子らの ガドの そして–半部族の 部族の マナセの
H6030 H1121 H7205 H1121 H1410 H2677 H7626 H4519

וַיְדַבְּרוּ אֶת־רָאשֵׁי אַלְפֵי יִשְׂרָאֵל׃
そして–語った 〜と かしらたちと 千人の イスラエルの
H1696 H0854 H7218 H0505 H3478

その時、ルベンの子孫、ガドの子孫、およびマナセの半部族は、イスラエルの氏族のかしらたちに答えて言った、

22 אֵל אֱלֹהִים יְהוָה אֵל אֱלֹהִים יְהוָה הוּא יֹדֵעַ וְיִשְׂרָאֵל הוּא
神の 神の 主よ 神の 主よ 神の 知って–おられる そして–イスラエルも 彼は
H0410 H0430 H3068 H0410 H0430 H3068 H3045 H3478 H1931

אִם־בְּמֶרֶד וְאִם־בִּמְעַל בַּיהוָה אַל־תּוֹשִׁיעֵנוּ הַיּוֹם׃
もし 反逆で もしくは 背きで 主に–対して しては–ならない 救っては 今日の
H3045 H4777 H0518 H4604 H3068 H0408 H3467 H3117

הַזֶּה׃
この
H2088

「力ある者、神、主。力ある者、神、主。主は知ろしめす。イスラエルもまた知らなければならない。もしそれがそむくことであり、あるいは主に罪を犯すことであるならば、きょう、われわれをゆるさないでください。

23 לִבְנוֹת לָנוּ מִזְבֵּחַ לָשׁוּב מֵאַחֲרֵי יְהוָה וְאִם־לְהַעֲלוֹת
建てるために わたしたちのために 祭壇を 離れるために 〜の–後に 主の もしくは 据えるために
H1129 H4196 H7725 H0310 H3068 H0518 H5927

עָלָיו עוֹלָה וּמִנְחָה וְאִם־לַעֲשׂוֹת עָלָיו זִבְחֵי שְׁלָמִים
その–上に 燔祈を そして–穀物の–供え物を もしくは 据えるために その–上に いけにえを 和解の
H5921 H5930 H4503 H0518 H6213 H5921 H2077 H8002

הוּא יְבַקֵּשׁ יְהוָה׃
主自ら 求められるであろう 主が
H1931 H1245 H3068

われわれが祭壇を築いたことが、もし主に従うことをやめるためであり、またその上に、燔祭、素祭をささげるためであり、あるいはまたその上に、酬恩祭の犠牲をささげるためであったならば、主みずから、その罪を問いただしてください。

24 וְאִם־ לֹא מִדְּאָגָה מִדָּבָר עָשִׂינוּ אֶת־ זֹאת לֵאמֹר מָחָר יֹאמְרוּ
もしくは いいえ 心配から 事から したのだ ～を これを 言って 明日 言うかもしれない
H0559 H4279 H0559 H2063 H0853 H1697 H1674 H3808

בְּנֵיכֶם לְבָנֵינוּ לֵאמֹר מַה־ לָּכֶם וְלַיהוָה אֱלֹהֵי
あなたがたの–子らが わたしたちの–子らに 言って 何の 関係が–あるか そして–主と 神の
H0430 H3068 H4100 H0559

יִשְׂרָאֵל׃
イスラエルの
H3478

しかし、われわれは次のことを考えてしたのです。すなわち、のちの日になって、あなたがたの子孫が、われわれの子孫にむかって言うことがあるかも知れません、『あなたがたは、イスラエルの神、主と、なんの関係があるのですか。

25 וּגְבוּל נָתַן־ יְהוָה בֵּינֵנוּ וּבֵינֵיכֶם בְּנֵי־ רְאוּבֵן
そして–境界を 置いた 主は わたしたちの–間に そして–あなたがたの–間に ルベンの 子らの
H1366 H5414 H3068 H0996 H0996 H7205

וּבְנֵי־ גָד אֶת־ הַיַּרְדֵּן אֵין־ לָכֶם חֵלֶק בַּיהוָה
そして–子らの ガドの ～を ヨルダンを ない あなたがたに 分け前が 主に–おいて
H1410 H0853 H3383 H0369 H3068

וְהִשְׁבִּיתוּ בְּנֵיכֶם אֶת־ בָּנֵינוּ לְבִלְתִּי
そして–止めるかもしれない あなたがたの–子らが ～を わたしたちの–子らを やめさせることを
H0853 H1115

יְרֵא אֶת־ יְהוָה׃
畑れることを ～を 主を
H3372 H0853 H3068

ルベンの子孫と、ガドの子孫よ、主は、あなたがたと、われわれとの間に、ヨルダンを境とされました。あなたがたは主の民の特権がありません』。こう言って、あなたがたの子孫が、われわれの子孫に、主を拝むことをやめさせるかも知れないので、

26 וַנֹּאמֶר נַעֲשֶׂה־ נָּא לָנוּ לִבְנוֹת אֶת־ הַמִּזְבֵּחַ לֹא
そこで–言った しよう さあ わたしたちのために 建てることを ～を 祭壇を ない
H0559 H4994 H3808 H4196 H0853 H1129

וְלֹא לְעוֹלָה לְזֶבַח׃
そして–ない 燔祈の–ために いけにえの–ために
H3808 H2077

われわれは言いました、『さあ、われわれは一つの祭壇を築こう。燔祭のためではなく、また犠牲のためでもなく、

27 כִּי עֵד הוּא בֵּינֵנוּ וּבֵינֵיכֶם וּבֵין
なぜなら 証しである それは わたしたちの–間に そして–あなたがたの–間に そして–～の–間に
H0996 H1931 H5707 H0996 H0996

דֹּרוֹתֵינוּ אַחֲרֵינוּ לַעֲבֹד אֶת־ יְהוָה לְפָנָיו בְּעֹלוֹתֵינוּ
わたしたちの–世代の わたしたちの–後の 仕えるために ～を 主の 御前で 燔祈で
H1755 H0853 H3068 H6440

וּבְזִבְחֵינוּ וּבְשַׁלְמֵינוּ וְלֹא יֹאמְרוּ מָחָר בְּנֵיכֶם
そして–いけにえで そして–和解の–供え物で そして–ない 言うであろう 明日 あなたがたの–子らが
H2077 H8002 H3808 H0559 H4279

לִבְנֵינוּ לְכֶם אֵין־ חֵלֶק בַּיהוָה׃
わたしたちの–子らに あなたがたに ない 分け前が 主に–おいて
H0369 H3068

ただあなたがたと、われわれとの間、およびわれわれの後の子孫の間に、証拠とならせて、われわれが、燔祭と犠牲、および酬恩祭をもって、主の前で、主につとめをするためである。こうすれば、のちの日になって、あなたがたの子孫が、われわれの子孫に、「あなたがたは主の民の特権がありません」とは言わないであろう』。

28

דֹּרֹתֵינוּ	וְאֶל־	אֵלֵינוּ	יֹאמְרוּ	כִּי־	וְהָיָה	וַנֹּאמֶר	
わたしたちの–世代に	そして〜に	わたしたちに	言うなら	もし	そして–なる	そこで–言った	
H1755	H0413	H0413	H0559		H1961	H0559	

אֲבוֹתֵינוּ	עָשׂוּ	אֲשֶׁר־	יְהוָה	מִזְבַּח	תַּבְנִית	אֶת־	רְאוּ	וְאָמַרְנוּ	מָחָר
わたしたちの–父祖が	作った	〜の	主の	祭壇の	型を	〜を	見よ	そして–言おう	明日
H0001			H3068	H4196	H8403	H0853	H7200	H0559	H4279

הִוא	עֵד	כִּי־	לְזֶבַח	וְלֹא	לְעוֹלָה	לֹא
それは	証しである	なぜなら	いけにえの–ために	そして–ない	燔祈の–ために	ない
H1931	H5707		H2077	H3808		H3808

וּבֵינֵיכֶם׃	בֵּינֵינוּ
そして–あなたがたの–間の	わたしたちの–間に
H0996	H0996

またわれわれは言いました、『のちの日に、われわれ、またわれわれの子孫が、もしそのようなことを言われるならば、その時、われわれは言おう、「われわれの先祖が造った主の祭壇の型をごらんなさい。これは燔祭のためではなく、また犠牲のためでもなく、あなたがたと、われわれとの間の証拠である」。

29

וְלָשׁוּב	בַּיהוָה	לִמְרֹד	מִמֶּנּוּ	לָנוּ	חָלִילָה	
そして–離れることは	主に–対して	反逆することは	それから	わたしたちには	決して–そんなことは	
H7725	H3068	H4775			H2486	

לְמִנְחָה	לְעֹלָה	מִזְבֵּחַ	לִבְנוֹת	יְהוָה	מֵאַחֲרֵי	הַיּוֹם
穀物の–供え物の–ために	燔祈の–ために	祭壇を	建てることは	主の	〜の–後に	今日
H4503		H4196	H1129	H3068		H3117

מִשְׁכָּנוֹ׃	לִפְנֵי	אֲשֶׁר	אֱלֹהֵינוּ	יְהוָה	מִזְבַּח	מִלְבַד	וּלְזָבַח
幕屋の	〜の–前の	〜の	わたしたちの–神の	主の	祭壇の	〜の–他に	そして–いけにえの–ために
H4908	H6440		H0430	H3068	H4196	H0905	H2077

פ
¶

主にそむき、ひるがえって今日、主に従うことをやめて、われわれの神、主の幕屋の前にある祭壇のほかに、燔祭、素祭、または犠牲をささげるための祭壇を築くようなことは、決していたしません』」。

30

אַלְפֵי	וְרָאשֵׁי	הָעֵדָה	וּנְשִׂיאֵי	הַכֹּהֵן	פִּינְחָס	וַיִּשְׁמַע	
千人の	そして–かしらたちは	会衆の	そして–指導者たちは	祭司の	ピネハスは	そして–聞いた	
H0505		H5712		H3548	H6372	H8085	

וּבְנֵי־	רְאוּבֵן	בְּנֵי־	דִּבְּרוּ	אֲשֶׁר	הַדְּבָרִים	אֶת־	אִתּוֹ	אֲשֶׁר	יִשְׂרָאֵל
そして–子らの	ルベンの	子らが	語った	〜の	言葉を	〜を	彼と–共の	〜の	イスラエルの
	H7205		H1696		H1697	H0853	H0854		H3478

בְּעֵינֵיהֶם׃	וַיִּיטַב	מְנַשֶּׁה	וּבְנֵי	גָּד
彼らの–目に	そして–良かった	マナセの	そして–子らの	ガドの
	H3190	H4519		H1410

祭司ピネハス、および会衆のつかさたち、すなわち彼と共に行ったイスラエルの氏族のかしらたちは、ルベンの子孫、ガドの子孫、およびマナセの子孫が語った言葉を聞いて、それを良しとした。

31

וְאֶל־ そして〜に H0413 רְאוּבֵן ルベンの H7205 בְּנֵי־ 子らに אֶל־ 〜に H0413 הַכֹּהֵן 祭司の H3548 אֶלְעָזָר エルアザルの H0499 בֶּן־ 息子の פִּינְחָס ピネハスは H6372 וַיֹּאמֶר そして-言った H0559

יְהוָה 主が H3068 בְּתוֹכֵנוּ わたしたちの-中に H8432 כִּי־ 〜を H0413 יָדַעְנוּ 知った H3045 הַיּוֹם 今日 H3117 מְנַשֶּׁה マナセの H4519 בְּנֵי 子らに וְאֶל־ そして〜に H0413 גָּד ガドの H1410 בְּנֵי־ 子らに

בְּנֵי 子らを H0853 אֶת־ 〜を H5337 הִצַּלְתֶּם 救った אָז その-時 הַזֶּה この H2088 הַמַּעַל 背きを H4604 בַּיהוָה 主に-対して H3068 מְעַלְתֶּם 背いて-いない H4603 לֹא־ ない H3808 אֲשֶׁר 〜の

יְהוָה׃ 主の H3068 מִיַּד 〜の-手から H3027 יִשְׂרָאֵל イスラエルの H3478

そして祭司エレアザルの子ピネハスは、ルベンの子孫、ガドの子孫、およびマナセの子孫に言った、「今日、われわれは、主がわれわれのうちにいますことを知った。あなたがたが、主にむかって、このとがを犯さなかったからである。あなたがたは今、イスラエルの人々を、主の手から救い出したのです」。

32

בְּנֵי־ 子らから מֵאֵת 〜から H0854 וְהַנְּשִׂיאִים そして-指導者たちは הַכֹּהֵן 祭司の H3548 אֶלְעָזָר エルアザルの H0499 בֶּן־ 息子の פִּינְחָס ピネハスは H6372 וַיָּשָׁב そして-帰った H7725

אֶל־ 〜へ H0413 כְּנַעַן カナンの אֶרֶץ 地へ H0776 אֶל־ 〜へ H0413 הַגִּלְעָד ギルアデの H1568 מֵאֶרֶץ 地から H0776 גָּד ガドの H1410 בְּנֵי־ 子らから מִאֵת そして-〜から H0853 רְאוּבֵן ルベンの H7205

דָּבָר׃ 言葉を H1697 אוֹתָם 彼らに H0853 וַיָּשִׁבוּ そして-報告した H7725 יִשְׂרָאֵל イスラエルの H3478 בְּנֵי 子らへ

こうして祭司エレアザルの子ピネハスと、つかさたちは、ルベンの子孫、およびガドの子孫に別れて、ギレアデの地からカナンの地に帰り、イスラエルの人々のところに行って復命したので、

33

בְּנֵי 子らは H0430 אֱלֹהִים 神を וַיְבָרְכוּ そして-讃美した H1288 יִשְׂרָאֵל イスラエルの H3478 בְּנֵי 子らの בְּעֵינֵי 目に הַדָּבָר この-言葉は H1697 וַיִּיטַב そして-良かった H3190

אֶת־ 〜を H0853 לְשַׁחֵת 滅ぼすために H7843 לַצָּבָא 戦いのために עֲלֵיהֶם 彼らに-対して לַעֲלוֹת 上ることを H5927 אָמְרוּ 言った H0559 וְלֹא そして-ない H3808 יִשְׂרָאֵל イスラエルの H3478

בָּהּ׃ そこに יֹשְׁבִים 住んで-いる H3427 גָּד ガドの H1410 וּבְנֵי־ そして-子らが רְאוּבֵן ルベンの H7205 בְּנֵי־ 子らが אֲשֶׁר 〜の הָאָרֶץ 地を H0776

イスラエルの人々はそれを良しとした。そしてイスラエルの人々は神をほめたたえ、ルベンの子孫、およびガドの子孫の住んでいる国を滅ぼすために攻め上ろうとは、もはや言わなかった。

34

הוּא それは H1931 עֵד 証しである H5707 כִּי なぜなら לַמִּזְבֵּחַ 祭壇を H4196 גָּד ガドの H1410 וּבְנֵי־ そして-子らの רְאוּבֵן ルベンの H7205 בְּנֵי־ 子らは וַיִּקְרְאוּ そして-呼んだ H7121

פ ¶ הָאֱלֹהִים׃ 神で-あられると H0430 יְהוָה 主こそ H3068 כִּי そうだ בֵּינוֹתֵינוּ わたしたちの-間の H0996

ルベンの子孫とガドの子孫は、その祭壇を「あかし」と名づけて言った、「これは、われわれの間にあって、主が神にいますというあかしをするものである」。

Chapter 23

1

מִכָּל־	לְיִשְׂרָאֵל	יְהוָה	הֵנִיחַ	אֲשֶׁר־	אַחֲרֵי	רַבִּים	מִיָּמִים	וַיְהִי
すべての–〜から	イスラエルに	主が	与えた	〜の	後に	多くの	日々の–後	そして–あった
H3605	H3478	H3068	H5117				H3117	H1961

בַּיָּמִים׃	בָּא	זָקֵן	וִיהוֹשֻׁעַ	מִסָּבִיב	אֹיְבֵיהֶם	
歳を–重ね	達した	老いて	そして–ヨシュアは	周囲の	敵たちから	
H3117	H0935	H2204	H3091	H5439	H0341	

主がイスラエルの周囲の敵を、ことごとく除いて、イスラエルに安息を賜わってのち、久しくたち、ヨシュアも年が進んで老いた。

2

וּלְרֹאשָׁיו	לְזִקְנָיו	יִשְׂרָאֵל	לְכָל־	יְהוֹשֻׁעַ	וַיִּקְרָא	
そして–かしらたちを	長老たちを	イスラエルを	すべての	ヨシュアは	そして–呼んだ	
	H2205	H3478	H3605	H3091	H7121	

בַּיָּמִים׃	בָּאתִי	זָקַנְתִּי	אֲנִי	אֲלֵהֶם	וַיֹּאמֶר	וּלְשֹׁטְרָיו	וּלְשֹׁפְטָיו	
歳を–重ね	達した	老いた	わたしは	彼らに	そして–言った	そして–役人たちを	そして–裁き人たちを	
H3117	H0935	H2204	H0589	H0413	H0559	H7860	H8199	

ヨシュアはイスラエルのすべての人、その長老、かしらたち、さばきびと、つかさびとたちを呼び集めて言った、「わたしは年も進んで老人となった。

3

לְכָל־	אֱלֹהֵיכֶם	יְהוָה	עָשָׂה	אֲשֶׁר	כָּל־	אֵת	רְאִיתֶם	וְאַתֶּם
すべての	あなたがたの–神が	主が	行った	〜の	すべてを	〜を	見た	そして–あなたがたは
H3605	H0430	H3068			H3605	H0853	H7200	

הַגּוֹיִם	הָאֵלֶּה	מִפְּנֵיכֶם	כִּי	יְהוָה	אֱלֹהֵיכֶם	הוּא	
國々に	これらの	あなたがたの–前から	なぜなら	主こそ	あなたがたの–神こそ	主が	
	H0428	H6440		H3068	H0430	H1931	

לָכֶם׃	הַנִּלְחָם
あなたがたのために	戦って–くださる

あなたがたは、すでにあなたがたの神、主が、このもろもろの国びとに行われたすべてのことを見た。あなたがたのために戦われたのは、あなたがたの神、主である。

4

לְשִׁבְטֵיכֶם	בְּנַחֲלָה	הָאֵלֶּה	הַנִּשְׁאָרִים	הַגּוֹיִם	אֵת־	לָכֶם	הִפַּלְתִּי	רְאוּ	
部族のために	相続地として	これらの	残って–いる	國々を	〜を	あなたがたに	分けた	見よ	
H7626	H5159	H0428	H7604		H0853		H5307	H7200	

הַגָּדוֹל	וְהַיָּם	הִכְרַתִּי	אֲשֶׁר	הַגּוֹיִם	וְכָל־	הַיַּרְדֵּן	מִן־
大いなる	そして–海まで	滅ぼした	〜の	國々を	そして–すべての	ヨルダンから	〜から
	H3220	H3772			H3605	H3383	

הַשָּׁמֶשׁ׃	מְבוֹא
太陽の	日の–入り口の
H8121	H3996

見よ、わたしはヨルダンから、日の入る方、大海までの、このもろもろの残っている国々と、すでにわたしが滅ぼし去ったすべての国々を、くじをもって、あなたがたに分け与え、あなたがたの各部族の嗣業とさせた。

וְהוֹרִישׁ מִפְּנֵיכֶם יֶהְדֳּפֵם הוּא אֱלֹהֵיכֶם יְהוָה 5
そして–追い–払う あなたがたの–前から 追い–出す 主が あなたがたの–神こそ そして–主こそ
H3423 H6440 H1920 H1931 H0430 H3068

יְהוָה דִּבֶּר כַּאֲשֶׁר אַרְצָם אֶת־ וִירִשְׁתֶּם מִלִּפְנֵיכֶם אֹתָם
主が 語った ～の–ように 彼らの–地を ～を そして–受け継ぐ あなたがたの–前から 彼らを
H3068 H1696 H0776 H0853 H3423 H6440 H0853

לָכֶם׃ אֱלֹהֵיכֶם
あなたがたに あなたがたの–神が
H0430

あなたがたの前から、その国民を打ち払い、あなたがたの目の前から追い払われるのは、あなたがたの神、主である。そしてあなたがたの神、主が約束されたように、あなたがたは彼らの地を獲るであろう。

הַכָּתוּב כֹּל־ אֵת וְלַעֲשׂוֹת לִשְׁמֹר מְאֹד וַחֲזַקְתֶּם 6
書かれて–いることを すべての ～を そして–行うために 守るために 非常に そして–強くあれ
H3789 H3605 H0853 H8104 H3966 H2388

וּשְׂמֹאול׃ יָמִין מִמֶּנּוּ סוּר־ לְבִלְתִּי מֹשֶׁה תּוֹרַת בְּסֵפֶר
左にも 右にも それから それることなく それないために モーセの 律法の 書に
H8040 H3225 H5493 H1115 H4872 H8451

それゆえ、あなたがたは堅く立って、モーセの律法の書にしるされていることを、ことごとく守って行わなければならない。それを離れて右にも左にも曲ってはならない。

אִתְּכֶם הָאֵלֶּה הַנִּשְׁאָרִים הָאֵלֶּה בַּגּוֹיִם בּוֹא לְבִלְתִּי־ 7
あなたがたと–共に これらの 残って–いる これらの 國々に 入ることなく それないために
H0854 H0428 H7604 H0428 H0935 H1115

תַּעַבְדוּם וְלֹא תַּשְׁבִּיעוּ וְלֹא תַּזְכִּירוּ לֹא־ אֱלֹהֵיהֶם וּבְשֵׁם
仕えては そして–ない 誓っては そして–ない 唱えては しては–ならない 彼らの–神々の そして–名を
H5647 H3808 H7650 H3808 H2142 H3808 H0430 H8034

לָהֶם׃ תִּשְׁתַּחֲוֻ וְלֹא
彼らに ひれ伏しては そして–ない
H7812 H3808

あなたがたのうちに残っている、これらの国民と交じってはならない。彼らの神々の名を唱えてはならない。それをさして誓ってはならない。またそれに仕え、それを拝んではならない。

הַזֹּה׃ הַיּוֹם עַד עֲשִׂיתֶם כַּאֲשֶׁר תִּדְבָּקוּ אֱלֹהֵיכֶם בַּיהוָה אִם־ כִּי 8
この 日の ～まで して–きた ～の–ように すがれ あなたがたの–神に 主に ～に ただ
H2088 H3117 H5704 H6440 H1692 H0430 H3068

ただ、今日までしてきたように、あなたがたの神、主につき従わなければならない。

וְאַתֶּם וַעֲצוּמִים גְּדֹלִים גּוֹיִם מִפְּנֵיכֶם יְהוָה וַיּוֹרֶשׁ 9
そして–あなたがたは そして–強い 大きな 國々を あなたがたの–前から 主は そして–追い–払った
H6099 H3068 H3423

הַזֶּה׃ הַיּוֹם עַד בְּפְנֵיכֶם אִישׁ עָמַד לֹא־
この 日の ～まで あなたがたの–前に 誰も 立った ない
H2088 H3117 H5704 H6440 H0376 H5975 H3808

主が大いなる強き国民を、あなたがたの前から追い払われた。あなたがたには今日まで、立ち向かうことのできる者は、ひとりもなかった。

10 אִישׁ־ אֶחָד מִכֶּם יִרְדָּף־ אָלֶף כִּי יְהוָה אֱלֹהֵיכֶם הוּא
人が 一人で あなたがたの–中の 追う 千人を なぜなら 主こそ あなたがたの–神こそ 主が
H0376 H0259 H0853 H7291 H0505 H3068 H0430 H1931

הַנִּלְחָם לָכֶם כַּאֲשֶׁר דִּבֶּר לָכֶם׃
戦って–くださる あなたがたのために ～の–ように 語った あなたがたに
H1696

あなたがたのひとりは、千人を追い払うことができるであろう。あなたがたの神、主が約束されたように、みずからあなたがたのために戦われるからである。

11 וְנִשְׁמַרְתֶּם מְאֹד לְנַפְשֹׁתֵיכֶם לְאַהֲבָה אֶת־ יְהוָה אֱלֹהֵיכֶם׃
そして–気を–つけよ 非常に 自分たちの–ために 愛することを ～を 主を あなたがたの–神を
H8104 H3966 H5315 H0157 H0853 H3068 H0430

それゆえ、あなたがたは深く慎んで、あなたがたの神、主を愛さなければならない。

12 כִּי אִם־ שׁוֹב תָּשׁוּבוּ וּדְבַקְתֶּם בִּיֶּתֶר הַגּוֹיִם הָאֵלֶּה הַנִּשְׁאָרִים
なぜなら もし 必ず 離れるなら そして–すがるなら 残りの 國々に これらの 残って–いる
H3588 H0518 H7725 H7725 H1692 H3499 H1471 H7604

אִתְּכֶם וְהִתְחַתַּנְתָּם בָּהֶם וּבָאתֶם בָּהֶם׃
あなたがたと–共に そして–婚姻するなら 彼らと そして–入るなら 彼らの–中に
H0854 H2859 H0935

וְהֵם בָּכֶם׃
そして–彼らが あなたがたの–中に
H1992

しかし、あなたがたがもしひるがえって、これらの国民の、生き残って、あなたがたの中にとどまる者どもと親しくなり、これと婚姻し、ゆききするならば、

13 יָדוֹעַ תֵּדְעוּ כִּי לֹא יוֹסִיף יְהוָה אֱלֹהֵיכֶם לְהוֹרִישׁ אֶת־ הַגּוֹיִם
確かに 知れ そうだ ない 続ける 主は あなたがたの–神は 追い–払うことを ～を 國々を
H3045 H3045 H3808 H3254 H3068 H0430 H3423 H0853 H1471

הָאֵלֶּה מִלִּפְנֵיכֶם וְהָיוּ לָכֶם לְפַח וּלְמוֹקֵשׁ וּלְשֹׁטֵט וּלְשֹׁטֵט
これらの あなたがたの–前から そして–なる あなたがたに–とって 罠と そして–置と そして–鞭と
H0428 H6440 H1961 H3369 H6341 H4170 H7850

בְּצִדֵּיכֶם וְלִצְנִנִים בְּעֵינֵיכֶם עַד־ אֲבָדְכֶם מֵעַל הָאֲדָמָה
あなたがたの–脇に そして–茨と あなたがたの–目に ～まで 滅びるまで ～の–上から 地の
H6654 H6796 H5704 H0006 H5921 H0127

הַטּוֹבָה הַזֹּאת אֲשֶׁר נָתַן לָכֶם יְהוָה אֱלֹהֵיכֶם׃
良い この ～の 与えた あなたがたに 主が あなたがたの–神が
H2063 H0834 H5414 H3068 H0430

あなたがたは、しかと知らなければならない。あなたがたの神、主は、もはや、これらの国民をあなたがたの前から、追い払うことをされないであろう。彼らは、かえって、あなたがたのわなとなり、網となり、あなたがたのわきに、むちとなり、あなたがたの目に、とげとなって、あなたがたはついに、あなたがたの神、主が賜わったこの良い地から、滅びうせるであろう。

14 וְהִנֵּה אָנֹכִי הוֹלֵךְ הַיּוֹם בְּדֶרֶךְ כָּל־הָאָרֶץ וִידַעְתֶּם בְּכָל־לְבַבְכֶם
そして-見よ わたしは 行く 今日 道を すべての 地の そして-知れ 心で
H1980 H0595 H3117 H1870 H3605 H0776 H3045 H3824

וּבְכָל־נַפְשְׁכֶם כִּי לֹא־נָפַל דָּבָר אֶחָד מִכֹּל הַדְּבָרִים הַטּוֹבִים
そして-すべての 魂で そうだ ない 落ちた 言葉が 一つも すべての-中の 言葉の 良い
H3605 H5315 H3808 H5307 H1697 H0259 H3605 H1697 H2009

אֲשֶׁר דִּבֶּר יְהוָה אֱלֹהֵיכֶם עֲלֵיכֶם הַכֹּל בָּאוּ לָכֶם
～の 語った 主が あなたがたの-神が あなたがたに-ついて すべてが 成就した あなたがたに
H1696 H3068 H0430 H3605 H0935

לֹא־נָפַל מִמֶּנּוּ דָּבָר אֶחָד׃
ない 落ちた それから 言葉は 一つも
H3808 H5307 H1697 H0259

見よ、今日、わたしは世の人のみな行く道を行こうとする。あなたがたがみな、心のうちにまた、肝に銘じて知っているように、あなたがたの神、主が、あなたがたについて約束されたもろもろの良いことで、一つも欠けたものはなかった。みなあなたがたに臨んで、一つも欠けたものはなかった。

15 וְהָיָה כַּאֲשֶׁר־בָּא עֲלֵיכֶם כָּל־הַדָּבָר הַטּוֹב אֲשֶׁר דִּבֶּר יְהוָה
そして-なる ～の-ように 来た あなたがたに すべての 言葉が 良い ～の 語った 主が
H1961 H0935 H3605 H1697 H2896 H1696 H3068

אֲלֵיכֶם כֵּן יָבִיא יְהוָה עֲלֵיכֶם אֵת כָּל־אֲשֶׁר אֲלֵיכֶם
あなたがたに あなたがたの-神が その-ように もたらす 主は あなたがたに ～を すべての ～の あなたがたに
H0413 H0430 H3651 H0935 H3068 H5921 H0853 H3605 H0834 H0413

עַד־הַשְׁמִידוֹ אֶתְכֶם מֵעַל הָאֲדָמָה הַטּוֹבָה הַזֹּאת אֲשֶׁר
～まで 滅ぼすまで あなたがたを ～の-上から 地の 良い この ～の
H5704 H8045 H0853 H5921 H0127 H2896 H2063 H0834

נָתַן לָכֶם יְהוָה אֱלֹהֵיכֶם׃
与えた あなたがたに 主が あなたがたの-神が
H5414 H3068 H0430

しかし、あなたがたの神、主があなたがたについて約束された、もろもろの良いことが、あなたがたに臨んだように、主はまた、もろもろの悪いことをあなたがたに下して、あなたがたの神、主が賜わったこの良い地から、ついに、あなたがたを滅ぼし断たれるであろう。

16 בְּעָבְרְכֶם אֶת־בְּרִית יְהוָה אֱלֹהֵיכֶם אֲשֶׁר צִוָּה אֶתְכֶם וַהֲלַכְתֶּם
～を 破るとき 契約を 主の 命じた ～の あなたがたの-神の あなたがたに そして-行って
H0853 H1285 H3068 H6680 H0834 H0430 H0853 H1980

וַעֲבַדְתֶּם אֱלֹהִים אֲחֵרִים וְהִשְׁתַּחֲוִיתֶם לָהֶם וְחָרָה אַף־יְהוָה
そして-仕えるなら 神々に 他の そして-ひれ伏すなら 彼らに そして-燃える 怒りが 主の
H5647 H0430 H0312 H7812 H1992 H2734 H0639 H3068

בָּכֶם וַאֲבַדְתֶּם מְהֵרָה מֵעַל הָאָרֶץ הַטּוֹבָה אֲשֶׁר נָתַן
あなたがたに-対して そして-滅びる 速やかに ～の-上から 地の 良い ～の 与えた
H5921 H0006 H4120 H5921 H0776 H2896 H2896 H5414

לָכֶם׃ פ
あなたがたに ¶

もし、あなたがたの神、主が命じられたその契約を犯し、行って他の神々に仕え、それを拝むならば、主はあなたがたにむかって怒りを発し、あなたがたは、主が賜わった良い地から、すみやかに滅びうせるであろう」。

Chapter 24

1 וַיֶּאֱסֹף יְהוֹשֻׁעַ אֶת־כָּל שִׁבְטֵי יִשְׂרָאֵל שְׁכֶמָה וַיִּקְרָא
そして–集めた ヨシュアは ～を すべての 部族を イスラエルの シェケムへ そして–呼んだ
H0622 H3091 H0853 H3605 H7626 H3478 H7927 H7121

לִזְקְנֵי יִשְׂרָאֵל וּלְרָאשָׁיו וּלְשֹׁפְטָיו וּלְשֹׁטְרָיו וַיִּתְיַצְּבוּ
長老たちを イスラエルの そして–かしらたちを そして–裁き人たちを そして–役人たちを そして–立った
H2205 H3478 H7218 H8199 H7860 H3320

לִפְנֵי הָאֱלֹהִים׃
～の–前に 神の
H6440 H0430

ヨシュアは、イスラエルのすべての部族をシケムに集め、イスラエルの長老、かしら、さばきびと、つかさたちを召し寄せて、共に神の前に進み出た。

2 וַיֹּאמֶר יְהוֹשֻׁעַ אֶל־כָּל הָעָם כֹּה־אָמַר יְהוָה אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל
そして–言った ヨシュアは ～に すべての 民に こう 言った 主は 神は イスラエルの
H0559 H3091 H0413 H3605 H3541 H0559 H3068 H0430 H3478

בְּעֵבֶר הַנָּהָר יָשְׁבוּ אֲבוֹתֵיכֶם מֵעוֹלָם תֶּרַח אֲבִי אַבְרָהָם
向こう–側に 川の 住んで–いた あなたがたの–父祖は 昔から テラは 父の アブラハムの
H5676 H5104 H3427 H0001 H5769 H8646 H0001 H0085

וַאֲבִי נָחוֹר וַיַּעַבְדוּ אֱלֹהִים אֲחֵרִים׃
そして–父の ナホルの そして–仕えて–いた 神々に 他の
H0001 H5152 H5647 H0430 H0312

そしてヨシュアはすべての民に言った、「イスラエルの神、主は、こう仰せられる、『あなたがたの先祖たち、すなわちアブラハムの父、ナホルの父テラは、昔、ユフラテ川の向こうに住み、みな、ほかの神々に仕えていたが、

3 וָאֶקַּח אֶת־אֲבִיכֶם אֶת־אַבְרָהָם מֵעֵבֶר הַנָּהָר וָאוֹלֶךְ
そして–取った ～を あなたがたの–父を ～を アブラハムを 向こう–側から 川の そして–導いた
H3947 H0853 H0001 H0853 H0085 H5676 H5104 H3212

בְּכָל־אֶרֶץ כְּנָעַן [וארב] (וָאַרְבֶּה) אֶת־זַרְעוֹ
地を すべての 彼を カナンの [そして–増やした] そして–増やした ～を 彼の–子孫を
H0776 H3605 H0853 H3667 H7233 H0853 H2233

וָאֶתֵּן־לוֹ אֶת־יִצְחָק׃
そして–与えた ～を 彼に イサクを
H5414 H0853 H3327

わたしは、あなたがたの先祖アブラハムを、川の向こうから連れ出して、カナンの全地を導き通り、その子孫を増した。わたしは彼にイサクを与え、

4 וָאֶתֵּן לְיִצְחָק אֶת־יַעֲקֹב וְאֶת־עֵשָׂו וָאֶתֵּן לְעֵשָׂו אֶת־הַר שֵׂעִיר
そして–与えた イサクに ～を ヤコブを そして～を エサウを そして–与えた エサウに ～を 山を セイルの
H5414 H3327 H0853 H3290 H0853 H6215 H5414 H6215 H0853 H2022

לָרֶשֶׁת אוֹתוֹ וְיַעֲקֹב וּבָנָיו יָרְדוּ מִצְרָיִם׃
受け継ぐために それを そして–ヤコブと そして–子らは 下った エジプトへ
H3423 H0853 H3290 H1121 H3381 H4714

イサクにヤコブとエサウを与え、エサウにはセイルの山地を与えて、所有とさせたが、ヤコブとその子供たちはエジプトに下った。

מִצְרַ֑יִם	אֶת־	וָאֶנֶף	אַהֲרֹ֣ן	וְאֶת־	מֹשֶׁ֔ה	אֶת־	וָאֶשְׁלַ֖ח	5
エジプトを	～を	そして–打った	アロンを	そして～を	モーセを	～を	そして–遣わした	
H4714	H0853	H5062	H0175	H0853	H4872	H0853	H7971	

אֶתְכֶ֖ם׃	הוֹצֵ֥אתִי	וְאַחַ֛ר	בְּקִרְבּ֑וֹ	עָשִׂ֥יתִי	כַּאֲשֶׁ֖ר
あなたがたを	導き–出した	そして–その–後	その–中で	行った	～の–ように
H0853	H3318		H7130		

わたしはモーセとアロンをつかわし、またエジプトのうちに不思議をおこなって、これに災を下し、その後あなたがたを導き出した。

וַיִּרְדְּפ֣וּ	הַיָּמָ֔ה	וַתָּבֹ֥אוּ	מִמִּצְרַ֖יִם	אֲבוֹתֵיכֶ֑ם	אֶת־	וָאוֹצִ֣יא		6
そして–追った	海へ	そして–来た	エジプトから	あなたがたの–父祖を	～を	そして–導き–出した		
H7291	H3220	H0935	H4714	H0001	H0853	H3318		

סֽוּף׃	יַ֖ם־	וּבְפָרָשִׁ֥ים	בְּרֶ֛כֶב	אֲבוֹתֵיכֶ֑ם	אַחֲרֵ֣י	מִצְרַ֔יִם	
葦の	海へ	そして–騎兵で	戦車で	あなたがたの–父祖の	～の–後を	エジプトが	
H5488	H3220		H7393	H0001		H4713	

わたしはあなたがたの父たちを、エジプトから導き出し、あなたがたが海にきたとき、エジプトびとは、戦車と騎兵とをもって、あなたがたの父たちを紅海に追ってきた。

וּבֵ֑ין	וּבֵינֵיכֶ֖ם	מַאֲפֵ֔ל	וַיָּ֣שֶׂם	יְהוָ֗ה	אֶל־	וַיִּצְעֲק֣וּ		7
そして–～の–間に	あなたがたの–間に	闇を	そして–置いた	主に	～に	そして–叫んだ		
H0996	H0996	H3990		H3068	H0413	H6817		

וַתִּרְאֽוּ׃	וַיְכַסְּה֣וּ	הַיָּ֔ם	אֶת־	עֲלֵיהֶ֑ם	וַיָּבֵ֣א	הַמִּצְרִ֖ים	
そして–見た	そして–覆った	海を	～を	彼らの–上に	そして–もたらした	エジプト人の	
H7200	H3680	H3220	H0853		H0935	H4713	

רַבִּ֖ים׃	יָמִ֑ים	בַּמִּדְבָּ֔ר	וַתֵּשְׁב֣וּ	בְּמִצְרָ֔יִם	עָשִׂ֥יתִי	אֲשֶׁר־	אֵ֛ת	עֵינֵיכֶ֥ם
多くの	日々を	荒野に	そして–住んだ	エジプトで	行った	～の	～を	あなたがたの–目が
	H3117		H3427	H4714			H0853	

そのとき、あなたがたの父たちが主に呼ばわったので、主は暗やみをあなたがたとエジプトびととの間に置き、海を彼らの上に傾けて彼らをおおわれた。あなたがたは、わたしがエジプトでしたことを目で見た。そして長い間、荒野に住んでいた。

הַיּוֹשֵׁב֙	הָאֱמֹרִ֔י	אֶ֖רֶץ	אֶל־	אֶתְכֶ֑ם	(וָאָבִיא)	[ואבאה]		8
住んで–いる	アモリ人の	地へ	～へ	あなたがたを	そして–連れて–来た	[そして–連れて–来た]		
H3427	H0567	H0776	H0413	H0853	H0935	H0935		

בְּיָדְכֶ֔ם	אוֹתָ֖ם	וָאֶתֵּ֥ן	אִתְּכֶ֑ם	וַיִּלָּחֲמ֣וּ	הַיַּרְדֵּ֗ן	בְּעֵ֣בֶר	
あなたがたの–手に	彼らを	そして–与えた	あなたがたと	そして–戦った	ヨルダンの	向こう–側に	
H3027	H0853	H5414	H0854		H3383	H5676	

מִפְּנֵיכֶ֖ם׃	וָאַשְׁמִידֵ֑ם	אַרְצָ֔ם	אֶת־	וַתִּירְשׁ֣וּ	
あなたがたの–前から	そして–滅ぼした	彼らの–地を	～を	そして–受け継いだ	
H6440	H8045	H0776	H0853	H3423	

わたしはまたヨルダンの向こう側に住んでいたアモリびとの地に、あなたがたを導き入れた。彼らはあなたがたと戦ったので、わたしは彼らをあなたがたの手に渡して、彼らの地を獲させ、彼らをあなたがたの前から滅ぼし去った。

בִּישְׂרָאֵ֔ל	וַיִּלָּחֶ֖ם	מוֹאָ֑ב	מֶ֣לֶךְ	צִפּ֗וֹר	בֶּן־	בָּלָ֛ק	וַיָּ֥קָם	9
イスラエルと	そして–戦った	モアブの	王の	ツィポルの	息子の	バラクは	そして–立ち–上がった	
H3478		H4124	H4428	H6834		H1111		

אֶתְכֶֽם׃	לְקַלֵּ֖ל	בְּעֹ֑ור	בֶּן־	לִבְלָ֔עָם	וַיִּקְרָ֣א	וַיִּשְׁלַ֖ח	
あなたがたを	呪うために	ベオルの	息子の	バラムを	そして–呼んだ	そして–遣わした	
H0853	H7043	H1160			H7121	H7971	

ついで、モアブの王チッポルの子バラクが立って、イスラエルに敵し、人をつかわし、ベオルの子バラムを招き、あなたがたをのろわせようとしたが、

10

אֶתְכֶם	בָּרוֹךְ	וַיְבָרֶךְ	לְבִלְעָם	לִשְׁמֹעַ	אָבִיתִי	וְלֹא
あなたがたを	祝福を	そして–祝福した	バラムに	聞くことを	望まなかった	そして–ない
H0853	H1288	H1288		H8085	H0014	H3808

מִיָּדוֹ׃	אֶתְכֶם	וָאַצֵּל
彼の–手から	あなたがたを	そして–救った
H3027	H0853	H5337

わたしがバラムに聞こうとしなかったので、彼は、かえって、あなたがたを祝福した。こうしてわたしは彼の手からあなたがたを救い出した。

11

בָּכֶם	וַיִּלָּחֲמוּ	יְרִיחוֹ	אֶל־	וַתָּבֹאוּ	הַיַּרְדֵּן	אֶת־	וַתַּעַבְרוּ
あなたがたと	そして–戦った	エリコへ	～へ	そして–来た	ヨルダンを	～を	そして–渡った
	H3405		H0413	H0935	H3383	H0853	

וְהַחִתִּי	וְהַכְּנַעֲנִי	וְהַפְּרִזִּי	הָאֱמֹרִי	יְרִיחוֹ	בַּעֲלֵי־
そして–ヒッタイト人と	そして–カナン人と	そして–ペリズ人と	アモリ人と	エリコの	主たちは
H2850		H6522	H0567	H3405	H1167

בְּיָדֶכֶם׃	אוֹתָם	וָאֶתֵּן	וְהַיְבוּסִי	הַחִוִּי	וְהַגִּרְגָּשִׁי
あなたがたの–手に	彼らを	そして–与えた	そして–エブス人と	ヒヴィ人と	そして–ギルガシ人と
H3027	H0853	H5414	H2983	H2340	H1622

そしてあなたがたは、ヨルダンを渡って、エリコにきたが、エリコの人々はあなたがたと戦い、アモリびと、ペリジびと、カナンびと、ヘテびと、ギルガシびと、ヒビびと、およびエブスびとも、あなたがたと戦ったが、わたしは彼らをあなたがたの手に渡した。

12

אוֹתָם	וַתְּגָרֶשׁ	הַצִּרְעָה	אֶת־	לְפְנֵיכֶם	וָאֶשְׁלַח	
彼らを	そして–追い–払った	雀蜂を	～を	あなたがたの–前に	そして–遣わした	
H0853	H1644	H6880	H0853	H6440	H7971	

וְלֹא	בְחַרְבְּךָ	לֹא	הָאֱמֹרִי	מַלְכֵי	שְׁנֵי	מִפְּנֵיכֶם
そして–ない	あなたの–剣では	ない	アモリ人の	王たちを	二人の	あなたがたの–前から
H3808	H2719	H3808	H0567	H4428	H8147	H6440

בְקַשְׁתְּךָ׃
あなたの–弓では
H7198

わたしは、あなたがたの前に、くまばちを送って、あのアモリびとのふたりの王を、あなたがたの前から追い払った。これはあなたがたのつるぎ、または、あなたがたの弓によってではなかった。

13

אֲשֶׁר	וְעָרִים	בָּהּ	יָגַעְתָּ	לֹא־	אֲשֶׁר	וְאֶרֶץ	לָכֶם	וָאֶתֵּן
～の	そして–町々を	そこで	労しては–いない	ない	～の	地を	あなたがたに	そして–与えた
			H3021	H3808		H0776		H5414

לֹא־	אֲשֶׁר	וְזֵיתִים	כְּרָמִים	בָּהֶם	וַתֵּשְׁבוּ	בְּנִיתֶם	לֹא־
ない	～の	そして–オリーブの–木と	ぶどう畑と	それらに	そして–住んだ	建てては–いない	ない
H3808		H2132	H3754		H3427	H1129	H3808

אֹכְלִים׃	אַתֶּם	נְטַעְתֶּם
食べて–いる	あなたがたは	植えては–いない
H0398		H5193

そしてわたしは、あなたがたが自分で労しなかった地を、あなたがたに与え、あなたがたが建てなかった町を、あなたがたに与えた。そしてあなたがたはいまその所に住んでいる。あなたがたはまた自分で作らなかったぶどう畑と、オリブ畑の実を食べている』。

14

אֶת־	וְהָסִירוּ	וּבֶאֱמֶת	בְּתָמִים	אֹתוֹ	וְעִבְדוּ	יְהוָה	אֶת־	יְרָאוּ	וְעַתָּה
～を	そして-除け	そして-真実で	誠実さで	主に	そして-仕えよ	主を	～を	疑れ	そして-今
H0853	H5493	H0571	H8549	H0853	H5647	H3068	H0853	H3372	H6258

וְעִבְדוּ	וּבְמִצְרַיִם	הַנָּהָר	בְּעֵבֶר	אֲבוֹתֵיכֶם	עָבְדוּ	אֲשֶׁר	אֱלֹהִים
そして-仕えよ	そして-エジプトで	川の	向こう-側の	あなたがたの-父祖が	仕えた	～の	神々を
H5647	H4714	H5104	H5676	H0001	H5647		H0430

יְהוָה׃	אֶת־
主を	～を
H3068	H0853

それゆえ、いま、あなたがたは主を恐れ、まことと、まごころと、真実とをもって、主に仕え、あなたがたの先祖が、川の向こう、およびエジプトで仕えた他の神々を除き去って、主に仕えなさい。

15

לָכֶם	בַּחֲרוּ	יְהוָה	אֶת־	לַעֲבֹד	בְּעֵינֵיכֶם	רַע	וְאִם	
あなたがたのために	選べ	主を	～を	仕えることが	あなたがたの-目に	悪いなら	そして-もし	
	H0977	H3068	H0853	H5647				

אֲשֶׁר	אֲבוֹתֵיכֶם	עָבְדוּ	אֲשֶׁר־	אֱלֹהִים	אֶת־	אִם	תַּעַבְדוּן	מִי	אֶת־	הַיּוֹם
～の	あなたがたの-父祖が	仕えた	～の	神々に	～を	～を	仕えるか	誰に	～を	今日
	H0001	H5647		H0430	H0853		H5647	H4310	H0853	H3117

אַתֶּם	אֲשֶׁר	הָאֱמֹרִי	אֱלֹהֵי	אֶת־	וְאִם	הַנָּהָר	מֵעֵבֶר)	[בעבר
あなたがたが	～の	アモリ人の	神々に	～を	もしくは	川の	向こう-側の	[向こう側の]
		H0567	H0430	H0853		H5104	H5676	H5676

פ	יְהוָה׃	אֶת־	נַעֲבֹד	וּבֵיתִי	וְאָנֹכִי	בְּאַרְצָם	יֹשְׁבִים
¶	主を	～を	仕える	そして-わたしの-家は	しかし-わたしと	その-地に	住んで-いる
	H3068	H0853	H5647		H0595	H0776	H3427

もしあなたがたが主に仕えることを、こころよしとしないのならば、あなたがたの先祖が、川の向こうで仕えた神々でも、または、いまあなたがたの住む地のアモリびとの神々でも、あなたがたの仕える者を、きょう、選びなさい。ただし、わたしとわたしの家とは共に主に仕えます」。

16

אֶת־	מֵעֲזֹב	לָּנוּ	חָלִילָה	וַיֹּאמֶר	הָעָם	וַיַּעַן	
～を	捨てることは	わたしたちには	決して-そんなことは	そして-言った	民は	そして-答えた	
H0853			H2486	H0559			

אֲחֵרִים׃	אֱלֹהִים	לַעֲבֹד	יְהוָה
他の	神々に	仕えることは	主を
H0312	H0430	H5647	H3068

その時、民は答えて言った、「主を捨てて、他の神々に仕えるなど、われわれは決していたしません。

17

וְאֶת־	אֹתָנוּ	הַמַּעֲלֶה	הוּא	אֱלֹהֵינוּ	יְהוָה	כִּי		
そして～を	わたしたちを	上らせた	主が	わたしたちの-神こそ	主こそ	なぜなら		
H0853	H0853	H5927	H1931	H0430	H3068			

עָשָׂה	וַאֲשֶׁר	עֲבָדִים	מִבֵּית	מִצְרַיִם	מֵאֶרֶץ	אֲבוֹתֵינוּ
行った	そして～の	奴隷の	家から	エジプトの	地から	わたしたちの-父祖を
		H5650		H4714	H0776	H0001

הַדֶּרֶךְ	בְּכָל־	וַיִּשְׁמְרֵנוּ	הָאֵלֶּה	הַגְּדֹלוֹת	הָאֹתוֹת	אֶת־	לְעֵינֵינוּ	
道で	すべての	そして-守った	これらの	大いなる	しるしを	～を	わたしたちの-目の-前で	
H1870	H3605	H8104	H0428		H0226	H0853		

בְּקִרְבָּם׃	עָבַרְנוּ	אֲשֶׁר	הָעַמִּים	וּבְכֹל	בָּהּ	הָלַכְנוּ	אֲשֶׁר
その-中を	通った	～の	民の-中で	そして-すべての	そこを	歩んだ	～の
H7130				H3605		H1980	

われわれの神、主がみずからわれわれと、われわれの先祖とを、エジプトの地、奴隷の家から導き上り、またわれわれの目の前で、あの大いなるしるしを行い、われわれの行くすべての道で守り、われわれが通ったすべての国民の中でわれわれを守られたからです。

18

הָאָרֶץ	יֹשֵׁב	הָאֱמֹרִי	וְאֵת־	הָעַמִּים	כָּל־	אֵת־	יְהוָה	וַיְגָרֶשׁ
地に	住んで-いた	アモリ人を	そして〜を	民を	すべての	〜を	主は	そして-追い-払った
H0776	H3427	H0567	H0853		H3605	H0853	H3068	H1644

הוּא	כִּי־	יְהוָה	אֵת־	נַעֲבֹד	אֲנַחְנוּ	גַּם־	מִפָּנֵינוּ
主こそ	なぜなら	主を	〜を	仕える	わたしたちも	また	わたしたちの-前から
H1931		H3068	H0853	H5647	H0587	H1571	H6440

ס	:אֱלֹהֵינוּ
§	わたしたちの-神で-あられる
	H0430

主はまた、この地に住んでいたアモリびとなど、すべての民を、われわれの前から追い払われました。それゆえ、われわれも主に仕えます。主はわれわれの神だからです」。

19

כִּי־	יְהוָה	אֵת־	לַעֲבֹד	תּוּכְלוּ	לֹא	הָעָם	אֶל־	יְהוֹשֻׁעַ	וַיֹּאמֶר
なぜなら	主を	〜を	仕えることが	できる	ない	民に	〜に	ヨシュアは	そして-言った
	H3068	H0853	H5647	H3201	H3808		H0413	H3091	H0559

לְפִשְׁעֵכֶם	יִשָּׂא	לֹא־	הוּא	קַנּוֹא	אֱל־	הוּא	קְדֹשִׁים	אֱלֹהִים
あなたがたの-背きを	赦す	ない	主は	ねたむ	神で-あられる	主は	聖なる	神で-あられる
H6588	H5375	H3808	H1931	H7072	H0410	H1931	H6918	H0430

וּלְחַטֹּאותֵיכֶם׃	
そして-あなたがたの-罪を	

しかし、ヨシュアは民に言った、「あなたがたは主に仕えることはできないであろう。主は聖なる神であり、ねたむ神であって、あなたがたの罪、あなたがたのとがを、ゆるされないからである。

20

וְהֵרַע	וְשָׁב	נֵכָר	אֱלֹהֵי	וַעֲבַדְתֶּם	יְהוָה	אֵת־	תַּעַזְבוּ	כִּי	
そして-害する	そして-戻って	異国の	神々に	そして-仕えるなら	主を	〜を	捨てるなら	もし	
	H7725	H5236	H0430	H5647	H3068	H0853			

לָכֶם׃	הֵיטִיב	אֲשֶׁר־	אַחֲרֵי	אֶתְכֶם	וְכִלָּה	לָכֶם
あなたがたに	良く-した	〜の	後に	あなたがたを	そして-終わらせる	あなたがたを
	H3190			H0853	H3615	

もしあなたがたが主を捨てて、異なる神々に仕えるならば、あなたがたにさいわいを下されたのちにも、ひるがえってあなたがたに災をくだし、あなたがたを滅ぼしつくされるであろう」。

21

נַעֲבֹד׃	יְהוָה	אֵת־	כִּי	לֹא	יְהוֹשֻׁעַ	אֶל־	הָעָם	וַיֹּאמֶר
仕える	主を	〜を	そうではなく	いいえ	ヨシュアに	〜に	民は	そして-言った
H5647	H3068	H0853		H3808	H3091	H0413		H0559

民はヨシュアに言った、「いいえ、われわれは主に仕えます」。

22

כִּי־	בָכֶם	אַתֶּם	עֵדִים	הָעָם	אֶל־	יְהוֹשֻׁעַ	וַיֹּאמֶר	
そうだ	自分たちに-対して	あなたがたは	証人で-ある	民に	〜に	ヨシュアは	そして-言った	
			H5707		H0413	H3091	H0559	

וַיֹּאמְרוּ	אוֹתוֹ	לַעֲבֹד	יְהוָה	אֵת־	לָכֶם	בְּחַרְתֶּם	אַתֶּם	
そして-言った	主に	仕えるために	主を	〜を	自分たちのために	選んだ	あなたがたが	
H0559	H0853	H5647	H3068	H0853		H0977		

עֵדִים׃	
証人で-ある	
H5707	

そこでヨシュアは民に言った、「あなたがたは主を選んで、主に仕えると言った。あなたがたみずからその証人である」。彼らは言った、「われわれは証人です」。

23

וְעַתָּה	הָסִירוּ	אֶת־	אֱלֹהֵי	הַנֵּכָר	אֲשֶׁר	בְּקִרְבְּכֶם	וְהַטּוּ	אֶת־
そして–今	除け	～を	神々を	異国の	～の	あなたがたの–中の	そして–傾けよ	～を
H6258	H5493	H0853	H0430	H5236		H7130	H5186	H0853

לְבַבְכֶם	אֶל־	יְהוָה	אֱלֹהֵי	יִשְׂרָאֵל׃	
心を	～に	主に	神に	イスラエルの	
H3824	H0413	H3068	H0430	H3478	

ヨシュアはまた言った、「それならば、あなたがたのうちにある、異なる神々を除き去り、イスラエルの神、主に、心を傾けなさい」。

24

וַיֹּאמֶר	הָעָם	אֶל־	יְהוֹשֻׁעַ	אֶת־	יְהוָה	אֱלֹהֵינוּ	נַעֲבֹד
そして–言った	民は	～に	ヨシュアに	～を	主を	わたしたちの–神を	仕える
H0559		H0413	H3091	H0853	H3068	H0430	H5647

וּבְקוֹלוֹ	נִשְׁמָע׃
そして–その–声に	聞く
	H8085

民はヨシュアに言った、「われわれの神、主に、われわれは仕え、その声に聞きしたがいます」。

25

חֹק	לוֹ	וַיָּשֶׂם	הַהוּא	בַּיּוֹם	לָעָם	בְּרִית	יְהוֹשֻׁעַ	וַיִּכְרֹת
定めを	彼らに	そして–置いた	その	日に	民のために	契約を	ヨシュアは	そして–結んだ
H2706			H1931	H3117		H1285	H3091	H3772

וּמִשְׁפָּט	בִּשְׁכֶם׃
そして–裁きを	シェケムで
H4941	H7927

こうしてヨシュアは、その日、民と契約をむすび、シケムにおいて、定めと、おきてを、彼らのために設けた。

26

וַיִּקַּח	אֱלֹהִים	תּוֹרַת	בְּסֵפֶר	הָאֵלֶּה	הַדְּבָרִים	אֶת־	יְהוֹשֻׁעַ	וַיִּכְתֹּב
そして–取った	神の	律法の	書に	これらの	言葉を	～を	ヨシュアは	そして–書いた
H3947	H0430	H8451		H0428	H1697	H0853	H3091	H3789

ס §	יְהוָה׃	בְּמִקְדָּשׁ	אֲשֶׁר	הָאֵלָה	תַּחַת	שָׁם	וַיִּקַּח	גְּדוֹלָה	אֶבֶן
	主の	聖所の	～の	樫の–木の	～の–下に	それを–そこに	そして–立てた	大きな	石を
	H3068	H4720		H0427	H8478	H8033			H0068

ヨシュアはこれらの言葉を神の律法の書にしるし、大きな石を取って、その所で、主の聖所にあるかしの木の下にそれを立て、

27

תִּהְיֶה־	הַזֹּאת	הָאֶבֶן	הִנֵּה	הָעָם	כָּל־	אֶל־	יְהוֹשֻׁעַ	וַיֹּאמֶר
なる	この	石は	見よ	民に	すべての	～に	ヨシュアは	そして–言った
H1961	H2063	H0068	H2009		H3605	H0413	H3091	H0559

אֲשֶׁר	יְהוָה	אִמְרֵי	כָּל־	אֵת	שָׁמְעָה	הֵיא	כִּי־	לְעֵדָה	בָּנוּ
～の	主の	言葉を	すべての	～を	聞いた	それは	なぜなら	証しと	わたしたちに–とって
	H3068	H0561	H3605	H0853	H8085	H1931			

תְּכַחֲשׁוּן	פֶּן־	לְעֵדָה	בָּכֶם	וְהָיְתָה	עִמָּנוּ	דִּבֶּר	
偶ることを	～しない–ように	証しと	あなたがたに–対して	そして–なる	わたしたちと	語った	
H3584	H6435			H1961		H1696	

בֵּאלֹהֵיכֶם׃
あなたがたの–神に–対して
H0430

ヨシュアは、すべての民に言った、「見よ、この石はわれわれのあかしとなるであろう。主がわれわれに語られたすべての言葉を、聞いたからである。それゆえ、あなたがたが自分の神を捨てることのないために、この石が、あなたがたのあかしとなるであろう」。

פ ¶	לְנַחֲלָתוֹ׃	אִישׁ	הָעָם	אֶת־	יְהוֹשֻׁעַ	וַיְשַׁלַּח	28
	自分の–相続地へ	各人が	民を	～を	ヨシュアは	そして–送り出した	
	H5159	H0376		H0853	H3091	H7971	

こうしてヨシュアは民を、おのおのその嗣業の地に帰し去らせた。

עֶבֶד	נוּן	בִּן־	יְהוֹשֻׁעַ	וַיָּמָת	הָאֱלֶה	הַדְּבָרִים	אַחֲרֵי	וַיְהִי	29
僕の	ヌンの	息子の	ヨシュアは	そして–死んだ	これらの	事々の	～の–後	そして–あった	
H5650	H5126		H3091	H4191	H0428	H1697		H1961	

שָׁנִים׃	וָעֶשֶׂר	מֵאָה	בֶּן־	יְהוָה
歳の	そして–十	百	息子の	主の
H8141	H6235	H3967		H3068

これらの事の後、主のしもべ、ヌンの子ヨシュアは百十歳で死んだ、

אֶפְרָיִם	בְּהַר־	אֲשֶׁר	בְּתִמְנַת־סֶרַח	נַחֲלָתוֹ	בִּגְבוּל	אֹתוֹ	וַיִּקְבְּרוּ		30
エフライムの	山の	～の	ティムナト・セラに	相続地の	境界に	彼を	そして–葉った		
H0669	H2022			H5159	H1366	H0853	H6912		

גָּעַשׁ׃	לְהַר־	מִצָּפוֹן	
ガアシュの	山の	北の–方に	
H1608	H2022	H6828	

人々は彼をその嗣業の地のうちのテムナテ・セラに葬った。テムナテ・セラは、エフライムの山地で、ガアシ山の北にある。

יְמֵי	וְכֹל	יְהוֹשֻׁעַ	יְמֵי	כֹּל	יְהוָה	אֶת־	יִשְׂרָאֵל	וַיַּעֲבֹד	31
日々の	そして–すべての	ヨシュアの	日々の	すべての	主を	～を	イスラエルは	そして–仕えた	
H3117	H3605	H3091	H3117	H3605	H3068	H0853	H3478	H5647	

אֶת	יָדְעוּ	וַאֲשֶׁר	יְהוֹשֻׁעַ	אַחֲרֵי	יָמִים	הָאֲרִיכוּ	אֲשֶׁר	הַזְּקֵנִים	
～を	知って–いた	そして～の	ヨシュアの	～の–後に	日々を	長く–生きた	～の	長老たちの	
H0853	H3045		H3091		H3117	H0748		H2205	

לְיִשְׂרָאֵל׃	עָשָׂה	אֲשֶׁר	יְהוָה	מַעֲשֵׂה	כָּל־	
イスラエルのために	行った	～の	主の	業を	すべての	
H3478			H3068	H4639	H3605	

イスラエルはヨシュアの世にある日の間、また主がイスラエルのために行われたもろもろのことを知っていて、ヨシュアのあとに生き残った長老たちが世にある日の間、つねに主に仕えた。

קָבְרוּ	מִמִּצְרַיִם	וּבְנֵי־יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי־	הֶעֱלוּ	אֲשֶׁר־	יוֹסֵף	עַצְמוֹת	וְאֶת־	32
葉った	エジプトから	イスラエルの	子らが	上らせた	～の	ヨセフの	骨を	そして～を	
H6912	H4714			H5927		H3130	H6106	H0853	

אֲבִי־	חֲמוֹר	בְּנֵי־	מֵאֵת	יַעֲקֹב	קָנָה	אֲשֶׁר	הַשָּׂדֶה	בְּחֶלְקַת	בִּשְׁכֶם
父の	ハモルの	子らから	～から	ヤコブが	買った	～の	野の	畑の–一部に	シェケムに
H0001	H2544		H0854	H3290	H7069				H7927

לְנַחֲלָה׃	יוֹסֵף	לִבְנֵי־	וַיִּהְיוּ	קְשִׂיטָה	בְּמֵאָה	שְׁכֶם	
相続地と	ヨセフの	子らの	そして–なった	ケシタで	百の	シェケムの	
H5159	H3130		H1961	H7192	H3967	H7927	

イスラエルの人々が、エジプトから携え上ったヨセフの骨は、むかしヤコブが銀百枚で、シケムの父ハモルの子らから買い取ったシケムのうちの地所の一部に葬られた。これはヨセフの子孫の嗣業となった。

בְּנוֹ	פִּינְחָס	בִּגִבְעַת	אֹתוֹ	וַיִּקְבְּרוּ	מֵת	אַהֲרֹן	בֶּן־	וְאֶלְעָזָר	33
息子の	ピネハスの	丘に	彼を	そして-葉った	死んだ	アロンの	息子の	そして-エルアザルは	
	H6372	H1389	H0853	H6912	H4191	H0175		H0499	

אֲשֶׁר	נִתַּן־	לוֹ	בְּהַר	אֶפְרָיִם׃
～の	与えられた	彼に	山地の	エフライムの
	H5414		H2022	H0669

アロンの子エレアザルも死んだ。人々は彼を、その子ピネハスに与えられた町で、エフライムの山地にあるギベアに葬った。

Judges

Chapter 1

מִי	לֶאֱמֹר	בַּיהוָה	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי	וַיִּשְׁאֲלוּ	יְהוֹשֻׁעַ	מוֹת	אַחֲרֵי	וַיְהִי	1
誰が	言って	主に	イスラエル	の-子らは	そして-尋ねた	ヨシュアの	死	の-後	さて	
H4310	H0559	H3068	H3478		H7592	H3091	H4194		H1961	

בּוֹ׃	לְהִלָּחֶם	בַּתְּחִלָּה	הַכְּנַעֲנִי	אֶל־	לָנוּ	יַעֲלֶה־	
彼らと	戦う-ために	最初に	カナン人	に-対して	私たちの-ために	上るでしょうか	
		H8462		H0413		H5927	

ヨシュアが死んだ後、イスラエルの人々は主に問うて言った、「わたしたちのうち、だれが先に攻め上って、カナンびとと戦いましょうか」。

בְּיָדוֹ׃	הָאָרֶץ	אֶת־	נָתַתִּי	הִנֵּה	יַעֲלֶה	יְהוּדָה	יְהוָה	וַיֹּאמֶר		2
その-手に	地を	その	与えた	見よ	上るでしょう	ユダが	主は	そして-言った		
H3027	H0776	H0853	H5414	H2009	H5927	H3063	H3068	H0559		

主は言われた、「ユダが上るべきである。わたしはこの国を彼の手にわたした」。

בְּגוֹרָלִי	אִתִּי	עֲלֵה	אָחִיו	לְשִׁמְעוֹן	יְהוּדָה	וַיֹּאמֶר			3
私の-くじの-地に	私と-共に	上りなさい	その-兄弟	シメオンに	ユダは	そして-言った			
H1486	H0854	H5927	H0251	H8095	H3063	H0559			

בְּגוֹרָלֶךָ	אִתְּךָ	אֲנִי	גַּם־	וְאֵלְכָה	בַּכְּנַעֲנִי	וְנִלָּחֲמָה
あなたの-くじの-地に	あなたと-共に	私も	また	そして-行きます	カナン人と	そして-戦いましょう
H1486	H0854	H0589	H1571	H1980		

שִׁמְעוֹן׃	אִתּוֹ	וַיֵּלֶךְ
シメオンは	彼と-共に	そして-行った
H8095	H0854	H3212

ユダはその兄弟シメオンに言った、「わたしと一緒に、わたしに割り当てられた領地へ上って行って、カナンびとと戦ってください。そうすればわたしもあなたと一緒に、あなたに割り当てられた領地へ行きましょう」。そこでシメオンは彼と一緒に行った。

בְּיָדָם	וְהַפְּרִזִּי	הַכְּנַעֲנִי	אֶת־	יְהוָה	וַיִּתֵּן	יְהוּדָה	וַיַּעַל		4
彼らの-手に	ペリズ人を	カナン人と	その	主は	そして-与えた	ユダは	そして-上った		
H3027	H6522		H0853	H3068	H5414	H3063	H5927		

אִישׁ׃	אַלְפִּים	עֲשֶׂרֶת	בְּבֶזֶק	וַיַּכּוּם	
人を	人の	一万	ベゼクで	そして-打ち破った	
H0376	H0505	H6235	H0966	H5221	

ユダが上って行くと、主は彼らの手にカナンびとペリジびとをわたされたので、彼らはベゼクで一万人を撃ち破り、

5 וַיִּמְצְאוּ֙ אֶת־ אֲדֹנִי־בֶ֣זֶק בְּבֶ֔זֶק וַיִּלָּחֲמ֥וּ בּ֖וֹ וַיַּכּ֣וּ אֶת־
そして–見つけた その アドニ・ベゼクを ベゼクで 戦った 彼と そして–打ち破った その
H4672 H0853 H0137 H0966 H3898 H0853 H5221

הַכְּנַעֲנִ֥י וְאֶת־ הַפְּרִזִּֽי׃
カナン人と そして–その ペリズ人を
H3669 H0853 H6522

またベゼクでアドニベゼクに会い、彼と戦ってカナンびととペリジびととを撃ち破った。

6 וַיָּ֣נָס אֲדֹנִי־בֶ֔זֶק וַיִּרְדְּפ֣וּ אַחֲרָ֔יו וַיֹּֽאחֲזֻ֖הוּ אֹת֑וֹ
そして–逃げた アドニ・ベゼクは そして–追いかけた 彼の–後を そして–捕らえた 彼を
H5127 H0137 H7291 H0310 H0853

וַיְקַצְּצ֥וּ אֶת־ בְּהֹנ֛וֹת יָדָ֥יו וְרַגְלָ֖יו׃
そして–切り落とした その 親指を の–手 そして–足の
H7112 H0853 H0931 H3027 H7272

アドニベゼクは逃げたが、彼らはそのあとを追って彼を捕え、その手足の親指を切り放った。

7 וַיֹּ֣אמֶר אֲדֹנִי־בֶ֗זֶק שִׁבְעִ֨ים מְלָכִ֜ים בְּהֹנ֤וֹת יְדֵיהֶם֙ וְרַגְלֵיהֶ֔ם מְקֻצָּצִ֖ים
そして–言った アドニ・ベゼクは 七十人の 王たちが の–親指を 手 そして–足の 切られて
H0559 H0137 H7657 H4428 H0931 H3027 H7272 H7112

לִ֣י שִׁלְּמ֔וּ כֵּ֚ן כַּאֲשֶׁ֣ר עָשִׂ֔יתִי וַיְלַקְּט֥וּ תַחַ֖ת שֻׁלְחָנִ֑י
私に 報いられた そのように した 私が–した–ように 私の–食卓 の–下で 拾い集めていた
H7999 H3660 H3651 H6213 H7979 H8478 H3950

הָיָ֣ו
いた
H1961

פ וַיָּמָ֥ת שָׁ֖ם׃ וַיְבִיאֻ֣הוּ יְרוּשָׁלַ֑͏ִם אֱלֹהִֽים׃
— そこで そして–死んだ エルサレムに そして–連れて–来た 神に
H8033 H4191 H3389 H0935 H0430

アドニベゼクは言った、「かつて七十人の王たちが手足の親指を切られて、わたしの食卓の下で、くずを拾ったことがあったが、神はわたしがしたように、わたしに報いられたのだ」。人々は彼をエルサレムへ連れて行ったが、彼はそこで死んだ。

8 וַיִּלָּחֲמ֣וּ בְנֵי־ יְהוּדָ֗ה בִּירוּשָׁלַ͏ִם֙ וַיִּלְכְּד֣וּ אוֹתָ֔הּ וַיַּכּ֥וּהָ לְפִי־
そして–戦った の–子らは ユダ エルサレムで そして–取った それを そして–打った の–刃で
H3898 H1121 H3063 H3389 H3920 H0853 H5221 H6310

חָ֑רֶב וְאֶת־ הָעִ֖יר שִׁלְּח֥וּ בָאֵ֖שׁ׃
剣 そして–その 町を 放った 火に
H2719 H0853 H5892 H7971 H0784

ユダの人々はエルサレムを攻めて、これを取り、つるぎをもってこれを撃ち、町に火を放った。

9 וְאַחַ֗ר יָֽרְדוּ֙ בְּנֵ֣י יְהוּדָ֔ה לְהִלָּחֵ֖ם בָּֽכְנַעֲנִ֑י יוֹשֵׁ֤ב הָהָר֙ וְהַנֶּ֔גֶב
その–後 下った の–子らは ユダ 戦う–ために カナン人と 住む 山地に そして–ネゲブに
H3381 H1121 H3063 H3898 H3669 H3427 H2022 H5045

וְהַשְּׁפֵלָ֖ה׃
そして–低地に
H8219

その後、ユダの人々は山地とネゲブと平地に住んでいるカナンびとと戦うために下ったが、

10 וַיֵּ֣לֶךְ יְהוּדָ֗ה אֶל־ הַכְּנַעֲנִי֙ הַיּוֹשֵׁ֣ב בְּחֶבְר֔וֹן וְשֵׁ֥ם־ חֶבְר֖וֹן לְפָנִ֑ים
そして–行った ユダは に–対して カナン人 住む ヘブロンに さて–の–名は ヘブロン 以前
H3212 H3063 H0413 H3669 H3427 H2275 H8034 H2275 H6440

וְאֶת־ שֵׁשַׁ֥י וְאֶת־ אֲחִימַ֖ן וְאֶת־ תַּלְמָ֑י׃
そして シェシャイと そして アヒマンと そして タルマイを
H8344 H0853 H0289 H0853 H8526

אַרְבַּע־קַרְיַ֣ת אֶת־ וַיַּכּ֥וּ
キルヤト・アルバ その そして–打ち破った
H7153 H0853 H5221

ユダはまずヘブロンに住んでいるカナンびとを攻めて、セシャイとアヒマンとタルマイを撃ち破った。ヘブロンのもとの名はキリアテ・アルバであった。

11 וַיֵּלֶךְ מִשָּׁם וַיַּעַל אֶל־יוֹשְׁבֵי דְּבִיר וְשֵׁם־דְּבִיר לְפָנִים קִרְיַת־סֵפֶר׃
そして-行った から そこ に-対して の-住民 デビル さて-の-名は デビル 以前 キルヤト・セフェル
H3212 H4480 H8033 H0413 H3427 H1688 H8034 H1688 H6440 H7158

またそこから進んでデビルの住民を攻めた。（デビルのもとの名はキリアテ・セペルであった。）

12 וַיֹּאמֶר כָּלֵב אֲשֶׁר־יַכֶּה אֶת־קִרְיַת־סֵפֶר וּלְכָדָהּ וְנָתַתִּי לוֹ אֶת־עַכְסָה בִתִּי לְאִשָּׁה׃
そして-言った カレブは 打つ-者が その キルヤト・セフェルを そして-取るなら そして-与える 彼に アクサを 私の-娘 妻として
H0559 H3612 H0834 H5221 H0853 H7158 H3920 H5414 H0853 H5915 H1323 H0802

時にカレブは言った、「キリアテ・セペルを撃って、これを取る者には、わたしの娘アクサを妻として与えるであろう」。

13 וַיִּלְכְּדָהּ עָתְנִיאֵל בֶּן־קְנַז אֲחִי כָלֵב הַקָּטֹן מִמֶּנּוּ וַיִּתֶּן־לוֹ אֶת־עַכְסָה בִתּוֹ לְאִשָּׁה׃
そして-取った オトニエルが の-子 ケナズ の-弟 カレブ 年下の 彼より そして-与えた 彼に アクサを その-娘 妻として
H3920 H6274 H1121 H7073 H0251 H3612 H6810 H4480 H5414 H0853 H5915 H1323 H0802

カレブの弟ケナズの子オテニエルがそれを取ったので、カレブは娘アクサを妻として彼に与えた。

14 וַיְהִי בְּבוֹאָהּ וַתְּסִיתֵהוּ לִשְׁאוֹל מֵאֵת־אָבִיהָ הַשָּׂדֶה וַתִּצְנַח מֵעַל הַחֲמוֹר וַיֹּאמֶר־לָהּ כָּלֵב מַה־לָּךְ׃
そして-あった 彼女が-来た-とき そして-勧めた 求める-ように から 父 畑を そして-降りた から ろば そして-言った 彼女に カレブは 何が あなたに
H1961 H0935 H5496 H7592 H4480 H0001 H7704 H4480 H2543 H0559 H3612 H4100

アクサは行くとき彼女の父に畑を求めることを夫にすすめられたので、アクサがろばから降りると、カレブは彼女に言った、「あなたは何を望むのか」。

15 וַתֹּאמֶר לוֹ הָבָה־לִּי בְרָכָה כִּי אֶרֶץ הַנֶּגֶב נָתַתָּה וְנָתַתָּה לִּי גֻּלֹּת מָיִם וַיִּתֶּן־לָהּ גֻּלֹּת עִלִּית וְאֶת גֻּלֹּת תַּחְתִּית׃ פ
そして-言った 彼に 与えて-ください 私に 祝福を なぜなら の-地 ネゲブ そして-与えて-ください そして-与えた 彼女に 泉も の 水 そして-その の-泉 上の の-泉 その カレブは
H0559 H3051 H0413 H1293 H3588 H0776 H5045 H5414 H0413 H1543 H4325 H5414 H0853 H1543 H5942 H1543 H0853 H3612

アクサは彼に言った、「わたしに贈り物をください。あなたはわたしをネゲブの地へやられるのですから、泉をもください」。それでカレブは上の泉と下の泉とを彼女に与えた。

16

בְּנֵי	אֶת־	הַתְּמָרִים	מֵעִיר	עָלוּ	מֹשֶׁה	חֹתֵן	קֵינִי	וּבְנֵי
の–子ら	と–共に	なつめやし	の–町から	上った	モーセ	の–しゅうと	ケニ人	さて–の–子らは
	H0854	H8558		H5927	H4872		H7017	

אֶת־	וַיֵּשֶׁב	וַיֵּלֶךְ	עֲרָד	בְּנֶגֶב	אֲשֶׁר	יְהוּדָה	מִדְבַּר	יְהוּדָה
と–共に	そして–住んだ	そして–行って	アラド	の–ネゲブに	それは	ユダ	の–荒野に	ユダ
H0854	H3427	H3212		H5045		H3063		H3063

הָעָם׃
民

モーセのしゅうとであるケニびとの子孫はユダの人々と共に、しゅろの町からアラドに近いネゲブにあるユダの野に上ってきて、アマレクびとと共に住んだ。

17

יוֹשֵׁב	הַכְּנַעֲנִי	אֶת־	וַיַּכּוּ	אָחִיו	שִׁמְעוֹן	אֶת־	יְהוּדָה	וַיֵּלֶךְ
住む	カナン人を	その	そして–打ち破った	その–兄弟	シメオン	と–共に	ユダは	そして–行った
H3427		H0853	H5221	H0251	H8095	H0854	H3063	H3212

חָרְמָה׃	הָעִיר	שֵׁם־	אֶת־	וַיִּקְרָא	אוֹתָהּ	וַיַּחֲרִימוּ	צְפַת
ホルマと	町	の–名を	その	そして–呼んだ	それを	そして–滅ぼした	ツェファトに
H2767		H8034	H0853	H7121	H0853		H6857

そしてユダはその兄弟シメオンと共に行って、ゼパテに住んでいたカナンびとを撃ち、それをことごとく滅ぼした。これによってその町の名はホルマと呼ばれた。

18

וְאֶת־	אַשְׁקְלוֹן	וְאֶת־	גְּבוּלָהּ	וְאֶת־	עַזָּה	אֶת־	יְהוּדָה	וַיִּלְכֹּד
そして–その	アシュケロンと	そして	境界を	そして–その	ガザと	その	ユダは	そして–取った
H0853	H0831	H0853	H1366	H0853	H5804	H0853	H3063	H3920

גְּבוּלָהּ׃	וְאֶת־	עֶקְרוֹן	וְאֶת־	גְּבוּלָהּ
境界を	そして–その	エクロンと	そして	境界を
H1366	H0853	H6138	H0853	H1366

ユダはまたガザとその地域、アシケロンとその地域、エクロンとその地域を取った。

19

לֹא	כִּי	הָהָר	אֶת־	וַיִּירַשׁ	יְהוּדָה	אֶת־	יְהוָה	וַיְהִי
できなかった	しかし	山地を	その	そして–占領した	ユダ	と–共に	主は	そして–あった
H3808		H2022	H0853	H3423	H3063	H0854	H3068	H1961

לָהֶם׃	בַּרְזֶל	רֶכֶב	כִּי־	הָעֵמֶק	יֹשְׁבֵי	אֶת־	לְהוֹרִישׁ
彼らには	鉄	の–戦車	なぜなら	平野	の–住民を	その	追い出すことが
	H1270	H7393		H6010	H3427	H0853	H3423

主がユダと共におられたので、ユダはついに山地を手に入れたが、平地に住んでいた民は鉄の戦車をもっていたので、これを追い出すことができなかった。

20

וַיּוֹרֶשׁ	מֹשֶׁה	דִּבֶּר	כַּאֲשֶׁר	חֶבְרוֹן	אֶת־	לְכָלֵב	וַיִּתְּנוּ
そして–追い出した	モーセが	語った	の–とおりに	ヘブロンを	その	カレブに	そして–与えた
H3423	H4872	H1696			H0853	H3612	H5414

הָעֲנָק׃	בְּנֵי	שְׁלֹשָׁה	אֶת־	מִשָּׁם
アナク	の–子ら	三人の	その	そこから
H6061		H7969	H0853	H8033

人々はモーセがかつて言ったように、ヘブロンをカレブに与えたので、カレブはその所からアナクの三人の子を追い出した。

21 וְאֶת־ הַיְבוּסִי יֹשֵׁב יְרוּשָׁלִַם לֹא הוֹרִישׁוּ בְּנֵי בִנְיָמִן
しかし-その エブス人を 住む エルサレムに しなかった 追い出すことを の-子らは ベニヤミン
H0853 H2983 H3427 H3389 H3808 H3423 H0853 H1144

ס הַזֶּה׃ הַיּוֹם עַד בִּירוּשָׁלִַם בְּנֵי אֶת־ הַיְבוּסִי וַיֵּשֶׁב
— この の-日 まで エルサレムに と-共に エブス人は そして-住んだ
H2088 H3117 H5704 H3389 H0854 H2983 H3427

ベニヤミンの人々はエルサレムに住んでいたエブスびとを追い出さなかったので、エブスびとは今日までベニヤミンの人々と共にエルサレムに住んでいる。

22 עִמָּם׃ וַיְהוָה בֵּית־אֵל הֵם־ גַּם־ יוֹסֵף בֵּית־ וַיַּעֲלוּ
共に-あった そして-主は ベテルに 彼らも また ヨセフ の-家は そして-上った
H3068 H1008 H1992 H1571 H3130 H5927

ヨセフの一族はまたベテルに攻め上ったが、主は彼らと共におられた。

23 לוּז׃ לְפָנִים הָעִיר וְשֵׁם־ בֵּית־אֵל בְּבֵית יוֹסֵף בֵּית־ וַיָּתִירוּ
ルズ 以前 町 さて-の-名は ベテルを ヨセフ の-家は そして-偵察した
H3870 H6440 H8034 H1008 H3130 H8446

すなわちヨセフの一族は人をやってベテルを探らせた。この町のもとの名はルズであった。

24 לוֹ וַיֹּאמְרוּ הָעִיר מִן־ יוֹצֵא אִישׁ הַשֹּׁמְרִים וַיִּרְאוּ
彼に そして-言った 町 から 出て-来るのを 人が 見張りたちは そして-見た
H0559 H3318 H0376 H8104 H7200

חֶסֶד׃ עִמְּךָ וְעָשִׂינוּ הָעִיר מְבוֹא אֶת־ נָא הַרְאֵנוּ
恵みを あなたに そして-します 町 の-入口を その どうか 見せて-ください
H3996 H0853 H4994 H7200

その斥候たちは町から出てきた人を見て、言った、「どうぞこの町にはいる道を教えてください。そうすればわたしたちはあなたに恵みを施しましょう」。

25 חָרֶב לְפִי־ הָעִיר אֶת־ וַיַּכּוּ הָעִיר מְבוֹא אֶת־ וַיַּרְאֵם
剣 の-刃で 町を その そして-打った 町 の-入口を その そして-見せた
H2719 H6310 H0853 H5221 H3996 H0853 H7200

שִׁלְּחוּ׃ מִשְׁפַּחְתּוֹ כָּל־ וְאֶת־ הָאִישׁ וְאֶת־
解き放った 家族を すべての そして-その 人と しかし-その
H7971 H4940 H3605 H0853 H0376 H0853

彼が町にはいる道を教えたので、彼らはつるぎをもって町を撃った。しかし、かの人とその家族は自由に去らせた。

26 שְׁמָהּ וַיִּקְרָא עִיר וַיִּבֶן הַחִתִּים אֶרֶץ הָאִישׁ וַיֵּלֶךְ
その-名を そして-呼んだ 町を そして-建てた ヒッタイト人 の-地に その-人は そして-行った
H8034 H7121 H1129 H2850 H0776 H0376 H3212

פ הַזֶּה׃ הַיּוֹם עַד שְׁמָהּ הוּא לוּז
— この の-日 まで その-名である それが ルズと
H2088 H3117 H5704 H8034 H1931 H3870

その人はヘテびとの地に行って町を建て、それをルズと名づけた。これは今日までその名である。

27

בְּנוֹתֶיהָ	וְאֶת־	בֵּית־שְׁאָן	אֶת־	מְנַשֶּׁה	הוֹרִישׁ	וְלֹא־
周辺の–町々と	そして–その	ベト・シュアンと	その	マナセは	追い出すことを	しかし–しなかった
H1323	H0853	H1052	H0853	H4519	H3423	H3808

דֹּור	)יֹּשְׁבֵי(	]ישבן[	וְאֶת־	בְּנוֹתֶיהָ	וְאֶת־	תַּעְנָךְ	וְאֶת־
ドル	の–住民を	—	そして–その	周辺の–町々と	そして–その	タアナクと	そして–その
H1756	H3427	H3427	H0853	H1323	H0853	H8590	H0853

בְּנוֹתֶיהָ	וְאֶת־	יִבְלְעָם	יוֹשְׁבֵי	וְאֶת־	בְּנוֹתֶיהָ	וְאֶת־
周辺の–町々と	そして–その	イブレアム	の–住民を	そして–その	周辺の–町々と	そして–その
H1323	H0853	H2991	H3427	H0853	H1323	H0853

הַכְּנַעֲנִי	וַיּוֹאֶל	בְּנוֹתֶיהָ	וְאֶת־	מְגִדּוֹ	יוֹשְׁבֵי	וְאֶת־
カナン人は	そして–始めた	周辺の–町々を	そして–その	メギド	の–住民を	そして–その
	H2974	H1323	H0853	H4023	H3427	H0853

הַזֹּאת׃	בָּאָרֶץ	לָשֶׁבֶת
この	の–地に	住み続けることを
H2063	H0776	H3427

マナセはベテシャンとその村里の住民、タアナクとその村里の住民、ドルとその村里の住民、イブレアムとその村里の住民、メギドとその村里の住民を追い出さなかったので、カナンびとは引き続いてその地に住んでいたが、

28

לָמַס	הַכְּנַעֲנִי	אֶת־	וַיָּשֶׂם	יִשְׂרָאֵל	חָזַק	כִּי־	וַיְהִי
強制–労働に	カナン人を	その	そして–置いた	イスラエルが	強くなった	つまり	そして–あった
H4522		H0853		H3478	H2388		H1961

ס	הוֹרִישׁוֹ׃	לֹא	וְהוֹרֵישׁ	
—	追い出さなかった	しなかった	しかし–追い出すことは	
	H3423	H3808	H3423	

イスラエルは強くなったとき、カナンびとを強制労働に服させ、彼らをことごとくは追い出さなかった。

29

בְּגֶזֶר	הַיּוֹשֵׁב	הַכְּנַעֲנִי	אֶת־	הוֹרִישׁ	לֹא	וְאֶפְרַיִם	
ゲゼルに	住む	カナン人を	その	追い出すことを	しなかった	そして–エフライムは	
H1507	H3427		H0853	H3423	H3808	H0669	

פ	בְּגֶזֶר׃	בְּקִרְבּוֹ	הַכְּנַעֲנִי	וַיֵּשֶׁב
—	ゲゼルで	その–中に	カナン人は	そして–住んだ
	H1507	H7130		H3427

またエフライムはゲゼルに住んでいたカナンびとを追い出さなかったので、カナンびとはゲゼルにおいて彼らのうちに住んでいた。

30

יוֹשְׁבֵי	וְאֶת־	קִטְרוֹן	יוֹשְׁבֵי	אֶת־	הוֹרִישׁ	לֹא	זְבוּלֻן
の–住民を	そして–その	キトロン	の–住民を	その	追い出すことを	しなかった	ゼブルンは
H3427	H0853	H7003	H3427	H0853	H3423	H3808	H2074

ס	לָמַס׃	וַיִּהְיוּ	בְּקִרְבּוֹ	הַכְּנַעֲנִי	וַיֵּשֶׁב	נַהֲלֹל
—	強制–労働に	そして–なった	その–中に	カナン人は	そして–住んだ	ナハロル
	H4522	H1961	H7130		H3427	H5096

ゼブルンはキテロンの住民およびナハラルの住民を追い出さなかったので、カナンびとは彼らのうちに住んで強制労働に服した。

31

צִידֹון	יוֹשְׁבֵי	וְאֶת־	עַכּוֹ	יוֹשְׁבֵי	אֶת־	הוֹרִישׁ	לֹא	אָשֵׁר
シドン	の–住民を	そして–その	アッコ	の–住民を	その	追い出すことを	しなかった	アシェルは
H6721	H3427	H0853	H5910	H3427	H0853	H3423	H3808	H0836

רְחֹב׃	וְאֶת־	אֲפִיק	וְאֶת־	חֶלְבָּה	וְאֶת־	אַכְזִיב	וְאֶת־	אַחְלָב	וְאֶת־
レホブを	そして	アフィクと	そして	ヘルバと	そして	アクジブと	そして	アヘラブと	そして
H7340	H0853	H0663	H0853	H2462	H0853	H0392	H0853	H0303	H0853

アセルはアッコの住民およびシドン、アヘラブ、アクジブ、ヘルバ、アピク、レホブの住民を追い出さなかったので、

לֹא	כִּי	הָאָרֶץ	יֹשְׁבֵי	הַכְּנַעֲנִי	בְּקֶרֶב	הָאֲשֵׁרִי	וַיֵּשֶׁב	32
しなかった	なぜなら	その-地	の-住民	カナン人	の-中に	アシェル人は	そして-住んだ	
H3808		H0776	H3427		H7130	H0843	H3427	

ס	הוֹרִישָׁו׃	
—	追い出すことを	
	H3423	

アセルびとは、その地の住民であるカナンびとのうちに住んでいた。彼らが追い出さなかったからである。

וְאֶת־	בֵּית־שֶׁמֶשׁ	יֹשְׁבֵי	אֶת־	הוֹרִישׁ	לֹא־	נַפְתָּלִי		33
そして-その	ベト・シェメシュ	の-住民を	その	追い出すことを	しなかった	ナフタリは		
H0853	H1053	H3427	H0853	H3423	H3808	H5321		

וְיֹשְׁבֵי	הָאָרֶץ	יֹשְׁבֵי	הַכְּנַעֲנִי	בְּקֶרֶב	וַיֵּשֶׁב	בֵּית־עֲנָת	יֹשְׁבֵי	
しかし-の-住民は	その-地	の-住民	カナン人	の-中に	そして-住んだ	ベト・アナト	の-住民を	
H3427	H0776	H3427		H7130	H3427	H1043	H3427	

ס	לָמַס׃	לָהֶם	הָיוּ	עֲנָתוּבֵית	בֵּית־שֶׁמֶשׁ
—	強制-労働に	彼らにとって	なった	ベト・アナト	ベト・シェメシュと
	H4522		H1961	H1043	H1053

ナフタリはベテシメシの住民およびベテアナテの住民を追い出さずに、その地の住民であるカナンびとのうちに住んでいた。しかしベテシメシとベテアナテの住民は、ついに彼らの強制労働に服した。

לֹא	כִּי־	הָהָרָה	דָּן	בְּנֵי־	אֶת־	הָאֱמֹרִי	וַיִּלְחֲצוּ	34
しなかった	なぜなら	山地へ	ダン	の-子らを	その	アモリ人は	そして-押しやった	
H3808		H2022	H1835		H0853	H0567	H3905	

לָעֵמֶק׃	לָרֶדֶת	נְתָנוּ
平野に	降りることを	許さなかった
H6010	H3381	H5414

アモリびとはダンの人々を山地に追い込んで平地に下ることを許さなかった。

וּבְשַׁעַלְבִּים	בְּאַיָּלוֹן	חֶרֶס	בִּהַר־	לָשֶׁבֶת	הָאֱמֹרִי	וַיּוֹאֶל		35
そして-シャアルビムで	アヤロンで	ヘレス	の-山に	住み続けることを	アモリ人は	そして-始めた		
H8169	H0357	H2776	H2022	H3427	H0567	H2974		

לָמַס׃	וַיְהִיוּ	יוֹסֵף	בֵּית־	יַד	וַתִּכְבַּד
強制-労働に	そして-なった	ヨセフ	の-家	の-手が	そして-重くなった
H4522	H1961	H3130		H3027	H3513

アモリびとは引き続いてハルヘレス、アヤロン、シャラビムに住んでいたが、ヨセフの一族の手が強くなったので、彼らは強制労働に服した。

פ	וָמָעְלָה׃	מִסֶּלַע	עַקְרַבִּים	מִמַּעֲלֵה	הָאֱמֹרִי	וּגְבוּל	36
—	そして-その-上	その-岩から	アクラビム	の-上りから	アモリ人	さて-の-境界は	
	H4605	H5553	H4610	H4610	H0567	H1366	

アモリびとの境はアクラビムの坂からセラを経て上の方に及んだ。

Chapter 2

1

וַיַּעַל מַלְאַךְ־יְהוָה מִן־הַגִּלְגָּל אֶל־הַבֹּכִים פ וַיֹּאמֶר
そして–上った の–御使いが 主 から ギルガル へ ボキム 一 そして–言った
H5927 H4397 H3068 H1537 H0413 H1066 H0559

וָאַעֲלֶה אֶתְכֶם מִמִּצְרַיִם וָאָבִיא אֶתְכֶם אֶל־הָאָרֶץ אֲשֶׁר
上らせた あなたがたを エジプトから そして–連れて–来た あなたがたを その 地に その
H5927 H0853 H4714 H0935 H0853 H0413 H0776

נִשְׁבַּעְתִּי לַאֲבֹתֵיכֶם וָאֹמַר לֹא־אָפֵר בְּרִיתִי אִתְּכֶם
誓った あなたがたの–先祖たちに そして–言った 決して–しない 破らない 私の–契約を あなたがたと
H7650 H0001 H0559 H3808 H0854 H1285 H0854

לְעוֹלָם׃
永遠に
H5769

主の使がギルガルからボキムに上って言った、「わたしはあなたがたをエジプトから上らせて、あなたがたの先祖に誓った地に連れてきて、言った、『わたしはあなたと結んだ契約を決して破ることはない。

2

וְאַתֶּם לֹא־תִכְרְתוּ בְרִית לְיוֹשְׁבֵי הָאָרֶץ הַזֹּאת
しかし–あなたがたは しないで–ください 結ばないで–ください 契約を の–住民と 地 この
H0859 H3808 H3772 H1285 H3427 H0776 H2063

מִזְבְּחוֹתֵיהֶם תִּתֹּצוּן וְלֹא־שְׁמַעְתֶּם בְּקֹלִי מַה־זֹּאת עָשִׂיתֶם׃
彼らの–祭壇を 打ち壊しなさい しかし–しなかった 聞かなかった 私の–声に 何を これは したのですか
H4196 H5422 H3808 H8085 H0853 H4100 H2063 H6213

あなたがたはこの国の住民と契約を結んではならない。彼らの祭壇をこぼたなければならない』と。しかし、あなたがたはわたしの命令に従わなかった。あなたがたは、なんということをしたのか。

3

וְגַם אָמַרְתִּי לֹא־אֲגָרֵשׁ אוֹתָם מִפְּנֵיכֶם וְהָיוּ לָכֶם לְמוֹקֵשׁ׃
そして–また 言った しない 追い出さない 彼らを あなたがたの–前から そして–なる 罠に
H1571 H0559 H3808 H1644 H0853 H6440 H1961 H4170

וֵאלֹהֵיהֶם יִהְיוּ לָכֶם לְצִדִּים וְעַמֵּיהֶם לָכֶם׃
そして–彼らの–神々は なる あなたがたにとって わなに あなたがたにとって
H0430 H1961 H6654 H5973

それでわたしは言う、『わたしはあなたがたの前から彼らを追い払わないであろう。彼らはかえってあなたがたの敵となり、彼らの神々はあなたがたのわなとなるであろう』と」。

4

וַיְהִי כְּדַבֵּר מַלְאַךְ יְהוָה אֶת־הַדְּבָרִים הָאֵלֶּה אֶל־כָּל
そして–あった 語った–とき の–御使いが 主 その 言葉を これらの に すべての
H1961 H1696 H4397 H3068 H0853 H1697 H0428 H0413 H3605

בְּנֵי יִשְׂרָאֵל אֶת־הָעָם וַיִּשְׂאוּ קוֹלָם וַיִּבְכּוּ׃
の–子ら イスラエル その 民は そして–上げた 声を そして–泣いた
H1121 H3478 H0853 H5971 H6963 H1058

主の使がこれらの言葉をイスラエルのすべての人々に告げたので、民は声をあげて泣いた。

5

וַיִּקְרְאוּ שֵׁם־הַמָּקוֹם הַהוּא בֹּכִים וַיִּזְבְּחוּ שָׁם לַיהוָה׃ פ
そして–呼んだ の–名を 場所 その ボキムと そして–ささげた そこで 主に 一
H7121 H8034 H4725 H1931 H1066 H2076 H8033 H3068

それでその所の名をボキムと呼んだ。そして彼らはその所で主に犠牲をささげた。

6 וַיְשַׁלַּח יְהוֹשֻׁעַ אֶת־הָעָם וַיֵּלְכוּ בְנֵי־יִשְׂרָאֵל אִישׁ
そして-送り出した ヨシュアは その 民を そして-行った の-子らは イスラエル それぞれ
H7971 H3091 H0853 H0776 H3212 H3478 H0376

לְנַחֲלָתוֹ׃ לָרֶשֶׁת אֶת־הָאָרֶץ
その-相続地に 占領する-ために その 地を
H5159 H3423 H0853 H0776

ヨシュアが民を去らせたので、イスラエルの人々はおのおのその領地へ行って土地を獲た。

7 וַיַּעַבְדוּ הָעָם אֶת־יְהוָה כֹּל יְמֵי יְהוֹשֻׁעַ וְכֹל יְמֵי
そして-仕えた 民は その 主に すべての の-日々 ヨシュア そして-すべての の-日々
H5647 H3605 H3068 H0853 H3605 H3117 H3091 H3605 H3117

הַזְּקֵנִים אֲשֶׁר הֶאֱרִיכוּ יָמִים אַחֲרֵי יְהוֹשֻׁעַ אֲשֶׁר רָאוּ אֵת כָּל־
長老たち その 長生きした 日々を の-後に ヨシュア その 見た その すべての
H2205 H0748 H3117 H0310 H3091 H0853 H7200 H0853 H3605

מַעֲשֵׂה יְהוָה הַגָּדוֹל אֲשֶׁר עָשָׂה לְיִשְׂרָאֵל׃
の-極みわざを 主 大いなる その なさった イスラエルの-ために
H4639 H3068 H1419 H0834 H6213 H3478

民はヨシュアの在世中も、またヨシュアのあとに生き残った長老たち、すなわち主がかつてイスラエルのために行われたすべての大いなるわざを見た人々の在世中も主に仕えた。

8 וַיָּמָת יְהוֹשֻׁעַ בִּן־נוּן עֶבֶד יְהוָה בֶּן־מֵאָה וָעֶשֶׂר שָׁנִים׃
そして-死んだ ヨシュアは の-子 ヌン しもべ の-主 百 十 歳
H4191 H3091 H1121 H5126 H5650 H3068 H1121 H3967 H6235 H8141

こうして主のしもべヌンの子ヨシュアは百十歳で死んだ。

9 וַיִּקְבְּרוּ אֹתוֹ בִּגְבוּל נַחֲלָתוֹ בְּתִמְנַת־חֶרֶס בְּהַר אֶפְרָיִם מִצְפּוֹן
そして-葬った 彼を の-境界に その-相続地 ティムナト・ヘレスに の-山に エフライム の-北
H6912 H0853 H1366 H5159 H2022 H0669 H6828

לְהַר־גָּעַשׁ׃
ガアシュ の-山
H1608 H2022

人々は彼をエフライムの山地のガアシ山の北のテムナテ・ヘレスにある彼の領地内に葬った。

10 וְגַם כָּל־הַדּוֹר הַהוּא נֶאֶסְפוּ אֶל־אֲבוֹתָיו וַיָּקָם
そして-また すべての 世代が その 集められた の-もとへ その-先祖たち そして-起こされた
H1571 H3605 H1755 H1931 H0622 H0413 H0001

דּוֹר אַחֵר אַחֲרֵיהֶם אֲשֶׁר לֹא־יָדְעוּ אֶת־יְהוָה וְגַם אֶת־
世代が 別の 彼らの-後に その 知らなかった 主を そして-また その
H1755 H0312 H0310 H0834 H3808 H3045 H3068 H1571 H0853

סמ מַעֲשֶׂה אֲשֶׁר עָשָׂה לְיִשְׂרָאֵל׃
極みわざも その なさった イスラエルの-ために
H4639 H0834 H6213 H3478

そしてその時代の者もまたことごとくその先祖たちのもとにあつめられた。その後ほかの時代が起ったが、これは主を知らず、また主がイスラエルのために行われたわざをも知らなかった。

11 וַיַּעֲשׂוּ בְּנֵי־יִשְׂרָאֵל אֶת־הָרַע בְּעֵינֵי יְהוָה וַיַּעַבְדוּ אֶת־הַבְּעָלִים׃
そして-した の-子らは イスラエル その 悪を の-目に 主 そして-仕えた その バアルたちに
H3478 H0853 H7451 H3068 H5647 H0853

イスラエルの人々は主の前に悪を行い、もろもろのバアルに仕え、

12 וַיַּעַזְבוּ אֶת־יְהוָה אֱלֹהֵי אֲבוֹתָם הַמּוֹצִיא אוֹתָם מֵאֶרֶץ מִצְרַיִם וַיֵּלְכוּ אַחֲרֵי אֱלֹהִים אֲחֵרִים מֵאֱלֹהֵי הָעַמִּים אֲשֶׁר סְבִיבוֹתֵיהֶם וַיִּשְׁתַּחֲווּ לָהֶם וַיַּכְעִסוּ אֶת־יְהוָה׃
そして-捨てた その 主を の-神 先祖たち 導き-出した 彼らを の-地から エジプト そして-行った の-後に 他の 神々 の-神々の-中から 諸国の-民 その 周囲の 主を その そして-怒らせた 彼らに そして-ひれ伏した
H5800 H0853 H3068 H0430 H0001 H3318 H0853 H0776 H4714 H3212 H0310 H0430 H0430 H5971 H0834 H5439 H3068 H0853 H3707 H0776 H7812

かつてエジプトの地から彼らを導き出された先祖たちの神、主を捨てて、ほかの神々すなわち周囲にある国民の神々に従い、それにひざまずいて、主の怒りをひき起した。

13 וַיַּעַזְבוּ אֶת־יְהוָה וַיַּעַבְדוּ לַבָּעַל וְלָעַשְׁתָּרוֹת׃
そして-捨てた その 主を そして-仕えた バアルに そして-アシュタロトに
H5800 H0853 H3068 H5647 H1168 H6252

すなわち彼らは主を捨てて、バアルとアシタロテに仕えたので、

14 וַיִּתֵּם בְּיַד־שֹׁסִים וַיָּשֹׁסּוּ וַיִּמְכְּרֵם בְּיַד אוֹיְבֵיהֶם מִסָּבִיב וְלֹא־יָכְלוּ עוֹד לַעֲמֹד לִפְנֵי אוֹיְבֵיהֶם׃
そして-与えた 略奪者たち の-手に そして-略奪した 彼らを そして-売り渡した の-手に 彼らの-敵 周囲の できなかった もはや 立つことが の-前に 彼らの-敵
H5414 H8154 H3027 H8155 H0853 H4376 H3027 H0341 H5439 H3808 H5750 H5975 H6440 H0341

主の怒りがイスラエルに対して燃え、かすめ奪う者の手にわたして、かすめ奪わせ、かつ周囲のもろもろの敵の手に売られたので、彼らは再びその敵に立ち向かうことができなかった。

15 בְּכֹל אֲשֶׁר יָצְאוּ יַד־יְהוָה הָיְתָה־בָּם לָרָעָה כַּאֲשֶׁר דִּבֶּר יְהוָה וְכַאֲשֶׁר נִשְׁבַּע יְהוָה לָהֶם וַיֵּצַר לָהֶם מְאֹד׃
すべての その 出て行った の-手が 主 あった 彼らに-対して 災いとして の-とおりに 主が 語った の-とおりに 誓った 主が 彼らに そして-苦しんだ 彼らは 非常に
H3605 H0834 H3318 H3027 H3068 H1961 H0776 H3966 H3068 H1696 H0834 H7650 H3068 H3334 H3966

彼らがどこへ行っても、主の手は彼らに災をした。これは主がかつて言われ、また主が彼らに誓われたとおりで、彼らはひどく悩んだ。

16 וַיָּקֶם יְהוָה שֹׁפְטִים וַיּוֹשִׁיעוּם מִיַּד שֹׁסֵיהֶם׃
主は さばきつかさたちを そして-救った の-手から 略奪者たち
H3068 H8199 H3467 H3027 H8154

そして-起こした

その時、主はさばきづかさを起して、彼らをかすめ奪う者の手から救い出された。

17 וְגַם אֶל־ שְׁפְטֵיהֶם֙ לֹ֣א שָׁמְע֔וּ כִּ֥י זָנ֖וּ אַחֲרֵ֑י
しかし–また その 裁きつかさたちにも しなかった 聞かなかった なぜなら 姦淫した の–後に
H0413 H1571 H8199 H3808 H8085 H2181

וַיְשְׁתַּחֲו֣וּ לָהֶ֔ם סָ֥רוּ מַהֵ֖ר מִן־ הַדֶּ֣רֶךְ אֲשֶׁ֤ר הָלְכ֙וּ֙ אֲבוֹתָ֔ם לִשְׁמֹ֖עַ מִצְוֹת־ יְהוָ֑ה לֹא־ עָשׂ֖וּ כֵּֽן׃
そして–ひれ伏した 彼らに それた すぐに から 道 その 歩んだ 先祖たちが 聞き–従う の–戒めに 主 しなかった しなかった そのようには
H7812 H5493 H4687 H3068 H3808 H8085 H0001 H1980 H1870

しかし彼らはそのさばきづかさにも従わず、かえってほかの神々を慕ってそれと姦淫を行い、それにひざまずき、先祖たちが主の命令に従って歩んだ道を、いちはやく離れ去って、そのようには行わなかった。

18 וְכִי־ הֵקִ֤ים יְהוָה֙ לָהֶ֣ם שֹׁפְטִ֔ים וְהָיָ֥ה יְהוָ֖ה עִם־ הַשֹּׁפֵ֑ט וְהוֹשִׁיעָ֣ם מִיַּ֔ד אֹיְבֵיהֶ֖ם כֹּ֣ל יְמֵ֣י הַשֹּׁפֵ֔ט כִּֽי־ נִחַ֤ם יְהוָה֙ מִנַּאֲקָתָ֔ם מִפְּנֵ֖י לֹחֲצֵיהֶ֥ם וְדֹחֲקֵיהֶֽם׃
しかし–その 起こした 主が 彼らの–ために 裁きつかさを あった 主は 共に–と
H3068 H8199 H3068 H1961 H3068 H8199

なぜなら さばきつかさ の–日々 すべての 彼らの–敵 の–手から そして–救った さばきつかさ
H3117 H3605 H0341 H3027 H3467 H8199

そして–押しつぶす–者たち 彼らを–苦しめる–者たち の–前に 彼らの–うめきの–ために 主は 哀れんだ
H1766 H3905 H6440 H5009 H3068 H5162

主が彼らのためにさばきづかさを起されたとき、そのさばきづかさの在世中、主はさばきづかさと共におられて、彼らを敵の手から救い出された。これは彼らが自分をしえたげ悩ました者のゆえに、うめき悲しんだので、主が彼らをあわれまれたからである。

19 וְהָיָה֙ בְּמ֣וֹת הַשֹּׁפֵ֔ט יָשֻׁ֖בוּ וְהִשְׁחִ֣יתוּ֮ מֵאֲבוֹתָם֒ לָלֶ֣כֶת אַחֲרֵ֣י אֱלֹהִ֣ים אֲחֵרִ֗ים לְעָבְדָם֙ וּלְהִשְׁתַּחֲו֣וֹת לָהֶ֔ם לֹ֥א הִפִּ֖ילוּ מִמַּעַלְלֵיהֶ֑ם וּמִדַּרְכָּ֖ם הַקָּשָֽׁה׃
しかし–あった の–死において 裁きつかさ 戻った そして–堪落した 先祖たち–よりも 行って
H1961 H4191 H8199 H7725 H7843 H0001 H3212

の–後に 神々 他の 仕える–ために そして–ひれ伏す–ために 彼らに しなかった 捨てなかった
H0312 H0430 H5647 H7812 H3808 H5307

彼らの–行いを そして–彼らの–道を 頑なな
H4611 H1870 H7186

しかしさばきづかさが死ぬと、彼らはそむいて、先祖たちにまさって悪を行い、ほかの神々に従ってそれに仕え、それにひざまずいてそのおこないをやめず、かたくなな道を離れなかった。

20 וַיִּחַר־ אַף־ יְהוָ֤ה בְּיִשְׂרָאֵל֙ וַיֹּ֣אמֶר֮ יַ֣עַן אֲשֶׁר֩ עָבְר֨וּ הַגּ֤וֹי הַזֶּה֙ אֶת־ בְּרִיתִ֔י אֲשֶׁ֥ר צִוִּ֖יתִי אֶת־ אֲבוֹתָ֑ם וְלֹ֥א שָׁמְע֖וּ לְקוֹלִֽי׃
そして–燃えた の–怒りが 主 イスラエルに–対して そして–言った なぜなら 破った その
H2734 H0639 H3068 H3478 H0559 H3282 H5674

国民が この その 私の–契約を その 命じた その 先祖たちに そして–しなかった
H2088 H0853 H1285 H6680 H0853 H1 H0001 H3808

私の–声に 聞かなかった
H8085

それで主はイスラエルに対し激しく怒って言われた、「この民はわたしがかつて先祖たちに命じた契約を犯し、わたしの命令に従わないゆえ、

21 וְגַם־ אֲנִי לֹא לְהוֹרִישׁ אִישׁ מִפְּנֵיהֶם מִן־ הַגּוֹיִם
また 私も しない 追い出すことを 誰も 彼らの-前から の-中から 諸国の-民
H1571 H0589 H3808 H3423 H0376 H6440

אֲשֶׁר־ עָזַב יְהוֹשֻׁעַ וַיָּמֹת׃
その 残した ヨシュアが そして-死んだ
H4191 H3091

わたしもまたヨシュアが死んだときに残しておいた国民を、この後、彼らの前から追い払わないであろう。

22 לְמַעַן לְנַסּוֹת בָּם אֶת־ יִשְׂרָאֵל הֲשֹׁמְרִים הֵם אֶת־ דֶּרֶךְ
それは 試す-ために 彼らによって その イスラエルを 守るか-どうか 彼らが その の-道を
H4616 H5254 H0853 H3478 H8104 H1992 H0853 H1870

יְהוָה לָלֶכֶת בָּם כַּאֲשֶׁר שָׁמְרוּ אֲבוֹתָם אִם־ לֹא׃
主 歩む-ために それに の-とおりに 守った 先祖たちが か-どうか 否かを
H3068 H3212 H0428 H8104 H0001 H3808

これはイスラエルが、先祖たちの守ったように主の道を守ってそれに歩むかどうかをわたしが試みるためである」。

23 וַיַּנַּח יְהוָה אֶת־ הַגּוֹיִם הָאֵלֶּה לְבִלְתִּי הוֹרִישָׁם מַהֵר
そして-残した 主は その 諸国の-民を これらの しないで 追い出さないで すぐに
H3240 H3068 H0853 H0428 H1115 H3423

וְלֹא נְתָנָם בְּיַד־ יְהוֹשֻׁעַ׃ פ
そして-しなかった 与えなかった の-手に ヨシュア —
H3808 H5414 H3027 H3091

それゆえ主はこれらの国民を急いで追い払わずに残しておいて、ヨシュアの手にわたされなかったのである。

Chapter 3

1 וְאֵלֶּה הַגּוֹיִם אֲשֶׁר הִנִּיחַ יְהוָה לְנַסּוֹת בָּם אֶת־
さて-これらは 諸国の-民である その 残した 主が 試す-ために 彼らによって その
H0428 H3068 H3240 H5254 H0853

כָּל־ יִשְׂרָאֵל אֶת כָּל־ אֲשֶׁר לֹא־ יָדְעוּ אֶת מִלְחֲמוֹת
イスラエルを すべての つまり その 知らなかった 知ら-なかった その すべての の-戦いを
H3478 H3605 H0853 H3045 H3808 H3605 H4421

כְּנָעַן׃
カナン

すべてカナンのもろもろの戦争を知らないイスラエルの人々を試みるために、主が残しておかれた国民は次のとおりである。

2 רַק לְמַעַן לְדַעַת דֹּרוֹת בְּנֵי־ יִשְׂרָאֵל לְלַמְּדָם מִלְחָמָה
ただ それは 知る-ためである の-世代が の-子ら イスラエル 教える-ために 戦いを ただ
H7535 H4616 H1847 H1755 H3925 H4421 H7535

רַק אֲשֶׁר־ לְפָנִים לֹא יְדָעוּם׃
ただ その 以前 知ら-なかった 知らなかった-者たち
H7535 H6440 H3808 H3045

これはただイスラエルの代々の子孫、特にまだ戦争を知らないものに、それを教え知らせるためである。

3

וְחַמֵּשֶׁת סַרְנֵי פְלִשְׁתִּים וְכָל־הַכְּנַעֲנִי וְהַצִּידֹנִי וְהַחִוִּי
五人の 領主たち ペリシテ人 そして-すべての カナン人と シドン人と ヒビ人と
H2568 H5633 H6430 H3605 H3669 H6722 H2340

יֹשֵׁב הַלְּבָנוֹן הַר בַּעַל חֶרְמוֹן עַד לְבוֹא חֲמָת׃
住む レバノン の-山 バアル・ヘルモン まで の-入口 ハマト
H3427 H3844 H2022 H1179 H5704 H0935 H2574

すなわちペリシテびとの五人の君たちと、すべてのカナンびとと、シドンびとおよびレバノン山に住んで、バアル・ヘルモン山からハマテの入口までを占めていたヒビびとなどであって、

4

וַיִּהְיוּ֙ לְנַסּ֣וֹת בָּ֔ם יִשְׂרָאֵ֔ל לָדַ֖עַת הֲיִשְׁמְע֣וּ אֶת־
そして-いた 試す-ために 彼らによって イスラエルを 知る-ために 聞くか-どうか その
H1961 H5254 H3669 H3478 H3045 H8085 H0853

מִצְוֹת֙ יְהוָ֔ה אֲשֶׁר־צִוָּ֥ה אֶת־אֲבוֹתָ֖ם בְּיַד־מֹשֶׁ֑ה׃
の-戒めに 主 その 命じた その 先祖たちに の-手を-通して モーセ
H4687 H3068 H0834 H6680 H0853 H0001 H3027 H4872

これらをもってイスラエルを試み、主がモーセによって先祖たちに命じられた命令に、彼らが従うかどうかを知ろうとされたのである。

5

וּבְנֵ֣י יִשְׂרָאֵ֗ל יָשְׁב֙וּ בְּקֶ֣רֶב הַכְּנַעֲנִ֔י הַחִתִּ֖י וְהָאֱמֹרִ֣י וְהַפְּרִזִּ֑י
さて-の-子らは 住んだ の-中に カナン人 ヒッタイト人と アモリ人と ペリズ人と
H1121 H3427 H7130 H3669 H2850 H0567 H6522

וְהַחִוִּ֖י וְהַיְבוּסִֽי׃
ヒビ人と エブス人
H2340 H2983

しかるにイスラエルの人々はカナンびと、ヘテびと、アモリびと、ペリジびと、ヒビびと、エブスびとのうちに住んで、

6

וַיִּקַּ֤ח אֶת־בְּנוֹתֵיהֶם֙ לָהֶ֣ם לְנָשִׁ֔ים וְאֶת־בְּנֹתֵיהֶ֖ם נָתְנ֣וּ לִבְנֵיהֶ֑ם
そして-めとった その 娘たちを 自分たちの-ために 妻として そして-自分たちの 娘たちを 与えた 彼らの-息子たちに
H3947 H0853 H1323 H1992 H0802 H0853 H1323 H5414

וְאֶת־אֱלֹהֵיהֶ֥ם עָבְד֖וּ פ׃
そして-その 彼らの-神々に 仕えた —
H0853 H0430 H5647

彼らの娘を妻にめとり、また自分たちの娘を彼らのむすこに与えて、彼らの神々に仕えた。

7

וַיַּעֲשׂ֤וּ בְנֵֽי־יִשְׂרָאֵל֙ אֶת־הָרַ֣ע בְּעֵינֵ֣י יְהוָ֔ה וַיִּשְׁכְּח֖וּ אֶת־יְהוָ֑ה
そして-した の-子らは イスラエル その 悪を の-目に 主 そして-忘れた その 主を
H6213 H1121 H3478 H0853 H7451 H5869 H3068 H7911 H0853 H3068

וַיַּעַבְד֖וּ אֶת־הַבְּעָלִ֥ים וְאֶת־הָאֲשֵׁרֽוֹת׃
そして-仕えた その バアルたちと そして-その アシェラ像に
H5647 H0853 H1168 H0853 H0842

こうしてイスラエルの人々は主の前に悪を行い、自分たちの神、主を忘れて、バアルおよびアシラに仕えた。

8

בְּיַד֙	וַיִּמְכְּרֵ֔ם	בְּיִשְׂרָאֵ֖ל	יְהוָ֑ה	אַף	וַיִּֽחַר־
の–手に	そして–売り渡した	イスラエルに–対して	主	の–怒りが	そして–燃えた
H3027	H4376	H3478	H3068	H0639	H2734

אֶת־	יִשְׂרָאֵ֔ל	בְּנֵי־	וַיַּעַבְד֗וּ	נַהֲרַיִם֙אֲרָ֔ם	מֶ֣לֶךְ	רִשְׁעָתַ֖יִם כּוּשָׁ֑ן
その	イスラエル	の–子らは	そして–仕えた	アラム・ナハライム	の–王	クシャン・リシュアタイム
H0853	H3478		H5647	H0763	H4428	H3573

שָׁנִֽים׃	שְׁמֹנֶ֥ה	רִשְׁעָתַ֖יִם כּוּשָׁ֑ן
年	八	クシャン・リシュアタイムに
H8141	H8083	H3573

そこで主はイスラエルに対して激しく怒り、彼らをメソポタミヤの王クシャン・リシャタイムの手に売りわたされたので、イスラエルの人々は八年の間、クシャン・リシャタイムに仕えた。

9

מוֹשִׁ֥יעַ	יְהוָ֖ה	וַיָּ֣קֶם	יְהוָ֔ה	אֶל־	יִשְׂרָאֵל֙	בְּנֵי־	וַיִּזְעֲק֣וּ
救い–主を	主は	そして–起こした	主	に	イスラエル	の–子らは	そして–叫んだ
H3467	H3068		H3068	H0413	H3478		H2199

כָּלֵ֔ב	אֲחִ֣י	קְנַ֑ז	בֶּן־	עָתְנִיאֵ֖ל	אֶת	וַיּוֹשִׁ֥יעַ	יִשְׂרָאֵל	לִבְנֵ֣י
カレブ	の–弟	ケナズ	の–子	オトニエルを	つまり	そして–救った	イスラエル	の–子らの–ために
H3612	H0251	H7073		H6274	H0853	H3467	H3478	

מִמֶּֽנּוּ׃	הַקָּטֹ֥ן
彼より	年下の

しかし、イスラエルの人々が主に呼ばわったとき、主はイスラエルの人々のために、ひとりの救助者を起して彼らを救われた。すなわちカレブの弟、ケナズの子オテニエルである。

10

וַיֵּצֵ֣א	יִשְׂרָאֵ֔ל	אֶת־	וַיִּשְׁפֹּ֣ט	יְהוָ֔ה	רוּחַ־	עָלָ֖יו	וַתְּהִ֥י
そして–出た	イスラエルを	その	そして–さばいた	主	の–霊が	彼の–上に	そして–あった
H3318	H3478	H0853	H8199	H3068	H7307		H1961

אֲרָ֑ם	מֶ֣לֶךְ	רִשְׁעָתַ֖יִם כּוּשָׁ֑ן	אֶת־	בְּיָדֹ֔ו	יְהוָ֔ה	וַיִּתֵּ֥ן	לַמִּלְחָמָ֖ה
アラム	の–王	クシャン・リシュアタイムを	その	彼の–手に	主は	そして–与えた	戦いに
H0758	H4428	H3573	H0853	H3027	H3068	H5414	H4421

רִשְׁעָתָֽיִם׃כּוּשָׁ֑ן	עַל	יָדֹ֔ו	וַתָּ֥עָז
クシャン・リシュアタイム	に–対して	彼の–手は	そして–強くなった
H3573		H3027	H5810

主の霊がオテニエルに臨んだので、彼はイスラエルをさばいた。彼が戦いに出ると、主はメソポタミヤの王クシャン・リシャタイムをその手にわたされたので、オテニエルの手はクシャン・リシャタイムに勝ち、

11

פ	קְנַֽז׃	בֶּן־	עָתְנִיאֵ֔ל	וַיָּמָ֖ת	שָׁנָ֑ה	אַרְבָּעִ֣ים	הָאָ֔רֶץ	וַתִּשְׁקֹ֥ט
—	ケナズ	の–子	オトニエルは	そして–死んだ	年	四十	地は	そして–静まった
	H7073		H6274	H4191	H8141	H0705	H0776	H8252

国は四十年のあいだ太平であった。ケナズの子オテニエルはついに死んだ。

12

יְהוָ֔ה	וַיְחַזֵּ֣ק	יְהוָ֔ה	בְּעֵינֵ֖י	הָרַ֣ע	לַעֲשׂ֑וֹת	יִשְׂרָאֵל֙	בְּנֵ֣י	וַיֹּסִ֥פוּ
主は	そして–強めた	主	の–目に	悪	することを	イスラエル	の–子らは	そして–繰り返した
H3068	H2388	H3068		H7451		H3478		H3254

אֶת־	עָשׂ֥וּ	כִּֽי־	עַל	יִשְׂרָאֵ֔ל	עַל־	מוֹאָ֖ב	מֶ֣לֶךְ־	עֶגְל֑וֹן	אֶת־
その	したからだ	なぜなら	の–ために	イスラエル	に–対して	モアブ	の–王	エグロンを	その
H0853				H3478		H4124	H4428	H5700	H0853

יְהוָֽה׃	בְּעֵינֵ֖י	הָרָֽע
主	の–目に	悪を
H3068		H7451

イスラエルの人々はまた主の前に悪をおこなった。すなわち彼らが主の前に悪をおこなったので、主はモアブの王エグロンを強めて、イスラエルに敵対させられた。

13 וַיַּךְ וַיֵּלֶךְ וַיַּעַמֹּלֶק עַמּוֹן בְּנֵי אֶת־ אֵלָיו וַיֶּאֱסֹף
そして-打った そして-行って アマレクを アンモン の-子らと その 彼の-もとに そして-集めた
H5221 H3212 H6002 H5983 H0853 H0413 H0622

אֶת־ עִיר הַתְּמָרִים׃ וַיִּירַשׁ יִשְׂרָאֵל אֶת־
その の-町 なつめやし そして-占領した イスラエルを その
H0853 H3423 H3478 H0853 H8558

エグロンはアンモンおよびアマレクの人々を集め、きてイスラエルを撃ち、しゅろの町を占領した。

14 וַיַּעַבְדוּ בְּנֵי־ יִשְׂרָאֵל אֶת־ עֶגְלוֹן מֶלֶךְ־ מוֹאָב שְׁמוֹנֶה עֶשְׂרֵה׃ שָׁנָה
そして-仕えた の-子らは イスラエル その エグロンに の-王 モアブ 十八 十八 年
H5647 H3478 H0853 H5700 H4428 H4124 H8083 H6240 H8141

ס
—

こうしてイスラエルの人々は十八年の間モアブの王エグロンに仕えた。

15 וַיִּזְעֲקוּ בְּנֵי־ יִשְׂרָאֵל אֶל־ יְהוָה יְהוָה לָהֶם וַיָּקֶם
そして-叫んだ の-子らは イスラエル に 主 主は 彼らの-ために そして-起こした
H2199 H3478 H0413 H3068 H3068

מוֹשִׁיעַ אֶת־ אֵהוּד בֶּן־ גֵּרָא בֶּן־ הַיְמִינִי אִישׁ אִטֵּר יַד־ יְמִינוֹ
救い-主を つまり エフデを の-子 ゲラ ベニヤミン人 で 左利きの の-手 右
H3467 H0853 H0164 H1617 H1145 H0376 H0334 H3027 H3225

וַיִּשְׁלְחוּ בְנֵי־ יִשְׂרָאֵל בְּיָדוֹ מִנְחָה לְעֶגְלוֹן מֶלֶךְ מוֹאָב׃
そして-送った の-子らは イスラエル 彼の-手によって 貢ぎ物を エグロンに の-王 モアブ
H7971 H3478 H3027 H4503 H5700 H4428 H4124

しかしイスラエルの人々が主に呼ばわったとき、主は彼らのために、ひとりの救助者を起された。すなわちベニヤミンびと、ゲラの子、左ききのエホデである。イスラエルの人々は彼によってモアブの王エグロンに、みつぎ物を送った。

16 וַיַּעַשׂ לוֹ אֵהוּד חֶרֶב שְׁנֵי וְלָהּ פִּיוֹת גֹּמֶד
そして-作った 自分の-ために エフデは 剣を 二つの それには 刃が-あった 一-ゴメドの
H2719 H0164 H8147 H6366 H1574

וַיַּחְגֹּר אוֹתָהּ מִתַּחַת לְמַדָּיו עַל יֶרֶךְ יְמִינוֹ׃
そして-帯びた それを の-下に 衣服 の-上に もも 右の
H2296 H0853 H8478 H4055 H3409 H3225

אָרְכָּהּ טְפַח
長さで
H0753

エホデは長さ一キュビトのもろ刃のつるぎを作らせ、それを衣の下、右のももの上に帯びて、

17 וַיַּקְרֵב אֶת־ הַמִּנְחָה לְעֶגְלוֹן מוֹאָב מֶלֶךְ וְעֶגְלוֹן אִישׁ בְּרִיא
そして-届けた その 貢ぎ物を エグロンに モアブ の-王 さて-エグロンは 人で 非常に-太った
H7126 H0853 H4503 H5700 H4124 H4428 H5700 H0376 H1277

מְאֹד׃
非常に
H3966

モアブの王エグロンにみつぎ物をもってきた。エグロンは非常に肥えた人であった。

18 וַיְהִי כַּאֲשֶׁר כִּלָּה לְהַקְרִיב אֶת־הַמִּנְחָה וַיְשַׁלַּח אֶת־
そして–あった の–とおりに 終えた 届けることを その 貢ぎ物を そして–送り出した その
H1961 H3615 H7126 H0853 H4503 H7971 H0853

הָעָם נֹשְׂאֵי הַמִּנְחָה׃
民を 運ぶ–者たち 貢ぎ物を
H5375 H4503

エホデがみつぎ物をささげ終ったとき、彼はみつぎ物をになってきた民を帰らせ、

19 וְהוּא שָׁב מִן־הַפְּסִילִים אֲשֶׁר אֵת־הַגִּלְגָּל וַיֹּאמֶר דְּבַר־
しかし–彼は 引き返した から 偶像 その の–そばの ギルガル そして–言った の–言葉が
H1931 H7725 H4480 H6456 H0834 H1537 H0559 H1697

מֵעָלָיו וַיֵּצְאוּ הָס וַיֹּאמֶר הַמֶּלֶךְ אֵלֶיךָ לִי סֵתֶר
彼の–そばから そして–出て–行った 静かに そして–言った 王よ あなたに 私には 秘密
H3318 H2013 H0559 H4428 H0413

כָּל־ עָלָיו׃ הָעֹמְדִים
すべての 彼の–そばに 立っていた–者たちは
H3605 H5975

かれ自身はギルガルに近い石像のある所から引きかえして言った、「王よ、わたしはあなたに申しあげる機密をもっています」。そこで王は「さがっておれ」と言ったので、かたわらに立っている者は皆出て行った。

20 וְאֵהוּד בָּא וְהוּא־ יֹשֵׁב אֲשֶׁר־ הַמְקֵרָה בַּעֲלִיַּת
そして–エフデは 来た 彼の–もとに そして–彼は 座って–いた その 涼しい の–上の–部屋に
H0164 H0935 H0413 H1931 H3427 H0834 H4747 H5944

לוֹ לְבַדּוֹ וַיֹּאמֶר אֵהוּד דְּבַר־ אֱלֹהִים לִי אֵלֶיךָ וַיָּקָם
彼の 一人で そして–言った エフデは の–言葉が 神 私には あなたに そして–立ち上がった
H0905 H0559 H0164 H1697 H0430 H0413

מֵעַל הַכִּסֵּא׃
から 玉座
H3678

エホデが王のところにはいって来ると、王はひとりで涼みの高殿に座していたので、エホデが「わたしは神の命によってあなたに申しあげることがあります」と言うと、王は座から立ちあがった。

21 וַיִּשְׁלַח אֵהוּד אֶת־ יָד שְׂמֹאלוֹ וַיִּקַּח אֶת־ הַחֶרֶב מֵעַל
そして–伸ばした エフデは その の–手を 左 そして–取った その 剣を から
H7971 H0164 H0853 H3027 H8040 H3947 H0853 H2719 H4480

יֶרֶךְ יְמִינוֹ׃ וַיִּתְקָעֶהָ בְּבִטְנוֹ׃
右の ももの そして–突き刺した その–腹に
H3225 H8628 H0990

そのときエホデは左の手を伸ばし、右のももからつるぎをとって王の腹を刺した。

22 וַיָּבֹא גַּם־ הַנִּצָּב אַחַר הַלַּהַב וַיִּסְגֹּר הַחֵלֶב בְּעַד כִּי
そして–入った また 柄も の–後に 刃 そして–閉じた 脂肪が の–上に なぜなら
H0935 H1571 H5325 H0310 H3851 H5462 H2459 H1157 H3588

הַלַּהַב מִבִּטְנוֹ הַחֶרֶב שָׁלַף לֹא וַיֵּצֵא הַפַּרְשְׁדֳנָה׃
刃 その–腹から 剣を 引き抜かなかった しなかった そして–出た 汚物が
H3851 H0990 H2719 H8025 H3808 H3318 H6574

つるぎのつかも刃と共にはいったが、つるぎを腹から抜き出さなかったので、脂肪が刃をふさいだ。そして汚物が出た。

23 וַיֵּצֵא (そして-出た H3318) אֶהוּד (エフデは H0164) הַמִּסְדְּרוֹנָה (廃下へ H4528) וַיִּסְגֹּר (そして-閉じた H5462) דַּלְתָוֹת (の-扉を) הָעֲלִיָּה (上の-部屋 H5944) בַּעֲדוֹ (彼の-後ろで H1157)
וְנָעַל׃ (そして-鍵を-かけた)

エホデは廊下に出て、王のおる高殿の戸を閉じ、錠をおろした。

24 וְהוּא (そして-彼は H1931) יָצָא (出て-行った H3318) וַעֲבָדָיו (そして-家来たちが H5650) בָּאוּ (来た H0935) וַיִּרְאוּ (そして-見た H7200) וְהִנֵּה (すると-見よ H2009) דַּלְתוֹת (の-扉が) הָעֲלִיָּה (上の-部屋 H5944)
נְעֻלוֹת (鍵がかかって-いた) וַיֹּאמְרוּ (そして-言った H0559) אַךְ (きっと H0389) מֵסִיךְ (用を-足して-いるのだ) הוּא (彼は H1931) אֶת־ (その H0853) רַגְלָיו (足を H7272) בַּחֲדַר (の-部屋で H2315)
הַמְקֵרָה׃ (涼しい H4747)

彼が出た後、王のしもべどもがきて、高殿の戸に錠のおろされてあるのを見て、「王はきっと涼み殿のへやで足をおおっておられるのだ」と思った。

25 וַיָּחִילוּ (そして-待った) עַד־ (まで H5704) בּוֹשׁ (恥ずかしい-ほど H0954) וְהִנֵּה (しかし-見よ H2009) אֵינֶנּוּ (開けなかった H0369) פֹּתֵחַ (開けなかった) דַּלְתוֹת (の-扉を)
נֹפֵל (倒れて-いた) אֲדֹנֵיהֶם (彼らの-主人が H0113) וְהִנֵּה (すると-見よ H2009) וַיִּפְתָּחוּ (そして-開けた) הַמַּפְתֵּחַ (鍵を H4668) אֶת־ (その H0853) וַיִּקָּחוּ (そして-取った H3947) הָעֲלִיָּה (上の-部屋 H5944)
אַרְצָה׃ (地に) מֵת׃ (死んで H4191)

しもべどもは長いあいだ待っていたが、王がなお高殿の戸を開かないので、心配してかぎをとって開いて見ると、王は床にたおれて死んでいた。

26 וְאֶהוּד (そして-エフデは H0164) נִמְלַט (逃れた H4422) עַד (の-間に H5704) הֵתְמַהְמָהָם (彼らが-ぐずぐず-している H4102) וְהוּא (そして-彼は H1931) עָבַר (通り-過ぎた) אֶת־ (その H0853)
הַפְּסִילִים (偶像を H6456) וַיִּמָּלֵט (そして-逃れた H4422) הַשְּׂעִירָתָה׃ (セイラへ H8167)

エホデは彼らのためらうまに、のがれて石像のある所を過ぎ、セイラに逃げていった。

27 וַיְהִי (そして-あった H1961) בְּבוֹאוֹ (来た-とき H0935) וַיִּתְקַע (そして-吹いた H8628) בַּשּׁוֹפָר (角笛を H7782) בְּהַר (の-山で H2022) אֶפְרַיִם (エフライム H0669) וַיֵּרְדוּ (そして-下った H3381) עִמּוֹ (彼と-共に)
בְּנֵי־ (の-子らは) יִשְׂרָאֵל (イスラエル H3478) מִן־ (から) הָהָר (山 H2022) וְהוּא (そして-彼が H1931) לִפְנֵיהֶם׃ (彼らの-前に H6440)

彼が行ってエフライムの山地にラッパを吹き鳴らしたので、イスラエルの人々は彼と共に山地から下ってエホデに従った。

28 וַיֹּאמֶר אֲלֵהֶם רִדְפוּ אַחֲרַי כִּי־נָתַן יְהוָה אֶת־אֹיְבֵיכֶם
そして-言った 彼らに 追え 私の-後に なぜなら 与えた 主が その あなたがたの-敵を
H0559 H0413 H7291 H0310 H3068 H0853 H0341

מוֹאָב אֶת־ וַיֵּרְדוּ אַחֲרָיו וַיִּלְכְּדוּ אֶת־ מַעְבְּרוֹת
モアブを つまり そして-下った 彼の-後に そして-取った その の-渡り場を
H4124 H0853 H3381 H0310 H3920 H0853 H4569

לַעֲבֹר׃ אִישׁ לֹא נָתְנוּ לְמוֹאָב וְלֹא הַיַּרְדֵּן
渡ることを 誰も 許さなかった そして-しなかった モアブに-向かう ヨルダン川
H5674 H0376 H5414 H3808 H4124 H3383

エホデは彼らに言った、「わたしについてきなさい。主はあなたがたの敵モアブびとをあなたがたの手にわたされます」。そこで彼らはエホデに従って下り、ヨルダンの渡し場をおさえ、モアブびとをひとりも渡らせなかった。

29 וַיַּכּוּ אֶת־ מוֹאָב בָּעֵת הַהִוא כַּעֲשֶׂרֶת אֲלָפִים אִישׁ כָּל־
打ち破った そして-その モアブを の-時に その 約-一万 人を すべて
H5221 H0853 H4124 H6256 H1931 H6235 H0376 H3605

שָׁמֵן וְכָל־ אִישׁ חָיִל וְלֹא נִמְלַט אִישׁ׃
強い そして-すべて の-人 勇敢な そして-しなかった 逃れなかった 一人も
H8082 H0376 H2428 H3808 H4422 H0376

そのとき彼らはモアブびとおおよそ一万人を殺した。これはいずれも肥え太った勇士であって、ひとりも、のがれた者がなかった。

30 וַתִּכָּנַע מוֹאָב בַּיּוֹם הַהוּא תַּחַת יַד־ יִשְׂרָאֵל וַתִּשְׁקֹט הָאָרֶץ
そして-屈服した モアブは の-日に その の-下に 手 イスラエル そして-静まった 地は
H3665 H4124 H3117 H1931 H8478 H3027 H3478 H8252 H0776

ס שְׁמֹנִים שָׁנָה׃
一 年 八十
H8141 H8084

こうしてモアブはその日イスラエルの手に服し、国は八十年のあいだ太平であった。

31 וְאַחֲרָיו הָיָה שַׁמְגַּר בֶּן־ עֲנָת וַיַּךְ אֶת־ פְּלִשְׁתִּים שֵׁשׁ־
そして-その-後に いた シャムガルが の-子 アナト 打った その ペリシテ人を 六-百
H0310 H1961 H8044 H1121 H6067 H5221 H0853 H6430 H8337

ס מֵאוֹת בַּמַּלְמָד הַבָּקָר וַיּוֹשַׁע גַּם־ הוּא אֶת־ יִשְׂרָאֵל׃
一 百 人を の-突き棒で 牛 そして-救った また 彼も その イスラエルを
H3967 H0376 H4451 H1241 H3467 H1571 H1931 H0853 H3478

エホデの後、アナテの子シャムガルが起り、牛のむちをもってペリシテびと六百人を殺した。この人もまたイスラエルを救った。

Chapter 4

1 וַיֹּסִפוּ בְּנֵי יִשְׂרָאֵל לַעֲשׂוֹת הָרַע בְּעֵינֵי יְהוָה וְאֵהוּד מֵת׃
そして-再び 子らは イスラエルの 行った 悪を 目に 主の そして-エフド は 死んでいた
H3254 H1121 H3478 H6213 H7451 H5869 H3068 H0164 H4191

エホデが死んだ後、イスラエルの人々がまた主の前に悪をおこなったので、

2

בְּחָצוֹר	מָלַךְ	אֲשֶׁר	כְּנַעַן	מֶלֶךְ־	יָבִין	בְּיַד	יְהוָה	וַיִּמְכְּרֵם
ハツォルで	治めていた	その者は	カナンの	王	ヤビンの	手に	主は	そして–売り渡した
H2674				H4428	H2985	H3027	H3068	H4376

הַגּוֹיִם׃	בַּחֲרֹשֶׁת	יוֹשֵׁב	וְהוּא	סִיסְרָא	צְבָאוֹ	וְשַׂר־	
異邦人の	ハロシェテに	住んでいた	そして–彼は	シセラであり	軍の	そして–将軍は	
	H2800	H3427	H1931	H5516		H8269	

主は、ハゾルで世を治めていたカナンの王ヤビンの手に彼らを売りわたされた。ヤビンの軍勢の長はハロセテ・ゴイムに住んでいたシセラであった。

3

לוֹ	בַּרְזֶל	רֶכֶב־	מֵאוֹת	תְּשַׁע	כִּי	יְהוָה	אֶל־	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי־	וַיִּצְעֲקוּ
彼に	鉄の	戦車	百の	九	なぜなら	主	に	イスラエルの	子らは	そして–叫んだ
	H1270	H7393	H3967	H8672		H3068	H0413	H3478		H6817

ס	שָׁנָה׃	עֶשְׂרִים	בְּחָזְקָה	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי	אֶת־	לָחַץ	וְהוּא
—	年	二十	激しく	イスラエルの	子らを	を	苦しめた	そして–彼は
	H8141	H6242	H2394	H3478		H0853	H3905	H1931

彼は鉄の戦車九百両をもち、二十年の間イスラエルの人々を激しくしえたげたので、イスラエルの人々は主に向かって呼ばわった。

4

יִשְׂרָאֵל	אֶת־	שָׁפְטָה	הִיא	לַפִּידוֹת	אֵשֶׁת	נְבִיאָה	אִשָּׁה	וּדְבוֹרָה
イスラエルを	を	裁いていた	彼女は	ラピドテの	妻	女預言者で	女で	そして–デボラは
H3478	H0853	H8199	H1931	H3941	H0802	H5031	H0802	H1683

הַהִיא׃	בָּעֵת
その	時に
H1931	H6256

そのころラピドテの妻、女預言者デボラがイスラエルをさばいていた。

5

בֵּית־אֵל	וּבֵין	הָרָמָה	בֵּין	דְּבוֹרָה	תֹּמֶר	תַּחַת־	יוֹשֶׁבֶת	וְהִיא	
ベテルの	そして–間の	ラマと	間に	デボラの	なつめ椰子の	下に	座っていた	そして–彼女は	
H1008	H0996	H7414	H0996	H1683	H8560	H8478	H3427	H1931	

לַמִּשְׁפָּט׃	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי	אֵלֶיהָ	וַיַּעֲלוּ	אֶפְרָיִם	בְּהַר
裁きのために	イスラエルの	子らは	彼女のもとに	そして–上って来た	エフライムの	山地で
H4941	H3478		H0413	H5927	H0669	H2022

彼女はエフライムの山地のラマとベテルの間にあるデボラのしゅろの木の下に座し、イスラエルの人々は彼女のもとに上ってきて、さばきをうけた。

6

נַפְתָּלִי	מִקֶּדֶשׁ	אֲבִינֹעַם	בֶּן־	לְבָרָק	וַתִּקְרָא	וַתִּשְׁלַח
ナフタリの	ケデシュから	アビノアムの	息子	バラクを	そして–呼んだ	そして–人を遣わし
H5321	H6943	H0042		H1301	H7121	H7971

וּמָשַׁכְתָּ	לֵךְ	יִשְׂרָאֵל	אֱלֹהֵי־	יְהוָה	צִוָּה	הֲלֹא	אֵלָיו	וַתֹּאמֶר	
そして–引き連れよ	行け	イスラエルの	神は	主	命じられた	確かに	彼に	そして–言った	
H4900	H3212	H3478	H0430	H3068	H6680	H3808	H0413	H0559	

נַפְתָּלִי	מִבְּנֵי	אִישׁ	אֲלָפִים	עֲשֶׂרֶת	עִמְּךָ	וְלָקַחְתָּ	תָּבוֹר	בְּהַר
ナフタリの	子らから	男を	人の	一万	あなたと共に	そして–連れよ	タボルの	山へ
H5321		H0376	H0505	H6235		H3947	H8396	H2022

זְבֻלוּן׃	וּמִבְּנֵי
ゼブルンの	そして–子らから
H2074	

デボラは人をつかわして、ナフタリのケデシからアビノアムの子バラクを招いて言った、「イスラエルの神、主はあなたに、こう命じられるではありませんか、『ナフタリの部族とゼブルンの部族から一万人を率い、行って、タボル山に陣をしけ。

7

שַׂר־	סִיסְרָא	אֶת־	קִישׁוֹן	נַחַל	אֶל־	אֵלֶיךָ	וּמָשַׁכְתִּי	
将軍	シセラを	を	キションの	川	へ	あなたのもとに	そして–わたしは引き寄せる	
H8269	H5516	H0853	H7028		H0413	H0413	H4900	

בְּיָדֶךָ׃	וּנְתַתִּיהוּ	הֲמוֹנוֹ	וְאֶת־	רִכְבּוֹ	וְאֶת־	יָבִין	צְבָא
あなたの–手に	そして–わたしは渡す	群衆を	そして	戦車と	そして	ヤビンの	軍の
H3027	H5414		H0853	H7393	H0853	H2985	

わたしはヤビンの軍勢の長シセラとその戦車と軍隊とをキション川に引き寄せて、あなたに出あわせ、彼をあなたの手にわたすであろう』」。

8

וְאִם־	וְהָלַכְתִּי	עִמִּי	תֵּלְכִי	אִם־	בָּרָק	אֱלֹהָהּ	וַיֹּאמֶר	
しかし–もし	わたしは–行く	わたしと共に	行くなら	もし	バラクは	彼女に	そして–言った	
	H1980		H3212		H1301	H0413	H0559	

אֵלֵךְ׃	לֹא	עִמִּי	תֵּלְכִי	לֹא		
わたしは–行かない	ない	わたしと共に	行くなら	ない		
H3212	H3808		H3212	H3808		

バラクは彼女に言った、「あなたがもし一緒に行ってくだされば、わたしは行きます。しかし、一緒に行ってくださらないならば、行きません」。

9

תִּפְאַרְתְּךָ	תִּהְיֶה	לֹא	כִּי	אֶפֶס	עִמָּךְ	אֵלֵךְ	הָלֹךְ	וַתֹּאמֶר	
あなたの–栄光は	であろう	ない	しかし	ただし	あなたと共に	行きます	必ず	そして–言った	
H8597	H1961	H3808				H3212	H1980	H0559	

סִיסְרָא	אֶת־	יְהוָה	יִמְכֹּר	אִשָּׁה	בְּיַד־	כִּי	הוֹלֵךְ	אַתָּה	אֲשֶׁר	הַדֶּרֶךְ	עַל־
シセラを	を	主は	売り渡す	女の	手に	なぜなら	行く	あなたが	その	道の	上に
H5516	H0853	H3068	H4376	H0802	H3027		H1980			H1870	

קֶדְשָׁה׃	בָּרָק	עִם־	וַתֵּלֶךְ	דְּבוֹרָה	וַתָּקָם
ケデシュへ	バラク	と共に	そして–行った	デボラは	そして–立ち上がった
H6943	H1301		H3212	H1683	

デボラは言った、「必ずあなたと一緒に行きます。しかしあなたは今行く道では誉を得ないでしょう。主はシセラを女の手にわたされるからです」。デボラは立ってバラクと一緒にケデシに行った。

10

וַיַּעַל	קֶדְשָׁה	נַפְתָּלִי	וְאֶת־	זְבוּלֻן	אֶת־	בָּרָק	וַיִּזְעַק	
そして–上った	ケデシュへ	ナフタリを	そして	ゼブルンと	を	バラクは	そして–召集した	
H5927	H6943	H5321	H0853	H2074	H0853	H1301	H2199	

דְּבוֹרָה׃	עִמּוֹ	וַתַּעַל	אִישׁ	אַלְפֵי	עֲשֶׂרֶת	בְּרַגְלָיו
デボラも	彼と共に	そして–上った	男が	人の	一万	徒歩で
H1683		H5927	H0376	H0505	H6235	H7272

バラクはゼブルンとナフタリをケデシに呼び集め、一万人を従えて上った。デボラも彼と共に上った。

11

מֹשֶׁה	חֹתֵן	חֶבֶר	מִבְּנֵי	מִקַּיִן	נִפְרָד	הַקֵּינִי	וְחֶבֶר	
モーセの	義父	ホバブの	子らから	カインから	離れていた	ケニ人で	そして–ヘベルは	
H4872		H2246		H7017	H6504	H7017	H2268	

קֶדֶשׁ׃	אֶת־	אֲשֶׁר	בְּצַעֲנַנִּים)	[בצענים	אֵלוֹן	עַד־	אָהֳלוֹ	וַיֵּט
ケデシュ	の近く	それは	ツァアナニムの	ツァアナニムの	樫の木	まで	天幕を	そして–張った
H6943	H0854		H6815	H6815	H0436	H5704	H0168	H5186

時にケニびとヘベルはモーセのしゅうとホバブの子孫であるケニびとから分れて、ケデシに近いザアナイムのかしの木までも遠く行って天幕を張っていた。

12 וַיֻּגַּד לְסִיסְרָא כִּי עָלָה בָּרָק בֶּן־אֲבִינֹעַם הַר־תָּבוֹר׃
そして-知らされた シセラに こと 上った バラクが 息子 アビノアムの 山 タボルに
H5046 H5516 H3588 H5927 H1301 H1121 H41 H2022 H8396

ס

アビノアムの子バラクがタボル山に上ったと、人々がシセラに告げたので、

13 וַיַּזְעֵק סִיסְרָא אֶת־כָּל־רִכְבּוֹ תְּשַׁע מֵאוֹת רֶכֶב בַּרְזֶל וְאֶת־כָּל־הָעָם אֲשֶׁר עִמּוֹ מֵחֲרֹשֶׁת הַגּוֹיִם אֶל־נַחַל קִישׁוֹן׃
そして-召集した シセラは を すべての 戦車を 九 百の 戦車の 鉄の そして すべての 民を いた 彼と共に ハロシェテから 異邦人の へ 川 キションの
H2199 H5516 H853 H3605 H7393 H8672 H3967 H7393 H1270 H853 H3605 H5971 H834 H854 H2800 H1471 H413 H5158 H7028

シセラは自分の戦車の全部すなわち鉄の戦車九百両と、自分と共におるすべての民をハロセテ・ゴイムからキション川に呼び集めた。

14 וַתֹּאמֶר דְּבֹרָה אֶל־בָּרָק קוּם כִּי זֶה הַיּוֹם אֲשֶׁר נָתַן יְהוָה אֶת־סִיסְרָא בְּיָדֶךָ הֲלֹא יְהוָה יָצָא לְפָנֶיךָ וַיֵּרֶד בָּרָק מֵהַר תָּבוֹר וַעֲשֶׂרֶת אֲלָפִים אִישׁ אַחֲרָיו׃
そして-言った デボラは に バラク 立ち上がれ なぜなら これは 日 その 渡された
H559 H1683 H413 H1301 H6965 H3588 H2088 H3117 H834 H5414

そして-下った あなたの-前に 出て行かれた 主は 確かに あなたの-手に シセラを を 主が
H3381 H6440 H3318 H3068 H3808 H3027 H5516 H853 H3068

彼の-後に 男が 人の そして-一万 タボルの 山から バラクは
H310 H376 H505 H6235 H8396 H2022 H1301

デボラはバラクに言った、「さあ、立ちあがりなさい。きょうは主がシセラをあなたの手にわたされる日です。主はあなたに先立って出られるではありませんか」。そこでバラクは一万人を従えてタボル山から下った。

15 וַיְהֹוָה הָמַם אֶת־סִיסְרָא וְאֶת־כָּל־הָרֶכֶב וְאֶת־כָּל־הַמַּחֲנֶה לְפִי־חָרֶב לִפְנֵי בָרָק וַיָּנָס סִיסְרָא מֵעַל הַמֶּרְכָּבָה וַיָּנָס
そして-混乱させた を 主は そして シセラと そして すべての 戦車と そして すべての 陣営を
H2000 H853 H3068 H853 H5516 H853 H3605 H7393 H853 H3605 H4264

そして-逃げた 戦車を から シセラは そして-降りた バラクの 前で 剣で 剣の-刃で
H5127 H4818 H4480 H5516 H3381 H1301 H6440 H2719 H6310

בְּרַגְלָיו׃
徒歩で
H7272

主はつるぎをもってシセラとすべての戦車および軍勢をことごとくバラクの前に撃ち敗られたので、シセラは戦車から飛びおり、徒歩で逃げ去った。

16 וּבָרָק רָדַף אַחֲרֵי הָרֶכֶב וְאַחֲרֵי הַמַּחֲנֶה עַד חֲרֹשֶׁת הַגּוֹיִם וַיִּפֹּל כָּל־מַחֲנֵה סִיסְרָא לְפִי־חָרֶב לֹא נִשְׁאַר עַד־אֶחָד׃
そして-バラクは 追った 後を 戦車の そして-後を 陣営の まで ハロシェテ 異邦人の
H1301 H7291 H310 H7393 H310 H4264 H5704 H2800 H1471

そして-倒れた すべての 陣営は シセラの 剣の-刃に 剣に ない 残った者は まで 一人も
H5307 H3605 H4264 H5516 H6310 H2719 H3808 H7604 H5704 H259

バラクは戦車と軍勢とを追撃してハロセテ・ゴイムまで行った。シセラの軍勢はことごとくつるぎにたおれて、残ったものはひとりもなかった。

17 וְסִיסְרָא֙ נָ֣ס בְּרַגְלָ֔יו אֶל־אֹ֖הֶל יָעֵ֣ל אֵֽשֶׁת־חֶ֑בֶר כִּ֣י שָׁל֤וֹם בֵּין־יָבִין֙ מֶ֣לֶךְ־חָצ֔וֹר וּבֵ֖ית חֶ֥בֶר הַקֵּינִֽי׃

そして–シセラは 逃げた 徒歩で へ 天幕 ヤエルの 妻 ヘベルの ケニ人の なぜなら
H5516 H5127 H7272 H0413 H0168 H3278 H0802 H2268 H7017

平和が 間に ヤビンと 王 ハツォルの そして–間の 家 ヘベルの ケニ人の
H7965 H0996 H2985 H4428 H2674 H0996 H0408 H2268 H7017

しかしシセラは徒歩で逃げ去って、ケニびとヘベルの妻ヤエルの天幕に行った。ハゾルの王ヤビンとケニびとヘベルの家とは互にむつまじかったからである。

18 וַתֵּצֵ֤א יָעֵל֙ לִקְרַ֣את סִיסְרָ֔א וַתֹּ֥אמֶר אֵלָ֖יו סוּרָ֣ה אֲדֹנִ֑י סוּרָ֣ה אֵלַ֔י אַל־תִּירָ֖א וַיָּ֣סַר אֵלֶ֔יהָ הָאֹ֖הֳלָה וַתְּכַסֵּ֥הוּ בַּשְּׂמִיכָֽה׃

そして–出て来た ヤエルは 迎えに シセラを そして–言った 彼に お入りください わが–主よ
H3318 H3278 H7125 H5516 H0559 H0413 H5493 H0113

そして–覆った 毛布で 天幕の–中に 彼女のもとに そして–入った 恐れなさるな ない わたしのもとに お入りください
H3680 H8063 H0168 H0413 H5493 H3372 H0408 H0413 H5493

ヤエルは出てきてシセラを迎え、彼に言った、「おはいりください。主よ、どうぞうちへおはいりください。恐れるにはおよびません」。シセラが天幕にはいったので、ヤエルは毛布をもって彼をおおった。

19 וַיֹּ֣אמֶר אֵלֶ֗יהָ הַשְׁקִינִי־נָ֤א מְעַט־מַ֙יִם֙ כִּ֣י צָמֵ֔אתִי וַתִּפְתַּ֙ח֙ אֶת־נֹ֣אד הֶֽחָלָ֔ב וַתַּשְׁקֵ֖הוּ וַתְּכַסֵּֽהוּ׃

そして–言った 彼女に 飲ませてくれ どうか 少しの 水を なぜなら 渇いている そして–開けた
H0559 H0413 H8248 H4994 H4592 H4325 H3588 H6770 H6605

を 革袋 乳の そして–飲ませた そして–覆った
H0853 H4997 H2461 H8248 H3680

シセラはヤエルに言った、「どうぞ、わたしに水を少し飲ませてください。のどがかわきましたから」。ヤエルは乳の皮袋を開いて彼に飲ませ、また彼をおおった。

20 וַיֹּ֣אמֶר אֵלֶ֗יהָ עֲמֹ֤ד פֶּ֙תַח֙ הָאֹ֔הֶל וְהָיָ֣ה אִ֤ישׁ יָבֹוא֙ וְשָׁאֲלֵ֣ךְ וְאָמַ֔רְתְּ הֲיֶ֥שׁ פֹּ֖ה אִ֑ישׁ וְאָמַ֥רְתְּ אָֽיִן׃

そして–言った 彼女に 立っていなさい 入り口に 天幕の もし そして–もし 人が 来て
H0559 H0413 H5975 H6607 H0168 H0518 H1961 H0376 H0935

そして–尋ねたら そして–言ったら いるか ここに 人は そして–言いなさい いない–と
H7592 H0559 H3426 H6311 H0376 H0559 H0369

シセラはまたヤエルに言った、「天幕の入口に立っていてください。もし人がきて、あなたに『だれか、ここにおりますか』と問うならば『おりません』と答えてください」。

21 וַתִּקַּ֣ח יָעֵ֗ל אֵֽשֶׁת־חֶ֙בֶר֙ אֶת־יְתַ֣ד הָאֹ֔הֶל וַתָּ֥שֶׂם בְּיָדָ֖הּ וַתָּב�ֹ֣וא אֵלָ֑יו וַתִּתְקַ֤ע אֶת־הַיָּתֵד֙ בִּרַקָּתֹ֔ו וַתִּצְנַ֖ח בָּאָ֣רֶץ וְה֑וּא נִרְדָּ֥ם וְיָעֵ֖ף וַיָּמֹֽת׃

そして–取った ヤエルは 妻 ヘベルの を 天幕の 杭を そして–置いた を
H3947 H3278 H0802 H2268 H0853 H0168 H3489 H0853

槌を 手に そして–来た 彼のもとに 静かに そして–打ち込んだ を 杭を こめかみに
H4464 H3027 H0935 H0413 H3814 H8628 H0853 H3489 H7541

そして–突き刺さった 地に そして–彼は 深く–眠っていて そして–疲れ果て そして–死んだ
H6795 H0776 H1931 H7290 H3286 H4191

しかし彼が疲れて熟睡したとき、ヘベルの妻ヤエルは天幕のくぎを取り、手に槌を携えて彼に忍び寄り、こめかみにくぎを打ち込んで地に刺し通したので、彼は息絶えて死んだ。

22 וְהִנֵּה בָרָק רֹדֵף אֶת־סִיסְרָא וַתֵּצֵא יָעֵל לִקְרָאתוֹ
そして-見よ バラクが 追って を シセラを そして-出て来た ヤエルは 迎えに
H2009 H1301 H7291 H0853 H5516 H3318 H3278 H7125

וַתֹּאמֶר לֹו לֵךְ וְאַרְאֶךָּ אֶת־הָאִישׁ אֲשֶׁר־אַתָּה מְבַקֵּשׁ
そして-言った 彼に 来なさい そして-見せましょう を 人を その あなたが 探している
H0559 H3212 H7200 H0853 H0376 H0834 H0859 H1245

וַיָּבֹא אֵלֶיהָ וְהִנֵּה סִיסְרָא נֹפֵל מֵת וְהַיָּתֵד בְּרַקָּתוֹ׃
そして-入った 彼女のもとに そして-見よ シセラが 倒れて 死んでいた そして-杭が こめかみに
H0935 H0413 H2009 H5516 H5307 H4191 H3489 H7541

バラクがシセラを追ってきたとき、ヤエルは彼を出迎えて言った、「おいでなさい。あなたが求めている人をお見せしましょう」。彼がヤエルの天幕にはいって見ると、シセラはこめかみにくぎを打たれて倒れて死んでいた。

23 וַיַּכְנַע אֱלֹהִים בַּיּוֹם הַהוּא אֶת יָבִין מֶלֶךְ־כְּנַעַן לִפְנֵי בְּנֵי
そして-屈服させた 神は その 日に を ヤビンを 王 カナンの 前で 子らの
H3665 H0430 H1931 H3117 H0853 H2985 H4428 H6440 H1121

יִשְׂרָאֵל׃
イスラエルの
H3478

こうしてその日、神はカナンの王ヤビンをイスラエルの人々の前に撃ち敗られた。

24 וַתֵּלֶךְ יַד בְּנֵי־יִשְׂרָאֵל הָלוֹךְ וְקָשָׁה עַל יָבִין מֶלֶךְ־כְּנַעַן
そして-なった 手は 子らの イスラエルの ますます 重く 上に ヤビン 王 カナンの
H3212 H3027 H1121 H3478 H1980 H7186 H5921 H2985 H4428 H3667

עַד אֲשֶׁר הִכְרִיתוּ אֶת יָבִין מֶלֶךְ־כְּנַעַן׃ פ
まで ついに 滅ぼした を ヤビンを 王 カナンの —
H5704 H0834 H3772 H0853 H2985 H4428 H3667

そしてイスラエルの人々の手はますますカナンびとの王ヤビンの上に重くなって、ついにカナンの王ヤビンを滅ぼすに至った。

Chapter 5

1 וַתָּשַׁר דְּבוֹרָה וּבָרָק בֶּן־אֲבִינֹעַם בַּיּוֹם הַהוּא לֵאמֹר׃
そして-歌った デボラは そして-バラクは 息子 アビノアムの 日に その 言って
H7891 H1683 H1301 H1121 H0042 H3117 H1931 H0559

その日デボラとアビノアムの子バラクは歌って言った。

2 בְּפָרַע פְּרָעוֹת בְּיִשְׂרָאֵל בְּהִתְנַדֵּב עָם בָּרֲכוּ יְהוָה׃
導く-者たちが-導いたとき 指導者たちが イスラエルで 民が-進んで-出たとき 民が ほめたたえよ 主を
H6546 H3478 H5068 H5971 H1288 H3068

「イスラエルの指導者たちは先に立ち、民は喜び勇んで進み出た。主をさんびせよ。

3 שִׁמְעוּ מְלָכִים הַאֲזִינוּ רוֹזְנִים אֲנֹכִי לַיהוָה אֲנֹכִי אָשִׁירָה אֲזַמֵּר לַיהוָה
聞け 王たちよ 耳を傾けよ 支配者たちよ わたしは 主に わたしは 歌う ほめ歌う 主に
H8085 H4428 H0238 H7336 H0595 H3068 H0595 H7891 H2167 H3068

אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל׃
神に イスラエルの
H0430 H3478

もろもろの王よ聞け、もろもろの君よ、耳を傾けよ。わたしは主に向かって歌おう、わたしはイスラエルの神、主をほめたたえよう。

4 יְהוָה בְּצֵאתְךָ מִשֵּׂעִיר בְּצַעְדְּךָ מִשְּׂדֵה אֱדוֹם אֶרֶץ רָעָשָׁה גַּם־
主よ あなたが–出たとき セイルから あなたが–進んだとき 野から エドムの 地は 震えた また
H3068 H3318 H8157 H6805 H7704 H0123 H0776 H7493 H1571

שָׁמַיִם נָטָפוּ גַּם־ עָבִים נָטְפוּ מָיִם׃
天は したたった また 雲は したたらせた 水を
H8064 H5197 H1571 H5645 H5197 H4325

主よ、あなたがセイルを出、エドムの地から進まれたとき、地は震い、天はしたたり、雲は水をしたたらせた。

5 הָרִים נָזְלוּ מִפְּנֵי יְהוָה זֶה סִינַי מִפְּנֵי יְהוָה אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל׃
山々は 流れた 前に 主の この シナイも 前に 主の 神の イスラエルの
H2022 H5140 H6440 H3068 H2088 H5514 H6440 H3068 H0430 H3478

もろもろの山は主の前に揺り動き、シナイの主、すなわちイスラエルの神、主の前に揺り動いた。

6 בִּימֵי שַׁמְגַּר בֶּן־ עֲנָת בִּימֵי יָעֵל חָדְלוּ אֳרָחוֹת וְהֹלְכֵי נְתִיבוֹת יְלַכּוּ עֲקַלְקַלּוֹת׃
日々に シャムガルの 息子 アナテの 日々に ヤエルの 絶えた 大路は そして–歩く者たちは
H3117 H8044 H1121 H6067 H3117 H3278 H2308 H0734 H1980 H3212 H6128

歩いた 道を 曲がりくねった

アナテの子シャムガルのとき、ヤエルの時には隊商は絶え、旅人はわき道をとおった。

7 חָדְלוּ פְרָזוֹן בְּיִשְׂרָאֵל חָדֵלּוּ עַד שַׁקַמְתִּי דְּבוֹרָה שַׁקַמְתִּי אֵם בְּיִשְׂרָאֵל׃
絶えた 村の–生活は イスラエルで 絶えていた まで わたしが–立ち上がった デボラよ わたしが–立ち上がった 母として イスラエルの
H2308 H6520 H3478 H2308 H5704 H7725 H1683 H7725 H0517 H3478

イスラエルには農民が絶え、かれらは絶え果てたが、デボラよ、ついにあなたは立ちあがり、立ってイスラエルの母となった。

8 יִבְחַר אֱלֹהִים חֲדָשִׁים אָז בְּרֹחַ מָגֵן אִם־ יֵרָאֶה וָרֹמַח בְּאַרְבָּעִים אֶלֶף בְּיִשְׂרָאֵל׃
選んだ 神々を 新しい その時 戦いが–あった 門に 盾は もし 見えたか 槍は 四万の 人の イスラエルの–中に
H0977 H0430 H2319 H0227 H3901 H8179 H4043 H0518 H7200 H7420 H0705 H0505 H3478

人々が新しい神々を選んだとき、戦いは門に及んだ。イスラエルの四万人のうちに、盾あるいは槍の見られたことがあったか。

9 לִבִּי לְחוֹקְקֵי יִשְׂרָאֵל הַמִּתְנַדְּבִים בָּעָם בָּרֲכוּ יְהוָה׃
わが–心は 指導者たちに イスラエルの 進んで–出た者たちに 民の–中で ほめたたえよ 主を
H3820 H2710 H3478 H5068 H5971 H1288 H3068

わたしの心は民のうちの喜び勇んで進み出たイスラエルのつかさたちと共にある。主をさんびせよ。

10

עַל־	וְהֹלְכֵי	מְדִין	עַל־	יֹשְׁבֵי	צְחֹרוֹת	אֲתֹנוֹת	רֹכְבֵי
の-上を	そして-歩く-者たちよ	敷物	の-上に	座る-者たちよ	白い	ろば	乗る-者たちよ
	H1980	H4055		H3427	H6715	H0860	H7392

שִׂיחוּ׃	דָּרֶךְ
語れ	道
H7878	H1870

茶色のろばに乗るもの、毛氈の上にすわるもの、および道を歩むものよ、共に歌え。

11

צִדְקֹת	יְהוָה	צִדְקֹת	יְתַנּוּ	שָׁם	מַשְׁאֲבִים	בֵּין	מְחַצְּצִים	מִקּוֹל
正しい-業を	主の	正しい-業を	語る	そこで	水汲み場の	間で	弓を-射る者たちの	声から
H6666	H3068	H6666	H8567	H8033	H4857	H0996		

יְהוָה׃	עַם־	לַשְּׁעָרִים	יָרְדוּ	אָז	בְּיִשְׂרָאֵל	פְּרָזֹנוֹ
主の	民は	門へ	下った	その時	イスラエルの	村々の
H3068		H8179	H3381		H3478	H6520

楽人の調べは水くむ所に聞える。かれらはそこで主の救を唱え、イスラエルの農民の救を唱えている。その時、主の民は門に下って行った。

12

בָּרָק	קוּם	שִׂיר	דַּבְּרִי־	עוּרִי	עוּרִי	דְּבוֹרָה	עוּרִי	עוּרִי
バラクよ	立ち上がれ	歌を	歌え	目覚めよ	目覚めよ	デボラよ	目覚めよ	目覚めよ
H1301			H1696	H5782	H5782	H1683	H5782	H5782

אֲבִינֹעַם׃	בֶּן־	שְׁבִיֶךָ	וְשַׁבֵּה
アビノアムの	息子よ	捕虜を	そして-捕らえよ
H0042			H7617

起きよ、起きよ、デボラ。起きよ、起きよ、歌をうたえ。立てよ、バラク、とりこを捕えよ、アビノアムの子よ。

13

לִי	יָרַד־	יְהוָה	עָם	לְאַדִּירִים	שָׁרִיד	יָרַד	אָז
わたしのために	下った	主は	民は	貴い者たちのもとに	残りの者は	下った	その時
		H3068		H0117	H8300		

בַּגִּבּוֹרִים׃
勇士たちの-中に
H1368

その時、残った者は尊い者のように下って行き、主の民は勇士のように下って行った。

14

בִּנְיָמִין	אַחֲרֶיךָ	בַּעֲמָלֵק	שָׁרְשָׁם	אֶפְרַיִם	מִנִּי
ベニヤミンは	あなたの-後に	アマレクに	根を-おろした者たちは	エフライム	から
H1144		H6002	H8328	H0669	

מֹשְׁכִים	וּמִזְּבוּלֻן	מְחֹקְקִים	יָרְדוּ	מָכִיר	מִנִּי	בָּעַמֶּיךָ
引く-者たちが	そして-ゼブルンからは	指揮官たちが	下った	マキルは	から	あなたの-民の-中に
H4900	H2074	H2710	H3381	H4353		

סֹפֵר׃	בְּשֵׁבֶט
書記の	杖で
	H7626

彼らはエフライムから出て谷に進み、兄弟ベニヤミンはあなたの民のうちにある。マキルからはつかさたちが下って行き、ゼブルンからは指揮を執るものが下って行った。

15

בָּעֵמֶק	בָּרָק	כֵּן	וְיִשָּׂשכָר	דְּבוֹרָה	עִם־	בְּיִשָּׂשכָר	וְשָׂרֵי	
谷に	バラクと	同じく	そして-イッサカルも	デボラ	と共に	イッサカルの	そして-首長たちは	
H6010	H1301		H3485	H1683		H3485	H8269	

לֵב׃	חִקְקֵי־	גְדֹלִים	רְאוּבֵן	בִּפְלַגּוֹת	בְּרַגְלָיו	שֻׁלַּח
が	心の-思い	大きかった	ルベンの	分裂の-中で	足で	遣わされた
	H2711		H7205	H6391	H7272	H7971

イッサカルの君たちはデボラと共におり、イッサカルはバラクと同じく、直ちにそのあとについて谷に突進した。しかしルベンの氏族は大いに思案した。

16

רְאוּבֵן	לִפְלַגּוֹת	עֶדָרִים	שִׁרְקוֹת	לִשְׁמֹעַ	הַמִּשְׁפְּתַיִם	בֵּין	יָשַׁבְתָּ	לָמָּה
ルベンの	分裂の-中で	群れの	笛の-音を	聞くために	羊の-囲いの	間に	座っていたのか	なぜ
H7205	H6391	H5739	H8292	H8085	H4942	H0996	H3427	H4100

לֵב׃	חִקְרֵי־	גְדוֹלִים	
が	心の-探り	大きかった	
	H2714		

なぜ、あなたは、おりの間にとどまって、羊の群れに笛吹くのを聞いているのか。ルベンの氏族は大いに思案した。

17

אֳנִיּוֹת	יָגוּר	לָמָּה	וְדָן	שָׁכַן	הַיַּרְדֵּן	בְּעֵבֶר	גִּלְעָד	
船に	とどまっていたのか	なぜ	そして-ダンは	とどまった	ヨルダン川の	向こう側に	ギルアデは	
H0591		H4100	H1835	H7931	H3383	H5676	H1568	

יִשְׁכֹּן׃	מִפְרָצָיו	וְעַל	יַמִּים	לְחוֹף	יָשַׁב	אָשֵׁר
住んでいた	入り江に	そして	海の	岸辺に	座っていた	アシェルは
H7931	H4664		H3220	H2348	H3427	H0836

ギレアデはヨルダンの向こうにとどまっていた。なぜ、ダンは舟のかたわらにとどまったか。アセルは浜べに座し、その波止場のかたわらにとどまっていた。

18

שָׂדֶה׃	מְרוֹמֵי	עַל	וְנַפְתָּלִי	לָמוּת	נַפְשׁוֹ	חֵרֵף	עַם	זְבֻלוּן
野の	高地	の-上で	そして-ナフタリも	死に	魂を	いのちを-かけた	民	ゼブルンは
	H4791		H5321	H4191	H5315			H2074

ゼブルンは命をすてて、死を恐れぬ民である。野の高い所におるナフタリもまたそうであった。

19

מֵי	עַל־	בְּתַעְנַךְ	כְּנַעַן	מַלְכֵי	נִלְחֲמוּ	אָז	נִלְחָמוּ	מְלָכִים	בָּאוּ
水	の-そばの	タアナクで	カナンの	王たちは	戦った	その時	戦った	王たちが	来た
H4325		H8590		H4428				H4428	H0935

לָקָחוּ׃	לֹא	כֶּסֶף	בָּצַע	מְגִדּוֹ
取ら-なかった	ない	銀を	獲物として	メギドの
H3947	H3808	H3701	H1215	H4023

もろもろの王たちはきて戦った。その時カナンの王たちは、メギドの水のほとりのタアナクで戦った。彼らは一片の銀をも獲なかった。

20

סִיסְרָא׃	עִם־	נִלְחֲמוּ	מִמְּסִלּוֹתָם	הַכּוֹכָבִים	נִלְחָמוּ	שָׁמַיִם	מִן־	
シセラ	と	戦った	軌道から	星々は	戦った	天	から	
H5516			H4546	H3556		H8064		

もろもろの星は天より戦い、その軌道をはなれてシセラと戦った。

21

עֹז׃	נַפְשִׁי	תִּדְרְכִי	קִישׁוֹן	נַחַל	קְדוּמִים	נַחַל	גָּרָפָם	קִישׁוֹן	נַחַל
力をもって	わが-魂よ	踏み進め	キション	川	古い	川	押し流した	キション	川は
H5797	H5315	H1869	H7028		H6917		H1640	H7028	

キションの川は彼らを押し流した、激しく流れる川、キションの川。わが魂よ、勇ましく進め。

22 אָז הָלְמוּ עִקְּבֵי־ סוּס מִדַּהֲרוֹת דַּהֲרוֹת אֲבִירָיו׃
その時 打ち鳴らした ひづめを 馬は 疾走から 疾走する 軍馬の
H0227 H1986 H6119 H5483 H1726 H1726 H0047

その時、軍馬ははせ駆けり、馬のひずめは地を踏みならした。

23 אָרוּר אָמַר מַלְאַךְ יְהוָה אָרוּר יוֹשְׁבֶיהָ כִּי לֹא־ בָאוּ
呪え 言った 使いは 主の 呪え 住民を なぜなら ない 来なかった
H0779 H0559 H4397 H3068 H0779 H3427 H3588 H3808 H0935

לְעֶזְרַת יְהוָה לְעֶזְרַת יְהוָה בַּגִּבּוֹרִים׃
助けに 主の 助けに 主の 勇士たちと共に
H5833 H3068 H5833 H3068 H1368

主の使は言った、『メロズをのろえ、激しくその民をのろえ、彼らはきて主を助けず、主を助けて勇士を攻めなかったからである』。

24 תְּבֹרַךְ מִנָּשִׁים יָעֵל אֵשֶׁת חֶבֶר הַקֵּינִי מִנָּשִׁים בָּאֹהֶל
祝福されよ 女たちの-中で ヤエルは 妻 ヘベルの ケニ人の 女たちの-中で 天幕の
H1288 H0802 H3278 H0802 H2268 H7017 H0802 H0168

תְּבֹרָךְ׃
祝福されよ
H1288

ケニびとヘベルの妻ヤエルは、女のうちの最も恵まれた者、天幕に住む女のうち最も恵まれた者である。

25 מַיִם שָׁאַל חָלָב נָתָנָה בְּסֵפֶל אַדִּירִים הִקְרִיבָה חֶמְאָה׃
水を 求めた 乳を 与えた 鉢で 高貴な 差し出した 凝乳を
H4325 H7592 H2461 H5414 H5602 H0117 H7126

シセラが水を求めると、ヤエルは乳を与えた。すなわち貴重な鉢に凝乳を盛ってささげた。

26 יָדָהּ לַיתֵד תִּשְׁלַחְנָה וִימִינָהּ לְהַלְמוּת עֲמֵלִים וְהָלְמָה סִיסְרָא
手を 杭に 伸ばし そして-右手を 打つための 働く者の-槌に そして-打った シセラを
H3027 H3489 H7971 H3225 H1989 H5999 H1986 H5516

מָחֲקָה רֹאשׁוֹ וּמָחֲצָה וְחָלְפָה רַקָּתוֹ׃
砕いた 頭を そして-打ち砕いた そして-貫いた こめかみを
H4277 H7218 H4272 H2498 H7541

ヤエルはくぎに手をかけ、右手に重い槌をとって、シセラを打ち、その頭を砕き、粉々にして、そのこめかみを打ち貫いた。

27 בֵּין רַגְלֶיהָ כָּרַע נָפַל בֵּין רַגְלֶיהָ כָּרַע נָפָל בַּאֲשֶׁר
間に 足の 砕いた 倒れ 間に 足の ひざまずき 倒れた そこで
H0996 H7272 H3766 H5307 H0996 H7272 H3766 H5307 H0834

שָׁכַב שָׁדוּד׃ נָפַל שָׁם כָּרַע
横たわった 滅ぼされて 倒れた そこに ひざまずいた
H7901 H7703 H5307 H8033 H3766

シセラはヤエルの足もとにかがんで倒れ伏し、その足もとにかがんで倒れ、そのかがんだ所に倒れて死んだ。

28 בְּעַד הַחַלּוֹן נִשְׁקְפָה וַתְּיַבֵּב אֵם סִיסְרָא בְּעַד הָאֲשְׁנָב מַדּוּעַ
越しに 窓の 見下ろした そして-嘆いた 母は シセラの 越しに 格子窓の なぜ
H1157 H2474 H8259 H2980 H0517 H5516 H1157 H0822 H4069

אֶחֱרוּ פַּעֲמֵי מַרְכְּבוֹתָיו׃ מַדּוּעַ לָבוֹא רִכְבוּ בשש
遅いのか 足音は 戦車の なぜ 来るのが 戦車は 遅れているのか
H0309 H6471 H4818 H4069 H0935 H7393 H0954

シセラの母は窓からながめ、格子窓から叫んで言った、『どうして彼の車の来るのがおそいのか、どうして彼の車の歩みがはかどらないのか』。

29 חַכְמוֹת שָׂרוֹתֶיהָ תַּעֲנֶנָּה אַף־ הִיא תָּשִׁיב אֲמָרֶיהָ לָהּ׃
賢い 侍女たちは 答えた また 彼女-自身も 繰り返した 言葉を 自分に
H2450 H8282 H6030 H0637 H1931 H7725 H0561

その侍女たちの賢い者は答え、母またみずからおのれに答えて言った、

30 הֲלֹא יִמְצְאוּ יְחַלְּקוּ שָׁלָל רֶחֶם רַחֲמָתַיִם לְרֹאשׁ גֶּבֶר שָׁלָל צְבָעִים׃
きっと 見つけている 分けている 戦利品を 娘を 二人の-娘を 一人の 男に 戦利品の
H3808 H4672 H7998 H7356 H7361 H7218 H1397 H7998

רִקְמָתַיִם צְבַע רִקְמָה צְבָעִים שָׁלָל לְסִיסְרָא צְבָעִים
二つの-刺繍を 色とりどりの 刺繍の 色とりどりの-布 戦利品の シセラに 色とりどりの-布を
H7553 H6648 H7553 H6648 H7998 H5516 H6648

שָׁלָל׃ לְצַוְּארֵי
戦利品の 首に
H7998

『彼らは獲物を得て、それを分けているのではないか、人ごとにひとり、ふたりのおなごを取り、シセラの獲物は色染めの衣、縫い取りした色染めの衣の獲物であろう。すなわち縫い取りした色染めの衣二つを、獲物としてそのくびにまとうであろう』。

31 כֵּן יֹאבְדוּ כָּל־ אוֹיְבֶיךָ יְהוָה וְאֹהֲבָיו כְּצֵאת הַשֶּׁמֶשׁ
このように 滅びよ すべての 敵は 主よ しかし-愛する-者たちは 出るように 太陽が
H0006 H3605 H0341 H3068 H0157 H3318 H8121

פ שָׁנָה׃ אַרְבָּעִים הָאָרֶץ וַתִּשְׁקֹט בִּגְבֻרָתוֹ
一 年 四十 地は そして-安らいだ 力をもって
H8141 H0705 H0776 H8252 H1369

主よ、あなたの敵はみなこのように滅び、あなたを愛する者を太陽の勢いよく上るようにしてください」。こうして後、国は四十年のあいだ太平であった。

Chapter 6

1 וַיַּעֲשׂוּ בְּנֵי־ הָרַע יְהוָה בְּעֵינֵי יְהוָה וַיִּתְּנֵם יְהוָה בְּיַד־
そして-行った 子らは 悪を 主の 目に 主は そして-渡した 手に
H3478 H7451 H3068 H5414 H3027

שָׁנִים׃ שֶׁבַע מִדְיָן
年 七 ミデヤンの
H8141 H7651 H4080

イスラエルの人々はまた主の前に悪をおこなったので、主は彼らを七年の間ミデアンびとの手にわたされた。

2 וַתָּעָז יַד־ מִדְיָן עַל־ יִשְׂרָאֵל מִפְּנֵי עָשׂוּ
そして-強くなった 手は ミデヤンの の-上に イスラエル ために 造った
H5810 H3027 H4080 H5921 H3478 H6440

וְאֶת־ בֶּהָרִים וְאֶת־ הַמְּעָרוֹת אֲשֶׁר הַמְּצָדוֹת אֶת־ יִשְׂרָאֵל בְּנֵי וְלָהֶם
そして 山々の そして 洞窟と ところの 洞穴を を イスラエルの 子らは 彼らのために
H0853 H2022 H0853 H4631 H0834 H4679 H0853 H3478

הַמְּצָדוֹת׃
要塞を
H4679

ミデアンびとの手はイスラエルに勝った。イスラエルの人々はミデアンびとのゆえに、山にある岩屋と、ほら穴と要害とを自分たちのために造った。

3

וְעֲמָלֵק	מִדְיָן	וְעָלָה	יִשְׂרָאֵל	זָרַע	אִם־	וְהָיָה
そして-アマレクと	ミデヤンと	そして-上って来た	イスラエルが	蒔いたなら	もし	そして-なった
H6002	H4080	H5927	H3478	H2232		H1961

עָלָיו׃	וְעָלוּ	קֶדֶם	וּבְנֵי־
彼らの-上に	そして-上って来た	東の	そして-子らは
	H5927		

イスラエルびとが種をまいた時には、いつもミデアンびと、アマレクびとおよび東方の民が上ってきてイスラエルびとを襲い、

4

עַזָּה	בּוֹאֲךָ	עַד־	הָאָרֶץ	יְבוּל	אֶת־	וַיַּשְׁחִיתוּ	עֲלֵיהֶם	וַיַּחֲנוּ
ガザの	入り口に	まで	地の	産物を	を	そして-滅ぼした	彼らに-対して	そして-陣を張った
H5804	H0935	H5704	H0776	H2981	H0853	H7843		H2583

וַחֲמוֹר׃	וְשׁוֹר	וָשֶׂה	בְּיִשְׂרָאֵל	מָחְיָה	יַשְׁאִירוּ	וְלֹא־	
ろばも	牛も	羊も	イスラエルに	食糧を	残さなかった	そして-ない	
H2543	H7794	H7716	H3478	H4241	H7604	H3808	

イスラエルびとに向かって陣を取り、地の産物を荒してガザの附近にまで及び、イスラエルのうちに命をつなぐべき物を残さず、羊も牛もろばも残さなかった。

5

אַרְבֶּה	כְּדֵי־	(וּבָאוּ)	[יבאו]	וְאָהֳלֵיהֶם	יַעֲלוּ	וּמִקְנֵיהֶם	הֵם׀	כִּי	
いなごの	ように	来た	来た	そして-天幕と	上って来た	そして-家畜と	彼らは	なぜなら	
H0697	H1767	H0935	H0935	H0168	H5927	H4735	H1992		

לְשַׁחֲתָהּ׃	בָּאָרֶץ	וַיָּבֹאוּ	מִסְפָּר	אֵין	וְלִגְמַלֵּיהֶם	וְלָהֶם	לָרֹב
滅ぼすために	地に	そして-来た	数が	ない	そして-らくだには	そして-彼らと	多さで
H7843	H0776	H0935	H4557	H0369	H1581		H7230

彼らが家畜と天幕を携えて、いなごのように多く上ってきたからである。すなわち彼らとそのらくだは無数であって、彼らは国を荒すためにはいってきたのであった。

6

בְּנֵי־	וַיִּזְעֲקוּ	מִדְיָן	מִפְּנֵי	מְאֹד	יִשְׂרָאֵל	וַיִּדַּל	
子らは	そして-叫んだ	ミデヤンの	ために	非常に	イスラエルは	そして-貧しくなった	
	H2199	H4080	H6440	H3966	H3478	H1809	

פ	יְהוָה׃	אֶל־	יִשְׂרָאֵל	
―	主	に	イスラエルの	
	H3068	H0413	H3478	

こうしてイスラエルはミデアンびとのために非常に衰え、イスラエルの人々は主に呼ばわった。

7

מִדְיָן׃	אֹדוֹת	עַל	יְהוָה	אֶל־	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי־	זָעֲקוּ	כִּי־	וַיְהִי
ミデヤンの	事柄	について	主	に	イスラエルの	子らが	叫んだ	とき	そして-なった
H4080	H0182		H3068	H0413	H3478		H2199		H1961

イスラエルの人々がミデアンびとのゆえに、主に呼ばわったとき、

8

לָהֶם	וַיֹּאמֶר	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי	אֶל־	נָבִיא	אִישׁ	יְהוָה	וַיִּשְׁלַח
彼らに	そして-言った	イスラエルの	子らの	に	預言者を	人を	主は	そして-遣わした
	H0559	H3478		H0413	H5030	H0376	H3068	H7971

מִמִּצְרַיִם	אֶתְכֶם	הֶעֱלֵיתִי	אָנֹכִי	יִשְׂרָאֵל	אֱלֹהֵי	וַיהוָה	אָמַר	כֹּה־
エジプトから	あなたがたを	上らせた	わたしは	イスラエルの	神は	主は	言われる	このように
H4714	H0853	H5927	H0595	H3478	H0430	H3068	H0559	H3541

עֲבָדִים׃	מִבֵּית	אֶתְכֶם	וָאַצִּיא	
奴隷の	家から	あなたがたを	そして-導き出した	
H5650		H0853	H3318	

主はひとりの預言者をイスラエルの人々につかわして彼らに言われた、「イスラエルの神、主はこう言われる、『わたしはかつてあなたがたをエジプトから導き上り、あなたがたを奴隷の家から携え出し、

9 וָאַצֵּל אֶתְכֶם מִיַּד מִצְרַיִם וּמִיַּד כָּל־ לֹחֲצֵיכֶם
そして–救い出した あなたがたを 手から エジプトの そして–手から すべての 圧迫する–者たちの
H5337 H0853 H3027 H4713 H3027 H3605 H3905

וָאֲגָרֶשׁ אוֹתָם מִפְּנֵיכֶם וָאֶתֵּנָה לָכֶם אֶת־ אַרְצָם׃
そして–追い出した 彼らを あなたがたの–前から そして–与えた あなたがたに を 地を
H1644 H0853 H6440 H5414 H0853 H0776

エジプトびとの手およびすべてあなたがたをしえたげる者の手から救い出し、あなたがたの前から彼らを追い払って、その国をあなたがたに与えた。

10 וָאֹמְרָה לָכֶם אֲנִי יְהוָה אֱלֹהֵיכֶם לֹא תִירְאוּ אֶת־ אֱלֹהֵי
そして–言った あなたがたに わたしは 主 あなたがたの–神 ない 恐れるな を 神々を
H0559 H0589 H3068 H0430 H3808 H3372 H0853 H0430

הָאֱמֹרִי אֲשֶׁר אַתֶּם יוֹשְׁבִים בְּאַרְצָם וְלֹא שְׁמַעְתֶּם בְּקוֹלִי׃
アモリ人の その あなたがたが 住んでいる 地に しかし–ない 聞かなかった わたしの–声に
H0567 H0834 H0859 H3427 H0776 H3808 H8085 H0853

פ
—

そしてあなたがたに言った、「わたしはあなたがたの神、主である。あなたがたが住んでいる国のアモリびとの神々を恐れてはならない」と。しかし、あなたがたはわたしの言葉に従わなかった』」。

11 וַיָּבֹא מַלְאַךְ יְהוָה וַיֵּשֶׁב תַּחַת הָאֵלָה אֲשֶׁר בְּעָפְרָה אֲשֶׁר
そして–来た 使いは 主の そして–座った 下に 樫の–木の ところの オフラの ところの
H0935 H4397 H3068 H3427 H8478 H0424 H6084 H0834

לְיוֹאָשׁ אֲבִיעֶזְרִי וְגִדְעוֹן בְּנוֹ חֹבֵט חִטִּים בַּגַּת לְהָנִיס מִפְּנֵי מִדְיָן׃
ヨアシュの アビエゼル人の そして–ギデオンは 息子で 打っていた 小麦を 酒ぶねで 隠すために から ミデヤン
H3101 H0033 H1439 H1121 H2251 H2406 H1660 H5127 H6440 H4080

さて主の使がきて、アビエゼルびとヨアシに属するオフラにあるテレビンの木の下に座した。時にヨアシの子ギデオンはミデアンびとの目を避けるために酒ぶねの中で麦を打っていたが、

12 וַיֵּרָא אֵלָיו מַלְאַךְ יְהוָה וַיֹּאמֶר אֵלָיו יְהוָה עִמְּךָ גִּבּוֹר הֶחָיִל׃
そして–現れた 彼に 主の 使いは 彼に 主が あなたと–共に 勇士よ 力ある
H7200 H0413 H3068 H4397 H0413 H3068 H0854 H1368 H2428

主の使は彼に現れて言った、「大勇士よ、主はあなたと共におられます」。

13 וַיֹּאמֶר אֵלָיו גִּדְעוֹן בִּי אֲדֹנָי וְיֵשׁ יְהוָה עִמָּנוּ
そして-言った 彼に ギデオンは ああ わが-主よ もし-いるなら 主が わたしたちと-共に
H0559 H0413 H1439 H0994 H0113 H3426 H3068

וְלָמָּה מְצָאַתְנוּ כָּל־ זֹאת וְאַיֵּה כָּל־ נִפְלְאֹתָיו אֲשֶׁר
そして-なぜ 降りかかったのか すべての これが そして-どこに すべての 奇しい-わざが ところの
H4100 H4672 H3605 H2063 H0346 H3605 H6381

סִפְּרוּ־ לָנוּ אֲבוֹתֵינוּ לֵאמֹר הֲלֹא מִמִּצְרַיִם הֶעֱלָנוּ יְהוָה וְעַתָּה
語った わたしたちに 父祖たちが 言って 確かに エジプトから 上らせた 主は しかし-今
H5608 H0559 H3808 H4714 H5927 H3068 H6258

נְטָשָׁנוּ יְהוָה וַיִּתְּנֵנוּ בְּכַף־ מִדְיָן׃
見捨てた 主は そして-渡した 手に ミデヤンの
H5203 H3068 H5414 H3709 H4080

ギデオンは言った、「ああ、君よ、主がわたしたちと共におられるならば、どうしてこれらの事がわたしたちに臨んだのでしょう。わたしたちの先祖が『主はわれわれをエジプトから導き上られたではないか』といって、わたしたちに告げたそのすべての不思議なみわざはどこにありますか。今、主はわたしたちを捨てて、ミデアンびとの手にわたされました」。

14 וַיִּפֶן אֵלָיו יְהוָה וַיֹּאמֶר לֵךְ בְּכֹחֲךָ זֶה וְהוֹשַׁעְתָּ אֶת־
そして-振り向いた 彼に 主は そして-言った 行け この-力で この を
H6437 H0413 H3068 H0559 H3212 H2088 H3467 H0853

יִשְׂרָאֵל מִכַּף מִדְיָן הֲלֹא שְׁלַחְתִּיךָ׃
イスラエルを 手から ミデヤンの 確かに わたしが-遣わす
H3478 H3709 H4080 H3808 H7971

主はふり向いて彼に言われた、「あなたはこのあなたの力をもって行って、ミデアンびとの手からイスラエルを救い出しなさい。わたしがあなたをつかわすのではありませんか」。

15 וַיֹּאמֶר אֵלָיו בִּי אֲדֹנָי בַּמֶּה אוֹשִׁיעַ אֶת־ יִשְׂרָאֵל הִנֵּה
そして-言った 彼に ああ わが-主よ 何をもって 救えましょうか を イスラエルを 見よ
H0559 H0413 H0994 H0136 H4100 H3467 H0853 H3478 H2009

אֶלְפִּי בְּמְנַשֶּׁה הַדַּל וְאָנֹכִי הַצָּעִיר בְּבֵית אָבִי׃
わが-氏族は マナセの-中で 最も-貧しい そして-わたしは 最も-若い 家で 父の
H0504 H4519 H1800 H0595 H6810 H0001

ギデオンは主に言った、「ああ主よ、わたしはどうしてイスラエルを救うことができましょうか。わたしの氏族はマナセのうちで最も弱いものです。わたしはまたわたしの父の家族のうちで最も小さいものです」。

16 וַיֹּאמֶר אֵלָיו יְהוָה כִּי אֶהְיֶה עִמָּךְ וְהִכִּיתָ אֶת־
そして-言った 彼に 主は なぜなら わたしが-いる あなたと-共に そして-あなたは打つ を
H0559 H0413 H3068 H0589 H1961 H5921 H5221 H0853

מִדְיָן כְּאִישׁ אֶחָד׃
ミデヤンを 一人の-人のように ひとりの
H4080 H0376 H0259

主は言われた、「しかし、わたしがあなたと共におるから、ひとりを撃つようにミデアンびとを撃つことができるでしょう」。

17 וַיֹּאמֶר אֵלָיו אִם־ נָא מָצָאתִי חֵן בְּעֵינֶיךָ
そして-言った 彼に もし どうか わたしが-見出したなら 恵みを あなたの-目に
H0559 H0413 H0518 H4994 H4672 H2580

וְעָשִׂיתָ לִּי אוֹת שְׁאַתָּה מְדַבֵּר עִמִּי׃
そして-示してください わたしに しるしを あなたが 語っている わたしと
H6213 H0226 H1696

ギデオンはまた主に言った、「わたしがもしあなたの前に恵みを得ていますならば、どうぞ、わたしと語るのがあなたであるというしるしを見せてください。

18 אַל־ נָ֣א תָמֵ֔שׁ מִזֶּ֖ה עַד־ בֹּאִ֑י אֵלֶ֙יךָ֙
ない どうか 去らないでください ここから まで わたしが–来る あなたのもとに
H0408 H4994 H4185 H2088 H5704 H0935 H0413

וְהֹצֵאתִי֙ אֶת־ מִנְחָתִ֔י וְהִנַּחְתִּ֖י לְפָנֶ֑יךָ וַיֹּאמַ֕ר אָנֹכִ֖י
そして–持ち出します を 供え物を そして–置きます あなたの–前に そして–言った わたしは
H3318 H0853 H4503 H3240 H6440 H0559 H0595

אֵשֵׁ֥ב עַ֖ד שׁוּבֶֽךָ׃
座っている まで あなたが–戻るまで
H3427 H5704 H7725

どうぞ、わたしが供え物を携えてあなたのもとにもどってきて、あなたの前に供えるまで、ここを去らないでください」。主は言われた、「わたしはあなたがもどって来るまで待ちましょう」。

19 וְגִדְעוֹן֙ בָּ֣א וַיַּ֣עַשׂ גְּדִֽי־ עִזִּ֗ים וְאֵיפַ֤ת קֶ֙מַח֙ מַצּ֔וֹת
そして–ギデオンは 入って そして–調理した 子やぎ 一匹の そして–一エパの 粉で 種なしパンを
H1439 H0935 H6213 H1423 H5795 H0374 H7058 H4682

בָּשָׂ֖ר שָׂ֣ם בַּסַּ֑ל וְהַמָּרָ֣ק שָׂ֔ם בַּפָּר֖וּר וַיּוֹצֵ֥א אֵלָ֛יו תַּ֥חַת הָאֵלָ֖ה וַיִּגָּֽשׁ׃ ס
肉を 入れた 籠に そして–煮汁を 入れた 鍋に そして–持ち出した 彼のもとに 下に へ 樫の–木の そして–差し出した 一
H1320 H7760 H5536 H4839 H7760 H6517 H3318 H0413 H0413 H8478 H0424 H5066

そこでギデオンは自分の家に行って、やぎの子を整え、一エパの粉で種入れぬパンをつくり、肉をかごに入れ、あつものをつぼに盛り、テレビンの木の下におる彼のもとに持ってきて、それを供えた。

20 וַיֹּ֨אמֶר אֵלָ֜יו מַלְאַ֣ךְ הָאֱלֹהִ֗ים קַ֚ח אֶת־ הַבָּשָׂ֣ר וְאֶת־ הַמַּצּוֹת֮ הַנַּ֣ח עַל־ הַסֶּ֣לַע הַזֶּ֣ה וְאֶת־ הַמָּרָ֣ק שְׁפֹ֔ךְ וַיַּ֖עַשׂ כֵּֽן׃
そして–言った 彼に 使いは 神の 取りなさい を 肉と そして 種なしパンを 置きなさい の–上に 岩 この そして 注ぎなさい 煮汁を そして–行った そのように
H0559 H0413 H4397 H0430 H7760 H0853 H1320 H0853 H4682 H7760 H0413 H5553 H1975 H0853 H8210 H4839 H6213 H3651

神の使は彼に言った、「肉と種入れぬパンをとって、この岩の上に置き、それにあつものを注ぎなさい」。彼はそのようにした。

21 וַיִּשְׁלַ֨ח מַלְאַ֤ךְ יְהוָה֙ אֶת־ קְצֵ֣ה הַמִּשְׁעֶ֔נֶת אֲשֶׁ֥ר בְּיָד֖וֹ וַיִּגַּ֣ע בַּבָּשָׂ֣ר וּבַמַּצּ֑וֹת וַתַּ֣עַל הָאֵ֗שׁ מִן־ הַצּוּר֙ וַתֹּ֣אכַל אֶת־ הַבָּשָׂ֣ר וְאֶת־ הַמַּצּ֔וֹת וּמַלְאַ֥ךְ יְהוָ֖ה הָלַ֣ךְ מֵעֵינָ֑יו׃
そして–伸ばした 使いは 主の を 先端を 杖の ところの 手の–中の そして–触れた 肉に そして–種なしパンに そして–上がった 火が から 岩 そして–焼き尽くした を 肉と そして 種なしパンを そして 主の 去った 目の–前から
H7971 H4397 H3068 H0853 H7971 H4294 H3027 H5060 H1320 H4682 H5927 H0784 H4696 H0398 H0853 H1320 H4682 H0853 H3068 H1980 H5869

すると主の使が手にもっていたつえの先を出して、肉と種入れぬパンに触れると、岩から火が燃えあがって、肉と種入れぬパンとを焼きつくした。そして主の使は去って見えなくなった。

22

אֲהָהּ	גִּדְעוֹן	וַיֹּאמֶר	ס	הֲוּא	יְהוָה	מַלְאַךְ	כִּי־	גִּדְעוֹן	וַיַּרְא
ああ	ギデオンは	そして-言った	—	あった	主の	使いで	こと	ギデオンは	そして-見た
H0162	H1439	H0559		H1931	H3068	H4397		H1439	H7200

פָּנִים׃	אֶל־	פָּנִים	יְהוָה	מַלְאַךְ	רָאִיתִי	כֵּן	עַל־	כִּי־	יְהוִה	אֲדֹנָי
顔	に	顔と	主の	使いを	わたしは-見た	それ	の-ゆえに	なぜなら	主よ	わが-主なる
H6440	H0413	H6440	H3068	H4397	H7200				H3069	H0136

ギデオンはその人が主の使であったことをさとって言った、「ああ主なる神よ、どうなることでしょう。わたしは顔をあわせて主の使を見たのですから」。

23

תָּמוּת׃	לֹא	תִירָא	אַל־	לְךָ	שָׁלוֹם	יְהוָה	לוֹ	וַיֹּאמֶר
死なない	ない	恐れるな	ない	あなたに	平安	主は	彼に	そして-言った
H4191	H3808	H3372	H0408		H7965	H3068		H0559

主は彼に言われた、「安心せよ、恐れるな。あなたは死ぬことはない」。

24

שָׁלוֹם	יְהוָה	לוֹ	וַיִּקְרָא־	לַיהוָה	מִזְבֵּחַ	גִּדְעוֹן	שָׁם	וַיִּבֶן	
平安	主は	それを	そして-名づけた	主のために	祭壇を	ギデオンは	そこに	そして-建てた	
H7965	H3068		H7121	H3068	H4196	H1439	H8033	H1129	

פ	עֶפְרַת אֲבִי־הָעֶזְרִי׃	בְּעָפְרָה	עוֹדֶנּוּ	הַזֶּה	הַיּוֹם	עַד
—	アビエゼル人の	オフラに	まだ-ある	この	日	まで
	H0033	H6084	H5750	H2088	H3117	H5704

そこでギデオンは主のために祭壇をそこに築いて、それを「主は平安」と名づけた。これは今日までアビエゼルびとのオフラにある。

25

הַשּׁוֹר	פַּר־	אֶת־	קַח	יְהוָה	לוֹ	וַיֹּאמֶר	הַהוּא	בַּלַּיְלָה	וַיְהִי
若い-牛を	雄牛	を	取れ	主は	彼に	そして-言った	その	夜に	そして-なった
H7794	H6499	H0853	H3947	H3068		H0559	H1931	H3915	H1961

הַבַּעַל	מִזְבַּח	אֶת־	וְהָרַסְתָּ	שָׁנִים	שֶׁבַע	הַשֵּׁנִי	וּפַר	לְאָבִיךָ	אֲשֶׁר
バアルの	祭壇を	を	そして-壊せ	歳の	七	二番目の	そして-雄牛	あなたの-父の	ところの
	H4196	H0853	H2040	H8141	H7651	H8145	H6499	H0001	

תִּכְרֹת׃	עָלָיו	אֲשֶׁר־	הָאֲשֵׁרָה	וְאֶת־	לְאָבִיךָ	אֲשֶׁר
切り倒せ	そばの	ところの	アシェラ像を	そして	あなたの-父の	ところの
H3772			H0842	H0853	H0001	

その夜、主はギデオンに言われた、「あなたの父の雄牛と七歳の第二の雄牛とを取り、あなたの父のもっているバアルの祭壇を打ちこわし、そのかたわらにあるアシラ像を切り倒し、

26

בַּמַּעֲרָכָה	הַזֶּה	הַמָּעוֹז	רֹאשׁ	עַל	אֱלֹהֶיךָ	לַיהוָה	מִזְבֵּחַ	וּבָנִיתָ	
整えた-所に	この	砦の	頂	の-上に	あなたの-神の	主のために	祭壇を	そして-建てよ	
H4634	H2088	H4581				H3068	H4196	H1129	

הָאֲשֵׁרָה	בַּעֲצֵי	עוֹלָה	וְהַעֲלִיתָ	הַשֵּׁנִי	הַפָּר	אֶת־	וְלָקַחְתָּ	
アシェラ像の	木で	全焼のいけにえを	そして-ささげよ	二番目の	雄牛	を	そして-取れ	
H0842	H6086		H5927	H8145	H6499	H0853	H3947	

תִּכְרֹת׃	אֲשֶׁר
切り倒す	ところの
H3772	

あなたの神、主のために、このとりでの頂に、石を並べて祭壇を築き、第二の雄牛を取り、あなたが切り倒したアシラの木をもって燔祭をささげなさい」。

27

וַיִּקַּח גִּדְעוֹן עֲשָׂרָה אֲנָשִׁים מֵעֲבָדָיו וַיַּעַשׂ כַּאֲשֶׁר דִּבֶּר
そして-取った ギデオンは 十 人の しもべたちから そして-行った とおりに 語った
H3947 H1439 H6235 H0376 H5650 H6213 H1696

יְהוָה אֵלָיו וַיְהִי כַּאֲשֶׁר יָרֵא אֶת־בֵּית אָבִיו וְאֶת־אַנְשֵׁי הָעִיר
主が 彼に そして-なった ので 恐れた を 家を 父の そして 人々を 町の
H3068 H0413 H1961 H3372 H0853 H1004 H0853 H0376 H5892

מֵעֲשׂוֹת יוֹמָם וַיַּעַשׂ לָיְלָה׃
行うことを 昼に そして-行った 夜に
H4639 H3119 H6213 H3915

ギデオンはしもべ十人を連れて、主が言われたとおりにおこなった。ただし彼は父の家族のもの、および町の人々を恐れたので、昼それを行うことができず、夜それを行った。

28

וַיַּשְׁכִּימוּ אַנְשֵׁי הָעִיר בַּבֹּקֶר וְהִנֵּה נִתַּץ מִזְבַּח הַבַּעַל
そして-早く起きた 人々は 町の 朝に そして-見よ 壊されていた 祭壇は バアルの
H7925 H0376 H5892 H1242 H2009 H5422 H4196 H1168

וְאֶת־הָאֲשֵׁרָה אֲשֶׁר־עָלָיו כָּרֻתָה הַשֵּׁנִי הַפָּר וְאֵת הָעֹלָה
そして-アシェラ像は ところの そばの 切り倒されていた 二番目の 雄牛が そして ささげられていた
H0842 H0834 H5921 H3772 H8145 H6499 H0853 H5927

הַמִּזְבֵּחַ עַל־הַבָּנוּי׃
祭壇 の-上に 建てられた
H4196 H5921 H1129

町の人々が朝早く起きて見ると、バアルの祭壇は打ちこわされ、そのかたわらのアシラ像は切り倒され、新たに築いた祭壇の上に、第二の雄牛がささげられてあった。

29

וַיֹּאמְרוּ אִישׁ אֶל־רֵעֵהוּ מִי עָשָׂה הַדָּבָר הַזֶּה וַיְבַקְשׁוּ וַיִּדְרְשׁוּ
そして-言った 人は に 隣人に 誰が 行った 事を この そして-探した そして-調べた
H0559 H0376 H0413 H7453 H4310 H6213 H1697 H2088 H1245 H1875

וַיֹּאמְרוּ גִּדְעוֹן בֶּן־יוֹאָשׁ עָשָׂה הַדָּבָר הַזֶּה׃
そして-言った ギデオンが 息子 ヨアシュの 行った 事を この
H0559 H1439 H1121 H3101 H6213 H1697 H2088

そこで彼らは互に「これはだれのしわざか」と言って問い尋ねたすえ、「これはヨアシの子ギデオンのしわざだ」と言った。

30

וַיֹּאמְרוּ אַנְשֵׁי הָעִיר אֶל־יוֹאָשׁ הוֹצֵא אֶת־בִּנְךָ וְיָמֻת
そして-言った 人々は 町の に ヨアシュ 出せ を あなたの-息子を そして-死なせよ
H0559 H0376 H5892 H0413 H3101 H3318 H0853 H1121 H4191

כִּי נָתַץ אֶת־מִזְבַּח הַבַּעַל וְכִי כָרַת אֲשֶׁר־עָלָיו׃ הָאֲשֵׁרָה
なぜなら 壊した を 祭壇を バアルの そして-なぜなら 切り倒した ところの そばの アシェラ像を
H3564 H0853 H4196 H1168 H3772 H0834 H5921 H0842

町の人々はヨアシに言った、「あなたのむすこを引き出して殺しなさい。彼はバアルの祭壇を打ちこわしそのかたわらにあったアシラ像を切り倒したのです」。

31 וַיֹּאמֶר יוֹאָשׁ לְכֹל הָעֹמְדִים עָלָיו הַאַתֶּם תְּרִיבוּן
そして-言った ヨアシュは すべてに ところの 立っていた 彼に-対して あなたがたが 争うのか
H0559 H3101 H3605 H0834 H5975 H5921 H0859 H7378

אִם לַבַּעַל אַתֶּם תּוֹשִׁיעוּן אוֹתוֹ הָאֹמֵר אֲשֶׁר יָרִיב לוֹ יוּמַת עַד בֹּקֶר
もし バアルのために あなたがたが 救うのか 彼を ところの 争う 彼のために 殺されよ まで 朝
H0518 H1168 H0859 H3467 H0853 H0834 H7378 H0518 H4191 H5704 H1242

אִם אֱלֹהִים הוּא כִּי נָתַץ אֶת מִזְבְּחוֹ לוֹ יָרֵב כִּי
もし 神で ある なぜなら 壊した を 祭壇を 自分のために 争えばよい なぜなら
H0518 H0430 H1931 H5422 H0853 H4196 H0518 H7378 H3588

しかしヨアシは自分に向かって立っているすべての者に言った、「あなたがたはバアルのために言い争うのですか。あるいは彼を弁護しようとなさるのですか。バアルのために言い争う者は、あすの朝までに殺されるでしょう。バアルがもし神であるならば、自分の祭壇が打ちこわされたのだから、彼みずから言い争うべきです」。

32 עַל כִּי אָמַר יָרֵב בַּעַל בּוֹ כִּי נָתַץ אֶת מִזְבְּחוֹ
なぜなら バアルが 彼と 争えばよい 言って エルバアルと その 日に 彼を そして-名づけた
H3588 H1168 H0518 H7378 H0559 H3378 H1931 H3117 H0518 H7121

פ יְרֻבַּעַל בַּיּוֹם הַהוּא וַיִּקְרָא לוֹ יְרֻבַּעַל הַהוּא בַּיּוֹם לוֹ וַיִּקְרָא־ כִּי אָמַר יָרֵב בַּעַל בּוֹ כִּי נָתַץ אֶת מִזְבְּחוֹ
— 祭壇を を 壊した
H4196 H0853 H5422

そこでその日、「自分の祭壇が打ちこわされたのだから、バアルみずからその人と言い争うべきです」と言ったので、ギデオンはエルバアルと呼ばれた。

33 וְכָל מִדְיָן וַעֲמָלֵק וּבְנֵי קֶדֶם נֶאֶסְפוּ יַחְדָּו
そして-すべての ミデヤンと そして-アマレクと そして-子らは 東の 集まった 共に
H3605 H4080 H6002 H1121 H6924 H0622 H3162

וַיַּעַבְרוּ וַיַּחֲנוּ בְּעֵמֶק יִזְרְעֶאל
そして-渡り そして-陣を張った 谷に イズレエルの
H5674 H2583 H6010 H3157

時にミデアンびと、アマレクびとおよび東方の民がみな集まってヨルダン川を渡り、エズレルの谷に陣を取ったが、

34 וְרוּחַ יְהוָה לָבְשָׁה אֶת גִּדְעוֹן וַיִּתְקַע בַּשּׁוֹפָר וַיִּזָּעֵק
そして-霊が 主の まとった を ギデオンを そして-吹き鳴らした 角笛を そして-召集された
H7307 H3068 H3847 H0853 H1439 H8628 H7782 H2199

אֲבִיעֶזֶר אַחֲרָיו
アビエゼルは 彼の-後に
H0044 H0310

主の霊がギデオンに臨み、ギデオンがラッパを吹いたので、アビエゼルびとは集まって彼に従った。

35 וּמַלְאָכִים שָׁלַח בְּכָל מְנַשֶּׁה וַיִּזָּעֵק גַּם הוּא אַחֲרָיו
そして-使者たちを 遣わした すべての マナセに そして-召集された また 彼も 彼の-後に
H4397 H7971 H3605 H4519 H2199 H1571 H1931 H0310

וּמַלְאָכִים שָׁלַח בְּאָשֵׁר וּבִזְבֻלוּן וּבְנַפְתָּלִי וַיַּעֲלוּ
そして-使者たちを 遣わした アシェルに そして-ゼブルンに そして-ナフタリに そして-上って来た
H4397 H7971 H0836 H2074 H5321 H5927

לִקְרָאתָם
迎えに
H7125

次に彼があまねくマナセに使者をつかわしたので、マナセびともまた集まって彼に従った。彼がまたアセル、ゼブルンおよびナフタリに使者をつかわすと、その人々も上って彼を迎えた。

36 וַיֹּ֤אמֶר גִּדְעוֹן֙ אֶל־הָאֱלֹהִ֔ים אִם־יְשֶׁ֥ךָ מוֹשִׁ֛יעַ בְּיָדִ֖י
そして–言った ギデオンは に 神 もし あなたが 救おうとしている わたしの–手で
H1696 H3478 H0853 H3027

כַּאֲשֶׁ֣ר דִּבַּ֑רְתָּ׃
とおりに 語られた
H1696

ギデオンは神に言った、「あなたがかつて言われたように、わたしの手によってイスラエルを救おうとされるならば、

37 הִנֵּ֗ה אָנֹכִי֙ מַצִּ֣יג גִּזַּ֣ת הַצֶּ֔מֶר בַּגֹּ֖רֶן אִם־טַ֣ל יְהִ֣י
見よ わたしは 置く 羊の–毛を 羊毛の 打ち場に もし 露が あるなら の–上に
H2009 H0595 H3322 H0853 H1492 H6785 H1637 H2919 H1961

עַל־הַגִּזָּ֣ה לְבַדָּ֔הּ וְעַל־כָּל־הָאָ֖רֶץ חָֽרֵב֙ וְיָדַ֣עְתִּי֔ כִּ֥י תוֹשִׁ֛יעַ
だけに 羊毛 そして すべての 地は 乾いているなら そして–わたしは知る こと 救われる
H0905 H1492 H0776 H3605 H2919 H3045 H3467

בְּיָדִ֖י כַּאֲשֶׁ֣ר דִּבַּ֑רְתָּ׃
わたしの–手で とおりに 語られた
H3027 H1696

わたしは羊の毛一頭分を打ち場に置きますから、露がその羊の毛の上にだけあって、地がすべてかわいているようにしてください。これによってわたしは、あなたがかつて言われたように、わたしの手によってイスラエルをお救いになることを知るでしょう」。

38 וַיְהִי־כֵ֗ן וַיַּשְׁכֵּם֙ מִמָּחֳרָ֔ת וַיָּ֥עַר אֶת־הַגִּזָּ֖ה
そして–なった そのとおりに そして–早く起きた 翌朝 そして–絞った を 羊毛を
H1961 H7925 H4283 H2115 H0853 H1492

וַיִּמְצֶ֤ה טַל־מִן־הַגִּזָּה֙ מְלֹ֣א הַסָּ֔פֶל מַ֖יִם׃
そして–絞り出した 露を から 羊毛 満ちるほど 鉢に 水が
H4680 H2919 H4480 H1492 H4393 H5602 H4325

すなわちそのようになった。彼が翌朝早く起きて、羊の毛をかき寄せ、その毛から露を絞ると、鉢に満ちるほどの水が出た。

39 וַיֹּ֤אמֶר גִּדְעוֹן֙ אֶל־הָאֱלֹהִ֔ים אַל־יִֽחַר־אַפְּךָ֖ בִּ֑י
そして–言った ギデオンは に 神 ない 怒りが わたしに
H0559 H0413 H0430 H0408 H0639 H0413

וְאֲדַבְּרָ֣ה אַ֤ךְ הַפָּעַם֙ אֲנַסֶּ֣ה נָּ֔א רַ֥ק הַפַּ֖עַם
そして–語らせてください ただ 今回 試させてください どうか ただ 今回
H1696 H0389 H6471 H5254 H4994 H7535 H6471

בַּגִּזָּ֑ה וִיהִי־חֹ֣רֶב עַל־כָּל־הָאָ֗רֶץ וְטַ֖ל יִהְיֶ֥ה עַל־הַגִּזָּֽה׃
羊毛で あるように 乾いて すべての 地には あるように 露が 羊毛
H1492 H2919 H1961 H0776 H3605 H1961 H1492

ギデオンは神に言った、「わたしをお怒りにならないように願います。わたしにもう一度だけ言わせてください。どうぞ、もう一度だけ羊の毛をもってためさせてください。どうぞ、羊の毛だけをかわかして、地にはことごとく露があるようにしてください」。

40

לְבַדָּהּ	הַגִּזָּה	אֶל־	חָרֵב	וַיְהִי־	הַהִוא	בַּלַּיְלָה	כֵּן	אֱלֹהִים	וַיַּעַשׂ
だけ	羊毛	に	乾いて	そして–あった	その	夜に	そのとおりに	神は	そして–行った
H0905	H1492	H0413		H1961	H1931	H3915		H0430	

פ	טָל׃	הָיָה	הָאָרֶץ	כָּל־	וְעַל־
—	露が	あった	地には	すべての	そして
	H2919	H1961	H0776	H3605	

神はその夜、そうされた。すなわち羊の毛だけかわいて、地にはすべて露があった。

Chapter 7

1

אֲשֶׁר	הָעָם	וְכָל־	גִּדְעוֹן	הוּא	יְרֻבַּעַל	וַיַּשְׁכֵּם
ところの	民は	そして–すべての	ギデオンである	彼は	エルバアルは	そして–早く起きた
		H3605	H1439	H1931	H3378	H7925

לוֹ	הָיָה־	מִדְיָן	וּמַחֲנֵה	חֲרֹדעִין	עַל־	וַיַּחֲנוּ	אִתּוֹ
彼にとって	あった	ミデヤンの	そして–陣営は	エン–ハロデ	の–そばに	そして–陣を張った	彼と–共の
	H1961	H4080	H4264	H5878		H2583	H0854

בָּעֵמֶק׃	הַמּוֹרֶה	מִגִּבְעַת	מִצָּפוֹן
谷の–中に	モレの	丘から	北に
	H4176	H1389	H6828

さてエルバアルと呼ばれるギデオンおよび彼と共にいたすべての民は朝早く起き、ハロデの泉のほとりに陣を取った。ミデアンびとの陣は彼らの北の方にあり、モレの丘に沿って谷の中にあった。

2

אִתָּךְ	אֲשֶׁר	הָעָם	רַב	גִּדְעוֹן	אֶל־	יְהוָה	וַיֹּאמֶר
あなたと–共の	ところの	民は	多すぎる	ギデオン	に	主は	そして–言った
H0854				H1439	H0413	H3068	H0559

עָלַי	יִתְפָּאֵר	פֶּן־	בְּיָדָם	מִדְיָן	אֶת־	מִתְתִּי	
わたしに–対して	誇るであろう	恐れがある	彼らの–手に	ミデヤンを	を	わたしが–渡すには	
		H6435	H3027	H4080	H0853	H5414	

לִי׃	הוֹשִׁיעָה	יָדִי	לֵאמֹר	יִשְׂרָאֵל
わたしを	救った	わが–手が	言って	イスラエルが
	H3467	H3027	H0559	H3478

主はギデオンに言われた、「あなたと共におる民はあまりに多い。ゆえにわたしは彼らの手にミデアンびとをわたさない。おそらくイスラエルはわたしに向かってみずから誇り、『わたしは自身の手で自分を救ったのだ』と言うであろう。

3

וְחָרֵד	יָרֵא	מִי־	לֵאמֹר	הָעָם	בְּאָזֵנֵי	נָא	קְרָא	וְעַתָּה
そして–おののく–者は	恐れる–者と	誰でも	言って	民の	耳に	どうか	告げよ	そして–今
H2730	H3373	H4310	H0559		H0241	H4994	H7121	H6258

אֶלֶף	וּשְׁנַיִם	עֶשְׂרִים	הָעָם	מִן־	וַיָּשָׁב	הַגִּלְעָד	מֵהַר	וְיִצְפֹּר	יָשֹׁב
人が	二千	二万	民の–中	から	そして–帰った	ギルアデの	山から	そして–去れ	帰れ
H0505	H8147	H6242			H7725	H1568	H2022	H6852	H7725

ס	נִשְׁאָרוּ׃	אֲלָפִים	וַעֲשֶׂרֶת	
—	残った	人が	そして–一万	
	H7604	H0505	H6235	

それゆえ、民の耳に触れ示して、『だれでも恐れおののく者は帰れ』と言いなさい」。こうしてギデオンは彼らを試みたので、民のうち帰った者は二万二千人あり、残った者は一万人であった。

4

וַיֹּאמֶר יְהוָה אֶל־גִּדְעוֹן עוֹד הָעָם רָב הוֹרֶד אוֹתָם אֶל־הַמַּיִם וְצָרַפְתִּי לְךָ שָׁם וְהָיָה אֲשֶׁר אֹמַר אֵלֶיךָ זֶה יֵלֵךְ אִתָּךְ הוּא יֵלֵךְ אִתָּךְ וְכֹל אֲשֶׁר־אֹמַר אֵלֶיךָ זֶה לֹא יֵלֵךְ אִתָּךְ הוּא לֹא יֵלֵךְ׃

וַיֹּאמֶר	יְהוָה	אֶל־	גִּדְעוֹן	עוֹד	הָעָם	רָב	הוֹרֶד	אוֹתָם	אֶל־	הַמַּיִם	וְצָרַפְתִּי	לְךָ	שָׁם	וְהָיָה
そして–言った	主は	に	ギデオン	まだ	民は	多い	下らせよ	彼らを	へ	水	そして–試す	あなたのために	そこで	そして–なる
H0559	H3068	H0413	H1439	H5750	H0853	H3381	H0853	H0413	H4325		H6884		H8033	H1961

אֲשֶׁר	אֹמַר	אֵלֶיךָ	זֶה	יֵלֵךְ	אִתָּךְ	הוּא	יֵלֵךְ	אִתָּךְ	וְכֹל	אֲשֶׁר־	אֹמַר	אֵלֶיךָ	זֶה	לֹא
ところの	わたしが–言う	あなたに	この–者は	行く	あなたと–共に	彼は	行く	あなたと–共に	そして–すべて	ところの				ない
H0559		H0413	H2088	H3212	H0854	H1931	H3212	H0854	H3605					

יֵלֵךְ׃	לֹא	הוּא	עִמָּךְ	יֵלֵךְ	לֹא־	זֶה	אֵלֶיךָ	אֹמַר	
行かない	ない	彼は	あなたと–共に	行く	ない	この–者は	あなたに	わたしが–言う	
H3212	H3808	H1931		H3212	H3808	H2088	H0413	H0559	

主はまたギデオンに言われた、「民はまだ多い。彼らを導いて水ぎわに下りなさい。わたしはそこで、あなたのために彼らを試みよう。わたしがあなたに告げて『この人はあなたと共に行くべきだ』と言う者は、あなたと共に行くべきである。またわたしがあなたに告げて『この人はあなたと共に行ってはならない』と言う者は、だれも行ってはならない」。

5

וַיּוֹרֶד גִּדְעוֹן אֶל־הַמָּיִם וַיֹּאמֶר יְהוָה אֶל־גִּדְעוֹן כֹּל אֲשֶׁר־יָלֹק מִן־הַמַּיִם בִּלְשׁוֹנוֹ כַּאֲשֶׁר יָלֵק הַכֶּלֶב וְהַעֲמַדְתָּ אוֹתוֹ לְבָדָד וְכֵן כָּל־אֲשֶׁר יִכְרַע עַל־בִּרְכָּיו לִשְׁתּוֹת׃

וַיּוֹרֶד	גִּדְעוֹן	אֶל־	הַמָּיִם	וַיֹּאמֶר	יְהוָה	אֶל־	גִּדְעוֹן	כֹּל	אֲשֶׁר־	יָלֹק	מִן־	הַמַּיִם	כַּאֲשֶׁר	יָלֵק
そして–下らせた	ギデオン	に	水	そして–言った	主は	に	ギデオン	すべて	ところの	なめる–者は	から	水	ように	なめる
H3381	H1439	H0413	H4325	H0559	H3068	H0413	H1439	H3605		H3952		H4325		H3952

הַכֶּלֶב	תַּצִּיג	אוֹתוֹ	לְבָדָד	וְכֵן	כָּל־	אֲשֶׁר	יִכְרַע	עַל־	בִּרְכָּיו	לִשְׁתּוֹת׃				
犬が	立たせよ	彼を	別に	そして	すべて	ところの	ひざまずく–者は	の–上に	ひざ	飲むために				
H3611	H3322	H0853	H0905		H3605		H3766		H1290	H8354				

そこでギデオンが民を導いて水ぎわに下ると、主は彼に言われた、「すべて犬のなめるように舌をもって水をなめる者はそれを別にしておきなさい。またすべてひざを折り、かがんで水を飲む者もそうしなさい」。

6

וְכֹל אִישׁ מֵאוֹת שְׁלֹשׁ פִּיהֶם אֶל־בְּיָדָם הַמְלַקְקִים מִסְפַּר וַיְהִי

וְכֹל	אִישׁ	מֵאוֹת	שְׁלֹשׁ	פִּיהֶם	אֶל־	בְּיָדָם	הַמְלַקְקִים	מִסְפַּר	וַיְהִי
そして–すべて	人	百	三	口に	へ	手で	なめた–者たちの	数は	そして–なった
H3605	H0376	H3967	H7969	H6310	H0413	H3027	H3952	H4557	H1961

יֶתֶר	הָעָם	כָּרְעוּ	עַל־	בִּרְכֵיהֶם	לִשְׁתּוֹת	מַיִם׃		ס	
残りの	民は	ひざまずいた	の–上に	ひざ	飲むために	水を		—	
		H3766		H1290	H8354	H4325			

そして手を口にあてて水をなめた者の数は三百人であった。残りの民はみなひざを折り、かがんで水を飲んだ。

7

וַיֹּאמֶר יְהוָה אֶל־גִּדְעוֹן בִּשְׁלֹשׁ מֵאוֹת הָאִישׁ הַמְלַקְקִים אוֹשִׁיעַ

וַיֹּאמֶר	יְהוָה	אֶל־	גִּדְעוֹן	בִּשְׁלֹשׁ	מֵאוֹת	הָאִישׁ	הַמְלַקְקִים	אוֹשִׁיעַ	
そして–言った	主は	に	ギデオン	三百の	人	の	なめた–者たちで	救う	
H0559	H3068	H0413	H1439	H7969	H3967	H0376	H3952	H3467	

אֶתְכֶם	וְנָתַתִּי	אֶת־	מִדְיָן	בְּיָדֶךָ	וְכָל־	הָעָם	יֵלְכוּ	אִישׁ	
あなたがたを	そして–渡す	を	ミデヤンを	あなたの–手に	そして–すべての	民は	行け	人は	
H0853	H5414	H0853	H4080	H3027	H3605		H3212	H0376	

לִמְקֹמוֹ׃	
自分の–場所に	
H4725	

主はギデオンに言われた、「わたしは水をなめた三百人の者をもって、あなたがたを救い、ミデアンびとをあなたの手にわたそう。残りの民はおのおのその家に帰らせなさい」。

8

וַיִּקְחוּ	אֶת־	צֵדָה	הָעָם	בְּיָדָם	וְאֶת	שׁוֹפְרֹתֵיהֶם	וְאֶת	כָּל־	אִישׁ
そして-取った	を	食糧を	民の	手に	そして	角笛を	そして	すべての	人を
H3947	H0853	H6720		H3027	H0853	H7782	H0853	H3605	H0376

וּמַחֲנֵה	הֶחֱזִיק	הָאִישׁ	מֵאוֹת	וּבִשְׁלֹשׁ־	לְאָהֳלָיו	אֲיִשׁ	שִׁלַּח	יִשְׂרָאֵל
そして-陣営は	留めた	人だけ	人の	そして-三百の	天幕に	人を	帰らせた	イスラエルの
H4264	H2388	H0376	H3967	H7969	H0168	H0376	H7971	H3478

פ	בָּעֵמֶק׃	מִתָּחַת	לוֹ	הָיָה	מִדְיָן
—	谷の-中に	下に	彼に	あった	ミデヤンの
	H6010	H8478		H1961	H4080

そこで彼はかの三百人を留めおき、残りのイスラエルびとの手から、つぼとラッパを取り、民をおのおのその天幕に帰らせた。時にミデアンびとの陣は下の谷の中にあった。

9

כִּי	בְּמַחֲנֵה	רֵד	קוּם	יְהוָה	אֵלָיו	וַיֹּאמֶר	הַהִוא	בַּלַּיְלָה	וַיְהִי
なぜなら	陣営に	下れ	立て	主は	彼に	そして-言った	その	夜に	そして-なった
	H4264	H3381		H3068	H0413	H0559	H1931	H3915	H1961

בְּיָדֶךָ׃	נְתַתִּיו
あなたの-手に	わたしは-渡した
H3027	H5414

その夜、主はギデオンに言われた、「立てよ、下っていって敵陣に攻め入れ。わたしはそれをあなたの手にわたす。

10

אֶל־	נַעַרְךָ	וּפֻרָה	אַתָּה	רֵד	לָרֶדֶת	אַתָּה	יָרֵא	וְאִם־	
へ	しもべと	そして-プラと	あなたが	下れ	下ることを	あなたが	恐れるなら	しかし-もし	
H0413	H5288	H6513		H3381	H3381		H3373		

הַמַּחֲנֶה׃
陣営
H4264

もしあなたが下って行くことを恐れるならば、あなたのしもべプラと共に敵陣に下っていって、

11

וְיָרַדְתָּ	בְּמַחֲנֵה	וְיָרַדְתָּ	יָדֶיךָ	תֶּחֱזַקְנָה	וְאַחַר	יְדַבֵּרוּ	מַה־	וְשָׁמַעְתָּ	
そして-下った	陣営に	そして-下れ	手が	強くなる	そして-その後	語るか	何を	そして-聞け	
H3381	H4264	H3381	H3027	H2388		H1696	H4100	H8085	

בְּמַחֲנֵה׃	אֲשֶׁר	הַחֲמֻשִׁים	קְצֵה	אֶל־	נַעֲרוֹ	וּפֻרָה	הוּא
陣営の	ところの	武装した-者たちの	端に	へ	しもべが	そして-プラと	彼は
H4264		H2571		H0413	H5288	H6513	H1931

彼らの言うところを聞け。そうすればあなたの手が強くなって、敵陣に攻め下ることができるであろう」。ギデオンがしもべプラと共に下って、敵陣にある兵隊たちの前哨地点に行ってみると、

12

בָּעֵמֶק	נֹפְלִים	קֶדְמָה	בְּנֵי־	וְכָל־	וַעֲמָלֵק	וּמִדְיָן		
谷に	横たわっていた	東の	子らは	そして-すべての	そして-アマレクと	そして-ミデヤンと		
H6010	H5307			H3605	H6002	H4080		

הַיָּם	שְׂפַת	שֶׁעַל־	כַּחוֹל	מִסְפָּר	אֵין	וְלִגְמַלֵּיהֶם	לָרֹב	כָּאַרְבֶּה	
海の	岸辺	ところの	砂のように	数が	ない	そして-らくだには	多さで	いなごのように	
H3220	H8193		H2344	H4557	H0369	H1581	H7230	H0697	

לָרֹב׃
多さで
H7230

ミデアンびと、アマレクびとおよびすべての東方の民はいなごのように数多く谷に沿って伏していた。そのらくだは海べの砂のように多くて数えきれなかった。

13 וַיָּבֹא גִדְעוֹן וְהִנֵּה־אִישׁ מְסַפֵּר לְרֵעֵהוּ חֲלוֹם וַיֹּאמֶר הִנֵּה
そして–来た ギデオンは そして–見よ 人が 語っていた 友人に 夢を そして–言った 見よ
H0935 H1439 H2009 H0376 H7453 H2472 H0559 H2009

חָלַמְתִּי וְהִנֵּה צְלִיל (צלול) לֶחֶם שְׂעֹרִים מִתְהַפֵּךְ בְּמַחֲנֵה
わたしは–見た そして–見よ パン 一つの パン 大麦の 転がっていた 陣営の–中を
H2472 H2009 H6742 H6742 H8184 H2015 H4264

מִדְיָן וַיָּבֹא עַד־הָאֹהֶל וַיַּכֵּהוּ וַיִּפֹּל וַיַּהֲפְכֵהוּ
ミデヤンの そして–来た まで 天幕に そして–打った そして–倒れた そして–ひっくり返した
H4080 H0935 H5704 H0168 H5221 H5307 H2015

לְמַעְלָה וְנָפַל הָאֹהֶל׃
上に そして–倒れた 天幕は
H4605 H5307 H0168

ギデオンがそこへ行ったとき、ある人がその仲間に夢を語っていた。その人は言った、「わたしは夢を見た。大麦のパン一つがミデアンの陣中にころがってきて、天幕に達し、それを打ち倒し、くつがえしたので、天幕は倒れ伏した」。

14 וַיַּעַן רֵעֵהוּ וַיֹּאמֶר זֹאת אִם־לֹא חֶרֶב גִּדְעוֹן בֶּן־
そして–答えた 友人は そして–言った ない これは 他ならぬ まさに 剣 ギデオンの 息子
H7453 H0559 H0369 H2063 H1115 H0853 H2719 H1439

יוֹאָשׁ אִישׁ יִשְׂרְאֵל נָתַן הָאֱלֹהִים בְּיָדוֹ אֶת־מִדְיָן וְאֶת־כָּל־
ヨアシュの 人 イスラエルの 渡した 神は 彼の–手に を ミデヤンと そして すべての
H3101 H0376 H3478 H5414 H0430 H3027 H0853 H4080 H0853 H3605

הַמַּחֲנֶה׃ פ
陣営を —
H4264

仲間は答えて言った、「それはイスラエルの人、ヨアシの子ギデオンのつるぎにちがいない。神はミデアンとすべての軍勢を彼の手にわたされるのだ」。

15 וַיְהִי כִּשְׁמֹעַ גִּדְעוֹן אֶת־מְסַפֵּר הַחֲלוֹם וְאֶת־שִׁבְרוֹ
そして–なった 聞いたとき ギデオンが を 話を 夢の そして 解き明かしを
H1961 H8085 H1439 H0853 H4557 H2472 H0853 H7667

וַיִּשְׁתָּחוּ וַיָּשָׁב אֶל־מַחֲנֵה יִשְׂרָאֵל וַיֹּאמֶר קוּמוּ כִּי־
そして–ひれ伏した そして–戻った へ 陣営に イスラエルの そして–言った 立て なぜなら
H7812 H7725 H0413 H4264 H3478 H0559

נָתַן יְהוָה בְּיֶדְכֶם אֶת־מַחֲנֵה מִדְיָן׃
渡した 主は あなたがたの–手に を 陣営を ミデヤンの
H5414 H3068 H3027 H0853 H4264 H4080

ギデオンは夢の物語とその解き明かしとを聞いたので、礼拝し、イスラエルの陣営に帰り、そして言った、「立てよ、主はミデアンの軍勢をあなたがたの手にわたされる」。

16 וַיַּחַץ אֶת־שְׁלֹשׁ מֵאוֹת הָאִישׁ שְׁלֹשָׁה רָאשִׁים וַיִּתֵּן שׁוֹפָרוֹת בְּיַד־
そして–分けた を 三百の 人の 人を 三つの 組に そして–渡した 角笛を 手に
H2673 H0853 H7969 H3967 H0376 H7969 H7782 H3027

כֹּלָם וְכַדֵּים רֵקִים וְלַפִּדִים בְּתוֹךְ הַכַּדִּים׃
すべての そして–空の–壺と 空の そして–たいまつを 中に 壺の
H3605 H3537 H7386 H3940 H8432 H3537

そして彼は三百人を三組に分け、手に手にラッパと、からつぼとを取らせ、つぼの中にたいまつをともさせ、

17 וַיֹּ֣אמֶר אֲלֵיהֶ֗ם מִמֶּנִּי֙ תִּרְאוּ֔ וְכֵ֖ן תַּעֲשׂ֑וּ וְהִנֵּ֣ה אָנֹכִ֔י בָּא֙
そして-言った 彼らに わたしを 見よ そして-そのように 行え そして-見よ わたしは 来る
H0559 H0413 H4264 H7200 H0589 H6213 H2009 H0595 H0935

בִּקְצֵ֣ה הַמַּחֲנֶ֔ה וְהָיָ֕ה כַּאֲשֶׁ֥ר אֶֽעֱשֶׂ֖ה כֵּ֥ן תַּעֲשׂ֖וּן׃
端に 陣営の そして-なる とおりに わたしが-行う そのように 行え
H7097 H4264 H1961 H6213 H3651 H6213

彼らに言った、「わたしを見て、わたしのするようにしなさい。わたしが敵陣のはずれに達したとき、あなたがたもわたしのするようにしなさい。

18 וְתָקַעְתִּי֙ אֲנֹכִ֔י בַּשּׁוֹפָ֖ר אֲשֶׁ֣ר וְכָל־ אִתִּ֑י
そして-わたしが吹く わたしが 角笛を ところの そして-すべての わたしと-共の
H8628 H0589 H7782 H0834 H3605 H0854

וַאֲמַרְתֶּ֗ם הַמַּחֲנֶ֔ה כָּל־ סְבִיבוֹת֙ אַתֶּ֣ם גַּם־ וּתְקַעְתֶּ֣ם בַּשּׁוֹפָר֔וֹת
そして-叫べ 陣営の すべての 周りに あなたがたも また 角笛を そして-あなたがたも吹け
H0559 H4264 H3605 H5439 H0859 H1571 H7782 H8628

פ וּלְגִדְעֽוֹן׃ לַיהוָ֖ה
— そして-ギデオンのために 主のために
H1439 H3068

わたしと共におる者がみなラッパを吹くと、あなたがたもまたすべての陣営の四方でラッパを吹き、『主のためだ、ギデオンのためだ』と言いなさい」。

19 וַיָּבֹ֤א גִדְעוֹן֙ וּמֵאָ֣ה אִ֔ישׁ אֲשֶׁר־ אִתּ֑וֹ בִּקְצֵ֣ה הַמַּחֲנֶ֔ה רֹ֖אשׁ
そして-来た ギデオンと そして-百の 人が ところの 彼と-共の 端に 陣営の 初めに
H0935 H1439 H3967 H0376 H0834 H0854 H7097 H4264 H7218

וַיִּתְקְע֣וּ הַשֹּׁמְרִ֔ים אֶת־ הֵקִ֖ימוּ אַךְ֙ הָקֵ֣ם הַתִּיכוֹנָ֔ה הָאַשְׁמֻרֶ֖ת
そして-吹き鳴らした 見張りを を 立てたばかりの ちょうど 立てた 中間の 見張りの
H8628 H8104 H0853 H6965 H0389 H6965 H8484 H0821

בַּשּׁוֹפָר֔וֹת וְנָפ֣וֹץ הַכַּדִּ֑ים אֲשֶׁ֥ר בְּיָדָֽם׃
角笛を そして-打ち砕いた 壺を ところの 手の-中の
H7782 H5310 H3537 H0834 H3027

こうしてギデオンと、彼と共にいた百人の者が、中更の初めに敵陣のはずれに行ってみると、ちょうど番兵を交代した時であったので、彼らはラッパを吹き、手に携えていたつぼを打ち砕いた。

20 וַיִּתְקְע֣וּ שְׁלֹשֶׁת֮ הָרָאשִׁים֒ בַּשּׁוֹפָר֔וֹת וַיְשַׁבְּר֖וּ הַכַּדִּ֑ים וַיַּחֲזִ֤יקוּ בִּיד־
そして-吹き鳴らした 三つの 組が 角笛を そして-砕いた 壺を そして-持った 手で
H8628 H7969 H7218 H7782 H7665 H3537 H2388 H3027

חֶ֣רֶב לַיהוָ֖ה וַיִּקְרְא֔וּ לִתְקֹ֣עַ הַשּׁוֹפָר֔וֹת יְמִינָ֖ם וּבְיַד־ בַּלַּפִּ֑ידִים שְׂמֹאולָֽם׃
剣よ 主のために そして-叫んだ 吹くために 角笛を 右の そして-手で たいまつを 左の
H2719 H3068 H7121 H8628 H7782 H3225 H3027 H3940 H8040

וּלְגִדְעֽוֹן׃
そして-ギデオンのために
H1439

すなわち三組の者がラッパを吹き、つぼを打ち砕き、左の手にはたいまつをとり、右の手にはラッパを持ってそれを吹き、「主のためのつるぎ、ギデオンのためのつるぎ」と叫んだ。

21 וַיַּעַמְדוּ֩ אִ֨ישׁ תַּחְתָּ֜יו סָבִ֣יב ׀ לַֽמַּחֲנֶ֗ה וַיָּ֙רָץ֙ כָּל־ הַֽמַּחֲנֶ֔ה וַיָּרִ֖יעוּ וַיָּנֻֽסוּ׃)וַיָּנוּסוּ׃(

וַיַּעַמְדוּ֩	אִ֨ישׁ	תַּחְתָּ֜יו	סָבִ֣יב	לַֽמַּחֲנֶ֗ה	וַיָּ֙רָץ֙	כָּל־	הַֽמַּחֲנֶ֔ה	
そして–立った	人は	自分の–場所に	周りに	陣営の	そして–走った	すべての	陣営は	
H5975	H0376	H8478	H5439	H4264	H7323	H3605	H4264	

וַיָּרִ֖יעוּ	וַיָּנֻֽסוּ׃	וַיָּנֻֽסוּ׃
そして–叫び	そして–逃げた	そして–逃げた
H7321	H5127	H5127

そしておのおのその持ち場に立ち、敵陣を取り囲んだので、敵軍はみな走り、大声をあげて逃げ去った。

22 וַיִּתְקְע֣וּ שְׁלֹ֣שׁ מֵא֗וֹת בַּשּׁוֹפָר֣וֹת֮ וַיָּ֣שֶׂם יְהוָה֒ אֶת־ חֶ֣רֶב אִ֔ישׁ בְּכָל־ הַֽמַּחֲנֶ֖ה וַיָּ֣נָס הַֽמַּחֲנֶ֑ה עַד־ בֵּ֣ית הַשִּׁטָּ֔ה צְרֵרָ֖תָה כְּעֹ֣בֶד מְחוֹלָ֔ה אָבֵ֖ל מְחֹלָ֑ה עַל־ טַבָּֽת׃

וַיִּתְקְע֣וּ	שְׁלֹ֣שׁ	מֵא֗וֹת	בַּשּׁוֹפָר֣וֹת֮	וַיָּ֣שֶׂם	יְהוָה֒	אֶת־	חֶ֣רֶב	אִ֔ישׁ	בְּכָל־	הַֽמַּחֲנֶ֖ה	וַיָּ֣נָס	הַֽמַּחֲנֶ֑ה	
そして–吹き鳴らした	三百の	人が	角笛を	そして–向けた	主は	を	剣を	人が	すべての	陣営の–中で	そして–逃げた	陣営は	
H8628	H7969	H3967	H7782	H7760	H3068	H0853	H2719	H0376	H3605	H4264	H5127	H4264	

עַד־	בֵּ֣ית הַשִּׁטָּ֔ה	צְרֵרָ֖תָה	כְּעֹ֣בֶד	מְחוֹלָ֔ה	אָבֵ֖ל	מְחֹלָ֑ה	עַל־	טַבָּֽת׃	
まで	ベト–シッタ	ツェレラへ	の–そばの	アベル–メホラの	岸	まで		タバト	
H5704	H1029	H6888	H5674	H0065	H8193	H5704		H2888	

וּבְכָל־	בְּרֵעֵ֖הוּ	וַיִּתְקְע֣וּ	שְׁלֹ֣שׁ	מֵא֗וֹת	בַּשּׁוֹפָר֣וֹת֮	וַיָּ֣שֶׂם	יְהוָה֒	אֶת־	חַרְבּ֣וֹ
そして–すべての	友人に–対して	そして–吹き鳴らした	三百の	人が	角笛を	そして–向けた	主は	を	剣を
H3605	H7453	H8628	H7969	H3967	H7782	H7760	H3068	H0853	H2719

三百人のものがラッパを吹くと、主は敵軍をしてみな互に同志打ちさせられたので、敵軍はゼレラの方、ベテシッタおよびアベルメホラの境、タバテの近くまで逃げ去った。

23 וַיִּצָּעֵ֤ק אִישׁ־ יִשְׂרָאֵל֙ מִנַּפְתָּלִ֣י וּמִן־ אָשֵׁ֔ר וּמִן־ כָּל־ מְנַשֶּׁ֖ה וַיִּרְדְּפ֥וּ אַחֲרֵ֖י מִדְיָֽן׃

וַיִּצָּעֵ֤ק	אִישׁ־	יִשְׂרָאֵל֙	מִנַּפְתָּלִ֣י	וּמִן־	אָשֵׁ֔ר	וּמִן־			
そして–召集された	人は	イスラエルの	ナフタリから	そして–から	アシェル	そして–から			
H6817	H0376	H3478	H5321		H0836				

כָּל־	מְנַשֶּׁ֖ה	וַיִּרְדְּפ֥וּ	אַחֲרֵ֖י	מִדְיָֽן׃	
すべての	マナセ	そして–追った	後を	ミデヤンの	
H3605	H4519	H7291		H4080	

イスラエルの人々はナフタリ、アセルおよび全マナセから集まってきて、ミデアンびとを追撃した。

24 וּמַלְאָכִ֣ים שָׁלַ֗ח גִּדְעוֹן֮ בְּכָל־ הַ֣ר אֶפְרַ֣יִם לֵאמֹ֣ר רְד֤וּ לִקְרַאת֙ מִדְיָ֔ן וְלִכְד֥וּ לָהֶ֖ם אֶת־ הַמַּ֑יִם עַד־ בֵּ֣ית בָּרָ֔ה וְאֶת־ הַיַּרְדֵּ֖ן וַיִּלָּכֵ֣ד כָּל־ אִ֣ישׁ אֶפְרַ֔יִם וַיִּצָּעֵ֖ק אֶת־ הַמַּ֣יִם אֶת־ הַיַּרְדֵּ֑ן עַד־ בֵּ֖ית בָּרָ֥ה וְאֶת־

וּמַלְאָכִ֣ים	שָׁלַ֗ח	גִּדְעוֹן֮	בְּכָל־	הַ֣ר	אֶפְרַ֣יִם	לֵאמֹ֣ר	רְד֤וּ	לִקְרַאת֙	מִדְיָ֔ן	וְלִכְד֥וּ	לָהֶ֖ם	אֶת־	הַמַּ֑יִם	עַד־	בֵּ֣ית בָּרָ֔ה	וְאֶת־		
そして–使者たちを	遣わした	ギデオンは	すべての	山地に	エフライムの	言って	下れ	迎え撃てよ	ミデヤンを	そして–捕らえよ	彼らのために	を	水場を	まで	ベト–バラと	そして		
H4397	H7971	H1439	H3605	H2022	H0669	H0559	H3381	H7125	H4080	H3920		H0853	H4325	H5704	H1012	H0853		

הַיַּרְדֵּ֖ן	וַיִּלָּכֵ֣ד	כָּל־	אִ֣ישׁ	אֶפְרַ֔יִם	אֶת־	הַמַּ֣יִם	אֶת־	הַיַּרְדֵּ֑ן	עַד־	בֵּ֖ית בָּרָ֥ה	וְאֶת־		
ヨルダン川を	そして–捕らえた	すべての	人は	エフライムの	を	水場を	を	ヨルダン川を	まで	ベト–バラと	そして		
H3383	H3920	H3605	H0376	H0669	H0853	H4325	H0853	H3383	H5704	H1012	H0853		

ギデオンは使者をあまねくエフライムの山地につかわし、「下ってきて、ミデアンびとを攻め、ベタバラに至るまでの流れを取り、またヨルダンをも取れ」と言わせた。そこでエフライムの人々はみな集まってきて、ベタバラに至るまでの流れを取り、またヨルダンをも取った。

25

וַיַּהַרְגוּ	זְאֵב	וְאֶת־	עֹרֵב	אֶת־	מִדְיָן	שָׂרֵי	שְׁנֵי־	וַיִּלְכְּדוּ	
そして–殺した	ゼエブを	そして	オレブと	を	ミデヤンの	首領を	二人の	そして–捕らえた	
H2026	H2062	H0853	H6159	H0853	H4080	H8269	H8147	H3920	

וַיִּרְדְּפוּ	זְאֵב	בְּיֶקֶב־	הָרְגוּ	זְאֵב	וְאֶת־	עֹרֵב	בְּצוּר־	עֹרֵב	אֶת־
そして–追った	ゼエブの	酒ぶねで	殺した	ゼエブを	そして	オレブの	岩で	オレブを	を
H7291	H2062	H3342	H2026	H2062	H0853	H6159	H6697	H6159	H0853

גִּדְעוֹן	אֶל־	הֵבִיאוּ	זְאֵב	עֹרֵב	וְרֹאשׁ־	מִדְיָן	אֶל־
ギデオンのもと	へ	持って来た	そして–ゼエブの	オレブの	そして–首を	ミデヤン	へ
H1439	H0413	H0935	H2062	H6159		H4080	H0413

לַיַּרְדֵּן׃	מֵעֵבֶר
ヨルダン川の	向こう側から
H3383	H5676

彼らはまたミデアンびとのふたりの君オレブとゼエブを捕え、オレブをオレブ岩のほとりで殺し、ゼエブをゼエブの酒ぶねのほとりで殺した。またミデアンびとを追撃し、オレブとゼエブの首を携えてヨルダンの向こうのギデオンのもとへ行った。

Chapter 8

1

לָּנוּ	עָשִׂיתָ	הַזֶּה	הַדָּבָר	מָה־	אֶפְרַיִם	אִישׁ	אֵלָיו	וַיֹּאמְרוּ
わたしたちに	行ったのか	この	事を	何の	エフライムの	人は	彼に	そして–言った
		H2088	H1697	H4100	H0669	H0376	H0413	H0559

אִתּוֹ	וַיָּרִיבוּן	בְּמִדְיָן	לְהִלָּחֶם	הָלַכְתָּ	כִּי	לָנוּ	קְרֹאת	לְבִלְתִּי
彼と	そして–争った	ミデヤンと	戦うために	行った	のに	わたしたちを	呼ぶことを	呼ばないで
H0854	H7378	H4080		H1980			H7121	H1115

בְּחָזְקָה׃
激しく
H2394

エフライムの人々はギデオンに向かい「あなたが、ミデアンびとと戦うために行かれたとき、われわれを呼ばれなかったが、どうしてそういうことをされたのですか」と言って激しく彼を責めた。

2

טוֹב	הֲלוֹא	כָּכֶם	עַתָּה	עָשִׂיתִי	מָה־	אֲלֵיהֶם	וַיֹּאמֶר	
まさる	確かに	あなたがたのように	今	わたしは–行ったか	何を	彼らに	そして–言った	
	H3808		H6258		H4100	H0413	H0559	

אֲבִיעֶזֶר׃	מִבְצִיר	אֶפְרַיִם	עֹלְלוֹת
アビエゼルの	ぶどうの–収穫より	エフライムの	落穂拾いは
H0044	H1210	H0669	H5955

ギデオンは彼らに言った、「今わたしのした事は、あなたがたのした事と比べものになりましょうか。エフライムの拾い集めた取り残りのぶどうはアビエゼルの収穫したぶどうにもまさるではありませんか。

3

וְאֶת־	עֹרֵב	אֶת־	מִדְיָן	שָׂרֵי	אֶת־	אֱלֹהִים	נָתַן	בְּיָדְכֶם	
そして	オレブと	を	ミデヤンの	首領たちを	を	神は	渡した	あなたがたの–手に	
H0853	H6159	H0853	H4080	H8269	H0853	H0430	H5414	H3027	

רוּחָם	רָפְתָה	אָז	כָּכֶם	עֲשׂוֹת	יָכֹלְתִּי	וּמַה־	זְאֵב	
怒りは	和らいだ	その時	あなたがたのように	行うことが	わたしが–できたか	そして–何を	ゼエブを	
H7307	H7503				H3201	H4100	H2062	

הַזֶּה׃	הַדָּבָר	בְּדַבְּרוֹ	מֵעָלָיו
この	言葉を	語ったとき	彼から
H2088	H1697	H1696	

神はミデアンの君オレブとゼエブをあなたがたの手にわたされました。わたしのなし得た事は、あなたがたのした事と比べものになりましょうか」。ギデオンがこの言葉を述べると、彼らの憤りは解けた。

4

אֲשֶׁר	הָאִישׁ	מֵאוֹת	וּשְׁלֹשׁ־	הוּא	עֹבֵר	הַיַּרְדֵּנָה	גִּדְעוֹן	וַיָּבֹא
ところの	人が	人の	そして–三百の	彼は	渡った	ヨルダン川に	ギデオンは	そして–来た
	H0376	H3967	H7969	H1931		H3383	H1439	H0935

וְרֹדְפִים׃	עֲיֵפִים	אֹתּוֹ
そして–追っていた	疲れて	彼と–共の
H7291	H5889	H0854

ギデオンは自分に従っていた三百人と共にヨルダンに行ってこれを渡り、疲れながらもなお追撃したが、

5

אֲשֶׁר	לָעָם	לֶחֶם	כִּכָּרוֹת	נָא	תְּנוּ־	סֻכּוֹת	לְאַנְשֵׁי	וַיֹּאמֶר
ところの	民に	パンを	パンの–丸を	どうか	ください	スコトの	人々に	そして–言った
		H3899	H3603	H4994	H5414	H5523	H0376	H0559

זֶבַח	אַחֲרֵי	רֹדֵף	וְאָנֹכִי	הֵם	עֲיֵפִים	כִּי־	בְּרַגְלָי
ゼバフと	後を	追っている	そして–わたしは	彼らは	疲れている	なぜなら	わたしの–足もとの
H2078		H7291	H0595	H1992	H5889		H7272

מִדְיָן׃	מַלְכֵי	וְצַלְמֻנָּע
ミデヤンの	王たちを	そして–ツァルムナの
H4080	H4428	H6759

彼はスコテの人々に言った、「どうぞわたしに従っている民にパンを与えてください。彼らが疲れているのに、わたしはミデアンの王ゼバとザルムンナを追撃しているのですから」。

6

בְּיָדֶךָ	עַתָּה	וְצַלְמֻנָּע	זֶבַח	הֲכַף	סֻכּוֹת	שָׂרֵי	וַיֹּאמֶר	
あなたの–手に	今	そして–ツァルムナの	ゼバフと	掬が	スコトの	首領たちは	そして–言った	
H3027	H6258	H6759	H2078	H3709	H5523	H8269	H0559	

לֶחֶם׃	לְצִבְאֶךָ	נְתָן	כִּי־
パンを	あなたの–軍に	与えるのか	なぜなら
H3899		H5414	

スコテのつかさたちは言った、「ゼバとザルムンナは、すでにあなたの手のうちにあるのですか。われわれはどうしてあなたの軍勢にパンを与えねばならないのですか」。

7

צַלְמֻנָּע	וְאֶת־	זֶבַח	אֶת־	יְהוָה	בְּתֵת	לָכֵן	גִּדְעוֹן	וַיֹּאמֶר
ツァルムナを	そして	ゼバフと	を	主が	渡されたとき	それゆえ	ギデオンは	そして–言った
H6759	H0853	H2078	H0853	H3068	H5414		H1439	H0559

הַמִּדְבָּר	וְאֶת־	הַבַּרְקָנִים׃	קוֹצֵי	אֶת־	בְּשַׂרְכֶם	אֶת־	וְדַשְׁתִּי	בְּיָדִי
荒野の	そして	とげで	いばらで	を	あなたがたの–肉を	を	そして–打つ	わたしの–手に
	H0854	H1303	H6975	H0854	H1320	H0853	H1758	H3027

ギデオンは言った、「それならば主がわたしの手にゼバとザルムンナをわたされるとき、わたしは野のいばらと、おどろをもって、あなたがたの肉を打つであろう」。

8

אוֹתוֹ	וַיַּעֲנוּ	כָּזֹאת	אֲלֵיהֶם	וַיְדַבֵּר	פְּנוּאֵל	מִשָּׁם	וַיַּעַל	
彼に	そして–答えた	同じように	彼らに	そして–語った	ペヌエルに	そこから	そして–上った	
H0853		H2063	H0413	H1696	H6439	H8033	H5927	

סֻכּוֹת׃	אַנְשֵׁי	עָנוּ	כַּאֲשֶׁר	פְּנוּאֵל	אַנְשֵׁי
スコトの	人々は	答えた	とおりに	ペヌエルの	人々は
H5523	H0376			H6439	H0376

そしてギデオンはそこからペヌエルに上り、同じことをペヌエルの人々に述べると、彼らもスコテの人々が答えたように答えたので、

9

אֶת־	אֶתְּץ	בְּשָׁלוֹם	בְּשׁוּבִי	לֵאמֹר	פְּנוּאֵל	לְאַנְשֵׁי	גַּם־	וַיֹּאמֶר	
を	壊す	平安に	わたしが–帰ったとき	言って	ペヌエルの	人々に	また	そして–言った	
H0853	H5422	H7965	H7725	H0559	H6439	H0376	H1571	H0559	

פ	הַזֹּה׃	הַמִּגְדָּל	
—	この	塔を	
	H2088	H4026	

ペヌエルの人々に言った、「わたしが安らかに帰ってきたとき、このやぐらを打ちこわすであろう」。

10

עָשָׂר	כַּחֲמֵשֶׁת	עִמָּם	וּמַחֲנֵיהֶם	בְּקַרְקֹר	וְצַלְמֻנָּע	וְזֶבַח	
十	約–五	彼らと–共に	そして–陣営が	カルカルにいた	そして–ツァルムナは	そして–ゼバフと	
H6240	H2568		H4264	H7174	H6759	H2078	

מֵאָה	וְהַנֹּפְלִים	קֶדֶם	בְּנֵי־	מַחֲנֵה	מִכֹּל	הַנּוֹתָרִים	כָּל	אֶלֶף
十二万	そして–倒れた–者は	東の	子らの	陣営の	すべての–中から	残った–者が	すべての	人
H3967	H5307			H4264	H3605	H3498	H3605	H0505

חֶרֶב׃	שֹׁלֵף	אִישׁ	אֶלֶף	וְעֶשְׂרִים
剣を	抜く–者	人	人	人の
H2719	H8025	H0376	H0505	H6242

さてゼバとザルムンナは軍勢おおよそ一万五千人を率いて、カルコルにいた。これは皆、東方の民の全軍のうち生き残ったもので、戦死した者は、つるぎを帯びているものが十二万人あった。

11

לְנֹבַח	מִקֶּדֶם	בָּאֳהָלִים	הַשְּׁכוּנֵי	דֶּרֶךְ	גִּדְעוֹן	וַיַּעַל	
ノバフと	東から	天幕の	天幕に–住む–者たちの	道で	ギデオンは	そして–上った	
H5025		H0168	H7931	H1870	H1439	H5927	

בֶּטַח׃	הָיָה	וְהַמַּחֲנֶה	הַמַּחֲנֶה	אֶת־	וַיַּךְ	וְיָגְבְּהָה	
油断して	あった	そして–陣営は	陣営を	を	そして–打った	そして–ヨグベハの	
H0983	H1961	H4264	H4264	H0853	H5221	H3011	

ギデオンはノバとヨグベハの東の隊商の道を上って、敵軍の油断しているところを撃った。

12

אֶת־	וַיִּלְכֹּד	אַחֲרֵיהֶם	וַיִּרְדֹּף	וְצַלְמֻנָּע	זֶבַח	וַיָּנֻסוּ		
を	そして–捕らえた	彼らの–後を	そして–追った	そして–ツァルムナは	ゼバフと	そして–逃げた		
H0853	H3920		H7291	H6759	H2078	H5127		

הַמַּחֲנֶה	וְכֹל־	צַלְמֻנָּע	וְאֶת־	זֶבַח	אֶת־	מִדְיָן	מַלְכֵי	שְׁנֵי
陣営を	そして–すべての	ツァルムナを	そして	ゼバフと	を	ミデヤンの	王を	二人の
H4264	H3605	H6759	H0853	H2078	H0853	H4080	H4428	H8147

הֶחֱרִיד׃
恐れさせた
H2729

ゼバとザルムンナは逃げたが、ギデオンは追撃して、ミデアンのふたりの王ゼバとザルムンナを捕え、その軍勢をことごとく撃ち敗った。

13

הֶחָרֶס׃	מַעֲלֵה	הַמִּלְחָמָה	מִן־	יוֹאָשׁ	בֶּן־	גִּדְעוֹן	וַיָּשָׁב
ヘレスの	坂から	戦い	から	ヨアシュの	息子	ギデオンは	そして–戻った
	H4608	H4421		H3101		H1439	H7725

こうしてヨアシの子ギデオンはヘレスの坂をとおって戦いから帰り、

14

וַיִּלְכָּד־ נַעַר מֵאַנְשֵׁי סֻכּוֹת וַיִּשְׁאַלֵהוּ וַיִּכְתֹּב אֵלָיו אֶת־
そして-捕らえた 若者を 人々から スコトの そして-尋ねた そして-書いた 彼に を
H3920 H5288 H0376 H5523 H7592 H3920 H0413 H0853

שָׂרֵי סֻכּוֹת וְאֶת־ זִקְנֶיהָ שִׁבְעִים וְשִׁבְעָה אִישׁ׃
首領たちを スコトの そして 長老たちを 七十 七 人の
H8269 H5523 H0853 H2205 H7657 H7651 H0376

スコテの若者ひとりを捕えて、尋ねたところ、彼はスコテのつかさたち及び長老たち七十七人の名をギデオンのために書きしるした。

15

וַיָּבֹא אֶל־ אַנְשֵׁי סֻכּוֹת וַיֹּאמֶר הִנֵּה זֶבַח וְצַלְמֻנָּע
そして-来た に 人々の スコトの そして-言った 見よ ゼバフと そして-ツァルムナだ
H0935 H0413 H0376 H5523 H0559 H2009 H2078 H6759

אֲשֶׁר חֵרַפְתֶּם אוֹתִי לֵאמֹר הֲכַף עַתָּה וְצַלְמֻנָּע זֶבַח בְּיָדֶךָ
ところの そしりした わたしを 言って 掌が 今 そして-ツァルムナの ゼバフと あなたの-手に
H0834 H2778 H0853 H0559 H3709 H6258 H6759 H2078 H3027

לַאֲנָשֶׁיךָ הַיְעֻפִים לֶחֶם׃ כִּי תִתֵּן
あなたの-人々に 疲れた パンを ことを 与えるのか
H0376 H3286 H3899 H3588 H5414

ギデオンはスコテの人々のところへ行って言った、「あなたがたがかつて『ゼバとザルムンナはすでにあなたの手のうちにあるのか。われわれはどうしてあなたの疲れた人々にパンを与えねばならないのか』と言って、わたしをののしったそのゼバとザルムンナを見なさい」。

16

וַיִּקַּח אֶת־ זִקְנֵי הָעִיר וְאֶת־ קוֹצֵי הַמִּדְבָּר וְאֶת־ הַבִּרְקָנִים
そして-取った を 長老たちを 町の そして 荒野の いばらと とげを
H3947 H0853 H2205 H5892 H0853 H7975 H0853 H1303

וַיֹּדַע בָּהֶם אֶת אַנְשֵׁי סֻכּוֹת׃
そして-罰した それらで を 人々を スコトの
H3045 H0853 H0376 H5523

そして彼は、その町の長老たちを捕え、野のいばらと、おどろとを取り、それをもってスコテの人々を懲らし、

17

וְאֶת־ מִגְדַּל פְּנוּאֵל נָתָץ וַיַּהַרֹג אֶת־ אַנְשֵׁי הָעִיר׃
そして 塔を ペヌエルの 壊した そして-殺した を 人々を 町の
H0853 H4026 H6439 H5422 H2026 H0853 H0376 H5892

またペヌエルのやぐらを打ちこわして町の人々を殺した。

18

וַיֹּאמֶר אֶל־ זֶבַח וְאֶל־ צַלְמֻנָּע אֵיפֹה הָאֲנָשִׁים אֲשֶׁר הָרַגְתֶּם
そして-言った に ゼバフと そして-に ツァルムナ どこにいる 人々は ところの 殺した
H0559 H0413 H2078 H0413 H6759 H0375 H0376 H0834 H2026

בְּתָבֹר וַיֹּאמְרוּ כָמוֹךָ כְמוֹהֶם אֶחָד אֶחָד כְּתֹאַר בְּנֵי
タボルで そして-言った あなたのようで 彼らのようだった ひとりひとりが 姿が 子のようだ
H8396 H0559 H3644 H3644 H0259 H0259 H8389 H1121

הַמֶּלֶךְ׃
王の
H4428

そしてギデオンはゼバとザルムンナに言った、「あなたがたがタボルで殺したのは、どんな人々であったか」。彼らは答えた、「彼らはあなたに似てみな王子のように見えました」。

19

לוּ	יְהוָה	חַי־	הֵם	אִמְּי	בְּנֵי־	אַחַי	וַיֹּאמֶר	
もし	主にかけて	生きている	彼らは	わが–母の	子らだ	わが–兄弟たちだ	そして–言った	
H3863	H3068		H1992	H0517		H0251	H0559	

אֶתְכֶם׃	הָרַגְתִּי	לֹא	אֹתָם	הַחֲיִתֶם	
あなたがたを	殺しはしなかった	ない	彼らを	生かしていたなら	
H0853	H2026	H3808	H0853	H2421	

ギデオンは言った、「彼らはわたしの兄弟、わたしの母の子たちだ。主は生きておられる。もしあなたがたが彼らを生かしておいたならば、わたしはあなたがたを殺さないのだが」。

20

חַרְבּוֹ	הַנַּעַר	שָׁלַף	וְלֹא־	אוֹתָם	הֲרֹג	קוּם	בְּכוֹרוֹ	לְיֶתֶר	וַיֹּאמֶר
剣を	若者は	抜かなかった	しかし–ない	彼らを	殺せ	立て	長子に	エテルに	そして–言った
H2719	H5288	H8025	H3808	H0853	H2026		H1060	H3500	H0559

נָּעַר׃	עוֹדֶנּוּ	כִּי	יָרֵא	כִּי
若かった	まだ	なぜなら	恐れた	なぜなら
H5288	H5750		H3372	

そして長子エテルに言った、「立って、彼らを殺しなさい」。しかしその若者はなお年が若かったので、恐れてつるぎを抜かなかった。

21

בָּנוּ	וּפְגַע־	אַתָּה	קוּם	וְצַלְמֻנָּע	זֶבַח	וַיֹּאמֶר	
わたしたちを	そして–打て	あなたが	立て	そして–ツァルムナは	ゼバフと	そして–言った	
	H6293			H6759	H2078	H0559	

זֶבַח	אֶת־	וַיַּהַרֹג	גִּדְעוֹן	וַיָּקָם	גְּבוּרָתוֹ	כְּאִישׁ	כִּי
ゼバフと	を	そして–殺した	ギデオンは	そして–立ち上がった	力が	人のように	なぜなら
H2078	H0853	H2026	H1439		H1369	H0376	

גְּמַלֵּיהֶם׃	בְּצַוְּארֵי	אֲשֶׁר	הַשַּׂהֲרֹנִים	אֶת־	וַיִּקַּח	צַלְמֻנָּע	וְאֶת־
らくだの	首の	ところの	三日月飾りを	を	そして–取った	ツァルムナを	そして
H1581			H7720	H0853	H3947	H6759	H0853

そこでゼバとザルムンナは言った、「あなた自身が立って、わたしたちを撃ってください。人によってそれぞれ力も違いますから」。ギデオンは立ちあがってゼバとザルムンナを殺し、彼らのらくだの首に掛けてあった月形の飾りを取った。

22

גַּם־	בָּנוּ	מְשָׁל־	גִּדְעוֹן	אֶל־	יִשְׂרָאֵל	אִישׁ־	וַיֹּאמְרוּ	
また	わたしたちを	治めてください	ギデオン	に	イスラエルの	人は	そして–言った	
H1571		H4910	H1439	H0413	H3478	H0376	H0559	

מִדְיָן׃	מִיַּד	הוֹשַׁעְתָּנוּ	כִּי	בְּנֶךָ	בֶּן־	גַּם	בִּנְךָ	גַּם־	אַתָּה
ミデヤンの	手から	救った	なぜなら	息子も	子の	また	あなたの–息子も	また	あなたも
H4080	H3027	H3467				H1571		H1571	

イスラエルの人々はギデオンに言った、「あなたはミデアンの手からわれわれを救われたのですから、あなたも、あなたの子も孫もわれわれを治めてください」。

23

וְלֹא־	בָּכֶם	אֲנִי	אֶמְשֹׁל	לֹא־	גִּדְעוֹן	אֲלֵהֶם	וַיֹּאמֶר	
そして–ない	あなたがたを	わたしは	治めない	ない	ギデオンは	彼らに	そして–言った	
H3808		H0589	H4910	H3808	H1439	H0413	H0559	

בָּכֶם׃	יִמְשֹׁל	יְהוָה	בָּכֶם	בְּנִי	יִמְשֹׁל	
あなたがたを	治める	主が	あなたがたを	わが–息子も	治めない	
	H4910	H3068			H4910	

ギデオンは彼らに言った、「わたしはあなたがたを治めることはいたしません。またわたしの子もあなたがたを治めてはなりません。主があなたがたを治められます」。

24 וַיֹּאמֶר אֲלֵהֶם גִּדְעוֹן אֶשְׁאֲלָה מִכֶּם שְׁאֵלָה וְתִנּוּ־לִי
そして-言った 彼らに ギデオンは 願いたい 願いを あなたがたに そして-与えてくれ わたしに
H0559 H0413 H1439 H7592 H7596 H5414

כִּי־נִזְמֵי זָהָב לָהֶם כִּי יִשְׁמְעֵאלִים הֵם׃
なぜなら 耳飾りが 金の 彼らに なぜなら イシュマエル人で あった
H5141 H2091 H7998 H3459 H1992

אִישׁ נֶזֶם שְׁלָלוֹ
人は 耳飾りを 戦利品の
H0376 H5141 H7998

ギデオンはまた彼らに言った、「わたしはあなたがたに一つの願いがあります。あなたがたのぶんどった耳輪をめいめいわたしにください」。ミデアンびとはイシマエルびとであったゆえに、金の耳輪を持っていたからである。

25 וַיֹּאמְרוּ נָתֵן נִתֵּן וַיִּפְרְשׂוּ הַשִּׂמְלָה אֶת־אִישׁ שָׁמָּה וַיַּשְׁלִיכוּ אִישׁ
そして-言った 必ず 与える 広げた そして- 外套を を 投げ入れた そして- そこに 人は
H0559 H5414 H5414 H6566 H8071 H0853 H7993 H8033 H0376

נֶזֶם שְׁלָלוֹ׃
耳飾りを 戦利品の
H5141 H7998

彼らは答えた、「わたしどもは喜んでそれをさしあげます」。そして衣をひろげ、めいめいぶんどった耳輪をその中に投げ入れた。

26 וַיְהִי מִשְׁקַל נִזְמֵי הַזָּהָב הַשְּׁאֻלִים אֲשֶׁר שָׁאַל אֶלֶף וּשְׁבַע־מֵאוֹת זָהָב לְבַד
そして-なった 重さは 耳飾りの 金の 求めた ところの 千 七百 の 金 別に
H1961 H4948 H5141 H2091 H7592 H0834 H0505 H7651 H3967 H2091 H0905

מִמַּלְכֵי שְׁעַל וּבִגְדֵי וְהַנְּטִפוֹת וְהַשַּׂהֲרֹנִים מִן־
ミデヤンの 王たちの ところの 紫の そして-衣の そして-首飾りと 三日月飾りと からの
H4080 H4428 H7086 H0713 H0899 H5188 H7720 H4480

וּלְבַד גְּמַלִּיהֶם׃ בְּצַוְּארֵי אֲשֶׁר הָעֲנָקוֹת מִן־
そして-別に らくだの 首の ところの 首飾りと からの
H0905 H1581 H6677 H0834 H6060 H4480

こうしてギデオンが求めて得た金の耳輪の重さは一千七百金シケルであった。ほかに月形の飾りと耳飾りと、ミデアンの王たちの着た紫の衣およびらくだの首に掛けた首飾りなどもあった。

27 וַיַּעַשׂ אֹתוֹ גִּדְעוֹן לְאֵפוֹד וַיַּצֵּג אֹתוֹ בְּעִירוֹ בְּעָפְרָה
そして-造った それを ギデオンは エポデに そして-置いた それを 彼の-町に オフラに
H6213 H0853 H1439 H0646 H3322 H0853 H5892 H6084

וַיִּזְנוּ כָּל־יִשְׂרָאֵל אַחֲרָיו שָׁם וַיְהִי לְגִדְעוֹן
そして-姦淫した すべての イスラエルは それの-後を追って そこで そして-なった ギデオンと
H2181 H3605 H3478 H0310 H8033 H1961 H1439

וּלְבֵיתוֹ לְמוֹקֵשׁ׃
そして-彼の-家にとって 罠に
H1004 H4170

ギデオンはそれをもって一つのエポデを作り、それを自分の町オフラに置いた。イスラエルは皆それを慕って姦淫をおこなった。それはギデオンとその家にとって、わなとなった。

28 וְלֹא יָסְפוּ מִדְיָן כָּנְעוּ לִפְנֵי בְּנֵי יִשְׂרָאֵל וְלֹא
そして-ない 再び-上げなかった ミデヤンは そして-屈服した 前で 子らの イスラエルの そして-ない
H3808 H3254 H4080 H3665 H6440 H1121 H3478 H3808

פ שָׁנָה אַרְבָּעִים הָאָרֶץ וַתִּשְׁקֹט רֹאשָׁם לָשֵׂאת
— 年 四十 地は そして-安らいだ 頭を 上げることを
H8141 H0705 H0776 H8252 H7218 H5375

גִּדְעוֹן׃ בִּימֵי
ギデオンの 日々に
H1439 H3117

このようにしてミデアンはイスラエルの人々に征服されて、再びその頭をあげることができなかった。そして国はギデオンの世にあるうち、四十年のあいだ太平であった。

29 וַיֵּלֶךְ יְרֻבַּעַל בֶּן־יוֹאָשׁ וַיֵּשֶׁב בְּבֵיתוֹ׃
そして-行った エルバアルは 息子 ヨアシュの そして-住んだ 自分の-家に
H3212 H3378 H3101 H3427

ヨアシの子エルバアルは行って自分の家に住んだ。

30 וּלְגִדְעוֹן הָיוּ שִׁבְעִים בָּנִים יֹצְאֵי יְרֵכוֹ כִּי־נָשִׁים רַבּוֹת הָיוּ לוֹ׃
そして-ギデオンには いた 七十 息子が 出た 腰から なぜなら 妻が 多く いた 彼に
H1439 H1961 H7657 H3318 H3409 H1961 H0802 H1961

ギデオンは多くの妻をもっていたので、自分の子供だけで七十人あった。

31 וּפִילַגְשׁוֹ אֲשֶׁר בִּשְׁכֶם גַּם־הִוא יָלְדָה־לּוֹ אֶת־בֵּן וַיָּשֶׂם שְׁמוֹ אֲבִימֶלֶךְ׃
そして-そばめが ところの シェケムの 産んだ 彼に また 彼女も 息子を を そして-付けた 名を アビメレクと
H6370 H7927 H3205 H1571 H1931 H0853 H8034 H0040

シケムにいた彼のめかけがまたひとりの子を産んだので、アビメレクと名づけた。

32 וַיָּמָת גִּדְעוֹן בֶּן־יוֹאָשׁ בְּשֵׂיבָה טוֹבָה וַיִּקָּבֶר בְּקֶבֶר
そして-死んだ ギデオンは 息子 ヨアシュの 老齢で 良い そして-葉られた 墓に
H4191 H1439 H3101 H7872 H6912 H6913

פ אֲבִי הָעֶזְרִי בְּעָפְרָה אָבִיו יוֹאָשׁ׃
— アビエゼル人の オフラに 父の ヨアシュの
H0033 H6084 H0001 H3101

ヨアシの子ギデオンは高齢に達して死に、アビエゼルびとのオフラにある父ヨアシの墓に葬られた。

33 וַיְהִי כְּאֶשֶׁר מֵת גִּדְעוֹן וַיָּשׁוּבוּ בְּנֵי יִשְׂרָאֵל וַיִּזְנוּ אַחֲרֵי הַבְּעָלִים וַיָּשִׂימוּ לָהֶם בְּרִיתבַּעַל׃
そして-なった とおりに 死んだ ギデオンが 子らは そして-立ち戻った イスラエルの
H1961 H4191 H1439 H7725 H3478

そして-姦淫した 後を-追って バアル・ベリトを 自分たちのために そして-置いた バアルたちの
H2181 H0310 H1170 H7760 H1168

לֵאלֹהִים׃
神として
H0430

ギデオンが死ぬと、イスラエルの人々はまたバアルを慕って、これと姦淫を行い、バアル・ベリテを自分たちの神とした。

34 וְלֹא זָכְרוּ בְּנֵי יִשְׂרָאֵל אֶת־יְהוָה אֱלֹהֵיהֶם הַמַּצִּיל אוֹתָם
そして-ない 思い出さなかった 子らは イスラエルの を 主を 神を 救った 彼らを
H3808 H2142 H1121 H3478 H0853 H3068 H0430 H5337 H0853

מִכֹּל אֹיְבֵיהֶם מִסָּבִיב׃
すべての 敵の 周りの
H3605 H0341 H5439

すなわちイスラエルの人々は周囲のもろもろの敵の手から自分たちを救われた彼らの神、主を覚えず、

35 וְלֹא־ (そして-ない H3808) עָשׂוּ (行わなかった) חֶסֶד (恵みを) עִם־ (と共に) בֵּית (家) יְרֻבַּעַל (エルバアルの) גִּדְעוֹן (ギデオンの) כְּכָל־ (すべての-良いことに H3605)

הַטּוֹבָה (良いこと) אֲשֶׁר (ところの) עִם־ (と共に) עָשָׂה (行った) יִשְׂרָאֵל׃ (イスラエル H3478) פ (—)

またエルバアルすなわちギデオンがイスラエルのためにしたもろもろの善行に応じて彼の家族に親切をつくすこともしなかった。

Chapter 9

1 וַיֵּלֶךְ (そして-行った H3212) אֲבִימֶלֶךְ (アビメレクは H0040) בֶּן־ (息子) יְרֻבַּעַל (エルバアルの H3378) שְׁכֶמָה (シェケムに H7927) אֶל־ (に H0413) אֲחֵי (兄弟たちの H0251) אִמּוֹ (母の H0517)

וַיְדַבֵּר (そして-語った H1696) אֲלֵיהֶם (彼らに H0413) וְאֶל־ (そして-に H0413) כָּל־ (すべての H3605) מִשְׁפַּחַת (氏族に H4940) בֵּית־ (家の) אֲבִי (父の H0001) אִמּוֹ (母の H0517) לֵאמֹר׃ (言って H0559)

さてエルバアルの子アビメレクはシケムに行き、母の身内の人たちのもとに行って、彼らと母の父の家の一族とに言った、

2 דַּבְּרוּ־ (語ってくれ H1696) נָא (どうか H4994) בְּאָזְנֵי (耳に H0241) כָּל־ (すべての H3605) בַּעֲלֵי (人々の H1167) שְׁכֶם (シェケムの H7927) מַה־ (何が H4100) טוֹב (良いか) לָכֶם׃ (あなたがたにとって)

הַמְשֹׁל (治めること H4910) בָּכֶם (あなたがたを) שִׁבְעִים (七十 H7657) אִישׁ (人の H0376) כָּל (すべての H3605) בְּנֵי (子らが) יְרֻבַּעַל (エルバアルの H3378) אִם־ (それとも) מְשֹׁל (治めること H4910)

בָּכֶם (あなたがたを) אִישׁ (人 H0376) אֶחָד (一人の H0259) וּזְכַרְתֶּם (そして-思い出せ H2142) כִּי־ (こと) עַצְמְכֶם (骨であり H6106) וּבְשַׂרְכֶם (そして-肉である H1320) אָנִי׃ (わたしは H0589)

「どうぞ、シケムのすべての人々の耳に告げてください、『エルバアルのすべての子七十人であなたがたを治めるのと、ただひとりであなたがたを治めるのと、どちらがよいか。わたしがあなたがたの骨肉であることを覚えてください』と」。

3 וַיְדַבְּרוּ (そして-語った H1696) אֲחֵי־ (兄弟たちは H0251) אִמּוֹ (母の H0517) עָלָיו (彼について) בְּאָזְנֵי (耳に H0241) כָּל־ (すべての H3605) בַּעֲלֵי (人々の H1167) שְׁכֶם (シェケムの H7927) אֶת (を H0853)

כָּל־ (すべての) הַדְּבָרִים (言葉を H1697) הָאֵלֶּה (これらの H0428) וַיֵּט (そして-傾いた H5186) לִבָּם (心は) אַחֲרֵי (後に) אֲבִימֶלֶךְ (アビメレクの H0040) כִּי (なぜなら) אָמְרוּ (言った H0559)

אָחֵינוּ׃ (兄弟である H0251) הוּא׃ (彼は H1931)

そこで母の身内の人たちがアビメレクに代ってこれらの言葉をことごとくシケムのすべての人々の耳に告げると、彼らは心をアビメレクに傾け、「彼はわれわれの兄弟だ」と言って、

4

אֲבִימֶלֶךְ	בָּהֶם	וַיִּשְׂכֹּר	בְּרִיתבַּעַל	מִבֵּית	כֶּסֶף	שִׁבְעִים	לוֹ	וַיִּתְּנוּ־
アビメレクは	それで	そして-雇った	バアル-ベリトの	家から	銀を	七十	彼に	そして-与えた
H0040			H1170		H3701	H7657		H5414

אַחֲרָיו׃	וַיֵּלְכוּ	וּפַחֲזִים	רֵיקִים	אֲנָשִׁים
彼の-後に	そして-従った	そして-無謀な	空っぽの	人々を
	H3212	H6348	H7386	H0376

バアル・ベリテの宮から銀七十シケルを取って彼に与えた。アビメレクはそれをもって、やくざのならず者を雇って自分に従わせ、

5

יְרֻבָּעַל	בְּנֵי־	אֶחָיו	אֶת־	וַיַּהַרֹּג	עָפְרָתָה	אָבִיו	בֵּית־	וַיָּבֹא
エルバアルの	子らを	兄弟たちを	を	そして-殺した	オフラに	父の	家に	そして-来た
H3378		H0251	H0853	H2026	H6084	H0001		H0935

הַקָּטֹן	יְרֻבַּעַל	בֶּן־	יוֹתָם	וַיִּוָּתֵר	אֶחָת	אֶבֶן	עַל־	אִישׁ	שִׁבְעִים
最も-若い	エルバアルの	息子	ヨタムが	そして-残った	一つの	石	の-上で	人を	七十
	H3378		H3147	H3498	H0259	H0068		H0376	H7657

	ס	נֶחְבָּא׃	כִּי
	—	隠れていた	なぜなら
		H2244	

オフラにある父の家に行って、エルバアルの子で、自分の兄弟である七十人を、一つの石の上で殺した。ただしエルバアルの末の子ヨタムは身を隠したので生き残った。

6

וַיֵּלְכוּ	מִלּוֹא	בֵּית	וְכָל־	שְׁכֶם	בַּעֲלֵי	כָּל־	וַיֵּאָסְפוּ	
そして-行った	ミロの	家の	そして-すべての	シェケムの	人々は	すべての	そして-集まった	
H3212	H4407		H3605	H7927	H1167	H3605	H0622	

בִּשְׁכֶם׃	אֲשֶׁר	מַצָּב	אֵלוֹן	עִם־	לְמֶלֶךְ	אֲבִימֶלֶךְ	אֶת־	וַיַּמְלִיכוּ
シェケムの	ところの	柱の	樫の-木の	の-そばで	王として	アビメレクを	を	そして-王にした
H7927		H5324	H0436		H4428	H0040	H0853	

そこでシケムのすべての人々とベテミロのすべての人々は集まり、行ってシケムにある石の柱のかたわらのテレビンの木のもとで、アビメレクを立てて王とした。

7

גְּרִזִים	הַר־	בְּרֹאשׁ	וַיַּעֲמֹד	וַיֵּלֶךְ	לְיוֹתָם	וַיַּגִּדוּ		
ゲリジムの	山	頂に	そして-立った	そして-行った	ヨタムに	そして-知らされた		
H1630	H2022		H5975	H3212	H3147	H5046		

שְׁכֶם	בַּעֲלֵי	אֵלַי	שִׁמְעוּ	לָהֶם	וַיֹּאמֶר	וַיִּקְרָא	קוֹלוֹ	וַיִּשָּׂא
シェケムの	人々よ	わたしに	聞け	彼らに	そして-言った	そして-叫んだ	声を	そして-上げた
H7927	H1167	H0413	H8085		H0559	H7121		H5375

אֱלֹהִים׃	אֲלֵיכֶם	וְיִשְׁמַע
神が	あなたがたに	そして-聞いてくださるように
H0430	H0413	H8085

このことをヨタムに告げる者があったので、ヨタムは行ってゲリジム山の頂に立ち、大声に叫んで彼らに言った、「シケムの人々よ、わたしに聞きなさい。そうすれば神はあなたがたに聞かれるでしょう。

8

לַזָּיִת	וַיֹּאמְרוּ	מֶלֶךְ	עֲלֵיהֶם	לִמְשֹׁחַ	הָעֵצִים	הָלְכוֹ	הָלוֹךְ	
オリーブの-木に	そして-言った	王を	自分たちの-上に	油を-注ぐために	木々は	行った	かつて	
H2132	H0559	H4428		H4886	H6086	H1980	H1980	

עָלֵינוּ׃	מָלְכָה)	]מלוכה[	
わたしたちを	治めてくれ	治めてくれ	

ある時、もろもろの木が自分たちの上に王を立てようと出て行ってオリブの木に言った、『わたしたちの王になってください』。

9 וַיֹּאמֶר לָהֶם הַזַּיִת הֶחָדַלְתִּי אֶת־דִּשְׁנִי אֲשֶׁר־בִּי
そして-言った 彼らに オリーブの-木は やめるのか を 油を ところの わたしによって
H0559 H0853 H1880

וְאֵלֹהִים וְאֲנָשִׁים לָנוּעַ עַל־הָעֵצִים׃
神も そして-人も 揺れるために の-上で 木々の
H0430 H0376 H5128 H6086

しかしオリブの木は彼らに言った、『わたしはどうして神と人とをあがめるために用いられるわたしの油を捨てて行って、もろもろの木を治めることができましょう』。

10 וַיֹּאמְרוּ הָעֵצִים לַתְּאֵנָה לְכִי־אַתְּ מָלְכִי עָלֵינוּ׃
そして-言った 木々は いちじくの-木に 来てくれ あなたが 治めてくれ わたしたちを
H0559 H6086 H8384 H3212

もろもろの木はまたいちじくの木に言った、『きてわたしたちの王になってください』。

11 וַתֹּאמֶר לָהֶם הַתְּאֵנָה הֶחָדַלְתִּי אֶת־מָתְקִי וְאֶת־תְּנוּבָתִי הַטּוֹבָה
そして-言った 彼らに いちじくの-木は やめるのか を 甘さを そして 実りを 良い
H0559 H8384 H2308 H0853 H4987 H0853 H8570

וְהָלַכְתִּי לָנוּעַ עַל־הָעֵצִים׃
そして-行くのか 揺れるために の-上で 木々の
H1980 H5128 H6086

しかしいちじくの木は彼らに言った、『わたしはどうしてわたしの甘味と、わたしの良い果実とを捨てて行って、もろもろの木を治めることができましょう』。

12 וַיֹּאמְרוּ הָעֵצִים לַגֶּפֶן לְכִי־אַתְּ מלוכי] אַתְּ מָלְכִי(עָלֵינוּ׃
そして-言った 木々は ぶどうの-木に 来てくれ あなたが 治めてくれ 治めてくれ わたしたちを
H0559 H6086 H1612 H3212

もろもろの木はまたぶどうの木に言った、『きてわたしたちの王になってください』。

13 וַתֹּאמֶר לָהֶם הַגֶּפֶן הֶחָדַלְתִּי אֶת־תִּירוֹשִׁי הַמְשַׂמֵּחַ אֱלֹהִים
そして-言った 彼らに ぶどうの-木は やめるのか を ぶどう-酒を 喜ばせる 神を
H0559 H1612 H2308 H0853 H8492 H8055 H0430

וְהָלַכְתִּי לָנוּעַ עַל־הָעֵצִים׃
そして-行くのか 揺れるために の-上で 木々の
H1980 H5128 H6086

しかし、ぶどうの木は彼らに言った、『わたしはどうして神と人とを喜ばせるわたしのぶどう酒を捨てて行って、もろもろの木を治めることができましょう』。

14 וַיֹּאמְרוּ כָל־הָעֵצִים אֶל־הָאָטָד לֵךְ אַתָּה מְלֹךְ־
そして-言った すべての 木々は に いばらの-木 行ってくれ あなたが 治めてくれ
H0559 H3605 H6086 H0413 H0329 H3212

עָלֵינוּ׃
わたしたちを

そこですべての木はいばらに言った、『きてわたしたちの王になってください』。

15 וַיֹּאמֶר הָאָטָד לַעֲצֵי אֶל אִם בֶּאֱמֶת אַתֶּם מֹשְׁחִים
そして-言った いばらの-木は に 木々に もし まことに あなたがたが 油を-注ぐなら
H0559 H0329 H0413 H6086 H0571 H4886

אֹתִי לְמֶלֶךְ עֲלֵיכֶם בֹּאוּ וְאִם בְּצִלִּי חֲסוּ אֵין תֵּצֵא
わたしを 王に あなたがたの-上に 来て しかし-もし わが-陰に 避難せよ ないなら 出る
H0853 H4428 H0935 H0518 H6738 H2620 H0369 H3318

אֵשׁ מִן הָאָטָד וְתֹאכַל אֶת אַרְזֵי הַלְּבָנוֹן׃
火が から いばらの-木 そして-焼き尽くす を 杉を レバノンの
H0784 H0518 H0329 H0398 H0853 H0730 H3844

いばらはもろもろの木に言った、『あなたがたが真実にわたしを立てて王にするならば、きてわたしの陰に難を避けなさい。そうしなければ、いばらから火が出てレバノンの香柏を焼きつくすでしょう』。

16 וְעַתָּה אִם בֶּאֱמֶת וּבְתָמִים עֲשִׂיתֶם וַתַּמְלִיכוּ אֶת אֲבִימֶלֶךְ
そして-今 もし まことに そして-誠実に 行ったなら そして-王にしたなら を アビメレクを
H6258 H0518 H0571 H8549 H6213 H0853 H0040

וְאִם טוֹבָה עֲשִׂיתֶם עִם יְרֻבַּעַל וְעִם בֵּיתוֹ וְאִם
そして-もし 良いことを 行ったなら と共に エルバアルと そして-と共に 家 そして-もし
H0518 H2896 H6213 H0854 H3378 H0854 H1004 H0518

כִּגְמוּל יָדָיו עֲשִׂיתֶם לוֹ׃
報いに 手の 行ったなら 彼に
H1576 H3027 H6213 H0518

あなたがたがアビメレクを立てて王にしたことは、真実と敬意とをもってしたものですか。あなたがたはエルバアルとその家をよく扱い、彼のおこないに応じてしたのですか。

17 אֲשֶׁר נִלְחַם אָבִי וַיַּשְׁלֵךְ נַפְשׁוֹ מִנֶּגֶד
ところの 戦った わが-父は あなたがたのために を 投げた そして-投げた いのちを 前に
H0518 H3898 H0001 H6213 H0854 H7993 H5315 H5048

וַיַּצֵּל אֶתְכֶם מִיַּד מִדְיָן׃
そして-救った あなたがたを 手から ミデヤンの
H5337 H0853 H3027 H4080

わたしの父はあなたがたのために戦い、自分の命を投げ出して、あなたがたをミデアンの手から救い出したのに、

18 וְאַתֶּם קַמְתֶּם עַל בֵּית אָבִי הַיּוֹם וַתַּהַרְגוּ אֶת
しかし-あなたがたは 立ち上がった の-上に 家 父の 今日 そして-殺した を
H0518 H6965 H0518 H1004 H0001 H3117 H2026 H0854

בָּנָיו שִׁבְעִים אִישׁ עַל אֶבֶן אַחַת וַתַּמְלִיכוּ אֶת אֲבִימֶלֶךְ בֶּן
七十 人を の-上で 石 一つの そして-王にした を アビメレクを 息子
H7657 H0376 H0518 H0068 H0259 H6213 H0854 H0040 H1121

אֲמָתוֹ עַל בַּעֲלֵי שְׁכֶם כִּי אֲחִיכֶם הוּא׃
はしための の-上に 人々の シェケムの なぜなら 兄弟である 彼は
H0519 H0518 H1167 H7927 H0518 H0251 H1931

あなたがたは、きょう、わたしの父の家に反抗して起り、その子七十人を一つの石の上で殺し、その腰元の子アビメレクをあなたがたの身内の者であるゆえに立てて、シケムの人々の王にしました。

19 וְאִם בֶּאֱמֶת וּבְתָמִים עֲשִׂיתֶם עִם יְרֻבַּעַל וְעִם בֵּיתוֹ
そして-もし まことに そして-誠実に 行ったなら と共に エルバアルと そして-と共に 家
H0518 H0571 H8549 H6213 H0854 H3378 H0854 H1004

וְיִשְׂמַח בַּאֲבִימֶלֶךְ גַּם הוּא בָּכֶם׃
そして-喜ぶがよい アビメレクを また 彼も あなたがたを
H8055 H0040 H1571 H1931

שְׂמְחוּ הַיּוֹם הַזֶּה
喜べ この 日に
H8055 H2088 H3117

あなたがたが、きょう、エルバアルとその家になされたことが真実と敬意をもってしたものであるならば、アビメレクのために喜びなさい。彼もまたあなたがたのために喜ぶでしょう。

בְּעָלֵי	אֶת־	וְתֹאכַל	מֵאֲבִימֶלֶךְ	אֵשׁ	תֵּצֵא	אֵין	וְאִם־	20
人々を	を	そして–焼き尽くすがよい	アビメレクから	火が	出るがよい	ないなら	しかし–もし	
H1167	H0853	H0398	H0040	H0784	H3318	H0369		

וּמִבֵּית	שְׁכֶם	מִבַּעֲלֵי	אֵשׁ	וְתֵצֵא	מִלּוֹא	בֵּית	וְאֶת־	שְׁכֶם
そして–家から	シェケムの	人々から	火が	そして–出るがよい	ミロの	家を	そして	シェケムの
	H7927	H1167	H0784	H3318	H4407		H0853	H7927

אֲבִימֶלֶךְ׃	אֶת־	וְתֹאכַל	מִלּוֹא
アビメレクを	を	そして–焼き尽くすがよい	ミロの
H0040	H0853	H0398	H4407

しかし、そうでなければ、アビメレクから火が出て、シケムの人々とベテミロとを焼きつくし、またシケムの人々とベテミロからも火が出てアビメレクを焼きつくすでしょう」。

מִפְּנֵי	שָׁם	וַיֵּשֶׁב	בְּאֵרָה	וַיֵּלֶךְ	וַיִּבְרַח	יוֹתָם	וַיָּנָס	21
から	そこに	そして–住んだ	ベエルに	そして–行った	そして–逃れた	ヨタムは	そして–逃げた	
H6440	H8033	H3427	H0876	H3212	H1272	H3147	H5127	

פ	אֲחִיו׃	אֲבִימֶלֶךְ	
—	兄弟の	アビメレクの	
	H0251	H0040	

こうしてヨタムは走って逃げ去り、ベエルに行き、兄弟アビメレクの顔をさけてそこに住んだ。

שָׁנִים׃	שָׁלֹשׁ	יִשְׂרָאֵל	עַל־	אֲבִימֶלֶךְ	וַיָּשַׂר	22
年	三	イスラエル	の–上に	アビメレクは	そして–治めた	
H8141	H7969	H3478		H0040	H7786	

アビメレクは三年の間イスラエルを治めたが、

שְׁכֶם	בְּעָלֵי	וּבֵין	אֲבִימֶלֶךְ	בֵּין	רָעָה	רוּחַ	אֱלֹהִים	וַיִּשְׁלַח	23
シェケムの	人々との	そして–間の	アビメレクとの	間に	悪い	霊を	神は	そして–遣わした	
H7927	H1167	H0996	H0040	H0996		H7307	H0430	H7971	

בַּאֲבִימֶלֶךְ׃	שְׁכֶם	בַּעֲלֵי־	וַיִּבְגְּדוּ
アビメレクに	シェケムの	人々は	そして–裏切った
H0040	H7927	H1167	H0898

神はアビメレクとシケムの人々の間に悪霊をおくられたので、シケムの人々はアビメレクを欺くようになった。

אֲבִימֶלֶךְ	עַל־	לָשׂוּם	וְדָמָם	יְרֻבָּעַל	בְּנֵי־	שִׁבְעִים	חֲמַס	לָבֹא	24
アビメレク	の–上に	置くために	そして–血を	エルバアルの	子らの	七十	暴力が	来るために	
H0040			H1818	H3378		H7657	H2555	H0935	

אֶת־	חִזְּקוּ	אֲשֶׁר־	שְׁכֶם	בַּעֲלֵי	וְעַל	אוֹתָם	הָרַג	אֲשֶׁר	אֲחִיהֶם
を	強めた	ところの	シェケムの	人々の	そして–の上に	彼らを	殺した	ところの	兄弟である
H0853	H2388		H7927	H1167		H0853	H2026		H0251

אֶחָיו׃	אֶת־	לַהֲרֹג	יָדָיו	
兄弟たちを	を	殺すために	手を	
H0251	H0853	H2026	H3027	

これはエルバアルの七十人の子が受けた暴虐と彼らの血が、彼らを殺した兄弟アビメレクの上と、彼の手を強めてその兄弟を殺させたシケムの人々の上とに報いとなってきたのである。

25 וַיָּשִׂימוּ לוֹ בַעֲלֵי שְׁכֶם מְאָרְבִים עַל רָאשֵׁי הֶהָרִים

וַיָּשִׂימוּ	לוֹ	בַעֲלֵי	שְׁכֶם	מְאָרְבִים	עַל	רָאשֵׁי	הֶהָרִים
そして-置いた	彼のために	人々は	シェケムの	待ち伏せを	の-上に	頂の	山々の
H7760		H1167	H7927	H0693			H2022

וַיִּגְזְלוּ אֶת כָּל אֲשֶׁר יַעֲבֹר בַּדֶּרֶךְ עֲלֵיהֶם וַיֻּגַּד לַאֲבִימֶלֶךְ׃ פ

וַיִּגְזְלוּ	אֶת	כָּל	אֲשֶׁר	יַעֲבֹר	בַּדֶּרֶךְ	עֲלֵיהֶם	וַיֻּגַּד	לַאֲבִימֶלֶךְ׃	פ
そして-奪った	を	すべてを	ところの	通る	道で	彼らの-上を	そして-知らされた	アビメレクに	—
H1497	H0853	H3605		H5674	H1870		H5046	H0040	

シケムの人々は彼に敵して待ち伏せする者を山々の頂におき、すべてその道を通り過ぎる者を略奪させた。このことがアビメレクに告げ知らされた。

26 וַיָּבֹא גָּעַל בֶּן עֶבֶד וְאֶחָיו וַיַּעַבְרוּ בִשְׁכֶם

וַיָּבֹא	גָּעַל	בֶּן	עֶבֶד	וְאֶחָיו	וַיַּעַבְרוּ	בִשְׁכֶם
そして-来た	ガアルは	息子	エベデの	そして-兄弟たちと	そして-渡った	シェケムに
H0935	H1603		H5651	H0251		H7927

וַיִּבְטְחוּ־בוֹ בַּעֲלֵי שְׁכֶם׃

וַיִּבְטְחוּ־	בוֹ	בַּעֲלֵי	שְׁכֶם׃
そして-信頼した	彼を	人々は	シェケムの
H0982		H1167	H7927

さてエベデの子ガアルはその身内の人々と一緒にシケムに移住したが、シケムの人々は彼を信用した。

27 וַיֵּצְאוּ הַשָּׂדֶה וַיִּבְצְרוּ אֶת כַּרְמֵיהֶם וַיִּדְרֹכוּ וַיַּעֲשׂוּ הִלּוּלִים

וַיֵּצְאוּ	הַשָּׂדֶה	וַיִּבְצְרוּ	אֶת	כַּרְמֵיהֶם	וַיִּדְרֹכוּ	וַיַּעֲשׂוּ	הִלּוּלִים
そして-出た	野に	そして-摘み取った	を	ぶどう園を	そして-踏んだ	そして-行った	祭りを
H3318		H1219	H0853	H3754	H1869		H1974

וַיָּבֹאוּ בֵּית אֱלֹהֵיהֶם וַיֹּאכְלוּ וַיִּשְׁתּוּ וַיְקַלְלוּ אֶת־אֲבִימֶלֶךְ׃

וַיָּבֹאוּ	בֵּית	אֱלֹהֵיהֶם	וַיֹּאכְלוּ	וַיִּשְׁתּוּ	וַיְקַלְלוּ	אֶת־	אֲבִימֶלֶךְ׃
そして-入った	家に	神の	そして-食べた	そして-飲んだ	そして-呪った	を	アビメレクを
H0935		H0430	H0398	H8354	H7043	H0853	H0040

人々は畑に出てぶどうを取り入れ、それを踏み絞って祭をし、神の宮に行って飲み食いしてアビメレクをのろった。

28 וַיֹּאמֶר גָּעַל בֶּן עֶבֶד מִי אֲבִימֶלֶךְ וּמִי שְׁכֶם כִּי

וַיֹּאמֶר	גָּעַל	בֶּן	עֶבֶד	מִי	אֲבִימֶלֶךְ	וּמִי	שְׁכֶם	כִּי
そして-言った	ガアルは	息子	エベデの	誰が	アビメレクか	そして-誰が	シェケムか	なぜ
H0559	H1603		H5651	H4310	H0040	H4310	H7927	

נַעַבְדֶנּוּ הֲלֹא בֶן יְרֻבַּעַל וּזְבֻל פְּקִידֹו עִבְדוּ אֶת אַנְשֵׁי חֲמוֹר

נַעַבְדֶנּוּ	הֲלֹא	בֶן	יְרֻבַּעַל	וּזְבֻל	פְּקִידֹו	עִבְדוּ	אֶת	אַנְשֵׁי	חֲמוֹר
仕えるのか	確かに	息子だ	エルバアルの	そして-ゼブルは	家臣だ	仕えよ	を	人々に	ハモルの
H5647	H3808		H3378	H2083	H6496	H5647	H0853	H0376	H2544

וַאֲנַחְנוּ נַעַבְדֶנּוּ וּמַדּוּעַ אֲנָחְנוּ׃

וַאֲנַחְנוּ	נַעַבְדֶנּוּ	וּמַדּוּעַ	שְׁכֶם	אָבִי	
わたしたちが	仕えるのか	そして-なぜ	シェケムの	父	
H0587	H5647	H4069	H7927	H0001	

そしてエベデの子ガアルは言った、「アビメレクは何ものか。シケムのわれわれは何ものなれば彼に仕えなければならないのか。エルバアルの子とその役人ゼブルはシケムの先祖ハモルの一族に仕えたではないか。われわれはどうして彼に仕えなければならないのか。

29 וּמִי יִתֵּן הָעָם הַזֶּה בְּיָדִי וְאָסִירָה אֶת־אֲבִימֶלֶךְ

וּמִי	יִתֵּן	הָעָם	הַזֶּה	בְּיָדִי	וְאָסִירָה	אֶת־	אֲבִימֶלֶךְ
そして-誰が	与えるのか	民を	この	わたしの-手に	そして-退ける	を	アビメレクを
H4310	H5414		H2088	H3027	H5493	H0853	H0040

וַיֹּאמֶר לַאֲבִימֶלֶךְ רַבֶּה צְבָאֲךָ וְצֵא׃

וַיֹּאמֶר	לַאֲבִימֶלֶךְ	רַבֶּה	צְבָאֲךָ	וְצֵא׃	
そして-言った	アビメレクに	增やせ	軍を	そして-出て来い	
H0559	H0040			H3318	

ああ、この民がわたしの手の下にあったらよいのだが。そうすればわたしはアビメレクをやめさせ、アビメレクに向かって『おまえの軍勢を増して出てこい』と言うであろう」。

30 וַיִּשְׁמַע זְבֻל שַׂר־הָעִיר אֶת־דִּבְרֵי בֶן־עֶבֶד גַּעַל לֵאמֹר הִנֵּה אַחֶיךָ בְּתִרְמָה אֲבִימֶלֶךְ אֶל־מַלְאָכִים וַיְשַׁלָּח עָלֶיךָ׃ 31

そして-聞いた ゼブルは 将軍 町の を 言葉を ガアルの 息子 エベデの 怒りが
H8085 H2083 H8269 H0853 H1697 H1603 H5651 H0639

町のつかさゼブルはエベデの子ガアルの言葉を聞いて怒りを発し、

そして-遣わした 使者たちを に アビメレク 密かに 言って 見よ ガアルが 息子
H7971 H4397 H0413 H0040 H0559 H2009 H1603

וְהִנָּם בָּאִים שְׁכֶמָה עַל־הָעִיר צָרִים אֶת־הָעִיר׃ 32

そして-見よ 来ている シェケムに 敵に-している を 町を
H2009 H0935 H7927 H0853

וְאָחָיו עֶבֶד

そして-兄弟たちが エベデの
H0251 H5651

使者をアルマにおるアビメレクにつかわして言わせた、「エベデの子ガアルとその身内の人々がシケムにきて、町を騒がせ、あなたにそむかせようとしています。

32 וְעַתָּה קוּם לַיְלָה אַתָּה וְהָעָם אֲשֶׁר־אִתָּךְ וֶאֱרֹב בַּשָּׂדֶה׃ 33

そして-今 立て 夜に あなたと そして-民が ところの あなたと-共の そして-待ち伏せよ 野で
H6258 H6965 H3915 H0859 H5971 H0834 H0854 H0693

それであなたと、あなたと共におる人々が夜のうちに行って、野に身を伏せ、

33 וְהָיָה בַבֹּקֶר כִּזְרֹחַ הַשֶּׁמֶשׁ תַּשְׁכִּים וּפָשַׁטְתָּ עַל־הָעִיר וְהִנֵּה הוּא וְהָעָם אֲשֶׁר־אִתּוֹ יֹצְאִים אֵלֶיךָ כַּאֲשֶׁר תַּעֲשֶׂה לּוֹ׃ ס

そして-なる 朝に 昇るとき 太陽が 早く起きて そして-襲え の-上に 町 そして-見よ
H1961 H1242 H2224 H8121 H7925 H6584 H5892 H2009

彼が そして-民が ところの 彼と-共の 出てくる あなたに-向かって そして-行え 彼に とおりに
H1931 H5971 H0834 H0854 H3318 H0413 H6213 H0

תִּמְצָא יָדֶךָ׃

見つける 手が
H4672 H3027

朝になって、日ののぼるとき、早く起き出て町を襲うならば、ガアルと、彼と共におる民は出てきて、あなたに抵抗するでしょう。その時あなたは機を得て、彼らを撃つことができるでしょう」。

34 וַיָּקָם אֲבִימֶלֶךְ וְכָל־הָעָם אֲשֶׁר־עִמּוֹ לָיְלָה וַיֶּאֶרְבוּ עַל־שְׁכֶם אַרְבָּעָה רָאשִׁים׃

そして-立ち上がった アビメレクは そして-すべての 民が ところの 彼と-共の 夜に
H6965 H0040 H3605 H5971 H0834 H5973 H3915

そして-待ち伏せた の-そばに シェケム 四つの 組に
H0693 H5921 H7927 H0702 H7218

アビメレクと、彼と共にいたすべての民は夜のうちに起き出て、四組に分れ、身を伏せてシケムをうかがった。

35 וַיֵּצֵא גַּעַל בֶּן־עֶבֶד וַיַּעֲמֹד פֶּתַח שַׁעַר הָעִיר
そして-出た ガアルは 息子 エベデの そして-立った 入り口に 門の 町の
H3318 H1603 H5651 H5975 H6607 H8179

וַיָּקָם וַאֲבִימֶלֶךְ וְהָעָם אֲשֶׁר־אִתּוֹ מִן־הָאֹרֵב׃
そして-立ち上がった アビメレクは そして-民が ところの 彼と-共の から 待ち伏せ
H0040 H0854 H3993

エベデの子ガアルが出て、町の門の入口に立ったとき、アビメレクと、彼と共にいた民が身を伏せていたところから立ちあがったので、

36 וַיַּרְא גַּעַל אֶת־הָעָם וַיֹּאמֶר אֶל־זְבֻל הִנֵּה־עָם יוֹרֵד
を ガアルは そして-見た 民を そして-言った に ゼブル 見よ 民が 下ってくる
H0853 H1603 H7200 H0559 H0413 H2083 H2009 H3381

מֵרָאשֵׁי הֶהָרִים וַיֹּאמֶר אֵלָיו זְבֻל אֶת הֶהָרִים אַתָּה רֹאֶה
山々の 頂から 彼に そして-言った ゼブルは を 山々の 影を あなたは 見ている
H2022 H0413 H0559 H2083 H0853 H2022 H6738 H7200

כָּאֲנָשִׁים׃ ס
人のように ―
H0376

ガアルは民を見てゼブルに言った、「ごらんなさい。民が山々の頂からおりてきます」。ゼブルは彼に言った、「あなたは山々の影を人のように見るのです」。

37 וַיֹּסֶף עוֹד גַּעַל לְדַבֵּר וַיֹּאמֶר הִנֵּה־עָם מֵעִם יוֹרְדִים
そして-再び また ガアルは 語った そして-言った 見よ 民が から 下ってくる
H3254 H5750 H1603 H1696 H0559 H2009 H5973 H3381

מָעוֹנְנִים׃ אֵלוֹן אֶחָד בָּא מִדֶּרֶךְ מְרֹכֵי וְרֹאשׁ־אֶחָד וְהָאָרֶץ
占い師たちの 樫の-木の 組が 来る 道から そして-一つの 地の
H0436 H0259 H0935 H1870 H0776

ガアルは再び言った、「ごらんなさい。民が国の中央部からおりてきます。一組は占い師のテレビンの木の方からきます」。

38 וַיֹּאמֶר אֵלָיו זְבֻל אַיֵּה אֵפוֹא פִּיךָ אֲשֶׁר תֹּאמַר מִי אֲבִימֶלֶךְ
そして-言った 彼に ゼブルは どこに 一体 口が ところの 言った 誰が アビメレクか
H0559 H0413 H2083 H0346 H0645 H6310 H0559 H4310 H0040

כִּי נַעַבְדֶנּוּ הֲלֹא זֶה הָעָם אֲשֶׁר מָאַסְתָּה בּוֹ צֵא־נָא עַתָּה
なぜ 仕えるのか 確かに これが 民だ ところの 侮った 彼を 出て-いけ どうか 今
H5647 H3808 H2088 H5971 H0834 H4994 H3318 H6258

וְהִלָּחֶם בּוֹ׃ ס
そして-戦え 彼と ―

ゼブルは彼に言った、「あなたがかつて『アビメレクは何ものか。われわれは何ものなれば彼に仕えなければならないのか』と言ったあなたの口は今どこにありますか。これはあなたが侮った民ではありませんか。今、出て彼らと戦いなさい」。

39 וַיֵּצֵא גַּעַל לִפְנֵי בַעֲלֵי שְׁכֶם וַיִּלָּחֶם בַּאֲבִימֶלֶךְ׃
そして-出た ガアルは 前に 人々の シェケムの そして-戦った アビメレクと
H3318 H1603 H6440 H1167 H7927 H3898 H0040

そこでガアルはシケムの人々を率い、出てアビメレクと戦ったが、

40 וַיִּרְדְּפֵהוּ אֲבִימֶלֶךְ וַיָּנָס מִפָּנָיו וַיִּפְּלוּ חֲלָלִים רַבִּים
そして–追った アビメレクは そして–逃げた 彼の–前から そして–倒れた 傷ついた–者が 多く
H7291 H0040 H5127 H6440 H5307

עַד־ פֶּתַח הַשָּׁעַר׃
まで 入り口に 門の
H5704 H6607 H8179

アビメレクは彼を追ったので、ガアルは彼の前から逃げた。そして傷つき倒れる者が多く、門の入口にまで及んだ。

41 וַיֵּשֶׁב אֲבִימֶלֶךְ בָּארוּמָה וַיְגָרֶשׁ זְבֻל אֶת־ גָּעַל וְאֶת־
そして–住んだ アビメレクは アルマに そして–追い出した ゼブルは を ガアルと そして
H3427 H0040 H0725 H1644 H2083 H0853 H1603 H0853

אֶחָיו מִשֶּׁבֶת בִּשְׁכֶם׃
兄弟たちを 住むことから シェケムに
H0251 H3427 H7927

こうしてアビメレクは引き続いてアルマにいたが、ゼブルはガアルとその身内の人々を追い出してシケムにおらせなかった。

42 וַיְהִי מִמָּחֳרָת וַיֵּצֵא הָעָם הַשָּׂדֶה וַיַּגִּדוּ לַאֲבִימֶלֶךְ׃
そして–なった 翌日 そして–出た 民が 野に そして–知らされた アビメレクに
H1961 H4283 H3318 H5046 H0040

翌日、民が畑に出ると、そのことがアビメレクに聞えた。

43 וַיִּקַּח אֶת־ הָעָם וַיְחַצֵּם לִשְׁלֹשָׁה רָאשִׁים וַיֶּאֱרֹב בַּשָּׂדֶה
そして–取った を 民を そして–分けた 三つの 組に そして–待ち伏せた 野で
H3947 H0853 H2673 H7969 H0693

וַיַּרְא וְהִנֵּה הָעָם יֹצֵא מִן־ הָעִיר וַיָּקָם עֲלֵיהֶם
そして–見た そして–見よ 民が 出てくる から 町 そして–立ち上がった 彼らに–対して
H7200 H2009 H3318

וַיַּכֵּם׃
そして–打った
H5221

アビメレクは自分の民を率い、それを三組に分け、野に身を伏せて、うかがっていると、民が町から出てきたので、たちあがってこれを撃った。

44 וַאֲבִימֶלֶךְ וְהָרָאשִׁים אֲשֶׁר עִמּוֹ פָּשְׁטוּ וַיַּעַמְדוּ פֶּתַח שַׁעַר
そして–アビメレクと そして–組が ところの 彼と–共の 襲った そして–立った 入り口に 門の
H0040 H6584 H5975 H6607 H8179

וּשְׁנֵי הָרָאשִׁים פָּשְׁטוּ עַל־ כָּל־ אֲשֶׁר בַּשָּׂדֶה וַיַּכּוּם׃
そして–二つの 組が 襲った の–上に すべてを ところの 野にいた そして–打った
H8147 H6584 H3605 H5221

アビメレクと、彼と共にいた組の者は襲って行って、町の門の入口に立ち、他の二組は野にいたすべてのものを襲って、それを殺した。

45 וַאֲבִימֶלֶךְ נִלְחָם בָּעִיר כָּל־הַיּוֹם הַהוּא וַיִּלְכֹּד אֶת־הָעִיר
そして-アビメレクは 戦った 町で すべての 日 その そして-捕らえた を 町を
H0040 H3605 H3117 H1931 H3920 H0853 H0413

וְאֶת־הָעָם אֲשֶׁר־בָּהּ הָרָג וַיִּתֹּץ אֶת־הָעִיר וַיִּזְרָעֶהָ מֶלַח׃
そして 民を ところの その-中の 殺した そして-壊した を 町を そして-蒔いた 塩を
H0853 H5422 H2026 H0853 H2232 H4417

פ
—

アビメレクはその日、終日、町を攻め、ついに町を取って、そのうちの民を殺し、町を破壊して、塩をまいた。

46 וַיִּשְׁמְעוּ כָּל־בַּעֲלֵי מִגְדַּל־שְׁכֶם וַיָּבֹאוּ אֶל־בֵּית צְרִיחַ
そして-聞いた すべての 人々は 塔の シェケムの そして-入った へ 家の 地下室に
H8085 H3605 H1167 H4026 H7927 H0935 H0413 H6877

בְּרִית׃ אֵל
ベリトの エル
H1286 H0410

シケムのやぐらの人々は皆これを聞いて、エルベリテの宮の塔にはいった。

47 שְׁכֶם׃ מִגְדַּל־ בַּעֲלֵי כָּל־ הִתְקַבְּצוּ כִּי לַאֲבִימֶלֶךְ וַיֻּגַּד
シェケムの 塔の 人々が すべての 集まった こと アビメレクに そして-知らされた
H7927 H4026 H1167 H3605 H6908 H0040 H5046

シケムのやぐらの人々が皆集まったことがアビメレクに聞えたので、

48 וַיַּעַל צַלְמוֹן הוּא הַר־ אֲבִימֶלֶךְ וְכָל־ הָעָם אֲשֶׁר־
そして-上った ツァルモンの 彼は 山に アビメレクは そして-すべての 民が ところの
H5927 H1931 H2022 H0040 H3605

וַיִּקַּח אֲבִימֶלֶךְ אֶת־ הַקַּרְדֻּמּוֹת בְּיָדוֹ וַיִּכְרֹת שׁוֹכַת עֵצִים
そして-取った アビメレクは を 斧を 手に そして-切った 枝を 木の
H3947 H0040 H0853 H7134 H3027 H3772 H7754 H6086

וַיָּשֶׂם עַל־ וַיֹּאמֶר אֶל־ הָעָם אֲשֶׁר־ עִמּוֹ
そして-置いた の-上に 肩 そして-言った に 民 ところの 彼と-共の
H7760 H5921 H7926 H0559 H0413 H5971 H0834 H5973

וַיִּשָּׂא כָּמֹנִי׃ עֲשׂוּ מַהֲרוּ עָשִׂיתִי רְאִיתֶם מָה
そして-担いだ わたしのように 行え 急いで わたしが-行ったのを 見た 何を
H5375 H3644 H6213 H4116 H6213 H7200 H4100

アビメレクは自分と一緒にいた民をことごとく率いてザルモン山にのぼり、アビメレクは手におのを取って、木の枝を切り落し、それを取りあげて自分の肩にのせ、一緒にいた民にむかって言った、「あなたがたはわたしがしたことを見たとおりに急いでしなさい」。

49 אֲבִימֶלֶךְ אַחֲרָי וַיֵּלְכוּ שׁוֹכָה אִישׁ הָעָם כָּל־ גַּם־ וַיִּכְרְתוּ
アビメレクの 後に そして-行った 枝を 人は 民も すべての また そして-切った
H0040 H0310 H3212 H7754 H0376 H5971 H3605 H1571 H3772

בָּאֵשׁ הַצְּרִיחַ אֶת־ עֲלֵיהֶם וַיַּצִּיתוּ עַל־ וַיָּשִׂימוּ
火で 地下室を を 彼らの-上に そして-火をつけた 地下室の の-上に そして-置いた
H0784 H6877 H0853 H5921 H3341 H6877 H5921 H7760

פ אִישׁ כְּאֶלֶף שְׁכֶם מִגְדַּל־ אַנְשֵׁי כָּל־ גַּם וַיָּמֻתוּ וְאִשָּׁה׃
— 人の 約-千 シェケムの 塔の 人々も すべての また そして-死んだ 男と-女が
H0376 H0505 H7927 H4026 H0376 H3605 H1571 H4191 H0802

そこで民もまた皆おのおのその枝を切り落し、アビメレクに従って行って、枝を塔によせかけ、塔に火をつけて彼らを攻めた。こうしてシケムのやぐらの人々もまたことごとく死んだ。男女おおよそ一千人であった。

50

וַיֵּלֶךְ	אֲבִימֶלֶךְ	אֶל־	תֵּבֶץ	וַיִּחַן	בְּתֵבֶץ	וַיִּלְכְּדָהּ׃
そして–行った	アビメレクは	へ	テベツ	そして–陣を張った	テベツに	そして–捕らえた
H3212	H0040	H0413	H8405	H2583	H8405	H3920

ついでアビメレクはテベツに行き、テベツに向かって陣を張り、これを攻め取ったが、

51

הָאֲנָשִׁים	כָּל־	שָׁמָּה	וַיָּנֻסוּ	הָעִיר֙	בְּתוֹךְ־	הָיָה	עֹז֙	וּמִגְדַּל־
男たちと	すべての	そこに	そして–逃げた	町の	中に	あった	強い	そして–塔が
H0376	H3605	H8033	H5127		H8432	H1961	H5797	H4026

עַל־	וַיַּעֲלוּ֙	בַּעֲדָם֙	וַיִּסְגְּרוּ֙	הָעִ֔יר	בַּעֲלֵ֖י	וְכֹ֣ל	וְהַנָּשִׁ֑ים
の–上に	そして–上った	後ろを	そして–閉じた	町の	人々は	そして–すべての	そして–女たちと
	H5927	H1157	H5462		H1167	H3605	H0802

הַמִּגְדָּ֔ל׃	גַּ֖ג
塔の	屋上
H4026	H1406

町の中に一つの堅固なやぐらがあって、すべての男女すなわち町の人々が皆そこに逃げ込み、あとを閉ざして、やぐらの屋根に上ったので、

52

עַד־	וַיִּגַּ֖שׁ	בּ֑וֹ	וַיִּלָּחֶ֣ם	הַמִּגְדָּ֔ל	עַד־	אֲבִימֶ֖לֶךְ	וַיָּבֹ֣א	
まで	そして–近づいた	それと	そして–戦った	塔に	まで	アビメレクは	そして–来た	
H5704	H5066			H4026	H5704	H0040	H0935	

בָּאֵֽשׁ׃	לִשְׂרֹפ֖וֹ	הַמִּגְדָּ֑ל	פֶּ֣תַח
火で	焼くために	塔の	入り口に
H0784	H8313	H4026	H6607

アビメレクはやぐらのもとに押し寄せてこれを攻め、やぐらの入口に近づいて、火をつけて焼こうとしたとき、

53

וַתָּ֥רֶץ	אֲבִימֶ֖לֶךְ	רֹ֣אשׁ	עַל־	רֶ֔כֶב	פֶּ֣לַח	אַחַ֑ת	אִשָּׁ֗ה	וַתַּשְׁלֵךְ֙
そして–砕いた	アビメレクの	頭	の–上に	ひき臼の	かけらを	一人の	女が	そして–投げた
H7533	H0040			H7393	H6400	H0259	H0802	H7993

גֻּלְגָּלְתּֽוֹ׃	אֶת־
頭蓋骨を	を
H1538	H0853

ひとりの女がアビメレクの頭に、うすの上石を投げて、その頭骸骨を砕いた。

54

חַרְבְּךָ֙	שְׁלֹ֣ף	לוֹ֮	וַיֹּ֣אמֶר	כֵּלָיו֒	הַנַּ֣עַר	אֶל־	מְהֵרָ֗ה	וַיִּקְרָ֣א
剣を	抜け	彼に	そして–言った	武具を	若者を	に	急いで	そして–呼んだ
H2719	H8025		H0559	H3627	H5288	H0413	H4120	H7121

וַיִּדְקְרֵ֖הוּ	הֲרָגָ֑תְהוּ	אִשָּׁ֣ה	לִ֔י	יֹ֣אמְרוּ	פֶּן־	וּמוֹתָ֥תְנִי
そして–突き刺した	殺したと	女が	わたしについて	言われることを	恐れがある	そして–殺してくれ
H1856	H2026	H0802		H0559	H6435	H4191

וַיָּמֹ֖ת׃	נַעֲרֽוֹ׃
そして–死んだ	若者は
H4191	H5288

アビメレクは自分の武器を持つ若者を急ぎ呼んで言った、「つるぎを抜いてわたしを殺せ。さもないと人々はわたしを、女に殺されたのだと言うであろう」。その若者が彼を刺し通したので彼は死んだ。

55 וַיִּרְאוּ אִישׁ־ מֵת כִּי אֲבִימֶלֶךְ וַיֵּלְכוּ אִישׁ
そして–見た 人は 死んだ こと アビメレクが そして–行った 人は
H7200 H0376 H4191 H3478 H0040 H3212 H0376

לִמְקֹמוֹ׃
自分の–場所に
H4725

イスラエルの人々はアビメレクの死んだのを見て、おのおの去って家に帰った。

56 וַיָּשֶׁב אֱלֹהִים אֶת רָעַת אֲבִימֶלֶךְ אֲשֶׁר עָשָׂה לְאָבִיו לַהֲרֹג
そして–報いた 神は を 悪を アビメレクの ところの 行った 父に 殺したことを
H7725 H0430 H0853 H0040 H0001

אֶת־ שִׁבְעִים אֶחָיו׃
を 七十 兄弟を
H0853 H7657 H0251

このように神はアビメレクがその兄弟七十人を殺して、自分の父に対して犯した悪に報いられた。

57 וְאֵת כָּל־ רָעַת אַנְשֵׁי שְׁכֶם הֵשִׁיב אֱלֹהִים בְּרֹאשָׁם וַתָּבֹא
そして すべての 悪を 人々の シェケムの 報いた 神は 頭の–上に そして–来た
H0853 H3605 H7451 H0376 H7927 H7725 H0430 H0935

פ יְרֻבַּעַל׃ בֶּן־ יוֹתָם קִלֶּלֶת אֲלֵיהֶם
— エルバアルの 息子 ヨタムの 呪いが 彼らの–上に
H3378 H3147 H7045 H0413

また神はシケムの人々のすべての悪を彼らのこうべに報いられた。こうしてエルバアルの子ヨタムののろいが、彼らに臨んだのである。

Chapter 10

1 וַיָּקָם אַחֲרֵי אֲבִימֶלֶךְ לְהוֹשִׁיעַ אֶת־ יִשְׂרָאֵל תּוֹלָע בֶּן־ פּוּאָה
そして–立ち上がった の–後に アビメレク 救うために [を] イスラエル トラ の–息子 プア
H0853 H3467 H0040 H0853 H3478 H8439 H6312

אֶפְרָיִם׃ בְּהַר בְּשָׁמִיר יֹשֵׁב וְהוּא־ יִשָּׂשכָר אִישׁ דּוֹדוֹ בֶּן־
エフライム の–山地–に シャミル–に 住んでいた そして–彼は イッサカル 人 ドド の–息子
H0669 H2022 H8069 H3427 H1931 H3485 H0376 H1734

アビメレクの後、イッサカルの人で、ドドの子であるプワの子トラが起ってイスラエルを救った。彼はエフライムの山地のシャミルに住み、

2 וַיִּשְׁפֹּט אֶת־ יִשְׂרָאֵל עֶשְׂרִים וְשָׁלֹשׁ שָׁנָה וַיָּמָת וַיִּקָּבֶר
そして–裁いた [を] イスラエル 二十 と–三 年 そして–死んだ そして–葬られた
H8199 H0853 H3478 H6242 H7969 H8141 H4191 H6912

פ בְּשָׁמִיר׃
— シャミル–に
H8069

二十三年の間イスラエルをさばいたが、ついに死んでシャミルに葬られた。

3 וַיָּקָם אַחֲרָיו יָאִיר הַגִּלְעָדִי וַיִּשְׁפֹּט אֶת־ יִשְׂרָאֵל עֶשְׂרִים
そして–立ち上がった 彼の–後に ヤイル ギルアデ–人 そして–裁いた [を] イスラエル 二十
H2971 H1569 H8199 H0853 H3478 H6242

וּשְׁתָּיִם שָׁנָה׃
と–二 年
H8147 H8141

彼の後にギレアデびとヤイルが起って二十二年の間イスラエルをさばいた。

4 וַיְהִי־ לוֹ שְׁלֹשִׁים בָּנִים רֹכְבִים עַל־ שְׁלֹשִׁים עֲיָרִים וּשְׁלֹשִׁים
そして-あった 彼に 三十 人の-息子たち 乗る の-上に 三十 頭の-ろば そして-三十
H1961 H0000 H7970 H1121 H7392 H5921 H7970 H5895 H7969

בְּאֶרֶץ אֲשֶׁר הַוֹּה הַיּוֹם עַד יָאִירַתּוֹת וְיִקְרָאוּ לָהֶם לָהֶם עֲיָרִים
の-地-に ところの この の-日 まで ハボテ・ヤイル 呼ぶ それらを 彼らの の-町々
H0776 H0834 H2088 H3117 H5704 H2334 H7121 H1992 H1992 H5892

הַגִּלְעָד׃
ギルアデ
H1568

彼に三十人の子があった。彼らは三十頭のろばに乗り、また三十の町をもっていた。ギレアデの地で今日まで、ハボテ・ヤイルと呼ばれているものがそれである。

5 וַיָּמָת יָאִיר וַיִּקָּבֶר בְּקָמוֹן׃ פ
そして-死んだ ヤイル そして-葬られた カモン-に —
H4191 H2971 H6912 H7056 H6887

ヤイルは死んで、カモンに葬られた。

6 וַיֹּסִפוּ בְּנֵי יִשְׂרָאֵל לַעֲשׂוֹת הָרַע בְּעֵינֵי יְהוָה וַיַּעַבְדוּ אֶת־
そして-再び 子ら イスラエル 行った 悪を の-目-に 主 そして-仕えた [を]
H3254 H1121 H3478 H6213 H7451 H5869 H3068 H5647 H0853

וְאֶת־ הַבְּעָלִים וְאֶת־ עַשְׁתָּרוֹת אֱלֹהֵי אֶת־ וְאֶת־ אֱלֹהֵי אֲרָם
そして-[を] バアルたち-に そして-[を] アシュタロテ-に そして-[を] の-神々-に アラム
H0853 H1168 H0853 H6252 H0853 H0430 H0758

וְאֶת־ אֱלֹהֵי בְנֵי־ עַמּוֹן וְאֶת־ אֱלֹהֵי מוֹאָב וְאֶת־ אֱלֹהֵי בְנֵי־ פְלִשְׁתִּים
そして-[を] の-神々-に 子ら アンモン そして-[を] の-神々-に モアブ そして-[を] の-神々-に 子ら ペリシテ
H0853 H0430 H1121 H5983 H0853 H0430 H4124 H0853 H0430 H1121 H6430

וַיַּעַזְבוּ אֶת־ יְהוָה וְלֹא עָבָדוּהוּ׃
そして-捨てた [を] 主 そして-ない 仕えなかった-彼に
H5800 H0853 H3068 H3808 H5647

イスラエルの人々は再び主の前に悪を行い、バアルとアシタロテおよびスリヤの神々、シドンの神々、モアブの神々、アンモンびとの神々、ペリシテびとの神々に仕え、主を捨ててこれに仕えなかった。

7 וַיִּחַר־ אַף יְהוָה בְּיִשְׂרָאֵל וַיִּמְכְּרֵם בְּיַד־ פְּלִשְׁתִּים וּבְיַד־
そして-燃えた 怒りが 主の イスラエル-に対して そして-売り渡した-彼らを の-手-に ペリシテ人 そして-の-手-に
H2734 H0639 H3068 H3478 H4376 H3027 H6430 H3027

בְּנֵי עַמּוֹן׃
の-子ら アンモン
H1121 H5983

主はイスラエルに対して怒りを発し、彼らをペリシテびとの手およびアンモンびとの手に売りわたされたので、

8 וַיָּרֹעֲצוּ וַיְרֻצְצוּ בַּשָּׁנָה הַהִיא שְׁמֹנֶה עֶשְׂרֵה שָׁנָה אֶת־ כָּל־ בְּנֵי יִשְׂרָאֵל
そして-打ち砕いた そして-圧迫した その-年-に その 十 八 年 [を] すべて-の 子ら イスラエル
H7492 H7533 H8141 H1931 H8083 H6240 H8141 H0853 H3605 H1121 H3478

אֲשֶׁר בְּעֵבֶר בְּאֶרֶץ הָאֱמֹרִי אֲשֶׁר בַּגִּלְעָד׃
ところの の-向こう側-に の-地-に アモリ人 ところの ギルアデ-に
H0834 H5676 H0776 H0567 H0834 H1568

彼らはその年イスラエルの人々をしえたげ悩ました。すなわち彼らはヨルダンの向こうのギレアデにあるアモリびとの地にいたすべてのイスラエルびとを十八年のあいだ悩ました。

9 וַיֵּעָבְרוּ בְּנֵי־עַמּוֹן גַּם־לְהִלָּחֶם הַיַּרְדֵּן אֶת־יְהוּדָה
そして–渡った の–子ら アンモン [を] ヨルダン 戦うために また ユダ–に対しても
H5983 H0853 H3383 H1571 H3063

וּבְבִנְיָמִין וּבְבֵית אֶפְרַיִם וַתֵּצֶר לְיִשְׂרָאֵל׃
そして–ベニヤミン–に対しても そして–の–家–に対しても エフライム そして–苦しんだ イスラエルは
H1144 H0669 H3334 H3478

מְאֹד׃
非常に
H3966

またアンモンの人々がユダとベニヤミンとエフライムの氏族を攻めるためにヨルダンを渡ってきたので、イスラエルは非常に悩まされた。

10 וַיִּזְעֲקוּ בְּנֵי יִשְׂרָאֵל אֶל־יְהוָה לֵאמֹר חָטָאנוּ
そして–叫んだ の–子ら イスラエル [に] 主 言って 私たちは–罪を犯しました
H2199 H3478 H0413 H3068 H0559 H2398

לָךְ וְכִי עָזַבְנוּ אֶת־אֱלֹהֵינוּ וַנַּעֲבֹד אֶת־
あなたに–対して なぜなら 私たちは–捨てました [を] 私たちの–神 そして–仕えました [を]
H0853 H5647 H0430 H0853 H0853

פ הַבְּעָלִים׃
— バアルたち–に

そこでイスラエルの人々は主に呼ばわって言った、「わたしたちはわたしたちの神を捨ててバアルに仕え、あなたに罪を犯しました」。

11 וַיֹּאמֶר יְהוָה אֶל־בְּנֵי יִשְׂרָאֵל הֲלֹא מִמִּצְרַיִם וּמִן־
そして–言った 主は [に] の–子ら イスラエル ではなかったか エジプト–から そして–から
H0559 H3068 H0413 H3478 H3808 H4714

הָאֱמֹרִי עַמּוֹן בְּנֵי וּמִן־ פְּלִשְׁתִּים׃
アモリ人 の–子ら アンモン そして–から ペリシテ人
H0567 H5983 H6430

主はイスラエルの人々に言われた、「わたしはかつてエジプトびと、アモリびと、アンモンびと、ペリシテびとからあなたがたを救い出したではないか。

12 וְצִידוֹנִים וַעֲמָלֵק וּמָעוֹן לָחֲצוּ אֶתְכֶם וַתִּצְעֲקוּ
そして–シドン人も そして–アマレク人も そして–マオン人も 圧迫した あなたがたを そして–叫んだ
H6722 H6002 H4584 H3905 H0853 H6817

אֵלַי וָאוֹשִׁיעָה אֶתְכֶם מִיָּדָם׃
わたしに そして–救った あなたがたを 彼らの–手から
H0413 H3467 H0853 H3027

またシドンびと、アマレクびとおよびマオンびとがあなたがたをしえたげた時、わたしに呼ばわったので、あなたがたを彼らの手から救い出した。

13 וְאַתֶּם עֲזַבְתֶּם אוֹתִי וַתַּעַבְדוּ אֱלֹהִים אֲחֵרִים לָכֵן לֹא־
しかし–あなたがたは 捨てた わたしを そして–仕えた 神々–に 他の それゆえ ない
H3808 H5647 H0430 H0312 H0853 H0853

אוֹסִיף לְהוֹשִׁיעַ אֶתְכֶם׃
もう–しない 救うことを あなたがたを
H3254 H3467 H0853

しかしあなたがたはわたしを捨てて、ほかの神々に仕えた。それゆえ、わたしはかさねてあなたがたを救わないであろう。

14 וְלֵכוּ וְזַעֲקוּ אֶל־הָאֱלֹהִים אֲשֶׁר בְּחַרְתֶּם בָּם הֵמָּה
行け そして-叫べ [に] その-神々-に ところの あなたがたが-選んだ それらを 彼らが
H3212 H2199 H0413 H0430 H0977 H1992

יוֹשִׁיעוּ לָכֶם בְּעֵת צָרַתְכֶם׃
救うであろう あなたがたを の-時-に あなたがたの-苦難
H3467 H6256

あなたがたが選んだ神々に行って呼ばわり、あなたがたの悩みの時、彼らにあなたがたを救わせるがよい」。

15 וַיֹּאמְרוּ בְנֵי־יִשְׂרָאֵל אֶל־יְהוָה חָטָאנוּ עֲשֵׂה־אַתָּה
そして-言った の-子ら イスラエル [に] 主 私たちは-罪を犯しました してください あなたが
H0559 H3478 H0413 H3068 H2398

לָנוּ כֹּל־הַטּוֹב בְּעֵינֶיךָ אַךְ הַצִּילֵנוּ נָא הַיּוֹם הַזֶּה׃
私たちに すべて-の 良い-ことを あなたの-目-に ただ 救い出してください どうか の-日 この
H5493 H3605 H2896 H0389 H5337 H4994 H3117 H2088

イスラエルの人々は主に言った、「わたしたちは罪を犯しました。なんでもあなたが良いと思われることをしてください。ただどうぞ、きょう、わたしたちを救ってください」。

16 וַיָּסִירוּ אֶת־אֱלֹהֵי הַנֵּכָר מִקִּרְבָּם וַיַּעַבְדוּ אֶת־יְהוָה
そして-取り除いた [を] 異国の の-神々 彼らの-中から そして-仕えた [を] 主-に
H5493 H0853 H5236 H0430 H7130 H5647 H0853 H3068

וַתִּקְצַר נַפְשׁוֹ בַּעֲמַל יִשְׂרָאֵל׃ פ
そして-短くなった 彼の-魂は の-苦しみ-のゆえに イスラエル —
H5315 H5999 H3478

そうして彼らは自分たちのうちから異なる神々を取り除いて、主に仕えた。それで主の心はイスラエルの悩みを見るに忍びなくなった。

17 וַיִּצָּעֲקוּ בְנֵי עַמּוֹן וַיַּחֲנוּ בַּגִּלְעָד וַיֵּאָסְפוּ בְּנֵי
そして-召集された の-子ら アンモン そして-陣を張った ギルアデ-に そして-集まった の-子ら
H6817 H5983 H2583 H1568 H0622

יִשְׂרָאֵל וַיַּחֲנוּ בַּמִּצְפָּה׃
イスラエル そして-陣を張った ミツパ-に
H3478 H2583 H4709

時にアンモンの人々は召集されてギレアデに陣を取ったが、イスラエルの人々は集まってミヅパに陣を取った。

18 וַיֹּאמְרוּ הָעָם שָׂרֵי גִלְעָד אִישׁ אֶל־רֵעֵהוּ מִי הָאִישׁ אֲשֶׁר
そして-言った 民は の-首長たち ギルアデ 人が [に] その-隣人 誰が ところの
H0559 H8269 H1568 H0376 H0413 H7453 H4310 H0376

יָחֵל לְהִלָּחֵם בִּבְנֵי עַמּוֹן יִהְיֶה לְרֹאשׁ לְכֹל יֹשְׁבֵי גִלְעָד׃
始める 戦うことを の-子ら-に対して アンモン なる 頭-と すべて-の 住む者たち-の ギルアデ
H1568 H3427 H3605 H1961 H5983 H0413 H7218

פ
—

その時、民とギレアデの君たちとは互に言った、「だれがアンモンの人々に向かって戦いを始めるか。その人はギレアデのすべての民のかしらとなるであろう」。

Chapter 11

1 וְיִפְתָּח הַגִּלְעָדִי הָיָה גִּבּוֹר חַיִל וְהוּא בֶּן־אִשָּׁה זוֹנָה וַיִּוֹלֶד גִּלְעָד אֶת־יִפְתָּח׃
さて-エフタ ギルアデ-人は であった 勇敢な 勇士 そして-彼は の-息子 女の 遊女
H3316 H1569 H1961 H1368 H2428 H1931 H0802 H2181
エフタ [を] ギルアデ そして-生んだ
H3316 H0853 H1568 H3205

さてギレアデびとエフタは強い勇士であったが遊女の子で、エフタの父はギレアデであった。

2 וַתֵּלֶד אֵשֶׁת־גִּלְעָד לוֹ בָּנִים וַיִּגְדְּלוּ בְנֵי־הָאִשָּׁה וַיְגָרְשׁוּ אֶת־יִפְתָּח וַיֹּאמְרוּ לוֹ לֹא־תִנְחַל בְּבֵית־אָבִינוּ כִּי בֶן־אִשָּׁה אַחֶרֶת אָתָּה׃
そして-産んだ の-妻 ギルアデ 彼に 息子たちを そして-成長した の-息子たち その-妻
H3205 H0802 H1568 H0802 H1431 H0802
そして-追い出した [を] エフタ そして-言った 彼に ない 相続しない の-家-で 私たちの-父
H1644 H0853 H3316 H0559 H0559 H3808 H5157 H0001
あなたは 別の 女の の-息子 なぜなら
H0312 H0802

ギレアデの妻も子供を産んだが、その妻の子供たちが成長したとき、彼らはエフタを追い出して彼に言った、「あなたはほかの女の産んだ子だから、わたしたちの父の家を継ぐことはできません」。

3 וַיִּבְרַח יִפְתָּח מִפְּנֵי אֶחָיו וַיֵּשֶׁב בְּאֶרֶץ טוֹב וַיְלַקְּטוּ אֶל־יִפְתָּח אֲנָשִׁים רֵיקִים וַיֵּצְאוּ עִמּוֹ׃ פ
そして-逃げた エフタ の-前から 彼の-兄弟たち そして-住んだ の-地-に トブ そして-集まった
H1272 H3316 H6440 H0251 H3427 H0776 H2897 H3950
— 彼と-共に そして-出て行った ならず者の 人々が エフタ [に]
H3318 H7386 H0376 H3316 H0413

それでエフタはその兄弟たちのもとから逃げ去って、トブの地に住んでいると、やくざ者がエフタのもとに集まってきて、彼と一緒に出かけて略奪を事としていた。

4 וַיְהִי מִיָּמִים וַיִּלָּחֲמוּ בְנֵי־עַמּוֹן עִם־יִשְׂרָאֵל׃
そして-なった 日々-の後 そして-戦った の-子ら アンモン [と] イスラエル
H1961 H3117 H3478 H5983 H3478

日がたって後、アンモンの人々はイスラエルと戦うことになり、

5 וַיְהִי כַּאֲשֶׁר־נִלְחֲמוּ בְנֵי־עַמּוֹן וַיֵּלְכוּ זִקְנֵי יִשְׂרָאֵל לָקַחַת אֶת־יִפְתָּח מֵאֶרֶץ טוֹב׃
そして-なった 時-に 戦った の-子ら アンモン [と] イスラエル そして-行った の-長老たち
H1961 H3478 H3478 H5983 H1961 H3212 H2205
連れ戻すために [を] エフタ の-地-から トブ
H3947 H0853 H3316 H0776 H2897

アンモンの人々がイスラエルと戦ったとき、ギレアデの長老たちは行ってエフタをトブの地から連れてこようとして、

וְנִלָּחֲמָה
そして–戦おう

לְקָצִין
指揮者–に
H7101

לָנוּ
私たちの

וְהָיִיתָה
そして–なってくれ
H1961

לְכָה
来てくれ
H3212

לִיפְתָּח
エフタ–に
H3316

וַיֹּאמְרוּ
そして–言った
H0559

6

עַמּוֹן׃
アンモン
H5983

בִּבְנֵי
の–子ら–に対して

エフタに言った、「きて、わたしたちの大将になってください。そうすればわたしたちはアンモンの人々と戦うことができます」。

אוֹתִי
私を
H0853

שְׂנֵאתֶם
憎んだのは
H8130

אַתֶּם
あなたがたが
H0859

הֲלֹא
ではなかったか
H3808

גִּלְעָד
ギルアデ
H1568

לְזִקְנֵי
の–長老たち–に
H2205

יִפְתָּח
エフタ
H3316

וַיֹּאמֶר
そして–言った
H0559

7

צַר
苦しい

כַּאֲשֶׁר
の–時に

עַתָּה
今
H6258

אֵלַי
私の–もとに
H0413

בָּאתֶם
来たのか
H0935

וּמַדּוּעַ
なぜ
H4069

אָבִי
私の–父
H0001

מִבֵּית
の–家–から

וַתְּגָרְשׁוּנִי
そして–追い出した–私を
H1644

לָכֶם׃
あなたがたに

エフタはギレアデの長老たちに言った、「あなたがたはわたしを憎んで、わたしの父の家から追い出したではありませんか。しかるに今あなたがたが困っている時とはいえ、わたしのところに来るとはどういうわけですか」。

אֵלֶיךָ
あなたの–もとに
H0413

שַׁבְנוּ
戻って来た
H7725

עַתָּה
今
H6258

לָכֵן
だから

יִפְתָּח
エフタ

אֶל־
[に]
H0413

גִּלְעָד
ギルアデ
H1568

זִקְנֵי
の–長老たち
H2205

וַיֹּאמְרוּ
そして–言った
H0559

8

לָנוּ
私たちの

וְהָיִיתָ
そして–なってくれ
H1961

עַמּוֹן
アンモン
H5983

בִּבְנֵי
の–子ら–に対して

וְנִלְחַמְתָּ
そして–戦って

עִמָּנוּ
私たちと–共に

וְהָלַכְתָּ
そして–行って
H1980

גִּלְעָד׃
ギルアデ
H1568

יֹשְׁבֵי
住む者たち–の
H3427

לְכֹל
すべて–の
H3605

לְרֹאשׁ
頭–に

エフタはギレアデの長老たちに言った、「それでわたしたちは今、あなたに帰ったのです。どうぞ、わたしたちと一緒に行って、アンモンの人々と戦ってください。そしてわたしたちとギレアデに住んでいるすべてのものとのかしらになってください」。

אוֹתִי
私を
H0853

אַתֶּם
あなたがたが

מְשִׁיבִים
連れ戻す–なら

אִם־
もし

גִּלְעָד
ギルアデ
H1568

זִקְנֵי
の–長老たち
H2205

אֶל־
[に]
H0413

יִפְתָּח
エフタ
H3316

וַיֹּאמֶר
そして–言った
H0559

9

אֶהְיֶה
なる
H1961

אָנֹכִי
私が
H0595

לְפָנֶיךָ
私の–前に
H6440

אוֹתָם
彼らを
H0853

יְהוָה
主が
H3068

וְנָתַן
そして–与えるなら
H5414

עַמּוֹן
アンモン
H5983

בִּבְנֵי
の–子ら–に対して

לְהִלָּחֵם
戦うために

לָכֶם׃
あなたがたの

לְרֹאשׁ
頭–に

エフタはギレアデの長老たちに言った、「もしあなたがたが、わたしをつれて帰って、アンモンの人々と戦わせるとき、主が彼らをわたしにわたされるならば、わたしはあなたがたのかしらとなりましょう」。

10 וַיֹּאמְרוּ זִקְנֵי־גִלְעָד אֶל־יִפְתָּח יְהוָה יִהְיֶה שֹׁמֵעַ בֵּינוֹתֵינוּ
そして-言った の-長老たち ギルアデ [に] エフタ 主が なる 聞く-者 私たちの-間に
H0559 H2205 H1568 H0413 H3316 H3068 H1961 H8085 H0996

אִם־לֹא כִּדְבָרְךָ כֵּן נַעֲשֶׂה׃
もし ない あなたの-言葉-の通りに そのように 行う
H3808 H1697

ギレアデの長老たちはエフタに言った、「主はあなたとわたしたちの間の証人です。わたしたちは必ずあなたの言われるとおりにしましょう」。

11 וַיֵּלֶךְ יִפְתָּח וַיָּשֶׂם גִּלְעָד זִקְנֵי עִם־ הָעָם אוֹתוֹ עֲלֵיהֶם
そして-行った エフタ [と] の-長老たち ギルアデ そして-立てた 民は 彼を 彼らの-上に
H3212 H3316 H2205 H1568 H0853

וַיְדַבֵּר יִפְתָּח אֶת־ כָּל־ דְּבָרָיו לִפְנֵי
そして-語った エフタ [を] すべて-の 彼の-言葉を の-前-で
H1696 H3316 H0853 H3605 H1697 H6440

וּלְקָצִין לְרֹאשׁ
そして-指揮者-として 頭-として
H7101

וַיְדַבֵּר יִפְתָּח אֶת־ כָּל־ דְּבָרָיו לִפְנֵי יְהוָה בַּמִצְפָּה׃ פ
そして-語った エフタ [を] すべて-の 彼の-言葉を の-前-で 主 ミツパ-で 一
H1696 H3316 H0853 H3605 H1697 H6440 H3068 H4709

そこでエフタはギレアデの長老たちと一緒に行った。民は彼を立てて自分たちのかしらとし、大将とした。それでエフタはミヅパで、自分の言葉をことごとく主の前に述べた。

12 וַיִּשְׁלַח יִפְתָּח מַלְאָכִים אֶל־ מֶלֶךְ בְּנֵי־ עַמּוֹן לֵאמֹר מַה־ לִּי
そして-遣わした エフタ 使者たちを [に] の-王 の-子ら アンモン 言って 何の 私に
H7971 H3316 H4397 H0413 H4428 H1121 H5983 H0559 H4100 H0589

וְלָךְ כִּי־ בָאתָ אֵלַי לְהִלָּחֶם בְּאַרְצִי׃
そして-あなたに なぜ 来たのか 私の-もとに 戦うために 私の-地-で
H0935 H0413 H3898 H0776

かくてエフタはアンモンの人々の王に使者をつかわして言った、「あなたはわたしとなんのかかわりがあって、わたしのところへ攻めてきて、わたしの国と戦おうとするのですか」。

13 וַיֹּאמֶר מֶלֶךְ בְּנֵי־ עַמּוֹן אֶל־ מַלְאֲכֵי יִפְתָּח כִּי־ לָקַח
そして-言った の-王 の-子ら アンモン [に] の-使者たち エフタ なぜなら 奪った
H0559 H4428 H1121 H5983 H0413 H4397 H3316 H3947

יִשְׂרָאֵל אֶת־ אַרְצִי בַּעֲלוֹתוֹ מִמִּצְרַיִם מֵאַרְנוֹן וְעַד־ הַיַּבֹּק
イスラエルが [を] 私の-地を 上って来た-時に エジプト-から アルノン-から そして-まで ヤボク
H3478 H0853 H0776 H5927 H4714 H0769 H5704 H2999

וְעַתָּה הָשִׁיבָה אֶתְהֶן בְּשָׁלוֹם׃ וְעַד־ הַיַּרְדֵּן
そして-今 返せ それらを 平和-に そして-まで ヨルダン
H6258 H7725 H0853 H7965 H5704 H3383

アンモンの人々の王はエフタの使者に答えた、「昔、イスラエルがエジプトから上ってきたとき、アルノンからヤボクに及び、またヨルダンに及ぶわたしの国を奪い取ったからです。それゆえ今、穏やかにそれを返しなさい」。

14 וַיֹּסֶף עוֹד יִפְתָּח וַיִּשְׁלַח מַלְאָכִים אֶל־ מֶלֶךְ בְּנֵי עַמּוֹן׃
そして-再び さらに エフタは そして-遣わした 使者たちを [に] の-王 の-子ら アンモン
H3254 H5750 H3316 H7971 H4397 H0413 H4428 H1121 H5983

エフタはまた使者をアンモンの人々の王につかわして、

15 וַיֹּאמֶר לוֹ כֹּה אָמַר יִפְתָּח לֹא־לָקַח יִשְׂרָאֵל אֶת־
そして-言った 彼に このように 言う エフタは ない 奪わなかった イスラエルは [を]
H0559 H3541 H0559 H3316 H3808 H3478 H0853

אֶרֶץ־מוֹאָב וְאֶת־אֶרֶץ בְּנֵי עַמּוֹן׃
の-地 モアブ そして-[を] の-地 の-子ら アンモン
H0776 H4124 H0853 H0776 H5983

言わせた、「エフタはこう申します、『イスラエルはモアブの地も、またアンモンの人々の地も取りませんでした。

16 כִּי בַּעֲלוֹתָם מִמִּצְרָיִם וַיֵּלֶךְ יִשְׂרָאֵל בַּמִּדְבָּר עַד־יַם סוּף
なぜなら 上った-時 エジプト-から そして-歩んだ イスラエルは 荒野-を まで の-海 葦
H5927 H4714 H3212 H3478 H5704 H3220 H5488

וַיָּבֹא קָדֵשָׁה׃
そして-来た カデシュ-に
H0935 H6946

イスラエルはエジプトから上ってきたとき、荒野をとおって紅海にいたり、カデシにきました。

17 וַיִּשְׁלַח יִשְׂרָאֵל מַלְאָכִים אֶל־מֶלֶךְ אֱדוֹם לֵאמֹר אֶעְבְּרָה־נָּא
そして-遣わした イスラエルは 使者たちを [に] の-王 エドム 言って 通らせて ください
H7971 H3478 H4397 H0413 H4428 H0123 H0559 H5674 H4994

בְּאַרְצֶךָ וְלֹא שָׁמַע מֶלֶךְ אֱדוֹם וְגַם אֶל־מֶלֶךְ מוֹאָב לֹא אָבָה
あなたの-地-を しかし-ない 聞かなかった の-王 エドム そして-また [に] の-王 モアブ
H0776 H3808 H8085 H4428 H0123 H1571 H0413 H4428 H4124 H0014

וַיֵּשֶׁב יִשְׂרָאֵל בְּקָדֵשׁ׃
そして-留まった イスラエルは カデシュ-に
H3427 H3478 H6946

そしてイスラエルは使者をエドムの王につかわして「どうぞ、われわれにあなたの国を通らせてください」と言わせましたが、エドムの王は聞きいれませんでした。また同じように人をモアブの王につかわしたが、彼も承諾しなかったので、イスラエルはカデシにとどまりました。

18 וַיֵּלֶךְ בַּמִּדְבָּר וַיָּסָב אֶת־אֶרֶץ אֱדוֹם וְאֶת־אֶרֶץ מוֹאָב
そして-歩んだ 荒野-を そして-迂回した [を] の-地 エドム そして-[を] の-地 モアブ
H3212 H5437 H0853 H0776 H0123 H0853 H0776 H4124

וַיָּבֹא מִמִּזְרַח־שֶׁמֶשׁ לְאֶרֶץ מוֹאָב וַיַּחֲנוּ בְּעֵבֶר אַרְנֹן
そして-来た の-東-から 日 の-地-に モアブ そして-陣を張った の-向こう側-に アルノン
H0935 H4217 H8121 H0776 H4124 H2583 H5676 H0769

וְלֹא־בָאוּ בִּגְבוּל מוֹאָב כִּי אַרְנֹן גְּבוּל מוֹאָב׃
しかし-ない 入らなかった の-領土-に モアブ なぜなら アルノンが 境界 モアブの
H3808 H0935 H1366 H4124 H3588 H0769 H1366 H4124

それから荒野をとおって、エドムの地とモアブの地を回り、モアブの地の東部に達し、アルノンの向こうに宿営しましたがモアブの領域には、はいりませんでした。アルノンはモアブの境だからです。

19 וַיִּשְׁלַח יִשְׂרָאֵל מַלְאָכִים אֶל־סִיחֹן מֶלֶךְ־חֶשְׁבּוֹן מֶלֶךְ הָאֱמֹרִי
そして-遣わした イスラエルは 使者たちを [に] シホン の-王 ヘシュボン の-王 アモリ人
H7971 H3478 H4397 H0413 H5511 H4428 H2809 H4428 H0567

וַיֹּאמֶר לוֹ יִשְׂרָאֵל נַעְבְּרָה־נָּא בְּאַרְצְךָ עַד־מְקוֹמִי׃
そして-言った 彼に イスラエルは 通らせて ください あなたの-地-を まで 私の-場所
H0559 H3478 H5674 H4994 H0776 H5704 H4725

次にイスラエルはヘシボンの王すなわちアモリびとの王シホンに使者をつかわし、シホンに向かって「どうぞ、われわれにあなたの国をとおって、われわれの目的地へ行かせてください」と言わせました。

20 וְלֹא־ (しかし-ない H3808) הֶאֱמִין (信じなかった H0539) סִיחֹן (シホンは H5511) אֶת־ ([を] H0853) יִשְׂרָאֵל (イスラエルが H3478) עֲבֹר (通ること-を) בִּגְבֻלוֹ (彼の-領土-を H1366)

וַיֶּאֱסֹף (そして-集めた H0622) סִיחוֹן (シホンは H5511) אֶת־ ([を] H0853) כָּל־ (すべて-の H3605) עַמּוֹ (彼の-民) וַיַּחַנוּ (そして-陣を張った H2583) בְּיָהְצָה (ヤハツ-に H3096) וַיִּלָּחֶם (そして-戦った)

עִם־ ([と]) יִשְׂרָאֵל׃ (イスラエル H3478)

ところがシホンはイスラエルを信ぜず、その領域を通らせないばかりか、かえってすべての民を集めてヤハヅに陣を取り、イスラエルと戦いましたが、

21 וַיִּתֵּן (そして-与えた H5414) יְהוָה (主が H3068) אֱלֹהֵי־ (の-神 H0430) יִשְׂרָאֵל (イスラエル H3478) אֶת־ ([を] H0853) סִיחֹן (シホン H5511) וְאֶת־ (そして-[を] H0853) כָּל־ (すべて-の H3605) עַמּוֹ (彼の-民)

וַיִּירַשׁ (そして-占領した H3423) יִשְׂרָאֵל (イスラエルは H3478) אֶת ([を] H0853) כָּל־ (すべて-の H3605) אֶרֶץ (の-地 H0776)

וַיַּכּוּם (そして-打った H5221) יִשְׂרָאֵל (イスラエル H3478) בְּיַד (の-手-に H3027)

הָאֱמֹרִי (アモリ人 H0567) יוֹשֵׁב (住む者の H3427) הָאָרֶץ (その-地 H0776) הַהִיא׃ (その H1931)

イスラエルの神、主はシホンとそのすべての民をイスラエルの手にわたされたので、イスラエルは彼らを撃ち破って、その土地に住んでいたアモリびとの地をことごとく占領し、

22 וַיִּירְשׁוּ (そして-占領した H3423) אֶת ([を] H0853) כָּל־ (すべて-の H3605) גְּבוּל (の-領土 H1366) הָאֱמֹרִי (アモリ人 H0567) מֵאַרְנוֹן (アルノン-から H0769) וְעַד־ (そして-まで H5704) הַיַּבֹּק (ヤボク H2999)

וּמִן־ (そして-から) הַמִּדְבָּר (荒野) וְעַד־ (そして-まで H5704) הַיַּרְדֵּן׃ (ヨルダン H3383)

アルノンからヤボクまでと、荒野からヨルダンまで、アモリびとの領域をことごとく占領しました。

23 וְעַתָּה (そして-今 H6258) יְהוָה (主 H3068) אֱלֹהֵי (の-神 H0430) יִשְׂרָאֵל (イスラエル H3478) הוֹרִישׁ (追い払った H3423) אֶת־ ([を] H0853) הָאֱמֹרִי (アモリ人-を H0567) מִפְּנֵי (の-前-から H6440) עַמּוֹ (その-民)

וְאַתָּה (そして-あなたが) תִּירָשֶׁנּוּ׃ (それを-占領するのか H3423)

יִשְׂרָאֵל (イスラエル H3478)

このようにイスラエルの神、主はその民イスラエルの前からアモリびとを追い払われたのに、あなたはそれを取ろうとするのですか。

24 הֲלֹא (ではないか H3808) אֵת ([を] H0853) אֲשֶׁר (ところの) יוֹרִישְׁךָ (与える H3423) כְּמוֹשׁ (ケモシュが H3645) אֱלֹהֶיךָ (あなたの-神 H0430) אוֹתוֹ (それを H0853) תִּירָשׁ (占領する H3423) וְאֹתָ֗ (そして-[を] H0853)

אֲשֶׁר (ところの) כָּל־ (すべて-の H3605) הוֹרִישׁ (追い払った H3423) יְהוָה (主が H3068) אֱלֹהֵינוּ (私たちの-神 H0430) מִפָּנֵינוּ (私たちの-前-から H6440) אוֹתוֹ (それを H0853) נִירָשׁ׃ (占領する H3423)

あなたは、あなたの神ケモシがあなたに取らせるものを取らないのですか。われわれはわれわれの神、主がわれわれの前から追い払われたものの土地を取るのです。

25 וְעַתָּה טוֹב אַתָּה מִבָּלָק בֶּן־צִפּוֹר מֶלֶךְ מוֹאָב
そして–今 本当に–良い あなたは バラク–より の–息子 ツィポル の–王 モアブ
H6258 H2896 H0859 H1111 H6834 H4428 H4124

הֲרֹב רָב עִם־יִשְׂרָאֵל אִם־נִלְחֹם נִלְחַם בָּם׃
争った–か 争った [と] イスラエル あるいは 戦った–か 戦った 彼ら–と
H7378 H7378 H5973 H3478 H0518 H3898 H0776

あなたはモアブの王チッポルの子バラクにまさる者ですか。バラクはかつてイスラエルと争ったことがありますか。かつて彼らと戦ったことがありますか。

26 בְּשֶׁבֶת יִשְׂרָאֵל בְּחֶשְׁבּוֹן וּבִבְנוֹתֶיהָ וּבְעַרְעוֹר
住んでいた–間 イスラエルが ヘシュボン–に そして–その–周辺の町々–に そして–アロエル–に
H3427 H3478 H2809 H1323 H6177

וְעַל־כָּל־הֶעָרִים אֲשֶׁר עַל־יְדֵי אַרְנוֹן שְׁלֹשׁ מֵאוֹת שָׁנָה וּמַדּוּעַ לֹא־הִצַּלְתֶּם בָּעֵת הַהִיא׃
そして–すべて–の ところの 沿岸–に の–岸 アルノン 三 百 年 なぜ ない 取り戻さなかったのか その 時–に
H3605 H0834 H5921 H3027 H0769 H7969 H3967 H8141 H4069 H3808 H5337 H6256 H1931

イスラエルはヘシボンとその村里に住み、またアロエルとその村里およびアルノンの岸に沿うすべての町々に住むこと三百年になりますが、あなたがたはどうしてその間にそれを取りもどさなかったのですか。

27 וְאָנֹכִי לֹא־חָטָאתִי לָךְ וְאַתָּה עֹשֶׂה אִתִּי רָעָה
そして–私は ない 罪を犯していない あなた–に しかし–あなたは 行っている 私–に 悪を
H0595 H3808 H2398 H0859 H6213 H0854 H7451

לְהִלָּחֶם בִּי יְהוָה הַשֹּׁפֵט הַיּוֹם בֵּין בְּנֵי יִשְׂרָאֵל וּבֵין בְּנֵי עַמּוֹן׃
戦う–ために 私–に 裁け 主が 裁き主が 今日 の–間–を の–子ら イスラエル そして–の–間–を
H3898 H0853 H8199 H3068 H8199 H3117 H0996 H1121 H3478 H0996

わたしはあなたに何も悪い事をしたこともないのに、あなたはわたしと戦って、わたしに害を加えようとします。審判者であられる主よ、どうぞ、きょう、イスラエルの人々とアンモンの人々との間をおさばきください』」。

28 וְלֹא שָׁמַע מֶלֶךְ בְּנֵי עַמּוֹן אֶל־דִּבְרֵי יִפְתָּח אֲשֶׁר שָׁלַח אֵלָיו׃ פ
しかし–ない 聞かなかった の–王 の–子ら アンモン [に] の–言葉 エフタ ところの 送った 彼–に 一
H3808 H8085 H4428 H1121 H5983 H0413 H1697 H3316 H0834 H7971 H0413 H6605

しかしアンモンの人々の王はエフタが言いつかわした言葉をききいれなかった。

29 וְאֶת־ そして-[を] H0853 הַגִּלְעָד ギルアデ H1568 אֶת־ [を] H0853 וַיַּעֲבֹר そして-渡った H3068 יְהוָה 主 H7307 רוּחַ の-霊が H3316 יִפְתָּח エフタ H5921 עַל־ の-上-に H1961 וַתְּהִי そして-あった

מְנַשֶּׁה マナセ H4519 וַיַּעֲבֹר そして-渡った H0853 אֶת־ [を] H4708 מִצְפֵּה ミツペ H1568 גִּלְעָד ギルアデ H4708 וּמִמִּצְפֵּה そして-ミツペ-から H1568 גִּלְעָד ギルアデ H5674 עָבַר 渡った H1121 בְּנֵי の-子ら-へ

עַמּוֹן׃ アンモン H5983

時に主の霊がエフタに臨み、エフタはギレアデおよびマナセをとおって、ギレアデのミヅパに行き、ギレアデのミヅパから進んでアンモンの人々のところに行った。

30 וַיִּדַּר そして-誓った H3316 יִפְתָּח エフタ H3068 לַיהוָה 主-に H5088 נֶדֶר 誓い-を H5087 וַיֹּאמַר そして-言った H0559 אִם־ もし H5414 תִּתֵּן 与える H5414 נָתוֹן 確かに-与えるなら H0853 אֶת־ [を]

בְּנֵי の-子ら H5983 עַמּוֹן アンモン H3027 בְּיָדִי׃ 私の-手-に

エフタは主に誓願を立てて言った、「もしあなたがアンモンの人々をわたしの手にわたされるならば、

31 וְהָיָה そして-なる H1961 הַיּוֹצֵא 出て来る-者は H3318 אֲשֶׁר ところの H3318 יֵצֵא 出て来る H7965 מִדַּלְתֵי の-扉から H1004 בֵּיתִי 私の-家 H7125 לִקְרָאתִי 私を-迎えに H7725 בְּשׁוּבִי 私が-戻る-時

וְהַעֲלִיתִהוּ そして-捧げる-それを H5927 לַיהוָה 主の-もの-に H1961 וְהָיָה そして-なる H5983 עַמּוֹן アンモン H1121 מִבְּנֵי の-子ら-から H7965 בְּשָׁלוֹם 平和-に

עוֹלָה׃ פ 全焼の-献げ物-として —

わたしがアンモンの人々に勝って帰るときに、わたしの家の戸口から出てきて、わたしを迎えるものはだれでも主のものとし、その者を燔祭としてささげましょう」。

32 וַיַּעֲבֹר そして-渡った H3316 יִפְתָּח エフタ H0413 אֶל־ [へ] H5983 עַמּוֹן アンモン H1121 בְּנֵי の-子ら H3068 יְהוָה 主が H3027 בְּיָדוֹ׃ 彼の-手-に

エフタはアンモンの人々のところに進んで行って、彼らと戦ったが、主は彼らをエフタの手にわたされたので、

33 וַיַּכֵּם そして-打った H5221 מֵעֲרוֹעֵר アロエル-から H6177 וְעַד־ そして-まで H0935 בּוֹאֲךָ 来る-ところの H4511 מִנִּית ミニト H6242 עֶשְׂרִים 二十 H5704 עִיר の-町 H5704 וְעַד そして-まで

בְּנֵי の-子ら H3665 וַיִּכָּנְעוּ そして-屈服した H6440 מִפְּנֵי の-前-で H5983 עַמּוֹן アンモン H1121 בְּנֵי の-子ら H3966 מְאֹד 非常に H1419 גְּדוֹלָה 大きな H4347 מַכָּה 打撃で H0064 כְּרָמִים־אָבֵל アベル・ケラミム

יִשְׂרָאֵל׃ פ イスラエル —

アロエルからミンニテの附近まで、二十の町を撃ち敗り、アベル・ケラミムに至るまで、非常に多くの人を殺した。こうしてアンモンの人々はイスラエルの人々の前に攻め伏せられた。

34 וַיָּבֹא יִפְתָּח הַמִּצְפָּה אֶל־בֵּיתוֹ וְהִנֵּה בִתּוֹ יֹצֵאת לִקְרָאתוֹ
そして-来た エフタ ミツパ-に [に] 彼の-家 そして-見よ 彼の-娘が 出て来た 彼を-迎えに
H0935 H3316 H4709 H0413 H1931 H1323 H3318 H7125

בֶּן מִמֶּנּוּ לוֹ אֵין־יְחִידָה הִיא וְרַק וּבְמְחֹלוֹת בְּתֻפִּים
息子 彼女の-他に 彼に いない-一人-娘 彼女は しかし-ただ そして-踊り-ながら 小太鼓-を打ち
H1121 H4480 H3173 H1931 H7535 H4246 H8596

אוֹ־בַת׃
あるいは 娘
H1323

やがてエフタはミヅパに帰り、自分の家に来ると、彼の娘が鼓をもち、舞い踊って彼を出迎えた。彼女はエフタのひとり子で、ほかに男子も女子もなかった。

35 וַיְהִי כִּרְאוֹתוֹ אֹתָהּ וַיִּקְרַע אֶת־בְּגָדָיו וַיֹּאמֶר אֲהָהּ
そして-なった 見た-時 彼女を そして-引き裂いた [を] 彼の-衣を そして-言った ああ
H1961 H7200 H0853 H7167 H0853 H1121 H0559 H0162

בִּתִּי הַכְרַעְתִּנִי וְאַתְּ הָיִית לְעֹכְרַי וְאֲנֹכִי
私の-娘よ 打ちのめした-私を そして-あなたが なった 私の-悩み-の種に そして-私は
H1323 H3766 H0859 H1961 H5916 H0589

פָּצִיתִי־פִי אֶל־יְהוָה וְלֹא אוּכַל לָשׁוּב׃
開いた 私の-口を [に] 主 そして-ない できない 取り消すことが
H6475 H6310 H0413 H3068 H3808 H3201 H7725

エフタは彼女を見ると、衣を裂いて言った、「ああ、娘よ、あなたは全くわたしを打ちのめした。わたしを悩ますものとなった。わたしが主に誓ったのだから改めることはできないのだ」。

36 וַתֹּאמֶר אֵלָיו אָבִי פָּצִיתָה אֶת־פִּיךָ אֶל־יְהוָה עֲשֵׂה
そして-言った 彼-に 私の-父よ 開いた [を] あなたの-口を [に] 主 してください
H0559 H0413 H0001 H6475 H0853 H6310 H0413 H3068 H6213

לָךְ כַּאֲשֶׁר יָצָא מִפִּיךָ אַחֲרֵי אֲשֶׁר עָשָׂה לְךָ יְהוָה נְקָמוֹת
あなた-に なした ところの の-後 あなたの-口から 出た の-通りに 私-に 復讐-を 主が
H6213 H0834 H0310 H0834 H6310 H3318 H0834 H0589 H3068 H5360

מֵאֹיְבֶיךָ מִבְּנֵי עַמּוֹן׃
あなたの-敵から の-子ら-から アンモン
H0341 H1121 H5983

娘は言った、「父よ、あなたは主に誓われたのですから、主があなたのために、あなたの敵アンモンの人々に報復された今、あなたが言われたとおりにわたしにしてください」。

37 וַתֹּאמֶר אֶל־אָבִיהָ יֵעָשֶׂה לִי הַדָּבָר הַזֶּה הַרְפֶּה
そして-言った [に] 彼女の-父 なされて-ほしい 私-に この-こと 放して-ください
H0559 H0413 H0001 H6213 H0589 H1697 H2088 H7503

מִמֶּנִּי שְׁנַיִם חֳדָשִׁים וְאֵלְכָה וְיָרַדְתִּי עַל־הֶהָרִים
私-から 二 月 そして-行かせてください そして-下って行きます の-上-に 山々
H4480 H8147 H2320 H3212 H3381 H5921 H2022

וְאֶבְכֶּה עַל־בְּתוּלַי אָנֹכִי וְרֵעוֹתָי׃)ורעיתין[
そして-泣きます の-上-で 私の-処女 私と 私の-友人たち 私の-友人たち
H1058 H5921 H1331 H0589 H7453 H7453

娘はまた父に言った、「どうぞ、この事をわたしにさせてください。すなわち二か月の間わたしをゆるし、友だちと一緒に行って、山々をゆきめぐり、わたしの処女であることを嘆かせてください」。

הִיא	וַתֵּלֶךְ	חֳדָשִׁים	שְׁנֵי	אֹתָהּ	וַיְשַׁלַּח	לֵ֣כִי	וַיֹּאמֶר	38
彼女は	そして-行った	月	二	彼女を	そして-送り出した	行け	そして-言った	
H1931	H3212	H2320	H8147	H0853	H7971	H3212	H0559	

הֶהָרִים׃	עַל־	בְּתוּלֶיהָ	עַל־	וַתֵּבְךְּ	וְרֵעוֹתֶיהָ	
山々	の-上-で	彼女の-処女-を	の-上-で	そして-泣いた	そして-彼女の-友人たち	
H2022		H1331		H1058	H7464	

エフタは「行きなさい」と言って、彼女を二か月の間、出してやった。彼女は友だちと一緒に行って、山の上で自分の処女であることを嘆いたが、

וַיַּעַשׂ	אָבִיהָ	אֶל־	וַתָּשָׁב	חֳדָשִׁים	שְׁנַיִם	וּמִקֵּץ	וַיְהִי	39
そして-行った	彼女の-父	[に]	そして-戻った	月	二	の-終わり-に	そして-なった	
	H0001	H0413	H7725	H2320	H8147	H7093	H1961	

אִישׁ	יָדָעָה	לֹא־	וְהִיא	נָדַר	אֲשֶׁר	נִדְרוֹ	אֶת־	לָהּ
男を	知らなかった	ない	そして-彼女は	誓った	ところの	彼の-誓い	[を]	彼女-に
H0376	H3045	H3808	H1931	H5087		H5088	H0853	

בְּיִשְׂרָאֵל׃	חָק	וַתְּהִי־
イスラエル-で	慣習-に	そして-なった
H3478	H2706	H1961

二か月の後、父のもとに帰ってきたので、父は誓った誓願のとおりに彼女におこなった。彼女はついに男を知らなかった。

יִפְתָּח	לְבַת־	לְתַנּוֹת	יִשְׂרָאֵל	בְּנוֹת	תֵּלַכְנָה	יָמִימָה	וּמִיָּמִים	40
エフタ	の-娘-のために	嘆く-ために	イスラエル	の-娘たちが	行く	年	年-ごとに	
H3316	H1323	H8567	H3478	H1323	H3212	H3117	H3117	

ס	בַּשָּׁנָה׃	יָמִים	אַרְבָּעַת	הַגִּלְעָדִי	
—	年-に	日	四	ギルアデ-人	
	H8141	H3117	H0702	H1569	

これによって年々イスラエルの娘たちは行って、年に四日ほどギレアデびとエフタの娘のために嘆くことがイスラエルのならわしとなった。

Chapter 12

וּמַדּוּעַ	לְיִפְתָּח	וַיֹּאמְרוּ	צָפוֹנָה	וַיַּעֲבֹר	אֶפְרַיִם	אִישׁ	וַיִּצָּעֵק	1
なぜ	エフタ-に	そして-言った	北-へ	そして-渡った	エフライム	の-人々	そして-叫んだ	
H4069	H3316	H0559	H6828		H0669	H0376	H6817	

קָרָאתָ	לֹא	וְלָנוּ	עַמּוֹן	בִּבְנֵי־	לְהִלָּחֶם	וְעָבַרְתָּ
呼ばなかった	ない	そして-私たち-に	アンモン	の-子ら-に対して	戦うために	渡ったのか
H7121	H3808		H5983			

בָּאֵשׁ׃	עָלֶיךָ	נִשְׂרֹף	בֵּיתְךָ	עִמָּךְ	לָלֶכֶת
火-で	あなたの-上-に	焼く	あなたの-家を	あなたと-共に	行く-ために
H0784		H8313			H3212

エフライムの人々は集まってザポンに行き、エフタに言った、「なぜあなたは進んで行ってアンモンの人々と戦いながら、われわれを招いて一緒に行かせませんでしたか。われわれはあなたの家に火をつけてあなたを一緒に焼いてしまいます」。

2

וְעַמִּי
そして-私の-民と

אֲנִי
私は
H0589

הָיִיתִי
であった
H1961

רִיב
の-争い
H7379

אִישׁ
人
H0376

אֱלֹהֵם
彼ら-に
H0413

יִפְתָּחְ
エフタ
H3316

וַיֹּאמֶר
そして-言った
H0559

אוֹתִי
私を
H0853

הוֹשַׁעְתֶּם
救わなかった
H3467

וְלֹא־
しかし-ない
H3808

אֶתְכֶם
あなたがた-に
H0853

וָאֶזְעַק
そして-叫んだ
H2199

מְאֹד
大いに
H3966

עַמּוֹן
アンモン
H5983

וּבְנֵי־
そして-の-子ら

מִיָּדָם׃
彼らの-手から
H3027

エフタは彼らに言った、「かつてわたしとわたしの民がアンモンの人々と大いに争ったとき、あなたがたを呼んだが、あなたがたはわたしを彼らの手から救ってくれませんでした。

3

בְּכַפִּי
私の-手-に
H3709

נַפְשִׁי
私の-魂を
H5315

וָאָשִׂימָה
そして-置いた

מוֹשִׁיעַ
救わない-と
H3467

אֵינְךָ
あなたがたが
H0369

כִּי־
ない

וָאֵרְאֶה
そして-見た
H7200

וְלָמָּה
なぜ
H4100

בְיָדִי
私の-手-に
H3027

יְהוָה
主が
H3068

וַיִּתְּנֵם
そして-与えた-彼らを
H5414

עַמּוֹן
アンモン

בְּנֵי
の-子ら

אֶל־
[へ]
H0413

וָאֶעְבְּרָה
そして-渡った

בִּי׃
私-に

לְהִלָּחֶם
戦うために

הַזֶּה
この
H2088

הַיּוֹם
の-日
H3117

אֵלַי
私の-もとに
H0413

עֲלִיתֶם
上って来たのか
H5927

あなたがたが救ってくれないのを見たから、わたしは命がけでアンモンの人々のところへ攻めて行きますと、主は彼らをわたしの手にわたされたのです。どうしてあなたがたは、きょう、わたしのところに上ってきて、わたしと戦おうとするのですか」。

4

וַיִּקָּבֵץ
そして-集めた
H6908

יִפְתָּחְ
エフタ
H3316

אֶת־
[を]
H0853

כָּל־
すべて-の
H3605

אַנְשֵׁי
の-人々
H0376

גִּלְעָד
ギルアデ
H1568

וַיִּלָּחֶם
そして-戦った

אֶת־
[と]
H0854

אֶפְרָיִם
エフライム
H0669

וַיַּכּוּ
そして-打った
H5221

אַנְשֵׁי
の-人々
H0376

גִּלְעָד
ギルアデ
H1568

אֶת־
[を]
H0853

אֶפְרַיִם
エフライム
H0669

כִּי
なぜなら

אָמְרוּ
言った
H0559

פְלִיטֵי
の-逃亡者たちよ

אֶפְרַיִם
エフライム
H0669

אַתֶּם
あなたがたは

גִּלְעָד
ギルアデは
H1568

בְּתוֹךְ
の-中-に
H8432

אֶפְרַיִם
エフライム

בְּתוֹךְ
の-中-に
H8432

מְנַשֶּׁה׃
マナセ
H4519

そこでエフタはギレアデの人々をことごとく集めてエフライムと戦い、ギレアデの人々はエフライムを撃ち破った。これはエフライムが「ギレアデびとよ、あなたがたはエフライムとマナセのうちにいるエフライムの落人だ」と言ったからである。

5

כִּי
の-時

וְהָיָה
そして-なった
H1961

לְאֶפְרָיִם
エフライム-の
H0669

הַיַּרְדֵּן
ヨルダン
H3383

מַעְבְּרוֹת
の-渡し場

אֶת־
[を]
H0853

גִּלְעָד
ギルアデが
H1568

וַיִּלְכֹּד
そして-占領した
H3920

גִּלְעָד
ギルアデ
H1568

אַנְשֵׁי־
の-人々
H0376

לוֹ
彼に

וַיֹּאמְרוּ
そして-言った
H0559

אֶעְבְּרָה
渡らせてくれ

אֶפְרַיִם
エフライム
H0669

פְלִיטֵי
の-逃亡者たち

יֹאמְרוּ־
言う
H0559

לֹא׃
いいえ
H3808

וַיֹּאמֶר
そして-言った
H0559

אַתָּה
あなたは

הַאֶפְרָתִי
エフライム-人か
H0673

そしてギレアデびとはエフライムに渡るヨルダンの渡し場を押えたので、エフライムの落人が「渡らせてください」と言うとき、ギレアデの人々は「あなたはエフライムびとですか」と問い、その人がもし「そうではありません」と言うならば、

וְלֹא	סִבֹּלֶת	וַיֹּאמֶר	שִׁבֹּלֶת	נָא	אֱמֶר־	לוֹ	וַיֹּאמְרוּ		6
しかし-ない	シボレト-と	そして-言った	シボレト	さあ	言え	彼に	そして-言った		
H3808	H5451	H0559		H4994	H0559		H0559		

מַעְבְּרוֹת	אֶל־	וַיִּשְׁחָטוּהוּ	אוֹתוֹ	וַיֹּאחֲזוּ	כֵּן	לְדַבֵּר	יָכִין	
の-渡し場-で	[に]	そして-殺した-彼を	彼を	そして-捕えた	正しく	言うことが	できなかった	
	H0413		H0853	H0270		H1696		

אֶלֶף׃	וּשְׁנַיִם	אַרְבָּעִים	מֵאֶפְרַיִם	הַהִיא	בָּעֵת	וַיִּפֹּל	הַיַּרְדֵּן
人	と-二千	四万	エフライム-から	その	の-時-に	そして-倒れた	ヨルダン
H0505	H8147	H0705	H0669	H1931	H6256	H5307	H3383

またその人に「では『シボレテ』と言ってごらんなさい」と言い、その人がそれを正しく発音することができないで「セボレテ」と言うときは、その人を捕えて、ヨルダンの渡し場で殺した。その時エフライムびとの倒れたものは四万二千人であった。

הַגִּלְעָדִי	יִפְתָּח	וַיָּמָת	שָׁנִים	שֵׁשׁ	יִשְׂרָאֵל	אֶת־	יִפְתָּח	וַיִּשְׁפֹּט	7
ギルアデ-人	エフタ	そして-死んだ	年	六	イスラエル	[を]	エフタ	そして-裁いた	
H1569	H3316	H4191	H8141	H8337	H3478	H0853	H3316	H8199	

פ	גִּלְעָד׃	בְּעָרֵי	וַיִּקָּבֵר	
—	ギルアデ	の-町々-に	そして-葬られた	
	H1568		H6912	

エフタは六年の間イスラエルをさばいた。ギレアデびとエフタはついに死んで、ギレアデの自分の町に葬られた。

לֶחֶם׃מִבֵּית	אִבְצָן	יִשְׂרָאֵל	אֶת־	אַחֲרָיו	וַיִּשְׁפֹּט	8
ベツレヘム-の	イブツァン	イスラエル	[を]	彼の-後に	そして-裁いた	
H1035	H0078	H3478	H0853		H8199	

彼の後にベツレヘムのイブザンがイスラエルをさばいた。

הַחוּצָה	שִׁלַּח	בָּנוֹת	וּשְׁלֹשִׁים	בָּנִים	שְׁלֹשִׁים	לוֹ	וַיְהִי־		9
外-に	嫁がせた	人の-娘たち	そして-三十	人の-息子たち	三十	彼に	そして-あった		
H2351	H7971	H1323	H7970		H7970		H1961		

אֶת־	וַיִּשְׁפֹּט	הַחוּץ	מִן־	לִבְנָיו	הֵבִיא	בָּנוֹת	וּשְׁלֹשִׁים	
[を]	そして-裁いた	外	[から]	彼の-息子たち-のために	迎えた	人の-娘たち	そして-三十	
H0853	H8199	H2351			H0935	H1323	H7970	

שָׁנִים׃	שֶׁבַע	יִשְׂרָאֵל	
年	七	イスラエル	
H8141	H7651	H3478	

彼に三十人のむすこがあった。また三十人の娘があったが、それを自分の氏族以外の者にとつがせ、むすこたちのためには三十人の娘をほかからめとった。彼は七年の間イスラエルをさばいた。

פ	לֶחֶם׃בְּבֵית	וַיִּקָּבֵר	אִבְצָן	וַיָּמָת	10
—	ベツレヘム-に	そして-葬られた	イブツァン	そして-死んだ	
	H1035	H6912	H0078	H4191	

イブザンはついに死んで、ベツレヘムに葬られた。

11 וַיִּשְׁפְּטוּ אַחֲרָיו אֶת־יִשְׂרָאֵל אֵילֹן הַזְּבוּלֹנִי וַיִּשְׁפֹּט אֶת־
[を] そして-裁いた ゼブルン-人 エロン イスラエル [を] 彼の-後に そして-裁いた
H0853 H8199 H2075 H0356 H3478 H0853 H8199

יִשְׂרָאֵל עֶשֶׂר שָׁנִים׃
イスラエル 十 年
H3478 H6235 H8141

彼の後にゼブルンびとエロンがイスラエルをさばいた。彼は十年の間イスラエルをさばいた。

12 וַיָּמָת אֵילֹן הַזְּבוּלֹנִי וַיִּקָּבֵר בְּאַיָּלוֹן בְּאֶרֶץ זְבוּלֻן׃ פ
そして-死んだ エロン ゼブルン-人 そして-葬られた アヤロン-に の-地-に ―
H4191 H0356 H2075 H6912 H0357 H0776 H2074

ゼブルンびとエロンはついに死んで、ゼブルンの地のアヤロンに葬られた。

13 וַיִּשְׁפְּטוּ אַחֲרָיו אֶת־יִשְׂרָאֵל עַבְדּוֹן בֶּן־הִלֵּל הַפִּרְעָתוֹנִי׃
そして-裁いた 彼の-後に [を] イスラエル アブドン の-息子 ヒレル ピルアトン-人
H8199 H0853 H3478 H5658 H1985 H6553

彼の後にピラトンびとヒレルの子アブドンがイスラエルをさばいた。

14 וַיְהִי־לוֹ אַרְבָּעִים בְּנִים וּשְׁלֹשִׁים בְּנִים רֹכְבִים
そして-あった 彼に 四十 人の-息子たち そして-三十 人の-孫 息子たちの 乗る
H1961 H0705 H7970 H1985 H0776 H7392

עֲיָרִם שִׁבְעִים עַל־ שְׁמֹנֶה שָׁנִים׃ וַיִּשְׁפֹּט אֶת־יִשְׂרָאֵל
頭の-ろば 七十 の-上-に 八 年 そして-裁いた [を] イスラエル
H5895 H7657 H8083 H8141 H8199 H0853 H3478

彼に四十人のむすこ及び三十人の孫があり、七十頭のろばに乗った。彼は八年の間イスラエルをさばいた。

15 וַיָּמָת עַבְדּוֹן בֶּן־הִלֵּל הַפִּרְעָתוֹנִי וַיִּקָּבֵר בְּפִרְעָתוֹן
そして-死んだ アブドン の-息子 ヒレル ピルアトン-人 そして-葬られた ピルアトン-に
H4191 H5658 H1985 H6553 H6912 H6552

בְּאֶרֶץ אֶפְרַיִם בְּהַר הָעֲמָלֵקִי׃ פ
の-地-に エフライム の-山地-に アマレク人 ―
H0776 H0669 H2022 H6003

ピラトンびとヒレルの子アブドンはついに死んで、エフライムの地のアマレクびとの山地にあるピラトンに葬られた。

Chapter 13

1 וַיֹּסִפוּ בְּנֵי יִשְׂרָאֵל לַעֲשׂוֹת הָרַע בְּעֵינֵי יְהוָה וַיִּתְּנֵם יְהוָה
そして-再び 子ら イスラエル 行った 悪を の-目-に 主 そして-与えた-彼らを 主は
H3254 H1121 H3478 H6213 H7451 H5869 H3068 H5414 H3068

בְּיַד־ פְּלִשְׁתִּים אַרְבָּעִים שָׁנָה׃ פ
の-手-に ペリシテ人 四十 年 ―
H3027 H6430 H0705 H8141

イスラエルの人々がまた主の前に悪を行ったので、主は彼らを四十年の間ペリシテびとの手にわたされた。

2 וַיְהִי֙ אִ֣ישׁ אֶחָ֔ד מִצָּרְעָ֖ה מִמִּשְׁפַּ֣חַת הַדָּנִ֑י וּשְׁמ֣וֹ מָנ֔וֹחַ
וַיְהִי אִישׁ אֶחָד מִצָּרְעָה מִמִּשְׁפַּחַת הַדָּנִי וּשְׁמוֹ מָנוֹחַ
そして-いた 人が 一人 ツォルア-から の-氏族-の ダン-人 そして-彼の-名は マノア
H1961 H0376 H0259 H6881 H4940 H1839 H8034 H4495

וְאִשְׁתּ֥וֹ עֲקָרָ֖ה וְלֹ֥א יָלָֽדָה׃
וְאִשְׁתּוֹ עֲקָרָה וְלֹא יָלָדָה׃
そして-彼の-妻は 不妊 そして-ない 産んだことが
H0802 H6135 H3808 H3205

ここにダンびとの氏族の者で、名をマノアというゾラの人があった。その妻はうまずめで、子を産んだことがなかった。

3 וַיֵּרָ֤א מַלְאַךְ־יְהוָה֙ אֶל־הָ֣אִשָּׁ֔ה וַיֹּ֥אמֶר אֵלֶ֖יהָ הִנֵּה־נָ֣א
וַיֵּרָא מַלְאַךְ־יְהוָה אֶל־הָאִשָּׁה וַיֹּאמֶר אֵלֶיהָ הִנֵּה־נָא
そして-現れた の-御使い 主 [に] その-女-に そして-言った 彼女-に 見よ さあ
H7200 H4397 H3068 H0413 H0802 H0559 H0413 H2009 H4994

אַתְּ־עֲקָרָ֣ה וְלֹ֣א יָלַ֔דְתְּ וְהָרִ֥ית וְיָלַ֖דְתְּ בֵּֽן׃
אַתְּ־עֲקָרָה וְלֹא יָלַדְתְּ וְהָרִית וְיָלַדְתְּ בֵּן׃
あなたは 不妊 そして-ない 産んだことが しかし-孕む そして-産む 息子を
H0859 H6135 H3808 H3205 H2029 H3205 H1121

主の使がその女に現れて言った、「あなたはうまずめで、子を産んだことがありません。しかし、あなたは身ごもって男の子を産むでしょう。

4 וְעַתָּ֗ה הִשָּׁמְרִי־נָא֙ וְאַל־תִּשְׁתִּ֣י יַ֔יִן וְאַל־תֹּאכְלִ֖י כָּל־טָמֵֽא׃
וְעַתָּה הִשָּׁמְרִי נָא וְאַל־תִּשְׁתִּי יַיִן וְאַל־תֹּאכְלִי כָּל־טָמֵא׃
そして-今 気をつけてください どうか そして-飲まないで ぶどう酒を 食べてはならない いかなる-[も] 汚れた-ものを
H6258 H8104 H4994 H0408 H8354 H3196 H3808 H3605 H2931

וְשֵׁכָ֖ר וְאַל־תֹּ֣אכְלִ֑י וְשִׁקֹּ֥ר
וְשֵׁכָר וְאַל־תֹּאכְלִי וְשִׁקֹּר
そして-濃い-酒を そして-食べないで 食べてはならない いかなる-[も] 汚れた-ものを
H7941 H0408 H0398 H3605 H2931

それであなたは気をつけて、ぶどう酒または濃い酒を飲んではなりません。またすべて汚れたものを食べてはなりません。

5 כִּ֣י הִנָּ֤ךְ הָרָה֙ וְיֹלַ֣דְתְּ בֵּ֔ן וּמוֹרָ֖ה לֹא־יַעֲלֶ֣ה
כִּי הִנָּךְ הָרָה וְיֹלַדְתְּ בֵּן וּמוֹרָה לֹא־יַעֲלֶה
なぜなら 見よ-あなたは 孕む そして-産む 息子を そして-かみそりは ない 上らない
H3588 H2009 H2030 H3205 H1121 H4177 H3808 H5927

וְה֗וּא הַנַּ֤עַר נְזִיר֙ אֱלֹהִ֣ים יִהְיֶ֔ה מִן־הַבָּ֖טֶן
וְהוּא הַנַּעַר נְזִיר אֱלֹהִים יִהְיֶה מִן־הַבָּטֶן
そして-彼が 胎内 から その-子は なる 神の ナジル人 なぜなら 彼の-頭 の-上-に
H1931 H0990 H4480 H5288 H1961 H0430 H5139 H3588 H7218 H5921

וְה֥וּא יָחֵ֖ל לְהוֹשִׁ֣יעַ אֶת־יִשְׂרָאֵ֑ל מִיַּ֖ד פְּלִשְׁתִּֽים׃
וְהוּא יָחֵל לְהוֹשִׁיעַ אֶת־יִשְׂרָאֵל מִיַּד פְּלִשְׁתִּים׃
そして-彼が 始める 救うことを [を] イスラエル の-手から ペリシテ人
H1931 H2490 H3467 H0853 H3478 H3027 H6430

あなたは身ごもって男の子を産むでしょう。その頭にかみそりをあててはなりません。その子は生れた時から神にささげられたナジルびとです。彼はペリシテびとの手からイスラエルを救い始めるでしょう」。

6 וַתָּבֹ֣א הָאִשָּׁ֗ה וַתֹּ֤אמֶר לְאִישָׁהּ֙ לֵאמֹ֣ר אִ֤ישׁ הָאֱלֹהִים֙ בָּ֣א אֵלַ֔י
וַתָּבֹא הָאִשָּׁה וַתֹּאמֶר לְאִישָׁהּ לֵאמֹר אִישׁ הָאֱלֹהִים בָּא אֵלַי
そして-来た その-女は そして-言った 彼女の-夫-に 言って 人が 神の 来た 私の-もとに
H0935 H0802 H0559 H0376 H0430 H0935 H0413

וּמַרְאֵ֖הוּ כְּמַרְאֵ֣ה מַלְאַ֣ךְ הָאֱלֹהִ֣ים נוֹרָ֣א מְאֹ֑ד וְלֹ֥א
וּמַרְאֵהוּ כְּמַרְאֵה מַלְאַךְ הָאֱלֹהִים נוֹרָא מְאֹד וְלֹא
そして-彼の-姿は の-姿-のよう の-御使い 神 畑れ多い 非常に そして-ない
H4758 H4758 H4397 H0430 H3372 H3966 H3808

שְׁאִלְתִּ֣יהוּ אֵ֔י מִזֶּ֖ה ה֑וּא וְאֶת־שְׁמ֖וֹ לֹ֥א הִגִּ֖יד לִֽי׃
שְׁאִלְתִּיהוּ אֵי מִזֶּה הוּא וְאֶת־שְׁמוֹ לֹא הִגִּיד לִי׃
尋ねなかった-彼に どこ-から ここ 彼は そして-[を] 彼の-名を ない 告げなかった 私に
H7592 H0335 H2088 H1931 H0853 H8034 H3808 H5046

そこでその女はきて夫に言った、「神の人がわたしのところにきました。その顔かたちは神の使の顔かたちのようで、たいそう恐ろしゅうございました。わたしはその人が、どこからきたのか尋ねませんでしたが、その人もわたしに名を告げませんでした。

7

אַל־	וְעַתָּה	בֵּן	וְיֹלַדְתְּ	הָרָה	הִנָּךְ	לִי	וַיֹּאמֶר	
飲んではならない	そして–今	息子を	そして–産む	孕む	見よ–あなたは	私に	そして–言った	
H0408	H6258		H3205	H2030	H2009		H0559	

תֹּאכְלִי	וְאַל־	וְשֵׁכָר	יַיִן	וְתִשְׁתִּי	
食べてはならない	そして–食べてはならない	そして–濃い–酒を	ぶどう酒を	飲んではならない	
H0398	H0408	H7941	H3196	H8354	

עַד־	הַבֶּטֶן	מִן־	הַנַּעַר	יִהְיֶה	אֱלֹהִים	נְזִיר	כִּי־	טְמֵאָה	כָּל־
まで	胎内	から	その–子は	なる	神の	ナジル人	なぜなら	汚れた–ものを	いかなる–[も]
H5704	H0990		H5288	H1961	H0430	H5139		H2932	H3605

פ	מוֹתוֹ׃	יוֹם
—	彼の–死	の–日
	H4194	H3117

しかしその人はわたしに『あなたは身ごもって男の子を産むでしょう。それであなたはぶどう酒または濃い酒を飲んではなりません。またすべて汚れたものを食べてはなりません。その子は生れた時から死ぬ日まで神にささげられたナジルびとです』と申しました」。

8

הָאֱלֹהִים	אִישׁ	אֲדוֹנָי	בִּי	וַיֹּאמַר	יְהוָה	אֶל־	מָנוֹחַ	וַיֶּעְתַּר	
神の	人を	わが–主よ	どうか	そして–言った	主	[に]	マノアは	そして–祈った	
H0430	H0376	H0136	H0994	H0559	H3068	H0413	H4495	H6279	

מָה־	וְיוֹרֵנוּ	אֱלֹינוּ	עוֹד	נָא	יָבוֹא־	שָׁלַחְתָּ	אֲשֶׁר
何–を	そして–教えてください	私たちの–もとに	再び	ください	来て	遣わした	ところの
H4100		H0413	H5750	H4994	H0935	H7971	

הַיִּוָּלֵד׃	לַנָּעַר	נַעֲשֶׂה
生まれる	その–子–に	するべきか
H3205	H5288	

そこでマノアは主に願い求めて言った、「ああ、主よ、どうぞ、あなたがさきにつかわされた神の人をもう一度わたしたちに臨ませて、わたしたちがその生れる子になすべきことを教えさせてください」。

9

אֶל־	עוֹד	הָאֱלֹהִים	מַלְאַךְ	וַיָּבֹא	מָנוֹחַ	בְּקוֹל	הָאֱלֹהִים	וַיִּשְׁמַע
[に]	再び	神	の–御使い	そして–来た	マノア	の–声–に	神は	そして–聞いた
H0413	H5750	H0430	H4397	H0935	H4495		H0430	H8085

עִמָּהּ׃	אֵין	אִישָׁהּ	וּמָנוֹחַ	בַּשָּׂדֶה	יוֹשֶׁבֶת	וְהִיא	הָאִשָּׁה
彼女と–共に	いなかった	彼女の–夫は	そして–マノア	畠–に	座っていた	そして–彼女は	その–女
	H0369	H0376	H4495		H3427	H1931	H0802

神がマノアの願いを聞かれたので、神の使は女が畑に座していた時、ふたたび彼女に臨んだ。しかし夫マノアは一緒にいなかった。

10

הִנֵּה	אֵלֶיהָ	וַתֹּאמֶר	לְאִישָׁהּ	וַתַּגֶּד	וַתָּרָץ	הָאִשָּׁה	וַתְּמַהֵר		
見よ	彼–に	そして–言った	彼女の–夫–に	そして–告げた	そして–走った	その–女は	そして–急いだ		
H2009	H0413	H0559	H0376	H5046	H7323	H0802			

אֵלָי׃	בַּיּוֹם	בָּא	אֲשֶׁר־	הָאִישׁ	אֵלַי	נִרְאָה
私の–もとに	その–日–に	来た	ところの	その–人が	私の–もとに	現れた
H0413	H3117	H0935		H0376	H0413	H7200

女は急ぎ走って行って夫に言った、「さきごろ、わたしに臨まれた人がまたわたしに現れました」。

11

הָאִישׁ	אֶל־	וַיָּבֹא	אִשְׁתּוֹ	אַחֲרֵי	מָנוֹחַ	וַיֵּלֶךְ	וַיָּקָם	
その–人	[に]	そして–来た	彼の–妻	の–後に	マノアは	そして–行った	そして–立ち上がった	
H0376	H0413	H0935	H0802		H4495	H3212		

:אֲנִי	וַיֹּאמֶר	הָאִשָּׁה	אֶל־	דִּבַּרְתָּ	אֲשֶׁר־	הָאִישׁ	הַאַתָּה	לוֹ	וַיֹּאמֶר
私です	そして–言った	その–女	[に]	話した	ところの	その–人	あなたが–か	彼に	そして–言った
H0589	H0559	H0802	H0413	H1696		H0376			H0559

マノアは立って妻のあとについて行き、その人のもとに行って言った、「あなたはかつてこの女にお告げになったおかたですか」。その人は言った、「そうです」。

12

הַנַּעַר	מִשְׁפַּט־	יִהְיֶה	מַה־	דְּבָרֶיךָ	יָבֹא	עַתָּה	מָנוֹחַ	וַיֹּאמֶר	
その–子	の–定め	なるのか	何–が	あなたの–言葉が	来るなら	今	マノア	そして–言った	
H5288	H4941	H1961	H4100	H1697	H0935	H6258	H4495	H0559	

:וּמַעֲשֵׂהוּ	
そして–彼の–務め	
H4639	

マノアは言った、「あなたの言われたことが事実となったとき、その子の育て方およびこれになすべき事はなんでしょうか」。

13

הָאִשָּׁה	אֶל־	אָמַרְתִּי	אֲשֶׁר־	מִכֹּל	מָנוֹחַ	אֶל־	יְהוָה	מַלְאַךְ	וַיֹּאמֶר
その–女	[に]	言った	ところの	すべて–の	マノア	[に]	主	の–御使い	そして–言った
H0802	H0413	H0559		H3605	H4495	H0413	H3068	H4397	H0559

:תִּשָּׁמֶר	
守るべきだ	
H8104	

主の使はマノアに言った、「わたしがさきに女に言ったことは皆、守らせなければなりません。

14

וְיַיִן	תֹּאכַל	לֹא	הַיַּיִן	מִגֶּפֶן	יֵצֵא	אֲשֶׁר־	מִכֹּל	
そして–ぶどう酒を	食べてはならない	ない	ぶどうの–木	から	出る	ところの	すべて–の	
H3196	H0398	H3808	H3196	H1612	H3318		H3605	

טֻמְאָה	וְכֹל־	תֹּאשַׁת	אַל־	וְשֵׁכָר				
汚れた–ものを	そして–いかなる–[も]	飲んではならない	飲んではならない	そして–濃い–酒を				
H2932	H3605	H8354	H0408	H7941				

:תִּשְׁמֹר	צִוִּיתִיהָ	אֲשֶׁר־	כֹּל	תֹּאכַל	אַל־			
守るべきだ	命じた–彼女に	ところの	すべて	食べてはならない	食べてはならない			
H8104	H6680		H3605	H0398	H0408			

すなわちぶどうの木から産するものはすべて食べてはなりません。またぶどう酒と濃い酒を飲んではなりません。またすべて汚れたものを食べてはなりません。わたしが彼女に命じたことは皆、守らせなければなりません」。

15

אוֹתָךְ	נָא	נַעְצָרָה־	יְהוָה	מַלְאַךְ	אֶל־	מָנוֹחַ	וַיֹּאמֶר	
あなたを	ください	引き止めさせて	主	の–御使い	[に]	マノア	そして–言った	
H0853	H4994	H6113	H3068	H4397	H0413	H4495	H0559	

:עִזִּים	גְּדִי	לְפָנֶיךָ	וְנַעֲשָׂה
山羊の	子山羊–を	あなたの–前–に	そして–作ります
H5795	H1423	H6440	

マノアは主の使に言った、「どうぞ、わたしたちに、あなたを引き留めさせ、あなたのために子やぎを備えさせてください」。

16

אֹכַל	לֹא־	תַּעְצְרֵנִי	אִם־	מָנוֹחַ	אֶל־	יְהוָה	מַלְאַךְ	וַיֹּאמֶר
食べない	ない	引き止めても–私を	もし	マノア	[に]	主	の–御使い	そして–言った
H0398	H3808	H6113		H4495	H0413	H3068	H4397	H0559

לֹא־	כִּי	תַּעֲלֶנָּה	לַיהוָה	עֹלָה	תַּעֲשֶׂה	וְאִם־	בְּלַחְמֶךָ	
ない	なぜなら	捧げるべきだ	主–に	全焼の–献げ物–を	作るなら	そして–もし	あなたの–パン–を	
H3808		H5927	H3068				H3899	

הוּא׃	יְהוָה	מַלְאַךְ	כִּי־	מָנוֹחַ	יָדַע	
彼が	主	の–御使い	ということを	マノアは	知らなかった	
H1931	H3068	H4397		H4495	H3045	

主の使はマノアに言った、「あなたがわたしを引き留めても、わたしはあなたの食物をたべません。しかしあなたが燔祭を備えようとなさるのであれば、主にそれをささげなさい」。マノアは彼が主の使であるのを知らなかったからである。

17

בָּא	כִּי־	שְׁמֶךָ	מִי	יְהוָה	מַלְאַךְ	אֶל־	מָנוֹחַ	וַיֹּאמֶר
来る–なら	なぜなら	あなたの–名は	何と	主	の–御使い	[に]	マノア	そして–言った
H0935		H8034	H4310	H3068	H4397	H0413	H4495	H0559

וְכִבַּדְנוּךָ׃	(דְּבָרְךָ)	]דבריך[
そして–敬いたい	あなたの–言葉が	あなたの–言葉が
H3513	H1697	H1697

マノアは主の使に言った、「あなたの名はなんといいますか。あなたの言われたことが事実となったとき、わたしたちはあなたをあがめましょう」。

18

וְהוּא־	לִשְׁמִי	תִּשְׁאַל	זֶה	לָמָּה	יְהוָה	מַלְאָךְ	לוֹ	וַיֹּאמֶר
そして–それは	私の–名–を	尋ねるのか	こう	なぜ	主	の–御使い	彼に	そして–言った
H1931	H8034	H7592	H2088	H4100	H3068	H4397		H0559

ס	פֶּלְאִי׃
—	不思議
	H6383

主の使は彼に言った、「わたしの名は不思議です。どうしてあなたはそれをたずねるのですか」。

19

וַיַּעַל	הַמִּנְחָה	וְאֶת־	הָעִזִּים	גְּדִי	אֶת־	מָנוֹחַ	וַיִּקַּח	
そして–捧げた	穀物の–供え物	そして–[を]	山羊	の–子山羊	[を]	マノアは	そして–取った	
H5927	H4503	H0853	H5795	H1423	H0853	H4495	H3947	

רֹאִים׃	וְאִשְׁתּוֹ	וּמָנוֹחַ	לַעֲשׂוֹת	וּמַפְלָא	לַיהוָה	הַצּוּר	עַל־
見ていた	彼の–妻は	そして–マノアと	行った	そして–不思議なことを	主–に	岩	の–上–に
H7200	H0802	H4495		H6381	H3068	H6697	

そこでマノアは子やぎと素祭とをとり、岩の上でそれを主にささげた。主は不思議なことをされ、マノアとその妻はそれを見た。

20

מַלְאַךְ־	וַיַּעַל	הַשָּׁמַיְמָה	הַמִּזְבֵּחַ	מֵעַל	הַלַּהַב	בַּעֲלוֹת	וַיְהִי	
の–御使い	そして–上った	天–に向かって	祢壇	の–上–から	炎が	上った–時	そして–なった	
H4397	H5927	H8064	H4196		H3851	H5927	H1961	

עַל־	וַיִּפְּלוּ	רֹאִים	וְאִשְׁתּוֹ	וּמָנוֹחַ	הַמִּזְבֵּחַ	בְּלַהַב	יְהוָה
の–上–に	そして–ひれ伏した	見ていた	彼の–妻は	そして–マノアと	祢壇	の–炎–の中で	主
	H5307	H7200	H0802	H4495	H4196	H3851	H3068

אָרְצָה׃	פְּנֵיהֶם
地–に	彼らの–顔
H0776	H6440

すなわち炎が祭壇から天にあがったとき、主の使は祭壇の炎のうちにあってのぼった。マノアとその妻は見て、地にひれ伏した。

21 וְלֹא־ そして–ない H3808 יָסַף 再び–しなかった H3254 עוֹד もう H5750 מַלְאַךְ の–御使い H4397 יְהוָה 主 H3068 אֶל־ [に] H0413 לְהֵרָאֹה 現れること–を H7200 אֶל־ [に] H0413 מָנוֹחַ マノア H4495 וְ– そして–[に] H0413

הוּא׃ 彼が H1931 יְהוָה 主 H3068 מַלְאַךְ の–御使い H4397 כִּי־ ということを マノアは H4495 יָדַע 知った H3045 אָז その–時 אִשְׁתּוֹ 彼の–妻 H0802

主の使はふたたびマノアとその妻に現れなかった。その時マノアは彼が主の使であることを知った。

22 וַיֹּאמֶר そして–言った H0559 מָנוֹחַ マノア H4495 אֶל־ [に] H0413 אִשְׁתּוֹ 彼の–妻 H0802 מָוֹת 必ず–死ぬ H4191 נָמוּת 死ぬ H4191 כִּי なぜなら אֱלֹהִים 神を H0430 רָאִינוּ׃ 見た H7200

マノアは妻に向かって言った、「わたしたちは神を見たから、きっと死ぬであろう」。

23 וַתֹּאמֶר そして–言った H0559 לוֹ אִשְׁתּוֹ 彼の–妻は H0802 לוּ もし H3863 חָפֵץ 望んだなら H3068 יְהוָה 主が H4191 לַהֲמִיתֵנוּ 殺すこと–を–私たちを H4191 לֹא ない H3808

הֶרְאָנוּ 見せなかった H7200 וְ– そして–ない H3808 לָקַח 受けなかった H3947 מִיָּדֵנוּ 私たちの–手から H3027 עֹלָה 全焼の–献げ物–を מִנְחָה そして–穀物の–供え物–を H4503

כָּזֹאת׃ このようなことを H2063 הִשְׁמִיעָנוּ 聞かせなかった H8085 לֹא ない H3808 וְכָעֵת そして–この–時に H6256 אֵלֶּה これら–を H0428 כָּל־ すべて–の H3605 אֵת־ [を] H0853

妻は彼に言った、「主がもし、わたしたちを殺そうと思われたのならば、わたしたちの手から燔祭と素祭をおうけにならなかったでしょう。またこれらのすべての事をわたしたちにお示しになるはずはなく、また今わたしたちにこのような事をお告げにならなかったでしょう」。

24 וַתֵּלֶד そして–産んだ H3205 הָאִשָּׁה その–女は H0802 בֵּן 息子を וַתִּקְרָא そして–名づけた H7121 אֵת־ [を] H0853 שְׁמוֹ 彼の–名を H8034 שִׁמְשׁוֹן サムソン H8123 וַיִּגְדַּל そして–成長した H1431

יְהוָה׃ 主が H3068 וַיְבָרְכֵהוּ そして–祝福した–彼を H1288 הַנַּעַר その–子は H5288

やがて女は男の子を産んで、その名をサムソンと呼んだ。その子は成長し、主は彼を恵まれた。

25 וַתָּחֶל そして–始めた H2490 רוּחַ の–霊が H7307 יְהוָה 主 H3068 לְפַעֲמוֹ 動かすこと–を–彼を H6470 בְּמַחֲנֵה־ の–陣営–で H4264 דָּן ダン H1835 בֵּין の–間–で H0996 צָרְעָה ツォルア H6881

פ ― וּבֵין そして–の–間–で H0996 אֶשְׁתָּאֹל׃ エシュタオル H0847

主の霊はゾラとエシタオルの間のマハネダンにおいて初めて彼を感動させた。

Chapter 14

1

מִבְּנוֹת	בְּתִמְנָתָה	אִשָּׁה	וַיַּרְא	תִּמְנָתָה	שִׁמְשׁוֹן	וַיֵּרֶד
の-娘たち-の中に	ティムナ-で	女を	そして-見た	ティムナ-に	サムソン	そして-下った
H1323	H8553	H0802	H7200	H8553	H8123	H3381

פְּלִשְׁתִּים׃
ペリシテ人
H6430

サムソンはテムナに下って行き、ペリシテびとの娘で、テムナに住むひとりの女を見た。

2

רָאִיתִי	אִשָּׁה	וַיֹּאמֶר	וּלְאִמּוֹ	לְאָבִיו	וַיַּגֶּד	וַיַּעַל	
見た	女を	そして-言った	そして-彼の-母-に	彼の-父-に	そして-告げた	そして-上った	
H7200	H0802	H0559	H0517	H0001	H5046	H5927	

לִי	אוֹתָהּ	קְחוּ־	וְעַתָּה	פְּלִשְׁתִּים	מִבְּנוֹת	בְּתִמְנָתָה
私の-ために	彼女を	めとって-ください	そして-今	ペリシテ人	の-娘たち-の中に	ティムナ-で
	H0853	H3947	H6258	H6430	H1323	H8553

לְאִשָּׁה׃
妻-に
H0802

彼は帰ってきて父母に言った、「わたしはペリシテびとの娘で、テムナに住むひとりの女を見ました。彼女をめとってわたしの妻にしてください」。

3

אַחֶיךָ	בִּבְנוֹת	הַאֵין	וּבְאִמּוֹ	אָבִיו	לוֹ	וַיֹּאמֶר	
あなたの-兄弟たち	の-娘たち-の中に	いないのか	彼の-母が	彼の-父と	彼に	そして-言った	
H0251	H1323	H0369	H0517	H0001		H0559	

אִשָּׁה	לָקַחַת	הוֹלֵךְ	אַתָּה	כִּי־	אִשָּׁה	עַמִּי	וּבְכָל־	
女を	めとるために	行くのか	あなたは	なぜ	女が	私の-民-に	そして-すべて-の	
H0802	H3947	H1980			H0802		H3605	

קַח־	אוֹתָהּ	אָבִיו	אֶל־	שִׁמְשׁוֹן	וַיֹּאמֶר	הָעֲרֵלִים	מִפְּלִשְׁתִּים
めとって-くれ	彼女を	彼の-父	[に]	サムソン	そして-言った	割礼なき-者	ペリシテ人-から
H3947	H0853	H0001	H0413	H8123	H0559	H6189	H6430

בְּעֵינָי׃	יָשְׁרָה	הִוא	כִּי־	לִי
私の-目-に	正しい	彼女が	なぜなら	私の-ために
	H3474	H1931		

父母は言った、「あなたが行って、割礼をうけないペリシテびとのうちから妻を迎えようとするのは、身内の娘たちのうちに、あるいはわたしたちのすべての民のうちに女がないためなのですか」。しかしサムソンは父に言った、「彼女をわたしにめとってください。彼女はわたしの心にかないますから」。

4

תֹּאמֶר	כִּי־	הִיא	מֵיְהוָה	כִּי	יָדְעוּ	לֹא	וְאִמּוֹ	וְאָבִיו
機会-を	なぜなら	それは	主-から	なぜなら	知らなかった	ない	彼の-母は	しかし-彼の-父と
		H1931	H3068		H3045	H3808	H0517	H0001

מֹשְׁלִים	פְּלִשְׁתִּים	הַהִיא	וּבָעֵת	מִפְּלִשְׁתִּים	מְבַקֵּשׁ	הוּא־	
支配していた	ペリシテ人が	その	そして-の-時-に	ペリシテ人-から	求めていた	彼が	
H4910	H6430	H1931	H6256	H6430	H1245	H1931	

בְּיִשְׂרָאֵל׃	פ
イスラエル-を	—
H3478	

父母はこの事が主から出たものであることを知らなかった。サムソンはペリシテびとを攻めようと、おりをうかがっていたからである。そのころペリシテびとはイスラエルを治めていた。

5 וַיֵּ֣רֶד שִׁמְשׁ֔וֹן וְאָבִ֖יו וְאִמּ֑וֹ תִּמְנָ֣תָה וַיָּבֹ֗אוּ עַד־ כַּרְמֵי֙
そして-下った サムソンと 彼の-父と 彼の-母は ティムナ-に そして-来た まで の-ぶどう畠
H3381 H8123 H0001 H0517 H8553 H0935 H5704 H3754

לְקִרָאתֽוֹ׃ שָׁאֵ֔ג אַרְיֵ֥ה כְפִ֖יר וְהִנֵּ֣ה תִּמְנָ֑תָה
彼に-向かって来た 吼えて 獅子の 若い-獅子が そして-見よ ティムナ
H7125 H7580 H0738 H3715 H2009 H8553

かくてサムソンは父母と共にテムナに下って行った。彼がテムナのぶどう畑に着くと、一頭の若いししがほえたけって彼に向かってきた。

6 הַגְּדִ֑י כְּשַׂסַּ֣ע וַיְשַׂסַּ֗ע֙ יְהוָ֔ה רֽוּחַ־ עָלָ֣יו וַתִּצְלַ֤ח
子山羊を の-引き裂く-ように そして-引き裂いた-それを 主 の-霊が 彼の-上-に そして-臨んだ
H1423 H8156 H8156 H3068 H7307

וְלֹ֣א אֶת וְלְאִמּ֖וֹ לְאָבִ֥יו הִגִּ֛יד וְלֹ֥א בְיָד֑וֹ וּמְאוּמָ֖ה אֵ֥ין
そして-ない [を] そして-彼の-母-に 彼の-父-に 告げなかった そして-ない 彼の-手-に しかし-何も なかった
H3808 H0853 H0517 H0001 H5046 H3808 H3027 H3972 H0369

עָשָׂ֥ה׃ אֲשֶׁ֖ר
した ところの

時に主の霊が激しく彼に臨んだので、彼はあたかも子やぎを裂くようにそのししを裂いたが、手にはなんの武器も持っていなかった。しかしサムソンはそのしたことを父にも母にも告げなかった。

7 וַיֵּ֣רֶד וַיְדַבֵּ֖ר לָאִשָּׁ֑ה וַתִּישַׁ֥ר בְּעֵינֵ֖י שִׁמְשֽׁוֹן׃
そして-下った そして-話した その-女-に そして-正しかった の-目-に サムソン
H3381 H1696 H0802 H3474 H0853 H8123

サムソンは下って行って女と話し合ったが、女はサムソンの心にかなった。

8 וַיָּשָׁב֙ מִיָּמִ֔ים לְקַחְתָּ֖הּ וַיָּסַ֣ר לִרְאוֹת֙ אֶת֙ מַפֶּ֣לֶת הָאַרְיֵ֔ה
そして-戻った 日々-の後 彼女を-めとるために そして-それた 見るために [を] の-残骸 獅子
H7725 H3117 H3947 H5493 H7200 H0853 H4658 H0738

וְהִנֵּ֣ה עֲדַ֤ת דְּבוֹרִים֙ וּדְבָ֔שׁ בְּגִוִּ֥ית הָאַרְיֵ֖ה׃
そして-見よ の-群れ 蜂の の-体-の中に 獅子
H2009 H5712 H1682 H1472 H0738

日がたって後、サムソンは彼女をめとろうとして帰ったが、道を転じて、かのししのしかばねを見ると、ししのからだに、はちの群れと、蜜があった。

9 וְאָכֹ֑ל הָלוֹךְ֙ וַיֵּ֣לֶךְ כַּפָּ֔יו אֶל־ וַיְרִדֵ֥הוּ
そして-食べ-ながら 歩き-ながら そして-行った 彼の-手 [に] そして-かき出した-それを
H0398 H1980 H3212 H3709 H0413

וַיֹּאכְל֑וּ לָהֶ֖ם וַיִּתֵּ֣ן אִמּ֔וֹ וְאֶל־ אֲבִ֥יו אֶל־ וַיֵּ֣לֶךְ
そして-食べた 彼らに そして-与えた 彼の-母 そして-[に] 彼の-父 [に] そして-行った
H0398 H5414 H0517 H0413 H0001 H0413 H3212

הַדְּבָ֑שׁ׃ רָדָ֖ה הָאַרְיֵ֥ה מִגְוִיַּ֛ת כִּ֥י לָהֶ֖ם הִגִּ֥יד וְלֹא־
蜜を かき出した 獅子 の-体-から ということを 彼らに 告げなかった しかし-ない
H1706 H7288 H0738 H1472 H3588 H5046 H3808

彼はそれをかきあつめ、手にとって歩きながら食べ、父母のもとに帰って、彼らに与えたので、彼らもそれを食べた。しかし、ししのからだからその蜜をかきあつめたことは彼らに告げなかった。

10 וַיֵּרֶד אָבִיהוּ אֶל־הָאִשָּׁה וַיַּעַשׂ שָׁם שִׁמְשׁוֹן מִשְׁתֶּה כִּי
そして-下った 彼の-父は [に] その-女 そして-作った そこで サムソンは 宴を なぜなら
H3381 H0001 H0413 H0802 H6213 H8033 H8123 H4960 H3588
כֵּן יַעֲשׂוּ הַבַּחוּרִים׃
そのように する 若者たちは
H3651 H6213 H0970

そこで父が下って、女のもとに行ったので、サムソンはそこにふるまいを設けた。そうすることは花婿のならわしであったからである。

11 וַיְהִי כִּרְאוֹתָם אוֹתוֹ וַיִּקְחוּ שְׁלֹשִׁים מֵרֵעִים וַיִּהְיוּ אִתּוֹ׃
そして-なった 見た-時 彼を そして-連れて来た 三十 人の-友人を そして-いた 彼と-共に
H1961 H7200 H0853 H3947 H7970 H4828 H1961 H0854

人々はサムソンを見ると、三十人の客を連れてきて、同席させた。

12 וַיֹּאמֶר לָהֶם שִׁמְשׁוֹן אָחִידָה־נָּא לָכֶם חִידָה אִם־הַגֵּד
そして-言った 彼らに サムソン 出そう-さあ あなたがたに 謎を もし 確かに-解くなら
H0559 H0853 H8123 H2330 H4994 H3051 H2420 H0518 H5046
לִי אֶת־הַחִידָה שִׁבְעַת יְמֵי הַמִּשְׁתֶּה וּמְצָאתֶם וְנָתַתִּי לָכֶם׃
私に それを 解く 七 の-日 宴の そして-見つけたら そして-与える あなたがたに
H0853 H5046 H7651 H3117 H4960 H4672 H5414 H0853

בִּגְדֵי חֲלִפֹת וּשְׁלֹשִׁים סְדִינִים וּשְׁלֹשִׁים׃
衣服 の-着替え そして-三十 の-下着 三十
H0899 H2487 H7970 H5466 H7970

サムソンは彼らに言った、「わたしはあなたがたに一つのなぞを出しましょう。あなたがたがもし七日のふるまいのうちにそれを解いて、わたしに告げることができたなら、わたしはあなたがたに亜麻の着物三十と、晴れ着三十をさしあげましょう。

13 וְאִם־לֹא תוּכְלוּ לְהַגִּיד לִי וְנָתַתֶּם אַתֶּם לִי שְׁלֹשִׁים
しかし-もし ない できないなら 解くことが 私に そして-与える あなたがたが 私に 三十
H0518 H3808 H3201 H0559 H0853 H5414 H0859 H7970

חֲלִיפוֹת וּשְׁלֹשִׁים סְדִינִים בִּגְדֵים וַיֹּאמְרוּ לוֹ חִידָתְךָ וְנִשְׁמָעֶנָּה׃
の-着替え そして-三十 の-下着 衣服 そして-言った 彼に 出せ あなたの-謎を そして-聞こう
H2487 H7970 H5466 H0899 H0559 H0853 H2330 H2420 H8085

しかしあなたがたが、それをわたしに告げることができなければ、亜麻の着物三十と晴れ着三十をわたしにくれなければなりません」。彼らはサムソンに言った、「なぞを出しなさい。わたしたちはそれを聞きましょう」。

14 וַיֹּאמֶר לָהֶם מִמַּאֲכָל יָצָא מַאֲכָל וּמֵעַז יָצָא מָתוֹק
そして-言った 彼らに 食べる-者-から 出た 食べ物が そして-強い-者-から 出た 甘い-ものが
H0559 H0853 H3978 H3318 H3978 H5794 H3318 H4966

וְלֹא יָכְלוּ לְהַגִּיד אֶת־הַחִידָה שְׁלֹשֶׁת יָמִים׃
しかし-ない できなかった 解くことが その-謎を 三 日
H3808 H3201 H0559 H0853 H2420 H7969 H3117

サムソンは彼らに言った、「食らう者から食い物が出、強い者から甘い物が出た」。彼らは三日のあいだなぞを解くことができなかった。

15 וַיְהִי בַיּוֹם הַשְּׁבִיעִי וַיֹּאמְרוּ לְאֵשֶׁת־שִׁמְשׁוֹן פַּתֵּי אֶת־
そして-なった の-日-に 第七の そして-言った の-妻-に サムソン そそのかせ [を]
H1961 H3117 H7637 H0559 H0802 H8123 H0853

אִישֵׁךְ אֲשֶׁר־לָנוּ הַחִידָה אֶת־ פֶּן נִשְׂרֹף אוֹתָךְ
あなたの-夫 そして-告げさせろ 私たち-に [を] その-謎を さもなくば 焼く あなたを
H0376 H5046 H0853 H2420 H6435 H8313 H0853

הֲלֹא: לָנוּ קְרָאתֶם הֲלְיָרְשֵׁנוּ בָּאֵשׁ אָבִיךְ בֵּית וְאֶת־
ではないか 私たちを 招いたのか 貧しくするために-私たちを 火-で あなたの-父 の-家 そして-[を]
H3808 H7121 H3423 H0784 H0001 H0853

四日目になって、彼らはサムソンの妻に言った、「あなたの夫を説きすすめて、なぞをわたしたちに明かすようにしてください。そうしなければ、わたしたちは火をつけてあなたとあなたの父の家を焼いてしまいます。あなたはわたしたちの物を取るために、わたしたちを招いたのですか」。

16 וַתִּבְךְּ וַתֹּאמֶר שִׁמְשׁוֹן עָלָיו רַק־ וַתֹּאמֶר שִׁנֵאתַנִי וְלֹא
そして-泣いた そして-言った 彼の-上-で サムソン の-妻 ただ そして-言った 憎んでいる-私を そして-ない
H1058 H0559 H5921 H8123 H0802 H7535 H0559 H8130 H3808

הִגַּדְתָּה אַל וְלִי עַמִּי לִבְנֵי חָדְתָּ הַחִידָה אֲהַבְתָּנִי
告げなかった ない そして-私-に 私の-民 の-子ら-に 出した その-謎を 愛していない-私を
H5046 H3808 H0559 H5971 H1121 H2330 H2420 H0157

וְלָךְ הִגַּדְתִּי לֹא וּלְאִמִּי לְאָבִי הִנֵּה לָהּ וַיֹּאמֶר
そして-あなた-に 告げなかった ない 私の-母-にも 私の-父-にも 見よ 彼女に そして-言った
H5046 H3808 H0517 H0001 H2009 H0559

אֲגִיד: הַגִּיד
告げるというのか
H5046

そこでサムソンの妻はサムソンの前に泣いて言った、「あなたはただわたしを憎むだけで、愛してくれません。あなたはわたしの国の人々になぞを出して、それをわたしに解き明かしませんでした」。サムソンは彼女に言った、「わたしは自分の父にも母にも解き明かさなかった。どうしてあなたに解き明かせよう」。

17 וַתִּבְךְּ עָלָיו שִׁבְעַת הַיָּמִים אֲשֶׁר־ הָיָה לָהֶם הַמִּשְׁתֶּה וַיְהִי
そして-泣いた 彼の-上-で 七 の-日 ところの あった 彼らに 宴が そして-なった
H1058 H5921 H7651 H3117 H0834 H1961 H0853 H4960 H1961

בַּיּוֹם הַשְּׁבִיעִי וַיַּגֶּד־ לָהּ כִּי הֵצִיקָתְהוּ וַתַּגֶּד
の-日-に 第七の そして-告げた 彼女に なぜなら しつこく-せまった-彼を そして-告げた
H3117 H7637 H5046 H0853 H3588 H6693 H5046

עַמָּהּ: לִבְנֵי הַחִידָה
彼女の-民 の-子ら-に その-謎を
H5971 H1121 H2420

彼女は七日のふるまいの間、彼の前に泣いていたが、七日目になって、サムソンはついに彼女に解き明かした。ひどく彼に迫ったからである。そこで彼女はなぞを自分の国の人々にあかした。

18 וַיֹּאמְרוּ לוֹ אַנְשֵׁי הָעִיר בַּיּוֹם הַשְּׁבִיעִי בְּטֶרֶם יָבֹא הַחַרְסָה מַה־ מָתוֹק
そして-言った 彼に の-人々 その-町 の-日-に 第七の 前-に 沈む 太陽が 何が 甘い
H0559 H0376 H5892 H3117 H7637 H2962 H0935 H2775 H4100 H4966

מֵאַרְיֵה עָז וּמֶה מִדְּבַשׁ חֲרַשְׁתֶּם לוּלֵא לָהֶם וַיֹּאמֶר
獅子-より 強い そして-何が 蜜-より 耕していた もし-ないなら 彼らに そして-言った
H0738 H5794 H4100 H1706 H2790 H3884 H0559

חִידָתִי: מְצָאתֶם לֹא בְּעֶגְלָתִי
私の-謎を 見つけなかった ない 私の-雌牛-で
H2420 H4672 H3808

七日目になって、日の没する前に町の人々はサムソンに言った、「蜜より甘いものに何があろう。ししより強いものに何があろう」。サムソンは彼らに言った、「わたしの若い雌牛で耕さなかったなら、わたしのなぞは解けなかった」。

19

וַיַּךְ	אַשְׁקְלוֹן	וַיֵּרֶד	יְהוָה	רוּחַ	עָלָיו	וַתִּצְלַח
そして–打った	アシュケロン–に	そして–下った	主	の–霊が	彼の–上–に	そして–臨んだ
H5221	H0831	H3381	H3068	H7307		

הַחֲלִיפוֹת	וַיִּתֵּן	חֶלְיְצוֹתָם	אֶת־	וַיִּקַּח	אִישׁ	שְׁלֹשִׁים	וּמֵהֶם
その–着替えを	そして–与えた	彼らの–衣服	[を]	そして–取った	人を	三十	彼らの–中から
H2487	H5414	H2488	H0853	H3947	H0376	H7970	H1992

פ	אָבִיהוּ׃	בֵּית	וַיַּעַל	אַפּוֹ	וַיִּחַר	הַחִידָה	לְמַגִּידֵי
—	彼の–父	の–家–に	そして–上った	彼の–怒りが	そして–燃えた	謎	の–解いた–者たち–に
	H0001		H5927	H0639	H2734	H2420	H5046

この時、主の霊が激しくサムソンに臨んだので、サムソンはアシケロンに下って行って、その町の者三十人を殺し、彼らからはぎ取って、かのなぞを解いた人々に、その晴れ着を与え、激しく怒って父の家に帰った。

20

לוֹ׃	רֵעֵהוּ	אֲשֶׁר	לְמֵרֵעֵהוּ	שִׁמְשׁוֹן	אֵשֶׁת	וַתְּהִי
彼の	友人となった	ところの	彼の–友人の–もの–に	サムソン	の–妻	そして–なった
			H4828	H8123	H0802	H1961

サムソンの妻は花婿付添人であった客の妻となった。

Chapter 15

1

אִשְׁתּוֹ	אֶת־	שִׁמְשׁוֹן	וַיִּפְקֹד	חִטִּים	קְצִיר־	בִּימֵי	מִיָּמִים	וַיְהִי
妻を	（を）	サムソンは	訪ねた	小麦の	刈り入れの	日々に–すなわち	幾日か–して	さて–あった
H0802	H0853	H8123		H2406		H3117	H3117	H1961

וְלֹא־	הֶחָדְרָה	אִשְׁתִּי	אֶל־	אָבְאָה	וַיֹּאמֶר	עִזִּים	בְּגְדֵי	
しかし–ない	奥の–部屋に	妻の–ところ	（へ）	入りたい	そして–言った	やぎの	子やぎを–もって	
H3808	H2315	H0802	H0413	H0935	H0559	H5795	H1423	

לָבוֹא׃	אָבִיהָ	נָתָנוֹ	
入ることを	彼女の–父は	許さなかった–彼を	
H0935	H0001	H5414	

日がたって後、麦刈の時にサムソンは子やぎを携えて妻をおとずれ、「へやにはいって、妻に会いましょう」と言ったが、妻の父ははいることを許さなかった。

2

שְׂנֵאתָהּ	שָׂנֹא	כִּי־	אָמַרְתִּי	אָמֹר	אָבִיהָ	וַיֹּאמֶר	
憎んだのだと–彼女を	憎んで	きっと	思った	確かに	彼女の–父は	そして–言った	
H8130	H8130		H0559	H0559	H0001	H0559	

מִמֶּנָּה	טוֹבָה	הַקְּטַנָּה	אֲחֹתָהּ	הֲלֹא	לְמֵרֵעֶךָ	וָאֶתְּנֶנָּה	
彼女より	美しい	年下の–方が	彼女の–妹は	ではないか	あなたの–友に	それで–与えた–彼女を	
			H0269	H3808	H4828	H5414	

תַּחְתֶּיהָ׃	לָךְ	נָא	תְּהִי־	
彼女の–代わりに	あなたのものに	どうか	なるように	
H8478		H4994	H1961	

そして父は言った、「あなたが確かに彼女をきらったに相違ないと思ったので、わたしは彼女をあなたの客であった者にやりました。彼女の妹は彼女よりもきれいではありませんか。どうぞ、彼女の代りに妹をめとってください」。

3 וַיֹּאמֶר לָהֶם שִׁמְשׁוֹן נְקִיתִי הַפַּעַם מִפְּלִשְׁתִּים כִּי־ עֹשֶׂה
そして-言った 彼らに サムソンは 今度は-無罪だ 今回は ペリシテ人に-対して なぜなら する
H0559 H8123 H5352 H6471 H6430

אֲנִי עִמָּם הָרָעָה׃
私は 彼らに 害を
H0589

サムソンは彼らに言った、「今度はわたしがペリシテびとに害を加えても、彼らのことでは、わたしに罪がない」。

4 וַיֵּלֶךְ שִׁמְשׁוֹן וַיִּלְכֹּד שְׁלֹשׁ־ מֵאוֹת שׁוּעָלִים וַיִּקַּח לַפִּדִּים
そして-行った サムソンは そして-捕らえた 三 百の きつねを そして-取った たいまつを
H3212 H8123 H3920 H7969 H3967 H7776 H3947 H3940

וַיֵּפֶן זָנָב אֶל־ זָנָב וַיָּשֶׂם לַפִּיד אֶחָד בֵּין־ שְׁנֵי הַזְּנָבוֹת
そして-向けた 尾を （に） 尾に そして-置いた 一つの たいまつ 間に 二つの 尾の
H6437 H2180 H0413 H2180 H3940 H0259 H0996 H8147 H2180

בַּתָּוֶךְ׃
真ん中に
H8432

そこでサムソンは行って、きつね三百匹を捕え、たいまつをとり、尾と尾をあわせて、その二つの尾の間に一つのたいまつを結びつけ、

5 וַיַּבְעֵר וַיְשַׁלַּח בַּלַּפִּידִים אֵשׁ וַיַּבְעֵר־ בְּקָמוֹת פְּלִשְׁתִּים
そして-焼いた そして-放した たいまつに 火を そして-火を-つけた 立ち穂の-中に ペリシテ人の
H1197 H7971 H3940 H0784 H1197 H7054 H6430

מִגָּדִישׁ וְעַד־ קָמָה וְעַד־ כֶּרֶם זָיִת׃
積み上げた-穀物から さらに 立ち穂まで さらに ぶどう畑と オリーブ畑まで
H1430 H5704 H7054 H5704 H3754 H2132

たいまつに火をつけて、そのきつねをペリシテびとのまだ刈らない麦の中に放し入れ、そのたばね積んだものと、まだ刈らないものとを焼き、オリブ畑をも焼いた。

6 וַיֹּאמְרוּ פְּלִשְׁתִּים מִי עָשָׂה זֹאת וַיֹּאמְרוּ שִׁמְשׁוֹן חֲתַן
そして-言った ペリシテ人たちは 誰が した これを そして-言われた サムソンだ 婿の
H1697 H6430 H4310 H6213 H0559 H8123 H2860

הַתִּמְנִי כִּי לָקַח אֶת־ אִשְׁתּוֹ וַיִּתְּנָהּ לְמֵרֵעֵהוּ
ティムナ人の なぜなら 取った （を） 彼の-妻を そして-与えた-彼女を 彼の-友に
H8554 H3947 H0853 H0802 H5414 H4828

וַיַּעַל פְּלִשְׁתִּים וַיִּשְׂרְפוּ אוֹתָהּ וְאֶת־ אָבִיהָ בָּאֵשׁ׃
そこで-上って-来た ペリシテ人たちは そして-焼いた 彼女を そして 彼女の-父を 火で
H5927 H6430 H8313 H0853 H0853 H0001 H0784

ペリシテびとは言った、「これはだれのしわざか」。人々は言った、「テムナびとの婿サムソンだ。そのしゅうとがサムソンの妻を取り返して、その客であった者に与えたからだ」。そこでペリシテびとは上ってきて彼女とその父の家を火で焼き払った。

7 וַיֹּאמֶר לָהֶם שִׁמְשׁוֹן אִם־ תַּעֲשׂוּן כְּזֹאת כִּי אִם־
そして-言った 彼らに サムソンは もし するなら このようなことを きっと （まで）
H0559 H8123 H0518 H6213 H3651 H0518

בָּכֶם אַחַר וְאֶחְדָּל׃ נָקַמְתִּי
あなたがたに その-後に やめよう 復讐した
H0413 H0310 H2308 H5358

サムソンは彼らに言った、「あなたがたがそんなことをするならば、わたしはあなたがたに仕返しせずにはおかない」。

8

וַיַּךְ אוֹתָם שׁוֹק עַל־ יָרֵךְ מַכָּה גְדוֹלָה וַיֵּרֶד
そして–打った 彼らを すねから （の上に） ももまで 打撃は 大きかった そして–下って–行き
H5221 H0853 H7785 H5921 H3409 H4347 H3381

וַיֵּשֶׁב בִּסְעִיף סֶלַע עֵיטָם׃ ס
そして–住んだ 裂け目に 岩の エタムの （段落）
H3427 H5585 H5553 H5862

そしてサムソンは彼らを、さんざんに撃って大ぜい殺した。こうしてサムソンは下って行って、エタムの岩の裂け目に住んでいた。

9

וַיַּעֲלוּ פְּלִשְׁתִּים וַיַּחֲנוּ בִיהוּדָה וַיִּנָּטְשׁוּ בְּלֶחִי׃
そして–上って–来た ペリシテ人たちは そして–陣を–張った ユダに そして–広がった レヒに
H5927 H6430 H2583 H3063 H5203 H3896

そこでペリシテびとは上ってきて、ユダに陣を取り、レヒを攻めたので、

10

וַיֹּאמְרוּ וַיַּעֲלֵיתֶם עָלֵינוּ לָמָּה יְהוּדָה אִישׁ וַיֹּאמֶר
そして–言った すると–言った 我々に–対して 上って–来たのか なぜ ユダの 人々は–すなわち そして–言った
H0559 H5927 H5921 H4100 H3063 H0376 H0559

לֶאֱסֹר אֶת־ שִׁמְשׁוֹן עָלִינוּ לַעֲשׂוֹת לוֹ כַּאֲשֶׁר עָשָׂה לָנוּ׃
縛るため （を） サムソンを 上って–来た するために 彼に ちょうど した–ように 我々に
H0631 H0853 H8123 H5927 H6213 H0389 H6213 H0389

ユダの人々は言った、「あなたがたはどうしてわれわれのところに攻めのぼってきたのですか」。彼らは言った、「われわれはサムソンを縛り、彼がわれわれにしたように、彼にするために上ってきたのです」。

11

וַיֵּרְדוּ שְׁלֹשֶׁת אֲלָפִים אִישׁ מִיהוּדָה סְעִיף סֶלַע עֵיטָם
そこで–下って–行った 三 千の 人が ユダから （へ） 裂け目に 岩の エタムの
H3381 H7969 H0505 H0376 H3063 H0413 H5585 H5553 H5862

וַיֹּאמְרוּ לְשִׁמְשׁוֹן הֲלֹא יָדַעְתָּ כִּי־ מֹשְׁלִים בָּנוּ
そして–言った サムソンに 知らないのか 知っているだろう （こと） 支配している 我々を
H0559 H8123 H3808 H3045 H3588 H4910 H0996

וּמַה־ זֹּאת עָשִׂיתָ לָּנוּ וַיֹּאמֶר כַּאֲשֶׁר לָהֶם עָשׂוּ פְּלִשְׁתִּים
何を–では これ したのか 我々に すると–言った ように 彼らに した–ように ペリシテ人が
H4100 H2063 H6213 H0389 H0559 H6213 H0389 H6430

כֵּן עָשִׂיתִי לָהֶם׃
そのように した 彼らに
H6213 H0389 H0389

そこでユダの人々三千人がエタムの岩の裂け目に下って行って、サムソンに言った、「ペリシテびとはわれわれの支配者であることをあなたは知らないのですか。あなたはどうしてわれわれにこんな事をしたのですか」。サムソンは彼らに言った、「彼らがわたしにしたように、わたしは彼らにしたのです」。

12

וַיֹּאמְרוּ לוֹ לֶאֱסָרְךָ יָרַדְנוּ לִתְתְּךָ בְיַד־ פְּלִשְׁתִּים
そこで–言った 彼に 縛るために 下って–来た 渡すために–あなたを 手に ペリシテ人の
H0559 H0389 H0631 H3381 H5414 H3027 H6430

וַיֹּאמֶר לָהֶם שִׁמְשׁוֹן הִשָּׁבְעוּ לִי פֶּן־ תִּפְגְּעוּ בִי אַתֶּם׃
すると–言った 彼らに サムソンは 誓え 私に （ないように） 襲わないと 私を あなたがたが
H0559 H0389 H8123 H7650 H0589 H6435 H6293 H0589 H0859

彼らはまたサムソンに言った、「われわれはあなたを縛って、ペリシテびとの手にわたすために下ってきたのです」。サムソンは彼らに言った、「あなたがた自身はわたしを撃たないということを誓いなさい」。

13 וַיֹּאמְרוּ֩ לֹ֨ו לֹ֜א כִּי־ אָסֹ֣ר נֶאְסָרְךָ֗ וְנָתַנּ֤וּךְ בְּיָדָם֙
そこで–言った 彼に 言って いいえ ただ 縛って 縛り上げ そして–引き渡す 彼らの–手に
H0559 H0559 H0559 H3808 H0631 H0631 H5414 H3027

וְהָמֵ֥ת לֹ֖א נִמְיתֶ֑ךָּ וַיַּאַסְרֻ֤הוּ בְּשְׁנֵ֙י֙ עֲבֹתִ֣ים חֲדָשִׁ֔ים
しかし–殺す–ことは 決して しない 彼を–縛った–そして 二本の 縄で 新しい
H4191 H3808 H4191 H0631 H8147 H5688 H2319

וַיַּעֲל֥וּהוּ מִן־ הַסֶּ֖לַע׃
彼を–連れ上った–そして （から） 岩から
H5927 H5553

彼らはサムソンに言った、「いや、われわれはただ、あなたを縛って、ペリシテびとの手にわたすだけです。決してあなたを殺しません」。彼らは二本の新しい綱をもって彼を縛って、岩からひきあげた。

14 הוּא־ בָּ֣א עַד־ לֶ֔חְיִ וּפְלִשְׁתִּ֖ים הֵרִ֣יעוּ לִקְרָאתֹ֑ו וַתִּצְלַ֤ח עָלָיו֙
彼が 来た–時 （に） レヒに ペリシテ人たちが 叫んだ 迎えに–来て 彼の–上に すると–臨んだ
H1931 H0935 H5704 H3896 H6430 H7321 H7125 H5927

רֽוּחַ־ יְהוָ֣ה וַתְּהִי֩ הָעֲבֹתִ֨ים אֲשֶׁר־ עַל־ זְרֹועֹתָ֜יו כַּפִּשְׁתִּ֗ים
霊が 主の 重荷 なると–なった 縄は （あたかも） （の上の） 彼の–腕の 亜麻の–ように
H7307 H3068 H1961 H5688 H0834 H5921 H2220 H6593

וְיָדָ֖יו׃ מֵעַ֥ל אֲסוּרָ֛יו וַיִּמַּסּ֥וּ כָּאֵ֖שׁ וַתִּבְעַ֣רוּ אֲשֶׁ֑ר
彼の–手から （から） 縛りが そして–溶けた 火で 燃えた （それは）
H3027 H4549 H0784 H0784

サムソンがレヒにきたとき、ペリシテびとは声をあげて、彼に近づいた。その時、主の霊が激しく彼に臨んだので、彼の腕にかかっていた綱は火に焼けた亜麻のようになって、そのなわめが手から解けて落ちた。

15 וַיִּמְצָ֗א לְחִי־ חֲמֹ֤ור טְרִיָּה֙ וַיִּשְׁלַ֣ח יָדֹ֔ו וַיִּקָּחֶ֑הָ
そして–見つけた あごの–骨を ろばの 生々しい そして–伸ばした 手を そして–取り上げた–それを
H4672 H3895 H2543 H2961 H7971 H3027 H3947

וַיַּךְ־ בָּ֥הּ אֶ֖לֶף אִ֥ישׁ׃
そして–打ち殺した それで 千 人を
H5221 H0505 H0376

彼はろばの新しいあご骨一つを見つけたので、手を伸べて取り、それをもって一千人を打ち殺した。

16 וַיֹּ֣אמֶר שִׁמְשֹׁ֔ון בִּלְחִ֖י הַחֲמֹ֑ור חֲמֹ֥ור חֲמֹרָתָ֖יִם בִּלְחִ֥י
そして–言った サムソンは ろばの–あごの–骨で ろばよ 山と–山を ろばの–あごの–骨で
H0559 H8123 H2543 H2565 H2565 H3895

הַחֲמֹ֥ור אֶ֖לֶף אִֽישׁ׃ הִכִּ֥יתִי
ろばの 千 人を 打ち殺した
H2543 H0505 H0376 H5221

そしてサムソンは言った、「ろばのあご骨をもって山また山を築き、ろばのあご骨をもって一千人を打ち殺した」。

17 וַיְהִ֗י כְּכַלֹּתֹ֙ו לְדַבֵּ֔ר וַיִּשְׁלֵ֥ךְ הַלְּחִ֖י מִיָּדֹ֑ו וַיִּקְרָ֣א
そして–あった 語り終えた–時 語ることを そして–投げ捨てた あごの–骨を 手から そして–呼んだ
H1961 H3615 H1696 H7993 H3895 H3027 H7121

לַמָּקֹ֥ום הַה֖וּא רָמַ֥ת לֶֽחִי׃
その–場所を その ラマト・レヒと
H4725 H1931 H7437

彼は言い終ると、その手からあご骨を投げすてた。これがためにその所は「あご骨の丘」と呼ばれた。

18 וַיִּצְמָ֣א מְאֹ֔ד וַיִּקְרָ֥א אֶל־יְהוָ֖ה וַיֹּאמַ֑ר אַתָּ֣ה
すると–渇いた 非常に And he was sore athirst, and called 主に (に) そして–叫んだ あなたが
H6770 H3966 H7121 H3068 H0413 H0559 H5414

נָתַ֗תָּ בְּיַד־עַבְדְּךָ֙ הַתְּשׁוּעָ֣ה הַגְּדוֹלָ֔ה הַזֹּ֖את וְעַתָּ֑ה
与えてくださった 手に あなたの–しもべの 救いを 大いなる この しかし–今
H5414 H3027 H5650 H8668 H1419 H2063 H6258

אָמ֣וּת בַּצָּמָ֔א וְנָפַלְתִּי֙ בְּיַד֙ הָעֲרֵלִ֔ים׃
死ぬのか 渇きで そして–落ちるのか 手に 割礼なき–者の
H4191 H6772 H5307 H3027 H6189

時に彼はひどくかわきを覚えたので、主に呼ばわって言った、「あなたはしもべの手をもって、この大きな救を施されたのに、わたしは今、かわいて死に、割礼をうけないものの手に陥ろうとしています」。

19 וַיִּבְקַ֤ע אֱלֹהִים֙ אֶת־הַמַּכְתֵּ֔שׁ אֲשֶׁ֖ר בַּלֶּ֑חִי וַיֵּצְא֣וּ
すると–裂かれた 神は (を) くぼみを (ところの) レヒにある そして–出て–来た
H1234 H0430 H0853 H4388 H834 H3895 H3318

מִמֶּ֗נּוּ וַיֵּ֙שְׁתְּ֙ וַתָּ֣שָׁב רוּחֹ֔ו וַתְּחִ֖י עַל־כֵּ֣ן קָרָ֑א
そこから そして–飲んだ すると–戻った 彼の–霊が そして–生き返った この–ゆえに こそ 呼んだ
H4325 H8354 H7725 H7307 H2421 H5921 H3651 H7121

שְׁמָ֥הּ עֵֽין־הַקּוֹרֵ֖א אֲשֶׁ֣ר בַּלֶּ֑חִי עַד֙ הַיּ֣וֹם הַזֶּ֔ה׃
その–名を エン・ハコレと (ところの) レヒにある まで 日 この
H8034 H5875 H834 H3896 H5704 H3117 H2088

そこで神はレヒにあるくぼんだ所を裂かれたので、そこから水が流れ出た。サムソンがそれを飲むと彼の霊はもとにかえって元気づいた。それでその名を「呼ばわった者の泉」と呼んだ。これは今日までレヒにある。

20 וַיִּשְׁפֹּ֥ט אֶת־יִשְׂרָאֵ֖ל בִּימֵ֣י פְלִשְׁתִּ֑ים עֶשְׂרִ֣ים שָׁנָ֔ה׃ פ
そして–さばいた (を) イスラエルを 日々に–すなわち ペリシテ人の 二十 年 (段落)
H8199 H853 H3478 H3117 H6430 H6242 H8141

サムソンはペリシテびとの時代に二十年の間イスラエルをさばいた。

Chapter 16

1 וַיֵּ֣לֶךְ שִׁמְשׁ֗וֹן עַזָּתָה֙ וַיַּ֣רְא־שָׁ֔ם אִשָּׁ֥ה זוֹנָ֖ה וַיָּבֹ֥א
そして–行った サムソンは ガザに そして–見た そこで 女を 遊女の そして–入った
H3212 H8123 H5804 H7200 H8033 H0802 H2181 H0935

אֵלֶֽיהָ׃
彼女の–もとに
H0413

サムソンはガザへ行って、そこでひとりの遊女を見、その女のところにはいった。

2 וְלַעַזָּתִ֣ים לֵאמֹ֔ר בָּ֥א שִׁמְשׁ֖וֹן הֵ֑נָּה וַיָּסֹ֣בּוּ
告げられた–ガザの–人々に 言って 来た サムソンが ここに そこで–取り囲んだ
H5841 H0559 H0935 H8123 H2008 H5437

וַיֶּֽאֶרְבוּ־ל֣וֹ כָל־הַלַּ֔יְלָה בְּשַׁ֣עַר הָעִ֑יר וַיִּתְחָרְשׁ֣וּ כָל־הַלַּ֔יְלָה
そして–待ち伏せした 彼を 一–晩中 門で 町の そして–静かにしていた 一–晩中
H0693 H3605 H8179 H5892 H3605

לֵאמֹ֔ר לְאֹ֥ור הַבֹּ֖קֶר וַהֲרַגְנֻֽהוּ׃
言って 光が–さす 朝の そして–殺そう–彼を
H0559 H0216 H1242 H2026

「サムソンがここにきた」と、ガザの人々に告げるものがあったので、ガザの人々はその所を取り囲み、夜通し町の門で待ち伏せし、「われわれは朝まで待って彼を殺そう」と言って、夜通し静かにしていた。

3

הַלַּיְלָה	בַּחֲצִי	וַיָּקָם		הַלַּיְלָה׃	חֲצִי	עַד־	שִׁמְשׁוֹן	וַיִּשְׁכַּב
夜の	半ばに	そして-起き上がった		夜の	半ば	（まで）	サムソンは	そして-寝た
H3915	H2677			H3915	H2677	H5704	H8123	H7901

וַיִּסָּעֵם		הַמְזוּזוֹת	וּבְשְׁתֵּי	הָעִיר׀	שַׁעַר־	בְּדַלְתֵ֥ות	וַיֶּאֱחֹז	
そして-引き抜いた-それらを		門柱も	そして-二つの	町の	門の	扉を	そして-つかんだ	
H5265		H4201	H8147		H8179		H0270	

אֶל־	וַיַּעֲלֵם	כְּתֵפָיו	עַל־	וַיָּשֶׂם	הַבְּרִיחַ	עִם־	
（へ）	そして-運び上げた-それらを	肩に-彼の	（の上に）	そして-載せた	かんぬきと	（と-共に）	
H0413	H5927	H3802			H1280		

פ	חֶבְרוֹן׃	פְּנֵי	עַל־	אֲשֶׁר	הָהָר	רֹאשׁ
（段落）	ヘブロンに	面する	（の上に）	（ところの）	山の	頂上に
		H6440			H2022	

サムソンは夜中まで寝たが、夜中に起きて、町の門のとびらと二つの門柱に手をかけて、貫の木もろともに引き抜き、肩に載せて、ヘブロンの向かいにある山の頂に運んで行った。

4

דְּלִילָה׃	וּשְׁמָהּ	שֹׂרֵק	בְּנַחַל	אִשָּׁה	וַיֶּאֱהַב	כֵּן	אַחֲרֵי־	וַיְהִי׀
デリラ	その-名は	ソレクの	谷の	女を	そして-愛した	こうして	その-後	そして-あった
H1807	H8034	H7796		H0802	H0157			H1961

この後、サムソンはソレクの谷にいるデリラという女を愛した。

5

פַּתֵּנִי	לָהּ	וַיֹּאמְרוּ	פְּלִשְׁתִּים	סַרְנֵי	אֵלֶיהָ	וַיַּעֲלוּ		
誘い出せ	彼女に	そして-言った	ペリシテ人の	領主たちが	彼女の-もとに	そこで-上って-来た		
		H0559	H6430		H0413	H5927		

לוֹ	נוּכַל	וּבַמֶּה׀	גָּדוֹל	כֹּחוֹ	בַּמֶּה׀	וּרְאִי׀	אוֹתוֹ	
彼に	できるか	そして-何に-よって	大きいのか	力が-彼の	何に-よって	そして-見よ	彼を	
	H3201	H4100			H4100	H7200	H0853	

כָּסֶף׃	וּמֵאָה	אֶלֶף	אִישׁ	לָךְ	נִתַּן־	וַאֲנַחְנוּ	לְעַנֹּתוֹ	וַאֲסַרְתֶּהוּ	
銀を	百の	千	各々	あなたに	与える	そうすれば-我々は	苦しめるために	そして-縛って-彼を	
H3701	H3967	H0505	H0376		H5414	H0587		H0631	

ペリシテびとの君たちはその女のところにきて言った、「あなたはサムソンを説きすすめて、彼の大力はどこにあるのか、またわれわれはどうすれば彼に勝って、彼を縛り苦しめることができるかを見つけなさい。そうすればわれわれはおのおの銀千百枚ずつをあなたにさしあげましょう」。

6

בַּמֶּה	לִּי	נָא	הַגִּידָה־	שִׁמְשׁוֹן	אֶל־	דְּלִילָה׀	וַתֹּאמֶר
何に-よって	私に	どうか	教えて-ほしい	サムソンに	（に）	デリラは	そこで-言った
H4100		H4994	H5046	H8123	H0413	H1807	H0559

לְעַנֹּתֶךָ׃	תֵּאָסֵר	וּבַמֶּה׀	גָּדוֹל	כֹּחֶךָ
苦しめるために-あなたを	縛れる-のか	そして-何に-よって	大きいのか	あなたの-力は
	H0631	H4100		

そこでデリラはサムソンに言った、「あなたの大力はどこにあるのか、またどうすればあなたを縛って苦しめることができるか、どうぞわたしに聞かせてください」。

7

אֲשֶׁר	לַחִים	יְתָרִים	בִּשְׁבָעָה	יַאַסְרֻנִי	אִם־	שִׁמְשׁוֹן	אֵלֶיהָ	וַיֹּאמֶר
（ところの）	生の	弦で	七本の	縛るなら-私を	もし	サムソンは	彼女に	そこで-言った
	H3892		H7651	H0631		H8123	H0413	H0559

הָאָדָם׃	כְּאַחַד	וְהָיִיתִי	וְחָלִיתִי	חֹרָבוּ	לֹא־	
普通の-人に	一人の-ように	そして-なる	すると-弱くなり	乾いていない	まだ	
H0120	H0259	H1961			H3808	

サムソンは女に言った、「人々がもし、かわいたことのない七本の新しい弓弦をもってわたしを縛るなら、わたしは弱くなってほかの人のようになるでしょう」。

8

לֹא־ אֲשֶׁר לַחִים יְתָרִים שִׁבְעָה פְּלִשְׁתִּים סַרְנֵי לָהּ וַיַּעֲלוּ־
まだ （ところの） 生の 弦を 七本の ペリシテ人の 領主たちが 彼女に そこで-持って-来た
H3808 H3892 H7651 H6430 H5927

בָּהֶם׃ וַתַּאַסְרֵהוּ חֹרָבוּ
それらで そして-縛った-彼を 乾いていない
H0631

そこでペリシテびとの君たちが、かわいたことのない七本の新しい弓弦を女に持ってきたので、女はそれをもってサムソンを縛った。

9

אֵלֶיהָ וַתֹּאמֶר בַּחֶדֶר לָהּ יֹשֶׁב וְהָאֹרֵב
彼に そして-言った 奥の-部屋に 彼女の-ために 座っていた しかし-待ち伏せの-者が
H0413 H0559 H2315 H3427 H0693

כַּאֲשֶׁר הַיְתָרִים אֶת־ וַיְנַתֵּק שִׁמְשׁוֹן עָלֶיךָ פְּלִשְׁתִּים
ちょうど 弦を （を） すると-引きちぎった サムソンよ あなたの-上に ペリシテ人が
H0853 H5423 H8123 H6430

כֹּחוֹ׃ נוֹדַע וְלֹא אֵשׁ בַּהֲרִיחוֹ הַנְּעֹרֶת פְּתִיל־ יִנָּתֵק
彼の-力は 知られなかった こうして-ない 火に 触れた-時に 麻くずの 糸が ちぎれる-ように
H3045 H3808 H0784 H7306 H5296 H6616 H5423

女はかねて奥のへやに人を忍ばせておいて、サムソンに言った、「サムソンよ、ペリシテびとがあなたに迫っています」。しかしサムソンはその弓弦を、あたかも亜麻糸が火にあって断たれるように断ち切った。こうして彼の力の秘密は知れなかった。

10

כְּזָבִים אֵלַי וַתְּדַבֶּר בִּי הֵתַלְתָּ הִנֵּה שִׁמְשׁוֹן אֶל־ דְּלִילָהּ וַתֹּאמֶר
嘘を 私に そして-語った 私を だました 見よ サムソンに （に） デリラは そこで-言った
H3576 H0413 H1696 H2009 H8123 H0413 H1807 H0559

תֵּאָסֵר׃ בַּמָּה לִּי נָא הַגִּידָה־ עַתָּה
縛れる-のか 何に-よって 私に どうか 教えて-ほしい 今こそ
H0631 H4100 H4994 H5046 H6258

デリラはサムソンに言った、「あなたはわたしを欺いて、うそを言いました。どうしたらあなたを縛ることができるか、どうぞ今わたしに聞かせてください」。

11

לֹא־ אֲשֶׁר חֲדָשִׁים בַּעֲבֹתִים יַאַסְרוּנִי אָסוֹר אִם־ אֵלֶיהָ וַיֹּאמֶר
まだ （ところの） 新しい 綱で 縛るなら-私を しっかりと もし 彼女に そこで-言った
H3808 H2319 H5688 H0631 H0631 H0413 H0559

הָאָדָם׃ כְּאַחַד וְהָיִיתִי וְחָלִיתִי מְלָאכָה בָּהֶם נֶעֱשָׂה
普通の-人に 一人の-ように そして-なる すると-弱くなり 仕事に それらで 使われた-ことが
H0120 H0259 H1961 H4399

サムソンは女に言った、「もし人々がまだ用いたことのない新しい綱をもって、わたしを縛るなら、弱くなってほかの人のようになるでしょう」。

12 וַתִּקַּח דְּלִילָה חֲדָשִׁים עֲבֹתִים וַתַּאַסְרֵהוּ בָהֶם וַתֹּאמֶר אֵלָיו
そこで–取った デリラは 新しい 綱を そして–縛った–彼を それらで そして–言った 彼に
H3947 H1807 H2319 H5688 H0631 H0559 H0413

פְּלִשְׁתִים עָלֶיךָ שִׁמְשׁוֹן וְהָאֹרֵב יֹשֵׁב בֶּחָדֶר
ペリシテ人が あなたの–上に サムソンよ しかし–待ち伏せの–者が 座っていた 部屋に
H6430 H5921 H8123 H0693 H3427 H2315

וַיְנַתְּקֵם מֵעַל זְרֹעֹתָיו כַּחוּט׃
すると–引きちぎった–それらを （から） 腕から–彼の 糸の–ように
H5423 H5921 H2220 H2339

そこでデリラは新しい綱をとり、それをもって彼を縛り、そして彼に言った、「サムソンよ、ペリシテびとがあなたに迫っています」。時に人々は奥のへやに忍んでいたが、サムソンはその綱を糸のように腕から断ち落した。

13 וַתֹּאמֶר דְּלִילָה אֶל־ שִׁמְשׁוֹן עַד־ הֵנָּה הֵתַלְתָּ בִּי וַתְּדַבֶּר
そこで–言った デリラは （に） サムソンに （まで） 今まで だました 私を そして–語った
H0559 H1807 H0413 H8123 H5704 H2008 H8123 H1696

אֵלַי כְּזָבִים הַגִּידָה לִּי בַּמָּה תֵּאָסֵר וַיֹּאמֶר אֵלֶיהָ אִם־ תַּאַרְגִי
私に 嘘を 教えよ 私に 何に–よって 縛れる–のか そこで–言った 彼女に もし 織るなら
H0413 H3576 H5046 H4100 H0631 H0559 H0413 H0707

אֶת־ שֶׁבַע מַחְלְפוֹת רֹאשִׁי עִם־ הַמַּסָּכֶת׃
（を） 七つの 房を 私の–頭の （と–共に） 織物と
H0853 H7651 H4253 H7218 H5973 H4545

そこでデリラはサムソンに言った、「あなたは今まで、わたしを欺いて、うそを言いましたが、どうしたらあなたを縛ることができるか、わたしに聞かせてください」。彼は女に言った、「あなたがもし、わたしの髪の毛七ふさを機の縦糸と一緒に織って、くぎでそれを留めておくならば、わたしは弱くなってほかの人のようになるでしょう」。そこで彼が眠ったとき、デリラはサムソンの髪の毛、七ふさをとって、それを機の縦糸に織り込み、

14 וַתִּתְקַע בַּיָּתֵד וַתֹּאמֶר אֵלָיו פְּלִשְׁתִים עָלֶיךָ שִׁמְשׁוֹן
そして–打ち込んだ 杭で そして–言った 彼に ペリシテ人が あなたの–上に サムソンよ
H8628 H3489 H0559 H0413 H6430 H5921 H8123

וַיִּיקַץ מִשְּׁנָתוֹ וַיִּסַּע אֶת־ הַיָּתֵד וְאֶת־ הָאֶרֶג וְאֶת־ הַמַּסָּכֶת׃
すると–目を覚ました 眠りから–彼の そして–引き抜いた （を） 杭と 織り機と そして 織物を
H3364 H8142 H5265 H0853 H3489 H0708 H0853 H4545

くぎでそれを留めておいて、彼に言った、「サムソンよ、ペリシテびとがあなたに迫っています」。しかしサムソンは目をさまして、くぎと機と縦糸とを引き抜いた。

15 וַתֹּאמֶר אֵלָיו אֵיךְ תֹּאמַר אֲהַבְתִּיךְ וְלִבְּךָ אֵין אִתִּי זֶה
そこで–言った 彼に どうして 言えるのか 愛していると あなたの–心が ない 私と–共に もう
H0559 H0413 H0349 H0559 H0157 H3824 H0369 H0854 H2088

שָׁלֹשׁ פְּעָמִים וְלֹא־ הִגַּדְתָּ לִּי בַּמָּה כֹּחֲךָ גָּדוֹל׃
三 度も そして–ない 教えて–くれない 私に 何に–よって あなたの–力が 大きいのか
H7969 H6471 H3808 H5046 H3824 H4100 H3581 H1419

そこで女はサムソンに言った、「あなたの心がわたしを離れているのに、どうして『おまえを愛する』と言うことができますか。あなたはすでに三度もわたしを欺き、あなたの大力がどこにあるかをわたしに告げませんでした」。

16 וַתְּאַלְּצֵהוּ הַיָּמִים כָּל־ בִּדְבָרֶיהָ לוֹ הֵצִיקָה כִּי־ וַיְהִי
そして–催促した–彼を 日々 毎日 言葉で–彼女の 彼に せまった （ので） そして–あった
H0509 H3117 H3605 H1697 H6693 H1961

לָמוּת׃ נַפְשׁוֹ וַתִּקְצַר
死ぬほどに 魂が–彼の そして–疲れ果てた
H4191 H5315

女は毎日その言葉をもって彼に迫り促したので、彼の魂は死ぬばかりに苦しんだ。

17 לֹא־ מוֹרָהּ לָהּ וַיֹּאמֶר לִבּוֹ כָּל־ אֶת־ לָהּ וַיַּגֶּד־
一度も かみそりが 彼女に そして–言った 心を–彼の すべて （を） 彼女に そこで–打ち明けた
H3808 H4177 H0559 H3605 H0853 H5046

אִמִּי מִבֶּטֶן אֲנִי אֱלֹהִים נְזִיר כִּי־ רֹאשִׁי עַל־ עָלָה
母の 胎から 私は 神の ナジル人 なぜなら 私の–頭に （の上に） 上がった–ことがない
H0517 H0990 H0589 H0430 H5139 H5927

כְּכָל־ וְהָיִיתִי וְחָלִיתִי כֹּחִי מִמֶּנִּי וְסָר גֻּלַּחְתִּי אִם־
すべての–ように そして–なる そして–弱くなり 力が–私の 私から すると–去り 剃られたら もし
H3605 H1961 H5493 H1548

הָאָדָם׃
人の
H0120

彼はついにその心をことごとく打ち明けて女に言った、「わたしの頭にはかみそりを当てたことがありません。わたしは生れた時から神にささげられたナジルびとだからです。もし髪をそり落されたなら、わたしの力は去って弱くなり、ほかの人のようになるでしょう」。

18 לִבּוֹ כָּל־ אֶת־ לָהּ הִגִּיד כִּי־ דְלִילָה וַתַּרְא
心を–彼の すべて （を） 彼女に 打ち明けた （ことを） デリラは すると–見た
H3605 H0853 H5046 H1807 H7200

הַפַּעַם עֲלוּ לֵאמֹר פְּלִשְׁתִּים לְסַרְנֵי וַתִּקְרָא וַתִּשְׁלַח
今度こそ 上って–来てください 言って ペリシテ人の 領主たちを そして–呼んだ そこで–遣いを–送り
H6471 H5927 H0559 H6430 H7121 H7971

אֵלֶיהָ וְעָלוּ לִבּוֹ כָּל־ אֶת־ לִי( )לְהַן הִגִּיד כִּי־
彼女の–もとに そこで–上って–来た 心を–彼の すべて （を） 私に （私に） 打ち明けた なぜなら
H0413 H5927 H3605 H0853 H5046

בְּיָדָם׃ הַכֶּסֶף וַיַּעֲלוּ פְּלִשְׁתִּים סַרְנֵי
手に–彼らの 銀を そして–持って–来た ペリシテ人の 領主たちが
H3027 H3701 H5927 H6430

デリラはサムソンがその心をことごとく打ち明けたのを見、人をつかわしてペリシテびとの君たちを呼んで言った、「サムソンはその心をことごとくわたしに打ち明けましたから、今度こそ上っておいでなさい」。そこでペリシテびとの君たちは、銀を携えて女のもとに上ってきた。

19 אֶת־ וַתְּנַלַּח לָאִישׁ וַתִּקְרָא בִרְכֶּיהָ עַל־ וַתְּיַשְׁנֵהוּ
（を） そして–剃らせた 人を そして–呼んだ 膝の–上に–彼女の （の上に） そして–眠らせた–彼を
H0853 H1548 H0376 H7121 H1290 H3462

מֵעָלָיו׃ כֹּחוֹ וַיָּסַר לְעַנּוֹתוֹ וַתָּחֶל רֹאשׁוֹ מַחְלְפוֹת שֶׁבַע
彼から 力が–彼の すると–去った 苦しめることを–彼を そして–始めた 頭の–彼の 房を 七つの
H5493 H4253 H7651

女は自分のひざの上にサムソンを眠らせ、人を呼んで髪の毛、七ふさをそり落させ、彼を苦しめ始めたが、その力は彼を去っていた。

20 וַתֹּאמֶר פְּלִשְׁתִּים עָלֶיךָ שִׁמְשׁוֹן וַיִּקַץ מִשְּׁנָתוֹ
そして-言った ペリシテ人が あなたの-上に サムソンよ すると-目を覚ました 眠りから-彼の
H0559 H6430 H6471 H8123 H3364 H8142

וַיֹּאמֶר כְּפַעַם בְּפַעַם אֵצֵא וְאִנָּעֵר וְהוּא לֹא
そして-言った いつもの-ように 何度も 出て-行こう そして-振り払おう しかし-彼は なかった
H0559 H6471 H6471 H3318 H5287 H1931 H3808

כִּי יְהוָה סָר מֵעָלָיו׃ יָדַע
（ことを） 主が 去った 彼から 知ら
H3045 H3068 H5493

そして女が「サムソンよ、ペリシテびとがあなたに迫っています」と言ったので、彼は目をさまして言った、「わたしはいつものように出て行って、からだをゆすろう」。彼は主が自分を去られたことを知らなかった。

21 וַיֹּאחֲזוּהוּ פְּלִשְׁתִּים וַיְנַקְּרוּ אֶת־ עֵינָיו
そこで-捕らえた-彼を ペリシテ人たちは そして-えぐり出した （を） 両目を-彼の
H0270 H6430 H5365 H0853

וַיּוֹרִידוּ וַיַּאַסְרֻהוּ בְנְחֻשְׁתַּיִם וַיְהִי
そして-連れ下った そして-縛った-彼を 青銅の-足かせで そして-あった
H3381 H0631 H0631 H1961

אוֹתוֹ עַזָּתָה בְּבֵית הָאֲסִירִים׃) [האסירים טוֹחֵן
彼を ガザに 家で （囚人の） 囚人の ひき臼を-ひく-者と
H0853 H5804 H0615 H0631 H2912

22 וַיָּחֶל שְׂעַר־ רֹאשׁוֹ לְצַמַּחַ כַּאֲשֶׁר גֻּלָּח׃ פ
そして-始めた 髪が 頭の-彼の 伸びることを ちょうど 剃られた-後に （段落）
H8181 H7779 H1548

その髪の毛はそり落された後、ふたたび伸び始めた。

23 וְסַרְנֵי פְּלִשְׁתִּים נֶאֶסְפוּ לִזְבֹּחַ לְדָגוֹן אֱלֹהֵיהֶם וּלְשִׂמְחָה וַיֹּאמְרוּ נָתַן אֱלֹהֵינוּ בְיָדֵנוּ אֶת שִׁמְשׁוֹן׃ אוֹיְבֵינוּ
そして-領主たちは ペリシテ人の 集まった ささげるために いけにえを 大きな ダゴンに 彼らの-神に そして-喜ぶために そして-言った 渡した 我々の-神が 我々の-手に （を） サムソンを 我々の-敵を
H6430 H0622 H2076 H2077 H1712 H0430 H8057 H0559 H5414 H0430 H3027 H0853 H8123 H0341

さてペリシテびとの君たちは、彼らの神ダゴンに大いなる犠牲をささげて祝をしようと、共に集まって言った、「われわれの神は、敵サムソンをわれわれの手にわたされた」。

24 וַיִּרְאוּ אֹתוֹ הָעָם וַיְהַלְלוּ אֶת־אֱלֹהֵיהֶם כִּי אָמְרוּ נָתַן
そして-見た 彼を 民は そして-ほめたたえた (を) 彼らの-神を なぜなら 言った 渡した
H7200 H0853 H0853 H0430 H0559 H5414

אֱלֹהֵינוּ אֶת־בְּיָדֵנוּ אֶת־אֹיְבֵנוּ וְאֵת מַחֲרִיב אַרְצֵנוּ וַאֲשֶׁר
我々の-神が 我々の-手に (を) 我々の-敵を そして 荒らす-者を 我々の-地の そして
H0430 H3027 H0853 H0341 H0853 H0776

הִרְבָּה אֶת־חֲלָלֵינוּ׃
増やした-者を (を) 我々の-殺された-者を
H0853

民はサムソンを見て、自分たちの神をほめたたえて言った、「われわれの神は、われわれの国を荒し、われわれを多く殺した敵をわれわれの手にわたされた」。

25 וַיְהִי כִּ֥[ן] טו֖[ב] כְּטוֹב֣(לִבָּ֑ם וַיֹּ֣אמְרוּ֩ קִרְא֨וּ
そして-あった (ので) (良くなった) 良くなった-時 彼らの-心が そして-言った 呼べ
H1961 H2896 H0559 H7121

לְשִׁמְשׁ֜וֹן וַיְקַרְא֣וּ מִבֵּ֗ית לַֽ֠נוּ וִישַׂחֶק־ לְשִׁמְשׁ֜וֹן [הָאסִירִ֣ים] (הָאֲסוּרִ֔ים)
サムソンを そこで-呼んだ 家から 我々を そして-楽しませよ サムソンを (囚人の) (囚人の)
H8123 H7121 H8123 H0615 H0631

וַיַּצַּ֖חֶק לִפְנֵיהֶ֑ם וַיַּעֲמִידֻ֥הוּ אוֹת֛וֹ בֵּ֥ין הָעַמּוּדִֽים׃
すると-演じた 彼らの-前で そして-立たせた 彼を 間に 柱の
H6711 H6440 H5975 H853 H0996 H5982

民はまた心に喜んで言った、「サムソンを呼んで、われわれのために戯れ事をさせよう」。彼らは獄屋からサムソンを呼び出して、彼らの前に戯れ事をさせた。彼らがサムソンを柱のあいだに立たせると、

26 וַיֹּ֣אמֶר שִׁמְשׁ֗וֹן אֶל־הַנַּ֙עַר֙ הַמַּחֲזִ֣יק בְּיָד֔וֹ הַנִּיחָ֥ה אוֹתִ֖י
そこで-言った サムソンは (に) 少年に 導いている 彼の-手を 休ませてくれ 私を
H0559 H8123 H0413 H5288 H2388 H3027 H3240 H853

וְ[הימשני] (וַהֲמִשֵּׁ֣נִי) אֶת־ אֲשֶׁ֨ר הַבַּ֜יִת נָכ֗וֹן הָעַמֻּדִ֛ים
(そして-触らせよ) (そして-触らせてくれ) (を) (ところの) 家が 支えられている 柱を
H4959 H4959 H853 H834 H1004 H5982

עֲלֵיהֶ֑ם וְאֶשָּׁעֵ֖ן עֲלֵיהֶֽם׃
それらの-上に そして-寄りかかりたい それらに
H8172

サムソンは自分の手をひいている若者に言った、「わたしの手を放して、この家をささえている柱をさぐらせ、それに寄りかからせてください」。

27 וְהַבַּ֣יִת מָלֵ֗א הָֽאֲנָשִׁ֤ים וְהַנָּשִׁים֙ וְשָׁ֣מָּה כָּל־ סַרְנֵ֥י פְלִשְׁתִּ֖ים
さて-家は 満ちていた 男たちと 女たちで そして-そこには すべての 領主たちが ペリシテ人の
H1004 H4390 H0376 H0802 H8033 H3605 H5633 H6430

וְעַל־ הַגָּ֔ג כִּשְׁלֹ֥שֶׁת אַלְפֵ֖י אִ֣ישׁ וְאִשָּׁ֑ה הָרֹאִ֛ים בִּשְׂחֹ֥ק שִׁמְשֽׁוֹן׃
そして-上に 屋根の およそ-三 千の 男と 女が 見ていた 見せ物を サムソンの
H5921 H1406 H7969 H0505 H0376 H0802 H7200 H7832 H8123

その家には男女が満ち、ペリシテびとの君たちも皆そこにいた。また屋根の上には三千人ばかりの男女がいて、サムソンの戯れ事をするのを見ていた。

28

וַיִּקְרָא שִׁמְשׁוֹן אֶל־יְהוָה וַיֹּאמַר אֲדֹנָי יֱהוִה זָכְרֵנִי
そして–叫んだ サムソンは （に） 主に そして–言った 主よ 神よ 思い出してください–私を
H7121 H8123 H0413 H3068 H0559 H0136 H3069 H2142

נָא׀ וְחַזְּקֵנִי נָא הָאֱלֹהִים הַזֶּה הַפָּעַם אַךְ נָא
どうか そして–強めてください–私を どうか ああ–神よ この 今度 ただ どうか
H4994 H2388 H4994 H0430 H2088 H6471 H0389 H4994

מִפְּלִשְׁתִּים׃ עֵינַי מִשְׁתֵּי אַחַת נִקְמָ־ וְאִנָּקְמָה
ペリシテ人に 目の–私の 二つの–ための 一つの 復讐を そして–復讐させてください
H6430 H8147 H0259 H5359 H5358

サムソンは主に呼ばわって言った、「ああ、主なる神よ、どうぞ、わたしを覚えてください。ああ、神よ、どうぞもう一度、わたしを強くして、わたしの二つの目の一つのためにでもペリシテびとにあだを報いさせてください」。

29

וַיִּלְפֹּת שִׁמְשׁוֹן אֶת־ שְׁתֵּי עַמּוּדֵי הַתָּוֶךְ הַמַּבַּיִת אֲשֶׁר נָכוֹן
そして–抱えた サムソンは （を） 二つの 柱を 中央の 家が （ところの） 支えられている
H3943 H8123 H0853 H8147 H5982 H8432 H0834 H3559

בִּשְׂמֹאלוֹ׃ וְאֶחָד בִּימִינוֹ אֶחָד עֲלֵיהֶם וַיִּסָּמְךְ עֲלֵיהֶם
左手で–彼の そして–一つは 右手で–彼の 一つは それらに そして–もたれかかった それらの–上に
H8040 H0259 H3225 H0259 H5564

そしてサムソンは、その家をささえている二つの中柱の一つを右の手に、一つを左の手にかかえて、身をそれに寄せ、

30

וַיֹּאמֶר שִׁמְשׁוֹן תָּמוּת נַפְשִׁי עִם־ פְּלִשְׁתִּים וַיֵּט
そして–言った サムソンは 死ね 私の–魂よ （と–共に） ペリシテ人と そして–傾けた
H0559 H8123 H4191 H5315 H6430 H5186

בְּכֹחַ וַיִּפֹּל הַבַּיִת עַל־ הַסְּרָנִים וְעַל־ כָּל־ הָעָם
力を–込めて すると–倒れた 家は （の上に） 領主たちの–上に そして–上に すべての 民の
H5307 H3605

אֲשֶׁר־ בּוֹ וַיְהִי הַמֵּתִים אֲשֶׁר הַמִּית בְּמוֹתוֹ
（ところの） その–中の そして–あった 死んだ–者たちは （ところの） 殺した 死に–おいて–彼の
H1961 H4191 H0834 H4191 H4194

רַבִּים מֵאֲשֶׁר הַמֵּת בְּחַיָּיו׃
多かった （より） 殺した–者より 生きている–間に–彼の
H4191

「わたしはペリシテびとと共に死のう」と言って、力をこめて身をかがめると、家はその中にいた君たちと、すべての民の上に倒れた。こうしてサムソンが死ぬときに殺したものは、生きているときに殺したものよりも多かった。

31

וַיֵּרְדוּ וַיְהִי־ אֶחָיו כָּל־ וַיִּשְׂאוּ אֲבִיהוּ בֵּית וַיַּעֲלוּ אֹתוֹ
そこで–下って–来た そして–すべての 彼の–兄弟たちと そして–取り上げた 父の–彼の 家の そして–上って–行き 彼を
H3381 H0251 H3605 H5375 H0001 H1004 H5927 H0853

וּבֵין צָרְעָה בֵּין אֹתוֹ וַיִּקְבְּרוּ בְּקֶבֶר
（と）–間に ツォルアと 間に 彼を そして–葬った 墓に
H0996 H6881 H0996 H0853 H6912 H6913

מָנוֹחַ אֲבִיו וְהוּא שָׁפַט אֶת־ יִשְׂרָאֵל עֶשְׂרִים שָׁנָה׃ פ
マノアの 父の–彼の そして–彼は さばいた （を） イスラエルを 二十 年 （段落）
H4495 H1931 H8199 H0853 H3478 H6242 H8141

やがて彼の身内の人たちおよび父の家族の者がみな下ってきて、彼を引き取り、携え上って、ゾラとエシタオルの間にある父マノアの墓に葬った。サムソンがイスラエルをさばいたのは二十年であった。

Chapter 17

1 וַיְהִי־ מֵהַר־ אִישׁ אֶפְרָיִם וּשְׁמוֹ מִיכָיְהוּ׃
そして–あった 山地の 人が–すなわち エフライムの その–名は ミカヤフ
H1961 H2022 H0376 H0669 H8034 H4319

ここにエフライムの山地の人で、名をミカと呼ぶものがあった。

2 וַיֹּאמֶר לְאִמּוֹ אֶלֶף וּמֵאָה הַכֶּסֶף אֲשֶׁר לֻקַּח־ לָךְ [ואתי]
そして–言った 母に–彼の 千 百の 銀が （ところの） 取られた あなたから （あなたは）
H0559 H0517 H0505 H3967 H3701 H3947

(וְאַתְּ) אָלִית וְגַם אָמַרְתְּ בְּאָזְנָי הִנֵּה־ הַכֶּסֶף אִתִּי אָנִי
あなたは のろった そして–また 言った 私の–耳に 見よ–ここに 銀が 私の–もとに 私が
H0422 H1571 H0559 H0241 H2009 H3701 H0854 H0589

לִקַּחְתִּיו וַתֹּאמֶר אִמּוֹ בָּרוּךְ בְּנִי לַיהוָה׃
取ったのだ すると–言った 母は–彼の 祝福されよ 私の–息子よ 主に–よって
H3947 H0559 H0517 H1288 H3068

彼は母に言った、「あなたはかつて銀千百枚を取られたので、それをのろい、わたしにも話されましたが、その銀はわたしが持っています。わたしがそれを取ったのです」。母は言った、「どうぞ主がわが子を祝福されますように」。

3 וַיָּשֶׁב אֶת־ אֶלֶף וּמֵאָה הַכֶּסֶף לְאִמּוֹ וַתֹּאמֶר אִמּוֹ הִתְקַדֵּשׁ
そして–返した （を） 千 百の 銀を 母に–彼の すると–言った 母は–彼の 聖別して
H7725 H0853 H0505 H3967 H3701 H0517 H0559 H0517 H6942

הַכֶּסֶף הִתְקַדַּשְׁתִּי מִיָּדִי לִבְנִי לַעֲשׂוֹת פֶּסֶל וּמַסֵּכָה
銀を 聖別したのだ 私の–手から 息子の–ために–私の 作るために 彫り物と 鋳物を
H3701 H6942 H3027 H3068 H6459 H4541

וְעַתָּה אֲשִׁיבֶנּוּ לָךְ׃
さあ–今 返そう–それを あなたに
H6258 H7725

そして彼が銀千百枚を母に返したので、母は言った、「わたしはわたしの子のために一つの刻んだ像と、一つの鋳た像を造るためにその銀をわたしの手から主に献納します。それで今それをあなたに返しましょう」。

4 וַיָּשֶׁב אֶת־ הַכֶּסֶף לְאִמּוֹ וַתִּקַּח אִמּוֹ מָאתַיִם כֶּסֶף
そして–返した （を） 銀を 母に–彼の すると–取った 母は–彼の 二百の 銀を
H7725 H0853 H3701 H0517 H3947 H0517 H3967 H3701

וַיַּעֲשֵׂהוּ וַתִּתְּנֵהוּ לַצּוֹרֵף וַיְהִי וּמַסֵּכָה פֶּסֶל בְּבֵית
そして–作らせた–それを 鋳物師に そして–渡した–それを そして–あった 鋳物に 彫り物と 家に
H6884 H5414 H1961 H4541 H6459 H1004

מִיכָיְהוּ׃
ミカヤフの
H4319

ミカがその銀を母に返したので、母はその銀二百枚をとって、それを銀細工人に与え、一つの刻んだ像と、一つの鋳た像を造らせた。その像はミカの家にあった。

5 וְהָאִישׁ מִיכָה וְלוֹ בַּיִת אֱלֹהִים וַיַּעַשׂ אֵפוֹד וּתְרָפִים
さて–人は–この ミカは 持っていた–彼には 家が 神の そして–作った エポデと テラピムを
H0376 H4318 H0853 H1004 H0430 H6213 H0646 H8655

וַיְמַלֵּא אֶת־ יַד אַחַד מִבָּנָיו וַיְהִי־ לוֹ לְכֹהֵן׃
そして–任命した （を） 手を 一人の 息子たちの–中から–彼の そして–なった 彼の–ために 祭司と
H4390 H0853 H3027 H0259 H1121 H1961 H0853 H3548

このミカという人は神の宮をもち、エポデとテラピムを造り、その子のひとりを立てて、自分の祭司とした。

בְּעֵינָיו	הַיָּשָׁר	אִישׁ	בְּיִשְׂרָאֵל	מֶלֶךְ	אֵין	הָהֵם	בַּיָּמִים	6
自分の-目に	正しい-と思うことを	各々が	イスラエルに	王が	なかった	その	その-日々に	
	H3477	H0376	H3478	H4428	H0369	H1992	H3117	

פ	יַעֲשֶׂה׃
（段落）	行っていた

そのころイスラエルには王がなかったので、人々はおのおの自分たちの目に正しいと思うことを行った。

לֵוִי	וְהוּא	יְהוּדָה	מִמִּשְׁפַּחַת	יְהוּדָה	לֶחֶם־מִבְיִת	נַעַר	וַיְהִי־	7
レビ人で	そして-彼は	ユダの	氏族の	ユダの	ベツレヘムの	若者が	そして-あった	
H3881	H1931	H3063	H4940	H3063	H1035	H5288	H1961	

שָׁם׃	גָּר־	וְהוּא	
そこに	住んでいた	そして-彼は	
H8033		H1931	

さてここにユダの氏族のもので、ユダのベツレヘムからきたひとりの若者があった。彼はレビびとであって、そこに寄留していたのである。

בַּאֲשֶׁר	לָגוּר	יְהוּדָה	לֶחֶם־מִבְיִת	מֵהָעִיר	הָאִישׁ	וַיֵּלֶךְ		8
見つかる-ところに	住むために	ユダの	ベツレヘムの	町から	その-人は	そして-出て-行った		
		H3063	H1035		H0376	H3212		

לַעֲשׂוֹת	מִיכָה	בֵּית	עַד־	אֶפְרַיִם	הַר־	וַיָּבֹא	יִמְצָא
続けるために	ミカの	家に	（まで）	エフライムの	山地の	すると-来た	見つかる-ところが
	H4318		H5704	H0669	H2022	H0935	H4672

דַּרְכּוֹ׃
旅を-彼の
H1870

この人は自分の住むべきところを尋ねて、ユダのベツレヘムの町を去り、旅してエフライムの山地のミカの家にきた。

אָנֹכִי	לֵוִי	אֵלָיו	וַיֹּאמֶר	תָּבוֹא	מֵאַיִן	מִיכָה	לוֹ	וַיֹּאמֶר־	9
私は	レビ人です	彼に	すると-言った	来たのか	どこから	ミカは	彼に	そして-言った	
H0595	H3881	H0413	H0559	H0935	H0370	H4318		H0559	

אֶמְצָא׃	בַּאֲשֶׁר	לָגוּר	הֹלֵךְ	וְאָנֹכִי	יְהוּדָה	לֶחֶם־מִבְיִת
見つかる-ところが	見つかる-ところに	住むために	行く-ところに	そして-私は	ユダの	ベツレヘムの
H4672			H1980	H0595	H3063	H1035

ミカは彼に言った、「あなたはどこからおいでになりましたか」。彼は言った、「わたしはユダのベツレヘムのレビびとですが、住むべきところを尋ねて旅をしているのです」。

וּלְכֹהֵן	לְאָב	לִי	וֶהְיֵה־	עִמָּדִי	שְׁבָה	מִיכָה	לוֹ	וַיֹּאמֶר	10
祢司に	父と	私の-ために	そして-なれ	私の-もとに	留まれ	ミカは	彼に	すると-言った	
H3548	H0001		H1961	H5978	H3427	H4318		H0559	

וּמִחְיָתֶךָ	בְּגָדִים	וְעֵרֶךְ	לַיָּמִים	כֶּסֶף	עֲשָׂרֶת	לְךָ	אֶתֵּן־	וְאָנֹכִי
食物を-あなたの	衣服と	そろえの	毎年	銀を	十の	あなたに	与えよう	そうすれば-私は
H4241		H6187	H3117	H3701	H6235		H5414	H0595

הַלֵּוִי׃	וַיֵּלֶךְ
レビ人は	そこで-行った
H3881	H3212

ミカは言った、「わたしと一緒にいて、わたしのために父とも祭司ともなってください。そうすれば年に銀十枚と衣服ひとそろいと食物とをさしあげましょう」。

לוֹ	הַנַּעַר	וַיְהִי	הָאִישׁ	אֶת־	לָשֶׁבֶת	הַלֵּוִי	וַיּוֹאֶל	11
彼に–とって	若者は	そして–なった	その–人と	（と–共に）	住むことに	レビ人は	そして–同意した	
	H5288	H1961	H0376	H0854	H3427	H3881	H2974	

מִבָּנָיו׃	כְּאַחַד
息子たちの–中の–彼の	一人の–ように
	H0259

レビびとはついにその人と一緒に住むことを承諾した。そしてその若者は彼の子のひとりのようになった。

לְכֹהֵן	הַנַּעַר	לוֹ	וַיְהִי־	הַלֵּוִי	יַד	אֶת־	מִיכָהוּ	וַיְמַלֵּא	12
祢司に	若者は	彼の–ために	そして–なった	レビ人の	手を	（を）	ミカは	そして–任命した
H3548	H5288		H1961	H3881	H3027	H0853	H4318	H4390

מִיכָה׃	בְּבֵית	וַיְהִי
ミカの	家に	そして–あった
H4318		H1961

ミカはレビびとであるこの若者を立てて自分の祭司としたので、彼はミカの家にいた。

הָיָה־	כִּי	לִי	יְהוָה	ייֵטִיב	כִּי־	יָדַעְתִּי	עַתָּה	מִיכָה	וַיֹּאמֶר	13
なった	なぜなら	私に	主が	良くしてくださる	きっと	知った	今	ミカは	そこで–言った
H1961			H3068	H3190		H3045	H6258	H4318	H0559

לְכֹהֵן׃	הַלֵּוִי	לִי
祢司に	レビ人が	私の–ために
H3548	H3881	

それでミカは言った、「今わたしはレビびとを祭司に持つようになったので、主がわたしをお恵みくださることがわかりました」。

Chapter 18

הַדָּנִי	שֵׁבֶט	הַהֵם	וּבַיָּמִים		בְּיִשְׂרָאֵל	מֶלֶךְ	אֵין	הַהֵם	בַּיָּמִים	1
ダンの	部族は	その	そして–その–日々に		イスラエルに	王が	なかった	その	その–日々に
H1839	H7626	H1992	H3117		H3478	H4428	H0369	H1992	H3117

נָפְלָה	לֹא־	כִי	לָשֶׁבֶת	נַחֲלָה	לוֹ	מְבַקֵּשׁ־
割り当てられて–いなかった	まだ	なぜなら	住むための	相続地を	自分たちの–ために	探していた
H5307	H3808		H3427	H5159		H1245

ס	בְּנַחֲלָה׃	יִשְׂרָאֵל	שִׁבְטֵי	בְּתוֹךְ־	הַהוּא	הַיּוֹם	עַד־	לוֹ
（段落）	相続地として	イスラエルの	部族の	中に	その	日	（まで）	彼らに
	H5159	H3478	H7626	H8432	H1931	H3117	H5704	

そのころイスラエルには王がなかった。そのころダンびとの部族はイスラエルの部族のうちにあって、その日までまだ嗣業の地を得なかったので自分たちの住むべき嗣業の地を求めていた。

2 וַיִּשְׁלְחוּ בְנֵי־דָן מִמִּשְׁפַּחְתָּם חֲמִשָּׁה אֲנָשִׁים מִקְצוֹתָם׃
そこで–遣わした ダンの 息子たちは 氏族から–彼らの 五人の 人を 彼らの–中から
H7971 H1835 H4940 H2568 H0376 H7098

אֲנָשִׁים בְּנֵי־חַיִל מִצָּרְעָה וּמֵאֶשְׁתָּאֹל לְרַגֵּל אֶת־הָאָרֶץ
人々を–すなわち 息子たちを 勇敢な ツォルアから エシュタオルから 偵察するために （を） 地を
H0376 H0853 H2428 H6881 H0847 H7270 H0853 H0776

וַיֹּאמְרוּ אֲלֵהֶם לְכוּ חִקְרוּ אֶת־הָאָרֶץ וַיָּבֹאוּ הַר־
そして–言った 彼らに 行け 探れ （を） 地を すると–来た 山地の
H0559 H0413 H3212 H2713 H0853 H0776 H0935 H2022

וּלְחָקְרָהּ עַד־בֵּית מִיכָה וַיָּלִינוּ שָׁם׃ מֵעִם אֶפְרַיִם
そして–探るために–それを （まで） 家に ミカの そして–泊まった そこに エフライムの
H2713 H5704 H1004 H4318 H3885 H8033 H0669

それでダンの人々は自分の部族の総勢のうちから、勇者五人をゾラとエシタオルからつかわして土地をうかがい探らせた。すなわち彼らに言った、「行って土地を探ってきなさい」。彼らはエフライムの山地に行き、ミカの家に着いて、そこに宿ろうとした。

3 הֵמָּה עִם־בֵּית מִיכָה וְהֵמָּה הִכִּירוּ אֶת־קוֹל הַנַּעַר הַלֵּוִי
彼らが （の–傍に） 家の ミカの 彼らは 聞き分けた （を） 声を 若者の レビ人の
H1992 H5973 H1004 H4318 H1992 H5234 H0853 H6963 H5288 H3881

וַיָּסֻרוּ שָׁם וַיֹּאמְרוּ לוֹ מִי־הֵבִיאֲךָ הֲלֹם
そこで–立ち寄った そこに 言った 彼に 誰が 連れて–来たのか–あなたを ここに
H5493 H8033 H0559 H3807 H4310 H0935 H1988

וּמָה־אַתָּה עֹשֶׂה בָּזֶה וּמַה־לְּךָ פֹּה׃
そして–何を あなたは しているのか ここで そして–何が あなたに–あるのか ここに
H4100 H0859 H6213 H2088 H4100 H4310 H6311

彼らがミカの家に近づいたとき、レビびとである若者の声を聞きわけたので、身をめぐらしてそこにはいって彼に言った、「だれがあなたをここに連れてきたのですか。あなたはここで何をしているのですか。ここになんの用があるのですか」。

4 וַיֹּאמֶר אֲלֵהֶם כָּזֶה וְכָזֶה עָשָׂה לִי מִיכָה וַיְשַׂכְּרֵנִי
すると–言った 彼らに このように このように 私に した ミカが そして–雇った–私を
H0559 H0413 H2090 H2088 H0589 H6213 H4318 H7936

וָאֱהִי־לוֹ לְכֹהֵן׃
そして–なった 彼の–ために 祭司に
H1961 H0559 H3548

若者は彼らに言った、「ミカが、かようかようにしてわたしを雇ったので、わたしはその祭司となったのです」。

5 וַיֹּאמְרוּ לוֹ שְׁאַל־נָא בֵאלֹהִים וְנֵדְעָה הַתַּצְלִיחַ
そこで–言った 彼に 尋ねて–ほしい どうか 神に そうすれば–知るだろう 成功するかどうか
H0559 H0559 H7592 H0577 H0430 H3045 H6743

עָלֶיהָ׃ הֹלְכִים אֲנַחְנוּ אֲשֶׁר דַּרְכֵּנוּ
それに–向かって 行く 我々が （ところの） 我々の–道が
H1980 H0587 H0834 H1870

彼らは言った、「どうぞ、神に伺って、われわれが行く道にしあわせがあるかどうかを知らせてください」。

6 וַיֹּ֤אמֶר לָהֶם֙ הַכֹּהֵ֔ן לְכ֖וּ לְשָׁלֹ֑ום לִפְנֵ֣י יְהוָ֔ה דַּרְכְּכֶ֖ם אֲשֶׁ֥ר
すると–言った 彼らに 祭司は 行け 平安に 主の 前に–ある あなたがたの–道は （ところの）
H0559 H3548 H3212 H7965 H3068 H5227 H1870

פ תֵּלֵ֖כוּ בָּ֥הּ׃
（段落） それに–沿って 行く
H3212

その祭司は彼らに言った、「安心して行きなさい。あなたがたが行く道は主が見守っておられます」。

7 וַיֵּלְכ֣וּ חֲמֵ֣שֶׁת הָאֲנָשִׁ֗ים וַיָּבֹ֙אוּ֙ לָ֣יְשָׁ֔ה וַיִּרְא֕וּ אֶת־הָעָ֖ם
そこで–行った 五人の 人々は そして–来た ライシュに そして–見た （を） 民を
H3212 H2568 H0376 H0935 H7200 H0853 H5971

אֲשֶׁר־בְּקִרְבָּ֣הּ יוֹשֶׁ֔בֶת לָבֶ֖טַח כְּמִשְׁפַּ֣ט צִדֹנִ֑ים וְשַׁקֵּט֙ וּבֹטֵ֔חַ
（ところの） その–中に–いる 住んでいる 安心して しきたりの–ように シドン人の 静かで 安心して
H7130 H3427 H0983 H4941 H6722 H8252 H0982

וְאֵין־ דָּבָ֥ר בָּאָ֖רֶץ יוֹרֵ֣שׁ עֹ֑שֶׁר וְרִחֹקִ֣ים הֵ֔מָּה
そして–ない 事柄で 地に–その 支配する 権力を そして–遠く 彼らは
H0369 H1697 H0776 H3423 H6114 H7350 H1992

מִצִּדֹנִ֔ים וְדָבָ֥ר אֵין־ לָהֶ֖ם עִם־ אָדָֽם׃ מַכְלִ֣ים
シドン人から そして–交流が なかった 彼らには （と） 人との 瞞づかしめる–者が
H6722 H1697 H0369 H0120 H3637

ドゥアイ語訳聖書

その五人の者は去ってライシに行き、そこにいる民を見ると、彼らは安らかに住まい、その穏やかで安らかなことシドンびとのようであって、この国には一つとして欠けたものがなく、富を持ち、またシドンびとと遠く離れており、ほかの民と交わることがなかった。

8 וַיָּבֹ֣אוּ אֶל־ אֲחֵיהֶ֗ם צָרְעָה֙ וְאֶשְׁתָּאֹ֔ל וַיֹּאמְר֥וּ
そして–戯った （へ） 兄弟たちの–もとに–彼らの ツォルアと エシュタオルに すると–言った
H0935 H0413 H0251 H6881 H0847 H0559

לָהֶ֖ם מָ֣ה אֲחֵיהֶ֑ם אַתֶּֽם׃
彼らに どうだ 兄弟たちは–彼らの あなたがたは
H4100 H0251

かくて彼らがゾラとエシタオルにおる兄弟たちのもとに帰ってくると、兄弟たちは彼らに言った、「いかがでしたか」。

9 וַיֹּאמְר֣וּ קוּמָ֗ה וְנַעֲלֶ֤ה עֲלֵיהֶם֙ כִּ֣י רָאִ֔ינוּ אֶת־הָאָ֖רֶץ
すると–言った 立て そして–上ろう 彼らに–対して なぜなら 見た （を） 地を
H0559 H6965 H5927 H7200 H0853 H0776

וְהִנֵּ֥ה טוֹבָ֖ה מְאֹ֑ד וְאַתֶּ֣ם מַחְשִׁ֔ים אַל־ תֵּעָצְל֣וּ
見よ–それは 良い 非常に それなのに–あなたがたは 黙っているのか （するな） 怠るな
H2009 H2896 H3966 H2814 H0408 H6101

לָבֹ֥א לָרֶ֖שֶׁת אֶת־הָאָֽרֶץ׃
入って 占領するために （を） 地を
H0935 H3423 H0853 H0776

彼らは言った、「立って彼らのところに攻め上りましょう。われわれはかの地を見たが、非常に豊かです。あなたがたはなぜじっとしているのですか。ためらわずに進んで行って、かの地を取りなさい。

10

יָדַיִם	רַחַבַת	וְהָאָרֶץ	בֹּטֵחַ	עַם	אֶל־	וּתָבֹאוּ	כְּבֹאֲכֶם	
両手の–ように	広い	そして–地は	安心している	民の–もとに	（へ）	入るだろう	入る–時に	
H3027	H7342	H0776	H0982		H0413	H0935	H0935	

מַחְסוֹר	שָׁם	אֵין־	אֲשֶׁר	מָקוֹם	בְּיֶדְכֶם	אֱלֹהִים	נְתָנָהּ	כִּי־
不足が	そこに	ない	（ところの）	場所で	あなたがたの–手に	神が	与えた–それを	確かに
H4270	H8033	H0369		H4725	H3027	H0430	H5414	

בָּאָרֶץ׃	אֲשֶׁר	דָּבָר	כָּל־
地に–ある	（ところの）	物の	何もの
H0776		H1697	H3605

あなたがたが行けば、安らかにおる民の所に行くでしょう。その地は広く、神はそれをあなたがたの手に賜わるのです。そこには地にあるもの一つとして欠けているものはありません」。

11

אִישׁ	מֵאוֹת	שֵׁשׁ־	וּמֵאֶשְׁתָּאֹל	מִצָּרְעָה	הַדָּנִי	מִמִּשְׁפַּחַת	מִשָּׁם	וַיִּסְעוּ	
人が	百の	六	エシュタオルから	ツォルアから	ダンの	氏族の	そこから	そこで–出発した	
H0376	H3967	H8337	H0847	H6881	H1839	H4940	H8033	H5265	

מִלְחָמָה׃	כְּלֵי	חֲגוּר
戦いの	武具を	帯びて
H4421	H3627	H2296

そこでダンの氏族のもの六百人が武器を帯びて、ゾラとエシタオルを出発し、

12

כֵּן	עַל־	בִּיהוּדָה	יְעָרִיםבְּקִרְיַת	וַיַּחֲנוּ		וַיַּעֲלוּ		
こそ	この–ゆえに	ユダに	キルヤト・エアリムに	そして–陣を–張った		そして–上って–行き		
		H3063	H7157	H2583		H5927		

אַחֲרֵי	הִנֵּה	הַזֶּה	הַיּוֹם	עַד	מַחֲנֵה־דָן	הַהוּא	לַמָּקוֹם	קָרְאוּ
後ろに–ある	見よ–それは	この	日	まで	マハネ・ダンと	その	その–場所を	呼んだ
	H2009	H2088	H3117	H5704	H4265	H1931	H4725	H7121

יְעָרִים׃קִרְיַת	
キルヤト・エアリムの	
H7157	

上って行ってユダのキリアテ・ヤリムに陣を張った。このゆえに、その所は今日までマハネダンと呼ばれる。それはキリアテ・ヤリムの西にある。

13

מִיכָה׃	בֵּית	עַד־	וַיָּבֹאוּ	אֶפְרָיִם	הַר־	מִשָּׁם	וַיַּעַבְרוּ	
ミカの	家に	（まで）	そして–来た	エフライムの	山地の	そこから	そして–通り過ぎた	
H4318		H5704	H0935	H0669	H2022	H8033		

彼らはそこからエフライムの山地に進み、ミカの家に着いた。

14

לַיִשׁ	הָאָרֶץ	אֶת־	לְרַגֵּל	הַהֹלְכִים	הָאֲנָשִׁים	חֲמֵשֶׁת	וַיַּעֲנוּ	
ライシュの	地を	（を）	偵察するために	行っていた	人々は	五人の	そこで–答えた	
	H0776	H0853	H7270	H1980	H0376	H2568		

הָאֵלֶּה	בַּבָּתִּים	יֵשׁ	כִּי	הֲיִדַעְתֶּם	אֲחֵיהֶם	אֶל־	וַיֹּאמְרוּ	
これらの	家々に–この	ある	（ことを）	知っているか	兄弟たちに–彼らの	（に）	そして–言った	
H0428		H3426		H3045	H0251	H0413	H0559	

תַּעֲשׂוּ׃	מַה־	דְּעוּ	וְעַתָּה	וּמַסֵּכָה	וּפֶסֶל	וּתְרָפִים	אֵפוֹד
するべきか	何を	知れ	さあ–今	鋳物が	彫り物と	テラピムと	エポデと
	H4100	H3045	H6258		H6459	H8655	H0646

かのライシの国をうかがいに行った五人の者はその兄弟たちに言った、「あなたがたはこれらの家にエポデとテラピムと刻んだ像と鋳た像のあるのを知っていますか。それであなたがたは今、なすべきことを決めなさい」。

15 וַיָּסֻרוּ שָׁמָּה וַיָּבֹאוּ אֶל־בֵּית הַנַּעַר הַלֵּוִי בֵּית מִיכָה וַיִּשְׁאֲלוּ־לוֹ לְשָׁלוֹם׃

そこで-立ち寄った そこに そして-来た （へ） 家に 若者の レビ人の 家に-すなわち ミカの
そして-尋ねた 彼に 平安を

H5493 H8033 H0935 H0413 H1004 H5288 H3881 H1004 H4318
H7592 H0413 H7965

そこで彼らはその方へ身をめぐらして、かのレビびとの若者の家すなわちミカの家に行って、彼に安否を問うた。

16 וְשֵׁשׁ־מֵאוֹת אִישׁ חֲגוּרֵי כְלֵי מִלְחַמְתָּם נִצָּבִים פֶּתַח הַשָּׁעַר מִבְּנֵי־דָן׃

六百 人は 帯びて 武具を 戦いの-彼らの 立っていた 入口に 門の （ところの）
そして-六 息子たちの ダンの

H8337 H0376 H2296 H3627 H4421 H5324 H6607 H8179 H0834
H3967 H1121 H1835

しかし武器を帯びた六百人のダンの人々は門の入口に立っていた。

17 וַיַּעֲלוּ חֲמֵשֶׁת הָאֲנָשִׁים הַהֹלְכִים לְרַגֵּל אֶת־הָאָרֶץ וָבֹאוּ

そして-上って-行った 五人の 人々は 行っていた 偵察するために (を) 地を 入って-行った

H5927 H2568 H0376 H1980 H7270 H0853 H0776 H0935

שָׁמָּה לָקְחוּ אֶת־הַפֶּסֶל וְאֶת־הָאֵפוֹד וְאֶת־הַתְּרָפִים וְאֶת־הַמַּסֵּכָה

そこに 取った (を) 彫り物と そして エポデと そして テラピムと そして 鋳物を

H8033 H3947 H0853 H6456 H0853 H0646 H0853 H8655 H0853 H4541

וְהַכֹּהֵן עֹמֵד פֶּתַח הַשַּׁעַר עִם שֵׁשׁ־מֵאוֹת אִישׁ חֲגוּר כְּלֵי הַמִּלְחָמָה׃

そして-祭司は 立っていた 入口に 門の そして-六 百 人が 帯びていた 武具を 戦いの

H3548 H5324 H6607 H8179 H0854 H8337 H3967 H0376 H2296 H3627 H4421

かの土地をうかがいに行った五人の者は上って行って、そこにはいり、刻んだ像とエポデとテラピムと鋳た像とを取ったが、祭司は武器を帯びた六百人の者と共に門の入口に立っていた。

18 וְאֵלֶּה בָּאוּ בֵּית מִיכָה וַיִּקְחוּ אֶת־הַפֶּסֶל אֶת־הָאֵפוֹד וְאֶת־

そして-これらの-者は 入った 家に ミカの そして-取った (を) 彫り物と エポデと そして

H0428 H0935 H1004 H4318 H3947 H0853 H6459 H0853 H0646 H0853

הַתְּרָפִים וְאֶת־הַמַּסֵּכָה וַיֹּאמֶר אֲלֵיהֶם הַכֹּהֵן מָה אַתֶּם עֹשִׂים׃

テラピムと そして (を) 鋳物を すると-言った 彼らに 祭司は 何を あなたがたは しているのか

H8655 H0853 H4541 H0559 H0413 H3548 H4100 H0859 H6213

彼らがミカの家にはいって刻んだ像とエポデとテラピムと鋳た像とを取った時、祭司は彼らに言った、「あなたがたは何をなさいますか」。

19 וַיֹּאמְרוּ֩ לוֹ֙ הַחֲרַ֜שׁ שִׂ֤ים־ יָדְךָ֙ עַל־ פִּ֔יךָ וְלֵ֖ךְ
すると–言った 彼に 黙れ 置け 手を–あなたの （の上に） 口の–上に–あなたの そして–来い
H0559 H3027 H6310 H3212

עִמָּ֑נוּ וְהְיֵה־ לָ֤נוּ לְאָב֙ וְלְכֹהֵ֔ן הֲט֥וֹב לִֽהְיוֹת־ לְךָ֖
我々と–共に なれ 我々の–ために 父と 祢司に 良いのか–どちらが なることが–あなたが
H1961 H0001 H3548 H1961

לְשֵׁ֣בֶט כֹּהֵ֔ן הֲלִֽהְיוֹת־ לְךָ֖ א֣וֹ לְבֵ֣ית אִ֣ישׁ אֶחָ֣ד בְּיִשְׂרָאֵֽל׃ וּלְמִשְׁפָּחָֽה׃
部族の–ために 祢司に なることが–あなたが それとも 家の–ために 人の 一人の イスラエルの そして–氏族の
H7626 H3548 H1961 H0259 H0376 H3478 H4940

彼らは言った、「黙りなさい。あなたの手を口にあてて、われわれと一緒にきて、われわれのために父とも祭司ともなりなさい。ひとりの家の祭司であるのと、イスラエルの一部族、一氏族の祭司であるのと、どちらがよいですか」。

20 וַיִּיטַ֤ב לֵב֙ הַכֹּהֵ֔ן וַיִּקַּ֗ח אֶת־ הָאֵפֹ֛וד וְאֶת־ הַתְּרָפִ֖ים וְאֶת־
すると–喜んだ 心が 祢司の 取った （を） エポデと そして テラピムと そして
H3190 H3548 H3947 H0853 H0646 H0853 H8655 H0853

הַפָּ֑סֶל וַיָּבֹ֖א בְּקֶ֥רֶב הָעָֽם׃
彫り物を そして–入った 中に 民の
H6459 H0935 H7130

祭司は喜んで、エポデとテラピムと刻んだ像とを取り、民のなかに加わった。

21 וַיִּפְנ֔וּ וַיֵּלְכ֖וּ וַיָּשִׂ֣ימוּ אֶת־ הַטַּ֣ף וְאֶת־ הַמִּקְנֶ֔ה וְאֶת־ הַכְּבוּדָּ֑ה׃ לִפְנֵיהֶֽם׃
そして–向きを–変えて そして–行った そして–置いた （を） 子どもたちと 家畜と そして 財産を 前に–彼らの
H6437 H3212 H0853 H2945 H0853 H4735 H0853 H6440

かくて彼らは身をめぐらして去り、その子供たちと家畜と貨財をさきにたてて進んだが、

22 הֵ֣מָּה רָחֲק֗וּ מִבֵּ֛ית מִיכָ֖ה וְהָאֲנָשִׁ֣ים אֲשֶׁ֣ר בַּבָּתִּ֔ים נִזְעָֽקוּ׃
彼らが 遠く–離れた ミカの 家から しかし–人々が–すなわち （ところの） 家々の–中の
H1992 H7368 H4318 H0376 H0413 H1835 H6440 H5437

23 וַיִּקְרְא֣וּ אֶל־ בְּנֵי־ דָ֗ן וַיֹּאמְר֣וּ לְמִיכָה֮ מַה־ לְּךָ֣ כִּי֒ נִזְעָֽקְתָ׃
そして–叫んだ （に） 息子たちに ダンの 振り返った 顔を–彼らの そして–言った ミカに
H7121 H0413 H1835 H5437 H6440 H0559 H4318

ミカの家をはるかに離れたとき、ミカは家に近い家の人々を集め、ダンの人々に追いつき、

何が あなたに–あるのか （ので） 叫び集めたのか
H4100 H2199

ダンの人々を呼んだので、彼らはふり向いてミカに言った、「あなたがそのように仲間を連れてきたのは、どうしたのですか」。

24 וַיֹּאמֶר אֶל־הָיְלֻ֣הוּ אֶת־אֱלֹהַ֣י אֲשֶׁר־עָשִׂ֣יתִי לְקַחְתֶּ֗ם וְאֶת־הַכֹּהֵן֙
すると–言った 神々を–私の （ところの） 作った 取ったのだ そして 祢司も
H0559 H0853 H0430 H0834 H6213 H0853 H3548

וַתֵּלֵ֔כוּ וּמַה־לִּ֥י ע֖וֹד מִזֶּ֑ה וּמַה־זֹּ֥את לִּ֖י תֹּאמְר֥וּ לִ֛י מַה־לָּֽךְ׃
そして–行ったのだ それで–何が 私に まだ–あるのか これが それで–何を 私に 言うのか 何が
H3212 H4100 H5750 H2088 H4100 H0413 H0559 H4100

あなたに–あるのか

彼は言った、「あなたがたが、わたしの造った神々および祭司を奪い去ったので、わたしに何が残っていますか。しかるにあなたがたがわたしに向かって『どうしたのですか』と言われるとは何事ですか」。

25 וַיֹּאמְר֣וּ אֵלָ֗יו אַל־תַּשְׁמַ֤ע קוֹלְךָ֙ עִמָּ֔נוּ פֶּן־יִפְגְּעוּ֙ בְּנֵ֣י דָ֔ן בָּ֖ךְ
すると–言った 彼に 息子たちは ダンの （するな） 聞かせるな 声を–あなたの 我々の–傾で
H0559 H0413 H0408 H1835 H0408 H8085 H0408

וְאָסַפְתָּ֣ה נַפְשְׁךָ֔ וְנֶ֖פֶשׁ בֵּיתֶֽךָ׃ אֲנָשִׁ֣ים מָרֵי־נֶ֔פֶשׁ בָּכֶ֖ם
そして–失うぞ 命を–あなたの 人々が–すなわち 気性の 激しい 命を–あなたの 家の–者の–あなたの あなたがたに
H0622 H5315 H0376 H5315 H4751 H5315 H1004 H6293

פֶּן־יִפְגְּעוּ
さもないと
H6435

襲うぞ

ダンの人々は彼に言った、「あなたは大きな声を出さないがよい。気の荒い連中があなたに撃ちかかって、あなたは自分の命と家族の命を失うようになるでしょう」。

26 וַיֵּלְכ֣וּ בְנֵי־דָ֗ן לְדַרְכָּם֙ וַיַּ֣רְא מִיכָ֔ה כִּֽי־חֲזָקִ֥ים הֵ֖מָּה מִמֶּ֑נּוּ
そこで–行った 息子たちは ダンの 道を–彼らの すると–見た ミカは （ことを） 強い–ことを 彼らが 彼より
H3212 H1835 H1870 H7200 H4318 H3588 H2389 H1992 H4480

וַיָּ֥שָׁב וַיֵּ֖פֶן אֶל־בֵּיתֽוֹ׃
そして–戻った そこで–向きを–変え （へ） 家に–彼の
H7725 H6437 H0413 H1004

こうしてダンの人々は去って行ったが、ミカは彼らの強いのを見て、くびすをかえして自分の家に帰った。

27 וְהֵ֗מָּה לָֽקְחוּ֙ אֵ֣ת אֲשֶׁר־עָשָׂ֣ה מִיכָ֔ה וְאֶת־הַכֹּהֵ֖ן אֲשֶׁר־הָיָ֣ה לוֹ֑
そして–彼らは 取った （を） （ところの） 作った ミカが そして 祢司も （ところの）
H1992 H3947 H0853 H0834 H6213 H4318 H0853 H3548 H0834

וַיָּבֹ֗אוּ עַל־לַ֙יִשׁ֙ עַל־עַ֣ם שֹׁקֵ֣ט וּבֹטֵ֔חַ וַיַּכּ֥וּם לְפִי־חָ֖רֶב וְאֶת־הָעִ֣יר שָׂרְפ֥וּ בָאֵֽשׁ׃
そして–来た 彼の–ために ライシュに （に） 民の–もとに 静かで 安心している そして–打った 剣の 刃で 彼らを 町を そして 焼いた 火で
H0935 H3808 H3961 H5921 H5971 H7599 H0982 H6310 H2719 H0853 H5892 H0784

あった

さて彼らはミカが造った物と、ミカと共にいた祭司とを奪ってライシにおもむき、穏やかで、安らかな民のところへ行って、つるぎをもって彼らを撃ち、火をつけてその町を焼いたが、

28

אֵין־ なかった H0369 וְדָבָר そして–交流が H1697 מִצִּידוֹן シドンから H6721 הִיא それは H1931 רְחוֹקָה־ 遠かった H7350 כִּי なぜなら מַצִּיל 救う–者が H5337 וְאֵין そして–なかった H0369

וַיִּבְנוּ そして–建てた H1129 לְבֵית־רְחוֹב ベト・レホブの H1050 אֲשֶׁר （ところの） בָּעֵמֶק 谷に–ある H6010 וְהִיא そして–それは H1931 אָדָם 人との H0120 עִם־ （と） לָהֶם 彼らには

וַיֵּשְׁבוּ そして–住んだ H3427 הָעִיר 町を אֶת־ （を） H0853 בָּהּ׃ そこに

シドンを遠く離れており、ほかの民との交わりがなかったので、それを救うものがなかった。その町はベテレホブに属する谷にあった。彼らは町を建てなおしてそこに住み、

29

יוּלַד 生まれた H3205 אֲשֶׁר （ところの） אֲבִיהֶם 父の–彼らの H0001 דָּן ダンの H1835 בְּשֵׁם 名に–ちなんで H8034 דָּן ダンと H1835 הָעִיר 町の שֵׁם־ 名を H8034 וַיִּקְרְאוּ そして–呼んだ H7121

לָרִאשֹׁנָה׃ 最初の H7223 הָעִיר 町の שֵׁם־ 名であった H8034 לַיִשׁ ライシュが וְאוּלָם しかし–元は H0199 לְיִשְׂרָאֵל イスラエルに H3478

イスラエルに生れた先祖ダンの名にしたがって、その町の名をダンと名づけた。その町の名はもとはライシであった。

30

בֶּן־ 息子の וְיוֹנָתָן そして–ヨナタンは H3129 הַפֶּסֶל 彫り物を H6459 אֶת־ （を） H0853 דָּן ダンの H1835 בְּנֵי־ 息子たちは לָהֶם 自分たちの–ために וַיָּקִימוּ そして–立てた

הַדָּנִי ダンの H1839 לְשֵׁבֶט 部族の–ために H7626 כֹּהֲנִים 祢司として H3548 הָיוּ あった H1961 וּבָנָיו その–息子たちは גֵּרְשֹׁם ゲルショムの H1647 בֶּן־ 息子の מְנַשֶּׁה マナセの H4519 הוּא 彼と H1931

הָאָרֶץ׃ 地の H0776 גֹּלוּת 捕囚の H1540 יוֹם 日 H3117 עַד־ （まで） H5704

そしてダンの人々は刻んだ像を自分たちのために安置し、モーセの孫すなわちゲルショムの子ヨナタンとその子孫がダンびとの部族の祭司となって、国が捕囚となる日にまで及んだ。

31

כָּל־ すべての עָשָׂה 作った אֲשֶׁר （ところの） מִיכָה ミカの H4318 פֶּסֶל 彫り物を H6459 אֶת־ （を） H0853 לָהֶם 自分たちの–ために וַיָּשִׂימוּ そして–置いた

פ （段落） בְּשִׁלֹה׃ シロに H7887 הָאֱלֹהִים 神の H0430 בֵּית־ 家が הָיוּת あった H1961 יְמֵי 日々に H3117

神の家がシロにあったあいだ、常に彼らはミカが造ったその刻んだ像を飾って置いた。

Chapter 19

1

וַיְהִי	בַּיָּמִים	הָהֵם	וּמֶלֶךְ	אֵין	בְּיִשְׂרָאֵל	וַיְהִי	
そして–あった	その–日々に	その	そして–王が	なかった	イスラエルに	そして–あった	
H1961	H3117	H1992	H4428	H0369	H3478	H1961	

לוֹ	וַיִּקַּח־	אֶפְרַיִם	הַר־	בִּירַכְתֵי	גָּר	לֵוִי	אִישׁ
自分の–ために	そして–めとった	エフライムの	山地の	奈地に	住んでいた	レビ人の	人が–すなわち
	H3947	H0669	H2022	H3411		H3881	H0376

יְהוּדָה׃	לֶחֶם־מִבֵּית	פִּילַגְשׁ	אִשָּׁה
ユダの	ベツレヘムの	そばめを	女を
H3063	H1035	H6370	H0802

そのころ、イスラエルに王がなかった時、エフライムの山地の奥にひとりのレビびとが寄留していた。彼はユダのベツレヘムからひとりの女を迎えて、めかけとしていたが、

2

בֵּית	אֶל־	מֵאִתּוֹ	וַתֶּלֶךְ	פִּילַגְשׁוֹ	עָלָיו	וַתִּזֶן
家に	（へ）	彼の–もとから	そして–去った	そばめが–彼の	彼に–対して	すると–不貞を–働いた
	H0413	H0854	H3212	H6370		H2181

חֳדָשִׁים׃	אַרְבָּעָה	יָמִים	שָׁם	וַתְּהִי־	יְהוּדָה	לֶחֶם־בֵּית	אֶל־	אָבִיהָ
月間	四	日々を–すなわち	そこに	そして–いた	ユダの	ベツレヘムに	（へ）	父の–彼女の
H2320	H0702	H3117	H8033	H1961	H3063	H1035	H0413	H0001

そのめかけは怒って、彼のところを去り、ユダのベツレヘムの父の家に帰って、そこに四か月ばかり過ごした。

3

עַל־	לְדַבֶּר	אַחֲרֶיהָ	וַיֵּלֶךְ	אִישָׁהּ	וַיָּקָם
（の上に）	語るために	彼女の–後を–追って	そして–行った	夫が–彼女の	そこで–立ち上がった
	H1696		H3212	H0376	

וְצֶמֶד	עִמּוֹ	וְנַעֲרוֹ	)לַהֲשִׁיבָהּ(	|להשיבו	לִבָּהּ
そして–一対の	彼と–共に	そして–従者が–彼の	連れ戻すために–彼女を	（連れ戻すために）	心に–彼女の
H6776		H5288	H7725	H7725	

הַנַּעֲרָה	אֲבִי	וַיִּרְאֵהוּ	אָבִיהָ	בֵּית	וַתְּבִיאֵהוּ	חֲמֹרִים
娘の	父は	すると–見た–彼を	父の–彼女の	家に	すると–迎え入れた–彼を	ろばが
H5291	H0001	H7200	H0001		H0935	H2543

לִקְרָאתוֹ׃	וַיִּשְׂמַח
迎えに–来て	そして–喜んだ
H7125	H8055

そこで夫は彼女をなだめて連れ帰ろうと、しもべと二頭のろばを従え、立って彼女のあとを追って行った。彼が女の父の家に着いた時、娘の父は彼を見て、喜んで迎えた。

4

אִתּוֹ	וַיֵּשֶׁב	הַנַּעֲרָה	אֲבִי	חֹתְנוֹ	בּוֹ	וַיֶּחֱזַק־	
彼と–共に	そして–留まった	娘の	父が–すなわち	しゅうとが–彼の	彼を	そして–引き止めた	
H0854	H3427	H5291	H0001			H2388	

שָׁם׃	וַיָּלֶן	וַיִּשְׁתּוּ	וַיֹּאכְלוּ	יָמִים	שְׁלֹשֶׁת
そこに	そして–泊まった	そして–飲んだ	そして–食べた	日間	三
H8033		H8354	H0398	H3117	H7969

娘の父であるしゅうとが引き留めたので、彼は三日共におり、みな飲み食いしてそこに宿った。

וַיְהִי בַיּוֹם הָרְבִיעִי וַיַּשְׁכִּימוּ בַבֹּקֶר וַיָּקָם 5
そして–あった 日に–すなわち 四日目の 早く–起きた 朝に そして–立ち上がった
H1961 H3117 H7925 H7243 H1242

וַיֹּאמֶר אָבִי הַנַּעֲרָה אֶל־חֲתָנוֹ סְעָד לִבְּךָ פַּת־
すると–言った 父は 娘の (に) 婿に–彼の 元気づけよ 心を–あなたの 一切れの
H0559 H0001 H5291 H0413 H2860 H5582

לֶחֶם וְאַחַר תֵּלֵכוּ׃ לָלֶכֶת
パンで その–後に 行きなさい 行くために
H3899 H3212

四日目に彼らは朝はやく起き、彼が立ち去ろうとしたので、娘の父は婿に言った、「少し食事をして元気をつけ、それから出かけなさい」。

וַיֵּשְׁבוּ וַיֹּאכְלוּ שְׁנֵיהֶם יַחְדָּו וַיִּשְׁתְּיוּ וַיֹּאמֶר אָבִי הַנַּעֲרָה 6
そして–座った そして–食べた 二人は 一緒に そして–飲んだ すると–言った 父は 娘の
H3427 H0398 H8147 H8354 H0559 H0001 H5291

אֶל־הָאִישׁ הוֹאֶל־נָא וְלִין וְיִיטַב לִבֶּךָ׃
(に) その–人に 同意してくれ どうか そして–泊まりなさい そうすれば–良くなる 心が–あなたの
H0413 H0376 H2974 H4994 H3190

そこでふたりは座して共に飲み食いしたが、娘の父はその人に言った、「どうぞもう一晩泊まって楽しく過ごしなさい」。

וַיָּקָם הָאִישׁ לָלֶכֶת וַיִּפְצַר־בּוֹ חֹתְנוֹ וַיָּשָׁב וַיָּלֶן שָׁם׃ 7
すると–立ち上がった その–人は 行くために しかし–勧めた 彼を しゅうとが–彼の そこで–戻り そして–泊まった そこに
H0559 H0376 H3212 H6484 H0413 H2974 H7725 H8033

その人は立って去ろうとしたが、しゅうとがしいたので、ついにまたそこに宿った。

וַיַּשְׁכֵּם בַּבֹּקֶר בַּיּוֹם הַחֲמִישִׁי לָלֶכֶת וַיֹּאמֶר אָבִי הַנַּעֲרָה 8
そして–早く–起きた 朝に 日に–すなわち 五日目の 行くために すると–言った 父は 娘の
H7925 H1242 H3117 H2549 H3212 H0559 H0001 H5291

וַיֹּאכְלוּ הַיּוֹם נְטוֹת עַד־ וְהִתְמַהְמְהוּ לִבֶּבְךָ נָא סְעָד־
そして–食べた 日が 傾く–まで (まで) そして–ためらいなさい 心を–あなたの どうか 元気づけよ
H0398 H3117 H5186 H5704 H4102 H3824 H4994 H5582

שְׁנֵיהֶם׃
二人は
H8147

五日目になって、朝はやく起きて去ろうとしたが、娘の父は言った、「どうぞ、元気をつけて、日が傾くまでとどまりなさい」。そこで彼らふたりは食事をした。

9

וַיֹּאמֶר וְנַעֲרוֹ וּפִילַגְשׁוֹ הוּא לָלֶכֶת הָאִישׁ וַיָּקָם
すると–言った 従者と–彼の そばめと–彼の 彼と 行くために その–人は すると–立ち上がった
H0559 H5288 H6370 H1931 H3212 H0376

לָעֶרֶב הַיּוֹם רָפָה נָא הִנֵּה הַנַּעֲרָה אֲבִי חֹתְנוֹ לוֹ
夕暮れに 日が 傾いている どうか 見よ 娘の 父は–すなわち しゅうとが–彼の 彼に
H6150 H3117 H7503 H4994 H2009 H5291 H0001

וְיִיטַב פֹּה לִין הַיּוֹם חַנּוֹת הִנֵּה נָא לִינוּ־
そうすれば–良くなる ここに 泊まりなさい 日が 暮れかかっている 見よ どうか 泊まりなさい
H3190 H6311 H3117 H2583 H2009 H4994

לְאָהֳלֶךָ׃ וְהָלַכְתָּ לְדַרְכְּכֶם מָחָר וְהַשְׁכַּמְתָּם לְבָבֶךָ
天幕に–あなたの そして–行きなさい 道を–あなたがたの 明日 そして–早く–起きなさい 心が–あなたの
H0168 H1980 H1870 H4279 H7925 H3824

その人がついにめかけおよびしもべと共に去ろうとして立ちあがったとき、娘の父であるしゅうとは彼に言った、「日も暮れようとしている。どうぞもう一晩泊まりなさい。日は傾いた。ここに宿って楽しく過ごしなさい。そしてあしたの朝はやく起きて出立し、家に帰りなさい」。

10

וַיֵּלֶךְ וַיָּקָם לָלוּן הָאִישׁ אָבָה וְלֹא־
そして–行った そこで–立ち上がり 泊まることに その–人は 同意しなかった しかし–ない
H3212 H0376 H0014 H3808

צֶמֶד וְעִמּוֹ יְרוּשָׁלָ͏ִם הִיא יְבוּס נֹכַח עַד־ וַיָּבֹא
一対の そして–彼と–共に エルサレムである それは エブスの 正面に （まで） そして–来た
H6776 H3389 H1931 H2982 H5227 H5704 H0935

עִמּוֹ׃ וּפִילַגְשׁוֹ חֲבוּשִׁים חֲמוֹרִים
彼と–共に そばめが–彼の 鞍を–つけた ろばが
H6370 H2280 H2543

しかし、その人は泊まることを好まないので、立って去り、エブスすなわちエルサレムの向かいに着いた。くらをおいた二頭のろばと彼のめかけも一緒であった。

11

אֶל־ הַנַּעַר וַיֹּאמֶר מְאֹד רַד וְהַיּוֹם יְבוּס עִם־ הֵם
（に） 従者は すると–言った 非常に 傾いていた そして–日が エブスの （の–傾に） 彼らが
H0413 H5288 H0559 H3966 H7286 H3117 H2982 H1992

הַזֹּאת הַיְבוּסִי עִיר־ אֶל־ וְנָסוּרָה נָא לְכָה־ אֲדֹנָיו
この エブス人の 町に （へ） そして–曲がりましょう どうか 来てください 主人に–彼の
H2063 H2983 H0413 H5493 H4994 H3212 H0113

בָּהּ׃ וְנָלִין
そこに そして–泊まりましょう

彼らがエブスに近づいたとき、日はすでに没したので、しもべは主人に言った、「さあ、われわれは道を転じてエブスびとのこの町にはいって、そこに宿りましょう」。

12

אֲשֶׁר נָכְרִי עִיר אֶל־ נָסוּר לֹא אֲדֹנָיו אֵלָיו וַיֹּאמֶר
（ところの） 異国の 町に （へ） 曲がらない いや 主人は–彼の 彼に すると–言った
H5237 H0413 H5493 H3808 H0113 H0413 H0559

גִּבְעָה׃ עַד־ וְנַעַבְרָה הֵנָּה יִשְׂרָאֵל מִבְּנֵי לֹא־
ギベアまで （まで） そして–通り過ぎよう ここには イスラエルの 息子たちの ない
H1390 H5704 H2008 H3478 H3808

主人は彼に言った、「われわれは道を転じて、イスラエルの人々の町でない外国人の町に、はいってはならない。ギベアまで行こう」。

13 וַיֹּאמֶר לְנַעֲרוֹ לְכָה וְנִקְרְבָה בְּאַחַד הַמְּקֹמוֹת וְלַנּוּ בַּגִּבְעָה אוֹ בָרָמָה׃
そして-言った 従者に-彼の 来い そして-近づこう 一つの 場所に そして-泊まろう ギベアに または ラマに
H3212 H5288 H3212 H7126 H0259 H4725 H1390 H0559 H7414

彼はまたしもべに言った、「さあ、われわれはギベアかラマか、そのうちの一つに着いてそこに宿ろう」。

14 וַיַּעַבְרוּ וַיֵּלְכוּ וַתָּבֹא לָהֶם הַשֶּׁמֶשׁ אֵצֶל הַגִּבְעָה אֲשֶׁר לְבִנְיָמִן׃
そして-通り過ぎた そして-行った すると-沈んだ 彼らに 太陽が 傍で ギベアの （ところの） ベニヤミンの
H5674 H3212 H0935 H8121 H0681 H1390 H1144

彼らは進んで行ったが、ベニヤミンに属するギベアの近くで日が暮れたので、

15 וַיָּסֻרוּ שָׁם לָבוֹא לָלוּן בַּגִּבְעָה וַיָּבֹא וַיֵּשֶׁב לָלוּן בְּרְחוֹב הָעִיר וְאֵין אִישׁ מְאַסֵּף־אֹתָם הַבַּיְתָה׃
そこで-曲がった そこに 入るために 泊まるために ギベアに すると-入った そして-座った 広場に 町の しかし-なかった 人が 迎え入れる 家に 泊まるために
H5493 H8033 H0935 H3885 H1390 H0935 H3427 H7339 H0369 H0376 H0622 H0853

ギベアへ行って宿ろうと、そこに道を転じ、町にはいって、その広場に座した。だれも彼らを家に迎えて泊めてくれる者がなかったからである。

16 וְהִנֵּה אִישׁ זָקֵן בָּא מִן־מַעֲשֵׂהוּ מִן־הַשָּׂדֶה בָּעֶרֶב וְהָאִישׁ מֵהַר אֶפְרַיִם וְהוּא־גָר בַּגִּבְעָה וְאַנְשֵׁי הַמָּקוֹם בְּנֵי יְמִינִי׃
すると-見よ 人が-すなわち 老人の 来た （から） 仕事から-彼の （から） 夕方に 畑から 山地の エフライムの そして-彼は 住んでいた ギベアに しかし-人々は-すなわち 場所の-その ベニヤミン人であった
H2009 H0376 H2205 H0935 H4639 H6153 H2022 H0669 H1931 H1481 H0376 H4725 H1145

時にひとりの老人が夕暮に畑の仕事から帰ってきた。この人はエフライムの山地の者で、ギベアに寄留していたのである。ただしこの所の人々はベニヤミンびとであった。

17 וַיִּשָּׂא עֵינָיו וַיַּרְא אֶת־הָאִישׁ הָאוֹרֵחַ בִּרְחוֹב הָעִיר וַיֹּאמֶר הַזָּקֵן אָנָה תֵלֵךְ וּמֵאַיִן תָּבוֹא׃
すると-上げた 目を-彼の そして-見た （を） その-人を 旅人の 広場に 町の すると-言った 老人の どこへ 行くのか そして-どこから 来たのか
H5375 H5869 H7200 H0853 H0376 H0732 H7339 H0559 H2205 H0575 H3212 H0370 H0935

彼は目をあげて、町の広場に旅人のおるのを見た。老人は言った、「あなたはどこへ行かれるのですか。どこからおいでになりましたか」。

18 וַיֹּאמֶר אֵלָיו עֹבְרִים אֲנַחְנוּ מִבֵּית־לֶחֶם יְהוּדָה וְעַד־הַר יַרְכְּתֵי
彼に 通り過ぎる–者だ 我々は ベツレヘムから ユダの （まで） 奈地の 山地の
H0413 H5674 H0587 H1035 H3063 H5704 H3411 H2022

וְאָנֹכִי הֹלֵךְ וְאֵל־בֵּיתִי וְאֵין אִישׁ מְאַסֵּף אֹתִי הַבָּיְתָה׃
そして–行った 私は そこから エフライムの 家に
H3212 H0595 H8033 H0669 H0853 H0622 H0376 H0369 H1980 H0589 H3068

その人は言った、「われわれはユダのベツレヘムから、エフライムの山地の奥へ行くものです。わたしはあそこの者で、ユダのベツレヘムへ行き、今わたしの家に帰るところですが、だれもわたしを家に泊めてくれる者がありません。

19 וְגַם־תֶּבֶן וְגַם־מִסְפּוֹא יֵשׁ לַחֲמוֹרֵינוּ וְגַם־לֶחֶם וָיַיִן לִי וְלַאֲמָתֶךָ וְלַנַּעַר עִם־
ぶどう酒も ある–私に そして–あなたの–女の–僕に そして–従者に–も （と–共に）
H3196 H3426 H0519 H5288

עֲבָדֶיךָ אֵין מַחְסוֹר כָּל־דָּבָר׃
僕たちの–あなたの ない 不足は 何もの 物の
H5650 H0369 H4270 H3605 H1697

われわれには、ろばのわらも飼葉もあり、またわたしと、はしためと、しもべと共にいる若者との食物も酒もあって、何も欠けているものはありません」。

20 וַיֹּאמֶר הָאִישׁ הַזָּקֵן לָךְ שָׁלוֹם רַק כָּל־מַחְסוֹרֶךָ
すると–言った その–人は 老人の 平安が–あるように あなたに ただ すべての 不足は–あなたの
H0559 H0376 H2205 H7965 H0389 H7535 H3605 H4270

עָלַי רַק בָּרְחוֹב אַל־תָּלֶן׃
私の–上に ただ 広場で （するな） 泊まるな
H7535 H7339 H0408

老人は言った、「安心しなさい。あなたの必要なものはなんでも備えましょう。ただ広場で夜を過ごしてはなりません」。

21 וַיְבִיאֵהוּ לְבֵיתוֹ וַיָּבָל [וַיָּבָל] (וַיָּבָל) לַחֲמוֹרִים
そして–連れ入れた–彼を 家に–彼の （そして–餌を–やった） そして–餌を–やった ろばに
H0935 H2543

וַיִּשְׁתּוּ׃ וַיֹּאכְלוּ רַגְלֵיהֶם וַיִּרְחֲצוּ
そして–飲んだ そして–食べた 足を–彼らの そして–洗った
H8354 H0398 H7272 H7364

そして彼を家に連れていって、ろばに飼葉を与えた。彼らは足を洗って飲み食いした。

22

אַנְשֵׁי	הָעִיר	אַנְשֵׁי	וְהִנֵּה	לִבָּם	אֶת־	מֵיטִיבִים	הֵמָּה	
人々が–すなわち	町の	人々が–すなわち	すると–見よ	心を–彼らの	（を）	楽しんでいた	彼らが	
H0376		H0376	H2009		H0853	H3190	H1992	

הַדֶּלֶת	עַל־	מְתַדְפְּקִים	הַבַּיִת	אֶת־	נָסַבּוּ	בְלִיַּעַל	בְּנֵי־	
扉を	（の上に）	打ちたたいていた	家を	（を）	取り囲んだ	よこしまな–者の	息子たちの	
		H1849		H0853	H5437	H1100		

אֶת־	הוֹצֵא	לֵאמֹר	הַזָּקֵן	הַבַּיִת	בַּעַל	הָאִישׁ	אֶל־	וַיֹּאמְרוּ	
（を）	出せ	言って	老人の	家の	主人の–すなわち	その–人に	（に）	そして–言った	
H0853	H3318	H0559	H2205		H1167	H0376	H0413	H0559	

וְנֵדָעֵנּוּ׃	בֵּיתֶךָ	אֶל־	בָּא	אֲשֶׁר־	הָאִישׁ		
そして–知ろう–彼を	家に–あなたの	（へ）	来た	（ところの）	その–人を		
H3045		H0413	H0935		H0376		

彼らが楽しく過ごしていた時、町の人々の悪い者どもがその家を取り囲み、戸を打ちたたいて、家のあるじである老人に言った、「あなたの家にきた人を出しなさい。われわれはその者を知るであろう」。

23

אַל־	אֲלֵיהֶם	וַיֹּאמֶר	הַבַּיִת	בַּעַל	הָאִישׁ	אֲלֵיהֶם	וַיֵּצֵא	
（するな）	彼らに	そして–言った	家の	主人の–すなわち	その–人が	彼らの–もとに	そこで–出た	
H0408	H0413	H0559		H1167	H0376	H0413	H3318	

הַזֹּאת	הָאִישׁ	בָּא	אֲשֶׁר־	אַחֲרֵי	נָא	תָּרֵעוּ	אַל־	אַחַי
この	その–人が	来た	（ところの）	後に–すなわち	どうか	悪を–行うな	（するな）	兄弟たちよ
H2088	H0376	H0935			H4994		H0408	H0251

הַזֹּאת׃	הַנְּבָלָה	אֶת־	תַּעֲשׂוּ	אַל־	בֵּיתִי	אַל־
この	愉行を	（を）	するな	（するな）	家に–私の	（するな）
H2063	H5039	H0853		H0408		H0413

しかし家のあるじは彼らのところに出ていって言った、「いいえ、兄弟たちよ、どうぞ、そんな悪いことをしないでください。この人はすでにわたしの家にはいったのだから、そんなつまらない事をしないでください。

24

אוֹתָם	נָא	אוֹצִיאָה־	וּפִילַגְשֶׁהוּ	הַבְתוּלָה	בִתִּי	הִנֵּה		
彼女らを	どうか	出そう	そして–そばめが–彼の	娶女の	娘が–私の	見よ–ここに		
H0853	H4994	H3318	H6370	H1330	H1323	H2009		

וְלָאִישׁ	בְּעֵינֵיכֶם	הַטּוֹב	לָהֶם	וַעֲשׂוּ	אוֹתָם	וְעַנּוּ	
しかし–その–人に	目に–あなたがたの	良いことを	彼女らに	そして–しよ	彼女らを	そして–辱めよ	
H0376					H0853		

הַזֹּאת׃	הַנְּבָלָה	דָּבָר	תַּעֲשׂוּ	לֹא	הַזֶּה	
この	愉行の	ことを–すなわち	するな	（するな）	この	
H2063	H5039	H1697		H3808	H2088	

ここに処女であるわたしの娘と、この人のめかけがいます。今それを出しますから、それをはずかしめ、あなたがたの好きなようにしなさい。しかしこの人にはそのようなつまらない事をしないでください」。

25

הָאִישׁ	וַיַּחֲזֵק	לוֹ	לִשְׁמֹעַ	הָאֲנָשִׁים	אָבוּ	וְלֹא־	
その–人は	そこで–つかんだ	彼に	聞くことに	人々は	同意しなかった	しかし–なかった	
H0376	H2388		H8085	H0376	H0014	H3808	

וַיִּתְעַלְלוּ־	אוֹתָהּ	וַיֵּדְעוּ	הַחוּץ	אֲלֵיהֶם	וַיֵּצֵא	בְּפִילַגְשׁוֹ	
そして–弄び続けた	彼女を	そして–知った	外に	彼らの–もとに	そして–出した	そばめを–彼の	
	H0853	H3045	H2351	H0413	H3318	H6370	

הַשָּׁחַר׃	כַּעֲלוֹת)	בעלות]	וַיְשַׁלְּחוּהָ	הַבֹּקֶר	עַד־	הַלָּיְלָה	כָּל־	בָּהּ
曙の	上る–時に	（の時に）	そして–放した–彼女を	朝まで	（まで）	夜の	一–晩中	彼女を
H7837	H5927	H5927	H7971	H1242	H5704	H3915	H3605	

しかし人々が聞きいれなかったので、その人は自分のめかけをとって彼らのところに出した。彼らはその女を犯して朝まで終夜はずかしめ、日ののぼるころになって放し帰らせた。

26 וַתָּבֹא הָאִשָּׁה לִפְנוֹת הַבֹּקֶר וַתִּפֹּל פֶּתַח־בֵּית הָאִישׁ אֲשֶׁר־אֲדֹנֶיהָ שָׁם עַד־הָאוֹר׃
すると–来た 女は–その 明け–方に 朝の そして–倒れた 入口に 家の その–人の 主人が–彼女の （ところの） そこに–いた （まで） 明るくなる–まで
H0935 H0802 H6437 H1242 H5307 H6607 H0376 H0113 H5704 H8033 H0216

朝になって女は自分の主人を宿してくれた人の家の戸口にきて倒れ伏し、夜のあけるまでに及んだ。

27 וַיָּקָם אֲדֹנֶיהָ בַּבֹּקֶר וַיִּפְתַּח דַּלְתוֹת הַבַּיִת וַיֵּצֵא לָלֶכֶת לְדַרְכּוֹ וְהִנֵּה הָאִשָּׁה נֹפֶלֶת פֶּתַח הַבַּיִת וְיָדֶיהָ עַל־הַסָּף׃
すると–起き上がった 主人は–彼女の 朝に そして–開けた 扉を 家の そして–出た 行くために 道を–彼の 女が–その 倒れていた 入口に 家の 敷居の–上に （の上に） そして–手が–彼女の
H0559 H0802 H1242 H6605 H1817 H3318 H3212 H1870 H2009 H5307 H6607 H0376 H5921 H3027

彼女の主人は朝起きて家の戸を開き、出て旅立とうとすると、そのめかけである女が家の戸口に、手を敷居にかけて倒れていた。

28 וַיֹּאמֶר אֵלֶיהָ קוּמִי וְנֵלֵכָה וְאֵין עֹנֶה וַיִּקָּחֶהָ עַל־הַחֲמוֹר וַיָּקָם הָאִישׁ וַיֵּלֶךְ לִמְקֹמוֹ׃
すると–言った 彼女に 起きろ そして–行こう しかし–なかった 答える–者は そこで–載せた–彼女を （の上に） ろばの–上に そして–立ち上がった その–人は そして–行った 場所に–彼の
H0559 H0413 H6965 H3212 H0369 H6030 H3947 H5921 H2543 H6965 H0376 H3212 H4725

彼は女に向かって、「起きよ、行こう」と言ったけれども、なんの答もなかった。そこでその人は女をろばに乗せ、立って自分の家におもむいたが、

29 וַיָּבֹא אֶל־בֵּיתוֹ וַיִּקַּח אֶת־הַמַּאֲכֶלֶת בְּפִילַגְשׁוֹ וַיַּחֲזֵק וַיְנַתְּחֶהָ לַעֲצָמֶיהָ לִשְׁנֵים עָשָׂר נְתָחִים וַיְשַׁלְּחֶהָ בְּכֹל גְּבוּל יִשְׂרָאֵל׃
そして–来た （へ） 家に–彼の そして–取った （を） 刀を そばめを–彼の そして–つかんだ そして–切り分けた–彼女を 骨に–沿って–彼女の 十二の 部分に そして–送った–それらを すべての 境界に イスラエルの
H0935 H0413 H1004 H0853 H3979 H6370 H2388 H5408 H6106 H8147 H6240 H5409 H7971 H3605 H1366 H3478

その家に着いたとき、刀を執り、めかけを捕えて、そのからだを十二切れに断ち切り、それをイスラエルの全領域にあまねく送った。

30

וְלֹא־	נִהְיְתָה	לֹא־	וְאָמַר֙	הָרֹאֶ֔ה	כָּל־	וְהָיָ֗ה	
そして-ない	起こった-ことが	ない	そして-言った	見た-者は	すべての	そして-あった	
H3808	H1961	H3808	H0559	H7200	H3605	H1961	

מִצְרַ֑יִם	מֵאֶ֣רֶץ	יִשְׂרָאֵל֙	בְּנֵי־	עֲלֹ֤ות	לְמִיּוֹם֙	כָּזֹ֣את	נִרְאֲתָ֔ה
エジプトの	地から	イスラエルの	息子たちが	上った	日から	このようなことは	見られた-ことが
H4714	H0776	H3478		H5927	H3117	H2063	H7200

פ	וְדַבְּרוּ׃	עֵצוּ֙	עָלֶ֔יהָ	לָכֶ֖ם	שִׂ֣ימוּ־	הַזֶּ֑ה	הַיּ֥וֹם	עַד
（段落）	そして-語れ	議りせよ	それに-ついて	あなたがたの-ために	考えよ	この	日	まで
	H1696	H5779				H2088	H3117	H5704

それを見たものはみな言った、「イスラエルの人々がエジプトの地から上ってきた日から今日まで、このような事は起ったこともなく、また見たこともない。この事をよく考え、協議して言うことを決めよ」。

Chapter 20

1

הָעֵדָ֔ה	וַתִּקָּהֵ֣ל	יִשְׂרָאֵ֑ל	בְּנֵי	כָּל־	וַיֵּצְא֣וּ	
会衆（は）	そして-集まった	イスラエル（の）	子ら（は）	すべての	そこで-出て-行った	
H5712	H6950	H3478		H3605	H3318	

וְאֶ֖רֶץ	שֶׁבַעבְּאֵ֥ר	וְעַד־	לְמָדָ֛ן	אֶחָ֥ד	כְּאִ֖ישׁ	
そして-地	ベエル・シェバ	そして-まで	ダン（から）	一つ（に）	一人の-人（の）-ように	
H0776	H0884	H5704	H1835	H0259	H0376	

הַמִּצְפָּֽה׃	יְהוָ֖ה	אֶל־	הַגִּלְעָֽד
ミツパ（へ）	主	～（の）-前（に）	ギルアデ（の）
H4709	H3068	H0413	H1568

そこでイスラエルの人々は、ダンからベエルシバまで、またギレアデの地からもみな出てきて、その会衆はひとりのようにミヅパで主のもとに集まった。

2

יִשְׂרָאֵ֔ל	שִׁבְטֵ֣י	כָּל	הָעָ֗ם	כָּל־	פִּנּוֹת֙	וַיִּתְיַצְּב֔וּ	
イスラエル（の）	部族（の）	すべての	民（の）	すべての	指導者たち（は）	そして-立った	
H3478	H7626	H3605		H3605	H6438	H3320	

שֹׁלֵ֣ף	רַגְלִ֑י	אִ֣ישׁ	אֶ֖לֶף	מֵאֹ֥ות	אַרְבַּ֛ע	הָאֱלֹהִ֥ים	עַם	בִּקְהַ֖ל
剣（を）-抜く	歩兵	人（の）	千	百	四	神（の）	民（の）	集会（の）-中（に）
H8025	H7273	H0376	H0505	H3967	H0702	H0430		H6951

פ	חָֽרֶב׃
（段落）	剣
	H2719

民の首領たち、すなわちイスラエルのすべての部族の首領たちは、みずから神の民の集合に出た。つるぎを帯びている歩兵が四十万人あった。

3

בְּנֵי־	עָלוּ	כִּי־	בִנְיָמִן֙	בְּנֵ֣י	וַיִּשְׁמְע֣וּ	
子ら（が）	上って-行った	～ということ（を）	ベニヤミン（の）	子ら（は）	そして-聞いた	
	H5927		H1144		H8085	

אֵיכָ֖ה	דַּבְּרוּ֥	יִשְׂרָאֵ֛ל	בְּנֵ֥י	וַיֹּאמְר֣וּ	הַמִּצְפָּ֑ה	יִשְׂרָאֵל֙
どのように	語れ	イスラエル（の）	子ら（は）	そして-言った	ミツパ（に）	イスラエル（の）
	H1696	H3478		H0559	H4709	H3478

הַזֹּ֖את׃	הָרָעָ֥ה	נִהְיְתָ֖ה
この	悪事（は）	起こったのか
H2063		H1961

ベニヤミンの人々は、イスラエルの人々がミヅパに上ったことを聞いた。イスラエルの人々は言った、「どうして、この悪事が起ったのか、われわれに話してください」。

4

וַיֹּאמֶר	הַנִּרְצָחָה	הָאִשָּׁה	אִישׁ	הַלֵּוִי	הָאִישׁ	וַיַּעַן
そして–言った	殺された	女（の）	人（であり）	レビ人（の）	その–人（は）	そして–答えた
H0559	H7523	H0802	H0376	H3881	H0376	

לָלוּן׃	וּפִילַגְשִׁי	אֲנִי	בָּאתִי	לִבְנְיָמִן	אֲשֶׁר	הַגִּבְעָתָה׀
泊まるために	そして–側女（と）	私（は）	来た	ベニヤミン（の）	そこ（は）	ギブア（に）
	H6370	H0589	H0935	H1144		H1390

殺された女の夫であるレビびとは答えて言った、「わたしは、めかけと一緒にベニヤミンに属するギベアへ行って宿りましたが、

5

וַיָּסֹבּוּ	הַגִּבְעָה	בַּעֲלֵי	עָלַי׀	וַיָּקֻמוּ	
そして–囲んだ	ギブア（の）	主人たち（は）	私（に）–対して	そして–立ち–上がった	
H5437	H1390	H1167			

וְאֶת־	לַהֲרֹג	דִּמּוּ	אוֹתִי׀	לָיְלָה	הַבַּיִת	אֶת־	עָלַי
そして（対格）	殺そう（と）	企んだ	私（を）	夜（に）	その–家（を）	（対格）	私（に）–対して
H0853	H2026	H1819	H0853	H3915		H0853	

וַתָּמֹת׃	עִנּוּ	פִּילַגְשִׁי
そして–死んだ	辱めた	側女（を）
H4191		H6370

ギベアの人々は立ってわたしを攻め、夜の間に、わたしのおる家を取り囲んで、わたしを殺そうと企て、ついにわたしのめかけをはずかしめて、死なせました。

6

נַחֲלַת	שְׂדֵה	בְּכָל־	וָאֲשַׁלְּחָהָ	וָאֲנַתְּחָהָ	בְּפִילַגְשִׁי	וָאֹחֶז	
嗣業（の）	地域（の）	すべての	そして–送った	そして–切り–分けた	側女（を）	そこで–つかんだ	
H5159		H3605	H7971	H5408	H6370	H0270	

בְּיִשְׂרָאֵל׃	וּנְבָלָה	זִמָּה	עָשׂוּ	כִּי	יִשְׂרָאֵל	
イスラエル（で）	そして–恥辱（を）	邪悪（を）	行った	なぜなら	イスラエル（の）	
H3478	H5039	H2154			H3478	

それでわたしはめかけを捕えて断ち切り、それをイスラエルの嗣業のすべての地方にあまねく送りました。彼らがイスラエルにおいて憎むべきみだらなことを行ったからです。

7

דָּבָר	לָכֶם	הָבוּ	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי	כֻלְּכֶם	הִנֵּה	
言葉（を）	あなたがた（に）	出せ	イスラエル（の）	子ら（は）	あなたがた–皆	見よ	
H1697		H3051	H3478		H3605	H2009	

הֲלֹם׃	וְעֵצָה	
ここ（で）	そして–助言（を）	
H1988	H6098	

イスラエルの人々よ、あなたがたは皆自分の意見と考えをここに述べてください」。

8

לֹא	לֵאמֹר	אֶחָד	כְּאִישׁ	הָעָם	כָּל־	וַיָּקָם	
（否定）	言って	一つ（に）	一人の–人（の）–ように	民（は）	すべての	そこで–立ち–上がった	
H3808	H0559	H0259	H0376		H3605		

לְבֵיתוֹ׃	אִישׁ	נָסוּר	וְלֹא	לְאָהֳלוֹ	אַיִשׁ	נֵלֵךְ
家（に）	人（は）	立ち–去らない	そして–（否定）	天幕（に）	人（は）	行かない
	H0376	H5493	H3808	H0168	H0376	H3212

民は皆ひとりのように立って言った、「われわれはだれも自分の天幕に行きません。まただれも自分の家に帰りません。

9

עָלֶיהָ	לַגִּבְעָה	נַעֲשֶׂה	אֲשֶׁר	הַדָּבָר	זֶה	וְעַתָּה
それ（に）–対して	ギブア（に）–対して	行う	それ（を）	事（で）	これ（が）	そして–今
	H1390			H1697	H2088	H6258

בְּגוֹרָל׃
くじ（で）
H1486

われわれが今ギベアに対してしようとする事はこれです。われわれはくじを引いて、ギベアに攻めのぼりましょう。

10

יִשְׂרָאֵל	שִׁבְטֵי	וְלִכֹּל	לְמֵאָה	אֲנָשִׁים	עֲשָׂרָה	וְלָקַחְנוּ
イスラエル（の）	部族（の）	すべての	百（に）–対して	人（を）	十	そこで–取る
H3478	H7626	H3605	H3967	H0376	H6235	H3947

צֵדָה	לָקַחַת	לְרָבָּה	וְאֶלֶף	לָאֶלֶף	וּמֵאָה
食糧（を）	取る（ために）	万（に）–対して	そして–千（を）	千（に）–対して	そして–百（を）
H6720	H3947	H7233	H0505	H0505	H3967

כְּכֹל־	בִּנְיָמִן	לְגֶבַע	לְבוֹאָם	לַעֲשׂוֹת	לָעָם
すべての–に–従って	ベニヤミン（の）	ゲバ（に）	来た–時（に）	行う（ために）	民（の）–ために
H3605	H1144	H1387	H0935		

בְּיִשְׂרָאֵל׃	עָשָׂה	אֲשֶׁר	הַנְּבָלָה
イスラエル（で）	行った	それ（が）	恥辱（を）
H3478			H5039

すなわちイスラエルのすべての部族から百人について十人、千人について百人、万人について千人を選んで、民の糧食をとらせ、民はベニヤミンのギベアに行って、ベニヤミンびとがイスラエルにおいておこなったすべてのみだらな事に対して、報復しましょう」。

11

הָעִיר	אֶל־	יִשְׂרָאֵל	אִישׁ	כָּל־	וַיֵּאָסֵף
その–町（に）	～に	イスラエル（の）	人（は）	すべての	そこで–集められた
	H0413	H3478	H0376	H3605	H0622

פ	חֲבֵרִים׃	אֶחָד	כְּאִישׁ
（段落）	同盟して	一つ（に）	一人の–人（の）–ように
	H2270	H0259	H0376

こうしてイスラエルの人々は皆集まり、一致結束して町を攻めようとした。

12

בִּנְיָמִן	שִׁבְטֵי	בְּכָל־	אֲנָשִׁים	יִשְׂרָאֵל	שִׁבְטֵי	וַיִּשְׁלְחוּ
ベニヤミン（の）	部族（の）	すべての	人々（を）	イスラエル（の）	部族（は）	そこで–送った
H1144	H7626	H3605	H0376	H3478	H7626	H7971

בָּכֶם׃	נִהְיְתָה	אֲשֶׁר	הַזֹּאת	הָרָעָה	מָה	לֵאמֹר
あなたがた（の）–中（で）	起きた	それ（は）	この	悪事（は）	何（か）	言って
	H1961		H2063		H4100	H0559

イスラエルのもろもろの部族は人々をあまねくベニヤミンの部族のうちにつかわして言わせた、「あなたがたのうちに起ったこの事は、なんたる悪事でしょうか。

13 וְעַתָּה תְּנוּ֙ אֶת־הָאֲנָשִׁים בְּנֵי־בְלִיַּעַל אֲשֶׁר
今–そして 渡せ （対格） その–人々（を） 子ら（を） よこしま（の） それ（は）
H6258 H5414 H0853 H0376 H1100

בַּגִּבְעָה וְנָמִיתֵם וְנְבַעֲרָה רָעָה מִיִּשְׂרָאֵל וְלֹא
ギブア（に）–いる そして–殺す そして–取り–除く 悪（を） イスラエル（から） しかし–（否定）
H1390 H4191 H1390 H7451 H3478 H3808

בְּנֵי־ אֲחֵיהֶם בְּקוֹל לִשְׁמֹעַ בִּנְיָמִן)בְּנֵי(אָבוּ
子ら（の） 兄弟（の） 声（に） 聞く（ことを） ベニヤミン（の） 子ら（は） 同意しなかった
H1121 H1144 H8085 H0251 H1121 H0014

יִשְׂרָאֵל׃
イスラエル
H3478

それで今ギベアにいるあの悪い人々をわたしなさい。われわれは彼らを殺して、イスラエルから悪を除き去りましょう」。しかしベニヤミンの人々はその兄弟であるイスラエルの人々の言葉を聞きいれなかった。

14 וַיֵּאָסְפוּ֙ בְּנֵי־בִנְיָמִן מִן־הֶעָרִים הַגִּבְעָתָה לָצֵאת
そこで–集まった 子ら（は） ベニヤミン（の） ～から 町々（から） ギブア（へ） 出る（ために）
H0622 H1121 H1144 H4480 H5892 H1390 H3318

לַמִּלְחָמָה עִם־ בְּנֵי יִשְׂרָאֵל׃
戦い（に） ～と 子ら（と） イスラエル（の）
H4421 H5973 H1121 H3478

かえってベニヤミンの人々は町々からギベアに集まり、出てイスラエルの人々と戦おうとした。

15 וַיִּתְפָּקְדוּ֙ בְּנֵי בִנְיָמִן בַּיּוֹם הַהוּא֮ מֵהֶעָרִים עֶשְׂרִים
そこで–数えられた 子ら（は） ベニヤミン（の） その 町々（から） 二十
H6485 H1121 H1144 H3117 H1931 H5892 H6242

וְשִׁשָּׁה אֶ֫לֶף אִ֥ישׁ שָׁלַף חֶ֣רֶב לְבַד֮ מִיּוֹשְׁבֵי֒ הַגִּבְעָה֒ הִתְפָּקְדוּ֙ שִׁבְעָ֣ה
と–六 千 人（の） 剣（を）–抜く 剣 別に 住民（の） ギブア（の） 数えられた 七
H8337 H0505 H0376 H8025 H2719 H0905 H3427 H1390 H6485 H7651

מֵאוֹת֙ אִ֣ישׁ בָּח֔וּר׃
百 人（の） 精鋭
H3967 H0376 H0977

その日、町々から集まったベニヤミンの人々はつるぎを帯びている者二万六千人あり、ほかにギベアの住民で集まった精兵が七百人あった。

16 מִכֹּל֙ הָעָ֣ם הַזֶּ֔ה שִׁבְעָ֥ה מֵא֖וֹת אִ֣ישׁ בָּח֑וּר אֲשֶׁר־
すべての–中（から） 民（の） この 七 百 人（の） 精鋭（は） 左利き（の） 手（で）
H3605 H5971 H2088 H7651 H3967 H0376 H0977 H0334 H3027

יָמִינוֹ֙ כָּל־ זֶ֔ה הַשַּׂעֲרָה֒ וְלֹא֙ אֶל־ בָּאֶ֣בֶן קֶ֔לַע
右（の） すべての この 髪の毛一本（に） そして–（否定） ～に 石（で） 石（を）–投げる
H3225 H3605 H2088 H8185 H3808 H0413 H0068 H7049

פ יַחֲטֵ֑א׃
（段落） 外さない
H2398

このすべての民のうちに左ききの精兵が七百人あって、いずれも一本の毛すじをねらって石を投げても、はずれることがなかった。

17 וְאִישׁ יִשְׂרָאֵל הִתְפָּקְדוּ לְבַד מִבִּנְיָמִן אַרְבַּע מֵאוֹת אָלֶף
そして-人（は） イスラエル（の） 数えられた 別に ベニヤミン（から） 四 百 千
H0376 H3478 H0905 H1144 H0702 H3967 H0505

אִישׁ אִישׁ שֹׁלֵף חֶרֶב כֹּל־זֶה אִישׁ מִלְחָמָה׃
人（の） 剣（を）-抜く 剣 すべての この 人（は） 戦士
H0376 H8025 H2719 H3605 H2088 H0376 H4421

イスラエルの人々の集まった者はベニヤミンを除いて、つるぎを帯びている者四十万人あり、いずれも軍人であった。

18 וַיָּקֻמוּ וַיַּעֲלוּ בֵּית־אֵל וַיִּשְׁאֲלוּ בְּאֱלֹהִים וַיֹּאמְרוּ
そこで-立ち-上がり そして-上った ベテル（に） そして-問うた 神（に） そして-言った
H0559 H0430 H7592 H1008 H5927

מִי יַעֲלֶה־לָּנוּ בַּתְּחִלָּה לַמִּלְחָמָה
誰（が） 上る（べき）か 私たち（の）-ために 最初（に） 戦い（に）
H4310 H5927 H8462 H4421

בְּנֵי יִשְׂרָאֵל בְּנֵי בִנְיָמִן עִם־ בְּנֵי יְהוָה וַיֹּאמֶר יְהוּדָה בַּתְּחִלָּה׃
子ら（は） イスラエル（の） ベニヤミン（の） 子ら（と） ～と 主（は） そして-言われた ユダ（が） 最初（に）
H3478 H1144 H3068 H0559 H3063 H8462

イスラエルの人々は立ちあがってベテルにのぼり、神に尋ねた、「われわれのうち、いずれがさきにのぼって、ベニヤミンの人々と戦いましょうか」。主は言われた、「ユダがさきに」。

19 וַיָּקוּמוּ בְנֵי־ יִשְׂרָאֵל בַּבֹּקֶר וַיַּחֲנוּ עַל־
そこで-立ち-上がった 子ら（は） イスラエル（の） 朝（に） そして-陣を-張った ～に-対して
H0559 H1242 H3478 H2583

הַגִּבְעָה׃ פ
ギブア （段落）
H1390

そこでイスラエルの人々は、朝起きて、ギベアに対し陣を取った。

20 וַיֵּצֵא אִישׁ יִשְׂרָאֵל לַמִּלְחָמָה עִם־ בִּנְיָמִן
そして-出て-行った 人（は） イスラエル（の） 戦い（に） ～と ベニヤミン（と）
H3318 H0376 H3478 H4421 H1144

וַיַּעַרְכוּ אִתָּם אִישׁ־ יִשְׂרָאֵל מִלְחָמָה אֶל־ הַגִּבְעָה׃
そして-整列させた 彼ら（と） 人（は） イスラエル（の） 戦い（を） ～に ギブア
H0854 H0376 H3478 H4421 H0413 H1390

すなわちイスラエルの人々はベニヤミンと戦うために出て行って、ギベアで彼らに対して戦いの備えをしたが、

21 וַיֵּצְאוּ בְנֵי־ בִנְיָמִן מִן־ הַגִּבְעָה וַיַּשְׁחִיתוּ
そこで-出て-来た 子ら（は） ベニヤミン（の） ～から ギブア（から） そして-打ち-倒した
H3318 H1144 H1390 H7843

בְּיִשְׂרָאֵל בַּיּוֹם הַהוּא שְׁנַיִם וְעֶשְׂרִים אֶלֶף אִישׁ אַרְצָה׃
イスラエル（の）-中（で） その日（に） その 二 と-二十 千 人（を） 地（に）
H3478 H3117 H1931 H8147 H6242 H0505 H0376 H0776

ベニヤミンの人々はギベアから出てきて、その日イスラエルの人々のうち二万二千人を地に撃ち倒した。

22 וַיִּתְחַזַּק הָעָם אִישׁ יִשְׂרָאֵל וַיֹּסִפוּ לַעֲרֹךְ
そこで-奮い-立った 民（は） 人（は） イスラエル（の） そして-再び 整列した
H2388 H0376 H3478 H3254

מִלְחָמָה אֲשֶׁר־ עָרְכוּ שָׁם בַּיּוֹם הָרִאשׁוֹן׃
戦い（の）-ために そこで（で） 整列した そこ（に） その日（に） 第一（の）
H4421 H4725 H8033 H3117 H7223

しかしイスラエルの民の人々は奮いたって初めの日に備えをした所にふたたび戦いの備えをした。

23 וַיַּעֲלוּ בְנֵי־יִשְׂרָאֵל לִפְנֵי־יְהוָה עַד־הָעֶרֶב וַיִּבְכּוּ
そして-上った 子ら（は） イスラエル（の） 前（で） 主（の） ～まで 夕方 そして-泣いた
H5927 H1121 H3478 H6440 H3068 H5704 H6153 H1058

וַיִּשְׁאֲלוּ בַיהוָה לֵאמֹר הַאוֹסִיף לָגֶשֶׁת לַמִּלְחָמָה עִם־בְּנֵי
そして-問うた 主（に） 言って 再び-するべきか 近づく（こと） 戦い（に） ～と 子ら（と）
H7592 H3068 H0559 H3254 H5066 H4421 H5973 H1121

פ וַיֹּאמֶר יְהוָה עֲלוּ אֵלָיו׃ בִּנְיָמִן אָחִי
（段落） 主（は） 上れ 彼（に）-向かって 兄弟（の） ベニヤミン（の）
H3068 H5927 H0413 H0251 H1144

そしてイスラエルの人々は上って行って主の前に夕暮まで泣き、主に尋ねた、「われわれは再びわれわれの兄弟であるベニヤミンの人々と戦いを交えるべきでしょうか」。主は言われた、「攻めのぼれ」。

24 וַיִּקְרְבוּ בְנֵי־יִשְׂרָאֵל אֶל־בְּנֵי בִנְיָמִן בַּיּוֹם
そこで-近づいた 子ら（は） イスラエル（の） ～に 子ら（に） ベニヤミン（の） その-日（に）
H7126 H1121 H3478 H0413 H1121 H1144 H3117

הַשֵּׁנִי׃
第二（の）
H8145

そこでイスラエルの人々は、次の日またベニヤミンの人々の所に攻めよせたが、

25 וַיֵּצֵא בִנְיָמִן וְלִקְרָאתָם מִן־הַגִּבְעָה בַּיּוֹם
そして-出て-来た ベニヤミン（は） 迎え-撃つ（ために） ～から ギブア（から） その-日（に）
H3318 H1144 H7125 H4480 H1390 H3117

הַשֵּׁנִי וַיַּשְׁחֵת עוֹד בְּבְנֵי יִשְׂרָאֵל שְׁמֹנַת עָשָׂר אֶלֶף
第二（の） そして-打ち-倒した 子ら（の）-中（で） イスラエル（の） さらに 八 十 千
H8145 H7843 H1121 H5750 H8083 H6240 H0505

אִישׁ אַרְצָה כָּל־אֵלֶּה שֹׁלְפֵי חָרֶב׃
人（を） 地（に） すべての これら（は） 剣（を）-抜く 剣
H0376 H0776 H3605 H0428 H8025 H2719

ベニヤミンは次の日またギベアから出て、これを迎え、ふたたびイスラエルの人々のうち一万八千人を地に撃ち倒した。これらは皆つるぎを帯びている者であった。

26 וַיָּבֹאוּ הָעָם וְכָל־יִשְׂרָאֵל בְּנֵי כָל־וַיַּעֲלוּ
そして-来た 民（は） そして-すべての イスラエル（の） 子ら（は） すべての そこで-上った
H0935 H5971 H3605 H3478 H1121 H3605 H5927

וַיָּצוּמוּ יְהוָה לִפְנֵי שָׁם וַיֵּשְׁבוּ וַיִּבְכּוּ בֵּית־אֵל
そして-断食した 主（の） 前（で） そこ（に） そして-座った そして-泣いた ベテル（に）
H6684 H3068 H6440 H8033 H3427 H1058 H1008

עוֹלוֹת וַיַּעֲלוּ הַהִוא בַּיּוֹם־ עַד־הָעֶרֶב
全焼の-ささげ物（を） そして-ささげた その 夕方
H5930 H5927 H1931 H3117 H5704 H6153

יְהוָה׃ לִפְנֵי וּשְׁלָמִים
主（の） 前（で） そして-和解の-ささげ物（を）
H3068 H6440 H8002

これがためにイスラエルのすべての人々すなわち全軍はベテルに上って行って泣き、その所で主の前に座して、その日夕暮まで断食し、燔祭と酬恩祭を主の前にささげた。

27 וַיִּשְׁאֲלוּ בְּנֵי־יִשְׂרָאֵל בַּיהוָה
そして-問うた 子ら（は） イスラエル（の） 主（に）
H7592 H1121 H3478 H3068

וְשָׁם אֲרוֹן בְּרִית הָאֱלֹהִים׃ בַּיָּמִים הָהֵם׃
そして-そこ（に） 箱（が） 契約（の） 神（の） その-日々（に） それら（の）
H8033 H0727 H1285 H0430 H3117 H1992

そしてイスラエルの人々は主に尋ね、――そのころ神の契約の箱はそこにあって、

28 וּפִינְחָס בֶּן־אֶלְעָזָר בֶּן־אַהֲרֹן עֹמֵד
そして-ピネハス（は） 子（で） エルアザル（の） 子（の） アロン（の） 立っていた
H6372 H1121 H0499 H1121 H0175 H5975

לְפָנָיו בַּיָּמִים הָהֵם לֵאמֹר הַאוֹסִף עוֹד לָצֵאת
その-前（に） その-日々（に） それら（の） 言って 再び-するべきか さらに 出る（こと）
H6440 H3117 H1992 H0559 H3254 H5750 H3318

אִם־אֶחְדַּל לְמִלְחָמָה עִם־בְּנֵי בִנְיָמִן אָחִי אִם־
それとも やめるべきか 戦い（に） ～と 子ら（と） ベニヤミン（の） 兄弟（の） それとも
H0251 H4421 H0854 H1121 H1144 H0251 H0518

אֶחְדָּל וַיֹּאמֶר יְהוָה עֲלוּ כִּי מָחָר אֶתֶּנּוּ בְּיָדֶךָ׃
やめるべきか そして-言われた 主（は） 上れ なぜなら 明日 渡す 手（に）
H2308 H0559 H3068 H5927 H3588 H4279 H5414 H3027

アロンの子エレアザルの子であるピネハスが、それに仕えていた――そして言った、「われわれはなおふたたび出て、われわれの兄弟であるベニヤミンの人々と戦うべきでしょうか。あるいはやめるべきでしょうか」。主は言われた、「のぼれ。わたしはあす彼らをあなたがたの手にわたすであろう」。

29 וַיָּשֶׂם יִשְׂרָאֵל אֹרְבִים אֶל־הַגִּבְעָה סָבִיב׃ פ
そこで-置いた イスラエル（は） 伏兵（を） ～に ギブア（の） 周囲（に） （段落）
H7760 H3478 H0693 H0413 H1390 H5439

そこでイスラエルはギベアの周囲に伏兵を置き、

30 וַיַּעֲלוּ בְּנֵי־יִשְׂרָאֵל אֶל־בְּנֵי בִנְיָמִן בַּיּוֹם
そして-上った 子ら（は） イスラエル（の） ～に 子ら（に） ベニヤミン（の） その-日（に）
H5927 H1121 H3478 H0413 H1121 H1144 H3117

הַשְּׁלִישִׁי וַיַּעַרְכוּ אֶל־הַגִּבְעָה כְּפַעַם בְּפָעַם׃
第三（の） そして-整列した ～に ギブア（に） いつも（の）-ように 同じように
H7992 H0413 H1390 H6471 H6471

そしてイスラエルの人々は三日目にまたベニヤミンの人々のところに攻めのぼり、前のようにギベアに対して備えをした。

31 וַיֵּצְאוּ בְּנֵי־בִנְיָמִן לִקְרַאת הָעָם נִתָּקוּ מֵהָעִיר

וַיֵּצְאוּ	בְּנֵי־	בִנְיָמִן	לִקְרַאת	הָעָם	נִתָּקוּ
そこで–出て–来た	子ら（は）	ベニヤミン（の）	迎え–撃つ（ために）	民（を）	引き–離された
H3318		H1144	H7125		H5423

מֵהָעָם חֲלָלִים כְּפַעַם בְּפַעַם יָחֵלּוּ לְהַכּוֹת כַּתְּחִלָּה בַּדְּרָכִים אֲשֶׁר אַחַת עֹלָה בֵּית־אֵל

מִן־	הָעִיר	וַיָּחֵלּוּ	לְהַכּוֹת	מֵהָעָם	חֲלָלִים	כְּפַעַם	בְּפַעַם	אֲשֶׁר	אַחַת	עֹלָה	בֵּית־אֵל
～から	町（から）	そして–始めた	打つ（ことを）	民（の）–中（から）	倒れた–者（を）	いつも（の）–ように	同じように	それ（は）	一つ（は）	上る	ベテル（へ）
			H5221			H6471	H6471		H0259	H5927	H1008

וְכִפְעַם בְּמִסְלוֹת בַּשָּׂדֶה כִּשְׁלֹשִׁים אִישׁ בְּיִשְׂרָאֵל׃ גִּבְעָתָה וְאַחַת

וְכִפְעַם	בְּמִסְלוֹת	בַּשָּׂדֶה	כִּשְׁלֹשִׁים	אִישׁ	בְּיִשְׂרָאֵל׃	גִּבְעָתָה	וְאַחַת
いつも（の）–ように	大路（で）	野（に）	約–三十	人（を）	イスラエル（の）	ギブア（の）–方（へ）	そして–一つ（は）
	H4546		H7970	H0376	H3478	H1390	H0259

ベニヤミンの人々は出て、民を迎えたが、ついに町からおびき出されたので、彼らは前のように大路で民を撃ちはじめ、また野でイスラエルの人を三十人ばかり殺した。その大路は、一つはベテルに至り、一つはギベアに至るものであった。

32 וַיֹּאמְרוּ בְּנֵי בִנְיָמִן נִגָּפִים הֵם לְפָנֵינוּ כְּבָרִאשֹׁנָה וּבְנֵי יִשְׂרָאֵל אָמְרוּ נָנוּסָה וְנִתַּקְּהוּ מִן־הָעִיר אֶל־הַמְסִלּוֹת׃

וַיֹּאמְרוּ	בְּנֵי	בִנְיָמִן	נִגָּפִים	הֵם	לְפָנֵינוּ	כְּבָרִאשֹׁנָה	וּבְנֵי	יִשְׂרָאֵל	אָמְרוּ	נָנוּסָה	וְנִתַּקְּהוּ	מִן־	הָעִיר	אֶל־	הַמְסִלּוֹת׃
そこで–言った	子ら（は）	ベニヤミン（の）	打ち–負かされている	彼ら（は）	私たち（の）–前（で）	以前（と）–同じだ	しかし–子ら（は）	イスラエル（の）	言った	逃げよう	そして–引き–出そう	～から	町（から）	～へ	大路（へ）
H0559		H1144	H5062	H1992	H6440	H7223		H3478	H0559	H5127	H5423			H0413	H4546

ベニヤミンの人々は言った、「彼らは初めのように、われわれの前に撃ち破られる」。しかしイスラエルの人々は言った、「われわれは逃げて、彼らを町から大路におびき出そう」。

33 וְכָל־אִישׁ יִשְׂרָאֵל קָמוּ מִמְּקוֹמוֹ וַיַּעַרְכוּ בְּבַעַל תָּמָר וְאֹרֵב יִשְׂרָאֵל מִמְּקֹמוֹ מִמַּעֲרֵה־גָבַע׃

וְכָל־	אִישׁ	יִשְׂרָאֵל	קָמוּ	מִמְּקוֹמוֹ	וַיַּעַרְכוּ	בְּבַעַל תָּמָר	וְאֹרֵב	יִשְׂרָאֵל	מִמְּקֹמוֹ	מִמַּעֲרֵה־	גָבַע׃
そして–すべての	人（は）	イスラエル（の）	立ち–上がった	その–場所（から）	そして–整列した	バアル・タマル（で）	そして–伏兵（は）	イスラエル（の）	その–場所（から）	マアレ	ゲバ（の）
	H0376	H3478		H4725		H1193	H0693	H3478	H4725	H4629	H1390

そしてイスラエルの人々は皆その所から立ってバアル・タマルに備えをした。その間に待ち伏せていたイスラエルの人々がその所から、すなわちゲバの西から現れ出た。

34 וַיָּבֹאוּ אֶל־גִּבְעָה מִנֶּגֶד כָּל־אִישׁ בָּחוּר אַלְפַּיִם עֶשְׂרֶת לְגִבְעָה מִנֶּגֶד וְהַמִּלְחָמָה כָּבְדָה וְהֵמָּה לֹא יָדְעוּ כִּי־נִגְּעָה עֲלֵיהֶם רָעָה׃ פ

וַיָּבֹאוּ	אֶל־	גִּבְעָה	מִנֶּגֶד	כָּל־	אִישׁ	בָּחוּר	אַלְפַּיִם	עֶשְׂרֶת	לְגִבְעָה	מִנֶּגֶד	וְהַמִּלְחָמָה	כָּבְדָה	וְהֵמָּה	לֹא	יָדְעוּ	כִּי־	נִגְּעָה	עֲלֵיהֶם	רָעָה׃	פ
そして–来た	～へ	ギブア（に）	正面（から）	すべての–中（から）	人（の）	精鋭	千	一万	ギブア（に）	正面（から）	そして–戦い（は）	激しかった	そして–彼ら（は）	（否定）	知らなかった	～ということ（を）	迫っている	彼ら（に）	災い（が）	（段落）
H0935	H0413		H5048	H3605	H0376	H0977	H0505	H6235	H1390	H5048	H4421	H3513	H1992	H3808	H3045		H5060			

すなわちイスラエルの全軍のうちから精兵一万人がきて、ギベアを襲い、その戦いは激しかった。しかしベニヤミンの人々は災の自分たちに迫っているのを知らなかった。

35 וַיִּגֶּף יְהוָה אֶת־בִּנְיָמִן לִפְנֵי יִשְׂרָאֵל
そこで–打った 主（は） （対格） ベニヤミン（を） 前（で） イスラエル（の）
H5062 H3068 H0853 H1144 H6440 H3478

וַיַּשְׁחִיתוּ בְנֵי יִשְׂרָאֵל בְּבִנְיָמִן בַּיּוֹם הַהוּא עֶשְׂרִים
そして–打ち–滅ぼした 子ら（は） イスラエル（の） ベンヤミン（を） その–日（に） その 二十
H7843 H1121 H3478 H1144 H3117 H1931 H6242

וַחֲמִשָּׁה אֶלֶף וּמְאָה אִישׁ כָּל־אֵלֶּה שֹׁלֵף חָרֶב׃
と–五 千 と–百 人（を） すべての これら（は） 剣（を）–抜く 剣
H2568 H0505 H3967 H0376 H3605 H0428 H8025 H2719

主がイスラエルの前にベニヤミンを撃ち敗られたので、イスラエルの人々は、その日ベニヤミンびと二万五千一百人を殺した。これらは皆つるぎを帯びている者であった。

36 וַיִּרְאוּ בְנֵי־בִנְיָמִן כִּי נִגָּפוּ וַיִּתְּנוּ
そこで–見た 子ら（は） ベニヤミン（の） ～ということ（を） 打ち–負かされた そして–与えた
H7200 H1121 H1144 H3588 H5062 H5414

אִישׁ־יִשְׂרָאֵל לְבִנְיָמִן כִּי בָטְחוּ אֶל־הָאֹרֵב
人（は） イスラエル（の） ベニヤミン（に） なぜなら 信頼していた ～に 伏兵（に）
H0376 H3478 H1144 H3588 H0982 H0413 H0693

אֲשֶׁר שָׂמוּ אֶל־הַגִּבְעָה׃
それ（を） 置いた ～に ギブア（に）
H0834 H7760 H0413 H1390

こうしてベニヤミンの人々は自分たちの撃ち敗られたのを見た。そこでイスラエルの人々はギベアに対して設けた伏兵をたのんで、ベニヤミンびとを避けて退いた。

37 וְהָאֹרֵב הֵחִישׁוּ וַיִּפְשְׁטוּ אֶל־הַגִּבְעָה וַיִּמְשֹׁךְ הָאֹרֵב
そして–伏兵（は） 急いだ そして–突入した ～に ギブア（に） そして–広がった 伏兵（は）
H0693 H2363 H6584 H0413 H1390 H4900 H0693

וַיַּךְ אֶת־כָּל־הָעִיר לְפִי־חָרֶב׃
そして–打った （対格） すべての 町（を） 剣（の）–刃（で） 剣
H5221 H0853 H3605 H5892 H6310 H2719

伏兵は急いでギベアに突き入り、進んでつるぎをもって町をことごとく撃った。

38 וְהַמּוֹעֵד הָיָה לְאִישׁ יִשְׂרָאֵל עִם־הָאֹרֵב הֵרֵב
そして–合図（は） あった 人（と） イスラエル（の） ～と 伏兵（との） 大量（に）
H4150 H1961 H0376 H3478 H0854 H0693 H7235

לְהַעֲלוֹתָם מַשָּׂאת הֶעָשָׁן מִן־הָעִיר׃
上げる（こと） のろし（を） 煙（の） ～から 町（から）
H5927 H4864 H6227 H4480 H5892

イスラエルの人々と伏兵の間に定めた合図は、町から大いなるのろしがあがるとき、

39 וַיַּהֲפֹךְ אִישׁ־ יִשְׂרָאֵל בַּמִּלְחָמָה וּבִנְיָמִן הֵחֵל
そこで–向き–変えた 人（は） イスラエル（の） 戦い（で） そして–ベニヤミン（は） 始めていた
H2015 H0376 H3478 H4421 H1144

לְהַכּוֹת חֲלָלִים בְּאִישׁ־ יִשְׂרָאֵל כִּשְׁלֹשִׁים אִישׁ כִּי
打つ（ことを） 倒れた–者（を） 人（の）–中（で） イスラエル（の） 約–三十 人（を） なぜなら
H5221 H2491 H0376 H3478 H7970 H0376 H3588

נִגָּף הוּא לְפָנֵינוּ כִּמְלְחָמָה הָרִאשֹׁנָה׃
打ち–負かされた 彼（は） 私たち（の）–前（で） 戦い（の）–ように 最初（の）
H5062 H1931 H6440 H4421 H7223

נִגּוֹף אַךְ אָמְרוּ
打ち–負かされ 確かに 言った
H5062 H0389 H0559

イスラエルの人々が戦いに転じることであった。さてベニヤミンは初めイスラエルの人々を撃って三十人ばかりを殺したので言った、「まことに彼らは最初の戦いのようにわれわれの前に撃ち敗られる」。

40 וְהַמַּשְׂאֵת עַמּוּד כְּעָשָׁן הָעִיר מִן־ לַעֲלוֹת הֵחֵלָּה
しかし–のろし（が） 柱（の）–ように 煙（の） 町（から） ～から 上る（ことが） 始まった
H4864 H5982 H6227 H5927 H2490

בִּנְיָמִן אַחֲרָיו וְהִנֵּה עָלָה כְּלִיל־ הָעִיר וַיִּפֶן
ベニヤミン（は） 後ろ（を） すると–見よ 上っていた 全体（が） 町（の） そこで–振り–返った
H1144 H0310 H2009 H5927 H3632 H5892

הַשָּׁמָיְמָה׃
天（に）–向かって
H8064

しかし、のろしが煙の柱となって町からのぼりはじめたので、ベニヤミンの人々がうしろを見ると、町はみな煙となって天にのぼっていた。

41 וְאִישׁ יִשְׂרָאֵל הַפֶּךְ וַיִּבָּהֵל אַנְשֵׁי בִנְיָמִן
そして–人（は） イスラエル（の） 向き–変えた そこで–慌てた 人（は） ベニヤミン（の）
H0376 H3478 H2015 H0926 H0376 H1144

כִּי רָאָה כִּי־ נִגְּעָה עָלָיו הָרָעָה׃
なぜなら 見た ～ということ（を） 迫った 彼（に） 災い（が）
H7200 H3588 H5060 H5921 H7451

その時イスラエルの人々が向きを変えたので、ベニヤミンの人々は災が自分たちに迫ったのを見て、うろたえ、

42 וַיִּפְנוּ לִפְנֵי אִישׁ יִשְׂרָאֵל אֶל־ דֶּרֶךְ הַמִּדְבָּר
そこで–向きを–変えた 前（から） 人（の） イスラエル（の） ～の–方（へ） 道（の） 荒野（の）
H6437 H6440 H0376 H3478 H0413 H1870 H4057

וְהַמִּלְחָמָה הִדְבִּיקָתְהוּ וַאֲשֶׁר מֵהֶעָרִים מַשְׁחִיתִים אוֹתוֹ
しかし–戦い（が） 追い–ついた そして–彼ら（を） 町々（から） 滅ぼしていた 彼（を）
H4421 H1692 H0834 H5892 H7843 H0853

בְּתוֹכוֹ׃
その–中（で）
H8432

イスラエルの人々の前から身をめぐらして荒野の方に向かったが、戦いが彼らに追い迫り、町から出てきた者どもは、彼らを中にはさんで殺した。

43 כִּתְּרוּ אֶת־ בִּנְיָמִן הִרְדִיפֻהוּ מְנוּחָה הִדְרִיכֻהוּ עַד נֹכַח
囲んだ (H3803) | (対格) (H0853) | ベニヤミン（を） (H1144) | 追い–かけた (H7291) | 休み（なく） (H4496) | 踏み–つけた (H1869) | ～まで (H5704) | 正面（の） (H5227)

הַגִּבְעָה מִמִּזְרַח־ שָׁמֶשׁ׃
ギブア（の） (H1390) | 東（から） (H4217) | 日の出（の） (H8121)

すなわちイスラエルの人々はベニヤミンの人々を切り倒し、追い撃ち、踏みにじって、ノハから東の方ギベアの向かいにまで及んだ。

44 וַיִּפְּלוּ מִבִּנְיָמִן שְׁמֹנָה־ עָשָׂר אֶלֶף אִישׁ אֶת־ כָּל־
そこで–倒れた (H5307) | ベニヤミン（から） (H1144) | 十八 (H8083) | 十 (H6240) | 千 (H0505) | 人（が） (H0376) | （対格） (H0853) | すべての (H3605)

אֵלֶּה אַנְשֵׁי־ חָיִל׃
これら（は） (H0428) | 人々（の） (H0376) | 勇士 (H2428)

ベニヤミンの倒れた者は一万八千人で、みな勇士であった。

45 וַיִּפְנוּ וַיָּנֻסוּ הַמִּדְבָּרָה אֶל־ סֶלַע הָרִמּוֹן וַיְעֹלְלֻהוּ
そこで–向きを–変え (H6437) | そして–逃げた (H5127) | 荒野（へ） (H0413) | 岩（の） (H5553) | リモン（の） (H1440) | そして–拾い–集めた

גִּדְעֹם עַד־ אֲחֲרָיו וַיִּדְבְּקוּ אִישׁ אַלְפַּיִם חֲמֵשֶׁת בְּמְסִלּוֹת
ギドム (H1440) | ～まで (H5704) | 彼（の）–後（を） (H0310) | そして–追い–かけた (H1692) | 人（を） (H0376) | 千 (H0505) | 五 (H2568) | 大路（で） (H4546)

אִישׁ׃ אַלְפַּיִם מִמֶּנּוּ וַיַּכּוּ
人（を） (H0376) | 二千 (H0505) | 彼（から） (H4480) | そして–打った (H5221)

彼らは身をめぐらして荒野の方、リンモンの岩まで逃げたが、イスラエルの人々は大路でそのうち五千人を切り倒し、なおも追撃してギドムに至り、そのうちの二千人を殺した。

46 אִישׁ אֶלֶף וַחֲמֵשֶׁת עֶשְׂרִים מִבִּנְיָמִן הַנֹּפְלִים כָּל־ וַיְהִי
人（の） (H0376) | 千 (H0505) | と–五 (H2568) | 二十 (H6242) | ベニヤミン（から） (H1144) | 倒れた–者（は） (H5307) | すべての (H3605) | そして–なった (H1961)

חָיִל׃ אַנְשֵׁי־ אֵלֶּה כָּל־ אֶת־ הַהוּא בַּיּוֹם חֶרֶב שָׁלֵף
勇士 (H2428) | 人々（の） (H0376) | これら（は） (H0428) | すべての (H3605) | （対格） (H0853) | その (H1931) | その–日（に） (H3117) | 剣 (H2719) | 剣（を）–抜く (H8025)

こうしてその日ベニヤミンの倒れた者はつるぎを帯びている者合わせて二万五千人で、みな勇士であった。

47 מֵאוֹת שֵׁשׁ הָרִמּוֹן סֶלַע אֶל־ הַמִּדְבָּרָה וַיִּפְנוּ וַיָּנֻסוּ
百 (H3967) | 六 (H8337) | リモン（の） | 岩（の） (H5553) | ～へ (H0413) | 荒野（へ） | そして–逃げた (H5127) | そこで–向きを–変え (H6437)

חֳדָשִׁים׃ אַרְבָּעָה רִמּוֹן בְּסֶלַע וַיֵּשְׁבוּ אִישׁ
か月 (H2320) | 四 (H0702) | リモン（に） | 岩（の） (H5553) | そして–住んだ (H3427) | 人（は） (H0376)

しかし六百人の者は身をめぐらして荒野の方、リンモンの岩まで逃げて、四か月の間リンモンの岩に住んだ。

48

וַיַּכּוּם	בִּנְיָמִן	בְּנֵי	אֶל־	שָׁבוּ	יִשְׂרָאֵל	וְאִישׁ
そして–打った	ベニヤミン（の）	子ら（の）	～に	戻った	イスラエル（の）	そして–人（は）
H5221	H1144		H0413	H7725	H3478	H0376

כָּל־	עַד	בְּהֵמָה	עַד־	מְתֹם	מֵעִיר	חָרֶב	לְפִי־
すべての	～まで	家畜（まで）	～まで	全体（を）	町（から）	剣	剣（の）–刃（で）
H3605	H5704	H0929	H5704	H4974		H2719	H6310

פ	בָּאֵשׁ׃	שִׁלְּחוּ	הַנִּמְצָאוֹת	הֶעָרִים	כָּל־	גַּם	הַנִּמְצָא
（段落）	火（で）	放った	見つかった	町々（を）	すべての	また	見つかった–者（を）
	H0784	H7971	H4672		H3605	H1571	H4672

そこでイスラエルの人々はまた身をかえしてベニヤミンの人々を攻め、つるぎをもって人も獣もすべて見つけたものを撃ち殺し、また見つけたすべての町に火をかけた。

Chapter 21

1

אִישׁ	לֵאמֹר	בַּמִּצְפָּה	נִשְׁבָּע	יִשְׂרָאֵל	וְאִישׁ
人（は）	言って	ミツパ（で）	誓った	イスラエル（の）	そして–人（は）
H0376	H0559	H4709	H7650	H3478	H0376

לְאִשָּׁה׃	לְבִנְיָמִן	בִּתּוֹ	יִתֵּן	לֹא־	מִמֶּנּוּ
妻（として）	ベニヤミン（に）	娘（を）	与えない	（否定）	私たち（の）–中（から）
H0802	H1144	H1323	H5414	H3808	

かつてイスラエルの人々はミヅパで、「われわれのうちひとりもその娘をベニヤミンびとの妻として与える者があってはならない」と言って誓ったので、

2

לִפְנֵי	הָעֶרֶב	עַד־	שָׁם	וַיֵּשְׁבוּ	בֵּית־אֵל	הָעָם	וַיָּבֹא
前（で）	夕方	～まで	そこ（に）	そして–座った	ベテル（に）	民（は）	そして–来た
H6440	H6153	H5704	H8033	H3427	H1008		H0935

גָּדוֹל׃	בְּכִי	וַיִּבְכּוּ	קוֹלָם	וַיִּשְׂאוּ	הָאֱלֹהִים
大きい	泣き（の）	そして–泣いた	声（を）	そして–上げた	神（の）
	H1065	H1058		H5375	H0430

民はベテルに行って、そこで夕暮まで神の前に座し、声をあげて激しく泣いて、

3

בְּיִשְׂרָאֵל	זֹאת	הָיְתָה	יִשְׂרָאֵל	אֱלֹהֵי	יְהוָה	לָמָּה	וַיֹּאמְרוּ
イスラエル（に）	これ（は）	あった	イスラエル（の）	神（よ）	主（よ）	なぜ	そして–言った
H3478	H2063	H1961	H3478	H0430	H3068	H4100	H0559

אֶחָד׃	שֵׁבֶט	מִיִּשְׂרָאֵל	הַיּוֹם	לְהִפָּקֵד
一つ	部族（が）	イスラエル（から）	今日	失われる（ことが）
H0259	H7626	H3478	H3117	

言った、「イスラエルの神、主よ、どうしてイスラエルにこのような事が起って、今日イスラエルに一つの部族が欠けるようになったのですか」。

4

מִזְבֵּחַ	שָׁם	וַיִּבְנוּ־	הָעָם	וַיַּשְׁכִּימוּ	מִמָּחֳרָת	וַיְהִי
祭壇（を）	そこ（に）	そして–建てた	民（は）	そして–早く–起きた	翌日	そして–なった
H4196	H8033	H1129		H7925	H4283	H1961

פ	וּשְׁלָמִים׃	עֹלוֹת	וַיַּעֲלוּ
（段落）	そして–和解の–ささげ物（を）	全焼の–ささげ物（を）	そして–ささげた
	H8002		H5927

翌日、民は早く起きて、そこに祭壇を築き、燔祭と酬恩祭をささげた。

עָלָה	לֹא־	אֲשֶׁר	מִי	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי	וַיֹּאמְרוּ	5
上らなかった	（否定）	それ（は）	誰（が）	イスラエル（の）	子ら（は）	そして–言った	
H5927	H3808		H4310	H3478		H0559	

כִּי	יְהוָה	אֶל־	יִשְׂרָאֵל	שִׁבְטֵי	מִכָּל־	בַּקָּהָל
なぜなら	主（の）	～に	イスラエル（の）	部族（の）	すべての–中（から）	集会（に）
	H3068	H0413	H3478	H7626	H3605	H6951

יְהוָה	אֶל־	עָלָה	לֹא־	לָאֲשֶׁר	הָיְתָה	הַגְּדוֹלָה	הַשְּׁבוּעָה
主（の）	～に	上らなかった	（否定）	その–者（に）–対して	あった	大きい	誓い（が）
H3068	H0413	H5927	H3808		H1961		H7621

יוּמָת׃	מוֹת	לֵאמֹר	הַמִּצְפָּה
殺される	必ず	言って	ミツパ（に）
H4191	H4191	H0559	H4709

そしてイスラエルの人々は言った、「イスラエルのすべての部族のうちで集会に上って、主のもとに行かなかった者はだれか」。これは彼らがミヅパにのぼって、主のもとに行かない者のことについて大いなる誓いを立てて、「その人は必ず殺されなければならない」と言ったからである。

אָחִיו	בִּנְיָמִן	אֶל־	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי	וַיִּנָּחֲמוּ	6
兄弟（の）	ベニヤミン（に）	～に–対して	イスラエル（の）	子ら（は）	そこで–憐れんだ	
H0251	H1144	H0413	H3478		H5162	

מִיִּשְׂרָאֵל׃	אֶחָד	שֵׁבֶט	הַיּוֹם	נִגְדַּע	וַיֹּאמְרוּ
イスラエル（から）	一つ	部族（が）	今日	断ち–切られた	そして–言った
H3478	H0259	H7626	H3117	H1438	H0559

しかしイスラエルの人々は兄弟ベニヤミンをあわれんで言った、「今日イスラエルに一つの部族が絶えた。

נִשְׁבַּעְנוּ	וַאֲנַחְנוּ	לַנָּשִׁים	לַנּוֹתָרִים	לָהֶם	נַעֲשָׂה	מַה־	7
誓った	そして–私たち（は）	妻（として）	残った–者（に）	彼ら（に）	する（べき）か	何（を）	
H7650	H0587	H0802	H3498			H4100	

לְנָשִׁים׃	מִבְּנוֹתֵינוּ	לָהֶם	תֵּת־	לִבְלְתִּי	בַּיהוָה
妻（として）	娘たち（の）–中（から）	彼ら（に）	与えない	（否定の）–ために	主（に）
H0802	H1323		H5414	H1115	H3068

われわれは主をさして、われわれの娘を彼らに妻として与えないと誓ったので、かの残った者どもに妻をめとらせるにはどうしたらよいであろうか」。

אֲשֶׁר	יִשְׂרָאֵל	מִשִּׁבְטֵי	אֶחָד	מִי	וַיֹּאמְרוּ		8
それ（は）	イスラエル（の）	部族（の）–中（から）	一つ（の）	誰（が）	そして–言った		
	H3478	H7626	H0259	H4310	H0559		

אִישׁ	בָּא־	לֹא	וְהִנֵּה	הַמִּצְפָּה	יְהוָה	אֶל־	עָלָה	לֹא־
人（は）	来なかった	（否定）	すると–見よ	ミツパ（に）	主（の）	～に	上らなかった	（否定）
H0376	H0935	H3808	H2009	H4709	H3068	H0413	H5927	H3808

הַקָּהָל׃	אֶל־	גִּלְעָד	מִיָּבֵישׁ	הַמַּחֲנֶה	אֶל־
集会（に）	～に	ギルアデ（から）	ヤベシュ	陣営（に）	～に
H6951	H0413	H1568	H3003	H4264	H0413

彼らはまた言った、「イスラエルの部族のうちで、ミヅパにのぼって主のもとに行かなかったのはどの部族か」。ところがヤベシ・ギレアデからはひとりも陣営にきて集会に臨んだ者がなかった。

9 וַיִּתְפְּקֵד הָעָם וְהִנֵּה אֵין־שָׁם אִישׁ מִיּוֹשְׁבֵי
そこで–数えられた 民（は） すると–見よ いなかった そこ（に） 人（は） 住民（の）–中（から）
H3427 H0376 H8033 H0369 H2009 H5712

יָבֵשׁ׃ גִּלְעָד
ヤベシュ ギルアデ（の）
H3003 H1568

すなわち民を集めて見ると、ヤベシ・ギレアデの住民はひとりもそこにいなかった。

10 וַיִּשְׁלְחוּ־שָׁם הָעֵדָה שְׁנֵים־עָשָׂר אֶלֶף אִישׁ מִבְּנֵי
そこで–遣わした 会衆（は） 十二 十 千 人（の） 子ら（の）–中（から）
H7971 H5712 H8147 H6240 H0505 H0376

וַיְצַוּוּ אוֹתָם לֵאמֹר לְכוּ וְהִכִּיתֶם אֶת־יוֹשְׁבֵי יָבֵשׁ
そして–命じた 彼ら（に） 言って 行け そして–打て （対格） 住民（を） ヤベシュ
H6680 H0853 H0559 H3212 H5221 H0853 H3427 H3003

הַחֶרֶב לְפִי־חָרֶב וְהַנָּשִׁים וְהַטָּף׃
勇士（の） ギルアデ（の） 剣（の）–刃（で） 剣 女たち（を）–そして 子供たち（を）–そして
H2428 H1568 H6310 H2719 H0802 H2945

そこで会衆は勇士一万二千人をかしこにつかわし、これに命じて言った、「ヤベシ・ギレアデに行って、その住民を、女、子供もろともつるぎをもって撃て。

11 וְזֶה דָּבָר אֲשֶׁר תַּעֲשׂוּ כָּל־זָכָר וְכָל־אִשָּׁה
そして–これ（が） 事（で） それ（を） 行う すべての 男（と） そして–すべての 女（で）
H2088 H1697 H0834 H6213 H3605 H2145 H3605 H0802

תַּחֲרִימוּ׃ זָכָר מִשְׁכַּב־ יֹדַעַת
聖絶せよ 男（の） 寝床（の） 知っている
H2763 H2145 H4904 H3045

そしてこのようにしなければならない。すなわち男および男と寝た女はことごとく滅ぼさなければならない」。

12 וַיִּמְצְאוּ מִיּוֹשְׁבֵי יָבֵישׁ גִּלְעָד אַרְבַּע מֵאוֹת נַעֲרָה
そこで–見つけた 住民（の）–中（から） ヤベシュ ギルアデ（の） 四 百 娘（の）
H4672 H3427 H3003 H1568 H0702 H3967 H5291

בְּתוּלָה אֲשֶׁר לֹא־יָדְעָה אִישׁ לְמִשְׁכַּב זָכָר וַיָּבִיאוּ
処女 それ（は） （否定） 知らなかった 人（を） 寝床（の） 男（の） そして–連れて–来た
H1330 H0834 H3808 H3045 H0376 H4904 H2145 H0935

כְּנָעַן׃ בְּאֶרֶץ אֲשֶׁר שִׁלֹה הַמַּחֲנֶה אֶל־ אוֹתָם
カナン（の） 地（の）–中（に） それ（は） シロ（に） 陣営（に） ～に 彼女たち（を）
H3667 H0776 H0834 H7887 H4264 H0413 H0853

ס
（区切り）

こうして彼らはヤベシ・ギレアデの住民のうちで四百人の若い処女を獲た。これはまだ男と寝たことがなく、男を知らない者である。彼らはこれをカナンの地にあるシロの陣営に連れてきた。

13 וַיִּשְׁלְחוּ וַיְדַבְּרוּ אֶל־ בְּנֵי בִנְיָמִן
そこで–遣わした そして–語った ～に 子ら（に） ベニヤミン（の）
H7971 H1696 H0413 H1121 H1144

וַיִּקְרְאוּ לָהֶם שָׁלוֹם׃ רִמּוֹן בְּסֶלַע אֲשֶׁר
そして–告げた 彼ら（に） 平和（を） リモン（に） 岩（の） それ（は）
H7121 H3667 H7965 H7417 H5553 H0834

そこで全会衆は人をつかわして、リンモンの岩におるベニヤミンの人々に平和を告げた。

14 וַיָּשָׁב בִּנְיָמִן בָּעֵת הַהִיא וַיִּתְּנוּ לָהֶם הַנָּשִׁים
そこで-戻った ベニヤミン（は） その-時（に） そして-与えた 彼ら（に） 女たち（を）
H7725 H1144 H6256 H1931 H5414 H0802

אֲשֶׁר חָיּוּ מִנְּשֵׁי יָבֵשׁ גִּלְעָד וְלֹא־
それ（は） 生かした 女たち（の）-中（から） ヤベシュ ギルアデ（の） しかし-（否定）
H2421 H0802 H3003 H1568 H3808

מָצְאוּ לָהֶם כֵּן׃
見つからなかった 彼ら（に） 十分（に）
H4672

ベニヤミンの人々がその時、帰ってきたので、彼らはヤベシ・ギレアデの女のうちから生かしておいた女をこれに与えたが、なお足りなかった。

15 וְהָעָם נִחָם לְבִנְיָמִן כִּי־ עָשָׂה יְהוָה פֶּרֶץ
そして-民（は） 憐れんだ ベニヤミン（を） なぜなら 作った 主（は） 裂け目（を）
H5162 H1144 H3068 H6556

בְּשִׁבְטֵי יִשְׂרָאֵל׃
部族（の）-中（に） イスラエル（の）
H7626 H3478

こうして民は、主がイスラエルの部族のうちに欠陥をつくられたことのために、ベニヤミンをあわれんだ。

16 וַיֹּאמְרוּ זִקְנֵי הָעֵדָה מַה־ נַּעֲשֶׂה לַנּוֹתָרִים
そこで-言った 長老たち（は） 会衆（の） 何（を） する（べき）か 残った-者（に）
H0559 H2205 H5712 H4100 H3498

נִשְׁמְדָה כִּי־ לְנָשִׁים מִבִּנְיָמִן אִשָּׁה׃
滅ぼされた なぜなら 妻（として） ベニヤミン（から） 女（が）
H8045 H0802 H1144 H0802

会衆の長老たちは言った、「ベニヤミンの女が絶えたので、かの残りの者どもに妻をめとらせるにはどうしたらよいでしょうか」。

17 וַיֹּאמְרוּ יְרֻשַּׁת פְּלֵיטָה לְבִנְיָמִן וְלֹא־
そして-言った 受け継ぐ-地（が） 生き残った-者（に） ベニヤミン（の） そして-（否定）
H0559 H3425 H6413 H1144 H3808

יִמָּחֶה שֵׁבֶט מִיִּשְׂרָאֵל׃
消し去られない 部族（が） イスラエル（から）
H7626 H3478

彼らはまた言った、「イスラエルから一つの部族が消えうせないためにベニヤミンのうちの残りの者どもに、あとつぎがなければならない。

18 וַאֲנַחְנוּ לֹא נוּכַל לָתֵת־ לָהֶם נָשִׁים
しかし-私たち（は） （否定） できない 与える（ことを） 彼ら（に） 妻（を）
H0587 H3808 H3201 H5414 H0802

מִבְּנוֹתֵינוּ כִּי־ נִשְׁבְּעוּ בְּנֵי־ יִשְׂרָאֵל לֵאמֹר אָרוּר
娘たち（の）-中（から） なぜなら 誓った 子ら（は） イスラエル（の） 言って 呪われる
H1323 H7650 H1121 H3478 H0559 H0779

נֹתֵן אִשָּׁה לְבִנְיָמִן׃ ס
与える-者（は） 妻（を） ベニヤミン（に） （区切り）
H5414 H0802 H1144

しかし、われわれの娘を彼らの妻に与えることはできない。イスラエルの人々が『ベニヤミンに妻を与える者はのろわれる』と言って誓ったからである」。

19 וַיֹּאמְרוּ הִנֵּה יְהוָה בְּשִׁלוֹ מִיָּמִים יָמִימָה אֲשֶׁר
そこで-言った 見よ 主（の） シロ（で） 日（から） 日（へ） それ（は）
H0559 H2009 H3068 H7887 H3117 H3117

לְצִפְוֹנָה מִבֵּית־אֵל לְבֵית־אֵל הַשֶּׁמֶשׁ לְמִסְלָּה הָעֹלָה מִבֵּית־אֵל שְׁכֶמָה
北（に） ベテル（の） 東（に） 太陽（の） 大路（に） 上る ベテル（から） シェケム（へ）
H6828 H1008 H4217 H8121 H4546 H5927 H1008 H7927

וּמִנֶּגֶב׃ לִלְבוֹנָה
そして-南（に） レボナ（の）
H5045 H3829

それで彼らは言った、「年々シロに主の祭がある」。シロはベテルの北にあって、ベテルからシケムにのぼる大路の東、レバナの南にある。

20 וַיְצַוּוּ(ויצו) אֶת־בְּנֵי בִנְיָמִן לֵאמֹר לְכוּ
【読み変え】 そこで-命じた 子ら（に） （対格） ベニヤミン（の） 言って 行け
H6680 H6680 H1121 H0853 H1144 H0559 H3212

וְאָרַבְתֶּם בַּכְּרָמִים׃
そして-待ち-伏せよ ぶどう畑（で）
H0693 H3754

そして彼らはベニヤミンの人々に命じて言った、「あなたがたは行って、ぶどう畑に待ち伏せして、

21 וּרְאִיתֶם וְהִנֵּה אִם־יֵצְאוּ בְּנוֹת־שִׁלוֹ לָחוּל
そして-見よ すると-見よ もし 出て-来る 娘たち（が） シロ（の） 踊る（ために）
H7200 H2009 H0518 H3318 H1323 H7887 H3015

מִן־הַכְּרָמִים וְיִצָּאתֶם וַחֲטַפְתֶּם לָכֶם
～から ぶどう畑（から） そこで-出て-来て そして-奪い-取れ あなたがた（に）
H3754 H3318 H2414

בִּמְחֹלוֹת׃ מִבְּנוֹת שִׁלוֹ וַהֲלַכְתֶּם אֶרֶץ בִּנְיָמִן׃
踊り（の）-中（で） 娘たち（の）-中（から） シロ（の） そして-行け 地（に） ベニヤミン（の）
H4246 H1323 H7887 H1980 H0776 H1144

אִישׁ אִשְׁתּוֹ
人（は） 妻（を）
H0376 H0802

うかがいなさい。もしシロの娘たちが踊りを踊りに出てきたならば、ぶどう畑から出て、シロの娘たちのうちから、めいめい自分の妻をとって、ベニヤミンの地に連れて行きなさい。

22 וְהָיָה כִּי־יָבֹאוּ אֲבוֹתָם אוֹ אֲחֵיהֶם לָרוב(לרוב)
そして-なる ～した-時 来る 父たち（が） または 兄弟たち（が） 【読み変え】
H1961 H0935 H1 H0251 H7378

וְאָמַרְנוּ אֵלֵינוּ לָרִיב() אֲלֵיהֶם חָנְנוּ אוֹתָם כִּי
そして-言う 私たち（に） 訴える（ために） 彼ら（に） 恵み-を-与えよ 彼ら（を） なぜなら
H0559 H0413 H7378 H0413 H2603 H0853

לֹא לָקַחְנוּ אִישׁ אִשְׁתּוֹ בַּמִּלְחָמָה כִּי לֹא אַתֶּם
取らなかった 人（は） 妻（を） 戦い（で） なぜなら （否定） あなたがた（は）
H3947 H0376 H0802 H4421 H3588 H3808 H0859

ס נְתַתֶּם לָהֶם כָּעֵת תֶּאְשָׁמוּ׃
（区切り） 与えなかった 彼ら（に） 今の-時 罪を-負う
H5414 H3588 H6256 H0816

もしその父あるいは兄弟がきて、われわれに訴えるならば、われわれは彼らに、『われわれのために彼らをゆるしてください。戦争のときにわれわれは、彼らおのおのに妻をとってやらなかったし、またあなたがたも彼らに与えなかったからです。もし与えたならば、あなたがたは罪を犯したことになるからでした』と言いましょう」。

23

נָשִׁים	וַיִּשְׂאוּ	בִּנְיָמִן	בְּנֵי	כֵּן	וַיַּעֲשׂוּ־
妻たち（を）	そして–めとった	ベニヤミン（の）	子ら（は）	そのように	そこで–行った
H0802	H5375	H1144			

וַיֵּלְכוּ	גָּזָלוּ	אֲשֶׁר	הַמְּחֹלְלוֹת	מִן־	לְמִסְפָּרָם
そして–行った	奪った	それ（は）	踊る–者たち（の）–中（から）	～から	その–数（に）–従って
H3212	H1497				H4557

בָּהֶם׃	וַיֵּשְׁבוּ	הֶעָרִים	אֶת־	וַיִּבְנוּ	נַחֲלָתָם	אֶל־	וַיָּשׁוּבוּ
それら（に）	そして–住んだ	町々（を）	（対格）	そして–建てた	嗣業（に）	～に	そして–帰った
	H3427		H0853	H1129	H5159	H0413	H7725

ベニヤミンの人々はそのように行い、踊っている者どものうちから自分たちの数にしたがって妻を取り、それを連れて領地に帰り、町々を建てなおして、そこに住んだ。

24

אִישׁ	הַהִוא	בָּעֵת	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי־	מִשָּׁם	וַיִּתְהַלְּכוּ
人（は）	その	その–時（に）	イスラエル（の）	子ら（は）	そこ（から）	そこで–散って–行った
H0376	H1931	H6256	H3478		H8033	H1980

לְנַחֲלָתוֹ׃	אִישׁ	מִשָּׁם	וַיֵּצְאוּ	וּלְמִשְׁפַּחְתּוֹ	לְשִׁבְטוֹ
その–嗣業（に）	人（は）	そこ（から）	そして–出て–行った	そして–その–氏族（に）	その–部族（に）
H5159	H0376	H8033	H3318	H4940	H7626

こうしてイスラエルの人々は、その時そこを去って、おのおのその部族および氏族に帰った。すなわちそこを立って、おのおのその嗣業の地に帰った。

25

אִישׁ	בְּיִשְׂרָאֵל	מֶלֶךְ	אֵין	הָהֵם	בַּיָּמִים
人（は）	イスラエル（に）	王（は）	いなかった	それら（の）	その–日々（に）
H0376	H3478	H4428	H0369	H1992	H3117

יַעֲשֶׂה׃	בְּעֵינָיו	הַיָּשָׁר
行った	その–目（に）	正しい–こと（を）
		H3477

そのころ、イスラエルには王がなかったので、おのおの自分の目に正しいと見るところをおこなった。

Ruth

Chapter 1

וַיְהִי בִּימֵי֙ שְׁפֹ֣ט הַשֹּׁפְטִ֔ים וַיְהִ֥י רָעָ֖ב בָּאָ֑רֶץ וַיֵּ֣לֶךְ
さて の–時代に 治めていた さばきつかさたちが 起こった ききんが その–地に そして–行った
H1961 H3117 H8199 H8199 H1961 H7458 H0776 H3212

1

אִ֤ישׁ מִבֵּית־לֶ֙חֶם֙ יְהוּדָ֔ה לָג֥וּר בִּשְׂדֵ֖י מוֹאָ֑ב ה֥וּא וְאִשְׁתּ֖וֹ וּשְׁנֵ֥י
ある–人が ベツレヘムから ユダの 寄留するため の–野に モアブ 彼は その–妻と 二人の
H0376 H1035 H3063 H1481 H7704 H4124 H1931 H0802 H8147

בָנָֽיו׃
息子たちと

さばきづかさが世を治めているころ、国に飢きんがあったので、ひとりの人がその妻とふたりの男の子を連れてユダのベツレヘムを去り、モアブの地へ行ってそこに滞在した。

וְשֵׁם֙ הָאִ֣ישׁ אֱלִימֶ֔לֶךְ וְשֵׁם֙ אִשְׁתּ֔וֹ נָעֳמִ֖י וְשֵׁ֣ם שְׁנֵֽי־
そして–名は エリメレク その–人の さて–名は その–妻の ナオミ そして–名は 二人の
H8034 H0458 H0376 H8034 H0802 H5281 H8034 H8147

2

בָנָ֑יו מַחְלוֹן֙ וְכִלְי֔וֹן אֶפְרָתִ֖ים מִבֵּ֣ית לֶ֔חֶם יְהוּדָ֔ה וַיָּבֹ֣אוּ שְׂדֵי־מוֹאָ֔ב
息子たちの マフロン キルヨンと エフラテ人で ベツレヘムの ユダの そして–来た の–野に モアブ
H1121 H4248 H3630 H0673 H1035 H3063 H0935 H7704 H4124

וַיִּהְיוּ־שָֽׁם׃
そして–住んだ そこに
H1961 H8033

その人の名はエリメレク、妻の名はナオミ、ふたりの男の子の名はマロンとキリオンといい、ユダのベツレヘムのエフラタびとであった。彼らはモアブの地へ行って、そこにおったが、

וַיָּ֥מָת אֱלִימֶ֖לֶךְ אִ֣ישׁ נָעֳמִ֑י וַתִּשָּׁאֵ֥ר הִ֛יא וּשְׁנֵ֥י בָנֶ֖יהָ׃
そして–死んだ エリメレクは 夫は ナオミの そして–残された 彼女は 二人の 息子たちと
H4191 H0376 H5281 H7604 H1931 H8147 H1121

3

ナオミの夫エリメレクは死んで、ナオミとふたりの男の子が残された。

וַיִּשְׂאוּ־לָהֶ֣ם נָשִׁ֗ים מֹֽאֲבִיּוֹת֙ שֵׁ֣ם הָאַחַ֔ת עָרְפָּ֖ה וְשֵׁ֣ם
そして–めとった 彼らのために 妻たちを モアブの–女たちから 名は 一人の オルパ そして–名は
H5375 H0802 H4125 H8034 H0259 H6204 H8034

4

הַשֵּׁנִ֣ית רֽוּת׃ וַיֵּשְׁב֣וּ שָׁ֔ם כְּעֶ֥שֶׂר שָׁנִֽים׃
もう一人の ルツ そして–住んだ そこに 約–十 年
H8145 H7327 H3427 H8033 H6235 H8141

ふたりの男の子はそれぞれモアブの女を妻に迎えた。そのひとりの名はオルパといい、ひとりの名はルツといった。彼らはそこに十年ほど住んでいたが、

5

וַיָּמֻ֥תוּ ׀ גַּם־שְׁנֵיהֶ֖ם מַחְל֣וֹן וְכִלְי֑וֹן וַתִּשָּׁאֵ֤ר הָֽאִשָּׁה֙ מִשְּׁנֵ֣י
そして–死んだ また 二人とも マフロンと キルヨンが そして–残された その–女は 二人の
H4191 H1571 H8147 H4248 H3630 H7604 H0802 H8147

יְלָדֶ֖יהָ וּמֵאִישָֽׁהּ׃
子供たちと 夫を–失って
H3206 H0376

マロンとキリオンのふたりもまた死んだ。こうしてナオミはふたりの子と夫とに先だたれた。

6

וַתָּ֗קָם הִ֤יא וְכַלֹּתֶ֙יהָ֙ וַתָּ֣שָׁב מִשְּׂדֵ֣י מוֹאָ֔ב כִּ֣י
そして–立ち上がった 彼女は その–嫁たちと そして–帰った の–野から モアブ なぜなら
H1931 H3618 H7725 H4124

שָׁמְעָ֥ה בִשְׂדֵ֖ה מוֹאָ֑ב כִּֽי־פָקַ֤ד יְהוָה֙ אֶת־עַמּ֔וֹ לָתֶ֥ת לָהֶ֖ם לָֽחֶם׃
聞いたからだ の–野で モアブ つまり 顧みられた 主が その 民を 与えるために 彼らに パンを
H8085 H7704 H4124 H3588 H6485 H3068 H0853 H5971 H5414 H3899

その時、ナオミはモアブの地で、主がその民を顧みて、すでに食物をお与えになっていることを聞いたので、その嫁と共に立って、モアブの地からふるさとへ帰ろうとした。

7

וַתֵּצֵ֗א הִ֤יא וְכַלֹּתֶ֙יהָ֙ עִמָּ֔הּ וַתֵּלַ֖כְנָה בַּדֶּ֣רֶךְ לָשׁ֔וּב אֶל־אֶ֖רֶץ יְהוּדָֽה׃
そして–出た その 嫁たちも 共に そして–歩いた 道を 帰るために その 地へ ユダの
H3318 H1931 H3618 H5973 H3212 H1870 H7725 H0413 H0776 H3063

וַתֵּצֵ֗א מִן־הַמָּקוֹם֙ אֲשֶׁ֣ר הָיְתָה־שָּׁ֔מָּה וּשְׁתֵּ֥י כַלֹּתֶ֖יהָ עִמָּֽהּ׃
その 場所から そこに いた 彼女が 二人の 嫁たちも 共に
H3318 H4725 H0834 H1961 H8033 H8147 H3618 H5973

そこで彼女は今いる所を出立し、ユダの地へ帰ろうと、ふたりの嫁を連れて道に進んだ。

8

וַתֹּ֣אמֶר נָעֳמִי֮ לִשְׁתֵּ֣י כַלֹּתֶ֒יהָ֒ לְכֶ֗נָּה שֹׁ֙בְנָה֙ אִשָּׁ֣ה לְבֵ֣ית אִמָּ֔הּ
そして–言った ナオミは 二人の 嫁たちに 行きなさい 帰りなさい それぞれ の–家に 母の
H0559 H5281 H8147 H3618 H3212 H7725 H0802 H1004 H0517

יַעַשׂ֨ (יעשה) יְהוָ֤ה עִמָּכֶם֙ חֶ֔סֶד כַּאֲשֶׁ֥ר עֲשִׂיתֶ֖ם עִם־הַמֵּתִ֑ים וְעִמָּדִֽי׃
ー 主が あなたがたに 恵みを あなたがたが–した–ように してくれた その 亡くなった–者たちと 私に
H3068 H2617 H6213 H4191 H5973

しかしナオミはふたりの嫁に言った、「あなたがたは、それぞれ自分の母の家に帰って行きなさい。あなたがたが、死んだふたりの子とわたしに親切をつくしたように、どうぞ、主があなたがたに、いつくしみを賜わりますよう。

9

יִתֵּ֨ן יְהוָ֜ה לָכֶ֗ם וּמְצֶ֤אןָ מְנוּחָה֙ אִשָּׁ֣ה בֵ֣ית
与えてくださるように 主が あなたがたに そして–見つかるように 安息が それぞれ の–家で
H5414 H3068 H4672 H4496 H0802 H1004

וַתִּשָּׂ֥א קוֹלָ֖ן וַתִּבְכֶּֽינָה׃
そして–口づけした 声を 泣いた
H5375 H6963 H1058

וַתִּשַּׁק־לָהֶ֔ן וַתִּשֶּׂ֥אנָה קוֹלָ֖ן וַתִּבְכֶּֽינָה׃
そして–口づけした 彼女たちに そして–声を–上げて 声を 泣いた
H5401 H5375 H6963 H1058

どうぞ、主があなたがたに夫を与え、夫の家で、それぞれ身の落ち着き所を得させられるように」。こう言って、ふたりの嫁に口づけしたので、彼らは声をあげて泣き、

10 וַתֹּאמַרְנָה־ לָהּ כִּי־ אִתָּךְ נָשׁוּב לְעַמֵּךְ׃
そして-言った 彼女に 必ず あなたと-共に 帰ります あなたの-民の-もとへ
H0559 H7725 H0854

ナオミに言った、「いいえ、わたしたちは一緒にあなたの民のところへ帰ります」。

11 וַתֹּאמֶר נָעֳמִי שֹׁבְנָה בְנֹתַי לָמָּה תֵלַכְנָה עִמִּי הַעוֹד־ לִי בָנִים בְּמֵעַי וְהָיוּ לָכֶם לַאֲנָשִׁים׃
そして-言った ナオミは 帰りなさい 娘たちよ なぜ 行くのですか 私と-共に まだ 私に 息子たちが 胎に いて あなたがたの 夫と-なるでしょうか
H0559 H5281 H7725 H1323 H4100 H3212 H5750

しかしナオミは言った、「娘たちよ、帰って行きなさい。どうして、わたしと一緒に行こうというのですか。あなたがたの夫となる子がまだわたしの胎内にいると思うのですか。

12 שֹׁבְנָה בְנֹתַי לֵכְנָה כִּי זָקַנְתִּי מִהְיוֹת לְאִישׁ כִּי אָמַרְתִּי יֶשׁ־ לִי תִקְוָה גַּם הָיִיתִי הַלַּיְלָה לְאִישׁ וְגַם יָלַדְתִּי בָנִים׃
帰りなさい 娘たちよ 行きなさい なぜなら 年を-取りすぎた なるには 夫に たとえ 産んだとしても 息子たちを ある 私に 望みが また なったとしても 今夜 夫の-ものに そして-また 言ったとしても
H7725 H1323 H3212 H3588 H2204 H1961 H0376 H3588 H3426 H0559 H1571 H1961 H3915 H0376 H1571 H3205

娘たちよ、帰って行きなさい。わたしは年をとっているので、夫をもつことはできません。たとい、わたしが今夜、夫をもち、また子を産む望みがあるとしても、

13 הֲלָהֵן תְּשַׂבֵּרְנָה עַד אֲשֶׁר יִגְדָּלוּ הֲלָהֵן תֵּעָגֻנָה לְבִלְתִּי הֱיוֹת לְאִישׁ כִּי־ מַר־ לִי מְאֹד מִכֶּם כִּי־ יָצְאָה בִי יַד־ יְהוָה׃
彼らのために 待ちますか 彼らのために 成長する 彼らが まで 待ち続けますか ないために なる 夫に いいえ 娘たちよ なぜなら つらい 私は 非常に あなたがた-以上に なぜなら 臨んだ 私に 主の 主の-御手が
H3860 H5704 H3860 H1431 H3588 H5704 H3176 H1115 H1961 H0376 H0408 H1323 H3588 H4843 H3966 H4480 H3588 H3318 H3588 H3027 H3068

そのためにあなたがたは、子どもの成長するまで待っているつもりなのですか。あなたがたは、そのために夫をもたずにいるつもりなのですか。娘たちよ、それはいけません。主の手がわたしに臨み、わたしを責められたことで、あなたがたのために、わたしは非常に心を痛めているのです」。

14 וַתִּשֶּׂנָה קוֹלָן וַתִּבְכֶּינָה עוֹד וַתִּשַּׁק עָרְפָּה לַחֲמוֹתָהּ וְרוּת דָּבְקָה בָּהּ׃
そして-上げた 声を そして-泣いた さらに そして-口づけした オルパは しゅうとめに しかし-ルツは すがりついた 彼女に
H5375 H6963 H1058 H5750 H7672 H6204 H2545 H7327 H1692

彼らはまた声をあげて泣いた。そしてオルパはそのしゅうとめに口づけしたが、ルツはしゅうとめを離れなかった。

15 וַתֹּאמֶר הִנֵּה שָׁבָה יְבִמְתֵּךְ אֶל־עַמָּהּ וְאֶל־
そして-言った 見よ 帰った あなたの-義理の-姉は その 民の-もとへ そして-その
H0559 H2009 H7725 H2994 H0413 H5971 H0413

אֱלֹהֶיהָ שׁוּבִי אַחֲרֵי יְבִמְתֵּךְ׃
神々の-もとへ 帰りなさい に-従って あなたの-義理の-姉
H0430 H7725 H0310 H2994

そこでナオミは言った、「ごらんなさい。あなたの相嫁は自分の民と自分の神々のもとへ帰って行きました。あなたも相嫁のあとについて帰りなさい」。

16 וַתֹּאמֶר רוּת אַל־תִּפְגְּעִי־בִי לְעָזְבֵךְ לָשׁוּב
そして-言った ルツは しないで-ください 迫らないで-ください 私に あなたを-離れて 帰るように
H0559 H7327 H0408 H6293 H0310 H5800 H7725

מֵאַחֲרָיִךְ כִּי אֶל־אֲשֶׁר תֵּלְכִי אֵלֵךְ וּבַאֲשֶׁר
なぜなら その ところへ あなたが-行く 私も-行きます そして-あなたが-泊まる
H0310 H0413 H0834 H3212 H1980 H3212 H0996

תָּלִינִי אָלִין עַמֵּךְ עַמִּי וֵאלֹהַיִךְ אֱלֹהָי׃
ところに 私も-泊まります あなたの-民は 私の-民 あなたの-神は 私の-神
H3885 H3885 H5971 H5971 H0430 H0430 H0430 H0430

しかしルツは言った、「あなたを捨て、あなたを離れて帰ることをわたしに勧めないでください。わたしはあなたの行かれる所へ行き、またあなたの宿られる所に宿ります。あなたの民はわたしの民、あなたの神はわたしの神です。

17 בַּאֲשֶׁר תָּמוּתִי אָמוּת וְשָׁם אֶקָּבֵר כֹּה יַעֲשֶׂה
あなたが-死ぬ ところで 私も-死にます そして-そこに 葬られます このように なさるように
H0834 H4191 H4191 H0853 H8033 H6912 H3541 H6213

יְהוָה לִי וְכֹה יוֹסִיף כִּי הַמָּוֶת יַפְרִיד בֵּינִי
主が 私に そして-このように 加えられるように もし 死だけが 隔てる-ならば 私と
H3068 H0589 H3541 H3254 H3588 H4194 H6504 H0996

וּבֵינֵךְ׃
あなたの-間を
H0996

あなたの死なれる所でわたしも死んで、そのかたわらに葬られます。もし死に別れでなく、わたしがあなたと別れるならば、主よ、どうぞわたしをいくえにも罰してください」。

18 וַתֵּרֶא כִּי־מִתְאַמֶּצֶת הִיא לָלֶכֶת אִתָּהּ וַתֶּחְדַּל
そして-見た つまり 固く-決心している 彼女が 行こうと 共に やめた
H7200 H3588 H0553 H1931 H3212 H0854 H2308

לְדַבֵּר אֵלֶיהָ׃
語ることを 彼女に
H1696 H0413

ナオミはルツが自分と一緒に行こうと、固く決心しているのを見たので、そのうえ言うことをやめた。

19 וַתֵּלַכְנָה שְׁתֵּיהֶם עַד־בֹּאָנָה בֵּית לֶחֶם וַיְהִי
そして-歩いた 二人は 着くまで 来るまで ベツレヘムに さて
H3212 H8147 H5704 H0935 H1035 H1961

כְּבֹאָנָה בֵּית לֶחֶם וַתֶּהֱם כָּל־הָעִיר עֲלֵיהֶן וַתֹּאמַרְנָה
来た-とき ベツレヘムに 騒ぎ立った すべての 町が 彼女たちのことで そして-言った
H0935 H1035 H1949 H3605 H5892 H5921 H0559

הֲזֹאת נָעֳמִי׃
これは ナオミかと
H2063 H5281

そしてふたりは旅をつづけて、ついにベツレヘムに着いた。彼らがベツレヘムに着いたとき、町はこぞって彼らのために騒ぎたち、女たちは言った、「これはナオミですか」。

קְרֶאןָ	נָעֳמִי	לִי	תִקְרֶאנָה	אַל־	אֲלֵיהֶן	וַתֹּאמֶר	20
呼んでください	ナオミと	私を	呼ばないでください	しないでください	彼女たちに	そして–言った	
H7121	H5281		H7121	H0408	H0413	H0559	

מְאֹד׃	לִי	שַׁדַּי	הֵמַר	כִּי־	מָרָא	לִי
非常に	私を	全能者が	苦しめられた	なぜなら	マラと	私を
H3966		H7706	H4843		H4755	

ナオミは彼らに言った、「わたしをナオミ（楽しみ）と呼ばずに、マラ（苦しみ）と呼んでください。なぜなら全能者がわたしをひどく苦しめられたからです。

נָעֳמִי	לִי	תִקְרֶאנָה	לָמָּה	יְהוָה	הֱשִׁיבַנִי	וְרֵיקָם	הָלַכְתִּי	מְלֵאָה	אֲנִי	21
ナオミと	私を	呼ぶのですか	なぜ	主に	帰された	空しく	出て–行ったが	満ちて	私は	
H5281		H7121	H4100	H3068	H7725	H7387	H1980	H4392	H0589	

לִי׃	הֵרַע	וְשַׁדַּי	בִּי	עָנָה	וַיהוָה
私に	災いを–もたらされた	そして–全能者が	私に–対して	証言された	主が
		H7706			H3068

わたしは出て行くときは豊かでありましたが、主はわたしをから手で帰されました。主がわたしを悩まし、全能者がわたしに災をくだされたのに、どうしてわたしをナオミと呼ぶのですか」。

מִשְּׂדֵי	הַשָּׁבָה	עִמָּהּ	כַלָּתָהּ	הַמּוֹאֲבִיָּה	וְרוּת	נָעֳמִי	וַתָּשָׁב	22
の–野から	帰って来た	共に	その–嫁も	モアブの–女	そして–ルツ	ナオミは	こうして–帰って来た	
	H7725		H3618	H4125	H7327	H5281	H7725	

שְׂעֹרִים׃	קְצִיר	בִּתְחִלַּת	לֶחֱמָה־בֵית	בָּאוּ	וְהֵמָּה	מוֹאָב
大麦の	刈り入れ	の–初めに	ベツレヘムに	着いた	そして–彼女たちは	モアブ
H8184		H8462	H1035	H0935	H1992	H4124

こうしてナオミは、モアブの地から帰った嫁、モアブの女ルツと一緒に帰ってきて、大麦刈の初めにベツレヘムに着いた。

Chapter 2

אֱלִימֶלֶךְ	מִמִּשְׁפַּחַת	חַיִל	גִּבּוֹר	אִישׁ	לְאִישָׁהּ	(מוֹדַע)	[מידע]	וְלָנָעֳמִי	1
エリメレク	の–家族から	有力な	力ある	人で	夫の	知り合いが	—	さて–ナオミには	
H0458	H4940	H2428	H1368	H0376	H0376	H4129	H3045	H5281	

בֹּעַז׃	וּשְׁמוֹ
ボアズ	その–名は
H1162	H8034

さてナオミには、夫エリメレクの一族で、非常に裕福なひとりの親戚があって、その名をボアズといった。

הַשָּׂדֶה	נָא	אֵלְכָה־	נָעֳמִי	אֶל־	הַמּוֹאֲבִיָּה	רוּת	וַתֹּאמֶר	2
畑に	どうか	行かせて–ください	ナオミ	に	モアブの–女	ルツは	そして–言った	
	H4994	H3212	H5281	H0413	H4125	H7327	H0559	

וַתֹּאמֶר	בְּעֵינָיו	חֵן	אֶמְצָא־	אֲשֶׁר	אַחַר	בַּשִּׁבֳּלִים	וַאֲלַקֳטָה
そして–言った	その–目に	恵みを	好意を–見つける	その	の–後ろで	落ち穂を	そして–拾い集めます
H0559		H2580	H4672				H3950

בִתִּי׃	לְכִי	לָהּ
娘よ	行きなさい	彼女に
H1323	H3212	

モアブの女ルツはナオミに言った、「どうぞ、わたしを畑に行かせてください。だれか親切な人が見当るならば、わたしはその方のあとについて落ち穂を拾います」。ナオミが彼女に「娘よ、行きなさい」と言ったので、

3

הַקֹּצְרִים	אַחֲרֵי	בַּשָּׂדֶה	וַתְּלַקֵּט	וַתָּבוֹא	וַתֵּלֶךְ	
刈り取る-者たち	の-後ろで	畑で	そして-拾い集めた	そして-来て	そして-行った	
			H3950	H0935	H3212	

אֱלִימֶלֶךְ׃	מִמִּשְׁפַּחַת	אֲשֶׁר	לְבֹעַז	הַשָּׂדֶה	חֶלְקַת	מִקְרֶהָ	וַיֶּקֶר
エリメレク	の-家族	その	ボアズの	畑	の-一部に	彼女が-来た	そして-たまたま
H0458	H4940		H1162			H4745	

ルツは行って、刈る人たちのあとに従い、畑で落ち穂を拾ったが、彼女ははからずもエリメレクの一族であるボアズの畑の部分にきた。

4

יְהוָה	לַקֹּצְרִים	וַיֹּאמֶר	לֶחֱמִבֵּית	בָּא	בֹּעַז	וְהִנֵּה־	
主が	刈り取る-者たちに	そして-言った	ベツレヘムから	来た	ボアズが	すると-見よ	
H3068		H0559	H1035	H0935	H1162	H2009	

יְהוָה׃	יְבָרֶכְךָ	לוֹ	וַיֹּאמְרוּ	עִמָּכֶם
主に	祝福されるように	彼に	そして-答えた	あなたがたと-共に
H3068	H1288		H0559	

その時ボアズは、ベツレヘムからきて、刈る者どもに言った、「主があなたがたと共におられますように」。彼らは答えた、「主があなたを祝福されますように」。

5

הַנַּעֲרָה	לְמִי	הַקֹּצְרִים	עַל־	הַנִּצָּב	לְנַעֲרֹו	בֹּעַז	וַיֹּאמֶר
娘	誰の	刈り取る-者たち	の-上に	立てられた	その-しもべに	ボアズは	そして-言った
H5291	H4310			H5324	H5288	H1162	H0559

הַזֹּאת׃
この
H2063

ボアズは刈る人たちを監督しているしもべに言った、「これはだれの娘ですか」。

6

מוֹאֲבִיָּה	נַעֲרָה	וַיֹּאמֶר	הַקֹּצְרִים	עַל־	הַנִּצָּב	הַנַּעַר	וַיַּעַן
モアブ人	若い-女で	そして-言った	刈り取る-者たち	の-上に	立てられた	若者は	そして-答えた
H4125	H5291	H0559			H5324	H5288	

מוֹאָב׃	מִשָּׂדֶה	נָעֳמִי	עִם־	הַשָּׁבָה	הִיא	
モアブ	の-野から	ナオミ	と-共に	帰って来た	彼女は	
H4124		H5281		H7725	H1931	

刈る人たちを監督しているしもべは答えた、「あれはモアブの女で、モアブの地からナオミと一緒に帰ってきたのですが、

7

אַחֲרֵי	בֶּעֳמָרִים	וְאָסַפְתִּי	נָא	אֲלַקֶּטָה־	וַתֹּאמֶר	
の-後ろで	束の-間で	そして-集めます	どうか	拾い集めさせて-ください	そして-言った	
		H0622	H4994	H3950	H0559	

שִׁבְתָּהּ	זֶה	עַתָּה	וְעַד־	הַבֹּקֶר	מֵאָז	וַתַּעֲמֹד	וַתָּבוֹא	הַקֹּצְרִים
彼女が-休んだ	これは	今	まで	朝	から-ずっと	立ち続けた	そして-来て	刈り取る-者たち
H3427	H2088	H6258	H5704	H1242		H5975	H0935	

מְעָט׃	הַבָּיִת	
少し	家で	
H4592		

彼女は『どうぞ、わたしに、刈る人たちのあとについて、束のあいだで、落ち穂を拾い集めさせてください』と言いました。そして彼女は朝早くきて、今まで働いて、少しのあいだも休みませんでした」。

אַל־	בִּתִּי	שִׁמְעַתְּ	הֲלוֹא	רוּת	אֶל־	בֹּעַז	וַיֹּאמֶר	8
しないで–ください	娘よ	聞いて–ください	聞きなさい	ルツ	に	ボアズは	そして–言った	
H0408	H1323	H8085	H3808	H7327	H0413	H1162	H0559	

תַּעֲבוֹרִי	לְלֶקֶט	בְּשָׂדֶה	אַחֵר	וְגַם	לֹא	תֵלְכִי
移らないで–ください	拾い集めに	の–畑で	他の	そして–また	しないで–ください	行かないで–ください
	H3950		H0312	H1571	H3808	H3212

נַעֲרֹתָי׃	עִם־	תִּדְבָּקִין	וְכֹה	מִזֶּה
私の–若い–女たち	と–共に	ついて–いなさい	そして–ここで	ここから
H5291		H1692	H3541	H2088

ボアズはルツに言った、「娘よ、お聞きなさい。ほかの畑に穂を拾いに行ってはいけません。またここを去ってはなりません。わたしのところで働く女たちを離れないで、ここにいなさい。

אַחֲרֵיהֶן	וְהָלַכְתְּ	יִקְצֹרוּן	אֲשֶׁר־	בַּשָּׂדֶה	עֵינַיִךְ	9
彼女たちの–後ろを	そして–ついて行きなさい	刈り取っている	そこで	畑に	目を–向けなさい	
	H1980					

וְהָלַכְתְּ	וְצָמִת	נָגְעֵךְ	לְבִלְתִּי	הַנְּעָרִים	אֶת־	צִוִּיתִי	הֲלוֹא
行きなさい	そして–渇いたら	触れない–ように	しない–ように	若者たちに	その	命じました	すでに
H1980	H6770	H5060	H1115	H5288	H0853	H6680	H3808

הַנְּעָרִים׃	יִשְׁאֲבוּן	מֵאֲשֶׁר	וְשָׁתִית	הַכֵּלִים	אֶל־
若者たちが	汲んだ–ものを	から	そして–飲みなさい	水がめの–ところに	その
H5288	H7579		H8354	H3627	H0413

人々が刈りとっている畑に目をとめて、そのあとについて行きなさい。わたしは若者たちに命じて、あなたのじゃまをしないようにと、言っておいたではありませんか。あなたがかわく時には水がめのところへ行って、若者たちのくんだのを飲みなさい」。

מַדּוּעַ	אֵלֶיהָ	וַתֹּאמֶר	אָרְצָה	וַתִּשְׁתַּחוּ	פָּנֶיהָ	עַל־	וַתִּפֹּל	10
なぜ	彼に	そして–言った	地に	そして–ひれ伏した	顔	の–上に	そして–伏した	
H4069	H0413	H0559	H0776	H7812	H6440		H5307	

נָכְרִיָּה׃	וְאָנֹכִי	לְהַכִּירֵנִי	בְּעֵינֶיךָ	חֵן	מָצָאתִי
よそ者–なのに	私は	気にかけて–くださるとは	あなたの–目に	好意を	見つけたのですか
H5237	H0595			H2580	H4672

彼女は地に伏して拝し、彼に言った、「どうしてあなたは、わたしのような外国人を顧みて、親切にしてくださるのですか」。

כֹּל	לִי	הֻגֵּד	הֻגֵּד	לָהּ	וַיֹּאמֶר	בֹּעַז	וַיַּעַן	11
すべて	私に	知らされました	伝えられました	彼女に	そして–言った	ボアズは	そして–答えた	
H3605		H5046	H5046		H0559	H1162		

אָבִיךְ	וַתַּעַזְבִּי	אִישֵׁךְ	מוֹת	אַחֲרֵי	חֲמוֹתֵךְ	אֶת־	עָשִׂית	אֲשֶׁר־
父を	そして–捨てた	夫の	死	の–後	しゅうとめ	に–対して	したことが	あなたが
H0001		H0376	H4194		H2545	H0854		

לֹא־	אֲשֶׁר	עַם	אֶל־	וַתֵּלְכִי	מוֹלַדְתֵּךְ	וְאֶרֶץ	וְאִמֵּךְ	
知ら–なかった	その	民の–もとに	その	そして–来た	故郷の	そして–地を	そして–母を	
H3808			H0413	H3212	H4138	H0776	H0517	

שִׁלְשׁוֹם׃	תְּמוֹל	יָדַעַתְּ	
一昨日も	昨日も	あなたが	
H8032	H8543	H3045	

ボアズは答えて彼女に言った、「あなたの夫が死んでこのかた、あなたがしゅうとめにつくしたこと、また自分の父母と生れた国を離れて、かつて知らなかった民のところにきたことは皆わたしに聞えました。

12
מֵעִם שְׁלֻמָּה מַשְׁכֻּרְתֵּךְ וּתְהִי פָּעֳלֵךְ יְהוָה יְשַׁלֵּם
から 十分に あなたの–報酬が そして–ある–ように あなたの–行いに 主が 報いて–くださるように
H8003 H4909 H1961 H6467 H3068

כְּנָפָיו׃ תָּחַת־ לַחֲסוֹת בָּאת אֲשֶׁר־ יִשְׂרָאֵל אֱלֹהֵי יְהוָה
翼の の–下に 身を–避ける–ために 来た その イスラエル の–神 主
H3671 H8478 H2620 H0935 H3478 H0430 H3068

どうぞ、主があなたのしたことに報いられるように。どうぞ、イスラエルの神、主、すなわちあなたがその翼の下に身を寄せようとしてきた主からじゅうぶんの報いを得られるように」。

13
כִּי אֲדֹנִי בְעֵינֶיךָ חֵן אֶמְצָא־ וַתֹּאמֶר
なぜなら わが–主よ あなたの–目に 好意を 見つけます–ように そして–言った
H0113 H2580 H4672 H0559

וְאָנֹכִי שִׁפְחָתֶךָ לֵב עַל־ דִּבַּרְתָּ וְכִי נִחַמְתָּנִי
しかし–私は はしための 心 の–上に 語って–くださいました そして 慰めて–くださいました
H0595 H8198 H1696 H5162

שִׁפְחֹתֶיךָ׃ כְּאַחַת אֶהְיֶה לֹא
あなたの–はしためたち の–一人にさえ なれ ない–でしょう
H8198 H0259 H1961 H3808

彼女は言った、「わが主よ、まことにありがとうございます。わたしはあなたのはしためのひとりにも及ばないのに、あなたはこんなにわたしを慰め、はしためにねんごろに語られました」。

14
מִן־ וְאָכַלְתְּ הֲלֹם גְּשִׁי הָאֹכֶל לְעֵת בֹּעַז לָהּ וַיֹּאמֶר
の–中から そして–食べなさい ここに 来なさい 食事 の–時に ボアズは 彼女に そして–言った
H0398 H1988 H5066 H0400 H6256 H1162 H0559

הַקֹּוצְרִים מִצַּד וַתֶּשֶׁב בַּחֹמֶץ פִּתֵּךְ וְטָבַלְתְּ הַלֶּחֶם
刈り取る–者たち の–そばに そして–座った 酢に あなたの–一口を そして–浸しなさい パン
H6654 H3427 H2558 H2881 H3899

וַתִּתֶּר׃ וַתִּשְׂבַּע וַתֹּאכַל קָלִי לָהֶם וַיִּצְבָּט־
そして–残した そして–満腹し そして–食べた 炒り麦を 彼女に そして–差し出した
H3498 H7646 H0398 H7039 H6642

食事の時、ボアズは彼女に言った、「ここへきて、パンを食べ、あなたの食べる物を酢に浸しなさい」。彼女が刈る人々のかたわらにすわったので、ボアズは焼麦を彼女に与えた。彼女は飽きるほど食べて残した。

15
גַּם לֵאמֹר נְעָרָיו אֶת־ בֹּעַז וַיְצַו לְלַקֵּט וַתָּקָם
また 言って 若者たちに その ボアズは そして–命じた 拾い集める–ために そして–立ち上がった
H1571 H0559 H5288 H0853 H1162 H6680 H3950

תַּכְלִימוּהָ׃ וְלֹא תְלַקֵּט הָעֳמָרִים בֵּין
恥をかかせないように そして–しないように 拾い集めさせなさい 束 の–間で–も
H3637 H3808 H3950 H0996

そして彼女がまた穂を拾おうと立ちあがったとき、ボアズは若者たちに命じて言った、「彼女には束の間でも穂を拾わせなさい。とがめてはならない。

16
וַעֲזַבְתֶּם הַצְּבָתִים מִן־ לָהּ תָּשְׁלוּ שֹׁל־ וְגַם
そして–残しなさい 束 の–中から 彼女の–ために 引き抜いて わざと そして–また
H6653 H1571

בָּהּ׃ תִּגְעֲרוּ־ וְלֹא וְלִקְטָה
彼女を 叱ら–ないように そして–しないように そして–拾い集めるように
H1605 H3808 H3950

また彼女のために束からわざと抜き落しておいて拾わせなさい。しかってはならない」。

17 וַתְּלַקֵּט בַּשָּׂדֶה עַד־עֶרֶב וַתַּחְבֹּט אֵת אֲשֶׁר־
そして-拾い集めた 畑で まで 夕方 そして-打って-落とした その 拾い集めた-ものを
H3950 H5704 H6153 H2251 H0853

לִקָּטָה וַיְהִי כְּאֵיפָה שְׂעֹרִים׃
集めた そして-あった 約--一-エパの 大麦
H3950 H1961 H0374 H8184

こうして彼女は夕暮まで畑で落ち穂を拾った。そして拾った穂を打つと、大麦は一エパほどあった。

18 וַתִּשָּׂא וַתָּבֹא וַתֵּרֶא חֲמוֹתָהּ אֵת אֲשֶׁר־
そして-持ち上げて そして-来た 町に そして-見た しゅうとめは その 拾い集めた-ものを
H5375 H0935 H5921 H7200 H2545 H0853

לִקָּטָה וַתּוֹצֵא וַתִּתֶּן־לָהּ אֵת אֲשֶׁר־הוֹתְרָה מִשָּׂבְעָהּ׃
集めた そして-取り出して そして-与えた 彼女に その 残した-ものを 満腹した-後に 残った
H3950 H3318 H5414 H0853 H3498 H7648

彼女はそれを携えて町にはいり、しゅうとめにその拾ったものを見せ、かつ食べ飽きて、残して持ちかえったものを取り出して与えた。

19 וַתֹּאמֶר לָהּ חֲמוֹתָהּ אֵיפֹה לָקַטְתְּ הַיּוֹם וְאָנָה עָשִׂית
そして-言った 彼女に しゅうとめは どこで 拾い集めましたか 今日 そして-どこで 働きましたか
H0559 H2545 H0375 H3950 H3117 H0575

אֲשֶׁר־ אֵת לַחֲמוֹתָהּ וַתַּגֶּד בָּרוּךְ מַכִּירֵךְ יְהִי
共に その しゅうとめに そして-告げた 祝福-されますように あなたを-認めた-方が ある-ように
H0834 H0853 H2545 H5046 H1288 H5234 H1961

בֹּעַז׃ הַיּוֹם עִמּוֹ עָשִׂיתִי אֲשֶׁר הָאִישׁ שֵׁם וַתֹּאמֶר עִמּוֹ עָשְׂתָה
ボアズ 今日 と-共に 共に-働いた その その-人の 名は そして-言った と-共に 働いた-方を
H1162 H3117 H5973 H6213 H0834 H0376 H8034 H0559 H5973 H6213

しゅうとめは彼女に言った、「あなたは、きょう、どこで穂を拾いましたか。どこで働きましたか。あなたをそのように顧みてくださったかたに、どうか祝福があるように」。そこで彼女は自分がだれの所で働いたかを、しゅうとめに告げて、「わたしが、きょう働いたのはボアズという名の人の所です」と言った。

20 וַתֹּאמֶר נָעֳמִי לְכַלָּתָהּ בָּרוּךְ הוּא לַיהוָה אֲשֶׁר לֹא־
そして-言った ナオミは 嫁に 祝福-されるように 彼が 主に その 捨て-なかった
H0559 H5281 H3618 H1288 H1931 H3068 H0834 H3808

עָזַב חַסְדּוֹ אֶת־ וְאֶת־ הַמֵּתִים הַחַיִּים לַמֵּתִים וַתֹּאמֶר
見捨てなかった その-恵みを に-対して そして 死んだ-者たちに 生きている-者たち そして-に-対して 彼女に
H5800 H2617 H0854 H0854 H4191 H2416 H0559

לָהּ נָעֳמִי קָרוֹב לָנוּ הָאִישׁ מִגֹּאֲלֵנוּ הוּא׃
彼女に ナオミは 近い 私たちに その-人は 私たちの-贖い-主の--一人 彼は
H5281 H7138 H0376 H1931

ナオミは嫁に言った、「生きている者をも、死んだ者をも、顧みて、いつくしみを賜わる主が、どうぞその人を祝福されますように」。ナオミはまた彼女に言った、「その人はわたしたちの縁者で、最も近い親戚のひとりです」。

21 וַתֹּאמֶר רוּת הַמּוֹאֲבִיָּה גַּם כִּי־אָמַר אֵלַי עִם־הַנְּעָרִים
ルツは そして-言った モアブの-女 さらに また 言いました 私に と-共に 若者たち
H7327 H0559 H4125 H1571 H3588 H0559 H0413 H5288

אֲשֶׁר־לִי תִּדְבָּקִין עַד אִם־כָּלוּ כָּל־הַקָּצִיר אֲשֶׁר־לִי׃
私の-もの ついて-いなさい まで すべて 終える その すべての 刈り入れを 私の
H1692 H5704 H0518 H3615 H0853 H3605 H7105

モアブの女ルツは言った、「その人はまたわたしに『あなたはわたしのところの刈入れが全部終るまで、わたしのしもべたちのそばについていなさい』と言いました」。

22 וַתֹּאמֶר נָעֳמִי אֶל־רוּת כַּלָּתָהּ טוֹב בִּתִּי כִּי תֵצְאִי
ナオミは そして-言った に 嫁に 良い-ことです 娘よ それなら 出かけなさい
H5281 H0559 H0413 H7327 H3618 H2896 H1323 H3588 H3318

וְלֹא יִפְגְּעוּ־בָךְ בְּשָׂדֶה אַחֵר׃
そして-しないように 出会わないように あなたが の-畑で 他の
H3808 H6293 H0859 H7704 H0312

עִם־נַעֲרוֹתֶיהָ
と-共に 彼の-若い-女たち
H5973 H5291

ナオミは嫁ルツに言った、「娘よ、その人のところで働く女たちと一緒に出かけるのはけっこうです。そうすればほかの畑で人にいじめられるのを免れるでしょう」。

23 וַתִּדְבַּק בְּנַעֲרוֹת בֹּעַז לְלַקֵּט עַד־כִּלּוֹת קְצִיר־הַשְּׂעֹרִים
そして-ついていった の-若い-女たちに ボアズ 拾い集める-ため まで 終わる 刈り入れ 大麦の
H1692 H5291 H1162 H3950 H5704 H3615 H7105 H8184

וְתֵשֶׁב אֶת־חֲמוֹתָהּ׃ וּקְצִיר הַחִטִּים וְתִשָּׁכֵב
そして-住んだ と-共に しゅうとめ そして-刈り入れ 小麦の
H3427 H0854 H2545 H7105 H2406

それで彼女はボアズのところで働く女たちのそばについていて穂を拾い、大麦刈と小麦刈の終るまでそうした。こうして彼女はしゅうとめと一緒に暮した。

Chapter 3

1 וַתֹּאמֶר לָהּ נָעֳמִי חֲמוֹתָהּ בִּתִּי הֲלֹא אֲבַקֶּשׁ־לָךְ
彼女に ナオミは しゅうとめ 娘よ ではないか 探しましょう あなたの-ために
H3808 H5281 H2545 H1323 H3808 H1245 H0559

מָנוֹחַ אֲשֶׁר יִיטַב־לָךְ׃
安息の-場所を それは 良く-なる-ように あなたにとって
H4494 H3190

時にしゅうとめナオミは彼女に言った、「娘よ、わたしはあなたの落ち着き所を求めて、あなたをしあわせにすべきではないでしょうか。

2 וְעַתָּה הֲלֹא בֹעַז מֹדַעְתָּנוּ אֲשֶׁר הָיִית אֶת־נַעֲרוֹתָיו
さて-今 ではないか ボアズは 私たちの-知り合い その いた と-共に 彼の-若い-女たち
H6258 H3808 H1162 H4130 H0834 H1961 H0854 H5291

הִנֵּה הוּא זֹרֶה אֶת־גֹּרֶן הַשְּׂעֹרִים הַלָּיְלָה׃
見よ-彼は 彼は ふるい-分けている その 脱穀場で 大麦の 今夜
H2009 H1931 H2219 H0853 H1637 H8184 H3915

あなたが一緒に働いた女たちの主人ボアズはわたしたちの親戚ではありませんか。彼は今夜、打ち場で大麦をあおぎ分けます。

3

וְרָחַצְתְּ וָסַכְתְּ וְשַׂמְתְּ [שמלתך] (שִׂמְלֹתַיִךְ) עָלָיִךְ
そして-洗いなさい そして-油を-塗りなさい そして-着なさい — 衣を あなたの-上に
H7364 H5480 H8071 H8071 H8071

וְיָרַדְתְּ (וְיָרַדְתִּ) [וירדתי] הַגֹּרֶן אַל־ תִּוָּדְעִי לָאִישׁ
そして-降りて-行きなさい — 脱穀場に しないで-ください 知られないで-ください その-人に
H3381 H3381 H1637 H0408 H3045 H0376

עַד כַּלֹּתוֹ לֶאֱכֹל וְלִשְׁתּוֹת׃
まで 彼が-終える 食べることを そして-飲むことを
H5704 H3615 H0398 H8354

それであなたは身を洗って油をぬり、晴れ着をまとって打ち場に下って行きなさい。ただ、あなたはその人が飲み食いを終るまで、その人に知られてはなりません。

4

וְהָיָה בְּשָׁכְבוֹ וָיָדַעַתְּ אֶת־ הַמָּקוֹם אֲשֶׁר יִשְׁכַּב־
そして-なる 彼が-横になったら そして-確かめなさい その 場所を そこに 彼が-横たわる
H1961 H7901 H3045 H0853 H4725 H0853 H7901

שָׁם וּבָאת וְגָלִית מַרְגְּלֹתָיו [וושכבתי] (וְשָׁכַבְתְּ) וְהוּא
そこで そして-行って そして-めくりなさい 足もとを — そして-横たわりなさい そして-彼が
H8033 H0935 H1540 H4772 H7901 H1931

תַּעֲשִׂין׃ אֲשֶׁר אֵת לָךְ יַגֵּיד
するべきことを あなたが その あなたに 告げるでしょう
H0853 H5046

そしてその人が寝る時、その寝る場所を見定め、はいって行って、その足の所をまくって、そこに寝なさい。彼はあなたのすべきことを知らせるでしょう」。

5

וַתֹּאמֶר אֵלֶיהָ כֹּל אֲשֶׁר־ תֹּאמְרִי (אֵלַי) אֶעֱשֶׂה׃
そして-言った 彼女に すべて あなたが 言うことを 私に します
H0559 H0413 H3605 H0559 H0413

ルツはしゅうとめに言った、「あなたのおっしゃることを皆いたしましょう」。

6

וַתֵּרֶד הַגֹּרֶן וַתַּעַשׂ כְּכֹל אֲשֶׁר־ צִוַּתָּהּ
そして-降りて-行った 脱穀場に そして-した すべての-とおりに 命じた 命じたとおりに
H3381 H1637 H6680 H3605 H6680

חֲמוֹתָהּ׃
しゅうとめが
H2545

こうして彼女は打ち場に下り、すべてしゅうとめが命じたとおりにした。

7

וַיֹּאכַל בֹּעַז וַתִּשְׁתְּ וַיִּיטַב לִבּוֹ וַיָּבֹא לִשְׁכָּב
そして-食べた ボアズは そして-飲んだ そして-喜んだ 心が そして-来た 横たわるために
H0398 H1162 H8354 H3190 H0935 H7901

בִּקְצֵה הָעֲרֵמָה וַתָּבֹא בַלָּט וַתִּגֶל מַרְגְּלֹתָיו וַתִּשְׁכָּב׃
の-端に 積み山 そして-来た ひそかに そして-めくった 足もとを そして-横たわった
H6194 H0935 H3909 H1540 H4772 H7901

ボアズは飲み食いして、心をたのしませたあとで、麦を積んである場所のかたわらへ行って寝た。そこで彼女はひそかに行き、ボアズの足の所をまくって、そこに寝た。

8 וַיְהִי בַּחֲצִי הַלַּיְלָה וַיֶּחֱרַד הָאִישׁ וַיִּלָּפֵת וְהִנֵּה
そして-あった の-真ん中に 夜 そして-震えた その-人は そして-手探りした すると-見よ
H1961 H2677 H3915 H2729 H0376 H3943 H2009

אִשָּׁה שֹׁכֶבֶת מַרְגְּלֹתָיו׃
女が 横たわっていた 足もとに
H0802 H7901 H4772

夜中になって、その人は驚き、起きかえって見ると、ひとりの女が足のところに寝ていたので、

9 וַיֹּאמֶר מִי אַתְּ וַתֹּאמֶר אָנֹכִי רוּת אֲמָתֶךָ
そして-言った 誰 あなたは そして-言った 私は ルツ あなたの-はしため
H0559 H4310 H0559 H0595 H7327 H0519

וּפָרַשְׂתָּ כְנָפֶךָ עַל־אֲמָתְךָ כִּי גֹאֵל אָתָּה׃
そして-広げてください あなたの-衣の-裾を の-上に あなたの-はしため なぜなら 贖い-主
H6566 H3671 H0519

あなたです
H0559

「あなたはだれですか」と言うと、彼女は答えた、「わたしはあなたのはしためルツです。あなたのすそで、はしためをおおってください。あなたは最も近い親戚です」。

10 וַיֹּאמֶר בְּרוּכָה אַתְּ לַיהוָה בִּתִּי הֵיטַבְתְּ חַסְדֵּךְ הָאַחֲרוֹן
そして-言った 祝福-されるように あなたは 主に 娘よ 良くした あなたの-恵みは 後の-ものが
H0559 H1288 H0853 H3068 H1323 H3190 H2617 H0314

מִן־הָרִאשׁוֹן לְבִלְתִּי־לֶכֶת אַחֲרֵי הַבָּחוּרִים אִם־דַּל וְאִם־עָשִׁיר׃
よりも 初めの-もの しないで 行くことを の-後に 若者たち 貧しい-者も 富める-者も
H7223 H1115 H3212 H0310 H0970 H1800 H6223

ボアズは言った、「娘よ、どうぞ、主があなたを祝福されるように。あなたは貧富にかかわらず若い人に従い行くことはせず、あなたが最後に示したこの親切は、さきに示した親切にまさっています。

11 וְעַתָּה בִּתִּי אַל־תִּירְאִי כֹּל אֲשֶׁר־תֹּאמְרִי אֶעֱשֶׂה־לָּךְ
さて-今 娘よ しないで-ください 恐れないで-ください すべて あなたが 言うことを しましょう
H6258 H1323 H0408 H3372 H3605 H0834 H0559 H6213

כִּי יוֹדֵעַ כָּל־שַׁעַר עַמִּי אֵשֶׁת חַיִל אָתְּ׃
なぜなら 知っている すべての 門 私の-民の つまり 女の 力ある
H3045 H3605 H8179 H5971 H0802 H2428

あなたであると
H0859

それで、娘よ、あなたは恐れるにおよびません。あなたが求めることは皆、あなたのためにいたしましょう。わたしの町の人々は皆、あなたがりっぱな女であることを知っているからです。

12 וְעַתָּה כִּי אָמְנָם כִּי אִם־גֹּאֵל אָנֹכִי וְגַם יֵשׁ גֹּאֵל קָרוֹב מִמֶּנִּי׃
さて-今 確かに 本当に 確かに 一 贖い-主です 私は しかし-また いる 贖い-主が 近い 私より
H6258 H3588 H0551 H3588 H0518 H0595 H1571 H3426 H0376 H7138 H4480

たしかにわたしは近い親戚ではありますが、わたしよりも、もっと近い親戚があります。

13
וְלִ֣ינִי הַלַּ֔יְלָה וְהָיָ֣ה בַבֹּ֔קֶר אִם־ יִגְאָלֵ֖ךְ טוֹב֑ יִגְאָ֕ל וְאִם־
泊まりなさい 今夜 そして-なる 朝に 良い 贖うなら もし 贖うでしょう しかし-もし
H3915 H1961 H1242 H3068

לֹ֣א יַחְפֹּ֔ץ לְגָאֲלֵ֖ךְ וּגְאַלְתִּ֣יךְ אָנֹכִ֑י חַי־ יְהוָ֔ה
しない 望まない-なら 贖うことを 私が-贖います 私が 生きておられる 主に-かけて
H3808 H0595

שִׁכְבִ֖י עַד־ הַבֹּ֥קֶר׃
横たわりなさい まで 朝
H7901 H5704 H1242

今夜はここにとどまりなさい。朝になって、もしその人が、あなたのために親戚の義務をつくすならば、よろしい、その人にさせなさい。しかし主は生きておられます。その人が、あなたのために親戚の義務をつくすことを好まないならば、わたしはあなたのために親戚の義務をつくしましょう。朝までここにおやすみなさい」。

14
(בְּטֶ֣רֶם) [בטרום] וַתָּ֖קָם הַבֹּ֑קֶר עַד־ (מַרְגְּלוֹתָיו֙) [מרגלתו] וַתִּשְׁכָּ֣ב
前に — そして-起きた 朝 まで 足もとに — そして-横たわった
H2962 H2958 H1242 H5704 H4772 H4772 H7901

בָּ֣אָה כִּי־ יִוָּדַ֔ע אַל־ וַיֹּ֣אמֶר רֵעֵ֔הוּ אֶת־ אִ֖ישׁ יַכִּ֑יר
来たと つまり 知られないように しないように そして-言った 隣人を その 人が 見分けられる
H0935 H3045 H0408 H0559 H7453 H0853 H0376

הַגֹּֽרֶן׃ הָאִשָּׁ֥ה
脱穀場に 女が
H1637 H0802

ルツは朝まで彼の足のところに寝たが、だれかれの見分け難いころに起きあがった。それはボアズが「この女の打ち場にきたことが人に知られてはならない」と言ったからである。

15
הָ֣בִי הַמִּטְפָּחַ֤ת אֲשֶׁר־ עָלַ֙יִךְ֙ וְאֶחֱזִ֣י־ בָ֔הּ וַיֹּ֖אמֶר
持って-きなさい 頭掛けを その あなたの-上の そして-持ちなさい それを そして-言った
H3051 H4304 H0270 H0559

וַתָּבֹ֣א וַתָּ֔שֶׁת שְׁעֹרִ֖ים שֵׁ֣שׁ־ וַיָּ֣מָד בָּ֑הּ וַתָּאחֶז
そして-行った 彼女の-上に そして-置いた 大麦を 六-杯の そして-量った それを そして-持った
H0935 H7896 H8184 H8337 H4058 H0270

הָעִֽיר׃
町に

そしてボアズは言った、「あなたの着る外套を持ってきて、それを広げなさい」。彼女がそれを広げると、ボアズは大麦六オメルをはかって彼女に負わせた。彼女は町に帰り、

16
לָ֑הּ וַתַּגֶּד־ בִּתִּ֖י אַתְּ֥ מִי־ וַתֹּ֣אמֶר חֲמוֹתָ֔הּ אֶל־ וַתָּבוֹא֙
彼女に そして-告げた 娘よ あなたは 誰 そして-言った しゅうとめ の-もとへ そして-来た
H5046 H1323 H4310 H0559 H2545 H0413 H0935

הָאִ֔ישׁ׃ לָ֖הּ עָשָׂ֥ה אֲשֶׁ֣ר כָּל־ אֵ֥ת
その-人が 彼女に した-ことを その すべての その
H0376 H3605 H0853

しゅうとめのところへ行くと、しゅうとめは言った、「娘よ、どうでしたか」。そこでルツはその人が彼女にしたことをことごとく告げて、

17

וַתֹּ֣אמֶר	שֵׁשׁ־	הַשְּׂעֹרִ֣ים	הָאֵ֔לֶּה	נָתַ֥ן	לִ֖י	כִּ֑י	אָמַ֣ר	(אֵלַ֗י
そして-言った	六-杯の	大麦	これらを	与えました	私に	なぜなら	言ったからです	私に
H0559	H8337	H8184	H0428	H5414			H0559	H0413

אַל־	תָּבוֹאִי	רֵיקָם	אֶל־	חֲמוֹתֵךְ׃
しないで-ください	行かないで-ください	空手で	の-もとへ	しゅうとめ
H0408	H0935	H7387	H0413	H2545

言った、「あのかたはわたしに向かって、から手で、しゅうとめのところへ帰ってはならないと言って、この大麦六オメルをわたしにくださいました」。

18

וַתֹּאמֶר֙	שְׁבִ֣י	בִתִּ֔י	עַד־	אֲשֶׁ֥ר	תֵּדְעִ֖ין	אֵ֣יךְ	יִפֹּ֑ל	דָּבָ֔ר
そして-言った	座って-待ちなさい	娘よ	まで	あなたが	知る	どのように	落ち着くか	ことが
H0559	H3427	H1323	H5704		H3045		H5307	H1697

הַיּ֔וֹם׃	הַדָּבָ֖ר	כִּלָּ֣ה	אִם־	כִּי־	הָאִ֤ישׁ	יִשְׁקֹט֙	לֹ֣א	כִּ֔י
今日	ことを	終える	すべて	まで	その-人は	休まない	しない	なぜなら
H3117	H1697	H3615			H0376	H8252	H3808	

しゅうとめは言った、「娘よ、この事がどうなるかわかるまでお待ちなさい。あの人は、きょう、その事を決定しなければ落ち着かないでしょう」。

Chapter 4

1

עֹבֵ֣ר	הַגֹּאֵ֗ל	וְהִנֵּ֤ה	שָׁם֙	וַיֵּ֣שֶׁב	הַשַּׁעַ֔ר	עָלָ֥ה	וּבֹ֖עַז	
通りかかった	贖い-主が	すると-見よ	そこに	そして-座った	門に	上った	そして-ボアズは	
		H2009	H8033	H3427	H8179	H5927	H1162	

אַלְמֹנִ֣י	פְּלֹנִ֣י	פֹּ֔ה	שְׁבָ֖ה־	סּ֑וּרָה	וַיֹּ֣אמֶר	בֹּ֔עַז	דִּבֶּ֖ר־	אֲשֶׁ֥ר
氏よ	某	ここに	座りなさい	こちらに-来て	そして-言った	ボアズが	話した	その
H0492	H6423	H6311	H3427	H5493	H0559	H1162	H1696	

וַיֵּשֶׁב׃	וַיָּ֖סַר
座った	そして-曲がって
H3427	H5493

ボアズは町の門のところへ上っていって、そこにすわった。すると、さきにボアズが言った親戚の人が通り過ぎようとしたので、ボアズはその人に言った、「友よ、こちらへきて、ここにおすわりください」。彼はきてすわった。

2

פֹּ֔ה	שְׁבוּ־	וַיֹּ֣אמֶר	הָעִ֑יר	מִזִּקְנֵ֣י	אֲנָשִׁ֗ים	עֲשָׂרָה֙	וַיִּקַּ֣ח
ここに	座りなさい	そして-言った	町	の-長老たちから	人々を	十人の	そして-取った
H6311	H3427	H0559		H2205	H0376	H6235	H3947

וַיֵּשֵׁ֖בוּ׃
そして-座った
H3427

ボアズはまた町の長老十人を招いて言った、「ここにおすわりください」。彼らがすわった時、

3

מָכְרָ֞ה	לְאֱלִימֶ֣לֶךְ	לְאָחִ֗ינוּ	אֲשֶׁ֤ר	הַשָּׂדֶה֙	חֶלְקַ֣ת	לַגֹּאֵ֔ל	וַיֹּאמֶר֙	
売った	エリメレクの	私たちの-兄弟の	それは	畑	の-一部を	贖い-主に	そして-言った	
H4376	H0458	H0251					H0559	

מוֹאָ֑ב׃	מִשְּׂדֵ֖ה	הַשָּׁבָ֥ה	נָעֳמִ֛י
モアブ	の-野から	帰って-来た	ナオミが
H4124		H7725	H5281

ボアズは親戚の人に言った、「モアブの地から帰ってきたナオミは、われわれの親族エリメレクの地所を売ろうとしています。

4

הַיֹּשְׁבִים	נֶגֶד	קְנֵה	לֵאמֹר	אָזְנְךָ	אֶגְלָה	אָמַרְתִּי	וַאֲנִי	
座っている–者たち	の–前で	買いなさい	言って	あなたの–耳に	明かす	思った	そして–私は	
H3427	H5048	H7069	H0559	H0241	H1540	H0559	H0589	

לֹא	וְאִם־	גְּאָל	תִּגְאַל	אִם־	עַמִּי	זְקֵנֵי	וְנֶגֶד	
しない	しかし–もし	贖いなさい	贖うなら	もし	私の–民の	長老たち	そして–の–前で	
H3808						H2205	H5048	

זוּלָתְךָ	אֵין	כִּי	וְאֵדְעָה)	[ואדע	לִי	הַגִּידָה	יִגְאַל
あなたの–他に	いない	なぜなら	知りたいのです	—	私に	告げて–ください	贖わない–なら
H2108	H0369		H3045	H3045		H5046	

אֶגְאָל׃	אָנֹכִי	וַיֹּאמֶר	אַחֲרֶיךָ	וְאָנֹכִי	לִגְאֹל	
贖います	私が	そして–言った	あなたの–次に	そして–私が	贖う–者は	
	H0595	H0559		H0595		

それでわたしはそのことをあなたに知らせて、ここにすわっている人々と、民の長老たちの前で、それを買いなさいと、あなたに言おうと思いました。もし、あなたが、それをあがなおうと思われるならば、あがなってください。しかし、あなたがそれをあがなわないならば、わたしにそう言って知らせてください。それをあがなう人は、あなたのほかにはなく、わたしはあなたの次ですから」。彼は言った、「わたしがあがないましょう」。

5

רוּת	וּמֵאֵת	נָעֳמִי	מִיַּד	הַשָּׂדֶה	קָנוֹתְךָ	בְּיוֹם־	בֹּעַז	וַיֹּאמֶר	
ルツ	そして–から	ナオミ	の–手から	畑を	あなたが–買う	の–日に	ボアズは	そして–言った	
H7327	H0853	H5281	H3027		H7069	H3117	H1162	H0559	

עַל־	הַמֵּת	שֵׁם־	לְהָקִים	קָנִיתָה)	[קניתי	הַמֵּת	אֵשֶׁת־	הַמּוֹאֲבִיָּה
の–上に	死んだ–者	の–名を	立てる–ために	買うのです	—	死んだ–者	の–妻	モアブの–女
	H4191	H8034		H7069	H7069	H4191	H0802	H4125

נַחֲלָתוֹ׃
その–相続地
H5159

そこでボアズは言った、「あなたがナオミの手からその地所を買う時には、死んだ者の妻であったモアブの女ルツをも買って、死んだ者の名を起してその嗣業を伝えなければなりません」。

6

אַשְׁחִית	פֶּן־	לִי	לִגְאָל־)	[לגאול־	אוּכַל	לֹא	הַגֹּאֵל	וַיֹּאמֶר
損なう	それでは	私には	贖うことが	—	贖うことが	できない	贖い–主は	そして–言った
H7843	H6435				H3201	H3808		H0559

לֹא־	כִּי	גְּאֻלָּתִי	אֶת־	אַתָּה	לְךָ	גְּאַל־	נַחֲלָתִי	אֶת־	
できない	なぜなら	私の–贖いの–権利を	その	あなたが	あなたが	贖いなさい	私の–相続地を	その	
H3808		H1353	H0853				H5159	H0853	

לִגְאֹל׃	אוּכַל
贖うことが	できない
	H3201

その親戚の人は言った、「それでは、わたしにはあがなうことができません。そんなことをすれば自分の嗣業をそこないます。あなたがわたしに代って、自分であがなってください。わたしはあがなうことができませんから」。

7

וְזֹאת	לְפָנִים	בְּיִשְׂרָאֵל	עַל־	הַגְּאוּלָה	וְעַל־	הַתְּמוּרָה
さて–これは	以前	イスラエルでの	に–ついて	贖い	そして–に–ついて	交換
H2063	H6440	H3478	H5921	H1353	H5921	H8545

לְקַיֵּם	כָּל־	דָּבָר	שָׁלַף	אִישׁ	נַעֲלוֹ	וְנָתַן	לְרֵעֵהוּ	וְזֹאת
確定する–ために	すべての	ことを	脱いだ	人が	その–履物を	そして–与えた	隣人に	これが
H6965	H3605	H1697	H8025	H0376	H5275	H5414	H7453	H2063

בְּיִשְׂרָאֵל׃	הַתְּעוּדָה
イスラエルでの	証拠
H3478	H8584

むかしイスラエルでは、物をあがなう事と、権利の譲渡について、万事を決定する時のならわしはこうであった。すなわち、その人は、自分のくつを脱いで、相手の人に渡した。これがイスラエルでの証明の方法であった。

8

נַעֲלוֹ׃	וַיִּשְׁלֹף	לָךְ	קְנֵה־	לְבֹעַז	הַגֹּאֵל	וַיֹּאמֶר
その–履物を	そして–脱いだ	あなたが	買いなさい	ボアズに	贖い–主は	そして–言った
H5275	H8025	H0859	H7069	H1162	H1350	H0559

そこで親戚の人がボアズにむかい「あなたが自分であがないなさい」と言って、そのくつを脱いだので、

9

הַיּוֹם	אַתֶּם	עֵדִים	הָעָם	וְכָל־	לַזְּקֵנִים	בֹּעַז	וַיֹּאמֶר	
今日	あなたがたは	証人です	民に	そして–すべての	長老たちに	ボアズは	そして–言った	
H3117		H5707		H3605	H2205	H1162	H0559	

לְכִלְיוֹן	אֲשֶׁר	כָּל־	וְאֵת	לֶאֱלִימֶלֶךְ	אֲשֶׁר	כָּל־	אֶת־	קָנִיתִי	כִּי
キルヨン	の–もの	すべてを	そして	エリメレク	の–もの	すべてを	その	買いました	つまり
H3630		H3605	H0853	H0458		H3605	H0853	H7069	

נָעֳמִי׃	מִיַּד	וּמַחְלוֹן
ナオミ	の–手から	マフロンと
H5281	H3027	H4248

ボアズは長老たちとすべての民に言った、「あなたがたは、きょう、わたしがエリメレクのすべての物およびキリオンとマロンのすべての物をナオミの手から買いとった事の証人です。

10

לְאִשָּׁה	לִי	קָנִיתִי	מַחְלוֹן	אֵשֶׁת	הַמֹּאֲבִיָּה	רוּת	אֶת־	וְגַם
妻として	私の–ために	買いました	マフロン	の–妻	モアブの–女	ルツ	その	そして–また
H0802		H7069	H4248	H0802	H4125	H7327	H0853	H1571

יִכָּרֵת	וְלֹא־	נַחֲלָתוֹ	עַל־	הַמֵּת	שֵׁם־	לְהָקִים	
断たれないように	そして–しないように	その–相続地	の–上に	死んだ–者	の–名を	立てる–ために	
H3772	H3808	H5159	H5921	H4191	H8034		

אַתֶּם	עֵדִים	מְקוֹמוֹ	וּמִשַּׁעַר	אֶחָיו	מֵעִם	הַמֵּת	שֵׁם־	
あなたがたは	証人です	その–場所	そして–の–門から	その–兄弟たちの–中	から	死んだ–者	の–名が	
	H5707	H4725	H8179	H0251		H4191	H8034	

הַיּוֹם׃
今日
H3117

またわたしはマロンの妻であったモアブの女ルツをも買って、わたしの妻としました。これはあの死んだ者の名を起してその嗣業を伝え、死んだ者の名がその一族から、またその郷里の門から断絶しないようにするためです。きょうあなたがたは、その証人です」。

11 וַיֹּאמְרוּ֩ כָּל־ הָעָ֨ם אֲשֶׁר־ בַּשָּׁעַ֜ר וְהַזְּקֵנִ֗ים עֵדִ֑ים
そして-言った すべての 民は その 門に-いた そして-長老たちは 証人です
H0559 H3605 H5971 H0834 H8179 H2205 H5707

יְתֵ֣ן יְהוָ֗ה אֶת־ הָֽאִשָּׁה֙ הַבָּאָ֔ה אֶל־ בֵּיתֶ֖ךָ כְּרָחֵ֣ל וּכְלֵאָ֑ה
与えて-くださるように 主が その 女を 来る の-中へ あなたの-家 ラケルの-ように そして-レアの-ように
H5414 H3068 H0853 H0802 H0935 H0413 H1004 H7354 H3812

וַעֲשֵׂה־ חַ֙יִל֙ בְּאֶפְרָ֔תָה וּקְרָא־ שֵׁ֖ם בְּבֵ֥ית לָֽחֶם׃
そして-行え 力ある-わざを エフラタで 名を そして-呼べ ベツレヘムで
H6213 H2428 H0672 H7121 H8034 H1035

וּמִבֵּ֣ית פֶּ֔רֶץ אֲשֶׁר־ יָלְדָ֥ה תָמָ֖ר לִֽיהוּדָ֑ה מִן־ הַנַּעֲרָ֣ה הַזֹּ֔את
そして-レアの-ように 建てた その 二人が 家を の-家を イスラエル 産んだ タマルが ユダに
H3812 H1129 H0834 H8147 H0853 H1004 H3478 H3205 H8559 H3063

וְיִֽהִי־ בֵיתְךָ֗ כְּבֵית֙ פֶּ֣רֶץ אֲשֶׁר־ יָלְדָ֤ה תָמָר֙ לִֽיהוּדָ֔ה מִן־ הַזֶּ֣רַע אֲשֶׁר־ יִתֶּן־ יְהוָ֥ה לְךָ֖ מִן־ הַנַּעֲרָ֥ה הַזֹּֽאת׃ 12
そして-なるように あなたの-家が の-家の-ように ペレツ 産んだ その タマルが ユダに の-中から 子孫 その 与えて-くださる 主が あなたに の-中から この
H1961 H1004 H6557 H0834 H3205 H8559 H3063 H4480 H2233 H0834 H5414 H3068 H4480 H5291 H2063

וַיִּקַּ֥ח בֹּ֖עַז אֶת־ רוּ֑ת וַתְּהִי־ לוֹ֙ לְאִשָּׁ֔ה וַיָּבֹ֖א אֵלֶ֥יהָ וַיִּתֵּן־ יְהוָ֥ה לָ֛הּ הֵרָיֹ֖ון וַתֵּ֥לֶד בֵּֽן׃ 13
そして-めとった ボアズは その ルツを そして-なった 彼の 妻に そして-入った 彼女の-もとへ 与えた 主が 彼女に 孕みを そして-産んだ 息子を
H3947 H1162 H0853 H7327 H1961 H0376 H0802 H0935 H0413 H5414 H3068 H3205 H2032 H3205

וַתֹּאמַ֤רְנָה הַנָּשִׁים֙ אֶל־ נָעֳמִ֔י בָּר֥וּךְ יְהוָ֖ה אֲשֶׁ֣ר לֹא־ הִשְׁבִּ֤ית לָךְ֙ גֹּאֵ֔ל הַיּ֖וֹם וְיִקָּרֵ֥א שְׁמ֖וֹ בְּיִשְׂרָאֵֽל׃ 14
そして-言った 女たちは に ナオミ 祝福-されるように その 主が 絶え-させなかった 残して-くださった 贖い-主を 今日 そして-呼ばれるように その-名が イスラエルに
H0559 H0802 H0413 H5281 H1288 H3068 H0834 H3808 H7725 H1350 H3117 H7121 H8034 H3478

するとその門にいたすべての民と長老たちは言った、「わたしたちは証人です。どうぞ、主があなたの家にはいる女を、イスラエルの家をたてたラケルとレアのふたりのようにされますよう。どうぞ、あなたがエフラタで富を得、ベツレヘムで名を揚げられますように。

どうぞ、主がこの若い女によってあなたに賜わる子供により、あなたの家が、かのタマルがユダに産んだペレヅの家のようになりますように」。

こうしてボアズはルツをめとって妻とし、彼女のところにはいった。主は彼女をみごもらせられたので、彼女はひとりの男の子を産んだ。

そのとき、女たちはナオミに言った、「主はほむべきかな、主はあなたを見捨てずに、きょう、あなたにひとりの近親をお授けになりました。どうぞ、その子の名がイスラエルのうちに高く揚げられますように。

15

אֶת־	וּלְכַלְכֵּל	נַפְשֵׁ֔	לְמֵשִׁ֖יב	לָ֑ךְ	וְהָיָה	
その	そして-養う-者に	魂を	回復させる-者に	あなたにとって	そして-なるでしょう	
H0853	H3557	H5315	H7725		H1961	

טוֹבָה	הִיא֙	אֲשֶׁר־	יְלָדַ֣תְתְּהוּ	אֲהֵבַ֔תְךְ	אֲשֶׁר־	כַּלָּתֵ֖ךְ	כִּ֤י	שִׁבְעָ֣ה
良い	彼女は	その	産んだ	愛している	その	あなたの-嫁が	なぜなら	あなたの-老後を
	H1931		H3205	H0157		H3618		H7872

בָנִ֑ים׃	מִשִּׁבְעָ֣ה	לָּ֔ךְ
息子たち	七人の-息子より	あなたにとって
	H7651	

彼はあなたのいのちを新たにし、あなたの老年を養う者となるでしょう。あなたを愛するあなたの嫁、七人のむすこにもまさる彼女が彼を産んだのですから」。

16

לְאֹמְנֶֽת׃	לוֹ	וַתְּהִי־	בְחֵיקָ֔הּ	וַתְּשִׁתֶּ֥הָ	הַיֶּ֖לֶד	אֶת־	נָעֳמִ֣י	וַתִּקַּ֤ח
養育者に	彼の	そして-なった	その-胸に	そして-置いた	子供を	その	ナオミは	そして-取った
H0539		H1961	H2436	H7896	H3206	H0853	H5281	H3947

そこでナオミはその子をとり、ふところに置いて、養い育てた。

17

וַתִּקְרֶאנָה֩	לוֹ֙	הַשְּׁכֵנ֜וֹת	שֵׁ֣ם	לֵאמֹ֗ר	יֻלַּד־	בֵּ֤ן	לְנָעֳמִי֙	וַתִּקְרֶ֨אנָה	
そして-呼んだ	彼に	隣人の-女たちは	名を	言って	生まれた	息子が	ナオミに	そして-名づけた	
H7121		H7934	H8034	H0559	H3205		H5281	H7121	

שְׁמ֔וֹ	עוֹבֵ֖ד	הוּא֙	אֲבִי־	יִשַׁ֣י	אֲבִ֣י	דָוִ֑ד׃	פ
その-名を	オベデと	彼は	の-父	エッサイ	の-父	ダビデ	—
H8034	H5744	H1931	H0001	H3448	H0001	H1732	

近所の女たちは「ナオミに男の子が生れた」と言って、彼に名をつけ、その名をオベデと呼んだ。彼はダビデの父であるエッサイの父となった。

18

חֶצְרֽוֹן׃	אֶת־	הוֹלִ֣יד	פֶּ֔רֶץ	פֶּ֖רֶץ	תּוֹלְדוֹת֙	וְאֵ֣לֶּה
ヘツロンを	その	生んだ	ペレツは	ペレツ	の-系図	さて-これらは
H2696	H0853	H3205	H6557	H6557	H8435	H0428

さてペレヅの子孫は次のとおりである。ペレヅからヘヅロンが生れ、

19

עַמִּינָדָֽב׃	אֶת־	הוֹלִ֣יד	וְרָ֔ם	רָ֖ם	אֶת־	הוֹלִ֣יד	וְחֶצְרוֹן֙	
アミナダブを	その	生んだ	そして-ラムは	ラムを	その	生んだ	そして-ヘツロンは	
H5992	H0853	H3205	H7410	H7410	H0853	H3205	H2696	

ヘヅロンからラムが生れ、ラムからアミナダブが生れ、

20

שַׁלְמָֽה׃	אֶת־	הוֹלִ֣יד	וְנַחְשׁ֔וֹן	נַחְשׁ֖וֹן	אֶת־	הוֹלִ֣יד	וְעַמִּינָדָ֙ב֙	
サルモンを	その	生んだ	そして-ナフションは	ナフションを	その	生んだ	そして-アミナダブは	
H8009	H0853	H3205	H5177	H5177	H0853	H3205	H5992	

アミナダブからナションが生れ、ナションからサルモンが生れ、

21

עוֹבֵֽד׃	אֶת־	הוֹלִ֣יד	וּבֹ֔עַז	בֹּ֖עַז	אֶת־	הוֹלִ֣יד	וְשַׂלְמ֙וֹן֙	
オベデを	その	生んだ	そして-ボアズは	ボアズを	その	生んだ	そして-サルモンは	
H5744	H0853	H3205	H1162	H1162	H0853	H3205	H8012	

サルモンからボアズが生れ、ボアズからオベデが生れ、

22

דָוִֽד׃	אֶת־	הוֹלִ֣יד	וְיִשַׁ֔י	יִשַׁ֖י	אֶת־	הוֹלִ֣יד	וְעֹבֵ֙ד֙	
ダビデを	その	生んだ	そして-エッサイは	エッサイを	その	生んだ	そして-オベデは	
H1732	H0853	H3205	H3448	H3448	H0853	H3205	H5744	

オベデからエッサイが生れ、エッサイからダビデが生れた。

1 Samuel

Chapter 1

1 וַיְהִי׀ אִישׁ אֶחָד מִן־הָרָמָתַיִם צוֹפִים מֵהַר
そして–いた ひとりの–人が ある から ラマタイム ツォフィム エフライムの–山地の
H1961 H0376 H0259 H7436 H7436 H2022

אֶפְרָיִם וּשְׁמוֹ אֶלְקָנָה בֶּן־יְרֹחָם בֶּן־אֱלִיהוּא בֶּן־תֹּחוּ בֶּן־צוּף
エフライム その–名は エルカナ の–子 エロハム の–子 エリフ の–子 トフ の–子 ツフ
H0669 H8034 H0511 の–子 H3395 の–子 H0453 の–子 H8459 の–子 H6689

אֶפְרָתִי׃
エフラテ人であった
H0673

エフライムの山地のラマタイム・ゾピムに、エルカナという名の人があった。エフライムびとで、エロハムの子であった。エロハムはエリウの子、エリウはトフの子、トフはツフの子である。

2 וְלוֹ׀ שְׁתֵּי נָשִׁים שֵׁם הָאַחַת חַנָּה וְשֵׁם הַשֵּׁנִית פְּנִנָּה וַיְהִי
彼には 二人の 妻が–いた 名は 一人は ハンナ もう–一人の–名は 二番目の ペニンナ そして–いた
H1961 H8147 H0802 H8034 H0259 H2584 H8034 H8145 H6444

לִפְנִנָּה יְלָדִים וּלְחַנָּה אֵין יְלָדִים׃
ペニンナには 子どもたちが しかし–ハンナには いなかった 子どもたちが
H6444 H3206 H2584 H0369 H3206

エルカナには、ふたりの妻があって、ひとりの名はハンナといい、ひとりの名はペニンナといった。ペニンナには子どもがあったが、ハンナには子どもがなかった。

3 וְעָלָה׀ הָאִישׁ הַהוּא מֵעִירוֹ מִיָּמִים יָמִימָה לְהִשְׁתַּחֲוֹת
上って–行った この–人は その 自分の–町から 毎年 年ごとに 礼拝する–ため
H5927 H0376 H1931 H4480 H3117 H3117 H7812

לַיהוָה צְבָאוֹת בְּשִׁלֹה וְשָׁם שְׁנֵי בְנֵי־עֵלִי חָפְנִי וּפִינְחָס כֹּהֲנִים
主に 万軍の シロで そこに 二人の 息子たちが エリの ホフニと いけにえを–ささげる–ため
H3068 H6635 H7887 H8033 H8147 H1121 H5941 H2652 H2076

לַיהוָה׃
主に–仕えていた
H3068

この人は年ごとに、その町からシロに上っていって、万軍の主を拝し、主に犠牲をささげるのを常とした。シロには、エリのふたりの子、ホフニとピネハスとがいて、主に仕える祭司であった。

4 וַיְהִי׀ הַיּוֹם וַיִּזְבַּח אֶלְקָנָה וְנָתַן לִפְנִנָּה אִשְׁתּוֹ
ある–日 その–日 いけにえを–ささげた エルカナは そして–与えた ペニンナに 彼の–妻
H1961 H3117 H2076 H0511 H5414 H6444 H0802

וְלִכֹּל־בָּנֶיהָ וּבְנוֹתֶיהָ מָנוֹת׃
そして–すべての 彼女の–息子たちと 彼女の–娘たちに 分け前を
H3605 H1323 H4490

エルカナは、犠牲をささげる日、妻ペニンナとそのむすこ娘にはみな、その分け前を与えた。

5

חַנָּה	אֶת־	כִּי	אַפַּיִם	אַחַת	מָנָה	יִתֵּן	וּלְחַנָּה
ハンナを	（対格）	なぜなら	二倍の	特別な	一つの-分け前を	与えた	しかし-ハンナには
H2584	H0853		H0639	H0259	H4490	H5414	H2584

רַחְמָהּ׃	סָגַר	וַיהוָה	אָהֵב
彼女の-胎を	閉ざしていた	しかし-主が	愛していた
H7358	H5462	H3068	H0157

エルカナはハンナを愛していたが、彼女には、ただ一つの分け前を与えるだけであった。主がその胎を閉ざされたからである。

6

כִּי־	הַרְעִמָהּ	בַּעֲבוּר	כַּעַס	גַּם־	צָרָתָהּ	וְכִעַסַּתָּהּ
なぜなら	彼女を-怒らせる	ために	苦しめ	ひどく	彼女の-ライバルは	彼女を-苦しめた
	H7481	H5668		H1571		H3707

רַחְמָהּ׃	בְּעַד	יְהוָה	סָגַר
彼女の-胎を	（に対して）	主が	閉ざしていた
H7358	H1157	H3068	H5462

また彼女を憎んでいる他の妻は、ひどく彼女を悩まして、主がその胎を閉ざされたことを恨ませようとした。

7

כֵּן	יְהוָה	בְּבֵית	עֲלֹתָהּ	מִדֵּי	בְּשָׁנָה	שָׁנָה	יַעֲשֶׂה	וְכֵן
このように	主の	主の-家に	上って-行くたびに	いつも	年ごとに	毎年	していた	このように
	H3068		H5927	H1767	H8141	H8141		

תֹּאכַל׃	וְלֹא	וַתִּבְכֶּה	תַּכְעִסֶנָּה
食べなかった	食べ-なかった	彼女は-泣いて	苦しめた
H0398	H3808	H1058	H3707

こうして年は暮れ、年は明けたが、ハンナが主の宮に上るごとに、ペニンナは彼女を悩ましたので、ハンナは泣いて食べることもしなかった。

8

לָא	וְלָמָּה	תִבְכִּי	לָמָּה	חַנָּה	אִישָׁהּ	אֶלְקָנָה	לָהּ	וַיֹּאמֶר	
食べ-ないのか	なぜ	泣くのか	なぜ	ハンナよ	彼女の-夫	エルカナは	彼女に	言った	
H3808	H4100	H1058	H4100	H2584	H0376	H0511		H0559	

לָךְ	טוֹב	אָנֹכִי	הֲלוֹא	לִבֵּךְ	יֵרַע	וְלָמָּה	תֹאכְלִי	
あなたにとって	良い-ものでは	私は	ではないか	あなたの-心は	悲しむのか	なぜ	食べないのか	
		H0595	H3808	H3824	H3415	H4100	H0398	

בָּנִים׃	מֵעֲשָׂרָה
息子たちよりも	十人の
	H6235

夫エルカナは彼女に言った、「ハンナよ、なぜ泣くのか。なぜ食べないのか。どうして心に悲しむのか。わたしはあなたにとって十人の子どもよりもまさっているではないか」。

9

הַכֹּהֵן	וְעֵלִי	שָׁתְּה	וְאַחֲרֵי	בְּשִׁלֹה	אָכְלָה	אַחֲרֵי	חַנָּה	וַתָּקָם
祭司	エリは	飲んだ-後	飲んだ-後	シロで	食べた-後	食事の-後	ハンナは	立ち上がった
H3548	H5941	H8354		H7887	H0398		H2584	

יְהוָה׃	הֵיכַל	מְזוּזַת	עַל־	הַכִּסֵּא	עַל־	יֹשֵׁב
主の	神殿の	柱の-そばに	（のそばに）	椅子に	（の上に）	座っていた
H3068	H1964	H4201		H3678		H3427

シロで彼らが飲み食いしたのち、ハンナは立ちあがった。その時、祭司エリは主の神殿の柱のかたわらの座にすわっていた。

10

תִּבְכֶּה׃	וּבָכֹה	יְהוָה	עַל־	וַתִּתְפַּלֵּל	נֶפֶשׁ	מָרַת	וְהִיא
泣いた	激しく	主に	（に向かって）	祈った	魂であった	苦しみの	彼女は
H1058	H1058	H3068		H6419	H5315	H4751	H1931

ハンナは心に深く悲しみ、主に祈って、はげしく泣いた。

11 וַתִּדַּר נֶדֶר וַתֹּאמַר יְהוָה צְבָאוֹת אִם־רָאֹה תִרְאֶה
誓いを-立てた 誓いを 言った 主よ 万軍の もし 確かに 顧みてくださり
H5087 H5088 H0559 H3068 H6635 H0518 H7200

וְלֹא־תִשְׁכַּח אֶת־אָמָתֶךָ וְזָכַרְתַּנִי וְלֹא־תִשְׁכַּח אֶת־אָמָתֶךָ
忘れないで 忘れ-ないで 私を-覚えてくださり あなたの-はしための 忘れ-ないで あなたの-はしための
H7911 H3808 H2142 H0519 H7911 H0519

וְנָתַתָּה לַאֲמָתְךָ זֶרַע אֲנָשִׁים וּנְתַתִּיו
与えてくださるなら あなたの-はしために 男の 子を その子を-ささげます
H5414 H0519 H2233 H0376 H5414

לַיהוָה כָּל־יְמֵי חַיָּיו וּמוֹרָה לֹא־תַעֲלֶה עַל־רֹאשׁוֹ׃
すべての 日々 その-生涯の 剃刀は 決して 当たらない （の上に） その-頭に
H3605 H3117 H2416 H4177 H3808 H5927

そして誓いを立てて言った、「万軍の主よ、まことに、はしための悩みをかえりみ、わたしを覚え、はしためを忘れずに、はしために男の子を賜わりますなら、わたしはその子を一生のあいだ主にささげ、かみそりをその頭にあてません」。

12 וְהָיָה כִּי הִרְבְּתָה לְהִתְפַּלֵּל לִפְנֵי יְהוָה וְעֵלִי שֹׁמֵר אֶת־פִּיהָ׃
そして 彼女が 長く 祈り続けている-間 主の-前で エリは 見ていた （対格）
H1961 H3588 H7235 H6419 H6440 H5941 H8104 H0853
彼女の-口を
H6310

彼女が主の前で長く祈っていたので、エリは彼女の口に目をとめた。

13 וְחַנָּה הִיא מְדַבֶּרֶת עַל־לִבָּהּ רַק שְׂפָתֶיהָ נָּעוֹת וְקוֹלָהּ לֹא יִשָּׁמֵעַ וַיַּחְשְׁבֶהָ עֵלִי לְשִׁכֹּרָה׃
ハンナは 彼女は 語っていた （の中で） 心の-中で ただ 唇だけが 動いていた 声は 聞こえなかった 思った エリは 酔っているのだと
H2584 H1931 H1696 H5921 H3820 H7535 H8193 H5128 H6963 H8085 H2803 H5941 H7910

ハンナは心のうちで物を言っていたので、くちびるが動くだけで、声は聞えなかった。それゆえエリは、酔っているのだと思って、

14 וַיֹּאמֶר אֵלֶיהָ עֵלִי עַד־מָתַי תִּשְׁתַּכְּרִין הָסִירִי אֶת־יֵינֵךְ מֵעָלָיִךְ׃
言った 彼女に エリは いつまで いつまで 酔っているのか やめなさい （対格）
H0559 H0413 H5941 H5704 H4970 H7937 H5493 H0853
あなたから あなたの-ぶどう酒を
H5921 H3196

彼女に言った、「いつまで酔っているのか。酔いをさましなさい」。

15 וַתַּ֣עַן חַנָּ֔ה וַתֹּ֕אמֶר לֹ֥א אֲדֹנִ֖י אִשָּׁה־ קְשַׁת־ ר֣וּחַ אָנֹ֑כִי וְיַ֙יִן֙ וְשֵׁכָ֣ר לֹ֣א שָׁתִ֔יתִי וָאֶשְׁפֹּ֖ךְ אֶת־ נַפְשִׁ֥י לִפְנֵ֖י יְהוָֽה׃

15
ハンナは 答えた 言った いいえ わが–主よ 女です 心の 苦しみの 私は ぶどう酒も
H2584 H6030 H0559 H3808 H0113 H0802 H7186 H7307 H0595 H3196
飲んでいません 飲んで–いません 強い–酒も 注ぎ出して–いたのです 私の–魂を （対格） 主の–前に
H8354 H3808 H7941 H8210 H5315 H0853 H6440
主の
H3068

しかしハンナは答えた、「いいえ、わが主よ。わたしは不幸な女です。ぶどう酒も濃い酒も飲んだのではありません。ただ主の前に心を注ぎ出していたのです。

16 אַל־ תִּתֵּ֥ן אֲמָתְךָ֖ לִפְנֵ֣י בַת־ בְּלִיָּ֑עַל כִּ֣י מֵרֹ֤ב שִׂיחִי֙ וְכַעְסִ֔י דִּבַּ֖רְתִּי עַד־ הֵֽנָּה׃

16
見なさないで–ください （対格） みなさないで あなたの–はしためを （の前に） よこしまな
H0408 H5414 H0853 H0519 H6440 H1323
なぜなら 女として あふれる 嘆きと 悲しみのゆえに 語って–いたのです 今まで ここまで
H3588 H1100 H7230 H7879 H3708 H1696 H5704 H2008

はしためを、悪い女と思わないでください。積る憂いと悩みのゆえに、わたしは今まで物を言っていたのです」。

17 וַיַּ֤עַן עֵלִי֙ וַיֹּ֔אמֶר לְכִ֥י לְשָׁל֖וֹם וֵאלֹהֵ֣י יִשְׂרָאֵ֑ל יִתֶּן֙ אֶת־ שֵׁ֣לָתְךָ֔ אֲשֶׁ֥ר שָׁאַ֖לְתָּ מֵעִמּֽוֹ׃

17
エリは 言った 安心して–行きなさい 平安の–うちに イスラエルの–神が イスラエルの
H5941 H0559 H3212 H7965 H0430 H3478
かなえて–くださるように （対格） あなたの–願いを あなたが 求めた 主から
H5414 H0853 H7596 H0834 H7592

そこでエリは答えた、「安心して行きなさい。どうかイスラエルの神があなたの求める願いを聞きとどけられるように」。

18 וַתֹּ֣אמֶר תִּמְצָא־ שִׁפְחָתְךָ֣ חֵן֮ בְּעֵינֶיךָ֒ וַתֵּ֣לֶךְ הָֽאִשָּׁה֮ לְדַרְכָּהּ֒ וַתֹּ֣אכַל וּפָנֶ֔יהָ לֹֽא־ הָי֥וּ עֽוֹד׃

18
言った どうか あなたの–はしために 恵みを お与えください そして–去って–行った その–女は
H0559 H4672 H8198 H2580 H3212 H0802
食事をし その–顔は もはや 彼女の 悲しく–なかった もう
H0398 H6440 H3808 H0לָהּ H1961 H5750

彼女は言った、「どうぞ、はしためにも、あなたの前に恵みを得させてください」。こうして、その女は去って食事し、その顔は、もはや悲しげではなくなった。

19 וַיַּשְׁכִּ֣מוּ בַבֹּ֗קֶר וַיִּֽשְׁתַּחֲווּ֙ לִפְנֵ֣י יְהוָ֔ה וַיָּשֻׁ֖בוּ וַיָּבֹ֣אוּ בֵיתָ֑ם אֶל־ הָרָמָ֔תָה וַיֵּ֤דַע אֶלְקָנָה֙ אֶת־ חַנָּ֣ה אִשְׁתּ֔וֹ וַיִּזְכְּרֶ֖הָ יְהוָֽה׃

19
朝–早く–起き 朝 礼拝した 主の 主の–前で 帰って–行った 来て 自分たちの 家に
H7925 H1242 H7812 H3068 H6440 H7725 H0935 H0413 H1004
主は 主は–覚えてくださった 妻を ハンナを （対格） エルカナは 知った ラマへ
H3068 H2142 H0802 H2584 H0853 H0511 H3045 H7414

彼らは朝早く起きて、主の前に礼拝し、そして、ラマにある家に帰って行った。エルカナは妻ハンナを知り、主が彼女を顧みられたので、

20 וַיְהִי לִתְקֻפוֹת הַיָּמִים וַתָּהַר חַנָּה וַתֵּלֶד בֵּן וַתִּקְרָא
やがて 月が-満ちて 日々の 身ごもり ハンナは 男の-子を-産んだ 男の-子を その-名を-呼んだ
H1961 H8622 H3117 H2029 H2584 H3205 H7121

אֶת־ שְׁמוֹ שְׁמוּאֵל כִּי מֵיְהוָה שְׁאִלְתִּיו׃
（対格） その-名を シェムエルと なぜなら 主に 願い求めたから
H0853 H8034 H8050 H3068 H7592

彼女はみごもり、その時が巡ってきて、男の子を産み、「わたしがこの子を主に求めたからだ」といって、その名をサムエルと名づけた。

21 וַיַּעַל הָאִישׁ אֶלְקָנָה וְכָל־ בֵּיתוֹ לִזְבֹּחַ לַיהוָה אֶת־
上って-行った その-人 エルカナと すべての 家族は いけにえを-ささげる-ため 主に （対格）
H5927 H0376 H0511 H3605 H2076 H3068 H0853

נִדְרוֹ׃ וְאֶת־ הַיָּמִים זֶבַח
誓願を そして 年ごとの 年ごとの-いけにえと
H5088 H0853 H3117 H2077

エルカナその人とその家族とはみな上っていって、年ごとの犠牲と、誓いの供え物とをささげた。

22 וְחַנָּה לֹא עָלְתָה כִּי־ אָמְרָה לְאִישָׁהּ עַד
しかし-ハンナは 上って-行かなかった 上らなかった 彼女は-言った 言った 夫に 子どもが
H2584 H3808 H5927 H0559 H0376 H5704

יִגָּמֵל וְהֵבֵאתִיו וְנִרְאָה פְּנֵי יְהוָה וְיָשַׁב שָׁם עַד־ עוֹלָם׃
乳離れするまで 連れて-行きます そして-現れさせます 御顔の-前に 主の とこしえに そこに 永遠に とどまらせます
H1580 H0935 H7200 H6440 H3068 H5769 H8033 H5704 H3427

しかしハンナは上って行かず、夫に言った、「わたしはこの子が乳離れしてから、主の前に連れていって、いつまでも、そこにおらせましょう」。

23 וַיֹּאמֶר לָהּ אֶלְקָנָה אִישָׁהּ עֲשִׂי הַטּוֹב בְּעֵינַיִךְ שְׁבִי
彼女に 言った 夫は エルカナは あなたの-良いと-思うように-しなさい あなたの-目に 良いと 待ちなさい
H0559 H0376 H0511 H6213 H2896 H5869 H3427

עַד־ גְּמָלֵךְ אֹתוֹ אַךְ הָקֵם יְהוָה אֶת־ דְּבָרוֹ וַתֵּשֶׁב הָאִשָּׁה וַתֵּינֶק בְּנָהּ
乳離れする-まで 乳離れするまで 彼を ただ 主が-確かなものと-してくださるように その-女は とどまった そのことばを （対格） 主が （対格） 乳を-飲ませた その-子に
H5704 H1580 H0853 H0389 H6965 H0802 H3427 H1697 H0853 H3068 H3243 H1121

עַד־ גְּמָלָהּ אֹתוֹ׃
乳離れする-まで 乳離れするまで 彼を
H5704 H1580 H0853

夫エルカナは彼女に言った、「あなたが良いと思うようにして、この子の乳離れするまで待ちなさい。ただどうか主がその言われたことを実現してくださるように」。こうしてその女はとどまって、その子に乳をのませ、乳離れするのを待っていたが、

24 וַתַּעֲלֵהוּ כַּאֲשֶׁר גְּמָלַתּוּ בִּפָרִים שְׁלֹשָׁה וְאֵיפָה אַחַת
彼女と-ともに 乳離れした-とき 乳離れした 雄牛-三頭と 三頭 エパの 一つの
H5927 H6499 H1580 H6499 H7969 H0374 H0259

וְנֵבֶל יַיִן וַתְּבִאֵהוּ בֵּית־יְהוָה שִׁלֹו וְהַנַּעַר נָעַר׃
連れて-上った ぶどう酒を 皮袋の 主の 主の-家に シロへ その-子は まだ-幼かった
H5927 H3196 H0935 H3068 H7887 H5288 H5288

乳離れした時、三歳の雄牛一頭、麦粉一エパ、ぶどう酒のはいった皮袋一つを取り、その子を連れて、シロにある主の宮に行った。その子はなお幼かった。

25 וַיִּשְׁחֲטוּ אֶת־הַפָּר וַיָּבִיאוּ אֶת־הַנַּעַר אֶל־עֵלִי׃
雄牛を-ほふり (対格) 連れて-行った (対格) その-子を (に) エリの-もとへ
H6499 H0853 H0935 H0853 H5288 H0413 H5941

そして彼らはその牛を殺し、子供をエリのもとへ連れて行った。

26 וַתֹּאמֶר בִּי אֲדֹנִי חֵי נַפְשְׁךָ אֲדֹנִי אֲנִי הָאִשָּׁה הַנִּצֶּבֶת עִמְּכָה בָּזֶה לְהִתְפַּלֵּל אֶל־יְהוָה׃
言った お願いです わが-主よ あなたの-たましいは-生きています あなたの-たましいが わが-主よ 私は あの-女です ここに-立っていた あなたの-そばに ここで 祈っていた (に向かって) 主に
H0559 H0994 H0113 H2416 H5315 H0113 H0589 H0802 H5324 H5973 H2088 H6419 H0413 H3068

ハンナは言った、「わが君よ、あなたは生きておられます。わたしは、かつてここに立って、あなたの前で、主に祈った女です。

27 אֶל־הַנַּעַר הַזֶּה הִתְפַּלָּלְתִּי וַיִּתֶּן יְהוָה לִי אֶת־שְׁאֵלָתִי אֲשֶׁר שָׁאַלְתִּי מֵעִמּוֹ׃
この 子の-ために 祈りました 主が-与えて-くださいました 主が 私に (対格) 願いを 私が 求めた 主から
H0413 H5288 H6419 H5414 H3068 H0853 H7596 H0834 H7592 H5973

この子を与えてくださいと、わたしは祈りましたが、主はわたしの求めた願いを聞きとどけられました。

28 וְגַם אָנֹכִי הִשְׁאִלְתִּהוּ לַיהוָה כָּל־הַיָּמִים אֲשֶׁר הָיָה לַיהוָה וַיִּשְׁתָּחוּ שָׁם לַיהוָה׃ פ
私も-また 私は この-子を-お貸しします 主に すべての 日々 彼が 生きている-限り 主に そこで そこで-礼拝した (段落)
H1571 H0595 H7592 H3068 H3605 H3117 H0834 H1961 H3068 H8033 H7812

それゆえ、わたしもこの子を主にささげます。この子は一生のあいだ主にささげたものです」。そして彼らはそこで主を礼拝した。

Chapter 2

1

קַרְנִי	רָמָה	בַּיהוָה	לִבִּי	עָלַץ	וַתֹּאמֶר	חַנָּה	וַתִּתְפַּלֶּל
私の–角は	高く–上がった	主に–あって	私の–心は	喜んだ	そして–言った	ハンナは	そして–祈った
		H3068		H5970	H0559	H2584	H6419

שָׂמַחְתִּי	כִּי	אֹיְבַי	עַל־	פִּי	רָחַב	בַּיהוָה
私は–喜んだ	なぜなら	私の–敵たちに	～に–向かって	私の–口は	大きく–開いた	主に–あって
H8055		H0341		H6310	H7337	H3068

בִּישׁוּעָתֶךָ׃
あなたの–救いに
H3444

ハンナは祈って言った、「わたしの心は主によって喜び、わたしの力は主によって強められた、わたしの口は敵をあざ笑う、あなたの救によってわたしは楽しむからである。

2

צוּר	וְאֵין	בִּלְתֶּךָ	אֵין	כִּי	כַּיהוָה	קָדוֹשׁ	אֵין־
岩は	そして–いない	あなた以外に	いない	まことに	主の–ような	聖なる–方は	いない
H6697	H0369	H1115	H0369		H3068	H6918	H0369

כֵּאלֹהֵינוּ׃
私たちの–神の–ような
H0430

主のように聖なるものはない、あなたのほかには、だれもない、われわれの神のような岩はない。

3

עָתָק	יֵצֵא	גְּבֹהָה	גְּבֹהָה	תְּדַבְּרוּ	תַּרְבּוּ	אַל־
傲慢が	出て来る	高慢に	高慢に	語ることを	あなたがたは–増やして	してはならない
H6277	H3318	H1364	H1364	H1696		H0408

נִתְכְּנוּ	)וְלוֹ(	|ולא|	יְהוָה	דֵּעוֹת	אֵל	כִּי	מִפִּיכֶם
量られる	そして–主に–よって	[そして–ない]	主であり	知識の	神は	なぜなら	あなたがたの–口から
H8505		H3808	H3068	H1844	H0410		H6310

עֲלִלוֹת׃
行いは
H5949

あなたがたは重ねて高慢に語ってはならない、たかぶりの言葉を口にすることをやめよ。主はすべてを知る神であって、もろもろのおこないは主によって量られる。

4

חָיִל׃	אָזְרוּ	וְנִכְשָׁלִים	חַתִּים	גִּבֹּרִים	קֶשֶׁת
力を	帯びた	しかし–つまずく–者たちは	砕かれ	勇士たちの	弓は
H2428	H0247	H3782		H1368	H7198

勇士の弓は折れ、弱き者は力を帯びる。

5

עַד־	חָדֵלוּ	וּרְעֵבִים	נִשְׂכָּרוּ	בַּלֶּחֶם	שְׂבֵעִים	
～まで	やんだ	しかし–飢えていた–者たちは	雇われ	パンの–ために	満ち足りていた–者たちは	
H5704	H2308	H7457		H3899	H7649	

אֻמְלָלָה׃	בָּנִים	וְרַבַּת	שִׁבְעָה	יָלְדָה	עֲקָרָה
衰えた	子を–持つ–者は	しかし–多くの	七人を	産んだ	不妊の–女が
H0535			H7651	H3205	H6135

飽き足りた者は食のために雇われ、飢えたものは、もはや飢えることがない。うまずめは七人の子を産み、多くの子をもつ女は孤独となる。

6

וַיַּעַל׃	שְׁאוֹל	מוֹרִיד	וּמְחַיֶּה	מֵמִית	יְהוָה	
そして–引き上げる	よみに	よみに–下し	そして–生かす	殺し	主は	
H5927	H7585	H3381	H2421	H4191	H3068	

主は殺し、また生かし、陰府にくだし、また上げられる。

יְהוָה	מוֹרִישׁ	וּמַעֲשִׁיר	מַשְׁפִּיל	אַף־	מְרוֹמֵם׃
主は	貧しくし	そして-富ませる	低くし	また	高くされる
H3068	H3423	H6238	H8213	H0637	

7

主は貧しくし、また富ませ、低くし、また高くされる。

מֵקִים	מֵעָפָר	דָּל	מֵאַשְׁפֹּת	יָרִים	אֶבְיוֹן	לְהוֹשִׁיב	עִם־
起こす	ちりから	弱い-者を	灰の-山から	引き上げる	貧しい-者を	座らせるために	～と-共に
	H6083	H1800	H0830		H0034	H3427	

8

נְדִיבִים	וְכִסֵּא	כְבוֹד	יַנְחִלֵם	כִּי	לַיהוָה	מְצֻקֵי	
高貴な-者たちと	そして-栄光の	栄光の	座を-彼らに-継がせる	なぜなら	主の-ものである	地の	
H5081	H3678	H3519	H5157		H3068	H4690	

תֵּבֵל׃	עֲלֵיהֶם	וַיָּשֶׁת	אֶרֶץ
世界を	その-上に	そして-据えた	柱は
H8398		H7896	H0776

貧しい者を、ちりのなかから立ちあがらせ、乏しい者を、あくたのなかから引き上げて、王侯と共にすわらせ、栄誉の位を継がせられる。地の柱は主のものであって、その柱の上に、世界をすえられたからである。

כִּי־	יִדְּמוּ	בַחֹשֶׁךְ	וּרְשָׁעִים	יִשְׁמֹר	חֲסִידָיו(	]חסידו	רַגְלֵי
なぜなら	滅びる	暗闇の-中で	しかし-悪しき-者たちは	主は-守る	聖徒たちの	[聖徒の]	足を
	H2822	H7563		H8104	H2623	H2623	H7272

9

אִישׁ׃	יִגְבַּר־	בְּכֹחַ	לֹא
人は	勝つ-ことは	力に-よって	ない
H0376	H1396		H3808

主はその聖徒たちの足を守られる、しかし悪いものどもは暗黒のうちに滅びる。人は力をもって勝つことができないからである。

יְהוָה	יֵחַתּוּ	]מריבו	מְרִיבָיו(	]עלו	עָלָיו(	
主に	打ち砕かれる	[主に-逆らう-者たちは]	主に-逆らう-者たちは	[主の-上に]	彼らの-上に	
H3068	H5181	H7378	H7378			

10

בַּשָּׁמַיִם	יַרְעֵם	יְהוָה	יָדִין	אַפְסֵי־	אֶרֶץ	וְיִתֵּן־	עֹז	לְמַלְכּוֹ
天から	雷鳴を-轟かせる	主は	さばく	地の	果てを	そして-与える	力を	主の-王に
H8064	H7481	H3068	H1777		H0776	H5414	H5797	H4428

וְיָרֵם	קֶרֶן	מְשִׁיחוֹ׃		פ
そして-高くする	角を	主の-油注がれた-者の		—
		H4899		

主と争うものは粉々に砕かれるであろう、主は彼らにむかって天から雷をとどろかし、地のはてまでもさばき、王に力を与え、油そそがれた者の力を強くされるであろう」。

מְשָׁרֵת	הָיָה	וְהַנַּעַר	בֵּיתוֹ	עַל־	הָרָמָתָה	אֶלְקָנָה	וַיֵּלֶךְ	
仕えて	いた	しかし-その-少年は	自分の-家に	～へ	ラマに	エルカナは	そして-行った	
H8334	H1961	H5288			H7414	H0511	H3212	

הַכֹּהֵן׃	עֵלִי	פְּנֵי	אֶת־	יְהוָה	אֶת־	
祭司の	エリ	面前で	～の	主に	～に	
H3548	H5941	H6440	H0854	H3068	H0853	

11

エルカナはラマにある家に帰ったが、幼な子は祭司エリの前にいて主に仕えた。

יְהוָה׃	אֶת־	יָדְעוּ	לֹא	בְלִיַּעַל	בְּנֵי	עֵלִי	וּבְנֵי
主を	～を	彼らは-知って	ない	よこしまな	息子たち	エリの	しかし-息子たちは
H3068	H0853	H3045	H3808	H1100		H5941	

12

さて、エリの子らは、よこしまな人々で、主を恐れなかった。

13 וּמִשְׁפָּט הַכֹּהֲנִים אֵת־ כָּל־ הָעָם אִישׁ וְזֹבֵחַ
そして-習わしは 祭司たちの ～に-対する すべての 民に 人が いけにえを-ささげると
H4941 H3548 H0854 H3605 H0376 H2076

וְהַמִּזְלֵג שְׁלֹשׁ־ הַשִּׁנַּיִם בַּבָּשָׂר הַכַּיִּר בְּתוֹךְ הַכֹּהֵן נַעַר וּבָא
そして-肉叉を 三つの 歯の 肉を 煮ている-間に 祭司の 若い-者が そして-来た
H1320 H1310 H3548 H5288 H0935

זֶבַח׃ בְּיָדוֹ
いけにえを その-手に-持って
H2077 H3027

民のささげ物についての祭司のならわしはこうである。人が犠牲をささげる時、その肉を煮る間に、祭司のしもべは、みつまたの肉刺しを手に持ってきて、

14 וְהִכָּה בַכִּיּוֹר אוֹ בַּדּוּד אוֹ בַּקַּלַּחַת אוֹ בַּפָּרוּר אוֹ כֹּל אֲשֶׁר
そして-突き刺した かまに あるいは 鍋に あるいは 釜に あるいは なべに すべて ～を
H5221 H3595 H0176 H1731 H0176 H7037 H0176 H6517 H3605 H0834

יִשְׂרָאֵל לְכָל־ יַעֲשׂוּ כָּכָה בּוֹ הַכֹּהֵן יִקַּח הַמִּזְלֵג יַעֲלֶה
イスラエルに すべての 彼らは-した このように それで 祭司は 取った 肉叉が 引き上げた
H3478 H3605 H6213 H3602 H0100 H3548 H3947 H4207 H5927

בְּשִׁלֹה׃ שָׁם הַבָּאִים
シロで そこに 来る-者たちに
H7887 H8033 H0935

それをかま、またはなべ、またはおおがま、または鉢に突きいれ、肉刺しの引き上げるものは祭司がみな自分のものとした。彼らはシロで、そこに来るすべてのイスラエルの人に、このようにした。

15 וְאָמַר הַכֹּהֵן נַעַר וּבָא הַחֵלֶב אֶת־ יְקַטְּרוּן בְּטֶרֶם גַּם
そして-言った 祭司の 若い-者が そして-来た 脂肪を ～を 彼らが-焼く ～の-前に また
H0559 H3548 H5288 H0935 H2459 H0853 H6999 H2962 H1571

יִקַּח וְלֹא־ לַכֹּהֵן לִצְלוֹת בָּשָׂר תְּנָה הַזֹּבֵחַ לָאִישׁ
受け取る そして-取らない 祭司に 焼くために 肉を 渡しなさい いけにえを-ささげる その-人に
H3947 H3808 H3548 H6740 H1320 H5414 H2076 H0376

חָי׃ אִם־ כִּי מְבֻשָּׁל בָּשָׂר מִמְּךָ
生のを ～だけ ただ 煮た 肉を あなたから
H2416 H0518 H3588 H1310 H1320 H4480

人々が脂肪を焼く前にもまた、祭司のしもべがきて、犠牲をささげる人に言うのであった、「祭司のために焼く肉を与えよ。祭司はあなたから煮た肉を受けない。生の肉がよい」。

16 וַיֹּאמֶר אֵלָיו הָאִישׁ קַטֵּר יְקַטְּרוּן כַּיּוֹם הַחֵלֶב
そして-言った 彼に その-人は 焼く 今日 脂肪を
H0559 H0413 H0376 H6999 H3117 H2459

וְאָמַר תְּאַוֶּה כַּאֲשֶׁר לְךָ נַפְשְׁךָ
すると-彼は-言った 望む-ものを ～の-ように あなたの-ために あなたの-心が
H0559 H8378 H3588 H5315

בְּחָזְקָה׃ לָקַחְתִּי לֹא וְאִם־ תִּתֵּן עַתָּה כִּי)לֹא( ]לוֹן[
力ずくで 私は-力ずくで-取る でなければ さもなければ 渡せ 今 むしろ いいえ [彼に]
H2394 H3947 H3808 H5414 H6258 H3808

その人が、「まず脂肪を焼かせましょう。その後ほしいだけ取ってください」と言うと、しもべは、「いや、今もらいたい。くれないなら、わたしは力づくで、それを取ろう」と言う。

17 וַתְּהִי֙ חַטַּ֣את הַנְּעָרִ֔ים גְּדוֹלָ֥ה מְאֹ֖ד אֶת־פְּנֵ֣י יְהוָ֑ה כִּ֚י נָאֲצ֣וּ הָאֲנָשִׁ֔ים אֶת־מִנְחַ֖ת יְהוָֽה׃

וַתְּהִי	חַטַּאת	הַנְּעָרִים	גְּדוֹלָה	מְאֹד	אֶת־	פְּנֵי	יְהוָה	כִּי
そして–なった	罪は	若い–者たちの	非常に–大きく	非常に	～の	面前で	主の	なぜなら
H1961		H5288		H3966	H0854	H6440	H3068	

נָאֲצוּ	הָאֲנָשִׁים	אֶת	מִנְחַת	יְהוָה׃
侮った	その–人々は	～を	ささげ物を	主の
H5006	H0376	H0853	H4503	H3068

このように、その若者たちの罪は、主の前に非常に大きかった。この人々が主の供え物を軽んじたからである。

18 וּשְׁמוּאֵ֖ל מְשָׁרֵ֣ת אֶת־פְּנֵ֣י יְהוָ֑ה נַ֣עַר חָג֔וּר אֵפֹ֖וד בָּֽד׃

וּשְׁמוּאֵל	מְשָׁרֵת	אֶת־	פְּנֵי	יְהוָה	נַעַר	חָגוּר	אֵפוֹד	בָּד׃
しかし–サムエルは	仕えていた	～に	面前で	主の	少年として	身に–着けた	エポデを	亜麻布の
H8050	H8334	H0854	H6440	H3068	H5288	H2296	H0646	H0906

サムエルはまだ幼く、身に亜麻布のエポデを着けて、主の前に仕えていた。

19 וּמְעִ֤יל קָטֹן֙ תַּעֲשֶׂה־לּ֣וֹ אִמּ֔וֹ וְהַעֲלְתָ֥ה לּ֛וֹ מִיָּמִ֖ים יָמִ֑ימָה בְּעָלוֹתָ֕הּ אֶת־אִישָׁ֖הּ לִזְבֹּ֥חַ אֶת־זֶ֖בַח הַיָּמִֽים׃

וּמְעִיל	קָטֹן	תַּעֲשֶׂה־	לוֹ	אִמּוֹ	וְהַעֲלְתָה	לוֹ	מִיָּמִים	יָמִימָה		
そして–小さな–上着を	小さな	作った	彼の–ために	母は	そして–持って–上った	彼に	年ごとに	年ごとに		
H4598				H0517	H5927		H3117			

בְּעָלוֹתָהּ	אֶת־	אִישָׁהּ	לִזְבֹּחַ	אֶת־	זֶבַח	הַיָּמִים׃		
上った–時に	～と	夫と–共に	ささげるために	～を	いけにえを	年ごとの		
H5927	H0854	H0376	H2076	H0853	H2077	H3117		

母は彼のために小さい上着を作り、年ごとに、夫と共にその年の犠牲をささげるために上る時、それを持ってきた。

20 וּבֵרַךְ֙ עֵלִ֔י אֶת־אֶלְקָנָ֖ה וְאֶת־אִשְׁתּ֑וֹ וְאָמַ֗ר יָשֵׂם֩ יְהוָ֨ה לְךָ֜ זֶ֣רַע מִן־הָאִשָּׁ֣ה הַזֹּ֗את תַּ֚חַת הַשְּׁאֵלָ֣ה אֲשֶׁר־שָׁ֣אַל לַֽיהוָ֔ה וְהָלְכ֖וּ לִמְקֹמֽוֹ׃

וּבֵרַךְ	עֵלִי	אֶת־	אֶלְקָנָה	וְאֶת־	אִשְׁתּוֹ	וְאָמַר				
そして–祝福した	エリは	～を	エルカナと	そして	その–妻を	そして–言った				
H1288	H5941	H0853	H0511	H0853	H0802	H0559				

יָשֵׂם	יְהוָה	לְךָ	זֶרַע	מִן־	הָאִשָּׁה	הַזֹּאת	תַּחַת
与えてくださるように	主が	あなたに	子孫を	～から	この–女から	この	～の–代わりに
	H3068		H2233		H0802	H2063	H8478

הַשְּׁאֵלָה	אֲשֶׁר	שָׁאַל	לַיהוָה	וְהָלְכוּ	לִמְקֹמוֹ׃
願い–求めたものの	～を	彼が–願い–求めた	主に	そして–帰って–行った	自分の–所に
H7596		H7592	H3068	H1980	H4725

エリはいつもエルカナとその妻を祝福して言った、「この女が主にささげた者のかわりに、主がこの女によってあなたに子を与えられるように」。そして彼らはその家に帰るのを常とした。

21 וּפָקַ֤ד יְהוָה֙ אֶת־חַנָּ֔ה וַתַּ֖הַר וַתֵּ֣לֶד שְׁלֹשָׁ֤ה בָנִים֙ וּשְׁתֵּ֣י בָנ֔וֹת וַיִּגְדַּ֥ל הַנַּ֖עַר שְׁמוּאֵ֑ל עִם־יְהוָֽה׃ ס

וּפָקַד	יְהוָה	אֶת־	חַנָּה	וַתַּהַר	וַתֵּלֶד	שְׁלֹשָׁה־	בָנִים	כִּי־	
顧みた	主は	～を	ハンナを	そして–身ごもり	そして–産んだ	三人の	息子と	まことに	
	H3068	H0853	H2584	H2029	H3205	H7969			

וַיִּגְדַּל	הַנַּעַר	שְׁמוּאֵל	עִם־	יְהוָה׃	ס			
そして–成長した	少年	サムエルは	～と–共に	主と–共に	—			
H1431	H5288	H8050		H3068				

וּשְׁתֵּי	בָנוֹת	וּשְׁתֵּי	בָנִים	
二人の	娘を	三人の	息子と	
H8147	H1323			

こうして主がハンナを顧みられたので、ハンナはみごもって、三人の男の子とふたりの女の子を産んだ。わらべサムエルは主の前で育った。

22 וְעֵלִי זָקֵן מְאֹד וְשָׁמַע אֵת כָּל־אֲשֶׁר יַעֲשׂוּן
しかし–エリは 非常に–年老いて 非常に 聞いた そして–を すべてを ～を 息子たちが–した
H5941 H2204 H3966 H8085 H0853 H3605 H0853 H1121

בָּנָיו לְכָל־יִשְׂרָאֵל וְאֵת אֲשֶׁר־יִשְׁכְּבוּן הַנָּשִׁים הַצֹּבְאוֹת
彼の–息子たちが すべての イスラエルに また ～を 彼らが–寝た 女たちと 仕えている
H1121 H3605 H3478 H0853 H0834 H7901 H0802 H6633

פֶּתַח אֹהֶל מוֹעֵד׃
入り口で 幕屋の 会見の
H6607 H0168 H4150

エリはひじょうに年をとった。そしてその子らがイスラエルの人々にしたいろいろのことを聞き、また会見の幕屋の入口で勤めていた女たちと寝たことを聞いて、

23 וַיֹּאמֶר לָהֶם לָמָּה תַעֲשׂוּן כִּדְבָרִים הָאֵלֶּה אֲשֶׁר אָנֹכִי
そして–言った なぜ 彼らに あなたがたは–するのか このような–ことを これらの ～を 私は
H0559 H4100 H1992 H6213 H1697 H0428 H0834 H0595

שֹׁמֵעַ אֶת־דִּבְרֵיכֶם רָעִים מֵאֵת כָּל־הָעָם הָאֵלֶּה׃
聞いている ～を あなたがたの–悪い 悪い ～から すべての 民 これらの
H8085 H0853 H1697 H7451 H0854 H3605 H5971 H0428

彼らに言った、「なにゆえ、そのようなことをするのか。わたしはこのすべての民から、あなたがたの悪いおこないのことを聞く。

24 אַל בָּנַי כִּי לוֹא־טוֹבָה הַשְּׁמֻעָה אֲשֶׁר אָנֹכִי שֹׁמֵעַ
やめなさい 息子たちよ なぜなら 良くない 良くない 評判は ～を 私が 聞く
H0408 H1121 H3588 H3808 H2896 H0834 H0595 H8085

מַעֲבִרִים עַם־יְהוָה׃
背かせている 主の–民を 主の
H5674 H5971 H3068

わが子らよ、それはいけない。わたしの聞く、主の民の言いふらしている風説は良くない。

25 אִם־יֶחֱטָא אִישׁ לְאִישׁ וּפִלְלוֹ אֱלֹהִים וְאִם לַיהוָה
もし 罪を–犯すなら 人が 人に–対して とりなす 神が しかし–もし 主に–対して
H0518 H2398 H0376 H0376 H6419 H0430 H0518 H3068

מִי יִתְפַּלֶל־לוֹ וְלֹא יִשְׁמְעוּ לְקוֹל אֲבִיהֶם כִּי־חָפֵץ יְהוָה
だれが とりなす–だろうか 彼の–ために しかし–聞かなかった 彼らは 彼らを–殺すことを 主は 望んだ なぜなら 父の ～の–声に
H4310 H6419 H3808 H8085 H4191 H3068 H2654 H3588 H0001 H6963

לַהֲמִיתָם׃
H4191

もし人が人に対して罪を犯すならば、神が仲裁されるであろう。しかし人が主に対して罪を犯すならば、だれが、そのとりなしをすることができようか」。しかし彼らは父の言うことに耳を傾けようともしなかった。主が彼らを殺そうとされたからである。

26 וְהַנַּעַר שְׁמוּאֵל הָלוֹךְ וְגָדֵל וְטוֹב גַּם עִם־יְהוָה
しかし–少年 サムエルは 進んで–行き そして–成長し そして–良かった また ～と–共に 主と–共に
H5288 H8050 H1980 H1431 H2896 H1571 H0854 H3068

וְגַם עִם־אֲנָשִׁים׃ ס
また ～と–共に 人々と–共に —
H1571 H0854 H0376

わらべサムエルは育っていき、主にも、人々にも、ますます愛せられた。

27 וַיָּבֹא אִישׁ־אֱלֹהִים עֶלִי אֶל־אֵלָיו וַיֹּאמֶר כֹּה
そして–来た 神の–人が エリの–もとに ～の–もとに 彼に そして–言った こう
H0935 H0376 H5941 H0413 H0430 H0559 H3541

אָמַר יְהוָה הֲנִגְלֹה נִגְלֵיתִי אֶל־בֵּית אָבִיךָ בִּהְיוֹתָם
言われる 主は 確かに–現した わたしは–現した ～に 家に あなたの–父の 彼らが–いた–時に
H0559 H3068 H1540 H1540 H0413 H0001 H1961

לְבֵית בְּמִצְרַיִם לְפַרְעֹה׃
～の–家で エジプトで ファラオの
H6547 H4714

このとき、ひとりの神の人が、エリのもとにきて言った、「主はかく仰せられる、『あなたの先祖の家がエジプトでパロの家の奴隷であったとき、わたしはその先祖の家に自らを現した。

28 וּבְחַר אֹתוֹ מִכֹּל־שִׁבְטֵי יִשְׂרָאֵל לִי לְכֹהֵן
そして–選んだ 彼を すべての 部族の–中から イスラエルの わたしの–ために 祭司として
H0977 H0853 H3605 H7626 H3478 H0001 H3548

לַעֲלוֹת עַל־מִזְבְּחִי לְהַקְטִיר קְטֹרֶת לָשֵׂאת אֵפוֹד
上るために ～の–上で わたしの–祭壇に 焼くために 香を 身に–着けるために エポデを
H5927 H5414 H4196 H7004 H5375 H0646

וְאֶתְּנָה לְבֵית אָבִיךָ אֵת־כָּל־אִשֵּׁי לִפָּנַי
そして–与えた ～の–家に あなたの–父の ～を すべての 火による–ささげ物を わたしの–前で
H6440 H0001 H0853 H3605 H0801

בְּנֵי יִשְׂרָאֵל׃
子らの イスラエルの
H3478

そしてイスラエルのすべての部族のうちからそれを選び出して、わたしの祭司とし、わたしの祭壇に上って、香をたかせ、わたしの前でエポデを着けさせ、また、イスラエルの人々の火祭をことごとくあなたの先祖の家に与えた。

29 לָמָּה תִבְעֲטוּ בְּזִבְחִי וּבְמִנְחָתִי אֲשֶׁר
なぜ あなたがたは–踏みにじるのか わたしの–いけにえと わたしの–ささげ物を ～を
H4100 H1163 H2077 H4503

צִוִּיתִי מָעוֹן וַתְּכַבֵּד בָּנֶיךָ מִמֶּנִּי
わたしが–命じた 住まいに そして–重んじる ～を あなたの–息子たちを わたし–よりも
H6680 H4583 H3513 H0853

לְהַבְרִיאֲכֶם מֵרֵאשִׁית כָּל־מִנְחַת יִשְׂרָאֵל לְעַמִּי׃
自分たちを–肥やすために 最良の–ものの すべての ささげ物の イスラエルの わたしの–民の
H7225 H3605 H4503 H3478

それにどうしてあなたがたは、わたしが命じた犠牲と供え物をむさぼりの目をもって見るのか。またなにゆえ、わたしよりも自分の子らを尊び、わたしの民イスラエルのささげるもろもろの供え物の、最も良き部分をもって自分を肥やすのか』。

30 לָכֵן נְאֻם־ יְהוָה ׀ אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל ׀ אָמוֹר אָמַרְתִּי
それゆえ 告げられる 主 イスラエルの–神の イスラエルの 確かに わたしは–言った
H3068 H5002 H0430 H3478 H0559 H0559

וְעַתָּה ׀ חָלִילָה לִּי כִּי־ מְכַבְּדַי אֲכַבֵּד וּבֹזַי יֵקָלּוּ׃
しかし–今 決して–そうはならない わたしには なぜなら わたしを–敬う–者を わたしは–敬い 軽んじられる しかし–わたしを–蔑む–者は
H2486 H3513 H3513 H0959

それゆえイスラエルの神、主は仰せられる、『わたしはかつて、「あなたの家とあなたの父の家とは、永久にわたしの前に歩むであろう」と言った』。しかし今、主は仰せられる、『決してそうはしない。わたしを尊ぶ者を、わたしは尊び、わたしを卑しめる者は、軽んぜられるであろう。

31 הִנֵּה יָמִים בָּאִים וְגָדַעְתִּי אֶת־ זְרֹעֲךָ וְאֶת־ זְרֹעַ בֵּית
見よ 日々が 来ている そして–わたしは–断つ ～を あなたの–腕と そして ～を 家の
H3117 H0935 H1438 H0853 H2220 H0853 H2220

אָבִיךָ מִהְיוֹת זָקֵן בְּבֵיתֶךָ׃
あなたの–父の いなくなるように 老人が あなたの–家に
H0001 H1961 H2205

見よ、日が来るであろう。その日、わたしはあなたの力と、あなたの父の家の力を断ち、あなたの家に年老いた者をなくするであろう。

32 וְהִבַּטְתָּ צַר מָעוֹן בְּכֹל אֲשֶׁר־ תֵּיטִיב אֶת־ יִשְׂרָאֵל
そして–見る 苦しみを 住まいの すべての–中で ～を 良くする ～に イスラエルに
H5027 H6862 H4583 H3605 H3190 H0853 H3478

וְלֹא־ יִהְיֶה זָקֵן בְּבֵיתְךָ כָּל־ הַיָּמִים׃
しかし–いなくなる いない 老人は あなたの–家に すべての 日々に
H3808 H1961 H2205 H3605 H3117

そのとき、あなたは災のうちにあって、イスラエルに与えられるもろもろの繁栄を、ねたみ見るであろう。あなたの家には永久に年老いた者がいなくなるであろう。

33 וְאִישׁ לֹא־ אַכְרִית לְךָ מֵעִם מִזְבְּחִי
しかし–人を 断たない わたしは–断たない あなたの–ために ～から わたしの–祭壇から
H0376 H3772 H3808 H4196

לְכַלּוֹת אֶת־ עֵינֶיךָ וּלְאַדִּיב אֶת־ נַפְשֶׁךָ
尽きさせるために ～を あなたの–目を そして–悲しませるために ～を あなたの–魂を
H3615 H0853 H5315 H0853 H0109

וְכָל־ מַרְבִית בֵּיתְךָ יָמוּתוּ אֲנָשִׁים׃
しかし–すべての 子孫は あなたの–家の 死ぬ 壮年で
H3605 H4768 H4191 H0376

しかしあなたの一族のひとりを、わたしの祭壇から断たないであろう。彼は残されてその目を泣きはらし、心を痛めるであろう。またあなたの家に生れ出るものは、みなつるぎに死ぬであろう。

34 וְזֶה־ לְךָ֔ הָאֹ֖ות אֲשֶׁ֣ר יָבֹ֑אוּ אֶל־ שְׁנֵ֣י בָנֶ֔יךָ

そして-これが あなたへの しるしである ~が 起こる ~に 二人の あなたの-息子たちに

H2088 H0226 H0834 H0935 H0413 H8147

חָפְנִ֥י וּפִינְחָ֖ס אֶל־ בְּיֹ֣ום אֶחָ֑ד יָמ֖וּתוּ שְׁנֵיהֶֽם׃

ホフニと ピネハスに ~に 一つの-日に 同じ 死ぬ 彼ら-二人とも

H2652 H6372 H0413 H3117 H0259 H4191 H8147

あなたのふたりの子ホフニとピネハスの身に起ることが、あなたのためにそのしるしとなるであろう。すなわちそのふたりは共に同じ日に死ぬであろう。

35 וַהֲקִימֹ֥תִי לִ֖ו כֹּהֵ֣ן נֶאֱמָ֑ן כַּאֲשֶׁ֥ר בִּלְבָבִ֖י וּבְנַפְשִׁ֣י יַעֲשֶׂ֔ה

そして-わたしは-立てる わたしの-ために 祭司を 忠実な ~の-通りに わたしの-心と 行う-者を わたしの-魂の

H1961 H3548 H0539 H3824 H6213 H5315

וְהִתְהַלֶּךְ֙ לִפְנֵ֣י מְשִׁיחִ֔י כָּל־ הַיָּמִֽים׃ בָּ֣יִת נֶאֱמָ֔ן לֹ֖ו וּבָנִ֥יתִי

そして-歩む ~の-前を わたしの-油注がれた-者の すべての 日々に 堅い 家を 彼の-ために そして-建てる

H1980 H6440 H4899 H3605 H3117 H0539 H1129

わたしは自分のために、ひとりの忠実な祭司を起す。その人はわたしの心と思いとに従って行うであろう。わたしはその家を確立しよう。その人はわたしが油そそいだ者の前につねに歩むであろう。

36 וְהָיָ֡ה כָּל־ הַנֹּותָ֣ר בְּבֵיתֶ֡ךָ יָבֹוא֩ לְהִשְׁתַּחֲוֹ֨ת לֹ֜ו לַאֲגֹ֤רַת כֶּ֙סֶף֙

そして-なる すべての 残っている-者は あなたの-家に 来て ひれ伏す 彼に 一枚の-銀貨と

H1961 H3605 H3498 H0935 H7812 H0413 H0095

וְאָמַ֗ר סְפָחֵ֤נִי נָא֙ אֶל־ אַחַ֣ת כִּכַּר־ לָ֔חֶם

そして-言う 付かせてください どうか ~に 一つの 丸い-パンの-ために パンの 銀の

H0559 H4994 H0413 H0259 H3603 H3899 H3701

לֶאֱכֹ֖ל פַּת־ לֶ֑חֶם׃ ס לְכָהֻנָּֽות׃

食べるために 一切れの パンを 一 祭司の-職に

H0398 H6595 H3899 H3550

そしてあなたの家で生き残っている人々はみなきて、彼に一枚の銀と一個のパンを請い求め、「どうぞ、わたしを祭司の職の一つに任じ、一口のパンでも食べることができるようにしてください」と言うであろう』」。

Chapter 3

1 וְהַנַּ֣עַר שְׁמוּאֵ֗ל מְשָׁרֵת֙ אֶת־ יְהוָ֔ה לִפְנֵ֖י עֵלִ֑י וּדְבַר־ יְהוָ֣ה

しかし-少年 サムエルは 仕えていた ~に 主に ~の-前で エリの そして-言葉は 主の

H1961 H8050 H8334 H0853 H3068 H6440 H5941 H1697 H3068

יָקָ֔ר לֹא־ נִפְרָ֖ץ חָזֹ֥ון אֵ֛ין הָהֵ֥ם בַּיָּמִ֖ים הָיָ֥ה׃ ס

まれで あった 一 広がって 幻は なかった その その-日々に

H3368 H1961 H6555 H2377 H0369 H1992 H3117

わらべサムエルは、エリの前で、主に仕えていた。そのころ、主の言葉はまれで、黙示も常ではなかった。

2 וַיְהִי֙ בַּיֹּ֣ום הַהֹ֔וא וְעֵלִ֖י שֹׁכֵ֣ב בִּמְקֹמֹ֑ו]ועינו[

そして-あった その日に しかし-エリは 横たわっていた 自分の-場所に [そして-彼の-目は]

H1961 H3117 H1931 H5941 H7901 H4725

)ועיניו(הֵחֵ֣לּוּ כֵהֹ֔ות לֹ֥א יוּכַ֖ל לִרְאֹ֥ות׃

そして-彼の-目は 始めていた かすむ-ことを なかった 彼は-できた 見ることが

H2490 H3544 H3808 H3201 H7200

さてエリは、しだいに目がかすんで、見ることができなくなり、そのとき自分のへやで寝ていた。

3
וְנֵר אֱלֹהִים טֶרֶם יִכְבֶּה וּשְׁמוּאֵל שֹׁכֵב בְּהֵיכַל
そして–ともしびは 神の まだ 消えて–いなかった そして–サムエルは 横たわっていた 神殿に
H0430 H2962 H3518 H8050 H7901 H1964

יְהוָה אֲשֶׁר־ שָׁם אֲרוֹן אֱלֹהִים׃ פ
主の ～の–ある そこに 箱が 神の —
H3068 H8033 H0727 H0430

神のともしびはまだ消えず、サムエルが神の箱のある主の神殿に寝ていた時、

4
וַיִּקְרָא יְהוָה אֶל־ שְׁמוּאֵל וַיֹּאמֶר הִנֵּנִי׃
そして–呼んだ 主は ～に サムエルを すると–言った ここに–おります
H7121 H3068 H0413 H8050 H0559 H2009

主は「サムエルよ、サムエルよ」と呼ばれた。彼は「はい、ここにおります」と言って、

5
וַיָּרָץ אֶל־ עֵלִי וַיֹּאמֶר הִנֵּנִי כִּי־ קָרָאתָ לִי וַיֹּאמֶר לֹא־ קָרָאתִי שׁוּב שְׁכָב
そして–走った ～の–もとに エリの–もとに そして–言った ここに–おります なぜなら 私を 呼んだ いいえ 私は–呼んで–いない 戻って 横に–なりなさい
H7323 H0413 H5941 H0559 H2009 H3808 H7121 H7725 H7901

וַיֵּלֶךְ וַיִּשְׁכָּב׃ ס
そして–行った そして–横に–なった —
H3212 H7901

エリの所へ走っていって言った、「あなたがお呼びになりました。わたしは、ここにおります」。しかしエリは言った、「わたしは呼ばない。帰って寝なさい」。彼は行って寝た。

6
וַיֹּסֶף יְהוָה קְרָא עוֹד שְׁמוּאֵל שְׁמוּאֵל וַיָּקָם וַיֵּלֶךְ
そして–再び 主は 呼んだ また サムエルを サムエルは すると–起き上がった そして–行った
H3254 H3068 H7121 H5750 H8050 H8050 H3212

אֶל־ עֵלִי וַיֹּאמֶר הִנֵּנִי כִּי קָרָאתָ לִי
～の–もとに エリの–もとに そして–言った ここに–おります なぜなら あなたが–呼んだ 私を
H0413 H5941 H0559 H2009 H7121

וַיֹּאמֶר לֹא־ קָרָאתִי בְנִי שׁוּב שְׁכָב׃
そして–言った いいえ 私は–呼んで–いない 息子よ 戻って 横に–なりなさい
H0559 H3808 H7121 H1121 H7725 H7901

主はまたかさねて「サムエルよ、サムエルよ」と呼ばれた。サムエルは起きてエリのもとへ行って言った、「あなたがお呼びになりました。わたしは、ここにおります」。エリは言った、「子よ、わたしは呼ばない。もう一度寝なさい」。

7
וּשְׁמוּאֵל טֶרֶם יָדַע אֶת־ יְהוָה וְטֶרֶם יִגָּלֶה אֵלָיו דְּבַר־ יְהוָה׃
しかし–サムエルは まだ 知らなかった ～を 主を そして–まだ 現されて–いなかった 彼に 主の 言葉は
H8050 H2962 H3045 H0853 H3068 H2962 H1540 H0413 H3068 H1697

サムエルはまだ主を知らず、主の言葉がまだ彼に現されなかった。

אֶל־ ～の-もとに H0413 | וַיֵּלֶךְ そして-行った H3212 | וַיָּקָם すると-起き上がり | בַּשְּׁלִשִׁית 三度目に H7992 | שְׁמוּאֵל׀ サムエルを H8050 | קְרָא־ 呼んだ H7121 | יְהוָה 主は H3068 | וַיֹּסֶף そして-再び H3254 | 8

וַיָּבֶן すると-悟った H0995 | לִי 私を | קָרָאתָ あなたが-呼んだ H7121 | כִּי なぜなら | הִנֵּנִי ここに-おります H2009 | וַיֹּאמֶר そして-言った H0559 | עֵלִי エリの-もとに H5941

לַנָּעַר׃ 少年を H5288 | קרֵא 呼んで-いると H7121 | יְהוָה 主が H3068 | כִּי ～と | עֵלִי エリは H5941

主はまた三度目にサムエルを呼ばれたので、サムエルは起きてエリのもとへ行って言った、「あなたがお呼びになりました。わたしは、ここにおります」。その時、エリは主がわらべを呼ばれたのであることを悟った。

יִקְרָא 呼ばれたら H7121 | אִם־ もし | וְהָיָה そして-なったら H1961 | שְׁכָבְתְּ 横に-なりなさい H7901 | לֵךְ 行って H3212 | לִשְׁמוּאֵל׀ サムエルに H8050 | עֵלִי エリは H5941 | וַיֹּאמֶר そして-言った H0559 | 9

שֹׁמֵעַ 聞いて-おります H8085 | כִּי なぜなら | יְהוָה 主よ H3068 | דַּבֵּר お語り-ください H1696 | וְאָמַרְתָּ あなたは-言い-なさい H0559 | אֵלָיִךְ あなたを H0413

בִּמְקוֹמוֹ׃ 自分の-場所で | וַיִּשְׁכַּב そして-横に-なった H7901 | שְׁמוּאֵל׀ サムエルは H8050 | וַיֵּלֶךְ そして-行った H3212 | עַבְדֶּךָ あなたの-しもべは H5650

そしてエリはサムエルに言った、「行って寝なさい。もしあなたを呼ばれたら、『しもべは聞きます。主よ、お話しください』と言いなさい」。サムエルは行って自分の所で寝た。

בְּפַעַם 同じ-ように H6471 | כְּפַעַם־ 前と-同じ-ように H6471 | וַיִּקְרָא そして-呼ばれた H7121 | וַיִּתְיַצַּב そして-立たれた H3320 | יְהוָה 主が H3068 | וַיָּבֹא そして-来られた H0935 | 10

שֹׁמֵעַ 聞いて-おります H8085 | כִּי なぜなら | דַּבֵּר お語り-ください H1696 | שְׁמוּאֵל׀ サムエルは H8050 | וַיֹּאמֶר すると-言った H0559 | שְׁמוּאֵל サムエルよ H8050 | וּשְׁמוּאֵל サムエルよ H8050

פ ― | עַבְדֶּךָ׃ あなたの-しもべは H5650

主はきて立ち、前のように、「サムエルよ、サムエルよ」と呼ばれたので、サムエルは言った、「しもべは聞きます。お話しください」。

אֲשֶׁר׀ ～を | בְּיִשְׂרָאֵל イスラエルで H3478 | דָּבָר ことを H1697 | עֹשֶׂה 行う | אָנֹכִי わたしは H0595 | הִנֵּה 見よ H2009 | שְׁמוּאֵל サムエルに H8050 | אֶל־ ～に H0413 | יְהוָה 主は H3068 | וַיֹּאמֶר そして-言われた H0559 | 11

אָזְנָיו׃ 耳が H0241 | שְׁתֵּי 両方の H8147 | תְּצִלֶּינָה 鳴り-響く H6750 | שָׁמְעוֹ 聞く-者は H8085 | כָּל־ すべて H3605

その時、主はサムエルに言われた、「見よ、わたしはイスラエルのうちに一つの事をする。それを聞く者はみな、耳が二つとも鳴るであろう。

12

בַּיּוֹם הַהוּא אָקִים אֶל־עֵלִי אֵת כָּל־אֲשֶׁר דִּבַּרְתִּי
その日に その H1931 わたしは–行う ～に–対して エリに ～を すべてを ～を わたしが–語った
H3117 H0413 H5941 H0853 H3605 H1696

אֶל־בֵּיתוֹ הָחֵל וְכַלֵּה׃
～に–ついて 彼の–家に 始めから 終わり–まで
H0413 H3615

その日には、わたしが、かつてエリの家について話したことを、はじめから終りまでことごとく、エリに行うであろう。

13

וְהִגַּדְתִּי לוֹ כִּי־שֹׁפֵט אֲנִי אֶת־בֵּיתוֹ עַד־עוֹלָם בַּעֲוֹן
そして–告げた 彼に ～と 裁く–と わたしは ～を 彼の–家を ～まで 永遠に 罪の–ゆえに
H5046 H5771 H8199 H0589 H0853 H5704 H5769 H5771

בָּנָיו מְקַלְלִים לָהֶם וְלֹא כִּי־יָדַע אֲשֶׁר־
彼の–息子たちが 自分たちに 呪いを–もたらしている–と ～と 彼が–知っていた ～を
H1992 H7043 H3045

כָּהָה בָּם׃ וְלֹא
戒める–ことを 彼らを しかし–しなかった
H3808

わたしはエリに、彼が知っている悪事のゆえに、その家を永久に罰することを告げる。その子らが神をけがしているのに、彼がそれをとめなかったからである。

14

וְלָכֵן נִשְׁבַּעְתִּי לְבֵית עֵלִי אִם־יִתְכַּפֵּר עֲוֹן בֵּית־
それゆえ 誓った–わたしは ～の–家に エリの 決して 贖われない 罪は 家の
H7650 H5941 H0853 H3722 H5771 H1004

עֵלִי עַד־עוֹלָם׃ וּבְמִנְחָה וּבְזֶבַח
エリの ～まで 永遠に ささげ物に–よっても いけにえに–よっても
H5941 H5704 H5769 H4503 H2077

それゆえ、わたしはエリの家に誓う。エリの家の悪は、犠牲や供え物をもってしても、永久にあがなわれないであろう」。

15

וַיִּשְׁכַּב שְׁמוּאֵל עַד־הַבֹּקֶר וַיִּפְתַּח אֶת־דַּלְתוֹת בֵּית־
そして–横に–なっていた サムエルは ～まで 朝まで そして–開けた ～を 扉を 家の
H7901 H8050 H5704 H1242 H0853 H1817 H1004

יְהוָה וּשְׁמוּאֵל יָרֵא מֵהַגִּיד אֶת־הַמַּרְאָה אֶל־עֵלִי׃
主の しかし–サムエルは 恐れた 告げる–ことを ～を 幻を ～に エリに
H3068 H8050 H3372 H5046 H0853 H4759 H0413 H5941

サムエルは朝まで寝て、主の宮の戸をあけたが、サムエルはその幻のことをエリに語るのを恐れた。

16

וַיִּקְרָא עֵלִי אֶת־שְׁמוּאֵל שְׁמוּאֵל וַיֹּאמֶר בְּנִי וַיֹּאמֶר
すると–呼んだ エリは ～を サムエルを サムエルよ そして–言った 息子よ すると–言った
H7121 H5941 H0853 H8050 H8050 H0559 H1121 H0559

הִנֵּנִי׃
ここに–おります
H2009

しかしエリはサムエルを呼んで言った、「わが子サムエルよ」。サムエルは言った、「はい、ここにおります」。

נָ֣א אַל־ אֵלֶ֔יךָ דִּבַּ֖ר אֲשֶׁ֣ר הַדָּבָ֑ר מָ֣ה וַיֹּ֤אמֶר 17
どうか してはならない あなたに 主が–語られた ～を 言葉は 何であるか そして–言った
H4994 H0408 H0413 H1696 H1697 H4100 H0559

יוֹסִ֖יף וְכֹ֣ה אֱלֹהִ֗ים לְךָ֙ יַעֲשֶׂה־ כֹּ֣ה מִמֶּ֔נִּי תְּכַחֵ֕ד
加える–ように そして–さらに 神が あなたに なさる–ように このように 私から 隠す–ことを
H3254 H3541 H0430 H3541 H3582

אֵלֶ֑יךָ דִּבַּ֖ר אֲשֶׁר־ הַדָּבָ֔ר מִכֹּל־ דָּבָ֥ר מִמֶּ֛נִּי תְּכַחֵ֥ד אִם־
あなたに 主が–語られた ～を ことの–中から すべての ことを 私から 隠す–なら もし
H0413 H1696 H1697 H3605 H1697 H3582

עוֹד׃
H5704

エリは言った、「何事をお告げになったのか。隠さず話してください。もしお告げになったことを一つでも隠して、わたしに言わないならば、どうぞ神があなたを罰し、さらに重く罰せられるように」。

כְּחֵ֑ד וְלֹ֣א הַדְּבָרִ֔ים כָּל־ אֶת־ שְׁמוּאֵ֖ל לוֹ֙ וַיַּגֶּד־ 18
隠す–ことを そして–しなかった ことを すべての ～を サムエルは 彼に そして–告げた
H3582 H3808 H1697 H3605 H0853 H8050 H5046

יַעֲשֶׂ֑ה בְּעֵינָ֣יו הַטּ֔וֹב הוּא֙ יְהוָ֣ה וַיֹּ֤אמֶר מִמֶּ֔נּוּ׃
なさる–であろう 主の–目に 良い–と–思われる–ことを 主で–ある 主で–ある すると–言った 彼から
H1931 H3068 H0559

פ
—

そこでサムエルは、その事をことごとく話して、何も彼に隠さなかった。エリは言った、「それは主である。どうぞ主が、良いと思うことを行われるように」。

וְלֹא־ עִמּ֔וֹ הָיָ֖ה וַיהוָ֣ה שְׁמוּאֵ֑ל וַיִּגְדַּ֖ל 19
そして–落とさなかった 彼と–共に おられた そして–主は サムエルは そして–成長した
H3808 H1961 H3068 H8050 H1431

אַרְצָֽה׃ דְּבָרָ֖יו מִכֹּל־ הִפִּֽיל
地に 彼の–言葉を すべての 落とさなかった
H0776 H1697 H3605 H5307

サムエルは育っていった。主が彼と共におられて、その言葉を一つも地に落ちないようにされたので、

נֶאֱמָ֔ן כִּ֣י שָׁבַ֑עְאֵר וְעַד־ מִדָּ֖ן יִשְׂרָאֵ֥ל כָּל־ וַיֵּ֣דַע 20
忠実な ～と ベエル・シェバまで ～まで ダンから イスラエルは すべての そして–知った
H0539 H0884 H5704 H1835 H3478 H3605 H3045

לַיהוָֽה׃ לְנָבִ֖יא שְׁמוּאֵ֔ל
主の 預言者として サムエルは
H3068 H5030 H8050

ダンからベエルシバまで、イスラエルのすべての人は、サムエルが主の預言者と定められたことを知った。

בְּשִׁלֹ֑ו שְׁמוּאֵ֔ל אֶל־ יְהוָ֣ה נִגְלָ֔ה כִּי־ בְּשִׁלֹ֖ה לְהֵרָאָ֥ה יְהוָ֛ה וַיֹּ֣סֶף 21
シロで サムエルに ～に 主は 現された まことに シロで 現れた 主は そして–続けて
H7887 H8050 H0413 H3068 H1540 H7887 H7200 H3068 H3254

פ יְהוָֽה׃ בִּדְבַ֖ר
— 主の ～の–言葉に–よって
H3068 H1697

主はふたたびシロで現れられた。すなわち主はシロで、主の言葉によって、サムエルに自らを現された。こうしてサムエルの言葉は、あまねくイスラエルの人々に及んだ。

Chapter 4

1 וַיְהִי דְבַר־שְׁמוּאֵל לְכָל־יִשְׂרָאֵל וַיֵּצֵא יִשְׂרָאֵל
そして–出て–行った イスラエルに すべての サムエルの 言葉は そして–なった イスラエルは
H3318 H3478 H3605 H8050 H1697 H1961 H3478

לִקְרַאת פְּלִשְׁתִּים לַמִּלְחָמָה וַיַּחֲנוּ עַל־הָעֶזֶר וְהָאֶבֶן
迎え–撃つために ペリシテ人を 戦いに そして–陣を–張った ～の–そばに エベン・エゼルに
H7122 H6430 H4421 H2583 H5921 H0072

וּפְלִשְׁתִּים חָנוּ בַּאֲפֵק׃
そして–ペリシテ人は 陣を–張った アフェクに
H6430 H2583 H0663

イスラエルびとは出てペリシテびとと戦おうとして、エベネゼルのほとりに陣をしき、ペリシテびとはアペクに陣をしいた。

2 וַיַּעֲרֹכוּ פְּלִשְׁתִּים לִקְרַאת יִשְׂרָאֵל וַתִּטֹּשׁ הַמִּלְחָמָה
そして–整列した ペリシテ人は 迎え–撃つために イスラエルを そして–広がった 戦いは
H6430 H7122 H3478 H5203 H4421

וַיִּנָּגֶף יִשְׂרָאֵל לִפְנֵי פְּלִשְׁתִּים וַיַּכּוּ בַמַּעֲרָכָה בַּשָּׂדֶה
そして–打ち–負かされた イスラエルは ～の–前で ペリシテ人の そして–打ち–殺した 戦場で 野で
H5062 H3478 H6440 H6430 H5221 H4634

כְּאַרְבָּעַת אֲלָפִים אִישׁ׃
約–四 千人の 人を
H0702 H0505 H0376

ペリシテびとはイスラエルびとにむかって陣備えをしたが、戦うに及んで、イスラエルびとはペリシテびとの前に敗れ、ペリシテびとは戦場において、おおよそ四千人を殺した。

3 וַיָּבֹא הָעָם וַיֹּאמְרוּ זִקְנֵי יִשְׂרָאֵל לָמָּה
そして–来た 民は ～に 陣営に そして–言った 長老たちは イスラエルの なぜ
H0935 H5971 H0413 H4264 H0559 H2205 H3478 H4100

נְגָפָנוּ יְהוָה הַיּוֹם לִפְנֵי פְּלִשְׁתִּים נִקְחָה אֵלֵינוּ מִשִּׁלֹה
打ち–負かせたのか 主は 今日 ～の–前で ペリシテ人の 取って–来よう 私たちの–もとに シロから
H5062 H3068 H3117 H6440 H6430 H3947 H0413 H7887

וְיֹשִׁעֵנוּ מִכַּף אֹיְבֵינוּ׃ וְיָבֹא בְקִרְבֵּנוּ אֲרוֹן בְּרִית יְהוָה
そして–救う–ように ～の–手から 私たちの–敵の そして–来る–ように 私たちの–中に 箱を 契約の 主の
H3467 H3709 H0341 H0935 H7130 H0727 H1285 H3068

4 וַיִּשְׁלַ֤ח הָעָם֙ שִׁלֹ֔ה וַיִּשְׂאוּ֙ מִשָּׁ֔ם אֶת־אֲר֛וֹן בְּרִית־יְהוָ֥ה צְבָא֖וֹת יֹשֵׁ֣ב הַכְּרֻבִ֑ים וְשָׁ֣ם שְׁנֵֽי־בְנֵ֤י עֵלִי֙ עִם־חָפְנִ֣י וּפִינְחָ֔ס בִּרְי֖וֹת אֲר֥וֹן הָאֱלֹהִֽים׃

4 そこで民は人をシロにつかわし、ケルビムの上に座しておられる万軍の主の契約の箱を、そこから携えてこさせた。その時エリのふたりの子、ホフニとピネハスは神の契約の箱と共に、その所にいた。

5 וַיְהִ֗י כְּבֹוא֙ אֲר֣וֹן יְהוָ֔ה בִּרְית־יְהוָ֖ה אֶל־הַֽמַּחֲנֶ֑ה וַיָּרִ֣עוּ כָל־יִשְׂרָאֵ֗ל תְּרוּעָה֙ גְּדוֹלָ֔ה וַתֵּהֹ֖ם הָאָֽרֶץ׃

5 主の契約の箱が陣営についた時、イスラエルびとはみな大声で叫んだので、地は鳴り響いた。

6 וַיִּשְׁמְע֣וּ פְלִשְׁתִּ֗ים אֶת־קוֹל֙ הַתְּרוּעָ֔ה וַיֹּאמְר֕וּ מֶ֚ה קוֹל֙ הַתְּרוּעָ֣ה הַגְּדוֹלָ֔ה הַזֹּ֖את בְּמַחֲנֵ֣ה הָעִבְרִ֑ים וַיֵּדְע֔וּ כִּ֥י אֲר֖וֹן יְהוָ֥ה בָּ֖א אֶל־הַֽמַּחֲנֶֽה׃

6 ペリシテびとは、その叫び声を聞いて言った、「ヘブルびとの陣営の、この大きな叫び声は何事か」。そして主の箱が、陣営に着いたことを知った時、

7 וַיִּרְא֣וּ פְלִשְׁתִּ֗ים כִּ֤י אָמְרוּ֙ בָּ֣א אֱלֹהִ֔ים אֶל־הַֽמַּחֲנֶ֑ה וַיֹּאמְר֖וּ אוֹי־לָ֣נוּ כִּֽי־לֹ֥א הָיְתָ֛ה כָּזֹ֥את אֶתְמ֖וֹל שִׁלְשֹֽׁם׃

7 ペリシテびとは恐れて言った、「神々が陣営にきたのだ」。彼らはまた言った、「ああ、われわれはわざわいである。このようなことは今までなかった。

8 אוֹי־לָ֗נוּ מִ֤י יַצִּילֵ֙נוּ֙ מִיַּ֣ד הָאֱלֹהִ֣ים הָאַדִּירִ֣ים הָאֵ֔לֶּה אֵ֚לֶּה הֵ֣ם הָאֱלֹהִ֔ים הַמַּכִּ֥ים אֶת־מִצְרַ֖יִם בְּכָל־מַגֵּפָ֑ה בַּמִּדְבָּֽר׃

ああ、われわれはわざわいである。だれがわれわれをこれらの強い神々の手から救い出すことができようか。これらの神々は、もろもろの災をもってエジプトびとを荒野で撃ったのだ。

9

הֶחְזַקּוּ	וְהְיוּ	לַאֲנָשִׁים	פְּלִשְׁתִּים	פֶּן	תַּעַבְדוּ	לָעִבְרִים
強く-なれ	そして-なれ	男に	ペリシテ人よ	さもなければ	仕える-ことに-なる	ヘブル人に
H2388	H1961	H0376	H6430	H6435	H5647	H5680

כַּאֲשֶׁר	עָבְדוּ	לָכֶם	וְהְיִיתֶם	לַאֲנָשִׁים	וְנִלְחַמְתֶּם׃
～の-ように	彼らが-仕えた	あなたがたに	そして-なれ	男に	そして-戦え
	H5647		H1961	H0376	

ペリシテびとよ、勇気を出して男らしくせよ。ヘブルびとがあなたがたに仕えたように、あなたがたが彼らに仕えることのないために、男らしく戦え」。

10

וַיִּלָּחֲמוּ	פְּלִשְׁתִּים	וַיִּנָּגֶף	יִשְׂרָאֵל	וַיָּנֻסוּ	אִישׁ
そして-戦った	ペリシテ人は	そして-打ち-負かされた	イスラエルは	そして-逃げた	各々が
H3478	H6430	H5062	H3478	H5127	H0376

לְאָהָלָיו	וַתְּהִי	הַמַּכָּה	גְּדוֹלָה	מְאֹד	וַיִּפֹּל	מִיִּשְׂרָאֵל
自分の-天幕に	そして-なった	打撃は	非常に-大きく	非常に	そして-倒れた	イスラエルから
H0168	H1961	H4347	H3966	H5307	H3478	

רַגְלִי׃	אֶלֶף	שְׁלֹשִׁים
歩兵が	千人の	三万人の
H7273	H0505	H7970

こうしてペリシテびとが戦ったので、イスラエルびとは敗れて、おのおのその家に逃げて帰った。戦死者はひじょうに多く、イスラエルの歩兵で倒れたものは三万であった。

11

וּפִינְחָס׃	חָפְנִי	מֵתוּ	עֵלִי	בְּנֵי־	וּשְׁנֵי	נִלְקַח	אֱלֹהִים	וַאֲרוֹן
ピネハスが	ホフニと	死んだ	エリの	息子たちは	そして-二人の	奪われた	神の	そして-箱は
H6372	H2652	H4191	H5941		H8147	H3947	H0430	H0727

また神の箱は奪われ、エリのふたりの子、ホフニとピネハスは殺された。

12

בַּיּוֹם	שִׁלֹה	וַיָּבֹא	מֵהַמַּעֲרָכָה	בִּנְיָמִן	אִישׁ־	וַיָּרָץ	
その-日に	シロに	そして-来た	戦場から	ベニヤミンの	ベニヤミンの-人が	そして-走った	
H3117	H7887	H0935	H4634	H1144	H0376	H7323	

רֹאשׁוֹ׃	עַל־	וַאֲדָמָה	קְרֻעִים	וּמַדָּיו	הַהוּא
頭の-上に	～の-上に	そして-土が	裂けて-いた	そして-衣は	その
		H0127	H7167	H4055	H1931

その日ひとりのベニヤミンびとが、衣服を裂き、頭に土をかぶって、戦場から走ってシロにきた。

13

דֶּרֶךְ	)יַד(	]יַד[	הַכִּסֵּא	עַל־	יֹשֵׁב	עֵלִי	וְהִנֵּה	וַיָּבוֹא
道の	そばに	[そばに]	座の-上に	～の-上に	座って-いた	エリが	すると-見よ	そして-来た
H1870	H3027	H5221	H3678		H3427	H5941	H2009	H0935

הָאֱלֹהִים	אֲרוֹן	עַל	חָרֵד	לִבּוֹ	הָיָה	כִּי־	מְצַפֶּה
神の	箱に-ついて	～に-ついて	おそれおののいて	彼の-心は	あった	なぜなら	見張りながら
H0430	H0727		H2730		H1961		H6822

הָעִיר׃	כָּל־	וַתִּזְעַק	בָּעִיר	לְהַגִּיד	בָּא	וְהָאִישׁ
町が	すべての	そして-叫んだ	町で	告げるために	来て	そして-その-人が
	H3605	H2199		H5046	H0935	H0376

彼が着いたとき、エリは道のかたわらにある自分の座にすわって待ちかまえていた。その心に神の箱の事を気づかっていたからである。その人が町にはいって、情報をつたえたので、町はこぞって叫んだ。

14

הַזֹּה	הֶהָמוֹן	קוֹל	מֶה	וַיֹּאמֶר	הַצְּעָקָה	קוֹל	אֶת־	עֵלִי	וַיִּשְׁמַע
この	騒ぎの	声は	何だ	そして–言った	叫びの	声を	～を	エリは	そして–聞いた
H2088			H4100	H0559	H6818		H0853	H5941	H8085

לְעֵלִי׃	וַיַּגֶּד	וַיָּבֹא	מְהֵר	וְהָאִישׁ	
エリに	そして–告げた	そして–来た	急いで	そして–その–人は	
H5941	H5046	H0935		H0376	

エリはその叫び声を聞いて言った、「この騒ぎ声は何か」。その人は急いでエリの所へきてエリに告げた。

15

וְלֹא	קָמָה	וְעֵינָיו	שָׁנָה	וּשְׁמֹנֶה	תִּשְׁעִים	בֶּן־	וְעֵלִי
そして–できなかった	固く–なって	そして–目は	歳で	八	九十	～の–息子	そして–エリは
H3808			H8141	H8083	H8673		H5941

לִרְאוֹת׃	יָכֹל
見ることが	彼は
H7200	H3201

その時エリは九十八歳で、その目は固まって見ることができなかった。

16

וַאֲנִי	הַמַּעֲרָכָה	מִן־	הַבָּא	אָנֹכִי	עֵלִי	אֶל־	הָאִישׁ	וַיֹּאמֶר
そして–私は	戦場から	～から	来た–者です	私は	エリに	～に	その–人は	そして–言った
H0589	H4634		H0935	H0595	H5941	H0413	H0376	H0559

בְּנִי׃	הַדָּבָר	הָיָה	מֶה־	וַיֹּאמֶר	הַיּוֹם	נַסְתִּי	הַמַּעֲרָכָה	מִן־
息子よ	ことは	あった	何が	すると–言った	今日	逃げて–来ました	戦場から	～から
	H1697	H1961	H4100	H0559	H3117	H5127	H4634	

その人はエリに言った、「わたしは戦場からきたものです。きょう戦場からのがれたのです」。エリは言った、「わが子よ、様子はどうであったか」。

17

פְּלִשְׁתִּים	לִפְנֵי	יִשְׂרָאֵל	נָס	וַיֹּאמֶר	הַמְבַשֵּׂר	וַיַּעַן
ペリシテ人の	～の–前で	イスラエルは	逃げた	そして–言った	知らせを–持つ–者は	そして–答えた
H6430	H6440	H3478	H5127	H0559	H1319	

חָפְנִי	מֵתוּ	בָּנֶיךָ	שְׁנֵי	וְגַם־	בָעָם	הָיְתָה	גְדוֹלָה	מַגֵּפָה	וְגַם
ホフニと	死んだ	あなたの–息子たちも	二人の	また	民に	あった	大きな	打撃が	また
H2652	H4191		H8147	H1571		H1961		H4046	H1571

פ	נִלְקָחָה׃	הָאֱלֹהִים	וַאֲרוֹן	וּפִינְחָס
—	奪われた	神の	そして–箱は	ピネハスが
	H3947	H0430	H0727	H6372

しらせをもたらしたその人は答えて言った、「イスラエルびとは、ペリシテびとの前から逃げ、民のうちにはまた多くの戦死者があり、あなたのふたりの子、ホフニとピネハスも死に、神の箱は奪われました」。

18

אֲחֹרַנִּית	הַכִּסֵּא	מֵעַל־	וַיִּפֹּל	הָאֱלֹהִים	אֲרוֹן	אֶת־	וּכְהַזְכִּירוֹ	וַיְהִי
後ろに	座から	～から	そして–落ちた	神の	箱を	～を	言及した–時に	そして–なった
H0322	H3678		H5307	H0430	H0727	H0853	H2142	H1961

הָאִישׁ	זָקֵן	כִּי־	וַיָּמָת	מַפְרֶקְתּוֹ	וַתִּשָּׁבֵר	הַשַּׁעַר	יַד	וּבְעַד
その–人は	老いて	なぜなら	そして–死んだ	首が	そして–折れた	門の	そばに	～の–そばに
H0376	H2204		H4191	H4665	H7665	H8179	H3027	H1157

שָׁנָה׃	אַרְבָּעִים	יִשְׂרָאֵל	אֶת־	שָׁפַט	וְהוּא	וְכָבֵד
年間	四十	イスラエルを	～を	さばいた	そして–彼は	そして–重かった
H8141	H0705	H3478	H0853	H8199	H1931	H3515

彼が神の箱のことを言ったとき、エリはその座から、あおむけに門のかたわらに落ち、首を折って死んだ。老いて身が重かったからである。彼のイスラエルをさばいたのは四十年であった。

אֶת־	וַתִּשְׁמַע	לָלַת֙	הָרָ֔ה	פִּינְחָ֖ס	אֵ֣שֶׁת־	וְכַלָּתֹ֑ו	19
～を	そして–聞いた	産まれる–ところで	身ごもって–いた	ピネハスの	妻は	そして–嫁は	
H0853	H8085	H3205		H6372	H0802	H3618	

וְאִישָׁ֔הּ	חָמִ֖יהָ	וּמֵ֥ת	הָאֱלֹהִ֛ים	אֲרֹ֥ון	הֻלְקַ֖ח	אֶל־	הַשְׁמֻעָ֣ה
夫が	しゅうとと	そして–死んだ–と	神の	箱が	奪われた–と	～に–ついて	知らせを
H0376	H2524	H4191	H0430	H0727	H3947	H0413	H8052

צִרֶ֖יהָ׃	עָלֶ֑יהָ	נֶהֶפְכ֥וּ	כִּי־	וַתֵּ֖לֶד	וַתִּכְרַ֥ע
陣痛が	彼女の–上に	襲った	なぜなら	そして–産んだ	そして–ひざまずいた
		H2015		H3205	H3766

彼の嫁、ピネハスの妻はみごもって出産の時が近づいていたが、神の箱が奪われたこと、しゅうとと夫が死んだというしらせを聞いたとき、陣痛が起り身をかがめて子を産んだ。

אַל־	עָלֶ֔יהָ	הַנִּצָּבֹ֖ות	וַתְּדַבֵּ֣רְנָה	מוּתָ֑הּ	וּכְעֶ֣ת	20
してはならない	彼女の–そばに	そばに–立つ–女たちが	そして–語った	死ぬ–間際に	そして–時に	
H0408		H5324	H1696	H4191	H6256	

וְלֹא־	עָנְתָ֥ה	וְלֹ֖א	יָלַ֥דְתְּ	בֵּ֛ן	כִּ֥י	תִּירְאִ֖י	
そして–なかった	答える–ことは	しかし–なかった	あなたは–産んだ	息子を	なぜなら	恐れる–ことを	
H3808		H3808	H3205			H3372	

לִבָּ֑הּ׃	שָׁ֥תָה
彼女の–心は	注意を–払う–ことは
	H7896

彼女が死にかかっている時、世話をしていた女が彼女に言った、「恐れることはありません。男の子が生れました」。しかし彼女は答えもせず、また顧みもしなかった。

אֶל־	מִיִּשְׂרָאֵ֔ל	כָּבֹ֖וד	גָּלָ֑ה	לֵאמֹ֗ר	אִי־כָבוֹד֙	לַנַּ֣עַר	וַתִּקְרָ֣א	21
～に–ついて	イスラエルから	栄光が	去った	言って	イカボドと	少年を	そして–名付けた	
H0413	H3478	H3519	H1540	H0559	H0350	H5288	H7121	

וְאִישָׁ֖הּ׃	חָמִ֥יהָ	וְאֶל־	הָאֱלֹהִ֛ים	אֲרֹ֥ון	הֻלְקַ֖ח
夫に–ついて	しゅうとと	そして	神の	箱が	奪われた–と
H0376	H2524	H0413	H0430	H0727	H3947

ただ彼女は「栄光はイスラエルを去った」と言って、その子をイカボデと名づけた。これは神の箱の奪われたこと、また彼女のしゅうとと夫のことによるのである。

פ	הָאֱלֹהִ֑ים׃	אֲרֹ֥ון	נִלְקַ֖ח	כִּ֛י	מִיִּשְׂרָאֵ֑ל	כָּבֹ֖וד	גָּלָ֔ה	וַתֹּ֣אמֶר	22
—	神の	箱が	奪われた	なぜなら	イスラエルから	栄光が	去った	そして–言った	
	H0430	H0727	H3947		H3478	H3519	H1540	H0559	

彼女はまた、「栄光はイスラエルを去った。神の箱が奪われたからです」と言った。

Chapter 5

הָעֶזֶר֥מֵאֶבֶן	וַיְבִאֻ֖הוּ	הָאֱלֹהִ֛ים	אֲרֹ֥ון	אֶת	לָקְח֑וּ	וּפְלִשְׁתִּ֖ים	1
エベン・エゼルから	そして–持って–来た	神の	箱を	～を	取った	そして–ペリシテ人は	
H0072	H0935	H0430	H0727	H0853	H3947	H6430	

אַשְׁדֹּֽודָה׃
アシュドドに
H0795

ペリシテびとは神の箱をぶんどって、エベネゼルからアシドドに運んできた。

2

וַיִּקְחוּ פְלִשְׁתִּים אֶת־אֲרוֹן הָאֱלֹהִים וַיָּבִיאוּ אֹתוֹ בֵּית דָּגוֹן
ペリシテ人は 箱を ～を 神の そして–持って–来た それを 家に ダゴンの
H6430 H0727 H0853 H0430 H0935 H0853 H1004 H1712

וַיַּצִּיגוּ אֹתוֹ אֵצֶל דָּגוֹן׃
そして–置いた それを そばに ダゴンの
H3322 H0853 H0681 H1712

そしてペリシテびとはその神の箱を取ってダゴンの宮に運びこみ、ダゴンのかたわらに置いた。

3

וַיַּשְׁכִּמוּ אַשְׁדּוֹדִים מִמָּחֳרָת וְהִנֵּה דָגוֹן נֹפֵל לְפָנָיו
そして–早く–起きた アシュドドの–人々は 翌日 すると–見よ ダゴンが 倒れて–いた うつ伏せに
H7925 H0796 H4283 H2009 H1712 H5307 H6440

אַרְצָה לִפְנֵי אֲרוֹן יְהוָה וַיִּקְחוּ אֶת־דָּגוֹן וַיָּשִׁבוּ אֹתוֹ
地に ～の–前で 箱の–前で 主の ～を ダゴンを そして–戻した それを
H0776 H6440 H0727 H3068 H3947 H0853 H1712 H7725 H0853

לִמְקוֹמוֹ׃
その–場所に
H4725

アシドドの人々が、次の日、早く起きて見ると、ダゴンが主の箱の前に、うつむきに地に倒れていたので、彼らはダゴンを起して、それをもとの所に置いた。

4

וַיַּשְׁכִּמוּ בַבֹּקֶר מִמָּחֳרָת וְהִנֵּה דָגוֹן נֹפֵל לְפָנָיו אַרְצָה
そして–早く–起きた 朝に 翌日 すると–見よ ダゴンが 倒れて–いた うつ伏せに 地に
H7925 H1242 H4283 H2009 H1712 H5307 H6440 H0776

לִפְנֵי אֲרוֹן יְהוָה וְרֹאשׁ דָּגוֹן וּשְׁתֵּי כַפּוֹת יָדָיו כְּרֻתוֹת
～の–前で 箱の–前で 主の そして–頭が ダゴンの そして–両 手の–ひらが 手の 切り–取られて
H6440 H0727 H3068 H7218 H1712 H8147 H3709 H3027 H3772

עָלָיו׃ נִשְׁאַר רַק דָּגוֹן הַמַּפְתָּן אֶל־
その–上に 胴体だけが–残って–いた ただ ダゴンの 敷居の–上に ～の–上に
H5921 H7604 H7535 H1712 H4670 H0413

その次の朝また早く起きて見ると、ダゴンはまた、主の箱の前に、うつむきに地に倒れていた。そしてダゴンの頭と両手とは切れて離れ、しきいの上にあり、ダゴンはただ胴体だけとなっていた。

5

עַל־כֵּן לֹא־יִדְרְכוּ כֹהֲנֵי דָגוֹן וְכָל־הַבָּאִים בֵּית־
それ–ゆえに それ–ゆえに 踏まない 踏まない 祭司たちは ダゴンの また–すべての 入る–者たちは 家の
H3808 H1869 H3548 H1712 H3605 H0935 H1004

דָּגוֹן עַל־מִפְתַּן בְּאַשְׁדּוֹד עַד־הַיּוֹם הַזֶּה׃
ダゴンの 敷居の–上を ～の–上を ダゴンの アシュドドで ～まで 今日の この–日まで
H1712 H4670 H5921 H1712 H0795 H5704 H3117 H2088

ס

それゆえダゴンの祭司たちやダゴンの宮にはいる人々は、だれも今日にいたるまで、アシドドのダゴンのしきいを踏まない。

6

וַיְשֹׁמֵם הָאַשְׁדּוֹדִים אֶל־ יְהוָה יַד־ וַתִּכְבָּד
そして–荒らした アシュドドの–人々の–上に ～の–上に 主の 手が そして–重く–なった
H8074 H0796 H0413 H3068 H3027 H3513

גְּבוּלֵיהָ׃ וְאֶת־ אַשְׁדּוֹד אֶת־)בַּטְּחֹרִים( ]בעפלים[אֹתָם וַיַּךְ
その–境界を そして アシュドドと ～を 腫物で [腫物で] 彼らを そして–打った
H1366 H0853 H0795 H0853 H2914 H0853 H5221

そして主の手はアシドドびとの上にきびしく臨み、主は腫物をもってアシドドとその領域の人々を恐れさせ、また悩まされた。

7

וְאָמְרוּ כֵּן כִּי־ אַשְׁדּוֹד אַנְשֵׁי־ וַיִּרְאוּ
そして–言った この–ようで–あると ～と アシュドドの アシュドドの–人々は そして–見た
H0559 H0795 H0376 H7200

עִמָּנוּ יִשְׂרָאֵל אֱלֹהֵי אֲרוֹן יֵשֵׁב לֹא־
私たちと–共に イスラエルの イスラエルの–神の 箱は とどまる–べきではない とどまる–べきではない
H3478 H0430 H0727 H3427 H3808

אֱלֹהֵינוּ׃ דָּגוֹן וְעַל עָלֵינוּ יָדוֹ קָשְׁתָה כִּי־
私たちの–神の ダゴンの–上にも そして 私たちの–上に その–手は 厳しい なぜなら
H0430 H1712 H3027 H7185

アシドドの人々は、このありさまを見て言った、「イスラエルの神の箱を、われわれの所に、とどめ置いてはならない。その神の手が、われわれと、われわれの神ダゴンの上にきびしく臨むからである」。

8

אֲלֵיהֶם פְּלִשְׁתִּים סַרְנֵי כָּל־ אֶת־ וַיַּאַסְפוּ וַיִּשְׁלְחוּ
自分たちの–もとに ペリシテ人の 領主たちを すべての ～を そして–集めた そして–人を–遣わし
H0413 H6430 H3605 H0853 H0622 H7971

גַּת וַיֹּאמְרוּ יִשְׂרָאֵל אֱלֹהֵי לָאֲרוֹן נַעֲשֶׂה מַה־ וַיֹּאמְרוּ
ガトに すると–言った イスラエルの イスラエルの–神の 箱に–ついて すべきか どう そして–言った
H1661 H0559 H3478 H0430 H0727 H4100 H0559

אֲרוֹן אֶת־ וַיַּסֹּבּוּ יִשְׂרָאֵל אֱלֹהֵי אֲרוֹן יִסֹּב
箱を ～を そして–回した イスラエルの イスラエルの–神の 箱は 回される–べきだ
H0727 H0853 H5437 H3478 H0430 H0727 H5437

ס יִשְׂרָאֵל׃ אֱלֹהֵי
— イスラエルの イスラエルの–神の
H3478 H0430

そこで彼らは人をつかわして、ペリシテびとの君たちを集めて言った、「イスラエルの神の箱をどうしましょう」。彼らは言った、「イスラエルの神の箱はガテに移そう」。人々はイスラエルの神の箱をそこに移した。

9

גְּדוֹלָה מְהוּמָה בָּעִיר וְיהוָה יַד־ וַתְּהִי אֹתוֹ הֵסַבּוּ וְאַחֲרֵי וַיְהִי
大きな 混乱が 町に 主の 手が そして–なった それを 回した ～の–後に そして–なった
H4103 H3068 H3027 H1961 H0853 H5437 H1961

וַיִּשְׁתַּרְּרוּ גָּדוֹל וְעַד־ מִקָּטֹן הָעִיר אַנְשֵׁי אֶת־ וַיַּךְ מְאֹד
そして–生じた 大きい–者まで ～まで 小さい–者から 町の 人々を ～を そして–打った 非常に
H8368 H5704 H0376 H0853 H5221 H3966

)בַּטְּחֹרִים׃( ]בעפלים[לָהֶם
腫物が [腫物が] 彼らに
H2914

彼らがそれを移すと、主の手がその町に臨み、非常な騒ぎが起った。そして老若を問わず町の人々を撃たれたので、彼らの身に腫物ができた。

10 וַיִּשְׁלְחוּ֙ אֲרוֹן֙ הָאֱלֹהִ֔ים עֶקְרוֹן֙ וַיְהִ֣י כְּבֹ֣וא אֲרוֹן֙ הָאֱלֹהִ֔ים עֶקְרוֹן֙ וַיִּזְעֲק֣וּ עֶקְרוֹנִ֔ים לֵאמֹ֕ר הֵסֵ֥בּוּ אֵלַ֖י אֶת־אֲרוֹן֙ יִשְׂרָאֵ֔ל לַהֲמִיתֵ֥נִי וְאֶת־עַמִּֽי׃

神の H0430 箱が H0727 来た-時に H0935 そして-なった H1961 エクロンに H6138 神の H0430 箱を H0727 ～を H0853 そして-送った H7971
箱を H0727 ～を H0853 私の-もとに H0413 回して-来た H5437 言って H0559 エクロンの-人々は H6139 そして-叫んだ H2199 エクロンに H6138
私の-民を H0853 そして H4191 私を-殺すために イスラエルの H3478 イスラエルの-神の H0430

そこで人々は神の箱をエクロンに送ったが、神の箱がエクロンに着いた時、エクロンの人々は叫んで言った、「彼らがイスラエルの神の箱をわれわれの所に移したのは、われわれと民を滅ぼすためである」。

11 וַיִּשְׁלְחוּ֙ וַיַּאַסְפוּ֙ אֶת־כָּל־סַרְנֵ֣י פְלִשְׁתִּ֔ים וַיֹּאמְר֗וּ שַׁלְּחוּ֙ אֶת־אֲרוֹן֙ אֱלֹהֵ֣י יִשְׂרָאֵ֔ל וְיָשָׁב֙ לִמְקֹמ֔וֹ וְלֹֽא־יָמִ֥ית אֹתִ֖י וְאֶת־עַמִּ֑י כִּֽי־הָיְתָ֤ה מְהוּמַת־מָ֙וֶת֙ עַמָּ֔ה יַ֥ד הָאֱלֹהִ֖ים כְּבֵדָ֥ה מְאֹ֛ד שָֽׁם׃

そして-送った H7971 そして-集めた H0622 領主たちを H5605 すべての H3605 ～を H0853 ペリシテ人の H6430 そして-言った H0559
その-場所に H4725 そして-戻る-ように H7725 イスラエルの H3478 イスラエルの-神の H0430 箱を H0727 ～を H0853 送り-返しなさい H7971
そして-殺さない-ように H3808 殺さない-ように H4191 私と H0853 そして H0853 私の-民を なぜなら H3588 あった H1961 混乱が H4103
そこで H8033 神の H0430 手が H3027 非常に H3966 重かった H3513 町に すべての H3605 死の H4194

そこで彼らは人をつかわして、ペリシテびとの君たちをみな集めて言った、「イスラエルの神の箱を送り出して、もとの所に返し、われわれと民を滅ぼすことのないようにしよう」。恐ろしい騒ぎが町中に起っていたからである。そこには神の手が非常にきびしく臨んでいたので、

12 וְהָאֲנָשִׁים֙ אֲשֶׁ֣ר לֹא־מֵ֔תוּ הֻכּ֖וּ בָּעֳפָלִ֑ים (בַּטְּחֹרִ֑ים) וַתַּ֥עַל שַׁוְעַ֖ת הָעִ֥יר הַשָּׁמָֽיִם׃

そして-人々は H0376 ～は H0834 死ななかった H3808 死ななかった H3808 打たれた H5221 [腫物で] 腫物で H2914
そして-上った H5927 叫びが H7775 町の H5892 天に H8064

死なない人は腫物をもって撃たれ、町の叫びは天に達した。

Chapter 6

1 וַיְהִ֥י אֲרוֹן־יְהוָ֖ה בִּשְׂדֵ֣ה פְלִשְׁתִּ֑ים שִׁבְעָ֥ה חֳדָשִֽׁים׃

そして-あった H1961 箱は H0727 主の H3068 野に H7704 ペリシテ人の H6430 七 H7651 ヶ月間 H2320

主の箱は七か月の間ペリシテびとの地にあった。

2 וַיִּקְרְא֣וּ פְלִשְׁתִּ֗ים לַכֹּהֲנִים֙ וְלַקֹּסְמִ֔ים לֵאמֹ֕ר מָ֥ה נַּעֲשֶׂ֖ה לַאֲר֣וֹן יְהוָ֑ה הוֹדִיעֻ֙נוּ֙ בַּמֶּ֣ה נְשַׁלְּחֶ֔נּוּ לִמְקוֹמֽוֹ׃

そして-呼んだ H7121 ペリシテ人は H6430 祭司たちと H3548 占い師たちを H7080 言って H0559 何を H4100 すべきか 箱に-ついて H0727
教えて-ください H3045 何で H4100 送り-返す-べきか H7971 その-場所に H4725

ペリシテびとは、祭司や占い師を呼んで言った、「イスラエルの神の箱をどうしましょうか。どのようにして、それをもとの所へ送り返せばよいか告げてください」。

3

וַיֹּאמְרוּ מְשַׁלְּחִים אֹתָ֣ן אֶת־ אֱלֹהֵי֙ יִשְׂרָאֵ֔ל
すると-言った もし 送り-返す-なら 箱を ～を イスラエルの-神の イスラエルの
H0559 H0408 H7971 H0727 H0853 H0430 H3478

אַל־ תְּשַׁלְּחוּ אֹתוֹ֙ רֵיקָ֔ם כִּי־ הָשֵׁ֥ב תָּשִׁ֖יבוּ לוֹ
してはならない 送り-返してはならない それを 空で そうではなく 必ず 返しなさい 主に
H0408 H7971 H0853 H7387 H0408 H7725 H7725 H3068

אָ֣ז תֵּרָפְא֗וּ וְנוֹדַ֤ע לָכֶם֙ לָמָ֣ה לֹא־ תָסוּר֙ מִכֶּ֔ם יָד֖וֹ
その-時 癒される そして-知られる あなたがたに なぜ ない 離れないのか あなたがたから その-手が
H0817 H7495 H3045 H4100 H3808 H5493 H3027

מֵעֲלֵיכֶֽם׃

彼らは言った、「イスラエルの神の箱を送り返す時には、それをむなしく返してはならない。必ず彼にとがの供え物をもって償いをしなければならない。そうすれば、あなたがたはいやされ、また彼の手がなぜあなたがたを離れないかを知ることができるであろう」。

4

וַיֹּאמְרוּ֙ מָ֣ה הָאָשָׁ֔ם אֲשֶׁ֥ר נָשִׁ֖יב לוֹ֑ וַיֹּאמְרוּ֙ מִסְפַּ֣ר
すると-言った 何が 償いの-ささげ物か ～を 返す-べき 主に すると-言った 数に-応じて
H0559 H4100 H0817 H0834 H7725 H3068 H0559 H4557

חֹ֣מֶשׁ פְּלִשְׁתִּ֔ים עַפְלֵ֖י (טְחֹרֵ֑י) זָהָ֣ב וַחֲמֵשֶׁ֤ה עַכְבְּרֵי֙ זָהָ֔ב
五つの ペリシテ人の [腫物の] 腫物の 金の そして-五匹の ねずみの 金の
H2568 H6430 [עפלי] H2914 H2091 H2568 H5909 H2091

כִּ֣י מַגֵּפָ֤ה אַחַת֙ לְכֻלָּ֔ם וּלְסַרְנֵיכֶֽם׃
なぜなら 疫病は 同じ すべてに あなたがたの-領主たちにも
H3588 H4046 H0259 H3605

人々は言った、「われわれが償うとがの供え物には何をしましょうか」。彼らは答えた、「ペリシテびとの君たちの数にしたがって、金の腫物五つと金のねずみ五つである。あなたがたすべてと、君たちに臨んだ災は一つだからである。

5

וַעֲשִׂיתֶ֗ם צַלְמֵי֙ (טְחֹרֵיכֶ֔ם) וְצַלְמֵ֖י עַכְבְּרֵיכֶ֑ם הַמַּשְׁחִיתִ֣ם אֶת־
～を 荒らしている ねずみの そして-像を 腫物の [腫物の] 像を そして-作りなさい
H0853 H7843 H5909 H6754 H2914 [עפליכם] H6754 H6213

הָאָ֔רֶץ וּנְתַתֶּ֣ם לֵאלֹהֵ֣י יִשְׂרָאֵל֮ כָּבוֹד֒ אוּלַ֤י יָקֵל֙ אֶת־
地を そして-ささげなさい イスラエルの-神に 栄光を おそらく 軽くなる ～が
H0776 H5414 H0430 H3519 H0194 H7043 H0853

מֵעֲלֵיכֶ֔ם וּמֵעַ֖ל אֱלֹהֵיכֶ֑ם וּמֵעַ֖ל יָדְכֶ֥ם וּמֵעַ֖ל
あなたがたの-上から そして～の-上から あなたがたの-神々の そして～の-上から その-手が そして～の-上から
H5921 H0430 H5921 H3027 H5921

אַרְצְכֶֽם׃
あなたがたの-地の
H0776

それゆえ、あなたがたの腫物の像と、地を荒すねずみの像を造り、イスラエルの神に栄光を帰するならば、たぶん彼は、あなたがた、およびあなたがたの神々と、あなたがたの地に、その手を加えることを軽くされるであろう。

6

וְלָמָּה	תְכַבְּדוּ	אֶת־	לְבַבְכֶם	כַּאֲשֶׁר	כִּבְּדוּ	מִצְרַיִם
なぜ	かたくなにするのか	～を	あなたがたの–心を	～の–ように	かたくなにした	エジプトと
H4100	H3513	H0853	H3824		H3513	H4713

וַיְשַׁלְּחוּם	בָּהֶם	הִתְעַלֵּל	כַּאֲשֶׁר	הֲלוֹא	לָבָם	אֶת־	וּפַרְעֹה
そして–去らせた	彼らを	苦しめた	～の–時に	確かに	彼らの–心を	～を	ファラオが
H7971				H3808		H0853	H6547

וַיֵּלֵכוּ׃
そして–行った
H3212

なにゆえ、あなたがたはエジプトびととパロがその心をかたくなにしたように、自分の心をかたくなにするのか。神が彼らを悩ましたので、彼らは民を行かせ、民は去ったではないか。

7

וְעַתָּה	קְחוּ	וַעֲשׂוּ	עֲגָלָה	חֲדָשָׁה	אַחַת	וּשְׁתֵי	פָּרוֹת	עָלוֹת	
さて–今	取りなさい	そして–作りなさい	荷車を	新しい	一つの	そして–二頭の	雌牛を	乳を–出す	
H6258	H3947		H5699	H2319	H0259	H8147	H6510	H5763	

וַאֲסַרְתֶּם	עַל	עֲלֵיהֶם	עָלָה	לֹא־	אֲשֶׁר	הַפָּרוֹת	אֶת־	בָּעֲגָלָה
そして–つなぎなさい	くびきを	その–上に	乗せた–ことのない	ない	～の	雌牛を	～を	荷車に
H0631	H5923		H5927	H3808		H6510	H0853	H5699

וַהֲשִׁיבֹתֶם	בְּנֵיהֶם	מֵאַחֲרֵיהֶם	הַבָּיְתָה׃
そして–戻しなさい	子牛を	彼らの–後ろから	家に
H7725			

それゆえ今、新しい車一両を造り、まだくびきを付けたことのない乳牛二頭をとり、その牛を車につなぎ、そのおのおのの子牛を乳牛から離して家に連れ帰り、

8

וְלִקַּחְתֶּם	אֶת־	אֲרוֹן	יְהוָה	וְנִתַתֶּם	אֹתוֹ	אֶל־	הָעֲגָלָה	וְאֶת
そして–取りなさい	～を	箱を	主の	そして–置きなさい	それを	～の–上に	荷車の–上に	そして
H3947	H0853	H0727	H3068	H5414	H0853	H0413	H5699	H0853

כְּלֵי	הַזָּהָב	אֲשֶׁר	הֲשֵׁבֹתֶם	לוֹ	אָשָׁם	תָּשִׂימוּ	בָּאַרְגָּז	מִצִּדּוֹ
器を	金の	～を	返す	主に	償いの–ささげ物として	入れなさい	箱に	その–そばの
H3627	H2091		H7725		H0817		H0712	H6654

וְשַׁלַּחְתֶּם	אֹתוֹ	וְהָלָךְ׃	
そして–送り–出しなさい	それを	そして–行かせなさい	
H7971	H0853	H1980	

主の箱をとって、それをその車に載せ、あなたがたがとがの供え物として彼に償う金の作り物を一つの箱におさめてそのかたわらに置き、それを送って去らせなさい。

9

וּרְאִיתֶם	אִם־	דֶּרֶךְ	גְּבוּלוֹ	יַעֲלֶה	שֶׁמֶשׁבֵּית	הוּא	
そして–見なさい	もし	道を	その–境界の	上って–行く–なら	ベト・シェメシュへ	主が	
H7200		H1870	H1366	H5927	H1053	H1931	

וְיָדַעְנוּ	לֹא	וְאִם־	הַזֹּאת	הַגְּדוֹלָה	הָרָעָה	אֶת־	לָנוּ	עָשָׂה
そして–知る	ない–なら	しかし–もし	この	大きな	わざわいを	～を	私たちに	なさった
H3045	H3808		H2063			H0853		

לָנוּ׃	הָיָה	הוּא	מִקְרֶה	בָּנוּ	נָגְעָה	יָדוֹ	לֹא	כִּי
私たちに	あったのだ	それは	偶然が	私たちに	触れたのでは	その–手が	ない	～と
	H1961	H1931	H4745		H5060	H3027	H3808	

そして見ていて、それが自分の領地へ行く道を、ベテシメシへ上るならば、この大いなる災を、われわれに下したのは彼である。しかし、そうしない時は、われわれを撃ったのは彼の手ではなく、その事の偶然であったことを知るであろう」。

וַיַּעֲשׂוּ הָאֲנָשִׁים כֵּן וַיִּקְחוּ שְׁתֵּי פָרוֹת מֵניקוֹת וַיַּאַסְרוּם עֲלוֹת בָּעֲגָלָה וְאֶת־בְּנֵיהֶם כָּלְאוּ בַּבָּיִת׃ 10
そして-した その-ように そして-取った 二頭の 雌牛を そして-つないだ
人々は 乳を-出す
H0376 H3947 H8147 H6510 H0631
荷車に そして 子牛を 閉じ-込めた
家に
H5699 H0853 H3607

人々はそのようにした。すなわち、彼らは二頭の乳牛をとって、これを車につなぎ、そのおのおのの子牛を家に閉じこめ、

וַיָּשִׂמוּ אֶת־אֲרוֹן יְהוָה עַל־הָעֲגָלָה וְאֶת־הָאַרְגַּז וְאֶת־עַכְבְּרֵי הַזָּהָב וְאֶת־צַלְמֵי טְחֹרֵיהֶם׃ 11
そして-置いた ～を 箱を 主の ～の-上に 荷車の-上に そして 箱と そして ねずみと
H0853 H0727 H3068 H0413 H5699 H0853 H0712 H0853 H5909
そして 像と 腫物の
金の
H2091 H6754 H2914

主の箱、および金のねずみと、腫物の像をおさめた箱とを車に載せた。

וַיְיַשַּׁרְנָה הַפָּרוֹת בַּדֶּרֶךְ בַּדֶּרֶךְ עַל־דֶּרֶךְ בֵּית שֶׁמֶשׁ בְּמְסִלָּה אַחַת הָלְכוּ וְגָעוֹ וְלֹא־סָרוּ יָמִין וּשְׂמֹאול וְסַרְנֵי פְלִשְׁתִּים הֹלְכִים אַחֲרֵיהֶם עַד־גְּבוּל בֵּית שָׁמֶשׁ׃ 12
そして-まっすぐ-進んだ 雌牛は 道を 道を ～の-上を 道を 大道を 一つの
H3474 H6510 H1870 H1870 H1870 H0259
そして-それなかった 曲がる-ことは 右に 左に
H3808 H5493 H3225 H8040
行った 行きながら 鳴きながら
H1980 H1980 H1600
行って-いた その-後を ～まで 境界まで ベト・シェメシュの
H1980 H0310 H5704 H1366 H1053
そして-領主たちは ペリシテ人の
H5633 H6430

すると雌牛はまっすぐにベテシメシの方向へ、ひとすじに大路を歩み、鳴きながら進んでいって、右にも左にも曲らなかった。ペリシテびとの君たちは、ベテシメシの境までそのあとについていった。

וּבֵית שֶׁמֶשׁ קֹצְרֵים קְצִיר־חִטִּים בָּעֵמֶק וַיִּשְׂאוּ אֶת־עֵינֵיהֶם וַיִּרְאוּ אֶת־הָאָרוֹן וַיִּשְׂמְחוּ לִרְאוֹת׃ 13
そして-ベト・シェメシュの-人々は 刈って-いた 収穫を 小麦の 谷で そして-上げた ～を
H1053 H7114 H7105 H2406 H6010 H5375 H0853
目を そして-見た ～を 箱を そして-喜んだ 見て
H5869 H7200 H0853 H0727 H8055 H7200

時にベテシメシの人々は谷で小麦を刈り入れていたが、目をあげて、その箱を見、それを迎えて喜んだ。

וְהָעֲגָלָה בָּאָה אֶל־שְׂדֵה יְהוֹשֻׁעַ בֵּית־הַשִּׁמְשִׁי וַתַּעֲמֹד שָׁם וְשָׁם אֶבֶן גְּדוֹלָה וַיְבַקְּעוּ אֶת־עֲצֵי הָעֲגָלָה וְאֶת־הַפָּרוֹת הֶעֱלוּ עֹלָה לַיהוָה׃ ס 14
そして-荷車は 来た ～に 畑に ヨシュアの ベト・シェメシュの そして-止まった そこに
H0935 H0413 H7704 H3091 H1030 H5975 H8033
そして-そこに 大きな 石が そして-割った ～を 木を 荷車の そして 雌牛を ささげた
H8033 H1419 H0068 H1234 H0853 H6086 H5699 H0853 H6510 H5927
全焼の-ささげ物として 主に
H5930 H3068

車はベテシメシびとヨシュアの畑にはいって、そこにとどまった。その所に大きな石があった。人々は車の木を割り、その雌牛を燔祭として主にささげた。

15 וְהַלְוִיִּם וְהוֹרִידוּ אֶת־אֲרוֹן יְהוָה וְאֶת־הָאַרְגָּז אֲשֶׁר־אִתּוֹ
そして-レビ人たちは 降ろした ～を 箱を 主の そして-箱と ～の-ある それと-共に
H3881 H3381 H0853 H0727 H3068 H0853 H0712 H0854

אֲשֶׁר־בּוֹ כְּלֵי־זָהָב וַיָּשִׂמוּ אֶל־הָאֶבֶן הַגְּדוֹלָה
～の-中に-ある その-中に 器が 金の そして-置いた ～の-上に 石の-上に 大きな
H0834 H3627 H2091 H7760 H0413 H0068 H1419

וַיַּעֲלוּ הָעֲלוֹת וְזִבְחִים עָשׂוּ בַיּוֹם הַהוּא לַיהוָה׃
そして-人々は ベト・シェメシュの ささげた 全焼の-ささげ物と そして-いけにえを-ささげた その日に その 主に
H0376 H1053 H5927 H5930 H2077 H3117 H1931 H3068

レビびとは主の箱と、そのかたわらの、金の作り物をおさめた箱を取りおろし、それを大石の上に置いた。そしてベテシメシの人々は、その日、主に燔祭を供え、犠牲をささげた。

16 וַחֲמִשָּׁה סַרְנֵי־פְלִשְׁתִּים רָאוּ וַיָּשֻׁבוּ עֶקְרוֹן בַּיּוֹם הַהוּא׃
そして-五人の 領主たちは ペリシテ人の 見た そして-帰った エクロンに その日に その
H2568 H6430 H7200 H7725 H6138 H3117 H1931

ס
—

ペリシテびとの五人の君たちはこれを見て、その日、エクロンに帰った。

17 וְאֵלֶּה טְחֹרֵי הַזָּהָב אֲשֶׁר הֵשִׁיבוּ פְלִשְׁתִּים אָשָׁם לַיהוָה
これらは 腫物の 金の ～を 返した ペリシテ人が 償いの-ささげ物として 主に
H0428 H2914 H2091 H0834 H7725 H6430 H0817 H3068

לְאַשְׁדּוֹד אֶחָד לְעַזָּה אֶחָד לְאַשְׁקְלוֹן אֶחָד לְגַת אֶחָד
アシュドドの-ために 一つ ガザの-ために 一つ アシュケロンの-ために 一つ ガトの-ために 一つ
H0795 H0259 H5804 H0259 H0831 H0259 H1661 H0259

לְעֶקְרוֹן אֶחָד׃ ס
エクロンの-ために 一つ —
H6138 H0259

ペリシテびとが、とがの供え物として、主に償いをした金の腫物は、次のとおりである。すなわちアシドドのために一つ、ガザのために一つ、アシケロンのために一つ、ガテのために一つ、エクロンのために一つであった。

18 וְעַכְבְּרֵי הַזָּהָב מִסְפַּר כָּל־עָרֵי פְלִשְׁתִּים לַחֲמֵשֶׁת הַסְּרָנִים
そして-ねずみは 金の 数に-応じて すべての 町の ペリシテ人の 五人の 領主たちの
H5909 H2091 H4557 H3605 H5892 H6430 H2568 H5633

הַגְּדוֹלָה אָבֵל הַגְּדוֹלָה וְעַד הַפְּרָזִי כֹּפֶר וְעַד מִבְצָר מָעִיר
大きな 大きな-石まで ～まで 城壁の-ない 村まで ～まで 城壁の-ある 城壁の-ある-町から
H0059 H5704 H6521 H3723 H5704 H4013 H5892

בְּשְׂדֵה הַזֶּה הַיּוֹם עַד יְהוָה אֲרוֹן אֶת עָלֶיהָ הִנִּיחוּ אֲשֶׁר
畑に この-日まで 今日の ～まで 主の 箱を ～を その-上に 置いた ～の-上に
H7704 H2088 H3117 H5704 H3068 H0727 H0853 H5921 H3240 H0834

בֵּית־הַשִּׁמְשִׁי׃ יְהוֹשֻׁעַ
ベト・シェメシュの ヨシュアの
H1030 H3091

また金のねずみは、城壁をめぐらした町から城壁のない村里にいたるまで、すべて五人の君たちに属するペリシテびとの町の数にしたがって造った。主の箱をおろした所のかたわらにあった大石は、今日にいたるまで、ベテシメシびとヨシュアの畑にあって、あかしとなっている。

19 וַיַּךְ בְּאַנְשֵׁי בֵית־שֶׁמֶשׁ כִּי רָאוּ בַּאֲרוֹן יְהוָה
そして–打った 人々を ベト・シェメシュの ベト・シェメシュの なぜなら 見た 箱の–中を 主の
H5221 H0376 H1053 H3068 H7200 H0727 H3068

וַיַּךְ בָּעָם שִׁבְעִים אִישׁ חֲמִשִּׁים אֶלֶף אִישׁ וַיִּתְאַבְּלוּ הָעָם כִּי־
そして–打った 民の–中から 七十人と 人を 五万の 千の 人を そして–嘆いた 民は なぜなら
H5221 H7657 H0376 H2572 H0505 H0376 H0056 H5221

הִכָּה יְהוָה בָּעָם מַכָּה גְדוֹלָה
打った 主が 民を 打撃で 大きな
H5221 H3068 H4347

ベテシメシの人々で主の箱の中を見たものがあったので、主はこれを撃たれた。すなわち民のうち七十人を撃たれた。主が民を撃って多くの者を殺されたので、民はなげき悲しんだ。

20 וַיֹּאמְרוּ אַנְשֵׁי בֵית־שֶׁמֶשׁ מִי יוּכַל לַעֲמֹד לִפְנֵי יְהוָה
そして–言った 人々は ベト・シェメシュの だれが できるのか 立つ–ことが ～の–前に 主の
H0559 H0376 H1053 H4310 H3201 H5975 H6440 H3068

הַזֶּה הַקָּדוֹשׁ הָאֱלֹהִים וְאֶל־ מִי יַעֲלֶה מֵעָלֵינוּ׃ ס
この 聖なる 神の そして–だれの–もとに だれの 上る–べきか 私たちから —
H2088 H6918 H0430 H0413 H4310 H5927 H0413

ベテシメシの人々は言った、「だれが、この聖なる神、主の前に立つことができようか。主はわれわれを離れてだれの所へ上って行かれたらよいのか」。

21 וַיִּשְׁלְחוּ מַלְאָכִים אֶל־ יוֹשְׁבֵי קִרְיַת־יְעָרִים לֵאמֹר הֵשִׁבוּ פְּלִשְׁתִּים
そして–遣わした 使者を ～に 住民に キルヤト・エアリムの 言って 返した ペリシテ人が
H7971 H4397 H0413 H3427 H7157 H0559 H7725 H6430

אֲלֵיכֶם׃ אֹתוֹ הַעֲלוּ רְדוּ וְיַעֲלוּ אֲרוֹן יְהוָה אֶת־
あなたがたの–もとに それを 上げて–ください 下って–来て 主の 箱を ～を
H0413 H0853 H5927 H3381 H3068 H0727 H0853

そして彼らは、使者をキリアテ・ヤリムの人々につかわして言った、「ペリシテびとが主の箱を返したから、下ってきて、それをあなたがたの所へ携え上ってください」。

Chapter 7

1 וַיָּבֹאוּ וַיַּעֲלוּ אֹתוֹ אֶת־ אֲרוֹן יְהוָה וַיָּבִיאוּ אֶת־ בֵּית אֲבִינָדָב בַּגִּבְעָה וְאֶת־ אֶלְעָזָר בְּנוֹ קִדְּשׁוּ
そして–来た そして–上げた それを 箱を 主の そして–持って–来た ～を 家に アビナダブの 丘に–ある そして 息子を その–聖別した
H0935 H5927 H0853 H0727 H3068 H0935 H0853 H1389 H0041 H0413 H0853 H0499 H1121 H6942

לִשְׁמֹר אֶת־ אֲרוֹן יְהוָה׃ פ
守るために ～を 箱を 主の —
H8104 H0853 H0727 H3068

キリアテ・ヤリムの人々は、きて、主の箱を携え上り、丘の上のアビナダブの家に持ってきて、その子エレアザルを聖別して、主の箱を守らせた。

2 וַיְהִי מִיּוֹם שֶׁבֶת הָאָרוֹן בְּקִרְיַת יְעָרִים וַיִּרְבּוּ הַיָּמִים
そして–あった ～の–日から とどまった 箱が キルヤト・エアリムに 増えた 日々は
H1961 H3117 H3427 H0727 H7157 H3117

וַיְהִי עֶשְׂרִים שָׁנָה וַיִּנָּהוּ כָּל־בֵּית יִשְׂרָאֵל אַחֲרֵי יְהוָה׃
そして–なった 二十 年に そして–嘆いた すべての 家は イスラエルの ～の–後を 主の–後を
H1961 H6242 H8141 H5091 H3605 H3478 H0310 H3068

ס
—

その箱は久しくキリアテ・ヤリムにとどまって、二十年を経た。イスラエルの全家は主を慕って嘆いた。

3 וַיֹּאמֶר שְׁמוּאֵל אֶל־כָּל־בֵּית יִשְׂרָאֵל לֵאמֹר אִם־בְּכָל־
そして–言った サムエルは ～に すべての 家に イスラエルの 言って もし すべての
H0559 H8050 H0413 H3605 H3478 H0559 H0518 H3605

לְבַבְכֶם אַתֶּם שָׁבִים אֶל־יְהוָה הָסִירוּ אֶת־אֱלֹהֵי הַנֵּכָר
あなたがたの–心で あなたがたが 立ち–返る–なら ～に 主に 取り–除きなさい ～を 神々を 異国の
H3824 H0859 H7725 H0413 H3068 H5493 H0853 H0430 H5236

מִתּוֹכְכֶם וְהָעַשְׁתָּרוֹת וְהָכִינוּ לְבַבְכֶם אֶל־יְהוָה
あなたがたの–中から そして–アシュタロトを そして–向けなさい あなたがたの–心を ～に 主に
H8432 H6252 H3559 H3824 H0413 H3068

וְעִבְדֵהוּ לְבַדּוֹ וְיַצֵּל אֶתְכֶם מִיַּד פְּלִשְׁתִּים׃
そして–仕えなさい 主だけに そうすれば–救う ～を あなたがたを ～の–手から ペリシテ人の
H5647 H0905 H5337 H0853 H3027 H6430

その時サムエルはイスラエルの全家に告げていった、「もし、あなたがたが一心に主に立ち返るのであれば、ほかの神々とアシタロテを、あなたがたのうちから捨て去り、心を主に向け、主にのみ仕えなければならない。そうすれば、主はあなたがたをペリシテびとの手から救い出されるであろう」。

4 וַיָּסִירוּ בְנֵי יִשְׂרָאֵל אֶת־הַבְּעָלִים וְאֶת־הָעַשְׁתָּרוֹת
そして–取り–除いた 子らは イスラエルの ～を バアルたちを そして アシュタロトを
H5493 H1121 H3478 H0853 H1168 H0853 H6252

וַיַּעַבְדוּ אֶת־יְהוָה לְבַדּוֹ׃ פ
そして–仕えた ～に 主に 主だけに
H5647 H0853 H3068 H0905

そこでイスラエルの人々はバアルとアシタロテを捨て去り、ただ主にのみ仕えた。

5 וַיֹּאמֶר שְׁמוּאֵל קִבְצוּ אֶת־כָּל־יִשְׂרָאֵל הַמִּצְפָּתָה וְאֶתְפַּלֵּל
そして–言った サムエルは 集めなさい ～を すべての イスラエルを ミツパに そうすれば–祈る
H0559 H8050 H6908 H0853 H3605 H3478 H4709 H6419

בַּעַדְכֶם אֶל־יְהוָה׃
あなたがたの–ために ～に 主に
H1157 H0413 H3068

サムエルはまた言った、「イスラエルびとを、ことごとくミヅパに集めなさい。わたしはあなたがたのために主に祈りましょう」。

6 וַיִּקָּבְצוּ הַמִּצְפָּתָה וַיִּשְׁאֲבוּ־מַיִם וַיִּשְׁפְּכוּ לִפְנֵי יְהוָה
そして-集まった ミツパに そして-汲んだ 水を そして-注ぎ-出した ～の-前で 主の
H6908 H4709 H7579 H4325 H8210 H6440 H3068

וַיָּצֻמוּ בַיּוֹם הַהוּא וַיֹּאמְרוּ שָׁם חָטָאנוּ לַיהוָה וַיִּשְׁפֹּט שְׁמוּאֵל אֶת־בְּנֵי יִשְׂרָאֵל בַּמִּצְפָּה׃
そして-断食した その日に その-日に そして-言った そこで 私たちは-罪を-犯した 主に-対して そして-さばいた サムエルは ～を 子らを イスラエルの ミツパで
H6684 H3117 H1931 H0559 H8033 H2398 H3068 H8199 H8050 H0853 H1121 H3478 H4709

人々はミツパに集まり、水をくんでそれを主の前に注ぎ、その日、断食してその所で言った、「われわれは主に対して罪を犯した」。サムエルはミツパでイスラエルの人々をさばいた。

7 וַיִּשְׁמְעוּ פְלִשְׁתִּים כִּי־הִתְקַבְּצוּ בְּנֵי־יִשְׂרָאֵל הַמִּצְפָּתָה
そして-聞いた ペリシテ人は ～と 集まった-と 子らが イスラエルの ミツパに
H8085 H6430 H3478 H4709

וַיַּעֲלוּ סַרְנֵי־פְלִשְׁתִּים אֶל־יִשְׂרָאֵל וַיִּשְׁמְעוּ בְּנֵי יִשְׂרָאֵל וַיִּרְאוּ מִפְּנֵי פְלִשְׁתִּים׃
そして-上って-来た 領主たちが ペリシテ人の ～に-向かって イスラエルに そして-聞いた 子らは ペリシテ人の ～の-前で そして-恐れた イスラエルの
H5927 H5927 H6430 H0413 H3478 H8085 H6430 H6440 H3372 H3478

イスラエルの人々のミツパに集まったことがペリシテびとに聞えたので、ペリシテびとの君たちは、イスラエルに攻め上ってきた。イスラエルの人々はそれを聞いて、ペリシテびとを恐れた。

8 וַיֹּאמְרוּ בְּנֵי יִשְׂרָאֵל אֶל־שְׁמוּאֵל אַל־תַּחֲרַשׁ
そして-言った 子らは イスラエルの ～に サムエルに してはならない 黙ってはならない
H0559 H1121 H3478 H0413 H8050 H0408 H2790

מִמֶּנּוּ מִזְּעֹק אֶל־יְהוָה אֱלֹהֵינוּ וְיוֹשִׁעֵנוּ מִיַּד פְּלִשְׁתִּים׃
私たちから 叫ぶ-ことを ～に 主に 私たちの-神に そして-救う-ように ～の-手から ペリシテ人の
H4480 H2199 H0413 H3068 H0430 H3467 H3027 H6430

そしてイスラエルの人々はサムエルに言った、「われわれのため、われわれの神、主に叫ぶことを、やめないでください。そうすれば主がペリシテびとの手からわれわれを救い出されるでしょう」。

9 וַיִּקַּח שְׁמוּאֵל טְלֵה חָלָב אֶחָד וַיַּעֲלֵהוּ (וַיַּעֲלֵהוּ) עֹלָה כָּלִיל לַיהוָה וַיִּזְעַק שְׁמוּאֵל אֶל־יְהוָה בְּעַד יִשְׂרָאֵל וַיַּעֲנֵהוּ יְהוָה׃
そして-取った サムエルは 子羊を 乳飲みの 一匹の [そして-ささげた] そして-ささげた 全焼の-ささげ物として 完全な 主に 主に ～に サムエルは そして-叫んだ イスラエルの-ために そして-答えた 主は
H3947 H8050 H2924 H2461 H0259 [H5927] (H5927) H5930 H3632 H3068 H3068 H0413 H8050 H2199 H1157 H3478 H6030 H3068

そこでサムエルは乳を飲む小羊一頭をとり、これを全き燔祭として主にささげた。そしてサムエルはイスラエルのために主に叫んだので、主はこれに答えられた。

10 וַיְהִי שְׁמוּאֵל מַעֲלֶה הָעוֹלָה וּפְלִשְׁתִּים נִגְּשׁוּ
そして-あった サムエルが ささげて-いる-とき 全焼の-ささげ物を そして-ペリシテ人は 近づいた
H1961 H8050 H5927 H5930 H6430 H5066

לַמִּלְחָמָה בְּיִשְׂרָאֵל וַיהוָה הִרְעִים בְּקוֹל־גָּדוֹל בַּיּוֹם
戦いの-ために イスラエルに-対して そして-雷鳴を-轟かせた 主は ～の-声で 大きな その-日に
H4421 H3478 H7481 H3068 H1995 H1419 H3117

הַהוּא וַיָּהָם לִפְנֵי יִשְׂרָאֵל׃ פְּלִשְׁתִּים עַל־ וַיִּנָּגְפוּ לִפְנֵי
その ～の-上に ペリシテ人の-上に そして-混乱させた そして-打ち-負かされた ～の-前で
H1931 H6430 H2000 H5062 H6440

イスラエルの
H3478

サムエルが燔祭をささげていた時、ペリシテびとはイスラエルと戦おうとして近づいてきた。しかし主はその日、大いなる雷をペリシテびとの上にとどろかせて、彼らを乱されたので、彼らはイスラエルびとの前に敗れて逃げた。

11 וַיֵּצְאוּ אַנְשֵׁי יִשְׂרָאֵל מִן־הַמִּצְפָּה וַיִּרְדְּפוּ אֶת־פְּלִשְׁתִּים
そして-出て-行った 人々が イスラエルの ミツパから ～から ミツパから ～を ペリシテ人を
H3318 H0376 H3478 H4709 H4709 H0853 H6430

וַיַּכֻּם עַד־ מִתַּחַת לְבֵית כָּר׃
そして-打ち-殺した ～まで ～の-下まで ベト・カルの
H5221 H5704 H8478 H1033

イスラエルの人々はミツパを出てペリシテびとを追い、これを撃って、ベテカルの下まで行った。

12 וַיִּקַּח שְׁמוּאֵל אֶבֶן אַחַת וַיָּשֶׂם בֵּין־ הַמִּצְפָּה וּבֵין
そして-取った サムエルは 石を 一つの そして-置いた ～の-間に ミツパと そして-～の-間に
H3947 H8050 H0068 H0259 H7760 H0996 H4709 H0996

הַשֵּׁן וַיִּקְרָא שְׁמָהּ אֶת־ וַיֹּאמֶר עַד־ הֵנָּה
シェンとの そして-名付けた その-名を ～を そして-言った ～まで ここまで
H8129 H7121 H8034 H0853 H0559 H5704 H2008

עֵזֶר וַיֹּאמֶר הֶעֱזֶרְנוּ יְהוָה׃
助けて-くださった 主は
H5826 H3068

その時サムエルは一つの石をとってミツパとエシャナの間にすえ、「主は今に至るまでわれわれを助けられた」と言って、その名をエベネゼルと名づけた。

13 וַיִּכָּנְעוּ הַפְּלִשְׁתִּים וְלֹא־ יָסְפוּ עוֹד לָבוֹא בִּגְבוּל
そして-屈服した ペリシテ人は そして-しなかった 続けて もはや 来る-ことを 境界に
H3665 H6430 H3808 H3254 H5750 H0935 H1366

וַתְּהִי יַד־ יְהוָה בַּפְּלִשְׁתִּים כֹּל יְמֵי שְׁמוּאֵל׃
そして-あった 手が 主の ペリシテ人に-対して すべての 日々 サムエルの
H1961 H3027 H3068 H6430 H3605 H3117 H8050

イスラエルの
H3478

こうしてペリシテびとは征服され、ふたたびイスラエルの領地に、はいらなかった。サムエルの一生の間、主の手が、ペリシテびとを防いだ。

14 וַתָּשֻׁבְנָה הֶעָרִים אֲשֶׁר־לָקְחוּ פְלִשְׁתִּים מֵאֵת יִשְׂרָאֵל וְיִשְׂרָאֵל
そして-戻った 町々は ～を 取った ペリシテ人が ～から イスラエルから イスラエルに
H7725 H5892 H0834 H3947 H6430 H0854 H3478 H3478

מִיַּד יִשְׂרָאֵל הִצִּיל גְּבוּלָן וְאֶת־גַּת וְעַד־עֶקְרוֹן
～の-手から イスラエルは 救った その-境界も そして ガトまで ～まで エクロンから
H3027 H3478 H5337 H1366 H0853 H1661 H5704 H6138

וּבֵין הָאֱמֹרִי׃ וַיְהִי שָׁלוֹם בֵּין יִשְׂרָאֵל וּבֵין
そして-～の-間に アモリ人との ペリシテ人の 平和が ～の-間に イスラエルと
H0996 H0567 H6430 H7965 H0996 H3478

そして-あった
H1961

ペリシテびとがイスラエルから取った町々は、エクロンからガテまで、イスラエルにかえり、イスラエルはその周囲の地をもペリシテびとの手から取りかえした。またイスラエルとアモリびととの間には平和があった。

15 וַיִּשְׁפֹּט שְׁמוּאֵל אֶת־יִשְׂרָאֵל כֹּל יְמֵי חַיָּיו׃
そして-さばいた サムエルは ～を イスラエルを すべての 日々 生涯の
H8199 H8050 H0853 H3478 H3605 H3117 H2416

サムエルは一生の間イスラエルをさばいた。

16 וְהָלַךְ מִדֵּי שָׁנָה בְּשָׁנָה וְסָבַב בְּבֵית־אֵל וְהַגִּלְגָּל
そして-行った 毎年 年ごとに そして-巡り-歩いた ベテルと そして-ギルガルと
H1980 H4480 H8141 H8141 H5437 H1008 H1537

וְהַמִּצְפָּה וְשָׁפַט אֶת־יִשְׂרָאֵל אֶת כָּל־הַמְּקוֹמוֹת הָאֵלֶּה׃
そして-ミツパを そして-さばいた ～を イスラエルを ～で すべての 場所で これらの
H4709 H8199 H0853 H3478 H0853 H3605 H4725 H0428

וּתְשׁוּבָתוֹ הָרָמָתָה כִּי־שָׁם בֵּיתוֹ וְשָׁם שָׁפַט אֶת־
そして-帰りは ラマで-あった なぜなら そこに 彼の-家が-あった そして-そこで さばいた ～を
H8666 H7414 H3588 H8033 H1004 H8033 H8199 H0853

17

יִשְׂרָאֵל וַיִּבֶן־שָׁם מִזְבֵּחַ לַיהוָה׃ פ
イスラエルを そして-建てた そこに 祭壇を 主の-ために —
H3478 H1129 H8033 H4196 H3068

ラマに帰った。そこに彼の家があったからである。その所でも彼はイスラエルをさばき、またそこで主に祭壇を築いた。

Chapter 8

1 וַיְהִי כַּאֲשֶׁר זָקֵן שְׁמוּאֵל וַיָּשֶׂם אֶת־בָּנָיו שֹׁפְטִים
そして-なった ～の-時に 老いた サムエルが そして-立てた ～を 息子たちを さばきとして
H1961 H3588 H2204 H8050 H7760 H0853 H1121 H8199

לְיִשְׂרָאֵל׃
イスラエルの
H3478

サムエルは年老いて、その子らをイスラエルのさばきづかさとした。

2 וַיְהִי שֵׁם בְּנוֹ הַבְּכוֹר יוֹאֵל וְשֵׁם מִשְׁנֵהוּ אֲבִיָּה שֹׁפְטִים
そして-あった 名は 息子の 長男の ヨエル そして-名は 次男の アビヤ さばきとして
H1961 H8034 H1121 H1060 H3100 H8034 H4932 H0029 H8199

בִּבְאֵר שָׁבַע׃
ベエル・シェバで
H0884

長子の名はヨエルといい、次の子の名はアビヤと言った。彼らはベエルシバでさばきづかさであった。

3	וְלֹא־	הָלְכוּ	בָנָיו	]בדרכו[	)בִּדְרָכָיו(	וַיִּטּוּ	אַחֲרֵי
	しかし–なかった	歩いた–ことは	息子たちは	[彼の–道に]	彼の–道に	そして–それた	～の–後を
	H3808	H1980		H1870	H1870	H5186	

פ	:מִשְׁפָּט	וַיַּטּוּ	שֹׁחַד	וַיִּקָּחוּ־	הַבָּצַע	
—	さばきを	そして–曲げた	わいろを	そして–受け–取った	利得の	
	H4941	H5186	H7810	H3947	H1215	

しかしその子らは父の道を歩まないで、利にむかい、まいないを取って、さばきを曲げた。

4	שְׁמוּאֵל	אֶל־	וַיָּבֹאוּ	יִשְׂרָאֵל	זִקְנֵי	כֹּל	וַיִּתְקַבְּצוּ
	サムエルの–もとに	～の–もとに	そして–来た	イスラエルの	長老たちは	すべての	そして–集まった
	H8050	H0413	H0935	H3478	H2205	H3605	H6908

הָרָמָתָה׃
ラマに
H7414

この時、イスラエルの長老たちはみな集まってラマにおるサムエルのもとにきて、

5	וַיֹּאמְרוּ	אֵלָיו	הִנֵּה	אַתָּה	זָקַנְתָּ	וּבָנֶיךָ	לֹא	הָלְכוּ	בִּדְרָכֶיךָ
	そして–言った	彼に	見よ	あなたは	老いた	そして–息子たちは	ない	歩いて	あなたの–道に
	H0559	H0413	H2009		H2204		H3808	H1980	H1870

הַגּוֹיִם׃	כְּכָל־	לְשָׁפְטֵנוּ	מֶלֶךְ	לָנוּ	שִׂימָה־	עַתָּה
国々の–ように	すべての	さばくために	王を	私たちに	立てて–ください	今
	H3605	H8199	H4428			H6258

言った、「あなたは年老い、あなたの子たちはあなたの道を歩まない。今ほかの国々のように、われわれをさばく王を、われわれのために立ててください」。

6	לָנוּ	תְּנָה־	אָמְרוּ	כַּאֲשֶׁר	שְׁמוּאֵל	בְּעֵינֵי	הַדָּבָר	וַיֵּרַע
	私たちに	与えて–ください	言った	～の–時に	サムエルの	～の–目に	ことは	そして–悪かった
		H5414	H0559		H8050		H1697	

פ	:יְהוָה	אֶל־	שְׁמוּאֵל	וַיִּתְפַּלֵּל	לְשָׁפְטֵנוּ	מֶלֶךְ
—	主に	～に	サムエルは	そして–祈った	さばくために	王を
	H3068	H0413	H8050	H6419	H8199	H4428

しかし彼らが、「われわれをさばく王を、われわれに与えよ」と言うのを聞いて、サムエルは喜ばなかった。そしてサムエルが主に祈ると、

7	אֲשֶׁר־	לְכָל	הָעָם	בְּקוֹל	שְׁמַע	שְׁמוּאֵל	אֶל־	יְהוָה	וַיֹּאמֶר
	～を	すべての–ことに	民の	～の–声に	聞きなさい	サムエルに	～に	主は	そして–言われた
		H3605			H8085	H8050	H0413	H3068	H0559

מָאָסוּ	אֹתִי	כִּי־	מָאָסוּ	אֹתְךָ	לֹא	כִּי	אֵלֶיךָ	יֹאמְרוּ
退けたのだ	わたしを	そうではなく	退けたのではない	あなたを	ない	なぜなら	あなたに	言う
	H0853			H0853	H3808		H0413	H0559

עֲלֵיהֶם׃	מִמְלֹךְ
彼らの–上に	王となる–ことから

主はサムエルに言われた、「民が、すべてあなたに言う所の声に聞き従いなさい。彼らが捨てるのはあなたではなく、わたしを捨てて、彼らの上にわたしが王であることを認めないのである。

8 כְּכֹל־ すべての H3605 הַמַּעֲשִׂים 行いの–ように H4639 אֲשֶׁר־ ～を עָשׂוּ 行った מִיּוֹם ～の–日から H3117 הַעֲלֹתִי わたしが–上らせた H5927 אֹתָם 彼らを H0853 מִמִּצְרַיִם エジプトから H4714

וְעַד־ ～まで H5704 הַיּוֹם 今日の H3117 הַזֶּה この–日まで H2088 וַיַּעַזְבֻנִי そして–捨てた וַיַּעַבְדוּ そして–仕えた H5647 אֱלֹהִים 神々に H0430 אֲחֵרִים 他の H0312 כֵּן その–ように הֵמָּה 彼らは H1992

עֹשִׂים して–いる גַּם־ また H1571 לָךְ׃ あなたにも

彼らは、わたしがエジプトから連れ上った日から、きょうまで、わたしを捨ててほかの神々に仕え、さまざまの事をわたしにしたように、あなたにもしているのである。

9 וְעַתָּה さて–今 H6258 שְׁמַע 聞きなさい H8085 בְּקוֹלָם 彼らの–声に אַךְ ただし H0389 כִּי־ 確かに הָעֵד 警告して תָּעִיד 警告しなさい בָּהֶם 彼らに

וְהִגַּדְתָּ そして–告げなさい H5046 לָהֶם 彼らに מִשְׁפַּט やり方を H4941 הַמֶּלֶךְ 王の H4428 אֲשֶׁר ～が יִמְלֹךְ 王となる עֲלֵיהֶם׃ 彼らの–上に ס —

今その声に聞き従いなさい。ただし、深く彼らを戒めて、彼らを治める王のならわしを彼らに示さなければならない」。

10 וַיֹּאמֶר そして–言った H0559 שְׁמוּאֵל サムエルは H8050 אֵת ～を H0853 כָּל־ すべての H3605 דִּבְרֵי 言葉を H1697 יְהוָה 主の H3068 אֶל־ ～に H0413 הָעָם 民に הַשֹּׁאֲלִים 求めて–いる H7592 מֵאִתּוֹ 彼から H0854

מֶלֶךְ׃ 王を H4428 ס —

サムエルは王を立てることを求める民に主の言葉をことごとく告げて、

11 וַיֹּאמֶר そして–言った H0559 זֶה これが H2088 יִהְיֶה なる H1961 מִשְׁפַּט やり方である H4941 הַמֶּלֶךְ 王の H4428 אֲשֶׁר ～が יִמְלֹךְ 王となる עֲלֵיכֶם あなたがたの–上に אֶת־ ～を H0853

וְרָצוּ そして–走る H7323 בָּנֶיכֶם あなたがたの–息子たちを יִקַּח 取る H3947 וְשָׂם そして–置く לוֹ 自分の–ために בִּמֶרְכַּבְתּוֹ 戦車に H4818 וּבְפָרָשָׁיו 騎兵に

לִפְנֵי ～の–前を H6440 מֶרְכַּבְתּוֹ׃ 戦車の H4818

言った、「あなたがたを治める王のならわしは次のとおりである。彼はあなたがたのむすこを取って、戦車隊に入れ、騎兵とし、自分の戦車の前に走らせるであろう。

12 וְלָשׂוּם そして–立てるために לוֹ 自分の–ために שָׂרֵי 千人隊の–長と H8269 אַלְפִים 千人の H0505 וְשָׂרֵי そして–五十人隊の–長として H8269 חֲמִשִּׁים 五十人の H2572

וְלַחֲרֹשׁ そして–耕すために חֲרִישׁוֹ 彼の–畑を H2758 וְלִקְצֹר そして–刈り–入れるために קְצִירוֹ 彼の–収穫を וְלַעֲשׂוֹת そして–作るために כְּלֵי־ 武器を H3627

מִלְחַמְתּוֹ 戦いの H4421 וּכְלֵי そして–装備を H3627 רִכְבּוֹ׃ 戦車の H7393

彼はまたそれを千人の長、五十人の長に任じ、またその地を耕させ、その作物を刈らせ、またその武器と戦車の装備を造らせるであろう。

13 וְאֶת־ そして H0853
בְּנוֹתֵיכֶם あなたがたの-娘たちを H1323
יִקַּח 取る H3947
לְרַקָּחוֹת 香料-調合師として H7548
וּלְטַבָּחוֹת 料理人として H2879
וּלְאֹפוֹת׃ パン-焼き人として H0644

また、あなたがたの娘を取って、香をつくる者とし、料理をする者とし、パンを焼く者とするであろう。

14 וְאֶת־ そして H0853
שְׂדוֹתֵיכֶם あなたがたの-畑と H7704
וְאֶת־ そして H0853
כַּרְמֵיכֶם ぶどう園と H3754
וְזֵיתֵיכֶם オリーブ番を H2132
הַטּוֹבִים 最良の
יִקַּח 取る H3947
וְנָתַן そして-与える H5414
לַעֲבָדָיו׃ 家来たちに H5650

また、あなたがたの畑とぶどう畑とオリブ畑の最も良い物を取って、その家来に与え、

15 וְזַרְעֵיכֶם そして-種と H2233
וְכַרְמֵיכֶם ぶどう園の H3754
יַעְשֵׂר 十分の一を-取る H6237
וְנָתַן そして-与える H5414
לְסָרִיסָיו 宮廷の-役人と H5631
וְלַעֲבָדָיו׃ 家来たちに H5650

あなたがたの穀物と、ぶどう畑の、十分の一を取って、その役人と家来に与え、

16 וְאֶת־ そして H0853
עַבְדֵיכֶם あなたがたの-しもべと H5650
וְאֶת־ そして H0853
שִׁפְחוֹתֵיכֶם あなたがたの-女仕えと H8198
וְאֶת־ そして H0853
בַּחוּרֵיכֶם あなたがたの-若者と H0970
הַטּוֹבִים 最良の
וְאֶת־ そして H0853
חֲמוֹרֵיכֶם あなたがたの-ろばを H2543
יִקַּח 取る H3947
וְעָשָׂה そして-使う H4399
לִמְלַאכְתּוֹ׃ 自分の-仕事に H4399

また、あなたがたの男女の奴隷および、あなたがたの最も良い牛とろばを取って、自分のために働かせ、

17 צֹאנְכֶם あなたがたの-羊の H6629
יַעְשֵׂר 十分の一を-取る H6237
וְאַתֶּם そして-あなたがたは
תִּהְיוּ־ なる H1961
לוֹ 彼の
לַעֲבָדִים׃ 奴隷に H5650

また、あなたがたの羊の十分の一を取り、あなたがたは、その奴隷となるであろう。

18 וְזַעַקְתֶּם そして-叫ぶ H2199
בַּיּוֹם その-日に H3117
הַהוּא その H1931
מִלִּפְנֵי ～の-前で H6440
מַלְכְּכֶם 王の-前で H4428
אֲשֶׁר ～を
בְּחַרְתֶּם 選んだ H0977
לָכֶם あなたがたの-ために
וְלֹא־ しかし-答えない H3808
יַעֲנֶה 答えない
יְהוָה 主は H3068
אֶתְכֶם あなたがたに H0853
בַּיּוֹם その-日に H3117
הַהוּא׃ その H1931

そしてその日あなたがたは自分のために選んだ王のゆえに呼ばわるであろう。しかし主はその日にあなたがたに答えられないであろう」。

19 וַיְמָאֲנוּ しかし-拒んだ H3985
הָעָם 民は
לִשְׁמֹעַ 聞く-ことを H8085
בְּקוֹל ～の-声を
שְׁמוּאֵל サムエルの H8050
וַיֹּאמְרוּ そして-言った H0559
לֹא׃ いいえ H3808
כִּי そうではなく
אִם־ ただ
מֶלֶךְ 王が H4428
יִהְיֶה いる-べきだ H1961
עָלֵינוּ׃ 私たちの-上に

ところが民はサムエルの声に聞き従うことを拒んで言った、「いいえ、われわれを治める王がなければならない。

20 וְהָיִינוּ גַם־אֲנַחְנוּ כְּכָל־הַגּוֹיִם וְשָׁפְטָנוּ מַלְכֵּנוּ
そして–なる また 私たちも すべての 国々の–ように そして–さばく 私たちの–王が
H1961 H1571 H0587 H3605 H8199 H4428

וְיָצָא לְפָנֵינוּ וְנִלְחַם אֶת־מִלְחַמֹתֵנוּ׃
そして–出て–行く 私たちの–前に そして–戦う ～を 私たちの–戦いを
H3318 H6440 H0853 H4421

われわれも他の国々のようになり、王がわれわれをさばき、われわれを率いて、われわれの戦いにたたかうのである」。

21 וַיִּשְׁמַע שְׁמוּאֵל אֵת כָּל־דִּבְרֵי הָעָם וַיְדַבְּרֵם בְּאָזְנֵי יְהוָה׃
そして–聞いた サムエルは ～を すべての 言葉を 民の そして–語った ～の–耳に 主の
H8085 H8050 H0853 H3605 H1697 H1696 H0241 H3068

פ
—

サムエルは民の言葉をことごとく聞いて、それを主の耳に告げた。

22 וַיֹּאמֶר יְהוָה אֶל־שְׁמוּאֵל שְׁמַע בְּקוֹלָם וְהִמְלַכְתָּ
そして–言われた 主は ～に サムエルに 聞きなさい 彼らの–声に そして–王を–立てなさい
H0559 H3068 H0413 H8050 H8085

לָהֶם מֶלֶךְ וַיֹּאמֶר שְׁמוּאֵל אֶל־אַנְשֵׁי יִשְׂרָאֵל לְכוּ אִישׁ
彼らに 王を そして–言った サムエルは ～に 人々に イスラエルの 行きなさい 各々が
H4428 H0559 H8050 H0413 H0376 H3478 H3212 H0376

פ לְעִירוֹ׃
— 自分の–町に

主はサムエルに言われた、「彼らの声に聞き従い、彼らのために王を立てよ」。サムエルはイスラエルの人々に言った、「あなたがたは、めいめいその町に帰りなさい」。

Chapter 9

1 וַיְהִי־אִישׁ מִבְּנְיָמִין(מִבֶּן־יְמִינִי[) וּשְׁמוֹ קִישׁ בֶּן־אֲבִיאֵל בֶּן־צְרוֹר בֶּן־בְּכוֹרַת בֶּן־אֲפִיחַ בֶּן־אִישׁ יְמִינִי גִּבּוֹר חָיִל׃
そして–いた 人が [ベニヤミンの] ベニヤミンの 名は キシュ 息子の アビエルの 息子の ツェロルの 息子の ベコラトの 息子の アピアハの 息子で ベニヤミンの 勇敢な 力ある–者であった
H1961 H0376 H1144 H1144 H8034 H7027 H0022 H6715 H1064 H0647 H0376 H3227 H1368 H2428

さて、ベニヤミンの人で、キシという名の裕福な人があった。キシはアビエルの子、アビエルはゼロルの子、ゼロルはベコラテの子、ベコラテはアピヤの子、アピヤはベニヤミンびとである。

וְאֵין וְטוֹב בָּחוּר שָׁאוּל וּשְׁמוֹ בֵּן הָיָה וְלוֹ־ 2
そして-いなかった そして-美しかった 若く サウル そして-名は 息子が いた そして-彼に
H0369 H0970 H7586 H8034 H1961

הָעָם׃ מִכֹּל־ גָּבֹהַּ וַמַּעְלָה מִשִּׁכְמוֹ מִמֶּנּוּ טוֹב יִשְׂרָאֵל מִבְּנֵי אִישׁ
民より すべての 高かった 上は 肩から 彼より 良い-者は イスラエルの 子らの-中に 人は
H3605 H1364 H4605 H7926 H3478 H0376

キシにはサウルという名の子があった。若くて麗しく、イスラエルの人々のうちに彼よりも麗しい人はなく、民のだれよりも肩から上、背が高かった。

אֶל־ קִישׁ וַיֹּאמֶר שָׁאוּל אֲבִי לְקִישׁ הָאֲתֹנוֹת וַתֹּאבַדְנָה 3
~に キシュは そして-言った サウルの 父の キシュの ろばが そして-いなく-なった
H0413 H7027 H0559 H7586 H0001 H7027 H0860 H0006

מֵהַנְּעָרִים אַחַד אֶת־ אִתְּךָ נָא קַח־ בְּנוֹ שָׁאוּל
若者たちの-中から 一人を ~を あなたと-共に どうか 取りなさい 息子に サウルに
H5288 H0259 H0853 H0854 H4994 H3947 H7586

הָאֲתֹנֹת׃ אֶת־ בַּקֵּשׁ לֵךְ וְקוּם
ろばを ~を 探しなさい 行って そして-立ちなさい
H0860 H0853 H1245 H3212

サウルの父キシの数頭のろばがいなくなった。そこでキシは、その子サウルに言った、「しもべをひとり連れて、立って行き、ろばを捜してきなさい」。

וְלֹא שָׁלִשָׁה בְּאֶרֶץ־ וַיַּעֲבֹר אֶפְרַיִם בְּהַר־ וַיַּעֲבֹר 4
しかし-見つからなかった シャリシャの 地を そして-通った エフライムの 山地を そして-通った
H3808 H8031 H0776 H0669 H2022

בְּאֶרֶץ־ וַיַּעֲבֹר וָאַיִן שַׁעֲלִים בְּאֶרֶץ־ וַיַּעֲבְרוּ מָצָאוּ
地を そして-通った しかし-なかった シャアリムの 地を そして-通った 見つからなかった
H0776 H0369 H8171 H0776 H4672

מָצָאוּ׃ וְלֹא יְמִינִי
見つからなかった しかし-見つからなかった ベニヤミンの
H4672 H3808

そこでふたりはエフライムの山地を通りすぎ、シャリシャの地を通り過ぎたけれども見当らず、シャリムの地を通り過ぎたけれどもおらず、ベニヤミンの地を通り過ぎたけれども見当らなかった。

לְכָה עִמּוֹ אֲשֶׁר־ לְנַעֲרוֹ אָמַר וְשָׁאוּל צוּף בְּאֶרֶץ בָּאוּ הֵמָּה 5
さあ 彼と-共に ~の-いる 若者に 言った そして-サウルは ツフの 地に 来た 彼らが
H3212 H5288 H0559 H7586 H6689 H0776 H0935 H1992

לָנוּ׃ וְדָאַג הָאֲתֹנוֹת מִן־ אָבִי יֶחְדַּל פֶּן־ וְנָשׁוּבָה
私たちの-ことを そして-心配する ろばを ~を 父が やめる さもなければ 帰ろう
H1672 H0860 H0001 H2308 H6435 H7725

彼らがツフの地にきた時、サウルは連れてきたしもべに言った、「さあ、帰ろう。父は、ろばのことよりも、われわれのことを心配するだろう」。

6

וְהָאִישׁ הַזֹּאת בָּעִיר הָאֱלֹהִים אִישׁ־ נָא הִנֵּה־ לוֹ וַיֹּאמֶר
そして–その–人は この この–町に 神の 神の–人が どうか 見よ 彼に すると–言った
H0376 H2063 H0430 H0376 H4994 H2009 H0559

אוּלַי שָׁם נֵלְכָה עַתָּה יָבוֹא בֹּוא יְדַבֵּר אֲשֶׁר־ כֹּל נִכְבָּד
おそらく そこに 行こう 今 成る 必ず 語る–ことは ～を すべて 尊敬されて–いる
H0194 H8033 H3212 H6258 H0935 H0935 H1696 H3605 H3513

עָלֶיהָ׃ הָלַכְנוּ אֲשֶׁר־ דַּרְכֵּנוּ אֶת־ לָּנוּ יַגֵּיד
その–上を 行った ～を 私たちの–道を ～を 私たちに 教えて–くれる
H1980 H1870 H0853 H5046

ところが、しもべは言った、「この町には神の人がおられます。尊い人で、その言われることはみなそのとおりになります。その所へ行きましょう。われわれの出てきた旅のことについて何か示されるでしょう」。

7

כִּי לָאִישׁ נִבְיָא וּמַה־ נֵּלֵךְ וְהִנֵּה לְנַעֲרוֹ שָׁאוּל וַיֹּאמֶר
なぜなら その–人に 持って–行くのか 何を 行くとして 見よ 若者に サウルは すると–言った
H0376 H0935 H4100 H3212 H2009 H5288 H7586 H0559

הָאֱלֹהִים לְאִישׁ לְהָבִיא אֵין־ וּתְשׁוּרָה מִכֵּלֵינוּ אָזַל הַלֶּחֶם
神の その–人に 持って–行く–ものが ない そして–贈り物は 私たちの–器から 尽きた パンは
H0430 H0376 H0935 H0369 H8670 H3627 H0235 H3899

אִתָּנוּ׃ מָה
私たちに–あるのか 何が
H0854 H4100

サウルはしもべに言った、「しかし行くのであれば、その人に何を贈ろうか。袋のパンはもはや、なくなり、神の人に持っていく贈り物がない。何かありますか」。

8

בְּיָדִי נִמְצָא הִנֵּה וַיֹּאמֶר שָׁאוּל לַעֲנוֹת אֶת־ הַנַּעַר וַיֹּסֶף
私の–手に 見つかった 見よ そして–言った サウルに ～に 答えた 若者が すると–再び
H3027 H4672 H2009 H0559 H7586 H0853 H5288 H3254

לָנוּ וְהַגִּיד הָאֱלֹהִים לְאִישׁ וְנָתַתִּי כֶּסֶף שֶׁקֶל רֶבַע
私たちに そして–教えて–くれる 神の その–人に そして–与える 銀の シェケルの 四分の一
H5046 H0430 H0376 H5414 H3701 H8255 H7253

דַּרְכֵּנוּ׃ אֶת־
私たちの–道を ～を
H1870 H0853

しもべは、またサウルに答えた、「わたしの手に四分の一シケルの銀があります。わたしはこれを、神の人に与えて、われわれの道を示してもらいましょう」。

9

לְכוּ אֱלֹהִים לִדְרוֹשׁ בְּלֶכְתּוֹ הָאִישׁ אָמַר כֹּה־ בְּיִשְׂרָאֵל וְלִפְנִים
さあ 神を 尋ねるために 行く–時に 人は 言った この–ように イスラエルでは かつて
H3212 H0430 H1875 H3212 H0376 H0559 H3541 H3478 H6440

לִפְנִים יִקָּרֵא הַיּוֹם לַנָּבִיא כִּי הָרֹאֶה עַד־ וְנֵלְכָה
かつて 呼ばれる–者は 今日 預言者と なぜなら 先見者の–もとに ～の–もとに 行こう
H6440 H7121 H3117 H5030 H3212 H5704

הָרֹאֶה׃
先見者と–呼ばれた

――昔イスラエルでは、神に問うために行く時には、こう言った、「さあ、われわれは先見者のところへ行こう」。今の預言者は、昔は先見者といわれていたのである。――

10 וַיֹּ֥אמֶר שָׁא֖וּל לְנַעֲר֑וֹ טוֹב֙ דְּבָרֵ֣ךְ וְלֵכָ֔ה נֵלְכָ֖ה וַיֵּלְכ֥וּ אֶל־ הָעִ֖יר אֲשֶׁר־ שָׁ֥ם אִ֛ישׁ הָאֱלֹהִ֑ים׃

וַיֹּ֥אמֶר	שָׁא֖וּל	לְנַעֲר֑וֹ	טוֹב֙	דְּבָרֵ֣ךְ	וְלֵכָ֔ה	נֵלְכָ֖ה	וַיֵּלְכ֥וּ	אֶל־	הָעִ֖יר	אֲשֶׁר־	שָׁ֥ם	אִ֛ישׁ	הָאֱלֹהִ֑ים׃
すると–言った	サウルは	若者に	良い	あなたの–言葉は	さあ	行こう	そして–行った	～に	町に	～の–ある	そこに	神の–人が	神の
H0559	H7586	H5288	H2896	H1697	H3212	H3212	H3212	H0413	H5892	H0834	H8033	H0376	H0430

サウルはそのしもべに言った、「それは良い。さあ、行こう」。こうして彼らは、神の人のいるその町へ行った。

11 לִשְׁאֹ֣ב מַ֔יִם יֹצְא֖וֹת נְעָר֣וֹת מָצְא֑וּ וְהֵ֣מָּה בְּמַעֲלֵ֤ה הָעִיר֙ עֹלִ֔ים וַיֹּ֥אמְרוּ לָהֶ֖ן הֲיֶ֥שׁ בָּזֶ֖ה הָרֹאֶֽה׃

לִשְׁאֹ֣ב	מַ֔יִם	יֹצְא֖וֹת	נְעָר֣וֹת	מָצְא֑וּ	וְהֵ֣מָּה	בְּמַעֲלֵ֤ה	הָעִיר֙	עֹלִ֔ים	וַיֹּ֥אמְרוּ	לָהֶ֖ן	הֲיֶ֥שׁ	בָּזֶ֖ה	הָרֹאֶֽה׃
水を–汲みに	水を	出て–来る	娘たちを	見つけた	彼らは	坂を	町の	上って–いる–と	そして–言った	彼女たちに	いるか	ここに	先見者は
H7579	H4325	H3318	H5291	H4672	H1992	H4608	H5892	H5927	H0559	H0000	H3426	H2088	H7200

彼らは町へ行く坂を上っている時、水をくむために出てくるおとめたちに出会ったので、彼らに言った、「先見者はここにおられますか」。

12 וַתַּעֲנֶ֣ינָה אוֹתָ֗ם וַתֹּאמַ֙רְנָה֙ יֵ֣שׁ הִנֵּ֔ה לְפָנֶ֖יךָ מַהֵ֣ר עַתָּ֑ה כִּ֣י הַיּ֤וֹם זָבַח֙ לָעָ֣ם בַּבָּמָ֔ה׃

וַתַּעֲנֶ֣ינָה	אוֹתָ֗ם	וַתֹּאמַ֙רְנָה֙	יֵ֣שׁ	הִנֵּ֔ה	לְפָנֶ֖יךָ	מַהֵ֣ר	עַתָּ֑ה	כִּ֣י	הַיּ֤וֹם	זָבַח֙	לָעָ֣ם	בַּבָּמָ֔ה׃
すると–答えた	彼らに	そして–言った	います	見よ	あなたの–前に	急いで	今	なぜなら	今日	いけにえが	民の–ために	高き所で
H6030	H0853	H0559	H3426	H2009	H6440	H4116	H6258	H3588	H3117	H2076	H5971	H1116

おとめたちは答えた、「おられます。ごらんなさい、この先です。急いで行きなさい。民がきょう高き所で犠牲をささげるので、たった今、町にこられたところです。

13 כְּבֹאֲכֶ֣ם הָעִ֔יר כֵּ֥ן תִּמְצְאוּן֖ אֹת֑וֹ בְּטֶ֣רֶם֙ יַעֲלֶ֣ה הַבָּמָ֔תָה לֶֽאֱכֹ֖ל כִּֽי־ לֹא־ יֹאכַ֣ל הָעָ֔ם עַד־ בֹּא֖וֹ כִּֽי־ ה֣וּא הַזֶּ֑בַח וְאַחֲרֵי־ כֵ֗ן יֹאכְל֛וּ הַקְּרֻאִ֖ים עַתָּ֥ה כִּֽי־ עֲל֖וּ כַּיּ֥וֹם תִּמְצְאֻ֖הוּ אֹתֽוֹ׃

כְּבֹאֲכֶ֣ם	הָעִ֔יר	כֵּ֥ן	תִּמְצְאוּן֖	אֹת֑וֹ	בְּטֶ֣רֶם֙	יַעֲלֶ֣ה	הַבָּמָ֔תָה	לֶֽאֱכֹ֖ל	כִּֽי־	לֹא־	יֹאכַ֣ל	הָעָ֔ם	עַד־	בֹּא֖וֹ	כִּֽי־	ה֣וּא	הַזֶּ֑בַח	וְאַחֲרֵי־	כֵ֗ן	יֹאכְל֛וּ	הַקְּרֻאִ֖ים	עַתָּ֥ה	כִּֽי־	עֲל֖וּ	כַּיּ֥וֹם	תִּמְצְאֻ֖הוּ	אֹתֽוֹ׃
入った–とき	町に	その–ように	見つける	彼を	～の–前に	上る	高き所に	食べるために	なぜなら	ない	食べない	民は	～まで	彼が–来るまで	なぜなら	彼が	祝福する	いけにえを	その–後	その	食べる	招かれた–者たちが	さて–今	なぜなら	上りなさい	今日こそ	見つける	彼を
H0935	H5892	H3651	H4672	H0853	H2962	H5927	H1116	H0398	H3588	H3808	H0398	H5971	H5704	H0935	H3588	H1931	H1288	H2077	H0310	H3651	H0398	H7121	H6258	H3588	H5927	H3117	H4672	H0853

あなたがたは、町にはいるとすぐ、あのかたが高き所に上って食事される前に会えるでしょう。民はそのかたがこられるまでは食事をしません。あのかたが犠牲を祝福されてから、招かれた人々が食事をするのです。さあ、上っていきなさい。すぐに会えるでしょう」。

14 וַיַּעֲל֖וּ הָעִ֑יר הֵ֣מָּה בָּאִ֗ים בְּתוֹךְ֙ הָעִ֔יר וְהִנֵּ֣ה שְׁמוּאֵ֔ל יֹצֵ֥א לִקְרָאתָ֖ם לַעֲלוֹת֙ הַבָּמָ֔ה׃ ס

וַיַּעֲל֖וּ	הָעִ֑יר	הֵ֣מָּה	בָּאִ֗ים	בְּתוֹךְ֙	הָעִ֔יר	וְהִנֵּ֣ה	שְׁמוּאֵ֔ל	יֹצֵ֥א	לִקְרָאתָ֖ם	לַעֲלוֹת֙	הַבָּמָ֔ה׃	ס
そして–上った	町に	彼らが	入って–来る–と	中に	町の	すると–見よ	サムエルが	出て–来た	迎えに	上るために	高き所に	—
H5927	H5892	H1992	H0935	H8432	H5892	H2009	H8050	H3318	H7122	H5927	H1116	

こうして彼らは町に上っていった。そして町の中に、はいろうとした時、サムエルは高き所に上るため彼らのほうに向かって出てきた。

15 וַיהוָה גָּלָה אֹזֶן שְׁמוּאֵל יוֹם אֶחָד לְפְנֵי בוֹא־שָׁאוּל
וַיהוָה: 主は そして–主は H3068
גָּלָה: 明かした H1540
אֹזֶן: 耳に H0241
שְׁמוּאֵל: サムエルの H8050
יוֹם: 一日 H3117
אֶחָד: 一日 H0259
לְפְנֵי: ～の–前に H6440
בוֹא: 来る H0935
שָׁאוּל: サウルが H7586
לֵאמֹר׃
לֵאמֹר: 言って H0559

さてサウルが来る一日前に、主はサムエルの耳に告げて言われた、

16 וּמְשַׁחְתָּו בִּנְיָמִן מֵאֶרֶץ אִישׁ אֵלֶיךָ אֲשַׁלַּח מָחָר כָּעֵת
וּמְשַׁחְתָּו: そして–油注ぎなさい H4886
בִּנְיָמִן: ベニヤミンの H1144
מֵאֶרֶץ: 地から H0776
אִישׁ: 人を H0376
אֵלֶיךָ: あなたに H0413
אֲשַׁלַּח: 遣わす H7971
מָחָר: 明日 H4279
כָּעֵת: ～の–頃に H6256
עַמִּי אֶת־ וְהוֹשִׁיעַ יִשְׂרָאֵל עַמִּי עַל־ לְנָגִיד
עַמִּי: わたしの–民を H5971
אֶת־: ～を H0853
וְהוֹשִׁיעַ: そして–救う H3467
יִשְׂרָאֵל: イスラエルの H3478
עַמִּי: わたしの–民の H5971
עַל־: ～の–上に H5921
לְנָגִיד: 指導者として H5057
צַעֲקָתָו כִּי בָּאָה עַמִּי אֶת־ רָאִיתִי כִּי פְלִשְׁתִּים מִיַּד
צַעֲקָתָו: 叫びが H6818
בָּאָה: 来た H0935
כִּי: なぜなら
עַמִּי: わたしの–民を H5971
אֶת־: ～を H0853
רָאִיתִי: 見た H7200
כִּי: なぜなら
פְלִשְׁתִּים: ペリシテ人の H6430
מִיַּד: ～の–手から H3027
אֵלָי׃
אֵלָי: わたしに H0413

「あすの今ごろ、あなたの所に、ベニヤミンの地から、ひとりの人をつかわすであろう。あなたはその人に油を注いで、わたしの民イスラエルの君としなさい。彼はわたしの民をペリシテびとの手から救い出すであろう。わたしの民の叫びがわたしに届き、わたしがその悩みを顧みるからである」。

17 וּשְׁמוּאֵל רָאָה אֶת־ שָׁאוּל יְהוָה עָנָה הִנֵּה הָאִישׁ אֲשֶׁר
וּשְׁמוּאֵל: そして–サムエルは H8050
רָאָה: 見た H7200
אֶת־: ～を H0853
שָׁאוּל: サウルを H7586
יְהוָה: すると–主は H3068
עָנָה: 答えた H6030
הִנֵּה: 見よ H2009
הָאִישׁ: その–人である H0376
אֲשֶׁר: ～を H0834
אָמַרְתִּי אֵלֶיךָ זֶה יַעְצֹר בְּעַמִּי׃
אָמַרְתִּי: わたしが–言った H0559
אֵלֶיךָ: あなたに H0413
זֶה: この–者が H2088
יַעְצֹר: 治める H6113
בְּעַמִּי: わたしの–民を H5971

サムエルがサウルを見た時、主は言われた、「見よ、わたしの言ったのはこの人である。この人がわたしの民を治めるであろう」。

18 וַיִּגַּשׁ שָׁאוּל אֶת־ שְׁמוּאֵל בְּתוֹךְ הַשָּׁעַר וַיֹּאמֶר הַגִּידָה־
וַיִּגַּשׁ: そして–近づいた H5066
שָׁאוּל: サウルは H7586
אֶת־: ～に H0853
שְׁמוּאֵל: サムエルに H8050
בְּתוֹךְ: 中で H8432
הַשָּׁעַר: 門の H8179
וַיֹּאמֶר: そして–言った H0559
הַגִּידָה־
הַגִּידָה־: 教えて–ください H5046
נָּא לִי אֵי־ זֶה בֵּית הָרֹאֶה׃
נָּא: どうか H4994
לִי: 私に
אֵי־: どこに H0335
זֶה: あるのか H2088
בֵּית: 家は
הָרֹאֶה׃: 先見者の

そのときサウルは、門の中でサムエルに近づいて言った、「先見者の家はどこですか。どうか教えてください」。

19

עֲלֵה — 上りなさい — H5927
הָרֹאֶה — 先見者である
אָנֹכִי — 私が — H0595
וַיֹּאמֶר — そして–言った — H0559
שָׁאוּל — サウルに — H7586
אֶת־ — ～に — H0853
שְׁמוּאֵל — サムエルは — H8050
וַיַּעַן — そして–答えた
בַּבֹּקֶר — 明日の–朝に — H1242
וְשִׁלַּחְתִּיךָ — そして–見送る — H7971
הַיּוֹם — 今日 — H3117
עִמִּי — 私と–共に
וַאֲכַלְתָּם — そして–食べる — H0398
הַבָּמָה — 高き所に — H1116
לְפָנַי — 私の–前を — H6440
לָךְ׃ — あなたに
אַגִּיד — 告げる — H5046
בְּלִבָבְךָ — あなたの–心に–ある — H3824
אֲשֶׁר — ～を
וְכָל — そして–すべての–ことを — H3605

サムエルはサウルに答えた、「わたしがその先見者です。わたしの前に行って、高き所に上りなさい。あなたがたは、きょう、わたしと一緒に食事しなさい。わたしはあすの朝あなたを帰らせ、あなたの心にあることをみな示しましょう。

20

אַל־ — してはならない — H0408
הַיָּמִים — 三日の — H3117
שְׁלֹשֶׁת — 三日に–なるが — H7969
הַיּוֹם — 今日で — H3117
לְךָ — あなたの
הָאֹבְדוֹת — いなく–なった — H0006
וְלָאֲתֹנוֹת — そして–ろばに–ついては — H0860
כָּל־ — すべての — H3605
וּלְמִי — そして–だれの–ものか — H4310
נִמְצְאוּ — 見つかった — H4672
כִּי — なぜなら
לָהֶם — それらに
לִבְּךָ — あなたの–心を
אֶת־ — ～に — H0853
תָּשֶׁם — 向ける–ことを
ס — —
אָבִיךָ׃ — あなたの–父の — H0001
בַּיִת — 家の
וּלְכֹל — そして–すべての — H3605
לְךָ — あなたの–ものではないか
הֲלוֹא — 確かに — H3808
יִשְׂרָאֵל — イスラエルの — H3478
חֶמְדַּת — 望みは

三日前に、いなくなったあなたのろばは、もはや見つかったので心にかけなくてもよろしい。しかしイスラエルのすべての望ましきものはだれのものですか。それはあなたのもの、あなたの父の家のすべての人のものではありませんか」。

21

מִקַּטֹנִי — 最も–小さい–者の
אָנֹכִי — 私は — H0595
בֶן־יְמִינִי — ベニヤミンの–者である — H1145
הֲלוֹא — 確かに — H3808
וַיֹּאמֶר — そして–言った — H0559
שָׁאוּל — サウルは — H7586
וַיַּעַן — そして–答えた
בִּנְיָמִן — ベニヤミンの — H1144
שִׁבְטֵי — 部族の — H7626
מִשְׁפְּחוֹת — 氏族の–中で — H4940
מִכֹּל־ — すべての — H3605
הַצְּעָרָה — 最も–小さい — H6810
וּמִשְׁפַּחְתִּי — そして–私の–氏族は — H4940
יִשְׂרָאֵל — イスラエルの — H3478
שִׁבְטֵי — 部族の — H7626
ס — —
הַזֶּה׃ — この — H2088
כַּדָּבָר — この–ような–ことを — H1697
אֵלַי — 私に — H0413
דִּבַּרְתָּ — 語るのか — H1696
וְלָמָּה — なぜ — H4100

サウルは答えた、「わたしはイスラエルのうちの最も小さい部族のベニヤミンびとであって、わたしの一族はまたベニヤミンのどの一族よりも卑しいものではありませんか。どうしてあなたは、そのようなことをわたしに言われるのですか」。

22

לִשְׁכָתָה — 部屋に — H3957
וַיְבִיאֵם — そして–連れて–来た — H0935
נַעֲרוֹ — 若者を — H5288
וְאֶת־ — そして — H0853
שָׁאוּל — サウルと — H7586
אֶת־ — ～を — H0853
שְׁמוּאֵל — サムエルは — H8050
וַיִּקַּח — そして–取った — H3947
אִישׁ׃ — あった — H0376
כִּשְׁלֹשִׁים — 約–三十人で — H7970
וְהֵמָּה — そして–彼らは — H1992
הַקְרוּאִים — 招かれた–者たちの — H7121
בְּרֹאשׁ — 上座に
מָקוֹם — 場所を — H4725
לָהֶם — 彼らに
וַיִּתֵּן — そして–与えた — H5414

サムエルはサウルとそのしもべを導いて、へやにはいり、招かれた三十人ほどのうちの上座にすわらせた。

23

וַיֹּאמֶר שְׁמוּאֵל לַטַּבָּח תְּנָה אֶת־הַמָּנָה אֲשֶׁר נָתַתִּי
サムエルは 料理人に 持って-来なさい ～を 分け前を ～を 私が-与えた
H8050 H2876 H5414 H0853 H4490 H0853 H5414

אִתָּךְ שִׂים אֹתָהּ אֵלֶיךָ אָמַרְתִּי אֲשֶׁר לָךְ עִמָּךְ׃
あなたに 置きなさい それを あなたに 私が-言った ～を あなたに あなたの-そばに
H0413 H0853 H0559

そしてサムエルは料理人に言った、「あなたに渡して、取りのけておくようにと言っておいた分を持ってきなさい」。

24

וַיָּרֶם הַטַּבָּח וַיָּשֶׂם לִפְנֵי וְהָעֲלֶיהָ הַשּׁוֹק אֶת־ הַטַּבָּח וַיֹּאמֶר שְׁאוּל
そして-持ち-上げた 料理人は ～を ももと肉と その-上の-ものを そして-置いた ～の-前に
H2876 H0853 H7785 H6440

לְפָנֶיךָ שִׂים־ הַנִּשְׁאָר הִנֵּה וַיֹּאמֶר שְׁאוּל אֱכֹל
あなたの-前に 置きなさい 残された-ものである 見よ そして-言った サウルの 食べなさい
H6440 H7604 H2009 H0559 H7586 H0398

קָרָאתִי וְהָעָם לֵאמֹר לְךָ שָׁמוּר־ לַמּוֹעֵד כִּי
私は-招いた 民を 言って あなたの-ために 取って-おいた その-時の-ために なぜなら
H7121 H0559 H8104 H4150

הַהֻוא׃ בַּיּוֹם שְׁמוּאֵל עִם־ שָׁאוּל וַיֹּאכַל
その その-日に サムエルと-共に ～と-共に サウルは そして-食べた
H1931 H3117 H8050 H7586 H0398

料理人は、ももとその上の部分を取り上げて、それをサウルの前に置いた。そしてサムエルは言った、「ごらんなさい。取っておいた物が、あなたの前に置かれています。召しあがってください。あなたが客人たちと一緒に食事ができるように、この時まで、あなたのために取っておいたものです」。こうしてサウルはその日サムエルと一緒に食事をした。

25

עַל־ שָׁאוּל עִם־ וַיְדַבֵּר הָעִיר מִן־הַבָּמָה וַיֵּרְדוּ
～の-上で サウルと-共に ～と-共に そして-語った 町に 高き所から そして-下りた
H7586 H1696 H1116 H3381

הַגָּג׃
屋上の-上で
H1406

そして彼らが高き所を下って町にはいった時、サウルのために屋上に床が設けられ、彼はその上に身を横たえて寝た。

26

וַיַּשְׁכִּמוּ וַיְהִי כַּעֲלוֹת הַשַּׁחַר וַיִּקְרָא שְׁמוּאֵל אֶל־
そして-早く-起きた そして-なった 上った-時に 曙が そして-呼んだ サムエルは ～に
H7925 H1961 H5927 H7837 H7121 H8050 H0413

הַגָּג) (הגג[שָׁאוּל לֵאמֹר קוּמָה וַאֲשַׁלְּחֶךָּ וַיָּקָם שָׁאוּל
屋上に) [屋上に] サウルを 言って 立ちなさい 見送る そして-立ち-上がった サウルは
H1406 H1406 H7586 H0559 H7971 H7586

וַיֵּצְאוּ שְׁנֵיהֶם הוּא וּשְׁמוּאֵל הַחוּצָה׃
そして-出た 二人が 彼と サムエルと 外に
H3318 H8147 H1931 H8050 H2351

そして夜明けになって、サムエルは屋上のサウルに呼ばわって言った、「起きなさい。あなたをお送りします」。サウルは起き上がった。そしてサウルとサムエルのふたりは、共に外に出た。

27

אֱמֹר	שָׁאוּל	אֶל־	אָמַר	וּשְׁמוּאֵל	הָעִיר	בִּקְצֵה	יְוֹרְדִים	הֵמָּה
言いなさい	サウルに	～に	言った	サムエルは	町の	町の–はずれで	下りて–いる–とき	彼らが
H0559	H7586	H0413	H0559	H8050			H3381	H1992

עֲמֹד	וְאַתָּה	וַיַּעֲבֹר	לְפָנֵינוּ	וְיַעֲבֹר		לַנָּעַר
立ちなさい	そして–あなたは	そして–先に–行った	私たちの–前を	そして–先に–行かせなさい		若者に
H5975			H6440			H5288

פ	אֱלֹהִים׃	דְּבַר	אֶת־	וְאַשְׁמִיעֲךָ	כַּיּוֹם
—	神の	言葉を	～を	そして–聞かせる	今
	H0430	H1697	H0853	H8085	H3117

彼らが町はずれに下った時、サムエルはサウルに言った、「あなたのしもべに先に行くように言いなさい。しもべが先に行ったら、あなたは、しばらくここに立ちとどまってください。神の言葉を知らせましょう」。

Chapter 10

1

רֹאשׁוֹ	עַל־	וַיִּצֹק	הַשֶּׁמֶן	פַּךְ	אֶת־	שְׁמוּאֵל	וַיִּקַּח	
彼の–頭に	の–上に	そして–注いだ	その–油の	油の–壺を	(を)	サムエルは	そして–取った	
		H3332	H8081	H6378	H0853	H8050	H3947	

עַל־	יְהוָה	מְשָׁחֲךָ	כִּי־	הֲלוֹא	וַיֹּאמֶר	וַיִּשָּׁקֵהוּ	
の–上に	主が	あなたに–油を–注いだ	こうして	確かに	そして–言った	そして–口づけした	
	H3068	H4886		H3808	H0559		

לְנָגִיד׃	נַחֲלָתוֹ
指導者として	ご自分の–嗣業の
H5057	H5159

その時サムエルは油のびんを取って、サウルの頭に注ぎ、彼に口づけして言った、「主はあなたに油を注いで、その民イスラエルの君とされたではありませんか。あなたは主の民を治め、周囲の敵の手から彼らを救わなければならない。主があなたに油を注いで、その嗣業の君とされたことの、しるしは次のとおりです。

2

עִם־	אֲנָשִׁים	שְׁנֵי	וּמָצְאוּךָ	מֵעִמָּדִי	הַיּוֹם	בְּלֶכְתְּךָ	
の–そばに	人に	二人の	そして–あなたは–出会う	私の–もとから	今日	あなたが–行くとき	
	H0376	H8147	H4672	H5978	H3117	H3212	

נִמְצְאוּ	אֵלֶיךָ	וְאָמְרוּ	בְּצֶלְצַח	בִּנְיָמִן	בִּגְבוּל	רָחֵל	קִבְרַת
見つかった	あなたに	そして–彼らは–言う	ツェルツァフで	ベニヤミンの	境で	ラケルの	墓の
H4672	H0413	H0559	H6766	H1144	H1366	H7354	H6900

אֶת־	אָבִיךָ	נָטַשׁ	וְהִנֵּה	לְבַקֵּשׁ	הָלַכְתָּ	אֲשֶׁר	הָאֲתֹנוֹת	
(を)	あなたの–父は	捨てた	そして–見よ	捜すために	あなたが–探しに–行った	(それらを)	ろばは	
H0853	H0001	H5203	H2009	H1245	H1980		H0860	

אֶעֱשֶׂה	מָה	לֵאמֹר	לָכֶם	וְדָאֵג	הָאֲתֹנוֹת	דִּבְרֵי	
すべきか	何を	言って	あなたがたのことを	そして–心配している	ろばの	ろばの–事を	
	H4100	H0559		H1672	H0860	H1697	

לִבְנִי׃
息子のために

あなたがきょう、わたしを離れて、去って行くとき、ベニヤミンの領地のゼルザにあるラケルの墓のかたわらで、ふたりの人に会うでしょう。そして彼らはあなたに言います、『あなたが捜しに行かれたろばは見つかりました。いま父上は、ろばよりもあなたがたの事を心配して、「わが子のことは、どうしよう」と言っておられます』。

וּמְצָאוּךָ תָּבוֹר אֵלוֹן עַד־ וּבָאתָ וָהָלְאָה מִשָּׁם וְחָלַפְתָּ 3
そして–出会う タボルの 樫の–木の まで そして–来る さらに–先に そこから そして–過ぎ行き
H4672 H8396 H0436 H5704 H0935 H1973 H8033 H2498

שְׁלֹשָׁה וְנֹשֵׂא אֶחָד בֵּית־אֵל הָאֱלֹהִים אֶל־ עֹלִים אֲנָשִׁים שְׁלֹשָׁה שָׁם
三匹の 運んでいる 一人は ベテルに 神の–もとへ へ 上って–行く 人に 三人の そこで
H7969 H5375 H0259 H1008 H0430 H0413 H5927 H0376 H7969 H8033

גְּדָיִים וְאֶחָד שְׁלֹשֶׁת נֹשֵׂא וְאֶחָד לֶחֶם כִּכָּרוֹת שְׁלֹשֶׁת נֹשֵׂא גֶּבֶל־
子やぎを もう–一人は 三つの 運んでいる もう–一人は パンを 丸い 三つの 運んでいる ぶどう–酒の
H1423 H0259 H7969 H5375 H3899 H3603 H7969 H5375

יָיִן׃
皮袋を
H3196

あなたが、そこからなお進んで、タボルのかしの木の所へ行くと、そこでベテルに上って神を拝もうとする三人の者に会うでしょう。ひとりは三頭の子やぎを連れ、ひとりは三つのパンを携え、ひとりは、ぶどう酒のはいった皮袋一つを携えている。

וְלָקַחְתָּ לֶחֶם שְׁתֵּי־ לְךָ וְנָתְנוּ לְשָׁלֹם לְךָ וְשָׁאֲלוּ 4
そして–受け取りなさい パンを 二つの あなたに そして–与える 安否を あなたに そして–尋ねる
H3947 H3899 H8147 H5414 H7965 H7592

מִיָּדָם׃
彼らの–手から
H3027

彼らはあなたにあいさつし、二つのパンをくれるでしょう。あなたはそれを、その手から受けなければならない。

פְּלִשְׁתִּים נְצִבֵי שָׁם אֲשֶׁר־ הָאֱלֹהִים גִּבְעַת תָּבוֹא כֵּן אַחַר 5
ペリシテ人の 守備隊が ある そこに 神の 丘の あなたは–来る に その–後
H6430 H5333 H8033 H0430 H1389 H0935

יֹרְדִים נְבִיאִים חֶבֶל וּפָגַעְתָּ הָעִיר שָׁם כְּבֹאֲךָ וַיְהִי
下って–来る 預言者に 一群の そして–出会う 町に そこの あなたが–来ると そして–なる
H3381 H5030 H6293 H8033 H0935 H1961

מִתְנַבְּאִים׃ וְהֵמָּה וְכִנּוֹר וְחָלִיל וְתֹף גֶּבֶל וְלִפְנֵיהֶם מֵהַבָּמָה
預言している そして–彼らは 竪琴が–あり 笛と 太鼓と 琴と そして–彼らの–前に 高き–所から
H5012 H1992 H3658 H2485 H8596 H6440 H1116

その後、あなたは神のギベアへ行く。そこはペリシテびとの守備兵のいる所である。あなたはその所へ行って、町にはいる時、立琴、手鼓、笛、琴を執る人々を先に行かせて、預言しながら高き所から降りてくる一群の預言者に会うでしょう。

לְאִישׁ וְנֶהְפַּכְתָּ עִמָּם וְהִתְנַבֵּיתָ יְהוָה רוּחַ עָלֶיךָ וְצָלְחָה 6
別の そして–変えられる 彼らと–共に そして–預言する 主の 霊が あなたの–上に そして–臨む
H0376 H2015 H5012 H3068 H7307

אַחֵר׃
人に
H0312

その時、主の霊があなたの上にもはげしく下って、あなたは彼らと一緒に預言し、変って新しい人となるでしょう。

7 וְהָיָה כִּי (תבאינה) [תבאנה] הָאֹתוֹת הָאֵלֶּה לָךְ עֲשֵׂה
そして-なる (時) [来る] 来ると しるしが これらの あなたに 行いなさい
H1961 H0935 H0935 H0226 H0428

כִּי תִמְצָא יָדֶךָ אֲשֶׁר לְךָ כִּי הָאֱלֹהִים עִמָּךְ׃
なぜなら 見つかる あなたの-手に (それを) あなた-自身で 神が あなたと-共にいる
H4672 H3027 H0430

これらのしるしが、あなたの身に起ったならば、あなたは手当たりしだいになんでもしなさい。神があなたと一緒におられるからです。

8 וְיָרַדְתָּ לְפָנַי הַגִּלְגָּל וְהִנֵּה אָנֹכִי יֹרֵד אֵלֶיךָ
そして-下って行き 私より-先に ギルガルに そして-見よ 私は 下って-行く あなたの-もとに
H3381 H6440 H1537 H2009 H0595 H3381 H0413

לְהַעֲלוֹת עֹלוֹת לִזְבֹּחַ זִבְחֵי שְׁלָמִים שִׁבְעַת יָמִים תּוֹחֵל
ささげるために 全焼の-ささげ物を いけにえを-ささげ いけにえの 七 日間 待ちなさい
H5927 H5930 H2076 H2077 H8002 H7651 H3117 H3176

עַד־ בּוֹאִי אֵלֶיךָ וְהוֹדַעְתִּי לְךָ אֵת אֲשֶׁר תַּעֲשֶׂה׃
まで 私が-来る あなたの-もとに そして-知らせる あなたに (を) あなたが-すべき-ことを 行うべきことを
H5704 H0935 H0413 H3045 H0853

あなたはわたしに先立ってギルガルに下らなければならない。わたしはあなたのもとに下っていって、燔祭を供え、酬恩祭をささげるでしょう。わたしがあなたのもとに行って、あなたのしなければならない事をあなたに示すまで、七日のあいだ待たなければならない」。

9 וַיְהִי כַּהֲפָנוֹתוֹ שִׁכְמוֹ לָלֶכֶת מֵעִם שְׁמוּאֵל וַיַּהֲפֹךְ־
そして-なった 彼が-振り向いた-とき 背を 去ろうと から サムエルの-もと そして-変えた
H1961 H6437 H7926 H3212 H5973 H8050 H2015

ס לֹו אֱלֹהִים לֵב אַחֵר וַיָּבֹאוּ כָּל־ הָאֹתוֹת הָאֵלֶּה בַּיּוֹם הַהוּא׃
— 彼に 神は 心を 別の そして-来た すべての しるしが これらの その日に その
H0430 H3820 H0312 H0935 H3605 H0226 H0428 H3117 H1931

サウルが背をかえしてサムエルを離れたとき、神は彼に新しい心を与えられた。これらのしるしは皆その日に起った。

10 וַיָּבֹאוּ שָׁם הַגִּבְעָתָה וְהִנֵּה חֶבֶל־ נְבִאִים לִקְרָאתוֹ וַתִּצְלַח
そして-来た そこに ギブアに そして-見よ 一群の 預言者が 彼を-迎えに そして-臨んだ
H0935 H8033 H1389 H2009 H2256 H5030 H7122

עָלָיו רוּחַ אֱלֹהִים וַיִּתְנַבֵּא בְּתוֹכָם׃
彼の-上に 霊が 神の そして-預言した 彼らの-中で
H7307 H0430 H5012 H8432

彼らはギベアにきた時、預言者の一群に出会った。そして神の霊が、はげしくサウルの上に下り、彼は彼らのうちにいて預言した。

11 וַיְהִי כָּל־ יוֹדְעוֹ מֵאִתְמוֹל שִׁלְשׁוֹם וַיִּרְאוּ וְהִנֵּה עִם־
そして-なった すべて 彼を-知る-者は 以前から ずっと そして-見た そして-見よ 共に
H1961 H3605 H3045 H0865 H8032 H7200 H2009

נְבִאִים נְבָא וַיֹּאמֶר הָעָם אִישׁ אֶל־ מַה־ זֶּה הָיָה
預言者と 預言していた そして-言った 民は それぞれ に 何が これは 起こったのか
H5030 H5012 H0559 H5030 H0376 H0413 H4100 H2088 H1961

בַּנְּבִיאִים׃ שָׁאוּל הַגַּם קִישׁ לְבֶן־
預言者の-中にいるのか サウルも まさか キシュの の-息子に
H5030 H7586 H1571 H7027

もとからサウルを知っていた人々はみな、サウルが預言者たちと共に預言するのを見て互に言った、「キシの子に何事が起ったのか。サウルもまた預言者たちのうちにいるのか」。

12 כֵּן עַל־ אֲבִיהֶם וּמִי וַיֹּאמֶר מִשָּׁם אִישׁ וַיַּעַן
ゆえに その 彼らの-父なのか 誰が そして-言った そこから ある-人が そして-答えた
H0001 H4310 H0559 H8033 H0376

בַּנְּבִאִים׃ שָׁאוּל הַגַּם לְמָשָׁל הָיְתָה
預言者の-中にいるのか サウルも まさか ことわざに なった
H5030 H7586 H1571 H4912 H1961

その所のひとりの者が答えた、「彼らの父はだれなのか」。それで「サウルもまた預言者たちのうちにいるのか」というのが、ことわざとなった。

13 הַבָּמָה׃ וַיָּבֹא מֵהִתְנַבּוֹת וַיְכַל
高き-所に そして-来た 預言することを そして-終えた
H1116 H0935 H5012 H3615

サウルは預言することを終えて、高き所へ行った。

14 וַיֹּאמֶר דּוֹד שָׁאוּל אֵלָיו וְאֶל־ נַעֲרוֹ עַד אָן הֲלַכְתֶּם וַיֹּאמֶר
そして-言った おじは サウルの 彼に そして 行ったのか どこへ その-しもべに
H0559 H1730 H7586 H0413 H0413 H5288 H0575 H1980 H0559

שְׁמוּאֵל׃ אֶל־ וַנָּבוֹא אַיִן כִּי וַנֵּרְאָה הָאֲתֹנוֹת אֶת־ לְבַקֵּשׁ
サムエルの の-もとへ そして-行った いなかった (が) しかし-見た ろばを (を) 探しに
H8050 H0413 H0935 H0369 H7200 H0860 H0853 H1245

サウルのおじが、サウルとそのしもべとに言った、「あなたがたは、どこへ行ったのか」。サウルは言った、「ろばを捜しにいったのですが、どこにもいないので、サムエルのもとに行きました」。

15 לָכֶם אָמַר מָה־ לִּי נָא הַגִּידָה־ שָׁאוּל דּוֹד וַיֹּאמֶר
あなたがたに 言ったか 何を 私に ください 教えて サウルの おじは そして-言った
H0559 H4100 H4994 H5046 H7586 H1730 H0559

שְׁמוּאֵל׃
サムエルは
H8050

サウルのおじは言った、「サムエルが、どんなことを言ったか、どうぞ話してください」。

16 הָאֲתֹנוֹת נִמְצְאוּ כִּי לָנוּ הִגִּיד הַגֶּד דּוֹדוֹ אֶל־ שָׁאוּל וַיֹּאמֶר
ろばが 見つかったと (と) 私たちに 告げた 確かに おじに に サウルは そして-言った
H0860 H4672 H5046 H5046 H1730 H0413 H7586 H0559

פ שְׁמוּאֵל׃ אָמַר אֲשֶׁר לוֹ הִגִּיד לֹא־ הַמְּלוּכָה דְּבַר וְאֶת־
— サムエルが 言った (それは) 彼に 告げなかった 告げ-なかった 王国の ことは しかし
H8050 H0559 H5046 H3808 H4410 H1697 H0853

サウルはおじに言った、「ろばが見つかったと、はっきり、わたしたちに言いました」。しかしサムエルが言った王国のことについて、おじには何も告げなかった。

17 וַיַּצְעֵק שְׁמוּאֵל אֶת־הָעָם אֶל־יְהוָה הַמִּצְפָּה׃
そして–召集した サムエルは 民を (を) 主の の–もとに ミツパに
H6817 H8050 H0853 H3068 H0413 H4709

さて、サムエルは民をミツパで主の前に集め、

18 וַיֹּאמֶר אֶל־בְּנֵי יִשְׂרָאֵל כֹּה־אָמַר יְהוָה אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל אָנֹכִי הֶעֱלֵיתִי אֶת־יִשְׂרָאֵל מִמִּצְרָיִם וָאַצִּיל אֶתְכֶם׃
そして–言った に 子らに イスラエルの — こう 主は 神は イスラエルの
H0559 H0413 H3478 H3541 H3068 H0559 H3478

אֶתְכֶם׃ הַלֹּחֲצִים וּמִיַּד כָּל־הַמַּמְלָכוֹת מִיַּד מִצְרַיִם
者たちから あなたがたを–苦しめた そして–の–手から すべての 王国の の–手から エジプトの
H0853 H3905 H3027 H3605 H4467 H3027 H4714

導き–上った (を) イスラエルを エジプトから そして–救い出した あなたがたを わたしは
H5927 H0853 H3478 H4714 H5337 H0853 H0595

イスラエルの人々に言った、「イスラエルの神、主はこう仰せられる、『わたしはイスラエルをエジプトから導き出し、あなたがたをエジプトびとの手、およびすべてあなたがたをしえたげる王国の手から救い出した』。

19 וְאַתֶּם הַיּוֹם מְאַסְתֶּם אֶת־אֱלֹהֵיכֶם הַמּוֹשִׁיעַ לָכֶם מִכָּל־רָעוֹתֵיכֶם וְצָרֹתֵיכֶם וַתֹּאמְרוּ לוֹ כִּי־מֶלֶךְ תָּשִׂים עָלֵינוּ עַתָּה הִתְיַצְּבוּ לִפְנֵי יְהוָה לִשְׁבְטֵיכֶם וּלְאַלְפֵיכֶם׃
しかし–あなたがたは 退けた (を) ご自身が 彼こそ 救う–方 あなたがたの–神を 今日
H0859 H3117 H0853 H0834 H1931 H3467 H0430

立ててください 王を (いや) 彼に そして–言った 苦しみから 災いと すべての あなたがたを
H4428 H0559 H3605

そして–氏族ごとに 部族ごとに 主の の–前に 立ちなさい そこで–今 私たちの–上に
H0505 H7626 H3068 H6440 H3320 H6258

しかしあなたがたは、きょう、あなたがたをその悩みと苦しみの中から救われるあなたがたの神を捨て、その上、『いいえ、われわれの上に王を立てよ』と言う。それゆえ今、あなたがたは、部族にしたがい、また氏族にしたがって、主の前に出なさい」。

20 וַיַּקְרֵב שְׁמוּאֵל אֶת־כָּל־שִׁבְטֵי יִשְׂרָאֵל וַיִּלָּכֵד שֵׁבֶט׃ בִּנְיָמִן׃
そして–近づけた サムエルは (を) すべての 部族を イスラエルの そして–選ばれた 部族は
H7126 H8050 H0853 H3605 H7626 H3478 H3920 H7626

ベニヤミンの
H1144

こうしてサムエルがイスラエルのすべての部族を呼び寄せた時、ベニヤミンの部族が、くじに当った。

21 וַיַּקְרֵב אֶת־שֵׁבֶט בִּנְיָמִן [לְמִשְׁפְּחֹתָיו] (לְמִשְׁפְּחֹתָיו) וַתִּלָּכֵד
そして–近づけた (を) 部族を ベニヤミンの [氏族ごとに] 氏族ごとに そして–選ばれた
H7126 H0853 H7626 H1144 H4940 H4940 H3920

וְלֹא נִמְצָא׃ מִשְׁפַּחַת הַמַּטְרִי וַתִּלָּכֶד שָׁאוּל בֶּן־קִישׁ וַיְבַקְשֻׁהוּ וְלֹא
見つから しかし–探したが キシュの の–息子 サウルが そして–選ばれた マトリの 氏族は
H3808 H1245 H7027 H7586 H3920 H4309 H4940

なかった
H4672

またベニヤミンの部族をその氏族にしたがって呼び寄せた時、マテリの氏族が、くじに当り、マテリの氏族を人ごとに呼び寄せた時、キシの子サウルが、くじに当った。しかし人々が彼を捜した時、見つからなかった。

22 וַיִּשְׁאֲלוּ־ עוֹד בַּיהוָה הֲבָא עוֹד הֲלֹם אִישׁ ס וַיֹּאמֶר יְהוָה
そして–尋ねた さらに 主に 来るのか まだ ここに その–人は — そして–言われた 主は
H7592 H5750 H3068 H0935 H5750 H1988 H0376 H0559 H3068

הִנֵּה־ הוּא הַכֵּלִים׃ אֶל־ נֶחְבָּא
見よ 彼は 荷物の の–中に 隠れている
H2009 H1931 H3627 H0413 H2244

そこでまた主に「その人はここにきているのですか」と問うと、主は言われた、「彼は荷物の間に隠れている」。

23 וַיָּרֻצוּ וַיִּקָּחֻהוּ מִשָּׁם וַיִּתְיַצֵּב בְּתוֹךְ הָעָם
そして–走って–行き そして–連れて–来た そこから そして–立った の–中に 民の
H7323 H3947 H8033 H3320 H8432

וָמָעְלָה׃ מִשִּׁכְמוֹ הָעָם מִכָּל־ וַיִּגְבַּהּ
上に 肩から 民より すべての そして–背が–高かった
H4605 H7926 H3605 H1361

人々は走って行って、彼をそこから連れてきた。彼は民の中に立ったが、肩から上は、民のどの人よりも高かった。

24 בּוֹ בָּחַר־ אֲשֶׁר הַרְאִיתֶם הָעָם כָּל־ אֶל־ שְׁמוּאֵל וַיֹּאמֶר
この–方を 選ばれた (この–方を) 見たか 民に すべての に サムエルは そして–言った
H0977 H7200 H3605 H0413 H8050 H0559

הָעָם כָּל־ וַיָּרֵעוּ הָעָם בְּכָל־ כְּמֹהוּ אֵין כִּי יְהוָה
民は すべての そして–叫んだ 民の–中に すべての 彼の–ような–者は いない まことに 主が
H3605 H7321 H3605 H3644 H0369 H3068

פ הַמָּלֶךְ׃ יְחִי וַיֹּאמְרוּ
— 王よ 万歳 そして–言った
H4428 H2421 H0559

サムエルはすべての民に言った、「主が選ばれた人をごらんなさい。民のうちに彼のような人はないではありませんか」。民はみな「王万歳」と叫んだ。

25 בַּסֵּפֶר וַיִּכְתֹּב הַמְּלֻכָה מִשְׁפַּט אֶת הָעָם אֶל־ שְׁמוּאֵל וַיְדַבֵּר
書物に そして–書き記した 王国の 定めを (を) 民に に サムエルは そして–語った
H3789 H4410 H4941 H0853 H0413 H8050 H1696

אִישׁ הָעָם כָּל־ אֶת־ שְׁמוּאֵל וַיְשַׁלַּח יְהוָה לִפְנֵי וַיָּנַח
それぞれ 民を すべての (を) サムエルは そして–送り出した 主の の–前に そして–置いた
H0376 H3605 H0853 H8050 H7971 H3068 H6440 H3240

לְבֵיתוֹ׃
自分の–家に

その時サムエルは王国のならわしを民に語り、それを書にしるして、主の前におさめた。こうしてサムエルはすべての民をそれぞれ家に帰らせた。

26 הַחַיִל עִמּוֹ וַיֵּלְכוּ גִּבְעָתָה לְבֵיתוֹ הָלַךְ שָׁאוּל וְגַם־
勇士たちが 彼と–共に そして–行った ギブアに 自分の–家に 行った サウルも そして–また
H2428 H3212 H1390 H1980 H7586 H1571

אֱלֹהִים נָגַע אֲשֶׁר־ בְּלִבָּם׃
神が 触れた (その) 彼らの–心に
H0430 H5060

サウルもまたギベアにある彼の家に帰った。そして神にその心を動かされた勇士たちも彼と共に行った。

27 וּבְנֵי בְלִיָּעַל אָמְרוּ מַה־זֶּה יֹשִׁעֵנוּ זֶה וַיִּבְזֻהוּ
しかし 彼らは言った よこしまな者たちは どうして この者が 救えるのか そして-さげすんだ
H1100 H0559 H4100 H3467 H2088 H0959

וְלֹא־הֵבִיאוּ לוֹ מִנְחָה וַיְהִי כְּמַחֲרִישׁ׃ פ
持って来なかった 彼に 贈り物を しかし-彼は 黙っていた —
H0935 H4503 H1961 H3808

しかし、よこしまな人々は「この男がどうしてわれわれを救うことができよう」と言って、彼を軽んじ、贈り物をしなかった。しかしサウルは黙っていた。

Chapter 11

1 וַיַּעַל נָחָשׁ הָעַמּוֹנִי וַיִּחַן עַל־יָבֵישׁ גִּלְעָד וַיֹּאמְרוּ כָּל־אַנְשֵׁי יָבִישׁ אֶל־נָחָשׁ כְּרָת־לָנוּ בְרִית וְנַעַבְדֶךָּ׃
そして-上って-来た ナハシュは アンモン人の そして-陣を-張った に-対して ヤベシュに
H5927 H5176 H5984 H2583 H5921 H3003

そして-言った 人々は ヤベシュの に ナハシュに 結んで-ください
H0559 H0376 H3003 H0413 H5176 H3772

そうすれば-仕えます 契約を 私たちと
H5647 H1285

アンモンびとナハシは上ってきて、ヤベシ・ギレアデを攻め囲んだ。ヤベシの人々はナハシに言った、「われわれと契約を結びなさい。そうすればわれわれはあなたに仕えます」。

2 וַיֹּאמֶר נָחָשׁ הָעַמּוֹנִי בְּזֹאת אֶכְרֹת לָכֶם בְּנַקּוֹר כָּל־יַמִּין וְשַׂמְתִּיהָ חֶרְפָּה עַל־כָּל־יִשְׂרָאֵל׃
そして-言った アンモン人の ナハシュは 彼らに そして-言った
H0559 H5984 H5176 H0413 H0559

この-条件で 結ぶ あなたがたと
H2063 H3772

えぐり-出すことで すべての あなたがたの すべての 右の 右の-目を そして-置く 恥辱を の-上に すべての
H5365 H3605 H3605 H3225 H5921 H2781 H5921 H3605

イスラエルの
H3478

しかしアンモンびとナハシは彼らに言った、「次の条件であなたがたと契約を結ぼう。すなわち、わたしが、あなたがたすべての右の目をえぐり取って、全イスラエルをはずかしめるということだ」。

3 וַיֹּאמְרוּ אֵלָיו זְקֵנֵי יָבִישׁ הֶרֶף לָנוּ שִׁבְעַת יָמִים וְנִשְׁלְחָה מַלְאָכִים בְּכֹל גְּבוּל יִשְׂרָאֵל וְאִם־אֵין מוֹשִׁיעַ וְיָצָאנוּ אֵלֶיךָ׃
そして-言った 彼に 長老たちは ヤベシュの 猶予を-ください 私たちに 七 日間を
H0559 H0413 H2205 H3003 H7503 H3117 H7651

そして-遣わします 使いを すべての 境に イスラエルの もし いないならば 救う-者が
H7971 H4397 H3605 H1366 H3478 H0518 H0369 H3467

そうすれば-出て-行きます 私たちを あなたの-もとへ
H3318 H0853 H0413

ヤベシの長老たちは彼に言った、「われわれに七日の猶予を与え、イスラエルの全領土に使者を送ることを許してください。そしてもしわれわれを救う者がない時は降伏します」。

4

הָעָם	בְּאָזְנֵי	הַדְּבָרִים	וַיְדַבְּרוּ	שָׁאוּל	גִּבְעַת	הַמַּלְאָכִים	וַיָּבֹאוּ	
民の	の-耳に	ことばを	そして-語った	サウルの	ギブアに	使いたちは	そして-来た	
H0241		H1697	H1696	H7586	H1390	H4397	H0935	

וַיִּבְכּוּ׃	קוֹלָם	אֶת־	הָעָם	כָּל־	וַיִּשְׂאוּ	
そして-泣いた	声を	(を)	民は	すべての	そして-上げた	
H1058		H0853		H3605	H5375	

こうして使者が、サウルのギベアにきて、この事を民の耳に告げたので、民はみな声をあげて泣いた。

5

מַה־	שָׁאוּל	וַיֹּאמֶר	הַשָּׂדֶה	מִן־	הַבָּקָר	אַחֲרֵי	בָּא	שָׁאוּל	וְהִנֵּה
なぜ	サウルは	そして-言った	畑から	から	牛の	の-後から	来た	サウルが	そして-見よ
H4100	H7586	H0559			H1241		H0935	H7586	H2009

יָבֵישׁ׃	אַנְשֵׁי	דִּבְרֵי	אֹתוֹ	וַיְסַפְּרוּ־	יִבְכֶּה	כִּי	לָעָם
ヤベシュの	人々の	ことばを	(を)	彼に	そして-語った	泣いているのか	(のか)	民が
H3003	H0376	H1697	H0853		H1058		

その時サウルは畑から牛のあとについてきた。そしてサウルは言った、「民が泣いているのは、どうしたのか」。人々は彼にヤベシの人々の事を告げた。

6

הַדְּבָרִים	אֶת־	כִּשְׁמְעוֹ)	בשמעו]	שָׁאוּל	עַל־	אֱלֹהִים	רוּחַ־	וַתִּצְלַח
ことばを	(を)	聞いた-とき	[聞いたとき]	サウルの	の-上に	神の	霊が	そして-臨んだ
H1697	H0853	H8085	H8085	H7586		H0430	H7307	

מְאֹד׃	אַפּוֹ	וַיִּחַר	הָאֵלֶּה	
非常に	怒りが	そして-燃えた	これらの	
H3966	H0639	H2734	H0428	

サウルがこの言葉を聞いた時、神の霊が激しく彼の上に臨んだので、彼の怒りははなはだしく燃えた。

7

יִשְׂרָאֵל	גְּבוּל	בְּכָל־	וַיְשַׁלַּח	וַיְנַתְּחֵהוּ	בָּקָר	צֶמֶד	וַיִּקַּח		
イスラエルの	境に	すべての	そして-送った	そして-切り-分けた	牛を	一対の	そして-取った		
H3478	H1366	H3605	H7971	H5408	H1241	H6776	H3947		

וְאַחַר	שָׁאוּל	אַחֲרֵי	יֹצֵא	אֵינֶנּוּ	אֲשֶׁר	לֵאמֹר	וּמַלְאָכִים	בְּיַד
そして	サウルの	の-後に	出て来ない	出て-来-ない	()者は	言って	使いの	の-手で
	H7586		H3318	H0369		H0559	H4397	H3027

הָעָם	עַל־	יְהוָה	פַּחַד־	וַיִּפֹּל	לִבְקָרָו	יֵעָשֶׂה	כֹּה	שְׁמוּאֵל
民の	の-上に	主の	恐れが	そして-落ちた	その-牛に	なされる	このように	サムエルの
		H3068	H6343	H5307	H1241		H3541	H8050

אֶחָד׃	כְּאִישׁ	וַיֵּצְאוּ	
一つに	一人の-人の-ように	そして-出て-来た	
H0259	H0376	H3318	

彼は一くびきの牛をとり、それを切り裂き、使者の手によってイスラエルの全領土に送って言わせた、「だれであってもサウルとサムエルとに従って出ない者は、その牛がこのようにされるであろう」。民は主を恐れて、ひとりのように出てきた。

8

וְאִישׁ	אֶלֶף	מֵאוֹת	שְׁלֹשׁ	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי־	וַיְהִי	בְּבֶזֶק	וַיִּפְקְדֵם	
そして-人は	人	万	三十	イスラエルの	の-子らは	そして-いた	ベゼクで	そして-数えた	
H0376	H0505	H3967	H7969	H3478		H1961	H0966		

אֶלֶף׃	שְׁלֹשִׁים	יְהוּדָה	
人	三万	ユダの	
H0505	H7970	H3063	

サウルはベゼクでそれを数えたが、イスラエルの人々は三十万、ユダの人々は三万であった。

9 וַיֹּאמְרוּ֙ לַמַּלְאָכִ֣ים הַבָּאִ֔ים כֹּ֥ה תֹאמְר֖וּן לְאִ֣ישׁ יָבֵ֑ישׁ גִּלְעָ֔ד מָחָ֖ר
そして-言った 使いたちに 来た こう 言いなさい 人々に ヤベシュの ギルアデの 明日
H0559 H4397 H0935 H3541 H0559 H0376 H3003 H1568 H4279

וַיַּגִּ֣ידוּ הַמַּלְאָכִ֔ים וַיָּבֹ֖אוּ הַשֶּׁ֣מֶשׁ)כְּחֹם( ]בחם[תְּשׁוּעָ֥ה לָכֶ֖ם תִּהְיֶ֣ה־
そして-告げた 使いたちは そして-来た 太陽の 暑い-時に [暑い時] 救いが あなたがたに ある
H5046 H4397 H0935 H8121 H2527 H2527 H8668 H1961

וַיִּשְׂמְח֖וּ׃ יָבֵ֑ישׁ לָאַנְשֵׁ֥י
そして-喜んだ ヤベシュの 人々に
H8055 H3003 H0376

そして人々は、きた使者たちに言った、「ヤベシ・ギレアデの人にこう言いなさい、『あす、日の暑くなるころ、あなたがたは救を得るであろう』と」。使者が帰って、ヤベシの人々に告げたので、彼らは喜んだ。

10 וַיֹּאמְר֣וּ אַנְשֵׁ֣י יָבֵ֔ישׁ מָחָ֖ר נֵצֵ֣א אֲלֵיכֶ֑ם וַעֲשִׂיתֶ֥ם
そして-言った 人々は ヤベシュの 明日 出て-行きます あなたがたの-もとへ そして-してください
H0559 H0376 H3003 H4279 H3318 H0413 H6213

ס בְּעֵינֵיכֶ֔ם הַטּ֖וֹב כָּל־ לָ֥נוּ׃
— あなたがたの-目に 良い-ことを すべての 私たちに
H3605

そこでヤベシの人々は言った、「あす、われわれは降伏します。なんでも、あなたがたが良いと思うことを、われわれにしてください」。

11 וַיְהִ֣י מִמָּחֳרָ֗ת וַיָּ֤שֶׂם שָׁאוּל֙ אֶת־ הָעָ֣ם שְׁלֹשָׁ֣ה רָאשִׁ֔ים וַיָּבֹ֖א
そして-なった 翌日 そして-分けた サウルは (を) 民を 三つの 部隊に そして-入った
H1961 H4283 H7760 H7586 H0853 H5971 H7969 H7218 H0935

עַד־ עַמּ֑וֹן אֶת־ וַיַּכּ֣וּ הַבֹּ֖קֶר בְּאַשְׁמֹ֥רֶת הַמַּחֲנֶ֔ה בְּתוֹךְ־
まで アンモンを (を) そして-打ち-破った 明け方の の-見張りの-時に 陣営の の-中に
H5704 H5983 H0853 H5221 H1242 H0821 H4264 H8432

נִשְׁאֲרוּ־ וְלֹ֣א וַיָּפֻ֗צוּ הַנִּשְׁאָרִים֙ וַיְהִ֣י הַיּ֔וֹם חַ֖ם
残らなかった 残ら-なかった そして-散った 残った-者は そして-なった 日の 暑く-なる
H7604 H3808 H6327 H7604 H1961 H3117 H2527

יָחַ֥ד׃ שְׁנִ֖ים בָּ֑ם
共に 二人で 彼らの-中に
H8147

明くる日、サウルは民を三つの部隊に分け、あかつきに敵の陣営に攻め入り、日の暑くなるころまで、アンモンびとを殺した。生き残った者はちりぢりになって、ふたり一緒にいるものはなかった。

12 וַיֹּ֣אמֶר הָעָ֗ם אֶל־ שְׁמוּאֵל֙ מִי֩ הָאֹמֵ֨ר שָׁא֜וּל יִמְלֹ֣ךְ
そして-言った 民は に サムエルに 誰が 言った-者は サウルが 王となるのか
H0559 H5971 H0413 H8050 H4310 H0559 H7586

וּנְמִיתֵֽם׃ הָאֲנָשִׁ֖ים תְּנ֣וּ עָלֵֽינוּ
そして-殺します その-人々を 引き渡しなさい 私たちの-上に
H4191 H0376 H5414

その時、民はサムエルに言った、「さきに、『サウルがどうしてわれわれを治めることができようか』と言ったものはだれでしょうか。その人々を引き出してください。われわれはその人々を殺します」。

13 וַיֹּאמֶר שָׁאוּל לֹא־ יוּמַת אִישׁ בַּיּוֹם הַזֶּה כִּי
そして-言った サウルは 殺してはならない 誰も 今日 この なぜなら
H0559 H7586 H3808 H4191 H0376 H3117 H2088

הַיּוֹם עָשָׂה־ יְהוָה תְּשׁוּעָה בְּיִשְׂרָאֵל׃ ס
今日 行われた 主により 救いが イスラエルにおいて —
H3117 H6213 H3068 H8668 H3478

しかしサウルは言った、「主はきょう、イスラエルに救を施されたのですから、きょうは人を殺してはなりません」。

14 וַיֹּאמֶר שְׁמוּאֵל אֶל־ הָעָם לְכוּ וְנֵלְכָה הַגִּלְגָּל
そして-言った サムエルは に 民に 来なさい そして-行こう ギルガルに
H0559 H8050 H0413 H5971 H3212 H3212 H1537

וְנְחַדֵּשׁ שָׁם הַמְלוּכָה׃
そして-新たにしよう そこで 王国を
H2318 H8033 H4410

そこでサムエルは民に言った、「さあ、ギルガルへ行って、あそこで王国を一新しよう」。

15 וַיֵּלֶךְ כָּל־ הָעָם הַגִּלְגָּל וַיַּמְלִכוּ שָׁם שָׁאוּל אֶת־
そして-行った すべての 民は ギルガルに そして-王とした そこで サウルを (を)
H3212 H3605 H5971 H1537 H4427 H8033 H7586 H0853

לִפְנֵי יְהוָה וַיִּזְבְּחוּ־ שָׁם זִבְחֵי שְׁלָמִים לִפְנֵי יְהוָה
の-前で 主の の-前で 和解の いけにえを そこで そして-ささげた ギルガルで 主の
H6440 H3068 H6440 H8002 H2077 H8033 H2076 H1537 H3068

וַיִּשְׂמַח שָׁם שָׁאוּל וְכָל־ אַנְשֵׁי יִשְׂרָאֵל עַד־ מְאֹד׃ פ
そして-喜んだ そこで サウルと すべての 人々は イスラエルの 非常に 大いに —
H8055 H8033 H7586 H3605 H0376 H3478 H5704 H3966

こうして民はみなギルガルへ行って、その所で主の前にサウルを王とし、酬恩祭を主の前にささげ、サウルとイスラエルの人々は皆、その所で大いに祝った。

Chapter 12

1 וַיֹּאמֶר שְׁמוּאֵל אֶל־ כָּל־ יִשְׂרָאֵל הִנֵּה שָׁמַעְתִּי בְּקֹלְכֶם
そして-言った サムエルは に すべての イスラエルに 見よ 聞いた あなたがたの-声に
H0559 H8050 H0413 H3605 H3478 H2009 H8085 H6963

לְכֹל אֲשֶׁר־ אֲמַרְתֶּם לִי וָאַמְלִיךְ עֲלֵיכֶם מֶלֶךְ׃
すべての (それは) 言ったことを 私に そして-王とした あなたがたの-上に 王を
H3605 H0834 H0559 H4428 H5921 H4427

サムエルはイスラエルの人々に言った、「見よ、わたしは、あなたがたの言葉に聞き従って、あなたがたの上に王を立てた。

2 וְעַתָּה הִנֵּה הַמֶּלֶךְ מִתְהַלֵּךְ לִפְנֵיכֶם וַאֲנִי זָקַנְתִּי
そこで-今 見よ 王が 歩んでいる あなたがたの-前に そして-私は 老いた
H6258 H2009 H4428 H1980 H6440 H0589 H2204

וַאֲנִי אִתְּכֶם הִנֵּם וּבָנַי וְשַׁבְתִּי מִנְּעֻרַי עַד־ הַיּוֹם הַזֶּה׃
そして-私は あなたがたと-共にいる 見よ そして-私の-息子たちは そして-髪が-白くなった 若い-時から まで 今日 この
H0589 H0854 H2009 H1121 H7867 H5704 H3117 H2088

לִפְנֵיכֶם הִתְהַלַּכְתִּי
あなたがたの-前で 歩んで-きた
H6440 H1980

見よ王は今、あなたがたの前に歩む。わたしは年老いて髪は白くなった。わたしの子らもあなたがたと共にいる。わたしは若い時から、きょうまで、あなたがたの前に歩んだ。

3

אֶת־	מְשִׁיחוֹ	וְנֶגֶד	יְהוָה	נֶגֶד	בִּי	עֲנוּ	הִנֵּנִי
(を)	油注がれた–者の	そして–の–前で	主の	の–前で	私に–対して	答えなさい	ここに–いる
H0853	H4899	H5048	H3068	H5048			H2009

מִי	אֶת־	עָשַׁקְתִּי	מִי	וְאֶת־	לָקַחְתִּי	מִי	וַחֲמוֹר	לָקַחְתִּי	מִי	וְשׁוֹר
誰を	(を)	虐げたか	誰を	そして	取ったか	誰の	そして–ろばを	取ったか	誰の	牛を
H4310	H0853	H6231	H4310	H0853	H3947	H4310	H2543	H3947	H4310	H7794

עֵינַי	וְאַעְלִים	כֹּפֶר	לָקַחְתִּי	מִי	וּמִיָּד־	רַצּוֹתִי
私の–目を	そして–目を–つぶったか	賄賂を	受け取ったか	誰の	そして–の–手から	踏みにじったか
	H5956		H3947	H4310	H3027	H7533

לָכֶם׃	וְאָשִׁיב	בּוֹ
あなたがたに	そうすれば–返す	それによって
	H7725	

わたしはここにいる。主の前と、その油そそがれた者の前に、わたしを訴えよ。わたしが、だれの牛を取ったか。だれのろばを取ったか。だれを欺いたか。だれをしえたげたか。だれの手から、まいないを取って、自分の目をくらましたか。もしそのようなことがあれば、わたしはそれを、あなたがたに償おう」。

4

וְלֹא־	רַצּוֹתָנוּ	וְלֹא	עֲשַׁקְתָּנוּ	לֹא	וַיֹּאמְרוּ
そして–なかった	踏みにじなかった	そして–なかった	私たちを	虐げ–なかった	そして–言った
H3808	H7533	H3808	H6231	H3808	H0559

מְאוּמָה׃	אִישׁ	מִיַּד־	לָקַחְתָּ
何も	誰の	の–手から	取らなかった
H3972	H0376	H3027	H3947

彼らは言った、「あなたは、われわれを欺いたことも、しえたげたこともありません。また人の手から何も取ったことはありません」。

5

מְשִׁיחוֹ	וְעֵד	בָּכֶם	יְהוָה	עֵד	אֲלֵיהֶם	וַיֹּאמֶר
油注がれた–者も	そして–証人である	あなたがたに–対して	主は	証人である	彼らに	そして–言った
H4899	H5707		H3068	H5707	H0413	H0559

וַיֹּאמֶר	מְאוּמָה	בְּיָדִי	מְצָאתֶם	לֹא	כִּי	הַזֶּה	הַיּוֹם
そして–言った	何も	私の–手に	見つからなかった	見つから–なかった	まことに	この	今日
H0559	H3972	H3027	H4672	H3808		H2088	H3117

פ	עֵד׃
—	証人である
	H5707

サムエルは彼らに言った、「あなたがたが、わたしの手のうちに、なんの不正をも見いださないことを、主はあなたがたにあかしされる。その油そそがれた者も、きょうそれをあかしする」。彼らは言った、「あかしされます」。

6

וְאֶת־	מֹשֶׁה	אֶת־	עָשָׂה	אֲשֶׁר	יְהוָה	הָעָם	אֶל־	שְׁמוּאֵל	וַיֹּאמֶר
そして	モーセと	(を)	立てた	(その方で)	主こそ	民に	に	サムエルは	そして–言った
H0853	H4872	H0853			H3068		H0413	H8050	H0559

מִצְרָיִם׃	מֵאֶרֶץ	אֲבֹתֵיכֶם	אֶת־	הֶעֱלָה	וַאֲשֶׁר	אַהֲרֹן
エジプトの	の–地から	あなたがたの–先祖を	(を)	導き–上った	そして	アロンを
H4714	H0776	H0001	H0853	H5927		H0175

サムエルは民に言った、「モーセとアロンを立てて、あなたがたの先祖をエジプトの地から導き出された主が証人です。

7

כָּל־ すべての H3605
אֵת (を) H0853
יְהוָה 主の H3068
לִפְנֵי の-前で H6440
אִתְּכֶם あなたがたに H0854
וְאִשָּׁפְטָה そして-訴えよう H8199
הָתְיַצְּבוּ 立ちなさい H3320
וְעַתָּה そこで-今 H6258

צִדְקוֹת 正しい-行いを H6666
יְהוָה 主の H3068
אֲשֶׁר־ (それを) H0834
עָשָׂה 行った H6213
אִתְּכֶם あなたがたと H0854
וְאֶת־ そして H0854
אֲבוֹתֵיכֶם׃ あなたがたの-先祖と H0001

それゆえ、あなたがたは今、立ちなさい。わたしは主が、あなたがたとあなたがたの先祖のために行われたすべての救のわざについて、主の前に、あなたがたと論じよう。

8

כַּאֲשֶׁר־ とき H3588
בָּא 来た H0935
יַעֲקֹב ヤコブが H3290
מִצְרַיִם エジプトに H4714
וַיִּזְעֲקוּ そして-叫んだ H2199
אֲבוֹתֵיכֶם あなたがたの-先祖は H0001
אֶל־ に H0413
יְהוָה 主に H3068

וַיְשַׁלַּח そして-遣わした H7971
יְהוָה 主は H3068
אֶת־ (を) H0853
מֹשֶׁה モーセと H4872
וְאֶת־ そして H0853
אַהֲרֹן アロンを H0175
וַיּוֹצִיאוּ そして-導き-出した H3318
אֶת־ (を) H0853

אֲבוֹתֵיכֶם あなたがたの-先祖を H0001
מִמִּצְרַיִם エジプトから H4714
וַיֹּשְׁבוּם そして-住まわせた H3427
בַּמָּקוֹם 場所に H4725
הַזֶּה׃ この H2088

ヤコブがエジプトに行って、エジプトびとが、彼らを、しえたげた時、あなたがたの先祖は主に呼ばわったので、主はモーセとアロンをつかわされた。そこで彼らは、あなたがたの先祖をエジプトから導き出して、この所に住まわせた。

9

וַיִּשְׁכְּחוּ しかし-忘れた H7911
אֶת־ (を) H0853
יְהוָה 主を H3068
אֱלֹהֵיהֶם 彼らの-神を H0430
וַיִּמְכֹּר そして-売った H4376
אֹתָם 彼らを H0853
בְּיַד の-手に H3027
סִיסְרָא֮ シスラの H5516
שַׂר־ 将軍の H8269

וַיִּלָּחֲמוּ そして-戦った
מוֹאָב モアブの H4124
מֶלֶךְ 王の H4428
וּבְיַד֙ そして-の-手に H3027
פְּלִשְׁתִּים ペリシテ人の H6430
וּבְיַד־ そして-の-手に H3027
חָצוֹר ハツォルの H2674
צְבָא 軍の

בָּם׃ 彼らと

しかし、彼らがその神、主を忘れたので、主は彼らをハゾルの王ヤビンの軍の長シセラの手に渡し、またペリシテびとの手とモアブの王の手にわたされた。そこで彼らがイスラエルを攻めたので、

10

וַיִּזְעֲקוּ そして-叫んだ H2199
אֶל־ に H0413
יְהוָה 主に H3068
וַיֹּאמֶר [そして言った] H0559
(וַיֹּאמְרוּ) そして-言った H0559
חָטָאנוּ 罪を-犯した H2398
כִּי なぜなら
עָזַבְנוּ 捨てた
אֶת־ (を) H0853

וְעַתָּה そこで-今 H6258
הַצִּילֵנוּ 救い-出してください H5337
וְנַעַבְדֶךָ׃ そうすれば-仕えます H5647
מִיַּד の-手から H3027
אֹיְבֵינוּ 敵の H0341
וְאֶת־ そして H0853
הָעַשְׁתָּרוֹת アシュタロテに H6252
הַבְּעָלִים バアルたちに H1168
אֶת־ (を) H0853
נַעַבְדָ 仕えた H5647
יְהוָה 主を H3068

民は主に呼ばわって言った、『われわれは主を捨て、バアルとアシタロテに仕えて、罪を犯しました。今、われわれを敵の手から救い出してください。われわれはあなたに仕えます』。

11 וַיְשַׁלַּח יְהוָה אֶת־יְרֻבַּעַל וְאֶת־בְּדָן וְאֶת־יִפְתָּח וְאֶת־שְׁמוּאֵל וַיַּצֵּל אֶתְכֶם מִיַּד אֹיְבֵיכֶם מִסָּבִיב וַתֵּשְׁבוּ בָּטָח׃

וְאֶת־	יִפְתָּח	וְאֶת־	בְּדָן	וְאֶת־	יְרֻבַּעַל	אֶת־	יְהוָה	וַיְשַׁלַּח	11
そして	エフタと	そして	ベダンと	そして	エルバアルと	(を)	主は	そして-遣わした	
H0853	H3316	H0853	H0917	H0853	H3378	H0853	H3068	H7971	
בָּטָח׃	וַתֵּשְׁבוּ	מִסָּבִיב	אֹיְבֵיכֶם	מִיַּד	אֶתְכֶם	וַיַּצֵּל	שְׁמוּאֵל		
安全に	そして-住んだ	周りの	敵の	の-手から	あなたがたを	そして-救った	サムエルを		
H0983	H3427	H5439	H0341	H3027	H0853	H5337	H8050		

主はエルバアルとバラクとエフタとサムエルをつかわして、あなたがたを周囲の敵の手から救い出されたので、あなたがたは安らかに住むことができた。

12 וַתִּרְאוּ כִּי־נָחָשׁ מֶלֶךְ בְּנֵי־עַמּוֹן בָּא עֲלֵיכֶם וַתֹּאמְרוּ לִי לֹא כִּי־מֶלֶךְ יִמְלֹךְ עָלֵינוּ וַיהוָה אֱלֹהֵיכֶם מַלְכְּכֶם׃

וַתִּרְאוּ	כִּי־	נָחָשׁ	מֶלֶךְ	בְּנֵי־	עַמּוֹן	בָּא	עֲלֵיכֶם		12
そして-見た	(とき)	ナハシュが	王が	の-子らの	アンモンの	来た	あなたがたに-対して		
H7200		H5176	H4428		H5983	H0935			
וַתֹּאמְרוּ	לִי	לֹא	כִּי־	מֶלֶךְ	יִמְלֹךְ	עָלֵינוּ	וַיהוָה		
そして-言った	私に	いいえ	(そうではなく)	王が	治めるべきだ	私たちの-上に	しかし-主こそ		
H0559		H3808		H4428			H3068		
מַלְכְּכֶם׃	אֱלֹהֵיכֶם								
あなたがたの-王である	あなたがたの-神こそ								
H4428	H0430								

ところが、アンモンびとの王ナハシが攻めてくるのを見たとき、あなたがたの神、主があなたがたの王であるのに、あなたがたはわたしに、『いいえ、われわれを治める王がなければならない』と言った。

13 וְעַתָּה הִנֵּה הַמֶּלֶךְ אֲשֶׁר בְּחַרְתֶּם אֲשֶׁר שְׁאֲלְתֶּם וְהִנֵּה נָתַן יְהוָה עֲלֵיכֶם מֶלֶךְ׃

וְעַתָּה	הִנֵּה	הַמֶּלֶךְ	אֲשֶׁר	בְּחַרְתֶּם	אֲשֶׁר	שְׁאֲלְתֶּם	וְהִנֵּה	נָתַן	יְהוָה	13
そこで-今	見よ	王を	(それは)	選んだ	(それは)	求めた	そして-見よ	与えた	主は	
H6258	H2009	H4428		H0977		H7592	H2009	H5414	H3068	
עֲלֵיכֶם	מֶלֶךְ׃									
あなたがたの-上に	王を									
	H4428									

それゆえ、今あなたがたの選んだ王、あなたがたが求めた王を見なさい。主はあなたがたの上に王を立てられた。

14 אִם־תִּירְאוּ אֶת־יְהוָה וַעֲבַדְתֶּם אֹתוֹ וּשְׁמַעְתֶּם בְּקֹלוֹ וְלֹא תָמְרוּ אֶת־פִּי יְהוָה וְהְיִתֶם גַּם־אַתֶּם

אִם־	תִּירְאוּ	אֶת־	יְהוָה	וַעֲבַדְתֶּם	אֹתוֹ	וּשְׁמַעְתֶּם	בְּקֹלוֹ		14
もし	畏れるなら	(を)	主を	そして-仕えるなら	彼に	そして-聞くなら	その-声に		
	H3372	H0853	H3068		H0853	H8085			
וְלֹא	תָמְרוּ	אֶת־	פִּי	יְהוָה	וְהְיִתֶם	גַּם־	אַתֶּם		
そして-ないなら	逆らうことが	(を)	の-口に	主の	そうすれば-いる	また	あなたがたも		
H3808	H4784	H0853	H6310	H3068	H1961	H1571			
וְגַם־	הַמֶּלֶךְ	אֲשֶׁר	מָלַךְ	עֲלֵיכֶם	אַחַר	יְהוָה	אֱלֹהֵיכֶם׃		
そして-また	王も	(その)	治める	あなたがたの-上に	の-後に	主の	あなたがたの-神の		
H1571	H4428					H3068	H0430		

もし、あなたがたが主を恐れ、主に仕えて、その声に聞き従い、主の戒めにそむかず、あなたがたも、あなたがたを治める王も共に、あなたがたの神、主に従うならば、それで良い。

15 וְאִם־לֹא תִשְׁמְעוּ בְּקוֹל יְהוָה וּמְרִיתֶם אֶת־פִּי יְהוָה וְהָיְתָה בָכֶם וּבַאֲבֹתֵיכֶם׃

וְאִם־	לֹא	תִשְׁמְעוּ	בְּקוֹל	יְהוָה	וּמְרִיתֶם	אֶת־	פִּי	יְהוָה		15
しかし-もし	聞かないなら	聞かないなら	の-声に	主の	そして-逆らうなら	(を)	の-口に	主の		
H3808	H8085			H3068	H4784	H0853	H6310	H3068		
וְהָיְתָה	יַד־	יְהוָה	בָכֶם		וּבַאֲבֹתֵיכֶם׃					
そうすれば-ある	主の-手が	主の	あなたがたに-対して		そして-先祖に-対して					
H1961	H3027	H3068			H0001					

しかし、もしあなたがたが主の声に聞き従わず、主の戒めにそむくならば、主の手は、あなたがたとあなたがたの王を攻めるであろう。

16 גַּם־עַתָּה֙ הִתְיַצְּב֔וּ וּרְא֖וּ אֶת־הַדָּבָ֣ר הַגָּד֣וֹל הַזֶּ֔ה אֲשֶׁ֥ר יְהוָ֖ה עֹשֶׂ֥ה לְעֵינֵיכֶֽם׃

また	今	立ちなさい	そして-見なさい	(を)	ことを	大いなる	この	(それを)	主が
H1571	H6258	H3320	H7200	H0853	H1697	H1419	H2088		H3068

行われる	あなたがたの-目の-前で

それゆえ、今、あなたがたは立って、主が、あなたがたの目の前で行われる、この大いなる事を見なさい。

17 הֲלוֹא֩ קְצִיר־חִטִּ֨ים הַיּ֜וֹם אֶקְרָ֣א אֶל־יְהוָ֗ה וְיִתֵּ֤ן קֹלוֹת֙ וּמָטָ֔ר וּדְע֥וּ וּרְא֖וּ כִּֽי־רָעַתְכֶ֣ם רַבָּ֑ה אֲשֶׁ֥ר עֲשִׂיתֶ֛ם בְּעֵינֵ֥י יְהוָ֖ה לִשְׁאֹ֥ל לָכֶ֖ם מֶֽלֶךְ׃ ס

確かに	収穫の-時ではないか	小麦の	今日	呼び求める	に	主に	そうすれば-与える	雷と							
H3808		H2406	H3117	H7121	H0413	H3068	H5414								
雨を	そして-知りなさい	そして-見なさい	まことに	あなたがたの-悪は	大きい	(それを)	行った								
H4306	H3045	H7200													
の-目に	主の	求めることで	自分たちに	王を											
	H3068	H7592		H4428											

きょうは小麦刈の時ではないか。わたしは主に呼ばわるであろう。そのとき主は雷と雨を下して、あなたがたが王を求めて、主の前に犯した罪の大いなることを見させ、また知らせられるであろう」。

18 וַיִּקְרָ֤א שְׁמוּאֵל֙ אֶל־יְהוָ֔ה וַיִּתֵּ֤ן יְהוָה֙ קֹלֹ֣ת וּמָטָ֔ר בַּיּ֥וֹם הַה֖וּא וַיִּירָ֤א כָל־הָעָם֙ מְאֹ֔ד אֶת־יְהוָ֖ה וְאֶת־שְׁמוּאֵֽל׃

そして-呼んだ	サムエルは	に	主に	そして-与えた	主は	雷と	雨を	その-日に	その						
H7121	H8050	H0413	H3068	H5414	H3068		H4306	H3117	H1931						
そして-恐れた	すべての	民は	非常に	(を)	主を	そして	サムエルを								
H3372	H3605		H3966	H0853	H3068		H8050								

そしてサムエルが主に呼ばわったので、主はその日、雷と雨を下された。民は皆ひじょうに主とサムエルとを恐れた。

19 וַיֹּאמְר֣וּ כָל־הָעָ֗ם אֶל־שְׁמוּאֵל֙ הִתְפַּלֵּ֣ל בְּעַד־עֲבָדֶ֔יךָ אֶל־יְהוָ֖ה אֱלֹהֶ֑יךָ וְאַל־נָמ֗וּת כִּ֤י יָסַ֙פְנוּ֙ עַל־כָּל־חַטֹּתֵ֔ינוּ רָעָ֖ה לִשְׁאֹ֥ל לָ֖נוּ מֶֽלֶךְ׃ ס

そして-言った	すべての	民は	に	サムエルに	祈ってください	の-ために	しもべの	に									
H0559	H3605		H0413		H6419		H5650	H0413									
主に	あなたの-神に	そして-ないように		死なないように	なぜなら	加えた	の-上に	すべての									
H3068	H0430	H0408		H4191		H3254		H3605									
罪の	悪を	求めることで	自分たちに	王を													
		H7592		H4428													

民はみなサムエルに言った、「しもべらのために、あなたの神、主に祈って、われわれの死なないようにしてください。われわれは、もろもろの罪を犯した上に、また王を求めて、悪を加えました」。

20 וַיֹּאמֶר שְׁמוּאֵל אֶל־הָעָם אַל־תִּירָאוּ אַתֶּם עֲשִׂיתֶם
そして-言った サムエルは に 民に 恐れるな 恐れては-ならない あなたがたは 行った
H0559 H8050 H0413 H0408 H3372

אֶת כָּל־הָרָעָה הַזֹּאת אַךְ אַל־תָּסוּרוּ מֵאַחֲרֵי יְהוָה
(を) すべての 悪を この ただ それないように 離れてはならない の-後から 主の
H0853 H3605 H2063 H0389 H0408 H5493 H3068

וַעֲבַדְתֶּם אֶת־יְהוָה בְּכָל־לְבַבְכֶם׃
そして-仕えなさい (を) 主に すべての 心で
H5647 H0853 H3068 H3605 H3824

サムエルは民に言った、「恐れることはない。あなたがたは、このすべての悪をおこなった。しかし主に従うことをやめず、心をつくして主に仕えなさい。

21 וְלֹא תָסוּרוּ וְכִי אַחֲרֵי הַתֹּהוּ אֲשֶׁר לֹא
そして-ないように 離れてはならない なぜなら の-後に 空しい-ものの (それらは) 益にならない
H3808 H5493 H3808 H8414 H3808

יוֹעִילוּ וְלֹא יַצִּילוּ כִּי־תֹהוּ הֵמָּה׃
益にならない そして-ない 救えない なぜなら 空しい-ものである それらは
H3276 H3808 H5337 H3808 H8414 H1992

むなしい物に迷って行ってはならない。それは、あなたがたを助けることも救うこともできないむなしいものだからである。

22 כִּי לֹא־יִטֹּשׁ יְהוָה עַמּוֹ בַּעֲבוּר שְׁמוֹ הַגָּדוֹל כִּי
なぜなら 捨てない 捨てない 主は その-民を のために その-名の 大いなる まことに
H3808 H5203 H3068 H5971 H5668 H8034 H1992

הוֹאִיל יְהוָה לַעֲשׂוֹת אֶתְכֶם לוֹ לְעָם׃
喜んだ 主は することを あなたがたを ご自分の 民と
H2974 H3068 H6213 H0853 H3808

主は、その大いなる名のゆえに、その民を捨てられないであろう。主が、あなたがたを自分の民とすることを良しとされるからである。

23 גַּם אָנֹכִי חָלִילָה לִי מֵחֲטֹא לַיהוָה מֵחָדֵל לְהִתְפַּלֵּל
また 私も 決して 私にとって 罪を-犯すことを 主に-対して やめることを 祈ることを
H1571 H0595 H2486 H6213 H2398 H3068 H2308 H6419

בַּעַדְכֶם וְהוֹרֵיתִי אֶתְכֶם בְּדֶרֶךְ הַטּוֹבָה וְהַיְשָׁרָה׃
あなたがたの-ために そして-教える あなたがたに の-道を 良い そして-正しい
H1157 H3384 H0853 H1870 H2896 H3477

また、わたしは、あなたがたのために祈ることをやめて主に罪を犯すことは、けっしてしないであろう。わたしはまた良い、正しい道を、あなたがたに教えるであろう。

24 רַק יְרָאוּ אֶת־יְהוָה וַעֲבַדְתֶּם אֹתוֹ בֶּאֱמֶת בְּכָל־לְבַבְכֶם כִּי
ただ 畏れなさい (を) 主を そして-仕えなさい 彼に 誠実に すべての 心で なぜなら
H0389 H3372 H0853 H3068 H5647 H0853 H0571 H3605 H3824

רְאוּ אֵת אֲשֶׁר הִגְדִּיל עִמָּכֶם׃
見なさい (を) (それを) 大きなことを-された あなたがたと-共に
H7200 H0853 H0834 H1431

あなたがたは、ただ主を恐れ、心をつくして、誠実に主に仕えなければならない。そして主がどんなに大きいことをあなたがたのためにされたかを考えなければならない。

25 וְאִם־ תָּרֵעוּ הָרַע גַּם־ תַּמְלִיכֶם גַּם־ אַתֶּם וְגַם־ מַלְכֵּכֶם תִּסָּפּוּ׃
しかし–もし 悪い–ことを 行うならば また あなたがたも また あなたがたの–王も 滅ぼされる
H1571 H7489 H1571 H1571 H4428 H5595

פ

しかし、あなたがたが、なおも悪を行うならば、あなたがたも、あなたがたの王も、共に滅ぼされるであろう」。

Chapter 13

1 בֶּן־ שָׁנָה שָׁאוּל בְּמָלְכוֹ וּשְׁתֵּי שָׁנִים מָלַךְ עַל־ יִשְׂרָאֵל׃
の–息子 一–歳 サウル 王と–なった–とき そして–二 年 治めた の–上に イスラエル
H1121 H8141 H7586 H4427 H8147 H8141 H4427 H5921 H3478

サウルは三十歳で王の位につき、二年イスラエルを治めた。

2 וַיִּבְחַר־ לוֹ שָׁאוּל שְׁלֹשֶׁת אֲלָפִים מִיִּשְׂרָאֵל וַיִּהְיוּ עִם־
自分の–ために サウル 三 千人を イスラエルから そして–いた と–共に
H0977 H7586 H7969 H0505 H3478 H1961 H5973

מִכְמָשׂ בִּבְנְיָמִן וּבְהַר בֵּית־ אֵל וְאֶלֶף הָיוּ עִם־ יוֹנָתָן
ミクマスに ベニヤミンに そして–の–山に ベテル 千人は いた と–共に ヨナタン
H4363 H1144 H2022 H1008 H0505 H1961 H5973 H3129

וְיֶתֶר הָעָם שִׁלַּח אִישׁ לְאָהָלָיו׃
そして–残りの 民を 帰らせた 各自 自分の–天幕へ
H3499 H5971 H7971 H0376 H0168

さてサウルはイスラエルびと三千を選んだ。二千はサウルと共にミクマシ、およびベテルの山地におり、一千はヨナタンと共にベニヤミンのギベアにいた。サウルはその他の民を、おのおの、その天幕に帰らせた。

3 וַיַּךְ יוֹנָתָן אֶת־ נְצִיב פְּלִשְׁתִּים אֲשֶׁר בְּגֶבַע וַיִּשְׁמְעוּ
そして–打った ヨナタン を 守備隊を ペリシテ人の そこの ゲバに–ある そして–聞いた
H5221 H3129 H0853 H5333 H6430 H0834 H1387 H8085

פְּלִשְׁתִּים וְשָׁאוּל תָּקַע בַּשּׁוֹפָר בְּכָל־ הָאָרֶץ לֵאמֹר יִשְׁמְעוּ הָעִבְרִים׃
ペリシテ人は そして–サウルは 吹き鳴らした 角笛を 全– 地に 言って 聞け ヘブル人よ
H6430 H7586 H8628 H7782 H3605 H0776 H0559 H8085 H5680

ヨナタンは、ゲバにあるペリシテびとの守備兵を敗った。ペリシテびとはそのことを聞いた。そこで、サウルは国中に、あまねく角笛を吹きならして言わせた、「ヘブルびとよ、聞け」。

4 וְכָל־ יִשְׂרָאֵל שָׁמְעוּ לֵאמֹר הִכָּה שָׁאוּל אֶת־ נְצִיב פְּלִשְׁתִּים וְגַם־
そして–全 イスラエルは 聞いた 言うことを 打った サウルが を 守備隊を ペリシテ人の
H3605 H3478 H8085 H0559 H5221 H7586 H0853 H5333 H6430

וְנִבְאַשׁ יִשְׂרָאֵל בְּפְלִשְׁתִּים וַיִּצָּעֲקוּ הָעָם אַחֲרֵי
そして–また イスラエルは ペリシテ人に 召集された そして–民は の–後に
H1571 H3478 H6430 H6817 H5971 H0310

שָׁאוּל הַגִּלְגָּל׃
サウル ギルガルへ
H7586 H1537

イスラエルの人は皆、サウルがペリシテびとの守備兵を敗ったこと、そしてイスラエルがペリシテびとに憎まれるようになったことを聞いた。こうして民は召されて、ギルガルのサウルのもとに集まった。

וּפְלִשְׁתִּים 5
そして–ペリシテ人は
H6430

נֶאֱסְפוּ
集まった
H0622

לְהִלָּחֶם
戦うために

עִם־
と

יִשְׂרָאֵל
イスラエル
H3478

שְׁלֹשִׁים
三万の
H7970

אֶלֶף
千
H0505

רֶכֶב
戦車と
H7393

וְשִׁשֶּׁת
そして–六
H8337

אֲשֶׁר
その

כַּחוֹל
砂の–ように

עַל־
の–上の

שְׂפַת־
岸の
H8193

הַיָּם
海
H3220

לָרֹב
多さの
H7230

וְעָם
そして–民は

פָּרָשִׁים
騎兵と

וְאֶלֶף
千の
H0505

וַיַּעֲלוּ
そして–上って–来て
H5927

וַיַּחֲנוּ
そして–陣を–敷いた
H2583

בְּמִכְמָשׁ
ミクマスに
H4363

קִדְמַת
東の
H6926

בֵּית־אָוֶן׃
ベテ・アベン
H1007

ペリシテびとはイスラエルと戦うために集まった。戦車三千、騎兵六千、民は浜べの砂のように多かった。彼らは上ってきて、ベテアベンの東のミクマシに陣を張った。

וְאִישׁ 6
そして–人は
H0376

יִשְׂרָאֵל
イスラエルの
H3478

רָאוּ
見た
H7200

כִּי
こと

צַר־
苦しい

לוֹ
自分に

כִּי
こと

נָגַשׂ
迫った
H5065

הָעָם
民が

וַיִּתְחַבְּאוּ
そして–身を–隠した
H2244

הָעָם
民は

בַּמְּעָרוֹת
洞穴に
H4631

וּבַחֲוָחִים
そして–茂みに
H2337

וּבַסְּלָעִים
そして–岩の–間に
H5553

וּבַצְּרִחִים
そして–地下–室に
H6877

וּבַבֹּרוֹת׃
そして–穴に

イスラエルびとは、ひどく圧迫され、味方が危くなったのを見て、ほら穴に、縦穴に、岩に、墓に、ため池に身を隠した。

וְעִבְרִים 7
そして–ヘブル人は
H5680

עָבְרוּ
渡った

אֶת־
を
H0853

הַיַּרְדֵּן
ヨルダン川を
H3383

אֶרֶץ
地へ
H0776

גָּד
ガドの
H1410

וְגִלְעָד
そして–ギルアデ
H1568

וְשָׁאוּל
そして–サウルは
H7586

עוֹדֶנּוּ
まだ
H5750

בַּגִּלְגָּל
ギルガルに–いて
H1537

וְכָל־
そして–全
H3605

הָעָם
民は

חָרְדוּ
震えていた
H2729

אַחֲרָיו׃
彼に–従いながら

また、あるヘブルびとはヨルダンを渡って、ガドとギレアデの地へ行った。しかしサウルはなおギルガルにいて、民はみな、ふるえながら彼に従った。

וַיְיחַל[ו() 8
待った
H3176

וַיָּחֶל
そして–待った
H3176

שִׁבְעַת
七
H7651

יָמִים
日間
H3117

לַמּוֹעֵד
定めの–時まで
H4150

אֲשֶׁר
その

שְׁמוּאֵל
サムエルが
H8050

וְלֹא־
しかし–なかった
H3808

בָּא
来
H0935

שְׁמוּאֵל
サムエルは
H8050

הַגִּלְגָּל
ギルガルに
H1537

וַיָּפֶץ
そして–散り始めた

הָעָם
民は

מֵעָלָיו׃
彼から

サウルは、サムエルが定めたように、七日のあいだ待ったが、サムエルがギルガルにこなかったので、民は彼を離れて散って行った。

וַיֹּאמֶר 9
そして–言った
H0559

שָׁאוּל
サウル
H7586

הַגִּשׁוּ
持って–来い
H5066

אֵלַי
私の–もとに
H0413

הָעֹלָה
全焼の–ささげ物を

וְהַשְּׁלָמִים
そして–和解の–ささげ物を
H8002

וַיַּעַל
そして–ささげた
H5927

הָעֹלָה׃
全焼の–ささげ物を

そこでサウルは言った、「燔祭と酬恩祭をわたしの所に持ってきなさい」。こうして彼は燔祭をささげた。

10 וַיְהִי כְּכַלֹּתוֹ לְהַעֲלוֹת הָעֹלָה וְהִנֵּה שְׁמוּאֵל בָּא
そして-なった ささげることを 全焼の-ささげ物を すると-見よ サムエルが 来た
H1961 H5927 H3615 H2009 H8050 H0935

וַיֵּצֵא שָׁאוּל לִקְרָאתוֹ לְבָרְכוֹ׃
そして-出て-行った サウルは 迎えに 祝福する-ため
H3318 H7586 H7122 H1288

その燔祭をささげ終ると、サムエルがきた。サウルはあいさつをしようと、彼を迎えに出た。

11 וַיֹּאמֶר שְׁמוּאֵל מָה עָשִׂיתָ וַיֹּאמֶר שָׁאוּל כִּי־ רָאִיתִי כִּי־
そして-言った サムエル 何を したのか そして-言った サウル なぜなら 見たからだ こと
H0559 H8050 H4100 H6213 H0559 H7586 H3588 H7200

אַתָּה לֹא־ בָאתָ לְמוֹעֵד הַיָּמִים וּפְלִשְׁתִּים נֶאֱסָפִים מִכְמָשׂ׃
なかった 来 定めの-時に 日々の そして-あなたは 私から 民が 散って-いった
H3808 H0935 H4150 H3117 H0859 H5921 H5971 H6430 H0622 H4363

その時サムエルは言った、「あなたは何をしたのですか」。サウルは言った、「民はわたしを離れて散って行き、あなたは定まった日のうちにこられないのに、ペリシテびとがミクマシに集まったのを見たので、

12 וָאֹמַר עַתָּה יֵרְדוּ פְלִשְׁתִּים אֵלַי הַגִּלְגָּל וּפְנֵי יְהוָה
そして-思った 今 下って-来る ペリシテ人が 私の-ところに ギルガルに そして-御顔を 主の
H0559 H6258 H3381 H6430 H0413 H1537 H6440 H3068

לֹא חִלִּיתִי וָאֶתְאַפַּק וָאַעֲלֶה עֹלָה׃ ס
いない 求めて-いない そして-思い-切って そして-ささげた 全焼の-ささげ物を セラ
H3808 H2470 H0662 H5927 H5930

わたしは、ペリシテびとが今にも、ギルガルに下ってきて、わたしを襲うかも知れないのに、わたしはまだ主の恵みを求めることをしていないと思い、やむを得ず燔祭をささげました」。

13 וַיֹּאמֶר שְׁמוּאֵל אֶל־ שָׁאוּל נִסְכַּלְתָּ לֹא שָׁמַרְתָּ אֶת־ מִצְוַת
そして-言った サムエル に サウル 愚かな-ことを-した ない 守ら-なかった を 命令を
H0559 H8050 H0413 H7586 H5528 H3808 H8104 H0853 H4687

יְהוָה אֱלֹהֶיךָ אֲשֶׁר צִוָּךְ כִּי עַתָּה הֵכִין יְהוָה אֶת־
主 あなたの-神の その 命じた なぜなら 今 確立した-だろう 主は を
H3068 H0430 H0834 H6680 H3588 H6258 H3559 H3068 H0853

מַמְלַכְתְּךָ עַל־ יִשְׂרָאֵל עַד־ עוֹלָם׃
あなたの-王国を の-上に イスラエル まで 永遠に
H4467 H0413 H3478 H5704 H5769

サムエルはサウルに言った、「あなたは愚かなことをした。あなたは、あなたの神、主の命じられた命令を守らなかった。もし守ったならば、主は今あなたの王国を長くイスラエルの上に確保されたであろう。

14 וְעַתָּה֙ מַמְלַכְתְּךָ֔ לֹא־ תָקֻ֖ום בִּקֵּ֣שׁ יְהוָ֑ה לֹ֚ו אִ֣ישׁ כִּלְבָבֹ֔ו
しかし-今 あなたの-王国は ない 立た-ない 求めた 主は ご自分の-ため 人を 御心に-かなう
H6258 H4467 H3808 H6680 H1245 H3068 H0376 H3824

וַיְצַוֵּ֤הוּ יְהוָה֙ לְנָגִ֔יד עַ֣ל־ עַמֹּ֔ו כִּ֣י לֹ֤א שָׁמַרְתָּ֙ אֵ֣ת
そして-任命した 主は 君主と-して の-上に ご自分の-民 なぜなら ない 守ら-なかった を
H6680 H3068 H5057 H5921 H5971 H3588 H3808 H8104 H0853

אֲשֶׁר־ צִוָּ֖ךְ יְהוָֽה׃ פ
その 命じた-ことを 主が ペー
H6680 H3068

しかし今は、あなたの王国は続かないであろう。主は自分の心にかなう人を求めて、その人に民の君となることを命じられた。あなたが主の命じられた事を守らなかったからである」。

15 וַיָּ֣קָם שְׁמוּאֵ֔ל וַיַּ֥עַל מִן־ הַגִּלְגָּ֖ל גִּבְעַ֣ת בִּנְיָמִ֑ן
そして-立ち上がった サムエル そして-上った から ギルガル ギブアへ ベニヤミンの
H6965 H8050 H5927 H4856 H1537 H1390 H1144

וַיִּפְקֹ֣ד שָׁא֗וּל אֶת־ הָעָם֙ הַנִּמְצְאִ֣ים עִמֹּ֔ו כְּשֵׁ֥שׁ מֵא֖וֹת אִֽישׁ׃
そして-数えた サウル を 民を 残って-いる 彼と-共に およそ-六 百 人
H6485 H7586 H0853 H5971 H4672 H5973 H8337 H3967 H0376

こうしてサムエルは立って、ギルガルからベニヤミンのギベアに上っていった。サウルは共にいる民を数えてみたが、おおよそ六百人あった。

16 וְשָׁא֣וּל וְיֹונָתָ֗ן בְּנֹו֙ וְהָעָ֣ם הַנִּמְצָ֔א עִמָּ֖ם
そして-サウルと そして-ヨナタン その-息子と そして-民は 残って-いた 彼らと-共に
H7586 H3129 H1121 H5971 H4672 H5973

יֹשְׁבִ֣ים בְּגֶ֣בַע בִּנְיָמִ֑ן וּפְלִשְׁתִּ֛ים חָנ֥וּ בְמִכְמָֽשׁ׃
留まっていた ゲバに ベニヤミンの そして-ペリシテ人は 陣を-敷いていた ミクマスに
H3427 H1387 H1144 H6430 H2583 H4363

サウルとその子ヨナタン、ならびに、共にいる民は、ベニヤミンのゲバにおり、ペリシテびとはミクマシに陣を張っていた。

17 וַיֵּצֵ֣א מַחֲנֵ֔ה הַמַּשְׁחִ֖ית פְּלִשְׁתִּ֑ים שְׁלֹשָׁ֣ה רָאשִׁ֔ים הָאֶחָ֖ד
そして-出て-来た 陣営から 略奪隊が ペリシテ人の 三つの 部隊に-なって 第一の-部隊は 一つ
H3318 H4264 H7843 H6430 H7969 H7218 H0259

הָלַ֣ךְ דֶּ֔רֶךְ עָפְרָ֖ה אֶל־ אֶ֣רֶץ שׁוּעָֽל׃
向かった 道を へ オフラ に 地 シュアル
H6437 H1870 H0413 H6084 H0413 H0776 H7777

そしてペリシテびとの陣から三つの部隊にわかれた略奪隊が出てきて、一部隊はオフラの方に向かって、シュアルの地に行き、

18 וְהָאֶחָד֙ פָּנָ֣ה דֶּ֔רֶךְ בֵּ֖ית חֹרֹ֑ון וְהָאֶחָ֣ד פָּנָ֔ה דֶּ֖רֶךְ
そして-第二の-部隊は 一つ 向かった 道を ベテ・ホロン そして-第三の-部隊は 一つ 向かった
H1961 H0259 H6437 H1870 H1032 H0259 H6437

הַגְּבוּל֙ הַנִּשְׁקָ֣ף עַל־ גֵּ֔י הַצְּבֹעִ֖ים הַמִּדְבָּרָ֥ה׃ ס
境界の 見下ろす の-上に 谷を ツェボイムの 荒野の-方へ セラ
H1366 H5027 H5921 H1516 H6650 H4057

一部隊はベテホロンの方に向かい、一部隊は荒野の方のゼボイムの谷を見おろす境の方に向かった。

19 וְחָרָשׁ לֹא יִמָּצֵא בְּכָל אֶרֶץ יִשְׂרָאֵל כִּי־ [אמרו]
そして-鍛冶職人は ない 見つから-なかった 全 地に イスラエルの なぜなら 言った
H2796 H3808 H4672 H3605 H0776 H3478 H0559

(אָמְרוּ פְּלִשְׁתִּים פֶּן יַעֲשׂוּ הָעִבְרִים חֶרֶב אוֹ חֲנִית׃
言った ペリシテ人は しないように 造る ヘブル人が 剣や あるいは 槍を
H0559 H6430 H6435 H5680 H2719 H0176 H2595

そのころ、イスラエルの地にはどこにも鉄工がいなかった。ペリシテびとが「ヘブルびとはつるぎも、やりも造ってはならない」と言ったからである。

20 וַיֵּרְדוּ כָּל־ יִשְׂרָאֵל אֶל הַפְּלִשְׁתִּים לְלֹטוֹשׁ אִישׁ
そして-下って-行った 全 イスラエルは ペリシテ人の-ところへ 研いで-もらうために 各自
H3381 H3605 H3478 H6430 H3913 H0376

מַחֲרֵשְׁתּוֹ׃ וְאֶת קָרְדֻּמּוֹ וְאֶת־ אֵתוֹ וְאֶת־ מַחֲרַשְׁתּוֹ אֶת־
自分の-鎌を そして 自分の-斧を そして 自分の-鶴嘴を そして 自分の-鋤を を
H4281 H0853 H7134 H0853 H0855 H0853 H4282 H0853

ただしイスラエルの人は皆、そのすきざき、くわ、おの、かまに刃をつけるときは、ペリシテびとの所へ下って行った。

21 וְהָיְתָה הַפְּצִירָה לַמָּחֲרֵשֹׁת וְלָאֵתִים וְלִשְׁלֹשׁ קֻלְשׁוֹן
そして-あった 値段は ピムで 鋤のため そして-鶴嘴のため そして-三つ-又の 刺し棒の
H1961 H6477 H6310 H4281 H0855 H7969 H7053

וּלְהַקְרִדִּים׃ וּלְהַצִּיב הַדָּרְבֶּן
そして-斧のため そして-突き棒の 先を-直すため
H7134 H5324

すきざきと、くわのための料金は一ピムであり、おのに刃をつけるのと、とげのあるむちを直すのは三分の一シケルであった。

22 וַיְהִי בְּיוֹם הַמִּלְחָמָה וְלֹא נִמְצָא חֶרֶב וַחֲנִית בְּיַד כָּל־ הָעָם
そして-あった の-日に 戦い 剣も 槍も の-手に 全 民の
H1961 H3117 H4421 H2719 H2595 H3027 H3605

אֲשֶׁר אֶת־ שָׁאוּל וְאֶת־ יוֹנָתָן וַתִּמָּצֵא לְשָׁאוּל וּלְיוֹנָתָן
そこの と サウル そして ヨナタン しかし-見つかった サウルには そして-ヨナタンには
H0854 H7586 H0854 H3129 H4672 H7586 H3129

בְּנוֹ׃
その-息子

それでこの戦いの日には、サウルおよびヨナタンと共にいた民の手には、つるぎもやりもなく、ただサウルとその子ヨナタンとがそれを持っていた。

23 וַיֵּצֵא מַצַּב פְּלִשְׁתִּים אֶל־ מַעֲבַר מִכְמָשׁ׃ ס
そして-出て-来た 先遣隊が ペリシテ人の へ 峠に ミクマスの セラ
H3318 H4673 H6430 H0413 H4363

ペリシテびとの先陣はミクマシの渡りに進み出た。

Chapter 14

1 וַיְהִי הַיּוֹם וַיֹּאמֶר יוֹנָתָן בֶּן־שָׁאוּל אֶל־הַנַּעַר נֹשֵׂא
そして-なった その-日 そして-言った ヨナタン の-息子 に 従者に 持つ
H1961 H3117 H0559 H3129 H0413 H5288 H5375

כֵּלָיו לְכָה וְנַעְבְּרָה אֶל־מַצַּב פְּלִשְׁתִּים אֲשֶׁר מֵעֵבֶר
彼の-武具を さあ そして-渡ろう に 先遣隊の-ところへ ペリシテ人の その 向こう-側の
H3627 H3212 H0413 H4673 H6430 H0834 H5676

הַזֶּה וְלְאָבִיו לֹא הִגִּיד׃
あの しかし-彼の-父に なかった 告げ
H1975 H0001 H3808 H5046

ある日、サウルの子ヨナタンは、その武器を執る若者に「さあ、われわれは向こう側の、ペリシテびとの先陣へ渡って行こう」と言った。しかしヨナタンは父には告げなかった。

2 וְשָׁאוּל יוֹשֵׁב בִּקְצֵה הַגִּבְעָה תַּחַת הָרִמּוֹן אֲשֶׁר בְּמִגְרוֹן
そして-サウルは 座っていた の-端に 丘の の-下に ざくろの-木 その ミグロンに-ある
H7586 H3427 H7097 H1390 H8478 H7416 H0834 H4051

וְהָעָם אֲשֶׁר עִמּוֹ כְּשֵׁשׁ מֵאוֹת אִישׁ׃
そして-民は その 彼と-共に およそ-六 百 人
H5971 H0834 H5973 H3967 H0376

サウルはギベアのはずれで、ミグロンにある、ざくろの木の下にとどまっていたが、共にいた民はおおよそ六百人であった。

3 וַאֲחִיָּה בֶן־אֲחִיטוּב אֲחִי אִיכָבוֹד בֶּן־פִּינְחָס בֶּן־עֵלִי כֹּהֵן
そして-アヒヤ の-息子 アヒトブ の-兄弟 イカボデ の-息子 ピネハス の-息子 エリ 祭司
H0281 H0285 H0251 H0350 H1121 H6372 H5941 H3548

יְהוָה בְּשִׁלוֹ נֹשֵׂא אֵפוֹד וְהָעָם לֹא יָדַע כִּי הָלַךְ יוֹנָתָן׃
主の シロで 身に-つけている エポデを そして-民は なかった 知ら こと 行った ヨナタンが
H3068 H7887 H5375 H0646 H5971 H3808 H3045 H3588 H1980 H3129

またアヒヤはエポデを身に着けて共にいた。アヒヤはアヒトブの子、アヒトブはイカボデの兄弟、イカボデはピネハスの子、ピネハスはシロにおいて主の祭司であったエリの子である。民はヨナタンが出かけることを知らなかった。

4 וּבֵין הַמַּעְבְּרוֹת אֲשֶׁר בִּקֵּשׁ יְהוֹנָתָן לַעֲבֹר עַל־מַצַּב
そして-の-間に 峡谷の その 求めていた ヨナタンが 渡ろうと の-上の 先遣隊
H0996 H4686 H0834 H1245 H3129 H5674 H5674 H4673

פְּלִשְׁתִּים מִזֶּה וְשֵׁן־הַסֶּלַע מֵהֶעֵבֶר וְשֵׁן־הַסֶּלַע מִזֶּה
ペリシテ人の こちら の-歯の-ような-岩が の-側 岩の そして-歯の-ような-岩が の-側
H6430 H2088 H8127 H5553 H5676 H8127 H5553 H2088 H5676

וְשֵׁם הָאֶחָד בּוֹצֵץ וְשֵׁם הָאֶחָד סֶנֵה׃
そして-名は ボツェツ 一つの そして-名は セネ
H8034 H0949 H0259 H8034 H5573

ヨナタンがペリシテびとの先陣に渡って行こうとする渡りには、一方に険しい岩があり、他方にも険しい岩があり、一方の名をボゼツといい、他方の名をセネといった。

5 הַשֵּׁן הָאֶחָד מִצָּפוֹן מָצִוק הָאֶחָד מִנֶּגֶב גָּבַע׃ ס
の-歯の-ような-岩 一つは 北から 柱の-ように 一つは 南から ゲバ セラ
H8127 H0259 H6828 H4690 H0259 H5045 H1387

מִכְמָשׂ מִמּוּל וְהָאֶחָד
ミクマス の-向かいに そして-もう-一つは
H4363 H4136 H0259

岩の一つはミクマシの前にあって北にあり、一つはゲバの前にあって南にあった。

6 וַיֹּאמֶר יְהוֹנָתָן אֶל־ הַנַּעַר נֹשֵׂא כֵלָיו לְכָה וְנַעְבְּרָה אֶל־
そして–言った ヨナタン に 従者に 持つ 彼の–武具を さあ そして–渡ろう に
H0559 H3083 H0413 H5288 H5375 H3627 H3212 H0413

מַצַּב הָעֲרֵלִים הָאֵלֶּה אוּלַי יַעֲשֶׂה יְהוָה לָנוּ
先遣隊の–ところへ 割礼の–ない者たちの この もしかすると してくださる 主が 私たちの–ために
H4673 H6189 H0428 H0194 H3068

כִּי אֵין לַיהוָה לְהוֹשִׁיעַ מַעְצֹור בְּרַב אֹו בִּמְעָט׃
なぜなら ない 主には 妨げは 救う–ことに 多くで あるいは 少なくで
H0369 H3068 H4622 H3467 H4592

ヨナタンはその武器を執る若者に言った、「さあ、われわれは、この割礼なき者どもの先陣へ渡って行こう。主がわれわれのために何か行われるであろう。多くの人をもって救うのも、少ない人をもって救うのも、主にとっては、なんの妨げもないからである」。

7 וַיֹּאמֶר לוֹ נְשָׂא כֵלָיו עֲשֵׂה כָּל־ אֲשֶׁר בִּלְבָבֶךָ נְטֵה
そして–言った 彼に 持つ 彼の–武具を 行え 全て その あなたの–心に–ある–ことを 進め
H0559 H5375 H3627 H3605 H3824 H5186

סלה כִּלְבָבֶךָ׃ עִמְּךָ הִנֵּנִי לָךְ׃
セラ あなたの–心の–ままに あなたと–共に 見よ–私は あなたの–ために
H3824 H2009

武器を執る者は彼に言った、「あなたの望みどおりにしなさい。わたしは一緒にいます。わたしはあなたと同じ心です」。

8 וַיֹּאמֶר יְהוֹנָתָן הִנָּה אֲנַחְנוּ עֹבְרִים אֶל־ הָאֲנָשִׁים
そして–言った ヨナタン 見よ 私たちは 渡って–行く に あの–人々の–ところへ
H0559 H3083 H2009 H0587 H5674 H0413 H0376

וְנִגְלֵינוּ אֲלֵיהֶם׃
そして–姿を–現す 彼らに
H1540 H0413

ヨナタンはまた言った、「われわれは、あの人々の所に渡っていって、彼らに身を現そう。

9 אִם־ כֹּה יֹאמְרוּ אֵלֵינוּ דֹּמּוּ עַד־ הַגִּיעֵנוּ אֲלֵיכֶם
もし こう 言うなら 私たちに 止まれ まで 私たちが–着く–まで お前たちの–ところに
H0518 H3541 H0559 H0413 H1826 H5704 H5060 H0413

וְלֹא נַעֲלֶה אֲלֵיהֶם׃ תַּחְתֵּינוּ וְעָמַדְנוּ
そして–ない 上って–行か 彼らの–ところへ 私たちの–場所に そして–立つ
H3808 H5927 H0413 H8478 H5975

そして、もし彼らがわれわれに、『こちらから行くまで待て』と言うならば、われわれはその場にとどまり、彼らの所に上っていかないであろう。

10 וְאִם־ כֹּה יֹאמְרוּ עֲלוּ אֵלֵינוּ וְנַעֲלֶה כִּי־
そして–もし こう 言うなら 上って–来い 私たちの–ところへ そして–上って–行く なぜなら
H0518 H3541 H0559 H5927 H5927 H0413 H5927

נְתָנָם יְהוָה בְּיָדֵנוּ וְזֶה־ לָנוּ הָאוֹת׃
渡された 主が 私たちの–手に そして–これが 私たちへの しるしだ
H5414 H3068 H3027 H2088 H0226

しかし、もし彼らが『われわれのところへ上ってこい』と言うならば、われわれは上って行こう。主が彼らをわれわれの手に渡されるからである。これをもってしるしとしよう」。

11 וַיִּגָּלוּ שְׁנֵיהֶם אֶל־מַצַּב פְּלִשְׁתִּים וַיֹּאמְרוּ פְּלִשְׁתִּים הִנֵּה עִבְרִים יֹצְאִים מִן־הַחֹרִים אֲשֶׁר הִתְחַבְּאוּ־שָׁם׃

そして–姿を–現した 二人とも に 先遣隊の–ところに ペリシテ人の そして–言った ペリシテ人は
H1540 H8147 H0413 H4673 H6430 H0559 H6430

見よ ヘブル人が 出て–来る から 穴から その 隠れて–いた そこに
H2009 H5680 H3318 H0411 H2356 H0834 H2244 H8033

こうしてふたりはペリシテびとの先陣に、その身を現したので、ペリシテびとは言った、「見よ、ヘブルびとが、隠れていた穴から出てくる」。

12 וַיַּעֲנוּ אַנְשֵׁי הַמַּצָּבָה אֶת־יְהוֹנָתָן וְאֶת־נֹשֵׂא כֵלָיו וַיֹּאמְרוּ

そして–答えた 人々は 先遣隊の に ヨナタン そして 持つ 彼の–武具を そして–言った
H0559 H0376 H4675 H0853 H3129 H0853 H5375 H3627 H0559

עֲלֵה אֵלֵינוּ וְנוֹדִיעָה לְךָ דָּבָר פ וַיֹּאמֶר

上って–来い 私たちの–ところへ そして–教えて–やる お前たちに 事を ペー そして–言った
H5927 H0413 H3045 H0853 H1697 H0559

יְהוָה נְתָנָם כִּי־אַחֲרַי עֲלֵה כִּי בְיַד

主が 渡された なぜなら 私の–後に 上って–来い 彼の–武具を 持つ に ヨナタン の–手に
H3068 H5414 H0834 H0310 H5927 H3627 H5375 H0413 H3129 H3027

יִשְׂרָאֵל׃

イスラエル
H3478

先陣の人々はヨナタンと、その武器を執る者に叫んで言った、「われわれのところに上ってこい。目に、もの見せてくれよう」。ヨナタンは、その武器を執る者に言った、「わたしのあとについて上ってきなさい。主は彼らをイスラエルの手に渡されたのだ」。

13 וַיַּעַל יוֹנָתָן עַל־יָדָיו וְעַל־רַגְלָיו וְנֹשֵׂא כֵלָיו וַיָּפֹל לִפְנֵי יוֹנָתָן וְנֹשֵׂא כֵלָיו מְמוֹתֵת אַחֲרָיו׃

そして–上った ヨナタン の–上を そして–の–上を 手 足 そして–持つ 彼の–武具を
H5927 H3129 H0413 H3027 H7272 H5375 H3627

そして–倒れた の–前に ヨナタン 持つ そして–持つ 彼の–武具を とどめを–刺して–いた 彼の–後に
H5307 H6440 H3129 H5375 H3627 H4191

そしてヨナタンはよじ登り、武器を執る者もそのあとについて登った。ペリシテびとはヨナタンの前に倒れた。武器を執る者も、あとについていってペリシテびとを殺した。

14 וַתְּהִי הַמַּכָּה הָרִאשֹׁנָה אֲשֶׁר הִכָּה יוֹנָתָן וְנֹשֵׂא כֵלָיו כְּעֶשְׂרִים אִישׁ כְּמַחֲצִית מַעֲנָה מֶצֶמ שָׂדֶה׃

そして–なった 打撃は 最初の その 打った ヨナタンが 持つ そして–持つ 彼の–武具を
H1961 H4347 H7223 H0834 H5221 H3129 H5375 H3627

およそ–二十 人 およそ–半分の 畝の 一つがいの 畑に
H6242 H0376 H2677 H4618 H6776

ヨナタンとその武器を執る者とが、手始めに殺したものは、おおよそ二十人であって、このことは一くびきの牛の耕す畑のおおよそ半分の内で行われた。

15 וַתְּהִי חֲרָדָה בַּמַּחֲנֶה בַּשָּׂדֶה וּבְכָל־הָעָם הַמַּצָּב וְהַמַּשְׁחִית חָרָדוּ
そして-あった 恐怖が 陣営に 野に そして-全 民に 先遣隊も そして-略奪隊も 震えた
H1961 H2731 H4264 H3605 H4673 H7843 H2729

גַּם־הֵמָּה הָאָרֶץ וַתִּרְגַּז וַתְּהִי לְחֲרָדַת אֱלֹהִים׃
また 彼らも 地が そして-揺れた そして-なった 神の 恐怖に
H1571 H1992 H0776 H7264 H1961 H2731 H0430

そして陣営にいる者、野にいるもの、およびすべての民は恐怖に襲われ、先陣のもの、および略奪隊までも、恐れおののいた。また地は震い動き、非常に大きな恐怖となった。

16 וַיִּרְאוּ הַצֹּפִים לְשָׁאוּל בִּנְיָמִן בְּגִבְעַת וְהִנֵּה הֶהָמוֹן
そして-見た 見張りたちは サウルの-ところへ ベニヤミンの ギブアの そして-見よ 群衆が
H7200 H6822 H7586 H1144 H1390 H2009 H1986

פ וַיֵּלֶךְ וַיָּהֹם׃ נָמוֹג
ペー そして-行く あちこちへ 溶けて-いく
H3212 H1986 H4127

ベニヤミンのギベアにいたサウルの番兵たちが見ると、ペリシテびとの群衆はくずれて右往左往していた。

17 וַיֹּאמֶר שָׁאוּל לָעָם אֲשֶׁר אִתּוֹ פִּקְדוּ־נָא וּרְאוּ מִי הָלַךְ מֵעָלֵינוּ וַיִּפְקְדוּ וְהִנֵּה אֵין יוֹנָתָן וְנֹשֵׂא כֵלָיו׃
そして-言った サウル 民に その 彼と-共にいる 数えよ どうか 誰が 去った 私たちから そして-数えた すると-見よ いなかった ヨナタンと そして-持つ 彼の-武具を
H0559 H7586 H0776 H0854 H4994 H7200 H4310 H1980 H4480 H5375 H3627

その時サウルは、共にいる民に言った、「人数を調べて、われわれのうちのだれが出て行ったかを見よ」。人数を調べたところ、ヨナタンとその武器を執る者とがそこにいなかった。

18 וַיֹּאמֶר שָׁאוּל לַאֲחִיָּה הַגִּישָׁה אֲרוֹן הָאֱלֹהִים כִּי־הָיָה אֲרוֹן הָאֱלֹהִים בְּיוֹם הַהוּא וּבְנֵי יִשְׂרָאֵל׃
そして-言った サウル アヒヤに 持って-来い 箱を 神の なぜなら あった 箱は 神の
H0559 H7586 H0281 H5066 H0727 H0430 H3588 H1961 H0727 H0430

その-日に そして-子らと-共に イスラエル
H3117 H1931 H3478

サウルはアヒヤに言った、「エポデをここに持ってきなさい」。その時、アヒヤはイスラエルの人々の前でエポデを身に着けていたからである。

19 וַיְהִי עַד דִּבֶּר שָׁאוּל אֶל־הַכֹּהֵן וְהֶהָמוֹן אֲשֶׁר בְּמַחֲנֵה
そして-なった まで 話している サウルが に 祭司に そして-騒ぎが その 陣営に
H1961 H5704 H1696 H7586 H0413 H3548 H1995 H4264

פְּלִשְׁתִּים וַיֵּלֶךְ וַיָּרָב פ וַיֹּאמֶר שָׁאוּל אֶל־הַכֹּהֵן אֱסֹף יָדֶךָ׃
ペリシテ人の そして-行った 行く-ばかり そして-増して ペー そして-言った サウル に 引き-戻せ あなたの-手を
H6430 H3212 H1980 H7235 H6430 H0559 H7586 H0413 H0622 H3027

サウルが祭司に語っている間にも、ペリシテびとの陣営の騒ぎはますます大きくなったので、サウルは祭司に言った、「手を引きなさい」。

20 וַיִּזְעֲק֗ וְכָל־ הָעָם֮ אֲשֶׁר֒ אִתּ֣וֹ וַיָּבֹ֔אוּ עַד־ הַמִּלְחָמָ֑ה
そして-叫んだ サウルと そして-全 民は その 彼と-共に-いる そして-来た まで 戦場に
H2199 H7586 H3605 H5704 H0935 H0854 H0854 H4421

וְהִנֵּ֣ה הָיְתָ֣ה חֶ֣רֶב אִ֠ישׁ בִּרְעֵ֨הוּ֙ מְהוּמָ֣ה גְדוֹלָ֔ה מְאֹֽד׃
すると-見よ なっていた 剣が 人の 仲間に-向けられ 混乱が 大きな 非常に
H2009 H1961 H2719 H0376 H7453 H4103 H1419 H3966

こうしてサウルおよび共にいる民は皆、集まって戦いに出た。ペリシテびとはつるぎをもって同志打ちしたので、非常に大きな混乱となった。

21 וְהָעִבְרִ֗ים הָי֤וּ לַפְּלִשְׁתִּים֙ כְּאֶתְמ֣וֹל שִׁלְשׁ֔וֹם אֲשֶׁ֥ר עָל֖וּ
そして-ヘブル人は いた ペリシテ人の-もとに 以前から いつもの-ように その 上って-来ていた
H5680 H1961 H6430 H0865 H8032 H0834 H5927

עִמָּ֑ם בְּמַֽחֲנֶה֙ סָבִ֔יב וְגַם־ הֵ֣מָּה לִֽהְיוֹת֙ עִם־ יִשְׂרָאֵ֔ל אֲשֶׁ֥ר
彼らと-共に 陣営に 周囲の そして-また 彼らも なった と-共に イスラエル その
H5973 H4264 H5439 H1571 H1992 H1961 H0854 H3478 H0834

עִם־ שָׁא֖וּל וְיוֹנָתָֽן׃
と-共にいる サウル そして-ヨナタン
H5973 H7586 H3129

また先にペリシテびとと共にいて、彼らと共に陣営にきていたヘブルびとたちも、翻ってサウルおよびヨナタンと共にいるイスラエルびとにつくようになった。

22 וְכָל־ אִ֣ישׁ יִשְׂרָאֵ֗ל הַמִּתְחַבְּאִים֙ בְּהַר־ אֶפְרַ֔יִם וַיִּשְׁמְע֣וּ כִֽי־
こと 聞いた エフライム エフライムの-山地に 隠れていた イスラエルの 人は そして-全ての
H3588 H8085 H0669 H2022 H2244 H3478 H0376 H3605

פָלְשְׁתִּ֣ים הֵ֔מָּה גַּם־ הֵ֖מָּה וַיַּדְבְּק֣וּ אַחֲרֵיהֶ֑ם בַּמִּלְחָמָֽה׃
戦いに 彼らの-後を 彼らも また 追いかけた ペリシテ人が 逃げた
H4421 H0310 H1992 H1571 H1692 H6430 H5127

またエフライムの山地に身を隠していたイスラエルびとたちも皆、ペリシテびとが逃げると聞いて、彼らもまた戦いに出て、それを追撃した。

23 וַיּ֣וֹשַׁע יְהוָ֗ה בַּיּוֹם֮ הַה֣וּא֒ אֶת־ יִשְׂרָאֵל֒ וְהַמִּלְחָמָ֕ה עָבְרָ֖ה אֶת־
を 通り-過ぎた そして-戦いは イスラエルを を その の-日に 主は そして-救った
H0853 H5674 H4421 H3478 H0853 H1931 H3117 H3068 H3467

בֵּ֥ית אָֽוֶן׃
ベテ・アベン
H1007

こうして主はその日イスラエルを救われた。そして戦いはベテアベンに移った。

24 וְאִישׁ־ יִשְׂרָאֵל֮ נִגַּשׂ֒ בַּיּוֹם֮ הַה֣וּא֒ וַיֹּ֣אֶל שָׁא֗וּל אֶת־ הָעָם֮
民 に サウルは そして-誓わせた その の-日に 苦しんでいた イスラエルの そして-人は
H5971 H0853 H7586 H0422 H1931 H3117 H5065 H3478 H0376

לֵאמֹר֒ אָר֣וּר הָאִישׁ֮ אֲשֶׁר־ יֹאכַל֒ לֶ֔חֶם עַד־ עֶ֣רֶב וְנִקַּמְתִּי֙ מֵאֹיְבַ֔י
言って 呪われよ その-人 食べる その 食物を まで 夕方 そして-復讐する 私の-敵に
H0559 H0779 H0376 H0398 H0834 H3899 H5704 H6153 H5358 H0341

וְלֹא־ טָעַ֥ם כָּל־ הָעָ֖ם לָֽחֶם׃ ס
そして-なかった 味わ 全 民は 食物を セラ
H3808 H2938 H3605 H5971 H3899

וְכָל־ הָאָ֖רֶץ בָּ֣אוּ יָ֑עַר וַיְהִי־ דְבַ֔שׁ עַל־ פְּנֵ֖י הַשָּׂדֶֽה׃

しかしその日イスラエルの人々は苦しんだ。これはサウルが民に誓わせて「夕方まで、わたしが敵にあだを返すまで、食物を食べる者は、のろわれる」と言ったからである。それゆえ民のうちには、ひとりも食物を口にしたものはなかった。

25 וְכָל־ הָאָ֖רֶץ בָּ֑אוּ בַּיַּ֣עַר וַיְהִ֥י דְבָ֛שׁ עַל־ פְּנֵ֥י הַשָּׂדֶֽה׃
そして-全 地は 入った 森に そして-あった 蜜が 表面に 野の
H3605 H0776 H0935 H3293 H1961 H1706 H6440

ところで、民がみな森の中にはいると、地のおもてに蜜があった。

26 וַיָּבֹ֣א הָעָ֔ם אֶל־ הַיַּ֖עַר וְהִנֵּ֣ה הֹלֵ֣ךְ דָּבָ֑שׁ וְאֵין־ מַשִּׂ֣יג
そして-来た 民が に 森に すると-見よ 流れている 蜜が しかし-ない 差し-伸べる-者は
H0935 H5971 H0413 H3293 H2009 H1980 H1706 H0369 H5381

כִּֽי־ יָרֵ֥א הָעָ֖ם אֶת־ הַשְּׁבֻעָֽה׃ פִּ֔יו אֶל־ יָדֹ֖ו
なぜなら 恐れた 民は を 誓いを 口に に 手を
H3372 H5971 H0853 H7621 H6310 H0413 H3027

民は森にはいった時、蜜のしたたっているのを見た。しかしだれもそれを手に取って口につけるものがなかった。民が誓いを恐れたからである。

27 וְיוֹנָתָ֗ן לֹא־ שָׁמַ֛ע בְּהַשְׁבִּ֥יעַ אָבִ֖יו אֶת־ הָעָ֑ם וַיִּשְׁלַ֣ח
しかし-ヨナタンは なかった 聞いて 誓わせた-とき 彼の-父が に 民 そして-伸ばした
H3129 H3808 H8085 H7650 H0001 H0853 H5971 H7971

אֶת־ קְצֵ֤ה הַמַּטֶּה֙ אֲשֶׁ֣ר בְּיָד֔וֹ וַיִּטְבֹּ֖ל אוֹתָ֣הּ בְּיַעֲרַ֣ת הַדְּבָ֑שׁ
を 先を 杖の その 彼の-手に-ある そして-浸した それを 蜜の-巣に 蜂蜜の
H0853 H7098 H4294 H0834 H3027 H2881 H0853 H3295 H1706

וַיָּ֥שֶׁב יָד֛וֹ אֶל־ פִּ֖יו וַתֵּרָאֶ֥נָה (וַתָּאֹ֖רְנָה) עֵינָֽיו׃
そして-返した 手を に 口に すると-輝いた そして-輝いた 彼の-目が
H7725 H3027 H0413 H6310 H7200 H0215 H5869

しかしヨナタンは、父が民に誓わせたことを聞かなかったので、手を伸べてつえの先を蜜ばちの巣に浸し、手に取って口につけた。すると彼は目がはっきりした。

28 וַיַּ֣עַן אִ֔ישׁ מֵֽהָעָ֖ם וַיֹּ֣אמֶר הַשְׁבֵּ֤עַ הִשְׁבִּ֙יעַ֙ אָבִ֣יךָ אֶת־ הָעָ֔ם
そして-答えた 人が 民の-中から そして-言った 厳しく 誓わせた あなたの-父は に 民
H6030 H0376 H4480 H0559 H7650 H7650 H0001 H0853 H5971

לֵאמֹ֑ר אָר֣וּר הָאִ֗ישׁ אֲשֶׁ֨ר יֹאכַ֤ל לֶ֙חֶם֙ הַיֹּ֔ום וַיָּעַ֖ף הָעָֽם׃
言って 呪われよ その-人 その 食べる 食物を 今日 そして-疲れた 民は
H0559 H0779 H0376 H0834 H0398 H3899 H3117 H3287 H5971

その時、民のひとりが言った、「あなたの父は、かたく民に誓わせて『きょう、食物を食べる者は、のろわれる』と言われました。それで民は疲れているのです」。

29 וַיֹּ֣אמֶר יְהֹונָתָ֗ן עָכַ֤ר אָבִי֙ אֶת־ הָאָ֔רֶץ רְאוּ־ נָ֕א כִּֽי־ אָ֥רוּ עֵינַ֖י
そして-言った ヨナタン 煩わせた 私の-父は を この-地を 見よ どうか こと 輝いた
H0559 H3129 H5916 H0853 H0776 H7200 H4994 H3588 H0215

כִּֽי־ טָעַמְתִּ֥י מְעַט֙ דְּבַ֣שׁ הַזֶּ֔ה׃
こと 味わった-からだ 少し 蜂蜜を この
H3588 H2938 H4592 H1706 H2088

ヨナタンは言った、「父は国を悩ませました。ごらんなさい。この蜜をすこしなめたばかりで、わたしの目がこんなに、はっきりしたではありませんか。

אֲשֶׁר אֹיְבָיו מִשְּׁלֶל הָעָם הַיּוֹם אָכֶל אָכֹל לוּא כִּי אַף 30
その 敵の 分捕り物の-中から 民が 今日 食べていたら 食べて もし こと まして
H0341 H7998 H3117 H0398 H0398 H3863 H0637

:בַּפְּלִשְׁתִּים מַכָּה רָבְתָה לֹא מָצָא עַתָּה כִּי
ペリシテ人への 打撃は もっと-大きかった なかった-であろうか 今 こと 見つけた
H6430 H4347 H3808 H6258 H4672

まして、民がきょう敵からぶんどった物を、じゅうぶん食べていたならば、さらに多くのペリシテびとを殺していたでしょうに」。

הָעָם וַיָּעַף אַיָּלֹנָה מִמִּכְמָשׂ בַּפְּלִשְׁתִּים הַהוּא בַּיּוֹם וַיַּכּוּ 31
民は そして-疲れた アヤロンまで ミクマスから ペリシテ人を その の-日に そして-打った
H0357 H4363 H6430 H1931 H3117 H5221

:מְאֹד
非常に
H3966

その日イスラエルびとは、ペリシテびとを撃って、ミクマシからアヤロンに及んだ。そして民は、ひじょうに疲れたので、

צֹאן וַיִּקְחוּ)הַשָּׁלָל( ]שלל[אֶל־ הָעָם)וַיַּעַט( ]ויעש[32
羊と そして-取った 分捕り物 分捕り物に に 民は そして-飛びかかった 飛びかかった
H6629 H3947 H7998 H7998 H0413 H5860

:הַדָּם עַל־ הָעָם וַיֹּאכַל אַרְצָה וַיִּשְׁחֲטוּ־ בָקָר וּבְנֵי וּבָקָר
血 の-上で 民は そして-食べた 地の-上で そして-屠った 牛の そして-子 そして-牛と
H1818 H0398 H0776 H1241 H1241 H1241

ぶんどり物に、はせかかって、羊、牛、子牛を取って、それを地の上に殺し、血のままでそれを食べた。

עַל־ לֶאֱכֹל לַיהוָה חֹטְאִים הָעָם הִנֵּה לֵאמֹר לְשָׁאוּל וַיַּגִּידוּ 33
の-上で 食べている 主に-対して 罪を-犯している 民が 見よ 言って サウルに そして-告げた
H0398 H3068 H2398 H2009 H0559 H7586 H5046

:גְּדוֹלָה אֶבֶן הַיּוֹם אֵלַי גֹּלוּ־ בְּגַדְתֶּם וַיֹּאמֶר הַדָּם
大きな 石を 今日 私の-ところに 転がして-来い 裏切ったな そして-言った 血
H0068 H3117 H0413 H1556 H0898 H0559 H1818

人々はサウルに言った、「民は血のままで食べて、主に罪を犯しています」。サウルは言った、「あなたがたはそむいている。この所へ、わたしのもとに大きな石をころがしてきなさい」。

אֵלַי הַנָּשׂוּ לָהֶם וַאֲמַרְתֶּם בָּעָם פְּצוּ שָׁאוּל וַיֹּאמֶר 34
私の-ところに 連れて-来い 彼らに そして-言え 民の-中に 散って-行け サウル そして-言った
H0413 H5066 H0559 H7586 H0559

וְלֹא־ וַאֲכַלְתֶּם בָּזֶה וּשְׁחַטְתֶּם שֵׁהוּ וְאִישׁ שׁוֹרוֹ אִישׁ
そして-ない そして-食べよ ここで そして-屠れ 自分の-羊を そして-各自 自分の-牛を 各自
H3808 H0398 H2088 H7716 H0376 H7794 H0376

אִישׁ הָעָם כָּל־ וַיַּגִּשׁוּ הַדָּם אֶל־ לֶאֱכֹל לַיהוָה תֶּחֱטְאוּ
各自 民は 全 そして-連れて-来た 血 の-上で 食べて 主に-対して 罪を-犯すな
H0376 H3605 H5066 H1818 H0413 H0398 H3068 H2398

:שָׁם וַיִּשְׁחַט־ הַלַּיְלָה בְּיָדוֹ שׁוֹרוֹ
そこで そして-屠った その-夜 手で 自分の-牛を
H8033 H3915 H3027 H7794

サウルはまた言った、「あなたがたは分れて、民の中にはいって、彼らに言いなさい、『おのおの牛または、羊を引いてきてここでほふって食べなさい。血のままで食べて、主に罪を犯してはならない』」。そこで民は皆、その夜、おのおの牛を引いてきて、それを、その所でほふった。

35 וַיִּבֶן שָׁאוּל מִזְבֵּחַ לַיהוָה הוּא הֵחֵל לִבְנוֹת מִזְבֵּחַ לַיהוָה׃
そして-建てた サウルは 祭壇を 主に それは 始めて-だった 建てること 祭壇を 主に
H1129 H7586 H4196 H3068 H0853 H2490 H1129 H4196 H3068

פ
ペー

こうしてサウルは主に一つの祭壇を築いた。これはサウルが主のために築いた最初の祭壇である。

36 וַיֹּאמֶר שָׁאוּל נֵרְדָה אַחֲרֵי פְלִשְׁתִּים לַיְלָה וְנָבְזָה בָהֶם עַד־אוֹר הַבֹּקֶר וְאַל־נַשְׁאֵר בָּהֶם אִישׁ וַיֹּאמְרוּ כָּל־
そして-言った サウル 下って-行こう の-後を ペリシテ人 夜の-うちに そして-略奪しよう 彼らを まで の-光 朝 そして-ない 残さ 一人も そして-言った 全て
H0559 H7586 H3381 H0310 H6430 H3915 H0962 H5704 H0216 H1242 H3808 H7604 H0376 H0559 H3605

אֶל־ הַלֹּם נִקְרְבָה הַכֹּהֵן וַיֹּאמֶר סְ עֲשֵׂה בְּעֵינֶיךָ הַטּוֹב
に ここで 近づこう 祭司は そして-言った セラ 行え あなたの-目に 良い-ことを
H0413 H1988 H7126 H3548 H0559 H5704 H6213 H5869 H2896

הָאֱלֹהִים׃
神
H0430

サウルは言った、「われわれは夜のうちにペリシテびとを追って下り、夜明けまで彼らをかすめて、ひとりも残らぬようにしよう」。人々は言った、「良いと思われることを、なんでもしてください」。しかし祭司は言った、「われわれは、ここで、神に尋ねましょう」。

37 וַיִּשְׁאַל שָׁאוּל בֵּאלֹהִים הַאֵרֵד אַחֲרֵי פְלִשְׁתִּים הֲתִתְּנֵם
そして-尋ねた サウルは 神に 下って-行くべきか の-後を ペリシテ人 渡して-くださいますか
H7592 H7586 H0430 H3381 H0310 H6430 H5414

בְּיַד יִשְׂרָאֵל וְלֹא עָנָהוּ בַיּוֹם הַהוּא׃
の-手に イスラエル しかし-なかった 答え の-日に その
H3027 H3478 H3808 H6030 H3117 H1931

そこでサウルは神に伺った、「わたしはペリシテびとを追って下るべきでしょうか。あなたは彼らをイスラエルの手に渡されるでしょうか」。しかし神はその日は答えられなかった。

38 וַיֹּאמֶר שָׁאוּל גְּשׁוּ הֲלֹם כָּל פִּנּוֹת הָעָם וּדְעוּ וּרְאוּ
そして-言った サウル 近づけ ここに 全ての 指導者たちよ 民の そして-知れ そして-見よ
H0559 H7586 H5066 H2008 H3605 H6438 H5971 H3045 H7200

בַּמָּה הָיְתָה הַחַטָּאת הַזֹּאת הַיּוֹם׃
何に-よって あった この-罪が この 今日
H4100 H1961 H2403 H2088 H3117

そこでサウルは言った、「民の長たちよ、みなこの所に近よりなさい。あなたがたは、よく見きわめて、きょうのこの罪が起きたわけを知らなければならない。

39 כִּי יְהוָה חַי־ הַמּוֹשִׁיעַ אֶת־ יִשְׂרָאֵל כָּי אִם־ יִשְׁנוֹ
なぜなら 主は 生きて-おられる 救う-方 を イスラエル たとえ もし それが-あっても
H3068 H2416 H3467 H0853 H3478 H3426

בְּיוֹנָתָן בְּנִי כִּי מָוֹת יָמוּת וְאֵין עֹנֶהוּ מִכָּל־ הָעָם׃
ヨナタンに 私の-息子に であっても 必ず 死ぬ しかし-なかった 答える-者は 全 民の-中に
H3129 H1121 H3588 H4191 H4191 H0369 H6030 H3605 H5971

イスラエルを救う主は生きておられる。たとい、それがわたしの子ヨナタンであっても、必ず死ななければならない」。しかし民のうちにはひとりも、これに答えるものがいなかった。

40 וַיֹּאמֶר אֶל־ כָּל־ יִשְׂרָאֵל אַתֶּם תִּהְיוּ לְעֵבֶר אֶחָד וַאֲנִי
そして-言った に 全 イスラエル あなたがたは なれ の-一方の-側に 一つ そして-私と
H0559 H0413 H3605 H3478 H0859 H1961 H5676 H0259 H0589

וְיוֹנָתָן בְּנִי נִהְיֶה לְעֵבֶר אֶחָד וַיֹּאמְרוּ הָעָם אֶל־
そして-ヨナタン 私の-息子は なる の-もう-一方の-側に 一つ そして-言った 民は に
H3129 H1121 H1961 H5676 H0259 H0559 H5971 H0413

סלה עֲשֶׂה׃ בְּעֵינֶיךָ הַטּוֹב שָׁאוּל
セラ 行え あなたの-目に 良い-ことを サウル
H5542 H6213 H5869 H2896 H7586

サウルはイスラエルのすべての人に言った、「あなたがたは向こう側にいなさい。わたしとわたしの子ヨナタンはこちら側にいましょう」。民はサウルに言った、「良いと思われることをしてください」。

41 וַיֹּאמֶר שָׁאוּל אֶל־ יְהוָה אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל הָבָה תָמִּים
そして-言った サウル に 主 神よ イスラエルの 示して-ください 真実を
H0559 H7586 H0413 H3068 H0430 H3478 H3051 H8549

וַיִּלָּכֵד יוֹנָתָן וְשָׁאוּל וְהָעָם יָצָאוּ׃
そして-くじに-当たった ヨナタンと そして-サウルが そして-民は 免れた
H3920 H3129 H7586 H5971 H3318

そこでサウルは言った、「イスラエルの神、主よ、あなたはきょう、なにゆえしもべに答えられなかったのですか。もしこの罪がわたしにあるか、またはわたしの子ヨナタンにあるのでしたら、イスラエルの神、主よ、ウリムをお与えください。しかし、もしこの罪が、あなたの民イスラエルにあるのでしたらトンミムをお与えください」。こうしてヨナタンとサウルとが、くじに当り、民はのがれた。

42 וַיֹּאמֶר שָׁאוּל הַפִּילוּ בֵינִי וּבֵין יוֹנָתָן בְּנִי
そして-言った サウル くじを-引け の-間で そして-の-間で ヨナタン 私の-息子
H0559 H7586 H5307 H0996 H0996 H3129 H1121

וַיִּלָּכֵד יוֹנָתָן׃
そして-くじに-当たった ヨナタンが
H3920 H3129

サウルは言った、「わたしか、わたしの子ヨナタンかを決めるために、くじを引きなさい」。くじはヨナタンに当った。

43 וַיֹּאמֶר שָׁאוּל אֶל־ יְהוֹנָתָן הַגִּידָה לִּי מֶה עָשִׂיתָה וַיַּגֶּד־ לוֹ
そして-言った サウル に ヨナタン 告げよ 私に 何を したのか そして-告げた 彼に
H0559 H7586 H0413 H3129 H5046 H0589 H4100 H6213 H5046 H0559

בְּיָדִי אֲשֶׁר־ הַמַּטֶּה בִּקְצֵה טָעֹמְתִּי טָעֹם בִּדְבַשׁ מְעַט
私の-手に-ある その 杖の の-先で 味わった 確かに 蜂蜜を 少し
H3027 H0834 H4294 H7097 H2938 H2938 H1706 H4592

וַיֹּאמֶר יוֹנָתָן הִנְנִי אָמוּת׃
そして-言った ヨナタン 見よ-私は 死ぬ
H0559 H3129 H2009 H4191

サウルはヨナタンに言った、「あなたがしたことを、わたしに言いなさい」。ヨナタンは言った、「わたしは確かに手にあったつえの先に少しばかりの蜜をつけて、なめました。わたしはここにいます。死は覚悟しています」。

44 וַיֹּאמֶר שָׁאוּל וְכֹה־יַעֲשֶׂה אֱלֹהִים וְכֹה יוֹסִף כִּי־מוֹת תָּמוּת יוֹנָתָן׃
そして-言った サウル こう なさるように 神が そして-こう 加えるように なぜなら 必ず ヨナタンよ 死ぬ
H0559 H7586 H3541 H6213 H0430 H3541 H3254 H4191 H3129 H4191

サウルは言った、「神がわたしをいくえにも罰してくださるように。ヨナタンよ、あなたは必ず死ななければならない」。

45 וַיֹּאמֶר הָעָם אֶל־שָׁאוּל הַיוֹנָתָן וְהוּא יָמוּת אֲשֶׁר עָשָׂה הַיְשׁוּעָה הַזֹּאת בְּיִשְׂרָאֵל חָלִילָה חַי־יְהוָה אִם־יִפֹּל שַׂעֲרַת מֵרֹאשׁוֹ אַרְצָה כִּי־עִם־אֱלֹהִים עָשָׂה הַיּוֹם הַזֶּה וַיִּפְדּוּ הָעָם אֶת־יוֹנָתָן וְלֹא־מֵת׃ ס
そして-言った 民は に サウル ヨナタンが その 死ぬのか この-救いを 成し遂げた 民は 大きな この イスラエルに 決して-そうはならない 生きておられる 主は ない 落ちること から 彼の-頭の-髪の-毛が 地に なぜなら と-共に 神 行った の-日に この セラ 死ぬことは そして-なかった ヨナタンを を 民は そして-救い出した
H0559 H0413 H7586 H3129 H4191 H3444 H6213 H1419 H3068 H2486 H3478 H2063 H1419 H8185 H0776 H3588 H6213 H5973 H0430 H3117 H2088 H4191 H3808 H3129 H0853 H6299

その時、民はサウルに言った、「イスラエルのうちにこの大いなる勝利をもたらしたヨナタンが死ななければならないのですか。決してそうではありません。主は生きておられます。ヨナタンの髪の毛一すじも地に落してはなりません。彼は神と共にきょう働いたのです」。こうして民はヨナタンを救ったので彼は死を免れた。

46 וְשָׁאוּל עָלָה מֵאַחֲרֵי פְלִשְׁתִּים וּפְלִשְׁתִּים הָלְכוּ לִמְקוֹמָם׃
そして-サウルは 上った 追うことから ペリシテ人を ペリシテ人は そして-行った 自分の-場所へ
H5927 H7586 H310 H6430 H6430 H1980 H4725

サウルはペリシテびとを追うことをやめて引きあげ、ペリシテびとはその国へ帰った。

47 וְשָׁאוּל לָכַד הַמְלוּכָה עַל־יִשְׂרָאֵל וַיִּלָּחֶם סָבִיב בְּכָל־אֹיְבָיו בְּמוֹאָב וּבִבְנֵי־עַמּוֹן וּבֶאֱדוֹם וּבְמַלְכֵי צוֹבָה וּבַפְּלִשְׁתִּים וּבְכֹל אֲשֶׁר־יִפְנֶה יַרְשִׁיעַ׃
そして-サウルは 確立した 王権を の-上に イスラエル そして-戦った 周囲の 全 敵に-対して モアブと アンモン そして-アンモンの-子らと そして-エドムと そして-ツォバの-王たちと そして-ペリシテ人と そして-全ての その 向かう-ところ 勝利した
H7586 H3920 H4410 H5921 H3478 H3898 H5439 H3605 H341 H4124 H5983 H1121 H123 H4428 H6430 H3605 H834 H6437 H7561

サウルはイスラエルの王となって、周囲のもろもろの敵、すなわちモアブ、アンモンの人々、エドム、ゾバの王たちおよびペリシテびとと戦い、すべて向かう所で勝利を得た。

48 וַיַּעַשׂ חַיִל וַיַּךְ אֶת־עֲמָלֵק וַיַּצֵּל אֶת־יִשְׂרָאֵל מִיַּד שֹׁסֵהוּ׃ ס
そして-力を-示し そして-打った 勇敢に を アマレクを そして-救い出した を イスラエルを の-手から 略奪する-者の セラ
H6213 H5221 H2428 H853 H6002 H5337 H853 H3478 H3027 H8154

サウルは勇ましく働き、アマレクびとを撃って、イスラエルびとを略奪者の手から救い出した。

49 וַיְהִיוּ בְּנֵי שָׁאוּל יוֹנָתָן וְיִשְׁוִי וּמַלְכִּי־שׁוּעַ
そして-であった 息子たちは サウルの ヨナタンと そして-イシュビと そして-マルキ・シュア
H1961 H7586 H3129 H3440 H4444

וְשֵׁם שְׁתֵּי בְנֹתָיו הַבְּכִירָה שֵׁם מֵרַב וְשֵׁם הַקְּטַנָּה מִיכַל׃
そして-名は 二人の 彼の-娘たち 名は 長女の メラブ そして-名は 次女の ミカル
H8034 H8147 H1323 H8034 H1067 H4764 H8034 H4324

さて、サウルのむすこたちはヨナタン、エスイ、およびマルキシュアである。ふたりの娘の名は次のとおりである。すなわち姉の名はメラブ、妹の名はミカルである。

50 וְשֵׁם אֵשֶׁת שָׁאוּל אֲחִינֹעַם בַּת־אֲחִימָעַץ וְשֵׁם שַׂר־צְבָאוֹ
そして-名は の-妻 サウル アヒノアム の-娘 アヒマアツ そして-名は の-長 彼の-軍の
H8034 H0802 H7586 H0293 H1323 H0290 H8034 H8269 H1730

אַבְנֵר בֶּן־דּוֹד שָׁאוּל׃
アブネル の-息子 おじ サウルの
H0074 H1730 H5369 H7586

サウルの妻の名はアヒノアムといい、アヒマアズの娘である。また軍の長の名はアブネルといい、サウルのおじネルの子である。

51 וְקִישׁ אֲבִי־שָׁאוּל וְנֵר אֲבִי־אַבְנֵר בֶּן־אֲבִיאֵל׃ ס
そして-キシュ の-父 サウル そして-ネル の-父 アブネル の-息子 アビエル セラ
H7027 H0001 H7586 H5369 H0001 H0074 H1730 H0022

サウルの父キシとアブネルの父ネルとは、アビエルの子である。

52 וַתְּהִי הַמִּלְחָמָה חָזָקָה עַל־פְּלִשְׁתִּים כֹּל יְמֵי שָׁאוּל
そして-あった 戦いは 激しい に-対して ペリシテ人 全ての 日々 サウルの
H1961 H4421 H2389 H5921 H6430 H3605 H3117 H7586

וְכָל־אִישׁ גִּבּוֹר וְכָל־בֶּן־חַיִל וְרָאָה שָׁאוּל כָּל־אִישׁ וְכָל־בֶּן־חַיִל
そして-全ての 勇士の そして-全ての の-息子の 力ある そして-見つけると サウルは 全ての 人で 勇士の
H3605 H1368 H3605 H1121 H2428 H7200 H7586 H3605 H0376 H1368

וַיַּאַסְפֵהוּ אֵלָיו׃ ס
そして-集めた 自分の-もとに セラ
H0622 H0413

サウルの一生の間、ペリシテびとと激しい戦いがあった。サウルは力の強い人や勇気のある人を見るごとに、それを召しかかえた。

Chapter 15

1 וַיֹּאמֶר שְׁמוּאֵל אֶל־שָׁאוּל אֹתִי שָׁלַח יְהוָה לִמְשָׁחֲךָ לְמֶלֶךְ
そして-言った サムエル に サウル 私を 遣わした 主は あなたを-油注ぐ-ために 王と-して
H0559 H8050 H0413 H7586 H0853 H7971 H3068 H4886 H4428

עַל־עַמּוֹ עַל־יִשְׂרָאֵל וְעַתָּה שְׁמַע לְקוֹל דִּבְרֵי יְהוָה׃ ס
の-上に ご自分の-民 の-上に イスラエル そして-今 聞け の-声に 言葉の 主の セラ
H5921 H5971 H5921 H3478 H6258 H8085 H6963 H1697 H3068

さて、サムエルはサウルに言った、「主は、わたしをつかわし、あなたに油をそそいで、その民イスラエルの王とされました。それゆえ、今、主の言葉を聞きなさい。

2 כֹּה אָמַר יְהוָה צְבָאוֹת פָּקַדְתִּי אֵת אֲשֶׁר־עָשָׂה עֲמָלֵק לְיִשְׂרָאֵל
こう 言った 主は 万軍の 罰する を その した-ことを アマレクが イスラエルに
H3541 H0559 H3068 H6485 H0853 H0834 H6002 H3478

אֲשֶׁר־שָׂם לוֹ בַּדָּרֶךְ בַּעֲלֹתוֹ מִמִּצְרָיִם׃
その 置いた 彼に 道に 上って-来た-とき エジプトから
H0834 H7760 H0376 H1870 H5927 H4714

万軍の主は、こう仰せられる、『わたしは、アマレクがイスラエルにした事、すなわちイスラエルがエジプトから上ってきた時、その途中で敵対したことについて彼らを罰するであろう。

3 עַתָּה לֵךְ וְהִכִּיתָ אֶת־עֲמָלֵק וְהַחֲרַמְתֶּם אֶת־כָּל־אֲשֶׁר־לוֹ
今 行け そして-打て を アマレクを そして-滅ぼせ を 全 その 彼の
H6258 H3212 H5221 H0853 H6002 H2763 H0853 H3605 H0834 H0376

וְלֹא תַחְמֹל עָלָיו וְהֲמַתָּה מֵאִישׁ עַד־מֵאִשָּׁה מֵעֹלֵל עַד־וְעַד־יוֹנֵק
そして-ない 惜しむな 彼を そして-殺せ 男から まで 女まで 子供から まで そして-まで
H3808 H2550 H0853 H4191 H0376 H5704 H0802 H5768 H5704

מִשּׁוֹר עַד־וְעַד־שֶׂה מִגָּמָל עַד־וְעַד־חֲמוֹר׃ ס
牛から そして-まで 羊まで 駱駝から そして-まで ろばまで セラ
H7794 H5704 H7716 H1581 H5704 H2543

今、行ってアマレクを撃ち、そのすべての持ち物を滅ぼしつくせ。彼らをゆるすな。男も女も、幼な子も乳飲み子も、牛も羊も、らくだも、ろばも皆、殺せ』」。

4 וַיִּשְׁמַע שָׁאוּל וַיְפָקְדֵם בַּטְּלָאִים מָאתַיִם אֶלֶף רַגְלִי וַעֲשֶׂרֶת אַלְפֵים אִישׁ יְהוּדָה׃
そして-召集した サウルは を 民を そして-数えた テライムで 二十万の 千 歩兵と そして-一万の 人 の 千 ユダの
H8085 H7586 H0853 H5971 H2923 H3967 H0505 H7273 H6235 H0376 H0854 H0505 H3063

サウルは民を呼び集め、テライムで人数を調べたところ、歩兵は二十万、ユダの人は一万であった。

5 וַיָּבֹא שָׁאוּל וַיֶּאֱרֹב בַּנָּחַל׃ עַד־עִיר עֲמָלֵק
そして-来た サウルは まで 町に アマレクの そして-待ち伏せた 谷に
H0935 H7586 H5704 H5892 H6002 H7378

そしてサウルはアマレクの町へ行って、谷に兵を伏せた。

6 וַיֹּאמֶר שָׁאוּל אֶל־הַקֵּינִי לְכוּ סֻרוּ רְדוּ מִתּוֹךְ עֲמָלֵקִי
そして-言った サウル に ケニ人に 行け 退け 下れ の-中から アマレク人
H0559 H7586 H0413 H7017 H3212 H5493 H3381 H8432 H6003

פֶּן־אֶסְפְּךָ עִמּוֹ וְאַתָּה עָשִׂיתָ חֶסֶד עִם־כָּל־בְּנֵי יִשְׂרָאֵל בַּעֲלֹתָם מִמִּצְרָיִם׃ וַיָּסַר קֵינִי מִתּוֹךְ עֲמָלֵק׃
しない-ように 滅ぼす-ことが 彼らと-一緒に そして-あなたは 示した 慵しみを 全ての と イスラエルの 子らに 上って-来た-とき エジプトから そして-退いた ケニ人は の-中から アマレク
H6435 H0622 H5973 H6213 H2617 H3605 H5973 H3478 H1121 H5927 H4714 H5493 H7017 H8432 H6002

サウルはケニびとに言った、「さあ、あなたがたはアマレクびとを離れて、下っていってください。彼らと一緒にあなたがたを滅ぼすようなことがあってはならない。あなたがたは、イスラエルの人々がエジプトから上ってきた時、親切にしてくれたのですから」。そこでケニびとはアマレクびとを離れて行った。

7 וַיַּךְ שָׁאוּל אֶת־עֲמָלֵק מֵחֲוִילָה בּוֹאֲךָ שׁוּר אֲשֶׁר עַל־פְּנֵי מִצְרָיִם׃

וַיַּךְ	שָׁאוּל	אֶת־	עֲמָלֵק	מֵחֲוִילָה	בּוֹאֲךָ	שׁוּר	אֲשֶׁר	עַל־
そして-打った	サウルは	を	アマレクを	ハビラから	へ-至るまで	シュル	その	の-前の
H5221	H7586	H0853	H6002	H2341	H0935	H7793		

פְּנֵי	מִצְרָיִם׃
面	エジプト
H6440	H4714

サウルはアマレクびとを撃って、ハビラからエジプトの東にあるシュルにまで及んだ。

8 וַיִּתְפֹּשׂ אֶת־אֲגַג מֶלֶךְ־עֲמָלֵק חַי וְאֶת־כָּל־הָעָם הֶחֱרִים

וַיִּתְפֹּשׂ	אֶת־	אֲגַג	מֶלֶךְ־	עֲמָלֵק	חַי	וְאֶת־	כָּל־	הָעָם	הֶחֱרִים
そして-捕らえた	を	アガグを	の-王	アマレク	生きたまま	そして	全ての	民を	滅ぼした
H8610	H0853	H0090	H4428	H6002		H0853	H3605		

לְפִי־	חָרֶב׃
刃で	剣の
H6310	H2719

そしてアマレクびとの王アガグをいけどり、つるぎをもってその民をことごとく滅ぼした。

9 וַיַּחְמֹל שָׁאוּל וְהָעָם עַל־אֲגַג וְעַל־מֵיטַב הַצֹּאן וְהַבָּקָר

וַיַּחְמֹל	שָׁאוּל	וְהָעָם	עַל־	אֲגַג	וְעַל־	מֵיטַב	הַצֹּאן	וְהַבָּקָר
そして-惜しんだ	サウルと	そして-民は	に	アガグ	そして	最良の	羊と	そして-牛と
H2550	H7586			H0090		H4315	H6629	H1241

וְהַמִּשְׁנִים	וְעַל־	הַכָּרִים	וְעַל־	כָּל־	הַטּוֹב	וְלֹא	אָבוּ
そして-太った-ものと	そして	子羊と	そして	全ての	良い-ものを	そして-なかった	愾んじ
H4932				H3605		H3808	H0014

הַהַרְיָמָם	וְכָל־	הַמְּלָאכָה	נִמְבְּזָה	וְנָמֵס	אֹתָהּ	הֶחֱרִימוּ׃	פ
滅ぼす-ことを	そして-全ての	物で	卓しい	そして-価値の-ない	それを	滅ぼした	ペー
	H3605	H4399	H5240	H4549	H0853		

しかしサウルと民はアガグをゆるし、また羊と牛の最も良いもの、肥えたものならびに小羊と、すべての良いものを残し、それらを滅ぼし尽すことを好まず、ただ値うちのない、つまらない物を滅ぼし尽した。

10 וַיְהִי דְבַר־יְהוָה אֶל־שְׁמוּאֵל לֵאמֹר׃

וַיְהִי	דְבַר־	יְהוָה	אֶל־	שְׁמוּאֵל	לֵאמֹר׃
そして-あった	の-言葉が	主	に	サムエルに	言って
H1961	H1697	H3068	H0413	H8050	H0559

その時、主の言葉がサムエルに臨んだ、

11 נִחַמְתִּי כִּי־הִמְלַכְתִּי אֶת־שָׁאוּל לְמֶלֶךְ כִּי־שָׁב מֵאַחֲרַי וְאֶת־

נִחַמְתִּי	כִּי־	הִמְלַכְתִּי	אֶת־	שָׁאוּל	לְמֶלֶךְ	כִּי־	שָׁב	מֵאַחֲרַי	וְאֶת־
悲しむ	こと	王と-した	を	サウルを	王と-して	なぜなら	背いた	私から	そして
H5162			H0853	H7586	H4428		H7725		H0853

כָּל־	יְהוָה	אֶל־	וַיִּזְעַק	לִשְׁמוּאֵל	וַיִּחַר	הֻקַּם	לֹא	דְבָרָי
全	主に	に	そして-叫んだ	サムエルは	そして-怒った	成就し	なかった	私の-言葉を
H3605	H3068	H0413	H2199	H8050	H2734		H3808	H1697

הַלָּיְלָה׃
その-夜
H3915

「わたしはサウルを王としたことを悔いる。彼がそむいて、わたしに従わず、わたしの言葉を行わなかったからである」。サムエルは怒って、夜通し、主に呼ばわった。

12

לֵאמֹר	לִשְׁמוּאֵל	וַיֻּגַּד	בַּבֹּקֶר	שָׁאוּל	לִקְרַאת	שְׁמוּאֵל	וַיַּשְׁכֵּם	
言って	サムエルに	そして-告げられた	朝に	サウルを	迎えに	サムエルは	そして-早く-起きた	
H0559	H8050	H5046	H1242	H7586	H7122	H8050	H7925	

וַיִּסֹּב	יָד	לוֹ	מַצִּיב	וְהִנֵּה	הַכַּרְמֶלָה	שָׁאוּל	בָּא־	
そして-向きを-変えて	記念碑を	自分の-ために	建てている	そして-見よ	カルメルに	サウルは	来た	
H5437	H3027		H5324	H2009	H3760	H7586	H0935	

הַגִּלְגָּל׃	וַיֵּרֶד	וַיַּעֲבֹר
ギルガルに	そして-下った	そして-通り-過ぎて
H1537	H3381	

そして朝サウルに会うため、早く起きたが、サムエルに告げる人があった、「サウルはカルメルにきて、自分のために戦勝記念碑を建て、身をかえして進み、ギルガルへ下って行きました」。

13

לַיהוָה	אַתָּה	בָּרוּךְ	שָׁאוּל	לוֹ	וַיֹּאמֶר	שָׁאוּל	אֶל־	שְׁמוּאֵל	וַיָּבֹא
主の	あなたに	祝福あれ	サウル	彼に	そして-言った	サウル	に	サムエル	そして-来た
H3068		H1288	H7586		H0559	H7586	H0413	H8050	H0935

יְהוָה׃	דְּבַר	אֶת־	הֲקִימֹתִי
主の	言葉を	を	成就した
H3068	H1697	H0853	

サムエルがサウルのもとへ来ると、サウルは彼に言った、「どうぞ、主があなたを祝福されますように。わたしは主の言葉を実行しました」。

14

הַבָּקָר	וְקוֹל	בְּאָזְנָי	הַזֶּה	הַצֹּאן	קוֹל־	וּמֶה	שְׁמוּאֵל	וַיֹּאמֶר	
牛の	そして-声は	私の-耳に	この	羊の	の-声は	それでは-何か	サムエル	そして-言った	
H1241		H0241	H2088	H6629		H4100	H8050	H0559	

שֹׁמֵעַ׃	אָנֹכִי	אֲשֶׁר
聞いている	私が	その
H8085	H0595	

サムエルは言った、「それならば、わたしの耳にはいる、この羊の声と、わたしの聞く牛の声は、いったい、なんですか」。

15

מֵיטַב	עַל־	הָעָם	חָמַל	אֲשֶׁר	הֱבִיאוּם	מֵעֲמָלֵקִי	שָׁאוּל	וַיֹּאמֶר	
最良の	に	民が	惜しんだ	その	持って-来た	アマレク人から	サウル	そして-言った	
H4315			H2550		H0935	H6003	H7586	H0559	

ס	הֶחֱרַמְנוּ׃	הַיּוֹתֵר	וְאֶת־	אֱלֹהֶיךָ	לַיהוָה	זְבֹחַ	לְמַעַן	וְהַבָּקָר	הַצֹּאן
セラ	滅ぼした	残りは	そして	あなたの-神に	主に	ささげる	ために	そして-牛を	羊と
		H3498	H0853	H0430	H3068	H2076	H4616	H1241	H6629

サウルは言った、「人々がアマレクびとの所から引いてきたのです。民は、あなたの神、主にささげるために、羊と牛の最も良いものを残したのです。そのほかは、われわれが滅ぼし尽しました」。

16

דִּבָּר	אֲשֶׁר	אֵת	לְךָ	וְאַגִּידָה	הֶרֶף	שָׁאוּל	אֶל־	שְׁמוּאֵל	וַיֹּאמֶר
語った	その	を	あなたに	そして-告げる	やめよ	サウル	に	サムエル	そして-言った
H1696		H0853		H5046	H7503	H7586	H0413	H8050	H0559

ס	דַּבֵּר׃	לוֹ	וַיֹּאמֶר)	ויאמרו]	הַלָּיְלָה	אֵלַי	יְהוָה
セラ	話せ	彼に	そして-言った	言った	昨夜	私に	主が
	H1696		H0559	H0559	H3915	H0413	H3068

サムエルはサウルに言った、「おやめなさい。昨夜、主がわたしに言われたことを、あなたに告げましょう」。サウルは彼に言った、「言ってください」。

17 וַיֹּאמֶר שְׁמוּאֵל הֲלוֹא אִם־ קָטֹן אַתָּה בְּעֵינֶיךָ רֹאשׁ שִׁבְטֵי
そして–言った サムエル のでは–ないか もし 小さい あなたが 自分の–目に 頭 部族の
H0559 H8050 H3808 H0518 H0859 H7218 H7626

יִשְׂרָאֵל׃ עַל־ לְמֶלֶךְ יְהוָה וַיִּמְשָׁחֲךָ אָתָּה יִשְׂרָאֵל
イスラエル の–上に 王と–して 主が そして–油注いだ あなたは イスラエルの
H3478 H5921 H4428 H3068 H4886 H0859 H3478

サムエルは言った、「たとい、自分では小さいと思っても、あなたはイスラエルの諸部族の長ではありませんか。主はあなたに油を注いでイスラエルの王とされた。

18 וַיִּשְׁלָחֲךָ יְהוָה בְּדֶרֶךְ וַיֹּאמֶר לֵךְ וְהַחֲרַמְתָּה אֶת־ הַחַטָּאִים אֶת־
そして–遣わした 主が 道に そして–言った 行け そして–滅ぼせ を 罪人を を
H7971 H3068 H1870 H0559 H3212 H2763 H0853 H2400 H0853

אֹתָם׃ כַּלּוֹתָם עַד בּוֹ וְנִלְחַמְתָּ עֲמָלֵק
彼らを 滅ぼす–まで まで 彼に–対して そして–戦え アマレクを
H0853 H3615 H5704 H0413 H3898 H6002

そして主はあなたに使命を授け、つかわして言われた、『行って、罪びとなるアマレクびとを滅ぼし尽せ。彼らを皆殺しにするまで戦え』。

19 וְלָמָּה לֹא־ שָׁמַעְתָּ בְּקוֹל יְהוָה וַתַּעַט אֶל־ הַשָּׁלָל
そして–なぜ なかった 聞か の–声に 主の そして–飛びかかった に 分捕り物に
H4100 H3808 H8085 H6963 H3068 H6584 H0413 H7998

וַתַּעַשׂ בְּעֵינֵי יְהוָה׃ סֶלָה הָרַע
そして–行った 悪い–ことを の–目に 主の セラ
H6213 H7451 H5869 H3068 H5542

それであるのに、どうしてあなたは主の声に聞き従わないで、ぶんどり物にとびかかり、主の目の前に悪をおこなったのですか」。

20 וַיֹּאמֶר שָׁאוּל אֶל־ שְׁמוּאֵל אֲשֶׁר שָׁמַעְתִּי בְּקוֹל יְהוָה וָאֵלֵךְ בַּדֶּרֶךְ
そして–言った サウル に サムエル こと 聞いた の–声に 主の そして–行った 道に
H0559 H7586 H0413 H8050 H0834 H8085 H6963 H3068 H3212 H1870

אֲשֶׁר־ שְׁלָחַנִי יְהוָה וָאָבִיא אֶת־ אַגַג מֶלֶךְ עֲמָלֵק וְאֶת־ עֲמָלֵק
その 遣わした 主が そして–連れて–来た を アガグを 王 アマレクの そして アマレクを
H0834 H7971 H3068 H0935 H0853 H0090 H4428 H6002 H0853 H6002

הֶחֱרַמְתִּי׃
滅ぼした
H2763

サウルはサムエルに言った、「わたしは主の声に聞き従い、主がつかわされた使命を帯びて行き、アマレクの王アガグを連れてきて、アマレクびとを滅ぼし尽しました。

21 וַיִּקַּח הָעָם מִן־ הַשָּׁלָל צֹאן וּבָקָר רֵאשִׁית הַחֵרֶם
そして–取った 民が 分捕り物の–中から 羊と そして–牛と 最上の 奇進の–物の
H3947 H5971 H4480 H7998 H6629 H1241 H7225 H2764

לַיהוָה אֱלֹהֶיךָ בַּגִּלְגָּל׃ לְזָבֵחַ
主に あなたの–神に ギルガルで ささげる–ために
H3068 H0430 H1537 H2076

しかし民は滅ぼし尽すべきもののうち最も良いものを、ギルガルで、あなたの神、主にささげるため、ぶんどり物のうちから羊と牛を取りました」。

22 וַיֹּאמֶר שְׁמוּאֵל הַחֵפֶץ לַיהוָה בְּעֹלוֹת וּזְבָחִים כִּשְׁמֹעַ
そして-言った サムエル 喜ぶのか 主は 全焼の-ささげ物や そして-いけにえを 聞く-ことほどに
H0559 H8050 H2656 H3068 H5930 H2077 H8085

בְּקוֹל יְהוָה הִנֵּה שְׁמֹעַ מִזֶּבַח טוֹב לְהַקְשִׁיב מֵחֵלֶב אֵילִים׃
の-声に 主の 見よ 聞く-ことは より-いい 良い 耳を-傾ける-ことは より-いい 脂肪
H0559 H3068 H2009 H8085 H2077 H2896 H7181 H2459 H0352

サムエルは言った、「主はそのみ言葉に聞き従う事を喜ばれるように、燔祭や犠牲を喜ばれるであろうか。見よ、従うことは犠牲にまさり、聞くことは雄羊の脂肪にまさる。

23 כִּי חַטַּאת קֶסֶם מֶרִי וְאָוֶן וּתְרָפִים הַפְצַר יַעַן מָאַסְתָּ אֶת
なぜなら の-罪は 占いの 反逆は そして-不法は そして-偶像の 強情は ゆえに 退けた を
H0559 H2403 H7081 H4805 H0205 H8655 H6485 H3282 H3988 H0853

דְּבַר יְהוָה וַיִּמְאָסְךָ מִמֶּלֶךְ׃ ס
言葉を 主の そして-退けた 王から セラ
H1697 H3068 H3988 H4428

そむくことは占いの罪に等しく、強情は偶像礼拝の罪に等しいからである。あなたが主のことばを捨てたので、主もまたあなたを捨てて、王の位から退けられた」。

24 וַיֹּאמֶר שָׁאוּל אֶל שְׁמוּאֵל חָטָאתִי כִּי עָבַרְתִּי אֶת פִּי יְהוָה
そして-言った サウル に サムエル 罪を-犯した なぜなら 背いた を 口を 主の
H0559 H7586 H0413 H8050 H2398 H3588 H5674 H0853 H6310 H3068

וְאֶת דְּבָרֶיךָ כִּי יָרֵאתִי אֶת הָעָם וָאֶשְׁמַע בְּקוֹלָם׃
そして 言葉を あなたの-言葉を なぜなら 恐れた を 民を そして-聞いた 彼らの-声に
H0853 H1697 H3588 H3372 H0853 H5971 H8085 H6963

サウルはサムエルに言った、「わたしは主の命令とあなたの言葉にそむいて罪を犯しました。民を恐れて、その声に聞き従ったからです。

25 וְעַתָּה שָׂא נָא אֶת חַטָּאתִי וְשׁוּב עִמִּי
そして-今 赦して-ください どうか を 私の-罪を そして-戻って-ください 私と-共に
H6258 H5375 H4994 H0853 H2403 H7725 H5973

וְאֶשְׁתַּחֲוֶה לַיהוָה׃
そして-礼拝します 主に
H7812 H3068

どうぞ、今わたしの罪をゆるし、わたしと一緒に帰って、主を拝ませてください」。

26 וַיֹּאמֶר שְׁמוּאֵל אֶל שָׁאוּל לֹא אָשׁוּב עִמָּךְ כִּי מָאַסְתָּ אֶת
そして-言った サムエル に サウル ない 戻ら あなたと-共に なぜなら 退けた を
H0559 H8050 H0413 H7586 H3808 H7725 H5973 H3588 H3988 H0853

דְּבַר יְהוָה וַיִּמְאָסְךָ יְהוָה מִהְיוֹת מֶלֶךְ עַל יִשְׂרָאֵל׃ ס
言葉を 主の 主が そして-退けた である-ことから 王 の-上に イスラエル セラ
H1697 H3068 H3068 H3988 H1961 H4428 H5921 H3478

サムエルはサウルに言った、「あなたと一緒に帰りません。あなたが主の言葉を捨てたので、主もあなたを捨てて、イスラエルの王位から退けられたからです」。

27 וַיִּסֹּב שְׁמוּאֵל לָלֶכֶת וַיַּחֲזֵק בִּכְנַף מְעִילוֹ וַיִּקָּרַע׃
そして-向いた サムエル 去ろうと そして-つかんだ の-裾を 彼の-上着の そして-裂けた
H5437 H3212 H2388 H3671 H4598 H7167

こうしてサムエルが去ろうとして身をかえした時、サウルがサムエルの上着のすそを捕えたので、それは裂けた。

28 וַיֹּ֤אמֶר שְׁמוּאֵל֙ אֵלָ֔יו וַיֹּ֥אמֶר קָרַ֛ע יְהוָ֥ה אֶת־מַמְלְכ֥וּת יִשְׂרָאֵ֖ל מֵעָלֶ֣יךָ
そして-言った サムエル 彼に 引き-裂いた 主は を 王国を イスラエルの あなたから
H0559 H8050 H0413 H7167 H3068 H0853 H4468 H3478

וְנָתָ֣הּ לְרֵעֲךָ֔ הַטּ֖וֹב מִמֶּֽךָּ׃
そして-与えた あなたの-隣人に 良い あなたより
H5414 H7453 H3117

サムエルは彼に言った、「主はきょう、あなたからイスラエルの王国を裂き、もっと良いあなたの隣人に与えられた。

29 וְגַ֣ם נֵצַ֣ח יִשְׂרָאֵ֔ל לֹ֥א יְשַׁקֶּ֖ר וְלֹ֣א יִנָּחֵ֑ם
そして-また 栄光は イスラエルの ない 偽りは-しない そして-ない 悔いは-しない
H1571 H5331 H3478 H3808 H8266 H3808 H5162

כִּ֥י לֹא־אָדָ֖ם הֽוּא׃ לְהִנָּחֵֽם׃
なぜなら 人間では あの-方は 悔いる-かたでは
H3808 H0120 H1931 H5162

またイスラエルの栄光は偽ることもなく、悔いることもない。彼は人ではないから悔いることはない」。

30 וַיֹּ֗אמֶר חָטָ֙אתִי֙ עַתָּ֔ה כַּבְּדֵ֥נִי נָ֛א נֶ֥גֶד זִקְנֵ֖י עַמִּ֑י
そして-言った 罪を-犯した 今 尊んで-ください どうか の-前で 長老たちの 私の-民の
H0559 H2398 H6258 H3513 H4994 H5048 H2205 H5971

וְהִשְׁתַּחֲוִיתִי֙ לַיהוָ֣ה אֱלֹהֶ֔יךָ וְשׁ֥וּב עִמִּ֖י וְאֶשְׁתַּחֲוֶ֥ה לַיהוָֽה׃
そして-礼拝します 主に あなたの-神に そして-戻って-ください 私と-共に そして-礼拝します 主に
H7812 H3068 H0430 H7725 H5973 H7812 H3068

サウルは言った、「わたしは罪を犯しましたが、どうぞ、民の長老たち、およびイスラエルの前で、わたしを尊び、わたしと一緒に帰って、あなたの神、主を拝ませてください」。

31 וַיָּ֥שָׁב שְׁמוּאֵ֖ל אַחֲרֵ֣י שָׁא֑וּל וַיִּשְׁתַּ֥חוּ שָׁא֖וּל לַיהוָֽה׃ ס
そして-戻った サムエル の-後に サウル そして-礼拝した サウルは 主に セラ
H7725 H8050 H0310 H7586 H7812 H7586 H3068

そこでサムエルはサウルのあとについて帰った。そしてサウルは主を拝んだ。

32 וַיֹּ֣אמֶר שְׁמוּאֵ֗ל הַגִּ֤ישׁוּ אֵלַי֙ אֶת־אֲגַ֣ג מֶֽלֶךְ־עֲמָלֵ֔ק
そして-言った サムエル 連れて-来い 私の-ところに を アガグを 王 アマレクの
H0559 H8050 H5066 H0413 H0853 H0090 H4428 H6002

וַיֹּ֣אמֶר אָכֵן֙ סָ֣ר מַר־מָ֔וֶת וַיֵּ֥לֶךְ אֲגַ֖ג אֵלָ֑יו וַיֹּ֣אמֶר אֲגַ֔ג אַ֖ךְ
そして-来た アガグは 彼の-ところに おずおず アガグ そして-言った 確かに 去った 苦しみは
H3212 H0090 H4574 H0559 H0090 H0403 H5493 H4751

הַמָּֽוֶת׃ ס
死の セラ
H4194

時にサムエルは言った、「わたしの所にアマレクびとの王アガグを引いてきなさい」。アガグはうれしそうにサムエルの所にきた。アガグは「死の苦しみはきっと過ぎ去ったのだ」と思った。

33 וַיֹּ֣אמֶר שְׁמוּאֵ֗ל כַּאֲשֶׁ֤ר שִׁכְּלָה֙ נָשִׁ֣ים חַרְבֶּ֔ךָ כֵּ֚ן תִּשְׁכַּ֣ל מִנָּשִׁ֔ים אִמֶּ֑ךָ וַיְשַׁסֵּ֤ף שְׁמוּאֵל֙ אֶת־אֲגַ֔ג לִפְנֵ֥י יְהוָ֖ה בַּגִּלְגָּ֑ל ס׃

そして-言った サムエル ちょうど 子を-失わせた 女たちから お前の-剣が そのように 子を-失う
H8050 H0559 H0802 H2719

女たちの-中で お前の-母も そして-切り-裂いた サムエルは を アガグを の-前で 主の
H0802 H0517 H8158 H8050 H0853 H0090 H6440 H3068

ギルガルで セラ
H1537

サムエルは言った、「あなたのつるぎは多くの女に子供を失わせた。そのようにあなたの母も女のうちで最も無惨に子供を失う者となるであろう」。サムエルはギルガルで主の前に、アガグを寸断した。

34 וַיֵּ֣לֶךְ שְׁמוּאֵ֔ל הָרָמָ֖תָה וְשָׁא֣וּל עָלָ֑ה בֵּיתָ֖ו גִּבְעַ֥ת שָׁאֽוּל׃

そして-行った サムエルは ラマへ そして-サウルは 上った に 自分の-家へ ギブアへ
H3212 H8050 H7414 H7586 H5927 H0413 H1390

サウルの
H7586

そしてサムエルはラマに行き、サウルは故郷のギベアに上って、その家に帰った。

35 וְלֹא־יָסַ֣ף שְׁמוּאֵ֗ל לִרְאֹ֤ות אֶת־שָׁאוּל֙ עַד־יֹ֣ום מֹותֹ֔ו כִּ֣י הִתְאַבֵּ֔ל אֶל־שָׁא֖וּל וַיהוָ֣ה נִחָ֑ם עַל־הַמְלִ֖יךְ אֶת־שָׁא֥וּל עַל־יִשְׂרָאֵֽל׃ פ

そして-なかった 加えて サムエルは 見る-ことを サウルを まで の-日 彼の-死の
H3808 H3254 H8050 H7200 H7586 H5704 H3117 H4194

なぜなら 嘆いていた サムエルは に-ついて サウル そして-主は 悔いていた こと 王と-した
H0056 H8050 H0413 H7586 H3068 H5162 H3068 H4428

ペー の-上に イスラエル を サウルを の-上に
H3478 H7586 H0853

サムエルは死ぬ日まで、二度とサウルを見なかった。しかしサムエルはサウルのために悲しんだ。また主はサウルをイスラエルの王としたことを悔いられた。

Chapter 16

1 וַיֹּ֤אמֶר יְהוָה֙ אֶל־שְׁמוּאֵ֔ל עַד־מָתַ֥י אַתָּ֖ה מִתְאַבֵּ֣ל אֶל־שָׁא֑וּל וַאֲנִ֣י מְאַסְתִּ֔יו מִמְּלֹךְ֙ עַל־יִשְׂרָאֵ֔ל מַלֵּ֥א קַרְנְךָ֖ שָׁ֑מֶן וְלֵ֣ךְ אֲשַׁלְחֲךָ֗ אֶל־יִשַׁי֙ בֵּ֣ית הַלַּחְמִ֔י כִּ֥י רָאִ֖יתִי בְּבָנָ֥יו לִֽי־מֶֽלֶךְ׃

そして-言った 主は に 嘆いているのか あなたは いつ まで サムエル に-ついて サウル
H0559 H3068 H0413 H8050 H5704 H4970 H0413 H0056 H7586

そして-私は 退けた 王で-ある-ことから の-上に イスラエル 満たせ 油で あなたの-角を
H0589 H0589 H4427 H3478 H4390 H8081

そして-行け 私が-遣わす に エッサイ ベツレヘムの なぜなら 見いだした 彼の-息子たちの-中に
H3212 H7971 H0413 H3448 H1022 H3588 H7200 H1121

私の-ために 王を
H4428

さて主はサムエルに言われた、「わたしがすでにサウルを捨てて、イスラエルの王位から退けたのに、あなたはいつまで彼のために悲しむのか。角に油を満たし、それをもって行きなさい。あなたをベツレヘムびとエッサイのもとにつかわします。わたしはその子たちのうちにひとりの王を捜し得たからである」。

2 וַיֹּ֣אמֶר שְׁמוּאֵ֗ל אֵיךְ֙ אֵלֵ֔ךְ וְשָׁמַ֥ע שָׁא֖וּל וְהָרָגָ֑נִי
そして-言った サムエル どうして 行けるだろうか そして-聞いたら サウルが そして-殺すだろう
H0559 H8050 H0335 H3212 H8085 H7586 H2026

וַיֹּ֤אמֶר יְהוָה֙ עֶגְלַ֣ת בָּקָ֔ר תִּקַּ֖ח בְּיָדֶ֑ךָ וְאָמַרְתָּ֙ לִזְבֹּ֣חַ לַיהוָ֔ה ס
そして-言った 主は の-雌牛を 牛 取れ 手に そして-言え ささげる-ために 主に セラ
H0559 H3068 H6510 H1241 H3947 H3027 H0559 H2076 H3068

בָּֽאתִי׃
来たのだ
H0935

サムエルは言った、「どうしてわたしは行くことができましょう。サウルがそれを聞けば、わたしを殺すでしょう」。主は言われた、「一頭の子牛を引いていって、『主に犠牲をささげるためにきました』と言いなさい。

3 וְקָרָ֤אתָ לְיִשַׁי֙ בַּזֶּ֔בַח וְאָנֹכִ֖י אוֹדִיעֲךָ֣ אֵ֣ת אֲשֶׁר־ תַּעֲשֶׂ֑ה
そして-招け エッサイを いけにえに そして-私が 教える を その するべき-ことを
H7121 H3448 H2077 H0595 H3045 H0853 H0834 H6213

וּמָשַׁחְתָּ֨ לִּ֜י אֵ֣ת אֲשֶׁר־ אֹמַ֧ר אֵלֶ֛יךָ׃
そして-油注げ 私の-ために を その 私が-言う あなたに
H4886 H0853 H0834 H0559 H0413

そしてエッサイを犠牲の場所に呼びなさい。その時わたしはあなたのすることを示します。わたしがあなたに告げる人に油を注がなければならない」。

4 וַיַּ֣עַשׂ שְׁמוּאֵ֗ל אֵ֚ת אֲשֶׁ֣ר דִּבֶּ֣ר יְהוָ֔ה וַיָּבֹ֖א בֵּ֣ית לָ֑חֶם וַיֶּחֶרְד֤וּ
そして-行った サムエル を その 語った 主が そして-来た ベツレヘムに そして-震えた
H6213 H8050 H0853 H0834 H1696 H3068 H0935 H1035 H2729

זִקְנֵ֣י הָעִיר֮ לִקְרָאתוֹ֒ וַיֹּ֣אמֶר שָׁלֹ֔ם בּוֹאֶ֖ךָ׃
長老たちは 町の 迎えに そして-言った 平安 あなたの-来訪は
H2205 H5892 H7122 H0559 H7965 H0935

サムエルは主が命じられたようにして、ベツレヘムへ行った。町の長老たちは、恐れながら出て、彼を迎え、「穏やかな事のためにこられたのですか」と言った。

5 וַיֹּ֣אמֶר שָׁלֹ֔ם לִזְבֹּ֥חַ לַיהוָ֖ה בָּ֣אתִי הִתְקַדְּשׁ֤וּ וּבָאתֶם֙ אִתִּ֔י
そして-言った 平安だ ささげる-ために 主に 来た 身を-清めよ そして-来い 私と-共に
H0559 H7965 H2076 H3068 H0935 H6942 H0935 H0854

וַיְקַדֵּ֥שׁ אֶת־ יִשַׁ֖י וְאֶת־ בָּנָ֑יו וַיִּקְרָ֥א לָהֶ֛ם בַּזָּ֖בַח׃
そして-清めた を エッサイを そして を 彼の-息子たちを そして-招いた 彼らを いけにえに
H6942 H0853 H3448 H0853 H1121 H7121 H2077

サムエルは言った、「穏やかな事のためです。わたしは主に犠牲をささげるためにきました。身をきよめて、犠牲の場所にわたしと共にきてください」。そしてサムエルはエッサイとその子たちをきよめて犠牲の場に招いた。

6 וַיְהִי בְּבוֹאָם וַיַּרְא אֶת־אֱלִיאָב וַיֹּאמֶר אַךְ נֶגֶד יְהוָה מְשִׁיחוֹ׃
そして–なった 彼らが–来た–とき そして–見た を エリアブを そして–言った 確かに の–前に 主 油注がれた–者が
H1961 H0935 H7200 H0853 H0446 H0559 H0389 H5048 H3068 H4899

彼らがきた時、サムエルはエリアブを見て、「自分の前にいるこの人こそ、主が油をそそがれる人だ」と思った。

7 וַיֹּאמֶר יְהוָה אֶל־שְׁמוּאֵל אַל־תַּבֵּט אֶל־מַרְאֵהוּ וְאֶל־גְּבַהּ קוֹמָתוֹ כִּי מְאַסְתִּיהוּ כִּי לֹא אֲשֶׁר יִרְאֶה הָאָדָם כִּי הָאָדָם יִרְאֶה לַעֵינַיִם וַיהוָה יִרְאֶה לַלֵּבָב׃
そして–言った 主は サムエルに 退けた なぜなら ない その 見る–ものを 人が なぜなら 彼の–背丈を 高い そして–に 彼の–外見を に 見るな ない サムエルに 主は そして–言った
H0559 H3068 H8050 H3808 H3808 H0413 H5027 H0408 H8050 H0413 H3068 H0559
H6967 H3808 H7200 H0120 H0120 H0413 H1364 H0413 H4758

しかし主はサムエルに言われた、「顔かたちや身のたけを見てはならない。わたしはすでにその人を捨てた。わたしが見るところは人とは異なる。人は外の顔かたちを見、主は心を見る」。

8 וַיִּקְרָא יִשַׁי אֶל־אֲבִינָדָב וַיַּעֲבִרֵהוּ לִפְנֵי שְׁמוּאֵל וַיֹּאמֶר גַּם־בָּזֶה לֹא־בָחַר יְהוָה׃
そして–呼んだ エッサイは に アビナダブを そして–通らせた の–前に サムエル そして–言った
H7121 H3448 H0413 H0041 H5674 H6440 H8050 H0559
また この–者も なかった 選ば 主は
H1571 H2088 H3808 H0977 H3068

そこでエッサイはアビナダブを呼んでサムエルの前を通らせた。サムエルは言った、「主が選ばれたのはこの人でもない」。

9 וַיַּעֲבֵר יִשַׁי שַׁמָּה וַיֹּאמֶר גַּם־בָּזֶה לֹא־בָחַר יְהוָה׃
そして–通らせた エッサイは シャマを そして–言った また この–者も なかった 選ば 主は
H5674 H3448 H8048 H0559 H1571 H2088 H3808 H0977 H3068

エッサイはシャンマを通らせたが、サムエルは言った、「主が選ばれたのはこの人でもない」。

10 וַיַּעֲבֵר יִשַׁי שִׁבְעַת בָּנָיו לִפְנֵי שְׁמוּאֵל וַיֹּאמֶר שְׁמוּאֵל אֶל־יִשַׁי לֹא־בָחַר יְהוָה בָּאֵלֶּה׃
そして–通らせた エッサイは 七人の 息子たちを の–前に サムエル そして–言った サムエル に エッサイ なかった 選ば 主は これらを
H5674 H3448 H7651 H1121 H6440 H8050 H0559 H8050 H0413 H3448 H3808 H0977 H3068 H0428

エッサイは七人の子にサムエルの前を通らせたが、サムエルはエッサイに言った、「主が選ばれたのはこの人たちではない」。

עֹוד וַיֹּאמֶר הַנְּעָרִים הֲתַמּוּ יִשַׁי אֶל־ שְׁמוּאֵל וַיֹּאמֶר 11
まだ そして–言った 若者たちは 尽きたのか エッサイ に サムエル そして–言った
H5750 H0559 H5288 H8552 H3448 H0413 H8050 H0559

אֶל־ שְׁמוּאֵל וַיֹּאמֶר בַּצֹּאן רֹעֶה וְהִנֵּה הַקָּטָן שָׁאַר
に サムエル そして–言った 羊の–群れを 羊を–飼っている しかし–見よ 末の–息子が 残っている
H0413 H8050 H0559 H6629 H2009 H7604

פֹּה׃ בֹּאוֹ עַד־ נָסֹב לֹא־ כִי וְקָחֶנּוּ שִׁלְחָה יִשַׁי
ここに 彼が–来る まで 座ら ない なぜなら そして–連れて–来い 人を–遣って エッサイ
H6311 H0935 H5704 H5437 H3808 H3947 H7971 H3448

サムエルはエッサイに言った、「あなたのむすこたちは皆ここにいますか」。彼は言った、「まだ末の子が残っていますが羊を飼っています」。サムエルはエッサイに言った、「人をやって彼を連れてきなさい。彼がここに来るまで、われわれは食卓につきません」。

וְטֹוב עֵינַיִם יְפֵה עִם־ אַדְמֹנִי וְהוּא וַיְבִיאֵהוּ וַיִּשְׁלַח 12
そして–良い 目と 美しい そして 赤毛で そして–彼は そして–連れて–来た そして–人を–遣って
H3303 H0132 H1931 H0935 H7971

הוּא׃ זֶה כִּי־ מְשָׁחֵהוּ קוּם יְהוָה וַיֹּאמֶר פ רְאִי
それだ この–者が なぜなら 油を–注げ 立て 主は そして–言った ペー 容姿の
H1931 H2088 H4886 H3068 H0559 H7210

そこで人をやって彼をつれてきた。彼は血色のよい、目のきれいな、姿の美しい人であった。主は言われた、「立ってこれに油をそそげ。これがその人である」。

אֶחָיו בְּקֶרֶב אֹתוֹ וַיִּמְשָׁח הַשָּׁמֶן קֶרֶן אֶת־ שְׁמוּאֵל וַיִּקַּח 13
兄弟たちの の–中で 彼に そして–油を–注いだ 油の 角を を サムエルは そして–取った
H0251 H7130 H0853 H4886 H8081 H0853 H8050 H3947

וָמָעְלָה הַהוּא מֵהַיּוֹם דָּוִד אֶל־ יְהוָה רוּחַ־ וַתִּצְלַח
そして–その後も その から–その–日 ダビデ に 主 の–霊が そして–臨んだ
H4605 H1931 H3117 H1732 H0413 H3068 H7307

סׄ הָרָמָתָה׃ וַיֵּלֶךְ שְׁמוּאֵל וַיָּקָם
セラ ラマへ そして–行った サムエルは そして–立ち上がった
H7414 H3212 H8050

サムエルは油の角をとって、その兄弟たちの中で、彼に油をそそいだ。この日からのち、主の霊は、はげしくダビデの上に臨んだ。そしてサムエルは立ってラマへ行った。

יְהוָה׃ מֵאֵת רָעָה רוּחַ־ וּבִעַתְתּוּ שָׁאוּל מֵעִם סָרָה יְהוָה וְרוּחַ 14
主 からの 悪い の–霊が そして–苦しめた サウル から 離れた 主の そして–霊が
H3068 H0854 H7307 H1204 H7586 H5493 H3068 H7307

さて主の霊はサウルを離れ、主から来る悪霊が彼を悩ました。

רָעָה אֱלֹהִים רוּחַ־ נָא הִנֵּה־ אֵלָיו שָׁאוּל עַבְדֵי־ וַיֹּאמְרוּ 15
悪い 神 の–霊が どうか 見よ–どうか 彼に サウル の–家来たちは そして–言った
H0430 H7307 H4994 H2009 H0413 H7586 H5650 H0559

מְבַעֲתֶךָּ׃
苦しめています
H1204

サウルの家来たちは彼に言った、「ごらんなさい。神から来る悪霊があなたを悩ましているのです。

16

אִישׁ יְבַקְשׁוּ לְפָנֶיךָ עֲבָדֶיךָ אֲדֹנֵנוּ נָא יֹאמַר־
人を 探します あなたの–前で あなたの–家来たちが 私たちの–主よ どうか 命じて–ください
H0376 H1245 H6440 H5650 H0113 H4994 H0559

רָעָה אֱלֹהִים רוּחַ־ עָלֶיךָ בִּהְיוֹת וְהָיָה בַכִּנּוֹר מְנַגֵּן יֹדֵעַ
悪い 神 の–霊が あなたの–上に ある–とき そして–なる 童を 弾く–ことを 知っている
H0430 H7307 H1961 H1961 H3658 H5059 H3045

פ׃ לָךְ וְטוֹב בְּיָדוֹ וְנִגֵּן
ペー あなたに そして–良く–なる 手で そして–弾く
H2895 H3027 H5059

どうぞ、われわれの主君が、あなたの前に仕えている家来たちに命じて、じょうずに琴をひく者ひとりを捜させてください。神から来る悪霊があなたに臨む時、彼が手で琴をひくならば、あなたは良くなられるでしょう」。

17

מֵיטִיב אִישׁ לִי נָא רְאוּ־ עֲבָדָיו אֶל־ שָׁאוּל וַיֹּאמֶר
上手に 人を 私の–ために どうか 見つけて–くれ 家来たちに に サウル そして–言った
H3190 H0376 H4994 H7200 H5650 H0413 H7586 H0559

׃אֵלָי וַהֲבִיאוֹתָם לְנַגֵּן
私の–もとに そして–連れて–来い 弾く–ことの
H0413 H0935 H5059

そこでサウルは家来たちに言った、「じょうずに琴をひく者を捜して、わたしのもとに連れてきなさい」。

18

לְיִשַׁי בֶּן רָאִיתִי הִנֵּה וַיֹּאמֶר מֵהַנְּעָרִים אֶחָד וַיַּעַן
エッサイの 息子を 見た 見よ そして–言った 若者たちの–中から 一人が そして–答えた
H3448 H7200 H2009 H0559 H5288 H0259

וּגְבוֹר מִלְחָמָה וְאַיִשׁ חַיִל וְגִבּוֹר נֹגֵן יֹדֵעַ הַלַּחְמִי בֵּית
そして–賢く 戦いの そして–人で 力ある そして–勇士で 弾く–ことを 知っている ベツレヘムの
H0995 H4421 H0376 H2428 H1368 H5059 H3045 H1022

׃עִמּוֹ וַיהוָה תֹּאַר וְאִישׁ דָּבָר
彼と–共に–おられる そして–主が 姿の–良い そして–人で 言葉に
H3068 H8389 H0376 H1697

その時、ひとりの若者がこたえた、「わたしはベツレヘムびとエッサイの子を見ましたが、琴がじょうずで、勇気もあり、いくさびとで、弁舌にひいで、姿の美しい人です。また主が彼と共におられます」。

19

אֵלַי שְׁלָחֵה וַיֹּאמֶר יִשַׁי אֶל־ מַלְאָכִים שָׁאוּל וַיִּשְׁלַח
私の–もとに 送って–くれ そして–言った エッサイ に 使者を サウルは そして–遣わした
H0413 H7971 H0559 H3448 H0413 H4397 H7586 H7971

׃בַּצֹּאן אֲשֶׁר בִּנְךָ דָּוִד אֶת־
羊の–群れに–いる その あなたの–息子 ダビデを を
H6629 H0853

そこでサウルはエッサイのもとに使者をつかわして言った、「羊を飼っているあなたの子ダビデをわたしのもとによこしなさい」。

20

עִזִּים וּגְדִי יַיִן וְנֹאד לֶחֶם חֲמוֹר יִשַׁי וַיִּקַּח
山羊の そして–子山羊を ぶどう酒と そして–革袋の パンと ろばに エッサイは そして–取った
H5795 H1423 H3196 H4997 H3899 H2543 H3448 H3947

׃שָׁאוּל אֶל־ בְּנוֹ דָּוִד בְּיַד־ וַיִּשְׁלַח אֶחָד
サウル に 彼の–息子の ダビデ の–手で そして–送った 一匹
H7586 H0413 H1732 H3027 H7971 H0259

エッサイは、ろばにパンを負わせ、皮袋にいれたぶどう酒一袋と、やぎの子とを取って、その子ダビデの手によってサウルに送った。

21 וַיִּבָּא דָוִד אֶל־שָׁאוּל וַיַּעֲמֹד לְפָנָיו וַיֶּאֱהָבֵהוּ מְאֹד וַיְהִי־לוֹ נֹשֵׂא כֵלִים׃

וַיִּבָּא	דָוִד	אֶל־	שָׁאוּל	וַיַּעֲמֹד	לְפָנָיו	וַיֶּאֱהָבֵהוּ	מְאֹד	
そして-来た	ダビデは	に	サウル	そして-仕えた	彼の-前に	そして-愛した	大いに	
H0935	H1732	H0413	H7586	H5975	H6440	H0157	H3966	
וַיְהִי־	לוֹ	נֹשֵׂא	כֵלִים׃					
そして-なった	彼の	持つ	武具を					
H1961		H5375	H3627					

ダビデはサウルのもとにきて、彼に仕えた。サウルはひじょうにこれを愛して、その武器を執る者とした。

22 וְיִשְׁלַח שָׁאוּל אֶל־יִשַׁי לֵאמֹר יַעֲמָד־נָא דָוִד לְפָנַי כִּי־מָצָא חֵן בְּעֵינָי׃

וְיִשְׁלַח	שָׁאוּל	אֶל־	יִשַׁי	לֵאמֹר	יַעֲמָד־	נָא	דָוִד	לְפָנַי
そして-遣わした	サウルは	に	エッサイ	言って	留まらせて-くれ	どうか	ダビデを	私の-前に
H7971	H7586	H0413	H3448	H0559	H5975	H4994	H1732	H6440
כִּי־	מָצָא	חֵן	בְּעֵינָי׃					
なぜなら	見いだした	恩寵を	私の-目に					
	H4672	H2580						

またサウルは人をつかわしてエッサイに言った、「ダビデをわたしに仕えさせてください。彼はわたしの心にかないました」。

23 וְהָיָה בִּהְיוֹת רוּחַ־אֱלֹהִים אֶל־שָׁאוּל וְלָקַח דָּוִד אֶת־הַנֵּבֶל וְנִגַּן בְּיָדוֹ וְרָוַח לְשָׁאוּל וְטוֹב לוֹ וְסָרָה מֵעָלָיו רוּחַ הָרָעָה׃

וְהָיָה	בִּהְיוֹת	רוּחַ־	אֱלֹהִים	אֶל־	שָׁאוּל	וְלָקַח	דָּוִד	אֶת־
そして-なった	ある-とき	の-霊が	神	に	サウル	そして-取った	ダビデは	を
H1961	H1961	H7307	H0430	H0413	H7586	H3947	H1732	H0853
הַכִּנּוֹר	וְנִגַּן	בְּיָדוֹ	וְרָוַח	לְשָׁאוּל	וְטוֹב	לוֹ	וְסָרָה	
童を	そして-弾いた	手で	そして-楽に-なった	サウルは	そして-良く-なった	彼に	そして-離れた	
H3658	H5059	H3027	H7304	H7586	H2895		H5493	
מֵעָלָיו	רוּחַ	הָרָעָה׃	פ					
彼から	霊は	悪い	ペー					
	H7307							

神から出る悪霊がサウルに臨む時、ダビデは琴をとり、手でそれをひくと、サウルは気が静まり、良くなって、悪霊は彼を離れた。

Chapter 17

1 וַיֶּאֶסְפוּ פְלִשְׁתִּים אֶת־מַחֲנֵיהֶם לַמִּלְחָמָה וַיֵּאָסְפוּ שֹׂכֹה וַיַּחֲנוּ בֵּין־שׂוֹכֹה וּבֵין־עֲזֵקָה בְּאֶפֶס דַּמִּים׃

וַיֶּאֶסְפוּ	פְלִשְׁתִּים	אֶת־	מַחֲנֵיהֶם	לַמִּלְחָמָה	וַיֵּאָסְפוּ	שֹׂכֹה		
そして-集めた	ペリシテ人は	を	自分たちの-陣営を	戦いの-ために	そして-集まった	ソコに		
H0622	H6430	H0853	H4264	H4421	H0622	H7755		
וַיַּחֲנוּ	בֵּין־	שׂוֹכֹה	וּבֵין־	עֲזֵקָה	בְּאֶפֶס	דַּמִּים׃		
そして-陣を-敷いた	の-間に	ソコと	そして-の-間に	アゼカ	エフェス・ダミムに			
H2583	H0996	H7755	H0996	H5825	H0658			
אֲשֶׁר	לִיהוּדָה	וַיַּחֲנוּ	בֵּין־	שׂוֹכֹה	וּבֵין־	עֲזֵקָה	בְּאֶפֶס	דַּמִּים׃
その	ユダの	そして-陣を-敷いた	の-間に	ソコと	そして-の-間に	アゼカ	エフェス・ダミムに	
H3063		H2583	H0996	H7755	H0996	H5825	H0658	

さてペリシテびとは、軍を集めて戦おうとし、ユダに属するソコに集まって、ソコとアゼカの間にあるエペス・ダミムに陣取った。

2 וְשָׁאוּל וְאִישׁ־יִשְׂרָאֵל נֶאֶסְפוּ וַיַּחֲנוּ בְּעֵמֶק הָאֵלָה וַיַּעַרְכוּ מִלְחָמָה לִקְרַאת פְּלִשְׁתִּים׃

וְשָׁאוּל	וְאִישׁ־	יִשְׂרָאֵל	נֶאֶסְפוּ	וַיַּחֲנוּ	בְּעֵמֶק	הָאֵלָה		
そして-サウルと	そして-人は	イスラエルの	集まった	そして-陣を-敷いた	の-谷に	エラ		
H7586	H0376	H3478	H0622	H2583	H6010	H0425		
וַיַּעַרְכוּ	מִלְחָמָה	לִקְרַאת	פְּלִשְׁתִּים׃					
そして-整えた	戦いの-陣を	迎える-ために	ペリシテ人を					
H4421	H7122	H6430						

サウルとイスラエルの人々は集まってエラの谷に陣取り、ペリシテびとに対して戦列をしいた。

3

עֹמְדִים	וְיִשְׂרָאֵל	מִזֶּה	הָהָר	אֶל־	עֹמְדִים	וּפְלִשְׁתִּים
立っていた	そして-イスラエルは	こちらに	山	の-上に	立っていた	そして-ペリシテ人は
H5975	H3478	H2088	H2022	H0413	H5975	H6430

בֵּינֵיהֶם׃	וְהַגַּיְא	מִזֶּה	הָהָר	אֶל־
彼らの-間に	そして-谷が	あちらに	山	の-上に
H0996	H1516	H2088	H2022	H0413

ペリシテびとは向こうの山の上に立ち、イスラエルはこちらの山の上に立った。その間に谷があった。

4

מִגַּת	שְׁמוֹ	גָּלְיָת	פְּלִשְׁתִּים	מִמַּחֲנוֹת	הַבֵּנַיִם	אִישׁ־	וַיֵּצֵא
ガトの	彼の-名は	ゴリアテ	ペリシテ人の	陣営から	両軍の-間の	の-人が	そして-出て-来た
H1661	H8034	H1555	H6430	H4264	H1143	H0376	H3318

וָזָרֶת׃	אַמּוֹת	שֵׁשׁ	גָּבְהּוֹ
一-スパン	キュビトと	六	彼の-背丈は
H2239		H8337	H1363

時に、ペリシテびとの陣から、ガテのゴリアテという名の、戦いをいどむ者が出てきた。身のたけは六キュビト半。

5

לָבוּשׁ	הוּא	קַשְׂקַשִּׂים	וְשִׁרְיוֹן	רֹאשׁוֹ	עַל־	נְחֹשֶׁת	וְכוֹבַע
身に-つけていた	彼は	うろこの	そして-よろいは	彼の-頭	の-上に	青銅の	そして-兜は
H3847	H1931	H7193					H3553

נְחֹשֶׁת׃	שְׁקָלִים	אֲלָפִים	חֲמֵשֶׁת־	הַשִּׁרְיוֹן	וּמִשְׁקַל
青銅	シェケルの	千	五	よろいの	そして-重さは
	H8255	H0505	H2568		H4948

頭には青銅のかぶとを頂き、身には、うろことじのよろいを着ていた。そのよろいは青銅で重さ五千シケル。

6

כְּתֵפָיו׃	בֵּין	נְחֹשֶׁת	וְכִידוֹן	רַגְלָיו	עַל־	נְחֹשֶׁת	וּמִצְחַת
彼の-肩	の-間に	青銅の	そして-投げ槍は	彼の-足	の-上に	青銅の	そして-脇当ては
H3802	H0996		H3591	H7272			H4697

また足には青銅のすね当を着け、肩には青銅の投げやりを背負っていた。

7

שֵׁשׁ־	חֲנִיתוֹ	וְלַהֶבֶת	אֲרֻגִּים	כִּמְנוֹר	חֲנִיתוֹ	(וְעֵץ)	[וחץ]
六	彼の-槍の	そして-刃は	機織りの-棒	の-ように	彼の-槍の	そして-柄は	そして-柄は
H8337	H2595	H3852	H0707	H4500	H2595	H6086	H2671

לְפָנָיו׃	הֹלֵךְ	הַצִּנָּה	וְנֹשֵׂא	בַּרְזֶל	שְׁקָלִים	מֵאוֹת
彼の-前を	歩いていた	大盾を	そして-持つ	鉄	シェケルの	百
H6440	H1980		H5375	H1270	H8255	H3967

手に持っているやりの柄は、機の巻棒のようであり、やりの穂の鉄は六百シケルであった。彼の前には、盾を執る者が進んだ。

8 וַיַּעֲמֹד וַיִּקְרָא אֶל־ מַעַרְכֹת יִשְׂרָאֵל וַיֹּאמֶר לָהֶם לָמָּה
そして–立って そして–叫んだ に 戦列に イスラエルの そして–言った 彼らに なぜ
H5975 H7121 H0413 H4634 H3478 H0559 H0559 H4100

הַפְלִשְׁתִּי אָנֹכִי הֲלוֹא מִלְחָמָה לַעֲרֹךְ תֵּצְאוּ
ペリシテ人 私が では–ないか 戦いの 戦いの–陣を–整える–ために 出て–来るのか
H6430 H0595 H3808 H4421 H3318

וְיֵרֵד אִישׁ לָכֶם בְּרוּ־ לְשָׁאוּל עַבְדִים וְאַתֶּם
そして–下って–来い 人を お前たちの–ために 選べ サウルの 僕だち そして–お前たちは
H3381 H0376 H1262 H7586 H5650

אֵלָי׃
私の–ところへ
H0413

ゴリアテは立ってイスラエルの戦列に向かって叫んだ、「なにゆえ戦列をつくって出てきたのか。わたしはペリシテびと、おまえたちはサウルの家来ではないか。おまえたちから、ひとりを選んで、わたしのところへ下ってこさせよ。

9 אִם־ יוּכַל לְהִלָּחֶם אִתִּי וְהַכָּנִי וְהָיִינוּ לָכֶם לַעֲבָדִים
もし できるなら 戦う–ことが 私と 打つなら そして–なる お前たちの–ために 僕に
H3201 H5221 H0854 H5221 H1961 H0376 H5650

וְאִם־ אֲנִי אוּכַל־ לוֹ וְהִכִּיתִיו וְהְיִיתֶם לָנוּ לַעֲבָדִים
そして–もし 私が できるなら 彼に そして–打つなら そして–なる 私たちの–ために 僕に
H0589 H3201 H5221 H1961 H0376 H5650

וַעֲבַדְתֶּם אֹתָנוּ׃
そして–仕える 私たちに
H5647 H0853

もしその人が戦ってわたしを殺すことができたら、われわれはおまえたちの家来となる。しかしわたしが勝ってその人を殺したら、おまえたちは、われわれの家来になって仕えなければならない」。

10 וַיֹּאמֶר הַפְלִשְׁתִּי אֲנִי חֵרַפְתִּי אֶת־ מַעַרְכוֹת יִשְׂרָאֵל הַיּוֹם הַזֶּה תְּנוּ־
そして–言った ペリシテ人は 私は 辱めた を 戦列を イスラエルの の–日 この 出せ
H0559 H6430 H0589 H2088 H3117 H3478 H4634 H0853 H5414

לִי אִישׁ וְנִלָּחֲמָה יָחַד׃
私に 人を そして–戦おう 共に
H0376

またこのペリシテびとは言った、「わたしは、きょうイスラエルの戦列にいどむ。ひとりを出して、わたしと戦わせよ」。

11 וַיִּשְׁמַע שָׁאוּל וְכָל־ יִשְׂרָאֵל אֶת־ דִּבְרֵי הַפְלִשְׁתִּי הָאֵלֶּה
そして–聞いた サウルと そして–全 イスラエルは を 言葉を ペリシテ人の この
H8085 H7586 H3605 H3478 H0853 H1697 H6430 H0428

וַיֵּחַתּוּ וַיִּרְאוּ מְאֹד׃ פ
そして–おののいた そして–恐れた 非常に ペー
H2865 H3372 H3966

サウルとイスラエルのすべての人は、ペリシテびとのこの言葉を聞いて驚き、ひじょうに恐れた。

12 וְדָוִד֮ בֶּן־אִישׁ֩ הָאֶפְרָתִי֙ הַזֶּ֣ה מִבֵּֽית־לֶ֔חֶם יְהוּדָ֖ה וּשְׁמ֣וֹ
そして–ダビデは の–息子 人の エフラテ人の この ベツレヘムの ユダの そして–彼の–名は
H1732 H0376 H0673 H2088 H1035 H3063 H8034

יִשַׁ֑י וְלוֹ֙ שְׁמֹנָ֣ה בָנִ֔ים וְהָאִישׁ֙ בִּימֵ֣י שָׁא֔וּל זָקֵ֥ן בָּ֖א בָּאֲנָשִֽׁים׃
エッサイ そして–彼には 八人の 息子が–いた そして–この–人は の–時代に サウルの 老いて 入って–いた 人々の–中に
H3448 H0376 H8083 H1961 H3117 H7586 H2204 H0935 H0376

さて、ダビデはユダのベツレヘムにいたエフラタびとエッサイという名の人の子で、この人に八人の子があったが、サウルの世には年が進んで、すでに年老いていた。

13 וַיֵּלְכ֗וּ שְׁלֹשֶׁת֙ בְּנֵי־יִשַׁ֔י הַגְּדֹלִ֖ים הָלְכ֣וּ אַחֲרֵי־שָׁא֑וּל לַמִּלְחָמָ֗ה
そして–行った 三人の の–息子たちは エッサイの 年上の 行った の–後に サウル 戦いに
H3212 H7969 H0376 H3448 H1980 H0310 H7586 H4421

וְשֵׁ֣ם שְׁלֹשֶׁת֩ בָּנָ֨יו אֲשֶׁ֤ר הָלְכוּ֙ בַּמִּלְחָמָ֔ה בְּכ֣וֹר הַבְּכֹ֔ור וּמִשְׁנֵ֖הוּ
そして–名は 三人の 息子たちの その 行った 戦いに 長子 そして–次男は
H8034 H7969 H1121 H0834 H1980 H4421 H1060 H4932

אֲבִינָדָ֑ב וְהַשְּׁלִשִׁ֖י שַׁמָּֽה׃
アビナダブ そして–三男は シャマ
H0041 H7992 H8048

エッサイの子らのうち、上の三人はサウルに従って戦争に出た。その戦いに出た三人の子の名は、長子をエリアブといい、次をアビナダブといい、第三をシャンマと言った。

14 וְדָוִ֖ד הַקָּטָ֑ן וּשְׁלֹשָׁה֙ הַגְּדֹלִ֔ים הָלְכ֖וּ אַחֲרֵ֥י שָׁא֖וּל׃ ס
そして–ダビデは 末の–息子 そして–三人の 年上の 行った の–後に サウル セラ
H1732 H1931 H7969 H1980 H7586

ダビデは末の子であって、兄三人はサウルにしたがった。

15 וְדָוִ֗ד הֹלֵךְ֙ וָשָׁ֔ב מֵעַ֖ל שָׁא֑וּל לִרְעוֹת֙ אֶת־צֹ֣אן אָבִ֔יו בֵּ֥ית־לָֽחֶם׃
そして–ダビデは 行ったり そして–戻ったり–した の–もとから サウル 飼う–ために を 羊を 彼の–父の ベツレヘムで
H1732 H1980 H7725 H5921 H7586 H0853 H6629 H0001 H1035

ダビデはサウルの所から行ったりきたりして、ベツレヘムで父の羊を飼っていた。

16 וַיִּגַּ֣שׁ הַפְּלִשְׁתִּ֗י הַשְׁכֵּם֙ וְהָעֲרֵ֔ב וַיִּתְיַצַּ֖ב אַרְבָּעִ֣ים יֹ֑ום׃ פ
そして–近づいた ペリシテ人は 朝も そして–夕も そして–立った 四十 日 ペー
H5066 H6430 H7925 H6150 H3320 H0705 H3117

あのペリシテびとは四十日の間、朝夕出てきて、彼らの前に立った。

17 וַיֹּ֤אמֶר יִשַׁי֙ לְדָוִ֣ד בְּנֹ֔ו קַח־נָ֣א לְאַחֶ֔יךָ אֵיפַ֥ת הַקָּלִ֖י הַזֶּ֣ה וַעֲשָׂרָ֣ה לֶ֣חֶם הַזֶּ֑ה וְהָרֵ֖ץ הַמַּחֲנֶֽה׃
そして–言った エッサイは ダビデに 彼の–息子 取れ どうか あなたの–兄弟の–ために 一–エファの 炒り–麦を この 十の そして–パンを この そして–急いで 陣営に
H0559 H3448 H1732 H1121 H3947 H4994 H0251 H0374 H7039 H2088 H6235 H3899 H2088 H7323 H4264

לְאַחֶֽיךָ׃
あなたの–兄弟の–ために
H0251

時に、エッサイはその子ダビデに言った、「兄たちのため、このいり麦一エパと、この十個のパンをとって、急いで陣営にいる兄の所へ持っていきなさい。

18 וְאֶת עֲשֶׂרֶת חֲרִצֵי הֶחָלָב הָאֵלֶּה תָּבִיא לְשַׂר־ אֶלֶף וְאֶת־ אַחֶיךָ
そして 十の 切れの チーズの この 持って-行け の-長に 千人 そして あなたの-兄弟を
H0853 H6235 H2757 H2461 H0428 H0935 H8269 H0505 H0853 H0251

תִּפְקֹד׃ לְשָׁלוֹם וְאֶת־ עֵרְבָתָם תִּקָּח׃
確かめよ 平安を そして 彼らの-証しを 取れ
H7965 H0853 H6161 H3947

またこの十の乾酪を取って、千人の長にもって行き、兄たちの安否を見とどけて、そのしるしをもらってきなさい」。

19 וְשָׁאוּל וְהֵמָּה וְכָל־ אִישׁ יִשְׂרָאֵל בְּעֵמֶק הָאֵלָה נִלְחָמִים
そして-サウルと そして-彼らと そして-全 人は イスラエルの の-谷に エラ 戦っていた
H7586 H1992 H3605 H0376 H3478 H6010 H0425

עִם־ פְּלִשְׁתִּים׃
と ペリシテ人
H6430

さてサウルと彼らおよびイスラエルのすべての人は、エラの谷でペリシテびとと戦っていた。

20 וַיַּשְׁכֵּם בַּבֹּקֶר דָּוִד וַיַּנַּח אֶת־ הַצֹּאן עַל־ שֹׁמֵר
そして-早く-起きた 朝に ダビデは そして-置いた を 羊を の-上に 番人の
H7925 H1242 H1732 H5203 H0853 H6629 H0413 H8104

וַיִּשָּׂא וַיֵּלֶךְ כַּאֲשֶׁר צִוָּהוּ יִשַׁי וַיָּבֹא וַיָּבֹא הַמַּעְגָּלָה
そして-担いで そして-行った の-とおりに 命じた エッサイが そして-来た 輜の-形の-陣営に
H5375 H3212 H6680 H3448 H0935 H4570

וְהָרָעוּ׃ וַתֵּצֵא הַמַּעֲרָכָה אֶל־ וַתָּרָע וְהַחַיִל בַּמִּלְחָמָה׃
そして-雄たけびを-あげた 戦列に に 出て-行く そして-軍が 戦いに
H7321 H4634 H0413 H3318 H2428 H4421

ダビデは朝はやく起きて、羊を番人に託し、エッサイが命じたように食料品を携えて行った。彼が陣営に着いた時、軍勢は、ときの声をあげて戦線に出ようとしていた。

21 וַתַּעֲרֹךְ יִשְׂרָאֵל וּפְלִשְׁתִּים מַעֲרָכָה מַעֲרָכָה לִקְרַאת׃
そして-整えた イスラエルと そして-ペリシテ人は 戦列を 戦列に 向かい-合って
H6186 H3478 H6430 H4634 H4634 H7122

そしてイスラエルとペリシテびととは戦列を敷いて、軍と軍と向き合った。

22 וַיְשַׁשׁ דָּוִד אֶת־ הַכֵּלִים מֵעָלָיו עַל־ יַד שׁוֹמֶר הַכֵּלִים
そして-置いた ダビデは を 荷物を 自分の-上から の-上に 手に 番人の 荷物の
H5203 H1732 H0853 H3627 H5921 H3027 H8104 H3627

וַיָּרָץ וַיָּבֹא הַמַּעֲרָכָה וַיִּשְׁאַל לְאֶחָיו לְשָׁלוֹם׃
そして-走った そして-来て 戦列へ そして-尋ねた 彼の-兄弟たちに 平安を
H7323 H0935 H4634 H7592 H0251 H7965

ダビデは荷物をおろして、荷物を守る者にあずけ、戦列の方へ走って、兄たちの所へ行き、彼らの安否を尋ねた。

23 וְהוּא מְדַבֵּר עִמָּם וְהִנֵּה אִישׁ הַבֵּנַיִם עוֹלֶה גָּלְיָת
そして-彼が 話して-いる 彼らと すると-見よ の-人が 両軍の-間の 上って-来た ゴリアテ
H1931 H1696 H6440 H2009 H0376 H1143 H5927 H1555

הַפְּלִשְׁתִּי שְׁמוֹ מִגַּת]ממערות[(מִמַּעַרְכוֹת) פְּלִשְׁתִּים כַּדְּבָרִים וַיְדַבֵּר
ペリシテ人 彼の-名は ガトの 戦列から 戦列から ペリシテ人の の-言葉と-同じ そして-語った
H6430 H8034 H1661 H4631 H4634 H6431 H1697 H1696

וַיִּשְׁמַע דָּוִד׃ הָאֵלֶּה
そして-聞いた ダビデは この
H8085 H1732 H0428

兄たちと語っている時、ペリシテびとの戦列から、ガテのペリシテびとで、名をゴリアテという、あの戦いをいどむ者が上ってきて、前と同じ言葉を言ったので、ダビデはそれを聞いた。

24 וְכֹל אִישׁ יִשְׂרָאֵל בִּרְאוֹתָם אֶת־הָאִישׁ וַיָּנֻסוּ מִפָּנָיו
そして-全ての 人は イスラエルの 見た-とき を その-人を そして-逃げた 彼の-前から
H3605 H0376 H3478 H7200 H0853 H0376 H5127 H6440

וַיִּירְאוּ מְאֹד׃
そして-恐れた 非常に
H3372 H3966

イスラエルのすべての人は、その人を見て、避けて逃げ、ひじょうに恐れた。

25 וַיֹּאמֶר אִישׁ יִשְׂרָאֵל הַרְאִיתֶם הָאִישׁ הָעֹלֶה כִּי הַזֶּה לְחָרֵף אֶת־יִשְׂרָאֵל עֹלֶה הָאִישׁ אֲשֶׁר־יַכֶּנּוּ וְהָיָה הָאִישׁ אֲשֶׁר־יַעְשְׁרֶנּוּ
そして-言った 人は イスラエルの 見たか この-人を 上って-来る なぜなら この 辱める-ために を イスラエルを 上って-来る その-人は そして-なる 打つ その 富ませる
H0559 H0376 H3478 H7200 H0376 H5927 H3588 H2088 H0853 H2778 H3478 H5927 H0376 H1961 H5221 H0834 H6238

וְאֶת־בַּיִת אָבִיו יַעֲשֶׂה וְאֶת־בִּתּוֹ יִתֶּן־לוֹ וְאֶת־כָּל־גְּדוֹלָה עָשֶׂר וְהַמֶּלֶךְ
そして 彼に 与える 彼の-娘を そして 大きな 富で 王が
H0853 H0853 H5414 H1323 H0853 H1419 H6239 H4428

בְּיִשְׂרָאֵל׃ חָפְשִׁי
イスラエルで 自由に
H3478 H2670

イスラエルの人々はまた言った、「あなたがたは、あの上ってきた人を見たか。確かにイスラエルにいどむために上ってきたのだ。彼を殺す人は、王が大いなる富を与えて富ませ、その娘を与え、その父の家にはイスラエルのうちで税を免れさせるであろう」。

26 וַיֹּאמֶר דָּוִד אֶל־הָאֲנָשִׁים הָעֹמְדִים עִמּוֹ לֵאמֹר מַה־יֵּעָשֶׂה
そして-言った ダビデは に 人々に 立っている 彼と-共に 言って 何が なされるのか
H0559 H1732 H0413 H0376 H5975 H5973 H0559 H4100

לָאִישׁ אֲשֶׁר יַכֶּנּוּ וְהֵסִיר הַלָּז הַפְּלִשְׁתִּי אֶת־כָּזֶה אֲשֶׁר חֶרְפָּה מֵעַל
その-人に その 打つ を あの ペリシテ人を そして-取り-除く 恥を の-上から
H0376 H0834 H5221 H0853 H1975 H6430 H2778 H5493 H2781 H5921

יִשְׂרָאֵל כִּי מִי הַפְּלִשְׁתִּי הַזֶּה הָעֲרֵל חֵרֵף כִּי מַעַרְכוֹת
イスラエル なぜなら いったい ペリシテ人は この 割礼の-ない 辱めた なぜなら 戦列を
H3478 H3588 H4310 H6430 H2088 H6189 H2778 H3588 H4634

אֱלֹהִים חַיִּים׃
神の 生ける
H0430

ダビデはかたわらに立っている人々に言った、「このペリシテびとを殺し、イスラエルの恥をすすぐ人には、どうされるのですか。この割礼なきペリシテびとは何者なので、生ける神の軍をいどむのか」。

27 וַיֹּאמֶר לוֹ הָעָם כַּדָּבָר הַזֶּה לֵאמֹר כֹּה יֵעָשֶׂה לָאִישׁ אֲשֶׁר יַכֶּנּוּ׃
そして-言った 彼に 民は の-言葉と-同じ この 言って こう なされる その人に その 打つ
H0559 H0559 H0559 H0559 H2088 H1697 H0559 H0559 H0376 H0376 H5221

民は前と同じように、「彼を殺す人にはこうされるであろう」と答えた。

28 וַיִּשְׁמַע אֱלִיאָב אֲחִיו הַגָּדוֹל בְּדַבְּרוֹ אֶל־הָאֲנָשִׁים וַיִּחַר־
そして-聞いた エリアブは 彼の-兄 年上の 話している-とき に 人々に そして-燃えた
H8085 H0446 H0251 H1696 H0413 H0376 H2734

אַף אֱלִיאָב בְּדָוִד וַיֹּאמֶר לָמָּה־ זֶּה יָרַדְתָּ
の-怒りが エリアブの ダビデに-対して そして-言った なぜ これ 下って-来たのか
H0639 H0446 H1732 H0559 H4100 H2088 H3381

וְעַל־ מִי נָטַשְׁתָּ מְעַט הַצֹּאן הָהֵנָּה בַּמִּדְבָּר אֲנִי יָדַעְתִּי אֶת־
そして-の-上に 誰に 置いて-来たのか 僅かな 羊を あの 荒野に 私は 知っている を
H0853 H3045 H0589 H6629 H4592 H5203 H4310

זְדֹנְךָ וְאֶת רֹעַ לִבָּבְךָ כִּי לְמַעַן רְאוֹת הַמִּלְחָמָה יָרַדְתָּ׃
お前の-高慢を そして 悪い お前の-心を なぜなら ために 見る 戦いを 下って-来たのだ
H2087 H0853 H7455 H3824 H4616 H7200 H4421 H3381

上の兄エリアブはダビデが人々と語るのを聞いて、ダビデに向かい怒りを発して言った、「なんのために下ってきたのか。野にいるわずかの羊はだれに託したのか。あなたのわがままと悪い心はわかっている。戦いを見るために下ってきたのだ」。

29 וַיֹּאמֶר דָּוִד מֶה עָשִׂיתִי עַתָּה הֲלוֹא דָבָר הוּא׃
そして-言った ダビデは 何を したのか 今 ではないか 言葉に-過ぎない それは
H0559 H1732 H4100 H6258 H3808 H1697 H1931

ダビデは言った、「わたしが今、何をしたというのですか。ただひと言いっただけではありませんか」。

30 וַיִּסֹּב מֵאֶצְלוֹ אֶל־ מוּל הַזֶּה כַּדָּבָר וַיֹּאמֶר אַחֵר
そして-向きを-変えた 彼から に の-向かいに この の-言葉と-同じ そして-言った 別の-人
H5437 H0681 H0413 H4136 H2088 H1697 H0559 H0312

וַיְשִׁבֵהוּ הָעָם דָּבָר כַּדָּבָר הָרִאשׁוֹן׃
そして-答えた 民は 言葉を の-言葉と-同じ 最初の
H7725 H0776 H1697 H1697 H7223

またふり向いて、ほかの人に前のように語ったところ、民はまた同じように答えた。

31 וַיִּשָּׁמְעוּ הַדְּבָרִים אֲשֶׁר דִּבֶּר דָּוִד וַיַּגִּדוּ לִפְנֵי־ שָׁאוּל
そして-聞かれた 言葉が その 語った ダビデが そして-告げた の-前で サウル
H8085 H1697 H1696 H1732 H5046 H6440 H7586

וַיִּקָּחֵהוּ׃
そして-召した
H3947

人々はダビデの語った言葉を聞いて、それをサウルに告げたので、サウルは彼を呼び寄せた。

32 וַיֹּאמֶר דָּוִד אֶל־שָׁאוּל אַל־יִפֹּל לֵב־אָדָם עָלָיו

そして-言った ダビデは に サウル ない 落ちるな の-心が 人 彼の-ゆえに
H0559 H1732 H0413 H7586 H0408 H5307 H0120

עַבְדְּךָ יֵלֵךְ וְנִלְחַם עִם־הַפְּלִשְׁתִּי הַזֶּה׃

あなたの-僕が 行く そして-戦う と ペリシテ人 この
H5650 H3212 H6430 H2088

ダビデはサウルに言った、「だれも彼のゆえに気を落してはなりません。しもべが行ってあのペリシテびとと戦いましょう」。

33 וַיֹּאמֶר שָׁאוּל אֶל־דָּוִד לֹא תוּכַל לָלֶכֶת אֶל־הַפְּלִשְׁתִּי הַזֶּה

そして-言った サウル に ダビデ ない できる 行く-ことが に ペリシテ人 この
H0559 H7586 H0413 H1732 H3808 H3201 H3212 H0413 H6430 H2088

לְהִלָּחֶם עִמּוֹ כִּי־נַעַר אַתָּה וְהוּא אִישׁ מִלְחָמָה מִנְּעֻרָיו׃ ס

戦う-ために 彼と なぜなら 若者 お前は そして-彼は 人で 戦いの 若い-時から セラ
H3808 H5288 H1931 H0376 H4421

サウルはダビデに言った、「行って、あのペリシテびとと戦うことはできない。あなたは年少だが、彼は若い時からの軍人だからです」。

34 וַיֹּאמֶר דָּוִד אֶל־שָׁאוּל רֹעֶה הָיָה עַבְדְּךָ לְאָבִיו

そして-言った ダビデは に サウル 羊飼い であった あなたの-僕は 彼の-父の-ために
H0559 H1732 H0413 H7586 H7462 H1961 H5650 H0001

וּבָא הָאַרְיֵה וְאֶת־הַדֹּב וְנָשָׂא שֶׂה מֵהָעֵדֶר׃

そして-来た 獅子が そして 熊が そして-取った 子羊を 群れから
H0935 H0738 H0853 H1677 H5375 H7716 H5739

בַּצֹּאן

羊の-群れの
H6629

しかしダビデはサウルに言った、「しもべは父の羊を飼っていたのですが、しし、あるいはくまがきて、群れの小羊を取った時、

35 וְיָצָאתִי אַחֲרָיו וְהִכִּתִיו וְהִצַּלְתִּי מִפִּיו

そして-出て-行った その-後を そして-打った そして-救い-出した その-口から
H3318 H0310 H5221 H5337 H6310

וְהַמִּיתִיו׃ וְהִכִּתִיו בִּזְקָנוֹ וְהֶחֱזַקְתִּי עָלַי וַיָּקָם

そして-殺した そして-打ち その-あごを そして-つかんだ 私に-対して そして-起き-上がった
H4191 H5221 H2206 H2388

わたしはそのあとを追って、これを撃ち、小羊をその口から救いだしました。その獣がわたしにとびかかってきた時は、ひげをつかまえて、それを撃ち殺しました。

36 גַּם אֶת־הָאַרְיֵה גַּם־הַדֹּב הִכָּה עַבְדֶּךָ וְהָיָה הַפְּלִשְׁתִּי הֶעָרֵל

また を 獅子も また 熊も 打った あなたの-僕は そして-なる ペリシテ人 割礼の-ない
H1571 H0853 H0738 H1571 H1677 H5221 H5650 H1961 H6430 H6189

כְּאַחַד מֵהֶם כִּי חֵרַף מַעַרְכֹת אֱלֹהִים חַיִּים׃ ס

の-一つの-ように なぜなら 辱めた 戦列を 神の 生ける セラ
H0259 H1992 H2778 H4634 H0430

הַזֶּה

この
H2088

しもべはすでに、ししと、くまを殺しました。この割礼なきペリシテびとも、生ける神の軍をいどんだのですから、あの獣の一頭のようになるでしょう」。

37 וַיֹּאמֶר דָּוִד יְהוָה אֲשֶׁר הִצִּלַנִי מִיַּד הָאֲרִי וּמִיַּד
そして-言った ダビデは 主は その 救って-くださった の-手から 獅子の そして-の-手から
H0559 H1732 H3068 H5337 H3027 H0413 H3027

הַדֹּב הוּא בְּיַד הַפְּלִשְׁתִּי הַזֶּה יַצִּילֵנִי מִיַּד שָׁאוּל וַיֹּאמֶר
熊の その-方が 救って-くださる の-手から ペリシテ人 この セラ そして-言った サウル
H1677 H1931 H5337 H3027 H6430 H2088 ס H0559 H7586

שְׁמוּאֵל לְדָוִד אֶל־ וַיהוָה יִהְיֶה עִמָּךְ׃
に ダビデ 行け そして-主が おられるように あなたと-共に
H0413 H1732 H3212 H3068 H1961

ダビデはまた言った、「ししのつめ、くまのつめからわたしを救い出された主は、またわたしを、このペリシテびとの手から救い出されるでしょう」。サウルはダビデに言った、「行きなさい。どうぞ主があなたと共におられるように」。

38 וַיַּלְבֵּשׁ שָׁאוּל אֶת־ דָּוִד מַדָּיו וְנָתַן קוֹבַע נְחֹשֶׁת עַל־
そして-着せた サウルは に ダビデ 自分の-軍服を そして-置いた 兜を 青銅の の-上に
H3847 H7586 H0853 H1732 H4055 H5414 H6959 H5414 H0413

רֹאשׁוֹ וַיַּלְבֵּשׁ אֹתוֹ שִׁרְיוֹן׃
彼の-頭 そして-着せた 彼に よろいを
H0853 H3847

そしてサウルは自分のいくさ衣をダビデに着せ、青銅のかぶとを、その頭にかぶらせ、また、うろことじのよろいを身にまとわせた。

39 כִּי לָלֶכֶת וַיֹּאֶל לִמַּדָּיו מֵעַל חַרְבּוֹ אֶת־ דָּוִד וַיַּחְגֹּר
なぜなら 歩こうと そして-試みた 軍服 の-上から 彼の-剣を を ダビデは そして-帯びた
H3212 H2974 H4055 H5921 H2719 H0853 H1732 H2296

בָּאֵלֶּה לָלֶכֶת אוּכַל לֹא שָׁאוּל אֶל־ דָּוִד וַיֹּאמֶר נָסֹה לֹא־
これらで 歩く-ことが でき ない サウル に ダビデは そして-言った 試して なかった
H0428 H3212 H3201 H3808 H7586 H0413 H1732 H0559 H5254 H3808

מֵעָלָיו׃ דָּוִד וַיְסִרֵם נִסִּיתִי לֹא כִּי
自分の-上から ダビデは そして-脱いだ 試して ない なぜなら
H5921 H1732 H5493 H5254 H3808

ダビデは、いくさ衣の上に、つるぎを帯びて行こうとしたが、できなかった。それに慣れていなかったからである。そこでダビデはサウルに言った、「わたしはこれらのものを着けていくことはできません。慣れていないからです」。

40 וַיִּקַּח מַקְלוֹ בְּיָדוֹ וַיִּבְחַר־ לוֹ חֲמִשָּׁה חַלְקֵי־ אֲבָנִים
そして-取った 自分の-杖を 手に そして-選んだ 自分の-ために 五つの 滑らかな 石を
H3947 H4731 H3027 H0977 H5921 H2568 H2512 H0068

וַיָּשֶׂם אֹתָם בִּכְלִי הָרֹעִים אֲשֶׁר־ לוֹ וּבַיַּלְקוּט
そして-入れた それを の-中に 羊飼いの-袋 その 彼の そして-小袋に
H3627 H0853 H3627 H7462 H0834 H3219

מִן־ הַנַּחַל וְקַלְעוֹ בְיָדוֹ וַיִּגַּשׁ אֶל־ הַפְּלִשְׁתִּי׃
から 川から そして-石投げを 手に そして-近づいた に ペリシテ人
H6430 H0413 H5066 H3027

ダビデはそれらを脱ぎすて、手につえをとり、谷間からなめらかな石五個を選びとって自分の持っている羊飼の袋に入れ、手に石投げを執って、あのペリシテびとに近づいた。

41 וַיֵּלֶךְ הַפְּלִשְׁתִּי הֹלֵךְ וְקָרֵב אֶל־דָּוִד וְהָאִישׁ נֹשֵׂא הַצִּנָּה לְפָנָיו׃
そして–行った ペリシテ人は 歩いて そして–近づいて–くる に ダビデ そして–人が 持つ 大盾を 彼の–前に
H3212 H6430 H1980 H7131 H0413 H1732 H0376 H5375 H6440

そのペリシテびとは進んできてダビデに近づいた。そのたてを執る者が彼の前にいた。

42 וַיַּבֵּט הַפְּלִשְׁתִּי וַיַּרְא אֶת־דָּוִד וַיִּבְזֵהוּ כִּי־הָיָה נַעַר וְאַדְמֹנִי עִם־יְפֵה מַרְאֶה׃
そして–見た ペリシテ人は そして–見た を ダビデを そして–蔑んだ なぜなら だった 若者 そして–赤毛で そして 美しい 容姿の
H5027 H6430 H7200 H0853 H1732 H0959 H3588 H1961 H5288 H0132 H0854 H3303 H4758

ペリシテびとは見まわしてダビデを見、これを侮った。まだ若くて血色がよく、姿が美しかったからである。

43 וַיֹּאמֶר הַפְּלִשְׁתִּי אֶל־דָּוִד הֲכֶלֶב אָנֹכִי כִּי־אַתָּה בָּא־אֵלַי בַּמַּקְלוֹת וַיְקַלֵּל הַפְּלִשְׁתִּי אֶת־דָּוִד בֵּאלֹהָיו׃
そして–言った ペリシテ人は に ダビデ 犬なのか 私は こと お前が 来る 棒で そして–呪った ペリシテ人は を ダビデを 自分の–神で
H0559 H6430 H0413 H1732 H3611 H0595 H3588 H0859 H0935 H4731 H7043 H6430 H0853 H1732 H0430

ペリシテびとはダビデに言った、「つえを持って、向かってくるが、わたしは犬なのか」。ペリシテびとは、また神々の名によってダビデをのろった。

44 וַיֹּאמֶר הַפְּלִשְׁתִּי אֶל־דָּוִד לְכָה אֵלַי וְאֶתְּנָה אֶת־בְּשָׂרְךָ לְעוֹף הַשָּׁמַיִם וְלִבְהֵמֶת הַשָּׂדֶה׃ ס
そして–言った ペリシテ人は に ダビデ 来い 私の–ところに そして–与えて–やる を お前の–肉を の–鳥に 空の そして–の–獣に 野の セラ
H0559 H6430 H0413 H1732 H3212 H0413 H5414 H0853 H1320 H5775 H8064 H0929 H7704

ペリシテびとはダビデに言った、「さあ、向かってこい。おまえの肉を、空の鳥、野の獣のえじきにしてくれよう」。

45 וַיֹּאמֶר דָּוִד לַפְּלִשְׁתִּי אַתָּה בָּא אֵלַי בְּחֶרֶב וּבַחֲנִית וּבְכִידוֹן וְאָנֹכִי בָּא־אֵלֶיךָ בְּשֵׁם יְהוָה צְבָאוֹת אֱלֹהֵי מַעַרְכוֹת יִשְׂרָאֵל אֲשֶׁר חֵרַפְתָּ׃
そして–言った ダビデは に ペリシテ人 お前は 来る 私の–ところに 剣で そして–槍で そして–投げ槍で しかし–私は 来る お前の–ところに の–名で 主 万軍の 神よ 戦列の イスラエルの その 辱めた
H0559 H1732 H0413 H6430 H0859 H0935 H0413 H2719 H2595 H3591 H0595 H0935 H0413 H8034 H3068 H6635 H0430 H4634 H3478 H0834 H2778

ダビデはペリシテびとに言った、「おまえはつるぎと、やりと、投げやりを持って、わたしに向かってくるが、わたしは万軍の主の名、すなわち、おまえがいどんだ、イスラエルの軍の神の名によって、おまえに立ち向かう。

רֹאשֶׁךָ	אֶת־	וַהֲסִרֹתִי	וְהִכִּיתִךָ	בְיָדִי	יְהוָה	יְסַגֶּרְךָ	הַזֶּה	הַיּוֹם	46
お前の–頭を	を	そして–取り–除く	そして–打つ	私の–手に	主が	引き–渡す	この	の–日に	
	H0853	H5493	H5221	H3027	H3068	H5462	H2088	H3117	

הַשָּׁמַיִם	לְעוֹף	הַזֶּה	הַיּוֹם	פְּלִשְׁתִּים	מַחֲנֵה	פֶּגֶר	וְנָתַתִּי	מֵעָלֶיךָ
空の	の–鳥に	この	の–日に	ペリシテ人の	陣営の	死体を	そして–与える	お前から
H8064	H5775	H2088	H3117	H6430	H4264	H6297	H5414	

:לְיִשְׂרָאֵל	אֱלֹהִים	יֵשׁ	כִּי	הָאָרֶץ	כָּל־	וְיֵדְעוּ	הָאָרֶץ	וּלְחַיַּת
イスラエルに	神が	いる	こと	地が	全	そして–知る	地の	そして–の–獣に
H3478	H0430	H3426		H0776	H3605	H3045	H0776	

きょう、主は、おまえをわたしの手にわたされるであろう。わたしは、おまえを撃って、首をはね、ペリシテびとの軍勢の死かばねを、きょう、空の鳥、地の野獣のえじきにし、イスラエルに、神がおられることを全地に知らせよう。

יְהוָה	יְהוֹשִׁיעַ	וּבַחֲנִית	בְּחֶרֶב	לֹא	כִּי־	הַזֶּה	הַקָּהָל	כָּל־	וְיֵדְעוּ	47
主が	救う	そして–槍で	剣で	ない	こと	この	この–会衆が	全	そして–知る	
H3068	H3467	H2595	H2719	H3808		H2088	H6951	H3605	H3045	

:בְּיָדֵנוּ	אֶתְכֶם	וְנָתַן	הַמִּלְחָמָה	לַיהוָה	כִּי
私たちの–手に	お前たちを	そして–渡す	戦いは	主の–ものだ	なぜなら
H3027	H0853	H5414	H4421	H3068	

またこの全会衆も、主は救を施すのに、つるぎとやりを用いられないことを知るであろう。この戦いは主の戦いであって、主がわれわれの手におまえたちを渡されるからである」。

לִקְרַאת	וַיִּקְרַב	וַיֵּלֶךְ	הַפְּלִשְׁתִּי	קָם	כִּי־	וְהָיָה		48
迎える–ために	そして–近づいた	そして–行った	ペリシテ人が	立ち上がった	こと	そして–なった		
H7122	H7126	H3212	H6430			H1961		

:הַפְּלִשְׁתִּי	לִקְרַאת	הַמַּעֲרָכָה	וַיָּרָץ	דָּוִד	וַיְמַהֵר	דָּוִד	
ペリシテ人を	迎える–ために	戦列に	そして–走った	ダビデは	そして–急いだ	ダビデを	
H6430	H7122	H4634	H7323	H1732		H1732	

そのペリシテびとが立ち上がり、近づいてきてダビデに立ち向かったので、ダビデは急ぎ戦線に走り出て、ペリシテびとに立ち向かった。

אֶבֶן	מִשָּׁם	וַיִּקַּח	הַכֶּלִי	אֶל־	יָדוֹ	אֶת־	דָּוִד	וַיִּשְׁלַח	49
石を	そこから	そして–取った	袋に	に	手を	を	ダビデは	そして–伸ばした	
H0068	H8033	H3947	H3627	H0413	H3027	H0853	H1732	H7971	

בְּמִצְחוֹ	הָאֶבֶן	וַתִּטָּבַע	מִצְחוֹ	אֶל־	הַפְּלִשְׁתִּי	אֶת־	וַיַּךְ	וַיַּקַּל
額に	石が	そして–食い込んだ	額に	に	ペリシテ人を	を	そして–打った	そして–投げた
H4696	H0068	H2883	H4696	H0413	H6430	H0853	H5221	

:אָרְצָה	פָּנָיו	עַל־	וַיִּפֹּל	
地に	顔の	の–上に	そして–倒れた	
H0776	H6440		H5307	

ダビデは手を袋に入れて、その中から一つの石を取り、石投げで投げて、ペリシテびとの額を撃ったので、石はその額に突き入り、うつむきに地に倒れた。

אֶת־	וַיַּךְ	וּבָאֶבֶן	בַּקָּלַע	הַפְּלִשְׁתִּי	מִן־	דָּוִד	וַיֶּחֱזַק		50
を	そして–打った	そして–石で	石投げで	ペリシテ人に	に	ダビデは	そして–打ち–勝った		
H0853	H5221	H0068		H6430		H1732	H2388		

:דָּוִד	בְּיַד־	אֵין	וְחֶרֶב	וַיְמִיתֵהוּ	הַפְּלִשְׁתִּי	
ダビデ	の–手に	なかった	そして–剣は	そして–殺した	ペリシテ人を	
H1732	H3027	H0369	H2719	H4191	H6430	

こうしてダビデは石投げと石をもってペリシテびとに勝ち、ペリシテびとを撃って、これを殺した。ダビデの手につるぎがなかったので、

51 וַיָּרָץ דָּוִד וַיַּעֲמֹד אֶל־הַפְּלִשְׁתִּי וַיִּקַּח אֶת־חַרְבּוֹ

そして–走った ダビデは そして–立った の–上に ペリシテ人 そして–取った を 彼の–剣を
H7323 H1732 H5975 H0413 H6430 H3947 H0853 H2719

וַיִּשְׁלָפֶהָ מִתַּעְרָהּ וַיְמִתֵהוּ וַיִּכְרָת־בָּהּ אֶת־רֹאשׁוֹ

そして–拝き その–さやから そして–止めを–さした そして–切り–落とした それで を 彼の–頭を
H8025 H8593 H4191 H3772 H0853

וַיַּרְא הַפְּלִשְׁתִּים כִּי־מֵת גִּבּוֹרָם וַיָּנֻסוּ׃

そして–見た ペリシテ人は こと 死んだ 彼らの–勇士が そして–逃げた
H7200 H6430 H4191 H1368 H5127

ダビデは走りよってペリシテびとの上に乗り、そのつるぎを取って、さやから抜きはなし、それをもって彼を殺し、その首をはねた。ペリシテの人々は、その勇士が死んだのを見て逃げた。

52 וַיָּקֻמוּ אַנְשֵׁי יִשְׂרָאֵל וִיהוּדָה וַיָּרִעוּ

そして–立ち上がった 人々は イスラエルの そして–ユダの そして–雄たけびを–あげて
H7321 H0376 H3478 H3063 H7321

וַיִּרְדְּפוּ אֶת־הַפְּלִשְׁתִּים עַד־בּוֹאֲךָ גַּיְא וְעַד שַׁעֲרֵי עֶקְרוֹן

そして–追いかけた を ペリシテ人を まで へ–至るまで 谷 そして–まで の–門まで エクロン
H7291 H0853 H6430 H5704 H0935 H1516 H5704 H8179 H6138

וַיִּפְּלוּ חַלְלֵי פְלִשְׁתִּים בְּדֶרֶךְ שַׁעֲרַיִם וְעַד־גַּת וְעַד־עֶקְרוֹן׃

そして–倒れた 倒れた–者たちは ペリシテ人の の–道に シャアライム そして–まで ガト そして–まで エクロン
H5307 H2491 H6430 H1870 H8189 H5704 H1661 H5704 H6138

イスラエルとユダの人々は立ちあがり、ときをあげて、ペリシテびとを追撃し、ガテおよびエクロンの門にまで及んだ。そのためペリシテびとの負傷者は、シャライムからガテおよびエクロンに行く道の上に倒れた。

53 וַיָּשֻׁבוּ בְנֵי יִשְׂרָאֵל מִדְּלֹק אַחֲרֵי פְלִשְׁתִּים וַיְשֹׁסּוּ

そして–戻った 子らは イスラエルの 激しく–追いかけてから の–後を ペリシテ人 そして–略奪した
H7725 H1121 H3478 H1814 H310 H6430 H8155

אֶת־מַחֲנֵיהֶם׃ אֶת־ を 彼らの–陣営を
H0853 H4264

イスラエルの人々はペリシテびとの追撃を終えて帰り、その陣営を略奪した。

54 וַיִּקַּח דָּוִד אֶת־רֹאשׁ הַפְּלִשְׁתִּי וַיְבִאֵהוּ יְרוּשָׁלִָם וְאֶת־

そして–取った ダビデは を 頭を ペリシテ人の そして–持って–来た エルサレムに そして
H3947 H1732 H0853 H7218 H6430 H0935 H3389 H0853

כֵּלָיו שָׂם בְּאָהֳלוֹ׃ סֶלָה

彼の–武具を 置いた 自分の–天幕に セラ
H3627 H7760 H0168

55 וְכִרְאוֹת שָׁאוּל אֶת־דָּוִד יֹצֵא לִקְרַאת הַפְּלִשְׁתִּי אָמַר
そして–見た–とき サウルは を ダビデが 出て–行くのを 迎える–ために ペリシテ人を 言った
H7200 H7586 H0853 H1732 H3318 H6430 H0559

אַבְנֵר אֶל־אַבְנֵר בֶּן־מִי זֶה הַנַּעַר וַיֹּאמֶר אַבְנֵר
アブネル に アブネル の–息子 誰の この 若者は そして–言った アブネル
H0074 H0413 H0074 H4310 H2088 H5288 H0559 H0074

חֵי־ אִם־ יָדַעְתִּי׃ הַמֶּלֶךְ נַפְשְׁךָ
生きて–おられる ない 知ら 王よ あなたの–魂に–かけて
H5315 H4428 H3045

サウルはダビデがあのペリシテびとに向かって出ていくのを見て、軍の長アブネルに言った、「アブネルよ、この若者はだれの子か」。アブネルは言った、「王よ、あなたのいのちにかけて誓います。わたしは知らないのです」。

56 וַיֹּאמֶר הַמֶּלֶךְ שְׁאַל אַתָּה בֶּן־מִי זֶה הָעָלֶם׃ ס
そして–言った 王は 尋ねよ お前が の–息子 誰の この 若者は セラ
H0559 H4428 H7592 H0853 H4310 H2088 H5958

王は言った、「この若者がだれの子か、尋ねてみよ」。

57 וּכְשׁוּב דָּוִד מֵהַכּוֹת אֶת־הַפְּלִשְׁתִּי וַיִּקַּח אֹתוֹ
そして–戻った–とき ダビデが 打つ–ことから を ペリシテ人を そして–取った 彼を
H7725 H1732 H5221 H0853 H6430 H3947 H0853

אַבְנֵר וַיְבִאֵהוּ לִפְנֵי שָׁאוּל וְרֹאשׁ הַפְּלִשְׁתִּי בְּיָדוֹ׃
アブネルは そして–連れて–来た の–前に サウル そして–頭を ペリシテ人の 彼の–手に
H0074 H0935 H6440 H7586 H7218 H6430 H3027

ダビデが、あのペリシテびとを殺して帰ってきた時、アブネルは、ペリシテびとの首を手に持っている彼を、サウルの前に連れて行った。

58 וַיֹּאמֶר אֵלָיו שָׁאוּל בֶּן־מִי אַתָּה הַנַּעַר וַיֹּאמֶר דָּוִד
そして–言った 彼に サウル の–息子 誰の お前は 若者よ そして–言った ダビデは
H0559 H0413 H7586 H4310 H0853 H5288 H0559 H1732

בֶּן־ עַבְדְּךָ יִשַׁי הַלַּחְמִי׃ בֵּית
の–息子です あなたの–僕 エッサイ ベツレヘムの
H5650 H3448 H1022

サウルは彼に言った、「若者よ、あなたはだれの子か」。ダビデは答えた、「あなたのしもべ、ベツレヘムびとエッサイの子です」。

Chapter 18

1 וַיְהִי כְּכַלֹּתוֹ לְדַבֵּר אֶל־שָׁאוּל וְנֶפֶשׁ יְהוֹנָתָן
そして–あった 彼が–話し終えた–とき 語る–ことを ～に サウル そして–心は ヨナタンの
H1961 H3615 H1696 H0413 H7586 H5315 H3083

נִקְשְׁרָה בְּנֶפֶשׁ דָּוִד ויאהבו[וַיֶּאֱהָבֵהוּ)(יְהוֹנָתָן
結ばれた 心に ダビデの [そして–彼を–愛した] (そして–彼を–愛した) ヨナタンは
H7194 H5315 H1732 H0157 H0157 H3083

כְּנַפְשׁוֹ׃
自分–自身の–ように
H5315

ダビデがサウルに語り終えた時、ヨナタンの心はダビデの心に結びつき、ヨナタンは自分の命のようにダビデを愛した。

2

בָּיִת	לָשׁוּב	נְתָנוֹ	וְלֹא	הַהוּא	בַּיּוֹם	שָׁאוּל	וַיַּקְּחֵהוּ
家に	帰る-ことを	彼に-許さ	そして-なかった	その	その-日	サウルは	そして-彼を-留めた
H7725		H5414	H3808	H1931	H3117	H7586	H3947

:אָבִיו
彼の-父の
H0001

この日、サウルはダビデを召しかかえて、父の家に帰らせなかった。

3

:כְּנַפְשׁוֹ	אֹתוֹ	בְּאַהֲבָתוֹ	בְּרִית	וְדָוִד	יְהוֹנָתָן	וַיִּכְרֹת	
自分-自身の-ように	彼を	彼の-愛の-ゆえに	契約を	そして-ダビデは	ヨナタンは	そして-結んだ	
H5315	H0853	H0160	H1285	H1732	H3083	H3772	

ヨナタンとダビデとは契約を結んだ。ヨナタンが自分の命のようにダビデを愛したからである。

4

וַיִּתְּנֵהוּ	עָלָיו	אֲשֶׁר	הַמְּעִיל	אֶת־	יְהוֹנָתָן	וַיִּתְפַּשֵּׁט	
そして-それを-与えた	彼の-上に-あった	それは	上着を	～を	ヨナタンは	そして-脱いだ	
H5414			H4598	H0853	H3083	H6584	

וְעַד־	קַשְׁתּוֹ	וְעַד־	חַרְבּוֹ	וְעַד־	וּמַדָּיו	לְדָוִד
そして-～まで	彼の-弓	そして-～まで	彼の-剣	そして-～まで	そして-彼の-衣服も	ダビデに
H5704	H7198	H5704	H2719	H5704	H4055	H1732

:חֲגֹרוֹ
彼の-帯

ヨナタンは自分が着ていた上着を脱いでダビデに与えた。また、そのいくさ衣、およびつるぎも弓も帯も、そのようにした。

5

שָׁאוּל	יִשְׁלָחֶנּוּ	אֲשֶׁר	בְּכֹל	דָּוִד	וַיֵּצֵא	
サウルが	サウルが-彼を-遣わした	～に	すべての-ところで	ダビデは	そして-出て-行った	
H7586	H7971		H3605	H1732	H3318	

בְּעֵינֵי	וַיִּיטַב	הַמִּלְחָמָה	אַנְשֵׁי	עַל	שָׁאוּל	וַיְשִׂמֵהוּ	יַשְׂכִּיל
目に	そして-良かった	戦いの	人々の	～の-上に	サウルは	そして-彼を-任じた	成功-した
	H3190	H4421	H0376		H7586		

פ	:שָׁאוּל	עַבְדֵי	בְּעֵינֵי	וְגַם	הָעָם	כָּל־
¶	サウルの	家来たちの	目にも	そして-また	民の	すべての
	H7586	H5650		H1571		H3605

ダビデはどこでもサウルがつかわす所に出て行って、てがらを立てたので、サウルは彼を兵の隊長とした。それはすべての民の心にかない、またサウルの家来たちの心にもかなった。

6

אֶת־	מֵהַכּוֹת	דָּוִד	בְּשׁוּב	בְּבוֹאָם	וַיְהִי	
～を	打ち倒す-ことから	ダビデが	ダビデが-帰った-とき	彼らが-来た-とき	そして-あった	
H0853	H5221	H1732	H7725	H0935	H1961	

)לָשִׁיר(	]לשׁוּר[	יִשְׂרָאֵל	עָרֵי	מִכֹּל־	הַנָּשִׁים	וַתֵּצֶאנָה	הַפְּלִשְׁתִּי
(歌い)	[歌う-ために]	イスラエルの	町々から	すべての	女たちが	そして-出て-来た	ペリシテ人を
H7891	H7891	H3478		H3605	H0802	H3318	H6430

:וּבְשָׁלִשִׁים	בְּשִׂמְחָה	בְּתֻפִּים	הַמֶּלֶךְ	שָׁאוּל	לִקְרַאת	וְהַמְּחֹלוֹת
そして-楽器で	喜びの-声で	タンバリンで	王を	サウル	迎えに	そして-踊り-ながら
	H8057	H8596	H4428	H7586	H7122	H4246

人々が引き揚げてきた時、すなわちダビデが、かのペリシテびとを殺して帰った時、女たちはイスラエルの町々から出てきて、手鼓と祝い歌と三糸の琴をもって、歌いつ舞いつ、サウル王を迎えた。

7 וַתַּעֲנֶינָה הַנָּשִׁים הַמְשַׂחֲקוֹת וַתֹּאמַרְן שָׁאוּל הִכָּה [באלפו]
そして-歌い交わした 女たちは 喜び-祝い-ながら そして-言った 打った サウルは [千の-うちに]
H6030 H0802 H7832 H0559 H5221 H7586 H0505

(בַּאֲלָפָיו) וְדָוִד בִּרְבָבֹתָיו׃
(千を) そして-ダビデは 万を
H0505 H1732 H7233

女たちは踊りながら互に歌いかわした、「サウルは千を撃ち殺し、ダビデは万を撃ち殺した」。

8 וַיִּחַר לְשָׁאוּל וַיֵּרַע בְּעֵינָיו הַדָּבָר הַזֶּה וַיֹּאמֶר
そして-怒った サウルは 非常に そして-悪かった 彼の-目に この-言葉は そして-言った
H2734 H7586 H3966 H7489 H5869 H1697 H2088 H0559

אַךְ לוֹ וְעוֹד הָאֲלָפִים נָתְנוּ וְלִי רְבָבוֹת לְדָוִד נָתְנוּ
ただ 彼には そして-まだ 千を 与えた そして-私には 万を ダビデに 彼らは-与えた
H0389 H5750 H0505 H5414 H7233 H1732 H5414

הַמְּלוּכָה׃
王位-だけが
H4410

サウルは、ひじょうに怒り、この言葉に気を悪くして言った、「ダビデには万と言い、わたしには千と言う。この上、彼に与えるものは、国のほかないではないか」。

9 וַיְהִי שָׁאוּל [עוֹן] (עוֹיֵן) אֶת־ דָּוִד מֵהַיּוֹם
そして-あった サウルは [疑いの-目で-見る] (疑いの-目で-見た) ～を ダビデを その-日から
H1961 H7586 H5771 H5770 H0853 H1732 H3117

וָהָלְאָה׃ ס ¶ הַהִוא
そして-以後 その
H1973 H1931

サウルは、この日からのちダビデをうかがった。

10 וַיְהִי מִמָּחֳרָת וַתִּצְלַח רוּחַ אֱלֹהִים רָעָה אֶל־ שָׁאוּל
そして-あった 翌日 そして-臨んだ 霊が 神の 悪い ～の-上に サウル
H1961 H4283 H6743 H7307 H0430 H7451 H0413 H7586

וְהוּא מִתְנַבֵּא בְּתוֹךְ־ הַבַּיִת וְדָוִד מְנַגֵּן בְּיָדוֹ כְּיוֹם
いつもの-ように 手で 弾いていた そして-ダビデは 家の 中で そして-狂ったように-振る舞った
H3117 H3027 H5059 H1732 H1004 H8432 H5012

וְהַחֲנִית בְּיַד־ שָׁאוּל׃ בְּיוֹם
そして-槍が 手に サウルの 日々
H2595 H3027 H7586 H3117

次の日、神から来る悪霊がサウルにはげしく臨んで、サウルが家の中で狂いわめいたので、ダビデは、いつものように、手で琴をひいた。その時、サウルの手にやりがあったので、

11 וַיָּטֶל שָׁאוּל אֶת־ הַחֲנִית וַיֹּאמֶר אַכֶּה בְדָוִד וּבַקִּיר
そして-投げた サウルは ～を 槍を そして-言った 打ち付けよう ダビデを そして-壁に
H2904 H7586 H0853 H2595 H0559 H5221 H1732 H7023

וְדָוִד נָס מִפָּנָיו פַּעֲמָיִם׃
しかし-身を-かわした ダビデは 彼の-前から 二度
H5437 H1732 H6440 H6471

サウルは「ダビデを壁に刺し通そう」と思って、そのやりをふり上げた。しかしダビデは二度身をかわしてサウルを避けた。

12 וַיִּרָא שָׁאוּל וַיְהִי מִלִּפְנֵי דָּוִד כִּי־הָיָה יְהוָה עִמּוֹ וּמֵעִם שָׁאוּל סָר׃
そして–恐れた サウルは ～の–前に ダビデを なぜなら あった 主が 彼と–共に そして–～から 去って–いた サウルからは
H3372 H7586 H6440 H1732 H3588 H1961 H3068 H5493 H7586

主がサウルを離れて、ダビデと共におられたので、サウルはダビデを恐れた。

13 וַיְסִרֵהוּ שָׁאוּל מֵעִמּוֹ וַיְשִׂמֵהוּ לוֹ שַׂר־אָלֶף וַיֵּצֵא וַיָּבֹא לִפְנֵי הָעָם׃ פ
そして–彼を–遠ざけた サウルは 自分の–そばから そして–彼を–任じた 彼に 千人の 長に そして–出て–行き そして–入った 前に 民の ¶
H5493 H7586 H4480 H7586 H7760 H505 H3318 H935 H6440 H5971

それゆえサウルは、ダビデを遠ざけて、千人の長としたので、ダビデは民の先に立って出入りした。

14 וַיְהִי דָוִד לְכֹל־דְּרָכָו מַשְׂכִּיל וַיהוָה עִמּוֹ׃
そして–あった ダビデは すべての 道において 賢く–行動し そして–主は 彼と–共に–おられた
H1961 H1732 H3605 H1870 H7919 H3068 H5973

またダビデは、すべてそのすることに、てがらを立てた。主が共におられたからである。

15 וַיַּרְא שָׁאוּל אֲשֶׁר־הוּא מַשְׂכִּיל מְאֹד וַיָּגָר מִפָּנָיו׃
そして–見た サウルは ～を 彼が 非常に–賢く–行動する–ことを 非常に 恐れた 彼の–前を
H7200 H7586 H834 H1931 H7919 H4480 H3966 H3372 H6440

サウルはダビデが大きなてがらを立てるのを見て彼を恐れたが、

16 וְכָל־יִשְׂרָאֵל וִיהוּדָה אֹהֵב אֶת־דָּוִד כִּי־הוּא יוֹצֵא וָבָא לִפְנֵיהֶם׃ פ
しかし–すべての イスラエルと ユダは 愛していた ～を ダビデを なぜなら 彼は 出て–行き そして–帰って–来た 彼らの–前に ¶
H3605 H3478 H3063 H157 H853 H1732 H3588 H1931 H3318 H935 H6440

イスラエルとユダのすべての人はダビデを愛した。彼が民の先に立って出入りしたからである。

17 וַיֹּאמֶר שָׁאוּל אֶל־דָּוִד הִנֵּה בִתִּי הַגְּדוֹלָה מֵרַב אֹתָהּ
そして-言った サウルは ～に ダビデに 見よ 私の-娘 年上の メラブを 彼女を
H0559 H7586 H0413 H1732 H2009 H1323 H4764 H0853

תֵּן־לְבֶן חַיִל לִי־הֶוֵה אַךְ לְאִשָּׁה לְךָ אֶתְּנֶנָּה
私は-与えよう 妻として ただ なりなさい 私に-とって 勇敢な 息子に
H5414 H0802 H0389 H1961 H0408 H2428

יָדִי תִּהְיֶה בּוֹ וְשָׁאוּל אָמַר אַל־תִּהְיֶה בּוֹ וְהִלָּחֲמוֹת מִלְחֲמוֹת יְהוָה
私の-手が あるように ない-ように 思った しかし-サウルは 主の 戦いを そして-戦いなさい
H3027 H1961 H0408 H0559 H7586 H3068 H4421

׃פְּלִשְׁתִּים יַד־בּוֹ תִּהְיֶה־בּוֹ ס ¶
ペリシテ人の 手が 彼に あるように 彼に
H6430 H3027 H1961

その時サウルはダビデに言った、「わたしの長女メラブを、あなたに妻として与えよう。ただ、あなたはわたしのために勇ましく、主の戦いを戦いなさい」。サウルは「自分の手で彼を殺さないで、ペリシテびとの手で殺そう」と思ったからである。

18 וַיֹּאמֶר דָּוִד אֶל־שָׁאוּל מִי אָנֹכִי וּמִי חַיַּי מִשְׁפַּחַת
そして-言った ダビデは ～に サウルに 誰 私は そして-誰が 私の-親族 家族は
H0559 H1732 H0413 H7586 H4310 H0595 H4310 H2428 H4940

לְהִוָּתִי חָתָן לַמֶּלֶךְ׃ אָבִי בֵּית כִּי־אֶהְיֶה בְיִשְׂרָאֵל
私が-なる 婿に 王の 私の-父の 家 ～のために イスラエルの-中で
H1961 H2860 H4428 H0001 H1004 H0834 H3478

ダビデはサウルに言った、「わたしは何者なのでしょう。わたしの親族、わたしの父の一族はイスラエルのうちで何者なのでしょう。そのわたしが、どうして王のむこになることができましょう」。

19 וַיְהִי בְּעֵת תֵּת אֶת־מֵרַב בַּת־שָׁאוּל לְדָוִד וְהָיא
そして-あった 時が-来て 与える ～を メラブを 娘を サウルの ダビデに しかし-彼女は
H1961 H6256 H5414 H0853 H4764 H1323 H7586 H1732 H1931

נִתְּנָה לְאִשָּׁה׃ לַעַדְרִיאֵל הַמְּחֹלָתִי
与えられた 妻として アドリエルに メホラ人の
H5414 H0802 H5741 H4259

しかしサウルの娘メラブは、ダビデにとつぐべき時になって、メホラびとアデリエルに妻として与えられた。

20 וַתֶּאֱהַב מִיכַל בַּת־שָׁאוּל לְשָׁאוּל וַיַּגִּדוּ אֶת־דָּוִד
そして-愛した ミカルは 娘が サウルの サウルに そして-告げた ～を ダビデを
H0157 H4324 H1323 H7586 H7586 H5046 H0853 H1732

וַיִּשַׁר בְּעֵינָיו׃ הַדָּבָר
そして-良かった この-ことは 彼の-目に
H3474 H1697

サウルの娘ミカルはダビデを愛した。人々がそれをサウルに告げたとき、サウルはその事を喜んだ。

21 וַיֹּאמֶר שָׁאוּל אֶתְּנֶנָּה לּוֹ וּתְהִי־לוֹ לְמוֹקֵשׁ
そして-言った サウルは 私は-彼女を-与えよう 彼に そして-なるように 彼に 罠と
H0559 H7586 H5414 H0853 H1961 H0853 H4170

בִּשְׁתָּיִם דָּוִד אֶל־שָׁאוּל וַיֹּאמֶר פְּלִשְׁתִּים יַד־בּוֹ וּתְהִי־
二度目に ダビデに ～に サウルは そして-言った ペリシテ人の 手が 彼に そして-あるように
H8147 H1732 H0413 H7586 H0559 H6430 H3027 H1961

׃הַיּוֹם בִּי תִּתְחַתָּן
今日 私の あなたは-婿に-なる
H3117

サウルは「ミカルを彼に与えて、彼を欺く手だてとし、ペリシテびとの手で彼を殺そう」と思ったので、サウルはふたたびダビデに言った、「あなたを、きょう、わたしのむこにします」。

הִנֵּה	לֵאמֹר	בַּלָּט	דָּוִד	אֶל־	דַּבְּרוּ	עַבָדָו	אֶת־	שָׁאוּל	וַיְצַו	22
見よ	言って	ひそかに	ダビデに	～に	語りなさい	家来たちに	～に	サウルは	そして–命じた	
H2009	H0559	H3909	H1732	H0413	H1696	H5650	H0853	H7586	H6680	

וְעַתָּה	אֲהֵבוּךָ	עַבָדָיו	וְכָל־	הַמֶּלֶךְ	בְּךָ	חָפֵץ
そして–今	あなたを–愛している	家来たちも	そして–すべての	王は	あなたを	喜んで–いる
H6258	H0157	H5650	H3605	H4428		

בַּמֶּלֶךְ׃	הִתְחַתָּן
王の	婿に–なりなさい
H4428	

そしてサウルは家来たちに命じた、「ひそかにダビデに言いなさい、『王はあなたが気に入り、王の家来たちも皆あなたを愛しています。それゆえ王のむこになりなさい』」。

וַיֹּאמֶר	הָאֵלֶּה	הַדְּבָרִים	אֶת־	דָּוִד	בְּאָזְנֵי	שָׁאוּל	עַבְדֵי	וַיְדַבְּרוּ		23
そして–言った	これらの	言葉を	～を	ダビデの	耳に	サウルの	家来たちは	そして–語った		
H0559	H0428	H1697	H0853	H1732	H0241	H7586	H5650	H1696		

רָשׁ	אִישׁ־	וְאָנֹכִי	בַּמֶּלֶךְ	הִתְחַתָּן	בְּעֵינֵיכֶם	הַנִּקְלָה	דָּוִד	
貧しい	人で	しかし–私は	王の	婿に–なることは	あなたがたの–目に	軽い–ことですか	ダビデは	
H7326	H0376	H0595	H4428			H7043	H1732	

וְנִקְלֶה׃	
そして–卑しい	
H7034	

そこでサウルの家来たちはこの言葉をダビデの耳に語ったので、ダビデは言った、「わたしのような貧しく、卑しい者が、王のむこになることは、あなたがたには、たやすいことと思われますか」。

פ	דָּוִד׃	דִּבֶּר	הָאֵלֶּה	כַּדְּבָרִים	לֵאמֹר	לוֹ	שָׁאוּל	עַבְדֵי	וַיַּגִּדוּ	24
¶	ダビデは	語った	言葉を	この–ような	言って	彼に	サウルの	家来たちは	そして–告げた	
	H1732	H1696	H0428	H1697	H0559		H7586	H5650	H5046	

サウルの家来たちはサウルに、「ダビデはこう言った」と告げた。

בְּמֹהַר	לַמֶּלֶךְ	חֵפֶץ	אֵין־	לְדָוִד	תֹּאמְרוּ	כֹּה־	שָׁאוּל	וַיֹּאמֶר		25
花嫁の–代価に	王には	望みは	ない	ダビデに	言いなさい	このように	サウルは	そして–言った		
H4119	H4428	H2656	H0369	H1732	H0559	H3541	H7586	H0559		

חָשַׁב	וְשָׁאוּל	הַמֶּלֶךְ	בְּאֹיְבֵי	לְהִנָּקֵם	פְּלִשְׁתִּים	עָרְלוֹת	בְּמֵאָה	כִּי	
企んでいた	しかし–サウルは	王の	敵に	復讐する–ために	ペリシテ人の	包皮を	百の	ただ	
H2803	H7586	H4428	H0341	H5358	H6430	H6190	H3967		

פְּלִשְׁתִּים׃	בְּיַד־	דָּוִד	אֶת־	לְהַפִּיל
ペリシテ人の	手に–よって	ダビデを	～を	倒す–ことを
H6430	H3027	H1732	H0853	H5307

サウルは言った、「あなたがたはダビデにこう言いなさい、『王はなにも結納を望まれない。ただペリシテびとの陽の皮一百を獲て、王のあだを討つことを望まれる』」。これはサウルが、ダビデをペリシテびとの手によって倒そうと思ったからである。

הַדָּבָר	וַיִּשַׁר	הָאֵלֶּה	הַדְּבָרִים	אֶת־	לְדָוִד	עַבָדָיו	וַיַּגִּדוּ			26
この–ことは	そして–良かった	これらの	言葉を	～を	ダビデに	家来たちは	そして–告げた			
H1697	H3474	H0428	H1697	H0853	H1732	H5650	H5046			

הַיָּמִים׃	מָלְאוּ	וְלֹא	בַּמֶּלֶךְ	לְהִתְחַתֵּן	דָּוִד	בְּעֵינֵי
日々は	満ちて–いなかった	そして–まだ	王の	婿に–なること	ダビデの	目に
H3117	H4390	H3808	H4428		H1732	

サウルの家来たちが、この言葉をダビデに告げた時、ダビデは王のむこになることを良しとした。そして定めた日がまだこないうちに、

27

וַיָּקָם	דָּוִד	וַיֵּלֶךְ	הוּא	וַאֲנָשָׁיו	וַיַּךְ
そして-立ち上がった	ダビデは	そして-行った	彼は	そして-彼の-部下たちは	そして-打った
H6965	H1732	H3212	H1931	H0376	H5221

בַּפְּלִשְׁתִּים	מָאתַיִם	אִישׁ	וַיָּבֵא	דָּוִד	אֶת־	עָרְלֹתֵיהֶם
ペリシテ人の-中から	二百	人を	そして-持って-来た	ダビデは	～を	彼らの-包皮を
H6430	H3967	H0376	H0935	H1732	H0853	H6190

וַיִּמְלְאֻם	לַמֶּלֶךְ	לְהִתְחַתֵּן	בַּמֶּלֶךְ	וַיִּתֶּן־	לוֹ	שָׁאוּל	אֶת־
そして-数え-揃えた	王に	婿に-なる-ために	王の	そして-与えた	彼に	サウルは	～を
H4390	H4428		H4428	H5414		H7586	H0853

ס	לְאִשָּׁה׃	בִּתּוֹ	מִיכַל
¶	妻として	彼の-娘を	ミカルを
	H0802	H1323	H4324

ダビデは従者をつれて、立って行き、ペリシテびと二百人を殺して、その陽の皮を携え帰り、王のむこになるために、それをことごとく王にささげた。そこでサウルは娘ミカルを彼に妻として与えた。

28

וּמִיכַל	דָּוִד	עִם־	יְהוָה	כִּי	וַיֵּדַע	שָׁאוּל	וַיַּרְא
そして-ミカルは	ダビデと	共に-おられること	主が	～を	そして-知った	サウルは	そして-見た
H4324	H1732		H3068		H3045	H7586	H7200

אֲהֵבָתְהוּ׃	שָׁאוּל	בַּת־	
彼を-愛していた	サウルの	娘は	
H0157	H7586	H1323	

しかしサウルは見て、主がダビデと共におられること、またイスラエルのすべての人がダビデを愛するのを知った時、

29

אֹיֵב	שָׁאוּל	וַיְהִי	עוֹד	דָּוִד	מִפְּנֵי	לֵרֵא	שָׁאוּל	וַיֹּסֶף
敵と	サウルは	そして-なった	さらに	ダビデを	～の-前に	恐れた	サウルは	そして-ますます
H0341	H7586	H1961	H5750	H1732	H6440	H3372	H7586	H3254

ס	הַיָּמִים׃	כָּל־	דָּוִד	אֶת־
¶	日々	すべての	ダビデの	～の
	H3117	H3605	H1732	H0853

サウルは、ますますダビデを恐れた。こうしてサウルは絶えずダビデに敵した。

30

צְאֹתָם	מִדֵּי	וַיְהִי	פְּלִשְׁתִּים	שָׂרֵי	וַיֵּצְאוּ
出撃する-と	彼らが-出て-来る-たびに	そして-あった	ペリシテ人の	首長たちが	そして-出て-来た
H3318	H1767	H1961	H6430	H8269	H3318

שְׂכֵל	דָּוִד	מִכֹּל	עַבְדֵי	שָׁאוּל	וַיִּיקַר	שְׁמוֹ
賢く-行動した	ダビデは	すべてに-まさって	家来たちの	サウルの	そして-尊ばれた	彼の-名は
	H1732	H3605	H5650	H7586	H3365	H8034

ס	מְאֹד׃	
¶	非常に	
	H3966	

さてペリシテびとの君たちが攻めてきたが、ダビデは、彼らが攻めてくるごとに、サウルのどの家来よりも多くのてがらを立てたので、その名はひじょうに尊敬された。

Chapter 19

1

וַיְדַבֵּר שָׁאוּל אֶל־יוֹנָתָן בְּנוֹ וְאֶל־כָּל עֲבָדָיו
そして-語った サウルは ～に ヨナタンに 彼の-息子 そして-～に すべての 家来たちに
H1696 H7586 H0413 H3129 H0413 H3605 H5650

לְהָמִית אֶת־דָּוִד וִיהוֹנָתָן בֶּן־שָׁאוּל חָפֵץ בְּדָוִד מְאֹד׃
殺す-ように ～を ダビデを しかし-ヨナタンは 息子は サウルの 喜んで-いた ダビデを 非常に
H4191 H0853 H1732 H3129 H1121 H7586 H2654 H1732 H3966

サウルはその子ヨナタンおよびすべての家来たちにダビデを殺すようにと言った。しかしサウルの子ヨナタンは深くダビデを愛していた。

2

וַיַּגֶּד יְהוֹנָתָן לְדָוִד לֵאמֹר מְבַקֵּשׁ שָׁאוּל אָבִי
そして-告げた ヨナタンは ダビデに 言って 求めて-いる サウルは 私の-父は
H5046 H3083 H1732 H0559 H1245 H7586 H0001

לַהֲמִיתֶךָ וְעַתָּה הִשָּׁמֶר־נָא בַבֹּקֶר וְיָשַׁבְתָּ בַסֵּתֶר וְנַחְבָּאתָ׃
あなたを-殺す-ことを そして-今 気をつけて どうか 朝に そして-留まりなさい 隠れた-場所に そして-身を-隠しなさい
H4191 H6258 H8104 H4994 H1242 H3427 H2244

ヨナタンはダビデに言った、「父サウルはあなたを殺そうとしています。それゆえあすの朝、気をつけて、わからない場所に身を隠していてください。

3

וַאֲנִי אֵצֵא וְעָמַדְתִּי לְיַד־אָבִי בַּשָּׂדֶה אֲשֶׁר אַתָּה שָׁם
そして-私は 出て-行き そして-立つ 傍に 私の-父の 野で ～の あなたが いる
H0589 H3318 H5975 H3027 H0001 H7704 H0834 H8033

וַאֲנִי אֲדַבֵּר בְּךָ אֶל־אָבִי וְרָאִיתִי מָה וְהִגַּדְתִּי לָךְ׃ ס
そして-私は 語ります あなたの-ことを ～に 私の-父に そして-見届けます 何を そして-告げます あなたに
H0589 H1696 H7200 H4100 H5046 H0853 H0413 H0001

わたしは出て行って、あなたがいる野原で父のかたわらに立ち、父にあなたのことを話しましょう。そして、何かわたしにわかれば、あなたに告げましょう」。

4

וַיְדַבֵּר יְהוֹנָתָן בְּדָוִד אֶל־שָׁאוּל אָבִיו טוֹב
そして-語った ヨナタンは ダビデに-ついて ～に サウルに 彼の-父に 良い-ことを
H1696 H3083 H1732 H0413 H7586 H0001 H2896

וַיֹּאמֶר אֵלָיו אַל־יֶחֱטָא הַמֶּלֶךְ בְּעַבְדּוֹ בְּדָוִד כִּי לֹא חָטָא לָךְ וְכִי מַעֲשָׂיו טוֹב־לוֹ מְאֹד׃
そして-言った 彼に ～に-ような 罪を-犯す 王が 彼の-僕に-対して ダビデに なぜなら ない あなたに そして-実に 彼の-行いは 良い 彼に 罪を-犯して 非常に
H0559 H0413 H0408 H2398 H4428 H5650 H1732 H3588 H3808 H2398 H0853 H4639 H2896 H3966

ヨナタンは父サウルにダビデのことをほめて言った、「王よ、どうか家来ダビデに対して罪を犯さないでください。彼は、あなたに罪を犯さず、また彼のしたことは、あなたのためになることでした。

וַיָּשֶׂם 5
そして–置いた
H0853

אֶת־
〜を
H5315

נַפְשׁוֹ
彼の–命を
H3709

בְּכַפּוֹ
手の–中に
H5221

וַיַּךְ
そして–打ち–倒した
H0853

אֶת־
〜を
H6430

הַפְּלִשְׁתִּי
ペリシテ人を

וַיַּעַשׂ
そして–行われた
H3068

יְהוָה
主は
H8668

תְּשׁוּעָה
救いを
H1419

גְּדוֹלָה
大いなる
H3605

לְכָל־
すべての–〜に
H3478

יִשְׂרָאֵל
イスラエルに
H7200

רָאִיתָ
あなたは–見た
H8055

וַתִּשְׂמָח
そして–喜んだ

וְלָמָּה
それなのに–なぜ
H4100

תֶּחֱטָא
罪を–犯すのか
H1818

בְּדַם
–の–血に–対して
H5355

נָקִי
罪なき
H4191

לְהָמִית
殺す–ことによって
H0853

אֶת־
〜を
H1732

דָּוִד
ダビデを

חִנָּם׃
理由–なく
H2600

彼は命をかけて、あのペリシテびとを殺し、主はイスラエルの人々に大いなる勝利を与えられたのです。あなたはそれを見て喜ばれました。それであるのに、どうしてゆえなくダビデを殺し、罪なき者の血を流して罪を犯そうとされるのですか」。

וַיִּשְׁמַע 6
そして–聞いた
H8085

שָׁאוּל
サウルは
H7586

בְּקוֹל
声に

יְהוֹנָתָן
ヨナタンの
H3083

וַיִּשָּׁבַע
そして–誓った
H7650

שָׁאוּל
サウルは
H7586

חַי־
生きて–おられる

יְהוָה
主に–かけて
H3068

אִם־
もし–〜ならば

יוּמָת׃
殺される–ことは–ない
H4191

サウルはヨナタンの言葉を聞きいれた。そしてサウルは誓った、「主は生きておられる。わたしは決して彼を殺さない」。

וַיִּקְרָא 7
そして–呼んだ
H7121

יְהוֹנָתָן
ヨナタンは
H3083

לְדָוִד
ダビデを

וַיַּגֶּד־
そして–告げた
H5046

לוֹ
彼に

יְהוֹנָתָן
ヨナタンは
H3083

אֵת
〜を
H0853

כָּל־
すべての
H3605

הַדְּבָרִים
言葉を
H1697

וַיָּבֵא
そして–連れて–来た
H0935

יְהוֹנָתָן
ヨナタンは
H3083

אֶת־
〜を
H0853

דָּוִד
ダビデを
H1732

אֶל־
〜に
H0413

שָׁאוּל
サウルの–もとに
H7586

וַיְהִי
そして–いた
H1961

הָאֵלֶּה
これらの
H0428

כְּאֶתְמוֹל
以前の–ように
H0865

שִׁלְשׁוֹם׃
常の–ように
H8032

ס
¶

לְפָנָיו
彼の–前に
H6440

ヨナタンはダビデを呼んでこれらのことをみなダビデに告げた。そしてヨナタンがダビデをサウルのもとに連れてきたので、ダビデは、もとのようにサウルの前にいた。

וַתְּהִי 8
そして–再び
H3254

הַמִּלְחָמָה
戦いが
H4421

לִהְיוֹת
あった
H1961

וַיֵּצֵא
そして–出て–行った
H3318

דָּוִד
ダビデは
H1732

וַיִּלָּחֶם
そして–戦った
H6430

בַּפְּלִשְׁתִּים
ペリシテ人と

וַיַּךְ
そして–打ち–倒した
H5221

בָּהֶם
彼らを

מַכָּה
打撃を
H4347

גְּדוֹלָה
大きな
H1419

וַיָּנֻסוּ
そして–彼らは–逃げた
H5127

מִפָּנָיו׃
彼の–前から
H6440

ところがまた戦争がおこって、ダビデは出てペリシテびとと戦い、大いに彼らを殺したので、彼らはその前から逃げ去った。

9 וַתְּהִי֙ רוּחַ֙ יְהוָ֣ה רָעָ֔ה אֶל־שָׁא֖וּל וְה֣וּא בְבֵיתֹ֑ו יוֹשֵׁ֗ב
そして–あった 霊が 主の 悪い ～の–上に サウルに そして–彼は 家の–中で 座って–いた
H1961 H7307 H3068 H7586 H0413 H7586 H1931 H0413 H3427

וַחֲנִיתֹ֖ו בְּיָדֹ֑ו וְדָוִ֣ד מְנַגֵּ֔ן בְּיָֽד׃
そして–槍が 手に そして–ダビデは 弾いて–いた 手で
H2595 H3027 H1732 H5059 H3027

さてサウルが家にいて手にやりを持ってすわっていた時、主から来る悪霊がサウルに臨んだので、ダビデは琴をひいていたが、

10 וַיְבַקֵּ֥שׁ שָׁא֛וּל בַּחֲנִ֥ית לְהַכֹּ֖ות בְּדָוִ֑ד וּבַקִּ֣יר וַיִּפְטַ֔ר
そして–求めた サウルは 打ち–付ける–ことを 槍で ダビデを ダビデの 壁に しかし–身を–かわした
H1245 H7586 H5221 H2595 H1732 H7023 H6362

וַיִּמָּ֥לֶט דָּוִ֖ד וַיְהִ֣י בַלַּ֑יְלָה הֽוּא׃ פ
そして–逃れた ダビデは そして–打ち–付けた 壁に 槍を ～を サウルの 前から
H4422 H1732 H5221 H7023 H2595 H0853 H7586 H6440

その 夜 そして–難を–逃れた
H1931 H3915 H4422

サウルはそのやりをもってダビデを壁に刺し通そうとした。しかし彼はサウルの前に身をかわしたので、やりは壁につきささった。そしてダビデは逃げ去った。

11 וַיִּשְׁלַ֤ח שָׁאוּל֙ מַלְאָכִ֔ים אֶל־בֵּ֖ית דָּוִ֑ד לְשָׁמְרֹ֔ו וְלַהֲמִיתֹ֖ו
そして–遣わした サウルは 使者たちを ～に 家に ダビデの 見張り そして–殺す–ために
H7971 H7586 H4397 H0413 H1732 H8104 H4191

בַּבֹּ֣קֶר וַתַּגֶּד֙ לְדָוִ֣ד מִיכַ֔ל אִשְׁתֹּ֖ו לֵאמֹ֑ר אִם־אֵינְךָ֤ מְמַלֵּט֙
朝に そして–告げた ダビデに ミカルは 彼の–妻は 言って もし あなたが–～ないならば 逃がす
H1242 H5046 H1732 H4324 H0802 H0559 H0369 H4422

הַלַּ֣יְלָה נַפְשְׁךָ֔ אַתָּ֖ה מָחָ֣ר מוּמָ֑ת׃
今夜 あなたの–命を あなたは 明日 殺される
H3915 H5315 H0853 H4279 H4191

その夜、サウルはダビデの家に使者たちをつかわして見張りをさせ、朝になって彼を殺させようとした。しかしダビデの妻ミカルはダビデに言った、「もし今夜のうちに、あなたが自分の命を救わないならば、あすは殺されるでしょう」。

12 וַתֹּרֶד֙ מִיכַ֔ל אֶת־דָּוִ֖ד בְּעַ֣ד הַחַלֹּ֑ון וַיֵּ֥לֶךְ וַיִּבְרַ֖ח וַיִּמָּֽלֵט׃
そして–降ろした ミカルは ～を ダビデを –を–通して 窓を そして–行った そして–逃げた そして–難を–逃れた
H3381 H4324 H0853 H1732 H1157 H2474 H3212 H1272 H4422

そしてミカルがダビデを窓からつりおろしたので、彼は逃げ去った。

13 וַתִּקַּ֤ח מִיכַל֙ אֶת־הַתְּרָפִ֔ים וַתָּ֥שֶׂם אֶל־הַמִּטָּ֖ה וְאֶת־כְּבִ֣יר הָעִזִּ֑ים וַתְּכַ֥ס בַּבָּֽגֶד׃ ס
そして–取った ミカルは ～を 偶像を そして–置いた ～の–上に 寝台に そして 網を 山羊の–毛の そして–覆った 衣で
H3947 H4324 H0853 H8655 H7760 H0413 H4296 H0853 H3523 H5795 H3680 H0899

ミカルは一つの像をとって、寝床の上に横たえ、その頭にやぎの毛の網をかけ、着物をもってそれをおおった。

14 וַיִּשְׁלַח שָׁאוּל מַלְאָכִים לָקַחַת אֶת־דָּוִד וַתֹּאמֶר חֹלֶה הוּא׃ ¶ פ

そして-遣わした	サウルは	使者たちを	捕らえる-ために	～を	ダビデを	しかし-言った	病気だ
H7971	H7586	H4397	H3947	H0853	H1732	H0559	

彼は
H1931

サウルはダビデを捕えるため使者たちをつかわしたが、彼女は言った、「あの人は病気です」。

15 וַיִּשְׁלַח שָׁאוּל אֶת־הַמַּלְאָכִים לִרְאוֹת אֶת־דָּוִד לֵאמֹר הַעֲלוּ אֹתוֹ בַמִּטָּה אֵלַי לַהֲמִתוֹ׃

そして-遣わした	サウルは	～を	使者たちを	見る-ために	～を	ダビデを	言って	運べ	彼を
H7971	H7586	H0853	H4397	H7200	H0853	H1732	H0559	H5927	H0853

寝台ごと
H4296

私の-ところに
H0413

殺す-ために
H4191

そこでサウルは、ダビデを見させようと使者たちをつかわして言った、「彼を寝床のまま、わたしの所に連れてきなさい。わたしが彼を殺そう」。

16 וַיָּבֹאוּ הַמַּלְאָכִים וְהִנֵּה הַתְּרָפִים עַל־הַמִּטָּה וּכְבִיר הָעִזִּים לְמְרַאֲשֹׁתָיו׃

そして-来た	使者たちが	偶像が	そして-見よ	寝台に	～の-上に	そして-網が	山羊の-毛の
H0935	H4397	H8655	H2009	H4296	H0413	H3523	H5795

頭の-ところに
H4763

使者たちがはいって見ると、寝床には像が横たえてあって、その頭には、やぎの毛の網がかけてあった。

17 וַיֹּאמֶר שָׁאוּל אֶל־מִיכַל לָמָּה כָּכָה רִמִּיתַנִי וַתְּשַׁלְּחִי אֶת־אֹיְבִי וַיִּמָּלֵט וַתֹּאמֶר מִיכַל אֶל־שָׁאוּל הוּא־אָמַר אֵלַי שַׁלְּחֵנִי לָמָּה אֲמִיתֶךָּ׃

そして-言った	サウルは	～に	ミカルに	なぜ	このように	私を-欺いたのか	そして-逃がした	私の-敵を	～を
H0559	H7586	H0413	H4324	H4100	H3602		H7971	H0341	H0853

そして-逃れた	言った	ミカルは	～に	サウルに	彼が	言った	私に	
H4422	H0559	H4324	H0413	H7586	H1931	H0559	H0413	

私が-あなたを-殺すのか
H4191

なぜ
H4100

私を-行かせよ
H7971

サウルはミカルに言った、「あなたはどうして、このようにわたしを欺いて、わたしの敵を逃がしたのか」。ミカルはサウルに答えた、「あの人はわたしに『逃がしてくれ。さもないと、おまえを殺す』と言いました」。

18 וְדָוִד בָּרַח וַיִּמָּלֵט וַיָּבֹא שְׁמוּאֵל הָרָמָתָה וַיַּגֶּד־לוֹ אֵת כָּל־אֲשֶׁר עָשָׂה־לוֹ שָׁאוּל וַיֵּלֶךְ הוּא וַיֵּשֶׁב בְּנָיוֹת׃ (בְּנָיוֹת׃)

そして-ダビデは	逃げた	そして-難を-逃れた	そして-来た	～の-もとに	サムエルの	ラマに	そして-告げた	彼に	～を
H1732	H1272	H4422	H0935	H0413	H8050	H7414	H5046		H0853

すべての-ことを	行った	～を	サウルが	彼に	そして-行った	彼は	
H3605			H7586		H3212	H1931	

そして-住んだ	[ナヨトに]	(ナヨトに)
H3427	H5121	H5121

そして-サムエルは
H8050

ダビデは逃げ去り、ラマにいるサムエルのもとへ行って、サウルが自分にしたすべてのことを彼に告げた。そしてダビデとサムエルは行ってナヨテに住んだ。

19 וַיַּגֶּד לְשָׁאוּל לֵאמֹר הִנֵּה דָוִד [בנוית] (בִּנָיוֹת) בָּרָמָה׃
そして-告げられた サウルに 言って 見よ ダビデは [ナヨトに] (ナヨトに) ラマの
H5046 H7586 H0559 H2009 H1732 H5121 H5121 H7414

ある人がサウルに「ダビデはラマのナヨテにいます」と告げたので、

20 וַיִּשְׁלַח שָׁאוּל מַלְאָכִים לָקַחַת אֶת־דָּוִד וַיַּרְא אֶת־לַהֲקַת הַנְּבִיאִים נִבְּאִים וּשְׁמוּאֵל עֹמֵד נִצָּב עֲלֵיהֶם
そして-遣わした サウルは 使者たちを 捕らえる-ために ～を ダビデを そして-見た ～を 一団を 預言者たちの 預言して-いる そして-サムエルが 立って 導いて-いた 彼らの-上に
H7971 H7586 H4397 H3947 H0853 H1732 H7200 H0853 H3862 H5030 H5012 H8050 H5975 H5324 H5921

וַתְּהִי עַל־מַלְאֲכֵי שָׁאוּל רוּחַ אֱלֹהִים וַיִּתְנַבְּאוּ גַּם־הֵמָּה׃
そして-臨んだ ～の-上に 使者たちに サウルの 霊が 神の そして-預言した 彼らも-また 彼らも
H1961 H5921 H4397 H7586 H7307 H0430 H5012 H1571 H1992

サウルは、ダビデを捕えるために、使者たちをつかわした。彼らは預言者の一群が預言していて、サムエルが、そのうちの、かしらとなって立っているのを見たが、その時、神の霊はサウルの使者たちにも臨んで、彼らもまた預言した。

21 וַיַּגִּדוּ לְשָׁאוּל וַיִּשְׁלַח מַלְאָכִים אֲחֵרִים וַיִּתְנַבְּאוּ גַּם־הֵמָּה וַיֹּסֶף וַיִּשְׁלַח שְׁלִשִׁים מַלְאָכִים אֲחֵרִים וַיִּתְנַבְּאוּ גַּם־הֵמָּה׃
そして-告げた サウルに そして-遣わした 使者たちを 別の そして-預言した 彼らも-また そして-繰り返した そして-遣わした 三度目の 使者たちを そして-預言した 彼らも-また
H5046 H7586 H7971 H4397 H0312 H5012 H1571 H3254 H7971 H7992 H4397 H5012 H1992 H1571

サウルは、このことを聞いて、他の使者たちをつかわしたが、彼らもまた預言した。サウルは三たび使者たちをつかわしたが、彼らもまた預言した。

22 וַיֵּלֶךְ גַּם־הוּא הָרָמָתָה וַיָּבֹא עַד־בּוֹר הַגָּדוֹל אֲשֶׁר בַּשֶּׁכוּ וַיִּשְׁאַל וַיֹּאמֶר אַיפֹה שְׁמוּאֵל וְדָוִד וַיֹּאמֶר הִנֵּה בְּנָיוֹת) בָּרָמָה׃ [בנוית]
そして-行った 自ら-もまた 彼は ラマに そして-来た ～まで 井戸に 大きな ～に-ある セクに そして-尋ねた そして-言った どこに サムエルと ダビデは そして-言った 見よ (ナヨトに) ラマの [ナヨトに]
H3212 H1571 H1931 H7414 H0935 H5704 H0953 H1419 ～に-ある H7906 H7592 H0559 H0375 H8050 H1732 H0559 H2009 H5121 H7414 H5121

そこでサウルはみずからラマに行き、セクの大井戸に着いた時、問うて言った、「サムエルとダビデは、どこにおるか」。ひとりの人が答えた、「彼らはラマのナヨテにいます」。

23 וַיֵּלֶךְ שָׁם אֶל־ (נָיוֹת] [נויתי וְתְהִי עָלָיו בָּרָמָה
そして–行った そこに ～に [ナヨトに] (ナヨトに) そして–臨んだ 彼の–上にも ラマの
H3212 H8033 H0413 H5121 H5121 H1961 H7414

וַיֵּלֶךְ גַּם־ הוּא רֽוּחַ אֱלֹהִים וַיֵּלֶךְ הָלוֹךְ וַיִּתְנַבֵּא עַד־ בֹּאוֹ
そして–行った 自ら–もまた 彼にも 霊が 神の そして–行った 歩き–ながら そして–預言した ～まで 来る–こと
H3212 H1571 H1931 H7307 H0430 H3212 H1980 H5012 H5704 H0935

בָּרָמָה׃ (בְּנָיוֹת] [בנוית
ラマの (ナヨトに) [ナヨトに]
H7414 H5121 H5121

そこでサウルはそこからラマのナヨテに行ったが、神の霊はまた彼にも臨んで、彼はラマのナヨテに着くまで歩きながら預言した。

24 וַיִּפְשַׁט גַּם־ הוּא בְּגָדָיו וַיִּתְנַבֵּא גַּם־ הוּא לִפְנֵי שְׁמוּאֵל
そして–脱いだ 自ら–もまた 彼も 衣服を そして–預言した 自ら–もまた 彼も 前で サムエルの
H6584 H1571 H1931 H0899 H5012 H1571 H1931 H6440 H8050

וַיִּפֹּל עָרֹם כָּל־ הַיּוֹם הַהוּא כָּל־ וְכָל־ הַלָּיְלָה עַל־ כֵּן
そして–倒れた 裸の–まま すべての 日 その すべての そして–すべての 夜も それ–ゆえに それで
H5307 H6174 H3605 H3117 H1931 H3605 H3915 H5921 H3651

פ בַּנְּבִיאִם׃ שָׁאוּל הֵגַם יֹאמְרוּ
¶ 預言者たちの–中に サウルも–また ～か 言われる
H5030 H7586 H1571 H0559

そして彼もまた着物を脱いで、同じようにサムエルの前で預言し、一日一夜、裸で倒れ伏していた。人々が「サウルもまた預言者たちのうちにいるのか」というのはこのためである。

Chapter 20

1 וַיֹּאמֶר וַיָּבֹא בָּרָמָה (מְנָיוֹת] [מנוות דָּוִד וַיִּבְרַח
そして–言った そして–来て ラマにある ナヨテから ナヨテから ダビデは そして–逃げた
H0559 H0935 H7414 H5121 H5121 H1732 H1272

לִפְנֵי חַטָּאתִי וּמֶה־ עֲוֹנִי מֶה־ עָשִׂיתִי מֶה יְהוֹנָתָן לִפְנֵי
～の–前で 私の–罪 そして–何が 私の–咎 何が 私は–した 何を ヨナタンに ～の–前で
H6440 H2403 H4100 H5771 H4100 H6213 H4100 H3083 H6440

נַפְשִׁי׃ אֶת־ מְבַקֵּשׁ כִּי אָבִיךָ
私の–命を ～を 求めている なぜなら あなたの–父
H5315 H0853 H1245 H3588 H0001

ダビデはラマのナヨテから逃げてきて、ヨナタンに言った、「わたしが何をし、どのような悪いことがあり、あなたの父の前にどんな罪を犯したので、わたしを殺そうとされるのでしょうか」。

2 וַיֹּאמֶר לוֹ חָלִילָה לֹא תָמוּת הִנֵּה [לוֹ־] [עשה] [לֹא־)
そして–言った 彼に 決して–そんなことは ない あなたは–死なない 見よ [何も] しない [何も]
H0559 H3808 H2486 H3808 H4191 H2009 H3808 H6213 H3808

אָבִי (יַעֲשֶׂה אִם־ דָּבָר גָּדוֹל אוֹ דָּבָר קָטֹן וְלֹא יִגְלֶה אֶת־
私の–父は しない ～を ことを 大きな あるいは ことを 小さな そして–しない 明かす ～を
H0001 H6213 H1697 H1419 H0176 H1697 H6996 H3808 H1540 H0853

זֹאת׃ אֵין הַזֶּה הַדָּבָר מִמֶּנִּי אֶת־ אָבִי יַסְתִּיר וּמַדּוּעַ אָזְנִי
そのようなことは ない この この–ことを 私から ～を 私の–父が 隠す なぜ 私の–耳に
H2063 H0369 H2088 H1697 H4480 H0853 H0001 H5641 H4069 H0241

ヨナタンは彼に言った、「決して殺されることはありません。父は事の大小を問わず、わたしに告げないですることはありません。どうして父がわたしにその事を隠しましょう。そのようなことはありません」。

3

כִּי־	אָבִיךָ	יָדַע	יָדֹעַ	וַיֹּאמֶר	דָּוִד	עוֹד	וַיִּשָּׁבַע
～ということを	あなたの-父は	知っている	確かに	そして-言った	ダビデは	さらに	そして-誓った
	H0001	H3045	H3045	H0559	H1732	H5750	H7650

זֹאת	יֵדַע־	אַל־	וַיֹּאמֶר	בְּעֵינֶיךָ	חֵן	מָצָאתִי
これを	知る-ことを	してはならない	そして-言った	あなたの-目に	恵みを	私が-見出した
H2063	H3045	H0408	H0559		H2580	H4672

וְחַי	יְהוָה	חַי־	וְאוּלָם	יֵעָצֵב	פֶּן־	יְהוֹנָתָן
そして-生きている	主は	生きている	しかし-実に	悲しむだろう	さもなければ	ヨナタンが
	H3068		H0199		H6435	H3083

הַמָּוֶת׃	וּבֵין	בֵּינִי	כְּפֶשַׁע	כִּי	נַפְשֶׁךָ
死が-ある	そして-～の-間に	私の-間に	一歩の-間に	まことに	あなたの-魂は
H4194	H0996	H0996	H6587		H5315

しかしダビデは答えた、「あなたの父は、わたしがあなたの好意をえていることをよく知っておられます。それで『ヨナタンが悲しむことのないように、これを知らせないでおこう』と思っておられるのです。しかし、主は生きておられ、あなたの魂は生きています。わたしと死との間は、ただ一歩です」。

4

נַפְשֶׁךָ	תֹּאמַר	מַה־	דָּוִד	אֶל־	יְהוֹנָתָן	וַיֹּאמֶר
あなたの-心が	言いなさい	何でも	ダビデに	～に	ヨナタンは	そして-言った
H5315	H0559	H4100	H1732	H0413	H3083	H0559

פ	לָךְ׃	וְאֶעֱשֶׂה־
—	あなたに	そうすれば-私は-する

ヨナタンはダビデに言った、「あなたが言われることはなんでもします」。

5

יָשֹׁב־	וְאָנֹכִי	מָחָר	חֹדֶשׁ	הִנֵּה־	יְהוֹנָתָן	אֶל־	דָּוִד	וַיֹּאמֶר
確かに-座る	そして-私は	明日	新月の-祭りが	見よ	ヨナタンに	～に	ダビデは	そして-言った
H3427	H0595	H4279	H2320	H2009	H3083	H0413	H1732	H0559

עַד	בַּשָּׂדֶה	וְנִסְתַּרְתָּי	וְשִׁלַּחְתַּנִי	לֶאֱכֹל	הַמֶּלֶךְ	עִם־	אֵשֵׁב
～まで	野に	そして-隠れたい	けれども-行かせてほしい	食事するため	王と	～と-共に	座る
H5704		H5641	H7971	H0398	H4428		H3427

הָעֶרֶב	הַשְּׁלִשִׁית׃
夕べの	三日目の
H6153	H7992

ダビデはヨナタンに言った、「あすは、ついたちですから、わたしは王と一緒に食事をしなければなりません。しかしわたしを行かせて三日目の夕方まで、野原に隠れることを許してください。

6

מִמֶּנִּי	נִשְׁאַל	נִשְׁאֹל	וְאָמַרְתָּ	אָבִיךָ	יִפְקְדֵנִי	פָּקֹד	אִם־
私から	願い出た	切に	そして-言いなさい	あなたの-父が	気づいたなら	確かに	もし
	H7592	H7592	H0559	H0001			

שָׁם	הַיָּמִים	זֶבַח	כִּי	עִירוֹ	בֵּית־לֶחֶם	לָרוּץ	דָּוִד
そこで	年ごとの	いけにえの	なぜなら	彼の-町へ	ベツレヘムへ	走って-行くために	ダビデが
H8033	H3117	H2077			H1035	H7323	H1732

הַמִּשְׁפָּחָה׃	לְכָל־
氏族のために	全ての
H4940	H3605

もしあなたの父がわたしのことを尋ねられるならば、その時、言ってください、『ダビデはふるさとの町ベツレヘムへ急いで行くことを許してくださいと、しきりにわたしに求めました。そこで全家の年祭があるからです』。

לֹו	יֶחֱרָה׀	חָרָה	וְאִם־	לְעַבְדֶּךָ	שָׁלֹום	טֹוב	יֹאמַר	כֹּה	אִם־	7
彼が	怒るなら	激しく	しかし-もし	あなたの-しもべに	平安が	良い	言うなら	こう	もし	
	H2734	H2734		H5650	H7965		H0559	H3541		

מֵעִמֹּו׃	הָרָעָה	כָּלְתָה	כִּי־	דַּע
彼から	悪が	決まった	～ということを	知りなさい
		H3615		H3045

もし彼が「良し」と言われるなら、しもべは安全ですが、怒られるなら、わたしに害を加える決心でおられるのを知ってください。

יְהוָה	בִּבְרִית	כִּי	עַבְדֶּךָ	עַל־	חֶסֶד׀	וְעָשִׂיתָ		8
主の	主の-契約に	なぜなら	あなたの-しもべに	～に-対して	真実の-愛を	そして-行ってください		
H3068	H1285		H5650					

עָוֹן׀	בִּי	יֶשׁ־	וְאִם־	עִמָּךְ	עַבְדֶּךָ	אֶת־	הֵבֵאתָ	
咎が	私に	ある-なら	しかし-もし	あなたと-共に	あなたの-しもべを	～を	入れてくださった	
H5771		H3426			H5650	H0853	H0935	

פ	תְּבִיאֵנִי׃	זֶה	לָמָּה־	אָבִיךָ	וְעַד־	אַתָּה	הֲמִיתֵנִי	
—	連れて-行くのか	それなのに	なぜ	あなたの-父	～の-もとへ	あなたが	殺してください	
	H0935	H2088	H4100	H0001	H5704		H4191	

あなたは、主の前で、しもべと契約を結んでくださいました。それでどうぞしもべにいつくしみを施してください。しかし、もしわたしに悪いことがあるならば、あなた自らわたしを殺してください。どうしてあなたの父のもとへわたしを引いていかなければならないでしょう」。

כִּי־	אֵדַע	יָדַעַ	אִם־	וְכִי	לָךְ	חָלִילָה	יְהֹונָתָן	וַיֹּאמֶר		9
～ということを	知ったなら	知って	確かに	もし	あなたに	決して	ヨナタンは	そして-言った		
	H3045	H3045				H2486	H3083	H0559		

אַגִּיד	אֹתָהּ	וְלֹא	עָלֶיךָ	לָבֹוא	אָבִי׀	מֵעִם	הָרָעָה	כָּלְתָה	
告げない	それを	そして-しない	あなたに	来ることが	私の-父から	～から	悪が	決まった	
H5046	H0853	H3808		H0935	H0001			H3615	

ס	לָךְ׃	
—	あなたに	

ヨナタンは言った、「そのようなことは決してありません。父があなたに害を加える決心をしていることがわたしにわかっているならば、わたしはそれをあなたに告げないでおきましょうか」。

יַעַנְךָ	מַה־	אֹו	לִי	יַגִּיד	מִי	יְהֹונָתָן	אֶל־	דָּוִד׀	וַיֹּאמֶר	10
答えたなら	何か	もし	私に	告げてくれる	誰が	ヨナタンに	～に	ダビデは	そして-言った	
	H4100			H5046	H4310	H3083	H0413	H1732	H0559	

ס	קָשֶׁה׃	אָבִיךָ	
—	厳しく	あなたの-父が	
	H7186	H0001	

ダビデはヨナタンに言った、「あなたの父が荒々しくあなたに答えられる時、だれがわたしに告げるでしょうか」。

וַיֵּצֵא׀	הַשָּׂדֶה	וְנֵצֵא	לְכָה	דָּוִד	אֶל־	יְהֹונָתָן	וַיֹּאמֶר		11
そして-出て-行った	野へ	そして-出よう	来なさい	ダビデに	～に	ヨナタンは	そして-言った		
H3318		H3318	H3212	H1732	H0413	H3083	H0559		

ס	הַשָּׂדֶה׃	שְׁנֵיהֶם	
—	野へ	二人とも	
		H8147	

ヨナタンはダビデに言った、「さあ、野原へ出ていこう」。こうしてふたりは野原へ出て行った。

12 וַיֹּאמֶר יְהוֹנָתָן אֶל־דָּוִד יְהוָה אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל כִּי־אֶחְקֹר אֶת־
そして-言った ヨナタンは ～に ダビデに 主よ 神よ イスラエルの 必ず ～を
H3083 H0413 H1732 H3068 H0430 H3478 H2713 H0853

אָבִי כָּעֵת מָחָר אוֹ הַשְּׁלִשִׁית וְהִנֵּה־טוֹב אֶל־דָּוִד וְלֹא־
私の-父を この-時 明日か 三日目に そして-見よ 良ければ ～に-ついて ダビデに そして-しない
H0001 H6256 H4279 H7992 H2009 H0413 H1732 H3808

אָז־הוּא אֶשְׁלַח וְגָלִיתִי אֶת־אָזְנְךָ׃
その-時 遣わして 明かす ～を あなたの-耳に
H0241 H0853 H1540 H0413 H7971

そしてヨナタンはダビデに言った、「イスラエルの神、主が、証人です。明日か明後日の今ごろ、わたしが父の心を探って、父がダビデに対して良いのを見ながら、人をつかわしてあなたに知らせないようなことをするでしょうか。

13 כֹּה־יַעֲשֶׂה יְהוָה לִיהוֹנָתָן וְכֹה יֹסִיף כִּי־יִיטַב אֶל־
こう するように 主が ヨナタンに そして-こう 加えるように もし 良しとする ～に
H3541 H3068 H3083 H3541 H3254 H3190 H0413

אָבִי אֶת־הָרָעָה עָלֶיךָ וְגָלִיתִי אֶת־אָזְנְךָ וְשִׁלַּחְתִּיךָ
私の-父が ～を 悪を あなたに そして-明かし ～を あなたの-耳に そして-送り出す
H0001 H0853 H7451 H0853 H5921 H1540 H0853 H0241 H7971

וְהָלַכְתָּ לְשָׁלוֹם יִהְיֶה יְהוָה עִמָּךְ כַּאֲשֶׁר הָיָה
そして-行きなさい 平安の-うちに そして-ありますように 主が あなたと-共に ～のように おられた
H1980 H7965 H1961 H3068 H5973 H3588 H1961

אָבִי׃ עִם־
私の-父と ～と-共に
H0001 H5973

しかし、もし父があなたに害を加えようと思っているのに、それをあなたに知らせず、あなたを逃がして、安全に去らせないならば、主よ、どうぞ幾重にも、このヨナタンを罰してください。どうぞ主が父と共におられたように、あなたと共におられますように。

14 וְלֹא תַעֲשֶׂה עִמָּדִי וְלֹא־אִם חָיֶה עוֹדֶנִּי אִם־וְלֹא
そして-してください もし なお-私が 生きているなら そうでなければ 行ってほしい 私に
H3808 H5978 H3808 H2416 H5750 H3808 H3808 H5978

אָמוּת׃ יְהוָה חֶסֶד
私は-死なない そうすれば-ない 主の 主の-真実の-愛を
H4191 H3808 H3068 H2617

もしわたしがなお生きながらえているならば、主のいつくしみをわたしに施し、死を免れさせてください。

15 וְלֹא־תַכְרִת אֶת־חַסְדְּךָ מֵעִם בֵּיתִי עַד־עוֹלָם
そして-しない 断ち切る ～を あなたの-真実の-愛を ～から 私の-家から ～まで 永遠に
H3808 H3772 H0853 H2617 H5973 H1004 H5704 H5769

בְּהַכְרֹת יְהוָה אֶת־אֹיְבֵי דָוִד אִישׁ וְלֹא מֵעַל פְּנֵי
断ち切る-時に 主が ～を 敵を ダビデの 一人-残らず ～の-上から 面から
H3772 H3068 H0853 H0341 H1732 H0376 H5921 H6440

הָאֲדָמָה׃
地の
H0127

またわたしの家をも、長くあなたのいつくしみにあずからせてください。主がダビデの敵をことごとく地のおもてから断ち滅ぼされる時、

16 וַיִּכְרֹת יְהוֹנָתָן עִם־בֵּית דָּוִד וּבִקֵּשׁ יְהוָה מִיַּד אֹיְבֵי
こうして–結んだ ヨナタンは ～と 家と ダビデの そして–求めた 主が 手から 敵の
H3772 H3083 H0854 H1732 H1245 H3068 H3027 H0341

דָּוִד׃
ダビデの
H1732

ヨナタンの名をダビデの家から絶やさないでください。どうぞ主がダビデの敵に、あだを返されるように」。

17 וַיֹּסֶף יְהוֹנָתָן לְהַשְׁבִּיעַ אֶת־דָּוִד בְּאַהֲבָתוֹ אֹתוֹ כִּי־אַהֲבַת
再び そして–誓わせた ヨナタンは ～を ダビデに 愛ゆえに 彼を なぜなら 愛で
H3254 H3083 H7650 H0853 H1732 H0160 H0853 H0160

נַפְשׁוֹ׃ אֲהֵבוֹ׃ ס
自分の–魂の 愛していた —
H5315 H0157

そしてヨナタンは重ねてダビデに誓わせた。彼を愛したからである。ヨナタンは自分の命のように彼を愛していた。

18 וַיֹּאמֶר־לוֹ יְהוֹנָתָן מָחָר חֹדֶשׁ וְנִפְקַדְתָּ כִּי יִפָּקֵד
彼に ヨナタンは 明日は 新月の–祭り そして–気づかれる なぜなら 空いている
H0559 H3083 H4279 H2320 H6485 H3588 H3427

מוֹשָׁבֶךָ׃
あなたの–席が
H4186

ヨナタンはダビデに言った、「あすはついたちです。あなたの席があいているので、どうしたのかと尋ねられるでしょう。

19 וְשִׁלַּשְׁתָּ תֵּרֵד מְאֹד וּבָאתָ אֶל־הַמָּקוֹם אֲשֶׁר־נִסְתַּרְתָּ
そして–三日目に 下って–行って 急いで そして–来なさい ～に その–場所に そこで 隠れた
H8027 H3381 H3966 H0935 H0413 H4725 H0834 H5641

שָׁם בַּיּוֹם הַמַּעֲשֶׂה וְיָשַׁבְתָּ אֵצֶל הָאֶבֶן הָאֵזֶל׃
そこに あの–日に 事のあった そして–座りなさい そばの 石の エゼルの
H8033 H3117 H4639 H3427 H0681 H0068 H0237

三日目には、きびしく尋ねられるでしょうから、先にあなたが隠れた場所へ行って、向こうの石塚のかたわらにいてください。

20 וַאֲנִי שְׁלֹשֶׁת הַחִצִּים אוֹרֶה צִדָּהּ לְשַׁלַּח־לִי לְמַטָּרָה׃
そして–私は 三本の 矢を そばに 射る 放つ 私の–ために 的に–向かって
H0589 H7969 H2678 H6654 H3384 H7971 H3588 H4307

わたしは的を射るようにして、矢を三本、そのそばに放ちます。

21 וְהִנֵּה אֶשְׁלַח אֶת־הַנַּעַר לֵךְ מְצָא אֶת־הַחִצִּים אִם־אָמֹר
そして–見よ 遣わす ～を 若者を 行って 見つけなさい ～を 矢を もし 確かに
H2009 H7971 H0853 H5288 H3212 H4672 H0853 H2678 H0518 H0559

אֹמַר לַנַּעַר הִנֵּה הַחִצִּים מִמְּךָ וָהֵנָּה קָחֵנּוּ וָבֹאָה כִּי־
言うなら 若者に 見よ 矢は あなたより–手前に こちらに 取って そして–来なさい なぜなら
H0559 H5288 H2009 H2678 H4480 H2008 H3947 H0935 H3588

שָׁלוֹם לְךָ וְאֵין דָּבָר חַי־יְהוָה׃
平安だ あなたに そして–何も–ない 事は 生きておられる 主は
H7965 H0369 H1697 H2416 H3068

そして、『行って矢を捜してきなさい』と言って子供をつかわしましょう。わたしが子供に、『矢は手前にある。それを取ってきなさい』と言うならば、その時あなたはきてください。主が生きておられるように、あなたは安全で、何も危険がないからです。

22 וְאִם־ しかし-もし H3541 כֹּה こう H0559 אֹמַר 言うなら H5958 לָעֶלֶם 若者に H2009 הִנֵּה 見よ H2678 הַחִצִּים 矢は מִמְּךָ あなたより-向こうに וָהָלְאָה もっと-先に H1973
יְהוָה׃ 主が H3068 שִׁלַּחֲךָ 送り出した H7971 כִּי なぜなら H3212 לֵךְ 行きなさい

しかしわたしがその子供に、『矢は向こうにある』と言うならば、その時、あなたは去って行きなさい。主があなたを去らせられるのです。

23 וְהַדָּבָר この-ことは そして-H1697 אֲשֶׁר ～について H1696 דִּבַּרְנוּ 語り合った אֲנִי 私と H0589 וְאַתָּה あなたとが H2009 הִנֵּה 見よ H3068 יְהוָה 主が H0996 בֵּינִי 私の-間に
עוֹלָם׃ 永遠に H5769 עַד־ ～まで H5704 וּבֵינֶךָ あなたとの-間に H0996 ס —

あなたとわたしとで話しあった事については、主が常にあなたとわたしとの間におられます」。

24 וַיִּסָּתֵר そして-隠れた H5641 דָּוִד ダビデは H1732 בַּשָּׂדֶה 野に וַיְהִי そして-なった H1961 הַחֹדֶשׁ 新月の-祭りに H2320 וַיָּשֶׁב そして-座った H3427 הַמֶּלֶךְ 王は H4428 [עַל־ ～に-ついて
לֶאֱכֹל׃ 食べるために H0398 הַלָּחֶם 食事に H3899 (אֶל־ ～に-ついて H0413

そこでダビデは野原に身を隠した。さて、ついたちになったので、王は食事をするため席に着いた。

25 וַיֵּשֶׁב そして-座った H3427 הַמֶּלֶךְ 王は H4428 עַל־ ～の-上に מוֹשְׁבוֹ 自分の-席に H4186 כְּפַעַם いつもの H6471 כְּפַעַם ように H6471 בְּפַעַם ～にある H0413 אֶל־ מוֹשַׁב 壁際の-席に H4186 הַקִּיר 壁の H7023
וַיָּקָם そして-立ち上がった יְהוֹנָתָן ヨナタンは וַיֵּשֶׁב そして-座った אַבְנֵר アブネルが מִצַּד そばに H6654 שָׁאוּל サウルの H7586 וַיִּפָּקֶד そして-空いていた
דָּוִד׃ ダビデの H1732 מְקוֹם 場所が H4725

王はいつものように壁寄りに席に着き、ヨナタンはその向かい側の席に着き、アブネルはサウルの横の席に着いたが、ダビデの場所にはだれもいなかった。

26 וְלֹא־ そして-しなかった H3808 דִבֶּר 語る H1696 שָׁאוּל サウルは מְאוּמָה 何も H3972 בַּיּוֹם その-日に H3117 הַהוּא その H1931 כִּי なぜなら אָמַר 思った H0559 מִקְרֶה 偶然の-ことだ H4745
ס — טָהוֹר׃ きよく H2889 לֹא なっていない H3808 כִּי־ まだ הוּא 彼は H1931 טָהוֹר きよく H2889 בִלְתִּי きよくない H1115 הוּא それは H1931

ところがその日サウルは何も言わなかった、「彼に何か起って汚れたのだろう。きっと汚れたのにちがいない」と思ったからである。

27 וַיְהִי מָמָחֳרַת הַחֹדֶשׁ הַשֵּׁנִי וַיִּפָּקֶד מְקוֹם דָּוִד
そして-なった 翌日の 新月の-祭りの 二日目に そして-空いていた 場所が ダビデの
H1961 H4283 H2320 H8145 H6485 H4725 H1732

וַיֹּאמֶר שָׁאוּל אֶל־יְהוֹנָתָן בְּנוֹ לָמָּה לֹא־בָא בֶן־יִשַׁי גַּם־תְּמוֹל גַּם־הַיּוֹם אֶל־הַלָּחֶם׃
そして-言った サウルは ～に ヨナタンに 息子よ なぜ 来なかった 来なかった 息子は
H0559 H7586 H0413 H3083 H1121 H4069 H3808 H0935

エッサイの 昨日も 今日も ～に 食事に
H3448 H1571 H8543 H1571 H3117 H0413 H3899

しかし、ふつか目すなわち、ついたちの明くる日も、ダビデの場所はあいていたので、サウルは、その子ヨナタンに言った、「どうしてエッサイの子は、きのうもきょうも食事にこないのか」。

28 וַיַּעַן יְהוֹנָתָן אֶת־שָׁאוּל נִשְׁאֹל נִשְׁאַל דָּוִד מֵעִמָּדִי עַד־
そして-答えた ヨナタンは ～に サウルに 切に 願い出た ダビデが 私から ～まで
H3083 H0853 H7586 H7592 H7592 H1732 H5978 H5704

בֵּית לֶחֶם׃
ベツレヘムへ
H1035

ヨナタンはサウルに答えた、「ダビデは、ベツレヘムへ行くことを許してくださいと、しきりにわたしに求めました。

29 וַיֹּאמֶר שַׁלְּחֵנִי נָא כִּי זֶבַח מִשְׁפָּחָה לָנוּ בָּעִיר
そして-言った 行かせてほしい どうか なぜなら いけにえの 氏族の 私たちの 町で
H0559 H7971 H4994 H3588 H2077 H4940 H0587 H5892

וְהוּא צִוָּה־לִי אָחִי וְעַתָּה אִם־מָצָאתִי חֵן בְּעֵינֶיךָ
そして-彼に 命じた 私に 私の-兄が そして-今 もし 見出したなら 恵みを あなたの-目に
H1931 H6680 H0589 H0251 H6258 H0518 H4672 H2580 H5869

אִמָּלְטָה נָּא וְאֶרְאֶה אֶת־אֶחָי עַל־כֵּן לֹא־
行かせてほしい どうか そして-会いたい ～を 私の-兄弟たちに その ゆえに 来なかった
H4422 H4994 H7200 H0853 H0251 H5921 H3651 H3808

בָא אֶל־שֻׁלְחַן הַמֶּלֶךְ׃ ס
来なかった ～に 食卓に 王の ―
H0935 H0413 H7979 H4428

彼は言いました、『わたしに行かせてください。われわれの一族が町で祭をするので、兄がわたしに来るようにと命じました。それでもし、あなたの前に恵みを得ますならば、どうぞ、わたしに行くことを許し、兄弟たちに会わせてください』。それで彼は王の食卓にこなかったのです」。

30 וַיִּחַר־אַף שָׁאוּל בִּיהוֹנָתָן וַיֹּאמֶר לוֹ בֶן־
怒りが サウルの 向かって-ヨナタンに そして-言った 彼に この
H0639 H7586 H3083 H0559 H3807 H1121

נַעֲוַת הַמַּרְדּוּת הֲלוֹא יָדַעְתִּי כִּי־בְחֹר אַתָּה לְבֶן־
曲がった 反逆の-子よ 知らないのか 私は-知っている ～ということを 選んでいる お前は ～の-息子を
H5766 H4780 H3045 H3045 H3045 H0977 H0859 H1121

יִשַׁי לְבָשְׁתְּךָ וּלְבֹשֶׁת עֶרְוַת אִמֶּךָ׃
エッサイの お前の-恥に そして-恥に 裸の お前の-母の
H3448 H1322 H1322 H6172 H0517

その時サウルはヨナタンにむかって怒りを発し、彼に言った、「あなたは心の曲った、そむく女の産んだ子だ。あなたがエッサイの子を選んで、自分の身をはずかしめ、また母の身をはずかしめていることをわたしが知らないと思うのか。

31

הָאֲדָמָה	עַל־	חַי	יִשַׁי	בֶּן־	אֲשֶׁר	הַיָּמִים	כָּל־	כִּי
この–地に	～の–上に	生きている	エッサイの	息子が	～の–間	日々	全ての	なぜなら
H0127		H2425	H3448			H3117	H3605	

אֹתוֹ	וְקַח	שְׁלַח	וְעַתָּה	וּמַלְכוּתֶךָ	אַתָּה	תָּכוֹן	לֹא
彼を	そして–連れて–来い	遣わして	そして–今	お前の–王国も	お前も	確立しない	確立しない
H0853	H3947	H7971	H6258	H4438			H3808

ס	הוּא׃	מָוֶת	בֶּן־	כִּי	אֵלָי
—	彼は	子だ	死の	なぜなら	私の–もとに
	H1931	H4194			H0413

エッサイの子がこの世に生きながらえている間は、あなたも、あなたの王国も堅く立っていくことはできない。それゆえ今、人をつかわして、彼をわたしのもとに連れてこさせなさい。彼は必ず死ななければならない」。

32

יוּמַת	לָמָּה	אֵלָיו	וַיֹּאמֶר	אָבִיו	שָׁאוּל	אֶת־	יְהוֹנָתָן	וַיַּעַן
殺されるのか	なぜ	彼に	そして–言った	父に	サウルに	～に	ヨナタンは	そして–答えた
H4191	H4100	H0413	H0559	H0001	H7586	H0853	H3083	

עָשָׂה׃	מֶה
したのか	何を
	H4100

ヨナタンは父サウルに答えた、「どうして彼は殺されなければならないのですか。彼は何をしたのですか」。

33

יְהוֹנָתָן	וַיֵּדַע	לְהַכֹּתוֹ	עָלָיו	הַחֲנִית	אֶת־	שָׁאוּל	וַיַּטֵּל		
ヨナタンは	そして–知った	打つために	彼に–向かって	槍を	～を	サウルは	そして–投げた		
H3083	H3045	H5221		H2595	H0853	H7586	H2904		

ס	דָּוִד׃	אֶת־	לְהָמִית	אָבִיו	מֵעִם	הִיא	כָּלָה	כִּי־
—	ダビデを	～を	殺すこと	父から	～から	それは	決まった	～ということを
	H1732	H0853	H4191	H0001		H1931	H3617	

ところがサウルはヨナタンを撃とうとして、やりを彼に向かって振り上げたので、ヨナタンは父がダビデを殺そうと、心に決めているのを知った。

34

אָכַל	וְלֹא־	אָף	בְּחָרִי־	הַשֻּׁלְחָן	מֵעִם	יְהוֹנָתָן	וַיָּקָם	
食べる	そして–しなかった	怒りで	激しい	食卓から	～から	ヨナタンは	そして–立ち上がった	
H0398	H3808	H0639	H2750	H7979		H3083		

דָּוִד	אֶל־	נֶעְצַב	כִּי	לֶחֶם	הַשֵּׁנִי	הַחֹדֶשׁ	בְּיוֹם־	
ダビデの–ために	～の–ために	悲しんだ	なぜなら	食事を	二日目に	新月の–祭りの	その–日	
H1732	H0413			H3899	H8145	H2320	H3117	

ס	אָבִיו׃	הִכְלִמוֹ	כִּי	
—	父が–彼を	辱めた	なぜなら	
	H0001	H3637		

ヨナタンは激しく怒って席を立ち、その月のふつかには食事をしなかった。父がダビデをはずかしめたので、ダビデのために憂えたからである。

35

וְנַעַר	דָּוִד	לְמוֹעֵד	הַשָּׂדֶה	יְהוֹנָתָן	וַיֵּצֵא	בַּבֹּקֶר	וַיְהִי	
そして–若者が	ダビデとの	約束の–時に	野へ	ヨナタンは	そして–出た	朝に	そして–なった	
H5288	H1732	H4150		H3083	H3318	H1242	H1961	

עִמּוֹ׃	קָטֹן
彼と–共に	小さな

あくる朝、ヨナタンは、ひとりの小さい子供を連れて、ダビデと打ち合わせたように野原に出て行った。

36 וַיֹּאמֶר לְנַעֲרוֹ רֻץ מְצָא נָא אֶת־הַחִצִּים אֲשֶׁר אֲנֹכִי מוֹרֶה
そして-言った 若者に 走って 見つけなさい どうか 〜を 矢を 〜を 私が 射る
H0559 H5288 H7323 H4672 H4994 H0853 H2678 H0595

הַנַּעַר רָץ וְהוּא־יָרָה הַחֵצִי לְהַעֲבִרוֹ׃
若者が 走ると そして-彼は 射った 矢を 越えさせて
H5288 H7323 H1931 H3384 H2678

そしてその子供に言った、「走って行って、わたしの射る矢を捜しなさい」。子供が走って行く間に、ヨナタンは矢を彼の前の方に放った。

37 וַיָּבֹא הַנַּעַר עַד־מְקוֹם הַחֵצִי אֲשֶׁר יָרָה יְהוֹנָתָן וַיִּקְרָא
そして-来た 若者は 〜の-所まで 場所まで 矢の 〜の 射った ヨナタンが そして-叫んだ
H0935 H5288 H5704 H4725 H2678 H0834 H3384 H3083 H7121

אַחֲרֵי הַנַּעַר וַיֹּאמֶר הֲלוֹא הַחֵצִי מִמְּךָ וָהָלְאָה׃
〜の-後ろから 若者の そして-言った ではないか 矢は お前より-向こうに もっと-先に
H0310 H5288 H0559 H3808 H2678 H4480 H1973

そして子供が、ヨナタンの放った矢のところへ行った時、ヨナタンは子供のうしろから呼ばわって、「矢は向こうにあるではないか」と言った。

38 וַיִּקְרָא יְהוֹנָתָן אַחֲרֵי הַנַּעַר מְהֵרָה חוּשָׁה אַל־תַּעֲמֹד
そして-叫んだ ヨナタンは 〜の-後ろから 若者の 急げ 急いで 〜ない 立ち止まる
H7121 H3083 H0310 H5288 H4120 H2363 H0408 H5975

וַיְלַקֵּט הַנַּעַר יְהוֹנָתָן אֶת־[החצין] (הַחִצִּים) וַיָּבֹא אֶל־אֲדֹנָיו׃
そして-拾い集めた 若者は ヨナタンの 〜を [矢を] (矢を) そして-来た 〜の-もとに 主人の
H3950 H5288 H3083 H0853 [H2678] (H2671) H0935 H0413 H0113

ヨナタンはまた、その子供のうしろから呼ばわって言った、「早くせよ、急げ。とどまるな」。その子供は矢を拾い集めて主人ヨナタンのもとにきた。

39 וְהַנַּעַר לֹא־יָדַע מְאוּמָה אַךְ יְהוֹנָתָן וְדָוִד יָדְעוּ אֶת־
そして-若者は 〜ない 知らなかった 何も ただ ヨナタンと ダビデだけが 知っていた 〜を
H5288 H3808 H3045 H3972 H0389 H3083 H1732 H3045 H0853

הַדָּבָר׃
この-ことを
H1697

しかし子供は何も知らず、ヨナタンとダビデだけがそのことを知っていた。

40 וַיִּתֵּן יְהוֹנָתָן אֶת־כֵּלָיו אֶל־הַנַּעַר אֲשֶׁר־לוֹ וַיֹּאמֶר לוֹ
そして-渡した ヨナタンは 〜を 武具を 〜に 若者に 自分の 若者に 彼に
H5414 H3083 H0853 H3627 H0413 H5288 H0834 H0559

לֵךְ הָבֵיא הָעִיר׃
行って 持って行け 町に
H3212 H0935

ヨナタンは自分の武器をその子供に渡して言った、「あなたはこれを町へ運んで行きなさい」。

41 הַנַּעַר בָּא וְדָוִד קָם מֵאֵצֶל הַנֶּגֶב וַיִּפֹּל לְאַפָּיו אַרְצָה
若者が 去ると ダビデは 立ち上がった そばの 南側から そして–ひれ伏した 顔を 地に
H5288 H0935 H1732 H6471 H0681 H5045 H5307 H0639 H0776

וַיִּשְׁתָּחוּ שָׁלֹשׁ פְּעָמִים וַיִּשְׁקוּ אִישׁ אֶת־רֵעֵהוּ וַיִּבְכּוּ אִישׁ אֶת־רֵעֵהוּ עַד־דָּוִד הִגְדִּיל׃
そして–ひれ伏した 三 度 そして–口づけした 互いに ～を 友に そして–泣いた 互いに 大いに–泣いた ダビデが ～まで 友と ～と
H7812 H7969 H6471 H5704 H7453 H0853 H1058 H0376 H7453 H0853 H0376 H1431 H1732 H5704 H7453 H0853

子供が行ってしまうとダビデは石塚のかたわらをはなれて立ちいで、地にひれ伏して三度敬礼した。そして、ふたりは互に口づけし、互に泣いた。やがてダビデは心が落ち着いた。

42 וַיֹּאמֶר יְהוֹנָתָן לְדָוִד לֵךְ לְשָׁלוֹם אֲשֶׁר נִשְׁבַּעְנוּ שְׁנֵינוּ
そして–言った ヨナタンは ダビデに 行きなさい 平安の–うちに ～について 誓い合った 二人で
H0559 H3083 H1732 H1980 H7965 H0853 H7650 H8147

וּבֵינֶךָ בֵּינִי וּבֵין זַרְעִי וּבֵין זַרְעֶךָ עַד־עוֹלָם׃ פ
あなたとの–間に 私の–間に おられるように 主が 言って 主の ～の–名に–よって 私たちは
H0996 H0996 H1961 H3068 H0559 H3068 H8034 H0587

— 永遠に ～まで あなたの–子孫と そして–～の–間に 私の–子孫と そして–～の–間に
H5769 H5704 H2233 H0996 H2233 H0996

その時ヨナタンはダビデに言った、「無事に行きなさい。われわれふたりは、『主が常にわたしとあなたの間におられ、また、わたしの子孫とあなたの子孫の間におられる』と言って、主の名をさして誓ったのです」。こうしてダビデは立ち去り、ヨナタンは町にはいった。

Chapter 21

1 וַיָּקָם וַיֵּלֶךְ וְיהוֹנָתָן בָּא הָעִיר׃
そして–立ち上がった そして–行った そして–ヨナタンは 入った 町に
H0935 H3212 H3083 H0935

ダビデはノブに行き、祭司アヒメレクのところへ行った。アヒメレクはおののきながらダビデを迎えて言った、「どうしてあなたはひとりですか。だれも供がいないのですか」。

2 וַיָּבֹא דָוִד נֹבָה אֶל־אֲחִימֶלֶךְ הַכֹּהֵן וַיֶּחֱרַד אֲחִימֶלֶךְ לִקְרָאת דָּוִד וַיֹּאמֶר לוֹ מַדּוּעַ אַתָּה לְבַדֶּךָ וְאִישׁ אֵין אִתָּךְ׃
そして–来た ダビデは ノブに ～に アヒメレクの–もとに 祭司の そして–震えた アヒメレクは 迎えに–出て ダビデを そして–言った 彼に なぜ あなたは 一人で そして–人が いない あなたと–共に
H0935 H1732 H5011 H0413 H0288 H3548 H2729 H0288 H7122 H1732 H0559 H0854 H4069 H0859 H0905 H0376 H0369

ダビデは祭司アヒメレクに言った、「王がわたしに一つの事を命じて、『わたしがおまえをつかわしてさせる事、またわたしが命じたことについては、何をも人に知らせてはならない』と言われました。そこでわたしは、ある場所に若者たちを待たせてあります。

אֵלַי וַיֹּאמֶר דָּבָר צִוַּנִי הַמֶּלֶךְ הַכֹּהֵן לַאֲחִימֶלֶךְ דָּוִד וַיֹּאמֶר 3
私に そして–言った 用件を 命じた 王が 祭司に アヒメレクに ダビデは そして–言った
H0413 H0559 H1697 H6680 H4428 H3548 H0288 H1732 H0559

שְׁלֵחֲךָ אָנֹכִי אֲשֶׁר־ הַדָּבָר אֶת־ מְאוּמָה יֵדָע אַל־ אִישׁ
遣わす 私が ～について この–用件を ～を 何も 知る してはならない 誰にも
H7971 H0595 H1697 H0853 H3972 H3045 H0408 H0376

אַלְמוֹנִי׃ פְּלֹנִי מָקוֹם אֶל־ יוֹדַעְתִּי הַנְּעָרִים וְאֶת־ צִוִּיתְךָ וַאֲשֶׁר
場所に ある 場所に ～に 知らせた 若者たちを そして–～を 命じた そして–～について
H0492 H6423 H4725 H0413 H3045 H5288 H0853 H6680

ところで今あなたの手もとにパン五個でもあれば、それをわたしにください。なければなんでも、あるものをください」。

בְּיָדִי תְּנָה לֶחֶם חֲמִשָּׁה־ יָדְךָ תָּחַת־ יֶשׁ מַה־ וְעַתָּה 4
私の–手に 与えてほしい パンを 五つの あなたの–手の ～の–下に ある 何が そして–今
H3027 H5414 H3899 H2568 H3027 H8478 H3426 H4100 H6258

הַנִּמְצָא׃ אוֹ
あるもの–何でも あるいは
H4672

祭司はダビデに答えて言った、「常のパンはわたしの手もとにありません。ただその若者たちが女を慎んでさえいたのでしたら、聖別したパンがあります」。

וַיַּעַן הַכֹּהֵן אֶת־ דָּוִד וַיֹּאמֶר אֵין־ לֶחֶם חֹל תָּחַת אֶל־ 5
そして–答えた 祭司は ～に ダビデに そして–言った ない パンが 普通の 下に ～の
H6258 H3548 H0853 H1732 H0559 H0369 H3899 H2455 H8478 H0413

הַנְּעָרִים אַךְ נִשְׁמְרוּ אִם־ יֵשׁ קֹדֶשׁ לֶחֶם אִם־ כִּי יָדָי
若者たちが 特に 遠ざかっている–なら もし ある 聖なる パンが ～だけ ただ 私の–手の
H5288 H0389 H8104 H0518 H3426 H6944 H3899 H0518 H3027

מֵאִשָּׁה׃ פ
女から –
H0802

ダビデは祭司に答えた、「わたしが戦いに出るいつもの時のように、われわれはたしかに女たちを近づけていません。若者たちの器は、常の旅であったとしても、清いのです。まして、きょう、彼らの器は清くないでしょうか」。

וַיַּעַן דָּוִד אֶת־ הַכֹּהֵן וַיֹּאמֶר לוֹ כִּי אִם־ אִשָּׁה 6
そして–答えた ダビデは ～に 祭司に そして–言った 彼に 確かに ～である 女は
H0802 H1732 H0853 H3548 H0559 H0518 H0518 H0802

הַנְּעָרִים כְּלֵי־ וַיִּהְיוּ בְּצֵאתִי שִׁלְשֹׁם כְּתְמוֹל לָנוּ עֻצָּרָה־
若者たちの 器が そして–である 出発した–時から 一昨日も 昨日も 私たちから 遠ざけられている
H5288 H3627 H1961 H3318 H8032 H8543 H0587 H6113

בַּכְּלִי׃ יִקְדַּשׁ הַיּוֹם כִּי וְאַף חֹל דֶּרֶךְ וְהוּא קֹדֶשׁ
器において 聖別される 今日 確かに そして–また 普通の 道のりが そして–それは 聖い
H3627 H6942 H3117 H0637 H2455 H1870 H1931 H6944

そこで祭司は彼に聖別したパンを与えた。その所に、供えのパンのほかにパンがなく、このパンは、これを取り下げる日に、あたたかいパンと置きかえるため、主の前から取り下さげたものである。

7

לֶּחֶם	שָׁם	הָיָה	לֹא־	כִּי	קֹדֶשׁ	הַכֹּהֵן	לוֹ	וַיִּתֶּן־
パンが	そこには	なかった	なかった	なぜなら	聖なる-パンを	祭司は	彼に	そして-与えた
H3899	H8033	H1961	H3808		H6944	H3548		H5414

חֹם	לֶחֶם	לְשׂוּם	יְהוָה	מִלִּפְנֵי	הַמְסֹרִים	הַפָּנִים	לֶחֶם	אִם־	כִּי־
温かい	パンを	置くために	主の	～の-前から	取り除かれた	供えの	パンが	～だけ	～以外に
H2527	H3899		H3068	H6440	H5493	H6440	H3899		

הַלָּקְחוֹ׃	בְּיוֹם
取り替えた-日に	その-日に
H3947	H3117

その日、その所に、サウルのしもべのひとりが、主の前に留め置かれていた。その名はドエグといい、エドムびとであって、サウルの牧者の長であった。

8

לִפְנֵי	נֶעְצָר	הַהוּא	בַּיּוֹם	שָׁאוּל	מֵעַבְדֵי	אִישׁ	וְשָׁם	
～の-前に	留め置かれて	その	その-日	サウルの	しもべたちの	一人の-人が	そして-そこに	
H6440	H6113	H1931	H3117	H7586	H5650	H0376	H8033	

לְשָׁאוּל׃	אֲשֶׁר	הָרֹעִים	אַבִּיר	הָאֲדֹמִי	דֹּאֵג	וּשְׁמוֹ	יְהוָה
サウルの	～の	牧者たちの	長で	エドム人で	ドエグ	そして-名は	主の
H7586		H7473	H0047	H0130	H1673	H8034	H3068

ダビデはまたアヒメレクに言った、「ここに、あなたの手もとに、やりかつるぎがありませんか。王の事が急を要したので、わたしはつるぎも武器も持ってこなかったのです」。

9

יָדְךָ	תַּחַת־	פֹּה	יֵשׁ־	וְאֵין	לַאֲחִימֶלֶךְ	דָּוִד	וַיֹּאמֶר	
あなたの-手の	～の-下に	ここに	ある	そして-ない-か	アヒメレクに	ダビデは	そして-言った	
H3027	H8478	H6311	H3426	H0371	H0288	H1732	H0559	

לֹא־	כֵלַי	וְגַם־	חַרְבִּי	גַּם־	כִּי	חֶרֶב	אוֹ־	חֲנִית
持って-こなかった	私の-武具も	～も	私の-剣も	～も	なぜなら	剣が	あるいは	槍か
H3808	H3627	H1571	H2719	H1571		H2719		H2595

ס	נָחוּץ׃	הַמֶּלֶךְ	דְּבַר־	הָיָה	כִּי־	בְיָדִי	לָקַחְתִּי
—	急ぎの	王の	王の-用件が	であった	なぜなら	手に	持って-こなかった
	H5169	H4428	H1697	H1961		H3027	H3947

祭司は言った、「あなたがエラの谷で殺したペリシテびとゴリアテのつるぎが、布に包んでエポデのうしろにあります。もしあなたがこれを取ろうとおもわれるなら、お取りください。ここにはそのほかにはありません」。ダビデは言った、「それにまさるものはありません。それをわたしにください」。

10

הָאֵלָה	בְּעֶמֶק	וְהִכִּיתָ	אֲשֶׁר־	הַפְּלִשְׁתִּי	גָּלְיָת	חֶרֶב	הַכֹּהֵן	וַיֹּאמֶר
エラの	谷で	あなたが-打った	～の	ペリシテ人の	ゴリアテの	剣が	祭司は	そして-言った
H0425	H6010	H5221		H6430	H1555	H2719	H3548	H0559

לְךָ	תִּקַּח־	אֹתָהּ	אִם־	הָאֵפוֹד	אַחֲרַי	בַּשִּׂמְלָה	לוּטָה	הֵיא	הִנֵּה־
あなたの-ために	取るなら	それを	もし	エポデの	後ろに	布に	包まれて	それが	見よ
	H3947	H0853		H0646		H8071	H3874	H1931	H2009

אֵין	דָּוִד	וַיֹּאמֶר	בָּזֶה	זוּלָתָהּ	אַחֶרֶת	אֵין	כִּי	קַח
ない	ダビデは	そして-言った	ここには	それ以外に	他の-ものは	ない	なぜなら	取りなさい
H0369	H1732	H0559	H2088	H2108	H0312	H0369		H3947

לִי׃	תִּנֶּנָּה	כָּמוֹהָ
私に	与えてほしい	それに-匹敵するものは
	H5414	H3644

ダビデはその日サウルを恐れて、立ってガテの王アキシのところへ逃げて行った。

11 וַיָּקָם דָּוִד וַיִּבְרַח בַּיּוֹם־ הַהוּא מִפְּנֵי שָׁאוּל

וַיָּבֹא אֶל־ אָכִישׁ מֶלֶךְ גַּת׃

アキシの家来たちはアキシに言った、「これはあの国の王ダビデではありませんか。人々が踊りながら、互に歌いかわして、『サウルは千を撃ち殺し、ダビデは万を撃ち殺した』と言ったのは、この人のことではありませんか」。

12 וַיֹּאמְרוּ עַבְדֵי אָכִישׁ אֵלָיו הֲלוֹא־ זֶה דָּוִד מֶלֶךְ הָאָרֶץ

לוֹ הָאֹמְרוֹת בַּמְּחֹלוֹת יַעֲנוּ (באלפיו) [באלפו] שָׁאוּל הִכָּה לְאֹמֶר בְּרִבְבֹתָיו׃) [וברבבתו] וְדָוִד

ダビデは、これらの言葉を心におき、ガテの王アキシを、ひじょうに恐れたので、

13 וַיָּשֶׂם דָּוִד אֶת־ הַדְּבָרִים הָאֵלֶּה בִּלְבָבוֹ וַיִּרָא מְאֹד

מִפְּנֵי אָכִישׁ מֶלֶךְ־ גַּת׃

人々の前で、わざと挙動を変え、捕えられて気違いのふりをし、門のとびらを打ちたたき、よだれを流して、ひげに伝わらせた。

14 וַיְשַׁנּוֹ אֶת־ טַעְמוֹ בְּעֵינֵיהֶם וַיִּתְהֹלֵל בְּיָדָם

וַיִּתָּו (ויתו) [וַיִּתְיוּ] עַל־ דַּלְתוֹת הַשַּׁעַר וַיּוֹרֶד רִירוֹ אֶל־

זְקָנוֹ׃

アキシは家来たちに言った、「あなたがたの見るように、この人は気違いだ。どうして彼をわたしの所へ連れてきたのか。

15

לָמָּה	מְשֻׁתַּגַּע	אִישׁ	תִּרְאוּ	הִנֵּה	עֲבָדָיו	אֶל־	אָכִישׁ	וַיֹּאמֶר
なぜ	狂っているのを	この-人が	見ている	見よ	家来たちに	～に	アキシュは	そして-言った
H4100	H7696	H0376	H7200	H2009	H5650	H0413	H0397	H0559

הֲבֵאתֶם	כִּי־	אֹתִי	מְשֻׁגָּעִים	חָסֵר	אֵלָי׃	אֹתוֹ	תָּבִיאוּ
連れて-来た	それなのに	私には	狂人が	不足-している	私の-もとに	この者を	連れて-来るのか
H0935		H0589	H7696	H2638	H0413	H0853	H0935

ס	בֵּיתִי׃	אֶל־	יָבוֹא	הַזֶּה	עָלָי	לְהִשְׁתַּגֵּעַ	זֶה	אֶת־
—	私の-家に	～に	入る	この者が	私の-前で	狂わせるために	この者を	～を
		H0413	H0935	H2088		H7696	H2088	H0853

わたしに気違いが必要なのか。この者を連れてきて、わたしの前で狂わせようというのか。この者をわたしの家へ入れようとするのか」。

Chapter 22

1

וַיִּשְׁמְעוּ	עֲדֻלָּם	מְעָרַת	אֶל־	וַיִּמָּלֵט	מִשָּׁם	דָּוִד	וַיֵּלֶךְ	
そして-聞いた	アドラムの	洞窟に	～に	そして-逃れた	そこから	ダビデは	そして-行った	
H8085	H5725	H4631	H0413	H4422	H8033	H1732	H3212	

שָׁמָּה׃	אֵלָיו	וַיֵּרְדוּ	אָבִיו	בֵּית	וְכָל־	אֶחָיו	
そこに	彼の-もとに	そして-下って-来た	父の	家の	そして-全ての	彼の-兄弟たちと	
H8033	H0413	H3381	H0001		H3605	H0251	

こうしてダビデはその所を去り、アドラムのほら穴へのがれた。彼の兄弟たちと父の家の者は皆、これを聞き、その所に下って彼のもとにきた。

2

לוֹ	אֲשֶׁר־	אִישׁ	וְכָל־	מָצוֹק	אִישׁ	כָּל־	אֵלָיו	וַיִּתְקַבְּצוּ
彼に	～に	人が	そして-全ての	苦しみの-中の	人が	全ての	彼の-もとに	そして-集まった
		H0376	H3605	H4689	H0376	H3605	H0413	H6908

וַיְהִי־	לְשָׂר	עֲלֵיהֶם	וַיְהִי	נֶפֶשׁ	מַר־	אִישׁ	וְכָל־	נֹשֶׁא
そして-いた	長に	彼らの-上に	そして-なった	魂の	苦い	人が	そして-全ての	借りのある
H1961	H8269		H1961	H5315	H4751	H0376	H3605	H5378

אִישׁ׃	מֵאוֹת	כְּאַרְבַּע	עִמּוֹ	
人	百	約-四	彼と-共に	
H0376	H3967	H0702		

また、しえたげられている人々、負債のある人々、心に不満のある人々も皆、彼のもとに集まってきて、彼はその長となった。おおよそ四百人の人々が彼と共にあった。

3

מוֹאָב	מֶלֶךְ	אֶל־	וַיֹּאמֶר	מוֹאָב	מִצְפֶּה	מִשָּׁם	דָּוִד	וַיֵּלֶךְ
モアブの	王に	～に	そして-言った	モアブの	ミツペへ	そこから	ダビデは	そして-行った
H4124	H4428	H0413	H0559	H4124	H4708	H8033	H1732	H3212

מַה־	אֵדַע	אֲשֶׁר	עַד	אִתְּכֶם	וְאִמִּי	אָבִי	נָּא	יֵצֵא־
何を	知る	～するまで	～まで	あなたがたと-共に	私の-母を	私の-父と	どうか	出させてほしい
H4100	H3045		H5704	H0854	H0517	H0001	H4994	H3318

אֱלֹהִים׃	לִי	יַעֲשֶׂה־	
神が	私に	なさる	
H0430			

ダビデはそこからモアブのミヅパへ行き、モアブの王に言った、「神がわたしのためにどんなことをされるかわかるまで、どうぞわたしの父母をあなたの所におらせてください」。

4 וַיַּנִּחֵם אֶת־ פְּנֵי מֹואָב וַיֵּשְׁבוּ עִמּוֹ כָּל־ יְמֵי הֱיוֹת־
そして–導いた ～を 前に 王の モアブの そして–住んだ 彼と–共に 全ての 日々 いた
H5148 H0854 H6440 H4428 H4124 H3427 H3605 H3117 H1961

דָּוִד בַּמְּצוּדָה׃ ס
ダビデが 要塞に —
H1732

そして彼はモアブの王に彼らを託したので、彼らはダビデが要害におる間、王の所におった。

5 וַיֹּאמֶר גָּד הַנָּבִיא אֶל־ דָּוִד לֹא תֵשֵׁב בַּמְּצוּדָה לֵךְ
そして–言った ガドは 預言者は ～に ダビデに してはならない 留まる 要塞に 行って
H0559 H1410 H5030 H0413 H1732 H3808 H3427 H3605 H3212

וּבֹאתָ־ לְךָ אַרְצָה יְהוּדָה וַיֵּלֶךְ דָּוִד וַיָּבֹא יַעַר
そして–来なさい あなたの–ために 地へ ユダの そして–行った ダビデは そして–来た 森に
H0935 H0776 H3063 H3212 H1732 H0935

חָרֶת׃ ס
ハレトの —
H2802

さて、預言者ガドはダビデに言った、「要害にとどまっていないで、去ってユダの地へ行きなさい」。そこでダビデは去って、ハレテの森へ行った。

6 וַיִּשְׁמַע שָׁאוּל נוֹדַע כִּי דָּוִד וְאַנָשִׁים אֲשֶׁר אִתּוֹ
そして–聞いた サウルは 知られた ～ということを ダビデが そして–人々が ～の 彼と–共にいる
H8085 H7586 H3045 H1732 H0376 H0854

וְשָׁאוּל יוֹשֵׁב בַּגִּבְעָה תַּחַת־ הָאֶשֶׁל בָּרָמָה וַחֲנִיתוֹ בְיָדוֹ
そして–サウルは 座っていた ギベアに ～の–下に 柳の–木の ラマにある そして–槍が 手に
H7586 H3427 H1390 H8478 H0815 H7413 H2595 H3027

וְכָל־ עֲבָדָיו נִצָּבִים עָלָיו׃
そして–全ての 家来たちが 立っていた 彼の–まわりに
H3605 H5650 H5324

サウルは、ダビデおよび彼と共にいる人々が見つかったということを聞いた。サウルはギベアで、やりを手にもって、丘のぎょりゅうの木の下にすわっており、家来たちはみなそのまわりに立っていた。

7 וַיֹּאמֶר שָׁאוּל לַעֲבָדָיו הַנִּצָּבִים עָלָיו שִׁמְעוּ־ נָא בְנֵי
そして–言った サウルは 家来たちに 立っている 彼の–まわりに 聞け どうか 息子たちよ
H0559 H7586 H5650 H5324 H8085 H4994

יְמִינִי גַּם־ לְכֻלְּכֶם יִתֵּן בֶּן־ יִשַׁי שָׂדוֹת וּכְרָמִים
ベニヤミンの ～も お前たち–全てに 与えるのか 息子が エッサイの 畑や ぶどう畑を
H3605 H1571 H5414 H1121 H3448 H7704 H3754

יָשִׂים לְכֻלְּכֶם שָׂרֵי אֲלָפִים וְשָׂרֵי מֵאוֹת׃
任命するのか お前たち–全てを 千人の–長や 千人の 百人の–長に 百人の
H3605 H8269 H0505 H8269 H3967

サウルはまわりに立っている家来たちに言った、「あなたがたベニヤミンびとは聞きなさい。エッサイの子もまた、あなたがたおのおのに畑やぶどう畑を与え、おのおのを千人の長、百人の長にするであろうか。

8

כִּי	קְשַׁרְתֶּם	כֻּלְּכֶם	עָלַי	וְאֵין־	גֹּלֶה	אֶת־	אָזְנִי
それなのに	謀った	お前たち-皆が	私に-対して	そして-いない	明かす者が	～を	私の-耳に
	H7194	H3605		H0369	H1540	H0853	H0241

חֹלֶה	וְאֵין־	יִשַׁי	בֶּן־	עִם־	בְּנִי	בְּכָרְתְ־
心を-痛める者が	そして-いない	エッサイの	息子と	～と	私の-息子が	結んだ-時に
	H0369	H3448				H3772

בְּנִי	הֲקִימֹ	כִּי	אָזְנִי	אֶת־	וְגֹלֶה	עָלַי	מִכֶּם
私の-息子が	立てた	なぜなら	私の-耳に	～を	そして-明かす者が	私の-ために	お前たちの-中に
			H0241	H0853	H1540		

ס	הַזֶּה׃	כַּיּוֹם	לְאֹרֵב	עָלַי	עַבְדִּי	אֶת־
—	この	今日の-ように	待ち伏せのために	私に-対して	私の-しもべを	～を
	H2088	H3117	H0693		H5650	H0853

あなたがたは皆共にはかってわたしに敵した。わたしの子がエッサイの子と契約を結んでも、それをわたしに告げるものはなく、またあなたがたのうち、ひとりもわたしのために憂えず、きょうのように、わたしの子がわたしのしもべをそそのかしてわたしに逆らわせ、道で彼がわたしを待ち伏せするようになっても、わたしに告げる者はない」。

9

שָׁאוּל	עַבְדֵי־	עַל־	נִצָּב	וְהוּא	הָאֲדֹמִי	דֹּאֵג	וַיַּעַן
サウルの	家来たちの	～の-そばに	立っていた	そして-彼は	エドム人の	ドエグは	そして-答えた
H7586	H5650		H5324	H1931	H0130	H1673	

בֶּן־	אֲחִיטֻב	אֶל־	נֹבָה	בָּא	יִשַׁי	בֶּן־	אֶת־	רָאִיתִי	וַיֹּאמֶר
息子の	アヒメレクの	～の-もとに	ノブに	来た	エッサイの	息子を	～を	見た	そして-言った
	H0288	H0413	H5011	H0935	H3448		H0853	H7200	H0559

אֲחִיטֻב׃
アヒトブの
H0285

その時エドムびとドエグは、サウルの家来たちのそばに立っていたが、答えて言った、「わたしはエッサイの子がノブにいるアヒトブの子アヒメレクの所にきたのを見ました。

10

גָּלְיָת	חֶרֶב	וְאֶת	לוֹ	נָתַן	וְצֵדָה	בַּיהוָה	לוֹ	וַיִּשְׁאַל־	
ゴリアテの	剣を	そして-～を	彼に	与えた	そして-食糧を	主に	彼のために	そして-尋ねた	
H1555	H2719	H0853		H5414	H6720	H3068		H7592	

לוֹ׃	נָתַן	הַפְּלִשְׁתִּי
彼に	与えた	ペリシテ人の
	H5414	H6430

アヒメレクは彼のために主に問い、また彼に食物を与え、ペリシテびとゴリアテのつるぎを与えました」。

11

הַכֹּהֵן	אֲחִיטֻב	בֶּן־	אֲחִימֶלֶךְ	אֶת־	לִקְרֹא	הַמֶּלֶךְ	וַיִּשְׁלַח	
祭司を	アヒトブの	息子の	アヒメレクを	～を	呼ぶために	王は	そして-遣わした	
H3548	H0285		H0288	H0853	H7121	H4428	H7971	

אֶל־	כֻּלָּם	וַיָּבֹאוּ	בְּנֹב	אֲשֶׁר	הַכֹּהֲנִים	אֲבִיו	בֵּית	כָּל־	וְאֶת
～の-もとに	皆が	そして-来た	ノブに	～にいる	祭司たちを	父の	家の	全ての	そして-～を
H0413	H3605	H0935	H5011		H3548	H0001		H3605	H0853

ס	הַמֶּלֶךְ׃	
—	王の	
	H4428	

そこで王は人をつかわして、アヒトブの子祭司アヒメレクとその父の家のすべての者、すなわちノブの祭司たちを召したので、みな王の所にきた。

12 וַיֹּאמֶר שָׁאוּל שְׁמַע־נָא בֶּן־אֲחִיטוּב הִנֵּנִי׃
そして-言った サウルは 聞け どうか 息子よ アヒトブの はい-ここに
H0559 H7586 H8085 H4994 H0285 H2009

אֲדֹנִי׃
わが-主よ
H0113

サウルは言った、「アヒトブの子よ、聞きなさい」。彼は答えた、「わが主よ、わたしはここにおります」。

13 וַיֹּאמֶר [אֵלָיו] (אֵלָיו) שָׁאוּל לָמָּה קְשַׁרְתֶּם עָלַי אַתָּה וּבֶן־
そして-言った 彼に サウルは なぜ 謀ったのか 私に-対して お前と そして-息子と
H0559 H0413 H7586 H4100 H7194

יִשַׁי בְּתִתְּךָ לּוֹ לֶחֶם וְחֶרֶב וְשָׁאוֹל לוֹ בֵּאלֹהִים לָקוּם
エッサイの 与えて 彼に パンと 剣を そして-尋ねて 彼のために 神に 立ち上がるために
H3448 H5414 H3899 H2719 H7592 H0430

כַּיּוֹם הַזֶּה׃ ס אֵלָי לֶאֱרֹב
今日の-ように この 一 私に-対して 待ち伏せのために
H3117 H2088 H0413 H0693

サウルは彼に言った、「どうしてあなたはエッサイの子と共にはかってわたしに敵し、彼にパンとつるぎを与え、彼のために神に問い、きょうのように彼をわたしに逆らって立たせ、道で待ち伏せさせるのか」。

14 וַיַּעַן אֲחִימֶלֶךְ אֶת־הַמֶּלֶךְ וַיֹּאמֶר מִי בְכָל־
そして-答えた アヒメレクは 王に そして-言った 誰が 全ての-中で
H3605 H4310 H0559 H4428 H0853 H0288

עֲבָדֶיךָ כְּדָוִד נֶאֱמָן וְחָתָן וְסָר אֶל־ מִשְׁמַעְתֶּךָ
あなたの-家来の-中で ダビデほど 忠実な そして-婿で 従う ~に あなたの-命令に
H5650 H1732 H0539 H2860 H5493 H0413 H4928

וְנִכְבָּד בְּבֵיתֶךָ׃
そして-尊い あなたの-家で
H3513

アヒメレクは王に答えて言った、「あなたの家来のうち、ダビデのように忠義な者がほかにありますか。彼は王の娘婿であり、近衛兵の長であって、あなたの家で尊ばれる人ではありませんか。

15 הַיּוֹם הַחִלֹּתִי [לִשְׁאוֹל־] (לִשְׁאָל־) לוֹ בֵּאלֹהִים חָלִילָה לִי
今日 初めて 尋ねたのか 尋ねた 彼のために 神に 決して-そんなことは 私に
H3117 H2490 H7592 H7592 H7592 H0430 H2486

כִּי אָבִי בַּיִת בְּכָל־ דָּבָר בְּעַבְדְּךָ הַמֶּלֶךְ יָשֵׂם אַל־
なぜなら 私の-父の 家の 全ての-中で 事を しもべに 王よ 置いてほしい ~してはならない
H0001 H3605 H1697 H5650 H4428 H0408

קָטֹן דָּבָר זֹאת בְּכָל־ עַבְדְּךָ יָדַע לֹא־
小さなことも ことを このことの 全ての-中で あなたの-しもべは 知らなかった 何も-しなかった
H1697 H2063 H3605 H5650 H3045 H3808

גָדוֹל׃ אוֹ
大きなことも あるいは

彼のために神に問うたのは、きょう初めてでしょうか。いいえ、決してそうではありません。王よ、どうぞ、しもべと父の全家に罪を負わせないでください。しもべは、これについては、事の大小を問わず、何をも知らなかったのです」。

16 וַיֹּאמֶר הַמֶּלֶךְ אֲחִימֶלֶךְ תָּמוֹת מוֹת כִּי־ אַתָּה וְכָל־ בֵּית אָבִיךָ׃
そして-言った 王は アヒメレクよ 死ぬ 必ず お前も そして-全ての 家も お前の-父の
H0559 H4428 H0288 H4191 H4191 H0001

王は言った、「アヒメレクよ、あなたは必ず殺されなければならない。あなたの父の全家も同じである」。

17 וַיֹּאמֶר הַמֶּלֶךְ לָרָצִים הַנִּצָּבִים עָלָיו סֹבּוּ וְהָמִיתוּ כֹּהֲנֵי
そして-言った 王は 護衛たちに 立っている 彼の-まわりに 回って そして-殺せ 祭司たちを
H0559 H4428 H7323 H5324 H5921 H5437 H4191 H3548

יְהוָה כִּי גַם יָדָם עִם דָּוִד וְכִי יָדְעוּ בָּרַח הוּא וְלֹא גָלָה אָזְנִי[אזנו] מֵאֵת
主の なぜなら ～も 彼らの-手も ～と-共に ダビデと そして-なぜなら 知っていた 逃げている 彼が そして-しなかった 明かす ～を 私の-耳に[私の-耳に] ～ということを
H3068 H3588 H1571 H3027 H5973 H1732 H3588 H3045 H1272 H1931 H3808 H1540 H853 H0241[H0241] H3588

וְלֹא אָבוּ עַבְדֵי הַמֶּלֶךְ לִשְׁלֹחַ אֶת יָדָם לִפְגֹּעַ בְּכֹהֲנֵי יְהוָה׃
そして-しなかった 応じる 家来たちは 王の 伸ばす ～を 手を 打つ 祭司たちを 主の
H3808 H0014 H5650 H4428 H7971 H853 H3027 H6293 H3548 H3068

ס
—

そして王はまわりに立っている近衛の兵に言った、「身をひるがえして、主の祭司たちを殺しなさい。彼らもダビデと協力していて、ダビデの逃げたのを知りながら、それをわたしに告げなかったからです」。ところが王の家来たちは主の祭司たちを殺すために手を下そうとはしなかった。

18 וַיֹּאמֶר הַמֶּלֶךְ לְדוֹאֵג[לדויג] סֹב אַתָּה וּפְגַע בַּכֹּהֲנִים וַיִּסֹּב
そして-言った 王は ドエグに[ドエグに] 回れ お前が そして-打て 祭司たちを そして-回った
H0559 H4428 H1673[H1673] H5437 H0859 H6293 H3548 H5437

דּוֹאֵג[דויג] הָאֲדֹמִי וַיִּפְגַּע הוּא בַּכֹּהֲנִים וַיָּמֶת הַהוּא בַּיּוֹם
ドエグ[ドエグは] エドム人の そして-打った 彼が 祭司たちを そして-殺した その その-日に
H1673[H1673] H0130 H6293 H1931 H3548 H4191 H1931 H3117

אִישׁ נֹשֵׂא אֵפוֹד בָּד׃ וַחֲמִשָּׁה שְׁמֹנִים
人の 身に-着けた エポデを 亜麻布の そして-五 八十
H0376 H5375 H0646 H0906 H2568 H8084

そこで王はドエグに言った、「あなたが身をひるがえして、祭司たちを殺しなさい」。エドムびとドエグは身をひるがえして祭司たちを撃ち、その日亜麻布のエポデを身につけている者八十五人を殺した。

19 וְאֶת נֹב עִיר הַכֹּהֲנִים הִכָּה לְפִי חָרֶב מֵאִישׁ וְעַד אִשָּׁה
そして-～を ノブを 町を 祭司たちの 打った 剣の-刃で 男から ～まで 女まで
H0853 H5011 H5892 H3548 H5221 H6310 H2719 H0376 H5704 H0802

מֵעוֹלֵל וְעַד יוֹנֵק וְשׁוֹר וַחֲמוֹר וְשֶׂה לְפִי חָרֶב׃
幼子から ～まで 乳飲み子まで そして-牛も ろばも 羊も 剣の-刃で 剣の
H5768 H5704 H3243 H7794 H2543 H7716 H6310 H2719

彼はまた、つるぎをもって祭司の町ノブを撃ち、つるぎをもって男、女、幼な子、乳飲み子、牛、ろば、羊を殺した。

20 וַיִּמָּלֵט בֶּן אֶחָד לַאֲחִימֶלֶךְ בֶּן אֲחִיטוּב וּשְׁמוֹ אֶבְיָתָר
そして-逃れた 息子が 一人の アヒメレクの 息子の アヒトブの そして-名は エビアタル
H4422 H1121 H0259 H0288 H1121 H0285 H8034 H0054

וַיִּבְרַח אַחֲרֵי דָוִד׃
そして-逃げた ～の-後を-追って ダビデの
H1272 H0310 H1732

しかしアヒトブの子アヒメレクの子たちのひとりで、名をアビヤタルという人は、のがれてダビデの所に走った。

21 וַיַּגֶּד אֶבְיָתָר לְדָוִד כִּי הָרַג שָׁאוּל אֶת כֹּהֲנֵי
そして-告げた エビアタルは ダビデに ～ということを 殺した サウルが ～を 祭司たちを
H5046 H0054 H1732 H3588 H2026 H7586 H0853 H3548

יְהוָה׃
主の
H3068

そしてアビヤタルは、サウルが主の祭司たちを殺したことをダビデに告げたので、

22 וַיֹּאמֶר דָּוִד לְאֶבְיָתָר יָדַעְתִּי בַּיּוֹם הַהוּא כִּי שָׁם
そして-言った ダビデは エビアタルに 知っていた その-日に その ～ということを そこに
H0559 H1732 H0054 H3045 H3117 H1931 H3588 H8033

כִּי אִם סַבֹּתִי אָנֹכִי לְשָׁאוּל יָגִיד הַגֶּד כִּי הָאֲדֹמִי (דואג) [דוינ]
必ず ～ということを 原因である 私が サウルに 告げると 確かに 全ての-～に エドム人の ドエグ ドエグが
H3588 H0130 H1673 H1673 H5046 H5046 H3605 H5437 H0595 H7586

אָבִיךָ׃ בֵּית נֶפֶשׁ
あなたの-父の 家の 命に
H0001 H5315

ダビデはアビヤタルに言った、「あの日、エドムびとドエグがあそこにいたので、わたしは彼がきっとサウルに告げるであろうと思った。わたしがあなたの父の家の人々の命を失わせるもととなったのです。

23 שְׁבָה אִתִּי אַל תִּירָא כִּי אֲשֶׁר בְּקֵשׁ אֶת נַפְשִׁי
留まりなさい 私と-共に ～してはならない 恐れては なぜなら ～を 求める者が ～を 私の-命を
H3427 H0854 H0408 H3372 H3588 H0834 H1245 H0853 H5315

עִמָּדִי׃ אַתָּה מִשְׁמֶרֶת כִּי נַפְשְׁךָ אֶת בְּקֵשׁ
私と-共にいる あなたは 守りの-中に なぜなら あなたの-命も ～を 求めている
H5978 H0859 H4931 H3588 H5315 H0853 H1245

あなたはわたしの所にとどまってください。恐れることはありません。あなたの命を求める者は、わたしの命をも求めているのです。わたしの所におられるならば、あなたは安全でしょう」。

Chapter 23

1 וַיַּגִּדוּ לְדָוִד לֵאמֹר הִנֵּה פְלִשְׁתִּים נִלְחָמִים בִּקְעִילָה וְהֵמָּה
そして-告げた ダビデに 言って 見よ ペリシテ人が 戦っている ケイラで そして-彼らは
H5046 H1732 H0559 H2009 H6430 H3898 H7084 H1992

שֹׁסִים אֶת גָּרְנוֹת׃
略奪している ～を 脱穀場を
H8154 H0853 H1637

さて人々はダビデに告げて言った、「ペリシテびとがケイラを攻めて、打ち場の穀物をかすめています」。

2 וַיִּשְׁאַל דָּוִד בַּיהוָה לֵאמֹר הַאֵלֵךְ וְאַכִּיתִי בַּפְּלִשְׁתִּים הָאֵלֶּה
そして-尋ねた ダビデは 主に 言って 行くべきか そして-打つべきか ペリシテ人を これらの
H7592 H1732 H3068 H0559 H3212 H5221 H6430 H0428

וַיֹּאמֶר יְהוָה אֶל דָּוִד לֵךְ וְהִכִּיתָ אֶת פְּלִשְׁתִּים וְהוֹשַׁעְתָּ אֶת קְעִילָה׃ ס
そして-言った 主は ～に ダビデに 行け そして-打て ペリシテ人を そして-救え ～を ケイラを ―
H0559 H3068 H0413 H1732 H3212 H5221 H6430 H3467 H0853 H7084

そこでダビデは主に問うて言った、「わたしが行って、このペリシテびとを撃ちましょうか」。主はダビデに言われた、「行ってペリシテびとを撃ち、ケイラを救いなさい」。

										3
וְאַף	יְרֵאִים	בִּיהוּדָה	פֹּה	אֲנַחְנוּ	הִנֵּה	אֵלָיו	דָּוִד	אֲנָשָׁי	וַיֹּאמְרוּ	
ましてや	恐れている	ユダで	ここで	私たちは	見よ	彼に	ダビデの	人々は	そして-言った	
H0637	H3372	H3063	H6311	H0587	H2009	H0413	H1732	H0376	H0559	

ס	פְּלִשְׁתִּים׃	מַעַרְכוֹת	אֶל־	קְעִילָה	נֵלֵךְ	כִּי־
—	ペリシテ人の	戦列に	～に-向かって	ケイラへ	行く	～するなら
	H6430	H4634	H0413	H7084	H3212	

しかしダビデの従者たちは彼に言った、「われわれは、ユダのここにおってさえ、恐れているのに、ましてケイラへ行って、ペリシテびとの軍に当ることができましょうか」。

										4
וַיֹּאמֶר	יְהוָה	וַיַּעֲנֵהוּ	ס	בְּיהוָה	לִשְׁאָל	דָּוִד	עוֹד	וַיֹּסֶף		
そして-言った	主は	そして-答えた	—	主に	尋ねた	ダビデは	もう一度	そして-再び		
H0559	H3068			H3068	H7592	H1732	H5750	H3254		

בְּיָדֶךָ׃	פְּלִשְׁתִּים	אֶת־	נֹתֵן	אָנֹכִי	כִּי־	קְעִילָה	רֵד	קוּם
あなたの-手に	ペリシテ人を	～を	渡す	私が	なぜなら	ケイラへ	下れ	立ち上がれ
H3027	H6430	H0853	H5414	H0589		H7084	H3381	

ダビデが重ねて主に問うたところ、主は彼に答えて言われた、「立って、ケイラへ下りなさい。わたしはペリシテびとをあなたの手に渡します」。

								5
בַּפְּלִשְׁתִּים	וַיִּלָּחֶם	קְעִילָה	)וַאֲנָשָׁיו(	]ואנשו[	דָּוִד	וַיֵּלֶךְ		
ペリシテ人と	そして-戦った	ケイラへ	彼の-人々は	彼の-人々は	ダビデと	そして-行った		
H6430		H7084	H0376	H0376	H1732	H3212		

וַיַּשַּׁע	גְּדוֹלָה	מַכָּה	בָּהֶם	וַיַּךְ	מִקְנֵיהֶם	אֶת־	וַיְנַהַג	
そして-救った	大きな	打撃を	彼らを	そして-打った	彼らの-家畜を	～を	そして-追い-払った	
H3467		H4347		H5221	H4735	H0853		

ס	קְעִילָה׃	יֹשְׁבֵי	אֶת	דָּוִד
—	ケイラの	住民を	～を	ダビデは
	H7084	H3427	H0853	H1732

ダビデとその従者たちはケイラへ行って、ペリシテびとと戦い、彼らの家畜を奪いとり、彼らを多く撃ち殺した。こうしてダビデはケイラの住民を救った。

									6
קְעִילָה	דָּוִד	אֶל־	אֲחִימֶלֶךְ	בֶּן־	אֶבְיָתָר	בִּבְרֹחַ	וַיְהִי		
ケイラへ	ダビデの	～の-もとに	アヒメレクの	息子の	エビアタルが	逃れた-時に	そして-なった		
H7084	H1732	H0413	H0288		H0054	H1272	H1961		

בְּיָדוֹ׃	יָרַד	אֵפוֹד
手に	下って-来た	エポデが
H3027	H3381	H0646

アヒメレクの子アビヤタルは、ケイラにいるダビデのもとにのがれてきた時、手にエポデをもって下ってきた。

								7
שָׁאוּל	וַיֹּאמֶר	קְעִילָה	דָּוִד	בָּא	כִּי־	לְשָׁאוּל	וַיֻּגַּד	
サウルは	そして-言った	ケイラに	ダビデが	来た	～ということが	サウルに	そして-告げられた	
H7586	H0559	H7084	H1732	H0935		H7586	H5046	

דְּלָתַיִם	בְּעִיר	לָבוֹא	נִסְגָּר	כִּי	בְיָדִי	אֱלֹהִים	אֹתוֹ	נִכַּר
扉と	町に	入って	閉じ込められた	なぜなら	私の-手に	神が	彼を	売り-渡した
		H0935	H5462		H3027	H0430	H0853	

וּבְרִיחַ׃
かんぬきのある
H1280

さてダビデのケイラにきたことがサウルに聞えたので、サウルは言った、「神はわたしの手に彼をわたされた。彼は門と貫の木のある町にはいって、自分で身を閉じこめたからである」。

8 וַיִּשְׁמַע שָׁאוּל לְכָל־הָעָם לַמִּלְחָמָה לָרֶדֶת קְעִילָה
そして-召集した サウルは 全ての 民を 戦いのために 下るために ケイラへ
H8085 H7586 H3605 H0853 H4421 H3381 H7084

וְאֶל־דָּוִד וְאֶל־אֲנָשָׁיו׃ לָצוּר אֶל־
そして-〜を ダビデと 彼の-人々を 包囲するために 〜を
H0413 H1732 H0376 H0413

そこでサウルはすべての民を戦いに呼び集めて、ケイラに下り、ダビデとその従者を攻め囲もうとした。

9 וַיֵּדַע דָּוִד כִּי עָלָיו שָׁאוּל מַחֲרִישׁ הָרָעָה וַיֹּאמֶר
そして-知った ダビデは 〜ということを 彼に-対して サウルが 企んでいる 悪を そして-言った
H3045 H1732 H3045 H7586 H0559

סּ הָאֵפוֹד׃ הַגִּישָׁה הַכֹּהֵן אֶבְיָתָר אֶל־
— エポデを 持って-来なさい 祭司に エビアタルに 〜に
H0646 H5066 H3548 H0054 H0413

ダビデはサウルが自分に害を加えようとしているのを知って、祭司アビヤタルに言った、「エポデを持ってきてください」。

10 וַיֹּאמֶר דָּוִד יְהוָה אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל שָׁמוֹעַ שָׁמַע עַבְדֶּךָ
そして-言った ダビデは 主よ 神よ イスラエルの 確かに 聞いた あなたの-しもべは
H0559 H1732 H3068 H0430 H3478 H8085 H8085 H5650

כִּי־ מְבַקֵּשׁ שָׁאוּל לָבוֹא אֶל־ קְעִילָה לְשַׁחֵת לָעִיר
〜ということを 求めている サウルが 来ることを 〜に ケイラに 滅ぼすために 町を
H1245 H7586 H0935 H0413 H7084 H7843 H5668

בַּעֲבוּרִי׃
私の-ために

そしてダビデは言った、「イスラエルの神、主よ、しもべはサウルがケイラにきて、わたしのために、この町を滅ぼそうとしていることを確かに聞きました。

11 הֲיַסְגִּרֻנִי בַּעֲלֵי קְעִילָה בְיָדוֹ הֲיֵרֵד שָׁאוּל כַּאֲשֶׁר שָׁמַע
引き渡すのか 住民たちは ケイラの 彼の-手に 下って-来るのか サウルは 〜の-ように 聞いた
H5462 H1167 H7084 H3027 H3381 H7586 H8085

סּ לְעַבְדֶּךָ הַגֶּד־ נָא יִשְׂרָאֵל אֱלֹהֵי יְהוָה עַבְדֶּךָ׃ יֵרֵד יְהוָה וַיֹּאמֶר׃
— あなたの-しもべに 告げて どうか イスラエルの 神よ 主よ あなたの-しもべは 下って-来る 主は そして-言った
H5650 H5046 H4994 H3478 H0430 H3068 H5650 H3381 H3068 H0559

ケイラの人々はわたしを彼の手に渡すでしょうか。しもべの聞いたように、サウルは下ってくるでしょうか。イスラエルの神、主よ、どうぞ、しもべに告げてください」。主は言われた、「彼は下って来る」。

12 וַיֹּאמֶר דָּוִד הֲיַסְגִּרוּ בַּעֲלֵי קְעִילָה אֹתִי וְאֶת־ אַנְשָׁי
そして-言った ダビデは 引き渡すのか 住民たちは ケイラの 私と そして-〜を 私の-人々を
H0559 H1732 H5462 H1167 H7084 H0853 H0853 H0376

סּ יַסְגִּירוּ׃ יְהוָה וַיֹּאמֶר שָׁאוּל בְּיַד־
— 引き渡す 主は そして-言った サウルの 手に
H5462 H3068 H0559 H7586 H3027

ダビデは言った、「ケイラの人々はわたしと従者たちをサウルの手にわたすでしょうか」。主は言われた、「彼らはあなたがたを渡すであろう」。

13 וַיָּקָם דָּוִד וַאֲנָשָׁיו כְּשֵׁשׁ־מֵאוֹת אִישׁ וַיֵּצְאוּ מִקְעָלָה
そして–立ち上がった ダビデと 彼の–人々は 約–六 人 そして–出た ケイラから
H7084 H3318 H0376 H3967 H8337 H0376 H1732 H7084

וַיִּתְהַלֵּכוּ בַּאֲשֶׁר יִתְהַלָּכוּ וַיֻּגַּד לְשָׁאוּל כִּי־נִמְלַט דָּוִד מִקְעִילָה וַיֶּחְדַּל לָצֵאת׃
そして–さまよった ～の–所へ さまよう そして–サウルに 告げられた ～ということが 逃れた ケイラから そして–やめた 出ることを
H1980 H1980 H7586 H5046 H4422 H7084 H2308 H3318

そこでダビデとその六百人ほどの従者たちは立って、ケイラを去り、いずこともなくさまよった。ダビデのケイラから逃げ去ったことがサウルに聞えたので、サウルは戦いに出ることをやめた。

14 וַיֵּשֶׁב דָּוִד בַּמִּדְבָּר בַּמְּצָדוֹת וַיֵּשֶׁב בָּהָר בְּמִדְבַּר־זִיף
そして–住んだ ダビデは 荒野に 要塞に そして–住んだ 山に 荒野の ジフの
H3427 H1732 H4679 H3427 H2022 H2128

וַיְבַקְשֵׁהוּ שָׁאוּל כָּל־הַיָּמִים וְלֹא־נְתָנוֹ אֱלֹהִים בְּיָדוֹ׃
そして–求めた サウルは 全ての 日々 しかし–しなかった 渡す 神は 彼の–手に
H1245 H7586 H3605 H3117 H3808 H5414 H0430 H3027

ダビデは荒野にある要害におり、またジフの荒野の山地におった。サウルは日々に彼を尋ね求めたが、神は彼をその手に渡されなかった。

15 וַיַּרְא דָּוִד כִּי־יָצָא שָׁאוּל לְבַקֵּשׁ אֶת־נַפְשׁוֹ
そして–見た ダビデは ～ということを 出た サウルが 求めるために ～を 彼の–命を
H7200 H1732 H3318 H7586 H1245 H0853 H5315

וְדָוִד בַּחֹרְשָׁה בְּמִדְבַּר־זִיף ס׃
そして–ダビデは 森に–いた 荒野の ジフの —
H1732 H2793 H2128

さてダビデはサウルが自分の命を求めて出てきたので恐れた。その時ダビデはジフの荒野のホレシにいたが、

16 וַיָּקָם יְהוֹנָתָן בֶּן־שָׁאוּל וַיֵּלֶךְ דָּוִד חֹרְשָׁה אֶל־
そして–立ち上がった ヨナタンは 息子の サウルの そして–行った ダビデの 森に ～の–もとに
H3083 H7586 H3212 H1732 H2793 H0413

וַיְחַזֵּק אֶת־יָדוֹ בֵּאלֹהִים׃
そして–強めた ～を 彼の–手を 神において
H2388 H0853 H3027 H0430

サウルの子ヨナタンは立って、ホレシにいるダビデのもとに行き、神によって彼を力づけた。

17 וַיֹּאמֶר אֵלָיו וַיַּגֶּד לוֹ כִּי לֹא תִירָא אַל־
そして–言った 彼に してはならない 恐れては なぜなら しない 手が サウルの
H0559 H0413 H0408 H3372 H3588 H3808 H3027 H7586

תִּמְצָאֲךָ יַד שָׁאוּל אָבִי וְאַתָּה תִּמְלֹךְ עַל־יִשְׂרָאֵל וְאָנֹכִי אֶהְיֶה־לְּךָ
見つけない 手が サウルの 私の–父の そして–あなたが 王となる ～の–上に イスラエルの そして–私は なる あなたに
H4672 H3027 H7586 H0001 H0859 H4427 H5921 H3478 H0595 H1961

לְמִשְׁנֶה׃ וְגַם־שָׁאוּל אָבִי יוֹדֵעַ כֵּן׃
次の–者に そして–～も サウルも 私の–父も 知っている そのことを
H4932 H1571 H7586 H0001 H3045 H3651

そしてヨナタンは彼に言った、「恐れるにはおよびません。父サウルの手はあなたに届かないでしょう。あなたはイスラエルの王となり、わたしはあなたの次となるでしょう。このことは父サウルも知っています」。

18 וַיִּכְרְתוּ שְׁנֵיהֶם בְּרִית לִפְנֵי יְהוָה וַיֵּשֶׁב דָּוִד בַּחֹרְשָׁה וְיוֹנָתָן הָלַךְ לְבֵיתוֹ׃ ס

וַיִּכְרְתוּ
そして–結んだ
H3772

שְׁנֵיהֶם
二人は
H8147

בְּרִית
契約を
H1285

לִפְנֵי
〜の–前で
H6440

יְהוָה
主の
H3068

וַיֵּשֶׁב
そして–留まった
H3427

דָּוִד
ダビデは
H1732

בַּחֹרְשָׁה
森に
H2793

וְיוֹנָתָן
そして–ヨナタンは
H3083

הָלַךְ
行った
H1980

לְבֵיתוֹ׃
家に

ס
—

こうして彼らふたりは主の前で契約を結び、ダビデはホレシにとどまり、ヨナタンは家に帰った。

19 וַיַּעֲלוּ זִפִּים אֶל־שָׁאוּל הַגִּבְעָתָה לֵאמֹר הֲלוֹא דָוִד מִסְתַּתֵּר עִמָּנוּ בַּמְּצָדוֹת בְּחֹרְשָׁה בִּגְבִעַת הַחֲכִילָה אֲשֶׁר מִימִין הַיְשִׁימוֹן׃

וַיַּעֲלוּ
そして–上って–行った
H5927

זִפִּים
ジフ人たちが
H2130

אֶל־
〜の–もとに
H0413

שָׁאוּל
サウルの
H7586

הַגִּבְעָתָה
ギベアに
H1390

לֵאמֹר
言って
H0559

הֲלוֹא
ではないか
H3808

דָוִד
ダビデが
H1732

מִסְתַּתֵּר
隠れている
H5641

עִמָּנוּ
私たちの–中に
H5973

בַּמְּצָדוֹת
要塞に
H4679

בְּחֹרְשָׁה
森の
H2793

בִּגְבִעַת
丘に
H1389

הַחֲכִילָה
ハキラの
H2444

אֲשֶׁר
〜の
H0834

מִימִין
右にある
H3225

הַיְשִׁימוֹן׃
エシモンの
H3452

その時ジフびとはギベアにいるサウルのもとに上って行き、そして言った、「ダビデは、荒野の南にあるハキラの丘の上のホレシの要害に隠れて、われわれと共にいるではありませんか。

20 וְעַתָּה כֹּל־אַוַּת נַפְשְׁךָ הַמֶּלֶךְ לָרֶדֶת רֶד וְלָנוּ הַסְגִּירוֹ בְיַד הַמֶּלֶךְ׃

וְעַתָּה
そして–今
H6258

כֹּל־
全ての–〜に
H3605

אַוַּת
望みの
H0185

נַפְשְׁךָ
あなたの–心の
H5315

הַמֶּלֶךְ
王よ
H4428

לָרֶדֶת
下るために
H3381

רֶד
下って–来てください
H3381

וְלָנוּ
そして–私たちに

הַסְגִּירוֹ
引き渡すことを
H5462

בְיַד
手に
H3027

הַמֶּלֶךְ׃
王の
H4428

それゆえ王よ、あなたが下って行こうという望みのとおり、いま下ってきてください。われわれは彼を王の手に渡します」。

21 וַיֹּאמֶר שָׁאוּל בְּרוּכִים אַתֶּם לַיהוָה כִּי חֲמַלְתֶּם עָלָי׃

וַיֹּאמֶר
そして–言った
H0559

שָׁאוּל
サウルは
H7586

בְּרוּכִים
祝福されよ
H1288

אַתֶּם
お前たちは

לַיהוָה
主に
H3068

כִּי
なぜなら

חֲמַלְתֶּם
哀れんでくれた
H2550

עָלָי׃
私を

サウルは言った、「あなたがたはわたしに同情を寄せてくれたのです。どうぞ主があなたがたを祝福されるように。

22 לְכוּ־נָא הָכִינוּ עוֹד וּדְעוּ וּרְאוּ אֶת־מְקוֹמוֹ מִי רָאָהוּ שָׁם כִּי אֹמַר אֵלַי עָרוֹם יַעְרִם הוּא׃

לְכוּ־
行って
H3212

נָא
どうか
H4994

הָכִינוּ
準備しなさい

עוֹד
さらに
H5750

וּדְעוּ
そして–知って
H3045

וּרְאוּ
そして–見なさい
H7200

אֶת־
〜を
H0853

מְקוֹמוֹ
彼の–居場所を
H4725

אֲשֶׁר
そこで

תִּהְיֶה
いる
H1961

רַגְלוֹ
彼の–足が
H7272

מִי
誰が
H4310

רָאָהוּ
見たのか
H7200

שָׁם
そこで
H8033

כִּי
なぜなら

אֹמַר
言われた
H0559

אֵלַי
私に
H0413

עָרוֹם
狡猾に
H6191

יַעְרִם
振る舞う
H6191

הוּא׃
彼は
H1931

あなたがたは行って、なお確かめてください。彼のよく行く所とだれがそこで彼を見たかを見きわめてください。人の語るところによると、彼はひじょうに悪賢いそうだ。

23 וּרְאוּ וְדִעוּ מִכָּל הַמְּחַבְּאִים אֲשֶׁר יִתְחַבֵּא שָׁם
そして–見て そして–知りなさい 全ての–中から 隠れ場所の ～の 隠れる そこに
H7200 H3045 H3605 H2244 H8033

וְהָיָה אִתְּכֶם וְהָלַכְתִּי נָכוֹן אֶל־ אֵלַי וְשַׁבְתָּם
そして–なる お前たちと–共に そして–行く 確かな–ことを ～へ 私の–もとに そして–帰りなさい
H1961 H0854 H1980 H0413 H0413 H7725

יְהוּדָה׃ אַלְפֵי בְּכָל אֹתוֹ וְחִפַּשְׂתִּי בָּאָרֶץ יֵשְׁנוֹ אִם־
ユダの 氏族の 全ての–中から 彼を そして–探す この–地に いるなら もし
H3063 H0505 H3605 H0853 H2664 H0776 H3426

それで、あなたがたは彼が隠れる隠れ場所をみな見きわめ、確かな知らせをもってわたしの所に帰ってきなさい。その時わたしはあなたがたと共に行きます。もし彼がこの地にいるならば、わたしはユダの氏族をあまねく尋ねて彼を捜しだします」。

24 וַיָּקוּמוּ וַיֵּלְכוּ זִיפָה לִפְנֵי שָׁאוּל וְדָוִד וַאֲנָשָׁיו
そして–立ち上がった そして–行った ジフへ ～の–前に サウルの そして–ダビデと 彼の–人々は
H6965 H3212 H2128 H6440 H7586 H1732 H0376

הַיְשִׁימוֹן׃ יְמִין אֶל בָּעֲרָבָה מָעוֹן בְּמִדְבָּר
エシモンの 右にある ～の アラバに マオンの 荒野に
H3452 H3225 H0413 H6160 H4584

彼らは立って、サウルに先立ってジフへ行った。さてダビデとその従者たちは荒野の南のアラバにあるマオンの荒野にいた。

25 וַיֵּרֶד לְדָוִד וַיֻּגַּד לְבַקֵּשׁ וַאֲנָשָׁיו שָׁאוּל וַיֵּלֶךְ
そして–下った ダビデに そして–告げられた 求めるために 彼の–人々は サウルと そして–行った
H3381 H1732 H5046 H1245 H0376 H7586 H3212

אַחֲרֵי־ וַיִּרְדֹּף שָׁאוּל וַיִּשְׁמַע מָעוֹן בְּמִדְבָּר וַיֵּשֶׁב הַסָּלַע
～の–後を そして–追った サウルは そして–聞いた マオンの 荒野に そして–留まった 岩に
H7291 H7586 H8085 H4584 H3427 H5553

מָעוֹן׃ מִדְבָּר דָּוִד
マオンの 荒野へ ダビデの
H4584 H1732

そしてサウルとその従者たちはきて彼を捜した。人々がこれをダビデに告げたので、ダビデはマオンの荒野にある岩の所へ下って行った。サウルはこれを聞いて、マオンの荒野にきてダビデを追った。

26 הָהָר מִצַּד וַאֲנָשָׁיו וְדָוִד מִזֶּה הָהָר מִצַּד שָׁאוּל וַיֵּלֶךְ
山の 側を 彼の–人々は そして–ダビデと こちらの 山の 側を サウルは そして–行った
H2022 H6654 H0376 H1732 H2088 H2022 H6654 H7586 H3212

וְשָׁאוּל שָׁאוּל מִפְּנֵי לָלֶכֶת נָחְפָּז דָּוִד וַיְהִי מִזֶּה
そして–サウルと サウルの ～の–前から 行こうと 急いで ダビデは そして–いた あちらの
H7586 H7586 H6440 H3212 H2648 H1732 H1961 H2088

לְתָפְשָׂם׃ אֲנָשָׁיו וְאֶל־ דָּוִד אֶל־ עֹטְרִים וַאֲנָשָׁיו
捕らえるために 彼の–人々を そして–～を ダビデと ～を 囲んでいた 彼の–人々は
H8610 H0376 H0413 H1732 H0413 H6696 H0376

サウルは山のこちら側を行き、ダビデとその従者たちとは山のむこう側を行った。そしてダビデは急いでサウルからのがれようとした。サウルとその従者たちが、ダビデとその従者たちを囲んで捕えようとしたからである。

27 וּמַלְאָךְ בָּא אֶל־שָׁאוּל לֵאמֹר מַהֲרָה וְלֵכָה כִּי־
そして-使いが 来た ～の-もとに サウルの 言って 急いで そして-来てください なぜなら
H4397 H0935 H0413 H7586 H0559 H3212

פָּשְׁטוּ פְלִשְׁתִּים עַל־הָאָרֶץ׃
侵入した ペリシテ人が ～の-上に この-地に
H6584 H6430 H0776

その時、サウルの所に、ひとりの使者がきて言った、「ペリシテびとが国を侵しています。急いできてください」。

28 וַיָּשָׁב שָׁאוּל מִרְדֹּף אַחֲרֵי דָוִד וַיֵּלֶךְ לִקְרַאת
そして-引き返した サウルは 追うことから ～の-後を ダビデの そして-行った 迎えるために
H7725 H7586 H7291 H0310 H1732 H3212 H7122

פְּלִשְׁתִּים עַל־כֵּן קָרְאוּ לַמָּקוֹם הַהוּא סֶלַע הַמַּחְלְקוֹת׃
ペリシテ人を その ゆえに 呼んだ その-場所を その 岩と 分離の
H6430 H5921 H3651 H7121 H4725 H1931 H5553 H4256

そこでサウルはダビデを追うことをやめて帰り、行ってペリシテびとに当った。それで人々は、その所を「のがれの岩」と名づけた。

29 וַיַּעַל דָּוִד מִשָּׁם וַיֵּשֶׁב בְּמְצָדוֹת עֵין־גֶּדִי׃
そして-上った ダビデは そこから そして-住んだ 要塞に エン-ゲディの エン-ゲディの
H5927 H1732 H8033 H3427 H4679 H5872 H5872

ダビデはそこから上ってエンゲデの要害にいた。

Chapter 24

1 וַיְהִי כְּאֲשֶׁר שָׁב שָׁאוּל מֵאַחֲרֵי פְלִשְׁתִּים וַיַּגִּדוּ
そして-なった ～の-時に 帰った サウルが ～の-後を-追うことから ペリシテ人の そして-告げた
H1961 H7725 H7586 H0310 H6430 H5046

לוֹ לֵאמֹר הִנֵּה דָוִד בְּמִדְבַּר עֵין גֶּדִי׃ ס
彼に 言って 見よ ダビデが 荒野に-いる エン-ゲディの 一
H0559 H2009 H1732 H4057 H5872 H5872

サウルがペリシテびとを追うことをやめて帰ってきたとき、人々は彼に告げて言った、「ダビデはエンゲデの野にいます」。

2 וַיִּקַּח שָׁאוּל שְׁלֹשֶׁת אֲלָפִים אִישׁ בָּחוּר מִכָּל־יִשְׂרָאֵל
そして-連れた サウルは 三 千 人の 選ばれた 全ての-中から イスラエルの
H3947 H7586 H7969 H0505 H0376 H0977 H3605 H3478

וַיֵּלֶךְ לְבַקֵּשׁ אֶת־דָּוִד וַאֲנָשָׁיו עַל־פְּנֵי צוּרֵי הַיְעֵלִים׃
そして-行った 求めるために ～を ダビデと 彼の-人々を ～の-上に 表面の 岩の 野やぎの
H3212 H1245 H0853 H1732 H0376 H5921 H6440 H6697 H3277

そこでサウルは、全イスラエルから選んだ三千の人を率い、ダビデとその従者たちとを捜すため、「やぎの岩」の前へ出かけた。

3 וַיָּבֹא אֶל־גְּדֵרוֹת הַצֹּאן עַל־הַדָּרֶךְ וְשָׁם מְעָרָה
そして-来た ～に 羊の 羊の-囲いに 道の ～の-そばの そして-そこに 洞窟が-あった
H0935 H0413 H6629 H1448 H1870 H8033 H4631

וַיָּבֹא שָׁאוּל לְהָסֵךְ אֶת־רַגְלָיו וְדָוִד וַאֲנָשָׁיו בְּיַרְכְּתֵי
そして-入った サウルは 足を-覆うために ～を 足を 彼の-人々は 奥に
H0935 H7586 H7272 H0853 H1732 H0376 H3411

הַמְּעָרָה׃ יֹשְׁבִים
洞窟の 座っていた
H4631 H3427

途中、羊のおりの所にきたが、そこに、ほら穴があり、サウルは足をおおうために、その中にはいった。その時、ダビデとその従者たちは、ほら穴の奥にいた。

4 וַיֹּאמְרוּ אַנְשֵׁי דָוִד אֵלָיו הִנֵּה הַיּוֹם אֲשֶׁר־אָמַר יְהוָה אֵלֶיךָ הִנֵּה
そして-言った 人々は ダビデの 彼に 見よ 今日が ～の-日だ 言った 主が あなたに 見よ
H0559 H0376 H1732 H0413 H2009 H3117 H0559 H3068 H0413 H2009

אָנֹכִי נֹתֵן אֶת־אֹיִבְךָ (אויבך) בְּיָדֶךָ וְעָשִׂיתָ לּוֹ
私が 渡す ～を あなたの-敵を あなたの-敵を あなたの-手に そして-しなさい 彼に
H0595 H5414 H0853 H0341 H0341 H3027 H6213 H0853

כַּאֲשֶׁר יִטַּב בְּעֵינֶיךָ וַיָּקָם דָּוִד וַיִּכְרֹת אֶת־
～の-ように 良いと-思う あなたの-目に そして-立ち上がった ダビデは そして-切り取った ～を
H3190 H5869 H1732 H6965 H3772 H0853

כְּנַף־הַמְּעִיל אֲשֶׁר לְשָׁאוּל בַּלָּט׃
裾を 上着の ～の サウルの ひそかに
H3671 H4598 H0834 H7586 H3909

ダビデの従者たちは彼に言った、「主があなたに告げて、『わたしはあなたの敵をあなたの手に渡す。あなたは自分の良いと思うことを彼にすることができる』と言われた日がきたのです」。そこでダビデは立って、ひそかに、サウルの上着のすそを切った。

5 וַיְהִי אַחֲרֵי־כֵן וַיַּךְ לֵב־דָּוִד אֹתוֹ עַל אֲשֶׁר
そして-なった その-後に その 打った そして- 心が ダビデの 彼を ～について ～のことで
H1961 H0310 H3651 H5221 H0853 H1732 H3820 H5921 H0834

כָּרַת אֶת־כְּנַף אֲשֶׁר לְשָׁאוּל׃ ס
切り取った ～を 裾を ～の サウルの —
H3772 H0853 H3671 H0834 H7586

しかし後になって、ダビデはサウルの上着のすそを切ったことに、心の責めを感じた。

6 וַיֹּאמֶר לַאֲנָשָׁיו חָלִילָה לִי מֵיהוָה אִם־אֶעֱשֶׂה אֶת־
そして-言った 人々に 決して-そんなことは 私に 主に-かけて しない する ～を
H0559 H0376 H2486 H3651 H3068 H0518 H6213 H0853

הַדָּבָר הַזֶּה לַאדֹנִי לִמְשִׁיחַ יְהוָה כִּי־בוֹ יָדִי לִשְׁלֹחַ
この-ことを この 私の-主人に 油注がれた-者に 主の 伸ばす なぜなら 彼に 私の-手を
H1697 H2088 H0113 H4899 H3068 H7971 H3588 H3027

בִּמְשִׁיחַ יְהוָה הוּא׃
油注がれた-者である 主の 彼は
H4899 H3068 H1931

ダビデは従者たちに言った、「主が油を注がれたわが君に、わたしがこの事をするのを主は禁じられる。彼は主が油を注がれた者であるから、彼に敵して、わたしの手をのべるのは良くない」。

7

לָקוּם	נִתָּנָם	וְלֹא	בַּדְּבָרִים	אֲנָשָׁיו	אֶת־	דָּוִד	וַיְשַׁסַּע
立ち上がる	彼らが	そして–許さなかった	言葉で	人々を	～を	ダビデは	そして–制した
H5414		H3808	H1697	H0376	H0853	H1732	H8156

ס	בַּדָּרֶךְ׃	וַיֵּלֶךְ	מֵהַמְּעָרָה	קָם	וְשָׁאוּל	שָׁאוּל	אֶל־
—	道を	そして–行った	洞窟から	立ち上がった	そして–サウルは	サウルに	～に–対して
	H1870	H3212	H4631		H7586	H7586	H0413

ダビデはこれらの言葉をもって従者たちを差し止め、サウルを撃つことを許さなかった。サウルは立って、ほら穴を去り、道を進んだ。

8

(מֵהַמְּעָרָה)	[המערה]	[מן־]	וַיֵּצֵא	כֵּן	אַחֲרֵי־	דָּוִד	וַיָּקָם
洞窟から	洞窟から	～から	そして–出た	その	その–後に	ダビデは	そして–立ち上がった
H4631	H4631		H3318			H1732	

אֲחָרָיו	שָׁאוּל	וַיַּבָּט	הַמֶּלֶךְ	אֲדֹנִי	לֵאמֹר	שָׁאוּל	אַחֲרֵי־	וַיִּקְרָא
後ろを	サウルは	そして–見た	王よ	わが–主人よ	言って	サウルの	～の–後から	そして–叫んだ
	H7586	H5027	H4428	H0113	H0559	H7586		H7121

ס	וַיִּשְׁתָּחוּ׃	אַרְצָה	אַפַּיִם	דָּוִד	וַיִּקֹּד
—	そして–ひれ伏した	地に	顔を	ダビデは	そして–ひれ伏した
	H7812	H0776	H0639	H1732	H6915

ダビデもまた、そのあとから立ち、ほら穴を出て、サウルのうしろから呼ばわって、「わが君、王よ」と言った。サウルがうしろをふり向いた時、ダビデは地にひれ伏して拝した。

9

הִנֵּה	לֵאמֹר	אָדָם	דִּבְרֵי	אֶת־	תִּשְׁמַע	לָמָּה	לִשְׁאוּל	דָּוִד	וַיֹּאמֶר
見よ	言う	人の	言葉を	～を	聞くのか	なぜ	サウルに	ダビデは	そして–言った
H2009	H0559	H0120	H1697	H0853	H8085	H4100	H7586	H1732	H0559

רָעָתֶךָ׃	מְבַקֵּשׁ	דָּוִד
あなたの–悪を	求めている	ダビデが
	H1245	H1732

そしてダビデはサウルに言った、「どうして、あなたは『ダビデがあなたを害しようとしている』という人々の言葉を聞かれるのですか。

10

וְהַיּוֹם	וְיהוָה	נְתָנְךָ	אֲשֶׁר־	אֶת	עֵינֶיךָ	רָאוּ	הַזֶּה	הַיּוֹם	הִנֵּה
今日	主が	渡した	～ということを	～を	あなたの–目は	見た	この	今日	見よ
H3117	H3068	H5414		H0853		H7200	H2088	H3117	H2009

לֹא־	וָאֹמַר	עָלֶיךָ	וַתָּחָס	לַהֲרָגֶךָ	וְאָמַר	בַּמְּעָרָה	בְּיָדִי
しない	そして–言った	あなたを	しかし–惜しんだ	殺せと	そして–言った	洞窟で	私の–手に
H3808	H0559		H2347	H2026	H0559	H4631	H3027

הוּא׃	יְהוָה	מְשִׁיחַ	כִּי־	בָאדֹנִי	יָדִי	אֶשְׁלַח
彼は	主の	油注がれた–者である	なぜなら	私の–主人に	私の–手を	伸ばす
H1931	H3068	H4899		H0113	H3027	H7971

あなたは、この日、自分の目で、主があなたをきょう、ほら穴の中でわたしの手に渡されたのをごらんになりました。人々はわたしにあなたを殺すことを勧めたのですが、わたしは殺しませんでした。『わが君は主が油を注がれた方であるから、これに敵して手をのべることはしない』とわたしは言いました。

11 וְאָבִי רְאֵה גַּם רְאֵה וְאֶת־כְּנַף מְעִילְךָ בְּיָדִי
そして–私の–父よ 見てください また 見てください 裾を ～を あなたの–上着の 私の–手に
H0001 H7200 H1571 H7200 H3671 H0853 H4598 H3027

כִּי בְכָרְתִּי אֶת־כְּנַף מְעִילְךָ וְלֹא הֲרַגְתִּיךָ
なぜなら 切り取った–時に ～を 裾を あなたの–上着の けれども–しなかった 殺すことは
H3772 H0853 H3671 H4598 H3808 H2026

וְרְאֵה וְאֵין בְּיָדִי רָעָה וָפֶשַׁע וְלֹא־
そして–見なさい ～ということを ない 私の–手には 悪も 背きも そして–しなかった
H7200 כִּי H0369 H3027 H7451 H6588 H3808

וְאַתָּה צֹדֶה אֶת־נַפְשִׁי לְקַחְתָּהּ׃
しかし–あなたは 狩っている ～を 私の–命を 取るために
H0853 H5315 H3947

לְךָ אֶחֱטָאתִי
あなたに 罪を–犯す
H2398

わが父よ、ごらんなさい。あなたの上着のすそは、わたしの手にあります。わたしがあなたの上着のすそを切り、しかも、あなたを殺さなかったことによって、あなたは、わたしの手に悪も、とがもないことを見て知られるでしょう。あなたはわたしの命を取ろうと、ねらっておられますが、わたしはあなたに対して罪をおかしたことはないのです。

12 יְהוָה יִשְׁפֹּט בֵּינִי וּבֵינֶךָ וְנָקְמַנִי יְהוָה מִמֶּךָּ
裁いてください 主が 私との–間を あなたとの–間を そして–報いてください 主が あなたから
H8199 H3068 H0996 H0996 H5358 H3068

וְיָדִי לֹא תִהְיֶה־בָּךְ׃
しかし–私の–手は しない 加えない あなたに
H3027 H3808 H1961

どうぞ主がわたしとあなたの間をさばかれますように。また主がわたしのために、あなたに報いられますように。しかし、わたしはあなたに手をくだすことをしないでしょう。

13 כַּאֲשֶׁר יֹאמַר מְשַׁל הַקַּדְמֹנִי מֵרְשָׁעִים יֵצֵא רֶשַׁע וְיָדִי לֹא
～の–ように 言う ことわざが 古い 悪人から 出る 悪が しかし–私の–手は しない
H0559 H4912 H6931 H7561 H3318 H7562 H3027 H3808

תִהְיֶה־בָּךְ׃
加えない あなたに
H1961

昔から、ことわざに言っているように、『悪は悪人から出る』。しかし、わたしはあなたに手をくだすことをしないでしょう。

14 אַחֲרֵי מִי יָצָאתָ מֶלֶךְ יִשְׂרָאֵל אַחֲרֵי מִי אַתָּה רֹדֵף
～の–後を 誰の 出たのか 王は イスラエルの ～の–後を 誰を あなたは 追っているのか
H4310 H3318 H4428 H3478 H4310 H7291

אַחֲרֵי כֶּלֶב מֵת אַחֲרֵי פַּרְעֹשׁ אֶחָד׃
～の–後を 犬の 死んだ ～の–後を 蛤の 一匹の
H3611 H4191 H6550 H0259

イスラエルの王は、だれを追って出てこられたのですか。あなたは、だれを追っておられるのですか。死んだ犬を追っておられるのです。一匹の蚤を追っておられるのです。

15 וְיָהִי יְהוָה לְדַיָּן וְשָׁפַט בֵּינִי וּבֵינֶךָ וְיֵרֶא
そして–あってほしい 主が 裁き主として そして–裁いてください 私との–間を あなたとの–間を そして–見て
H1961 H3068 H1781 H8199 H0996 H0996 H7200

וְיָרֶב רִיבִי וְיִשְׁפְּטֵנִי מִיָּדֶךָ׃ פ
そして–弁じてください ～を 私の–訴えを そして–救ってください あなたの–手から —
H7378 H0853 H7379 H8199 H3027

どうぞ主がさばきびととなって、わたしとあなたの間をさばき、かつ見て、わたしの訴えを聞き、わたしをあなたの手から救い出してくださるように」。

16 וַיְהִי כְּכַלּוֹת דָּוִד לְדַבֵּר אֶת־הַדְּבָרִים הָאֵלֶּה אֶל־
そして-なった 終えた-時に ダビデが 語ることを ～を これらの-言葉を ～に
H1961 H3615 H1732 H1696 H0853 H0428 H1697 H0413

שָׁאוּל וַיֹּאמֶר שָׁאוּל הֲקֹלְךָ זֶה בְּנִי דָוִד וַיִּשָּׂא
サウルに そして-言った サウルは これは-お前の-声か これは 私の-子よ ダビデよ そして-上げた
H7586 H0559 H7586 H2088 H1732 H5375

וַיֵּבְךְּ׃ קֹלוֹ שָׁאוּל
そして-泣いた 声を サウルは
H1058 H7586

ダビデがこれらの言葉をサウルに語り終ったとき、サウルは言った、「わが子ダビデよ、これは、あなたの声であるか」。そしてサウルは声をあげて泣いた。

17 וַיֹּאמֶר אֶל־דָּוִד צַדִּיק אַתָּה מִמֶּנִּי כִּי אַתָּה גְּמַלְתַּנִי
～に ダビデに 正しい お前は 私よりも なぜなら お前は 報いてくれた
H0413 H1732 H6662 H0859 H3588 H0859 H1580

הָרָעָה׃ גְּמַלְתִּיךָ וַאֲנִי הַטּוֹבָה
悪いことを 報いた そして-私は 善いことを
H1580 H0589

サウルはまたダビデに言った、「あなたはわたしよりも正しい。わたしがあなたに悪を報いたのに、あなたはわたしに善を報いる。

18 וְאַתָּה(וְאת) הִגַּדְתָּ הַיּוֹם אֶת אֲשֶׁר־ עָשִׂיתָה אִתִּי טוֹבָה
そして-お前は そして-お前は 告げた 今日 ～を ～ということを してくれた 私に 善いことを
H5046 H3117 H0853 H0834 H6213 H0854 H2896

הֲרַגְתָּנִי׃ וְלֹא בְיָדֶךָ יְהוָה סְגָרַנִי אֲשֶׁר אֵת
殺すことは けれども-しなかった あなたの-手に 主が 閉じ込めた ～ということを ～を
H2026 H3808 H3027 H3068 H5462 H0834 H0853

きょう、あなたはいかに良くわたしをあつかったかを明らかにしました。すなわち主がわたしをあなたの手にわたされたのに、あなたはわたしを殺さなかったのです。

19 וְכִי־ יִמְצָא אִישׁ אֶת־ אֹיְבוֹ וְשִׁלְּחוֹ בְּדֶרֶךְ טוֹבָה וַיהוָה
そして-もし 見つけたなら 人が ～を 敵を そして-行かせるのか 道を 良い そして-主が
H3588 H4672 H0376 H0853 H0341 H7971 H1870 H2896 H3068

לִי׃ עָשִׂיתָה אֲשֶׁר הַזֶּה הַיּוֹם תַּחַת טוֹבָה יְשַׁלֶּמְךָ
私に してくれた ～のことを この 今日の ～の-代わりに 善いことを 報いてくださるように
H2088 H3117 H8478

人は敵に会ったとき、敵を無事に去らせるでしょうか。あなたが、きょう、わたしにした事のゆえに、どうぞ主があなたに良い報いを与えられるように。

20 וְעַתָּה הִנֵּה יָדַעְתִּי כִּי מָלֹךְ תִּמְלֹךְ וְקָמָה בְּיָדֶךָ
そして-今 見よ 知っている ～ということを 確かに 王となる そして-確立する あなたの-手に
H6258 H2009 H3045 H3588 H4427 H4427 H6965 H3027

מַמְלֶכֶת בְּיִשְׂרָאֵל׃
王国が イスラエルの
H4467 H3478

今わたしは、あなたがかならず王となることを知りました。またイスラエルの王国が、あなたの手によって堅く立つことを知りました。

21 וְעַתָּה הִשָּׁבְעָה לִּי יְהוָה בֵּיהוֹת אִם־תַּכְרִית אֶת־זַרְעִי אַחֲרָי וְאִם־תַּשְׁמִיד אֶת־שְׁמִי מִבֵּית אָבִי׃
そして–今 誓ってほしい 私に 主に–かけて しないと 断つ ～を 私の–子孫を 私の–後に
H6258 H7650 H0000 H3068 H0000 H3772 H0853 H2233 H0000
そして–しないと 滅ぼす ～を 私の–名を ～から 父の–家から
H0000 H8045 H0853 H8034 H0000 H0001

それゆえ、あなたはわたしのあとに、わたしの子孫を断たず、またわたしの父の家から、わたしの名を滅ぼし去らないと、いま主をさして、わたしに誓ってください」。

22 וַיִּשָּׁבַע דָּוִד לְשָׁאוּל וַיֵּלֶךְ שָׁאוּל אֶל־בֵּיתוֹ וְדָוִד וַאֲנָשָׁיו עָלוּ עַל־הַמְּצוּדָה׃ פ
そして–誓った ダビデは サウルに そして–行った サウルは 家に ～に
H0000 H7650 H1732 H7586 H3212 H7586 H1732 H0000
そして–ダビデと 彼の–人々は 上った ～に 要塞に —
H0000 H0376 H5927 H0000 H4679 H0000

そこでダビデはサウルに、そのように誓った。そしてサウルは家に帰り、ダビデとその従者たちは要害にのぼって行った。

Chapter 25

1 וַיָּמָת שְׁמוּאֵל וַיִּקָּבְצוּ כָל־יִשְׂרָאֵל וַיִּסְפְּדוּ־לוֹ וַיִּקָּבְרֻהוּ בְּבֵיתוֹ בָּרָמָה וַיָּקָם דָּוִד וַיֵּרֶד אֶל־מִדְבַּר פָּארָן׃ ס
そして–死んだ サムエルは そして–集まった 全ての イスラエルは そして–嘆いた 彼のために
H0000 H4191 H8050 H0000 H6908 H0000 H3605 H3478 H0000 H5594 H0000
そして–葉った 彼の–家に ラマに そして–立ち上がった ダビデは そして–下った ～に 荒野に パランの —
H0000 H6912 H0000 H7414 H0000 H1732 H0000 H3381 H0000 H0413 H4057 H6290 H0000

さてサムエルが死んだので、イスラエルの人々はみな集まって、彼のためにひじょうに悲しみ、ラマにあるその家に彼を葬った。そしてダビデは立ってパランの荒野に下って行った。

2 וְאִישׁ בְּמָעוֹן וּמַעֲשֵׂהוּ בַכַּרְמֶל וְהָאִישׁ גָּדוֹל מְאֹד וְלוֹ צֹאן שְׁלֹשֶׁת־אֲלָפִים וְאֶלֶף עִזִּים וַיְהִי בְּגָזֹז אֶת־צֹאנוֹ בַּכַּרְמֶל׃
そして–一人の–人が マオンに 仕事が そして–その–人は 大きな 非常に
H0000 H0376 H4584 H4639 H0000 H3760 H0000 H1419 H3966
そして–彼には 羊が 三 千 そして–千の 山羊が そして–なった 刈る–時に ～を
H0000 H6629 H7969 H0505 H0000 H0505 H5795 H0000 H1961 H1494 H0853
カルメルで 彼の–羊を
H3760 H6629

マオンに、ひとりの人があって、カルメルにその所有があり、ひじょうに裕福で、羊三千頭、やぎ一千頭を持っていた。彼はカルメルで羊の毛を切っていた。

3

וְשֵׁם	הָאִישׁ	נָבָל	וְשֵׁם	אִשְׁתּוֹ	אֲבִגַיִל	וְהָאִשָּׁה	טוֹבַת־
そして–名は	その–人の	ナバル	そして–名は	彼の–妻の	アビガイル	そして–その–女は	良い
H8034	H0376	H5037	H8034	H0802	H0026	H0802	

שֵׂכֶל	וְיֵפַת	תֹּאַר	וְהָאִישׁ	קָשֶׁה	וְרַע	מַעַלָלָיו	וְהוּא
知恵の	そして–美しい	容姿の	しかし–その–人は	粗野で	そして–悪い	行いの	そして–彼は
H7922	H3303	H8389	H0376	H7186		H4611	H1931

כָּלְבִּי׃)	כלבו]
カレブ–人で	カレブ–人で
H3614	

その人の名はナバルといい、妻の名はアビガイルといった。アビガイルは賢くて美しかったが、その夫は剛情で、粗暴であった。彼はカレブびとであった。

4

צֹאנוֹ׃	אֶת־	נָבָל	גֹּזֵז	כִּי־	בַּמִּדְבָּר	דָּוִד	וַיִּשְׁמַע
彼の–羊を	～を	ナバルが	刈っている	～ということを	荒野で	ダビデは	そして–聞いた
H6629	H0853	H5037	H1494			H1732	H8085

ダビデは荒野にいて、ナバルがその羊の毛を切っていることを聞いたので、

5

עֲלוּ	לַנְּעָרִים	דָּוִד	וַיֹּאמֶר	נְעָרִים	עֲשָׂרָה	דָּוִד	וַיִּשְׁלַח
上りなさい	若者たちに	ダビデは	そして–言った	若者を	十人の	ダビデは	そして–遣わした
H5927	H5288	H1732	H0559	H5288	H6235	H1732	H7971

לִשְׁלוֹם׃	בִּשְׁמִי	לוֹ	וּשְׁאֶלְתֶּם־	נָבָל	אֶל־	וּבָאתֶם	כַּרְמֶלָה׃
平安を	私の–名で	彼に	そして–尋ねなさい	ナバルの	～の–もとに	そして–行きなさい	カルメルへ
H7965	H8034		H7592	H5037	H0413	H0935	H3760

十人の若者をつかわし、その若者たちに言った、「カルメルに上って行ってナバルの所へ行き、わたしの名をもって彼にあいさつし、

6

שָׁלוֹם	וּבֵיתְךָ	שָׁלוֹם׃	וְאַתָּה	לְחָי	כֹּה	וַאֲמַרְתֶּם	
平安が	そして–あなたの–家に	平安が	そして–あなたに	生きている–者に	こう	そして–言いなさい	
H7965		H7965			H3541	H0559	

שָׁלוֹם׃	לְךָ	אֲשֶׁר־	וְכֹל
平安が	あなたの–ものに	～に	そして–全ての
H7965			H3605

彼にこう言いなさい、『どうぞあなたに平安があるように。あなたの家に平安があるように。またあなたのすべての持ち物に平安があるように。

7

אֲשֶׁר־	הָרֹעִים	עַתָּה	לָךְ	גֹּזְזִים	כִּי	שָׁמַעְתִּי	וְעַתָּה
～の	羊飼いたちは	今	あなたに	毛を–刈る者が–いる	～ということを	聞いた	そして–今
		H6258		H1494		H8085	H6258

מְאוּמָה	לָהֶם	נִפְקָד	וְלֹא־	הֻכְלַמְנוּם	לֹא	עִמָּנוּ	הָיוּ	לְךָ
何も	彼らに	失われる	そして–しなかった	辱める	しなかった	私たちと–共に	いた	あなたの
H3972			H3808	H3637	H3808		H1961	

כַּרְמֶל׃	הֱיוֹתָם	יְמֵי	כָּל־	
カルメルに	いた	日々	全ての	
H3760	H1961	H3117	H3605	

わたしはあなたが羊の毛を切っておられることを聞きました。あなたの羊飼たちはわれわれと一緒にいたのですが、われわれは彼らを少しも害しませんでした。また彼らはカルメルにいる間に、何ひとつ失ったことはありません。

8 וְיִמְצְאוּ לָךְ וְיַגִּידוּ נְעָרֶיךָ אֶת־ שְׁאַל
そして–見出させてほしい あなたに そうすれば–告げる あなたの–若者たちに ～を 尋ねなさい
H4672 H5046 H5288 H0853 H7592

נָּא תְּנָה־ בָנוּ טוֹב יוֹם עַל־ כִּי־ בְּעֵינֶיךָ חֵן הַנְּעָרִים
どうか 与えてほしい 来た 良い 日の ～の–上に なぜなら あなたの–目に 恵みを 若者たちが
H4994 H5414 H0935 H3117 H2580 H5288

׃לְדָוִד וּלְבִנְךָ לַעֲבָדֶיךָ יָדְךָ תִּמְצָא אֲשֶׁר אֵת
ダビデに そして–あなたの–息子に あなたの–しもべたちに あなたの–手に 見つかる ～の ～を
H1732 H5650 H3027 H4672 H0853

あなたの若者たちに聞いてみられるならば、わかります。それゆえ、わたしの若者たちに、あなたの好意を示してください。われわれは祝の日にきたのです。どうぞ、あなたの手もとにあるものを、贈り物として、しもべどもとあなたの子ダビデにください』」。

9 הַדְּבָרִים כְּכָל־ נָבָל אֶל־ וַיְדַבְּרוּ דָּוִד נַעֲרֵי וַיָּבֹאוּ
言葉に 全ての–～に–従って ナバルに ～に そして–語った ダビデの 若者たちは そして–来た
H1697 H3605 H5037 H0413 H1696 H1732 H5288 H0935

׃וַיָּנוּחוּ דָּוִד בְּשֵׁם הָאֵלֶּה
そして–待った ダビデの ～の–名で これらの
H5117 H1732 H8034 H0428

ダビデの若者たちは行って、ダビデの名をもって、これらの言葉をナバルに語り、そして待っていた。

10 דָּוִד וַיֹּאמֶר דָּוִד עַבְדֵי אֶת־ נָבָל וַיַּעַן
ダビデとは 誰だ そして–言った ダビデの しもべたちに ～に ナバルは そして–答えた
H1732 H4310 H0559 H1732 H5650 H0853 H5037

מִפְּנֵי אִישׁ הַמִּתְפָּרְצִים עֲבָדִים רַבּוּ הַיּוֹם יִשַׁי בֶּן־ וּמִי
～の–前から 人が 逃げ出す しもべたちが 多い 今日 エッサイの 息子とは そして–誰だ
H6440 H0376 H6555 H5650 H3117 H3448 H4310

׃אֲדֹנָיו
主人の
H0113

ナバルはダビデの若者たちに答えて言った、「ダビデとはだれか。エッサイの子とはだれか。このごろは、主人を捨てて逃げるしもべが多い。

11 אֲשֶׁר טַבְחָתִי וְאֶת מֵימַי וְאֶת־ לַחְמִי וְאֶת־ וְלָקַחְתִּי
～を 私の–肉を そして–～を 私の–水を そして–～を 私の–パンを ～を そして–取るのか
H2878 H0853 H4325 H0853 H3899 H0853 H3947

אֵי יָדַעְתִּי לֹא אֲשֶׁר לַאֲנָשִׁים וְנָתַתִּי לְגֹזְזַי טָבַחְתִּי
どこから 知らない 知らない ～の 人々に そして–与えるのか 毛を–刈る者のために 屠った
H0335 H3045 H3808 H0376 H5414 H1494 H2873

׃הֵמָּה מִזֶּה
彼らは どこから
H1992 H2088

どうしてわたしのパンと水、またわたしの羊の毛を切る人々のためにほふった肉をとって、どこからきたのかわからない人々に与えることができようか」。

12

וַיָּבֹאוּ
そして-来た
H0935

וַיָּשֻׁבוּ
そして-帰った
H7725

לְדַרְכָּם
自分たちの-道へ
H1870

דָּוִד
ダビデの
H1732

נַעֲרֵי־
若者たちは
H5288

וַיַּהַפְכוּ
そして-向きを-変えた
H2015

הָאֵלֶּה׃
これらの
H0428

הַדְּבָרִים
言葉に
H1697

כְּכֹל
全ての-〜に-従って
H3605

לוֹ
彼に

וַיַּגִּדוּ
そして-告げた
H5046

ダビデの若者たちは、そこを去り、帰ってきて、彼にこのすべての事を告げた。

13

וַיֹּאמֶר
そして-言った
H0559

דָּוִד
ダビデは
H1732

לַאֲנָשָׁיו
人々に
H0376

וְחִגְרוּ
帯びなさい
H2296

אִישׁ
各自
H0376

אֶת־
〜を
H0853

חַרְבּוֹ
剣を
H2719

אִישׁ
各自
H0376

אֶת־
〜を
H0853

וַיַּחְגְּרוּ
そして-帯びた
H2296

אִישׁ
各自
H0376

אֶת־
〜を
H0853

חַרְבּוֹ
剣を
H2719

וַיַּחְגֹּר
そして-帯びた
H2296

גַּם־
〜も
H1571

דָּוִד
ダビデも
H1732

אֶת־
〜を
H0853

חַרְבּוֹ
剣を
H2719

וַיַּעֲלוּ
そして-上った
H5927

אַחֲרֵי
〜の-後に

דָּוִד
ダビデの
H1732

כְּאַרְבַּע
約-四
H0702

מֵאוֹת
百
H3967

אִישׁ
人
H0376

וּמָאתַיִם
そして-二百人は
H3967

יָשְׁבוּ
留まった
H3427

עַל־
〜の-そばに

הַכֵּלִים׃
荷物の
H3627

そこでダビデは従者たちに言った、「おのおの、つるぎを帯びなさい」。彼らはおのおのつるぎを帯び、ダビデもまたつるぎを帯びた。そしておおよそ四百人がダビデに従って上っていき、二百人は荷物のところにとどまった。

14

וְלַאֲבִיגַיִל
そして-アビガイルに
H0026

אֵשֶׁת
妻に
H0802

נָבָל
ナバルの
H5037

הִגִּיד
告げた
H5046

נַעַר־
若者が
H5288

אֶחָד
一人の
H0259

מֵהַנְּעָרִים
若者たちの-中の
H5288

לֵאמֹר
言って
H0559

הִנֵּה
見よ
H2009

שָׁלַח
遣わした
H7971

דָּוִד
ダビデが
H1732

וּמַלְאָכִים
使いを
H4397

מֵהַמִּדְבָּר
荒野から

לְבָרֵךְ
祝福するために
H1288

אֶת־
〜を
H0853

אֲדֹנֵינוּ
私たちの-主人を
H0113

וַיָּעַט
しかし-怎鳴った

בָּהֶם׃
彼らを

ところで、ひとりの若者がナバルの妻アビガイルに言った、「ダビデが荒野から使者をつかわして、主人にあいさつをしたのに、主人はその使者たちをののしられました。

15

וְהָאֲנָשִׁים
そして-その-人々は
H0376

טֹבִים
良かった

לָנוּ
私たちに

מְאֹד
非常に
H3966

וְלֹא־
そして-しなかった
H3808

הָכְלַמְנוּ
辱める
H3637

וְלֹא
そして-しなかった
H3808

פֻּקַּדְנוּ
失われる

מְאוּמָה
何も
H3972

כָּל־
全ての
H3605

יְמֵי
日々
H3117

הִתְהַלָּכְנוּ
歩き回った
H1980

אִתָּם
彼らと-共に
H0854

בִּהְיוֹתֵנוּ
いた-時に
H1961

בַּשָּׂדֶה׃
野に

しかし、あの人々はわれわれに大へんよくしてくれて、われわれは少しも害を受けず、またわれわれが野にいた時、彼らと共にいた間は、何ひとつ失ったことはありませんでした。

16

חוֹמָה
城壁で
H2346

הָיוּ
あった
H1961

עָלֵינוּ
私たちに

גַּם־
〜も
H1571

לַיְלָה
夜も
H3915

גַּם־
〜も
H1571

יוֹמָם
昼も
H3119

כָּל־
全ての
H3605

יְמֵי
日々
H3117

הֱיוֹתֵנוּ
いた
H1961

עִמָּם
彼らと-共に

הַצֹּאן׃
羊を
H6629

רֹעִים
羊を-飼って

われわれが羊を飼って彼らと共にいる間、彼らは夜も昼もわれわれのかきとなってくれました。

17 וְעַתָּה֙ דְּעִ֔י וּרְאִי֙ מָה־ תַּעֲשִׂ֔י כִּי־ כָלְתָ֥ה הָרָעָ֖ה
今 知りなさい そして–見なさい 何を するべきか なぜなら 決まった 悪が
H6258 H3045 H7200 H4100 H3615

וְעַל־ כָּל־ בֵּיתֹ֑ו וְהוּא֙ בֶּן־ בְּלִיַּ֣עַל אֲדֹנֵ֔ינוּ
そして–〜に 全ての 彼の–家に そして–彼は よこしまの 子で 私たちの–主人に
H0413 H3605 H1931 H1100 H0113

אֵלָ֖יו׃ מְדַבֵּ֥ר
彼に 話すことが–できない
H0413 H1696

それで、あなたは今それを知って、自分のすることを考えてください。主人とその一家に災が起きるからです。しかも主人はよこしまな人で、話しかけることもできません」。

18 וַתְּמַהֵ֗ר וַ֠תִּקַּח אֲבִיגַ֞יִל (אבונ֤יל) נִבְלִי־ וּשְׁנֵ֣י לֶ֔חֶם מָאתַ֖יִם
そして–急いだ アビガイルは アビガイルは 革袋の 二つの パンと 二百の そして–取った
H3967 H0026 H0026 H8147 H3899 H3967 H3947

וּמֵאָ֣ה קָלִ֑י סְאִ֣ים וְחָמֵ֖שׁ (עשו֥ת) צֹ֛אן וְחָמֵ֥שׁ יַ֙יִן֙
そして–百の 炒り麦と セアの 五–セアの 調理した 調理した 羊の 五匹の ぶどう酒と
H3967 H7039 H5429 H2568 H6629 H2568 H3196

עַל־ הַחֲמֹרִֽים׃ וַיָּ֥שֶׂם דְּבֵלִ֖ים וּמָאתַ֣יִם צִמֻקִ֔ים
〜の–上に ろばの そして–載せた 干しいちじくを そして–二百の 干しぶどうと
H6778 H3967 H1690 H2543

その時、アビガイルは急いでパン二百、ぶどう酒の皮袋二つ、調理した羊五頭、いり麦五セア、ほしぶどう百ふさ、ほしいちじくのかたまり二百を取って、ろばにのせ、

19 וַתֹּ֣אמֶר לְנַעֲרֶ֗יהָ עִבְר֤וּ לְפָנַי֙ הִנֵּ֣נִי אַחֲרֵיכֶ֔ם בָּאָ֑ה
そして–言った 若者たちに 渡りなさい 私の–前を 見よ–私は あなたたちの–後に 行く
H0559 H5288 H6440 H2009 H0935

וּלְאִישָׁ֖הּ נָבָ֥ל לֹא֙ הִגִּ֣ידָה׃
そして–夫には ナバルには しなかった 告げる
H0376 H5037 H3808 H5046

若者たちに言った、「わたしのさきに進みなさい。わたしはあなたがたのうしろに、ついて行きます」。しかし彼女は夫ナバルには告げなかった。

20 וְהָיָ֗ה וַתִּ֤יא רֹכֶ֙בֶת֙ עַל־ הַחֲמ֔וֹר וַתֵּ֣רֶד בְּסֵ֣תֶר הָהָ֑ר
そして–なった 彼女が 乗っていた 〜の–上に ろばの 影に 山の
H1961 H1931 H7392 H5543 H3381 H5622 H2022

וְהִנֵּ֣ה דָוִ֔ד וְאַנְשָׁ֖יו יֹרְדִ֣ים לִקְרָאתָ֑הּ וַתִּפְגֹּ֖שׁ אֹתָֽם׃
そして–見よ ダビデと 彼の–人々が 下って–来ていた 彼女に–向かって そして–出会った 彼らに
H2009 H1732 H0376 H3381 H7122 H6298 H0853

アビガイルが、ろばに乗って山陰を下ってきた時、ダビデと従者たちは彼女の方に向かって降りてきたので、彼女はその人々に出会った。

21 וְדָוִד אָמַר אַךְ־לַשֶּׁקֶר שָׁמַרְתִּי אֶת־כָּל־אֲשֶׁר לְזֶה֙ בַּמִּדְבָּ֔ר
そして–ダビデは 言っていた まことに 守った ～を 全ての ～を この者の 荒野で
H1732 H0559 H0389 H8104 H0853 H3605 H2088

וַיָּשֶׁב־לִי רָעָה תָּחַת טוֹבָ֑ה׃ מִכֹּל־אֲשֶׁר־לוֹ נִפְקַד וְלֹא־
そして–返した 私に 悪を ～の–代わりに 善の 彼の ～の 全ての–中から 失われる そして–しなかった
H7725 H3972 H8478 H3605

さて、ダビデはさきにこう言った、「わたしはこの人が荒野で持っている物をみな守って、その人に属する物を何ひとつなくならないようにしたが、それは全くむだであった。彼はわたしのした親切に悪をもって報いた。

22 כֹּה־יַעֲשֶׂה אֱלֹהִים לְאוֹיְבֵי דָוִד וְכֹה יֹסִיף אִם־אַשְׁאִיר
こう するように 神が 敵に ダビデの そして–こう 加えるように もし 残すなら
H3541 H0430 H0341 H1732 H3541 H3254 H7604

מִכָּל־אֲשֶׁר־לוֹ עַד־הַבֹּקֶר מַשְׁתִּין בְּקִ֖יר׃
全ての–中から ～の 彼の ～までに 朝までに 壁に–小便する–者を 壁に
H3605 H5704 H1242 H8366 H7023

もしわたしがあすの朝まで、ナバルに属するすべての者のうち、ひとりの男でも残しておくならば、神が幾重にもダビデを罰してくださるように」。

23 וַתַּרְא אֲבִיגַיִל֙ אֶת־דָּוִ֔ד וַתְּמַהֵּר וַתֵּרֶד מֵעַ֖ל הַחֲמֹֽור׃
そして–見た アビガイルは ダビデを ～を そして–急いだ そして–降りた ～から ろばから
H7200 H0026 H1732 H0853 H3381 H2543

וַתִּשְׁתָּ֥חוּ אָֽרְצָה׃ וַתִּפֹּל֙ לְאַפָּ֔יהָ עַל־דָּוִ֖ד פָּנֶ֑יהָ עַל־
そして–ひれ伏した 地に 顔を ～の–上に ダビデの–前に 顔を そして–ひれ伏した
H7812 H0776 H6440 H1732 H0639 H5307

アビガイルはダビデを見て、急いで、ろばを降り、ダビデの前で地にひれ伏し、

24 וַתִּפֹּל֙ עַל־רַגְלָ֔יו וַתֹּ֣אמֶר בִּי־אֲנִ֔י אֲדֹנִ֖י
そして–ひれ伏した ～の–上に 彼の–足に そして–言った 私に–あります 私に わが–主人よ
H5307 H7272 H0559 H0589 H0113

וְתִדַּבֶּר־נָ֥א אֲמָתְךָ֖ בְּאָזְנֶ֑יךָ וּשְׁמַ֖ע הָעָ֥ן
そして–話させてほしい どうか あなたの–はしために あなたの–耳に そして–聞いてほしい この–咎は
H1696 H4994 H0519 H0241 H8085 H5771

אֶת־דִּבְרֵי֙ אֲמָתֶ֔ךָ׃
～を 言葉を あなたの–はしための
H0853 H1697 H0519

その足もとに伏して言った、「わが君よ、このとがをわたしだけに負わせてください。しかしどうぞ、はしために、あなたの耳に語ることを許し、はしための言葉をお聞きください。

25

אַל־ נָא יָשֶׂם אֲדֹנִי אֶת־ לִבּוֹ אֶל־ אִישׁ הַבְּלִיַּעַל הַזֶּה
してはならない どうか 置いてほしい わが–主人が ～を 心を ～に 人に よこしまの この
H0408 H4994 H3276 H0113 H0853 H0413 H0376 H1100 H2088

עַל־ נָבָל כִּי כִשְׁמוֹ כֵּן־ הוּא וּנְבָלָה שְׁמוֹ
～に ナバルに なぜなら 名の–とおり その–とおり 彼は 愚か そして–愚かさが 彼の–名で
H5037 H3588 H8034 H3651 H1931 H5039 H8034

אֲדֹנִי אֶת־ נַעֲרֵי אֶת־ רָאִיתִי לֹא וַאֲנִי אֲמָתְךָ עִמּוֹ
わが–主人の 若者たちを ～を 見なかった 見なかった あなたの–はしためは そして–私は 彼と–共に
H0113 H5288 H0853 H7200 H3808 H0519 H0589

אֲשֶׁר שָׁלַחְתָּ׃
遣わした ～の
H7971

わが君よ、どうぞ、このよこしまな人ナバルのことを気にかけないでください。あの人はその名のとおりです。名はナバルで、愚かな者です。あなたのはしためであるわたしは、わが君なるあなたがつかわされた若者たちを見なかったのです。

26

וְעַתָּה אֲדֹנִי חַי־ יְהוָה וְחֵי־ נַפְשְׁךָ אֲשֶׁר
そして–今 わが–主人よ 生きておられる 主は そして–生きている あなたの–魂は ～のことを
H6258 H0113 H2416 H3068 H2416 H5315

מְנָעֲךָ יְהוָה בְּדָמִים וְהוֹשֵׁעַ יָדְךָ לָךְ וְעַתָּה
引き止めた 主が 血に 来ることから そして–救う あなたの–手を あなたの–ために そして–今
H4513 H3068 H1818 H0935 H3467 H3027 H0000 H6258

כִּנְבָל אֹיְבֶיךָ וְהַמְבַקְשִׁים אֲדֹנִי אֶל־ יִהְיוּ
ナバルの–ように あなたの–敵が そして–求めている–者が ～に–対して わが–主人に
H5037 H0341 H1245 H0413 H0113 H1961

רָעָה׃
悪を

それゆえ今、わが君よ、主は生きておられます。またあなたは生きておられます。主は、あなたがきて血を流し、また手ずから、あだを報いるのをとどめられました。どうぞ今、あなたの敵、およびわが君に害を加えようとする者は、ナバルのごとくになりますように。

27

וְעַתָּה הַבְּרָכָה הַזֹּאת אֲשֶׁר־ הֵבִיא שִׁפְחָתְךָ לַאדֹנִי
そして–今 この–贈り物を この 持って–来た ～を あなたの–はしためが わが–主人に
H6258 H1293 H2063 H0834 H0935 H8198 H0113

וְנִתְּנָה לַנְּעָרִים הַמִּתְהַלְּכִים בְּרַגְלֵי אֲדֹנִי׃
そして–与えてほしい 若者たちに 歩いている 足もとに わが–主人の
H5414 H5288 H1980 H7272 H0113

今、あなたのつかえめが、わが君に携えてきた贈り物を、わが君に従う若者たちに与えてください。

28

שָׂא נָא לְפֶשַׁע אֲמָתֶךָ כִּי עָשֹׂה־ יַעֲשֶׂה יְהוָה לַאדֹנִי
赦してほしい どうか 背きを あなたの–はしための 確かに なぜなら 立てる 主は わが–主人に
H5375 H4994 H6588 H0519 H3588 H6213 H3068 H0113

בֵּית נֶאֱמָן כִּי־ מִלְחֲמוֹת יְהוָה אֲדֹנִי נִלְחָם וְרָעָה לֹא־
家を 確かな なぜなら 主の 戦いを わが–主人は 戦っている そして–悪が 見つからない
H1004 H0539 H3588 H4421 H3068 H0113 H3898 H7451 H3808

תִמָּצֵא בְךָ מִימֶיךָ׃
見つからない あなたに あなたの–日々から
H4672 H0000 H3117

わが君よ、わが君に従う者たちが悪を行なうことのないように、また、わが君のいのちが、あなたの神、主の命の束に結ばれて安全であるように、わが君に害を加えようとする者たちのいのちが、石投げ器のくぼみに入れられて投げ出されるように。

どうぞ、はしためのとがを許してください。主は必ずわが君のために確かな家を造られるでしょう。わが君が主のいくさを戦い、またこの世に生きながらえられる間、あなたのうちに悪いことが見いだされないからです。

29

וְהָיְתָה֙ נַפְשָׁ֣ךְ אֶת־ וּלְבַקֵּ֔שׁ לִרְדָפְךָ֖ אָדָ֑ם וַיָּ֣קָם
そして–ある あなたの–命を ～を そして–求めるために 追うために 人が そして–立ち上がるなら
H1961 H5315 H0853 H1245 H7291 H0120

וְאֶת֙ אֱלֹהֶ֔יךָ יְהוָ֣ה אֶת֙ הַחַיִּ֔ים בִּצְר֖וֹר וּצְרוּרָ֑ה אֲדֹנִ֣י נֶ֔פֶשׁ
そして–～を あなたの–神と 主と ～と–共に 命の 包みの–中に 包まれて わが–主人の 命が
H0853 H0430 H3068 H0854 H2416 H6887 H0113 H5315

הַקָּלַ֖ע כַּ֥ף בְּת֣וֹךְ יְקַלְּעֶ֔נָּה אֹיְבֶ֖יךָ נֶ֥פֶשׁ׃
投石の くぼみの 中から 投げ飛ばす あなたの–敵の 命を
H3709 H8432 H0341 H5315

たとい人が立ってあなたを追い、あなたの命を求めても、わが君の命は、生きている者の束にたばねられて、あなたの神、主のもとに守られるでしょう。しかし主はあなたの敵の命を、石投げの中から投げるように、投げ捨てられるでしょう。

30

אֵת֙ דִּבֶּ֣ר אֲשֶׁר־ כְּכֹ֣ל לַאדֹנִ֔י יְהוָ֖ה יַעֲשֶׂ֣ה כִּי־ וְהָיָ֔ה
～を 語った ～の 全ての–～に–従って わが–主人に 主が 行う ～の–時に そして–なる
H0853 H1696 H3605 H0113 H3068 H6213 H3588 H1961

יִשְׂרָאֵ֑ל׃ עַל־ לְנָגִ֖יד וְצִוָּ֥ךְ עָלֶ֔יךָ הַטּוֹבָ֖ה
イスラエルの ～の–上に 指導者として そして–任命する あなたに–ついて 善いことを
H3478 H5921 H5057 H6680 H5921 H2896

そして主があなたについて語られたすべての良いことをわが君に行い、あなたをイスラエルのつかさに任じられる時、

31

לֵ֣ב וּלְמִכְשׁ֣וֹל לְפוּקָ֗ה לְךָ֙ וְזֹ֣את תִּהְיֶ֔ה וְלֹ֣א
心の そして–心の–苦しみと つまずきと あなたに これが ならないように そして–しない
H4383 H6330 H0802 H2063 H1961 H3808

וְהֵיטַ֥ב לוֹ֙ אֲדֹנִ֔י וְהוֹשִׁ֥יעַ חִנָּ֖ם דָּ֣ם וְלִשְׁפָּךְ־ לַאדֹנִ֑י
そして–良くする 自分のために わが–主人が そして–救う 空しく 血を そして–流す わが–主人に
H3190 H0113 H3467 H2600 H1818 H8210 H0113

ס אֲמָתֶֽךָ׃ אֶת־ וְזָכַרְתָּ֙ לַאדֹנִ֔י יְהוָ֖ה
— あなたの–はしためを ～を そして–思い出してほしい わが–主人に 主が
H0519 H0853 H2142 H0113 H3068

あなたが、ゆえなく血を流し、またわが君がみずからあだを報いたと言うことで、それがあなたのつまずきとなり、またわが君の心の責めとなることのないようにしてください。主がわが君を良くせられる時、このはしためを思いだしてください」。

32

אֲשֶׁ֣ר יִשְׂרָאֵ֔ל אֱלֹהֵ֣י יְהוָ֔ה בָּר֖וּךְ לַאֲבִיגַ֑ל דָּוִ֣ד וַיֹּ֣אמֶר
～のことを イスラエルの 神は 主は ほむべき アビガイルに ダビデは そして–言った
H3478 H0430 H3068 H1288 H0026 H1732 H0559

לִקְרָאתִֽי׃ הַזֶּ֖ה הַיּ֥וֹם שְׁלָחֵֽךְ
私に–会わせてくださった この 今日 遣わした
H7122 H2088 H3117 H7971

ダビデはアビガイルに言った、「きょう、あなたをつかわして、わたしを迎えさせられたイスラエルの神、主はほむべきかな。

33 וּבָרוּךְ טַעְמֵךְ וּבְרוּכָה אָתְּ אֲשֶׁר כְּלַאתַנִי הַיּוֹם
今日 引き止めた ～のことを あなたは そして–祝福されよ あなたの–知恵は そして–ほむべき
H3117 H3607 H1288 H2940 H1288

מִבּוֹא הַזֶּה וְהוֹשַׁע יָדִי לִי׃
来ることから この 私の–ために 私の–手を そして–救う 血に
H0935 H2088 H3027 H3467 H1818

あなたの知恵はほむべきかな。またあなたはほむべきかな。あなたは、きょう、わたしがきて血を流し、手ずからあだを報いることをとどめられたのです。

34 וְאוּלָם חַי־ יְהוָה אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל אֲשֶׁר מְנָעַנִי מֵהָרַע
しかし–実に 生きておられる 主は 神は イスラエルの ～のことを 引き止めた 悪から
H0199 H2416 H3068 H0430 H3478 H4513

כִּי לוּלֵי אַתָּה מְהַרְתְּ וותבאתין וַתָּבֹאת(לִקְרָאתִי כִּי אִם־
なぜなら もし 急がなかったなら そして–来た 私に–会いに 確かに
H3884 H0853 H0935 H0935 H7122

נוֹתָר לְנָבָל עַד־ אוֹר הַבֹּקֶר מַשְׁתִּין בְּקִיר׃
残っていた ナバルに ～までに 光までに 朝の 壁に–小便する–者も 壁に
H3498 H5037 H5704 H0216 H1242 H8366 H7023

わたしがあなたを害することをとどめられたイスラエルの神、主はまことに生きておられる。もしあなたが急いでわたしに会いにこなかったならば、あすの朝までには、ナバルのところに、ひとりの男も残らなかったでしょう」。

35 וַיִּקַּח דָּוִד מִיָּדָהּ אֵת אֲשֶׁר־ הֵבִיאָה לוֹ וְלָהּ
そして–受け取った ダビデは 彼女の–手から ～を ～を 持って–来た 彼に そして–彼女に
H3947 H1732 H3027 H0853 H0834 H0935 H0413 H0518

אָמַר עֲלִי לְשָׁלוֹם לְבֵיתֵךְ רְאִי שָׁמַעְתִּי בְקוֹלֵךְ
言った 上って–行きなさい 平安の–うちに あなたの–家に 見よ 聞いた あなたの–声に
H0559 H5927 H7965 H0413 H7200 H8085

וָאֶשָּׂא פָּנֶיךְ׃
そして–受け入れた あなたの–顔を
H5375 H6440

ダビデはアビガイルが携えてきた物をその手から受けて、彼女に言った、「あなたは無事にのぼって、家に帰りなさい。わたしはあなたの声を聞きいれ、あなたの願いを許します」。

36 וַתָּבֹא אֲבִיגַיִל אֶל־ נָבָל וְהִנֵּה־ לוֹ מִשְׁתֶּה בְּבֵיתוֹ
そして–来た アビガイルは ～の–もとに ナバルの そして–見よ 彼には 宴が–あった 彼の–家に
H0935 H0026 H0413 H5037 H2009 H0518 H4960

כְּמִשְׁתֵּה הַמֶּלֶךְ וְלֵב נָבָל טוֹב עָלָיו וְהוּא וְהַנַּעַר שִׁכֹּר
～の–ような 王の 心は そして–ナバルの 良かった 彼の–上に そして–彼は 酔っていた ～まで
H4960 H4428 H0413 H5037 H2896 H5921 H1931 H7910 H5704

מְאֹד וְלֹא־ הִגִּיד לוֹ דָּבָר קָטֹן וְגָדוֹל עַד־ אוֹר הַבֹּקֶר׃
非常に そして–しなかった 告げる 彼に ことを 小さなことも 大きなことも ～まで 光まで 朝の
H3966 H3808 H5046 H0518 H1697 H6996 H1419 H5704 H0216 H1242

こうしてアビガイルはナバルのもとにきたが、見よ、彼はその家で、王の酒宴のような酒宴を開いていた。ナバルは心に楽しみ、ひじょうに酔っていたので、アビガイルは明くる朝まで事の大小を問わず何をも彼に告げなかった。

37 וַיְהִי בְּבֹקֶר בְּצֵאת הַיַּיִן מִנָּבָל וַתַּגֶּד־לוֹ אִשְׁתּוֹ אֶת־
そして-なった 朝に 抜けた-時に 酒が ナバルから そして-告げた 彼に 妻が ～を
H1961 H1242 H3318 H3196 H5037 H5046 H0802 H0853

הַדְּבָרִים הָאֵלֶּה וַיָּמָת לִבּוֹ בְקִרְבּוֹ וְהוּא־הָיָה לְאָבֶן׃
これらの-ことを これらの 死んだ 心が 彼の-内で 彼は-なった 石の-ように
H1697 H0428 H4191 H3820 H7130 H1931 H1961 H0068

朝になってナバルの酔いがさめたとき、その妻が彼にこれらの事を告げると、彼の心はそのうちに死んで、彼は石のようになった。

38 וַיְהִי כַּעֲשֶׂרֶת הַיָּמִים וַיִּגֹּף יְהוָה אֶת־נָבָל וַיָּמֹת׃
そして-なった 約-十 日の-後に 打った 主が ～を ナバルを 死んだ
H1961 H6235 H3117 H5062 H3068 H0853 H5037 H4191

十日ばかりして主がナバルを撃たれたので彼は死んだ。

39 וַיִּשְׁמַע דָּוִד כִּי־מֵת נָבָל וַיֹּאמֶר בָּרוּךְ יְהוָה אֲשֶׁר
そして-聞いた ダビデは ～ということを 死んだ ナバルが そして-言った ほむべき 主は
H8085 H1732 H3588 H4191 H5037 H0559 H1288 H3068

רָב אֶת־רִיב חֶרְפָּתִי מִיַּד נָבָל וְאֶת־עַבְדּוֹ חָשַׂךְ
弁じた ～を 訴えを 私の-恥の 手から ナバルの そして-～を しもべを 引き止めた
H7378 H0853 H7379 H2781 H3027 H5037 H0853 H5650 H2820

רָעַת וְאֶת־רָעָה נָבָל בְּרֹאשׁוֹ וַיְהוָה הֵשִׁיב דָּוִד וַיִּשְׁלַח
悪を そして-～を 悪から ナバルの 返した 主が 彼の-頭に 遣わした ダビデは
H7451 H0853 H7451 H5037 H7725 H3068 H0853 H7971 H1732

וַיְדַבֵּר לַאֲבִיגַיִל לְקַחְתָּהּ לוֹ לְאִשָּׁה׃
そして-語った アビガイルに 娶るために 彼の-ために 妻に
H1696 H0026 H3947 H0853 H0802

ダビデはナバルが死んだと聞いて言った、「主はほむべきかな。主はわたしがナバルの手から受けた侮辱に報いて、しもべが悪をおこなわないようにされた。主はナバルの悪行をそのこうべに報いられたのだ」。ダビデはアビガイルを妻にめとろうと、人をつかわして彼女に申し込んだ。

40 וַיָּבֹאוּ עַבְדֵי דָוִד אֶל־אֲבִיגַיִל הַכַּרְמֶלָה וַיְדַבְּרוּ
そして-来た しもべたちは ダビデの ～の-もとに アビガイルの カルメルへ そして-語った
H0935 H5650 H1732 H0413 H0026 H3760 H1696

אֵלֶיהָ לֵאמֹר דָּוִד שְׁלָחָנוּ אֵלַיִךְ לְקַחְתָּהּ לוֹ לְאִשָּׁה׃
彼女に 言って ダビデが 遣わした あなたの-もとに 娶るために 彼の-ために 妻に
H0559 H1732 H7971 H0413 H3947 H0853 H0802

ダビデのしもべたちはカルメルにいるアビガイルの所にきて、彼女に言った、「ダビデはあなたを妻にめとろうと、われわれをあなたの所へつかわしたのです」。

41 וַתָּקָם וַתִּשְׁתַּחוּ אַפַּיִם אָרְצָה וַתֹּאמֶר הִנֵּה אֲמָתְךָ
そして-立ち上がった そして-ひれ伏した 顔を 地に そして-言った 見よ あなたの-はしためは
H6965 H7812 H0639 H0776 H0559 H2009 H0519

לִשְׁפָחָה לִרְחֹץ רַגְלֵי עַבְדֵי אֲדֹנִי׃
女中として 洗うために 足を しもべたちの わが-主人の
H8198 H7364 H7272 H5650 H0113

アビガイルは立ち、地にひれ伏し拝して言った、「はしためは、わが君のしもべたちの足を洗うつかえめです」。

42 וַתְּמַהֵּר וַתָּקָם אֲבִיגַיִל וַתִּרְכַּב עַל־ הַחֲמוֹר
そして–急いだ そして–立ち上がった アビガイルは そして–乗った ～の–上に ろばに
H2543 H7392 H0026 H6965 H5782

וַתֵּלֶךְ אַחֲרֵי מַלְאֲכֵי וַתְּהִי־ לוֹ לְאִשָּׁה׃
そして–行った ～の–後に 使いたちの 彼の 妻に
H3212 H0310 H4397 H1961 H0802

アビガイルは急いで立ち、ろばに乗って、五人の侍女たちを連れ、ダビデの使者たちに従って行き、ダビデの妻となった。

43 וְאֶת־ אֲחִינֹעַם מִיִּזְרְעֶאל וַתִּהְיֶיןָ גַּם־ שְׁתֵּיהֶן לְנָשִׁים׃
そして–～を アヒノアムも イズレエルから 二人とも ～も 妻に
H0853 H0293 H3157 H8147 H1571 H0802

ס
—

ダビデはまたエズレルのアヒノアムをめとった。彼女たちはふたりともダビデの妻となった。

44 וְשָׁאוּל נָתַן אֶת־ מִיכַל בִּתּוֹ אֵשֶׁת דָּוִד לְפַלְטִי בֶן־ מִגַּלִּים׃
そして–サウルは 与えた ～を ミカルを 彼の–娘を 妻を ダビデの パルティに 息子の ガリムからの
H7586 H5414 H0853 H4324 H1323 H0802 H1732 H6406 H1554

ところでサウルはその娘、ダビデの妻ミカルを、ガリムの人であるライシの子パルテに与えた。

Chapter 26

1 וַיָּבֹאוּ הַזִּפִים אֶל־ שָׁאוּל הַגִּבְעָתָה לֵאמֹר הֲלוֹא דָוִד מִסְתַּתֵּר בְּגִבְעַת הַחֲכִילָה עַל־ פְּנֵי הַיְשִׁימֹן׃
そして–来た ジフ人が ～の–もとに サウル ギブアに 言って ではないか ダビデは 隠れている ハキラの–丘に ～の–上の 前の 荒野を
H0935 H2130 H0413 H7586 H1390 H0559 H3808 H1732 H5641 H1389 H2444 H6440 H3452

そのころジフびとがギベアにおるサウルのもとにきて言った、「ダビデは荒野の前にあるハキラの山に隠れているではありませんか」。

2 וַיָּקָם שָׁאוּל וַיֵּרֶד אֶל־ מִדְבַּר־ זִיף וְאִתּוֹ שְׁלֹשֶׁת־ אֲלָפִים אִישׁ בְּחוּרֵי יִשְׂרָאֵל לְבַקֵּשׁ אֶת־ דָּוִד בְּמִדְבַּר־ זִיף׃
そして–立ち上がった サウルは そして–下った ～へ 荒野 ジフの そして–彼と–共に 三 人 精鋭の イスラエルの 捜すために ～を ダビデを 荒野で ジフの
H0853 H1732 H4057 H2128 H0854 H7969 H0376 H0977 H3478 H1245 H0853 H1732 H4057 H2128

サウルは立って、ジフの荒野でダビデを捜すために、イスラエルのうちから選んだ三千人をひき連れて、ジフの荒野に下った。

3

הַיְשִׁימֹן	פְּנֵי	עַל־	אֲשֶׁר	הַחֲכִילָה	בְּגִבְעַת	שָׁאוּל	וַיִּחַן	
荒野	前の	～の-面の	そこは	ハキラ	ハキラの-丘に	サウルは	そして-陣を-張った	
H3452	H6440			H2444	H1389	H7586	H2583	

בָּא	כִּי	וַיַּרְא	בַּמִּדְבָּר	יֹשֵׁב	וְדָוִד	הַדֶּרֶךְ	עַל־	
来た	～ということを	そして-見た	荒野に	とどまっていた	しかし-ダビデは	道の	～に-沿って	
H0935		H7200		H3427	H1732	H1870		

הַמִּדְבָּרָה׃	אַחֲרָיו	שָׁאוּל
荒野へ	彼の-後を-追って	サウルが
		H7586

サウルは荒野の前の道のかたわらにあるハキラの山に陣を取った。ダビデは荒野にとどまっていたが、サウルが自分のあとを追って荒野にきたのを見て、

4

אֵל־	שָׁאוּל	בָּא	כִּי־	וַיֵּדַע	מְרַגְּלִים	דָּוִד	וַיִּשְׁלַח
確かに	サウルが	来た	～ということを	そして-知った	偵察を	ダビデは	そして-遣わした
H0413	H7586	H0935		H3045	H7270	H1732	H7971

נָכוֹן׃
確かに

斥候を出し、サウルが確かにきたのを知った。

5

שָׁם	חָנָה־	אֲשֶׁר	הַמָּקוֹם	אֶל־	וַיָּבֹא	דָּוִד	וַיָּקָם
そこに	陣を-張った	そこに	その-場所	～へ	そして-来た	ダビデは	そして-立ち上がった
H8033	H2583		H4725	H0413	H0935	H1732	

שָׁאוּל	שָׁם	שָׁכַב־	אֲשֶׁר	הַמָּקוֹם	אֶת־	דָּוִד	וַיַּרְא	שָׁאוּל
サウルが	そこに	横たわった	そこに	その-場所を	～を	ダビデは	そして-見た	サウルが
H7586	H8033	H7901		H4725	H0853	H1732	H7200	H7586

בַּמַּעְגָּל	שֹׁכֵב	וְשָׁאוּל	צְבָאוֹ	שַׂר־	נֵר	בֶּן־	וְאַבְנֵר
陣営の-中に	横たわっていた	そして-サウルは	彼の-軍の	将軍	ネルの	～の-子	そして-アブネル
H4570	H7901	H7586		H8269	H5369		H0074

סְבִיבֹתָיו׃)	סביבתו]	חֹנִים	וְהָעָם
彼の-周りに	彼の-周りに	陣を-張っていた	そして-民は
H5439	H5439	H2583	

そしてダビデは立って、サウルが陣を取っている所へ行って、サウルとその軍の長、ネルの子アブネルの寝ている場所を見た。サウルは陣所のうちに寝ていて、民はその周囲に宿営していた。

6

אֲבִישַׁי	וְאֶל־	הַחִתִּי	אֲחִימֶלֶךְ	אֶל־	וַיֹּאמֶר	דָּוִד	וַיַּעַן	
アビシャイ	そして-～に	ヘテ人の	アヒメレク	～に	そして-言った	ダビデは	そして-答えた	
H0052	H0413	H2850	H0288	H0413	H0559	H1732		

אֶל־	אִתִּי	יֵרֵד	מִי־	לֵאמֹר	יוֹאָב	אֲחִי	צְרוּיָה	בֶּן־
～へ	私と-共に	下って-行くか	だれが	言って	ヨアブの	兄弟の	ツェルヤの	～の-子
H0413	H0854	H3381	H4310	H0559	H3097	H0251	H6870	

עִמָּךְ׃	אֵרֵד	אֲנִי	אֲבִישַׁי	וַיֹּאמֶר	הַמַּחֲנֶה	אֶל־	שָׁאוּל
あなたと-共に	下って-行きます	私が	アビシャイは	そして-言った	陣営へ	～へ	サウルの-もとへ
	H3381	H0589	H0052	H0559	H4264	H0413	H7586

ダビデは、ヘテびとアヒメレク、およびゼルヤの子で、ヨアブの兄弟であるアビシャイに言った、「だれがわたしと共にサウルの陣に下って行くか」。アビシャイは言った、「わたしが一緒に下って行きます」。

7 וַיָּבֹא֩ דָּוִ֨ד וַאֲבִישַׁ֜י אֶל־הָעָ֣ם לַיְלָה֗ וְהִנֵּה֙ שָׁא֣וּל שֹׁכֵ֔ב בַּמַּעְגָּ֖ל וַחֲנִיתוֹ֙ מְעוּכָ֣ה בָאָ֔רֶץ מְרַאֲשֹׁתָ֑ן וְאַבְנֵ֥ר וְהָעָ֖ם סְבִיבֹתָֽיו׃ ס

שָׁאוּל	וְהִנֵּה	לַיְלָה	הָעָם	אֶל־	וַאֲבִישַׁי	דָּוִד	וַיָּבֹא
サウルは	すると–見よ	夜に	民の	～の–もとに	アビシャイが	ダビデと	そして–来た
H7586	H2009	H3915		H0413	H0052	H1732	H0935

מרַאֲשֹׁתָן	בָּאָרֶץ	מְעוּכָה־	וַחֲנִיתוֹ	בַּמַּעְגָּל	יָשֵׁן	שֹׁכֵב	
彼の–枕元に	地に	突き刺された	そして–彼の–槍は	陣営の–中で	眠っていた	横たわって	
H4763	H0776	H4600	H2595	H4570	H3463	H7901	

ס	סְבִיבֹתָיו׃	סביבתן	שֹׁכְבִים	וְהָעָם	וְאַבְנֵר	מְרַאֲשֹׁתָיו
（区切り）	彼の–周りに	彼の–周りに	横たわっていた	民は	そして–アブネルと	彼の–枕元に
	H5439	H5439	H7901		H0074	H4763

こうしてダビデとアビシャイとが夜、民のところへ行ってみると、サウルは陣所のうちに身を横たえて寝ており、そのやりは枕もとに地に突きさしてあった。そしてアブネルと民らとはその周囲に寝ていた。

8 וַיֹּ֤אמֶר אֲבִישַׁי֙ אֶל־דָּוִ֔ד סָגַ֤ר אֱלֹהִים֙ הַיּ֣וֹם אֶת־אוֹיִבְךָ֖ בְּיָדֶ֑ךָ וְעַתָּה֙ אַכֶּנּוּ־נָ֣א בַחֲנִ֔ית וּבָאָ֖רֶץ פַּ֣עַם אַחַ֑ת וְלֹ֥א אֶשְׁנֶ֖ה לֽוֹ׃

וַיֹּאמֶר	אֲבִישַׁי	אֶל־	דָּוִד	סָגַר	אֱלֹהִים	הַיּוֹם	אֶת־	אוֹיִבְךָ
そして–言った	アビシャイは	～に	ダビデに	閉じ込めた	神が	今日	～を	あなたの–敵を
H0559	H0052	H0413	H1732	H5462	H0430	H3117	H0853	H0341

בְּיָדֶךָ	וְעַתָּה	אַכֶּנּוּ־	נָא	בַחֲנִית	וּבָאָרֶץ	פַּעַם	אַחַת	
あなたの–手に	そして–今	私に–打たせてください	どうか	槍で	地に	一	度で	
H3027	H6258	H5221	H4994	H2595	H0776	H6471	H0259	

וְלֹא	אֶשְׁנֶה	לוֹ׃
そして–しません	二度は–打つことを	彼を
H3808		

アビシャイはダビデに言った、「神はきょう敵をあなたの手に渡されました。どうぞわたしに、彼のやりをもってひと突きで彼を地に刺しとおさせてください。ふたたび突くには及びません」。

9 וַיֹּ֤אמֶר דָּוִד֙ אֶל־אֲבִישַׁ֔י אַל־תַּשְׁחִיתֵ֖הוּ כִּ֣י מִֽי־שָׁלַ֤ח יָדוֹ֙ בִּמְשִׁ֣יחַ יְהוָ֔ה וְנִקָּ֖ה לֽוֹ׃ פ

וַיֹּאמֶר	דָּוִד	אֶל־	אֲבִישַׁי	אַל־	תַּשְׁחִיתֵהוּ	כִּי	מִי
そして–言った	ダビデは	～に	アビシャイに	してはならない	彼を–滅ぼしては	なぜなら	だれが
H0559	H1732	H0413	H0052	H0408	H7843		H4310

פ	וְנִקָּה׃	יְהוָה	בִּמְשִׁיחַ	יָדוֹ	שָׁלַח	
（区切り）	罰を–免れようか	主の	主の–油注がれた–者に	手を	手を–伸ばして	
	H5352	H3068	H4899	H3027	H7971	

しかしダビデはアビシャイに言った、「彼を殺してはならない。主が油を注がれた者に向かって、手をのべ、罪を得ない者があろうか」。

10 וַיֹּ֤אמֶר דָּוִד֙ חַי־יְהוָ֔ה כִּ֣י אִם־יְהוָ֔ה יִגָּפֶ֖נּוּ אוֹ־יוֹמ֣וֹ יָבֹ֔וא וָמֵ֖ת אוֹ־בַמִּלְחָמָ֥ה יֵרֵ֖ד וְנִסְפָּֽה׃

וַיֹּאמֶר	דָּוִד	חַי־	יְהוָה	כִּי	אִם־	יְהוָה	יִגָּפֶנּוּ	
そして–言った	ダビデは	主は–生きておられる		まことに	もし～なら	主が	彼を–打たれるか	
H0559	H1732		H3068			H3068	H5062	

אוֹ־	יוֹמוֹ	יָבוֹא	וָמֵת	אוֹ	בַּמִּלְחָמָה	יֵרֵד	וְנִסְפָּה׃	
あるいは	彼の–日が	来て	死ぬか	あるいは	戦いに	下って–行って	滅びるであろう	
	H3117	H0935	H4191		H4421	H3381	H5595	

ダビデはまた言った、「主は生きておられる。主が彼を撃たれるであろう。あるいは彼の死ぬ日が来るであろう。あるいは戦いに下って行って滅びるであろう。

11 חָלִילָה לִּי מֵיהוָה מִשְׁלֹחַ יָדִי בִּמְשִׁיחַ
決して–あってはならない 私には 主に–かけて 手を–伸ばすことは 私の–手を 主の–油注がれた–者に
H2486 H3068 H7971 H3027 H4899

וְעַתָּה יְהוָה וְאֶת־ (מְרַאֲשֹׁתָיו) [מראשתו] אֲשֶׁר הַחֲנִית אֶת־ נָא קַח־
そして–今 主の そして–〜を 彼の–枕元の 彼の–枕元の その 槍を 〜を どうか 取りなさい
H6258 H3068 H0853 H4763 H4763 H2595 H0853 H4994 H3947

וְנֵלְכָה לָנוּ׃ הַמַּיִם צַפַּחַת
そして–行こう 私たちは 水の 水の–瓶を
H3212 H4325 H6835

主が油を注がれた者に向かって、わたしが手をのべることを主は禁じられる。しかし今、そのまくらもとにあるやりと水のびんを取りなさい。そしてわれわれは去ろう」。

12 דָּוִד וַיִּקַּח אֶת־ הַחֲנִית וְאֶת־ צַפַּחַת הַמַּיִם מֵרַאֲשֹׁתֵי
サウルの–枕元から 水の 水の–瓶を そして–〜を 槍と 〜を ダビデは そして–取った
H7226 H4325 H6835 H0853 H2595 H0853 H1732 H3947

וְאֵין רֹאֶה וְאֵין לָהֶם וַיֵּלְכוּ שָׁאוּל
そして–いなかった 見る–者は そして–いなかった 彼らの–道を そして–彼らは–去った サウルの
H0369 H7200 H0369 H3212 H7586

כִּי יְשֵׁנִים כֻּלָּם כִּי מֵקִיץ וְאֵין יוֹדֵעַ
なぜなら 眠っていた 彼ら–全員が なぜなら 目覚める–者は そして–いなかった 知る–者は
H3462 H3605 H6974 H0369 H3045

עֲלֵיהֶם׃ נָפְלָה יְהוָה תַּרְדֵּמַת
彼らの–上に 落ちた 主の 深い–眠りが
H5307 H3068 H8639

こうしてダビデはサウルの枕もとから、やりと水のびんを取って彼らは去ったが、だれもそれを見ず、だれも知らず、また、だれも目をさまさず、みな眠っていた。主が彼らを深く眠らされたからである。

13 רַב הָהָר רֹאשׁ־ עַל־ וַיַּעֲמֹד הָעֵבֶר דָּוִד וַיַּעֲבֹר
大きな 遠くから 山の 頂の 〜の–上に そして–立った 向こう–側へ ダビデは そして–渡った
H7350 H2022 H5975 H5676 H1732

בֵּינֵיהֶם׃ הַמָּקוֹם
彼らの–間に 距離が
H0996 H4725

ダビデは向こう側に渡って行って、遠く離れて山の頂に立った。彼らの間の隔たりは大きかった。

14 לֵאמֹר גֵּר בֶּן־ אַבְנֵר וְאֶל־ הָעָם אֶל־ דָּוִד וַיִּקְרָא
言って ネルの 〜の–子 アブネル そして–〜に 民に 〜に–向かって ダビデは そして–叫んだ
H0559 H5369 H0074 H0413 H0413 H1732 H7121

אַתָּה מִי וַיֹּאמֶר אַבְנֵר וַיַּעַן אַבְנֵר תַּעֲנֶה הֲלוֹא
お前は だれだ そして–言った アブネルは そして–答えた アブネルよ 答えないのか 答えないのか
H4310 H0559 H0074 H0413 H0074 H6030 H3808

פ הַמֶּלֶךְ׃ אֶל־ קָרָאתָ
（区切り） 王に 〜に–向かって 叫んでいる
H4428 H0413 H7121

ダビデは民とネルの子アブネルに呼ばわって言った、「アブネルよ、あなたは答えないのか」。アブネルは答えて言った、「王を呼んでいるあなたはだれか」。

15

וּמִי אַתָּה אִישׁ הֲלוֹא־ אַבְנֵר אֶל־ דָּוִד וַיֹּאמֶר
そして–だれが お前は 男 ではないか アブネルに ～に ダビデは そして–言った
H4310 H0376 H3808 H0074 H0413 H1732 H0559

אֲדֹנֶיךָ אֶל־ שָׁמַרְתָּ לָּא וְלָמָּה בְיִשְׂרָאֵל כָּמוֹךָ
あなたの–主人 ～を お前は 守らなかったのか そして–なぜ イスラエルに お前のような–者が
H0113 H0413 H8104 H3808 H4100 H3478 H3644

אֲדֹנֶיךָ׃ הַמֶּלֶךְ אֶת־ לְהַשְׁחִית הָעָם אַחַד בָּא כִּי־ הַמֶּלֶךְ
あなたの–主人を 王を ～を 殺すために 民の–者が ひとりの 来た なぜなら 王を
H0113 H4428 H0853 H7843 H0259 H0935 H4428

ダビデはアブネルに言った、「あなたは男ではないか。イスラエルのうちに、あなたに及ぶ人があろうか。それであるのに、どうしてあなたは主君である王を守らなかったのか。民のひとりが、あなたの主君である王を殺そうとして、はいりこんだではないか。

16

יְהוָה חַי־ עָשִׂיתָ אֲשֶׁר הַזֶּה הַדָּבָר טוֹב לֹא־
主は 主は–生きておられる したことは お前たちが この この–ことは 良くない 良くない
H3068 H2088 H1697 H3808

עַל־ שְׁמַרְתֶּם לָּא־ אֲשֶׁר אַתֶּם מָוֶת בְנֵי־ כִּי
～を お前たちは 守らなかった ～なのに お前たちは 死に 死に–値する–者だ まことに
H8104 H3808 H4194

חֲנִית אַיֵּה־ רְאֵה וְעַתָּה יְהוָה מְשִׁיחַ עַל־ אֲדֹנֵיכֶם
王の–槍が どこに–あるか 見よ そして–今 主の 主の–油注がれた–者を ～を お前たちの–主人を
H2595 H0335 H7200 H6258 H3068 H4899 H0113

):מְרַאֲשֹׁתָיו( ]מראשתו[אֲשֶׁר הַמַּיִם צַפַּחַת וְאֶת־ הַמֶּלֶךְ
彼の–枕元の 彼の–枕元の その 水の 水の–瓶は そして–～は 王の
H4763 H4763 H4325 H6835 H0853 H4428

あなたがしたこの事は良くない。主は生きておられる。あなたがたは、まさに死に値する。主が油をそそがれた、あなたの主君を守らなかったからだ。いま王のやりがどこにあるか。その枕もとにあった水のびんがどこにあるかを見なさい」。

17

בְּנִי זֶה הַקּוֹלְךָ וַיֹּאמֶר דָּוִד קוֹל אֶת־ שָׁאוּל וַיַּכֶּר
わが–子 これは お前の–声か そして–言った ダビデの 声を ～を サウルは そして–認めた
H2088 H0559 H1732 H7586

:הַמֶּלֶךְ אֲדֹנִי קוֹלִי דָּוִד וַיֹּאמֶר דָּוִד
王よ わが–主 私の–声です ダビデは そして–言った ダビデよ
H4428 H0113 H1732 H0559

サウルはダビデの声を聞きわけて言った、「わが子ダビデよ、これはあなたの声か」。ダビデは言った、「王、わが君よ、わたしの声です」。

18

כִּי עַבְדְּךָ אַחֲרֵי רֹדֵף אֲדֹנִי זֶה לָמָּה וַיֹּאמֶר
なぜなら そのしもべの ～の–後を 追いかけるのですか わが–主は これほど なぜ そして–言った
H5650 H7291 H0113 H2088 H4100 H0559

:רָעָה בְיָדִי וּמַה־ עָשִׂיתִי מֶה
悪が–あるのですか 私の–手に そして–何の 私は–したのですか 何を
H3027 H4100 H4100

ダビデはまた言った、「わが君はどうしてしもべのあとを追われるのですか。わたしが何をしたのですか。わたしの手になんのわるいことがあるのですか。

19 וְעַתָּה יִשְׁמַע־נָא אֲדֹנִי הַמֶּלֶךְ אֶת־דִּבְרֵי עַבְדּוֹ אִם־יְהוָה
今 聞いてください どうか わが–主 王よ ～の 言葉を しもべの もし 主が
H6258 H8085 H0113 H4428 H0853 H1697 H5650 H3068

בָּנֵי וְאָם מִנְחָה יָרַח בִּי הֱסִיתְךָ
人の–子らが しかし–もし ささげ物を 受け入れてください 私に–対して あなたを–そそのかしたのなら
H0120 H0518 H4503 H7306 H0889 H5496

מֵהִסְתַּפֵּחַ הַיּוֹם גֵּרְשׁוּנִי כִּי־ לִפְנֵי יְהוָה הֵם אֲרוּרִים הָאָדָם
受け継ぐことから 今日 彼らは–追い出した なぜなら 主の 主の–前で 彼らは 呪われよ 人の
H3117 H1644 H3068 H6440 H1992 H0779 H0120

:אֲחֵרִים אֱלֹהִים עֲבֹד לֵךְ לֵאמֹר יְהוָה בְּנַחֲלָת
他の 他の–神々に 仕えよ 行け 言って 主の 主の–嗣業を
H0312 H0430 H5647 H3212 H0559 H3068 H5159

王、わが君よ、どうぞ、今しもべの言葉を聞いてください。もし主があなたを動かして、わたしの敵とされたのであれば、どうぞ主が供え物を受けて和らいでくださるように。もし、それが人であるならば、どうぞその人々が主の前にのろいを受けるように。彼らが『おまえは行って他の神々に仕えなさい』と言って、きょう、わたしを追い出し、主の嗣業にあずかることができないようにしたからです。

20 יְהוָה פְּנֵי מִנֶּגֶד אַרְצָה דָּמִי יִפֹּל אַל־ וְעַתָּה
主の 主の–御顔から 離れて 地に 私の–血が 落ちないように ～しないように そして–今
H3068 H6440 H5048 H0776 H1818 H5307 H0408 H6258

אֶחָד פַּרְעֹשׁ אֶת־ לְבַקֵּשׁ יִשְׂרָאֵל מֶלֶךְ יָצָא כִּי־
一つの 一匹の–蚤を ～を 捜すために イスラエルの イスラエルの–王が 出て–来た なぜなら
H0259 H6550 H0853 H1245 H3478 H4428 H3318

:בֶּהָרִים הַקֹּרֵא יִרְדֹּף כַּאֲשֶׁר
山々で 山鶉を–追うように 追う–者が ちょうど
H2022 H7124 H7291

それゆえ今、主の前を離れて、わたしの血が地に落ちることのないようにしてください。イスラエルの王は、人が山で、しゃこを追うように、わたしの命を取ろうとして出てこられたのです」。

21 לֹא־ כִּי דָוִד בְּנִי־ שׁוּב חָטָאתִי שָׁאוּל וַיֹּאמֶר
もう なぜなら ダビデよ わが–子 帰って–来なさい 私は–罪を–犯した サウルは そして–言った
H3808 H1732 H7725 H2398 H7586 H0559

הַיּוֹם בְּעֵינֶיךָ נַפְשִׁי יָקְרָה אֲשֶׁר תַּחַת עוֹד לְךָ אָרַע
今日 お前の–目に 私の–命が 尊かった ～の–ゆえに ～の–ゆえに もう お前に 害を–加えない
H3117 H5315 H3365 H8478 H5750

:מְאֹד הַרְבֵּה וָאֶשְׁגֶּה הִסְכַּלְתִּי הִנֵּה הַזֶּה
迷った 非常に そして–大いに 私は–愚かだった 見よ この日
H3966 H7686 H5528 H2009 H2088

その時、サウルは言った、「わたしは罪を犯した。わが子ダビデよ、帰ってきてください。きょう、わたしの命があなたの目に尊く見られたゆえ、わたしは、もはやあなたに害を加えないであろう。わたしは愚かなことをして、非常なまちがいをした」。

22 וַיַּעַן דָּוִד וַיֹּאמֶר הִנֵּה [החנית] (חֲנִית) הַמֶּלֶךְ וַיַּעֲבֹר
そして–答えた ダビデは そして–言った ここに 王の–槍が 槍が 王の そして–来て
H1732 H2009 H2595 H2595 H4428 H0559

:וְיִקָּחֶהָ מֵהַנְּעָרִים אֶחָד
取りに–来なさい 若者が ひとりの
H3947 H5288 H0259

ダビデは答えた、「王のやりは、ここにあります。ひとりの若者に渡ってこさせ、これを持ちかえらせてください。

23 וַיהוָה֙ יָשֵׁ֣ב לָאִ֔ישׁ אֶת־צִדְקָת֖וֹ וְאֶת־אֱמֻנָתֹ֑ו
そして–主は 報いてくださる 人に ～に–応じて その–義と そして–～に–応じて その–忠実さに
H3068 H7725 H0376 H0853 H6666 H0853 H0530

אֲשֶׁר֙ נְתָנְךָ֣ יְהוָ֔ה הַיֹּ֖ום בְּיָדִ֑י וְלֹ֣א אָבִ֔יתִי לִשְׁלֹ֖חַ
主が 引き渡された 今日 私の–手に しかし–しなかった 私は 手を–伸ばすことを
H3068 H5414 H3117 H3027 H3808 H0014 H7971

יְהוָ֔ה בִּמְשִׁ֥יחַ יְהוָ֖ה הֽוּא׃
主の 主の–油注がれた–者に
H3068 H4899

וְהִנֵּ֣ה כַאֲשֶׁ֣ר גָּדְלָ֣ה נַפְשְׁךָ֣ הַיֹּ֗ום כֵּ֚ן בְּעֵינָ֔י הַזֶּ֖ה
そして–見よ ちょうど 大きかった あなたの–命が 今日 そのように 私の–目に この日
H2009 H1431 H5315 H3117 H2088

וְיַצִּלֵ֖נִי מִכָּל־צָרָֽה׃ יְהוָ֔ה בְּעֵינֵ֖י תִּגְדַּ֥ל נַפְשִׁ֑י
そして–救ってください すべての 苦難から 主の 主の–目に 大きくなるように 私の–命が
H5337 H3605 H3068 H1431 H5315

24 פ
（区切り）

きょう、わたしがあなたの命を重んじたように、どうぞ主がわたしの命を重んじて、もろもろの苦難から救い出してくださるように」。

25 וַיֹּ֥אמֶר שָׁא֖וּל אֶל־דָּוִ֑ד בָּרוּךְ֙ אַתָּ֣ה בְנִ֔י דָּוִ֔ד גַּ֖ם
そして–言った サウルは ～に ダビデに 祝福されよ お前は わが–子 ダビデよ 確かに
H0559 H7586 H0413 H1732 H1288 H0859 H1732 H1571

וְנָ֣ם תַּעֲשֶׂ֔ה תּוּכָ֖ל יָכֹ֑לְתָּ וַיֵּ֥לֶךְ דָּוִ֖ד לְדַרְכֹּ֑ו
そして–確かに お前は–なし なすことを できることを お前は–できる そして–行った ダビデは
H1571 H6213 H3201 H3201 H3212 H1732

וְשָׁא֖וּל שָׁ֥ב לִמְקֹומֹֽו׃ פ
そして–サウルは 帰った 彼の–場所へ （区切り）
H7586 H7725 H4725

サウルはダビデに言った、「わが子ダビデよ、あなたはほむべきかな。あなたは多くの事をおこなって、それをなし遂げるであろう」。こうしてダビデはその道を行き、サウルは自分の所へ帰った。

Chapter 27

1

וַיֹּאמֶר דָּוִד אֶל־לִבּוֹ עַתָּה אֶסָּפֶה יוֹם־אֶחָד
一日 ある-日 滅びるだろう 今 彼の-心の-中で ～に ダビデは そして-言った
H0259 H3117 H5595 H6258 H0413 H1732 H0559

אֵל־אֹמְלֵט וְאִמָּלֵט הִמָּלֵט כִּי טוֹב לִי אֵין־ שָׁאוּל בְּיַד־
～へ 逃れることだ 逃れること ～しか 良い-ことは 私には ない サウルの サウルの-手によって
H0413 H4422 H4422 H0369 H7586 H3027

לְבַקְשֵׁנִי שָׁאוּל וּמִמֵּנִי וְנוֹאַשׁ פְּלִשְׁתִּים אֶרֶץ
私を-捜すことを サウルは 私を-追うことを そして-あきらめるだろう ペリシテ人の ペリシテ人の-地へ
H1245 H7586 H2976 H6430 H0776

מִיָּדוֹ׃ וְנִמְלַטְתִּי יִשְׂרָאֵל גְּבוּל בְּכָל־ עוֹד
彼の-手から そして-私は-逃れるだろう イスラエルの イスラエルの-境界で すべての もはや
H3027 H4422 H3478 H1366 H3605 H5750

ダビデは心のうちに言った、「わたしは、いつかはサウルの手にかかって滅ぼされるであろう。早くペリシテびとの地へのがれるほかはない。そうすればサウルはこの上イスラエルの地にわたしをくまなく捜すことはやめ、わたしは彼の手からのがれることができるであろう」。

2

וַיָּקָם דָּוִד וַיַּעֲבֹר הוּא שֵׁשׁ־ מֵאוֹת אִישׁ אֲשֶׁר
そして-立ち上がった ダビデは そして-渡った 彼は そして-六 百の 人が ～である
H1732 H1931 H8337 H3967 H0376

עִמּוֹ עָבַר־ אֶל־ אָכִישׁ בֶּן־ מָעוֹךְ מֶלֶךְ גַּת׃
彼と-共にいる ～の-もとへ アキシュ ～の-子 マオクの ガテの-王 ガテの
H0413 H0397 H4582 H4428 H1661

こうしてダビデは、共にいた六百人と一緒に、立ってガテの王マオクの子アキシの所へ行った。

3

וְדָוִד יָשַׁב אֶת־ אָכִישׁ בְּגַת הוּא וַאֲנָשָׁיו אִישׁ
そして-住んだ ダビデは ～と-共に アキシュと ガテに 彼と 彼の-部下たちが 各-人
H3427 H1732 H0397 H1661 H1931 H0376 H0376

וּבֵיתוֹ דָּוִד וּשְׁתֵּי נָשָׁיו אַחִינֹעַם הַיִּזְרְעֵאלִית וַאֲבִיגַיִל
その-家族と ダビデと 二人の 女たち アヒノアム イズレエル人の そして-アビガイル
H0376 H1732 H8147 H0802 H0293 H3159 H0026

אֵשֶׁת־ נָבָל הַכַּרְמְלִית׃
～の-妻 ナバルの カルメル人の
H0802 H5037 H3762

ダビデと従者たちは、おのおのその家族とともに、ガテでアキシと共に住んだ。ダビデはそのふたりの妻、すなわちエズレルの女アヒノアムと、カルメルの女でナバルの妻であったアビガイルと共におった。

4

וַיֻּגַּד לְשָׁאוּל כִּי־ בָרַח דָּוִד גַּתָּה וְלֹא־ יָסַף[יוסף]
そして-告げられた サウルに ～ということが 逃れた ダビデが ガテへ そして-しなかった 続けて
H5046 H7586 H1272 H1732 H1661 H3808 H3254

ס לְבַקְשׁוֹ׃ עוֹד יָסַף(וַיֹּסֶף)
（区切り） 捜すことを もはや 続けて
H1245 H5750 H3254

ダビデがガテにのがれたことがサウルに聞えたので、サウルはもはや彼を捜さなかった。

5 וַיֹּ֨אמֶר דָּוִ֜ד אֶל־אָכִ֗ישׁ אִם־נָ֤א מָצָ֙אתִי֙ חֵ֣ן
そして-言った ダビデは ～に アキシュに もし どうか 私が-恩を-得たなら 恩を
H0559 H1732 H0413 H0397 H4994 H4672 H2580

בְּעֵינֶ֔יךָ יִתְּנ֥וּ־לִ֖י מָק֣וֹם בְּאַחַ֑ת עָרֵ֣י הַשָּׂדֶ֔ה וְאֵשְׁבָ֖ה
あなたの-目に 与えてください 私に 場所を 一つの 野の-町に 野の そして-住ませてください
H3427 H5414 H4725 H0259 H7704 H7704 H3427

עִמָּ֑ךְ׃ הַמַּמְלָכָ֖ה בְּעִ֥יר בְּעִ֛יר עַבְדְּךָ֥ יֵשֵׁ֖ב וְלָמָ֣ה שָׁ֔ם
あなたと-共に 王の 王の-町に あなたの-しもべが 住むのですか そして-なぜ そこに
H4467 H5650 H3427 H4100 H8033

さてダビデはアキシに言った、「もしわたしがあなたの前に恵みを得るならば、どうぞ、いなかにある町のうちで一つの場所をわたしに与えてそこに住まわせてください。どうしてしもべがあなたと共に王の町に住むことができましょうか」。

6 וַיִּתֵּן־לוֹ֙ אָכִ֣ישׁ בַּיּ֣וֹם הַה֔וּא אֶת־צִקְלַ֖ג לָכֵ֑ן הָיְתָ֣ה
彼に そして-与えた アキシュは その日に ツィクラグを それゆえ 属した
H5414 H0397 H3117 H1931 H0853 H6860 H3651 H1961

צִקְלַ֗ג לְמַלְכֵ֤י יְהוּדָה֙ עַד־הַיּ֣וֹם הַזֶּ֔ה׃ פ
ツィクラグは ユダの-王たちに ユダの 日まで 今日の ～まで この日まで （区切り）
H6860 H4428 H3063 H5704 H3117 H2088

アキシはその日チクラグを彼に与えた。こうしてチクラグは今日にいたるまでユダの王に属している。

7 וַיְהִי֙ מִסְפַּ֣ר הַיָּמִ֔ים אֲשֶׁר־יָשַׁ֥ב דָּוִ֖ד בִּשְׂדֵ֣ה פְלִשְׁתִּ֑ים
そして-あった 日数は 日々の ～である 住んだ ダビデが ペリシテ人の-野に ペリシテ人の
H1961 H4557 H3117 H3427 H1732 H7704 H6430

יָמִ֖ים וְאַרְבָּעָ֥ה חֳדָשִֽׁים׃
日々と そして-四 ヶ月
H3117 H0702 H2320

ダビデがペリシテびとの国に住んだ日の数は一年と四か月であった。

8 וַיַּעַל֩ דָּוִ֨ד וַאֲנָשָׁ֜יו וַיִּפְשְׁט֗וּ אֶל־הַגְּשׁוּרִי֙ וְהַגִּרְזִ֔י
そして-上った ダビデと 彼の-部下たちは そして-襲った ～を ゲシュル人と ギルズ人と
H5927 H1732 H0376 H6584 H0413 H1651 H1511

וְהָעֲמָלֵקִ֑י כִּ֣י הֵ֗נָּה יֹשְׁבוֹת֙ הָאָ֔רֶץ אֲשֶׁ֥ר מֵעוֹלָ֖ם
そして-アマレク人を なぜなら 彼らは 住んでいた その-地に ～である 昔から
H6003 H3588 H2007 H3427 H0776 H7704 H5769

בּוֹאֲךָ֥ שׁ֖וּרָה וְעַד־אֶ֥רֶץ מִצְרָֽיִם׃
行く-ときに シュルの-方へ そして-～まで エジプトの-地まで エジプトの
H0935 H7793 H5704 H0776 H4714

さてダビデは従者と共にのぼって、ゲシュルびと、ゲゼルびとおよびアマレクびとを襲った。これらは昔からシュルに至るまでの地の住民であって、エジプトに至るまでの地に住んでいた。

9 וְהִכָּ֥ה דָוִ֛ד אֶת־הָאָ֖רֶץ וְלֹֽא־יְחַיֶּ֣ה
そして-打った ダビデは ～を その-地を そして-生かして-おかなかった 生かして-おかなかった
H5221 H1732 H0853 H0776 H3808 H2421

אִ֣ישׁ וְאִשָּׁ֑ה וְלָקַ֤ח צֹאן֙ וּבָקָ֣ר וַחֲמֹרִ֔ים וּגְמַלִּ֖ים וּבְגָדִ֑ים וְשָׁ֥ב וַיָּבֹֽא׃
男も 女も そして-取った 羊と 牛と ろばと らくだと 衣服を そして-帰った そして-来た
H0376 H0802 H3947 H6629 H1241 H2543 H1581 H0899 H7725 H0935

אֶל־אָכִֽישׁ׃
～の-もとへ アキシュの
H0413 H0397

ダビデはその地を撃って、男も女も生かしおかず、羊と牛とろばとらくだと衣服とを取って、アキシのもとに帰ってきた。

10

עַל־	דָּוִד	וַיֹּאמֶר	הַיּוֹם	פְּשַׁטְתֶּם	אַל־	אָכִישׁ	וַיֹּאמֶר
～の–南を	ダビデは	そして–言った	今日	襲ったのか	どこを	アキシュは	そして–言った
	H1732	H0559	H3117	H6584	H0408	H0397	H0559

וְאֶל־	הַיְרַחְמְאֵלִי	נֶגֶב	וְעַל־	יְהוּדָה	נֶגֶב
そして–～の–南を	エラメエル人の	エラメエル人の–南を	そして–～の–南を	ユダの	ユダの–南を
H0413	H3397	H5045		H3063	H5045

הַקֵּינִי׃	נֶגֶב
ケニ人の	ケニ人の–南を
H7017	H5045

アキシが「あなたはきょうどこを襲いましたか」と尋ねると、ダビデは、その時々、「ユダのネゲブです」、「エラメルびとのネゲブです」「ケニびとのネゲブです」と言った。

11

דָּוִד	יְחַיֶּה	לֹא־	וְאִשָּׁה	וְאִישׁ	
ダビデは	生かして–おかなかった	生かして–おかなかった	女も	そして–男も	
H1732	H2421	H3808	H0802	H0376	

עָלֵינוּ	יַגִּדוּ	פֶּן־	לֵאמֹר	גַּתָּה	לְהָבִיא
私たちに–ついて	告げられないように	～しないように	言って	ガテに	ガテに–連れて–行くことを
	H5046	H6435	H0559	H1661	H0935

הַיָּמִים	כָּל־	מִשְׁפָּטוֹ	וְכֹה	דָּוִד	עָשָׂה	כֹּה־	לֵאמֹר
日々	すべての	彼の–やり方であった	そして–このように	ダビデは	した	このように	言って
H3117	H3605	H4941	H3541	H1732		H3541	H0559

פְּלִשְׁתִּים׃	בִּשְׂדֵה	יָשַׁב	אֲשֶׁר
ペリシテ人の	ペリシテ人の–野に	住んだ	～である
H6430		H3427	

ダビデは男も女も生かしおかず、ひとりをもガテに引いて行かなかった。それはダビデが、「恐らくは、彼らが、『ダビデはこうした』と言って、われわれのことを告げるであろう」と思ったからである。ダビデはペリシテびとのいなかに住んでいる間はこうするのが常であった。

12

בְּעַמּוֹ	הִבְאִישׁ	הַבְּאֵשׁ	לֵאמֹר	בְּדָוִד	אָכִישׁ	וַיַּאֲמֶן	
彼の–民に	忽み–嫌われた	嫌われるように–なった	言って	ダビデを	アキシュは	そして–信じた	
	H0887	H0887	H0559	H1732	H0397	H0539	

פ	עוֹלָם׃	לְעֶבֶד	לִי	וְהָיָה	בְּיִשְׂרָאֵל
（区切り）	永遠に	永遠の–しもべに	私にとって	そして–なるだろう	イスラエルに
	H5769	H5650		H1961	H3478

アキシはダビデを信じて言った、「彼は自分を全くその民イスラエルに憎まれるようにした。それゆえ彼は永久にわたしのしもべとなるであろう」。

Chapter 28

1 וַיְהִי בַּיָּמִים הָהֵם וַיִּקְבְּצוּ פְלִשְׁתִּים אֶת־מַחֲנֵיהֶם
そして-あった その-日々に それらの 集めた そして-ペリシテ人は (を) 彼らの-陣営を
H1961 H3117 H1992 H6908 H6430 H0853 H4264

לַצָּבָא לְהִלָּחֶם בְּיִשְׂרָאֵל וַיֹּאמֶר אָכִישׁ אֶל־דָּוִד יָדֹעַ
軍隊-のために 戦う-ために イスラエルに-対して そして-言った アキシュは (に) ダビデに 確かに
H6635 H3898 H3478 H0559 H0397 H0413 H1732 H3045

תֵּדַע כִּי אִתִּי תֵּצֵא בַּמַּחֲנֶה אַתָּה וַאֲנָשֶׁיךָ׃
知れ (こと) 私と-共に 出陣する 陣営に あなたは そして-あなたの-部下は
H3045 H3588 H0854 H3318 H4264 H0859 H0376

そのころ、ペリシテびとがイスラエルと戦おうとして、いくさのために軍勢を集めたので、アキシュはダビデに言った、「あなたは、しかと承知してください。あなたとあなたの従者たちとは、わたしと共に出て、軍勢に加わらなければなりません」。

2 וַיֹּאמֶר דָּוִד אֶל־אָכִישׁ לָכֵן אַתָּה תֵּדַע אֵת אֲשֶׁר־
そして-言った ダビデは (に) アキシュに それでは あなたは 知る-だろう (を) (こと)
H0559 H1732 H0413 H0397 H3651 H0859 H3045 H0853 H3588

יַעֲשֶׂה עַבְדֶּךָ וַיֹּאמֶר אָכִישׁ אֶל־דָּוִד לָכֵן שֹׁמֵר
行う あなたの-しもべが そして-言った アキシュは (に) ダビデに それゆえ 守り手に
H6213 H5650 H0559 H0397 H0413 H1732 H3651 H8104

אֲשִׂימְךָ לְרֹאשִׁי כָּל־הַיָּמִים׃ פ
任命する-あなたを 私の-頭の すべての 日々 ¶
H7760 H7218 H3605 H3117

ダビデはアキシに言った、「よろしい、あなたはしもべが何をするかを知られるでしょう」。アキシはダビデに言った、「よろしい、あなたを終身わたしの護衛の長としよう」。

3 וּשְׁמוּאֵל מֵת וַיִּסְפְּדוּ־לוֹ כָּל־יִשְׂרָאֵל וַיִּקְבְּרֻהוּ
そして-サムエルは 死んでいた そして-悼んだ 彼を すべての イスラエルは そして-葬った-彼を
H8050 H4191 H5594 H3605 H3478 H6912

בָּרָמָה וּבְעִירוֹ וְשָׁאוּל הֵסִיר הָאֹבוֹת וְאֶת־הַיִּדְּעֹנִים
ラマに 彼の-町に そして-サウルは 除いていた 霊媒師たちを そして 口寄せ師たちを
H7414 H5892 H7586 H5493 H0178 H0853 H3049

מִן־הָאָרֶץ׃
地から
H0776

さてサムエルはすでに死んで、イスラエルのすべての人は彼のために悲しみ、その町ラマに葬った。また先にサウルは口寄せや占い師をその地から追放した。

4 וַיִּקָּבְצוּ פְלִשְׁתִּים וַיָּבֹאוּ וַיַּחֲנוּ בְשׁוּנֵם וַיִּקְבְּצוּ
そして-集結した そして-来て そして-陣を-張った シュネムに そして-集めた ペリシテ人は
H6908 H0935 H2583 H7766 H6908 H6430

כָּל־יִשְׂרָאֵל וַיַּחֲנוּ בַּגִּלְבֹּעַ׃
イスラエルを そして-陣を-張った ギルボアに
H3478 H2583 H1533

שָׁאוּל אֶת־ כָּל־ יִשְׂרָאֵל וַיַּחֲנוּ בַּגִּלְבֹּעַ׃
サウルは (を) すべての イスラエルを そして-陣を-張った ギルボアに
H7586 H0853 H3605 H3478 H2583 H1533

ペリシテびとが集まってきてシュネムに陣を取ったので、サウルはイスラエルのすべての人を集めて、ギルボアに陣を取った。

5 וַיַּרְא שָׁאוּל אֶת־ מַחֲנֵה פְלִשְׁתִּים וַיִּרָּא וַיֶּחֱרַד לִבּוֹ
そして-見た サウルは (を) 陣営を ペリシテ人の そして-恐れた そして-震えた 彼の-心は
H7200 H7586 H0853 H4264 H6430 H3372 H2729 H3824

מְאֹד׃
非常に
H3966

サウルはペリシテびとの軍勢を見て恐れ、その心はいたくおののいた。

6 וַיִּשְׁאַ֤ל שָׁאוּל֙ בַּֽיהוָ֔ה וְלֹ֥א עָנָ֛הוּ יְהוָ֖ה גַּם־בַּחֲלֹמ֑וֹת גַּם־בְּאוּרִ֖ים גַּם־בַּנְּבִיאִֽם׃

そして–尋ねた サウルは 主に しかし–なかった 答えた–彼に 主は また 夢によっても また ウリムによっても 預言者たちによっても
H7592 H7586 H3068 H3808 H6030 H3068 H1571 H2472 H1571 H0224 H5030

そこでサウルは主に伺いをたてたが、主は夢によっても、ウリムによっても、預言者によっても彼に答えられなかった。

7 וַיֹּ֣אמֶר שָׁאוּל֮ לְעֲבָדָיו֒ בַּקְּשׁוּ־לִ֗י אֵ֚שֶׁת בַּעֲלַת־א֔וֹב וְאֵלְכָ֥ה אֵלֶ֖יהָ וְאִדְרְשָׁה־בָּ֑הּ וַיֹּ֤אמְרוּ עֲבָדָיו֙ אֵלָ֔יו הִנֵּ֥ה אֵֽשֶׁת־בַּעֲלַת־א֖וֹב בְּעֵ֥ין דּֽוֹר׃

そして–言った サウルは 彼の–家来たちに 探せ 私の–ために 女–の 持ち主–の 霊媒を
H0559 H7586 H5650 H1245 H0802 H1172 H0178

そして–行こう そして–尋ねよう 彼女に 家来たちは 彼に 見よ
H3212 H1875 H0413 H5650 H0413 H2009

女–の 持ち主–の 霊媒が エン・ドルに–いる
H0802 H1172 H0178 H5874

サウルはしもべたちに言った、「わたしのために、口寄せの女を捜し出しなさい。わたしは行ってその女に尋ねよう」。しもべたちは彼に言った、「見よ、エンドルにひとりの口寄せがいます」。

8 וַיִּתְחַפֵּ֣שׂ שָׁאוּל֮ וַיִּלְבַּשׁ֣ בְּגָדִים֒ אֲחֵרִ֗ים וַיֵּ֙לֶךְ֙ הוּא֙ וּשְׁנֵ֣י אֲנָשִׁ֔ים עִמּ֑וֹ וַיָּבֹ֤אוּ אֶל־הָאִשָּׁה֙ לָ֣יְלָ֔ה וַיֹּ֣אמֶר קָסְמִי־[קסומי־]נָ֗א בְּ֠אוֹב לִ֨י וְהַעֲלִ֜י לִ֗י אֵ֚ת אֲשֶׁ֣ר אֹמַ֔ר אֵלֶֽיךָ׃

そして–変装した そして–着た サウルは 別の 衣服を そして–行った 彼は そして–二人の
H2664 H3847 H7586 H0312 H0899 H3212 H1931 H8147

そして–来た 共に 人々と (に) その–女の–もとに 夜に 言った [占え] 占ってくれ
H0935 H5973 H0376 H0413 H0802 H3915 H0559 H7080 H7080

霊媒で 私の–ために 人々と どうか 呼び上げてくれ (を) (者を) 言う あなたに
H0178 H0853 H0376 H5927 H0853 H0834 H0559 H0413

サウルは姿を変えてほかの着物をまとい、ふたりの従者を伴って行き、夜の間に、その女の所にきた。そしてサウルは言った、「わたしのために口寄せの術を行って、わたしがあなたに告げる人を呼び起してください」。

9 וַתֹּ֤אמֶר הָאִשָּׁה֙ אֵלָ֔יו הִנֵּ֥ה אַתָּ֖ה יָדַ֣עְתָּ אֵת־אֲשֶׁ֣ר עָשָׂ֣ה שָׁא֑וּל אֵ֚ת אֲשֶׁ֣ר הִכְרִ֣ית אֹבֹ֔ת וְאֶת־הַיִּדְּעֹנִ֖י מִן־הָאָ֑רֶץ וְלָמָּה֙ אַתָּ֣ה מְנַקֵּ֔שׁ בְּנַפְשִׁ֖י לַהֲמִיתֵֽנִי׃

そして–言った その–女は 彼に 見よ あなたは 知っている (を) (こと) サウルが
H0559 H0802 H0413 H2009 H0859 H3045 H0853 H0834 H6213

断ち切った (こと) (を) 霊媒師たちを そして 口寄せ師たちを (から) 地から なぜ あなたは
H3772 H0834 H0853 H0178 H0853 H3049 H0853 H0776 H4100 H0859

罠に–かけようと–する 私の–命を 殺す–ために
H5367 H5315 H4191

女は彼に言った、「あなたはサウルがしたことをごぞんじでしょう。彼は口寄せや占い師をその国から断ち滅ぼしました。どうしてあなたは、わたしの命にわなをかけて、わたしを死なせようとするのですか」。

10

יִקְרֹ֖ד	אִם־	יְהוָ֑ה	חַי־	לֵאמֹ֔ר	בְּיהוָ֔ה	שָׁא֣וּל	לָ֗הּ	וַיִּשָּׁבַע
降りかかる	もし	主は	生きている	言って	主に-かけて	サウルは	彼女に	そして-誓った
		H3068		H0559	H3068	H7586		H7650

הַזֹּֽה׃	בַּדָּבָ֥ר	עָוֹ֖ן
この	この-件で	罰が
H2088	H1697	H5771

サウルは主をさして彼女に誓って言った、「主は生きておられる。この事のためにあなたが罰を受けることはないでしょう」。

11

אֶת־	וַיֹּ֣אמֶר	לָ֔ךְ	אַעֲלֶה־	מִי	אֶת־	הָאִשָּׁ֖ה	וַתֹּ֣אמֶר	
(を)	そして-言った	あなたの-ために	呼び上げようか	誰を	(を)	その-女は	そして-言った	
H0853	H0559		H5927	H4310	H0853	H0802	H0559	

לִ׃	הַעֲלִי־	שְׁמוּאֵ֖ל
私の-ために	呼び上げてくれ	サムエルを
	H5927	H8050

女は言った、「あなたのためにだれを呼び起しましょうか」。サウルは言った、「サムエルを呼び起してください」。

12

וַתֹּ֣אמֶר	גָּד֔וֹל	בְּקוֹל֙	וַתִּזְעַ֤ק	שְׁמוּאֵל֙	אֶת־	הָאִשָּׁ֔ה	וַתֵּ֥רֶא	
そして-言った	大きな	声を-あげて	そして-叫んだ	サムエルを	(を)	その-女は	そして-見た	
H0559			H2199	H8050	H0853	H0802	H7200	

שָׁא֖וּל׃	וְאַתָּ֥ה	רִמִּיתָ֖נִי	לָּמָ֣ה	לֵאמֹ֑ר	שָׁא֣וּל	אֶל־	הָאִשָּׁ֔ה
サウル	あなたは	だました-私を	なぜ	言って	サウルに	(に)	その-女は
H7586			H4100	H0559	H7586	H0413	H0802

女はサムエルを見た時、大声で叫んだ。そしてその女はサウルに言った、「どうしてあなたはわたしを欺かれたのですか。あなたはサウルです」。

13

וַתֹּ֣אמֶר	רָאִ֔ית	מָּה֙	כִּ֣י	תִירְאִ֔י	אַל־	הַמֶּ֣לֶךְ	לָ֔הּ	וַיֹּ֣אמֶר
そして-言った	見たのか	何を	なぜなら	恐れる	(な)	王は	彼女に	そして-言った
H0559	H7200	H4100		H3372	H0408	H4428		H0559

הָאָ֥רֶץ׃	מִן־	עֹלִ֖ים	רָאִ֥יתִי	אֱלֹהִ֛ים	שָׁא֑וּל	אֶל־	הָאִשָּׁ֔ה
地から	(から)	上って-くる	見た	神のような-者を	サウルに	(に)	その-女は
H0776		H5927	H7200	H0430	H7586	H0413	H0802

王は彼女に言った、「恐れることはない。あなたには何が見えるのですか」。女はサウルに言った、「神のようなかたが地からのぼられるのが見えます」。

14

וְה֣וּא	עֹלָ֔ה	זָקֵ֥ן	אִ֖ישׁ	וַתֹּ֣אמֶר	תָּאֳרֹ֑ו	מָה־	לָ֗הּ	וַיֹּ֣אמֶר
そして-彼は	上って-くる	人が	老いた	そして-言った	姿か	どんな	彼女に	そして-言った
H1931	H5927	H2205	H0376	H0559	H8389	H4100		H0559

אַפַּ֔יִם	וַיִּקֹּ֖ד	הֽוּא׃	שְׁמוּאֵ֑ל	כִּי־	שָׁא֣וּל	וַיֵּ֣דַע	מְעִ֔יל	עֹטֶ֖ה
顔を	そして-ひれ伏した	である	サムエル	(こと)	サウルは	そして-知った	上着を	まとっている
H0639	H6915	H1931	H8050		H7586	H3045	H4598	

ס	וַיִּשְׁתָּחוּ׃	אָ֔רְצָה	
§	そして-礼拝した	地に	
	H7812	H0776	

サウルは彼女に言った、「その人はどんな様子をしていますか」。彼女は言った、「ひとりの老人がのぼってこられます。その人は上着をまとっておられます」。サウルはその人がサムエルであるのを知り、地にひれ伏して拝した。

15 וַיֹּאמֶר שְׁמוּאֵל אֶל־שָׁאוּל לָמָּה הִרְגַּזְתָּנִי לְהַעֲלוֹת אֹתִי
そして–言った サムエルは (に) サウルに なぜ 煩わせた–私を 呼び上げて 私を
H0559 H8050 H0413 H7586 H4100 H7264 H5927 H0853

וַיֹּאמֶר שָׁאוּל צַר־לִי מְאֹד וּפְלִשְׁתִּים נִלְחָמִים בִּי
そして–言った サウルは 苦しい 私は 非常に そして–ペリシテ人が 戦っている 私に–対して
H0559 H7586 H6887 H3966 H6430 H3898

וֵאלֹהִים סָר מֵעָלַי וְלֹא־עָנַנִי עוֹד גַּם בְּיַד־
そして–神は 離れた 私から そして–もはや 答えない–私に もう また 手–によっても
H0430 H5493 H4480 H3808 H5750 H1571 H3027

ס § הַנְּבִיאִם גַּם־נַם לָךְ אֶקְרָאֵהוּ וַיְהוָה מָה אֶעֱשֶׂה׃
預言者たちの また 夢によっても あなたを そして–呼んだ 知らせる–ため 何を すべきか
H5030 H1571 H2472 H7121 H3045 H4100

サムエルはサウルに言った、「なぜ、わたしを呼び起して、わたしを煩わすのか」。サウルは言った、「わたしは、ひじょうに悩んでいます。ペリシテびとがわたしに向かっていくさを起し、神はわたしを離れて、預言者によっても、夢によっても、もはやわたしに答えられないのです。それで、わたしのすべきことを知るために、あなたを呼びました」。

16 וַיֹּאמֶר שְׁמוּאֵל וְלָמָּה תִשְׁאָלֵנִי וַיהוָה סָר מֵעָלֶיךָ וַיְהִי
そして–言った サムエルは なぜ 尋ねる–私に そして–主は 離れた あなたから そして–なった
H0559 H8050 H4100 H7592 H3068 H5493 H4480 H1961

עָרֶךָ׃
あなたの–敵に
H6145

サムエルは言った、「主があなたを離れて、あなたの敵となられたのに、どうしてあなたはわたしに問うのですか。

17 וַיַּעַשׂ יְהוָה לוֹ כַּאֲשֶׁר דִּבֶּר בְּיָדִי וַיִּקְרַע יְהוָה
そして–行った 主は 彼の–ために (とおり) 語った 私の–手を–通して そして–引き裂いた 主は
H6213 H3068 H0000 H3588 H1696 H3027 H7167 H3068

לְדָוִד׃ לְרֵעֲךָ וַיִּתְּנָהּ מִיָּדֶךָ הַמַּמְלָכָה אֶת־
ダビデに あなたの–隣人に そして–与えた–それを あなたの–手から 王国を (を)
H1732 H7453 H5414 H3027 H4467 H0853

主は、わたしによって語られたとおりにあなたに行われた。主は王国を、あなたの手から裂きはなして、あなたの隣人であるダビデに与えられた。

18 חֲרוֹן־ עָשִׂיתָ וְלֹא־ יְהוָה בְּקוֹל שָׁמַעְתָּ לֹא־ כַּאֲשֶׁר
燃える 行った–あなたは そして–なかった 主の 声に 聞いた–あなたは なかった (とおり)
H2740 H6213 H3808 H3068 H8085 H3808

הַזֹּה׃ הַיּוֹם יְהוָה לְךָ עָשָׂה־ הַזֶּה הַדָּבָר כֵּן עַל־ בַּעֲמָלֵק אַפּוֹ
この 今日 主は あなたに 行った この この–事を ゆえに その アマレクに–対して 怒りを
H2088 H3117 H3068 H6213 H2088 H1697 H3651 H5921 H6002 H0639

あなたは主の声に聞き従わず、主の激しい怒りに従って、アマレクびとを撃ち滅ぼさなかったゆえに、主はこの事を、この日、あなたに行われたのである。

19

וּמָחָר　פְּלִשְׁתִּים　בְּיַד־　עִמְּךָ　יִשְׂרָאֵל　אֶת־　גַּם　יְהוָה　וַיִּתֵּן
そして–明日　ペリシテ人の　手に　あなたと–共に　イスラエルを　(を)　また　主は　そして–渡す
H4279　H6430　H3027　H3478　H0853　H1571　H3068　H5414

יִתֵּן　יִשְׂרָאֵל　מַחֲנֵה　אֶת־　גַּם　עִמִּי　וּבָנֶיךָ　אַתָּה
渡す　イスラエルの　陣営を　(を)　また　私と–共に–いる　そして–あなたの–息子たちは　あなたは
H5414　H3478　H4264　H0853　H1571

׃פְּלִשְׁתִּים　בְּיַד־　יְהוָה
ペリシテ人の　手に　主は
H6430　H3027　H3068

主はまたイスラエルをも、あなたと共に、ペリシテびとの手に渡されるであろう。あすは、あなたもあなたの子らもわたしと一緒になるであろう。また主はイスラエルの軍勢をもペリシテびとの手に渡される」。

20

מְאֹד　וַיִּרָא　אַרְצָה　קוֹמָתוֹ　מִלֹּא־　וַיִּפֹּל　שָׁאוּל　וַיְמַהֵר
非常に　そして–恐れた　地に　いっぱいに　彼の–身の–丈　そして–倒れた　サウルは　そして–急いだ
H3966　H3372　H0776　H6967　H4393　H5307　H7586

לֶחֶם　אָכַל　לֹא　כִּי　בּוֹ　הָיָה　לֹא־　כֹחַ　גַּם־　שְׁמוּאֵל　מִדִּבְרֵי
パンを　食べて　なかった　なぜなら　彼に　あった　なかった　力も　また　サムエルの　言葉に
H3899　H0398　H3808　H1961　H3808　H3581　H1571　H8050　H1697

׃הַלָּיְלָה　וְכָל־　הַיּוֹם　כָּל־
中　そして–一晩　中　一日
H3915　H3605　H3117　H3605

そのときサウルは、ただちに、地に伸び、倒れ、サムエルの言葉のために、ひじょうに恐れ、またその力はうせてしまった。その一日一夜、食物をとっていなかったからである。

21

מְאֹד　נִבְהָל　כִּי־　וַתֵּרֶא　שָׁאוּל　אֶל־　הָאִשָּׁה　וַתָּבוֹא
非常に　おびえている　(こと)　そして–見た　サウルの–もとに　(に)　その–女は　そして–来た
H3966　H0926　H7200　H7586　H0413　H0802　H0935

נַפְשִׁי　וָאָשִׂים　בְּקוֹלֵךְ　שִׁפְחָתֶךָ　שָׁמְעָה　הִנֵּה　אֵלָיו　וַתֹּאמֶר
私の–命を　そして–賭けた　あなたの–声に　あなたの–はしためは　聞いた　見よ　彼に　そして–言った
H5315　H7760　H8085　H2009　H0413　H0559

׃אֵלָי　דִּבַּרְתָּ　אֲשֶׁר　דְּבָרֶיךָ　אֶת־　וָאֶשְׁמַע　בְּכַפָּי
私に　話した　(こと)　あなたの–言葉を　(を)　そして–聞いた　私の–手に
H0413　H1696　H0834　H1697　H0853　H8085　H3709

女はサウルのもとにきて、彼のおののいているのを見て言った、「あなたのつかえめは、あなたの声に聞き従い、わたしの命をかけて、あなたの言われた言葉に従いました。

22

לְפָנֶיךָ　וְאָשָׂמָה　שִׁפְחָתֶךָ　בְּקוֹל　אַתָּה　גַּם־　נָא　שְׁמַע־　וְעַתָּה
あなたの–前に　そして–置こう　はしための　声に　あなたも　また　どうか　聞いてくれ　そして–今
H6440　H7760　H8198　H6963　H0859　H1571　H4994　H8085　H6258

תֵּלֵךְ　כִּי　כֹחַ　בְּךָ　וִיהִי　וְאֹכַל　לֶחֶם　פַּת־
行く–のだから　なぜなら　力が　あなたに　そして–ある–ように　そして–食べてくれ　パンを　一切れの
H3212　H3588　H3581　H0996　H1961　H0398　H3899

׃בַּדָּרֶךָ
道を
H1870

それゆえ今あなたも、つかえめの声に聞き従い、一口のパンをあなたの前にそなえさせてください。あなたはそれをめしあがって力をつけ、道を行ってください」。

23 וַיְמָאֵן וַיֹּאמֶר לֹא אֹכֵל וַיִּפְרְצוּ־בוֹ עַבְדָיו וְגַם־
そして–拒んだ そして–言った ない 食べ そして–迫った 彼に 家来たちは そして–また
H3985 H0559 H3808 H0398 H6555 H0413 H5650 H1571

הָאִשָּׁה וַיִּשְׁמַע לְקֹלָם וַיָּקָם וַיֵּשֶׁב אֶל־ הַמִּטָּה׃
その–女も そして–聞いた 彼らの–声に そして–立ち上がった 地から そして–座った (に) 寝台に
H0802 H8085 H6965 H0776 H3427 H0413 H4296

ところがサウルは断って言った、「わたしは食べません」。しかし彼のしもべたちも、その女もしいてすすめたので、サウルはその言葉を聞きいれ、地から起きあがり、床の上にすわった。

24 וְלָאִשָּׁה עֵגֶל־ מַרְבֵּק בַּבַּיִת וַתְּמַהֵר וַתִּזְבְּחֵהוּ וַתִּקַּח־
そして–女は 肥えた–子牛を 飼っていた 家に そして–急いで そして–屠った–それを そして–取った
H0802 H5695 H4770 H0776 H3427 H0413 H4296 H3947

וַתִּלָּשׁ וַתָּפֵהוּ וַתֹּפֶת מַצּוֹת׃
そして–こねた そして–焼いた–それを 種なし–パンに
H3888 H0644 H4682

קֶמַח
小麦粉を
H7058

その女は家に肥えた子牛があったので、急いでそれをほふり、また麦粉をとり、こねて、種入れぬパンを焼き、

25 וַתִּשָּׂא וַתִּתֵּן לִפְנֵי שָׁאוּל וְלִפְנֵי עַבְדָיו וַיֹּאכֵלוּ וַיָּקֻמוּ
そして–差し出した 前に サウルの そして–前に 家来たちの そして–食べた そして–立ち上がって
H5066 H6440 H7586 H6440 H5650 H0398

וַיֵּלְכוּ בַּלַּיְלָה הַהוּא׃ פ
そして–出て–行った その–夜に その
H3212 H3915 H1931 ¶

サウルとそのしもべたちの前に持ってきたので、彼らは食べた。そして彼らは立ち上がって、その夜のうちに去った。

Chapter 29

1 וַיְקַבְּצוּ פְלִשְׁתִּים אֶת־ כָּל־ מַחֲנֵיהֶם אֲפֵקָה וְיִשְׂרָאֵל
そして–集めた ペリシテ人は (を) すべての 彼らの–陣営を アフェクに そして–イスラエルは
H6908 H6430 H0853 H3605 H4264 H0663 H3478

חֹנִים בַּעַיִן אֲשֶׁר בְּיִזְרְעֶאל׃
陣を–張っていた 泉の–そばに (ある) イズレエルの
H2583 H5869 H0834 H3157

さてペリシテびとは、その軍勢をことごとくアペクに集めた。イスラエルびとはエズレルにある泉のかたわらに陣を取った。

2 וְדָוִד וְלַאֲלָפָיו לְמֵאוֹת עֹבְרִים פְּלִשְׁתִּים וְסַרְנֵי
そして–ダビデは そして–千人–ずつ 百人–ずつ 進んでいた ペリシテ人の そして–領主たちは
H1732 H0505 H3967 H5674 H6430 H5633

אָכִישׁ׃ עִם־ בָּאַחֲרֹנָה עֹבְרִים וַאֲנָשָׁיו
アキシュと (と–共に) 後方に 進んでいた そして–彼の–部下たちは
H0397 H0314 H5674 H0376

ペリシテびとの君たちは、あるいは百人、あるいは千人を率いて進み、ダビデとその従者たちはアキシと共に、しんがりになって進んだ。

3 וַיֹּאמְרוּ שָׂרֵי פְלִשְׁתִּים מָה הָעִבְרִים הָאֵלֶּה וַיֹּאמֶר
そして-言った ペリシテ人の 将軍たちは 何だ ヘブル人たちは これらの そして-言った
H0559 H6430 H8269 H4100 H2088 H0559

אָכִישׁ אֶל־ שָׂרֵי פְלִשְׁתִּים הֲלוֹא־ זֶה דָּוִד עֶבֶד שָׁאוּל
アキシュは (に) 将軍たちに ペリシテ人の これは-ではないか この ダビデ しもべ サウルの
H0397 H0413 H8269 H6430 H3808 H2088 H1732 H5650 H7586

מֶלֶךְ־ יִשְׂרָאֵל אֲשֶׁר הָיָה אִתִּי זֶה יָמִים אוֹ־ זֶה שָׁנִים
王の イスラエルの (者) いた 私と-共に この 日々も あるいは この 年月も
H4428 H3478 H0834 H1961 H0854 H2088 H3117 H0176 H2088 H8141

פ ¶ הַזֶּה׃ הַיּוֹם עַד־ נָפַל מִיּוֹם מְאוּמָה בּוֹ מָצָאתִי וְלֹא־
まで この-日 (まで) 彼が-落ちた 日-から 何も 彼に 見つけた-私は そして-なかった
H2088 H3117 H5704 H5307 H3117 H3972 H0413 H4672 H3808

その時、ペリシテびとの君たちは言った、「これらのヘブルびとはここで何をしているのか」。アキシはペリシテびとたちに言った、「これはイスラエルの王サウルのしもべダビデではないか。彼はこの日ごろ、この年ごろ、わたしと共にいたが、逃げ落ちてきた日からきょうまで、わたしは彼にあやまちがあったのを見たことがない」。

4 וַיִּקְצְפוּ עָלָיו שָׂרֵי פְלִשְׁתִּים וַיֹּאמְרוּ לוֹ׀ שָׂרֵי
そして-怒った 彼に-対して ペリシテ人の 将軍たちは そして-言った 彼に 将軍たちは
H7107 H5921 H6430 H8269 H0559 H0413 H8269

פְּלִשְׁתִּים הָאִישׁ אֶת־ הָשֵׁב וְיָשֹׁב אֶל־ מְקוֹמוֹ אֲשֶׁר הִפְקַדְתָּו
ペリシテ人の この-男を (を) 帰せ そして-帰らせろ (に) 彼の-場所に (ところ) 配置した-彼を
H6430 H0376 H0853 H7725 H7725 H0413 H4725 H0834 H6485

שָׁם וְלֹא־ יֵרֵד עִמָּנוּ בַּמִּלְחָמָה וְלֹא־ יִהְיֶה־ לָנוּ לְשָׂטָן
そこに そして-なくて 下って-来る 我々と-共に 戦い-の-中に そして-なくて なる 我々に 敵と
H8033 H3808 H3381 H5973 H4421 H3808 H1961 H0587 H7854

בְּרָאשֵׁי הֲלוֹא־ אֲדֹנָיו אֶל־ זֶה יִתְרַצֶּה וּבַמֶּה בַּמִּלְחָמָה
首-で (ではないか) 彼の-主人に (に) この-者は 取り入ろうとする そして-何で 戦い-の-中で
H7218 H3808 H0113 H0413 H2088 H7521 H4100 H4421

הָאֲנָשִׁים׃ הָהֵם
人々の あの
H0376 H1992

しかしペリシテびとの君たちは彼に向かって怒った。そしてペリシテびとの君たちは彼に言った、「この人を帰らせて、あなたが彼を置いたもとの所へ行かせなさい。われわれと一緒に彼を戦いに下らせてはならない。戦いの時、彼がわれわれの敵となるかも知れないからである。この者は何をもってその主君とやわらぐことができようか。ここにいる人々の首をもってするほかはあるまい。

5 הֲלוֹא־ זֶה דָּוִד אֲשֶׁר־ עָנוּ לוֹ בַּמְּחֹלוֹת לֵאמֹר הִכָּה
これは-ではないか この ダビデ (者) 歌い-応えた 彼に 踊りの-中で 言って 打った
H3808 H2088 H1732 H0834 H6030 H0413 H4246 H0559 H5221

שָׁאוּל בְּאַלְפָּיו וְדָוִד [ברבבתו] (בְּרִבְבֹתָיו)׃ ס §
サウルは 千を そして-ダビデは [万を] 万を
H7586 H0505 H1732 H7233 H7233

これは、かつて人々が踊りのうちに歌いかわして、『サウルは千を撃ち殺し、ダビデは万を撃ち殺した』と言った、あのダビデではないか」。

6 וַיִּקְרָ֣א אָכִ֔ישׁ אֶל־ דָּוִ֖ד וַיֹּ֣אמֶר אֵלָ֑יו חַי־ יְהוָ֣ה כִּי־
そして–呼んだ アキシュは (を) ダビデを そして–言った 彼に 生きている 主は (こと)
H7121 H0397 H0413 H1732 H0559 H0413 H2416 H3068

אַתָּ֣ה יָשָׁ֗ר וְטוֹב֙ בְּעֵינֶ֔יךָ צֵאתְךָ֥ וּבֹאֲךָ֖ אִתִּ֣י בַּמַּחֲנֶ֑ה
あなたは 正しい そして–良い 私の–目に 出る–こと そして–入る–こと 私と–共に 陣営で
H3477 H2896 H3318 H0935 H0854 H4264

כִּ֣י לֹֽא־ מָצָ֤אתִי בְךָ֙ רָעָ֔ה מִיּ֥וֹם בֹּאֲךָ֖ אֵלַ֑י עַד־ הַיּ֥וֹם הַזֶּ֖ה
なぜなら なかった 見つけた–私は あなたに 悪を 日–から 来た–あなたが 私の–もとに (まで) この–日
H3808 H4672 H0413 H3117 H0935 H5704 H3117 H2088

כִּ֥י לֹא־ טוֹב֙ בְּעֵינֵ֣י הַסְּרָנִ֔ים אָתָּ֖ה׃
なぜなら なかった 良い しかし–目に 領主たちの あなたは
H3808 H2896 H5633

そこでアキシはダビデを呼んで言った、「主は生きておられる。あなたは正しい人である。あなたがわたしと一緒に戦いに出入りすることをわたしは良いと思っている。それはあなたがわたしの所にきた日からこの日まで、わたしは、あなたに悪い事があったのを見たことがないからである。しかしペリシテびとの君たちはあなたを良く言わない。

7 וְעַתָּ֣ה שׁ֔וּב וְלֵ֖ךְ בְּשָׁל֑וֹם וְלֹא־ תַעֲשֶׂ֥ה רָ֛ע בְּעֵינֵ֥י סַרְנֵי־
そして–今 帰れ そして–行け 平安に そして–なく 行う 悪を 目に 領主たちの
H6258 H7725 H3212 H7965 H3808 H6213 H7451 H5633

פְלִשְׁתִּ֖ים׃ ס
ペリシテ人の §
H6430

それゆえ今安らかに帰って行きなさい。彼らが悪いと思うことはしないがよかろう」。

8 וַיֹּ֣אמֶר דָּוִ֗ד אֶל־ אָכִישׁ֙ כִּ֣י מֶ֔ה עָשִׂ֖יתִי וּמַה־
そして–言った ダビデは (に) アキシュに なぜなら 何を 行った–私が そして–何を
H0559 H1732 H0413 H0397 H4100 H6213 H4100

מָּצָ֣אתָ בְעַבְדְּךָ֗ מִיּוֹם֙ אֲשֶׁ֣ר הָיִ֔יתִי לְפָנֶ֖יךָ עַד־ הַיּ֣וֹם הַזֶּ֑ה
見つけた–あなたは あなたの–しもべに 日–から (こと) いた–私が あなたの–前に (まで) この–日
H4672 H5650 H3117 H0834 H1961 H6440 H5704 H3117

וְנִלְחַמְתִּי֙ בְּאֹיְבֵ֣י אֲדֹנִ֔י הַמֶּ֖לֶךְ׃ אָבוֹא֙ לֹ֣א כִּ֔י הַזֶּ֖ה
そして–戦う 敵たちに–対して 我が–主 王の 行って ない (こと) まで
H3898 H0341 H0113 H4428 H0935 H3808 H2088

ダビデはアキシに言った、「しかしわたしが何をしたというのですか。わたしがあなたに仕えはじめた日からこの日までに、あなたはしもべの身に何を見られたので、わたしは行って、わたしの主君である王の敵と戦うことができないのですか」。

9 וַיַּ֣עַן אָכִישׁ֮ וַיֹּ֣אמֶר אֶל־ דָּוִד֒ יָדַ֣עְתִּי כִּ֗י טוֹב֙ אַתָּ֣ה
そして–答えた アキシュは そして–言った (に) ダビデに 知っている (こと) 良い あなたは
H6030 H0397 H0559 H0413 H1732 H3045 H3588 H2896 H0859

בְּעֵינַי֙ כְּמַלְאַ֣ךְ אֱלֹהִ֔ים אַ֖ךְ שָׂרֵ֣י פְלִשְׁתִּ֑ים אָמְר֣וּ לֹא־ יַעֲלֶ֔ה
私の–目に 御使い–の–ような 神の しかし 将軍たちは ペリシテ人の 言った なく 上って–来る
H5869 H4397 H0430 H0389 H8269 H6430 H0559 H3808 H5927

עִמָּ֖נוּ בַּמִּלְחָמָֽה׃
我々と–共に 戦い–の–中に
H5973 H4421

アキシはダビデに答えた、「わたしは見て、あなたが神の使のようにりっぱな人であることを知っている。しかし、ペリシテびとの君たちは、『われわれと一緒に彼を戦いに上らせてはならない』と言っている。

וְעַתָּה	הַשְׁכֵּם	בַּבֹּקֶר	וְעַבְדֵי	אֲדֹנֶיךָ	אֲשֶׁר־	בָּאוּ	10
そして–今	早く–起きよ	朝に	そして–しもべたちと	あなたの–主人の	(者)	来た	
H6258	H7925	H1242	H5650	H0113		H0935	

וְלֵכוּ׃	לָכֶם	וְאוֹר	בַּבֹּקֶר	וְהִשְׁכַּמְתֶּם	אִתָּךְ	
そして–行け	あなたがたに	そして–明るく–なったら	朝に	そして–早く–起きて	あなたと–共に	
H3212		H0215	H1242	H7925	H0854	

それで、あなたは、一緒にきたあなたの主君のしもべたちと共に朝早く起きなさい。そして朝早く起き、夜が明けてから去りなさい」。

לָשׁוּב	בַּבֹּקֶר	לָלֶכֶת	וַאֲנָשָׁיו	הֵוּא	דָּוִד	וַיַּשְׁכֵּם	11
帰る–ために	朝に	行く–ために	そして–彼の–部下たちは	彼は	ダビデは	そして–早く–起きた	
H7725	H1242	H3212	H0376	H1931	H1732	H7925	

ס	יִזְרְעֶאל׃	עָלוּ	וּפְלִשְׁתִּים	פְּלִשְׁתִּים	אֶרֶץ	אֶל־	
§	イズレエルへ	上った	そして–ペリシテ人は	ペリシテ人の	地–へ	(に)	
	H3157	H5927	H6430	H6430	H0776	H0413	

こうしてダビデとその従者たちとは共にペリシテびとの地へ帰ろうと、朝早く起きて出立したが、ペリシテびとはエズレルへ上って行った。

Chapter 30

הַשְּׁלִישִׁי	בַּיּוֹם	צִקְלַג	וַאֲנָשָׁיו	דָּוִד	בְּבֹא	וַיְהִי	1
第三の	日–に	ツィクラグに	そして–彼の–部下たちは	ダビデは	来た–とき	そして–あった	
H7992	H3117	H6860	H0376	H1732	H0935	H1961	

אֶת־	וַיַּכּוּ	צִקְלַג	וְאֶל־	נֶגֶב	אֶל־	פָּשְׁטוּ	וַעֲמָלֵקִי
(を)	そして–打ち	ツィクラグを	そして	ネゲブを	(に)	襲っていた	そして–アマレク人が
H0853	H5221	H6860	H0413	H5045	H0413	H6584	H6003

בָּאֵשׁ׃	אֹתָהּ	וַיִּשְׂרְפוּ	צִקְלַג
火で	それを	そして–焼いた	ツィクラグを
H0784	H0853	H8313	H6860

さてダビデとその従者たちが三日目にチクラグにきた時、アマレクびとはすでにネゲブとチクラグを襲っていた。彼らはチクラグを撃ち、火をはなってこれを焼き、

גָּדוֹל	וְעַד־	מִקָּטָן	בָּהּ	אֲשֶׁר־	הַנָּשִׁים	אֶת־	וַיִּשְׁבּוּ	2
大きい–者まで	そして–(まで)	小さい–者から	その–中の	(者)	女たちを	(を)	そして–捕らえた	
	H5704				H0802	H0853	H7617	

לְדַרְכָּם׃	וַיֵּלְכוּ	וַיְנַהֲגוּ	אִישׁ	הֵמִיתוּ	לֹא
彼らの–道を	そして–行った	そして–連れて–行った	誰も	殺した	なかった
H1870	H3212		H0376	H4191	H3808

その中にいた女たちおよびすべての者を捕虜にし、小さい者をも大きい者をも、ひとりも殺さずに、引いて、その道に行った。

בָּאֵשׁ	שְׂרוּפָה	וְהִנֵּה	הָעִיר	אֶל־	וַאֲנָשָׁיו	דָּוִד	וַיָּבֹא	3
火で	焼かれていた	そして–見よ	町に	(に)	そして–彼の–部下たちは	ダビデは	そして–来た	
H0784	H8313	H2009		H0413	H0376	H1732	H0935	

נִשְׁבּוּ׃	וּבְנֹתֵיהֶם	וּבְנֵיהֶם	וְנָשֵׁיהֶם	
捕らえられていた	そして–娘たちが	そして–息子たちと	そして–彼らの–妻たちと	
H7617	H1323		H0802	

ダビデと従者たちはその町にきて、町が火で焼かれ、その妻とむすこ娘らは捕虜となったのを見た。

4

וַיִּשָּׂא דָוִד וְהָעָם אֲשֶׁר־אִתּוֹ אֶת־קוֹלָם וַיִּבְכּוּ עַד
そして–上げた ダビデは そして–民は (者) 彼と–共の (を) 声を (まで)
H5375 H1732 H5704 H0854 H0853 H1058 H5704

אֵין־בָּהֶם כֹּחַ לִבְכּוֹת׃ אֲשֶׁר
なくなる 彼らに 力が 泣く–ための (こと)
H0369 H1058

ダビデおよび彼と共にいた民は声をあげて泣き、ついに泣く力もなくなった。

5

וּשְׁתֵּי נְשֵׁי־דָוִד נִשְׁבּוּ אֲחִינֹעַם הַיִּזְרְעֵלִית
そして–二人の 妻たち–の ダビデの 捕らえられていた アヒノアム イズレエル人の
H8147 H0802 H1732 H7617 H0293 H3159

וַאֲבִיגַיִל אֵשֶׁת נָבָל הַכַּרְמְלִי׃
そして–アビガイル 妻の ナバルの カルメル人の
H0026 H0802 H5037 H3761

ダビデのふたりの妻すなわちエズレルの女アヒノアムと、カルメルびとナバルの妻であったアビガイルも捕虜になった。

6

וַתֵּצַר לְדָוִד מְאֹד כִּי־אָמְרוּ הָעָם לְסָקְלוֹ כִּי־
そして–苦しかった ダビデには 非常に なぜなら 言った 民が 石打ちに–しようと なぜなら
H3334 H1732 H3966 H0559 H5619

מָרָה נֶפֶשׁ כָּל־הָעָם אִישׁ עַל־[בנו] (בָּנָיו) וְעַל־בְּנֹתָיו
苦い 魂が すべての 民の 男は (について) [息子] 息子たちと そして–(について) 娘たちの
H4784 H5315 H3605 H0376 H5921 H1121 H1323

וַיִּתְחַזֵּק דָּוִד בַּיהוָה אֱלֹהָיו׃ ס
そして–強くした ダビデは 主に–よって 彼の–神に §
H2388 H1732 H3068 H0430

その時、ダビデはひじょうに悩んだ。それは民がみなおのおのそのむすこ娘のために心を痛めたため、ダビデを石で撃とうと言ったからである。しかしダビデはその神、主によって自分を力づけた。

7

וַיֹּאמֶר דָּוִד אֶל־אֶבְיָתָר הַכֹּהֵן בֶּן־אֲחִימֶלֶךְ הַגִּישָׁה־
そして–言った ダビデは (に) エビヤタルに 祝司の 息子–の アヒメレクの 近づけてくれ
H0559 H1732 H0413 H0054 H3548 H0288 H5066

נָּא לִי אֶת־הָאֵפֹד וַיַּגֵּשׁ אֶבְיָתָר אֶת־הָאֵפֹד אֶל־דָּוִד׃
どうか 私の–ために エポデを 近づけた エビヤタルは (を) エポデを (に) ダビデに
H4994 H0646 H5066 H0054 H0853 H0646 H0413 H1732

ダビデはアヒメレクの子、祭司アビヤタルに、「エポデをわたしのところに持ってきなさい」と言ったので、アビヤタルは、エポデをダビデのところに持ってきた。

8

וַיִּשְׁאַל דָּוִד בַּיהוָה לֵאמֹר אַחֲרֵי אֶרְדֹּף הַאַשִּׂיגֵנִי
そして–尋ねた ダビデは 主に 言って 後を 追うか 追いつくか
H7592 H1732 H3068 H0559 H0310 H7291 H5381

הַזֶּה הַגְּדוּד־הַזֶּה׃ וַתַּצֵּל וְהַצֵּל תַּשִּׂיג כִּי־הַשֵּׂג תַּשִּׂיג וְרֹדֵף לוֹ וַיֹּאמֶר
この この–略奪–隊を 取り戻す そして–必ず 追いつく なぜなら 必ず 追え 彼に そして–言った
H2088 H1416 H5337 H5337 H5381 H3588 H5381 H7291 H0559

ダビデは主に伺いをたてて言った、「わたしはこの軍隊のあとを追うべきですか。わたしはそれに追いつくことができましょうか」。主は彼に言われた、「追いなさい。あなたは必ず追いついて、確かに救い出すことができるであろう」。

9 וַיֵּלֶךְ דָּוִד הוּא וְשֵׁשׁ־מֵאוֹת אִישׁ אֲשֶׁר אִתּוֹ וַיָּבֹאוּ עַד־
そして-行った ダビデは 彼は そして-六 百-人の 人が (者) 彼と-共の そして-来た (まで)
H3212 H1732 H1931 H8337 H3967 H0376 H0854 H0935 H5704

נַחַל הַבְּשׂוֹר וְהַנּוֹתָרִים עָמָדוּ׃
川-の ベソルの そして-残った-者は 留まった
H5158 H1308 H3498 H5975

そこでダビデは、一緒にいた六百人の者と共に出立してベソル川へ行ったが、あとに残る者はそこにとどまった。

10 וַיִּרְדֹּף דָּוִד הוּא וְאַרְבַּע־מֵאוֹת אִישׁ וַיַּעַמְדוּ מָאתַיִם אִישׁ
そして-追った ダビデは 彼は そして-四 百-人の 人が そして-留まった 二百-人の 人が
H7291 H1732 H1931 H0702 H3967 H0376 H5975 H3967 H0376

אֲשֶׁר פֻּגְרוּ מֵעֲבֹר אֶת־נַחַל הַבְּשׂוֹר׃
(者) 疲れて 渡るの-が-できない (を) 川-を ベソルの
H0376 H6296 H5674 H0853 H5158 H1308

すなわちダビデは四百人と共に追撃をつづけたが、疲れてベソル川を渡れない者二百人はとどまった。

11 וַיִּמְצְאוּ אִישׁ־מִצְרִי בַּשָּׂדֶה וַיְקִחֻהוּ אֶל־דָּוִד וַיִּתְּנוּ־לוֹ לֶחֶם
そして-見つけた エジプト-人を エジプトの 野に そして-連れて-来た 彼を (に) そして-与えた 彼に パンを
H4672 H0376 H4713 H7704 H3947 H0853 H0413 H5414 H0376 H3899

וַיֹּאכַל וַיַּשְׁקֻהוּ מָיִם׃
そして-食べた そして-飲ませた-彼に 水を
H0398 H8248 H4325

彼らは野で、ひとりのエジプトびとを見て、それをダビデのもとに引いてきて、パンを食べさせ、水を飲ませた。

12 וַיִּתְּנוּ־לוֹ פֶּלַח דְּבֵלָה וּשְׁנֵי צִמֻקִים וַיֹּאכַל
そして-与えた 彼に 一切れ-の 干し-いちじくを そして-二房の 干し-ぶどうを そして-食べた
H5414 H0376 H6400 H1690 H8147 H6778 H0398

וַתָּשָׁב רוּחוֹ אֵלָיו כִּי לֹא־אָכַל לֶחֶם וְלֹא־שָׁתָה מָיִם׃ ס
そして-戻った 彼の-魂が 彼に なぜなら なかった 食べて パンを そして-なかった 飲んで 水を §
H7725 H7307 H0413 H3588 H3808 H0398 H3899 H3808 H8354 H4325

שְׁלֹשָׁה יָמִים וּשְׁלֹשָׁה לֵילוֹת׃
三 日間 そして-三 夜も
H7969 H3117 H7969 H3915

また彼らはほしいちじくのかたまり一つと、ほしぶどう二ふさを彼に与えた。彼は食べて元気を回復した。彼は三日三夜、パンを食べず、水を飲んでいなかったからである。

13 וַיֹּאמֶר לוֹ דָּוִד לְמִי־אַתָּה וְאֵי מִזֶּה אַתָּה
そして-言った 彼に ダビデは 誰の-ものか あなたは そして-どこ から あなたは
H0559 H0376 H4310 H0335 H2088 H0376

וַיֹּאמֶר נַעַר מִצְרִי אָנֹכִי עֶבֶד לְאִישׁ עֲמָלֵקִי וַיַּעַזְבֵנִי
そして-言った 若者の エジプト人 私は しもべ-の 人-の アマレクびとの そして-捨てた-私を
H0559 H5288 H4713 H0595 H5650 H0376 H6003

אֲדֹנָי כִּי חָלִיתִי הַיּוֹם שְׁלֹשָׁה׃
私の-主人が なぜなら 病気だった-私は 今日-で 三日
H0113 H3588 H2470 H3117 H7969

ダビデは彼に言った、「あなたはだれのものか。どこからきたのか」。彼は言った、「わたしはエジプトの若者で、アマレクびとの奴隷です。三日前にわたしが病気になったので、主人はわたしを捨てて行きました。

14 אֲנַ֣חְנוּ פָּשַׁ֗טְנוּ נֶ֚גֶב הַכְּרֵתִ֔י וְעַל־ נֶ֖גֶב לִֽיהוּדָ֑ה וְעַל־ אֲשֶׁ֣ר כָּלֵ֔ב
私たちは 襲った ネゲブを ケレト人の そして ネゲブを (ところ) そして ユダの カレブの
H0587 H6584 H5045 H3774 そして H5045 H3063 H3612

וְאֶת־ צִקְלַ֖ג שָׂרַ֥פְנוּ בָאֵֽשׁ׃
そして ツィクラグを 焼いた–私たちは 火で
H0853 H6860 H8313 H0784

わたしどもは、ケレテびとのネゲブと、ユダに属する地と、カレブのネゲブを襲い、また火でチクラグを焼きはらいました」。

15 וַיֹּ֤אמֶר דָּוִד֙ אֵלָ֔יו וַיֹּ֣אמֶר הֲתוֹרִדֵ֖נִי אֶל־ הַגְּד֣וּד הַזֶּ֑ה
そして–言った ダビデは 彼に そして–言った 導いてくれるか (に) この–略奪–隊に この
H0559 H1732 H0413 H0559 H3381 H0413 H1416 H2088

וַיֹּ֣אמֶר הִשָּׁבְעָה־ לִּ֣י בֵאלֹהִ֗ים אִם־ תָּמִ֤יתֵנִי וְאִם־ תַּסְגִּרֵ֙נִי֙ בְּיַד־
私に 誓ってくれ 神に–かけて もし 殺す–なら そして–もし 引き渡す–なら–私を 手に
H0559 H7650 H0430 H0518 H4191 H0518 H5462 H3027

אֲדֹנִ֔י וְאוֹרֶדְךָ֖ אֶל־ הַגְּד֥וּד הַזֶּֽה׃
私の–主人の そして–導こう (に) この–略奪–隊に この
H0113 H3381 H0413 H1416 H2088

ダビデは彼に言った、「あなたはその軍隊のところへわたしを導き下ってくれるか」。彼は言った、「あなたはわたしを殺さないこと、またわたしを主人の手に渡さないことを、神をさしてわたしに誓ってください。そうすればあなたをその軍隊のところへ導き下りましょう」。

16 וַיֹּרְדֵ֔הוּ וְהִנָּ֣ה נְטֻשִׁ֔ים עַל־ פְּנֵ֖י כָּל־ הָאָ֑רֶץ אֹכְלִ֖ים
そして–導いた–彼を そして–見よ 散らばっていた (に) 面–の–上に すべての 地の 食べて
H3381 H2009 H5203 H6440 H3605 H0776 H0398

וְשֹׁתִ֣ים וְחָגִּ֗ים בְּכֹל֙ הַשָּׁלָ֣ל הַגָּד֣וֹל אֲשֶׁ֤ר לָקְחוּ֙ מֵאֶ֣רֶץ
そして–飲んで そして–祭りを–していた すべての 戦利品–の 大きな (こと) 取った 地から
H8354 H2287 H3605 H7998 H1419 H3947 H0776

פְּלִשְׁתִּ֖ים וּמֵאֶ֣רֶץ יְהוּדָֽה׃
ペリシテ人の そして–地から ユダの
H6430 H0776 H3063

彼はダビデを導き下ったが、見よ、彼らはペリシテびとの地とユダの地から奪い取ったさまざまの多くのぶんどり物のゆえに、食い飲み、かつ踊りながら、地のおもてにあまねく散りひろがっていた。

17 וַיַּכֵּ֣ם דָּוִ֔ד מִנַּ֥שֶׁף וְעַד־ הָעֶ֖רֶב לְמָֽחֳרָתָ֑ם וְלֹא־
そして–打った–彼らを ダビデは 夕暮れから (まで) 夜–の 翌日の そして–なかった
H5221 H1732 H5399 H5704 H6153 H4283 H3808

נִמְלַ֤ט מֵהֶם֙ אִ֣ישׁ כִּ֣י אִם־ אַרְבַּ֣ע מֵא֔וֹת אִישׁ־ נַ֖עַר אֲשֶׁר־ רָכְב֥וּ עַל־
人は (が) (ただ) 四 若者–が 若い (者) 乗った (に)
H0376 H3588 H0518 H0702 H0376 H5288 H0834 H7392 H0413

גְּמַלִּ֑ים וַיָּנָֽסוּ׃ הַגְּמַלִּֽים׃
らくだに そして–逃げた らくだに
H1581 H5127 H1581

ダビデは夕ぐれから翌日の夕方まで、彼らを撃ったので、らくだに乗って逃げた四百人の若者たちのほかには、ひとりものがれた者はなかった。

18 וַיַּצֵּל דָּוִד אֵת כָּל־אֲשֶׁר עֲמָלֵק לָקָחוּ וְאֶת־שְׁתֵּי
そして-取り戻した ダビデは (を) すべての (こと) 取った アマレクが そして 二人の
H5337 H1732 H0853 H3605 H0834 H6002 H0853 H8147

נָשָׁיו הִצִּיל דָּוִד׃
妻たちを 救い-出した ダビデは
H0802 H5337 H1732

こうしてダビデはアマレクびとが奪い取ったものをみな取りもどした。またダビデはそのふたりの妻を救い出した。

19 וְלֹא נֶעְדַּר־לָהֶם מִן־הַקָּטֹן וְעַד־הַגָּדוֹל
そして-なかった 欠けた-ものは 彼らに (から) 小さい-者から そして-(まで) 大きい-者まで
H3808 H5704

וְעַד־כֹּל אֲשֶׁר לָקָחוּ וּמִשָּׁלָל וּבָנוֹת וּבָנִים וְעַד־
そして-(まで) すべての (こと) 取った そして-戦利品も そして-娘たちも 息子たちと そして-(まで)
H5704 H3605 H0834 H3947 H7998 H1323 H1121 H5704

הַכֹּל הֵשִׁיב דָּוִד׃ לָהֶם
すべてを 取り戻した ダビデは 彼らの
H3605 H7725 H1732

そして彼らに属するものは、小さいものも大きいものも、むすこも娘もぶんどり物も、アマレクびとが奪い去った物は何をも失わないで、ダビデがみな取りもどした。

20 וַיִּקַּח דָּוִד אֶת־כָּל־הַצֹּאן הַבְּקָר וְהַנָּהֲגוּ לִפְנֵי הַמִּקְנֶה הַהוּא
その その-家畜の 前に 追った そして-牛を 羊を すべての (を) ダビデは そして-取った
H1931 H4735 H6440 H5090 H1241 H6629 H3605 H0853 H1732 H3947

וַיֹּאמְרוּ זֶה שְׁלַל דָּוִד׃
そして-言った これは 戦利品 ダビデの
H0559 H2088 H7998 H1732

ダビデはまたすべての羊と牛を取った。人々はこれらの家畜を彼の前に追って行きながら、「これはダビデのぶんどり物だ」と言った。

21 וַיָּבֹא דָּוִד אֶל־מָאתַיִם הָאֲנָשִׁים אֲשֶׁר־עָיְפוּ מִלֶּכֶת
そして-来た ダビデは (に) 二百-人の 人々の-もとに (者) 疲れて 行くのに-できなかった
H0935 H1732 H0413 H3967 H0376 H0834 H6296 H3212

וַיֹּשִׁבֻם בְּנַחַל הַבְּשׂוֹר וַיֵּצְאוּ לִקְרַאת דָּוִד וְלִקְרַאת
そして-留めていた-彼らを 川-の ベソルの そして-出て-来た ダビデを 迎えに
H3427 H5158 H1308 H3318 H1732 H7122

אַחֲרֵי דָּוִד וְלִקְרַאת הָעָם אֲשֶׁר־אִתּוֹ וַיִּגַּשׁ דָּוִד וַיִּשְׁאַל
後に ダビデの そして-迎えに 民を (者) 彼と-共の そして-近づいた ダビデは そして-尋ねた
H0310 H1732 H7122 H5971 H0834 H0854 H5066 H1732 H7592

לָהֶם לְשָׁלוֹם׃ ס
彼らに 平安を §
H7965

そしてダビデが、あの疲れてダビデについて行くことができずに、ベソル川のほとりにとどまっていた二百人の者のところへきた時、彼らは出てきてダビデを迎え、またダビデと共にいる民を迎えた。ダビデは民に近づいてその安否を問うた。

עִם־ (と–共に)
הָלְכוּ 行った H1980
אֲשֶׁר (者)
מֵהָאֲנָשִׁים 人々–の–中の H0376
וּבְלִיַּעַל そして–よこしまな H1100
רָע 男は
אִישׁ־ 悪い H0376
כָּל־ すべての H3605
וַיַּעַן そして–答えた
22

לָהֶם 彼らに
נִתַּן 与える H5414
לֹא־ ない H3808
עִמָּי 私たちと–共に
הָלְכוּ 行った H1980
לֹא־ なかった H3808
אֲשֶׁר (こと)
יַעַן なぜなら H3282
וַיֹּאמְרוּ そして–言った H0559
דָּוִד ダビデと H1732

וְאֶת־ そして H0853
אִשְׁתּוֹ 彼の–妻を H0802
אֶת־ (を) H0853
אִישׁ 男は H0376
אִם־ (ただ)
כִּי־ ただ
הִצַּלְנוּ 取り戻した–我々が
אֲשֶׁר (こと)
מֵהַשָּׁלָל 戦利品–から H7998

ס §
וְיֵלֵכוּ׃ そして–去れ H3212
וְיִנְהֲגוּ そして–連れて–行け
בָּנָיו 彼の–息子たちを

そのときダビデと共に行った人々のうちで、悪く、かつよこしまな者どもはみな言った、「彼らはわれわれと共に行かなかったのだから、われわれはその人々にわれわれの取りもどしたぶんどり物を分け与えることはできない。ただおのおのにその妻子を与えて、連れて行かせましょう」。

נָתַן 与えた H5414
אֲשֶׁר־ (こと)
אֶת (を) H0854
אֶחָי 我が–兄弟たちよ H0251
כֵּן そのように
תַּעֲשׂוּ そうする
לֹא־ ない H3808
דָּוִד ダビデは H1732
וַיֹּאמֶר そして–言った H0559
23

עָלֵינוּ 我々に–対して
הַבָּא 来た H0935
הַגְּדוּד 略奪–隊を H1416
אֶת־ (を) H0853
וַיִּתֵּן そして–渡した H5414
אֹתָנוּ 我々を H0853
וַיִּשְׁמֹר そして–守った H8104
לָנוּ 我々に
יְהוָה 主が H3068

בְּיָדֵנוּ׃ 我々の–手に H3027

しかしダビデは言った、「兄弟たちよ、主はわれわれを守って、攻めてきた軍隊をわれわれの手に渡された。その主が賜わったものを、あなたがたはそのようにしてはならない。

וְכֶחֱלֶק 分け前–の–ように
כִּי なぜなら
הַזֶּה この H2088
לַדָּבָר この–件に H1697
לָכֶם あなたがたに
יִשְׁמַע 聞く H8085
וּמִי そして–誰が H4310
24

יַחְדָּו 共に
הַכֵּלִים 荷物の–そばに H3627
עַל־ (に)
הַיֹּשֵׁב 留まった–者の H3427
וְכֶחֱלֶק そして–分け前–の–ように
בַּמִּלְחָמָה 戦いに H4421
הַיֹּרֵד 下って–行った–者の H3381

ס §
יַחֲלֹקוּ׃ 分ける

だれがこの事について、あなたがたに聞き従いますか。戦いに下って行った者の分け前と、荷物のかたわらにとどまっていた者の分け前を同様にしなければならない。彼らはひとしく分け前を受けるべきである」。

וּלְמִשְׁפָּט そして–定めと H4941
לְחֹק 掠と H2706
וַיְשִׂמָהָ そして–定めた–それを
וָמָעְלָה 以後 H4605
הַהוּא その H1931
מֵהַיּוֹם その–日–から H3117
וַיְהִי そして–あった H1961
25

פ ¶
הַזֶּה׃ まで H2088
הַיּוֹם この–日 H3117
עַד (まで) H5704
לְיִשְׂרָאֵל イスラエルの–ために H3478

この日以来、ダビデはこれをイスラエルの定めとし、おきてとして今日に及んでいる。

26 וַיָּבֹא דָוִד צִקְלַג לַיְשַׁלַּח מֵהַשָּׁלָל לִזְקֵנֵי יְהוּדָה
そして–来た ダビデは ツィクラグに そして–送った 戦利品–から 長老たちに ユダの
H0935 H1732 H6860 H7971 H7998 H2205 H3063

לְרֵעֵהוּ לֵאמֹר הִנֵּה לָכֶם בְּרָכָה מִשְּׁלַל אֹיְבֵי יְהוָה׃
彼の–友人たちに 言って 見よ あなたがたに 贈り物を 戦利品–から 敵の 主の
H7453 H0559 H2009 H0413 H1293 H7998 H0341 H3068

ダビデはチクラグにきて、そのぶんどり物の一部をユダの長老である友人たちにおくって言った、「これは主の敵から取ったぶんどり物のうちからあなたがたにおくる贈り物である」。

27 לַאֲשֶׁר וְלַאֲשֶׁר בְּבֵית־אֵל וְלַאֲשֶׁר בְּרָמֹות־נֶגֶב וְלַאֲשֶׁר
(ところ) そして–(ところ) ベテルに–いる–者と そして–(ところ) ラモト・ネゲブに–いる–者と そして–(ところ)
H1008 H7418

בְּיַתִּר׃
ヤティルに–いる–者と
H3492

そのおくり先は、ベテルにいる人々、ネゲブのラモテにいる人々、ヤッテルにいる人々、

28 וְלַאֲשֶׁר בַּעֲרֹעֵר וְלַאֲשֶׁר בְּשִׁפְמֹות וְלַאֲשֶׁר
そして–(ところ) アロエルに–いる–者と そして–(ところ) シフモトに–いる–者と そして–(ところ)
H6177 H8224

ס בְּאֶשְׁתְּמֹעַ׃
§ エシュテモアに–いる–者と
H0851

アロエルにいる人々、シフモテにいる人々、エシテモアにいる人々、ラカルにいる人々、

29 וְלַאֲשֶׁר בַּרְכָל וְלַאֲשֶׁר בָּעֲרֵי הַיְרַחְמְאֵלִי
そして–(ところ) ラカルに–いる–者と そして–(ところ) 町々に–いる–者と エラフメエル人の
H7403 H3397

וְלַאֲשֶׁר בָּעֲרֵי הַקֵּינִי׃
そして–(ところ) 町々に–いる–者と ケニ人の
H7017

エラメルびとの町々にいる人々、ケニびとの町々にいる人々、

30 וְלַאֲשֶׁר בְּחָרְמָה וְלַאֲשֶׁר בְּבוֹר־עָשָׁן וְלַאֲשֶׁר
そして–(ところ) ホルマに–いる–者と そして–(ところ) ボル・アシャンに–いる–者と そして–(ところ)
H2767 H3565

בַּעֲתָךְ׃
アタクに–いる–者と
H6269

ホルマにいる人々、ボラシャンにいる人々、アタクにいる人々、

31 וְלַאֲשֶׁר בְּחֶבְרוֹן וְלְכָל־ הַמְּקֹמוֹת אֲשֶׁר־ הִתְהַלֶּךְ־ שָׁם
そして–(ところ) ヘブロンに–いる–者と そして–すべての 場所に (ところ) 巡り–歩いていた そこで
H3605 H4725 H1980 H8033

פ דָּוִד הוּא וַאֲנָשָׁיו׃
¶ ダビデが 彼は そして–彼の–部下たちが
H1732 H1931 H0376

ヘブロンにいる人々、およびダビデとその従者たちが、さまよい歩いたすべての所にいる人々であった。

Chapter 31

1 וּפְלִשְׁתִּים נִלְחָמִים בְּיִשְׂרָאֵל וַיָּנָסוּ אַנְשֵׁי יִשְׂרָאֵל
そして–ペリシテ人は 戦っていた イスラエルに–対して そして–逃げた 人々は イスラエルの
H6430 H3898 H3478 H5127 H0376 H3478

מִפְּנֵי פְלִשְׁתִּים וַיִּפְּלוּ חֲלָלִים בְּהַר הַגִּלְבֹּעַ׃
前–から ペリシテ人の そして–倒れた 倒れた–者が 山–に ギルボアの
H6440 H6430 H5307 H2022 H1533

さてペリシテびとはイスラエルと戦った。イスラエルの人々はペリシテびとの前から逃げ、多くの者は傷ついてギルボア山にたおれた。

2 וַיִּדְבְּקוּ פְלִשְׁתִּים אֶת־שָׁאוּל וְאֶת־בָּנָיו וַיַּכּוּ
そして–追いついた ペリシテ人は (を) サウルと そして 彼の–息子たちを そして–打ち殺した
H1692 H6430 H0853 H7586 H0853 H1121 H5221

פְּלִשְׁתִּים אֶת־יְהוֹנָתָן וְאֶת־אֲבִינָדָב וְאֶת־מַלְכִּי־שׁוּעַ בְּנֵי
ペリシテ人は (を) ヨナタンを そして (を) アビナダブを そして マルキ・シュアを 息子たちを
H6430 H0853 H3083 H0853 H0041 H0853 H4444 H1121

שָׁאוּל׃
サウルの
H7586

ペリシテびとはサウルとその子らに攻め寄り、そしてペリシテびとはサウルの子ヨナタン、アビナダブ、およびマルキシュアを殺した。

3 וַתִּכְבַּד הַמִּלְחָמָה אֶל־שָׁאוּל וַיִּמְצָאֻהוּ הַמּוֹרִים אַנְשֵׁי
そして–激しく–なった 戦いは (に–対して) サウルに そして–見つけた–彼を 射手たちが 人々の
H3513 H4421 H0413 H7586 H4672 H3384 H0376

מִן־הַמּוֹרִים׃ מְאֹד וַיָּחֶל בַּקָּשֶׁת
射手たちから 非常に そして–苦しんだ 弓の
H3966 H2342 H7198

戦いは激しくサウルに迫り、弓を射る者どもがサウルを見つけて、彼を射たので、サウルは射る者たちにひどい傷を負わされた。

4 וַיֹּאמֶר שָׁאוּל לְנֹשְׂא כֵלָיו שְׁלֹף חַרְבְּךָ וְדָקְרֵנִי בָּהּ
そして–言った サウルは 武具–持ちに 彼の 拝け あなたの–剣を そして–突き–刺せ それで
H0559 H7586 H5375 H3627 H8025 H2719 H1856 H0413

פֶּן־יָבוֹאוּ הָעֲרֵלִים הָאֵלֶּה וְהִתְעַלְלוּ־בִי וְדָקְרֻנִי
ない–ように 来る 割礼なき–者たちが これらの そして–突き–刺し そして–辱める–私を 私に
H6435 H0935 H6189 H0428 H1856 H5953 H0413

כִּי יָרֵא מְאֹד וַיִּקַּח שָׁאוּל אֶת־הַחָרֶב וַיִּפֹּל עָלֶיהָ׃
なぜなら 恐れた 非常に そして–取った サウルは 剣を (を) そして–倒れた その–上に
H3372 H3966 H3947 H7586 H2719 H0853 H5307 H5921

נֹשֵׂא כֵלָיו אָבָה וְלֹא וְלֹא H3808 しかし–なかった H0014 応じた H3627 彼の H5375 武具–持ちは H3947

そこでサウルはその武器を執る者に言った、「つるぎを抜き、それをもってわたしを刺せ。さもないと、これらの無割礼の者どもがきて、わたしを刺し、わたしをなぶり殺しにするであろう」。しかしその武器を執る者は、ひじょうに恐れて、それに応じなかったので、サウルは、つるぎを執って、その上に伏した。

5 וַיַּ֣רְא נֹשֵׂא־ כֵלָ֗יו כִּ֚י מֵ֣ת שָׁא֔וּל וַיִּפֹּ֥ל גַּם־ הֽוּא׃ עַל־
そして–見た 武具–持ちは 彼の (こと) 死んだ サウルが そして–倒れた また 彼も (に)
H7200 H5375 H3627 H4191 H7586 H5307 H1571 H1931

חַרְבּ֖וֹ וַיָּ֣מָת עִמּֽוֹ׃
彼の–剣の–上に そして–死んだ 共に
H2719 H4191

武器を執る者はサウルが死んだのを見て、自分もまたつるぎの上に伏して、彼と共に死んだ。

6 וַיָּ֣מָת שָׁא֗וּל וּשְׁלֹשֶׁת֙ בָּנָ֔יו וְנֹשֵׂ֥א כֵלָ֖יו גַּ֣ם
そして–死んだ サウルは そして–三人の 彼の–息子たちも そして–武具–持ちも また
H4191 H7586 H7969 H1571

כָּל־ אֲנָשָׁ֥יו בַּיּ֖וֹם הַה֑וּא יַחְדָּֽו׃
すべての 彼の–部下たちも その–日に その 共に
H3605 H0376 H3117 H1931

こうしてサウルとその三人の子たち、およびサウルの武器を執る者、ならびにその従者たちは皆、この日共に死んだ。

7 וַיִּרְא֣וּ אֲנְשֵׁי־ יִשְׂרָאֵ֣ל אֲשֶׁר־ בְּעֵ֤בֶר הָעֵמֶק֙ וַאֲשֶׁ֣ר בְּעֵ֣בֶר
そして–見た 人々は イスラエルの (者) 向こう–側の 谷の そして–(者) 向こう–側の
H7200 H0376 H3478 H5676 H6010 H5676

הַיַּרְדֵּ֔ן כִּֽי־ נָסוּ֙ אַנְשֵׁ֣י יִשְׂרָאֵ֔ל וְכִי־ מֵ֥תוּ שָׁא֖וּל
ヨルダンの (こと) 逃げた 人々が イスラエルの そして–(こと) 死んだ サウルが
H3383 H5127 H0376 H3478 H4191 H7586

וּבָנָ֑יו וַיַּֽעַזְב֣וּ אֶת־ הֶֽעָרִ֗ים וַיָּנֻ֙סוּ֙ וַיָּבֹ֣אוּ פְלִשְׁתִּ֔ים
そして–彼の–息子たちが そして–捨てた (を) 町々を そして–逃げた そして–来た ペリシテ人が
H0853 H5127 H0935 H6430

וַיֵּשְׁב֖וּ בָּהֶֽן׃ ס
そして–住んだ それらに §
H3427

イスラエルの人々で、谷の向こう側、およびヨルダンの向こう側にいる者が、イスラエルの人々の逃げるのを見、またサウルとその子たちの死んだのを見て町々を捨てて逃げたので、ペリシテびとはきてその中に住んだ。

8 וַיְהִי֮ מִמָּחֳרָת֒ וַיָּבֹ֣אוּ פְלִשְׁתִּ֗ים לְפַשֵּׁט֙ אֶת־ הַחֲלָלִ֔ים
そして–あった 翌日 そして–来た ペリシテ人は はぎ取る–ために (を) 倒れた–者たちを
H1961 H4283 H0935 H6584 H0853

וַיִּמְצְא֣וּ אֶת־ שָׁא֣וּל וְאֶת־ שְׁלֹשֶׁת֩ בָּנָ֨יו נִפָּלִ֜ים בְּהַ֣ר
そして–見つけた (を) サウルを そして 三人の 彼の–息子たちを 倒れている 山–に
H4672 H0853 H7586 H0853 H7969 H5307 H2022

הַגִּלְבֹּֽעַ׃
ギルボアの
H1533

イスラエルの人々で、谷の向こう側、およびヨルダンの向こう側にいる者が、イスラエルの人々の逃げるのを見、またサウルとその子たちの死んだのを見て町々を捨てて逃げたので、ペリシテびとはきてその中に住んだ。

9 וַיְכָרְת֣וּ לְרֹאשׁ֗וֹ וַיַּפְשִׁ֣יטוּ אֶת־ כֵּלָיו֮ וַיְשַׁלְּח֣וּ
そして–切り–落とした 彼の–頭を そして–はぎ–取った (を) 彼の–武具を そして–送った
H3772 H7218 H6584 H0853 H3627 H7971

בְּאֶ֣רֶץ פְּלִשְׁתִּים֒ סָבִ֗יב לְבַשֵּׂר֙ בֵּ֣ית עַצַּבֵּיהֶ֔ם וְאֶת־ הָעָֽם׃
地に ペリシテ人の 回りに 知らせる–ために 家に 彼らの–偶像の そして (を) 民に
H0776 H6430 H5439 H1319 H6091 H0853

彼らはサウルの首を切り、そのよろいをはぎ取り、ペリシテびとの全地に人をつかわして、この良い知らせを、その偶像と民とに伝えさせた。

10 וַיָּשִׂמוּ אֶת־כֵּלָיו בֵּית עַשְׁתָּרוֹת וְאֶת־גְּוִיָּתוֹ תָּקְעוּ
そして-置いた (を) 彼の-武具を 家に アシュタロトの 彼の-体を 打ち-付けた
H8628 H1472 H0853 H6252 H0853 H1052 H2346

בְּבֵית שָׁן׃ בְּחוֹמַת
ベト・シャンの 城壁に
H1052 H2346

また彼らは、そのよろいをアシタロテの神殿に置き、彼のからだをベテシャンの城壁にくぎづけにした。

11 וַיִּשְׁמְעוּ אֵלָיו יֹשְׁבֵי יָבֵישׁ גִּלְעָד אֵת אֲשֶׁר־עָשׂוּ פְּלִשְׁתִּים
そして-聞いた 彼に-ついて 住民は ヤベシュの ギレアデの (を) (こと) 行った ペリシテ人が
H8085 H0413 H3427 H3003 H1568 H0853 H6430

לְשָׁאוּל׃
サウルに-対して
H7586

ヤベシ・ギレアデの住民たちは、ペリシテびとがサウルにした事を聞いて、

12 וַיָּקוּמוּ כָּל־אִישׁ חַיִל וַיֵּלְכוּ כָּל־הַלַּיְלָה וַיִּקְחוּ
そして-立ち上がった すべての 男は 勇敢な そして-歩いた すべての 夜を そして-取った
H3605 H0376 H2428 H3212 H3605 H3915 H3947

אֶת־גְּוִיַּת שָׁאוּל וְאֶת־גְּוִיֹּת בָּנָיו מֵחוֹמַת שָׁוְבִית וַיָּבֹאוּ
体を (を) サウルの そして 体を 彼の-息子たちの 城壁から ベト・シャンの そして-来た
H1472 H0853 H7586 H1472 H0853 H1052 H2346

אֹתָם׃ שָׁם וַיִּשְׂרְפוּ יָבֵשָׁה
彼らを そこで そして-焼いた ヤベシュに
H0853 H8033 H8313 H3003

勇士たちはみな立ち、夜もすがら行って、サウルのからだと、その子たちのからだをベテシャンの城壁から取りおろし、ヤベシにきて、これをそこで焼き、

13 וַיִּקְחוּ אֶת־עַצְמוֹתֵיהֶם וַיִּקְבְּרוּ תַּחַת־הָאֶשֶׁל בְּיָבֵשָׁה
そして-取った (を) 彼らの-骨を そして-葬った 下に ギョリュウの-木の ヤベシュに
H3947 H0853 H6106 H6912 H8478 H0815 H3003

וַיָּצֻמוּ שִׁבְעַת יָמִים׃ פ
そして-断食した 七 日間 ¶
H6684 H7651 H3117

その骨を取って、ヤベシのぎょりゅうの木の下に葬り、七日の間、断食した。

2 Samuel

Chapter 1

1	וַיְהִי	אַחֲרֵי	מוֹת	שָׁאוּל	וְדָוִד	שָׁב	מֵהַכּוֹת	אֶת־	הָעֲמָלֵקִי
	さて	後に	死	サウルの	ダビデは	帰って来た	打ち破った–後	その	アマレク人を
	H1961		H4194	H7586	H1732	H7725	H5221	H0853	H6002

וַיֵּשֶׁב	דָּוִד	בְּצִקְלָג	יָמִים	שְׁנָיִם׃
そして–留まった	ダビデは	ツィクラグに	日	二日間
H3427	H1732	H6860	H3117	H8147

サウルが死んだ後、ダビデはアマレクびとを撃って帰り、ふつかの間チクラグにとどまっていたが、

2	וַיְהִי	בַּיּוֹם	הַשְּׁלִישִׁי	וְהִנֵּה׀	אִישׁ	בָּא	מִן־	הַמַּחֲנֶה	
	そして	三日目の–日に	第三の	すると–見よ	ひとりの–人が	来た	その	陣営から	
	H1961	H3117	H7992	H2009	H0376	H0935		H4264	

בְּבֹאוֹ	וַיְהִי	רֹאשׁוֹ	עַל־	וַאֲדָמָה	קְרֻעִים	וּבְגָדָיו	שָׁאוּל	מֵעִם
彼が–来て	あった	頭の–上に	その	土が	引き裂かれ	その–衣は	サウルの	サウルの–もとから
H0935	H1961			H0127	H7167		H7586	

וַיִּשְׁתָּחוּ׃	אַרְצָה	וַיִּפֹּל	דָּוִד	אֶל־	
礼拝した	地に	ひれ伏して	ダビデの–もとに	その	
H7812	H0776	H5307	H1732	H0413	

三日目となって、ひとりの人が、その着物を裂き、頭に土をかぶって、サウルの陣営からきた。そしてダビデのもとにきて、地に伏して拝した。

3	אֵלָיו	וַיֹּאמֶר	תָּבוֹא	מִזֶּה	אֵי	דָּוִד	לוֹ	וַיֹּאמֶר	
	彼に	すると–答えた	来たのか	から	どこ	ダビデは	彼に	すると–言った	
	H0413	H0559	H0935	H2088	H0335	H1732		H0559	

נִמְלַטְתִּי׃	יִשְׂרָאֵל	מִמַּחֲנֵה
逃れて–来ました	イスラエルの	イスラエルの–陣営から
H4422	H3478	H4264

ダビデは彼に言った、「あなたはどこからきたのか」。彼はダビデに言った、「わたしはイスラエルの陣営から、のがれてきたのです」。

4	לִי	נָא	הַגֶּד־	הַדָּבָר	הָיָה	מֶה־	דָּוִד	אֵלָיו	וַיֹּאמֶר
	私に	ほしい	どうか–告げて	事なのか	起こった	何が	ダビデは	彼に	すると–言った
		H4994	H5046	H1697	H1961	H4100	H1732	H0413	H0559

מִן־	נָפַל	הַרְבֵּה	וְגַם־	הַמִּלְחָמָה	מִן־	הָעָם	נָס	אֲשֶׁר־	וַיֹּאמֶר
その	倒れて	多くの–者が	また	戦いから	その	民が	逃げた	実は	すると–言った
	H5307		H1571	H4421			H5127		H0559

מֵתוּ׃	בְּנוֹ	וִיהוֹנָתָן	שָׁאוּל	וְגַם	וַיָּמֻתוּ	הָעָם
死にました	その–子も	ヨナタンも	サウルも	さらに	死にました	民のうちから
H4191		H3083	H7586	H1571	H4191	

ダビデは彼に言った、「様子はどうであったか話しなさい」。彼は答えた、「民は戦いから逃げ、民の多くは倒れて死に、サウルとその子ヨナタンもまた死にました」。

5

וַיֹּאמֶר דָּוִד אֶל־הַנַּעַר הַמַּגִּיד לוֹ אַיֵּךְ יָדַעְתָּ כִּי־מֵת שָׁאוּל וְיהוֹנָתָן בְּנוֹ׃

וַיֹּאמֶר
すると–言った
H0559

דָּוִד
ダビデは
H1732

אֶל־
その
H0413

הַנַּעַר
若者に
H5288

הַמַּגִּיד
告げる
H5046

לוֹ
彼に

אַיֵּךְ
どうして

יָדַעְתָּ
知ったのか
H3045

כִּי־
実に

מֵת
死んだと
H4191

שָׁאוּל
サウルと
H7586

וְיהוֹנָתָן
ヨナタン
H3083

בְּנוֹ׃
その–子が

ダビデは自分と話している若者に言った、「あなたはサウルとその子ヨナタンが死んだのを、どうして知ったのか」。

6

וַיֹּאמֶר הַנַּעַר הַמַּגִּיד לוֹ נִקְרֹא נִקְרָאתִי בְהַר הַגִּלְבֹּעַ וְהִנֵּה שָׁאוּל נִשָּׁעָן עַל־חֲנִיתוֹ וְהִנֵּה הָרֶכֶב וּבַעֲלֵי הַפָּרָשִׁים הִדְבִּקֻהוּ׃

וַיֹּאמֶר
すると–答えた
H0559

הַנַּעַר
若者は
H5288

הַמַּגִּיד
告げる
H5046

לוֹ
者が

נִקְרֹא
たまたま
H7122

נִקְרָאתִי
居合わせました

בְהַר
山の
H2022

הַגִּלְבֹּעַ
ギルボアの
H1533

וְהִנֵּה
すると–見よ
H2009

שָׁאוּל
サウルは
H7586

נִשָּׁעָן
寄りかかって–いた
H8172

עַל־
その

חֲנִיתוֹ
槍に
H2595

וְהִנֵּה
すると–見よ
H2009

הָרֶכֶב
戦車と
H7393

וּבַעֲלֵי
騎兵の
H1167

הַפָּרָשִׁים
騎兵たちが

הִדְבִּקֻהוּ׃
迫って–いました
H1692

彼に話している若者は言った、「わたしは、はからずも、ギルボア山にいましたが、サウルはそのやりによりかかっており、戦車と騎兵とが彼に攻め寄ろうとしていました。

7

וַיִּפֶן אַחֲרָיו וַיִּרְאֵנִי וַיִּקְרָא אֵלָי וָאֹמַר הִנֵּנִי׃

וַיִּפֶן
すると–振り向いて
H6437

אַחֲרָיו
後ろを

וַיִּרְאֵנִי
私を–見て
H7200

וַיִּקְרָא
呼びました
H7121

אֵלָי
私を
H0413

וָאֹמַר
私は–答えました
H0559

הִנֵּנִי׃
はい
H2009

その時、彼はうしろを振り向いてわたしを見、わたしを呼びましたので、『ここにいます』とわたしは答えました。

8

וַיֹּאמֶר לִי מִי־אָתָּה וַיֹּאמֶר [וַיֹּאמֶר] (וָאֹמַר) אֵלָיו עֲמָלֵקִי׃

וַיֹּאמֶר
すると–言いました
H0559

לִי
私に

מִי־
誰
H4310

אָתָּה
おまえは

[וַיֹּאמֶר]
[と–言った]
H0559

(וָאֹמַר)
(私は–言いました)
H0559

אֵלָיו
彼に
H0413

עֲמָלֵקִי׃
アマレク人
H6003

彼は『おまえはだれか』と言いましたので、『アマレクびとです』と答えました。

9

וַיֹּאמֶר אֵלַי עָמְדָה־נָּא עָלַי וּמְתָתֵנִי כִּי אֲחָזַנִי הַשָּׁבֶץ כִּי־כָל־נַפְשִׁי עוֹדֶנִּי בִי׃

וַיֹּאמֶר
すると–言いました
H0559

אֵלַי
私に
H0413

עָמְדָה־
立って
H5975

נָּא
どうか
H4994

עָלַי
私の–上に

וּמְתָתֵנִי
殺してくれ
H4191

כִּי
なぜなら

אֲחָזַנִי
捕らえた
H0270

הַשָּׁבֶץ
苦しみが
H7661

כִּי־
まだ

כָל־
すべての
H3605

נַפְשִׁי
命が
H5315

עוֹדֶנִּי
まだ
H5750

בִי׃
私に–ある

彼はまたわたしに言いました、『そばにきて殺してください。わたしは苦しみに耐えない。まだ命があるからです』。

10 וָאֶעֱמֹד עָלָיו וָאֲמִתֵתֵהוּ כִּי יָדַעְתִּי כִּי לֹא יִחְיֶה
私は–立ち 彼の–上に 殺しました なぜなら 知っていた つまり もはや 生きられないと
H5975 H4191 H3045 H3808 H2421

אֲשֶׁר נָפַל אַחֲרָיו וָאֶקַּח הַנֵּזֶר אֲשֶׁר עַל־ רֹאשׁוֹ וְהָאֶצְעָדָה אֲשֶׁר
倒れた 倒れた–後は そして–取りました 王冠を それは その 頭の–上の 腕輪も それは
H5307 H3947 H5145 H0685

זְרֹעוֹ עַל־ וָאָבִיאֵם אֶל־ אֲדֹנִי הֵנָּה׃
腕の–上の その それらを–持って来ました その わが–主の–もとに ここに
H2220 H0413 H0935 H0113 H2008

そこで、わたしはそのそばにいって彼を殺しました。彼がすでに倒れて、生きることのできないのを知ったからです。そしてわたしは彼の頭にあった冠と、腕につけていた腕輪とを取って、それをわが主のもとに携えてきたのです」。

11 וַיַּחֲזֵק דָּוִד בבגדו [בְּבִגְדָיו] וַיְקָרְעֵם וְגַם כָּל־ הָאֲנָשִׁים
すると–つかんだ ダビデは [自分の–衣を] (自分の–衣を) 引き裂いた また すべての 人々も
H2388 H1732 H7167 H1571 H3605 H0376

אֲשֶׁר אִתּוֹ׃
彼と 共にいた–者も
H0854

そのときダビデは自分の着物をつかんでそれを裂き、彼と共にいた人々も皆同じようにした。

12 וַיִּסְפְּדוּ וַיִּבְכּוּ וַיָּצֻמוּ עַד־ הָעֶרֶב עַל־ שָׁאוּל וְעַל־ יְהוֹנָתָן
彼らは–嘆き悲しみ 泣き 断食した 夕方–まで 夕方 について サウルと また ヨナタン
H5594 H1058 H6684 H5704 H6153 H7586 H3083

בְּנוֹ וְעַל־ עַם יְהוָה וְעַל־ בֵּית יִשְׂרָאֵל כִּי נָפְלוּ
その–子のため また 民のため 主の また 家のため イスラエルの なぜなら 倒れたから
H1121 H5971 H3068 H6440 H1004 H3478 H3588 H5307

בֶּחָרֶב׃ ס
剣に–よって セラ
H2719

彼らはサウルのため、またその子ヨナタンのため、また主の民のため、またイスラエルの家のために悲しみ泣いて、夕暮まで食を断った。それは彼らがつるぎに倒れたからである。

13 וַיֹּאמֶר דָּוִד אֶל־ הַנַּעַר הַמַּגִּיד לוֹ אַי מִזֶּה אַתָּה וַיֹּאמֶר
すると–言った ダビデは その 若者に 告げた どこ から おまえは すると–答えた
H0559 H1732 H0413 H5288 H5046 H0335 H2088 H0559

בֶּן־ אִישׁ גֵּר עַמָּלֵקִי אָנֹכִי׃
子 ある–人の 寄留者の アマレク人 私は
H0376 H1616 H6003 H0595

ダビデは自分と話していた若者に言った、「あなたはどこの人ですか」。彼は言った、「アマレクびとで、寄留の他国人の子です」。

14 וַיֹּאמֶר אֵלָיו דָּוִד אֵיךְ לֹא יָרֵאתָ לִשְׁלֹחַ יָדְךָ
すると–言った 彼に ダビデは どうして 恐れなかった のか 手を–伸ばして おまえの–手を
H0559 H0413 H1732 H0376 H3808 H3372 H7971 H3027

לְשַׁחֵת אֶת־ מְשִׁיחַ יְהוָה׃
滅ぼすことを その 油注がれた–者を 主の
H7843 H0853 H4899 H3068

ダビデはまた彼に言った、「どうしてあなたは手を伸べて主の油を注がれた者を殺すことを恐れなかったのですか」。

15 וַיִּקְרָא דָוִד לְאַחַד מֵהַנְּעָרִים וַיֹּאמֶר גַּשׁ פְּגַע־בּוֹ וַיַּכֵּהוּ וַיָּמֹת׃
すると–呼んだ ダビデは ひとりの 若者を そして–言った 近づいて 打て 彼を
H7121 H1732 H0259 H5288 H0559 H5066 H6293 H4191 H5221

ダビデはひとりの若者を呼び、「近寄って彼を撃て」と言った。そこで彼を撃ったので死んだ。

16 וַיֹּאמֶר אֵלָיו דָּוִד דָּמְךָ]דמיך[עַל־רֹאשֶׁךָ כִּי פִיךָ עָנָה בְךָ לֵאמֹר אָנֹכִי הֲמִתִּי אֶת־
すると–言った 彼に ダビデは [おまえの–血は] (おまえの–血は) その おまえの–頭の–上に なぜなら おまえの–口が 証言した おまえ–自身に–対して 言って 私が 殺したと その
H0559 H0413 H1732 H1818 H1818 H5921 H3588 H6310 H6030 H0559 H0589 H4191 H0853

מְשִׁיחַ יְהוָה׃ ס
油注がれた–者を 主の セラ
H4899 H3068

ダビデは彼に言った、「あなたの流した血の責めはあなたに帰する。あなたが自分の口から、『わたしは主の油を注がれた者を殺した』と言って、自身にむかって証拠を立てたからである」。

17 וַיְקֹנֵן דָּוִד אֶת־הַקִּינָה הַזֹּאת עַל־שָׁאוּל וְעַל־יְהוֹנָתָן בְּנוֹ׃
そして–歌った ダビデは この 哀歌を について サウルと また ヨナタン その–子の–ために
H6969 H1732 H0853 H7015 H2063 H5921 H7586 H3083 H1121

ダビデはこの悲しみの歌をもって、サウルとその子ヨナタンのために哀悼した。――

18 וַיֹּאמֶר לְלַמֵּד בְּנֵי־יְהוּדָה קָשֶׁת הִנֵּה כְתוּבָה עַל־סֵפֶר הַיָּשָׁר׃
そして–命じた 教えるように 子らに ユダの 弓を 見よ 記されている その 書に ヤシャルの
H0559 H3925 H1121 H3063 H7198 H2009 H3789 H5921 H5612 H3477

これは、ユダの人々に教えるための弓の歌で、ヤシャルの書にしるされている。――彼は言った、

19 הַצְּבִי יִשְׂרָאֵל עַל־בָּמוֹתֶיךָ חָלָל אַיֵּךְ נָפְלוּ גִבֹּרִים׃
誉れよ イスラエルの おまえの 高き–所で 刺し–貫かれた ああ 倒れた 勇士たちが
H6643 H3478 H5921 H1116 H2491 H349 H5307 H1368

「イスラエルよ、あなたの栄光は、あなたの高き所で殺された。ああ、勇士たちは、ついに倒れた。

20 אַל־תַּגִּידוּ בְגַת אַל־תְּבַשְּׂרוּ בְּחוּצוֹת אַשְׁקְלוֹן פֶּן־תִּשְׂמַחְנָה בְּנוֹת פְּלִשְׁתִּים פֶּן־תַּעֲלֹזְנָה בְּנוֹת הָעֲרֵלִים׃
告げるな ガテに 告げるな 伝えるな 通りで アシュケロンの 恐れよ 喜ぶ–ことを 娘たちが ペリシテ人の 恐れよ 歓喜する–ことを 娘たちが 割礼なき–者の
H0408 H1661 H5046 H1319 H2351 H0831 H6435 H8055 H1323 H6430 H6435 H5937 H1323 H6189

ガテにこの事を告げてはいけない。アシケロンのちまたに伝えてはならない。おそらくはペリシテびとの娘たちが喜び、割礼なき者の娘たちが勝ちほこるであろう。

21 הָרֵי בַגִּלְבֹּעַ אַל־טַל וְאַל־מָטָר עֲלֵיכֶם וּשְׂדֵי תְרוּמֹת
山々よ ギルボアの 降りるな 露も 降りるな 雨も おまえたちの-上に 畑よ
H2022 H1533 H0408 H2919 H0408 H4306 H8641

כִּי־שָׁם נִגְעַל מָגֵן גִּבּוֹרִים מָגֵן בְּלִי מָשִׁיחַ בַּשָּׁמֶן׃
そこで 汚された 盾が 勇士たちの 盾が もはや 油で-塗られ なくなった
H8033 H1602 H4043 H1368 H4043 H1097 H4899 H8081

ギルボアの山よ、露はおまえの上におりるな。死の野よ、雨もおまえの上に降るな。その所に勇士たちの盾は捨てられ、サウルの盾は油を塗らずに捨てられた。

22 מִדַּם חֲלָלִים מֵחֵלֶב גִּבּוֹרִים קֶשֶׁת יְהוֹנָתָן לֹא אָחוֹר
血から 刺された-者の 脂肪から 勇士たちの 弓は ヨナタンの 決して 後ろへ
H1818 H2491 H1368 H7198 H3083 H3808 H0268

וְחֶרֶב שָׁאוּל לֹא תָשׁוּב רֵיקָם׃
剣は サウルの 決して 戻らなかった むなしく
H2719 H7586 H3808 H7725 H7387

殺した者の血を飲まずには、ヨナタンの弓は退かず、勇士の脂肪を食べないでは、サウルのつるぎは、むなしくは帰らなかった。

23 שָׁאוּל וְיוֹנָתָן הַנֶּאֱהָבִים וְהַנְּעִימִם בְּחַיֵּיהֶם וּבְמוֹתָם לֹא נִפְרָדוּ
サウルと ヨナタンは 愛された 慕わしい-者 生きている-間も 死においても 決して 離れなかった
H7586 H3083 H0157 H5276 H2416 H4194 H3808 H6504

מִנְּשָׁרִים קַלּוּ מֵאֲרָיוֹת גָּבֵרוּ׃
鷲よりも 速く 獅子よりも 強かった
H5404 H7043 H0738 H1396

サウルとヨナタンとは、愛され、かつ喜ばれた。彼らは生きるにも、死ぬにも離れず、わしよりも早く、ししよりも強かった。

24 בְּנוֹת עַל־שָׁאוּל בְּכֶינָה הַמַּלְבִּשְׁכֶם שָׁנִי עִם־
娘たちよ ああ サウルの-ために 泣け おまえたちに-着せた-者 緋色を 共に
H1323 H0413 H7586 H1058 H3847 H8144

יִשְׂרָאֵל עֲדִי זָהָב עַל לְבוּשְׁכֶן׃ הַמַּעֲלֶה
イスラエルの 飾りを 金の その おまえたちの-衣に つけさせた-者 飾りを
H3478 H5716 H2091 H5921 H3830 H5927 H6026

イスラエルの娘たちよ、サウルのために泣け。彼は緋色の着物をもって、はなやかにあなたがたを装い、あなたがたの着物に金の飾りをつけた。

25 אֵיךְ נָפְלוּ גִבֹּרִים בְּתוֹךְ הַמִּלְחָמָה יְהוֹנָתָן עַל־בָּמוֹתֶיךָ חָלָל׃
ああ 倒れた 勇士たちが ただ中で 戦いの ヨナタンよ おまえの 高き-所で 刺し-貫かれた
H0216 H5307 H1368 H8432 H4421 H3083 H5921 H1116 H2491

ああ、勇士たちは戦いのさなかに倒れた。ヨナタンは、あなたの高き所で殺された。

26 צַר־לִי עָלֶיךָ אָחִי יְהוֹנָתָן נָעַמְתָּ לִי מְאֹד
苦しい おまえの-ことが わが-兄弟 ヨナタンよ 慕わしかった 私に-とって 非常に
H6887 H5921 H0251 H3083 H5276 H0413 H3966

נִפְלְאַתְךָ אַהֲבָתְךָ לִי מֵאַהֲבַת נָשִׁים׃
驚くべき-ものだった おまえの-愛は 私に-とって 女の-愛に まさる
H6381 H0160 H0413 H0160 H0802

わが兄弟ヨナタンよ、あなたのためわたしは悲しむ。あなたはわたしにとって、いとも楽しい者であった。あなたがわたしを愛するのは世の常のようでなく、女の愛にもまさっていた。

	פ	מִלְחָמָה׃	כְּלֵי	וַיֹּאבְדוּ	גִּבּוֹרִים	נָפְלוּ	אֵיךְ	27
	セラ	戦いの	武器が	そして–滅びた	勇士たちが	倒れた	ああ	
		H4421	H3627	H0006	H1368	H5307		

ああ、勇士たちは倒れた。戦いの器はうせた」。

Chapter 2

עָרֵי	בְּאַחַת	הַאֶעֱלֶה	לֵאמֹר	וּבְיהוָה	דָּוִד	וַיִּשְׁאַל	כֵּן	אַחֲרֵי־	וַיְהִי	1
町に	一つの	上るべきか	言って	主に	ダビデは	ダビデは–尋ねた	こう	その–後	さて	
	H0259	H5927	H0559	H3068	H1732	H7592			H1961	

אֶעֱלֶה	אָנָה	דָּוִד	וַיֹּאמֶר	עֲלֵה	אֵלָיו	יְהוָה	וַיֹּאמֶר	יְהוּדָה
上りましょうか	どこに	ダビデは	すると–言った	上れ	彼に	主は	すると–言われた	ユダの
H5927	H0575	H1732	H0559	H5927	H0413	H3068	H0559	H3063

חֶבְרֹנָה׃	וַיֹּאמֶר
ヘブロンへ	すると–言われた
	H0559

この後、ダビデは主に問うて言った、「わたしはユダの一つの町に上るべきでしょうか」。主は彼に言われた、「上りなさい」。ダビデは言った、「どこへ上るべきでしょうか」。主は言われた、「ヘブロンへ」。

וַאֲבִיגַיִל	הַיִּזְרְעֵלִית	אֲחִינֹעַם	נָשָׁיו	שְׁתֵּי	וְגַם	דָּוִד	שָׁם	וַיַּעַל		2
アビガイル	イズレエル–人の	アヒノアム	妻も	二人の	また	ダビデは	そこに	そして–上った		
H0026	H3159	H0293	H0802	H8147	H1571	H1732	H8033	H5927		

הַכַּרְמְלִי׃	נָבָל	אֵשֶׁת
カルメル–人の	ナバルの	妻
H3761	H5037	H0802

そこでダビデはその所へ上った。彼のふたりの妻、エズレルの女アヒノアムと、カルメルびとナバルの妻であったアビガイルも上った。

בְּעָרֵי	וַיֵּשְׁבוּ	וּבֵיתוֹ	אִישׁ	דָּוִד	הֶעֱלָה	עִמּוֹ	אֲשֶׁר־	וַאַנְשָׁיו		3
町々に	そして–住んだ	その–家族と	各人	ダビデは	連れ–上った	彼と	共に–いた	彼の–人々も		
	H3427		H0376	H1732	H5927			H0376		

חֶבְרוֹן׃
ヘブロンの

ダビデはまた自分と共にいた人々を、皆その家族と共に連れて上った。そして彼らはヘブロンの町々に住んだ。

עַל־	לְמֶלֶךְ	דָּוִד	אֶת־	שָׁם	וַיִּמְשְׁחוּ־	יְהוּדָה	אַנְשֵׁי	וַיָּבֹאוּ		4
その上に	王として	ダビデを	その	そこで	そして–油注いだ	ユダの	人々が	すると–来た		
	H4428	H1732	H0853	H8033	H4886	H3063	H0376	H0935		

קָבְרוּ	אֲשֶׁר	גִּלְעָד	יָבֵישׁ	אַנְשֵׁי	לֵאמֹר	לְדָוִד	וַיַּגִּדוּ	בֵּית	יְהוּדָה
葬った	彼らが	ギレアデの	ヤベシュ	人々が	言って	ダビデに	すると–告げられた	家の	ユダの
H6912		H1568	H3003	H0376	H0559	H1732	H5046		H3063

ס	שָׁאוּל׃	אֶת־
セラ	サウルを	その
	H7586	H0853

時にユダの人々がきて、その所でダビデに油を注ぎ、ユダの家の王とした。人々がダビデに告げて、「サウルを葬ったのはヤベシ・ギレアデの人々である」と言ったので、

וַיֹּאמֶר גִּלְעָד יָבֵישׁ אַנְשֵׁי אֶל־ מַלְאָכִים דָּוִד וַיִּשְׁלַח 5
そして-言った ギレアデの ヤベシュ 人々に その 使者たちを ダビデは すると-遣わした
H0559 H1568 H3003 H0376 H0413 H4397 H1732 H7971

עִם־ הַזֶּה הַחֶסֶד עֲשִׂיתֶם אֲשֶׁר לַיהוָה אַתֶּם בְּרֻכִים אֲלֵיהֶם
共に この この-恵みを 行った あなたがたは 主に あなたがたは 祝福されよ 彼らに
H2088 H3068 H1288 H0413

אֹתוֹ׃ וַתִּקְבְּרוּ שָׁאוּל עִם־ אֲדֹנֵיכֶם
彼を そして-葬った サウルと 共に あなたがたの-主
H0853 H6912 H7586 H0113

ダビデは使者をヤベシ・ギレアデの人々につかわして彼らに言った、「あなたがたは、主君サウルにこの忠誠をあらわして彼を葬った。どうぞ主があなたがたを祝福されるように。

וְעַתָּה יְהוָה יַעַשׂ־ עִמָּכֶם חֶסֶד וֶאֱמֶת וְגַם אָנֹכִי אֶעֱשֶׂה 6
今こそ 主が 行って-くださるように あなたがたに 恵みと 真実を また 私も 行う
H6258 H3068 H0571 H1571 H0595

הַזֹּאת׃ הַדָּבָר הַזֶּה עֲשִׂיתֶם אֲשֶׁר הַזֹּאת הַטּוֹבָה אִתְּכֶם
この この-事を 行った あなたがたが この この-良いことを あなたがたに
H2088 H1697 H2063 H0854

どうぞ主がいまあなたがたに、いつくしみと真実を示されるように。あなたがたが、この事をしたので、わたしもまたあなたがたに好意を示すであろう。

אֲדֹנֵיכֶם וְעַתָּה יְדֵיכֶם וְתֶחֱזַקְנָה וִיהִי לִבְנֵי־ חַיִל כִּי־ מֵת 7
あなたがたの-主 そして-今 強くあれ あなたがたの-手を なれ 勇-ある 者に なぜなら 死んだ
H0113 H6258 H2388 H3027 H1961 H2428 H4191

עֲלֵיהֶם׃ פ לְמֶלֶךְ יְהוּדָה בֵּית־ מָשְׁחוּ אֹתִי וְגַם־ שָׁאוּל
彼らの-上に ペー 王として ユダの 家は 油注いだ 私を また サウルは
H4428 H3063 H4886 H0853 H1571 H7586

今あなたがたは手を強くし、雄々しくあれ。あなたがたの主君サウルは死に、ユダの家がわたしに油を注いで、彼らの王としたからである」。

וַאבְנֵר אֶת־ לָקַח לְשָׁאוּל אֲשֶׁר צָבָא שַׂר־ נֵר בֶּן־ 8
さて-アブネル その 連れて-行った サウルの それは 軍の 長-であった ネルの 子
H0074 H0853 H3947 H7586 H0834 H6635 H8269 H5369 H1121

מַחֲנָיִם׃ וַיַּעֲבִרֵהוּ שָׁאוּל בֶּן־ בֹּשֶׁת אִישׁ
マハナイムへ 渡らせて サウルの 子 ボシェテを イシュ
H4266 H5674 H7586 H1121 H0378 H0376

さてサウルの軍の長、ネルの子アブネルは、さきにサウルの子イシボセテを取り、マハナイムに連れて渡り、

וַיַּמְלִכֵהוּ אֶל־ הַגִּלְעָד וְאֶל־ הָאֲשׁוּרִי וְאֶל־ יִזְרְעֶאל וְעַל־ 9
そして-王とした 彼を ギレアデの-上に また アシュル人と また イズレエルと また
H4427 H0413 H1568 H0413 H0804 H0413 H3157 H5921

כֹּלָה׃ פ יִשְׂרָאֵל וְעַל־ בִּנְיָמִן וְעַל־ אֶפְרַיִם וְעַל־
全体の-上に ペー イスラエル また ベニヤミンと また エフライムと
H3605 H3478 H5921 H1144 H5921 H0669

彼をギレアデ、アシュルびと、エズレル、エフライム、ベニヤミンおよび全イスラエルの王とした。

10 בֶּן־ אַרְבָּעִים שָׁנָה אִישׁ־ בֹּשֶׁת בֶּן־ שָׁאוּל בְּמָלְכוֹ עַל־
子であった 四十 歳の イシュ ボシェテは 子 サウルの 王と–なった–時 その上に
H0705 H8141 H0378 H0378 H1121 H7586 H4427 H5921

יִשְׂרָאֵל שְׁתַּיִם וּשְׁנָתַיִם מָלַךְ בַּיִת אַךְ יְהוּדָה הָיוּ אַחֲרֵי דָּוִד׃
イスラエルの 二 年間 治めた ただし 家は ユダの 従った ダビデに ダビデに–ついて
H3478 H8147 H8141 H4427 H0389 H1004 H3063 H1961 H0310 H1732

サウルの子イシボセテはイスラエルの王となった時、四十歳であって、二年の間、世を治めたが、ユダの家はダビデに従った。

11 וַיְהִי מִסְפַּר הַיָּמִים אֲשֶׁר הָיָה דָּוִד מֶלֶךְ בְּחֶבְרוֹן עַל־
そして–あった 日数は 日々の その間 あった ダビデが 王で ヘブロンで その上に 家の
H1961 H4557 H3117 H0834 H1961 H1732 H4428 H2275 H5921 H1004

יְהוּדָה שֶׁבַע שָׁנִים וְשִׁשָּׁה חֳדָשִׁים׃ ס
ユダの 七 年 そして–六 ヶ月 セラ
H3063 H7651 H8141 H8337 H2320

ダビデがヘブロンにいてユダの家の王であった日数は七年と六か月であった。

12 וַיֵּצֵא אַבְנֵר בֶּן־ נֵר וְעַבְדֵי אִישׁ־ בֹּשֶׁת בֶּן־ שָׁאוּל
すると–出て–行った アブネル 子 ネルの 家来たちと イシュ ボシェテの 子 サウルの
H3318 H0074 H1121 H5369 H5650 H0376 H0378 H1121 H7586

מַחֲנַיִם גִּבְעוֹנָה׃
マハナイムから ギブオンへ
H4266 H1391

ネルの子アブネル、およびサウルの子イシボセテの家来たちはマハナイムを出てギベオンへ行った。

13 וְיוֹאָב בֶּן־ צְרוּיָה וְעַבְדֵי דָוִד יָצְאוּ וַיִּפְגְּשׁוּם
そして–ヨアブ 子 ツェルヤの 家来たちと ダビデの 出て–行った そして–出会った
H3097 H1121 H6870 H5650 H1732 H3318 H6298

עַל־ בְּרֵכַת הַבְּרֵכָה מִזֶּה וַיֵּשְׁבוּ אֶלֶּה עַל־ גִּבְעוֹן יַחְדָּו
池の ほとり–こちら側に こちら 池の 一方は そして–座った 共に ギブオンの
H5921 H1295 H2088 H5921 H0428 H3427 H3162 H1391

בְּרֵכַת עַל־ הַבְּרֵכָה מִזֶּה׃ וְאֶלֶּה עַל־
池の ほとり–向こう側に 向こう もう一方は 池の
H1295 H5921 H1295 H2088 H0428 H5921

ゼルヤの子ヨアブとダビデの家来たちも出ていって、ギベオンの池のそばで彼らと出会い、一方は池のこちら側に、一方は池のあちら側にすわった。

14 וַיֹּאמֶר אַבְנֵר אֶל־ יוֹאָב יָקוּמוּ נָא הַנְּעָרִים וְיִשַּׂחֲקוּ
すると–言った アブネルは その ヨアブに 立たせよ どうか 若者たちを 戦わせよう
H0559 H0074 H0413 H3097 H6965 H4994 H5288 H7832

לִפְנֵינוּ וַיֹּאמֶר יוֹאָב יָקֻמוּ׃
我々の–前で すると–言った ヨアブは 立たせよう
H6440 H0559 H3097 H6965

アブネルはヨアブに言った、「さあ、若者たちを立たせて、われわれの前で勝負をさせよう」。ヨアブは言った、「彼らを立たせよう」。

15 וַיָּקֻמוּ וַיַּעַבְרוּ בְּמִסְפָּר שְׁנֵים עָשָׂר לְבִנְיָמִן וּלְאִישׁ בֹּשֶׁת
そこで-立った そして-進み出た 数えて 十 二人 ベニヤミンの-ために イシュ ボシェテの
H6965 H5674 H4557 H8147 H6240 H1144 H0376 H0378

בֶּן־ שָׁאוּל וְשִׁבְעָה עָשָׂר מֵעַבְדֵי דָוִד׃
子 サウルの そして-十 二人 ダビデの-家来から ダビデの
H1121 H7586 H8147 H6240 H5650 H1732

こうしてサウルの子イシボセテとベニヤミンびととのために十二人、およびダビデの家来たち十二人を数えて出した。彼らは立って進み、

16 וַיַּחֲזִקוּ אִישׁ בְּרֹאשׁ רֵעֵהוּ וְחַרְבּוֹ בְּצַד רֵעֵהוּ וַיִּפְּלוּ יַחְדָּו
各人が 頭を 相手の 剣を 脇腹に 相手の そして-倒れた 共に
H0376 H7218 H7453 H2719 H6654 H7453 H5307 H3162

וַיִּקְרָא לַמָּקוֹם הַהוּא חֶלְקַת הַצֻּרִים אֲשֶׁר בְּגִבְעוֹן׃
そして-呼ばれた その-場所は その ヘルカテ ハツリム それは ギブオンに-ある
H7121 H4725 H1931 H2521 H2521 H0834 H1391

おのおの相手の頭を捕え、つるぎを相手のわき腹に刺し、こうして彼らは共に倒れた。それゆえ、その所はヘルカテ・ハツリムと呼ばれた。それはギベオンにある。

17 וַתְּהִי הַמִּלְחָמָה קָשָׁה מְאֹד־ עַד־ בַּיּוֹם הַהוּא וַיִּנָּגֶף אַבְנֵר
そして-あった 戦いは 激しく 非常に その-日 その そして-敗れた アブネルと
H1961 H4421 H7186 H5704 H3117 H1931 H5062 H74

וְאַנְשֵׁי יִשְׂרָאֵל לִפְנֵי עַבְדֵי דָוִד׃
人々は イスラエルの 前で 家来たちの ダビデの
H0376 H3478 H6440 H5650 H1732

その日、戦いはひじょうに激しく、アブネルとイスラエルの人々はダビデの家来たちの前に敗れた。

18 וַיְהִיוּ־ שָׁם שְׁלֹשָׁה בְנֵי צְרוּיָה יוֹאָב וַאֲבִישַׁי וְעֲשָׂהאֵל וַעֲשָׂהאֵל
そして-いた そこに 三人の 息子が ツェルヤの ヨアブと アビシャイと アサエル アサエルは
H1961 H8033 H7969 H1121 H6870 H3097 H52 H6214 H6214

כְּאַחַד הַצְּבָיִם אֲשֶׁר בַּשָּׂדֶה׃ בִּרְגְלָיו קַל
まるで 鹿の-ように それは 野の その-足で 足が-速かった
H0259 H6643 H0834 H7704 H7272 H7031

その所にゼルヤの三人の子、ヨアブ、アビシャイ、およびアサヘルがいたが、アサヘルは足の早いこと、野のかもしかのようであった。

19 וַיֵּרֶד עֲשָׂהאֵל אַחֲרֵי אַבְנֵר וְלֹא־ נָטָה
追いかけた アサエルは アブネルの-後を アブネルの そらさなかった そして-そらさなかった
H7291 H6214 H310 H74 H5186 H3808

לָלֶכֶת עַל־ יָמִין וְעַל־ שְׂמֹאול מֵאַחֲרֵי אַבְנֵר׃
歩むことを 右にも 左にも また 左にも アブネルの-後ろから アブネルの
H3212 H3225 H5186 H8040 H3808 H310 H74

アサヘルはアブネルのあとを追っていったが、行くのに右にも左にも曲ることなく、アブネルのあとに走った。

20 וַיִּפֶן אַבְנֵר אַחֲרָיו וַיֹּאמֶר הַאַתָּה זֶה עֲשָׂהאֵל
すると-振り向いた アブネルは 後ろを そして-言った おまえか それは アサエルよ
H6437 H74 H310 H559 H859 H2088 H6214

וַיֹּאמֶר אָנֹכִי׃
すると-答えた 私です
H559 H595

アブネルは後をふりむいて言った、「あなたはアサヘルであったか」。アサヘルは答えた、「わたしです」。

21 וַיֹּ֤אמֶר לוֹ֙ אַבְנֵ֔ר נְטֵ֥ה לְךָ֖ עַל־ יְמִינְךָ֑ אוֹ֩ עַל־ שְׂמֹאלֶ֨ךָ֜ וְקַח־ לְךָ֗ אֶחָד֙ מֵהַנְּעָרִ֔ים וְקַח־ לְךָ֖ אֶת־ חֲלִצָתֹ֑ו וְלֹא־ אָבָ֣ה עֲשָׂהאֵ֗ל לָסוּר֙ מֵאַחֲרָ֔יו׃

וַיֹּאמֶר
すると–言った
H0559

לוֹ
彼に
H0074

אַבְנֵר
アブネルは
H5186

נְטֵה
それよ
H3225

יְמִינְךָ
おまえの
H8040

עַל־
右に
H0413

לְךָ
おまえは
H5493

וְקַח־
取れ
H3947

לְךָ
おまえ–自身のために
H6214

אֶחָד
一人の
H0259

מֵהַנְּעָרִים
若者を
H5288

וְקַח־
つかまえよ
H0270

לְךָ
おまえ–自身のために
H6214

אֶת־
その
H0853

חֲלִצָתֹו
武具を
H2488

וְלֹא־
しかし
H3808

אָבָה
承知–しなかった
H0014

עֲשָׂהאֵל
アサエルは
H6214

לָסוּר
そらすことを
H5493

מֵאַחֲרָיו׃
アブネルの–後ろから

アブネルは彼に言った、「右か左に曲って、若者のひとりを捕え、そのよろいを奪いなさい」。しかしアサヘルはアブネルを追うことをやめず、ほかに向かおうともしなかった。

22 וַיֹּ֣סֶף עֹ֔וד אַבְנֵ֖ר לֵאמֹ֑ר אֶל־ מָ֣ה זֶּ֔ה לְךָ֖ סוּר֙ מֵאַחֲרָ֔י וְאֵ֥יךְ אֶשָּׂ֛א פָּנַ֖י אֶל־ יוֹאָ֥ב אָחִֽיךָ׃

וַיֹּסֶף
さらに
H3254

עֹוד
もう–一度
H5750

אַבְנֵר
アブネルは
H0074

לֵאמֹר
言った
H0559

אֶל־
その
H0413

מָה
なぜ
H4100

זֶּה
H2088

לְךָ
おまえは
H5493

סוּר
退け
H5493

מֵאַחֲרָי
私の–後ろから
H4100

עֲשָׂהאֵל
アサエルに
H6214

וְאֵיךְ
どうして
H0349

אֶשָּׂא
顔を–上げよう
H5375

פָּנַי
私の–顔を
H6440

אֶל־
その
H0413

יוֹאָב
ヨアブに
H3097

אָחִיךָ׃
おまえの–兄に
H0251

אַרְצָה
地に
H0776

אַכֶּכָּהּ
打ち–倒すのか
H5221

アブネルはふたたびアサヘルに言った、「わたしを追うことをやめて、ほかに向かいなさい。あなたを地に撃ち倒すことなど、どうしてわたしにできようか。それをすれば、わたしは、どうしてあなたの兄ヨアブに顔を合わせることができようか」。

23 וַיְמָאֵ֣ן לָסוּר֮ וַיַּכֵּ֣הוּ אַבְנֵר֒ בְּאַחֲרֵי֙ הַחֲנִ֣ית הַחֲנִ֔ית אֶל־ הַחֹ֖מֶשׁ וַתֵּצֵ֣א מֵאַחֲרָ֑יו וַיִּפֹּ֣ל שָׁ֔ם וַיָּ֖מָת תַּחְתָּ֑יו (תַּחְתָּיו) וַיְהִ֗י כָּל־ הַבָּא֙ אֶל־ הַמָּקֹ֣ום אֲשֶׁר־ נָפַ֤ל שָׁם֙ עֲשָׂהאֵ֔ל וַיָּ֖מָת עָמְדֽוּ׃

וַיְמָאֵן
しかし–拒んだ
H3985

לָסוּר
退くことを
H5493

וַיַּכֵּהוּ
そこで–打った
H5221

אַבְנֵר
アブネルは
H0074

בְּאַחֲרֵי
後ろから
H0310

הַחֲנִית
槍の
H2595

הַחֲנִית
槍は
H2595

וַתֵּצֵא
すると–突き出た
H3318

מֵאַחֲרָיו
背中から
H0310

וַיִּפֹּל־
そして–倒れた
H5307

שָׁם
そこに
H8033

וַיָּמָת
そして–死んだ
H4191

תַּחְתָּיו
[その–場で]
H8478

(תַּחְתָּיו)
(その–場で)
H8478

וְכָל־
すべての
H3605

הַבָּא
来る–者は
H0935

אֶל־
その
H0413

הַמָּקֹום
場所に
H4725

אֲשֶׁר־
そこで
H0834

נָפַל
倒れた
H5307

שָׁם
そこに
H8033

עֲשָׂהאֵל
アサエルが
H6214

וַיָּמָת
死んだ
H4191

וַיְהִי
そして–あった
H1961

עָמְדוּ׃
立ち止まった
H5975

それでもなお彼は、ほかに向かうことを拒んだので、アブネルは、やりの石突きで彼の腹を突いたので、やりはその背中に出た。彼はそこに倒れて、その場で死んだ。そしてアサヘルが倒れて死んでいる場所に来る者は皆立ちとどまった。

24 וְיוֹאָ֣ב וַאֲבִישַׁ֔י אַחֲרֵ֖י אַבְנֵ֑ר וְהַשֶּׁ֣מֶשׁ בָּ֔אָה וְהֵ֖מָּה בָּ֣אוּ עַד־ גִּבְעַ֥ת אַמָּ֛ה אֲשֶׁ֥ר עַל־ פְּנֵי־ גִ֖יחַ דֶּ֣רֶךְ מִדְבַּ֣ר גִּבְעֹֽון׃

וַיִּרְדְּפוּ
そして–追った
H7291

יוֹאָב
ヨアブと
H3097

וַאֲבִישַׁי
アビシャイは
H0052

אַחֲרֵי
アブネルの–後を
H0310

אַבְנֵר
アブネルの
H0074

וְהַשֶּׁמֶשׁ
日は
H8121

בָּאָה
沈んだ
H0935

וְהֵמָּה
彼らが
H1992

בָּאוּ
着いた
H0935

עַד־
丘の–そばに
H5704

גִּבְעַת
丘
H1389

אַמָּה
アンマの
H0522

אֲשֶׁר
それは
H0834

עַל־
面する
H5921

פְּנֵי־
面する
H6440

גִיחַ
ギアハの
H1520

דֶּרֶךְ
道
H1870

מִדְבַּר
荒野の
H4057

גִּבְעֹון׃
ギブオンの
H1391

しかしヨアブとアビシャイとは、なおアブネルのあとを追ったが、彼らがギベオンの荒野の道のほとり、ギアの前にあるアンマの山にきた時、日は暮れた。

25 וַיִּתְקַבְּצ֣וּ בְנֵי־בִנְיָמִן֮ אַחֲרֵי֒ אַבְנֵ֣ר וַיִּהְי֣וּ לַאֲגֻדָּ֔ה וַיִּֽתְיַצְּב֖וּ עַל־רֹ֣אשׁ גִּבְעָ֑ה אֶחָֽת׃ וַיַּעַמְד֥וּ עָלֶ֖יהָ אֶחָֽת׃

ベニヤミンの子らが集まってアブネルのあとについてきて、一隊となって、一つの丘の頂に立った。

26 וַיִּקְרָ֣א אַבְנֵ֗ר אֶל־יוֹאָב֙ וַיֹּ֣אמֶר הֲלָנֶ֥צַח תֹּאכַ֖ל חָֽרֶב׃ הֲלֹ֣א יָדַ֔עְתָּ כִּי־תִהְיֶ֥ה מָרָ֖ה בָּאַחֲרוֹנָ֑ה וְעַד־מָתַ֗י לֹ֤א תֹאמַר֙ לָעָ֔ם לָשׁ֖וּב מֵאַחֲרֵ֥י אַחֵיהֶֽם׃

その時アブネルはヨアブに呼ばわって言った、「いつまでもつるぎをもって滅ぼそうとするのか。あなたはその結果の悲惨なのを知らないのか。いつまで民にその兄弟を追うことをやめよと命じないのか」。

27 וַיֹּ֣אמֶר יוֹאָ֔ב חַי֙ הָאֱלֹהִ֔ים כִּ֥י לוּלֵ֖א דִּבַּ֣רְתָּ כִּ֑י אָ֚ז מִן־הַבֹּ֣קֶר֔ נַעֲלָ֥ה הָעָ֖ם אִ֥ישׁ מֵאַחֲרֵ֥י אָחִֽיו׃

ヨアブは言った、「神は生きておられる。もしあなたが言いださなかったならば、民はおのおのその兄弟を追わずに、朝のうちに去っていたであろう」。

28 וַיִּתְקַ֣ע יוֹאָ֗ב בַּשּׁוֹפָר֙ וַיַּעֲמֹ֣דוּ כָל־הָעָ֔ם וְלֹא־יָרְד֥וּ עוֹד֙ אַחֲרֵ֣י יִשְׂרָאֵ֔ל וְלֹא־יָסְפ֥וּ עוֹד֙ לְהִלָּחֶ֔ם׃

ヨアブは角笛を吹いたので、民はみな立ちとどまって、もはやイスラエルのあとを追わず、また重ねて戦わなかった。

29 וְאַבְנֵ֣ר וַאֲנָשָׁ֗יו וַיֵּלְכ֤וּ בָעֲרָבָה֙ כָּל־הַלַּ֣יְלָה הַה֔וּא וַיַּעַבְר֣וּ אֶת־הַיַּרְדֵּ֔ן וַיָּבֹ֖אוּ כָּל־הַבִּתְר֑וֹן וַיָּלִ֖ינוּ מַחֲנָֽיִם׃

アブネルとその従者たちは、夜もすがら、アラバを通って行き、ヨルダンを渡り、昼まで行進を続けてマハナイムに着いた。

30 וְיוֹאָב֙ שָׁ֔ב מֵֽאַחֲרֵ֖י אַבְנֵ֑ר וַיְקַבֵּ֖ץ אֶת־כָּל־
そして–ヨアブは 帰った アブネルの–後を–追うことから アブネルの そして–集めた その すべての
H3097 H7725 H0074 H6908 H0853 H3605

הָעָ֥ם וַיִּפָּקְד֗וּ מֵעַבְדֵ֙י דָוִ֔ד תִּשְׁעָ֥ה־עָשָׂ֖ר אִ֣ישׁ וַעֲשָׂה־
民を すると–数えられた ダビデの–家来から ダビデの 十 九 人 そして–アサ
H5650 H1732 H8672 H6240 H0376 H6214

אֵֽל׃
エルが–足りなかった
H0410

ヨアブはアブネルを追うことをやめて帰り、民をみな集めたが、ダビデの家来たち十九人とアサヘルとが見当らなかった。

31 וְעַבְדֵ֣י דָוִ֗ד הִכּ֤וּ מִבִּנְיָמִן֙ וּבְאַנְשֵׁ֣י אַבְנֵ֔ר
そして–ダビデの–家来たちは ダビデの 打った ベニヤミンから アブネルの–人々から アブネルの
H5650 H1732 H5221 H1144 H0376 H0074

שְׁלֹ֣שׁ־מֵא֔וֹת אִ֖ישׁ וְשִׁשִּׁ֣ים מֵתֽוּ׃
三 百 人が 六十 死んだ
H7969 H3967 H0376 H8346 H4191

しかし、ダビデの家来たちは、アブネルの従者であるベニヤミンの人々三百六十人を撃ち殺した。

32 וַיִּשְׂאוּ֙ אֶת־עֲשָׂהאֵ֔ל וַיִּקְבְּר֥וּהוּ בְקֶ֖בֶר אָבִ֑יו אֲשֶׁ֖ר
そして–運んだ その アサエルを 葬った 墓に 父の それは
H5375 H0853 H6214 H6912 H6913 H0001 H0834

בְּבֵ֣ית לָ֔חֶם וַיֵּ֣לְכ֗וּ כָּל־הָעָם֙ יוֹאָ֣ב וְאַנְשָׁ֔יו וַיַּ֥עֲל֖וּ
ベツレヘムに–ある
H1035

חֶבְרֽוֹן׃ בְּ
ヘブロンで
H2275

לָהֶ֛ם וַיֵּ֥אֹר הַלַּ֖יְלָה וַיֵּלְכ֑וּ
彼らに 夜が–明けた その–人々は ヨアブと 夜–すがら その そして–歩んだ
H0215 H0376 H3097 H3915 H3605 H3212

人々はアサヘルを取り上げてベツレヘムにあるその父の墓に葬った。ヨアブとその従者たちは、夜もすがら行って、夜明けにヘブロンに着いた。

Chapter 3

1 וַיְהִ֣י דָוִ֔ד בֵּ֥ית וּבֵ֖ין שָׁא֑וּל בֵּ֣ית בֵּ֔ין אֲרֻכָּ֖ה הַמִּלְחָמָ֑ה
そして–あった ダビデの 家との–間に そして サウルの 家と 間に 長く 戦いが
H1961 H1732 H0996 H7586 H1004 H0996 H0752 H4421

וְדָוִ֗ד הֹלֵךְ֙ וְחָזֵ֔ק וּבֵ֥ית שָׁא֖וּל הֹלְכִ֣ים וְדַלִּ֑ים׃ ס
ダビデは 次第に 強くなり サウルの–家は サウルの 次第に 弱くなった セラ
H1732 H1980 H2390 H1004 H7586 H1980 H1800

サウルの家とダビデの家との間の戦争は久しく続き、ダビデはますます強くなり、サウルの家はますます弱くなった。

2 וַיִּוָּלְד֥וּ (וילדן) לְדָוִ֖ד בְּחֶבְרֹ֑ון בְּכֹורֹ֗ו אַמְנֹון֙
[生まれた] ダビデに 息子たちが ヘブロンで その–長子は アムノン
H3205 H1732 H1121 H2275 H1060 H0550

מֵֽאֲחִינֹ֖עַם הַיִּזְרְעֵאלִֽת׃
アヒノアムの–子 イズレエル–人の
H0293 H3159

ヘブロンでダビデに男の子が生れた。彼の長子はエズレルの女アヒノアムの産んだアムノン、

3	וּמִשְׁנֵהוּ	כִלְאָב	[לאבינל]	(לַאֲבִיגַיִל)	אֵשֶׁת	נָבָל	הַכַּרְמְלִי
	第二の-子は	キルアブ	[アビガイルの-子]	(アビガイルの-子)	妻	ナバルの	カルメル-人の
	H4932	H3609	H0026	H0026	H0802	H5037	H3761

וְהַשְּׁלִשִׁי	אַבְשָׁלוֹם	בֶּן־	מַעֲכָה	בַּת־	תַּלְמַי	מֶלֶךְ	גְּשׁוּר׃
第三の-子は	アブシャロム	子	マアカの	娘	タルマイの	王	ゲシュルの
H7992	H0053		H4601	H1323	H8526	H4428	H1650

その次はカルメルびとナバルの妻であったアビガイルの産んだキレアブ、第三はゲシュルの王タルマイの娘マアカの子アブサロム、

4	וְהָרְבִיעִי	אֲדֹנִיָּה	בֶּן־	חַגִּית	וְהַחֲמִישִׁי	שְׁפַטְיָה	בֶּן־	אֲבִיטָל׃
	第四の-子は	アドニヤ	子	ハギトの	第五の-子は	シェファテヤ	子	アビタルの
	H7243	H0138		H2294	H2549	H8203		H0037

第四はハギテの子アドニヤ、第五はアビタルの子シパテヤ、

5	וְהַשִּׁשִּׁי	יִתְרְעָם	לְעֶגְלָה	אֵשֶׁת	דָּוִד	אֵלֶּה	יֻלְּדוּ־	לְדָוִד	בְּחֶבְרוֹן׃
	第六の-子は	イトレアム	エグラの-子	妻	ダビデの	これらが	生まれた	ダビデに	ヘブロンで
	H8345	H3507	H5698	H0802	H1732	H0428	H3205	H1732	

פ
ペー

第六はダビデの妻エグラの産んだイテレアム。これらの子がヘブロンでダビデに生れた。

6	וַיְהִי	בְּהִיוֹת	הַמִּלְחָמָה	בֵּין	בֵּית	שָׁאוּל	וּבֵין	בֵּית	דָּוִד
	そして-あった	あった-間	戦いが	間に	家と	サウルの	そして	家との-間に	ダビデの
	H1961	H1961	H4421	H0996	H1076	H7586	H0996		H1732

וְאַבְנֵר	הָיָה	מִתְחַזֵּק	בְּבֵית	שָׁאוּל׃	
アブネルは	あった	強く-なって-いた	サウルの-家で	サウルの	
H0074	H1961	H2388		H7586	

サウルの家とダビデの家とが戦いを続けている間に、アブネルはサウルの家で、強くなってきた。

7	וּלְשָׁאוּל	פִּלֶגֶשׁ	וּשְׁמָהּ	רִצְפָּה	בַּת־	אַיָּה	וַיֹּאמֶר	אֶל־	אַבְנֵר
	サウルには	そばめが-いた	その-名は	リツパ	娘	アヤの	すると-言った	その	アブネルに
	H7586	H6370	H8034	H7532	H1323	H0345	H0559	H0413	H0074

מַדּוּעַ	בָּאתָה	אֶל־	פִּילֶגֶשׁ	אָבִי׃	
なぜ	入ったのか	その	そばめの-もとに	私の-父の	
H4069	H0935	H0413	H6370	H0001	

さてサウルには、ひとりのそばめがあった。その名をリヅパといい、アヤの娘であったが、イシボセテはアブネルに言った、「あなたはなぜわたしの父のそばめのところにはいったのですか」。

וַיֹּאמֶר בֹּשֶׁת אִישׁ־ דִּבְרֵי עַל־ מְאֹד לְאַבְנֵר וַיִּחַר 8
そして–言った ボシェテの イシュ 言葉の–ゆえに について 非常に アブネルは すると–怒った
H0559 H0378 H0378 H1697 H3966 H0074 H2734

הֲרֹאשׁ כֶּלֶב אָנֹכִי אֲשֶׁר לִיהוּדָה הַיּוֹם אֱעֲשֶׂה־ חֶסֶד עִם־ וּבֵית
の–頼なのか 犬 私は それは ユダのための 今日 行って–いる 恵みを 共に 家に
H3611 H0595 H3068 H3117

הַמְצִיתֶךָ וְלֹא מֵרֵעֵהוּ וְאֶל־ אֶחָיו אֶל־ אָבִיךָ שָׁאוּל
渡さなかった そして–なかった 友人たちと その 兄弟たちと その おまえの–父の サウルの
H4672 H3808 H4828 H0413 H0251 H0413 H0001 H7586

הַיּוֹם׃ הָאִשָּׁה עָוֹן עָלַי וַתִּפְקֹד דָּוִד בְּיַד־
今日 女のことで 罪を 私に それなのに–責める ダビデの ダビデの–手に
H3117 H0802 H5771 H1732 H3027

アブネルはイシボセテの言葉を聞き、非常に怒って言った、「わたしはユダの犬のかしらですか。わたしはきょう、あなたの父サウルの家と、その兄弟と、その友人とに忠誠をあらわして、あなたをダビデの手に渡すことをしなかったのに、あなたはきょう、女の事のあやまちを挙げてわたしを責められる。

כֹּה־ יַעֲשֶׂה אֱלֹהִים לְאַבְנֵר וְכֹה יֹסִיף לוֹ כִּי 9
このように 行うように 神が アブネルに また–このように 加えるように 彼に まことに
H3541 H0430 H0074 H3541 H3254

לוֹ׃ אֶעֱשֶׂה־ כֵּן כִּי־ לְדָוִד יְהוָה נִשְׁבַּע כַּאֲשֶׁר
彼に 行う そのとおり そのように ダビデに 主が 誓われた そのように
H1732 H3068 H7650

主がダビデに誓われたことを、わたしが彼のためになし遂げないならば、神がアブネルをいくえにも罰しられるように。

לְהַעֲבִיר הַמַּמְלָכָה מִבֵּית שָׁאוּל וּלְהָקִים אֶת־ כִּסֵּא דָּוִד 10
移すこと 王国を サウルの–家から サウルの そして–立てること その 王座を ダビデの
H4467 H7586 H0853 H3678 H1732

בְּאֵר׃ שֶׁבַע וְעַד־ דָּן מִן יְהוּדָה וְעַל־ יִשְׂרָאֵל עַל־
シェバまで ベエル–まで ダンから ユダの その上に イスラエルと その上に
H0884 H5704 H1835 H3063 H3478

すなわち王国をサウルの家から移し、ダビデの位をダンからベエルシバに至るまで、イスラエルとユダの上に立たせられるであろう」。

וְלֹא־ יָכֹל עוֹד לְהָשִׁיב אֶת־ דָּבָר אַבְנֵר מִיִּרְאָתוֹ 11
そして–できなかった できなかった もはや 返すことが その 言葉を アブネルに 恐れたので
H3808 H3201 H5750 H7725 H0853 H1697 H0074 H3372

אֹתוֹ׃ ס
彼を セラ
H0853

イシボセテはアブネルを恐れたので、ひと言も彼に答えることができなかった。

12 וַיִּשְׁלַח֩ אַבְנֵ֨ר וּמַלְאָכִ֜ים אֶל־דָּוִ֣ד תַּחְתָּ֗יו לֵאמֹר֙
すると–遣わした アブネルは 使者たちを その ダビデに [彼の–代わりに] (彼の–代わりに) 言って
H7971 H0074 H4397 H0413 H1732 H8478 H8478 H0559

לְמִי־אָ֔רֶץ לֵאמֹ֖ר כָּרְתָ֣ה בְרִיתְךָ֑ אִתִּ֣י וְהִנֵּ֤ה יָדִי֙ עִמָּ֔ךְ
誰の–ものか 地は 言って 結んでくれ あなたの–契約を 私と そうすれば–見よ 私の–手が
H4310 H0776 H0559 H3772 H1285 H0854 H2009 H3027

לְהָסֵ֥ב אֵלֶ֖יךָ אֶת־כָּל־יִשְׂרָאֵ֥ל׃ עִמָּֽךְ
向けるために あなたに その すべての イスラエルを あなたと–共に–ある
H5437 H0413 H0853 H3605 H3478

アブネルはヘブロンにいるダビデのもとに使者をつかわして言った、「国はだれのものですか。わたしと契約を結びなさい。わたしはあなたに力添えして、イスラエルをことごとくあなたのものにしましょう」。

13 וַיֹּ֣אמֶר טוֹב֮ אֲנִי֒ אֶכְרֹ֤ת אִתְּךָ֙ בְּרִ֔ית אַ֕ךְ דָּבָ֥ר אֶחָ֖ד אָנֹכִ֑י
すると–言った よい 私が 結ぶ あなたと 契約を ただし 一つの–ことを 一つ 私は
H0559 H0589 H3772 H0854 H1285 H0389 H1697 H0259 H0595

לְפָנַ֔י אִם־ וְכִ֣י פָנַ֗י אֶת־ תִּרְאֶה֙ לֹא־ לֵאמֹ֤ר מֵאִתְּךָ֙ שֹׁאֵ֔ל
最初に まず もし–なければ 私の–顔を その 見るな 見るな 言って あなたに 求める
H6440 H6440 H0853 H7200 H3808 H0559 H0854 H7592

אֶת־ לִרְאוֹת֙ בְּבֹאֲךָ֔ שָׁא֖וּל בַּת־ מִיכַ֣ל אֶת־ הֲבִיאֲךָ֑
その 見るために おまえが–来る–時に サウルの 娘 ミカルを その 連れて–来ない–かぎり
H0853 H7200 H0935 H7586 H1323 H4324 H0853 H0935

ס פָּנָֽי׃
セラ 私の–顔を
H6440

ダビデは言った、「よろしい。わたしは、あなたと契約を結びましょう。ただし一つの事をあなたに求めます。あなたがきてわたしの顔を見るとき、まずサウルの娘ミカルを連れて来るのでなければ、わたしの顔を見ることはできません」。

14 וַיִּשְׁלַ֤ח דָּוִד֙ מַלְאָכִ֔ים אֶל־אִ֖ישׁ בֹּ֣שֶׁת בֶּן־ שָׁא֑וּל לֵאמֹ֖ר
すると–遣わした ダビデは 使者たちを その イシュ ボシェテに 子 サウルの 言って
H7971 H1732 H4397 H0413 H0378 H0378 H1121 H7586 H0559

אֲרַשְׂתִּי֙ לִּ֔י בִּמְאָ֖ה עָרְלֹ֥ות פְּלִשְׁתִּֽים׃ אֲשֶׁ֣ר מִיכַ֔ל אֶת־ אִשְׁתִּ֖י אֶת־ תְּנָ֥ה
婚約した 私が 百の 包皮で ペリシテ人の 彼女を ミカルを その 私の–妻を その 返せ
H0781 H3967 H6190 H6430 H0834 H4324 H0853 H0802 H0853 H5414

ペリシテびとの陽の皮一百をもってめとったわたしの妻ミカルを引き渡しなさい」。

15 וַיִּשְׁלַ֣ח אִישׁ֮ בֹּ֣שֶׁת֒ וַיִּקָּחֶ֗הָ מֵעִם֙ אִ֣ישׁ מֵעִ֔ם פַּלְטִיאֵ֖ל
すると–遣わした イシュ ボシェテは そして–取った から 夫の–もと から パルティエル
H7971 H0376 H3947 H0376 H5414

בֶּן־ [לוּשׁ] (לָ֥יִשׁ)׃
子 [ライシュの] (ライシュの)
H3919 H3919

そこでイシボセテは人をやって彼女をその夫、ライシの子パルテエルから取ったので、

16 וַיֵּלֶךְ אִישָׁהּ אִתָּהּ וַיֵּלֶךְ הָלוֹךְ וּבֹכָה אַחֲרֶיהָ עַד־
そして-行った 彼女と-共に その-夫は 歩きながら 泣きながら 彼女の-後を バフリム-まで
H3212 H0854 H0376 H1980 H1058 H0376 H5704

בָּחֻרִים וַיֹּאמֶר אַבְנֵר אֵלָיו לֵךְ שׁוּב וַיָּשָׁב׃
バフリム すると-言った アブネルは 彼に 行け 帰れ そこで-帰った
H0980 H0559 H0074 H0413 H3212 H7725 H7725

その夫は彼女と共に行き、泣きながら彼女のあとについて、バホリムまで行ったが、アブネルが彼に「帰って行け」と言ったので彼は帰った。

17 וּדְבַר־ אַבְנֵר הָיָה עִם־ זִקְנֵי יִשְׂרָאֵל לֵאמֹר גַּם־
さて-言葉が-あった アブネルの あった 共に 長老たちに イスラエルの 言って 以前-から
H1697 H0074 H1961 H0854 H2205 H3478 H0559 H1571

תְּמוֹל שִׁלְשֹׁם גַּם־ הֱיִיתֶם מְבַקְשִׁים אֶת־ דָּוִד לִמְלֹךְ
昨日 一昨日 以前-から あなたがたは-いた 求めて その ダビデを 王として
H8543 H8032 H1571 H1961 H1245 H0853 H1732 H4428

עֲלֵיכֶם׃
あなたがたの-上に

アブネルはイスラエルの長老たちと協議して言った、「あなたがたは以前からダビデをあなたがたの王とすることを求めていましたが、

18 וְעַתָּה עֲשׂוּ כִּי יְהוָה אָמַר אֶל־ דָּוִד לֵאמֹר בְּיַד
今こそ 行え なぜなら 主は 言われた その ダビデに 言って 手に-よって
H6258 H6213 H3588 H3068 H0559 H0413 H1732 H0559 H3027 H3027

עַבְדִּי הוֹשִׁיעַ אֶת־ עַמִּי יִשְׂרָאֵל וּמִיַּד כָּל־ פְּלִשְׁתִּים
わが-僕の 救う その わが-民を イスラエルを 手から すべての ペリシテ人の 手から
H5650 H3467 H0853 H5971 H3478 H3027 H3605 H6430 H3027

וּמִיַּד כָּל־ אֹיְבֵיהֶם׃
すべての 手から 敵の
H3605 H3027 H0341

今それをしなさい。主がダビデについて、『わたしのしもべダビデの手によって、わたしの民イスラエルをペリシテびとの手、およびもろもろの敵の手から救い出すであろう』と言われたからです」。

19 וַיְדַבֵּר אַבְנֵר גַּם־ בְּאָזְנֵי בִנְיָמִן וַיֵּלֶךְ גַּם־ אַבְנֵר
そして-語った アブネルは また 耳に ベニヤミンの そして-行った また アブネルは
H1696 H0074 H1571 H0241 H1144 H3212 H1571 H0074

לְדַבֵּר בְּאָזְנֵי דָוִד בְּחֶבְרוֹן אֵת כָּל־ אֲשֶׁר־ טוֹב בְּעֵינֵי
語るために 耳に ダビデの ヘブロンで その すべての 良いと思うことを 良いと 目に
H1696 H0241 H1732 H2275 H0853 H3605 H2896 H3190 H5869

וּבְעֵינֵי כָּל־ בֵּית יִשְׂרָאֵל׃ בִנְיָמִן
イスラエルの 家の すべての 目に ベニヤミンの
H3478 H1004 H3605 H5869 H1144

アブネルはまたベニヤミンにも語った。そしてアブネルは、イスラエルとベニヤミンの全家が良いと思うことをみな、ヘブロンでダビデに告げようとして出発した。

20 וַיָּבֹא אַבְנֵר אֶל־דָּוִד חֶבְרוֹן וְאִתּוֹ עֶשְׂרִים אֲנָשִׁים
そして–来た アブネルは その ダビデの–もとに ヘブロンに 彼と–共に 二十 人の–人々が
H0935 H0074 H0413 H1732 H0854 H6242 H0376

וַיַּעַשׂ דָּוִד לְאַבְנֵר וְלָאֲנָשִׁים אֲשֶׁר־אִתּוֹ מִשְׁתֶּה׃
すると–設けた ダビデは アブネルのために 人々のために 彼と–共に–いた 彼と 宴会を
H1732 H0074 H0376 H0854 H4960

アブネルが二十人を従えてヘブロンにいるダビデのもとに行った時、ダビデはアブネルと彼に従っている従者たちのために酒宴を設けた。

21 וַיֹּאמֶר אַבְנֵר אֶל־דָּוִד אָקוּמָה וְאֵלְכָה וְאֲקַבְּצָה
すると–言った アブネルは その ダビデに 立ち上がらせて–ください 行かせて–ください 集めます
H0559 H0074 H0413 H1732 H7925 H3212 H6908

אֵלֶיךָ אֶת־כָּל־יִשְׂרָאֵל אֶת־אֲדֹנִי הַמֶּלֶךְ וְיִכְרְתוּ אִתְּךָ בְּרִית
あなたと そして–結ぶでしょう イスラエルを すべての その 王の わが–主の その 契約を
H0413 H3605 H3478 H0853 H4428 H0113 H0854 H3772 H1285

וְאַתָּה תִּמְלֹךְ בְּכֹל אֲשֶׁר־תַּאֲוֶה נַפְשֶׁךָ וַיְשַׁלַּח דָּוִד אֶת־אַבְנֵר
すべての–上に ものを 望む あなたの–心が そして–治めるでしょう すると–送った ダビデは その
H3605 H5315 H0183 H0853 H1732 H7971 H0853 H0074

וַיֵּלֶךְ בְּשָׁלוֹם׃
すると–去った 平安の–うちに
H3212 H7965

アブネルはダビデに言った、「わたしは立って行き、イスラエルをことごとく、わが主、王のもとに集めて、あなたと契約を結ばせ、あなたの望むものをことごとく治められるようにいたしましょう」。こうしてダビデはアブネルを送り帰らせたので彼は安全に去って行った。

22 וְהִנֵּה עַבְדֵי דָוִד וְיוֹאָב בָּא מֵהַגְּדוּד וְשָׁלָל רָב עִמָּם
そして–見よ 家来たちが ダビデの ヨアブと 来た 略奪から 分捕品を 多くの 彼らと–共に
H2009 H5650 H1732 H3097 H0935 H1416 H7998 H7227

וְאַבְנֵר אֵינֶנּוּ אִתּוֹ בְּחֶבְרוֹן כִּי שִׁלְּחוֹ וַיֵּלֶךְ בְּשָׁלוֹם׃
そして–持ち–帰った アブネルは いなかった 彼と–共に ダビデと なぜなら 送り–出したので
H0935 H0074 H0369 H0854 H1732 H3588 H7971

ちょうどその時、ダビデの家来たちはヨアブと共に多くのぶんどり物を携えて略奪から帰ってきた。しかしアブネルはヘブロンのダビデのもとにはいなかった。ダビデが彼を帰らせて彼が安全に去ったからである。

23 וְיוֹאָב וְכָל־הַצָּבָא אֲשֶׁר־אִתּוֹ בָּאוּ הֻגַּד לְיוֹאָב לֵאמֹר
そして–来た ヨアブと すべての 軍が 彼と–共に–いた 来た すると–告げられた ヨアブに 言って
H0935 H3097 H3605 H6635 H0854 H0935 H5046 H3097 H0559

בָּא־אַבְנֵר בֶּן־נֵר אֶל־הַמֶּלֶךְ וַיְשַׁלְּחֵהוּ וַיֵּלֶךְ בְּשָׁלוֹם׃
来た アブネルが 子 ネルの その 王の–もとに そして–送り–出した そして–去った 平安の–うちに
H0935 H0074 H1121 H5369 H0413 H4428 H7971 H3212 H7965

ヨアブおよび彼と共にいた軍勢がみな帰ってきたとき、人々はヨアブに言った、「ネルの子アブネルが王のもとにきたが、王が彼を帰らせたので彼は安全に去った」。

24 וַיָּבֹא יוֹאָב אֶל־הַמֶּלֶךְ וַיֹּאמֶר מֶה עָשִׂיתָה הִנֵּה־בָא אַבְנֵר מַדּוּעַ זֶה שִׁלַּחְתּוֹ וַיֵּלֶךְ הָלוֹךְ׃

וַיָּבֹא	יוֹאָב	אֶל־	הַמֶּלֶךְ	וַיֹּאמֶר	מֶה	עָשִׂיתָה	הִנֵּה־	בָא
すると–来た	ヨアブは	その	王の–もとに	そして–言った	何を	したのか	見よ	来た
H0935	H3097	H0413	H4428	H0559	H4100	H2009	H0935	

אַבְנֵר	אֶל־	אֵלֶיךָ	זֶּה	שִׁלַּחְתּוֹ	וַיֵּלֶךְ	הָלוֹךְ׃
アブネルが	その	あなたの–もとに	一体	送り–出したのか	して–去って	しまったのだ
H0074	H0413	H4100	H2088	H7971	H3212	H1980

そこでヨアブは王のもとに行って言った、「あなたは何をなさったのですか。アブネルがあなたの所にきたのに、あなたはどうして、彼を返し去らせられたのですか。

25 וְלָדַעַת אֶת־מוֹצָאֲךָ [מבואך] (מְבוֹאֶךָ) וְאֶת־כָּל־אֲשֶׁר אַתָּה עֹשֶׂה׃

וְלָדַעַת	בָּא	לְפַתְּתְךָ	כִּי	נֵר	בֶּן־	אַבְנֵר	אֶת־	יָדַעְתָּ	
知るために	来たのだ	だますために	実は	ネルの	子	アブネルを	その	知っているはずだ	
H3045	H0935			H5369		H0074	H0853	H3045	

כָּל־	אֶת	וְלָדַעַת	(מְבוֹאֶךָ)	[מבואך]	וְאֶת־	מוֹצָאֲךָ	אֶת־	
すべての	その	知るために	(おまえの–入り)	[おまえの–入り]	その	おまえの–出入りを	その	
H3605	H0853	H3045	H3996	H3996	H0853	H4161	H0853	

עֹשֶׂה׃	אַתָּה	אֲשֶׁר
することを	おまえが	おまえが

ネルの子アブネルがあなたを欺くためにきたこと、そしてあなたの出入りを知り、またあなたのなさっていることを、ことごとく知るためにきたことをあなたはごぞんじです」。

26 וַיֵּצֵא יוֹאָב מֵעִם דָּוִד וַיִּשְׁלַח מַלְאָכִים וַיָּשִׁבוּ אַחֲרֵי אַבְנֵר מִבּוֹר הַסִּרָה וְדָוִד לֹא יָדָע׃

וַיֵּצֵא	יוֹאָב	מֵעִם	דָּוִד	וַיִּשְׁלַח	מַלְאָכִים			
すると–出た	ヨアブは	ダビデの–もとから	ダビデの	そして–遣わした	使者たちを			
H3318	H3097		H1732	H7971	H4397			

וַיָּשִׁבוּ	אַחֲרֵי	אַבְנֵר	מִבּוֹר	הַסִּרָה	וְדָוִד	לֹא	יָדָע׃	
すると–連れ戻した	アブネルの–後を–追って	アブネルの	井戸から	シラの	ダビデは	知らなかった	知らなかった	
H7725		H0074		H5626	H1732	H3808	H3045	

אֹתוֹ	
彼を	
H0853	

ヨアブはダビデの所から出てきて、使者をつかわし、アブネルを追わせたので、彼らはシラの井戸から彼を連れて帰った。しかしダビデはその事を知らなかった。

27 וַיָּשָׁב אַבְנֵר חֶבְרוֹן וַיַּטֵּהוּ יוֹאָב אֶל־תּוֹךְ הַשַּׁעַר לְדַבֶּר אִתּוֹ בַּלָּט וַיַּכֵּהוּ שָׁם וַיָּמָת בְּדַם עֲשָׂהאֵל אָחִיו׃

וַיָּשָׁב	אַבְנֵר	חֶבְרוֹן	וַיַּטֵּהוּ	יוֹאָב	אֶל־	תּוֹךְ	הַשַּׁעַר	לְדַבֶּר
すると–戻った	アブネルは	ヘブロンに	そして–連れた	ヨアブは	その	中に	門の	話すために
H7725	H0074		H5186	H3097	H0413	H8432	H8179	H1696

אִתּוֹ	בַּלָּט	וַיַּכֵּהוּ	שָׁם	וַיָּמָת	הַחֹמֶשׁ	בְּדַם	עֲשָׂהאֵל	אָחִיו׃
彼と	密かに	そして–打った	そこで	そして–死んだ	腹を	血の–ために	アサ	エルの
H0854	H7987	H5221	H8033	H4191	H2570	H1818	H6214	H6214

その–兄弟の
H0251

アブネルがヘブロンに帰ってきたとき、ヨアブはひそかに語ろうといって彼を門のうちに連れて行き、その所で彼の腹を刺して死なせ、自分の兄弟アサヘルの血を報いた。

28 וַיִּשְׁמַע דָּוִד מֵאַחֲרֵי כֵּן וַיֹּאמֶר נָקִי אֲנֹכִי וּמַמְלַכְתִּי מֵעִם
すると-聞いた ダビデは その-後に それを そして-言った 無実だ 私と 私の-王国は 主の-前に
H8085 H1732 H0310 H0559 H5355 H0595 H4467

יְהוָה עַד־עוֹלָם מִדְּמֵי אַבְנֵר בֶּן־נֵר׃
主の 永遠に 永遠に 血に-ついて アブネルの 子 ネルの
H3068 H5703 H5769 H1818 H0074 H1121 H5369

その後ダビデはこの事を聞いて言った、「わたしとわたしの王国とは、ネルの子アブネルの血に関して、主の前に永久に罪はない。

29 יָחֻלוּ עַל־רֹאשׁ יוֹאָב וְאֶל כָּל־בֵּית אָבִיו וְאַל־יִכָּרֵת
頭の ヨアブの そして すべての 家の 父の 絶えない
H3772 H0408 H0001 H1004 H3097 H0413 H3605

מִבֵּית יוֹאָב זָב וּמְצֹרָע וּמַחֲזִיק בַּפָּלֶךְ
ヨアブの-家から 流れる-者や つづれの-者や 紡ぎ棒を-持つ-者や 紡ぎ棒を
H3097 H2100 H6879 H2388 H6418

וְנֹפֵל בַּחֶרֶב וַחֲסַר־לָחֶם׃
剣に-倒れる-者や 剣に 乏しい-者が パンに
H5307 H2719 H2638 H3899

どうぞ、その罪がヨアブの頭と、その父の全家に帰するように。またヨアブの家には流出を病む者、らい病人、つえにたよる者、つるぎに倒れる者、または食物の乏しい者が絶えないように」。

30 וְיוֹאָב וַאֲבִישַׁי אָחִיו הָרְגוּ לְאַבְנֵר עַל אֲשֶׁר הֵמִית אֶת־
ヨアブと アビシャイは その-兄弟は 殺した アブネルを それは 彼が 殺した その
H3097 H0052 H0251 H2026 H0074 H5921 H4191 H0853

עֲשָׂהאֵל אֲחִיהֶם בְּגִבְעוֹן בַּמִּלְחָמָה׃ פ
アサエルを 彼らの-兄弟を ギブオンで 戦いの-中で ペー
H6214 H0251 H1391 H4421

こうしてヨアブとその弟アビシャイとはアブネルを殺したが、それは彼がギベオンの戦いで彼らの兄弟アサヘルを殺したためであった。

31 וַיֹּאמֶר דָּוִד אֶל־יוֹאָב וְאֶל כָּל־הָעָם אֲשֶׁר־אִתּוֹ
そして-言った ダビデは その ヨアブに また すべての 民に 彼と
H0559 H1732 H0413 H3097 H0413 H3605 H5971 H0854

קִרְעוּ בִגְדֵיכֶם וְחִגְרוּ שַׂקִּים וְסִפְדוּ לִפְנֵי אַבְנֵר וְהַמֶּלֶךְ
引き裂け おまえたちの-衣を まとえ 粗布を そして-嘆け アブネルの-前で アブネルの 王も-また
H7167 H0899 H2296 H8242 H5594 H6440 H0074 H4428

דָּוִד הֹלֵךְ אַחֲרֵי הַמִּטָּה׃
ダビデも 歩いた 棺の-後に 棺の
H1732 H1980 H0310 H4296

ダビデはヨアブおよび自分と共にいるすべての民に言った、「あなたがたは着物を裂き、荒布をまとい、アブネルの前に嘆きながら行きなさい」。そしてダビデ王はその棺のあとに従った。

32 וַיִּקְבְּרוּ אֶת־אַבְנֵר בְּחֶבְרוֹן וַיִּשָּׂא הַמֶּלֶךְ אֶת־קוֹלוֹ וַיֵּבְךְּ אֶל־
そして-葬った アブネルを ヘブロンに そして-上げた 王は その 声を 泣いた その
H6912 H0074 H0310 H5375 H4428 H0853 H6963 H1058 H0413

קֶבֶר אַבְנֵר וַיִּבְכּוּ כָּל־הָעָם׃ פ
墓で アブネルの 泣いた すべての 民も ペー
H6913 H0074 H1058 H3605

人々はアブネルをヘブロンに葬った。王はアブネルの墓で声をあげて泣き、民もみな泣いた。

33 וַיְקֹנֵן הַמֶּלֶךְ אֶל־אַבְנֵר וַיֹּאמֶר הַכְּמוֹת נָבָל אַבְנֵר׃
そして-歌った 王は アブネルの-ために そして-言った 愚か者の-ように アブネルは
H6969 H4428 H0413 H0559 H4194 H0074
מָוֹת׃ יָמוּת
死ぬべきか
H4191

王はアブネルのために悲しみの歌を作って言った、「愚かな人の死ぬように、アブネルがどうして死んだのか。

34 יָדֶיךָ לֹא־אֲסֻרוֹת וְרַגְלֶיךָ לֹא־הֻגְּשׁוּ לְנְחֻשְׁתַּיִם נָפַלְתָּ כִּנְפֹל לִפְנֵי בְנֵי־עַוְלָה נָפַלְתָּ וַיֹּסֶף כָּל־הָעָם לִבְכּוֹת עָלָיו׃
おまえの-手は 縛られて-いなかった 縛られて 足は おまえの-なかった 繋がれて 倒れる-ように 不正の 子らの 不正の-前に 倒れた そして-続けた すべての 民は 泣くことを 彼の-ために
H3027 H3808 H0631 H7272 H3808 H5066 H5307 H5766 H6440 H5307 H3254 H3605 H5971 H1058

あなたの手は縛られず、足には足かせもかけられないのに、悪人の前に倒れる人のように、あなたは倒れた」。そして民は皆、ふたたび彼のために泣いた。

35 וַיָּבֹא כָל־הָעָם לְהַבְרִוֹת דָּוִד לֶחֶם בְּעוֹד הַיּוֹם וַיִּשָּׁבַע דָּוִד לֵאמֹר כֹּה יַעֲשֶׂה־לִּי אֱלֹהִים וְכֹה יוֹסִיף כִּי אִם־לִפְנֵי בוֹא־הַשֶּׁמֶשׁ אֶטְעַם לֶחֶם אוֹ כָל־מְאוּמָה׃
そして-来た すべての 民が 食べさせようと ダビデに パンを まだ 日の-ある-うちに
H0935 H3605 H5971 H1262 H1732 H3899 H5750 H3117
そして-誓った ダビデは 言って 私に 神が また-このように
H7650 H1732 H0559 H3541 H0430 H3541
加えるように もし たとえ 日の-前に 沈む-前に 太陽が 味わうならば パンを または どんな ものでも
H3254 H3588 H0518 H6440 H0935 H8121 H2938 H3899 H0176 H3972

民はみなきて、日のあるうちに、ダビデにパンを食べさせようとしたが、ダビデは誓って言った、「もしわたしが日の入る前に、パンでも、ほかのものでも味わうならば、神がわたしをいくえにも罰しられるように」。

36 וְכָל־הָעָם הִכִּירוּ וַיִּיטַב בְּעֵינֵיהֶם כְּכֹל אֲשֶׁר עָשָׂה הַמֶּלֶךְ׃
そして すべての 民は 認めた そして-良いと-思った 彼らの-目に すべて 王が 行ったことは
H3605 H5971 H3190 H3605 H4428
בְּעֵינֵי כָל־הָעָם טוֹב׃
目に すべての 民の 良かった
H3605

民はみなそれを見て満足した。すべて王のすることは民を満足させた。

37 וַיֵּדְעוּ כָל־הָעָם וְכָל־יִשְׂרָאֵל בַּיּוֹם הַהוּא כִּי לֹא הָיָתָה מֵהַמֶּלֶךְ לְהָמִית אֶת־אַבְנֵר בֶּן־נֵר׃ פ
そして-知った すべての 民と すべての イスラエルは その-日 まことに なかった
H3045 H3605 H3605 H3478 H3117 H1931 H3808
ペー
H6435
ネルの 子 アブネルを その 殺すことが 王からの-ものでは なかった
H5369 H1121 H0074 H0853 H4191 H4428 H1961

その日すべての民およびイスラエルは皆、ネルの子アブネルを殺したのは、王の意思によるものでないことを知った。

שַׂר	כִּי־	תֵדְעוּ	הֲלוֹא	עֲבָדָיו	אֶל־	הַמֶּלֶךְ	וַיֹּאמֶר	38
将が	まことに	知らないのか	知らないのか	家来たちに	その	王は	そして-言った	
H8269		H3045	H3808	H5650	H0413	H4428	H0559	

בְּיִשְׂרָאֵל׃	הַזֶּה	הַיּוֹם	נָפַל	וְגָדוֹל
イスラエルに-おいて	この	今日	倒れたのだ	偉大な-者が
H3478	H2088	H3117	H5307	

王はその家来たちに言った、「この日イスラエルで、ひとりの偉大なる将軍が倒れたのをあなたがたは知らないのか。

צְרוּיָה	בְּנֵי	הָאֵלֶּה	וְהָאֲנָשִׁים	מָלֵךְ	וּמְשׁוּחַ	רַךְ	הַיּוֹם	וְאָנֹכִי	39
ツェルヤの	息子たち	これらの	これらの-人々は	王だ	油注がれた-ばかりの	弱く	今日	私は	
H6870		H0428	H0376	H4428	H4886	H7390	H3117	H0595	

פ	כְּרָעָתוֹ׃	הָרָעָה	לְעֹשֵׂה	יְהוָה	יְשַׁלֵּם	מִמֶּנִּי	קָשִׁים
ペー	その-悪に-応じて	悪を	行う-者に	主が	報いて-くださるように	私には	厳しすぎる
				H3068			H7186

わたしは油を注がれた王であるけれども、今日なお弱い。ゼルヤの子であるこれらの人々はわたしの手におえない。どうぞ主が悪を行う者に、その悪にしたがって報いられるように」。

Chapter 4

וַיִּרְפּוּ	בְּחֶבְרוֹן	אַבְנֵר	מֵת	כִּי	שָׁאוּל	בֶּן־	וַיִּשְׁמַע	1
すると-衰えた	ヘブロンで	アブネルが	死んだと	まことに	サウルの	子が	すると-聞いた	
H7503		H0074	H4191		H7586		H8085	

נִבְהָלוּ׃	יִשְׂרָאֵל	וְכָל־	יָדָיו	
恐れおののいた	イスラエルも	すべての	その-手が	
H0926	H3478	H3605	H3027	

サウルの子イシボセテは、アブネルがヘブロンで死んだことを聞いて、その力を失い、イスラエルは皆あわてた。

וְשֵׁם	בָּעֲנָה	הָאֶחָד	שֵׁם	שָׁאוּל	בֶּן־	הָיוּ	גְּדוּדִים	שָׂרֵי־	אֲנָשִׁים	וּשְׁנֵי	2
名は	バアナ	一人の	名は	サウルの	子に	あった	略奪隊の	長-たち	人で	二人の	
H8034	H1196	H0259	H8034	H7586		H1961	H1416	H8269	H0376	H8147	

כִּי	בִנְיָמִן	מִבְּנֵי	הַבְּאֵרֹתִי	רִמּוֹן	בְּנֵי	רֵכָב	הַשֵּׁנִי
なぜなら	ベニヤミンの	ベニヤミンの-子らの	ベエロト-人の	リモンの	息子	レカブ	もう一人の
	H1144		H0886			H7394	H8145

בִּנְיָמִן׃	עַל־	תֵּחָשֵׁב	בְּאֵרוֹת	גַּם־
ベニヤミンの	その上に	数えられて-いた	ベエロトも	また
H1144		H2803	H0881	H1571

サウルの子イシボセテにはふたりの略奪隊の隊長があった。ひとりの名はバアナ、他のひとりの名はレカブといって、ベニヤミンの子孫であるベロテびとリンモンの子たちであった。（それはベロテもまたベニヤミンのうちに数えられているからである。

הַזֶּה׃	הַיּוֹם	עַד	גָּרִים	שָׁם	וַיִּהְיוּ־	גִּתָּיְמָה	הַבְּאֵרֹתִים	וַיִּבְרְחוּ	3
日まで	今	まで	寄留者として	そこに	そして-いた	ギタイムに	ベエロト-人は	逃げた	
H2088	H3117	H5704		H8033	H1961	H1664	H0886	H1272	

ס
セラ

ベロテびとはギッタイムに逃げていって、今日までその所に寄留している）。

4 וְלִיהוֹנָתָן בֶּן־שָׁאוּל בֶּן נְכֵה רַגְלָיִם בֶּן־חָמֵשׁ שָׁנִים הָיָה
ヨナタンには 子が–いた 不具な 両足の 五 子で–あった 歳の 彼は
H3083 H7586 H1931 H5223 H7272 H2568 H8141 H1961

בְּבֹא שְׁמֻעַת שָׁאוּל וְיהוֹנָתָן מִיִּזְרְעֶאל וַתִּשָּׂאֵהוּ אֹמַנְתּוֹ
知らせが–来た–時 知らせが サウルと ヨナタンの イズレエルから 抱き–上げた 乳母が
H0935 H8052 H7586 H3083 H3157 H5375 H0539

וַתָּנָס וַיְהִי בְּחָפְזָהּ לָנוּס וַיִּפֹּל וַיִּפָּסַח וּשְׁמוֹ
そして–逃げた そして–あった 急いで 逃げる–時に 落ちて 足が–不自由に–なった その–名は
H5127 H1961 H2648 H5307 H5127 H8034

מְפִיבֹשֶׁת׃
メフィボシェテ
H4648

さてサウルの子ヨナタンに足のなえた子がひとりあった。エズレルからサウルとヨナタンの事の知らせがきた時、彼は五歳であった。うばが彼を抱いて逃げたが、急いで逃げる時、その子は落ちて足なえとなった。その名はメピボセテといった。

5 וַיֵּלְכוּ וַיָּבֹאוּ רִמּוֹן בְּנֵי־ הַבְּאֵרֹתִי רֵכָב וּבַעֲנָה
そして–行った そして–着いた リモンの 息子たち–が ベエロト–人の レカブと バアナは
H3212 H0935 H7394 H0886 H1196

אֶל־ בַּיִת אִישׁ בֹּשֶׁת וְהוּא שֹׁכֵב שְׁכַב אֶת מִשְׁכָּב בַּצָּהֳרָיִם׃
その 家に イシュ ボシェテの 彼は 寝て–いた その 寝台で 昼の
H0413 H0378 H0378 H1931 H7901 H0853 H4904 H6672

כְּחֹם הַיּוֹם הַזֶּה
暑い–時に 日の その
H2527 H3117 H0413

6 וְהִנָּה בָּאוּ עַד־ תָּוֶךְ הַבַּיִת לֹקְחֵי חִטִּים וַיַּכֵּהוּ
そして–見よ 来た 中に 家の 小麦を–取る–者のように 小麦を 打った
H2007 H0935 H8432 H5704 H3947 H2406 H5221

וַיִּתְחַמְּשׁוּ אֶל־ הַחֹמֶשׁ וּבַעֲנָה וְרֵכָב אָחִיו נִמְלָטוּ׃
腹を その バアナ レカブと その–兄弟は 逃れた
H2570 H0413 H1196 H7394 H0251 H4422

家の門を守る女は麦をあおぎ分けていたが、眠くなって寝てしまった。そこでレカブとその兄弟バアナは、ひそかに中にはいった。

7 וַיָּבֹאוּ הַבַּיְתָה וְהוּא־ שֹׁכֵב עַל־ מִטָּתוֹ בַּחֲדַר מִשְׁכָּבוֹ וַיַּכֻּהוּ
そして–入った 家に 彼が 寝て–いた その 寝台の–上で 寝室の 寝室の そして–打ち
H0935 H1004 H1931 H7901 H5921 H4296 H2315 H4904 H5221

וַיָּמִתֻהוּ וַיָּסִירוּ אֶת־ רֹאשׁוֹ וַיִּקְחוּ אֶת־ רֹאשׁוֹ וַיֵּלְכוּ דֶּרֶךְ
殺した そして–切り取った その 頭を そして–取った その 頭を そして–行った 道を
H4191 H5493 H0853 H7218 H3947 H0853 H7218 H3212 H1870

הָעֲרָבָה כָּל־ הַלָּיְלָה׃
アラバの その 夜–すがら
H6160 H3605 H3915

彼らが家にはいった時、イシボセテは寝室で床の上に寝ていたので、彼らはそれを撃って殺し、その首をはね、その首を取って、よもすがらアラバの道を行き、

8 וַיָּבִאוּ אֶת־רֹאשׁ אִישׁ־בֹּשֶׁת אֶל־דָּוִד חֶבְרוֹן
そして–持って–来た その 頭を イシュ ボシェテの その ダビデの–もとに ヘブロンに
H0935 H0853 H0413 H0378 H0378 H0413 H1732

וַיֹּאמְרוּ הִנֵּה־רֹאשׁ אִישׁ־בֹּשֶׁת בֶּן־שָׁאוּל אֹיְבֶךָ
そして–言った ここに–見よ 頭です イシュ ボシェテの 子 サウルの
H0559 H2009 H7218 H0378 H0378 H1121 H7586

הַמְבַקֵּשׁ אֶת־נַפְשֶׁךָ וַיִּתֵּן יְהוָה לַאדֹנִי הַמֶּלֶךְ
彼は 求めて–いた その 命を あなたの–敵の しかし–与えた 主が わが–主に 王に
H0834 H1245 H0853 H5315 H3068 H0113 H4428

הַיּוֹם הַזֶּה אֶת־נְקָמוֹת מִשָּׁאוּל וּמִזַּרְעוֹ׃ ס
今日 この サウルから その–子孫から セラ
H3117 H2088 H7586 H2233

イシボセテの首をヘブロンにいるダビデのもとに携えて行って王に言った、「あなたの命を求めたあなたの敵サウルの子イシボセテの首です。主はきょう、わが君、王のためにサウルとそのすえとに報復されました」。

9 וַיַּעַן דָּוִד אֶת־רֵכָב וְאֶת־בַּעֲנָה אֲחִיו בְּנֵי רִמּוֹן
すると–答えた ダビデは その レカブと その バアナ その–兄弟に 息子たち リモンの
H6030 H1732 H0853 H7394 H0853 H1196 H0251 H1121 H7417

הַבְּאֵרֹתִי אֲשֶׁר־יְהוָה חַי־לֶהֶם וַיֹּאמֶר כִּי־פָדָה
ベエロト–人の 主は 生きて–おられる 彼らに そして–言った 贖って–くださった
H0886 H3068 H2416 H0559 H3588 H6299

אֶת־נַפְשִׁי מִכָּל־צָרָה׃
その 私の–命を すべての–苦難から 苦難から
H0853 H5315 H3605 H6869

ダビデはベロテびとリンモンの子レカブとその兄弟バアナに答えた、「わたしの命を、もろもろの苦難から救われた主は生きておられる。

10 כִּי הַמַּגִּיד לִי לֵאמֹר הִנֵּה־מֵת שָׁאוּל וְהוּא־הָיָה
細に 告げた–者を 私に 言って 見よ 死んだと サウルが 彼は あった
H3588 H5046 H3588 H0559 H2009 H4191 H7586 H1931 H1961

כִּמְבַשֵּׂר בְּעֵינָיו לָתֵת־לוֹ בְּשֹׂרָה׃ אֲשֶׁר בְּצִקְלַג וָאֶתְרֹג בּוֹ וָאֶתְחֲזֵק
良い–知らせの–ように 自分の–目には 与える–べき 彼に 報酬だった それが ツィクラグで そして–殺した 彼を 私は–捕らえた
H1319 H5414 H0376 H1309 H0834 H6860 H2026 H0270

わたしはかつて、人がわたしに告げて、『見よ、サウルは死んだ』と言って、みずから良いおとずれを伝える者と思っていた者を捕えてチクラグで殺し、そのおとずれに報いたのだ。

11 אַף כִּי־אֲנָשִׁים רְשָׁעִים הָרְגוּ אֶת־אִישׁ צַדִּיק בְּבֵיתוֹ עַל־
まして まことに 人々が 悪しき 殺した その 義しい–人を 義しい その–家で その
H0637 H3588 H0376 H7563 H2026 H0853 H0376 H6662 H1004 H5921

מִשְׁכָּבוֹ וְעַתָּה הֲלוֹא אֲבַקֶּשׁ אֶת־דָּמוֹ מִיֶּדְכֶם וּבִעַרְתִּי אֶתְכֶם
寝台の–上で 今こそ 当然 求める その 血を おまえたちの–手から そして–除く おまえたちを
H4904 H6258 H3808 H1245 H0853 H1818 H3027 H1197 H0853

מִן־הָאָרֶץ׃
その 地から
H0776

悪人が正しい人をその家の床の上で殺したときは、なおさらのことだ。今わたしが、彼の血を流した罪を報い、あなたがたを、この地から絶ち滅ぼさないでおくであろうか」。

12 וַיְצַו דָּוִד אֶת־הַנְּעָרִים וַיַּהַרְגוּם וַיְקַצְּצוּ אֶת־יְדֵיהֶם וְאֶת־רַגְלֵיהֶם וַיְתַלְּוּ עַל־הַבְּרֵכָה בְּחֶבְרוֹן וְאֵת רֹאשׁ אִישׁ־בֹּשֶׁת וַיִּקְבְּרוּ בְּקֶבֶר אַבְנֵר בְּחֶבְרוֹן׃ פ

וַיְצַו	דָּוִד	אֶת־	הַנְּעָרִים	וַיַּהַרְגוּם	וַיְקַצְּצוּ	אֶת־	יְדֵיהֶם	וְאֶת־	רַגְלֵיהֶם	וַיְתַלְּוּ	עַל־
そして–命じた	ダビデは	その	若者たちに	そして–殺した	そして–切り落とした	その	手と	そして	足を	そして–掛けた	その
H6680	H1732	H0853	H5288	H2026	H7112	H0853	H3027			H8518	

הַבְּרֵכָה	בְּחֶבְרוֹן	וְאֵת	רֹאשׁ	אִישׁ־בֹּשֶׁת	וַיִּקְבְּרוּ	בְּקֶבֶר	אַבְנֵר	בְּחֶבְרוֹן׃	פ		
池の–ほとりに	ヘブロンの	そして	頭を	イシュ	葬った	墓に	アブネルの	ヘブロンに	ペー		
H1295		H0853		H0378	H6912	H6913	H0074				

そしてダビデは若者たちに命じたので、若者たちは彼らを殺し、その手足を切り離し、ヘブロンの池のほとりで木に掛けた。人々はイシボセテの首を持って行って、ヘブロンにあるアブネルの墓に葬った。

Chapter 5

1 וַיָּבֹאוּ כָל־שִׁבְטֵי יִשְׂרָאֵל אֶל־דָּוִד חֶבְרוֹנָה וַיֹּאמְרוּ הִנֵּנוּ עַצְמְךָ וּבְשָׂרֶךָ אֲנָחְנוּ׃

וַיָּבֹאוּ	כָל־	שִׁבְטֵי	יִשְׂרָאֵל	אֶל־	דָּוִד	חֶבְרוֹנָה	וַיֹּאמְרוּ	הִנֵּנוּ	עַצְמְךָ	וּבְשָׂרֶךָ	אֲנָחְנוּ׃
そして–来た	すべての	部族が	イスラエルの	その	ダビデの–もとに	ヘブロンに	そして–言った	見よ–私たちは	あなたの–骨であり	肉である	私たちは
H0935	H3605	H7626	H3478	H0413	H1732		H0559	H2009	H6106	H1320	H0587

イスラエルのすべての部族はヘブロンにいるダビデのもとにきて言った、「われわれは、あなたの骨肉です。

2 גַּם־תְּמוֹל גַּם־שִׁלְשׁוֹם בִּהְיוֹת שָׁאוּל מֶלֶךְ עָלֵינוּ אַתָּה הָיִיתָ מוֹצִיא וּמֵבִיא אֶת־יִשְׂרָאֵל וַיֹּאמֶר יְהוָה לְךָ אַתָּה תִרְעֶה אֶת־עַמִּי אֶת־יִשְׂרָאֵל וְאַתָּה תִּהְיֶה לְנָגִיד עַל־יִשְׂרָאֵל׃

גַּם־	תְּמוֹל	גַּם־	שִׁלְשׁוֹם	בִּהְיוֹת	שָׁאוּל	מֶלֶךְ	עָלֵינוּ	אַתָּה	הָיִיתָ	מוֹצִיא	וּמֵבִיא	אֶת־	יִשְׂרָאֵל	וַיֹּאמֶר	יְהוָה	לְךָ	אַתָּה	תִרְעֶה	אֶת־
以前–から	昨日	以前–から	一昨日	サウルが–いた–時	サウルが	王で	私たちの–上に	あなたが	(導いて–いた)	[導き–出し]	(導き–出し)	その	イスラエルを	そして–言われた	主は	あなたに	あなたが	牧する	その
H1571	H0865	H1571	H8032	H1961	H7586	H4428			H1961	H3318	H3318	H0853	H3478	H0559	H3068				H0853

וְהַמֵּבִיא	אֶת־	עַמִּי	אֶת־	יִשְׂרָאֵל׃	עַל־	לְנָגִיד	תִּהְיֶה	וְאַתָּה	יִשְׂרָאֵל	אֶת־	עַמִּי
(導き–入れて–いた)	その	わが–民を	イスラエルを	イスラエルの	その上に	指導者に	なる	あなたが	イスラエルを	その	わが–民を
H0935	H0853		H3478			H5057	H1961		H3478	H0853	

先にサウルがわれわれの王であった時にも、あなたはイスラエルを率いて出入りされました。そして主はあなたに、『あなたはわたしの民イスラエルを牧するであろう。またあなたはイスラエルの君となるであろう』と言われました」。

3 וַיָּבֹאוּ כָל־זִקְנֵי יִשְׂרָאֵל אֶל־הַמֶּלֶךְ חֶבְרוֹנָה וַיִּכְרֹת לָהֶם הַמֶּלֶךְ דָּוִד בְּרִית בְּחֶבְרוֹן לִפְנֵי יְהוָה וַיִּמְשְׁחוּ אֶת־דָּוִד לְמֶלֶךְ עַל־יִשְׂרָאֵל׃ פ

וַיָּבֹאוּ	כָל־	זִקְנֵי	יִשְׂרָאֵל	אֶל־	הַמֶּלֶךְ	חֶבְרוֹנָה	וַיִּכְרֹת	לָהֶם	הַמֶּלֶךְ	דָּוִד	בְּרִית	בְּחֶבְרוֹן	לִפְנֵי	יְהוָה	וַיִּמְשְׁחוּ	אֶת־	דָּוִד	לְמֶלֶךְ	עַל־	יִשְׂרָאֵל׃	פ
そして–来た	すべての	長老が	イスラエルの	その	王の–もとに	ヘブロンに	そして–結んだ	彼らに	王が	ダビデが	契約を	ヘブロンで	主の–前で	主の	そして–油注いだ	その	ダビデを	王として	その上に	イスラエルの	ペー
H0935	H3605	H2205	H3478	H0413	H4428		H3772		H4428	H1732	H1285		H6440	H3068	H4886	H0853	H1732	H4428		H3478	

このようにイスラエルの長老たちが皆、ヘブロンにいる王のもとにきたので、ダビデ王はヘブロンで主の前に彼らと契約を結んだ。そして彼らはダビデに油を注いでイスラエルの王とした。

4

בֶּן־	שְׁלֹשִׁים	שָׁנָה	דָּוִד	בְּמָלְכוֹ	אַרְבָּעִים	שָׁנָה	מָלָךְ׃
子であった	三十	歳の	ダビデは	王と-なった-時	四十	年間	治めた
	H7970	H8141	H1732		H0705	H8141	

ダビデは王となったとき三十歳で、四十年の間、世を治めた。

5

בְּחֶבְרוֹן	מָלַךְ	עַל־	יְהוּדָה	שֶׁבַע	שָׁנִים	וְשִׁשָּׁה	חֳדָשִׁים	וּבִירוּשָׁלַ֣ם
ヘブロンで	治めた	その上に	ユダの	七	年と	六	ヶ月	エルサレムで
			H3063	H7651	H8141	H8337	H2320	H3389

שְׁלֹשִׁים	שָׁנָה	וְשָׁלֹשׁ	עַל	כָּל־	יִשְׂרָאֵל	וִיהוּדָה׃
三十	年間	三	その上に	すべての	イスラエルと	ユダの
H7970	H8141	H7969		H3605	H3478	H3063

すなわちヘブロンで七年六か月ユダを治め、またエルサレムで三十三年、全イスラエルとユダを治めた。

6

הָאָרֶץ	יוֹשֵׁב	הַיְבוּסִי	אֶל־	יְרוּשָׁלַ֣ם	וַאֲנָשָׁיו	הַמֶּלֶךְ	וַיֵּלֶךְ	
その-地の	住む-者	エブス人の-もとに	その	エルサレムに	その-人々は	王と	そして-行った	
H0776	H3427	H2983	H0413	H3389	H0376	H4428	H3212	

הֵסֵרְךָ	אִם־	כִּי	הֵנָּה	תָּבוֹא	לֹא־	לֵאמֹר	לְדָוִד	וַיֹּאמֶר
追い払えるなら	追い-払えば	ただし	ここに	入れない	入れない	言って	ダビデに	すると-言った
H5493			H2008	H0935	H3808	H0559	H1732	H0559

הֵנָּה׃	דָּוִד	יָבוֹא	לֹא־	לֵאמֹר	וְהַסְּחִים		הָעִוְרִים
ここに	ダビデは	入れない	入れない	言って	足の-不自由な-者が		盲人や
H2008	H1732	H0935	H3808	H0559			H5787

王とその従者たちとはエルサレムへ行って、その地の住民エブスびとを攻めた。エブスびとはダビデに言った、「あなたはけっして、ここに攻め入ることはできない。かえって、めしいや足なえでも、あなたを追い払うであろう」。彼らが「ダビデはここに攻め入ることはできない」と思ったからである。

7

דָּוִד׃	עִיר	הִיא	צִיּוֹן	מְצָדַת	אֶת	דָּוִד	וַיִּלְכֹּד
ダビデの	町である	それが	シオンの	要塞を	その	ダビデは	しかし-占領した
H1732		H1931	H6726		H0853	H1732	H3920

ところがダビデはシオンの要害を取った。これがダビデの町である。

8

בַּצִּנּוֹר	וְיִנַּע	יְבֵסִי	מַכֵּה	כָּל־	הַהוּא	בַּיּוֹם	דָּוִד	וַיֹּאמֶר
水路を	縦穴に-達して	エブス人を	打つ-者は	すべての	その	その-日	ダビデは	そして-言った
H6794	H5060	H2983	H5221	H3605	H1931	H3117	H1732	H0559

עַל־	דָּוִד	נֶפֶשׁ	שְׂנֵאִי)׃	]שנאו[	הָעִוְרִים	וְאֶת־	הַפִּסְחִים	וְאֶת־
それ-ゆえに	ダビデの	魂に	(憎まれた)	[憎まれた]	盲人を	そして	足の-不自由な-者と	そして
	H1732	H5315	H8130	H8130	H5787	H0853	H6455	H0853

הַבָּיִת׃	אֶל־	יָבוֹא	לֹא	וּפִסֵּחַ	עִוֵּר	יֹאמְרוּ	כֵּן
家に	その	入れない	入れない	足の-不自由な-者は	盲人と	言う	それゆえに
	H0413	H0935	H3808	H6455	H5787	H0559	

その日ダビデは、「だれでもエブスびとを撃とうとする人は、水をくみ上げる縦穴を上って行って、ダビデが心に憎んでいる足なえやめしいを撃て」と言った。それゆえに人々は、「めしいや足なえは、宮にはいってはならない」と言いならわしている。

9 וַיֵּשֶׁב דָּוִד בַּמְּצָדָה וַיִּקְרָא־לָהּ עִיר דָּוִד וַיִּבֶן מִלּוֹא וָבָיְתָה׃
そして-住んだ ダビデは 要塞に そして-呼んだ それを 町と ダビデの そして-建てた
H3427 H1732 H4407 H7121 H1732 H1129
ダビデはその要害に住んで、これをダビデの町と名づけた。またダビデはミロから内の周囲に城壁を築いた。

10 וַיֵּלֶךְ דָּוִד הָלוֹךְ וְגָדוֹל וַיהוָה אֱלֹהֵי צְבָאוֹת עִמּוֹ׃ פ
そして-進んだ ダビデは ますます 大きく-なった 主は 神が 共に-おられた ペー
H3212 H1732 H1980 H3068 H0430
こうしてダビデはますます大いなる者となり、かつ万軍の神、主が彼と共におられた。

11 וַיִּשְׁלַח חִירָם מֶלֶךְ־צֹר מַלְאָכִים אֶל־דָּוִד וַעֲצֵי אֲרָזִים וְחָרָשֵׁי עֵץ וְחָרָשֵׁי קִיר וַיִּבְנוּ־בַיִת לְדָוִד׃
ダビデのために 家を そして-建てた 壁の 石の 石の-職人と 木の 木の-職人と
H1732 H1129 H7023 H0068 H2796 H6086 H2796
ツロの王ヒラムはダビデに使者をつかわして、香柏および大工と石工を送った。彼らはダビデのために家を建てた。

12 וַיֵּדַע דָּוִד כִּי־הֱכִינוֹ יְהוָה לְמֶלֶךְ עַל־יִשְׂרָאֵל וְכִי נִשָּׂא מַמְלַכְתּוֹ עַל־עַמּוֹ יִשְׂרָאֵל׃ ס
そして-知った ダビデは まことに 立てたのだと 主が 王として その上に イスラエルの セラ
H3045 H1732 H3559 H3068 H4428 H5921 H3478
イスラエルの 民の その-民のために その-王国を 高めたのだと まことに
H3478 H5971 H5668 H4467 H5375 H3559
そしてダビデは主が自分を堅く立ててイスラエルの王とされたこと、主がその民イスラエルのためにその王国を興されたことを悟った。

13 וַיִּקַּח דָּוִד עוֹד פִּלַגְשִׁים וְנָשִׁים מִירוּשָׁלַ͏ִם אַחֲרֵי בֹאוֹ מֵחֶבְרוֹן וַיִּוָּלְדוּ עוֹד לְדָוִד בָּנִים וּבָנוֹת׃
来て-から 後に エルサレムから 妻たちを そばめと さらに ダビデは そして-めとった
H0935 H0310 H3389 H0802 H6370 H5750 H1732 H3947
娘たちが 息子と ダビデに さらに そして-生まれた ヘブロンから
H1323 H1121 H1732 H5750 H3205 H2275
ダビデはヘブロンからきて後、さらにエルサレムで妻とそばめを入れたので、むすこと娘がまたダビデに生れた。

14 וְאֵלֶּה שְׁמוֹת הַיִּלּוֹדִים לוֹ בִּירוּשָׁלָ͏ִם שַׁמּוּעַ וְשׁוֹבָב וְנָתָן וּשְׁלֹמֹה׃
これらが 名である 生まれた-者の 彼に エルサレムで シャムアと ショバブと ナタンと ソロモン
H0428 H8034 H3209 H3389 H8051 H7727 H5416 H8010
エルサレムで彼に生れた者の名は次のとおりである。シャンムア、ショバブ、ナタン、ソロモン、

15 וְיִבְחָר וֶאֱלִישׁוּעַ וְנֶפֶג וְיָפִיעַ׃
イブハルと エリシュアと ネフェグと ヤフィア
H2984 H0474 H5298 H3309

イブハル、エリシュア、ネペグ、ヤピア、

16 וֶאֱלִישָׁמָע וְאֶלְיָדָע וְאֱלִיפֶלֶט׃ פ
エリシャマと エルヤダと エリファレト ペー
H0476 H0450 H0467

エリシャマ、エリアダ、およびエリペレテ。

17 וַיִּשְׁמְעוּ פְלִשְׁתִּים כִּי־מָשְׁחוּ אֶת־דָּוִד לְמֶלֶךְ עַל־
すると–聞いた ペリシテ人は まことに 油注いだと その ダビデを 王として その上に
H8085 H6430 H3588 H4886 H0853 H1732 H4428

יִשְׂרָאֵל וַיַּעֲלוּ כָל־פְּלִשְׁתִּים לְבַקֵּשׁ אֶת־דָּוִד וַיִּשְׁמַע דָּוִד וַיֵּרֶד אֶל־הַמְּצוּדָה׃
イスラエルの そして–上って–来た すべての ペリシテ人が 求めるために その ダビデを すると–聞いた ダビデは その 要塞に
H3478 H5927 H3605 H6430 H1245 H0853 H1732 H8085 H3381 H0413

さてペリシテびとは、ダビデが油を注がれてイスラエルの王になったことを聞き、みな上ってきてダビデを捜したが、ダビデはそれを聞いて要害に下って行った。

18 וּפְלִשְׁתִּים בָּאוּ וַיִּנָּטְשׁוּ בְּעֵמֶק רְפָאִים׃
ペリシテ人は 来て 広がった 谷に レファイムの
H6430 H0935 H5203 H6010

ペリシテびとはきて、レパイムの谷に広がっていた。

19 וַיִּשְׁאַל דָּוִד בַּיהוָה לֵאמֹר הַאֶעֱלֶה אֶל־פְּלִשְׁתִּים
そして–尋ねた ダビデは 主に 言って 上るべきか その ペリシテ人に–向かって
H7592 H1732 H3068 H0559 H5927 H0413 H6430

הֲתִתְּנֵם בְּיָדִי וַיֹּאמֶר יְהוָה אֶל־דָּוִד עֲלֵה כִּי־נָתוֹן אֶתְּנָה אֶת־פְּלִשְׁתִּים בְּיָדֶךָ׃
渡して–くださるか 私の–手に すると–言われた 主は その ダビデに 上れ まことに 渡す わたしが–渡す ペリシテ人を あなたの–手に
H5414 H3027 H0559 H3068 H0413 H1732 H5927 H3588 H5414 H6430 H0853 H3027

ダビデは主に問うて言った、「ペリシテびとに向かって上るべきでしょうか。あなたは彼らをわたしの手に渡されるでしょうか」。主はダビデに言われた、「上るがよい。わたしはかならずペリシテびとをあなたの手に渡すであろう」。

20 וַיָּבֹא דָוִד בְּבַעַל־פְּרָצִים וַיַּכֵּם שָׁם דָּוִד וַיֹּאמֶר
そして–来た ダビデは バアル–ペラツィムに そして–打った そこで ダビデは そして–言った
H0935 H1732 H1188 H5221 H8033 H1732 H0559

פָּרַץ יְהוָה אֶת־אֹיְבַי לְפָנַי כְּפֶרֶץ מָיִם עַל־כֵּן קָרָא שֵׁם־הַמָּקוֹם הַהוּא בַּעַל־פְּרָצִים׃
突き–破った 主が 敵を 私の–前に 水が–突き–破るように それゆえに それ–ゆえに 名を その–場所の その バアル–ペラツィムと
H6555 H3068 H0853 H0341 H6440 H4325 H6556 H3651 H8034 H4725 H1931 H1188

そこでダビデはバアル・ペラジムへ行って、彼らをその所で撃ち破り、そして言った、「主は、破り出る水のように、敵をわたしの前に破られた」。それゆえにその所の名はバアル・ペラジムと呼ばれている。

21 וַיַּעַזְבוּ־שָׁם אֶת־עֲצַבֵּיהֶם וַיִּשָּׂאֵם דָּוִד וַאֲנָשָׁיו׃ פ
そして–捨てた そこに その 偶像を そして–運び–去った ダビデと その–人々が ペー
H5800 H8033 H853 H6091 H5375 H1732 H376

ペリシテびとはその所に彼らの偶像を捨てて行ったので、ダビデとその従者たちはそれを運び去った。

22 וַיֹּסִפוּ עוֹד פְּלִשְׁתִּים לַעֲלוֹת וַיִּנָּטְשׁוּ בְּעֵמֶק רְפָאִים׃
そして–再び–上って–来た ペリシテ人は 再び 上って–来た そして–広がった 谷に レファイムの
H3254 H6430 H5750 H5927 H5203 H6010

ペリシテびとが、ふたたび上ってきて、レパイムの谷に広がったので、

23 וַיִּשְׁאַל דָּוִד בַּיהוָה וַיֹּאמֶר לֹא תַעֲלֶה סֹב אֲחֲרֵיהֶם וּבָאתָ לָהֶם מִמּוּל בְּכָאִים׃
そして–尋ねた ダビデは 主に 言われた すると–上るな 上るな 回れ その 彼らの–後ろに 彼らに 向かい–側から バカの–木の
H7592 H1732 H3068 H0559 H3808 H5927 H5437 H0413 H4136 H1057

ダビデは主に問うたが、主は言われた、「上ってはならない。彼らのうしろに回り、バルサムの木の前から彼らを襲いなさい。

24 וְיִהִי כְּשָׁמְעֲךָ [בשמעך] קוֹל צְעָדָה בְּרָאשֵׁי הַבְּכָאִים אָז תֵּצֵא כִּי אָז יָצָא יְהוָה לְפָנֶיךָ לְהַכּוֹת בְּמַחֲנֵה פְלִשְׁתִּים׃
そして–なる [聞こえたら] (聞こえたら) 音が 行進の 頂から バカの–木の その–時 その–時 出る 主が 前に–おまえの 打つために 陣営を ペリシテ人の
H1961 H8085 H8085 H6963 H6963 H1057 H0227 H3318 H3068 H6440 H5221 H4264 H6430

バルサムの木の上に行進の音が聞えたならば、あなたは奮い立たなければならない。その時、主があなたの前に出て、ペリシテびとの軍勢を撃たれるからである」。

25 וַיַּעַשׂ דָּוִד כַּאֲשֶׁר צִוָּהוּ יְהוָה וַיַּךְ אֶת פְּלִשְׁתִּים מִגֶּבַע בֹּאֲךָ עַד גָּזֵר׃
そして–行った ダビデは そのとおり 命じた–とおりに 主が そして–打った その ペリシテ人を ゲバから 入り口まで ゲゼル–まで ゲゼルの
H6213 H1732 H3651 H6680 H3068 H5221 H0853 H6430 H1387 H0935 H5704 H1507

ダビデは、主が命じられたようにして、ペリシテびとを撃ち、ゲバからゲゼルに及んだ。

Chapter 6

1 וַיֹּסֶף עוֹד דָּוִד אֶת כָּל בָּחוּר בְּיִשְׂרָאֵל שְׁלֹשִׁים
そして–再び–集めた さらに ダビデは ～を すべての 精鋭の–者を イスラエルの–中から 三万
H0622 H5750 H1732 H0853 H3605 H0977 H3478 H7970

אָלֶף׃
人を
H0505

ダビデは再びイスラエルのえり抜きの者三万人をことごとく集めた。

2 וַיָּקָם וַיֵּלֶךְ דָּוִד וְכָל־הָעָם אֲשֶׁר אִתּוֹ
そして–立ち上がり そして–行った ダビデは そして–すべての 民と ところの 彼と–共にいる
H3212 H1732 H3605 H0854

מִשָּׁם בַּעֲלֵי יְהוּדָה לַעֲלוֹת מִשָּׁם אֵת אֲרוֹן הָאֱלֹהִים אֲשֶׁר־נִקְרָא
そこから バアレ・ユダから 運び上げる–ために そこから ～を 箱を 神の そこには 呼ばれている
H8033 H1184 H5927 H8033 H0853 H0727 H0430 H7121

שֵׁם יְהוָה צְבָאוֹת יֹשֵׁב הַכְּרֻבִים עָלָיו׃
名が 名すなわち 主 万軍の 座しておられる ケルビムの–上に その–上に
H8034 H8034 H3068 H6635 H3427 H3742

そしてダビデは立って、自分と共にいるすべての民と共にバアレ・ユダへ行って、神の箱をそこからかき上ろうとした。この箱はケルビムの上に座しておられる万軍の主の名をもって呼ばれている。

3 וַיַּרְכִּבוּ אֶת־אֲרוֹן הָאֱלֹהִים עַל־עֲגָלָה חֲדָשָׁה וַיִּשָּׂאֻהוּ מִבֵּית
そして–載せた 箱を ～を 神の ～の–上に 車 新しい そして–運び出した ～の–家から
H7392 H0727 H0853 H0430 H0413 H5699 H2319 H5375 H1004

אֲבִינָדָב אֲשֶׁר בַּגִּבְעָה וְאַחְיוֹ בְּנֵי אֲבִינָדָב נֹהֲגִים אֶת־הָעֲגָלָה חֲדָשָׁה׃
アビナダブの ところの 丘の–上にある そして–ウザと そして–アフヨは 息子たち アビナダブの 導いていた ～を その–車を 新しい
H0041 H1389 H5284 H0283 H1121 H0041 H5090 H0853 H5699 H2319

彼らは神の箱を新しい車に載せて、山の上にあるアビナダブの家から運び出した。

4 וַיִּשָּׂאֻהוּ מִבֵּית אֲבִינָדָב אֲשֶׁר בַּגִּבְעָה עִם אֲרוֹן הָאֱלֹהִים וְאַחְיוֹ הֹלֵךְ לִפְנֵי הָאָרוֹן׃
そして–運んだ ～の–家から アビナダブの ところの 丘の–上にある 共に 箱と 神の そして–アフヨは 歩いていた 前を 箱の
H5375 H1004 H0041 H0834 H1389 H5973 H0727 H0430 H0284 H1980 H6440 H0727

アビナダブの子たち、ウザとアヒオとが神の箱を載せた新しい車を指揮し、ウザは神の箱のかたわらに沿い、アヒオは箱の前に進んだ。

5 וְדָוִד וְכָל־בֵּית יִשְׂרָאֵל מְשַׂחֲקִים לִפְנֵי יְהוָה בְּכָל עֲצֵי בְרוֹשִׁים וּבְכִנֹּרוֹת וּבִנְבָלִים וּבְתֻפִּים וּבִמְנַעֲנָעִים וּבִצְלָצֵלִים׃
そして–ダビデと そして–すべての 家は イスラエルの 喜び踊っていた 主の–前で あらゆる 木の 糸杉の–楽器で そして–竪琴で そして–琴で そして–太鼓で そして–鈴で そして–シンバルで
H1732 H3605 H1004 H3478 H7832 H6440 H3068 H3605 H6086 H1265 H3658 H5035 H8596 H4517 H6767

ダビデとイスラエルの全家は琴と立琴と手鼓と鈴とシンバルとをもって歌をうたい、力をきわめて、主の前に踊った。

6 וַיָּבֹאוּ עַד־נָכוֹן גֹּרֶן נָכוֹן וַיִּשְׁלַח עֻזָּא אֶל־אֲרוֹן הָאֱלֹהִים וַיֹּאחֶז בּוֹ כִּי שָׁמְטוּ הַבָּקָר׃
そして–来た ～まで ナコンの 打ち場の ナコンの そして–伸ばした ウザは ～に 箱に 神の そして–つかんだ それを なぜなら つまずいた 牛が
H0935 H5704 H5225 H1637 H5225 H7971 H5798 H0413 H0727 H0430 H0270 H0907 H3588 H8058 H1241

彼らがナコンの打ち場にきた時、ウザは神の箱に手を伸べて、それを押えた。牛がつまずいたからである。

עַל־	הָאֱלֹהִים	שָׁם	וַיַּכֵּהוּ	בְּעֻזָּה	יְהוָה	אַף	וַיִּחַר־
～の–ゆえに	神は	そこで	そして–打った	ウザに–対して	主の	怒りが	そして–燃えた
H0430		H8033	H5221		H3068	H0639	H2734

7

:הָאֱלֹהִים	אֲרוֹן	עִם	שָׁם	וַיָּמָת	הַשָּׁל	
神の	箱の	傍らで	そこで	そして–死んだ	過失の	
H0430	H0727		H8033	H4191	H7944	

すると主はウザに向かって怒りを発し、彼が手を箱に伸べたので、彼をその場で撃たれた。彼は神の箱のかたわらで死んだ。

בְּעֻזָּה	פֶּרֶץ	יְהוָה	פָּרֶץ	אֲשֶׁר	עַל	לְדָוִד	וַיִּחַר	
ウザに	裂き目を	主が	破られた–ことを	その	～について	ダビデは	そして–怒った	
	H6556	H3068	H6555			H1732	H2734	

8

:הַזָּה	הַיּוֹם	עַד	עֻזָּה	פֶּרֶץ	הַהוּא	לַמָּקוֹם	וַיִּקְרָא
この	今日	～まで	ウザと	ペレツ	その	その–場所を	そして–呼んだ
H2088	H3117	H5704	H6560	H6560	H1931	H4725	H7121

主がウザを撃たれたので、ダビデは怒った。その所は今日までペレヅ・ウザと呼ばれている。

יָבוֹא	אֵיךְ	וַיֹּאמֶר	הַהוּא	בַּיּוֹם	יְהוָה	אֶת־	דָּוִד	וַיִּרָא
来るだろうか	どうして	そして–言った	その	その–日に	主を	～を	ダビデは	そして–恐れた
H0935		H0559	H1931	H3117	H3068	H0853	H1732	H3372

9

:יְהוָה	אֲרוֹן	אֵלָי	
主の	箱が	私の–もとに	
H3068	H0727	H0413	

その日ダビデは主を恐れて言った、「どうして主の箱がわたしの所に来ることができようか」。

עַל־	יְהוָה	אֲרוֹן	אֶת־	אֵלָיו	לְהָסִיר	דָּוִד	אָבָה	וְלֹא־
～へ	主の	箱を	～を	自分の–もとに	移す–ことを	ダビデは	望まなかった	そして–ない
	H3068	H0727	H0853	H0413	H5493	H1732	H0014	H3808

10

:הַגִּתִּי	אֱדֹם	עֹבֵד־	בֵּית	דָּוִד	וַיַּטֵּהוּ	דָּוִד	עִיר
ガテ人の	エドムの	オベデ	家に	ダビデは	そして–向けた	ダビデの	町に
H1663	H5654	H5654		H1732	H5186	H1732	

ダビデは主の箱をダビデの町に入れることを好まず、これを移してガテびとオベデエドムの家に運ばせた。

חֳדָשִׁים	שְׁלֹשָׁה	הַגִּתִּי	אֱדֹם־עֹבֵד	בֵּית	יְהוָה	אֲרוֹן	וַיֵּשֶׁב	
か月	三	ガテ人の	オベデ・エドムの	家に	主の	箱は	そして–とどまった	
H2320	H7969	H1663	H5654		H3068	H0727	H3427	

11

:בֵּיתוֹ	כָּל־	וְאֶת־	אֱדֹם־עֹבֵד	אֶת־	יְהוָה	וַיְבָרֶךְ	
その–家を	すべての	そして–～を	オベデ・エドムと	～を	主は	そして–祝福した	
	H3605	H0853	H5654	H0853	H3068	H1288	

神の箱はガテびとオベデエドムの家に三か月とどまった。主はオベデエドムとその全家を祝福された。

12 וַיֻּגַּד לַמֶּלֶךְ דָּוִד לֵאמֹר יְהוָה בֵּרַךְ אֶת־בֵּית עֹבֵד אֱדֹם וְאֶת־כָּל־אֲשֶׁר־לוֹ בַּעֲבוּר אֲרוֹן הָאֱלֹהִים וַיֵּלֶךְ דָּוִד וַיַּעַל אֶת־אֲרוֹן הָאֱלֹהִים מִבֵּית עֹבֵד אֱדֹם עִיר דָּוִד בְּשִׂמְחָה׃

そして–告げられた ダビデに 王に 言って 祝福した 主は ～を 家を オベデ・エドムの
H5046 H1732 H4428 H0559 H1288 H3068 H0853 H1088 H5654

そして–行った ダビデは 神の 箱の ～の–ゆえに 彼のものを ～の すべて そして–～を
H3212 H1732 H0430 H0727 H5668 H3605 H0853

ダビデの 町へ オベデ・エドムの ～の–家から 神の 箱を ～を そして–運び上げた
H1732 H5654 H0430 H0727 H0853 H5927

喜びをもって
H8057

しかしダビデ王は、「主が神の箱のゆえに、オベデエドムの家とそのすべての所有を祝福されている」と聞き、ダビデは行って、喜びをもって、神の箱をオベデエドムの家からダビデの町にかき上った。

13 וַיְהִי כִּי צָעֲדוּ נֹשְׂאֵי אֲרוֹן יְהוָה שִׁשָּׁה צְעָדִים וַיִּזְבַּח שׁוֹר וּמְרִיא׃

そして–なった ～とき 歩んだ 担ぐ–者たちが 箱を 主の 六 歩 そして–捧げた
H1961 H3588 H6805 H5375 H0727 H3068 H8337 H6806 H2076

雄牛と 肥えた–家畜を
H7794 H4806

主の箱をかく者が六歩進んだ時、ダビデは牛と肥えた物を犠牲としてささげた。

14 וְדָוִד מְכַרְכֵּר בְּכָל־עֹז לִפְנֵי יְהוָה וְדָוִד חָגוּר אֵפוֹד בָּד׃

そして–ダビデは 踊っていた 全 力で 主の 主の–前で そして–ダビデは 身に–着けていた
H1732 H3769 H3605 H5797 H3068 H6440 H1732 H2296

エポデを 亜麻布の
H0646 H0906

そしてダビデは力をきわめて、主の箱の前で踊った。その時ダビデは亜麻布のエポデをつけていた。

15 וְדָוִד וְכָל־בֵּית יִשְׂרָאֵל מַעֲלִים אֶת־אֲרוֹן יְהוָה בִּתְרוּעָה וּבְקוֹל שׁוֹפָר׃

そして–ダビデと そして–すべての 家は イスラエルの 運び上げていた ～を 箱を 主の
H1732 H3605 H1004 H3478 H5927 H0853 H0727 H3068

歓声と–共に そして–角笛の–音と–共に 角笛の
H8643 H7782

こうしてダビデとイスラエルの全家とは、喜びの叫びと角笛の音をもって、神の箱をかき上った。

16 וְהָיָה אֲרוֹן יְהוָה בָּא עִיר דָּוִד וּמִיכַל בַּת־שָׁאוּל נִשְׁקְפָה בְעַד הַחַלּוֹן וַתֵּרֶא אֶת־הַמֶּלֶךְ דָּוִד מְפַזֵּז וּמְכַרְכֵּר לִפְנֵי יְהוָה וַתִּבֶז לוֹ בְּלִבָּהּ׃

そして–なった 箱が 主の 入った–とき ダビデの 町に そして–ミカルは 娘 サウルの
H1961 H0727 H3068 H0935 H1732 H5892 H4324 H1323 H7586

窓から ～を通して 見下ろした そして–見た 王 ダビデが 跳び–はねて
H2474 H1157 H8259 H7200 H4428 H1732 H6339

心の–中で 彼を そして–軽蔑した 主の 主の–前で そして–踊っている–のを
H0959 H3068 H6440 H3769

主の箱がダビデの町にはいった時、サウルの娘ミカルは窓からながめ、ダビデ王が主の前に舞い踊るのを見て、心のうちにダビデをさげすんだ。

17 וַיָּבִאוּ אֶת־אֲרוֹן יְהוָה וַיַּצִּגוּ אֹתוֹ בְּמְקוֹמוֹ בְּתוֹךְ הָאֹהֶל
そして-運び入れた 箱を 主の そして-置いた それを 中に 幕屋の
H0935 H0853 H3068 H3322 H0853 H8432 H0168

אֲשֶׁר נָטָה־לוֹ דָּוִד וַיַּעַל דָּוִד עֹלוֹת וּשְׁלָמִים׃ לִפְנֵי יְהוָה
ところの 張った それのために ダビデが そして-捧げた ダビデは 全焼の-捧げ物を 主の-前に
H5186 H1732 H5927 H1732 H6440

主の箱をかき入れて、ダビデがそのために張った天幕の中のその場所に置いた。そしてダビデは燔祭と酬恩祭を主の前にささげた。

18 וַיְכַל דָּוִד מֵהַעֲלוֹת הָעוֹלָה וְהַשְּׁלָמִים וַיְבָרֶךְ
そして-終えた ダビデは 捧げる-ことを 全焼の-捧げ物と そして-和解の-捧げ物を そして-祝福した
H3615 H1732 H5927 H8002 H1288

אֶת־הָעָם בְּשֵׁם יְהוָה צְבָאוֹת׃
民を 名において 主 万軍の
H0853 H8034 H3068

ダビデは燔祭と酬恩祭をささげ終った時、万軍の主の名によって民を祝福した。

19 וַיְחַלֵּק לְכָל־הָעָם לְכָל־הֲמוֹן יִשְׂרָאֵל וְעַד־נְקֵבָה לְאִישׁ
そして-分け与えた すべての 民に すべての 群衆に イスラエルの そして-〜まで 男から
H3605 H3605 H3478 H5704 H0376

לְאִישׁ חַלַּת לֶחֶם אַחַת וְאִשְּׁפָר אֶחָד וַאֲשִׁישָׁה׃
各人に 丸い-パン パンの 一つ そして-肉の-一切れ 一つ そして-干し-ぶどうの-菓子
H0376 H2471 H3899 H0259 H0829 H0259 H0809

אִשָּׁה עַד־נְקֵבָה וַיֵּלֶךְ כָּל־הָעָם אִישׁ לְבֵיתוֹ׃
女まで 〜まで そして-帰った すべての 民は 各々 自分の-家に
H0802 H3212 H3605 H0376

そしてすべての民、イスラエルの全民衆に、男にも女にも、おのおのパンの菓子一個、肉一きれ、ほしぶどう一かたまりを分け与えた。こうして民はみなおのおのその家に帰った。

20 וַיָּשָׁב דָּוִד לְבָרֵךְ אֶת־בֵּיתוֹ וַתֵּצֵא מִיכַל בַּת־שָׁאוּל לִקְרַאת דָּוִד
そして-戻った ダビデは 祝福する-ために 自分の-家を 〜を そして-出て来た ミカルは 娘 サウルの 迎えに ダビデを
H7725 H1732 H1288 H0853 H3318 H4324 H1323 H7586 H7125 H1732

וַתֹּאמֶר מַה־נִּכְבַּד הַיּוֹם מֶלֶךְ יִשְׂרָאֵל אֲשֶׁר נִגְלָה הַיּוֹם לְעֵינֵי
そして-言った なんと 栄光ある-ことか 今日 王は イスラエルの その さらけ出した 今日 目の-前で
H0559 H4100 H3513 H3117 H4428 H3478 H1540 H3117 H5650

אַמְהוֹת עֲבָדָיו כְּהִגָּלוֹת אַחַד הָרֵקִים׃
女奴隷たちの 家来たちの あたかも-さらけ出す-ように 一人の 愚か者が
H0519 H5650 H1540 H0259 H7386

ダビデが家族を祝福しようとして帰ってきた時、サウルの娘ミカルはダビデを出迎えて言った、「きょうイスラエルの王はなんと威厳のあったことでしょう。いたずら者が、恥も知らず、その身を現すように、きょう家来たちのはしためらの前に自分の身を現されました」。

21 וַיֹּאמֶר דָּוִד אֶל־מִיכַל לִפְנֵי יְהוָה אֲשֶׁר בָּחַר־בִּי
そして–言った ダビデは ～に ミカルに 主の ～の–前で その方は 私を
H0559 H1732 H0413 H4324 H3068 H6440 H0977

מֵאָבִיךְ וּמִכָּל־בֵּיתוֹ לְצַוֹּת אֹתִי נָגִיד עַל־
あなたの–父よりも そして–すべての 私に 命じる–ために その–家よりも 指導者として ～の–上に
H0001 H3605 H0853 H6680 H5057

עַם יְהוָה וְשִׂחַקְתִּי לִפְנֵי יְהוָה׃
民の 主の 主の–前で そして–喜び踊った
H3068 H6440 H7832

עַל־יִשְׂרָאֵל
すなわち イスラエルの–上に
H3478

ダビデはミカルに言った、「あなたの父よりも、またその全家よりも、むしろわたしを選んで、主の民イスラエルの君とせられた主の前に踊ったのだ。わたしはまた主の前に踊るであろう。

22 וְעִם־ בְּעֵינֶיךָ שָׁפָל וְהָיֵיתִי מִזֹּאת עוֹד וְנִקַלֹּתִי
そして–～と共に 自分の–目に 低い–者に そして–なろう これよりも さらに そして–卑しくなろう
H7043 H5750 H2063 H1961 H8217

וְעִם־ הָאֲמָהוֹת אֲשֶׁר אָמַרְתְּ אִכָּבֵדָה׃ עִמָּם
女奴隷たちと あなたが–言った 言った 尊ばれよう 彼女たちと–共に
H0519 H0559 H3513

わたしはこれよりももっと軽んじられるようにしよう。そしてあなたの目には卑しめられるであろう。しかしわたしは、あなたがさきに言った、はしためたちに誉を得るであろう」。

23 וּלְמִיכַל בַּת־שָׁאוּל לֹא־הָיָה לָהּ יֶלֶד עַד יוֹם
そして–ミカルには 娘 サウルの なかった いなかった 彼女に 子が ～まで 日
H4324 H1323 H7586 H3808 H1961 H3206 H5704 H3117

מוֹתָהּ׃ פ
その–死の （段落）
H4194

こうしてサウルの娘ミカルは死ぬ日まで子供がなかった。

Chapter 7

1 וַיְהִי כִּי־יָשַׁב הַמֶּלֶךְ בְּבֵיתוֹ וַיהוָה הֵנִיחַ־לוֹ
そして–なった ～とき 住んでいた 王が 自分の–家に そして–主は 彼に 安息を–与えた
H1961 H3427 H4428 H3068 H5117

מִכָּל־אֹיְבָיו׃ מִסָּבִיב
すべての 敵から 周囲から
H3605 H0341 H5439

さて、王が自分の家に住み、また主が周囲の敵をことごとく打ち退けて彼に安息を賜わった時、

2 וַיֹּאמֶר הַמֶּלֶךְ אֶל־נָתָן הַנָּבִיא רְאֵה נָא אָנֹכִי יוֹשֵׁב
そして–言った 王は ～に ナタン 預言者に 見よ どうか 私は 住んでいる
H0559 H4428 H0413 H5416 H5030 H7200 H0595 H3427

בְּבֵית אֲרָזִים וַאֲרוֹן הָאֱלֹהִים יֹשֵׁב בְּתוֹךְ הַיְרִיעָה׃
しかし–箱は 神の 置かれている 中に 幕の
H0727 H0430 H3427 H8432 H3407

בֵּית
家に
H1004

王は預言者ナタンに言った、「見よ、今わたしは、香柏の家に住んでいるが、神の箱はなお幕屋のうちにある」。

3

עֲשֵׂה	לֵךְ	בְּלְבָבְךָ	אֲשֶׁר	כָּל	הַמֶּלֶךְ	אֶל־	נָתָן	וַיֹּאמֶר
なさい	行って	あなたの–心に–ある–ことを	～の	すべて	王に	～に	ナタンは	そして–言った
	H3212	H3824		H3605	H4428	H0413	H5416	H0559

ס	עִמָּךְ׃	יְהוָה	כִּי
（段落）	あなたと–共に–おられる	主が	なぜなら
		H3068	

ナタンは王に言った、「主があなたと共におられますから、行って、すべてあなたの心にあるところを行いなさい」。

4

לֵאמֹר׃	נָתָן	אֶל־	יְהוָה	דְּבַר־	וַיְהִי	הַהוּא	בַּלַּיְלָה	וַיְהִי
言って	ナタンに	～に	主の	言葉が	そして–あった	その	夜に	そして–なった
H0559	H5416	H0413	H3068	H1697	H1961	H1931	H3915	H1961

その夜、主の言葉がナタンに臨んで言った、

5

הַאַתָּה	יְהוָה	אָמַר	כֹּה	דָּוִד	אֶל־	עַבְדִּי	אֶל־	וְאָמַרְתָּ	לֵךְ
あなたが	主は	言った	こう	ダビデに	すなわち	わが–しもべ	～に	そして–言え	行って
	H3068	H0559	H3541	H1732	H0413	H5650	H0413	H0559	H3212

לְשִׁבְתִּי׃	בַּיִת	לִי	תִּבְנֶה־
わたしが–住む–ために	家を	わたしの–ために	建てる–のか
H3427			H1129

「行って、わたしのしもべダビデに言いなさい、『主はこう仰せられる。あなたはわたしの住む家を建てようとするのか。

6

בְּנֵי	אֶת־	הַעֲלֹתִי	לְמִיּוֹם	בְּבַיִת	יָשַׁבְתִּי	לֹא	כִּי	
子ら–を	～を	わたしが–導き上げた	～の–日から	家に	わたしは–住んだ–ことが	ない	なぜなら	
	H0853	H5927	H3117		H3427	H3808		

מִתְהַלֵּךְ	וָאֱהְיֶה	הַזֶּה	הַיּוֹם	וְעַד	מִמִּצְרַיִם	יִשְׂרָאֵל
歩み–回って	そして–わたしは–いた	この	日	そして–～まで	エジプトから	イスラエルの
H1980	H1961	H2088	H3117	H5704	H4714	H3478

וּבְמִשְׁכָּן׃	בְּאֹהֶל
そして–幕屋の–中で	天幕の–中で
H4908	H0168

わたしはイスラエルの人々をエジプトから導き出した日から今日まで、家に住まわず、天幕をすまいとして歩んできた。

7

הַדָּבָר	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי	בְּכָל־	הִתְהַלַּכְתִּי	אֲשֶׁר־	בְּכָל
言葉を	イスラエルの	子ら–と	すべての	わたしが–歩んだ	～の	すべての–所で
H1697	H3478		H3605	H1980		H3605

לִרְעוֹת	צִוִּיתִי	אֲשֶׁר	יִשְׂרָאֵל	שִׁבְטֵי	אַחַד	אֶת־	דִּבַּרְתִּי
牧する–ように	わたしが–命じた	その	イスラエルの	部族に	一つの	～に	わたしは–語った–か
	H6680		H3478	H7626	H0259	H0854	H1696

בְּנִיתֶם	לֹא־	לָמָּה	לֵאמֹר	יִשְׂרָאֵל	אֶת־	עַמִּי	אֶת־
あなたがたは–建てた	ない	なぜ	言って	イスラエルを	すなわち	わが–民を	～を
H1129	H3808	H4100	H0559	H3478	H0853		H0853

אֲרָזִים׃	בַּיִת	לִי
杉の	家を	わたしの–ために
H0730		

わたしがイスラエルのすべての人々と共に歩んだすべての所で、わたしがわたしの民イスラエルを牧することを命じたイスラエルのさばきづかさのひとりに、ひと言でも「どうしてあなたがたはわたしのために香柏の家を建てないのか」と、言ったことがあるであろうか』。

8 וְעַתָּה כֹּה־תֹאמַר לְעַבְדִּי לְדָוִד כֹּה אָמַר יְהוָה צְבָאוֹת אֲנִי
そして–今 こう 言え わが–しもべ ダビデに こう 言った 主は 万軍の わたしは
H6258 H3541 H0559 H5650 H1732 H3541 H0559 H3068 H6629 H0589

לְקַחְתִּיךָ מִן־הַנָּוֶה מֵאַחַר הַצֹּאן לִהְיוֹת נָגִיד עַל־עַמִּי
あなたを–取った ～から 牧場から 後ろから 羊の なる–ため 指導者に わが–民の
H3947 H4480 H5116 H0310 H6629 H1961 H5057 H5921 H5971

עַל־יִשְׂרָאֵל׃
すなわち イスラエルの
H5921 H3478

それゆえ、今あなたは、わたしのしもべダビデにこう言いなさい、『万軍の主はこう仰せられる。わたしはあなたを牧場から、羊に従っている所から取って、わたしの民イスラエルの君とし、

9 וָאֶהְיֶה עִמְּךָ בְּכֹל אֲשֶׁר הָלַכְתָּ וָאַכְרֵתָה
そして–わたしは–いた あなたと–共に すべての–所で ～の あなたが–行った そして–断ち滅ぼした
H1961 H5973 H3605 H0834 H1980 H3772

מִפָּנֶיךָ אֶת־כָּל־אֹיְבֶיךָ וְעָשִׂתִי לְךָ שֵׁם גָּדוֹל
あなたの–前から ～を すべての あなたの–敵を そして–作った あなたの–ために 名を 大いなる
H6440 H0853 H3605 H0341 H6213 H7760 H8034 H1419

כְּשֵׁם הַגְּדֹלִים אֲשֶׁר בָּאָרֶץ׃
名の–ように 偉大な–者たちの ところの 地の–上の
H8034 H1419 H0834 H0776

あなたがどこへ行くにも、あなたと共におり、あなたのすべての敵をあなたの前から断ち去った。わたしはまた地上の大いなる者の名のような大いなる名をあなたに得させよう。

10 וְשַׂמְתִּי מָקוֹם לְעַמִּי לְיִשְׂרָאֵל וּנְטַעְתִּיו וְשָׁכַן תַּחְתָּיו
そして–定めた 場所を わが–民の–ために イスラエルの–ために そして–植えた そして–住む そこに
H7760 H4725 H5971 H3478 H5193 H7931 H8478

וְלֹא יִרְגַּז עוֹד וְלֹא־יֹסִיפוּ בְנֵי־עַוְלָה לְעַנּוֹתוֹ
そして–ない おののく–ことは もう そして–ない 続ける 子ら–が 不正の 苦しめる–ことを
H3808 H7264 H5750 H3808 H3254 H1121 H5766 H6031

כַּאֲשֶׁר בָּרִאשׁוֹנָה׃
～の–ように 以前の
H0834 H7223

そしてわたしの民イスラエルのために一つの所を定めて、彼らを植えつけ、彼らを自分の所に住ませ、重ねて動くことのないようにするであろう。

11 וּלְמִן־הַיּוֹם אֲשֶׁר צִוִּיתִי שֹׁפְטִים עַל־עַמִּי
そして–～から 日 その わたしが–命じた さばきつかさたちを ～の–上に わが–民
H3117 H0834 H6680 H8199 H5921 H5971

יִשְׂרָאֵל וַהֲנִיחֹתִי לְךָ מִכָּל־אֹיְבֶיךָ וְהִגִּיד לְךָ
イスラエルの そして–安息を–与えた あなたに すべての–から あなたの–敵から そして–告げた あなたに
H3478 H5117 H0853 H3605 H0341 H5046

יְהוָה כִּי־בַיִת יַעֲשֶׂה לְךָ יְהוָה׃
主は ～ということを 家を 造る あなたの–ために 主が
H3068 H3588 H1004 H6213 H0853 H3068

また前のように、わたしがわたしの民イスラエルの上にさばきづかさを立てた日からこのかたのように、悪人が重ねてこれを悩ますことはない。わたしはあなたのもろもろの敵を打ち退けて、あなたに安息を与えるであろう。主はまた「あなたのために家を造る」と仰せられる。

12 וְכִי יִמְלְאוּ יָמֶיךָ וְשָׁכַבְתָּ אֶת־אֲבֹתֶיךָ וַהֲקִימֹתִי
なぜなら 満ちる–とき あなたの–日が 横たわる そして–横たわる ～と–共に あなたの–先祖と そして–起こす
H3588 H4390 H3117 H7901 H0854 H0001 H6965

אֶת־זַרְעֲךָ אֲשֶׁר יֵצֵא מִמֵּעֶיךָ וַהֲכִינֹתִי אֶת־מַמְלַכְתּוֹ׃
あなたの–子孫を ところの 出る あなたの–身から そして–堅くする ～を その–王国を
H2233 H0834 H3318 H4578 H3559 H0853 H4467

あなたが日が満ちて、先祖たちと共に眠る時、わたしはあなたの身から出る子を、あなたのあとに立てて、その王国を堅くするであろう。

13 הוּא יִבְנֶה־בַּיִת לִשְׁמִי וְכוֹנַנְתִּי אֶת־כִּסֵּא מַמְלַכְתּוֹ עַד־
彼が 建てる 家を わたしの–名のために そして–堅く–する ～を 王座を その–王国の ～まで
H1931 H1129 H1004 H8034 H3559 H0853 H3678 H4467 H5704

עוֹלָם׃
永遠に
H5769

彼はわたしの名のために家を建てる。わたしは長くその国の位を堅くしよう。

14 אֲנִי אֶהְיֶה־לּוֹ לְאָב וְהוּא יִהְיֶה־לִּי לְבֵן אֲשֶׁר
わたしは なる 彼にとって 父と そして–彼は なる わたしにとって 子と もし
H0589 H1961 H0001 H1931 H1961 H0001 H0834

בְּהַעֲוֹתוֹ וְהֹכַחְתִּיו בְּשֵׁבֶט אֲנָשִׁים וּבִנְגָעֵי בְּנֵי אָדָם׃
罪を–犯す–なら そして–懲らしめる 杖で 人間の そして–打ち傷で 子らの 人の
H6588 H3198 H7626 H0376 H5061 H1121 H0120

わたしは彼の父となり、彼はわたしの子となるであろう。もし彼が罪を犯すならば、わたしは人のつえと人の子のむちをもって彼を懲らす。

15 וְחַסְדִּי לֹא־יָסוּר מִמֶּנּוּ כַּאֲשֶׁר הֲסִרֹתִי מֵעִם שָׁאוּל
しかし–わが–恵みは ない 離れる 彼から ～の–ように わたしが–退けた ～から サウルを
H3808 H5493 H4480 H0834 H5493 H4480 H7586

אֲשֶׁר הֲסִרֹתִי מִלְּפָנֶיךָ׃
その者を わたしが–退けた あなたの–前から
H0834 H5493 H6440

しかしわたしはわたしのいつくしみを、わたしがあなたの前から除いたサウルから取り去ったように、彼からは取り去らない。

16 וְנֶאְמַן בֵּיתְךָ וּמַמְלַכְתְּךָ עַד־עוֹלָם לְפָנֶיךָ
そして–確かである あなたの–家は そして–あなたの–王国は ～まで 永遠に あなたの–前に
H0539 H1004 H4467 H5704 H5769 H6440

כִּסְאֲךָ יִהְיֶה נָכוֹן עַד־עוֹלָם׃
あなたの–王座は なる 堅く ～まで 永遠に
H3678 H1961 H3559 H5704 H5769

あなたの家と王国はわたしの前に長く保つであろう。あなたの位は長く堅うせられる』」。

17 כְּכֹל הַדְּבָרִים הָאֵלֶּה וּכְכֹל הַחִזָּיוֹן הַזֶּה כֵּן דִּבֶּר נָתָן אֶל־דָּוִד׃ ס

すべての H3605 言葉の H1697 これらの H0428 そして-すべての H3605 幻の H2384 この H2088 その-とおりに 語った H1696 ナタンは H5416 （段落） ダビデに H1732 ～に H0413

ナタンはすべてこれらの言葉のように、またすべてこの幻のようにダビデに語った。

18 וַיָּבֹא הַמֶּלֶךְ דָּוִד וַיֵּשֶׁב לִפְנֵי יְהוָה וַיֹּאמֶר מִי אֲנֹכִי אֲדֹנָי יְהוִה וּמִי בֵיתִי כִּי הֲבִיאֹתָנִי עַד־הֲלֹם׃

そして-来た H0935 王 H4428 ダビデは H1732 そして-座った H3427 主の-前に H6440 主の H3068 言った H0559 そして- H0559 誰 H4310 私は H0595 ここまで H1988 ～まで H5704 導いて-くださった H0935 なぜなら わが-家は H1004 そして-何 H4310 神よ H3069 主よ H0136

その時ダビデ王は、はいって主の前に座して言った、「主なる神よ、わたしがだれ、わたしの家が何であるので、あなたはこれまでわたしを導かれたのですか。

19 וַתְּקַטֹּן עוֹד זֹאת בְּעֵינֶיךָ אֲדֹנָי יְהוִה וַתְּדַבֵּר גַּם אֶל־בֵּית עַבְדְּךָ לְמֵרָחוֹק וְזֹאת תּוֹרַת הָאָדָם אֲדֹנָי יְהוִה׃

そして-小さかった H6994 なお H5750 これは H2063 主よ H0136 神よ H3069 そして-語った H1696 また H1571 ～に-ついて H0413 遠い-先まで H7350 そして-これは H2063 教えである 人の-ための H0120 主よ H0136 神よ H3069 あなたの-しもべの H5650 家に-ついて

主なる神よ、これはなおあなたの目には小さい事です。主なる神よ、あなたはまたしもべの家の、はるか後の事を語って、きたるべき代々のことを示されました。

20 וּמַה־יּוֹסִיף דָּוִד עוֹד לְדַבֵּר אֵלֶיךָ וְאַתָּה אֲדֹנָי יְהוִה יָדַעְתָּ אֶת־עַבְדֶּךָ׃

そして-何を H4100 加える-ことが-できようか H3254 ダビデは H1732 さらに H5750 語る-ことを H1696 あなたに H0413 そして-あなたは 知っておられる H3045 ～を H0853 あなたの-しもべを H5650 主よ H0136 神よ H3069

ダビデはこの上なにをあなたに申しあげることができましょう。主なる神よ、あなたはしもべを知っておられるのです。

21 בַּעֲבוּר דְּבָרְךָ וּכְלִבְּךָ עָשִׂיתָ אֶת־כָּל־הַגְּדוּלָּה הַזֹּאת לְהוֹדִיעַ עַבְדֶּךָ׃

～の-ゆえに H5668 あなたの-言葉の H1697 そして-あなたの-心の-ままに なされた H6213 ～を H0853 すべての H3605 偉大な-こと H1420 この H2063 知らせる-ために H3045 あなたの-しもべに H5650 ～に H0853

あなたの約束のゆえに、またあなたの心に従って、あなたはこのもろもろの大いなる事を行い、しもべにそれを知らせられました。

22 עַל־כֵּן גָּדַלְתָּ יְהוִה אֱלֹהִים כִּי אֵין כָּמוֹךָ וְאֵין אֱלֹהִים זוּלָתֶךָ בְּכֹל אֲשֶׁר שָׁמַעְנוּ בְאָזְנֵינוּ׃

それ-ゆえに H5921 偉大で-あられる H1431 主よ H0136 神よ H3069 ない H0369 なぜなら H3588 あなたの-ような-者は H3644 その-とおりに 私たちの-耳で H0241 私たちが-聞いた H8085 ～の H834 すべての-中で H3605 あなたの-ほかに H2108 神は H0430 そして-ない H0369

主なる神よ、あなたは偉大です。それは、われわれがすべて耳に聞いたところによれば、あなたのような者はなく、またあなたのほかに神はないからです。

23 וּמִי כְעַמְּךָ כְּיִשְׂרָאֵל גּוֹי אֶחָד בָּאָרֶץ אֲשֶׁר
そして–誰が あなたの–民の–ように イスラエルの–ように 国民 唯一の 地の–上で その者を
H4310 H6440 H3478 H0259 H0776

הָלְכוּ־ אֱלֹהִים לִפְדּוֹת־ לוֹ לְעָם וְלָשׂוּם לוֹ שֵׁם
行った 神が 贖う–ために 自分の–ため 民として そして–立てる–ため ご自身の–ため 名を
H1980 H0430 H6299 H0430 H5971 H8034

וְלַעֲשׂוֹת לָכֶם הַנּוֹרָאוֹת וְגֹרָאוֹת לְאַרְצֶךָ
そして–なす–ため あなたがたの–ために 偉大な–こと そして–恐るべき–ことを あなたの–地の–ために
H6213 H1420 H3372 H0776

מִפְּנֵי עַמְּךָ אֲשֶׁר פָּדִיתָ לְךָ מִמִּצְרַיִם גּוֹיִם
〜の–前から あなたの–民の その者を あなたが–贖った ご自身の–ために エジプトから 諸国の–民と
H6440 H6299 H4714

וֵאלֹהָיו׃
そして–その–神々から
H0430

地のどの国民が、あなたの民イスラエルのようでありましょうか。これは神が行って、自分のためにあがなって民とし、自らの名をあげられたもの、また彼らのために大いなる恐るべきことをなし、その民の前から国びととその神々とを追い出されたものです。

24 וַתְּכוֹנֵן לְךָ עַמְּךָ אֶת־ לְךָ וְיִשְׂרָאֵל לְעָם
そして–堅く–立てた ご自身の–ために 〜を あなたの–民を イスラエルを 民として
H0853 H3478

וְאַתָּה יְהוָה הָיִיתָ לָהֶם לֵאלֹהִים׃ ס
そして–あなたは 主よ なった 彼らにとって 神と （段落）
H5769 H5704 H3068 H1961 H0430

עוֹלָם עַד־
永遠に 〜まで
H5769 H5704

そしてあなたの民イスラエルを永遠にあなたの民として、自分のために、定められました。主よ、あなたは彼らの神となられたのです。

25 וְעַתָּה יְהוָה אֱלֹהִים הַדָּבָר אֲשֶׁר דִּבַּרְתָּ עַל־ עַבְדְּךָ
そして–今 主よ 神よ 言葉を 〜の あなたが–語った 〜に–ついて あなたの–しもべに
H6258 H3068 H0430 H1697 H1696 H5650

וְעַל־ בֵּיתוֹ הָקֵם עַד־ עוֹלָם וַעֲשֵׂה
そして–〜に–ついて その–家に 堅く–立ててください 〜まで 永遠に そして–なしてください
H5704 H5769

כַּאֲשֶׁר דִּבַּרְתָּ׃
〜の–とおりに あなたが–語った
H1696

主なる神よ、今あなたが、しもべとしもべの家とについて語られた言葉を長く堅うして、あなたの言われたとおりにしてください。

26 וְיִגְדַּל שִׁמְךָ עַד־ עוֹלָם יְהוָה לֵאמֹר צְבָאוֹת אֱלֹהִים
そして–大きくなれ あなたの–御名が 〜まで 永遠に 言われる–ように 主 万軍の 神は
H1431 H8034 H5704 H5769 H0559 H3068 H0430

עַל־ יִשְׂרָאֵל וּבֵית עַבְדְּךָ דָּוִד יִהְיֶה נָכוֹן לְפָנֶיךָ׃
〜の–上に イスラエルの そして–家は あなたの–しもべの ダビデの なる 堅く あなたの–前に
H6440 H3478 H1004 H5650 H1732 H1961 H3559

そうすれば、あなたの名はとこしえにあがめられて、『万軍の主はイスラエルの神である』と言われ、あなたのしもべダビデの家は、あなたの前に堅く立つことができましょう。

27 כִּי־ אַתָּה֩ יְהוָ֨ה צְבָאוֹת֙ אֱלֹהֵ֣י יִשְׂרָאֵ֔ל גָּלִ֥יתָה אֶת־ אֹ֖זֶן
なぜなら あなたは 万軍の 神よ イスラエルの 示された ～に 耳に
H3068 H0430 H3478 H1540 H0853 H0241

עַבְדְּךָ֙ לֵאמֹ֔ר בַּ֥יִת אֶבְנֶה־ לְּךָ֖ עַל־ כֵּ֣ן
あなたの–しもべの 言って 家を わたしが–建てる あなたの–ために それ–ゆえに その–とおりに
H5650 H0559 H1129

מָצָ֣א עַבְדְּךָ֗ אֶת־ לִבּוֹ֙ לְהִתְפַּלֵּ֔ל אֵלֶ֖יךָ אֶת־ הַתְּפִלָּ֣ה הַזֹּֽאת׃
見いだした あなたの–しもべは ～を 自分の–心を 祈る–ために あなたに ～を この–祈りを この
H4672 H5650 H0853 H6419 H0413 H0853 H8605 H2063

万軍の主、イスラエルの神よ、あなたはしもべに示して、『おまえのために家を建てよう』と言われました。それゆえ、しもべはこの祈をあなたにささげる勇気を得たのです。

28 וְעַתָּ֣ה אֲדֹנָ֣י יְהוִ֔ה אַתָּה־ ה֥וּא הָאֱלֹהִ֖ים וּדְבָרֶ֑יךָ יִהְי֣וּ אֱמֶ֔ת
そして–今 主よ 神よ まことに あなたは 神で–あられる そして–あなたの–言葉は なる 真実と
H6258 H0136 H3069 H1931 H0430 H1697 H1961 H0571

וַתְּדַבֵּ֥ר אֶל־ עַבְדְּךָ֖ אֶת־ הַטּוֹבָ֥ה הַזֹּֽאת׃
そして–語った ～に しもべの–あなたに ～を この–善き–ことを この
H1696 H0413 H5650 H0853 H2063

主なる神よ、あなたは神にましまし、あなたの言葉は真実です。あなたはこの良き事をしもべに約束されました。

29 וְעַתָּ֣ה הוֹאֶל֮ וּבָרֵךְ֒ אֶת־ בֵּ֣ית עַבְדְּךָ֗ לִהְי֥וֹת לְעוֹלָם֙
そして–今 どうか そして–祝福してください ～を 家を あなたの–しもべの なる–ために 永遠に
H6258 H2974 H1288 H0853 H1288 H5650 H1961 H5769

כִּ֣י אַתָּ֣ה אֲדֹנָ֣י יְהוִ֔ה דִּבַּ֖רְתָּ וּמִבִּרְכָתְךָ֥ יְבֹרַ֖ךְ עַבְדְּךָ֥ לְעוֹלָֽם׃ פ
なぜなら あなたが 主よ 神よ 語られた そして–あなたの–祝福から 祝福される しもべの–あなたの 永遠に （段落）
H3069 H0136 H1696 H1293 H1288 H5650 H5769

あなたの–前に
H6440

どうぞ今、しもべの家を祝福し、あなたの前に長くつづかせてくださるように。主なる神よ、あなたがそれを言われたのです。どうぞあなたの祝福によって、しもべの家がながく祝福されますように」。

Chapter 8

1 וַיְהִי֙ אַחֲרֵי־ כֵ֔ן וַיַּ֥ךְ דָּוִ֖ד אֶת־ פְּלִשְׁתִּ֑ים
そして–なった それの 後に そして–打ち破った ダビデは ～を ペリシテ人を
H1961 H0310 H5221 H1732 H0853 H6430

וַיִּקַּ֥ח דָּוִ֛ד אֶת־ מֶ֥תֶג הָאַמָּ֖ה מִיַּ֥ד פְּלִשְׁתִּֽים׃
そして–取った ダビデは ～を 手綱を 支配の 手から ペリシテ人の
H3947 H1732 H0853 H4965 H4965 H3027 H6430

וַיַּכֵּ֥ם
そして–屈服させた
H3665

この後ダビデはペリシテびとを撃って、これを征服した。ダビデはまたペリシテびとの手からメテグ・アンマを取った。

2

אַ֣רְצָה	אוֹתָ֗ם	הַשְׁכֵּב֙	בַּחֶ֔בֶל	וַיְמַדֵּ֖ם	מוֹאָ֑ב	אֶת־	וַיַּךְ
地に	彼らを	寝かせて	綱で	そして–測った	モアブを	～を	そして–打ち破った
H0776	H0853	H7901		H4058	H4124	H0853	H5221

וַתְּהִ֣י	לְהַחֲיֹ֔ות	הַחֶ֖בֶל	וּמְלֹ֣א	לְהָמִ֑ית	חֶבְלִ֣ים	שְׁנֵי־	וַיְמַדֵּ֖ד
そして–なった	生かす–ために	綱分を	そして–満たす	殺す–ために	綱分を	二	そして–測った
H1961	H2421		H4393	H4191		H8147	H4058

מִנְחָ֔ה׃	נֹשְׂאֵ֣י	לַעֲבָדִ֔ים	לְדָוִ֖ד	מוֹאָ֑ב
貢ぎ物の	貢ぎ物を–携える	僕となり	ダビデにとって	モアブは
H4503	H5375	H5650	H1732	H4124

彼はまたモアブを撃ち、彼らを地に伏させ、なわをもって彼らを測った。すなわち二筋のなわをもって殺すべき者を測り、一筋のなわをもって生かしておく者を測った。そしてモアブびとは、ダビデのしもべとなって、みつぎを納めた。

3

צוֹבָ֔ה	מֶ֖לֶךְ	רְחֹ֑ב	בֶּן־	הֲדַדְעֶ֣זֶר	אֶת־	דָּוִ֗ד	וַיַּךְ
ツォバの	王	レホブの	息子	ハダデエゼルを	～を	ダビデは	そして–打ち破った
H6678	H4428	H7340		H1909	H0853	H1732	H5221

פְּרָ֖ת׃)	בִּנְהַר־	יָדֹ֥ו	לְהָשִׁ֛יב	בְּלֶכְתֹּ֥ו
ユーフラテス川の	川に–おいて	自分の–支配を	回復する–ために	彼が–行った–とき
H6578	H5104	H3027	H7725	H3212

ダビデはまたレホブの子であるゾバの王ハダデゼルが、ユフラテ川のほとりにその勢力を回復しようとして行くところを撃った。

4

אִ֔ישׁ	אֶ֖לֶף	וְעֶשְׂרִ֑ים	פָּרָשִׁ֗ים	מֵאֹות֙	וּשְׁבַ֣ע־	אֶ֔לֶף	מִמֶּ֖נּוּ	דָּוִ֑ד	וַיִּלְכֹּ֣ד
人の	千	そして–二万	騎兵と	百	そして–七	千	彼から	ダビデは	そして–捕らえた
H0376	H0505	H6242		H3967	H7651	H0505		H1732	H3920

מִמֶּ֔נּוּ	וַיּוֹתֵ֖ר	הָרֶ֑כֶב	כָּל־	אֶת־	דָּוִד֙	וַיְעַקֵּ֣ר	רַגְלֵ֔י
その–中から	そして–残した	戦車の–馬の	すべての	～の	ダビデは	そして–足の–筋を–切った	歩兵を
	H3498	H7393	H3605	H0853	H1732		H7273

רָֽכֶב׃	מֵאָ֖ה
台の–戦車を	百
H7393	H3967

そしてダビデは彼から騎兵千七百人、歩兵二万人を取った。ダビデはまた一百の戦車の馬を残して、そのほかの戦車の馬はみなその足の筋を切った。

5

צוֹבָ֔ה	מֶ֖לֶךְ	לַהֲדַדְעֶ֣זֶר	לַעְזֹ֑ר	דַּמֶּ֖שֶׂק	אֲרַ֣ם	וַתָּבֹ֗א
ツォバの	王	ハダデエゼルを	助ける–ために	ダマスコの	アラムは	そして–来た
H6678	H4428	H1909	H5826	H1834	H0758	H0935

אִֽישׁ׃	אֶ֖לֶף	וּשְׁנַ֣ים	עֶשְׂרִ֑ים־	בַּאֲרָ֗ם	דָּוִד֙	וַיַּ֣ךְ
人を	千	そして–二	二万	アラムの–中で	ダビデは	そして–打ち破った
H0376	H0505	H8147	H6242	H0758	H1732	H5221

ダマスコのスリヤびとが、ゾバの王ハダデゼルを助けるためにきたので、ダビデはスリヤびと二万二千人を殺した。

6 וַיָּ֤שֶׂם דָּוִד֙ נְצִבִ֣ים בַּאֲרַ֣ם דַּמֶּ֔שֶׂק וַתְּהִ֥י אֲרָ֛ם לְדָוִ֖ד לַעֲבָדִ֑ים נֹשְׂאֵ֣י מִנְחָ֔ה וַיֹּשַׁ֥ע יְהוָ֛ה אֶת־דָּוִ֖ד בְּכֹ֥ל אֲשֶׁר־הָלָֽךְ׃

ダビデは守備隊をアラムのダマスコに置いた。そしてアラムはダビデにとって僕となり、貢ぎ物を携える。主はダビデを行く所すべてで救った。

7 וַיִּקַּ֣ח דָּוִד֮ אֶת־שִׁלְטֵי֒ הַזָּהָ֗ב אֲשֶׁ֤ר הָיוּ֙ עַל־עַבְדֵ֣י הֲדַדְעֶ֔זֶר וַיְבִיאֵ֖ם יְרוּשָׁלִָֽם׃

ダビデはハダデゼルの家来たちの金の盾を取って、エルサレムに持ってきた。

8 וּמִבְּטַ֣ח וּמִבֵּרֹתַ֔י עָרֵ֖י הֲדַדְעֶ֑זֶר לָקַ֤ח דָּוִד֙ הַמֶּ֣לֶךְ נְחֹ֥שֶׁת הַרְבָּ֖ה מְאֹֽד׃ ס

ダビデはまたハダデゼルの町、ベタとベロタイから、ひじょうに多くの青銅を取った。

9 וַיִּשְׁמַ֣ע תֹּעִ֔י מֶ֖לֶךְ חֲמָ֑ת כִּ֤י הִכָּה֙ דָּוִ֔ד אֶת־כָּל־חֵ֖יל הֲדַדְעָֽזֶר׃

時にハマテの王トイは、ダビデがハダデゼルのすべての軍勢を撃ち破ったことを聞き、

10 וַיִּשְׁלַ֤ח תֹּעִי֙ אֶת־יוֹרָ֣ם בְּנ֔וֹ אֶל־הַמֶּ֥לֶךְ דָּוִ֖ד לִשְׁאָל־ל֑וֹ וְלִבָּרְכ֔וֹ עַל֙ אֲשֶׁ֣ר נִלְחַ֔ם בַּהֲדַדְעֶ֖זֶר וְהֲדַדְעֶ֣זֶר הָיָ֣ה אִ֔ישׁ מִלְחֲמֹ֖ת תֹּעִ֑י וּבְיָד֣וֹ כְלֵי־כֶ֗סֶף וּכְלֵי־זָהָב֙ וּכְלֵי־נְחֹ֔שֶׁת׃

ハダデゼルと戦ったその人に対して祝福するために、トイは自分の息子をヨラムを遣わして平安を問うために王ダビデに遣わした。ハダデゼルはトイの戦いの人であったからである。ヨラムは銀の器、金の器、青銅の器を手に持っていた。

その子ヨラムをダビデ王のもとにつかわして、彼にあいさつし、かつ祝を述べさせた。ハダデゼルはかつてしばしばトイと戦いを交えたが、ダビデがハダデゼルと戦ってこれを撃ち破ったからである。ヨラムが銀の器と金の器と青銅の器を携えてきたので、

11

אֲשֶׁר	וְהַזָּהָב	הַכֶּסֶף	עִם־	לַיהוָה	דָּוִד	הַמֶּלֶךְ	הִקְדִּישׁ	אֹתָם	גַּם־
ところの	そして–金を	銀と	共に	主に	ダビデは	王	聖別した	それらをも	また
	H2091	H3701		H3068	H1732	H4428	H6942	H0853	H1571

כִּבֵּשׁ׃	אֲשֶׁר	הַגּוֹיִם	מִכָּל־	הִקְדִּישׁ
征服した	ところの	諸国民から	すべての	聖別した
H3533			H3605	H6942

ダビデ王は征服したすべての国民から取ってささげた金銀と共にこれらをも主にささげた。

12

וּמִפְּלִשְׁתִּים	עַמּוֹן	וּמִבְּנֵי	וּמִמּוֹאָב	מֵאֲרָם
そして–ペリシテ人から	アンモンの	そして–子らから	そして–モアブから	アラムから
H6430	H5983		H4124	H0758

צוֹבָה׃	מֶלֶךְ	רְחֹב	בֶּן־	הֲדַדְעֶזֶר	וּמִשְׁלַל	וּמֵעֲמָלֵק
ツォバの	王	レホブの	息子	ハダデエゼルの	そして–戦利品から	そして–アマレクから
H6678	H4428	H7340		H1909	H7998	H6002

すなわちエドム、モアブ、アンモンの人々、ペリシテびと、アマレクから獲た物、およびゾバの王レホブの子ハダデゼルから獲たぶんどり物と共にこれをささげた。

13

מֶלַח	בְּגֵיא־	אֲרָם	אֶת־	מֵהַכּוֹתוֹ	בְּשׁוּבוֹ	שֵׁם	דָּוִד	וַיַּעַשׂ
塩の	塩の–谷で	アラムを	～を	打ち破った–後	帰った–とき	名声を	ダビデは	そして–得た
H4417	H1516	H0758	H0853	H5221	H7725	H8034	H1732	

אֶלֶף׃	עָשָׂר	שְׁמוֹנָה
千人を	十	万八
H0505	H6240	H8083

こうしてダビデは名声を得た。彼は帰ってきてから塩の谷でエドムびと一万八千人を撃ち殺した。

14

כָּל־	וַיְהִי	נְצִבִים	שָׁם	אֱדוֹם	בְּכָל־	נְצִבִים	בֶּאֱדוֹם	וַיָּשֶׂם	
すべての	そして–なった	守備隊を	置いた	エドムに	すべての	守備隊を	エドムに	そして–置いた	
H3605	H1961	H5333		H0123	H3605	H5333	H0123		

אֲשֶׁר	בְּכֹל	דָּוִד	אֶת־	יְהוָה	וַיּוֹשַׁע	לְדָוִד	עֲבָדִים	אֱדוֹם
～の	すべての–所で	ダビデを	～を	主は	そして–救った	ダビデの	僕と	エドムは
	H3605	H1732	H0853	H3068	H3467	H1732	H5650	H0123

הָלָךְ׃
彼が–行った
H1980

そしてエドムに守備隊を置いた。すなわちエドムの全地に守備隊を置き、エドムびとは皆ダビデのしもべとなった。主はダビデにすべてその行く所で勝利を与えられた。

15

עֹשֶׂה	דָּוִד	וַיְהִי	יִשְׂרָאֵל	כָּל־	עַל־	דָּוִד	וַיִּמְלֹךְ	
行っていた	ダビデは	そして–いた	イスラエルを	すべての	～の–上に	ダビデは	そして–治めた	
	H1732	H1961	H3478	H3605		H1732		

עַמּוֹ׃	לְכָל־	וּצְדָקָה	מִשְׁפָּט
その–民に	すべての	そして–正義を	公正と
	H3605	H6666	H4941

こうしてダビデはイスラエルの全地を治め、そのすべての民に正義と公平を行った。

16 וְיוֹאָב בֶּן־צְרוּיָה עַל־הַצָּבָא וִיהוֹשָׁפָט בֶּן־אֲחִילוּד
そして-ヨアブは 息子 ツェルヤの 〜の-上に 軍隊の そして-ヨシャファトは 息子 アヒルドの
H3097 H6870 H5921 H6635 H3092 H0286

מַזְכִּיר׃
史官
H2142

ゼルヤの子ヨアブは軍の長、アヒルデの子ヨシャパテは史官、

17 וְצָדוֹק בֶּן־אֲחִיטוּב וַאֲחִימֶלֶךְ בֶּן־אֶבְיָתָר כֹּהֲנִים
そして-ツァドクは 息子 アヒトブの そして-アヒメレクは 息子 エビヤタルの 祢司
H6659 H0285 H0288 H0285 H0054 H3548

וּשְׂרָיָה סוֹפֵר׃
そして-セラヤは 書記官
H8304

アヒトブの子ザドクとアビヤタルの子アヒメレクは祭司、セラヤは書記官、

18 וּבְנָיָהוּ בֶן־יְהוֹיָדָע וְהַכְּרֵתִי וְהַפְּלֵתִי וּבְנֵי
そして-ベナヤは 息子 エホヤダの そして-ケレテ人と そして-ペレテ人は そして-息子たちは
H1141 H3077 H3774 H6432

דָוִד כֹּהֲנִים הָיוּ׃ פ
ダビデの 祢司 であった （段落）
H1732 H3548 H1961

エホヤダの子ベナヤはケレテびととペレテびとの長、ダビデの子たちは祭司であった。

Chapter 9

1 וַיֹּאמֶר דָּוִד הֲכִי־יֵשׁ עוֹד אֲשֶׁר נוֹתַר לְבֵית שָׁאוּל
そして-言った ダビデは まだ いる-か なお ところの 残っている-者が 家に サウルの
H0559 H1732 H3426 H5750 H834 H3498 H1004 H7586

וְאֶעֱשֶׂה עִמּוֹ חֶסֶד בַּעֲבוּר יְהוֹנָתָן׃
そして-施そう 彼に 恵みを 〜の-ゆえに ヨナタンの
H6213 H5973 H2617 H5668 H3083

時にダビデは言った、「サウルの家の人で、なお残っている者があるか。わたしはヨナタンのために、その人に恵みを施そう」。

2 וּלְבֵית שָׁאוּל עֶבֶד וּשְׁמוֹ צִיבָא וַיִּקְרְאוּ־לוֹ אֶל־
そして-家に サウルの 僕が-いた そして-その-名は ツィバ そして-呼んだ 彼を 〜の-もとに
H1004 H7586 H5650 H8034 H6717 H7121 H0413

דָּוִד וַיֹּאמֶר הַאַתָּה צִיבָא וַיֹּאמֶר הַמֶּלֶךְ אֵלָיו עַבְדֶּךָ׃
ダビデの そして-言った 王は 彼に あなたが ツィバか そして-言った あなたの-しもべです
H1732 H0559 H4428 H0413 H859 H6717 H0559 H5650

さて、サウルの家にヂバという名のしもべがあったが、人々が彼をダビデのもとに呼び寄せたので、王は彼に言った、「あなたがヂバか」。彼は言った、「しもべがそうです」。

3

וַיֹּאמֶר הַמֶּלֶךְ הַאֶפֶס עוֹד אִישׁ לְבֵית שָׁאוּל וְאֶעֱשֶׂה עִמּוֹ
そして-言った 王は まだ なお 人は-いるか 家に サウルの そして-施そう 彼に
H0559 H4428 H0408 H5750 H0376 H1004 H7586 H6213 H5973

חֶסֶד אֱלֹהִים וַיֹּאמֶר צִיבָא אֶל־הַמֶּלֶךְ עוֹד בֶּן לִיהוֹנָתָן נְכֵה
恵みを 神の そして-言った ツィバは 王に まだ 息子が-いる ヨナタンの 不自由な
H2617 H0430 H0559 H6717 H0413 H4428 H5750 H1121 H3083 H5223

רַגְלָיִם׃
両足の
H7272

王は言った、「サウルの家の人がまだ残っていませんか。わたしはその人に神の恵みを施そうと思う」。ヂバは王に言った、「ヨナタンの子がまだおります。あしなえです」。

4

וַיֹּאמֶר־לוֹ הַמֶּלֶךְ אֵיפֹה הוּא וַיֹּאמֶר צִיבָא אֶל־הַמֶּלֶךְ הִנֵּה־הוּא
そして-言った 彼に 王は どこに 彼は そして-言った ツィバは 王に 見よ 彼は
H0559 H0559 H4428 H0375 H1931 H0559 H6717 H0413 H4428 H2009 H1931

בְּבֵית מָכִיר בֶּן־עַמִּיאֵל מִלֹּא דְבָר׃
家に-いる マキルの 息子 アンミエルの ロ・デバルに
H1004 H4353 H1121 H5988 H3810

王は彼に言った、「その人はどこにいるのか」。ヂバは王に言った、「彼はロ・デバルのアンミエルの子マキルの家におります」。

5

וַיִּשְׁלַח הַמֶּלֶךְ דָּוִד וַיִּקָּחֵהוּ מִבֵּית מָכִיר בֶּן־עַמִּיאֵל
そして-遣わした 王 ダビデは そして-連れて来た 家から マキルの 息子 アンミエルの
H7971 H4428 H1732 H3947 H1004 H4353 H1121 H5988

מִלֹּא דְבָר׃
ロ・デバルから
H3810

ダビデ王は人をつかわして、ロ・デバルのアンミエルの子マキルの家から、彼を連れてこさせた。

6

וַיָּבֹא מְפִיבֹשֶׁת בֶּן־יְהוֹנָתָן בֶּן־שָׁאוּל אֶל־דָּוִד וַיִּפֹּל עַל־פָּנָיו
そして-来た メフィボシェトは 息子 ヨナタンの 息子 サウルの ～の-もとに ダビデの そして-伏した ～の-上に 顔を
H0935 H4648 H1121 H3083 H1121 H7586 H0413 H1732 H5307 H6440 H5921

וַיִּשְׁתָּחוּ וַיֹּאמֶר דָּוִד מְפִיבֹשֶׁת וַיֹּאמֶר הִנֵּה עַבְדֶּךָ׃
そして-ひれ伏した そして-言った ダビデは メフィボシェトよ そして-言った 見よ あなたの-しもべです
H7812 H0559 H1732 H4648 H0559 H2009 H5650

サウルの子ヨナタンの子であるメピボセテはダビデのもとにきて、ひれ伏して拝した。ダビデが、「メピボセテよ」と言ったので、彼は、「しもべは、ここにおります」と答えた。

7

וַיֹּאמֶר לוֹ דָּוִד אַל־תִּירָא כִּי עָשֹׂה אֶעֱשֶׂה עִמְּךָ חֶסֶד בַּעֲבוּר
そして-言った 彼に ダビデは ない 恐れる-な なぜなら 必ず 施そう あなたに 恵みを
H0559 H0408 H1732 H3372 H3588 H6213 H6213 H5973 H2617 H1157

יְהוֹנָתָן אָבִיךָ וַהֲשִׁבֹתִי לְךָ אֶת־כָּל־שְׂדֵה שָׁאוּל אָבִיךָ
ヨナタン あなたの-父の そして-返そう あなたに ～を すべての 畑を サウル
H3083 H1 H7725 H0 H0853 H3605 H7704 H7586 H1

וְאַתָּה תֹּאכַל לֶחֶם עַל־שֻׁלְחָנִי תָּמִיד׃
そして-あなたは 食べる パンを ～の-上で 私の-食卓で 常に
H0859 H0398 H3899 H5921 H7979 H8548

אָבִיךָ
あなたの-祖父の
H1

ダビデは彼に言った、「恐れることはない。わたしはかならずあなたの父ヨナタンのためにあなたに恵みを施しましょう。あなたの父サウルの地をみなあなたに返します。またあなたは常にわたしの食卓で食事をしなさい」。

8 וַיִּשְׁתַּחוּ וַיֹּאמֶר מָה עַבְדֶּךָ כִּי פָנִיתָ אֶל־ הַכֶּלֶב הַמֵּת כָּמוֹנִי׃
そして–ひれ伏した そして–言った 何ですか あなたの–しもべは なぜなら 顧みた ～に
H7812 H0559 H4100 H5650 H3588 H6437 H0413
死んだ–犬に 死んだ ところの 私の–ような
H3611 H4191 H0834 H3644

彼は拝して言った、「あなたは、しもべを何とおぼしめして、死んだ犬のようなわたしを顧みられるのですか」。

9 וַיִּקְרָא הַמֶּלֶךְ לְצִיבָא נַעַר שָׁאוּל וַיֹּאמֶר אֶל־ כָּל־ אֲשֶׁר
そして–呼んだ 王は ～に ツィバに 僕 サウルの そして–言った 彼に すべて ～の
H7121 H4428 H0413 H6717 H5288 H7586 H0559 H0413 H3605 H0834
לְשָׁאוּל וּלְכָל־ בֵּיתוֹ נָתַתִּי לְבֶן־ אֲדֹנֶיךָ׃ וְהָיָה
サウルに そして–すべての その–家に 与えた 息子に あなたの–主人の あった
H7586 H3605 H1004 H5414 H1121 H0113 H1961

王はサウルのしもべヂバを呼んで言った、「すべてサウルとその家に属する物を皆、わたしはあなたの主人の子に与えた。

10 וּבָנֶיךָ וְעַבַדְתָּ לוֹ אַתָּה הָאֲדָמָה אֶת־ וְאַתָּה
そして–あなたの–息子たちと あなたと 土地を ～を 彼の–ために そして–耕せ
H1121 H0859 H0127 H0853 H0859 H5647

לֶחֶם לְבֶן־ וְהָיָה וְהֵבֵאתָ וְעַבַדְתָּ
食糧となり あなたの–主人の 息子にとって そして–なる そして–持ち込め そして–あなたの–僕たちが
H3899 H0113 H1121 H1961 H0935 H5650

עַל־ לֶחֶם תָּמִיד יֹאכַל אֲדֹנֶיךָ בֶּן־ וּמְפִיבֹשֶׁת וַאֲכָלוֹ
～の–上で パンを 常に 食べる あなたの–主人の 息子 しかし–メフィボシェトは そして–食べる
H3899 H8548 H0398 H0113 H1121 H4648 H0398

עֲבָדִים׃ וְעֶשְׂרִים בָּנִים עָשָׂר וּלְצִיבָא חֲמִשָּׁה שֻׁלְחָנִי
人の–僕が–いた そして–二十 人の–息子と 十 そして–ツィバには 十五 私の–食卓で
H5650 H6242 H1121 H6240 H0859 H2568 H7979

あなたと、あなたの子たちと、しもべたちとは、彼のために地を耕して、あなたの主人の子が食べる食物を取り入れなければならない。しかしあなたの主人の子メピボセテはいつもわたしの食卓で食事をするであろう」。ヂバには十五人の男の子と二十人のしもべがあった。

11 וַיֹּאמֶר צִיבָא אֶל־ הַמֶּלֶךְ כְּכֹל אֲשֶׁר יְצַוֶּה אֲדֹנִי הַמֶּלֶךְ אֶת־
そして–言った ツィバは ～に 王に すべての–とおり ～の 命じる わが–主人 王が ～に
H0559 H6717 H0413 H4428 H3605 H0834 H6680 H0113 H4428 H0853

אָכֹל עַבְדְּךָ כֵּן יַעֲשֶׂה וּמְפִיבֹשֶׁת עַבְדּוֹ
食べていた そして–メフィボシェトは あなたの–しもべは なす その–とおり その–しもべに
H0398 H4648 H5650 H6213 H3651 H5650

הַמֶּלֶךְ׃ מִבְּנֵי כְּאַחַד שֻׁלְחָנִי עַל־
王の 息子たちの–中の 一人の–ように 私の–食卓で ～の–上で
H4428 H1121 H0259 H7979

ヂバは王に言った、「すべて王わが主君がしもべに命じられるとおりに、しもべはいたしましょう」。こうしてメピボセテは王の子のひとりのようにダビデの食卓で食事をした。

12

מוֹשָׁב	וְכֹל	מִיכָא	וּשְׁמוֹ	קָטֶן	בֶּן־	וְלִמְפִיבֹשֶׁת	
住人は	そして–すべての	ミカ	そして–その–名は	幼い	息子が–いた	そして–メフィボシェトには	
H4186	H3605	H4316	H8034			H4648	

לְמִפִיבֹשֶׁת׃	עֲבָדִים	צִיבָא	בֵּית־
メフィボシェトの	僕であった	ツィバの	家の
H4648	H5650	H6717	

メピボセテには小さい子があって、名をミカといった。そしてヂバの家に住んでいる者はみなメピボセテのしもべとなった。

13

תָּמִיד	הַמֶּלֶךְ	שֻׁלְחַן	עַל־	כִּי	בִירוּשָׁלִַם	יֹשֵׁב	וּמְפִיבֹשֶׁת
常に	王の	食卓で	～の–上で	なぜなら	エルサレムに	住んでいた	そして–メフィボシェトは
H8548	H4428	H7979			H3389	H3427	H4648

פ	רַגְלָיו׃	שְׁתֵּי	פִּסֵּחַ	וְהוּא	אֹכֵל	הוּא
（段落）	足の	両	足が–不自由であった	そして–彼は	食べていた	彼は
	H7272	H8147	H6455	H1931	H0398	H1931

メピボセテはエルサレムに住んだ。彼がいつも王の食卓で食事をしたからである。彼は両足ともに、なえていた。

Chapter 10

1

חָנוּן	וַיִּמְלֹךְ	עַמּוֹן	בְּנֵי	מֶלֶךְ	וַיָּמָת	כֵּן	אַחֲרֵי־	וַיְהִי
ハヌンが	そして–治めた	アンモンの	子らの	王が	そして–死んだ	それの	後に	そして–なった
H2586		H5983		H4428	H4191			H1961

תַּחְתָּיו׃	בְּנוֹ	
その–代わりに	その–息子が	
H8478		

この後アンモンの人々の王が死んで、その子ハヌンがこれに代って王となった。

2

כַּאֲשֶׁר	נָחָשׁ	בֶּן־	חָנוּן	עִם־	וחֶסֶד	אֶעֱשֶׂה־	דָּוִד	וַיֹּאמֶר
～の–ように	ナハシュの	息子	ハヌンに	～と	恵みを	施そう	ダビデは	そして–言った
	H5176		H2586				H1732	H0559

בְיַד־	לְנַחֲמוֹ	דָּוִד	וַיִּשְׁלַח	חֶסֶד	עִמָּדִי	אָבִיו	עָשָׂה
手を–もって	慰める–ために	ダビデは	そして–遣わした	恵みを	私に	その–父が	施した
H3027	H5162	H1732	H7971		H5978	H0001	

עַמּוֹן׃	בְּנֵי	אֶרֶץ	דָּוִד	עַבְדֵי	וַיָּבֹאוּ	אָבִיו	אֶל־	עַבְדָיו
アンモンの	子らの	地に	ダビデの	家来たちは	そして–来た	その–父の	～に–ついて	家来たちの
H5983		H0776	H1732	H5650	H0935	H0001	H0413	H5650

そのときダビデは言った、「わたしはナハシの子ハヌンに、その父がわたしに恵みを施したように、恵みを施そう」。そしてダビデは彼を、その父のゆえに慰めようと、しもべをつかわした。ダビデのしもべたちはアンモンの人々の地に行ったが、

3

הַמְכַבֵּד	אֲדֹנֵיהֶם	חָנוּן	אֶל־	עַמּוֹן	בְּנֵי־	שָׂרֵי	וַיֹּאמְרוּ
敬って–いるのか	その–主人に	ハヌンに	～に	アンモンの	子らの	家臣たちは	そして–言った
H3513	H0113	H2586	H0413	H5983		H8269	H0559

מְנַחֲמִים	לְךָ	שָׁלַח	כִּי־	בְּעֵינֶיךָ	אָבִיךָ	אֶת־	דָּוִד
慰める–者を	あなたに	遣わしたのでは–ないか	それは	あなたの–目に	あなたの–父を	～を	ダビデは
H5162		H7971			H0001	H0853	H1732

וּלְהָפְכָהּ	וּלְרַגְלָהּ	הָעִיר	אֶת־	חֲקֹר	בַּעֲבוּר	הֲלוֹא
そして–覆す–ために	そして–偵察する–ために	町を	～を	探る–ために	～の–ために	むしろ
H2015	H7270		H0853	H2713	H5668	H3808

אֵלֶיךָ׃	עֲבָדָיו	אֶת־	דָּוִד	שָׁלַח
あなたの–もとに	家来たちを	～を	ダビデは	遣わしたのだ
H0413	H5650	H0853	H1732	H7971

アンモンの人々のつかさたちはその主君ハヌンに言った、「ダビデが慰める者をあなたのもとにつかわしたのは彼があなたの父を尊ぶためだと思われますか。ダビデがあなたのもとに、しもべたちをつかわしたのは、この町をうかがい、それを探って、滅ぼすためではありませんか」。

4

חֲצִי	אֶת־	וַיְגַלַּח	דָּוִד	עַבְדֵי	אֶת־	חָנוּן	וַיִּקַּח
半分を	～を	そして–剃り落とした	ダビデの	家来たちを	～を	ハヌンは	そして–取った
H2677	H0853	H1548	H1732	H5650	H0853	H2586	H3947

שְׁתוֹתֵיהֶם	עַד	בַּחֲצִי	מַדֵּוֵיהֶם	אֶת־	וַיִּכְרֹת	זִקְנָם
尻まで	～まで	半分の–ところで	彼らの–衣を	～を	そして–切った	彼らの–ひげの
H8357	H5704	H2677	H4063	H0853	H3772	H2206

וַיְשַׁלְּחֵם׃	
そして–送り帰した	
H7971	

そこでハヌンはダビデのしもべたちを捕え、おのおの、ひげの半ばをそり落し、その着物を中ほどから断ち切り腰の所までにして、彼らを帰らせた。

5

נִכְלָמִים	הָאֲנָשִׁים	הָיוּ	כִּי־	לִקְרָאתָם	וַיִּשְׁלַח	לְדָוִד	וַיַּגִּדוּ
非常に–恥じて	その–人々は	いた	なぜなら	迎えに	そして–遣わした	ダビデに	そして–告げた
H3637	H0376	H1961		H7125	H7971	H1732	H5046

זִקְנְכֶם	יִצְמַח	עַד־	בִּירֵחוֹ	שְׁבוּ	הַמֶּלֶךְ	וַיֹּאמֶר	מְאֹד
あなたがたの–ひげが	伸びる	～まで	エリコに	とどまれ	王は	そして–言った	非常に
H2206	H6779	H5704	H3405	H3427	H4428	H0559	H3966

וְשַׁבְתֶּם׃	
そして–帰れ	
H7725	

人々がこれをダビデに告げたので、ダビデは人をつかわして彼らを迎えさせた。その人々はひじょうに恥じたからである。そこで王は言った、「ひげがのびるまでエリコにとどまって、その後、帰りなさい」。

6 וַיִּרְאוּ בְּנֵי עַמּוֹן כִּי נִבְאֲשׁוּ בְּדָוִד וַיִּשְׁלְחוּ בְּנֵי־
そして-見た 子らは アンモンの ～ということを 憎まれた ダビデに そして-遣わした 子らは
H7200 H1121 H5983 H3588 H0887 H1732 H7971

עַמּוֹן וַיִּשְׂכְּרוּ אֶת־אֲרַם בֵּית־רְחוֹב וְאֶת־אֲרַם צוֹבָא עֶשְׂרִים אֶלֶף וְאֶת־מֶלֶךְ מַעֲכָה אֶלֶף אִישׁ וְאִישׁ טוֹב׃
アンモンの そして-雇った ～を アラムを ベト-レホブの レホブの そして-～を アラムを ツォバの 二万 千 そして-～を 王を マアカの 千 人と そして-人を トブの
H5983 H7936 H0853 H0758 H1050 H1050 H0853 H0758 H6678 H6242 H0505 H0853 H4428 H4601 H0505 H0376 H0376 H2897

שְׁנֵים־עָשָׂר אֶלֶף אִישׁ׃
二-万 十 千 人を
H8147 H6240 H0505 H0376

アンモンの人々は自分たちがダビデに憎まれていることがわかったので、人をつかわして、ベテ・レホブのスリヤびととゾバのスリヤびととの歩兵二万人およびマアカの王とその一千人、トブの人一万二千人を雇い入れた。

7 וַיִּשְׁמַע דָּוִד וַיִּשְׁלַח אֶת־יוֹאָב וְאֶת כָּל־הַצָּבָא
そして-聞いた ダビデは そして-遣わした ～を ヨアブと そして～を すべての 軍隊を
H8085 H1732 H7971 H0853 H3097 H0853 H3605 H6635

הַגִּבֹּרִים׃
勇士たちの
H1368

ダビデはそれを聞いて、ヨアブと勇士の全軍をつかわしたので、

8 וַיֵּצְאוּ בְּנֵי עַמּוֹן וַיַּעַרְכוּ מִלְחָמָה לִפְתַח הַשָּׁעַר וַאֲרַם צוֹבָא וְרְחוֹב וְאִישׁ־טוֹב וּמַעֲכָה לְבַדָּם בַּשָּׂדֶה׃
そして-出て来た 子らは アンモンの そして-整列した 戦いの-ために 入り口に 門の そして-アラムは ツォバの そして-レホブと そして-人々は トブの そして-マアカは 別々に 野に
H3318 H1121 H5983 H6186 H4421 H6607 H8179 H0758 H6678 H7340 H0376 H2896 H4601 H0905 H7704

ダビデはそれを聞いて、ヨアブと勇士の全軍をつかわしたので、

9 וַיַּרְא יוֹאָב כִּי־הָיְתָה אֵלָיו פְּנֵי הַמִּלְחָמָה מִפָּנִים וּמֵאָחוֹר וַיִּבְחַר מִכֹּל בְּחוּרֵי [בישראל] (יִשְׂרָאֵל) וַיַּעֲרֹךְ
そして-見た ヨアブは ～ということを あった 彼に-対して 面が 戦いの 前からと そして-後ろから そして-選んだ すべての-中から 精鋭の イスラエルの イスラエルの そして-整列した
H7200 H3097 H3588 H1961 H0413 H6440 H4421 H6440 H0268 H0977 H3605 H0977 H3478 H3478 H6186

לִקְרַאת אֲרָם׃
迎える-ために アラムを
H7125 H0758

ヨアブは戦いが前後から自分に迫ってくるのを見て、イスラエルのえり抜きの兵士のうちから選んで、これをスリヤびとに対して備え、

10 וְאֶת יֶתֶר הָעָם נָתַן בְּיַד אֲבִישַׁי אָחִיו וַיַּעֲרֹךְ
そして-～を 残りの 民を 委ねた 手に アビシャイの その-兄弟の そして-整列した
H0853 H3499 H5971 H5414 H3027 H0052 H0251 H6186

לִקְרַאת בְּנֵי עַמּוֹן׃
迎える-ために 子らを アンモンの
H7125 H1121 H5983

そのほかの民を自分の兄弟アビシャイの手にわたして、アンモンの人々に対して備えさせ、

11 וַיֹּ֣אמֶר אִם־ חָזַ֤ק אֲרָם֙ מִמֶּ֣נִּי וְהָיְתָ֥ה לִ֖י לִישׁוּעָ֑ה
そして-言った もし 強い-なら アラムが 私より そして-なれ 私にとって 救いと
H0559 H0518 H2388 H0758 H4480 H1961 H0518 H3467

וְאִם־ בְּנֵ֣י עַמּ֗וֹן יֶחֱזְק֤וּ מִמְּךָ֙ וְהָלַכְתִּ֣י לְהוֹשִׁ֔יעַ לָ֖ךְ׃
そして-もし 子らが アンモンの 強い-なら お前より そして-行く 救う-ために お前を
H0518 H1121 H5983 H2388 H4480 H1980 H3467 H0518

そして言った、「もしスリヤびとがわたしに手ごわいときは、わたしを助けてください。もしアンモンの人々があなたに手ごわいときは、行ってあなたを助けましょう。

12 חֲזַ֣ק וְנִתְחַזַּ֗ק בְּעַד־ עַמֵּ֙נוּ֙ וּבְעַד֙ עָרֵ֣י
強くあれ そして-強くあろう ～の-ために われらの-民の そして-～の-ために 町々の
H2388 H2388 H1157 H5971 H1157 H5892

אֱלֹהֵ֑ינוּ וַיהוָ֗ה יַעֲשֶׂ֛ה הַטּ֥וֹב בְּעֵינָ֖יו׃
われらの-神の そして-主が なす 善き-ことを 御目に
H0430 H3068 H6213 H2896 H5869

勇ましくしてください。われわれの民のため、われわれの神の町々のため、勇ましくしましょう。どうぞ主が良いと思われることをされるように」。

13 וַיִּגַּ֣שׁ יוֹאָ֗ב וְהָעָם֙ אֲשֶׁ֣ר עִמּ֔וֹ לַמִּלְחָמָ֖ה בַּאֲרָ֑ם
そして-近づいた ヨアブは そして-民も ところの 彼と-共の 戦いの-ために アラムとの
H5066 H3097 H5971 H0834 H5973 H4421 H0758

וַיָּנֻ֖סוּ מִפָּנָֽיו׃
そして-逃げた 彼の-前から
H5127 H6440

ヨアブが自分と一緒にいる民と共に、スリヤびとに向かって戦おうとして近づいたとき、スリヤびとは彼の前から逃げた。

14 וּבְנֵ֣י עַמּ֗וֹן רָא֞וּ כִּֽי־ נָ֤ס אֲרָם֙ וַיָּנֻ֣סוּ מִפְּנֵ֔י
そして-子らは アンモンの 見た ～ということを 逃げた アラムが そして-逃げた ～の-前から
H1121 H5983 H7200 H3588 H5127 H0758 H5127 H6440

אַבִישַׁ֗י וַיָּבֹ֙אוּ֙ הָעִ֣יר וַיָּ֤שָׁב יוֹאָב֙ מֵעַ֣ל בְּנֵ֣י עַמּ֔וֹן
アビシャイの そして-入った 町に そして-帰った ヨアブは ～から-離れて 子らの アンモンの
H0052 H0935 H5892 H7725 H3097 H5921 H1121 H5983

וַיָּבֹ֖א יְרוּשָׁלָֽ͏ִם׃
そして-来た エルサレムに
H0935 H3389

アンモンの人々はスリヤびとが逃げるのを見て、彼らもまたアビシャイの前から逃げて町にはいった。そこでヨアブはアンモンの人々を撃つことをやめてエルサレムに帰った。

15 וַיִּרְא֗וּ כִּ֚י נִגַּ֣ף לִפְנֵ֣י יִשְׂרָאֵל֮ וַיֵּאָסְפ֣וּ
そして-見た ～ということを 打ち破られた ～の-前で イスラエルの そして-集まった
H7200 H3588 H5062 H6440 H3478 H0622

יָחַֽד׃
共に

しかしスリヤびとは自分たちのイスラエルに打ち敗られたのを見て、共に集まった。

16 וַיִּשְׁלַח הֲדַדְעֶזֶר וַיֹּצֵא אֶת־אֲרַם אֲשֶׁר מֵעֵבֶר הַנָּהָר
そして–遣わした ハダデエゼルは そして–出した ～を アラムを ところの 向こうの 川の
H7971 H1909 H3318 H853 H0758 H834 H5676 H5104

וַיָּבֹאוּ חֵילָם וְשׁוֹבַךְ שַׂר־צְבָא הֲדַדְעֶזֶר לִפְנֵיהֶם׃
そして–来た ヘラムに そして–ショバクは 将軍 軍隊の ハダデエゼルの 彼らの–前に
H0935 H2431 H7731 H8269 H6635 H1909 H6440

そしてハダデゼルは人をつかわし、ユフラテ川の向こう側にいるスリヤびとを率いてヘラムにこさせた。ハダデゼルの軍の長ショバクがこれを率いた。

17 וַיֻּגַּד לְדָוִד וַיֶּאֱסֹף אֶת־כָּל־יִשְׂרָאֵל ס וַיַּעֲבֹר אֶת־הַיַּרְדֵּן וַיָּבֹא חֵילָמָה וַיַּעַרְכוּ אֲרָם לִקְרַאת
そして–告げられた ダビデに （段落） そして–集めた ～を すべての イスラエルを
H5046 H1732 H0622 H853 H3605 H3478

דָּוִד וַיִּלָּחֲמוּ עִמּוֹ׃
ダビデを そして–戦った 彼と
H1732

この事がダビデに聞えたので、彼はイスラエルをことごとく集め、ヨルダンを渡ってヘラムにきた。スリヤびとはダビデに向かって備えをして彼と戦った。

18 וַיָּנָס אֲרָם מִפְּנֵי יִשְׂרָאֵל וַיַּהֲרֹג דָּוִד מֵאֲרָם שִׁבְעַ
そして–逃げた アラムは ～の–前から イスラエルの そして–殺した ダビデは アラムから 七
H5127 H0758 H6440 H3478 H2026 H1732 H0758 H7651

מֵאוֹת רֶכֶב וְאַרְבָּעִים אֶלֶף פָּרָשִׁים וְאֶת־שׁוֹבַךְ צְבָאוֹ הִכָּה שָׁם׃
百 台の–戦車と そして–四万 千 騎兵を そして–～を ショバクを その–軍隊の 打ち 将軍
H3967 H7393 H0705 H0505 H6571 H853 H7731 H6635 H5221 H8269 H8033

וַיָּמָת׃
そして–死んだ
H4191

しかしスリヤびとがイスラエルの前から逃げたので、ダビデはスリヤびとの戦車の兵七百、騎兵四万を殺し、またその軍の長ショバクを撃ったので、彼はその所で死んだ。

19 וַיִּרְאוּ כָּל־הַמְּלָכִים עַבְדֵי הֲדַדְעֶזֶר כִּי נִגְּפוּ לִפְנֵי יִשְׂרָאֵל וַיַּשְׁלִמוּ אֶת־יִשְׂרָאֵל וַיַּעַבְדֻם וַיִּרְאוּ
そして–見た すべての 王たちは 家来たち ハダデエゼルの ～ということを 打ち破られた
H7200 H3605 H4428 H5650 H1909 H3588 H5062

אֲרָם לְהוֹשִׁיעַ עוֹד אֶת־בְּנֵי עַמּוֹן׃ פ
ダビデは 救う–ことを もはや ～を 子らを アンモンの （段落）
H0758 H3467 H5750 H853 H1121 H5983

ハダデゼルの家来であった王たちはみな、自分たちがイスラエルに打ち敗られたのを見て、イスラエルと和を講じ、これに仕えた。こうしてスリヤびとは恐れて再びアンモンの人々を助けることをしなかった。

Chapter 11

דָּוִד וַיִּשְׁלַח הַמַּלְאָכִים צֵאת וְלִעֵת הַשָּׁנָה לִתְשׁוּבַת וַיְהִי 1
ダビデ-は そして-遣わした 王たち-が 出て行く 時-に その-年 年-の-変わり目に そして-なった
H1732 H7971 H4428 H3318 H6256 H8141 H8666 H1961

יִשְׂרָאֵל כָּל־ וְאֶת־ עִמּוֹ עַבָדָיו וְאֶת־ יוֹאָב אֶת־
イスラエル すべて-の そして-を 彼と-ともに 家来たち-を そして-を ヨアブ を
H3478 H3605 H0853 H0853 H5650 H0853 H3097 H0853

רַבָּה עַל־ וַיָּצֵרוּ עַמּוֹן בְּנֵי אֶת־ וַיַּשְׁחִתוּ
ラバ-を に対して そして-包囲した アンモン-の 息子-たち を そして-滅ぼした
H7237 H5983 H0853 H7843

ס בִּירוּשָׁלָם׃ יוֹשֵׁב וְדָוִד
区切り エルサレム-に とどまって-いた しかし-ダビデ-は
H3389 H3427 H1732

春になって、王たちが戦いに出るに及んで、ダビデはヨアブおよび自分と共にいる家来たち、並びにイスラエルの全軍をつかわした。彼らはアンモンの人々を滅ぼし、ラバを包囲した。しかしダビデはエルサレムにとどまっていた。

מִשְׁכָּבוֹ מֵעַל דָּוִד וַיָּקָם הָעֶרֶב לְעֵת וַיְהִי 2
寝床-を から ダビデ-は そして-起き上がった 夕暮れ-の 時-に そして-なった
H4904 H1732 H6153 H6256 H1961

מֵעַל רֹחֶצֶת אִשָּׁה וַיַּרְא הַמֶּלֶךְ בֵּית־ גַּג עַל־ וַיִּתְהַלֵּךְ
から 身を-洗っている 女-を そして-見た 王-の 家-の 屋上 の-上を そして-歩き回った
H7364 H0802 H7200 H4428 H1406 H1980

מְאֹד׃ מַרְאֶה טוֹבַת וְהָאִשָּׁה הַגָּג
非常に 容姿-が 美しい その-女-は 屋上-で
H3966 H4758 H0802 H1406

さて、ある日の夕暮、ダビデは床から起き出て、王の家の屋上を歩いていたが、屋上から、ひとりの女がからだを洗っているのを見た。その女は非常に美しかった。

זֹאת הֲלוֹא־ וַיֹּאמֶר לָאִשָּׁה וַיִּדְרֹשׁ דָּוִד וַיִּשְׁלַח 3
これ-は ではないか そして-言った その-女-について そして-尋ねた ダビデ-は そして-遣わした
H2063 H3808 H0559 H0802 H1875 H1732 H7971

הַחִתִּי׃ אוּרִיָּה אֵשֶׁת אֱלִיעָם בַּת־ בַּת־שָׁבַע
ヒッタイト人-の ウリヤ-の 妻 エリアム-の 娘-で バテ・シェバ
H2850 H0802 H0463 H1323 H1339

ダビデは人をつかわしてその女のことを探らせたが、ある人は言った、「これはエリアムの娘で、ヘテびとウリヤの妻バテシバではありませんか」。

אֵלָיו וַתָּבוֹא וַיִּקָּחֶהָ מַלְאָכִים דָּוִד וַיִּשְׁלַח 4
彼の-もとに そして-来た そして-連れて来た-彼女を 使い-たちを ダビデ-は そして-遣わした
H0413 H0935 H3947 H4397 H1732 H7971

בֵּיתָהּ׃ אֶל־ וַתָּשָׁב מִטֻּמְאָתָהּ מִתְקַדֶּשֶׁת וְהִיא עִמָּהּ וַיִּשְׁכַּב
家-に へ そして-戻った 汚れ-から 身を-清めて-いた 彼女-は 彼女-と そして-寝た
H0413 H7725 H2932 H6942 H1931 H7901

そこでダビデは使者をつかわして、その女を連れてきた。女は彼の所にきて、彼はその女と寝た。（女は身の汚れを清めていたのである。）こうして女はその家に帰った。

5

וַתֹּאמֶר	לְדָוִד	וַתַּגֶּד	וַתִּשְׁלַח	הָאִשָּׁה	וַתָּהַר
そして-言った	ダビデ-に	そして-告げた	そして-遣わして	その-女-は	そして-身ごもった
H0559	H1732	H5046	H7971	H0802	H2029

הָרָה	אָנֹכִי׃
身ごもって-います	私-は
	H0595

女は妊娠したので、人をつかわしてダビデに告げて言った、「わたしは子をはらみました」。

6

הַחִתִּי	אֻרִיָּה	אֶת־	אֵלַי	שְׁלַח	יוֹאָב	אֶל־	דָּוִד	וַיִּשְׁלַח
ヒッタイト人-の	ウリヤ-を	を	私-に	送れ	ヨアブ-に	へ	ダビデ-は	そして-遣わした
H2850		H0853	H0413	H7971	H3097	H0413	H1732	H7971

דָּוִד׃	אֶל־	אֻרִיָּה	אֶת־	יוֹאָב	וַיִּשְׁלַח
ダビデ-に	へ	ウリヤ-を	を	ヨアブ-は	そして-送った
H1732	H0413		H0853	H3097	H7971

そこでダビデはヨアブに、「ヘテびとウリヤをわたしの所につかわせ」と言ってやったので、ヨアブはウリヤをダビデの所につかわした。

7

יוֹאָב	לִשְׁלוֹם	דָּוִד	וַיִּשְׁאַל	אֵלָיו	אֻרִיָּה	וַיָּבֹא
ヨアブ-の	安否-を	ダビデ-は	そして-尋ねた	彼の-もとに	ウリヤ-は	そして-来た
H3097	H7965	H1732	H7592	H0413		H0935

הַמִּלְחָמָה׃	וְלִשְׁלוֹם	הָעָם	וְלִשְׁלוֹם
戦い-の	そして-安否-を	民-の	そして-安否-を
H4421	H7965		H7965

ウリヤがダビデの所にきたので、ダビデは、ヨアブはどうしているか、民はどうしているか、戦いはうまくいっているかとたずねた。

8

רַגְלֶיךָ	וּרְחַץ	לְבֵיתְךָ	רֵד	לְאֻרִיָּה	דָּוִד	וַיֹּאמֶר
お前の-足-を	そして-洗え	お前の-家-に	下って-行け	ウリヤ-に	ダビデ-は	そして-言った
H7272	H7364		H3381		H1732	H0559

הַמֶּלֶךְ׃	מַשְׂאֵת	אַחֲרָיו	וַתֵּצֵא	הַמֶּלֶךְ	מִבֵּית	אֻרִיָּה	וַיֵּצֵא
王-の	贈り物-が	後ろ-に	そして-出された	王-の	家-から	ウリヤ-は	そして-出て行った
H4428	H4864		H3318	H4428			H3318

そしてダビデはウリヤに言った、「あなたの家に行って、足を洗いなさい」。ウリヤは王の家を出ていったが、王の贈り物が彼の後に従った。

9

אֲדֹנָיו	עַבְדֵי	כָּל־	אֵת	הַמֶּלֶךְ	בֵּית	פֶּתַח	אֻרִיָּה	וַיִּשְׁכַּב
主人-の	家来-たち	すべて-の	と-ともに	王-の	家-の	入り口-で	ウリヤ-は	しかし-寝た
H0113	H5650	H3605	H0854	H4428		H6607		H7901

בֵּיתוֹ׃	אֶל־	יָרַד	וְלֹא
家-に	へ	下って行く-こと	そして-しなかった
	H0413	H3381	H3808

しかしウリヤは王の家の入口で主君の家来たちと共に寝て、自分の家に帰らなかった。

10 וַיַּגִּדוּ לְדָוִד לֵאמֹר לֹא־יָרַד אוּרִיָּה אֶל־בֵּיתוֹ וַיֹּאמֶר
そして-告げた ダビデ-に 言って ない 下って行った ヘ 家-に そして-言った
H5046 H1732 H0559 H3808 H3381 H0413 H0559

אֵלָיו דָּוִד הֲלֹוא מִדַּרְכְּךָ בָּא אַתָּה מַדּוּעַ לֹא־יָרַדְתָּ
に ダビデ-は ではないか 旅-から 来た-のだ お前-は なぜ ない 下って行った-のか
H0413 H1732 H3808 H1870 H0935 H0413 H4069 H0413 H3381

אֶל־בֵּיתֶךָ׃
お前の-家-に ヘ
H0413

人々がダビデに、「ウリヤは自分の家に帰りませんでした」と告げたので、ダビデはウリヤに言った、「旅から帰ってきたのではないか。どうして家に帰らなかったのか」。

11 וַיֹּאמֶר אוּרִיָּה אֶל־דָּוִד הָאָרוֹן וְיִשְׂרָאֵל וִיהוּדָה יֹשְׁבִים
に ウリヤ-は そして-言った 契約の箱-と イスラエル-と ユダ-は 住んで-いる
H0413 H0559 H0727 H3478 H3063 H3427

בַּסֻּכּוֹת וַאדֹנִי יוֹאָב וְעַבְדֵי אֲדֹנִי עַל־פְּנֵי הַשָּׂדֶה חֹנִים
仮小屋-に 私の-主 ヨアブ-と 家来-たち 私の-主-の 表面 の-上で 野-の 野営して-いる
H5521 H0113 H3097 H5650 H0113 H6440 H5921 H7704 H2583

אֲנִי וַאֲבֹא אֶל־בֵּיתִי לֶאֱכֹל וְלִשְׁתּוֹת וְלִשְׁכַּב עִם־אִשְׁתִּי
私-が そして 入る-のか へ 私の-家-に 食べ 飲み 寝る-ために と-ともに 私の-妻
H0589 H0935 H0413 H0398 H8354 H7901 H0802

חַיֶּיךָ וְחֵי נַפְשְׁךָ אִם־אֶעֱשֶׂה אֶת־הַדָּבָר הַזֶּה׃
あなたの-命-にかけて そして-命-にかけて あなたの-魂-の もし する-なら を この-こと この
H2088 H5315 H0518 H0853 H1697

ウリヤはダビデに言った、「神の箱も、イスラエルも、ユダも、小屋の中に住み、わたしの主人ヨアブと、わが主君の家来たちが野のおもてに陣を取っているのに、わたしはどうして家に帰って食い飲みし、妻と寝ることができましょう。あなたは生きておられます。あなたの魂は生きています。わたしはこの事をいたしません」。

12 וַיֹּאמֶר דָּוִד אֶל־אוּרִיָּה שֶׁב בָּזֶה גַּם־הַיּוֹם וּמָחָר
に ダビデ-は そして-言った とどまれ ここ-に も 今日-も 明日-には
H0559 H1732 H0413 H3427 H2088 H1571 H3117 H4279

וַיֹּשֶׁב אוּרִיָּה בִּירוּשָׁלִַם בַּיּוֹם הַהוּא וּמִמָּחֳרָת׃
そして-とどまった ウリヤ-は エルサレム-に その日 その 翌日-も
H3427 H0413 H3389 H3117 H1931 H4283

אֲשַׁלְּחֶךָּ וַיֹּאכַל דָּוִד לְפָנָיו וַיֵּשְׁתְּ וַיְשַׁכְּרֵהוּ
送り出す-お前を そして-食べた ダビデ-は 彼の-前-で そして-飲んだ そして-酔わせた-彼を
H7971 H0398 H1732 H6440 H8354 H7937

ダビデはウリヤに言った、「きょうも、ここにとどまりなさい。わたしはあす、あなたを去らせましょう」。そこでウリヤはその日と次の日エルサレムにとどまった。

13 וַיִּקְרָא־לוֹ וַיֹּאכַל וַיֵּשְׁתְּ לְפָנָיו וַיְשַׁכְּרֵהוּ
そして-招いた 彼-を そして-食べた ダビデ-は 彼の-前-で そして-飲んだ そして-酔わせた-彼を
H7121 H1732 H0398 H6440 H8354 H7937

וַיֵּצֵא בָּעֶרֶב לִשְׁכַּב בְּמִשְׁכָּבוֹ עִם־עַבְדֵי אֲדֹנָיו וְאֶל־בֵּיתוֹ לֹא יָרָד׃
そして-出て行った 夕方-に 寝る-ために 寝床-に と-ともに 家来-たち 主人-の しかし-へ 家-には ない 下って行った
H3318 H6153 H7901 H4904 H5650 H0113 H0413 H1004 H3808 H3381

ダビデは彼を招いて自分の前で食い飲みさせ、彼を酔わせた。夕暮になって彼は出ていって、その床に、主君の家来たちと共に寝た。そして自分の家には下って行かなかった。

14 וַיְהִי בַבֹּקֶר וַיִּכְתֹּב דָּוִד סֵפֶר אֶל־יוֹאָב וַיִּשְׁלַח בְּיַד
そして-なった 朝-に そして-書いた ダビデ-は 手紙-を へ ヨアブ-に そして-送った 手-で
H1961 H1242 H3789 H1732 H3789 H0413 H3097 H7971 H3027

אוּרִיָּה׃
ウリヤ-の

朝になってダビデはヨアブにあてた手紙を書き、ウリヤの手に託してそれを送った。

15 וַיִּכְתֹּב בַּסֵּפֶר לֵאמֹר הָבוּ אֶת־אוּרִיָּה אֶל־מוּל פְּנֵי הַמִּלְחָמָה
そして-書いた 手紙-に 言って 置け を ウリヤ-を の 向かい-に 前面 戦い-の
H3789 H0559 H3051 H0853 H0413 H4136 H6440 H4421

וְנִכָּה וָמֵת׃ ס
そうすれば-打たれ 死ぬ-であろう 区切り
H5221 H4191

וְשִׁבְתֶּם מֵאַחֲרָיו וְהֻכָּה
そして-退け 彼の-後ろ-から 激しい
H7725 H2389

彼はその手紙に、「あなたがたはウリヤを激しい戦いの最前線に出し、彼の後から退いて、彼を討死させよ」と書いた。

16 וַיְהִי בְּשָׁמְרוֹר יוֹאָב אֶל־הָעִיר וַיִּתֵּן אֶת־אוּרִיָּה אֶל־
そして-なった 見張る-時 ヨアブ-が に対して 町-を そして-配置した を ウリヤ-を へ
H1961 H8104 H3097 H0413 H5414 H0853

מְקוֹם אֲשֶׁר יָדַע כִּי אַנְשֵׁי־חַיִל שָׁם׃
場所 そこ-は 知って-いた と 人々-が 勇敢-な そこ-に
H4725 H3045 H0376 H2428 H8033

ヨアブは町を囲んでいたので、勇士たちがいると知っていた場所にウリヤを置いた。

17 וַיֵּצְאוּ אַנְשֵׁי הָעִיר וַיִּלָּחֲמוּ אֶת־יוֹאָב וַיִּפֹּל מִן־
そして-出て来た 人々-が 町-の そして-戦った と ヨアブ-と そして-倒れた から
H3318 H0376 H0854 H3097 H5307

הָעָם מֵעַבְדֵי דָוִד וַיָּמָת גַּם אוּרִיָּה הַחִתִּי׃
民-の-中 家来-たちの-中に ダビデ-の 死んだ そして-また ウリヤ-も ヒッタイト人-の
H5650 H1732 H4191 H1571 H2850

町の人々が出てきてヨアブと戦ったので、民のうち、ダビデの家来たちにも、倒れるものがあり、ヘテびとウリヤも死んだ。

18 וַיִּשְׁלַח יוֹאָב וַיַּגֶּד לְדָוִד אֶת־כָּל־דִּבְרֵי הַמִּלְחָמָה׃
そして-遣わした ヨアブ-は そして-告げた ダビデ-に を すべて-の 出来事-を 戦い-の
H7971 H3097 H5046 H1732 H0853 H3605 H1697 H4421

ヨアブは人をつかわして戦いのことをつぶさにダビデに告げた。

19 וַיְצַו אֶת־הַמַּלְאָךְ כְּכַלּוֹתְךָ לְאָמֹר אֶת כָּל־דִּבְרֵי הַמִּלְחָמָה
そして-命じた を 使者-に 言って 語り終えた-とき を すべて-の 出来事-を 戦い-の
H6680 H0853 H4397 H3615 H0559 H0853 H3605 H1697 H4421

לְדַבֵּר אֶל־הַמֶּלֶךְ׃
語る-ことを に 王-に
H1696 H0413 H4428

ヨアブはその使者に命じて言った、「あなたが戦いのことをつぶさに王に語り終ったとき、

נִגַּשְׁתָּם	מַדּוּעַ	לְךָ	וְאָמַר	הַמֶּלֶךְ	חֲמַת	תַּעֲלֶה	אִם־	וְהָיָה	20
近づいた–のか	なぜ	お前–に	そして–言う–なら	王–の	怒り–が	上って来る–なら	もし	もし	
H5066	H4069		H0559	H4428	H2534	H5927		H1961	

הַחוֹמָה׃	מֵעַל	יֹרוּ	אֲשֶׁר־	אֵת	יְדַעְתֶּם	הֲלוֹא	לְהִלָּחֶם	הָעִיר	אֶל־
城壁–の	上–から	射る–と	こと–を	を	知って–いた	ではないか	戦う–ために	町–に	へ
H2346				H0853	H3045	H3808			H0413

もし王が怒りを起して、『あなたがたはなぜ戦おうとしてそんなに町に近づいたのか。彼らが城壁の上から射るのを知らなかったのか。

אִשָּׁה	הֲלוֹא־	יְרֻבֶּשֶׁת	בֶּן־	אֲבִימֶלֶךְ	אֶת־	הִכָּה	מִי־	21
女–が	ではなかった–か	エルベシェト–の	息子–で	アビメレク–を	を	打った–のか	誰–が	
H0802	H3808	H3380		H0040	H0853	H5221	H4310	

בְּתֶבֶץ	וַיָּמָת	הַחוֹמָה	מֵעַל	רֶכֶב	פֶּלַח	עָלָיו	הִשְׁלִיכָה
テベツ–で	そして–死んだ	城壁–の	上–から	上臼–の	ひき臼–の–かけら–を	彼の–上–に	投げ落とした
H8405	H4191	H2346		H7393	H6400		H7993

הַחִתִּי	אוּרִיָּה	עַבְדֶּךָ	גַּם	וְאָמַרְתָּ	הַחוֹמָה	אֶל־	נִגַּשְׁתָּם	לָמָּה
ヒッタイト人–の	ウリヤ–も	あなたの–しもべ	また	そう–言え	城壁–に	へ	近づいた–のか	なぜ
H2850		H5650	H1571	H0559	H2346	H0413	H5066	H4100

מֵת׃
死んだ–と
H4191

エルベセテの子アビメレクを撃ったのはだれか。ひとりの女が城壁の上から石うすの上石を投げて彼をテベツで殺したのではなかったか。あなたがたはなぜそんなに城壁に近づいたのか』と言われたならば、その時あなたは、『あなたのしもべ、ヘテびとウリヤもまた死にました』と言いなさい」。

שִׁלְחוֹ	אֲשֶׁר	כָּל־	אֵת	לְדָוִד	וַיַּגֶּד	וַיָּבֹא	הַמַּלְאָךְ	וַיֵּלֶךְ	22
遣わした	こと–を	すべて	を	ダビデ–に	そして–告げた	そして–来て	使者–は	そして–行った	
H7971		H3605	H0853	H1732	H5046	H0935	H4397	H3212	

יוֹאָב׃
ヨアブ–が
H3097

こうして使者は行き、ダビデのもとにきて、ヨアブが言いつかわしたことをことごとく告げた。

הָאֲנָשִׁים	עָלֵינוּ	גָּבְרוּ	כִּי־	דָּוִד	אֶל־	הַמַּלְאָךְ	וַיֹּאמֶר	23
あの–人々–は	我々–に	勝った	まことに	ダビデ–に	に	使者–は	そして–言った	
H0376		H1396		H1732	H0413	H4397	H0559	

פֶּתַח	עַד־	עֲלֵיהֶם	וַנִּהְיֶה	הַשָּׂדֶה	אֵלֵינוּ	וַיֵּצְאוּ
入り口	まで	彼ら–に–対して	そして–なった–我々は	野–に	我々–に–向かって	そして–出て来た
H6607	H5704		H1961		H0413	H3318

הַשָּׁעַר׃
門–の
H8179

使者はダビデに言った、「敵はわれわれよりも有利な位置を占め、出てきてわれわれを野で攻めましたが、われわれは町の入口まで彼らを追い返しました。

24 |ויראו| |המוראים| (וַיֹּרוּ) (הַמּוֹרִים) אֶל־ עַבָדֶיךָ מֵעַל
そして-射った 射手-たちが 射手-たちが に向かって あなたの-家来-たちに 上-から
H5650 H0413

הַחוֹמָה עַל־ וַיָּמָותוּ מֵעַבְדֵי הַמֶּלֶךְ וְגַם עַבְדְּךָ אוּרִיָּה
城壁-の そして-死んだ 家来-たちの-中に 王-の そして-また あなたの-しもべ ウリヤ-も
H2346 H4191 H5650 H4428 H1571 H5650

ס מֵת׃ הַחִתִּי
区切り 死んだ ヒッタイト人-の
H4191 H2850

その時、射手どもは城壁からあなたの家来たちを射ましたので、王の家来のある者は死に、また、あなたの家来ヘテびとウリヤも死にました」。

25 וַיֹּאמֶר דָּוִד אֶל־ הַמַּלְאָךְ כֹּה־ תֹּאמַר אֶל־ יוֹאָב אַל־
そして-言った ダビデ-は に 使者-に この-ように 言え に ヨアブ-に ない
H0559 H1732 H0413 H4397 H3541 H0559 H0413 H3097 H0408

תֵּרַע בְּעֵינֶיךָ אֶת־ הַדָּבָר הַזֶּה כִּי־ כָזֹה וְכָזֶה תֹּאכַל
悪い-と思うな お前の-目-に を この-こと この ように なぜなら このように あのように 食い尽くす
H7489 H5869 H0853 H1697 H2088 H3588 H2090 H2088 H0398

וְחַזְּקֵהוּ׃ וְהָרְסֵהָ הָעִיר אֶל־ מִלְחַמְתֶּךָ הַחֲזֵק הֶחֱרֵב
そして-励ませ-彼を そして-倒せ-それを 町-に に対して お前の-戦い-を 強くせよ 剣-は
H2388 H2040 H5892 H0413 H4421 H2388 H2719

ダビデは使者に言った、「あなたはヨアブにこう言いなさい、『この事で心配することはない。つるぎはこれをも彼をも同じく滅ぼすからである。強く町を攻めて戦い、それを攻め落しなさい』と。そしてヨアブを励ましなさい」。

26 וַתִּשְׁמַע אֵשֶׁת אוּרִיָּה כִּי־ מֵת אִישָׁהּ אוּרִיָּה וַתִּסְפֹּד עַל־
そして-聞いた 妻-は ウリヤ-の と 死んだ 夫-が ウリヤ-が そして-嘆いた について
H8085 H0802 H0376 H4191 H0376 H5594

בַּעְלָהּ׃
夫-を
H1167

ウリヤの妻は夫ウリヤが死んだことを聞いて、夫のために悲しんだ。

27 וַיַּעֲבֹר הָאֵבֶל וַיִּשְׁלַח דָּוִד וַיַּאַסְפָהּ אֶל־ בֵּיתוֹ
そして-過ぎた 喪-が そして-遣わした ダビデ-は そして-迎え入れた-彼女を へ 家-に
H0060 H7971 H1732 H0622 H0413 H1004

וַתֵּלֶד לוֹ בֵּן וַיָּרַע הַדָּבָר אֲשֶׁר עָשְׂתָה דָּוִד בְּעֵינֵי יְהוָה׃ פ
そして-産んだ 彼-に 息子-を しかし-悪い-ことだった この-こと-は 行った ダビデ-が 目-に 主-の 段落
H3205 H3068 H1697 H6213 H1732 H5869 H3068

その喪が過ぎた時、ダビデは人をつかわして彼女を自分の家に召し入れた。彼女は彼の妻となって男の子を産んだ。しかしダビデがしたこの事は主を怒らせた。

Chapter 12

1

אֵלָיו	וַיָּבֹא	דָּוִד	אֶל־	נָתָן	אֶת־	יְהוָה	וַיִּשְׁלַח
彼の–もとに	そして–来た	ダビデ–に	へ	ナタン–を	を	主–は	そして–遣わした
H0413	H0935	H1732	H0413	H5416	H0853	H3068	H7971

עָשִׁיר	אֶחָד	אֶחָת	בְּעִיר	הָיוּ	אֲנָשִׁים	שְׁנֵי	לוֹ	וַיֹּאמֶר
富んだ–者	一人–は	一つの	ある–町–に	いた	人–が	二人–の	彼–に	そして–言った
H6223	H0259	H0259		H1961	H0376	H8147		H0559

רָאשׁ׃	וְאֶחָד
貧しい–者	もう–一人–は
H7326	H0259

主はナタンをダビデにつかわされたので、彼はダビデの所にきて言った、「ある町にふたりの人があって、ひとりは富み、ひとりは貧しかった。

2

מְאֹד׃	הַרְבֵּה	וּבָקָר	צֹאן	הָיָה	לָעָשִׁיר
非常に	多く	牛–が	羊–と	あった	富んだ–者–には
H3966		H1241	H6629	H1961	H6223

富んでいる人は非常に多くの羊と牛を持っていたが、

3

אֲשֶׁר	קְטַנָּה	אַחַת	כִּבְשָׂה	אִם־	כִּי	כֹּל	אֵין־	וְלָרָשׁ
それ–を	小さな	一匹–の	子羊–が	ただ	ただ	何も	なかった	しかし–貧しい–者–には
		H0259	H3535			H3605	H0369	H7326

יַחְדָּו	בָּנָיו	וְעִם־	עִמּוֹ	וַתִּגְדַּל	וַיְחַיֶּהָ	קָנָה
一緒に	息子たち–と	そして–と	彼–と–ともに	そして–大きくなった	そして–育てた–それを	買った
				H1431	H2421	H7069

לוֹ	וַתְּהִי־	תִּשְׁכַּב	וּבְחֵיקוֹ	תִּשְׁתֶּה	וּמִכֹּסוֹ	תֹּאכַל	מִפִּתּוֹ
彼–に	そして–なった	寝た	彼の–ふところ–で	飲み	彼の–杯–から	食べ	彼の–食物–から
	H1961	H7901	H2436	H8354		H0398	

כְּבַת׃
娘–のように
H1323

貧しい人は自分が買った一頭の小さい雌の小羊のほかは何も持っていなかった。彼がそれを育てたので、その小羊は彼および彼の子供たちと共に成長し、彼の食物を食べ、彼のわんから飲み、彼のふところで寝て、彼にとっては娘のようであった。

4

מִצֹּאנוֹ	לָקַחַת	וַיַּחְמֹל	הֶעָשִׁיר	לְאִישׁ	הֵלֶךְ	וַיָּבֹא
自分の–羊–から	取ること–を	しかし–惜しんだ	富んだ–者–に	に	旅人–が	そして–来た
H6629	H3947	H2550	H6223	H0376	H1982	H0935

הָאִישׁ	כִּבְשַׂת	אֶת־	וַיִּקַּח	לוֹ	הַבָּא־	לָאֹרֵחַ	לַעֲשׂוֹת	וּמִבְקָרוֹ
人–の	子羊–を	を	そして–取った	彼–の	来た	旅人–に	用意する–ために	自分の–牛–から
H0376	H3535	H0853	H3947		H0935	H0732		H1241

אֵלָיו׃	הַבָּא	לָאִישׁ	וַיַּעֲשֶׂהָ	הָרָאשׁ
彼の–もとに	来た	人–に	そして–料理した–それを	貧しい
H0413	H0935	H0376		H7326

時に、ひとりの旅びとが、その富んでいる人のもとにきたが、自分の羊または牛のうちから一頭を取って、自分の所にきた旅びとのために調理することを惜しみ、その貧しい人の小羊を取って、これを自分の所にきた人のために調理した」。

5

נָתָן
ナタン–に
H5416

אֶל־
に
H0413

וַיֹּאמֶר
そして–言った
H0559

מְאֹד
非常に
H3966

בָּאִישׁ
その–人–に–対して
H0376

דָּוִד
ダビデ–の
H1732

אַף
怒り–が
H0639

וַיִּחַר־
そして–燃えた
H2734

זֹאת׃
これ–を
H2063

הָעֹשֶׂה
行った
H6213

הָאִישׁ
その–人–は
H0376

מָוֶת
死–の
H4194

בֶּן־
子–で

כִּי
まことに

יְהוָה
主–に–かけて
H3068

חַי־
生きている

ダビデはその人の事をひじょうに怒ってナタンに言った、「主は生きておられる。この事をしたその人は死ぬべきである。

6

הַזֶּה
この
H2088

הַדָּבָר
この–こと
H1697

אֵת־
を
H0853

עָשָׂה
行った

אֲשֶׁר
こと–を

עֵקֶב
ゆえに
H6118

אַרְבַּעְתָּיִם
四倍–に
H0706

יְשַׁלֵּם
償う–べきだ

הַכִּבְשָׂה
子羊–を
H3535

וְאֵת־
そして
H0853

חָמָל׃
憐れまなかった
H2550

לֹא־
なかった
H3808

אֲשֶׁר
こと–を

וְעַל
そして

かつその人はこの事をしたため、またあわれまなかったため、その小羊を四倍にして償わなければならない」。

7

יְהוָה
主–は
H3068

אָמַר
言った
H0559

כֹּה־
この–ように
H3541

הָאִישׁ
その–人–だ
H0376

אַתָּה
あなた–が

דָּוִד
ダビデ–に
H1732

אֶל־
に
H0413

נָתָן
ナタン–は
H5416

וַיֹּאמֶר
そして–言った
H0559

וְאָנֹכִי
わたし–が
H0595

יִשְׂרָאֵל
イスラエル
H3478

עַל־
の–上に

לְמֶלֶךְ
王–として
H4428

מְשַׁחְתִּיךָ
油注いだ–あなたに
H4886

אָנֹכִי
わたし–が
H0595

יִשְׂרָאֵל
イスラエル–の
H3478

אֱלֹהֵי
神–は
H0430

שָׁאוּל׃
サウル–の
H7586

מִיַּד
手–から
H3027

הִצַּלְתִּיךָ
救い出した–あなたを
H5337

ナタンはダビデに言った、「あなたがその人です。イスラエルの神、主はこう仰せられる、『わたしはあなたに油を注いでイスラエルの王とし、あなたをサウルの手から救いだし、

8

אֲדֹנֶיךָ
主人–の
H0113

נְשֵׁי
妻たち–を
H0802

וְאֶת־
そして
H0853

אֲדֹנֶיךָ
主人–の
H0113

בֵּית
家–を

אֶת־
を
H0853

לְךָ
あなた–に

וָאֶתְּנָה
そして–与えた
H5414

וְאִם־
もし

וִיהוּדָה
ユダ–の
H3063

יִשְׂרָאֵל
イスラエル–と
H3478

בֵּית
家–を

אֶת־
を
H0853

לְךָ
あなた–に

וָאֶתְּנָה
そして–与えた
H5414

בְּחֵיקֶךָ
あなたの–ふところ–に
H2436

וְכָהֵנָּה׃
あれほど–も
H2007

כָּהֵנָּה
これほど
H2007

לְךָ
あなた–に

וְאוֹסִפָה
加えた–であろう
H3254

מְעָט
少なければ
H4592

あなたに主人の家を与え、主人の妻たちをあなたのふところに与え、またイスラエルとユダの家をあなたに与えた。もし少なかったならば、わたしはもっと多くのものをあなたに増し加えたであろう。

9

)בְּעֵינַי(
わたしの–目–に

]בעינו[
目–に

הָרַע
悪い–ことを

לַעֲשׂוֹת
行う–ために

יְהוָה
主–の
H3068

דְּבַר־
言葉–を
H1697

אֶת־
を
H0853

וְבָזִיתָ
侮った–のか
H0959

מַדּוּעַ
なぜ
H4069

לְךָ
あなた–の–ものに

לָקַחְתָּ
取った
H3947

אִשְׁתּוֹ
妻–を
H0802

וְאֶת־
そして
H0853

בַּחֶרֶב
剣–で
H2719

הִכִּיתָ
打った
H5221

הַחִתִּי
ヒッタイト人–の
H2850

אוּרִיָּה
ウリヤ–を

אֶת
を
H0853

עַמּוֹן׃
アンモン–の
H5983

בְּנֵי
息子–たち

בְּחֶרֶב
剣–で
H2719

הָרַגְתָּ
殺した
H2026

וְאֹתוֹ
そして–彼–を
H0853

לְאִשָּׁה
妻–として
H0802

どうしてあなたは主の言葉を軽んじ、その目の前に悪事をおこなったのですか。あなたはつるぎをもってヘテびとウリヤを殺し、その妻をとって自分の妻とした。すなわちアンモンの人々のつるぎをもって彼を殺した。

10

כִּי	עֵקֶב	עוֹלָם	עַד־	מִבֵּיתְךָ	חֶרֶב	תָּסוּר	לֹא־	וְעַתָּה
こと	ゆえに	永遠-に	まで	あなたの-家-から	剣-は	離れる	ない	そして-今
H6118		H5769	H5704		H2719	H5493	H3808	H6258

לְךָ	לִהְיוֹת	הַחִתִּי	אוּרִיָּה	אֶשֶׁת	אֶת־	וַתִּקַּח	בְּזִתָנִי
あなた-の	なる-ために	ヒッタイト人-の	ウリヤ-の	妻-を	を	そして-取った	侮った-わたしを
	H1961	H2850		H0802	H0853	H3947	H0959

ס	לְאִשָּׁה׃
区切り	妻-として
	H0802

あなたがわたしを軽んじてヘテびとウリヤの妻をとり、自分の妻としたので、つるぎはいつまでもあなたの家を離れないであろう』。

11

מִבֵּיתֶךָ	רָעָה	עָלֶיךָ	מֵקִים	הִנְנִי	יְהוָה	אָמַר	וְכֹה	
あなたの-家-から	災い-を	あなた-に	起こす	見よ-わたしは	主-は	言った	この-ように	
				H2009	H3068	H0559	H3541	

לְרֵעֶיךָ	וְנָתַתִּי	לְעֵינֶיךָ	נָשֶׁיךָ	אֶת־	וְלָקַחְתִּי		
あなたの-隣人-に	そして-与える	あなたの-目-の-前で	あなたの-妻たち-を	を	そして-取る		
H7453	H5414		H0802	H0853	H3947		

הַזֹּאת׃	הַשֶּׁמֶשׁ	לְעֵינֵי	נָשֶׁיךָ	עִם־	וְשָׁכַב	
この	太陽-の	目-の-前で	あなたの-妻たち	と-ともに	そして-寝る	
H2063	H8121		H0802		H7901	

主はこう仰せられる、『見よ、わたしはあなたの家からあなたの上に災を起すであろう。わたしはあなたの目の前であなたの妻たちを取って、隣びとに与えるであろう。その人はこの太陽の前で妻たちと一緒に寝るであろう。

12

נֶגֶד	הַזֶּה	הַדָּבָר	אֶת־	אֶעֱשֶׂה	וַאֲנִי	בַסָּתֶר	עָשִׂיתָ	אַתָּה	כִּי
前-で	この	この-こと	を	行う	しかし-わたし-は	密か-に	行った	あなた-は	なぜなら
H5048	H2088	H1697	H0853		H0589				

ס	הַשָּׁמֶשׁ׃	וְנֶגֶד	יִשְׂרָאֵל	כֹּל־	
区切り	太陽-の	そして-前-で	イスラエル	すべて-の	
	H8121	H5048	H3478	H3605	

あなたはひそかにそれをしたが、わたしは全イスラエルの前と、太陽の前にこの事をするのである』」。

13

וַיֹּאמֶר	ס	לַיהוָה	חָטָאתִי	נָתָן	אֶל־	דָּוִד	וַיֹּאמֶר	
そして-言った	区切り	主-に-対して	罪を犯した	ナタン-に	に	ダビデ-は	そして-言った	
H0559		H3068	H2398	H5416	H0413	H1732	H0559	

תָּמוּת׃	לֹא	חַטָּאתְךָ	הֶעֱבִיר	יְהוָה	גַּם־	דָּוִד	אֶל־	נָתָן
死ぬ	ない	あなたの-罪-を	取り除いた	主-も	また	ダビデ-に	に	ナタン-は
H4191	H3808			H3068	H1571	H1732	H0413	H5416

ダビデはナタンに言った、「わたしは主に罪をおかしました」。ナタンはダビデに言った、「主もまたあなたの罪を除かれました。あなたは死ぬことはないでしょう。

14

גַּם	הַזֶּה	בַּדָּבָר	יְהוָה	אֹיְבֵי	אֶת־	נִאַצְתָּ	נֹאֵץ	כִּי־	אֶפֶס
また	この	この-こと-で	主-の	敵たち-を	を	侮った-あなたは	侮った	まことに	しかし
H1571	H2088	H1697	H3068	H0341	H0853	H5006	H5006		

יָמוּת׃	מוֹת	לְךָ	הַיִּלּוֹד	הַבֵּן
死ぬ	必ず	あなた-に	生まれた	息子-は
H4191	H4191		H3209	

しかしあなたはこの行いによって大いに主を侮ったので、あなたに生れる子供はかならず死ぬでしょう」。

15 וַיֵּלֶךְ נָתָן אֶל־בֵּיתוֹ וַיִּגֹּף יְהוָה אֶת־הַיֶּלֶד אֲשֶׁר יָלְדָה
そして-行った ナタン-は へ 家-に そして-打った 主-は を 子ども-を その 産んだ
H3212 H5416 H0413 H1004 H3068 H0853 H3206 H3205

אוּרִיָּה אֵשֶׁת־ לְדָוִד וַיֵּאָנַשׁ׃
ウリヤ-の 妻-が ダビデ-に そして-病んだ
H0802 H1732 H0605

こうしてナタンは家に帰った。さて主は、ウリヤの妻がダビデに産んだ子を撃たれたので、病気になった。

16 וַיְבַקֵּשׁ דָּוִד אֶת־הָאֱלֹהִים בְּעַד הַנָּעַר וַיָּצָם דָּוִד וַיָּבֹא
そして-求めた ダビデ-は を 神-に ために 幼子-の そして-断食した ダビデ-は そして-入って
H1245 H1732 H0853 H0430 H1157 H5288 H6684 H1732 H0935

וְשָׁכַב וְלָן אָרְצָה׃
そして-寝た そして-横になり 地-に
H7901 H0776

ダビデはその子のために神に嘆願した。すなわちダビデは断食して、へやにはいり終夜地に伏した。

17 וַיָּקֻמוּ זִקְנֵי בֵיתוֹ עָלָיו לַהֲקִימוֹ מִן־הָאָרֶץ
家-の 長老-たち-が そして-立ち上がった 彼の-もとで 起こす-ために-彼を から 地-から
H1004 H2205 H6965 H5921 H6965 H4480 H0776

וְלֹא־אָבָה וְלֹא בָרָא אִתָּם לֶחֶם׃
そして-ない 望んだ しかし-ない 食べなかった 彼ら-と パン-を
H3808 H0014 H3808 H1262 H0854 H3899

ダビデの家の長老たちは、彼のかたわらに立って彼を地から起そうとしたが、彼は起きようとはせず、また彼らと一緒に食事をしなかった。

18 וַיְהִי בַּיּוֹם הַשְּׁבִיעִי וַיָּמָת הַיֶּלֶד וַיִּרְאוּ עַבְדֵי דָוִד
そして-なった 日-に 七番目-の そして-死んだ 子ども-は そして-恐れた 家来-たちは ダビデ-の
H1961 H3117 H7637 H4191 H3206 H3372 H5650 H1732

לְהַגִּיד לוֹ כִּי־ מֵת הַיֶּלֶד וְאָמְרוּ הִנֵּה בִּהְיוֹת הַיֶּלֶד
告げる-ことを 彼-に と 死んだ 子ども-が なぜなら 言った 見よ ある-とき 子ども-が
H5046 H0413 H3588 H4191 H3206 H3588 H0559 H2009 H1961 H3206

דִּבַּרְנוּ אֵלָיו וְלֹא־ שָׁמַע בְּקוֹלֵנוּ וְאֵיךְ נֹאמַר
語った-が 彼-に しかし-ない 聞かなかった 我々の-声-に どうして 言える-だろうか
H1696 H0413 H3808 H8085 H0559

אֵלָיו מֵת הַיֶּלֶד כִּי־ וְעָשָׂה רָעָה׃
彼-に 死んだ 子ども-が-と するかも-しれない 悪い-ことを
H0413 H4191 H3206 H3588 H6213 H7451

七日目にその子は死んだ。ダビデの家来たちはその子が死んだことをダビデに告げるのを恐れた。それは彼らが、「見よ、子のなお生きている間に、われわれが彼に語ったのに彼はその言葉を聞きいれなかった。どうして彼にその子の死んだことを告げることができようか。彼は自らを害するかも知れない」と思ったからである。

19

דָּוִד　וַיָּבֶן　מִתְלַחֲשִׁים　עֲבָדָיו　כִּי　דָּוִד　וַיַּרְא
ダビデ–は　そして–悟った　ささやいて–いる–のを　家来–たちが　と　ダビデ–は　そして–見た
H1732　H0995　H3907　H5650　H1732　H7200

הַיֶּלֶד　הֲמֵת　עֲבָדָיו　אֶל־　דָּוִד　וַיֹּאמֶר　הַיֶּלֶד　מֵת　כִּי
子ども–は　死んだ–のか　家来–たちに　に　ダビデ–は　そして–言った　子ども–が　死んだ　と
H3206　H4191　H5650　H0413　H1732　H0559　H3206　H4191

מֵת׃　וַיֹּאמְרוּ
死にました　そして–言った
H4191　H0559

しかしダビデは、家来たちが互にささやき合うのを見て、その子の死んだのを悟り、家来たちに言った、「子は死んだのか」。彼らは言った、「死なれました」。

20

וַיָּקָם　מֵהָאָרֶץ　דָּוִד　וַיִּרְחַץ　וַיָּסֶךְ　וַיַּחֲלֵף
そして–立ち上がった　地–から　ダビデ–は　そして–身を洗い　そして–油を塗り　そして–着替えた
H0776　H1732　H7364　H5480　H2498

בֵּיתוֹ　אֶל־　וַיָּבֹא　וַיִּשְׁתָּחוּ　יְהוָה　בֵּית־　וַיָּבֹא　שִׂמְלֹתָיו)　שמלתו[
家–に　へ　そして–行った　そして–ひれ伏した　主–の　宮–に　そして–入った　衣服–を　衣服–を
H0413　H0935　H7812　H3068　H0935　H8071　H8071

וַיֹּאכַל׃　לֶחֶם　לוֹ　וַיָּשִׂימוּ　וַיְבַקֵּשׁ
そして–食べた　パン–を　彼–に　そして–置いた　そして–求めた
H0398　H3899　H7592

そこで、ダビデは地から起き上がり、身を洗い、油をぬり、その着物を替えて、主の家にはいって拝した。そののち自分の家に行き、求めて自分のために食物を備えさせて食べた。

21

בַּעֲבוּר　עָשִׂיתָה　אֲשֶׁר　הַזֶּה　הַדָּבָר　מָה־　אֵלָיו　עֲבָדָיו　וַיֹּאמְרוּ
ために　行った–のか　こと–を　この　この–こと–は　何–か　彼–に　家来–たちは　そして–言った
H5668　H2088　H1697　H4100　H0413　H5650　H0559

קַמְתָּ　הַיֶּלֶד　מֵת　וְכַאֲשֶׁר　וַתִּבְךְּ　צַמְתָּ　חַי　הַיֶּלֶד
立ち上がり　子ども–が　死んだ　しかし–とき　そして–泣いた　断食し　生きて–いた–とき　子ども–が
H3206　H4191　H1058　H6684　H3206

לֶחֶם׃　וַתֹּאכַל
パン–を　そして–食べた–のか
H3899　H0398

家来たちは彼に言った、「あなたのなさったこの事はなんでしょうか。あなたは子の生きている間はその子のために断食して泣かれました。しかし子が死ぬと、あなたは起きて食事をなさいました」。

22

יוֹדֵעַ　מִי　אָמַרְתִּי　כִּי　וְאֶבְכֶּה　צַמְתִּי　חַי　הַיֶּלֶד　בְּעוֹד　וַיֹּאמֶר
知ろう　誰–が　思った　なぜなら　泣いた　断食し　生きて　子ども–が　いる–間　そして–言った
H3045　H4310　H0559　H1058　H6684　H3206　H5750　H0559

הַיָּלֶד׃　וְחַי　יְהוָה　וְחַנֵּנִי)　יחנני[
子ども–が　そして–生きる　主–が　憐れんで–くださり　憐れんで
H3206　H3068

ダビデは言った、「子の生きている間に、わたしが断食して泣いたのは、『主がわたしをあわれんで、この子を生かしてくださるかも知れない』と思ったからです。

23 וְעַתָּה מֵת לָמָּה זֶּה אֲנִי הַאוּכַל צָם אֲנִי עוֹד לַהֲשִׁיבוֹ
今–今 死んだ なぜ これ 私–は できる–のか 断食する–のか 私–が 再び 戻す–ことが
H6258 H4191 H4100 H2088 H0589 H3201 H6684 H0589 H5750 H7725

הֹלֵךְ אֵלָיו וְהוּא לֹא־ יָשׁוּב אֵלָי׃
行く 彼の–もとに しかし–彼–は ない 戻って–来る 私–の–もとに
H1980 H0413 H1931 H3808 H7725 H0413

しかし今は死んだので、わたしはどうして断食しなければならないでしょうか。わたしは再び彼をかえらせることができますか。わたしは彼の所に行くでしょうが、彼はわたしの所に帰ってこないでしょう」。

24 וַיְנַחֵם דָּוִד אֶת־ בַּת־שֶׁבַע אִשְׁתּוֹ וַיָּבֹא אֵלֶיהָ
そして–慰めた ダビデ–は を バテ・シェバ–を 妻–を そして–入った 彼女の–もとに
H5162 H1732 H0853 H1339 H0802 H0935 H0413

וַיִּשְׁכַּב עִמָּהּ וַתֵּלֶד בֵּן וַיִּקְרָא וַתִּקְרָא שְׁמוֹ
そして–寝た 彼女–と そして–産んだ 息子–を そして–名づけた そして–名づけた 名–を
H7901 H3205 H1121 H7121 H7121 H8034

אֶת־ שְׁלֹמֹה וַיהוָה אֲהֵבוֹ׃
を シェロモ–と そして–主–は 愛した–彼を
H0853 H8010 H3068 H0157

ダビデは妻バテシバを慰め、彼女の所にはいって、彼女と共に寝たので、彼女は男の子を産んだ。ダビデはその名をソロモンと名づけた。主はこれを愛された。

25 וַיִּשְׁלַח בְּיַד נָתָן הַנָּבִיא אֶת־ שְׁמוֹ וַיִּקְרָא יְדִידְיָהּ
そして–遣わした 手–で ナタン 預言者–の を 名–を そして–名づけた エディディヤ–と
H7971 H3027 H5416 H5030 H0853 H8034 H7121 H3041

בַּעֲבוּר יְהוָה׃ פ
ために 主–の 段落
H5668 H3068

そして預言者ナタンをつかわし、命じてその名をエデデアと呼ばせられた。

26 וַיִּלָּחֶם יוֹאָב בְּרַבַּת בְּנֵי עַמּוֹן וַיִּלְכֹּד אֶת־ עִיר
そして–戦った ヨアブ–は ラバ–で 息子–たち アンモン–の そして–攻め取った を 町–を
H3097 H7237 H1121 H5983 H3920 H0853 H5892

הַמְּלוּכָה׃
王権–の
H4410

さてヨアブはアンモンの人々のラバを攻めて王の町を取った。

27 וַיִּשְׁלַח יוֹאָב מַלְאָכִים אֶל־ דָּוִד וַיֹּאמֶר וַיִּלָּחֶם בְּרַבָּה
そして–遣わした ヨアブ–は 使い–たちを へ ダビデ–に そして–言った 戦った ラバ–で
H7971 H3097 H4397 H0413 H1732 H0559 H3898 H7237

וְגַם־ אֶת־ עִיר הַמָּיִם׃ לָכַדְתִּי
また を 町–を 水–の 攻め取った
H1571 H0853 H5892 H4325 H3920

ヨアブは使者をダビデにつかわして言った、「わたしはラバを攻めて水の町を取りました。

28 וְעַתָּה֙ אֱסֹ֣ף יֶתֶר־הָעָ֔ם וְחַנֵּה֙ עַל־הָעִ֔יר וְלָכְדָ֑הּ וְנִקְרָ֥א שְׁמִ֖י עָלֶֽיהָ׃

あなたは今、残りの民を集め、この町に向かって陣をしき、これを取りなさい。わたしがこの町を取って、人がわたしの名をもって、これを呼ぶようにならないためです」。

29 וַיֶּאֱסֹף֙ דָּוִ֔ד אֶת־כָּל־הָעָ֖ם וַיֵּ֣לֶךְ רַבָּ֑תָה וַיִּלָּ֥חֶם בָּ֖הּ וַיִּלְכְּדָֽהּ׃

そこでダビデは民をことごとく集めてラバへ行き、攻めてこれを取った。

30 וַיִּקַּ֞ח אֶת־עֲטֶ֤רֶת מַלְכָּם֙ מֵעַ֣ל רֹאשׁ֔וֹ וּמִשְׁקָלָ֖הּ כִּכַּ֣ר זָהָ֑ב וְאֶ֥בֶן יְקָרָ֖ה וַתְּהִ֣י עַל־דָּוִ֑ד וְשְׁלַ֥ל הָעִ֖יר הוֹצִ֥יא הַרְבֵּ֖ה מְאֹֽד׃

そしてダビデは彼らの王の冠をその頭から取りはなした。それは金で重さは一タラントであった。宝石がはめてあり、それをダビデの頭に置いた。ダビデはその町からぶんどり物を非常に多く持ち出した。

31 וְאֶת־הָעָ֣ם אֲשֶׁר־בָּ֗הּ הוֹצִיא֙ וַיָּ֣שֶׂם בַּמְּגֵרָ֔ה וּבַחֲרִצֵ֖י הַבַּרְזֶ֑ל וְכֵ֣ן יַעֲשֶׂ֔ה לְכָל־עָרֵ֖י בְּנֵ֣י עַמּ֑וֹן וַיָּ֥שָׁב דָּוִ֛ד וְכָל־הָעָ֖ם יְרוּשָׁלָֽ͏ִם׃ פ

またダビデはそのうちの民を引き出して、彼らをのこぎりや、鉄のつるはし、鉄のおのを使う仕事につかせ、また、れんが造りの労役につかせた。彼はアンモンの人々のすべての町にこのようにした。そしてダビデと民とは皆エルサレムに帰った。

Chapter 13

1 וַיְהִי אַחֲרֵי־כֵן וּלְאַבְשָׁלוֹם בֶּן־דָּוִד אָחוֹת יָפָה וּשְׁמָהּ תָּמָר
そして-なった その-後 これ アブサロム-に 息子-で ダビデ-の 妹-が 美しい 名-は タマル
H1961 H0269 H3303 H8034 H8559

וַיֶּאֱהָבֶהָ אַמְנוֹן בֶּן־דָּוִד׃
そして-愛した-彼女を アムノン-は 息子-で ダビデ-の
H0157 H0550 H0269 H1732

さてダビデの子アブサロムには名をタマルという美しい妹があったが、その後ダビデの子アムノンはこれを恋した。

2 וַיֵּצֶר לְאַמְנוֹן עַד־לְהִתְחַלּוֹת בַּעֲבוּר תָּמָר אֲחֹתוֹ כִּי בְתוּלָה הִיא
そして-苦しんだ アムノン-は 病気に-なるほど ために タマル 妹-の なぜなら 処女 彼女-は
H3334 H0550 H0269 H8559 H5668 H1330 H1931

וַיִּפָּלֵא בְעֵינֵי אַמְנוֹן לַעֲשׂוֹת לָהּ מְאוּמָה׃
難しかった 目-に アムノン-の 何かを-する-ことが 彼女-に 何か-を
H6381 H0550 H3972

アムノンは妹タマルのために悩んでついにわずらった。それはタマルが処女であって、アムノンは彼女に何事もすることができないと思ったからである。

3 וּלְאַמְנוֹן רֵעַ וּשְׁמוֹ יוֹנָדָב בֶּן־שִׁמְעָה אֲחִי דָוִד וְיוֹנָדָב
アムノン-には 友人-が 名-は ヨナダブ 息子-で シムア-の 兄弟-で ダビデ-の ヨナダブ-は
H0550 H7453 H8034 H3122 H0251 H8093 H1732 H3122

אִישׁ חָכָם מְאֹד׃
人-で 賢い 非常に
H0376 H2450 H3966

ところがアムノンにはひとりの友だちがあった。名をヨナダブといい、ダビデの兄弟シメアの子である。ヨナダブはひじょうに賢い人であった。

4 וַיֹּאמֶר לוֹ מַדּוּעַ אַתָּה כָּכָה אַתָּה בֶן־הַמֶּלֶךְ דַּל בַּבֹּקֶר בַּבֹּקֶר
そして-言った 彼-に なぜ お前-は このように 息子-よ 王-の やつれて-いるのか 毎朝 毎朝
H0559 H4069 H3602 H1800 H1242 H1242

הֲלוֹא תַּגִּיד לִי וַיֹּאמֶר אֵלָיו אַמְנוֹן אֶת־תָּמָר אֲחוֹת אָחִי אֲנִי אֹהֵב׃
どうか 話して-くれ 私-に そして-言った 彼-に アムノン-は を タマル-を 妹-で 兄弟-の 私-は 愛して-いる
H3808 H5046 H0559 H0559 H0853 H8559 H0269 H0251 H0589 H0157

彼はアムノンに言った、「王子よ、あなたは、どうして朝ごとに、そんなにやせ衰えるのですか。わたしに話さないのですか」。アムノンは彼に言った、「わたしは兄弟アブサロムの妹タマルを恋しているのです」。

וְהִתְחַ֖ל
そして–病んだ–ふりをせよ

מִשְׁכָּבְךָ֑
お前の–寝床
H4904

עַל־
の–上に

שָׁכַ֣ב
横に–なれ
H7901

יְהוֹנָדָ֗ב
ヨナダブ–は
H3082

ל֤וֹ
彼–に

וַיֹּ֙אמֶר֙
そして–言った
H0559

5

נָ֣א
どうか
H4994

תָּבֹ֔א
来て–ください
H0935

אֵלָ֖יו
彼–に
H0413

וְאָמַרְתָּ֣
そして–言え
H0559

לְרָא֤וֹתֵךְ
見る–ために–お前を
H7200

אָבִ֙יךָ֙
お前の–父–が
H0001

וּבָ֣א
そして–来る
H0935

הַבִּרְיָ֔ה
料理–を
H1279

אֶת־
を
H0853

לְעֵינַ֖י
私の–目の前–で

וְעָשְׂתָ֣ה
そして–作れ

לֶ֑חֶם
パン–を
H3899

וְתַבְרֵ֖נִי
そして–食べさせてくれ
H1262

אֲחוֹתִ֥י
妹–が
H0269

תָּמָ֛ר
タマル–が
H8559

מִיָּדָֽהּ׃
彼女の–手–から
H3027

וְאֹכְלָ֥תִי
そして–食べる
H0398

אֶרְאֶ֖ה
見える–ように
H7200

אֲשֶׁ֣ר
こと

לְמַ֑עַן
その–ため
H4616

ヨナダブは彼に言った、「あなたは病と偽り、寝床に横たわって、あなたの父がきてあなたを見るとき彼に言いなさい、『どうぞ、わたしの妹タマルをこさせ、わたしの所に食物を運ばせてください。そして彼女がわたしの目の前で食物をととのえ、彼女の手からわたしが食べることのできるようにさせてください』」。

לִרְאוֹתֹ֔ו
見る–ために–彼を
H7200

הַמֶּ֖לֶךְ
王–が
H4428

וַיָּבֹ֣א
そして–来た
H0935

וַיִּתְחָ֑ל
そして–病んだふりをした

אַמְנ֣וֹן
アムノン–は
H0550

וַיִּשְׁכָּ֗ב
そして–横になった
H7901

6

אֲחֹתִ֥י
妹–が
H0269

תָּמָ֛ר
タマル–が
H8559

נָ֣א
どうか
H4994

תָּבֹוא־
来て–ください
H0935

הַמֶּ֖לֶךְ
王–に
H4428

אֶל־
に
H0413

אַמְנ֣וֹן
アムノン–は
H0550

וַיֹּ֙אמֶר֙
そして–言った
H0559

מִיָּדָֽהּ׃
彼女の–手–から
H3027

וְאֶבְרֶ֖ה
そして–食べる
H1262

לְבִבֹּ֥ות
菓子–を
H3834

שְׁתֵּ֛י
二つ–の
H8147

לְעֵינַ֑י
私の–目の前–で

וּתְלַבֵּ֥ב
そして–作ってくれ

そこでアムノンは横になって病と偽ったが、王がきて彼を見た時、アムノンは王に言った、「どうぞわたしの妹タマルをこさせ、わたしの目の前で二つの菓子を作らせて、彼女の手からわたしが食べることのできるようにしてください」。

בֵּ֖ית
家–に

נָ֣א
どうか
H4994

לְכִ֔י
行き–なさい
H3212

לֵאמֹ֖ר
言って
H0559

הַבַּ֣יְתָה
家–に

תָּמָ֑ר
タマル–に
H8559

אֶל־
へ
H0413

דָּוִ֙ד֙
ダビデ–は
H1732

וַיִּשְׁלַ֖ח
そして–遣わした
H7971

7

הַבִּרְיָֽה׃
料理–を
H1279

ל֥וֹ
彼–に

וַעֲשֵׂי־
そして–作って–やれ

אָחִ֖יךָ
兄–の
H0251

אַמְנֽוֹן
アムノン
H0550

ダビデはタマルの家に人をつかわして言わせた、「あなたの兄アムノンの家へ行って、彼のために食物をととのえなさい」。

אֶת־
を
H0853

וַתִּקַּ֣ח
そして–取った
H3947

שֹׁכֵ֔ב
横に–なっていた
H7901

וְהוּא֙
彼–は
H1931

אָחִ֣יהָ
兄–の
H0251

אַמְנ֔וֹן
アムノン
H0550

בֵּ֖ית
家–に

תָּמָ֑ר
タマル–は
H8559

וַתֵּ֖לֶךְ
そして–行った
H3212

8

אֶת־
を
H0853

וַתִּבַּ֣שֵּׁל
そして–煮た
H1310

לְעֵינָ֔יו
彼の–目の前–で

וַתְּלַבֵּ֖ב
そして–形作った

)וַתְּלָ֥שׁ(
そして–こねた
H3888

]ותלוש[
そして–こねた
H3888

הַבָּצֵ֣ק
生地–を
H1217

הַלְּבִבֹ֑ות׃
菓子–を
H3834

そこでタマルはその兄アムノンの家へ行ったところ、アムノンは寝ていた。タマルは粉を取って、これをこね、彼の目の前で、菓子を作り、その菓子を焼き、

9 וַתִּקַּח֙ אֶת־הַמַּשְׁרֵ֔ת וַתִּצֹ֖ק לְפָנָ֑יו וַיְמָאֵ֖ן לֶאֱכֹ֔ל

そして-取った を 鍋-を そして-注いだ 彼の-前-に しかし-拒んだ 食べる-ことを
H3947 H0853 H4958 H3332 H6440 H3985 H0398

וַיֹּ֣אמֶר אַמְנ֗וֹן הוֹצִ֤יאוּ כָל־אִישׁ֙ מֵעָלַ֔י וַיֵּצְא֥וּ כָל־אִ֖ישׁ מֵעָלָֽיו׃

そして-言った アムノン-は 出して-いけ すべて-の 人-を 私の-そば-から そして-出て行った
H0559 H0550 H3318 H3605 H0376 H3318

彼の-そば-から 人-が すべて-の
H0376 H3605

なべを取って彼の前にそれをあけた。しかし彼は食べることを拒んだ。そしてアムノンは、「みな、わたしを離れて出てください」と言ったので、皆、彼を離れて出た。

10 וַיֹּ֤אמֶר אַמְנוֹן֙ אֶל־תָּמָ֔ר הָבִ֥יאִי הַבְּרִיָ֖ה הַֽחֶדֶר֑ וְאֶבְרֶ֖ה מִיָּדֵ֔ךְ וַתִּקַּ֣ח תָּמָ֔ר אֶת־הַלְּבִבוֹת֙ אֲשֶׁ֣ר עָשְׂתָ֔ה וַתָּבֵ֥א

そして-言った アムノン-は そして-取った タマル-は それ-を 菓子-を 作った そして-持って行った
H0559 H0550 H3947 H8559 H0853 H3834 H6213 H0935

お前の-手-から そして-食べる 部屋-に 料理-を 持って-来い タマル-に に
H3027 H1262 H2315 H1279 H0935 H8559 H0413

לְאַמְנ֥וֹן אָחִ֖יהָ הַחֶדְרָֽה׃

アムノン-の 兄-の 奥-の-部屋-に
H0550 H0251 H2315

アムノンはタマルに言った、「食物を寝室に持ってきてください。わたしはあなたの手から食べます」。そこでタマルは自分の作った菓子をとって、寝室にはいり兄アムノンの所へ持っていった。

11 וַתַּגֶּשׁ־לּ֖וֹ לֶאֱכֹ֑ל וַיִּתְחַזֵּק־בָּ֗הּ וַיֹּ֙אמֶר֙ לָ֣הּ

そして-近づけた 彼の-もとに 食べる-ために しかし-つかみ 彼女-を そして-言った 彼女-に
H5066 H0413 H0398 H2388 H0559

בֹּ֥אִי שִׁכְבִ֖י עִמִּ֑י אֲחוֹתִֽי׃

来い 寝よ 私-と 妹-よ
H0935 H7901 H0269

タマルが彼に食べさせようとして近くに持って行った時、彼はタマルを捕えて彼女に言った、「妹よ、来て、わたしと寝なさい」。

12 וַתֹּ֣אמֶר לוֹ֮ אַל־אָחִי֒ אַל־תְּעַנֵּ֣נִי כִּ֣י לֹא־יֵעָשֶׂ֣ה כֵ֔ן אַל־תַּעֲשֶׂ֖ה אֶת־הַנְּבָלָ֥ה הַזֹּֽאת׃

そして-言った 彼女-は いけません 兄-よ 私を-辱めないで-ください なぜなら ない
H0559 H0408 H0251 H0408 H6031 H3808

いけません 愚かな-こと を しないで-ください
H0408 H5039 H0853 H6213

イスラエル-で このような-ことは 行われない
H3478 H3651 H6213

この
H2063

タマルは言った、「いいえ、兄上よ、わたしをはずかしめてはなりません。このようなことはイスラエルでは行われません。この愚かなことをしてはなりません。

13 וַאֲנִי אָנָה אוֹלִיךְ אֶת־חֶרְפָּתִי וְאַתָּה תִּהְיֶה כְּאַחַד הַנְּבָלִים בְּיִשְׂרָאֵל וְעַתָּה דַּבֶּר־נָא אֶל־הַמֶּלֶךְ כִּי לֹא יִמְנָעֵנִי מִמֶּךָּ׃

וַאֲנִי	אָנָה	אוֹלִיךְ	אֶת־	חֶרְפָּתִי	וְאַתָּה	תִּהְיֶה		כְּאַחַד	הַנְּבָלִים	בְּיִשְׂרָאֵל	וְעַתָּה	דַּבֶּר־	נָא	אֶל־	הַמֶּלֶךְ	כִּי	לֹא	יִמְנָעֵנִי	מִמֶּךָּ׃
私–は	どこ–へ	持って–行ける–のか	を	私の–恥–を	そして–あなた–は	なる–だろう		一人–のように	愚か者–たちの	イスラエル–で	だから–今	話して–ください	どうか	に	王–に	なぜなら	ない	拒まない–はず–私を	あなた–から
H0589	H0575	H3212	H0853	H2781		H1961		H0259	H5036	H3478	H6258	H1696	H4994	H0413	H4428		H3808	H4513	

わたしの恥をわたしはどこへ持って行くことができましょう。あなたはイスラエルの愚か者のひとりとなるでしょう。それゆえ、どうぞ王に話してください。王がわたしをあなたに与えないことはないでしょう」。

14 וְלֹא אָבָה לִשְׁמֹעַ בְּקוֹלָהּ וַיֶּחֱזַק מִמֶּנָּהּ וַיְעַנֶּהָ וַיִּשְׁכַּב אֹתָהּ׃

וְלֹא	אָבָה	לִשְׁמֹעַ	בְּקוֹלָהּ	וַיֶּחֱזַק	מִמֶּנָּהּ	וַיְעַנֶּהָ	וַיִּשְׁכַּב	אֹתָהּ׃
しかし–ない	望んだ	聞く–ことを	彼女の–声–に	そして–強かった	彼女–より	そして–辱めた–彼女を	そして–寝た	彼女–と
H3808	H0014	H8085		H2388			H7901	H0853

しかしアムノンは彼女の言うことを聞こうともせず、タマルよりも強かったので、タマルをはずかしめてこれと共に寝た。

15 וַיִּשְׂנָאֶהָ אַמְנוֹן שִׂנְאָה גְּדוֹלָה כִּי גְדוֹלָה הַשִּׂנְאָה אֲשֶׁר שְׂנֵאָהּ מֵאַהֲבָה אֲשֶׁר אֲהֵבָהּ וַיֹּאמֶר־לָהּ אַמְנוֹן קוּמִי לֵכִי׃

וַיִּשְׂנָאֶהָ	אַמְנוֹן	שִׂנְאָה	גְּדוֹלָה	כִּי	גְדוֹלָה	הַשִּׂנְאָה	אֲשֶׁר	שְׂנֵאָהּ	מֵאַהֲבָה	אֲשֶׁר	אֲהֵבָהּ	וַיֹּאמֶר־	לָהּ	אַמְנוֹן	קוּמִי	לֵכִי׃			
そして–憎んだ–彼女を	アムノン–は	憎しみ–で	大きな	なぜなら	大きかった	憎しみ–が		憎んだ–彼女を	愛–よりも		愛した–彼女を	そして–言った	彼女–に	アムノン–は	起きろ	行け			
H8130	H0550	H8135			H3966	H8135		H8130	H0160		H0157	H0559		H0550		H3212			

それからアムノンは、ひじょうに深くタマルを憎むようになった。彼女を憎む憎しみは、彼女を恋した恋よりも大きかった。アムノンは彼女に言った、「立って、行きなさい」。

16 וַתֹּאמֶר לוֹ אַל־אוֹדֹת הָרָעָה הַגְּדוֹלָה הַזֹּאת מֵאַחֶרֶת אֲשֶׁר־עָשִׂיתָ עִמִּי לְשַׁלְּחֵנִי וְלֹא אָבָה לִשְׁמֹעַ לָהּ׃

וַתֹּאמֶר	לוֹ	אַל־	אוֹדֹת	הָרָעָה	הַגְּדוֹלָה	הַזֹּאת	מֵאַחֶרֶת	אֲשֶׁר־	עָשִׂיתָ	עִמִּי	לְשַׁלְּחֵנִי	וְלֹא	אָבָה	לִשְׁמֹעַ	לָהּ׃					
そして–言った	彼女–は	いけません	理由–は	悪–は	大きい	この	よりも–あの	こと	あなたが–した	私–に	追い出す–ことは	しかし–ない	望んだ	聞く–ことを	彼女–に					
H0559		H0408	H0182			H2063	H0312					H3808	H0014	H8085						

タマルはアムノンに言った、「いいえ、兄上よ、わたしを返すことは、あなたがさきにわたしになさった事よりも大きい悪です」。しかしアムノンは彼女の言うことを聞こうともせず、

17 וַיִּקְרָא אֶת־נַעֲרוֹ מְשָׁרְתּוֹ וַיֹּאמֶר שִׁלְחוּ־נָא אֶת־זֹאת מֵעָלַי הַחוּצָה וְנָעַל הַדֶּלֶת אַחֲרֶיהָ׃

וַיִּקְרָא	אֶת־	נַעֲרוֹ	מְשָׁרְתּוֹ	וַיֹּאמֶר	שִׁלְחוּ־	נָא	אֶת־	זֹאת	מֵעָלַי	הַחוּצָה	וְנָעַל	הַדֶּלֶת	אַחֲרֶיהָ׃							
そして–呼んだ	を	若者–を	仕える–者	そして–言った	送り出せ	どうか	を	この–女を	私の–そば–から	外–へ	そして–鍵をかけろ	戸–に	彼女の–後–に							
H7121	H0853	H5288	H8334	H0559	H7971	H4994	H0853	H2063		H2351										

彼に仕えている若者を呼んで言った、「この女をわたしの所から外におくり出し、そのあとに戸を閉ざすがよい」。

18 וְעָלֶיהָ כְּתֹנֶת פַּסִּים כִּי כֵן תִּלְבַּשְׁן בְּנוֹת־הַמֶּלֶךְ
彼女の-上には 長衣-が 袖の-ある なぜなら このように 着て-いた 娘-たち-は 王-の
H6446 H3801 H3847 H1323 H4428

הַבְּתוּלֹת מְעִילִים עָלֶיהָ וַיֹּצֵא אוֹתָהּ מְשָׁרְתוֹ הַחוּץ וְנָעַל הַדֶּלֶת
処女-の 上着-を 彼女の-上には そして-出した 彼女-を 仕える-者は 外-に そして-鍵をかけた 戸-に
H1330 H4598 H3318 H0853 H8334 H2351

אַחֲרֶיהָ׃
彼女の-後-に

この時、タマルは長そでの着物を着ていた。昔、王の姫たちの処女である者はこのような着物を着たからである。アムノンのしもべは彼女を外に出して、そのあとに戸を閉ざした。

19 וַתִּקַּח תָּמָר אֶפֶר עַל־רֹאשָׁהּ וּכְתֹנֶת הַפַּסִּים אֲשֶׁר עָלֶיהָ
そして-置いた タマル-は 灰-を の-上に 頭-の そして-長衣 袖の-ある その 彼女の-上の
H3947 H8559 H0665 H5921 H7218 H3801 H6446 H5921

וַתָּשֶׂם יָדָהּ עַל־רֹאשָׁהּ וַתֵּלֶךְ הָלוֹךְ וְזָעָקָה׃
そして-置いた 手-を の-上に 頭-の そして-行った 行き-ながら 叫び-続けた
H7760 H3027 H5921 H7218 H1980 H2199

タマルは灰を頭にかぶり、着ていた長そでの着物を裂き、手を頭にのせて、叫びながら去って行った。

20 וַיֹּאמֶר אֵלֶיהָ אַבְשָׁלוֹם אָחִיהָ הַאַמְנוֹן אָחִיךְ עִמָּךְ הָיָה וְעַתָּה
そして-言った 彼女-に アブサロム-は 兄-は アムノン-が 兄-が お前-と いた-のか だから-今
H0559 H0413 H0053 H0251 H0550 H0251 H5973 H1961 H6258

אֲחוֹתִי הַחֲרִישִׁי אָחִיךְ הוּא אַל־תָּשֶׁת לִבֵּךְ לַדָּבָר הַזֶּה
妹-よ 黙って-いなさい 兄-だ 彼-は ない を 置くな お前の-心-に この-こと-を この
H0269 H2790 H0251 H1931 H0408 H0853 H7896 H1697 H2088

וַתֵּשֶׁב תָּמָר בֵּית אַבְשָׁלוֹם אָחִיהָ׃ וְשֹׁמֵמָה
そして-住んだ タマル-は 家-に アブサロム 兄-の 寮しく-して
H3427 H8559 H1004 H0053 H0251 H8074

アブサロムは彼女に言った、「兄アムノンがあなたと一緒にいたのか。しかし妹よ、今は黙っていなさい。彼はあなたの兄です。この事を心にとめなくてよろしい」。こうしてタマルは兄アブサロムの家に寂しく住んでいた。

21 וְהַמֶּלֶךְ דָּוִד שָׁמַע אֵת כָּל־הַדְּבָרִים הָאֵלֶּה וַיִּחַר לוֹ
そして-王 ダビデ-は 聞いた を すべて-の こと-を これら-の そして-怒った 彼-は
H4428 H1732 H8085 H0853 H3605 H1697 H0428 H2734 H0

מְאֹד׃
非常に
H3966

ダビデ王はこれらの事をことごとく聞いて、ひじょうに怒った。

22 וְלֹא־דִבֶּר אַבְשָׁלוֹם עִם־אַמְנוֹן לְמֵרָע וְעַד־טוֹב כִּי־שָׂנֵא אַבְשָׁלוֹם
しかし-ない 話した アブサロム-は と アムノン-と 悪い-ことも 良い-ことも なぜなら 憎んで-いた アブサロム-は
H3808 H1696 H0053 H5973 H0550 H7451 H5704 H3588 H8130 H0053

אֶת־אַמְנוֹן עַל־דְּבַר אֲשֶׁר עִנָּה אֶת־תָּמָר אֲחֹתוֹ׃ פ
を アムノン-を について こと-の こと 辱めた を タマル-を 妹-を 段落
H0853 H0550 H5921 H1697 H0834 H6031 H0853 H8559 H0269

アブサロムはアムノンに良いことも悪いことも語ることをしなかった。それはアムノンがアブサロムの妹タマルをはずかしめたので、アブサロムが彼を憎んでいたからである。

23 וַיְהִי לִשְׁנָתַיִם יָמִים וַיִּהְיוּ גֹזְזִים לְאַבְשָׁלוֹם בְּבַעַל חָצוֹר אֲשֶׁר עִם אֶפְרָיִם וַיִּקְרָא אַבְשָׁלוֹם לְכָל בְּנֵי הַמֶּלֶךְ׃
そして-なった 二年-後 日々 そして-あった 羊毛刈り-が アブサロム-に バアル・ハツォル-で それ-は 近く-に エフライム-の 招いた そして-アブサロム-は すべて-の 息子-たちを 王-の
H1961 H8141 H3117 H1961 H1494 H0053 H1178 H0834 H0854 H0669 H7121 H0053 H3605 H1121 H4428

満二年の後、アブサロムはエフライムの近くにあるバアル・ハゾルで羊の毛を切らせていた時、王の子たちをことごとく招いた。

24 וַיָּבֹא אַבְשָׁלוֹם אֶל הַמֶּלֶךְ וַיֹּאמֶר הִנֵּה נָא גֹזְזִים לְעַבְדֶּךָ עִם נָא יֵלֶךְ הַמֶּלֶךְ וְעַבְדָיו עִם עַבְדֶּךָ׃
そして-来た アブサロム-は へ 王-の-もとに そして-言った 見よ どうか 羊毛刈り-が あなたの-しもべ と-ともに そして-家来-たちと 王-が どうか 行って-ください あなたの-しもべ-に
H0935 H0053 H0413 H4428 H0559 H2009 H4994 H1494 H5650 H5650 H4428 H4994 H3212 H5650

そしてアブサロムは王のもとにきて言った、「見よ、しもべは羊の毛を切らせております。どうぞ王も王の家来たちも、しもべと共にきてください」。

25 וַיֹּאמֶר הַמֶּלֶךְ אֶל אַבְשָׁלוֹם אַל בְּנִי אַל נָא נֵלֶךְ נָא כֻּלָּנוּ וְלֹא תִכְבַּד עָלֶיךָ וַיִּפְרָץ בּוֹ וְלֹא אָבָה וַיְבָרְכֵהוּ׃ לָלֶכֶת
そして-言った 王-は に アブサロム-に いや 息子-よ いや どうか 行く-のは 我々-皆-が そうすれば-ない お前-に 重荷に-なる そして-強く-求めた 彼-に しかし-ない 望んだ そして-祈った-彼を 行く-ことを
H0559 H4428 H0413 H0053 H0408 H1121 H0408 H4994 H3212 H3605 H3808 H5921 H3513 H6555 H0996 H3808 H0014 H1288 H3212

王はアブサロムに言った、「いいえ、わが子よ、われわれが皆行ってはならない。あなたの重荷になるといけないから」。アブサロムはダビデにしいて願った。しかしダビデは行くことを承知せず彼に祝福を与えた。

26 וַיֹּאמֶר אַבְשָׁלוֹם וְלֹא אִם לֹא נָא יֵלֶךְ אִתָּנוּ אַמְנוֹן אָחִי וַיֹּאמֶר לוֹ הַמֶּלֶךְ לָמָּה יֵלֵךְ עִמָּךְ׃
そして-言った アブサロム-は それなら 行かせて-ください どうか 我々-と アムノン-を 兄-を そして-言った 彼-に 王-は なぜ 行く-のか お前-と
H0559 H0053 H3808 H0518 H4994 H3212 H0854 H0550 H0251 H0559 H0413 H4428 H4100 H3212 H5973

そこでアブサロムは言った、「それでは、どうぞわたしの兄アムノンをわれわれと共に行かせてください」。王は彼に言った、「どうして彼があなたと共に行かなければならないのか」。

27 וַיִּפְרָץ בּוֹ אַבְשָׁלוֹם וַיְשַׁלַּח אִתּוֹ אֶת אַמְנוֹן וְאֶת כָּל בְּנֵי הַמֶּלֶךְ׃ ס
そして-強く-求めた 彼-に アブサロム-は そして-遣わした 彼-と を アムノン-を そして すべて-の 息子-たちを 王-の 区切り
H6555 H0413 H0053 H7971 H0854 H0853 H0550 H0853 H3605 H1121 H4428

しかしアブサロムは彼にしいて願ったので、ついにアムノンと王の子たちを皆、アブサロムと共に行かせた。

28 וַיְצַו אַבְשָׁלוֹם אֶת־נְעָרָיו לֵאמֹר רְאוּ נָא כְּטוֹב לֵב־
そして-命じた アブサロム-は を 若者-たちに 言って 見よ どうか 良くなる-とき 心-が
H6680 H0053 H0853 H5288 H0559 H7200 H4994 H0408

אַמְנוֹן בַּיָּיִן וְאָמַרְתִּי אֵלֵיכֶם הַכּוּ אֶת־אַמְנוֹן וְהַמִתֶּם אֹתוֹ
アムノン-の 葡萄酒-で そして-言う お前たち-に 打て を アムノン-を そして-殺せ 彼-を
H0550 H3196 H0559 H0413 H5221 H0853 H0550 H4191 H0853

אַל־תִּירָאוּ הֲלוֹא אָנֹכִי צִוִּיתִי אֶתְכֶם חִזְקוּ וִהְיוּ
ない 恐れるな ではないか と 私-が 命じた お前たち-に 強く-あれ そして-なれ
H0408 H3372 H3808 H0595 H6680 H0853 H2388 H1961

לִבְנֵי־חָיִל׃
息子-たちよ 勇敢-の
H2428

そこでアブサロムは若者たちに命じて言った、「アムノンが酒を飲んで、心楽しくなった時を見すまし、わたしがあなたがたに、『アムノンを撃て』と言う時、彼を殺しなさい。恐れることはない。わたしが命じるのではないか。雄々しくしなさい。勇ましくしなさい」。

29 וַיַּעֲשׂוּ נַעֲרֵי אַבְשָׁלוֹם לְאַמְנוֹן כַּאֲשֶׁר צִוָּה אַבְשָׁלוֹם וַיָּקֻמוּ כָּל־
そして-行った 若者-たちは アブサロム-の とおりに アムノン-に 命じた アブサロム-が
H6213 H5288 H0053 H0550 H0834 H6680 H0053

בְּנֵי הַמֶּלֶךְ וַיִּרְכְּבוּ אִישׁ עַל־פִּרְדּוֹ וַיָּנֻסוּ׃
息子-たちは 王-の それぞれ の-上に 騾馬-の そして-乗った すべて-の そして-立ち上がった
H1121 H4428 H0376 H5921 H6505 H7392 H3605 H6965

そして-逃げた
H5127

アブサロムの若者たちはアブサロムの命じたようにアムノンにおこなったので、王の子たちは皆立って、おのおのその騾馬に乗って逃げた。

30 וְהַשְּׁמֻעָה בַּדֶּרֶךְ הַמָּה וַיְהִי
そして-あった 彼ら-が 途中-に 知らせ-が
H1961 H1992 H1870 H8052

בָּאָה אֶל־דָּוִד לֵאמֹר הִכָּה אַבְשָׁלוֹם אֶת־כָּל־בְּנֵי הַמֶּלֶךְ וְלֹא־נוֹתַר
に 届いた ダビデ-に 言って 打った アブサロム-が を すべて-の 息子-たちを 王-の そして-ない 残って-いない
H0413 H0935 H1732 H0559 H5221 H0853 H3605 H1121 H4428 H3808 H3498

מֵהֶם אֶחָד׃ ס
彼ら-の-中に 一人-も 区切り
H1992 H0259

彼らがまだ着かないうちに、「アブサロムは王の子たちをことごとく殺して、ひとりも残っている者がない」という知らせがダビデに達したので、

31 וַיָּקָם הַמֶּלֶךְ וַיִּקְרַע אֶת־בְּגָדָיו וַיִּשְׁכַּב אָרְצָה
そして-立ち上がった 王-は そして-引き裂いた を 衣服-を そして-横になった 地-に
H6965 H4428 H7167 H0853 H0899 H7901 H0776

וְכָל־עֲבָדָיו נִצָּבִים קְרֻעֵי בְגָדִים׃ ס
そして-すべての 家来-たちは 立って-いた 引き裂いた 衣服-で 区切り
H3605 H5650 H5324 H7167 H0899

王は立ち、その着物を裂いて、地に伏した。そのかたわらに立っていた家来たちも皆その着物を裂いた。

32 וַיַּ֣עַן יְה֠וֹנָדָב בֶּן־שִׁמְעָ֨ה אֲחִי־דָוִ֜ד וַיֹּ֣אמֶר אַל־
そして-答えた ヨナダブ-は 息子-で シムア-の 兄弟-で ダビデ-の そして-言った ない
H0559 H3122 H8093 H0251 H1732 H0559 H0408

יֹאמַ֣ר אֲדֹנִ֗י כִּֽי־הֵמִ֤יתוּ אֶת־כָּל־בְּנֵי֙ הַמֶּ֣לֶךְ כִּ֔י
思わない-でください 主-よ を すべて-の 息子-たち 王-の 殺した-と ただ
H0559 H0113 H0853 H3605 H1121 H4428 H4191 H3588

הַנְּעָרִ֖ים לְבַדּ֣וֹ אַמְנ֑וֹן כִּ֣י עַל־פִּ֣י אַבְשָׁל֗וֹם שׂ֚וּמָה הָיְתָ֔ה
若者-たちを だけ アムノン-が なぜなら の-上に 口 アブサロム-の 定められて-いた あった
H5288 H0905 H0550 H3588 H5921 H6310 H0053 H7760 H1961

מִיּ֖וֹם עַנּוֹת֥וֹ אֶת־תָּמָ֖ר אֲחֹתֽוֹ׃
日-から 辱めた-とき を タマル-を 妹-を
H3117 H6031 H0853 H8559 H0269

しかしダビデの兄弟シメアの子ヨナダブは言った、「わが主よ、王の子たちである若者たちがみな殺されたと、お考えになってはなりません。アムノンだけが死んだのです。これは彼がアブサロムの妹タマルをはずかしめた日から、アブサロムの命によって定められていたことなのです。

33 וְעַתָּ֡ה אַל־יָשֵׂ֣ם אֲדֹנִי֩ הַמֶּ֨לֶךְ אֶל־לֵב֜וֹ לֵאמֹ֗ר כָּל־
すべて-の 言って こと-を 心-に に 王-よ 主-よ 置かない-でください ない だから-今
H3605 H0559 H1697 H3820 H0413 H4428 H0113 H0408 H6258

דְּבַר֙ הַמֶּ֣לֶךְ אַמְנ֔וֹן כִּ֥י אִם־כִּ֖י מֵ֣ת הַמֶּ֑לֶךְ לְבַדּ֖וֹ
段落 死んだ だけ アムノン-が ただ ただ 死んだ-と 王-の 息子-たち-が
H4191 H0905 H0550 H0518 H3588 H4191 H4428 H1121

פ מֵ֥ת׃
H4191

それゆえ、わが主、王よ、王の子たちが皆死んだと思って、この事を心にとめられてはなりません。アムノンだけが死んだのです」。

34 וַיִּבְרַ֣ח אַבְשָׁל֔וֹם וַיִּשָּׂ֣א הַנַּ֔עַר הַצֹּפֶ֖ה וַיַּרְא֣ וְהִנֵּ֣ה
そして-逃げた アブサロム-は そして-上げた 若者-は 見張り-の を 目-を 目-を
H1272 H0053 H5375 H5288 H6822 H0853 H5869 H5869

עָ֑ם רַ֣ב בְּדַרְכּ֗וֹ מִֽצַּד־אַחֲרָ֛יו הָהָ֖ר׃
民-が 多く-の 道-から 後ろ-の 側-から 山-の
H5971 H7227 H1870 H0310 H6654 H2022

アブサロムはのがれた。時に見張りをしていた若者が目をあげて見ると、山のかたわらのホロナイムの道から多くの民の来るのが見えた。

35 וַיֹּ֣אמֶר יְה֠וֹנָדָב אֶל־הַמֶּ֨לֶךְ הִנֵּ֜ה בְּנֵ֣י הַמֶּ֗לֶךְ בָּ֚אוּ
そして-言った ヨナダブ-は に 王-に 見よ 息子-たちが 王-の 来た
H0559 H3122 H0413 H4428 H2009 H1121 H4428 H0935

כִּדְבַ֣ר עַבְדְּךָ֔ כֵּ֖ן הָיָֽה׃
言葉-の-とおりに あなたの-しもべ-の その-とおりに なった
H1697 H5650 H3651 H1961

ヨナダブは王に言った、「見よ、王の子たちがきました。しもべの言ったとおりです」。

וַיִּשְׂאוּ
そして-上げた
H5375
בָּאוּ
来た
H0935
הַמֶּלֶךְ׀
王-の
H4428
בְּנֵי־
息子-たちが
H2009
וְהִנֵּה
見よ
H1696
לְדַבֵּר
話す-ことを
H3615
כְּכַלֹּתוֹ
語り終えた-とき
H1961
וַיְהִי
そして-なった
36

גָּדוֹל
大きな
בְּכִי
泣き-方
H1065
בָּכוּ
泣いた
H1058
עֲבָדָיו
家来-たちも
H5650
וְכָל־
そして-すべての
H3605
הַמֶּלֶךְ׀
王-も
H4428
וְגַם־
そして-また
H1571
וַיִּבְכּוּ
そして-泣いた
H1058
קוֹלָם
声-を

מְאֹד׃
非常に
H3966

彼が語ることを終った時、王の子たちはきて声をあげて泣いた。王もその家来たちも皆、非常にはげしく泣いた。

(עַמִּיהוּד)
アミフド-の
H5991
[עמיחור]
アミフド
H5991
בֶּן־
息子-で
תַּלְמַי
タルマイ-の
H8526
אֶל־
へ
H0413
וַיֵּלֶךְ
そして-行った
H3212
בָּרַח
逃げた
H1272
וְאַבְשָׁלוֹם
しかし-アブサロム-は
H0053
37

הַיָּמִים׃
日々
H3117
כָּל־
すべて-の
H3605
בְּנוֹ
息子-を
עַל־
について
וַיִּתְאַבֵּל
そして-悲しんだ
H0056
גְּשׁוּר
ゲシュル-の
H1650
מֶלֶךְ
王
H4428

しかしアブサロムはのがれて、ゲシュルの王アミホデの子タルマイのもとに行った。ダビデは日々その子のために悲しんだ。

שָׁנִים׃
年
H8141
שָׁלֹשׁ
三
H7969
שָׁם
そこ-に
H8033
וַיְהִי־
そして-いた
H1961
גְּשׁוּר
ゲシュル-に
H1650
וַיֵּלֶךְ
そして-行った
H3212
בָּרַח
逃げた
H1272
וְאַבְשָׁלוֹם
アブサロム-は
H0053
38

כִּי־
なぜなら
אַבְשָׁלוֹם
アブサロム-の-もとに
H0053
אֶל־
へ
H0413
לָצֵאת
出て行く-ことを
H3318
הַמֶּלֶךְ
王-は
H4428
דָּוִד
ダビデ-は
H1732
וַתִּכַל׀
そして-慨れた
H3615
39

ס
区切り
מֵת׃
死んだ
H4191
כִּי־
なぜなら
אַמְנוֹן
アムノン-の
H0550
עַל־
について
נֹחַם
慰められた
H5162

王は心に、アブサロムに会うことを、せつに望んだ。アムノンは死んでしまい、ダビデが彼のことはあきらめていたからである。

Chapter 14

עַל־
に-向いている
הַמֶּלֶךְ׀
王-の
H4428
לֵב
心-が
כִּי־
と
צְרוּיָה
ツェルヤ-の
H6870
בֶּן־
息子-で
יוֹאָב
ヨアブ-は
H3097
וַיֵּדַע
そして-知った
H3045
1

אַבְשָׁלוֹם׃
アブサロム-に
H0053

ゼルヤの子ヨアブは王の心がアブサロムに向かっているのを知った。

2

וַיֹּאמֶר
そして-言った
H0559

חֲכָמָה
賢い
H2450

אִשָּׁה
女-を
H0802

מִשָּׁם
そこ-から
H8033

וַיִּקַּח
そして-連れて来た
H3947

תְּקוֹעָה
テコア-に
H8620

יוֹאָב
ヨアブ-は
H3097

וַיִּשְׁלַח
そして-遣わした
H7971

תָּסֹוךְ
塗るな
H5480

וְאַל־
そして-ない
H0408

אֵבֶל
喪-の
H0060

בִּגְדֵי־
衣服-を
H0899

נָא
どうか
H4994

וְלִבְשִׁי־
そして-着てくれ
H3847

נָּא
どうか
H4994

הֶתְאַבְּלִי־
喪に-服してくれ
H0056

אֵלֶיהָ
彼女-に
H0413

מֵת׃
死者-を
H4191

עַל־
について

מִתְאַבֶּלֶת
喪に-服している
H0056

רַבִּים
多く-の
H7227

יָמִים
日々
H3117

זֶה
これ
H2088

כְּאִשָּׁה
女-のように
H0802

וְהָיִית
そして-なれ
H1961

שֶׁמֶן
油-を
H8081

そこでヨアブはテコアに人をつかわして、そこからひとりの賢い女を連れてこさせ、その女に言った、「あなたは悲しみのうちにある人をよそおって、喪服を着、油を身に塗らず、死んだ人のために長いあいだ悲しんでいる女のように、よそおって、

3

וַיָּשֶׂם
そして-置いた

הַזֹּה
この
H2088

כַּדָּבָר
この-とおりに
H1697

אֵלֶיו
彼-に
H0413

וְדִבַּרְתְּ
そして-話せ
H1696

הַמֶּלֶךְ
王-の-もとに
H4428

אֶל־
へ
H0413

וּבָאת
そして-行け
H0935

בְּפִיהָ׃
彼女の-口-に
H6310

הַדְּבָרִים
言葉-を
H1697

אֶת־
を
H0853

יוֹאָב
ヨアブ-は
H3097

王のもとに行き、しかじかと彼に語りなさい」。こうしてヨアブはその言葉を彼女の口に授けた。

4

וַתֹּאמֶר
そして-言った
H0559

הָאִשָּׁה
女-は
H0802

הַתְּקֹעִית
テコア-の
H8621

אֶל־
に
H0413

הַמֶּלֶךְ
王-に
H4428

וַתִּפֹּל
そして-ひれ伏した
H5307

עַל־
の-上に

אַפֶּיהָ
顔-を
H0639

אַרְצָה
地-に
H0776

וַתִּשְׁתָּחוּ
そして-ひれ伏した
H7812

וַתֹּאמֶר
そして-言った
H0559

הוֹשִׁיעָה
救って-ください
H3467

הַמֶּלֶךְ׃
王-よ
H4428

ס
区切り

テコアの女は王のもとに行き、地に伏して拝し、「王よ、お助けください」と言った。

5

וַיֹּאמֶר־
そして-言った
H0559

לָהּ
彼女-に

הַמֶּלֶךְ
王-は
H4428

מַה־
何-が
H4100

לָךְ
お前-に

וַתֹּאמֶר
そして-言った
H0559

אֲנִי
私-は
H0589

אַלְמָנָה
やもめ
H0490

אִשָּׁה־
女-で
H0802

אָבֶל
まことに
H0061

אִישִׁי׃
夫-が
H0376

וַיָּמֶת
そして-死んだ
H4191

王は女に言った、「どうしたのか」。女は言った、「まことにわたしは寡婦でありまして、夫は死にました。

6

וְלִשְׁפְחָתֶךָ
あなたの-はしため-には
H8198

שְׁנֵי
二人-の
H8147

בָנִים
息子-が

וַיִּנָּצוּ
そして-争った

שְׁנֵיהֶם
二人-が
H8147

בַּשָּׂדֶה
野-で

וְאֵין
いなかった
H0369

מַצִּיל
救う-者-が
H5337

בֵּינֵיהֶם
彼らの-間-に
H0996

וַיַּךְ
そして-打った
H5221

הָאֶחָד
一人-が
H0259

אֶת־
を
H0853

הָאֶחָד
もう-一人-を
H0259

וַיְמִתֵהוּ׃
そして-死なせた
H4191

אֹתוֹ׃
彼-を
H0853

つかえめにはふたりの子どもがあり、ふたりは野で争いましたが、だれも彼らを引き分ける者がなかったので、ひとりはついに他の者を撃って殺しました。

7 וְהִנֵּה֩ קָ֨מָה כָל־ הַמִּשְׁפָּחָ֜ה עַל־ שִׁפְחָתֶ֗ךָ וַיֹּאמְרוּ֙ וְתֵ֣נִי
見よ 立ち上がった すべて-の 氏族-が に-対して あなたの-はしため-に そして-言った 渡せ
H2009 H6965 H3605 H4940 H5921 H8198 H0559 H5414

וְנַשְׁמִידָ֔הּ הָרֹ֖ג אֲשֶׁ֣ר אָחִ֑יו בְּנֶ֣פֶשׁ וּנְמִתֵּ֔הוּ אָחִ֖יו מַכֵּ֥ה אֶת־
そして-滅ぼす 殺した その 兄弟-の 命-の-ために そして-殺す 兄弟-の 打った-者-を を
H8045 H2026 H0251 H5315 H4191 H0251 H5221 H0853

לְבִלְתִּ֗י נִשְׁאָרָה֙ אֲשֶׁ֣ר גֶּ֣חָלִ֔י אֶת־ וְכִבּ֖וּ הַיּוֹרֵ֑שׁ אֶת־ גַּ֖ם
そうしない-ために 残った その 火種-を を そして-消す 世継ぎ-をも を また
H1115 H7604 H0834 H1513 H0853 H3518 H3423 H0853 H1571

פ הָאֲדָמָ֔ה: פְּנֵ֣י עַל־ וּשְׁאֵרִ֥ית שֵׁ֖ם לְאִישִׁ֑י שִׂים־( )שׁוּם־[
段落 地-の 表面 の-上に 子孫-を 名-と 夫-の 置く-ことを 置く-ことを
H0127 H6440 H7611 H8034 H0376

すると全家族がつかえめに逆らい立って、『兄弟を撃ち殺した者を引き渡たすがよい。われわれは彼が殺したその兄弟の命のために彼を殺そう』と言い、彼らは世継をも殺そうとしました。こうして彼らは残っているわたしの炭火を消して、わたしの夫の名をも、跡継をも、地のおもてにとどめないようにしようとしています」。

8 עָלָֽיִךְ׃ אֲצַוֶּ֖ה וַאֲנִ֣י לְבֵיתֵ֑ךְ לְכִ֣י הָאִשָּׁ֔ה אֶל־ הַמֶּ֖לֶךְ וַיֹּ֥אמֶר
お前-について 命じる わたし-が 家-に 行け 女-に に 王-は そして-言った
H6680 H0589 H3212 H0802 H0413 H4428 H0559

王は女に言った、「家に帰りなさい。わたしはあなたのことについて命令を下します」。

9 וְעַל־ הָעָוֹן֙ הַמֶּ֣לֶךְ אֲדֹנִ֔י עָלַ֖י הַמֶּ֣לֶךְ אֶל־ הַתְּקוֹעִ֔ית הָאִשָּׁה֙ וַתֹּ֣אמֶר
そして-の-上に 罪-が 王-よ 主-よ 私の-上に 王-に に テコア-の 女-は そして-言った
H5771 H4428 H0113 H5921 H4428 H0413 H8621 H0802 H0559

ס נָקִֽי׃ וְכִסְאוֹ֙ וְהַמֶּ֣לֶךְ אָבִ֔י בֵּ֖ית
区切り 潔白-です 王座-は しかし-王-と 父-の 家-の
H3678 H4428 H0001

テコアの女は王に言った、「わが主、王よ、わたしとわたしの父の家にその罪を帰してください。どうぞ王と王の位には罪がありませんように」。

10 יֹסִ֔יף וְלֹא־ אֵלַ֑י וַהֲבֵאתָ֥ו אֵלֶ֖יךָ הַמְדַבֵּ֔ר הַמֶּ֣לֶךְ וַיֹּ֥אמֶר
繰り返す そうすれば-ない 私-に 連れて来い-彼を お前-に 語る-者-を 王-は そして-言った
H3254 H3808 H0413 H0935 H0413 H1696 H4428 H0559

עֽוֹד׃ לָגַ֥עַת בָּֽךְ׃
再び 触れる-こと お前-に
H5750 H5060

王は言った、「もしあなたに何か言う者があれば、わたしの所に連れてきなさい。そうすれば、その人は重ねてあなたに触れることはないでしょう」。

11 וַתֹּ֣אמֶר֮ זְכָר־ נָ֣א הַמֶּ֣לֶךְ יְהוָה֒ אֱלֹהֶ֗יךָ אֶת־ יְהוָה֙ אֶל־ הַמְרֻבִּ֔ית]
そして-言った どうか 思い出して-ください 王-よ を 主-を 神-を に 多くならない-ように
H0559 H4994 H2142 H4428 H0853 H3068 H0430 H0413

בְּנִ֔י אֶת־ יַשְׁמִ֖ידוּ וְלֹ֣א לְשַׁחֵ֑ת גֹּאֵ֣ל הַדָּ֔ם מֵהַרֵּ֖ת( )מֵהַרְבִּ֥ית
息子-を を 滅ぼす そうすれば-ない 滅ぼす-ことを 復讐者-が 血-の 多くならない-ように
H0853 H8045 H3808 H7843 H1818

אַרְצָֽה׃ בִּנְךָ֥ מִשַּׂעֲרַ֖ת יִפֹּ֣ל אִם־ יְהוָ֔ה חַי־ וַיֹּ֖אמֶר
地-に 息子-の 髪-の-一本-も 落ちるなら もし 主-に-かけて 生きて-いる そして-言った
H0776 H8185 H5307 H3068 H0559

女は言った、「どうぞ王が、あなたの神、主をおぼえて、血の報復をする者に重ねて滅ぼすことをさせず、わたしの子の殺されることのないようにしてください」。王は言った、「主は生きておられる。あなたの子の髪の毛一筋も地に落ちることはないでしょう」。

12 וַתֹּאמֶר הָאִשָּׁה תְּדַבֶּר־נָא שִׁפְחָתְךָ אֶל־אֲדֹנִי הַמֶּלֶךְ
そして-言った 女-は 話して-ください どうか あなたの-はしため-が に 主-に 王-に
H0559 H0802 H1696 H4994 H8198 H0413 H0113 H4428

וַיֹּאמֶר דַּבֵּרִי׃ ס
そして-言った 話せ 区切り
H0559 H1696

女は言った、「どうぞ、つかえめにひと言、わが主、王に言わせてください」。ダビデは言った、「言いなさい」。

13 וַתֹּאמֶר הָאִשָּׁה וְלָמָּה חָשַׁבְתָּה כָּזֹאת עַל־עַם אֱלֹהִים
そして-言った 女-は なぜ 考えた-のですか このような-ことを に-対して 民-に 神-の
H0559 H0802 H4100 H2803 H2063 H0413 H0430

וּמִדַּבֵּר הַמֶּלֶךְ הַדָּבָר הַזֶּה כְּאָשֵׁם לְבִלְתִּי הָשִׁיב הַמֶּלֶךְ
そして-語る-ことで 王-は 言葉-を この 罪有り-のように そうしない-ことで 戻す-ことを 王-が
H1696 H4428 H1697 H2088 H0818 H1115 H7725 H4428

אֶת־נִדְּחוֹ׃
を 追放された-者-を
H0853 H5080

女は言った、「あなたは、それならばどうして、神の民に向かってこのような事を図られたのですか。王は今この事を言われたことによって自分を罪ある者とされています。それは王が追放された者を帰らせられないからです。

14 כִּי־מָוֹת נָמוּת וְכַמַּיִם הַנִּגָּרִים אַרְצָה אֲשֶׁר לֹא יֵאָסְפוּ
なぜなら 必ず 死ぬ そして-水-のように 注がれた 地-に その ない 集められない
H0413 H4191 H4191 H4325 H5064 H0776 H3808 H0622

וְלֹא־יִשָּׂא אֱלֹהִים נֶפֶשׁ וְחָשַׁב מַחֲשָׁבוֹת לְבִלְתִּי
そして-ない 取り上げない 神-は 命-を しかし-考える 計画-を そうしない-ために
H3808 H5375 H0430 H5315 H2803 H4284 H1115

יִדַּח מִמֶּנּוּ נִדָּח׃
追放されない-よう 彼から 追放された-者-が
H5080 H5080

わたしたちはみな死ななければなりません。地にこぼれた水の再び集めることのできないのと同じです。しかし神は、追放された者が捨てられないように、てだてを設ける人の命を取ることはなさいません。

15 וְעַתָּה בָּאתִי לְדַבֵּר אֶל־הַמֶּלֶךְ אֲדֹנִי אֶת־הַדָּבָר הַזֶּה
そして-今 来た-のは こと に 話す-ために 王-に 主-に を この-言葉 この
H6258 H0935 H0834 H0413 H1696 H4428 H0113 H0853 H1697 H2088

אֲשֶׁר־יְרָאֻנִי הָעָם וַתֹּאמֶר שִׁפְחָתְךָ וְעַתָּה נָא אַדַּבְּרָה־נָּא
なぜなら 恐れさせた 民-が-私を そして-言った あなたの-はしため-は 話させて-ください どうか
H3372 H5971 H0559 H8198 H6258 H4994 H1696

אֶל־הַמֶּלֶךְ אוּלַי יַעֲשֶׂה הַמֶּלֶךְ אֶת־דְּבַר אֲמָתוֹ׃
に 王-に もしかすると 行う 王-が を 言葉-の-とおりに はしため-の
H0413 H4428 H0194 H6213 H4428 H0853 H1697 H0519

わたしがこの事を王、わが主に言おうとして来たのは、わたしが民を恐れたからです。つかえめは、こう思ったのです、『王に申し上げよう。王は、はしための願いのようにしてくださるかもしれない。

16 כִּי יִשְׁמַע הַמֶּלֶךְ לְהַצִּיל אֶת־אֲמָתוֹ מִכַּף הָאִישׁ לְהַשְׁמִיד
なぜなら 聞く 王-が 救う-ために を はしため-を 手-から 人-の 滅ぼそう-とする
H8085 H4428 H0853 H5337 H0519 H3709 H0376 H8045

אֹתִי וְאֶת־בְּנִי יַחַד מְנַחֲלַת אֱלֹהִים׃
私-を そして 息子-を ともに 相続地-から 神-の
H0853 H0853 H0430 H5159 H0430

王は聞いてくださる。わたしとわたしの子を共に滅ぼして神の嗣業から離れさせようとする人の手から、はしためを救い出してくださるのだから』。

17 וַתֹּאמֶר נָא יְהִי־נָא שִׁפְחָתְךָ לִמְנוּחָה לַאדֹנִי דְּבַר־ הַמֶּלֶךְ
そして-言った どうか なります-ように あなたの-はしため-は 安らぎ-と 主-の 言葉-が 王-の
H0559 H4994 H1961 H8198 H4496 H0113 H1697 H4428

כַּמַּלְאַךְ הָאֱלֹהִים כֵּן אֲדֹנִי הַמֶּלֶךְ לִשְׁמֹעַ הַטּוֹב וְכִי
御使い-のように 神-の その-ように 王-は 主-は 聞き分ける-のが 良い-こと-と なぜなら
H4397 H0430 H3651 H0113 H4428 H8085 H2896 H3588

עִמְּךָ׃ יְהִי אֱלֹהֶיךָ יְהוָה וְהָרָע פ
お前-と あります-ように 神-が そして-主-が 悪い-こと-を 段落
H1961 H0430 H3068 H7451

つかえめはまた、こう思ったのです、『王、わが主の言葉はわたしを安心させるであろう』と。それは王、わが主は神の使のように善と悪を聞きわけられるからです。どうぞあなたの神、主があなたと共におられますように」。

18 וַיַּעַן הַמֶּלֶךְ וַיֹּאמֶר אֶל־ הָאִשָּׁה אַל־ נָא תְּכַחֲדִי מִמֶּנִּי דָּבָר
そして-答えた 王-は そして-言った に 女-に ない どうか 隠すな 私-から こと-を
H6030 H4428 H0559 H0413 H0802 H0408 H4994 H3582 H4480 H1697

וַתֹּאמֶר הָאִשָּׁה יְדַבֶּר־ נָא אֲדֹנִי הַמֶּלֶךְ כַּאֲשֶׁר שְׁאֵלָה אֹתָךְ וְאָנֹכִי
そして-言った 女-は 話して-ください どうか 主-よ その 尋ねて-いる お前-に 私-が
H0559 H0802 H1696 H4994 H0113 H0834 H7592 H0853 H0595

׃הַמֶּלֶךְ
王-よ
H4428

王は女に答えて言った、「わたしが問うことに隠さず答えてください」。女は言った、「王、わが主よ、どうぞ言ってください」。

19 וַיֹּאמֶר הַמֶּלֶךְ הַיַּד יוֹאָב עִמָּךְ בְּכָל־ זֹאת וַתַּעַן הָאִשָּׁה
そして-言った 王-は 手-が ヨアブ-の お前-と すべて-の-中に この そして-答えた 女-は
H0559 H4428 H3027 H3097 H0854 H3605 H2063 H6030 H0802

וַתֹּאמֶר חֵי־ נַפְשְׁךָ אֲדֹנִי הַמֶּלֶךְ אִם־ אִישׁ לְהָמִין וּלְהַשְׂמִיל
そして-言った 命-にかけて 魂-の 主-よ 王-よ もし 人-が 右-に 左-に
H0559 H5315 H0113 H4428 H0518 H0376 H3231 H8041

הַזֶּה יוֹאָב עַבְדְּךָ כִּי־ הַמֶּלֶךְ אֲדֹנִי דִּבֶּר־ אֲשֶׁר־ מִכֹּל
彼-が ヨアブ-が あなたの-しもべ まことに 王-が 主-が 語った こと すべて-の-中から
H1931 H3097 H5650 H3588 H4428 H0113 H1696 H0834 H3605

הַדְּבָרִים כָּל־ אֶת שָׂם בְּפִי שִׁפְחָתְךָ וְהוּא צִוָּנִי
言葉-を すべて-の を 置いた 口-に あなたの-はしため-の そして-彼-が 命じた-私に
H1697 H3605 H0853 H7760 H6310 H8198 H1931 H6680

׃הָאֵלֶּה
これら-の
H0428

王は言った、「このすべての事において、ヨアブの手があなたと共にありますか」。女は答えた、「あなたはたしかに生きておられます。王、わが主よ、すべて王、わが主の言われた事から人は右にも左にも曲ることはできません。わたしに命じたのは、あなたのしもべヨアブです。彼がつかえめの口に、これらの言葉をことごとく授けたのです。

20

אֶת־	יוֹאָב	עַבְדְּךָ	עָשָׂה	הַדָּבָר	פְּנֵי	אֶת־	סֹבֵב	לְבַעֲבוּר
を	ヨアブ–は	あなたの–しもべ	行った	この–こと–の	表面–を	を	変える–ために	ために
H0853	H3097	H5650		H1697	H6440	H0853	H5437	H5668

אֶת־	לָדַעַת	הָאֱלֹהִים	מַלְאַךְ	כְּחָכְמַת	חָכָם	וַאדֹנִי	הַזֶּה	הַדָּבָר
を	知る–ために	神–の	御使い–の	知恵–のように	賢い	しかし–主–は	この	この–こと
H0853	H3045	H0430	H4397	H2451	H2450	H0113	H2088	H1697

ס	בָּאָרֶץ׃	אֲשֶׁר	כֹּל־
区切り	地–に–ある	こと–を	すべて–の
	H0776		H3605

事のなりゆきを変えるため、あなたのしもべヨアブがこの事をしたのです。わが君には神の使の知恵のような知恵があって、地の上のすべてのことを知っておられます」。

21

וְלֵךְ	הַזֶּה	הַדָּבָר	אֶת־	עָשִׂיתִי	נָא	הִנֵּה־	יוֹאָב	אֶל־	הַמֶּלֶךְ	וַיֹּאמֶר
行って	この	この–こと	を	行った	どうか	見よ	ヨアブ–に	に	王–は	そして–言った
H3212	H2088	H1697	H0853		H4994	H2009	H3097	H0413	H4428	H0559

אַבְשָׁלֹום׃	אֶת־	הַנַּעַר	אֶת־	הָשֵׁב
アブサロム–を	を	若者–を	を	連れ戻せ
H0053	H0853	H5288	H0853	H7725

そこで王はヨアブに言った、「この事を許す。行って、若者アブサロムを連れ帰るがよい」。

22

אֶת־	וַיְבָרֶךְ	וַיִּשְׁתַּחוּ	אַרְצָה	פָּנָיו	אֶל־	יוֹאָב	וַיִּפֹּל		
を	そして–祝福した	そして–ひれ伏した	地–に	顔–を	の–上に	ヨアブ–は	そして–ひれ伏した		
H0853	H1288	H7812	H0776	H6440	H0413	H3097	H5307		

חֵן	מָצָאתִי	כִּי־	עַבְדְּךָ	יָדַע	הַיּוֹם	יוֹאָב	וַיֹּאמֶר	הַמֶּלֶךְ	
恩寵–を	見出した	と	あなたの–しもべ–は	知った	今日	ヨアブ–は	そして–言った	王–を	
H2580	H4672		H5650	H3045	H3117	H3097	H0559	H4428	

]עבדו[	דְּבַר	אֶת־	הַמֶּלֶךְ	עָשָׂה	אֲשֶׁר־	הַמֶּלֶךְ	אֲדֹנִי	בְּעֵינֶיךָ
しもべ–の	言葉–の–とおりに	を	王–が	行った	こと	王–よ	主–よ	あなたの–目–に
H5650	H1697	H0853	H4428			H4428	H0113	

)עַבְדֶּךָ׃(
しもべ–の
H5650

ヨアブは地にひれ伏して拝し、王を祝福した。そしてヨアブは言った、「わが主、王よ、王がしもべの願いを許されたので、きょうしもべは、あなたの前に恵みを得たことを知りました」。

23

אֶת־	וַיָּבֵא	גְּשׁוּרָה	וַיֵּלֶךְ	יוֹאָב	וַיָּקָם
を	そして–連れて来た	ゲシュル–に	そして–行った	ヨアブ–は	そして–立ち上がった
H0853	H0935	H1650	H3212	H3097	

פ	יְרוּשָׁלִָם׃	אַבְשָׁלֹום	
段落	エルサレム–に	アブサロム–を	
	H3389	H0053	

そこでヨアブは立ってゲシュルに行き、アブサロムをエルサレムに連れてきた。

24 וַיֹּ֣אמֶר הַמֶּ֔לֶךְ אֶל־בֵּיתוֹ֙ יִסֹּ֣ב וּפָנַ֔י לֹ֥א יִרְאֶ֖ה וַיָּ֣סָב אַבְשָׁל֑וֹם וְהַמֶּ֙לֶךְ֙ לֹא־רָ֣אָה פְנֵ֔י ס׃

そして-言った 王-は 向かえ 家-に へ 私の-顔-を ない 見るな そして-向かった アブサロム-は 区切り 見た ない 王-の そして-顔-を 家-に へ

H0559 H4428 H5437 H1004 H0413 H6440 H3808 H7200 H5437 H0053 H7200 H3808 H4428 H6440 H0413

王は言った、「彼を自分の家に引きこもらせるがよい。わたしの顔を見てはならない」。こうしてアブサロムは自分の家に引きこもり、王の顔を見なかった。

25 וּכְאַבְשָׁל֗וֹם לֹא־הָיָ֤ה אִישׁ֙־בְּכָל־יִשְׂרָאֵ֔ל לְהַלֶּ֖ל יָפֶ֣ה מְאֹ֑ד מִכַּף־רַגְל֥וֹ וְעַד־קָדְקֳד֖וֹ לֹא־הָ֥יָה בּ֖וֹ מֽוּם׃

アブサロム-のように いなかった いた 人-が 美しい すべて-の-中に 称える-ほど 足-から まで 頭の-てっぺん-まで なかった いた 彼-に 傷-が

H0053 H3808 H1961 H0376 H3303 H3605 H3478 H7272 H5704 H7272 H3709 H3966 H1961 H3808 H0376

さて全イスラエルのうちにアブサロムのように、美しさのためほめられた人はなかった。その足の裏から頭の頂まで彼には傷がなかった。

26 וּבְנַלְּח֣וֹ אֶת־רֹאשׁ֗וֹ וְהָיָ֤ה מִקֵּץ֙ יָמִ֣ים לְיָמִ֔ים כִּֽי־יְנַלְּחֵ֖הוּ אֲשֶׁ֣ר כָּבֵ֣ד עָלָ֑יו וְשָׁקַל֙ אֶת־שְׂעַ֣ר רֹאשׁ֔וֹ מָאתַ֥יִם שְׁקָלִ֖ים בְּאֶ֥בֶן הַמֶּֽלֶךְ׃

そして-剃る-とき を 頭-を あった そして-終わり-に 日々-の 日々 剃る-のは その 量った そして-剃った 彼-に 重かった なぜなら 髪-を を 頭-の 二百 シェケル 石-で 王-の

H1548 H0853 H7218 H1961 H7093 H3117 H3117 H1548 H0834 H8254 H1548 H5921 H3513 H8181 H0853 H7218 H3967 H8255 H0068 H4428

アブサロムがその頭を刈る時、その髪の毛をはかったが、王のはかりで二百シケルあった。毎年の終りにそれを刈るのを常とした。それが重くなると、彼はそれを刈ったのである。

27 וַיִּוָּלְד֣וּ לְאַבְשָׁל֗וֹם שְׁלֹשָׁה֙ בָּנִ֔ים וּבַ֥ת אַחַ֖ת וּשְׁמָ֣הּ תָּמָ֑ר הָיְתָ֥ה הָֽיְתָ֖ה אִשָּׁ֥ה יְפַת־מַרְאֶֽה׃ פ

そして-生まれた アブサロム-に 三人-の 息子-と 一人 娘-が 名-は タマル いた 彼女-は 美しい 女-で 段落 容姿-が

H3205 H0053 H7969 H1121 H0259 H1323 H8034 H8559 H1961 H1931 H3303 H0802 H4758

アブサロムに三人のむすこと、タマルという名のひとりの娘が生れた。タマルは美しい女であった。

28 וַיֵּ֥שֶׁב אַבְשָׁל֖וֹם בִּירוּשָׁלִַ֑ם שְׁנָתַ֣יִם יָמִ֔ים וּפְנֵ֥י הַמֶּ֖לֶךְ לֹ֥א רָאָֽה׃

そして-住んだ アブサロム-は エルサレム-に 二年 日々 そして-顔-を 王-の ない 見た

H3427 H0053 H3389 H8141 H3117 H6440 H4428 H3808 H7200

こうしてアブサロムは満二年の間エルサレムに住んだが、王の顔を見なかった。

29 וַיִּשְׁלַח אַבְשָׁלוֹם אֶל־יוֹאָב לִשְׁלֹחַ אֹתוֹ אֶל־הַמֶּלֶךְ
そして-遣わした アブサロム-は に ヨアブ-に 送る-ために 彼-を へ 王-の-もとに
H7971 H0053 H0413 H3097 H7971 H0853 H0413 H4428

וְלֹא אָבָה שֵׁנִית עוֹד וַיִּשְׁלַח אֵלָיו אֶל־לָבוֹא וְלֹא אָבָה וְלֹא לָבוֹא׃
しかし-ない 望んだ 二度目 再び そして-遣わした 彼の-もとに 来る-ことを しかし-ない 望んだ 来る-ことを
H3808 H0014 H8145 H5750 H7971 H0413 H0935 H3808 H0014 H0935

そこでアブサロムはヨアブを王のもとにつかわそうとして、ヨアブの所に人をつかわしたが、ヨアブは彼の所にこようとはしなかった。彼は再び人をつかわしたがヨアブはこようとはしなかった。

30 וַיֹּאמֶר אֶל־עֲבָדָיו רְאוּ חֶלְקַת יוֹאָב אֶל־יָדִי וְלוֹ־שָׁם
そして-言った に 家来-たちに 見よ 畑-が ヨアブ-の の-そばに 私の-手 そして-彼には
H0559 H0413 H5650 H7200 H3097 H0413 H3027

וְהוצתיהן וְהַצִּיתֻהָ בָאֵשׁ וַיַּצְּתוּ
そして-火をつけろ そして-火をつけろ-それに 火-で そして-火をつけた
H3341 H3341 H0784 H3341

עֲבָדָיו אַבְשָׁלוֹם אֶת־הַחֶלְקָה בָּאֵשׁ׃ פ
家来-たちは アブサロム-の を 畑-に 火-で 段落
H5650 H0053 H0853 H0784

そこでアブサロムはその家来に言った、「ヨアブの畑はわたしの畑の隣にあって、そこに大麦がある。行ってそれに火を放ちなさい」。アブサロムの家来たちはその畑に火を放った。

31 וַיֹּאמֶר הַבָּיְתָה אַבְשָׁלוֹם אֶל־וַיָּבֹא יוֹאָב וַיָּקָם
そして-言った 家-に アブサロム-の-もとに へ そして-来た ヨアブ-は そして-立ち上がった
H0559 H0053 H0413 H0935 H3097

וַיַּצֵּת בָּאֵשׁ׃ לִי אֲשֶׁר־הַחֶלְקָה אֶת־עֲבָדֶיךָ הִצִּיתוּ לָמָּה אֵלָיו
火-で 私-の その 畑-に を お前の-家来-たちは 火をつけた なぜ 彼-に
H0784 H0853 H5650 H3341 H4100 H0413

ヨアブは立ってアブサロムの家にきて彼に言った、「どうしてあなたの家来たちはわたしの畑に火を放ったのですか」。

32 וַיֹּאמֶר אַבְשָׁלוֹם אֶל־יוֹאָב הִנֵּה שָׁלַחְתִּי אֵלֶיךָ לֵאמֹר בֹּא הֵנָּה
そして-言った アブサロム-は に ヨアブ-に 見よ 遣わした お前-に 言って 来い ここ-に
H0559 H0053 H0413 H3097 H2009 H7971 H0413 H0559 H0935 H2008

וְאֶשְׁלָחֲךָ אֶל־הַמֶּלֶךְ לֵאמֹר לָמָּה בָאתִי מִגְּשׁוּר טוֹב
そして-遣わそう お前-を へ 王-の-もとに 言って なぜ 来た-のか ゲシュル-から 良かった
H7971 H0853 H0413 H4428 H0559 H4100 H0935 H1650 H2896

לִי עֹד אֲנִי־מָה עַתָּה וְאִם־אֶרְאֶה פְּנֵי הַמֶּלֶךְ וְאִם־יֶשׁ־בִּי
私-には いまだ 私-が だから-今 そこ-に 見る-たい 顔-を 王-の もし ある-なら 私-に
H5750 H0589 H6258 H8033 H7200 H6440 H4428 H0518 H3426

וְהֲמִתָנִי׃ עָוֹן
殺して-ください-私を 罪-が
H4191 H5771

アブサロムはヨアブに言った、「わたしはあなたに人をつかわして、ここへ来るようにと言ったのです。あなたを王のもとにつかわし、『なんのためにわたしはゲシュルからきたのですか。なおあそこにいたならば良かったでしょうに』と言わせようとしたのです。それゆえ今わたしに王の顔を見させてください。もしわたしに罪があるなら王にわたしを殺させてください」。

וַיָּבֹא 33
そして-来た
H0935

יוֹאָב
ヨアブ-は
H3097

אֶל־
へ
H0413

הַמֶּלֶךְ
王-の-もとに
H4428

וַיַּגֶּד־
そして-告げた
H5046

לוֹ
彼-に

וַיִּקְרָא
そして-呼んだ
H7121

אֶל־
へ
H0413

אַבְשָׁלוֹם
アブサロム-を
H0053

וַיָּבֹא
そして-来た
H0935

אֶל־
へ
H0413

הַמֶּלֶךְ
王-の-もとに
H4428

וַיִּשְׁתַּחוּ
そして-ひれ伏した
H7812

לוֹ
彼-に

עַל־
の-上に

אַפָּיו
顔-を
H0639

אַרְצָה
地-に
H0776

לְאַבְשָׁלוֹם׃
アブサロム-に
H0053

וַיִּשַּׁק
そして-口づけした

הַמֶּלֶךְ
王-は
H4428

לְפְנֵי
前-で
H6440

הַמֶּלֶךְ
王-の
H4428

פ
段落

そこでヨアブは王のもとへ行って告げたので、王はアブサロムを召しよせた。彼は王のもとにきて、王の前に地にひれ伏して拝した。王はアブサロムに口づけした。

Chapter 15

וַיְהִי 1
そして-なった
H1961

אַחֲרֵי
その-後

כֵּן
この

וַיַּעַשׂ
そして-用意した

לוֹ
自分-に

אַבְשָׁלוֹם
アブサロム-は
H0053

מֶרְכָּבָה
戦車-と
H4818

וְסוּסִים
馬-を

וַחֲמִשִּׁים
そして-五十
H2572

אִישׁ
人-の
H0376

רָצִים
走る-者-を
H7323

לְפָנָיו׃
彼の-前-に
H6440

この後、アブサロムは自分のために戦車と馬、および自分の前に駆ける者五十人を備えた。

וְהִשְׁכִּים 2
そして-早起きした
H7925

אַבְשָׁלוֹם
アブサロム-は
H0053

וְעָמַד
そして-立った
H5975

עַל־
の-傍に

יַד
手
H3027

דֶּרֶךְ
道-の
H1870

הַשָּׁעַר
門-の
H8179

וַיְהִי
そして-あった
H1961

כָּל־
すべて-の
H3605

הָאִישׁ
人-が
H0376

אֲשֶׁר־
その

יִהְיֶה־
持つ-者が
H1961

לוֹ־
彼-に

רִיב
訴え-を
H7379

יָבוֹא
来る-ために
H0935

אֶל־
へ
H0413

הַמֶּלֶךְ
王-の-もとに
H4428

לַמִּשְׁפָּט
裁き-の-ために
H4941

וַיִּקְרָא
そして-呼んだ
H7121

אַבְשָׁלוֹם
アブサロム-は
H0053

אֵלָיו
彼-に
H0413

וַיֹּאמֶר
そして-言った
H0559

אֵי־
どこ-の
H0335

מִזֶּה
どの
H2088

עִיר
町-から

אַתָּה׃
お前-は

מֵאַחַד
一つ-の
H0259

שִׁבְטֵי־
部族-の
H7626

יִשְׂרָאֵל
イスラエル-の
H3478

עַבְדֶּךָ׃
あなたの-しもべ-は
H5650

アブサロムは早く起きて門の道のかたわらに立つのを常とした。人が訴えがあって王に裁判を求めに来ると、アブサロムはその人を呼んで言った、「あなたはどの町の者ですか」。その人が「しもべはイスラエルのこれこれの部族のものです」と言うと、

וַיֹּאמֶר 3
そして-言った
H0559

אַבְשָׁלוֹם
アブサロム-は
H0053

אֵלָיו
彼-に
H0413

רְאֵה
見よ
H7200

דְבָרֶיךָ
お前の-言葉-は
H1697

טוֹבִים
良く

וּנְכֹחִים
正しい
H5228

וְשֹׁמֵעַ
しかし-聞く-者が
H8085

אֵין־
いない
H0369

לְךָ
お前-に

מֵאֵת
から
H0854

הַמֶּלֶךְ׃
王-の-もとに
H4428

アブサロムはその人に言った、「見よ、あなたの要求は良く、また正しい。しかしあなたのことを聞くべき人は王がまだ立てていない」。

4

וַיֹּאמֶר אַבְשָׁלוֹם מִי־יְשִׂמֵנִי שֹׁפֵט בָּאָרֶץ
そして-言った アブサロム-は 誰-が 置く-なら 裁き人-として-私を 地-に
H0559 H0053 H4310 H8199 H0776

וְעָלַי יָבוֹא כָּל־אִישׁ אֲשֶׁר־יִהְיֶה־לּוֹ רִיב וּמִשְׁפָּט וְהִצְדַּקְתִּיו׃
そうすれば-私の-もとに 来る-だろう すべて-の 人-が その 持つ-者 彼-に 訴え-と 裁き-を そして-正しく-する
H5921 H0935 H3605 H0376 H0834 H1961 H0376 H7379 H4941 H6663

アブサロムはまた言った、「ああ、わたしがこの地のさばきびとであったならばよいのに。そうすれば訴え、または申立てのあるものは、皆わたしの所にきて、わたしはこれに公平なさばきを行うことができるのだが」。

5

וְהָיָה בְּקָרֵב אִישׁ לְהִשְׁתַּחֲוֹת לוֹ וְשָׁלַח אֶת־יָדוֹ וְהֶחֱזִיק לוֹ וְנָשַׁק לוֹ׃
そして-あった 近づく-とき 人-が ひれ伏す-ために 彼-に そして-伸ばした を 手-を そして-つかんだ 彼-を そして-口づけした 彼-に
H1961 H7126 H0376 H7812 H0853 H7971 H3027 H2388

そして人が彼に敬礼しようとして近づくと、彼は手を伸べ、その人を抱きかかえて口づけした。

6

וַיַּעַשׂ אַבְשָׁלוֹם כַּדָּבָר הַזֶּה לְכָל־יִשְׂרָאֵל אֲשֶׁר־יָבֹא לַמִּשְׁפָּט אֶל־הַמֶּלֶךְ וַיְגַנֵּב אַבְשָׁלוֹם אֶת־לֵב אַנְשֵׁי יִשְׂרָאֵל׃ פ
そして-行った アブサロム-は この-とおりに すべて-の イスラエル-に その 来る-者に 王-の-もとに 裁き-の-ために へ そして-盗んだ アブサロム-は を 心-を 人々-の イスラエル-の 段落
H0559 H0053 H1697 H3605 H3478 H0834 H0935 H4428 H4941 H0413 H1589 H0053 H0853 H3820 H0376 H3478

アブサロムは王にさばきを求めて来るすべてのイスラエルびとにこのようにした。こうしてアブサロムはイスラエルの人々の心を自分のものとした。

7

וַיְהִי מִקֵּץ אַרְבָּעִים שָׁנָה וַיֹּאמֶר אַבְשָׁלוֹם אֶל־הַמֶּלֶךְ אֵלְכָה נָּא וַאֲשַׁלֵּם אֶת־נִדְרִי אֲשֶׁר־נָדַרְתִּי לַיהוָה בְּחֶבְרוֹן׃
そして-なった 終わり-に 四十 年-の そして-言った アブサロム-は に 王-に どうか 行かせて-ください そして-果たす を 私の-誓い-を その 誓った 主-に ヘブロン-で
H1961 H7093 H0705 H8141 H0559 H0053 H0413 H4428 H4994 H3212 H7999 H0853 H5088 H0834 H5087 H3068 H2275

そして四年の終りに、アブサロムは王に言った、「どうぞわたしを行かせ、ヘブロンで、かつて主に立てた誓いを果させてください。

8

כִּי־נֵדֶר נָדַר עַבְדְּךָ בְּשִׁבְתִּי בִּגְשׁוּר בַּאֲרָם לֵאמֹר אִם־יָשׁוֹב(ישיבן) יְשִׁיבֵנִי יְהוָה יְרוּשָׁלַם וְעָבַדְתִּי אֶת־יְהוָה׃
なぜなら 誓い-を 誓った あなたの-しもべ-は 住んで-いた-とき ゲシュル-に アラム-の 言って もし 戻して-くださる-なら-私を 主-が エルサレム-に そうすれば-仕える を 主-に
H3588 H5088 H5087 H5650 H3427 H1650 H0758 H0559 H0518 H7725 H7725 H3068 H3389 H5647 H0853 H3068

それは、しもべがスリヤのゲシュルにいた時、誓いを立てて、『もし主がほんとうにわたしをエルサレムに連れ帰ってくださるならば、わたしは主に礼拝をささげます』と言ったからです」。

9 וַיֹּאמֶר־ לוֹ הַמֶּלֶךְ לֵךְ בְּשָׁלוֹם וַיָּקָם וַיֵּלֶךְ חֶבְרוֹנָה׃
そして-言った 彼-に 王-は 行け 平安-に そして-立ち上がった そして-行った ヘブロン-に
H0559 H4428 H3212 H7965 H3212

פ
段落

王が彼に、「安らかに行きなさい」と言ったので、彼は立ってヘブロンへ行った。

10 וַיִּשְׁלַח אַבְשָׁלוֹם מְרַגְּלִים בְּכָל־ שִׁבְטֵי יִשְׂרָאֵל לֵאמֹר כְּשָׁמְעֲכֶם אֶת־ קוֹל הַשֹּׁפָר וַאֲמַרְתֶּם מָלַךְ אַבְשָׁלוֹם בְּחֶבְרוֹן׃
そして-遣わした アブサロム-は 密偵-たちを すべて-の 部族-に イスラエル-の 言って 聞いた-とき を 声-を 角笛-の 言え 王と-なった アブサロム-が ヘブロン-で
H7971 H0053 H7270 H3605 H7626 H3478 H0559 H8085 H0853 H7782 H0559 H4427 H0053

そしてアブサロムは密使をイスラエルのすべての部族のうちにつかわして言った、「ラッパの響きを聞くならば、『アブサロムがヘブロンで王となった』と言いなさい」。

11 וְאֶת־ אַבְשָׁלוֹם הָלְכוּ מָאתַיִם אִישׁ מִירוּשָׁלַם קְרֻאִים וְהֹלְכִים לְתֻמָּם וְלֹא יָדְעוּ כָּל־ דָּבָר׃
そして 行った 二百 人-の エルサレム-から 招かれて 行く 素直-に そして-ない 知らなかった すべて-の こと-を
H0854 H0053 H1980 H3967 H0376 H3389 H7121 H1980 H8537 H3808 H3045 H3605 H1697

二百人の招かれた者がエルサレムからアブサロムと共に行った。彼らは何心なく行き、何事をも知らなかった。

12 וַיִּשְׁלַח אַבְשָׁלוֹם אֶת־ אֲחִיתֹפֶל הַגִּילֹנִי יוֹעֵץ דָּוִד מֵעִירוֹ מִגִּלֹה וַיְהִי הַקֶּשֶׁר אַמִּץ וְהָעָם הוֹלֵךְ וָרֵב אֶת־ אַבְשָׁלוֹם׃
そして-遣わした アブサロム-は を アヒトフェル-を ギロ人-で 助言者-で ダビデ-の 町-から ギロ-から 強く 謀反-は そして-なった いけにえ-を-ささげる-とき を いけにえ-を 行く-者が そして-民-は そして-増えて-いった と アブサロム-と
H0853 H0053 H0853 H0302 H1526 H3289 H1732 H4175 H1542 H0533 H7195 H1961 H2076 H0853 H2077 H1980 H5971 H0854 H0053

アブサロムは犠牲をささげている間に人をつかわして、ダビデの議官ギロびとアヒトペルを、その町ギロから呼び寄せた。徒党は強く、民はしだいにアブサロムに加わった。

13 וַיָּבֹא הַמַּגִּיד לֵאמֹר אֶל־ דָּוִד לֵב־ אִישׁ יִשְׂרָאֵל הָיָה אַחֲרֵי אַבְשָׁלוֹם׃
そして-来た 使い-が へ ダビデ-の-もとに 言って なった 心-が 人々-の イスラエル-の 後-に アブサロム-の
H0935 H5046 H0413 H1732 H0559 H1961 H3820 H0376 H3478 H0310 H0053

ひとりの使者がダビデのところにきて、「イスラエルの人々の心はアブサロムに従いました」と言った。

14 וַיֹּאמֶר דָּוִד לְכָל־עֲבָדָיו אֲשֶׁר־אִתּוֹ בִּירוּשָׁלִַם קוּמוּ
ダビデ-は そして-言った すべて-の 家来-たちに その 彼-と エルサレム-に-いる 立て
H1732 H0559 H3605 H5650 H0854 H3389

וְנִבְרָחָה כִּי לֹא־תִהְיֶה לָנוּ פְּלֵיטָה מִפְּנֵי אַבְשָׁלוֹם מַהֲרוּ
そして-逃げよう なぜなら ない ある 我々-には 逃れる-道-が 前-から アブサロム-の 急げ
H1272 H3808 H1961 H6413 H6440 H0053

לָלֶכֶת פֶּן־יְמַהֵר וְהִשִּׂגָנוּ וְהֵדִיחַ עָלֵינוּ אֵת־
行く-ことを さもなければ 急ぐ-だろう そして-追いつく-我々に そして-押し寄せる 我々-に を
H3212 H6435 H5381 H5080 H0853

הָרָעָה וְהִכָּה הָעִיר לְפִי־חָרֶב׃
災い-を そして-打つ 町-を 剣-の 刃-で
H5221 H6310 H2719

ダビデは、自分と一緒にエルサレムにいるすべての家来に言った、「立て、われわれは逃げよう。そうしなければアブサロムの前からのがれることはできなくなるであろう。急いで行くがよい。さもないと、彼らが急ぎ追いついて、われわれに害をこうむらせ、つるぎをもって町を撃つであろう」。

15 וַיֹּאמְרוּ עַבְדֵי־הַמֶּלֶךְ אֶל־הַמֶּלֶךְ כְּכֹל אֲשֶׁר יִבְחַר אֲדֹנָי
そして-言った 家来-たちは 王-の に 王-に すべて-の-とおりに こと 選ぶ-なら 主-が
H0559 H5650 H4428 H0413 H4428 H3605 H0977 H0113

הַמֶּלֶךְ עַבְדֶיךָ׃ הִנֵּה
王-が 見よ あなたの-しもべ-です
H4428 H2009 H5650

王のしもべたちは王に言った、「しもべたちは、わが主君、王の選ばれる所をすべて行います」。

16 וַיֵּצֵא הַמֶּלֶךְ וְכָל־בֵּיתוֹ בְּרַגְלָיו וַיַּעֲזֹב הַמֶּלֶךְ אֵת עֶשֶׂר
そして-出た 王-は そして-すべての 家-が 徒歩-で そして-残した 王-は を 十
H3318 H4428 H3605 H1004 H7272 H5800 H4428 H0853 H6235

נָשִׁים פִּלַגְשִׁים לִשְׁמֹר הַבָּיִת׃
女-を そばめ-を 守る-ために 家-を
H0802 H6370 H8104

こうして王は出て行き、その全家は彼に従った。王は十人のめかけを残して家を守らせた。

17 וַיֵּצֵא הַמֶּלֶךְ וְכָל־הָעָם בְּרַגְלָיו וַיַּעֲמְדוּ בֵּית הָרָחֹק׃
そして-出た 王-は そして-すべての 民-は 徒歩-で そして-立ち止まった 家-に 遠く-の
H3318 H4428 H3605 H5971 H7272 H5975 H1004 H7350

王は出て行き、民はみな彼に従った。彼らは町はずれの家にとどまった。

18 וְכָל־עֲבָדָיו עֹבְרִים עַל־יָדוֹ וְכָל־הַכְּרֵתִי וְכָל־
そして-すべての 家来-たちは 通り過ぎて-いた の-傍を 彼 そして-すべての ケレテ人-と
H3605 H5650 H5674 H5921 H3027 H3605 H3774

הַפְּלֵתִי וְכָל־הַגִּתִּים שֵׁשׁ־מֵאוֹת אִישׁ אֲשֶׁר־בָּאוּ
そして-すべての ペレテ人-と そして-すべての ガテ人-が 六 百 人-の その 来た
H3605 H6432 H3605 H1663 H8337 H3967 H0376 H0834 H0935

בְּרַגְלוֹ מִגַּת עָבְרִים עַל־פְּנֵי הַמֶּלֶךְ׃
徒歩-で-彼に ガト-から 通り過ぎて-いた の-前を 顔 王-の
H7272 H1661 H5674 H5921 H6440 H4428

彼のしもべたちは皆、彼のかたわらを進み、すべてのケレテびとと、すべてのペレテびと、および彼に従ってガテからきた六百人のガテびとは皆、王の前に進んだ。

19 וַיֹּ֤אמֶר הַמֶּ֙לֶךְ֙ אֶל־אִתַּ֣י הַגִּתִּ֔י לָמָּה֙ תֵּלֵ֣ךְ גַּם־אַתָּ֔ה אִתָּ֖נוּ
そして–言った 王–は に イタイ–に ガテ人–の なぜ 行く–のか また お前–も 我々–と
H0559 H4428 H0413 H0863 H1663 H4100 H3212 H1571 H0854

שׁ֣וּב וְשֵׁ֔ב עִם־הַמֶּ֖לֶךְ כִּ֣י נָכְרִ֣י אַתָּ֑ה וְגַם־
帰れ そして–住め と–ともに 王–と なぜなら 外国人–である お前–は そして–また
H7725 H3427 H0854 H4428 H3588 H5237 H0859 H1571

לִמְקוֹמֶ֖ךָ׃ אַתָּ֥ה גֹלֶ֛ה
お前の–場所–に お前–は 亡命者–でもある
H4725 H0859 H1540

時に王はガテびとイッタイに言った、「どうしてあなたもまた、われわれと共に行くのですか。あなたは帰って王と共にいなさい。あなたは外国人で、また自分の国から追放された者だからです。

20 וַאֲנִ֗י לָלֶ֙כֶת֙ עִמָּנוּ֙)אֱנִיעֲךָ֙(|אנועך| וְהַיּ֔וֹם בּוֹאֲךָ֖ וְתְמ֣וֹל
私–は 行く–ために 我々–と さまよわせる–お前を さまよわせる 今日 お前が–来た–のに 昨日
H0589 H3212 H5128 H5128 H3117 H0935 H8543

שִׁלְשֹׁ֑ם וְהָשֵׁב֙ אֶת־אַחֶ֣יךָ֔ שׁ֖וּב הוֹלֵ֥ךְ אֲנִ֛י אֲשֶׁר־ עַל
三日 そして–連れ帰れ を 兄弟–たちを 帰れ 行く–ところへ 私–が こと へ
H8032 H7725 H0853 H0251 H7725 H1980 H0589 H0834 H5921

הוֹלֵ֖ךְ וֶאֱמֶ֥ת׃ חֶ֖סֶד עִמָּֽךְ׃
行く–のだ まこと–が 憐れみ–と お前–と
H1980 H0571 H2617 H0854

あなたは、きのう来たばかりです。わたしは自分の行く所を知らずに行くのに、どうしてきょう、あなたを、われわれと共にさまよわせてよいでしょう。あなたは帰りなさい。あなたの兄弟たちも連れて帰りなさい。どうぞ主が恵みと真実をあなたに示してくださるように」。

21 וַיַּ֤עַן אִתַּי֙ וַיֹּ֣אמֶר֮ חַי־יְהוָה֒
そして–答えた イタイ–は を 王–に そして–言った 生きて–いる 主–に–かけて
H6030 H0863 H0853 H4428 H0559 H2416 H3068

וְחֵ֣י אֲדֹנִ֣י הַמֶּ֔לֶךְ כִּ֣י אִם־בַּמָּק֗וֹם אֲשֶׁ֤ר יִֽהְיֶה־שָּׁם֙ אֲדֹנִ֣י
そして–命–に–かけて 王–の ただ 場所–に その いる–ところ そこ–に 主–が
H2416 H0834 H1961 H8033 H4725 H0834 H3588 H4428 H0113

הַמֶּ֔לֶךְ אִם־לְמָ֖וֶת כִּֽי־לְחַיִּ֑ים אִם־יְהִ֤יֶה שָּׁם֙ כִּֽי־עַבְדְּךָ֣׃
王–が たとえ 死–にせよ まことに 命–にせよ いる そこ–に あなたの–しもべ–は
H4428 H0518 H4194 H3588 H2416 H1961 H8033 H3588 H5650

しかしイッタイは王に答えた、「主は生きておられる。わが君、王は生きておられる。わが君、王のおられる所に、死ぬも生きるも、しもべもまたそこにおります」。

22 וַיֹּ֤אמֶר דָּוִד֙ אֶל־אִתַּ֔י גַּ֥ם אַתָּ֖ה עֲבֹ֣ר וַעֲבֹ֑ר וַיַּעֲבֹ֥ר אִתַּ֛י
そして–言った ダビデ–は に イタイ–に 行け そして–渡れ そして–渡った イタイ–は
H0559 H1732 H0413 H0854 H3212 H5674 H5674 H0854

הַגִּתִּ֖י וְכָל־הָאֲנָשָׁ֥יו וְכָל־הַטַּ֖ף אֲשֶׁ֥ר אִתּֽוֹ׃
ガテ人–の そして–すべての 人々–と そして–すべての 幼子–たち–と その 彼–と
H1663 H3605 H0582 H3605 H2945 H0834 H0854

ダビデはイッタイに言った、「では進んで行きなさい」。そこでガテびとイッタイは進み、また彼のすべての従者および彼と共にいた子どもたちも皆、進んだ。

עֹבְרִים הָעָם וְכָל־ גָּדוֹל קוֹל בוֹכִים הָאָרֶץ וְכָל־ 23
渡って-いた 民-は そして-すべての 大きな 声-で 泣いて-いた 地-は そして-すべての
H3605 H1058 H0776 H3605

עַל־ עֹבְרִים הָעָם וְכָל־ קִדְרוֹן בְּנַחַל עֹבֵר וְהַמֶּלֶךְ
の-方へ 渡って-いた 民-は そして-すべての キドロン-の 谷-を 渡って-いた そして-王-は
H3605 H6939 H4428

פְּנֵי־ דֶּרֶךְ אֶת־ הַמִּדְבָּר׃
面 道-の に向かって 荒野-の
H6440 H1870 H0853

国中みな大声で泣いた。民はみな進んだ。王もまたキデロンの谷を渡って進み、民は皆進んで荒野の方に向かった。

בְּרִית אֲרוֹן אֶת־ נֹשְׂאִים אִתּוֹ הַלְוִיִּם וְכָל־ צָדוֹק גַּם־ וְהִנֵּה 24
契約-の 箱-を を 運んで-いた 彼-と レビ人-が そして-すべての ツァドク-も また 見よ
H1285 H0727 H0853 H5375 H0854 H3881 H3605 H6659 H1571 H2009

תֹּם עַד־ אֶבְיָתָר וַיַּעַל הָאֱלֹהִים אֲרוֹן אֶת־ וַיַּצְּקוּ הָאֱלֹהִים
終わる まで エビヤタル-は そして-上った 神-の 箱-を を そして-降ろした 神-の
H8552 H5704 H0054 H5927 H0430 H0727 H0853 H3332 H0430

הָעִיר׃ מִן־ לַעֲבוֹר הָעָם כָּל־
町-から から 渡る-ことを 民-が すべて-の
H3605

そしてアビヤタルも上ってきた。見よ、ザドクおよび彼と共にいるすべてのレビびともまた、神の契約の箱をかいてきた。彼らは神の箱をおろして、民がことごとく町を出てしまうのを待った。

אֶמְצָא אִם־ הָעִיר הָאֱלֹהִים אֲרוֹן אֶת־ הָשֵׁב לְצָדוֹק הַמֶּלֶךְ וַיֹּאמֶר 25
見出す-なら もし 町-に 神-の 箱-を を 戻せ ツァドク-に 王-は そして-言った
H4672 H0430 H0727 H7725 H6659 H4428 H0559

וְאֶת־ אֹתוֹ וְהֵרָאַנִי וְהֵשִׁבַנִי יְהוָה בְּעֵינָי חֵן
そして それ-を そして-見せてくださる-私に そして-戻してくださる-私を 主-の 目-に 恩寵-を
H0853 H0853 H7200 H7725 H3068 H2580

נָוֵהוּ׃
住まい-を

そこで王はザドクに言った、「神の箱を町にかきもどすがよい。もしわたしが主の前に恵みを得るならば、主はわたしを連れ帰って、わたしにその箱とそのすまいとを見させてくださるであろう。

יַעֲשֶׂה־ הִנֵּנִי בָּךְ חָפַצְתִּי לֹא יֹאמַר כֹּה וְאִם 26
なさる-がよい 見よ-私は お前-を 喜んで-いない ない 言う-なら この-ように しかし-もし
H2009 H3808 H0559 H3541

ס בְּעֵינָיו׃ טוֹב כַּאֲשֶׁר לִי
区切り 目-に 良い-と とおりに 私-に

しかしもし主が、『わたしはおまえを喜ばない』とそう言われるのであれば、どうぞ主が良しと思われることをわたしにしてくださるように。わたしはここにおります」。

27 וַיֹּ֤אמֶר֙ הַמֶּ֣לֶךְ֔ אֶל־צָד֖וֹק הַכֹּהֵ֑ן הֲרֹאֶ֣ה אַתָּ֗ה שָׁ֚בָה הָעִ֣יר בְּשָׁל֔וֹם

そして-言った 王-は に ツァドク-に 祭司-よ 見よ お前-は 帰れ 町-に 平安-に
H0559 H4428 H0413 H6659 H3548 H7200 H7725 H7725 H7965

וְאֲחִימַ֣עַץ בְּנֵ֔ךָ וְיהוֹנָתָ֖ן בְּנֵ֣ךָ אֶבְיָתָ֑ר שְׁנֵ֖י בְּנֵיכֶֽם׃

そして-アヒマアツ-と 息子-と ヨナタン-と 息子-で エビヤタル-の 二人-の 息子たち-を
H0290 H1121 H3083 H1121 H0054 H8147

אִתְּכֶֽם׃

お前たち-と
H0854

王はまた祭司ザドクに言った、「見よ、あなたもアビヤタルも、ふたりの子たち、すなわちあなたの子アヒマアズとアビヤタルの子ヨナタンを連れて、安らかに町に帰りなさい。

28 רְאוּ֙ אָנֹכִ֣י מִתְמַהְמֵ֔הַּ בְּעַרְבוֹת֙ (בעברות) הַמִּדְבָּ֔ר עַ֖ד בּ֣וֹא דָבָ֑ר לְהַגִּ֥יד לִֽי׃

見よ 私-は 待つ-でいる 渡し場-で [בעברות] 荒野-の まで 来る 知らせ-が 告げる-ために 私-に
H7200 H0595 H4102 H5679 H6160 H5704 H0935 H1697 H5046 H0595

מֵֽעִמָּכֶֽם׃

お前たち-から

わたしはあなたがたから言葉があって知らせをうけるまで、荒野の渡し場にとどまります」。

29 וַיָּ֤שָׁב צָדוֹק֙ וְאֶבְיָתָ֔ר אֶת־אֲר֥וֹן הָאֱלֹהִ֖ים יְרוּשָׁלַ֑͏ִם וַיֵּשְׁב֖וּ שָֽׁם׃

そして-戻した そして-エビヤタル-は ツァドク-と を 箱-を 神-の エルサレム-に そして-住んだ そこ-に
H7725 H0853 H0054 H6659 H0853 H0727 H0430 H3389 H3427 H8033

そこでザドクとアビヤタルは神の箱をエルサレムにかきもどり、そこにとどまった。

30 וְדָוִ֗ד עֹלֶה֙ בְּמַעֲלֵ֣ה הַזֵּיתִ֔ים וְעָלֶ֖ה וּבוֹכֶ֑ה וְרֹאשׁ֣ לוֹ֔

ダビデ-は 上って-いた 坂-を オリーブ山-の 上って-いた 泣き-ながら そして-頭-は 彼の
H1732 H5927 H4608 H2132 H5927 H1058 H7218 H0

וְכָל־הָעָ֣ם אֲשֶׁר־אִתּ֗וֹ חָפָ֤ה אִישׁ֙ רֹאשׁ֔וֹ וְעָל֥וּ וְעָל֖וֹ וּבָכֶ֑ה׃

そして-すべての 民-は その 彼-と 覆って-いた それぞれ 頭-を そして-上った 上り-ながら 泣いて
H3605 H5971 H0834 H0854 H2645 H0376 H7218 H5927 H5927 H1058

וְהוּא֙ יָחֵ֣ף הֹלֵ֔ךְ וְכָל־הָעָ֥ם אֲשֶׁר־אִתּ֖וֹ חָפָ֣ה אִ֑ישׁ וַיַּעֲל֖וּ הָעֹלָֽה׃

彼-は 裸足-で 歩いて-いた そして-すべての 民-は その 彼-と 覆って-いた それぞれ そして-上った 上り
H1931 H3182 H1980 H3605 H5971 H0834 H0854 H2645 H0376 H5927 H5927

ダビデはオリブ山の坂道を登ったが、登る時に泣き、その頭をおおい、はだしで行った。彼と共にいる民もみな頭をおおって登り、泣きながら登った。

31 וְדָוִ֗ד הֻגַּ֤ד לֵאמֹר֙ אֲחִיתֹ֣פֶל בְּקֶ֣שְׁרֵי֔ם עִם־אַבְשָׁל֖וֹם נָתַ֣ן אֶת־עֲצָ֣ת יְהוָ֑ה׃

ダビデ-に 告げられた 言って アヒトフェル-が 謀反者-たちの-中に と-ともに アブサロム-と 助言-を を 主-よ
H1732 H5046 H0559 H0302 H7194 H5973 H0853 H6098 H0853 H3068

וַיֹּ֤אמֶר דָּוִד֙ סַכֶּל־נָ֣א אֶת־עֲצַ֣ת אֲחִיתֹ֔פֶל עִ֖ם יְהוָֽה׃

そして-言った ダビデ-は 愚かに-してください どうか を 助言-を アヒトフェル-の 主-よ
H0559 H1732 H5528 H4994 H0853 H6098 H0302 H3068

時に、「アヒトペルがアブサロムと共謀した者のうちにいる」とダビデに告げる人があったのでダビデは言った、「主よ、どうぞアヒトペルの計略を愚かなものにしてください」。

לֵאלֹהִים	שָׁם	יִשְׁתַּחֲוֶה	אֲשֶׁר־	הָרֹאשׁ	עַד־	בָּא	דָּוִד	וַיְהִי	32
神-に	そこ-で	ひれ伏す-ところ	そこ-で	頂上-に	まで	来た-とき	ダビデ-が	そして-あった	
H0430	H8033	H7812			H5704	H0935	H1732	H1961	

רֹאשׁוֹ׃	עַל־	וַאֲדָמָה	כֻּתָּנְתּוֹ	קְרוּעַ	הָאַרְכִּי	חוּשַׁי	לִקְרָאתוֹ	וְהִנֵּה
頭-の	の-上に	そして-土-が	衣-が	引き裂いた	アルキ人-の	フシャイ-が	迎えに-来た	見よ
		H0127	H3801	H7167	H0757	H2365	H7125	H2009

ダビデが山の頂にある神を礼拝する場所にきた時、見よ、アルキびとホシャイはその上着を裂き、頭に土をかぶり、来てダビデを迎えた。

לְמַשָּׂא׃	עָלַי	וְהָיִתָ	אִתִּי	עָבַרְתָּ	אִם	דָּוִד	לוֹ	וַיֹּאמֶר	33
重荷-と	私の-上に	なる-だろう	私-と	渡る-なら	もし	ダビデ-は	彼-に	そして-言った	
		H1961	H0854			H1732		H0559	

ダビデは彼に言った、「もしあなたがわたしと共に進むならば、わたしの重荷となるであろう。

הַמֶּלֶךְ	אֲנִי	עַבְדֶּךָ	לְאַבְשָׁלוֹם	וְאָמַרְתָּ	תָּשׁוּב	הָעִיר	וְאִם־		34
王-よ	私-は	あなたの-しもべ-です	アブサロム-に	そして-言え	帰る-なら	町-に	しかし-もし		
H4428	H0589	H5650	H0053	H0559	H7725				

עַבְדֶּךָ	וַאֲנִי	וְעַתָּה	מֵאָז	וַאֲנִי	אָבִיךָ	עֶבֶד	אֶהְיֶה	
あなたの-しもべ-です	私-は	しかし-今	以前-から	私-は	父-の	しもべ-で	なります	
H5650	H0589	H6258		H0589	H0001	H5650	H1961	

אֲחִיתֹפֶל׃	עֲצַת	אֶת	לִּי	וְהֵפַרְתָּה
アヒトフェル-の	助言-を	を	私-のために	そうすれば-打ち破れる
H0302	H6098	H0853		

しかしもしあなたが町に帰ってアブサロムに向かい、『王よ、わたしはあなたのしもべとなります。わたしがこれまで、あなたの父のしもべであったように、わたしは今あなたのしもべとなります』と言うならば、あなたはわたしのためにアヒトペルの計略を破ることができるであろう。

כָּל־	וְהָיָה	הַכֹּהֲנִים	וְאֶבְיָתָר	צָדוֹק	שָׁם	עִמְּךָ	וְהֲלֹוא		35
すべて-の	そして-なる	祭司-たちが	エビヤタル-と	ツァドク-と	そこ-に	お前-と	ではないか		
H3605	H1961	H3548	H0054	H6659	H8033		H3808		

הַכֹּהֲנִים׃	וּלְאֶבְיָתָר	לְצָדוֹק	תַּגִּיד	הַמֶּלֶךְ	מִבֵּית	תִּשְׁמַע	אֲשֶׁר	הַדָּבָר
祭司-たちに	エビヤタル-に	ツァドク-に	告げよ	王-の	家-から	聞く-なら	その	こと-を
H3548	H0054	H6659	H5046	H4428		H8085		H1697

祭司たち、ザドクとアビヤタルとは、あなたと共にあそこにいるではないか。それゆえ、あなたは王の家から聞くことをことごとく祭司たち、ザドクとアビヤタルとに告げなさい。

וְיוֹנָתָן	לְצָדוֹק	אֲחִימַעַץ	בְּנֵיהֶם	שְׁנֵי	עִמָּם	שָׁם	הִנֵּה־		36
ヨナタン-が	ツァドク-の	アヒマアツ-が	息子たち-が	二人-の	彼ら-と	そこ-に	見よ		
H3083	H6659	H0290		H8147		H8033	H2009		

תִּשְׁמְעוּ׃	אֲשֶׁר	דָּבָר	כָּל־	אֵלַי	בְּיָדָם	וּשְׁלַחְתֶּם	לְאֶבְיָתָר	
聞く-ことを	その	こと-を	すべて-の	私-に	手-で-彼らの	そして-遣わせ	エビヤタル-の	
H8085		H1697	H3605	H0413	H3027	H7971	H0054	

あそこには彼らと共にそのふたりの子たち、すなわちザドクの子アヒマアズとアビヤタルの子ヨナタンとがいる。あなたがたは聞いたことをことごとく彼らの手によってわたしに通報しなさい」。

יְרוּשָׁלִָם׃	יָבֹא	וְאַבְשָׁלֹם	הָעִיר	דָּוִד	רֵעֵה	חוּשַׁי	וַיָּבֹא		37
エルサレム-に	入った	そして-アブサロム-は	町-に	ダビデ-の	友-で	フシャイ-は	そして-来た		
H3389	H0935	H0053		H1732	H7463	H2365	H0935		

そこでダビデの友ホシャイは町にはいった。その時アブサロムはすでにエルサレムにはいっていた。

Chapter 16

1 וְדָוִד עָבַר מְעַט מֵרֹאשׁ וְהִנֵּה צִיבָא נַעַר מְפִי־בֹשֶׁת
そして–ダビデは 越えた 少し 頂上から すると–見よ ツィバが しもべ メフィボシェテの
H1732 H5288 H4592 H7218 H2009 H6717 H5288 H4648

וְצֶמֶד חֲמֹרִים חֲבֻשִׁים עֲלֵיהֶם מָאתַיִם לֶחֶם וּמְאַת צִמֻּקִים
一対の ろばに 鞍を–つけて その–上に 二百の パンと 百の 干しぶどうの–房と
H6776 H2543 H2280 H5921 H2161 H3899 H3967 H6778

וּמְאָה קַיִץ וְנֵבֶל יָיִן׃
百の 夏の–果物と 一–皮袋の ぶどう酒を–載せていた
H3967 H7019 H5035 H3196

ダビデが山の頂を過ぎて、すこし行った時、メピボセテのしもべツバは、くらを置いた二頭のろばを引き、その上にパン二百個、干ぶどう百ふさ、夏のくだもの一百、ぶどう酒一袋を載せてきてダビデを迎えた。

2 וַיֹּאמֶר הַמֶּלֶךְ אֶל־צִיבָא מָה־אֵלֶּה לָךְ וַיֹּאמֶר צִיבָא
すると–言った 王は ～に ツィバに なぜ これらは あなたに–あるのか すると–答えた
H0559 H4428 H0413 H6717 H4100 H0428 H0559

הָרֹכְבִים לְבֵית־הַמֶּלֶךְ לָרֹכֶב וְהַלֶּחֶם [ולהלחם] (וְהַלֶּחֶם) וְהַקַּיִץ
者たちが–乗るためで 王の 家の ろばは ツィバは 夏の–果物は パンと [そして–戦うため]
H7392 H4428 H1004 H2543 H6717 H7019 H3899 H3899

לֶאֱכֹל הַנְּעָרִים וְהַיַּיִן לִשְׁתּוֹת הַיָּעֵף בַּמִּדְבָּר׃
食べるため 若者たちが ぶどう酒は 飲むため 疲れた–者が 荒野で
H0398 H5288 H3196 H8354 H3287

王はヂバに言った、「あなたはどうしてこれらのものを持ってきたのですか」。ヂバは答えた、「ろばは王の家族が乗るため、パンと夏のくだものは若者たちが食べるため、ぶどう酒は荒野で弱った者が飲むためです」。

3 וַיֹּאמֶר הַמֶּלֶךְ וְאַיֵּה בֶן־אֲדֹנֶיךָ וַיֹּאמֶר צִיבָא אֶל־הַמֶּלֶךְ
すると–言った 王は どこに–いるのか 息子は あなたの–主人の すると–言った ツィバは ～に
H0559 H4428 H0346 H1121 H0113 H0559 H6717 H0413

הִנֵּה הוּא יוֹשֵׁב בִּירוּשָׁלִַם כִּי אָמַר הַיּוֹם יָשִׁיבוּ לִי בֵּית
見よ 彼は とどまっている エルサレムに なぜなら 言った 今日 返してくれる 私に 家を
H2009 H1931 H3427 H3389 H3588 H0559 H3117 H7725 H0589 H1004

אָבִי׃ מַמְלְכוּת אֶת יִשְׂרָאֵל
私の–父の 王権を （を） イスラエルの
H0001 H4468 H0853 H3478

王は言った、「あなたの主人の子はどこにおるのですか」。ヂバは王に言った、「エルサレムにとどまっています。彼は、『イスラエルの家はきょう、わたしの父の国をわたしに返すであろう』と思ったのです」。

4 וַיֹּאמֶר הַמֶּלֶךְ לְצִיבָא הִנֵּה לְךָ כֹּל אֲשֶׁר לְמְפִי־בֹשֶׁת
すると–言った 王は ツィバに 見よ あなたの–ものだ すべてが （の） メフィボシェテの–もの
H0559 H4428 H6717 H2009 H0853 H3605 H0834 H4648

וַיֹּאמֶר צִיבָא הִשְׁתַּחֲוֵיתִי אֶמְצָא־חֵן בְּעֵינֶיךָ אֲדֹנִי הַמֶּלֶךְ׃
すると–言った ツィバは ひれ伏します 見出させて–ください 恵みを あなたの–目に わが–主 王よ
H0559 H6717 H7812 H4672 H2580 H5869 H0113 H4428

王はヂバに言った、「見よ、メピボセテのものはことごとくあなたのものです」。ヂバは言った、「わたしは敬意を表します。わが主、王よ、あなたの前にいつまでも恵みを得させてください」。

								5
וּבָא	הַמֶּלֶךְ	דָּוִד	עַד־	בָּחוּרִים	וְהִנֵּה	מִשָּׁם	אִישׁ	
そして–来た	王	ダビデは	～まで	バフリムに	すると–見よ	そこから	ひとりの–男が	
H0935	H4428	H1732	H5704	H0980	H2009	H8033	H0376	

יוֹצֵא	מִמִּשְׁפַּחַת	בֵּית־	שָׁאוּל	וּשְׁמוֹ	שִׁמְעִי	בֶּן־	גֵּרָא	יֹצֵא
出て–来た	氏族の	家の	サウルの	その–名は	シムイ	息子	ゲラの	出て来ながら
H3318	H4940		H7586	H8034	H8096		H1617	H3318

וּמְקַלֵּל׃
のろった
H7043

ダビデ王がバホリムにきた時、サウルの家の一族の者がひとりそこから出てきた。その名をシメイといい、ゲラの子である。彼は出てきながら絶えずのろった。

								6
וַיְסַקֵּל	בָּאֲבָנִים	אֶת־	דָּוִד	וְאֶת־	כָּל־	עַבְדֵי	הַמֶּלֶךְ	דָּוִד
そして–投げつけた	石を	（に）	ダビデに	また（に）	すべての	家来たちに	王の	ダビデの
H5619	H0068	H0853	H1732	H0853	H3605	H5650	H4428	H1732

וּמִשְׂמְאֹלוֹ׃	מִימִינוֹ	הַגִּבֹּרִים	וְכָל־	הָעָם	וְכָל־	
また–左に–いた	彼の–右に	勇士たちは	すべての	民と	すべての	
H8040	H3225	H1368	H3605		H3605	

そして彼はダビデとダビデ王のもろもろの家来に向かって石を投げた。その時、民と勇士たちはみな王の左右にいた。

								7
וְכֹה־	אָמַר	שִׁמְעִי	בְּקַלְלוֹ	צֵא	צֵא	אִישׁ	הַדָּמִים	וְאִישׁ
このように	言った	シムイは	のろいながら	出て行け	出て行け	男よ	血を–流す	男よ
H3541	H0559	H8096	H7043	H3318	H3318	H0376	H1818	H0376

הַבְּלִיָּעַל׃
よこしまな
H1100

シメイはのろう時にこう言った、「血を流す人よ、よこしまな人よ、立ち去れ、立ち去れ。

								8
הֵשִׁיב	עָלֶיךָ	יְהוָה	וְכָל	דְּמֵי	בֵּית־	שָׁאוּל	אֲשֶׁר	מָלַכְתָּ
報いた	あなたの–上に	主は	すべての	血を	家の	サウルの	（の）	あなたが–王となった
H7725		H3068	H3605	H1818		H7586		

תַּחְתָּיו(	וַיִּתֵּן	יְהוָה	אֶת־	הַמְלוּכָה	בְּיַד	אַבְשָׁלוֹם	
彼に–代わって	そして–与えた	主は	（を）	王権を	手に	アブサロムの	
H8478	H5414	H3068	H0853	H4410	H3027	H0053	

תחתו]	בְּנֶךָ	וְהִנְּךָ	בְּרָעָתֶךָ	כִּי	אִישׁ	אָתָּה׃
[彼に–代わって]	あなたの–息子の	そして–今–あなたは	災いの–中にいる	なぜなら	男だ	あなたは
H8478		H2009			H0376	
						דָּמִים
						血を–流す
						H1818

あなたが代って王となったサウルの家の血をすべて主があなたに報いられたのだ。主は王国をあなたの子アブサロムの手に渡された。見よ、あなたは血を流す人だから、災に会うのだ」。

9

וַיֹּאמֶר אֲבִישַׁי בֶּן־צְרוּיָה אֶל־הַמֶּלֶךְ לָמָּה יְקַלֵּל
そして–言った アビシャイは 息子 ツェルヤの ～に 王に なぜ のろうのか
H0559 H0052 H6870 H0413 H4428 H4100 H7043

הַכֶּלֶב הַמֵּת הַזֶּה אֶת־אֲדֹנִי הַמֶּלֶךְ אֶעְבְּרָה־נָּא
この–死んだ–犬は 死んだ この （を） わが–主 王を 行かせて–ください どうか
H3611 H4191 H2088 H0853 H0113 H4428 H4994

וְאָסִירָה אֶת־רֹאשׁוֹ׃ ס
そして–首を–はねます （を） 彼の —
H5493 H0853

時にゼルヤの子アビシャイは王に言った、「この死んだ犬がどうしてわが主、王をのろってよかろうか。わたしに、行って彼の首を取らせてください」。

10

וַיֹּאמֶר הַמֶּלֶךְ מַה־לִּי וְלָכֶם בְּנֵי צְרוּיָה
すると–言った 王は 何の 関わりが–あるのか あなたがたと–私に 息子たちよ ツェルヤの
H0559 H4428 H4100 H6870

כִּי־(כֹה) [וכי] יְקַלֵּל [כי] (כִּי) יְהוָה אָמַר לוֹ קַלֵּל אֶת־
（なぜなら） [そして] のろうのは （なぜなら） 主が 言われた 彼に のろえ （を）
H3541 H7043 H3068 H0559 H7043 H0853

דָּוִד וּמִי יֹאמַר מַדּוּעַ עָשִׂיתָה כֵּן׃ ס
ダビデを–と だれが 言えるだろうか なぜ そうした–のかと — —
H1732 H4310 H0559 H4069

しかし王は言った、「ゼルヤの子たちよ、あなたがたと、なんのかかわりがあるのか。彼がのろうのは、主が彼に、『ダビデをのろえ』と言われたからであるならば、だれが、『あなたはどうしてこういうことをするのか』と言ってよいであろうか」。

11

וַיֹּאמֶר דָּוִד אֶל־אֲבִישַׁי וְאֶל־כָּל־עֲבָדָיו הִנֵּה בְנִי
そして–言った ダビデは ～に アビシャイに また–～に すべての 家来たちに 見よ 私の–息子が
H0559 H1732 H0413 H0052 H0413 H3605 H5650 H2009

אֲשֶׁר־יָצָא מִמֵּעַי מְבַקֵּשׁ אֶת־נַפְשִׁי כִּי־עַתָּה
（の） 出た 私の–身から 求めている （を） 私の–いのちを （なお） 今
H3318 H4578 H1245 H0853 H5315 H0637 H6258

וְאַף כִּי־אָמַר יְהוָה לוֹ׃ כִּי וְיקַלֵּל הַנָּחוּ לוֹ בֶּן־הַיְמִינִי
ましては 主が 彼に 言われた なぜなら のろわせよ 彼を そのままに–しておけ ベニヤミン人は
H0637 H3068 H0559 H7043 H3240 H1145

ダビデはまたアビシャイと自分のすべての家来とに言った、「わたしの身から出たわが子がわたしの命を求めている。今、このベニヤミンびととしてはなおさらだ。彼を許してのろわせておきなさい。主が彼に命じられたのだ。

12

אוּלַי יִרְאֶה יְהוָה בְּעֵינַי (בְּעִינִי) [בעוני] וְהֵשִׁיב יְהוָה לִי
もしかすると 顧みてくださり 主が [私の–苦しみを] 私の–目を 返してくださる 主が 私に
H0194 H7200 H3068 H5771 H5869 H7725 H3068

טוֹבָה תַּחַת קִלְלָתוֹ הַיּוֹם הַזֶּה׃
良いものを 代わりに 彼の–のろいの 今日の この
H8478 H7045 H3117 H2088

主はわたしの悩みを顧みてくださるかもしれない。また主はきょう彼ののろいにかえて、わたしに善を報いてくださるかも知れない」。

13 וַיֵּ֣לֶךְ דָּוִ֗ד וַאֲנָשָׁיו֙ בַּדֶּ֣רֶךְ ס וְשִׁמְעִ֛י הֹלֵ֥ךְ בְּצַלַ֖ע הָהָ֑ר
そして-進んだ ダビデと その-部下たちは 道を 一 シムイは 歩いていた 山の 斜面を
H3212 H1732 H0376 H1870 H8096 H1980 H6763 H2022

וְעִפָּ֔ר וְעָפַ֖ר לְעֻמָּת֣וֹ וּבָאֲבָנִ֗ים וַיְסַקֵּ֤ל וַיְקַלֵּל֙ הָלוֹךְ֙ לְעֻמָּת֔וֹ פ
そして-ちりを かけた 彼に-向かって 石を 石を-投げ のろい 歩きながら 彼と-並んで 一
H6080 H6083 H5980 H0068 H5619 H7043 H1980 H5980

こうしてダビデとその従者たちとは道を行ったが、シメイはダビデに並んで向かいの山の中腹を行き、行きながらのろい、また彼に向かって石や、ちりを投げつけた。

14 וַיָּבֹא֙ הַמֶּ֣לֶךְ וְכָל־ הָעָ֔ם אֲשֶׁר־ אִתּ֖וֹ עֲיֵפִ֑ים וַיִּנָּ֖פֶשׁ שָֽׁם׃
そして-着いた 王と すべての 民は （の） 彼と-ともにいた 疲れ果てて そして-休んだ そこで
H0935 H4428 H3605 H5971 H0854 H5889 H5314 H8033

王および共にいる民はみな疲れてヨルダンに着き、彼はその所で息をついだ。

15 וְאַבְשָׁל֗וֹם וְכָל־ הָעָם֙ אִ֣ישׁ יִשְׂרָאֵ֔ל בָּ֖אוּ יְרוּשָׁלִָ֑ם וַאֲחִיתֹ֖פֶל אִתּֽוֹ׃
さて-アブサロムと すべての 民 人々 イスラエルの 入った エルサレムに アヒトフェルも 彼と-ともにいた
H0053 H3605 H5971 H0376 H3478 H0935 H3389 H0302 H0854

さてアブサロムとすべての民、イスラエルの人々はエルサレムにきた。アヒトペルもアブサロムと共にいた。

16 וַיְהִי֙ כְּאֲשֶׁר־ בָּ֣א חוּשַׁ֔י רֵ֥עֵה דָוִ֖ד הָאַרְכִּ֑י אֶל־ אַבְשָׁל֗וֹם וַיֹּ֤אמֶר חוּשַׁי֙ אֶל־ אַבְשָׁל֔וֹם יְחִ֥י הַמֶּ֖לֶךְ יְחִ֥י הַמֶּֽלֶךְ׃
そして-なった ～のとき 来た フシャイは 友人 ダビデの アルキ人の ～のもとに アブサロムの そして-言った フシャイは アブサロムに 王-万歳 王よ 王-万歳 王よ
H1961 H0935 H2365 H7463 H1732 H0757 H0413 H0053 H0559 H2365 H0053 H2421 H4428 H2421 H4428

ダビデの友であるアルキびとホシャイがアブサロムのもとにきた時、ホシャイはアブサロムに「王万歳、王万歳」と言った。

17 וַיֹּ֤אמֶר אַבְשָׁלוֹם֙ אֶל־ חוּשַׁ֔י זֶ֖ה חַסְדְּךָ֑ אֶת־ רֵעֶ֔ךָ לָ֥מָּה לֹֽא־ הָלַ֖כְתָּ אֶת־
すると-言った アブサロムは ～に フシャイに これが あなたの-忠誠か （に対する） あなたの-友に なぜ ～しなかった 行か ～と-ともに
H0559 H0053 H0413 H2365 H2088 H2617 H0853 H7453 H4100 H3808 H1980 H0854

רֵעֶֽךָ׃
あなたの-友と
H7453

アブサロムはホシャイに言った、「これはあなたがその友に示す真実なのか。あなたはどうしてあなたの友と一緒に行かなかったのか」。

18 וַיֹּאמֶר חוּשַׁי אֶל־אַבְשָׁלֹם לֹא כִי אֲשֶׁר בָּחַר יְהוָה
と言った フシャイは ～に アブサロムに いいえ むしろ （の） 選んだ–方を 主と
H0559 H2365 H0413 H0053 H3808 H3808 H0977 H3068

וְהָעָם הַזֶּה וְכָל־אִישׁ יִשְׂרָאֵל [לְאוֹ] (לוֹ) אֶהְיֶה וְאִתּוֹ
この–民と この すべての 人々 イスラエルの [彼に] その–方の もの–となり その–方と–ともに
H0854 H1961 H3808 H3478 H0376 H3605 H2088

אֵשֵׁב׃
住みます
H3427

ホシャイはアブサロムに言った、「いいえ、主とこの民とイスラエルのすべての人々が選んだ者にわたしは属し、かつその人と一緒におります。

19 וְהַשֵּׁנִית לְמִי אֲנִי אֶעֱבֹד הֲלוֹא לִפְנֵי בְנוֹ כַּאֲשֶׁר עָבַדְתִּי לְפָנֶיךָ אֶהְיֶה כֵּן אָבִיךָ׃ פ
さらに だれに 私は 仕えるのか まさに 前で その–息子の ちょうど 仕えたように 前で あなたの–前で 仕えましょう そのように あなたの–父の —
H8145 H4310 H0589 H5647 H3808 H6440 H0001 H1961 H6440

かつまたわたしはだれに仕えるべきですか。その子の前に仕えるべきではありませんか。あなたの父の前に仕えたように、わたしはあなたの前に仕えます」。

20 וַיֹּאמֶר אַבְשָׁלוֹם אֶל־אֲחִיתֹפֶל הָבוּ לָכֶם עֵצָה מַה־נַּעֲשֶׂה׃
そして–言った アブサロムは ～に アヒトフェルに 出してくれ あなたがたの 助言を 何を すべきか
H0559 H0053 H0413 H0302 H3051 H0001 H6098 H4100

そこでアブサロムはアヒトペルに言った、「あなたがたは、われわれがどうしたらよいのか、計りごとを述べなさい」。

21 וַיֹּאמֶר אֲחִיתֹפֶל אֶל־אַבְשָׁלֹם בֹּא אֶל־פִּלַגְשֵׁי אֲבִיךָ אֲשֶׁר הִנִּיחַ לִשְׁמֹר הַבָּיִת וְשָׁמַע כָּל־יִשְׂרָאֵל כִּי־נִבְאַשְׁתָּ אֶת־אָבִיךָ וְחָזְקוּ יְדֵי כָּל־אֲשֶׁר אִתָּךְ׃
と言った アヒトフェルは ～に アブサロムに 入りなさい ～のもとに そばめたちの
H0559 H0302 H0413 H0053 H0935 H0413 H6370

（の） 残していった 守らせるために 家を そうすれば–聞く すべての あなたの–父の （と） あなたが–憎まれたと （に） あなたの–父に そして–強くなる 手が すべての （の） あなたと–ともにいる–者の
H0001 H3240 H8104 H1004 H8085 H3605 H0001 H3478 H0887 H0854 H0001 H2388 H3027 H3605 H0854

アヒトペルはアブサロムに言った、「あなたの父が家を守るために残された、めかけたちの所にはいりなさい。そうすればイスラエルは皆あなたが父上に憎まれることを聞くでしょう。そしてあなたと一緒にいる者の手は強くなるでしょう」。

22 וַיֵּטּוּ לְאַבְשָׁלוֹם אֶת־הָאֹהֶל עַל־הַגָּג וַיָּבֹא אַבְשָׁלוֹם אֶל־פִּלַגְשֵׁי אָבִיו לְעֵינֵי כָל־יִשְׂרָאֵל׃

そこで-張った アブサロムのために 天幕を 屋上に ～の-上に そして-入った アブサロムは
H5186 H0053 H0168 H1406 H0935 H0053

そばめたちの 彼の-父の 目の-前で すべての イスラエルの
H6370 H0001 H0413 H3605 H3478

こうして彼らがアブサロムのために屋上に天幕を張ったので、アブサロムは全イスラエルの目の前で父のめかけたちの所にはいった。

23 וַעֲצַת אֲחִיתֹפֶל אֲשֶׁר יָעַץ בַּיָּמִים הָהֵם כַּאֲשֶׁר יִשְׁאַל־אִישׁ בִּדְבַר הָאֱלֹהִים כֵּן כָּל־עֲצַת אֲחִיתֹפֶל גַּם־לְדָוִד גַּם־לְאַבְשָׁלוֹם׃ ס

さて-助言は アヒトフェルの （の） 助言した その-日々に あの あたかも 人が-伺う 人が
H6098 H0302 H0834 H3289 H3117 H1992 H0834 H7592 H0376

神の ことばを そのように すべての 助言は ～にとっても ダビデにとっても
H0430 H1697 H3651 H0653 H3605 H6098 H1571 H1732

～にとっても アヒトフェルの
H1571 H0302

—
H5532

アブサロムにとっても ～にとっても
H0053 H1571

そのころアヒトペルが授ける計りごとは人が神のみ告げを伺うようであった。アヒトペルの計りごとは皆ダビデにもアブサロムにも共にそのように思われた。

Chapter 17

1 וַיֹּאמֶר אֲחִיתֹפֶל אֶל־אַבְשָׁלוֹם אֶבְחֲרָה נָּא שְׁנֵים־עָשָׂר אֶלֶף אִישׁ וְאָקוּמָה וְאֶרְדְּפָה אַחֲרֵי דָוִד הַלָּיְלָה׃

すると-言った アヒトフェルは アブサロムに 選ばせて-ください どうか 一万 二千の
H0559 H0302 H0413 H0053 H0977 H4994 H8147 H6240

そして-立って 追いかけましょう ～の-後を ダビデの 今夜
H0853 H7291 H0310 H1732 H3915

千 人を
H0505 H0376

2 וְאָבוֹא עָלָיו וְהוּא עָיֵף וּרְפֵה יָדַיִם וְהַחֲרַדְתִּי אֹתוֹ וְנָס כָּל־הָעָם אֲשֶׁר־אִתּוֹ וְהִכֵּיתִי אֶת־הַמֶּלֶךְ לְבַדּוֹ׃

そして-襲います そして-疲れて 彼が 彼を 弱って 驚かせます 彼を そして-逃げる
H0935 H3023 H1931 H0853 H7504 H2729 H0853 H5127

民は （の） 彼と-ともにいる そして-打ちます （を） 王を ただ-ひとりだけ
H0853 H0834 H0854 H5221 H0853 H4428 H0905

すべての
H3605

彼が疲れて手が弱くなっているところを襲って、彼をあわてさせましょう。そして彼と共にいる民がみな逃げるとき、わたしは王ひとりを撃ち取り、

3 וְאָשִׁיבָה כָּל־הָעָם אֵלֶיךָ כְּשׁוּב הַכֹּל הָאִישׁ אֲשֶׁר אַתָּה מְבַקֵּשׁ כָּל־הָעָם יִהְיֶה שָׁלוֹם׃

そして-帰らせます すべての 民を あなたの-もとに 帰る-ように すべてが 人が （の）
H7725 H3605 H5971 H0413 H7725 H3605 H0376 H0834

あなたが 求めている すべての 民は なる 平和に
H0859 H1245 H3605 H5971 H1961 H7965

すべての民を花嫁がその夫のもとに帰るようにあなたに帰らせましょう。あなたが求めておられるのはただひとりの命だけですから、民はみな穏やかになるでしょう」。

4

וַיִּישַׁר	הַדָּבָר	בְּעֵינֵי	אַבְשָׁלֹם	וּבְעֵינֵי	כָּל־	זִקְנֵי
すると–良かった	この–ことばは	目に	アブサロムの	また–目に	すべての	長老たちの
H3474	H1697		H0053		H3605	H2205

יִשְׂרָאֵל׃	ס	
イスラエルの	—	
H3478		

この言葉はアブサロムとイスラエルのすべての長老の心にかなった。

5

וַיֹּאמֶר	אַבְשָׁלוֹם	קְרָא	נָא	גַּם	לְחוּשַׁי	הָאַרְכִּי	וְנִשְׁמְעָה	מַה־
すると–言った	アブサロムは	呼んで–くれ	どうか	また	フシャイも	アルキ人の	聞こう	何を
H0559	H0053	H7121	H4994	H1571	H2365	H0757	H8085	H4100

בְּפִיו	גַּם־	הוּא׃
口に–あるか	～も	彼も
H6310	H1571	H1931

そこでアブサロムは言った、「アルキびとホシャイをも呼びよせなさい。われわれは彼の言うことを聞きましょう」。

6

לֵאמֹר	אֵלָיו	אַבְשָׁלוֹם	וַיֹּאמֶר	אַבְשָׁלוֹם	אֶל־	חוּשַׁי	וַיָּבֹא	
言って	彼に	アブサロムは	すると–言った	アブサロムの	～の–もとに	フシャイは	すると–来た	
H0559	H0413	H0053	H0559	H0053	H0413	H2365	H0935	

דְּבָרוֹ	אֶת־	הֲנַעֲשֶׂה	אֲחִיתֹפֶל	דִּבֶּר	הַזֶּה	כַּדָּבָר	
彼の–ことばの–とおり	（を）	行うべきか	アヒトフェルは	語った	この	この–ように	
H1697	H0853		H0302	H1696	H2088	H1697	

דַּבֵּר׃	אַתָּה	אִין	אִם־	
語りなさい	あなたが	そうでないなら	もし–～でなければ	
H1696		H0369		

ホシャイがアブサロムのもとにきた時、アブサロムは彼に言った、「アヒトペルはこのように言った。われわれは彼の言葉のように行うべきか。いけないのであれば、言いなさい」。

7

יָעַץ	אֲשֶׁר־	הָעֵצָה	טוֹבָה	לֹא־	אַבְשָׁלוֹם	אֶל־	חוּשַׁי	וַיֹּאמֶר
助言した	（の）	助言は	良くない	良く–ない	アブサロムに	～に	フシャイは	すると–言った
H3289		H6098		H3808	H0053	H0413	H2365	H0559

הַזֹּאת׃	בַּפַּעַם	אֲחִיתֹפֶל	
この	今回	アヒトフェルが	
H2063	H6471	H0302	

ホシャイはアブサロムに言った、「このたびアヒトペルが授けた計りごとは良くありません」。

8

וַיֹּאמֶר חוּשַׁי אַתָּה יָדַעְתָּ אֶת־ אָבִיךָ וְאֶת־
そして–言った フシャイは あなたは 知っている （を） あなたの–父と また（を）
H0559 H2365 H0853 H3045 H0853 H0001 H0853

כִּי גִבֹּרִים הֵמָּה וּמָרֵי נֶפֶשׁ הֵמָּה אֲנָשָׁיו
（と） 勇士であり 彼らは 激しく 怒った–心を–持つ 彼らは その–部下たちを
H0853 H1368 H1992 H4751 H5315 H1992 H0376

כִּדְבֹ֣ר שַׁכּוּל בַּשָּׂדֶה וְאָבִיךָ אִישׁ מִלְחָמָה וְלֹא יָלִין אֶת־
子を–奪われた–熊の ように 野で あなたの–父は 人 戦いの そして–〜しない 民と–夜を–過ごさない （と）
H1677 H7909 H0001 H0376 H4421 H3808 H0854

הָעָם׃
民と

ホシャイはまた言った、「ごぞんじのように、あなたの父とその従者たちとは勇士です。その上彼らは、野で子を奪われた熊のように、ひどく怒っています。また、あなたの父はいくさびとですから、民と共に宿らないでしょう。

9

הִנֵּה עַתָּה הוּא־ נֶחְבָּא בְּאַחַת הַפְּחָתִים אוֹ בְּאַחַד הַמְּקוֹמֹת וְהָיָה
見よ 今 彼は 隠れている ある 穴の–中に あるいは ある 場所に すると–なる
H2009 H6258 H1931 H2244 H0259 H6354 H0259 H4725 H1961

כִּנְפֹּל בָּהֶם וְנִגַּף בַּתְּחִלָּה וְשָׁמַע וְאָמַר הַשֹּׁמֵעַ וְהָיְתָה בָעָם אֲשֶׁר
倒れると 彼らの–中で 最初に 聞いて そして–言う 聞く–者が あった 民の–中に （の）
H5307 H0853 H8462 H8085 H0559 H1961 H4046

אַחֲרֵי אַבְשָׁלֹם׃
従う アブサロムに
H0053

彼は今でも穴の中か、どこかほかの所にかくれています。もし民のうちの幾人かが手始めに倒れるならば、それを聞く者はだれでも、『アブサロムに従う民のうちに戦死者があった』と言うでしょう。

10

וְהוּא גַּם־ בֶּן חַיִל אֲשֶׁר לִבּוֹ כְּלֵב הָאַרְיֵה הֲמֵס הֲמֵס יִמָּס
すると–彼も また 人 勇敢な （の） 心が 心の–ような 獅子の 溶けて 溶ける
H1931 H1571 H2428 H0834 H3824 H3820 H1826 H4549

כִּי־ יֹדֵעַ כָּל־ יִשְׂרָאֵל כִּי־ גִבּוֹר וּבְנֵי־ אָבִיךָ הוּא׃
なぜなら 知っている すべての イスラエルは （と） 勇士であると また あなたの–父は
H3045 H3605 H3478 H0834 H1368 H1121 H0001

וַאֲשֶׁר אִתּוֹ׃ חַיִל
勇敢な–者たちも （の） 彼と–ともにいる
H2428 H0834 H0854

そうすれば、ししの心のような心のある勇ましい人であっても、恐れて消え去ってしまうでしょう。それはイスラエルのすべての人が、あなたの父の勇士であること、また彼と共にいる者が、勇ましい人々であることを知っているからです。

11

כִּי וְעַתָּה הוֹשִׁיעָה הוֹאֲסֹף אֲסֹף אֵלֶיךָ כָּל־ יִשְׂרָאֵל מִדָּן וְעַד־
だから 私は–助言する 集め 集めよ あなたの–もとに すべての イスラエルを ダンから 〜まで
H3289 H0622 H0622 H3605 H3478 H1835 H5704

בְּאֵר שֶׁבַע כַּחוֹל אֲשֶׁר עַל־ הַיָּם לָרֹב וּפָנֶיךָ הֹלְכִים בַּקְּרָב׃
ベエル・シェバまで 砂の–ように （の） 〜の–そばの 海の おびただしく あなた–自身が 出て–行き 戦いに
H0884 H2344 H0834 H5921 H3220 H7230 H6440 H1980 H7128

ところでわたしの計りごとは、イスラエルをダンからベエルシバまで、海べの砂のように多くあなたのもとに集めて、あなたみずから戦いに臨むことです。

12 וּבָאנוּ אֵלָיו [באחת] (בְּאַחַד) הַמְּקוֹמֹת אֲשֶׁר נִמְצָא שָׁם וְנָחְנוּ
そして-襲う 彼を [ある] ある 場所で (の) 見つける そこで そして-私たちは
H0935 H0413 H0259 H0259 H4725 H4672 H8033 H5117

עָלָיו כַּאֲשֶׁר יִפֹּל הַטָּל עַל־הָאֲדָמָה וְלֹא־נִוָּתֵר בּוֹ
彼の-上に ちょうど 降りる-ように 露が 〜の-上に 地の そして-〜しない 残らない 彼も
H5921 H3588 H3381 H2919 H5921 H0127 H3808 H3498 H1931

וּבְכָל־הָאֲנָשִׁים אֲשֶׁר־אִתּוֹ גַּם־אֶחָד׃
また-すべての 人々も (の) 彼と-ともにいる 〜も ひとりも
H3605 H0376 H0834 H1571 H0259

こうしてわれわれは彼の見つかる場所で彼を襲い、つゆが地におりるように彼の上に下る。そして彼および彼と共にいるすべての人をひとりも残さないでしょう。

13 וְאִם־אֶל עִיר הַהִיא יֶאֱסֹף וְהִשִּׁיאוּ כָל־יִשְׂרָאֵל אֶל־הָעִיר הַהִיא
その 町に 集まるなら 運ぶ すべての イスラエルが 〜に その-町に もし
H1931 H0413 H3478 H5375 H0622 H5892 H0413 H1931 H0518

וְסָחֲבְנוּ חֲבָלִים אֶל־הַנַּחַל עַד־אֵת אֹתוֹ אֲשֶׁר־לֹא נִמְצָא שָׁם גַּם־
綱を 引きずる それを 〜まで 谷まで (の) 見つから-なく そこに 〜も
H2256 H5498 H0853 H5704 H5158 H0834 H3808 H4672 H8033 H1571

פ צְרוֹר׃
— 小石-ひとつも

もし彼がいずれかの町に退くならば、全イスラエルはその町になわをかけ、われわれはそれを谷に引き倒して、そこに一つの小石も見られないようにするでしょう」。

14 וַיֹּאמֶר אַבְשָׁלוֹם וְכָל־אִישׁ יִשְׂרָאֵל טוֹבָה עֲצַת חוּשַׁי
すると-言った アブサロムと すべての 人々は イスラエルの 良い 助言は フシャイの
H0559 H0053 H3605 H0376 H3478 H2896 H6098 H2365

מִעֲצַת אֲחִיתֹפֶל וַיהוָה צִוָּה לְהָפֵר אֶת־עֲצַת הָאַרְכִּי
〜より-助言より アヒトフェルの 主が 命じられた くつがえす-ことを (を) 助言を アルキ人の
H6098 H0302 H3068 H6680 H6555 H0853 H6098 H0757

לְבַעֲבוּר הָבִיא יְהוָה אֶל־אַבְשָׁלוֹם אֶת־הָרָעָה׃
〜する-ために もたらす 主が 〜に アブサロムに (を) わざわいを
H5668 H0935 H3068 H0413 H0053 H0853 H7451

ס
—

アブサロムとイスラエルの人々はみな、「アルキびとホシャイの計りごとは、アヒトペルの計りごとよりもよい」と言った。それは主がアブサロムに災を下そうとして、アヒトペルの良い計りごとを破ることを定められたからである。

15 וַיֹּ֤אמֶר חוּשַׁי֙ אֶל־צָד֣וֹק וְאֶל־אֶבְיָתָ֔ר כָּזֹ֥את וְכָזֹ֖את יָעַ֣ץ אֲחִיתֹ֑פֶל וְאֶת־אַבְשָׁל֕וֹם וְאֶת־זִקְנֵ֖י יִשְׂרָאֵ֑ל וְכָזֹ֥את וְכָזֹ֖את יָעַ֥צְתִּי אָֽנִי׃

וַיֹּ֤אמֶר	חוּשַׁי֙	אֶל־	צָד֣וֹק	וְאֶל־	אֶבְיָתָ֔ר	כָּזֹ֥את	וְכָזֹ֖את	יָעַ֣ץ	אֲחִיתֹ֑פֶל	וְאֶת־	אַבְשָׁל֕וֹם	וְאֶת־	זִקְנֵ֖י	יִשְׂרָאֵ֑ל	וְכָזֹ֥את	וְכָזֹ֖את	יָעַ֥צְתִּי	אָֽנִי׃
すると–言った	フシャイは	～に	ツァドクと	また～に	エブヤタルに	このように	また–このように	助言した	アヒトフェルは	（を）	アブサロムと	（を）	長老たちに	イスラエルの	このように	また–このように	助言した	私は
H0559	H2365	H0413	H6659	H0413	H0054	H2063	H2063	H3289	H0302	H0853	H0053	H0853	H2205	H3478	H2063	H2063	H3289	H0589

そこでホシャイは祭司たち、ザドクとアビヤタルとに言った、「アヒトペルはアブサロムとイスラエルの長老たちのためにこういう計りごとをした。またわたしはこういう計りごとをした。

16 וְעַתָּ֣ה שִׁלְחוּ֮ מְהֵרָה֒ וְהַגִּ֣ידוּ לְדָוִ֗ד לֵאמֹר֙ אַל־תָּ֣לֶן הַלַּ֔יְלָה בְּעַרְבֹ֖ות תַּלִּ֑ין וְגַ֣ם עָבֹ֔ור תַּעֲבֹ֖ר פֶּן־יְבֻלַּ֣ע לַמֶּ֑לֶךְ וְלָכֹ֣ל וְלִכָּל־הָעָ֔ם אֲשֶׁ֖ר אִתֹּֽו׃

וְעַתָּ֣ה	שִׁלְחוּ֮	מְהֵרָה֒	וְהַגִּ֣ידוּ	לְדָוִ֗ד	לֵאמֹר֙	אַל־	תָּ֣לֶן	הַלַּ֔יְלָה	בְּעַרְבֹ֖ות	תַּלִּ֑ין	וְגַ֣ם	עָבֹ֔ור	תַּעֲבֹ֖ר	פֶּן־	יְבֻלַּ֣ע	לַמֶּ֑לֶךְ	וְלָכֹ֣ל	וְלִכָּל־	הָעָ֔ם	אֲשֶׁ֖ר	אִתֹּֽו׃
今すぐ	遣わして	急いで	告げなさい	ダビデに	言って	～するな	泊まるな	今夜	平地に		むしろ	渡り	必ず–渡りなさい	さもなければ	滅ぼされる	王も	また–すべての		民も	（の）	彼と–ともにいる
H6258	H7971	H4120	H5046	H1732	H0559	H0408		H3915	H6160		H1571			H6435	H1104	H4428	H3605				H0854

それゆえ、あなたがたはすみやかに人をつかわしてダビデに告げ、『今夜、荒野の渡し場に宿らないで、必ず渡って行きなさい。さもないと王および共にいる民はみな、滅ぼされるでしょう』と言いなさい」。

17 וְיֹונָתָ֤ן וַאֲחִימַ֙עַץ֙ עֹמְדִ֣ים בְּעֵין־רֹגֵ֔ל וְהָלְכָ֣ה הַשִּׁפְחָ֗ה וְהִגִּ֤ידָה לָהֶם֙ וְהֵ֣ם יֵלְכ֔וּ וְלֹ֥א יוּכְל֖וּ לְהֵרָאֹ֑ות וַיָּקֻ֣מוּ וַיֵּלְכ֔וּ לְהַגִּ֖יד לַמֶּ֥לֶךְ דָּוִ֖ד כִּֽי׃ לָבֹ֥וא הָעִֽיר׃

וְיֹונָתָ֤ן	וַאֲחִימַ֙עַץ֙	עֹמְדִ֣ים	בְּעֵין־רֹגֵ֔ל	וְהָלְכָ֣ה	הַשִּׁפְחָ֗ה	וְהִגִּ֤ידָה	לָהֶם֙	וְהֵ֣ם	יֵלְכ֔וּ	וְלֹ֥א	יוּכְל֖וּ	לְהֵרָאֹ֑ות	וַיָּקֻ֣מוּ	וַיֵּלְכ֔וּ	לְהַגִּ֖יד	לַמֶּ֥לֶךְ	דָּוִ֖ד	כִּֽי׃	לָבֹ֥וא	הָעִֽיר׃
ヨナタンと	アヒマアツは	立っていた	エン・ロゲルに	そして–行った	女–中が	告げた	彼らに		行って	～できなかった	彼らは	見られることが	しかし–立った	そして–行って	告げた	王に	ダビデに	なぜなら	入ることが		町に			
H3083	H0290	H5975	H5883	H1980	H8198	H5046		H1992	H3212	H3808	H3201	H7200			H5046	H4428	H1732		H0935					

時に、ヨナタンとアヒマアズはエンロゲルで待っていた。ひとりのつかえめが行って彼らに告げ、彼らは行ってダビデ王に告げるのが常であった。それは彼らが町にはいるのを見られないようにするためである。

18 וַיַּ֤רְא נַ֙עַר֙ אֹתָ֔ם וַיַּגֶּד֙ לְאַבְשָׁל֔וֹם וַיֵּלְכ֥וּ שְׁנֵיהֶ֖ם מְהֵרָ֑ה וַיָּבֹ֣אוּ בֵֽית־אִ֤ישׁ בְּבַחוּרִים֙ לֹ֣ו וְלֹ֔ו וַיֵּ֥רְדוּ בַּחֲצֵרֹ֖ו בְּאֵ֑ר שָֽׁם׃

וַיַּ֤רְא	נַ֙עַר֙	אֹתָ֔ם	וַיַּגֶּד֙	לְאַבְשָׁל֔וֹם	וַיֵּלְכ֥וּ	שְׁנֵיהֶ֖ם	מְהֵרָ֑ה	וַיָּבֹ֣אוּ	בֵֽית־	אִ֤ישׁ	בְּבַחוּרִים֙	לֹ֣ו	וְלֹ֔ו	וַיֵּ֥רְדוּ	בַּחֲצֵרֹ֖ו	בְּאֵ֑ר	שָֽׁם׃
しかし–見た	彼らを	若者が	そして–告げた	アブサロムに	そこで–行った	ふたりは	急いで	そして–来た	～の	家に	人の	バフリムの	彼には–あった		庭に	井戸が	そこに	
H7200	H0853	H5288	H5046	H0053	H3212	H8147	H4120	H0935	H0413		H0376	H0980			H3381	H0875	H8033	

ところがひとりの若者が彼らを見てアブサロムに告げたので、彼らふたりは急いで去り、バホリムの、あるひとりの人の家にきた。その人の庭に井戸があって、彼らはその中に下ったので、

19 וַתִּקַּח הָאִשָּׁה וַתִּפְרֹשׂ אֶת־הַמָּסָךְ עַל־פְּנֵי הַבְּאֵר וַתְּשַׁטַּח
そして-取った 女は そして-広げた (を) 覆いを ～の-上に 口の 井戸の そして-広げた
H3947 H0802 H6566 H0853 H4539 H5921 H6440 H0875 H7849

עָלָיו הָרִפֹּות וְלֹא נוֹדַע דָּבָר׃
その-上に 穀物を ～なかった 知られ 何も
H5921 H7383 H3808 H3045 H1697

女はおおいを取ってきて井戸の口の上にひろげ、麦をその上にまき散らした。それゆえその事は何も知れなかった。

20 וַיָּבֹאוּ עַבְדֵי אַבְשָׁלוֹם אֶל־הָאִשָּׁה הַבַּיְתָה וַיֹּאמְרוּ אַיֵּה
すると-来た 家来たちは アブサロムの ～のもとに 女の 家に そして-言った どこだ
H0935 H5650 H0053 H0413 H0802 H1004 H0559 H0346

אֲחִימַעַץ וִיהֹונָתָן וַתֹּאמֶר לָהֶם הָאִשָּׁה עָבְרוּ מִיכַל הַמָּיִם
アヒマアツと ヨナタンは すると-言った 彼らに 女は 渡って-行った 小川を 水の
H0290 H3083 H0559 H0413 H0802 H5674 H4323 H4325

וַיְבַקְשׁוּ וְלֹא מָצְאוּ וַיָּשֻׁבוּ יְרוּשָׁלִָם׃ ס
彼らは-探したが 見つから-なかった ので 帰った エルサレムに ―
H1245 H3808 H4672 H7725 H3389

アブサロムのしもべたちはその女の家にきて言った、「アヒマアズとヨナタンはどこにいますか」。女は彼らに言った、「あの人々は小川を渡って行きました」。彼らは尋ねたが見当らなかったのでエルサレムに帰った。

21 וַיְהִי אַחֲרֵי לֶכְתָּם וַיַּעֲלוּ מִן־הַבְּאֵר וַיֵּלְכוּ וַיַּגִּדוּ לַמֶּלֶךְ
そして-なった 後に 彼らが-去った 上がった 井戸から そして-行った そして-告げた 王に
H1961 H0310 H3212 H5927 H0875 H3212 H5046 H4428

כִּי־אֶל־דָּוִד וַיֹּאמְרוּ קוּמוּ וְעִבְרוּ מְהֵרָה אֶת־הַמַּיִם
なぜなら ～に ダビデに そして-言った 立って 渡りなさい 急いで (を) 水を
H3588 H0413 H1732 H0559 H6965 H5674 H4120 H0853 H4325

כָּכָה עָצָה עֲלֵיכֶם אֲחִיתֹפֶל׃
このように 助言した あなたがたに-対して アヒトフェルは
H3602 H3289 H5921 H0302

彼らが去った後、人々は井戸から上り、行ってダビデ王に告げた。すなわち彼らはダビデに言った、「立って、すみやかに川を渡りなさい。アヒトペルがあなたがたに対してこういう計りごとをしたからです」。

22 וַיָּקָם דָּוִד וְכָל־הָעָם אֲשֶׁר אִתּוֹ וַיַּעַבְרוּ אֶת־
すると-立った ダビデと すべての 民は (の) 彼と-ともにいる そして-渡った (を)
H6965 H1732 H3605 H5971 H0834 H0854 H5674 H0853

עַד־אוֹר הַבֹּקֶר עַד־אֶחָד לֹא נֶעְדַּר אֲשֶׁר
～までに 光 朝の ～まで ひとりも ～しなかった 残らなかった (の)
H5704 H0216 H1242 H5704 H0259 H3808 H5737 H0834

הַיַּרְדֵּן עַד־לֹא עָבַר אֶת־הַיַּרְדֵּן׃
ヨルダン川を ～までに 渡ら-なかった (を) 者は ヨルダン川を
H3383 H5704 H3808 H5674 H0853 H3383

そこでダビデは立って、共にいるすべての民と一緒にヨルダンを渡った。夜明けには、ヨルダンを渡らない者はひとりもなかった。

23 וַיַּחֲבֹשׁ עֲצָתוֹ נֶעֱשְׂתָה לֹא כִּי רָאָה וַאֲחִיתֹפֶל
鞍を-つけた 自分の-助言が 行われ ～されなかったと （と） 見た そして-アヒトフェルは
H2280 H6098 H3808 H7200 H0302

וַיָּקָם וַיֵּלֶךְ וַיִּתֹּוְ אֶל־ בֵּיתוֹ אֶל־ עִירוֹ וַיְצַו
そして-立って 行った ～に 自分の-家に ～に 自分の-町に そして-命じた
H6680 H3212 H0413 H0413 H0413

הַחֲמוֹר אֶת־ וַיֵּחָנֶק וַיָּמָת וַיִּקָּבֶר אֲבִיו׃ ס
ろばに （に） 首を-つって 死んだ そして-葬られた 父の —
H2543 H0853 H0001 H6913 H6912

אֶל־ בֵּיתוֹ וַיֵּחָנֶק וַיָּמָת וַיִּקָּבֶר בְּקֶבֶר
～に 自分の-家に 首を-つって 死んだ そして-葬られた 墓に
H0413 H0001 H2614 H4191 H6912 H6913

アヒトペルは、自分の計りごとが行われないのを見て、ろばにくらを置き、立って自分の町に行き、その家に帰った。そして家の人に遺言してみずからくびれて死に、その父の墓に葬られた。

24 וְדָוִד בָּא מַחֲנָיְמָה וַאֲבְשָׁלֹם עָבַר אֶת־ הַיַּרְדֵּן הוּא וְכָל־
そして-ダビデは 来た マハナイムに アブサロムは 渡った （を） ヨルダン川を 彼と すべての
H1732 H0935 H4266 H0053 H5674 H0853 H3383 H1931 H3605

אִישׁ יִשְׂרָאֵל עִמּוֹ׃
人々は イスラエルの 彼と-ともに
H0376 H3478

ダビデはマハナイムにきた。またアブサロムは自分と共にいるイスラエルのすべての人々と一緒にヨルダンを渡った。

25 וְאֶת־ עֲמָשָׂא שָׂם אַבְשָׁלֹם תַּחַת יוֹאָב עַל־ הַצָּבָא וַעֲמָשָׂא
そして（を） アマサを 立てた アブサロムは 代わりに ヨアブの ～の-上に 軍の アマサは
H0853 H6021 H7760 H0053 H8478 H3097 H5921 H6635 H6021

בֶּן־ אִישׁ יִשְׂרְאֵלִי אֲשֶׁר־ בָּא אֶל־ אֲבִיגַל בַּת־
息子 人の イスラエル人の （の） 入った ～のもとに アビガイルの 娘
H1121 H0376 H3481 H0834 H0935 H0413 H0026 H1323

נָחָשׁ אֲחוֹת צְרוּיָה אֵם יוֹאָב׃
ナハシュの 姉妹 ツェルヤの 母 ヨアブの
H5176 H0269 H6870 H0517 H3097

アブサロムはアマサをヨアブの代りに軍の長とした。アマサはかのナハシの娘でヨアブの母ゼルヤの妹であるアビガルをめとったイシマエルびと、名はイトラという人の子である。

26 וַיִּחַן יִשְׂרָאֵל וְאַבְשָׁלֹם אֶרֶץ הַגִּלְעָד׃ ס
そして-陣を-張った イスラエルと アブサロムは 地に ギルアデの —
H2583 H3478 H0053 H0776 H1568

そしてイスラエルとアブサロムはギレアデの地に陣取った。

27 וַיְהִי כְּבוֹא דָוִד מַחֲנָיְמָה וְשֹׁבִי בֶן־ נָחָשׁ מֵרַבַּת
そして-なった 来た-とき ダビデが マハナイムに ショビと 息子 ナハシュの ラバから
H1961 H0935 H1732 H4266 H7629 H1121 H5176 H7237

בְּנֵי־ עַמּוֹן וּמָכִיר בֶּן־ עַמִּיאֵל דְּבָרְמַלָּא וּבַרְזִלַּי הַגִּלְעָדִי
子たちの アンモンの マキルと 息子 アミエルの ロ・デバルから バルジライと ギルアデ人の
H1121 H5983 H4353 H1121 H5988 H3810 H1271 H1569

מִרֹּגְלִים׃
ログリムからが
H7274

ダビデがマハナイムにきた時、アンモンの人々のうちのラバのナハシの子ショビと、ロ・デバルのアンミエルの子マキル、およびロゲリムのギレアデびとバルジライは、

וַעֲדָשִׁים	וּפוֹל	וְקָלִי	וְקֶמַח	וּשְׂעֹרִים	וְחִטִּים	יוֹצֵר	וּכְלֵי	וְסַפּוֹת	מִשְׁכָּב	28
レンズ豆と	そら豆と	炒り-穀物と	麦粉と	大麦と	小麦と	陶器の	器と	鉢と	寝具と	
H5742	H6321	H7039	H7058	H8184	H2406	H3335	H3627		H4904	

וְקָלִי׃	
炒り-穀物と	
H7039	

寝床と鉢、土器、小麦、大麦、粉、いり麦、豆、レンズ豆、

אִתּוֹ	אֲשֶׁר־	וְלָעָם	לְדָוִד	הִגִּישׁוּ	בָּקָר	וּשְׂפוֹת	וְצֹאן	וְחֶמְאָה	וּדְבַשׁ	29
彼と-ともにいる	(の)	民に	ダビデと	差し出した	牛の	チーズ	羊と	凝乳と	蜂蜜と	
H0854			H1732	H5066	H1241	H8194	H6629		H1706	

בַּמִּדְבָּר׃	וְצָמֵא	וְעָיֵף	רָעֵב	הָעָם	אָמְרוּ	כִּי	לֶאֱכֹל
荒野で	渇いている	疲れ	飢え	民は	言った	なぜなら	食べる-ために
	H6771	H5889	H7457		H0559		H0398

蜜、凝乳、羊、乾酪をダビデおよび共にいる民が食べるために持ってきた。それは彼らが、「民は荒野で飢え疲れかわいている」と思ったからである。

Chapter 18

עֲלֵיהֶם	וַיָּשֶׂם	אִתּוֹ	אֲשֶׁר	הָעָם	אֶת־	דָּוִד	וַיִּפְקֹד	1
彼らの-上に	そして-立てた	彼と-ともにいる	(の)	民を	(を)	ダビデは	数えた	
		H0854			H0853	H1732		

מֵאוֹת׃	וְשָׂרֵי	אֲלָפִים	שָׂרֵי
百人の	百人-隊長を	千人の	千人-隊長と
H3967	H8269	H0505	H8269

さてダビデは自分と共にいる民を調べて、その上に千人の長、百人の長を立てた。

בְּיַד	וְהַשְּׁלִשִׁית	יוֹאָב	בְּיַד־	הַשְּׁלִשִׁית	הָעָם	אֶת־	דָּוִד	וַיְשַׁלַּח	2
手に	三分の-一は	ヨアブの	手に	三分の-一は	民を	(を)	ダビデは	そして-遣わした	
H3027	H7992	H3097	H3027	H7992		H0853	H1732	H7971	

ס	הַגִּתִּי	אִתֵּי	בְּיַד	וְהַשְּׁלִשִׁת	יוֹאָב	אֲחִי	צְרוּיָה	בֶּן־	אֲבִישָׁי	
—	ガテ人の	イタイの	手に	三分の-一は	ヨアブの	兄弟	ツェルヤの	息子	アビシャイの	
	H1663	H0863	H3027	H7992	H3097	H0251	H6870		H0052	

עִמָּכֶם׃	אֲנִי	גַּם־	אֵצֵא	יָצֹא	הָעָם	אֶל־	הַמֶּלֶךְ	וַיֹּאמֶר
あなたがたと-ともに	私も	~も	必ず-出て行く	出て行く	民に	~に	王は	そして-言った
	H0589	H1571	H3318	H3318		H0413	H4428	H0559

そしてダビデは民をつかわし、三分の一をヨアブの手に、三分の一をゼルヤの子ヨアブの兄弟アビシャイの手に、三分の一をガテびとイッタイの手にあずけた。こうして王は民に言った、「わたしもまた必ずあなたがたと一緒に出ます」。

3

לֹא־	נָנוּס	נֹס	אִם־	כִּי֩	תֵּצֵא	לֹא	הָעָם	וַיֹּאמֶר
～しない	逃げても	逃げて	もし	なぜなら	出ては	いけない	民は	しかし–言った
H3808	H5127	H5127			H3318	H3808		H0559

אֵלֵינוּ֙	יָשִׂימוּ	לֹא־	חֶצְיֵ֣נוּ	יָמֻ֔תוּ	וְאִם־	לֵּב	אֵלֵ֖ינוּ	יָשִׂ֣ימוּ
私たちを	気に–かけない	～しない	半分が	死んでも	もし	心に	私たちを	気に–かけない
H0413		H3808	H2677	H4191			H0413	

כִּי־	טוֹב	וְעַתָּה	אֲלָפִ֑ים	עֲשָׂרָ֣ה	כָמֹ֗נוּ	עַתָּה	כִּי־	לֵּב
（の）	良い	だから–今	千が	一万の	私たちの–ような	今	なぜなら	心に
		H6258	H0505	H6235	H3644	H6258		

ס	):לַעְזֹ֖ר(	]לעזיר[	מֵעִ֥יר	לָ֛נוּ	תִּהְיֶ֥ה־	
—	助けるために	[助けるために]	町から	私たちに	あなたが–いてくださる–ことが	
	H5826	H5826			H1961	

しかし民は言った、「あなたは出てはなりません。それはわれわれがどんなに逃げても、彼らはわれわれに心をとめず、われわれの半ばが死んでも、われわれに心をとめないからです。しかしあなたはわれわれの一万に等しいのです。それゆえあなたは町の中からわれわれを助けてくださる方がよろしい」。

4

אֶעֱשֶׂה	בְּעֵינֵיכֶם	יִיטַב	אֲשֶׁר־	הַמֶּלֶךְ	אֲלֵיהֶם֙	וַיֹּאמֶר	
しましょう	あなたがたの–目に	良いと–思うことを	（の）	王は	彼らに	そこで–言った	
		H3190		H4428	H0413	H0559	

לְמֵאוֹת֙	וַיֵּצְא֣וּ	הָעָ֔ם	וְכָל־	הַשַּׁעַר֙	יַ֣ד	אֶל־	הַמֶּ֔לֶךְ	וַיַּעֲמֹ֖ד
百人–ずつ	出て行った	民は	すべての	門の	脇に	～の–そばに	王は	そして–立った
H3967	H3381		H3605	H8179	H3027	H0413	H4428	H5975

וַֽאֲלָפִֽים׃
千人–ずつ
H0505

王は彼らに言った、「あなたがたの最も良いと思うことをわたしはしましょう」。こうして王は門のかたわらに立ち、民は皆あるいは百人、あるいは千人となって出て行った。

5

לֵאמֹ֗ר	אִתַּי֙	וְאֶת־	אֲבִישַׁ֣י	וְאֶת־	יוֹאָ֔ב	אֶת־	הַמֶּ֔לֶךְ	וַיְצַ֤ו
言って	イタイに	また（を）	アビシャイと	また（を）	ヨアブと	（を）	王は	そして–命じた
H0559	H0863	H0853	H0052	H0853	H3097	H0853	H4428	H6680

בְּצַוֹּ֣ת	שָׁמְעוֹ֮	הָעָם֒	וְכָל־	לְאַבְשָׁל֔וֹם	לַנַּ֣עַר	לִ֔י	לְאַט־
命じたときに	聞いた	民は	すべての	アブサロムに	若者に	私の–ために	手加減に–してくれ
H6680	H8085		H3605	H0053	H5288		

אַבְשָׁלֽוֹם׃	דְּבַר֙	עַל־	הַשָּׂרִ֔ים	כָּל־	אֶת־	הַמֶּ֖לֶךְ
アブサロムの	ことを	～に–ついて	将軍たちに	すべての	（を）	王が
H0053	H1697		H8269	H3605	H0853	H4428

王はヨアブ、アビシャイおよびイッタイに命じて、「わたしのため、若者アブサロムをおだやかに扱うように」と言った。王がアブサロムの事についてすべての長たちに命じている時、民は皆聞いていた。

6

בְּיַ֣עַר	הַמִּלְחָמָה֮	וַתְּהִי֒	יִשְׂרָאֵל֙	לִקְרַ֣את	הַשָּׂדֶ֔ה	הָעָם֙	וַיֵּצֵ֣א
森で	戦いは	そして–あった	イスラエルを	迎えに	野に	民は	そして–出た
	H4421	H1961	H3478	H7125			H3318

אֶפְרָֽיִם׃
エフライムの
H0669

こうして民はイスラエルに向かって野に出て行き、エフライムの森で戦ったが、

7

שָׁם	וַתְּהִי־	דָּוִד	עַבְדֵי	לִפְנֵי	יִשְׂרָאֵל	עַם	שָׁם	וַיִּנָּגְפוּ
そこで	そして–あった	ダビデの	家来たちの	前で	イスラエルの	民は	そこで	打ち–負かされた
H8033	H1961	H1732	H5650	H6440	H3478		H8033	H5062

אָלֶף׃	עֶשְׂרִים	הַהוּא	בַּיּוֹם	גְּדוֹלָה	הַמַּגֵּפָה
千の	二万	その	その–日に	大きな	敗北が
H0505	H6242	H1931	H3117		H4046

イスラエルの民はその所でダビデの家来たちの前に敗れた。その日その所に戦死者が多く、二万に及んだ。

8

הָאָרֶץ	כָּל־	פְּנֵי	עַל־	(נָפֻצֹת	[נפצית]	הַמִּלְחָמָה	שָׁם	וַתְּהִי־
地の	すべての	全体に	～の–上に	広がった	[広がった]	戦いは	そこで	そして–あった
H0776	H3605	H6440				H4421	H8033	H1961

בַּיּוֹם	הַחֶרֶב	אָכְלָה	מֵאֲשֶׁר	בָּעָם	לֶאֱכֹל	הַיַּעַר	וַיֶּרֶב	
その–日に	剣が	食い尽くした–よりも	～より	民を	食い尽くした	森が–飲み込んだ	多かった	
H3117	H2719	H0398			H0398			

הַהוּא׃
その
H1931

そして戦いはあまねくその地のおもてに広がった。この日、森の滅ぼした者は、つるぎの滅ぼした者よりも多かった。

9

הַפֶּרֶד	עַל־	רֹכֵב	וְאַבְשָׁלוֹם	דָּוִד	עַבְדֵי	לִפְנֵי	אַבְשָׁלוֹם	וַיִּקָּרֵא
騾馬に	～の–上に	乗っていた	アブサロムは	ダビデの	家来たちの	前で	アブサロムは	出会った
H6505		H7392	H0053	H1732	H5650	H6440	H0053	H7122

בָּאֵלָה	רֹאשׁוֹ	וַיֶּחֱזַק	הַגְּדוֹלָה	הָאֵלָה	שׁוֹבָךְ	תַּחַת	הַפֶּרֶד	וַיָּבֹא
樫の–木に	頭が	引っかかった	大きな	樫の–木の	密な–枝の	下に	騾馬が	そして–入った
H0424		H2388		H0424	H7730	H8478	H6505	H0935

עָבָר׃	תַּחְתָּיו	אֲשֶׁר־	וְהַפֶּרֶד	הָאָרֶץ	וּבֵין	הַשָּׁמַיִם	בֵּין	וַיִּתֵּן
通り過ぎた	彼の–下を	（の）	騾馬は	地の	との–間に	天と	間に	そして–宙吹りに–なった
	H8478		H6505	H0776	H0996	H8064	H0996	H5414

さてアブサロムはダビデの家来たちに行き会った。その時アブサロムは騾馬に乗っていたが、騾馬は大きいかしの木の、茂った枝の下を通ったので、アブサロムの頭がそのかしの木にかかって、彼は天地の間につりさがった。騾馬は彼を捨てて過ぎて行った。

10

אֶת־	רָאִיתִי	הִנֵּה	וַיֹּאמֶר	לְיוֹאָב	וַיַּגֶּד	אֶחָד	אִישׁ	וַיַּרְא
（を）	見ました	見よ	そして–言った	ヨアブに	そして–告げた	ひとりの	人が	見た
H0853	H7200	H2009	H0559	H3097	H5046	H0259	H0376	H7200

בָּאֵלָה׃	תָּלוּי	אַבְשָׁלֹם	
樫の–木に	ぶら下がっているのを	アブサロムが	
H0424	H8518	H0053	

ひとりの人がそれを見てヨアブに告げて言った、「わたしはアブサロムが、かしの木にかかっているのを見ました」。

11

לֹא־	וּמַדּוּעַ	רָאִיתָ	וְהִנֵּה	לוֹ	הַמַּגִּיד	לְאִישׁ	יוֹאָב	וַיֹּאמֶר
打た–なかったのか	なぜ	見たのなら	見よ	彼に	告げた	人に	ヨアブは	そこで–言った
H3808	H4069	H7200	H2009		H5046	H0376	H3097	H0559

אֶחָת׃	וַחֲגֹרָה	כֶּסֶף	עֲשָׂרָה	לְךָ	לָתֵת	וְעָלַי	אָרְצָה	שָׁם	הִכִּיתוֹ
ひとつ	帯を	銀と	十の	あなたに	与える	私が–～したのに	地に	そこで	彼を
H0259		H3701	H6235		H5414		H0776	H8033	H5221

ヨアブはそれを告げた人に言った、「あなたはそれを見たというのか。それなら、どうしてあなたは彼をその所で、地に撃ち落さなかったのか。わたしはあなたに銀十シケルと帯一筋を与えたであろうに」。

12 וַיֹּאמֶר הָאִישׁ אֶל־יוֹאָב וְלוֹא [ולא] (וְלוּא) אָנֹכִי שָׁקַל עַל־
しかし-言った 人は ～に ヨアブに [たとえ] たとえ 私が 量り-受けても ～の-上に
H0559 H0376 H0413 H3097 H3808 H3863 H0595 H8254

כַּפֵּי אֶלֶף כֶּסֶף אֶשְׁלַח לֹא־ יָדִי אֶל־ בֶּן־ הַמֶּלֶךְ כִּי
手の-平の 千の 銀を 決して-～しない 伸ばさない 手を ～に 息子に 王の なぜなら
H3709 H0505 H3701 H3808 H7971 H3027 H0413 H4428

לֵאמֹר אִתַּי אֲבִישַׁי וְאֶת־ אֹתְךָ הַמֶּלֶךְ צִוָּה בְּאָזְנֵינוּ
言って イタイに また（を） アビシャイと また（を） あなたと 王は 命じた 私たちの-耳に
H0559 H0863 H0853 H0052 H0853 H0853 H4428 H6680 H0241

בְּאַבְשָׁלוֹם׃ בַּנַּעַר מִי שִׁמְרוּ־
アブサロムに-対して 若者に 誰であっても 気をつけてくれ
H0053 H5288 H4310 H8104

その人はヨアブに言った、「たといわたしの手に銀千シケルを受けても、手を出して王の子に敵することはしません。王はわれわれが聞いているところで、あなたとアビシャイとイッタイに、『わたしのため若者アブサロムを保護せよ』と命じられたからです。

13 דָּבָר וְכָל־ שֶׁקֶר בְּנַפְשִׁי (בנפשו) [בנפשו] עָשִׂיתִי אוֹ־
ことは すべての 偽りに-危うくした 自分の-いのちを [自分の-いのちに] 行っていたら それとも
H1697 H3605 H8267 H5315 H5315

מִנֶּגֶד׃ תִּתְיַצַּב וְאַתָּה הַמֶּלֶךְ מִן־ יִכָּחֵד לֹא־
向こう側に 立つだろう そして-あなたは 王から ～から 隠され 隠され-ない
H5048 H3320 H0859 H4428 H4480 H3582 H3808

もしわたしがそむいて彼の命をそこなったのであれば、何事も王に隠れることはありませんから、あなたはみずから立ってわたしを責められたでしょう」。

14 וַיֹּאמֶר יוֹאָב לֹא־ כֵן לְפָנֶיךָ אֹחִילָה וַיִּקַּח שְׁלֹשָׁה
そこで-言った ヨアブは そうは-しない このように お前の-前で 待つ そして-取った 三本の
H0559 H3097 H3808 H3651 H6440 H0309 H3947 H7969

בְּלֵב חַי עוֹדֶנּוּ אַבְשָׁלוֹם בְּלֵב וַיִּתְקָעֵם בְּכַפּוֹ שְׁבָטִים
中に 生きて-いた まだ アブサロムの 心に そして-突き刺した 手に 槍を
H0424 H2416 H5750 H0053 H3820 H8628 H3709 H7626

בְּלֵב הָאֵלָה׃
樫の-木の 中に
H0424

そこで、ヨアブは「こうしてあなたと共にとどまってはおられない」と言って、手に三筋の投げやりを取り、あのかしの木にかかって、なお生きているアブサロムの心臓にこれを突き通した。

15 וַיַּכּוּ יוֹאָב כְּלֵי נֹשְׂאֵי נְעָרִים עֲשָׂרָה וַיְסֹבְבוּ אֶת־
そして-打った ヨアブの 武器を 持つ-者たち 若者たちが 十人の そして-囲んだ （を）
H5221 H3097 H3627 H5375 H5288 H6235 H5437 H0853

וַיְמִיתֻהוּ׃ אַבְשָׁלוֹם
そして-殺した アブサロムを
H4191 H0053

ヨアブの武器を執る十人の若者たちは取り巻いて、アブサロムを撃ち殺した。

16 וַיִּתְקַע יוֹאָב בַּשּׁוֹפָר וַיָּשָׁב הָעָם מֵרֹדֶף אַחֲרֵי יִשְׂרָאֵל
そして-吹いた ヨアブは 角笛を そして-引き返した 民は 追うことから 後を イスラエルの
H8628 H3097 H7782 H7725 H5971 H7291 H0310 H3478

כִּי־ חָשַׂךְ יוֹאָב אֶת־ הָעָם׃
なぜなら 引き止めた ヨアブが （を） 民を
H3588 H2820 H3097 H0853 H5971

こうしてヨアブがラッパを吹いたので、民はイスラエルのあとを追うことをやめて帰った。ヨアブが民を引きとめたからである。

17 וַיִּקְח֣וּ אֶת־אַבְשָׁל֗וֹם וַיַּשְׁלִיכוּ֩ אֹת֨וֹ בַיַּ֜עַר אֶל־הַפַּ֤חַת הַגָּדוֹל֙ וַיָּרִ֣ימוּ עָלָ֔יו גַּ֖ל גָּד֣וֹל מְאֹ֑ד וְכָל־יִשְׂרָאֵ֖ל נָ֥סוּ אִישׁ֙ לְאָהָלָ֔יו׃ ס

取った (H3947) (を) (H0853) アブサロムを (H0053) 投げ込んだ (H7993) 彼を (H0853) 森の-中に (H0413) ～の-中に (H0413) 穴に (H6354) 大きな (H1966)
積み上げた (H5324) そして-彼の-上に (H5921) 山の-ような (H1530) 石を (H0068) 大きな (H1419) 非常に (H3966) すべての (H3605) イスラエルは (H3478) 逃げた (H5127)
各自 (H0376) [その-天幕に] (H0168) その-天幕に (H0168)
—

人々はアブサロムを取って、森の中の大きな穴に投げいれ、その上にひじょうに大きい石塚を積み上げた。そしてイスラエルはみなおのおのその天幕に逃げ帰った。

18 וְאַבְשָׁלֹם֙ בְּחַיָּ֔יו לָקַ֣ח וַיִּצֶּב־ל֔וֹ [בחיו] (בְּחַיָּ֑יו) אֶת־הַמַּצֵּבָ֗ה אֲשֶׁ֤ר בְּעֵמֶק־הַמֶּ֙לֶךְ֙ כִּ֣י אָמַ֔ר אֵין־לִ֥י בֵ֖ן בַּעֲב֣וּר׀ הַזְכִּ֣יר אֶת־שְׁמִ֑י וַיִּקְרָ֨א לַמַּצֵּבָ֤ת עַל־שְׁמוֹ֙ וַתִּקָּרֵ֣א לָ֔הּ עַד־הַיּ֖וֹם הַזֶּ֑ה׃ ס

取って-おいた (H3947) 立てておいた (H5324) 自分の-ために (H0) [生きている-間に] (H2416) 生きている-間に (H2416)
アブサロムは (H0053) 記念する (H2142) 私の-名を (H8034) 私には (H0) ない (H0369) 息子が (H1121) ～するために (H5668)
言った (H0559) なぜなら (H3588) 谷に (H6010) (の) (H0834) 王の (H4428) 石柱を (H4678) (を) (H0853)
そして-呼んだ (H7121) 石柱を (H4678) ～に-よって (H5921) 自分の-名に (H8034) そして-呼ばれている (H7121) それは (H1931)
この (H2088) 日の (H3117) ～まで (H5704) アブサロムの (H0053) 手と (H3027)
—

さてアブサロムは生きている間に、王の谷に自分のために一つの柱を建てた。それは彼が、「わたしは自分の名を伝える子がない」と思ったからである。彼はその柱に自分の名をつけた。その柱は今日までアブサロムの碑ととなえられている。

19 וַאֲחִימַ֣עַץ בֶּן־צָד֗וֹק אָמַ֙ר֙ אָרוּצָ֣ה נָּ֔א וַאֲבַשְּׂרָ֖ה אֶת־הַמֶּ֑לֶךְ כִּֽי־שְׁפָטוֹ֙ יְהוָ֔ה מִיַּ֖ד אֹיְבָֽיו׃

アヒマアツは (H0290) ツァドクの (H6659) 息子 (H1121) 言った (H0559) どうか (H4994) 走らせて-ください (H7323) 王に (H4428) (を) (H0853) 知らせます (H1319)
(と) (H3588) 裁かれたと (H8199) 主が (H3068) 手から (H3027) 敵の (H0341)

さてザドクの子アヒマアズは言った、「わたしは走って行って、主が王を敵の手から救い出されたおとずれを王に伝えましょう」。

20 וַיֹּ֤אמֶר לוֹ֙ יוֹאָ֔ב לֹא֙ אִ֣ישׁ בְּשׂוֹרָ֔ה אַתָּ֖ה הַיּ֣וֹם הַזֶּ֑ה וְהַיּ֣וֹם אַחֵ֔ר בְּשַׂרְתָּ֖ וְהַיּ֥וֹם הַזֶּ֛ה לֹ֥א תְבַשֵּׂ֖ר כִּי־עַל־כֵּ֥ן (עַל־כֵּ֛ן) בֶּן־הַמֶּ֥לֶךְ מֵֽת׃

しかし-言った (H0559) 彼に (H0413) ヨアブは (H3097) そうでは-ない (H3808) 知らせの (H1309) 人 (H0376) あなたは-ではない (H0859) 今日は (H3117) この (H2088)
知らせるがよい (H1319) 別の (H0312) 日に (H3117) 今日は (H3117) この (H2088) 知らせる-な (H3808) 知らせては (H1319) なぜなら (H3588) [～の-ゆえに] (H5921)
～の-ゆえに (H3651) 息子が (H1121) 王の (H4428) 死んだ (H4191)

ヨアブは彼に言った、「きょうは、おとずれを伝えてはならない。おとずれを伝えるのは、ほかの日にしなさい。きょうは王の子が死んだので、おとずれを伝えてはならない」。

21 וַיֹּ֥אמֶר יוֹאָ֖ב לַכּוּשִׁ֑י לֵ֚ךְ הַגֶּ֣ד לַמֶּ֔לֶךְ אֲשֶׁ֥ר רָאִ֖יתָה וַיִּשְׁתָּ֣חוּ
そして–言った ヨアブは クシ人に 行って 告げよ 王に （を） 見たことを そこで–ひれ伏した
H0559 H3097 H3569 H3212 H5046 H4428 H0834 H7812

לִיהוֹאָ֔ב כּוּשִׁ֖י וַיָּרֹֽץ׃
ヨアブに クシ人は そして–走った
H3097 H3569 H7323

ヨアブはクシびとに言った、「行って、あなたの見た事を王に告げなさい」。クシびとはヨアブに礼をして走って行った。

22 וַיְהִי֙ יוֹאָ֔ב אֶל־ וַיֹּ֣אמֶר צָד֑וֹק בֶּן־ אֲחִימַ֣עַץ עֹ֗וד וַיֹּ֖סֶף
たとえ ヨアブに ～に 言った ツァドクの 息子 アヒマアツは もう一度 さらに–言った
H1961 H3097 H0413 H0559 H6659 H0290 H5750 H3254

יוֹאָ֔ב וַיֹּ֣אמֶר הַכּוּשִׁ֔י אַחֲרֵ֖י אֲנִ֣י נַם־ נָ֑א אָרֻ֣צָה־ מָּֽה׃
ヨアブは すると–言った クシ人の 後を 私も ～も どうか 走らせて–ください 何が–あっても
H3097 H0559 H3569 H0310 H0589 H1571 H4994 H7323 H4100

מִצְאֵ֖ת׃ בְּשׂוֹרָ֥ה אֵין־ וְלָ֛כָה בְּנִ֥י רָ֖ץ אַתָּ֣ה זֶּ֑ה לָמָּה־
見つかる–ものが 知らせの ない あなたには–ない わが–息子よ 走るのか あなたは これ なぜ
H4672 H1309 H0369 H3808 H1121 H7323 H0859 H2088 H4100

ザドクの子アヒマアズは重ねてヨアブに言った、「何事があろうとも、わたしにもクシびとのあとから走って行かせてください」。ヨアブは言った、「子よ、おとずれの報いを得られないのに、どうしてあなたは走って行こうとするのか」。

23 וְיִהְי־ מָּה֙ יָר֣וּץ אָ֔רוּץ וַיֹּ֥אמֶר לוֹ֙ רֽוּץ וַיָּ֣רָץ אֲחִימַ֔עַץ דֶּ֖רֶךְ
たとえ 何が–あっても 走ります そこで–言った 彼に 走れ そこで–走った アヒマアツは 道を
H1961 H4100 H7323 H7323 H0559 H0413 H7323 H0290 H1870

הַכִּכָּ֑ר וַיַּעֲבֹ֖ר אֶת־ הַכּוּשִֽׁי׃
平野の そして–追い越した （を） クシ人を
H3603 H5674 H0853 H3569

彼は言った、「何事があろうとも、わたしは走って行きます」。ヨアブは彼に言った、「走って行きなさい」。そこでアヒマアズは低地の道を走って行き、クシびとを追い越した。

24 וְדָוִ֖ד יוֹשֵׁ֣ב בֵּין־ שְׁנֵ֣י הַשְּׁעָרִ֑ים וַיֵּ֣לֶךְ הַצֹּפֶ֗ה אֶל־ הַגָּ֜ג
ダビデは 座っていた 間に 二つの 門の そして–行った 見張りは ～の–上に 屋上に
H1732 H3427 H1004 H8147 H8179 H1980 H6822 H0413 H1406

הַחוֹמָ֔ה וַיִּשָּׂ֥א עֵינָ֖יו וַיַּ֣רְא וְהִנֵּה־ אִ֑ישׁ
城壁の そして–上げた 目を そして–見た すると–見よ 男が
H2346 H5375 H5869 H7200 H2009 H0376

לְבַדּֽוֹ׃ רָ֥ץ הַשַּׁ֖עַר אֶל־ הַחֹמָ֛ה
ひとりで 走っていた 門の ～の–方に 城壁の
H0905 H7323 H8179 H0413 H2346

時にダビデは二つの門の間にすわっていた。そして見張りの者が城壁の門の屋根にのぼり、目をあげて見ていると、ただひとりで走ってくる者があった。

25 וַיִּקְרָא הַצֹּפֶה וַיַּגֵּד לַמֶּלֶךְ וַיֹּאמֶר הַמֶּלֶךְ אִם־לְבַדּוֹ
そこで–叫んだ 見張りは そして–告げた 王に そこで–言った 王は もしひとりなら
H7121 H6822 H5046 H4428 H0559 H4428 H0905

וְקָרֵב׃ הָלוֹךְ וַיֵּלֶךְ בְּפִיו בְּשׂוֹרָה
近づいて 歩きながら そして–来た 口に–ある 知らせが
H7131 H1980 H3212 H6310 H1309

見張りの者が呼ばわって王に告げたので、王は言った、「もしひとりならば、その口におとずれがあるであろう」。その人は急いできて近づいた。

26 וַיַּרְא הַצֹּפֶה אֶל־הַשַּׁעַר וַיִּקְרָא הַצֹּפֶה אֶל־הַשּׁוֹעֵר וַיֹּאמֶר
見た 見張りは 門番に そこで–叫んだ 見張りは ～に
H7200 H6822 H0376 H0312 H7323 H7121 H6822 H0413

הִנֵּה־אִישׁ לְבַדּוֹ רָץ וַיֹּאמֶר עוֹד הוּא מְבַשֵּׂר׃ גַּם־זֶה הַמֶּלֶךְ וַיֹּאמֶר
そして–言った 見よ 男が 走っている ひとりで そこで–言った 王は これも
H0559 H2009 H0376 H7323 H0905 H0559 H4428 H1571 H2088

知らせを–持つ–者だ
H1319

見張りの者は、ほかにまたひとり走ってくるのを見たので、門の方に呼ばわって言った、「見よ、ほかにただひとりで走って来る者があります」。王は言った、「彼もまたおとずれを持ってくるのだ」。

27 וַיֹּאמֶר הַצֹּפֶה אֲנִי רֹאֶה אֶת־מְרוּצַת הָרִאשׁוֹן כְּמִרְצַת
そして–言った 見張りは 私は 見える （を） 走り方が 最初の–者の 走り方の–ように
H0559 H6822 H0589 H7200 H0853 H4794 H7223 H4794

וַיֹּאמֶר אֲחִימַעַץ בֶּן־צָדוֹק וַיֹּאמֶר הַמֶּלֶךְ אִישׁ־טוֹב זֶה וְאֶל־
そして–言った アヒマアツの 息子 ツァドクの そこで–言った 王は 人 良い これは そして–～の
H0559 H0290 H1121 H6659 H0559 H4428 H0376 H2088 H0413

בְּשׂוֹרָה טוֹבָה יָבוֹא׃
知らせを 良い 持って–来る
H1309 H2896 H0935

見張りの者は言った、「まっ先に走って来る人はザドクの子アヒマアズのようです」。王は言った、「彼は良い人だ。良いおとずれを持ってくるであろう」。

28 וַיִּקְרָא אֲחִימַעַץ וַיֹּאמֶר אֶל־הַמֶּלֶךְ שָׁלוֹם וַיִּשְׁתָּחוּ לַמֶּלֶךְ
そこで–叫んだ アヒマアツは そして–言った ～に 王に 平安 そして–ひれ伏した 王に
H7121 H0290 H0559 H0413 H4428 H7965 H7812 H4428

וַיֹּאמֶר בָּרוּךְ יְהוָה אֱלֹהֶיךָ אֲשֶׁר סְגַר אֶת־הָאֲנָשִׁים אֲשֶׁר נָשְׂאוּ
そして–言った ほめたたえよ 主を あなたの–神を （の） 引き渡された （を） 人々を （の） 上げた
H0559 H1288 H3068 H0430 H0834 H5462 H0853 H0376 H0834 H5375

יָדָם בַּאדֹנִי בְּאָרְצָה וְלִפְנֵי הַמֶּלֶךְ׃
手を わが–主に–対して 地に 顔を–伏せて 王に
H3027 H0113 H0776 H0639 H4428

時にアヒマアズは呼ばわって王に言った、「平安でいらせられますように」。そして王の前に地にひれ伏して言った、「あなたの神、主はほむべきかな。主は王、わが君に敵して手をあげた人々を引き渡されました」。

29

רָאִיתִי׀	אֲחִימַעַץ	וַיֹּאמֶר	לְאַבְשָׁלוֹם	לַנָּעַר	שָׁלוֹם	הַמֶּלֶךְ	וַיֹּאמֶר
見ました	アヒマアツは	そこで-言った	アブサロムは	若者は	平安か	王は	そこで-言った
H7200	H0290	H0559	H0053	H5288	H7965	H4428	H0559

וְאֶת־	יוֹאָב	הַמֶּלֶךְ	עֶבֶד	אֶת־	לְשָׁלְחַ	הַגָּדוֹל	הֶהָמוֹן
また（を）	ヨアブが	王の	家来を	（を）	遣わした-ときに	大きな	大きな-騒ぎを
H0853	H3097	H4428	H5650	H0853	H7971		

מָה׃	יָדַעְתִּי	וְלֹא	עַבְדֶּךָ
何を	私は	しかし-知りません	あなたの-家来を
H4100	H3045	H3808	H5650

王は言った、「若者アブサロムは平安ですか」。アヒマアズは答えた、「ヨアブがしもべをつかわす時、わたしは大きな騒ぎを見ましたが、何事であったか知りません」。

30

וַיִּתְיַצָּב׃	וַיִּסֹּב	כֹּה	הִתְיַצַּב	סֹב	הַמֶּלֶךְ	וַיֹּאמֶר
立った	彼は-回って	ここに	立っていろ	回って	王は	そこで-言った
H5975	H5437	H3541	H3320	H5437	H4428	H0559

王は言った、「わきへ行って、そこに立っていなさい」。彼はわきへ行って立った。

31

כִּי־	הַמֶּלֶךְ	אֲדֹנִי	יִתְבַּשַּׂר	הַכּוּשִׁי	וַיֹּאמֶר	בָּא	הַכּוּשִׁי	וְהִנֵּה
なぜなら	王よ	わが-主	お喜びください	クシ人は	そして-言った	来た	クシ人が	すると-見よ
H4428	H0113	H1319	H3569	H0559	H0935	H3569	H2009	

ס	עָלֶיךָ׃	הַקָּמִים	כָּל־	מִיַּד	הַיּוֹם	יְהוָה	שְׁפָטֶךָ
—	あなたに-対して	立ち上がる-者の	すべての	手から	今日	主が	裁かれた
			H3605	H3027	H3117	H3068	H8199

その時クシびとがきた。そしてそのクシびとは言った、「わが君、王が良いおとずれをお受けくださるよう。主はきょう、すべてあなたに敵して立った者どもの手から、あなたを救い出されたのです」。

32

הַכּוּשִׁי	וַיֹּאמֶר	לְאַבְשָׁלוֹם	לַנָּעַר	הֲשָׁלוֹם	הַכּוּשִׁי	אֶל־	הַמֶּלֶךְ	וַיֹּאמֶר
クシ人は	そこで-言った	アブサロムは	若者は	平安か	クシ人に	～に	王は	そこで-言った
H3569	H0559	H0053	H5288	H7965	H3569	H0413	H4428	H0559

עָלֶיךָ	קָמוּ	אֲשֶׁר־	וְכָל	הַמֶּלֶךְ	אֲדֹנִי	אֹיְבֵי	כַנַּעַר	יִהְיוּ
あなたに-対して	立ち上がった	（の）	すべてが	王の	わが-主の	敵が	若者の-ように	なれ
			H3605	H4428	H0113	H0341	H5288	H1961

ס	לְרָעָה׃
—	悪意を-もって

王はクシびとに言った、「若者アブサロムは平安ですか」。クシびとは答えた、「王、わが君の敵、およびすべてあなたに敵して立ち、害をしようとする者は、あの若者のようになりますように」。

33

אָמַר	וְכֹה	וַיֵּבְךְּ	הַשָּׁעַר	עֲלִיַּת	עַל־	וַיַּעַל	הַמֶּלֶךְ	וַיִּרְגַּז
言った	このように	そして-泣いた	門の	屋上の-部屋に	～に	そして-上った	王は	動揺した
H0559	H3541	H1058	H8179	H5944		H5927	H4428	H7264

מִי־	אַבְשָׁלוֹם	בְּנִי	בְּנִי	אַבְשָׁלוֹם	בְּנִי	בְּלֶכְתּוֹ
誰が	アブサロムよ	わが-息子よ	わが-息子よ	アブサロムよ	わが-息子よ	歩きながら
H4310	H0053			H0053		H3212

בְּנִי׃	בְּנִי	אַבְשָׁלוֹם	תַּחְתֶּיךָ	אֲנִי	מוּתִי	יִתֶּן
わが-息子よ	わが-息子よ	アブサロムよ	お前の-代わりに	私が	死を	与えてくれるのか
		H0053	H8478	H0589	H4191	H5414

王はひじょうに悲しみ、門の上のへやに上って泣いた。彼は行きながらこのように言った、「わが子アブサロムよ。わが子、わが子アブサロムよ。ああ、わたしが代って死ねばよかったのに。アブサロム、わが子よ、わが子よ」。

Chapter 19

1 וַיֻּגַּד לְיוֹאָב הִנֵּה הַמֶּלֶךְ בֹּכֶה וַיִּתְאַבֵּל עַל־אַבְשָׁלֹם׃

告げられた	ヨアブに	見よ	王が	泣いて	嘆いていると	～の–ことで	アブサロムの
H5046	H3097	H2009	H4428	H1058	H0056	H0053	

時にヨアブに告げる者があって、「見よ、王はアブサロムのために泣き悲しんでいる」と言った。

2 וַתְּהִי הַתְּשׁוּעָה בַּיּוֹם הַהוּא לְאֵבֶל לְכָל־הָעָם כִּי־שָׁמַע הָעָם בַּיּוֹם הַהוּא לֵאמֹר נֶעֱצַב הַמֶּלֶךְ עַל־בְּנוֹ׃

そして–なった	勝利は	その	嘆きに	すべての	民に–とって	なぜなら	聞いた	民は			
H1961	H8668	H1931	H0060	H3605	H3117	H8085					
その–日に	その	という–ことを	悲しんでいると	王が	～の–ことで	息子の					
H3117	H1931	H0559		H4428							

こうしてその日の勝利はすべての民の悲しみとなった。それはその日、民が、「王はその子のために悲しんでいる」と人の言うのを聞いたからである。

3 וַיִּתְגַּנֵּב הָעָם בַּיּוֹם הַהוּא כַּאֲשֶׁר יִתְגַּנֵּב הָעָם הַנִּכְלָמִים בְּנוּסָם בַּמִּלְחָמָה׃

民は	忍び–入った	その	その–日	民は	忍び–入る–ように	ちょうど	町に	入るために	
	H1589	H1931	H3117		H1589			H0935	
恥じて	逃げた–ときに	戦いで							
H3637	H5127	H4421							

そして民はその日、戦いに逃げて恥じている民がひそかに、はいるように、ひそかに町にはいった。

4 וְהַמֶּלֶךְ לָאַט אֶת־פָּנָיו וַיִּזְעַק הַמֶּלֶךְ בְּקוֹל גָּדוֹל אַבְשָׁלוֹם בְּנִי בְּנִי׃ ס

王は	覆った	（を）	顔を	そして–叫んだ	王は	大きな	声で	わが–息子よ	アブサロムよ
H4428	H3813	H0853	H6440	H2199	H4428				H0053

王は顔をおおった。そして王は大声に叫んで、「わが子アブサロムよ。アブサロム、わが子よ、わが子よ」と言った。

5 וַיָּבֹא יוֹאָב אֶל־הַמֶּלֶךְ הַבָּיְתָה וַיֹּאמֶר הֹבַשְׁתָּ הַיּוֹם אֶת־פְּנֵי כָל־עֲבָדֶיךָ הַמְמַלְּטִים אֶת־נַפְשְׁךָ הַיּוֹם וְאֶת־נֶפֶשׁ בָּנֶיךָ וּבְנֹתֶיךָ וְנֶפֶשׁ נָשֶׁיךָ וְנֶפֶשׁ פִּלַגְשֶׁיךָ׃

そして–来た	ヨアブは	～の–もとに	王の	家に	そして–言った	恥を–かかせた	今日	（を）									
H0935	H3097	H0413	H4428		H0559	H3001	H3117	H0853									
顔を	すべての	家来たちの	救った	（を）	あなたの–いのちを	今日	また（を）	いのちを									
H6440	H3605	H5650	H4422	H0853	H5315	H3117	H0853	H5315									
息子たちの	娘たちの	いのちを	妻たちの	いのちを	そばめたちの												
	H1323	H5315	H0802	H5315	H6370												

時にヨアブは家にはいり、王のもとにきて言った、「あなたは、きょう、あなたの命と、あなたのむすこ娘たちの命、およびあなたの妻たちの命と、めかけたちの命を救ったすべての家来の顔をはずかしめられました。

6 לְאֹהֲבָה֙ אֶת־שֹׂנְאֶ֔יךָ וְלִשְׂנֹ֖א אֶת־אֹהֲבֶ֑יךָ וְכִ֣י הִגַּ֔דְתָּ הַיּ֥וֹם כִּי֙ אֵ֣ין לְךָ֔ שָׂרִ֖ים וַעֲבָדִ֑ים וְכִ֣י יָדַ֔עְתִּי הַיּ֕וֹם כִּ֥י [לֹא֙] (לוּ֙) עָבְשָׁל֔וֹם חַ֖י וְכֻלָּ֣נוּ הַיּ֑וֹם כִּ֥י אָ֛ז יָשָׁ֖ר בְּעֵינֶֽיךָ׃

| | | |

9 וַיְהִי כָּל־ הָעָם נָדֹון בְּכָל־ שִׁבְטֵי יִשְׂרָאֵל לֵאמֹר הַמֶּלֶךְ
そして-あった すべての 民は 争っていた すべての 部族の-中で イスラエルの 言って 王は
H1961 H3605 H5971 H1777 H3605 H7626 H3478 H0559 H4428

בָּרַח וְעַתָּה פְּלִשְׁתִּים מִכַּף מִלְּטָנוּ וְהוּא אֹיְבֵינוּ מִכַּף וְהִצִּילָנוּ
逃れた しかし-今 ペリシテ人の 手から 助けてくださった 彼は 敵の 手から 救ってくださった
H1272 H6258 H6430 H3709 H4422 H1931 H0341 H3709 H5337

מִן־ הָאָרֶץ מֵעַל אַבְשָׁלֹום׃
～から 地から ～から アブサロムから
H0776 H5921 H0053

そしてイスラエルのもろもろの部族の中で民はみな争って言った、「王はわれわれを敵の手から救い出し、またわれわれをペリシテびとの手から助け出された。しかし今はアブサロムのために国のそとに逃げておられる。

10 וְאַבְשָׁלֹום אֲשֶׁר מָשַׁחְנוּ עָלֵינוּ מֵת בַּמִּלְחָמָה וְעַתָּה לָמָּה
アブサロムは （の） 私たちが-油注いだ 私たちの-上に 死んだ 戦いで だから-今 なぜ
H0053 H4886 H5921 H4191 H4421 H6258 H4100

וְאַתֶּם מַחֲרִישִׁים אַתֶּם לְהָשִׁיב אֶת־ הַמֶּלֶךְ׃ ס
あなたがたは 黙っているのか 連れ-戻す-ことを （を） 王を ―
H0859 H2790 H7725 H0853 H4428

またわれわれが油を注いで、われわれの上に立てたアブサロムは戦いで死んだ。それであるのに、どうしてあなたがたは王を導きかえることについて、何をも言わないのか」。

11 וְהַמֶּלֶךְ דָּוִד שָׁלַח אֶל־ צָדוֹק וְאֶל־ אֶבְיָתָר הַכֹּהֲנִים לֵאמֹר
そして-王は ダビデは 遣わした ～に ツァドクと また～に エブヤタルに 祭司たちに 言って
H4428 H1732 H7971 H0413 H6659 H0413 H0054 H3548 H0559

דַּבְּרוּ אֶל־ זִקְנֵי יְהוּדָה לֵאמֹר לָמָּה תִהְיוּ אַחֲרֹנִים לְהָשִׁיב אֶת־
語りなさい ～に 長老たちに ユダの 言って なぜ なるのか 最後に 連れ-戻す-のが （を）
H1696 H0413 H2205 H3063 H0559 H4100 H1961 H0314 H7725 H0853

בֵּיתוֹ׃ אֶל־ הַמֶּלֶךְ אֶל־ בָּא יִשְׂרָאֵל כָּל־ וּדְבַר בֵּיתוֹ אֶל־ הַמֶּלֶךְ
家に ～に 王に ～に 届いた イスラエルの すべての ことばが 家に ～に 王を
H0413 H4428 H0413 H0935 H3478 H3605 H1697 H1004 H0413 H4428

ダビデ王は祭司たちザドクとアビヤタルとに人をつかわして言った、「ユダの長老たちに言いなさい、『全イスラエルの言葉が王に達したのに、どうしてあなたがたは王をその家に導きかえる最後の者となるのですか。

12 לְהָשִׁיב אַחֲרֹנִים תִּהְיוּ וְלָמָּה אַתֶּם וּבְשָׂרִי עַצְמִי אַתֶּם אַתֶּם אַחַי
連れ-戻す-のが 最後に なるのか なぜ あなたがたは 肉である 骨 あなたがたは 兄弟よ
H7725 H0314 H1961 H4100 H0859 H1320 H6106 H0859 H0251

אֶת־ הַמֶּלֶךְ׃
（を） 王を
H0853 H4428

あなたがたはわたしの兄弟、わたしの骨肉です。それにどうして王を導きかえる最後の者となるのですか』。

13 וְלַעֲמָשָׂא תֹּמְרוּ הֲלֹוא עַצְמִי וּבְשָׂרִי אָתָּה אֲשֶׁר־ כֹּה יַעֲשֶׂה־ לִי
そしてアマサに 言いなさい まさに 私の-骨 肉である あなたは このように なさるように 私に
H6021 H0559 H3808 H6106 H1320 H0859 H3541 H6213 H0430

וְכֹה אִם־ לֹא שַׂר־ צָבָא תִּהְיֶה לְפָנַי כָּל־ יָמִים תַּחַת יוֹאָב׃
また-このように もし ならないなら 将軍に 軍の なる 私の-前で すべての 日々 代わりに ヨアブの
H3541 H0518 H3808 H8269 H6635 H1961 H6440 H3605 H3117 H8478 H3097

またアマサに言いなさい、『あなたはわたしの骨肉ではありませんか。これから後あなたをヨアブに代えて、わたしの軍の長とします。もしそうしないときは、神が幾重にもわたしを罰してくださるように』」。

14 וַיֵּט אֶת־לְבַב כָּל־אִישׁ־יְהוּדָה כְּאִישׁ אֶחָד
そして-傾けた (を) 心を すべての 人々の ユダの ひとりの-人の-ように ひとりの
H5186 H0853 H3824 H3605 H0376 H3063 H0376 H0259

וַיִּשְׁלְחוּ אֶל־הַמֶּלֶךְ שׁוּב אַתָּה וְכָל־עֲבָדֶיךָ׃
そして-遣わした ～に 王に 帰ってきてください あなたも すべての 家来たちも
H7971 H0413 H4428 H7725 H0859 H3605 H5650

こうしてダビデはユダのすべての人の心を、ひとりのように自分に傾けさせたので、彼らは王に、「どうぞあなたも、すべての家来たちも帰ってきてください」と言いおくった。

15 וַיָּשָׁב הַמֶּלֶךְ וַיָּבֹא עַד־הַיַּרְדֵּן וִיהוּדָה בָּא הַגִּלְגָּלָה
そして-帰った 王は そして-来た ～まで ヨルダン川まで ユダは 来た ギルガルに
H7725 H4428 H0935 H5704 H3383 H3063 H0935 H1537

לָלֶכֶת לִקְרַאת הַמֶּלֶךְ לְהַעֲבִיר אֶת־הַמֶּלֶךְ אֶת־הַיַּרְדֵּן׃
行く-ために 迎えに 王を 渡らせる-ために (を) 王を ヨルダン川を
H3212 H7125 H4428 H5674 H0853 H4428 H3383

そこで王は帰ってきてヨルダンまで来ると、ユダの人人は王を迎えるためギルガルにきて、王にヨルダンを渡らせた。

16 וַיְמַהֵר וַיֵּרֶד שִׁמְעִי בֶּן־גֵּרָא בֶּן־הַיְמִינִי אֲשֶׁר מִבָּחוּרִים
急いだ そして-下った シムイは 息子 ゲラの ベニヤミン人の (の) バフリムからの
H8096 H3381 H1617 H1121 H1145 H0834 H0980

לִקְרַאת הַמֶּלֶךְ דָּוִד׃ עִם־אִישׁ יְהוּדָה וְאַלְפּוֹ
～と-ともに 人々と ユダの 迎えに 王を ダビデを
H5973 H0376 H3063 H7125 H4428 H1732

バホリムのベニヤミンびと、ゲラの子シメイは、急いでユダの人々と共に下ってきて、ダビデ王を迎えた。

17 וְאִתּוֹ מִבִּנְיָמִן צִיבָא וְחַמֵּשֶׁת עָשָׂר
彼と-ともに ベニヤミンから ツィバも しもべ 家の サウルの 十五人の 十五
H6717 H1144 H6717 H5288 H1004 H7586 H2568 H6240

עֲבָדָיו וְעֶשְׂרִים בָּנָיו וְתֵשַׁע עֲשָׂרֵה אִישׁ וְאֶלֶף
家来たちが 二十人の 息子たちと 千人の 人が
H5650 H6242 H1121 H0376 H0505

לִפְנֵי הַמֶּלֶךְ׃ וְצָלְחוּ הַיַּרְדֵּן אֹתּוֹ עֲבָדָיו וְעֶשְׂרִים בָּנָיו
前に 王の 急いで-渡った ヨルダン川を 彼と-ともに 家来たちが 二十人の 息子たちと
H6440 H4428 H3383 H0854 H5650 H6242 H1121

一千人のベニヤミンびとが彼と共にいた。またサウルの家のしもべヂバもその十五人のむすこと、二十人のしもべを従えて、王の前にヨルダンに駆け下った。

18 וְעָבְרָה הָעֲבָרָה לַעֲבִיר אֶת־בֵּית הַמֶּלֶךְ וְלַעֲשׂוֹת הַטּוֹב
渡った 渡し船が 渡す-ために (を) 家を 王の 行う-ために そして-良い-ことを
H5674 H5679 H5674 H0853 H1004 H4428 H6213 H2896

בְּעֵינָיו (בעינו) בֶּן־גֵּרָא וְשִׁמְעִי נָפַל לִפְנֵי הַמֶּלֶךְ בְּעָבְרוֹ
彼の-目に [彼の-目に] 息子 ゲラの そして-シムイは ひれ伏した 前に 王の 渡る-ときに
H5869 H1121 H1617 H8096 H5307 H6440 H4428 H5674

הַיַּרְדֵּן׃
ヨルダン川を
H3383

そして王の家族を渡し、王の心にかなうことをしようと渡し場を渡った。ゲラの子シメイはヨルダンを渡ろうとする時、王の前にひれ伏し、

19 וַיֹּאמֶר אֶל־הַמֶּלֶךְ אַל־יַחְשָׁב־לִי אֲדֹנִי׃
そして–言った ～に 王に どうか–～しないでください 数えない–ください 私に わが–主よ
H0559 H0413 H4428 H0408 H2803 H0113

וְאַל־תִּזְכֹּר אֵת אֲשֶׁר הֶעֱוָה עֲבְדְּךָ בְּיוֹם אֲשֶׁר יָצָא אֲדֹנִי־הַמֶּלֶךְ מִירוּשָׁלִָם לָשׂוּם הַמֶּלֶךְ׃ לִבּוֹ׃
どうか–怖えないでください 思い出さない–ください （を） （の） 過ちを–犯した 罪を 日に 出て–行かれた わが–主 王が 置く–ことを エルサレムから 王が 心に
H0408 H2142 H0853 H0834 H5771 H3117 H3318 H0113 H4428 H3389 H4428 H0413

王に言った、「どうぞわが君が、罪をわたしに帰しられないように。またわが君、王のエルサレムを出られた日に、しもべがおこなった悪い事を思い出されないように。どうぞ王がそれを心に留められないように。

20 כִּי אֲנִי עַבְדְּךָ יָדַעְתִּי כִּי־חָטָאתִי וְהִנֵּה־בָאתִי הַיּוֹם רִאשׁוֹן לָכָל־בֵּית יוֹסֵף לָרֶדֶת לִקְרַאת אֲדֹנִי הַמֶּלֶךְ׃ ס
なぜなら 知っています あなたの–家来は （と） 私が 罪を–犯したと 来ました そして–見よ
H3588 H3045 H5650 H0589 H2398 H0935 H2009

今日 最初に すべての 家の ヨセフの 下って–きました 迎えに わが–主 王を —
H3117 H7223 H3605 H1004 H3130 H3381 H7125 H0113 H4428

しもべは自分が罪を犯したことを知っています。それゆえ、見よ、わたしはきょう、ヨセフの全家のまっ先に下ってきて、わが主、王を迎えるのです」。

21 וַיַּעַן אֲבִישַׁי בֶּן־צְרוּיָהּ וַיֹּאמֶר הֲתַחַת זֹאת כִּי שִׁמְעִי יוּמַת לֹא כִּי קִלֵּל אֶת־מְשִׁיחַ יְהוָה׃
そこで–答えた アビシャイは 息子 ツェルヤの そして–言った それにも–かかわらず この–ことで なぜなら シムイは 死ななくて 死ななくて–よいのか （を） のろった 油注がれた–者を 主の
H6030 H1121 H6870 H0559 H8478 H2063 H3588 H8096 H4191 H3808 H0853 H7043 H4899 H3068

ס
—

ゼルヤの子アビシャイは答えて言った、「シメイは主が油を注がれた者をのろったので、そのために殺されるべきではありませんか」。

22 וַיֹּאמֶר דָּוִד מַה־לִּי וְלָכֶם בְּנֵי צְרוּיָהּ כִּי תִהְיוּ־לִי הַיּוֹם לְשָׂטָן הַיּוֹם לִי הַיּוֹם אִישׁ יוּמַת בְּיִשְׂרָאֵל כִּי הֲלוֹא יָדַעְתִּי כִּי־אֲנִי הַיּוֹם מֶלֶךְ עַל־יִשְׂרָאֵל׃
そこで–言った ダビデは 何の 関わりが–あるのか 私に 息子たちよ ツェルヤの
H0559 H1732 H4100 H0834 H6870

なぜなら なるのか 私に–とって 今日 敵に 今日 人が 死ぬべきか イスラエルで
H3588 H1961 H0834 H3117 H7854 H3117 H0376 H4191 H3478

なぜなら 知っている （と） 今日 私が 王であると 今日 ～の–上に イスラエルの
H3588 H3045 H3588 H3117 H0589 H4428 H3117 H5921 H3478

ダビデは言った、「あなたがたゼルヤの子たちよ、あなたがたとなにのかかわりがあって、あなたがたはきょうわたしに敵対するのか。きょう、イスラエルのうちで人を殺して良かろうか。わたしが、きょうイスラエルの王となったことを、どうして自分で知らないことがあろうか」。

ס	:הַמֶּלֶךְ	לוֹ	וַיִּשָּׁבַע	תָּמוּת	לֹא	שִׁמְעִי	אֶל־	הַמֶּלֶךְ	וַיֹּאמֶר	23
—	王は	彼に	そして–誓った	死ぬことは	死なない	シムイに	～に	王は	そこで–言った	
	H4428		H7650	H4191	H3808	H8096	H0413	H4428	H0559	

こうして王はシメイに、「あなたを殺さない」と言って、王は彼に誓った。

רַגְלָיו	עָשָׂה	וְלֹא־	הַמֶּלֶךְ	לִקְרַאת	יָרַד	שָׁאוּל	בֶּן־	וּמְפִיבֹשֶׁת		24
足も	洗わなかった	洗わ–なかった	王を	迎えに	下った	サウルの	息子	メフィボシェテは		
H7272		H3808	H4428	H7125	H3381	H7586		H4648		
הַיּוֹם	לְמִן־	כִּבֻּס	לֹא	בְּגָדָיו	וְאֶת־	שְׂפָמוֹ	עָשָׂה	וְלֹא־		
日から	～から	洗濯し	洗わ–なかった	衣服も	また（を）	ひげも	整えなかった	整え–なかった		
H3117		H3526	H3808		H0853	H8222		H3808		
:בְּשָׁלוֹם	בָּא	אֲשֶׁר־	הַיּוֹם	עַד־	הַמֶּלֶךְ	לֶכֶת				
平安に	帰って–来た	（の）	日まで	～まで	王が	出て–行った				
H7965	H0935		H3117	H5704	H4428	H3212				

サウルの子メピボセテは下ってきて王を迎えた。彼は王が去った日から安らかに帰る日まで、その足を飾らず、そのひげを整えず、またその着物を洗わなかった。

הַמֶּלֶךְ	לוֹ	וַיֹּאמֶר	הַמֶּלֶךְ	לִקְרַאת	יְרוּשָׁלִַם	בָּא	כִּי־	וַיְהִי		25
王は	彼に	そこで–言った	王を	迎えに	エルサレムに	来た	～の–とき	そして–なった		
H4428		H0559	H4428	H7125	H3389	H0935		H1961		
:מְפִיבֹשֶׁת	עִמִּי	הָלַכְתָּ	לֹא־	לָמָּה						
メフィボシェテよ	私と–ともに	行か	行か–なかったのか	なぜ						
H4648		H1980	H3808	H4100						

彼がエルサレムからきて王を迎えた時、王は彼に言った、「メピボセテよ、あなたはどうしてわたしと共に行かなかったのか」。

עַבְדְּךָ	אָמַר	כִּי־	רִמָּנִי	עַבְדִּי	הַמֶּלֶךְ	אֲדֹנִי	וַיֹּאמֶר			26
あなたの–家来は	言った	なぜなら	欺きました	私の–家来が	王よ	わが–主	そこで–言った			
H5650	H0559			H5650	H4428	H0113	H0559			
כִּי	הַמֶּלֶךְ	אֶת־	וְאֵלֵךְ	עָלֶיהָ	וְאֶרְכָּב	הַחֲמוֹר	לִי	אֶחְבְּשָׁה־		
なぜなら	王と	～と–ともに	行きます	それに	乗って	ろばに	私に	鞍を–置いてくれ		
	H4428	H0854	H3212		H7392	H2543		H2280		
:עַבְדֶּךָ	פִּסֵּחַ									
あなたの–家来は	足が–不自由な									
H5650	H6455									

彼は答えた、「わが主、王よ、わたしの家来がわたしを欺いたのです。しもべは彼に、『わたしのために、ろばにくらを置け。わたしはそれに乗って王と共に行く』と言ったのです。しもべは足なえだからです。

הָאֱלֹהִים	כְּמַלְאַךְ	הַמֶּלֶךְ	וַאדֹנִי	הַמֶּלֶךְ	אֲדֹנִי	אֶל־	בְּעַבְדְּךָ	וַיְרַגֵּל		27
神の	御使いの–ように	王は	わが–主	王に	わが–主に	～に	あなたの–家来を	中傷した		
H0430	H4397	H4428	H0113	H4428	H0113	H0413	H5650	H7270		
:בְּעֵינֶיךָ	הַטּוֹב	וַעֲשֵׂה								
あなたの–目に	良い–ことを	行って–ください								

ところが彼はしもべのことをわが主、王の前に、あしざまに言ったのです。しかし、わが主、王は神の使のようでいらせられます。それで、あなたの良いと思われることをしてください。

28
כִּי לֹא הָיָה כָּל־בֵּית אָבִי כִּי אִם־אַנְשֵׁי
なぜなら ～ではなかった あった すべての 家は 私の-父の ～でなければ もし 人々は-ただ
H3588 H3808 H1961 H3605 H1004 H0001 H0518 H0376

מָוֶת לַאדֹנִי הַמֶּלֶךְ וַתָּשֶׁת אֶת־עַבְדְּךָ בְּאֹכְלֵי
死の わが-主に-とって 王に しかし-置いてくださった （を） あなたの-家来を 食べる-者の-中に
H4194 H0113 H4428 H7896 H0853 H5650 H0398

שֻׁלְחָנֶךָ וּמַה־לִּי עוֹד וְלִזְעֹק אֶל־הַמֶּלֶךְ׃ פ
食卓の だから-何の あるのか 私に もはや 叫ぶ-ことが ～に 王に ―
H7979 H4100 H3426 H0518 H5750 H2199 H0413 H4428

わたしの父の全家はわが主、王の前にはみな死んだ人にすぎないのに、あなたはしもべを、あなたの食卓で食事をする人々のうちに置かれました。わたしになんの権利があって、重ねて王に訴えることができましょう」。

29
וַיֹּאמֶר לוֹ הַמֶּלֶךְ לָמָּה תְדַבֵּר עוֹד אַתָּה אָמַרְתִּי דְּבָרֶיךָ
そこで-言った 彼に 王は なぜ 語るのか まだ あなたと 決めた あなたの-ことを
H0559 H0518 H4428 H4100 H1696 H5750 H0859 H0559 H1697

וְצִיבָא תַּחְלְקוּ אֶת־הַשָּׂדֶה׃
ツィバとで 分けなさい （を） 畑を
H6717 H0853 H7704

王は彼に言った、「あなたはどうしてなおも自分のことを言うのですか。わたしは決めました。あなたとツバとはその土地を分けなさい」。

30
וַיֹּאמֶר אֵלָיו מְפִיבֹשֶׁת אֶל־הַמֶּלֶךְ גַּם אֶת־הַכֹּל יִקָּח אַחֲרֵי
そこで-言った 彼に メフィボシェテは ～に 王に たとえ （を） すべてを 取ってもよい 後に
H0559 H0518 H4648 H0413 H4428 H1571 H0853 H3605 H3947 H0310

אֲשֶׁר־בָּא הַמֶּלֶךְ אֲדֹנִי בְּשָׁלוֹם אֶל־בֵּיתוֹ׃ ס
（の） 来た 王が わが-主 平安に ～に 家に ―
H0834 H0935 H4428 H0113 H7965 H0413 H1004

メピボセテは王に言った、「わが主、王が安らかに家に帰られたのですから、彼にそれをみな取らせてください」。

31
וּבַרְזִלַּי הַגִּלְעָדִי יָרַד מֵרֹגְלִים וַיַּעֲבֹר אֶת־הַמֶּלֶךְ
バルジライは ギルアデ人の 下った ログリムから そして-渡った （を） 王と-ともに
H1271 H1569 H3381 H7274 H5674 H0853 H4428

לְשַׁלְּחוֹ אֶת־הַיַּרְדֵּן׃ [בירדן] (הַיַּרְדֵּן)
見送る-ために （を） ヨルダン川を [ヨルダン川を] ヨルダン川を
H7971 H0853 H3383 H3383 H3383

さてギレアデびとバルジライはロゲリムから下ってきて、ヨルダンで王を見送るため、王と共にヨルダンに進んだ。

32
וּבַרְזִלַּי זָקֵן מְאֹד בֶּן־שְׁמֹנִים שָׁנָה וְהוּא־כִלְכֵּל אֶת־
バルジライは 非常に-老いていた 非常に 息子 八十の 年の 彼は 養っていた （を）
H1271 H2204 H3966 H1121 H8084 H8141 H1931 H3557 H0853

הַמֶּלֶךְ בְּשִׁבְתּוֹ בְּמַחֲנַיִם כִּי־הוּא גָדוֹל מְאֹד׃ וְאִישׁ
王を 滅在の-間 マハナイムに なぜなら 彼は 富んだ 非常に 人
H4428 H7871 H4266 H3588 H1931 H1419 H3966 H0376

バルジライは、ひじょうに年老いた人で八十{歳であった。彼はまた、ひじょうに裕福な人であったので、王がマハナイムにとどまっている間、王を養った。

וְכִלְכַּלְתִּי אִתִּי עֲבֹר אַתָּה בִּרְזִלַּי אֶל־ הַמֶּלֶךְ וַיֹּאמֶר 33
養います 私と-ともに 渡りなさい あなたが バルジライに ～に 王は そこで-言った
H3557 H0854 H1271 H0413 H4428 H0559

עִמָּדִי אִתְּךָ בִּירוּשָׁלִָם׃
私の-もとで あなたを エルサレムで
H5978 H0853 H3389

王はバルジライに言った、「わたしと一緒に渡って行きなさい。わたしはエルサレムであなたをわたしと共におらせて養いましょう」。

כִּי־ חַיַּי שְׁנֵי יְמֵי כַּמָּה הַמֶּלֶךְ אֶל־ בַּרְזִלַּי וַיֹּאמֶר 34
なぜなら 私の-生涯の 年の 日々が どれほどの 王に ～に バルジライは そこで-言った
H8141 H3117 H4100 H4428 H0413 H1271 H0559

יְרוּשָׁלִָם׃ הַמֶּלֶךְ אֶת־ אֶעֱלֶה
エルサレムに 王と ～と-ともに 上りましょうか
H3389 H4428 H0854 H5927

バルジライは王に言った、「わたしは、なお何年いきながらえるので、王と共にエルサレムに上るのですか。

אִם־ לֶרַע טוֹב בֵּין־ וְהַאֵדַע הַיּוֹם אָנֹכִי שָׁנָה שְׁמֹנִים בֶּן־ 35
味わえますか 悪いの 良いと 間を 見分けられますか 今日 私は 年の 八十の 息子
H0996 H3045 H3117 H0595 H8141 H8084

אֶשְׁתֶּה אֲשֶׁר וְאֶת־ אֹכַל אֲשֶׁר אֶת־ עַבְדְּךָ יִטְעַם
飲む-ものを （の） また（を） 食べる-ものを （の） （を） あなたの-家来は 味わえる
H8354 H0853 H0398 H0853 H5650 H2938

עוֹד אֶשְׁמַע בְּקוֹל שָׁרִים וְשָׁרוֹת וְלָמָּה יִהְיֶה עַבְדְּךָ עוֹד
もはや 聞こえる 声が 歌い手の 男女の なぜ なるのか あなたの-家来が もはや
H5750 H8085 H5750 H7891 H7891 H4100 H1961 H5650 H5750

אִם־ אֶל־ לְמַשָּׂא אֲדֹנִי הַמֶּלֶךְ׃
聞こえますか ～に 荷物に わが-主に 王に
H0413 H0113 H4428

わたしは今日八十歳です。わたしに、良いこと悪いことがわきまえられるでしょうか。しもべは食べるもの、飲むものを味わうことができましょうか。わたしは歌う男や歌う女の声をまだ聞くことができましょうか。それであるのに、しもべはどうしてなおわが主、王の重荷となってよろしいでしょうか。

וְלָמָּה הַמֶּלֶךְ אֶת־ הַיַּרְדֵּן אֶת־ עַבְדְּךָ יַעֲבֹר כִּמְעַט 36
なぜ 王と ～と-ともに ヨルダン川を （を） あなたの-家来は 渡ります 少しだけ
H4100 H4428 H0854 H3383 H0853 H5650 H4592

הַזֹּאת׃ הַגְמוּלָה הַמֶּלֶךְ יִגְמְלֵנִי
この 報いを 王は 報いてくださるのか
H2063 H1578 H4428 H1580

しもべは王と共にヨルダンを渡って、ただ少し行きましょう。どうして王はこのような報いをわたしに報いられなければならないのでしょうか。

37 יָשָׁב־ נָא עַבְדְּךָ֙ וְאָמֻ֣ת בְּעִירִ֔י עִם קֶ֖בֶר
どうか 帰らせて-ください あなたの-家来を 死なせて-ください 私の-町で ～の-そばに 墓の
H4994 H7725 H5650 H4191 H6913

אָבִ֑י וְאִמִּ֗י וְהִנֵּ֤ה עַבְדְּךָ֙ כִּמְהָ֔ם יַעֲבֹ֖ר עִם־ אֲדֹנִ֣י הַמֶּ֔לֶךְ
父の 母の そして-見よ あなたの-家来 キムハムが 渡ります ～と-ともに わが-主と 王と
H0001 H0517 H2009 H5650 H3643 H5650 H0113 H4428

וַעֲשֵׂה־ לּ֖וֹ אֵ֥ת אֲשֶׁר־ טֹ֖וב בְּעֵינֶ֑יךָ׃ ס
行って-ください 彼に （を） （の） 良い-ことを あなたの-目に ―
H0853

どうぞしもべを帰らせてください。わたしは自分の町で、父母の墓の近くで死にます。ただし、あなたのしもべキムハムがここにおります。わが主、王と共に彼を渡って行かせてください。またあなたが良いと思われる事を彼にしてください」。

38 וַיֹּ֤אמֶר הַמֶּ֙לֶךְ֙ אֵלַ֣י יַעֲבֹ֔ר כִּמְהָ֖ם וְאָנִ֑י אֹתִ֗י וְכָל־ אֲשֶׁ֤ר יִבְחַר֙ עָלַ֔י אֶעֱשֶׂה־ לָּ֖ךְ׃
そこで-言った 王は 渡るがよい キムハムが 私が 私と-ともに すべての 選ぶ-ことを 私に-対して 行う あなたに
H0559 H4428 H5674 H3643 H0589 H0854 H3605 H0977 H0413 H6213 H7725

בְּעֵינֶ֔יךָ הַטּ֖וֹב אֶעֱשֶׂה־ לְּךָֽ׃
あなたの-目に 良い-ことを 行う あなたに
H3605

王は答えた、「キムハムはわたしと共に渡って行かせます。わたしは、あなたが良いと思われる事を彼にしましょう。またあなたが望まれることはみな、あなたのためにいたします」。

39 וַיַּעֲבֹ֖ר כָּל־ הָעָ֑ם אֵ֥ת הַיַּרְדֵּ֖ן וַיַּעֲבֹ֥ר הַמֶּ֛לֶךְ וַיִּשַּׁ֥ק לַמֶּ֖לֶךְ
そして-渡った すべての 民が （を） ヨルダン川を 渡った 王も 口づけした 王は
H3605 H0853 H3383 H5674 H4428 H5401 H4428

וַיְבָרֲכֵ֣הוּ וַיָּ֔שָׁב לִמְקֹמֹ֑ו׃ ס
祝福した そして-帰った 自分の-場所に ―
H1288 H7725 H4725

こうして民はみなヨルダンを渡った。王は渡った時、バルジライに口づけして、祝福したので、彼は自分の家に帰っていった。

40 וַיַּעֲבֹ֥ר הַמֶּ֛לֶךְ הַגִּלְגָּ֖לָה וְכִמְהָ֥ן עָבַ֖ר עִמֹּ֑ו וְכָל־ הָעָ֣ם יְהוּדָ֔ה
そして-渡った 王は ギルガルに キムハムも 渡った 彼と-ともに すべての 民は ユダの
H3605 H3063

וְגַם־ חֲצִ֖י עַם־ יִשְׂרָאֵֽל׃ (וַיַּעֲבִירוּ) [ויעברו] אֶת־ הַמֶּ֥לֶךְ
半分の 民も イスラエルの また 王を （を） 渡らせた [渡らせた]
H2677 H3478 H1571 H4428 H0853

王はギルガルに進んだ。キムハムも彼と共に進んだ。ユダの民はみな王を送り、イスラエルの民の半ばもまたそうした。

41 וְהִנֵּ֤ה כָל־ אִישׁ֙ יִשְׂרָאֵ֔ל בָּאִ֖ים אֶל־ הַמֶּ֑לֶךְ וַיֹּ֣אמְרוּ֮ אֶל־
すると-見よ すべての 人々が イスラエルの 来た ～の-もとに 王の ～に
H2009 H3605 H0376 H3478 H0935 H0413 H4428 H0559

וַיַּעֲבִ֣רוּ יְהוּדָ֗ה אִישׁ֙ אַחֵ֣ינוּ גְּנָבֻ֔וךָ מַדּ֖וּעַ הַמֶּ֑לֶךְ אֶת־
渡らせた ユダの 人々 兄弟たちは 盗んだのか-あなたを なぜ 王に （を）
H4428 H0853 H3063 H0376 H0251 H1589 H4069 H4428

וְאֶת־ בֵּיתֹ֔ו אֶת־ הַיַּרְדֵּ֖ן וְכָל־ אַנְשֵׁ֥י דָוִ֖ד עִמֹּֽו׃ ס
また（を） 家族を （を） ヨルダン川を すべての 人々も ダビデの 彼と-ともに ―
H0853 H1004 H0853 H3383 H3605 H0376 H1732

さてイスラエルの人々はみな王の所にきて、王に言った、「われわれの兄弟であるユダの人々は、何ゆえにあなたを盗み去って、王とその家族、およびダビデに伴っているすべての従者にヨルダンを渡らせたのですか」。

42 וַיַּעַן כָּל־אִישׁ יְהוּדָה אֶל־אִישׁ יִשְׂרָאֵל כִּי־קָרוֹב הַמֶּלֶךְ
そこで-答えた すべての 人々は ユダの 人々に ～に イスラエルの なぜなら 近い 王は
H6030 H3605 H0376 H3063 H0376 H5921 H3478 H3588 H7138 H4428

וְלָמָּה זֶּה חָרָה לְךָ עַל־הַדָּבָר הַזֶּה הֲאָכוֹל אָכַלְנוּ מִן־הַמֶּלֶךְ
なぜ これで 怒るのか あなたは ～の-ことで ことを この 食べたか 食べた ～から
H4100 H2088 H2734 H0413 H5921 H1697 H2088 H0398 H0398 H4480

אִם־נְשֹׂא נָשָׂא לָנוּ׃ ס
もしくは 王から 受けた 受けたか 私たちが —
H4428 H5379 H5375 H0413

ユダの人々はみなイスラエルの人々に答えた、「王はわれわれの近親だからです。あなたがたはどうしてこの事で怒られるのですか。われわれが少しでも王の物を食べたことがありますか。王が何か賜物をわれわれに与えたことがありますか」。

43 וַיַּעַן אִישׁ־יִשְׂרָאֵל אֶת־(אל) יְהוּדָה וַיֹּאמֶר עֶשֶׂר־יָדוֹת
そこで-答えた 人々は イスラエルの (に) ユダの そして-言った 十の 分が-ある
H0376 H3478 H0853 H3063 H0559 H6235 H3027

לִי בַּמֶּלֶךְ וְגַם־אֵנִי מִמְּךָ וּמַדּוּעַ הֵקַלְתַּנִי
私に 王に-対して また 私の方が あなたより なぜ 軽んじたのか
H4428 H1571 H0589 H4480 H4069 H7043

וְלֹא־הָיָה דְבָרִי רִאשׁוֹן לִי לְהָשִׁיב אֶת־(ה) מַלְכִּי
～ではなかったか あった ことばが 最初に 私の 連れ-戻す-ことの （を） 私の-王を
H3808 H1961 H1697 H7223 H0853 H7725 H4428

וַיִּקְשׁ דִּבְרֵי אִישׁ יְהוּדָה מִדִּבְרֵי אִישׁ יִשְׂרָאֵל׃ ס
しかし-激しかった ことばは 人々の ユダの ことばより 人々の イスラエルの —
H7185 H1697 H0376 H3063 H4480 H0376 H3478

イスラエルの人々はユダの人々に答えた、「われわれは王のうちに十の分を持っています。またダビデのうちにもわれわれはあなたがたよりも多くを持っています。それであるのに、どうしてあなたがたはわれわれを軽んじたのですか。われらの王を導き帰ろうと最初に言ったのはわれわれではないのですか」。しかしユダの人々の言葉はイスラエルの人々の言葉よりも激しかった。

Chapter 20

1 וְשָׁם נְקָרָא אִישׁ בְּלִיַּעַל שְׁמוֹ בִּכְרִי בֶן־(ב) שֶׁבַע אִישׁ
さて-そこに 居合わせた ひとりの よこしまな-者が その-名は シェバ の-息子 ビクリ 人で
H8033 H7122 H0376 H1100 H8034 H7640 H0376 H1075

יְמִינִי וַיִּתְקַע בַּשּׁוֹפָר וַיֹּאמֶר אֵין־לָנוּ חֵלֶק
ベニヤミン人であった 彼は-角笛を-吹き鳴らし 角笛を そして-言った ない 我々には 分け前が
H3228 H8628 H7782 H0559 H0369 H0853 H2506

וְלֹא נַחֲלָה־לָּנוּ בְּבֶן־(ב) יִשַׁי אִישׁ לְאֹהָלָיו יִשְׂרָאֵל׃
そして-ない 相続の-分も 我々には エッサイの-息子には エッサイの 各自 自分の-天幕へ イスラエルよ
H3808 H5159 H0853 H3448 H0376 H0168 H3478

さて、その所にひとりのよこしまな人があって、名をシバといった。ビクリの子で、ベニヤミンびとであった。彼はラッパを吹いて言った、「われわれはダビデのうちに分がない。またエッサイの子のうちに嗣業を持たない。イスラエルよ、おのおのその天幕に帰りなさい」。

2 וַיַּעַל כָּל־אִישׁ יִשְׂרָאֵל מֵאַחֲרֵי דָּוִד אַחֲרֵי שֶׁבַע
そこで–去って行った すべての 人は イスラエルの から–離れて ダビデ に–従い シェバ
H5927 H3605 H0376 H3478 H1732

בְּנ־ בִּכְרִי לְבִכְרִי דָּבְקוּ יְהוּדָה וְאִישׁ מִן־ הַיַּרְדֵּן וְעַד־
の–息子 ビクリに ビクリの 付き従った ユダの しかし–人々は から ヨルダン川 まで
H1075 H1075 H1692 H3063 H0376 H4428 H3383 H5704

יְרוּשָׁלִָם׃ בְּמַלְכָּם
エルサレム 自分たちの–王に
H3389 H4428

そこでイスラエルの人々は皆ダビデに従う事をやめて、ビクリの子シバに従った。しかしユダの人々はその王につき従って、ヨルダンからエルサレムへ行った。

3 וַיָּבֹא דָוִד אֶל־ בֵּיתוֹ יְרוּשָׁלִַם וַיִּקַּח הַמֶּלֶךְ אֶת
して–来た ダビデは へ 自分の–家 エルサレムの そして–王は–連れて行った 王は を
H0935 H1732 H0413 H1004 H3389 H3947 H4428 H0853

וַיִּתֵּנֶם עֶשֶׂר־ נָשִׁים פִּלַגְשִׁים אֲשֶׁר הִנִּיחַ לִשְׁמֹר הַבַּיִת
そして–彼女たちを–入れた 十人の 女たち 側室たちを 彼が 残しておいた 守らせるために 家を
H5414 H6235 H0802 H6370 H0834 H3240 H8104 H1004

וַתִּהְיֶינָה אֵלֵיהֶם וַיְכַלְכְּלֵם לֹא־ בָא וְאֵלֵיהֶן בֵּית־
こうして–彼女たちは 通わ なかった しかし–彼女たちのもとへは そして–養った 家に 監視の
H1961 H0935 H3808 H0413 H3557 H4931

ס חַיּוֹת׃ אַלְמְנוּת מֶתֶן יוֹם עַד־ צְרֻרוֹת
 生きながら やもめの–ように 死ぬ 日 まで 閉じ込められて
 H2424 H0491 H4194 H3117 H5704

ダビデはエルサレムの自分の家にきた。そして王は家を守るために残しておいた十人のめかけたちを取って、一つの家に入れて守り、また養ったが、彼女たちの所には、はいらなかった。彼女たちは死ぬ日まで閉じこめられ一生、寡婦としてすごした。

4 וַיֹּאמֶר הַמֶּלֶךְ אֶל־ עֲמָשָׂא הַזְעֶק־ לִי אֶת־ אִישׁ־ יְהוּדָה שְׁלֹשֶׁת
して–王は–言った 王は に アマサ 召集せよ 私のために を 人々を ユダの 三
H0559 H4428 H0413 H6021 H2199 H0853 H0376 H3063 H7969

יָמִים פֹּה וְאַתָּה עֲמֹד׃
日以内に ここに そして–おまえ自身も 出頭せよ
H3117 H6311 H5975

王はアマサに言った、「わたしのため三日のうちにユダの人々を呼び集めて、ここにきなさい」。

5 וַיֵּלֶךְ עֲמָשָׂא לְהַזְעִיק אֶת־ יְהוּדָה וַיֹּאחֶר)וַיּוֹחֶר(מִן־
で–行った アマサは 召集するために を ユダを [しかし–遅れた] しかし–遅れた より
H3212 H6021 H2199 H0853 H3063 H0309 H0309

ס יְעָדוֹ׃ אֲשֶׁר הַמּוֹעֵד
 定めた そこで 定められた–期限
 H3259 H4150

アマサはユダを呼び集めるために行ったが、彼は定められた時よりもおくれた。

6

וַיֹּאמֶר דָּוִד אֶל־אֲבִישַׁי עַתָּה יָרַע לָנוּ שֶׁבַע
そして–ダビデは–言った ダビデは に アビシャイ 今や 害を–もたらすだろう シェバ
H0559 H1732 H0413 H0052 H6258 H3415

בֶּן־בִּכְרִי מִן־אַבְשָׁלוֹם אַתָּה עַבְדֵי אֶת־קַח אֲדֹנֶיךָ
の–息子 ビクリは よりも アブサロム おまえは 家臣たちを を 取れ おまえの–主人の
H1075 H0053 H0859 H3947 H0113

וְרָדַף אַחֲרָיו פֶּן־יִמְצָא לוֹ עָרִים בְּצֻרוֹת
そして–追え 彼の–後を さもないと 見つけるだろう 彼は–自分のために 町々を 要塞の
H7291 H6435 H4672 H3478 H5892

וְהִצִּיל עֵינֵנוּ׃
そして–逃れるだろう 我々の–目から
H5337

ダビデはアビシャイに言った、「ビクリの子シバは今われわれにアブサロムよりも多くの害をするであろう。あなたの主君の家来たちを率いて、彼のあとを追いなさい。さもないと彼は堅固な町々を獲て、われわれを悩ますであろう」。

7

וַיֵּצְאוּ אַחֲרָיו אַנְשֵׁי יוֹאָב וְהַכְּרֵתִי וְהַפְּלֵתִי וְכָל־
そこで–出て行った 彼の–後を 人々は ヨアブの そして–ケレテ人と そして–ペレテ人と そして–すべての
H3318 H0376 H3097 H3774 H6432 H3605

הַגִּבֹּרִים וַיֵּצְאוּ מִירוּשָׁלִַם לִרְדֹּף אַחֲרֵי שֶׁבַע בֶּן־בִּכְרִי׃
勇士たち 彼らは–出て行った エルサレムから 追うために の–後を シェバ の–息子 ビクリを
H1368 H3318 H3389 H7291 H0310 H1075

こうしてヨアブとケレテびととペレテびと、およびすべての勇士はアビシャイに従って出た。すなわち彼らはエルサレムを出て、ビクリの子シバのあとを追った。

8

הֵם עִם־הָאֶבֶן הַגְּדוֹלָה אֲשֶׁר בְּגִבְעוֹן וַעֲמָשָׂא בָּא לִפְנֵיהֶם
彼らが の–そばに 石 大きな その ギベオンの いたとき–アマサが 来た 彼らの–前に
H1992 H0068 H1419 H0834 H1391 H6021 H0935 H6440

וְיוֹאָב מְדוֹ וחָגוּר [ועלו] (וְעָלָיו) חֶרֶב חֲגוּר
さて–ヨアブは 着物として 上着を 締めていた [その–上に] その–上に 剣を 帯びた
H3097 H3830 H4055 H2296 H2719

וַתִּפֹּל׃ וְהוּא בְּתַעֲרָה מָתְנָיו עַל־ מְצֻמֶּדֶת יָצָא
それは–落ちた そして–彼が その–鞘の中に 彼の–腰 の–上に 結びつけられた 進み出ると
H5307 H1931 H8593 H4975 H6775 H3318

ס

彼らがギベオンにある大石のところにいた時、アマサがきて彼らに会った。時にヨアブは軍服を着て、帯をしめ、その上にさやに納めたつるぎを腰に結んで帯びていたが、彼が進み出た時つるぎは抜け落ちた。

9

וַיֹּאמֶר יוֹאָב לַעֲמָשָׂא הֲשָׁלוֹם אַתָּה אָחִי וַתֹּחֶז
そして–ヨアブは–言った ヨアブは アマサに 元気か おまえは 我が–兄弟よ そして–つかんだ
H0559 H3097 H6021 H7965 H0859 H0251 H2388

לוֹ׃ לִנְשָׁק־ בִּזְקַן עֲמָשָׂא יוֹאָב יְמִין יַד־
彼に 口づけするために を–あごひげ アマサの ヨアブの 右の 右–手で
H0559 H5401 H2206 H6021 H3097 H3225 H3027

ヨアブはアマサに、「兄弟よ、あなたは安らかですか」と言って、ヨアブは右の手をもってアマサのひげを捕えて彼に口づけしようとしたが、

10

וַיַּכֵּהוּ יוֹאָב בְּיַד־ אֲשֶׁר בַּחֶרֶב נִשְׁמַר לֹא־ וַעֲמָשָׂא
そして–打ちつけた ヨアブの の–手にある その 剣に 注意してい なかった しかし–アマサは
H5221 H3097 H3027 H2719 H8104 H3808 H6021

לוֹ שָׁנָה וְלֹא־ אַרְצָה מֵעָיו וַיִּשְׁפֹּךְ הַחֹמֶשׁ אֶל־ בָּהּ
彼に 繰り返さ そして–なかった 地に 彼の–はらわたが そして–流れ出た 腹を を それで
H3808 H0776 H4578 H8210 H2570 H0413

שֶׁבַע אַחֲרֵי רָדַף אָחִיו וַאֲבִישַׁי וְיוֹאָב ס וַיָּמָת
シェバ の–後を 追いかけた 彼の–兄弟 アビシャイは そして–ヨアブと ס そして–死んだ
H7291 H0251 H0052 H3097 H4191

בִּכְרִי׃ בֶּן־
ビクリを の–息子
H1075

アマサはヨアブの手につるぎがあることに気づかなかったので、ヨアブはそれをもってアマサの腹部を刺して、そのはらわたを地に流し出し、重ねて撃つこともなく彼を殺した。こうしてヨアブとその兄弟アビシャイはビクリの子シバのあとを追った。

11

וַיֹּאמֶר יוֹאָב מְנַעֲרֵי עָלָיו עָמַד וְאִישׁ
そして–言った ヨアブの の–若者たちの中から 彼の–そばに 立っていた そして–ひとりの–人が
H0559 H3097 H5288 H5975 H0376

אַחֲרֵי לְדָוִד אֲשֶׁר־ וּמִי בְיוֹאָב חָפֵץ אֲשֶׁר מִי
の–後に続け ダビデのための–者は その そして–誰でも ヨアブを 喜ぶ–者は その 誰でも
H1732 H4310 H3097 H4310

יוֹאָב׃
ヨアブの
H3097

時にヨアブの若者のひとりがアマサのかたわらに立って言った、「ヨアブに味方する者、ダビデにつく者はヨアブのあとに従いなさい」。

12

כִּי־ הָאִישׁ וַיַּרְא הַמְסִלָּה בְּתוֹךְ בַּדָּם מִתְגֹּלֵל וַעֲמָשָׂא
ことを その–人は そして–見た 街道の の–真ん中で 血の–中で 転がっていた さて–アマサは
H0376 H7200 H4546 H8432 H1818 H1556 H6021

הַשָּׂדֵה הַמְסִלָּה מִן־ עֲמָשָׂא אֶת־ וַיַּסֵּב הָעָם כָּל־ עָמַד
野原へ 街道 から アマサを を そこで–移した 民が すべての 立ち止まった
H4546 H6021 H0853 H5437 H3605 H5975

עָלָיו הַבָּא כָּל־ רָאָה כַּאֲשֶׁר בֶּגֶד עָלָיו וַיְשַׁלֵּךְ
彼の–そばで 来る–者が すべての 見た というのは 衣を 彼の–上に そして–かぶせた
H0935 H3605 H7200 H7993

וְעָמֹד׃
立ち止まったから
H5975

アマサは血に染んで大路の中にころがっていたので、そのそばに来る者はみな彼を見て立ちどまった。この人は民がみな立ちどまるのを見て、アマサを大路から畑に移し、衣服をその上にかけた。

13

יוֹאָב אַחֲרֵי אִישׁ כָּל־ עָבַר הַמְסִלָּה מִן־ הֻגָּה כַּאֲשֶׁר
ヨアブの の–後に 人は すべての 通り過ぎた 街道 から 移されると こうして
H3097 H0376 H3605 H4546 H3014

בִּכְרִי׃ בֶּן־ שֶׁבַע אַחֲרֵי לְרַדֹּף
ビクリを の–息子 シェバ の–後を 追うために
H1075 H7291

アマサが大路から移されたので、民は皆ヨアブに従って進み、ビクリの子シバのあとを追った。

14 וַיַּעֲבֹר בְּכָל־ שִׁבְטֵי יִשְׂרָאֵל אָבֵלָה מַעֲכָהוּבֵית וְכָל־
彼は–通過した すべての 部族を イスラエルの アベルへ ベト・マアカ そして–すべての
H3605 H1038 H0059 H3478 H7626 H3605

הַבֵּרִים סׂ וַיִּקָּהֲלוּ (וַיִּקָּהֲלוּ) וַיָּבֹאוּ אַף־ אַחֲרָיו׃
ベリ人たちも 集まった [集まった] そして–入った また 彼の–後に
H1276 H6950 H6950 H0935 H0637

シバはイスラエルのすべての部族のうちを通ってベテマアカのアベルにきた。ビクリびとは皆、集まってきて彼に従った。

15 וַיָּבֹאוּ וַיָּצֻרוּ עָלָיו בְּאָבֵלָה הַמַּעֲכָהבֵּית וַיִּשְׁפְּכוּ סֹלְלָה
そして–彼らは–来て 包囲した 彼を アベルで ベト・マアカの そして–積み上げた 塔を
H0935 H6696 H5921 H0059 H1038 H8210 H5550

וְכָל־ הָעָם אֲשֶׁר אֵת־ וַתַּעֲמֹד בַּחֵל הָעִיר אֶל־
そして–すべての 民は その と共にいる それは–立っていた 塁の–前に 町に に向かって
H3605 H5971 H0834 H2426 H5975 H5892 H0413

הַחוֹמָה׃ לְהַפִּיל מַשְׁחִיתִם יוֹאָב
城壁を 倒すために 破壊していた ヨアブと
H2346 H5307 H7843 H3097

そこでヨアブと共にいたすべての人々がきて、彼をベテマアカのアベルに囲み、町に向かって土塁を築いた。それはとりでに向かって立てられた。こうして彼らは城壁をくずそうとしてこれを撃った。

16 וַתִּקְרָא אִשָּׁה חֲכָמָה מִן־ הָעִיר שִׁמְעוּ שִׁמְעוּ אִמְרוּ־ נָא אֶל־ יוֹאָב
そして–叫んだ 女が 賢い から 町の–中 聞け 聞け 言ってくれ どうか に ヨアブに
H7121 H0802 H2450 H4480 H5892 H8085 H8085 H0559 H4994 H0413 H3097

אֵלַיִךְ׃ וַאֲדַבְּרָה הֵנָּה עַד־ קָרֵב
あなたに そして–私は–話したい ここへ まで 近づけ
H0413 H1696 H2008 H5704 H7126

その時、ひとりの賢い女が町から呼ばわった、「あなたがたは聞きなさい。あなたがたは聞きなさい。ヨアブに、『ここにきてください。わたしはあなたに言うことがあります』と言ってください」。

17 וַיֹּאמֶר וַתֹּאמֶר הָאִשָּׁה הַאַתָּה יוֹאָב וַיֹּאמֶר וַיִּקְרַב אֵלֶיהָ
そこで–彼は–言った そして–言った その–女は あなたが ヨアブですか そこで–近づいた 彼女に
H0559 H0559 H0802 H0859 H3097 H0559 H7126 H0413

וַתֹּאמֶר שְׁמַע דִּבְרֵי אֲמָתֶךָ וַיֹּאמֶר
そして–彼女は–言った 聞け 言葉を あなたの–はしための そこで–彼は–言った
H0559 H8085 H1697 H0519 H0559

אָנִי שְׁמֵעַ׃ אָנֹכִי
そうだ 聞いている 私は
H0589 H8085 H0595

彼がその女に近寄ると、女は「あなたがヨアブですか」と言った。彼は「そうです」と答えた。すると女は彼に「はしための言葉をお聞きください」と言ったので、「聞きましょう」と彼は言った。

18 וַתֹּאמֶר דַּבֵּר לֵאמֹר בָּרִאשֹׁנָה דָּבְרוּ לֵאמֹר שָׁאֹל יִשְׁאֲלוּ
そして–彼女は–言った 語る 次のように 昔に 言って 尋ねる 尋ねよ
H0559 H1696 H0559 H7223 H0559 H7592 H7592

וְכֵן בְּאָבֵל הַתָּמּוּ׃
そして–そのように アベルで 解決したものだ
H3651 H0059 H8552

そこで女は言った、「昔、人々はいつも、『アベルで尋ねなさい』と言って、事を定めました。

עִיר	לְהָמִית	מְבַקֵּשׁ	אַתָּה	יִשְׂרָאֵל	אֱמוּנֵי	שְׁלֻמֵי	אָנֹכִי	19
町を	殺すことを	求めている	あなたは	イスラエルの	忠実な-者	平和な-者	私は	
H4191		H1245		H3478	H0539		H0595	

פ	יְהוָה׃	נַחֲלַת	תְּבַלָּע	לָמָּה	בְיִשְׂרָאֵל	וְאֵם	
	主の	相続地を	飲み込もうとするのか	なぜ	イスラエルの	そして-母なる-町を	
	H3068	H5159	H1104	H4100	H3478	H0517	

わたしはイスラエルのうちの平和な、忠誠な者です。そうであるのに、あなたはイスラエルのうちで母ともいうべき町を滅ぼそうとしておられます。どうして主の嗣業を、のみ尽そうとされるのですか」。

							20
אִם־	לִי	חָלִילָה	חָלִילָה	וַיֹּאמֶר	יוֹאָב	וַיַּעַן	
もし	私には	決して	決して	そして-言った	ヨアブは	そこで-ヨアブは-答えた	
		H2486	H2486	H0559	H3097		

אַשְׁחִית׃	וְאִם־	אֲבַלַּע
滅ぼしはしない	もし	飲み込みはしない
H7843		H1104

ヨアブは答えた、「いいえ、決してそうではなく、わたしが、のみ尽したり、滅ぼしたりすることはありません。

									21
בֶּן־	שֶׁבַע	אֶפְרַיִם	מֵהַר	אִישׁ	כִּי	הַדָּבָר	כֵּן	לֹא־	
の-息子	シェバ	エフライムの-山地	からの	男が	なぜなら	事情は	そうではない	そうでは-ない	
		H0669	H2022	H0376		H1697		H3808	

לְבַדּוֹ	אֹתוֹ	תְּנוּ־	בְּדָוִד	בַּמֶּלֶךְ	יָדוֹ	נָשָׂא	שְׁמוֹ	בִכְרִי
ただ-彼を	彼を	引き渡せ	ダビデ-王に	に-対して	手を	手を-上げた	名の	ビクリという
H0905	H0853	H5414	H1732	H4428	H3027	H5375	H8034	H1075

רֹאשׁוֹ	הִנֶּה	יוֹאָב	אֶל־	הָאִשָּׁה	וַתֹּאמֶר	הָעִיר	מֵעַל	וְאֵלֶכָה	
彼の-頭が	見よ	ヨアブに	に	その-女は	そこで-言った	町を	から	そうすれば-私は-去る	
	H2009	H3097	H0413	H0802	H0559			H3212	

הַחוֹמָה׃	בְּעַד	אֵלֶיךָ	מְשֻׁלָּךְ
城壁を	越しに	あなたに	投げられる
H2346	H1157	H0413	H7993

事実はそうではなく、エフライムの山地の人ビクリの子、名をシバという者が手をあげて王ダビデにそむいたのです。あなたがたが彼ひとりを渡すならば、わたしはこの町を去ります」。女はヨアブに言った、「彼の首は城壁の上からあなたの所へ投げられるでしょう」。

								22
וַיְכָרְתוּ	בְּחָכְמָתָהּ	הָעָם	כָּל־	אֶל־	הָאִשָּׁה	וַתָּבוֹא		
そして-切り落とした	彼女の-知恵をもって	民	すべての	の-もとへ	その-女は	そこで-行った		
H3772	H2451		H3605	H0413	H0802	H0935		

יוֹאָב	אֶל־	וַיְשַׁלְּכוּ	בִכְרִי	בֶּן־	שֶׁבַע	רֹאשׁ	אֶת־
ヨアブに	に	そして-投げた	ビクリの	の-息子	シェバ	頭を	を
H3097	H0413	H7993	H1075				H0853

לְאָהָלָיו	אִישׁ	הָעִיר	מֵעַל־	וַיִּפָּצוּ	בַּשּׁוֹפָר	וַיִּתְקַע
自分の-天幕へ	各自	町を	から-離れて	そして-散った	角笛を	そこで-彼は-角笛を-吹き鳴らした
H0168	H0376				H7782	H8628

ס	הַמֶּלֶךְ׃	אֶל־	יְרוּשָׁלִַם	שָׁב	וְיוֹאָב
	王のもとへ	へ	エルサレムに	帰った	そして-ヨアブは
	H4428	H0413	H3389	H7725	H3097

こうしてこの女が知恵をもって、すべての民の所に行ったので、彼らはビクリの子シバの首をはねてヨアブの所へ投げ出した。そこでヨアブはラッパを吹きならしたので、人々は散って町を去り、おのおの家に帰った。ヨアブはエルサレムにいる王のもとに帰った。

23 וְיוֹאָב (そして-ヨアブは H3097) עַל־ (の-上にいた H0413) כָּל־ (すべての H3605) צְבָא (軍勢の H3478) יִשְׂרָאֵל (イスラエルの H3478) וּבְנָיָהוּ (そして-ベナヤが H1141) בֶּן־ (の-息子)

יְהוֹיָדָע (エホヤダの H3077) עַל־ (の-上にいた) [הכרי] (ケレテ人と H3746) (הַכְּרֵתִי) וְעַל־ (そして-の-上に H6432) הַפְּלֵתִי׃ (ペレテ人の)

ヨアブはイスラエルの全軍の長であった。エホヤダの子ベナヤはケレテびと、およびペレテびとの長、

24 וַאֲדֹרָם (そして-アドラムは H0151) עַל־ (の-上にいた H4522) הַמַּס (強制-労働の H3092) וַיהוֹשָׁפָט (そして-ヨシャファト H0286) אֲחִילוּד (アヒルドの) בֶּן־ (の-息子)

הַמַּזְכִּיר׃ (記録官であった H2142)

アドラムは徴募人の長、アヒルデの子ヨシャパテは史官、

25 וְשֹׁוָא (シェヴァは H7864) [ושיא] (シェヤ H7864) סֹפֵר (書記官であった) וְצָדוֹק (そして-ツァドクと H6659) וְאֶבְיָתָר (エブヤタルは H0054) כֹּהֲנִים׃ (祭司であった H3548)

シワは書記官、ザドクとアビヤタルとは祭司。

26 וְגַם (そして-また H1571) עִירָא (イラは H5896) הַיָּאִרִי (ヤイル人で H2972) הָיָה (あった H1961) כֹהֵן (祭司 H3548) לְדָוִד׃ (ダビデの H1732) ס

またヤイルびとイラはダビデの祭司であった。

Chapter 21

1 וַיְהִי (そして-あった H1961) רָעָב (飢饉が H7458) בִּימֵי (の-日々に H3117) דָּוִד (ダビデ H1732) שָׁלֹשׁ (三 H7969) שָׁנִים (年間 H8141) שָׁנָה (年 H8141) אַחֲרֵי (に-続いて H8141) שָׁנָה (年 H8141) וַיְבַקֵּשׁ (そして-求めた H1245)

דָּוִד (ダビデは H1732) פְּנֵי (御顔 H6440) יְהוָה (主の H3068) נַיֹּאמֶר (そして-言われた H0559) יְהוָה (主は H3068) אֶל־ (に-ついて H0413) שָׁאוּל (サウル H7586) וְאֶל־ (と H0413) בֵּית (家) ס

הַגִּבְעֹנִים׃ (ギブオン人たちを H1393) אֶת־ (を H0853) הֵמִית (殺した H4191) אֲשֶׁר־ (彼が) עַל־ (の-ゆえに) הַדָּמִים (の-血 H1818)

ダビデの世に、年また年と三年、ききんがあったので、ダビデが主に尋ねたところ、主は言われた、「サウルとその家とに、血を流した罪がある。それはかつて彼がギベオンびとを殺したためである」。

2

לֹא	וְהַגִּבְעֹנִים	אֲלֵיהֶם	וַיֹּאמֶר	לַגִּבְעֹנִים	הַמֶּלֶךְ	וַיִּקְרָא
ではない	ギブオン人たちは	彼らに	そして-言った	ギブオン人たちを	王は	そして-呼んだ
H3808	H1393	H0413	H0559	H1393	H4428	H7121

יִשְׂרָאֵל	וּבְנֵי	הָאֱמֹרִי	מִיֶּתֶר	אִם־	כִּי	הֵמָּה	יִשְׂרָאֵל	מִבְּנֵי
イスラエルの	そして-子らは	アモリ人	の-残りの者	しかし	むしろ	彼ら	イスラエル	の-子ら
H3478		H0567				H1992	H3478	

לִבְנֵי־	בְּקִנְאָתוֹ	לְהַכֹּתָם	שָׁאוּל	וַיְבַקֵּשׁ	לָהֶם	נִשְׁבְּעוּ
の-子らの-ために	熱心さ-のゆえに	打ち-滅ぼすことを	サウルは	しかし-求めた	彼らに	誓った
	H7065	H5221	H7586	H1245	H1992	H7650

וִיהוּדָה׃	יִשְׂרָאֵל
とユダ	イスラエル
H3063	H3478

そこで王はギベオンびとを召しよせた。ギベオンびとはイスラエルの子孫ではなく、アモリびとの残りであって、イスラエルの人々は彼らと誓いを立てて、その命を助けた。ところがサウルはイスラエルとユダの人々のために熱心であったので、彼らを殺そうとしたのである。

3

לָכֶם	אֶעֱשֶׂה	מָה	הַגִּבְעֹנִים	אֶל־	דָּוִד	וַיֹּאמֶר
あなたがたに	するべきか	何を	ギブオン人たちに	に	ダビデは	そして-言った
		H4100	H1393	H0413	H1732	H0559

יְהוָה׃	נַחֲלַת	אֶת־	וּבָרְכוּ	אֲכַפֵּר	וּבַמֶּה	
主の	の-嗣業	を	そして-祝福せよ	贖うべきか	また-何を-もって	
H3068	H5159	H0853	H1288		H4100	

それでダビデはギベオンびとに言った、「わたしはあなたがたのために、何をすればよいのですか。どんな償いをすれば、あなたがたは主の嗣業を祝福するのですか」。

4

עִם־	וְזָהָב	כֶּסֶף	)לָנוּ(	[לין]	אֵין־	הַגִּבְעֹנִים	לוֹ	וַיֹּאמְרוּ
に-関する	また-金の	銀の	私たちには	—	ない	ギブオン人たちは	彼に	そして-言った
	H2091	H3701			H0369	H1393		H0559

בְּיִשְׂרָאֵל	לְהָמִית	אִישׁ	לָנוּ	וְאֵין־	בֵּיתוֹ	וְעִם־	שָׁאוּל
イスラエルの-中で	殺す-ことは	人を	私たちには	また-ない	その-家との	また	サウル
H3478	H4191	H0376		H0369			H7586

לָכֶם׃	אֵעֱשֶׂה	אֹמְרִים	אַתֶּם	מָה־	וַיֹּאמֶר
あなたがたに	なすべきか	言う	あなたがたは	何を	そして-言った
		H0559		H4100	H0559

ギベオンびとは彼に言った、「これはわれわれと、サウルまたはその家との間の金銀の問題ではありません。またイスラエルのうちのひとりでも、われわれが殺そうというのでもありません」。ダビデは言った、「わたしがあなたがたのために何をすればよいと言うのですか」。

5

לָנוּ	דָּמָה־	וַאֲשֶׁר	כִּלָּנוּ	אֲשֶׁר	הָאִישׁ	הַמֶּלֶךְ	אֶל־	וַיֹּאמְרוּ	
私たちに	企てた	また	滅ぼした-私たちを	が	その-人	王に	に	そして-言った	
	H1819		H3615		H0376	H4428	H0413	H0559	

יִשְׂרָאֵל׃	גְּבֻל	בְּכָל־	מֵהִתְיַצֵּב	נִשְׁמַדְנוּ
イスラエル	の-領域に	すべての	立つ-ことなく	絶やされた
H3478	H1366	H3605	H3320	H8045

かれらは王に言った、「われわれを滅ぼした人、われわれを滅ぼしてイスラエルの領域のどこにもおらせないようにと、たくらんだ人、

6 [ינתן־](H5414) — (יִתֶּן־)(H5414) 引き渡されよ　לָנוּ(H7651) 私たちに　שִׁבְעָה(H7651) 七人の　אֲנָשִׁים(H0376) 男たちを　מִבָּנָיו 彼の–息子たちから　וְהוֹקַעֲנוּם(H3363) さらし者と–しよう

לַיהוָה(H3068) 主の–前に　בְּגִבְעַת(H1390) の–ギブアで　שָׁאוּל(H7586) サウル　בְּחִיר(H0972) 選ばれた–者　יְהוָה(H3068) 主の　ס —　וַיֹּאמֶר(H0559) そして–言った　הַמֶּלֶךְ(H4428) 王は　אֲנִי(H0589) 私が　אֶתֵּן׃(H5414) 引き渡す

その人の子孫七人を引き渡してください。われわれは主の山にあるギベオンで、彼らを主の前に木にかけましょう」。王は言った、「引き渡しましょう」。

7 וַיַּחְמֹל(H2550) しかし–惜しんだ　הַמֶּלֶךְ(H4428) 王は　עַל־(H5921) に–ついて　מְפִי־(H4648) メフィ　בֶּן־(H1121) の–子　יְהוֹנָתָן(H3083) ヨナタン　בֶּן־(H1121) の–子　שָׁאוּל(H7586) サウル

שְׁבֻעַת(H7621) の–ゆえに　יְהוָה(H3068) 主の　אֲשֶׁר(H0834) あった　בֵּינֹתָם 彼らの–間に　בֵּין(H0996) の–間　דָּוִד(H1732) ダビデ　וּבֵין(H0996) との–間　יְהוֹנָתָן(H3083) ヨナタン　בֶּן־(H1121) の–子　שָׁאוּל׃(H7586) サウル

しかし王はサウルの子ヨナタンの子であるメピボセテを惜しんだ。彼らの間、すなわちダビデとサウルの子ヨナタンとの間に、主をさして立てた誓いがあったからである。

8 וַיִּקַּח(H3947) そして–取った　הַמֶּלֶךְ(H4428) 王は　אֶת־(H853) を　שְׁנֵי(H8147) 二人の　בְנֵי 息子たち　רִצְפָּה(H7532) リツパ　בַּת־(H1323) の–娘　אַיָּה(H0345) アヤ　אֲשֶׁר(H0834) が　יָלְדָה(H3205) 産んだ　לְשָׁאוּל(H7586) サウルに

אַרְמֹנִי(H0763) アルモニ　וְאֶת־(H0853) と　מְפִבֹּשֶׁת(H4648) メフィボシェテ　וְאֶת־(H0853) そして　חֲמִשֶּׁת(H2568) 五人の　בְּנֵי 息子たち　מִיכַל(H4324) ミカル　בַּת־(H1323) の–娘　שָׁאוּל(H7586) サウル　אֲשֶׁר が　אֶת־(H853) すなわち

יָלְדָה(H3205) 産んだ　לְעַדְרִיאֵל(H5741) アデリエルに　בֶּן־(H1121) の–子　בַּרְזִלַּי(H1271) バルジライ　הַמְּחֹלָתִי׃(H4259) メホラ人

王はアヤの娘リヅパがサウルに産んだふたりの子アルモニとメピボセテ、およびサウルの娘メラブがメホラびとバルジライの子アデリエルに産んだ五人の子を取って、

9 וַיִּתְּנֵם(H5414) そして–渡した　בְּיַד(H3027) の–手に　הַגִּבְעֹנִים(H1393) ギブオン人たち　וַיְקִיעֵם(H3363) さらし者と–した　בָּהָר(H2022) 山の–上で　לִפְנֵי(H6440) の–前に　יְהוָה(H3068) 主　וַיִּפְּלוּ(H5307) そして–倒れた

[שבעתים](H7651) — (שִׁבְעָתָם)(H7651) 七人は　יָחַד 共に　[והם](H1992) — (וְהֵמָּה)(H1992) 彼らは　הֻמְתוּ(H4191) 殺された　בִּימֵי(H3117) の–日々に　קָצִיר(H7105) 刈り入れ　בָּרִאשֹׁנִים(H7223) 最初の　[תחלת](H8462) —

(בְּתְחִלַּת)(H8462) 初めに　קְצִיר 刈り入れ　שְׂעֹרִים׃(H8184) 大麦の

彼らをギベオンびとの手に引き渡したので、ギベオンびとは彼らを山で主の前に木にかけた。彼ら七人は共に倒れた。彼らは刈入れの初めの日、すなわち大麦刈りの初めに殺された。

10

אֶל־	לָהּ	וַתַּטֵּהוּ	הַשָּׂק	אֶת־	אַיָּה	בַת־	רִצְפָּהּ	וַתִּקַּח	
の–上に	自分の–ために	広げた–それを	粗布を	を	アヤ	の–娘	リツパは	そして–取った	
H0413		H5186	H8242	H0853	H0345	H1323	H7532	H3947	

וְלֹא־	הַשָּׁמַיִם	מִן־	עֲלֵיהֶם	מַיִם	נִתַּךְ־	עַד	קָצִיר	מִתְּחִלַּת	הַצּוּר׃
許さ–なかった	天	から	彼らの–上に	水が	注がれる	まで	刈り入れ	の–初めから	岩
H3808	H8064			H4325	H5413	H5704		H8462	H6697

לָיְלָה׃	הַשָּׂדֶה	חַיַּת	וְאֶת־	יוֹמָם	עֲלֵיהֶם	לָנוּחַ	הַשָּׁמַיִם	עוֹף	נָתָנָה
夜も	野	の–獣が	また	昼も	彼らの–上に	休むことを	天の	空の–鳥が	留まることを
H3915			H0853	H3119		H5117	H8064	H5775	H5414

アヤの娘リツパは荒布をとって、それを自分のために岩の上に敷き、刈入れの初めから、その人々の死体の上に天から雨が降るまで、昼は空の鳥が死体の上にこないようにし、夜は野の獣を近寄らせなかった。

11

שָׁאוּל׃	פִּלֶגֶשׁ	אַיָּה	בַת־	רִצְפָּה	עָשְׂתָה	אֲשֶׁר־	אֵת	לְדָוִד	וַיֻּגַּד
サウルの	側室	アヤ	の–娘	リツパが	行った	の–こと	を	ダビデに	そして–告げられた
H7586	H6370	H0345	H1323	H7532			H0853	H1732	H5046

アヤの娘でサウルのめかけであったリツパのしたことがダビデに聞えたので、

12

יְהוֹנָתָן	עַצְמוֹת	וְאֶת־	שָׁאוּל	עַצְמוֹת	אֶת־	וַיִּקַּח	דָּוִד	וַיֵּלֶךְ	
ヨナタン	骨を	そして	サウルの	骨	を	そして–取った	ダビデは	そして–行った	
H3083	H6106	H0853	H7586	H6106	H0853	H3947	H1732	H3212	

מֵרְחַב	אֹתָם	גָּנְבוּ	אֲשֶׁר	גִּלְעָד	יָבֵישׁ	בַּעֲלֵי	מֵאֵת	בְּנוֹ	
の–広場から	それらを	盗んだ	は	ギルアデ	ヤベシュ	の–長老たち	から	その–子の	
H7339	H0853	H1589		H1568	H3003	H1167	H0854		

בְּיוֹם	(פְּלִשְׁתִּים	(שָׁמָּה	הפלשתים]	[שם	(תְּלָאוּם	[תלום	אֲשֶׁר	בֵּית־שָׁן	
の–日に	ペリシテ人が	そこに	—	—	掛けた	—	そこに	ベテ・シャン	
H3117	H6430	H8033	H6430	H8033	H8518	H8518		H1052	

בַּגִּלְבֹּעַ׃	שָׁאוּל	אֶת־	פְּלִשְׁתִּים	הַכּוֹת
ギルボアで	サウルを	を	ペリシテ人が	打った
H1533	H7586	H0853	H6430	H5221

ダビデは行ってサウルの骨とその子ヨナタンの骨を、ヤベシギレアデの人々の所から取ってきた。これはペリシテびとがサウルをギルボアで殺した日に、木にかけたベテシャンの広場から、彼らが盗んでいたものである。

13

בְּנוֹ	יְהוֹנָתָן	עַצְמוֹת	וְאֶת־	שָׁאוּל	עַצְמוֹת	אֶת־	מִשָּׁם	וַיַּעַל	
その–子の	ヨナタン	骨を	そして	サウルの	骨	を	そこから	そして–運んだ	
	H3083	H6106	H0853	H7586	H6106	H0853	H8033	H5927	

הַמּוּקָעִים׃	עַצְמוֹת	אֶת־	וַיַּאַסְפוּ
さらし者の	骨	を	そして–集めた
H3363	H6106	H0853	H0622

ダビデはそこからサウルの骨と、その子ヨナタンの骨を携えて上った。また人々はそのかけられた者どもの骨を集めた。

14

בְּצֵלַע	בִּנְיָמִן	בְּאֶרֶץ	בְּנוֹ	וִיהוֹנָתָן־	שָׁאוּל	עַצְמוֹת־	אֶת־	וַיִּקְבְּרוּ	
ツェラに	ベニヤミン	の–地に	その–子の	とヨナタン	サウル	骨を	を	そして–葬った	
H6762	H1144	H0776		H3083	H7586	H6106	H0853	H6912	

הַמֶּלֶךְ	צִוָּה	אֲשֶׁר־	כֹּל	וַיַּעֲשׂוּ	אָבִיו	קִישׁ	בְּקֶבֶר	
王が	命じた	の–とおり	すべてを	そして–行った	その–父の	キシュ	の–墓に	
H4428	H6680		H3605		H0001	H7027	H6913	

פ	כֵּן׃	אַחֲרֵי־	לָאָרֶץ	אֱלֹהִים	וַיֵּעָתֶר	
—	そのこと	の–後	地の–ために	神は	そして–聞き入れられた	
			H0776	H0430	H6279	

こうして彼らはサウルとその子ヨナタンの骨を、ベニヤミンの地のゼラにあるその父キシの墓に葬り、すべて王の命じたようにした。この後、神はその地のために、祈を聞かれた。

15

דָּוִד	וַיֵּרֶד	יִשְׂרָאֵל	אֶת־	לַפְּלִשְׁתִּים	מִלְחָמָה	עוֹד	וַתְּהִי־	
ダビデは	そして–下った	イスラエル	に–対して	ペリシテ人との	戦いが	さらに	そして–あった	
H1732	H3381	H3478	H0854	H6430	H4421	H5750	H1961	

דָּוִד׃	וַיָּעַף	פְּלִשְׁתִּים	אֶת־	וַיִּלָּחֲמוּ	עִמּוֹ	וַעֲבָדָיו	
ダビデは	そして–疲れた	ペリシテ人	と	そして–戦った	彼と–共に	と–しもべたちが	
H1732		H6430	H0854			H5650	

ペリシテびとはまたイスラエルと戦争をした。ダビデはその家来たちと共に下ってペリシテびとと戦ったが、ダビデは疲れていた。

16

שְׁלֹשׁ	קִינוֹ	וּמִשְׁקַל	הָרָפָה	בִּילִדֵי	וְאֲשֶׁר	(בְּנֹב)וְיִשְׁבִי	בְּנֹב]וישבו[
三百	その–槍の	そして–重さは	ラファ	の–子孫の	であった	—	イシュビ・ベノブは
H7969	H7013	H4948		H3211		H3430	H3430

אֶת־	לְהַכּוֹת	וַיֹּאמֶר	חֲדָשָׁה	חָגוּר	וְהוּא	נְחֹשֶׁת	מִשְׁקַל	מְאוֹת
を	打つ–ことを	そして–企てた	新しい–武具を	帯びていた	彼は	青銅の	重さ	百
H0853	H5221	H0559	H2319	H2296	H1931		H4948	H3967

דָּוִד׃
ダビデを
H1732

時にイシビベノブはダビデを殺そうと思った。イシビベノブは巨人の子孫で、そのやりは青銅で重さ三百シケルあり、彼は新しいつるぎを帯びていた。

17

הַפְּלִשְׁתִּי	אֶת־	וַיַּךְ	צְרוּיָה	בֶּן־	אֲבִישַׁי	לוֹ	וַיַּעְזֹר־	
ペリシテ人を	を	そして–打った	ツェルヤ	の–子	アビシャイが	彼を	しかし–助けた	
H6430	H0853	H5221	H6870		H0052		H5826	

עוֹד	תֵּצֵא	לֹא־	לֵאמֹר	לוֹ	דָּוִד	אַנְשֵׁי־	נִשְׁבְּעוּ	אָז	וַיְמִיתֵהוּ
二度と	出ては–ならない	もう	言って	彼に	ダビデ	の–部下たちは	誓った	その–時	殺した–彼を
H5750	H3318	H3808	H0559		H1732	H0376	H7650		H4191

פ	יִשְׂרָאֵל׃	נֵר	אֶת־	תְּכַבֶּה	וְלֹא	לַמִּלְחָמָה	אִתָּנוּ	
—	イスラエルの	ともしび	を	ために	消しては–ならない	戦いに	私たちと–共に	
	H3478		H0853	H3518	H3808	H4421	H0854	

しかしゼルヤの子アビシャイはダビデを助けて、そのペリシテびとを撃ち殺した。そこでダビデの従者たちは彼に誓って言った、「あなたはわれわれと共に、重ねて戦争に出てはなりません。さもないと、あなたはイスラエルのともし火を消すでしょう」。

18

פְּלִשְׁתִּים	עִם־	בְּגֹב	הַמִּלְחָמָה	עוֹד	וַתְּהִי־	כֵּן	אַחֲרֵי־	וַיְהִי	
ペリシテ人	と	ゴブで	戦いが	さらに	そして–あった	に	その–後	そして–あった	
H6430		H1359	H4421	H5750	H1961			H1961	

פ	הָרָפָה׃	בִּילִדֵי	אֲשֶׁר	סַּף	אֶת־	הַחֻשָׁתִי	סִבְכַי	הִכָּה	אָז
—	ラファ	の–子孫	であった	サフを	を	フシャ人	シベカイが	打った	その–時
		H3211		H5593	H0853	H2843	H5444	H5221	

この後、再びゴブでペリシテびととの戦いがあった。時にホシャびとシベカイは巨人の子孫のひとりサフを殺した。

19 וַתְּהִי־ עוֹד הַמִּלְחָמָה בְּגֹב עִם־ פְּלִשְׁתִּים וַיַּךְ אֶלְחָנָן בֶּן־
そして-あった さらに 戦いが ゴブで と ペリシテ人 そして-打った エルハナンが の-子
H1961 H5750 H4421 H1359 H6430 H5221 H0445

יַעְרֵי אֹרְגִים בֵּית הַלַּחְמִי אֵת גָּלְיָת הַגִּתִּי וְעֵץ חֲנִיתוֹ כִּמְנוֹר
オレギム ヤアレ ベツレヘム人 を ゴリアテ ガテ人 の-柄は その-槍 機織りの-杼の-ように
H3296 H3296 H1022 H0853 H1555 H1663 H6086 H2595 H4500

אֹרְגִים׃ ס
織り手の —
H0707

ここにまたゴブで、ペリシテびととの戦いがあったが、そこではベツレヘムびとヤレオレギムの子エルハナンは、ガテびとゴリアテを殺した。そのやりの柄は機の巻棒のようであった。

20 וַתְּהִי־ עוֹד מִלְחָמָה בְּגַת וַיְהִי אִישׁ [מדין] (מָדוֹן) וְאֶצְבְּעֹת
そして-あった さらに 戦いが ガテで そして-いた 男が — 争い好きの の-指は
H1961 H5750 H4421 H1661 H1961 H0376 H4055 H4055 H0676

יָדָיו וְאֶצְבַּע רַגְלָיו שֵׁשׁ שֵׁשׁ וְשֵׁשׁ עֶשְׂרִים וְאַרְבַּע מִסְפָּר וְגַם־ הוּא יֻלַּד
その-手 の-指と その-足 六本 六本 ずつ-六本 二十 四本 合わせて また 彼も 生まれた
H3027 H0676 H7272 H8337 H8337 H8337 H6242 H0702 H4557 H1571 H1931 H3205

לְהָרָפָה׃
ラファの-子

またガテで再び戦いがあったが、そこにひとりの背の高い人があり、その手の指と足の指は六本ずつで、その数は合わせて二十四本であった。彼もまた巨人から生れた者であった。

21 וַיְחָרֵף אֶת־ יִשְׂרָאֵל וַיַּכֵּהוּ יְהוֹנָתָן בֶּן־ [שמעי] (שִׁמְעָה)
そして-ののしった を イスラエルを そして-打った-彼を ヨナタンが の-子 — シムアの
H2778 H0853 H3478 H5221 H3083 H1121 H8096 H8093

אֲחִי דָוִד׃
兄弟 ダビデの
H0251 H1732

彼はイスラエルをののしったので、ダビデの兄弟シメアの子ヨナタンが彼を殺した。

22 אֵת־ אַרְבָּעָת אֵלֶּה יֻלְּדוּ לְהָרָפָה בְּגַת וַיִּפְּלוּ בְיַד־
を 四人の これらは 生まれた ラファの-子孫に ガテで そして-倒れた の-手に-よって
H0853 H0702 H0428 H3205 H7497 H1661 H5307 H3027

דָּוִד וּבְיַד עֲבָדָיו׃ פ
ダビデ の-手に-よって その-しもべたち —
H1732 H3027 H5650

これらの四人はガテで巨人から生れた者であったが、ダビデの手とその家来たちの手に倒れた。

Chapter 22

1 וַיְדַבֵּר דָּוִד לַיהוָה אֶת־ דִּבְרֵי הַשִּׁירָה הַזֹּאת בְּיוֹם הִצִּיל יְהוָה
そして-語った ダビデは 主に を の-言葉 この-歌の この-日に 救った 主が
H1696 H1732 H3068 H0853 H1697 H7892 H2063 H3117 H5337 H3068

אֹתוֹ מִכַּף כָּל־ אֹיְבָיו וּמִכַּף שָׁאוּל׃
彼を の-手から すべての 敵たち の-手からも サウル
H0853 H3709 H3605 H0341 H3709 H7586

ダビデは主がもろもろの敵の手とサウルの手から、自分を救い出された日に、この歌の言葉を主に向かって述べ、

2 וַיֹּאמַר יְהוָה סַלְעִי וּמְצָדָתִי וּמְפַלְטִי־לִי׃
そして-言った 主は 私の-岩 私の-要塞 私の-救い主 私の
H0559 H3068 H5553 H6403

彼は言った、「主はわが岩、わが城、わたしを救う者、

3 אֱלֹהֵי צוּרִי אֶחֱסֶה־בּוֹ מָגִנִּי וְקֶרֶן יִשְׁעִי מִשְׂגַּבִּי וּמְנוֹסִי
の-神 私の-岩 身を-避ける その-中に 私の-盾 そして-角は 私の-救い 私の-砂寨 私の-逃れ場
H0430 H6697 H2620 H0413 H4043 H3468 H4869 H4498

מֹשִׁיעִי מֵחָמָס תּוֹשִׁיעֵנִי׃
私の-救い主 暴力から 救ってくださる
H3467 H2555 H3467

わが神、わが岩。わたしは彼に寄り頼む。わが盾、わが救の角、わが高きやぐら、わが避け所、わが救主。あなたはわたしを暴虐から救われる。

4 מְהֻלָּל אֶקְרָא יְהוָה וּמֵאֹיְבַי אִוָּשֵׁעַ׃
ほめたたえられる 呼ぶ 主を 敵から 救われる
H7121 H3068 H0341 H3467

わたしは、ほめまつるべき主に呼ばわって、わたしの敵から救われる。

5 כִּי אָפָפֻנִי מִשְׁבְּרֵי־מָוֶת נַחֲלֵי בְלִיָּעַל יְבַעֲתֻנִי׃
なぜなら 囲んだ 波が-死の 死 の-流れが 破滅の おびやかした
H0661 H4867 H4194 H5158 H1100 H1204

死の波はわたしをとりまき、滅びの大水はわたしを襲った。

6 חֶבְלֵי שְׁאוֹל סַבֻּנִי קִדְּמֻנִי מֹקְשֵׁי־מָוֶת׃
の-網が 陰府の 取り囲んだ 立ちはだかった の-わなが 死
H2256 H7585 H5437 H6923 H4170 H4194

陰府の綱はわたしをとりかこみ、死のわなはわたしに、たち向かった。

7 בַּצַּר־לִי אֶקְרָא יְהוָה וְאֶל־אֱלֹהַי אֶקְרָא וַיִּשְׁמַע מֵהֵיכָלוֹ קוֹלִי
苦しみの-中で 私に 呼ぶ 主を に 呼ぶ 私の-神に 聞かれた その-宮から 私の-声を
H6862 H0589 H7121 H3068 H0413 H7121 H0430 H8085 H1964 H6963

וְשַׁוְעָתִי בְּאָזְנָיו׃
私の-叫び その-耳に
H7775 H0241

苦難のうちにわたしは主を呼び、またわが神に呼ばわった。主がその宮からわたしの声を聞かれて、わたしの叫びはその耳にとどいた。

8 וַתִּגְעַשׁ וַתִּרְעַשׁ הָאָרֶץ מוֹסְדוֹת הַשָּׁמַיִם יִרְגָּזוּ וַיִּתְגָּעֲשׁוּ כִּי־חָרָה לוֹ׃
— 揺れ動いた 地は の-土台は 天 震えた 揺れ動いた なぜなら 主が 怒りを-燃やした
H1607 H7493 H0776 H4146 H8064 H7264 H1607 H2734

その時地は震いうごき、天の基はゆるぎふるえた。彼が怒られたからである。

9 עָלָה עָשָׁן בְּאַפּוֹ וְאֵשׁ מִפִּיו תֹּאכֵל גֶּחָלִים בָּעֲרוּ
上った 煙が その-鼻から そして-火が その-口から 食い尽くした 燃える-炭が 燃えた
H5927 H6227 H0639 H0784 H6310 H0398 H1513

מִמֶּנּוּ׃
そこから

煙はその鼻からたち上り、火はその口から出て焼きつくし、白熱の炭は彼から燃え出た。

10 וַיֵּט שָׁמַיִם וַיֵּרֶד וַעֲרָפֶל תַּחַת רַגְלָיו׃
傾けた 天を 降りた 濃い-雲が の-下に その-足
H5186 H8064 H3381 H6205 H8478 H7272

彼は天を低くして下られ、暗やみが彼の足の下にあった。

11 וַיִּרְכַּב עַל־ כְּרוּב וַיָּעָף וַיֵּרָא עַל־ כַּנְפֵי־ רוּחַ׃
乗った に ケルブに 飛んだ 現れた の-上に 翼に 風
H7392 H3742 H5774 H7200 H5921 H3671 H7307

彼はケルブに乗って飛び、風の翼に乗ってあらわれた。

12 וַיָּשֶׁת חֶשְׁכָּה סְבִיבֹתָיו סְכֹּת חֲשַׁרַת־ מַיִם עָבֵי שְׁחָקִים׃
置いた 闇を 四方に 仮庵として 濃い 水の 厚い 雲を
H7896 H2822 H5439 H5521 H2841 H4325 H5645 H7834

彼はその周囲に幕屋として、やみと濃き雲と水の集まりとを置かれた。

13 מִנֹּגַהּ נֶגְדּוֹ בָּעֲרוּ גַּחֲלֵי־ אֵשׁ׃
輝きから 御前の 燃えた の-炭が 火
H5051 H5048 H1513 H0784

そのみ前の輝きから炭火が燃え出た。

14 יַרְעֵם מִן־ שָׁמַיִם יְהוָה וְעֶלְיוֹן יִתֵּן קוֹלוֹ׃
雷鳴らした から 天から 主は いと-高き-方は 発した その-声を
H7481 H4480 H8064 H3068 H5945 H5414 H6963

主は天から雷をとどろかせ、いと高き者は声を出された。

15 וַיִּשְׁלַח חִצִּים וַיְפִיצֵם בָּרָק וַיהמם[—H2000]וַיָּהָם׃(
放った 矢を 散らした-彼らを 稲光で —H2000 かき乱した H2000
H7971 H2671 H6327 H1300

彼はまた矢を放って彼らを散らし、いなずまを放って彼らを撃ち破られた。

16 וַיֵּרָאוּ אֲפִקֵּי יָם נִגְלוּ מוֹסְדוֹת תֵּבֵל בִּגַּעֲרַת יְהוָה
現れた の-水路が 海 あらわに-なった の-土台が 世界 の-叱責に-より 主
H7200 H0650 H3220 H1540 H4146 H8398 H1606 H3068

מִנִּשְׁמַת רוּחַ אַפּוֹ׃
の-息吹きに-より の-息 その-鼻
H5397 H7307 H0639

主のとがめと、その鼻のいぶきとによって、海の底はあらわれ、世界の基が、あらわになった。

17 יִשְׁלַח מִמָּרוֹם יִקָּחֵנִי יַמְשֵׁנִי מִמַּיִם רַבִּים׃
伸ばした 高き-ところから 取り-上げた 引き-上げた から 大水
H7971 H4791 H3947 H4871 H4325 H7227

彼は高き所から手を伸べてわたしを捕え、大水の中からわたしを引き上げ、

מִמָּנִי׃	אָמְצוּ	כִּי	מִשַּׂנְאַי	עָז	מֵאֹיְבִי	יַצִּילֵנִי	18
私よりも	強かった	なぜなら	恨む–者から	強い	敵から	救った	
	H0553		H8130	H5794	H0341	H5337	

わたしの強い敵と、わたしを憎む者とからわたしを救われた。彼らはわたしにとって、あまりにも強かったからだ。

לִי׃	מִשָּׁעָן	יְהוָה	וַיְהִי	אֵידִי	בְּיוֹם	יְקַדְּמֻנִי	19
私に	支えと–なり	主が	しかし–あった	私の–災い	の–日に	立ちはだかった	
		H3068	H1961	H0343	H3117	H6923	

彼らはわたしの災の日にわたしに、たち向かった。しかし主はわたしの支柱となられた。

בִּי׃	חָפֵץ	כִּי־	יְחַלְּצֵנִי	אֹתִי	לַמֶּרְחָב	וַיֹּצִא	20
私を	喜んだ	なぜなら	助け–出した	私を	広い–所に	導き–出した	
				H0853	H4800	H3318	

彼はまたわたしを広い所へ引きだされ、わたしを喜ばれて、救ってくださった。

לִי׃	יָשִׁיב	יָדַי	כְּבֹר	כְּצִדְקָתִי	יְהוָה	וַיִּגְמְלֵנִי	21
私に	報いた	私の–手	の–清さに–応じて	私の–義に–応じて	主は	報いた	
	H7725	H3027	H1252	H6666	H3068	H1580	

主はわたしの義にしたがってわたしに報い、わたしの手の清きにしたがってわたしに報いかえされた。

מֵאֱלֹהָי׃	רָשָׁעְתִּי	וְלֹא	יְהוָה	דַּרְכֵי	שָׁמַרְתִּי	כִּי	22
私の–神に	背いた–ことは	そして–ない	主	の–道を	守った	なぜなら	
H0430	H7561	H3808	H3068	H1870	H8104		

それは、わたしが主の道を守り、悪を行わず、わが神から離れたことがないからである。

אָסוּר	לֹא־	וְחֻקֹּתָיו	לְנֶגְדִּי	מִשְׁפָּטָיו)	[משפטו	כָּל־	כִּי	23
退いた–ことは	私は–ない	その–掠も	私の–前に	の–定めは	—	すべての	なぜなら	
H5493	H3808	H2708	H5048	H4941	H4941	H3605		

מִמֶּנָּה׃
それから

そのすべてのおきてはわたしの前にあって、わたしはその、み定めを離れたことがない。

מֵעֲוֹנִי׃	וָאֶשְׁתַּמְּרָה	לוֹ	תָּמִים	וָאֱהִי	24
私の–罪から	そして–守った	主に–対して	全き–者で	そして–あった	
H5771	H8104		H8549	H1961	

わたしは主の前に欠けた所なく、自らを守って罪を犯さなかった。

עֵינָיו׃	לְנֶגֶד	כְּבֹרִי	כְּצִדְקָתִי	לִי	יְהוָה	וַיָּשֶׁב	25
その–目	の–前に	私の–清さに–応じて	私の–義に–応じて	私に	主は	そして–報いた	
	H5048	H1252	H6666		H3068	H7725	

それゆえ、主はわたしの義にしたがい、その目のまえにわたしの清きにしたがって、わたしに報いられた。

תִּתַּמָּם׃	תָּמִים	גִּבּוֹר	עִם־	תִּתְחַסָּד	חָסִיד	עִם־	26
全きに–ふるまい	全き	強い–者には	と–共に	忠実に–ふるまい	忠実な–者には	と–共に	
H8552	H8549	H1368			H2623		

忠実な者には、あなたは忠実な者となり、欠けた所のない人には、あなたは欠けた所のない者となり、

תִּתַּפָּל׃	עִקֵּשׁ	וְעִם־	תִּתָּבָר	נָבָר	עִם־	27
ひねくれて–ふるまう	曲がった–者には	と–共に	清く–ふるまい	清い–者には	と–共に	
H6617	H6141		H1305	H1305		

清い者には、あなたは清い者となり、まがった者には、かたいぢな者となられる。

28 וְאֶת־עַם עָנִי תּוֹשִׁיעַ וְעֵינֶיךָ עַל־רָמִים תַּשְׁפִּיל׃
そして の-民を 苦しむ 救う しかし-あなたの-目は に-向かい 高ぶる-者を 低くする
H0853 H6041 H3467 H8213

あなたはへりくだる民を救われる、しかしあなたの目は高ぶる者を見てこれをひくくせられる。

29 כִּי־אַתָּה יְהוָה נִירִי וַיהוָה יַגִּיהַ חָשְׁכִּי׃
まことに あなたは 私の-ともしび 主よ 主は 照らす 私の-闇を
H3068 H3068 H5050 H2822

まことに、主よ、あなたはわたしのともし火、わが神はわたしのやみを照される。

30 כִּי בְךָ אָרוּץ גְּדוּד בֵּאלֹהַי אֲדַלֶּג־שׁוּר׃
まことに あなたに-より 突き-進む 軍勢に 私の-神に-より 越える 城壁を
H1416 H7323 H0430 H1801

まことに、あなたによってわたしは敵軍をふみ滅ぼし、わが神によって石がきをとび越えることができる。

31 הָאֵל תָּמִים דַּרְכּוֹ אִמְרַת יְהוָה צְרוּפָה מָגֵן הוּא לְכֹל
神は 全き-方 その-道は の-言葉は 主 精第されている 盾で-ある 主は すべての
H0410 H8549 H1870 H3068 H6884 H4043 H1931 H3605

הַחֹסִים בּוֹ׃
身を-避ける-者に その-中に
H2620

この神こそ、その道は非のうちどころなく、主の約束は真実である。彼はすべて彼に寄り頼む者の盾である。

32 כִּי מִי־אֱלוֹהַּ מִבַּלְעֲדֵי יְהוָה וּמִי צוּר מִבַּלְעֲדֵי אֱלֹהֵינוּ׃
まことに 誰が-神か の-ほかに 主 また-誰が 岩か の-ほかに 神か 私たちの-神
H4310 H1107 H3068 H4310 H6697 H1107 H0410 H0430

主のほかに、だれが神か、われらの神のほか、だれが岩であるか。

33 הָאֵל מָעוּזִּי חָיִל וַיִּתֵּר תָּמִים דַּרְכִּי׃(דרכו[—
神は 私の-砦 力 完全に-した 全き-ものと 私の-道を
H0410 H4581 H2428 H8549 H1870 H1870

この神こそわたしの堅固な避け所であり、わたしの道を安全にされた。

34 מְשַׁוֶּה(רגליו[—
等しく-する
H7272

רַגְלַי(רגלי[私の-足を
H7272

כָּאַיָּלוֹת 鹿の-ように
H0355

וְעַל の-上に
H5975

בָּמוֹתַי 高き-所に
H1116

יַעֲמִדֵנִי׃ 立たせる
H5975

わたしの足をめじかの足のようにして、わたしを高い所に安全に立たせ、

35 מְלַמֵּד יָדַי לַמִּלְחָמָה וְנִחֲתָה קֶשֶׁת־נְחוּשָׁה זְרֹעֹתָי׃
訓練する 私の-手を 戦いの-ために 引き-絞る 弓を 青銅の 私の-腕が
H3925 H3027 H4421 H5181 H7198 H5154 H2220

わたしの手を戦いに慣らされたので、わたしの腕は青銅の弓を引くことができる。

36 וַתִּתֶּן־לִי מָגֵן יִשְׁעֶךָ וְעַנְוָתְךָ תַּרְבֵּנִי׃
くださった 私に 盾を あなたの-救いの あなたの-へりくだりが 大きく-した
H5414 H4043 H3468

あなたはその救の盾をわたしに与え、あなたの助けは、わたしを大いなる者とされた。

37 תַּרְחִיב צַעֲדִי תַחְתָּנִי וְלֹא עָדְרוּ קַרְסֻלָּי׃
広く-した 私の-歩みを 私の-下で そして-ない よろめいた-ことは 私の-くるぶしは
H7337 H6806 H8478 H3808 H4571 H7166

あなたはわたしが歩く広い場所を与えられたので、わたしの足はすべらなかった。

אֶרְדְּפָה	אֹיְבַי	וָאַשְׁמִידֵם	וְלֹא	אָשׁוּב	עַד־	כַּלּוֹתָם׃	38
追う	敵を	滅ぼす	そして-ない	引き-返す	まで	絶えること	
H7291	H0341	H8045	H3808	H7725	H5704	H3615	

わたしは敵を追って、これを滅ぼし、これを絶やすまでは帰らなかった。

וָאֲכַלֵּם	וָאֶמְחָצֵם	וְלֹא	יְקוּמוּן	וַיִּפְּלוּ	תָּחַת	רַגְלָי׃	39
滅ぼした	打ち-砕いた	立ち-上がれ-ない	彼らは	倒れた	の-下に	私の-足	
H0398	H4272	H3808		H5307	H8478	H7272	

わたしは彼らを絶やし、彼らを砕いたので彼らは立つことができず、わたしの足もとに倒れた。

וַתְּזַרֵנִי	חַיִל	לַמִּלְחָמָה	תַּכְרִיעַ	קָמַי	תַּחְתָּנִי׃	40
帯びた	力を	戦いの-ために	屈させた	立ち-上がる-者を	私の-下に	
H0247	H2428	H4421	H3766		H8478	

あなたは戦いのために、わたしに力を帯びさせわたしを攻める者をわたしの下にかがませられた。

וְאֹיְבַי	תָּתָּה	לִי	עֹרֶף	מְשַׂנְאַי	וָאַצְמִיתֵם׃	41
敵を	与えた	私に	背を	恨む-者を	絶やした	
H0341	H5414		H6203	H8130	H6789	

あなたによって、敵はそのうしろをわたしに向けたので、わたしを憎む者をわたしは滅ぼした。

יִשְׁעוּ	וְאֵין	מוֹשִׁיעַ	אֶל־	יְהוָה	וְלֹא	עָנָם׃	42
叫んだ	しかし-ない	救う-者は	に	主に	しかし-ない	答えた	
H8159	H0369	H3467	H0413	H3068	H3808		

彼らは見まわしたが、救う者はいなかった。彼らは主に叫んだが、彼らには答えられなかった。

וְאֶשְׁחָקֵם	כַּעֲפַר־	אֶרֶץ	כְּטִיט־	חוּצוֹת	אֲדַקָּם	אֲרִקֵּעֵם׃	43
砕いた	の-塵の-ように	地	の-泥の-ように	巾の	踏み-つぶした	潰した	
H7833		H0776	H2916	H2351	H1854	H7554	

わたしは彼らを地のちりのように細かに打ちくだき、ちまたのどろのように、踏みにじった。

וַתְּפַלְּטֵנִי	מֵרִיבֵי	עַמִּי	תִּשְׁמְרֵנִי	לְרֹאשׁ	גּוֹיִם	עַם	לֹא־	יָדַעְתִּי	44
救った	の-争いから	私の-民	守った	かしらと-して	諸国民の	の-民が	知ら-ない	私が	
H6403	H7379		H8104				H3808	H3045	

יַעַבְדֵנִי׃
仕える
H5647

あなたはわたしを国々の民との争いから救い出し、わたしをもろもろの国民のかしらとされた。わたしの知らなかった民がわたしに仕えた。

בְּנֵי	נֵכָר	יִתְכַּחֲשׁוּ־	לִי	לִשְׁמוֹעַ	אֹזֶן	יִשְׁמְעוּ	לִי׃	45
の-子らは	異国	へつらう	私に	聞く-やいなや	耳で	従う	私に	
	H5236	H3584		H8085	H0241	H8085		

異国の人たちはきてわたしにこび、わたしの事を聞くとすぐわたしに従った。

בְּנֵי	נֵכָר	יִבֹּלוּ	וַיַּחְגְּרוּ	מִמִּסְגְּרוֹתָם׃	46
の-子らは	異国	衰える	震え-出る	その-砦から	
	H5236		H2296	H4526	

異国の人たちは、うちしおれてその城からふるえながら出てきた。

47 חַי־ יְהוָה וּבָרוּךְ צוּרִי וְיָרֹם אֱלֹהֵי צוּר יִשְׁעִי׃
生きて–おられる 主は ほめたたえられよ 私の–岩 あがめられよ の–神 の–岩 私の–救い
H2416 H3068 H1288 H6697 H7311 H0430 H6697 H3468

主は生きておられる。わが岩はほむべきかな。わが神、わが救の岩はあがむべきかな。

48 הָאֵל הַנֹּתֵן נְקָמוֹת לִי וּמוֹרִיד עַמִּים תַּחְתָּנִי׃
神は 与える–方 復讐を 私に 下し–置く 諸国民を 私の–下に
H0410 H5414 H5360 H0369 H3381 H5971 H8478

この神はわたしのために、あだを報い、もろもろの民をわたしの下に置かれた。

49 וּמוֹצִיאִי מֵאֹיְבָי תְּרוֹמְמֵנִי מִקָּמַי מֵאִישׁ חֲמָסִים תַּצִּילֵנִי׃
導き–出す–方 敵から 立ち–上がる–者からも 高めた から 暴力の–人 救った
H3318 H0341 H6965 H7311 H0376 H2555 H5337

またわたしを敵から救い出し、あだの上にわたしをあげ、暴虐の人々からわたしを救い出された。

50 עַל־ כֵּן אוֹדְךָ יְהוָה בַּגּוֹיִם וּלְשִׁמְךָ אֲזַמֵּר׃
それ–ゆえに そのとおり 感謝する 主よ 諸国民の–中で そして–御名に ほめ歌う
H3068 H3034 H8034 H2167

それゆえ、主よ、わたしはもろもろの国民の中で、あなたをたたえ、あなたの、み名をほめ歌うであろう。

51 [מגדיל](מִגְדּוֹל) יְשׁוּעוֹת מַלְכּוֹ וְעֹשֶׂה־ חֶסֶד לִמְשִׁיחוֹ לְדָוִד
— 大いなる 救いを その–王に 示す–方 恵みを その–油注がれた–者に ダビデに
H1431 H4026 H3444 H4428 H6213 H2617 H4899 H1732

פ עוֹלָם׃ עַד־ וּלְזַרְעוֹ
— 永遠に 永遠に そして–その–子孫に
H5769 H5704 H2233

主はその王に大いなる勝利を与え、油を注がれた者に、ダビデとその子孫とに、とこしえに、いつくしみを施される」。

Chapter 23

1 הַגֶּבֶר נְאֻם יִשַׁי בֶּן־ דָּוִד נְאֻם הָאַחֲרֹנִים דָּוִד דִּבְרֵי וְאֵלֶּה
の–男 宣言 エッサイ の–子 ダビデの 宣言 最後の ダビデ の–言葉 そして–これらは
H1397 H5002 H3448 H1121 H1732 H5002 H0314 H1732 H1697 H0428

יִשְׂרָאֵל׃ זְמִרוֹת וְנָעִים יַעֲקֹב אֱלֹהֵי מְשִׁיחַ עָל הֻקַם
イスラエル の–歌い人 そして–快い ヤコブ の–神 油注がれた–者 高く 高く–上げられた
H3478 H2158 H5276 H3290 H0430 H4899 H5920 H6965

これはダビデの最後の言葉である。エッサイの子ダビデの託宣、すなわち高く挙げられた人、ヤコブの神に油を注がれた人、イスラエルの良き歌びとの託宣。

2 רוּחַ יְהוָה דִּבֶּר־ בִּי וּמִלָּתוֹ עַל־ לְשׁוֹנִי׃
の–霊が 主 語った 私に–よって その–言葉が の–上に 私の–舌
H7307 H3068 H1696 H0413 H4405 H5921 H3956

「主の霊はわたしによって語る、その言葉はわたしの舌の上にある。

3 אָמַר לִי דִבֶּר צוּר יִשְׂרָאֵל אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל לִי
言われた 私に 語った の–岩が イスラエル の–神が イスラエル
H0559 H0430 H3478 H6697 H1696 H3478 H0430 H3478

מוֹשֵׁל צַדִּיק בָּאָדָם מוֹשֵׁל יִרְאַת אֱלֹהִים׃
治める 義しき 人を 治める–者 の–畏れを–もって 神
H4910 H6662 H0120 H4910 H3374 H0430

イスラエルの神は語られた、イスラエルの岩はわたしに言われた、『人を正しく治める者、神を恐れて、治める者は、

4 וּכְאוֹר בֹּקֶר יִזְרַח־ שֶׁמֶשׁ בֹּקֶר לֹא עֲבוֹת מִנֹּגַהּ מִמָּטָר דֶּשֶׁא מֵאָרֶץ׃
の–光の–ように 朝 輝く 太陽 朝 ない 雲の 輝きから 雨の–後の 若草が 地から
H0216 H1242 H2224 H8121 H1242 H3808 H5645 H5051 H4306 H1877 H0776

朝の光のように、雲のない朝に、輝きでる太陽のように、地に若草を芽ばえさせる雨のように人に臨む』。

5 כִּי־ לֹא־ כֵן בֵּיתִי עִם־ אֵל כִּי בְרִית עוֹלָם
まことに では–ないか そのように 私の–家は と–共に 神 なぜなら の–契約を 永遠の
H3808 H3808 H3651 H1004 H0410 H3588 H1285 H5769

וְכֹל־ יִשְׁעִי וְכָל־ כִּי־ וּשְׁמֻרָה בַכֹּל עֲרוּכָה לִי שָׂם
すべての 私の–救い すべての まことに 保たれた すべてに–おいて 整えられた 私と 結んだ
H3605 H3468 H3605 H3588 H8104 H3605 H6186 H3588 H7760

כִּי־ לֹא יַצְמִיחַ׃ חֵפֶץ
まことに ないか 芽生えさせる 喜びを
H3588 H3808 H6779 H2656

まことに、わが家はそのように、神と共にあるではないか。それは、神が、よろず備わって確かなとこしえの契約をわたしと結ばれたからだ。どうして彼はわたしの救と願いを、皆なしとげられぬことがあろうか。

6 וּבְלִיַּעַל כְּקוֹץ מֻנָּד כֻּלָּהֶם כִּי־ לֹא בְיָד יִקָּחוּ׃
しかし–よこしまな–者は しかし–よこしまな–者は 茨の–ように 捨てられる すべて なぜなら ない 手で 取れる
H1100 H1100 H6975 H5074 H3605 H3588 H3808 H3027 H3947

しかし、よこしまな人は、いばらのようで、手をもって取ることができないゆえ、みな共に捨てられるであろう。

7 וְאִישׁ יִנָּע בָּהֶם יִמָּלֵא בַרְזֶל וְעֵץ חֲנִית וּבָאֵשׁ שָׂרוֹף יִשָּׂרְפוּ
そして–人が 触れる それに 満たす 鉄と の–柄で 槍 そして–火で 完全に 焼かれる
H0376 H5060 H4390 H1270 H6086 H2595 H0784 H8313 H8313

בַּשֶּׁבֶת׃ פ
その–場で —
H7675

これに触れようとする人は鉄や、やりの柄をもって武装する、彼らはことごとく火で焼かれるであろう」。

8 אֵלֶּה שְׁמוֹת הַגִּבֹּרִים אֲשֶׁר לְדָוִד בַּשֶּׁבֶת יְשֹׁבְעָם תַּחְכְּמֹנִי רֹאשׁ
これらは の–名前 勇士たち が ダビデに–属する ヨシェブ・バシェベト タフケモニ人 かしら
H0428 H8034 H1368 H0834 H1732 H3429 H8461 H7218

הוּא עֲדִינוֹ הָעֶצְנִי (הָעַצְנוֹ) חָלָל מֵאוֹת שְׁמֹנֶה עַל־ הַשָּׁלִשִׁי
彼は アディノ エツニ人 (—) 倒れた–者を 百 八百人の に–対して 三人の
H1931 H5722 H6112 (H6112) H2491 H3967 H8083 H5921 H7992

אֶחָת׃) (אחד) ס
一度 (—) —
H0259 (H0259)

ダビデの勇士たちの名は次のとおりである。タクモンびとヨセブ・バッセベテはかの三人のうちの長であったが、彼はいちじに八百人に向かって、やりをふるい、それを殺した。

9

[גברים	בִּשְׁלֹשָׁה	אַחֵי	בֶן־	(דֹּדוֹ	[דדין	בֶּן־	אֶלְעָזָר	(וְאַחֲרָיו	[ואחרן
—	三人の	アホヒ人	の-子	ドド	—	の-子	エルアザル	その-次に	—
H1368	H7969	H0266		H1734	H1734		H0499		

לַמִּלְחָמָה	שָׁם	נֶאֱסְפוּ־	בַּפְּלִשְׁתִּים	בְּחָרְפָּם	דָּוִד	עִם־	הַגִּבֹּרִים)
戦いの-ために	そこに	集まった	ペリシテ人に	挑んだ-時に	ダビデ	と-共に	勇士たちの
H4421	H8033	H0622	H6430		H1732		H1368

יִשְׂרָאֵל׃	אִישׁ	וַיַּעֲלוּ
イスラエル	の-人々は	そして-上った
H3478	H0376	H5927

彼の次はアホアびとドドの子エレアザルであって、三勇士のひとりである。彼は、戦おうとしてそこに集まったペリシテびとに向かって戦いをいどみ、イスラエルの人々が退いた時、ダビデと共にいたが、

10

וַתִּדְבַּק	יָדוֹ	יָגְעָה	כִּי־	וְעַד	בַּפְּלִשְׁתִּים	וַיַּךְ	קָם	הוּא
張り-ついた	その-手が	疲れた	まで	まで	ペリシテ人を	打ち-倒した	立ち-上がり	彼は
H1692	H3027	H3021		H5704	H6430	H5221		H1931

הַהוּא	בַּיּוֹם	גְּדוֹלָה	תְּשׁוּעָה	יְהוָה	וַיַּעַשׂ	הַחֶרֶב	אֶל־	יָדוֹ
その	の-日に	大いなる	大いなる-勝利が	主に-より	そして-行われた	剣に	に	その-手が
H1931	H3117		H8668	H3068		H2719	H0413	H3027

ס	לְפַשֵּׁט׃	אַךְ־	אַחֲרָיו	יָשֻׁבוּ	וְהָעָם
—	剥ぎ-取る-ために	ただ	彼の-後に	戻った	そして-民は
	H6584	H0389		H7725	

立ってペリシテびとを撃ち、ついに手が疲れ、手がつるぎに着いて離れないほどになった。その日、主は大いなる勝利を与えられた。民は彼のあとに帰ってきて、ただ殺された者をはぎ取るばかりであった。

11

וַתְּהִי־	לַחֲנָה	פְּלִשְׁתִּים	וַיֵּאָסְפוּ	הָרָרִי	אָגֵא	בֶּן־	שַׁמָּא	וְאַחֲרָיו
そして-あった	一隣に	ペリシテ人が	集まった	ハラリ人	アゲ	の-子	シャマ	その-次に
H1961		H6430	H0622	H2043	H0089		H8037	

:פְּלִשְׁתִּים	מִפְּנֵי	נָס	וְהָעָם	עֲדָשִׁים	מְלֵאָה	הַשָּׂדֶה	חֶלְקַת	שָׁם
ペリシテ人	から	逃げた	そして-民は	レンズ豆で	満ちた	畠が	一区画の	そこに
H6430	H6440	H5127		H5742	H4395			H8033

彼の次はハラルびとアゲの子シャンマであった。ある時、ペリシテびとはレヒに集まった。そこに一面にレンズ豆を作った地所があった。民はペリシテびとの前から逃げたが、

12

פְּלִשְׁתִּים	אֶת־	וַיַּךְ	וַיַּצֵּל	הַחֶלְקָה	בְּתוֹךְ־	וַיִּתְיַצַּב
ペリシテ人を	を	そして-打ち-破った	そして-守った	その-畠	の-真ん中に	そして-立った
H6430	H0853	H5221	H5337		H8432	H3320

ס	גְּדוֹלָה׃	תְּשׁוּעָה	יְהוָה	וַיַּעַשׂ
—	大いなる	大いなる-勝利が	主に-より	そして-行われた
		H8668	H3068	

彼はその地所の中に立って、これを防ぎ、ペリシテびとを殺した。そして主は大いなる救を与えられた。

13 וַיֵּרְדוּ ׀ שְׁלֹשִׁים)שְׁלֹשָׁה(מֵהַשְּׁלֹשִׁים רֹאשׁ וַיָּבֹאוּ אֶל־ קָצִיר אֶל־
下って-きた 三人が ー 三十人の-かしらの かしら 来た に 収穫の-頃に に
H3381 H7969 H7970 H7970 H7218 H0935 H0413 H7105 H0413

דָּוִד אֶל־ מְעָרַת עֵדֻלָּם וְחַנַּית פְּלִשְׁתִּים חֹנָה בְּעֵמֶק
ダビデの-もとに に 洞窟の- アドラム の-部隊が ペリシテ人 陣を-張っていた の-谷に
H1732 H0413 H4631 H5725 H2595 H6430 H2583 H6010

רְפָאִים׃
レファイム

三十人の長たちのうちの三人は下って行って刈入れのころに、アドラムのほら穴にいるダビデのもとにきた。時にペリシテびとの一隊はレパイムの谷に陣を取っていた。

14 וְדָוִד אָז בַּמְּצוּדָה וּמַצַּב פְּלִשְׁתִּים אָז בֵּית׃ לָחֶם
ダビデは その-時 要塞に-いた の-守備隊が ペリシテ人 その-時 ベツレヘムに-いた
H1732 H0227 H4673 H6430 H0227 H1035

その時ダビデは要害におり、ペリシテびとの先陣はベツレヘムにあったが、

15 וַיִּתְאַוֶּה דָּוִד וַיֹּאמֶר מִי יַשְׁקֵנִי מַיִם מִבְּאֵר בֵּית־ לָחֶם אֲשֶׁר
ダビデは 渇望した そして-言った 誰が 飲ませて-くれるか 水を の-井戸から ベツレヘム の
H1732 H0183 H0559 H4310 H8248 H4325 H0875 H1035 H0834

בַּשָּׁעַר׃
門の-そばの
H8179

ダビデは、せつに望んで、「だれかベツレヘムの門のかたわらにある井戸の水をわたしに飲ませてくれるとよいのだが」と言った。

16 וַיִּבְקְעוּ שְׁלֹשֶׁת הַגִּבֹּרִים בְּמַחֲנֵה פְלִשְׁתִּים וַיִּשְׁאֲבוּ־ מַיִם מִבְּאֵר בֵּית־ לָחֶם
突き-破った 三人の 勇士が の-陣地を ペリシテ人 汲んだ 水を の-井戸から ベツレヘム
H1234 H7969 H1368 H4264 H6430 H7579 H4325 H0875 H1035

אֲשֶׁר בַּשָּׁעַר וַיִּשְׂאוּ וַיָּבִאוּ אֶל־ דָּוִד וְלֹא אָבָה לִשְׁתּוֹתָם
の 門の-そばの 携えて 持ち-帰った に ダビデの-もとに しかし-ない 肯んじた
H0834 H8179 H5375 H0935 H0413 H1732 H3808 H0014 H8354

וַיַּסֵּךְ אֹתָם לַיהוָה׃
注ぎ-出した それを 主に
H3068 H0853 H3068

ダビデのもとに携えてきた。しかしダビデはそれを飲もうとはせず、主の前にそれを注いで、

17 וַיֹּאמֶר חָלִילָה ׀ לִי יְהוָה מֵעֲשֹׂתִי זֹאת הֲדַם הָאֲנָשִׁים
そして-言った 決して 私には 主よ 私が-する-ことを これを では-ないか 人々の-血
H0559 H2486 H3068 H6213 H2063 H1818 H0376

הַהֹלְכִים בְּנַפְשׁוֹתָם וְלֹא אָבָה לִשְׁתּוֹתָם אֵלֶּה עָשׂוּ שְׁלֹשֶׁת
行った 三人の
H1980 H3808 H0014 H8354 H0428 H6213 H7969

הַגִּבֹּרִים׃ ס
勇士たちが ー
H1368

その三人の勇士たちはペリシテびとの陣を突き通って、ベツレヘムの門のかたわらにある井戸の水を汲み取って、ダビデのもとに携えてきた。しかしダビデはそれを飲もうとはせず、主の前にそれを注いで、

言った、「主よ、わたしは断じて飲むことをいたしません。いのちをかけて行った人々の血を、どうしてわたしは飲むことができましょう」。こうして彼はそれを飲もうとはしなかった。三勇士はこれらのことを行った。

18 וַאֲבִישַׁי אֲחִי יוֹאָב בֶּן־ צְרוּיָה הוּא רֹאשׁ [השלשין] (הַשְּׁלֹשָׁה) וְהוּא

アビシャイは	兄弟	ヨアブの	の–子	ツェルヤ	彼は	かしら	—	三人の	彼は
H0052	H0251	H3097	H1931	H6870	H1931		H7992	H7969	H1931

עוֹרֵר אֶת־ חֲנִיתוֹ עַל־ שְׁלֹשׁ מֵאוֹת חָלָל וְלוֹ־ שֵׁם

振るった	を	その–槍を	に–対して	三百人の	百	倒れた–者を	彼には	名声が–あった
H5782	H0853	H2595		H7969	H3967			H8034

בַּשְּׁלֹשָׁה׃

三人の–中で
H7969

ゼルヤの子ヨアブの兄弟アビシャイは三十人の長であった。彼は三百人に向かって、やりをふるい、それを殺した。そして、彼は三人と共に名を得た。

19 מִן־ הַשְּׁלֹשָׁה הַכִּי נִכְבָּד וַיְהִי לָהֶם לְשָׂר וְעַד־ הַשְּׁלֹשָׁה לֹא׃ בָּא׃ ס

の–中から	三人	最も	尊ばれた	となった	彼らの	将と	しかし–までは	三人には	達し–なかった	—
	H7969		H3513	H1961		H8269	H5704	H7969	H3808	
									H0935	

彼は三十人のうち最も尊ばれた者で、彼らの長となった。しかし、かの三人には及ばなかった。

20 וּבְנָיָהוּ בֶּן־ יְהוֹיָדָע בֶּן־ אִישׁ־ חַי [חין] (חַיִל) רַב־ פְּעָלִים מִקַּבְצְאֵל

ベナヤは	の–子	エホヤダ	の–子	の–人	—	勇敢な	多くの	功績の	カブツェエル出身
H1141	H0376	H3077	H1931			H2428		H6467	H6909

הַכָּה אֶת־ שְׁנֵי אֲרִאֵל מוֹאָב וְהוּא יָרַד וְהַכָּה אֶת־

彼は	打ち–倒した	を	二人の	アリエル	モアブの	また–彼は	下り–行き	打ち–倒した	を
H1931	H5221	H0853	H8147	H0739	H4124	H1931	H3381	H5221	H0853

הָאֲרִי (הָאֲרִיֵה) [האריה] בְּתוֹךְ הַבֹּאר בְּיוֹם הַשָּׁלֶג׃

—	獅子を	の–中の	穴	の–日に	雪		
		H8432		H3117	H7950		

エホヤダの子ベナヤはカブジエル出身の勇士であって、多くのてがらを立てた。彼はモアブのアリエルのふたりの子を撃ち殺した。彼はまた雪の日に下っていって、穴の中でししを撃ち殺した。

21 וְהוּא־ הִכָּה אִישׁ אֶת־ מִצְרִי [אשר] (אִישׁ) מַרְאֶה וּבְיַד

また–彼は	打ち–倒した	人	を	エジプトの	—	人の	立派な	の–手には	
H1931	H5221	H0376	H0853	H4713	H0834	H0376	H4758	H3027	

הַמִּצְרִי חֲנִית וַיֵּרֶד בְּיַד מִיַּד הַמִּצְרִי וַיַּהַרְגֵהוּ בַּחֲנִיתוֹ׃

エジプト人の	槍が–あった	下り–行った	彼の–もとに	杖で	奪い–取った	を	槍を	の–手から	エジプト人	殺した–彼を	その–槍で
H4713	H2595	H3381	H0413	H7626	H1497	H0853	H2595	H3027	H4713	H2026	H2595

彼はまた姿のうるわしいエジプトびとを撃ち殺した。そのエジプトびとは手にやりを持っていたが、ベナヤはつえをとってその所に下っていき、エジプトびとの手からやりをもぎとって、そのやりをもって殺した。

22 אֵלֶּה עָשָׂה בְּנָיָהוּ בֶּן־יְהוֹיָדָע וְלוֹ־שֵׁם בִּשְׁלֹשָׁה
これらの-ことを 行った ベナヤは の-子 エホヤダ 彼には 名声が-あった 三人の
H0428 H6213 H1141 H1121 H3077 H8034 H7969

הַגִּבֹּרִים׃
勇士たちの-中で
H1368

エホヤダの子ベナヤはこれらの事をして三勇士と共に名を得た。

23 מִן־הַשְּׁלֹשִׁים נִכְבָּד וְאֶל־הַשְּׁלֹשָׁה לֹא־בָא
の-中では 三十人 尊ばれた しかし-までは 三人には 達し-なかった 達しなかった
H4480 H7970 H3513 H0413 H7969 H3808 H0935

וַיְשִׂמֵהוּ דָוִד אֶל־מִשְׁמַעְתּוֹ׃ ס
任命した-彼を ダビデは に その-護衛に ―
H7760 H1732 H0413 H4928

彼は三十人のうちに有名であったが、かの三人には及ばなかった。ダビデは彼を侍衛の長とした。

24 עֲשָׂהאֵל אֲחִי־יוֹאָב בַּשְּׁלֹשִׁים אֶלְחָנָן בֶּן־דֹּדוֹ בֵּית־לָחֶם׃
アサヘルは ヨアブ の-兄弟 三十人の-中に-いた エルハナン の-子 ドド ベツレヘム出身
H6214 H3097 H0251 H7970 H0445 H1121 H1734 H1035

三十人のうちにあったのは、ヨアブの兄弟アサヘル。ベツレヘム出身のドドの子エルハナン。

25 שַׁמָּה הַחֲרֹדִי אֱלִיקָא הַחֲרֹדִי׃ ס
シャマ ハロデ人 エリカ ハロデ人 ―
H8048 H2733 H0470 H2733

ハロデ出身のシャンマ。ハロデ出身のエリカ。

26 חֶלֶץ הַפַּלְטִי עִירָא בֶּן־עִקֵּשׁ הַתְּקוֹעִי׃ ס
ヘレツ パルテ人 イラ の-子 イッケシュ テコア人 ―
H2503 H6407 H5896 H1121 H6142 H8621

パルテびとヘレヅ。テコア出身のイッケシの子イラ。

27 אֲבִיעֶזֶר הָעַנְּתֹתִי מְבֻנַּי הַחֻשָׁתִי׃ ס
アビエゼル アナトト人 メブンナイ フシャ人 ―
H0044 H6069 H4012 H2843

アナトテ出身のアビエゼル。ホシャびとメブンナイ。

28 צַלְמוֹן הָאֲחֹחִי מַהְרַי הַנְּטֹפָתִי׃ ס
ツァルモン アホヒ人 マハライ ネトファ人 ―
H6760 H0266 H4121 H5200

アホアびとザルモン。ネトパ出身のマハライ。

29 חֶלֶב בֶּן־בַּעֲנָה הַנְּטֹפָתִי אִתַּי בֶּן־רִיבַי מִגִּבְעַת בְּנֵי
ヘレブ の-子 バアナ ネトファ人 ― イタイ の-子 リバイ の-ギブア出身 の-子ら
H2460 H1196 H5200 H0863 H7380 H1390

בִנְיָמִן׃ ס
ベニヤミン ―
H1144

ネトパ出身のバアナの子ヘレブ。ベニヤミンびとのギベアから出たリバイの子イッタイ。

בְּנָהוּ	פִּרְעָתֹנִי	הִדַּי	מִנַּחֲלֵי	גָּעַשׁ׃	סְ	30
ベナヤ	ピルアトン人	ヒダイ	の-川から	ガアシュ	—	
H1141	H6553	H1914		H1608		

ピラトンのベナヤ。ガアシの谷出身のヒダイ。

אֲבִי־	עַלְבוֹן	הָעַרְבָתִי	עַזְמָוֶת	הַבַּרְחֻמִי׃	סְ	31
アビ	アルボン	アラバ人	アズマベト	バルフミ人	—	
H0045	H0045	H6164	H5820	H1273		

アルバテびとアビアルボン。バホリム出身のアズマウテ。

אֶלְיַחְבָא	הַשַּׁעַלְבֹנִי	בְּנֵי	יָשֵׁן	יְהוֹנָתָן׃	סְ	32
エルヤフバ	シャアルボニ人	の-子ら	ヤシェン	ヨナタン	—	
H0455	H8170		H3464	H3083		

シャルボン出身のエリヤバ。ヤセンの子たち。ヨナタン。

שַׁמָּה	הַהֲרָרִי	אֲחִיאָם	בֶּן־	שָׁרָר	הָאֲרָרִי׃	סְ	33
シャマ	ハラリ人	アヒアム	の-子	シャラル	アラリ人	—	
H8048	H2043	H0279		H8325	H2043		

ハラルびとシャンマ。ハラルびとシャラルの子アヒアム。

אֲחִיתֹפֶל	בֶּן־	אֱלִיעָם	סְ	הַמַּעֲכָתִי	בֶּן־	אֲחַסְבַּי	בֶּן־	אֱלִיפֶלֶט	34
アヒトフェル	の-子	エリアム	—	マアカ人	の-子	アハスバイ	の-子	エリフェレト	
H0302		H0463		H4602		H0308		H0467	

הַגִּלֹנִי׃	סְ	
ギロニ人	—	
H1526		

マアカ出身のアハスバイの子エリペレテ。ギロ出身のアヒトペルの子エリアム。

חֶצְרַי)	הַכַּרְמְלִי	פַּעֲרַי	הָאַרְבִי׃	סְ		35
ヘツライ	カルメル人	パアライ	アルビ人	—		
H2695	H3761	H6474	H0701			
[חצרו]						
—						
H2695						

カルメル出身のヘヅロ。アルバびとパアライ。

יִגְאָל	בֶּן־	נָתָן	מִצֹּבָה	סְ	בְּנֵי	הַגָּדִי׃	סְ	36
イグアル	の-子	ナタン	ツォバ出身	—	バニ	ガデ人	—	
H3008		H5416	H6678		H1137	H1425		

ゾバ出身のナタンの子イガル。ガドびとバニ。

בֶּן־	יוֹאָב	כְּלִי	נשׂא)	[נשאי	הַבְּאֵרֹתִי	נַחְרַי	סְ	הָעַמֹּנִי	צֶלֶק	37
の-子	ヨアブ	武具を	持つ-者	—	ベエロト人	ナヘライ	—	アンモン人	ツェレク	
	H3097	H3627	H5375	H5375	H0886	H5171		H5984	H6768	

צְרוּיָה׃	סְ	
ツェルヤ	—	
H6870		

アンモンびとゼレク。ゼルヤの子ヨアブの武器を執る者、ベエロテ出身のナハライ。

עִירָא	הַיִּתְרִי	גָּרֵב	הַיִּתְרִי׃	סְ	38
イラ	イテル人	ガレブ	イテル人	—	
H5896	H3505	H1619	H3505		

イテルびとイラ。イテルびとガレブ。

פ	וְשִׁבְעָה׃	שְׁלֹשִׁים	כָּל	הַחִתִּי	אֽוּרִיָּה	39
—	七人	三十	全部で	ヒッタイト人	ウリヤ	
	H7651	H7970	H3605	H2850		

ヘテびとウリヤ。合わせて三十七人である。

Chapter 24

דָּוִד	אֶת־	וַיָּסֶת	בְּיִשְׂרָאֵל	לַחֲרוֹת	יְהוָה	אַף־	וַיֹּסֶף	1
ダビデを	を	そして–動かした	イスラエルに–対して	燃えた	主	の–怒りが	そして–再び	
H1732	H0853	H5496	H3478	H2734	H3068	H0639	H3254	

יְהוּדָה׃	וְאֶת־	יִשְׂרָאֵל	אֶת־	מְנֵה	לֵךְ	לֵאמֹר	בָּהֶם
ユダを	と	イスラエル	を	数えよ	行け	言って	彼らに–対して
H3063	H0853	H3478	H0853	H4487	H3212	H0559	

主は再びイスラエルに向かって怒りを発し、ダビデを感動して彼らに逆らわせ、「行ってイスラエルとユダとを数えよ」と言われた。

נָּא	שׁוּט־	אִתּוֹ	אֲשֶׁר־	הַחַיִל	שַׂר־	וְיוֹאָב	אֶל־	הַמֶּלֶךְ	וַיֹּאמֶר	2
どうか	巡り–歩け	彼と–共にいた	の	軍勢	の–長	ヨアブに	に	王は	そして–言った	
H4994		H0854		H2428	H8269	H3097	H0413	H4428	H0559	

הָעָם	אֶת־	וּפִקְדוּ	שֶׁבַע־בְּאֵר	וְעַד־	מִדָּן	יִשְׂרָאֵל	שִׁבְטֵי	בְּכָל־
民を	を	そして–数えよ	ベエル・シェバ	まで	ダンから	イスラエル	の–部族を	すべての
	H0853		H0884	H5704	H1835	H3478	H7626	H3605

ס	הָעָם׃	מִסְפַּר	אֶת	וְיָדַעְתִּי
—	民	の–数	を	知りたい
		H4557	H0853	H3045

そこで王はヨアブおよびヨアブと共にいる軍の長たちに言った、「イスラエルのすべての部族のうちを、ダンからベエルシバまで行き巡って民を数え、わたしに民の数を知らせなさい」。

אֶל־	אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה	וְיוֹסֶף		הַמֶּלֶךְ	אֶל־	יוֹאָב	וַיֹּאמֶר	3
に	あなたの–神が	主が	どうか–加えて–くださるように		王に	に	ヨアブは	そして–言った	
H0413	H0430	H3068	H3254		H4428	H0413	H3097	H0559	

רֹאִים	הַמֶּלֶךְ	אֲדֹנִי־	וְעֵינֵי	פְּעָמִים	מֵאָה	וְכֹהֵם	וְכָהֵם	הָעָם
見る–ように	王の	わが–主	そして–の–目が	倍を	百	百–倍を	これ–ほどの	民に
H7200	H4428	H0113		H6471	H3967	H1992	H1992	

הַזֶּה׃	בַּדָּבָר	חָפֵץ	לָמָּה	הַמֶּלֶךְ	וַאדֹנִי
この	この–事を	望むのか	なぜ	王は	しかし–わが–主
H2088	H1697		H4100	H4428	H0113

ヨアブは王に言った、「どうぞあなたの神、主が、民を今よりも百倍に増してくださいますように。そして王、わが主がまのあたり、それを見られますように。しかし王、わが主は何ゆえにこの事を喜ばれるのですか」。

4 וַיֶּחֱזַק דְּבַר־ הַמֶּלֶךְ אֶל־ יוֹאָב וְעַל שָׂרֵי הֶחָיִל
しかし–勝った の–言葉が 王 に–対して ヨアブ と の–長たちに 軍勢
H2388 H1697 H4428 H0413 H3097 H8269 H2428

וַיֵּצֵא יוֹאָב וְשָׂרֵי הַחַיִל לִפְנֵי הַמֶּלֶךְ לְפָקֵד אֶת־
そして–出て–行った ヨアブは と–の–長たちは 軍勢 の–前から 王 数える–ために を
H3318 H3097 H8269 H2428 H6440 H4428 H6485 H0853

הָעָם אֶת־ יִשְׂרָאֵל׃
民を すなわち イスラエルを
H3478 H0853

しかし王の言葉がヨアブと軍の長たちとに勝ったので、ヨアブと軍の長たちとは王の前を退き、イスラエルの民を数えるために出て行った。

5 וַיַּעַבְרוּ אֶת־ הַיַּרְדֵּן וַיַּחֲנוּ בַּעֲרוֹעֵר יְמִין הָעִיר אֲשֶׁר
そして–渡った を ヨルダン川を そして–陣を–張った アロエルに の–右側 町 の
H3383 H0853 H2583 H6177 H3225

בְּתוֹךְ־ הַנַּחַל הַגָּד וְאֶל־ יַעְזֵר׃
の–真ん中の 谷 ガドの そして ヤゼルへ
H8432 H1410 H0413 H3270

彼らはヨルダンを渡り、アロエルから、すなわち谷の中にある町から始めて、ガドに向かい、ヤゼルに進んだ。

6 וַיָּבֹאוּ הַגִּלְעָדָה וְאֶל־ אֶרֶץ תַּחְתִּים חָדְשִׁי דָּנָה יַּעַן
そして–来た ギルアデに と の–地 タフティム ホデシに ダン ヤアンに
H0935 H1568 H0413 H0776 H8483 H8483 H1842 H1842

וַיָּבֹאוּ צִידוֹן׃ וְסָבִיב אֶל־
そして–来た シドンへ 巡って に
H0935 H6721 H5439 H0413

それからギレアデに行き、またヘテびとの地にあるカデシに行き、それからダンに至り、ダンからシドンにまわり、

7 וַיָּבֹאוּ מִבְצַר־ צֹר וְכָל־ עָרֵי הַחִוִּי וְהַכְּנַעֲנִי וַיֵּצְאוּ אֶל־
そして–来た の–要塞に ツロ すべての の–町々 ヒビ人 カナン人の そして–出た に
H0935 H4013 H6865 H3605 H2340 H5045 H3318 H0413

נֶגֶב יְהוּדָה בְּאֵר שָׁבַע׃
の–南 ユダ ベエル・シェバへ
H5045 H3063 H0884

またツロの要害に行き、ヒビびと、およびカナンびとのすべての町に行き、ユダのネゲブに出てベエルシバへ行った。

8 וַיִּשְׁטוּ בְּכָל־ הָאָרֶץ וַיָּבֹאוּ מִקְצֵה תִשְׁעָה חֳדָשִׁים וְעֶשְׂרִים יוֹם
巡り–歩いた すべての 国を そして–来た の–終わりに 九 か月と 二十 日で
H3605 H0776 H0935 H8672 H2320 H6242 H3117

לִירוּשָׁלָ͏ִם׃
エルサレムに
H3389

こうして彼らは国をあまねく行き巡って、九か月と二十日を経てエルサレムにきた。

9 וַיִּתֵּן יוֹאָב אֶת־מִסְפַּר מִפְקַד־הָעָם אֶל־הַמֶּלֶךְ וַתְּהִי
そして-渡した ヨアブは の-数 を 登録の 民の に 王に そして-あった
H5414 H3097 H4557 H0853 H4662 H0413 H4428 H1961

יִשְׂרָאֵל שְׁמֹנֶה מֵאוֹת אֶלֶף אִישׁ חַיִל שֹׁלֵף חָרֶב וְאִישׁ יְהוּדָה חֲמִשִּׁים
イスラエルは 八十 万 千 の-人 勇敢な 抜く-者 剣を そして-の-人は ユダ 五十
H3478 H8083 H3967 H0505 H0376 H2428 H8025 H2719 H0376 H3063 H2568

אִישׁ׃ אֶלֶף מֵאוֹת
人 千 万
H0376 H0505 H3967

そしてヨアブは民の総数を王に告げた。すなわちイスラエルには、つるぎを抜く勇士たちが八十万あった。ただしユダの人々は五十万であった。

10 וַיַּךְ לֵב־דָּוִד אֹתוֹ אַחֲרֵי־כֵן סָפַר אֶת־הָעָם ס
そして-打った の-心が ダビデ 彼を その-後に そのように 数えた を 民を 一
H5221 H3820 H1732 H0853 H0310 H3651 H0853 H5971

וַיֹּאמֶר דָּוִד אֶל־יְהוָה חָטָאתִי מְאֹד אֲשֶׁר עָשִׂיתִי וְעַתָּה יְהוָה
そして-言った ダビデは に 主に 罪を-犯した 大いに の-ことに 行った しかし-今 主よ
H0559 H1732 H0413 H3068 H2398 H3966 H0834 H6213 H6258 H3068

מְאֹד׃ נִסְכַּלְתִּי כִּי עֲבְדְּךָ עֲוֹן אֶת־נָא הַעֲבֶר־
大いに 愚かな-ことを-した なぜなら あなたの-しもべ の-咎を を どうか 取り除いて-ください
H3966 H5528 H3588 H5650 H5771 H0853 H4994 H5674

חֹזֵה הַנָּבִיא גָּד אֶל־ הָיָה יְהוָה וּדְבַר־ פ בַּבֹּקֶר דָּוִד וַיָּקָם 11
先見者 預言者 ガドに に あった 主 の-言葉が 一 朝に ダビデは そして-起きた
H2374 H5030 H1410 H0413 H1961 H3068 H1697 H1242 H1732

לֵאמֹר׃ דָּוִד
言って ダビデの
H0559 H1732

ダビデが朝起きたとき、主の言葉はダビデの先見者である預言者ガデに臨んで言った、

12 הָלוֹךְ וְדַבַּרְתָּ אֶל־דָּוִד כֹּה אָמַר יְהוָה שָׁלֹשׁ אָנֹכִי נוֹטֶל עָלֶיךָ
行って 告げよ に ダビデに こう 言う 主は 三つの-ことを 私は 負わせる あなたに
H1980 H1696 H0413 H3541 H0559 H3068 H7969 H0595 H5190 H5921

בְּחַר־ לְךָ׃ וְאֶעֱשֶׂה־ מֵהֶם אַחַת־ לְךָ
選べ あなた-自身のために 一つを それらから そして-行おう あなたに
H0977 H3605 H0259 H1992 H6213 H0413

「行ってダビデに言いなさい、『主はこう仰せられる、「わたしは三つのことを示す。あなたはその一つを選ぶがよい。わたしはそれをあなたに行うであろう」と』」。

13 וַיָּבֹא־ そして-来た H0935 גָּד ガドは H1410 אֶל־ に H0413 דָּוִד ダビデの-もとに H1732 וַיַּגֶּד־ そして-告げた H5046 לוֹ 彼に H3808 וַיֹּאמֶר そして-言った H0559 לוֹ 彼に H3808 הֲתָבוֹא 来るか H0935

לְךָ あなたに H3808 שֶׁבַע 七 H7651 שָׁנִים 年の H8141 וְרָעָב 飢饉が H7458 בְּאַרְצֶךָ あなたの-地に H0776 אִם־ あるいは H0518 שְׁלֹשָׁה 三 H7969 חֳדָשִׁים か月の H2320 נָסְךָ 逃げる-ことか H5127 לִפְנֵי־ の-前を H6440

עָרֶיךָ あなたの-敵 H3808 וְהוּא そして-彼が H1931 רֹדְפְךָ 追う H7291 וְאִם־ あるいは H0518 הֱיוֹת ある-ことか H1961 שְׁלֹשֶׁת 三 H7969 יָמִים 日間の H3117 דֶּבֶר 疫病が H1698 בְּאַרְצֶךָ あなたの-地に H0776

עַתָּה 今 H6258 דַּע 知り H3045 וּרְאֵה 見よ H7200 מָה־ 何と H4100 אָשִׁיב 答えるべきか H7725 שֹׁלְחִי 遣わした-方に H7971 דָּבָר׃ 言葉を H1697 ס —

ガデはダビデのもとにきて、彼に言った、「あなたの国に三年のききんをこさせようか。あなたが敵に追われて三か月敵の前に逃げるようにしようか。それとも、あなたの国に三日の疫病をおくろうか。あなたは考えて、わたしがどの答を、わたしをつかわされた方になすべきかを決めなさい」。

14 וַיֹּאמֶר そして-言った H0559 דָּוִד ダビデは H1732 אֶל־ に H0413 גָּד ガドに H1410 צַר־ 苦しい H6862 לִי 私には H3966 מְאֹד 大いに H3966 נִפְּלָה־ 落ちよう H5307 נָּא どうか H4994 בְיַד־ の-手に H3027

יְהוָה 主は H3068 כִּי־ なぜなら H3588 רַבִּים 大きい H7227 רחמו[— H7356)רַחֲמָיו(その-あわれみは H7356 וּבְיַד־ しかし-の-手には H3027 אָדָם 人 H0120 אַל־ 落ちたく-ない H0408

אֶפְּלָה׃ 落ちたくない H5307

ダビデはガデに言った、「わたしはひじょうに悩んでいますが、主のあわれみは大きいゆえ、われわれを主の手に陥らせてください。わたしを人の手には陥らせないでください」。

15 וַיִּתֵּן そして-下した H5414 יְהוָה 主は H3068 בְּיִשְׂרָאֵל イスラエルに H3478 מֵהַבֹּקֶר 朝から H1242 וְעַד־ まで H5704 עֵת の-時 H6256 מוֹעֵד 定められた H4150 וַיָּמָת そして-死んだ H4191

מִן־ から H4480 הָעָם 民の-中から H5971 מִדָּן ダンから H1835 וְעַד־ まで H5704 שֶׁבַע־בְּאֵר ベエル・シェバ H0884 שִׁבְעִים 七万 H7657 אֶלֶף 千 H0505 אִישׁ׃ 人が H0376

そこで主は朝から定めの時まで疫病をイスラエルに下された。ダンからベエルシバまでに民の死んだ者は七万人あった。

16 וַיִּשְׁלַח そして-伸ばした H7971 יָדוֹ その-手を H3027 יְהוָה 主は H3068 וַיִּנָּחֶם しかし-悔いた H5162 לְשַׁחֲתָהּ 滅ぼす-ために H7843 יְרוּשָׁלַ͏ִם エルサレムに H3389 וְהַמַּלְאָךְ 御使いは H4397

עַתָּה 今 H6258 רָב 十分だ H7227 בָּעָם 民の-中で H5971 הַמַּשְׁחִית 滅ぼす H7843 לַמַּלְאָךְ 御使いに H4397 וַיֹּאמֶר そして-言われた H0559 הָרָעָה その-災いを H7451 אֶל־ に-ついて H0413

הָרֶף 引け H7503

יַבְסִי׃ エブス人の H2983)הָאַרְוָנָה(アラウナ H0728 הָאורנה[— H0728 גֹּרֶן の-打ち場 H1637 עִם־ の-そばに H5973 הָיָה いた H1961 יְהוָה 主 H3068 וּמַלְאַךְ 主の-御使いは H4397 יָדֶךָ あなたの-手を H3027

ס —

天の使が手をエルサレムに伸べてこれを滅ぼそうとしたが、主はこの害悪を悔い、民を滅ぼしている天の使に言われた、「もはや、じゅうぶんである。今あなたの手をとどめるがよい」。その時、主の使はエブスびとアラウナの打ち場のかたわらにいた。

17 וַיֹּ֣אמֶר
そして-言った
H0559
בָּעָם
民を
הַמַּכֶּה
打つ
H5221
וְהַמַּלְאָךְ
御使いを
H4397
אֶת־
を
H0853
וּבְרֹאתָ֗וֹ
見た-時
H7200
יְהוָה֙
主に
H3068
אֶל־
に
H0413
דָּוִ֔ד
ダビデは
H1732
וַיֹּ֣אמֶר
そして-言った
H0559

הֵ֚נָּה
見よ
H2009
אָנֹכִ֣י
私が
H0595
חָטָ֔אתִי
罪を-犯した
H2398
וְאָנֹכִ֖י
私が
H0595
הֶעֱוֵ֣יתִי
悪を-行った
הָרָ֑עָה
しかし-これらの
H0428
הַצֹּ֣אן
羊は
H6629
מֶ֔ה
何を
H4100
עָשׂ֔וּ
したのか
תְּהִ֖י
どうか
H1961

פ
—
אָבִ֑י׃
私の-父
H0001
וּבְבֵ֖ית
そして-の-家に
בִּ֥י
私に
יָדְךָ֛
御手が
H3027
נָ֥א
どうか
H4994

ダビデは民を撃っている天の使を見た時、主に言った、「わたしは罪を犯しました。わたしは悪を行いました。しかしこれらの羊たちは何をしたのですか。どうぞあなたの手をわたしとわたしの父の家に向けてください」。

18 וַיָּבֹא־
そして-来た
H0935
גָּ֣ד
ガドは
H1410
אֶל־
に
H0413
דָּוִ֗ד
ダビデの-もとに
H1732
בַּיּ֣וֹם
その-日に
H3117
הַה֔וּא
その
H1931
וַיֹּ֣אמֶר
そして-言った
H0559
לוֹ֔
彼に
עֲלֵ֕ה
上れ
H5927

הָקֵ֣ם
建てよ
לַֽיהוָ֔ה
主に
H3068
מִזְבֵּ֖חַ
祭壇を
H4196
בְּגֹ֣רֶן
の-打ち場に
H1637
[ארניה]
—
H0728
(אֲרַוְנָ֑ה)
アラウナ
H0728
הַיְבוּסִֽי׃
エブス人の
H2983

その日ガデはダビデのところにきて彼に言った、「上って行ってエブスびとアラウナの打ち場で主に祭壇を建てなさい」。

19 וַיַּ֣עַל
そして-上った
H5927
דָּוִ֔ד
ダビデは
H1732
כִּדְבַר־
の-言葉の-とおりに
H1697
גָּ֖ד
ガド
H1410
כַּאֲשֶׁ֣ר
の-とおり
צִוָּ֑ה
命じた
H6680
יְהוָֽה׃
主が
H3068

ダビデはガデの言葉に従い、主の命じられたように上って行った。

20 וַיַּשְׁקֵ֣ף
そして-見下ろした
H8259
אֲרַוְנָ֔ה
アラウナは
H0728
וַיַּ֣רְא
そして-見た
H7200
אֶת־
を
H0853
הַמֶּ֔לֶךְ
王と
H4428
וְאֶת־
と
H0853
עֲבָדָ֖יו
その-しもべたちが
H5650
עֹבְרִ֑ים
進んで-来る-のを
אֵלָ֗יו
彼の-方に
וַיֵּצֵ֣א
そして-出て-来た
H3318
אֲרַוְנָה֙
アラウナは
H0728
וַיִּשְׁתָּ֣חוּ
そして-ひれ伏した
H7812
לַמֶּ֔לֶךְ
王に
H4428
אַפָּ֖יו
顔を
H0639

אָֽרְצָה׃
地に-つけて
H0776

アラウナは見おろして、王とそのしもべたちが自分の方に進んでくるのを見たので、アラウナは出てきて王の前に地にひれ伏して拝した。

21 וַיֹּ֣אמֶר
そして-言った
H0559
אֲרַוְנָ֔ה
アラウナは
H0728
מַדּ֖וּעַ
なぜ
H4069
בָּ֣א
来られたのか
H0935
אֲדֹנִ֣י־
わが-主
H0113
הַמֶּ֔לֶךְ
王は
H4428
אֶל־
の-もとに
H0413
עַבְדּ֑וֹ
しもべ
H5650
דָּוִ֔ד
ダビデは
H1732
וַיֹּ֣אמֶר
そして-言った
H0559
לִקְנ֥וֹת
買い-取る-ために
H7069
מֵֽעִמְּךָ֖
あなたから
אֶת־
を
H0853
הַגֹּ֣רֶן
打ち場を
H1637
לִבְנ֥וֹת
建てる-ために
H1129
מִזְבֵּ֛חַ
祭壇を
H4196

וְתֵעָצַ֥ר
止まる-ように
H6113
הַמַּגֵּפָ֖ה
疫病が
H4046
מֵעַ֥ל
から
הָעָֽם׃
民
לַֽיהוָ֔ה
主に
H3068

そしてアラウナは言った、「どうして王わが主は、しもべの所にこられましたか」。ダビデは言った、「あなたから打ち場を買い取り、主に祭壇を築いて民に下る災をとどめるためです」。

22 וַיֹּאמֶר אַרַוְנָה אֶל־דָּוִד יִקַּח וְיַעַל אֲדֹנִי הַמֶּלֶךְ
そして-言った アラウナは に ダビデに 取って 捧げて-ください わが-主 王よ
H0559 H0728 H0413 H1732 H3947 H5927 H0113 H4428

הַטּוֹב בְּעֵינָיו (בעינו) רְאֵה הַבָּקָר לָעֹלָה וְהַמֹּרְגִּים
良いと-思う-ものを ― 御目に ご覧ください 牛を 全焼の-捧げ物に 脱穀用の-そりと
H3605 H5869 H7200 H1241 H5930 H4173

וּכְלֵי הַבָּקָר לָעֵצִים׃
の-道具を 牛 薪に
H3627 H1241 H6086

アラウナはダビデに言った、「どうぞ王、わが主のよいと思われる物を取ってささげてください。燔祭にする牛もあります。たきぎにする打穀機も牛のくびきもあります。

23 הַכֹּל נָתַן אַרַוְנָה הַמֶּלֶךְ לַמֶּלֶךְ וַיֹּאמֶר אַרַוְנָה אֶל־הַמֶּלֶךְ
すべてを 差し上げる アラウナは 王よ 王に そして-言った アラウナは 王に
H3605 H5414 H0728 H4428 H4428 H0559 H0728 H4428

יְהוָה אֱלֹהֶיךָ יִרְצֶךָּ׃
主が あなたの-神が 受け入れて-くださるように
H3068 H0430 H7521

王よ、アラウナはこれをことごとく王にささげます」。アラウナはまた王に、「あなたの神、主があなたを受けいれられますように」と言った。

24 וַיֹּאמֶר אַרַוְנָה אֶל־הַמֶּלֶךְ לֹא כִּי־קָנֹה אֶקְנֶה מֵאוֹתְךָ בִּמְחִיר
そして-言った に 王は アラウナに いや 必ず 買う 買い取る あなたから 代金で
H0559 H0413 H4428 H0728 H3808 H3588 H7069 H7069 H0854 H4242

וְלֹא אַעֲלֶה לַיהוָה אֱלֹהַי עֹלוֹת חִנָּם וַיִּקֶן דָּוִד אֶת־הַגֹּרֶן
そして-ない 捧げない 主に 私の-神に 全焼の-捧げ物を ただで そして-買った ダビデは を 打ち場と
H3808 H5927 H3068 H0430 H5930 H2600 H7069 H1732 H0853 H1637

וְאֶת־הַבָּקָר בְּכֶסֶף שְׁקָלִים חֲמִשִּׁים׃
と 牛を の-銀 シェケル 五十
H0853 H1241 H3701 H8255 H2572

しかし王はアラウナに言った、「いいえ、代価を支払ってそれをあなたから買い取ります。わたしは費用をかけずに燔祭をわたしの神、主にささげることはしません」。こうしてダビデは銀五十シケルで打ち場と牛とを買い取った。

25 וַיִּבֶן שָׁם דָּוִד מִזְבֵּחַ לַיהוָה וַיַּעַל עֹלוֹת וּשְׁלָמִים
そして-建てた そこに ダビデは 祭壇を 主に そして-捧げた 全焼の-捧げ物と 和解の-捧げ物を
H1129 H8033 H1732 H4196 H3068 H5927 H5930 H8002

וַיֵּעָתֵר יְהוָה לָאָרֶץ וַתֵּעָצַר הַמַּגֵּפָה מֵעַל יִשְׂרָאֵל׃
そして-聞き入れられた 主は 地の-ために そして-止まった 疫病は から イスラエル
H6279 H3068 H0776 H6113 H4046 H5921 H3478

ダビデはその所で主に祭壇を築き、燔祭と酬恩祭をささげた。そこで主はその地のために祈を聞かれたので、災がイスラエルに下ることはとどまった。

1 Kings

Chapter 1

1 וְהַמֶּלֶךְ דָּוִד זָקֵן בָּא בַּיָּמִים וַיְכַסֻּהוּ בַּבְּגָדִים וְלֹא יִחַם לוֹ׃

וְהַמֶּלֶךְ	דָּוִד	זָקֵן	בָּא	בַּיָּמִים	וַיְכַסֻּהוּ	בַּבְּגָדִים	וְלֹא	יִחַם
そして–王	ダビデは	年老いて	進んだ	日々を	そして–彼らは–彼を–覆った	衣で	しかし–ない	暖まら
H4428	H1732	H2204	H0935	H3117	H3680		H3808	H3179
							לוֹ׃	
							なかった	

ダビデ王は年がすすんで老い、夜着を着せても暖まらなかったので、

2 וַיֹּאמְרוּ לוֹ עֲבָדָיו יְבַקְּשׁוּ לַאדֹנִי הַמֶּלֶךְ נַעֲרָה בְתוּלָה וְעָמְדָה לִפְנֵי הַמֶּלֶךְ וְסֹכֶנֶת לוֹ וְשָׁכְבָה בְּחֵיקֶךָ וְחַם לַאדֹנִי הַמֶּלֶךְ׃

וַיֹּאמְרוּ	לוֹ	עֲבָדָיו	יְבַקְּשׁוּ	לַאדֹנִי	הַמֶּלֶךְ	נַעֲרָה	בְתוּלָה	וְעָמְדָה	לִפְנֵי	הַמֶּלֶךְ	וְסֹכֶנֶת	לוֹ
そして–言った	彼に	家来たちは	探しましょう	わが–主–の	王の–ために	若い–娘を	処女を	そして–立たせ	の–前に	王	そして–なる	世話人に	彼の
H0559		H5650	H1245	H0113	H4428	H5291	H1330	H5975	H6440	H4428	H1961	H5532	

וְשָׁכְבָה	בְּחֵיקֶךָ	וְחַם	לַאדֹנִי	הַמֶּלֶךְ׃			
そして–寝て	あなたの–懐に	そして–暖まるように	わが–主–の	王に			
H7901	H2436	H2552	H0113	H4428			

その家来たちは彼に言った、「王わが主のために、ひとりの若いおとめを捜し求めて王にはべらせ、王の付添いとし、あなたのふところに寝て、王わが主を暖めさせましょう」。

3 וַיְבַקְּשׁוּ נַעֲרָה יָפָה בְּכָל גְּבוּל יִשְׂרָאֵל וַיִּמְצְאוּ אֶת אֲבִישַׁג הַשּׁוּנַמִּית וַיָּבִאוּ לַמֶּלֶךְ אֹתָהּ׃

וַיְבַקְּשׁוּ	נַעֲרָה	יָפָה	בְּכָל	גְּבוּל	יִשְׂרָאֵל	וַיִּמְצְאוּ	אֶת־	אֲבִישַׁג	הַשּׁוּנַמִּית	וַיָּבִאוּ	לַמֶּלֶךְ	אֹתָהּ׃
そして–探した	美しい–娘を	美しい	すべての	領域で	イスラエルの	そして–見つけた	を	アビシャグ	シュネム人の	そして–連れて来た	王の–もとに	彼女を
H1245	H5291	H3303	H3605	H1366	H3478	H4672	H0853			H0935	H4428	H0853

そして彼らはあまねくイスラエルの領土に美しいおとめを捜し求めて、シュナミびとアビシャグを得、王のもとに連れてきた。

4 וְהַנַּעֲרָה יָפָה עַד־מְאֹד וַתְּהִי סֹכֶנֶת לַמֶּלֶךְ וַתְּשָׁרְתֵהוּ וְהַמֶּלֶךְ לֹא יְדָעָהּ׃

וְהַנַּעֲרָה	יָפָה	עַד־	מְאֹד	וַתְּהִי	סֹכֶנֶת	לַמֶּלֶךְ	וַתְּשָׁרְתֵהוּ	וְהַמֶּלֶךְ	לֹא	יְדָעָהּ׃			
そして–その–娘は	非常に	とても	美しかった	そして–なった	世話人に	王の	そして–仕えた	しかし–王は	ない	知らなかった			
H5291	H3303	H5704	H3966	H1961	H5532	H4428	H8334	H4428	H3808	H3045			

おとめは非常に美しく、王の付添いとなって王に仕えたが、王は彼女を知ることがなかった。

5

וַיַּעַשׂ
そして-用意した
H6213

אֲדֹנִיָּה
王になる
H0138

בֶּן־
の-息子
H1121

חַגִּית
ハギテの
H2294

מִתְנַשֵּׂא
高ぶって
H5375

לֵאמֹר
言って
H0559

אֲנִי
私が
H0589

אֶמְלֹךְ
王になる
H4427

וַאֲדֹנִיָּה
そして-アドニヤは
H0138

רְכֶב
戦車を
H7393

וּפָרָשִׁים
そして-騎兵を
H6571

וַחֲמִשִּׁים
そして-五十人の
H2572

אִישׁ
人を
H0376

רָצִים
先走りとして
H7323

לְפָנָיו׃
自分の-前に
H6440

さてハギテの子アドニヤは高ぶって、「わたしは王となろう」と言い、自分のために戦車と騎兵および自分の前に駆ける者五十人を備えた。

6

וְלֹא־
そして-ない
H3808

עִצְּבוֹ
叱った
H6087

אָבִיו
父は-彼を
H0001

מִיָּמָיו
一度も
H3117

לֵאמֹר
言って
H0559

מַדּוּעַ
なぜ
H4069

כָּכָה
こんなこと
H3602

עָשִׂיתָ
したのか
H6213

וְגַם־
そして-また
H1571

הוּא
彼は
H1931

טוֹב־
美しい

מְאֹד
非常に
H3966

תֹּאַר
姿を-していた
H8389

וְאֹתוֹ
そして-彼を
H0853

יָלְדָה
産んだ
H3205

אַחֲרֵי
の-後に

אַבְשָׁלוֹם׃
アブシャロム
H0053

彼の父は彼が生れてこのかた一度も「なぜ、そのような事をするのか」と言って彼をたしなめたことがなかった。アドニヤもまた非常に姿の良い人であって、アブサロムの次に生れた者である。

7

וַיְהִי־
そして-あった
H1961

דְבָרָיו
彼の-相談は
H1697

עִם
と
H5973

יוֹאָב
ヨアブ
H3097

בֶּן־
の-息子
H1121

צְרוּיָה
ツェルヤの
H6870

וְעִם
そして-と

אֶבְיָתָר
エブヤタル
H0054

הַכֹּהֵן
祭司と
H3548

וַיַּעְזְרוּ
そして-助けた
H5826

אַחֲרֵי
に-従って

אֲדֹנִיָּה׃
アドニヤ
H0138

彼がゼルヤの子ヨアブと祭司アビヤタルとに相談したので、彼らはアドニヤに従って彼を助けた。

8

וְצָדוֹק
しかし-ツァドク
H6659

הַכֹּהֵן
祭司
H3548

וּבְנָיָהוּ
そして-ベナヤ
H1141

בֶּן־
の-息子
H1121

יְהוֹיָדָע
エホヤダの
H3077

וְנָתָן
そして-ナタン
H5416

הַנָּבִיא
預言者
H5030

וְשִׁמְעִי
そして-シムイ
H8096

וְרֵעִי
そして-レイ
H7472

וְהַגִּבֹּרִים
そして-勇士たちは
H1368

אֲשֶׁר
なる
H0834

לְדָוִד
ダビデの
H1732

לֹא
ない
H3808

הָיוּ
いなかった
H1961

עִם־
と-共に

אֲדֹנִיָּהוּ׃
アドニヤ
H0138

しかし祭司ザドクと、エホヤダの子ベナヤと、預言者ナタンおよびシメイとレイ、ならびにダビデの勇士たちはアドニヤに従わなかった。

9

וַיִּזְבַּח
そして-屠った
H2076

אֲדֹנִיָּהוּ
アドニヤは
H0138

צֹאן
羊を
H6629

וּבָקָר
そして-牛を
H1241

וּמְרִיא
そして-肥えた-家畜を
H4806

עִם־
の-そばで

אֶבֶן
石
H0068

הַזֹּחֶלֶת
ゾヘレテの
H2120

אֲשֶׁר־
ある

עֵין
泉
H5883

רֹגֶל
エン・ロゲルの
H5883

וַיִּקְרָא
そして-招いた
H7121

אֶת־
を
H0853

כָּל־
すべての
H3605

אֶחָיו
兄弟たちを
H0251

בְּנֵי
の-息子たち

אֶצֶל
の-傍に
H0681

וּלְכָל־
そして-すべての
H3605

אַנְשֵׁי
人々を
H0376

יְהוּדָה
ユダの
H3063

עַבְדֵי
しもべたち
H5650

הַמֶּלֶךְ׃
王の
H4428

アドニヤはエンロゲルのほとりにある「へびの石」のかたわらで、羊と牛と肥えた家畜をほふって、王の子である自分の兄弟たち、および王の家来であるユダの人々をことごとく招いた。

10

לֹא	אָחִיו	שְׁלֹמֹה	וְאֶת־	הַגִּבֹּרִים	וְאֶת־	וּבְנָיָהוּ	הַנָּבִיא	נָתָן	וְאֶת־
ない	彼の–兄弟を	ソロモン	そして	勇士たち	そして	そして–ベナヤ	預言者	ナタン	しかし
H3808	H0251	H8010	H0853	H1368	H0853	H1141	H5030	H5416	H0853

קָרָא׃	
招かなかった	
H7121	

しかし預言者ナタンと、ベナヤと、勇士たちと、自分の兄弟ソロモンとは招かなかった。

11

שָׁמַעַתְּ	הֲלוֹא	לֵאמֹר	שְׁלֹמֹה	אֵם־	בַּת־שֶׁבַע	אֶל־	נָתָן	וַיֹּאמֶר	
聞いた	聞いて–いないか	言って	ソロモンの	の–母	バト・シェバ	に	ナタンは	そして–言った	
H8085	H3808	H0559	H8010	H0517	H1339	H0413	H5416	H0559	

יָדָֽעַ׃	לֹא	דָוִד	וַאֲדֹנֵינוּ	חַגִּית	בֶּן־	אֲדֹנִיָּהוּ	מָלַךְ	כִּי
知らない	ない	ダビデは	そして–わが–主	ハギテの	の–息子	アドニヤが	王と–なった	ことを
H3045	H3808	H1732	H0113	H2294		H0138		

時にナタンはソロモンの母バテシバに言った、「ハギテの子アドニヤが王となったのをお聞きになりませんでしたか。われわれの主ダビデはそれをごぞんじないのです。

12

נַפְשֵׁךְ	אֶת־	וּמַלְטִי	עֵצָה	נָא	אִיעָצֵךְ	לְכִי	וְעַתָּה	
あなたの–命を	を	そして–救いなさい	助言を	どうか	助言しよう	行きなさい	そして–今	
H5315	H0853	H4422	H6098	H4994	H3289	H3212	H6258	

שְׁלֹמֹה׃	בְּנֵךְ	נֶפֶשׁ	וְאֶת־
ソロモンの	あなたの–息子	命を	そして
H8010		H5315	H0853

それでいま、あなたに計りごとを授けて、あなたの命と、あなたの子ソロモンの命を救うようにいたしましょう。

13

הֲלֹא־	אֵלָיו	וְאָמַרְתְּ	דָּוִד	הַמֶּלֶךְ	אֶל־	וּבֹאִי	לְכִי	
ではないか	彼に	そして–言いなさい	ダビデの–もとへ	王	に	そして–入りなさい	行って	
H3808	H0413	H0559	H1732	H4428	H0413	H0935	H3212	

שְׁלֹמֹה	כִּי־	לֵאמֹר	לַאֲמָתֶךְ	נִשְׁבַּעְתָּ	הַמֶּלֶךְ	אֲדֹנִי	אַתָּה
ソロモンが	まことに	言って	あなたの–はしために	誓ったのでは	王よ	わが–主よ	あなたは
H8010		H0559	H0519	H7650	H4428	H0113	

וּמַדּוּעַ	כִּסְאִי	עַל־	יֵשֵׁב	וְהוּא	אַחֲרַי	יִמְלֹךְ	בְּנֵךְ
そして–なぜ	私の–王座に	の–上に	座る	そして–彼が	私の–後に	王と–なる	あなたの–息子
H4069	H3678		H3427	H1931			

אֲדֹנִיָּהוּ׃	מָלַךְ
アドニヤは	王と–なったのか
H0138	

あなたはすぐダビデ王のところへ行って、『王わが主よ、あなたは、はしために誓って、おまえの子ソロモンが、わたしに次いで王となり、わたしの位に座するであろうと言われたではありませんか。そうであるのに、どうしてアドニヤが王となったのですか』と言いなさい。

14

אָבוֹא	וַאֲנִי	הַמֶּלֶךְ	עִם־	שָׁם	מְדַבֶּרֶת	עוֹדֶךָּ	הִנֵּה	
入って–行く	そして–私が	王	と–共に	そこで	話している	あなたが–まだ	見よ	
H0935	H0589	H4428		H8033	H1696	H5750	H2009	

דְּבָרֶיךָ׃	אֶת־	וּמְלֵאתִי	אַחֲרֶיךָ
あなたの–言葉を	を	そして–確かにする	あなたの–後から
H1697	H0853	H4390	

あなたがなお王と話しておられる間に、わたしもまた、あなたのあとから、はいって行って、あなたの言葉を確認しましょう」。

15 וַתָּבֹא בַּת־שֶׁבַע אֶל־הַמֶּלֶךְ הַחַדְרָה וְהַמֶּלֶךְ זָקֵן מְאֹד וַאֲבִישַׁג הַשּׁוּנַמִּית מְשָׁרֵת אֶת־הַמָּלֶךְ׃

וַתָּבֹא	בַּת־שֶׁבַע	אֶל־	הַמֶּלֶךְ	הַחַדְרָה	וְהַמֶּלֶךְ	זָקֵן	מְאֹד	
そして–入った	バト・シェバは	に	王の	奥の–部屋に	そして–王は	非常に	年老いていた	
H0935	H1339	H0413	H4428	H2315	H4428	H2204	H3966	
וַאֲבִישַׁג	הַשּׁוּנַמִּית	מְשָׁרֵת	אֶת־	הַמֶּלֶךְ׃				
そして–アビシャグ	シュネム人の	仕えていた	を	王に				
H0049	H7767	H8334	H0853	H4428				

そこでバテシバは寝室にはいって王の所へ行った。（王は非常に老いて、シュナミびとアビシャグが王に仕えていた）。

16 וַתִּקֹּד בַּת־שֶׁבַע וַתִּשְׁתַּחוּ לַמֶּלֶךְ וַיֹּאמֶר הַמֶּלֶךְ מַה־לָּךְ׃

וַתִּקֹּד	בַּת־שֶׁבַע	וַתִּשְׁתַּחוּ	לַמֶּלֶךְ	וַיֹּאמֶר	הַמֶּלֶךְ	מַה־לָּךְ׃
そして–身を–かがめた	バト・シェバは	そして–ひれ伏した	王に	そして–言った	王は	何を
H6915	H1339	H7812	H4428	H0559	H4428	H4100

望むのか

バテシバは身をかがめて王を拝した。王は言った、「何の用か」。

17 וַתֹּאמֶר לוֹ אַתָּה אֲדֹנִי נִשְׁבַּעְתָּ בַּיהוָה אֱלֹהֶיךָ לְאָמָתֶךָ כִּי־שְׁלֹמֹה בְנֵךְ יִמְלֹךְ אַחֲרָי וְהוּא יֵשֵׁב עַל־כִּסְאִי׃

וַתֹּאמֶר	לוֹ	אַתָּה	אֲדֹנִי	נִשְׁבַּעְתָּ	בַּיהוָה	אֱלֹהֶיךָ	לְאָמָתֶךָ	כִּי־	שְׁלֹמֹה	
そして–言った	彼に	あなたは	わが–主よ	誓いました	主に–かけて	あなたの–神		まことに	ソロモンが	
H0559	H0113	H7650	H0113	H3068	H0430		H0519		H8010	
בְנֵךְ	יִמְלֹךְ	אַחֲרָי	וְהוּא	יֵשֵׁב	עַל־	כִּסְאִי׃				
王と–なる	私の–後に	そして–彼が	座る	の–上に	私の–王座に					
H1931	H3427	H3678								

彼女は王に言った、「わが主よ、あなたは、あなたの神、主をさして、はしために誓い、『おまえの子ソロモンがわたしに次いで王となり、わたしの位に座するであろう』と言われました。

18 וְעַתָּה הִנֵּה אֲדֹנִיָּה מָלָךְ וְעַתָּה אֲדֹנִי הַמֶּלֶךְ לֹא יָדָעְתָּ׃

וְעַתָּה	הִנֵּה	אֲדֹנִיָּה	מָלָךְ	וְעַתָּה	אֲדֹנִי	הַמֶּלֶךְ	לֹא	יָדָעְתָּ׃
そして–今	見よ	アドニヤが	王と–なった	そして–今	わが–主よ	王よ	ない	知らなかった
H6258	H2009	H0138		H6258	H0113	H4428	H3808	H3045

そうであるのに、ごらんなさい、今アドニヤが王となりました。王わが主よ、あなたはそれをごぞんじないのです。

19 וַיִּזְבַּח שׁוֹר וּמְרִיא־וְצֹאן לָרֹב וַיִּקְרָא לְכָל־בְּנֵי הַמֶּלֶךְ וְלֶאֱבְיָתָר הַכֹּהֵן וְלִיוֹאָב שַׂר הַצָּבָא וְלִשְׁלֹמֹה עַבְדְּךָ לֹא קָרָא׃

וַיִּזְבַּח	שׁוֹר	וּמְרִיא־	וְצֹאן	לָרֹב	וַיִּקְרָא	לְכָל־	בְּנֵי	הַמֶּלֶךְ	
そして–屠った	牛を	そして–肥えた–家畜を	そして–羊を	多くの	そして–招いた	すべての	息子たちを	王の	
H2076	H7794	H4806	H6629	H7230	H7121	H3605		H4428	
וְלֶאֱבְיָתָר	הַכֹּהֵן	וְלִיוֹאָב	שַׂר	הַצָּבָא	וְלִשְׁלֹמֹה	עַבְדְּךָ	לֹא	קָרָא׃	
そして–エブヤタル	祭司を	そして–ヨアブ	将軍を	軍の	しかし–ソロモン	あなたの–しもべを	ない	招かなかった	
H0054	H3548	H3097	H8269		H8010	H5650	H3808	H7121	

彼は牛と肥えた家畜と羊をたくさんほふって、王の子たち、および祭司アビヤタルと、軍の長ヨアブを招きましたが、あなたのしもべソロモンは招きませんでした。

20 וְאַתָּה֙ אֲדֹנִ֣י הַמֶּ֔לֶךְ עֵינֵ֥י כָל־יִשְׂרָאֵ֖ל עָלֶ֑יךָ
そして-あなたは わが-主よ 王よ 目が すべての イスラエルの あなたに-向いています
H0113 H4428 H5869 H3605 H3478

לְהַגִּ֣יד לָהֶ֔ם מִ֥י יֵשֵׁ֖ב עַל־כִּסֵּ֣א אֲדֹנִ֣י הַמֶּ֑לֶךְ אַחֲרָֽיו׃
告げるために 彼らに 誰が 座るのかを の-上に 王座に わが-主-の 王の 後に
H5046 H4310 H3427 H5921 H3678 H0113 H4428 H0310

王わが主よ、イスラエルのすべての目はあなたに注がれ、だれがあなたに次いで、王わが主の位に座すべきかを告げられるのを望んでいます。

21 וְהָיָ֗ה כִּשְׁכַּב֙ אֲדֹנִ֣י הַמֶּ֔לֶךְ עִם־אֲבֹתָ֖יו וְהָיִ֣יתִי אֲנִ֑י
そして-なる 横たわる-とき わが-主-が 王が と-共に 先祖たちと そして-なる 私と
H1961 H7901 H0113 H4428 H5973 H0001 H1961 H0589

וּבְנִ֖י שְׁלֹמֹ֥ה חַטָּאִֽים׃
そして-私の-息子 ソロモンは 罪人と
H1121 H8010 H2400

王わが主が先祖と共に眠られるとき、わたしと、わたしの子ソロモンは謀叛人とみなされるでしょう」。

22 וְהִנֵּ֗ה עוֹדֶ֙נָּה֙ מְדַבֶּ֣רֶת עִם־הַמֶּ֔לֶךְ וְנָתָ֥ן הַנָּבִ֖יא בָּ֑א׃
そして-見よ まだ 話している-間に と-共に 王 そして-ナタン 預言者が 来た
H2009 H5750 H1696 H5973 H4428 H5416 H5030 H0935

バテシバがなお王と話しているうちに、預言者ナタンがはいってきた。

23 וַיַּגִּ֣ידוּ לַמֶּ֣לֶךְ לֵאמֹ֔ר הִנֵּ֥ה נָתָ֖ן הַנָּבִ֑יא וַיָּבֹא֙ לִפְנֵ֣י הַמֶּ֔לֶךְ
そして-告げた 言って 見よ ナタン 預言者が そして-来た の-前に 王の
H5046 H0559 H2009 H5416 H5030 H0935 H6440 H4428

וַיִּשְׁתַּ֥חוּ לַמֶּ֛לֶךְ עַל־אַפָּ֖יו אָֽרְצָה׃
そして-ひれ伏した 王に の-上に 顔を 地に
H7812 H4428 H5921 H0639 H0776

人々は王に告げて、「預言者ナタンがここにおります」と言った。彼は王の前にはいり、地に伏して王を拝した。

24 וַיֹּ֣אמֶר֮ נָתָן֒ אַתָּ֤ה אֲדֹנִי֙ הַמֶּ֔לֶךְ אָמַ֕רְתָּ אֲדֹנִיָּ֥הוּ יִמְלֹ֖ךְ
そして-言った ナタンは あなたは わが-主よ 王よ 言ったのですか アドニヤが 王と-なる
H0559 H5416 H0859 H0113 H4428 H0559 H0138 H4427

וְה֥וּא יֵשֵׁ֖ב עַל־כִּסְּאִֽי׃
そして-彼が 座る の-上に 私の-王座に-と
H1931 H3427 H5921 H3678

そしてナタンは言った、「王わが主よ、あなたは、『アドニヤがわたしに次いで王となり、わたしの位に座するであろう』と仰せられましたか。

25 כִּ֣י יָרַ֗ד הַיּוֹם֙ וַיִּזְבַּ֣ח שׁ֔וֹר וּמְרִיא־וְצֹ֖אן לָרֹ֑ב
なぜなら 下って行った 今日 そして-屠った 牛を そして-肥えた-家畜を そして-羊を 多くの
H3381 H3117 H2076 H7794 H4806 H6629 H7230

וַיִּקְרָ֞א לְכָל־בְּנֵ֣י הַמֶּ֗לֶךְ וְלִשָּׂרֵי֙ הַצָּבָ֔א וְלְאֶבְיָתָ֖ר הַכֹּהֵ֑ן
そして-招いた すべての 息子たちを 王の そして-将軍たちを 軍の そして-エブヤタル 祭司を
H7121 H3605 H1121 H4428 H8269 H6635 H0054 H3548

וְהִנָּ֣ם אֹכְלִ֤ים וְשֹׁתִים֙ לְפָנָ֔יו וַיֹּאמְר֖וּ יְחִ֥י הַמֶּ֖לֶךְ אֲדֹנִיָּֽהוּ׃
そして-見よ-彼らは 食べて そして-飲んで-いる 彼の-前で そして-言っている 万歳 王 アドニヤ
H2009 H0398 H8354 H6440 H0559 H2421 H4428 H0138

彼はきょう下っていって、牛と、肥えた家畜と羊をたくさんほふって、王の子たちと、軍の長ヨアブと、祭司アビヤタルを招きました。彼らはアドニヤの前で食い飲みして、『アドニヤ万歳』と言いました。

26 וְלִי־ אֲנִי־ לְעַבְדֶּךָ וּלְצָדֹק הַכֹּהֵן וְלִבְנָיָהוּ בֶן־ יְהוֹיָדָע
しかし–私 私には 僕–あなたの–しもべ そして–ツァドク 祭司 そして–ベナヤ の–息子 エホヤダの
H3077 H1141 H3548 H6659 H5650 H0589

וְלִשְׁלֹמֹה עַבְדְּךָ לֹא קָרָא׃
そして–ソロモン あなたの–しもべを ない 招かなかった
H8010 H5650 H3808 H7121

しかし、あなたのしもべであるわたしと、祭司ザドクと、エホヤダの子ベナヤと、あなたのしもべソロモンを招きませんでした。

27 אִם־ מֵאֵת֙ אֲדֹנִ֣י הַמֶּ֔לֶךְ נִהְיָ֥ה הַדָּבָ֖ר הַזֶּ֑ה וְלֹ֣א הוֹדַעְתָּ֗ אֶת־
もし から わが–主 王の 出た 言葉–が この そして–ない 知らせなかった を
H0854 H0113 H4428 H1961 H1697 H2088 H3808 H3045 H0853

עבדיך] עַבְדְּךָ) מִי יֵשֶׁב֙ עַל־ כִּסֵּ֣א אֲדֹנִ֣י הַמֶּ֔לֶךְ
あなたの–しもべたちに あなたの–しもべに 誰が 座るのかを の–上に 王座に わが–主–の 王の
H5650 H5650 H4310 H3427 H3678 H0113 H4428

אַחֲרָֽיו׃ ס
後に （区切り）

この事は王わが主がさせられた事ですか。あなたはしもべたちに、だれがあなたに次いで王わが主の位に座すべきかを告げられませんでした」。

28 לְבַת־ שָׁבַע֙ וַיַּ֣עַן הַמֶּ֔לֶךְ וַיֹּ֖אמֶר קִרְאוּ־ לִ֣י דָוִ֑ד וַתָּבֹ֖א
バト・シェバを そして–答えた 王 ダビデは そして–言った 呼びなさい 私の–ために
H1339 H4428 H1732 H0559 H7121

לִפְנֵ֥י הַמֶּ֖לֶךְ וַתַּעֲמֹ֥ד לִפְנֵ֖י הַמֶּ֑לֶךְ׃
の–前に 王の の–前に そして–立った 王の
H6440 H4428 H6440 H5975 H4428

וַתָּבֹא 来た–そして
H0935

ダビデ王は答えて言った、「バテシバをわたしのところに呼びなさい」。彼女は王の前にはいってきて、王の前に立った。

29 נַפְשִׁ֔י אֶת־ פָּדָ֖ה אֲשֶׁר־ יְהוָ֣ה חַי־ וַיֹּ֖אמֶר הַמֶּ֑לֶךְ וַיִּשָּׁבַע
私の–命を を 贖った なる 主は 生きている そして–言った 王は そして–誓った
H5315 H0853 H6299 H3068 H0559 H4428 H7650

צָרָֽה׃ מִכָּל־
苦難から すべての
H3605

すると王は誓って言った、「わたしの命をすべての苦難から救われた主は生きておられる。

30 כִּי־ לֵאמֹ֗ר יִשְׂרָאֵל֙ אֱלֹהֵ֣י בַיהוָ֔ה לָ֖ךְ נִשְׁבַּ֣עְתִּי כַּאֲשֶׁ֤ר כִּי֙
まことに 言って イスラエルの 神 主に–かけて あなたに 誓った–通りに なる まことに
H0559 H3478 H0430 H3068 H7650

כִּסְאִ֔י עַל־ יֹשֵׁב֙ וְהֽוּא֙ אַחֲרַ֔י יִמְלֹ֖ךְ בִּנֵ֑ךְ שְׁלֹמֹ֣ה
私の–王座に の–上に 座る そして–彼が 私の–後に 王と–なる あなたの–息子 ソロモンが
H3678 H3427 H1931

הַזֶּֽה׃ הַיּ֔וֹם אֶעֱשֶׂ֖ה כֵּ֑ן כִּ֣י תַחְתָּ֔י
この 今日 行う その–通りに まことに 私の–代わりに
H2088 H3117 H8478

わたしがイスラエルの神、主をさしてあなたに誓い、『あなたの子ソロモンがわたしに次いで王となり、わたしに代って、わたしの位に座するであろう』と言ったように、わたしはきょう、そのようにしよう」。

31 וַתֹּאמֶר לַמֶּלֶךְ וַתִּשְׁתַּחוּ אֶרֶץ אַפַּיִם בַּת־שָׁבַע וַתִּקֹּד
そして–言った 王に そして–ひれ伏した 地に 顔を バト・シェバは そして–身を–かがめた
H0559 H4428 H7812 H0776 H0639 H1339 H6915

פ לְעֹלָם׃ דָּוִד הַמֶּלֶךְ אֲדֹנִי יְחִי
（段落） 永遠に ダビデ 王 わが–主 万歳
H5769 H1732 H4428 H0113 H2421

そこでバテシバは身をかがめ、地に伏して王を拝し、「わが主ダビデ王が、とこしえに生きながらえられますように」と言った。

32 וַיֹּאמֶר הַנָּבִיא וְלִבְנָיָהוּ בֶּן־יְהוֹיָדָע וַיָּבֹאוּ לִפְנֵי הַמֶּלֶךְ׃ וְלִבְנָיָהוּ הַכֹּהֵן לְצָדוֹק לִי קְרָא־ דָּוִד הַמֶּלֶךְ
そして–言った 預言者を そして–ベナヤ の–息子 エホヤダの そして–来た の–前に 王の 祭司 ツァドクを 私の–ために 呼びなさい ダビデは 王
H0559 H5030 H1141 H3077 H0935 H6440 H4428 H3548 H6659 H7121 H1732 H4428

33 וַיֹּאמֶר לָהֶם הַמֶּלֶךְ עִמָּכֶם קְחוּ עַבְדֵי
そして–言った 彼らに 王は あなたがたと–共に 連れなさい しもべたちを
H0559 H1931 H4428 H0853 H3947 H5650

אֲדֹנֵיכֶם וְהַרְכַּבְתֶּם לִּי בְּנִי שְׁלֹמֹה אֶת־ עַל־ הַפִּרְדָּה אֲשֶׁר־
あなたがたの–主の そして–乗せなさい 私の 私の–息子を ソロモンを を の–上に 雌ろばに なる
H0113 H7392 H0853 H8010 H1121 H5921 H6506 H0834

גִּחוֹן׃ אֶל־ אֹתוֹ וְהוֹרַדְתֶּם לִי
ギホンへ に 彼を そして–下らせなさい 私の
H1521 H0413 H0853 H3381

王は彼らに言った、「あなたがたの主君の家来たちを連れ、わが子ソロモンをわたしの騾馬に乗せ、彼を導いてギホンに下り、

34 לְמֶלֶךְ הַנָּבִיא וְנָתָן הַכֹּהֵן צָדוֹק שָׁם אֹתוֹ וּמְשַׁח
王と–して 預言者が そして–ナタン 祭司 ツァドク そこで 彼に そして–油を–注ぎなさい
H4428 H5030 H5416 H3548 H6659 H8033 H0853 H4886

שְׁלֹמֹה׃ הַמֶּלֶךְ יְחִי וַאֲמַרְתֶּם בַּשּׁוֹפָר וּתְקַעְתֶּם יִשְׂרָאֵל עַל־
ソロモン 王 万歳 そして–言いなさい 角笛を そして–吹きなさい イスラエル の–上に
H8010 H4428 H2421 H0559 H7782 H8628 H3478

その所で祭司ザドクと預言者ナタンは彼に油を注いでイスラエルの王としなさい。そしてラッパを吹いて、『ソロモン王万歳』と言いなさい。

35 וְהוּא כִסְאִי עַל־ וְיָשַׁב וּבָא אַחֲרָיו וַעֲלִיתֶם
そして–彼が 私の–王座に の–上に そして–座る そして–来て 彼の–後に そして–上って来なさい
H1931 H3678 H5921 H3427 H0935 H0310

יִשְׂרָאֵל עַל־ נָגִיד לִהְיוֹת צִוִּיתִי וְאֹתוֹ תַּחְתָּי יִמְלֹךְ
イスラエル の–上に 指導者に なる–ために 命じた そして–彼を 私の–代わりに 王と–なる
H3478 H5921 H5057 H1961 H6680 H0853 H8478 H4427

יְהוּדָה׃ וְעַל־
ユダ そして–の–上に
H3063

それから、あなたがたは彼に従って上ってきなさい。彼はきて、わたしの位に座し、わたしに代って王となるであろう。わたしは彼を立ててイスラエルとユダの上に主君とする」。

אָמֵן	וַיַּאמֶר	הַמֶּלֶךְ	אֶת־	יְהוֹיָדָע	בֶּן־	בְּנָיָהוּ	וַיַּעַן	36
アーメン	そして-言った	王に	を	エホヤダの	の-息子	ベナヤは	そして-答えた	
H0543	H0559	H4428	H0853	H3077		H1141		

הַמֶּלֶךְ׃	אֲדֹנִי	אֱלֹהֵי	יְהוָה	יֹאמַר	כֵּן
王の	わが-主-の	神	主よ	言って-ください	その-通りに
H4428	H0113	H0430	H3068	H0559	

エホヤダの子ベナヤは王に答えて言った、「アァメン、願わくは、王わが主君の神、主もまたそう仰せられますように。

עִם־	יְהִיֶה)	יהי]	כֵּן	הַמֶּלֶךְ	אֲדֹנִי	עִם־	יְהוָה	הָיָה	כַּאֲשֶׁר	37
と-共に	いて-ください	ある-ように	その-ように	王	わが-主	と-共に	主が	いた	なる	
	H1961	H1961		H4428	H0113		H3068	H1961		

דָּוִד׃	הַמֶּלֶךְ	אֲדֹנִי	מִכִּסֵּא	כִּסְאוֹ	אֶת־	וְיגַדֵּל	שְׁלֹמֹה
ダビデの	王	わが-主-の	よりも	彼の-王座を	を	そして-大きくして-ください	ソロモン
H1732	H4428	H0113	H3678	H3678	H0853	H1431	H8010

願わくは、主が王わが主君と共におられたように、ソロモンと共におられて、その位をわが主君ダビデ王の位よりも大きくせられますように」。

יְהוֹיָדָע	בֶּן־	וּבְנָיָהוּ	הַנָּבִיא	וְנָתָן	הַכֹּהֵן	צָדוֹק	וַיֵּרֶד		38
エホヤダの	の-息子	そして-ベナヤ	預言者	そして-ナタン	祭司	ツァドク	そして-下った		
H3077		H1141	H5030	H5416	H3548	H6659	H3381		

הַמֶּלֶךְ	פִּרְדַּת	עַל־	שְׁלֹמֹה	אֶת־	וַיַּרְכִּבוּ	וְהַפְּלֵתִי	וְהַכְּרֵתִי	
王	雌ろばに	の-上に	ソロモンを	を	そして-乗せた	そして-ペレテ人	そして-ケレテ人	
H4428	H6506		H8010	H0853	H7392	H6432	H3774	

גִּחוֹן׃	עַל־	אֹתוֹ	וַיֹּלִכוּ	דָּוִד	
ギホンへ	に	彼を	そして-連れて行った	ダビデの	
H1521		H0853	H3212	H1732	

そこで祭司ザドクと預言者ナタンおよびエホヤダの子ベナヤ、ならびにケレテびとと、ペレテびとは下って行って、ソロモンをダビデ王の騾馬に乗せ、彼をギホンに導いて行った。

אֶת־	וַיִּמְשַׁח	הָאֹהֶל	מִן־	הַשֶּׁמֶן	קֶרֶן	אֶת־	הַכֹּהֵן	צָדוֹק	וַיִּקַּח	39
を	そして-油を-注いだ	天幕	から	油の	角を	を	祭司は	ツァドク	そして-取った	
H0853	H4886	H0168		H8081		H0853	H3548	H6659	H3947	

שְׁלֹמֹה׃	הַמֶּלֶךְ	יְחִי	הָעָם	כָּל־	וַיֹּאמְרוּ	בַּשּׁוֹפָר	וַיִּתְקְעוּ	שְׁלֹמֹה
ソロモン	王	万歳	民は	すべての	そして-言った	角笛を	そして-吹いた	ソロモンに
H8010	H4428	H2421		H3605	H0559	H7782	H8628	H8010

祭司ザドクは幕屋から油の角を取ってきて、ソロモンに油を注いだ。そしてラッパを吹き鳴らし、民は皆「ソロモン王万歳」と言った。

וּשְׂמֵחִים	בַּחֲלִלִים	מְחַלְלִים	וְהָעָם	אַחֲרָיו	הָעָם	כָּל־	וַיַּעֲלוּ		40
そして-喜び	笛を	笛を-吹いて	そして-民は	彼の-後に	民は	すべての	そして-上って来た		
H8056	H2485					H3605	H5927		

בְּקוֹלָם׃	הָאָרֶץ	וַתִּבָּקַע	גְּדוֹלָה	שִׂמְחָה	
彼らの-声で	地が	そして-割れた	大きな	喜び	
	H0776	H1234		H8057	

民はみな彼に従って上り、笛を吹いて大いに喜び祝った。地は彼らの声で裂けるばかりであった。

41 וַיִּשְׁמַע אֲדֹנִיָּהוּ וְכָל־ הַקְּרֻאִים אֹתּוֹ אֲשֶׁר
そして–聞いた アドニヤは そして–すべての 招かれた–者たちは 彼と–共にいた なる
H8085 H0138 H3605 H7121 H0854

וְהֵם כִּלּוּ לֶאֱכֹל וַיִּשְׁמַע יוֹאָב אֶת־ קוֹל הַשּׁוֹפָר וַיֹּאמֶר
そして–彼らは 終えた 食べることを そして–聞いた ヨアブは を 音を 角笛の そして–言った
H1992 H3615 H0398 H8085 H3097 H0853 H7782 H0559

מַדּוּעַ קוֹל־ הַקְּרִיָּה הוֹמָה׃
なぜ 音が 都に 騒がしいのか
H4069 H7151 H1993

アドニヤおよび彼と共にいた客たちは皆食事を終ったとき、これを聞いた。ヨアブはラッパの音を聞いて言った、「町の中のあの騒ぎは何か」。

42 עוֹדֶנּוּ מְדַבֵּר וְהִנֵּה יוֹנָתָן בֶּן־ אֶבְיָתָר הַכֹּהֵן בָּא
まだ 話している–間に そして–見よ ヨナタンが の–息子 エブヤタルの 祭司の 来た
H5750 H1696 H2009 H3129 H0054 H3548 H0935

וַיֹּאמֶר אֲדֹנִיָּהוּ בֹּא כִּי אִישׁ חַיִל אַתָּה וְטוֹב
そして–言った アドニヤは 入りなさい なぜなら 人 力ある あなたは そして–良い
H0559 H0138 H0935 H0376 H2428

תְּבַשֵּׂר׃
知らせを–もたらす
H1319

彼の言葉のなお終らないうちに、そこへ祭司アビヤタルの子ヨナタンがきたので、アドニヤは彼に言った、「はいりなさい。あなたは勇敢な人で、よい知らせを持ってきたのでしょう」。

43 וַיַּעַן יוֹנָתָן וַיֹּאמֶר לַאדֹנִיָּהוּ אֲבָל אֲדֹנֵינוּ הַמֶּלֶךְ־ דָּוִד
そして–答えた ヨナタンは そして–言った アドニヤに いいえ わたしたちの–主 王 ダビデが
H3129 H0559 H0138 H0061 H0113 H4428 H1732

הִמְלִיךְ אֶת־ שְׁלֹמֹה׃
王と–した を ソロモンを
H0853 H8010

ヨナタンは答えてアドニヤに言った、「いいえ、主君ダビデ王はソロモンを王とせられました。

44 וַיִּשְׁלַח אִתּוֹ־ הַמֶּלֶךְ אֶת־ צָדוֹק הַכֹּהֵן וְאֶת־ נָתָן הַנָּבִיא
そして–遣わした 彼と–共に 王は を ツァドク 祭司 そして を ナタン 預言者
H7971 H0854 H4428 H0853 H6659 H3548 H0853 H5416 H5030

וּבְנָיָהוּ בֶּן־ יְהוֹיָדָע וְהַכְּרֵתִי וְהַפְּלֵתִי וַיַּרְכִּבוּ אֹתוֹ
そして–ベナヤ の–息子 エホヤダの そして–ケレテ人 そして–ペレテ人を そして–乗せた 彼を
H1141 H3077 H3774 H6432 H7392 H0853

עַל פִּרְדַּת הַמֶּלֶךְ׃
の–上に 雌ろばに 王の
H6506 H4428

王は祭司ザドクと預言者ナタンおよびエホヤダの子ベナヤ、ならびにケレテびとと、ペレテびとをソロモンと共につかわされたので、彼らはソロモンを王の騾馬に乗せて行き、

45 וַיִּמְשְׁחוּ֩ אֹת֨וֹ הַכֹּהֵ֜ן צָד֣וֹק וְנָתָ֣ן הַנָּבִ֗יא לְמֶ֙לֶךְ֙ בְּגִחֹ֔ון
そして-油を-注いだ 彼に ツァドク 祭司 そして-ナタン 預言者が 王と-して ギホンで
H4886 H0853 H6659 H3548 H5416 H5030 H4428 H1521

וַיַּעֲל֥וּ מִשָּׁ֖ם שְׂמֵחִ֑ים וַתֹּהֲמ֣וֹם הַקִּרְיָ֔ה הִ֥וא הַקֹּ֖ול אֲשֶׁ֥ר שְׁמַעְתֶּֽם׃
そして-上って来た そこから 喜んで そして-騒いだ 都が それが その-音 なる 聞いた
H5927 H8033 H8056 H1949 H7151 H1931 H0853 H8085

祭司ザドクと預言者ナタンはギホンで彼に油を注いで王としました。そして彼らがそこから喜んで上って来るので、町が騒がしいのです。あなたが聞いた声はそれなのです。

46 וְגַם֙ יָשַׁ֣ב שְׁלֹמֹ֔ה עַ֖ל כִּסֵּ֣א הַמְּלוּכָֽה׃
そして-また 座った ソロモンは の-上に 王座に 王国の
H1571 H3427 H8010 H5921 H3678 H4410

こうしてソロモンは王の位に座し、

47 וְגַם־בָּ֣אוּ עַבְדֵ֣י הַמֶּ֗לֶךְ לְבָרֵךְ֙ אֶת־אֲדֹנִ֣ינוּ הַמֶּ֔לֶךְ
そして-また 来た しもべたちは 王の 祝福する-ために を わたしたちの-主 王
H1571 H0935 H5650 H4428 H1288 H0853 H0113 H4428

לֵאמֹ֔ר דָּוִ֖ד [אלהיך] ייטב֙ אֱלֹהִ֣ים (אלהים) שְׁלֹמֹ֤ה שֵׁם֙ אֶת־
言って ダビデを 良くして-ください 神が 神が ソロモンの 名を を
H0559 H1732 H3190 H0430 H0430 H8010 H8034 H0853

מִכִּסְאֶ֔ךָ וְיגַדֵּ֖ל כִּסְאֹ֑ו אֶת־ מִשְׁפָּחְתֹּ֔ו
あなたの-王座-よりも 彼の-王座を を そして-大きくして-ください あなたの-名-よりも
H3678 H3678 H0853 H1431 H8034

וַיִּשְׁתָּ֥חוּ הַמֶּ֖לֶךְ עַל־ הַמִּשְׁכָּֽב׃
そして-ひれ伏した 王は の-上で 寝台の
H7812 H4428 H5921 H4904

かつ王の家来たちがきて、主君ダビデ王に祝いを述べて、『願わくは、あなたの神がソロモンの名をあなたの名よりも高くし、彼の位をあなたの位よりも大きくされますように』と言いました。そして王は床の上で拝されました。

48 וְגַם־ כָּכָ֞ה אָמַ֣ר הַמֶּ֗לֶךְ בָּר֤וּךְ יְהוָה֙ אֱלֹהֵ֣י יִשְׂרָאֵ֔ל אֲשֶׁ֥ר
そして-また この-ように 言った 王は ほむべき-かな 主 神 イスラエルの なる
H1571 H3602 H0559 H4428 H1288 H3068 H0430 H3478 H0834

נָתַ֥ן הַיֹּ֖ום יֹושֵׁ֣ב עַל־ כִּסְאִ֑י וְעֵינַ֖י רֹא�ֹֽות׃
与えた 今日 座る-者を の-上に 私の-王座に そして-私の-目が 見ている
H5414 H3117 H3427 H5921 H3678 H5869 H7200

王はまたこう言われました、『イスラエルの神、主はほむべきかな。主はきょう、わたしの位に座するひとりの子を与えて、これをわたしに見せてくださった』と」。

49 וַיֶּחֶרְד֣וּ וַיָּקֻ֔מוּ כָּל־ הַקְּרֻאִ֖ים אֲשֶׁ֣ר לַאֲדֹנִיָּ֑הוּ
そして-恐れた そして-立ち上がった すべての 招かれた-者たちは なる アドニヤの-もとにいた
H2729 H6965 H3605 H7121 H0834 H0138

וַיֵּלְכ֖וּ אִ֥ישׁ לְדַרְכֹּֽו׃
そして-去った 各人 自分の-道に
H3212 H0376 H1870

その時アドニヤと共にいた客はみな驚き、立っておのおの自分の道に去って行った。

50 וַאֲדֹנִיָּ֗הוּ וַיִּרָא֙ מִפְּנֵ֣י שְׁלֹמֹ֔ה וַיָּ֣קָם וַיֵּ֔לֶךְ וַיַּחֲזֵ֖ק בְּקַרְנ֣וֹת הַמִּזְבֵּֽחַ׃

そして-アドニヤは 恐れた の-前に ソロモンを そして-立ち上がった そして-行った
H0138 H3372 H6440 H8010 H3212

祭壇の 角を そして-つかんだ
H4196 H2388

そしてアドニヤはソロモンを恐れ、立って行って祭壇の角をつかんだ。

51 וַיֻּגַּ֣ד לִשְׁלֹמֹ֔ה לֵאמֹ֖ר הִנֵּ֣ה אֲדֹנִיָּ֗הוּ יָרֵא֙ אֶת־הַמֶּ֣לֶךְ שְׁלֹמֹ֔ה וְהִנֵּ֣ה הֶחֱזִ֔יק בְּקַרְנ֖וֹת הַמִּזְבֵּ֑חַ לֵאמֹ֗ר יִשָּׁבַ֤ע לִי֙ כַּיּ֣וֹם הַמֶּ֔לֶךְ אִם־לֹ֥א יָמִ֛ית אֶת־עַבְדּ֖וֹ בֶּחָֽרֶב׃

そして-告げられた ソロモンに 言って 見よ アドニヤは 恐れている を 王 ソロモンを
H5046 H8010 H0559 H2009 H0138 H3372 H0853 H4428 H8010

つかんでいる 角を 祭壇の 言って 誓って-ください 私に 今日 王
H0270 H7650 H4196 H0559 H7650 H0589 H3117 H4428

もし 殺さないと を 彼の-しもべを 剣で
H0518 H4191 H0853 H5650 H2719

ある人がこれをソロモンに告げて言った、「アドニヤはソロモンを恐れ、今彼は祭壇の角をつかんで、『どうぞ、ソロモン王がきょう、つるぎをもってしもべを殺さないとわたしに誓ってくださるように』と言っています」。

52 וַיֹּ֣אמֶר שְׁלֹמֹ֗ה אִם־יִהְיֶ֤ה לְבֶן־חַ֙יִל֙ לֹא־יִפֹּ֣ל מִשַּׂעֲרָת֔וֹ אָ֑רְצָה וְאִם־תִּמָּצֵ֥א בּ֛וֹ רָעָ֖ה וָמֵֽת׃

そして-言った ソロモンは もし なる の-息子 ない 落ちない 彼の-髪-一本も
H0559 H8010 H0518 H1961 H1121 H2428 H3808 H5307 H8185

そして-悪が しかし-もし 地に 死ぬ 彼に 見つかれば
H0176 H0518 H7451 H0776 H4191 H0869 H4672

ソロモンは言った、「もし彼がよい人となるならば、その髪の毛ひとすじも地に落ちることはなかろう。しかし彼のうちに悪のあることがわかるならば、彼は死ななければならない」。

53 וַיִּשְׁלַ֤ח הַמֶּ֙לֶךְ֙ שְׁלֹמֹ֔ה וַיּוֹרִדֻ֖הוּ מֵעַ֣ל הַמִּזְבֵּ֑חַ וַיָּבֹ֗א וַיִּשְׁתָּ֤חוּ לַמֶּ֙לֶךְ֙ שְׁלֹמֹ֔ה וַיֹּ֥אמֶר ל֖וֹ שְׁלֹמֹ֑ה לֵ֥ךְ לְבֵיתֶֽךָ׃

そして-遣わした 王 ソロモンは そして-下ろさせた から 祭壇 そして-来た
H7971 H4428 H8010 H3381 H4605 H4196 H0935

そして-ひれ伏した に 王 ソロモンに そして-言った ソロモンは 行きなさい あなたの-家に
H7812 H4428 H8010 H0559 H0559 H8010 H3212

פ
(段落)

ソロモンは人をつかわして彼を祭壇からつれて下らせた。彼がきてソロモンを拝したので、ソロモンは彼に「家に帰りなさい」と言った。

Chapter 2

1 וַיִּקְרְב֣וּ יְמֵי־דָוִ֔ד לָמ֖וּת וַיְצַ֣ו אֶת־שְׁלֹמֹ֥ה בְנ֛וֹ לֵאמֹֽר׃

そして-近づいた 日々が ダビデの 死ぬ-ことに そして-命じた を ソロモン 彼の-息子に
H7126 H3117 H1732 H4191 H6680 H0853 H8010 H1121

言って
H0559

ダビデの死ぬ日が近づいたので、彼はその子ソロモンに命じて言った、

2 אָנֹכִי הֹלֵךְ בְּדֶרֶךְ כָּל־הָאָרֶץ וְחָזַקְתָּ וְהָיִיתָ לְאִישׁ׃
私は 行く 道を すべての 地の そして-強くなり そして-なりなさい 男に
H0595 H1980 H1870 H3605 H0776 H2388 H1961 H0376

「わたしは世のすべての人の行く道を行こうとしている。あなたは強く、男らしくなければならない。

3 וְשָׁמַרְתָּ אֶת־מִשְׁמֶרֶת יְהוָה אֱלֹהֶיךָ לָלֶכֶת בִּדְרָכָיו לִשְׁמֹר
そして-守りなさい を 務めを 主 あなたの-神の 歩む-ために その-道に 守り
H8104 H0853 H4931 H3068 H0430 H3212 H1870 H8104

חֻקֹּתָיו מִצְוֹתָיו וְעֵדְוֹתָיו כַּכָּתוּב בְּתוֹרַת
その-掟を その-戒めを そして-その-証しを 書かれた-通りに の-律法に
H2708 H4687 H5715 H3789 H8451

מֹשֶׁה לְמַעַן תַּשְׂכִּיל אֵת כָּל־אֲשֶׁר וְאֵת כָּל־אֲשֶׁר תֵּעָשֶׂה
モーセの ために 栄える-ように を すべて なる そして すべて なる 行う-ことを
H4872 H4616 H8505 H0853 H3605 H0834 H0853 H3605 H0834 H6213

שָׁם׃ תִּפְנֶה
そこで 向かう-ところで
H8033 H6437

あなたの神、主のさとしを守り、その道に歩み、その定めと戒めと、おきてとあかしとを、モーセの律法にしるされているとおりに守らなければならない。そうすれば、あなたがするすべての事と、あなたの向かうすべての所で、あなたは栄えるであろう。

4 לְמַעַן יָקִים יְהוָה אֶת־דְּבָרוֹ אֲשֶׁר דִּבֶּר עָלַי לֵאמֹר אִם־
ために 立てる-ように 主が を その-言葉を なる 語った 私に-ついて 言って もし
H4616 H6965 H3068 H0853 H1697 H0834 H1696 H5921 H0559 H0518

יִשְׁמְרוּ בָנֶיךָ אֶת־דַּרְכָּם לָלֶכֶת לְפָנַי בְּכָל־לְבָבָם וּבְכָל־
守るなら あなたの-息子たちが を その-道を 歩む-ために 私の-前に すべての 心で そして-すべての
H8104 H1121 H0853 H1870 H3212 H6440 H3605 H3824 H0834

נַפְשָׁם לֵאמֹר לֹא־יִכָּרֵת לְךָ אִישׁ מֵעַל כִּסֵּא יִשְׂרָאֵל׃
魂で 言って ない 断たれる あなたから 人が から 王座に イスラエルの
H5315 H0559 H3808 H3772 H0376 H5921 H3678 H3478

また主がさきにわたしについて語って『もしおまえの子たちが、その道を慎み、心をつくし、精神をつくして真実をもって、わたしの前に歩むならば、おまえに次いでイスラエルの位にのぼる人が、欠けることはなかろう』と言われた言葉を確実にされるであろう。

5 וְגַם אַתָּה יָדַעְתָּ אֵת אֲשֶׁר־עָשָׂה לִי יוֹאָב בֶּן־
そして-また あなたは 知っている を なる した-ことを 私に ヨアブが の-息子
H1571 H0859 H3045 H0853 H0834 H6213 H0589 H3097 H1121

צְרוּיָה לְשְׁנֵי שָׂרֵי צִבְאוֹת יִשְׂרָאֵל לְאַבְנֵר בֶּן־
ツェルヤの なる した-ことを の-二人の 将軍たちに 軍の イスラエルの アブネル の-息子
H6870 H0834 H6213 H8147 H8269 H6635 H3478 H0074 H1121

וַיָּשֶׂם דְּמֵי־מִלְחָמָה בְּשָׁלֹם וַיְּהַרֹג דְּמֵי מִלְחָמָה בִּשְׁלֻם
そして-置いた 血を 戦いの 平和に そして-殺した 血を 戦いの 平和に
H7760 H1818 H4421 H7965 H2026 H1818 H4421 H7965

חֲגֹרָתוֹ אֲשֶׁר בְּמָתְנָיו וּבְנַעֲלוֹ אֲשֶׁר בְּרַגְלָיו׃
帯に なる 腰の なる そして-履物に 足の
H2289 H0834 H4975 H0834 H5275 H7272

またあなたはゼルヤの子ヨアブがわたしにした事、すなわち彼がイスラエルのふたりの軍の長ネルの子アブネルと、エテルの子アマサにした事を知っている。彼はこのふたりを殺して、戦争で流した地を太平の時に報い、罪のない者の血をわたしの腰のまわりの帯と、わたしの足のくつにつけた。

							6
שְׁאֹֽל׃	בְּשָׁלֹ֑ם	שֵׂיבָתֹ֖ו	תּוֹרֵ֥ד	וְלֹא־	חָכְמָתֶ֔ךָ	וְעָשִׂ֥יתָ	
陰府に	安らかに	彼の–白髪を	下らせるな	そして–ない	あなたの–知恵に–従って	そして–行いなさい	
H7585	H7965	H7872	H3381	H3808	H2451		

ס
（区切り）

それゆえ、あなたの知恵にしたがって事を行い、彼のしらがを安らかに陰府に下らせてはならない。

						7
וְהָיוּ	חֶ֣סֶד	תַּעֲשֶׂה־	הַגִּלְעָדִ֙י	בַּרְזִלַּ֜י	וְלִבְנֵ֗י	
そして–なる–ように	恵みを	行いなさい	ギルアデ人の	バルジライ	そして–の–息子たちに	
H1961			H1569	H1271		

בְּבָרְחִ֖י	אֵלַ֑י	קָרְב֣וּ	כֵּ֔ן	כִּי־	שֻׁלְחָנֶ֗ךָ	בְּאֹכְלֵ֙י
私が–逃げた–とき	私に	近づいた	そのように	なぜなら	あなたの–食卓の	食卓に–連なる–者に
H1272	H0413	H7126			H7979	H0398

אָחִ֥יךָ׃	אַבְשָׁלֹ֖ום	מִפְּנֵ֥י
あなたの–兄弟	アブシャロム	の–前から
H0251	H0053	H6440

ただしギレアデびとバルジライの子らには恵みを施し、彼らをあなたの食卓で食事する人々のうちに加えなさい。彼らはわたしがあなたの兄弟アブサロムを避けて逃げた時、わたしを迎えてくれたからである。

								8
וְהוּא	מִבַּחֲרִ֔ים	בֶּן־הַיְמִינִ֖י	גֵּרָ֣א	בֶּן־	שִׁמְעִ֑י	עִמְּךָ֙	וְהִנֵּה	
そして–彼は	バフリムの	ベニヤミン人の	ゲラの	の–息子	シムイ	あなたと–共に	そして–見よ	
H1931	H0980	H1145	H1617		H8096		H2009	

יָרַ֣ד	וְהוּא־	מַחֲנָ֗יִם	לֶכְתִּ֙י֙	בְּיֹ֣ום	נִמְרֶ֔צֶת	קְלָלָ֖ה	קִלְלַ֥נִי	
下って–来た	そして–彼は	マハナイムへ	私が–行った	の–日に	激しい	呪い	呪った–私を	
H3381	H1931	H4266	H3212	H3117	H4834	H7045	H7043	

בְּחָ֑רֶב׃	אֲמִיתְךָ֖	אִם־	לֵאמֹ֔ר	בַּיהוָ֣ה	לֹ֔ו	וָאֶשָּׁבַ֤ע	הַיַּרְדֵּן֙	לִקְרָאתִ֔י
剣で	殺す–なら	もし	言って	主に–かけて	彼に	そして–誓った	ヨルダンへ	迎えに–私の
H2719	H4191		H0559	H3068		H7650	H3383	H7125

またバホリムのベニヤミンびとゲラの子シメイがあなたと共にいる。彼はわたしがマハナイムへ行った時、激しいのろいの言葉をもってわたしをのろった。しかし彼がヨルダンへ下ってきて、わたしを迎えたので、わたしは主をさして彼に誓い、『わたしはつるぎをもってあなたを殺さない』と言った。

									9
אֵת֙	וְיָדַעְתָּ֣	אַתָּ֔ה	חָכָ֖ם	אִ֑ישׁ	כִּ֣י	תְנַקֶּ֔הוּ	אַל־	וְעַתָּה֙	
を	そして–知っている	あなたは	知恵ある	人	なぜなら	無罪と–するな	ない	そして–今	
H0853	H3045		H2450	H0376		H5352	H0408	H6258	

שְׁאֹֽל׃	בְּדָ֖ם	שֵׂיבָתֹ֑ו	אֶת־	וְהֹורַדְתָּ֣	לֹּ֔ו	תַּעֲשֶׂה־	אֲשֶׁ֥ר
陰府に	血で	彼の–白髪を	を	そして–下らせなさい	彼に	行う–べき–ことを	なる
H7585	H1818	H7872	H0853	H3381			

しかし彼を罪のない者としてはならない。あなたは知恵のある人であるから、彼になすべき事を知っている。あなたは彼のしらがを血に染めて陰府に下らせなければならない」。

								10
פ	דָּוִֽד׃	בְּעִ֖יר	וַיִּקָּבֶ֥ר	אֲבֹתָ֑יו	עִם־	דָּוִ֔ד	וַיִּשְׁכַּ֖ב	
（段落）	ダビデの	の–町に	そして–葬られた	先祖たち	と–共に	ダビデは	そして–横たわった	
	H1732		H6912	H0001		H1732	H7901	

ダビデはその先祖と共に眠って、ダビデの町に葬られた。

11 וְהַיָּמִים אֲשֶׁר מָלַךְ דָּוִד עַל־יִשְׂרָאֵל אַרְבָּעִים שָׁנָה בְּחֶבְרוֹן
そして-日々は なる ダビデが 治めた の-上に イスラエル 四十 年 ヘブロンで
H3117 H0834 H4427 H1732 H5921 H3478 H0705 H8141

וּבִירוּשָׁלִַם מָלַךְ שְׁלֹשִׁים וְשָׁלֹשׁ שָׁנִים׃
そして-エルサレムで 治めた 三十 そして-三 年
H3389 H4427 H7970 H7969 H8141

ダビデがイスラエルを治めた日数は四十年であった。すなわちヘブロンで七年、エルサレムで三十三年、王であった。

12 וְשִׁלֹּמֹה יָשַׁב עַל־כִּסֵּא דָּוִד אָבִיו וַתִּכֹּן מַלְכֻתוֹ
そして-ソロモンは 座った の-上に 王座に ダビデ 彼の-父の そして-確立した 彼の-王国は
H8010 H3427 H5921 H3678 H1732 H0001 H3559 H4438

מְאֹד׃
非常に
H3966

このようにしてソロモンは父ダビデの位に座し、国は堅く定まった。

13 וַתָּבֹא אֲדֹנִיָּהוּ בֶן־חַגִּית אֶל־בַּת־שֶׁבַע אֵם־שְׁלֹמֹה
そして-来た アドニヤは の-息子 ハギテの に バト・シェバ の-母 ソロモンの
H0935 H0138 H1121 H2294 H0413 H1339 H0517 H8010

וַתֹּאמֶר הֲשָׁלוֹם וַיֹּאמֶר בְּאֶךָ שָׁלוֹם׃
そして-言った 平和か そして-言った あなたの-来訪は 平和だ
H0559 H7965 H0559 H0935 H7965

さて、ハギテの子アドニヤがソロモンの母バテシバのところへきたので、バテシバは言った、「あなたは穏やかな事のためにきたのですか」。彼は言った、「穏やかな事のためです」。

14 וַיֹּאמֶר דָּבָר לִי אֵלַיִךְ וַתֹּאמֶר דַּבֵּר׃
そして-言った 言葉が 私に あなたに-ある そして-言った 話しなさい
H0559 H1697 H0559 H0413 H1696

彼はまた言った、「あなたに申しあげる事があります」。バテシバは言った、「言いなさい」。

15 וַיֹּאמֶר אַתְּ יָדַעַתְּ כִּי־לִי הָיְתָה הַמְּלוּכָה וְעָלַי שָׂמוּ
そして-言った あなたは 知っている こと-を 私に あった 王位が そして-私に 向けた
H0559 H0859 H3045 H3588 H0559 H1961 H4410 H5921 H7760

וַתְּהִי הַמְּלוּכָה וַתָּסָב לְמֶלֶךְ פְּנֵיהֶם יִשְׂרָאֵל כָּל־
そして-なった 王位は そして-移った 王と-なるために 顔を イスラエルは すべての
H1961 H4410 H5437 H4427 H6440 H3478 H3605

לְאָחִי כִּי מֵיְהוָה הָיְתָה לוֹ׃
私の-兄弟の なぜなら から-主 あった 彼の-ものに
H0251 H3588 H3068 H1961 H0559

彼は言った、「ごぞんじのように、国はわたしのもので、イスラエルの人は皆わたしが王になるものと期待していました。しかし国は転じて、わたしの兄弟のものとなりました。彼のものとなったのは、主から出たことです。

16 וְעַתָּה שְׁאֵלָה אַחַת אָנֹכִי שֹׁאֵל מֵאִתָּךְ אַל־תָּשֹׁבִי אֶת־
そして-今 願い 一つ 私は 求める あなたに ない 退けないで を
H6258 H7596 H0259 H0595 H7592 H0854 H0408 H7725 H0853

פָּנָי וַתֹּאמֶר דַּבֵּר׃
私の-顔を そして-言った 彼に 話しなさい
H6440 H0559 H0413 H1696

今わたしはあなたに一つのお願いがあります。断らないでください」。バテシバは彼に言った、「言いなさい」。

17 וַיֹּאמֶר אֱמְרִי־נָא לִשְׁלֹמֹה הַמֶּלֶךְ כִּי לֹא־תָשִׁיב אֶת־
そして-言った 言って-ください どうか ソロモン 王に なぜなら ない を
H0559 H0559 H4994 H8010 H4428 H3808 H7725 H0853

פָּנֶיךָ וְיִתֶּן־לִי אֶת־אֲבִישַׁג הַשּׁוּנַמִּית לְאִשָּׁה׃
あなたの-顔を そして-与えて-ほしい を 私に アビシャグ シュネム人の 妻として
H6440 H5414 H0853 H0049 H7767 H0802

彼は言った、「どうかソロモン王に請うて、――王はあなたに断るようなことはないでしょうから――シュナミびとアビシャグをわたしに与えて妻にさせてください」。

18 וַתֹּאמֶר בַּת־שֶׁבַע טוֹב אֲנֹכִי אֲדַבֵּר עָלֶיךָ אֶל־
そして-言った バト・シェバは 良い 私が 話す あなたの-ために に
H0559 H1339 H0595 H1696 H0413

הַמֶּלֶךְ׃
王に
H4428

バテシバは言った、「よろしい。わたしはあなたのために王に話しましょう」。

19 וַתָּבֹא בַת־שֶׁבַע אֶל־הַמֶּלֶךְ שְׁלֹמֹה לְדַבֵּר־לוֹ עַל־
そして-来た バト・シェバは に 王 ソロモンの-もとに 話す-ために 彼に について
H0935 H1339 H0413 H4428 H8010 H1696 H3427

וַיִּשְׁתַּחוּ לָהּ וַיֵּשֶׁב לְכִסֵּא וַיָּקֶם הַמֶּלֶךְ לִקְרָאתָהּ
そして-ひれ伏した 彼女に そして-座った 王座を 王は 迎えに-彼女を そして-立ち上がった
H7812 H3427 H3678 H4428 H7125 H6965

וַיִּשְׁתַּחוּ לָהּ וַיֵּשֶׁב עַל־כִּסֵּא הַמֶּלֶךְ וַיָּשֶׂם כִּסֵּא לְאֵם
そして-ひれ伏した 彼女に そして-座った の-上に 王座を 王の そして-設けた 彼の-王座に の-母の-ために
H7812 H3427 H3678 H4428 H7760 H3678 H0517

הַמֶּלֶךְ וַתֵּשֶׁב לִימִינוֹ׃
王の そして-座った 彼の-右に
H4428 H3427 H3225

バテシバはアドニヤのためにソロモン王に話すため、王のもとへ行った。王は立って迎え、彼女を拝して王座に着き、王母のために座を設けさせたので、彼女は王の右に座した。

20 וַתֹּאמֶר שְׁאֵלָה אַחַת קְטַנָּה אָנֹכִי שֹׁאֶלֶת מֵאִתָּךְ אַל־
そして-言った 願い 一つ 小さな 私は 求める あなたに ない
H0559 H7596 H0259 H6996 H0595 H7592 H0854 H0408

תָּשֶׁב אֶת־פָּנַי וַתֹּאמֶר לָהּ הַמֶּלֶךְ שַׁאֲלִי אִמִּי כִּי לֹא־אָשִׁיב
退けないで を 彼女に 王は 求めなさい 私の-母よ なぜなら ない 退けない
H7725 H0853 H0559 H4428 H7592 H0517 H3588 H3808 H7725

אֶת־פָּנָיִךְ׃
を 私の-顔を
H0853 H6440

そこでバテシバは言った、「あなたに一つの小さいお願いがあります。お断りにならないでください」。王は彼女に言った、「母上よ、あなたの願いを言ってください。わたしは断らないでしょう」。

21 וַתֹּאמֶר יֵתֶן אֶת־אֲבִישַׁג הַשֻּׁנַמִּית לַאֲדֹנִיָּהוּ אָחִיךְ
そして-言った 与えて-ください を アビシャグ シュネム人の アドニヤに あなたの-兄弟に
H0559 H5414 H0853 H0049 H7767 H0138 H0251

לְאִשָּׁה׃
妻として
H0802

彼女は言った、「どうぞ、シュナミびとアビシャグをあなたの兄弟アドニヤに与えて、妻にさせてください」。

22

וַיַּעַן הַמֶּלֶךְ שְׁלֹמֹה וַיֹּאמֶר לְאִמּוֹ וְלָמָּה אַתְּ שֹׁאֶלֶת
そして-答えた 王 ソロモンは そして-言った 彼の-母に そして-なぜ あなたは 求めるのか
H4428 H8010 H0559 H0517 H4100 H7592

אֶת־הַמְלוּכָה לוֹ אֶת־וְשַׁאֲלִי־ לַאֲדֹנִיָּהוּ הַשֻּׁנַמִּית אֶת־אֲבִישַׁג
王位を を 彼の-ために そして-求めなさい アドニヤの-ために シュネム人の アビシャグ を
H4410 H0853 H0853 H7592 H0138 H7767 H0049 H0853

הַכֹּהֵן וּלְאֶבְיָתָר וְלוֹ מִמֶּנִּי הַגָּדוֹל אָחִי הוּא כִּי
祭司 そして-エブヤタル そして-彼の-ため 私より 年上の 私の-兄弟 彼は なぜなら
H3548 H0054 H1931 H0251

פ צְרוּיָה׃ בֶּן־ וּלְיוֹאָב
(段落) ツェルヤの の-息子 そして-ヨアブ
H6870 H3097

ソロモン王は答えて母に言った、「どうしてアドニヤのためにシュナミびとアビシャグを求められるのですか。彼のためには国をも求めなさい。彼はわたしの兄で、彼の味方には祭司アビヤタルとゼルヤの子ヨアブがいるのですから」。

23

וַיִּשָּׁבַע הַמֶּלֶךְ שְׁלֹמֹה בַּיהוָה לֵאמֹר כֹּה יַעֲשֶׂה־ לִי אֱלֹהִים
そして-誓った 王 ソロモンは 主に-かけて 言って この-ように 行う-ように 私に 神が
H7650 H4428 H8010 H3068 H0559 H3541 H0430

וְכֹה יוֹסִיף כִּי בְנַפְשׁוֹ דִּבֶּר אֲדֹנִיָּהוּ אֶת־ הַדָּבָר
そして-この-ように まことに 自分の-命に-かけて 語った アドニヤは を 言葉を
H3541 H3254 H5315 H1696 H0138 H0853 H1697

הַזֹּאת׃
この
H2088

そしてソロモン王は主をさして誓って言った、「もしアドニヤがこの言葉によって自分の命を失うのでなければ、どんなにでもわたしを罰してください。

24

וְעַתָּה חַי־ יְהוָה אֲשֶׁר הֱכִינַנִי [ויושיבני] (וַיּוֹשִׁיבַנִי) עַל־ כִּסֵּא
今 生きている 主は なる 堅く-した そして-座らせた 座らせた の-上に 王座に
H6258 H2416 H3068 H0834 H3559 H3427 H5921 H3678

הַיּוֹם כִּי דִּבֶּר כַּאֲשֶׁר בַּיִת לִי עָשָׂה־ וַאֲשֶׁר אָבִי דָּוִד
今日 まことに 語った なる-通りに 家を 私の-ために 造った そして-なる 私の-父の ダビデ
H3117 H1696 H0834 H1004 H3027 H6213 H0001 H1732

יוּמָת׃ אֲדֹנִיָּהוּ
殺される アドニヤは
H4191 H0138

わたしを立てて、父ダビデの位にのぼらせ、主が約束されたように、わたしに一家を与えてくださった主は生きておられる。アドニヤはきょう殺されなければならない」。

25

וַיִּשְׁלַח הַמֶּלֶךְ שְׁלֹמֹה בְּיַד בְּנָיָהוּ בֶּן־ יְהוֹיָדָע וַיִּפְגַּע־
そして-遣わした 王 ソロモンは の-手で ベナヤ の-息子 エホヤダの そして-打ち倒した
H7971 H4428 H8010 H3027 H1141 H1121 H3077 H6293

בּוֹ וַיָּמֹת׃ ס
彼を そして-死んだ (区切り)
H4191

ソロモン王はエホヤダの子ベナヤをつかわしたので、彼はアドニヤを撃って殺した。

26 וּלְאֶבְיָתָר הַכֹּהֵן אָמַר הַמֶּלֶךְ עֲנָתֹתָה לְךָ עַל־שָׂדֶיךָ כִּי
そして–エブヤタル 祭司に 言った 王は アナトテに 行け あなたの–畑に なぜなら
H0054 H3548 H0559 H4428 H6068 H3212 H7704 H3588

אִישׁ מָוֶת אַתָּה וּבַיּוֹם הַזֶּה לֹא אֲמִיתְךָ כִּי־ נָשָׂאתָ אֶת־
人 死の あなたは そして–の–日に この ない 殺さない なぜなら 担いだ を
H0376 H4194 H0859 H3117 H2088 H3808 H4191 H3588 H5375 H0853

אֲדֹנָי יְהוִה אֲרוֹן בְּכָל וְכִי הִתְעַנִּיתָ אֲבִי לִפְנֵי דָּוִד אָבִי
主 神の 契約の箱を すべて–において そして–なぜなら 苦しんだ 私の–父の ダビデ の–前で 私の–父が
H0136 H3069 H0727 H3605 H3588 H6040 H0001 H1732 H6440 H0001

אֲשֶׁר־ הִתְעַנָּה אָבִי׃
なる 苦しんだ 私の–父が
H0834 H6040 H0001

王はまた祭司アビヤタルに言った、「あなたの領地アナトテへ行きなさい。あなたは死に当る者ですが、さきにわたしの父ダビデの前に神、主の箱をかつぎ、またすべてわたしの父が受けた苦しみを、あなたも共に苦しんだので、わたしは、きょうは、あなたを殺しません」。

27 לְמַלֹּא יְהוָה כֹּהֵן מִהְיוֹת אֶבְיָתָר אֶת־ שְׁלֹמֹה וַיְגָרֵשׁ
成就する–ために 主の 祭司 である–ことから エブヤタルを を ソロモンは そして–追放した
H4390 H3068 H3548 H1961 H0054 H0853 H8010 H1644

פ בְּשִׁלֹה׃ עֵלִי בֵּית עַל־ דִּבֶּר אֲשֶׁר יְהוָה דְּבַר אֶת־
（段落） シロで エリの 家 について 語った なる 主の 言葉を を
H7887 H5941 H1004 H5921 H1696 H0834 H3068 H1697 H0853

そしてソロモンはアビヤタルを主の祭司職から追放した。こうして主がシロでエリの家について言われた主の言葉が成就した。

28 וְהַשְּׁמֻעָה בָּאָה עַד־ יוֹאָב כִּי יוֹאָב נָטָה אַחֲרֵי אֲדֹנִיָּה
そして–知らせが 届いた に ヨアブ なぜなら ヨアブは 従った に–従って アドニヤ
H8052 H0935 H5704 H3097 H3588 H3097 H5186 H0310 H0138

יְהוָה אֹהֶל אֶל־ יוֹאָב וַיָּנָס אַבְשָׁלוֹם נָטָה לֹא וְאַחֲרֵי
主の 天幕に に ヨアブは そして–逃げた アブシャロム 従わなかった ない そして–に–従って
H3068 H0168 H0413 H3097 H5127 H0053 H5186 H3808 H0310

הַמִּזְבֵּחַ׃ בְּקַרְנוֹת וַיַּחֲזֵק
祭壇の 角を そして–つかんだ
H4196 H7161 H2388

さてこの知らせがヨアブに達したので、ヨアブは主の幕屋にのがれて、祭壇の角をつかんだ。ヨアブはアブサロムを支持しなかったけれども、アドニヤを支持したからである。

29 יְהוָה אֹהֶל אֶל־ יוֹאָב נָס כִּי שְׁלֹמֹה לַמֶּלֶךְ וַיֻּגַּד
主の 天幕に に ヨアブが 逃げた こと–を ソロモン 王に そして–告げられた
H3068 H0168 H0413 H3097 H5127 H3588 H8010 H4428 H5046

יְהוֹיָדָע בֶּן־ בְּנָיָהוּ אֶת־ שְׁלֹמֹה וַיִּשְׁלַח הַמִּזְבֵּחַ אֵצֶל וְהִנֵּה
エホヤダの の–息子 ベナヤ を ソロモンは そして–遣わした 祭壇 の–傍に そして–見よ
H3077 H1121 H1141 H0853 H8010 H7971 H4196 H0681 H2009

בּוֹ׃ פְּגַע־ לֵךְ לֵאמֹר
彼を 打ち倒せ 行け 言って
H0996 H6293 H3212 H0559

ヨアブが主の幕屋にのがれて、祭壇のかたわらにいることを、ソロモン王に告げる者があったので、ソロモン王はエホヤダの子ベナヤをつかわし、「行って彼を撃て」と言った。

30 וַיָּבֹא בְנָיָהוּ אֶל־אֹהֶל יְהוָה וַיֹּאמֶר אֵלָיו כֹּה־אָמַר הַמֶּלֶךְ
そして-来た ベナヤは に 天幕に 主の そして-言った 彼に 言った 王は
H0935 H1141 H0413 H0168 H3068 H0559 H0413 H0559 H4428

צֵא וַיֹּאמֶר לֹא כִּי פֹה אָמוּת וַיָּשֶׁב בְּנָיָהוּ אֶת־הַמֶּלֶךְ דָּבָר
出よ そして-言った いいえ なぜなら ここで 死ぬ そして-伝えた ベナヤは を 王に 語った
H3318 H0559 H3808 H6311 H4191 H7725 H1141 H0853 H4428 H1696

לֵאמֹר כֹּה־דִבֶּר יוֹאָב וְכֹה עָנָנִי׃
言って この-ように ヨアブは 語った そして-この-ように 答えた
H0559 H3541 H3097 H1696 H3541 H6030

ベナヤは主の幕屋へ行って彼に言った、「王はあなたに、出て来るようにと申されます」。しかし彼は言った、「いや、わたしはここで死にます」。ベナヤは王に復命して言った、「ヨアブはこう申しました。またわたしにこう答えました」。

31 וַיֹּאמֶר לוֹ הַמֶּלֶךְ עֲשֵׂה כַּאֲשֶׁר דִּבֶּר וּפְגַע־בּוֹ וּקְבַרְתּוֹ
そして-言った 彼に 王は 行え なる-通りに 語った そして-打ち倒せ 彼を そして-葬れ
H0559 H4428 H6213 H1696 H6293 H0853 H6912

וְהָסִרֹתָ דְּמֵי חִנָּם אֲשֶׁר שָׁפַךְ יוֹאָב מֵעָלַי וּמֵעַל בֵּית אָבִי׃
そして-取り除け 血を 罪なき なる 流した ヨアブが 私から そして-から 家 私の-父の
H5493 H1818 H2600 H0834 H8210 H3097 H5921 H4480 H1004 H0001

そこで王はベナヤに言った、「彼が言うようにし、彼を撃ち殺して葬り、ヨアブがゆえなく流した血のとがをわたしと、わたしの父の家から除き去りなさい。

32 וְהֵשִׁיב יְהוָה אֶת־דָּמוֹ עַל־רֹאשׁוֹ אֲשֶׁר פָּגַע בִּשְׁנֵי־
主が を 彼の-血を 彼の-頭に なる 打ち倒した の-二人の
H3068 H0853 H1818 H5921 H7218 H0834 H6293 H8147

אֲנָשִׁים צַדִּקִים וְטוֹבִים מִמֶּנּוּ וַיַּהַרְגֵם בַּחֶרֶב וְאָבִי דָוִד לֹא
人を 正しい そして-良い 彼-より-も そして-殺した 剣で そして-私の-父 ダビデは ない
H0376 H6662 H2896 H4480 H1083 H2026 H2719 H1004 H0001 H1732 H3808

יָדָע עַמָּשָׂא וְאֶת־יִשְׂרָאֵל צְבָא שַׂר־נֵר בֶּן־אַבְנֵר אֶת־וְאֶת
知らなかった アマサ そして イスラエルの 軍の 将軍 ネルの の-息子 アブネル を
H3045 H6021 H0853 H3478 H6635 H8269 H5369 H1121 H0074 H0853

בֶּן־יֶתֶר צְבָא שַׂר־יְהוּדָה׃
の-息子 エテルの 軍の 将軍 ユダの
H1121 H3500 H6635 H8269 H3063

主はまたヨアブが血を流した行為を、彼自身のこうべに報いられるであろう。これは彼が自分よりも正しいすぐれたふたりの人、すなわちイスラエルの軍の長ネルの子アブネルと、ユダの軍の長エテルの子アマサを、つるぎをもって撃ち殺し、わたしの父ダビデのあずかり知らない事をしたからである。

33 וְשָׁבוּ דְמֵיהֶם בְּרֹאשׁ יוֹאָב וּבְרֹאשׁ זַרְעוֹ לְעֹלָם וּלְדָוִד
そして-帰る 彼らの-血は の-頭に ヨアブ そして-の-頭に 彼の-子孫の 永遠に そして-ダビデに
H7725 H1818 H0853 H3097 H6345 H2233 H5769 H1732

וּלְזַרְעוֹ וּלְבֵיתוֹ וּלְכִסְאוֹ יִהְיֶה שָׁלוֹם עַד־עוֹלָם מֵעִם
そして-彼の-子孫に そして-彼の-家に そして-彼の-王座に ある 平和が まで 永遠に から
H2233 H1004 H3678 H1961 H7965 H5704 H5769 H5973

יְהוָה׃
主
H3068

それゆえ、彼らの血は永遠にヨアブのこうべと、その子孫のこうべに帰すであろう。しかしダビデと、その子孫と、その家と、その位とには、主から賜わる平安が永久にあるであろう」。

34 וַיַּ֣עַל בְּנָיָ֣הוּ בֶן־יְהוֹיָדָ֗ע וַיִּפְגַּע־בּוֹ֙ וַיְמִתֵ֔הוּ
そして–上った ベナヤは の–息子 エホヤダの そして–打ち倒した 彼を そして–殺した
H5927 H1141 H1121 H3077 H6293 H853 H4191

וַיִּקָּבֵ֖ר בְּבֵיתוֹ֑ בַּמִּדְבָּ֖ר׃
そして–葬られた 彼の–家に 荒野の
H6912

そこでエホヤダの子ベナヤは上っていって、彼を撃ち殺した。彼は荒野にある自分の家に葬られた。

35 וַיִּתֵּ֣ן הַמֶּ֣לֶךְ אֶת־בְּנָיָ֣הוּ בֶן־יְהוֹיָדָ֗ע תַּחְתָּיו֙ עַל־הַצָּבָ֔א
そして–任命した 王は を ベナヤ の–息子 エホヤダの 彼の–代わりに の–上に 軍に
H5414 H4428 H853 H1141 H1121 H3077 H8478 H5921 H6635

וְאֶת־צָד֥וֹק הַכֹּהֵ֖ן נָתַ֣ן הַמֶּ֑לֶךְ תַּחַת֙ אֶבְיָתָ֔ר׃
そして ツァドク 祭司を 任命した 王は の–代わりに エブヤタル
H853 H6659 H3548 H5414 H4428 H8478 H54

王はエホヤダの子ベナヤを、ヨアブに代って軍の長とした。王はまた祭司ザドクをアビヤタルに代らせた。

36 וַיִּשְׁלַ֤ח הַמֶּ֙לֶךְ֙ וַיִּקְרָ֣א לְשִׁמְעִ֔י וַיֹּ֥אמֶר ל֖וֹ בְּנֵה־
そして–遣わした 王は そして–呼んだ シムイを そして–言った 彼に 建てなさい
H7971 H4428 H7121 H8096 H0559 H0413 H1129

בַ֣יִת לְךָ֔ בִּירוּשָׁלַ֖͏ִם וְיָשַׁבְתָּ֣ שָּׁ֑ם וְלֹ֥א־תֵצֵ֖א מִשָּׁ֥ם׃
家を あなたの–ために エルサレムに そして–住みなさい そこに そして–ない 出るな そこから
H1004 H0413 H3389 H3427 H8033 H3808 H3318 H8033

אָ֔נָה וָאָנָ֖ה׃
あちらに こちらに
H0575 H0575

また王は人をつかわし、シメイを召して言った、「あなたはエルサレムのうちに、自分のために家を建てて、そこに住み、そこからどこへも出てはならない。

37 וְהָיָ֗ה בְּי֛וֹם צֵאתְךָ֥ וְעָבַרְתָּ֖ אֶת־נַ֣חַל קִדְרֹ֑ון יָדֹ֣עַ תֵּדָ֔ע
そして–なる の–日に 出る–日に そして–渡ったら を 川を キドロンの 確かに 知れ
H1961 H3117 H3318 H853 H5158 H6939 H3045 H3045

כִּ֥י מ֛וֹת תָּמ֖וּת דָּמְךָ֥ בְרֹאשֶׁ֖ךָ יִהְיֶ֑ה׃
こと–を 必ず 死ぬ あなたの–血は ある あなたの–頭に
H3588 H4191 H4191 H1818 H1961 H7218

あなたが出て、キデロン川を渡る日には必ず殺されることを、しかと知らなければならない。あなたの血はあなたのこうべに帰すであろう」。

38 וַיֹּ֣אמֶר שִׁמְעִ֗י לַמֶּ֙לֶךְ֙ טֹ֣וב הַדָּבָ֔ר כַּאֲשֶׁ֥ר דִּבֶּ֖ר אֲדֹנִ֣י הַמֶּ֑לֶךְ
そして–言った シムイは 王に 良い 言葉です なる–通りに 語った わが–主 王は
H0559 H8096 H4428 H2896 H1697 H3651 H1696 H0113 H4428

כֵּ֥ן יַעֲשֶׂ֖ה עַבְדֶּ֣ךָ וַיֵּ֥שֶׁב שִׁמְעִ֛י בִּירוּשָׁלַ֖͏ִם יָמִ֣ים רַבִּֽים׃
その–ように 行います あなたの–しもべは そして–住んだ シムイは エルサレムに 日々 多くの
H3651 H6213 H5650 H3427 H8096 H3389 H3117 H7227

ס
（区切り）

シメイは王に言った、「お言葉は結構です。王、わが主の仰せられるとおりに、しもべはいたしましょう」。こうしてシメイは久しくエルサレムに住んだ。

39 וַיְהִי מִקֵּץ שָׁלֹשׁ שָׁנִים וַיִּבְרְחוּ שְׁנֵי־עֲבָדִים לִשְׁמְעִי אֶל־
そして-あった の-終わりに 三 年 そして-逃げた 二人の シムイの に
H1961 H7093 H7969 H8141 H1272 H8147 H8096 H0413

אָכִישׁ בֶּן־מַעֲכָה מֶלֶךְ גַּת וַיַּגִּידוּ לִשְׁמְעִי לֵאמֹר הִנֵּה
アキシュ の-息子 マアカの 王 ガテの そして-告げられた シムイに 言って 見よ
H0397 H1121 H4601 H4428 H1661 H5046 H8096 H0559 H2009

עֲבָדֶיךָ בְּגַת׃
あなたの-しもべたちが ガテに
H5650 H1661

ところが三年の後、シメイのふたりの奴隷が、ガテの王マアカの子アキシのところへ逃げ去った。人々がシメイに告げて、「ごらんなさい、あなたの奴隷はガテにいます」と言ったので、

40 וַיָּקָם שִׁמְעִי וַיַּחֲבֹשׁ אֶת־חֲמֹרוֹ וַיֵּלֶךְ גַּתָּה
そして-立ち上がった シムイは そして-鞍を-置いた を 彼の-ろばに そして-行った ガテへ
H6965 H8096 H2280 H0853 H2543 H3212 H1661

שִׁמְעִי וַיֵּלֶךְ עַבְדָיו אֶת־לְבַקֵּשׁ אָכִישׁ אֶל־
シムイは そして-行った 彼の-しもべたちを を 探す-ために アキシュの-もとに に
H8096 H3212 H5650 H0853 H1245 H0397 H0413

מִגַּת׃ עַבְדָיו וַיָּבֵא אֶת־
ガテから 彼の-しもべたちを を そして-連れ戻した
H1661 H5650 H0853 H0935

シメイは立って、ろばにくらを置き、ガテのアキシのところへ行って、その奴隷を尋ねた。すなわちシメイは行ってその奴隷をガテから連れてきたが、

41 וַיֵּלֶךְ וַיָּשָׁב׃ גַּתָּה מִירוּשָׁלִַם שִׁמְעִי הָלַךְ כִּי־ לִשְׁלֹמֹה וַיֻּגַּד
そして-告げられた ソロモンに こと-を 行った シムイが エルサレムから ガテへ そして-戻った
H5046 H8010 H3389 H1980 H8096 H1661 H7725

シメイがエルサレムからガテへ行って帰ったことがソロモン王に聞えたので、

42 וַיִּשְׁלַח הַמֶּלֶךְ וַיִּקְרָא לִשְׁמְעִי וַיֹּאמֶר אֵלָיו הֲלֹוא הִשְׁבַּעְתִּיךָ
そして-遣わした 王は そして-呼んだ シムイを そして-言った 彼に ではないか 誓わせた
H7971 H4428 H7121 H8096 H0559 H0413 H3808 H7650

וְהָלַכְתָּ אָנָה וַאֲעֵד בְּךָ לֵאמֹר בְּיוֹם צֵאתְךָ בְּיהוָה
そして-行って あちらに そして-警告した あなたに 言って の-日に 出る-日に 主に-かけて
H1980 H0575 H5749 H0559 H3117 H3318 H3068

שָׁמָעְתִּי׃ הַדָּבָר טוֹב אֵלַי וַתֹּאמֶר מוֹת תָּמוּת כִּי תֵדַע יָדֹעַ וָאָנָה
聞きました 言葉です 良い 私に そして-言った 死ぬ 必ず こと-を 知れ 確かに こちらに
H8085 H1697 H2896 H0413 H0559 H4191 H4191 H3045 H3045 H0575

王は人をつかわし、シメイを召して言った、「わたしはあなたに主をさして誓わせ、かつおごそかにあなたを戒めて、『あなたが出て、どこかへ行く日には、必ず殺されることを、しかと知らなければならない』と言ったではないか。そしてあなたは、わたしに『お言葉は結構です。従います』と言った。

43 וּמַדּוּעַ לֹא שָׁמַרְתָּ אֶת־שְׁבֻעַת יְהוָה וְאֶת־הַמִּצְוָה אֲשֶׁר־ צִוִּיתִי
そして-なぜ ない 守らなかったのか を 誓いを 主の そして 命令を なる 命じた
H4069 H3808 H8104 H0853 H7621 H3068 H0853 H4687 H6680

עָלֶיךָ׃
あなたに

ところで、あなたはなぜ主に対する誓いと、わたしが命じた命令を守らなかったのか」。

44 וַיֹּ֤אמֶר הַמֶּ֙לֶךְ֙ אֶל־ שִׁמְעִ֔י אַתָּ֣ה יָדַ֔עְתָּ אֵ֖ת כָּל־ הָרָעָ֑ה אֲשֶׁ֥ר
そして–言った 王は に シムイ あなたは 知っている を すべての 悪を なる
H0559 H4428 H0413 H8096 H0853 H3045 H3605

יָדְעָ֣ה לִבֶּ֔ךָ אֲשֶׁ֥ר עָשִׂ֖יתָ לְדָוִ֣ד אָבִ֑י וְהֵשִׁ֣יב יְהוָ֔ה אֶת־
知っている あなたの–心が なる 行った ダビデに 私の–父に そして–報いる 主が を
H3045 H3824 H0834 H6213 H1732 H0001 H7725 H3068 H0853

רָעָתְךָ֖ בְּרֹאשֶֽׁךָ׃
あなたの–悪を あなたの–頭に

王はまたシメイに言った、「あなたは自分の心に、あなたがわたしの父ダビデにしたもろもろの悪を知っている。主はあなたの悪をあなたのこうべに報いられるであろう。

45 וְהַמֶּ֣לֶךְ שְׁלֹמֹ֔ה בָּר֖וּךְ וְכִסֵּ֣א דָוִ֑ד יִהְיֶ֥ה נָכ֛וֹן לִפְנֵ֥י יְהוָ֖ה עַד־
そして–王 ソロモンは 祝福されている そして–王座は ダビデの ある 堅く の–前に 主
H4428 H8010 H1288 H3678 H1732 H1961 H3559 H6440 H3068 H5704

עוֹלָֽם׃
永遠に
H5769

しかしソロモン王は祝福をうけ、ダビデの位は永久に主の前に堅く立つであろう」。

46 וַיְצַ֣ו הַמֶּ֣לֶךְ אֶת־ בְּנָיָ֣הוּ בֶן־ יְהוֹיָדָ֗ע וַיֵּצֵּ֙א֙ וַיַּ֣ךְ בּ֔וֹ וַיָּ֖מָת
そして–命じた 王は を ベナヤ の–息子 エホヤダの そして–出て行った そして–打ち倒した 彼を そして–死んだ
H6680 H4428 H0853 H1141 H3077 H3318 H6293 H4191

וְהַמַּמְלָכָ֥ה נָכ֖וֹנָה בְּיַד־ שְׁלֹמֹֽה׃
そして–王国は 堅く の–手に ソロモンの
H4467 H3559 H3027 H8010

王がエホヤダの子ベナヤに命じたので、彼は出ていってシメイを撃ち殺した。こうして国はソロモンの手に堅く立った。

Chapter 3

1 וַיִּתְחַתֵּ֥ן שְׁלֹמֹ֖ה אֶת־ פַּרְעֹ֣ה מֶֽלֶךְ־ מִצְרַ֑יִם וַיִּקַּ֗ח אֶת־
そして–姻戚と–なった ソロモンは と パロ 王 エジプトの めとった を
H0853 H3947 H4714 H4428 H6547 H0854 H8010 H5387

בַּת־ פַּרְעֹה֙ וַיְבִיאֶ֔הָ אֶל־ עִ֖יר דָּוִ֑ד עַד־ כַּלֹּתוֹ֙ לִבְנ֣וֹת אֶת־
の–娘を パロ そして–連れて来た–彼女を に 町に ダビデの まで 終える–まで
H1323 H6547 H0935 H0413 H5892 H1732 H5704 H3615 H0853

בֵּית־ יְהוָ֔ה וְאֶת־ בֵּ֖ית בֵּית֑וֹ וְאֵת֙ חוֹמַ֣ת יְרוּשָׁלַ֔͏ִם סָבִֽיב׃
家を 主の そして を 彼の–家 そして を 城壁を エルサレムの 周りの
H1129 H0853 H0853 H1004 H3068 H1004 H2346 H3389 H5439

ソロモン王はエジプトの王パロと縁を結び、パロの娘をめとってダビデの町に連れてきて、自分の家と、主の宮と、エルサレムの周囲の城壁を建て終るまでそこにおらせた。

רַ֗ק הָעָם֙ מְזַבְּחִ֣ים בַּבָּמ֔וֹת כִּ֥י לֹא־ נִבְנָ֖ה בַּ֥יִת 2
ただ 民は いけにえを–ささげていた 高き–所で なぜなら ない 家が建てられて–いなかった
H7535 H2076 H1116 H3808 H1129

לְשֵׁ֣ם יְהוָ֔ה עַ֚ד הַיָּמִ֔ים הָהֵ֖ם׃ פ
の–名の–ために 主 まで 日々 その （段落）
H8034 H3068 H5704 H3117 H1992

そのころまで主の名のために建てた宮がなかったので、民は高き所で犠牲をささげていた。

וַיֶּאֱהַ֤ב שְׁלֹמֹה֙ אֶת־ יְהוָ֔ה לָלֶ֖כֶת בְּחֻקּ֣וֹת דָּוִ֣ד אָבִ֑יו רַ֣ק 3
そして–愛した ソロモンは を 主 歩む–ために の–掟に ダビデ 彼の–父の ただ
H0157 H8010 H0853 H3068 H3212 H2708 H1732 H0001 H7535

הוּא֙ בַּבָּמ֔וֹת מְזַבֵּ֖חַ וּמַקְטִ֥יר׃
彼は 高き–所で いけにえを–ささげ そして–香を–たいていた
H1931 H1116 H2076

ソロモンは主を愛し、父ダビデの定めに歩んだが、ただ彼は高き所で犠牲をささげ、香をたいた。

וַיֵּ֤לֶךְ הַמֶּ֙לֶךְ֙ גִּבְעֹ֔נָה לִזְבֹּ֥חַ שָׁ֖ם כִּ֣י הִ֑יא הַבָּמָ֣ה 4
そして–行った 王 ギブオンに いけにえを–ささげる–ために そこで なぜなら それは 高き–所
H3212 H4428 H1391 H2076 H8033 H3588 H1931 H1116

הַגְּדוֹלָ֔ה אֶ֚לֶף עֹל֣וֹת יַעֲלֶ֥ה שְׁלֹמֹ֖ה עַ֣ל הַמִּזְבֵּ֥חַ הַה֖וּא׃
大きな 千の 全焼の–ささげ物を ささげた ソロモンは の–上で 祭壇 その
H1419 H0505 H5930 H8010 H5927 H5921 H4196 H1931

ある日、王はギベオンへ行って、そこで犠牲をささげようとした。それが主要な高き所であったからである。ソロモンは一千の燔祭をその祭壇にささげた。

בְּגִבְעוֹן֙ נִרְאָ֣ה יְהוָ֔ה אֶל־ שְׁלֹמֹ֖ה בַּחֲלוֹם֙ הַלָּ֔יְלָה וַיֹּ֣אמֶר 5
ギブオンで 現れた 主は に ソロモン 夢の–中で 夜 そして–言った
H1391 H7200 H3068 H0413 H8010 H2472 H3915 H0559

אֱלֹהִ֔ים שְׁאַ֖ל מָ֣ה אֶתֶּן־ לָֽךְ׃
神は 求めよ 何を 与えよう あなたに
H0430 H7592 H4100 H5414 H0

ギベオンで主は夜の夢にソロモンに現れて言われた、「あなたに何を与えようか、求めなさい」。

וַיֹּ֣אמֶר שְׁלֹמֹ֗ה אַתָּ֤ה עָשִׂ֙יתָ֙ עִם־ עַבְדְּךָ֣ דָוִ֣ד אָבִ֔י 6
そして–言った ソロモンは あなたは 行った と–共に あなたの–しもべ ダビデ 私の–父に
H0559 H8010 H0859 H6213 H0854 H5650 H1732 H0001

חֶ֣סֶד גָּד֔וֹל כַּאֲשֶׁ֥ר הָלַ֖ךְ לְפָנֶ֑יךָ בֶּאֱמֶ֤ת וּבְצֶדֶק֙ וּבְיֹ֣שֶׁר לֵבָ֔ב
恵みを 大きな なる–通りに 歩んだ あなたの–前に 誠実に そして–正義に そして–まっすぐな 心で
H2617 H1419 H3651 H1980 H6440 H0571 H6666 H3483 H3824

וַתִּשְׁמָר־ לּ֤וֹ אֶת־ הַחֶ֙סֶד֙ הַגָּד֣וֹל הַזֶּ֔ה וַתִּתֶּן־ לּ֖וֹ בֵּ֣ן יֹשֵׁ֑ב
そして–守った 彼の–ために を 恵みを 大きな この そして–与えた 彼に 息子を 座る
H8104 H0853 H2617 H1419 H2088 H5414 H3427

עִמָּ֔ךְ עַל־ כִּסְאוֹ֙ כַּיּ֣וֹם הַזֶּֽה׃
あなたと–共に の–上に 彼の–王座に 今日–の この
H5973 H5921 H3678 H3117 H2088

ソロモンは言った、「あなたのしもべであるわたしの父ダビデがあなたに対して誠実と公義と真心とをもって、あなたの前に歩んだので、あなたは大いなるいつくしみを彼に示されました。またあなたは彼のために、この大いなるいつくしみをたくわえて、今日、彼の位に座する子を授けられました。

7 וְעַתָּה יְהוָה אֱלֹהָי אַתָּה הִמְלַכְתָּ אֶת־עַבְדְּךָ תַּחַת דָּוִד
今 そして-主よ 神よ わが-あなたは 王と-した を しもべ の-代わりに ダビデ
H6258 H3068 H0430 H0859 H4427 H5650 H8478 H1732

וְאָנֹכִי לֹא יָדַע צֵאת וָבֹא׃
そして-私は 小さな ない 知らない 出る-ことも 入る-ことも
H0595 H6810 H3808 H3045 H3318 H0935

わが神、主よ、あなたはこのしもべを、わたしの父ダビデに代って王とならせられました。しかし、わたしは小さい子供であって、出入りすることを知りません。

8 וְעַבְדְּךָ בְּתוֹךְ עַמְּךָ אֲשֶׁר בָּחָרְתָּ עַם־רָב אֲשֶׁר לֹא־
そして-あなたの-しもべは の-中に-いる あなたの-民 なる 選んだ 民 多い なる ない
H5650 H8432 H5971 H0977 H5971 H7227 H3808

יִמָּנֶה וְלֹא יִסָּפֵר מֵרֹב׃
数えられ そして-ない 量られない 多さ-ゆえに
H4487 H3808 H5608 H7230

かつ、しもべはあなたが選ばれた、あなたの民、すなわちその数が多くて、数えることも、調べることもできないほどのおびただしい民の中におります。

9 וְנָתַתָּ לְעַבְדְּךָ לֵב שֹׁמֵעַ לִשְׁפֹּט אֶת־עַמְּךָ
そして-与えて-ください 心を 聞く さばく-ための を あなたの-民を
H5414 H3820 H8085 H8199 H0854 H5971

לְהָבִין בֵּין־טוֹב לְרָע כִּי מִי יוּכַל לִשְׁפֹּט אֶת־עַמְּךָ
見分ける-ために の-間を 善と 悪と なぜなら 誰が できるか さばく-ことが を 民
H0995 H0996 H2896 H7451 H3588 H4310 H3201 H8199 H0854 H5971

הַכָּבֵד הַזֶּה׃
多い この
H3515 H2088

それゆえ、聞きわける心をしもべに与えて、あなたの民をさばかせ、わたしに善悪をわきまえることを得させてください。だれが、あなたのこの大いなる民をさばくことができましょう」。

10 וַיִּיטַב הַדָּבָר בְּעֵינֵי אֲדֹנָי כִּי שָׁאַל שְׁלֹמֹה אֶת־הַדָּבָר הַזֶּה׃
そして-良かった 言葉は の-目に 主の こと-を 求めた ソロモンが を 事を この
H3190 H1697 H5869 H0136 H3588 H7592 H8010 H0854 H1697 H2088

ソロモンはこの事を求めたので、そのことが主のみこころにかなった。

11 וַיֹּאמֶר אֱלֹהִים אֵלָיו יַעַן אֲשֶׁר שָׁאַלְתָּ אֶת־הַדָּבָר הַזֶּה
そして-言った 神は 彼に ゆえに なる 求めた を 事を この
H0559 H0430 H0413 H3282 H5869 H7592 H0854 H1697 H2088

וְלֹא־שָׁאַלְתָּ לְךָ עֹשֶׁר וְלֹא שָׁאַלְתָּ נְשֶׁמֹת אֹיְבֶיךָ
そして-ない 求めた あなたの-ために 富を そして-ない 求めた 多くの 日々 あなたの-ために
H3808 H7592 H0859 H6239 H3808 H7592 H7227 H3117 H0859

וְלֹא שָׁאַלְתָּ לְךָ הָבִין לִשְׁמֹעַ מִשְׁפָּט׃
そして-求めた あなたの-ために 悟り 聞く-ための 公正を
H7592 H0859 H0995 H8085 H4941

そこで神は彼に言われた、「あなたはこの事を求めて、自分のために長命を求めず、また自分のために富を求めず、また自分の敵の命をも求めず、ただ訴えをききわける知恵を求めたゆえに、

12

וְנָבוֹן	חָכָם	לֵב	לְךָ	נָתַתִּי	וְהִנֵּה	כִּדְבָרֶיךָ		עָשִׂיתִי	הִנֵּה	
そして–聡明な	知恵ある	心を	あなたに	与えた	見よ	あなたの–言葉の–通りに		行った	見よ	
H0995	H2450			H5414	H2009	H1697			H2009	

כָּמוֹךָ		אֲשֶׁר	כָּמוֹךָ	לֹא־	הָיָה	לְפָנֶיךָ	וְאַחֲרֶיךָ	לֹא־	יָקוּם
あなたの–ような		なる	あなたの–ような	ない	いなかった	あなたの–前に	そして–あなたの–後にも	ない	起こらない
				H3808	H1961	H6440		H3808	

כָּמוֹךָ׃
あなたの–ような
H3644

見よ、わたしはあなたの言葉にしたがって、賢い、英明な心を与える。あなたの先にはあなたに並ぶ者がなく、あなたの後にもあなたに並ぶ者は起らないであろう。

13

אֲשֶׁר	כָּבוֹד	גַּם־	עֹשֶׁר	גַּם־	לָךְ	נָתַתִּי	שָׁאַלְתָּ	לֹא־	אֲשֶׁר	וְגַם	
なる	栄誉を	また	富を	また	あなたに	与えた	求めなかった	ない	なる	そして–また	
	H3519	H1571	H6239	H1571		H5414	H7592	H3808		H1571	

יָמֶיךָ׃	כָּל־	בַּמְּלָכִים	אִישׁ	כָּמוֹךָ	הָיָה	לֹא־	
あなたの–日に	すべての	王たちの–中に	人は	あなたの–ような	いなかった	ない	
H3117	H3605	H4428	H0376	H3644	H1961	H3808	

わたしはまたあなたの求めないもの、すなわち富と誉をもあなたに与える。あなたの生きているかぎり、王たちのうちにあなたに並ぶ者はないであろう。

14

הָלַךְ	כַּאֲשֶׁר	וּמִצְוֹתַי	חֻקַּי	לִשְׁמֹר	בִּדְרָכַי	תֵּלֵךְ	וְאִם		
歩んだ	なる–通りに	そして–わが–戒めを	わが–掟を	守り	わが–道に	歩むなら	そして–もし		
H1980		H4687	H2706	H8104	H1870	H3212			

ס	יָמֶיךָ׃	אֶת־	וְהַאֲרַכְתָּ	אָבִיךָ	דָּוִיד	
（区切り）	あなたの–日々を	を	そして–長くする	あなたの–父が	ダビデ	
	H3117	H0853	H0748	H0001	H1732	

もしあなたが、あなたの父ダビデの歩んだように、わたしの道に歩んで、わたしの定めと命令とを守るならば、わたしはあなたの日を長くするであろう」。

15

וַיַּעֲמֹד	יְרוּשָׁלִַם	וַיָּבוֹא	חֲלוֹם	וְהִנֵּה	שְׁלֹמֹה	וַיִּקַץ		
そして–立った	エルサレムに	そして–来た	夢だった	そして–見よ	ソロモンは	そして–目覚めた		
H5975	H3389	H0935	H2472	H2009	H8010	H3364		

וַיַּעַשׂ	עֹלוֹת	וַיַּעַל	אֲדֹנָי	בְּרִית־	אֲרוֹן	וְלִפְנֵי	
そして–行った	全焼の–ささげ物を	そして–ささげた	主の	の–契約	契約の–箱	の–前に	
		H5927	H0136	H1285	H0727	H6440	

פ	עֲבָדָיו׃	לְכָל־	מִשְׁתֶּה	וַיַּעַשׂ	שְׁלָמִים
（段落）	しもべたちの–ために	すべての	宴会を	そして–設けた	和解の–ささげ物を
	H5650	H3605	H4960		H8002

ソロモンが目をさましてみると、それは夢であった。そこで彼はエルサレムへ行き、主の契約の箱の前に立って燔祭と酬恩祭をささげ、すべての家来のために祝宴を設けた。

16

לְפָנָיו׃	וַתַּעֲמֹדְנָה	הַמֶּלֶךְ	אֶל־	זֹנוֹת	נָשִׁים	שְׁתָּיִם	תָּבֹאנָה	אָז	
彼の–前に	そして–立った	王の–もとに	に	遊女の	女が	二人の	来た	その–時	
H6440	H5975	H4428	H0413	H2185	H0802	H8147	H0935		

さて、ふたりの遊女が王のところにきて、王の前に立った。

17 וַתֹּאמֶר הָאִשָּׁה הָֽאַחַת בִּי אֲדֹנִי אֲנִי וְהָאִשָּׁה הַזֹּאת יֹשֶׁבֶת
そして-言った 女 一人の ああ わが-主よ 私と そして-この-女は 住んでいる
H0559 H0802 H0259 H0994 H0113 H0589 H0802 H2063 H3427

בְּבַיִת אֶחָד וָאֵלֵד עִמָּהּ בַּבָּֽיִת׃
の-家に 一つの そして-産んだ 彼女と-共に 家で
H1961 H0259 H3205 H5973 H1004

ひとりの女は言った、「ああ、わが主よ、この女とわたしとはひとつの家に住んでいますが、わたしはこの女と一緒に家にいる時、子を産みました。

18 וַיְהִי בַּיּוֹם הַשְּׁלִישִׁי לְלִדְתִּי וַתֵּלֶד גַּם־הָאִשָּׁה הַזֹּאת
そして-あった の-日に 三日目の 私が-産んだ後 そして-産んだ また 女 この
H1961 H3117 H7992 H3205 H3205 H1571 H0802 H2063

וַאֲנַחְנוּ יַחְדָּיו אֵין־זָר אִתָּנוּ בַּבַּיִת זוּלָתִי שְׁתֵּינוּ־אֲנָחְנוּ בַּבָּֽיִת׃
そして-私たちは 一緒に ない よそ-者は 私たちと-共に 家に ただ 二人 私たち 家に
H0587 H3162 H0369 H2114 H0854 H1004 H2108 H8147 H0587 H1004

ところがわたしの産んだ後、三日目にこの女もまた子を産みました。そしてわたしたちは一緒にいましたが、家にはほかにだれもわたしたちと共にいた者はなく、ただわたしたちふたりだけでした。

19 וַיָּמָת בֶּן־הָאִשָּׁה הַזֹּאת בַּלַּיְלָה אֲשֶׁר שָׁכְבָה עָלָֽיו׃
そして-死んだ の-息子が 女 この 夜に なぜなら 寝た 彼の-上に
H4191 H1121 H0802 H2063 H3915 H0834 H7901 H5921

ところがこの女は自分の子の上に伏したので、夜のうちにその子は死にました。

20 וַתָּקָם בְּתוֹךְ הַלַּיְלָה וַתִּקַּח אֶת־בְּנִי מֵאֶצְלִי בְּנִי
そして-起き上がった の-中で 夜の を 取った 私の-息子を 私の-そばから
H6965 H8432 H3915 H0853 H3947 H1121 H0681

וְאִתְּךָ שִׁפְחָתֶךָ וַתִּשְׁכִּבֵהוּ בְּחֵיקָהּ וְאֶת־בְּנָהּ הַמֵּת
そして-あなたの-はしためは 眠っていた そして-寝かせた 彼女の-懐に そして 彼女の-息子 死んだ
H0519 H3463 H7901 H2436 H0853 H1121 H4191

בְּחֵיקִי הִשְׁכִּיבָֽה׃
私の-懐に 寝かせた
H2436 H7901

彼女は夜中に起きて、はしための眠っている間に、わたしの子をわたしのかたわらから取って、自分のふところに寝かせ、自分の死んだ子をわたしのふところに寝かせました。

21 וָאָקָם בַּבֹּקֶר לְהֵינִיק בְּנִי וְהִנֵּה־מֵת
そして-起き上がった 朝に 乳を-やる-ために 私の-息子に そして-見よ 死んでいた
H6965 H1242 H3243 H1121 H2009 H4191

וָאֶתְבּוֹנֵן אֵלָיו בַּבֹּקֶר וְהִנֵּה לֹא־הָיָה בְנִי אֲשֶׁר יָלָדְתִּי׃
そして-見つめた 彼を 朝に そして-見よ ない だった 私の-息子で なる 産んだ
H0995 H0413 H1242 H2009 H3808 H1961 H1121 H0834 H3205

わたしは朝、子に乳を飲ませようとして起きて見ると死んでいました。しかし朝になってよく見ると、それはわたしが産んだ子ではありませんでした」。

22 וַתֹּאמֶר֩ הָאִשָּׁה֙ הָאַחֶ֜רֶת לֹ֗א כִּ֤י בְנִי֙ הַחַ֔י וּבִנֵּ֥ךְ הַמֵּ֖ת
そして-言った 女 もう-一人の いいえ まことに 私の-息子が 生きている
H0559 H0802 H0312 H3808 H0589 H2416

כִּ֣י לֹ֔א וְזֹ֥את אֹמֶ֖רֶת בִּנֵּ֣ךְ הַמֵּ֑ת וְזֹ֥את אֹמֶ֖רֶת בִּנִּ֥י הַחַ֛י וּבִנֵּ֥ךְ הַמֵּ֖ת
まことに いいえ 言っている そして-この-者は 死んでいる そして-あなたの-息子が
H3808 H0559 H2063 H4191 H1121

וַתְּדַבֵּ֥רְנָה לִפְנֵי֖ הַמָּֽלֶךְ׃
そして-話した の-前で 王の
H1696 H6440 H4428

ほかの女は言った、「いいえ、生きているのがわたしの子です。死んだのはあなたの子です」。初めの女は言った、「いいえ、死んだのがあなたの子です。生きているのはわたしの子です」。彼らはこのように王の前に言い合った。

23 וַיֹּ֤אמֶר הַמֶּ֙לֶךְ֙ זֹ֣את אֹמֶ֔רֶת זֶ֥ה בְנִ֖י הַחַ֑י וּבִנֵּ֥ךְ הַמֵּ֖ת כִּ֣י לֹ֔א וְזֹ֥את אֹמֶ֖רֶת בִּנֵּ֣ךְ הַמֵּ֑ת וּבִנִּ֥י הַחָֽי׃
そして-言った 王は この-者は 言っている これが 私の-息子で 生きている
H0559 H4428 H2063 H0559 H2088 H1121 H2416

פ
（段落）

この時、王は言った、「ひとりは『この生きているのがわたしの子で、死んだのがあなたの子だ』と言い、またひとりは『いいえ、死んだのがあなたの子で、生きているのはわたしの子だ』と言う」。

24 וַיֹּ֤אמֶר הַמֶּ֙לֶךְ֙ קְח֣וּ לִ֔י חֶ֖רֶב וַיָּבִ֥אוּ חֶ֛רֶב לִפְנֵ֥י הַמֶּֽלֶךְ׃
そして-言った 王は 持って-来い 私に 剣を 持って-来た 剣を の-前に 王の
H0559 H4428 H3947 H0589 H2719 H0935 H2719 H6440 H4428

そこで王は「刀を持ってきなさい」と言ったので、刀を王の前に持ってきた。

25 וַיֹּ֤אמֶר הַמֶּ֙לֶךְ֙ גִּזְר֣וּ אֶת־ הַיֶּ֔לֶד הַחַ֖י לִשְׁנַ֑יִם וּתְנ֤וּ הַחֲצִי֙ אֶת־ הָאֶחָ֔ת וְאֶת־ הַחֲצִ֖י לָאֶחָֽת׃
そして-言った 王は 切れ を 子どもを 生きている 二つに そして-与えよ 半分を を 半分を
H0559 H4428 H1504 H0853 H3206 H2416 H8147 H5414 H2677 H0853 H2677

לָאֶחָֽת׃
一人に
H0259

王は言った、「生きている子を二つに分けて、半分をこちらに、半分をあちらに与えよ」。

26 וַתֹּ֣אמֶר הָאִשָּׁ֗ה אֲשֶׁר־ בְּנָהּ֙ הַחַ֔י כִּֽי־ נִכְמְר֥וּ רַחֲמֶ֖יהָ עַל־ בְּנָ֑הּ וַתֹּ֣אמֶר בִּ֤י אֲדֹנִי֙ תְּנ֣וּ לָ֔הּ וְהָמֵ֖ת אַל־ תְּמִיתֻ֑הוּ וְזֹ֥את הַיָּלוֹד֙ אֶת־
そして-言った 女 なる 彼女の-息子が 生きている に 王に なぜなら 燃え上がった
H0559 H0802 H0834 H1121 H2416 H0413 H4428 H3588 H7355

ああ わが-主よ 与えて-ください 彼女に
H0994 H0113 H5414 H0559

そして-言った 彼女の-息子 の-ために 彼女の-思いが
H1696 H1121 H5921 H7356

そして-この-者は 殺さないで-ください ない そして-殺す-ことは 生きている 子どもを を
H2063 H4191 H0408 H4191 H2416 H3205 H0853

切れ なる ない あなたのも また 私のも また 言っている
H1504 H1961 H3808 H1571 H1571 H1571 H0559

すると生きている子の母である女は、その子のために心がやけるようになって、王に言った、「ああ、わが主よ、生きている子を彼女に与えてください。決してそれを殺さないでください」。しかしほかのひとりは言った、「それをわたしのものにも、あなたのものにもしないで、分けてください」。

27 וַיַּ֣עַן הַמֶּ֔לֶךְ וַיֹּ֣אמֶר תְּנ֤וּ־לָהּ֙ אֶת־הַיָּלוּד֙ הַחַ֔י וְהָמֵ֥ת לֹא־תְמִיתֻ֖הוּ הִ֣יא אִמּֽוֹ׃
そして–答えた 王は 与えよ 彼女に を 子どもを 生きている そして–殺す–ことは ない 殺すな 彼女が その–母だ
H4428 H5414 H0559 H0853 H3205 H4191 H3808 H4191 H1931 H0517

すると王は答えて言った、「生きている子を初めの女に与えよ。決して殺してはならない。彼女はその母なのだ」。

28 וַיִּשְׁמְע֣וּ כָל־יִשְׂרָאֵ֗ל אֵת֙ הַמִּשְׁפָּ֔ט אֲשֶׁ֥ר שָׁפַ֖ט הַמֶּ֑לֶךְ וַיִּרְא֣וּ מִפְּנֵ֣י הַמֶּ֔לֶךְ כִּ֣י רָא֔וּ כִּ֥י חָכְמַת־אֱלֹהִ֖ים בְּקִרְבּ֑וֹ לַעֲשׂ֖וֹת מִשְׁפָּֽט׃
そして–聞いた すべての イスラエルは を さばきを なる さばいた 王が そして–畏れた
H8085 H3605 H3478 H0853 H4941 H8199 H4428 H3372

王 の–前で ~ 見た ~ なぜなら こと–を 知恵が 神の 彼の–内に–ある 行う–ために 公正を
H4428 H6440 H7200 H3588 H2451 H0430 H7130 H6213 H4941

ס
（区切り）

イスラエルは皆王が与えた判決を聞いて王を恐れた。神の知恵が彼のうちにあって、さばきをするのを見たからである。

Chapter 4

1 וַיְהִי֙ הַמֶּ֣לֶךְ שְׁלֹמֹ֔ה הָיָ֥ה מֶ֖לֶךְ עַל־כָּל־יִשְׂרָאֵ֑ל׃ ס
そして–あった 王は ソロモンは 王と–して の–上に すべての イスラエル （区切り）
H1961 H4428 H8010 H4428 H5921 H3605 H3478

ソロモン王はイスラエルの全地の王であった。

2 וְאֵ֖לֶּה שָׂרָ֣יו אֲשֶׁר־לֽוֹ עֲזַרְיָ֥הוּ בֶן־צָד֖וֹק הַכֹּהֵֽן׃ ס
そして–これらが 高官たちで なる–彼の アザルヤ の–息子 ツァドクの 祭司 （区切り）
H0428 H8269 H0834 H3588 H5838 H1121 H6659 H3548

彼の高官たちは次のとおりである。ザドクの子アザリヤは祭司。

3 אֱלִיחׇרֶף֙ וַאֲחִיָּ֔ה בְּנֵ֥י שִׁישָׁ֖א סֹפְרִ֑ים יְהוֹשָׁפָ֥ט בֶּן־אֲחִילֽוּד׃ הַמַּזְכִּֽיר׃
エリホレフ そして–アヒヤ シシャの の–息子たち 書記たち エホシャファト の–息子 アヒルドの 記録官
H0456 H0281 H7894 H1121 H5608 H3092 H1121 H0286 H2142

シシャの子エリホレフとアヒヤは書記官。アヒルデの子ヨシャバテは史官。

4 וּבְנָיָ֣הוּ בֶן־יְהוֹיָדָ֔ע עַל־הַצָּבָ֑א וְצָד֥וֹק וְאֶבְיָתָ֖ר כֹּהֲנִֽים׃
そして–ベナヤ の–息子 エホヤダの の–上に 軍 そして–ツァドク そして–エブヤタル 祭司たち
H1141 H1121 H3077 H5921 H6635 H6659 H0054 H3548

ס
（区切り）

エホヤダの子ベナヤは軍の長。ザドクとアビヤタルは祭司。

5 וַעֲזַרְיָהוּ בֶן־נָתָן עַל־הַנִּצָּבִים וְזָבוּד בֶּן־נָתָן כֹּהֵן רֵעֶה הַמֶּלֶךְ׃
そして-アザルヤ の-息子 ナタンの の-上に 代官たち そして-ザブド の-息子 ナタンの 祭司
H5838 H0000 H5416 H5324 H2071 H0000 H5416 H3548
H7463 H4428

ナタンの子アザリヤは代官の長。ナタンの子ザブデは祭司で、王の友であった。

6 וַאֲחִישָׁר עַל־הַבָּיִת וַאֲדֹנִירָם בֶּן־עַבְדָּא עַל־הַמַּס׃
そして-アヒシャル の-上に 宮廷 そして-アドニラム の-息子 アブダの の-上に 労役
H0301 H0000 H0141 H0000 H5653 H0000 H4522

ס
（区切り）

アヒシャルは宮内卿。アブダの子アドニラムは徴募の長であった。

7 וְלִשְׁלֹמֹה שְׁנֵים־עָשָׂר נִצָּבִים עַל־כָּל־יִשְׂרָאֵל וְכִלְכְּלוּ
そして-ソロモンに 十二人の 十二 代官が-いた の-上に すべての イスラエル そして-養った
H8010 H8147 H6240 H5324 H0000 H3605 H3478 H3557

אֶת־הַמֶּלֶךְ וְאֶת־כָּל־הַבָּאִים עַל־שֻׁלְחַן [אחד](הָאֶחָד) לְכַלְכֵּל׃
を 王を そして 彼の-家を 月 の-年に あった の-上に 一人 一人の 養う-ために
H0853 H4428 H0853 H2320 H8141 H1961 H0000 H0259 H0259 H3557

ס
（区切り）

ソロモンはまたイスラエルの全地に十二人の代官を置いた。その人々は王とその家のために食物を備えた。すなわちおのおの一年に一月ずつ食物を備えるのであった。

8 וְאֵלֶּה שְׁמוֹתָם בֶּן־חוּר בְּהַר אֶפְרָיִם׃ ס
そして-これらが 彼らの-名前 の-息子 フルの の-山に エフライムの （区切り）
H0428 H8034 H1133 H0000 H1133 H2022 H0669

その名は次のとおりである。エフライムの山地にはベンホル。

9 בֶּן־דֶּקֶר בְּמָקַץ וּבְשַׁעַלְבִּים וְאֵילוֹן וְשָׁמֶשׁוּבֵית
の-息子 デケルの マカツに そして-シャアルビムに そして-エロンに そして-ベト・シェメシュに
H1128 H1128 H4739 H0000 H8169 H0000 H0358 H0000 H1053

בֵּית חָנָן׃ ס
ベト・ハナン （区切り）
H0358 H0000

マカヅと、シャラビムと、ベテシメシと、エロン・ベテハナンにはベンデケル。

10 בֶּן־חֶסֶד בָּאַרְבּוֹת לוֹ שׂכֹה וְכָל־אֶרֶץ חֵפֶר׃ ס
の-息子-ヘセドの アルボトに 彼の ソコに そして-すべての 地 ヘフェルの （区切り）
H1136 H0000 H0700 H0000 H7755 H0000 H3605 H0776 H0000

アルボテにはベンヘセデ、（彼はソコとヘペルの全地を担当した）。

11 בֶּן־ אֲבִינָדָב כָּל־ נָפַת דֹּאר טָפַת בַּת־ שְׁלֹמֹה הָיְתָה לוֹ
の–息子 アビナダブの すべての 丘陵地の ドルの タファト の–娘 ソロモンの あった 彼の
H1125 H1125 H3605 H5316 H1756 H2955 H1323 H8010 H1961

לְאִשָּׁה׃ ס
妻と–して （区切り）
H0802

ドルの高地の全部にはベン・アビナダブ、（彼はソロモンの娘タパテを妻とした）。

12 בַּעֲנָא בֶּן־ אֲחִילוּד תַּעְנַךְ וּמְגִדּוֹ וְכָל־ שְׁאָן בֵּית אֲשֶׁר
バアナ の–息子 アヒルドの タアナクに そして–メギドに そして–すべての ベト・シェアン なる
H1195 H0286 H8590 H4023 H3605 H1052

עַד מְחוֹלָה אָבֵל עַד שְׁאָן בֵּית לְיִזְרְעֶאל תַּחַת בֵּית צָרְתָּנָה אֶצֶל
まで アベル・メホラまで まで ベト・シェアンから イズレエル の–下に ツァルタナ の–傍に
H5704 H0065 H5704 H1052 H3157 H8478 H6891 H0681

מִבֵּית שְׁאָן עַד אָבֵל מְחוֹלָה עַד יָקְמְעָם׃ ס מֵעֵבֶר
ベト・シェアンから まで アベル・メホラまで まで ヤクメアム （区切り） の–向こうに
H1052 H5704 H0065 H5704 H3361 H5676

アヒルデの子バアナはタアナクとメギドと、エズレルの下、ザレタンのかたわらにあるベテシャンの全地を担当して、ベテシャンからアベル・メホラに至り、ヨクメアムの向こうにまで及んだ。

13 בֶּן־ גֶּבֶר רָמֹת בִּגְלְעָד לוֹ חַוֹּת יָאִיר בֶּן־ מְנַשֶּׁה
の–息子 ゲベルの ラモトに ギルアデの 彼の 村々が–あった ヤイルの の–息子 マナセの
H1127 H1127 H7433 H1568 H2333 H2971 H1127 H4519

עָרִים גְּדֹלוֹת שִׁשִּׁים בַּבָּשָׁן אֲשֶׁר אַרְגֹּב חֶבֶל לוֹ בִּגְלְעָד אֲשֶׁר
町々 大きな 六十の バシャンの なる アルゴブの 地域が–あった 彼の ギルアデの なる
H8346 H1316 H0709 H2346 H1568

נְחֹשֶׁת׃ וּבְרִיחַ חוֹמָה ס
青銅の そして–かんぬきの 城壁と （区切り）
H1280 H2346

ラモテ・ギレアデにはベンゲベル、（彼はギレアデにあるマナセの子ヤイルの村々を担当し、またバシャンにあるアルゴブの地方の城壁と青銅の貫の木のある大きな町六十を担当した）。

14 אֲחִינָדָב בֶּן־ עִדֹּא מַחֲנָיְמָה׃
アヒナダブ の–息子 イドの マハナイムに
H0292 H5714 H4266

マハナイムにはイドの子アヒナダブ。

15 אֲחִימַעַץ בִּנְפְתָּלִי גַּם־ הוּא לָקַח בָּשְׂמַת בַּת־ שְׁלֹמֹה לְאִשָּׁה׃
アヒマアツ ナフタリに また 彼は めとった バスマト の–娘を ソロモンの 妻として
H0290 H5321 H1571 H1931 H3947 H1315 H1323 H8010 H0802

ナフタリにはアヒマアズ、（彼もソロモンの娘バスマテを妻にめとった）。

16 בַּעֲנָא בֶּן־ חוּשַׁי בְּאָשֵׁר וּבְעָלוֹת׃ ס
バアナ の–息子 フシャイの アシェルに そして–ベアロトに （区切り）
H1195 H2365 H0836 H1175

アセルとベアロテにはホシャイの子バアナ。

17 יְהוֹשָׁפָט בֶּן־ פָּרוּחַ בְּיִשָּׂשכָר׃ ס
エホシャファト の–息子 パルアの イッサカルに （区切り）
H3092 H6515 H3485

イッサカルにはパルアの子ヨシャパテ。

18 שִׁמְעִי בֶּן־ אֵלָא בִּבְנְיָמִן׃ ס
シムイ の-息子 エラの ベニヤミンに （区切り）
H8096 H0414 H1144

ベニヤミンにはエラの子シメイ。

19 גֶּבֶר בֶּן־ אֻרִי בְּאֶרֶץ גִּלְעָד אֶרֶץ סִיחֹן מֶלֶךְ הָאֱמֹרִי וְעוֹג
ゲベル の-息子 ウリの の-地に ギルアデの 地 シホンの 王 アモリ人の そして-オグ
H1398 H0221 H0776 H1568 H0776 H5511 H4428 H0567 H5747

בָּאָרֶץ׃ אֲשֶׁר אֶחָד וּנְצִיב הַבָּשָׁן מֶלֶךְ
その-地に なる 一人 そして-代官が バシャンの 王
H0776 H0259 H5333 H1316 H4428

アモリびとの王シホンの地およびバシャンの王オグの地なるギレアデの地にはウリの子ゲベル。彼はその地のただひとりの代官であった。

20 יְהוּדָה וְיִשְׂרָאֵל רַבִּים כַּחוֹל אֲשֶׁר־ עַל־ הַיָּם לָרֹב אֹכְלִים
ユダと そして-イスラエルは 多く 砂の-ように なる の-上の 海 多くの 食べて
H3063 H3478 H7227 H2344 H0834 H5921 H3220 H7230 H0398

וְשֹׂמְחִים׃ וְשֹׁתִים
そして-喜んで-いた そして-飲んで
H8056 H8354

ユダとイスラエルの人々は多くて、海べの砂のようであったが、彼らは飲み食いして楽しんだ。

21 וּשְׁלֹמֹה הָיָה מוֹשֵׁל בְּכָל־ הַמַּמְלָכוֹת מִן־ הַנָּהָר אֶרֶץ
そして-ソロモンは あった 治める-者と-して すべての 王国に から 川から 地へ
H8010 H1961 H4910 H3605 H4467 H4325 H5104 H0776

וְעֹבְדִים מִנְחָה מַגָּשִׁים מִצְרַיִם גְּבוּל וְעַד פְּלִשְׁתִּים אֶת־
そして-仕えて-いた 財幣を 持って-来て エジプトの 境界まで そして-まで ペリシテ人の を
H5647 H4503 H5066 H4714 H1366 H5704 H6430 H0853

פ חַיָּיו׃ יְמֵי כָּל־ שְׁלֹמֹה
（段落） 彼の-生涯の 日々 すべての ソロモンに
H3117 H3605 H8010

ソロモンはユフラテ川からペリシテびとの地と、エジプトの境に至るまでの諸国を治めたので、皆みつぎ物を携えてきて、ソロモンの一生のあいだ仕えた。

22 וַיְהִי לֶחֶם־ שְׁלֹמֹה לְיוֹם אֶחָד שְׁלֹשִׁים כֹּר סֹלֶת וְשִׁשִּׁים
そして-あった 食料が ソロモンの の-日に 一 三十の コルの 小麦粉 そして-六十の
H1961 H3899 H8010 H3117 H0259 H7970 H3734 H5560 H8346

כֹּר׃ קֶמַח
コルの 大麦粉
H3734 H7058

さてソロモンの一日の食物は細かい麦粉三十コル、荒い麦粉六十コル、

23 עֲשָׂרָה בָקָר בְּרִאִים וְעֶשְׂרִים בָּקָר רְעִי וּמֵאָה צֹאן לְבַד מֵאַיָּל
十の 牛 肥えた そして-二十の 牛 牧草地の そして-百の 羊 の-ほかに から-鹿
H6235 H1241 H1277 H6242 H1241 H7471 H3967 H6629 H0905 H0354

וּצְבִי׃ וְיַחְמוּר וּבַרְבְּרִים אֲבוּסִים
そして-かもしか そして-尾長-鹿 そして-肥えた-鳥 太らせた
H6643 H3180 H1257 H0075

肥えた牛十頭、牧場の牛二十頭、羊百頭で、そのほかに雄じか、かもしか、こじか、および肥えた鳥があった。

24 כִּי־ הֽוּא רֹדֶה בְּכָל־ עֵבֶר הַנָּהָר מִתִּפְסַח וְעַד־ עַזָּה
なぜなら 彼は 治めて-いた すべての 向こうを 川の ティフサから そして-まで ガザまで
H3588 H1931 H7287 H3605 H5676 H5104 H8607 H5704 H5804

בְּכָל־ מַלְכֵי עֵבֶר הַנָּהָר וְשָׁלוֹם הָיָה לוֹ מִכָּל־ עֲבָרָיו סָבִיב׃
すべての 王たちを 向こうの 川の そして-平和が あった 彼に すべての 側から 四方
H3605 H4428 H5676 H5104 H7965 H1961 H3605 H5676 H5439

これはソロモンがユフラテ川の西の地方をテフサからガザまで、ことごとく治めたからである。すなわち彼はユフラテ川の西の諸王をことごとく治め、周囲至る所に平安を得た。

25 וַיֵּשֶׁב יְהוּדָה וְיִשְׂרָאֵל לָבֶטַח אִישׁ תַּחַת גַּפְנוֹ
そして-住んだ ユダと そして-イスラエルは 安らかに 各人 の-下に ぶどうの-木の
H3427 H3063 H3478 H0983 H0376 H8478 H1612

וְתַחַת תְּאֵנָתוֹ מִדָּן וְעַד־ שָׁבַעבְּאֵר כֹּל יְמֵי
そして-の-下に いちじくの-木の ダンから そして-まで ベエル・シェバまで すべての 日々
H8478 H8384 H1835 H5704 H0884 H3605 H3117

שְׁלֹמֹה׃ ס
ソロモンの （区切り）
H8010

ソロモンの一生の間、ユダとイスラエルはダンからベエルシバに至るまで、安らかにおのおの自分たちのぶどうの木の下と、いちじくの木の下に住んだ。

26 וַיְהִי לִשְׁלֹמֹה אַרְבָּעִים אֶלֶף סוּסִים לְמֶרְכָּבֹו וּשְׁנֵים־ עָשָׂר
そして-あった ソロモンに 四万の 万 馬の 戦車の-ための そして-十二 十二
H1961 H8010 H0705 H0505 H0705 H4817 H8147 H6240

אֶלֶף פָּרָשִׁים׃
千の 騎兵
H0505

ソロモンはまた戦車の馬の、うまや四千と、騎兵一万二千を持っていた。

27 וְכִלְכְּלוּ הַנִּצָּבִים הָאֵלֶּה אֶת־ הַמֶּלֶךְ שְׁלֹמֹה וְאֶת כָּל־ הַקָּרֵב
そして-養った 代官たちは これらの を 王 ソロモンを そして すべての 近づく-者を
H3557 H5324 H0428 H0853 H4428 H8010 H0853 H3605 H7131

דָּבָר׃ יְעַדֵּרוּ לֹא חָדְשׁוֹ אִישׁ שְׁלֹמֹה הַמֶּלֶךְ־ שֻׁלְחַן אֶל־
何も 欠かさなかった ない 彼の-月に 各人 ソロモンの 王 食卓に に
H1697 H3808 H2320 H0376 H8010 H4428 H7979 H0413

そしてそれらの代官たちはおのおの当番の月にソロモン王のため、およびすべてソロモン王の食卓に連なる者のために、食物を備えて欠けることのないようにした。

28 הַמָּקוֹם אֶל־ יָבִאוּ וְלָרֶכֶשׁ לַסּוּסִים וְהַתֶּבֶן וְהַשְּׂעֹרִים
場所に に 持って来た そして-早馬の-ために 馬の-ために そして-わらを そして-大麦と
H4725 H0413 H0935 H7409 H8401 H8184

אֲשֶׁר יְהִיֶה־ שָׁם אִישׁ עַל כְּמִשְׁפָּטוֹ׃ ס
なる あった そこに 各人 の-定めの-通りに （区切り）
H1961 H8033 H0376 H4941

また彼らはおのおのその割当にしたがって馬および早馬に食わせる大麦とわらを、その馬のいる所に持ってきた。

29 וַיִּתֵּן אֱלֹהִים חָכְמָה לִשְׁלֹמֹה וּתְבוּנָה הַרְבֵּה מְאֹד וְרֹחַב לֵב
そして-与えた 神は 知恵を ソロモンに そして-悟りを 多くの 非常に そして-広さを 心の
H5414 H0430 H2451 H8010 H8394 H3966 H7341

כַּחוֹל אֲשֶׁר עַל־שְׂפַת הַיָּם׃
砂の-ように なる の-上の 岸に 海の
H2344 H0834 H5921 H8193 H3220

神はソロモンに非常に多くの知恵と悟りを授け、また海べの砂原のように広い心を授けられた。

30 וַתִּרֶב חָכְמַת שְׁלֹמֹה מֵחָכְמַת כָּל־בְּנֵי קֶדֶם וּמִכֹּל חָכְמַת מִצְרָיִם׃
そして-超えた 知恵は ソロモンの よりも-知恵を すべての の-息子たちの 東 そして-すべての 知恵よりも エジプトの
H7235 H2451 H8010 H4480 H2451 H3605 H1121 H6924 H4714

ソロモンの知恵は東の人々の知恵とエジプトのすべての知恵にまさった。

31 וַיֵּחָכַם מִכָּל־הָאָדָם מֵאֵיתָן הָאֶזְרָחִי וְהֵימָן
そして-知恵が-あった よりも-すべての-人 から-エタン エズラ人の そして-ヘマン
H2449 H4480 H3605 H0120 H0387 H0250 H1968

וְכַלְכֹּל וְדַרְדַּע בְּנֵי מָחוֹל וַיְהִי־שְׁמוֹ בְּכָל־הַגּוֹיִם׃
そして-カルコル そして-ダルダ の-息子たち マホルの そして-あった 彼の-名が すべての 国々に
H3633 H1862 H1121 H4235 H1961 H8034 H3605 H1471

סָבִיב׃
四方に
H5439

彼はすべての人よりも賢く、エズラびとエタンよりも、またマホルの子ヘマン、カルコル、ダルダよりも賢く、その名声は周囲のすべての国々に聞えた。

32 וַיְדַבֵּר שְׁלֹשֶׁת אֲלָפִים מָשָׁל וַיְהִי שִׁירוֹ חֲמִשָּׁה וָאָלֶף׃
そして-語った 三千の 千 箴言を そして-あった 彼の-歌は 五 そして-千
H1696 H7969 H0505 H4912 H1961 H8286 H2568 H0505

彼はまた箴言三千を説いた。またその歌は一千五首あった。

33 וַיְדַבֵּר עַל־הָעֵצִים מִן־הָאֶרֶז אֲשֶׁר בַּלְּבָנוֹן וְעַד הָאֵזוֹב הַיֹּצֵא בַקִּיר וַיְדַבֵּר עַל־הַבְּהֵמָה וְעַל־הָעוֹף וְעַל־הָרֶמֶשׂ וְעַל־הַדָּגִים׃
そして-語った に-ついて 木々 から 杉から なる レバノンの まで そして-まで ヒソプまで そして-語った に-ついて 獣 そして-に-ついて 鳥 そして-に-ついて 這う-もの そして-に-ついて 魚
H1696 H5921 H6086 H4480 H0730 H0834 H3844 H5704 H0231 H1696 H5921 H0929 H5921 H5775 H5921 H7431 H5921 H1709

彼はまた草木のことを論じてレバノンの香柏から石がきにはえるヒソプにまで及んだ。彼はまた獣と鳥と這うものと魚のことを論じた。

34 וַיָּבֹאוּ מִכָּל־הָעַמִּים לִשְׁמֹעַ אֶת־חָכְמַת שְׁלֹמֹה מֵאֵת כָּל־מַלְכֵי הָאָרֶץ אֲשֶׁר שָׁמְעוּ אֶת־חָכְמָתוֹ׃ ס
そして-来た すべての-から 民から 聞く-ために を 知恵を ソロモンの から すべての 王たちから 地の なる 聞いた を 彼の-知恵を （区切り）
H0935 H3605 H4480 H5971 H8085 H0853 H2451 H8010 H4480 H3605 H4428 H0776 H0834 H8085 H0853 H2451

諸国の人々はソロモンの知恵を聞くためにきた。地の諸王はソロモンの知恵を聞いて人をつかわした。

Chapter 5

שְׁלֹמֹה	אֶל־	עֲבָדָיו	אֶת־	צֹור	מֶלֶךְ־	חִירָם	וַיִּשְׁלַח	1
ソロモンの-もとに	に	彼の-しもべたちを	を	ツロの	王	ヒラムは	そして-遣わした	
H8010	H0413	H5650	H0853	H6865	H4428	H2438	H7971	

כִּי	אָבִיהוּ	תַּחַת	לְמֶלֶךְ	מָשְׁחוּ	אֹתוֹ	כִּי	שָׁמַע	כִּי
なぜなら	彼の-父の	の-代わりに	王と-して	油を-注いだ	彼を	こと-を	聞いた	なぜなら
	H0001	H8478	H4428	H4886	H0853		H8085	

ס	הַיָּמִים׃	כָּל־	לְדָוִד	חִירָם	הָיָה	אֹהֵב
（区切り）	日々	すべての	ダビデの	ヒラムは	だった	愛する-者
	H3117	H3605	H1732	H2438	H1961	H0157

さてツロの王ヒラムは、ソロモンが油を注がれ、その父に代って、王となったのを聞いて、家来をソロモンにつかわした。ヒラムは常にダビデを愛したからである。

לֵאמֹר׃	חִירָם	אֶל־	שְׁלֹמֹה	וַיִּשְׁלַח	2
言って	ヒラムの-もとに	に	ソロモンは	そして-遣わした	
H0559	H2438	H0413	H8010	H7971	

そこでソロモンはヒラムに人をつかわして言った、

לִבְנוֹת	יָכֹל	לֹא	כִּי	אָבִי	דָּוִד	אֶת־	יָדַעְתָּ	אַתָּה	3
建てる-ことが	できなかった	ない	こと-を	私の-父が	ダビデ	を	知っている	あなたは	
H1129	H3201	H3808			H1732	H0853	H3045		

עַד	סְבִבֹתוּ	אֲשֶׁר	הַמִּלְחָמָה	מִפְּנֵי	אֱלֹהָיו	יְהוָה	לְשֵׁם	בַּיִת
まで	囲んだ-彼を	なる	戦い	の-前から	彼の-神の	主	の-名の-ために	家を
H5704	H5437		H4421	H6440	H0430	H3068	H8034	

רַגְלָי׃)	רגלו]	כַּפּוֹת	תַּחַת	אֹתָם	יְהוָה	תֵּת־
私の-足の	彼の-足	足の-裏に	の-下に	彼らを	主が	置く-まで
H7272	H7272	H3709	H8478	H0853	H3068	H5414

「あなたの知られるとおり、父ダビデはその周囲にあった敵との戦いのゆえに、彼の神、主の名のために宮を建てることができず、主が彼らをその足の裏の下に置かれるのを待ちました。

רָע׃	פֶּגַע	וְאֵין	שָׂטָן	אֵין	מִסָּבִיב	לִי	אֱלֹהַי	יְהוָה	הֵנִיחַ	וְעַתָּה	4
悪い	災いが	そして-ない	敵が	ない	四方に	私に	私の-神が	主は	休ませた	そして-今	
	H6294	H0369	H7854	H0369	H5439		H0430	H3068	H5117	H6258	

ところが今わが神、主はわたしに四方の太平を賜わって、敵もなく、災もなくなったので、

אֱלֹהָי	יְהוָה	לְשֵׁם	בַּיִת	לִבְנוֹת	אָמַר	וְהִנְנִי		5
私の-神の	主	の-名の-ために	家を	建てる-ことを	思っている	そして-見よ-私は		
H0430	H3068	H8034		H1129	H0559	H2009		

אֶתֵּן	אֲשֶׁר	בִּנְךָ	לֵאמֹר	אָבִי	דָּוִד	אֶל־	יְהוָה	דִּבֶּר	וְכַאֲשֶׁר
与える	なる	あなたの-息子が	言って	私の-父に	ダビデ	に	主が	語った	なる-通りに
H5414			H0559	H0413	H1732	H0413	H3068	H1696	

לִשְׁמִי׃	הַבָּיִת	יִבְנֶה	הוּא־	כִּסְאֲךָ	עַל־	תַּחְתֶּיךָ
わが-名の-ために	家を	建てる	彼が	あなたの-王座に	の-上に	あなたの-代わりに
H8034		H1129	H1931	H3678		H8478

主が父ダビデに『おまえに代って、おまえの位に、わたしがつかせるおまえの子、その人がわが名のために宮を建てるであろう』と言われたように、わが神、主の名のために宮を建てようと思います。

6 וְעַתָּה צַוֵּה וְיִכְרְתוּ־לִי אֲרָזִים מִן־הַלְּבָנוֹן
そして–今 命じてください そして–切り–出す–ように 私の–ために 杉を から レバノン
H6258 H6680 H3772 H0730 H3844

וְעַבָדַי יִהְיוּ עִם־עֲבָדֶיךָ וּשְׂכַר
そして–私の–しもべたちが いる と–共に あなたの–しもべたちと そして–報酬を
H5650 H1961 H5650 H7939

עֲבָדֶיךָ אֶתֵּן לְךָ כְּכֹל אֲשֶׁר תֹּאמַר כִּי אַתָּה
あなたの–しもべたちの 与える あなたに すべての–通りに なる 言う なぜなら あなたは
H5650 H5414 H3605 H0559

יָדַעְתָּ כִּי־אֵין בָּנוּ אִישׁ יֹדֵעַ לִכְרֹת־עֵצִים
知っている こと–を ない 私たちの–中に 人が 知る–者が 切り–出す–ことを 木を
H3045 H0369 H0376 H3045 H3772 H6086

כַּצִּדֹנִים׃
シドン人の–ように
H6722

それゆえ、あなたは命令を下して、レバノンの香柏をわたしのために切り出させてください。わたしのしもべたちをあなたのしもべたちと一緒に働かせます。またわたしはすべてあなたのおっしゃるとおり、あなたのしもべたちの賃銀をあなたに払います。あなたの知られるとおり、わたしたちのうちにはシドンびとのように木を切るに巧みな人がないからです」。

7 וַיְהִי כִּשְׁמֹעַ חִירָם אֶת־דִּבְרֵי שְׁלֹמֹה אֶת מְאֹד וַיִּשְׂמַח
そして–あった 聞いた–とき ヒラムが を 言葉を ソロモンの 非常に そして–喜んだ
H1961 H8085 H2438 H0853 H1697 H8010 H3966 H8055

וַיֹּאמֶר בָּרוּךְ יְהוָה הַיּוֹם אֲשֶׁר נָתַן לְדָוִד עַל־עַם
そして–言った ほむべき–かな 主は 今日 なる 与えた ダビデに 息子を 知恵ある の–上に 民
H0559 H1288 H3068 H3117 H5414 H1732 H0269 H2450

הָרָב הַזֶּה׃
多い この
H2088

ヒラムはソロモンの言葉を聞いて大いに喜び、「きょう、主はあがむべきかな。主はこのおびただしい民を治める賢い子をダビデに賜わった」と言った。

8 וַיִּשְׁלַח חִירָם אֶל־שְׁלֹמֹה לֵאמֹר שָׁמַעְתִּי אֵת אֲשֶׁר־שָׁלַחְתָּ
そして–遣わした ヒラムは に ソロモンの–もとに 言って 聞いた を なる 遣わした
H7971 H0413 H8010 H0559 H8085 H0853 H7971

אֵלָי אֲנִי אֶעֱשֶׂה אֶת־כָּל־חֶפְצְךָ בַּעֲצֵי בְּרוֹשִׁים׃ וּבַעֲצֵי
私に 私が 行う を すべての あなたの–望みを の–木で 杉の そして–の–木で
H0413 H0589 H6213 H0853 H3605 H2656 H6086 H0730 H6086

אֲרָזִים
杉の
H0730

そしてヒラムはソロモンに人をつかわして言った、「わたしはあなたが申しおくられたことを聞きました。香柏の材木と、いとすぎの材木については、すべてお望みのようにいたします。

9

עַד־ | בַּיָּם | דִּבְרוֹת | אֲשִׁימֵם | וְאֲנִי | יָמָּה | הַלְּבָנוֹן | מִן־ | יֹרְדוּ | עֲבָדָי
まで | 海で | 筏に | 組む | そして–私が | 海へ | レバノンを | から | 下ろす | 私の–しもべたちが
H5704 | H3220 | H1702 | | H0589 | H3220 | H3844 | | H3381 | H5650

וְאַתָּה | תִּשָּׂא | וְאַתָּה | שָׁם | וְנִפַּצְתִּים | אֵלַי | תִּשְׁלַח | אֲשֶׁר־ | הַמָּקוֹם
そして–あなたが | 運ぶ | そして–あなたが | そこで | そして–解く | 私に | 遣わす | なる | 場所まで
| H5375 | | H8033 | | H0413 | H7971 | | H4725

בֵּיתִי׃ | לֶחֶם | לָתֶת | חֶפְצִי | אֶת־ | תַּעֲשֶׂה
私の–家の | 食料を | 与える–ことを | 私の–望みを | を | 行う
| H3899 | H5414 | H2656 | H0853 |

わたしのしもべどもにそれをレバノンから海に運びおろさせましょう。わたしはそれをいかだに組んで、海路、あなたの指示される場所まで送り、そこでそれをくずしましょう。あなたはそれを受け取ってください。また、あなたはわたしの家のために食物を供給して、わたしの望みをかなえてください」。

10

בְּרוֹשִׁים | וַעֲצֵי | אֲרָזִים | עֲצֵי | לִשְׁלֹמֹה | נָתַן | חִירוֹם | וַיְהִי
糸杉の | そして–の–木を | 杉の | の–木を | ソロモンに | 与えて–いた | ヒラムは | そして–あった
H1265 | H6086 | H0730 | H6086 | H8010 | H5414 | H2438 | H1961

חֶפְצוֹ׃ | כָּל־
彼の | すべての–望みの
H2656 | H3605

こうしてヒラムはソロモンにすべて望みのように香柏の材木と、いとすぎの材木を与えた。

11

מַכֹּלֶת | חִטִּים | כֹּר | אֶלֶף | עֶשְׂרִים | לְחִירָם | נָתַן | וּשְׁלֹמֹה
食料と–して | 小麦を | コルの | 千 | 二万の | ヒラムに | 与えた | そして–ソロモンは
H4361 | H2406 | | H0505 | H6242 | H2438 | H5414 | H8010

לְחִירָם | שְׁלֹמֹה | יִתֵּן | כֹּה־ | כָּתִית | שֶׁמֶן | כֹּר | וְעֶשְׂרִים | לְבֵיתוֹ
ヒラムに | ソロモンは | 与えた | この–ように | 搾った | 油を | コルの | そして–二十の | 彼の–家の–ために
H2438 | H8010 | H5414 | H3541 | H3795 | H8081 | | H6242 |

פ | בְּשָׁנָה׃ | שָׁנָה
（段落） | 毎に–年 | 年
| H8141 | H8141

またソロモンはヒラムにその家の食物として小麦二万コルを与え、またオリブをつぶして取った油二万コルを与えた。このようにソロモンは年々ヒラムに与えた。

12

שָׁלֹם | וַיְהִי | לוֹ | דִּבֶּר־ | כַּאֲשֶׁר | לִשְׁלֹמֹה | חָכְמָה | נָתַן | וַיהוָה
平和が | そして–あった | 彼に | 語った | なる–通りに | ソロモンに | 知恵を | 与えた | そして–主は
H7965 | H1961 | | H1696 | | | H2451 | H5414 | H3068

שְׁנֵיהֶם׃ | בְּרִית | וַיִּכְרְתוּ | שְׁלֹמֹה | וּבֵין | חִירָם | בֵּין
二人は | 契約を | そして–結んだ | ソロモン | そして–の–間に | ヒラム | の–間に
H8147 | H1285 | H3772 | H8010 | H0996 | H2438 | H0996

主は約束されたようにソロモンに知恵を賜わった。またヒラムとソロモンの間は平和であって、彼らふたりは条約を結んだ。

13

הַמַּס | וַיְהִי | יִשְׂרָאֵל | מִכָּל־ | מַס | שְׁלֹמֹה | הַמֶּלֶךְ | וַיַּעַל
労役は | そして–あった | イスラエルから | すべての | 労役を | ソロモンは | 王 | そして–弾集した
H4522 | H1961 | H3478 | H3605 | H4522 | H8010 | H4428 | H5927

אִישׁ׃ | אֶלֶף | שְׁלֹשִׁים
人 | 千 | 三万の
H0376 | H0505 | H7970

ソロモン王はイスラエルの全地から強制的に労働者を徴募した。その徴募人員は三万人であった。

שְׁנַיִם	בַּלְבָּנוֹן	יִהְיוּ	חֹדֶשׁ	חֲלִיפוֹת	בַּחֹדֶשׁ	אֲלָפִים	עֲשֶׂרֶת	לְבָנוֹנָה	וַיִּשְׁלַחֵם	14
二	レバノンに	いた	月	交代で	の–月に	千	一万の	レバノンに	そして–遣わした	
H8147	H3844	H1961	H2320	H2487	H2320	H0505	H6235	H3844	H7971	

ס	הַמָּס׃	עַל־	וַאֲדֹנִירָם	בְּבֵיתוֹ	חֳדָשִׁים
（区切り）	労役	の–上に	そして–アドニラムが	家に	月を
	H4522		H0141		H2320

ソロモンは彼らを一か月交代に一万人ずつレバノンにつかわした。すなわち一か月レバノンに、二か月家にあり、アドニラムは徴募の監督であった。

חֹצֵב	אֶלֶף	וּשְׁמֹנִים	סַבָּל	נֹשֵׂא	אֶלֶף	שִׁבְעִים	לִשְׁלֹמֹה	וַיְהִי		15
切り–出す–者が	千	そして–八万の	荷の	運ぶ–者が	千	七万の	ソロモンに	そして–あった		
H2672	H0505	H8084	H5449	H5375	H0505	H7657	H8010	H1961		

בָּהָר׃
山で
H2022

ソロモンにはまた荷を負う者が七万人、山で石を切る者が八万人あった。

וּשְׁלֹשׁ	אֲלָפִים	שְׁלֹשֶׁת	הַמְּלָאכָה	עַל־	אֲשֶׁר	לִשְׁלֹמֹה	הַנִּצָּבִים	מִשָּׂרֵי	לְבַד	16
そして–三	千	三千の	仕事	の–上に	なる	ソロモンの	代官たち	から–長	の–ほかに	
H7969	H0505	H7969	H4399			H8010	H5324	H8269	H0905	

בַּמְּלָאכָה׃	הָעֹשִׂים	בָּעָם	הָרֹדִים	מֵאוֹת
仕事を	行う–者たち	民を	監督する–者が	百
H4399				H3967

ほかにソロモンには工事を監督する上役の官吏が三千三百人あって、工事に働く民を監督した。

לְיַסֵּד	יְקָרוֹת	אֲבָנִים	גְּדֹלוֹת	אֲבָנִים	וַיַּסִּעוּ	הַמֶּלֶךְ	וַיְצַו		17
基を–置く–ために	高価な	石を	大きな	石を	そして–切り–出した	王は	そして–命じた		
H3245	H3368	H0068		H0068	H5265	H4428	H6680		

גָּזִית׃	אַבְנֵי	הַבָּיִת
切り–石の	石を	家の
H1496	H0068	

王は命じて大きい高価な石を切り出させ、切り石をもって宮の基をすえさせた。

וְהַגִּבְלִים	חִירוֹם	וּבֹנֵי	שְׁלֹמֹה	בֹּנֵי	וַיְפַסְּלוּ	18
そして–ゲバル人が	ヒラムの	そして–建てる–者たち	ソロモンの	建てる–者たち	そして–切った	
H1382	H2438	H1129	H8010	H1129	H6458	

פ	הַבָּיִת׃	לִבְנוֹת	וְהָאֲבָנִים	הָעֵצִים	וַיָּכִינוּ
（段落）	家を	建てる–ために	そして–石を	木を	そして–準備した
		H1129	H0068	H6086	

こうしてソロモンの建築者と、ヒラムの建築者およびゲバルびとは石を切り、材木と石とを宮を建てるために備えた。

Chapter 6

1 וַיְהִי בִּשְׁמוֹנִים שָׁנָה וְאַרְבַּע מֵאוֹת שָׁנָה לְצֵאת בְּנֵי־יִשְׂרָאֵל
そして-あった の-八十 年と そして-四 百 年に の出た-後 息子たちが イスラエルの
H1961 H8084 H8141 H0702 H3967 H8141 H3318 H3478

מֵאֶרֶץ־מִצְרַיִם בַּשָּׁנָה הָרְבִיעִית בְּחֹדֶשׁ זִו הוּא הַחֹדֶשׁ הַשֵּׁנִי לִמְלֹךְ
から-地 エジプトの の-年に 四年目の の-月に ジヴ それは 月 二番目の の-治世
H0776 H4714 H8141 H7243 H2320 H2099 H1931 H2320 H8145

שְׁלֹמֹה עַל־יִשְׂרָאֵל וַיִּבֶן הַבַּיִת לַיהוָה׃
ソロモンが の-上に イスラエル そして-建てた 家を 主の-ために
H8010 H5921 H3478 H1129 H1004 H3068

イスラエルの人々がエジプトの地を出て後四百八十年、ソロモンがイスラエルの王となって第四年のジフの月すなわち二月に、ソロモンは主のために宮を建てることを始めた。

2 וְהַבַּיִת אֲשֶׁר בָּנָה הַמֶּלֶךְ שְׁלֹמֹה לַיהוָה שִׁשִּׁים־אַמָּה אָרְכּוֹ
そして-家は なる 建てた 王 ソロモンが 主の-ために 六十 アンマ その-長さ
H1129 H4428 H8010 H3068 H8346 H0753

וְעֶשְׂרִים רָחְבּוֹ וּשְׁלֹשִׁים אַמָּה קוֹמָתוֹ׃
そして-二十 その-幅 そして-三十 アンマ その-高さ
H6242 H7341 H7970 H0753

ソロモン王が主のために建てた宮は長さ六十キュビト、幅二十キュビト、高さ三十キュビトであった。

3 וְהָאוּלָם עַל־פְּנֵי הֵיכַל הַבַּיִת עֶשְׂרִים אַמָּה אָרְכּוֹ עַל־פְּנֵי רֹחַב
そして-玄関は の-前に 面に 本殿 家の 二十 アンマ その-長さ の-前に 面の 幅の
H0197 H6440 H1964 H1004 H6242 H0753 H5921 H6440 H7341

הַבָּיִת עֶשֶׂר בָּאַמָּה רָחְבּוֹ עַל־פְּנֵי הַבָּיִת׃
家の 十 アンマの その-幅 の-前に 面の 家の
H1004 H6235 H0753 H5921 H6440 H1004

宮の拝殿の前の廊は宮の幅にしたがって長さ二十キュビト、その幅は宮の前で十キュビトであった。

4 וַיַּעַשׂ לַבַּיִת חַלֹּנֵי שְׁקֻפִים אֲטֻמִים׃
そして-作った 家に 窓を 桁格子の 封じた
H0331 H8261 H2474 H1004

彼は宮に、内側の広い枠の窓を造った。

5 וַיִּבֶן עַל־קִיר הַבַּיִת יָצִוע(ִיצוע) סָבִיב אֶת־קִירוֹת הַבַּיִת סָבִיב לַדְּבִיר וְלַהֵיכָל
そして-建てた 壁の-上に 家の 階を 階を 回りに を 壁 家の 回りに 奥の-部屋に そして-本殿に
H1129 H7023 H1004 H3651 H3651 H5439 H0853 H7023 H1004 H5439 H1687 H1964

וַיַּעַשׂ צְלָעוֹת סָבִיב׃
そして-作った 脇室を 回りに
H6763 H5439

また宮の壁につけて周囲に脇屋を設け、宮の壁すなわち拝殿と本殿の壁の周囲に建てめぐらし、宮の周囲に脇間があるようにした。

6 הַתַּחְתֹּנָה(הַיָּצִיעַ) הַחֲמִשִּׁית וְהָאֶמְצָעִית(הַ)יצוע הַשְּׁלִשִׁית כִּי מִגְרָעוֹת נָתַן לַבָּיִת
下の 五 そして-中の-階は その-幅 アンマの その-幅 アンマの 七 そして-三番目の-階は その-幅 なぜなら 段を-作った 作った 家に
H8481 H2568 H8484 H7341 H0753 H7651 H7992 H7341 H3588 H4052 H5414 H1004

לְבִלְתִּי אֲחֹז בְּקִירוֹת־הַבָּיִת׃ חוּצָה סָבִיב
ない-ために つかむ の-壁に 家の 外に 回りに
H1115 H0270 H7023 H1004 H2351 H5439

下の脇間は広さ五キュビト、中の広さ六キュビト、第三のは広さ七キュビトであった。宮の外側には壁に段を造って、梁を宮の壁の中に差し込まないようにした。

וְהַגַּרְזֶן	וּמַקָּבוֹת	נִבְנָה	מַסָּע	שְׁלֵמָה	אֶבֶן־	בְּהִבָּנֹתוֹ	וְהַבַּיִת	7
そして-斧も	そして-槌も	建てられた	石切り場の	完全な	の-石で	建てられた-とき	そして-家は	
H1631	H4717	H1129		H8003	H0068	H1129		

בְּהִבָּנֹתוֹ׃	בַּבַּיִת	נִשְׁמַע	לֹא־	בַרְזֶל	כְּלִי	כָּל־
建てられた-とき	家で	聞こえなかった	ない	鉄の	道具	すべての
H1129		H8085	H3808	H1270	H3627	H3605

宮は建てる時に、石切り場で切り整えた石をもって造ったので、建てている間は宮のうちには、つちも、おのも、その他の鉄器もその音が聞えなかった。

עַל־	יַעֲלוּ	וּבְלוּלִים	הַיְמָנִית	הַבַּיִת	כֶּתֶף	אֶל־	הַתִּיכֹנָה	הַצֶּלַע	פֶּתַח	8
に	上る	そして-らせん-階段で	右の	家の	側に	の-側に	中の-階の	脇室の	入口は	
	H5927	H3883	H3233		H3802	H0413	H8484	H6763	H6607	

הַשְּׁלִשִׁים׃	אֶל־	הַתִּיכֹנָה	וּמִן־	הַתִּיכֹנָה
三番目の-階へ	に	中の-階から	そして-から	中の-階へ
H7992	H0413	H8484		H8484

下の脇間の入口は宮の右側にあり、回り階段によって中の脇間に、中の脇間から第三の脇間にのぼった。

גֻּבִּים	הַבַּיִת	אֶת־	וַיִּסְפֵּן	וַיְכַלֵּהוּ	הַבָּיִת	אֶת־	וַיִּבֶן	9
梁で	家を	を	そして-覆った	そして-完成させた	家を	を	そして-建てた	
		H0853	H5603	H3615		H0853	H1129	

בָּאֳרָזִים׃	וּשְׁדֵרֹת
杉の	そして-板で
H0730	H7713

こうして彼は宮を建て終り、香柏のたるきと板をもって宮の天井を造った。

קוֹמָתוֹ	אַמּוֹת	חָמֵשׁ	הַבַּיִת	כָּל־	עַל־	הַיְצִיעַ)[	]היצוע	אֶת־	וַיִּבֶן	10
その-高さ	アンマの	五	家の	すべての	の-上に	階を	階を	を	そして-建てた	
H6967		H2568		H3605				H0853	H1129	

פ	אֳרָזִים׃	בַּעֲצֵי	הַבָּיִת	אֶת־	וַיֶּאֱחֹז
（段落）	杉の	の-木で	家に	を	そして-つないだ
	H0730	H6086		H0853	H0270

また宮につけて、おのおの高さ五キュビトの脇間のある脇屋を建てめぐらし、香柏の材木をもって宮に接続させた。

לֵאמֹר׃	שְׁלֹמֹה	אֶל־	יְהוָה	דְּבַר־	וַיְהִי	11
言って	ソロモン	に	主	の-言葉が	そして-あった	
H0559	H8010	H0413	H3068	H1697	H1961	

そこで主の言葉がソロモンに臨んだ、

מִשְׁפָּטַי	וְאֶת־	בְּחֻקֹּתַי	תֵּלֵךְ	אִם־	בֹּנֶה	אַתָּה	אֲשֶׁר־	הַזֶּה	הַבַּיִת	12
わが-定めを	そして	わが-掟に	歩むなら	もし	建てている	あなたが	なる	この	家を	
H4941	H0853	H2708	H3212		H1129			H2088		

וַהֲקִמֹתִי	בָּהֶם	לָלֶכֶת	מִצְוֹתַי	כָּל־	אֶת־	וְשָׁמַרְתָּ	תַּעֲשֶׂה
そして-立てる	それらに	歩む-ために	わが-戒めを	すべての	を	そして-守るなら	行うなら
		H3212	H4687	H3605	H0853	H8104	

אָבִיךָ׃	דָּוִד	אֶל־	דִּבַּרְתִּי	אֲשֶׁר	אִתָּךְ	דְּבָרִי	אֶת־
あなたの-父に	ダビデ	に	語った	なる	あなたと-共に	わが-言葉を	を
H0001	H1732	H0413	H1696		H0854	H1697	H0853

「あなたが建てるこの宮については、もしあなたがわたしの定めに歩み、おきてを行い、すべての戒めを守り、それに従って歩むならば、わたしはあなたの父ダビデに約束したことを成就する。

13 וְשָׁכַנְתִּי בְּתוֹךְ בְּנֵי יִשְׂרָאֵל וְלֹא אֶעֱזֹב אֶת־עַמִּי
そして-住む の-中に 息子たちの イスラエルの そして-ない 見捨てない を わが-民を
H7931 H8432 H3478 H3808 H0853

יִשְׂרָאֵל׃ ס
イスラエル （区切り）
H3478

そしてわたしはイスラエルの人々のうちに住み、わたしの民イスラエルを捨てることはない」。

14 וַיִּבֶן שְׁלֹמֹה אֶת־הַבַּיִת וַיְכַלֵּהוּ׃
そして-建てた ソロモンは を 家を そして-完成させた
H1129 H8010 H0853 H3615

こうしてソロモンは宮を建て終った。

15 וַיִּבֶן אֶת־קִירוֹת הַבַּיִת מִבַּיתָה מִקֶּרֶשׁ הָעֵצִים וְעַד־קִירוֹת הַבַּיִת וַיְצַף־לוֹ מִבַּיִת בְּרוֹשִׁים׃
そして-建てた を 壁を 家の 内側に から-床 木の まで 壁まで 家の 覆った 木で 内側を 天井の 彼の-ために 床から 至聖所 奥の-部屋と-して 奥の-部屋と-して 前の 本殿 それが 家は だった アンマの そして-四十の
H1129 H0853 H7023 H1004 H7172 H6086 H5704 H7023 H1004 H6823 H6086 H1004 H5604 H0853 H6763 H1004 H1265

彼は香柏の板をもって宮の壁の内側を張った。すなわち宮の床から天井のたるきまで香柏の板で張った。また、いとすぎの板をもって宮の床を張った。

16 וַיִּבֶן אֶת־עֶשְׂרִים אַמָּה מִירכותין מִירְכְתֵי הַבַּיִת בְּצַלְעוֹת אֲרָזִים מִן־הַקֶּרֶשׁ וְעַד־קִירוֹת הַקִּירֹת וַיִּבֶן לוֹ מִבַּיִת לִדְבִיר לְקֹדֶשׁ׃
そして-建てた を 二十の アンマ の-奥に 奥 の-板で 杉の から-床 まで 壁まで 壁の 彼の-ために 内側に 奥の-部屋と-して の-至聖所と-して
H1129 H0853 H6242 H0520 H3411 H3411 H6763 H0730 H7172 H5704 H7023 H1004 H1687 H6944

17 וְאַרְבָּעִים בָּאַמָּה הָיָה הַבַּיִת הַהֵיכָל הוּא לִפְנֵי׃
そして-四十の アンマの だった 家は それが 本殿 前の
H0705 H1961 H1004 H1931 H1964 H3942

宮すなわち本殿の前にある拝殿は長さ四十キュビトであった。

18 וְאֶרֶז אֶל־הַבַּיִת פְּנִימָה מִקְלַעַת פִּקְּעֵי וּפְטוּרֵי צִצִּים הַכֹּל אֶרֶז לֹא־נִרְאָה אָבֶן׃
そして-杉が に 家の 内側に 彫り物の 瓜の そして-花の 形の すべてが 杉 ない 石は 見えなかった
H0730 H0413 H1004 H6441 H4734 H6497 H6358 H6605 H3605 H0730 H0369 H0068 H7200

宮の内側の香柏の板は、ひさごの形と、咲いた花を浮彫りにしたもので、みな香柏の板で、石は見えなかった。

19 וּדְבִ֔יר בְּתוֹךְ־ הַבַּ֖יִת מִפְּנִימָ֑ה הֵכִ֣ין לְתִתָּ֗ן שָׁ֚מָּה אֶת־
そして-奥の-部屋を の-中に 家の 最も-奥に 準備した 置く-ために そこに を
H1687 H8432 H0853 H6441 H5414 H8033 H0853

אֲר֖וֹן בְּרִ֣ית יְהוָֽה׃
契約の-箱を の-契約 主の
H0727 H1285 H3068

そして主の契約の箱を置くために、宮の内の奥に本殿を設けた。

20 וְלִפְנֵ֣י הַדְּבִ֗יר עֶשְׂרִ֤ים אַמָּה֙ אֹ֔רֶךְ וְעֶשְׂרִ֥ים אַמָּ֖ה רֹ֑חַב וְעֶשְׂרִ֣ים
そして-の-前に 奥の-部屋 二十 アンマ 長さ そして-二十 アンマ 幅 そして-二十
H6440 H1687 H6242 H0753 H6242 H7341 H6242

אַמָּ֣ה קוֹמָתֹ֔ו וַיְצַפֵּ֥הוּ זָהָ֖ב סָגֻ֑ור וַיְצַ֣ף מִזְבֵּ֥חַ אָֽרֶז׃
アンマ その-高さ そして-覆った 金で 純金の そして-覆った 祭壇を 杉の
H0853 H6967 H6823 H2091 H5462 H6823 H4196 H0730

本殿は長さ二十キュビト、幅二十キュビト、高さ二十キュビトであって、純金でこれをおおった。また香柏の祭壇を造った。

21 וַיְצַ֤ף שְׁלֹמֹה֙ אֶת־ הַבַּ֣יִת מִפְּנִימָ֔ה וַיַּעֲבֵּ֕ר]ברתיקות[
そして-覆った ソロモンは を 家を 内側を 金で 純金の そして-渡した の-鎖で
H6823 H8010 H0853 H2091 H6441 H5462 H7569

וַיְצַפֵּ֥הוּ זָהָ֖ב לִפְנֵ֣י הַדְּבִ֑יר זָהָ֖ב)בְּרִתּוּקֹֽות׃(
そして-覆った 金で の-前に 奥の-部屋の 金の 鎖で
H6823 H2091 H6440 H1687 H2091 H7569

ソロモンは純金をもって宮の内側をおおい、本殿の前に金の鎖をもって隔てを造り、金をもってこれをおおった。

22 וְאֶת־ כָּל־ הַבַּ֣יִת כָּל־ תֻּ֔ם עַד־ זָהָ֖ב צִפָּ֑ה הַבַּ֣יִת כָּל־ וְאֶת־
そして すべての 家を 覆った 金で まで 完了まで すべての 家の すべての そして
H3605 H3605 H6823 H2091 H5704 H8552 H3605 H0853

הַמִּזְבֵּ֖חַ אֲשֶׁר־ לִדְבִ֥יר צִפָּ֛ה זָהָֽב׃
祭壇を なる 奥の-部屋の 覆った 金で
H4196 H0834 H1687 H6823 H2091

また金をもって残らず宮をおおい、ついに宮を飾ることをことごとく終えた。また本殿に属する祭壇をことごとく金でおおった。

23 וַיַּ֣עַשׂ בַּדְּבִ֔יר שְׁנֵ֖י כְּרוּבִ֣ים עֲצֵי־ שָׁ֑מֶן עֶ֥שֶׂר אַמֹּ֖ות קֹומָתֹֽו׃
そして-作った 奥の-部屋に 二つの ケルビムを の-木で オリーブの 十 アンマの その-高さ
H6213 H1687 H8147 H3742 H6086 H8081 H6235 H0520 H6967

本殿のうちにオリブの木をもって二つのケルビムを造った。その高さはおのおの十キュビト。

24 וְחָמֵ֣שׁ אַמֹּ֔ות כְּנַ֖ף הַכְּרוּב֙ הָאֶחָ֔ת וְחָמֵ֣שׁ אַמֹּ֔ות כְּנַ֖ף הַכְּרוּב֙ הַשֵּׁנִ֔ית
そして-五 アンマの 翼が ケルブの 一つの そして-五 アンマの 翼が ケルブの 二番目の
H2568 H0520 H3671 H3742 H0259 H2568 H0520 H3671 H3742 H8145

וְעַד־ קְצֹ֣ות כְּנָפָ֑יו קְצֹ֣ות מִקְצֹ֔ות אַמֹּ֖ות עֶ֥שֶׂר כְּנָפָֽיו׃
そして-まで 端まで の-端から アンマ 十 翼の
H5704 H7098 H7098 H0520 H6235 H3671

そのケルブの一つの翼の長さは五キュビト、またそのケルブの他の翼の長さも五キュビトであった。一つの翼の端から他の翼の端までは十キュビトあった。

25 וְעֶשֶׂר בָּאַמָּה הַכְּרוּב הַשֵּׁנִי מִדָּה אַחַת וְקֶצֶב אֶחָד לִשְׁנֵי
そして-十の アンマの ケルブは 二番目の 寸法 一つの そして-形 一つの の-二つの
H6235 H0259 H3742 H8145 H0259 H7095 H0259 H8147

הַכְּרֻבִים׃
ケルビムの
H3742

他のケルブも十キュビトであって、二つのケルビムは同じ寸法、同じ形であった。

26 קוֹמַת הַכְּרוּב הָאֶחָד עֶשֶׂר בָּאַמָּה וְכֵן הַכְּרוּב הַשֵּׁנִי׃
高さは ケルブの 一つの 十 アンマの そして-同じく ケルブの 二番目の
H6967 H3742 H0259 H6235 H0259 H3742 H8145

このケルブの高さは十キュビト、かのケルブの高さも同じであった。

27 וַיִּתֵּן אֶת־הַכְּרוּבִים בְּתוֹךְ הַבַּיִת הַפְּנִימִי וַיִּפְרְשׂוּ כַּנְפֵי
そして-置いた を ケルビムを の-中に 家の 内側の そして-広げた を 翼を
H5414 H0853 H3742 H8432 H1004 H6442 H6566 H0853 H3671

הַכְּרֻבִים וַתִּגַּע כְּנַף־הָאֶחָד בַּקִּיר וְכִנַף הַכְּרוּב הַשֵּׁנִי נֹגַעַת
ケルビムの そして-届いた 翼が 一つの 壁に そして-翼が ケルブの 二番目の 届いていた
H3742 H5060 H3671 H0259 H7023 H3671 H3742 H8145 H5060

בְּכִנַף כְּנַף אֶל־הַבַּיִת נֹגַעַת כְּנַף וְכַנְפֵיהֶם אֶל־תָּוֶךְ הַבַּיִת׃
翼に 翼が 触れて-いた 家の 中に に 彼らの-翼は そして-に 家の
H3671 H3671 H5060 H1004 H8432 H0413 H3671 H0413 H1004

ソロモンは宮のうちの奥にケルビムをすえた。ケルビムの翼を伸ばしたところ、このケルブの翼はこの壁に達し、かのケルブの翼はかの壁に達し、他の二つの翼は宮の中で互に触れ合った。

28 וַיְצַף אֶת־הַכְּרוּבִים זָהָב׃
そして-覆った を ケルビムを 金で
H6823 H0853 H3742 H2091

彼は金をもってそのケルビムをおおった。

29 וְאֵת כָּל־קִירוֹת הַבַּיִת סָבִיב מִקְלְעוֹת פְּתוּחֵי קָלַע כְּרוּבִים
そして すべての 壁を 家の 回りに 彫った 彫り物の 彫り物を ケルビム
H0853 H3605 H7023 H1004 H4524 H6603 H4734 H3742

וְתִמֹרֹת וּפְטוּרֵי צִצִים מִלִפְנִים וְלַחִיצוֹן׃
そして-なつめの-木 そして-花の 形の 内側に そして-外側に
H8561 H6358 H6440 H2435

彼は宮の周囲の壁に、内外の室とも皆ケルビムと、しゅろの木と、咲いた花の形の彫り物を刻み、

30 וְאֶת־קַרְקַע הַבַּיִת צִפָּה זָהָב לִפְנִימָה וְלַחִיצוֹן׃
そして 床を 家の 覆った 金で 内側の そして-外側の
H0853 H7172 H1004 H6823 H2091 H6441 H2435

宮の床は、内外の室とも金でおおった。

31 וְאֵת פֶּתַח הַדְּבִיר עָשָׂה דַלְתוֹת עֲצֵי־שָׁמֶן הָאַיִל מְזוּזוֹת חֲמִשִּׁית׃
そして 入口を 奥の-部屋の 作った 扉を の-木の オリーブの 柱と 扉枠と 五分の-一の
H0853 H6607 H1687 H6213 H1817 H6086 H8081 H0352 H4201 H2549

本殿の入口にはオリブの木のとびらを造った。そのとびらの上のかまちと脇柱とで五辺形をなしていた。

32 וּשְׁתֵּי דַלְתוֹת עֲצֵי־שֶׁמֶן וְקָלַע עֲלֵיהֶם מִקְלְעוֹת כְּרוּבִים
そして-二つの 扉を の-木の オリーブの そして-彫った の-上に 彫り物を ケルビム
H8147 H1817 H6086 H8081 H7787 H5921 H4734 H3742

וְתִמֹרוֹת וּפְטוּרֵי צִצִּים וְצִפָּה זָהָב וַיָּרֶד עַל־הַכְּרוּבִים
そして-なつめの-木 そして-花の 形の そして-覆った 金で そして-延ばした の-上に ケルビムの
H8561 H6358 H6731 H6823 H2091 H3718 H5921 H3742

וְעַל־הַתְּמֹרוֹת אֶת־הַזָּהָב׃
そして-の-上に なつめの-木の を 金を
H5921 H8561 H0853 H2091

その二つのとびらもオリブの木であって、ソロモンはその上にケルビムと、しゅろの木と、咲いた花の形を刻み、金をもっておおった。すなわちケルビムと、しゅろの木の上に金を着せた。

33 וְכֵן עָשָׂה לְפֶתַח הַהֵיכָל מְזוּזוֹת עֲצֵי־שֶׁמֶן מֵאֵת רְבִעִית׃
そして-同じく 作った の-入口に 本殿の 扉枠を の-木の オリーブの から 四分の-一の
H3651 H6607 H1964 H4201 H6086 H8081 H0854 H7243

こうしてソロモンはまた拝殿の入口のためにオリブの木で四角の形に脇柱を造った。

34 וּשְׁתֵּי דַלְתוֹת עֲצֵי בְרוֹשִׁים שְׁנֵי צְלָעִים הַדֶּלֶת הָאַחַת גְּלִילִים
そして-二つの 扉を の-木の 糸杉の 二つの 板が 扉の 一つの 回転する
H8147 H1817 H6086 H1265 H8147 H6763 H1817 H0259 H1550

שְׁנֵי וְקֶלַע הַדֶּלֶת הַשֵּׁנִית גְּלִילִים׃
そして-二つの 板が 扉の 二番目の 回転する
H8147 H7787 H1817 H8145 H1550

その二つのとびらはいとすぎであって、一つのとびらは二つにたたむ折り戸であり、他のとびらも二つにたたむ折り戸であった。

35 וְקָלַע כְּרוּבִים וְתִמֹרוֹת וּפְטוּרֵי צִצִּים וְצִפָּה זָהָב
そして-彫った ケルビムを そして-なつめの-木を そして-花の 形を そして-覆った 金で
H7787 H3742 H8561 H6358 H6731 H6823 H2091

עַל־מְיֻשָּׁר הַמְּחֻקֶּה׃
の-上に 平らに 彫り物の
H5921 H3474 H2707

ソロモンはその上にケルビムと、しゅろの木と、咲いた花を刻み、金をもって彫り物の上を形どおりにおおった。

36 וַיִּבֶן אֶת־הֶחָצֵר הַפְּנִימִית שְׁלֹשָׁה טוּרֵי גָזִית וְטוּר כְּרֻתֹת אַרְזִים׃
そして-建てた を 庭を 内側の 三つの 列の 切り-石の そして-列の 切った 杉の
H1129 H0853 H2691 H6442 H7969 H2905 H1496 H7737 H3773 H0730

また切り石三かさねと、香柏の角材ひとかさねとをもって内庭を造った。

37 בַּשָּׁנָה הָרְבִיעִית יֻסַּד בֵּית יְהוָה בְּיֶרַח זִו׃
の-年に 四年目の 基が-置かれた 家の 主の の-月に ジヴ
H8141 H7243 H3245 H1004 H3068 H3391 H2099

第四年のジフの月に主の宮の基をすえ、

38 וּבַשָּׁנָה הָאַחַת עֶשְׂרֵה בְּיֶרַח בּוּל הוּא הַחֹדֶשׁ הַשְּׁמִינִי כָּלָה הַבַּיִת
そして-の-年に 十一年目の 十一 の-月に ブル それは 月 八番目の 完成した 家は
H8141 H0259 H6240 H3391 H0945 H1931 H2320 H8066 H3615

לְכָל־ דְּבָרָיו וּלְכָל־]משפטו[ )מִשְׁפָּטָיו(וַיִּבְנֵהוּ שֶׁבַע
すべての その-詳細に-おいて そして-すべての その-設計 その-設計に-従って そして-建てた 七
H3605 H1697 H3605 H4941 H4941 H1129 H7651

שָׁנִים׃
年で
H8141

第十一年のブルの月すなわち八月に、宮のすべての部分が設計どおりに完成した。ソロモンはこれを建てるのに七年を要した。

Chapter 7

1 וְאֶת־ בֵּיתוֹ בָּנָה שְׁלֹמֹה שְׁלֹשׁ עֶשְׂרֵה שָׁנָה וַיְכַל אֶת־
そして-〜を 彼の-家を 建てた ソロモンは 十三 年かけて そして-完成させた 〜を
H0853 H1129 H8010 H7969 H6240 H8141 H3615 H0853

כָּל־ בֵּיתוֹ׃
すべての 彼の-家を
H3605

またソロモンは自分の家を建てたが、十三年かかってその家を全部建て終った。

2 וַיִּבֶן אֶת־ בֵּית וְיַעַר הַלְּבָנוֹן מֵאָה אַמָּה אָרְכּוֹ חֲמִשִּׁים
そして-彼は-建てた 〜を 家を 森の レバノンの 百 キュビトの その-長さは 五十
H1129 H0853 H3967 H3844 H0753 H2572

אַמָּה וּשְׁלֹשִׁים רָחְבּוֹ אַמָּה קוֹמָתוֹ עַל אַרְבָּעָה טוּרֵי עַמּוּדֵי
キュビトの 三十 その-幅は キュビトの その-高さであった 〜の-上に 四つの 列の 柱で
H0702 H2905 H5982 H6967 H0702 H7341 H7970 H0702

אֲרָזִים וְכֵרֻתוֹת עַל־ אַרְזִים מִן־ הָעַמּוּדִים׃
杉の そして-切り出した 〜の-上に 杉が 柱の-上にあった
H0730 H3773 H0730 H5982

彼はレバノンの森の家を建てた。長さ百キュビト、幅五十キュビト、高さ三十キュビトで、三列の香柏の柱があり、その柱の上に香柏の梁があった。

3 וְסָפַן בָּאֶרֶז מִמַּעַל עַל־ הַצְּלָעֹת אֲשֶׁר עַל־ הָעַמּוּדִים אַרְבָּעִים
そして-覆われていた 杉で 上から 〜の-上に 脇部屋を 〜の 〜の-上の 柱の 四十
H5603 H0730 H4605 H6763 H0413 H5982 H0705

חֲמִשָּׁה עָשָׂר הַטּוּר׃ וַחֲמִשָּׁה
十 五ずつ 一列に 五つ
H2568 H6240 H2905 H2568

四十五本の柱の上にある室は香柏の板でおおった。柱は各列十五本あった。

4 וּשְׁקָפִים שְׁלֹשָׁה טוּרִים אֶל־ מְחֻזָּה וּמְחֻזָּה שְׁלֹשׁ מְחֻזֹת פְּעָמִים׃
そして-窓枠が 三つの 列に 〜に そして-窓は 三 窓と 度-向かい合っていた
H8261 H7969 H7969 H0413 H4237 H7969 H4237 H6471

また窓わくが三列あって、窓と窓と三段に向かい合っていた。

5

מְחֻזָּה	אֶל־	מְחֻזָּה	וּמָוּל	שָׁקֻף	רְבָעִים	וְהַמְזוּזוֹת	הַפְתָּחִים	וְכֹל־
窓と	～に	窓が	そして–向かい合って	枠で	四角い	門柱は	入口と	そして–すべての
H4237	H0413	H4237	H4136	H8260	H7251	H4201	H6607	H3605

פְּעָמִים׃	שָׁלֹשׁ
度あった	三
H6471	H7969

戸口と窓はみな四角の枠をもち、窓と窓と三段に向かい合った。

6

וּשְׁלֹשִׁים	אָרְכּוֹ	אַמָּה	חֲמִשִּׁים	עָשָׂה	הָעַמּוּדִים	אוּלָם	וְאֶת
三十	その–長さで	キュビトの	五十	彼は–造った	柱の	柱の–広間を	そして
H7970	H0753		H2572		H5982	H0197	H0853

עַל־	וָעָב	וְעַמֻּדִים	פְּנֵיהֶם	עַל־	וְאוּלָם	רָחְבּוֹ	אַמָּה
～の–前に	庇が	そして–柱と	それらの	～の–前に	そして–広間が	その–幅であった	キュビトの
	H5646	H5982	H6440		H0197	H7341	

פְּנֵיהֶם׃
それらの–前にあった
H6440

また柱の広間を造った。長さ五十キュビト、幅三十キュビトであった。柱の前に一つの広間があり、その玄関に柱とひさしがあった。

7

עָשָׂה	הַמִּשְׁפָּט	אֻלָם	שָׁם	יִשְׁפֹּט־	אֲשֶׁר	הַכִּסֵּא	וְאוּלָם
彼は–造った	裁きの	裁きの–広間を	そこで	彼が–裁く	そこで	王座の	そして–広間を
	H4941	H0197	H8033	H8199		H3678	H0197

הַקְּרָקַע׃	עַד־	מֵהַקְּרָקַע	בְּאֶרֶז	וְסָפוּן
天井まで	～まで	床から	杉で	そして–覆われていた
H7172	H5704	H7172	H0730	H5603

またソロモンはみずから審判をするために玉座の広間、すなわち審判の広間を造った。床からたるきまで香柏をもっておおった。

8

כַּמַּעֲשֶׂה	לָאוּלָם	מִבֵּית	הָאַחֶרֶת	חָצֵר	שָׁם	יֵשֶׁב	אֲשֶׁר־	וּבֵיתוֹ
同じ–造りで	広間より	内側の	もう–一つの	庭は	そこの	彼が–住む	そこに	そして–彼の–家は
H4639	H0197		H0312		H8033	H3427		

שְׁלֹמֹה	לָקַח	אֲשֶׁר	פַּרְעֹה	לְבַת־	יַעֲשֶׂה	וּבַיִת	הָיָה	הַזֶּה
ソロモンが	めとった	～の	ファラオの	～の–娘	彼は–造った	そして–家を	あった	この
H8010	H3947		H6547	H1323			H1961	H2088

הַזֶּה׃	כָּאוּלָם
この	この–広間の–ように
H2088	H0197

ソロモンが住んだ宮殿はその広間のうしろの他の庭にあって、その造作は同じであった。ソロモンはまた彼がめとったパロの娘のために家を建てたが、その広間と同じであった。

9

בַּמְּגֵרָה	מְגֹרָרוֹת	גָּזִית	כְּמִדַּת	יְקָרוֹת	אֲבָנִים	אֵלֶּה	כָּל־
のこぎりで	のこぎりで–切った	切り石の	寸法に–合わせた	高価な	石で	これらは	すべて
H4050	H1641	H1496		H3368	H0068	H0428	H3605

הַגְּדוֹלָה׃	הֶחָצֵר	עַד־	וּמִחוּץ	הַטִּפְחוֹת	עַד־	וּמִמָּסָד	וּמִחוּץ	מִבָּיִת
大きな	庭まで	～まで	そして–外から	かさ石まで	～まで	そして–土台から	外側まで	内側から
		H5704	H2351	H2947	H5704	H4527	H2351	

これらはみな内外とも、土台から軒まで、また主の宮の庭から大庭まで、寸法に合わせて切った石、すなわち、のこぎりでひいた高価な石で造られた。

שְׁמֹנֶה	וְאַבְנֵי	אַמּוֹת	עֶשֶׂר	אַבְנֵי	גְּדֹלוֹת	אַבָנִים	יְקָרוֹת	אֲבָנִים	וּמִיסָּד	10
八	そして-石の	キュビトの	十	石の	大きな	石で	高価な	石で	そして-基礎は	
H8083	H0068		H6235	H0068		H0068	H3368	H0068	H3245	

:אַמּוֹת
キュビトの

また土台は高価な石、大きな石、すなわち八キュビトの石、十キュビトの石であった。

:וָאָרֶז	גָּזִית	כְּמִדּוֹת	יְקָרוֹת	אֲבָנִים	וּמִלְמַעְלָה	11
杉であった	切り石と	寸法の	高価な	石で	そして-上には	
H0730	H1496		H3368	H0068	H4605	

その上には寸法に合わせて切った高価な石と香柏とがあった。

וְלַחֲצַר	אַרְזִים	כְּרֻתֹת	וְטוּר	גָּזִית	טוּרִים	שְׁלֹשָׁה	סָבִיב	הַגְּדוֹלָה	וְחָצֵר	12
そして-庭の	杉で	切り出した	一列の	切り石と	列の	三つの	周りに	大きな	そして-庭は	
	H0730	H3773	H2905	H1496	H2905	H7969	H5439			

פ	הַבָּיִת׃	וּלְאֻלָם	הַפְּנִימִית	יְהוָה	בֵּית־
（段落）	家の-ように	そして-広間の	内側の	主の	家の
		H0197	H6442	H3068	

また大庭の周囲には三かさねの切り石と、一かさねの香柏の角材があった。主の宮の内庭と宮殿の広間の庭の場合と同じである。

מִצֹּר׃	חִירָם	אֶת־	וַיִּקַּח	שְׁלֹמֹה	הַמֶּלֶךְ	וַיִּשְׁלַח	13
ツロから	ヒラムを	～を	そして-連れて来た	ソロモンは	王	そして-遣わした	
H6865	H2438	H0853	H3947	H8010	H4428	H7971	

ソロモン王は人をつかわしてツロからヒラムを呼んできた。

צָרִי	אִישׁ־	וְאָבִיו	נַפְתָּלִי	מִמַּטֵּה	הִוא	אַלְמָנָה	אִשָּׁה	בֶּן־		14
ツロの	人で	そして-彼の-父は	ナフタリの	～の-部族の	彼は	やもめの	女の	～の-息子		
H6876	H0376	H0001	H5321	H4294	H1931	H0490	H0802			

הַדַּעַת	וְאֶת־	הַתְּבוּנָה	וְאֶת־	הַחָכְמָה	אֶת־	וַיִּמָּלֵא	נְחֹשֶׁת	חָרָשׁ	
知識で	そして-～で	理解と	そして-～で	知恵と	～で	そして-彼は-満ちていた	青銅の	職人で	
H1847	H0853	H8394	H0853	H2451	H0853	H4390		H2794	

שְׁלֹמֹה	הַמֶּלֶךְ	אֶל־	וַיָּבוֹא	בַּנְּחֹשֶׁת	מְלָאכָה	כָּל־	לַעֲשׂוֹת	
ソロモンの-もとへ	王	～へ	そして-彼は-来た	青銅の	仕事を	すべての	造るための	
H8010	H4428	H0413	H0935		H4399	H3605		

:מְלַאכְתּוֹ	כָּל־	אֶת־	וַיַּעַשׂ
彼の-仕事を	すべての	～を	そして-彼は-行った
H4399	H3605	H0853	

彼はナフタリの部族の寡婦の子であって、その父はツロの人で、青銅の細工人であった。ヒラムは青銅のいろいろな細工をする知恵と悟りと知識に満ちた者であったが、ソロモン王のところにきて、そのすべての細工をした。

הָעַמּוּד	קוֹמַת	אַמָּה	עֶשְׂרֵה	שְׁמֹנֶה	נְחֹשֶׁת	הָעַמּוּדִים	שְׁנֵי	אֶת־	וַיָּצַר	15
柱の	高さの	キュビトの	八	十	青銅の	柱を	二つの	～を	そして-彼は-造った	
H5982	H6967		H6240	H8083		H5982	H8147	H0853		

:הַשֵּׁנִי	הָעַמּוּד	אֶת־	יָסֹב	אַמָּה	עֶשְׂרֵה	שְׁתֵּים־	וְחוּט	הָאֶחָד
第二の	柱の	～を	囲む	キュビトが	二	十	そして-糸で	一つの
H8145	H5982	H0853	H5437		H6240	H8147	H2339	H0259

彼は青銅の柱二本を鋳た。一本の柱の高さは十八キュビト、そのまわりは綱をもって測ると十二キュビトあり、指四本の厚さで空洞であった。他の柱も同じである。

16 וְשְׁתֵּי כֹתָרֹת עָשָׂה לָתֵת עַל־רָאשֵׁי הָעַמּוּדִים מְצַק נְחֹשֶׁת
そして-二つの 柱頭を 彼は-造った 置くために 頂の 柱の 鋳物の 青銅の
H8147 H3805 H6213 H5414 H7218 H5982 H4541 H5178

חֲמֵשׁ אַמּוֹת קוֹמַת הַכֹּתֶרֶת הָאֶחָת וְחָמֵשׁ אַמּוֹת קוֹמַת הַכֹּתֶרֶת הַשֵּׁנִית׃
五 キュビトの 高さの 柱頭の 一つの そして-五 キュビトの 高さの 柱頭の 第二の
H2568 H0259 H3805 H6967 H2568 H0259 H3805 H6967 H8145

また青銅を溶かして柱頭二つを造り、柱の頂にすえた。その一つの柱頭の高さは五キュビト、他の柱頭の高さも五キュビトであった。

17 שְׂבָכִים מַעֲשֵׂה שְׂבָכָה גְּדִלִים מַעֲשֵׂה שַׁרְשְׁרוֹת לַכֹּתָרֹת עַל־
格子の-細工を 造りの 網細工の 鎖の-飾りを 鎖の 柱頭の-ために ～の
H8638 H4639 H7639 H1434 H7639 H4639 H3805 H5921

רֹאשׁ הָעַמּוּדִים שִׁבְעָה לַכֹּתֶרֶת הָאֶחָת וְשִׁבְעָה לַכֹּתֶרֶת הַשֵּׁנִית׃
頂の 柱の 七つ 柱頭の-ために 一つの そして-七つ 柱頭の-ために 第二の
H7218 H5982 H7651 H3805 H0259 H7651 H3805 H8145

柱の頂にある柱頭のために鎖に編んだ飾りひもで市松模様の網細工二つを造った。すなわちこの柱頭のために一つ、かの柱頭のために一つを造った。

18 וַיַּעַשׂ אֶת־הָעַמּוּדִים וּשְׁנֵי טוּרִים סָבִיב עַל־הַשְּׂבָכָה הָאֶחָת
そして-彼は-造った ～を 柱を そして-二つの 列を 周りに ～の-上に 格子の 一つの
H6213 H853 H5982 H8147 H2905 H5439 H5921 H7639 H0259

לְכַסּוֹת אֶת־הַכֹּתֶרֶת אֲשֶׁר עַל־רֹאשׁ הָרִמֹּנִים וְכֵן עָשָׂה לַכֹּתֶרֶת הַשֵּׁנִית׃
覆うために ～を 柱頭を ～の 頂の ～の-上の ざくろの 同様に 彼は-造った 柱頭の-ために 第二の
H3680 H853 H3805 H834 H7218 H5921 H7416 H3651 H6213 H3805 H8145

またざくろを造った。すなわち二並びのざくろを一つの網細工の上のまわりに造って、柱の頂にある柱頭を巻いた。他の柱頭にも同じようにした。

19 וְכֹתֶרֶת אֲשֶׁר עַל־רֹאשׁ הָעַמּוּדִים מַעֲשֵׂה שׁוּשָׁן בָּאוּלָם אַרְבַּע
そして-柱頭は ～の ～の-上の 頂の 柱の 造りの 百合の 広間の 四
H3805 H834 H5921 H7218 H5982 H4639 H7799 H0197 H0702

אַמּוֹת׃
キュビトであった

この廊の柱の頂にある柱頭の上に四キュビトのゆりの花の細工があった。

20 וְכֹתֶרֶת עַל־שְׁנֵי הָעַמּוּדִים גַּם־מִמַּעַל לְעֻמַּת הַבֶּטֶן אֲשֶׁר
そして-柱頭は ～の-上の 二つの 柱の また 上から 向かい側の 膨らみの ～の
H3805 H5921 H8147 H5980 H1571 H4605 H5980 H1061 H834

עַל הַשְּׂבָכָה (וְהָרִמֹּנִים מָאתַיִם טֻרִים סָבִיב עַל הַכֹּתֶרֶת
格子の 柱頭の ～の-上に 周りに 列で 二百 そして-ざくろは [格子] ～の-側の
H7639 H5921 H3805 H5439 H2905 H3967 H7416 H7639 H5676

הַשֵּׁנִית׃
第二の
H8145

二つの柱の上端の丸い突出部の上にある網細工の柱頭の周囲には、おのおの二百のざくろが二並びになっていた。

21 וַיָּקֶם אֶת־הָעַמּוּד לְאֻלָם הַהֵיכָל וַיָּקֶם אֶת־הָעַמּוּד הַיָּמִין וַיִּקְרָא אֶת־שְׁמוֹ יָכִין וַיָּקֶם אֶת־הָעַמּוּד הַשְּׂמָאלִי וַיִּקְרָא אֶת־שְׁמוֹ בֹּעַז׃

וַיָּקֶם		אֶת־	הָעַמּוּד		לְאֻלָם		הַהֵיכָל		וַיָּקֶם		אֶת־	הָעַמּוּד		וַיִּקְרָא		שְׁמוֹ		אֶת־		וַיָּקֶם		אֶת־	הָעַמּוּד		וַיִּקְרָא		שְׁמוֹ		אֶת־		הַיָּמִנִי		הַשְּׂמָאלִי
そして–彼は–立てた		～を	柱を		広間の–前に		神殿の		そして–彼は–立てた		～を	柱を		そして–彼は–名づけた		その–名を		～を		そして–彼は–立てた		～を	柱を		そして–彼は–名づけた		その–名を		～を		右の		左の
		H0853	H5982		H0197		H1964				H0853	H5982		H7121		H8034		H0853				H0853	H5982		H7121		H8034		H0853		H3233		H8042

この柱を神殿の廊に立てた。すなわち南に柱を立てて、その名をヤキンと名づけ、北に柱を立てて、その名をボアズと名づけた。

22 וְעַל רֹאשׁ הָעַמּוּדִים מַעֲשֵׂה שׁוֹשָׁן וַתִּתֹּם מְלֶאכֶת הָעַמּוּדִים׃

וְעַל		רֹאשׁ		הָעַמּוּדִים		מַעֲשֵׂה		שׁוֹשָׁן		וַתִּתֹּם		מְלֶאכֶת		הָעַמּוּדִים׃
そして–～の–上に		頂の		柱の		造りの		百合の		そして–完成した		仕事は		柱の
				H5982		H4639		H7799		H8552		H4399		H5982

その柱の頂にはゆりの花の細工があった。こうしてその柱の造作ができあがった。

23 וַיַּעַשׂ אֶת־הַיָּם מוּצָק עֶשֶׂר בָּאַמָּה קוֹמָתוֹ מִשְּׂפָתוֹ אֶל־שְׂפָתוֹ עָגֹל וְחָמֵשׁ בָּאַמָּה קוֹמָתוֹ וְקָוֶה שְׁלֹשִׁים בָּאַמָּה יָסֹב סָבִיב׃

וַיַּעַשׂ		אֶת־	הַיָּם		מוּצָק		עֶשֶׂר		בָּאַמָּה		קוֹמָתוֹ		מִשְּׂפָתוֹ		אֶל־	שְׂפָתוֹ		עָגֹל		וְחָמֵשׁ		בָּאַמָּה		קוֹמָתוֹ		וְקָוֶה		שְׁלֹשִׁים		בָּאַמָּה		יָסֹב		סָבִיב׃				
そして–彼は–造った		～を	海を		鋳物の		十		キュビトの		その–高さで		その–縁から		～まで	縁まで		丸く		そして–五		キュビトの		その–高さで		[そして–測り縄]		そして–測り縄は		三十		キュビトが		囲む		周りに				
		H0853	H3220		H4165		H6235		H0053		H6967		H8193		H5704	H8145		H5696		H2568		H0053		H6967		H6957		H6957		H7970		H0053		H5437		H5439				

また海を鋳て造った。縁から縁まで十キュビトであって、周囲は円形をなし、高さ五キュビトで、その周囲は綱をもって測ると三十キュビトであった。

24 וּפְקָעִים מִתַּחַת לִשְׂפָתוֹ סָבִיב סָבִיב סֹבְבִים אֹתוֹ עֶשֶׂר בָּאַמָּה מַקִּפִים יְצֻקִים הַפְּקָעִים שְׁנֵי טוּרִים בְּיִצְקָתוֹ׃

וּפְקָעִים		מִתַּחַת		לִשְׂפָתוֹ		סָבִיב		סָבִיב		סֹבְבִים		אֹתוֹ		עֶשֶׂר		בָּאַמָּה		מַקִּפִים		יְצֻקִים		הַפְּקָעִים		שְׁנֵי		טוּרִים		בְּיִצְקָתוֹ׃										
そして–瓢箪の–模様が		下に		その–縁の		周りに		周りに		囲んで		それを		十		キュビトに		取り巻いて		鋳込まれていた		瓢箪の–模様が		二つの		列の		その–鋳造の–時に										
		H8478		H8193		H5439		H5439		H5437		H0853		H6235		H0053				H3332		H6497		H8147		H2905		H3333										

その縁の下には三十キュビトの周囲をめぐるひさごがあって、海の周囲を囲んでいた。そのひさごは二並びで、海を鋳る時に鋳たものである。

25 עֹמֵד עַל־שְׁנֵי עָשָׂר בָּקָר שְׁלֹשָׁה פֹנִים צָפוֹנָה וּשְׁלֹשָׁה פֹנִים מִזְרָחָה וְהַיָּם עֲלֵיהֶם וְכָל־אֲחֹרֵיהֶם בָּיְתָה׃

עֹמֵד		עַל־	שְׁנֵי		עָשָׂר		בָּקָר		שְׁלֹשָׁה		פֹנִים		צָפוֹנָה		וּשְׁלֹשָׁה		פֹנִים		מִזְרָחָה		וְהַיָּם		עֲלֵיהֶם		וְכָל־		אֲחֹרֵיהֶם										
立っていた		～の–上に	二頭の		十		雄牛の		三頭は		向いて		北に		そして–三頭は		向いて		東に		そして–海は		それらの–上に		そして–すべての		後ろは										
		H5975	H8147		H6240		H1241		H7969		H6437		H6828		H7969		H6437		H4217		H3220				H3605		H0268										

וּשְׁלֹשָׁה		פֹנִים		נֶגְבָּה		וּשְׁלֹשָׁה		פֹנִים		מַעֲרָבָה		וְהַיָּם		מִלְמָעְלָה																										
そして–三頭は		向いて		南に		そして–三頭は		向いて		西に		そして–海は		上に–あった																										
		H6437		H5045		H7969		H6437		H3220				H4605																										

その海は十二の牛の上に置かれ、その三つは北に向かい、三つは西に向かい、三つは南に向かい、三つは東に向かっていた。海はその上に置かれ、牛のうしろは皆内に向かっていた。

26 וְעָבְיוֹ וּשְׁפָתוֹ כְּמַעֲשֵׂה שְׂפַת־כּוֹס פֶּרַח שׁוֹשָׁן טֶפַח יָכִיל: בַּת אַלְפַּיִם
そして–その–厚さは そして–その–縁は 造りの–ように 縁の 杯の 花の 百合の 一手幅で 容れた バトを 二千
H5672 H8193 H4639 H8193 H3557 H1324 H0505
פ
（段落）

海の厚さは手の幅で、その縁は杯の縁のように、ゆりの花に似せて造られた。海には水が二千バテはいった。

27 וַיַּעַשׂ אֶת־הַמְכֹנוֹת עֶשֶׂר נְחֹשֶׁת אַרְבַּע רֹחַב אַמָּה בָּאַמָּה אֹרֶךְ הָאַחַת הַמְכוֹנָה
そして–彼は–造った 台車を 十 青銅の 四 キュビトの 長さの 一つの 台車の
H0853 H4350 H6235 H0702 H0753 H0259 H4350
וְרָחְבָּהּ בָּאַמָּה וְשָׁלֹשׁ קוֹמָתָהּ:
その–幅で キュビトの そして–三 その–高さであった
H7341 H0702 H7969 H6967

また青銅の台を十個造った。台は長さ四キュビト、幅四キュビト、高さ三キュビトであった。

28 וְזֶה מַעֲשֵׂה הַמְכוֹנָה מִסְגְּרֹת וּמִסְגְּרֹת לָהֶם בֵּין
そして–これが 造りの 台車の 枠が それらに–あった そして–枠は ～の–間の
H2088 H4639 H4350 H4526 H1992 H4526 H0996
הַשְׁלַבִּים:
横木の–間にあった
H7948

その台の構造は次のとおりである。台には鏡板があり、鏡板は枠の中にあった。

29 וְעַל־ הַמִּסְגְּרוֹת וְאֲשֶׁר בֵּין הַשְׁלַבִּים וְאַרְיֵות בָּקָר וּכְרוּבִים
そして–～の–上に 枠の ～の ～の–間の 横木の 獅子と 雄牛と ケルビムが
H4526 H0996 H7948 H0738 H1241 H3742
וְעַל־ הַשְׁלַבִּים כֵּן מִמָּעַל וּמִתַּחַת לָאֲרָיוֹת וְלַבָּקָר לְיוֹת מַעֲשֵׂה
そして–～の–上に 横木の–上にも 同様に 上に そして–下には 獅子と 雄牛の 花綱の 造りの
H4639 H3914 H1241 H8478 H4605 H3653 H7948
מוֹרָד:
垂れ飾りがあった
H4174

枠の中にある鏡板には、ししと牛とケルビムとがあり、また、ししと牛の上と下にある枠の斜面には花飾りが細工してあった。

30 וְאַרְבָּעָה אוֹפַנֵּי נְחֹשֶׁת לַמְכוֹנָה הָאֶחָת וְסַרְנֵי נְחֹשֶׁת וְאַרְבָּעָה פַּעֲמֹתָיו
そして–四つの 車輪の 青銅の 台車の 一つに そして–軸の 青銅の そして–四つの その–足には
H0702 H0212 H4350 H0259 H0702 H5676
לְיוֹת: אִישׁ מֵעֵבֶר יְצֻקוֹת הַכִּתֵּפֹת לַכִּיֹּר מִתָּחַת לָהֶם כִּתֵּפֹת
花綱があった それぞれ 向こう側に 鋳物であった 支えは 洗盤の 下に それらに–あった 支えが
H3914 H0376 H5676 H3333 H3802 H3595 H8478 H3802

また台にはおのおの四つの青銅の車輪と、青銅の車軸があり、その四すみには洗盤のささえがあった。そのささえは、おのおの花飾りのかたわらに鋳て造りつけてあった。

31 וּפִיהוּ֮ מִבֵּ֣ית לַכֹּתֶ֣רֶת וְ֠מַעְלָה בָּאַמָּ֨ה וּפִיהָ֜ עָגֻ֗ל מַֽעֲשֵׂה־כֵן֙
そして-その-口は 内側から 柱頭の 上に 一キュビト そして-その-口は 丸く 造りの 台の
H6310 H4605 H3805 H6310 H5696 H4639 H3653

וַחֲצִ֣י אַמָּ֔ה וְגַם־עַל־פִּיהָ֖ מִקְלָעֹ֑ות הָאַמָּ֣ה
半 一キュビト そして-また ～の-上に その-口には 彫刻があり キュビトであった
H2677 H4734 H1571

וּמְסִגְּרֹתֵיהֶ֖ם לֹ֥א מְרֻבָּעֹ֛ות עֲגֻלֹּ֥ות׃
そして-その-枠は ない 四角で 丸く-なかった
H4526 H3808 H7251 H5696

その口は一キュビト上に突き出て、台の頂の内にあり、その口は丸く、台座のように造られ、深さ一キュビト半であった。またその口には彫り物があった。その鏡板は四角で、丸くなかった。

32 וְאַרְבַּ֣ע הָאֹפַנִּ֗ים לְמִתַּ֙חַת֙ לַמְסִגְּרֹ֔ות וְיֵדֹ֖ות הָאֹפַנִּ֑ים בַּמְּכוֹנָ֔ה וְקוֹמַ֖ת
そして-四つの 車輪は 下に 枠の そして-軸の 車輪は 台車に-あった そして-高さの
H0702 H0212 H8478 H4526 H3027 H0212 H4350 H6967

הָאֹפַ֥ן הָאֶחָ֖ד וַחֲצִ֣י אַמָּ֑ה הָאַמָּ֖ה׃
車輪の 一つは 半 一キュビト キュビトであった
H0212 H0259 H2677

四つの車輪は鏡板の下にあり、車軸は台に取り付けてあり、車輪の高さはおのおの一キュビト半であった。

33 וּמַֽעֲשֵׂ֣ה הָאֹפַנִּ֗ים כְּמַֽעֲשֵׂ֙ה֙ אֹופַ֣ן הַמֶּרְכָּבָ֔ה יְדֹותָ֖ם וְגַבֵּיהֶ֑ם וְחִשֻּׁקֵיהֶ֖ם
そして-造りは 車輪の 造りの-ように 車輪の 戦車の その-軸と その-縁と その-輻と
H4639 H0212 H4639 H0212 H4818 H3027 H1354 H2839

וְחִשְּׁרֵיהֶ֖ם הַכֹּ֥ל מוּצָֽק׃
その-轂は すべて 鋳物であった
H2840 H3605 H3332

車輪の構造は戦車の車輪の構造と同じで、その車軸と縁と輻と轂とはみな鋳物であった。

34 וְאַרְבַּ֣ע כְּתֵפֹ֔ות אֵ֖ל אַרְבַּ֣ע פִּנֹּ֑ות הַמְּכֹנָ֔ה הָאֶחָ֖ת מִן־הַמְּכֹנָֽה׃
そして-四つの 支えが ～の 四つの 角に 台車の 一つの ～から 台車から
H0702 H3802 H0413 H0702 H6438 H4350 H0259 H4350

כְּתֵפֶ֖יהָ׃
その-支えは-出ていた
H3802

おのおのの台の四すみに四つのささえがあり、そのささえは台の一部をなしていた。

35 וּבְרֹ֣אשׁ הַמְּכוֹנָ֗ה חֲצִ֤י אַמָּה֙ הָאַמָּ֣ה קֹומָ֔ה וְעָגֻ֖ל עַל־רֹ֑אשׁ וְעַל־
そして-頂には 台車の 半 キュビトの 高さの 丸い 頂の そして-～の-上に
H4350 H2677 H0702 H6967 H5696 H5439

כַּנֹּתֶ֖יהָ וּמְסִגְּרֹתֶ֑יהָ יְדֹתֶ֖יהָ מִמֶּ֥נָּה׃
その-台車の その-枠は その-取っ手と それから-出ていた
H4350 H4526 H3027

台の上には高さ半キュビトの丸い帯輪があった。そして台の上にあるその支柱と鏡板とはその一部をなしていた。

36 וַיְפַתַּ֞ח עַל־לֻחֹ֣ת יְדֹתֶ֗יהָ וְעַל֙ [ומסגרתיה] (מְסִגְּרֹתֶ֔יהָ)
そして-彼は-彫った ～の-上に 板の その-取っ手の そして-～の-上に [その-枠の] その-枠に
H4526 H4526 H3871 H3027

כְּרוּבִ֣ים אֲרָיֹ֔ות וְתִמֹרֹ֖ת כְּמַֽעֲרֹ֣ר אִ֑ישׁ וְלִיֹּ֖ות סָבִֽיב׃
ケルビムと 獅子と なつめやしを 空いた-所に それぞれ 花綱を 周りに
H3742 H0376 H8561 H4626 H3914 H5439

その支柱の表面と鏡板にはそれぞれの場所に、ケルビムと、ししと、しゅろを刻み、またその周囲に花飾りを施した。

37 כְּזֹאת עָשָׂה את־הַמְּכֹנָות מוּצָק אֶחָד מִדָּה אַחַת קֶצֶב אֶחָד׃
この–ように 彼は–造った ～を 十の 台車を 鋳物の 一つの 寸法 一つの 形 一つの
H2063 H6213 H0853 H6235 H4350 H4165 H0259 H4060 H7095 H0259

ס לְכֻלָּהֶנָּה׃
（区切り） すべてに–同じであった
H3605

このようにして十個の台を造った。それはみな同じ鋳方、同じ寸法、同じ形であった。

38 וַיַּעַשׂ עֲשָׂרָה כִּיֹּרוֹת נְחֹשֶׁת אַרְבָּעִים בַּת תְּכִיל הַכִּיּוֹר אֶחָד אַרְבָּע׃
そして–彼は–造った 十の 洗盤を 青銅の 四十 バトを 容れる 洗盤の 一つは 四
H6213 H6235 H3595 H5178 H0705 H1324 H3557 H3595 H0259 H0702

הַמְּכֹנָות׃ לְעֶשֶׂר הָאַחַת עַל־ הַמְּכוֹנָה אֶחָד כִּיּוֹר הָאֶחָד הַכִּיּוֹר בְּאַמָּה
台車の–ために 十の 一つの–上に 台車の ～の–上の 一つが 洗盤 一つは 洗盤の キュビトの
H4350 H6235 H0259 H4350 H5921 H0259 H3595 H0259 H3595 H0520

また青銅の洗盤を十個造った。洗盤はおのおの四十バテの水がはいり、洗盤はおのおの四キュビトであった。十個の台の上にはおのおの一つずつの洗盤があった。

39 וַיִּתֵּן אֶת־ הַמְּכֹנוֹת חָמֵשׁ עַל־ כֶּתֶף הַבַּיִת מִיָּמִין וְחָמֵשׁ
そして–彼は–置いた ～を 台車を 五つを ～の–上に 側に 家の 右に そして–五つを
H5414 H0853 H4350 H2568 H5921 H3802 H1004 H3225 H2568

הַיְמָנִית הַבַּיִת מִכֶּתֶף נָתַן הַיָּם וְאֶת־ מִשְּׂמְאִלוֹ הַבַּיִת כֶּתֶף עַל־
右の 家の 側に 彼は–置いた 海を そして–～を 左に 家の 側に ～の–上に
H3233 H1004 H3802 H5414 H3220 H0853 H8040 H1004 H3802 H5921

ס נֶגֶב׃ מִמּוּל קֵדְמָה
（区切り） 南に 向かって 東に
H5045 H4136

その台の五個を宮の南の方に、五個を宮の北の方に置き、宮の東南の方に海をすえた。

40 וַיַּעַשׂ חִירוֹם אֶת־ הַכִּיֹּרוֹת וְאֶת־ הַיָּעִים וְאֶת־ הַמִּזְרָקוֹת
そして–造った ヒラムは ～を 洗盤と そして–～を 十能と そして–～を 鉢を
H6213 H2438 H0853 H3595 H0853 H3257 H0853 H4219

עָשָׂה אֲשֶׁר הַמְּלָאכָה כָּל־ אֶת־ לַעֲשׂוֹת חִירָם וַיְכַל
彼が–した ～の 仕事を すべての ～を 造ることを ヒラムは そして–終えた
H6213 H0834 H4399 H3605 H0853 H6213 H2438 H3615

יְהוָה׃ בֵּית שְׁלֹמֹה לַמֶּלֶךְ
主の 家の ソロモンの–ために 王–ソロモンの–ために
H3068 H1004 H8010 H4428

ヒラムはまたつぼと十能と鉢を造った。こうしてヒラムはソロモン王のために主の宮のすべての細工をなし終えた。

41 עַמֻּדִים שְׁנַיִם וְגֻלֹּת הַכֹּתָרֹת אֲשֶׁר־ עַל־ רֹאשׁ הָעַמֻּדִים שְׁתָּיִם
柱を 二つ そして–球体を 柱頭の ～の 頂の ～の–上の 柱の 二つ
H5982 H8147 H1543 H3805 H0834 H5921 H7218 H5982 H8147

וְהַשְּׂבָכוֹת שְׁתֵּי גֻלֹּת הַכֹּתָרֹת אֲשֶׁר עַל־ רֹאשׁ
そして–格子を 二つ 覆うための ～を 二つの 球体の 柱頭の ～の ～の–上の 頂の
H7639 H8147 H3680 H0853 H8147 H1543 H3805 H0834 H5921 H7218

הָעַמֻּדִים׃
柱の
H5982

すなわち二本の柱と、その柱の頂にある柱頭の二つの玉と、柱の頂にある柱頭の二つの玉をおおう二つの網細工と、

42 וְאֶת־ そして-〜を H0853
הָרִמֹּנִים ざくろを H7416
四 H0702
מֵאוֹת 百 H3967
לִשְׁתֵּי 二つの H8147
הַשְּׂבָכוֹת 格子の-ために H7639
שְׁנֵי־ 二つの H8147
טוּרִים 列の H2905
רִמֹּנִים ざくろを H7416
לַשְּׂבָכָה 格子の H7639

הָעַמּוּדִים׃ 柱の H5982
פְּנֵי 面の H6440
עַל־ 〜の-上の
אֲשֶׁר 〜の
הַכְּתָרֹת 柱頭の H3805
גֻּלַּת 球体の H1543
שְׁתֵּי 二つの H8147
אֶת־ 〜を H0853
לְכַסּוֹת 覆うための H3680
הָאֶחָת 一つの-ために H0259

その二つの網細工のためのざくろ四百。このざくろは一つの網細工に、二並びにつけて、柱の頂にある柱頭の二つの玉を巻いた。

43 וְאֶת־ そして-〜を H0853
הַמְּכֹנוֹת 台車を H4350
עָשָׂר 十 H6235
וְאֶת־ そして-〜を H0853
הַכִּיֹּרֹת 洗盤を H3595
עֲשָׂרֵה 十 H6235
עַל־ 〜の-上の
הַמְּכֹנוֹת׃ 台車の H4350

また十個の台と、その台の上の十個の洗盤と、

44 וְאֶת־ そして-〜を H0853
הַיָּם 海を H3220
הָאֶחָד 一つ H0259
וְאֶת־ そして-〜を H0853
הַבָּקָר 雄牛を H1241
שְׁנֵים־ 十 H8147
עָשָׂר 二頭 H6240
תָּחַת 下の H8478
הַיָּם׃ 海の H3220

一つの海と、その海の下の十二の牛とであった。

45 וְאֶת־ そして-〜を H0853
הַסִּירוֹת 壺と H0853
וְאֶת־ そして-〜を H0853
הַיָּעִים 十能と H3257
וְאֶת־ そして-〜を H0853
הַמִּזְרָקוֹת 鉢を H4219
וְאֶת־ そして-〜を H0853
כָּל־ すべての H3605
הַכֵּלִים 器を H3627

בֵּית 家の
שְׁלֹמֹה ソロモンの-ために H8010
לַמֶּלֶךְ 王-ソロモンの-ために H4428
חִירָם ヒラムは H2438
עָשָׂה 造った
אֲשֶׁר 〜の
)הָאֵלֶּה(これらの H0428
]האהלן[[これらの] H0168

מְמֹרָט׃ 磨いた
נְחֹשֶׁת 青銅の
יְהוָה 主の H3068

さてつぼと十能と鉢、すなわちヒラムがソロモン王のために造った主の宮のこれらの器はみな光のある青銅であった。

46 בְּכִכַּר 平野で H3603
הַיַּרְדֵּן ヨルダンの H3383
יְצָקָם 鋳造した H3332
הַמֶּלֶךְ 王は H4428
בְּמַעֲבֵה 粘土の-型で H4568
הָאֲדָמָה 地の H0127
בֵּין 〜の-間で H0996
סֻכּוֹת スコトと H5523

וּבֵין ツァレタンの-間で H0996
צָרְתָן׃ ツァレタンの H6891

王はヨルダンの低地で、スコテとザレタンの間の粘土の地でこれらを鋳た。

47 וַיַּנַּח そして-置いた H3240
שְׁלֹמֹה ソロモンは H8010
אֶת־ 〜を H0853
כָּל־ すべての H3605
הַכֵּלִים 器を H3627
מֵרֹב あまりに H7230
מְאֹד 非常に H3966
מְאֹד 多くて H3966
לֹא なかった H3808
נֶחְקַר 量れ H2713

מִשְׁקַל 重さは H4948
הַנְּחֹשֶׁת׃ 青銅の

ソロモンはその器が非常に多かったので、皆それをはからずにおいた。その青銅の重さは、はかり得なかった。

48 וַיַּעַשׂ שְׁלֹמֹה אֵת כָּל־הַכֵּלִים אֲשֶׁר בֵּית יְהוָה אֵת מִזְבַּח הַזָּהָב
そして-造った ソロモンは ～を すべての 器を ～の 家の 主の ～を 祭壇を 金の
H2091 H4196 H0853 H3068 H8010 H0853 H3605 H3627 H0853 H3068 H4196 H2091

וְאֶת־הַשֻּׁלְחָן אֲשֶׁר עָלָיו לֶחֶם הַפָּנִים זָהָב׃
そして-～を 机を その-上に 置く パンの 供えの 金の
H0853 H7979 H3899 H6440 H2091

またソロモンは主の宮にあるもろもろの器を造った。すなわち金の祭壇と、供えのパンを載せる金の机、

49 וְאֶת־הַמְּנֹרוֹת חָמֵשׁ מִיָּמִין וְחָמֵשׁ מִשְּׂמֹאול לִפְנֵי הַדְּבִיר סָגוּר זָהָב
そして-～を 燭台を 五つ 右に そして-五つ 左に ～の-前に 内陣の 純金の 金の
H0853 H4501 H2568 H3225 H2568 H8040 H6440 H1687 H5462 H2091

וְהַפָּרַח וְהַנֵּרֹת וְהַמֶּלְקָחַיִם זָהָב׃
そして-花と ともしびと 心切りばさみは 金であった
H6525 H5457 H4457 H2091

および純金の燭台。この燭台は本殿の前に、五つは南に、五つは北にあった。また金の花と、ともしび皿と、心かきと、

50 וְהַסִּפּוֹת וְהַמְזַמְּרוֹת וְהַמִּזְרָקוֹת וְהַכַּפּוֹת וְהַמַּחְתּוֹת זָהָב סָגוּר וְהַפֹּתוֹת
そして-杯と 芯切りばさみと 鉢と 皿と 火皿は 金の 純金の そして-蝶番は
H5592 H4212 H4219 H3709 H4289 H2091 H5462 H6596

זָהָב׃ לַהֵיכָל הַבַּיִת לְדַלְתֵי הַקֳּדָשִׁים לְקֹדֶשׁ הַפְּנִימִי הַבַּיִת לְדַלְתוֹת
金であった 本殿の 家の 扉の-ために 至聖所の 至聖所の 内側の 家の 扉の-ために
H2091 H1964 H0001 H1817 H6944 H6944 H6442 H0001 H1817

פ
（段落）

純金の皿と、心切りばさみと、鉢と、香の杯と、心取り皿と、至聖所である宮の奥のとびらのためおよび、宮の拝殿のとびらのために、金のひじつぼを造った。

51 וַתֵּשְׁלַם כָּל־אֲשֶׁר עָשָׂה הַמֶּלֶךְ שְׁלֹמֹה בֵּית יְהוָה
そして-完成した すべての 仕事は ～の 造った 王 ソロモンが 家の 主の
H8552 H3605 H4399 H0834 H6213 H4428 H8010 H1004 H3068

וַיָּבֵא שְׁלֹמֹה אֶת־קָדְשֵׁי דָוִיד אָבִיו אֶת־הַכֶּסֶף וְאֶת־הַזָּהָב וְאֶת־הַכֵּלִים
そして-持ち込んだ ソロモンは ～を 聖なる-物を ダビデの 彼の-父の ～を 銀と ～を そして-～を 金と そして-～を 器を
H0935 H8010 H0853 H6944 H1732 H1 H0853 H3701 H0853 H2091 H0853 H3627

נָתַן בְּאֹצְרוֹת בֵּית יְהוָה׃ פ
彼は-納めた 宝物庫に 家の 主の （段落）
H5414 H0214 H1004 H3068

こうしてソロモン王が主の宮のために造るすべての細工は終った。そしてソロモンは父ダビデがささげた物、すなわち金銀および器物を携え入り、主の宮の宝蔵の中にたくわえた。

Chapter 8

1

אָז יַקְהֵל שְׁלֹמֹה אֶת־זִקְנֵי יִשְׂרָאֵל אֶת־כָּל־רָאשֵׁי הַמַּטּוֹת
その–時 集めた ソロモンは ～を 長老たちを イスラエルの ～を すべての 頭たちを 部族の
H6950 H8010 H0853 H2205 H3478 H0853 H3605 H7218 H4294

נְשִׂיאֵי הָאָבוֹת לִבְנֵי יִשְׂרָאֵל אֶל־הַמֶּלֶךְ שְׁלֹמֹה יְרוּשָׁלִָם
族長たちを 先祖の ～の–子らの イスラエルの ～の–もとへ 王 ソロモンの エルサレムへ
H5387 H1 H1121 H3478 H413 H4428 H8010 H3389

לְהַעֲלוֹת אֶת־אֲרוֹן בְּרִית־יְהוָה מֵעִיר דָּוִד הִיא צִיּוֹן׃
運び上げるために ～を 契約の–箱を 主の 契約の ダビデの–町から ダビデの すなわち シオンを
H5927 H853 H727 H3068 H1285 H5892 H1732 H1931 H6726

ソロモンは主の契約の箱をダビデの町、すなわちシオンからかつぎ上ろうとして、イスラエルの長老たちと、すべての部族のかしらたちと、イスラエルの人々の氏族の長たちをエルサレムでソロモン王のもとに召し集めた。

2

וַיִּקָּהֲלוּ אֶל־הַמֶּלֶךְ שְׁלֹמֹה כָּל־אִישׁ יִשְׂרָאֵל בְּיֶרַח
そして–集まった ～の–もとに 王 ソロモンの すべての 人が イスラエルの エタニムの–月に
H6950 H413 H4428 H8010 H3605 H376 H3478 H3391

הַחַג הוּא בַּחֹדֶשׁ הַשְּׁבִיעִי׃ הָאֵתָנִים
祭りの–時に それは 第 七の–月であった エタニムの
H2282 H1931 H2320 H7637 H387

イスラエルの人は皆エタニムの月すなわち七月の祭にソロモン王のもとに集まった。

3

וַיָּבֹאוּ כָּל־זִקְנֵי יִשְׂרָאֵל וַיִּשְׂאוּ הַכֹּהֲנִים אֶת־הָאָרוֹן׃
そして–来た すべての 長老たちが イスラエルの そして–担いだ 祭司たちが ～を 箱を
H935 H3605 H2205 H3478 H5375 H3548 H853 H727

イスラエルの長老たちが皆来たので、祭司たちは箱を取りあげた。

4

וַיַּעֲלוּ אֶת־אֲרוֹן יְהוָה וְאֶת־אֹהֶל מוֹעֵד וְאֶת־כָּל־כְּלֵי
そして–運び上げた ～を 契約の–箱を 主の そして–～を 幕屋を 会見の そして–～を すべての
H5927 H853 H727 H3068 H853 H168 H4150 H853 H3605

הַקֹּדֶשׁ אֲשֶׁר בָּאֹהֶל וַיַּעֲלוּ אֹתָם הַכֹּהֲנִים וְהַלְוִיִּם׃
聖なる–器具を 聖所の ～にある 幕屋に そして–運び上げた それらを 祭司たちと レビ人たちが
H3627 H6944 H834 H168 H5927 H853 H3548 H3881

そして彼らは主の箱と、会見の幕屋と、幕屋にあるすべての聖なる器をかつぎ上った。すなわち祭司とレビびとがこれらの物をかつぎ上った。

5

וְהַמֶּלֶךְ שְׁלֹמֹה וְכָל־עֲדַת יִשְׂרָאֵל הַנּוֹעָדִים עָלָיו אִתּוֹ
そして–王 ソロモンと そして–すべての 会衆が イスラエルの 集まった者たちが 彼のもとに 共に
H4428 H8010 H3605 H5712 H3478 H3259 H5921 H854

לִפְנֵי הָאָרוֹן מְזַבְּחִים צֹאן וּבָקָר אֲשֶׁר לֹא־יִסָּפְרוּ וְלֹא
～の–前で 箱の いけにえを–ささげた 羊と 牛を それは 数え きれないほどの また–数え
H6440 H727 H2076 H6629 H1241 H834 H3808 H5608 H3808

יִמָּנוּ מֵרֹב׃
きれないほどの 多さであった
H4487 H7230

ソロモン王および彼のもとに集まったイスラエルの会衆は皆彼と共に箱の前で、羊と牛をささげたが、その数が多くて調べることも数えることもできなかった。

6

מְקוֹמוֹ	אֶל־	יְהוָה	בְּרִית־	אֲרוֹן	אֶת־	הַכֹּהֲנִים	וַיָּבִאוּ	
その–場所へ	～の–中の	主の	契約の	契約の–箱を	～を	祭司たちは	そして–運び入れた	
H4725	H0413	H3068	H1285	H0727	H0853	H3548	H0935	

הַכְּרוּבִים׃	כַּנְפֵי	תַּחַת	אֶל־	הַקְּדָשִׁים	קֹדֶשׁ	אֶל־	הַבָּיִת	דְּבִיר	אֶל־
ケルビムの	翼の	～の–下に	～の–下に	至聖所の	至聖所へ	～の–中の	宮の	奥殿の	～の–中の
H3742	H3671	H8478	H0413	H6944	H6944	H0413		H1687	H0413

祭司たちは主の契約の箱をその場所にかつぎ入れた。すなわち宮の本殿である至聖所のうちのケルビムの翼の下に置いた。

7

הַכְּרֻבִים	וַיְסֻכּוּ	הָאָרוֹן	מְקוֹם	אֶל־	כְּנָפַיִם	פֹּרְשִׂים	הַכְּרוּבִים	כִּי	
ケルビムが	そして–覆った	箱の	場所へ	～の–上の	翼を	広げていた	ケルビムは	なぜなら	
H3742		H0727	H4725	H0413	H3671	H6566	H3742		

מִלְמָעְלָה׃	בַּדָּיו	וְעַל־	הָאָרוֹן	עַל־	
上から	その–棒を	そして–～の–上を	箱と	～の–上を	
H4605	H0905		H0727		

ケルビムは翼を箱の所に伸べていたので、ケルビムは上から箱とそのさおをおおった。

8

פְּנֵי	עַל־	הַקֹּדֶשׁ	מִן־	הַבַּדִּים	רָאשֵׁי	וַיֵּרָאוּ	הַבַּדִּים	וַיַּאַרְכוּ	
面の	～の–面に	聖所から	～から	棒の	先端が	そして–見えた	棒は	そして–長かった	
H6440		H6944		H0905		H7200	H0905	H0748	

הַזֶּה׃	הַיּוֹם	עַד	שָׁם	וַיִּהְיוּ	הַחוּצָה	יֵרָאוּ	וְלֹא	הַדְּבִיר
この	今日	～まで	そこに	そして–あった	外からは	見えなかった	しかし–見えなかった	奥殿の
H2088	H3117	H5704	H8033	H1961	H2351	H7200	H3808	H1687

さおは長かったので、さおの端が本殿の前の聖所から見えた。しかし外には見えなかった。そのさおは今日までそこにある。

9

מֹשֶׁה	שָׁם	הִנִּחַ	אֲשֶׁר	הָאֲבָנִים	לֻחוֹת	שְׁנֵי	רַק	בָּאָרוֹן	אֵין
モーセが	そこに	納めた	～の	石の	石の–板	二枚の	ただ	箱の–中には	なかった
H4872	H8033	H3240		H0068	H3871	H8147	H7535	H0727	H0369

בְּצֵאתָם	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי	עִם־	יְהוָה	כָּרַת	אֲשֶׁר	בְּחֹרֵב
彼らが–出た–時	イスラエルの	子らと	～と	主が	契約を–結んだ	～の–時に	ホレブで
H3318	H3478			H3068	H3772		H2722

מִצְרָיִם׃	מֵאֶרֶץ
エジプトの	～の–地から
H4714	H0776

箱の内には二つの石の板のほか何もなかった。これはイスラエルの人々がエジプトの地から出たとき、主が彼らと契約を結ばれたときに、モーセがホレブで、それに納めたものである。

10

בֵּית	אֶת־	מָלְאוּ	וְהֶעָנָן	הַקֹּדֶשׁ	מִן־	הַכֹּהֲנִים	בְּצֵאת	וַיְהִי	
主の–宮を	～を	満たした	そして–雲が	聖所から	～から	祭司たちが	出た–時に	そして–あった	
	H0853	H4390	H6051	H6944		H3548	H3318	H1961	

יְהוָה׃
主の
H3068

そして祭司たちが聖所から出たとき、雲が主の宮に満ちたので、

11 וְלֹא־ יָכְלוּ הַכֹּהֲנִים לַעֲמֹד לְשָׁרֵת מִפְּנֵי הֶעָנָן כִּי־
そして-できなかった できなかった 祭司たちは 立って 仕えることが ～の-ために 雲の なぜなら
H3808 H3201 H3548 H5975 H8334 H6440 H6051

מָלְאָ֥ה כְבוֹד־ אֶת־ בֵּ֖ית יְהוָ֑ה׃ פ יְהוָ֖ה יְהוָ֥ה אֶת־ בֵּ֛ית כְּבוֹד־ מָלֵ֥א
満ちていた 主の-栄光が ～を 主の 主の-宮を 主の ―
H4390 H3519 H0853 H3068 H3068 H1004

祭司たちは雲のために立って仕えることができなかった。主の栄光が主の宮に満ちたからである。

12 אָ֣ז אָמַ֣ר שְׁלֹמֹ֔ה יְהוָ֕ה אָמַ֖ר לִשְׁכֹּ֥ן בָּעֲרָפֶֽל׃
その-時 言った ソロモンは 主は 言われた 住むと 濃い-雲の-中に
H0559 H8010 H3068 H0559 H7931 H6205

そこでソロモンは言った、「主は日を天に置かれた。しかも主は自ら濃き雲の中に住まおうと言われた。

13 בָּנ֣וֹ בָנִ֔יתִי זְבֻ֥ל בַּ֖יִת לְךָ֑ מָכ֥וֹן
確かに 私は-建てました 宮を 住まいの あなたのために 定められた-場所を
H1129 H1129 H2073 H1004 H0000 H4349

לְשִׁבְתְּךָ֖ עוֹלָמִֽים׃
あなたが-住む-ための 永遠に
H3427 H5769

わたしはあなたのために高き家、とこしえのみすまいを建てた」。

14 וַיַּסֵּ֤ב פָּנָיו֙ אֶת־ הַמֶּ֣לֶךְ וַיְבָ֖רֶךְ אֶת־ כָּל־ קְהַ֣ל יִשְׂרָאֵ֑ל
そして-振り向いて 王は ～を 顔を そして-祝福した ～を すべての 会衆を イスラエルの
H5437 H4428 H0853 H6440 H1288 H0853 H3605 H6951 H3478

וְכָל־ קְהַ֣ל יִשְׂרָאֵ֔ל עֹמֵֽד׃
そして-すべての 会衆は イスラエルの 立っていた
H3605 H6951 H3478 H5975

王は身をめぐらして、イスラエルのすべての会衆を祝福した。その時イスラエルのすべての会衆は立っていた。

15 וַיֹּ֗אמֶר בָּר֣וּךְ יְהוָ֣ה אֱלֹהֵ֣י יִשְׂרָאֵ֔ל אֲשֶׁ֣ר דִּבֶּ֔ר בְּפִ֖יו אֶת־
そして-言った ほむべきかな 主 神は イスラエルの ～の-方が 語られた その-口で ～に
H0559 H1288 H3068 H0430 H3478 H0834 H1696 H6310 H0854

דָּוִ֣ד אָבִ֑י וּבְיָדָ֖ו מִלֵּ֣א לֵאמֹֽר׃
ダビデに わが-父の そして-その-手で 成し遂げられた こう-言って
H1732 H0001 H3027 H4390 H0559

彼は言った、「イスラエルの神、主はほむべきかな。主はその口をもってわたしの父ダビデに約束されたことを、その手をもってなし遂げられた。主は言われた、

16 מִן־ הַיּ֗וֹם אֲשֶׁ֤ר הוֹצֵאתִי֙ אֶת־ עַמִּ֣י אֶת־ יִשְׂרָאֵ֔ל מִמִּצְרַ֖יִם
～から その-日から ～の 私が-導き出した ～を わが-民 ～を イスラエルを エジプトから
H3117 H0834 H3318 H0853 H5971 H0853 H3478 H4714

לִבְנ֣וֹת בָּחַ֗רְתִּי לֹא־ בְּעִ֜יר מִכֹּ֤ל שִׁבְטֵי֙ יִשְׂרָאֵ֔ל
建てるために 選ばなかった 町を ～の-中から すべての-部族の イスラエルの
H1129 H0977 H3808 H5892 H3605 H7626 H3478

לִֽהְיוֹת֙ נָגִ֣יד עַל־ בְּדָוִ֔ד וָאֶבְחַ֖ר שָׁ֑ם
治めるために ～の-上に ダビデを しかし-私は-選んだ そこに-あるための
H1961 H5971 H1732 H0977 H8033

שְׁמִ֖י לִֽהְיוֹת֙ בַּ֔יִת עַמִּ֖י יִשְׂרָאֵֽל׃
わが-名が ～のために 宮を わが-民 イスラエルを
H8034 H1961 H1004 H5971 H3478

『わが民イスラエルをエジプトから導き出した日から、わたしはわたしの名を置くべき宮を建てるために、イスラエルのもろもろの部族のうちから、どの町をも選んだことがなかった。ただダビデを選んで、わが民イスラエルの上に立たせた』と。

17 וַיְהִי עִם־ לְבַב דָּוִד אָבִי לִבְנוֹת בַּיִת לְשֵׁם יְהוָה
そして-あった ～の 心に ダビデ わが-父の 建てたいと 宮を ～の-御名の-ために 主
H1961 H3824 H1732 H0001 H1129 H8034 H3068

אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל׃
神の イスラエルの
H0430 H3478

イスラエルの神、主の名のために宮を建てることは、わたしの父ダビデの心にあった。

18 וַיֹּאמֶר יְהוָה אֶל־ דָּוִד אָבִי יַעַן אֲשֶׁר הָיָה עִם־ לְבָבְךָ לִבְנוֹת בַּיִת לִשְׁמִי הֲטִיבֹתָ כִּי הָיָה עִם־ לְבָבֶךָ׃
しかし-言われた 主は ～に ダビデ わが-父に ～ゆえに ～の あった ～の-心に 建てたいと 宮を わが-名の-ために よくした なぜなら あった ～に あなたの-心に
H0559 H3068 H0413 H1732 H0001 H3282 H3824 H1961 H1129 H1004 H8034 H2895 H3588 H1961 H3824

しかし主はわたしの父ダビデに言われた、『わたしの名のために宮を建てることはあなたの心にあった。あなたの心にこの事のあったのは結構である。

19 רַק אַתָּה לֹא תִבְנֶה הַבַּיִת כִּי אִם־ בִּנְךָ הַיֹּצֵא מִחֲלָצֶיךָ הוּא־ יִבְנֶה הַבַּיִת לִשְׁמִי׃
ただし あなたは 建てては ならない その-宮を むしろ ～である あなたの-子 生まれ出る 腰から あなたの- 彼こそが 建てる その-宮を わが-名の-ために
H7535 H0859 H3808 H1129 H1004 H3588 H1121 H0853 H3318 H2504 H1931 H1129 H1004 H8034

けれどもあなたはその宮を建ててはならない。あなたの身から出るあなたの子がわたしの名のために宮を建てるであろう』と。

20 וַיָּקֶם יְהוָה אֶת־ דְּבָרוֹ אֲשֶׁר דִּבֶּר וָאָקֻם תַּחַת דָּוִד אָבִי וָאֵשֶׁב עַל־ כִּסֵּא יִשְׂרָאֵל כַּאֲשֶׁר דִּבֶּר יְהוָה וָאֶבְנֶה הַבַּיִת לְשֵׁם יְהוָה אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל׃
そして-立てられた 主は ～を その-言葉を 語られた ～の 私は-立った ～に-代わって ダビデ わが-父に そして-座った ～の-上に 王座に イスラエルの 通りに ～の- 主が 語られた 宮を そして-建てた ～の-御名の-ために 主 神の イスラエルの
H6965 H3068 H0853 H1697 H1696 H0834 H0589 H8478 H1732 H0001 H3427 H5921 H3678 H3478 H3588 H1696 H1004 H3068 H1129 H1004 H8034 H3068 H0430 H3478

そして主はその言われた言葉を行われた。すなわちわたしは父ダビデに代って立ち、主が言われたように、イスラエルの位に座し、イスラエルの神、主の名のために宮を建てた。

21 וְאָשִׂם שָׁם מָקוֹם לָאָרוֹן אֲשֶׁר־ שָׁם כָּרַת יְהוָה בְּרִית עִם־ אֲבֹתֵינוּ בְּהוֹצִיאוֹ אֹתָם מֵאֶרֶץ מִצְרָיִם׃ ס
そして-設けた 場所を 箱の-ために ～の-中に そこに 結ばれた 主の 契約が ～と 私たちの-先祖たちと 導き出された-時に 彼らを ～の-地から エジプトの —
H7760 H4725 H0727 H0834 H8033 H3772 H3068 H1285 H0854 H1 H3318 H0853 H0776 H4714 H5

わたしはまたそこに主の契約を納めた箱のために一つの場所を設けた。その契約は主がわれわれの先祖をエジプトの地から導き出された時に、彼らと結ばれたものである」。

22 וַיַּעֲמֹד שְׁלֹמֹה לִפְנֵי מִזְבַּח יְהוָה נֶגֶד כָּל־קְהַל יִשְׂרָאֵל

そして-立った ソロモンは ～の-前に 祭壇の 主の ～の-前で すべての 会衆の イスラエルの
H5975 H8010 H6440 H4196 H3068 H5048 H3605 H6951 H3478

וַיִּפְרֹשׂ כַּפָּיו הַשָּׁמָיִם׃

そして-広げた 両手を 天に-向けて
H6566 H3709 H8064

ソロモンはイスラエルの全会衆の前で、主の祭壇の前に立ち、手を天に伸べて、

23 וַיֹּאמַר יְהוָה אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל אֵין־כָּמוֹךָ אֱלֹהִים בַּשָּׁמַיִם מִמַּעַל וְעַל־הָאָרֶץ מִתָּחַת שֹׁמֵר הַבְּרִית וְהַחֶסֶד לַעֲבָדֶיךָ הַהֹלְכִים לְפָנֶיךָ בְּכָל־לִבָּם׃

そして-言った 主よ イスラエルの 神よ ～のような-方は-いない あなたのような 神は 天に-おいても 上にも そして-地に-おいても 地の 下にも 守られる-方 契約と そして-恵みを あなたの-しもべたちに あなたの-前を すべての 心で
H0559 H3068 H3478 H0430 H0369 H3644 H0430 H8064 H4605 H6440 H0776 H8104 H1285 H2617 H5650 H1980 H6440 H3605 H3824

言った、「イスラエルの神、主よ、上の天にも、下の地にも、あなたのような神はありません。あなたは契約を守られ、心をつくしてあなたの前に歩むあなたのしもべらに、いつくしみを施し、

24 אֲשֶׁר שָׁמַרְתָּ לְעַבְדְּךָ דָּוִד אָבִי אֵת אֲשֶׁר־דִּבַּרְתָּ לוֹ וַתְּדַבֵּר בְּפִיךָ וּבְיָדְךָ מִלֵּאתָ כַּיּוֹם הַזֶּה׃

あなたは 守られた あなたの-しもべ ダビデ わが-父への ～を ～の 語られたことを 彼に そして-語り あなたの-口で そして-手で 成し遂げられた 今日 この-日
H8104 H5650 H1732 H0001 H853 H834 H1696 H3824 H6310 H3027 H4390 H3117 H2088

あなたのしもべであるわたしの父ダビデに約束されたことを守られました。あなたが口をもって約束されたことを、手をもってなし遂げられたことは、今日見るとおりであります。

25 וְעַתָּה יְהוָה אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל שְׁמֹר לְעַבְדְּךָ דָּוִד אָבִי אֵת אֲשֶׁר דִּבַּרְתָּ לוֹ לֵאמֹר לֹא־יִכָּרֵת לְךָ אִישׁ מִלְּפָנַי יֹשֵׁב עַל־כִּסֵּא יִשְׂרָאֵל רַק אִם־יִשְׁמְרוּ בָנֶיךָ אֶת־דַּרְכָּם לָלֶכֶת לְפָנַי כַּאֲשֶׁר הָלַכְתָּ לְפָנָי׃

そして-今 主よ イスラエルの 神よ 守ってください ダビデ わが-父への ～を 語られたことを 彼に こう-言って 絶えることはない 絶えない 人が あなたには 座る-者が 王座に イスラエルの ただし もし 守るならば 歩むならば その-道を ～を あなたの-子らが 歩んだ ～の-ように わたしの-前を わたしの-前から
H6258 H3068 H3478 H0430 H8104 H1732 H0001 H853 H834 H1696 H3824 H0559 H3808 H3772 H0376 H3427 H3678 H3478 H7535 H0518 H8104 H3212 H1870 H853 H1980 H3824 H6440 H6440

あなたのしもべであるわたしの父ダビデに約束されたことを守られました。あなたが口をもって約束されたことを、手をもってなし遂げられたことは、今日見るとおりであります。

それゆえ、イスラエルの神、主よ、あなたのしもべであるわたしの父ダビデに、あなたが約束して『おまえがわたしの前に歩んだように、おまえの子孫が、その道を慎んで、わたしの前に歩むならば、おまえにはイスラエルの位に座する人が、わたしの前に欠けることはないであろう』と言われたことを、ダビデのために守ってください。

26

]דבריך[	נָ֣א	יֶאֱמַ֗ן	יִשְׂרָאֵל֮	אֱלֹהֵי֒	וְעַתָּ֣ה	
あなたの–言葉を	どうか	確かなもの–としてください	イスラエルの	神よ	そして–今	
H1697	H4994	H0539	H3478	H0430	H6258	

:אָבִֽי	דָּוִ֖ד	לְעַבְדְּךָ֥	דִּבַּ֛רְתָּ	אֲשֶׁ֧ר	)דְּבָרְךָ֖(
わが–父に	ダビデ	あなたの–しもべ	語られた	～の	あなたの–言葉を
H0001	H1732	H5650	H1696		H1697

イスラエルの神よ、どうぞ、あなたのしもべであるわたしの父ダビデに言われた言葉を確認してください。

27

וּשְׁמֵ֣י	הַשָּׁמַ֗יִם	הִנֵּה֙	הָאָ֔רֶץ	עַל־	אֱלֹהִ֖ים	יֵשֵׁ֣ב	הַאֻמְנָ֑ם	כִּ֣י
そして–天の–天も	天も	見よ	地の	～の–上に	神が	住まわれるのか	本当に	まことに
H8064	H8064	H2009	H0776		H0430	H3427	H0552	

:בָּנִֽיתִי	אֲשֶׁ֥ר	הַזֶּ֖ה	הַבַּ֣יִת	כִּֽי־	אַ֗ף	יְכַלְכְּל֤וּךָ	לֹא֙	הַשָּׁמַ֔יִם
私が–建てた	～の	この	この–宮は	～の	まして	できない	あなたを–容れることが	天の
H1129		H2088			H0637	H3557	H3808	H8064

しかし神は、はたして地上に住まわれるでしょうか。見よ、天も、いと高き天もあなたをいれることはできません。ましてわたしの建てたこの宮はなおさらです。

28

אֱלֹהָ֔י	יְהוָ֖ה	תְּחִנָּתוֹ֙	וְאֶל־	עַבְדְּךָ֔	תְּפִלָּ֣ת	אֶל־	וּפָנִ֕יתָ	
わが–神よ	主よ	願いを	そして–～を	あなたの–しもべの	祈りを	～を	しかし–顧みてください	
H0430	H3068	H8467	H0413	H5650	H8605	H0413	H6437	

מִתְפַּלֵּ֥ל	עַבְדְּךָ֖	אֲשֶׁ֣ר	הַתְּפִלָּ֑ה	וְאֶל־	הָרִנָּ֣ה	אֶל־	לִשְׁמֹ֥עַ
祈っている	あなたの–しもべが	～の	祈りを	そして–～を	叫びと	～を	聞いてください
H6419	H5650		H8605	H0413	H7440	H0413	H8085

הַיּ֖וֹם׃	לְפָנֶ֥יךָ
今日	あなたの–前で
H3117	H6440

しかしわが神、主よ、しもべの祈と願いを顧みて、しもべがきょう、あなたの前にささげる叫びと祈をお聞きください。

29

וָי֥וֹם	לַ֖יְלָה	הַזֶּ֑ה	הַבַּ֣יִת	אֶל־	פְּתֻחֹ֤ות	עֵינֶ֙יךָ֙	לִֽהְיוֹת֙
昼も	夜も	この	この–宮に	～に–向かって	開かれ	あなたの–目が	あなたの–目が
H3117	H3915	H2088		H0413			H1961

לִשְׁמֹ֣עַ	שָׁ֔ם	שְׁמִ֖י	יִהְיֶ֣ה	אָמַ֤רְתָּ	אֲשֶׁ֣ר	הַמָּקֹ֥ום	אֶל־
聞いてください	そこに	わが–名が	ある	あなたが–言われた	～の	その–場所に	～に–向かって
H8085	H8033	H8034	H1961	H0559		H4725	H0413

:הַזֶּֽה	הַמָּקֹ֔ום	אֶל־	עַבְדְּךָ֥	יִתְפַּלֵּ֖ל	אֲשֶׁ֣ר	הַתְּפִלָּ֑ה	אֶל־
この	この–場所に	～に–向かって	あなたの–しもべが	祈る	～の	祈りを	～を
H2088	H4725	H0413	H5650	H6419		H8605	H0413

あなたが『わたしの名をそこに置く』と言われた所、すなわち、この宮に向かって夜昼あなたの目をお開きください。しもべがこの所に向かって祈る祈をお聞きください。

30 וְשָׁמַעְתָּ֙ אֶל־ תְּחִנַּ֣ת עַבְדְּךָ֔ וְעַמְּךָ֖ יִשְׂרָאֵ֑ל אֲשֶׁ֣ר
そして–聞いてください ～を 願いを あなたの–しもべの そして–あなたの–民 イスラエルの ～が
H8085 H0413 H8467 H5650 H6419 H3478

יִתְפַּֽלְלוּ֙ אֶל־ הַמָּקוֹם֒ הַזֶּ֔ה וְאַתָּ֣ה תִשְׁמַ֔ע אֶל־ מְק֖וֹם
祈る–時 ～に–向かって この–場所に この そして–あなたは 聞いてください ～から 住まいの–場所
H6419 H0413 H4725 H2088 H8085 H0413 H4725

שִׁבְתְּךָ֣ אֶל־ הַשָּׁמַ֑יִם וְשָׁמַעְתָּ֖ וְסָלָֽחְתָּ׃
あなたが–住まわれる ～から 天から そして–聞いて 赦してください
H3427 H0413 H8064 H8085 H5545

しもべと、あなたの民イスラエルがこの所に向かって祈る時に、その願いをお聞きください。あなたのすみかである天で聞き、聞いておゆるしください。

31 אִם־ אֲשֶׁ֣ר יֶחֱטָ֣א אִישׁ֮ לְרֵעֵ֣הוּ֒ וְנָשָׂא־ בּ֣וֹ אָלָ֔ה
もし ～を 罪を–犯した–時 人が 隣人に–対して そして–求められた 彼に 誓いを
H0853 H2398 H0376 H7453 H5378 H0423

וּבָ֣א וְנִשְׁבַּ֔ע לִפְנֵ֖י מִזְבַּחֲךָ֑ בַּבַּ֣יִת הַזֶּ֔ה׃
そして–来て 誓いが ～の–前に あなたの–祭壇の この–宮の–中で この
H0935 H0423 H6440 H4196 H0422 H2088

לְהַאֲלֹתֽוֹ
誓わせるために
H0422

もし人がその隣り人に対して罪を犯し、誓いをすることを求められる時、来てこの宮であなたの祭壇の前に誓うならば、

32 וְאַתָּ֣ה תִשְׁמַ֔ע וְעָשִׂ֖יתָ וְשָׁפַטְתָּ֣ אֶת־ עֲבָדֶ֑יךָ
そして–あなたは 聞いてください そして–行い 天から 聞いてください そして–裁いてください ～を
H0853 H8199 H8064 H8085

לְהַרְשִׁ֣יעַ רָשָׁ֔ע לָתֵ֥ת דַּרְכּ֖וֹ בְּרֹאשׁ֑וֹ לְהַצְדִּ֣יק צַדִּ֔יק
悪しき–者を–罰し 悪しき–者の 報いて その–行いを その–頭に 正しい–者を–義と–し
H7561 H7563 H5414 H1870

לָתֵ֥ת לוֹ֙ כְּצִדְקָת֔וֹ׃ ס
与えて 彼に その–正しさに–従って
H5414 H6666

あなたは天で聞いて行い、あなたのしもべらをさばき、悪人を罰して、そのおこないの報いをそのこうべに帰し、義人を義として、その義にしたがって、その人に報いてください。

33 בְּהִנָּ֤גֵף עַמְּךָ֙ יִשְׂרָאֵ֔ל לִפְנֵ֖י אוֹיֵ֑ב אֲשֶׁ֣ר יֶחֱטְא֔וּ־
打ち負かされた–時 イスラエルが あなたの–民 ～の–前で 敵の ～の–ゆえに 罪を–犯した
H5062 H3478 H6440 H0341 H0834 H2398

וְשָׁבוּ֙ אֵלֶ֔יךָ וְהוֹד֣וּ אֶת־ שְׁמֶ֔ךָ וְהִתְפַּֽלְלוּ֙
そして–立ち返り あなたに そして–告白し ～を あなたの–御名を そして–祈り
H7725 H0413 H3034 H0853 H8034 H6419

וְהִתְחַנְּנ֥וּ אֵלֶ֖יךָ בַּבַּ֣יִת הַזֶּ֑ה׃
そして–願い求めた–時 あなたに この–宮で この
H0413 H2088

もしあなたの民イスラエルが、あなたに対して罪を犯したために敵の前に敗れた時、あなたに立ち返って、あなたの名をあがめ、この宮であなたに祈り願うならば、

34 וְאַתָּה תִּשְׁמַע הַשָּׁמַיִם וְסָלַחְתָּ לְחַטַּאת עַמְּךָ יִשְׂרָאֵל
そして–あなたは 聞いてください 天から そして–赦し ～の–罪を あなたの–民 イスラエルの
H8085 H8064 H5545 H2398 H5414 H0001 H0127 H0413 H7725

וַהֲשֵׁבֹתָם לָאֲבוֹתָם׃ ס
そして–帰らせてください ～に その–地に ～の あなたが–与えた 彼らの–先祖たちに —

あなたは天にあって聞き、あなたの民イスラエルの罪をゆるして、あなたが彼らの先祖に賜わった地に彼らを帰らせてください。

35 בְּהֵעָצֵר שָׁמַיִם וְלֹא־יִהְיֶה מָטָר כִּי־יֶחֱטְאוּ־לָךְ
閉ざされた–時 天が ～ない–時 そして–ない 雨が ～の–ゆえに 罪を–犯した あなたに
H6113 H8064 H3808 H1961 H4306 H2398

וְהִתְפַּלְלוּ הַמָּקוֹם הַזֶּה וְהוֹדוּ אֶת־שְׁמֶךָ
そして–祈り ～に–向かって この–場所に この そして–告白し ～を あなたの–御名を
H6419 H0413 H4725 H2088 H3034 H0853 H8034

וּמֵחַטָּאתָם יְשׁוּבוּן כִּי תַעֲנֵם׃
そして–その–罪から 立ち返った–時 ～の–ゆえに あなたが–彼らを–苦しめた
H7725

もし彼らがあなたに罪を犯したために、天が閉ざされて雨がなく、あなたが彼らを苦しめられる時、彼らがこの所に向かって祈り、あなたの名をあがめ、その罪を離れるならば、

36 וְאַתָּה תִּשְׁמַע הַשָּׁמַיִם וְסָלַחְתָּ לְחַטַּאת עַבָדֶיךָ
そして–あなたは 聞いてください 天から そして–赦し ～の–罪を あなたの–しもべたちと
H8085 H8064 H5545 H5650

וְעַמְּךָ יִשְׂרָאֵל כִּי תוֹרֵם אֶת־הַדֶּרֶךְ הַטּוֹבָה אֲשֶׁר
そして–あなたの–民 イスラエルの ～の–ゆえに 教えてください ～を 良い–道を 良い ～の
H3478 H0853 H1870 H2896

יֵלְכוּ־בָהּ וְנָתַתָּה מָטָר עַל־אַרְצְךָ אֲשֶׁר־נָתַתָּה
道を 歩むべき そして–降らせてください 雨を ～の–上に あなたの–地に ～の あなたが–与えた
H3212 H5414 H4306 H5921 H0776 H5414

לְעַמְּךָ לְנַחֲלָה׃ ס
あなたの–民に 嗣業として —
H5159

あなたは天で聞き、あなたのしもべ、あなたの民イスラエルの罪をゆるし、彼らに歩むべき良い道を教えて、あなたが、あなたの民に嗣業として与えられた地に雨を降らせてください。

37 רָעָב כִּי־יִהְיֶה דֶבֶר כִּי־יִהְיֶה שִׁדָּפוֹן יֵרָקוֹן אַרְבֶּה חָסִיל
飢饉が もし ある–時 疫病が もし 立ち枯れ いもち病 いなご バッタが
H7458 H3588 H1961 H1698 H3588 H7711 H3420 H0697 H2625

כָּל־נֶגַע כָּל־תְּפִלָּה אֲשֶׁר יִהְיֶה לְכָל־אָדָם לְכֹל עַמְּךָ יִשְׂרָאֵל
あらゆる 災いや あらゆる 祈りで ～の–ための あらゆる 人の 全ての あなたの–民 イスラエル
H3605 H5061 H3605 H8605 H0120 H3605 H0120 H3605 H5971 H3478

אֲשֶׁר יֵדְעוּן אִישׁ נֶגַע לִבּוֹ וּפָרַשׂ כַּפָּיו אֶל־הַבַּיִת הַזֶּה׃
～の 知る–時 人 災い 彼の–心 そして–広げた 彼の–両手を ～に この–宮に
H3045 H0376 H5061 H3824 H6566 H3027 H0413 H1004 H2088

もし国にききんがあるか、もしくは疫病、立ち枯れ、腐り穂、いなご、青虫があるか、もしくは敵のために町の中に攻め囲まれることがあるか、どんな災害、どんな病気があっても、

38

כָּל־ תְּפִלָּה תְּחִנָּה אֲשֶׁר תִּהְיֶה לְכָל־ הָאָדָם לְכֹל עַמְּךָ
あらゆる 祈りや 願いを ～の ある すべての 人や すべての あなたの–民
H3605 H8605 H8467 H1961 H3605 H0120 H3605

אֶל־ כַּפָּיו וּפָרַשׂ לְבָבוֹ נֶגַע אִישׁ יֵדְעוּן אֲשֶׁר יִשְׂרָאֵל
～に–向かって 両手を そして–広げた–時 その–心の 苦しみを 人が 知って ～の イスラエルが
H0413 H3709 H6566 H3824 H5061 H0376 H3045 H3478

הַבַּיִת׃ הַזֶּה
この この–宮に
H2088

もし、だれでも、あなたの民イスラエルがみな、おのおのその心の悩みを知って、この宮に向かい、手を伸べるならば、どんな祈、どんな願いでも、

39

וְאַתָּה תִּשְׁמַע הַשָּׁמַיִם מְכוֹן שִׁבְתֶּךָ וְסָלַחְתָּ
そして–あなたは 聞いてください 天から 住まいの–場所 あなたが–住まわれる そして–赦し
H8085 H8064 H4349 H3427 H5545

וְעָשִׂיתָ וְנָתַתָּ לְאִישׁ כְּכֹל־ דְּרָכָיו אֲשֶׁר תֵּדַע
そして–行い そして–与えてください その–人に すべての その–行いに–従って ～の あなたが–知る
H5414 H0376 H3605 H1870 H3045

אֶת־ לְבָב לְבָדְךָ יָדַעְתָּ אַתָּה כִּי־ לְבָבוֹ אֶת־ כָּל־
～を 心を あなただけが 知っておられる あなただけが なぜなら その–心を ～を すべての
H0853 H3824 H0905 H3045 H0853 H3824 H0853 H3605

בְּנֵי הָאָדָם׃
人の 人の–子らの
H0120

あなたは、あなたのすみかである天で聞いてゆるし、かつ行い、おのおのの人に、その心を知っておられるゆえ、そのすべての道にしたがって報いてください。ただ、あなただけ、すべての人の心を知っておられるからです。

40

עַל־ חַיִּים הֵם אֲשֶׁר־ הַיָּמִים כָּל־ יִרְאוּךָ לְמַעַן
～の–上に 生きている 彼らが ～の 日々 すべての 彼らが–あなたを–畏れる ～の–ために
H1992 H3117 H3605 H3372 H4616

לַאֲבֹתֵינוּ׃ נָתַתָּה אֲשֶׁר הָאֲדָמָה פְּנֵי
私たちの–先祖たちに あなたが–与えた ～の 地の ～の–面で
H0001 H5414 H0127 H6440

あなたが、われわれの先祖に賜わった地に、彼らの生きながらえる日の間、常にあなたを恐れさせてください。

41

הוּא יִשְׂרָאֵל מֵעַמְּךָ לֹא־ אֲשֶׁר הַנָּכְרִי אֶל־ וְגַם
者が イスラエルの あなたの–民 ～でない ～の 外国人が ～に–対しても そして–また
H1931 H3478 H3808 H5237 H0413 H1571

שְׁמֶךָ׃ לְמַעַן רְחוֹקָה מֵאֶרֶץ וּבָא
あなたの–御名の ～の–ゆえに 遠い 遠い–地から そして–来て
H8034 H4616 H7350 H0776 H0935

またあなたの民イスラエルの者でなく、あなたの名のために遠い国から来る異邦人が、

וְאֶת־ そして–〜を H0853 הַגָּדוֹל 大いなる שִׁמְךָ あなたの–大いなる–御名と H8034 אֶת־ 〜を H0853 יִשְׁמְעוּן 彼らは–聞く H8085 כִּי なぜなら 42

וְהִתְפַּלֵּל 祈った–時 H6419 וּבָא そして–来て H0935 הַנְּטוּיָה 伸ばされた H5186 וּזְרֹעֲךָ そして–あなたの–伸ばされた–腕を H2220 הַחֲזָקָה 力強い H2389 יָדְךָ あなたの–力強い–手と H3027

הַזֶּה׃ この H2088 הַבַּיִת この–宮に אֶל־ 〜に–向かって H0413

――それは彼らがあなたの大いなる名と、強い手と、伸べた腕とについて聞き及ぶからです、――もしきて、この宮に向かって祈るならば、

וְעָשִׂיתָ そして–行ってください שְׁבְתְּךָ あなたが–住まわれる H3427 מְכוֹן 住まいの–場所 H4349 הַשָּׁמַיִם 天から H8064 תִּשְׁמַע 聞いてください H8085 אַתָּה あなたは 43

עַמֵּי 地の–民が כָּל־ すべての H3605 יֵדְעוּן 知るように H3045 לְמַעַן 〜の–ために H4616 הַנָּכְרִי 外国人が H5237 אֵלֶיךָ あなたに H0413 יִקְרָא 呼び求める H7121 אֲשֶׁר־ 〜の כְּכֹל すべてを H3605

יִשְׂרָאֵל イスラエルの–ように כְּעַמְּךָ あなたの–民 אִתְּךָ あなたを H0853 לְיִרְאָה 畏れるために H3372 שִׁמְךָ あなたの–御名を H8034 אֶת־ 〜を H0853 הָאָרֶץ 地の H0776

אֲשֶׁר 〜の הַזֶּה この H2088 הַבַּיִת この–宮の עַל־ 〜の–上に נִקְרָא 唱えられている H7121 שִׁמְךָ あなたの–御名が כִּי־ 〜の וְלָדַעַת そして–知るために H3045

בָּנִיתִי׃ 私が–建てた H1129

あなたは、あなたのすみかである天で聞き、すべて異邦人があなたに呼び求めることをかなえさせてください。そうすれば、地のすべての民は、あなたの民イスラエルのように、あなたの名を知り、あなたを恐れ、またわたしが建てたこの宮があなたの名によって呼ばれることを知るにいたるでしょう。

אֲשֶׁר 〜の בַּדֶּרֶךְ 道を H1870 אֹיְבוֹ 敵に H0341 עַל־ 〜に–対して לַמִּלְחָמָה 戦いに H4421 עַמְּךָ あなたの–民が יֵצֵא 出て行く–時 H3318 כִּי־ もし 44

הַבָּיִת この בָּחַרְתָּ あなたが–選んだ H0977 אֲשֶׁר 〜の הָעִיר 都の דֶּרֶךְ 〜の–方角の H1870 יְהוָה 主に H3068 אֶל־ 〜に H0413 וְהִתְפַּלְלוּ そして–祈った H6419 תִּשְׁלָחֵם あなたが–遣わす H7971

לִשְׁמֶךָ׃ あなたの–御名の–ために H8034 בָּנִיתִי 私が–建てた H1129 אֲשֶׁר־ 〜の וְהַבַּיִת そして–宮に

あなたの民が敵と戦うために、あなたがつかわされる道を通って出て行くとき、もし彼らがあなたの選ばれた町、わたしがあなたの名のために建てた宮の方に向かって、主に祈るならば、

תְּחִנָּתָם 彼らの–願いを H8467 וְאֶת־ そして–〜を H0853 תְּפִלָּתָם 彼らの–祈りと H8605 אֶת־ 〜を H0853 הַשָּׁמַיִם 天から H8064 וְשָׁמַעְתָּ そして–聞いてください H8085 45

מִשְׁפָּטָם׃ 彼らの–正しい–裁きを H4941 וְעָשִׂיתָ そして–行ってください

あなたは天で、彼らの祈と願いを聞いて彼らをお助けください。

46 כִּי יֶחֶטְאוּ־לָךְ כִּי אֵין אָדָם אֲשֶׁר לֹא־יֶחֱטָא
なぜなら あなたに 罪を–犯した–時 もし 人は いない ～は 罪を–犯さない
H2398 H3808 H0120 H0369 H2398

וְנָתַתָּם לִפְנֵי אוֹיֵב וְשָׁבוּם
そして–渡した–時 彼らに 敵の ～の–前に そして–捕らえた–者が–連れ去った
H5414 H0341 H6440 H7617

וְאָנַפְתָּ בָּם וְנָתַתָּם לִפְנֵי אוֹיֵב וְשָׁבוּם
そして–あなたが–怒り 彼らに そして–渡した–時 敵の ～の–前に そして–捕らえた–者が–連れ去った
H0599 H5414 H6440 H0341 H7617

שֹׁבֵיהֶם אֶל־אֶרֶץ הָאוֹיֵב רְחוֹקָה אוֹ קְרוֹבָה׃
捕らえた–者たちが ～の 地へ 敵の 遠い–地にせよ あるいは 近い–地にせよ
H7617 H0413 H0776 H0341 H7350 H0413 H7138

彼らがあなたに対して罪を犯すことがあって、――人は罪を犯さない者はないのです、――あなたが彼らを怒り、彼らを敵にわたし、敵が彼らを捕虜として遠近にかかわらず、敵の地に引いて行く時、

47 וְהֵשִׁיבוּ אֶל־לִבָּם בְּאֶרֶץ אֲשֶׁר נִשְׁבוּ־שָׁם וְשָׁבוּ
そして–心に–思い返し そして–中で ～の–心の ～の–地で ～の 捕らえられた そこで そして–立ち返り
H7725 H0413 H0776 H0776 H7617 H8033 H7725

וְהִתְחַנְנוּ אֵלֶיךָ בְּאֶרֶץ שֹׁבֵיהֶם לֵאמֹר חָטָאנוּ
そして–願い求めた あなたに ～の–地で 捕らえた–者たちの こう–言って 私たちは–罪を–犯し
H2398 H0559 H7617 H0776 H0413

הֶעֱוִינוּ וְהִרְשָׁעְנוּ׃
そして–曲がったことを–し 悪を–行いました
H7561

もし彼らが捕われていった地で、みずから省みて悔い、自分を捕えていった者の地で、あなたに願い、『われわれは罪を犯しました、そむいて悪を行いました』と言い、

48 וְשָׁבוּ אֵלֶיךָ בְּכָל־לִבָּם וּבְכָל־נַפְשָׁם בְּאֶרֶץ אֹיְבֵיהֶם אֲשֶׁר־
そして–立ち返り あなたに すべての 心と そして–すべての 魂で 敵の ～の
H7725 H0413 H3605 H3824 H3605 H5315 H0776 H0341

שָׁבוּ אֹתָם וְהִתְפִּלְלוּ אֵלֶיךָ דֶּרֶךְ אַרְצָם אֲשֶׁר נָתַתָּה
連れ去った 彼らを そして–祈った–時 あなたに ～の–方角の その–地に ～の あなたが–与えた
H7617 H0853 H6419 H0413 H1870 H0776 H0834 H5414

לַאֲבוֹתָם הָעִיר אֲשֶׁר בָּחַרְתָּ וְהַבַּיִת אֲשֶׁר־ בָּנִיתִי)בנית[
彼らの–先祖たちに 都に ～の あなたが–選んだ そして–宮に ～の 私が–建てた 私が–建てた
H0001 H0834 H0977 H1004 H0834 H1129 H1129

לִשְׁמֶךָ׃
あなたの–御名の–ために
H8034

自分を捕えていった敵の地で、心をつくし、精神をつくしてあなたに立ち返り、あなたが彼らの先祖に与えられた地、あなたが選ばれた町、わたしがあなたの名のために建てた宮の方に向かって、あなたに祈るならば、

49 וְשָׁמַעְתָּ הַשָּׁמַיִם מְכוֹן שִׁבְתְּךָ תְּפִלָּתָם וְאֶת־
そして–聞いてください 天から 住まいの–場所 あなたが–住まわれる 彼らの–祈りと ～を
H8085 H8064 H4349 H3427 H8605 H0853

וְאֶת־ תְּחִנָּתָם וְעָשִׂיתָ מִשְׁפָּטָם׃
そして–～を 彼らの–願いを そして–行ってください 彼らの–正しい–裁きを
H0853 H8467 H6213 H4941

あなたのすみかである天で、彼らの祈と願いを聞いて、彼らを助け、

50 וְסָלַחְתָּ לְעַמְּךָ אֲשֶׁר חָטְאוּ־לָךְ וּלְכָל־פִּשְׁעֵיהֶם אֲשֶׁר פָּשְׁעוּ־בָךְ וְנָתַתָּם לְרַחֲמִים לִפְנֵי שֹׁבֵיהֶם וְרִחֲמוּם׃

そして–赦し (H5545) / あなたの–民を (H6588) / ～の (H3588) / 罪を–犯した (H2398) / あなたに (H0000) / そして–すべての (H3605) / 彼らの–背きを (H6588) / ～の (H3588) / あなたに (H0000) / 背いた (H6586) / そして–与えてください (H5414) / あわれみを (H7356) / ～の–前に (H6440) / 捕らえた–者たちの (H7617) / そして–彼らを–あわれむように (H7355)

あなたの民が、あなたに対して犯した罪と、あなたに対して行ったすべてのあやまちをゆるし、彼らを捕えていった者の前で、彼らにあわれみを得させ、その人々が彼らをあわれむようにしてください。

51 כִּי־עַמְּךָ וְנַחֲלָתְךָ הֵם אֲשֶׁר הוֹצֵאתָ מִמִּצְרַיִם מִתּוֹךְ כּוּר הַבַּרְזֶל׃

なぜなら (H3588) / あなたの–民であり (H5971) / あなたの–嗣業です (H5159) / 彼らは (H1992) / ～の (H3588) / あなたが–導き出した (H3318) / エジプトから (H4714) / ～の–中から (H8432) / 鉄の (H3564) / 炉の (H1270)

（彼らはあなたがエジプトから、鉄のかまどの中から導き出されたあなたの民、あなたの嗣業であるからです）。

52 לִהְיוֹת עֵינֶיךָ פְּתֻחוֹת אֶל־תְּחִנַּת עַבְדְּךָ וְאֶל־תְּחִנַּת עַמְּךָ יִשְׂרָאֵל לִשְׁמֹעַ אֲלֵיהֶם בְּכָל־קָרְאָם אֵלֶיךָ׃

あなたの–目が (H5869) / 開かれて (H6605) / ～に (H0413) / 願いに (H8467) / あなたの–しもべの (H5650) / そして–～に (H0413) / 願いに (H8467) / あなたの–民 (H5971) / イスラエルの (H3478) / 聞いてください (H8085) / 彼らに (H0413) / すべての (H3605) / 彼らが–呼び求める–時 (H7121) / あなたに (H0413)

どうぞ、しもべの願いと、あなたの民イスラエルの願いに、あなたの目を開き、すべてあなたに呼び求める時、彼らの願いをお聞きください。

53 כִּי־אַתָּה הִבְדַּלְתָּם לְךָ לְנַחֲלָה מִכָּל עַמֵּי הָאָרֶץ כַּאֲשֶׁר דִּבַּרְתָּ בְּיַד מֹשֶׁה עַבְדֶּךָ בְּהוֹצִיאֲךָ אֶת־אֲבֹתֵינוּ מִמִּצְרַיִם אֲדֹנָי יְהוִה׃ פ

なぜなら (H3588) / あなたが (H0859) / 区別された (H0914) / あなたのために (H0000) / 嗣業として (H5159) / すべての (H3605) / 民の–中から (H5971) / 地の (H0776) / ～の–通りに (H3588) / 語られた (H1696) / ～の–手を–通して (H3027) / モーセ (H4872) / あなたの–しもべの (H5650) / 導き出された–時に (H3318) / ～を (H0853) / 私たちの–先祖たちを (H0001) / エジプトから (H4714) / 主よ (H0136) / 神よ (H3069) / —

あなたは彼らを地のすべての民のうちから区別して、あなたの嗣業とされたからです。主なる神よ、あなたがわれわれの先祖をエジプトから導き出された時、モーセによって言われたとおりです」。

54 וַיְהִי כְּכַלּוֹת שְׁלֹמֹה לְהִתְפַּלֵּל אֶל־יְהוָה אֵת כָּל־הַתְּפִלָּה
そして–あった 終えた–時 ソロモンが 祈ることを 主に ～を すべての 祈りと
H1961 H3615 H8010 H6419 H3068 H0853 H3605 H8605

וְהַתְּחִנָּה הַזֹּאת מִלִּפְנֵי יְהוָה מִזְבַּח מִלִּפְנֵי קָם
そして–願いを この ～の–前から 主の 祭壇の ～の–前から 立ち上がった
H8467 H2063 H6440 H3068 H4196 H6440 H6965

מִכְרַע עַל־בִּרְכָּיו וְכַפָּיו פְּרֻשׂוֹת הַשָּׁמָיִם׃
ひざまずいて ～の–上に 膝を そして–両手を 広げて 天に–向けて
H3766 H5921 H1290 H3709 H6566 H8064

ソロモンはこの祈と願いをことごとく主にささげ終ると、それまで天に向かって手を伸べ、ひざまずいていた主の祭壇の前から立ちあがり、

55 וַיַּעֲמֹד וַיְבָרֶךְ אֶת־כָּל־קְהַל יִשְׂרָאֵל קוֹל גָּדוֹל
そして–立ち そして–祝福した ～を すべての 会衆を イスラエルの 大きな–声で 大きな
H5975 H1288 H0853 H3605 H6951 H3478 H6963 H7032

לֵאמֹר׃
こう–言って
H0559

立って大声でイスラエルの全会衆を祝福して言った、

56 בָּרוּךְ יְהוָה אֲשֶׁר נָתַן מְנוּחָה לְעַמּוֹ יִשְׂרָאֵל כְּכֹל
ほむべきかな 主は ～の–方が 与えられた 安息を その–民に イスラエルに すべての–通りに
H1288 H3068 H0834 H5414 H4496 H5971 H3478 H3605

אֲשֶׁר דִּבֶּר לֹא־נָפַל דָּבָר אֶחָד מִכֹּל
～の 語られた 落ちなかった 落ちなかった 一つの–言葉も 一つも すべての
H0834 H1696 H5307 H3808 H1697 H0259 H3605

טוֹבָה הַדִּבֶּרֶת אֲשֶׁר בְּיַד מֹשֶׁה עַבְדּוֹ׃
良き 語られた ～の ～の–手を–通して モーセ その–しもべの
H2896 H1696 H0834 H3027 H4872 H5650

「主はほむべきかな。主はすべて約束されたように、その民イスラエルに太平を賜わった。そのしもべモーセによって仰せられたその良き約束は皆一つもたがわなかった。

57 יְהִי עִם־יְהוָה אֱלֹהֵינוּ כַּאֲשֶׁר הָיָה עִמָּנוּ אַל־יַעַזְבֵנוּ
あられるように 主 私たちの–神が ～の–ように ～と–共に おられた 私たちと–共に 見捨てず 私たちを
H1961 H3068 H0430 H0834 H1961 H5973 H0408 H5800

וְאַל־יִטְּשֵׁנוּ׃ אֲבֹתֵינוּ
そして–見離さないように 私たちを
H0408 H5203 H0001

われわれの神がわれわれの先祖と共におられたように、われわれと共におられるように。われわれを離れず、またわれわれを見捨てられないように。

58 לְהַטּוֹת לְבָבֵנוּ אֵלָיו בְּכָל־דְּרָכָיו וְלִשְׁמֹר מִצְוֹתָיו
傾けて 私たちの–心を ご自身に すべての 歩むために その–道に そして–守るために その–戒めと
H5186 H3824 H0413 H3605 H3212 H1870 H8104 H4687

חֻקָּיו וְאֶת־מִשְׁפָּטָיו אֲשֶׁר צִוָּה אֶת־אֲבֹתֵינוּ׃
そして–その–掟と そして–その–定めを ～の 命じられた ～を 私たちの–先祖たちに
H2706 H4941 H0834 H6680 H0853 H0001

われわれの心を主に傾けて、主のすべての道に歩ませ、われわれの先祖に命じられた戒めと定めと、おきてとを守らせられるように。

59 וְיִהְיוּ דְבָרַי אֵלֶּה אֲשֶׁר הִתְחַנַּנְתִּי לִפְנֵי יְהוָה
そして-あるように 私の-これらの-言葉が これらの ～の 私が-願い求めた ～の-前に 主の
H1961 H1697 H0428 H0430 H6440 H3068

קְרֹבִים אֶל־ יְהוָה אֱלֹהֵינוּ יוֹמָם וָלָיְלָה וְלַעֲשׂוֹת מִשְׁפַּט
近くに ～に 主 私たちの-神の 昼も 夜も 行ってくださるように 正しい-裁きを
H7138 H0413 H3068 H0430 H3119 H3915 H4941

עַבְדּוֹ וּמִשְׁפַּט עַמּוֹ יִשְׂרָאֵל דְּבַר־ יוֹם בְּיוֹמוֹ׃
その-しもべの そして-正しい-裁きを その-民 イスラエルの 日ごとの 日の 日ごとに
H5650 H4941 H5971 H3478 H1697 H3117 H3117

主の前にわたしが述べたこれらの願いの言葉が、日夜われわれの神、主に覚えられるように。そして主は日々の事に、しもべを助け、主の民イスラエルを助けられるように。

60 לְמַעַן דַּעַת כָּל־ עַמֵּי הָאָרֶץ כִּי יְהוָה הוּא הָאֱלֹהִים
～の-ために 知るように すべての 地の-民が 地の ～を 主こそ 主こそが 神であると
H4616 H3045 H3605 H5971 H0776 H3588 H3068 H1931 H0430

עוֹד׃ אֵין
ほかには ほかには-いないと
H5750 H0369

そうすれば、地のすべての民は主が神であることと、他に神のないことを知るに至るであろう。

61 וְתְהִי לְבַבְכֶם שָׁלֵם עִם יְהוָה אֱלֹהֵינוּ בְּחֻקָּיו לָלֶכֶת
そして-あるように あなたがたの-心が 全き ～と-共に 主 私たちの-神と その-掟に 歩み
H1961 H3824 H8003 H5973 H3068 H0430 H2706 H3212

כַּיּוֹם הַזֶּה׃ מִצְוֹתָיו וְלִשְׁמֹר
この 今日の-ように その-戒めを そして-守り
H2088 H3117 H4687 H8104

それゆえ、あなたがたは、今日のようにわれわれの神、主に対して、心は全く真実であり、主の定めに歩み、主の戒めを守らなければならない」。

62 וְהַמֶּלֶךְ וְכָל־ יִשְׂרָאֵל עִמּוֹ זֹבְחִים זֶבַח לִפְנֵי
そして-王と すべての イスラエルは 彼と-共に ささげていた いけにえを ～の-前に
H4428 H3605 H3478 H5973 H2076 H2077 H6440

יְהוָה׃
主の
H3068

そして王および王と共にいるすべてのイスラエルびとは主の前に犠牲をささげた。

63 וַיִּזְבַּח שְׁלֹמֹה אֶת־ הַשְּׁלָמִים אֲשֶׁר זָבַח לַיהוָה בָּקָר
そして-ささげた ソロモンは ～を 和解の 和解の-いけにえを ～の ささげた 主に 牛
H2076 H8010 H0853 H8002 H2077 H2076 H3068 H1241

וְשִׁבְעִים אֶלֶף וְעֶשְׂרִים מֵאָה וְצֹאן אֶלֶף וְעֶשְׂרִים בֵּית
二万 二千 頭と 十二万 そして-羊 二十 千-頭を こうして-奉献した ～を 主の-宮を
H6242 H8147 H0505 H3967 H6629 H6242 H0505 H2596 H0853 H1004

יִשְׂרָאֵל׃ בְּנֵי וְכָל־ הַמֶּלֶךְ יְהוָה
イスラエルの 子らが そして-すべての 王と 主の
H3478 H3605 H4428 H3068

ソロモンは酬恩祭として牛二万二千頭、羊十二万頭を主にささげた。こうして王とイスラエルの人々は皆主の宮を奉献した。

64 בַּיּוֹם הַהוּא הִקְדִּישׁ הַמֶּלֶךְ אֶת־תּוֹךְ הֶחָצֵר אֲשֶׁר לִפְנֵי בֵּית־יְהוָה
その日 その 聖別した 王は 中庭の ～を 庭を ～の 前の 宮の 主の
H1931 H3117 H6942 H4428 H8432 H0853 H2691 H0834 H6440 H1004 H3068

כִּי־עָשָׂה שָׁם אֶת־הָעֹלָה וְאֶת־הַמִּנְחָה וְאֶת־חֲלֵבֵי הַשְּׁלָמִים
なぜなら ささげた そこで ～を 全焼の－ささげ物と そして－～を 穀物の－ささげ物と そして－～を
H3588 H6213 H8033 H0853 H5930 H0853 H4503 H0853 H8002

כִּי־מִזְבַּח הַנְּחֹשֶׁת אֲשֶׁר לִפְנֵי יְהוָה קָטֹן מֵהָכִיל אֶת־הָעֹלָה וְאֶת־הַמִּנְחָה וְאֶת־חֲלֵבֵי הַשְּׁלָמִים׃
なぜなら 青銅の－祭壇は 青銅の 前の 主の 小さすぎた 容れるには ～を 全焼の－ささげ物と そして－～を 穀物の－ささげ物と そして－～を 脂肪を 和解の－いけにえの
H3588 H4196 H5178 H6440 H3068 H6994 H4480 H3557 H0853 H5930 H0853 H4503 H0853 H2459 H8002

その日、王は主の宮の前にある庭の中を聖別し、その所で燔祭と素祭と酬恩祭の脂肪をささげた。これは主の前にある青銅の祭壇が素祭と酬恩祭の脂肪とを受けるに足りなかったからである。

65 וַיַּעַשׂ שְׁלֹמֹה בָּעֵת־הַהִיא אֶת־הֶחָג וְכָל־יִשְׂרָאֵל עִמּוֹ קָהָל גָּדוֹל מִלְּבוֹא חֲמָת עַד־נַחַל מִצְרַיִם
そして－祝った ソロモンは その－時 その ～を 祭りを そして－すべての イスラエルは 彼と－共に 大きな 大きな－集会 レボ・ハマテから ハマトの ～まで エジプトの－川まで エジプトの
H6213 H8010 H6256 H1931 H0853 H2282 H3605 H3478 H5973 H1419 H4172 H2574 H5704 H5158 H4714

לִפְנֵי יְהוָה אֱלֹהֵינוּ שִׁבְעַת יָמִים וְשִׁבְעַת יָמִים שִׁבְעִים יוֹם׃
～の－前で 主 ～の－前で 私たちの－神の 七日間と 日間 そして－七日間 日間 四 日であった
H6440 H3068 H6440 H0430 H7651 H3117 H7651 H3117 H6240 H3117

その時ソロモンは七日の間われわれの神、主の前に祭を行った。ハマテの入口からエジプトの川に至るまでのすべてのイスラエルびとの大いなる会衆が彼と共にいた。

66 בַּיּוֹם הַשְּׁמִינִי שִׁלַּח אֶת־הָעָם וַיְבָרְכוּ אֶת־הַמֶּלֶךְ וַיֵּלְכוּ לְאָהֳלֵיהֶם שְׂמֵחִים וְטֹבֵי לֵב עַל כָּל־הַטּוֹבָה אֲשֶׁר
八日目に 八の 送り出した ～を 民を そして－祝福した ～を 王を そして－行った 彼らの－天幕へ 喜び 心が ～の－ゆえに すべての 良い－ことの ～の
H3117 H8066 H7971 H0853 H5971 H1288 H0853 H4428 H3212 H0168 H8056 H3820 H5921 H3605 H2896 H0834

עָשָׂה יְהוָה לְדָוִד עַבְדּוֹ וּלְיִשְׂרָאֵל עַמּוֹ׃
なされた 主が ダビデに その－しもべに そして－イスラエルに その－民に
H6213 H3068 H1732 H5650 H3478 H5971

八日目にソロモンは民を帰らせた。民は王を祝福し、主がそのしもべダビデと、その民イスラエルとに施されたもろもろの恵みを喜び、心に楽しんでその天幕に帰って行った。

Chapter 9

1
וַיְהִי כְּכַלּוֹת שְׁלֹמֹה לִבְנוֹת אֶת־בֵּית יְהוָה וְאֶת־
そして-あった 終えた-時 ソロモンが 建てることを ～を 主の 主の-宮と ～を
H1961 H3615 H8010 H8010 H0853 H3068 H0853

בֵּית הַמֶּלֶךְ וְאֵת כָּל־חֶפְצוֹ שְׁלֹמֹה אֲשֶׁר חָפֵץ לַעֲשׂוֹת׃ פ
王の 王の-家と すべての ソロモンの ～の 望んだ 行うことを
H4428 H3605 H8010 H2837

ソロモンが主の宮と王の宮殿およびソロモンが建てようと望んだすべてのものを建て終った時、

2
וַיֵּרָא יְהוָה אֶל־שְׁלֹמֹה שֵׁנִית כַּאֲשֶׁר נִרְאָה אֵלָיו בְּגִבְעוֹן׃
そして-現れた 主が ～に ソロモンに 二度目に ～の-ように 現れた 彼に ギブオンで
H7200 H3068 H0413 H8010 H8145 H7200 H0413 H1391

主はかつてギベオンでソロモンに現れられたように再び現れて、

3
וַיֹּאמֶר יְהוָה אֵלָיו שָׁמַעְתִּי אֶת־תְּפִלָּתְךָ וְאֶת־
そして-言われた 主は 彼に わたしは-聞いた ～を あなたの-祈りと ～を
H0559 H3068 H0413 H8085 H0853 H8605 H0853

תְּחִנָּתְךָ אֲשֶׁר הִתְחַנַּנְתָּה לְפָנָי הִקְדַּשְׁתִּי אֶת־הַבַּיִת הַזֶּה
あなたの-願いを ～の あなたが-願い求めた わたしの-前で わたしは-聖別した ～を この-宮を
H8467 H2603 H6440 H6942 H0853 H1004

לָשׂוּם שְׁמִי שָׁם עַד־עוֹלָם וְהָיוּ עֵינַי וְלִבִּי שָׁם כָּל־הַיָּמִים׃
置くために わが-名を そこに ～まで 永遠に そして-ある わたしの-目と そして-わたしの-心が そこに すべての 日々
H7760 H8034 H8033 H5704 H5769 H1961 H5869 H3820 H8033 H3605 H3117

彼に言われた、「あなたが、わたしの前に願った祈と願いとを聞いた。わたしはあなたが建てたこの宮を聖別して、わたしの名を永久にそこに置く。わたしの目と、わたしの心は常にそこにあるであろう。

4
וְאַתָּה אִם־תֵּלֵךְ לְפָנַי כַּאֲשֶׁר הָלַךְ דָּוִיד אָבִיךָ בְּתֹם־לֵבָב
そして-あなたが もし 歩むならば わたしの-前を ～の-ように 歩んだ ダビデ あなたの-父が 誠実な 心で
H3212 H6440 H1980 H1732 H0001 H8537 H3824

וּבְיֹשֶׁר לַעֲשׂוֹת כְּכֹל אֲשֶׁר צִוִּיתִיךָ חֻקַּי וּמִשְׁפָּטַי תִּשְׁמֹר׃
そして-正しさで 行い すべてを ～の わたしが-命じた わたしの-掟と 守るならば そして-わたしの-定めを
H3476 H6213 H3605 H6680 H2706 H8104 H4941

あなたがもし、あなたの父ダビデが歩んだように全き心をもって正しくわたしの前に歩み、すべてわたしが命じたようにおこなって、わたしの定めと、おきてとを守るならば、

5
וַהֲקִמֹתִי אֶת־כִּסֵּא מַמְלַכְתְּךָ עַל־יִשְׂרָאֵל לְעֹלָם
そして-わたしは-堅くする ～を 王座を 王国の-あなたの ～の-上に イスラエルの 永遠に
H6965 H0853 H3678 H4467 H5921 H3478 H5769

כַּאֲשֶׁר דִּבַּרְתִּי לְאָמֹר לֹא־יִכָּרֵת לְךָ אִישׁ מֵעַל כִּסֵּא יִשְׂרָאֵל׃
～の-通りに わたしが-語った ～について ダビデ あなたの-父に こう-言って 絶えることはない
H1696 H1732 H0001 H0559 H3808

人が あなたには 絶えない 王座の イスラエルの
H0376 H3772 H3678 H3478

わたしは、あなたの父ダビデに約束して『イスラエルの王位にのぼる人があなたに欠けることはないであろう』と言ったように、あなたのイスラエルに王たる位をながく確保するであろう。

מֵאַחֲרַי	וּבְנֵיכֶם	אַתֶּם	תְּשֻׁבוּן	שׁוֹב	אִם־	6
わたしに–従わず	そして–あなたがたの–子らが	あなたがたと	背くならば	背く–ならば	もし	
			H7725	H7725		

לִפְנֵיכֶם	נָתַתִּי	אֲשֶׁר	חֻקֹּתַי	מִצְוֹתַי	תִּשְׁמְרוּ	וְלֹא
あなたがたの–前に	わたしが–与えた	～の	わたしの–掟を	わたしの–戒めと	守らず	そして–守らず
H6440	H5414		H2708	H4687	H8104	H3808

לָהֶם׃	וְהִשְׁתַּחֲוִיתֶם	אֱלֹהִים	אֱלֹהֵי	וַעֲבַדְתֶּם	וְהָלַכְתֶּם
それらに	そして–ひれ伏すならば	ほかの	ほかの–神々に	そして–仕えて	そして–行き
	H7812	H0312	H0430	H5647	H1980

しかし、あなたがた、またはあなたがたの子孫がそむいてわたしに従わず、わたしがあなたがたの前に置いた戒めと定めとを守らず、他の神々に行って、それに仕え、それを拝むならば、

נָתַתִּי	אֲשֶׁר	הָאֲדָמָה	פְּנֵי	מֵעַל	יִשְׂרָאֵל	אֶת־	וְהִכְרַתִּי	7
わたしが–与えた	～の	地の	面から	～の–上から	イスラエルを	～を	そして–わたしは–断つ	
H5414		H0127	H6440		H3478	H0853	H3772	

מֵעַל	אֲשַׁלַּח	לִשְׁמִי	הִקְדַּשְׁתִּי	אֲשֶׁר	הַבַּיִת	וְאֶת־	לָהֶם
～の–前から	追い払う	わが–名の–ために	わたしが–聖別した	～の	宮を	そして–～を	彼らに
	H7971	H8034	H6942			H0853	

הָעַמִּים׃	בְּכָל־	וְלִשְׁנִינָה	לְמָשָׁל	יִשְׂרָאֵל	וְהָיָה	פָּנָי
民の–中で	すべての	そして–嘲りの–的に	ことわざと	イスラエルは	そして–なる	わたしの
	H3605	H8148	H4912	H3478	H1961	H6440

わたしはイスラエルを、わたしが与えた地のおもてから断つであろう。またわたしの名のために聖別した宮をわたしの前から投げすてるであろう。そしてイスラエルはもろもろの民のうちにことわざとなり、笑い草となるであろう。

וְשָׁרָק	יִשֹּׁם	עָלָיו	עֹבֵר	כָּל־	עִלִּיוֹן	יִהְיֶה	הַזֶּה	וְהַבַּיִת	8
そして–嘲り	驚き	そばを	通る–者は	すべての	廃墟に	なる	この	そして–この–宮は	
H8319	H8074			H3605		H1961	H2088		

וְלַבָּיִת	הַזֹּאת	לָאָרֶץ	כָּכָה	יְהוָה	עָשָׂה	מָה	עַל־	וְאָמְרוּ
そして–この–宮に	この	この–地に	このように	主は	なされた	なぜ	～について	そして–言う
	H2063	H0776	H3602	H3068		H4100		H0559

הַזֶּה׃
この
H2088

かつ、この宮は荒塚となり、そのかたわらを過ぎる者は皆驚き、うそぶいて『なにゆえ、主はこの地と、この宮とにこのようにされたのか』と言うであろう。

9 וְאָמְרוּ עַל אֲשֶׁר עָזְבוּ אֶת־יְהוָה אֱלֹהֵיהֶם אֲשֶׁר
そして-答える ～の-ゆえに 彼らが-捨てた 主を ～を 彼らの-神を ～の-方が
H0559 H0853 H3068 H0430

הוֹצִיא אֶת־אֲבֹתָם מֵאֶרֶץ מִצְרַיִם וַיַּחֲזִקוּ בֵּאלֹהִים
導き出した ～を 彼らの-先祖たちを ～の-地から エジプトの そして-しがみついた ほかの-神々に
H3318 H0853 H0001 H0776 H4714 H2388 H0430

אֲחֵרִים וישתחון (וַיִּשְׁתַּחֲווּ) לָהֶם וַיַּעַבְדֵם כֵּן עַל־
ほかの そして-ひれ伏し ひれ伏し それらに そして-仕えた それ ～の-ゆえに
H0312 H7812 H7812 H5647 H0935

פ הַזֹּאת׃ הָרָעָה כָּל־ אֵת עֲלֵיהֶם יְהוָה
— この この-災いを すべての ～を 彼らの-上に 主が
H2063 H3605 H0853 H3068

その時人々は答えて『彼らは自分の先祖をエジプトの地から導き出した彼らの神、主を捨てて、他の神々につき従い、それを拝み、それに仕えたために、主はこのすべての災を彼らの上に下したのである』と言うであろう」。

10 וַיְהִי מִקְצֵה עֶשְׂרִים שָׁנָה אֲשֶׁר־ בָּנָה שְׁלֹמֹה אֵת־ שְׁנֵי הַבָּתִּים
そして-あった ～の-終わりに 二十 年の ～の 建てた ソロモンが ～を 二つの 建物を
H1961 H6242 H8141 H1129 H8010 H0853 H8147

אֵת־ בֵּית יְהוָה וְאֶת־ בֵּית הַמֶּלֶךְ׃
～を 主の-宮と ～を そして-～を 王の-家を 王の
H0853 H3068 H0853 H4428

ソロモンは二十年を経て二つの家すなわち主の宮と王の宮殿とを建て終った時、

11 חִירָם מֶלֶךְ־ צֹר נָשָׂא לִשְׁלֹמֹה אֶת־ בַּעֲצֵי אֲרָזִים וּבַעֲצֵי
ヒラムは 王 ツロの 助けた ～を ソロモンを 杉の-木と 杉の 杉の-木と そして-糸杉の-木と
H2438 H4428 H6865 H5375 H0853 H8010 H6086 H0730 H6086

בְרוֹשִׁים לְחִירָם שְׁלֹמֹה יִתֵּן הַמֶּלֶךְ בְּעֵת חֶפְצוֹ לְכָל־ וּבַזָּהָב
糸杉の ヒラムに ソロモンは 与えた 王 その-時 望みの-ために すべての そして-金で
H1265 H2438 H8010 H5414 H4428 H2656 H3605 H2091

עֶשְׂרִים עִיר בְּאֶרֶץ הַגָּלִיל׃
二十の 町を ～の-地の ガリラヤの
H6242 H0776 H1551

ツロの王ヒラムがソロモンの望みに任せて香柏と、いとすぎと、金とを供給したので、ソロモン王はガリラヤの地の町二十をヒラムに与えた。

12 וַיֵּצֵא חִירָם מִצֹּר לִרְאוֹת אֶת־ הֶעָרִים אֲשֶׁר נָתַן־ לוֹ שְׁלֹמֹה
そして-出て来た ヒラムは ツロから 見るために ～を 町々を ～の 与えた 彼に ソロモンが
H3318 H2438 H6865 H7200 H0853 H5414 H8010

וְלֹא יָשְׁרוּ בְּעֵינָיו׃
しかし-気に入らなかった 気に入らなかった 彼の-目に
H3808 H3474

しかしヒラムがツロから来て、ソロモンが彼に与えた町々を見たとき、それらは彼の気にいらなかったので、

13 וַיֹּאמֶר מָה הָעָרִים הָאֵלֶּה אֲשֶׁר־ נָתַתָּה לִּי אָחִי
そして-言った 何だ これらの-町は これらの ～の あなたが-与えた 私に わが-兄弟よ
H0559 H4100 H0428 H5414 H0251

פ הַזֶּה׃ הַיּוֹם עַד כָּבּוּל אֶרֶץ לָהֶם וַיִּקְרָא
— この 今日 ～まで カブルの カブルの-地と それらを そして-呼んだ
H2088 H3117 H5704 H3521 H0776 H7121

彼は、「兄弟よ、あなたがくださったこれらの町々は、いったいなんですか」と言った。それで、そこは今日までカブルの地と呼ばれている。

14 וַיִּשְׁלַח חִירָם לַמֶּלֶךְ מֵאָה וְעֶשְׂרִים ככר [כִּכַּר] זָהָב׃
そして-送った ヒラムは 王に 百 二十 タラントの 金を
H7971 H2438 H4428 H3967 H6242 H3603 H2091

ヒラムはかつて金百二十タラントを王に贈った。

15 וְזֶה דְּבַר־ אֲשֶׁר הַמַּס הֶעֱלָה הַמֶּלֶךְ שְׁלֹמֹה לִבְנוֹת
そして-これが 理由である 徴用の ～の 課した 王 ソロモンが 建てるために ～を
H2088 H1697 H4522 H5927 H4428 H8010 H1129 H0853

אֶת־ בֵּית יְהוָה וְאֶת־ בֵּיתוֹ וְאֶת־ הַמִּלּוֹא וְאֶת־ חוֹמַת יְרוּשָׁלִַם
～を 主の 主の-宮と そして-～を 彼の-家と そして-～を ミロと そして-～を 城壁を エルサレムの
H0853 H3068 H1004 H0853 H0853 H4407 H0853 H2346 H3389

וְאֶת־ חָצֹר וְאֶת־ מְגִדּוֹ וְאֶת־ גָּזֶר׃
そして-～を ハツォルと そして-～を メギドと そして-～を ゲゼルを
H0853 H2674 H0853 H4023 H0853 H1507

ソロモン王が強制的に労働者を徴募したのはこうである。すなわち主の宮と自分の宮殿と、ミロとエルサレムの城壁と、ハゾルとメギドとゲゼルを建てるためであった。

16 וּפַרְעֹה מֶלֶךְ־ מִצְרַיִם עָלָה וַיִּלְכָּד וַיִּשְׂרְפָהּ בָּאֵשׁ וְאֶת־ הַכְּנַעֲנִי הַיֹּשֵׁב בָּעִיר הָרָג וַיִּתְּנָהּ לְשִׁלֻּחִים לִבְתּוֹ
そして-与えた 贈り物として 彼の-娘に 火で ～を そして-～を カナン人を 住んでいた 町に 殺した そして-攻め取った 上って来て エジプトの 王 パロは
H5414 H7964 H1323 H0784 H0853 H3427 H2026 H3920 H5927 H4714 H4428 H6547

אֵשֶׁת׃ שְׁלֹמֹה
妻である ソロモンの
H0802 H8010

（エジプトの王パロはかつて上ってきて、ゲゼルを取り、火でこれを焼き、その町に住んでいたカナンびとを殺し、これをソロモンの妻である自分の娘に与えて婚姻の贈り物としたので、

17 וַיִּבֶן שְׁלֹמֹה אֶת־ גֶּזֶר וְאֶת־ בֵּית חוֹרֹן תַּחְתּוֹן׃
そして-建てた ソロモンは ～を ゲゼルと そして-～を 下-ベテ・ホロンを 下
H1129 H8010 H0853 H1507 H0853 H1032 H8481

ソロモンはそのゲゼルを建て直した）。また下ベテホロンと、

18 וְאֶת־ בַּעֲלָת וְאֶת־ תדמר [תמר] (תַּדְמֹר) בַּמִּדְבָּר בָּאָרֶץ׃
そして-～を バアラテと そして-～を タドモルを タドモルを 荒野の 地に
H0853 H1191 H0853 H8559 H8412 H4057 H0776

バアラテとユダの国の荒野にあるタマル、

19 וְאֶת כָּל־ עָרֵי הַמִּסְכְּנוֹת אֲשֶׁר הָיוּ לִשְׁלֹמֹה וְאֶת
そして-～を ソロモンの あった ～の 倉庫の 倉庫の-町と すべての そして-～を
H0853 H8010 H1961 H0834 H4543 H5892 H3605 H0853

עָרֵי הָרֶכֶב וְאֶת עָרֵי הַפָּרָשִׁים וְאֵת חֶשֶׁק שְׁלֹמֹה אֲשֶׁר
戦車の 戦車の-町と そして-～を 騎兵の 騎兵の-町と そして-～を 望みを ソロモンの ～の
H7393 H7138 H0853 H6571 H5468 H0853 H2837 H8010 H0834

בִּירוּשָׁלִַם וּבַלְּבָנוֹן וּבְכֹל אֶרֶץ מֶמְשַׁלְתּוֹ׃
エルサレムと そして-レバノンと そして-すべての 地で 彼の-支配の
H3389 H3844 H3605 H0776 H4475

לִבְנוֹת חָשַׁק
建てることを 望んだ
H1129 H2836

およびソロモンが持っていた倉庫の町々、戦車の町々、騎兵の町々ならびにソロモンがエルサレム、レバノンおよびそのすべての領地において建てようと望んだものをことごとく建てるためであった。

הַחִוִּי	הַפְּרִזִּי	הַחִתִּי	הָאֱמֹרִי	מִן־	הַנּוֹתָר	הָעָם	כָּל־
ヒビ人と	ペリジ人と	ヒッタイト人と	アモリ人と	～の	残った	民	すべての
H2340	H6522	H2850	H0567		H3498		H3605

20

הֵמָּה׃	יִשְׂרָאֵל	מִבְּנֵי	לֹא־	אֲשֶׁר	וְהַיְבוּסִי
者たち	イスラエルの	～の–子らの	～でない	～の	そして–エブス人の
H1992	H3478		H3808		H2983

すべてイスラエルの子孫でないアモリびと、ヘテびと、ペリジびと、ヒビびと、エブスびとの残った者、

יָכְלוּ	לֹא־	אֲשֶׁר	בָּאָרֶץ	אַחֲרֵיהֶם	נוֹתְרוּ	אֲשֶׁר	בְּנֵיהֶם
できなかった	できなかった	～を	地に	彼らの–後に	残っていた	～の	彼らの–子らで
H3201	H3808		H0776		H3498		

21

לְמַס־	שְׁלֹמֹה	וַיַּעַל	לְהַחֲרִימָם	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי	
苦役に	ソロモンは	そして–徴用した	滅ぼし尽くすことが	イスラエルの	イスラエルの–子らが	
H4522	H8010	H5927		H3478		

הַזֶּה׃	הַיּוֹם	עַד	עֹבֵד
この	今日	～まで	労働者として
H2088	H3117	H5704	H5647

その地にあって彼らのあとに残った子孫すなわちイスラエルの人々の滅ぼしつくすことのできなかった者を、ソロモンは強制的に奴隷として徴募をおこない、今日に至っている。

כִּי־	עֹבֵד	שְׁלֹמֹה	נָתַן	לֹא־	יִשְׂרָאֵל	וּמִבְּנֵי	
なぜなら	奴隷に	ソロモンは	しなかった	しなかった	イスラエルの	しかし–～の–子らからは	
	H5650	H8010	H5414	H3808	H3478		

22

וְשָׂרָיו	וַעֲבָדָיו	הַמִּלְחָמָה	אַנְשֵׁי	הֵם	
そして–彼の–つかさたちであり	そして–彼の–しもべたちであり	戦いの	戦士であり	彼らは	
H8269	H5650	H4421	H0376	H1992	

ס	וּפָרָשָׁיו׃	רִכְבּוֹ	וְשָׂרֵי	וְשָׁלִשָׁיו	
—	そして–騎兵の	戦車の	そして–長たちであった	そして–彼の–副官たちであり	
		H7393	H8269		

しかしイスラエルの人々をソロモンはひとりも奴隷としなかった。彼らは軍人、また彼の役人、司令官、指揮官、戦車隊長、騎兵隊長であったからである。

וַחֲמִשִּׁים	חֲמִשִּׁים	לִשְׁלֹמֹה	הַמְּלָאכָה	עַל־	אֲשֶׁר	הַנִּצָּבִים	שָׂרֵי	וְאֵלֶּה
五十	五百	ソロモンの	工事の	～の–上に	～の	監督の	長たちであった	これらが
H2568	H2572	H8010	H4399			H5324	H8269	H0428

23

בַּמְּלָאכָה׃	הָעֹשִׂים	בָּעָם	הָרֹדִים	מֵאוֹת
工事の	働く–者たちを	民を	治めていた	人で
H4399				H3967

ソロモンの工事を監督する上役の官吏は五百五十人であって、工事に働く民を治めた。

אֲשֶׁר	בֵּיתָהּ	אֶל־	דָּוִד	מֵעִיר	עָלְתָה	פַּרְעֹה	בַּת־	אַךְ	
～の	彼女の–家に	～へ	ダビデの	ダビデの–町から	上って来た	パロの	パロの–娘は	しかし	
		H0413	H1732		H5927	H6547	H1323	H0389	

24

הַמִּלּוֹא׃	אֵת־	בָּנָה	אָז	לָהּ	בָּנָה־
ミロを	～を	建てた	その–時	彼女の–ために	建てた
H4407	H0853	H1129			H1129

パロの娘はダビデの町から上って、ソロモンが彼女のために建てた家に住んだ。その時ソロモンはミロを建てた。

וּשְׁלָמִים
そして–和解の–ささげ物を
H8002

עֹלוֹת
全焼の–ささげ物と

בַּשָּׁנָה
年に
H8141

פְּעָמִים
度
H6471

שָׁלֹשׁ
三
H7969

שְׁלֹמֹה
ソロモンは
H8010

וְהֶעֱלָה
そして–ささげた
H5927

25

לִפְנֵי
～の–前の
H6440

אֲשֶׁר
～の

אִתּוֹ
共に
H0854

וְהַקְטִיר
そして–香を–焚いた

לַיהוָה
主の–ために
H3068

בָּנָה
建てた
H1129

אֲשֶׁר
～の

הַמִּזְבֵּחַ
祭壇の
H4196

עַל־
～の–上に

הַבָּיִת׃
宮を

אֶת־
～を
H0853

וְשִׁלֵּם
そして–完成させた

יְהוָה
主の
H3068

ソロモンは主のために築いた祭壇の上に年に三度燔祭と酬恩祭をささげ、また主の前に香をたいた。こうしてソロモンは宮を完成した。

אֳנִיּוֹת
エロテの

אֶת־
～の–近くの
H0854

אֲשֶׁר
～の

בְּעֶצְיוֹן־גֶּבֶר
エツヨン・ゲベルで
H6100

שְׁלֹמֹה
ソロモンは
H8010

הַמֶּלֶךְ
王
H4428

עָשָׂה
造った

וָאֳנִי
そして–船を
H0590

26

אֱדוֹם׃
エドムの
H0123

בְּאֶרֶץ
～の–地で
H0776

סוּף
紅海の
H5488

יַם־
紅海の
H3220

שְׂפַת
岸辺に
H8193

עַל־
～の–岸辺に

ソロモン王はエドムの地、紅海の岸のエラテに近いエジオン・ゲベルで数隻の船を造った。

הַיָּם
海の
H3220

יֹדְעֵי
海を–知る
H3045

אֳנִיּוֹת
船の
H0591

אֳנָשֵׁי
船乗りの
H0376

עֲבָדָיו
彼の–しもべたちを
H5650

אֶת־
～を
H0853

בָּאֳנִי
船に
H0590

חִירָם
ヒラムは
H2438

וַיִּשְׁלַח
そして–送った
H7971

27

שְׁלֹמֹה׃
ソロモンの
H8010

עַבְדֵי
しもべたちと
H5650

עִם
～と–共に

ヒラムは海の事を知っている船員であるそのしもべをソロモンのしもべと共にその船でつかわした。

כִּכָּר
タラントを
H3603

וְעֶשְׂרִים
二十
H6242

מֵאוֹת
百
H3967

אַרְבַּע־
四百
H0702

זָהָב
金を
H2091

מִשָּׁם
そこから
H8033

וַיִּקְחוּ
そして–取った
H3947

אוֹפִירָה
オフィルに
H0211

וַיָּבֹאוּ
そして–行った
H0935

28

פ
—

שְׁלֹמֹה׃
ソロモンに
H8010

הַמֶּלֶךְ
王
H4428

אֶל־
～に
H0413

וַיָּבִאוּ
そして–持ち帰った
H0935

彼らはオフルへ行って、そこから金四百二十タラントを取って、ソロモン王の所にもってきた。

Chapter 10

יְהוָה
主の
H3068

לְשֵׁם
～の–御名の–ゆえに
H8034

שְׁלֹמֹה
ソロモンの
H8010

שָׁמַע
評判を

אֶת־
～を
H0853

שִׁמְעַת
聞いて
H8085

שְׁבָא
シェバの
H7614

וּמַלְכַּת־
そして–シェバの–女王は
H4436

1

בִּחִידוֹת׃
謎をもって
H2420

לְנַסֹּתוֹ
試すために
H5254

וַתָּבֹא
そして–来た
H0935

シバの女王は主の名にかかわるソロモンの名声を聞いたので、難問をもってソロモンを試みようとたずねてきた。

2

וְזָהָב בְּשָׂמִים נְשָׂאִים גְּמַלִּים מְאֹד כֶּבֶד בְּחַיִל יְרוּשָׁלַ͏ִם וַתָּבֹא
そして-金と 香料と 運ばせた らくだに 非常に 重い 隊列を-もって エルサレムに そして-来た
H2091 H1314 H5375 H1581 H3966 H3515 H2428 H3389 H0935

אֶלָּיו וַתְּדַבֵּר שְׁלֹמֹה אֶל־ וַתָּבֹא יְקָרָה וְאֶבֶן רַב־ מְאֹד
彼に そして-語った ソロモンの ～の-もとに そして-来て 貴い そして-宝石を 非常に 多くの
H0413 H1696 H8010 H0413 H0935 H3368 H0068 H3966

לִבָּהּ׃ עִם־ הָיָה אֲשֶׁר כָּל־ אֶת
彼女の-心の ～の-中に あった ～の すべてを ～を
H3824 H1961 H3605 H0853

彼女は多くの従者を連れ、香料と、たくさんの金と宝石とをらくだに負わせてエルサレムにきた。彼女はソロモンのもとにきて、その心にあることをことごとく彼に告げたが、

3

דָּבָר הָיָה לֹא־ דְּבָרֶיהָ כָּל־ אֶת־ שְׁלֹמֹה לָהּ וַיַּגֶּד־
事柄は なかった なかった 彼女の-問いを すべての ～を ソロモンは 彼女に そして-告げた
H1697 H1961 H3808 H1697 H3605 H0853 H8010 H5046

לָהּ׃ הִגִּיד לֹא אֲשֶׁר הַמֶּלֶךְ מִן־ נֶעְלָם
彼女に 告げなかった 告げなかった ～の 王から ～から 隠された
H5046 H3808 H4428 H5956

ソロモンはそのすべての問に答えた。王が知らないで彼女に説明のできないことは一つもなかった。

4

אֲשֶׁר וְהַבַּיִת שְׁלֹמֹה חָכְמַת כָּל־ אֶת שְׁבָא מַלְכַּת־ וַתֵּרֶא
～の そして-宮を ソロモンの 知恵を すべての ～を シェバの シェバの-女王は そして-見た
H8010 H2451 H3605 H0853 H7614 H4436 H7200

בָּנָה׃
彼が-建てた
H1129

シバの女王はソロモンのもろもろの知恵と、ソロモンが建てた宮殿、

5

וּמַעֲמַד עֲבָדָיו֙ וּמוֹשַׁב שֻׁלְחָנוֹ וּמַאֲכַל
そして-立ち振る舞いと 彼の-しもべたちの そして-座席と 彼の-食卓の そして-食卓の-食べ物と
H4612 H5650 H4186 H7979 H3978

וְעֹלָתוֹ וּמַשְׁקֵיהֶם֙ וּמַלְבּוּשֵׁיהֶם֙ מְשָׁרְתָיו֙) (משרתון
そして-彼の-ささげ物を そして-彼の-杯と そして-彼らの-衣服と 仕える者たちの 彼の-仕える者たちの
H4403 H8334 H8334

רוּחַ׃ עוֹד בָּהּ הָיָה וְלֹא־ יְהוָה בֵּית יַעֲלֶה אֲשֶׁר
息が もはや 彼女に なかった もはや-なかった 主の 主の-宮で ささげた ～の
H7307 H5750 H1961 H3808 H3068 H5927

その食卓の食物と、列座の家来たちと、その侍臣たちの伺候ぶり、彼らの服装と、彼の給仕たち、および彼が主の宮でささげる燔祭を見て、全く気を奪われてしまった。

6

בְּאַרְצִי שָׁמַעְתִּי אֲשֶׁר הַדָּבָר הָיָה אֱמֶת הַמֶּלֶךְ אֶל־ וַתֹּאמֶר
わが-国で 私が-聞いた ～の その-言葉は であった 真実 王に ～に そして-言った
H0776 H8085 H1697 H1961 H0571 H4428 H0413 H0559

חָכְמָתֵךְ׃ וְעַל־ דְּבָרַיִךְ עַל־
あなたの-知恵について そして-～について あなたの-言葉と ～について
H2451 H1697

彼女は王に言った、「わたしが国であなたの事と、あなたの知恵について聞いたことは真実でありました。

7 וְלֹא־ הֶאֱמַנְתִּי לַדְּבָרִים עַד־ אֲשֶׁר־ בָּאתִי וַתִּרְאֶינָה עֵינָי
そして–信じなかった 信じなかった その–言葉を ～まで ～の 私が–来て そして–見た わが–目が
H3808 H0539 H1697 H5704 H0935 H7200

וְהִנֵּה הוֹסַפְתָּ חֲצִי לִי הֻגַּד־ לֹא־ וְהִנֵּה
すると–見よ 半分も 私に 告げられていなかった 告げられて–いなかった あなたは–まさっていた
H2009 H2677 H5046 H3808 H3254

חָכְמָה וְטוֹב אֶל־ הַשְּׁמוּעָה אֲשֶׁר שָׁמָעְתִּי׃
知恵と そして–良さにおいて ～に–まさって 評判に ～の 私が–聞いた
H2451 H8085 H0413 H8052 H8085

しかしわたしがきて、目に見るまでは、その言葉を信じませんでしたが、今見るとその半分もわたしは知らされていなかったのです。あなたの知恵と繁栄はわたしが聞いたうわさにまさっています。

8 אַשְׁרֵי אֲנָשֶׁיךָ אַשְׁרֵי עֲבָדֶיךָ אֵלֶּה הָעֹמְדִים
幸いなことよ あなたの–人々は 幸いなことよ あなたの–しもべたちは これらの 立っている–者たちは
H0835 H0376 H0835 H5650 H0428 H5975

לְפָנֶיךָ תָּמִיד הַשֹּׁמְעִים אֶת־ חָכְמָתֶךָ׃
あなたの–前に 常に 聞く–者たちは ～を あなたの–知恵を
H6440 H8548 H8085 H0853 H2451

あなたの奥方たちはさいわいです。常にあなたの前に立って、あなたの知恵を聞く家来たちはさいわいです。

9 יְהִי יְהוָה אֱלֹהֶיךָ בָּרוּךְ אֲשֶׁר חָפֵץ בְּךָ לְתִתְּךָ
あられるように 主 あなたの–神は ほむべきかな ～の–方が 喜ばれた あなたを 置くことを
H1961 H3068 H0430 H1288 H0834 H2654 H0853 H5414

עַל־ כִּסֵּא יִשְׂרָאֵל לְעֹלָם בְּאַהֲבַת יְהוָה אֶת־ יִשְׂרָאֵל
～の–上に 王座に イスラエルの ～の–愛の–ゆえに 主の ～を イスラエルへの 永遠の
H5921 H3678 H3478 H0160 H3068 H0853 H3478 H5769

וַיְשִׂימְךָ לְמֶלֶךְ לַעֲשׂוֹת מִשְׁפָּט וּצְדָקָה׃
そして–立てられた 王として 行うために 正義と そして–公正を
H7760 H4428 H6213 H4941 H6666

あなたの神、主はほむべきかな。主はあなたを喜び、あなたをイスラエルの位にのぼらせられました。主は永久にイスラエルを愛せられるゆえ、あなたを王として公道と正義とを行わせられるのです」。

10 וַתִּתֵּן לַמֶּלֶךְ מֵאָה וְעֶשְׂרִים כִּכַּר זָהָב וּבְשָׂמִים הַרְבֵּה מְאֹד
そして–与えた 王に 百 二十 タラントの 金と そして–香料を 非常に 多く
H5414 H4428 H3967 H6242 H3603 H2091 H1314 H3966

וְאֶבֶן יְקָרָה לֹא־ בָא כַּבֹּשֶׂם הַהוּא עוֹד לֹא־ רַב אֲשֶׁר־
そして–宝石を 貴い 来なかった 来なかった その–香料ほどの–ものは もう 多くは ～の
H0068 H3368 H0935 H3808 H1314 H1931 H5750 H7230

נָתְנָה מַלְכַּת־ שְׁבָא לַמֶּלֶךְ שְׁלֹמֹה׃
与えた シェバの–女王が シェバの 王 ソロモンに
H5414 H4436 H7614 H4428 H8010

そして彼女は金百二十タラントおよび多くの香料と宝石とを王に贈った。シバの女王がソロモン王に贈ったような多くの香料は再びこなかった。

11 וְגַם חִירָם אֲשֶׁר־נָשָׂא זָהָב מֵאוֹפִיר הֵבִיא
そして–また ヒラムの 運んだ 金を オフィルから もたらした
H1571 H2438 H5375 H2091 H0211 H0935

מֵאֹפִיר עֲצֵי אַלְמֻגִּים הַרְבֵּה מְאֹד וְאֶבֶן יְקָרָה׃
オフィルから 白檀の–木を 非常に 多く そして–宝石を 貴い
H0211 H6086 H0484 H7235 H3966 H0068 H3368

オフルから金を載せてきたヒラムの船は、またオフルからたくさんのびゃくだんの木と宝石とを運んできたので、

12 וַיַּעַשׂ הַמֶּלֶךְ אֶת־עֲצֵי הָאַלְמֻגִּים מִסְעָד לְבֵית־יְהוָה
そして–造った 王は ～を 白檀の–木で 白檀の 欄干を 主の–宮の–ために 主の
H1961 H4428 H0853 H6086 H0484 H4552 H1004 H3068

וְלְבֵית הַמֶּלֶךְ וְכִנֹּרוֹת וְנְבָלִים לַשָּׁרִים לֹא
そして–王の–宮の–ために 王の 琴と そして–竪琴を 歌い手たちの–ために 来なかった
H1004 H4428 H3658 H5035 H7891 H3808

נִרְאָה עַד הַיּוֹם וְלֹא אַלְמֻגִּים עֲצֵי כֵּן בָּא־
見られなかった ～まで 今日 そして–見られなかった 白檀の 白檀の–木は そのような 来なかった
H7200 H5704 H3117 H3808 H0484 H6086 H0935

הַזֹּה׃
この
H2088

王はびゃくだんの木をもって主の宮と王の宮殿のために壁柱を造り、また歌う人々のために琴と立琴とを造った。このようなびゃくだんの木は、かつてきたこともなく、また今日まで見たこともなかった。

13 וְהַמֶּלֶךְ שְׁלֹמֹה נָתַן לְמַלְכַּת־שְׁבָא אֶת־כָּל־חֶפְצָהּ אֲשֶׁר
そして–王 ソロモンは 与えた シェバの–女王に シェバの ～を すべての 彼女の–望みを ～の
H4428 H8010 H5414 H4436 H7614 H0853 H3605 H2656 H0834

שָׁאֲלָה מִלְּבַד אֲשֶׁר נָתַן־לָהּ שְׁלֹמֹה כְּיַד הַמַּלְכָּה
彼女が–求めた ～の–ほかに 与えた 彼女に ソロモンの ～に–ふさわしく 王 ソロモンの
H7592 H0905 H0834 H5414 H3027 H4428 H8010

וַתֵּפֶן וַתֵּלֶךְ לְאַרְצָהּ הִיא וַעֲבָדֶיהָ׃ ס
そして–向きを–変え そして–行った 彼女の–国に 彼女と そして–彼女の–しもべたちが ―
H6437 H3212 H0776 H1931 H5650

ソロモン王はその豊かなのにしたがってシバの女王に贈り物をしたほかに、彼女の望みにまかせて、すべてその求める物を贈った。そして彼女はその家来たちと共に自分の国へ帰っていった。

14 וַיְהִי מִשְׁקַל הַזָּהָב אֲשֶׁר־בָּא לִשְׁלֹמֹה בְּשָׁנָה אַחַת
そして–あった 重さは 金の ～の 入って–来た ソロモンに 一年に 一
H1961 H4948 H2091 H0834 H0935 H8010 H8141 H0259

מֵאוֹת שֵׁשׁ מֵאוֹת זָהָב׃ כִּכָּר וְשֵׁשׁ שִׁשִּׁים
百 六百 金であった タラントの 六 六十
H3967 H8337 H2091 H3603 H8337 H8346

さて一年の間にソロモンのところに、はいってきた金の目方は六百六十六タラントであった。

15 לְבַד מִאַנְשֵׁי הַתָּרִים וּמִסְחַר הָרֹכְלִים וְכֹל מַלְכֵי
別に 商人たちからの 商人たちの そして–交易の 行商人たちの そして–すべての 王たちと
H0905 H0376 H8446 H4536 H7402 H3605 H4428

הָעֲרָב וּפַחוֹת הָאָרֶץ׃
アラビアの そして–総督たちの 地の
H6346 H0776

そのほかに貿易商および商人の取引、ならびにアラビヤの諸王と国の代官たちからも、はいってきた。

16 וַיַּעַשׂ הַמֶּלֶךְ שְׁלֹמֹה מָאתַיִם צִנָּה זָהָב שְׁחוּט שֵׁשׁ־מֵאוֹת
そして–造った 王 ソロモンは 二百の 大盾を 金の 延べ金の 六 百
H4428 H8010 H3967 H6793 H2091 H7820 H8337 H3967

זָהָב יַעֲלֶה עַל־הַצִּנָּה הָאֶחָת׃
シェケルの–金を 用いた ～の–上に 大盾 一つの
H2091 H5927 H0259

ソロモン王は延金の大盾二百を造った。その大盾にはおのおの六百シケルの金を用いた。

17 וּשְׁלֹשׁ־מֵאוֹת מָנִים זָהָב יַעֲלֶה עַל־הַמָּגֵן הָאֶחָד וַיִּתְּנֵם
そして–三 百の 小盾を 金の 延べ金の 三 ミナの 金を 用いた ～の–上に 小盾
H7969 H3967 H4043 H2091 H7820 H7969 H4488 H2091 H5927 H4043

הַמֶּלֶךְ בֵּית יַעַר הַלְּבָנוֹן׃ פ
王は レバノンの–森の–家に 森の レバノンの
H4428 H3844

また延金の小盾三百を造った。その小盾にはおのおの三ミナの金を用いた。王はこれらをレバノンの森の家に置いた。

18 וַיַּעַשׂ הַמֶּלֶךְ כִּסֵּא־שֵׁן גָּדוֹל וַיְצַפֵּהוּ זָהָב מוּפָז׃
そして–造った 王は 象牙の–王座を 象牙の 大きな そして–覆った 金で 純金で
H4428 H3678 H8127 H6823 H2091 H6338

王はまた大きな象牙の玉座を造り、純金をもってこれをおおった。

19 שֵׁשׁ מַעֲלוֹת לַכִּסֵּא וְרֹאשׁ־עֶגֶל לְכִסֵּה וְיָדֹת מֵאֲחֳרָיו
六つの 段が 王座に–あり そして–丸い–頂が 丸い 王座には そして–肘掛けが 後ろに–あった
H8337 H4609 H3678 H7218 H5696 H3678 H3027 H4480 H0310

אֵצֶל עֹמְדִים אֲרָיוֹת וּשְׁנַיִם הַשֶּׁבֶת מְקוֹם אֶל־וּמִזֶּה מִזֶּה׃
そばに 立っていた 獅子が そして–二つの 座る 座る–場所の ～の そして–あちらに こちらに
H0681 H5975 H0738 H8147 H7675 H4725 H0413 H2088 H2088

הַיָּדוֹת׃
肘掛けの
H3027

その玉座に六つの段があり、玉座の後に子牛の頭があり、座席の両側にひじ掛けがあって、ひじ掛けのわきに二つのししが立っていた。

20 וּשְׁנֵים עָשָׂר אֲרָיִם עֹמְדִים שָׁם עַל־שֵׁשׁ הַמַּעֲלוֹת מִזֶּה
そして–十 二の 獅子が 立っていた そこに ～の–上の 六つの 段の こちらと
H8147 H6240 H0738 H5975 H8033 H5921 H8337 H4609 H2088

וּמִזֶּה לֹא־נַעֲשָׂה כֵן לְכָל־מַמְלָכוֹת׃
そして–あちらに 造られた–ことは–なかった 造られなかった このようなものは すべての 王国に
H2088 H3808 H6213 H3651 H3605 H4467

また六つの段のおのおのの両側に十二のししが立っていた。このような物はどこの国でも造られたことがなかった。

21 וְכֹל כְּלֵי מַשְׁקֵה הַמֶּלֶךְ שְׁלֹמֹה זָהָב וְכֹל כְּלֵי בֵּית־ יַעַר הַלְּבָנוֹן זָהָב סָגוּר אֵין כֶּסֶף לֹא נֶחְשָׁב בִּימֵי שְׁלֹמֹה׃ לִמְאוּמָה

そして-すべての 器は 飲み物の 王 ソロモンの 金であり そして-すべての 杯は
H3605 H3627 H4428 H8010 H2091 H3605 H3627

レバノンの-森の-家の レバノンの 金であった 純金の なかった 銀は 数えられ-なかった
H3844 H3117 H2803

何の-価値もなかった ソロモンの ～の-時代には 数えられなかった
H3972 H8010 H3117 H2803

ソロモン王が飲むときに用いた器は皆金であった。またレバノンの森の家の器も皆純金であって、銀のものはなかった。銀はソロモンの世には顧みられなかった。

22 כִּי אֳנִי תַרְשִׁישׁ לַמֶּלֶךְ בַּיָּם עִם אֳנִי חִירָם אַחַת שָׁלֹשׁ לִשְׁלֹשׁ תָּבוֹא אֳנִיּוֹת תַּרְשִׁישׁ נֹשְׂאֹת זָהָב וָכֶסֶף שֶׁנְהַבִּים וְקֹפִים וְתֻכִּיִּים׃

なぜなら タルシシュの-船が タルシシュの 王に 海に-あり ～と-共に ヒラムの-船と ヒラムの
H0590 H8659 H4428 H3220 H0590 H2438

一度 三 年ごとに 来た タルシシュの-船が タルシシュの 運んで-きた 金と そして-銀と
H0259 H7969 H8141 H0935 H0590 H8659 H5375 H2091 H3701

そして-孔雀を そして-猿と 象牙と
H8500 H6971 H8143

これは王が海にタルシシの船隊を所有して、ヒラムの船隊と一緒に航海させ、タルシシの船隊に三年に一度、金、銀、象牙、さる、くじゃくを載せてこさせたからである。

23 וַיִּגְדַּל שְׁלֹמֹה מִכֹּל מַלְכֵי הָאָרֶץ לְעֹשֶׁר וּלְחָכְמָה׃

そして-大きくなった 王 ソロモンは すべての 王たちに-まさって 地の 富と
H1431 H4428 H8010 H3605 H4428 H0776 H6239

そして-知恵において
H2451

このようにソロモン王は富も知恵も、地のすべての王にまさっていたので、

24 וְכָל־ הָאָרֶץ מְבַקְשִׁים אֶת־ פְּנֵי שְׁלֹמֹה לִשְׁמֹעַ אֶת־ חָכְמָתוֹ אֲשֶׁר־ נָתַן אֱלֹהִים בִּלְבּוֹ׃

そして-すべての 地の-人々が 求めた ～を 顔を ソロモンの 聞くために ～を 彼の-知恵を 与えた ～の 神が 彼の-心に
H3605 H0776 H1245 H0853 H6440 H8010 H8085 H0853 H2451 H5414 H0430

全地の人々は神がソロモンの心に授けられた知恵を聞こうとしてソロモンに謁見を求めた。

25 וְהֵמָּה מְבִאִים אִישׁ מִנְחָתוֹ כְּלֵי כֶסֶף וּכְלֵי זָהָב וּשְׂלָמוֹת וְנֶשֶׁק וּבְשָׂמִים סוּסִים וּפְרָדִים דְּבַר־ שָׁנָה בְּשָׁנָה׃ ס

そして-彼らは もたらした 各自が 彼の-贈り物を 銀の-器と 金の-器と そして-衣服と そして-武器と そして-香料と 馬と そして-らばを 毎年の 年 毎年
H1992 H0376 H0935 H4503 H3627 H3701 H3627 H2091 H8008 H5402 H1314 H5483 H6505 H1697 H8141 H8141

人々はおのおの贈り物を携えてきた。すなわち銀の器、金の器、衣服、没薬、香料、馬、騾馬など年々定まっていた。

26 וַיֶּאֱסֹף שְׁלֹמֹה רֶכֶב וּפָרָשִׁים וַיְהִי־לוֹ אֶלֶף וְאַרְבַּע־מֵאוֹת
そして-集めた ソロモンは 戦車と そして-騎兵を そして-あった 彼に 千 四 百の
H0622 H8010 H7393 H6242 H1961 H0505 H0702 H3967

רֶכֶב וּשְׁנֵים־עָשָׂר אֶלֶף פָּרָשִׁים וַיַּנַּחֵם בְּעָרֵי הָרֶכֶב
戦車と そして-一万 二 千の 騎兵が そして-配置した 町々に 戦車の
H7393 H8147 H6240 H0505 H6242 H5148 H6242 H7393

וְעִם־הַמֶּלֶךְ בִּירוּשָׁלִָם׃
そして-〜と-共に 王と エルサレムに
H4428 H3389

ソロモンは戦車と騎兵とを集めたが、戦車一千四百両、騎兵一万二千あった。ソロモンはこれを戦車の町とエルサレムの王のもとに置いた。

27 וַיִּתֵּן הַמֶּלֶךְ אֶת־הַכֶּסֶף בִּירוּשָׁלִַם כָּאֲבָנִים וְאֶת־הָאֲרָזִים נָתַן
した 杉の-木を そして-〜を 石の-ように エルサレムで 銀を 〜を 王は そして-した
H5414 H0730 H0853 H0068 H3389 H3701 H0853 H4428 H5414

כַּשִּׁקְמִים אֲשֶׁר־בַּשְּׁפֵלָה לָרֹב׃
桑の-木の-ように 〜の 低地の 多さで
H8256 H8219 H7230

王はエルサレムで、銀を石のように用い、香柏を平地にあるいちじく桑のように多く用いた。

28 וּמוֹצָא לִשְׁלֹמֹה אֲשֶׁר הַסּוּסִים סֹחֲרֵי הַמֶּלֶךְ יִקְחוּ מִקְוֵה בְּמִחִיר׃
そして-輸入は ソロモンの 〜の 馬の 商人たちが 王の 買い取った 隊商から 定めの-価格で
H4161 H8010 H4714 H5503 H4428 H3947 H4242

ソロモンが馬を輸入したのはエジプトとクエからであった。すなわち王の貿易商はクエから代価を払って受け取ってきた。

29 וְתַעֲלֶה וַתֵּצֵא מֶרְכָּבָה מִמִּצְרַיִם בְּשֵׁשׁ מֵאוֹת כֶּסֶף וְסוּס
そして-輸入され そして-出た 戦車は エジプトから 六 百 シェケルの-銀で そして-馬は
H5927 H3318 H4818 H4714 H8337 H3967 H3701

וְכֵן לְכָל־מַלְכֵי הַחִתִּים וּלְמַלְכֵי אֲרָם בְּיָדָם יוֹצִיאוּ׃ פ
そして-同様に すべての ヒッタイトの 王たちに そして-王たちに アラムの 五十で 百
H3605 H2850 H4428 H0758 H3967 H2572

輸出された 彼らの-手を-通して
H3318 H3027

エジプトから輸入される戦車一両は銀六百シケル、馬は百五十シケルであった。このようにして、これらのものが王の貿易商によって、ヘテびとのすべての王たちおよびスリヤの王たちに輸出された。

Chapter 11

1 וְהַמֶּלֶךְ שְׁלֹמֹה אָהַב נָשִׁים נָכְרִיּוֹת רַבּוֹת וְאֶת־בַּת־פַּרְעֹה
そして-王 ソロモンは 愛した 女たちを 外国の 多くの そして-〜を パロの娘と パロの
H4428 H8010 H0157 H0802 H5237 H6547 H0853 H1323 H6547

מוֹאֲבִיּוֹת עַמֳּנִיּוֹת אֲדֳמִית צִדְנִית חִתִּית׃
モアブの-女と アンモンの-女と エドムの-女と シドンの-女と ヒッタイトの-女を
H4125 H5984 H0130 H6722 H2850

ソロモン王は多くの外国の女を愛した。すなわちパロの娘、モアブびと、アンモンびと、エドムびと、シドンびと、ヘテびとの女を愛した。

2 מִן־הַגּוֹיִם אֲשֶׁר־אָמַר יְהוָה לִבְנֵי יִשְׂרָאֵל לֹא־תָבֹאוּ בָהֶם
〜からの 諸国民の 〜の 言われた 主が 〜に 子らに イスラエルの 入っては-ならない
H4480 H1471 H0834 H0559 H3068 H0413 H1121 H3478 H0935

וְהֵם לֹא־יָבֹאוּ בָכֶם אָכֵן יַטֶּה אֶת־לְבַבְכֶם אַחֲרֵי אֱלֹהֵיהֶם
そして-彼らも 入っては-ならない 入ってはならない あなたがたの-中に 必ず 傾ける 〜を あなたがたの-心を 〜の-後に 彼らの-神々の
H1992 H0935 H3808 H0935 H0403 H5186 H0853 H3824 H0310 H0430

דָּבַק שְׁלֹמֹה לְאַהֲבָה׃
しがみついた ソロモンは 愛するために
H1692 H8010 H0160

主はかつてこれらの国民について、イスラエルの人々に言われた、「あなたがたは彼らと交わってはならない。彼らもまたあなたがたと交わってはならない。彼らは必ずあなたがたの心を転じて彼らの神々に従わせるからである」。しかしソロモンは彼らを愛して離れなかった。

3 וַיְהִי־לוֹ נָשִׁים שָׂרוֹת שִׁבְעַ מֵאוֹת בַּת־מְלָכִים וּפִלַגְשִׁים שְׁלֹשׁ מֵאוֹת
そして-あった 彼に 妻が 正妻が 七 百人と そして-側室が 三 百人
H1961 H0802 H8282 H7651 H3967 H6370 H7969 H3967

וַיַּטּוּ נָשָׁיו אֶת־לִבּוֹ׃
そして-傾けた 彼の-妻たちが 〜を 彼の-心を
H5186 H0802 H0853

彼には王妃としての妻七百人、そばめ三百人があった。その妻たちが彼の心を転じたのである。

4 וַיְהִי לְעֵת זִקְנַת שְׁלֹמֹה נָשָׁיו הִטֶּינָה אֶת־לְבָבוֹ אַחֲרֵי
そして-あった 〜の-時に 老年の ソロモンの 彼の-妻たちが 傾けた 〜を 彼の-心を 〜の-後に
H1961 H6256 H2209 H8010 H0802 H5186 H0853 H3824 H0310

אֱלֹהִים אֲחֵרִים וְלֹא־הָיָה לְבָבוֹ שָׁלֵם עִם־יְהוָה אֱלֹהָיו
ほかの-神々の ほかの 〜と-なかった そして-なかった なかった 彼の-心は 全き 〜と-共に 主 彼の-神と
H0430 H0312 H3808 H1961 H3824 H8003 H0854 H3068 H0430

כִּלְבַב דָּוִיד אָבִיו׃
〜の-心の-ようには ダビデ 彼の-父の
H3824 H1732 H0001

ソロモンが年老いた時、その妻たちが彼の心を転じて他の神々に従わせたので、彼の心は父ダビデの心のようには、その神、主に真実でなかった。

וְאַחֲרֵי
そして-〜の-後に

צִדֹנִים
シドン人の
H6722

אֱלֹהֵי
神
H0430

עַשְׁתֹּרֶת
アシュトレトに
H6253

אַחֲרֵי
〜の-後に

שְׁלֹמֹה
ソロモンは
H8010

וַיֵּלֶךְ
そして-従った
H3212

5

עַמֹּנִים׃
アンモン人の
H5984

שִׁקֻּץ
忌まわしい-もの
H8251

מִלְכֹּם
モレクに

これはソロモンがシドンびとの女神アシタロテに従い、アンモンびとの神である憎むべき者ミルコムに従ったからである。

אַחֲרֵי
〜の-後に

מִלֵּא
従わなかった
H4390

וְלֹא
そして-従わなかった
H3808

יְהוָה
主の
H3068

בְּעֵינֵי
〜の-目に

הָרַע
悪を

שְׁלֹמֹה
ソロモンは
H8010

וַיַּעַשׂ
そして-行った

6

ס
—

אָבִיו׃
ダビデ
H0001

כְּדָוִד
〜の-ようには
H1732

יְהוָה
主に
H3068

このようにソロモンは主の目の前に悪を行い、父ダビデのように全くは主に従わなかった。

בָּהָר
山の-上に
H2022

מוֹאָב
モアブの
H4124

שִׁקֻּץ
忌まわしい-もの
H8251

לִכְמוֹשׁ
ケモシュの-ために
H3645

בָּמָה
高き-所を
H1116

שְׁלֹמֹה
ソロモンは
H8010

יִבְנֶה
建てた
H1129

אָז
その-時

7

בְּנֵי
子らの

שִׁקֻּץ
忌まわしい-もの
H8251

וּלְמֹלֶךְ
そして-モレクの-ために
H4432

יְרוּשָׁלִַם
エルサレムの
H3389

פְּנֵי
前の
H6440

עַל־
〜の-向かいの

אֲשֶׁר
〜の

עַמּוֹן׃
アンモンの
H5983

そしてソロモンはモアブの神である憎むべき者ケモシのために、またアンモンの人々の神である憎むべき者モレクのためにエルサレムの東の山に高き所を築いた。

מַקְטִירוֹת
香を-焚き

הַנָּכְרִיּוֹת
外国の
H5237

נָשָׁיו
彼の-妻たちの-ために
H0802

לְכָל־
すべての
H3605

עָשָׂה
行った

וְכֵן
そして-同様に

8

לֵאלֹהֵיהֶן׃
彼女らの-神々に
H0430

וּמְזַבְּחוֹת
そして-いけにえを-ささげた
H2076

彼はまた外国のすべての妻たちのためにもそうしたので、彼女たちはその神々に香をたき、犠牲をささげた。

אֱלֹהֵי
神
H0430

יְהוָה
主から
H3068

מֵעִם
〜から

לִבָּבוֹ
彼の-心が
H3824

נָטָה
それた
H5186

כִּי־
なぜなら

בִּשְׁלֹמֹה
ソロモンに
H8010

יְהוָה
主は
H3068

וַיִּתְאַנַּף
そして-怒られた
H0599

9

פַּעֲמָיִם׃
二度も
H6471

אֵלָיו
彼に
H0413

הַנִּרְאָה
現れた-方から
H7200

יִשְׂרָאֵל
イスラエルの
H3478

このようにソロモンの心が転じて、イスラエルの神、主を離れたため、主は彼を怒られた。すなわち主がかつて二度彼に現れ、

10 וְצִוָּה אֵלָיו עַל־הַדָּבָר הַזֶּה לְבִלְתִּי־
そして-命じられた 彼に ～について この-事について ～しては-ならないと
H6680 H0413 H1697 H2088 H1115

שְׁמֹר אֶת וְלֹא אֲחֵרִים אֱלֹהִים אַחֲרֵי לֶכֶת
守らなかった ～を しかし-守らなかった ほかの ほかの-神々に ～の-後に 従ってはならない
H8104 H0853 H3808 H0312 H0430 H3212

פ יְהוָה׃ צִוָּה אֲשֶׁר־
— 主が 命じられたことを ～の
H3068 H6680

この事について彼に、他の神々に従ってはならないと命じられたのに、彼は主の命じられたことを守らなかったからである。

11 וַיֹּאמֶר יְהוָה לִשְׁלֹמֹה יַעַן אֲשֶׁר־הָיְתָה זֹּאת עִמָּךְ
そして-言われた 主は ソロモンに ～の-ゆえに ～の あったH1961 このことが あなたに
H0559 H3068 H8010 H3282 H1961 H2063

וְלֹא שָׁמַרְתָּ בְרִיתִי וְחֻקֹּתַי אֲשֶׁר צִוִּיתִי
そして-守らなかった 守らなかった わたしの-契約と そして-わたしの-掟を ～の わたしが-命じた
H3808 H8104 H1285 H2708 H6680

וּנְתַתִּיהָ מֵעָלֶיךָ הַמַּמְלָכָה אֶת־ אֶקְרַע קָרֹעַ לְעַבְדֶּךָ׃
そして-与える あなたから 王国を ～を 引き裂く 引き裂く あなたに あなたの-しもべに
H5414 H4467 H0853 H7167 H7167 H5650

それゆえ、主はソロモンに言われた、「これがあなたの本心であり、わたしが命じた契約と定めとを守らなかったので、わたしは必ずあなたから国を裂き離して、それをあなたの家来に与える。

12 מִיַּד אָבִיךָ דָּוִד לְמַעַן אֶעֱשֶׂנָּה לֹא בְיָמֶיךָ אַךְ־
～の-手から あなたの-父の ダビデ ～の-ゆえに 行わない 行わない あなたの-生涯には ただし
H3027 H0001 H1732 H4616 H3808 H3117 H0389

בִּנְךָ׃ אֶקְרָעֶנָּה
あなたの-子の 引き裂く
H7167

しかしあなたの父ダビデのために、あなたの世にはそれをしないが、あなたの子の手からそれを裂き離す。

13 אֶתֵּן שֵׁבֶט אֶקְרָע לֹא הַמַּמְלָכָה כָּל־ אֶת־ רָק
与える 一つの 一つの-部族を 引き裂かない 引き裂かない 王国を すべての ～を ただし
H5414 H0259 H7626 H7167 H3808 H4467 H3605 H0853 H7535

אֲשֶׁר יְרוּשָׁלִַם וּלְמַעַן עַבְדִּי דָּוִד לְמַעַן לִבְנֶךָ
～の エルサレムの そして-～の-ゆえに わたしの-しもべの ダビデ ～の-ゆえに あなたの-子に
H3389 H4616 H5650 H1732 H4616

בָּחָרְתִּי׃
わたしが-選んだ
H0977

ただし、わたしは国をことごとくは裂き離さず、わたしのしもべダビデのために、またわたしが選んだエルサレムのために一つの部族をあなたの子に与えるであろう」。

14 וַיָּקֶם יְהוָה שָׂטָן לִשְׁלֹמֹה אֶת הֲדַד הָאֲדֹמִי מִזֶּרַע
そして-起こされた 主は 敵を ソロモンに-対して ハダドを エドム人の ～の-子孫で
H3068 H7854 H8010 H1908 H0130 H2233

הַמֶּלֶךְ הוּא בֶּאֱדוֹם׃
王の 彼は エドムの
H4428 H1931 H0123

こうして主はエドムびとハダデを起して、ソロモンの敵とされた。彼はエドムの王家の者であった。

15 וַיְהִי בִּהְיוֹת בַּעֲלוֹת אֶדֹום אֶת־דָּוִד
そして–あった 〜の–時に 上って–来た–時に エドムを 〜を ダビデが
H1961 H1961 H5927 H0123 H0854 H1732

אֶת־כָּל־זָכָר בֶּאֱדֹום׃
戦死者を 〜を 葉るために
H2145 H3605 H5221

エドムの 男を すべての そして–打ち殺した
H0123 H2145 H3605 H5221

הַחֲלָלִים אֶת־ לִקְבָּר
戦死者を 〜を 葉るために
H0853 H6912

さきにダビデはエドムにいたが、軍の長ヨアブが上っていって、戦死した者を葬り、エドムの男子をことごとく打ち殺した時、

16 כִּי שֵׁשָׁת חֳדָשִׁים יָשַׁב־שָׁם יוֹאָב וְכָל־יִשְׂרָאֵל עַד־
なぜなら 六 か月 とどまった そこに ヨアブは そして–すべての イスラエルが 〜まで
H8337 H2320 H3427 H8033 H3097 H3605 H3478 H5704

כָּרֵת כָּל־זָכָר בֶּאֱדֹום׃
滅ぼした すべての 男を エドムの
H3772 H3605 H2145 H0123

（ヨアブはイスラエルの人々と共に六か月そこにとどまって、エドムの男子をことごとく断った）。

17 וַיִּבְרַח הֲדַד הוּא וַאֲנָשִׁים אֲדֹמִיִּים מֵעַבְדֵי אָבִיו׃
そして–逃げた ハダドは 彼と そして–人々が エドム人の 〜の–しもべたちの–中から 彼の–父の
H1272 H0111 H1931 H0376 H0130 H5650 H0001

וַהֲדַד נַעַר קָטֹן׃
そして–ハダドは 少年で 小さかった
H1908 H5288

אִתּוֹ לָבוֹא מִצְרַיִם
彼と–共に 行くために エジプトに
H0854 H0935 H4714

ハダデはその父のしもべである数人のエドムびとと共に逃げてエジプトへ行こうとした。その時ハダデはまだ少年であった。

18 וַיָּקֻמוּ וַיִּסְעוּ מִמִּדְיָן וַיָּבֹאוּ פָארָן וַיִּקְחוּ אֲנָשִׁים עִמָּם
そして–立った そして–来た ミディアンから パランに そして–連れた 人々を 彼らと–共に
H6965 H0935 H4080 H6290 H3947 H0376

וַיָּבֹאוּ מִצְרַיִם אֶל־פַּרְעֹה מֶלֶךְ־מִצְרַיִם וַיִּתֶּן־לֹו
そして–来た エジプトに 〜の–もとに パロ 王 エジプトの そして–与えた 彼に
H0935 H4714 H0413 H6547 H4428 H4714 H5414 H0413

מִפָּארָן׃ וַיִּתֶּן־לֹו בַּיִת וְלֶחֶם וְאֶרֶץ נָתַן לֹו׃
パランから 家と そして–食物を そして–地を 与えた 彼に
H6290 H1004 H3899 H0776 H5414 H0413

彼らがミデアンを立ってパランへ行き、パランから人々を伴ってエジプトへ行き、エジプトの王パロのところへ行くと、パロは彼に家を与え、食糧を定め、かつ土地を与えた。

19 וַיִּמְצָא הֲדַד חֵן בְּעֵינֵי פַּרְעֹה מְאֹד וַתִּתֶּן־לֹו אִשַּׁת אֶת־
そして–見出した ハダドは 恩寵を 〜の–目に パロの 非常に そして–与えた 彼に 妻を 〜を
H4672 H1908 H2580 H6547 H3966 H5414 H0802 H0853

אֲחוֹת תַּחְפְּנֵיס הַגְּבִירָה׃
妹である タフペネス 王妃の
H0269 H8472 H1377

אֲחוֹת אִשְׁתֹּו אֲחוֹת
妹を 彼の–妻の 妹を
H0269 H0802 H0269

ハダデは大いにパロの心にかなったので、パロは自分の妻の妹すなわち王妃タペネスの妹を妻として彼に与えた。

20

וַתְּגַמְלֶהוּ	בְּנוֹ	גִּנְבַת	אֶת	תַּחְפְּנֵיס	אֲחוֹת	לוֹ	וַתֵּלֶד
そして-育てた	彼の-子を	ゲヌバトを	～を	タフペネスの	タフペネスの-妹が	彼に	そして-産んだ
H1580		H1592	H0853	H8472	H0269		H3205

פַּרְעֹה	בֵּית	גִּנְבַת	וַיְהִי	פַּרְעֹה	בֵּית	בְּתוֹךְ	תַּחְפְּנֵס
パロの	パロの-家に	ゲヌバトは	そして-いた	パロの	パロの-家の	～の-中で	タフペネスは
H6547		H1592	H1961	H6547		H8432	H8472

פַּרְעֹה׃	בְּנֵי	בְּתוֹךְ
パロの	子らの	～の-中に
H6547		H8432

タペネスの妹は彼に男の子ゲヌバテを産んだので、タペネスはその子をパロの家のうちで乳離れさせた。ゲヌバテはパロの家で、パロの子どもたちと一緒にいた。

21

אֲבֹתָיו	עִם־	דָּוִד	שָׁכַב	כִּי־	בְּמִצְרַיִם	שָׁמַע	וְהַדַּד
先祖たちと	～と-共に	ダビデが	横たわった	～を	エジプトで	聞いた	そして-ハダドは
H0001		H1732	H7901		H4714	H8085	H1908

פַּרְעֹה	אֶל־	הֲדַד	וַיֹּאמֶר	הַצָּבָא	שַׂר־	יוֹאָב	מֵת	וְכִי־
パロに	～に	ハダドは	そして-言った	軍の	長	ヨアブが	死んだ	そして-～を
H6547	H0413	H1908	H0559		H8269	H3097	H4191	

אַרְצִי׃	אֶל־	וְאֵלֵךְ	שַׁלְּחֵנִי
わが-国に	～に	そして-行きたい	行かせてください
H0776	H0413	H3212	H7971

さてハダデはエジプトで、ダビデがその先祖と共に眠ったことと、軍の長ヨアブが死んだことを聞いたので、ハダデはパロに言った、「わたしを去らせて、国へ帰らせてください」。

22

עִמִּי	חָסֵר	אַתָּה	מָה־	כִּי	פַּרְעֹה	לוֹ	וַיֹּאמֶר
わたしの-もとで	欠けているのか	あなたは	何が	いったい	パロは	彼に	そして-言った
	H2638		H4100		H6547		H0559

כִּי	לֹא	וַיֹּאמֶר	אַרְצֶךָ	אֶל־	לָלֶכֶת	מְבַקֵּשׁ	וְהִנְּךָ
ただ	いいえ	そして-言った	あなたの-国に	～に	行くことを	求めるのか	それなのに-あなたは
	H3808	H0559	H0776	H0413	H3212	H1245	H2009

תְּשַׁלְּחֵנִי׃	שַׁלֵּחַ
ください	行かせて
H7971	H7971

パロは彼に言った、「わたしと共にいて、なんの不足があって国へ帰ることを求めるのですか」。彼は言った、「ただ、わたしを帰らせてください」。

23

בָּרַח	אֲשֶׁר	אֶלְיָדָע	בֶּן־	רְזוֹן	אֶת־	שָׂטָן	לוֹ	אֱלֹהִים	וַיָּקֶם
逃げた	～の-者が	エルヤダの	息子	レゾンを	～を	敵を	彼に	神は	そして-起こされた
H1272		H0450		H7331	H0853	H7854		H0430	

אֲדֹנָיו׃	צוֹבָה	מֶלֶךְ־	הֲדַדְעֶזֶר	מֵאֵת
彼の-主君から	ツォバの	王	ハダデゼルから	～から
H0113	H6678	H4428	H1909	H0854

神はまたエリアダの子レゾンを起してソロモンの敵とされた。彼はその主人ゾバの王ハダデゼルのもとを逃げ去った者であった。

24 וַיִּקְבֹּץ עָלָיו אֲנָשִׁים רֵיקִים וַיְהִי שַׂר־גְּדוּד בַּהֲרֹג דָּוִד אֶת־אֲרָם וַיֵּלְכוּ דַּמֶּשֶׂק וַיֵּשְׁבוּ בָהּ וַיִּמְלְכוּ בְּדַמָּשֶׂק׃

そして-集めた 彼の-もとに 人々を 長に 略奪隊の 打ち殺した-時に ダビデが
そして-行った ダマスコに そして-住み そこに そして-王となった ダマスコで
H6908 H0376 H8269 H1416 H2026 H1732
H3212 H1834 H3427 H1961 H1834

ダビデがゾバの人々を殺した後、彼は人々を自分のまわりに集めて略奪隊の首領となった。彼らはダマスコへ行って、そこに住み、ダマスコで彼を王とした。

25 וַיְהִי שָׂטָן לְיִשְׂרָאֵל כָּל־יְמֵי שְׁלֹמֹה וְאֶת־הָרָעָה אֲשֶׁר הַדַד וַיִּקָּץ בִּישְׂרָאֵל וַיִּמְלֹךְ עַל־אֲרָם׃ פ

そして-いた 敵として イスラエルの すべての 日々 ソロモンの そして-〜に-加えて 害を
そして-嫁った イスラエルを そして-王となった 〜の-上に アラムの —
H1961 H7854 H3478 H3605 H3117 H8010 H0854 H7451
H6973 H3478 H1961 H5921 H0758

彼はソロモンの一生の間、イスラエルの敵となって、ハダデがしたように害をなし、イスラエルを憎んでスリヤを治めた。

26 וְיָרָבְעָם בֶּן־נְבָט אֶפְרָתִי מִן־הַצְּרֵדָה וְשֵׁם אִמּוֹ צְרוּעָה אַלְמָנָה אִשָּׁה וַיָּרֶם יָד בַּמָּלֶךְ׃

そして-ヤロブアムは 息子 ネバトの エフライム人で 〜の-出の そして-名は
彼の-母の ツェルアで 女 寡婦の 手を そして-上げた 王に-対して
H3379 H1121 H5028 H0673 H4480 H8034
H0517 H6871 H0802 H0490 H3027 H5375 H4428

ゼレダのエフライムびとネバテの子ヤラベアムはソロモンの家来であったが、その母の名はゼルヤといって寡婦であった。彼もまたその手をあげて王に敵した。

27 וְזֶה הַדָּבָר אֲשֶׁר־הֵרִים יָד בַּמֶּלֶךְ שְׁלֹמֹה בָּנָה אֶת־הַמִּלּוֹא סָגַר אֶת־פֶּרֶץ עִיר דָּוִד אָבִיו׃

そして-これが 理由である 〜の 上げた 手を 王に-対して ソロモンが 建てた 〜を ミロを
彼の-父の ダビデ 町の 裂け目を 〜を 塞いだ
H2088 H1697 H834 H7311 H3027 H4428 H8010 H1129 H853 H4407
H0001 H1732 H5892 H6556 H853 H5462

彼が手をあげて、王に敵した事情はこうである。ソロモンはミロを築き、父ダビデの町の破れ口をふさいでいた。

28 וְהָאִישׁ יָרָבְעָם גִּבּוֹר חָיִל וַיַּרְא שְׁלֹמֹה אֶת־הַנַּעַר כִּי־עֹשֶׂה מְלָאכָה הוּא וַיַּפְקֵד אֹתוֹ לְכָל־סֵבֶל בֵּית יוֹסֵף׃ ס

そして-この-人 ヤロブアムは 勇士で 有能な そして-見た ソロモンは 若者が 〜を
そして-任命した 彼を すべての 労働の-上に 家の ヨセフの —
H2088 H3379 H1368 H2428 H7200 H8010 H5288 H853 H3605 H0853 H5447 H1004 H3130

ヤラベアムは非常に手腕のある人であったが、ソロモンはこの若者がよく働くのを見て、彼にヨセフの家のすべての強制労働の監督をさせた。

29 וַיְהִי֙ בָּעֵ֣ת הַהִ֔יא וְיָרָבְעָ֖ם יָצָ֣א מִירוּשָׁלָ֑͏ִם וַיִּמְצָ֣א

そして-あった ～の-時に その そして-ヤロブアムが 出た エルサレムから そして-見つけた
H1961 H6256 H1931 H3379 H3318 H3389 H4672

אֹת֗וֹ הַנָּבִ֤יא הַשִּׁלֹנִי֙ אֲחִיָּ֔ה בַּדֶּ֖רֶךְ וְה֣וּא מִתְכַּסֶּ֔ה בְּשַׂלְמָ֖ה חֲדָשָׁ֑ה

彼を 預言者が シロの アヒヤが 道で そして-彼は 身に-つけていた 新しい-外套を 新しい
H0853 H5030 H7888 H0281 H1870 H1931 H8008 H2319

וּשְׁנֵיהֶ֖ם לְבַדָּ֥ם בַּשָּׂדֶֽה׃

そして-二人が 二人きりで 野に-いた
H8147 H0905

そのころ、ヤラベアムがエルサレムを出たとき、シロびとである預言者アヒヤが道で彼に会った。アヒヤは新しい着物を着ていた。そして彼らふたりだけが野にいた。

30 וַיִּתְפֹּ֣שׂ אֲחִיָּ֗ה בַּשַּׂלְמָה֙ הַחֲדָשָׁ֔ה אֲשֶׁ֖ר עָלָ֑יו וַיִּקְרָעֵ֕הָ שְׁנֵ֥ים עָשָׂ֖ר קְרָעִֽים׃

そして-つかんだ アヒヤは 新しい-外套を 新しい ～の 彼の-上の そして-引き裂いた 十
H8610 H0281 H8008 H2319 H0834 H5921 H7167 H8147

裂け片に 二の
H7168 H6240

アヒヤは着ている着物をつかんで、それを十二切れに裂き、

31 וַיֹּ֣אמֶר֮ לְיָרָבְעָם֒ קַ֣ח־לְךָ֗ עֲשָׂרָ֤ה קְרָעִים֙ כִּ֣י כֹ֤ה אָמַר֙ יְהוָ֣ה אֱלֹהֵ֣י יִשְׂרָאֵ֔ל הִנֵּ֥ה אָנֹכִ֖י קֹרֵ֣עַ אֶת־הַמַּמְלָכָ֑ה מִיַּ֣ד שְׁלֹמֹ֔ה וְנָתַתִּ֥י לְךָ֖ אֶת־עֲשָׂרָ֥ה הַשְּׁבָטִֽים׃

そして-言った ヤロブアムに 取りなさい ～を 十の なぜなら こう
H0559 H3379 H3947 H0853 H6235 H3541

裂け片を あなたの-ために
H7168 H0834

～の-手から 王国を ～を 引き裂く 見よ-わたしは イスラエルの 神は 主 言われる
H3027 H4467 H0853 H7167 H2009 H3478 H0430 H3068 H0559

部族を 十の ～を あなたに そして-与える ソロモンの
H7626 H6235 H0853 H0834 H5414 H8010

ヤラベアムに言った、「あなたは十切れを取りなさい。イスラエルの神、主はこう言われる、『見よ、わたしは国をソロモンの手から裂き離して、あなたに十部族を与えよう。

32 וְהַשֵּׁ֣בֶט הָאֶחָ֣ד יִהְיֶה־ל֗וֹ בַּעֲב֤וּר עַבְדִּי֙ דָּוִ֔ד וּלְמַ֣עַן יְרוּשָׁלַ֔͏ִם הָעִ֖יר אֲשֶׁ֣ר בָּחַ֣רְתִּי בָ֑הּ מִכֹּ֖ל שִׁבְטֵ֥י יִשְׂרָאֵֽל׃

そして-一つの-部族は 一つの ある 彼の-ものとなる ～の-ゆえに わたしの-しもべ ダビデの
H7626 H0259 H1961 H0834 H7626 H3478

部族の-中から すべての そこを わたしが-選んだ ～の 都の エルサレムの そして-～の-ゆえに
H7626 H3605 H0834 H0977 H0834 H5892 H3389 H4616

イスラエルの
H3478

（ただし彼はわたしのしもべダビデのために、またわたしがイスラエルのすべての部族のうちから選んだ町エルサレムのために、一つの部族をもつであろう）。

33 וַיַּעַן אֲשֶׁר עֲזָבוּנִי וַיִּשְׁתַּחֲווּ לְעַשְׁתֹּרֶת אֱלֹהֵי צִדְנִין
〜の–ゆえに 〜の 彼らが–わたしを–捨て そして–ひれ伏した アシュトレトに 神 シドン人の
H3282 H6722 H0430 H6253 H7812

וְלֹא־ עַמּוֹן בְּנֵי־ אֱלֹהֵי וּלְמִלְכֹּם מוֹאָב אֱלֹהֵי לִכְמוֹשׁ
そして–歩まなかった アンモンの 子らの 神 そして–モレクに モアブの 神 ケモシュに
H3808 H5983 H0430 H4124 H0430 H3645

וְחֻקֹּתַי בְּעֵינַי הַיָּשָׁר לַעֲשׂוֹת בִּדְרָכַי הָלְכוּ
そして–わたしの–掟と わたしの–目に 正しいことを 行うために わたしの–道を 歩まなかった
H2708 H3477 H1870 H1980

:אָבִיו כְּדָוִד וּמִשְׁפָּטַי
ダビデ 〜の–ようには そして–定めを
H0001 H1732 H4941

それは彼がわたしを捨てて、シドンびとの女神アシタロテと、モアブの神ケモシと、アンモンの人々の神ミルコムを拝み、父ダビデのように、わたしの道に歩んで、わたしの目にかなう事を行い、わたしの定めと、おきてを守ることをしなかったからである。

34 וְלֹא־ אֶקַּח מִיָּדוֹ כִּי נָשִׂיא אֲשִׁתֶּנּוּ
しかし–取らない 取らない 彼の–手から なぜなら 君主として 置く
H3808 H3947 H3027 H3588 H5387 H7896

בָּחַרְתִּי אֲשֶׁר עַבְדִּי דָּוִד לְמַעַן חַיָּיו יְמֵי כָּל
わたしが–選んだ 〜の わたしの–しもべの ダビデ 〜の–ゆえに 彼の–生涯の 日々 すべての
H0977 H0834 H5650 H1732 H4616 H3117 H3605

:וְחֻקֹּתָי מִצְוֹתַי שָׁמַר אֲשֶׁר אֹתוֹ
そして–掟を わたしの–戒めと 守った 〜の–者が 彼を
H2708 H4687 H8104 H0834 H0853

しかし、わたしは国をことごとくは彼の手から取らない。わたしが選んだ、わたしのしもべダビデが、わたしの命令と定めとを守ったので、わたしは彼のためにソロモンを一生の間、君としよう。

35 וְלָקַחְתִּי הַמְּלוּכָה מִיַּד בְּנוֹ וּנְתַתִּיהָ לְךָ אֶת עֲשֶׂרֶת הַשְּׁבָטִים׃
そして–取る 王国を 〜の–手から 彼の–子の そして–与える あなたに 〜を 十の 部族を
H3947 H4410 H3027 H1121 H5414 H0834 H6235 H7626

そして、わたしはその子の手から国を取って、その十部族をあなたに与える。

36 וְלִבְנוֹ אֶתֵּן אַחַד שֵׁבֶט־ לְמַעַן אֶחָד נֵיר הֱיוֹת־
そして–彼の–子には 与える 一つの 一つの–部族を 〜の–ために あるために 灯が
H3947 H5414 H0259 H7626 H4616 H1961 H5216

לְדָוִיד־ עַבְדִּי כָּל־ הַיָּמִים לְפָנַי בִּירוּשָׁלַ͏ִם הָעִיר אֲשֶׁר
ダビデの–ために わたしの–しもべの すべての 日々 わたしの–前に エルサレムで 都で 〜の
H1732 H5650 H3605 H3117 H6440 H3389 H5892 H0834

בָּחַרְתִּי לִי לָשׂוּם שְׁמִי שָׁם׃
わたしが–選んだ わたしの–ために 置くために わが–名を そこに
H0977 H7760 H8034 H8033

その子には一つの部族を与えて、わたしの名を置くために選んだ町エルサレムで、わたしのしもべダビデに、わたしの前に常に一つのともしびを保たせるであろう。

37 וְאֹתְךָ֙ אֶקַּ֔ח וּמָלַכְתָּ֖ בְּכֹ֣ל אֲשֶׁר־ תְּאַוֶּ֣ה נַפְשֶׁ֑ךָ
そして-あなたを 取る そして-王となる すべての-上に ～の あなたの-魂が望む あなたの-魂が
H0853 H3947 H4427 H3605 H0183 H5315

וְהָיִ֥יתָ מֶ֖לֶךְ עַל־ יִשְׂרָאֵֽל׃
そして-なる 王に ～の-上に イスラエルの
H1961 H4428 H5921 H3478

わたしがあなたを選び、あなたはすべて心の望むところを治めて、イスラエルの上に王となるであろう。

38 וְהָיָ֗ה אִם־ תִּשְׁמַע֙ אֶת־ כָּל־ אֲשֶׁ֣ר אֲצַוֶּ֔ךָּ וְהָלַכְתָּ֖ בִּדְרָכַ֑י
そして-ある もし ～を すべてを ～の わたしが-命じる そして-歩み
H1961 H0518 H0853 H3605 H0834 H6680 H1980

וְעָשִׂ֣יתָ הַיָּשָׁ֣ר בְּעֵינַ֗י לִשְׁמֹ֛ר חֻקּוֹתַ֥י וּמִצְוֹתַ֖י
そして-行い 正しいことを わたしの-目に 守り わたしの-掟と そして-戒めを
H6213 H3477 H5869 H8104 H2706 H4687

כַּאֲשֶׁ֣ר עָשָׂ֣ה דָוִ֣ד עַבְדִּ֑י וְהָיִ֤יתִי עִמָּךְ֙ וּבָנִ֣יתִי לְךָ֔ בַּ֖יִת נֶאֱמָ֥ן כַּאֲשֶׁ֣ר בָּנִ֔יתִי לְדָוִ֖ד נָתַ֥תִּי לָֽךְ׃
～の-ように 行った ダビデ わたしの-しもべが そして-わたしは-いる あなたと-共に そして-建てる
H0834 H6213 H1732 H5650 H1961 H5973 H1129

וְאֶת־ יִשְׂרָאֵֽל׃
～を イスラエルを
H0853 H3478

もし、あなたが、わたしの命じるすべての事を聞いて、わたしの道に歩み、わたしの目にかなう事を行い、わたしのしもべダビデがしたように、わたしの定めと戒めとを守るならば、わたしはあなたと共にいて、わたしがダビデのために建てたように、あなたのために堅固な家を建てて、イスラエルをあなたに与えよう。

39 וְאַעֲנֶ֥ה אֶת־ זֶ֖רַע דָּוִ֑ד לְמַ֣עַן זֹ֔את אַ֖ךְ לֹ֥א כָּל־ הַיָּמִֽים׃ ס
そして-苦しめる 子孫を ～を ダビデの ～の-ゆえに このことの ただし 永遠には すべての —
H6031 H2233 H0853 H1732 H4616 H2063 H0389 H3808 H3605 H8

わたしはこのためにダビデの子孫を苦しめる。しかし永久にではない』」。

40 וַיְבַקֵּ֥שׁ שְׁלֹמֹ֖ה לַהֲמִ֣ית אֶת־ יָרָבְעָ֑ם וַיָּ֣קָם יָרָבְעָ֗ם וַיִּבְרַ֛ח מִצְרַ֥יְמָה אֶל־ שִׁישַׁ֖ק מֶ֣לֶךְ מִצְרַ֑יִם וַיְהִ֣י בְמִצְרַ֔יִם עַד־ מוֹת֖ שְׁלֹמֹֽה׃
そして-求めた ソロモンは 殺すことを ～を ヤロブアムを そして-立ち上がった ヤロブアムは
H1245 H8010 H4191 H0853 H3379 H6965 H3379

そして-逃げた エジプトに ～の-もとに シシャク 王 エジプトの そして-いた エジプトに
H1272 H4714 H0413 H7895 H4428 H4714 H1961 H4714

ソロモンが 死ぬまで ～まで
H8010 H4194 H5704

ソロモンはヤラベアムを殺そうとしたが、ヤラベアムは立ってエジプトにのがれ、エジプト王シシャクのところへ行って、ソロモンの死ぬまでエジプトにいた。

41 וְיֶתֶר דִּבְרֵי שְׁלֹמֹה וְכָל־אֲשֶׁר עָשָׂה וְחָכְמָתוֹ
そして-残りの 事績は ソロモンの そして-すべての ～の 行ったことと そして-彼の-知恵は
H2451 H1697 H8010 H3605 H0834 H6213 H2451

הֲלוֹא־הֵם כְּתֻבִים עַל־סֵפֶר דִּבְרֵי שְׁלֹמֹה׃
それらは-記されている それらは 記されている ～の-上に 書に 事績の ソロモンの
H3808 H1992 H3789 H5921 H5612 H1697 H8010

ソロモンのそのほかの事績と、彼がしたすべての事およびその知恵は、ソロモンの事績の書にしるされているではないか。

42 וְהַיָּמִים אֲשֶׁר מָלַךְ שְׁלֹמֹה בִּירוּשָׁלַ͏ִם עַל־כָּל־יִשְׂרָאֵל
そして-日数は ～の 治めた ソロモンが エルサレムで ～の-上に すべての イスラエルを
H3117 H0834 H4427 H8010 H3389 H5921 H3605 H3478

אַרְבָּעִים שָׁנָה׃
四十 年であった
H0705 H8141

ソロモンがエルサレムでイスラエルの全地を治めた日は四十年であった。

43 וַיִּשְׁכַּב שְׁלֹמֹה עִם־אֲבֹתָיו וַיִּקָּבֵר בְּעִיר דָּוִד
そして-横たわった ソロモンは ～と-共に 先祖たちと そして-葉られた ～の-町に ダビデ
H7901 H8010 H5973 H1 H6912 H5892 H1732

ס
—

אָבִיו׃ וַיִּמְלֹךְ רְחַבְעָם בְּנוֹ תַּחְתָּיו׃
彼の-父の そして-王となった レハブアムが 彼の-子が 彼に-代わって
H1 H4427 H7346 H1121 H8478

ソロモンはその先祖と共に眠って、父ダビデの町に葬られ、その子レハベアムが代って王となった。

Chapter 12

1 וַיֵּלֶךְ רְחַבְעָם שְׁכֶם כִּי שְׁכֶם בָּא כָּל־יִשְׂרָאֵל
そして-行った レハブアムは シェケムへ なぜなら シェケムに 来ていた すべての イスラエルが
H3212 H7346 H7927 H3588 H7927 H0935 H3605 H3478

לְהַמְלִיךְ אֹתוֹ׃
王とするために 彼を
H4427 H853

レハベアムはシケムへ行った。すべてのイスラエルびとが彼を王にしようとシケムへ行ったからである。

2 וַיְהִי כִּשְׁמֹעַ וְהוּא עוֹדֶנּוּ בְּמִצְרָיִם נְבָט בֶּן־יָרָבְעָם
そして-なった 聞いたとき ヤロブアムは 息子の ネバトの そして-彼は まだ エジプトに
H1961 H8085 H3379 H1121 H5028 H1931 H5750 H4714

אֲשֶׁר בָּרַח מִפְּנֵי שְׁלֹמֹה הַמֶּלֶךְ וַיֵּשֶׁב יָרָבְעָם בְּמִצְרָיִם׃
そこに 逃れていた ～の前から 王 ソロモンの そして-住んでいた ヤロブアムは エジプトに
H834 H1272 H6440 H4428 H8010 H3427 H3379 H4714

ネバテの子ヤラベアムはソロモンを避けてエジプトにのがれ、なおそこにいたが、これを聞いてエジプトから帰ったので、

3 וַיִּשְׁלְחוּ וַיִּקְרְאוּ־לוֹ וַיָּבֹא (ויבאו) יָרָבְעָם וְכָל־
そして-遣わして そして-呼んだ 彼を (そして-来た) [そして-来た] ヤロブアムと そして-すべての
H7971 H7121 H0 H0935 [H0935] H3379 H3605

קְהַל יִשְׂרָאֵל וַיְדַבְּרוּ אֶל־רְחַבְעָם לֵאמֹר׃
会衆が イスラエルの そして-語った ～に レハブアムに 言って
H6951 H3478 H1696 H413 H7346 H559

人々は人をつかわして彼を招いた。そしてヤラベアムとイスラエルの会衆は皆レハベアムの所にきて言った、

4

הָקֵל֙ 軽くしてください H7043
עַתָּ֔ה 今 H6258
וְאַתָּ֕ה しかし–あなたは
עֻלֵּ֖נוּ 私たちの–くびきを H5923
אֶת־ ～を H0853
הִקְשָׁ֣ה 重くした H7185
אָבִ֑יךָ あなたの–父は H0001

עָלֵ֔ינוּ 私たちの–上に
נָתַ֣ן 課した H5414
אֲשֶׁר־ それを
הַכְבֵּ֔ד 重い H3515
וּמֵעֻלּ֖וֹ そして–彼の–くびきから H5923
הַקָּשָׁ֣ה 過酷な H7186
אָבִ֑יךָ あなたの–父の H0001
מֵעֲבֹדַ֣ת ～の労役から H5656

וְנַעַבְדֶֽךָּ׃
そうすれば–仕えます H5647

「父上はわれわれのくびきを重くされましたが、今父上のきびしい使役と、父上がわれわれに負わせられた重いくびきとを軽くしてください。そうすればわれわれはあなたに仕えます」。

5

וַיֹּ֣אמֶר そして–言った H0559
אֲלֵהֶ֗ם 彼らに H0413
לְכ֤וּ 行け H3212
עֹ֙ד֙ さらに H5750
שְׁלֹשָׁ֣ה 三 H7969
יָמִ֔ים 日のあいだ H3117
וְשׁ֖וּבוּ そして–戻れ H7725
אֵלָ֑י 私のもとへ H0413
וַיֵּלְכ֖וּ そして–行った H3212

הָעָֽם׃
民は

レハベアムは彼らに言った、「去って、三日過ぎてから、またわたしのところにきなさい」。それで民は立ち去った。

6

וַיִּוָּעַ֣ץ そして–相談した H3289
הַמֶּ֣לֶךְ 王 H4428
רְחַבְעָ֗ם レハブアムは H7346
אֶת־ ～と H0854
הַזְּקֵנִים֙ 長老たちに H2205
אֲשֶׁר־ 彼らは
הָי֣וּ 仕えていた H1961
עֹמְדִ֔ים 立っていた H5975
אֶת־ ～の H0854

פְּנֵ֣י 前に H6440
שְׁלֹמֹ֔ה ソロモンの H8010
אָבִ֖יו 彼の–父の H0001
בִּהְיֹתֽוֹ 彼が–いた時 H1961
חַ֔י 生きている
לֵאמֹ֑ר 言って H0559
אֵ֚יךְ どのように
אַתֶּ֣ם あなたがたは

דָּבָֽר׃ 言葉を H1697
הַזֶּ֔ה この H2088
הָעָ֥ם־ この–民に
אֶת־ ～に H0853
לְהָשִׁ֖יב 答えることを H7725
נוֹעָצִ֥ים 助言するのか H3289

レハベアム王は父ソロモンの存命中ソロモンに仕えた老人たちに相談して言った、「この民にどう返答すればよいと思いますか」。

7

וַיְדַבְּרוּ֙((そして–語った) H1696
אֵלָ֔יו 彼に H0413
לֵאמֹ֖ר 言って H0559
אִם־ もし
הַיּ֣וֹם 今日 H3117
תִּֽהְיֶה־ なるならば H1961
עֶ֥בֶד しもべと H5650
לָעָ֛ם この–民の

וידבר] [そして–語った] H1696
וַעֲנִיתָ֗ם そして–答え H6030
וַעֲבַדְתָּ֤ם そして–仕え H5647
הַזֶּה֙ この H2088
וְדִבַּרְתָּ֣ הָ そして–語るならば H1696
אֲלֵהֶ֔ם 彼らに H0413
דְּבָרִ֖ים 言葉を H1697
טוֹבִ֑ים よい
וְהָי֥וּ そうすれば–なるだろう H1961

הַיָּמִֽים׃ 日々 H3117
כָּל־ すべての H3605
עֲבָדִ֖ים しもべたちが H5650
לְךָ֥ あなたに

彼らはレハベアムに言った、「もし、あなたが、きょう、この民のしもべとなって彼らに仕え、彼らに答えるとき、ねんごろに語られるならば、彼らは永久にあなたのしもべとなるでしょう」。

8 וַיַּעֲזֹ֣ב אֶת־ עֲצַ֣ת הַזְּקֵנִ֗ים אֲשֶׁ֤ר יְעָצֻהוּ֙ וַיִּוָּעַ֣ץ אֶת־ הַיְלָדִ֔ים
そして–退けた ～を 助言を 長老たちの それは 助言した そして–相談した 若者たちに
H0853 H6098 H2205 H0834 H3289 H3289 H0853 H3206

אֲשֶׁ֥ר גָּדְל֖וּ אִתּ֑וֹ הָעֹמְדִ֖ים לְפָנָֽיו׃
育った 彼らは 彼と–共に 立っていた 彼の–前に
H1431 H0834 H0854 H5975 H6440

しかし彼は老人たちが与えた勧めを捨てて、自分と一緒に大きくなって自分に仕えている若者たちに相談して、

9 וַיֹּ֣אמֶר אֲלֵהֶ֗ם מָ֚ה אַתֶּ֣ם נוֹעָצִ֔ים וְנָשִׁ֥יב דָּבָ֖ר אֶת־
そして–言った 彼らに 何を あなたがたは 助言するのか そして–答えよう 言葉を ～に
H0559 H0413 H4100 H0859 H3289 H7725 H1697 H0853

אֲשֶׁר־ נָתַ֥ן הָעֹ֛ל מִן־ הָקֵ֖ל לֵאמֹ֑ר אֲלֵ֣י דִּבְּר֗וּ אֲשֶׁ֤ר הַזֶּה֙ הָעָ֣ם
課した それを くびきを ～から 軽くせよ 言って 私に 語った 彼らは この この–民に
H5414 H0834 H5923 H4480 H7043 H0559 H0413 H1696 H0834 H2088 H5971

עָלֵ֔ינוּ׃ אָבִ֖יךָ
私たちの–上に あなたの–父が
H5921 H0001

彼らに言った、「この民がわたしにむかって『あなたの父がわれわれに負わせたくびきを軽くしてください』というのに、われわれはなんと返答すればよいと思いますか」。

10 וַיְדַבְּר֣וּ אֵלָ֗יו הַיְלָדִים֙ אֲשֶׁ֣ר גָּדְל֣וּ אִתּ֔וֹ לֵאמֹ֖ר כֹּֽה־ תֹאמַ֣ר
言え このように 言って 彼と–共に 育った 彼らは 若者たちは 彼に そして–語った
H0559 H3541 H0559 H0854 H1431 H0834 H3206 H0413 H1696

אֶת־ הָעָ֣ם הַזֶּ֣ה אֲשֶׁ֤ר דִּבְּרוּ֙ אֵלֶ֔יךָ לֵאמֹ֕ר אָבִ֖יךָ הִכְבִּ֣יד
～を この 彼らは 語った あなたに 言って あなたの–父は 重くした
H0853 H2088 H0834 H1696 H0413 H0559 H0001 H3513

אֶת־ עֻלֵּ֑נוּ וְאַתָּ֣ה הָקֵ֣ל מֵעָלֵ֔ינוּ כֹּ֥ה תְדַבֶּר־ אֲלֵהֶ֖ם
この–くびきを しかし–あなたは 軽くせよ 私たちの–上から このように 語れ 彼らに
H5923 H0859 H7043 H4480 H5921 H3541 H1696 H0413

אָבִ֔י׃ מָתְנָ֖י עָבֶ֣ה וְקָטַנִּ֑י
私の–父の ～の腰よりも 太い 私の–小指は
H0001 H4975 H5666 H6995

彼と一緒に大きくなった若者たちは彼に言った、「あなたにむかって『父上はわれわれのくびきを重くされましたが、あなたは、それをわれわれのために軽くしてください』と言うこの民に、こう言いなさい、『わたしの小指は父の腰よりも太い。

11 וְעַתָּ֗ה אָבִי֙ הֶעְמִ֣יס עֲלֵיכֶם֮ עֹ֣ל כָּבֵד֒ וַאֲנִ֣י אוֹסִ֔יף עַל־
そして–今 私の–父は 負わせた あなたがたに くびきを 重い しかし–私は 加える ～の上に
H6258 H0001 H6006 H5921 H3515 H0589 H3254 H5921

עֻלְּכֶם֙ אָבִ֣י יִסַּ֔ר בַּשּׁוֹטִ֖ים וַאֲנִ֑י אֶתְכֶ֖ם אִסַּ֥ר בָּעַקְרַבִּֽים׃
あなたがたの–くびきに 私の–父は 懲らした むちで しかし–私は あなたがたを 懲らす さそりで
H5923 H0001 H3256 H7752 H0589 H0853 H3256 H6137

父はあなたがたに重いくびきを負わせたが、わたしはさらに、あなたがたのくびきを重くしよう。父はむちであなたがたを懲らしたが、わたしはさそりをもってあなたがたを懲らそう』と」。

12

רְחַבְעָם	אֶל־	הָעָם	וְכָל־	יָרָבְעָם	(וַיָּבֹוא)	[ויבו]
レハブアムの	～のもとへ	民は	そして-すべての	ヤロブアムと	(そして-来た)	[そして-来た]
H7346	H0413		H3605	H3379	H0935	H0935

הַשְּׁלִישִׁי׃	בַּיּוֹם	אֵלַי	שׁוּבוּ	לֵאמֹר	הַמֶּלֶךְ	דִּבֶּר	כַּאֲשֶׁר	הַשְּׁלִישִׁי	בַּיּוֹם
第三の	～の日に	私のもとへ	戻れ	言って	王が	語った	～の通り	第三の	～の日に
H7992	H3117	H0413	H7725	H0559	H4428	H1696		H7992	H3117

さてヤラベアムと民は皆、王が「三日目に再びわたしのところに来るように」と言ったとおりに、三日目にレハベアムのところにきた。

13

אֲשֶׁר	הַזְּקֵנִים	עֲצַת	אֶת־	וַיַּעֲזֹב	קָשָׁה	הָעָם	אֶת־	הַמֶּלֶךְ	וַיַּעַן
それは	長老たちの	助言を	～を	そして-退けた	厳しく	民に	～に	王は	そして-答えた
	H2205	H6098	H0853		H7186		H0853	H4428	

יְעָצֻהוּ׃
助言した
H3289

王は荒々しく民に答え、老人たちが与えた勧めを捨てて、

14

אֶת־	הִכְבִּיד	אָבִי	לֵאמֹר	הַיְלָדִים	כַּעֲצַת	אֲלֵיהֶם	וַיְדַבֵּר
～を	重くした	私の-父は	言って	若者たちの	～の助言に従い	彼らに	そして-語った
H0853	H3513	H0001	H0559	H3206	H6098	H0413	H1696

יִסַּר	אָבִי	עֲלֵיכֶם	עַל־	אֹסִיף	וַאֲנִי	עֲלֵיכֶם		
懲らした	私の-父は	あなたがたの-くびきに	～の上に	加える	しかし-私は	あなたがたの-くびきを		
H3256	H0001	H5923		H3254	H0589	H5923		

בָּעַקְרַבִּים׃	אֶתְכֶם	אֲיַסֵּר	וַאֲנִי	בַּשּׁוֹטִים	אֶתְכֶם	
さそりで	あなたがたを	懲らす	しかし-私は	むちで	あなたがたを	
H6137	H0853	H3256	H0589	H7752	H0853	

若者たちの勧めに従い、彼らに告げて言った、「父はあなたがたのくびきを重くしたが、わたしはあなたがたのくびきを、さらに重くしよう。父はむちであなたがたを懲らしたが、わたしはさそりをもってあなたがたを懲らそう」。

15

יְהוָה	מֵעִם	סִבָּה	הָיְתָה	כִּי־	הָעָם	אֶל־	הַמֶּלֶךְ	שָׁמַע	וְלֹא־
主の	～から	転機が	なった	なぜなら	民の	～に	王は	聞いた	そして-しなかった
H3068		H5438	H1961			H0413	H4428	H8085	H3808

אֲחִיָּה	בְיַד	יְהוָה	דִּבֶּר	אֲשֶׁר	דְּבָרוֹ	אֶת־	הָקִים	לְמַעַן	
アヒヤの	～の手を通して	主が	語った	それは	彼の-言葉を	～を	立てるために	～のために	
H0281	H3027	H3068	H1696		H1697	H0853		H4616	

נְבָט׃	בֶּן־	יָרָבְעָם	אֶל־	הַשִּׁילֹנִי	
ネバトの	息子の	ヤロブアムに	～に	シロ人の	
H5028		H3379	H0413	H7888	

このように王は民の言うことを聞きいれなかった。これはかつて主がシロびとアヒヤによって、ネバテの子ヤラベアムに言われた言葉を成就するために、主が仕向けられた事であった。

16 וַיַּרְא כָּל־יִשְׂרָאֵל כִּי לֹא שָׁמַע הַמֶּלֶךְ אֲלֵיהֶם
そして-見た すべての イスラエルは ～ことを 聞かなかった 聞き入れなかった 王が 彼らに
H7200 H3605 H3478 H3808 H8085 H4428 H0413

וַיָּשִׁבוּ הָעָם אֶת־הַמֶּלֶךְ דָּבָר לֵאמֹר מַה־לָּנוּ חֵלֶק בְּדָוִד
そして-返した 民は ～に 王に 言葉を 言って 何の 私たちに 分け前が ダビデに
H7725 H0853 H4428 H1697 H0559 H4100 H3808 H2506 H1732

וְלֹא־נַחֲלָה לָנוּ בְּבֶן־יִשַׁי אִישׁ לְאֹהָלֶיךָ יִשְׂרָאֵל עַתָּה רְאֵה בֵיתְךָ דָוִד
そして-ない 相続地が ～の息子の エッサイの 各人 あなたの-天幕へ イスラエルよ 今 顧みよ あなたの-家を ダビデよ
H3808 H5159 H1121 H3448 H0376 H0168 H3478 H6258 H7200 H1732

וַיֵּלֶךְ יִשְׂרָאֵל לְאָהָלָיו׃
そして-行った イスラエルは 彼らの-天幕へ
H3212 H3478 H0168

イスラエルの人々は皆、王が自分たちの言うことを聞きいれないのを見たので、民は王に答えて言った、「われわれはダビデのうちに何の分があろうか、エッサイの子のうちに嗣業がない。イスラエルよ、あなたがたの天幕へ帰れ。ダビデよ、今自分の家の事を見よ」。そしてイスラエルはその天幕へ去っていった。

17 וּבְנֵי יִשְׂרָאֵל הַיֹּשְׁבִים בְּעָרֵי יְהוּדָה וַיִּמְלֹךְ עֲלֵיהֶם
そして-子らは イスラエルの 住んでいる ～の町々に ユダの そして-王となった 彼らの-上に
H3478 H3427 H3063 H4427 H5921

פ רְחַבְעָם׃
— レハブアムが
H7346

しかしレハベアムはユダの町々に住んでいるイスラエルの人々を治めた。

18 וַיִּשְׁלַח הַמֶּלֶךְ רְחַבְעָם אֶת־אֲדֹרָם אֲשֶׁר עַל־הַמַּס
そして-遣わした 王 レハブアムは ～を アドラムを 彼は ～の上の 労役の
H7971 H4428 H7346 H0853 H0151 H0834 H5921 H4522

וַיִּרְגְּמוּ בּוֹ כָּל־יִשְׂרָאֵל אֶבֶן וַיָּמֶת וְהַמֶּלֶךְ רְחַבְעָם
そして-投げつけた すべての イスラエルは 彼に 石を そして-死んだ そして-王 レハブアムは
H7275 H3605 H3478 H0068 H4191 H4428 H7346

הִתְאַמֵּץ לַעֲלוֹת בַּמֶּרְכָּבָה לָנוּס יְרוּשָׁלָ͏ִם׃
急いで 乗った 戦車に 逃げるために エルサレムへ
H0553 H5927 H4818 H5127 H3389

レハベアム王は徴募の監督であったアドラムをつかわしたが、イスラエルが皆、彼を石で撃ち殺したので、レハベアム王は急いで車に乗り、エルサレムへ逃げた。

19 וַיִּפְשְׁעוּ יִשְׂרָאֵל בְּבֵית דָּוִד עַד־הַיּוֹם הַזֶּה׃ ס
そして-背いた イスラエルは ～の家に ダビデの ～まで その-日 この —
H6586 H3478 H1004 H5704 H3117 H2088

こうしてイスラエルはダビデの家にそむいて今日に至った。

20 וַיְהִי כְּשָׁמְעַ כָּל־יִשְׂרָאֵל כִּי־שָׁב יָרָבְעָם
そして-なった 聞いたとき すべての イスラエルが ～ことを 戻った ヤロブアムが
H1961 H8085 H3605 H3478 H7725 H3379

וַיִּקְרְאוּ אֹתוֹ אֶל־הָעֵדָה וַיַּמְלִיכוּ אֹתוֹ עַל־כָּל־שֵׁבֶט יְהוּדָה לְבַדּוֹ׃
そして-呼んだ 彼を ～へ 会衆へ そして-王とした 彼を ～の上に すべての 部族が ユダの だけだった
H7121 H0853 H0413 H5712 H4427 H0853 H5921 H3605 H7626 H3063 H0905

וַיִּשְׁלְחוּ אַחֲרֵי בֵית־דָּוִד זוּלָתִי הָיָה לְאֵחֲרֵי לֹא יִשְׂרָאֵל
そして-遣わして 従う者は ～の後に 家の ダビデの ただ 部族が イスラエルの
H7971 H1961 H0310 H1004 H2108 H7626 H3478

イスラエルは皆ヤラベアムの帰ってきたのを聞き、人をつかわして彼を集会に招き、イスラエルの全家の上に王とした。ユダの部族のほかはダビデの家に従う者がなかった。

21 וַיָּבֹא(וַיבאו) רְחַבְעָם יְרוּשָׁלַ͏ִם וַיַּקְהֵל׀ אֶת־כָּל־בֵּית
(そして-来た) レハブアムは エルサレムに そして-集めた すべての 家の
H0935 H7346 H3389 H6950 H3605

יְהוּדָה וְאֶת־שֵׁבֶט בִּנְיָמִן מֵאָה וּשְׁמֹנִים אֶלֶף בָּחוּר עֹשֵׂה מִלְחָמָה
ユダの そして-〜を 部族の ベニヤミンの 百 そして-八十 千の 精鋭の 戦いをする 戦士を
H3063 H0853 H7626 H1144 H3967 H8084 H0505 H0977 H6213 H4421

לְהִלָּחֵם עִם־בֵּית יִשְׂרָאֵל לְהָשִׁיב אֶת־הַמְלוּכָה לְרְחַבְעָם בֶּן־
戦うために 〜と 家の イスラエルの 取り戻すために 〜を 王国を レハブアムに 息子の
H3478 H7725 H0853 H4410 H7346

שְׁלֹמֹה׃ פ
ソロモンの —
H8010

ソロモンの子レハベアムはエルサレムに来て、ユダの全家とベニヤミンの部族の者、すなわちえり抜きの軍人十八万を集め、国を取りもどすために、イスラエルの家と戦おうとしたが、

22 וַיְהִי דְבַר־הָאֱלֹהִים אֶל־שְׁמַעְיָה אִישׁ־הָאֱלֹהִים לֵאמֹר׃
そして-あった 言葉が 神の 〜に シェマヤに 人の 神の 言って
H1961 H1697 H0430 H0413 H8098 H0376 H0430 H0559

神の言葉が神の人シマヤに臨んだ、

23 אֱמֹר אֶל־רְחַבְעָם בֶּן־שְׁלֹמֹה מֶלֶךְ יְהוּדָה וְאֶל־כָּל־בֵּית
言え 〜に レハブアムに 息子の ソロモンの 王の ユダの そして-〜に すべての 家の
H0559 H0413 H7346 H1121 H8010 H4428 H3063 H0413 H3605

יְהוּדָה וּבִנְיָמִן וְיֶתֶר הָעָם לֵאמֹר׃
ユダの そして-ベニヤミンの そして-残りの 民に 言って
H3063 H1144 H7605 H5971 H0559

「ソロモンの子であるユダの王レハベアム、およびユダとベニヤミンの全家、ならびにそのほかの民に言いなさい、

24 כֹּה אָמַר יְהוָה לֹא־תַעֲלוּ וְלֹא־תִלָּחֲמוּ עִם־אֲחֵיכֶם בְּנֵי יִשְׂרָאֵל שׁוּבוּ אִישׁ לְבֵיתוֹ
このように 言われる 主は 上ってはならない そして-戦ってはならない 〜と あなたがたの-兄弟と 子らの イスラエルの 帰れ 各人が 彼の-家へ
H3541 H0559 H3068 H5927 H3808 H6440 H1121 H3478 H7725 H0376

כִּי מֵאִתִּי נִהְיָה הַדָּבָר הַזֶּה וַיִּשְׁמְעוּ אֶת־דְּבַר יְהוָה וַיָּשֻׁבוּ לָלֶכֶת כִּדְבַר יְהוָה׃ ס
なぜなら 私から 起こった この-事は この 聞き従った 〜を 言葉に 主の 行くために 〜の言葉の通り 主の —
H3588 H4480 H1961 H2088 H1697 H8085 H0853 H1697 H3068 H3212 H1697 H3068

『主はこう仰せられる。あなたがたは上っていってはならない。あなたがたの兄弟であるイスラエルの人々と戦ってはならない。おのおの家に帰りなさい。この事はわたしから出たのである』」。それで彼らは主の言葉をきき、主の言葉に従って帰っていった。

25

וַיִּבֶן יָרָבְעָם אֶת־שְׁכֶם בְּהַר אֶפְרַיִם וַיֵּשֶׁב בָּהּ
そして–築いた ヤロブアムは ～を シェケムを ～の山に エフライムの そして–住んだ そこに
H1129 H3379 H0853 H7927 H2022 H0669 H3427

וַיֵּצֵא מִשָּׁם וַיִּבֶן אֶת־פְּנוּאֵל׃
そして–出て行き そこから そして–築いた ～を ペヌエルを
H3318 H8033 H1129 H0853 H6439

ヤラベアムはエフライムの山地にシケムを建てて、そこに住んだ。彼はまたそこから出てペヌエルを建てた。

26

וַיֹּאמֶר יָרָבְעָם בְּלִבּוֹ עַתָּה תָּשׁוּב הַמַּמְלָכָה לְבֵית דָּוִד׃
そして–言った ヤロブアムは 彼の–心の中で 今 戻るだろう 王国は ～の家に ダビデの
H0559 H3379 H6258 H7725 H4467 H1732

しかしヤラベアムはその心のうちに言った、「国は今ダビデの家にもどるであろう。

27

אִם־יַעֲלֶה הָעָם הַזֶּה לַעֲשׂוֹת זְבָחִים בְּבֵית־יְהוָה בִּירוּשָׁלִַם
もし この–民が 上るならば ささげるために いけにえを ～の宮で 主の エルサレムの
H0518 H5927 H6213 H2077 H1004 H3068 H3389

וְשָׁב לֵב הָעָם הַזֶּה אֶל־אֲדֹנֵיהֶם אֶל־רְחַבְעָם מֶלֶךְ־יְהוּדָה
そして–戻る 心が この–民の ～のもとへ 彼らの–主人の ～のもとへ レハブアムの 王の ユダの
H7725 H3820 H2088 H0413 H0113 H0413 H7346 H4428 H3063

וְהָרְגֻנִי וְשָׁבוּ אֶל־מֶלֶךְ רְחַבְעָם׃
そして–殺される そして–帰る ～のもとへ 王の レハブアムの
H2026 H7725 H0413 H4428 H7346

もしこの民がエルサレムにある主の宮に犠牲をささげるために上るならば、この民の心はユダの王である彼らの主君レハベアムに帰り、わたしを殺して、ユダの王レハベアムに帰るであろう」。

28

וַיִּוָּעַץ הַמֶּלֶךְ וַיַּעַשׂ שְׁנֵי עֶגְלֵי זָהָב וַיֹּאמֶר אֲלֵהֶם
そして–相談した 王は そして–造った 二つの 子牛を 金の そして–言った 彼らに
H3289 H4428 H6213 H8147 H5695 H2091 H0559 H0413

רַב־לָכֶם מֵעֲלוֹת יְרוּשָׁלִַם הִנֵּה אֱלֹהֶיךָ יִשְׂרָאֵל אֲשֶׁר
もう–十分だ 上ることから エルサレムへ 見よ あなたの–神々だ イスラエルよ それは
H7227 H5927 H3389 H2009 H0430 H3478 H0834

הֶעֱלוּךָ מֵאֶרֶץ מִצְרָיִם׃
連れ上った ～の地から エジプトの
H5927 H0776 H4714

そこで王は相談して、二つの金の子牛を造り、民に言った、「あなたがたはもはやエルサレムに上るには、およばない。イスラエルよ、あなたがたをエジプトの国から導き上ったあなたがたの神を見よ」。

29

וַיָּשֶׂם אֶת־הָאֶחָד בְּבֵית־אֵל וְאֶת־הָאֶחָד נָתַן בְּדָן׃
そして–置いた ～を 一つを ベテルに そして–～を 一つを 置いた ダンに
H7760 H0853 H0259 H1008 H0853 H0259 H5414 H1835

そして彼は一つをベテルにすえ、一つをダンに置いた。

30

וַיְהִי הַדָּבָר הַזֶּה לְחַטָּאת וַיֵּלְכוּ הָעָם לִפְנֵי הָאֶחָד עַד־דָּן׃
そして–なった この–事は 罪と そして–行った 民は ～の前に 一つの ～まで ダンまで
H1961 H1697 H2088 H0820 H3212 H5971 H6440 H0259 H5704 H1835

この事は罪となった。民がベテルへ行って一つを礼拝し、ダンへ行って一つを礼拝したからである。

31 וַיַּעַשׂ בֵּית אֶת־ בָּמוֹת הִכֲהֲנִים וַיַּעַשׂ מִקְצוֹת הָעָם אֲשֶׁר
そして-造った 家を ～を 高き所の 祭司たちを そして-任命した ～の中から 民の 彼らは
H1961 H3808 H4480 H3548 H1116 H0853 H6213 H7098

לֹא־ הָיוּ מִבְּנֵי לֵוִי׃
～ではなかった いなかった ～の子らから レビの
H3808 H1961 H1121 H3878

彼はまた高き所に家を造り、レビの子孫でない一般の民を祭司に任命した。

32 וַיַּעַשׂ יָרָבְעָם חָג בַּחֹדֶשׁ הַשְּׁמִינִי בַּחֲמִשָּׁה־ עָשָׂר יוֹם
そして-定めた ヤロブアムは 祭りを ～の月の 第八の 十-五の 十五 日に
H6213 H3379 H2282 H2320 H8066 H2568 H6240 H3117

כֶּחָג אֲשֶׁר בִּיהוּדָה וַיַּעַל עַל־ הַמִּזְבֵּחַ כֵּן עָשָׂה
～の祭りのように それは ユダにある そして-上った ～の上に 祭壇の そのように 行った
H2282 H0834 H3063 H5927 H5921 H4196 H3651 H6213

בְּבֵית־אֵל לְזַבֵּחַ לָעֲגָלִים אֲשֶׁר־ עָשָׂה וַיַּעֲמֵד בְּבֵית אֶת־ כֹּהֲנֵי
ベテルで ささげるために 子牛たちに 彼が 造った そして-立てた ベテルに ～を 祭司たちを
H1008 H2076 H5695 H0834 H6213 H5975 H1008 H0853 H3548

הַבָּמוֹת אֲשֶׁר עָשָׂה׃
高き所の 彼が 造った
H1116 H0834 H6213

またヤラベアムはユダで行う祭と同じ祭を八月の十五日に定め、そして祭壇に上った。彼はベテルでそのように行い、彼が造った子牛に犠牲をささげた。また自分の造った高き所の祭司をベテルに立てた。

33 וַיַּעַל עַל־ הַמִּזְבֵּחַ אֲשֶׁר־ עָשָׂה בְּבֵית־אֵל בַּחֲמִשָּׁה עָשָׂר יוֹם בַּחֹדֶשׁ
そして-上った ～の上に 祭壇に 彼が 造った ベテルで 十-五の 十五 日の ～の月の
H5927 H5921 H4196 H0834 H6213 H1008 H2568 H6240 H3117 H2320

הַשְּׁמִינִי בַּחֹדֶשׁ אֲשֶׁר־ בָּדָא מלבדו[ ]מִלִּבּוֹ( ) וַיַּעַשׂ חָג
第八の ～の月に 彼が 考え出した [彼の-心から] (彼の-心から) そして-定めた 祭りを
H8066 H2320 H0834 H0908 H0905 H3820 H6213 H2282

לִבְנֵי יִשְׂרָאֵל וַיַּעַל עַל־ הַמִּזְבֵּחַ לְהַקְטִיר׃ פ
～の子らのための イスラエルの そして-上った ～の上に 祭壇に 香をたくために —
H1121 H3478 H5927 H5921 H4196 H6999

こうして彼はベテルに造った祭壇に八月の十五日に上った。これは彼が自分で勝手に考えついた月であった。そして彼はイスラエルの人々のために祭を定め、祭壇に上って香をたいた。

Chapter 13

1 וְהִנֵּה אִישׁ אֱלֹהִים בָּא מִיהוּדָה בִּדְבַר יְהוָה אֶל־ בֵּית־אֵל
そして-見よ 人が 神の 来た ユダから ～の言葉によって 主の ～へ ベテルへ
H2009 H0376 H0430 H0935 H3063 H1697 H3068 H0413 H1008

וְיָרָבְעָם עֹמֵד עַל־ הַמִּזְבֵּחַ לְהַקְטִיר׃
そして-ヤロブアムは 立っていた ～の上に 祭壇の 香をたくために
H3379 H5975 H5921 H4196 H6999

見よ、神の人が主の命によってユダからベテルにきた。その時ヤラベアムは祭壇の上に立って香をたいていた。

2

מִזְבֵּחַ	מִזְבֵּחַ	וַיֹּאמֶר	יְהוָה	בִּדְבַר	הַמִּזְבֵּחַ	עַל־	וַיִּקְרָא		
祭壇よ	祭壇よ	そして-言った	主の	～の言葉によって	祭壇に	～に向かって	そして-叫んだ		
H4196	H4196	H0559	H3068	H1697	H4196		H7121		
שְׁמוֹ	יֹאשִׁיָּהוּ	דָּוִד	לְבֵית־	נוֹלָד	בֵּן	הִנֵּה־	יְהוָה	אָמַר	כֹּה
名の	ヨシヤという	ダビデの	～の家に	生まれる	子が	見よ	主は	言われる	このように
H8034	H2977	H1732		H3205		H2009	H3068	H0559	H3541
וְעַצְמוֹת	עָלֶיךָ	הַמְקַטְּרִים	הַבָּמוֹת	כֹּהֲנֵי	אֶת־	עָלֶיךָ	וְזָבַח		
そして-骨が	あなたの-上で	香をたく	高き所の	祭司たちを	～を	あなたの-上で	そして-ささげる		
H6106			H1116	H3548	H0853		H2076		
						עָלֶיךָ׃	יִשָּׂרְפוּ	אָדָם	
						あなたの-上で	焼かれる	人の	
							H8313	H0120	

神の人は祭壇にむかい主の命によって呼ばわって言った、「祭壇よ、祭壇よ、主はこう仰せられる、『見よ、ダビデの家にひとりの子が生れる。その名をヨシヤという。彼はおまえの上で香をたく高き所の祭司らを、おまえの上にささげる。また人の骨がおまえの上で焼かれる』」。

3

יְהוָה	דִּבֶּר	אֲשֶׁר	הַמּוֹפֵת	זֶה	לֵאמֹר	מוֹפֵת	הַהוּא	בַּיּוֹם	וְנָתַן
主が	語った	それは	しるしだ	これが	言って	しるしを	その	その-日に	そして-与えた
H3068	H1696		H4159	H2088	H0559	H4159	H1931	H3117	H5414
						עָלָיו׃	אֲשֶׁר־	הַדֶּשֶׁן	וְנִשְׁפַּךְ
						その-上の	それは	灰が	そして-こぼれる
								H1880	H8210
						נִקְרָע	הַמִּזְבֵּחַ	הִנֵּה	
						裂ける	祭壇は	見よ	
						H7167	H4196	H2009	

その日、彼はまた一つのしるしを示して言った、「主の言われたしるしはこれである、『見よ、祭壇は裂け、その上にある灰はこぼれ出るであろう』」。

4

עַל־	קָרָא	אֲשֶׁר	הָאֱלֹהִים	אִישׁ־	דְּבַר	אֶת־	הַמֶּלֶךְ	כִּשְׁמֹעַ	וַיְהִי
～に向かって	叫んだ	それは	神の	人の	言葉を	～を	王が	聞いたとき	そして-なった
	H7121		H0430	H0376	H1697	H0853	H4428	H8085	H1961
וְלֵאמֹר	הַמִּזְבֵּחַ	מֵעַל	יָדוֹ	אֶת־	יָרָבְעָם	וַיִּשְׁלַח	בְּבֵית־אֵל	הַמִּזְבֵּחַ	
言って	祭壇の	～の上から	彼の-手を	～を	ヤロブアムは	そして-伸ばした	ベテルで	祭壇に	
H0559	H4196		H3027	H0853	H3379	H7971	H1008	H4196	
	וְלֹא		עָלָיו	שָׁלַח	אֲשֶׁר	יָדוֹ	וַתִּיבַשׁ	תִּפְשֻׂהוּ	
	そして-できなかった		彼に-向かって	伸ばした	それは	彼の-手は	そして-萎えた	捕らえよ	
	H3808			H7971		H3027	H3001	H8610	
						אֵלָיו׃	לַהֲשִׁיבָהּ	יָכְלָ	
						彼の-もとへ	引き戻すことが	できなかった	
						H0413	H7725	H3201	

ヤラベアム王は、神の人がベテルにある祭壇にむかって呼ばわる言葉を聞いた時、祭壇から手を伸ばして、「彼を捕えよ」と言ったが、彼にむかって伸ばした手が枯れて、ひっ込めることができなかった。

5

אֲשֶׁר	כְּמוֹפֵת	הַמִּזְבֵּחַ	מִן־	הַדֶּשֶׁן	וַיִּשְׁפַּךְ	נִקְרָע	וְהַמִּזְבֵּחַ	
それは	～のしるしの通り	祭壇から	～から	灰が	そして-こぼれた	裂けた	そして-祭壇は	
	H4159	H4196		H1880	H8210	H7167	H4196	
					יְהוָה׃	בִּדְבַר	הָאֱלֹהִים	אִישׁ	נָתָן
					主の	～の言葉によって	神の	人が	与えた
					H3068	H1697	H0430	H0376	H5414

そして神の人が主の言葉をもって示したしるしのように祭壇は裂け、灰は祭壇からこぼれ出た。

6 וַיַּ֣עַן הַמֶּ֔לֶךְ וַיֹּ֥אמֶר אֶל־אִ֖ישׁ הָאֱלֹהִ֑ים חַל־נָ֣א אֶת־פְּנֵ֣י יְהוָ֣ה אֱלֹהֶ֗יךָ וְהִתְפַּלֵּ֤ל בַּעֲדִי֙ וְתָשֹׁ֣ב יָדִ֔י וַתָּ֖שָׁב אֵלָ֑יו כְּבָרִאשֹׁנָֽה׃

そして–答えた 王は 言った そして–に 人に 神の なだめてください ～を どうか ～を 私の–手が そして–戻るように 私のために そして–祈ってください あなたの–神の 主の 御顔を 彼に 王の 手が そして–戻った 主の 御顔を ～を 神の 人は そして–なだめた 私に 以前の–ように そして–なった

H6440 H3068 H0430 H6419 H1157 H7725 H3027 H4428 H0413 H0853 H0430 H0376 H2470 H0413 H7223 H1961

王は神の人に言った、「あなたの神、主に願い、わたしのために祈って、わたしの手をもとに返らせてください」。神の人が主に願ったので、王の手はもとに返って、前のようになった。

7 וַיְדַבֵּ֤ר הַמֶּ֙לֶךְ֙ אֶל־אִ֣ישׁ הָאֱלֹהִ֔ים בֹּ֥אָה־עִמִּ֖י הַבַּ֑יְתָה וְסָעֲדָ֔ה וְאֶתְּנָ֥ה לְךָ֖ מַתָּֽת׃

そして–語った 王は ～に 人に 神の 来なさい 私と–共に 家へ そして–食べなさい 贈り物を あなたに そして–与えよう

H1696 H4428 H0413 H0376 H0430 H0935 H0854 H0582 H4991 H5414

そこで王は神の人に言った、「わたしと一緒に家にきて、身を休めなさい。あなたに謝礼をさしあげましょう」。

8 וַיֹּ֤אמֶר אִישׁ־הָאֱלֹהִים֙ אֶל־הַמֶּ֔לֶךְ אִם־תִּתֶּן־לִ֥י אֶת־חֲצִ֖י בֵּיתֶ֑ךָ לֹ֣א אֶבֹ֔א וְלֹ֥א אֹכַ֖ל לֶ֑חֶם וְלֹ֣א עִמָּ֔ךְ אָבָ֥א וְלֹ֖א לִ֣י בְּיתֶ֑ךָ אֶשְׁתֶּה־מַּ֖יִם בַּמָּקוֹם֙ הַזֶּ֔ה׃

そして–言った 人は ～に 神の 王に もし 与えても 私に ～を 半分を 飲まない 水を この この–場所で 入らない 食べない パンを そして–しない 共に あなたと 家の しない 入らない そして–しない

H0559 H0376 H0430 H0413 H0559 H4428 H0518 H5414 H0853 H2677 H8354 H4325 H2088 H4725 H0935 H0398 H3899 H3808 H5973 H6311 H3808

神の人は王に言った、「たとい、あなたの家の半ばをくださっても、わたしはあなたと一緒にまいりません。またこの所では、パンも食べず水も飲みません。

9 כִּֽי־כֵ֣ן צִוָּ֤ה אֹתִי֙ בִּדְבַ֣ר יְהוָ֔ה לֵאמֹ֕ר לֹא־תֹאכַ֥ל לֶ֖חֶם וְלֹ֣א תִשְׁתֶּ֑ה מַּ֔יִם וְלֹ֣א תָשׁ֔וּב בַּדֶּ֖רֶךְ אֲשֶׁ֥ר הָלַ֖כְתָּ׃

なぜなら そのように 命じた 私に ～を 主の ～の言葉によって 言って してはならない 食べては 飲んでは 水を そして–しては 帰っては 道で ～の 来た それは

H3808 H0398 H3899 H3808 H4325 H8354 H3808 H7725 H1870 H1980 H0834

主の言葉によってわたしは、『パンを食べてはならない、水を飲んではならない。また来た道から帰ってはならない』と命じられているからです」。

10 וַיֵּלֶךְ בְּדֶרֶךְ אַחֵר וְלֹא־שָׁב בַּדֶּרֶךְ אֲשֶׁר בָּא בָהּ׃ פ בָּא־אֵל בֵּית־אֵל׃

וַיֵּלֶךְ	בְּדֶרֶךְ	אַחֵר	וְלֹא־	שָׁב	בַּדֶּרֶךְ	אֲשֶׁר	בָּא	בָהּ	
そして–行った	～の道で	別の	そして–しなかった	帰らなかった	～の道で	それは	来た	それを通って	
H3212	H1870	H0312	H3808	H7725	H1870	H0935			
							פ	בָּא־אֵל	בֵּית־אֵל׃
							—	～へ	ベテルへ
								H0413	H1008

こうして彼はほかの道を行き、ベテルに来た道からは帰らなかった。

11 וְנָבִיא אֶחָד זָקֵן יֹשֵׁב בְּבֵית־אֵל וַיָּבוֹא בְנֹו וַיְסַפֵּר־

וְנָבִיא	אֶחָד	זָקֵן	יֹשֵׁב	בְּבֵית־אֵל	וַיָּבוֹא	בְנֹו	וַיְסַפֵּר־
そして–預言者が	ひとりの	老いた	住んでいた	ベテルに	そして–来た	彼の–息子が	そして–語った
H5030	H0259	H2205	H3427	H1008	H0935		

לֹו אֶת־כָּל־הַמַּעֲשֶׂה אֲשֶׁר־עָשָׂה אִישׁ־הָאֱלֹהִים הַיֹּום בְּבֵית־אֵל אֶת־הַדְּבָרִים

לֹו	אֶת־	כָּל־	הַמַּעֲשֶׂה	אֲשֶׁר־	עָשָׂה	אִישׁ־	הָאֱלֹהִים	הַיֹּום	בְּבֵית־אֵל
彼に	～を	すべての	行いを	それは	行った	人が	神の	今日	ベテルで
	H0853	H3605	H4639			H0376	H0430	H3117	H1008

אֲשֶׁר דִּבֶּר אֶל־הַמֶּלֶךְ וַיְסַפְּרוּם לַאֲבִיהֶם׃

אֲשֶׁר	דִּבֶּר	אֶל־	הַמֶּלֶךְ	וַיְסַפְּרוּם		לַאֲבִיהֶם׃
それは	語った	～に	王に	そして–語った		彼らの–父に
	H1696	H0413	H4428			H0001
אֲשֶׁר	דִּבֶּר	אֶל־	הַמֶּלֶךְ	וַיְסַפְּרוּם		לַאֲבִיהֶם׃
それは	言葉を	～に	王に	そして–語った		彼らの–父に
H1697		H0413	H4428			H0001

さてベテルにひとりの年老いた預言者が住んでいたが、そのむすこたちがきて、その日神の人がベテルでした事どもを彼に話した。また神の人が王に言った言葉をもその父に話した。

12 וַיִּרְאוּ הָלָךְ הַדֶּרֶךְ זֶה אֵי־ אֲבִיהֶם אֱלֹהֶם וַיְדַבֶּר

וַיִּרְאוּ	הָלָךְ	הַדֶּרֶךְ	זֶה	אֵי־	אֲבִיהֶם	אֱלֹהֶם	וַיְדַבֶּר	
そして–見ていた	行ったのか	道を	この	どこの	彼らの–父は	彼らに	そして–語った	
H7200	H1980	H1870	H2088	H0335	H0001	H0413	H1696	

בָּנָיו אֶת־הַדֶּרֶךְ אֲשֶׁר הָלַךְ אִישׁ הָאֱלֹהִים אֲשֶׁר בָּא מִיהוּדָה׃

בָּנָיו	אֶת־	הַדֶּרֶךְ	אֲשֶׁר	הָלַךְ	אִישׁ	הָאֱלֹהִים	אֲשֶׁר־	בָּא	מִיהוּדָה׃
彼の–息子たちは	～を	道を	それは	行った	人が	神の	それは	来た	ユダから
	H0853	H1870		H1980	H0376	H0430		H0935	H3063

父が彼らに「その人はどの道を行ったか」と聞いたので、むすこたちはユダからきた神の人の行った道を父に示した。

13 וַיֹּאמֶר אֶל־ בָּנָיו חִבְשׁוּ־ לִי הַחֲמֹור וַיַּחְבְּשׁוּ־ לֹו

וַיֹּאמֶר	אֶל־	בָּנָיו	חִבְשׁוּ־	לִי	הַחֲמֹור	וַיַּחְבְּשׁוּ־	לֹו
そして–言った	～に	彼の–息子たちに	鞍を–置け	私に	ろばに	そして–鞍を–置いた	彼に
H0559	H0413		H2280		H2543	H2280	

עָלָיו׃ וַיִּרְכַּב הַחֲמֹור

עָלָיו׃	וַיִּרְכַּב	הַחֲמֹור
それに	そして–乗った	ろばに
	H7392	H2543

父はむすこたちに言った、「わたしのためにろばにくらを置きなさい」。彼らがろばにくらを置いたので、彼はそれに乗り、

14 וַיֵּלֶךְ אַחֲרֵי אִישׁ הָאֱלֹהִים וַיִּמְצָאֵהוּ הָאֱלֹהִים יֹשֵׁב תַּחַת הָאֵלָה

וַיֵּלֶךְ	אַחֲרֵי	אִישׁ	הָאֱלֹהִים	וַיִּמְצָאֵהוּ	יֹשֵׁב	תַּחַת	הָאֵלָה	
そして–行った	～の後を	人の	神の	そして–見つけた	座っている	～の下に	テレビンの–木の	
H3212		H0376	H0430	H4672	H3427	H8478	H0424	

וַיֹּאמֶר אֵלָיו הַאַתָּה אִישׁ־ הָאֱלֹהִים אֲשֶׁר־ בָּאתָ מִיהוּדָה וַיֹּאמֶר אָנִי׃

וַיֹּאמֶר	אֵלָיו	הַאַתָּה	אִישׁ־	הָאֱלֹהִים	אֲשֶׁר־	בָּאתָ	מִיהוּדָה	וַיֹּאמֶר	אָנִי׃
そして–言った	彼に	あなたか	人は	神の	それは	来た	ユダから	そして–言った	私です
H0559	H0413		H0376	H0430		H0935	H3063	H0559	H0589

神の人のあとを追って行き、かしの木の下にすわっているのを見て、その人に言った、「あなたはユダからこられた神の人ですか」。その人は言った、「そうです」。

15 וַיֹּאמֶר אֵלָיו לֶךְ אִתִּי הַבָּיְתָה וְאֹכֵל לָחֶם׃

וַיֹּאמֶר	אֵלָיו	לֶךְ	אִתִּי	הַבָּיְתָה	וְאֹכֵל		לָחֶם׃
そして–言った	彼に	行こう	私と–共に	家へ	そして–食べよう		パンを
H0559	H0413	H3212	H0854		H0398		H3899

そこで彼はその人に言った、「わたしと一緒に家にきてパンを食べてください」。

16 וַיֹּאמֶר לֹא אוּכַל לָשׁוּב אִתָּךְ וְלָבוֹא אִתָּךְ
そして-言った できない 帰ることが あなたと-共に そして-入ることが あなたと-共に
H0559 H3808 H3201 H7725 H0854 H0935 H0854

וְלֹא־אֹכַל לֶחֶם וְלֹא־אֶשְׁתֶּה אִתְּךָ מַיִם בַּמָּקוֹם הַזֶּה׃
そして-しない パンを 食べない そして-しない 飲まない あなたと-共に 水を この-場所で この
H3808 H3899 H0398 H3808 H8354 H0854 H4325 H4725 H2088

その人は言った、「わたしはあなたと一緒に引き返すことはできません。あなたと一緒に行くことはできません。またわたしはこの所であなたと一緒にパンも食べず水も飲みません。

17 כִּי־דָבָר דִּבֶּר אֵלַי בִּדְבַר יְהוָה לֹא־תֹאכַל לֶחֶם
なぜなら 語られた 私に ～の言葉によって 主の してはならない 食べては パンを
H3588 H1697 H0413 H1697 H3068 H3808 H0398 H3899

וְלֹא־תִשְׁתֶּה מַיִם שָׁם תָּשׁוּב לֹא־תָשׁוּב לָלֶכֶת בַּדֶּרֶךְ אֲשֶׁר־
そして-しては 飲んでは 水を そこで 帰っては してはならない 行くために ～の道で それは
H3808 H8354 H4325 H8033 H7725 H3808 H3212 H1870 H3588

הָלַכְתָּ בָּהּ׃
それを通って 来た
H1980

主の言葉によってわたしは、『その所でパンを食べてはならない、水を飲んではならない。また来た道から帰ってはならない』と言われているからです」。

18 וַיֹּאמֶר לוֹ גַּם־אֲנִי נָבִיא כָּמוֹךָ וּמַלְאָךְ דִּבֶּר אֵלַי
そして-言った 彼に また 私も 預言者だ あなたのように そして-御使いが 語った 私に
H0559 H0589 H1571 H5030 H3644 H4397 H1696 H0413

אֵלֶיךָ לֵאמֹר הֲשִׁבֵהוּ אִתְּךָ אֶל־בֵּיתֶךָ וְיֹאכַל
～へ あなたと-共に 連れ戻せ 言って 主の ～の言葉によって そして-食べさせよ あなたの-家へ
H0413 H0854 H7725 H0559 H3068 H1697 H0398 H0413

לֶחֶם וְיִשְׁתְּ מַיִם כִּחֲשׁ־לוֹ׃
パンを そして-飲ませよ 水を 偽った 彼に
H3899 H8354 H4325 H3584

彼はその人に言った、「わたしもあなたと同じ預言者ですが、天の使が主の命によってわたしに告げて、『その人を一緒に家につれ帰り、パンを食べさせ、水を飲ませよ』と言いました」。これは彼がその人を欺いたのである。

19 וַיָּשָׁב וַיֹּאכַל לַחְמוֹ בְּבֵיתוֹ וַיֵּשְׁתְּ מָיִם׃
そして-帰った そして-食べた パンを 彼の-家で そして-飲んだ 水を
H7725 H0398 H3899 H1004 H8354 H4325

そこでその人は彼と一緒に引き返し、その家でパンを食べ、水を飲んだ。

20 וַיְהִי הֵם יֹשְׁבִים אֶל־הַשֻּׁלְחָן וַיְהִי דְבַר־יְהוָה אֶל־
そして-なった 彼らは 座っていた ～で 食卓で — そして-あった 言葉が 主の ～に
H1961 H1992 H3427 H0413 H7979 H6440 H1961 H1697 H3068 H0413

הַנָּבִיא אֲשֶׁר הֱשִׁיבוֹ׃
預言者に それは 連れ戻した
H5030 H3588 H7725

彼らが食卓についていたとき、主の言葉が、その人をつれて帰った預言者に臨んだので、

21 וַיִּקְרָ֣א אֶל־אִ֣ישׁ הָאֱלֹהִ֗ים בָּ֤א אֲשֶׁר־מִיהוּדָה֙ לֵאמֹ֔ר כֹּ֥ה אָמַ֖ר
そして–叫んだ ～に 人に 神の それは 来た ユダから 言って このように 言われる
H7121 H0413 H0376 H0430 H0935 H3063 H0559 H3541 H0559

יְהוָ֔ה יַ֚עַן כִּֽי־מָרִ֣יתָ פִּ֔י יְהוָ֖ה אֶת־שִׁמְרָתָ֑ וְלֹ֣א אֶת־
主は ～のゆえに なぜなら 背いた 口に 主の ～を 守らなかった そして–守らなかった ～を
H3068 H3282 H3588 H4784 H6310 H3068 H0853 H8104 H3808 H0853

הַמִּצְוָ֕ה אֲשֶׁ֥ר צִוְּךָ֖ יְהוָ֣ה אֱלֹהֶ֑יךָ׃
命令を それは 命じた 主が あなたの–神が
H4687 H0834 H6680 H3068 H0430

彼はユダからきた神の人にむかい呼ばわって言った、「主はこう仰せられます、『あなたが主の言葉にそむき、あなたの神、主がお命じになった命令を守らず、

22 וַתָּ֣שָׁב וַתֹּ֣אכַל לֶ֔חֶם וַתֵּ֣שְׁתְּ מַ֔יִם בַּמָּק֕וֹם אֲשֶׁ֥ר דִּבֶּ֛ר
そして–帰って そして–食べた パンを そして–飲んだ 水を この–場所で それは 語った
H7725 H0398 H3899 H8354 H4325 H4725 H0834 H1696

אֵלֶ֙יךָ֙ אַל־תֹּ֣אכַל לֶ֔חֶם וְאַל־תֵּ֣שְׁתְּ מַ֔יִם לֹא־תָבֹ֖וא
あなたに してはならない 食べては パンを そして–しては 飲んでは 水を 入らない 入らない
H0413 H0408 H0398 H3899 H0408 H8354 H4325 H3808 H0935

נִבְלָתְךָ֖ אֶל־קֶ֣בֶר אֲבֹתֶֽיךָ׃
あなたの–死体は ～に 墓に あなたの–先祖の
H5038 H0413 H6913 H0001

引き返して、主があなたに、パンを食べてはならない、水を飲んではならない、と言われた場所でパンを食べ、水を飲んだゆえ、あなたの死体はあなたの先祖の墓に行かないであろう』」。

23 וַיְהִ֗י אַחֲרֵי֙ אָכְלוֹ֣ לֶ֔חֶם וְאַחֲרֵי֙ שְׁתוֹתֹ֔ו וַיַּחֲבֹ֥שׁ־לֹ֖ו
そして–なった ～の後 彼が–食べた パンを そして–～の後 彼が–飲んだ そして–鞍を–置いた 彼に
H1961 H0310 H0398 H3899 H0310 H8354 H2280 H0376

הַנָּבִ֖יא אֲשֶׁ֣ר הֱשִׁיבֹֽו׃
預言者の–ために それは 連れ戻した
H5030 H0834 H7725

ろばに
H2543

そしてその人がパンを食べ、水を飲んだ後、彼はその人のため、すなわちつれ帰った預言者のためにろばにくらを置いた。

24 וַיֵּ֣לֶךְ וַיִּמְצָאֵ֤הוּ אַרְיֵה֙ בַּדֶּ֔רֶךְ וַיְמִיתֵ֑הוּ וַתְּהִ֤י נִבְלָתֹו֙
そして–行った そして–見つけた 獅子が 道で そして–殺した そして–あった 彼の–死体は
H3212 H4672 H0738 H1870 H4191 H1961 H5038

מֻשְׁלֶ֣כֶת בַּדֶּ֔רֶךְ וְהַחֲמֹ֖ור עֹמֵ֣ד אֵצֶ֑ל אֵצֶל֙ עֹמֵ֣ד
投げ出されて 道に そして–ろばは 立っていた そばに 立っていた そばに そして–獅子は 立っていた そばに
H7993 H1870 H2543 H5975 H0681 H5975 H0681 H0738 H5975 H0681

הַנִּבְלָֽה׃
死体の
H5038

こうしてその人は立ち去ったが、道でししが彼に会って彼を殺した。そしてその死体は道に捨てられ、ろばはそのかたわらに立ち、ししもまた死体のかたわらに立っていた。

25 וְהִנֵּה אֲנָשִׁים עֹבְרִים וַיִּרְאוּ֙ אֶת־הַנְּבֵלָ֔ה מֻשְׁלֶכֶת֙ בַּדֶּ֔רֶךְ
人々が 通りかかり そして-見た 死体が 投げ出されている 道に
H0376 H5674 H7200 H0853 H5038 H7993 H1870

וְאֶת־הָאַרְיֵ֖ה עֹמֵ֣ד אֵצֶ֑ל הַנְּבֵלָ֗ה וַיָּבֹ֙אוּ֙ וַיְדַבְּר֣וּ בָּעִ֔יר אֲשֶׁ֥ר
そして-〜を 獅子が 立っている そばに 死体の そして-来て そして-語った 町で そこに
H0853 H0738 H5975 H0681 H5038 H0935 H1696 H1931

הַנָּבִ֥יא הַזָּקֵ֖ן יֹשֵׁ֥ב בָּֽהּ׃
預言者が 老いた 住んでいる そこに
H5030 H2205 H3427

人々はそこをとおって、道に捨てられている死体と、死体のかたわらに立っているしし を見て、かの老預言者の住んでいる町にきてそれを話した。

26 וַיִּשְׁמַ֣ע הַנָּבִיא֮ אֲשֶׁ֣ר הֱשִׁיבוֹ֒ מִן־הַדֶּ֣רֶךְ֮ וַיֹּאמֶר֒ אִ֣ישׁ הָאֱלֹהִ֗ים
そして-聞いた 預言者は それは 連れ戻した 〜から 道から そして-言った 人だ 神の
H8085 H5030 H0834 H7725 H4480 H1870 H0559 H0376 H0430

הַמֶּ֔רָה אֲשֶׁ֥ר דִּבֶּר־אֵלָ֖יו יְהוָ֑ה וַיִּתְּנֵ֤הוּ יְהוָה֙ לָֽאַרְיֵ֔ה וַיְשַׁבְּרֵ֖הוּ
背いた それは 〜に 口に 主の 主が 渡した そして-打ち砕き 獅子に
H4784 H0834 H0413 H6310 H3068 H3068 H5414 H7665 H0738

וַיְמִתֵ֕הוּ כִּדְבַ֥ר יְהוָ֖ה אֲשֶׁ֣ר דִּבֶּר־ל֑וֹ׃
そして-殺した 〜の言葉の通り 主の それは 語った 彼に
H4191 H1697 H3068 H0834 H1696 H0413

その人を道からつれて帰った預言者はそれを聞いて言った、「それは主の言葉にそむいた神の人だ。主が彼に言われた言葉のように、主は彼をししにわたされ、ししが彼を裂き殺したのだ」。

27 וַיְדַבֵּ֣ר אֶל־בָּנָ֔יו לֵאמֹ֖ר חִבְּשׁ־לִ֣י אֶת־הַחֲמ֑וֹר
そして-語った 〜に 彼の-息子たちに 言って 鞍を-置け 私に 〜を ろばに
H1696 H0413 H1121 H0559 H2280 H0853 H2543

וַיַּחֲבֹֽשׁוּ׃
そして-鞍を-置いた
H2280

そしてむすこたちに言った、「わたしのためにろばにくらを置きなさい」。彼らがくらを置いたので、

28 וַיֵּ֖לֶךְ וַיִּמְצָ֣א אֶת־נִבְלָת֗וֹ מֻשְׁלֶכֶת֙ בַּדֶּ֔רֶךְ וַחֲמ֥וֹר
そして-行って そして-見つけた 〜を 彼の-死体が 投げ出されている 道に そして-ろばと
H3212 H4672 H0853 H5038 H7993 H1870 H2543

וְהָאַרְיֵ֖ה עֹמֵ֣ד אֵצֶ֑ל הַנְּבֵלָ֗ה לֹֽא־אָכַ֙ל֙ אֶת־הַחֲמ֔וֹר וְלֹ֥א שָׁבַ֖ר אֶת־הָאַרְיֵֽה׃
そして-獅子が 立っていた そばに 死体の 食べなかった 〜を ろばは そして-しなかった 〜を 獅子は
H0738 H5975 H0681 H5038 H3808 H0398 H0853 H2543 H3808 H0853 H0738

彼は行って、死体が道に捨てられ、ろばとししが死体のかたわらに立っているのを見た。ししはその死体を食べず、ろばも裂いていなかった。

29 וַיִּשָּׂ֣א הַנָּבִיא֮ אֶת־נִבְלַת֒ אִ֣ישׁ הָאֱלֹהִ֗ים וַיַּנִּחֻ֙הוּ֙ אֶל־הַחֲמ֔וֹר
そして-持ち上げた 預言者は 〜を 死体を 人の 神の そして-載せた 〜の上に ろばの
H5375 H5030 H0853 H5038 H0376 H0430 H3240 H0413 H2543

וַיְשִׁיבֵ֑הוּ לִסְפֹּ֤ד הַזָּקֵן֙ הַנָּבִ֣יא וּלְקָבְרוֹ֔׃ עִ֖יר אֶל־וַיָּבֹ֥א
そして-連れ帰った 嘆くために 老いた 預言者の 町へ 〜へ そして-来た
H7725 H5594 H2205 H5030 H5892 H0413 H0935

וּלְקָבְרוֹ׃
そして-葬るために
H6912

そこで預言者は神の人の死体を取りあげ、それをろばに載せて町に持ち帰り、悲しんでそれを葬った。

30 וַיִּנַּח אֶת־ נִבְלָתוֹ בְּקִבְרוֹ וַיִּסְפְּדוּ עָלָיו הוֹי אָחִי׃
そして-置いた 〜を 彼の-死体を 彼の-墓に そして-嘆いた 彼のために ああ わが-兄弟よ
H3240 H0853 H5038 H6913 H5594 H1945 H0251

すなわちその死体を自分の墓に納め、皆これがために「ああ、わが兄弟よ」と言って悲しんだ。

31 וַיְהִי אַחֲרֵי קָבְרוֹ אֹתוֹ וַיֹּאמֶר אֶל־ בָּנָיו לֵאמֹר
そして-なった 〜の後 葬った 彼を そして-言った 〜に 彼の-息子たちに 言って
H1961 H6912 H0853 H0559 H0413 H0559

בְּמוֹתִי וּקְבַרְתֶּם אֹתִי בַּקֶּבֶר אֲשֶׁר הָאִישׁ אֱלֹהִים קָבוּר בּוֹ אֵצֶל
私が-死んだら そして-葬れ 私を 墓に そこに 人が 神の 葬られている そこに そばに
H4191 H6912 H0853 H6913 H0834 H0376 H0430 H6912 H0834 H0681

עַצְמֹתָיו הַנִּיחוּ אֶת־ עַצְמֹתָי׃
彼の-骨の 置け 〜を 私の-骨を
H6106 H3240 H0853 H6106

彼はそれを葬って後、むすこたちに言った、「わたしが死んだ時は、神の人を葬った墓に葬り、わたしの骨を彼の骨のかたわらに納めなさい。

32 כִּי הָיֹה יִהְיֶה הַדָּבָר אֲשֶׁר קָרָא בִּדְבַר יְהוָה עַל־ הַמִּזְבֵּחַ
なぜなら 必ず なる 言葉が それは 叫んだ 〜の言葉によって 主の 〜に向かって 祭壇に
H3588 H1961 H1961 H1697 H0834 H7121 H1697 H3068 H5921 H4196

בְּבֵית־ אֵל וְעַל כָּל־ בָּתֵּי הַבָּמוֹת אֲשֶׁר בְּעָרֵי שֹׁמְרוֹן׃ פ
ベテルにある それは そして-〜に向かって すべての 家々に 高き所の それは 〜の町々にある サマリアの
H1008 H0834 H5921 H3605 H1004 H1116 H0834 H8111 H6

彼が主の命によって、ベテルにある祭壇にむかい、またサマリヤの町々にある高き所のすべての家にむかって呼ばわった言葉は必ず成就するのです」。

33 אַחַר הַדָּבָר הַזֶּה לֹא־ שָׁב יָרָבְעָם מִדַּרְכּוֹ הָרָעָה
〜の後に この-事の この しなかった 立ち返らなかった ヤロブアムは 彼の-悪い-道から 悪い
H0310 H1697 H2088 H3808 H7725 H3379 H1870 H7451

וַיַּעַשׂ מִקְצוֹת הָעָם כֹּהֲנֵי בָמוֹת הַחֵפֵץ יָמַלֵּא אֶת־
そして-任命した 〜の中から 民の 祭司たちを 高き所の 望む者は 任命した 〜を
H3947 H7098 H5971 H3548 H1116 H2655 H4390 H0853

וַיְהִי כֹהֲנֵי בָמוֹת׃ יָדוֹ
そして-なった 祭司たちに 高き所の 彼の-手を
H1961 H3548 H1116 H3027

この事の後も、ヤラベアムはその悪い道を離れて立ち返ることをせず、また一般の民を、高き所の祭司に任命した。すなわち、だれでも好む者は、それを立てて高き所の祭司とした。

34 וְלְהַכְחִיד וּלְהַשְׁמִיד מֵעַל פְּנֵי הָאֲדָמָה׃ פ
そして-滅ぼすために 〜の上から 面から 地の —
H8045 H5921 H6440 H0127

וּלְהַכְחִיד יָרָבְעָם בֵּית לְחַטָּאת הַזֶּה בַּדָּבָר וַיְהִי
そして-断ち切るために ヤロブアムの 家の 罪と この この-事に そして-なった
H3582 H3379 H1004 H2403 H2088 H1697 H1961

この事はヤラベアムの家の罪となって、ついにこれを地のおもてから断ち滅ぼすようになった。

Chapter 14

1	בָּעֵת	הַהִוא	חָלָה	אֲבִיָּה	בֶּן־	יָרָבְעָם׃
	～の時に	その	病気になった	アビヤは	息子の	ヤロブアムの
	H6256	H1931		H0029		H3379

そのころヤラベアムの子アビヤが病気になったので、

2	וַיֹּאמֶר	יָרָבְעָם	לְאִשְׁתּוֹ	קוּמִי	נָא	וְהִשְׁתַּנִּית
	そして–言った	ヤロブアムは	彼の–妻に	立ちなさい	どうか	そして–変装しなさい
	H0559	H3379	H0802		H4994	

וְהָלַכְתְּ	יָרָבְעָם	אֵשֶׁת	(אַתְּ)	[אתי]	כִּי־	יֵדְעוּ	וְלֹא	
そして–行け	ヤロブアムの	妻だと	(あなたが)	[あなたが]	～ことを	知られない	そして–しないように	
H1980	H3379	H0802				H3045	H3808	

עַל־	לְמֶלֶךְ	עָלָי	דִּבֶּר	הוּא־	הַנָּבִיא	אֲחִיָּה	שָׁם	הִנֵּה־	שִׁלֹה
～の上に	王として	私に–ついて	語った	彼が	預言者の	アヒヤがいる	そこに	見よ	シロへ
	H4428		H1696	H1931	H5030	H0281	H8033	H2009	H7887

הָעָם׃	הַזֶּה
この–民の	この
	H2088

ヤラベアムは妻に言った、「立って姿を変え、ヤラベアムの妻であることの知られないようにしてシロへ行きなさい。わたしがこの民の王となることを、わたしに告げた預言者アヒヤがそこにいます。

3	וּבָאת	דְּבַשׁ	וּבַקְבָּק	וְנִקֻּדִים	לֶחֶם	עֲשָׂרָה	בְּיָדֵךְ	וְלָקַחַתְּ
	そして–行け	蜜の	そして–壺の	そして–菓子と	パンと	十の	あなたの–手に	そして–取りなさい
	H0935	H1706	H1228	H5350	H3899	H6235	H3027	H3947

לַנָּעַר׃	יִהְיֶה	מַה־	לָּךְ	יַגִּיד	הוּא	אֵלָיו
子に	なるかを	何が	あなたに	告げるだろう	彼が	彼のもとへ
H5288	H1961	H4100		H5046	H1931	H0413

パン十個と菓子数個および、みつ一びんを携えて彼のところへ行きなさい。彼はこの子がどうなるかをあなたに告げるでしょう」。

4	וַתָּבֹא	שִׁלֹה	וַתֵּלֶךְ	וַתָּקָם	יָרָבְעָם	אֵשֶׁת	כֵּן	וַתַּעַשׂ
	そして–来た	シロへ	そして–行った	そして–立ち	ヤロブアムの	妻は	そのように	そして–行った
	H0935	H7887	H3212		H3379	H0802		

קָמוּ	כִּי	לִרְאוֹת	יָכֹל	לֹא־	וַאֲחִיָּהוּ	אֲחִיָּה	בֵּית	
かすんでいた	なぜなら	見ることが	できなかった	できなかった	そして–アヒヤは	アヒヤの	家へ	
		H7200	H3201	H3808	H0281	H0281		

ס	מִשֵּׁיבוֹ׃		עֵינָיו
—	老齢のために		彼の–目が
	H7869		

ヤラベアムの妻はそのようにして、立ってシロへ行き、アヒヤの家に着いたが、アヒヤは年老いたため、目がかすんで見ることができなかった。

5 וַיהוָ֔ה אָמַ֖ר אֶל־אֲחִיָּ֑הוּ הִנֵּ֣ה אֵ֔שֶׁת יָרָבְעָ֖ם בָּאָ֣ה לִדְרֹ֣שׁ דָּבָ֗ר מֵֽעִמָּךְ֙ כִּֽי־חֹלָ֣ה בְנָ֔הּ כָּזֹ֖ה וְכָזֶ֑ה וְהִ֣יא מִתְנַכֶּ֔רֶת׃

言われた そして-主は 見よ アヒヤに ～に 妻が ヤロブアムの 来る 尋ねるために 言葉を
H0559 H3068 H2009 H0281 H0413 H0802 H3379 H0935 H1875 H1697

彼は 病気だ なぜなら 彼女の-息子に ～について あなたから このように そして-このように
H1931 H2090 H2088

変装している そして-彼女は 彼女が-来たとき そして-なる 彼女に 語れ
H1931 H0935 H1961 H0413 H1696

しかし主はアヒヤに言われた、「ヤラベアムの妻が子供の事をあなたに尋ねるために来る。子供は病気だ。あなたは彼女にこうこう言わなければならない」。彼女は来るとき、他人を装っていた。

6 וַיְהִ֗י כִּשְׁמֹ֤עַ אֲחִיָּהוּ֙ אֶת־קוֹל֙ רַגְלֶ֔יהָ בָּאָ֖ה בַּפָּ֑תַח וַיֹּ֙אמֶר֙ בֹּ֣אִי גְּבִרְעָ֔ם לָ֥מָּה זֶּ֖ה אַ֣תְּ מִתְנַכָּ֑רֶת וְאָנֹכִ֖י שָׁלוּחַ֙ אֵלַ֔יִךְ קָשֶׁ֖ה׃

そして-なった 聞いたとき アヒヤが ～を 音を 彼女の-足の 来る 入口に そして-言った
H1961 H8085 H0281 H0853 H7272 H0935 H6607 H0559

入りなさい 妻よ ヤロブアムの なぜ このように あなたは 変装しているのか そして-私は
H0935 H0802 H3379 H4100 H2088 H0859 H4818 H0595

厳しいことを あなたに 遣わされている
H7186 H0413 H7971

しかし彼女が戸口にはいってきたとき、アヒヤはその足音を聞いて言った、「ヤラベアムの妻よ、はいりなさい。なぜ、他人を装うのですか。わたしはあなたにきびしい事を告げるよう、命じられています。

7 לְכִ֣י אֱמֹ֔רִי לְיָרָבְעָ֖ם כֹּ֣ה ׀ אָמַ֣ר יְהוָ֣ה אֱלֹהֵ֣י יִשְׂרָאֵ֑ל יַ֚עַן אֲשֶׁ֣ר הֲרִימֹתִ֣יךָ מִתּ֔וֹךְ וָאֶתֶּנְךָ֙ נָגִ֔יד עַ֖ל עַמִּ֥י יִשְׂרָאֵֽל׃

行け 言え ヤロブアムに このように 言われる 主は 神の イスラエルの ～のゆえに それは
H3212 H0559 H3379 H3541 H4448 H3068 H0430 H3478 H3282

高く上げた ～の中から 民の 指導者として そして-立てた 私の-民の ～の上に イスラエルの
H7311 H8432 H5971 H5057 H5414 H5971 H5921 H3478

行ってヤラベアムに言いなさい、『イスラエルの神、主はこう仰せられる、「わたしはあなたを民のうちからあげ、わたしの民イスラエルの上に立てて君とし、

8 וָאֶקְרַ֤ע אֶת־הַמַּמְלָכָה֙ מִבֵּ֣ית דָּוִ֔ד וָאֶתְּנָ֖הּ לָ֑ךְ וְלֹא־הָיִ֣תָ כְּעַבְדִּ֗י דָּוִד֙ אֲשֶׁ֣ר שָׁמַ֔ר מִצְוֹתַ֖י וַאֲשֶׁ֣ר הָלַ֔ךְ אַחֲרַ֕י לַעֲשׂ֥וֹת רַ֖ק הַיָּשָׁ֣ר בְּעֵינָֽי׃

そして-引き裂いた ～を 王国を ～の家から ダビデの 与えた そして-あなたに
H7167 H0853 H4467 H1004 H1732 H5414

それなのに-しなかった ならなかった ～のように ダビデの それは 守った 私の-戒めを
H3808 H1961 H5650 H1732 H0834 H8104 H4687

そして-それは 歩んだ 私の-後に ～のすべての 彼の-心で 行うために ただ 正しいことを
H0834 H1980 H0310 H3824 H6213 H7535 H3477

私の-目に
H5869

国をダビデの家から裂き離して、それをあなたに与えたのに、あなたはわたしのしもべダビデが、わたしの命令を守って一心にわたしに従い、ただわたしの目にかなった事のみを行ったようにではなく、

9 וַתֵּ֣רַע לַעֲשׂ֔וֹת מִכֹּ֖ל אֲשֶׁר־הָי֣וּ לְפָנֶ֑יךָ וַתֵּ֣לֶךְ
そして-悪を行った 行うことにおいて ～よりも それは いた あなたの-前に そして-行って
H7489 H6213 H3605 H834 H1961 H6440 H3212

וַתַּ֣עַשׂ־לְךָ֗ אֱלֹהִים֙ אֲחֵרִ֔ים וּמַסֵּכוֹת֙ לְהַכְעִיסֵ֔נִי וְאֹתִ֖י
そして-造った 自分のために 神々を 他の そして-鋳物を 私を-怒らせるために そして-私を
H6213 H0430 H0312 H4541 H3707 H0853

הִשְׁלַ֥כְתָּ אַחֲרֵ֖י גֵּוֶֽךָ׃ ס
捨てた ～の後ろに あなたの-背の ―
H7993 H1458

あなたよりも先にいたすべての者にまさって悪をなし、行って自分のために他の神々と鋳た像を造り、わたしを怒らせ、わたしをうしろに捨て去った。

10 לָכֵ֗ן הִנְנִי֙ מֵבִ֣יא רָעָ֔ה אֶל־בֵּ֖ית יָרָבְעָ֑ם וְהִכְרַתִּ֤י לְיָרָבְעָם֙
それゆえ 見よ-私は もたらす わざわいを ～に 家に ヤロブアムの そして-断つ ヤロブアムの
H3651 H2009 H0935 H7451 H0413 H1004 H3379 H3772 H3379

מַשְׁתִּ֣ין בְּקִ֔יר וְעָצ֥וּר וְעָזֽוּב בְּיִשְׂרָאֵ֑ל וּבִעַרְתִּי֙ אַחֲרֵ֣י
男子を 壁に尿する 束縛された者も そして-自由な者も イスラエルの中の そして-燃やす ～の後を
H8366 H7023 H6113 H5800 H3478 H1197 H310

בֵּ֥ית יָרָבְעָ֖ם כַּאֲשֶׁ֣ר יְבַעֵ֣ר הַגֶּ֑לֶל עַד־תֻּמּֽוֹ׃
家の ヤロブアムの ～のように 燃やす 糞を ～まで 完全に
H1004 H3379 H3588 H1197 H1557 H5704 H8552

それゆえ、見よ、わたしはヤラベアムの家に災を下し、ヤラベアムに属する男は、イスラエルについて、つながれた者も、自由な者もことごとく断ち、人があくたを残りなく焼きつくすように、ヤラベアムの家を全く断ち滅ぼすであろう。

11 הַמֵּ֤ת לְיָרָבְעָם֙ בָּעִ֣יר יֹאכְל֔וּ הַכְּלָבִ֖ים וְהַמֵּ֣ת בַּשָּׂדֶ֑ה יֹאכְל֖וּ
死ぬ者は ヤロブアムの 町で 食う 犬が そして-死ぬ者は 野で 食う
H4191 H3379 H5892 H3611 H4191 H7704 H398

עוֹף־הַשָּׁמָ֥יִם כִּֽי־יְהוָ֖ה דִּבֵּֽר׃
鳥が 空の なぜなら 主が 語った
H5775 H8064 H3588 H3068 H1696

ヤラベアムに属する者は、町で死ぬ者を犬が食べ、野で死ぬ者を空の鳥が食べるであろう。主がこれを言われるのである」』。

12 וְאַתְּ֣ קוּמִי֮ לְכִי֒ לְבֵיתֵךְ֙ בְּב֣וֹא רַגְלַ֔יִךְ הָעִ֖ירָה וּמֵ֥ת
そして-あなたは 立ちなさい 行け あなたの-家へ 入るとき あなたの-足が 町に そして-死ぬ
H6965 H6965 H3212 H1004 H8 H3068 H7272 H5892 H4191

הַיָּלֶֽד׃
子は
H3206

あなたは立って、家へ帰りなさい。あなたの足が町にはいる時に、子どもは死にます。

13 וְסָפְד֤וּ לוֹ֙ כָּל־יִשְׂרָאֵ֔ל וְקָבְר֖וּ אֹת֑וֹ כִּֽי־זֶ֥ה לְבַדּ֛וֹ יָבֹ֥א
そして-嘆く すべての イスラエルが そして-葬る 彼を なぜなら この者だけが
H5594 H3605 H3478 H6912 H853 H3588 H2088 H905 H935

לְיָרָבְעָ֖ם לְבֵ֣ית קֶ֑בֶר יַ֣עַן נִמְצָ֤א־בּוֹ֙ דָּבָ֣ר טֽוֹב׃
だけが 入る ヤロブアムの ～に 墓に ～のゆえに 見出された 彼に ことが よい
H905 H935 H3379 H413 H6913 H3282 H4672 H1931 H1697 H2896

בְּבֵ֣ית יָרָבְעָ֔ם יִשְׂרָאֵ֖ל אֱלֹהֵ֥י יְהוָ֖ה אֶל־
～の家の中で ヤロブアムの イスラエルの 神の 主に ～に向かって
H1004 H3379 H3478 H430 H3068 H413

そしてイスラエルは皆、彼のために悲しんで彼を葬るでしょう。ヤラベアムに属する者は、ただ彼だけ墓に葬られるでしょう。ヤラベアムの家のうちで、彼はイスラエルの神、主にむかって良い思いをいだいていたからです。

14 וְהֵקִים יְהוָה לוֹ מֶלֶךְ עַל־יִשְׂרָאֵל אֲשֶׁר יַכְרִית בֵּית אֶת־
そして-立てる 主は 彼のために 王を ～の上に イスラエルの それは 断つ 家を ～を
H0853 H3772 H3478 H4428 H3068 H6258

יָרָבְעָם הַיּוֹם זֶה וּמֶה גַּם־עָתָה׃
ヤロブアムの この 日に そして-何を もう 今も
H3379 H2088 H3117 H4100 H1571 H6258

主はイスラエルの上にひとりの王を起されます。彼はその日ヤラベアムの家を断つでしょう。

15 וְהִכָּה יְהוָה אֶת־יִשְׂרָאֵל כַּאֲשֶׁר יָנוּד הַקָּנֶה בַּמָּיִם וְנָתַשׁ
そして-打つ 主は ～を イスラエルを ～のように 揺れる 葦が 水の中で そして-引き抜く
H5221 H3068 H0853 H3478 H5110 H7070 H4325 H5428

אֶת־יִשְׂרָאֵל מֵעַל הָאֲדָמָה הַטּוֹבָה הַזֹּאת אֲשֶׁר נָתַן לַאֲבוֹתֵיהֶם
～を イスラエルを ～の上から 地の 良い この それは 与えた 彼らの-先祖に
H0853 H3478 H5414 H0127 H2063 H0001

וְזֵרֶם אֶת־אֲשֵׁרֵיהֶם אֲשֶׁר עָשׂוּ אֶת־ יַעַן לַנָּהָר מֵעֵבֶר
そして-散らす 彼らの-アシェラ像を それは 造った ～を ～のゆえに 川の ～の向こうに
H2219 H0842 H0853 H3282 H5104 H5676

מַכְעִיסִים אֶת־ יְהוָה׃
怒らせている ～を 主を
H3707 H0853 H3068

その後主はイスラエルを撃って、水に揺らぐ葦のようにし、イスラエルを、その先祖に賜わったこの良い地から抜き去って、ユフラテ川の向こうに散らされるでしょう。彼らがアシラ像を造って主を怒らせたからです。

16 וְיִתֵּן אֶת־יִשְׂרָאֵל בִּגְלַל חַטֹּאות יָרָבְעָם אֲשֶׁר חָטָא
そして-渡す ～を イスラエルを ～のせいで 罪の ヤロブアムの それは 罪を犯した
H5414 H0853 H3478 H1558 H2403 H3379 H2398

וַאֲשֶׁר הֶחֱטִיא אֶת־ יִשְׂרָאֵל׃
そして-それは 罪を犯させた ～を イスラエルに
H3478 H0853 H2398

主はヤラベアムの罪のゆえに、すなわち彼がみずから犯し、またイスラエルに犯させたその罪のゆえにイスラエルを捨てられるでしょう」。

17 וַתָּקָם אֵשֶׁת יָרָבְעָם וַתֵּלֶךְ וַתָּבֹא תִרְצָתָה הֵיא בָּאָה
そして-立ち 妻は ヤロブアムの そして-行った そして-来た ティルツァへ 彼女が 来た
H0802 H3379 H3212 H0935 H8656 H1931 H0935

בְּסַף־ הַבַּיִת וְהַנַּעַר מֵת׃
～の敷居に 家の 子は そして-死んだ
H4191 H5288

ヤラベアムの妻は立って去り、テルザへ行って、家の敷居をまたいだ時、子どもは死んだ。

18 וַיִּקְבְּרוּ אֹתוֹ וַיִּסְפְּדוּ־ לוֹ כָּל־ יִשְׂרָאֵל כִּדְבַר יְהוָה
そして-葬った 彼を そして-嘆いた 彼のために すべての イスラエルが ～の言葉の通り 主の
H6912 H0853 H5594 H3605 H3478 H1697 H3068

אֲשֶׁר דִּבֶּר בְּיַד־ עַבְדּוֹ אֲחִיָּהוּ הַנָּבִיא׃
語った ～の手を通して 彼の-僕の アヒヤの 預言者の
H1696 H3027 H5650 H0281 H5030

イスラエルは皆彼を葬り、彼のために悲しんだ。主がそのしもべ預言者アヒヤによって言われた言葉のとおりである。

19 וַיֶּתֶר דִּבְרֵי יָרָבְעָם אֲשֶׁר נִלְחָם וַאֲשֶׁר מָלָךְ הִנָּם
そして-残りの 事蹟は ヤロブアムの それは 戦った そして-それは 治めた 見よ-それらは
H3498 H1697 H3379 H834 H3898 H2009

כְּתוּבִים עַל־סֵפֶר דִּבְרֵי הַיָּמִים לְמַלְכֵי יִשְׂרָאֵל׃
書かれている ～に 書に 歴代の 日々の ～の王たちの イスラエルの
H3789 H5921 H5612 H1697 H3117 H4428 H3478

ヤラベアムのその他の事績、彼がどのように戦い、どのように世を治めたかは、イスラエルの王の歴代志の書にしるされている。

20 וַיִּשְׁכַּב יָרָבְעָם עִם־אֲבֹתָיו וַיִּמְלֹךְ נָדָב בְּנוֹ תַּחְתָּיו׃ פ
そして-横たわった ヤロブアムが 彼の-先祖と そして-日々は 治めた それは 年だった そして-二 二十
H7901 H3379 H5973 H3117 H4427 H834 H8141 H8147 H6242

עִם־אֲבֹתָיו וַיִּמְלֹךְ נָדָב בְּנוֹ תַּחְתָּיו׃ פ
～と共に 彼の-先祖と そして-王となった ナダブが 彼の-息子の 彼に-代わって 一
H5973 H0001 H4427 H5070 H1121 H8478

ヤラベアムが世を治めた日は二十二年であった。彼はその先祖と共に眠って、その子ナダブが代って王となった。

21 וּרְחַבְעָם בֶּן־שְׁלֹמֹה מָלַךְ בִּיהוּדָה בֶּן־אַרְבָּעִים וְאַחַת
そして-レハブアムは 息子の ソロモンの 治めた ユダで ～の歳の 四十 そして-一
H7346 H1121 H8010 H4427 H3063 H1121 H0705 H0259

שָׁנָה וְרחַבְעָם מָלַךְ בִּירוּשָׁלַם הָעִיר
歳のとき レハブアムは 彼が-王となったとき そして-十 七 年間 治めた エルサレムで 町は
H8141 H7346 H4427 H7651 H6240 H8141 H4427 H3389 H5892

אֲשֶׁר־בָּחַר יְהוָה בְּעִיר מִכֹּל שִׁבְטֵי יִשְׂרָאֵל לָשׂוּם שְׁמוֹ שָׁם
それは 選んだ 主が 置くために ～を 彼の-名を そこに ～の中から 部族の イスラエルの
H834 H977 H3068 H5892 H4480 H7626 H3478 H7760 H8034 H8033

וְשֵׁם אִמּוֹ נַעֲמָה הָעַמֹּנִית׃
そして-名は 彼の-母の ナアマという アンモン人の
H8034 H517 H5984 H5985

ソロモンの子レハベアムはユダで世を治めた。レハベアムは王となったとき四十一歳であったが、主がその名を置くために、イスラエルのすべての部族のうちから選ばれた町エルサレムで、十七年世を治めた。その母の名はナアマといってアンモンびとであった。

22 וַיַּעַשׂ יְהוּדָה הָרַע בְּעֵינֵי יְהוָה וַיְקַנְאוּ אֹתוֹ מִכֹּל אֲשֶׁר
そして-行った ユダは 悪を ～の目に 主の 彼を ～よりも それは
H6213 H3063 H7451 H5869 H3068 H853 H4480 H834

עָשׂוּ אֲבֹתָם בְּחַטֹּאתָם אֲשֶׁר חָטָאוּ׃
行った 彼らの-先祖が 彼らの-罪によって それは 罪を犯した
H6213 H1 H2403 H834 H2398

ユダの人々はその先祖の行ったすべての事にまさって、主の目の前に悪を行い、その犯した罪によって主の怒りを引き起した。

23 וַיִּבְנוּ גַם־הֵמָּה לָהֶם בָּמוֹת וּמַצֵּבוֹת וַאֲשֵׁרִים
そして-建てた もまた 彼らも 自分たちのために 高き所と そして-石柱と そして-アシェラ像を
H1129 H1571 H1992 H1992 H1116 H4676 H853

עַל כָּל־גִּבְעָה גְּבֹהָה וְתַחַת כָּל־עֵץ רַעֲנָן׃
～の上に すべての 丘の 高い そして-～の下に すべての 木の 青い
H5921 H3605 H1389 H1364 H8478 H3605 H6086 H7488

彼らもすべての高い丘の上と、すべての青木の下に、高き所と石の柱とアシラ像とを建てたからである。

הַגּוֹיִם	הַתּוֹעֲבֹת	כְּכֹל	עָשׂוּ	בָּאָרֶץ	הָיָה	קָדֵשׁ	וְגַם־	24
諸国の	忌まわしいことを	～のすべてのように	行った	地に	いた	神殿男娼が	そして–また	
H8441		H3605		H0776	H1961	H6945	H1571	

פ	יִשְׂרָאֵל׃	בְּנֵי	מִפְּנֵי	יְהוָה	הוֹרִישׁ	אֲשֶׁר׀	
—	イスラエルの	子らの	～の前から	主が	追い出した	それは	
	H3478		H6440	H3068	H3423		

その国にはまた神殿男娼たちがいた。彼らは主がイスラエルの人々の前から追い払われた国民のすべての憎むべき事をならい行った。

]שושק[	עָלָה	רְחַבְעָם	לַמֶּלֶךְ	הַחֲמִישִׁית	בַּשָּׁנָה	וַיְהִי	25
[シュシャク]	上って–来た	レハブアムの	～の王の	第五の	～の年に	そして–なった	
H7895	H5927	H7346	H4428	H2549	H8141	H1961	

יְרוּשָׁלִָם׃	עַל־	מִצְרַיִם	מֶלֶךְ־	)שִׁישָׁק(	
エルサレムに	～に向かって	エジプトの	王の	(シシャクが)	
H3389		H4714	H4428	H7895	

レハベアムの王の第五年にエジプトの王シシャクがエルサレムに攻め上ってきて、

וְאֶת־	הַמֶּלֶךְ	בֵּית	אֹצְרוֹת	וְאֶת־	יְהוָה	בֵּית־	אֹצְרוֹת	אֶת־	וַיִּקַּח	26
そして–～を	王の	家の	宝物を	そして–～を	主の	宮の	宝物を	～を	そして–取った	
H0853	H4428		H0214	H0853	H3068		H0214	H0853	H3947	

שְׁלֹמֹה׃	עָשָׂה	אֲשֶׁר	הַזָּהָב	מָגִנֵּי	כָּל־	אֶת־	וַיִּקַּח	לָקַח	הַכֹּל
ソロモンが	造った	それは	金の	盾を	すべての	～を	そして–取った	取った	すべてを
H8010			H2091	H4043	H3605	H0853	H3947	H3947	H3605

主の宮の宝物と、王の宮殿の宝物を奪い去った。彼はそれをことごとく奪い去り、またソロモンの造った金の盾をみな奪い去った。

עַל־	וְהִפְקִיד	נְחֹשֶׁת	מָגִנֵּי	תַּחְתָּם	רְחַבְעָם	הַמֶּלֶךְ	וַיַּעַשׂ	27
～の手に	そして–預けた	青銅の	盾を	それらの–代わりに	レハブアムは	王	そして–造った	
			H4043	H8478	H7346	H4428		

הַמֶּלֶךְ׃	בֵּית	פֶּתַח	הַשֹּׁמְרִים	הָרָצִים	שָׂרֵי	יַד	
王の	家の	入口を	守っている	走者の	長たちの	手に	
H4428		H6607	H8104	H7323	H8269	H3027	

レハベアムはその代りに青銅の盾を造って、王の宮殿の門を守る侍衛長の手にわたした。

אֶל־	וְהֵשִׁיבוּם	הָרָצִים	יִשְׂאוּם	יְהוָה	בֵּית	הַמֶּלֶךְ	בָּא	מִדֵּי־	וַיְהִי	28
～へ	そして–戻した	走者たちが	運んだ	主の	宮に	王が	入る	～のたびに	そして–なった	
H0413	H7725	H7323	H5375	H3068		H4428	H0935	H1767	H1961	

הָרָצִים׃	תָּא
走者の	部屋へ
H7323	H8372

王が主の宮にはいるごとに、侍衛はそれを携え、また、それを侍衛のへやへ持ち帰った。

הֲלֹא־	עָשָׂה	אֲשֶׁר	וְכָל־	רְחַבְעָם	דִּבְרֵי	וְיֶתֶר		29
それらは–ではないか	行った	それは	そして–すべての	レハブアムの	事蹟は	そして–残りの		
H3808			H3605	H7346	H1697			

יְהוּדָה׃	לְמַלְכֵי	הַיָּמִים	דִּבְרֵי	סֵפֶר	עַל־	כְּתוּבִים	הֵמָּה
ユダの	～の王たちの	日々の	歴代の	書に	～に	書かれている	それらは
H3063	H4428	H3117	H1697			H3789	H1992

レハベアムのその他の事績と、彼がしたすべての事は、ユダの王の歴代志の書にしるされているではないか。

30	וּמִלְחָמָה	הָיְתָה	בֵּין־	רְחַבְעָם	וּבֵין	יָרָבְעָם	כָּל־	הַיָּמִים׃
	そして–戦いが	あった	～の間に	レハブアムの	そして–～の間に	ヤロブアムの	すべての	日々
	H4421	H1961	H0996	H7346	H0996	H3379	H3605	H3117

レハベアムとヤラベアムの間には絶えず戦争があった。

31	וַיִּשְׁכַּב	רְחַבְעָם	עִם־	אֲבֹתָיו	וַיִּקָּבֵר	עִם־	אֲבֹתָיו
	そして–横たわった	レハブアムは	～と共に	彼の–先祖と	そして–葬られた	～と共に	彼の–先祖と
	H7901	H7346	H0001	H0001	H6912	H0001	H0001

וַיִּמְלֹךְ	הָעַמֹּנִית	נַעֲמָה	אִמּוֹ	וְשֵׁם	דָּוִד	בְּעִיר
そして–王となった	アンモン人の	ナアマという	彼の–母の	そして–名は	ダビデの	～の町に
	H5985		H0517	H8034	H1732	

פ	תַּחְתָּיו׃	בְּנוֹ	אֲבִיָּם
—	彼に–代わって	彼の–息子の	アビヤムが
	H8478		H0038

レハベアムはその先祖と共に眠って先祖と共にダビデの町に葬られた。その母の名はナアマといってアンモンびとであった。その子アビヤムが代って王となった。

Chapter 15

1	אֲבִיָּם	מָלַךְ	נְבָט	בֶּן־	יָרָבְעָם	לַמֶּלֶךְ	עֶשְׂרֵה	שְׁמֹנֶה	וּבִשְׁנַת
	アビヤムが	王となった	ネバトの	息子の	ヤロブアムの	～の王の	八	十	そして–～の年に
	H0038		H5028		H3379	H4428	H6240	H8083	H8141

יְהוּדָה׃	עַל־
ユダの	～の上に
H3063	

ネバテの子ヤラベアム王の第十八年にアビヤムがユダの王となり、

2	אֲבִישָׁלוֹם׃	בַּת־	מַעֲכָה	אִמּוֹ	וְשֵׁם	בִּירוּשָׁלִַם	מָלַךְ	שָׁנִים	שָׁלֹשׁ
	アビシャロムの	娘の	マアカという	彼の–母の	そして–名は	エルサレムで	治めた	年間	三
	H0053	H1323	H4601	H0517	H8034	H3389		H8141	H7969

エルサレムで三年世を治めた。その母の名はマアカといって、アブサロムの娘であった。

3	וְלֹא־	לְפָנָיו	עָשָׂה	אֲשֶׁר־	אָבִיו	חַטֹּאות	בְּכָל־	וַיֵּלֶךְ	
	そして–しなかった	彼の–前に	行った	それは	彼の–父の	罪の中で	～のすべての	そして–歩んだ	
	H3808	H6440			H0001		H3605	H3212	

אָבִיו׃	דָּוִד	כִּלְבַב	אֱלֹהָיו	יְהוָה	עִם־	שָׁלֵם	לְבָבוֹ	הָיָה
彼の–父の	ダビデの	～の心のように	彼の–神と	主と	～と共に	完全で	彼の–心は	なかった
H0001	H1732	H3824	H0430	H3068		H8003	H3824	H1961

彼はその父が先に行ったもろもろの罪をおこない、その心は父ダビデの心のようにその神、主に対して全く真実ではなかった。

4	בִּירוּשָׁלִַם	נִיר	לוֹ	אֱלֹהָיו	יְהוָה	נָתַן	דָּוִד	לְמַעַן
	エルサレムに	ともしびを	彼に	彼の–神は	主は	与えた	ダビデの	～のために
	H3389			H0430	H3068	H5414	H1732	H4616

כִּי	לְהָקִים	אֶת־	בְּנוֹ	אַחֲרָיו	וּלְהַעֲמִיד	אֶת־
しかし	立てるために	～を	彼の–息子を	彼の–後に	そして–堅くするために	～を
		H0853			H5975	H0853

יְרוּשָׁלִַם׃
エルサレムを
H3389

それにもかかわらず、その神、主はダビデのために、エルサレムにおいて彼に一つのともしびを与え、その子を彼のあとに立てて、エルサレムを固められた。

5

אֲשֶׁר	עָשָׂה	דָּוִד	אֶת־	הַיָּשָׁר	בְּעֵינֵי	יְהוָה	וְלֹא־	סָר
それは	行った	ダビデは	～を	正しいことを	～の目に	主の	そして–しなかった	それなかった
H834	H6213	H1732	H853	H3477	H5869	H3068	H3808	H5493

מִכֹּל	צִוָּהוּ	כֹּל	יְמֵי	חַיָּיו	רַק	בִּדְבַר	אוּרִיָּה	הַחִתִּי׃
～から	命じた	すべての	日々	彼の–生涯の	ただ	～の件で	ウリヤの	ヒット人の
H4480	H6680	H3605	H3117	H2416	H7535	H1697	H223	H2850

それはダビデがヘテびとウリヤの事のほか、一生の間、主の目にかなう事を行い、主が命じられたすべての事に、そむかなかったからである。

6

וּמִלְחָמָה	הָיְתָה	בֵּין־	רְחַבְעָם	וּבֵין	יָרָבְעָם	כָּל־	יְמֵי
そして–戦いが	あった	～の間に	レハブアムの	そして–～の間に	ヤロブアムの	すべての	日々
H4421	H1961	H0996	H7346	H0996	H3379	H3605	H3117

חַיָּיו׃
彼の–生涯の

レハベアムとヤラベアムの間には一生の間、戦争があった。

7

וְיֶתֶר	דִּבְרֵי	אֲבִיָּם	וְכָל־	אֲשֶׁר	עָשָׂה	הֲלוֹא־	הֵם
そして–残りの	事蹟は	アビヤムの	そして–すべての	それは	行った	それらは–ではないか	それらは
H3499	H1697	H0038	H3605	H834	H6213	H3808	H1992

כְּתוּבִים	עַל־	סֵפֶר	דִּבְרֵי	הַיָּמִים	לְמַלְכֵי	יְהוּדָה	וּמִלְחָמָה	הָיְתָה
書かれている	～に	書に	歴代の	日々の	～の王たちの	ユダの	そして–戦いが	あった
H3789	H5921	H5612	H1697	H3117	H4428	H3063	H4421	H1961

יָרָבְעָם׃	וּבֵין	אֲבִיָּם	בֵּין
ヤロブアムの	そして–～の間に	アビヤムの	～の間に
H3379	H0996	H0038	H0996

アビヤムのその他の行為と、彼がしたすべての事は、ユダの王の歴代志の書にしるされているではないか。アビヤムとヤラベアムの間にも戦争があった。

8

וַיִּשְׁכַּב	אֲבִיָּם	עִם־	אֲבֹתָיו	וַיִּקְבְּרוּ	אֹתוֹ	בְּעִיר	דָּוִד
そして–横たわった	アビヤムは	～と共に	彼の–先祖と	そして–葬られた	彼を	～の町に	ダビデの
H7901	H0038	H5973	H0001	H6912	H0853	H5892	H1732

וַיִּמְלֹךְ	אָסָא	בְּנוֹ	תַּחְתָּיו׃	פ
そして–王となった	アサが	彼の–息子の	彼に–代わって	—
H4427	H0609	H1121	H8478	

アビヤムはその先祖と共に眠って、ダビデの町に葬られ、その子アサが代って王となった。

9

וּבִשְׁנַת	עֶשְׂרִים	לְיָרָבְעָם	מֶלֶךְ	יִשְׂרָאֵל	מָלַךְ	אָסָא	מֶלֶךְ	יְהוּדָה׃
そして–～の年に	二十	ヤロブアムの	王の	イスラエルの	王となった	アサが	王の	ユダの
H8141	H6242	H3379	H4428	H3478	H4427	H0609	H4428	H3063

イスラエルの王ヤラベアムの第二十年にアサはユダの王となり、

10

וְאַרְבָּעִים	וְאַחַת	שָׁנָה	מָלַךְ	בִּירוּשָׁלִָם	וְשֵׁם	אִמּוֹ	מַעֲכָה	בַּת־
そして–四十	そして–一	年間	治めた	エルサレムで	そして–名は	彼の–母の	マアカという	娘の
H705	H259	H8141	H4427	H3389	H8034	H517	H4601	H1323

אֲבִישָׁלֹום׃
アビシャロムの
H53

エルサレムで四十一年世を治めた。その母の名はマアカといってアブサロムの娘であった。

11 וַיַּעַשׂ אָסָא הַיָּשָׁר בְּעֵינֵי יְהוָה כְּדָוִד אָבִיו׃
そして–行った アサは 正しいことを 〜の目に 主の 〜のように ダビデの
H0609 H3477 H3068 H1732 H0001

アサはその父ダビデがしたように主の目にかなう事をし、

12 וַיְבַעֵר הַקְּדֵשִׁים מִן־הָאָרֶץ וַיָּסַר אֶת־כָּל־הַגִּלֻּלִים אֲשֶׁר
そして–除いた 神殿男娼を 〜から 地から そして–取り除いた 〜を すべての 偶像を それは
H6945 H0776 H5493 H0853 H3605 H1544

עָשׂוּ אֲבֹתָיו׃
造った 彼の–先祖が
H0001

神殿男娼を国から追い出し、先祖たちの造ったもろもろの偶像を除いた。

13 וְגַם אֶת־מַעֲכָה אִמּוֹ הֵסִירָהּ מִגְּבִירָה אֲשֶׁר־עָשְׂתָה
そして–また 〜を マアカを 彼の–母も 退けた 太后から それは 造った
H1571 H0853 H4601 H0517 H5493 H1377

מִפְלֶצֶת לְאֲשֵׁרָה וַיִּכְרֹת אָסָא אֶת־מִפְלַצְתָּהּ
忌まわしい–像を アシェラのために そして–切り倒した アサは 〜を 彼女の–忌まわしい–像を
H4656 H0842 H3772 H0609 H0853 H4656

וַיְשָׂרֹף בְּנַחַל קִדְרוֹן׃
そして–焼いた 〜の川で キドロンの
H8313 H6939

彼はまたその母マアカが、アシラのために憎むべき像を造らせたので、彼女を太后の位から退けた。そしてアサはその憎むべき像を切り倒してキデロンの谷で焼き捨てた。

14 וְהַבָּמוֹת לֹא־סָרוּ רַק לְבַב־אָסָא הָיָה שָׁלֵם עִם־יְהוָה כָּל־יָמָיו׃
しかし–高き所は 取り除かれなかった 取り除かれなかった ただ 心は アサの あった 完全で 〜と共に 主と すべての 彼の–日々
H1116 H3808 H7535 H3824 H0609 H1961 H8003 H3068 H3605 H3117

ただし高き所は除かなかった。けれどもアサの心は一生の間、主に対して全く真実であった。

15 וַיָּבֵא אֶת־קָדְשֵׁי אָבִיו וקדשו (וְקָדְשָׁיו) בֵּית יְהוָה כֶּסֶף וְזָהָב וְכֵלִים׃
そして–持ち込んだ 〜を 聖なる物を 彼の–父の [そして–聖なる物を] (そして–聖なる物を) 宮に 銀と 主の そして–金と そして–器を
H0935 H0853 H6944 H1 H6944 H6944 H0001 H6944 H3701 H3068 H2091 H3627

彼は父の献納した物と自分の献納した物、金銀および器物を主の宮に携え入れた。

16 וּמִלְחָמָה הָיְתָה בֵּין אָסָא וּבֵין בַּעְשָׁא מֶלֶךְ־יִשְׂרָאֵל כָּל־יְמֵיהֶם׃
そして–戦いが あった 〜の間に アサの 〜の間に そして–〜の間に バアシャの 王の イスラエルの 彼らの–日々 すべての
H4421 H1961 H0996 H0609 H0996 H1201 H4428 H3478 H3117 H3605

アサとイスラエルの王バアシャの間には一生の間、戦争があった。

17

אֶת־	וַיִּבֶן	יְהוּדָה	עַל־	יִשְׂרָאֵל	מֶלֶךְ־	בַּעְשָׁא	וַיַּעַל
～を	そして–築いた	ユダに	～に向かって	イスラエルの	王の	バアシャは	そして–上って–来た
H0853	H1129	H3063		H3478	H4428	H1201	H5927

יְהוּדָה׃	מֶלֶךְ	לְאָסָא	וְלֹא	יֹצֵא	תֵּת	לִבְלְתִּי	הָרָמָה
ユダの	王の	アサに	そして–入る者も	出る者も	許さない	～のために	ラマを
H3063	H4428	H0609	H0935	H3318	H5414	H1115	H7414

イスラエルの王バアシャはユダに攻め上り、ユダの王アサの所に、だれをも出入りさせないためにラマを築いた。

18

בֵּית־	בְּאוֹצְרוֹת	וְהַנּוֹתָרִים	וְהַזָּהָב	הַכֶּסֶף	כָּל־	אֶת־	אָסָא	וַיִּקַּח
宮の	～の宝物庫に	残っている	そして–金を	銀と	すべての	～を	アサは	そして–取った
H0214		H3498	H2091	H3701	H3605	H0853	H0609	H3947

עֲבָדָיו	בְּיַד־	וַיִּתְּנֵם	(הַמֶּלֶךְ	[מלך]	בֵּית	אֹוצְרוֹת	וְאֶת־	יְהוָה
彼の–家臣の	～の手に	そして–渡した	(王の)	[王の]	家の	宝物庫の	そして–～を	主の
H5650	H3027	H5414	H4428	H4428		H0214	H0853	H3068

בֶּן־	טַבְרִמֹּן	בֶּן־	בֶּן־הֲדַד	אֶל־	אָסָא	הַמֶּלֶךְ	וַיִּשְׁלָחֵם	
息子の	タブリモンの	息子の	ベン–ハダデの	～のもとへ	アサは	王	そして–遣わした	
	H2886		H1130	H0413	H0609	H4428	H7971	

לֵאמֹר׃	בְּדַמֶּשֶׂק	הַיֹּשֵׁב	אֲרָם	מֶלֶךְ	חֶזְיוֹן
言って	ダマスコに	住んでいる	アラムの	王の	ヘズヨンの
H0559	H1834	H3427	H0758	H4428	H2383

そこでアサは主の宮の宝蔵と、王の宮殿の宝蔵に残っている金銀をことごとく取って、これを家来たちの手にわたし、そしてアサ王は彼らをダマスコに住んでいるスリヤの王、ヘジョンの子タブリモンの子であるベネハダデにつかわして言わせた、

19

אָבִיךָ	וּבֵין	אָבִי	בֵּין	וּבֵינֶךָ	בֵּינִי	בְּרִית		
あなたの–父の	そして–～の間に	私の–父の	～の間に	そして–あなたの間に	私の–間に	契約がある		
H0001	H0996	H0001	H0996	H0996	H0996	H1285		

בְּרִיתְךָ	אֶת־	הָפֵר	לֵךְ	וְזָהָב	כֶּסֶף	שֹׁחַד	לְךָ	שָׁלַחְתִּי	הִנֵּה
あなたの–契約を	～を	破りなさい	行け	そして–金の	銀と	贈り物を	あなたに	送った	見よ
H1285	H0853		H3212	H2091	H3701	H7810		H7971	H2009

מֵעָלָי׃	וְיַעֲלֶה	יִשְׂרָאֵל	מֶלֶךְ־	בַּעְשָׁא	אֶת־	
私の–上から	そうすれば–上っていくだろう	イスラエルの	王の	バアシャとの	～との	
	H5927	H3478	H4428	H1201	H0854	

「わたしの父とあなたの父との間に結ばれていたように、わたしとあなたの間に同盟を結びましょう。わたしはあなたに金銀の贈り物をさしあげます。行って、あなたとイスラエルの王バアシャとの同盟を破棄し、彼をわたしの所から撤退させてください」。

20

הַחֲיָלִים	שָׂרֵי	אֶת־	וַיִּשְׁלַח	אָסָא	הַמֶּלֶךְ	אֶל־	בֶּן־הֲדַד	וַיִּשְׁמַע	
軍勢の	将軍たちを	～を	そして–遣わした	アサの	王に	～に	ベン–ハダデは	そして–聞いた	
H2428	H8269	H0853	H7971	H0609	H4428	H0413	H1130	H8085	

וְאֶת־	עִיּוֹן	אֶת־	וַיַּךְ	יִשְׂרָאֵל	עָרֵי	עַל־	לוֹ	אֲשֶׁר־
そして–～を	イヨンを	～を	そして–打った	イスラエルの	町々に	～に向かって	彼の	それは
H0853	H5859	H0853	H5221	H3478				

כָּל־	עַל	כִּנְרוֹת	כָּל־	וְאֵת	בֵּית־מַעֲכָהאָבֵל	וְאֵת	דָּן	
すべての	～と共に	キンネレトを	すべての	そして–～を	アベル–ベト–マアカを	そして–～を	ダンを	
H3605		H3672	H3605	H0853	H0062	H0853	H1835	

נַפְתָּלִי׃	אֶרֶץ	
ナフタリの	地の	
H5321	H0776	

ベネハダデはアサ王の言うことを聞き、自分の軍勢の長たちをつかわしてイスラエルの町々を攻め、イヨンとダンとアベル・ベテ・マアカおよびキンネレテの全地と、ナフタリの全地を撃った。

21 וַיְהִי כִּשְׁמֹעַ בַּעְשָׁא אֵת־מִבְנוֹת וַיֶּחְדַּל הָרָמָה וַיֵּשֶׁב
そして-なった バアシャが 聞いたとき そして-やめた 築くことを ～を ラマを そして-住んだ
H1961 H1201 H8085 H2308 H1129 H0853 H7414 H3427

בְּתִרְצָה׃
ティルツァに
H8656

バアシャはこれを聞き、ラマを築くことをやめて、テルザにとどまった。

22 וְהַמֶּלֶךְ אָסָא הִשְׁמִיעַ אֵת־כָּל־יְהוּדָה אֵין נָקִי וַיִּשְׂאוּ אֶת־אַבְנֵי
そして-王 アサは 告げた ～に すべての ユダに ない 免除は そして-運んだ ～を 石を
H4428 H0609 H8085 H0853 H3605 H3063 H0369 H5375 H0853 H0068

הָרָמָה וַיִּבֶן בַּעְשָׁא בָּנָה אֲשֶׁר עֵצֶיהָ וְאֶת־ הָרָמָה׃
ラマの そして-～を 彼女の-木材を それは 築いた バアシャが 築いた そして-築いた それらで 王
H7414 H0853 H6086 H1129 H1201 H1129 H0853 H4428

אֶת־ אָסָא וְאֶת־ הַמִּצְפָּה׃ בִּנְיָמִן גֶּבַע
～を アサは そして-～を ミツパを ベニヤミンの ゲバを
H0853 H0609 H0853 H4709 H1144 H1387

そこでアサ王はユダ全国に布告を発した。ひとりも免れる者はなかった。すなわちバアシャがラマを築くために用いた石と材木を運びこさせ、アサ王はそれを用いて、ベニヤミンのゲバとミヅパを築いた。

23 וְיֶתֶר כָּל־ דִּבְרֵי־ אָסָא וְכָל־ גְּבוּרָתוֹ וְכָל־ אֲשֶׁר
そして-残りの すべての 事蹟の アサの そして-すべての 彼の-武勇と そして-すべての それは
H3605 H1697 H0609 H3605 H1369 H3605 H0834

עָשָׂה וְהֶעָרִים אֲשֶׁר בָּנָה הֲלֹא־ הֵמָּה כְּתוּבִים עַל־ סֵפֶר
行った 町々を そして- それは 築いた それらは-ではないか それらは 書かれている ～に 書に
H6213 H5892 H0834 H1129 H3808 H1992 H3789 H5921 H5612

דִּבְרֵי הַיָּמִים לְעֵת זִקְנָתוֹ חָלָה אֶת־ רַגְלָיו׃
歴代の 日々の ～の王たちの ユダの ～の時に 彼の-老年の 病んだ ～が 彼の-足が
H1697 H3117 H4428 H3063 H6256 H2209 H2470 H0853 H7272

アサのその他の事績とそのすべての勲功と、彼がしたすべての事および彼が建てた町々は、ユダの王の歴代志の書にしるされているではないか。彼は老年になって足を病んだ。

24 וַיִּשְׁכַּב אָסָא עִם־ אֲבֹתָיו וַיִּקָּבֵר עִם־ אֲבֹתָיו
そして-横たわった アサは ～と共に 彼の-先祖と そして-葬られた ～と共に 彼の-先祖と
H7901 H0609 H5973 H0001 H6912 H5973 H0001

פ וַיִּמְלֹךְ יְהוֹשָׁפָט בְּנוֹ תַּחְתָּיו׃
— そして-王となった ヨシャファトが 彼の-息子の 彼に-代わって
H4427 H3092 H1121 H8478

בְּעִיר דָּוִד אֲבִיו וַיִּמְלֹךְ
～の町に ダビデの 彼の-父の そして-王となった
H5892 H1732 H0001 H4427

アサはその先祖と共に眠って、父ダビデの町に先祖と共に葬られ、その子ヨシャパテが代って王となった。

25 וְנָדָב בֶּן־ יָרָבְעָם עַל־ מָלַךְ יִשְׂרָאֵל בִּשְׁנַת שְׁתַּיִם
そして-ナダブは 息子の ヤロブアムの 王となった ～の上に イスラエルの ～の年に 第二の
H5070 H1121 H3379 H4427 H5921 H3478 H8141 H8147

שָׁנִים׃ עַל־ וַיִּמְלֹךְ יְהוּדָה מֶלֶךְ אָסָא לְ
二年間 ～の上に そして-王となった ユダの 王の アサの
H8141 H3478 H5921 H4427 H3063 H4428 H0609

ユダの王アサの第二年にヤラベアムの子ナダブがイスラエルの王となって、二年イスラエルを治めた。

26 וַיַּעַשׂ הָרַע בְּעֵינֵי יְהוָה וַיֵּלֶךְ בְּדֶרֶךְ אָבִיו וּבְחַטָּאתוֹ
そして-行った 悪を ～の目に 主の そして-歩んだ ～の道で 彼の-父の そして-彼の-罪で
H3068 H1870 H0001

אֲשֶׁר הֶחֱטִיא אֶת־יִשְׂרָאֵל׃
それは 罪を犯させた ～に イスラエルに
H2398 H0853 H3478

彼は主の目の前に悪を行い、その父の道に歩み、父がイスラエルに犯させた罪をおこなった。

27 וַיִּקְשֹׁר עָלָיו בַּעְשָׁא בֶן־אֲחִיָּה לְבֵית יִשָּׂשכָר וַיַּכֵּהוּ
そして-謀反した 彼に-対して バアシャが 息子の アヒヤの ～の家の イッサカルの そして-打った
H7194 H1201 H0281 H3485 H5221

בַּעְשָׁא וְכָל־יִשְׂרָאֵל וְנָדָב לַפְּלִשְׁתִּים אֲשֶׁר בְּגִבְּתוֹן
バアシャは そして-すべての イスラエルは そして-ナダブと ペリシテ人の それは ギベトンで
H1201 H3605 H3478 H5070 H6430 H1405

גִּבְּתוֹן׃ עַל־ צָרִים
ギベトンを ～に向かって 包囲していた
H1405

イッサカルの家のアヒヤの子バアシャは彼に対してむほんを企て、ペリシテびとに属するギベトンで彼を撃った。これはナダブとイスラエルが皆ギベトンを囲んでいたからである。

28 וַיִּמְלֹךְ יְהוּדָה לְאָסָא מֶלֶךְ שָׁלֹשׁ בִּשְׁנַת בַּעְשָׁא וַיְמִתֵהוּ
そして-王となった ユダの 王の アサの 第三の ～の年に バアシャは そして-殺した
H3063 H4428 H0609 H7969 H8141 H1201 H4191

תַּחְתָּיו׃
彼に-代わって
H8478

こうしてユダの王アサの第三年にバアシャは彼を殺し、彼に代って王となった。

29 וַיְהִי כְמָלְכוֹ הִכָּה אֶת־כָּל־בֵּית יָרָבְעָם לֹא־
そして-なった 彼が-王となったとき 打った ～を すべての 家を ヤロブアムの 残さなかった
H1961 H5221 H0853 H3605 H1004 H3379 H3808

הִשְׁאִיר כָּל־נְשָׁמָה לְיָרָבְעָם עַד־הִשְׁמְדוֹ אֲשֶׁר
残さなかった どんな 息のある者も ヤロブアムの ～まで 滅ぼすまで それは
H7604 H3605 H5397 H3379 H5704 H8045 H0834

דִּבֶּר בְּיַד־עַבְדּוֹ אֲחִיָּה הַשִּׁלֹנִי׃ כִּדְבַר יְהוָה
語った ～の手を通して 彼の-僕の アヒヤの シロ人の ～の言葉の通り 主の
H1696 H3027 H5650 H0281 H7888 H1697 H3068

彼は王となるとすぐヤラベアムの全家を撃ち、息のある者をひとりもヤラベアムの家に残さず、ことごとく滅ぼした。主がそのしもべシロびとアヒヤによって言われた言葉のとおりであって、

30 עַל־חַטֹּאות יָרָבְעָם אֲשֶׁר חָטָא וַאֲשֶׁר הֶחֱטִיא אֶת־
～のせいで 罪の ヤロブアムの それは 罪を犯した そして-それは 罪を犯させた ～に
H3379 H2398 H0834 H2398 H0853

יִשְׂרָאֵל׃ אֱלֹהֵי יְהוָה אֶת־הִכְעִיס אֲשֶׁר בְּכַעְסוֹ יִשְׂרָאֵל
イスラエルに 彼の-怒りによって それは 怒らせた ～を 主を 神の イスラエルの
H3478 H3707 H0853 H3068 H0430 H3478

これはヤラベアムがみずから犯し、またイスラエルに犯させた罪のため、また彼がイスラエルの神、主を怒らせたその怒りによるのであった。

31 וְיֶתֶר דִּבְרֵי נָדָב וְכָל־אֲשֶׁר עָשָׂה הֲלֹא־הֵם
そして–残りの 事蹟は ナダブの すべての それは 行った それらは–ではないか それら
H1697 H5070 H3605 H0834 H6213 H3808 H1992

כְּתוּבִים עַל־סֵפֶר דִּבְרֵי הַיָּמִים לְמַלְכֵי יִשְׂרָאֵל׃
書かれている 書に 歴代の 日々の ～の王たちの イスラエルの
H3789 H5921 H5612 H1697 H3117 H4428 H3478

ナダブのその他の事績と、彼がしたすべての事は、イスラエルの王の歴代志の書にしるされているではないか。

32 וּמִלְחָמָה הָיְתָה בֵּין אָסָא וּבֵין בַּעְשָׁא מֶלֶךְ־יִשְׂרָאֵל
そして–戦いが あった ～の間に アサの ～の間に バアシャの 王の イスラエルの
H4421 H1961 H0996 H0609 H0996 H1201 H4428 H3478

כָּל־יְמֵיהֶם׃ פ
すべての 彼らの–日々 —
H3605 H3117

アサとイスラエルの王バアシャの間には一生の間戦争があった。

33 בִּשְׁנַת שָׁלֹשׁ לְאָסָא מֶלֶךְ יְהוּדָה מָלַךְ בַּעְשָׁא בֶּן־אֲחִיָּה עַל־
～の年に 第三の アサの 王の ユダの 王となった バアシャが 息子の アヒヤの ～の上に
H8141 H7969 H0609 H4428 H3063 H4427 H1201 H1121 H0281 H5921

כָּל־יִשְׂרָאֵל בְּתִרְצָה עֶשְׂרִים וְאַרְבַּע שָׁנָה׃
すべての イスラエルの ティルツァで 二十 そして–四 年間
H3605 H3478 H8656 H6242 H0702 H8141

ユダの王アサの第三年にアヒヤの子バアシャはテルザでイスラエルの全地の王となって、二十四年世を治めた。

34 וַיַּעַשׂ הָרַע בְּעֵינֵי יְהוָה וַיֵּלֶךְ בְּדֶרֶךְ יָרָבְעָם וּבְחַטָּאתוֹ
そして–行った 悪を ～の目に 主の そして–歩んだ ～の道で ヤロブアムの そして–彼の–罪で
H6213 H7451 H5869 H3068 H3212 H1870 H3379 H0853

אֲשֶׁר הֶחֱטִיא אֶת־יִשְׂרָאֵל׃ ס
それは 罪を犯させた ～に イスラエルに —
H0834 H2398 H0853 H3478

彼は主の目の前に悪を行い、ヤラベアムの道に歩み、ヤラベアムがイスラエルに犯させた罪をおこなった。

Chapter 16

1 וַיְהִי דְבַר־יְהוָה אֶל־חֲנָנִי בֶן־יֵהוּא עַל־בַּעְשָׁא לֵאמֹר׃
そして–あった 言葉が 主の ～へ エヒウ 息子の ハナニの ～について バアシャに 言って
H1961 H1697 H3068 H0413 H3058 H1121 H2607 H5921 H1201 H0559

そこで主の言葉がハナニの子エヒウに臨み、バアシャを責めて言った、

2

הֶעָפָר	מִן־	הֲרִימוֹתִיךָ	אֲשֶׁר	יַעַן	
塵の–中から	～から	わたしが–あなたを–引き上げた	～ということ	～のゆえに	
H6083				H3282	

וַתֵּלֶךְ	יִשְׂרָאֵל	עַמִּי	עַל	נָגִיד	וָאֶתֶּנְךָ	
そして–あなたは–歩んだ	イスラエルの	わが–民	～の上に	指導者として	そして–あなたを–立てた	
H3212	H3478			H5057	H5414	

לְהַכְעִיסֵנִי	יִשְׂרָאֵל	עַמִּי	אֶת־	וַתַּחֲטֵא	יָרָבְעָם	בְּדֶרֶךְ	
わたしを–怒らせるために	イスラエルを	わが–民	～を	そして–罪を–犯させた	ヤロブアムの	～の道に	
H3707	H3478		H0853	H2398	H3379	H1870	

בְּחַטֹּאתָם׃	
彼らの–罪によって	

「わたしはあなたをちりの中からあげて、わたしの民イスラエルの上に君としたが、あなたはヤラベアムの道に歩み、わたしの民イスラエルに罪を犯させ、その罪をもってわたしを怒らせた。

3

וְנָתַתִּי	בֵיתוֹ	וְאַחֲרֵי	בַּעְשָׁא	אַחֲרֵי	מַבְעִיר	הִנְנִי
そして–わたしは–する	彼の–家を	そして–～の後に	バアシャを	～の後に	一掃する	見よ–わたしは
H5414			H1201			H2009

נְבָט׃	בֶּן־	יָרָבְעָם	כְּבֵית	בֵּיתְךָ	אֶת־	
ネバトの	息子の	ヤロブアム	～の家の–ように	あなたの–家を	～を	
H5028		H3379			H0853	

それでわたしは、バアシャとその家を全く滅ぼし去り、あなたの家をネバテの子ヤラベアムの家のようにする。

4

לוֹ	וְהַמֵּת	הַכְּלָבִים	יֹאכְלוּ	בָּעִיר	לְבַעְשָׁא	הַמֵּת	
彼に–属する	そして–死んだ–者を	犬どもが	食い尽くす	町で	バアシャに–属する	死んだ–者を	
	H4191	H3611	H0398		H1201	H4191	

הַשָּׁמַיִם׃	עוֹף	יֹאכְלוּ	בַּשָּׂדֶה	
空の	鳥が	食い尽くす	野で	
H8064	H5775	H0398		

バアシャに属する者で、町で死ぬ者は犬が食べ、彼に属する者で、野で死ぬ者は空の鳥が食べるであろう」。

5

הֲלֹא־	וּגְבוּרָתוֹ	עָשָׂה	וַאֲשֶׁר	בַּעְשָׁא	דִּבְרֵי	וְיֶתֶר	
～ではないか	そして–その–勇敢さは	行ったこと	そして–彼が	バアシャの	事績は	そして–残りの	
H3808	H1369			H1201	H1697		

יִשְׂרָאֵל׃	לְמַלְכֵי	הַיָּמִים	דִּבְרֵי	סֵפֶר	עַל־	כְּתוּבִים	הֵם
イスラエルの	～の王たちの	日々の	年代記の	書に	～の上に	記されている	それらは
H3478	H4428	H3117	H1697			H3789	H1992

バアシャのその他の事績と、彼がした事と、その勲功とは、イスラエルの王の歴代志の書にしるされているではないか。

6

וַיִּמְלֹךְ	בְּתִרְצָה	וַיִּקָּבֶר	אֲבֹתָיו	עִם־	בַּעְשָׁא	וַיִּשְׁכַּב
そして–王となった	ティルツァに	そして–葬られた	先祖たちの	～と共に	バアシャは	そして–眠った
	H8656	H6912	H0001		H1201	H7901

תַּחְתָּיו׃	בְּנוֹ	אֵלָה
彼に–代わって	彼の–息子	エラが
H8478		H0425

バアシャはその先祖と共に眠って、テルザに葬られ、その子エラが代って王となった。

אֶל־	הָיָה׀	יְהוָה	דְּבַר־	הַנָּבִיא	חֲנָנִי	בֶּן־	יֵהוּא	בְּיַד־	וְגַם	7
～へ	あった	主の	言葉が	預言者の	ハナニの	息子の	エヒウ	～の手によって	そして–また	
H0413	H1961	H3068	H1697	H5030	H2607		H3058	H3027	H1571	

וְעָשָׂה	אֲשֶׁר־	וְהָרָעָה	כָּל־	וְעַל	בֵּיתוֹ	וְאֶל־	בַּעְשָׁא
彼が–行った	～のことで	悪	すべての	そして–～について	彼の–家に	そして–～へ	バアシャに
			H3605			H0413	H1201

לִהְיוֹת	יָדָיו	בְּמַעֲשֵׂה	לְהַכְעִיסוֹ	יְהוָה	בְּעֵינֵי	
～のようになるために	彼の–手の	～の業によって	主を–怒らせるために	主の	～の目に	
H1961	H3027	H4639	H3707	H3068		

פ	:אֹתוֹ	הִכָּה	אֲשֶׁר־	וְעַל	יָרָבְעָם	כְּבֵית
—	彼を	打ち殺した	彼が	そして–～のゆえに	ヤロブアムの	～の家の–ように
	H0853	H5221			H3379	

主の言葉はまたハナニの子預言者エヒウによって臨み、バアシャとその家を責めた。これは彼が主の目の前に、もろもろの悪を行い、その手のわざをもって主を怒らせ、ヤラベアムの家にならったためであり、また彼がヤラベアムの家を滅ぼしたためであった。

בַּעְשָׁא	בֶּן־	אֵלָה	מָלַךְ	יְהוּדָה	מֶלֶךְ	לְאָסָא	שְׁנַת	וְשֵׁשׁ	עֶשְׂרִים	בִּשְׁנַת	8
バアシャの	息子の	エラが	王となった	ユダの	王の	アサの	年の	と–六	二十	～の年に	
H1201		H0425		H3063	H4428	H0609	H8141	H8337	H6242	H8141	

:שְׁנָתָיִם	בִּתִרְצָה	יִשְׂרָאֵל	עַל־	
二–年間	ティルツァで	イスラエルの	～の上に	
H8141	H8656	H3478		

ユダの王アサの第二十六年にバアシャの子エラはテルザでイスラエルの王となり、二年世を治めた。

וְהוּא	הָרֶכֶב	מַחֲצִית	שַׂר	זִמְרִי	עַבְדּוֹ	עָלָיו	וַיִּקְשֹׁר		9
そして–彼は	戦車隊の	半分の	長	ジムリが	彼の–家来	彼に–対して	そして–謀反を–起こした		
H1931	H7393	H4276	H8269		H5650		H7194		

:בִּתִרְצָה	הַבַּיִת	עַל־	אֲשֶׁר	אַרְצָא	בֵּית	שִׁכּוֹר	שֹׁתֶה	בִּתִרְצָה
ティルツァの	宮殿の	～の上の	～の者	アルツァの	家で	酔って	飲んでいた	ティルツァで
H8656				H0777		H7910	H8354	H8656

彼がテルザにいて、テルザの宮殿のつかさアルザの家で酒を飲んで酔った時、その家来で戦車隊の半ばを指揮していたジムリが、彼にそむいた。

לְאָסָא	וְשֶׁבַע	עֶשְׂרִים	בִּשְׁנַת	וַיִּמְיתֵהוּ	וַיַּכֵּהוּ	זִמְרִי	וַיָּבֹא		10
アサの	と–七	二十	～の年に	そして–彼を–殺した	そして–彼を–打ち	ジムリは	そして–来て		
H0609	H7651	H6242	H8141	H4191	H5221		H0935		

:תַּחְתָּיו	וַיִּמְלֹךְ	יְהוּדָה	מֶלֶךְ	
彼に–代わって	そして–王となった	ユダの	王の	
H8478		H3063	H4428	

そしてユダの王アサの第二十七年にジムリは、はいってきて彼を撃ち殺し、彼に代って王となった。

11

וַיְהִי בְּמָלְכוֹ כְּשִׁבְתּוֹ עַל־כִּסְאוֹ הִכָּה אֶת־כָּל־בֵּית בַּעְשָׁא לֹא־הִשְׁאִיר לוֹ מַשְׁתִּין בְּקִיר וְרֵעֵהוּ׃ וְגֹאֲלָיו

そして–あった 彼が–王と–なったとき 座った–ときに 彼の–王座に ～の上に 彼は–打ち殺した ～を
H1961 H3427 H3678 H5221 H0853

すべての 家を バアシャの ～ない 彼は–残さなかった 彼に 男の–子を 一人も
H3605 H1201 H3808 H7604 H8366 H7023

そして–血の–復讐者も
H1201

ジムリは王となって、位についた時、バアシャの全家を殺し、その親族または友だちの男子は、ひとりも残さなかった。

12

כִּדְבַר יְהוָה אֲשֶׁר דִּבֶּר עַל־בַּעְשָׁא וְעַל־בֵּיתוֹ בְּיַד יֵהוּא הַנָּבִיא׃

～のことで 語った バアシャに ～に対して 預言者の
H1697 H1696 H1201 H0413 H5030

エヒウ ～の手によって
H3058 H3027

こうしてジムリはバアシャの全家を滅ぼした。主が預言者エヒウによってバアシャを責めて言われた言葉のとおりである。

13

עַל כָּל־חַטֹּאות בַּעְשָׁא וְחַטֹּאות אֵלָה בְּנוֹ אֲשֶׁר חָטְאוּ וַאֲשֶׁר הֶחֱטִיא אֶת־יִשְׂרָאֵל לְהַכְעִיס אֶת־יְהוָה אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל בְּהַבְלֵיהֶם׃

～のゆえに すべての 罪 バアシャの そして–罪 エラの 彼の–息子の ～の 彼らが–犯した
H0413 H3605 H1892 H1201 H2398 H0425

そして–～の 罪を–犯させた ～を イスラエルに 怒らせるために ～を 主を 神 イスラエルの
H3478 H2398 H0853 H3478 H3707 H0853 H3068 H0430 H3478

彼らの–虚しいもので
H1892

これはバアシャのもろもろの罪と、その子エラの罪のためであって、彼らが罪を犯し、またイスラエルに罪を犯させ、彼らの偶像をもってイスラエルの神、主を怒らせたからである。

14

וְיֶתֶר דִּבְרֵי אֵלָה וְכָל־אֲשֶׁר עָשָׂה הֲלוֹא־הֵם כְּתוּבִים עַל־סֵפֶר דִּבְרֵי הַיָּמִים לְמַלְכֵי יִשְׂרָאֵל׃ פ

そして–残りの エラの 事績は ～のことで 彼が–行った ～ではないか それらは
H1697 H0425 H3605 H3808 H1992

記されている ～の書に ～の上に 年代記の 日々の ～の王たちの イスラエルの
H3789 H3478 H4428 H3117 H1697 H3478

エラのその他の事績と、彼がしたすべての事は、イスラエルの王の歴代志の書にしるされているではないか。

15

בִּשְׁנַת עֶשְׂרִים וְשֶׁבַע שָׁנָה לְאָסָא מֶלֶךְ יְהוּדָה מָלַךְ זִמְרִי שִׁבְעַת יָמִים וְהָעָם חֹנִים עַל־גִּבְתּוֹן אֲשֶׁר לַפְּלִשְׁתִּים׃

～の年に 二十 と–七 ユダの 王の アサの 年の 王となった ジムリが 七 日間
H8141 H6242 H7651 H3063 H4428 H0609 H8141 H4428 H7651 H3117

そして–民は 陣を–張っていた ～に対して ギベトン ～の ペリシテ人の
H8656 H2583 H5921 H1405 H6430

ユダの王アサの第二十七年にジムリはテルザで七日の間、世を治めた。民はペリシテびとに属するギベトンにむかって陣取っていたが、

16 וַיִּשְׁמַע הָעָם לֵאמֹר הַחֹנִים קָשַׁר גַּם זִמְרִי
そして-聞いた 民は 言って 陣を-張っている者が 謀反を-起こした そして-また
H8085 H0559 H2583 H7194 H1571

וַיַּמְלֵכוּ כָּל־יִשְׂרָאֵל אֶת־עָמְרִי שַׂר־צָבָא
そして-王と-した すべての イスラエルが ～を オムリを 将軍 軍の
H4428 H3605 H3478 H0853 H6018 H8269

הַמֶּלֶךְ אֶת־הַכָּה
王を ～を 打ち殺した
H4428 H0853 H5221

בְּמַחֲנֵה׃ הַהוּא בַּיּוֹם יִשְׂרָאֵל עַל־
陣営で その その-日に イスラエルの ～の上に
H4264 H1931 H3117 H3478

その陣取っていた民が「ジムリはむほんを起して王を殺した」と人のいうのを聞いたので、イスラエルは皆その日陣営で、軍の長オムリをイスラエルの王とした。

17 וַיַּעֲלֶה עָמְרִי וְכָל־יִשְׂרָאֵל עִמּוֹ מִגִּבְּתוֹן
そして-上って行った オムリは そして-すべての イスラエルが 彼と-共に ギベトンから
H5927 H6018 H3605 H3478 H1405

וַיָּצֻרוּ עַל־תִּרְצָה׃
そして-包囲した ～を ティルツァを
H8656

そこでオムリはイスラエルの人々と共にギベトンから上ってテルザを囲んだ。

18 וַיְהִי כִּרְאוֹת זִמְרִי כִּי־נִלְכְּדָה הָעִיר וַיָּבֹא אֶל־
そして-あった 見たとき ジムリが ～ということ 陥落した 町が そして-入った ～の中に
H1961 H7200 H3920 H0935 H0413

בֵּית־הַמֶּלֶךְ וַיִּשְׂרֹף עָלָיו בָּאֵשׁ וַיָּמֹת׃
王の 家の 城塞に そして-焼いた 自分の-上に 火で そして-死んだ
H4428 H1870 H8313 H0784 H4191

ジムリはその町の陥るのを見て、王の宮殿の天守にはいり、王の宮殿に火をかけてその中で死んだ。

19 עַל־[חטאתו] (חַטֹּאתָיו) אֲשֶׁר חָטָא לַעֲשׂוֹת הָרַע בְּעֵינֵי יְהוָה
～のゆえに ― 彼の-罪 ～の 彼が-犯した ～のために-行った 悪を 目に 主の
H3068 H2398

לְהַחֲטִיא בְּדֶרֶךְ יָרָבְעָם וּבְחַטָּאתוֹ אֲשֶׁר עָשָׂה
罪を-犯させるために ～の道に ヤロブアムの そして-彼の-罪によって ～の 彼が-行った
H2398 H1870 H3379

לָלֶכֶת אֶת־יִשְׂרָאֵל׃
歩むために イスラエルを ～を
H3212 H3478 H0853

これは彼が犯した罪のためであって、彼が主の目の前に悪を行い、ヤラベアムの道に歩み、ヤラベアムがイスラエルに犯させたその罪を行ったからである。

20 וְיֶתֶר דִּבְרֵי זִמְרִי וְקֶשְׁרוֹ אֲשֶׁר קָשָׁר הֲלֹא־
そして-残りの 事績は ジムリの そして-彼の-謀反の ～のことで 彼が-企てた ～ではないか
H1697 H7195 H3808 H7194

הֵם כְּתוּבִים עַל־סֵפֶר דִּבְרֵי הַיָּמִים לְמַלְכֵי יִשְׂרָאֵל׃ פ
それらは 記されている ～の上に 書に 年代記の 日々の ～の王たちの イスラエルの ―
H1992 H3789 H3117 H1697 H4428 H3478

ジムリのその他の事績と、彼が企てた陰謀は、イスラエルの王の歴代志の書にしるされているではないか。

21 אָז יֵחָלֵק הָעָם יִשְׂרָאֵל לַחֲצִי חֲצִי הָיָה הָעָם אַחֲרֵי תִבְנִי
その–とき 分裂した 民は イスラエルの 二つに 半分の 民は あった ～に–従って ティブニ
H8402 H1961 H2677 H2677 H3478

בֶּן־ גִּינַת וְהַחֲצִי אַחֲרֵי עָמְרִי׃
息子の ギナテの そして–半分は ～に–従って オムリに
H1527 H6018

לְהַמְלִיכֻהוּ
彼を–王と–するために

その時イスラエルの民は二つに分れ、民の半ばはギナテの子テブニに従って、これを王としようとし、半ばはオムリに従った。

22 וַיֶּחֱזַק הָעָם אֲשֶׁר אַחֲרֵי עָמְרִי אֶת־ הָעָם אֲשֶׁר אַחֲרֵי תִבְנִי
そして–勝った 民は ～の ～に–従う オムリに ～を 民に ～の ～に–従う ティブニ
H2388 H0854 H6018 H8402

בֶּן־ גִּינַת וַיָּמָת תִבְנִי וַיִּמְלֹךְ עָמְרִי׃ פ
息子の ギナテの 死んだ そして–死んだ ティブニは そして–王となった オムリが —
H1527 H4191 H8402 H6018

しかしオムリに従った民はギナテの子テブニに従った民に勝って、テブニは死に、オムリが王となった。

23 בִּשְׁנַת ׀ שְׁלֹשִׁים וְאַחַת שָׁנָה לְאָסָא מֶלֶךְ יְהוּדָה מָלַךְ עָמְרִי עַל־
～の年に 三十 と–一 年の アサの 王の ユダの 王となった オムリが ～の上に
H8141 H7970 H0259 H8141 H0609 H4428 H3063 H8141 H6018

שְׁנָיִם׃ שֵׁשׁ־ מָלַךְ בְּתִרְצָה שָׁנָה עֶשְׂרֵה שְׁתַּיִם יִשְׂרָאֵל
年間 六 治めた ティルツァで 年間 二 十 イスラエルの
H8141 H8337 H8656 H8141 H6240 H8147 H3478

ユダの王アサの第三十一年にオムリはイスラエルの王となって十二年世を治めた。彼はテルザで六年王であった。

24 וַיִּקֶן אֶת־ הָהָר שֹׁמְרוֹן מֵאֵת שֶׁמֶר בְּכִכְּרַיִם כֶּסֶף
そして–買い取った ～を 山を サマリヤの ～から シェメルから 銀–二–タラントで 銀の
H7069 H0853 H2022 H8111 H0854 H8106 H3603 H3701

וַיִּבֶן וַיִּקְרָא אֶת־ הָהָר שֹׁמְרוֹן אֲשֶׁר בָּנָה
そして–建てた そして–呼んだ ～を 山の–上に サマリヤと ～の 彼が–建てた
H1129 H7121 H0853 H2022 H8111 H0113 H8106 H8034 H0853 H1129

שֹׁמֶר־ עַל הָהָר אֲדֹנֵי שֹׁמֶר שֵׁם הָעִיר׃ אֲשֶׁר
名に ～にちなんで 山の 主人の シェメルの 名を 町の ～の
H8034 H8111 H2022 H0113 H8106 H8034

彼は銀二タラントでセメルからサマリヤの山を買い、その上に町を建て、その建てた町の名をその山の持ち主であったセメルの名に従ってサマリヤと呼んだ。

25 וַיַּעַשׂ עָמְרִי הָרַע בְּעֵינֵי יְהוָה וַיָּרַע מִכֹּל
そして–行った オムリは 悪を ～の目に 主の そして–悪を–行った すべての–者に–まさって
H6018 H7451 H3068 H3605

אֲשֶׁר לְפָנָיו׃
～の者 彼の–前の
H6440

オムリは主の目の前に悪を行い、彼よりも先にいたすべての者にまさって悪い事をした。

26 וַיֵּ֣לֶךְ֮ בְּכָל־ דֶּ֣רֶךְ֒ יָרָבְעָם֮ בֶּן־ נְבָט֒]ובחטאתיו[
そして–歩んだ すべての 道に ヤロブアムの 息子の ネバトの
H3212 H3605 H1870 H3379 H5028

(וּבְחַטָּאתֹו֙ אֲשֶׁ֣ר הֶֽחֱטִ֔יא אֶת־ יִשְׂרָאֵ֖ל לְהַכְעִ֑יס אֶת־ יְהוָ֥ה
そして–彼の–罪によって ～の 罪を–犯させた ～を イスラエルを 怒らせるために ～を 主を
H2398 H0853 H3478 H3707 H0853 H3068

אֱלֹהֵ֣י יִשְׂרָאֵ֔ל בְּהַבְלֵיהֶֽם׃
イスラエルの 神 彼らの–虚しいもので
H3478 H0430 H1892

彼はネバテの子ヤラベアムのすべての道に歩み、ヤラベアムがイスラエルに罪を犯させ、彼らの偶像をもってイスラエルの神、主を怒らせたその罪を行った。

27 וְיֶ֤תֶר דִּבְרֵי֙ עָמְרִ֔י אֲשֶׁ֥ר עָשָׂ֖ה וּגְבוּרָתֹ֑ו אֲשֶׁ֥ר
そして–残りの 事績は オムリの ～のことで 彼が–行った そして–その–勇敢さは ～のことで
H1697 H6018 H1369

הֲלֹא־ הֵ֣ם כְּתוּבִ֔ים עַל־ סֵ֖פֶר דִּבְרֵ֣י הַיָּמִ֑ים לְמַלְכֵ֖י
～ではないか それらは 記されている ～の上に 書に 年代記の 日々の ～の王たちの
H3808 H1992 H3789 H0680 H1697 H3117 H4428

יִשְׂרָאֵֽל׃
イスラエルの
H3478

オムリが行ったその他の事績と、彼があらわした勲功とは、イスラエルの王の歴代志の書にしるされているではないか。

28 וַיִּשְׁכַּ֤ב עָמְרִי֙ עִם־ אֲבֹתָ֔יו וַיִּקָּבֵ֖ר בְּשֹׁמְרֹ֑ון וַיִּמְלֹ֥ךְ
そして–眠った オムリは ～と共に 先祖たちの そして–葬られた サマリヤに そして–王となった
H7901 H6018 H0001 H6912 H8111

אַחְאָ֥ב בְּנֹ֛ו תַּחְתָּ֖יו׃ פ
アハブが 彼の–息子 彼に–代わって —
H0256 H1121 H8478

オムリはその先祖と共に眠って、サマリヤに葬られ、その子アハブが代って王となった。

29 וְאַחְאָ֣ב בֶּן־ עָמְרִ֗י מָלַךְ֙ עַל־ יִשְׂרָאֵ֔ל בִּשְׁנַ֥ת שְׁלֹשִׁ֛ים
そして–アハブは 息子の オムリの 王となった ～の上に イスラエルの ～の年に 三十
H0256 H1121 H6018 H4427 H5921 H3478 H8141 H7970

וּשְׁמֹנֶ֖ה שָׁנָ֑ה
と–八
H8083

וַיִּמְלֹךְ֙ אַחְאָ֣ב בֶּן־ עָמְרִ֔י עַל־ יִשְׂרָאֵ֖ל בְּשֹׁמְרֹ֑ון עֶשְׂרִ֥ים
そして–治めた アハブは 息子の オムリの ～の上に イスラエルを サマリヤで 二十
H0256 H1121 H6018 H5921 H3478 H8111 H6242

וּשְׁתַּ֖יִם שָׁנָֽה׃
と–二 年間
H8147 H8141

ユダの王アサの第三十八年にオムリの子アハブがイスラエルの王となった。オムリの子アハブはサマリヤで二十二年イスラエルを治めた。

30 וַיַּ֤עַשׂ אַחְאָב֙ בֶּן־ עָמְרִ֔י הָרַ֥ע בְּעֵינֵ֖י יְהוָ֑ה מִכֹּ֖ל
そして–行った アハブは 息子の オムリの 悪を ～の目に 主の すべての–者に–まさって
H6213 H0256 H1121 H6018 H7451 H5869 H3068 H3605

אֲשֶׁ֥ר לְפָנָֽיו׃
～の者 彼の–前の
H6440

オムリの子アハブは彼よりも先にいたすべての者にまさって、主の目の前に悪を行った。

31 וַיְהִי֙ הֲנָקֵ֣ל לֶכְתּ֔וֹ בְּחַטֹּ֖אות יָרָבְעָ֣ם בֶּן־נְבָ֑ט
そして–あった 軽い–ことで–あった 彼が–歩むこと ～の罪に ヤロブアムの 息子の ネバトの
H1961 H7043 H3212 H0853 H3379 H5028

וַיֵּ֣לֶךְ צִידֹנִ֗ים מֶ֚לֶךְ אִתְבַּ֣עַל בַּת־ אִיזֶ֔בֶל אֶת־ אִשָּׁ֖ה וַיִּקַּ֑ח
そして–行き シドン人の 王の エテバアルの 娘の イゼベルを ～を 妻として そして–めとった
H3212 H6722 H4428 H0856 H1323 H0348 H0853 H0802 H3947

וַיַּעֲבֹ֥ד אֶת־ הַבַּ֖עַל וַיִּשְׁתַּ֥חוּ לֹֽו׃
そして–仕えた ～に バアルに そして–ひれ伏した それに
H5647 H0853 H7812

彼はネバテの子ヤラベアムの罪を行うことを、軽い事とし、シドンびとの王エテバアルの娘イゼベルを妻にめとり、行ってバアルに仕え、これを拝んだ。

32 וַיָּקֶם֙ מִזְבֵּ֣חַ לַבָּ֔עַל בֵּ֖ית הַבַּ֣עַל אֲשֶׁ֣ר בָּנָ֑ה בְּשֹׁמְרֹֽון׃
そして–立てた 祭壇を バアルのために 神殿に バアルの ～の 彼が–建てた サマリヤに
H4196 H0853 H1129 H8111

彼はサマリヤに建てたバアルの宮に、バアルのために祭壇を築いた。

33 וַיַּ֣עַשׂ אַחְאָ֗ב אֶת־ הָאֲשֵׁרָה֙ וַיֹּ֣וסֶף לַעֲשֹׂ֔ות לְהַכְעִ֔יס אֶת־
そして–造った アハブは ～を アシェラ像を そして–さらに 行って 怒らせた ～を
H0853 H0256 H0842 H3254 H0853 H3707

כָּל־ מַלְכֵ֣י יִשְׂרָאֵ֔ל אֲשֶׁ֥ר הָיָ֖ו לְפָנָֽיו׃
すべての–者に–まさって イスラエルの 王たちの イスラエルの ～の あった 彼の–前に
H3605 H3478 H4428 H3478 H1961 H6440

アハブはまたアシラ像を造った。アハブは彼よりも先にいたイスラエルのすべての王にまさってイスラエルの神、主を怒らせることを行った。

34 בְּיָמָ֔יו בָּנָ֖ה חִיאֵ֣ל בֵּֽית־ הָאֵלִ֑י אֶת־ יְרִיחֹ֗ו בַּאֲבִירָ֙ם בְּכֹרֹ֔ו יָסַ֣ד
彼の–日に 建てた ヒエルが ベテルの–人が ～を エリコを アビラムで 彼の–長子の 基を–据え
H3117 H1129 H2419 H0853 H3405 H0048 H1060 H3245

בִּשְׁגִיב֖ [וּבִשְׁנֻיֹ֑ו] בְּדָבַ֣ר יְהוָ֔ה אֲשֶׁ֥ר דִּבֶּ֖ר בְּיַד־ יְהֹושֻׁ֥עַ בִּן־ נֽוּן׃ ס
— そして–セグブで その–門を 立てた 彼の–末子の ～の言葉の–とおりに 主の ～のことで
H7687 H7687 H6810 H5324 H1697 H3068 H3245

ベテルびとヒエルはエリコを建てた。彼はその基をすえる時に長子アビラムを失い、その門を立てる時に末の子セグブを失った。主がヌンの子ヨシュアによって言われた言葉のとおりである。

Chapter 17

1

וַיֹּאמֶר אֵלִיָּהוּ הַתִּשְׁבִּי מִתֹּשְׁבֵי גִלְעָד אֶל־אַחְאָב חַי־
そして-言った エリヤは ティシュベ人の ～の住民の ギルアデの ～に アハブに 生きておられる
H0559 H0452 H8664 H3427 H1568 H0413 H0256

יְהוָה אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל אֲשֶׁר עָמַדְתִּי לְפָנָיו אִם־
主は 神 イスラエルの ～の前に わたしが-立っている その-御前に もし あるなら
H3068 H0430 H3478 H6440 H5975 H0518 H1961

כִּי אִם־לְפִי דְבָרִי׃ סה
～でなければ ただ ～の口による わたしの-言葉の ー
H3588 H0518 H6310 H1697

הָאֵלֶּה הַשָּׁנִים טַל וּמָטָר יִהְיֶה
これらの これらの-年に 露や 雨が
H0428 H8141 H2919 H4306

ギレアデのテシベに住むテシベびとエリヤはアハブに言った、「わたしの仕えているイスラエルの神、主は生きておられます。わたしの言葉のないうちは、数年雨も露もないでしょう」。

2

וַיְהִי דְבַר־יְהוָה אֵלָיו לֵאמֹר׃
そして-あった 言葉が 主の 彼に 言って
H1961 H1697 H3068 H0413 H0559

主の言葉がエリヤに臨んだ、

3

לֵךְ מִזֶּה וּפָנִיתָ קֶדְמָה וְנִסְתַּרְתָּ בְּנַחַל
行け ここから そして-向きを-変えよ 東へ そして-身を-隠せ ～の川の-ほとりに
H3212 H2088 H6437 H6924 H5158 H5158

כְּרִית אֲשֶׁר עַל־פְּנֵי הַיַּרְדֵּן׃
ケリテの ～の ～の向こうの 面の ヨルダンの
H3747 H0834 H5921 H6440 H3383

「ここを去って東におもむき、ヨルダンの東にあるケリテ川のほとりに身を隠しなさい。

4

וְהָיָה מִן־הַנַּחַל וְאֶת־הָעֹרְבִים צִוִּיתִי לְכַלְכֶּלְךָ
そして-なる 川から そして-～を 烏たちに わたしは-命じた あなたを-養うように
H1961 H5158 H0853 H6158 H6680 H3557

שָׁם׃ פ
そこで
H8033

そしてその川の水を飲みなさい。わたしはからすに命じて、そこであなたを養わせよう」。

5

וַיֵּלֶךְ וַיַּעַשׂ כִּדְבַר יְהוָה וַיֵּלֶךְ וַיֵּשֶׁב
そして-行った そして-行った ～の言葉の-とおりに 主の そして-行き そして-住んだ
H3212 H6213 H1697 H3068 H3212 H3427

בְּנַחַל כְּרִית אֲשֶׁר עַל־פְּנֵי הַיַּרְדֵּן׃
～の川の-ほとりに ケリテの ～の ～の向こうの 面の ヨルダンの
H5158 H3747 H0834 H5921 H6440 H3383

エリヤは行って、主の言葉のとおりにした。すなわち行って、ヨルダンの東にあるケリテ川のほとりに住んだ。

6

וְהָעֹרְבִים מְבִיאִים לוֹ לֶחֶם וּבָשָׂר בַּבֹּקֶר וּלְחֶם וּבָשָׂר בָּעֶרֶב
そして-烏たちが 運んで-きた 彼に パンと 肉を 朝に パンと 肉を 夕べに
H6158 H0935 H0518 H3899 H1320 H1242 H3899 H1320 H6153

וּמִן־הַנַּחַל יִשְׁתֶּה׃
そして-～から 川から 彼は-飲んだ
H4325 H5158 H8354

すると、からすが朝ごとに彼の所にパンと肉を運び、また夕ごとにパンと肉を運んできた。そして彼はその川の水を飲んだ。

7 וַיְהִי מִקֵּץ יָמִים וַיִּיבַשׁ הַנָּחַל כִּי לֹא־הָיָה גֶשֶׁם בָּאָרֶץ׃ ס

そして-あった ～の終わりに 日々の 乾いた そして-川が なぜなら ～ない あった 雨が 地に

H1961 H7093 H3117 H3001 H5158 H3808 H1961 H1653 H0776

しかし国に雨がなかったので、しばらくしてその川はかれた。

8 וַיְהִי דְבַר־יְהוָה אֵלָיו לֵאמֹר׃

そして-あった 言葉が 主の 彼に 言って

H1961 H1697 H3068 H0413 H0559

その時、主の言葉が彼に臨んで言った、

9 קוּם לֵךְ צָרְפַתָה אֲשֶׁר לְצִידוֹן וְשָׁבְתָּ שָׁם הִנֵּה צִוִּיתִי שָׁם אִשָּׁה אַלְמָנָה לְכַלְכְּלֶךָ׃

立って 行け ツァレファテへ ～の シドンに-属する そして-住め そこに 見よ そこで 女に やもめの あなたを-養うように わたしは-命じた

H6965 H3212 H6886 H0834 H6721 H3427 H8033 H2009 H8033 H0802 H0490 H3557 H6680

「立ってシドンに属するザレパテへ行って、そこに住みなさい。わたしはそのところのやもめ女に命じてあなたを養わせよう」。

10 וַיָּקָם וַיֵּלֶךְ צָרְפַתָה וַיָּבֹא אֶל־פֶּתַח הָעִיר וְהִנֵּה־שָׁם אִשָּׁה אַלְמָנָה מְקֹשֶׁשֶׁת עֵצִים וַיִּקְרָא אֵלֶיהָ וַיֹּאמַר

そして-立ち上がり そして-行った ツァレファテへ そして-来た 入口に 町の そして-見よ そこに 女が やもめの 拾い-集めていた 薪を そして-呼びかけた 彼女に そして-言った

H6965 H3212 H6886 H0935 H6607 H5892 H2009 H8033 H0802 H0490 H4488 H6086 H7121 H0413 H0559

וְאֶשְׁתֶּה׃ בַכְּלִי מְעַט־מַיִם לִי נָא קְחִי־נָא

そして-飲ませて-ください 器に-入れて 水を 少しの わたしに どうか 持って-きて-ください

H8354 H3627 H4325 H4592 H0589 H4994 H3947

そこで彼は立ってザレパテへ行ったが、町の門に着いたとき、ひとりのやもめ女が、その所でたきぎを拾っていた。彼はその女に声をかけて言った、「器に水を少し持ってきて、わたしに飲ませてください」。

11 וַתֵּלֶךְ לָקַחַת וַיִּקְרָא אֵלֶיהָ וַיֹּאמַר קְחִי־נָא לִי פַּת־לֶחֶם בְּיָדֵךְ׃

そして-行った 取りに そして-呼びかけた 彼女に そして-言った どうか 持って-きて-ください わたしに 一切れの パンを あなたの-手に

H3212 H3947 H7121 H0413 H0559 H4994 H3947 H0589 H6595 H3899 H3027

彼女が行って、それを持ってこようとした時、彼は彼女を呼んで言った、「手に一口のパンを持ってきてください」。

12 וַתֹּאמֶר חַי־ יְהוָה אֱלֹהֶיךָ אִם־ יֶשׁ־ לִי מָעוֹג כִּי
そして-言った 生きておられる 主は あなたの-神は ～ない ある わたしに パン菓子は ただ
H0559 H3068 H0430 H0408 H3426 H4580

וְהִנֵּנִי אֶחָד מְלֹא־ כַף־ קֶמַח בַּכַּד וּמְעַט־ שֶׁמֶן בַּצַּפַּחַת
そして-見よ-わたしは 一握りの 手のひらの 粉が 瓶に そして-少しの 油が 壺に
H2009 H4393 H3709 H7058 H3537 H4592 H8081 H6835

וְהִנֵּנִי מְקֹשֶׁשֶׁת שְׁנַיִם עֵצִים וּבָאתִי וַעֲשִׂיתִיהוּ לִי
そして-見よ-わたしは 拾い-集めている 二本の 薪を そして-帰って そして-それを-作る わたしと
H2009 H4393 H8147 H6086 H0935 H6213 H0430

וְנָמֻתָנוּ׃ וַאֲכַלְנֵהוּ וְלִבְנִי
そして-死ぬ そして-それを-食べて そして-わたしの-息子の-ために
H4191 H0398

彼女は言った、「あなたの神、主は生きておられます。わたしにはパンはありません。ただ、かめに一握りの粉と、びんに少しの油があるだけです。今わたしはたきぎ二、三本を拾い、うちへ帰って、わたしと子供のためにそれを調理し、それを食べて死のうとしているのです」。

13 וַיֹּאמֶר אֵלֶיהָ אֵלִיָּהוּ אַל־ תִּירְאִי בֹּאִי עֲשֵׂי כִּדְבָרֵךְ
そして-言った 彼女に エリヤは ～するな 恐れるな 行って 作りなさい あなたの-言葉の-とおりに
H0559 H0413 H0452 H0408 H3372 H0935 H6213 H1697

אַךְ עֲשִׂי־ לִי מִשָּׁם עֻגָה קְטַנָּה בָּרִאשֹׁנָה
ただし 作りなさい わたしの-ために そこから 小さな-パン菓子を 小さな まず-最初に
H0389 H6213 H8033 H5692 H7847 H7223

וְלָךְ וְלִבְנֵךְ תַּעֲשִׂי וְהוֹצֵאת לִי
そして-あなたの-ために そして-あなたの-息子の-ために 作りなさい わたしに そして-持って-きなさい
H3318

בָּאַחֲרֹנָה׃ ס
後で —
H0314

エリヤは彼女に言った、「恐れるにはおよばない。行って、あなたが言ったとおりにしなさい。しかしまず、それでわたしのために小さいパンを、一つ作って持ってきなさい。その後、あなたと、あなたの子供のために作りなさい。

14 כִּי כֹה אָמַר יְהוָה אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל כַּד הַקֶּמַח לֹא תִכְלֶה
なぜなら このように 言われた 主は 神 イスラエルの 粉の-瓶は 粉の ～ない 尽きない
H3541 H0559 H3068 H0430 H3478 H3537 H7058 H3808 H3615

וְצַפַּחַת הַשֶּׁמֶן לֹא תֶחְסָר עַד־ יוֹם תֵּת־( ]תתן[יְהוָה גֶּשֶׁם עַל־
そして-油の-壺は 油の ～ない 欠けない ～まで 日 与える — 主が 雨を ～の上に
H6835 H8081 H3808 H2637 H5704 H3117 H5414 H5414 H3068 H1653 H5921

פְּנֵי הָאֲדָמָה׃
面に 地の
H6440 H0127

『主が雨を地のおもてに降らす日まで、かめの粉は尽きず、びんの油は絶えない』とイスラエルの神、主が言われるからです」。

15 וַתֵּלֶךְ וַתַּעַשׂ כִּדְבַר אֵלִיָּהוּ וַתֹּאכַל]הוא־[ ]והיא[הִיא־(
そして-行った そして-した ～の言葉の-とおりに エリヤの そして-食べた — — 彼女と
H3212 H6213 H1697 H0452 H0398 H1931 H1931 H1931

וְהוּא(וּבֵיתָהּ יָמִים׃
そして-彼が そして-彼女の-家は 多くの-日々
H1931 H3117

彼女は行って、エリヤが言ったとおりにした。彼女と彼および彼女の家族は久しく食べた。

16

חָסַר	לֹא	הַשֶּׁמֶן	וְצַפַּחַת	כָּלְתָה	לֹא	הַקֶּמַח	כַּד
欠けなかった	～ない	油の	そして–油の–壺は	尽きなかった	～ない	粉の	粉の–瓶は
H2638	H3808	H8081	H6835	H3615	H3808	H7058	H3537

פ	אֵלִיָּהוּ׃	בְּיַד	דִּבֶּר	אֲשֶׁר	יְהוָה	כִּדְבַר	
—	エリヤの	～の手によって	語った	～の	主の	～の言葉の–とおりに	
	H0452	H3027	H1696		H3068	H1697	

主がエリヤによって言われた言葉のように、かめの粉は尽きず、びんの油は絶えなかった。

17

בַּעֲלַת	הָאִשָּׁה	בֶּן־	חָלָה	הָאֵלֶּה	הַדְּבָרִים	אַחַר	וַיְהִי	
女主人の	女の	息子が	病気に–なった	これらの	これらの–事の	～の後に	そして–あった	
H1172	H0802			H0428	H1697		H1961	

בּוֹ	נוֹתְרָה־	לֹא־	אֲשֶׁר	עַד	מְאֹד	חָזָק	חָלְיוֹ	וַיְהִי	הַבַּיִת
彼に	残らなかった	～ない	～の	～まで	非常に	重く	彼の–病は	そして–あった	家の
	H3498	H3808		H5704	H3966	H2389	H2483	H1961	

נְשָׁמָה׃
息が
H5397

これらの事の後、その家の主婦であるこの女の男の子が病気になった。その病気はたいそう重く、息が絶えたので、

18

בָּאתָ	הָאֱלֹהִים	אִישׁ	וָלָךְ	לִי	מַה־	אֵלִיָּהוּ	אֶל־	וַתֹּאמֶר
あなたは–来た	神の	人よ	そして–あなたに	わたしに	何の	エリヤに	～に	そして–言った
H0935	H0430	H0376			H4100	H0452	H0413	H0559

אֶת־	וּלְהָמִית	עֲוֹנִי	אֶת־	לְהַזְכִּיר	אֵלַי		
～を	そして–死なせる–ために	わたしの–罪を	～を	思い出させる–ために	わたしの–もとに		
H0853	H4191	H5771	H0853	H2142	H0413		

בְּנִי׃
わたしの–息子を

彼女はエリヤに言った、「神の人よ、あなたはわたしに、何の恨みがあるのですか。あなたはわたしの罪を思い出させるため、またわたしの子を死なせるためにおいでになったのですか」。

19

וַיִּקָּחֵהוּ	בְּנֵךְ	אֶת־	לִי	תְּנִי־	אֵלֶיהָ	וַיֹּאמֶר	
そして–受け取った	あなたの–息子を	～を	わたしに	渡しなさい	彼女に	そして–言った	
H3947		H0853		H5414	H0413	H0559	

שָׁם	יֹשֵׁב	הוּא	אֲשֶׁר־	הָעֲלִיָּה	אֶל־	וַיַּעֲלֵהוּ	מֵחֵיקָהּ	
そこに	住んでいた	彼が	～の	屋上の–部屋へ	～へ	そして–運び上げた	彼女の–胸から	
H8033	H3427	H1931		H5944	H0413	H5927	H2436	

מִטָּתוֹ׃	עַל־	וַיַּשְׁכִּבֵהוּ	
彼の–寝台の–上に	～の上に	そして–寝かせた	
H4296		H7901	

エリヤは彼女に言った、「子をわたしによこしなさい」。そして彼女のふところから子供を取り、自分のいる屋上のへやへかかえて上り、自分の寝台に寝かせ、

20 וַיִּקְרָא אֶל־יְהוָה וַיֹּאמַר יְהוָה אֱלֹהָי הֲגַם עַל־הָאַלְמָנָה
そして-叫んだ ～に 主に そして-言った 主よ わが-神よ ～さえも ～の上に やもめの-上にも
H0413 H7121 H3068 H0559 H3068 H0430 H1571 H0430 H0490

עִמָּהּ הַרֵעוֹתָ לְהָמִית אֶת־בְּנָהּ׃
彼女の-もとに あなたは-災いを-もたらすのか 死なせる-ために 彼女の-息子を
H0589 H7489 H4191 H1121

主に呼ばわって言った、「わが神、主よ、あなたはわたしが宿っている家のやもめにさえ災をくだして、子供を殺されるのですか」。

21 וַיִּתְמֹדֵד עַל־הַיֶּלֶד שְׁלֹשׁ פְּעָמִים וַיִּקְרָא אֶל־יְהוָה
そして-身を-伸ばした ～の上に 子どもの-上に 三 度 そして-叫んだ ～に 主に
H4058 H5921 H3206 H7969 H6471 H7121 H0413 H3068

וַיֹּאמַר יְהוָה אֱלֹהָי יָשָׁב נָא נֶפֶשׁ־הַיֶּלֶד הַזֶּה עַל־קִרְבּוֹ׃
そして-言った 主よ わが-神よ 戻して-ください どうか 命を この-子どもの ～の中に 彼の-内に
H0559 H3068 H0430 H7725 H4994 H5315 H2088 H3206 H7130

そして三度その子供の上に身を伸ばし、主に呼ばわって言った、「わが神、主よ、この子供の魂をもとに帰らせてください」。

22 וַיִּשְׁמַע יְהוָה בְּקוֹל אֵלִיָּהוּ וַתָּשָׁב נֶפֶשׁ־הַיֶּלֶד עַל־קִרְבּוֹ וַיָּחִי׃
そして-聞き入れた 主は ～の声に エリヤの 命が そして-戻った 子どもの ～の中に 彼の-内に そして-生き返った
H8085 H3068 H0452 H5315 H7725 H3206 H7130 H2421

主はエリヤの声を聞きいれられたので、その子供の魂はもとに帰って、彼は生きかえった。

23 וַיִּקַּח אֵלִיָּהוּ אֶת־הַיֶּלֶד מִן־הָעֲלִיָּה וַיֹּרֶד הַבָּיְתָה וַיִּתְּנֵהוּ
そして-取り上げた エリヤは ～を 子どもを 屋上の-部屋から ～から そして-連れ下りた 家の-中へ そして-渡した
H3947 H0452 H0853 H3206 H5944 H3381 H1004 H5414

לְאִמּוֹ וַיֹּאמֶר אֵלִיָּהוּ רְאִי חַי בְּנֵךְ׃
彼の-母に そして-言った エリヤは 見なさい 生きている あなたの-息子は
H0517 H0559 H0452 H7200 H2416 H1121

エリヤはその子供を取って屋上のへやから家の中につれて降り、その母にわたして言った、「ごらんなさい。あなたの子は生きかえりました」。

24 וַתֹּאמֶר הָאִשָּׁה אֶל־אֵלִיָּהוּ עַתָּה זֶה יָדַעְתִּי כִּי אִישׁ
そして-言った 女は ～に エリヤに 今 このことで わたしは-知った ～ということを 人
H0559 H0802 H0413 H0452 H6258 H2088 H3045 H3588 H0376

אֱלֹהִים אָתָּה וּדְבַר־יְהוָה בְּפִיךָ אֱמֶת׃ פ
神の あなたは そして-言葉は 主の あなたの-口にある 真実である —
H0430 H0859 H1697 H3068 H6310 H0571

女はエリヤに言った、「今わたしはあなたが神の人であることと、あなたの口にある主の言葉が真実であることを知りました」。

Chapter 18

בַּשָּׁנָה	אֵלִיָּהוּ	אֶל־	הָיָה	יְהוָה	וּדְבַר־	רַבִּים	יָמִים	וַיְהִי	1
～の年に	エリヤに	～に	あった	主の	そして–言葉が	多くの	日々が	そして–あった	
H8141	H0452	H0413	H1961	H3068	H1697		H3117	H1961	

עַל־	מָטָר	וְאֶתְּנָה		אַחְאָב	אֶל־	הֵרָאֵה	לֵךְ	לֵאמֹר	הַשְּׁלִישִׁית
～の上に	雨を	そして–わたしは–与える		アハブに	～に	姿を–現せ	行って	言って	第三の
	H4306	H5414		H0256	H0413	H7200	H3212	H0559	H7992

הָאֲדָמָה׃	פְּנֵי
地の	面に
H0127	H6440

多くの日を経て、三年目に主の言葉がエリヤに臨んだ、「行って、あなたの身をアハブに示しなさい。わたしは雨を地に降らせる」。

בְּשֹׁמְרוֹן׃	חָזָק	וְהָרָעָב	אַחְאָב	אֶל־	לְהֵרָאוֹת	אֵלִיָּהוּ	וַיֵּלֶךְ	2
サマリヤで	激しかった	そして–飢饉は	アハブに	～に	姿を–現す–ために	エリヤは	そして–行った	
H8111	H2389	H7458	H0256	H0413	H7200	H0452	H3212	

エリヤはその身をアハブに示そうとして行った。その時、サマリヤにききんが激しかった。

הָיָה	וְעֹבַדְיָהוּ	הַבָּיִת	עַל־	אֲשֶׁר	עֹבַדְיָהוּ	אֶל־	אַחְאָב	וַיִּקְרָא	3
あった	そして–オバデヤは	宮殿の	～の上の	～の者	オバデヤを	～を	アハブは	そして–呼んだ	
H1961	H5662				H5662	H0413	H0256	H7121	

מְאֹד׃	יְהוָה	אֶת־	יָרֵא	
非常に	主を	～を	恐れていた	
H3966	H3068	H0854	H3373	

アハブは家づかさオバデヤを召した。（オバデヤは深く主を恐れる人で、

וַיִּקַּח	יְהוָה	נְבִיאֵי	אֵת	אִיזֶבֶל	בְּהַכְרִית	וַיְהִי		4
そして–取った	主の	預言者たちを	～を	イゼベルが	～が–断ち–滅ぼした–とき	そして–あった		
H3947	H3068	H5030	H0853	H0348	H3772	H1961		

וְכִלְכְּלָם	בַּמְּעָרָה	אִישׁ	חֲמִשִּׁים	וַיַּחְבִּיאֵם	נְבִאִים	מֵאָה	עֹבַדְיָהוּ	
そして–養った	洞穴に	人ずつ	五十	そして–彼らを–隠した	預言者たちを	百人の	オバデヤは	
H3557	H4631	H0376	H2572	H2244	H5030	H3967	H5662	

לֶחֶם וָמָיִם׃	
水で	パンと
H4325	H3899

イゼベルが主の預言者を断ち滅ぼした時、オバデヤは百人の預言者を救い出して五十人ずつほら穴に隠し、パンと水をもって彼らを養った）。

5 וַיֹּ֤אמֶר אַחְאָב֙ אֶל־עֹבַדְיָ֔הוּ לֶךְ֩ בָּאָ֨רֶץ אֶל־כָּל־מַעְיְנֵ֜י הַמַּ֗יִם
そして–言った アハブは 〜に オバデヤに 行け 地の–中を 〜へ すべての 泉を 水の
H0559 H0256 H0413 H5662 H3212 H0776 H0413 H3605 H4599 H4325

וְאֶל־כָּל־הַנְּחָלִ֗ים אוּלַ֤י נִמְצָא־חָצִיר֙ וּנְחַיֵּ֣ה סוּס֔ וָפֶ֖רֶד
そして–〜へ すべての 川を あるいは 見つかる 草が そして–生かせる 馬や 騾馬を
H0413 H3605 H0194 H4672 H2421 H6505

וְלֹ֥א נַכְרִ֖ית מִן־הַבְּהֵמָֽה׃
そして–ない 絶やさ–ない–ように 家畜を
H3808 H3772 H0929

アハブはオバデヤに言った、「国中のすべての水の源と、すべての川に行ってみるがよい。馬と騾馬を生かしておくための草があるかもしれない。そうすれば、われわれは家畜をいくぶんでも失わずにすむであろう」。

6 וַיַּחְלְקוּ־לָהֶ֣ם אֶת־הָאָ֔רֶץ לַעֲבָר־בָּ֑הּ אַחְאָב֙ הָלַ֣ךְ בְּדֶ֔רֶךְ
そして–分けた 彼らは 〜を 地を 〜を–通る–ために そこを アハブは 行った 〜の道を
H1992 H0853 H0776 H0256 H1980 H1870

וְעֹבַדְיָ֥הוּ הָלַ֖ךְ בְּדֶ֣רֶךְ אֶחָ֑ד לְבַדּֽוֹ׃
そして–オバデヤは 行った 〜の道を 一つの 一人で
H5662 H1980 H1870 H0259 H0905

彼らは行き巡る地をふたりで分け、アハブはひとりでこの道を行き、オバデヤはひとりで他の道を行った。

7 וַיְהִ֣י עֹבַדְיָ֗הוּ בַּדֶּ֙רֶךְ֙ וְהִנֵּ֤ה אֵלִיָּ֙הוּ֙ לִקְרָאתֹ֔ו
そして–あった オバデヤが 道の–途中で そして–見よ エリヤが 彼に–向かって
H1961 H5662 H1870 H2009 H0452 H7125

וַיַּכִּרֵ֖הוּ וַיִּפֹּ֣ל עַל־פָּנָ֑יו וַיֹּ֗אמֶר הַאַתָּ֥ה זֶ֛ה
そして–彼を–見分けた そして–ひれ伏した 顔を 〜の上に そして–言った これは あなた–ですか
H2088 H6440 H0559 H5307 H2088

אֲדֹנִ֖י אֵלִיָּֽהוּ׃
わが–主よ エリヤよ
H0113 H0452

オバデヤが道を進んでいた時、エリヤが彼に会った。彼はエリヤを認めて伏して言った、「わが主エリヤよ、あなたはここにおられるのですか」。

8 וַיֹּ֣אמֶר לֹ֔ו הִנֵּ֖ה לַאדֹנֶ֣יךָ אֵ֑מֹר אֵלִיָּֽהוּ׃
そして–言った 彼に 行って わたしだ 言え あなたの–主人に 見よ エリヤが
H0559 H3212 H0589 H0559 H0113 H2009 H0452

エリヤは彼に言った、「そうです。行って、あなたの主人に、エリヤはここにいると告げなさい」。

9 וַיֹּ֣אמֶר מָ֣ה חָטָ֗אתִי כִּ֤י אַתָּה֙ נֹתֵ֣ן אֶת־עַבְדְּךָ֔ בְּיַד־אַחְאָ֖ב לַהֲמִיתֵֽנִי׃
そして–言った 何の 罪を–犯したのか 〜ということ あなたが 渡す 〜を あなたの–しもべを 殺す–ために アハブの 〜の手に
H0559 H4100 H2398 H0559 H5414 H0853 H5650 H4191 H0256 H3027

彼は言った、「わたしにどんな罪があって、あなたはしもべをアハブの手にわたして殺そうとされるのですか。

10

שָׁלַח — 遣わした — H7971
לֹא־ — ～ない — H3808
אֲשֶׁר — ～の
וּמַמְלָכָה — 王国は — H4467
גּוֹי — 国や
יֵשׁ־ — ある — H3426
אִם־ — ～ない
אֱלֹהֶיךָ — あなたの–神は — H0430
יְהוָה — 主は — H3068
וְחַי — 生きておられる

הַמַּמְלָכָה — 王国と — H4467
אֶת־ — ～を — H0853
וְהִשְׁבִּיעַ — そして–誓わせた — H7650
אָיִן — いないと — H0369
וְאָמְרוּ — そして–言った — H0559
לְבַקֶּשְׁךָ — あなたを–探す–ために — H1245
שָׁם — そこへ — H8033
אֲדֹנִי — わが–主が — H0113

יִמְצָאֶכָּה׃ — 見つからないと — H4672
לֹא — ない — H3808
כִּי — ～ということを
הַגּוֹי — 国に
וְאֶת־ — そして–～を — H0853

あなたの神、主は生きておられます。わたしの主人があなたを尋ねるために、人をつかわさない民はなく、国もありません。そしてエリヤはいないと言う時は、その国、その民に、あなたが見つからないという誓いをさせるのです。

11

אֵלִיָּהוּ׃ — エリヤがと — H0452
הִנֵּה — 見よ — H2009
לַאדֹנֶיךָ — あなたの–主人に — H0113
אֱמֹר — 言え — H0559
לֵךְ — 行って — H3212
אֹמֵר — 言う — H0559
אַתָּה — あなたは
וְעַתָּה — そして–今 — H6258

あなたは今『行って、エリヤはここにいると主人に告げよ』と言われます。

12

עָל — ～へ
יִשָּׂאֲךָ — あなたを–運ぶ — H5375
יְהוָה — 主の — H3068
וְרוּחַ — そして–霊が — H7307
מֵאִתָּךְ — あなたの–もとから — H0854
אֵלֵךְ — 行く — H3212
וְאֲנִי — わたしが — H0589
וְהָיָה — そして–なる — H1961

וְלֹא — そして–ない — H3808
לְאַחְאָב — アハブに — H0256
לְהַגִּיד — 告げる–ために — H5046
וּבָאתִי — そして–わたしが–来て — H0935
אֵדָע — わたしが–知らない — H3045
לֹא־ — ～ない — H3808
אֲשֶׁר — ～の

יְהוָה — 主を — H3068
אֶת־ — ～を — H0854
יָרֵא — 恐れて–いた — H3372
וְעַבְדְּךָ — そして–あなたの–しもべは — H5650
וַהֲרָגָנִי — そして–殺される — H2026
יִמְצָאֵךְ — 見つからない — H4672

מִנְּעֻרָי׃ — わたしの–若い–時から

しかしわたしがあなたを離れて行くと、主の霊はあなたを、わたしの知らない所へ連れて行くでしょう。わたしが行ってアハブに告げ、彼があなたを見つけることができなければ、彼はわたしを殺すでしょう。しかし、しもべは幼い時から主を恐れている者です。

13

בַּהֲרֹג — ～が–殺した–とき — H2026
עָשִׂיתִי — わたしが–行った
אֲשֶׁר־ — ～のことを
אֵת — ～を — H0853
לַאדֹנִי — わが–主に — H0113
הֻגַּד — 告げられた — H5046
הֲלֹא־ — ～ではないか — H3808

יְהוָה — 主の — H3068
מִנְּבִיאֵי — ～の預言者たちの–中から — H5030
וָאַחְבֵּא — そして–わたしは–隠した — H2244
יְהוָה — 主の — H3068
נְבִיאֵי — 預言者たちを — H5030
אֵת — ～を — H0853
אִיזֶבֶל — イゼベルが — H0348

וָמָיִם׃ — 水で — H4325
לֶחֶם — パンと — H3899
וָאֲכַלְכְּלֵם — そして–養った — H3557
בַּמְּעָרָה — 洞穴に — H4631
אִישׁ — 人ずつ — H0376
חֲמִשִּׁים — 五十 — H2572
חֲמִשִּׁים — 五十 — H2572
אִישׁ — 人を — H0376
מֵאָה — 百 — H3967

イゼベルが主の預言者を殺した時に、わたしがした事、すなわち、わたしが主の預言者のうち百人を五十人ずつほら穴に隠して、パンと水をもって養った事を、わが主は聞かれませんでしたか。

14 וְעַתָּה֙ אַתָּ֣ה אֹמֵ֔ר לֵ֚ךְ אֱמֹ֣ר לַאדֹנֶ֔יךָ הִנֵּ֖ה אֵלִיָּ֑הוּ וַהֲרָגָֽנִי׃

そして–今 H6258 あなたは H0859 言う H0559 行って H3212 言え H0559 あなたの–主人に H0113 見よ H2009 エリヤがと H0452 そして–殺される H2026

ס

ところが今あなたは『行って、エリヤはここにいると主人に告げよ』と言われます。そのようなことをすれば彼はわたしを殺すでしょう」。

15 וַיֹּ֣אמֶר֮ אֵלִיָּ֣הוּ֒ חַי־יְהוָ֣ה צְבָא֗וֹת אֲשֶׁ֤ר עָמַ֙דְתִּי֙ לְפָנָ֔יו אֵלָי֖וּ הַיּ֣וֹם אֵרָאֶ֑ה כִּֽי׃

そして–言った H0559 エリヤは H0452 生きておられる H2416 主は H3068 万軍の H6635 ～の前に H6440 わたしが–立っている H5975 彼に H0413 姿を–現す H7200 今日 H3117 まことに H3588

16 וַיֵּ֣לֶךְ עֹבַדְיָ֗הוּ לִקְרַאת֙ אַחְאָ֔ב וַיַּגֶּד־ לֹ֖ו וַיֵּ֥לֶךְ אַחְאָ֖ב לִקְרַ֥את אֵלִיָּֽהוּ׃

そして–行った H3212 オバデヤは H5662 ～を–迎えに H7125 アハブを H0256 そして–告げた H5046 彼に H0413 そして–行った H3212 アハブは H0256 エリヤを H0452 ～を–迎えに H7125

オバデヤは行ってアハブに会い、彼に告げたので、アハブはエリヤに会おうとして行った。

17 וַיְהִ֗י כִּרְאֹ֤ות אַחְאָב֙ אֶת־ אֵלִיָּ֔הוּ וַיֹּ֤אמֶר אַחְאָב֙ אֵלָ֔יו הַאַתָּ֖ה זֶ֥ה עֹכֵ֖ר יִשְׂרָאֵֽל׃

そして–あった H1961 見た–とき H7200 アハブが H0256 ～を H0853 エリヤを H0452 そして–言った H0559 アハブは H0256 彼に H0413 あなた–か H0859 これは H2088 災いを–もたらす–者よ H5916 イスラエルの H3478

アハブはエリヤを見たとき、彼に言った、「イスラエルを悩ます者よ、あなたはここにいるのですか」。

18 וַיֹּ֣אמֶר֮ לֹ֣א עָכַ֣רְתִּי֒ אֶת־ יִשְׂרָאֵל֙ כִּ֔י אִם־ אָתָּ֖ה וּבֵ֣ית אָבִ֑יךָ בְּעָזְבְכֶם֙ אֶת־ מִצְוֹ֣ת יְהוָ֔ה וַתֵּ֖לֶךְ אַחֲרֵ֥י הַבְּעָלִֽים׃

そして–言った H0559 ない H3808 わたしは–災いを–もたらして–いない H5916 ～ではなく H3588 イスラエルに H3478 ～を H0853 あなたと H0859 ～の–ほうだ H0518 そして–家が H1004 あなたの–父の H0001 あなたがたが–捨てた–ために H5800 ～を H0853 戒めを H4687 主の H3068 バアルたちに H1168 ～に–従って H310 そして–行った H3212

彼は答えた、「わたしがイスラエルを悩ますのではありません。あなたと、あなたの父の家が悩ましたのです。あなたがたが主の命令を捨て、バアルに従ったためです。

19

וְעַתָּה שְׁלַח קְבֹץ אֵלַי אֶת־כָּל־יִשְׂרָאֵל אֶל־הַר
今 そして–遣わして 集めよ わたしの–もとに ～を すべての イスラエルを ～へ 山に
H6258 H7971 H6908 H0413 H0853 H3605 H3478 H0413 H2022

הַכַּרְמֶל וְאֶת־נְבִיאֵי הַבַּעַל אַרְבַּע מֵאוֹת וַחֲמִשִּׁים וּנְבִיאֵי
カルメルの そして–～を 預言者たちを バアルの 四 百 五十の そして–預言者たちを
H3760 H0853 H5030 H0702 H3967 H2572 H5030

הָאֲשֵׁרָה אַרְבַּע מֵאוֹת אֹכְלֵי שֻׁלְחַן אִיזֶבֶל׃
アシェラの 四 百の 食べている–者たち 食卓の イゼベルの
H0842 H0702 H3967 H0398 H7979 H0348

それで今、人をつかわしてイスラエルのすべての人およびバアルの預言者四百五十人、ならびにアシラの預言者四百人、イゼベルの食卓で食事する者たちをカルメル山に集めて、わたしの所にこさせなさい」。

20

וַיִּשְׁלַח אַחְאָב בְּכָל־בְּנֵי יִשְׂרָאֵל וַיִּקְבֹּץ אֶת־
アハブは そして–遣わした すべての 子らの–中に イスラエルの そして–集めた ～を
H0256 H7971 H3605 H0413 H3478 H6908 H0853

הַנְּבִיאִים אֶל־הַר הַכַּרְמֶל׃
預言者たちを ～へ 山に カルメルの
H5030 H0413 H2022 H3760

そこでアハブはイスラエルのすべての人に人をつかわして、預言者たちをカルメル山に集めた。

21

וַיִּגַּשׁ אֵלִיָּהוּ אֶל־כָּל־הָעָם וַיֹּאמֶר עַד־מָתַי
そして–近づいた エリヤは ～に すべての 民に そして–言った いつ–まで いつ–まで
H5066 H0452 H0413 H3605 H0559 H5704 H4970

אַתֶּם פֹּסְחִים עַל־שְׁתֵּי הַסְּעִפִּים אִם־יְהוָה הָאֱלֹהִים
あなたがたは よろめいて–いるのか ～の上で 二つの 意見の–間で もし 主が 神で–あるなら
H0859 H6452 H5921 H8147 H5588 H3068 H0430

לְכוּ אַחֲרָיו וְאִם־הַבַּעַל לְכוּ אַחֲרָיו וְלֹא־עָנוּ הָעָם
行け その–後に そして–もし バアルなら 行け その–後に そして–ない 答えなかった 民は
H3212 H0310 H3212 H0310 H3808 H6030 H5971

דָּבָר׃ אֹתוֹ
言葉を 彼に
H1697 H0853

そのときエリヤはすべての民に近づいて言った、「あなたがたはいつまで二つのものの間に迷っているのですか。主が神ならばそれに従いなさい。しかしバアルが神ならば、それに従いなさい」。民はひと言も彼に答えなかった。

22

וַיֹּאמֶר אֵלִיָּהוּ אֶל־הָעָם אֲנִי נוֹתַרְתִּי נָבִיא לַיהוָה לְבַדִּי
そして–言った エリヤは ～に 民に わたしは 残された 預言者として 主の ただ–一人
H0559 H0452 H0413 H5971 H0589 H3498 H5030 H3068 H0905

וּנְבִיאֵי הַבַּעַל אַרְבַּע־מֵאוֹת וַחֲמִשִּׁים אִישׁ׃
そして–預言者たちは バアルの 四 百 五十 人である
H5030 H0702 H3967 H2572 H0376

エリヤは民に言った、「わたしはただひとり残った主の預言者です。しかしバアルの預言者は四百五十人あります。

23

וְיִתְּנוּ־	לָנוּ	שְׁנַיִם	פָּרִים	וְיִבְחֲרוּ	לָהֶם	הַפָּר	הָאֶחָד	
そして-与えよ	わたしたちに	二頭の	雄牛を	そして-選ばせよ	彼らに	雄牛を	一頭の	
H5414		H8147	H6499	H0977	H1992	H6499	H0259	

וְנִתְּחֻהוּ	וְיָשִׂימוּ	עַל־	הָעֵצִים	וְאֵשׁ	לֹא	וְיָשִׂימוּ	וַאֲנִי	
そして-切り分けよ	そして-置け	～の上に	薪の-上に	そして-火は	ない	置くな	そして-わたしは	
H5408			H6086	H0784	H3808		H0589	

וְאֶעֱשֶׂה	אֶת־	הַפָּר	הָאֶחָד	וְנָתַתִּי	עַל־	הָעֵצִים	וְאֵשׁ	לֹא
用意する	～を	雄牛を	もう-一頭の	そして-置く	～の上に	薪の-上に	そして-火は	ない
	H0853	H6499	H0259	H5414		H6086	H0784	H3808

אָשִׂים׃
つけない

われわれに二頭の牛をください。そして一頭の牛を彼らに選ばせ、それを切り裂いて、たきぎの上に載せ、それに火をつけずにおかせなさい。わたしも一頭の牛を整え、それをたきぎの上に載せて火をつけずにおきましょう。

24

וְהָיָה	יְהוָה	בְּשֵׁם־	אֶקְרָא	וַאֲנִי	אֱלֹהֵיכֶם	בְּשֵׁם	וּקְרָאתֶם	
そして-なる	主の	～の名で	呼ぶ	そして-わたしは	あなたがたの-神の	～の名で	そして-呼べ	
H1961	H3068	H8034	H7121	H0589	H0430	H8034	H7121	

הָעָם	כָּל־	וַיַּעַן	הָאֱלֹהִים	הַהוּא	בָּאֵשׁ	יַעֲנֶה	אֲשֶׁר־	הָאֱלֹהִים
民は	すべての	そして-答えた	神である	その-方が	火で	答える	～の	神は
	H3605		H0430	H1931	H0784			H0430

הַדָּבָר׃	טוֹב	וַיֹּאמְרוּ
言葉である	良い	そして-言った
H1697		H0559

こうしてあなたがたはあなたがたの神の名を呼びなさい。わたしは主の名を呼びましょう。そして火をもって答える神を神としましょう」。民は皆答えて「それがよかろう」と言った。

25

הָאֶחָד	הַפָּר	לָכֶם	בַּחֲרוּ	הַבַּעַל	לִנְבִיאֵי	אֵלִיָּהוּ	וַיֹּאמֶר	
一頭の	雄牛を	あなたがたの-ために	選べ	バアルの	～の預言者たちに	エリヤは	そして-言った	
H0259	H6499		H0977		H5030	H0452	H0559	

אֱלֹהֵיכֶם	בְּשֵׁם	וְקִרְאוּ	הָרַבִּים	אַתֶּם	כִּי	רִאשֹׁנָה	וַעֲשׂוּ	
あなたがたの-神の	～の名で	そして-呼べ	多い-からだ	あなたがたは	なぜなら	最初に	そして-行え	
H0430	H8034	H7121				H7223		

תָּשִׂימוּ׃	לֹא	וְאֵשׁ
つけるな	ない	そして-火は
	H3808	H0784

そこでエリヤはバアルの預言者たちに言った、「あなたがたは大ぜいだから初めに一頭の牛を選んで、それを整え、あなたがたの神の名を呼びなさい。ただし火をつけてはなりません」。

26

וַיִּקְרְאוּ	וַיַּעֲשׂוּ	לָהֶם	נָתַן	אֲשֶׁר־	הַפָּר	אֶת־	וַיִּקְחוּ	
そして-呼んだ	そして-用意した	彼らに	与えられた	～の	雄牛を	～を	そして-取った	
H7121			H5414		H6499	H0853	H3947	

וְאֵין	עֹנֶה	הַבַּעַל	לֵאמֹר	הַצָּהֳרַיִם	וְעַד־	מֵהַבֹּקֶר	הַבַּעַל	בְּשֵׁם־
そして-ない	答えてください	バアルよ	言って	真昼まで	～まで	朝から	バアルの	～の名で
H0369			H0559		H5704	H1242		H8034

עָשָׂה׃	אֲשֶׁר	הַמִּזְבֵּחַ	עַל־	וַיְפַסְּחוּ	עֹנֶה	וְאֵין	קוֹל
造った	～の	祭壇の	～の周りで	そして-踊り-回った	答える-者も	そして-ない	声も
		H4196				H0369	

彼らは与えられた牛を取って整え、朝から昼までバアルの名を呼んで「バアルよ、答えてください」と言った。しかしなんの声もなく、また答える者もなかったので、彼らは自分たちの造った祭壇のまわりに踊った。

בְּקוֹל־ קִרְאוּ וַיֹּאמֶר֙ אֵלִיָּ֣הוּ בָהֶ֔ם וַיְהִ֣ל בַּצָּהֳרַ֔יִם וַיְהִי 27
～の声で 叫べ そして–言った エリヤは 彼らを そして–あざけった 真昼に そして–あった
H7121 H0559 H0452 H1961

לוֹ שִׂ֣יג וְכִי־ שָׂ֤יחַ כִּי֙ הֽוּא֙ אֱלֹהִ֔ים כִּי־ גָד֖וֹל
彼に 用事が–ある あるいは 考え–込んで–いる あるいは 彼は 神 ～であるから 大きな
H7873 H7879 H1931 H0430

וְיָקִֽץ׃ הֽוּא֙ יָשֵׁ֔ן אוּלַ֖י לוֹ֙ דֶּ֣רֶךְ וְכִי־
そして–目覚める–だろう 彼は 眠って–いる あるいは 彼は 旅に あるいは
H3364 H1931 H3463 H0194 H1870

昼になってエリヤは彼らをあざけって言った、「彼は神だから、大声をあげて呼びなさい。彼は考えにふけっているのか、よそへ行ったのか、旅に出たのか、または眠っていて起されなければならないのか」。

בַּחֲרָבוֹת֙ כְּמִשְׁפָּטָ֔ם וַיִּתְגֹּדְד֖וּ גָּד֑וֹל בְּקוֹל֙ וַיִּקְרְא֣וּ 28
剣と 彼らの–習わしに–従って そして–身を–傷つけた 大きな ～の声で そして–叫んだ
H2719 H4941 H1413 H7121

עֲלֵיהֶֽם׃ דָּ֖ם שָׁפְךְ־ עַד־ וּבָרְמָחִ֥ים
彼らの–上に 血が 流れた ～まで 槍で
H1818 H8210 H5704 H7420

そこで彼らは大声に呼ばわり、彼らのならわしに従って、刀とやりで身を傷つけ、血をその身に流すに至った。

הַמִּנְחָ֔ה כַּעֲל֣וֹת עַד֙ וַיִּתְנַבְּא֔וּ הַצָּהֳרַ֣יִם כַּעֲבֹ֖ר וַיְהִ֣י 29
夕べの–ささげ物の ～の時が–来る–まで ～まで そして–狂乱した 真昼が 過ぎて そして–あった
H4503 H5927 H5704 H5012 H1961

קֹ֖שֶׁב׃ וְאֵ֥ין עֹנֶ֔ה וְאֵ֣ין קוֹל֙ וְאֵ֣ין־
応答も そして–ない 答える–者も そして–ない 声も そして–ない
H7182 H0369 H0369 H0369

こうして昼が過ぎても彼らはなお叫び続けて、夕の供え物をささげる時にまで及んだ。しかしなんの声もなく、答える者もなく、また顧みる者もなかった。

הָעָ֔ם כָּל־ וַיִּגְּשׁ֣וּ אֵלַ֔י גְּשׁ֣וּ הָעָ֖ם לְכָל־ אֵלִיָּ֣הוּ וַיֹּאמֶר֙ 30
民は すべての そして–近づいた わたしに 近づけ 民に すべての エリヤは そして–言った
H3605 H5066 H0413 H5066 H3605 H0452 H0559

הֲרֻֽס׃ יְהוָ֖ה מִזְבַּ֥ח אֶת־ וַיְרַפֵּ֑א אֵלָֽיו
壊された 主の 祭壇を ～を そして–修復した 彼に
H2040 H3068 H4196 H0853 H7495 H0413

その時エリヤはすべての民にむかって「わたしに近寄りなさい」と言ったので、民は皆彼に近寄った。彼はこわれている主の祭壇を繕った。

יַעֲקֹ֔ב בְּנֵי־ שִׁבְטֵ֣י כְּמִסְפַּ֣ר אַבְנִ֗ים עֲשֵׂרֵ֣ה שְׁתֵּ֣ים אֵלִיָּ֣הוּ וַיִּקַּ֞ח 31
ヤコブの 子らの 部族の ～の数に–従って 石を 二の 十 エリヤは そして–取った
H3290 H7626 H4557 H0068 H6240 H8147 H0452 H3947

שְׁמֶֽךָ׃ יִהְיֶ֖ה יִשְׂרָאֵ֑ל לֵאמֹ֣ר יְהוָ֖ה אֵלָ֥יו דְּבַר־ הָיָ֛ה אֲשֶׁ֥ר
あなたの–名は なる イスラエルと 言って 彼に 主の 言葉が あった ～に
H8034 H1961 H3478 H0559 H0413 H3068 H1697 H1961

そしてエリヤは昔、主の言葉がヤコブに臨んで、「イスラエルをあなたの名とせよ」と言われたヤコブの子らの部族の数にしたがって十二の石を取り、

32 וַיִּבֶן֙ אֶת־ הָאֲבָנִ֔ים מִזְבֵּ֖חַ בְּשֵׁ֣ם יְהוָ֑ה וַיַּ֣עַשׂ תְּעָלָ֗ה כְּבֵית֙
そして–建てた ～を 石で 祭壇を ～の名で 主の 溝を ～ほどの
H1129 H0853 H0068 H4196 H8034 H3068

סָאתַ֣יִם זֶ֔רַע לַמִּזְבֵּֽחַ׃
二–セアの 種の 周りに 祭壇の
H5429 H2233 H5439 H4196

その石で主の名によって祭壇を築き、祭壇の周囲に種二セヤをいれるほどの大きさの、みぞを作った。

33 וַיַּעֲרֹךְ֙ אֶת־ הָעֵצִ֔ים וַיְנַתַּ֖ח אֶת־ הַפָּ֑ר וַיָּ֣שֶׂם עַל־
そして–並べた ～を 薪を そして–切り分けた ～を 雄牛を ～の上に
H0853 H6086 H5408 H0853 H6499

הָעֵצִֽים׃
薪の–上に
H6086

また、たきぎを並べ、牛を切り裂いてたきぎの上に載せて言った、「四つのかめに水を満たし、それを燔祭とたきぎの上に注げ」。

34 וַיֹּ֣אמֶר מִלְאוּ֩ אַרְבָּעָ֨ה כַדִּ֜ים מַ֗יִם וְיִצְק֛וּ עַל־ הָעֹלָ֥ה
そして–言った 満たせ 四つの 瓶に 水を そして–注げ ～の上に 全焼の–ささげ物の–上に
H0559 H4390 H0702 H3537 H4325 H3332

וַיֹּ֣אמֶר וַיִּשְׁנ֔וּ שְׁנ֖וּ וַיֹּ֣אמֶר וְעַל־ הָעֵצִ֑ים
そして–言った そして–繰り返した 繰り返せ そして–言った そして–～の上に 薪の–上に
H0559 H6086

וַיְשַׁלְּשׁ֔וּ שַׁלֵּ֖שׁוּ
そして–三度目を–した 三度目を–せよ
H8027 H8027

また言った、「それを二度せよ」。二度それをすると、また言った、「三度それをせよ」。三度それをした。

35 מָּ֑יִם מִלֵּא־ הַתְּעָלָ֖ה אֶת־ וְגַ֥ם לַמִּזְבֵּ֛חַ סָּבִ֥יב הַמַּ֖יִם וַיֵּלְכ֥וּ
水で 満たした 溝も ～を そして–また 祭壇の 周りに 水は そして–流れた
H4325 H4390 H0853 H1571 H4196 H5439 H4325 H3212

水は祭壇の周囲に流れた。またみぞにも水を満たした。

36 הַנָּבִיא֮ אֵלִיָּ֣הוּ וַיִּגַּ֞שׁ הַמִּנְחָ֗ה בַּעֲל֣וֹת וַיְהִי֙
預言者は エリヤは そして–近づいた 夕べの–ささげ物の ～の時に–なって そして–あった
H5030 H0452 H5066 H4503 H5927 H1961

יְוָדַ֣ע הַיּ֔וֹם וְיִשְׂרָאֵ֖ל יִצְחָ֑ק אַבְרָהָ֣ם אֱלֹהֵי֙ יְהוָ֔ה וַיֹּ֣אמַר
知らしめてください 今日 そして–イスラエルの イサクの アブラハムの 神よ 主よ そして–言った
H3045 H3117 H3478 H3327 H0085 H0430 H3068 H0559

עַבְדֶּ֔ךָ וַאֲנִ֖י בְיִשְׂרָאֵ֣ל אֱלֹהִ֤ים אַתָּה֙ כִּי־
あなたの–しもべ そして–わたしは イスラエルにおいて 神で–ある あなたが ～ということを
H5650 H0589 H3478 H0430

הָאֵ֑לֶּה הַדְּבָרִ֣ים כָּל־ אֶת֙ עָשִׂ֔יתִי)וּבִדְבָרְךָ֖( ]ובדבריך[
これらの これらの–ことを すべての ～を 行った そして–あなたの–言葉に–よって 一
H0428 H1697 H3605 H0853 H1697 H1697

夕の供え物をささげる時になって、預言者エリヤは近寄って言った、「アブラハム、イサク、ヤコブの神、主よ、イスラエルでは、あなたが神であること、わたしがあなたのしもべであって、あなたの言葉に従ってこのすべての事を行ったことを、今日知らせてください。

37

אַתָּה	כִּי־	הַזֶּה	הָעָם	וְיֵדְעוּ	עֲנֵנִי	יְהוָה	עֲנֵנִי
あなたが	～ということを	この	民が	そして-知る-ように	答えてください	主よ	答えてください
		H2088		H3045		H3068	

אֲחֹרַנִּית׃	לִבָּם	אֶת־	הַסַבְתָּ	וְאַתָּה	הָאֱלֹהִים	יְהוָה
もとに	彼らの-心を	～を	立ち返らせた	そして-あなたが	神で-ある-ことを	主で-ある
H0322		H0853	H5437		H0430	H3068

主よ、わたしに答えてください、わたしに答えてください。主よ、この民にあなたが神であること、またあなたが彼らの心を翻されたのであることを知らせてください」。

38

הָעֵצִים	וְאֶת־	הָעֹלָה	אֶת־	וַתֹּאכַל	יְהוָה	אֵשׁ־	וַתִּפֹּל
薪を	そして-～を	全焼の-ささげ物を	～を	そして-焼き尽くした	主の	火が	そして-落ちた
H6086	H0853		H0853	H0398	H3068	H0784	H5307

לְחֻכָּה׃	בַּתְּעָלָה	אֲשֶׁר־	הַמָּיִם	וְאֶת־	הֶעָפָר	וְאֶת־	הָאֲבָנִים	וְאֶת־
なめ尽くした	溝に-ある	～の	水を	そして-～を	塵を	そして-～を	石を	そして-～を
H3897			H4325	H0853	H6083	H0853	H0068	H0853

そのとき主の火が下って燔祭と、たきぎと、石と、ちりとを焼きつくし、またみぞの水をなめつくした。

39

יְהוָה	וַיֹּאמְרוּ	פְּנֵיהֶם	עַל־	וַיִּפְּלוּ	הָעָם	כָּל־	וַיַּרְא
主こそ	そして-言った	彼らの-顔を	～の上に	そして-ひれ伏した	民は	すべての	そして-見た
H3068	H0559	H6440		H5307		H3605	H7200

הָאֱלֹהִים׃	הוּא	יְהוָה	הָאֱלֹהִים	הוּא
神である	その-方が	主こそ	神である	その-方が
H0430	H1931	H3068	H0430	H1931

民は皆見て、ひれ伏して言った、「主が神である。主が神である」。

40

אַל־	אִישׁ	הַבַּעַל	נְבִיאֵי	אֶת־	תִּפְּשׂוּ	לָהֶם	אֵלִיָּהוּ	וַיֹּאמֶר
～するな	一人も	バアルの	預言者たちを	～を	捕らえよ	彼らに	エリヤは	そして-言った
H0408	H0376		H5030	H0853	H8610		H0452	H0559

קִישׁוֹן	נַחַל	אֶל־	אֵלִיָּהוּ	וַיּוֹרְדֵם	וַיִּתְפְּשׂוּם	מֵהֶם	יִמָּלֵט
キション-の	川に	～へ	エリヤは	そして-連れ下った	そして-捕らえた	彼らから	逃がすな
		H0413	H0452	H3381	H8610	H1992	H4422

שָׁם׃	וַיִּשְׁחָטֵם
そこで	そして-殺した
H8033	

エリヤは彼らに言った、「バアルの預言者を捕えよ。そのひとりも逃がしてはならない」。そこで彼らを捕えたので、エリヤは彼らをキション川に連れくだって、そこで彼らを殺した。

41

קוֹל	כִּי־	וּשְׁתֵה	אֱכָל	עֲלֵה	לְאַחְאָב	אֵלִיָּהוּ	וַיֹּאמֶר
音が	なぜなら	そして-飲め	食べよ	上って-行け	アハブに	エリヤは	そして-言った
		H8354	H0398	H5927	H0256	H0452	H0559

הַגָּשֶׁם׃	הֲמוֹן
雨の	ざわめきの
H1653	

エリヤはアハブに言った、「大雨の音がするから、上って行って、食い飲みしなさい」。

42 וַיַּעַל אַחְאָב לֶאֱכֹל וְלִשְׁתּוֹת וְאֵלִיָּהוּ עָלָה אֶל־
そして-上って-行った アハブは 食べる-ために そして-飲む-ために そして-エリヤは 上った ～へ
H5927 H0398 H8354 H0452 H5927 H0413

רֹאשׁ הַכַּרְמֶל וַיִּגְהַר אַרְצָה וַיָּשֶׂם פָּנָיו בֵּין [ברכו]
頂に カルメルの そして-身を-かがめた 地に そして-置いた 顔を ～の間に —
H3760 H1457 H0776 H7760 H6440 H0996 H1290

בִּרְכָּיו׃)
膝の-間に
H1290

アハブは食い飲みするために上っていった。しかしエリヤはカルメルの頂に登り、地に伏して顔をひざの間に入れていたが、

43 וַיֹּאמֶר אֶל־ נַעֲרוֹ עֲלֵה־ נָא הַבֶּט דֶּרֶךְ־ יָם וַיַּעַל
そして-言った ～に 従者に 上って-行き どうか 見よ ～の方向を 海の そして-上って-行った
H0559 H0413 H5288 H5927 H4994 H5027 H1870 H3220 H5927

וַיֹּאמֶר אֵין מְאוּמָה וַיֹּאמֶר שֶׁבַע שֶׁב וַיֹּאמֶר׃ פְּעָמִים
そして-言った 何も ない そして-言った 七 戻れ そして-言った 度
H0559 H3972 H0369 H0559 H7651 H7725 H0559 H6471

וַיַּבֵּט וַיֹּאמֶר
そして-見た そして-言った
H5027 H0559

彼はしもべに言った、「上っていって海の方を見なさい」。彼は上っていって、見て、「何もありません」と言ったので、エリヤは「もう一度行きなさい」と言って七度に及んだ。

44 וַיְהִי בַּשְּׁבִעִית וַיֹּאמֶר הִנֵּה־ עֲב קְטַנָּה כְּכַף־ אִישׁ
そして-あった 七度目に そして-言った 見よ 雲が 小さな ～ほどの 人の-手の-ひらの
H1961 H7637 H0559 H2009 H5645 H7038 H3709 H0376

וְרֵד אֱסֹר אַחְאָב אֶל־ אֱמֹר עֲלֵה וַיֹּאמֶר מִיָּם עֲלֵה
そして-下れ つなげ アハブに ～に 言え 上って-行き そして-言った 海から 上って-くる
H3381 H0631 H0256 H0413 H0559 H5927 H0559 H3220 H5927

וְלֹא יַעַצָרְכָה הַגָּשֶׁם׃
そして-ない 止めないように 雨が
H3808 H6113 H1653

七度目にしもべは言った、「海から人の手ほどの小さな雲が起っています」。エリヤは言った、「上っていって、『雨にとどめられないように車を整えて下れ』とアハブに言いなさい」。

45 וַיְהִי עַד־ כֹּה וְעַד־ כֹּה וְהַשָּׁמַיִם הֶחְתִּקְדִּרוּ עָבִים
そして-あった ～するうちに これ ～するうちに これ 空は 暗くなった 雲と
H1961 H5704 H3541 H5704 H3541 H8064 H6937 H5645

וַיִּרְכַּב אַחְאָב וַיֵּלֶךְ וַיְהִי יִזְרְעֶאלָה׃
そして-乗った アハブは そして-行った イズレエルへ
H7392 H0256 H3212 H3157

גָּדוֹל וְרוּחַ וַיְהִי גָּשֶׁם
大きな 風で そして-あった 雨が
H1419 H7307 H1961 H1653

すると間もなく、雲と風が起り、空が黒くなって大雨が降ってきた。アハブは車に乗ってエズレルへ行った。

46 וְיַד־ יְהוָה הָיְתָה אֶל־ אֵלִיָּהוּ וַיְשַׁנֵּס מָתְנָיו וַיָּרָץ
そして-手が 主の あった ～の上に エリヤの-上に そして-帯を-締めた 腰を そして-走った
H3027 H3068 H1961 H0413 H0452 H8151 H4975 H7323

לִפְנֵי אַחְאָב עַד־ בֹּאֲךָ יִזְרְעֶאלָה׃
～の前を アハブの ～まで ～の入り口まで イズレエルの
H6440 H0256 H5704 H0935 H3157

また主の手がエリヤに臨んだので、彼は腰をからげ、エズレルの入口までアハブの前に走っていった。

Chapter 19

1

וְאֵת
そして-〜を
H0853

אֵלִיָּהוּ
エリヤが
H0452

עָשָׂה
行った
H3605

אֲשֶׁר
〜のことを
H0853

כֹּל־
すべてを
H0348

אֶת
〜を
H0256

לְאִיזֶבֶל
イゼベルに
H5046

אַחְאָב
アハブは
H2719

וַיַּגֶּד
そして-告げた
H3605

בֶּחָרֶב׃
剣で
H0853

הַנְּבִיאִים
預言者たちを
H2026

כֹּל־
すべての
H3605

אֶת־
〜を
H0259

הָרַג
殺した
H0348

אֲשֶׁר
〜のことを
H0413

כֹּל־
すべてを
H4397

アハブはエリヤのしたすべての事、また彼がすべての預言者を刀で殺したことをイゼベルに告げたので、

2

אֱלֹהִים
神々が
H0430

יַעֲשׂוּן
せよ
H3541

כֹּה־
このように
H0559

לֵאמֹר
言って
H0452

אֵלִיָּהוּ
エリヤに
H0413

אֶל־
〜に
H4397

מַלְאָךְ
使いを
H0348

אִיזֶבֶל
イゼベルは
H7971

וַתִּשְׁלַח
そして-遣わした
H5315

נַפְשְׁךָ
あなたの-命を
H0853

אֶת־
〜を
H4279

אָשִׂים
わたしは-する
H6256

מָחָר
明日の
H3254

כָּעֵת
〜の時までに
H3541

כִּי־
まことに
H1992

יוֹסִפוּן
加えよ
H0259

וְכֹה
そして-このように
H5315

מֵהֶם׃
彼らの-中の
H0884

אַחַד
一人の
H0935

כְּנֶפֶשׁ
〜の命の-ように
H5315

イゼベルは使者をエリヤにつかわして言った、「もしわたしが、あすの今ごろ、あなたの命をあの人々のひとりの命のようにしていないならば、神々がどんなにでも、わたしを罰してくださるように」。

3

וַיַּרְא
そして-恐れた
H5315

וַיָּקָם
そして-立ち上がり
H3212

וַיֵּלֶךְ
そして-行った
H0413

עַל־
〜のために
H5315

נַפְשׁוֹ
自分の-命の-ために
H0935

וַיָּבֹא
そして-来た
H7200

שָׁם׃
そこに
H8033

נַעֲרוֹ
彼の-従者を
H5288

אֶת־
〜を
H0853

וַיַּנַּח
そして-残した
H3240

לִיהוּדָה
ユダに-属する
H3063

אֲשֶׁר
〜の
H0884

שֶׁבַעבְּאֵר
ベエル・シェバに

そこでエリヤは恐れて、自分の命を救うために立って逃げ、ユダに属するベエルシバへ行って、しもべをそこに残し、

4

תַּחַת
〜の下に
H8478

וַיֵּשֶׁב
そして-座った
H3427

וַיָּבֹא
そして-来て
H0935

יוֹם
一日の
H3117

דֶּרֶךְ
〜の道のりを
H1870

בַּמִּדְבָּר
荒野の-中を
H1980

הָלַךְ
行った
H1931

וְהוּא־
そして-彼自身は

רַב
十分です

וַיֹּאמֶר
そして-言った
H0559

לָמוּת
死を
H4191

נַפְשׁוֹ
自分の-命の
H5315

אֶת־
〜を
H0853

וַיִּשְׁאַל
そして-願った
H7592

)אֶחָד(
一本の
H0259

]אחת[
一
H0259

רֹתֶם
えにしだの-木の
H7574

אָנֹכִי
わたしは
H0595

טוֹב
勝って-いない

לֹא־
ない
H3808

כִּי־
なぜなら

נַפְשִׁי
わたしの-命を
H5315

קַח־
取ってください
H3947

יְהוָה
主よ
H3068

עַתָּה
今
H6258

מֵאֲבֹתָי׃
先祖たちに-まさって
H0001

自分は一日の道のりほど荒野にはいって行って、れだまの木の下に座し、自分の死を求めて言った、「主よ、もはや、じゅうぶんです。今わたしの命を取ってください。わたしは先祖にまさる者ではありません」。

וַיִּשְׁכַּב֙ וַיִּישַׁ֣ן תָּחַ֔ת רֹתֶ֖ם אֶחָ֑ד וְהִנֵּה־ זֶ֣ה מַלְאָ֗ךְ 5
そして–横たわり そして–眠った ～の下で えにしだの–木の 一本の そして–見よ この 御使いが
H7901 H3462 H8478 H7574 H0259 H2009 H2088 H4397

נֹגֵ֥עַ בּ֛וֹ וַיֹּ֥אמֶר לֹ֖ו קוּם֙ אֱכֹ֔ול׃
触れて–いた 彼に そして–言った 彼に 起きて 食べよ
H5060 H0559 H0398

彼はれだまの木の下に伏して眠ったが、天の使が彼にさわり、「起きて食べなさい」と言ったので、

וַיַּבֵּ֗ט וְהִנֵּ֤ה מְרַאֲשֹׁתָיו֙ עֻגַ֣ת רְצָפִ֔ים וְצַפַּ֖חַת מָ֑יִם 6
そして–見ると そして–見よ 彼の–頭の–そばに パン菓子が 熱い–石の–上の そして–壺の 水が
H5027 H2009 H4763 H5692 H7529 H6835 H4325

וַיִּשְׁכָּֽב׃ וַיָּשָׁב֙ וַתֵּ֣שְׁתְּ֔ וַיֹּאכַ֖ל
そして–横たわった そして–戻って そして–飲んだ そして–食べた
H7901 H7725 H8354 H0398

起きて見ると、頭のそばに、焼け石の上で焼いたパン一個と、一びんの水があった。彼は食べ、かつ飲んでまた寝た。

קוּם֙ וַיֹּ֣אמֶר בּ֔וֹ וַיִּגַּ֖ע שֵׁנִ֑ית וַיְהוָ֗ה מַלְאַ֤ךְ וַיָּשָׁב֙ 7
起きて そして–言った 彼に そして–触れた 二度目に 主の 御使いが そして–戻って–きた
H0559 H5060 H8145 H3068 H4397 H7725

הַדָּֽרֶךְ׃ מִמְּךָ֖ רַ֥ב כִּ֛י אֱכֹ֑ל
旅は あなたには 長すぎる なぜなら 食べよ
H1870 H0398

主の使は再びきて、彼にさわって言った、「起きて食べなさい。道が遠くて耐えられないでしょうから」。

הַהִ֣יא הָאֲכִילָ֔ה וּבְכֹ֖חַ וַיֵּ֣לֶךְ וַיִּשְׁתְּ֑ וַיֹּאכַל֙ וַיָּ֗קָם 8
その その–食べ物の ～の力で そして–歩いた そして–飲んだ そして–食べた そして–起き上がった
H1931 H0396 H3212 H8354 H0398

חֹרֵֽב׃ הָאֱלֹהִ֖ים הַ֥ר עַ֛ד לַ֥יְלָה וְאַרְבָּעִ֖ים יֹ֑ום אַרְבָּעִ֖ים
ホレブに 神の 山に ～まで 夜の–間 四十 日と 四十
H2722 H0430 H2022 H5704 H3915 H0705 H3117 H0705

彼は起きて食べ、かつ飲み、その食物で力づいて四十日四十夜行って、神の山ホレブに着いた。

אֵלָ֔יו יְהוָ֖ה דְּבַר־ וְהִנֵּ֣ה שָׁ֑ם וַיָּ֣לֶן הַמְּעָרָ֗ה אֶל־ וַיָּבֹא־ שָׁ֔ם 9
彼に 主の 言葉が そして–見よ そこに そして–泊まった 洞穴へ ～へ そこに そして–来た
H0413 H3068 H1697 H2009 H8033 H4631 H0413 H8033 H0935

אֵלִיָּֽהוּ׃ פֹּ֖ה לְךָ֥ מַה־ לֹּ֛ו וַיֹּ֥אמֶר
エリヤよ ここで あなたは 何を 彼に そして–言った
H0452 H6311 H4100 H0559

その所で彼はほら穴にはいって、そこに宿ったが、主の言葉が彼に臨んで、彼に言われた、「エリヤよ、あなたはここで何をしているのか」。

10 וַיֹּאמֶר קַנֹּא קִנֵּאתִי לַיהוָה אֱלֹהֵי צְבָאוֹת כִּי־ עָזְבוּ
そして–言った 熱心に 熱心を–持った 主の–ために 神 万軍の なぜなら 捨てた
H0559 H7065 H7065 H3068 H0430 H6635 H3588 H5800

וְאֶת־ מִזְבְּחֹתֶיךָ הָרָסוּ בְּנֵי יִשְׂרָאֵל אֶת־ בְּרִיתְךָ
そして–〜を あなたの–祭壇を 壊した 子らが イスラエルの 〜を あなたの–契約を
H0853 H4196 H2040 H1121 H3478 H0853 H1285

נְבִיאֶיךָ בֶּחָרֶב הָרָגוּ וָאִוָּתֵר אֲנִי לְבַדִּי וַיְבַקְשׁוּ
あなたの–預言者たちを 剣で 殺した そして–残された わたしが ただ–一人 そして–求めている
H5030 H2719 H2026 H3498 H0589 H0905 H1245

לְקַחְתָּהּ׃ נַפְשִׁי אֶת־
取る–ために わたしの–命を 〜を
H3947 H5315 H0853

彼は言った、「わたしは万軍の神、主のために非常に熱心でありました。イスラエルの人々はあなたの契約を捨て、あなたの祭壇をこわし、刀をもってあなたの預言者たちを殺したのです。ただわたしだけ残りましたが、彼らはわたしの命を取ろうとしています」。

11 וַיֹּאמֶר צֵא וְעָמַדְתָּ בָהָר לִפְנֵי יְהוָה וְהִנֵּה יְהוָה
そして–言った 出て–来い そして–立て 山の–上に 〜の前に 主の そして–見よ 主が
H0559 H3318 H5975 H2022 H6440 H3068 H2009 H3068

וְרוּחַ גְּדוֹלָה וְחָזָק מְפָרֵק הָרִים וּמְשַׁבֵּר סְלָעִים לִפְנֵי
そして–風が 大きな 引き–裂く 山を そして–砕く 岩を 〜の前で
H7307 H2389 H6561 H2022 H7665 H5553 H6440

יְהוָה׃ בָּרַעַשׁ לֹא רַעַשׁ הָרוּחַ וְאַחַר יְהוָה בָּרוּחַ לֹא יְהוָה
主は 地震の–中にも ない 地震が 風の そして–〜の後に 主は 風の–中には ない 主の
H3068 H7494 H3808 H7494 H7307 H0310 H3068 H7307 H3808 H3068

主は言われた、「出て、山の上で主の前に、立ちなさい」。その時主は通り過ぎられ、主の前に大きな強い風が吹き、山を裂き、岩を砕いた。しかし主は風の中におられなかった。風の後に地震があったが、地震の中にも主はおられなかった。

12 וְאַחַר הָרַעַשׁ אֵשׁ לֹא בָאֵשׁ יְהוָה וְאַחַר הָאֵשׁ קוֹל
そして–〜の後に 地震の 火が ない 火の–中にも 主は そして–〜の後に 火の 声が
H0310 H7494 H0784 H3808 H0784 H3068 H0310 H0784 H6963

דְּמָמָה דַקָּה׃
静けさの 細い
H1827 H1851

地震の後に火があったが、火の中にも主はおられなかった。火の後に静かな細い声が聞えた。

13 וַיְהִי כִּשְׁמֹעַ אֵלִיָּהוּ וַיָּלֶט פָּנָיו בְּאַדַּרְתּוֹ וַיֵּצֵא
そして–あった 聞いた–とき エリヤが そして–包んだ 顔を 外套で そして–出て–きた
H1961 H8085 H0452 H3874 H6440 H0155 H3318

וְהִנֵּה אֵלָיו קוֹל וַיֹּאמֶר מַה־ לְּךָ פֹּה
そして–見よ 彼に 声が そして–言った 何を あなたは ここで
H2009 H0413 H6963 H0559 H4100 H0000 H6311

וַיַּעֲמֹד פֶּתַח הַמְּעָרָה וְהִנֵּה־ אֵלָיו קוֹל וַיֹּאמֶר מַה־ לְּךָ פֹּה
そして–立った 入口に 洞穴の そして–見よ 彼に 声が そして–言った 何を あなたは ここで
H5975 H6607 H4631 H2009 H0413 H6963 H0559 H4100 H0000 H6311

אֵלִיָּהוּ׃
エリヤよ
H0452

エリヤはそれを聞いて顔を外套に包み、出てほら穴の口に立つと、彼に語る声が聞えた、「エリヤよ、あなたはここで何をしているのか」。

14 וַיֹּאמֶר קַנֹּא קִנֵּאתִי לַיהוָה אֱלֹהֵי צְבָאוֹת כִּי־ עָזְבוּ
そして–言った 熱心に 熱心を–持った 主の–ために 神 万軍の なぜなら 捨てた
H0559 H7065 H7065 H3068 H0430 H6635 H3588 H5800

וְאֶת־ הָרָסוּ מִזְבְּחֹתֶיךָ אֶת־ יִשְׂרָאֵל בְּנֵי בְּרִיתְךָ
そして–〜を 壊した あなたの–祭壇を 〜を イスラエルの 子らが あなたの–契約を
H0853 H2040 H4196 H0853 H3478 H1121 H1285

וַיְבַקְשׁוּ לְבַדִּי אֲנִי וָאִוָּתֵר בֶּחָרֶב הָרְגוּ נְבִיאֶיךָ
そして–求めている ただ–一人 わたしが そして–残された 剣で 殺した あなたの–預言者たちを
H1245 H0905 H0589 H3498 H2719 H2026 H5030

סׄ לְקַחְתָּהּ׃ נַפְשִׁי אֶת־
— 取る–ために わたしの–命を 〜を
H3947 H5315 H0853

彼は言った、「わたしは万軍の神、主のために非常に熱心でありました。イスラエルの人々はあなたの契約を捨て、あなたの祭壇をこわし、刀であなたの預言者たちを殺したからです。ただわたしだけ残りましたが、彼らはわたしの命を取ろうとしています」。

15 וַיֹּאמֶר יְהוָה אֵלָיו לֵךְ שׁוּב לְדַרְכְּךָ מִדְבָּרָה דַּמֶּשֶׂק וּבָאתָ
そして–言った 主は 彼に 行け 戻れ あなたの–道を 荒野の–方へ ダマスコの そして–来て
H0559 H3068 H0413 H3212 H7725 H1870 H4057 H1834 H0935

וּמָשַׁחְתָּ אֶת־ חֲזָאֵל לְמֶלֶךְ עַל־ אֲרָם׃
そして–油を–注げ 〜を ハザエルに 〜の王として 〜の上に アラムの
H4886 H0853 H2371 H4428 H5921 H0758

主は彼に言われた、「あなたの道を帰って行って、ダマスコの荒野におもむき、ダマスコに着いて、ハザエルに油を注ぎ、スリヤの王としなさい。

16 וְאֶת־ יֵהוּא בֶּן־ נִמְשִׁי תִּמְשַׁח לְמֶלֶךְ עַל־ יִשְׂרָאֵל
そして–〜を エヒウに ニムシの 息子の 油を–注げ 〜の王として 〜の上に イスラエルの
H0853 H3058 H5250 H1121 H4886 H4428 H5921 H3478

וְאֶת־ אֱלִישָׁע בֶּן־ שָׁפָט מֵאָבֵל מְחוֹלָה תִּמְשַׁח לְנָבִיא
そして–〜を エリシャに 息子の シャファトの アベル・メホラの 油を–注げ 〜の預言者として
H0853 H0477 H1121 H8202 H0065 H4886 H5030

תַּחְתֶּיךָ׃
あなたに–代わって
H8478

またニムシの子エヒウに油を注いでイスラエルの王としなさい。またアベルメホラのシャパテの子エリシャに油を注いで、あなたに代って預言者としなさい。

17 וְהָיָה הַנִּמְלָט מֵחֶרֶב חֲזָאֵל יָמִית יֵהוּא וְהַנִּמְלָט
そして–なる 通り–抜けた–者を 〜の剣から ハザエルの 殺す エヒウが そして–通り–抜けた–者を
H1961 H4422 H2719 H2371 H4191 H3058 H4422

מֵחֶרֶב יֵהוּא יָמִית אֱלִישָׁע׃
〜の剣から エヒウの 殺す エリシャが
H2719 H3058 H4191 H0477

ハザエルのつるぎをのがれる者をエヒウが殺し、エヒウのつるぎをのがれる者をエリシャが殺すであろう。

וְהִשְׁאַרְתִּי בְיִשְׂרָאֵל שִׁבְעַת אֲלָפִים כָּל־הַבִּרְכַּיִם אֲשֶׁר לֹא־ 18
そして–わたしは–残す イスラエルに 七 千人を すべての 膝が ～の ～ない
H7604 H3478 H7651 H0505 H3605 H1290 H3808

כָּרְעוּ לַבַּעַל וְכָל־הַפֶּה אֲשֶׁר לֹא־נָשַׁק לוֹ׃
かがめなかった バアルに そして–すべての 口が ～の ～ない それに 口づけしなかった
H3766 H6310 H3605 H3808

また、わたしはイスラエルのうちに七千人を残すであろう。皆バアルにひざをかがめず、それに口づけしない者である」。

וַיֵּלֶךְ מִשָּׁם וַיִּמְצָא אֶת־אֱלִישָׁע בֶּן־שָׁפָט וְהוּא 19
そして–行った そこから そして–見つけた ～を エリシャを 息子の シャファトの そして–彼は
H3212 H8033 H4672 H0853 H0477 H1931 H8202

חֹרֵשׁ שְׁנֵים־עָשָׂר בְּשְׁנֵים וְהוּא לִפְנֵיו צְמָדִים וְהוּא בַּשְּׁנֵים עָשָׂר׃
耕して–いた 十 二 くびきの–牛が 彼の–前に そして–彼は 十 二番目の–ところに
H8147 H6240 H6776 H6440 H1931 H8147 H6240

וַיַּעֲבֶר אֵלִיָּהוּ אֵלָיו וַיַּשְׁלֵךְ אַדַּרְתּוֹ עָלָיו׃
そして–通り–過ぎた エリヤは 彼の–もとへ そして–投げた 彼の–外套を 彼の–上に
H5674 H0452 H0413 H7993 H0155 H0413

さてエリヤはそこを去って行って、シャパテの子エリシャに会った。彼は十二くびきの牛を前に行かせ、自分は十二番目のくびきと共にいて耕していた。エリヤは彼のかたわらを通り過ぎて外套を彼の上にかけた。

וַיַּעֲזָב אֶת־הַבָּקָר וַיָּרָץ אַחֲרֵי אֵלִיָּהוּ וַיֹּאמֶר 20
そして–残した ～を 牛を そして–走った ～の後を エリヤの そして–言った
H5800 H0853 H1241 H7323 H0310 H0452 H0559

אֶשְּׁקָה־נָּא לְאָבִי וּלְאִמִּי וְאֵלְכָה אַחֲרֶיךָ וַיֹּאמֶר
口づけさせて–ください どうか 父と そして–母に そして–行きます あなたの–後に そして–言った
H5401 H4994 H0001 H0517 H3212 H0310 H0559

לְךָ שׁוּב כִּי מֶה־עָשִׂיתִי לָךְ׃
彼に 行け 戻れ なぜなら 何を わたしは–した あなたに
H3212 H7725 H4100 H6213 H0559

エリシャは牛を捨て、エリヤのあとに走ってきて言った、「わたしの父母に口づけさせてください。そして後あなたに従いましょう」。エリヤは彼に言った、「行ってきなさい。わたしはあなたに何をしましたか」。

וַיָּשָׁב מֵאַחֲרָיו וַיִּקַּח אֶת־צֶמֶד הַבָּקָר וַיִּזְבָּחֵהוּ 21
そして–戻った 彼の–後から そして–取った ～を 一–くびきの 牛を そして–屠った
H7725 H3947 H0853 H6776 H1241 H2076

וּבְכְלֵי הַבָּקָר בִּשְּׁלָם הַבָּשָׂר וַיִּתֵּן לָעָם וַיֹּאכֵלוּ
そして–器具で 牛の 煮た 肉を そして–与えた 民に そして–食べた
H3627 H1241 H1310 H1320 H5414 H0398

וַיָּקָם וַיֵּלֶךְ אַחֲרֵי אֵלִיָּהוּ וַיְשָׁרְתֵהוּ׃ פ
そして–立ち上がった そして–行った ～の後に エリヤの そして–仕えた —
H3212 H0310 H0452 H8334

エリシャは彼を離れて帰り、ひとくびきの牛を取って殺し、牛のくびきを燃やしてその肉を煮、それを民に与えて食べさせ、立って行ってエリヤに従い、彼に仕えた。

Chapter 20

1 וּבֶן־הֲדַד מֶלֶךְ אֲרָם קָבַץ אֶת־כָּל חֵילוֹ וּשְׁלֹשִׁים וּשְׁנַיִם
そして–ベン・ハダデは 王 アラムの 集めた ～を すべての 軍勢を そして–三十 二の
H1130 H4428 H0758 H6908 H0853 H3605 H2428 H7970 H8147

מֶלֶךְ אִתּוֹ וְסוּס וָרָכֶב וַיַּעַל וַיָּצַר עַל־שֹׁמְרוֹן
王が 彼と–共に そして–馬と 戦車が そして–上って–行った そして–包囲した ～を サマリヤを
H4428 H0854 H0853 H7393 H5927 H6696 H5921 H8111

וַיִּלָּחֶם בָּהּ׃
そして–戦った それに–対して

スリヤの王ベネハダデはその軍勢をことごとく集めた。三十二人の王が彼と共におり、また馬と戦車もあった。彼は上ってサマリヤを囲み、これを攻めた。

2 וַיִּשְׁלַח מַלְאָכִים אֶל־אַחְאָב מֶלֶךְ־יִשְׂרָאֵל הָעִירָה׃
そして–遣わした 使いたちを ～に アハブに 王 イスラエルの 町の–中へ
H7971 H4397 H0413 H0256 H4428 H3478

また彼は町に使者をつかわし、イスラエルの王アハブに言った、「ベネハダデはこう申します、

3 וַיֹּאמֶר לוֹ כֹּה אָמַר בֶּן־הֲדַד כַּסְפְּךָ וְזָהָבְךָ
そして–言った 彼に このように 言った ベン・ハダデは あなたの–銀と あなたの–金は
H0559 H0559 H3541 H0559 H1130 H3701 H2091

וּבָנֶיךָ וְנָשֶׁיךָ הַטּוֹבִים לִי־הֵמָּה׃
そして–あなたの–息子たちの そして–あなたの–妻たちと 良い わたしの ものである
H0802 H1931

『あなたの金銀はわたしのもの、またあなたの妻たちと子供たちの最も美しい者もわたしのものです』」。

4 וַיַּעַן מֶלֶךְ יִשְׂרָאֵל וַיֹּאמֶר כִּדְבָרְךָ אֲדֹנִי הַמֶּלֶךְ
そして–答えた 王は イスラエルの そして–言った あなたの–言葉の–とおりに わが–主よ 王よ
H4428 H3478 H0559 H1697 H0113 H4428

לְךָ אֲשֶׁר־לִי וְכָל אֲנִי׃
あなたの–ものです わたしも ～の そして–すべて わたしの–ものも
H0589 H3605

イスラエルの王は答えた、「王、わが主よ、仰せのとおり、わたしと、わたしの持ち物は皆あなたのものです」。

5 וַיָּשֻׁבוּ הַמַּלְאָכִים וַיֹּאמְרוּ וַיֹּאמֶר כֹּה אָמַר בֶּן־הֲדַד לֵאמֹר
そして–戻って–きた 使いたちは そして–言った 言った このように ベン・ハダデは 言って
H7725 H4397 H0559 H0559 H3541 H1130 H0559

כִּי־שָׁלַחְתִּי אֵלֶיךָ לֵאמֹר כַּסְפְּךָ וְזָהָבְךָ
まことに わたしは–遣わした あなたに 言って あなたの–銀と そして–あなたの–金と
H7971 H0413 H0559 H3701 H2091

וּבָנֶיךָ וְנָשֶׁיךָ לִי תִתָּן׃
そして–あなたの–息子たちを そして–あなたの–妻たちと わたしに 渡せ
H0802 H5414

使者は再びきて言った、「ベネハダデはこう申します、『わたしはさきに人をつかわして、あなたの金銀、妻子を引きわたせと言いました。

6

וְכִי	אִם־	אֶשְׁלַח	מָחָר	כָּעֵת	אֶת־	עֲבָדַי
ただし	～だけでなく	わたしは-遣わす	明日の	～の時までに	～を	わたしの-家来たちを
	H0518	H7971	H4279	H6256	H0853	H5650

אֵלֶיךָ	וְחִפְּשׂוּ	אֶת־	בֵּיתְךָ	וְאֶת	בָּתֵּי	עֲבָדֶיךָ
あなたの-もとへ	そして-捕ぜす	～を	あなたの-家と	そして-～を	家々を	あなたの-家来たちの
H0413	H2664	H0853		H0853		H5650

וְהָיָה	כֹּל־	מַחְמַד	עֵינֶיךָ	יָשִׂימוּ	בְיָדָם	וְלָקָחוּ׃
そして-なる	すべての	貴重な-ものを	あなたの-目の	彼らが-置く	手に	そして-取る
H1961	H3605	H4261			H3027	H3947

しかし、あすの今ごろ、しもべたちをあなたにつかわします。彼らはあなたの家と、あなたの家来の家を探って、すべて彼らの気にいる物を手に入れて奪い去るでしょう』」。

7

וַיִּקְרָא	מֶלֶךְ־	יִשְׂרָאֵל	לְכֹל־	זִקְנֵי	הָאָרֶץ	וַיֹּאמֶר	דְּעוּ־
そして-呼んだ	王は	イスラエルの	すべての	長老たちを	地の	そして-言った	知って-ください
H7121	H4428	H3478	H3605	H2205	H0776	H0559	H3045

אֵלַי	שָׁלַח	כִּי־	מְבַקֵּשׁ	זֶה	רָעָה	כִּי	וּרְאוּ	נָא
わたしに	遣わした	なぜなら	求めて-いる	この-者は	悪意を	～ということを	そして-見よ	どうか
H0413	H7971		H1245	H2088			H7200	H4994

וְלֹא	וְלִזְהָבִי	וּלְכַסְפִּי	וּלְבָנָי	לְנָשָׁי
そして-ない	そして-金を-求めて	そして-銀と	そして-息子たちと	わたしの-妻たちと
H3808	H2091	H3701		H0802

מִמֶּנִּוּ׃	מָנַעְתִּי
彼に	わたしは-拒まなかった
	H4513

そこでイスラエルの王は国の長老をことごとく召して言った、「よく注意して、この人が無理な事を求めているのを知りなさい。彼は人をつかわして、わたしの妻子と金銀を求めたが、わたしはそれを拒まなかった」。

8

תִּשְׁמַע	אַל־	הָעָם	וְכֹל־	הַזְּקֵנִים	כָּל־	אֵלָיו	וַיֹּאמְרוּ
聞くな	～するな	民は	そして-すべての	長老たちと	すべての	彼に	そして-言った
H8085	H0408		H3605	H2205	H3605	H0413	H0559

תֹּאבֶה׃	וְלוֹא
応じるな	そして-ない
H0014	H3808

すべての長老および民は皆彼に言った、「聞いてはなりません。承諾してはなりません」。

9

אֲשֶׁר־	כֹּל	לַמֶּלֶךְ	לַאדֹנָי	אֱמֹרוּ	בֶּן־הֲדַד	לְמַלְאָכָיו	וַיֹּאמֶר
～の	すべての-ことを	王に	わが-主に	言え	ベン・ハダデの	～の使いたちに	そして-言った
	H3605	H4428	H0113	H0559	H1130	H4397	H0559

לֹא	הַזֹּאת	וְהַדָּבָר	אֲשֶׁר	בָּרִאשֹׁנָה	עֲבָדְךָ	אֶל־	שָׁלַחְתָּ
ない	この	しかし-この-件は	行う	初めに	あなたの-しもべに	～に	あなたが-遣わした
H3808	H2088	H1697		H7223	H5650	H0413	H7971

דָּבָר׃	וַיָּשִׁבוּהוּ	הַמַּלְאָכִים	וַיֵּלְכוּ	לַעֲשׂוֹת	אוּכַל
言葉を	そして-返事を-した	使いたちは	そして-行った	行う-ことは	できない
H1697	H7725	H4397	H3212		H3201

それで彼はベネハダデの使者に言った、「王、わが主に告げなさい。『あなたが初めに要求されたことは皆いたしましょう。しかし今度の事はできません』」。使者は去って復命した。

10 וַיִּשְׁלַ֤ח אֵלָיו֙ בֶּן־הֲדַ֔ד וַיֹּ֣אמֶר כֹּֽה־יַעֲשׂ֤וּן לִי֙ אֱלֹהִ֔ים
そして–遣わした 彼に ベン・ハダデは そして–言った このように せよ わたしに 神々が
H7971 H0413 H1130 H0559 H3541 H0430

וְכֹ֖ה יוֹסִ֑פוּ אִם־יִשְׁפֹּ֤ק עֲפַר֙ שֹׁמְר֔וֹן לִשְׁעָלִ֖ים לְכָל־
そして–このように 加えよ もし 足りるなら 塵が サマリヤの 一握り分として すべての
H3541 H3254 H0518 H6083 H8111 H8168 H3605

בְּרַגְלָֽי׃ אֲשֶׁ֥ר הָעָ֖ם
わたしの–足もとの ～の 民の–ために
H7272

ベネハダデは彼に人をつかわして言った、「もしサマリヤのちりが、わたしに従うすべての民の手を満たすに足りるならば、神々がどんなにでも、わたしを罰してくださるように」。

11 וַיַּ֣עַן מֶֽלֶךְ־יִשְׂרָאֵ֔ל וַיֹּ֣אמֶר דַּבְּרוּ֙ אַל־יִתְהַלֶּ֣ל
そして–答えた 王は イスラエルの そして–言った 言え ～するな 誇るな
H4428 H3478 H0559 H1696 H0408

חֹגֵ֔ר כְּמַפְתָּֽחַ׃
武具を–つける–者が 脱ぐ–者の–ように
H2296

イスラエルの王は答えた、「『武具を帯びる者は、それを脱ぐ者のように誇ってはならない』と告げなさい」。

12 וַיְהִי֙ כִּשְׁמֹ֣עַ אֶת־הַדָּבָ֣ר הַזֶּ֔ה וְה֖וּא שֹׁתֶ֣ה
そして–あった 聞いた–とき ～を この–言葉を この 彼は 飲んで–いた 彼と
H1961 H8085 H0853 H1697 H2088 H1931 H8354 H1931

וְהַמְּלָכִ֖ים בַּסֻּכּ֑וֹת וַיֹּ֤אמֶר אֶל־עֲבָדָיו֙ שִׂ֣ימוּ וַיָּשִׂ֔ימוּ עַל־
そして–王たちが 仮小屋で そして–言った ～に 家来たちに 配置せよ そして–配置した ～に–対して
H4428 H5521 H0559 H0413 H5650 H7760 H7760 H5921

הָעִֽיר׃
町に

ベネハダデは仮小屋で、王たちと酒を飲んでいたが、この事を聞いて、その家来たちに言った、「戦いの備えをせよ」。彼らは町にむかって戦いの備えをした。

13 וְהִנֵּ֣ה נָבִיא֩ אֶחָ֨ד נִגַּ֜שׁ אֶל־מֶ֣לֶךְ יִשְׂרָאֵ֗ל וַיֹּ֣אמֶר
そして–見よ 預言者が 一人の 近づいた ～に 王 イスラエルの そして–言った
H2009 H5030 H0259 H5066 H0413 H4428 H3478 H0559

כֹּ֤ה אָמַר֙ יְהוָ֔ה הֲרָאִ֕יתָ אֶת־כָּל־הֲמ֥וֹן הַגָּד֖וֹל הַזֶּ֑ה הִנְנִ֤י
このように 言われた 主は 見たか ～を すべての この–大軍を 大きな この 見よ–わたしは
H3541 H0559 H3068 H7200 H0853 H3605 H1995 H2088 H2009

נֹתְנָ֥ו בְיָדְךָ֖ הַיּ֑וֹם וְיָדַעְתָּ֣ כִּ֤י אֲנִי֙ יְהוָ֔ה׃
渡す あなたの–手に 今日 そして–知る ～ということを わたしが 主で–ある
H5414 H3027 H3117 H3045 H3588 H0589 H3068

この時ひとりの預言者がイスラエルの王アハブのもとにきて言った、「主はこう仰せられる、『あなたはこの大軍を見たか。わたしはきょう、これをあなたの手にわたす。あなたは、わたしが主であることを、知るようになるであろう』」。

14 וַיֹּ֣אמֶר אַחְאָ֔ב בְּמִ֖י כֹּ֣ה ׀ וַיֹּ֣אמֶר יְהוָ֗ה אָמַ֛ר
そして-言った アハブは 誰に-よって このように そして-言った 主は 言われた
H0559 H0256 H4310 H3541 H0559 H3068 H0559

הַמִּלְחָמָ֑ה יֶאְסֹ֖ר מִ֥י וַיֹּ֣אמֶר הַמְּדִינ֔וֹת שָׂרֵ֣י בִּנְעָרֵ֔י
戦いを 始めるのか 誰が そして-言った 州の 州の-長たちの ～の若者たちに-よって
H4421 H0631 H4310 H0559 H4082 H8269 H5288

וַיֹּ֣אמֶר׃ אָתָּ֖ה
そして-言った あなたが
H0559

アハブは言った、「だれにさせましょうか」。彼は言った、「主はこう仰せられる、『地方の代官の家来たちにさせよ』」。アハブは言った、「だれが戦いを始めましょうか」。彼は答えた、「あなたです」。

15 וַיִּפְקֹ֞ד נַעֲרֵ֣י שָׂרֵ֣י הַמְּדִינ֗וֹת וַיִּהְיוּ֙ מָאתַ֣יִם שְׁנַ֔יִם
そして-召集した 若者たちを 州の-長たちの 州の そして-あった 二百 二
H0853 H5288 H8269 H4082 H1961 H3967 H8147

וְאַחֲרֵיהֶ֖ם פָּקַ֑ד כָּל־ הָעָ֣ם כָּל־ בְּנֵ֖י אֶת־ וַיִּפְקֹ֞ד יִשְׂרָאֵ֗ל
そして-その-後に 召集した ～を すべての 民を すべての 子らを イスラエルの
H0853 H3605 H5971 H3605 H1121 H3478

שִׁבְעָֽת׃ אַלָּפִ֔ים וּשְׁלֹשִׁ֥ים
七 千人を 三十
H7651 H0505 H7970

そこでアハブは地方の代官の家来たちを調べたところ二百三十二人あった。次にすべての民、すなわちイスラエルのすべての人を調べたところ七千人あった。

16 וַיֵּצְא֖וּ בַּצָּהֳרָ֑יִם בֶּן־הֲדַ֣ד וְ֠ שֹׁתֶ֨ה שִׁכּ֜וֹר בַּסֻּכּ֗וֹת הֽוּא
そして-出て-行った 真昼に そして-ベン・ハダデは 飲んで-いた 酔って 仮小屋で 彼と
H3318 H6672 H1130 H8354 H7910 H5521 H1931

אֹתֽוֹ׃ עֹזְרִ֔ים וּשְׁנַ֣יִם מְלָכִ֔ים שְׁלֹשִׁ֥ים וְהַמְּלָכִ֖ים
彼を 助ける 王が 二の 三十 そして-王たちが
H0853 H5826 H4428 H8147 H7970 H4428

彼らは昼ごろ出ていったが、ベネハダデは仮小屋で、味方の三十二人の王たちと共に酒を飲んで酔っていた。

17 וַיְשֻׁלַּ֗ח הַמְּדִינ֔וֹת בָּרִאשֹׁנָ֣ה שָׂרֵ֣י נַעֲרֵ֔י וַיֵּצְא֖וּ
そして-遣わした 最初に 州の 州の-長たちの 若者たちが そして-出て-行った
H7971 H7223 H4082 H8269 H5288 H3318

מִשֹּׁמְר֑וֹן יָצְא֖וּ אֲנָשִׁ֥ים לֵאמֹ֛ר ל֥וֹ וַיַּגִּ֣ידוּ בֶן־הֲדַ֔ד
サマリヤから 出て-きた 人々が 言って 彼に そして-告げた ベン・ハダデは
H8111 H3318 H0376 H0559 H5046 H1130

地方の代官の家来たちが先に出ていった。ベネハダデは斥候をつかわしたが、彼らは「サマリヤから人々が出てきた」と報告したので、

18 וְאִם֙ חַיִּ֣ים תְּפִשׂ֔וּם יָצְא֖וּ לְשָׁל֑וֹם אִם־ וַיֹּ֣אמֶר
そして-もし 生きたまま 捕らえよ 出て-きたのなら 平和の-ために もし そして-言った
H0518 H2416 H8610 H3318 H7965 H0559

תְּפִשׂ֔וּם חַיִּ֣ים יָצְא֖וּ לַמִּלְחָמָֽה׃
捕らえよ 生きたまま 出て-きたのなら 戦いの-ために
H8610 H2416 H3318 H4421

彼は言った、「和解のために出てきたのであっても、生どりにせよ。また戦いのために出てきたのであっても、生どりにせよ」。

19 וְאֵלֶּה יָצְאוּ מִן־הָעִיר נַעֲרֵי שָׂרֵי הַמְּדִינוֹת
そして–これらの–者が 出て–行った ～から 町から 若者たちが 州の–長たちの 州の
H0428 H3318 H0428 H5288 H8269 H4082

וְהַחַיִל אֲשֶׁר אַחֲרֵיהֶם׃
そして–軍勢が ～の 彼らの–後に
H2428

地方の代官の家来たちと、それに従う軍勢が町から出ていって、

20 וַיַּכּוּ אִישׁ אִישׁוֹ וַיָּנֻסוּ אֲרָם וַיִּרְדְּפֵם יִשְׂרָאֵל
そして–打ち–殺した 人が それぞれの–相手を 逃げた アラムは そして–追った イスラエルは
H5221 H0376 H0376 H5127 H0758 H7291 H3478

וּבֶן־הֲדַד מֶלֶךְ אֲרָם נִמְלָט בְּסוּס וּפָרָשִׁים׃
そして–逃れた ベン・ハダデは アラムの 王 ～の上に 馬に–乗って 騎兵たちと
H4422 H1130 H0758 H4428 H5921 H0685 H6571

おのおのその相手を撃ち殺したので、スリヤびとは逃げた。イスラエルはこれを追ったが、スリヤの王ベネハダデは馬に乗り、騎兵を従えてのがれた。

21 וַיֵּצֵא מֶלֶךְ יִשְׂרָאֵל וַיַּךְ אֶת־הַסּוּס וְאֶת־הָרָכֶב
そして–出て–行った 王は イスラエルの そして–打ち–殺した ～を 馬を そして–～を 戦車を
H3318 H4428 H3478 H5221 H0853 H0853 H7393

וַיַּךְ אֶת־אֲרָם מַכָּה גְדוֹלָה׃
そして–打ち–殺した アラムを 打撃で 大きな
H5221 H0758 H4347

イスラエルの王は出ていって、馬と戦車をぶんどり、また大いにスリヤびとを撃ち殺した。

22 וַיִּגַּשׁ הַנָּבִיא אֶל־מֶלֶךְ יִשְׂרָאֵל וַיֹּאמֶר לוֹ לֵךְ הִתְחַזָּק
そして–近づいた 預言者が ～に 王に イスラエルの そして–言った 彼に 行け 強く–あれ
H5066 H5030 H0413 H4428 H3478 H0559 H0853 H3212 H2388

וְדַע וּרְאֵה אֵת אֲשֶׁר־תַּעֲשֶׂה כִּי לִתְשׁוּבַת הַשָּׁנָה
そして–知り そして–見よ ～を ～のことを あなたが–するべきことを なぜなら ～の戻りに 年の
H3045 H7200 H0853 H0834 H6213 H3588 H8666 H8141

ס עָלֶיךָ׃ עֹלֶה אֲרָם מֶלֶךְ
— あなたに–対して 上って–くる アラムの 王が
H5927 H0758 H4428

時に、かの預言者がイスラエルの王のもとにきて言った、「行って、力を養い、なすべき事をよく考えなさい。来年の春にはスリヤの王が、あなたのところに攻め上ってくるからです」。

23 וַעַבְדֵי מֶלֶךְ־אֲרָם אָמְרוּ אֱלֹהֵי אֱלֹהֵיהֶם הָרִים הֵמָּה עַל־כֵּן
それ–ゆえに 彼らの–神である 山の 神は 彼に 言った アラムの 王の そして–家来たちが
H5650 H4428 H0758 H0559 H0413 H0430 H2022 H0430 H0410

חָזְקוּ מִמֶּנּוּ וְאוּלָם נִלָּחֵם אִתָּם בַּמִּישׁוֹר אִם־לֹא׃
強かった わたしたちに–まさって しかし 戦おう 彼らと 平地で もし ない
H2388 H4480 H0199 H3898 H0854 H4334 H0518 H3808

כֵּן נָחֲזֵק מֵהֶם׃
それ–ゆえに 勝てる 彼らに
H2388 H1992

スリヤの王の家来たちは王に言った、「彼らの神々は山の神ですから彼らがわれわれよりも強かったのです。もしわれわれが平地で戦うならば、必ず彼らよりも強いでしょう。

24 וְאֶת־ הַדָּבָר הַזֶּה עֲשֵׂה הָסֵר הַמְּלָכִים אִישׁ מִמְּקֹמוֹ וְשִׂים
そして-この 件を この 行え 退けよ 王たちを それぞれ その-地位から そして-置け
H0853 H1697 H2088 H6213 H5493 H4428 H0376 H4725 H7760

פַּחוֹת תַּחְתֵּיהֶם׃
総督を 彼らに-代わって
H6346 H8478

それでこうしなさい。王たちをおのおのその地位から退かせ、総督を置いてそれに代らせなさい。

25 וְאַתָּה תִּמְנֶה־ לְךָ חַיִל כַּחֵיל סוּס וְכַסּוּס רֶכֶב וְכָרֶכֶב וְעָשִׂיתָ אוֹתָם בַּמִּישֹׁר
そして-あなたは 数えよ あなたの-ために 軍勢を ～の軍勢の-ように 倒れた あなたから 平地で
H0853 H4487 H0853 H2428 H2428 H5307 H0853 H4334

אִם־ לֹא נֶחֱזַק מֵהֶם וַיִּשְׁמַע לְקֹלָם וַיַּעַשׂ כֵּן׃ פ
もし ない 勝てる 彼らに そして-聞いた 彼らの-声に そして-行った その-とおりに 一
H3808 H2388 H1992 H8085 H6963 H3651

またあなたが失った軍勢に等しい軍勢を集め、馬は馬、戦車は戦車をもって補いなさい。こうしてわれわれが平地で戦うならば必ず彼らよりも強いでしょう」。彼はその言葉を聞きいれて、そのようにした。

26 וַיְהִי לִתְשׁוּבַת הַשָּׁנָה וַיִּפְקֹד בֶּן־ הֲדַד אֶת־ אֲרָם וַיַּעַל אֲפֵקָה לַמִּלְחָמָה עִם־ יִשְׂרָאֵל׃
そして-あった ～の戻りに 年の そして-召集した ベン・ハダデは ～を アラムを アフェクへ ～の戦いの-ために ～と イスラエルと
H1961 H8666 H8141 H6485 H1130 H0853 H0758 H0663 H4421 H5973 H3478

春になって、ベネハダデはスリヤびとを集めて、イスラエルと戦うために、アペクに上ってきた。

27 וּבְנֵי יִשְׂרָאֵל הָתְפָּקְדוּ וְכָלְכְּלוּ וַיֵּלְכוּ לִקְרָאתָם וַיַּחֲנוּ בְּנֵי־ יִשְׂרָאֵל נֶגְדָּם כִּשְׁנֵי חֲשְׂפֵי עִזִּים וְהָאֲרָם מִלְאוּ אֶת־ הָאָרֶץ׃
そして-子らは イスラエルの 召集された そして-食糧を-受けた そして-行った 彼らを-迎えに そして-陣を-張った イスラエルの 子らは ～のように 二つの-群れの-ように 山羊の そして-アラムは 満たして-いた ～を 地を
H1121 H3478 H6485 H3557 H3212 H7125 H2583 H3478 H1121 H5048 H8147 H2835 H5795 H0758 H4390 H0853 H0776

イスラエルの人々は召集され、糧食を受けて彼らを迎え撃つために出かけた。イスラエルの人々はやぎの二つの小さい群れのように彼らの前に陣取ったが、スリヤびとはその地に満ちていた。

28

וַיֹּאמֶר יִשְׂרָאֵל֙ מֶ֣לֶךְ אֶל־ וַיֹּאמֶר֙ הָאֱלֹהִ֔ים אִ֖ישׁ וַיִּגַּ֑שׁ
そして–言った イスラエルの 王に ～に そして–言った 神の 人が そして–近づいた
H0559 H3478 H4428 H0413 H0559 H0430 H0376 H5066

יְהוָ֔ה הָרִים֙ אֱלֹהֵ֣י אֲרָ֔ם אָמְר֖וּ אֲשֶׁ֣ר יַ֤עַן יְהוָה֙ אָמַ֔ר כֹּ֥ה־
主は 山の 神は アラムが 言った ～ということ ～のゆえに 主は 言われた このように
H3068 H2022 H0430 H0758 H0559 H3282 H3068 H0559 H3541

הֶהָמ֣וֹן כָּל־ אֶת־ וְנָתַתִּ֤י הוּא֙ עֲמָקִ֔ים אֱלֹהֵ֖י וְלֹא־
この–大軍を すべての ～を そして–わたしは–渡す その–方は 谷の 神ではない そして–ない
H3605 H0853 H5414 H1931 H6010 H0430 H3808

יְהוָֽה׃ אֲנִ֖י כִּי־ וִידַעְתֶּ֥ם בְּיָדֶ֑ךָ הַזֶּ֣ה הַגָּד֥וֹל
主で–ある わたしが ～ということを そして–知る あなたの–手に この 大きな
H3068 H0589 H3045 H3027 H2088

その時神の人がきて、イスラエルの王に言った、「主はこう仰せられる、『スリヤびとが、主は山の神であって、谷の神ではないと言っているから、わたしはこのすべての大軍をあなたの手にわたす。あなたは、わたしが主であることを知るようになるであろう』」。

29

בַּיּ֔וֹם וַיִּהְי֣וּ יָמִ֑ים שִׁבְעַ֤ת אֵלֶּה֙ נֹכַ֣ח אֵ֔לֶּה וַיַּחֲנ֖וּ
～の日に そして–あった 日間 七 これらに 向かい–合って これらが そして–陣を–張った
H3117 H1961 H3117 H7651 H0428 H5227 H0428 H2583

אֲרָ֔ם אֶת־ יִשְׂרָאֵ֣ל בְּנֵי־ וַיַּכּוּ֙ הַמִּלְחָמָ֗ה וַתִּקְרַ֤ב הַשְּׁבִיעִי֙
アラムを ～を イスラエルの 子らが そして–打ち–殺した 戦いが そして–近づいた 第七の
H0758 H0853 H3478 H5221 H4421 H7126 H7637

אֶ֖חָד׃ בְּי֣וֹם רַגְלִ֑י אֶ֖לֶף מֵאָ֥ה־
一の ～の日に 歩兵を 千の 十万の
H0259 H3117 H7273 H0505 H3967

彼らは七日の間、互にむかいあって陣取り、七日目になって戦いを交えたが、イスラエルの人々は一日にスリヤびとの歩兵十万人を殺した。

30

עַל־ הַחוֹמָ֔ה וַתִּפֹּ֖ל הָעִ֑יר אֶל־ אֲפֵ֣קָה֮ וְהַנּוֹתָרִ֒ים וַיָּנָס֙
～の上に 城壁が そして–崩れた 町の–中へ ～の中へ アフェクへ 残った–者たちは そして–逃げた
H2346 H5307 H0413 H0663 H3498 H5127

וַיָּבֹ֣א נָ֗ס וּבֶן־הֲדַד֙ הַנּוֹתָרִ֔ים אִ֖ישׁ אֶ֣לֶף וְשִׁבְעָ֤ה עֶשְׂרִים֙
そして–来た 逃げた そして–ベン・ハダデは 残った–者たちの 人の–上に 千の 七千の 二万
H0935 H5127 H1130 H3498 H0376 H0505 H7651 H6242

ס בַּחֶ֖דֶר׃ חֶ֣דֶר הָעִ֑יר אֶל־
— 部屋に 部屋の–奥の 町の–中に ～の中に
H2315 H2315 H0413

そのほかの者はアペクの町に逃げこんだが、城壁がくずれて、その残った二万七千人の上に倒れた。ベネハダデは逃げて町に入り、奥の間にはいった。

31 וַיֹּאמְרוּ אֵלָיו עַבָדֶיו הִנֵּה־נָא שָׁמַעְנוּ כִּי מַלְכֵי בֵּית
そして-言った 彼に 家来たちが 見よ どうか 聞いた ～ということを 王たちは 家の
H0559 H0413 H5650 H2009 H4994 H8085 H4428

יִשְׂרָאֵל כִּי־מַלְכֵי חֶסֶד הֵם נָשִׂימָה נָא שַׂקִּים בְּמָתְנֵינוּ
イスラエルの まことに 王たちは 情けの それである 身に-つけよう どうか 荒布を 腰に
H3478 H4428 H2617 H1992 H5375 H4994 H8242 H4975

וְנֵצְאָה אֶל־מֶלֶךְ יִשְׂרָאֵל אוּלַי יְחַיֶּה אֶת־נַפְשֶׁךָ׃
そして-出て-行こう ～に 王の-もとへ イスラエルの おそらく 生かして-おくだろう ～を あなたの-命を
H3318 H0413 H4428 H3478 H0194 H2421 H0853 H5315

頭に そして-縄を

家来たちは彼に言った、「イスラエルの家の王たちはあわれみ深い王であると聞いています。それでわれわれの腰に荒布をつけ、くびになわをかけて、イスラエルの王の所へ行かせてください。たぶん彼はあなたの命を助けるでしょう」。

32 וַיַּחְגְּרוּ שַׂקִּים בְּמָתְנֵיהֶם וַחֲבָלִים בְּרָאשֵׁיהֶם וַיָּבֹאוּ אֶל־מֶלֶךְ
そして-巻いた 荒布を 腰に 頭に そして-縄を 来た ～のもとへ 王の
H2296 H8242 H4975 H0413 H4428

יִשְׂרָאֵל וַיֹּאמְרוּ עַבְדְּךָ בֶן־הֲדַד אָמַר נָא תְּחִי־נַפְשִׁי וַיֹּאמֶר הַעוֹדֶנּוּ
イスラエルの そして-言った あなたの-しもべ ベン・ハダデが 言った どうか 生かして-ください
H3478 H0559 H5650 H1130 H0559 H4994 H2421

חָי אָחִי הוּא׃ וְהָאֲנָשִׁים יְנַחֲשׁוּ וַיְמַהֲרוּ וַיַּחְלְטוּ מִמֶּנּוּ וַיֹּאמְרוּ
生きて わが-兄弟は 彼は そして-急いだ そして-決めた 彼からの-ものだと そして-言った
H2416 H0251 H1931 H4116 H4116 H2440 H4480 H0559

占い-待った そして-人々は

33 וְהָאֲנָשִׁים יְנַחֲשׁוּ וַיְמַהֲרוּ וַיַּחְלְטוּ מִמֶּנּוּ וַיֹּאמְרוּ
そして-人々は 占い-待った そして-急いだ そして-決めた 彼からの-ものだと そして-言った
H0376 H5172 H4116 H4116 H2440 H4480 H0559

אָחִיךָ בֶן־הֲדַד וַיֹּאמֶר בֹּאוּ וַיֹּצֵא אֵלָיו אַחְאָב וַיַּעֲלֵהוּ עַל־
あなたの-兄弟である ベン・ハダデは そして-言った 来い 連れて-来い そして-出て-きた
H0251 H1130 H0559 H0935 H0935 H3947 H3318

הַמֶּרְכָּבָה׃ וַיֹּאמֶר בֶּן־הֲדַד אֵלָיו הֶעָרִים אֲשֶׁר־לָקַח אָבִי מֵאֵת
戦車の-上に ～の上に そして-乗せた ベン・ハダデは 彼の-もとへ
H4818 H5927 H1130 H0413

אָבִיךָ אָשִׁיב וּרְחֹבוֹת תָּשִׂים לְךָ בְּדַמֶּשֶׂק כַּאֲשֶׁר־שָׂם אָבִי בְּשֹׁמְרוֹן
あなたの-父から 返す 広場を 設けよ あなたの-ために ダマスコに ～のように 設けた わが-父が サマリヤに
H0001 H7725 H7339 H8492 H1834 H3977 H0001 H8111

וַאֲנִי בִּבְרִית אֲשַׁלְּחֶךָּ וַיִּכְרָת־לוֹ בְּרִית וַיְשַׁלְּחֵהוּ׃ ס
そして-わたしは ～の契約で 釈放する 結んだ そして-契約 彼と 契約を そして-釈放した —
H0589 H1285 H7971 H3772 H1285 H7971

34 וַיֹּאמֶר אֵלָיו הֶעָרִים אֲשֶׁר־לָקַח אָבִי מֵאֵת אָבִיךָ אָשִׁיב
そして-言った 彼に 町々を ～の 取った わが-父が ～から あなたの-父から 返す
H0559 H0413 H5892 H3947 H0001 H0854 H0001 H7725

וְחוּצוֹת תָּשִׂים לְךָ בְּדַמֶּשֶׂק כַּאֲשֶׁר־שָׂם אָבִי בְּשֹׁמְרוֹן
そして-広場を 設けよ あなたの-ために ダマスコに ～のように 設けた わが-父が サマリヤに
H2351 H8492 H1834 H3977 H0001 H8111

ベネハダデは彼に言った、「わたしの父が、あなたの父上から取った町々は返します。またわたしの父がサマリヤに造ったように、あなたはダマスコに、あなたのために市場を設けなさい」。アハブは言った、「わたしはこの契約をもってあなたを帰らせましょう」。こうしてアハブは彼と契約を結び、彼を帰らせた。

35 וְאִישׁ 人が H0376 | אֶחָד 一人の H0259 | מִבְּנֵי ～の子らの-中の | הַנְּבִיאִים 預言者たちの H5030 | אָמַר 言った H0559 | אֶל־ ～に H0413 | רֵעֵהוּ 仲間に H7453 | בִּדְבַר ～の言葉に-よって H1697

לְהַכֹּתֻנִי׃ 打つ-ことを H5221 | הָאִישׁ その-人は H0376 | וַיְמָאֵן そして-拒んだ H3985 | נָא どうか H4994 | הַכֵּנִי 打って-ください H5221 | יְהוָה 主の H3068

さて預言者のともがらのひとりが主の言葉に従ってその仲間に言った、「どうぞ、わたしを撃ってください」。しかしその人は撃つことを拒んだので、

36 וַיֹּאמֶר そして-言った H0559 | לוֹ 彼に | יַעַן ～のゆえに H3282 | אֲשֶׁר ～ということで | לֹא־ ない H3808 | שָׁמַעְתָּ 聞かなかった H8085 | בְּקוֹל ～の声に | יְהוָה 主の H3068

מֵאֶצְלוֹ 彼の-そばから H0681 | וַיֵּלֶךְ そして-行った H3212 | הָאַרְיֵה 獅子が | וְהִכְּךָ そして-打つ H5221 | מֵאִתִּי わたしの-もとから H0854 | הוֹלֵךְ 行く H1980 | הִנְּךָ 見よ-あなたが H2009

וַיַּכֵּהוּ׃ そして-打ち-殺した H5221 | הָאַרְיֵה 獅子が | וַיִּמְצָאֵהוּ そして-見つけた H4672

彼はその人に言った、「あなたは主の言葉に聞き従わないゆえ、わたしを離れて行くとすぐ、ししがあなたを殺すでしょう」。その人が彼のそばを離れて行くとすぐ、ししが彼に会って彼を殺した。

37 וַיִּמְצָא そして-見つけた H4672 | אִישׁ 人を H0376 | אַחֵר 別の H0312 | וַיֹּאמֶר そして-言った H0559 | הַכֵּנִי 打って-ください H5221 | נָא どうか H4994 | וַיַּכֵּהוּ そして-打った H5221 | הָאִישׁ その-人は H0376

וּפְצָעֵהוּ׃ そして-傷つけた H6481 | הַכֵּה 打ち H5221

彼はまたほかの人に会って言った、「どうぞ、わたしを撃ってください」。するとその人は彼を撃ち、撃って傷つけた。

38 וַיֵּלֶךְ そして-行った H3212 | הַנָּבִיא 預言者は H5030 | וַיַּעֲמֹד そして-立った H5975 | לַמֶּלֶךְ 王の-ために H4428 | הַדָּרֶךְ 道の-働に | עַל־ ～の上に | וַיִּתְחַפֵּשׁ そして-変装した H2664 | בָּאֵפֶר 灰で H0666

עֵינָיו׃ 目の-上に | עַל־ ～の上に

こうしてその預言者は行って、道のかたわらで王を待ち、目にほうたいを当てて姿を変えていた。

וַיֹּאמֶר
そして-言った
H0559
הַמֶּלֶךְ
王に
H4428
אֵל־
～に
H0413
צָעַק
叫んだ
H6817
וְהוּא
そして-彼は
H1931
עֹבֵר
通り-過ぎる-とき
הַמֶּלֶךְ׃
王が
H4428
וַיְהִי
そして-あった
H1961
39

וַיָּבֵא
そして-連れて-きた
H0935
סָר
離れて
H5493
אִישׁ
人が
H0376
וְהִנֵּה־
そして-見よ
H2009
הַמִּלְחָמָה
戦いの
H4421
בְּקֶרֶב־
～の中へ
H7130
יָצָא
出て-行った
H3318
וְעַבְדְּךָ
あなたの-しもべは
H5650

הִפָּקֵד
いなくなれば
אִם־
もし
הַוֹּה
この
H2088
הָאִישׁ
この-人を
H0376
אֶת־
～を
H0853
שְׁמֹר
守れ
H8104
וַיֹּאמֶר
そして-言った
H0559
אִישׁ
人を
H0376
אֵלַי
わたしの-もとに
H0413

כִּכַּר־
銀を
H3701
כֶּסֶף
一-タラントの
H3603
אוֹ
あるいは
נַפְשׁוֹ
彼の-命の
H5315
תַּחַת
～の代わりに
H8478
נַפְשְׁךָ
あなたの-命が
H5315
וְהָיְתָה
そして-なる
H1961
יִפָּקֵד
いなくなるなら

תִּשְׁקוֹל׃
量り-出せ
H8254

王が通り過ぎる時、王に呼ばわって言った、「しもべはいくさの中に出て行きましたが、ある軍人が、ひとりの人をわたしの所につれてきて言いました、『この人を守っていなさい。もし彼がいなくなれば、あなたの命を彼の命に代えるか、または銀一タラントを払わなければならない』。

וַיְהִי
そして-あった
H1961
עַבְדְּךָ
あなたの-しもべが
H5650
עֹשֶׂה
して-いた
הֵנָּה
あちら
H2008
וָהֵנָּה
こちらと
H2008
וְהוּא
そして-彼は
H1931
אֵינֶנּוּ
いなくなった
H0369
40

וַיֹּאמֶר
そして-言った
H0559
אֵלָיו
彼に
H0413
מֶלֶךְ־
王は
H4428
יִשְׂרָאֵל
イスラエルの
H3478
כֵּן
その-とおりだ
מִשְׁפָּטֶךָ
あなたの-裁きは
H4941
אַתָּה
あなたが
חָרָצְתָּ׃
決めた
H2782

ところが、しもべはあちらこちらと忙しくしていたので、ついに彼はいなくなりました」。イスラエルの王は彼に言った、「あなたはそのとおりにさばかれなければならない。あなたが自分でそれを定めたのです」。

וַיְמַהֵר
そして-急いだ
וַיָּסַר
そして-取り-除いた
H5493
אֶת־
～を
H0853
הָאֵפֶר
灰を
H0666
מעל
―
מֵעֲלֵי
～から
עֵינָיו
目から
וַיַּכֶּר
そして-見分けた
אֹתוֹ
彼を
H0853
41

הוּא׃
彼は
H1931
מֵהַנְּבִאִים
預言者たちの-一人で-ある
H5030
כִּי
～ということを
יִשְׂרָאֵל
イスラエルの
H3478
מֶלֶךְ
王は
H4428

そこで彼が急いで目のほうたいを取り除いたので、イスラエルの王はそれが預言者のひとりであることを知った。

וַיֹּאמֶר
そして-言った
H0559
אֵלָיו
彼に
H0413
כֹּה
このように
H3541
אָמַר
言われた
H0559
יְהוָה
主は
H3068
יַעַן
～のゆえに
H3282
שִׁלַּחְתָּ
釈放した
H7971
אֶת־
～を
H0853
אִישׁ־
人を
H0376
42

חֶרְמִי
わたしが-滅ぼすに-定めた
מִיָּד
手から
H3027
וְהָיְתָה
そして-なる
H1961
נַפְשְׁךָ
あなたの-命が
H5315
תַּחַת
～の代わりに
H8478
נַפְשׁוֹ
彼の-命の
H5315

וְעַמְּךָ
そして-あなたの-民が
תַּחַת
～の代わりに
H8478
עַמּוֹ׃
彼の-民の

彼は王に言った、「主はこう仰せられる、『わたしが滅ぼそうと定めた人を、あなたは自分の手から放して行かせたので、あなたの命は彼の命に代り、あなたの民は彼の民に代るであろう』と」。

וַיָּבֹא וְזָעֵף סָר בֵּיתוֹ עַל־ יִשְׂרָאֵל מֶלֶךְ־ וַיֵּלֶךְ 43
そして–来た そして–怒って 不機嫌で 彼の–家へ ～の上へ イスラエルの 王は そして–行った
H0935 H2198 H5620 H3478 H4428 H3212

שֹׁמְרוֹנָה׃ פ
— サマリヤへ
H8111

イスラエルの王は悲しみ、かつ怒って自分の家におもむき、サマリヤに帰った。

Chapter 21

הַדְּבָרִים הָאֵלֶּה כֶּרֶם הָיָה לְנָבוֹת 1
これらの–出来事の ～の後に そして–あった ぶどう畑が あった ナボトの
H1697 H0310 H1961 H3754 H1961 H5022

אֲשֶׁר יִזְרְעֵאלִי לְאַחְאָב מֶלֶךְ שֹׁמְרוֹן׃
～の イズレエル人の イズレエルに ～の傍に 宮殿の アハブの 王の サマリヤの
H0834 H3158 H3157 H0681 H1964 H0256 H4428 H8111

さてエズレルびとナボテはエズレルにぶどう畑をもっていたが、サマリヤの王アハブの宮殿のかたわらにあったので、

וַיְדַבֵּר אַחְאָב אֶל־ נָבוֹת לֵאמֹר תְּנָה־ לִי אֶת־ כַּרְמְךָ 2
そして–語った アハブが ～に ナボトに 言って 与えよ 私に — あなたの–ぶどう畑を
H1696 H0256 H0413 H5022 H0559 H5414 H0853 H3754

וַיְהִי־ לִי לְגַן־ יָרָק כִּי הוּא קָרוֹב אֵצֶל בֵּיתִי
そして–なるように 私のために 野菜の–園と 野菜の なぜなら それは 近い ～の傍に 私の–家に
H1961 H0413 H1588 H3419 H3588 H1931 H7138 H0681 H1004

וְאֶתְּנָה לְךָ תַּחְתָּיו כֶּרֶם טוֹב מִמֶּנּוּ אִם טוֹב
そして–与えよう あなたに その–代わりに ぶどう畑を より良い それより もし 良いと
H5414 H0413 H8478 H3754 H2896 H4480 H0518 H2896

בְּעֵינֶיךָ אֶתֵּנָה־ לְךָ כֶּסֶף מְחִיר זֶה׃
あなたの–目に 与えよう あなたに 銀を ～の–代金の これの
H5869 H5414 H0413 H3701 H4242 H2088

アハブはナボテに言った、「あなたのぶどう畑はわたしの家の近くにあるので、わたしに譲って青物畑にさせてください。その代り、わたしはそれよりも良いぶどう畑をあなたにあげましょう。もしお望みならば、その価を金でさしあげましょう」。

וַיֹּאמֶר נָבוֹת אֶל־ אַחְאָב חָלִילָה לִי מֵיְהוָה מִתִּתִּי 3
そして–言った ナボトが ～に アハブに 主が–禁じられる 私には 主によって 与えることを
H0559 H5022 H0413 H0256 H2486 H0408 H3068 H5414

לְךָ׃ אֲבֹתָי נַחֲלַת אֶת־
あなたに 私の–先祖たちの 相続地を —
H0413 H0001 H5159 H0853

ナボテはアハブに言った、「わたしは先祖の嗣業をあなたに譲ることを断じていたしません」。

4 וַיָּבֹא֩ אַחְאָ֨ב סַר־ וְזָעֵ֜ף עַל־ אֲשֶׁר־ הַדָּבָ֣ר הַזֶּ֗ה אֶל־ בֵּיתוֹ֮
そして–来た アハブが 不機嫌で 怒って ～について そのことについて ～の
H0935 H0256 H5620 H2198 H0413 H1697

וַיִּשְׁכַּ֣ב וַיַּ֤סֶב וַיֹּ֣אמֶר לֹֽא־ נָבוֹת֙ הַיִּזְרְעֵאלִ֔י וַיְדַבֵּ֥ר אֵלָ֖יו
そして–横たわった そして–背けた そして–言った ～ない ナボトが イズレエル人が 彼に 語った
H7901 H5437 H0559 H3808 H5022 H3158 H0413 H1696

אֶת־ נַחֲלַ֣ת אֲבוֹתַ֑י אֶת־ מִטָּתוֹ֙ עַל־ פָּנָ֔יו וְלֹ֥א אָכַ֖ל לָֽחֶם׃
― ～の–相続地を 私の–先祖たちの ～の上に 彼の–寝台に ― そして–食べなかった パンを
H0853 H5159 H0001 H5921 H4296 H0853 H0398 H3899

彼の–顔を
H6440

アハブはエズレルびとナボテが言った言葉を聞いて、悲しみ、かつ怒って家にはいった。ナボテが「わたしは先祖の嗣業をあなたに譲りません」と言ったからである。アハブは床に伏し、顔をそむけて食事をしなかった。

5 וַתָּבֹא֩ אֵלָ֨יו אִיזֶ֜בֶל אִשְׁתּ֗וֹ וַתְּדַבֶּר־ אֵלָיו֙ מַה־ זֶּ֔ה וְאֵינְךָ֖ אֹכֵ֥ל לָֽחֶם׃
そして–来た 彼のところに イゼベルが 彼の–妻が そして–語った 彼に なぜ こんなにも そして–食べないのか パンを
H0935 H0413 H0348 H0802 H1696 H0413 H4100 H2088 H0369 H0398 H3899

רוּחֶ֖ךָ סָרָ֥ה עַל־ כִּי־ אֵלֶ֣יהָ וַיְדַבֵּ֔ר וַיֹּ֣אמֶר אֵלֶ֑יהָ
あなたの–霊が 沈んでいる なぜなら 彼女に そして–語った そして–言った 彼に
H7307 H5620 H3588 H0413 H1696 H0559 H0413

妻イゼベルは彼の所にきて、言った、「あなたは何をそんなに悲しんで、食事をなさらないのですか」。

6 וַיֹּ֣אמֶר אֵלֶ֗יהָ כִּ֣י דִבַּ֤רְתִּי אֶל־ נָבוֹת֙ הַיִּזְרְעֵאלִ֔י וָאֹמַ֣ר
そして–言った 彼女に なぜなら 私が–語った ～に ナボトに イズレエル人に そして–言った
H0559 H0413 H3588 H1696 H0413 H5022 H3158 H0559

לִ֣י תְּנָה־ וְאֶת־ כַּרְמְךָ֙ בְּכֶ֣סֶף אִ֥ם־ אִם־ חָפֵ֖ץ אַתָּ֑ה
私に 与えよ ― あなたの–ぶどう畑を 銀で もし あるいは 望むなら あなたが
H5414 H0853 H3754 H3701 H0518 H0518 H2655 H0859

וַיֹּ֣אמֶר לֹֽא־ אֶתְּנָה־ לְךָ֔ אֶת־ כַּרְמִ֖י תַּחְתָּ֑יו וְאֶת־ לְךָ֔ אֶתְּנָה־ כֶּ֥רֶם
しかし–言った ～ない 与えよう あなたに ― ぶどう畑を その–代わりに 与えない あなたに ―
H0559 H3808 H5414 H8478 H3754 H5414 H0853

私の–ぶどう畑を
H3754

彼は彼女に言った、「わたしはエズレルびとナボテに『あなたのぶどう畑を金で譲ってください。もし望むならば、その代りに、ほかのぶどう畑をあげよう』と言ったが、彼は答えて『わたしはぶどう畑を譲りません』と言ったからだ」。

7 וַתֹּ֣אמֶר אֵלָ֗יו אִיזֶ֜בֶל אִשְׁתּ֤וֹ אַתָּה֙ עַתָּ֣ה תַּעֲשֶׂ֔ה מְלוֹכָ֖ה עַל־
そして–言った 彼に イゼベルが 彼の–妻が あなたは 今 治めている 王権を ～の上に
H0559 H0413 H0348 H0802 H0859 H6258 H6213 H4410 H5921

קוּם֙ אֲנִ֣י אֶתֶּן־ לְךָ֔ לִבְּךָ֖ וְיִטַ֣ב לָֽחֶם׃ אֶכְלָ֥ל יִשְׂרְאֵ֖אל
起きよ 私が 与えよう あなたに あなたの–心が そして–良くなれ パンを 食べよ イスラエルの
H6965 H0589 H5414 H0859 H3820 H3899 H0398 H3478

נָבוֹת֙ כֶּ֣רֶם אֶת־
ナボトの ぶどう畑を ―
H5022 H3754 H0853

イズレエル人の
H3158

妻イゼベルは彼に言った、「あなたが今イスラエルを治めているのですか。起きて食事をし、元気を出してください。わたしがエズレルびとナボテのぶどう畑をあなたにあげます」。

8

]הספרים[	וַתִּשְׁלַח	בְּחֹתָמוֹ	וַתַּחְתֹּם	אַחְאָב	בְּשֵׁם	סְפָרִים	וַתִּכְתֹּב	
—	そして–送った	彼の–印で	そして–封印した	アハブの	～の名で	書状を	そして–書いた	
	H7971	H2368	H2856	H0256	H8034		H3789	

אֶת־	הַיֹּשְׁבִים	בְּעִירוֹ	אֲשֶׁר	הֶחֹרִים	וְאֶל־	הַזְּקֵנִים	אֶל־	)סְפָרִים(
—	住んでいる	彼の–町に住む	～の	貴族たちに	そして–～に	長老たちに	～に	書状を
H0854	H3427			H2715	H0413	H2205	H0413	

נָבוֹת׃
ナボトと
H5022

彼女はアハブの名で手紙を書き、彼の印をおして、ナボテと同じように、その町に住んでいる長老たちと身分の尊い人々に、その手紙を送った。

9

בְּרֹאשׁ	נָבוֹת	אֶת־	וְהוֹשִׁיבוּ	צוֹם	קִרְאוּ־	לֵאמֹר	בַּסְּפָרִים	וַתִּכְתֹּב
～の先頭に	ナボトを	—	そして–座らせよ	断食を	布告せよ	言って	書状に	そして–書いた
	H5022	H0853	H3427	H6685	H7121	H0559		H3789

הָעָם׃
民の

彼女はその手紙に書きしるした、「断食を布告して、ナボテを民のうちの高い所にすわらせ、

10

נֶגְדּוֹ	בְּלִיַּעַל	בְּנֵי־	אֲנָשִׁים	שְׁנַיִם	וְהוֹשִׁיבוּ	
彼の–向かいに	よこしまな者の	～の息子たちの	男たちを	二人の	そして–座らせよ	
H5048	H1100		H0376	H8147	H3427	

וְסִקְלֻהוּ	וְהוֹצִיא�ֻהוּ	וַיְמֶלֶךְ	אֱלֹהִים	בֵּרַכְתָּ	לֵאמֹר	וְיָעִדֻהוּ
そして–石で打て	そして–連れ出して	そして–王を	神を	あなたは–呪った	言って	そして–証言させよ
H5619	H3318	H4428	H0430	H1288	H0559	

וְיָמֹת׃
そして–死なせよ
H4191

またふたりのよこしまな者を彼の前にすわらせ、そして彼を訴えて、『あなたは神と王とをのろった』と言わせなさい。こうして彼を引き出し、石で撃ち殺しなさい」。

11

בְּעִירוֹ	הַיֹּשְׁבִים	אֲשֶׁר	וְהַחֹרִים	הַזְּקֵנִים	עִירוֹ	אַנְשֵׁי	וַיַּעֲשׂוּ	
彼の–町に	住んでいる	～の	貴族たちが	長老たちと	彼の–町の	人々が	そして–行った	
	H3427		H2715	H2205		H0376		

שָׁלְחָה	אֲשֶׁר	בַּסְּפָרִים	כָּתוּב	כַּאֲשֶׁר	אִיזֶבֶל	אֲלֵיהֶם	שָׁלְחָה	כַּאֲשֶׁר
送った	～の	書状に	書かれていた	～のとおりに	イゼベルが	彼らに	送った	～のとおりに
H7971			H3789		H0348	H0413	H7971	

אֲלֵיהֶם׃
彼らに
H0413

その町の人々、すなわち、その町に住んでいる長老たちおよび身分の尊い人々は、イゼベルが言いつかわしたようにした。彼女が彼らに送った手紙に書きしるされていたように、

12

הָעָם׃	בְּרֹאשׁ	נָבוֹת	אֶת־	וְהוֹשִׁיבוּ	צוֹם	קָרְאוּ
民の	～の先頭に	ナボトを	—	そして–座らせた	断食を	布告した
		H5022	H0853	H3427	H6685	H7121

彼らは断食を布告して、ナボテを民のうちの高い所にすわらせた。

13 וַיָּבֹאוּ שְׁנֵי הָאֲנָשִׁים בְּנֵי־בְלִיַּעַל וַיֵּשְׁבוּ נֶגְדּוֹ
そして–来た 二人の 男たちが ～の息子たちの よこしまな者の そして–座った 彼の–向かいに
H0935 H8147 H0376 H1100 H3427 H5048

וַיְעִדֻהוּ אַנְשֵׁי הַבְלִיַּעַל אֶת־נָבוֹת נֶגֶד הָעָם לֵאמֹר
そして–証言した 人々が よこしまな者たちが ―― ナボトに対して ～の前で 民の 言って
H0559 H5048 H5022 H0853 H1100 H0376

נָבוֹת בֵּרַךְ אֱלֹהִים וָמֶלֶךְ וַיּוֹצִאֻהוּ מִחוּץ לָעִיר וַיִּסְקְלֻהוּ
ナボトは 呪った 神を そして–王を そして–連れ出した ～の外へ 町の そして–石で打った
H5022 H1288 H0430 H4428 H3318 H2351 H0430 H5619

וַיָּמֹת׃ בָּאֲבָנִים
そして–死んだ 石で
H4191 H0068

そしてふたりのよこしまな者がはいってきて、その前にすわり、そのよこしまな者たちが民の前でナボテを訴えて、「ナボテは神と王とをのろった」と言った。そこで人々は彼を町の外に引き出し、石で撃ち殺した。

14 וַיִּשְׁלְחוּ אֶל־אִיזֶבֶל לֵאמֹר סֻקַּל נָבוֹת וַיָּמֹת׃
そして–送った ～に イゼベルに 言って 石で打たれた ナボトは そして–死んだ
H7971 H0413 H0348 H0559 H5619 H5022 H4191

そして人々はイゼベルに「ナボテは石で撃ち殺された」と言い送った。

15 וַיְהִי כִּשְׁמֹעַ אִיזֶבֶל כִּי־סֻקַּל נָבוֹת וַיָּמָת וַתֹּאמֶר
そして–あった 聞いたとき イゼベルが ～と 石で打たれ ナボトが そして–死んだと 言った
H1961 H8085 H0348 H5619 H5022 H4191 H0559

אִיזֶבֶל אֶל־אַחְאָב קוּם רֵשׁ אֶת־ כֶּרֶם נָבוֹת הַיִּזְרְעֵאלִי אֲשֶׁר
イゼベルが ～に アハブに 起きよ 取れ ―― ぶどう畑を ナボトの イズレエル人の ～の
H0348 H0413 H0256 H0877 H3423 H3754 H5022 H3158

כִּי־אֵין נָבוֹת חָי כִּי מֵת׃ כִּי־לְךָ בְכֶסֶף תִּתֶּנָּה אִם־לֹא
なぜなら ナボトは ～ない なぜなら 死んだ なぜなら 生きて ナボトの 銀で あなたに 与えることを 拒んだ
H3985 H5414 H3701 H4191 H2416 H5022 H0369 H3588 H4191

イゼベルはナボテが石で撃ち殺されたのを聞くとすぐ、アハブに言った、「立って、あのエズレルびとナボテが、あなたに金で譲ることを拒んだぶどう畑を取りなさい。ナボテは生きていません。死んだのです」。

16 וַיְהִי כִּשְׁמֹעַ אַחְאָב כִּי־מֵת נָבוֹת וַיָּקָם אַחְאָב
そして–あった 聞いたとき アハブが ～と 死んだと ナボトが そして–起きた アハブが
H1961 H8085 H0256 H0559 H4191 H5022 H0256

סׄ לָרֶדֶת אֶל־כֶּרֶם נָבוֹת הַיִּזְרְעֵאלִי לָרִשְׁתּוֹ׃
― 下って行くために ～に ぶどう畑に ナボトの イズレエル人の それを–取るために
H3381 H0413 H3754 H5022 H3158 H3423

アハブはナボテの死んだのを聞くとすぐ、立って、エズレルびとナボテのぶどう畑を取るために、そこへ下っていった。

17 וַיְהִי דְבַר־יְהוָה אֶל־אֵלִיָּהוּ הַתִּשְׁבִּי לֵאמֹר׃
そして–あった ～の言葉が 主の ～に エリヤに ティシュベ人に 言って
H1961 H1697 H3068 H0413 H0452 H8664 H0559

そのとき、主の言葉がテシベびとエリヤに臨んだ、

18 קוּם רֵד וְלִקְרַאת אַחְאָב מֶלֶךְ־יִשְׂרָאֵל אֲשֶׁר בְּשֹׁמְרוֹן הִנֵּה
起きよ 下れ 迎えに アハブの ～の王の イスラエルの ～にいる サマリヤに 見よ
H6965 H3381 H7125 H0256 H4428 H3478 H0834 H8111 H2009

לָרֶשְׁתּוֹ׃ שָׁם יָרַד אֲשֶׁר־נָבוֹת בְּכֶרֶם
それを–取るために そこに 下った ～の ナボトの ぶどう畑に
H3423 H8033 H3381 H0834 H5022 H3754

「立って、下って行き、サマリヤにいるイスラエルの王アハブに会いなさい。彼はナボテのぶどう畑を取ろうとしてそこへ下っている。

19 וְדִבַּרְתָּ אֵלָיו לֵאמֹר כֹּה אָמַר יְהוָה הֲרָצַחְתָּ וְגַם־יָרָשְׁתָּ
そして–語れ 彼に 言って こう 言われる 主が あなたは–殺し そして–また 奪ったのか
H1696 H0413 H0559 H3541 H0559 H3068 H7523 H1571 H3423

וְדִבַּרְתָּ אֵלָיו לֵאמֹר כֹּה אָמַר יְהוָה בַּמָּקוֹם אֲשֶׁר לִקְקוּ הַכְּלָבִים אֶת־
そして–語れ 彼に 言って こう 言われる 主が その–場所で ～の なめた 犬が —
H1696 H0413 H0559 H3541 H0559 H3068 H4725 H0834 H3952 H3611 H0853

דָּמְךָ גַּם־אֶת דַּם נָבוֹת יְלַקְּקוּ הַכְּלָבִים אֶת־דָּמְךָ גַּם־אָתָּה׃
あなたの また あなたの–血をも — 犬が なめるであろう ナボトの ～の血を あなたの
H1818 H1571 H1818 H0853 H3611 H3952 H5022 H1818 H0859

あなたは彼に言わなければならない、『主はこう仰せられる、あなたは殺したのか、また取ったのか』と。また彼に言いなさい、『主はこう仰せられる、犬がナボテの血をなめた場所で、犬があなたの血をなめるであろう』」。

20 וַיֹּאמֶר אַחְאָב אֶל־אֵלִיָּהוּ הַמְצָאַתְנִי אֹיְבִי וַיֹּאמֶר מָצָאתִי
そして–言った アハブが ～に エリヤに 見つけたのか–私を わが–敵よ そして–言った 見つけた
H0559 H0256 H0413 H0452 H4672 H0341 H0559 H4672

כִּי הִתְמַכֶּרְךָ לַעֲשׂוֹת הָרַע בְּעֵינֵי יְהוָה׃
なぜなら あなたが–身を売って 行うために 悪を ～の目に 主の
H3282 H4376 H6213 H0589 H3068

アハブはエリヤに言った、「わが敵よ、ついに、わたしを見つけたのか」。彼は言った、「見つけました。あなたが主の目の前に悪を行うことに身をゆだねたゆえ、

21 הִנְנִי מֵבִיא [מבין] אֵלֶיךָ (מֵבִיא) רָעָה וּבִעַרְתִּי אַחֲרֶיךָ
見よ–わたしは — もたらす あなたに わざわいを そして–除き去る あなたの–後の
H2009 H0935 H0935 H0413 H7451 H0310 H0589

וְהִכְרַתִּי לְאַחְאָב מַשְׁתִּין בְּקִיר וְעָצוּר וְעָזוּב בְּיִשְׂרָאֵל׃
そして–断つ アハブの 小便する者を 壁に そして–捕らわれた者も 残された者も イスラエルから
H3772 H0256 H8366 H7023 H6113 H5800 H3478

わたしはあなたに災を下し、あなたを全く滅ぼし、アハブに属する男は、イスラエルにいてつながれた者も、自由な者もことごとく断ち、

22 וְנָתַתִּי אֶת־בֵּיתְךָ כְּבֵית יָרָבְעָם בֶּן־נְבָט וּכְבֵית בַּעְשָׁא בֶּן־אֲחִיָּה
そして–する — あなたの–家を ～の家のように ヤロブアムの ～の息子の ネバトの そして–～の家のように バシャの ～の息子の アヒヤの ～の
H5414 H0853 H1004 H3644 H3379 H1121 H5028 H1004 H1201 H1121 H0281 H0413

אֲשֶׁר הַכַּעַס אֹתִי וַתַּחֲטֵא אֶת־יִשְׂרָאֵל׃
～の 怒りに対して そして–罪を犯させた — イスラエルに
H0834 H3708 H2398 H0853 H3478

הִכְעַסְתָּ
あなたが–怒らせた
H3707

またあなたの家をネバテの子ヤラベアムの家のようにし、アヒヤの子バアシャの家のようにするでしょう。これはあなたがわたしを怒らせた怒りのゆえ、またイスラエルに罪を犯させたゆえです。

אִיזֶבֶל	אֶת־	יֹאכְלוּ	הַכְּלָבִים	לֵאמֹר	יְהוָה	דִּבֶּר	לְאִיזֶבֶל	וְגַם־	23
イゼベルを	—	食い尽くす	犬が	言って	主が	語られた	イゼベルについて	そして-また	
H0348	H0853	H0398	H3611	H0559	H3068	H1696	H0348	H1571	

יִזְרְעֶאל׃	בְּחֵל
イズレエルの	～の城壁のそばで
H3157	H2426

イゼベルについて、主はまた言われました、『犬がエズレルの地域でイゼベルを食うであろう』と。

יֹאכְלוּ	בַּשָּׂדֶה	וְהַמֵּת	הַכְּלָבִים	יֹאכְלוּ	בָּעִיר	לְאַחְאָב	הַמֵּת	24
食い尽くす	野で	そして-死んだ者を	犬が	食い尽くす	町で	アハブの	死んだ者を	
H0398		H4191	H3611	H0398		H0256	H4191	

הַשָּׁמָיִם׃	עוֹף
天の	空の-鳥が
H8064	H5775

アハブに属する者は、町で死ぬ者を犬が食い、野で死ぬ者を空の鳥が食うでしょう」。

בְּעֵינָי	הָרַע	לַעֲשׂוֹת	הִתְמַכֵּר	אֲשֶׁר	כְּאַחְאָב	הָיָה	לֹא־	רַק	25
～の目に	悪を	行うために	身を売った	～の	アハブのような者は	いなかった	～ない	確かに	
			H4376		H0256	H1961	H3808	H7535	

אִשְׁתּוֹ׃	אִיזֶבֶל	אֹתוֹ	הֵסִתָּה	אֲשֶׁר־	יְהוָה
彼の-妻が	イゼベルが	彼を	そそのかした	～の	主の
H0802	H0348	H0853	H5496		H3068

アハブのように主の目の前に悪を行うことに身をゆだねた者はなかった。その妻イゼベルが彼をそそのかしたのである。

עָשָׂה	אֲשֶׁר	כְּכֹל	הַגִּלֻּלִים	אַחֲרֵי	לָלֶכֶת	מְאֹד	וַיַּתְעֵב	26
行った	～の	すべての-ように	偶像の	～の後を	歩んで	非常に	そして-忌むべきことをした	
		H3605	H1544		H3212	H3966	H8581	

ס	יִשְׂרָאֵל׃	בְּנֵי	מִפְּנֵי	יְהוָה	הוֹרִישׁ	אֲשֶׁר	הָאֱמֹרִי	
—	イスラエルの	～の子らの	～の前から	主が	追い出した	～の	アモリ人が	
	H3478		H6440	H3068	H3423		H0567	

彼は主がイスラエルの人々の前から追い払われたアモリびとがしたように偶像に従って、はなはだ憎むべき事を行った。

וַיִּקְרַע	הָאֵלֶּה	הַדְּבָרִים	אֶת־	אַחְאָב	כִּשְׁמֹעַ	וַיְהִי		27
そして-引き裂いた	これらの	これらの-言葉を	—	アハブが	聞いたとき	そして-あった		
H7167	H0428	H1697	H0853	H0256	H8085	H1961		

וַיִּשְׁכַּב	וַיָּצוֹם	בְּשָׂרוֹ	עַל־	שָׂק	וַיָּשֶׂם־	בְּגָדָיו
そして-横たわった	そして-断食した	彼の-肉の上に	～の上に	粗布を	そして-身にまとった	彼の-衣を
H7901	H6684	H1320		H8242		

ס	אָט׃	וַיְהַלֹּךְ	בַּשָּׂק	
—	静かに	そして-歩いた	粗布を着て	
		H1980	H8242	

アハブはこれらの言葉を聞いた時、衣を裂き、荒布を身にまとい、食を断ち、荒布に伏し、打ちしおれて歩いた。

לֵאמֹר׃	הַתִּשְׁבִּי	אֵלִיָּהוּ	אֶל־	יְהוָה	דְּבַר־	וַיְהִי	28
言って	ティシュベ人に	エリヤに	～に	主の	～の言葉が	そして-あった	
H0559	H8664	H0452	H0413	H3068	H1697	H1961	

この時、主の言葉がテシベびとエリヤに臨んだ、

נִכְנַע כִּי־ יַעַן מִלְּפָנָי אַחְאָב נִכְנַע כִּי־ רָאִיתָ 29
へりくだったので ～と ～のゆえに わたしの-前に アハブが へりくだった ～と 見たか
H3665 H3282 H6440 H0256 H3665 H7200

בְּנוֹ בִּימֵי בְּיָמָיו הָרָעָה)אָבִיא([אבין] לֹא־ מִפָּנָי
彼の-息子の ～の日に 彼の-日には わざわいを もたらさない — ～ない わたしの-前に
H3117 H3117 H0935 H0935 H3808 H6440

בֵּיתוֹ׃ עַל־ הָרָעָה אָבִיא
彼の-家に ～の上に わざわいを もたらす
H0935

「アハブがわたしの前にへりくだっているのを見たか。彼がわたしの前にへりくだっているゆえ、わたしは彼の世には災を下さない。その子の世に災をその家に下すであろう」。

Chapter 22

וּבֵין אֲרָם בֵּין מִלְחָמָה אֵין שָׁנִים שָׁלֹשׁ וַיֵּשְׁבוּ 1
そして-～の間に アラムと ～の間に 戦いが なかった 年 三 そして-座った
H0996 H0758 H0996 H4421 H0369 H8141 H7969 H3427

פ יִשְׂרָאֵל׃
— イスラエルの
H3478

スリヤとイスラエルの間に戦争がなくて三年を経た。

אֶל־ יְהוּדָה מֶלֶךְ־ יְהוֹשָׁפָט וַיֵּרֶד הַשְּׁלִישִׁית בַּשָּׁנָה וַיְהִי 2
～に ユダの ～の王が ヨシャファトが そして-下ってきた 第三の ～の年に そして-あった
H0413 H3063 H4428 H3092 H3381 H7992 H8141 H1961

יִשְׂרָאֵל׃ מֶלֶךְ
イスラエルの 王のもとに
H3478 H4428

しかし三年目にユダの王ヨシャパテがイスラエルの王の所へ下っていったので、

כִּי־ הַיְדַעְתֶּם עֲבָדָיו אֶל־ יִשְׂרָאֵל מֶלֶךְ־ וַיֹּאמֶר 3
～と 知っているか 彼の-家来たちに ～に イスラエルの ～の王が そして-言った
H3045 H5650 H0413 H3478 H4428 H0559

אֹתָהּ מִקַּחַת מַחְשִׁים וַאֲנַחְנוּ גִּלְעָד רָמֹת לָנוּ
それを 取ることをせず 黙っている そして-我々は ギレアデの ラモトが 我々のものである
H0853 H3947 H2814 H0587 H1568 H7433

אֲרָם׃ מִיַּד מֶלֶךְ
アラムの 王の ～の手から
H0758 H4428 H3027

イスラエルの王はその家来たちに言った、「あなたがたは、ラモテ・ギレアデがわれわれの所有であることを知っていますか。しかもなおわれわれはスリヤの王の手からそれを取らずに黙っているのです」。

4 וַיֹּאמֶר אֶל־יְהוֹשָׁפָט הֲתֵלֵךְ אִתִּי לַמִּלְחָמָה רָמֹת גִּלְעָד
そして-言った ～に ヨシャファトに 行くか 私と-共に 戦いに ラモトの ギレアデの
H0559 H0413 H3092 H3212 H0854 H4421 H7433 H1568

וַיֹּאמֶר יְהוֹשָׁפָט כָּמוֹנִי כָּמוֹךָ כְּעַמִּי כְּעַמֶּךָ כְּסוּסַי כְּסוּסֶיךָ׃
そして-言った ヨシャファトが 私は-あなたのように 民のように あなたの-民のように 馬のように あなたの-馬のように
H0559 H3092 H3644 H3644 H5971 H5971 H5483 H5483

イスラエルの王に言った、「ラモテ・ギレアデで戦うためにわたしと一緒に行かれませんか」。ヨシャパテはイスラエルの王に言った、「わたしはあなたと一つです。わたしの民はあなたの民と一つです。わたしの馬はあなたの馬と一つです」。

5 וַיֹּאמֶר יְהוֹשָׁפָט אֶל־מֶלֶךְ יִשְׂרָאֵל דְּרָשׁ־נָא כַיּוֹם אֶת־
そして-言った ヨシャファトが ～に 王に イスラエルの 求めてくれ どうか 今日 ―
H0559 H3092 H0413 H4428 H3478 H1875 H4994 H3117 H0853

דְּבַר־יְהוָה׃
～の言葉を 主の
H1697 H3068

ヨシャパテはまたイスラエルの王に言った、「まず、主の言葉を伺いなさい」。

6 וַיִּקְבֹּץ מֶלֶךְ־יִשְׂרָאֵל אֶת־הַנְּבִיאִים כְּאַרְבַּע מֵאוֹת אִישׁ וַיֹּאמֶר
そして-集めた ～の王が イスラエルの ― 預言者たちを 約-四 百 人 そして-言った
H6908 H4428 H3478 H0853 H5030 H0702 H3967 H0376 H0559

אֶחְדַּל אִם־ נֵלֵךְ לַמִּלְחָמָה רָמֹת גִּלְעָד אִם־ חֲדַל לַעֲלוֹת וְיִתֵּן אֲדֹנָי בְּיַד הַמָּלֶךְ׃
やめるべきか それとも 戦いに ギレアデの ラモトに ～に向かって 行くべきか 彼らに 上れ そして-与える 主が ～の手に 王の
H2308 H0518 H4421 H1568 H7433 H5921 H3212 H0413 H5927 H5414 H0136 H3027 H4428

そこでイスラエルの王は預言者四百人ばかりを集めて、彼らに言った、「わたしはラモテ・ギレアデに戦いに行くべきでしょうか、あるいは控えるべきでしょうか」。彼らは言った、「上っていきなさい。主はそれを王の手にわたされるでしょう」。

7 וַיֹּאמֶר יְהוֹשָׁפָט הַאֵין פֹּה עוֹד נָבִיא לַיהוָה וְנִדְרְשָׁה
そして-言った ヨシャファトが いないのか ここに 預言者が 主の まだ そして-求めよう
H0559 H3092 H0369 H6311 H5030 H3068 H5750 H1875

מֵאוֹתוֹ׃
彼から
H0853

ヨシャパテは言った、「ここには、われわれの問うべき主の預言者がほかにいませんか」。

8 וַיֹּאמֶר אֶל־יְהוֹשָׁפָט עוֹד אִישׁ־אֶחָד לִדְרֹשׁ אֶת־יְהוָה מֵאֹתוֹ וַאֲנִי שְׂנֵאתִיו כִּי לֹא־יִתְנַבֵּא עָלַי טוֹב כִּי אִם־רָע מִיכָיְהוּ בֶּן־יִמְלָה וַיֹּאמֶר יְהוֹשָׁפָט אַל־יֹאמַר כֵּן׃

そして-言った ヨシャファトが ～ないでほしい 言わ 王が そのように
H0559 H3092 H0408 H0559 H4428

そして-言った イムラの ～の息子の ミカヤが 悪いことを ～だけ ただ 良いことを 私について
H0559 H3229 H4321

預言しない ～ない なぜなら 彼を-憎んでいる しかし-私は 彼から 主を ― 求めるために
H5012 H3808 H8130 H0589 H0853 H3068 H0853 H1875

一人 一人の-人が まだ ヨシャファトに ～に イスラエルの ～の王が そして-言った
H0259 H0376 H5750 H3092 H0413 H3478 H4428 H0559

イスラエルの王はヨシャパテに言った、「われわれが主に問うことのできる人が、まだひとりいます。イムラの子ミカヤです。彼はわたしについて良い事を預言せず、ただ悪い事だけを預言するので、わたしは彼を憎んでいます」。ヨシャパテは言った、「王よ、そう言わないでください」。

9 וַיִּקְרָא מֶלֶךְ־יִשְׂרָאֵל אֶל־סָרִיס אֶחָד וַיֹּאמֶר מַהֲרָה מִיכָיְהוּ בֶּן־יִמְלָה׃

そして-呼んだ 王が イスラエルの ～に 宮官を 一人の 急いで ミカヤを
H7121 H4428 H3478 H0413 H5631 H0259 H4321

そして-言った
H0559

～の息子の イムラの
H3229

そこでイスラエルの王は役人を呼んで、「急いでイムラの子ミカヤを連れてきなさい」と言った。

10 וּמֶלֶךְ־יִשְׂרָאֵל וִיהוֹשָׁפָט מֶלֶךְ־יְהוּדָה יֹשְׁבִים אִישׁ עַל־כִּסְאוֹ בְּגָרֶן בִּפְתַח שַׁעַר שֹׁמְרוֹן וְכָל־הַנְּבִיאִים מִתְנַבְּאִים לִפְנֵיהֶם׃

そして-王が イスラエルの ～の王が そして-ヨシャファトが ～の上に 各々 座っていた ユダの
H4428 H3478 H4428 H3092 H0376 H3427 H3063

彼の-王座に 衣を-まとって 衣を 脱穀場で 入口の 門の サマリヤの そして-すべての 預言者たちが 預言していた 彼らの-前で
H3678 H3847 H0899 H1637 H6607 H8179 H8111 H3605 H5030 H5012 H6440

さてイスラエルの王およびユダの王ヨシャパテは王の服を着て、サマリヤの門の入口の広場に、おのおのその王座にすわり、預言者たちは皆その前で預言していた。

11 וַיַּעַשׂ לוֹ צִדְקִיָּה בֶּן־כְּנַעֲנָה קַרְנֵי בַרְזֶל וַיֹּאמֶר כֹּה־אָמַר יְהוָה בְּאֵלֶּה תְּנַגַּח אֶת־אֲרָם עַד־כַּלֹּתָם׃

そして-作った ゼデキヤが ～の息子の ケナアナの ～の角を 鉄の
H6213 H6667 H1121 H3668 H7161 H1270

そして-言った 主が 言われる こう ― アラムを ～まで 滅ぼすまで
H0559 H3068 H0559 H3541 H0853 H0758 H5704 H3615

ケナアナの子ゼデキヤは鉄の角を造って言った、「主はこう仰せられます、『あなたはこれらの角をもってスリヤびとを突いて彼らを滅ぼしなさい』」。

12 וְכָל־ הַנְּבִאִים נִבְּאִים כֵּן לֵאמֹר עֲלֵה רָמֹת גִּלְעָד
そして–すべての 預言者たちが 預言していた そのように 言って 上れ ラモトに ギレアデの
H3605 H5030 H5012 H3559 H5927 H7433 H1568

וְהַצְלֵח וְנָתַן יְהוָה בְּיַד הַמָּלֶךְ׃
そして–勝て そして–与える 主が ～の手に 王の
H5414 H3068 H3027 H4428

預言者たちは皆そのように預言して言った、「ラモテ・ギレアデに上っていって勝利を得なさい。主はそれを王の手にわたされるでしょう」。

13 וְהַמַּלְאָךְ אֲשֶׁר־ הָלַךְ לִקְרֹא מִיכָיְהוּ דִּבֶּר אֵלָיו לֵאמֹר הִנֵּה־ נָא
そして–使者が ～の 行った 呼びに ミカヤを 語った 彼に 言って 見よ どうか
H4397 H1980 H7121 H4321 H1696 H0413 H0559 H2009 H4994

דִּבְרֵי הַנְּבִיאִים פֶּה־ אֶחָד טוֹב אֶל־ הַמֶּלֶךְ יְהִי־ נָא
～の言葉が 預言者たちの 口–一つに 一つに 良いことを ～に 王に なれ–どうか どうか
H1697 H5030 H6310 H0259 H0413 H4428 H1961 H4994

דְּבָרֶיךָ כִּדְבַר אַחַד מֵהֶם וְדִבַּרְתָּ טּוֹב׃]דברירך[ )דְּבָרְךָ(
―― あなたの–言葉が ～の言葉のように 一人の 彼らの そして–語れ 良いことを
H1697 H1697 H0259 H1992 H1696

14 וַיֹּאמֶר מִיכָיְהוּ חַי־ יְהוָה כִּי אֶת־ אֲשֶׁר יֹאמַר יְהוָה אֹתוֹ אֲדַבֵּר׃
そして–言った ミカヤが 生きて–おられる 主が ただ ― ～のことを 言われる 主が それを 語る
H0559 H4321 H2416 H3068 H0853 H0834 H0559 H3068 H0853 H1696

אֵלָי׃
私に
H0413

ミカヤは言った、「主は生きておられます。主がわたしに言われる事を申しましょう」。

15 וַיָּבוֹא אֶל־ הַמֶּלֶךְ וַיֹּאמֶר אֵלָיו הַמֶּלֶךְ מִיכָיְהוּ הֲנֵלֵךְ אֶל־ רָמֹת גִּלְעָד
そして–来た ～に 王のもとに そして–言った 王が 彼に ミカヤよ 行くべきか ～に ギレアデの ラモトに
H0935 H0413 H4428 H0559 H4428 H0413 H4321 H3212 H0413 H1568 H7433

וְהַצְלֵח וְעֲלֵה וַיֹּאמֶר אֵלָיו אִם־ נֶחְדָּל לַמִּלְחָמָה מִקַּחַת יְהוָה בְּיַד הַמָּלֶךְ׃
そして–勝て 上れ そして–言った 彼に それとも やめるべきか 戦いに ギレアデの ラモトに 主が ～の手に 王の
H5414 H5927 H0559 H0413 H0518 H2308 H4421 H1568 H7433 H3068 H3027 H4428

彼が王の所へ行くと、王は彼に言った、「ミカヤよ、われわれはラモテ・ギレアデに戦いに行くべきでしょうか、あるいは控えるべきでしょうか」。彼は王に言った、「上っていって勝利を得なさい。主はそれを王の手にわたされるでしょう」。

16 וַיֹּאמֶר אֵלָיו הַמֶּלֶךְ עַד־ כַּמָּה פְּעָמִים אֲנִי מַשְׁבִּיעֶךָּ אֲשֶׁר
そして–言った 彼に 王が ～まで 何度 回 私は 誓わせるのか–あなたに ～のことを
H0559 H0413 H4428 H5704 H4100 H6471 H0589 H7650 H0834

לֹא־ תְדַבֶּר אֵלַי רַק־ אֱמֶת בְּשֵׁם יְהוָה׃
～ないで 語るなと 私に ただ 真実を ～の名において 主の
H3808 H1696 H0413 H7535 H0571 H8034 H3068

しかし王は彼に言った、「幾たびあなたを誓わせたら、あなたは主の名をもって、ただ真実のみをわたしに告げるでしょうか」。

17 וַיֹּאמֶר רָאִיתִי אֶת־כָּל־יִשְׂרָאֵל נְפֹצִים עַל־הֶהָרִים
そして-言った 見た ― すべての イスラエルが 散らされているのを 〜の上に 山々の
H0559 H7200 H0853 H3605 H3478 H0413 H2022

כַּצֹּאן אֲשֶׁר־אֵין לָהֶם רֹעֶה וַיֹּאמֶר יְהוָה לֹא־אֲדֹנִים לָאֵלֶּה
羊のように 〜の いない 彼らに 羊飼いが そして-言われた 主が いない 主人が これらには
H6629 H0834 H0369 H1992 H7462 H0559 H3068 H0408 H0428

יָשׁוּבוּ אִישׁ־לְבֵיתוֹ בְּשָׁלוֹם׃
帰れ 各々が 自分の-家に 平安に
H7725 H0376 H1004 H7965

彼は言った、「わたしはイスラエルが皆、牧者のない羊のように、山に散っているのを見ました。すると主は『これらの者は飼主がいない。彼らをそれぞれ安らかに、その家に帰らせよ』と言われました」。

18 וַיֹּאמֶר אֶל־יְהוֹשָׁפָט הֲלוֹא אָמַרְתִּי אֵלֶיךָ
そして-言った 〜に ヨシャファトに ではないか 言った あなたに
H0559 H0413 H3092 H3808 H0559 H0413

מֶלֶךְ־יִשְׂרָאֵל לֹא־טוֹב כִּי אִם־רָע׃
〜の王が イスラエルの 〜に 良いことを ただ 〜だけ 悪いことを
H4428 H3478 H0413 H2896 H3588 H0518 H7451

לוֹא־יִתְנַבֵּא עָלַי
〜ない 預言しないと 私について
H3808 H5012

イスラエルの王はヨシャパテに言った、「彼がわたしについて良い事を預言せず、ただ悪い事だけを預言すると、あなたに告げたではありませんか」。

19 וַיֹּאמֶר לָכֵן שִׁמְעָה דְּבַר־יְהוָה רָאִיתִי יְהוָה יֹשֵׁב
そして-言った それゆえ 聞け 〜の言葉を 主の 見た 主が 座っておられるのを
H0559 H3651 H8085 H1697 H3068 H7200 H0853 H3068 H3427

וְכָל־צְבָא הַשָּׁמַיִם עֹמֵד עָלָיו מִימִינוֹ
そして-すべての 軍勢が 天の 立っている 彼の-そばに 右に
H3605 H6635 H8064 H5975 H5921 H3225

וּמִשְּׂמֹאלוֹ׃
そして-左に
H8040

ミカヤは言った、「それゆえ主の言葉を聞きなさい。わたしは主がその玉座にすわり、天の万軍がそのかたわらに、右左に立っているのを見たが、

20 וַיֹּאמֶר יְהוָה מִי יְפַתֶּה אֶת־אַחְאָב וְיַעַל וְיִפֹּל
そして-言われた 主が 誰が 誘うか ― アハブを そして-上って そして-倒れるように
H0559 H3068 H4310 H6601 H0853 H0256 H5927 H5307

בְּרָמֹת גִּלְעָד וַיֹּאמֶר זֶה אֹמֵר כָּזֶה וְזֶה אֹמֵר כָּזֶה׃
ラモトで ギレアデの そして-言った この者は このようにと 言う そして-あの者は このようにと
H7433 H1568 H0559 H2088 H3602 H0559 H2088 H3602

主は『だれがアハブをいざなってラモテ・ギレアデに上らせ、彼を倒れさせるであろうか』と言われました。するとひとりはこの事を言い、ひとりはほかの事を言いました。

21 וַיֵּצֵא הָרוּחַ וַיַּעֲמֹד לִפְנֵי יְהוָה וַיֹּאמֶר אֲנִי
そして-出てきた 霊が そして-立った 〜の前に 主の そして-言った 私が
H3318 H7307 H5975 H6440 H3068 H0559 H0589

אֲפַתֶּנּוּ׃ וַיֹּאמֶר אֵלָיו יְהוָה בַּמָּה׃
誘いましょう そして-言われた 彼に 主が 何で
H6601 H0559 H0413 H3068 H0834

וַיֹּאמֶר אֵצֵא וְהָיִיתִי רוּחַ שֶׁקֶר בְּפִי כָּל־נְבִיאָיו
そして-言った 出ます そして-なります 霊と 偽りの 〜の口に すべての 預言者たちの
H0559 H3318 H1961 H7307 H8267 H6310 H3605 H5030

その時一つの霊が進み出て、主の前に立ち、『わたしが彼をいざないましょう』と言いました。

כָּל־	בְּפִי	שֶׁקֶר	רוּחַ	וְהָיִיתִי	אֵצֵא	וַיֹּאמֶר	22
すべての	～の口に	偽りの	偽りの-霊と	そして-なります	出て行きます	そして-言った	
H3605	H6310	H8267	H7307	H1961	H3318	H0559	

צֵא	תוּכָל	וְגַם־	תְּפַתֶּה	וַיֹּאמֶר	נְבִיאָיו
出て行け	成功する	そして-また	あなたは-誘うであろう	そして-言われた	彼の-預言者たちの
H3318	H3201	H1571		H0559	H5030

כֵּן׃	וַעֲשֵׂה־
そのとおりに	そして-そのようにせよ

主は『どのような方法でするのか』と言われたので、彼は『わたしが出て行って、偽りを言う霊となって、すべての預言者の口に宿りましょう』と言いました。そこで主は『おまえは彼をいざなって、それを成し遂げるであろう。出て行って、そうしなさい』と言われました。

נְבִיאֶיךָ	כָּל־	בְּפִי	שֶׁקֶר	רוּחַ	יְהוָה	נָתַן	הִנֵּה	וְעַתָּה	23
あなたの-預言者たちの	すべての	～の口に	偽りの	偽りの-霊を	主が	与えた	見よ	そして-今	
H5030	H3605	H6310	H8267	H7307	H3068	H5414	H2009	H6258	

רָעָה׃	עָלֶיךָ	דִּבֶּר	וַיהוָה	אֵלֶּה
わざわいを	あなたについて	語られた	そして-主が	これらの
		H1696	H3068	H0428

それで主は偽りを言う霊をあなたのすべての預言者の口に入れ、また主はあなたの身に起る災を告げられたのです」。

עַל־	מִיכָיְהוּ	אֶת־	וַיַּכֶּה	כְּנַעֲנָה	בֶּן־	צִדְקִיָּהוּ	וַיִּגַּשׁ		24
～の上を	ミカヤを	—	そして-打った	ケナアナの	～の息子の	ツィデキヤが	そして-近づいた		
H4321	H0853	H5221	H3668		H6667	H5066			

אוֹתָךְ׃	לְדַבֵּר	מֵאִתִּי	יְהוָה	רוּחַ־	עָבַר	זֶה	אֵי־	וַיֹּאמֶר	הַלְחִי
あなたに	語るために	私から	主の	～の霊が	去ったのか	これは	どこに	そして-言った	頬の
H0853	H1696	H0854	H3068	H7307		H2088	H0335	H0559	H3895

するとケナアナの子ゼデキヤは近寄って、ミカヤのほおを打って言った、「どのようにして主の霊がわたしを離れて、あなたに語りましたか」。

חֶדֶר	תָּבֹא	אֲשֶׁר	הַהוּא	בַּיּוֹם	רְאֵה	הִנְּךָ	מִיכָיְהוּ	וַיֹּאמֶר	25
部屋に	入るとき	～の	その	その-日に	見る	見よ-あなたは	ミカヤが	そして-言った	
H2315	H0935		H1931	H3117	H7200	H2009	H4321	H0559	

לְהֵחָבֵה׃	בְּחֶדֶר
隠れるために	奥の-部屋に
H2247	H2315

ミカヤは言った、「あなたが奥の間にはいって身を隠すその日に、わかるでしょう」。

אָמֹן	אֶל־	וַהֲשִׁיבֵהוּ	מִיכָיְהוּ	אֶת־	קַח	יִשְׂרָאֵל	מֶלֶךְ	וַיֹּאמֶר	26
アモンに	～に	そして-連れ戻せ	ミカヤを	—	取れ	イスラエルの	王が	そして-言った	
H0526	H0413	H7725	H4321	H0853	H3947	H3478	H4428	H0559	

הַמֶּלֶךְ׃	בֶּן־	יוֹאָשׁ	וְאֶל־	הָעִיר	שַׂר־
王の	～の息子の	ヨアシュに	そして-～に	町の	～の長に
H4428		H3101	H0413		H8269

イスラエルの王は言った、「ミカヤを捕え、町のつかさアモンと、王の子ヨアシの所へ引いて帰って、

27 וְאָמַרְתָּ כֹּה אָמַר הַמֶּלֶךְ שִׂימוּ זֶה אֶל־בֵּית הַכֶּלְא
そして-言え こう 言われる 王が 入れよ ―― この者を ～の家に 獄の
H0559 H3541 H0559 H4428 H7760 H0853 H2088 H1004 H3608

וְהַאֲכִילֻהוּ לֶחֶם לַחַץ וּמַיִם לַחַץ עַד בֹּאִי בְשָׁלוֹם׃
そして-食べさせよ パンを 乏しい そして-水を 乏しい ～まで 私が-帰る 平安に
H0398 H3899 H3906 H4325 H3906 H5704 H0935 H7965

言いなさい、『王がこう言います、この者を獄屋に入れ、わずかのパンと水をもって彼を養い、わたしが勝利を得て帰ってくるのを待て』」。

28 וַיֹּאמֶר מִיכָיְהוּ אִם־שׁוֹב תָּשׁוּב בְּשָׁלוֹם לֹא־דִבֶּר יְהוָה
そして-言った ミカヤが もし 必ず 帰ってくるなら 平安に ～なかった 語らなかった 主は
H0559 H4321 H0518 H7725 H7725 H7965 H3808 H1696 H3068

בִּי וַיֹּאמֶר שִׁמְעוּ עַמִּים כֻּלָּם׃
私を通して そして-言った 聞け すべての すべての-民よ
H0559 H8085 H3605

ミカヤは言った、「もしあなたが勝利を得て帰ってこられるならば、主がわたしによって語られなかったのです」。また彼は言った、「あなたがた、すべての民よ、聞きなさい」。

29 וַיַּעַל מֶלֶךְ־יִשְׂרָאֵל וִיהוֹשָׁפָט מֶלֶךְ־יְהוּדָה רָמֹת
そして-上った ～の王が イスラエルの ～の王が そして-ヨシャファトが ～の王が ユダの ラモトに
H5927 H4428 H3478 H4428 H3092 H4428 H3063 H7433

גִּלְעָד׃
ギレアデの
H1568

こうしてイスラエルの王とユダの王ヨシャパテはラモテ・ギレアデに上っていった。

30 וַיֹּאמֶר אֶל־יְהוֹשָׁפָט הִתְחַפֵּשׂ וּבָא בַּמִּלְחָמָה
そして-言った ～に ヨシャファトに 変装して そして-入る 戦いに
H0559 H0413 H3092 H2664 H0935 H4421

וְאַתָּה לְבַשׁ בִּגְדֶיךָ וַיִּתְחַפֵּשׂ וַיָּבֹא מֶלֶךְ יִשְׂרָאֵל
しかし-あなたは 着よ あなたの-衣を そして-変装した そして-入った 王が イスラエルの
H0859 H3847 H0899 H2664 H0935 H4428 H3478

בַּמִּלְחָמָה׃
戦いに
H4421

イスラエルの王はヨシャパテに言った、「わたしは姿を変えて、戦いに行きます。あなたは王の服を着けなさい」。イスラエルの王は姿を変えて戦いに行った。

31 וּמֶלֶךְ אֲרָם צִוָּה לוֹ אֶת־שָׂרֵי הָרֶכֶב אֲשֶׁר־לוֹ שְׁלֹשִׁים וּשְׁנַיִם
そして-王が アラムの 命じた ―― ～の長たちに 戦車の ～の 彼の 三十 二人の
H4428 H0758 H6680 H0853 H8269 H7393 H0834 H0518 H7970 H8147

לֵאמֹר לֹא תִלָּחֲמוּ אֶת־הַקָּטֹן וְאֶת־הַגָּדוֹל כִּי אִם־אֶת־מֶלֶךְ יִשְׂרָאֵל לְבַדּוֹ׃
～ない 戦うな ―― 小さい者とも そして 大きい者とも ただ ～だけ ―― 王と イスラエルの だけと
H3808 H3898 H0853 H6996 H0854 H1419 H3588 H0518 H0853 H4428 H3478 H0905

さて、スリヤの王は、その戦車長三十二人に命じて言った、「あなたがたは、小さい者とも大きい者とも戦わないで、ただイスラエルの王とだけ戦いなさい」。

32 וַיְהִי כִּרְאוֹת שָׂרֵי הָרֶכֶב אֶת־יְהוֹשָׁפָט וַיֹּאמְרוּ אַךְ הוּא
そして–あった 見たとき 長たちが 戦車の —を ヨシャファトを そして–彼らが 言った 確かに
H1961 H7200 H8269 H7393 H0853 H3092 H1992 H0559 H0389

מֶלֶךְ־יִשְׂרָאֵל הוּא וַיָּסֵרוּ עָלָיו לְהִלָּחֵם וַיִּזְעַק יְהוֹשָׁפָט׃
～の王だ イスラエルの これは そして–向かった 彼に–向かって 戦うために そして–叫んだ ヨシャファトが
H4428 H3478 H1931 H5493 H5493 H2199 H3092

戦車長らはヨシャパテを見たとき、これはきっとイスラエルの王だと思ったので、身をめぐらして、これと戦おうとすると、ヨシャパテは呼ばわった。

33 וַיְהִי כִּרְאוֹת שָׂרֵי הָרֶכֶב כִּי־לֹא מֶלֶךְ יִשְׂרָאֵל הוּא
そして–あった 見たとき 長たちが 戦車の ～と ではない 王では イスラエルの これは
H1961 H7200 H8269 H7393 H3808 H4428 H3478 H1931

וַיָּשֻׁבוּ מֵאַחֲרָיו׃
そして–引き返した 彼の–後から
H7725

戦車長らは彼がイスラエルの王でないのを見たので、彼を追うことをやめて引き返した。

34 וְאִישׁ מָשַׁךְ בַּקֶּשֶׁת לְתֻמּוֹ וַיַּכֵּהוּ אֶת־בֶּן יִשְׂרָאֵל
そして–人が 引いた 弓を 何気なく そして–撃った —を 王を ～の間の
H0376 H4900 H7198 H8537 H5221 H0853 H4428 H3478 H0996

בַּדְּבָקִים וּבֵין הַשִּׁרְיָן וַיֹּאמֶר לְרַכְבּוֹ הָפֶךְ יָדְךָ וְהוֹצִיאֵנִי
つなぎ目の そして–～の間の よろいの そして–言った 彼の–御者に 向きを–変えて あなたの–手を そして–出してくれ
H1694 H0996 H7543 H0559 H7395 H2015 H3027 H3318

מִן־הַמַּחֲנֶה כִּי הָחֳלֵיתִי׃
～から 陣営から なぜなら 傷を–受けた
H4264

しかし、ひとりの人が何心なく弓をひいて、イスラエルの王の胸当と草摺の間を射たので、彼はその戦車の御者に言った、「わたしは傷を受けた。戦車をめぐらして、わたしを戦場から運び出せ」。

35 וְהַמִּלְחָמָה עָלְתָה בַּיּוֹם הַהוּא וְהַמֶּלֶךְ הָיָה מָעֳמָד בַּמֶּרְכָּבָה
そして–激しくなった 戦いが その–日に その 王は そして–いた 支えられて 戦車の中で
H5927 H4421 H3117 H1931 H4428 H1961 H5975 H4818

נֶכַח אֲרָם וַיָּמָת בָּעֶרֶב וַיִּצַּק דַּם־הַמַּכָּה אֶל־חֵיק הַמֶּרְכָּבָה׃
向かい合って アラムに そして–死んだ 夕方に そして–流れた ～の血が 傷の ～の中に 底に 戦車の
H5227 H0758 H4191 H6153 H3332 H1818 H4347 H0413 H2436 H7393

その日戦いは激しくなった。王は戦車の中にささえられて立ち、スリヤびとにむかっていたが、ついに、夕暮になって死んだ。傷の血は戦車の底に流れた。

36 וַיַּעֲבֹר֙ הָרִנָּ֣ה בְּמַחֲנֵ֔ה כְּבֹ֖א הַשֶּׁ֑מֶשׁ לֵאמֹ֞ר אִ֣ישׁ אֶל־עִירֹ֗ו

そして-通った 叫び声が 陣営に 沈むとき 太陽が 言って 各々が ～に 自分の-町に
H5674 H7440 H4264 H0935 H8121 H0559 H0376 H0413 H5892

וְאִ֣ישׁ אֶל־אַרְצֹ֔ו׃

そして-各々が ～に 自分の-地に
H0376 H0413 H0776

日の没するころ、軍勢の中に呼ばわる声がした、「めいめいその町へ、めいめいその国へ帰れ」。

37 וַיָּ֤מָת הַמֶּ֙לֶךְ֙ וַיּוּבָ֣א שֹׁמְרֹ֔ון וַיִּקָּבְר֖וּ בְּשֹׁמְרֹֽון׃

そして-死んだ 王が そして-運ばれた サマリヤに そして-葉った 一 王を サマリヤに
H4191 H4428 H0935 H8111 H6912 H0853 H4428 H8111

王は死んで、サマリヤへ携え行かれた。人々は王をサマリヤに葬った。

38 וַיִּשְׁטֹ֤ף אֶת־הָרֶ֙כֶב֙ וְעַל֙ בְּרֵכַ֣ת שֹׁמְרֹ֔ון וַיְלַקְּק֖וּ הַכְּלָבִ֑ים אֶת־דָּמֹ֣ו

そして-洗った 一 戦車を ～のほとりで 池の サマリヤの そして-なめた 犬が 彼の-血を
H7857 H0853 H7393 H5921 H1295 H8111 H3952 H3611 H1818

וְהַזֹּנֹ֣ות רָחֲצ֔וּ כִּדְבַ֖ר יְהוָ֑ה אֲשֶׁ֥ר דִּבֶּֽר׃

そして-遊女たちが 身を-洗った ～の言葉のとおりに 主の ～の 語られた
H2185 H7364 H1697 H3068 H0834 H1696

またその戦車をサマリヤの池で洗ったが、犬がその血をなめた。また遊女がそこで身を洗った。主が言われた言葉のとおりである。

39 וְיֶתֶר֙ דִּבְרֵ֣י אַחְאָ֔ב וְכָל־אֲשֶׁ֥ר עָשָׂ֖ה וּבֵ֣ית

そして-残りの ～の出来事の アハブの そして-すべての 行った そして-象牙の-家の
H3499 H1697 H0256 H3605 H6213 H1004

הַשֵּׁ֑ן וְכָל־הֶֽעָרִ֣ים אֲשֶׁר־בָּנָ֔ה הֲלֹ֥וא הֵ֖ם כְּתוּבִ֛ים עַל־סֵ֥פֶר

象牙の ～の 建てた そして-すべての 町々の ～の 建てた ではないか それらは ～の上に 書の 書かれている
H8127 H0834 H1129 H3605 H5892 H1129 H3808 H1992 H5921 H5612 H3789

דִּבְרֵ֣י הַיָּמִ֔ים לְמַלְכֵ֖י יִשְׂרָאֵֽל׃

～の出来事の 日々の ～の王たちの イスラエルの
H1697 H3117 H4428 H3478

アハブのそのほかの事績と、彼がしたすべての事と、その建てた象牙の家と、その建てたすべての町は、イスラエルの王の歴代志の書にしるされているではないか。

40 וַיִּשְׁכַּ֤ב אַחְאָב֙ עִם־אֲבֹתָ֔יו וַיִּמְלֹ֥ךְ אֲחַזְיָ֖הוּ בְּנֹ֑ו פ׃

そして-横たわった アハブは ～と共に 彼の-先祖たちと そして-王となった アハズヤが 彼の-息子が 一
H7901 H0256 H5973 H0001 H4427 H0274 H1121 H6311

こうしてアハブはその先祖と共に眠って、その子アハジヤが代って王となった。

41 וִיהֹושָׁפָט֙ בֶּן־אָסָ֔א מָלַ֖ךְ עַל־יְהוּדָ֑ה בִּשְׁנַ֥ת אַרְבַּ֛ע לְאַחְאָ֥ב

そして-ヨシャファトが ～の息子の アサの 王となった ～の上に ユダの ～の年に 第四の アハブの
H3092 H1121 H0609 H4427 H5921 H3063 H8141 H0702 H0256

מֶֽלֶךְ־יִשְׂרָאֵֽל׃

王の イスラエルの
H4428 H3478

アサの子ヨシャパテはイスラエルの王アハブの第四年にユダの王となった。

42 יְהוֹשָׁפָט בֶּן־ שְׁלֹשִׁים וְחָמֵשׁ שָׁנָה בְּמָלְכוֹ וְעֶשְׂרִים וְחָמֵשׁ שָׁנָה
ヨシャファトは ～の息子の 三十 五 歳の 王となったとき 二十 五 年
H3092 H1121 H7970 H2568 H8141 H4427 H6242 H2568 H8141

מָלַךְ בִּירוּשָׁלִָם וְשֵׁם אִמּוֹ עֲזוּבָה בַת־ שִׁלְחִי׃
王として治めた エルサレムで そして-名は 彼の-母の アズバ ～の娘の シルヒの
H4427 H3389 H8034 H0517 H5806 H1323 H7977

ヨシャパテは王となった時、三十五歳であったが、エルサレムで二十五年世を治めた。その母の名はアズバといい、シルヒの娘であった。

43 וַיֵּלֶךְ בְּכָל־ דֶּרֶךְ אָסָא אָבִיו לֹא־ סָר
そして-歩んだ すべての-道を 道を アサの 彼の-父の それから-逆らなかった それなかった
H3212 H3605 H1870 H0609 H0001 H3808 H5493

לַעֲשׂוֹת הַיָּשָׁר בְּעֵינֵי יְהוָה׃ אַךְ הַבָּמוֹת לֹא־ מֵנָּנוּ
正しいことを 行うために 目に ～の 主の ただ 高き所は 取り-除かなかった それから
H3477 H6213 H5869 H3068 H0389 H1116 H3808 H4480

וְעוֹד הָעָם מְזַבְּחִים וּמְקַטְּרִים בַּבָּמוֹת׃
なお 民は いけにえを-ささげ そして-香をたいていた 高き所で
H5750 H2076 H6999 H1116

ヨシャパテは父アサのすべての道に歩み、それを離れることなく、主の目にかなう事をした。ただし高き所は除かなかったので、民はなお高き所で犠牲をささげ、香をたいた。

44 וַיַּשְׁלֵם יְהוֹשָׁפָט עִם־ מֶלֶךְ יִשְׂרָאֵל׃
そして-和を結んだ ヨシャファトは ～と 王と イスラエルの
H7999 H3092 H5973 H4428 H3478

ヨシャパテはまたイスラエルの王と、よしみを結んだ。

45 וְיֶתֶר דִּבְרֵי יְהוֹשָׁפָט וּגְבוּרָתוֹ אֲשֶׁר־ עָשָׂה וַאֲשֶׁר
そして-残りの ヨシャファトの ～の出来事の そして-彼の-武勇の ～の 行った そして-～の
H3498 H3092 H1697 H1369 H834 H6213 H834

נִלְחָם הֲלֹא־ הֵם כְּתוּבִים עַל־ סֵפֶר דִּבְרֵי הַיָּמִים לְמַלְכֵי
戦った ではないか それらは 書かれている ～の上に 書の ～の出来事の 日々の ～の王たちの
H3898 H3808 H1992 H3789 H5921 H5612 H1697 H3117 H4428

יְהוּדָה׃
ユダの
H3063

ヨシャパテのその他の事績と、彼があらわした勲功およびその戦争については、ユダの王の歴代志の書にしるされているではないか。

46 וְיֶתֶר קְדֵשׁ הַקָּדֵשׁ אֲשֶׁר נִשְׁאַר בִּימֵי אָסָא אָבִיו בִּעֵר מִן־
そして-残りの 神殿男娼の ～の 残っていた ～の日に アサの 彼の-父の 一掃した ～から
H3498 H6945 H834 H7604 H3117 H0609 H0001 H1197 H4480

הָאָרֶץ׃
地から
H0776

彼は父アサの世になお残っていた神殿男娼たちを国のうちから追い払った。

47 וּמֶלֶךְ אֵין בֶּאֱדוֹם נִצָּב מֶלֶךְ׃
そして-王が いなかった エドムには 立てられた 王は
H4428 H0369 H0123 H5324 H4428

そのころエドムには王がなく、代官が王であった。

לַזָּהָב	אוֹפִירָה	לָלֶכֶת	תַּרְשִׁישׁ	אֳנִיּוֹת	)עָשָׂה(	]עשר[	יְהוֹשָׁפָט	48
金のために	オフィルへ	行くために	タルシシの	船を	造った	—	ヨシャファトは	
H2091	H0211	H3212	H8659	H0591	H6213	H6240	H3092	

נְבֶר׃בְּעֶצְיוֹן	אֳנִיּוֹת	)נִשְׁבְּרוּ(	]נשברה[	כִּי־	הָלְכָה	וְלֹא	
エツヨン・ゲバルで	船が	壊れた	—	なぜなら	行かなかった	しかし–なかった	
H6100	H0591	H7665	H7665		H1980	H3808	

ヨシャパテはタルシシの船を造って、金を獲るためにオフルに行かせようとしたが、その船はエジオン・ゲベルで難破したため、ついに行かなかった。

יְלֵכוּ	יְהוֹשָׁפָט	אֶל־	אֲחַאְבְ	בֶּן־	אֲחַזְיָהוּ	אָמַר	אָז	49
行かせよ	ヨシャファトに	～に	アハブの	～の息子の	アハズヤが	言った	その時	
H3212	H3092	H0413	H0256		H0274	H0559		

אָבָה	וְלֹא	בָּאֳנִיּוֹת	עֲבָדֶיךָ	עִם־	עֲבָדַי	
同意しなかった	しかし–なかった	船で	あなたの–家来たちと	～と共に	私の–家来たちを	
H0014	H3808	H0591	H5650		H5650	

יְהוֹשָׁפָט׃
ヨシャファトは
H3092

そこでアハブの子アハジヤはヨシャパテに「わたしの家来をあなたの家来と一緒に船で行かせなさい」と言ったが、ヨシャパテは承知しなかった。

עִם־	וַיִּקָּבֵר	אֲבֹתָיו	עִם־	יְהוֹשָׁפָט	וַיִּשְׁכַּב		50
～と共に	そして–葉られた	彼の–先祖たちと	～と共に	ヨシャファトは	そして–横たわった		
	H6912	H0001		H3092	H7901		

בְּנוֹ	יְהוֹרָם	וַיִּמְלֹךְ	אֲבֹתָיו	דָּוִד	בְּעִיר	אֲבֹתָיו
彼の–息子が	ヨラムが	そして–王となった	彼の–父の	ダビデの	～の町に	彼の–先祖たちと
	H3088		H0001	H1732		H0001

ס	תַּחְתָּיו׃
—	彼に–代わって
	H8478

ヨシャパテはその先祖と共に眠って、父ダビデの町に先祖と共に葬られ、その子ヨラムが代って王となった。

שְׁבַע	בִּשְׁנַת	בְּשֹׁמְרוֹן	יִשְׂרָאֵל	עַל־	מָלַךְ	אַחְאָב	בֶּן־	אֲחַזְיָהוּ	51
第十	～の年に	サマリヤで	イスラエルの	～の上に	王となった	アハブの	～の息子の	アハズヤが	
H7651	H8141	H8111	H3478			H0256		H0274	

שָׁנָתַיִם׃	יִשְׂרָאֵל	עַל־	וַיִּמְלֹךְ	יְהוּדָה	מֶלֶךְ	לִיהוֹשָׁפָט	עֶשְׂרֵה	
二年	イスラエルの	～の上に	そして–王として治めた	ユダの	王の	ヨシャファトの	七の	
H8141	H3478			H3063	H4428	H3092	H6240	

アハブの子アハジヤはユダの王ヨシャパテの第十七年にサマリヤでイスラエルの王となり、二年イスラエルを治めた。

וּבְדֶרֶךְ
そして–〜の道を
H1870

אָבִיו
彼の–父の
H0001

בְּדֶרֶךְ
〜の道を
H1870

וַיֵּלֶךְ
そして–歩んだ
H3212

יְהוָה
主の
H3068

בְּעֵינֵי
〜の目に
H3605

הָרַע
悪を

וַיַּעַשׂ
そして–行った

52

אֶת־
—
H0853

הֶחֱטִיא
罪を–犯させた
H2398

אֲשֶׁר
〜の

נְבָט
ネバトの
H5028

בֶּן־
〜の息子の

יָרָבְעָם
ヤロブアムの
H3379

וּבְדֶרֶךְ
そして–〜の道を
H1870

אִמּוֹ
彼の–母の
H0517

יִשְׂרָאֵל׃
イスラエルに
H3478

彼は主の目の前に悪を行い、その父の道と、その母の道、およびかのイスラエルに罪を犯させたネバテの子ヤラベアムの道に歩み、

אֱלֹהֵי
〜の神を
H0430

יְהוָה
主を
H3068

אֶת־
—
H0853

וַיַּכְעֵס
そして–怒らせた
H3707

לוֹ
彼に

וַיִּשְׁתַּחוּ
そして–ひれ伏した
H7812

הַבַּעַל
バアルに

אֶת־
—
H0853

וַיַּעֲבֹד
そして–仕えた
H5647

53

אָבִיו׃
彼の–父が
H0001

עָשָׂה
行った

אֲשֶׁר־
〜の

כְּכֹל
すべての–ように
H3605

יִשְׂרָאֵל
イスラエルの
H3478

バアルに仕えて、それを拝み、イスラエルの神、主を怒らせた。すべて彼の父がしたとおりであった。

2 Kings

Chapter 1

1

וַיִּפְשַׁע	מוֹאָב	בְּיִשְׂרָאֵל	אַחֲרֵי	מוֹת	אַחְאָב׃
そして–反逆した	モアブは	イスラエルに–対して	の–後に	死	アハブの
H6586	H4124	H3478		H4194	H0256

アハブが死んだ後、モアブはイスラエルにそむいた。

2

וַיִּפֹּל	אֲחַזְיָה	בְּעַד	הַשְּׂבָכָה	בַּעֲלִיָּתוֹ	אֲשֶׁר	בְּשֹׁמְרוֹן
そして–落ちた	アハズヤは	を–通して	格子窓	彼の–高間の	ところの	サマリヤにある
H5307	H0274	H1157	H7639	H5944		H8111

וַיֶּחַל	וַיִּשְׁלַח	מַלְאָכִים	וַיֹּאמֶר	אֱלֹהֶם	לְכוּ	דִרְשׁוּ
そして–病んだ	そして–遣わした	使者たちを	そして–言った	彼らに	行け	尋ねよ
	H7971	H4397	H0559	H0413	H3212	H1875

אֱלֹהֵי	עֶקְרוֹן	אִם־	אֶחְיֶה	מֵחֳלִי	זֶה׃	ס
の–神	エクロンの	もし	私は–生きるか	この–病から	この	（区切り）
H0430	H6138		H2421	H2483	H2088	

さてアハジヤはサマリヤにある高殿のらんかんから落ちて病気になったので、使者をつかわし、「行ってエクロンの神バアル・ゼブブに、この病気がなおるかどうかを尋ねよ」と命じた。

3

וּמַלְאַךְ	יְהוָה	דִּבֶּר	אֶל־	אֵלִיָּה	הַתִּשְׁבִּי	קוּם	עֲלֵה	לִקְרַאת	
しかし–御使いは	主の	語った	に	エリヤ	ティシュベ人に	立て	上って–行け	迎えるために	
H4397	H3068	H1696	H0413	H0452	H8664		H5927	H7125	

מַלְאָכֶי	מֶלֶךְ־	שֹׁמְרוֹן	וְדַבֶּר	אֱלֹהֶם	הַמִּבְלִי	אֵין־	אֱלֹהִים	בְּיִשְׂרָאֵל
使者たちを	王の	サマリヤの	そして–語れ	彼らに	いないので	いない	神が	イスラエルに
H4397	H4428	H8111	H1696	H0413	H1097	H0369	H0430	H3478

אַתֶּם	הֹלְכִים	לִדְרֹשׁ	זְבוּבְבַעַל	אֱלֹהֵי	עֶקְרוֹן׃	
あなたがたは	行くのか	尋ねに	バアル・ゼブブに	の–神	エクロンの	
	H1980	H1875	H1176	H0430	H6138	

時に、主の使はテシベびとエリヤに言った、「立って、上って行き、サマリヤの王の使者に会って言いなさい、『あなたがたがエクロンの神バアル・ゼブブに尋ねようとして行くのは、イスラエルに神がないためか』。

4

וְלָכֵן	כֹּה־	אָמַר	יְהוָה	הַמִּטָּה	אֲשֶׁר־	עָלִיתָ	שָּׁם	לֹא־	
それゆえ	このように	言われた	主は	その–床から	そこに	上った	そこ	決して	
	H3541	H0559	H3068	H4296		H5927	H8033	H3808	

תֵּרֵד	מִמֶּנָּה	כִּי	מָוֹת	תָּמוּת	וַיֵּלֶךְ	אֵלִיָּה׃	
降りることはない	そこから	なぜなら	必ず	死ぬ	そして–去った	エリヤは	
H3381			H4191	H4191	H3212	H0452	

それゆえ主はこう仰せられる、『あなたは、登った寝台から降りることなく、必ず死ぬであろう』」。そこでエリヤは上って行った。

5 וַיָּשֻׁבוּ הַמַּלְאָכִים אֵלָיו וַיֹּאמֶר אֲלֵיהֶם מַה־זֶּה שַׁבְתֶּם׃
そして-戻った 使者たちは 彼のもとに そして-言った 彼らに なぜ これ 帰って来たのか
H7725 H4397 H0413 H0559 H0413 H4100 H2088 H7725

使者たちがアハジヤのもとに帰ってきたので、アハジヤは彼らに言った、「なぜ帰ってきたのか」。

6 וַיֹּאמְרוּ אֵלָיו אִישׁ וַיַּעַל לִקְרָאתֵנוּ וַיֹּאמֶר אֲלֵינוּ לְכוּ שׁוּבוּ אֶל־הַמֶּלֶךְ אֲשֶׁר־שָׁלַח אֶתְכֶם וְדִבַּרְתֶּם אֵלָיו כֹּה
そして-言った 彼に ひとりの-人が 上って来て 私たちを-迎え そして-言った 私たちに 行け 戻れ へ 王の-もとに ところの 遣わした あなたがたを そして-告げよ 彼に このように
H0559 H0413 H0376 H5927 H7125 H0559 H0413 H3212 H7725 H0413 H4428 H0834 H7971 H0853 H1696 H0413 H3541

אָמַר יְהוָה הֲמִבְּלִי אֵין־אֱלֹהִים בְּיִשְׂרָאֵל אַתָּה שֹׁלֵחַ לִדְרֹשׁ בְּזְבוּב בַּעַל זְבוּב אֱלֹהֵי עֶקְרוֹן לָכֵן הַמִּטָּה אֲשֶׁר־עָלִיתָ שָׁם לֹא־תֵרֵד מִמֶּנָּה כִּי־מוֹת תָּמוּת׃
言われた 主は いないので いない-神が 遣わすのか あなたは イスラエルに 神が いない ところの 王の-もとに 尋ねに バアル・ゼブブに の-神 エクロンの それゆえ その-床から そこに 上った 決して 降りることはない なぜなら 必ず 死ぬ
H0559 H3068 H1097 H0369 H0430 H7971 H0859 H3478 H0430 H0369 H0834 H4428 H1875 H1176 H0430 H6138 H3651 H4296 H0834 H5927 H8033 H3808 H3381 H0834 H4191 H4191

彼らは言った、「ひとりの人が上ってきて、われわれに会って言いました、『おまえたちをつかわした王の所へ帰って言いなさい。主はこう仰せられる、あなたがエクロンの神バアル・ゼブブに尋ねようとして人をつかわすのは、イスラエルに神がないためなのか。それゆえあなたは、登った寝台から降りることなく、必ず死ぬであろう』」。

7 וַיֹּאמֶר אֲלֵיהֶם מִשְׁפַּט הָאִישׁ אֲשֶׁר עָלָה לִקְרַאתְכֶם וַיְדַבֵּר אֲלֵיכֶם אֶת־הַדְּבָרִים הָאֵלֶּה׃
そして-語った 彼らに どのような 姿の その-人は ところの 上って来た あなたがたを-迎えた そして-語った あなたがたに この 言葉を これらの
H1696 H0413 H4100 H4941 H0376 H0834 H5927 H7125 H1696 H0413 H0853 H1697 H0428

アハジヤは彼らに言った、「上ってきて、あなたがたに会って、これらの事を告げた人はどんな人であったか」。

8 וַיֹּאמְרוּ אֵלָיו אִישׁ בַּעַל שֵׂעָר וְאֵזוֹר עוֹר אָזוּר בְּמָתְנָיו וַיֹּאמֶר אֵלִיָּה הַתִּשְׁבִּי הוּא׃
そして-言った 彼に その-人は 毛深い 毛の そして-革の 皮の 帯を 腰に-締めた 彼に そして-言った エリヤ ティシュベ人 彼だ
H0559 H0413 H0376 H1167 H8181 H0232 H5785 H0247 H4975 H0413 H0559 H0452 H8664 H1931

彼らは答えた、「その人は毛ごろもを着て、腰に皮の帯を締めていました」。彼は言った、「その人はテシベびとエリヤだ」。

9 וַיִּשְׁלַח אֵלָיו שַׂר־חֲמִשִּׁים וַחֲמִשָּׁיו וַיַּעַל אֵלָיו וְהִנֵּה יֹשֵׁב עַל־רֹאשׁ הָהָר וַיְדַבֵּר אֵלָיו אִישׁ הָאֱלֹהִים הַמֶּלֶךְ דִּבֶּר רֵדָה׃

אֵלָיו	וַיַּעַל	וַחֲמִשָּׁיו	חֲמִשִּׁים	שַׂר־	אֵלָיו	וַיִּשְׁלַח											
彼のもとに	そして-上った	その-五十人と	長を	五十人の	彼のもとに	そして-遣わした											
H0413	H5927	H2572	H2572	H8269	H0413	H7971											
הַמֶּלֶךְ	הָאֱלֹהִים	אִישׁ	אֵלָיו	וַיְדַבֵּר	הָהָר	רֹאשׁ	עַל־	יֹשֵׁב	וְהִנֵּה								
王が	人よ	神の	彼に	そして-語った	山の	頂	の-上に	座っていた	すると-見よ								
H4428	H0430	H0376	H0413	H1696	H2022			H3427	H2009								
רֵדָה׃	דִּבֶּר																
降りて来い	命じた																
H3381	H1696																

そこで王は五十人の長を、部下の五十人と共にエリヤの所へつかわした。彼がエリヤの所へ上っていくと、エリヤは山の頂にすわっていたので、エリヤに言った、「神の人よ、王があなたに、下って来るようにと言われます」。

10 וַיַּעַן אֵלִיָּהוּ וַיְדַבֵּר אֶל־חֲמִשִּׁים שָׂר וְאִם־אִישׁ אֱלֹהִים אָנִי תֵּרֶד אֵשׁ מִן־הַשָּׁמַיִם וְתֹאכַל אֹתְךָ וְאֶת־חֲמִשָּׁיךָ וַתֵּרֶד אֵשׁ מִן־הַשָּׁמַיִם וַתֹּאכַל אֹתוֹ וְאֶת־חֲמִשָּׁיו׃

וַיַּעַן	אֵלִיָּהוּ	וַיְדַבֵּר	אֶל־	חֲמִשִּׁים	שָׂר	וְאִם־	אִישׁ	אֱלֹהִים									
そして-答えた	エリヤは	そして-語った	に	長に	五十人の	もし	神の	人									
H0452	H1696	H0413	H2572	H8269			H0376	H0430									
חֲמִשָּׁיךָ	וְאֶת־	אֹתְךָ	וְתֹאכַל	הַשָּׁמַיִם	מִן־	אֵשׁ	תֵּרֶד	אָנִי									
おまえの-五十人を	そして	おまえと	そして-焼き尽くせ	天から	から	火が	降れ	私が-なら									
H2572	H0853	H0853	H0398	H8064		H0784	H3381	H0589									
חֲמִשָּׁיו׃	וְאֶת־	אֹתוֹ	וַתֹּאכַל	הַשָּׁמַיִם	מִן־	אֵשׁ	וַתֵּרֶד										
彼の-五十人を	そして	彼と	そして-焼き尽くした	天から	から	火が	すると-降った										
H2572	H0853	H0853	H0398	H8064		H0784	H3381										

しかしエリヤは五十人の長に答えた、「わたしがもし神の人であるならば、火が天から下って、あなたと部下の五十人とを焼き尽すでしょう」。そのように火が天から下って、彼と部下の五十人とを焼き尽した。

11 וַיַּעַן וַיֹּאמֶר אֵלָיו שַׂר־חֲמִשִּׁים אַחֵר וַחֲמִשָּׁיו וַיִּשְׁלַח אֵלָיו וַיֹּאמֶר אִישׁ הָאֱלֹהִים כֹּה־אָמַר הַמֶּלֶךְ מְהֵרָה רֵדָה׃

וַיַּעַן	וַחֲמִשָּׁיו	אַחֵר	חֲמִשִּׁים	שַׂר־	אֵלָיו	וַיִּשְׁלַח	וַיֹּאמֶר										
そして-答えた	その-五十人と	もう-ひとりの	長	五十人の	彼のもとに	遣わした	そして-再び										
H2572	H0312	H2572	H8269	H0413	H7971	H7725											
אִישׁ	הָאֱלֹהִים	כֹּה־	אָמַר	הַמֶּלֶךְ	מְהֵרָה	רֵדָה׃											
神の	人よ	このように	言った	王が	急いで	降りて来い											
H0376	H0430	H3541	H0559	H4428	H4120	H3381											

王はまた他の五十人の長を、部下の五十人と共にエリヤにつかわした。彼は上っていってエリヤに言った、「神の人よ、王がこう命じられます、『すみやかに下ってきなさい』」。

12 וַיַּעַן וַיֹּאמֶר אֵלָיו אִם־אִישׁ אֱלֹהִים אָנִי תֵּרֶד אֵשׁ מִן־הַשָּׁמַיִם וְתֹאכַל אֹתְךָ וְאֶת־חֲמִשָּׁיךָ וַתֵּרֶד אֵשׁ מִן־הַשָּׁמַיִם וַתֹּאכַל אֹתוֹ וְאֶת־חֲמִשָּׁיו׃

וַיַּעַן	וַיֹּאמֶר	אֵלָיו	אִם־	אִישׁ	אֱלֹהִים	אָנִי	תֵּרֶד	אֵשׁ	מִן־	הַשָּׁמַיִם	וְתֹאכַל	אֹתְךָ	וְאֶת־	חֲמִשָּׁיךָ			
そして-答えた	そして-語った	彼らに	もし	神の	人	私が-なら	降れ	火が	から	天から	そして-焼き尽くせ	おまえと	そして	おまえの-五十人を			
H0452	H1696	H0413		H0376	H0430	H0589	H3381	H0784		H8064	H0398	H0853	H0853	H2572			
וַתֵּרֶד	אֵשׁ	מִן־	הַשָּׁמַיִם	וַתֹּאכַל	אֹתוֹ	וְאֶת־	חֲמִשָּׁיו׃										
すると-降った	火が	から	天から	そして-焼き尽くした	彼と	そして	彼の-五十人を										
H3381	H0784		H8064	H0398	H0853	H0853	H2572										

しかしエリヤは彼らに答えた、「わたしがもし神の人であるならば、火が天から下って、あなたと部下の五十人とを焼き尽すでしょう」。そのように神の火が天から下って、彼と部下の五十人とを焼き尽した。

13 וַיָּ֣בֹא וַיַּ֣עַל וַחֲמִשָּׁ֗יו שְׁלִשִׁים֙ חֲמִשִׁ֣ים שַׁר־ וַיִּשְׁלַ֤ח וַיָּ֨שָׁב
そして–来た そして–上った その–五十人と 第三の 長 五十人の 遣わした そして–再び
H0935 H5927 H2572 H7992 H2572 H8269 H7971 H7725

אֵלְיָ֔הוּ לִנֶּ֣גֶד וּבִרְכָּ֔יו עַל־ וַיִּכְרַ֤ע הַשְּׁלִישִׁי֙ הַחֲמִשִּׁ֣ים שַׁר־
エリヤの の–前に 膝を の–上に そして–ひざまずいた 第三の 長は 五十人の
H0452 H5048 H1290 H3766 H7992 H2572 H8269

נָ֣א תִיקַר־ הָאֱלֹהִ֜ים אִ֣ישׁ אֵלָ֗יו וַיְדַבֵּ֤ר אֵלָיו֙ וַיִּתְחַנֵּ֣ן
どうか どうか–尊いものとしてください 人よ 神の 彼に そして–語った 彼に そして–懇願した
H4994 H3365 H0430 H0376 H0413 H1696 H0413

בְּעֵינֶ֔יךָ׃ חֲמִשִּׁ֣ים אֵ֔לֶּה עֲבָדֶ֖יךָ וְנֶ֣פֶשׁ נַפְשִׁ֑י
あなたの–目に 五十人の これらの あなたの–しもべたちの そして–命を 私の–命を
H5315 H2572 H0428 H5650 H5315 H5315

王はまた第三の五十人の長を部下の五十人と共につかわした。第三の五十人の長は上っていって、エリヤの前にひざまずき、彼に願って言った、「神の人よ、どうぞ、わたしの命と、あなたのしもべであるこの五十人の命をあなたの目に尊いものとみなしてください。

14 הִנֵּ֣ה יָרְדָ֣ה אֵ֠שׁ מִן־ הַשָּׁמַ֜יִם וַתֹּאכַ֣ל אֶת־ שְׁנֵ֣י שָׁרֵ֣י הַחֲמִשִּׁ֗ים
見よ 降った 火が から 天から そして–焼き尽くした を 二人の 長たちを 五十人の
H2009 H3381 H0784 H4480 H8064 H0398 H0853 H8147 H8269 H2572

בְּעֵינֶ֔יךָ׃ נַפְשִׁ֣י תִיקַ֔ר וְעַתָּ֕ה חֲמִשֵּׁיהֶ֖ם וְאֶת־ הָרִאשֹׁנִ֑ים
あなたの–目に 私の–命を どうか–尊くしてください しかし–今 彼らの–五十人を そして 先の
H5315 H3365 H6258 H2572 H0853 H7223

ס
（区切り）

ごらんなさい、火が天からくだって、さきの五十人の長ふたりと、その部下の五十人ずつとを焼き尽しました。しかし今わたしの命をあなたの目に尊いものとみなしてください」。

15 מִפָּנָ֖יו תִּירָ֣א אַל־ אִתּ֑וֹ רֵ֣ד אֶֽלֵּיָ֔הוּ אֶל־ יְהוָ֤ה מַלְאַךְ֙ וַיְדַבֵּ֤ר
彼を 恐れるな するな 彼と–共に 降りよ エリヤに に 主の 御使いは そして–語った
H6440 H3372 H0408 H0853 H3381 H0452 H0413 H3068 H4397 H1696

הַמֶּ֔לֶךְ׃ אֶל־ אִתּ֑וֹ וַיֵּ֣רֶד וַיָּ֖קָם
王のもとに へ 彼と–共に そして–降りた そして–立ち上がった
H4428 H0413 H0853 H3381

その時、主の使はエリヤに言った、「彼と共に下りなさい。彼を恐れてはならない」。そこでエリヤは立って、彼と共に下り、王のもとへ行って、

16 מַלְאָכִ֔ים שָׁלַ֣חְתָּ אֲשֶׁר־ יַ֗עַן יְהוָה֙ אָמַ֣ר כֹּה־ אֵלָיו֙ וַיְדַבֵּ֤ר
使者たちを 遣わした おまえが ゆえに 主は 言われた このように 彼に そして–語った
H4397 H7971 H3282 H3068 H0559 H3541 H0413 H1696

יִשְׂרָאֵ֔ל אֱלֹהִ֑ים אֵ֣ין הַמִּבְלִ֣י עֶקְרוֹן֙ אֱלֹהֵ֣י זְבוּבְבַ֔עַל לִדְרֹ֖שׁ
イスラエルに 神が いない いないので エクロンの の–神 バアル・ゼブブに 尋ねるために
H3478 H0430 H0369 H1097 H6138 H0430 H1176 H1875

תֵּרֵ֔ד לֹ֣א מִשָּׁ֗ם עָלִ֤יתָ אֲשֶׁר־ הַמִּטָּ֣ה מִן־ לָכֵ֗ן בִּדְבָרוֹ֙ לִדְרֹ֖שׁ
降りることはない 決して そこ 上った そこに その–床から それゆえ その–言葉を 尋ねるために
H3381 H3808 H8033 H5927 H4296 H1697 H1875

מֻ֥ת תָּמ֖וּת׃ כִּי־ מִמֶּ֔נָּה
死ぬ 必ず なぜなら そこから
H4191 H4191

王に言った、「主はこう仰せられます、『あなたはエクロンの神バアル・ゼブブに尋ねようと使者をつかわしたが、それはイスラエルに、その言葉を求むべき神がないためであるか。それゆえあなたは、登った寝台から降りることなく、必ず死ぬであろう』」。

17 וַיָּמָת כִּדְבַר יְהוָה אֲשֶׁר־דִּבֶּר אֵלִיָּהוּ וַיִּמְלֹךְ יְהוֹרָם
そして-死んだ の-言葉-どおりに 主の ところの 語った エリヤが そして-王となった ヨラムが
H4191 H1697 H3068 H1696 H0452 H3088

כִּי יְהוֹשָׁפָט מֶלֶךְ יְהוּדָה בֶּן־ לִיהוֹרָם בִּשְׁנַת שְׁתַּיִם פ תַּחְתָּיו
なぜなら ヨシャパテの 王 ユダの の-子 ヨラムの 第二 の-年に (段落) 彼に-代わって
H3092 H4428 H3063 H3088 H8147 H8141 H8478

לְוֹ הָיָה לֹא־ בֵן׃
彼には いなかった いなかった 息子が
H1961 H3808

彼はエリヤが言った主の言葉のとおりに死んだが、彼に子がなかったので、その兄弟ヨラムが彼に代って王となった。これはユダの王ヨシャパテの子ヨラムの第二年である。

18 וְיֶתֶר דִּבְרֵי אֲחַזְיָהוּ אֲשֶׁר עָשָׂה הֲלוֹא־ הֵמָּה כְּתוּבִים
そして-その他の 事柄は アハズヤの ところの 行った ではないか それらは 記されている
H1697 H0274 H3808 H1992 H3789

עַל־ סֵפֶר דִּבְרֵי הַיָּמִים לְמַלְכֵי יִשְׂרָאֵל׃ פ
の-上に 書に 歴代の 日々の の-王たちの イスラエルの (段落)
H1697 H3117 H4428 H3478

アハジヤのその他の事績は、イスラエルの王の歴代志の書にしるされているではないか。

Chapter 2

1 וַיְהִי בְּהַעֲלוֹת יְהוָה אֶת־ אֵלִיָּהוּ בַּסְעָרָה הַשָּׁמָיִם וַיֵּלֶךְ
そして-あった 上げられる-時に 主が を エリヤを 嵐の-中で 天へ そして-行った
H1961 H5927 H3068 H0853 H0452 H8064 H3212

אֵלִישָׁע וְאֶלִיָּהוּ מִן־ הַגִּלְגָּל׃
エリシャは エリヤと から ギルガルから
H0477 H0452 H1537

主がつむじ風をもってエリヤを天に上らせようとされた時、エリヤはエリシャと共にギルガルを出て行った。

2 וַיֹּאמֶר אֵלִיָּהוּ אֶל־ אֱלִישָׁע שֶׁב־ נָא פֹּה כִּי יְהוָה
そして-言った エリヤは に エリシャに とどまれ どうか ここに なぜなら 主が
H0559 H0452 H0413 H0477 H3427 H4994 H6311 H3068

וְחֵי־ יְהוָה חַי־ אֱלִישָׁע וַיֹּאמֶר בֵּית־אֵל עַד־ שְׁלָחַנִי
そして-生きている 主は 生きておられる エリシャは そして-言った ベテルへ まで 私を-遣わした
H3068 H0477 H0559 H1008 H5704 H7971

בֵּית־אֵל׃ וַיֵּרְדוּ אֶעֱזָבֶךָּ אִם־ נַפְשְׁךָ
ベテルへ そして-下った あなたを-離れない 決して あなたの-魂にかけて
H1008 H3381 H5315

エリヤはエリシャに言った、「どうぞ、ここにとどまってください。主はわたしをベテルにつかわされるのですから」。しかしエリシャは言った、「主は生きておられます。またあなたも生きておられます。わたしはあなたを離れません」。そして彼らはベテルへ下った。

3

אֱלִישָׁע	אֶל־	בֵּית־אֵל׃	אֲשֶׁר־	הַנְּבִיאִים	בְּנֵי־	וַיֵּצְאוּ
エリシャの–もとに	へ	ベテルにいる	ところの	預言者たちの	の–息子たち	そして–出て来た
H0477	H0413	H1008		H5030		H3318

אֲדֹנֶיךָ	אֶת־	לְקַח	יְהוָה	הַיּוֹם	כִּי	הֲיָדַעְתָּ	וַיֹּאמְרוּ
あなたの–主人を	を	取り上げる	主が	今日	こと	知っているか	そして–言った
H0113	H0853	H3947	H3068	H3117		H3045	H0559

הַחֱשׁוּ׃	יָדַעְתִּי	אֲנִי	גַּם־	וַיֹּאמֶר	רֹאשֶׁךָ	מֵעַל
黙っていよ	知っている	私も	はい	そして–言った	あなたの–頭の	の–上から
H2814	H3045	H0589	H1571	H0559		

ベテルにいる預言者のともがらが、エリシャのもとに出てきて彼に言った、「主がきょう、あなたの師事する主人をあなたから取られるのを知っていますか」。彼は言った、「はい、知っています。あなたがたは黙っていてください」。

4

יְהוָה	כִּי	פֹּה	נָא	שֶׁב־	אֱלִישָׁע	אֶלְיָהוּ	לוֹ	וַיֹּאמֶר
主が	なぜなら	ここに	どうか	とどまれ	エリシャよ	エリヤは	彼に	そして–言った
H3068		H6311	H4994	H3427	H0477	H0452		H0559

וְחֵי־	יְהוָה	חַי־	וַיֹּאמֶר	יְרִיחֹו	שְׁלָחַנִי	
そして–生きている	主は	生きておられる	そして–言った	エリコへ	私を–遣わした	
	H3068		H0559	H3405	H7971	

יְרִיחֹו׃	וַיָּבֹאוּ	אֶעֱזָבֶךָּ	אִם־	נַפְשֶׁךָ	
エリコに	そして–来た	あなたを–離れない	決して	あなたの–魂にかけて	
H3405	H0935			H5315	

エリヤは彼に言った、「エリシャよ、どうぞ、ここにとどまってください。主はわたしをエリコにつかわされるのですから」。しかしエリシャは言った、「主は生きておられます。またあなたも生きておられます。わたしはあなたを離れません」。そして彼らはエリコへ行った。

5

אֱלִישָׁע	אֶל־	בְּיְרִיחֹו	אֲשֶׁר־	הַנְּבִיאִים	בְּנֵי־	וַיִּגְּשׁוּ	
エリシャの–もとに	へ	エリコにいる	ところの	預言者たちの	の–息子たち	そして–近づいた	
H0477	H0413	H3405		H5030		H5066	

אֲדֹנֶיךָ	אֶת־	לְקַח	יְהוָה	הַיּוֹם	כִּי	הֲיָדַעְתָּ	וַיֹּאמְרוּ
あなたの–主人を	を	取り上げる	主が	今日	こと	知っているか	そして–言った
H0113	H0853	H3947	H3068	H3117		H3045	H0559

הַחֱשׁוּ׃	יָדַעְתִּי	אֲנִי	גַּם־	וַיֹּאמֶר	רֹאשֶׁךָ	מֵעַל
黙っていよ	知っている	私も	はい	そして–言った	あなたの–頭の	の–上から
H2814	H3045	H0589	H1571	H0559		

エリコにいた預言者のともがらが、エリシャのもとにきて彼に言った、「主がきょう、あなたの師事する主人をあなたから取られるのを知っていますか」。彼は言った、「はい、知っています。あなたがたは黙っていてください」。

6

שְׁלָחַנִי	יְהוָה	כִּי	פֹּה	נָא	שֶׁב־	אֶלְיָהוּ	לוֹ	וַיֹּאמֶר
私を–遣わした	主が	なぜなら	ここに	どうか	とどまれ	エリヤは	彼に	そして–言った
H7971	H3068		H6311	H4994	H3427	H0452		H0559

אִם־	נַפְשֶׁךָ	וְחֵי־	יְהוָה	חַי־	וַיֹּאמֶר	הַיַּרְדֵּנָה	
決して	あなたの–魂にかけて	そして–生きている	主は	生きておられる	そして–言った	ヨルダンへ	
	H5315		H3068		H0559	H3383	

שְׁנֵיהֶם׃	וַיֵּלְכוּ	אֶעֱזָבֶךָּ	
二人は	そして–行った	あなたを–離れない	
H8147	H3212		

エリヤはまた彼に言った、「どうぞ、ここにとどまってください。主はわたしをヨルダンにつかわされるのですから」。しかし彼は言った、「主は生きておられます。またあなたも生きておられます。わたしはあなたを離れません」。そしてふたりは進んで行った。

7 וַחֲמִשִּׁ֣ים אִ֔ישׁ מִבְּנֵ֖י הַנְּבִיאִ֑ים וַיַּעַמְד֣וּ הֶלְכ֗וּ מִנֶּ֙גֶד֙ מֵרָחֹ֔וק וּשְׁנֵיהֶ֖ם עָמְד֥וּ עַל־ הַיַּרְדֵּֽן׃

そして–五十人の 人が 預言者たちの の–うちから 行って 向こうに 遠くから
H2572 H0376 H5030 H1980 H5048 H7350

ヨルダン川の の–ほとりに 立っていた そして–二人は
H3383 H5975 H8147

預言者のともがら五十人も行って、彼らにむかって、はるかに離れて立っていた。彼らふたりは、ヨルダンのほとりに立ったが、

8 וַיִּקַּ֤ח אֵלִיָּהוּ֙ אַדַּרְתּ֔וֹ וַיִּגְלֹ֖ם וַיַּכֶּ֣ה אֶת־ הַמַּ֑יִם וַיֵּחָצ֥וּ הֵ֛נָּה וָהֵ֖נָּה וַיַּעַבְר֥וּ שְׁנֵיהֶ֖ם בֶּחָרָבָֽה׃

そして–取った エリヤは を 彼の–外套を そして–丸めて そして–打った を 水を
H3947 H0452 H0853 H0155 H1563 H5221 H0853 H4325

すると–分かれた こちらと あちらに そして–渡った 二人は 乾いた–地を
H2673 H2008 H2008 H5674 H8147 H2724

エリヤは外套を取り、それを巻いて水を打つと、水が左右に分れたので、ふたりはかわいた土の上を渡ることができた。

9 וַיְהִ֗י כְּעָבְרָם֙ וְאֵלִיָּ֣הוּ אָמַ֔ר אֶל־ אֱלִישָׁ֖ע שְׁאַל֙ מָ֣ה אֶֽעֱשֶׂה־ לָּ֔ךְ בְּטֶ֥רֶם אֶלָּקַ֖ח מֵעִמָּ֑ךְ וַיֹּ֤אמֶר אֱלִישָׁע֙ וְיִֽהִי־ נָ֣א פִֽי־ שְׁנַ֤יִם בְּרוּחֲךָ֙ אֵלָ֔י׃

そして–あった 渡った–時 そして–エリヤは に 言った エリシャに 求めよ 何を 私が–する
H1961 H5674 H0853 H0413 H0559 H0477 H7592 H4100 H6213

あなたに 前に 私が–取り去られる あなたの–もとから エリシャは そして–言った
H0413 H2962 H3947 H4480 H0477 H0559

どうか–あるように どうか 二倍の–分け前が 二倍の 私に あなたの–霊の
H1961 H4994 H6310 H8147 H7307 H0413

彼らが渡ったとき、エリヤはエリシャに言った、「わたしが取られて、あなたを離れる前に、あなたのしてほしい事を求めなさい」。エリシャは言った、「どうぞ、あなたの霊の二つの分をわたしに継がせてください」。

10 וַיֹּ֣אמֶר הִקְשִׁ֔יתָ לִשְׁאֹ֖ול מֵאִתָּ֑ךְ לֻקַּ֤ח אִתִּי֙ תִּרְאֶ֣ה אִם־ כֵּ֔ן וְאִם־ לֹ֖א לֹ֥א יִהְיֶֽה׃

そして–言った 難しいことを 求めた もし 見るなら 私を 取り去られるのを あなたから
H0559 H7185 H7592 H0518 H7200 H0853 H3947 H4480

そうはならない ない そうでなければ しかし–もし そのとおりに あなたに あるであろう
H1961 H3808 H0369 H0518 H3651 H0413 H1961

エリヤは言った、「あなたはむずかしい事を求める。あなたがもし、わたしが取られて、あなたを離れるのを見るならば、そのようになるであろう。しかし見ないならば、そのようにはならない」。

11 וַיְהִ֗י הֵ֚מָּה הֹלְכִ֣ים הָלוֹךְ֮ וְדַבֵּר֒ וְהִנֵּ֣ה רֶ֣כֶב־ אֵ֔שׁ וְסוּסֵ֖י אֵ֑שׁ וַיַּפְרֵ֣דוּ בֵ֔ין שְׁנֵיהֶ֖ם וַיַּ֥עַל אֵלִיָּ֛הוּ בְּסַעֲרָ֖ה הַשָּׁמָֽיִם׃

そして–あった 彼らが 歩きながら 歩き そして–語りながら すると–見よ 火の 戦車と 馬が そして–火の
H1961 H1992 H1980 H1980 H1696 H2009 H7393 H0784 H0784

そして–隔てた の–間を 二人の そして–上った エリヤは 嵐の–中で 天へ
H6504 H0996 H8147 H5927 H0452 H5591 H8064

彼らが進みながら語っていた時、火の車と火の馬があらわれて、ふたりを隔てた。そしてエリヤはつむじ風に乗って天にのぼった。

12 וֶאֱלִישָׁע֙ רֹאֶ֔ה וְה֥וּא מְצַעֵ֖ק אָבִ֣י ׀ אָבִ֑י רֶ֥כֶב יִשְׂרָאֵ֖ל וּפָרָשָׁ֑יו וַיִּקְרָעֵ֖ם בִּבְגָדָ֥יו וַיַּחֲזֵ֖ק עֹ֣וד רָאָ֔הוּ וְלֹ֣א וּפָרָשָׁ֑יו וַיִּקְרָעֵ֖ם בִּבְגָדָ֥יו וַיַּחֲזֵ֖ק עֹ֣וד רָאָ֔הוּ וְלֹ֣א
そして-エリシャは 見ていた そして-彼は 叫んでいた わが-父よ わが-父よ 戦車よ イスラエルの その-騎兵たちよ そして-引き裂いた 自分の-衣を そして-つかんだ 彼を-再び 見なかった もはや
H0477 H7200 H1931 H6817 H0001 H0001 H7393 H3478 H7167 H0388 H2388 H5750 H7200 H3808

לִשְׁנַ֖יִם קְרָעִֽים׃
二つに 裂片に
H8147 H7168

エリシャはこれを見て「わが父よ、わが父よ、イスラエルの戦車よ、その騎兵よ」と叫んだが、再び彼を見なかった。そこでエリシャは自分の着物をつかんで、それを二つに裂き、

13 וַיָּ֤רֶם אֶת־ אַדֶּ֣רֶת אֵלִיָּ֔הוּ אֲשֶׁ֥ר נָפְלָ֖ה מֵעָלָ֑יו וַיָּ֣שָׁב וַיַּעֲמֹ֖ד עַל־ שְׂפַ֥ת הַיַּרְדֵּֽן׃ וַיָּ֣רֶם אֶת־ אַדֶּ֣רֶת אֵלִיָּ֔הוּ אֲשֶׁ֥ר נָפְלָ֖ה מֵעָלָ֑יו וַיָּ֣שָׁב וַיַּעֲמֹ֖ד עַל־ שְׂפַ֥ת הַיַּרְדֵּֽן׃
そして-拾い上げた を 外套を エリヤの ところの 落ちた 彼の-上から そして-戻った そして-立った の-ほとりに 岸に ヨルダン川の
H0853 H0155 H0452 H0834 H5307 H4480 H7725 H5975 H5921 H8193 H3383

また エリヤの 身から 落ちた 外套を 取り上げ、帰ってきて ヨルダンの 岸に 立った。

14 וַיִּקַּ֞ח אֶת־ אַדֶּ֣רֶת אֵלִיָּ֗הוּ אֲשֶׁ֤ר־ נָפְלָה֙ מֵעָלָ֔יו וַיַּ֖ךְ אֶת־ הַמַּ֑יִם וַיֹּאמַ֗ר אַיֵּ֛ה יְהוָ֥ה אֱלֹהֵ֖י אַ֣ף־ ה֥וּא וַיַּכֶּ֤ה אֶת־ הַמַּ֑יִם וַיֹּאמַ֗ר אַיֵּ֛ה יְהוָ֥ה אֱלֹהֵ֖י אַ֣ף־ ה֥וּא
そして-取った を 外套を エリヤの ところの 落ちた 彼の-上から そして-打った を
H3947 H0853 H0155 H0452 H0834 H5307 H4480 H5221 H0853

וַיַּכֶּ֤ה אֶת־ הַמַּ֑יִם וַיֹּאמַ֗ר אַיֵּ֛ה יְהוָ֥ה אֱלֹהֵ֖י אַ֣ף־ ה֥וּא וַיַּכֶּ֤ה אֶת־ הַמַּ֑יִם וַיֹּאמַ֗ר אַיֵּ֛ה יְהוָ֥ה אֱלֹהֵ֖י אַ֣ף־ ה֥וּא
水を そして-言った どこに-おられるのか 主は の-神 エリヤの まことに 彼も 打った を
H4325 H0559 H0346 H3068 H0430 H0452 H0637 H1931 H5221 H0853

וַיַּעֲבֹ֥ר אֱלִישָֽׁע׃ וַיַּעֲבֹ֥ר אֱלִישָֽׁע׃
エリシャは そして-渡った
H0477 H5674

וַיָּחֻצוּ֙ הֵ֣נָּה וָהֵ֔נָּה הַמַּ֖יִם וַיָּחֻצוּ֙ הֵ֣נָּה וָהֵ֔נָּה הַמַּ֖יִם
水を すると-分かれた こちらと あちらに 水を
H4325 H2673 H2008 H2008 H4325

そしてエリヤの身から落ちたその外套を取って水を打ち、「エリヤの神、主はどこにおられますか」と言い、彼が水を打つと、水は左右に分れたので、エリシャは渡った。

15 וַיַּ֣רְא֔וּהוּ בְּנֵ֥י הַנְּבִיאִ֖ים אֲשֶׁ֣ר־ בִּירִיחֹ֑ו מִנֶּ֣גֶד וַיֹּאמְר֗וּ וַיָּבֹ֤א לִקְרָאתֹו֙ וַיִּשְׁתַּחֲו֣וּ־ לֹ֔ו אָ֖רְצָה׃ וַיַּ֣רְא֔וּהוּ בְּנֵ֥י הַנְּבִיאִ֖ים אֲשֶׁ֣ר־ בִּירִיחֹ֑ו מִנֶּ֣גֶד וַיֹּאמְר֗וּ וַיָּבֹ֤א לִקְרָאתֹו֙ וַיִּשְׁתַּחֲו֣וּ־ לֹ֔ו אָ֖רְצָה׃
そして-見た の-息子たち 預言者たちの ところの エリコにいる 向こうから そして-言った
H7200 H1121 H5030 H0834 H3405 H5048 H0559

そして-ひれ伏した 迎えるために そして-来た エリシャの の-上に エリヤの 霊が とどまった
H7812 H7125 H0935 H0477 H5921 H0452 H7307 H5117

彼の-前に 地に
H0776

エリコにいる預言者のともがらは彼の近づいて来るのを見て、「エリヤの霊がエリシャの上にとどまっている」と言った。そして彼らは来て彼を迎え、その前に地に伏して、

16 וַיֹּאמְרוּ֙ אֵלָ֔יו הִנֵּה־נָ֥א יֶשׁ־אֶת־עֲבָדֶ֖יךָ חֲמִשִּׁ֣ים אֲנָשִׁ֑ים

そして-言った 彼に 見よ どうか いる を あなたの-しもべたちに 五十人の 人々が
H0559 H0413 H2009 H4994 H3426 H0854 H5650 H2572 H0376

וְיבַקְשׁ֞וּ אֶת־אֲדֹנֶ֗יךָ אוּלַ֤י נְשָׂאוֹ֙ רֽוּחַ־יְהוָ֔ה וַיַּשְׁלִכֵ֖הוּ בְּאַחַ֣ד הֶהָרִ֑ים אוֹ֙ בְּאַחַ֣ד הַגָּאָיוֹת֔ אַל־תִּשְׁלַ֖ח׃

そして-捜させてください を あなたの-主人を どうか 行かせてください 力の の-息子たち
H1245 H0853 H0113 H4994 H3212 H2428 H1121

あるいは 山に ある-ところの そして-投げた 主の 霊が 運び上げた もしかすると
H0176 H2022 H0259 H7993 H3068 H7307 H5375 H6435

遣わすな するな そして-言った 谷に 谷に ある-ところの
H7971 H3808 H0559 H1516 H1516 H0259

彼に言った、「しもべらの所に力の強い者が五十人います。どうぞ彼らをつかわして、あなたの主人を尋ねさせてください。主の霊が彼を引きあげて、彼を山か谷に投げたのかも知れません」。エリシャは「つかわしてはならない」と言ったが、

17 וַיִּפְצַר־בּ֖וֹ עַד־בּ֑וֹשׁ וַיֹּ֣אמֶר שִׁלָּ֔חוּ וַיְשַׁלְּח֣וּ חֲמִשִּׁ֔ים אִ֖ישׁ וַיְבַקְשׁ֣וּ שְׁלֹשֶׁת־יָמִ֑ים וְלֹ֥א מְצָאֻֽהוּ׃

しかし-しきりに-願った まで 彼に 恥じるほど そして-言った 遣わせ そして-遣わした 五十人の 人を そして-捜した 三 日間 しかし 見つけなかった
H6484 H5704 H0995 H0954 H0559 H7971 H7971 H2572 H0376 H1245 H7969 H3117 H3808 H4672

彼の恥じるまで、しいたので、彼は「つかわしなさい」と言った。それで彼らは五十人の者をつかわし、三日の間尋ねたが、彼を見いださなかった。

18 וַיָּשֻׁ֖בוּ אֵלָ֑יו וְה֣וּא יֹשֵׁ֔ב בִּיְרִיחֹ֗ וַיֹּ֤אמֶר אֲלֵהֶם֙ הֲלֹ֣א אָמַ֔רְתִּי אֲלֵיכֶ֖ם אַל־תֵּלֵֽכוּ׃

そして-戻った 彼の-もとに そして-彼は 滞在していた エリコに そして-言った 彼らに ではないか 私は-言った あなたがたに な 行くな
H7725 H0413 H1931 H3427 H3405 H0559 H0413 H3808 H0559 H0413 H0408 H3212

エリシャのなおエリコにとどまっている時、彼らが帰ってきたので、エリシャは彼らに言った、「わたしは、あなたがたに、行ってはならないと告げたではないか」。

19 וַיֹּאמְר֣וּ אֶל־אֱלִישָׁ֗ע הִנֵּ֨ה־נָ֜א מוֹשַׁ֤ב הָעִיר֙ טוֹב֙ כַּאֲשֶׁ֣ר אֲדֹנִ֔י רֹאֶ֖ה וְהַמַּ֣יִם רָעִ֑ים וְהָאָ֖רֶץ מְשַׁכָּֽלֶת׃

そして-言った に エリシャに 見よ どうか 場所は 町の 良い
H0559 H0413 H0477 H2009 H4994 H4186 H0376 H5892 H2896

人々は 町の に 見よ 悪い しかし-水は 地は そして-流産を起す
H0376 H5892 H0413 H2009 H7451 H4325 H0776 H7921

町の人々はエリシャに言った、「見られるとおり、この町の場所は良いが水が悪いので、この地は流産を起すのです」。

20 וַיֹּ֣אמֶר קְח֣וּ לִ֔י צְלֹחִ֥ית חֲדָשָׁ֖ה וְשִׂ֣ימוּ שָׁ֑ם מֶ֖לַח וַיָּבִֽיאוּ׃

そして-言った 持って来い 私に 新しい-鉢を 新しい そして-入れよ そこに 塩を
H0559 H3947 H0589 H6746 H2319 H7760 H8033 H4417

そして-持って来た 彼に
H3947 H0413

エリシャは言った、「新しい皿に塩を盛って、わたしに持ってきなさい」。彼らは持ってきた。

וַיֹּאמֶר מֶלַח שָׁם וַיַּשְׁלֵךְ־ הַמַּיִם מוֹצָא אֶל־ וַיֵּצֵא 21
そして–言った 塩を そこに そして–投げ入れた 水の 源に へ そして–出て行った
H0559 H4417 H8033 H7993 H4325 H4161 H0413 H3318

מִשָּׁם יִהְיֶה לֹא־ הָאֵלֶּה לַמַּיִם רִפֵּאתִי יְהוָה אָמַר כֹּה־
そこから あることはない もはや これらの を–この–水を 私は–癒した 主は 言われた このように
H8033 H1961 H3808 H0428 H4325 H7495 H3068 H0559 H3541

וּמְשַׁכָּלֶת׃ מָוֶת עוֹד
不毛は 死と もう
H4194 H5750

エリシャは水の源へ出て行って、塩をそこに投げ入れて言った、「主はこう仰せられる、『わたしはこの水を良い水にした。もはやここには死も流産も起らないであろう』」。

דִּבֶּר׃ אֲשֶׁר אֱלִישָׁע כִּדְבַר הַזֶּה הַיּוֹם עַד הַמַּיִם וַיֵּרָפוּ 22
語った ところの エリシャの の–言葉–どおりに この–日 今日の まで 水は そして–癒された
H1696 H0477 H1697 H2088 H3117 H5704 H4325 H7495

פ
（段落）

こうしてその水はエリシャの言ったとおりに良い水になって今日に至っている。

קְטַנִּים וּנְעָרִים בַּדֶּרֶךְ עֹלֶה וְהוּא בֵּית־אֵל מִשָּׁם וַיַּעַל 23
小さな すると–若者たちが 道で 上る–途中 そして–彼は ベテルへ そこから そして–上った
H5288 H1870 H5927 H1931 H1008 H8033 H5927

קָרֵחַ עֲלֵה לוֹ וַיֹּאמְרוּ בּוֹ וַיִּתְקַלְּסוּ־ הָעִיר מִן־ יָצְאוּ
はげ頭 上って来い 彼に そして–言った 彼を そして–あざけった 町から から 出て来た
H7142 H5927 H0559 H7046 H3318

קָרֵחַ׃ עֲלֵה
はげ頭 上って来い
H7142 H5927

彼はそこからベテルへ上ったが、上って行く途中、小さい子供らが町から出てきて彼をあざけり、彼にむかって「はげ頭よ、のぼれ。はげ頭よ、のぼれ」と言ったので、

שְׁתָּיִם וַתֵּצֶאנָה יְהוָה בְּשֵׁם וַיְקַלְלֵם וַיַּרְא אַחֲרָיו וַיִּפֶן 24
二頭の すると–出て来た 主の の–名で そして–呪った そして–見た 後ろを そして–振り向いた
H8147 H3318 H3068 H8034 H7043 H7200 H6437

יְלָדִים׃ וּשְׁנֵי אַרְבָּעִים מֵהֶם וַתְּבַקַּעְנָה הַיַּעַר מִן־ דֻּבִּים
子どもを 二人の 四十 彼らの–うち そして–引き裂いた 森から から 雌熊が
H3206 H8147 H0705 H1992 H1234 H3293 H4480 H1677

彼はふり返って彼らを見、主の名をもって彼らをのろった。すると林の中から二頭の雌ぐまが出てきて、その子供らのうち四十二人を裂いた。

פ שֹׁמְרוֹן׃ שָׁב וּמִשָּׁם הַכַּרְמֶל הָר אֶל־ מִשָּׁם וַיֵּלֶךְ 25
（段落） サマリヤに 戻った そして–そこから カルメルの 山 へ そこから そして–行った
H8111 H7725 H8033 H3760 H2022 H0413 H8033 H3212

彼はそこからカルメル山へ行き、そこからサマリヤに帰った。

Chapter 3

1 וַיְהוֹרָם בֶּן־אַחְאָב מָלַךְ עַל־יִשְׂרָאֵל בְּשֹׁמְרוֹן בִּשְׁנַת
そして-ヨラムは 息子-の アハブの 王となった の-上に イスラエルの サマリヤで の-年に
H3088 H1121 H0256 H4427 H5921 H3478 H8111 H8141

שְׁמֹנֶה עֶשְׂרֵה שָׁנָה׃ וַיִּמְלֹךְ שְׁתֵּים־עֶשְׂרֵה שָׁנָה׃ יְהוֹשָׁפָט מֶלֶךְ יְהוּדָה
十八 第十八 年間 そして-治めた 十二 十二 年間 ヨシャパテの 王 ユダの
H8083 H8141 H4427 H3092 H4427 H3063

ユダの王ヨシャパテの第十八年にアハブの子ヨラムはサマリヤでイスラエルの王となり、十二年世を治めた。

2 וַיַּעַשׂ הָרַע בְּעֵינֵי יְהוָה רַק לֹא כְּאָבִיו וְכְאִמּוֹ
そして-行った 悪を の-目に 主の ただし ない 彼の-父ほどでは そして-彼の-母ほどでは
H6213 H7451 H5869 H3068 H7535 H3808 H1 H517

וַיָּסַר אֶת־מַצְּבַת הַבַּעַל אֲשֶׁר עָשָׂה אָבִיו׃
そして-取り除いた を 石柱を バアルの ところの 作った 彼の-父が
H5493 H853 H4676 H1168 H834 H6213 H1

彼は主の目の前に悪をおこなったが、その父母のようではなかった。彼がその父の造ったバアルの石柱を除いたからである。

3 רַק בְּחַטֹּאות יָרָבְעָם בֶּן־נְבָט אֲשֶׁר־הֶחֱטִיא אֶת־יִשְׂרָאֵל
ただし の-罪に ヤロブアムの 息子-の ネバトの ところの 罪を-犯させた を イスラエルに
H7535 H2403 H3379 H1121 H5028 H834 H2398 H853 H3478

לֹא־סָר מִמֶּנָּה׃ ס דָּבֵק
ない 離れなかった それから （区切り） つき従った
H3808 H5493 H4480 H1692

しかし彼はイスラエルに罪を犯させたネバテの子ヤラベアムの罪につき従って、それを離れなかった。

4 וּמֵישָׁע מֶלֶךְ־מוֹאָב הָיָה נֹקֵד וְהֵשִׁיב לְמֶלֶךְ־יִשְׂרָאֵל
そして-メシャは 王-の モアブの であった 羊-飼い そして-納めていた に-王 イスラエルの
H4337 H4428 H4124 H1961 H5349 H7725 H4428 H3478

מֵאָה אֶלֶף כָּרִים וּמֵאָה אֶלֶף אֵילִים עִם־צָמֶר׃
十万 子羊と そして-十万 雄羊の 十万 羊毛を
H3967 H0505 H3733 H3967 H0505 H6629

モアブの王メシャは羊の飼育者で、十万の小羊と、十万の雄羊の毛とを年々イスラエルの王に納めていたが、

5 וַיְהִי כְּמוֹת אַחְאָב וַיִּפְשַׁע מֶלֶךְ־מוֹאָב בְּמֶלֶךְ יִשְׂרָאֵל׃
そして-あった 死んだ-時 アハブが そして-反逆した 王-の モアブの に-対して-王 イスラエルの
H1961 H4194 H0256 H6586 H4428 H4124 H4428 H3478

アハブが死んだ後、モアブの王はイスラエルの王にそむいた。

6 וַיֵּצֵא הַמֶּלֶךְ יְהוֹרָם בַּיּוֹם הַהוּא מִשֹּׁמְרוֹן וַיִּפְקֹד אֶת־כָּל
そして-出た 王 ヨラムは の-日に その サマリヤから そして-召集した を すべての
H3318 H4428 H3088 H3117 H1931 H8111 H6485 H853 H3605

יִשְׂרָאֵל׃
イスラエルを
H3478

そこでヨラム王はその時サマリヤを出て、イスラエルびとをことごとく集め、

7 וַיֵּלֶךְ וַיִּשְׁלַח אֶל־יְהוֹשָׁפָט מֶלֶךְ־יְהוּדָה לֵאמֹר מֶלֶךְ מוֹאָב
そして-行った そして-遣わした に ヨシャパテに の-王 ユダの 言って の-王 モアブの
H3212 H7971 H0413 H3092 H4428 H3063 H0559 H4428 H4124

פָּשַׁע בִּי הֲתֵלֵךְ אִתִּי אֶל־ מוֹאָב לַמִּלְחָמָה וַיֹּאמֶר אֶעֱלֶה כָּמֹנִי
反逆した 私に 行くか 私と-共に へ モアブへ 戦いに そして-言った 上ろう 私のように
H6586 H3212 H0854 H0413 H4124 H4421 H0559 H5927 H3644

כְּסוּסֶיךָ׃ כְּסוּסַי כְּעַמְּךָ כְּעַמִּי כָּמוֹךָ
あなたの-馬のように 私の-馬のように あなたの-民のように 私の-民のように あなたのように
H3644

また、人をユダの王ヨシャパテにつかわし、「モアブの王はわたしにそむきました。あなたはモアブと戦うために、わたしと一緒に行かれませんか」と言わせた。彼は言った、「行きましょう。わたしはあなたと一つです。わたしの民はあなたの民と一つです。わたしの馬はあなたの馬と一つです」。

8 וַיֹּאמֶר אֵי־ זֶה הַדֶּרֶךְ נַעֲלֶה וַיֹּאמֶר מִדְבַּר דֶּרֶךְ אֱדוֹם׃
そして-言った どの この 道を 上ろうか そして-言った 荒野の の-道 エドムの
H0559 H0335 H2088 H1870 H5927 H0559 H1870 H0123

彼はまた言った、「われわれはどの道を上るのですか」。ヨラムは答えた、「エドムの荒野の道を上りましょう」。

9 וַיֵּלֶךְ מֶלֶךְ יִשְׂרָאֵל וּמֶלֶךְ־ יְהוּדָה וּמֶלֶךְ אֱדוֹם וַיָּסֹבּוּ
そして-行った の-王 イスラエルの そして-の-王 ユダの そして-の-王 エドムの そして-廻った
H3212 H4428 H3478 H4428 H3063 H4428 H0123 H5437

דֶּרֶךְ שִׁבְעַת יָמִים וְלֹא־ הָיָה מַיִם לַמַּחֲנֶה וְלַבְּהֵמָה אֲשֶׁר
の-道を 七 日間 しかし-なかった なかった 水が の-陣営に そして-家畜に ところの
H1870 H7651 H3117 H3808 H1961 H4325 H4264 H0929 H0834

בְּרַגְלֵיהֶם׃
彼らの-足もとの
H7272

こうしてイスラエルの王はユダの王およびエドムの王と共に出て行った。しかし彼らは回り道をして、七日の間進んだが、軍勢とそれに従う家畜の飲む水がなかったので、

10 וַיֹּאמֶר מֶלֶךְ יִשְׂרָאֵל אֲהָהּ כִּי־ קָרָא יְהוָה לִשְׁלֹשֶׁת הַמְּלָכִים
そして-言った の-王 イスラエルの ああ なぜなら 呼び集めた 主が を-三人の 王たちを
H3212 H4428 H3478 H0162 H3588 H7121 H3068 H7969 H4428

הָאֵלֶּה לָתֵת אוֹתָם בְּיַד־ מוֹאָב׃
これらの 渡すために 彼らを の-手に モアブの
H0428 H5414 H0853 H3027 H4124

イスラエルの王は言った、「ああ、主は、この三人の王をモアブの手に渡そうとして召し集められたのだ」。

11

אֶת־	וְנִדְרְשָׁה	לַיהוָה	נָבִיא	פֹּה	הַאֵין	יְהוֹשָׁפָט	וַיֹּאמֶר
を	そして-尋ねよう	の-主の	預言者が	ここに	いないのか	ヨシャパテは	そして-言った
H0853	H1875	H3068	H5030	H6311	H0369	H3092	H0559

יִשְׂרָאֵל	מֶלֶךְ־	מֵעַבְדֵי	אֶחָד	וַיַּעַן	מֵאוֹתוֹ	יְהוָה
イスラエルの	の-王	の-しもべたちの-うち	ひとりが	そして-答えた	彼を-通して	主に
H3478	H4428	H5650	H0259		H0853	H3068

עַל־	מַיִם	יָצַק	אֲשֶׁר־	שָׁפָט	בֶּן־	אֱלִישָׁע	פֹּה	וַיֹּאמֶר
の-上に	水を	水を-注いだ	ところの	シャファトの	の-子	エリシャが-いる	ここに	そして-言った
	H4325	H3332		H8202		H0477	H6311	H0559

אֵלִיָּהוּ׃	יְדֵי
エリヤの	手に
H0452	H3027

ヨシャパテは言った、「われわれが主に問うことのできる主の預言者はここにいませんか」。イスラエルの王のひとりの家来が答えた、「エリヤの手に水を注いだシャパテの子エリシャがここにいます」。

12

מֶלֶךְ	אֵלָיו	וַיֵּרְדוּ	יְהוָה	דְּבַר־	אוֹתוֹ	יֵשׁ	יְהוֹשָׁפָט	וַיֹּאמֶר
の-王	彼のもとに	そして-下った	主の	の-言葉が	彼に	ある	ヨシャパテは	そして-言った
H4428	H0413	H3381	H3068	H1697	H0853	H3426	H3092	H0559

אֱדוֹם׃	וּמֶלֶךְ	וִיהוֹשָׁפָט	יִשְׂרָאֵל
エドムの	そして-の-王	そして-ヨシャパテと	イスラエルの
H0123	H4428	H3092	H3478

ヨシャパテは言った、「主の言葉が彼にあります」。そこでイスラエルの王とヨシャパテとエドムの王とは彼のもとへ下っていった。

13

וָלָךְ	לִי	מַה־	יִשְׂרָאֵל	מֶלֶךְ	אֶל־	אֱלִישָׁע	וַיֹּאמֶר
そして-あなたに	私に	何の-関係がある	イスラエルの	の-王	に	エリシャは	そして-言った
		H4100	H3478	H4428	H0413	H0477	H0559

אִמֶּךָ	נְבִיאֵי	וְאֶל־	אָבִיךָ	נְבִיאֵי	אֶל־	לֵךְ
あなたの-母の	の-預言者たちのもとへ	そして-へ	あなたの-父の	の-預言者たちのもとへ	へ	行け
H0517	H5030	H0413	H0001	H5030	H0413	H3212

הַמְּלָכִים	לִשְׁלֹשֶׁת	יְהוָה	קָרָא	כִּי־	אַל	יִשְׂרָאֵל	מֶלֶךְ	לוֹ	וַיֹּאמֶר
王たちを	を-三人の	主が	呼び集めた	なぜなら	いや	イスラエルの	の-王	彼に	そして-言った
H4428	H7969	H3068	H7121		H0408	H3478	H4428		H0559

מוֹאָב׃	בְּיַד־	אוֹתָם	לָתֵת	הָאֵלֶּה
モアブの	の-手に	彼らを	渡すために	これらの
H4124	H3027	H0853	H5414	H0428

エリシャはイスラエルの王に言った、「わたしはあなたとなんのかかわりがありますか。あなたの父上の預言者たちと母上の預言者たちの所へ行きなさい」。イスラエルの王は彼に言った、「いいえ、主がこの三人の王をモアブの手に渡そうとして召し集められたのです」。

14

לְפָנָיו	עָמַדְתִּי	אֲשֶׁר	צְבָאוֹת	יְהוָה	חַי־	אֱלִישָׁע	וַיֹּאמֶר
その-前に	私が-仕える	ところの	万軍の	主は	生きておられる	エリシャは	そして-言った
H6440	H5975		H6635	H3068		H0477	H0559

אִם־	נֹשֵׂא	אֲנִי	יְהוּדָה	מֶלֶךְ־	יְהוֹשָׁפָט	פְּנֵי	לוּלֵי	כִּי
決して	重んじる	私は	ユダの	の-王	ヨシャパテの	の-顔が	もし-なければ	まことに
	H5375	H0589	H3063	H4428	H3092	H6440	H3884	

אַרְאֶךָּ׃	וְאִם־	אֵלֶיךָ	אַבִּיט
見もしない	そして-もし	あなたを	見向きもしない
H7200		H0413	H5027

エリシャは言った、「わたしの仕える万軍の主は生きておられます。わたしはユダの王ヨシャパテのためにするのでなければ、あなたを顧み、あなたに会うことはしないのだが、

15 וְעַתָּה קְחוּ־לִי מְנַגֵּן וְהָיָה כְּנַגֵּן הַמְנַגֵּן וַתְּהִי עָלָיו יַד־יְהוָה׃
しかし–今 連れて来い 私に 琴を–弾く者を そして–あった 弾く–時 琴を–弾く者が そして–臨んだ 彼の–上に の–手が 主の
H6258 H3947 H0559 H5059 H1961 H5059 H5059 H1961 H3027 H3068

いま楽人をわたしの所に連れてきなさい」。そこで楽人が楽を奏すると、主の手が彼に臨んで、

16 וַיֹּאמֶר כֹּה אָמַר יְהוָה עֲשֹׂה הַנַּחַל הַזֶּה גֵּבִים גֵּבִים׃
そして–言った このように 言われた 主は 作れ この–谷に この 池を 池を
H0559 H3541 H0559 H3068 H6213 H2088

彼は言った、「主はこう仰せられる、『わたしはこの谷を水たまりで満たそう』。

17 כִּי־כֹה אָמַר יְהוָה לֹא־תִרְאוּ רוּחַ וְלֹא־תִרְאוּ גֶּשֶׁם וְהַנַּחַל הַהוּא יִמָּלֵא מָיִם וְשִׁתִּיתֶם אַתֶּם
なぜなら このように 言われた 主は 見ない 風を そして–見ない 雨を 見ることはない しかし–この–谷は その 満たされる 水で そして–飲む あなたがたと
H3541 H0559 H3068 H3808 H7307 H3808 H1653 H7200 H2063 H1931 H4390 H4325 H8354

וּמִקְנֵיכֶם וּבְהֶמְתְּכֶם׃
あなたがたの–家畜と そして–あなたがたの–動物は
H4735 H0929

これは主がこう仰せられるからである、『あなたがたは風も雨も見ないのに、この谷に水が満ちて、あなたがたと、その家畜および獣が飲むであろう』。

18 וְנָקֵל זֹאת בְּעֵינֵי יְהוָה וְנָתַן אֶת־מוֹאָב בְּיֶדְכֶם׃
そして–小さなことである これは の–目に 主の そして–渡す を モアブを あなたがたの–手に
H7043 H2063 H5869 H3068 H5414 H0853 H4124 H3027

これは主の目には小さい事である。主はモアブびとをも、あなたがたの手に渡される。

19 וְהִכִּיתֶם כָּל־עִיר מִבְצָר וְכָל־עִיר מִבְחָר וְכָל־עֵץ טוֹב תַּפִּילוּ וְכָל־מַעְיְנֵי־מַיִם תִּסְתֹּמוּ וְכָל־חֶלְקַת הַטּוֹבָה תַּכְאִבוּ בָּאֲבָנִים׃
そして–打つ すべての 町を 要塞の そして–すべての 町を 優れた そして–すべての 木を 良い そして–すべての 泉を 水の ふさぐ そして–すべての 良い–畠を 良い 倒す 石で 石で–埋める
H5221 H3605 H5892 H4013 H3605 H5892 H4004 H3605 H6086 H2896 H4599 H4325 H5640 H3605 H2843 H2896 H0068 H3510

そしてあなたがたはすべての堅固な町と、すべての良い町を撃ち、すべての良い木を切り倒し、すべての水の井戸をふさぎ、石をもって地のすべての良い所を荒すであろう」。

20 וַיְהִי כַּעֲלוֹת הַמִּנְחָה וְהִנֵּה־מַיִם בָּאִים מִדֶּרֶךְ אֱדוֹם וַתִּמָּלֵא הָאָרֶץ אֶת־הַמָּיִם׃
そして–あった 上げる–時に 供え物を すると–見よ 水が 流れて来た の–方から エドムの そして–満ちた 地は を 水で
H1961 H5927 H4503 H2009 H4325 H0935 H1870 H0123 H4390 H0776 H0853 H4325

あくる朝になって、供え物をささげる時に、水がエドムの方から流れてきて、水は国に満ちた。

21 וְכָל־ מוֹאָב שָׁמְעוּ כִּי־ עָלוּ הַמְּלָכִים לְהִלָּחֶם בָּם
そして–すべての モアブは 聞いた こと 上って来た 王たちが 戦うために 彼らと
H3605 H4124 H8085 H3605 H5927 H4428

וַיִּצָּעֲקוּ וַיַּעַמְדוּ עַל־ הַגְּבוּל׃ מִכֹּל חֲגֹרָה וָמַעְלָה וַיַּעַמְדוּ עַל־ הַגְּבוּל׃
そして–叫んだ そして–立った の–上に 国境に すべての–うちから 帯びる 帯を 以上の–者と そして–立った の–上に 国境に
H6817 H3605 H2296 H2224 H4605 H5975 H5921 H1366

さてモアブびとは皆、王たちが自分たちを攻めるために上ってきたのを聞いたので、よろいを着ることのできる者を、老いも若きもことごとく召集して、国境に配置したが、

22 וַיַּשְׁכִּימוּ בַבֹּקֶר וְהַשֶּׁמֶשׁ זָרְחָה עַל־ הַמָּיִם וַיִּרְאוּ מוֹאָב
そして–早く起きた 朝に そして–太陽が 照った の–上に 水の そして–見た モアブは
H7925 H1242 H8121 H2224 H5921 H4325 H7200 H4124

מִנֶּגֶד אֶת־ הַמַּיִם אֲדֻמִּים כַּדָּם׃
向こうから を 水が 赤く 血のように
H5048 H0853 H4325 H0122 H1818

朝はやく起きて、太陽がのぼって水を照したとき、モアブびとは目の前に血のように赤い水を見たので、

23 וַיֹּאמְרוּ זֶה דָּם הֶחָרֶב נֶחֱרְבוּ הַמְּלָכִים וְאִישׁ אֶת־
そして–言った これは 血だ 必ず 滅ぼし合った 王たちは 人が を
H0559 H2088 H1818 H2719 H2719 H4428 H0376 H0853

רֵעֵהוּ וְעַתָּה לַשָּׁלָל מוֹאָב׃ וְהַכּוּת אֶת־ מוֹאָב׃
仲間を そして–今 の–戦利品へ モアブよ を 打った
H7453 H6258 H7998 H4124 H0853 H5221 H4124

彼らは言った、「これは血だ、きっと王たちが互に戦って殺し合ったのだ。だから、モアブよ、ぶんどりに行きなさい」。

24 וַיָּבֹאוּ אֶל־ מַחֲנֵה יִשְׂרָאֵל וַיָּקֻמוּ יִשְׂרָאֵל וַיַּכּוּ
そして–来た へ 陣営に イスラエルの そして–立ち上がった イスラエルは そして–打った
H0935 H0413 H4264 H3478 H6965 H3478 H5221

וַיָּנֻסוּ מִפְּנֵיהֶם וְיָבוֹא וַיַּכּוּ בָּהּ׃
そして–逃げた 彼らの–前から そして–打ち そして–打ち続けた そこに–入って
H5127 H6440 H0935 H5221 H0935 H5221 H0935 H5221

אֶת־ מוֹאָב׃ וְהַכּוֹת אֶת־ מוֹאָב׃
を モアブを を そして–打ち
H0853 H4124 H0853 H5221 H4124

しかしモアブびとがイスラエルの陣営に行くと、イスラエルびとは立ちあがってモアブびとを撃ったので、彼らはイスラエルの前から逃げ去った。イスラエルびとは進んで、モアブびとを撃ち、その国にはいって、

25 וְהֶעָרִים יַהֲרֹסוּ וְכָל־ חֶלְקָה טוֹבָה יַשְׁלִיכוּ אִישׁ־ אֲבָנָו וּמִלְאוּהָ
そして–町々を 壊した そして–すべての 良い 良い–畠に 投げた 各人が 石を そして–埋めた
H5892 H2040 H3605 H2896 H7993 H0376 H0068 H4390

וְכָל־ עֵץ טוֹב הִפִּילוּ עַד־ הַשְּׁאִיר רַק אַבְנֶיהָ בְּקִיר חֲרֶשֶׁת יְסֻבּוּ הַקַּלָּעִים וַיַּכּוּהָ׃
そして–すべての 木を 良い 倒した まで 残す–だけ 石を その–石を キル・ハレセトに 囲んだ 石投げの–者たちが 打った
H3605 H6086 H2896 H5307 H5704 H7604 H0068 H2356 H7025 H5437 H7051 H5221

町々を滅ぼし、おのおの石を一つずつ、地のすべての良い所に投げて、これに満たし、水の井戸をことごとくふさぎ、良い木をことごとく切り倒して、ただキル・ハラセテはその名を残すのみとなったが、石を投げる者がこれを囲んで撃ち滅ぼした。

26 וַיַּרְא מֹואָב כִּי־חָזַק מִמֶּנּוּ הַמִּלְחָמָה וַיִּקַּח אִתּוֹ
そして-見た モアブの こと 強すぎる 彼より 戦いが そして-取った 彼と-共に
H7200 H4124 H3588 H2388 H4480 H4421 H3947 H0854

שְׁבַע־מֵאוֹת אִישׁ שֹׁלֵף חֶרֶב לְהַבְקִיעַ אֶל־מֶלֶךְ אֱדוֹם וְלֹא
七百 七百 人の 剣を-拝く 剣を 突破するために へ の-王の-もとへ エドムの しかし
H7651 H3967 H0376 H7973 H2719 H1234 H0413 H4428 H0123 H3808

יָכֹלוּ׃
できなかった
H3201

モアブの王は戦いがあまりに激しく、当りがたいのを見て、つるぎを抜く者七百人を率い、エドムの王の所に突き入ろうとしたが、果さなかったので、

27 וַיִּקַּח אֶת־בְּנוֹ הַבְּכוֹר אֲשֶׁר־יִמְלֹךְ תַּחְתָּיו וַיַּעֲלֵהוּ
そして-取った を 彼の-息子を 長子を ところの 王となる 彼に-代わって そして-ささげた
H3947 H0854 H1121 H1060 H0834 H4427 H8478 H5927

עֹלָה עַל־הַחֹמָה וַיְהִי קֶצֶף־גָּדוֹל עַל־יִשְׂרָאֵל וַיִּסְעוּ
全燔の-いけにえとして の-上に 城壁の そして-あった 大きな 怒りが の-上に イスラエルの そして-出発した
H5930 H5921 H2346 H1961 H7110 H1419 H5921 H3478 H5265

מֵעָלָיו וַיָּשֻׁבוּ אַרְצָה׃ פ
彼の-もとから そして-戻った 自国に （段落）
H4480 H5921 H7725 H0776

自分の位を継ぐべきその長子をとって城壁の上で燔祭としてささげた。その時イスラエルに大いなる憤りが臨んだので、彼らは彼をすてて自分の国に帰った。

Chapter 4

1 וְאִשָּׁה אַחַת מִנְּשֵׁי בְנֵי־הַנְּבִיאִים צָעֲקָה אֶל־אֱלִישָׁע
そして-女が ひとりの の-妻たちの-うちの の-息子たちの 預言者たちの 叫んだ に エリシャに
H0802 H0259 H4480 H1121 H5030 H6817 H0413 H0477

לֵאמֹר עַבְדְּךָ אִישִׁי מֵת וְאַתָּה יָדַעְתָּ כִּי עַבְדְּךָ הָיָה
言って あなたの-しもべ 私の-夫は 死んだ そして-あなたは 知っている こと あなたの-しもべが であった
H0559 H5650 H0376 H4191 H0859 H3045 H3588 H5650 H1961

יָרֵא אֶת־יְהוָה וְהַנֹּשֶׁה בָּא לָקַחַת אֶת־שְׁנֵי יְלָדַי לוֹ לַעֲבָדִים׃
畏れる-者 を 主を しかし-債権者が 来た 取るために を 二人の 私の-子どもを 彼の 奴隷として
H3373 H0853 H3068 H0853 H5383 H0935 H3947 H0853 H8147 H3206 H0000 H5650

預言者のともがらの、ひとりの妻がエリシャに呼ばわって言った、「あなたのしもべであるわたしの夫が死にました。ごぞんじのように、あなたのしもべは主を恐れる者でありましたが、今、債主がきて、わたしのふたりの子供を取って奴隷にしようとしているのです」。

2 וַיֹּאמֶר אֵלֶיהָ אֱלִישָׁע מָה אֶעֱשֶׂה־לָּךְ הַגִּידִי לִי מַה־יֶּשׁ
そして-言った 彼女に エリシャは 何を 私が-する あなたに 告げよ 私に 何が ある
H0559 H0413 H0477 H4100 H6213 H5046 H4100 H3426

לְכִי[לכן(לָךְ) בַּבַּיִת אֵין וַתֹּאמֶר לְשִׁפְחָתֵךְ כֹּל כִּי
ただ 家に ない そして-言った あなたの-はしためには 何も ただ
H3605 H8198 H0369 H0559 家に あなたに あなたに

שָׁמֶן׃ אָסוּךְ אִם־
油の 壺-一つの ただ
H8081 H0610

エリシャは彼女に言った、「あなたのために何をしましょうか。あなたの家にどんな物があるか、言いなさい」。彼女は言った、「一びんの油のほかは、はしための家に何もありません」。

3 וַיֹּאמֶר לְכִי שַׁאֲלִי־לָךְ כֵּלִים מִן־הַחוּץ מֵאֵת כָּל־
そして-言った 行け 借りて来い あなたのために 器を から 外から から すべての
H0559 H3212 H7592 H3627 H2351 H0854 H3605

תַּמְעִיטִי׃ אַל רֵקִים כֵּלִים שְׁכֵנָיִךְ(שכנכין[
少なくするな するな 空の 器を 隣人たちの 隣人たちの
H4591 H0408 H7386 H3627 H7934 H7934

彼は言った、「ほかへ行って、隣の人々から器を借りなさい。あいた器を借りなさい。少しばかりではいけません。

4 וּבָאת וְסָגַרְתְּ הַדֶּלֶת בַּעֲדֵךְ וּבְעַד־בָּנַיִךְ
そして-入れ そして-閉めよ 戸を あなたの-後ろに そして-の-後ろに あなたの-息子たちの
H0935 H5462 H1157 H1157

וְהַמָּלֵא תַּסִּיעִי׃ הָאֵלֶּה הַכֵּלִים כָּל־ עַל וְיָצַקְתְּ
そして-満ちたものは わきに-置け これらの 器の すべての の-上に そして-注げ
H4392 H5265 H0428 H3627 H3605 H3332

そして内にはいって、あなたの子供たちと一緒に戸の内に閉じこもり、そのすべての器に油をついで、いっぱいになったとき、一つずつそれを取りのけておきなさい」。

5 וַתֵּלֶךְ מֵאִתּוֹ וַתִּסְגֹּר הַדֶּלֶת בַּעֲדָהּ וּבְעַד
そして-行った 彼の-もとから そして-閉めた 戸を 彼女の-後ろに そして-の-後ろに
H3212 H0854 H5462 H1157 H1157

מוֹצָקֶת׃)מיצקת[וְהִיא אֵלֶיהָ מַגִּשִׁים הֵם בָּנֶיהָ
注いでいた 注いだ そして-彼女は 彼女に 運んで来た 彼らが 彼女の-息子たちの
H3332 H3332 H1931 H0413 H5066 H1992

彼女は彼を離れて去り、子供たちと一緒に戸の内に閉じこもり、子供たちの持って来る器に油をついだ。

6 וַיְהִי כִּמְלֹאת הַכֵּלִים וַתֹּאמֶר אֶל־ בְּנָהּ הַגִּישָׁה אֵלַי
そして-あった 満ち-時に 器が そして-言った に 彼女の-息子に 持って来い 私に
H1961 H4390 H3627 H0559 H0413 H5066 H0413

הַשָּׁמֶן׃ וַיַּעֲמֹד כֶּלִי עוֹד אֵין וַתֹּאמֶר אֵלֶיהָ כֶּלִי עוֹד
油は そして-止まった 器は もう ない 彼女に そして-言った 器を もっと
H8081 H5975 H3627 H5750 H0369 H0413 H0559 H3627 H5750

油が満ちたとき、彼女は子供に「もっと器を持ってきなさい」と言ったが、子供が「器はもうありません」と言ったので、油はとまった。

7 וַתָּבֹא וַתַּגֶּד לְאִישׁ הָאֱלֹהִים וַיֹּאמֶר לְכִי מִכְרִי אֶת־הַשֶּׁמֶן
そして-来た そして-告げた に-人 神の そして-言った 行け 売れ を 油を
H0935 H5046 H0376 H0430 H0559 H3212 H4376 H0853 H8081

וְשַׁלְּמִי אֶת־נִשְׁיכִי(וְאַתְּ וּבָנַיִךְ)בניכי]
そして-払え を あなたの-負債を そして-あなたと あなたの-息子たちは
H0853 H5386 H5386

וּבָנַיִךְ(תִּחְיִי בַּנּוֹתָר׃ פ
あなたの-息子たちは 生きなさい 残りで （段落）
H2421 H3498

そこで彼女は神の人のところにきて告げたので、彼は言った、「行って、その油を売って負債を払いなさい。あなたと、あなたの子供たちはその残りで暮すことができます」。

8 וַיְהִי הַיּוֹם וַיַּעֲבֹר אֱלִישָׁע שׁוּנֵמָה וְשָׁם אִשָּׁה
そして-あった ある-日 そして-通った エリシャは へ シュネムへ そして-そこに 女が-いた
H1961 H3117 H5674 H0477 H0413 H7766 H8033 H0802

גְּדוֹלָה וַתַּחֲזֵק־בּוֹ לֶאֱכָל־לֶחֶם וַיְהִי מְדֵי עָבְרוֹ יָסֹר
裕福な 引き止めた-そして 彼を ために食べる-に パンを そして-あった たびに 通る 立ち寄った
H2388 H0398 H3899 H1961 H1767 H5674 H5493

שָׁמָּה לֶאֱכָל־לֶחֶם׃
そこに ために食べる-に パンを
H8033 H0398 H3899

ある日エリシャはシュネムへ行ったが、そこにひとりの裕福な婦人がいて、しきりに彼に食事をすすめたので、彼はそこを通るごとに、そこに寄って食事をした。

9 וַתֹּאמֶר אֶל־אִישָׁהּ הִנֵּה־נָא יָדַעְתִּי כִּי אִישׁ אֱלֹהִים קָדוֹשׁ
そして-言った に 彼女の-夫に 見よ どうか 私は-知っている こと 神の 人で 聖なる
H0559 H0413 H0376 H2009 H4994 H3045 H0376 H0430 H6918

הוּא עֹבֵר עָלֵינוּ תָּמִיד׃
彼は 通る 私たちの-ところを いつも
H1931 H5674 H5921 H8548

その女は夫に言った、「いつもわたしたちの所を通るあの人は確かに神の聖なる人です。

10 נַעֲשֶׂה־נָּא עֲלִיַּת־קִיר קְטַנָּה וְנָשִׂים לוֹ
作りましょう どうか 小さな-屋上の-部屋を 壁の 小さな そして-置きましょう 彼のために
H6213 H4994 H5944 H7023 H6918 H7760 H0

וּמְנוֹרָה וְכִסֵּא וְשֻׁלְחָן וּמִטָּה וְשָׁם
そして-燭台を そして-椅子と そして-机と 寝台と そこに
H4501 H3678 H7979 H4296 H8033

וְהָיָה בְּבֹאוֹ אֵלֵינוּ יָסוּר שָׁמָּה׃
そして-あるだろう 来る-時に 私たちの-もとに 立ち寄るだろう そこに
H1961 H0935 H0413 H5493 H8033

わたしたちは屋上に壁のある一つの小さいへやを造り、そこに寝台と机といすと燭台とを彼のために備えましょう。そうすれば彼がわたしたちの所に来るとき、そこに、はいることができます」。

11 וַיְהִי הַיּוֹם וַיָּבֹא שָׁמָּה וַיָּסַר אֶל־הָעֲלִיָּה
そして-あった ある-日 そして-来た そこに そして-入った へ 屋上の-部屋に
H1961 H3117 H0935 H8033 H5493 H0413 H5944

וַיִּשְׁכַּב־שָׁמָּה׃
そして-横になった そこに
H7901 H8033

さて、ある日エリシャはそこにきて、そのへやにはいり、そこに休んだが、

12 וַיֹּ֣אמֶר ׀ אֶל־ גֵּחֲזִ֣י נַעֲר֗וֹ קְרָ֤א לַשּׁוּנַמִּית֙ הַזֹּ֣את וַיִּקְרָ֣א־
そして-言った に ゲハジに 彼の-従者に 呼べ シュネムの-女を この そして-呼んだ
H0559 H0413 H1522 H5288 H7121 H7767 H2063 H7121

לָ֔הּ וַתַּעֲמֹ֖ד לְפָנָֽיו׃
彼女を そして-立った 彼の-前に
H5975 H6440

彼はそのしもべゲハジに「このシュネムの女を呼んできなさい」と言った。彼がその女を呼ぶと、彼女はきてエリシャの前に立ったので、

13 וַיֹּ֣אמֶר ל֔וֹ אֱמָר־ נָ֥א אֵלֶ֖יהָ הִנֵּ֣ה חָרַ֤דְתְּ אֵלֵ֙ינוּ֙ אֶת־ כָּל־
そして-言った 彼に どうか 言え 彼女に 見よ 心を-砕いてくれた 私たちに を すべての
H0559 H0559 H4994 H0413 H2009 H2729 H0413 H0853 H3605

זֹ֔את לְךָ֖ הֲנֻדַּבַּ֣ר לְךָ֑ הֲיֵ֣שׁ לָ֔ךְ לַעֲשׂ֥וֹת מֶ֖ה הַזֹּ֣את הַחֲרָדָ֔ה
この あなたのために 取り次ぐ-ことが あるか あなたに することができるか 何が この 心遣いを
H2063 H1696 H3426 H4100 H2063 H2731

אָנֹכִ֕י עַמִּ֖י בְּתוֹךְ֙ וַתֹּ֣אמֶר שַׂ֤ר הַצָּבָא֙ אֶל־ אִ֣ם לַמֶּ֔לֶךְ אֶל־
私は 私の-民の の-中に そして-言った 軍の の-長に へ あるいは 王に へ
H0595 H8432 H0559 H8269 H0413 H0518 H4428 H0413

אֶשֶׁ֥בֶת׃
住んでいる
H3427

エリシャはゲハジに言った、「彼女に言いなさい、『あなたはこんなにねんごろに、わたしたちのために心を用いられたが、あなたのためには何をしたらよいでしょうか。王または軍勢の長にあなたの事をよろしく頼むことをお望みですか』」。彼女は答えて言った、「わたしは自分の民のうちに住んでいます」。

14 בֵּ֣ן אָ֔בֶל גֵּיחֲזִ֖י וַיֹּ֣אמֶר לָ֑הּ לַעֲשׂ֥וֹת וּמֶ֖ה וַיֹּ֣אמֶר
息子が 実は ゲハジは そして-言った 彼女に することができるか それでは-何を そして-言った
H1121 H0061 H1522 H0559 H0559 H4100

זָקֵֽן׃ וְאִישָׁ֥הּ לָ֖הּ אֵ֥ין
老いている そして-彼女の-夫は 彼女には いない
H2204 H0376 H0369

エリシャは言った、「それでは彼女のために何をしようか」。ゲハジは言った、「彼女には子供がなく、その夫は老いています」。

15 וַיֹּ֣אמֶר קְרָ֣א־ לָ֔הּ וַיִּקְרָ֣א־ לָ֔הּ וַתַּעֲמֹ֖ד בַּפָּֽתַח׃
そして-言った 呼べ 彼女を そして-呼んだ 彼女を そして-立った 入口に
H0559 H7121 H7121 H6607 H5975

するとエリシャが「彼女を呼びなさい」と言ったので、彼女を呼ぶと、来て戸口に立った。

16 וַיֹּ֣אמֶר לָ֣עֵת הַזֶּ֣ה כָּעֵ֗ת חַיָּ֤ה]אתין( )אַתְּ֙ חֹבֶ֣קֶת בֵּ֔ן
そして-言った の-時期に この の-ころに 命の あなたは あなたは 抱くであろう 息子を
H0559 H4150 H2088 H6256 H2416 H0859 H0859 H2263 H1121

וַתֹּ֣אמֶר אַל־ אֲדֹנִ֣י אִישׁ֮ הָאֱלֹהִים֒ אַל־ תְּכַזֵּ֖ב בְּשִׁפְחָתֶֽךָ׃
そして-言った いえ わが-主よ 神の 人よ いえ 偽らないでください あなたの-はしために
H0559 H0408 H0113 H0376 H0430 H0408 H3576 H8198

エリシャは言った、「来年の今ごろ、あなたはひとりの子を抱くでしょう」。彼女は言った、「いいえ、わが主よ、神の人よ、はしためを欺かないでください」。

17 וַתָּהַר הָאִשָּׁה וַתֵּלֶד בֵּן לַמּוֹעֵד הַזֶּה כָּעֵת חַיָּה אֲשֶׁר־
そして-身ごもった 女は そして-産んだ 息子を の-時期に この の-ころに 命の ところの
H2029 H0802 H3205 H4150 H2088 H6256

דִּבֶּר אֵלֶיהָ אֱלִישָׁע׃
語った 彼女に エリシャが
H1696 H0413 H0477

しかし女はついに身ごもって、エリシャが彼女に言ったように、次の年のそのころに子を産んだ。

18 וַיִּגְדַּל הַיֶּלֶד וַיְהִי הַיּוֹם וַיֵּצֵא וַיָּבֹא אֶל־
そして-成長した 子どもは そして-あった ある-日 そして-出て行った へ 彼の-父の-もとへ
H1431 H3206 H1961 H3117 H3318 H0413 H0001

אָבִיו אֶל־ הַקֹּצְרִים׃
彼の-父の-もとへ へ 刈り取る-者たちの-もとへ
H0001 H0413

その子が成長して、ある日、刈入れびとの所へ出ていって、父のもとへ行ったが、

19 וַיֹּאמֶר אֶל־ אָבִיו אֶל־ וְרֹאשִׁי רֹאשִׁי וַיֹּאמֶר הַנַּעַר שְׂאֵהוּ
そして-言った へ 私の-頭が 私の-頭が そして-言った 少年に 連れて行け
H0559 H0413 H0001 H0559 H5288 H5375

אֶל־ אִמּוֹ׃
へ 彼の-母の-もとへ
H0413 H0517

父にむかって「頭が、頭が」と言ったので、父はしもべに「彼を母のもとへ背負っていきなさい」と言った。

20 וַיִּשָּׂאֵהוּ וַיְבִיאֵהוּ אֶל־ אִמּוֹ וַיֵּשֶׁב עַל־ בִּרְכֶּיהָ
そして-抱えた そして-連れて行った へ 彼の-母の-もとへ そして-座った の-上に 彼女の-膝の
H5375 H0935 H0413 H0517 H3427 H1290

עַד־ הַצָּהֳרַיִם וַיָּמֹת׃
まで 正午まで そして-死んだ
H5704 H4191

彼を背負って母のもとへ行くと、昼まで母のひざの上にすわっていたが、ついに死んだ。

21 וַתַּעַל וַתַּשְׁכִּבֵהוּ עַל־ מִטַּת אִישׁ הָאֱלֹהִים וַתִּסְגֹּר
そして-上って行った そして-寝かせた の-上に 寝台の 神の 人の そして-閉めた
H5927 H7901 H0430 H0376 H4296 H5462

וַתֵּצֵא׃ בַּעֲדוֹ
そして-出た 彼の-後ろに
H3318 H1157

母は上がっていって、これを神の人の寝台の上に置き、戸を閉じて出てきた。

22 וַתִּקְרָא֙ אֶל־אִישָׁ֔הּ וַתֹּ֣אמֶר שִׁלְחָה־נָּ֥א לִ֛י אֶחָ֥ד
そして-呼んだ に 彼女の-夫を そして-言った どうか 私に ひとりの
H7121 H0413 H0376 H0559 H4994 H7971 H0259

מִן־הַנְּעָרִ֖ים וְאַחַ֣ת הָאֲתֹנ֑וֹת וְאָרֻ֣וצָה וְאָשׁ֔וּבָה עַד־אֵ֥ישׁ הָאֱלֹהִֽים׃
から 少年たちの-うちから そして-一頭の ろばを そして-走って行く まで 神の 人の-もとまで
H5288 H0259 H0860 H7323 H5704 H0376 H0430

そして夫を呼んで言った、「どうぞ、しもべひとりと、ろば一頭をわたしにかしてください。急いで神の人の所へ行って、また帰ってきます」。

23 וַיֹּ֣אמֶר מַדּ֣וּעַ [אתין] (אַתְּ) [הלכתין] (הֹלֶ֔כֶת) אֵלָ֖יו לֹא־חֹ֥דֶשׁ וְלֹא־שַׁבָּ֑ת וַתֹּ֣אמֶר שָׁלֽוֹם׃
そして-言った なぜ あなたは 行くのか 行く 彼の-もとへ ではない 今日 ではない 安息日でも そして-言った 平安
H0559 H4069 H0859 H1980 H1980 H0413 H3808 H3117 H3808 H7676 H0559 H7965

夫は言った、「どうしてきょう彼の所へ行こうとするのか。きょうは、ついたちでもなく、安息日でもない」。彼女は言った、「よろしいのです」。

24 וַתַּחֲבֹשׁ֙ הָאָתוֹן֙ וַתֹּ֣אמֶר אֶל־נַעֲרָ֔הּ נְהַ֥ג וָלֵ֖ךְ אַל־תַּעֲצַר־לִ֣י לָרֹכֵ֑ב כִּ֥י אִם־אָמַ֖רְתִּי לָֽךְ׃
そして-鞍を置いた ろばに そして-言った に 彼女の-少年に 駆り立てろ そして-行け するな 私のために 止めるな ただ ただ 私が-言った あなたに
H2280 H0860 H0559 H0413 H5288 H5090 H3212 H0408 H6113 H7392 H3588 H0559 H0859

そして彼女はろばにくらを置いて、しもべに言った、「速く駆けさせなさい。わたしが命じる時でなければ、歩調をゆるめてはなりません」。

25 וַתֵּ֣לֶךְ וַתָּבֹ֗וא אֶל־אִ֤ישׁ הָאֱלֹהִים֙ אֶל־הַ֣ר הַכַּרְמֶ֔ל וַיְהִ֕י כִּרְאוֹת֙ אִישׁ־הָאֱלֹהִ֔ים אֹתָ֖הּ מִנֶּ֑גֶד וַיֹּ֣אמֶר אֶל־גֵּיחֲזִ֤י נַעֲרוֹ֙ הִנֵּ֣ה הַשּׁוּנַמִּ֣ית הַלָּֽזֹ׃
そして-行った そして-来た へ 神の 人の-もとへ へ 山 カルメルの そして-あった 見た-時 神の 人が 彼女を 向こうから そして-言った に ゲハジに 彼の-従者に 見よ あの シュネムの-女だ
H3212 H0935 H0413 H0376 H0430 H0413 H2022 H3760 H1961 H7200 H0376 H0430 H0853 H5048 H0559 H0413 H1522 H5288 H2009 H1975 H7767

こうして彼女は出発してカルメル山へ行き、神の人の所へ行った。神の人は彼女の近づいてくるのを見て、しもべゲハジに言った、「向こうから、あのシュネムの女が来る。

26 עַתָּ֣ה רֽוּץ־נָ֣א לִקְרָאתָ֗הּ וֶאֱמַר־אֵ֤לֶיהָ הֲשָׁלֹ֙ום֙ לָ֔ךְ הֲשָׁלֹ֖ום לְאִישֵׁ֑ךְ הֲשָׁלֹ֖ום לַיָּ֑לֶד וַתֹּ֣אמֶר שָׁלֽוֹם׃
今 走れ どうか 彼女を-迎えに そして-言え 彼女に 平安か あなたは 平安か 子どもは 平安か あなたの-夫は 平安
H6258 H7323 H4994 H7125 H0559 H7965 H0859 H7965 H3206 H7965 H0376 H0559 H7965

すぐ走って行って、彼女を迎えて言いなさい、『あなたは無事ですか。あなたの夫は無事ですか。あなたの子供は無事ですか』」。彼女は答えた、「無事です」。

27

וַיִּגַּשׁ	בִּרְגְלָיו	וַתַּחֲזֵק	הָהָר	אֶל־	הָאֱלֹהִים	אִישׁ	אֶל־	וַתָּבֹא
そして–近づいた	彼の–足を	そして–つかんだ	山へ	へ	人の–もとへ	神の	へ	そして–来た
H5066	H7272	H2388	H2022	H0413	H0430	H0376	H0413	H0935

כִּי־	לָהּ	הַרְפָּה־	הָאֱלֹהִים	אִישׁ	וַיֹּאמֶר	לְהָדְפָּהּ		גֵּיחֲזִי
なぜなら	彼女を	放して–おけ	人は	神の	そして–言った	彼女を–押しのけるために		ゲハジが
		H7503	H0430	H0376	H0559	H1920		H1522

לִי׃	הִגִּיד	וְלֹא	מִמֶּנִּי	הֶעְלִים	וַיהוָה	לָהּ	מָרָה־	נַפְשָׁהּ
私に	告げなかった	そして–ない	私から	隠した	そして–主は	彼女に	苦しんでいる	彼女の–魂は
	H5046	H3808		H5956	H3068		H4843	H5315

ところが彼女は山にきて、神の人の所へくるとエリシャの足にすがりついた。ゲハジが彼女を追いのけようと近よった時、神の人は言った、「かまわずにおきなさい。彼女は心に苦しみがあるのだから。主はそれを隠して、まだわたしにお告げにならないのだ」。

28

לֹא	אָמַרְתִּי	הֲלֹא	אֲדֹנִי	מֵאֵת	בֵּן	הַשָּׁאַלְתִּי	וַתֹּאמֶר
するな	私は–言った	ではないか	わが–主に	から	息子を	求めたか	そして–言った
H3808	H0559	H3808	H0113	H0854		H7592	H0559

אֹתִי׃	תַּשְׁלֶה
私を	欺してはならない
H0853	H7952

そこで彼女は言った、「わたしがあなたに子を求めましたか。わたしを欺かないでくださいと言ったではありませんか」。

29

כִּי־	וָלַכְתָּ	בְיָדְךָ	מִשְׁעַנְתִּי	וְקַח	מָתְנֶיךָ	חֲגַר	לְגֵיחֲזִי	וַיֹּאמֶר
もし	そして–行け	手に	私の–杖を	そして–取れ	腰を	締めよ	ゲハジに	そして–言った
	H3212	H3027		H3947	H4975	H2296	H1522	H0559

תַּעֲנֶנּוּ	לֹא	אִישׁ	יְבָרֶכְךָ	וְכִי־	תְבָרְכֶנּוּ	לֹא	אִישׁ	תִּמְצָא
答えるな	するな	人が	挨拶してきたら	そして–もし	挨拶するな	するな	人に	人に–会ったら
	H3808	H0376	H1288		H1288	H3808	H0376	H4672

הַנָּעַר׃	פְּנֵי	עַל־	מִשְׁעַנְתִּי	וְשַׂמְתָּ
少年の	顔の	の–上に	私の–杖を	そして–置け
H5288	H6440			

エリシャはゲハジに言った、「腰をひきからげ、わたしのつえを手に持って行きなさい。だれに会っても、あいさつしてはならない。またあなたにあいさつする者があっても、それに答えてはならない。わたしのつえを子供の顔の上に置きなさい」。

30

נַפְשְׁךָ	וְחֵי־	יְהוָה	חַי־	הַנַּעַר	אֵם	וַתֹּאמֶר	
あなたの–魂にかけて	そして–生きている	主は	生きておられる	少年の	母は	そして–言った	
H5315		H3068		H5288	H0517	H0559	

אַחֲרֶיהָ׃	וַיֵּלֶךְ	וַיָּקָם	אֶעֱזָבֵךְ	אִם־
彼女の–後に	そして–行った	そして–立ち上がった	あなたを–離れない	決して
	H3212			

子供の母は言った、「主は生きておられます。あなたも生きておられます。わたしはあなたを離れません」。そこでエリシャはついに立ちあがって彼女のあとについて行った。

31 וְגֵחֲזִי עָבַר לִפְנֵיהֶם וַיָּשֶׂם אֶת־הַמִּשְׁעֶנֶת עַל־פְּנֵי הַנָּעַר וְאֵין קוֹל וְאֵין קָשֶׁב וַיָּשָׁב לִקְרָאתוֹ וַיַּגֶּד־לוֹ לֵאמֹר לֹא הֵקִיץ הַנָּעַר׃

ゲハジは彼らの先に行って、つえを子供の顔の上に置いたが、なんの声もなく、生きかえったしるしもなかったので、帰ってきてエリシャに会い、彼に告げて「子供はまだ目をさましません」と言った。

32 וַיָּבֹא אֱלִישָׁע הַבַּיְתָה וְהִנֵּה הַנַּעַר מֻשְׁכָּב מֵת עַל־מִטָּתוֹ׃

エリシャが家にはいって見ると、子供は死んで、寝台の上に横たわっていたので、

33 וַיָּבֹא וַיִּסְגֹּר הַדֶּלֶת בְּעַד שְׁנֵיהֶם וַיִּתְפַּלֵּל אֶל־יְהוָה׃

彼ははいって戸を閉じ、彼らふたりだけ内にいて主に祈った。

34 וַיַּעַל וַיִּשְׁכַּב עַל־הַיֶּלֶד וַיָּשֶׂם פִּיו עַל־פִּיו וְעֵינָיו עַל־עֵינָיו וְכַפָּיו עַל־[כפו](כַּפָּיו) וַיִּגְהַר עָלָיו וַיָּחָם בְּשַׂר הַיָּלֶד׃

そしてエリシャが上がって子供の上に伏し、自分の口を子供の口の上に、自分の目を子供の目の上に、自分の両手を子供の両手の上にあて、その身を子供の上に伸ばしたとき、子供のからだは暖かになった。

35 וַיָּשָׁב וַיֵּלֶךְ בַּבַּיִת אַחַת הֵנָּה וְאַחַת הֵנָּה וַיַּעַל וַיִּגְהַר עָלָיו וַיִּזֹּרֶר הַנַּעַר עַד־שֶׁבַע פְּעָמִים וַיִּפְקַח הַנַּעַר אֶת־עֵינָיו׃

こうしてエリシャは再び起きあがって、家の中をあちらこちらと歩み、また上がって、その身を子供の上に伸ばすと、子供は七たびくしゃみをして目を開いた。

36 וַיִּקְרָ֣א וַיֹּ֣אמֶר גֵּיחֲזִ֗י אֶל־ קְרָ֤א אֶל־ הַשֻּׁנַמִּית֙ הַזֹּ֣את
そして–呼んだ そして–言った ゲハジを へ 呼べ へ シュネムの–女を この
H7121 H0559 H1522 H0413 H7121 H0413 H7767 H2063

וַיִּקְרָ֖אָ֣ה וַתָּבֹ֑וא וַיֹּ֣אמֶר אֶלָּ֔יו שְׂאִ֖י בִּנֵּ֥ךְ׃
そして–呼んだ そして–来た そして–言った 彼の–もとに 抱き上げなさい あなたの–息子を
H7121 H0935 H0559 H0413 H5375

エリシャはただちにゲハジを呼んで、「あのシュネムの女を呼べ」と言ったので、彼女を呼んだ。彼女がはいってくるとエリシャは言った、「あなたの子供をつれて行きなさい」。

37 וַתָּבֹ֗א וַתִּפֹּ֤ל עַל־ רַגְלָיו֙ וַתִּשְׁתַּ֣חוּ אָ֔רְצָה וַתִּשָּׂ֖א
そして–来た そして–ひれ伏した 彼の–足の の–上に そして–ひれ伏した 地に そして–抱き上げた
H0935 H7307 H7272 H5921 H7812 H0776 H5375

וַתֵּצֵ֑א בְּנָ֖הּ אֶת־ וַתִּקַּ֥ח פ׃
そして–出た 彼女の–息子を を （段落）
H3318 H1121 H0853

彼女ははいってきて、エリシャの足もとに伏し、地に身をかがめた。そしてその子供を取りあげて出ていった。

38 וֶֽאֱלִישָׁ֗ע וַיָּ֤שָׁב שָׁ֙בָא֙ וְהָרָעָ֣ב בָּאָ֔רֶץ וּבְנֵ֣י הַנְּבִיאִ֔ים
そして–エリシャは 戻った 飢饉が そして–あった 地に–あった そして–息子たち 預言者たちの
H0477 H7725 H7458 H0776 H1121 H5030

הַגִּלְגָּ֑ל לִפְנֵיו֙ יֹשְׁבִ֣ים וַיֹּ֤אמֶר לְנַעֲרוֹ֙ שְׁפֹ֣ת הַגְּדוֹלָ֔ה וּבַשֵּׁ֖ל נָזִ֥יד
ギルガルに 彼の–前に 座っていた そして–言った 彼の–従者に かけよ 大きな そして–煮よ 煤物を
H1537 H6440 H3427 H0559 H5288 H8239 H1419 H1310 H5138

לִבְנֵ֥י הַנְּבִיאִֽים׃
の–息子たちのために 預言者たちの
H1121 H5030

エリシャはギルガルに帰ったが、その地にききんがあった。預言者のともがらが彼の前に座していたので、エリシャはそのしもべに言った、「大きなかまをすえて、預言者のともがらのために野菜の煮物をつくりなさい」。

39 וַיֵּצֵ֣א וַיִּמְצָא־ אֶחָד֩ אֶל־ הַשָּׂדֶ֜ה לְלַקֵּ֣ט אֹ֗רֹת
そして–出て行った ひとりが へ 野へ 摘むために 草を
H3318 H0259 H0413 H7704 H0776

וַיָּבֹ֕א וַיָּרֶ֥ק בִּגְדֹ֖ו מָלְאָ֣ה שָׂדֶ֑ה פַּקֻּעֹ֣ת מִמֶּ֔נּוּ וַיְלַקֵּ֥ט שָׂדֶ֖ה
そして–来た 彼の–衣に いっぱい 野の 野生の–瓜を そこから そして–摘んだ 野の
H0935 H0899 H4393 H7704 H6498 H4480 H3950 H7704

וַיָּבֹ֕א וַיְפַלַּ֖ח אֶל־ סִ֥יר הַנָּזִ֑יד כִּי־ לֹ֥א יָדָֽעוּ׃
そして–来た そして–切った の–中に 鉢の 煤物の なぜなら ない 知らなかった
H0935 H6398 H0413 H5518 H5138 H3588 H3808 H3045

彼らのうちのひとりが畑に出ていって青物をつんだが、つる草のあるのを見て、その野うりを一包つんできて、煮物のかまの中に切り込んだ。彼らはそれが何であるかを知らなかったからである。

צָעֲקוּ	וְהֵמָּה	מִמַּהֲנֵזִיד	כְּאָכְלָם	וַיְהִי	לֶאֱכוֹל	לָאֲנָשִׁים	וַיִּצְקוּ		40
叫んだ	そして-彼らは	煤物から	食べた-時	そして-あった	食べるために	人々に	そして-注いだ		
H6817	H1992	H5138	H0398	H1961	H0398	H0376	H3332		

יָכְלוּ	וְלֹא	הָאֱלֹהִים	אִישׁ	בַּסִּיר	מָוֶת	וַיֹּאמְרוּ		
食べることが-できなかった	そして-ない	人よ	神の	鉢の-中に	死だ	そして-言った		
H3201	H3808	H0430	H0376		H4194	H0559		

לֶאֱכֹל׃
食べることが
H0398

やがてこれを盛って人々に食べさせようとしたが、彼らがその煮物を食べようとした時、叫んで、「ああ神の人よ、かまの中に、たべると死ぬものがはいっています」と言って、食べることができなかったので、

צָק	וַיֹּאמֶר	הַסִּיר	אֶל־	וַיִּשְׁלַךְ	קֶמַח	וּקְחוּ־	וַיֹּאמֶר		41
注げ	そして-言った	鉢の	の-中に	そして-入れた	麦粉を	そして-取って来い	そして-言った		
H3332	H0559		H0413	H7993	H7058	H3947	H0559		

ס	בַּסִּיר׃	רָע	דָּבָר	הָיָה	וְלֹא	וְיֹאכְלוּ	לָעָם	
（区切り）	鉢の-中に	悪い	悪い-ものは	なかった	そして-なかった	そして-食べさせよ	民に	
			H1697	H1961	H3808	H0398		

エリシャは「それでは粉を持って来なさい」と言って、それをかまに投げ入れ、「盛って人々に食べさせなさい」と言った。かまの中には、なんの毒物もなくなった。

בִּכּוּרִים	לֶחֶם	הָאֱלֹהִים	לְאִישׁ	וַיָּבֵא	שָׁלִשָׁהמִבַּעַל	בָּא	וְאִישׁ	42
初穂の	パンを	神の	に-人	そして-持って来た	バアル・シャリシャから	来た	そして-人が	
H1061	H3899	H0430	H0376	H0935	H1190	H0935	H0376	

לָעָם	תֵּן	וַיֹּאמֶר	בְּצִקְלֹנוֹ	וְכַרְמֶל	שְׂעֹרִים	לֶחֶם	עֶשְׂרִים־		
民に	与えよ	そして-言った	彼の-袋に	そして-新穀を	大麦の	パンと	二十		
	H5414	H0559	H6861	H3759	H8184	H3899	H6242		

וְיֹאכֵלוּ׃
そして-食べさせよ
H0398

その時、バアル・シャリシャから人がきて、初穂のパンと、大麦のパン二十個と、新穀一袋とを神の人のもとに持ってきたので、エリシャは「人々に与えて食べさせなさい」と言ったが、

וַיֹּאמֶר	אִישׁ	מֵאָה	לִפְנֵי	זֶה	אֶתֵּן	מָה	מְשָׁרְתוֹ	וַיֹּאמֶר	43
そして-言った	人の	百	の-前に	これを	与えるのか	何を	彼の-従者は	そして-言った	
H0559	H0376	H3967	H6440	H2088	H5414	H4100	H8334	H0559	

וְהוֹתֵר׃	אָכֹל	יְהוָה	אָמַר	כֹּה	כִּי	וְיֹאכְלוּ	לָעָם	תֵּן
そして-余る	食べて	主は	言われた	このように	なぜなら	そして-食べさせよ	民に	与えよ
H3498	H0398	H3068	H0559	H3541		H0398		H5414

その召使は言った、「どうしてこれを百人の前に供えるのですか」。しかし彼は言った、「人々に与えて食べさせなさい。主はこう言われる、『彼らは食べてなお余すであろう』」。

פ	יְהוָה׃	כִּדְבַר	וַיּוֹתְרוּ	וַיֹּאכְלוּ	לִפְנֵיהֶם	וַיִּתֵּן	44
（段落）	主の	の-言葉-どおりに	そして-余った	そして-食べた	彼らの-前に	そして-与えた	
	H3068	H1697	H3498	H0398	H6440	H5414	

そこで彼はそれを彼らの前に供えたので、彼らは食べてなお余した。主の言葉のとおりであった。

Chapter 5

וְנַעֲמָן שַׂר־צְבָא מֶלֶךְ־אֲרָם הָיָה אִישׁ גָּדוֹל לִפְנֵי
1 そして–ナアマンは の–長 の–軍 の–王 アラムの であった 人で 大いなる の–前に
H5283 H8269 H6635 H4428 H0758 H1961 H0376 H1419 H6440

אֲדֹנָיו וּנְשֵׂא פָנִים כִּי־ בוֹ נָתַן יְהוָה תְּשׁוּעָה לַאֲרָם
彼の–主人の そして–尊ばれた 顔の なぜなら 彼を–通して 与えた 主が 勝利を アラムに
H0113 H5375 H6440 H3588 H0 H5414 H3068 H8668 H0758

וְהָאִישׁ הָיָה גִבּוֹר חַיִל מְצֹרָע׃
しかし–その–人は であった 勇士で 力の らい病人であった
H0376 H1961 H1368 H2428 H6879

スリヤ王の軍勢の長ナアマンはその主君に重んじられた有力な人であった。主がかつて彼を用いてスリヤに勝利を得させられたからである。彼は大勇士であったが、らい病をわずらっていた。

וַאֲרָם יָצְאוּ גְדוּדִים וַיִּשְׁבּוּ מֵאֶרֶץ יִשְׂרָאֵל נַעֲרָה קְטַנָּה
2 そして–アラムが 出て行った 略奪隊として そして–捕らえた から–地 イスラエルの 少女を 小さな
H0758 H3318 H1416 H7617 H0776 H3478 H5291 H6996

וַתְּהִי לִפְנֵי אֵשֶׁת נַעֲמָן׃
そして–いた の–前に の–妻 ナアマンの
H1961 H6440 H0802 H5283

さきにスリヤびとが略奪隊を組んで出てきたとき、イスラエルの地からひとりの少女を捕えて行った。彼女はナアマンの妻に仕えたが、

וַתֹּאמֶר אֶל־ גְּבִרְתָּהּ אַחֲלֵי אֲדֹנִי הַנָּבִיא אֲשֶׁר
3 そして–言った に 彼女の–女主人に どうか 私の–主人が 預言者の ところの
H0559 H0413 H1404 H0305 H0113 H5030 H0834

לִפְנֵי מְצָרַעְתּוֹ׃ אֹתוֹ יֶאֱסֹף אָז בְּשֹׁמְרוֹן
の–前に 彼の–らい病から 彼を 癒すであろう その時 サマリヤにいる
H6440 H6879 H0853 H0622 H0227 H8111

その女主人にむかって、「ああ、御主人がサマリヤにいる預言者と共におられたらよかったでしょうに。彼はそのらい病をいやしたことでしょう」と言ったので、

וַיָּבֹא וַיַּגֶּד לַאדֹנָיו לֵאמֹר כָּזֹאת וְכָזֹאת דִּבְּרָה הַנַּעֲרָה
4 そして–行った そして–告げた 彼の–主人に 言って このように そして–このように 語った 少女は
H0935 H5046 H0113 H0559 H3602 H2063 H1696 H5291

מֵאֶרֶץ יִשְׂרָאֵל׃ אֲשֶׁר
から–地 イスラエルの ところの
H0776 H3478 H0834

ナアマンは行って、その主君に、「イスラエルの地からきた娘がこういう事を言いました」と告げると、

וַיֹּאמֶר וַיֵּלֶךְ אֲרָם מֶלֶךְ־ אֶל־ מֶלֶךְ וְאֶשְׁלְחָה סֵפֶר בֹּא לֶךְ־ לֵךְ
5 そして–言った そして–行った アラムの の–王 に の–王 そして–私が–送る 手紙を 行け 行け
H0559 H3212 H0758 H4428 H0413 H4428 H7971 H5612 H0935 H3212

וַיִּקַּח בְּיָדוֹ עֶשֶׂר כִּכְּרֵי כֶסֶף וְשֵׁשֶׁת אֲלָפִים
そして–取った 手に 十 タラントの 銀と そして–六千 六千
H3947 H3027 H6235 H3603 H3701 H8337 H0505

זָהָב וְעֶשֶׂר חֲלִיפוֹת בְּגָדִים׃
金と そして–十 着替えの 衣服を
H2091 H6235 H2487

スリヤ王は言った、「それでは行きなさい。わたしはイスラエルの王に手紙を書きましょう」。そこで彼は銀十タラントと、金六千シケルと、晴れ着十着を携えて行った。

6

וַיָּבֵא הַסֵּפֶר כְּבוֹא וְעַתָּה לֵאמֹר יִשְׂרָאֵל מֶלֶךְ־ אֶל־ הַסֵּפֶר
そして–持って行った 手紙を に 王の–の イスラエルの 言って 今 そして–届く–時 手紙が
H0935 H0413 H4428 H3478 H0559 H6258 H0935

וַאֲסַפְתּוֹ עַבְדִּי נַעֲמָן אֶת־ אֵלֶיךָ שָׁלַחְתִּי הִנֵּה אֵלֶיךָ הַזֶּה
そして–癒してくれ 私の–家臣を ナアマンを を あなたに 私は–遣わした 見よ あなたに この
H0622 H5650 H5283 H0853 H0413 H7971 H2009 H0413 H2088

מִצָּרַעְתּוֹ׃
彼の–らい病から
H6883

彼がイスラエルの王に持って行った手紙には、「この手紙があなたにとどいたならば、わたしの家来ナアマンを、あなたにつかわしたことと御承知ください。あなたに彼のらい病をいやしていただくためです」とあった。

7

וַיְהִי כִּקְרֹא מֶלֶךְ־ יִשְׂרָאֵל אֶת־ הַסֵּפֶר וַיִּקְרַע בְּגָדָיו
そして–あった 読んだ–時 王の–の イスラエルの を 手紙を そして–引き裂いた 彼の–衣を
H1961 H7121 H4428 H3478 H0853 H7167

וַיֹּאמֶר הַאֱלֹהִים אֲנִי לְהָמִית וְלְהַחֲיוֹת זֶה כִּי־ שָׁלַח
そして–言った 神なのか 私は 殺すために そして–生かすために この–者は なぜなら 遣わしてきた
H0559 H0430 H0589 H4191 H2421 H2088 H7971

כִּי־ דְעוּ־ נָא וּרְאוּ אַךְ־ כִּי מִצָּרַעְתּוֹ אִישׁ לֶאֱסֹף אֵלַי
こと 知れ どうか そして–見よ ただ まことに 彼の–らい病から 人を 癒すために 私に
H3045 H4994 H7200 H0389 H6883 H0376 H0622 H0413

מִתְאַנֶּה הוּא כִּי לִי׃
挑んでいる 彼は 私に
H0579 H1931

イスラエルの王はその手紙を読んだ時、衣を裂いて言った、「わたしは殺したり、生かしたりすることのできる神であろうか。どうしてこの人は、らい病人をわたしにつかわして、それをいやせと言うのか。あなたがたは、彼がわたしに争いをしかけているのを知って警戒するがよい」。

8

וַיְהִי כִּשְׁמֹעַ אִישׁ־ הָאֱלֹהִים אֱלִישָׁע כִּי־ קָרַע מֶלֶךְ־ יִשְׂרָאֵל
そして–あった 聞いた–時 神の エリシャが こと 引き裂いた 王の–の イスラエルの
H1961 H8085 H0376 H0477 H0559 H7167 H4428 H3478

בְּגָדָיו וַיִּשְׁלַח אֶל־ הַמֶּלֶךְ לֵאמֹר לָמָּה קָרַעְתָּ בְּגָדֶיךָ
彼の–衣を そして–遣わした に 王に 言って なぜ 引き裂いたのか あなたの–衣を
H0853 H7971 H0413 H4428 H0559 H4100 H7167

בְּיִשְׂרָאֵל׃ נָבִיא יֵשׁ כִּי וְיֵדַע אֵלַי נָא יָבֹא
イスラエルに 預言者が いる こと そして–知るだろう 私の–もとに どうか 来させよ
H3478 H5030 H3426 H3045 H0413 H4994 H0935

神の人エリシャは、イスラエルの王がその衣を裂いたことを聞き、王に人をつかわして言った、「どうしてあなたは衣を裂いたのですか。彼をわたしのもとにこさせなさい。そうすれば彼はイスラエルに預言者のあることを知るようになるでしょう」。

9

וַיָּבֹא נַעֲמָן [בסוס] (בְּסוּסָיו) וּבְרִכְבּוֹ וַיַּעֲמֹד פֶּתַח־
そして–来た ナアマンは [彼の–馬と] (彼の–馬と) そして–彼の–戦車で そして–立った の–入口に
H0935 H5283 H7393 H5975 H6607

הַבָּיִת לֶאֱלִישָׁע׃
家の エリシャの
H0477

そこでナアマンは馬と車とを従えてきて、エリシャの家の入口に立った。

10 וַיִּשְׁלַ֤ח אֵלָיו֙ אֱלִישָׁ֔ע מַלְאָ֖ךְ לֵאמֹ֑ר הָלוֹךְ֙ וְרָחַצְתָּ֣ שֶׁבַע־ פְּעָמִ֔ים
そして–遣わした 彼に エリシャは 使者を 言って 行って そして–洗え 七 回
H7971 H0413 H0477 H4397 H0559 H1980 H7364 H7651 H6471

וְיָשָׁ֥ב בְּשָׂרְךָ֖ לָ֑ךְ וְטָהֵֽר׃ בַּיַּרְדֵּ֔ן
そして–戻る あなたの–肉が あなたに そして–清くなる ヨルダン川で
H7725 H1320 H7725 H2891 H3383

するとエリシャは彼に使者をつかわして言った、「あなたはヨルダンへ行って七たび身を洗いなさい。そうすれば、あなたの肉はもとにかえって清くなるでしょう」。

11 וַיִּקְצֹ֣ף נַעֲמָ֗ן וַיֵּלַךְ֙ וַיֹּ֣אמֶר֮ הִנֵּ֣ה אָמַ֣רְתִּי אֵלַי֒ יֵצֵ֣א וְעָמֹ֣ד
そして–怒った ナアマンは そして–去った そして–言った 見よ 私は–思った 私に 出て来て そして–立ち
H7107 H5283 H3212 H0559 H2009 H0559 H0413 H3318 H5975

וְקָרָ֣א בְשֵׁם־ יְהוָ֣ה אֱלֹהָ֔יו וְהֵנִ֤יף יָדוֹ֙ עַל־ הַמָּק֔וֹם וְאָסַ֖ךְ הַמְצֹרָֽע׃
そして–呼び の–名で 主の 彼の–神の そして–振り 手を の–上に ところの そして–癒すと らい病人を
H7121 H8034 H3068 H0430 H5130 H3027 H0413 H4725 H0622 H6879

しかしナアマンは怒って去り、そして言った、「わたしは、彼がきっとわたしのもとに出てきて立ち、その神、主の名を呼んで、その箇所の上に手を動かして、らい病をいやすのだろうと思った。

12 הֲלֹא֩ טוֹב֨ אבנה[ ]אֲמָנָ֜ה וּפַרְפַּ֗ר נַהֲרוֹת֙ דַּמֶּ֣שֶׂק מִכֹּ֣ל
ではないか 良い アバナと アマナと そして–パルパルは 川である ダマスコの すべての–より
H3808 H2896 H0071 H0549 H6554 H5104 H1834 H3605

מִ֨ימֵ֔י יִשְׂרָאֵ֖ל הֲלֹא־ אֶרְחַ֣ץ בָּהֶ֑ם וְטָהַ֖רְתִּי וַיָּ֥פֶן
水より イスラエルの ではないか 洗える そこで そして–清くなる そして–向きを–変えた
H4325 H3478 H3808 H7364 H2891 H6437

וַיֵּ֥לֶךְ בְּחֵמָֽה׃
そして–行った 怒りで
H3212 H2534

ダマスコの川アバナとパルパルはイスラエルのすべての川水にまさるではないか。わたしはこれらの川に身を洗って清まることができないのであろうか」。こうして彼は身をめぐらし、怒って去った。

13 וַיִּגְּשׁ֣וּ וַיְדַבְּר֣וּ אֵלָיו֮ עֲבָדָיו֒ וַיֹּ֣אמְרוּ֮ אָבִי֒ דָּבָ֤ר גָּדוֹל֙
そして–近づいた そして–語った 彼に 彼の–家臣たちが そして–言った わが–父よ ことを 大きな
H5066 H1696 H0413 H5650 H0559 H0001 H1697 H1419

הֲלֹא֙ דִּבֶּ֣ר אֵלֶ֔יךָ אָמַ֖ר כִּי־ וְאַף֙ תַּעֲשֶׂ֔ה הֲלֹא֙ אֵלֶ֔יךָ דִּבֶּ֣ר רְחַ֥ץ
ではないか あなたに 語ったなら 預言者が 言った こと まして 行う ではないか あなたに 言った 洗え
H3808 H0413 H1696 H5030 H0559 H3588 H0637 H6213 H3808 H0413 H1696 H7364

וְטָהֵֽר׃
そして–清くなれ
H2891

その時、しもべたちは彼に近よって言った、「わが父よ、預言者があなたに、何か大きな事をせよと命じても、あなたはそれをなさらなかったでしょうか。まして彼はあなたに『身を洗って清くなれ』と言うだけではありませんか」。

14 וַיֵּרֶד וַיִּטְבֹּל בַּיִּרְדֵּן שֶׁבַע פְּעָמִים כִּדְבַר אִישׁ הָאֱלֹהִים
そして-下った そして-浸った ヨルダン川で 七 回 の-言葉-どおりに 神の 人の
H3381 H2881 H3383 H7651 H6471 H1697 H0376 H0430

וַיָּשָׁב בְּשָׂרוֹ כִּבְשַׂר נַעַר קָטֹן וַיִּטְהָר׃
すると-戻った 彼の-肉は の-肉のように 少年の 小さな そして-清くなった
H7725 H1320 H1320 H5288 H6996 H2891

そこでナアマンは下って行って、神の人の言葉のように七たびヨルダンに身を浸すと、その肉がもとにかえって幼な子の肉のようになり、清くなった。

15 וַיָּשָׁב אֶל־אִישׁ הָאֱלֹהִים הוּא וְכָל־מַחֲנֵהוּ וַיָּבֹא
そして-戻った へ 神の 人の-もとへ 彼と そして-すべての 彼の-一行が そして-来た
H7725 H0413 H0376 H0430 H1931 H3605 H4264 H0935

וַיַּעֲמֹד לִפְנָיו וַיֹּאמֶר הִנֵּה־נָא יָדַעְתִּי כִּי אֵין אֱלֹהִים
そして-立った 彼の-前に そして-言った 見よ どうか 私は-知った こと いない 神は
H5975 H6440 H0559 H2009 H4994 H3045 H3369 H0430

בְּכָל־הָאָרֶץ כִּי אִם־בְּיִשְׂרָאֵל וְעַתָּה קַח־נָא בְּרָכָה מֵאֵת עַבְדֶּךָ׃
の-すべての 地に ただ ただ イスラエルに そして-今 受けてください どうか 贈り物を から あなたの-しもべから
H3605 H0776 H3478 H6258 H3947 H4994 H1293 H0854 H5650

彼はすべての従者を連れて神の人のもとに帰ってきて、その前に立って言った、「わたしは今、イスラエルのほか、全地のどこにも神のおられないことを知りました。それゆえ、どうぞ、しもべの贈り物を受けてください」。

16 וַיֹּאמֶר חַי־יְהוָה אֲשֶׁר־עָמַדְתִּי לְפָנָיו אִם־אֶקָּח וַיִּפְצַר־בּוֹ לָקַחַת וַיְמָאֵן׃
そして-言った 生きておられる 主は ところの 私が-仕える その-前に 決して 受けない しかし-拒んだ 受けるように 彼に そして-しきりに-頼んだ
H0559 H2416 H3068 H0834 H5975 H6440 H0518 H3947 H3985 H3947 H0995 H6484

エリシャは言った、「わたしの仕える主は生きておられる。わたしは何も受けません」。彼はしいて受けさせようとしたが、それを拒んだ。

17 וַיֹּאמֶר נַעֲמָן וְלֹא יִתַּן־נָא לְעַבְדְּךָ מַשָּׂא צֶמֶד־פְּרָדִים אַדְמָה כִּי לוֹא־יַעֲשֶׂה עוֹד עַבְדְּךָ עֹלָה וְזֶבַח לֵאלֹהִים אֲחֵרִים כִּי אִם־לַיהוָה׃
そして-言った ナアマンは それでは-ないなら 与えてください どうか 荷を あなたの-しもべに 一対の くびきの 土を なぜなら もはや ささげない もう 燔祭も あなたの-しもべは 他の に-神々に ただ 主に
H0559 H5283 H3808 H5414 H4994 H4853 H5650 H6776 H6505 H0127 H3588 H3808 H6213 H5750 H5930 H5650 H0312 H0430 H0518 H3068

そこでナアマンは言った、「もしお受けにならないのであれば、どうぞ騾馬に二駄の土をしもべにください。これから後しもべは、他の神には燔祭も犠牲もささげず、ただ主にのみささげます。

18 לַדָּבָר הַזֶּה יְהוָה יִסְלַח לְעַבְדְּךָ בְּבוֹא אֲדֹנִי בֵּית־
の–ことについて この 主よ 赦してください あなたの–しもべを 入る–時 私の–主人が の–宮に
H1697 H2088 H3068 H5545 H5650 H0935 H0113

רִמּוֹן לְהִשְׁתַּחֲוֹת שָׁמָּה וְהוּא עַל־ נִשְׁעָן יָדִי וְהִשְׁתַּחֲוֵיתִי
リモンの 拝むために そこで そして–彼が の–上に 寄りかかる 私の–手の そして–私も–ひれ伏す
H7812 H8033 H1931 H5921 H8172 H3027 H7812

בְּהִשְׁתַּחֲוָיָתִי בְּבֵית רִמּוֹן בְּבֵית יְהוָה [נָא] יְסְלַח־
私が–ひれ伏す–時 の–宮で リモンの の–宮で 主よ どうか 赦してください
H7812 H1004 H4951 H3068 H4994 H5545

לְעַבְדְּךָ בַּדָּבָר הַזֶּה׃
あなたの–しもべを の–ことについて この
H5650 H1697 H2088

どうぞ主がこの事を、しもべにおゆるしくださるように。すなわち、わたしの主君がリンモンの宮にはいって、そこで礼拝するとき、わたしの手によりかかることがあり、またわたしもリンモンの宮で身をかがめることがありましょう。わたしがリンモンの宮で身をかがめる時、どうぞ主がその事を、しもべにおゆるしくださるように」。

19 וַיֹּאמֶר לוֹ לֵךְ לְשָׁלוֹם וַיֵּלֶךְ מֵאִתּוֹ כִּבְרַת־ אָרֶץ׃
そして–言った 彼に 行け 平安に そして–行った 彼の–もとから しばらくの 道のりを
H0559 H3212 H7965 H3212 H0854 H3530 H0776

ס
（区切り）

エリシャは彼に言った、「安んじて行きなさい」。ナアマンがエリシャを離れて少し行ったとき、

20 וַיֹּאמֶר גֵּיחֲזִי נַעַר אִישׁ־ הָאֱלֹהִים אֲדֹנִי חָשַׂךְ
そして–言った ゲハジは 従者は 神の エリシャの 人の 見よ 容赦した 私の–主人は
H0559 H1522 H5288 H0376 H0477 H0430 H2009 H2820 H0113

אֶת־ נַעֲמָן הַזֶּה מִקַּחַת מִיָּדוֹ אֲשֶׁר־ לֹא אֶת
を ナアマンを この 受けることを–しなかった 彼の–手から ところの を
H0853 H5283 H2088 H3947 H3027 H0834 H0853

הֶבִיא חַי־ יְהוָה כִּי־ אִם־ רַצְתִּי אַחֲרָיו וְלָקַחְתִּי מֵאִתּוֹ
持って来た 生きておられる 主は 必ず 必ず 私は–走る 彼の–後を そして–取る 彼から
H0935 H2416 H3068 H3588 H0518 H7323 H0310 H3947 H0854

מְאוּמָה׃
何かを
H3972

神の人エリシャのしもべゲハジは言った、「主人はこのスリヤびとナアマンをいたわって、彼が携えてきた物を受けなかった。主は生きておられる。わたしは彼のあとを追いかけて、彼から少し、物を受けよう」。

21 וַיֵּרְדְּ נַעֲמָן אַחֲרֵי גֵיחֲזִי וַיַּרְא נַעֲמָן רָץ אַחֲרָיו
そして–追った ゲハジは ナアマンの の–後を そして–見た ナアマンは 走ってくるのを 彼の–後を
H7291 H1522 H5283 H7200 H5283 H0310 H7323 H0310

מֵעַל הַמֶּרְכָּבָה לִקְרָאתוֹ וַיֹּאמֶר הֲשָׁלוֹם׃ וַיִּפֹּל
の–上から 戦車の 迎えるために そして–言った 平安か そして–降りた
H5921 H4818 H7125 H0559 H7965 H5307

そしてゲハジはナアマンのあとを追ったが、ナアマンは自分のあとから彼が走ってくるのを見て、車から降り、彼を迎えて、「変った事があるのですか」と言うと、

22 וַיֹּאמֶר שָׁלוֹם אֲדֹנִי שְׁלָחַנִי לֵאמֹר הִנֵּה עַתָּה זֶה בָּאוּ
そして-言った 平安だ 私の-主人が 私を-遣わした 言って 見よ たった-今 この 来た
H0559 H7965 H0113 H7971 H0559 H2009 H6258 H2088 H0935

מִבְנֵי הַנְּבִיאִים נְעָרִים שְׁנֵי־ אֵלַי
の-息子たちの-うちから 預言者たちの 若者が 二人の 私の-もとに
H1121 H5030 H5288 H8147 H0413

תְּנָה־ נָּא לָהֶם כִּכַּר־ כֶּסֶף וּשְׁתֵּי חֲלִפוֹת בְּגָדִים׃
与えてください どうか 彼らに 一タラントの 銀と 着替えの そして-二着の 衣服を
H5414 H4994 H0413 H3603 H3701 H8147 H2487 H0899

彼は言った、「無事です。主人がわたしをつかわして言わせます、『ただいまエフライムの山地から、預言者のともがらのふたりの若者が、わたしのもとに来ましたので、どうぞ彼らに銀一タラントと晴れ着二着を与えてください』」。

23 וַיֹּאמֶר נַעֲמָן הוֹאֵל קַח כִּכָּרַיִם וַיִּפְרָץ־ בּוֹ
そして-言った ナアマンは どうぞ 取れ 二タラントを そして-しきりに-頼んだ 彼に
H0559 H5283 H2974 H3947 H3603 H6555 H0413

וַיִּתֵּן חֲלִפוֹת בְּגָדִים וּשְׁתֵּי חֲרִטִים בִּשְׁנֵי כֶּסֶף כִּכְּרַיִם וַיָּצַר׃
そして-与えた 衣服を 着替えの そして-二着の 袋に 二つの 銀を 二タラントの そして-包んだ
H5414 H0899 H2487 H8147 H2754 H8147 H3701 H3603 H6887

לְפָנָיו׃ וַיִּשְׂאוּ נְעָרָיו שְׁנֵי אֶל־
彼の-前で そして-運んだ 彼の-少年に 二人の に
H6440 H5375 H5288 H8147 H0413

ナアマンは、「どうぞ二タラントを受けてください」と言って彼にしい、銀二タラントを二つの袋に入れ、晴れ着二着を添えて、自分のふたりのしもべに渡したので、彼らはそれを負ってゲハジの先に立って進んだが、

24 וַיָּבֹא אֶל־ הָעֹפֶל וַיִּקַּח מִיָּדָם וַיְנִיחוּ בַּבָּיִת וַיְשַׁלַּח
そして-来た へ 丘に そして-取った 彼らの-手から そして-納めた 家に そして-帰らせた
H0935 H0413 H6076 H3947 H3027 H5117 H1004 H7971

וַיֵּלֵכוּ׃ הָאֲנָשִׁים אֶת־
そして-行った 人々を を
H3212 H0376 H0853

彼は丘にきたとき、それを彼らの手から受け取って家のうちにおさめ、人々を送りかえしたので、彼らは去った。

25 וְהוּא־ בָא אֲדֹנָיו אֶל־ וַיַּעֲמֹד אֵלָיו וַיֹּאמֶר אֱלִישָׁע
そして-彼は 来た 彼の-主人の の-前に そして-立った 彼に そして-言った エリシャは
H1931 H0935 H0113 H0413 H5975 H0413 H0559 H0477

מֵאַיִן) [מאן] עַבְדְּךָ הָלַךְ לֹא־ וַיֹּאמֶר גֵּחֲזִי
(どこから) どこから あなたの-しもべは 行っていない 行っていない そして-言った ゲハジよ
H0370 H0575 H5650 H1980 H3808 H0559 H1522

וָאָנָה׃ אָנָה
どこにも どこにも
H0575 H0575

彼がはいって主人の前に立つと、エリシャは彼に言った、「ゲハジよ、どこへ行ってきたのか」。彼は言った、「しもべはどこへも行きません」。

26 וַיֹּאמֶר אֵלָיו לֹא־לִבִּי הָלַךְ כַּאֲשֶׁר הָפַךְ־אִישׁ מֵעַל
そして-言った 彼に ではないか 私の-心は 行った の-時に 向きを-変えた 人が 上から
H0559 H0413 H3808 H1980 H2015 H0376

מֶרְכָּבְתּוֹ לִקְרָאתֶךָ לְעֵת הַלָּקַחַת אֶת־הַכֶּסֶף וְלָקַחַת בְּגָדִים
戦車の 迎えるために の-時か 受け取る を 銀を そして-受け取る 衣服を
H4818 H7125 H6256 H3947 H0853 H3701 H3947

וְזֵיתִים וְכֶרֶם וְצֹאן וּבָקָר וַעֲבָדִים וּשְׁפָחוֹת׃
そして-オリーブ畠を ぶどう畠を そして-羊を そして-牛を そして-男の-奴隷を そして-女の-奴隷を
H2132 H3754 H6629 H1241 H5650 H8198

エリシャは言った、「あの人が車をはなれて、あなたを迎えたとき、わたしの心はあなたと一緒にそこにいたではないか。今は金を受け、着物を受け、オリブ畑、ぶどう畑、羊、牛、しもべ、はしためを受ける時であろうか。

27 וְצָרַעַת נַעֲמָן תִּדְבַּק־בְּךָ וּבְזַרְעֲךָ לְעוֹלָם וַיֵּצֵא
そして-らい病が ナアマンの つく おまえに そして-おまえの-子孫に 永遠に そして-出た
H6883 H5283 H1692 H0859 H2233 H5769 H3318

מִלְּפָנָיו מְצֹרָע כַּשָּׂלֶג׃ ס
彼の-前から らい人として 雪のように （区切り）
H6440 H6879 H7950

それゆえ、ナアマンのらい病はあなたに着き、ながくあなたの子孫に及ぶであろう」。彼がエリシャの前を出ていくとき、らい病が発して雪のように白くなっていた。

Chapter 6

1 וַיֹּאמְרוּ בְּנֵי־הַנְּבִיאִים אֶל־אֱלִישָׁע הִנֵּה־נָא הַמָּקוֹם אֲשֶׁר
そして-言った の-息子たち 預言者たちの に エリシャに 見よ どうか 場所は ところの
H0559 H1121 H5030 H0413 H0477 H2009 H4994 H4725

אֲנַחְנוּ יֹשְׁבִים שָׁם לְפָנֶיךָ צַר מִמֶּנּוּ׃
私たちが 住んでいる そこに あなたの-前に 狭い 私たちには
H0587 H3427 H8033 H6440 H6862 H4480

さて預言者のともがらはエリシャに言った、「わたしたちがあなたと共に住んでいる所は狭くなりましたので、

2 נֵלְכָה־נָּא עַד־הַיַּרְדֵּן וְנִקְחָה מִשָּׁם אִישׁ קוֹרָה
行かせてください どうか まで ヨルダン川まで そして-取りましょう そこから 各人が 丸太を
H3212 H4994 H5704 H3383 H3947 H8033 H0376 H7070

וְנַעֲשֶׂה־לָּנוּ שָׁם מָקוֹם לָשֶׁבֶת וַיֹּאמֶר אֶחָת
そして-作りましょう 私たちのために そこに 場所を 住むための そして-言った 一本ずつ
H6213 H4725 H8033 H3427 H0559 H0259

לֵכוּ׃
行け
H3212

わたしたちをヨルダンに行かせ、そこからめいめい一本ずつ材木を取ってきて、わたしたちの住む場所を造らせてください」。エリシャは言った、「行きなさい」。

3 וַיֹּאמֶר הָאֶחָד הוֹאֶל נָא וְלֵךְ אֶת־עֲבָדֶיךָ
そして-言った ひとりが どうぞ どうか そして-行ってください を あなたの-しもべたちと
H0559 H0259 H2974 H4994 H3212 H0854 H5650

וַיֹּאמֶר אֲנִי אֵלֵךְ׃
そして-言った 私が 行く
H0559 H0589 H3212

時にそのひとりが、「どうぞあなたも、しもべらと一緒に行ってください」と言ったので、エリシャは「行きましょう」と答えた。

4 וַיֵּלֶךְ וַיָּבֹאוּ הַיַּרְדֵּנָה וַיִּגְזְרוּ הָעֵצִים׃
そして-行った そして-来た ヨルダン川に そして-切った 木を
H3212 H0935 H3383 H1504 H6086

אִתָּם
彼らと-共に
H0854

そしてエリシャは彼らと一緒に行った。彼らはヨルダンへ行って木を切り倒したが、

5 וַיְהִי הָאֶחָד מַפִּיל הַקּוֹרָה וְאֶת־הַבַּרְזֶל נָפַל אֶל־הַמָּיִם
そして-あった ひとりが 倒している-時 丸太を そして 鉄の-刃が 落ちた の-中に 水の
H1961 H0259 H5307 H6982 H0855 H1270 H5307 H0413 H4325

וַיִּצְעַק וַיֹּאמֶר אֲהָהּ אֲדֹנָי וְהוּא שָׁאוּל׃
そして-叫んだ そして-言った ああ わが-主よ それは 借り物だ
H6817 H0559 H0162 H0113 H1931 H7592

ひとりが材木を切り倒しているとき、おのの頭が水の中に落ちたので、彼は叫んで言った。「ああ、わが主よ。これは借りたものです」。

6 וַיֹּאמֶר אִישׁ־הָאֱלֹהִים אָנָה נָפָל וַיַּרְאֵהוּ אֶת־הַמָּקוֹם
そして-言った 神の 人は どこに 落ちたのか そして-見せた を その-場所を
H0559 H0376 H0430 H0575 H5307 H7200 H0853 H4725

וַיְקַצֵּב וַיַּשְׁלֵךְ שָׁמָּה וַיָּצֶף הַבַּרְזֶל׃
そして-切った そして-投げ入れた そこに すると-浮いた 鉄は
H7094 H7993 H8033 H6687 H1270

עֵץ
木を
H6086

神の人は言った、「それはどこに落ちたのか」。彼がその場所を知らせると、エリシャは一本の枝を切り落し、そこに投げ入れて、そのおのの頭を浮ばせ、

7 וַיֹּאמֶר וַיִּשְׁלַח וַיִּקַּח וַיָּדוֹ לָךְ הָרֵם פ
そして-言った そして-伸ばした そして-取った 手を あなたのために 取り上げよ （段落）
H0559 H7971 H3947 H3027

「それを取りあげよ」と言ったので、その人は手を伸べてそれを取った。

8 וּמֶלֶךְ אֲרָם הָיָה נִלְחָם בְּיִשְׂרָאֵל וַיִּוָּעַץ אֶל־
そして-の-王 アラムの であった 戦っていた イスラエルと そして-相談した に
H4428 H0758 H1961 H3478 H3289 H0413

עֲבָדָיו לֵאמֹר אֶל־ פְּלֹנִי אַלְמֹנִי תַּחֲנֹתִי׃
彼の-家臣たちに 言って に 某の 某の 私の-陣地を-置こう
H5650 H0559 H0413 H6423 H0492 H8466

מְקוֹם
の-場所に
H4725

かつてスリヤの王がイスラエルと戦っていたとき、家来たちと評議して「しかじかの所にわたしの陣を張ろう」と言うと、

9 וַיִּשְׁלַח אִישׁ הָאֱלֹהִים אֶל־ מֶלֶךְ יִשְׂרָאֵל לֵאמֹר הִשָּׁמֶר
そして-遣わした 神の 人は に の-王 イスラエルの 言って 気をつけよ
H7971 H0376 H0430 H0413 H4428 H3478 H0559 H8104

מֵעֲבֹר נִחְתִּים׃ אֲרָם שָׁם כִּי־ הַזֶּה הַמָּקוֹם
通るな 伏せている アラムが そこに なぜなら この その-場所を
H5185 H0758 H8033 H2088 H4725

神の人はイスラエルの王に「あなたは用心して、この所をとおってはなりません。スリヤびとがそこに下ってきますから」と言い送った。

10 וַיִּשְׁלַח֙ מֶ֣לֶךְ יִשְׂרָאֵ֔ל אֶל־הַמָּקוֹם֙ אֲשֶׁר־אָמַ֣ר לוֹ֔ אִ֖ישׁ־הָאֱלֹהִ֑ים וְהִזְהִירֹו֙ (וְהזהירהן) וְנִשְׁמַ֣ר שָׁ֔ם וְלֹ֥א אַחַ֖ת וְלֹ֥א שְׁתָּֽיִם׃

そして-遣わした の-王 イスラエルの へ その-場所へ ところの 言った 彼に 神の
H7971 H4428 H3478 H0413 H4725 H0559 H0376

そして-警告した そして-警告した そして-用心した そこで ない 一度や そして-ない 人が
H3808 H0259 H3808 H8033 H8104 H0430

二度だけでは
H8147

それでイスラエルの王は神の人が自分に告げてくれた所に人をつかわし、警戒したので、その所でみずからを防ぎえたことは一、二回にとどまらなかった。

11 וַיִּסְעַר֙ לֵ֣ב מֶֽלֶךְ־אֲרָ֔ם עַל־הַדָּבָ֖ר הַזֶּ֑ה וַיִּקְרָ֕א אֶל־עֲבָדָ֖יו וַיֹּ֣אמֶר אֵלַ֔י הֲל֥וֹא מִשֶּׁלָּנוּ֙ אֶל־מֶ֣לֶךְ יִשְׂרָאֵֽל׃

そして-動揺した 心が の-王の アラムの に-ついて この ことに そして-呼んだ へ
H5590 H3824 H4428 H0758 H5921 H2088 H1697 H7121 H0413

そして-言った 彼らに ではないか 告げる 私に 誰が 私たちの-うちから に
H0559 H0413 H3808 H5046 H0589 H4310 H4480 H0413

彼の-家臣たちを
H5650

の-王に イスラエルの
H4428 H3478

スリヤの王はこの事のために心を悩まし、家来たちを召して言った、「われわれのうち、だれがイスラエルの王と通じているのか、わたしに告げる者はないか」。

12 וַיֹּ֣אמֶר אַחַ֣ד מֵעֲבָדָ֗יו לֹא֙ אֲדֹנִ֣י הַמֶּ֔לֶךְ כִּ֣י אֱלִישָׁ֗ע אֲשֶׁ֨ר בְּיִשְׂרָאֵל֙ הַנָּבִיא֙ מַגִּ֣יד לְמֶ֔לֶךְ אֶת־הַדְּבָרִ֖ים אֲשֶׁ֣ר תְּדַבֵּ֑ר בַּחֲדַ֖ר מִשְׁכָּבֶֽךָ׃

そして-言った ひとりが 彼の-家臣たちの-うちの いいえ わが-主よ 王よ それは エリシャが
H0559 H0259 H4480 H5650 H3808 H0113 H4428 H3588 H0477

ところの 預言者が イスラエルにいる 告げる に-王 イスラエルの を 言葉を ところの
H0834 H5030 H3478 H5046 H0413 H3478 H0853 H1697 H0834

あなたの-寝台の の-寝室で あなたが-語る
H4904 H2315 H1696

ひとりの家来が言った、「王、わが主よ、だれも通じている者はいません。ただイスラエルの預言者エリシャが、あなたが寝室で語られる言葉でもイスラエルの王に告げるのです」。

13 וַיֹּ֣אמֶר לְכוּ֙ וּרְא֣וּ אֵיכָ֣ה הֽוּא׃ וְאֶשְׁלַ֖ח וְאֶקָּחֵ֑הוּ וַיֻּגַּד־לֹ֣ו לֵאמֹ֔ר הִנֵּ֥ה בְדֹתָֽן׃

そして-言った 行け そして-見よ どこに 彼が-いるか そして-私が-遣わす そして-捕らえる
H0559 H3212 H7200 H0335 H1931 H7971 H3947

そして-告げられた に-彼に 言って 見よ ドタンに-いる
H5046 H0559 H2009 H1886

14 וַיִּשְׁלַח־ שָׁמָּה סוּסִים וְרֶכֶב וְחַיִל כָּבֵד וַיָּבֹאוּ לַיְלָה
そして–遣わした そこに 馬と そして–戦車と そして–軍勢を 大きな そして–来た 夜に
H7971 H8033 H0413 H7393 H2428 H3515 H0935 H3915

וַיַּקִּפוּ עַל־ הָעִיר׃
そして–囲んだ を 町を

王はそこに馬と戦車および大軍をつかわした。彼らは夜のうちに来て、その町を囲んだ。

15 וַיַּשְׁכֵּם מְשָׁרֵת אִישׁ הָאֱלֹהִים לָקוּם וַיֵּצֵא וְהִנֵּה־ חַיִל
そして–早く起きた 従者は 神の 人の 起きるために そして–出た すると–見よ 軍勢が
H7925 H8334 H0376 H0430 H6965 H3318 H2009 H2428

אַדֹנָי אֲהָהּ אֵלָיו נַעֲרוֹ וַיֹּאמֶר וָרֶכֶב וְסוּס הָעִיר אֶת־ סֹבֵב
わが–主よ ああ 彼に 彼の–従者は そして–言った 戦車で そして–馬と 町を を 囲んでいた
H0113 H0162 H0413 H5288 H0559 H7393 H0853 H5437

אֵיכָה נַעֲשֶׂה׃
どう しましょう

神の人の召使が朝早く起きて出て見ると、軍勢が馬と戦車をもって町を囲んでいたので、その若者はエリシャに言った、「ああ、わが主よ、わたしたちはどうしましょうか」。

16 וַיֹּאמֶר אַל־ תִּירָא כִּי רַבִּים אֲשֶׁר אִתָּנוּ מֵאֲשֶׁר
そして–言った するな 恐れるな なぜなら 多い ところの 私たちと–共にいる よりも
H0559 H0408 H3372 H3588 H7227 H0834 H0854 H4480

אוֹתָם׃
彼らと–共にいるものは
H0853

エリシャは言った、「恐れることはない。われわれと共にいる者は彼らと共にいる者よりも多いのだから」。

17 וַיִּתְפַּלֵּל אֱלִישָׁע וַיֹּאמַר יְהוָה פְּקַח־ נָא אֶת־ עֵינָיו
そして–祈った エリシャは そして–言った 主よ 開いてください を 彼の–目を
H6419 H0477 H0559 H3068 H6491 H4994 H0853 H5869

וַיִּרְאֶה וַיִּפְקַח יְהוָה אֶת־ עֵינֵי הַנַּעַר וַיַּרְא וְהִנֵּה־ הָהָר
そして–見えるように そして–開いた 主は を 目を 少年の 見た すると–見よ 山が
H7200 H6491 H3068 H0853 H5869 H5288 H7200 H2009 H2022

מָלֵא סוּסִים וְרֶכֶב אֵשׁ סְבִיבֹת אֱלִישָׁע׃
満ちていた 馬と そして–戦車と 火の の–周りに エリシャの
H4390 H5483 H7393 H0784 H5439 H0477

そしてエリシャが祈って「主よ、どうぞ、彼の目を開いて見させてください」と言うと、主はその若者の目を開かれたので、彼が見ると、火の馬と火の戦車が山に満ちてエリシャのまわりにあった。

18 וַיֹּאמֶר יְהוָה אֶל־ אֱלִישָׁע וַיִּתְפַּלֵּל אֵלָיו וַיֵּרֶד
そして–言った 主に に エリシャは そして–祈った 彼の–もとに そして–下って来た
H0559 H3068 H0413 H0477 H6419 H0413 H3381

בַּסַּנְוֵרִים וַיַּכֵּם בַּסַּנְוֵרִים הַזֶּה הַגּוֹי־ אֶת־ נָא הַךְ־
盲目で すると–打った 盲目で この この–国民を を どうか 打ってください
H5575 H5221 H5575 H2088 H1471 H0853 H4994 H5221

אֱלִישָׁע׃ כִּדְבַר
エリシャの の–言葉–どおりに
H0477 H1697

スリヤびとがエリシャの所に下ってきた時、エリシャは主に祈って言った、「どうぞ、この人々の目をくらましてください」。するとエリシャの言葉のとおりに彼らの目をくらまされた。

19 וַיֹּ֣אמֶר אֲלֵהֶ֔ם אֱלִישָׁ֖ע לֹ֣א זֶ֑ה וְלֹ֣א הַדֶּ֔רֶךְ זֶ֖ה לֹ֣א הָעִ֑יר׃

そして–言った 彼らに エリシャは ではない これは 道では そして–ではない これは 町では
H0559 H0413 H0477 H3808 H2088 H1870 H3808 H2090

וְאוֹלֵיכָ֗ה אַחֲרַי֙ לְכ֣וּ אֶתְכֶ֔ם אֶל־ הָאִ֖ישׁ אֲשֶׁ֣ר תְּבַקְּשׁ֑וּן

そして–導く 私の–後に 来い あなたがたを へ その–人の–もとへ ところの あなたがたが–求める
H3212 H3212 H0853 H0413 H0376 H1245

וַיֹּלֶךְ֙ אוֹתָ֔ם שֹׁמְרוֹנָ֖ה׃

そして–導いた 彼らを サマリヤへ
H3212 H0853 H8111

そこでエリシャは彼らに「これはその道ではない。これはその町でもない。わたしについてきなさい。わたしはあなたがたを、あなたがたの尋ねる人の所へ連れて行きましょう」と言って、彼らをサマリヤへ連れて行った。

20 וַיְהִ֕י כְּבֹאָ֖ם שֹׁמְר֑וֹנָה וַיֹּ֣אמֶר אֱלִישָׁ֗ע יְהוָה֙ פְּקַ֣ח אֶת־

そして–あった 入った–時 サマリヤに そして–言った エリシャは 主よ 開いてください を
H1961 H0935 H8111 H0559 H0477 H3068 H6491 H0853

עֵינֵ֣י אֵ֔לֶּה וַיִּרְא֖וּ וַיִּפְקַ֤ח יְהוָה֙ אֶת־ עֵינֵיהֶ֔ם וַיִּרְאוּ֙׃

これらの–者の 目を そして–見えるように すると–開いた 主は を 彼らの–目を すると–見た
H0428 H5869 H7200 H3068 H6491 H0853 H5869 H7200

וְהִנֵּ֥ה בְתוֹךְ֙ שֹׁמְר֔וֹן׃

すると–見よ の–中に サマリヤの
H2009 H8432 H8111

彼らがサマリヤにはいったとき、エリシャは言った、「主よ、この人々の目を開いて見させてください」。主は彼らの目を開かれたので、彼らが見ると、見よ、彼らはサマリヤのうちに来ていた。

21 וַיֹּ֣אמֶר מֶֽלֶךְ־ יִשְׂרָאֵל֮ אֶל־ אֱלִישָׁע֒ כִּרְאֹת֣וֹ אוֹתָם֮ הַאַכֶּ֣ה

そして–言った の–王 イスラエルの に エリシャに 見た–時 彼らを 打ちましょうか
H0559 H4428 H3478 H0413 H0477 H7200 H0853 H5221

אָבִי׃ אַכֶּֽה

わが–父よ 打ちましょうか
H0001 H5221

イスラエルの王は彼らを見て、エリシャに言った、「わが父よ、彼らを撃ち殺しましょうか。彼らを撃ち殺しましょうか」。

22 וַיֹּ֣אמֶר לֹ֣א תַכֶּ֔ה אֲשֶׁ֥ר שָׁבִ֖יתָ בְּחַרְבְּךָ֣ וּבְקַשְׁתְּךָ֑ אַתָּ֣ה

そして–言った するな 打つな ところの 捕らえた あなたの–剣で そして–あなたの–弓で あなたは
H0559 H3808 H5221 H0834 H7617 H2719 H7198 H0859

תָּשִׂ֣ים לֶ֔חֶם וְלִפְנֵיהֶ֖ם וְיֹאכְל֥וּ וְיִשְׁתּ֑וּ

置け パンと そして–水を 彼らの–前に そして–食べさせよ そして–飲ませよ
H7760 H3899 H4325 H6440 H0398 H8354

וְיֵלְכ֖וּ אֶל־ אֲדֹנֵיהֶֽם׃

そして–行かせよ へ 彼らの–主人の–もとへ
H3212 H0413 H0113

エリシャは答えた、「撃ち殺してはならない。あなたはつるぎと弓をもって、捕虜にした者どもを撃ち殺すでしょうか。パンと水を彼らの前に供えて食い飲みさせ、その主君のもとへ行かせなさい」。

23 וַיְכִ֣ן לָהֶ֗ם כְּרָ֤ה גְדוֹלָה֙ וַיֹּאכְל֣וּ וַיִּשְׁתּ֔וּ וַיְשַׁלְּחֵ֖ם
そして-準備した 彼らのために 宴会を 大きな そして-食べた そして-飲んだ そして-帰らせた
H3559 H1992 H3740 H1419 H0398 H8354 H7971

וַיֵּלְכ֣וּ אֶל־אֲדֹנֵיהֶ֑ם וְלֹא־יָסְפ֥וּ עוֹד֙ גְּדוּדֵ֣י אֲרָ֔ם לָב֖וֹא בְּאֶ֥רֶץ יִשְׂרָאֵֽל׃ פ
そして-行った へ 彼らの-主人の-もとへ そして-もはや 来なかった もう アラムの 略奪隊は の-地に 来ることが （段落） イスラエルの
H3212 H0413 H0113 H3808 H3254 H5750 H0758 H1416 H0935 H3478

そこで王は彼らのために盛んなふるまいを設けた。彼らが食い飲みを終ると彼らを去らせたので、その主君の所へ帰った。スリヤの略奪隊は再びイスラエルの地にこなかった。

24 וַיְהִ֗י אַחֲרֵי־כֵן֙ וַיִּקְבֹּ֣ץ בֶּן־הֲדַ֔ד מֶ֖לֶךְ־אֲרָ֑ם אֶת־כָּל־
すべての を アラムの の-王 ベン・ハダデは そして-集めた それ の-後に そして-あった
H3605 H0853 H0758 H4428 H1130 H6908 H3651 H0310 H1961

מַחֲנֵ֣הוּ וַיַּ֗עַל וַיָּצַר֙ עַל־שֹׁמְר֔וֹן׃
彼の-軍勢を そして-上った そして-包囲した を サマリヤを
H4264 H5927 H6696 H5921 H8111

この後スリヤの王ベネハダデはその全軍を集め、上ってきてサマリヤを攻め囲んだので、

25 וַיְהִ֗י בְּשֹׁמְרוֹן֙ גָּד֣וֹל רָעָ֔ב וְהִנֵּ֥ה צָרִ֖ים עָלֶ֑יהָ עַד־
なる-ほどに まで それを 包囲していた そして-見よ サマリヤに 大きな 飢饉が そして-あった
H1961 H5704 H5921 H6696 H2009 H8111 H1419 H7458 H1961

הֱיוֹת֙ רֹ֣אשׁ חֲמ֣וֹר בְּשְׁמֹנִ֔ים כֶּ֖סֶף וְרֻבַּ֣ע הַקַּ֑ב [חריונים] (דיבונים)
の-頭が ろばの 八十-シェケルの 銀で そして-四分の一の カブの 鳩の-糞が 鳩の-糞が
H7218 H2543 H8084 H3701 H7255 H6894 H2755 H1686

בַּחֲמִשָּׁ֖ה כֶּ֥סֶף׃
五-シェケルの 銀で
H2568 H3701

サマリヤに激しいききんが起った。すなわち彼らがこれを攻め囲んだので、ついに、ろばの頭一つが銀八十シケルで売られ、はとのふん一カブの四分の一が銀五シケルで売られるようになった。

26 וַיְהִ֗י אִשָּׁ֤ה וַתִּצְעַק֙ אֶל־הַחוֹמָ֔ה עֹבֵ֖ר עַל־יִשְׂרָאֵ֑ל מֶ֖לֶךְ וַיְהִ֗י
そして-あった の-王 イスラエルの 通っていた の-上を 城壁の すると-女が 叫んだ 彼に
H1961 H4428 H3478 H5674 H5921 H2346 H0802 H6817 H0413

לֵאמֹ֔ר הוֹשִׁ֖יעָה אֲדֹנִ֥י הַמֶּֽלֶךְ׃
言って 救ってください わが-主よ 王よ
H0559 H3467 H0113 H4428

イスラエルの王が城壁の上をとおっていた時、ひとりの女が彼に呼ばわって、「わが主、王よ、助けてください」と言ったので、

27 וַיֹּ֣אמֶר אַל־יוֹשִׁיעֵ֣ךְ יְהוָ֔ה מֵאַ֥יִן יוֹשִׁיעֵ֖ךְ הֲמִן־הַגֹּ֣רֶן אוֹ֑
するな そして-言った 主が どこから 私が-救うのか の-からか 打ち場から あるいは
H0408 H0559 H3068 H0370 H3467 H4480 H1637 H0176

הֲמִן־הַיָּֽקֶב׃
から 酒ぶねから
H4480 H3342

彼は言った、「もし主があなたを助けられないならば、何をもってわたしがあなたを助けることができよう。打ち場の物をもってか、酒ぶねの物をもってか」。

אֵלַי אָמְרָה הַזֹּאת הָאִשָּׁה וַתֹּאמֶר לָךְ מַה־ מַּלְכָּךְ לָהּ וַיֹּאמֶר־ 28
私に 言った この この–女が そして–言った あなたに 何が 王は 彼女に そして–言った
H0413 H0559 H2063 H0802 H0559 H4100 H4428 H0559

:מָחָר נֹאכַל בְּנִי וְאֶת־ הַיּוֹם וְנֹאכְלֶנּוּ בְּנֵךְ אֶת־ תְּנִי
明日 食べよう 私の–息子を そして 今日 そして–食べよう あなたの–息子を を 与えよ
H4279 H0398 H0853 H3117 H0398 H0853 H5414

そして王は女に尋ねた、「何事なのですか」。彼女は答えた、「この女はわたしにむかって『あなたの子をください。わたしたちは、きょうそれを食べ、あす、わたしの子を食べましょう』と言いました。

הָאַחֵר בַּיּוֹם אֵלֶיהָ וָאֹמַר וַנֹּאכְלֵהוּ בְנִי אֶת־ וַנְּבַשֵּׁל 29
次の の–日に 彼女に そして–私は–言った そして–食べた 私の–息子を を そして–煮た
H0312 H3117 H0413 H0559 H0398 H0853 H1310

:בְּנָהּ אֶת־ וַתַּחְבֵּא וְנֹאכְלֶנּוּ בְּנֵךְ אֶת־ תְּנִי
彼女の–息子を を しかし–隠した そして–食べよう あなたの–息子を を 与えよ
H0853 H2244 H0398 H0853 H5414

それでわたしたちは、まずわたしの子を煮て食べましたが、次の日わたしが彼女にむかって『あなたの子をください。わたしたちはそれを食べましょう』と言いますと、彼女はその子を隠しました」。

בְּגָדָיו אֶת־ וַיִּקְרַע הָאִשָּׁה דִּבְרֵי אֶת־ מַּלְכָּךְ כִּשְׁמֹעַ וַיְהִי 30
彼の–衣を を そして–引き裂いた 女の 言葉を を 王が 聞いた–時 そして–あった
H0853 H7167 H0802 H1697 H0853 H4428 H8085 H1961

עַל־ הַשָּׂק וְהִנֵּה הָעָם וַיַּרְא הַחֹמָה עַל־ עֹבֵר וְהוּא
の–上に 荒布が そして–見よ 民は すると–見た 城壁の の–上を 通っていた そして–彼は
H8242 H2009 H7200 H2346 H1931 H1931

:מִבָּיִת בְּשָׂרוֹ
内側に 彼の–肉の
H1320

王はその女の言葉を聞いて、衣を裂き、――王は城壁の上をとおっていたが、民が見ると、その身に荒布を着けていた――

אִם־ יוֹסֵף וְכֹה אֱלֹהִים לִי יַעֲשֶׂה־ כֹּה־ וַיֹּאמֶר 31
もし 加えてくだされ そして–このように 神よ 私に してくだされ このように そして–言った
H3254 H3541 H0430 H3541 H0559

:הַיּוֹם עָלָיו שָׁפָט בֶּן־ אֱלִישָׁע רֹאשׁ יַעֲמֹד
今日 彼の–上に シャファトの の–子 エリシャの 頭が 残るなら
H3117 H8202 H0477 H5975

そして王は言った「きょう、シャパテの子エリシャの首がその肩の上にすわっているならば、神がどんなにでもわたしを罰してくださるように」。

32 וְאֱלִישָׁע֙ יֹשֵׁ֔ב בְּבֵיתֹ֖ו וְהַזְּקֵנִ֑ים יֹשְׁבִ֣ים אִתֹּ֗ו

そして–エリシャは 座っていた 彼の–家に そして–長老たちが 彼と–共に
H0477 H3427 H0413 H2205 H0854

וַיִּשְׁלַ֤ח אִישׁ֙ מִלְּפָנָ֔יו בְּטֶ֥רֶם יָבֹ֖א הַמַּלְאָ֣ךְ אֵלָ֑יו וְהֽוּא־ אָמַ֣ר

そして–遣わした 人を 彼の–前から 前に 来る 使者が 彼の–もとに そして–彼は 言った
H7971 H0376 H6440 H2962 H0935 H4397 H0413 H1931 H0559

לְהָסִ֣יר אֶת־ בֶּן־ הַמְרַצֵּ֣חַ הַזֶּ֔ה שָׁלַ֖ח כִּי־ רְאִיתֶ֣ם הַזְּקֵנִ֑ים אֶל־

取り除くために を の–子 人殺しの この 遣わした こと 見たか 長老たちに に
H5493 H0853 H1121 H7523 H2088 H7971 H3588 H7200 H2205 H0413

רְא֣וּ רֹאשִׁ֔י כְּבֹ֣א הַמַּלְאָ֗ךְ סִגְר֤וּ הַדֶּ֙לֶת֙ וְלַחַצְתֶּ֣ם אֹתֹ֔ו בַּדֶּ֖לֶת הֲלֹ֑וא

見よ 私の–頭を 来る–時 使者が 閉めよ 戸を そして–押さえよ 彼を 戸で ではないか
H7200 H7218 H0935 H4397 H5462 H1817 H3905 H0853 H1817 H3808

אַחֲרָֽיו׃ אֲדֹנָ֖יו רַגְלֵ֥י קֹ֛ול

彼の–後に 彼の–主人の の–足 音が
H0310 H0113 H7272 H6963

さてエリシャはその家に座していたが、長老たちもきて彼と共に座した。王は自分の所から人をつかわしたが、エリシャはその使者がまだ着かないうちに長老たちに言った、「あなたがたは、この人を殺す者がわたしの首を取るために、人をつかわすのを見ますか。その使者がきたならば、戸を閉じて、内に入れてはなりません。彼のうしろに、その主君の足音がするではありませんか」。

33 עֹודֶ֖נּוּ מְדַבֵּ֣ר עִמָּ֑ם וְהִנֵּ֣ה הַמַּלְאָ֗ךְ יָרַ֙ד֙ אֵלָ֔יו וַיֹּ֖אמֶר וַיֹּאמֶ֥ר

まだ 語っている–ときに 彼らと すると–見よ 使者が 下って来た 彼の–もとに そして–言った
H5750 H1696 H5973 H2009 H4397 H3381 H0413 H0559

הֲנָֽה־ זֹּ֤את הָרָעָה֙ מֵאֵ֣ת יְהוָ֔ה מֶ֥ה־ אֹוחִ֖יל לַיהוָ֑ה עֹ֥וד׃ ס

見よ この わざわいは から 主からの–ものだ なぜ 待つのか に–主に これ以上 （区切り）
H2009 H2063 H7451 H0854 H3068 H4100 H3176 H3068 H5750

彼がなお彼らと語っているうちに、王は彼のもとに下ってきて言った、「この災は主から出たのです。わたしはどうしてこの上、主を待たなければならないでしょうか」。

Chapter 7

1 וַיֹּ֣אמֶר אֱלִישָׁ֗ע שִׁמְעוּ֙ דְּבַר־ יְהוָ֔ה כֹּ֚ה אָמַ֣ר יְהוָ֔ה כָּעֵ֥ת הַזֹּ֖את מָחָ֣ר

そして–言った エリシャ 聞け 言葉を の–主の このように 言われた 主は この–時 明日
H0559 H0477 H8085 H1697 H3541 H3068 H6256 H4279

שְׁמֹרֹֽון׃ בְּשַׁ֣עַר בְּשֶׁקֶל֮ שְׂעֹרִים֒ וְסָאתַ֣יִם בְּשֶׁקֶל֮ סֹ֣לֶת סְאָה־

サマリヤの 門で ーシェケルで 大麦が そして–二セアの ーシェケルで 上質の–小麦粉が ーセアの
H8111 H8179 H8255 H8184 H5429 H8255 H5560 H5429

エリシャは言った、「主の言葉を聞きなさい。主はこう仰せられる、『あすの今ごろサマリヤの門で、麦粉一セアを一シケルで売り、大麦二セアを一シケルで売るようになるであろう』」。

2

אִישׁ	אֶת־	יָדוֹ	עַל־	נִשְׁעָן	לַמֶּלֶךְ	אֲשֶׁר־	הַשָּׁלִישׁ	וַיַּעַן
人	～に	その–手の	～の上に	寄りかかっていた	王に	その	副官が	そして–答えた
H0376	H0853	H3027		H8172	H4428			

הַזֶּה	הַדָּבָר	הֲיִהְיֶה	בַּשָּׁמַיִם	אֲרֻבֹּת	עֹשֶׂה	יְהוָה	הִנֵּה	וַיֹּאמַר
この	この–事が	起こりうるのか	天に	窓を	造られる	主が	見よ	そして–言った
H2088	H1697	H1961	H8064	H0699		H3068	H2009	H0559

הָאֱלֹהִים		תֹּאכַל׃	לֹא	וּמִשָּׁם	בְּעֵינֶיךָ	רֹאֶה	הִנְּךָ	וַיֹּאמֶר
神の		食べない	決して	しかし–そこから	あなたの–目で	見るだろう	見よ–あなたは	そして–言った
H0430		H0398	H3808	H8033		H7200	H2009	H0559

ס
（区切り）

時にひとりの副官すなわち王がその人の手によりかかっていた者が神の人に答えて言った、「たとい主が天に窓を開かれても、そんな事がありえましょうか」。エリシャは言った、「あなたは自分の目をもってそれを見るであろう。しかしそれを食べることはなかろう」。

3

אֶל־	אִישׁ	וַיֹּאמְרוּ	הַשַּׁעַר	פֶּתַח	מְצֹרָעִים	הָיוּ	אֲנָשִׁים	וְאַרְבָּעָה
～に	人が	そして–言った	門の	入口に	ツァラアトに–かかった	いた	人々が	そして–四人の
H0413	H0376	H0559	H8179	H6607	H6879	H1961	H0376	H0702

מָתְנוּ׃	עַד־	פֹּה	יֹשְׁבִים	אֲנַחְנוּ	מָה	רֵעֵהוּ
死ぬのか	～まで	ここに	座っている	私たちは	なぜ	その–仲間に
H4191	H5704	H6311	H3427	H0587	H4100	H7453

さて町の門の入口に四人のらい病人がいたが、彼らは互に言った、「われわれはどうしてここに座して死を待たねばならないのか。

4

שָׁם	וָנָמֻתָה	בָּעִיר	וְהָרָעָב	הָעִיר	נָבוֹא	אָמַרְנוּ	אִם־	
そこで	そして–死ぬ	町に–ある	そして–飢饉が	町に	入ろう	私たちが–言って	もし	
H8033	H4191		H7458		H0935	H0559		

מַחֲנֵה	אֶל־	וְנִפְלָה	לְכוּ	וְעַתָּה	וָנָמֻתָה	פֹּה	יָשְׁבֵנוּ	וְאִם־	
陣営に	～に	そして–降伏しよう	行こう	そして–今	死ぬ	ここに	座っていれば	そして–もし	
H4264	H0413	H5307	H3212	H6258	H4191	H6311	H3427		

וָנָמֻתָה׃	יְמִיתֵנוּ	וְאִם־	נִחְיֶה	יְחַיֵּנוּ	אִם־	אֲרָם	
死のう	殺すなら	そして–もし	生きよう	生かしてくれるなら	もし	アラムの	
H4191	H4191		H2421	H2421		H0758	

われわれがもし町にはいろうといえば、町には食物が尽きているから、われわれはそこで死ぬであろう。しかしここに座していても死ぬのだ。いっその事、われわれはスリヤびとの陣営へ逃げて行こう。もし彼らがわれわれを生かしておいてくれるならば、助かるが、たといわれわれを殺しても死ぬばかりだ」。

5

קְצֵה	עַד־	וַיָּבֹאוּ	אֲרָם	מַחֲנֵה	אֶל־	לָבוֹא	בַּנֶּשֶׁף	וַיָּקוּמוּ
端に	～まで	そして–来た	アラムの	陣営に	～へ	行くために	夕暮れに	そして–立ち上がった
	H5704	H0935	H0758	H4264	H0413	H0935	H5399	

אִישׁ׃	שָׁם	אֵין־	וְהִנֵּה	אֲרָם	מַחֲנֵה
誰も	そこに	いなかった	すると–見よ	アラムの	陣営の
H0376	H8033	H0369	H2009	H0758	H4264

そこで彼らはスリヤびとの陣営へ行こうと、たそがれに立ちあがったが、スリヤびとの陣営のほとりに行って見ると、そこにはだれもいなかった。

6 וַאדֹנָ֞י הִשְׁמִ֣יעַ אֶת־מַחֲנֵ֣ה אֲרָ֗ם קוֹל֙ רֶ֣כֶב קוֹל֙ סוּס֙ קוֹל֙ חַ֣יִל גָּד֔וֹל וַיֹּאמְר֣וּ אִ֔ישׁ אֶל־אֲחִ֖יו הִנֵּ֣ה שָׂכַ֣ר עָלֵ֗ינוּ מֶ֚לֶךְ יִשְׂרָאֵ֔ל וְאֶת־הַחִתִּ֖ים וְאֶת־מַלְכֵ֣י מִצְרַ֑יִם לָב֖וֹא עָלֵֽינוּ׃

軍勢の H2428 音を H7393 馬の H5483 音を H7393 戦車の H7393 音を H7393 アラムの H0758 陣営の H4264 ～に H0853 聞かせた H8085 そして-主が H0136
イスラエルの H3478 王は H4428 我々に-対して 雇った H7936 見よ H2009 その-兄弟に H0251 ～に H0413 人が H0376 そして-言った H0559 大きな
我々に-対して 来るために H0935 エジプトの H4714 王たちを H4428 そして～を H0853 ヒッタイトの H2850 王たちを H4428 ～を H0853

これは主がスリヤびとの軍勢に戦車の音、馬の音、大軍の音を聞かせられたので、彼らは互に「見よ、イスラエルの王がわれわれを攻めるために、ヘテびとの王たちおよびエジプトの王たちを雇ってきて、われわれを襲うのだ」と言って、

7 וַיָּקֻ֗מוּ וַיָּנֻ֙סוּ֙ בַּנֶּ֔שֶׁף וַיַּעַזְב֖וּ אֶת־אָהֳלֵיהֶ֑ם וְאֶת־סוּסֵיהֶם֙ וְאֶת־חֲמֹרֵיהֶ֔ם הַֽמַּחֲנֶ֖ה כַּאֲשֶׁר־הֵ֑יא וַיָּנֻ֖סוּ אֶל־נַפְשָֽׁם׃

そして-立ち上がり H6965 そして-逃げた H5127 夕暮れに H5399 そして-捨てた H5800 ～を H0853 彼らの-天幕を H0168 そして～を H0853
そして-逃げた H5127 そのまま H1931 そのまま H1931 陣営を H4264 彼らの-ろばを H2543 そして～を H0853 彼らの-馬を
～のために H0413
自分の-命の H5315

たそがれに立って逃げ、その天幕と、馬と、ろばを捨て、陣営をそのままにしておいて、命を全うしようと逃げたからである。

8 וַיָּבֹ֣אוּ הַמְצֹרָ֗עִים עַד־קְצֵה֙ הַֽמַּחֲנֶ֔ה וַיָּבֹ֣אוּ אֶל־אֹ֔הֶל וַיֹּאכְל֥וּ וַיִּשְׁתּ֖וּ וַיִּשְׂאוּ־מִשָּׁ֣ם כֶּ֣סֶף וְזָהָ֔ב וּבְגָדִ֖ים וַיֵּלְכ֑וּ וַיָּשֻׁ֙בוּ֙ וַיָּבֹ֣אוּ אֶל־אֹ֔הֶל אַחֵ֖ר וַיִּשְׂאוּ־מִשָּׁ֣ם וַיֵּלְכ֑וּ וַיַּטְמֵֽנוּ׃

そして-来た H0935 ツァラアトに-かかった者たちは H6879 これらの H0428 ～まで H5704 端に H7097 陣営の H4264 そして-入った H0935
そして-食べ H0398 そして-飲み H8354 そして-持ち出した H5375 そこから H8033 銀と H3701 金と H2091
～の中に H0413 天幕に H0168 一つの H0259 そして-食べ H0398 そして-飲み H8354 そして-持ち出した H5375 そこから H8033
衣服を H0899 そして-行き H3212 そして-隠した H2934 ～の中に H0413 別の H0312 そして-入った H0935 そして-戻り H7725 そして-隠した H2934 そして-行き H3212
そして-持ち出した H5375 そこから H8033 そして-行き H3212 そして-隠した H2934

そこでらい病人たちは陣営のほとりに行き、一つの天幕にはいって食い飲みし、そこから金銀、衣服を持ち出してそれを隠し、また来て、他の天幕に入り、そこからも持ち出してそれを隠した。

9 וַיֹּאמְר֣וּ אִ֔ישׁ אֶל־רֵעֵ֑הוּ לֹ֣א כֵ֔ן אֲנַ֥חְנוּ עֹשִׂ֖ים הַיּ֣וֹם הַזֶּ֑ה הַבֹּ֗קֶר אוֹר֙ עַד־מָצְאֵ֣נוּ עָוֹ֔ן וְעַתָּ֖ה לְכ֣וּ וְנָבֹ֑אָה וְנַגִּ֥ידָה בֵּית֙ הַמֶּ֔לֶךְ׃

そして-言った H0559 人が H0376 ～に H0413 その-仲間に H7453 正しく-ない H3808 こと H3651 私たちは H0587 している H6213 今日 H3117 この H2088
日は H3117 良い-知らせの H1309 それは H1931 そして-私たちが H0587 黙っていて H2814 そして-待つなら H2442 光の H0216 ～まで H5704 朝の H1242
そして-知らせよう H5046 家に H1004 王の H4428 そして-入って H0935 行こう H3212 そして-今 H6258 罰が H5771 見つかるだろう H4672

そして彼らは互に言った、「われわれのしている事はよくない。きょうは良いおとずれのある日であるのに、黙っていて、夜明けまで待つならば、われわれは罰をこうむるであろう。さあ、われわれは行って王の家族に告げよう」。

10 וַיָּבֹאוּ וַיִּקְרְאוּ אֶל־שֹׁעֵר הָעִיר וַיַּגִּידוּ לָהֶם לֵאמֹר בָּאנוּ
来ました 言って 彼らに そして–告げた 町の 門衛に ～に そして–呼んだ そして–来て
H0935 H0559 H1992 H5046 H7778 H0413 H7121 H0935

אֶל־מַחֲנֵה אֲרָם וְהִנֵּה אֵין־שָׁם אִישׁ וְקוֹל אָדָם כִּי
～へ 陣営に アラムの すると–見よ いなかった そこに 誰も そして–声も 人の ただ
H0413 H4264 H0758 H2009 H0369 H8033 H0376 H0120

אִם־סוּס אָסוּר וְחֲמוֹר אָסוּר וְהָאֳהָלִים כַּאֲשֶׁר הֵמָּה׃
～だけ 馬が つながれ そして–ろばが つながれ そして–天幕は そのままだった そのまま
H0413 H5483 H0631 H2543 H0631 H0168 H3602 H1992

そこで彼らは来て、町の門を守る者を呼んで言った、「わたしたちがスリヤびとの陣営に行って見ると、そこにはだれの姿も見えず、また人声もなく、ただ、馬とろばがつないであり、天幕はそのままでした」。

11 וַיִּקְרָא הַשֹּׁעֲרִים וַיַּגִּידוּ בֵּית הַמֶּלֶךְ פְּנִימָה׃
そして–呼んだ 門衛たちは そして–告げた 家に 王の 内部へ
H7121 H7778 H5046 H1004 H4428 H6441

そこで門を守る者は呼ばわって、それを王の家族のうちに知らせた。

12 וַיָּקָם הַמֶּלֶךְ לַיְלָה וַיֹּאמֶר אֶל־עֲבָדָיו אַגִּידָה־נָּא
そして–起きた 王は 夜に そして–言った ～に その–家来たちに 告げよう どうか
H6965 H4428 H3915 H0559 H0413 H5650 H5046 H4994

לָכֶם אֵת אֲשֶׁר־עָשׂוּ לָנוּ אֲרָם יָדְעוּ כִּי־רְעֵבִים
あなたがたに ～を 何を した 我々に アラムは 知っている ～ということを 飢えている
H0853 H0834 H6213 H0589 H0758 H3045 H0559 H7457

אֲנַחְנוּ מִן־הַמַּחֲנֶה לְהֵחָבֵה בַּשָּׂדֶה לֵאמֹר כִּי־יָצְאוּ
私たちが ～から 陣営から 隠れるために [野に] 野に 言って ～すると
H0587 H4264 H2247 H0935 H7704 H0559 H3588

וְנִתְפְּשֵׂם חַיִּים וְאֶל־תָּעִיר נָבֹא׃ מִן־הָעִיר יֵצְאוּ
そして–捕えよう 生きたまま そして～へ 町に 入ろう 町から ～から 出てくる
H8610 H2416 H0413 H5892 H0935 H5892 H3318

王は夜のうちに起きて、家来たちに言った、「スリヤびとがわれわれに対して図っている事をあなたがたに告げよう。彼らは、われわれの飢えているのを知って、陣営を出て野に隠れ、『イスラエルびとが町を出たら、いけどりにして、町に押し入ろう』と考えているのだ」。

13 וַיַּעַן אֶחָד מֵעֲבָדָיו וַיֹּאמֶר יִקְחוּ־נָא חֲמֻשָּׁה מִן־
そして–答えた 一人が 家来たちの–中から そして–言った 取って–ください どうか 五頭の ～から
H6030 H0259 H5650 H0559 H3947 H4994 H2568 H4480

הַסּוּסִים הַנִּשְׁאָרִים בָּהּ הִנָּם כְּכָל־הֲמוֹן הַמּוֹן אֲשֶׁר
馬を 残っている それは その中に 見よ–彼らは すべての [群衆の] 群衆の それは
H6030 H7604 H0834 H1931 H3605 H1995 H0834 H3605

נִשְׁאֲרוּ־בָהּ הִנָּם כְּכָל־הֲמוֹן יִשְׂרָאֵל אֲשֶׁר כָּלוּ
残った その中に 見よ–彼らは すべての 群衆の イスラエルの すでに
H7604 H0834 H1931 H3605 H1995 H3478 H0834 H3615

וְנִרְאֶה׃ וְנִשְׁלְחָה וְנִרְאֶה׃ תָּמוּ
そして–見よう そして–送ろう 滅びた
H7200 H7971 H8552

家来のひとりが答えて言った、「人々に、ここに残っている馬のうち五頭を連れてこさせてください。ここに残っているこれらの人々は、すでに滅びうせたイスラエルの全群衆と同じ運命にあうのですから。わたしたちは人をやってうかがわせましょう」。

14 וַיִּקְחוּ֙ שְׁנֵי֙ רֶ֣כֶב סוּסִ֔ים וַיִּשְׁלַ֖ח הַמֶּ֑לֶךְ אַחֲרֵי֙ מַחֲנֵ֣ה אֲרָ֔ם וַיֹּ֕אמֶר לְכ֖וּ וּרְא֥וּ׃

וַיִּקְחוּ֙	שְׁנֵי֙	רֶ֣כֶב	סוּסִ֔ים	וַיִּשְׁלַ֖ח	הַמֶּ֑לֶךְ	אַחֲרֵי֙	מַחֲנֵ֣ה	אֲרָ֔ם	וַיֹּ֕אמֶר	לְכ֖וּ	וּרְא֥וּ׃
そして-取った	二台の	戦車と	馬を	そして-送った	王は	後を-追って	陣営の	アラムの	言った	行け	そして-見よ
H3947	H8147	H7393		H7971	H4428		H4264	H0758	H0559	H3212	H7200

そこで彼らはふたりの騎兵を選んだ。王はそれをつかわし、「行って見よ」と言って、スリヤびとの軍勢のあとをつけさせたので、

15 וַיֵּלְכ֣וּ אַחֲרֵיהֶ֗ם עַד־֠הַיַּרְדֵּ֞ן וְהִנֵּ֨ה כָל־הַדֶּ֜רֶךְ מְלֵאָ֣ה הַבְּגָדִ֗ים וְכֵלִ֛ים אֲשֶׁר־הִשְׁלִיכוּ֩ אֲרָ֨ם בְּחָפְזָ֜ם (בהחפזם) וַיָּשֻׁ֣בוּ הַמַּלְאָכִ֗ים וַיַּגִּ֥דוּ לַמֶּ֖לֶךְ׃

וַיֵּלְכ֣וּ	אַחֲרֵיהֶ֗ם	עַד־	הַיַּרְדֵּ֞ן	וְהִנֵּ֨ה	כָל־	הַדֶּ֜רֶךְ	מְלֵאָ֣ה	הַבְּגָדִ֗ים	וְכֵלִ֛ים	אֲשֶׁר־	הִשְׁלִיכוּ֩	אֲרָ֨ם	בְּחָפְזָ֜ם (בהחפזם)	וַיָּשֻׁ֣בוּ	הַמַּלְאָכִ֗ים	וַיַּגִּ֥דוּ	לַמֶּ֖לֶךְ׃
そして-行った	彼らの-後を	～まで	ヨルダンまで	すると-見よ	すべての	道には	満ちていた	衣服と	器物が	それを	投げ捨てた	アラムが	[急いで]	急いで	そして-帰った	そして-告げた	王に
H3212	H0310	H5704	H3383	H2009	H3605	H1870	H4392	H0899	H3627		H7993	H0758	H2648	H2648	H7725	H5046	H4428

彼らはそのあとを追ってヨルダンまで行ったが、道にはすべて、スリヤびとがあわてて逃げる時に捨てていった衣服と武器が散らばっていた。その使者は帰ってきて、これを王に告げた。

16 וַיֵּצֵ֣א הָעָ֔ם וַיָּבֹ֖זּוּ אֶת־מַחֲנֵ֣ה אֲרָ֑ם וַיְהִ֗י סְאָה֙ סֹ֣לֶת בְּשֶׁ֔קֶל וְסָאתַ֥יִם שְׂעֹרִ֖ים בְּשֶׁ֑קֶל כִּדְבַ֖ר יְהוָֽה׃

וַיֵּצֵ֣א	הָעָ֔ם	וַיָּבֹ֖זּוּ	אֶת־	מַחֲנֵ֣ה	אֲרָ֑ם	וַיְהִ֗י	סְאָה֙	סֹ֣לֶת	בְּשֶׁ֔קֶל	וְסָאתַ֥יִם	שְׂעֹרִ֖ים	בְּשֶׁ֑קֶל	כִּדְבַ֖ר	יְהוָֽה׃
そして-出た	民は	そして-略奪した	～を	陣営を	アラムの	そして-なった	ーセアの	上質の-小麦粉が	ーシェケルで	そして-二セアの	大麦が	ーシェケルで	言葉の-通りに	主の	
H3318	H5971	H0962	H0853	H4264	H0758	H1961	H5429	H5560	H8255	H5429	H8184	H8255	H1697	H3068	

そこで民が出ていって、スリヤびとの陣営をかすめたので、麦粉一セアは一シケルで売られ、大麦二セアは一シケルで売られ、主の言葉のとおりになった。

17 וְהַמֶּ֡לֶךְ הִפְקִ֣יד אֶת־הַשָּׁלִישׁ֩ אֲשֶׁר־נִשָּׁ֨עַן עַל־יָד֜וֹ עַל־הַשַּׁ֗עַר וַיִּרְמְסֵ֤הוּ הָעָם֙ בַּשַּׁ֔עַר וַיָּ֖מָת כַּאֲשֶׁ֣ר דִּבֶּ֔ר אִ֥ישׁ הָאֱלֹהִ֖ים אֲשֶׁ֣ר דִּבֶּ֑ר בְּרֶדֶת֙ הַמֶּ֣לֶךְ אֵלָֽיו׃

וְהַמֶּ֡לֶךְ	הִפְקִ֣יד	אֶת־	הַשָּׁלִישׁ֩	אֲשֶׁר־	נִשָּׁ֨עַן	עַל־	יָד֜וֹ	עַל־	הַשַּׁ֗עַר	וַיִּרְמְסֵ֤הוּ	הָעָם֙	בַּשַּׁ֔עַר	וַיָּ֖מָת	כַּאֲשֶׁ֣ר	דִּבֶּ֔ר	אִ֥ישׁ	הָאֱלֹהִ֖ים	אֲשֶׁ֣ר	דִּבֶּ֑ר	בְּרֶדֶת֙	הַמֶּ֣לֶךְ	אֵלָֽיו׃
そして-王は	任命した	～を	副官を	その	寄りかかっていた	～の上に	その-手に	～の上に		そして-踏みつけた	民が	門で	そして-死んだ	ちょうど	語った	人	神の			降りてきた-時に	王が	彼の-もとへ
	H0853				H8172		H3027					H8179										

王は自分がその人の手によりかかっていた、あの副官を立てて門を管理させたが、民は門で彼を踏みつけたので、彼は死んだ。すなわち、王が神の人のところに下ってきた時、神の人が言ったとおりであった。

18 וַיְהִי כְּדַבֵּר אִישׁ הָאֱלֹהִים אֶל־הַמֶּלֶךְ לֵאמֹר סָאתַיִם שְׂעֹרִים
そして–なった 語った–通りに 人が 神の ～に 王に 言って 二セアの 大麦が
H1961 H1696 H0376 H0430 H0413 H4428 H0559 H5440 H8184

בְּשֶׁקֶל וְסָאָה־ סֹלֶת בְּשֶׁקֶל כָּעֵת מָחָר יִהְיֶה בְּשַׁעַר
ーシェケルで そして–一セアの 上質の–小麦粉が ーシェケルで この–時 明日 なる 門で
H8255 H5429 H5560 H8255 H6256 H4279 H1961 H8179

שֹׁמְרוֹן׃
サマリヤの
H8111

これは神の人が王にむかって、「あすの今ごろ、サマリヤの門で大麦二セアを一シケルで売り、麦粉一セアを一シケルで売るようになるであろう」と言ったときに、

19 וַיַּעַן הַשָּׁלִישׁ אֶת־ אִישׁ הָאֱלֹהִים וַיֹּאמַר וְהִנֵּה יְהוָה עֹשֶׂה אֲרֻבוֹת
そして–答えた 副官が ～に 人に 神の そして–言った 見よ 主が 造られる 窓を
H0699 H3068 H2009 H0559 H0430 H0376 H0853

בַּשָּׁמַיִם הֲיִהְיֶה כַּדָּבָר הַזֶּה וַיֹּאמֶר הִנְּךָ רֹאֶה
天に 起こりうるのか この–言葉の–通りに この そして–言った 見よ–あなたは 見るだろう
H8064 H1961 H1697 H2088 H0559 H2009 H7200

וּמִשָּׁם לֹא תֹאכֵל׃ בְּעֵינֶיךָ
しかし–そこから 決して 食べない あなたの–目で
H8033 H3808 H0398

その副官が神の人に答えて、「たとい主が天に窓を開かれても、そんな事がありえようか」と言ったからである。そのとき神の人は「あなたは自分の目をもってそれを見るであろう。しかしそれを食べることはなかろう」と言ったが、

20 וַיְהִי־ לוֹ כֵּן וַיִּרְמְסוֹ אֹתוֹ הָעָם בַּשַּׁעַר וַיָּמֹת׃
そして–なった 彼に その–通りに そして–踏みつけた 彼を 民が 門で そして–死んだ
H1961 H7429 H0853 H5971 H8179 H4191

ס
（区切り）

これはそのとおり彼に臨んだ。すなわち民が門で彼を踏みつけたので彼は死んだ。

Chapter 8

1 וֶאֱלִישָׁע דִּבֶּר אֶל־ הָאִשָּׁה אֲשֶׁר־ הֶחֱיָה אֶת־ בְּנָהּ לֵאמֹר
そして–エリシャは 語った ～に 女に その 生き返らせた ～を その–息子を 言って
H0477 H1696 H0413 H0802 H0834 H2421 H0853 H1121 H0559

קוּמִי וּלְכִי [אתי] (אַתְּ) וּבֵיתֵךְ וְגוּרִי בַּאֲשֶׁר
立ちなさい そして–行きなさい [あなた] あなたと そして–あなたの–家族 そして–住みなさい ～に
H3212 H0853 H1004 H0853 H1481 H1481 H0834

כִּי־ קָרָא יְהוָה לָרָעָב וְגַם־ בָּא אֶל־ הָאָרֶץ שֶׁבַע שָׁנִים׃
なぜなら 呼んだ 主が 飢饉を そして–また 来る ～へ 地に 七 年
H3588 H7121 H3068 H7458 H1571 H0935 H0413 H0776 H7651 H8141

エリシャはかつて、その子を生きかえらせてやった女に言ったことがある。「あなたは、ここを立って、あなたの家族と共に行き、寄留しようと思う所に寄留しなさい。主がききんを呼び下されたので、七年の間それがこの地に臨むから」。

2

וַתָּקָם	הָאִשָּׁה	וַתַּעַשׂ	כִּדְבַר	אִישׁ	הָאֱלֹהִים	וַתֵּלֶךְ	הִיא
彼女は	そして-行った	神の	人	言葉の-通りに	そして-行った	女は	そして-立ち上がった
H1931	H3212	H0430	H0376	H1697	H0802	H0802	H0802

וּבֵיתָהּ	וַתָּגָר	בְּאֶרֶץ־	פְּלִשְׁתִּים	שֶׁבַע	שָׁנִים׃
そして-その-家族も	そして-住んだ	地に	ペリシテ人の	七	年
H1004	H1481	H0776	H6430	H7651	H8141

そこで女は立って神の人の言葉のようにし、その家族と共に行ってペリシテびとの地に七年寄留した。

3

וַיְהִי	מִקְצֵה	שֶׁבַע	שָׁנִים	וַתָּשָׁב	הָאִשָּׁה	מֵאֶרֶץ	פְּלִשְׁתִּים
そして-なった	終わりに	七	年の	そして-帰った	女は	地から	ペリシテ人の
H1961	H7093	H7651	H8141	H7725	H0802	H0776	H6430

וַתֵּצֵא	לְצַעֵק	אֶל־	הַמֶּלֶךְ	בֵּיתָהּ	וְאֶל־	שָׂדֶהָ׃	
そして-出て行った	叫ぶために	～に	王に	その-家と	そして～について	その-畠と	
H3318	H6817	H0413	H4428	H1004	H0413	H7704	

七年たって後、女はペリシテびとの地から帰ってきて、自分の家と畑のために王に訴えようと出ていった。

4

סַפְּרָה־	לִּי	נָּא	אֵת	כָּל־	הַגְּדֹלוֹת	אֲשֶׁר־	עָשָׂה
話して-ください	私に	どうか	～を	すべての	大いなる-わざを	それを	行った
H5608	H0853	H4994	H0853	H3605	H1419	H0834	H6213

וְהַמֶּלֶךְ	מְדַבֵּר	אֶל־	גֵּחֲזִי	נַעַר	אִישׁ־	הָאֱלֹהִים	לֵאמֹר
そして-王は	話していた	～と	ゲハジと	僕に	人の	神の	言って
H4428	H1696	H0413	H1522	H5288	H0376	H0430	H0559

אֱלִישָׁע׃	עָשָׂה	אֲשֶׁר־	הַגְּדֹלוֹת	כָּל־	אֵת	לִי	נָּא
エリシャが	行った	それを	大いなる-わざを	すべての	～を	私に	どうか
H0477				H3605	H0853		H4994

時に王は神の人のしもべゲハジにむかって「エリシャがしたもろもろの大きな事をわたしに話してください」と言って、彼と物語っていた。

5

וַיְהִי	הוּא	מְסַפֵּר	לַמֶּלֶךְ	אֵת	אֲשֶׁר־	הֶחֱיָה	אֶת־
そして-なった	彼が	話していた	王に	～を	どのように	生き返らせたか	～を
H1961	H1931	H5608	H4428	H0853	H0834	H2421	H0853

הַמֵּת	וְהִנֵּה	הָאִשָּׁה	אֲשֶׁר	הֶחֱיָה	אֶת־	בְּנָהּ	צֹעֶקֶת
死人を	すると-見よ	女が	その	生き返らせた	～を	その-息子を	叫んでいた
H4191	H2009	H0802	H0834	H2421	H0853	H1121	H6817

אֶל־	הַמֶּלֶךְ	אֲדֹנִי	גֵּחֲזִי	וַיֹּאמֶר	שָׂדֶהָ	וְעַל־	בֵּיתָהּ	עַל־
～に	王よ	わが-主よ	ゲハジが	そして-言った	その-畠と	そして～について	その-家と	～について
H0413	H4428	H0113	H1522	H0559	H7704		H1004	

אֱלִישָׁע׃	הֶחֱיָה	אֲשֶׁר־	בְּנָהּ	וְזֶה־	הָאִשָּׁה	זֹאת
エリシャが	生き返らせた	それを	その-息子です	そして-これが	その-女です	これが
H0477	H2421			H2088	H0802	H2063

すなわちエリシャが死人を生きかえらせた事を、ゲハジが王と物語っていたとき、その子を生きかえらせてもらった女が、自分の家と畑のために王に訴えてきたので、ゲハジは言った、「わが主、王よ、これがその女です。またこれがその子で、エリシャが生きかえらせたのです」。

6

סָרִיס	הַמֶּלֶךְ	לָהּ	וַיִּתֶּן־	לָהּ	וַתְּסַפֵּר־	לָאִשָּׁה	הַמֶּלֶךְ	וַיִּשְׁאַל
官吉を	王は	彼女に	そして-与えた	彼女は-彼に	そして-話した	女に	王が	そして-尋ねた
H5631	H4428		H5414		H5608	H0802	H4428	H7592

תְּבוּאַת	כָּל־	וְאֵת	לָהּ	אֲשֶׁר־	כָּל־	אֵת־	הָשִׁיב	לֵאמֹר	אֶחָד
収穫を	すべての	そして～を	彼女のもの	それは	すべてを	～を	返しなさい	言って	一人
H8393	H3605	H0853			H3605	H0853	H7725	H0559	H0259

פ	עָתָּה׃	וְעַד־	הָאָרֶץ	אֵת־	עָזְבָה	מִיּוֹם	הַשָּׁדֶה
（区切り）	今まで	そして～まで	地を	～を	彼女が-去った	日から	畠の
	H6258	H5704	H0776	H0853		H3117	

王がその女に尋ねると、彼女は王に話したので、王は彼女のためにひとりの役人に命じて言った、「すべて彼女に属する物、ならびに彼女がこの地を去った日から今までのその畑の産物をことごとく彼女に返しなさい」。

7 וַיָּבֹא֙ אֱלִישָׁ֔ע דַּמֶּ֖שֶׂק וּבֶן־הֲדַ֣ד מֶֽלֶךְ־אֲרָ֑ם חֹלֶ֔ה
そして–来た エリシャは ダマスコに そして–ベン・ハダデは 王 アラムの 病気であった
H0935 H0477 H1834 H1130 H4428 H0758

וַיֻּגַּד־ל֥וֹ לֵאמֹ֖ר בָּ֣א אִ֣ישׁ הָאֱלֹהִ֑ים עַד־הֵֽנָּה׃
そして–告げられた 彼に 言って 来た 人が 神の ～まで ここまで
H5046 H0559 H0935 H0376 H0430 H5704 H2008

さてエリシャはダマスコに来た。時にスリヤの王ベネハダデは病気であったが、「神の人がここに来た」と告げる者があったので、

8 וַיֹּ֤אמֶר הַמֶּלֶךְ֙ אֶל־חֲזָהאֵ֔ל קַ֚ח בְּיָדְךָ֣ מִנְחָ֔ה וְלֵ֖ךְ
そして–言った 王は ～に ハザエルに 取りなさい あなたの–手に 贈り物を そして–行け
H0559 H4428 H0413 H2371 H3947 H3027 H4503 H3212

לִקְרַ֣את אִ֣ישׁ הָאֱלֹהִ֗ים וְדָרַשְׁתָּ֤ אֶת־יְהוָה֙ מֵאוֹתוֹ֙ לֵאמֹ֔ר הַאֶחְיֶ֖ה
人の 迎えに 神の ～を 主を 彼から 言って 回復するだろうか
H0376 H7125 H0430 H0853 H3068 H0853 H0559 H2421

מֵחָלְיִ֥ זֶֽה׃
この–病から この
H2483 H2088

王はハザエルに言った、「贈り物を携えて行って神の人を迎え、彼によって主に『わたしのこの病気はなおりましょうか』と言って尋ねなさい」。

9 וַיֵּ֣לֶךְ חֲזָאֵ֗ל וַיִּקַּ֤ח מִנְחָה֙ בְּיָד֔וֹ וְכָל־ט֥וּב דַּמֶּ֖שֶׂק מַשָּׂ֣א אַרְבָּעִ֣ים גָּמָ֑ל וַיָּבֹא֙
そして–行った ハザエルは そして–取った 贈り物を 手に–彼の そして–すべての 良い–ものを ダマスコの 荷物 四十頭の らくだの そして–来て
H3212 H2371 H3947 H4503 H3027 H3605 H2898 H1834 H4853 H0705 H1581 H0935

וַיַּעֲמֹ֖ד לִפְנֵ֑יו וַיֹּ֣אמֶר בִּנְךָ֤ בֶן־הֲדַד֙ מֶ֣לֶךְ אֲרָ֔ם שְׁלָחַ֥נִי אֵלֶ֖יךָ לֵאמֹ֑ר הַאֶחְיֶ֖ה
そして–立った 彼の–前に そして–言った あなたの–息子 ベン・ハダデ 王 アラムの 遣わしました–私を あなたに 言って 回復するだろうか
H5975 H6440 H0559 H1130 H4428 H0758 H7971 H0413 H0559 H2421

מֵחָלְיִ֥ זֶֽה׃
この–病から この
H2483 H2088

そこでハザエルは彼を迎えようと、ダマスコのもろもろの良い物をらくだ四十頭に載せ、贈り物として携え行き、エリシャの前に立って言った、「あなたの子、スリヤの王ベネハダデがわたしをあなたにつかわして、『わたしのこの病気はなおりましょうか』と言わせています」。

10 וַיֹּ֤אמֶר אֵלָיו֙ אֱלִישָׁ֔ע לֵ֚ךְ אֱמָר־ל֣וֹ]לֹא[ )לוֹ(תִחְיֶ֔ה הָרֵ֖אֲנִי
そして–言った エリシャは 彼に 行け 言え [否] 彼に 必ず 回復すると しかし–示された
H0559 H0477 H0413 H3212 H0559 H3808 H2421 H2421 H7200

כִּי־ מ֥וֹת יָמ֖וּת יְהוָ֥ה
～ということを 必ず 死ぬと 主が–私に
H4191 H4191 H3068

エリシャは彼に言った、「行って彼に『あなたは必ずなおります』と告げなさい。ただし主はわたしに、彼が必ず死ぬことを示されました」。

11

וַיְבְךְּ
そして–泣いた
H1058

בֹּשׁ
恥ずかしく–なるまで
H0954

עַד־
～まで
H5704

וַיָּשֶׂם
そして–向けた

פָּנָיו
その–顔を
H6440

אֶת־
～を
H0853

וַיַּעֲמֵד
そして–見つめた
H5975

אִישׁ הָאֱלֹהִים׃
人は
H0376
神の
H0430

そして神の人がひとみを定めて彼の恥じるまでに見つめ、やがて泣き出したので、

12

כִּי־
なぜなら

וַיֹּאמֶר
そして–言った
H0559

בְּכָה
泣くのですか
H1058

אֲדֹנִי
わが–主よ
H0113

מַדּוּעַ
なぜ
H4069

חֲזָאֵל
ハザエルは
H2371

וַיֹּאמֶר
そして–言った
H0559

תִּשְׁלַח
放つ
H7971

מִבְצְרֵיהֶם
要塞を–彼らの
H4013

רָעָה
悪を

יִשְׂרָאֵל
イスラエルの
H3478

לִבְנֵי
息子たちに

תַּעֲשֶׂה
するか

אֲשֶׁר־
何を

אֵת
～を
H0853

יָדַעְתִּי
知っている–私は
H3045

תְּרַטֵּשׁ
打ち砕く
H7376

וְעֹלְלֵיהֶם
そして–幼子を–彼らの
H5768

תְּבַקֵּעַ׃
引き裂く
H1234

תַּהֲרֹג
殺す
H2026

בַּחֶרֶב
剣で
H2719

וּבַחֻרֵיהֶם
そして–若者たちを–彼らの
H0970

בָּאֵשׁ
火で
H0784

וְהָרֹתֵיהֶם
そして–妊婦たちを–彼らの

ハザエルは言った、「わが主よ、どうして泣かれるのですか」。エリシャは答えた、「わたしはあなたがイスラエルの人々にしようとする害悪を知っているからです。すなわち、あなたは彼らの城に火をかけ、つるぎをもって若者を殺し、幼な子を投げうち、妊娠の女を引き裂くでしょう」。

13

כִּי
どうして

הַכֶּלֶב
犬のような
H3611

עַבְדְּךָ
あなたの–僕は
H5650

מָה
何者ですか
H4100

כִּי
いったい

חֲזָאֵל
ハザエルは
H2371

וַיֹּאמֶר
そして–言った
H0559

אֹתְךָ
あなたを
H0853

יְהוָה
主が
H3068

הֵרְאַנִי
示した–私に
H7200

אֱלִישָׁע
エリシャは
H0477

וַיֹּאמֶר
そして–言った
H0559

הַזֶּה
この
H2088

הַגָּדוֹל
大いなる

הַדָּבָר
ことを
H1697

יַעֲשֶׂה
行うのですか

מֶלֶךְ
王として
H4428

עַל־
～の上に

אֲרָם׃
アラムの
H0758

ハザエルは言った、「しもべは一匹の犬にすぎないのに、どうしてそんな大きな事をすることができましょう」。エリシャは言った、「主がわたしに示されました。あなたはスリヤの王となるでしょう」。

14

וַיֹּאמֶר
そして–言った
H0559

אֲדֹנָיו
その–主人の–もとに

אֶל־
～に
H0413

וַיָּבֹא
そして–来た
H0935

אֱלִישָׁע
エリシャの–もとから

מֵאֵת
～から
H0854

וַיֵּלֶךְ
そして–行った
H3212

תִּחְיֶה׃
回復すると
H2421

חָיֹה
必ず
H2421

לִי
私に

אָמַר
言った
H0559

וַיֹּאמֶר
そして–言った
H0559

אֱלִישָׁע
エリシャは
H0477

לְךָ
あなたに

אָמַר
言った
H0559

מָה־
何を
H4100

לּוֹ
彼に

彼がエリシャのもとを去って、主君のところへ行くと、「エリシャはあなたになんと言ったか」と尋ねられたので、「あなたが必ずなおるでしょうと、彼はわたしに告げました」と答えた。

15 וַיְהִי מָמָּחֳרָת וַיִּקַּח הַמַּכְבֵּר וַיִּטְבֹּל בַּמָּיִם וַיִּפְרֹשׂ עַל־
そして-なった 翌日に 取った 厚い-布を 浸した そして-広げた ～の上に
H1961 H4283 H3947 H4346 H2881 H6566 H4325

פָּנָיו וַיָּמָת וַיִּמְלֹךְ חֲזָהאֵל תַּחְתָּיו׃ פ
その-顔の そして-死んだ ハザエルが 王となった その-代わりに （区切り）
H6440 H4191 H2371 H8478

しかし翌日になってハザエルは布を取って水に浸し、それをもって王の顔をおおったので、王は死んだ。ハザエルは彼に代って王となった。

16 וּבִשְׁנַת חָמֵשׁ לְיוֹרָם בֶּן־אַחְאָב מֶלֶךְ יִשְׂרָאֵל וִיהוֹשָׁפָט
そして-年に 五の ヨラムの 息子 アハブの 王 イスラエルの そして-ヨシャパテが 王
H8141 H2568 H3141 H0256 H4428 H3478 H3092 H4428

מֶלֶךְ יְהוּדָה׃ בֶּן־יְהוֹשָׁפָט מֶלֶךְ יְהוּדָה יְהוֹרָם
ユダの 王 ヨシャパテの 息子 ヨラムが 王となった ユダの
H3063 H4428 H3092 H3088

イスラエルの王アハブの子ヨラムの第五年に、ユダの王ヨシャパテの子ヨラムが位についた。

17 בֶּן־שְׁלֹשִׁים וּשְׁתַּיִם שָׁנָה הָיָה בְּמָלְכוֹ וּשְׁמֹנֶה [שנה] (שָׁנִים) מָלַךְ
息子 三十 と-二 歳の であった 王となった-時 そして-八 [年] 年 治めた
H7970 H8147 H8141 H1961 H8083 H8141 H8141

בִּירוּשָׁלָם׃
エルサレムで
H3389

彼は王となったとき三十二歳で、八年の間エルサレムで世を治めた。

18 וַיֵּלֶךְ בְּדֶרֶךְ וּכְבֵית אַחְאָב עָשׂוּ כַּאֲשֶׁר יִשְׂרָאֵל מַלְכֵי
そして-歩んだ 道に ちょうど イスラエルの 王たちの 家が アハブの
H3212 H1870 H3478 H4428 H0256

כִּי בַת־אַחְאָב הָיְתָה־לּוֹ לְאִשָּׁה וַיַּעַשׂ הָרַע בְּעֵינֵי יְהוָה׃
なぜなら 娘が アハブの なっていた 彼の 妻に そして-行った 悪を 目に 主の
H1323 H0256 H1961 H0802 H6213 H7451 H5869 H3068

彼はアハブの家がしたようにイスラエルの王たちの道に歩んだ。アハブの娘が彼の妻であったからである。彼は主の目の前に悪をおこなったが、

19 וְלֹא־אָבָה יְהוָה לְהַשְׁחִית אֶת־יְהוּדָה לְמַעַן דָּוִד
そして-なかった 望まなかった 主は 滅ぼすことを ～を ユダを ～のために ダビデの
H3808 H0014 H3068 H7843 H0853 H3063 H4616 H1732

כַּאֲשֶׁר אָמַר־לוֹ לָתֵת לוֹ נִיר לְבָנָיו כָּל־הַיָּמִים׃
ちょうど 言った 彼に 与えると 彼に 灯火を その-息子たちに すべての 日々
H0559 H5414 H3117 H3605

עַבְדּוֹ H5650

主はしもべダビデのためにユダを滅ぼすことを好まれなかった。すなわち主は彼とその子孫に常にともしびを与えると、彼に約束されたからである。

20 בְּיָמָיו פָּשַׁע אֱדוֹם מִתַּחַת יַד־יְהוּדָה וַיַּמְלִכוּ עֲלֵיהֶם
その-日々に 反逆した エドムが ～の下から 手の ユダの そして-立てた 自分たちの-上に
H3117 H6586 H0123 H8478 H3027 H3063

מֶלֶךְ׃
王を
H4428

ヨラムの世にエドムがそむいてユダの支配を脱し、みずから王を立てたので、

21 וַיַּעֲבֹר יוֹרָם צָעִירָה וְכָל־הָרֶכֶב עִמּוֹ וַיְהִי־הוּא
そして-渡った ヨラムは ツァイルへ そして-すべての 戦車が 彼と-共に そして-なった 彼が
H3141 H6811 H3605 H7393 H1961 H1931

וַיָּקָם לַיְלָה וַיַּךְ אֶת־אֲדֹום הַסֹּבְבִים אֹתֹו וְאֶת שָׂרֵי הָרֶכֶב
起きた 夜に そして-撃った ～を エドムを 囲んでいた 彼を そして～を 将軍たちを 戦車の
H3915 H5221 H0853 H0123 H5437 H0413 H0853 H8269 H7393

וַיָּנָס הָעָם לְאָהָלָיו׃
そして-逃げた 民は 天幕へ-その
H5127 H0168

ヨラムはすべての戦車を従えてザイルにわたって行き、その戦車の指揮官たちと共に、夜のうちに立ちあがって、彼を包囲しているエドムびとを撃った。しかしヨラムの軍隊は天幕に逃げ帰った。

22 וַיִּפְשַׁע אֱדֹום מִתַּחַת יַד־יְהוּדָה עַד הַיֹּום הַזֶּה אָז תִּפְשַׁע
そして-反逆した エドムが ～の下から 手の ユダの ～まで 日まで この その-時 反逆した
H6586 H0123 H8478 H3027 H3063 H5704 H3117 H2088 H6256 H6586

לִבְנָה בָּעֵת הַהִיא׃
リブナも 時に その
H3841 H6256 H1931

エドムはこのようにそむいてユダの支配を脱し、今日に至っている。リブナもまた同時にそむいた。

23 וְיֶתֶר דִּבְרֵי יוֹרָם וְכָל־אֲשֶׁר עָשָׂה הֲלוֹא־הֵם
残りの そして-事績は ヨラムの そして-すべての それを 行った 記されて-いないか それらは
H3141 H1697 H3605 H6213 H3808 H1992

כְּתוּבִים עַל־סֵפֶר דִּבְרֵי הַיָּמִים לְמַלְכֵי יְהוּדָה׃
書かれている ～の上に 書に 事績の 日々の 王たちの ユダの
H3789 H5921 H5612 H1697 H3117 H4428 H3063

ヨラムのその他の事績および彼がしたすべての事は、ユダの歴代志の書にしるされているではないか。

24 וַיִּשְׁכַּב יוֹרָם עִם־אֲבֹתָיו וַיִּקָּבֵר עִם־אֲבֹתָיו
そして-横たわった ヨラムは ～と共に その-先祖たちと そして-葉られた ～と共に その-先祖たちと
H7901 H3141 H5973 H0001 H6912 H5973 H0001

בְּעִיר דָּוִד וַיִּמְלֹךְ אֲחַזְיָהוּ בְנוֹ תַּחְתָּיו׃
町に ダビデの そして-王となった アハズヤが その-息子 その-代わりに
H5892 H1732 H4427 H0274 H1121 H8478

פ
（区切り）

ヨラムはその先祖たちと共に眠って、ダビデの町にその先祖たちと共に葬られ、その子アハジヤが代って王となった。

25 בִּשְׁנַת שְׁתֵּים־עֶשְׂרֵה שָׁנָה לְיוֹרָם בֶּן־אַחְאָב מֶלֶךְ יִשְׂרָאֵל מָלָךְ
年に 十二 の 年の ヨラムの 息子 アハブの 王 イスラエルの 王となった
H8141 H8147 H6240 H8141 H3141 H1121 H0256 H4428 H3478 H4427

אֲחַזְיָהוּ בֶן־יְהוֹרָם מֶלֶךְ יְהוּדָה׃
アハズヤが 息子 ヨラムの 王 ユダの
H0274 H1121 H3088 H4428 H3063

イスラエルの王アハブの子ヨラムの第十二年にユダの王ヨラムの子アハジヤが位についた。

בִּירוּשָׁלִַם	מָלַךְ	אַחַת	וְשָׁנָה	בְּמָלְכֹו	אֲחַזְיָהוּ	שְׁנַת	וּשְׁתַּיִם	עֶשְׂרִים	בֶּן־	26
エルサレムで	治めた	年	そして–一	王となった–時	アハズヤは	歳の	と–二	二十	息子	
H3389		H0259	H8141		H0274	H8141	H8147	H6242		

יִשְׂרָאֵל׃	מֶלֶךְ	עָמְרִי	בַּת־	עֲתַלְיָהוּ	אִמּוֹ	וְשֵׁם	
イスラエルの	王	オムリの	娘	アタルヤ	その–母の	そして–名は	
H3478	H4428	H6018	H1323	H6271	H0517	H8034	

アハジヤは王となったとき二十二歳で、エルサレムで一年世を治めた。その母は名をアタリヤと言って、イスラエルの王オムリの孫娘であった。

כְּבֵית	יְהוָה	בְּעֵינֵי	הָרַע	וַיַּעַשׂ	אַחְאָב	בֵּית	בְּדֶרֶךְ	וַיֵּלֶךְ	27
家の–ように	主の	目に	悪を	そして–行った	アハブの	家の	道に	そして–歩んだ	
	H3068				H0256		H1870	H3212	

הוּא׃	אַחְאָב	בֵּית־	חָתַן	כִּי	אַחְאָב
彼は	アハブの	家の	婚姻–関係で	なぜなら	アハブの
H1931	H0256		H2860		H0256

アハジヤはまたアハブの家の道に歩み、アハブの家がしたように主の目の前に悪をおこなった。彼はアハブの家の婿であったからである。

מֶלֶךְ־	חֲזָהאֵל	עִם־	לַמִּלְחָמָה	אַחְאָב	בֶּן־	יוֹרָם	אֶת־	וַיֵּלֶךְ	28
王	ハザエルと	～と	戦いに	アハブの	息子	ヨラムと	～と共に	そして–行った	
H4428	H2371		H4421	H0256		H3141	H0854	H3212	

יוֹרָם׃	אֶת־	אֲרַמִּים	וַיַּכּוּ	גִּלְעָד	בְּרָמֹת	אֲרָם
ヨラムを	～を	アラム人が	そして–撃った	ギルアデの	ラモト・ギルアデで	アラムの
H3141	H0853	H0761	H5221	H1568	H7433	H0758

彼はアハブの子ヨラムと共に行って、スリヤの王ハザエルとラモテ・ギレアデで戦ったが、スリヤびとらはヨラムに傷を負わせた。

יַכֻּהוּ	אֲשֶׁר	הַמַּכִּים	מִן־	בְּיִזְרְעֶאל	לְהִתְרַפֵּא	הַמֶּלֶךְ	יוֹרָם	וַיָּשָׁב	29
打った	それを	傷から	～から	イズレエルで	癒すために	王は	ヨラム	そして–帰った	
H5221		H4347		H3157	H7495	H4428	H3141	H7725	

בֶּן־	וַאֲחַזְיָהוּ	אֲרָם	מֶלֶךְ	חֲזָהאֵל	אֶת־	בְּהִלָּחֲמוֹ	בָּרָמָה	אֲרַמִּים
息子	そして–アハズヤが	アラムの	王	ハザエルと	～と	戦った–時に	ラマで	アラム人が–彼を
	H0274	H0758	H4428	H2371	H0854		H7414	H0761

בְּיִזְרְעֶאל	אַחְאָב	בֶּן־	יוֹרָם	אֶת־	לִרְאוֹת	יָרַד	יְהוּדָה	מֶלֶךְ	יְהוֹרָם
イズレエルで	アハブの	息子	ヨラムを	～を	見舞うために	下った	ユダの	王	ヨラムの
H3157	H0256		H3141	H0853	H7200	H3381	H3063	H4428	H3088

פ	הוּא׃	חֹלֶה	כִּי־
（区切り）	彼は	病気であった	なぜなら
	H1931		

ヨラム王はそのスリヤの王ハザエルと戦うときにラマでスリヤびとに負わされた傷をいやすため、エズレルに帰ったが、ユダの王ヨラムの子アハジヤはアハブの子ヨラムが病んでいたので、エズレルに下って彼をおとずれた。

Chapter 9

1

לוֹ	וַיֹּאמֶר	הַנְּבִיאִים	מִבְּנֵי	לְאֶחָד	קְרָא	הַנָּבִיא	וֶאֱלִישָׁע
彼に	そして–言った	預言者たちの	息子たちの–中から	一人を	呼んだ	預言者	そして–エリシャは
	H0559	H5030		H0259	H7121	H5030	H0477

וְלֵךְ	בְּיָדְךָ	הַזֶּה	הַשֶּׁמֶן	פַּךְ	וְקַח	מָתְנֶיךָ	חֲגֹר
そして–行け	あなたの–手に	この	油の	瓶を	そして–取りなさい	あなたの–腰を	締めなさい
H3212	H3027	H2088	H8081	H6378	H3947	H4975	H2296

גִּלְעָד׃	רָמֹתָ
ギルアデの	ラモトへ
H1568	H7433

時に預言者エリシャは預言者のともがらのひとりを呼んで言った、「腰をひきからげ、この油のびんを携えて、ラモテ・ギレアデへ行きなさい。

2

בֶּן־	יְהוֹשָׁפָט	בֶּן־	יֵהוּא	שָׁם	וּרְאֵה־	שָׁמָּה	וּבָאתָ
息子	ヨシャパテの	息子	エヒウを	そこで	そして–見なさい	そこへ	そして–入りなさい
	H3092		H3058	H8033	H7200	H8033	H0935

וְהֵבֵאתָ	אֶחָיו	מִתּוֹךְ	וְהַקֵּמוֹתוֹ	וּבָאתָ	נִמְשִׁי	
そして–連れて行きなさい	その–兄弟たちの	中から	そして–立たせなさい–彼を	そして–入って	ニムシの	
H0935	H0251	H8432		H0935	H5250	

בְּחֶדֶר׃	חֶדֶר	אֹתוֹ
奥の–部屋の	部屋に	彼を
H2315	H2315	H0853

そこに着いたならば、ニムシの子ヨシャパテの子であるエヒウを尋ね出し、内にはいって彼をその同僚たちのうちから立たせて、奥の間に連れて行き、

3

וְאָמַרְתָּ	רֹאשׁוֹ	עַל־	וְיָצַקְתָּ	הַשֶּׁמֶן	פַּךְ־	וְלָקַחְתָּ	
そして–言いなさい	その–頭の	～の上に	そして–注ぎなさい	油の	瓶を	そして–取りなさい	
H0559			H3332	H8081	H6378	H3947	

יִשְׂרָאֵל	אֶל־	לְמֶלֶךְ	מְשַׁחְתִּיךָ	יְהוָה	אָמַר	כֹּה־
イスラエルの	～の上に	王として	油注いだ–あなたを–私は	主は	言われた	このように
H3478	H0413	H4428	H4886	H3068	H0559	H3541

תְּחַכֶּה׃	וְלֹא	וְנַסְתָּה	הַדֶּלֶת	וּפָתַחְתָּ
待つな	そして–ない	そして–逃げなさい	戸を	そして–開けなさい
H2442	H3808	H5127		

油のびんを取って、その頭に注ぎ、『主はこう仰せられる、わたしはあなたに油を注いでイスラエルの王とする』と言い、そして戸をあけて逃げ去りなさい。とどまってはならない」。

4

גִּלְעָד׃	רָמֹתָ	הַנָּבִיא	הַנַּעַר	הַנָּעַר	וַיֵּלֶךְ	
ギルアデの	ラモトへ	預言者の	若者は	若者は	そして–行った	
H1568	H7433	H5030	H5288	H5288	H3212	

そこで預言者であるその若者はラモテ・ギレアデへ行ったが、

5

לִי	דָבָר	וַיֹּאמֶר	יֹשְׁבִים	הַחַיִל	שָׂרֵי	וְהִנֵּה	וַיָּבֹא
私に	言葉が–ある	そして–言った	座っていた	軍勢の	将軍たちが	すると–見よ	そして–来た
	H1697	H0559	H3427	H2428	H8269	H2009	H0935

אֵלֶיךָ	וַיֹּאמֶר	מִכֻּלָּנוּ	מִי	אֶל־	יֵהוּא	וַיֹּאמֶר	הַשָּׂר	אֵלֶיךָ
あなたに	そして–言った	私たちの–中で	誰に	～に	エヒウは	そして–言った	将軍よ	あなたに
H0413	H0559	H3605	H4310	H0413	H3058	H0559	H8269	H0413

הַשָּׂר׃
将軍よ
H8269

来て見ると、軍勢の長たちが会議中であったので、彼は「将軍よ、わたしはあなたに申しあげる事があります」と言うと、エヒウが答えて、「われわれすべてのうちの、だれにですか」と言ったので、彼は「将軍よ、あなたにです」と言った。

וַיָּקָם 6
そして–立ち上がり
H0935

וַיָּבֹא
そして–入った
H0935

הַבַּיְתָה
家の–中に
H1413

וַיִּצֹק
そして–注いだ
H3332

הַשֶּׁמֶן
油を
H8081

עַל־
〜の上に
H0413

רֹאשׁוֹ
その–頭の

וַיֹּאמֶר
そして–言った
H0559

לוֹ
彼に
H3541

כֹּה־
このように
H0559

אָמַר
言われた
H3068

יְהוָה
主は
H0430

אֱלֹהֵי
神
H3478

יִשְׂרָאֵל
イスラエルの

מְשַׁחְתִּיךָ
油注いだ–あなたを–私は
H4886

לְמֶלֶךְ
王として
H4428

עַל־
〜の上に
H0413

אֶל־
〜の上に
H3068

יְהוָה
主の
H5971

עַם
民の
H0413

עַל־
〜の上に
H3478

יִשְׂרָאֵל׃
イスラエルの

するとエヒウが立ちあがって家にはいったので、若者はその頭に油を注いで彼に言った、「イスラエルの神、主はこう仰せられます、『わたしはあなたに油を注いで、主の民イスラエルの王とする。

וְהִכִּיתָה 7
そして–打ちなさい
H5221

אֵת־
〜を
H0853

בֵּית
家を
H0256

אַחְאָב
アハブの
H0113

אֲדֹנֶיךָ
あなたの–主人の
H5358

וְנִקַּמְתִּי
そして–復讐する–私は
H1818

דְּמֵי
血を

עַבְדַי
僕たちの
H3068

יְהוָה
主の
H3027

מִיַּד
手から
H0348

אִיזֶבֶל׃
イゼベルの

וְדִמֵּי
そして–血を
H3605

כָּל־
すべての
H5650

עַבְדֵי
僕たちの–私の
H5030

הַנְּבִיאִים
預言者たちの

וְאָבַד
そして–滅びる
H0006

כָּל־
すべての
H1004

בֵּית
家は
H0256

אַחְאָב
アハブの
H3772

וְהִכְרַתִּי
そして–断つ–私は
H0256

לְאַחְאָב
アハブに–属する

מַשְׁתִּין
小便をする–者を
H8366

בְּקִיר
壁に
H7023

וְעָצוּר
そして–束縛された者と
H6113

וְעָזוּב
そして–解き放たれた者を
H3478

בְּיִשְׂרָאֵל׃
イスラエルにおいて

あなたは主君アハブの家を撃ち滅ぼさなければならない。それによってわたしは、わたしのしもべである預言者たちの血と、主のすべてのしもべたちの血をイゼベルに報いる。

וְנָתַתִּי 9
そして–する–私は
H5414

אֵת־
〜を
H0853

בֵּית
家を
H0256

אַחְאָב
アハブの
H3772

כְּבֵית
家の–ように

יָרָבְעָם
ヤロブアムの
H3379

בֶּן־
息子
H5028

נְבָט
ネバテの

וּכְבֵית
そして–家の–ように

בַּעְשָׁא
バアシャの
H1201

בֶּן־
息子
H0281

אֲחִיָּה׃
アヒヤの

アハブの家をネバテの子ヤラベアムのようにし、アヒヤの子バアシャの家のようにする。

וְאֶת־ 10
そして〜を
H0853

אִיזֶבֶל
イゼベルを
H0348

יֹאכְלוּ
食う
H0398

הַכְּלָבִים
犬が
H3611

בְּחֶלְקַת
地所で

יִזְרְעֶאל
イズレエルの
H3157

וְאֵין
そして–いない
H0369

קֹבֵר
葉る者は
H6912

וַיִּפְתָּח
そして–開けた

הַדֶּלֶת
戸を

וַיָּנָס׃
そして–逃げた
H5127

犬がイズレルの地域でイゼベルを食い、彼女を葬る者はないであろう』」。そして彼は戸をあけて逃げ去った。

11 וְיֵהוּא יָצָא אֶל־עַבְדֵי אֲדֹנָיו וַיֹּאמֶר לוֹ הַשָּׁלוֹם
そして–エヒウは 出た ～に 家来たちの–もとへ その–主人の そして–言った 彼に 平安か
H3058 H3318 H0413 H5650 H0113 H0559 H7965

מַדּוּעַ בָּא־לָזֶה הַמְשֻׁגָּע הַזֶּה אֶל־אֵלֶיךָ וַיֹּאמֶר אֲלֵיהֶם אַתֶּם
なぜ 来たのか ～を あの–気違いが この あなたの–もとに そして–言った 彼らに あなたがたは
H4069 H0935 H0853 H7696 H2088 H0413 H0559 H0413 H0376

יְדַעְתֶּם אֶת־הָאִישׁ וְאֶת־שִׂיחוֹ׃
知っている ～を その–人を そして～を その–話を
H3045 H0853 H0376 H0853 H7879

やがてエヒウが主君の家来たちの所へ出て来ると、彼らはエヒウに言った、「変った事はありませんか。あの気違いは、なんのためにあなたの所にきたのですか」。エヒウは彼らに言った、「あなたがたは、あの人を知っています。またその言う事も知っています」。

12 וַיֹּאמְרוּ שֶׁקֶר הַגֶּד־נָא לָנוּ וַיֹּאמֶר כְּזֹאת
そして–言った 嘘だ 告げて–ください 私たちに そして–言った このように
H0559 H8267 H5046 H4994 H0559 H2063

וְכָזֹאת אָמַר אֵלַי לֵאמֹר כֹּה אָמַר יְהוָה מְשַׁחְתִּיךָ
そして–このように 言った 私に 言って このように 言われた 主は 油注いだ–あなたを–私は
H2063 H0559 H0413 H0559 H3541 H0559 H3068 H4886

לְמֶלֶךְ אֶל־יִשְׂרָאֵל׃
王として ～の上に イスラエルの
H4428 H0413 H3478

彼らは言った、「それは違います。どうぞわれわれに話してください」。そこでエヒウは言った、「彼はこうこう、わたしに告げて言いました、『主はこう仰せられる、わたしはあなたに油を注いで、イスラエルの王とする』」。

13 וַיְמַהֲרוּ וַיִּקְחוּ אִישׁ בִּגְדּוֹ וַיָּשִׂימוּ תַּחְתָּיו אֶל־גֶּרֶם
そして–急いだ そして–取った 人が その–衣を そして–置いた その–下に–彼の ～の上に 段の
H4116 H3947 H0376 H0899 H7760 H0413 H1634

הַמַּעֲלוֹת וַיִּתְקְעוּ בַשּׁוֹפָר וַיֹּאמְרוּ מָלַךְ יֵהוּא׃
階段の そして–吹いた 角笛を そして–言った 王となった エヒウが
H4609 H8628 H7782 H0559 H4427 H3058

すると彼らは急いで、おのおの衣服をとり、それを階段の上のエヒウの下に敷き、ラッパを吹いて「エヒウは王である」と言った。

14 וַיִּתְקַשֶּׁר יֵהוּא בֶּן־יְהוֹשָׁפָט בֶּן־נִמְשִׁי אֶל־יוֹרָם
そして–謀反した エヒウが 息子 ヨシャパテの 息子 ニムシの ～に–対して ヨラムに
H7194 H3058 H1121 H3092 H1121 H5250 H0413 H3141

וְיוֹרָם הָיָה שֹׁמֵר בְּרָמֹת גִּלְעָד הוּא וְכָל־יִשְׂרָאֵל מִפְּנֵי חֲזָאֵל
そして–ヨラムは いた 守って ラモトで ギルアデの 彼は そして–すべての イスラエルは
H3141 H1961 H8104 H7433 H1568 H1931 H3605 H3478 H2371 H6440

מֶלֶךְ־אֲרָם׃
王 アラムの
H4428 H0758

こうしてニムシの子であるヨシャパテの子エヒウはヨラムにそむいた。（ヨラムはイスラエルをことごとく率いて、ラモテ・ギレアデでスリヤの王ハザエルを防いだが、

15

וַיַּ֣כֶּהוּ אֲשֶׁר֮ מֵֽהַמַּכִּים֒ מִן־ בְּיִזְרְעֶ֣אל לְהִתְרַפֵּ֗א הַמֶּ֙לֶךְ֙ יְהוֹרָ֔ם וַיָּ֖שָׁב
打った それを 傷から ～から イズレエルで 癒すために 王は ヨラム そして–帰った
H5221 H4347 H3157 H7495 H4428 H3088 H7725

אִם־ יֵה֣וּא וַיֹּ֗אמֶר אֲרָ֙ם֙ מֶ֣לֶךְ חֲזָאֵ֔ל אֶת־ בְּהִלָּחֲמ֖וֹ אֲרַמִּ֑ים
もし エヒウは そして–言った アラムの 王 ハザエルと ～と 戦った–時に アラム人が–彼を
H3058 H0559 H0758 H4428 H2371 H0854 H7725

[לניד] לָלֶ֥כֶת הָעִ֛יר מִן־ פָּלִ֥יט יֵצֵ֖א אַל־ נַפְשְׁכֶ֣ם יֵ֥שׁ
[告げるために] 行って 町から ～から 逃亡者が 出るな するな あなたがたの–志が あるなら
H5046 H3212 H4480 H6412 H3318 H0408 H5315 H3426

(לְהַגִּיד) בְּיִזְרְעֶֽאל׃
告げるために イズレエルで
H5046 H3157

ヨラム王はスリヤの王ハザエルと戦った時に、スリヤびとに負わされた傷をいやすため、エズレルに帰っていた。）エヒウは言った、「もしこれがあなたがたの本心であるならば、ひとりもこの町から忍び出て、これをエズレルに告げてはならない」。

16

שָׁמָּ֑ה שֹׁכֵ֣ב יוֹרָ֗ם כִּ֚י יִזְרְעֶ֣אלָה וַיֵּ֣לֶךְ֮ יֵה֣וּא וַיִּרְכָּ֖ב
そこに 横たわっていた ヨラムが なぜなら イズレエルへ そして–行った エヒウは そして–乗った
H8033 H7901 H3141 H3588 H3157 H3212 H3058 H7392

יוֹרָ֔ם׃ אֶת־ לִרְא֥וֹת יָרַ֖ד יְהוּדָ֑ה מֶ֣לֶךְ וַאֲחַזְיָ֖הוּ
ヨラムを ～を 見舞うために 下った ユダの 王 そして–アハズヤは
H3141 H0853 H7200 H3381 H3063 H4428 H0274

そしてエヒウは車に乗ってエズレルへ行った。ヨラムがそこに伏していたからである。またユダの王アハジヤはヨラムを見舞うために下っていた。

17

שִׁפְעַ֣ת אֶת־ וַיַּ֗רְא בְּיִזְרְעֶ֣אל הַמִּגְדָּ֔ל עַל־ עֹמֵ֖ד וְהַצֹּפֶ֑ה
一団を ～を そして–見た イズレエルで 塔の ～の上に 立っていた そして–見張りが
H8229 H0853 H7200 H3157 H4026 H5921 H5975 H6822

רַכָּ֔ב קַ֣ח יְהוֹרָ֗ם וַיֹּ֙אמֶר֙ רֹאֶ֣ה אֲנִ֔י שִׁפְעַ֣ת וַיֹּ֖אמֶר בְּבֹא֑וֹ יֵה֣וּא
騎兵を 取れ ヨラムは そして–言った 見える 私は 一団が そして–言った 来る–時に エヒウの
H7395 H3947 H3088 H0559 H7200 H0589 H8229 H0559 H0935 H3058

הֲשָׁלֽוֹם׃ וַיֹּ֣אמֶר לִקְרָאתָ֔ם וְשִׁלַּ֖ח
平安かと そして–言わせろ 迎えに–彼らの そして–送れ
H7965 H0559 H7125 H7971

さてエズレルのやぐらに、ひとりの物見が立っていたが、エヒウの群衆が来るのを見て、「群衆が見える」と言ったので、ヨラムは言った、「ひとりを馬に乗せてつかわし、それに会わせて『平安ですか』と言わせなさい」。

18

הַמֶּ֔לֶךְ אָמַ֣ר כֹּ֔ה וַיֹּ֖אמֶר לִקְרָאת֑וֹ הַסּ֣וּס רֹכֵ֣ב וַיֵּ֔לֶךְ
王は 言われた このように そして–言った 迎えに–彼の 馬の 乗り手が そして–行った
H4428 H0559 H3541 H0559 H7125 H5483 H7392 H3212

אַחֲרַ֑י אֶל־ סָ֣ב וּלְשָׁל֔וֹם לְךָ֖ מַה־ יֵה֣וּא וַיֹּ֗אמֶר הַשָּׁלֽוֹם׃
私の ～の後ろへ 回れ 平安と お前に–関係が 何の エヒウは そして–言った 平安かと
H0413 H5437 H7965 H4100 H3058 H0559 H7965

שָׁ֑ב וְלֹא־ הֵ֔ם עַד־ הַמַּלְאָךְ֙ בָּ֣א לֵאמֹ֔ר הַצֹּפֶ֖ה וַיַּגֶּ֥ד
帰ら しかし–ない 彼らの–もとへ ～まで 使者は 来た 言って 見張りが そして–告げた
H7725 H3808 H1992 H5704 H4397 H0935 H0559 H6822 H5046

そこでひとりが馬に乗って行き、彼に会って言った、「王はこう仰せられます、『平安ですか』」。エヒウ言った、「あなたは平安となんの関係がありますか。わたしのあとについてきなさい」。物見はまた告げて言った、「使者は彼らの所へ行きましたが、帰ってきません」。

19

כֹּה־ このように H3541
וַיֹּאמֶר そして-言った H0559
אֲלֵהֶם 彼らの-もとに H0413
וַיָּבֹא そして-来た H0935
שֵׁנִי 二番目の H8145
סוּס 馬の
רֹכֵב 乗り手を H7392
וַיִּשְׁלַח そして-送った H7971

סֹב 回れ H5437
וּלְשָׁלוֹם 平安と H7965
לְךָ お前に-関係が
מַה־ 何の H4100
יֵהוּא エヒウは H3058
וַיֹּאמֶר そして-言った H0559
שָׁלוֹם 平安かと H7965
הַמֶּלֶךְ 王は H4428
אָמַר 言われた H0559

אַחֲרָי׃ 私の
אֶל־ ～の後ろへ H0413

そこで再び人を馬でつかわしたので、彼らの所へ行って言った、「王はこう仰せられます、『平安ですか』」。エヒウは答えて言った、「あなたは平安となんの関係がありますか。わたしのあとについてきなさい」。

20

שָׁב 帰ら H7725
וְלֹא־ しかし-ない H3808
אֲלֵיהֶם 彼らの-もとへ H0413
עַד־ ～まで H5704
בָּא 来た H0935
לֵאמֹר 言って H0559
הַצֹּפֶה 見張りが H6822
וַיַּגֶּד そして-告げた H5046

בְּשִׁגָּעוֹן 狂気のように H7697
כִּי なぜなら
נִמְשִׁי ニムシの H5250
בֶּן 息子
יֵהוּא エヒウの H3058
כְּמִנְהַג 駆り方の-ように H4491
וְהַמִּנְהָג そして-馬の-駆り方は H4491

יִנָּהֵג׃ 駆るからだ

物見はまた告げて言った、「彼も、彼らの所へ行きましたが帰ってきません。あの車の操縦はニムシの子エヒウの操縦するのに似て、猛烈な勢いで操縦して来ます」。

21

מֶלֶךְ־ 王 H4428
יְהוֹרָם ヨラム H3088
וַיֵּצֵא そして-出た H3318
רִכְבּוֹ その-戦車を H7393
וַיֶּאְסֹר そして-つないだ H0631
אֱסֹר つなげ H0631
יְהוֹרָם ヨラムは H3088
וַיֹּאמֶר そして-言った H0559

לִקְרָאת 迎えに H7125
וַיֵּצְאוּ そして-出て行った H3318
בִּרְכּבוֹ その-戦車で H7393
אִישׁ 人が H0376
יְהוּדָה ユダの H3063
מֶלֶךְ־ 王 H4428
וַאֲחַזְיָהוּ そして-アハズヤも H0274
יִשְׂרָאֵל イスラエルの H3478

הַיִּזְרְעֵאלִי׃ イズレエル人の H3158
נָבוֹת ナボテの H5022
בְּחֶלְקַת 地所で
וַיִּמְצָאֻהוּ そして-見つけた-彼を H4672
יֵהוּא エヒウの H3058

そこでヨラムが「車を用意せよ」と言ったので、車を用意すると、イスラエルの王ヨラムと、ユダの王アハジヤは、おのおのその車で出て行った。すなわちエヒウに会うために出ていって、エズレルびとナボテの地所で彼に会った。

22

יֵהוּא エヒウよ H3058
הֲשָׁלוֹם 平安か H7965
וַיֹּאמֶר そして-言った H0559
יֵהוּא エヒウを H3058
אֶת־ ～を H0853
יְהוֹרָם ヨラムが H3088
כִּרְאוֹת 見た-とき H7200
וַיְהִי そして-なった H1961

וּכְשָׁפֶיהָ そして-その-魔術が H3785
אִמֶּךָ お前の-母の H0517
אִיזֶבֶל イゼベルの H0348
זְנוּנֶיהָ 淫行が H2183
עַד־ ～がある-限り H5704
הַשָּׁלוֹם 平安か H7965
מָה 何の H4100
וַיֹּאמֶר そして-言った H0559

הָרַבִּים׃ 多くの

ヨラムはエヒウを見て言った、「エヒウよ、平安ですか」。エヒウは答えた、「あなたの母イゼベルの姦淫と魔術とが、こんなに多いのに、どうして平安でありえましょうか」。

23 וַיַּהֲפֹךְ יְהוֹרָם יָדָיו וַיָּנָס וַיֹּאמֶר אֶל־אֲחַזְיָהוּ
そして-向きを-変えた ヨラムは その-手を そして-逃げた そして-言った ～に アハズヤに
H2015 H3088 H3027 H5127 H0559 H0413 H0274

אֲחַזְיָה׃ מִרְמָה
アハズヤよ 謀反だ
H0274 H4820

その時ヨラムは車をめぐらして逃げ、アハジヤにむかって、「アハジヤよ、反逆です」と言うと、

24 וְיֵהוּא מִלָּא יָדוֹ בַּקֶּשֶׁת וַיַּךְ אֶת־יְהוֹרָם בֵּין
そして-エヒウは 満たした その-手を 弓で そして-撃った ～を ヨラムを ～の間に
H3058 H4390 H3027 H7198 H5221 H0853 H3088 H0996

כְּתֵפָיו וַיֵּצֵא הַחֵצִי מִלִּבּוֹ וַיִּכְרַע בִּרְכְּבוֹ׃
その-腕の 出た そして-矢が その-心臓から 崩れ落ちた その-戦車の-中で
H2220 H3318 H2678 H3820 H3766 H7393

エヒウは手に弓をひきしぼって、ヨラムの両肩の間を射たので、矢は彼の心臓を貫き、彼は車の中に倒れた。

25 וַיֹּאמֶר בִּדְקַר יְהוֹ[שלשה](שָׁלִשׁוֹ) אֶל־אֶת שָׂא הַשְׁלִכֵהוּ בְּחֶלְקַת
そして-言った ～に ビデカルに [副官] その-副官に 拾え ～を 投げ棄てろ-彼を 地所に
H0559 H0413 H0920 H7991 H5375 H0853 H7993 H2506

שְׂדֵה נָבוֹת הַיִזְרְעֵאלִי כִּי־זָכֹר אֲנִי וְאַתָּה רֹכְבִים צְמָדִים אַחֲרֵי
畠の ナボテの イズレエル人の なぜなら 思い出せ 私と お前が 乗っていた 並んで 後ろに
H7704 H5022 H3158 H3588 H2142 H0589 H0859 H7392 H6776 H0310

אָחִאָב אָבִיו וַיהוָה נָשָׂא עָלָיו אֶת־הַמַּשָּׂא הַזֶּה׃
アハブの その-父の ～が 負わせた 彼の-上に ～を 宣告を この
H0256 H0001 H3068 H5375 H5921 H0853 H4853 H2088

エヒウはその副官ビデカルに言った、「彼を取りあげて、エズレルびとナボテの畑に投げ捨てなさい。かつて、わたしとあなたと、ふたり共に乗って、彼の父アハブに従ったとき、主が彼について、この預言をされたことを記憶しなさい。

26 אִם־לֹא רָאִיתִי אֶת־דְּמֵי נְבוֹת וְאֶת־דְּמֵי בָנָיו אֶמֶשׁ נְאֻם־יְהוָה
確かに ないか ～を 私は-見た 血を ナボテの そして～を 血を その-息子たちの 昨夜 宣言された 主の
H0518 H3808 H0853 H7200 H1818 H5022 H0853 H1818 H1121 H0570 H5002 H3068

וְעַתָּה שַׁלְּמְתִּי לְךָ בַּחֶלְקָה הַזֹּאת נְאֻם־יְהוָה עַתָּה וְשָׂא
そして-今 主の 宣言された この この-地所で お前に そして-報いる-私は 主の 宣言された 今 拾え
H6258 H3068 H5002 H2063 H2506 H7999 H7725 H3068 H5002 H6258 H5375

הַשְׁלִכֵהוּ בַּחֶלְקָה כִּדְבַר יְהוָה׃
投げ棄てろ-彼を この-地所に 言葉の-通りに 主の
H7993 H2506 H1697 H3068

すなわち主は言われた、『まことに、わたしはきのうナボテの血と、その子らの血を見た』。また主は言われた、『わたしはこの地所であなたに報復する』と。それゆえ彼を取りあげて、その地所に投げすて、主の言葉のようにしなさい」。

27 וַאֲחַזְיָה מֶלֶךְ־ יְהוּדָה רָאָה וַיָּנָס דֶּרֶךְ בֵּית הַגָּן וַיִּרְדֹּף
そして–アハズヤは 王 ユダの 見た そして–逃げた 道を 家の 庭の そして–追った
H0274 H4428 H3063 H7200 H5127 H1870 H1588 H7291

אַחֲרָיו יֵהוּא וַיֹּאמֶר גַּם־ אֹתוֹ הַכֻּהוּ אֶל־ הַמֶּרְכָּבָה בְּמַעֲלֵה־ גּוּר
彼の–後を エヒウが そして–言った 彼も–また 彼を 撃て ～の上で 戦車の 坂で グルの
H0310 H3058 H0559 H1571 H0853 H5221 H0413 H4818 H4608 H1483

אֲשֶׁר יִבְלְעָם לַיְהוָא וַיָּנָס מְגִדּוֹ וַיָּמָת שָׁם׃
それは ～の傍に イブレアムの そして–逃げた メギドへ そして–死んだ そこで
H0834 H0854 H2991 H5127 H4023 H4191 H8033

ユダの王アハジヤはこれを見てベテハガンの方へ逃げたが、エヒウはそのあとを追い、「彼をも撃て」と言ったので、イブレアムのほとりのグルの坂で車の中の彼を撃った。彼はメギドまで逃げていって、そこで死んだ。

28 וַיַּרְכִּבוּ אֹתוֹ עֲבָדָיו יְרוּשָׁלַ͏ִם וַיִּקְבְּרוּ אֹתוֹ בְקִבְרָתוֹ עִם־
そして–乗せた 彼を その–家来たちが エルサレムへ そして–葬った 彼を その–墓に ～と共に
H7392 H0853 H5650 H3389 H6912 H0853 H6900

פ דָּוִד׃ בְּעִיר אֲבֹתָיו
（区切り） ダビデの 町に その–先祖たちと
H1732 H0001

その家来たちは彼を車に載せてエルサレムに運び、ダビデの町で彼の墓にその先祖たちと共に葬った。

29 וּבִשְׁנַת עַל־ אַחְאָב בֶּן־ לְיוֹרָם שְׁנַת עֶשְׂרֵה אַחַת וּבִשְׁנַת
そして–年に ～の上に アハブの 息子 ヨラムの 年の の 十一 そして–年に
H8141 H0274 H0256 H1121 H3141 H8141 H6240 H0259 H8141

יְהוּדָה׃ מָלַךְ אֲחַזְיָה
ユダの アハズヤが 王となった
H3063 H0274 H4427

アハブの子ヨラムの第十一年にアハジヤはユダの王となったのである。

30 וַיָּבֹא יֵהוּא יִזְרְעֶאלָה וְאִיזֶבֶל וְתִשְׁמַע עֵינֶיהָ וַתָּשֶׂם בַּפּוּךְ
そして–来た エヒウが イズレエルへ そして–イゼベルは 聞いた その–目を そして–塗った 化粧で
H0935 H3058 H3157 H0348 H8085 H5869 H7760 H6320

וַתֵּיטֵב רֹאשָׁהּ אֶת־ וַתַּשְׁקֵף בְּעַד הַחַלּוֹן׃
そして–整えた その–頭を ～を そして–見下ろした ～から 窓から
H3190 H7218 H0853 H8259 H1157 H2474

エヒウがエズレルにきた時、イゼベルはそれを聞いて、その目を塗り、髪を飾って窓から望み見たが、

31 וַיְהִי בָּא בַּשָּׁעַר וַתֹּאמֶר הֲשָׁלוֹם זִמְרִי הֹרֵג אֲדֹנָיו׃
そして–エヒウが 入った 門に そして–言った 平安か ジムリよ 殺した–者よ その–主人を
H3058 H0935 H8179 H0559 H7965 H2027 H2026 H0113

エヒウが門にはいってきたので、「主君を殺したジムリよ、無事ですか」と言った。

32 וַיִּשָּׂא פָּנָיו אֶל־ הַחַלּוֹן וַיֹּאמֶר מִי אִתִּי מִי וַיַּשְׁקִיפוּ אֵלָיו שְׁנַיִם שְׁלֹשָׁה סָרִיסִים׃
そして–上げた その–顔を ～に 窓に そして–言った 誰が 私と–共に 誰が 二人の 三人の 官吉たちが
H5375 H6440 H0413 H2474 H0559 H4310 H0854 H4310 H8147 H7969 H5631

そして–見下ろした 彼に
H8259 H0413

するとエヒウは顔をあげて窓にむかい、「だれか、わたしに味方する者があるか。だれかあるか」と言うと、二、三人の宦官がエヒウを望み見たので、

33 וַיֹּאמֶר [שמטהו] (שְׁמִטֻהָ) וַיִּשְׁמְטוּהָ וַיִּזֶּ֣ה מִדָּמָ֗הּ
そして-言った [落とせ] 落とせ-彼女を そして-落とした-彼女を そして-飛び散った その-血が
H8058 H8058 H8058 H1818

אֶל־ הַקִּ֣יר וְאֶל־ הַסּוּסִ֔ים וַיִּרְמֹ֖סֶנָּה׃
～に 壁に そして～に 馬に そして-踏みつけた-彼女を
H0413 H7023 H0413 H7429

エヒウは「彼女を投げ落せ」と言った。彼らは彼女を投げ落したので、その血が壁と馬とにはねかかった。そして馬は彼女を踏みつけた。

34 וַיָּבֹא֙ וַיֹּ֣אכַל וַיֵּ֔שְׁתְּ וַיֹּ֣אמֶר פִּקְדוּ־ נָ֥א אֶת־
そして-入った そして-食べ そして-飲んだ そして-言った 世話して-ください どうか ～を
H0935 H0398 H8354 H0559 H4994 H0853

הָאֲרוּרָ֣ה הַזֹּ֔את וְקִבְר֖וּהָ כִּ֣י בַת־ מֶ֣לֶךְ הִ֑יא׃
この-呪われた-女を この そして-葉ってください-彼女を なぜなら 娘 王の 彼女は
H0779 H2063 H6912 H3323 H4428 H1931

エヒウは内にはいって食い飲みし、そして言った、「あののろわれた女を見、彼女を葬りなさい。彼女は王の娘なのだ」。

35 וַיֵּלְכ֖וּ לִקְבֹּ֣רָה וְלֹא־ מָצְא֗וּ בָּהּ֙ כִּ֣י אִם־ הַגֻּלְגֹּ֔לֶת וְהָרַגְלַ֖יִם וְכַפּ֥וֹת הַיָּדָֽיִם׃
そして-行った 葉るために-彼女を しかし-なかった 彼女の ただ ～だけ 頭蓋骨と そして-両足と そして-手の-ひら 両手の
H3212 H6912 H3808 H4672 H3027 H1538 H7272 H3709 H3027

しかし彼らが彼女を葬ろうとして行って見ると、頭蓋骨と、足と、たなごころのほか何もなかったので、

36 וַיָּשֻׁ֖בוּ וַיַּגִּ֣ידוּ לוֹ֮ וַיֹּ֣אמֶר דְּבַר־ יְהוָה֒ הִ֣וא אֲשֶׁ֣ר דִּבֶּ֔ר
そして-帰ってきた そして-告げた 彼に そして-言った 言葉は 主の それは それを 語った
H7725 H5046 H0559 H1697 H3068 H1931 H0834 H1696

בְּחֶלְקַ֣ת יִזְרְעֶ֔אל יֹאכְל֥וּ הַכְּלָבִ֖ים בְּשַׂ֥ר אִיזֶֽבֶל׃
地所で イズレエルの 食う 犬が 肉を イゼベルの
H2513 H3157 H0398 H3611 H1320 H0348

אֶת־ בְּשַׂר֙ אִיזֶ֣בֶל בְּחֶלְקַ֖ת יִזְרְעֶ֑אל אֲשֶׁ֣ר לֹא־ יֹאמְר֣וּ זֹ֔את וְהָיְתָ֞ה (וְהָיְתָה) [והית] נִבְלַ֤ת אִיזֶבֶל֙ כְּדֶ֣מֶן עַל־ פְּנֵ֣י הַשָּׂדֶ֔ה בְּחֶלְקַ֖ת
～を 肉を イゼベルの 地所で イズレエルの それを 決して-ない 言わ これが イゼベルだと 死体は そして-なる [そして-なる] 糞の-ように 面の 畠の 地所で
H0853 H1320 H0348 H2513 H3157 H0834 H3808 H0559 H2063 H0348 H5038 H1961 H1961 H1828 H6440 H7704 H2513

פ
（区切り）

イゼベルの死体はエズレルの地で、糞土のように野のおもてに捨てられて、だれも、これはイゼベルだ、と言うことができないであろう』」。

Chapter 10

1 וּלְאַחְאָב שִׁבְעִים בָּנִים בְּשֹׁמְרוֹן וַיִּכְתֹּב יֵהוּא סְפָרִים
そして–アハブには 七十人の 息子が–いた サマリヤに そして–書いた エヒウは 手紙を
H0256 H7657 H1121 H8111 H3789 H3058

וַיִּשְׁלַח שֹׁמְרוֹן אֶל־ שָׂרֵי הָעִיר זִקְנֵי וְאֶל־ הָאֹמְנִים
そして–送った サマリヤに ～に 首長たちに 長老たちと そして～に 養育者たちに
H7971 H8111 H0413 H8269 H2205 H0413 H0539

לֵאמֹר׃ אַחְאָב
言って アハブの
H0559 H0256

アハブはサマリヤに七十人の子供があった。エヒウは手紙をしたためてサマリヤに送り、町のつかさたちと、長老たちと、アハブの子供の守役たちとに伝えて言った、

2 וְעַתָּה כְּבֹא הַסֵּפֶר הַזֶּה אֲלֵיכֶם וְאִתְּכֶם בְּנֵי
そして–今 届く–時 手紙が この あなたがたに そして–あなたがたと–共に–いる 息子たちが
H6258 H0935 H5612 H2088 H0413 H0854 H1121

וְעִיר מִבְצָר אֲדֹנֵיכֶם וְאִתְּכֶם הַמֶּרְכָּב וְהַסּוּסִים
そして–要塞の–町と 堅固な あなたがたの–主人の そして–あなたがたと–共に–ある 戦車と そして–馬と
H5892 H4013 H0113 H0854 H7393 H5483

וְהַנָּשֶׁק׃
そして–武器が
H5402

「あなたがたの主君の子供たちがあなたがたと共におり、また戦車も馬も、堅固な町も武器もあるのだから、この手紙があなたがたのもとに届いたならば、すぐ、

3 וּרְאִיתֶם הַטּוֹב וְהַיָּשָׁר מִבְּנֵי אֲדֹנֵיכֶם
そして–見極めなさい 最も–良い 最も–正しい–者を 息子たちの–中から あなたがたの–主人の
H7200 H2896 H3477 H1121 H0113

וְשִׂמְתֶּם עַל־ כִּסֵּא אֲבִיו וְהִלָּחֲמוּ עַל־ בֵּית
そして–置きなさい ～の上に 王座に その–父の そして–戦いなさい ～のために 家のために
H7760 H5921 H3678 H0001 H3898 H5921 H1004

אֲדֹנֵיכֶם׃
あなたがたの–主人の
H0113

あなたがたは主君の子供たちのうち最もすぐれた、最も適当な者を選んで、その父の位にすえ、主君の家のために戦いなさい」。

4 וַיִּרְאוּ מְאֹד מְאֹד וַיֹּאמְרוּ הִנֵּה שְׁנֵי הַמְּלָכִים לֹא עָמְדוּ
そして–恐れた 非常に 非常に そして–言った 見よ 二人の 王さえ なかった 立て
H3372 H3966 H3966 H0559 H2009 H8147 H4428 H3808 H5975

לְפָנָיו וְאֵיךְ נַעֲמֹד אֲנָחְנוּ׃
彼の–前に そして–どうして 立てるだろうか 私たちが
H6440 H0587 H5975

彼らは大いに恐れて言った、「ふたりの王たちがすでに彼に当ることができなかったのに、われわれがどうして当ることができよう」。

וַיִּשְׁלַח 5
そして–送った
H7971
אֲשֶׁר־ עַל־ הַבַּיִת וַאֲשֶׁר עַל־ הָעִיר
その ～を–管理する–者が 宮殿を そして–その ～を–管理する–者と 町を
וְהָאֹמְנִים וְהַזְּקֵנִים
そして–養育者たちが そして–長老たちと
H0539 H2205
אֶל־ וַיְהוּא לֵאמֹר עַבְדֶּיךָ אֲנַחְנוּ
～に エヒウに 言って 僕です–あなたの 私たちは
H0413 H3058 H0559 H5650 H0587
וְכֹל אֲשֶׁר־ תֹּאמַר אֵלֵינוּ נַעֲשֶׂה לֹא־ נִמְלֹךְ אִישׁ
そして–すべて それを 言われるなら 私たちに 行います 決して–ない 立て 誰も–王に
H3605 H0559 H0413 H3808 H0376
בְּעֵינֶיךָ הַטּוֹב עֲשֵׂה׃
あなたの–目に 良い–と思うことを 行ってください

そこで宮廷のつかさ、町のつかさ、長老たちと守役たちはエヒウに人をつかわして言った、「わたしたちは、あなたのしもべです。すべてあなたが命じられる事をいたします。わたしたちは王を立てることを好みません。あなたがよいと思われることをしてください」。

וַיִּכְתָּב 6
そして–書いた
H3789
אֲלֵיהֶם וְסֵפֶר שֵׁנִית לֵאמֹר אִם־ לִי אַתֶּם
彼らに 手紙を 二度目の 言って もし 私の–側なら あなたがたが
H0413 H8145 H0559
בְּנֵי־ וּלְקֹלִי שִׁמְעִים אַתֶּם קְחוּ אֶת־ רָאשֵׁי אַנְשֵׁי
息子たちの そして–私の–声に あなたがたが 取りなさい ～を 頭を 人々の
H0853 H3947 H8085 H0376
וּבְנֵי יִזְרְעֶאלָה מָחָר כָּעֵת אֵלַי וּבֹאוּ אֲדֹנֵיכֶם
そして–息子たちは イズレエルへ 明日 この–時 私の–もとへ そして–来い あなたがたの–主人の
H3157 H4279 H6256 H0413 H0935 H0113
אוֹתָם׃ מְגַדְּלִים הָעִיר גִּדֹלֵי אֶת־ אִישׁ שִׁבְעִים הַמֶּלֶךְ
彼らを 育てていた 町の 有力者たちの ～と共に–いた 人 七十人で 王の
H0853 H1431 H0854 H0376 H7657 H4428

そこでエヒウは再び彼らに手紙を書き送って言った、「もしあなたがたが、わたしに味方し、わたしに従おうとするならば、あなたがたの主君の子供たちの首を取って、あすの今ごろエズレルにいるわたしのもとに持ってきなさい」。そのころ、王の子供たち七十人は彼らを育てていた町のおもだった人々と共にいた。

וַיְהִי 7
そして–なった
H1961
כְּבֹא הַסֵּפֶר אֲלֵיהֶם וַיִּקְחוּ אֶת־ בְּנֵי הַמֶּלֶךְ
届いた–時に 手紙が 彼らに そして–取った ～を 息子たちを 王の
H0935 H0854 H0413 H3947 H0853 H1431
וַיִּשְׁחָטוּ שִׁבְעִים אִישׁ וַיָּשִׂימוּ אֶת־ רָאשֵׁיהֶם בַּדּוּדִים וַיִּשְׁלְחוּ
そして–屠った 七十人の 人を そして–置いた ～を その–頭を 籠に そして–送った
H7971 H1731 H0853 H3157 H0413
אֵלָיו יִזְרְעֶאלָה׃
彼の–もとへ イズレエルへ

彼らはその手紙を受け取ると、王の子供たちを捕えて、その七十人をことごとく殺し、その首をかごにつめて、エズレルにいるエヒウのもとに送った。

8 וַיָּבֹא֙ הַמַּלְאָ֔ךְ וַיַּגֶּד־ לֹ֖ו לֵאמֹ֑ר הֵבִ֣יאוּ רָאשֵׁ֗י בְּנֵי־ הַמֶּ֔לֶךְ
そして-来た 使者が そして-告げた 彼に 言って 持って-来た 頭を 息子たちの 王の
H0935 H4397 H5046 H0559 H0935 H7218 H1121 H4428

וַיֹּ֣אמֶר שִׂ֤ימוּ אֹתָם֙ שְׁנֵ֣י צִבֻּרִ֔ים פֶּ֖תַח הַשַּׁ֑עַר עַד־ הַבֹּֽקֶר׃
そして-言った 置け それらを 二つの 山に 入口に 門の ～まで 朝まで
H0559 H7760 H0853 H8147 H6652 H6607 H8179 H5704 H1242

使者が来て、エヒウに告げ、「人々が王の子供たちの首を持ってきました」と言うと、「あくる朝までそれを門の入口に、ふた山に積んでおけ」と言った。

9 וַיְהִ֗י בַּבֹּ֙קֶר֙ וַיֵּצֵ֔א וַיַּעֲמֹ֖ד וַיֹּ֣אמֶר אֶל־ כָּל־ הָעָ֣ם צַדִּיקִ֣ים אַתֶּ֔ם
そして-なった 朝に そして-出た そして-立った そして-言った ～に すべての 民に 正しい
H1961 H1242 H3318 H5975 H0559 H0413 H3605 H5971 H6662

הִנֵּ֣ה אֲנִ֗י קָשַׁ֙רְתִּי֙ עַל־ אֲדֹנִ֔י וָאַהַרְגֵ֖הוּ וּמִ֥י הִכָּ֖ה אֶת־ כָּל־ אֵֽלֶּה׃
見よ 私が 謀反した ～に-対して 私の-主人に そして-殺した-彼を しかし-誰が あなたがたは ～を すべての これらを
H2009 H0589 H7194 H0413 H0113 H2026 H4310 H0853 H3605 H0428

朝になると、彼は出て行って立ち、すべての民に言った、「あなたがたは正しい。主君にそむいて彼を殺したのはわたしです。しかしこのすべての者どもを殺したのはだれですか。

10 דְּעוּ֙ אֵפֹ֔וא כִּ֚י לֹא־ יִפֹּ֣ל מִדְּבַ֔ר יְהוָ֖ה אֶל־ הָאָ֑רֶץ אֲשֶׁ֣ר דִּבֶּ֔ר יְהוָ֖ה עַל־ בֵּ֣ית אַחְאָ֑ב וַיהוָ֖ה עָשָׂ֥ה אֵת֙ אֲשֶׁ֣ר דִּבֶּ֔ר בְּיַד־ עַבְדֹּ֖ו אֵלִיָּֽהוּ׃
知りなさい それゆえ ～ということを 決して-ない 落ち 言葉から 主の 地に それを 語った 主が ～に-対して 家に-対して アハブの そして-主が 行った ～を それを 語った その-僕の エリヤの 手によって
H3045 H0645 H3588 H3808 H5307 H1697 H3068 H0776 H0834 H1696 H3068 H5921 H1004 H0256 H3068 H6213 H0853 H0834 H1696 H5650 H0452 H3027

これであなたがたは、主がアハブの家について告げられた主の言葉は一つも地に落ちないことを知りなさい。主は、そのしもべエリヤによってお告げになった事をなし遂げられたのです」。

11 וַיַּ֣ךְ יֵה֗וּא אֵת֙ כָּל־ הַנִּשְׁאָרִ֣ים לְבֵית־ אַחְאָ֔ב בְּיִזְרְעֶ֑אל וְכָל־ גְּדֹלָ֣יו וּמְיֻדָּעָ֔יו וְכֹהֲנָ֖יו עַד־ בִּלְתִּי֙ הִשְׁאִ֣יר לֹ֔ו שָׂרִֽיד׃
そして-撃った エヒウは ～を すべての 残っていた-者を 家に-属する アハブの イズレエルで
H5221 H3058 H0853 H3605 H7604 H1004 H0256 H3157

そして-すべての 有力者たちと-その そして-親しい-者と-その そして-祭司たちを-その ～まで
H3605 H1419 H3045 H3548 H5704

そして-すべての 生存者を 彼に 残さ ない-まで
H3605 H8300 H0369 H7604 H1115

こうしてエヒウは、アハブの家に属する者でエズレルに残っている者をことごとく殺し、またそのすべてのおもだった者、その親しい者およびその祭司たちを殺して、彼に属する者はひとりも残さなかった。

12 וַיָּקָם וַיֵּלֶךְ וַיָּבֹא שֹׁמְרֹון הוּא בֵּית־עֵקֶד הָרֹעִים
そして–立ち上がり そして–行った そして–来た サマリヤへ 彼は 家で エケドの 羊飼いたちの
H3212 H0935 H8111 H1931 H1044 H1044

בַּדָּרֶךְ׃
道の–途中で
H1870

さてエヒウは立ってサマリヤへ行ったが、途中、牧者の集まり場で、

13 וַיֵּהוּא מָצָא אֶת־אֲחֵי אֲחַזְיָהוּ מֶלֶךְ־יְהוּדָה וַיֹּאמֶר מִי
そして–エヒウは 見つけた ～を 兄弟たちを アハズヤの 王 ユダの そして–言った 誰か
H3058 H4672 H0853 H0251 H0274 H4428 H3063 H0559 H4310

לִשְׁלֹום וַיֹּאמְרוּ אַתָּם וַיֹּאמֶר נֵרֵד אֲנַחְנוּ לְאַחֲזְיָהוּ אֲחֵי
安否を–尋ねに そして–言った あなたがたは そして–下った 私たちは アハズヤの 兄弟たちです
H7965 H0559 H0559 H3381 H0587 H0274 H0251

הַגְּבִירָה׃ וּבְנֵי הַמֶּלֶךְ בְּנֵי־
王母の そして–息子たちの 王の 息子たちの
H1377 H4428

ユダの王アハジヤの身内の人々に会い、「あなたがたはどなたですか」と言うと、「わたしたちはアハジヤの身内の者ですが、王の子供たちと、王母の子供たちの安否を問うために下ってきたのです」と答えたので、

14 וַיֹּאמֶר וַיִּתְפְּשׂוּם חַיִּים וַיִּשְׁחָטוּם חַיִּים אֶל־
そして–言った 捕らえろ 生きたまま そして–捕らえた 生きたまま そして–屠った–彼らを ～の傍で
H0559 H8610 H0413

וְלֹא־ הִשְׁאִיר אִישׁ אִישׁ וּשְׁנֵים אַרְבָּעִים בֵּית־עֵקֶד בֹּור
そして–なかった 残した–者は 誰も 人を と–二人の 四十 ベト・エケドの 井戸の
H3808 H7604 H0376 H0376 H8147 H0705 H1044

מֵהֶם׃ ס
彼らの–中に （区切り）
H1992

エヒウは「彼らをいけどれ」と命じた。そこで彼らをいけどって、集まり場の穴のかたわらで彼ら四十二人をことごとく殺し、ひとりをも残さなかった。

15 וַיֵּלֶךְ מִשָּׁם וַיִּמְצָא יְהוֹנָדָב אֶת־ בֶּן־ רֵכָב לִקְרָאתֹו
そして–行った そこから そして–見つけた ヨナダブを ～を 息子 レカブの 迎えに–彼の
H3212 H8033 H4672 H3082 H0853 H1121 H7394 H7125

וַיְבָרְכֵהוּ וַיֹּאמֶר אֵלָיו הֲיֵשׁ אֶת־ לְבָבְךָ וְיָשָׁר כַּאֲשֶׁר
そして–祝福した–彼を そして–言った 彼に あるか ～は あなたの–心は 正しいか ちょうど
H1288 H0559 H0413 H3426 H0854 H3824 H3477 H3824

וַיֹּאמֶר יְהוֹנָדָב יֵשׁ וַיְהִי וַיִּשׁ תְּנָה לְבָבִי עִם־ לְבָבְךָ וַיִּתֵּן
そして–言った ヨナダブは ある そして–ある 与えなさい 私の–心が ～と共に あなたの–心と 与えた
H0559 H3082 H3426 H3426 H5414 H3824 H0854 H3824 H5414

יָדֹו אֵלָיו וַיַּעֲלֵהוּ אֶל־ הַמֶּרְכָּבָה׃
その–手を その–傍に–彼を そして–乗せた–彼を ～の上に 戦車の
H3027 H0413 H5927 H0413 H4818

エヒウはそこを立って行ったが、自分を迎えにきたレカブの子ヨナダブに会ったので、彼にあいさつして、「あなたの心は、わたしがあなたに対するように真実ですか」と言うと、ヨナダブは「真実です」と答えた。するとエヒウは「それならば、あなたの手をわたしに伸べなさい」と言ったので、その手を伸べると、彼を引いて自分の車に上らせ、

16 וַיֹּ֣אמֶר לְכָ֣ה אִתִּ֗י וּרְאֵ֛ה בְּקִנְאָתִ֥י לַיהוָ֖ה וַיַּרְכִּבוּ֙ אֹת֔וֹ׃
そして-言った 来い 共に 私と-見よ 熱心を 私の- 主の-ための そして-乗せた 彼を
H0559 H3212 H0854 H0853 H7200 H7068 H3068 H7392 H0853
בְּרִכְבּֽוֹ׃
その-戦車に
H7393

「わたしと一緒にきて、わたしが主に熱心なのを見なさい」と言った。そして彼を自分の車に乗せ、

17 וַיָּבֹא֙ שֹׁמְר֔וֹן וַיַּ֣ךְ אֶת־כָּל־הַנִּשְׁאָרִ֖ים לְאַחְאָ֑ב עַ֚ד הִשְׁמִידֹ֔ו כִּדְבַ֥ר יְהוָ֖ה אֲשֶׁ֣ר דִּבֶּ֑ר אֶל־אֵלִיָּֽהוּ׃ פ
そして-来た サマリヤに そして-撃った ～を すべての 残っていた-者を アハブに-属する
H0935 H8111 H5221 H0853 H3605 H7604 H0256
～まで 滅ぼした-彼を 言葉の-通りに 主の それを 語った ～に エリヤに
H5704 H8045 H1697 H3068 H0834 H1696 H0413 H0452
サマリヤで ～を 大いに 仕える エヒウは 少し バアルを
H8111 H0853 H3605 H5647 H3058 H4592 H1168

サマリヤへ行って、アハブに属する者で、サマリヤに残っている者をことごとく殺して、その一族を滅ぼした。主がエリヤにお告げになった言葉のとおりである。

18 וַיְקַבֵּץ֙ יֵה֣וּא אֶת־כָּל־הָעָ֔ם וַיֹּ֥אמֶר אֲלֵהֶ֖ם אַחְאָ֣ב עָבַ֣ד אֶת־הַבַּ֣עַל מְעָ֑ט וְיֵה֥וּא יַעַבְדֶ֖נּוּ הַרְבֵּֽה׃
そして-集めた ～を エヒウは すべての 民を そして-言った 彼らに アハブは 仕えた ～を
H6908 H3058 H0853 H3605 H0853 H5647 H0256 H0413 H0559
バアルを 少し エヒウは 仕える 大いに
H1168 H4592 H3058 H5647

次いでエヒウは民をことごとく集めて彼らに言った、「アハブは少しばかりバアルに仕えたが、エヒウは大いにこれに仕えるであろう。

19 וְעַתָּ֗ה כָּל־נְבִיאֵ֤י הַבַּעַל֙ כָּל־עָבְדָ֣יו וְכָל־כֹּהֲנָ֔יו קִרְא֥וּ אֵלַ֖י אִ֣ישׁ אַל־יִפָּקֵ֑ד כִּ֣י זֶ֤בַח גָּדוֹל֙ לַבַּ֣עַל לִ֔י כֹּ֚ל אֲשֶׁר־יִפָּקֵ֔ד לֹ֥א יִחְיֶ֖ה וְיֵה֣וּא עָשָׂ֤ה בְעָקְבָּה֙ לְמַ֣עַן הַאֲבִ֔יד עַבְדֵ֖י הַבָּֽעַל׃
そして-今 すべての 預言者たちを バアルの すべての その-礼拝者たちと そして-すべての
H6258 H3605 H5030 H1168 H3605 H5647 H3605
呼びなさい ～のもとに 私の- 誰も ～な 欠かされるな なぜなら いけにえが
H7121 H0413 H0589 H0408 H0376 H0408 H3588 H2077
その-祭司たちを 大きな 私に-ある バアルの-ために すべて ～は 欠かされる者は ない 生き そして-エヒウは
H3548 H1419 H0589 H1168 H0834 H3605 H0408 H3808 H2421 H3068
行った 策略で ～のために 滅ぼすために ～を 礼拝者たちを バアルの
H6213 H6122 H4616 H0006 H0853 H5647 H1168

それゆえ、今バアルのすべての預言者、すべての礼拝者、すべての祭司をわたしのもとに召しなさい。ひとりもこない者のないようにしなさい。わたしは大いなる犠牲をバアルにささげようとしている。すべてこない者は生かしておかない」。しかしエヒウはバアルの礼拝者たちを滅ぼすために偽ってこうしたのである。

20 וַיֹּ֣אמֶר יֵה֔וּא קַדְּשׁ֥וּ עֲצָרָ֖ה לְבָ֑עַל וַיִּקְרָֽאוּ׃
そして-言った エヒウは 聖別しなさい 聖会を バアルの-ために そして-呼ばれた
H0559 H3058 H6942 H6116 H1168 H7121

そしてエヒウは「バアルのために聖会を催しなさい」と命じたので、彼らはこれを布告した。

21 וַיִּשְׁלַ֤ח יֵה֙וּא֙ בְּכָל־יִשְׂרָאֵ֔ל וַיָּבֹ֖אוּ כָּל־עֹבְדֵ֣י
そして-送った エヒウは すべての-中に イスラエルの そして-来た すべての 礼拝者たちが
H7971 H3058 H3605 H3478 H0935 H3605 H5647

בָ֑עַל וְלֹא־נִשְׁאַ֥ר אִ֛ישׁ אֲשֶׁ֥ר לֹא־בָ֖א וַיָּבֹ֣א בֵית־הַבַּ֔עַל
バアルの なかった-ので それは 誰も 残った-者は そして-なかった 来なかった-者は
H1168 H3808 H0834 H0376 H7604 H3808 H0935

וַיִּמָּלֵ֥א בֵית־הַבַּ֖עַל פֶּ֥ה אֶל־פֶּֽה׃
バアルの 家は 満ちた そして- 端から 端まで
H1168 H1004 H4390 H1004 H6310

エヒウはあまねくイスラエルに人をつかわしたので、バアルの礼拝者たちはことごとく来た。こないで残った者はひとりもなかった。彼らはバアルの宮にはいったので、バアルの宮は端から端までいっぱいになった。

22 וַיֹּ֣אמֶר לַאֲשֶׁ֣ר עַל־הַמֶּלְתָּחָ֗ה הוֹצֵ֤א לְכָל־עֹבְדֵי֙
そして-言った ～に ～を-管理する-者に 衣装庫を 出しなさい 衣服を すべての 礼拝者たちに
H0559 H0834 H5921 H4458 H3318 H3830 H3605 H5647

בָּ֔עַל וַיּוֹצֵ֥א לָהֶ֖ם הַמַּלְבּֽוּשׁ׃
バアルの そして-出した 彼らに 衣服を
H1168 H3318 H1992 H4403

その時エヒウは衣装をつかさどる者に「祭服を取り出してバアルのすべての礼拝者に与えよ」と言ったので、彼らのために祭服を取り出した。

23 וַיָּבֹ֣א יֵה֔וּא וְיהוֹנָדָ֖ב בֶּן־רֵכָ֑ב וַיֹּ֣אמֶר
そして-入った エヒウは そして-ヨナダブが 息子 レカブの 家に バアルの そして-言った
H0935 H3058 H3082 H1121 H7394 H1004 H1168 H0559

לְעֹבְדֵ֣י בַּ֔עַל חַפְּשׂ֣וּ וּרְא֔וּ פֶּן־יֵ֥שׁ פֹּ֖ה כִּ֣י אִם־עַבְדֵ֣י יְהוָ֑ה
礼拝者たちに バアルの 捜しなさい そして-見なさい ない-ように いる-か ここに ただ ～だけ 礼拝者が 主の
H5647 H1168 H2664 H7200 H6435 H3426 H6311 H3588 H0518 H5647 H3068

פֶּן־אֲבָדִ֖ים מֵעַבְדֵ֥י יְהוָ֛ה עִמָּכֶ֥ם כִּ֥י אִם־לְבַדָּֽם׃
だけで 僕たちが-いないか 主の ただ ～だけ 礼拝者が バアルの
H0905 H5650 H3068 H3588 H0518 H5650 H1168

そしてエヒウはレカブの子ヨナダブと共にバアルの宮に入り、バアルの礼拝者たちに言った、「調べてみて、ここにはただバアルの礼拝者のみで、主のしもべはひとりも、あなたがたのうちにいないようにしなさい」。

24 וַיָּבֹ֣אוּ לַעֲשׂ֣וֹת זְבָחִ֣ים וְעֹלֹ֔ות וַיָּ֥שֶׂם
そして-入った 行うために いけにえと そして-全燔の-ささげ物を そして-エヒウは 置いた
H0935 H6213 H2077 H5930 H3058 H7760

לוֹ֙ בַּח֔וּץ שְׁמֹנִ֖ים אִ֑ישׁ וַיֹּ֣אמֶר הָאִ֗ישׁ אֲשֶׁ֤ר יְמַלֵּט֙
自分の-ために 外に 八十人の 人を そして-言った 人が それを 逃がすなら
H0376 H2351 H8084 H0376 H0559 H0376 H0834 H4422

מִן־הָאֲנָשִׁ֣ים אֲשֶׁר־אֲנִ֣י מֵבִ֣יא עַל־יְדֵיכֶ֔ם נַפְשׁ֖וֹ תַּחַ֣ת נַפְשֹׁ֑ו׃
人々から ～から 人を 私が 引き渡す ～の上に あなたがたの-手の その-命が 代わりに その-命の
H0376 H4480 H0834 H0589 H0935 H5921 H3027 H5315 H8478 H5315

こうして彼は犠牲と燔祭とをささげるためにはいった。さてエヒウは八十人の者を外に置いて言った、「わたしがあなたがたの手に渡す者をひとりでも逃す者は、自分の命をもってその人の命に換えなければならない」。

25 וַיְהִי כְּכַלֹּתוֹ לַעֲשׂוֹת הָעֹלָה וַיֹּאמֶר יֵהוּא
そして-なった 終えた-時に-彼が 行うことを 全燔の-ささげ物を そして-言った エヒウは
H1961 H3615 H6213 H5930 H0559 H3058

לָרָצִים וְלַשָּׁלִשִׁים בֹּאוּ הַכּוּם אִישׁ אַל־יֵצֵא
走り手たちに そして-副官たちに 入れ 撃て-彼らを 誰も するな 出るな
H7323 H7991 H0935 H5221 H0376 H0408 H3318

וַיַּכּוּם לְפִי־חָרֶב וַיַּשְׁלִכוּ הָרָצִים וְהַשָּׁלִשִׁים וַיֵּלְכוּ עַד־עִיר
そして-撃った-彼らを 剣の-刃で 投げ捨てた 走り手たちと そして-副官たちが そして-行った ～まで 町まで
H5221 H6310 H7993 H7323 H7991 H3212 H5704 H5892

בֵּית־הַבָּעַל׃
家の バアルの

こうして燔祭をささげることが終ったとき、エヒウはその侍衛と将校たちに言った、「はいって彼らを殺せ。ひとりも逃がしてはならない」。侍衛と将校たちはつるぎをもって彼らを撃ち殺し、それを投げ出して、バアルの宮の本殿に入り、

26 וַיֹּצִאוּ אֶת־מַצְּבוֹת בֵּית־הַבָּעַל וַיִּשְׂרְפוּהָ׃
そして-出した ～を 柱を 家の バアルの そして-燃やした-それを
H3318 H0853 H4676 H1004 H1168 H8313

バアルの宮にある柱の像を取り出して、それを焼いた。

27 וַיְנַתְּצוּ אֶת־מַצְּבַת הַבָּעַל וַיְנַתְּצוּ אֶת־בֵּית הַבָּעַל
そして-打ち壊した ～を 石柱を バアルの そして-打ち壊した ～を 家を バアルの
H5422 H0853 H4676 H1004 H1168 H5422 H0853 H1004 H1168

וַיְשִׂמֵהוּ [למחראות] (לִמֹּוצָאוֹת) עַד־הַיּוֹם׃
そして-した-それを [便所に] 便所に ～まで 今日まで
H7760 H4280 H4161 H5704 H3117

また彼らはバアルの石柱をこわし、バアルの宮をこわして、かわやとしたが今日まで残っている。

28 וַיַּשְׁמֵד יֵהוּא אֶת־הַבַּעַל מִיִּשְׂרָאֵל׃
そして-滅ぼした エヒウは ～を バアルを イスラエルから
H8045 H3058 H0853 H1168 H3478

このようにエヒウはイスラエルのうちからバアルを一掃した。

29 רַק חַטֹּאת יָרָבְעָם בֶּן־נְבָט אֲשֶׁר הֶחֱטִיא אֶת־יִשְׂרָאֵל לֹא־
ただ 罪からは ヤロブアムの 息子 ネバテの それを 犯させた ～を イスラエルに なかった
H7535 H2399 H3379 H1121 H5028 H0834 H2398 H0853 H3478 H3808

סָר יֵהוּא מֵאַחֲרֵיהֶם אֲשֶׁר עֶגְלֵי הַזָּהָב אֲשֶׁר בְּבֵית־אֵל וַאֲשֶׁר
離れ エヒウは それらの-後から 金の-子牛は 金の それは ベテルに-ある そして-それは
H5493 H3058 H4480 H0310 H5695 H2091 H0834 H1008 H0834

בְּדָן׃ ס
ダンに-ある （区切り）
H1835

しかしエヒウはイスラエルに罪を犯させたネバテの子ヤラベアムの罪、すなわちベテルとダンにある金の子牛に仕えることをやめなかった。

30 וַיֹּאמֶר יְהוָה אֶל־יֵהוּא יַעַן אֲשֶׁר־הֵטִיבֹתָ לַעֲשׂוֹת
そして-言われた 主は ～に エヒウに ～のゆえに それを 良く-行った 行うことを
H0559 H3068 H0413 H3058 H3282 H0834 H2895 H6213

הַיָּשָׁר בְּעֵינַי כְּכֹל אֲשֶׁר בִּלְבָבִי עָשִׂיתָ לְבֵית אַחְאָב
正しい-ことを 私の-目に すべての-通りに それを 私の-心に-あった 行った 家に-対して アハブの
H3477 H5869 H3605 H0834 H3824 H6213 H1004 H0256

בְּנֵי רְבִעִים יֵשְׁבוּ לְךָ עַל־כִּסֵּא יִשְׂרָאֵל׃
息子たちが 四代目の 座る あなたの-ために ～の上に 王座に イスラエルの
H1121 H7243 H3427 H0000 H5921 H3678 H3478

主はエヒウに言われた、「あなたはわたしの目にかなう事を行うにあたって、よくそれを行い、またわたしの心にあるすべての事をアハブの家にしたので、あなたの子孫は四代までイスラエルの位に座するであろう」。

31 וְיֵהוּא לֹא שָׁמַר לָלֶכֶת בְּתוֹרַת־יְהוָה אֱלֹהֵי־יִשְׂרָאֵל בְּכָל־
そして-エヒウは なかった 守り 歩むことを 律法に 主の 神の イスラエルの すべての
H3058 H3808 H8104 H3212 H8451 H3068 H0430 H3478 H3605

לִבּוֹ לֹא־סָר מֵעַל חַטֹּאות יָרָבְעָם אֲשֶׁר הֶחֱטִיא אֶת־יִשְׂרָאֵל׃
その-心で なかった 離れ ～から 罪から ヤロブアムの それを 犯させた ～に イスラエルに
H3824 H3808 H5493 H5921 H2403 H3379 H0834 H2398 H0853 H3478

しかしエヒウはイスラエルの神、主の律法を心をつくして守り行おうとはせず、イスラエルに罪を犯させたヤラベアムの罪を離れなかった。

32 בַּיָּמִים הָהֵם הֵחֵל יְהוָה לְקַצּוֹת בְּיִשְׂרָאֵל וַיַּכֵּם חֲזָאֵל
その-日々に その 始めた 主は 削り取ることを イスラエルを そして-撃った-彼らを ハザエルが
H3117 H1992 H2490 H3068 H7096 H3478 H5221 H2371

בְּכָל־גְּבוּל יִשְׂרָאֵל׃
すべての 領地で イスラエルの
H3605 H1366 H3478

この時にあたって、主はイスラエルの領地を切り取ることを始められた。すなわちハザエルはイスラエルのすべての領域を侵し、

33 מִן־הַיַּרְדֵּן הַגָּדִי וְהַגִּלְעָד אֶרֶץ כָּל־אֵת הַשָּׁמֶשׁ מִזְרַח הַיַּרְדֵּן
～から ヨルダンから 日の-昇る 東の ～を すべての 地を ギルアデの ガド人と
H4480 H3383 H4217 H8121 H0853 H3605 H0776 H1568 H1425

אַרְנֹן נַחַל עַל־אֲשֶׁר מֵעֲרֹעֵר וְהַמְנַשִּׁי וְהָרְאוּבֵנִי וְהַגִּלְעָד׃ וְהַבָּשָׁן׃
アルノンの 川の ～の上の それは アロエルから そして-マナセ人の そして-ルベン人と そして-ギルアデと そして-バシャンを
H0769 H5158 H5921 H0834 H6177 H4520 H7206 H1568 H1316

ヨルダンの東で、ギレアデの全地、カドびと、ルベンびと、マナセびとの地を侵し、アルノン川のほとりにあるアロエルからギレアデとバシャンに及んだ。

34 וְיֶתֶר דִּבְרֵי יֵהוּא וְכָל־אֲשֶׁר עָשָׂה וְכָל־גְּבוּרָתוֹ
そして-残りの 事績は エヒウの そして-すべての 行った それを そして-すべての その-武勇は
H3498 H1697 H3058 H3605 H6213 H0834 H3605 H1369

הֲלוֹא־הֵם כְּתוּבִים עַל־סֵפֶר דִּבְרֵי הַיָּמִים לְמַלְכֵי יִשְׂרָאֵל׃
記されて-いないか それらは 書かれている ～の上に 書に 事績の 日々の 王たちの イスラエルの
H3808 H1992 H3789 H5921 H5612 H1697 H3117 H4428 H3478

エヒウのその他の事績と、彼がしたすべての事およびその武勇は、ことごとくイスラエルの王の歴代志の書にしるされているではないか。

35 וַיִּשְׁכַּב יֵהוּא עִם־אֲבֹתָיו וַיִּקְבְּרוּ אֹתוֹ בְּשֹׁמְרוֹן וַיִּמְלֹךְ יְהוֹאָחָז בְּנוֹ תַּחְתָּיו׃
そして-横たわった エヒウは ～と共に その-先祖たちと そして-葉られた 彼を サマリヤで
H7901 H3058 H0854 H0001 H6912 H0853 H8111
そして-王となった ヨアハズが その-息子 その-代わりに
H3059 H1121 H8478

エヒウはその先祖たちと共に眠ったので、彼をサマリヤに葬った。その子エホアハズが代って王となった。

36 וְהַיָּמִים אֲשֶׁר מָלַךְ יֵהוּא עַל־יִשְׂרָאֵל עֶשְׂרִים שָׁנָה וּשְׁמֹנֶה שָׁנָה בְּשֹׁמְרוֹן׃ פ
そして-日々は それを 治めた エヒウが ～の上に イスラエルの 二十 と-八 年
H3117 H0834 H4427 H3058 H5921 H3478 H6242 H8083 H8141
（区切り） サマリヤで
H8111

エヒウがサマリヤでイスラエルを治めたのは二十八年であった。

Chapter 11

1 וַעֲתַלְיָהוּ אֵם אֲחַזְיָהוּ [וראתה] (רָאָתָה) כִּי מֵת בְּנָהּ וַתָּקָם [ותקם] וַתְּאַבֵּד אֶת־כָּל־זֶרַע הַמַּמְלָכָה׃
そして-アタルヤは 母 アハズヤの [見た] 見た ～ということを 死んだ その-息子が そして-立ち上がり そして-滅ぼした ～を すべての 子孫を 王家の
H6271 H0517 H0274 H7200 H7200 H3588 H4191 H1121 H6965 H6 H0853 H3605 H2233 H4467

さてアハジヤの母アタリヤはその子の死んだのを見て、立って王の一族をことごとく滅ぼしたが、

2 וַתִּקַּח יְהוֹשֶׁבַע בַּת־הַמֶּלֶךְ יוֹרָם אֲחוֹת אֲחַזְיָהוּ אֶת־יוֹאָשׁ בֶּן־הַמֻּמָתִים (המומתים) מִתּוֹךְ בְּנֵי הַמֶּלֶךְ [הממותים] וַתִּגְנֹב אֹתוֹ וְאֶת־מֵינִקְתּוֹ מִפְּנֵי עֲתַלְיָהוּ וַיַּסְתִּרוּ אֹתוֹ מֵחֲדַר הַמִּטּוֹת וְלֹא הוּמָת׃
そして-取った ヨシェバが 娘 王の ヨラムの 姉妹 アハズヤの ～を ヨアシュを 息子 そして-盗み出した 彼を 中から 息子たちの 王の [殺される] 殺される 彼を アハズヤの
H3947 H3089 H1323 H4428 H3141 H269 H0274 H0853 H3101 H1589 H0853 H8432 H1121 H4428 H4191 H4191 H0853 H0274
そして～を その-乳母を 部屋に 寝台の 隠した 彼を ～の前から アタルヤの
H0853 H3243 H2315 H4296 H5641 H0853 H6440 H6271
そして-なかった 殺され
H3808 H4191

ヨラム王の娘で、アハジヤの姉妹であるエホシバはアハジヤの子ヨアシを、殺されようとしている王の子たちのうちから盗み取り、彼とそのうばとを寝室に入れて、アタリヤに隠したので、彼はついに殺されなかった。

3 וַיְהִי אִתָּהּ בְּבֵית יְהוָה שִׁשׁ שָׁנִים מִתְחַבֵּא וַעֲתַלְיָה מֹלֶכֶת עַל־הָאָרֶץ׃ פ
そして-いた 彼女と-共に 家に 主の 六 年 隠れて そして-アタルヤが 治めていた ～の上に 地の （区切り）
H1961 H854 H1004 H3068 H8337 H8141 H2244 H6271 H4427 H5921 H776

ヨアシはうばと共に六年の間、主の宮に隠れていたが、その間アタリヤが国を治めた。

4 וּבַשָּׁנָה הַשְּׁבִיעִית שָׁלַח יְהוֹיָדָע וַיִּקַּח אֶת־שָׂרֵי [המאיות]
そして-年に 第七の 遣わした ヨホヤダは そして-取った ～を 将軍たちを [百人の]
H8141 H7637 H7971 H3077 H3947 H0853 H8269 H3967

(הַמֵּאוֹת לַכָּרִי וְלָרָצִים וַיָּבֵא אֹתָם אֵלָיו בַּיִת יְהוָה
百人の カリ人と そして-走り手たちと そして-連れてきた 彼らを 自分の-もとに 家に 主の
H3967 H3746 H7323 H0935 H0853 H0413 H0413 H3068

וַיִּכְרֹת אָתָם בְּרִית וַיַּשְׁבַּע אֹתָם בְּבֵית יְהוָה וַיַּרְא אֹתָם
そして-結んだ 彼らと 契約を そして-誓わせた 彼らに 家で 主の そして-見せた 彼らに
H3772 H1992 H1285 H7650 H0853 H0413 H3068 H7200 H0853

אֶת־בֶּן הַמֶּלֶךְ׃
～を 息子を 王の
H0853 H1121 H4428

第七年になってエホヤダは人をつかわして、カリびとと近衛兵との大将たちを招きよせ、主の宮にいる自分のもとにこさせ、彼らと契約を結び、主の宮で彼らに誓いをさせて王の子を見せ、

5 וַיְצַוֵּם לֵאמֹר זֶה הַדָּבָר אֲשֶׁר תַּעֲשׂוּן הַשְּׁלִשִׁית מִכֶּם
そして-命じた-彼らに 言って これが 事である それを 行うべき 三分の-一が あなたがたの-中の
H6680 H0559 H2088 H1697 H0834 H6213 H7992 H4480

הַבָּאִים בַּשַּׁבָּת וְשֹׁמְרֵי מִשְׁמֶרֶת בֵּית הַמֶּלֶךְ׃
入る-者の 安息日に 守る-者の そして- 任務を 家の 王の
H0935 H7676 H8104 H4931 H1004 H4428

命じて言った、「あなたがたのする事はこれです、すなわち、安息日に非番となって王の家を守るあなたがたの三分の一は、

6 וְהַשְּׁלִשִׁית בְּשַׁעַר סוּר וְהַשְּׁלִשִׁית בְּשַׁעַר אַחַר הָרָצִים
そして-三分の-一が 門に スルの そして-三分の-一が 門に 後ろの 走り手たちの
H7992 H8179 H5493 H7992 H8179 H0310 H7323

וּשְׁמַרְתֶּם מִשְׁמֶרֶת הַבַּיִת מַסָּח׃ אֶת־
そして-守りなさい 任務を 家の 防御の ～を
H8104 H4931 H1004 H4535 H0853

宮殿を守らなければならない。（他の三分の一はスルの門におり、三分の一は近衛兵のうしろの門におる）。

7 וּשְׁתֵּי כָל־בָּכֶם הַיָּדוֹת יֹצְאֵי הַשַּׁבָּת וְשֹׁמְרוּ אֶת־
そして-二つの 部隊が あなたがたの-中の すべての 出る-者の 安息日に そして-守りなさい ～を
H8147 H3027 H3605 H1004 H3318 H7676 H8104 H0853

מִשְׁמֶרֶת בֵּית־יְהוָה אֶל־הַמֶּלֶךְ׃
任務を 家の- 主の ～のために 王のために
H4931 H1004 H3068 H0413 H4428

すべて安息日に当番で主の宮を守るあなたがたの二つの部隊は、

8 וְהִקַּפְתֶּם עַל־הַמֶּלֶךְ סָבִיב אִישׁ כֵּלָיו וְכֵלָיו בְּיָדוֹ וְהַבָּא
そして-囲みなさい ～を 王を 周りに 人が その-武器を そして-その-手に そして-入る-者は
H5362 H0413 H4428 H5439 H0376 H3627 H3627 H3027 H0935

אֶל־הַשְּׁדֵרוֹת יוּמָת וְהָיוּ אֶת־הַמֶּלֶךְ בְּצֵאתוֹ וּבְבֹאוֹ׃
～の中に 列の 殺される そして-いなさい ～と共に 王と 出る-時に-その そして-入る-時に-その
H0413 H7713 H4191 H1961 H0854 H4428 H3318 H0935

おのおのの武器を手に取って王のまわりに立たなければならない。すべて列に近よる者は殺されなければならない。あなたがたは王が出る時にも、はいる時にも王と共にいなければならない」。

9 וַיַּעֲשׂוּ שָׂרֵי (המאות) [המאיות] הַמֵּאוֹת כְּכֹל אֲשֶׁר־ צִוָּה יְהוֹיָדָע
そして-行った 将軍たちは [百人の] 百人の すべての-通りに それを 命じた ヨホヤダが
H6213 H8269 H3967 H3967 H3605 H834 H6680 H3077

וַיִּקְחוּ אִישׁ אֶת־ אֲנָשָׁיו בָּאֵי הַשַּׁבָּת עִם יֹצְאֵי הַשַּׁבָּת וַיָּבֹא אֶל־ יְהוֹיָדָע הַכֹּהֵן׃ הַכֹּהֵן
そして-取った 人が ～を その-部下たちを 入る-者の 安息日に ～と共に 出る-者と 安息日に ～のもとに ヨホヤダの 祢司の 祢司
H3947 H376 H853 H376 H935 H7676 H5973 H3318 H7676 H413 H3077 H3548 H3548

10 וַיִּתֵּן הַכֹּהֵן לְשָׂרֵי (המאות) [המאיות] הַמֵּאוֹת אֶת־ הַחֲנִית וְאֶת־ הַשְּׁלָטִים אֲשֶׁר לַמֶּלֶךְ דָּוִד אֲשֶׁר בְּבֵית יְהוָה׃
そして-与えた 祢司が 将軍たちに [百人の] 百人の ～を 槍と そして～を 盾を それは 王の ダビデの それは 家に-ある 主の
H5414 H3548 H8269 H3967 H3967 H853 H2595 H853 H7982 H834 H4428 H1732 H834 H1004 H3068

祭司は主の宮にあるダビデ王のやりと盾を大将たちに渡した。

11 וַיַּעַמְדוּ הָרָצִים וְאִישׁ כֵּלָיו וְכֵלָיו בְּיָדוֹ מִכֶּתֶף הַבַּיִת הַיְמָנִית לִמְזְבֵּחַ וְלַבַּיִת עַל־ הַמֶּלֶךְ סָבִיב׃
そして-立った 走り手たちが 人が そして-その-武器を その-手に 肩から 家の 右の ～まで 家の 左の 祭壇に-沿って そして-家に-沿って ～の上に 王の 周りに
H5975 H7323 H376 H3627 H3027 H3802 H1004 H3233 H5704 H1004 H8042 H4196 H1004 H1004 H5921 H4428 H5439

近衛兵はおのおの手に武器をとって主の宮の南側から北側まで、祭壇と宮を取り巻いて立った。

12 וַיּוֹצֵא אֶת־ בֶּן־ הַמֶּלֶךְ וַיִּתֶּן עָלָיו אֶת־ הַנֵּזֶר וְאֶת־ הָעֵדוּת וַיִּמְלְכוּ אֹתוֹ וַיִּמְשְׁחֻהוּ וַיַּכּוּ־ כָף וַיֹּאמְרוּ
そして-出した ～を 息子を 王の そして-置いた 彼の-上に ～を 冠を そして～を そして-律法を そして-王とした 彼を そして-油注いだ-彼に そして-打った 手を そして-言った
H3318 H853 H1121 H4428 H5414 H5921 H853 H5145 H853 H5715 H4427 H853 H4886 H5221 H3709 H559

ס יְחִי הַמֶּלֶךְ׃
（区切り） 王よ 万歳
H4428 H2421

そこでエホヤダは王の子をつれ出して冠をいただかせ、律法の書を渡し、彼を王と宣言して油を注いだので、人々は手を打って「王万歳」と言った。

13 וַתִּשְׁמַע עַתַלְיָה אֶת־ קוֹל הָרָצִין הָעָם וַתָּבֹא אֶל־ הָעָם בֵּית יְהוָה׃
そして-聞いた アタルヤが ～を 声を 走り手たちの 民の そして-来た ～に 民の-もとに 家に 主の
H8085 H6271 H853 H7323 H5971 H935 H413 H5971 H1004 H3068

アタリヤは近衛兵と民の声を聞いて、主の宮に入り、民のところへ行って、

14 וַתֵּ֣רְא וְהִנֵּ֣ה הַמֶּ֡לֶךְ עֹמֵד֩ עַל־ הָעַמּ֨וּד כַּמִּשְׁפָּ֜ט
そして-見た / すると-見よ / 王が / 立っていた / ～の上に / 柱の / しきたりに-従って
H7200 / H2009 / H4428 / H5975 / H0413 / H5982 / H4941

וְהַשָּׂרִ֣ים וְהַחֲצֹצְרוֹת֮ אֶל־ הַמֶּ֣לֶךְ הָעָם֒ וְכָל־ עַ֣ם הָאָ֗רֶץ שָׂמֵ֣חַ
そして-将軍たちと / そして-ラッパと / ～の傍に / 王の / 民が / そして-すべての / 地の / 喜び
H8269 / H2689 / H0413 / H4428 / H5971 / H3605 / H0776 / H8056

וְתִקַּ֖ע וַתִּקְרַ֣ע עֲתַלְיָ֗הוּ אֶת־ בְּגָדֶ֔יהָ וַתִּקְרָ֖א
そして-吹いていた / ラッパを / そして-引き裂いた / アタルヤは / ～を / その-衣を / そして-叫んだ
H8628 / H2689 / H7167 / H6271 / H0853 / H0899 / H7121

קֶ֥שֶׁר קֶ֖שֶׁר׃ ס
謀反だ / 謀反だと / （区切り）
H7195 / H7195

見ると、王は慣例にしたがって柱のかたわらに立ち、王のかたわらには大将たちとラッパ手たちが立ち、また国の民は皆喜んでラッパを吹いていたので、アタリヤはその衣を裂いて、「反逆です、反逆です」と叫んだ。

15 וַיְצַ֣ו יְהוֹיָדָ֡ע הַכֹּהֵן֩ אֶת־ שָׂרֵ֨י הַמֵּא֜וֹת ׀ הַמִּאוֹת֗ ׀ הַפְּקֻדֵי֙
そして-命じた / ヨホヤダが / 祢司 / ～に / 将軍たちに / [百人の] / 百人の / 任命された-者に
H6680 / H3077 / H3548 / H0853 / H8269 / H3967 / H3967 / H6485

וְהַבָּ֣א לַשְּׂדֵר֔וֹת מִבֵּ֖ית אֶל־ אֹתָ֑הּ הוֹצִ֣יאוּ אֶלֵיהֶם֙ וַיֹּ֣אמֶר הַחָ֔יִל
そして-従う-者は / 列の / 内側から / ～の外へ / 彼女を / 連れ出せ / 彼らに / そして-言った / 軍勢の
H0935 / H7713 / H0413 / H0853 / H3318 / H0413 / H0559 / H2428

יְהוָ֖ה׃ בְּבֵ֣ית תּוּמַ֔ת אַל־ הַכֹּהֵ֣ן אָמַ֔ר כִּ֚י בֶּחָ֣רֶב אַחֲרֶ֖יהָ הָמֵ֥ת
主の / 家で / 殺されるな / するな / 祢司は / 言った / なぜなら / 剣で / 殺せ / 彼女の-後に
H3068 / H1004 / H4191 / H0408 / H3548 / H0559 / H3588 / H2719 / H4191

その時祭司エホヤダは軍勢を指揮していた大将たちに命じて、「彼女を列の間をとおって出て行かせ、彼女に従う者をつるぎをもって殺しなさい」と言った。これは祭司がさきに「彼女を主の宮で殺してはならない」と言ったからである。

16 וַיָּשֶׂם־ לָ֣הּ יָדַ֔יִם וַתָּבֹ֕וא דֶּ֖רֶךְ מְבֹ֣וא הַסּוּסִ֑ים בֵּ֣ית הַמֶּ֔לֶךְ
そして-置いた / 彼女に / 手を / そして-来た / 道を / 入口の / 馬の / 家の / 王の
H7760 / H0000 / H3027 / H0935 / H1870 / H3996 / H5483 / H1004 / H4428

וַתּוּמָ֖ת שָֽׁם׃ ס
そして-殺された / そこで / （区切り）
H4191 / H8033

そこで彼らは彼女を捕え、王の家の馬道へ連れて行ったが、彼女はついにそこで殺された。

17 וַיִּכְרֹ֣ת יְהוֹיָדָ֡ע אֶת־ הַבְּרִית֩ בֵּ֨ין יְהוָ֜ה וּבֵ֣ין הַמֶּ֗לֶךְ
そして-結んだ / ヨホヤダが / ～を / 契約を / ～の間に / 主と / そして-～の間に / 王と
H3772 / H3077 / H0853 / H1285 / H0996 / H3068 / H0996 / H4428

וּבֵ֣ין הָעָ֔ם לִֽהְיוֹת֙ לָעָ֣ם לַיהוָ֔ה וּבֵ֣ין הַמֶּ֔לֶךְ וּבֵ֖ין
そして-～の間に / 民と / なるために / 民として / 主の / そして-～の間に / 王と / そして-～の間に
H0996 / H5971 / H1961 / H5971 / H3068 / H0996 / H4428 / H0996

הָעָֽם׃
民と

かくてエホヤダは主と王および民との間に、皆主の民となるという契約を立てさせ、また王と民との間にもそれを立てさせた。

18 וַיִּבֹּאוּ כָל־עַם הָאָרֶץ בֵּית־הַבַּעַל וַיִּתְּצֻהוּ אֶת־
そして–入った すべての 民が 地の 家に バアルの そして–打ち壊した–それを ～を
H0935 H3605 H0776 H1004 H5422 H0853

מִזְבְּחֹתָיו (מזבחתו) וְאֶת־צִלְמָיו שִׁבְּרוּ הֵיטֵב וְאֶת־מַתָּן כֹּהֵן
その–祭壇と [祭壇を] そして～を その–像を 砕いた 徹底的に そして～を マタンを 祢司
H4196 H4196 H0853 H6754 H7665 H3190 H0853 H4977 H3548

הַבַּעַל לִפְנֵי הַמִּזְבְּחוֹת הַמֻּשָּׂם וַיָּשֶׂם הַכֹּהֵן פְּקֻדּוֹת עַל־בֵּית יְהוָה׃
バアルの 殺した 前で 祭壇の 置いた そして–祢司は 護衛を ～の上に 家の 主の
H2026 H6440 H4196 H7760 H3548 H6486 H5921 H1004 H3068

そこで国の民は皆バアルの宮に行って、これをこわし、その祭壇とその像を打ち砕き、バアルの祭司マッタンをその祭壇の前で殺した。そして祭司は主の宮に管理人を置いた。

19 וַיִּקַּח אֶת־שָׂרֵי הַמֵּאוֹת וְאֶת־הַכָּרִי וְאֶת־הָרָצִים וְאֶת־כָּל־עַם הָאָרֶץ וַיֹּרִידוּ אֶת־
～を そして–取った 将軍たちを 百人の そして～を そして–カリ人と そして～を
H3947 H8269 H3967 H0853 H3746 H0853 H0853

הַמֶּלֶךְ מִבֵּית יְהוָה וַיָּבֹאוּ דֶּרֶךְ שַׁעַר הָרָצִים בֵּית הַמֶּלֶךְ וַיֵּשֶׁב עַל־כִּסֵּא
王を 家から そして–下ろした 民と 地の すべての そして～を そして–走り手たちと
H4428 H0853 H3381 H5971 H0776 H3605 H0853 H7323

王座に ～の上に そして–座った 王の 家に 走り手たちの 門の 道を そして–来た 主の
H3678 H5921 H3427 H4428 H1004 H7323 H8179 H1870 H0935 H3068

הַמְּלָכִים׃
王たちの
H4428

次いでエホヤダは大将たちと、カリびとと、近衛兵と国のすべての民を率いて、主の宮から王を導き下り、近衛兵の門の道から王の家に入り、王の位に座せしめた。

20 וַיִּשְׂמַח כָּל־עַם הָאָרֶץ וְהָעִיר שָׁקְטָה וְאֶת־עֲתַלְיָהוּ הֵמִיתוּ
そして–喜んだ すべての 民が 地の そして–町は 静かだった そして～を アタルヤを 殺した
H8055 H3605 H5971 H0776 H7176 H8252 H0853 H6271 H4191

בַּחֶרֶב בְּבֵית הַמֶּלֶךְ (מלך) הַמָּוֶת׃ ס
剣で 家で [王の] 王の （区切り）
H2719 H1004 H4428 H4428

こうして国の民は皆喜び、町はアタリヤが王の家でつるぎをもって殺されてのち、おだやかになった。

21 בֶּן־שֶׁבַע שָׁנִים יְהוֹאָשׁ בְּמָלְכוֹ׃ פ
息子 七 歳の ヨアシュは 王となった–時 （区切り）
H1121 H7651 H8141 H3060

ヨアシは位についた時七歳であった。

Chapter 12

1 בִּשְׁנַת־ שֶׁבַע לְיֵהוּא מָלַךְ יְהוֹאָשׁ וְאַרְבָּעִים שָׁנָה מָלַךְ בִּירוּשָׁלָ͏ִם
年に 七の エヒウの 王となった ヨアシュが そして-四十 年 治めた エルサレムで
H8141 H7651 H3058 H3060 H0705 H8141 H3389

וְשֵׁם אִמּוֹ צִבְיָה מִבְּאֵר שָׁבַע׃
そして-名は その-母の ツィビヤ ベエル・シェバからの
H8034 H0517 H6645 H0884

ヨアシはエヒウの第七年に位につき、エルサレムで四十年の間、世を治めた。その母はベエルシバの出身で、名をヂビアといった。

2 וַיַּעַשׂ יְהוֹאָשׁ הַיָּשָׁר בְּעֵינֵי יְהוָה כֹּל־ יָמָיו אֲשֶׁר הוֹרָהוּ יְהוֹיָדָע הַכֹּהֵן׃
そして-行った ヨアシュは 正しい-ことを 目に 主の すべての その-日々 それを 教えた 祢司 ヨホヤダが-彼に
H3477 H3060 H3068 H3605 H3117 H3548 H3077

ヨアシは一生の間、主の目にかなう事をおこなった。祭司エホヤダが彼を教えたからである。

3 רַק הַבָּמוֹת לֹא־ סָרוּ עוֹד הָעָם מְזַבְּחִים וּמְקַטְּרִים בַּבָּמוֹת׃
ただ 高き-所は なかった 取り除かれ まだ 民は いけにえを-ささげ そして-香を-たいていた 高き-所で
H7535 H1116 H3808 H5493 H5750 H2076 H1116

しかし高き所は除かなかったので、民はなおその高き所で犠牲をささげ、香をたいた。

4 וַיֹּאמֶר יְהוֹאָשׁ אֶל־ הַכֹּהֲנִים כֹּל כֶּסֶף הַקֳּדָשִׁים אֲשֶׁר־
そして-言った ヨアシュは ～に 祢司たちに すべての 銀を 聖なる-ものの それを
H0559 H3060 H0413 H3548 H3605 H3701 H6944

יוּבָא בֵּית־ יְהוָה כֶּסֶף עוֹבֵר אִישׁ נַפְשׁוֹת כֶּסֶף עֶרְכּוֹ כֹּל־
持ち込まれる 家に 主の 銀を 通りがかりの 人が 人々の 銀を 評価の-その すべての
H0935 H1004 H3068 H3701 H5674 H0376 H5315 H3701 H6187 H3605

כֶּסֶף אֲשֶׁר יַעֲלֶה עַל־ לֵב אִישׁ לְהָבִיא בֵּית יְהוָה׃
銀を それを 上がる ～の上に 心の 人の 持ち込むために 家に 主の
H3701 H0834 H5927 H5921 H3824 H0376 H0935 H1004 H3068

ヨアシは祭司たちに言った、「すべて主の宮に聖別してささげる銀、すなわちおのおのが課せられて、割当にしたがって人々の出す銀、および人々が心から願って主の宮の持ってくる銀は、

5 יִקְחוּ לָהֶם הַכֹּהֲנִים אִישׁ מֵאֵת מַכָּרוֹ וְהֵם
取りなさい 自分たちの-ために 祭司たちが 人が ～から その-知人から そして-彼らが
H3947 H0834 H3824 H0376 H0854 H4378 H1992

יְחַזְּקוּ אֶת־ כָּל הַבַּיִת אֲשֶׁר יִמָּצֵא שָׁם בֶּדֶק׃ פ
修理しなさい ～を すべての 家の それを 見つかる そこに 破損が （区切り）
H2388 H0853 H3605 H1004 H0834 H4672 H8033 H0919

これを祭司たちがおのおのその知る人から受け取り、どこでも主の宮に破れの見える時は、それをもってその破れを繕わなければならない」。

6 וַיְהִי בִּשְׁנַת עֶשְׂרִים וְשָׁלֹשׁ שָׁנָה לַמֶּלֶךְ יְהוֹאָשׁ לֹא־ חִזְּקוּ
そして-なった 年に 二十 と-三の 年の 王の ヨアシュの なかった-ない 修理し
H1961 H8141 H6242 H7969 H8141 H4428 H3060 H3808 H2388

הַכֹּהֲנִים אֶת־ הַבֶּדֶק בָּדֶק הַבָּיִת׃
祭司たちは ～を 破損を 家の
H3548 H0853 H0919 H1004

ところがヨアシ王の二十三年に至るまで、祭司たちは主の宮の破れを繕わなかった。

7 וַיִּקְרָא֩ הַמֶּלֶךְ יְהוֹאָשׁ לִיהוֹיָדָע֨ הַכֹּהֵ֜ן וְלַכֹּהֲנִ֗ים וַיֹּ֤אמֶר אֲלֵהֶם֙
そして-呼んだ 王は ヨアシュが ヨホヤダを 祭司と そして-祭司たちを そして-言った 彼らに
H7121 H4428 H3060 H3077 H3548 H3548 H0559 H0413

מַדּ֗וּעַ אֵינְכֶם֙ מְחַזְּקִ֣ים אֶת־ הַבֶּ֔דֶק וְעַתָּ֕ה אַל־ תִּקְח֥וּ כֶ֖סֶף
なぜ ないのか-あなたがたは 修理し ～を 破損を 家の そして-今 するな 取るな 銀を
H4069 H0369 H2388 H0853 H0919 H1004 H6258 H0408 H3947 H3701

לְבֶ֣דֶק הַבָּ֑יִת כִּ֣י מִכָּרֵיכֶ֔ם מֵאֵת֙ תִּתְּנֻ֔הוּ׃
破損の-ために 家の なぜなら あなたがたの-知人から ～から 与えなさい-それを
H0919 H1004 H3588 H4378 H0854 H5414

それで、ヨアシ王は祭司エホヤダおよび他の祭司たちを召して言った、「なぜ、あなたがたは主の宮の破れを繕わないのか。あなたがたはもはや知人から銀を受けてはならない。主の宮の破れを繕うためにそれを渡しなさい」。

8 וּלְבִלְתִּ֖י הָעָ֑ם מֵאֵת֙ כֶּ֣סֶף קֶ֔חַת וְלִבְלְתִּ֖י הַכֹּהֲנִ֥ים וַיֵּאֹתוּ֙
そして-ない-ことに 民から ～から 銀を 取る ない-ことに 祭司たちは そして-同意した
H1115 H5971 H0854 H3701 H3947 H1115 H3548 H0225

לְבַדֵּ֔ק אֶת־ בֶּ֖דֶק הַבָּֽיִת׃
家の 破損を ～を 修理する
H1004 H0919 H0853 H2388

祭司たちは重ねて民から銀を受けない事と、主の宮の破れを繕わない事とに同意した。

9 וַיִּקַּ֣ח יְהוֹיָדָ֣ע הַכֹּהֵ֗ן אֲרוֹן֙ אֶחָ֔ד וַיִּקֹּ֥ב חֹ֖ר בִּדַּלְתּ֑וֹ וַיִּתֵּ֕ן
そして-取った ヨホヤダが 祭司 箱を 一つの そして-穿けた 穴を その-蓋に そして-置いた
H3947 H3077 H3548 H0727 H0259 H7543 H2356 H1817 H5414

אֹת֔וֹ שָׁ֖מָּה וְנָתְנ֣וּ֔ בְּב֣וֹא־ אִ֔ישׁ בֵּ֖ית יְהוָ֑ה וְשָׁמְר֣וּ הַכֹּהֲנִ֗ים
それを そこに そして-入れた 入る-時に 人が 家に 主の 右側に [右に] 祭壇の 傾に それを
H0853 H8033 H5414 H0935 H0376 H1004 H3068 H3225 H3225 H4196 H0681 H0853

אֶת־ כָּל־ הַכֶּ֣סֶף הַמּוּבָ֔א בֵּ֖ית יְהוָֽה׃
すべての 銀を 持ち込まれる 家に 主の
H0853 H3605 H3701 H0935 H1004 H3068

祭司たちは重ねて民から銀を受けない事と、主の宮の破れを繕わない事とに同意した。

10 וַיְהִי֙ כִּֽי־ רָא֔וּ כִּ֥י רַ֖ב הַכֶּ֑סֶף וַיַּ֤עַל סֹפֵר֙ הַמֶּ֔לֶךְ וְהַכֹּהֵ֖ן הַגָּד֑וֹל וַיִּצְרְר֣וּ
そして-なった 見た-時に-彼らが ～ということを 多い 銀が 箱に そして-上った 書記官が 王の そして-祭司が 大なる そして-縛り
H1961 H7200 H3588 H7227 H3701 H0727 H5927 H5608 H4428 H3548 H1419 H6887

וַיִּמְנ֣וּ אֶת־ הַכֶּ֔סֶף הַנִּמְצָ֖א בֵּ֥ית יְהוָֽה׃
そして-数えた ～を 銀を 見つかった 家に 主の
H4487 H0853 H3701 H4672 H1004 H3068

こうしてその箱の中に銀が多くなったのを見ると、王の書記官と大祭司が上ってきて、主の宮にある銀を数えて袋に詰めた。

11 וְנָתְנוּ֙ אֶת־ הַכֶּ֣סֶף הַמֻּתְכָּ֔ן עַל־ [יד] (יְדֵ֖י) עֹשֵׂ֣י הַמְּלָאכָ֑ה
そして–与えた ～を 銀を 計量された ～の上に [手に] 手に 行う–者の 仕事を
H5414 H0853 H3701 H8505 H3027 H3027 H4399

וְלַחֹצְבִ֣ים עֵצִ֔ים וְלִקְנ֖וֹת אַבְנֵ֣י הַמִּבְצָ֑ר וְלַחֲזֵ֗ק אֶת־ בֵּ֤ית יְהוָה֙ וְלָכָ֔ל
そして–石工たちに 木材と そして–買うために 石の そして–石切りたちに 任命された [任命された] 家の 主の
H1443 H6086 H7069 H0068 H2672 (הַמְפֻקָּדִים) [הפקדים] בַּ֣יִת H3068

לְהָחֳזִ֖יק בֵּ֥ית יְהוָֽה׃ וְלַעֹשִׂ֔ים וְלַבֹּנִ֖ים
主の 家の 働く–者たちに そして–建築者たちに
H3068 H1129

そしてその数えた銀を、工事をつかさどる主の宮の監督者の手にわたしたので、彼らはそれを主の宮に働く木工と建築師に払い、

12 וְלַגֹּזְרִ֔ים וְלִחֹצְבֵ֖י אֶבֶן־ וְלִקְנ֣וֹת עֵצִ֔ים וְאַבְנֵי֙ מַחְצֵ֔ב
そして–石工たちに そして–石切りたちに 石の そして–買うために 木材と そして–石と 切り出した
H1443 H2672 H0068 H7069 H6086 H0068 H4274

וּלְכָל־ אֲשֶׁר־ יֵצֵ֥א עַל־ בֵּ֣ית הַבָּ֑יִת לְחַזֵּ֗ק אֶת־ בֶּ֣דֶק בֵּית־ יְהוָה֙
そして–すべての それを 出る ～のために 家の 修理するために ～を 破損を 家の 主の
H3605 H3318 H4480 H1004 H2388 H0853 H0919 H1004 H3068

לְחָזֵֽק׃
修理の
H2394

石工および石切りに払い、またそれをもって主の宮の破れを繕う材木と切り石を買い、主の宮を繕うために用いるすべての物のために費した。

13 אַךְ֩ לֹ֨א יֵעָשֶׂ֜ה בֵּ֣ית יְהוָ֗ה סִפּוֹת֙ כֶּ֣סֶף מְזַמְּרוֹת֙ מִזְרָקוֹת֙
ただし なかった 造られ 家の–ために 主の 銀の 銀の–杯も 芴切りばさみも 鉢も
H0389 H3808 H3004 H1004 H3068 H3701 H4212 H4219

חֲצֹצְר֔וֹת כָּל־ כְּלִי־ זָהָ֖ב וְכְלִי־ כֶ֑סֶף מִן־ הַכֶּ֣סֶף הַמּוּבָ֗א בֵּית־ יְהוָֽה׃
ラッパも どんな 器も 金の そして–器も 銀の ～から 銀から 持ち込まれる 家に 主の
H2689 H3605 H3627 H2091 H3627 H3701 H4480 H3701 H0935 H1004 H3068

ただし、主の宮にはいってくるその銀をもって主の宮のために銀のたらい、心切りばさみ、鉢、ラッパ、金の器、銀の器などを造ることはしなかった。

14 כִּ֣י לְעֹשֵׂי֮ הַמְּלָאכָה֒ וְחִזְּק֣וּ בּ֔וֹ אֶת־ בֵּ֥ית יְהוָֽה׃ וְיִתֵּ֣נוּ
なぜなら 行う–者たちに 仕事を 与えた–それを そして–修理した それで ～を 家を 主の
H3068 H5414 H4399 H2388 H0853 H1004 H3068

ただこれを工事をする者に渡して、それで主の宮を繕わせた。

15 וְלֹ֣א יֵחָשְׁב֗וּ אֶת־ הָאֲנָשִׁ֛ים אֲשֶׁ֥ר יִתְּנ֥וּ אֶת־ הַכֶּ֖סֶף עַל־ יָדָ֑ם
そして–なかった 計算し ～を 人々を それを 与えた ～を 銀を ～の上に その–手の
H3808 H2803 H0853 H0376 H0834 H5414 H0853 H3701 H5921 H3027

כִּ֥י בֶאֱמֻנָ֖ה הֵ֑ם עֹשִֽׂים׃ הַמְּלָאכָה֙ לְעֹשֵׂ֣י לָתֵ֔ת
なぜなら 誠実に 彼らは 行っていた 仕事を 行う–者たちに 与えるために
H3588 H0530 H1992 H4399 H6213 H5414

またその銀を渡して工事をする者に払わせた人々と計算することはしなかった。彼らは正直に事をおこなったからである。

16

לַכֹּהֲנִים	יְהוָה	בֵּית	יוּבָא	לֹא	חַטָּאוֹת	וְכֶסֶף	אָשָׁם	כֶּסֶף
祢司たちの–もので	主の	家に	持ち込まれ	なかった	罪祜の	そして–銀は	賠罪の	銀は
H3548	H3068		H0935	H3808	H2399	H3701	H0817	H3701

פ	יְהִי׃
（区切り）	あった
	H1961

愆祭の銀と罪祭の銀は主の宮に、はいらないで、祭司に帰した。

17

גַּת	עַל־	וַיִּלָּחֶם	אֲרָם	מֶלֶךְ	חֲזָאֵל	יַעַל֙ה	אָז
ガトに	～に–対して	そして–戦った	アラムの	王	ハザエルが	上ってきた	その–時
H1661			H0758	H4428	H2371	H5927	

יְרוּשָׁלִָם׃	עַל־	לַעֲלוֹת	פָּנָיו	חֲזָאֵל	וַיָּשֶׂם	וַיִּלְכְּדָהּ
エルサレムに	～に–対して	上るために	その–顔を	ハザエルは	そして–向けた	そして–取った–それを
H3389		H5927	H6440	H2371		H3920

そのころ、スリヤの王ハザエルが上ってきて、ガテを攻めてこれを取った。そしてハザエルがエルサレムに攻め上ろうとして、その顔を向けたとき、

18

הִקְדִּישׁוּ	אֲשֶׁר־	הַקֳּדָשִׁים	כָּל־	אֵת	יְהוֹדָה	מֶלֶךְ־	יְהוֹאָשׁ	וַיִּקַּח
聖別した	それを	聖なる–ものを	すべての	～を	ユダの	王	ヨアシュは	そして–取った
H6942		H6944	H3605	H0853	H3063	H4428	H3060	H3947

וְאֶת־	יְהוּדָה֙	מַלְכֵי	אֲבֹתָיו	וַאֲחַזְיָהוּ	וִיהוֹרָ֣ם	יְהוֹשָׁפָט
そして～を	ユダの	王たち	その–先祖たち	そして–アハズヤが	そして–ヨラムと	ヨシャパテと
H0853	H3063	H4428	H0001	H0274	H3088	H3092

וּבֵית	יְהוָה	בֵּית־	בְּאֹצְרוֹת	הַנִּמְצָא	הַזָּהָב	כָּל־	וְאֶת	קָדָשָׁיו
そして–家の	主の	家の	倉に	見つかった	金を	すべての	そして～を	その–聖なる–ものと
	H3068		H0214	H4672	H2091	H3605	H0853	H6944

יְרוּשָׁלִָם׃	מֵעַל	וַיַּעַל	אֲרָם	מֶלֶךְ	לַחֲזָאֵל	וַיִּשְׁלַח	הַמֶּלֶךְ
エルサレムから	～から	そして–上った	アラムの	王	ハザエルに	そして–送った	王の
H3389		H5927	H0758	H4428	H2371	H7971	H4428

ユダの王ヨアシはその先祖、ユダの王ヨシャパテ、ヨラム、アハジヤが聖別してささげたすべての物、およびヨアシ自身が聖別してささげた物、ならびに主の宮の倉と、主の宮にある金をことごとく取って、スリヤ王のハザエルに贈ったので、ハザエルはエルサレムを離れ去った。

19

הֵם	הֲלוֹא־	עָשָׂה	אֲשֶׁר	וְכָל־	יוֹאָשׁ	דִּבְרֵי	וְיֶתֶר	
それらは	記されて–いないか	行った	それを	そして–すべての	ヨアシュの	事績は	そして–残りの	
H1992	H3808			H3605	H3101	H1697		

יְהוּדָה׃	לְמַלְכֵי	הַיָּמִים	דִּבְרֵי	סֵפֶר	עַל־	כְּתוּבִים
ユダの	王たちの	日々の	事績の	書に	～の上に	書かれている
H3063	H4428	H3117	H1697			H3789

ヨアシのその他の事績および彼がしたすべての事は、ユダの王の歴代志の書にしるされているではないか。

20

יוֹאָשׁ	אֶת־	וַיַּכּוּ	קֶשֶׁר	וַיִּקְשְׁרוּ־	עֲבָדָיו	וַיָּקֻמוּ	
ヨアシュを	～を	そして–撃った	謀反を	そして–謀反した	その–家来たちが	そして–立ち上がった	
H3101	H0853	H5221	H7195	H7194	H5650		

סִלָּא׃	הַיּוֹרֵד	מִלֹּא	בֵּית
シラの	下る–所の	ミロの	家で
H5538	H3381	H4407	

ヨアシの家来たちは立って徒党を結び、シラに下る道にあるミロの家でヨアシを殺した。

21 וְיוֹזָבָד שִׁמְעָת בֶּן־ וִיהוֹזָבָד בֶּן־ שֹׁמֵר עֲבָדָיו
そして–ヨザバデと シムアトの 息子 そして–ヨホザバデと ショメルの その–家来たちが
H3108 H8100 H1121 H3075 H7763 H5650

הִכֻּהוּ וַיָּמָת וַיִּקָּבְרוּ אִתּוֹ עִם־ אֲבֹתָיו בְּעִיר דָּוִד
撃った–彼を そして–死んだ そして–葉った 彼を ～と共に その–先祖たちと 町に ダビデの
H5221 H4191 H6912 H0853 H0001 H5892 H1732

פ תַּחְתָּיו׃ בְנוֹ אֲמַצְיָה וַיִּמְלֹךְ
（区切り） その–代わりに その–息子 アマツヤが そして–王となった
H8478 H0558

すなわちその家来シメアテの子ヨザカルと、ショメルの子ヨザバデが彼を撃って殺し、彼をその先祖と同じく、ダビデの町に葬った。その子アマジヤが代って王となった。

Chapter 13

1 בִּשְׁנַת שְׁלֹשִׁים עֶשְׂרִים שָׁנָה וְשָׁלֹשׁ לִיוֹאָשׁ בֶּן־ אֲחַזְיָהוּ מֶלֶךְ יְהוּדָה מָלַךְ
の–年に 二十 と–三 年 ヨアシュに の–子 アハズヤフ 王 ユダの 王と–なった
H8141 H6242 H7969 H8141 H3101 H1121 H0274 H4428 H3063 H4427

שָׁנָה׃ עֶשְׂרֵה שֶׁבַע בְּשֹׁמְרוֹן יִשְׂרָאֵל עַל־ יֵהוּא בֶּן־ יְהוֹאָחָז
年 十 七 サマリヤで イスラエル の–上に エヒウ の–子 エホアハズは
H8141 H6240 H7651 H8111 H3478 H5921 H3058 H1121 H3059

ユダの王アハジヤの子ヨアシの第二十三年にエヒウの子エホアハズはサマリヤでイスラエルの王となり、十七年世を治めた。

2 וַיַּעַשׂ הָרַע בְּעֵינֵי יְהוָה וַיֵּלֶךְ אַחַר חַטֹּאת יָרָבְעָם בֶּן־ נְבָט
そして–行った 悪を の–目に 主の そして–歩んだ の–後に 罪 ヤロブアム の–子 ネバテ
H6213 H7451 H5869 H3068 H3212 H0310 H3379 H1121 H5028

מִמֶּנָּה׃ סָר לֹא־ יִשְׂרָאֵל אֶת־ הֶחֱטִיא אֲשֶׁר־
それから 離れ なかった イスラエル を 罪を–犯させた ところの
H4480 H5493 H3808 H3478 H0853 H2398 H834

彼は主の目の前に悪を行い、イスラエルに罪を犯させたネバテの子ヤラベアムの罪を行いつづけて、それを離れなかった。

3 וַיִּחַר־ אַף יְהוָה בְּיִשְׂרָאֵל וַיִּתְּנֵם בְּיַד חֲזָאֵל מֶלֶךְ־
そして–燃えた 怒りが 主の イスラエルに–対して そして–渡された の–手に ハザエル 王の
H2734 H0639 H3068 H3478 H5414 H3027 H2371 H4428

הַיָּמִים׃ כָּל־ חֲזָאֵל בֶּן־ בֶּן־הֲדַד וּבְיַד אֲרָם
日々 すべての ハザエル の–子 ベン・ハダド との–手に アラム
H3117 H3605 H2371 H1121 H1130 H3027 H0758

そこで主はイスラエルに対して怒りを発し、エホアハズの治世の間、絶えずイスラエルをスリヤの王ハザエルの手にわたし、またハザエルの子ベネハダデの手にわたされた。

4 וַיְחַל יְהוֹאָחָז אֶת־ פְּנֵי יְהוָה וַיִּשְׁמַע אֵלָיו יְהוָה כִּי
そして–願った エホアハズは を 御顔 主の そして–聞かれた 彼に 主は なぜなら
H2470 H3059 H853 H6440 H3068 H8085 H0413 H3068 H3588

אֲרָם׃ מֶלֶךְ אֹתָם לָחַץ כִּי־ יִשְׂרָאֵל לַחַץ אֶת־ רָאָה
アラムの 王が 彼らを 圧迫していた なぜなら イスラエルの 苦しみ を 見られた
H0758 H4428 H853 H3905 H3588 H3478 H3906 H853 H7200

しかしエホアハズが主に願い求めたので、主はついにこれを聞きいれられた。スリヤの王によって悩まされたイスラエルの悩みを見られたからである。

5 וַיִּתֵּן יְהוָה מוֹשִׁיעַ לְיִשְׂרָאֵל וַיֵּצְאוּ מִתַּחַת יַד־אֲרָם וַיֵּשְׁבוּ בְּנֵי־יִשְׂרָאֵל בְּאָהֳלֵיהֶם כִּתְמוֹל שִׁלְשׁוֹם׃

そして-与えた H5414 | 主は H3068 | 救い主を H3467 | イスラエルに H3478 | そして-出た H3318 | の-下から H8478 | 手の H3027 | アラム H0758 | そして-住んだ H3427 | の-子ら H1121 | イスラエル H3478 | 自分たちの-天幕に H0168 | 昨日と-同じく H8543 | 一昨日 H8032

それで主がひとりの救助者をイスラエルに賜わったので、イスラエルの人々はスリヤびとの手をのがれ、前のように自分たちの天幕に住むようになった。

6 אַךְ לֹא־סָרוּ מֵחַטֹּאות בֵּית־יָרָבְעָם אֲשֶׁר הֶחֱטִיא(הֶחֱטִין) אֶת־יִשְׂרָאֵל וְגַם הָאֲשֵׁרָה עָמְדָה בְּשֹׁמְרוֹן׃

しかし H0389 | なかった H3808 | 離れ H5493 | の-罪から H2398 | 家の H1004 | ヤロブアム H3379 | ところの H0834 | 罪を-犯させた H2398 | を H0853 | アシェラ像も H0842 | 立っていた H5975 | サマリヤに H8111 | そして-また H1571 | それに H1931 | 歩んだ H1980 | イスラエル H3478

それにもかかわらず、彼らはイスラエルに罪を犯させたヤラベアムの家の罪を離れず、それを行いつづけた。またアシラの像もサマリヤに立ったままであった。

7 כִּי לֹא הִשְׁאִיר לִיהוֹאָחָז עַם כִּי אִם־חֲמִשִּׁים פָּרָשִׁים וַעֲשָׂרָה רְכָבֶב וַעֲשֶׂרֶת אֲלָפִים רַגְלִי כִּי אִבְּדָם מֶלֶךְ אֲרָם וַיְשִׂמֵם כֶּעָפָר לָדֶשׁ׃

なぜなら H3588 | なかった H3808 | 残されて H7604 | エホアハズに H3059 | 民は H5971 | ただ H3588 | のみ H0518 | 五十 H2572 | 騎兵と H6571 | そして-十 H6235 | 戦車と H7393 | 一万 H6235 | の H0505 | 歩兵 H7273 | なぜなら H3588 | 滅ぼした H6 | 王が H4428 | アラムの H0758 | そして-した H7760 | 塵の-ように H6083 | 踏みにじるために H1758

さきにスリヤの王が彼らを滅ぼし、踏み砕くちりのようにしたのでエホアハズの軍勢で残ったものは、ただ騎兵五十人、戦車十両、歩兵一万人のみであった。

8 וְיֶתֶר דִּבְרֵי יְהוֹאָחָז וְכָל־אֲשֶׁר עָשָׂה וּגְבוּרָתוֹ הֲלוֹא־הֵם כְּתוּבִים עַל־סֵפֶר דִּבְרֵי הַיָּמִים לְמַלְכֵי יִשְׂרָאֵל׃

そして-残りの H3499 | 事柄 H1697 | エホアハズの H3059 | と-すべて H3605 | ところの H0834 | 行った H6213 | その-力 H1369 | ではないか H3808 | それらは H1992 | 記されて H3789 | の-上に H5921 | 書 H5612 | 事柄の H1697 | 日々の H3117 | の-王たちの H4428 | イスラエル H3478

エホアハズその他の事績と、彼がしたすべての事およびその武勇は、イスラエルの王の歴代志の書にしるされているではないか。

9 וַיִּשְׁכַּב יְהוֹאָחָז עִם־אֲבֹתָיו וַיִּקְבְּרֻהוּ בְּשֹׁמְרוֹן וַיִּמְלֹךְ יוֹאָשׁ בְּנוֹ תַּחְתָּיו׃ פ

そして-眠った H7901 | エホアハズは H3059 | と-共に H5973 | 先祖たち H1 | そして-葬られた H6912 | サマリヤに H8111 | そして-王と-なった H4427 | ヨアシュが H3101 | その-子 H1121 | 彼に-代わって H8478 | — H6

エホアハズは先祖たちと共に眠ったので、彼をサマリヤに葬った。その子ヨアシが代って王となった。

10 בֶּן־ の-子 H3060 יְהוֹאָשׁ エホアシュは H3063 מָלַךְ 王と-なった H4428 יְהוּדָה ユダの H3101 לְיוֹאָשׁ ヨアシュの H8141 שָׁנָה 年 H7651 וְשֶׁבַע と-七 H7970 שְׁלֹשִׁים 三十 H8141 בִּשְׁנַת の-年に

H8141 שָׁנָה: 年 H6240 עֶשְׂרֵה 十 H8337 שֵׁשׁ 六 H8111 בְּשֹׁמְרוֹן サマリヤで H3478 יִשְׂרָאֵל イスラエル H0413 עַל־ の-上に H3059 יְהוֹאָחָז エホアハズ

ユダの王ヨアシの第三十七年に、エホアハズの子ヨアシはサマリヤでイスラエルの王となり、十六年世を治めた。

11 בֶּן־ の-子 H3379 יָרָבְעָם ヤロブアム H2403 חַטֹּאות 罪から H3605 מִכָּל־ すべての H5493 סָר 離れ H3808 לֹא なかった H3068 יְהוָה 主の H5869 בְּעֵינֵי の-目に H7451 הָרַע 悪を H6213 וַיַּעַשׂ そして-行った

H1980 הָלַךְ: 歩んだ H1931 בָּהּ それに H3478 יִשְׂרָאֵל イスラエル H0853 אֶת־ を H2398 הֶחֱטִיא 罪を-犯させた H0834 אֲשֶׁר־ ところの H5028 נְבָט ネバテ

彼は主の目の前に悪を行い、イスラエルに罪を犯させたネバテの子ヤラベアムのもろもろの罪を離れず、それに歩んだ。

12 נִלְחַם 戦った H0834 אֲשֶׁר ところの H1369 וּגְבוּרָתוֹ その-力 H6213 עָשָׂה 行った H0834 אֲשֶׁר ところの H3605 וְכָל־ と-すべて H3101 יוֹאָשׁ ヨアシュの H1697 דִּבְרֵי 事柄 H3499 וְיֶתֶר そして-残りの

H3117 הַיָּמִים 日々の H1697 דִּבְרֵי 事柄の H5612 סֵפֶר 書 H5921 עַל־ の-上に H3789 כְּתוּבִים 記されて H1992 הֵם それらは H3808 הֲלוֹא ではないか H3063 יְהוּדָה ユダ H4428 מֶלֶךְ־ 王の H0558 אֲמַצְיָה アマツヤ H5973 עִם と共に

H3478 יִשְׂרָאֵל: イスラエル H4428 לְמַלְכֵי の-王たちの

ヨアシのその他の事績と、彼がしたすべての事およびユダの王アマジヤと戦ったその武勇は、イスラエルの王の歴代志の書にしるされているではないか。

13 כִּסְאוֹ その-王座 H5921 עַל־ の-上に H3427 יָשַׁב 座った H3379 וְיָרָבְעָם そして-ヤロブアムが H1 אֲבֹתָיו 先祖たち H5973 עִם־ と-共に H3101 יוֹאָשׁ ヨアシュは H7901 וַיִּשְׁכַּב そして-眠った

פ — H3478 יִשְׂרָאֵל: イスラエルの H4428 מַלְכֵי 王たち H5973 עִם と共に H8111 בְּשֹׁמְרוֹן サマリヤに H3101 יוֹאָשׁ ヨアシュは H6912 וַיִּקָּבֵר そして-葬られた

ヨアシは先祖たちと共に眠って、ヤラベアムがその位に座した。そしてヨアシはイスラエルの王たちと同じくサマリヤに葬られた。

14 וַיֵּרֶד そして-下って-来た H1931 בּוֹ それで H4191 מָוֶת 死ぬ-ことになる H0834 אֲשֶׁר ところの H2483 חָלְיוֹ その-病 H0853 אֶת־ を H2470 חָלָה 病んだ H0477 וֶאֱלִישָׁע そして-エリシャは

H0559 וַיֹּאמֶר そして-言った H6440 פָּנָיו その-顔 H5921 עַל־ の-上に H1058 וַיֵּבְךְּ そして-泣いた H3478 יִשְׂרָאֵל イスラエル H4428 מֶלֶךְ־ 王の H3101 יוֹאָשׁ ヨアシュは H0413 אֵלָיו 彼の-もとに

H6571 וּפָרָשָׁיו: その-騎兵たちよ H3478 יִשְׂרָאֵל イスラエルの H7393 רֶכֶב 戦車よ H1 אָבִי わが-父よ H1 אָבִי わが-父よ

さてエリシャは死ぬ病気にかかっていたが、イスラエルの王ヨアシは下ってきて彼の顔の上に涙を流し、「わが父よ、わが父よ、イスラエルの戦車よ、その騎兵よ」と言った。

15 וַיֹּ֤אמֶר לוֹ֙ אֱלִישָׁ֔ע קַ֥ח קֶ֖שֶׁת וְחִצִּ֑ים וַיִּקַּ֥ח אֵלָ֛יו קֶ֥שֶׁת וְחִצִּֽים׃

וַיֹּ֤אמֶר	לוֹ֙	אֱלִישָׁ֔ע	קַ֥ח	קֶ֖שֶׁת	וְחִצִּ֑ים	וַיִּקַּ֥ח	אֵלָ֛יו	קֶ֥שֶׁת	וְחִצִּֽים׃
そして-言った	彼に	エリシャは	取れ	弓と	矢を	そして-取った	彼の-もとに	弓と	矢を
H0559		H0477	H3947	H7198	H2671	H3947	H0413	H7198	H2671

エリシャは彼に「弓と矢を取りなさい」と言ったので、弓と矢を取った。

16 וַיֹּ֣אמֶר לְמֶ֣לֶךְ יִשְׂרָאֵ֗ל שִׂ֤ים יָדְךָ֙ עַל־הַקָּ֔שֶׁת וַיָּ֥שֶׂם יָדָ֖יו עַל־יְדֵ֣י הַמֶּֽלֶךְ׃

וַיֹּ֣אמֶר	לְמֶ֣לֶךְ	יִשְׂרָאֵ֗ל	שִׂ֤ים	יָדְךָ֙	עַל־	הַקָּ֔שֶׁת	וַיָּ֥שֶׂם	יָדָ֖יו	עַל־	יְדֵ֣י	הַמֶּֽלֶךְ׃
そして-言った	の-王に	イスラエル	置け	あなたの-手を	の-上に	弓	そして-置いた	自分の-両手を	の-上に	手の	王の
H0559	H4428	H3478	H7392	H3027		H7198	H7392	H3027		H3027	H4428

エリシャはまたイスラエルの王に「弓に手をかけなさい」と言ったので、手をかけた。するとエリシャは自分の手を王の手の上におき、

17 וַיֹּ֣אמֶר פְּתַ֣ח בַּחַלּ֗וֹן קֵ֚דְמָה וַיִּפְתָּ֔ח וַיֹּ֤אמֶר אֱלִישָׁע֙ יְרֵ֔ה וַיֹּרֶ֔ה

וַיֹּ֣אמֶר	פְּתַ֣ח	בַּחַלּ֗וֹן	קֵ֚דְמָה	וַיִּפְתָּ֔ח	וַיֹּ֤אמֶר	אֱלִישָׁע֙	יְרֵ֔ה	וַיֹּרֶ֔ה			
そして-言った	開けよ	窓を	東に-向かって	そして-開いた	そして-言った	エリシャは	射よ	そして-射た			
H0559		H2474			H0559	H0477					

וַיֹּ֣אמֶר חֵ֣ץ תְּשׁוּעָ֔ה לַיהוָ֖ה וְחֵ֣ץ תְּשׁוּעָ֑ה בָּאֲרָ֔ם וְהִכִּ֥יתָ֛ אֶת־אֲרָ֖ם בַּאֲפֵ֥ק עַד־כַּלֹּתָֽם׃

וַיֹּ֣אמֶר	חֵ֣ץ	תְּשׁוּעָ֔ה	לַיהוָ֖ה	וְחֵ֣ץ	תְּשׁוּעָ֑ה	בָּאֲרָ֔ם	וְהִכִּ֥יתָ֛	אֶת־	אֲרָ֖ם	בַּאֲפֵ֥ק	עַד־	כַּלֹּתָֽם׃		
そして-言った	矢は	救いの	主の	そして-矢は	救いの	アラムに-対する	そして-打つ-だろう	を	アラムを	アフェクで	まで	滅ぼし-尽くすまで		
H0559	H2671	H8668	H3068	H2671	H8668	H0758		H0853	H0758	H0663	H5704	H3615		

「東向きの窓をあけなさい」と言ったので、それをあけると、エリシャはまた「射なさい」と言った。彼が射ると、エリシャは言った、「主の救の矢、スリヤに対する救の矢。あなたはアペクでスリヤびとを撃ち破り、彼らを滅ぼしつくすであろう」。

18 וַיֹּ֣אמֶר קַ֣ח הַחִצִּ֗ים וַיִּקָּ֚ח וַיֹּ֣אמֶר לְמֶֽלֶךְ־יִשְׂרָאֵל֮ הַךְ־אָ֒רְצָה֒ וַיַּכֶּ֣ה שָׁלֹ֣שׁ פְּעָמִ֔ים וַיַּעֲמֹֽד׃

וַיֹּ֣אמֶר	קַ֣ח	הַחִצִּ֗ים	וַיִּקָּ֚ח	וַיֹּ֣אמֶר	לְמֶֽלֶךְ־	יִשְׂרָאֵל֮	הַךְ־	אָ֒רְצָה֒	וַיַּכֶּ֣ה	שָׁלֹ֣שׁ	פְּעָמִ֔ים	וַיַּעֲמֹֽד׃		
そして-言った	取れ	矢を	そして-取った	そして-言った	の-王に	イスラエル	打て	地を	そして-打った	三	回	そして-止めた		
H0559	H3947	H2678	H3947	H0559	H4428	H3478	H5221	H0776	H5221	H7969	H6471	H5975		

エリシャはまた「矢を取りなさい」と言ったので、それを取った。エリシャはまたイスラエルの王に「それをもって地を射なさい」と言ったので、三度射てやめた。

19 וַיִּקְצֹ֤ף עָלָיו֙ אִ֣ישׁ הָאֱלֹהִ֔ים וַיֹּ֣אמֶר לְהַכּ֔וֹת חָמֵ֥שׁ אוֹ־ שֵׁ֖שׁ פְּעָמִ֑ים אָ֚ז הִכִּ֣יתָ֔ אֶת־אֲרָ֖ם עַד־כַּלֹּתָ֑הּ וְעַתָּ֗ה שָׁלֹ֥שׁ פְּעָמִ֛ים תַּכֶּ֖ה אֶת־אֲרָֽם׃ ס

וַיִּקְצֹ֤ף	עָלָיו֙	אִ֣ישׁ	הָאֱלֹהִ֔ים	וַיֹּ֣אמֶר	לְהַכּ֔וֹת	חָמֵ֥שׁ	אוֹ־	שֵׁ֖שׁ	פְּעָמִ֑ים	אָ֚ז	הִכִּ֣יתָ֔	אֶת־	אֲרָ֖ם	עַד־	כַּלֹּתָ֑הּ	וְעַתָּ֗ה	שָׁלֹ֥שׁ	פְּעָמִ֛ים	תַּכֶּ֖ה	אֶת־	אֲרָֽם׃	ס
そして-怒った	彼に-対して	人は	神の	そして-言った	打つ-べきだった	五	あるいは	六	回	そうすれば	打っていた-だろう	を	アラムを	まで	滅ぼし-尽くす	しかし-今	三	回	打つ-だろう	を	アラムを	—
H7107		H0376	H0430	H0559	H5221	H2568		H8337	H6471			H0853	H0758	H5704	H3615	H6258	H7969	H6471	H5221	H0853	H0758	

すると神の人は怒って言った、「あなたは五度も六度も射るべきであった。そうしたならば、あなたはスリヤを撃ち破り、それを滅ぼしつくすことができたであろう。しかし今あなたはそうしなかったので、スリヤを撃ち破ることはただ三度だけであろう」。

20 וַיָּמָת אֱלִישָׁע וַיְקַבְּרֻהוּ וּגְדוּדֵי מוֹאָב יָבְאוּ בָאָרֶץ
そして-死んだ エリシャは そして-葬られた そして-略奪隊が モアブの 来ていた 地に
H4191 H0477 H6912 H1416 H4124 H0935 H0776

בָּא׃ שָׁנָה
来る-たびに 年が
H0935 H8141

こうしてエリシャは死んで葬られた。さてモアブの略奪隊は年が改まるごとに、国にはいって来るのを常とした。

21 וַיְהִי הֵם וְקֹבְרִים אִישׁ וְהִנֵּה רָאוּ אֶת־הַגְּדוּד
そして-あった 彼らが 葬っている-とき 人を すると-見よ 見た を 略奪隊を
H1961 H1992 H6912 H0376 H2009 H7200 H0853 H1416

וַיַּשְׁלִיכוּ הָאִישׁ בְּקֶבֶר אֱלִישָׁע וַיֵּלֶךְ וַיִּגַּע הָאִישׁ
そして-投げ込んだ を その-人を の-墓に エリシャの そして-行った そして-触れた その-人は
H7993 H0853 H0376 H6913 H0477 H3212 H5060 H0376

פ׃ רַגְלָיו עַל־ וַיָּקָם וַיְחִי אֱלִישָׁע בְּעַצְמוֹת
— その-足 の-上に そして-立ち上がった そして-生き返った エリシャの の-骨に
H7272 H2421 H0477 H6106

時に、ひとりの人を葬ろうとする者があったが、略奪隊を見たので、その人をエリシャの墓に投げ入れて去った。その人はエリシャの骨に触れるとすぐ生きかえって立ちあがった。

22 וַחֲזָאֵל מֶלֶךְ אֲרָם לָחַץ אֶת־ יִשְׂרָאֵל כָּל יְמֵי
そして-ハザエルは 王 アラムの 圧迫していた を イスラエルを すべての 日々
H2371 H4428 H0758 H3905 H0853 H3478 H3605 H3117

יְהוֹאָחָז׃
エホアハズの
H3059

スリヤの王ハザエルはエホアハズの一生の間、イスラエルを悩ましたが、

23 וַיָּחֶן יְהוָה אֹתָם וַיְרַחֵם וַיִּפֶן אֲלֵיהֶם לְמַעַן
そして-恵みを-与えた 主は 彼らに そして-憐れんだ そして-顧みた 彼らを の-ために
H2603 H3068 H0853 H7355 H6437 H0413 H4616

הַשְׁחִיתָם וְלֹא אָבָה וְיַעֲקֹב יִצְחָק אַבְרָהָם אֶת־ בְּרִיתוֹ
滅ぼすことを 望まなかった そして-なかった そして-ヤコブ イサク アブラハム と その-契約
H7843 H0014 H3808 H3290 H3327 H0085 H0854 H1285

עָתָה׃ עַד־ פָּנָיו מֵעַל־ הִשְׁלִיכָם וְלֹא־
今に-至るまで まで 御前 から 投げ捨て そして-なかった
H6258 H5704 H6440 H7993 H3808

主はアブラハム、イサク、ヤコブと結ばれた契約のゆえにイスラエルを恵み、これをあわれみ、これを顧みて滅ぼすことを好まず、なおこれをみ前から捨てられなかった。

24 וַיָּמָת חֲזָאֵל מֶלֶךְ־ אֲרָם וַיִּמְלֹךְ בֶּן־הֲדַד בְּנוֹ
そして-死んだ ハザエルは 王の アラム そして-王と-なった ベン・ハダドが その-子
H4191 H2371 H4428 H0758 H1130

תַּחְתָּיו׃
彼に-代わって
H8478

スリヤの王ハザエルはついに死んで、その子ベネハダデが代って王となった。

25 וַיָּשָׁב יְהוֹאָשׁ בֶּן־יְהוֹאָחָז וַיִּקַּח אֶת־עָרֵי מִיַּד בֶּן־הֲדַד בֶּן־חֲזָאֵל אֲשֶׁר לָקַח מִיַּד יְהוֹאָחָז אָבִיו בַּמִּלְחָמָה׃ פ שָׁלֹשׁ פְּעָמִים הִכָּהוּ יוֹאָשׁ וַיָּשָׁב אֶת־עָרֵי יִשְׂרָאֵל׃

25 そして-取り返した エホアシュは の-子 エホアハズ そして-取った の-手から 町々を を
H7725 H3060 H1121 H3059 H3947 H3027 H5892 H0853
ベン・ハダド の-子 ハザエル ところの 取っていた の-手から エホアハズ その-父 戦いで
H1130 H0121 H2371 H834 H3947 H3027 H3059 H0001 H4421
三 回 打ち破った ヨアシュは そして-取り戻した を 町々を イスラエルの —
H7969 H6471 H5221 H3101 H7725 H0853 H5892 H3478 H6903

そこでエホアハズの子ヨアシは、父エホアハズがハザエルに攻め取られた町々を、ハザエルの子ベネハダデの手から取り返した。すなわちヨアシは三度彼を撃ち破って、イスラエルの町々を取り返した。

Chapter 14

1 בִּשְׁנַת שְׁתַּיִם לְיוֹאָשׁ בֶּן־יוֹאָחָז מֶלֶךְ יִשְׂרָאֵל מָלַךְ אֲמַצְיָהוּ׃ יְהוּדָה׃

1 アマツヤフは 王と-なった イスラエルの 王 ヨアハズ の-子 ヨアシュの 二 の-年に
H0558 H4427 H3478 H4428 H3099 H1121 H3101 H8147 H8141
ユダの 王 ヨアシュ の-子
H3063 H4428 H3101 H1121

イスラエルの王エホアハズの子ヨアシの第二年に、ユダの王ヨアシの子アマジヤが王となった。

2 בֶּן־עֶשְׂרִים וְחָמֵשׁ שָׁנָה הָיָה בְּמָלְכוֹ וְעֶשְׂרִים וְתֵשַׁע שָׁנָה מָלַךְ בִּירוּשָׁלִָם וְשֵׁם אִמּוֹ]יְהוֹעַדִּין(מִן־יְרוּשָׁלִָם׃

2 の-子 二十 と-五 歳の であった 王と-なった-とき そして-二十 と-九 年 治めた
H1121 H6242 H2568 H8141 H1961 H4427 H6242 H8672 H8141 H4427
エルサレムで その-名は そして-母の — エホアダン から エルサレム
H3389 H8034 H8034 H3086 H3086 H0517 H3086 H4480 H3389

彼は王となった時二十五歳で、二十九年の間エルサレムで世を治めた。その母はエルサレムの出身で、名をエホアダンといった。

3 וַיַּעַשׂ הַיָּשָׁר בְּעֵינֵי יְהוָה רַק לֹא כְּדָוִד אָבִיו עָשָׂה כְּכֹל אֲשֶׁר־עָשָׂה יוֹאָשׁ אָבִיו׃

3 そして-行った 正しい-ことを の-目に 主の ただ なかった ダビデの-ようには その-父
H6213 H3477 H5869 H3068 H7535 H3808 H1732 H1 H0001
すべての-ように ところの 行った 行った ヨアシュが その-父
H3605 H834 H6213 H6213 H3101 H0001

アマジヤは主の目にかなう事をおこなったが、先祖ダビデのようではなかった。彼はすべての事を父ヨアシがおこなったようにおこなった。

4 רַק לֹא־סָרוּ עוֹד הָעָם מְזַבְּחִים וּמְקַטְּרִים בַּבָּמוֹת׃

4 ただ なかった 取り除かれ なお 民は いけにえを-捧げ そして-香を-焚いていた
H7535 H3808 H5493 H5750 H5971 H2076 H6999
高き-所で
H1116

ただし高き所は除かなかったので、民はなおその高き所で犠牲をささげ、香をたいた。

5 וַיְהִי כַּאֲשֶׁר חָזְקָה הַמַּמְלָכָה בְּיָדוֹ וַיַּךְ אֶת־עֲבָדָיו
そして-あった ∥ とき ∥ 強く-なった ∥ 王国が ∥ その-手に ∥ そして-打った ∥ を ∥ その-家来たちを
H1961 ∥ H3588 ∥ H2388 ∥ H4467 ∥ H3027 ∥ H5221 ∥ H0853 ∥ H5650

הַמַּכִּים אֶת־הַמֶּלֶךְ אֲבִיו׃
打った-者たち ∥ を ∥ 王を ∥ その-父の
H5221 ∥ H0853 ∥ H4428 ∥ H0001

彼は国が彼の手のうちに強くなった時、父ヨアシ王を殺害した家来たちを殺したが、

6 וְאֶת־בְּנֵי הַמַּכִּים לֹא הֵמִית כַּכָּתוּב בְּסֵפֶר תּוֹרַת־מֹשֶׁה
しかし ∥ の-子らを ∥ 打った-者たち ∥ なかった ∥ 殺さ ∥ 書かれている-とおり ∥ の-書に ∥ 律法の ∥ モーセ
H0853 ∥ H1121 ∥ H5221 ∥ H3808 ∥ H4191 ∥ H3789 ∥ H5612 ∥ H8451 ∥ H4872

אֲשֶׁר־צִוָּה יְהוָה לֵאמֹר לֹא־יוּמְתוּ אָבוֹת עַל־בָּנִים וּבָנִים
ところの ∥ 命じた ∥ 主が ∥ 言って ∥ されない ∥ 殺 ∥ 父は ∥ の-ゆえに ∥ 子ら ∥ そして-子らも
H0834 ∥ H6680 ∥ H3068 ∥ H0559 ∥ H3808 ∥ H4191 ∥ H0001 ∥ H5921 ∥ H1121 ∥ H1121

לֹא־יוּמְתוּ עַל־אָבוֹת כִּי אִם־אִישׁ בְּחֶטְאוֹ יוּמָתוּ׃ (יומת)
されない ∥ 殺 ∥ の-ゆえに ∥ 父 ∥ ただ ∥ のみ ∥ 人は ∥ 自分の-罪で ∥ — ∥ 殺される
H3808 ∥ H4191 ∥ H5921 ∥ H1121 ∥ H3588 ∥ H0376 ∥ H2399 ∥ H4191 ∥ H4191

その殺害者の子供たちは殺さなかった。これはモーセの律法の書にしるされている所に従ったのであって、そこに主は命じて「父は子のゆえに殺さるべきではない。子は父のゆえに殺さるべきではない。おのおの自分の罪のゆえに殺さるべきである」と言われている。

7 הוּא־הִכָּה אֶת־אֱדוֹם בְּגֵיא מֶלַח (המלח) עֲשֶׂרֶת אֲלָפִים
彼は ∥ 打った ∥ を ∥ エドム ∥ の-谷で ∥ — ∥ 塩の ∥ 一万 ∥ 人を
H1931 ∥ H5221 ∥ H0853 ∥ H0123 ∥ H1516 ∥ H4417 ∥ H4417 ∥ H6235 ∥ H0505

וְתָפַשׂ אֶת־הַסֶּלַע בַּמִּלְחָמָה וַיִּקְרָא שְׁמָהּ יָקְתְאֵל עַד הַיּוֹם הַזֶּה׃ פ
そして-奪った ∥ を ∥ セラを ∥ 戦いで ∥ そして-呼んだ ∥ その-名を ∥ ヨクテエルと ∥ まで ∥ 日 ∥ この ∥ —
H8610 ∥ H0853 ∥ H5554 ∥ H4421 ∥ H7121 ∥ H0853 ∥ H8034 ∥ H3371 ∥ H5704 ∥ H3117 ∥ H2088 ∥ H6

アマジヤはまた塩の谷でエドムびと一万人を殺した。またセラを攻め取って、その名をヨクテルと名づけたが、今日までそのとおりである。

8 אָז שָׁלַח אֲמַצְיָהוּ מַלְאָכִים אֶל־יְהוֹאָשׁ בֶּן־יְהוֹאָחָז בֶּן־יֵהוּא
その-とき ∥ 送った ∥ アマツヤは ∥ 使者たちを ∥ に ∥ エホアシュ ∥ の-子 ∥ エホアハズ ∥ の-子 ∥ エヒウ
H0227 ∥ H7971 ∥ H0558 ∥ H4397 ∥ H0413 ∥ H3060 ∥ H1121 ∥ H3059 ∥ H1121 ∥ H3058

מֶלֶךְ יִשְׂרָאֵל לֵאמֹר לְכָה נִתְרָאֶה פָּנִים׃
王 ∥ イスラエルの ∥ 言って ∥ 来い ∥ 顔を-合わせよう ∥ 互いに
H4428 ∥ H3478 ∥ H0559 ∥ H3212 ∥ H7200 ∥ H6440

そこでアマジヤがエヒウの子エホアハズの子であるイスラエルの王ヨアシに使者をつかわして、「さあ、われわれは互に顔を合わせよう」と言わせたので、

9 וַיִּשְׁלַ֞ח יְהוֹאָ֣שׁ מֶֽלֶךְ־יִשְׂרָאֵ֗ל אֶל־אֲמַצְיָ֤הוּ מֶֽלֶךְ־יְהוּדָה֙ לֵאמֹ֔ר
そして–送った エホアシュは 王の イスラエル に アマツヤフ 王の ユダ 言って
H7971 H3060 H4428 H3478 H0413 H0558 H4428 H3063 H0559

הַחֹ֖וַח אֲשֶׁ֣ר בַּלְּבָנ֑וֹן שָׁלַ֤ח אֶל־הָאֶ֙רֶז֙ אֲשֶׁ֣ר בַּלְּבָנ֔וֹן לֵאמֹ֕ר תְּנָה־אֶ֥ת
あざみが ところの レバノンの 送った に 杉に ところの レバノンの 言って 与えよ を
H2336 H3844 H7971 H0413 H0730 H3844 H0559 H5414 H0853

בִּתְּךָ֖ לִבְנִ֣י לְאִשָּׁ֑ה וַתַּעֲבֹ֣ר חַֽיַּת־הַשָּׂדֶ֔ה אֲשֶׁ֥ר בַּלְּבָנֽוֹן׃ וַתִּרְמֹ֖ס אֶת־הַחֹֽוַח׃
あなたの–娘を わたしの–息子に 妻として そして–通り過ぎた 野の–獣が ところの レバノンの を あざみを
H1323 H0802 H1323 H0802 H5674 H2416 H7704 H0834 H2336

イスラエルの王ヨアシはユダの王アマジヤに言い送った、「かつてレバノンのいばらがレバノンの香柏に、『あなたの娘をわたしのむすこの妻にください』と言い送ったことがあったが、レバノンの野獣がとおって、そのいばらを踏み倒した。

10 הִכֵּ֤יתָ הִכִּיתָ֙ אֶת־אֱד֔וֹם וְנָשָׂ֥אֲךָ֖ לִבֶּ֑ךָ הִכָּבֵ֣ד וְשֵׁ֔ב
確かに 打った を エドムを そして–高ぶった あなたの–心は 誇れ そして–とどまれ
H5221 H5221 H0853 H0123 H5375 H3820 H3513 H3427

וְיִֽהוּדָ֖ה אַתָּ֣ה וְנָפַלְתָּ֔ה רָעָ֥ה תִתְגָּרֶ֖ה וְלָמָ֑ה בְּבִיתֶ֔ךָ
そして–ユダも あなたも そして–倒れる–だろう 災いに 争いを–挑むのか なぜ あなたの–家に
H3063 H0859 H5307 H7451 H1624 H4100 H1004

עִמָּֽךְ׃
あなたと–共に
H5973

あなたは大いにエドムを撃って、心にたかぶっているが、その栄誉に満足して家にとどまりなさい。何ゆえ、あなたは災をひき起して、自分もユダも共に滅びるような事をするのですか」。

11 וְלֹֽא־שָׁמַ֣ע אֲמַצְיָ֔הוּ וַיַּ֣עַל יְהוֹאָ֔שׁ מֶֽלֶךְ־יִשְׂרָאֵ֑ל
しかし–なかった 聞か アマツヤフは そして–上って来た エホアシュは 王の イスラエル
H3808 H8085 H0558 H5927 H3060 H4428 H3478

וַיִּתְרָא֣וּ פָנִ֔ים הֽוּא וַאֲמַצְיָ֣הוּ מֶֽלֶךְ־יְהוּדָ֔ה שֶׁ֥מֶשׁ בֵּ֖ית אֲשֶׁ֥ר לִֽיהוּדָֽה׃
そして–顔を–合わせた 互いに 彼と そして–アマツヤフ 王の ユダ ベテ・シェメシュで ところの ユダに–属する
H7200 H6440 H1931 H0558 H4428 H3063 H1053 H0834 H3063

しかしアマジヤが聞きいれなかったので、イスラエルの王ヨアシは上ってきた。そこで彼とユダの王アマジヤはユダのベテシメシで互に顔をあわせたが、

12 וַיִּנָּ֥גֶף יְהוּדָ֖ה לִפְנֵ֣י יִשְׂרָאֵ֑ל וַיָּנֻ֖סוּ אִ֥ישׁ לְאָהֳלָֽיו׃ [לְאָהֳלָיו)]
そして–敗れた ユダは の–前で イスラエル そして–逃げた おのおの 自分の–天幕に
H5062 H3063 H6440 H3478 H5127 H0376 H0168 H0168

ユダはイスラエルに敗られて、おのおのその天幕に逃げ帰った。

13 וְאֶת֙ אֲמַצְיָ֣הוּ מֶֽלֶךְ־יְהוּדָ֔ה בֶּן־יְהוֹאָ֖שׁ בֶּן־יְהוֹאָחָ֑ז תָּפַ֣שׂ
そして アマツヤフを 王の ユダ の-子 エホアシュ の-子 アハズヤフ 捕らえた
H0853 H0558 H4428 H3063 H0558 H3060 H0274 H8610

יְהוֹאָ֞שׁ מֶ֣לֶךְ־יִשְׂרָאֵ֗ל בְּבֵ֣ית שֶׁ֠מֶשׁ וַיָּבֹא֙ וַיָּבֹא֙ יְרוּשָׁלִָ֔ם
エホアシュは 王の イスラエル ベテ・シェメシュで ー そして-来た エルサレムに
H3060 H4428 H3478 H1053 H0935 H0935 H3389

מֵא֣וֹת אַרְבַּ֔ע הַפִּנָּ֖ה שַׁ֣עַר עַד־ שַׁ֣עַר אֶפְרַ֑יִם בְּשַׁ֣עַר יְרוּשָׁלִַ֔ם בְּחוֹמַ֖ת וַיִּפְרֹ֥ץ
百 四 隅の 門の まで エフライム の-門から エルサレム の-城壁を そして-壊した
H3967 H0702 H6438 H8179 H5704 H0669 H8179 H3389 H2346 H6555

אַמָּֽה׃
アンマ

イスラエルの王ヨアシはアハジヤの子ヨアシの子であるユダの王アマジヤをベテシメシで捕え、エルサレムにきて、エルサレムの城壁をエフライムの門から隅の門まで、おおよそ四百キュビトにわたってこわし、

14 בֵּית־ הַנִּמְצְאִ֣ים הַכֵּלִ֔ים כָּל־ וְאֵת֙ וְהַכֶּ֣סֶף וְהַזָּהָ֔ב כָּל־ אֶת־ וַיִּקַּ֞ח
の-宮の 見つかった 器を すべての そして 銀 金と すべての を そして-取った
H4672 H3627 H3605 H0853 H3701 H2091 H3605 H0853 H3947

שֹׁמְר֑וֹנָה׃ וַיָּ֖שָׁב הַתֵּעֻרֵבֻ֔ת בְּנֵ֣י וְאֵת֙ הַמֶּ֣לֶךְ בֵּ֤ית וּבְאֹצְר֣וֹת יְהוָ֔ה
サマリヤに そして-帰った 人質 の-子らを そして 王の 家の そして-宝物庫の 主
H8111 H7725 H8594 H0853 H4428 H1004 H0214 H3068

また主の宮と王の家の倉にある金銀およびもろもろの器をことごとく取り、かつ人質をとってサマリヤに帰った。

15 עִם֙ נִלְחַ֔ם וַאֲשֶׁר֙ וּגְבוּרָתֹ֔ו עָשָׂ֖ה אֲשֶׁ֣ר יְהוֹאָ֑שׁ דִּבְרֵי֙ וְיֶתֶר֙
と共に 戦った そして-ところの その-力 行った ところの エホアシュの 事柄 そして-残りの
H1369 H3060 H1697 H3117

הַיָּמִ֔ים דִּבְרֵי֙ סֵ֣פֶר עַל־ כְּתוּבִ֖ים הֵ֑ם הֲלֹא־ יְהוּדָ֔ה מֶֽלֶךְ־ אֲמַצְיָ֣הוּ
日々の 事柄の 書 の-上に 記されて それらは ではないか ユダ 王の アマツヤフ
H3117 H1697 H3789 H1992 H3808 H3063 H4428 H0558

יִשְׂרָאֵֽל׃ לְמַלְכֵ֥י
イスラエル の-王たちの
H3478 H4428

ヨアシのその他の事績と、その武勇および彼がユダの王アマジヤと戦った事は、イスラエルの王の歴代志の書にしるされているではないか。

16 מַלְכֵ֣י עִם֙ בְּשֹׁמְר֔וֹן וַיִּקָּבֵ֣ר אֲבֹתָ֑יו עִם־ יְהוֹאָ֖שׁ וַיִּשְׁכַּ֥ב
王たち と共に サマリヤに そして-葬られた 先祖たち と-共に エホアシュは そして-眠った
H4428 H8111 H6912 H0001 H3060 H7901

פ תַּחְתָּ֖יו׃ בְּנֹ֥ו יָרָבְעָ֛ם וַיִּמְלֹ֥ךְ יִשְׂרָאֵ֔ל
ー 彼に-代わって その-子 ヤロブアムが そして-王と-なった イスラエルの
H8478 H3379 H3478

ヨアシはその先祖たちと共に眠って、イスラエルの王たちと共にサマリヤに葬られ、その子ヤラベアムが代って王となった。

17 בֶּן־ יְהוֹאָ֣שׁ מוֹת֙ אַחֲרֵ֣י יְהוּדָ֔ה מֶ֖לֶךְ יֹואָ֑שׁ בֶּן־ אֲמַצְיָ֣הוּ וַיִּחְיֶ֔
の-子 エホアシュ 死 の-後 ユダの 王 ヨアシュ の-子 アマツヤフは そして-生きた
H3060 H4194 H3063 H4428 H3101 H0558 H2421

שָׁנָֽה׃ עֶשְׂרֵ֥ה חֲמֵ֛שׁ יִשְׂרָאֵ֖ל מֶ֣לֶךְ יְהוֹאָחָ֥ז
年 五 十 イスラエルの 王 エホアハズ
H8141 H6240 H2568 H3478 H4428 H3059

ヨアシの子であるユダの王アマジヤは、エホアハズの子であるイスラエルの王ヨアシが死んで後、なお十五年生きながらえた。

18 וְיֶתֶר דִּבְרֵי 事柄の H1697 סֵפֶר 書 עַל־ の-上に כְּתוּבִים 記されて H3789 הֵם それらは H1992 הֲלֹא־ ではないか H3808 אֲמַצְיָהוּ アマツヤフの H0558 דִּבְרֵי 事柄 H1697 לְמַלְכֵי の-王たちの H4428 יְהוּדָה׃ ユダ H3063 הַיָּמִים 日々の H3117

アマジヤのその他の事績は、ユダの王の歴代志の書にしるされているではないか。

19 וַיִּקְשְׁרוּ そして-企てた H7194 עָלָיו 彼に-対して H7195 קֶשֶׁר 陰謀を H3389 בִּירוּשָׁלִַם エルサレムで H5127 וַיָּנָס そして-逃げた H3923 לָכִישָׁה ラキシュに H7971 וַיִּשְׁלְחוּ そして-送った H310 אַחֲרָיו׃ その-後を-追って H4191 וַיְמִתֻהוּ そして-殺した H3923 לָכִישָׁה ラキシュに H8033 שָׁם׃ そこで

時に人々がエルサレムで徒党を結び、彼に敵対したので、彼はラキシに逃げていったが、その人々はラキシに人をつかわして彼をそこで殺させた。

20 וַיִּשְׂאוּ そして-運んだ H5375 אֹתוֹ 彼を H0853 עַל־ の-上に הַסּוּסִים 馬 וַיִּקָּבֶר そして-葬られた H6912 בִּירוּשָׁלִַם エルサレムに H3389 עִם־ と-共に אֲבֹתָיו 先祖たち H0001 בְּעִיר の-町に דָּוִד׃ ダビデ H1732

人々は彼を馬に載せて運んできて、エルサレムで彼を先祖たちと共にダビデの町に葬った。

21 וַיִּקְחוּ そして-取った H3947 כָּל־ すべての H3605 עַם 民は H3063 יְהוּדָה ユダの H853 אֶת־ を H5838 עֲזַרְיָה アザルヤを H1931 וְהוּא そして-彼は H8337 בֶּן־ の-子 H8337 שֵׁשׁ 十 H6240 עֶשְׂרֵה 六 H3947 וַיַּמְלִכוּ そして-王と-した H853 אֹתוֹ 彼を H8478 תַּחַת の-代わりに H0001 אָבִיו その-父 H0558 אֲמַצְיָהוּ׃ アマツヤフ H8141 שָׁנָה 歳の

そしてユダの民は皆アザリヤを父アマジヤの代りに王とした。時に年十六歳であった。

22 הוּא 彼は H1931 בָּנָה 建てた H1129 אֶת־ を H0853 אֵילַת エラテを H335 וַיְשִׁבֶהָ そして-戻した H7725 לִיהוּדָה ユダに H3063 אַחֲרֵי の-後に H7901 שְׁכַב־ 眠った H4428 הַמֶּלֶךְ 王が H5975 עִם־ と-共に אֲבֹתָיו׃ 先祖たち H0001 פ —

彼はエラテの町を建てて、これをユダに復帰させた。これはかの王がその先祖たちと共に眠った後であった。

23 בִּשְׁנַת の-年に H8141 חֲמֵשׁ־ 十 H2568 עֶשְׂרֵה 五 H6240 שָׁנָה 年 H8141 לַאֲמַצְיָהוּ アマツヤフの H0558 בֶּן־ の-子 H3101 יוֹאָשׁ ヨアシュ H4428 מֶלֶךְ 王 H3063 יְהוּדָה ユダの H4427 מָלָךְ 王と-なった יָרָבְעָם ヤロブアムは H3379 בֶּן־ の-子 H3101 יוֹאָשׁ ヨアシュ H4428 מֶלֶךְ 王の H3478 יִשְׂרָאֵל イスラエル H8111 בְּשֹׁמְרוֹן サマリヤで H0705 אַרְבָּעִים 四十 H0259 וְאַחַת と-一 H8141 שָׁנָה׃ 年

ユダの王ヨアシの子アマジヤの第十五年に、イスラエルの王ヨアシの子ヤラベアムがサマリヤで王となって四十一年の間、世を治めた。

24 וַיַּעַשׂ הָרַע בְּעֵינֵי יְהוָה לֹא סָר מִכָּל־חַטֹּאות יָרָבְעָם בֶּן־
そして-行った 悪を の-目に 主の なかった 離れ すべての 罪から ヤロブアム の-子
H3068 H3808 H5493 H3605 H3379

נְבָט אֲשֶׁר הֶחֱטִיא אֶת־יִשְׂרָאֵל׃
ネバテ ところの 罪を-犯させた を イスラエル
H5028 H2398 H0853 H3478

彼は主の目の前に悪を行い、イスラエルに罪を犯させたネバテの子ヤラベアムの罪を離れなかった。

25 הוּא הֵשִׁיב אֶת־גְּבוּל יִשְׂרָאֵל מִלְּבוֹא חֲמָת עַד־יָם הָעֲרָבָה
彼は 回復した を 領土を イスラエルの レボ・から ハマテ まで 海 アラバの
H1931 H7725 H0853 H1366 H3478 H0935 H2574 H5704 H3220 H6160

כִּדְבַר יְהוָה אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל אֲשֶׁר דִּבֶּר בְּיַד־עַבְדּוֹ
の-言葉の-とおりに 主 神の イスラエルの ところの 語った の-手によって その-しもべ
H1697 H3068 H0430 H3478 H1696 H3027 H5650

יוֹנָה בֶן־אֲמִתַּי הַנָּבִיא אֲשֶׁר מִגַּת הַחֵפֶר׃
ヨナ の-子 アミタイ 預言者 ところの ガテ・ヘフェルから
H3124 H0573 H5030 H1662

彼はハマテの入口からアラバの海まで、イスラエルの領域を回復した。イスラエルの神、主がガテヘペルのアミッタイの子である、そのしもべ預言者ヨナによって言われた言葉のとおりである。

26 כִּי־רָאָה יְהוָה אֶת־עֳנִי יִשְׂרָאֵל מֻרָּה מְאֹד וְאֶפֶס
なぜなら 見られた 主は を 苦しみを イスラエルの 苦い 非常に そして-いなかった
H7200 H3068 H0853 H6040 H3478 H4784 H3966 H0369

עָצוּר וְאֶפֶס עָזוּב וְאֵין עֵזֶר לְיִשְׂרָאֵל׃
閉じ込められた-者も そして-いなかった 解き放たれた-者も そして-いなかった 助ける-者が イスラエルに
H6113 H0369 H5826 H3478

主はイスラエルの悩みの非常に激しいのを見られた。そこにはつながれた者も、自由な者もいなくなり、またイスラエルを助ける者もいなかった。

27 וְלֹא־דִבֶּר יְהוָה לִמְחוֹת אֶת־שֵׁם יִשְׂרָאֵל מִתַּחַת הַשָּׁמָיִם
そして-なかった 語ら 主は 消す-ことを を 名を イスラエルの の-下から 天
H3808 H1696 H3068 H4229 H0853 H8034 H3478 H8478 H8064

וַיְוֹשִׁיעֵם בְּיַד יָרָבְעָם בֶּן־יוֹאָשׁ׃
そして-救った の-手によって ヤロブアム の-子 ヨアシュ
H3467 H3027 H3379 H3101

しかし主はイスラエルの名を天が下から消し去ろうとは言われなかった。そして彼らをヨアシの子ヤラベアムの手によって救われた。

28 וְיֶתֶר דִּבְרֵי יָרָבְעָם וְכָל־אֲשֶׁר עָשָׂה וּגְבוּרָתוֹ אֲשֶׁר־נִלְחָם
そして-残りの 事柄 ヤロブアムの と-すべて ところの 行った その-力 ところの 戦った
H1697 H3379 H3605 H1369

הֵשִׁיב אֶת־דַּמֶּשֶׂק וְאֶת־חֲמָת לִיהוּדָה בְּיִשְׂרָאֵל
取り戻した を ダマスコを そして ハマテを ユダに イスラエルの-中で
H7725 H0853 H1834 H0853 H2574 H3063 H3478

הֲלֹא־הֵם כְּתוּבִים עַל־סֵפֶר דִּבְרֵי הַיָּמִים לְמַלְכֵי יִשְׂרָאֵל׃
ではないか それらは 記されて の-上に 書 事柄の 日々の の-王たちの イスラエル
H3808 H1992 H3789 H0413 H5612 H1697 H3117 H4428 H3478

ヤラベアムのその他の事績と、彼がしたすべての事およびその武勇、すなわち彼が戦争をした事および、かつてユダに属していたダマスコとハマテを、イスラエルに復帰させた事は、イスラエルの王の歴代志の書にしるされているではないか。

29 וַיִּשְׁכַּב יָרָבְעָם עִם־אֲבֹתָיו עִם מַלְכֵי יִשְׂרָאֵל וַיִּמְלֹךְ
そして-眠った ヤロブアムは と-共に 先祖たち と共に 王たち イスラエルの そして-王と-なった
H7901 H3379 H0413 H5973 H4428 H3478

זְכַרְיָה בְנוֹ תַּחְתָּיו׃ פ
ゼカルヤが その-子 彼に-代わって
H2148 H1121 H8478

ヤラベアムはその先祖であるイスラエルの王たちと共に眠って、その子ゼカリヤが代って王となった。

Chapter 15

1 בִּשְׁנַת עֶשְׂרִים וְשָׁבַע שָׁנָה לְיָרָבְעָם מֶלֶךְ יִשְׂרָאֵל עֲזַרְיָה
の-年に 二十 と-七 年 ヤロブアムの 王 イスラエルの アザルヤは
H8141 H6242 H7651 H8141 H3379 H4428 H3478 H5838

בֶּן־אֲמַצְיָה מֶלֶךְ יְהוּדָה׃
の-子 アマツヤ 王 ユダの
H1121 H0558 H4428 H3063

イスラエルの王ヤラベアムの第二十七年に、ユダの王アマジヤの子アザリヤが王となった。

2 בֶּן־שֵׁשׁ עֶשְׂרֵה שָׁנָה הָיָה בְמָלְכוֹ וַחֲמִשִּׁים שָׁנָה וּשְׁתַּיִם
の-子 十 六 歳の であった 王と-なった-とき そして-五十 と-二
H1121 H8337 H6240 H8141 H1961 H4428 H2572 H8147

שֵׁם אִמּוֹ יְכָלְיָהוּ מִירוּשָׁלִָם׃
その-名は その-母の エカルヤフ エルサレムから
H8034 H0517 H3203 H3389

彼が王となった時は十六歳で、五十二年の間エルサレムで世を治めた。その母はエルサレムの出身で、名をエコリアといった。

3 וַיַּעַשׂ עֲזַרְיָהוּ כְּכֹל אֲשֶׁר־עָשָׂה אֲמַצְיָהוּ אָבִיו׃
そして-行った 正しい-ことを の-目に 主の すべての-ように ところの 行った アマツヤフが その-父
H6213 H3477 H5869 H3068 H3605 H0834 H6213 H0558 H1

彼は主の目にかなう事を行い、すべての事を父アマジヤが行ったようにおこなった。

וּמְקַטְּרִים	מְזַבְּחִים	הָעָם	עוֹד	סָרוּ	לֹא־	הַבָּמוֹת	רַק		4
そして-香を-焚いていた	いけにえを-捧げ	民は	なお	取り除かれ	なかった	高き-所は	ただ		
	H2076		H5750	H5493	H3808	H1116	H7535		

בַּבָּמוֹת׃
高き-所で
H1116

ただし高き所は除かなかったので、民はなおその高き所で犠牲をささげ、香をたいた。

מוֹתוֹ	יוֹם	עַד־	מְצֹרָע	וַיְהִי	הַמֶּלֶךְ	אֶת־	יְהוָה	וַיְנַגַּע	5
その-死の	日	まで	らい病人に	そして-なった	王を	を	主は	そして-打った	
H4194	H3117	H5704	H6879	H1961	H4428	H0853	H3068	H5060	

שֹׁפֵט	הַבַּיִת	עַל־	הַמֶּלֶךְ	בֶּן־	וְיוֹתָם	הַחָפְשִׁית	בְּבֵית	וַיֵּשֶׁב	
裁いていた	家	の-上に	王の	の-子	そして-ヨタムが	離れの	の-家に	そして-住んだ	
H8199			H4428		H3147	H2669		H3427	

הָאָרֶץ׃	עַם	אֶת־	
地の	民を	を	
H0776		H0853	

主が王を撃たれたので、その死ぬ日まで、らい病人となって、離れ家に住んだ。王の子ヨタムが家の事を管理し、国の民をさばいた。

כְּתוּבִים	הֵם	הֲלֹא־	עָשָׂה	אֲשֶׁר	וְכָל־	עֲזַרְיָהוּ	דִּבְרֵי	וְיֶתֶר	6
記されて	それらは	ではないか	行った	ところの	と-すべて	アザルヤフの	事柄	そして-残りの	
H3789	H1992	H3808			H3605	H5838	H1697		

יְהוּדָה׃	לְמַלְכֵי	הַיָּמִים	דִּבְרֵי	סֵפֶר	עַל־
ユダ	の-王たちの	日々の	事柄の	書	の-上に
H3063	H4428	H3117	H1697		

アザリヤのその他の事績と、彼がしたすべての事は、ユダの王の歴代志の書にしるされているではないか。

בְּעִיר	אֲבֹתָיו	עִם־	אֹתוֹ	וַיִּקְבְּרוּ	אֲבֹתָיו	עִם־	עֲזַרְיָהוּ	וַיִּשְׁכַּב	7
の-町に	先祖たち	と-共に	彼を	そして-葬られた	先祖たち	と-共に	アザルヤは	そして-眠った	
	H0001		H0853	H6912	H0001		H5838	H7901	

	תַּחְתָּיו׃	בְנוֹ	יוֹתָם	וַיִּמְלֹךְ		דָּוִד
פ	彼に-代わって	その-子	ヨタムが	そして-王と-なった		ダビデ
	H8478		H3147			H1732

アザリヤはその先祖たちと共に眠ったので、彼をダビデの町にその先祖たちと共に葬った。その子ヨタムが代って王となった。

בֶּן־	זְכַרְיָהוּ	מָלַךְ	יְהוּדָה	מֶלֶךְ	לַעֲזַרְיָהוּ	שָׁנָה	וּשְׁמֹנֶה	שְׁלֹשִׁים	בִּשְׁנַת	8
の-子	ゼカルヤフは	王と-なった	ユダの	王	アザルヤフの	年	と-八	三十	の-年に	
			H3063	H4428	H5838	H8141	H8083	H7970	H8141	

חֳדָשִׁים׃	שִׁשָּׁה	בְּשֹׁמְרוֹן	יִשְׂרָאֵל	עַל־	יָרָבְעָם	
か月	六	サマリヤで	イスラエル	の-上に	ヤロブアム	
H2320	H8337	H8111	H3478		H3379	

ユダの王アザリヤの第三十八年にヤラベアムの子ゼカリヤがサマリヤでイスラエルの王となり、六か月世を治めた。

9 וַיַּעַשׂ הָרַע בְּעֵינֵי יְהוָה כַּאֲשֶׁר עָשׂוּ אֲבֹתָיו לֹא סָר מֵחַטֹּאות יָרָבְעָם בֶּן־נְבָט אֲשֶׁר הֶחֱטִיא אֶת־יִשְׂרָאֵל׃

そして-行った 悪を 主の の-目に ように その-先祖たちが 行った なかった 離れ
H3068 H0001 H3808 H5493
の-罪から ヤロブアム の-子 ネバテ ところの を イスラエル
H3379 H5028 H2398 H0853 H3478

彼はその先祖たちがおこなったように主の目の前に悪を行い、イスラエルに罪を犯させたネバテの子ヤラベアムの罪を離れなかった。

10 וַיִּקְשֹׁר עָלָיו שַׁלֻּם בֶּן־יָבֵשׁ וַיַּכֵּהוּ קֶבֶל־עָם וַיִּמְלֹךְ תַּחְתָּיו׃

そして-企てた 彼に-対して シャルムは の-子 ヤベシュ そして-打った の-前で 民
H7194 H7967 H3003 H5221 H6905
そして-殺した そして-王と-なった 彼に-代わって
H4191

ヤベシュの子シャルムが徒党を結んで彼に敵し、イブレアムで彼を撃ち殺し、彼に代って王となった。

11 וְיֶתֶר דִּבְרֵי זְכַרְיָה הִנָּם כְּתוּבִים עַל־סֵפֶר דִּבְרֵי הַיָּמִים לְמַלְכֵי יִשְׂרָאֵל׃

そして-残りの 事柄 ゼカルヤの 見よ-それらは 記されて の-上に 書 事柄の 日々の
H1697 H2009 H3789 H5921 H1697 H3117
の-王たちの イスラエル
H4428 H3478

ゼカリヤのその他の事績は、イスラエルの王の歴代志の書にしるされている。

12 הַוא דְּבַר־יְהוָה אֲשֶׁר דִּבֶּר אֶל־יֵהוּא לֵאמֹר בָּנֶיךָ רְבִיעִים יֵשְׁבוּ עַל־כִּסֵּא יִשְׂרָאֵל כֵּן׃ פ

それは 言葉の 主 ところの 語った に エヒウに 言って 子らが 四代の 座る-だろう
H1931 H1697 H3068 H1696 H0413 H3058 H0559 H1121 H7243 H3427
— その-とおりに そして-なった イスラエルの 王座 の-上に あなたの-ために
H1961 H3478 H3678 H5921 H0

主はかつてエヒウに、「あなたの子孫は四代までイスラエルの位に座するであろう」と告げられたが、はたしてそのとおりになった。

13 שַׁלֻּם בֶּן־יָבֵשׁ מָלַךְ בִּשְׁנַת שְׁלֹשִׁים וָתֵשַׁע שָׁנָה לְעֻזִּיָּה מֶלֶךְ וַיִּמְלֹךְ יָרֵחַ יָמִים בְּשֹׁמְרוֹן׃

シャルムは の-子 ヤベシュ 王と-なった の-年に 三十 と-九 年 ウジヤの 王
H7967 H1121 H3003 H4427 H8141 H7970 H8672 H8141 H5818 H4428
そして-治めた 一か月 日々 サマリヤで
H3391 H3117 H8111

ヤベシの子シャルムはユダの王ウジヤの第三十九年に王となり、サマリヤで一か月世を治めた。

14 וַיַּעַל מְנַחֵם בֶּן־גָּדִי מִתִּרְצָה וַיָּבֹא שֹׁמְרוֹן וַיַּךְ אֶת־שַׁלֻּם בֶּן־יָבֵשׁ בְּשֹׁמְרוֹן וַיָּמֶת וַיִּמְלֹךְ תַּחְתָּיו׃

そして-上って-来た メナヘムは の-子 ガディ ティルツァから そして-来た サマリヤに
H5927 H4505 H1121 H1424 H8656 H0935 H8111
そして-打った を シャルムを の-子 ヤベシュ サマリヤで そして-殺した そして-王と-なった
H5221 H0853 H7967 H1121 H3003 H8111 H4191 H4427
彼に-代わって
H8478

時にガデの子メナヘムがテルザからサマリヤに上ってきて、ヤベシの子シャルムをサマリヤで撃ち殺し、彼に代って王となった。

15 וְיֶתֶר דִּבְרֵי שַׁלּוּם וְקִשְׁרוֹ אֲשֶׁר קָשָׁר הִנָּם כְּתֻבִים עַל־
そして-残りの 事柄 シャルムの その-陰謀 ところの 企てた 見よ-それらは 記されて の-上に
H1697 H7967 H7195 H7194 H2009 H3789

סֵפֶר דִּבְרֵי הַיָּמִים לְמַלְכֵי יִשְׂרָאֵל׃ ס
書 事柄の 日々の の-王たちの イスラエル —
H1697 H3117 H4428 H3478

シャルムのその他の事績と、彼が徒党を結んだ事は、イスラエルの王の歴代志の書にしるされている。

16 אָז הִכָּה מְנַחֵם אֶת־ תִּפְסַח וְאֶת־ כָּל־ אֲשֶׁר־ בָּהּ
その-とき 打った メナヘムは を ティフサハを そして すべての ところの その-中に-いた
H5221 H4505 H0853 H8607 H0853 H3605

וְאֶת־ גְּבוּלֶיהָ מִתִּרְצָה כִּי לֹא פָתָח וַיַּךְ אֵת כָּל־
そして-その-領域を ティルツァから なぜなら なかった 開か そして-打った を すべての
H0853 H1366 H8656 H3808 H6605 H0853 H5221 H3605

הָהָרוֹתֶיהָ בָּקָע׃ פ
妊婦たちを 引き-裂いた —
H1234

その時メナヘムはテルザから進んでいって、タップアと、そのうちにいるすべての者、およびその領域を撃った。すなわち彼らが彼のために開かなかったので、これを撃って、そのうちの妊娠の女をことごとく引き裂いた。

17 בִּשְׁנַת שְׁלֹשִׁים וָתִשַׁע שָׁנָה לַעֲזַרְיָה מֶלֶךְ יְהוּדָה מָלַךְ מְנַחֵם בֶּן־
の-年に 三十 と-九 年 アザルヤの 王 ユダの 王と-なった メナヘムは の-子
H8141 H7970 H8672 H8141 H5838 H4428 H3063 H4505

גָּדִי עַל יִשְׂרָאֵל עֶשֶׂר שָׁנִים בְּשֹׁמְרוֹן׃
ガディ の-上に イスラエル 十 年 サマリヤで
H1424 H5921 H3478 H6235 H8141 H8111

ユダの王アザリヤの第三十九年に、ガデの子メナヘムはイスラエルの王となり、サマリヤで十年の間、世を治めた。

18 וַיַּעַשׂ הָרַע בְּעֵינֵי יְהוָה לֹא הֵסִיר מֵעַל חַטֹּאות יָרָבְעָם בֶּן־
そして-行った 悪を の-目に 主の なかった 離れ から 罪 ヤロブアム の-子
H6213 H7451 H5869 H3068 H3808 H5493 H5921 H2403 H3379 H1121

נְבָט אֲשֶׁר־ הֶחֱטִיא אֶת־ יִשְׂרָאֵל כָּל־ יָמָיו׃
ネバテ ところの 罪を-犯させた を イスラエル すべての その-日々
H5028 H834 H2398 H853 H3478 H3605 H3117

彼は主の目の前に悪を行い、イスラエルに罪を犯させたネバテの子ヤラベアムの罪を一生の間、離れなかった。

19 בָּא פּוּל מֶלֶךְ־ אַשּׁוּר עַל־ הָאָרֶץ וַיִּתֵּן מְנַחֵם לְפוּל אֶלֶף
来た プルは 王の アッシリア の-上に 地 そして-与えた メナヘムは プルに 千
H0935 H6322 H4428 H804 H5921 H776 H5414 H4505 H6322 H505

כִּכַּר־ כֶּסֶף לִהְיוֹת יָדָיו אִתּוֹ לְהַחֲזִיק הַמַּמְלָכָה בְּיָדוֹ׃
タラントの 銀を なる-ために その-手が 彼と-共に 強める-ために 王国を その-手に
H3603 H3701 H1961 H3027 H854 H2388 H4467 H3027

時にアッスリヤの王プルが国に攻めてきたので、メナヘムは銀一千タラントをプルに与えた。これは彼がプルの助けを得て、国を自分の手のうちに強くするためであった。

20 וַיֹּצֵא מְנַחֵם אֶת־הַכֶּסֶף עַל־יִשְׂרָאֵל עַל כָּל־גִּבּוֹרֵי
そして-取り立てた メナヘムは を 銀を の-上に イスラエル から すべての 勇士たち
H3318 H4505 H0853 H3701 H5921 H3478 H3605 H1368

הַחַיִל לָתֵת לְמֶלֶךְ אַשּׁוּר חֲמִשִּׁים שְׁקָלִים כֶּסֶף לְאִישׁ אֶחָד
力の 与える-ために の-王に アッシリア 五十 シェケルの 銀を の-人に 一人
H2428 H5414 H4428 H0804 H2572 H8255 H3701 H0376 H0259

וַיָּשָׁב מֶלֶךְ אַשּׁוּר וְלֹא־עָמַד שָׁם בָּאָרֶץ׃
そして-帰った 王は アッシリアの そして-なかった とどまら そこに その-地に
H7725 H4428 H0804 H3808 H5975 H8033 H0776

すなわちメナヘムはその銀をイスラエルのすべての富める者に課し、その人々におのおの銀五十シケルを出させてアッスリヤの王に与えた。こうしてアッスリヤの王は国にとどまらないで帰っていった。

21 וְיֶתֶר דִּבְרֵי מְנַחֵם וְכָל־אֲשֶׁר עָשָׂה הֲלוֹא־הֵם כְּתוּבִים
そして-残りの 事柄 メナヘムの と-すべて ところの 行った ではないか それらは 記されて
H1697 H4505 H3605 H834 H6213 H3808 H1992 H3789

עַל־סֵפֶר דִּבְרֵי הַיָּמִים לְמַלְכֵי יִשְׂרָאֵל׃
の-上に 書 事柄の 日々の の-王たちの イスラエル
H3478 H4428 H3117 H1697 H5612

メナヘムのその他の事績と彼がしたすべての事は、イスラエルの王の歴代志の書にしるされているではないか。

22 וַיִּשְׁכַּב מְנַחֵם עִם־אֲבֹתָיו וַיִּמְלֹךְ פְּקַחְיָה בְנוֹ
そして-眠った メナヘムは と-共に 先祖たち そして-王と-なった ペカヒヤが その-子
H7901 H4505 H5973 H1 H4427 H6494 H1121

תַּחְתָּיו׃ פ
彼に-代わって
H8478

メナヘムは先祖たちと共に眠り、その子ペカヒヤが代って王となった。

23 בִּשְׁנַת חֲמִשִּׁים שָׁנָה לַעֲזַרְיָה מֶלֶךְ יְהוּדָה מָלַךְ פְּקַחְיָה בֶן־מְנַחֵם
の-年に 五十 年 アザルヤの 王 ユダの 王と-なった ペカヒヤは の-子 メナヘム
H8141 H2572 H8141 H5838 H4428 H3063 H4427 H6494 H1121 H4505

עַל־יִשְׂרָאֵל בְּשֹׁמְרוֹן שְׁנָתָיִם׃
の-上に イスラエル サマリヤで 二年
H3478 H8111 H8141

メナヘムの子ペカヒヤはユダの王アザリヤの第五十年に、サマリヤでイスラエルの王となり、二年の間、世を治めた。

24 וַיַּעַשׂ הָרַע בְּעֵינֵי יְהוָה לֹא סָר מֵחַטֹּאות יָרָבְעָם בֶּן־נְבָט
そして-行った 悪を の-目に 主の なかった 離れ の-罪から ヤロブアム の-子 ネバテ
H6213 H7451 H5869 H3068 H3808 H5493 H2403 H3379 H1121 H5028

אֲשֶׁר הֶחֱטִיא אֶת־יִשְׂרָאֵל׃
ところの 罪を-犯させた を イスラエル
H834 H2398 H853 H3478

彼は主の目の前に悪を行い、イスラエルに罪を犯せたネバテの子ヤラベアムの罪を離れなかった。

25 וַיִּקְשֹׁר עָלָיו פֶּקַח בֶּן־רְמַלְיָהוּ שָׁלִישׁוֹ וַיַּכֵּהוּ בְשֹׁמְרוֹן
そして-企てた 彼に-対して ペカフは の-子 レマルヤフ その-副官 そして-打った サマリヤで
H7194 H6492 H7425 H8111

בְּאַרְמֹן בֵּית־ [מלך] (הַמֶּלֶךְ) אֶת־אַרְגֹּב וְאֶת־הָאַרְיֵה וְעִמּוֹ
の-宮殿で 家の 一 王 を アルゴブと そして アルエを そして-彼と-共に
H0759 H4428 H4428 H0854 H0709 H0854 H0745

וַיִּמְלֹךְ תַּחְתָּיו׃ וַיְמִיתֵהוּ גִּלְעָדִים מִכְּנֵי אִישׁ חֲמִשִּׁים
そして-王と-なった 彼に-代わって そして-殺した ギレアデの-人々 からの 人の 五十
H8478 H4191 H1569 H0376 H2572

時に彼の副官であったレマリヤのペカが、ギレアデびと五十人と共に徒党を結んで彼に敵し、サマリヤの、王の宮殿の天守で彼を撃ち殺した。すなわちペカは彼を殺し、彼に代って王となった。

26 וְיֶתֶר דִּבְרֵי פְקַחְיָה וְכָל־אֲשֶׁר עָשָׂה הִנָּם כְּתוּבִים עַל־
そして-残りの 事柄 ペカヒヤの と-すべて ところの 行った 見よ-それらは 記されて の-上に
H1697 H6494 H3605 H0834 H6213 H2009 H3789 H5921

סֵפֶר דִּבְרֵי הַיָּמִים לְמַלְכֵי יִשְׂרָאֵל׃ פ
書 事柄の 日々の の-王たちの イスラエル 一
H1697 H3117 H4428 H3478

ペカヒヤのその他の事績と彼がしたすべての事は、イスラエルの王の歴代志の書にしるされている。

27 בִּשְׁנַת חֲמִשִּׁים וּשְׁתַּיִם לַעֲזַרְיָה מֶלֶךְ יְהוּדָה מָלַךְ פֶּקַח בֶּן־
の-年に 五十 と-二 年 アザルヤの 王 ユダの 王と-なった ペカフは の-子
H8141 H2572 H8147 H8141 H5838 H4428 H3063 H6492

רְמַלְיָהוּ עַל־יִשְׂרָאֵל בְּשֹׁמְרוֹן עֶשְׂרִים שָׁנָה׃
レマルヤフ の-上に イスラエル サマリヤで 二十 年
H7425 H5921 H3478 H8111 H6242 H8141

レマリヤの子ペカはユダの王アザリヤの第五十二年に、サマリヤでイスラエルの王となり、二十年の間、世を治めた。

28 וַיַּעַשׂ הָרַע בְּעֵינֵי יְהוָה לֹא־סָר מֵחַטֹּאוֹת בֶּן־
そして-行った 悪を の-目に 主の なかった 離れ から 罪 の-子
H6213 H7451 H5869 H3068 H3808 H5493 H4480 H2403 H1121

רְמַלְיָהוּ יָרָבְעָם אֲשֶׁר הֶחֱטִיא אֶת־יִשְׂרָאֵל׃
レマルヤフ ヤロブアム ところの 罪を-犯させた を イスラエル
H7425 H3379 H0834 H2398 H0853 H3478

彼は主の目の前に悪をおこない、イスラエルに罪を犯させたネバテの子ヤラベアムの罪を離れなかった。

29 בִּימֵי פֶּקַח מֶלֶךְ־יִשְׂרָאֵל בָּא תִּגְלַת־פִּלְאֶסֶר מֶלֶךְ אַשּׁוּר
の-日に ペカフ 王の イスラエル 来た ティグラト・ピレセルは 王 アッシリアの
H3117 H6492 H4428 H3478 H0935 H8407 H4428 H0804

וַיִּקַּח אֶת־עִיּוֹן וְאֶת־אָבֵל בֵּית־מַעֲכָה וְאֶת־יָנוֹחַ וְאֶת־
そして-取った を イヨンと そして アベル・ベテ・マアカ そして ヤノアハと そして
H3947 H0853 H5859 H0853 H0062 H0853 H3239 H0853

קֶדֶשׁ וְאֶת־חָצוֹר וְאֶת־הַגִּלְעָד וְאֶת־הַגָּלִיל כָּל אֶרֶץ
ケデシュと そして ハツォルと そして ギレアデと そして ガリラヤを すべての 地
H6943 H0853 H2674 H0853 H1568 H0853 H1551 H3605 H0776

נַפְתָּלִי וַיַּגְלֵם אַשּׁוּרָה׃
ナフタリの そして-捕囚に-した アッシリアに
H5321 H1540 H0804

イスラエルの王ペカの世に、アッスリヤの王テグラテピレセルが来て、イヨン、アベル・ベテマアカ、ヤノア、ケデシ、ハゾル、ギレアデ、ガリラヤ、ナフタリの全地を取り、人々をアッスリヤへ捕え移した。

30 וַיִּקְשֹׁר־ הוֹשֵׁעַ בֶּן־ אֵלָה עַל־ פֶּקַח בֶּן־ רְמַלְיָהוּ
そして-企てた ホシェアは の-子 エラ に-対して ペカフ の-子 レマルヤフ
H7194 H1954 H0425 H6492 H7425

בֶּן־ לְיוֹתָם עֶשְׂרִים בִּשְׁנַת תַּחְתָּיו וַיִּמְלֹךְ וַיַּכֵּהוּ וַיְמִיתֵהוּ
の-子 ヨタムの 二十 の-年に 彼に-代わって そして-王と-なった そして-打った そして-殺した
H3147 H6242 H8141 H8478 H5221 H4191

עֻזִּיָּה׃
ウジヤ
H5818

時にエラの子ホセアは徒党を結んで、レマリヤの子ペカに敵し、彼を撃ち殺し、彼に代って王となった。これはウジヤの子ヨタムの第二十年であった。

31 וְיֶתֶר דִּבְרֵי־ וְכָל־ אֲשֶׁר עָשָׂה הִנָּם כְּתוּבִים עַל־
そして-残りの 事柄の と-すべて ところの 行った 見よ-それらは 記されて の-上に
H3498 H1697 H3605 H6492 H2009 H3789

סֵפֶר דִּבְרֵי הַיָּמִים לְמַלְכֵי יִשְׂרָאֵל׃ פ
書 事柄の 日々の の-王たちの イスラエル —
H3478 H4428 H3117 H1697

ペカのその他の事績と彼がしたすべての事は、イスラエルの王の歴代志の書にしるされている。

32 בִּשְׁנַת שְׁתַּיִם לְפֶקַח בֶּן־ רְמַלְיָהוּ מֶלֶךְ יִשְׂרָאֵל מָלַךְ יוֹתָם בֶּן־
の-年に 二 ペカフの の-子 レマルヤフ 王 イスラエルの 王と-なった ヨタムは の-子
H8141 H8147 H6492 H7425 H4428 H3478 H3147

עֻזִּיָּהוּ מֶלֶךְ יְהוּדָה׃
ウジヤフ 王 ユダの
H5818 H4428 H3063

レマリヤの子イスラエルの王ペカの第二年に、ユダの王ウジヤの子ヨタムが王となった。

33 בֶּן־ עֶשְׂרִים וְחָמֵשׁ שָׁנָה הָיָה בְּמָלְכוֹ וְשֵׁשׁ־ עֶשְׂרֵה שָׁנָה מָלַךְ
の-子 二十 と-五 歳の であった 王と-なった-とき そして-十 六 年 治めた
H8141 H2568 H8141 H1961 H6242 H8337 H8141

בִּירוּשָׁלִָם וְשֵׁם אִמּוֹ יְרוּשָׁא בַּת־ צָדוֹק׃
エルサレムで そして-名は その-母の エルシャは の-娘 ツァドク
H3389 H8034 H0517 H3388 H1323 H6659

彼は王となった時二十五歳であったが、エルサレムで十六年の間、世を治めた。母はザドクの娘で、名をエルシャといった。

34 וַיַּעַשׂ הַיָּשָׁר בְּעֵינֵי יְהוָה כְּכֹל אֲשֶׁר־ עָשָׂה עֻזִּיָּהוּ
そして-行った 正しい-ことを の-目に 主の すべての-ように ところの 行った ウジヤフが
H6213 H3477 H5869 H3068 H3605 H6213 H5818

אָבִיו עָשָׂה׃
その-父 行った
H0001 H6213

彼は主の目にかなう事を行い、すべて父ウジヤの行ったようにおこなった。

35 רַק הַבָּמוֹת לֹא סָרוּ עוֹד הָעָם מְזַבְּחִים וּמְקַטְּרִים
ただ 高き-所は 取り除かれ なお 民は いけにえを-捧げ そして-香を-焚いていた
H7535 H1116 H3808 H5493 H5750 H2076

בַּבָּמוֹת הוּא בָּנָה אֶת־שַׁעַר בֵּית־ יְהוָה הָעֶלְיוֹן׃
高き-所で 彼は 建てた を 門を 宮の 主の 上の
H1116 H1931 H1129 H0853 H8179 H3068

ただし高き所は除かなかったので、民はなおその高き所で犠牲をささげ、香をたいた。彼は主の宮の上の門を建てた。

36 וְיֶתֶר דִּבְרֵי יוֹתָם אֲשֶׁר עָשָׂה הֲלֹא־ הֵם כְּתוּבִים עַל־
そして-残りの 事柄 ヨタムの ところの 行った ではないか それらは 記されて の-上に
H1697 H3147 H0834 H6213 H3808 H1992 H3789

סֵפֶר דִּבְרֵי הַיָּמִים לְמַלְכֵי יְהוּדָה׃
書 事柄の 日々の の-王たちの ユダ
H5612 H1697 H3117 H4428 H3063

ヨタムのその他の事績と彼がしたすべての事は、ユダの王の歴代志の書にしるされているではないか。

37 בַּיָּמִים הָהֵם הֵחֵל יְהוָה לְהַשְׁלִיחַ בִּיהוּדָה אֶת־ רְצִין מֶלֶךְ
の-日に それらの 始めた 主は 送る-ことを ユダに-対して レツィンを 王
H3117 H1992 H2490 H3068 H7971 H3063 H7526 H4428

אֲרָם וְאֶת פֶּקַח בֶּן־ רְמַלְיָהוּ׃
アラムの そして ペカフを の-子 レマルヤフ
H0758 H0853 H6492 H7425

そのころ、主はスリヤの王レヂンとレマリヤの子ペカをユダに攻めこさせられた。

38 וַיִּשְׁכַּב יוֹתָם עִם־ אֲבֹתָיו וַיִּקָּבֵר עִם־ אֲבֹתָיו בְּעִיר דָּוִד
そして-眠った ヨタムは と-共に 先祖たち と-共に そして-葬られた 先祖たち の-町に ダビデ
H7901 H3147 H0854 H0001 H6912 H0854 H0001 H5892 H1732

אָבִיו וַיִּמְלֹךְ תַּחְתָּיו׃ בְּנוֹ אָחָז פ
その-父 そして-王と-なった 彼に-代わって その-子 アハズが —
H0001 H4427 H8478 H1121 H0271

ヨタムは先祖たちと共に眠って、その先祖ダビデの町に先祖たちと共に葬られ、その子アハズが代って王となった。

Chapter 16

1 בִּשְׁנַת שְׁבַע־ עֶשְׂרֵה שָׁנָה לְפֶקַח בֶּן־ רְמַלְיָהוּ מָלַךְ אָחָז בֶּן־
の-年に 十 七 年 ペカフの の-子 レマルヤフ 王と-なった アハズは の-子
H8141 H7651 H6240 H8141 H6492 H7425 H4427 H0271

יוֹתָם מֶלֶךְ יְהוּדָה׃
ヨタム 王 ユダの
H3147 H4428 H3063

2 בֶּן־ עֶשְׂרִים שָׁנָה אָחָז בְּמָלְכוֹ וְשֵׁשׁ־ עֶשְׂרֵה שָׁנָה מָלָךְ
二十 の-子 歳の アハズは 王と-なった-とき そして-十 六 年 治めた
H6242 H8141 H0271 H8141 H8337 H6240 H8141

בִּירוּשָׁלִָם וְלֹא־ עָשָׂה הַיָּשָׁר בְּעֵינֵי יְהוָה אֱלֹהָיו כְּדָוִד
エルサレムで そして-なかった 行わ 正しい-ことを の-目に 主 その-神の ダビデの-ようには
H3389 H3808 H6213 H3477 H5869 H3068 H0430 H1732

אָבִיו׃
その-父
H0001

アハズは王となった時二十歳で、エルサレムで十六年の間、世を治めたが、その神、主の目にかなう事を先祖ダビデのようには行わなかった。

3 וַיֵּלֶךְ בְּדֶרֶךְ מַלְכֵי יִשְׂרָאֵל וְגַם אֶת־ בְּנוֹ הֶעֱבִיר
そして-歩んだ の-道に 王たち イスラエルの そして-また を その-息子を 通らせた
H3212 H1870 H4428 H3478 H1571 H0853 H1121 H5674

מִפְּנֵי אֹתָם יְהוָה הוֹרִישׁ אֲשֶׁר הַגּוֹיִם כְּתֹעֲבוֹת בָּאֵשׁ
の-前から 彼らを 主が 追い-出した ところの 諸国民の の-忌まわしい-ことの-ように 火の-中を
H6440 H0853 H3068 H3423 H0834 H1471 H8441 H0784

בְּנֵי יִשְׂרָאֵל׃
子ら イスラエルの
H1121 H3478

彼はイスラエルの王たちの道に歩み、また主がイスラエルの人々の前から追い払われた異邦人の憎むべきおこないにしたがって、自分の子を火に焼いてささげ物とした。

4 וַיִּזְבַּח וַיְקַטֵּר בַּבָּמוֹת וְעַל־ הַגְּבָעוֹת וְתַחַת
そして-いけにえを-捧げた そして-香を-焚いた 高き-所で そして-の-上で 丘 そして-の-下で
H2076 H6999 H1116 H5921 H1389 H8478

כָּל־ עֵץ רַעֲנָן׃
すべての 木 青い
H3605 H6086 H7488

かつ彼は高き所、また丘の上、すべての青木の下で犠牲をささげ、香をたいた。

5 אָז יַעֲלֶה רְצִין מֶלֶךְ־ אֲרָם וּפֶקַח בֶּן־ רְמַלְיָהוּ מֶלֶךְ־
その-とき 上って-来た レツィンは 王の アラム そして-ペカフは の-子 レマルヤフ 王の
H0227 H5927 H7526 H4428 H0758 H6492 H1121 H7425 H4428

יִשְׂרָאֵל יְרוּשָׁלִַם לַמִּלְחָמָה וַיָּצֻרוּ עַל־ אָחָז וְלֹא יָכְלוּ
イスラエル エルサレムに 戦いの-ために そして-囲んだ を アハズを しかし-なかった できず
H3478 H3389 H4421 H6696 H5921 H0271 H3808 H3201

לְהִלָּחֵם׃
戦う-ことが

そのころ、スリヤの王レヂンおよびレマリヤの子であるイスラエルの王ペカがエルサレムに攻め上って、アハズを囲んだが、勝つことができなかった。

6 בָּעֵת הַהִיא הֵשִׁיב רְצִין מֶלֶךְ־אֲרָם אֶת־אֵילַת לַאֲרָם
その の–時に その 取り戻した レツィンは 王の アラム を エラテを アラムに
H6256 H1931 H7525 H4428 H0758 H0853 H0758

וַיְנַשֵּׁל אֶת־הַיְהוּדִים מֵאֵילוֹת [וארמים] (וַאֲדוֹמִים) בָּאוּ
そして–追い–出した を ユダの–人々を エラテから ―― そして–エドムの–人々が 来た
H5394 H0853 H3064 H0726 H0130 H0935

פ עַד־הַיּוֹם הַזֶּה׃ וַיֵּשְׁבוּ שָׁם עַד אֵילַת
― この 日 まで そこに そして–住んだ エラテに
H2088 H3117 H5704 H8033 H3427

その時エドムの王はエラテを回復してエドムの所領とし、ユダの人々をエラテから追い出した。そしてエドムびとがエラテにきて、そこに住み、今日に至っている。

7 וַיִּשְׁלַח אָחָז מַלְאָכִים אֶל־תִּגְלַת פִּלְאֶסֶר מֶלֶךְ־אַשּׁוּר לֵאמֹר
そして–送った アハズは 使者たちを に ティグラト・ ピレセル 王の アッシリア 言って
H7971 H0271 H4397 H0413 H8407 H8407 H4428 H0804 H0559

עַבְדְּךָ וּבִנְךָ אֲנִי עֲלֵה וְהוֹשִׁעֵנִי
あなたの–しもべで そして–あなたの–息子です わたしは 上って–来て そして–救って–ください
H5650 H0589 H5927 H3467

מִכַּף מֶלֶךְ־אֲרָם וּמִכַּף מֶלֶךְ יִשְׂרָאֵל הַקּוֹמִים עָלָי׃
の–手から 王の アラム そして–の–手から イスラエルの 王 立ち上がっている–者たち わたしに–対して
H3709 H4428 H0758 H3709 H3478 H4428 H6965

そこでアハズは使者をアッスリヤの王テグラテピレセルにつかわして言わせた、「わたしはあなたのしもべ、あなたの子です。スリヤの王とイスラエルの王がわたしを攻め囲んでいます。どうぞ上ってきて、彼らの手からわたしを救い出してください」。

8 וַיִּקַּח אָחָז אֶת־הַכֶּסֶף וְאֶת־הַזָּהָב הַנִּמְצָא בֵּית יְהוָה
そして–取った アハズは を 銀と そして 金を 見つかった の–宮の 主
H3947 H0271 H0853 H3701 H0853 H2091 H4672 H1004 H3068

וּבְאֹצְרוֹת בֵּית הַמֶּלֶךְ וַיִּשְׁלַח לְמֶלֶךְ־אַשּׁוּר שֹׁחַד׃
そして–宝物庫の 家の 王の そして–送った の–王に アッシリア 贈り物として
H0214 H1004 H4428 H7971 H4428 H0804 H7810

そしてアハズは主の宮と王の家の倉にある金と銀をとり、これを贈り物としてアッスリヤの王におくったので、

9 וַיִּשְׁמַע אֵלָיו מֶלֶךְ אַשּׁוּר וַיַּעַל אַשּׁוּר אֶל־דַּמֶּשֶׂק וַיִּתְפְּשֶׂהָ
そして–聞いた 彼に 王は アッシリアの そして–上って–行った 王は アッシリアの に ダマスコ そして–奪った
H8085 H0413 H4428 H5927 H0804 H4428 H0413 H1834 H8610

וַיִּגְלֶהָ קִירָה וְאֶת־רְצִין הֵמִית׃
そして–捕囚に–した キルに そして レツィンを 殺した
H1540 H7024 H0853 H7526 H4191

アッスリヤの王は彼の願いを聞きいれた。すなわちアッスリヤの王はダマスコに攻め上って、これを取り、その民をキルに捕え移し、またレヂンを殺した。

10 וַיֵּ֣לֶךְ הַמֶּ֣לֶךְ אָחָ֗ז לִקְרַ֛את תִּגְלַ֥ת פִּלְאֶ֖סֶר מֶ֣לֶךְ־אַשּׁ֑וּר

そして-行った 王は アハズは 迎える-ために ティグラト・ ピレセル 王の アッシリア
H3212 H4428 H0271 H7125 H8407 H8407 H4428 H0804

וַיַּ֣רְא אֶת־הַמִּזְבַּ֗ח אֲשֶׁ֤ר בְּדַמֶּ֙שֶׂק֙ וַיִּשְׁלַ֣ח הַמֶּ֔לֶךְ אָחָ֖ז

そして-見た を 祭壇を ところの ダマスコに-ある そして-送った 王は アハズは
H7200 H0853 H4196 H0834 H1834 H7971 H4428 H0271

דּוּמָ֑שֶׂק וַיִּשְׁלַ֣ח אוּרִיָּ֣ה הַכֹּהֵ֗ן אֶת־דְּמ֙וּת֙ הַמִּזְבֵּ֔חַ וְאֶת־תַּבְנִיתֹ֖ו לְכָל־מַעֲשֵׂ֥הוּ׃

ダマスコで 送った ウリヤ 祭司の を 図を 祭壇の そして その-構造を すべての その-仕様に-従って
H1834 H7971 H0413 H3548 H0853 H1823 H4196 H0853 H8403 H3605 H4639

アハズ王はアッスリヤの王テグラテピレセルに会おうとダマスコへ行ったが、ダマスコにある祭壇を見たので、アハズ王はその祭壇の作りにしたがって、その詳しい図面と、ひな型とを作って、祭司ウリヤに送った。

11 וַיִּבֶן֙ אוּרִיָּ֣ה הַכֹּהֵ֔ן אֵ֚ת כְּכֹ֔ל אֲשֶׁ֣ר שָׁלַ֔ח הַמֶּ֖לֶךְ אָחָ֑ז

そして-建てた ウリヤは 祭司 を すべての-とおりに ところの 送った 王が アハズが
H1129 H0413 H3548 H0853 H3605 H0834 H7971 H4428 H0271

מִדַּמָּ֔שֶׂק וַיַּעַשׂ֙ אוּרִיָּ֣ה הַכֹּהֵ֔ן עַד־בֹּ֥וא הַמֶּ֖לֶךְ אָחָ֑ז מִדַּמָּֽשֶׂק׃

ダマスコから 行った ウリヤは 祭司 までに 来る 王が アハズが ダマスコから
H1834 H6213 H0259 H5704 H0935 H4428 H0271 H1834

そこで祭司ウリヤはアハズ王がダマスコから送ったものにしたがって祭壇を建てた。すなわち祭司ウリヤはアハズ王がダマスコから帰るまでにそのとおりに作った。

12 וַיָּבֹ֥א הַמֶּ֖לֶךְ מִדַּמֶּ֑שֶׂק וַיַּרְא֙ הַמֶּ֔לֶךְ אֶת־הַמִּזְבֵּ֖חַ וַיִּקְרַ֥ב הַמֶּ֖לֶךְ

そして-来た 王は ダマスコから そして-見た 王は を 祭壇を そして-近づいた 王は
H0935 H4428 H1834 H7200 H4428 H0853 H4196 H7126 H4428

וַיַּ֥עַל עָלָֽיו׃ עַל־הַמִּזְבֵּֽחַ

そして-上った それの-上に の-上に 祭壇
H5927 H5921 H4196

王はダマスコから帰ってきて、その祭壇を見、祭壇に近づいてその上に登り、

13 וַיַּקְטֵ֣ר אֶת־עֹלָתֹ֣ו וְאֶת־מִנְחָתֹ֔ו וַיִּסֵּ֖ךְ אֶת־נִסְכֹּ֑ו וַיִּזְרֹ֗ק אֶת־דַּם־

そして-焚いた を その-燔祈を そして その-穀物-の-供え物を そして-注いだ を その-注ぎの-供え物を そして-振りかけた を 血を
H6999 H0853 H5930 H0853 H4503 H5258 H0853 H5262 H2236 H0853 H1818

הַשְּׁלָמִ֔ים אֲשֶׁ֥ר עַל־מִזְבַּ֖ח׃ לֹ֑ו

和解の-いけにえの ところの の-上に 祭壇 彼の
H8002 H0834 H5921 H4196

燔祭と素祭を焼き、灌祭を注ぎ、酬恩祭の血を祭壇にそそぎかけた。

14 וְאֶת הַמִּזְבַּח הַנְּחֹשֶׁת אֲשֶׁר לִפְנֵי יְהוָה וַיַּקְרֵב מֵאֵת פְּנֵי הַבַּיִת
そして 祭壇を 青銅の ところの 主 の-前に そして-移した から 前 宮の
H0853 H4196 H5178 H3068 H6440 H7126 H0854 H6440 H1004

וַיִּתֵּן אֹתוֹ עַל יֶרֶךְ הַמִּזְבֵּחַ מִבֵּין בֵּית יְהוָה וּמִבֵּין מִזְבַּח הָעוֹלָה וַיִּתֵּן אֶת הַמִּזְבֵּחַ
そして-置いた それを の-傍に 祭壇の 祭壇の 宮の 主の そして-の-間 祭壇の の-間から
H5414 H0853 H5921 H3409 H4196 H1004 H3068 H0996 H4196 H0996

צָפוֹנָה׃
北の
H6828

彼はまた主の前にあった青銅の祭壇を宮の前から移した。すなわちそれを新しい祭壇と主の宮の間から移して、新しい祭壇の北の方にすえた。

15 וַיְצַו (ויצוהו) הַמֶּלֶךְ אָחָז אֶת אוּרִיָּה הַכֹּהֵן לֵאמֹר עַל הַמִּזְבֵּחַ
そして-命じた (—) 王は アハズは を ウリヤ 祭司に 言って の-上で 祭壇
H6680 (H6680) H4428 H0271 H0853 H0223 H3548 H0559 H5921 H4196

הַגָּדוֹל הַקְטֵר אֶת עֹלַת הַבֹּקֶר וְאֶת מִנְחַת הָעֶרֶב וְאֶת עֹלַת הַמֶּלֶךְ
大きい 焚け を 燔祭を 朝の そして 穀物の-供え物を 夕の そして 燔祭を 王の
H1419 H6999 H0853 H5930 H1242 H0853 H4503 H6153 H0853 H5930 H4428

וְאֶת מִנְחָתוֹ וְאֶת מִנְחַת הָאָרֶץ עַם כָּל עֹלַת וְאֶת
そして その-穀物の-供え物を そして 地の 民の すべての 燔祭を そして
H0853 H4503 H0853 H0776 H5971 H3605 H5930 H0853

וְאֶת כָּל דַּם עֹלָה וְכָל דַּם זֶבַח וְכָל דַּם וְנִסְכֵּיהֶם
その-穀物の-供え物を そして すべての 血を 燔祭の すべての 血を いけにえの すべての 血を その-注ぎの-供え物を
H0853 H4503 H3605 H1818 H5930 H3605 H1818 H2077 H3605 H1818 H5262

עָלָיו תִּזְרֹק וּמִזְבַּח הַנְּחֹשֶׁת יִהְיֶה לִי לְבַקֵּר׃ אֲשֶׁר כְּכָל צִוָּה הַמֶּלֶךְ אָחָז׃
それの-上に 振りかけよ そして-祭壇は 青銅の なる-だろう わたしの-ために 尋ねる-ための ところの すべての-とおりに 命じた 王が アハズが
H5921 H2236 H4196 H5178 H1961 H0589 H1239 H0834 H3605 H6680 H4428 H0271

そしてアハズ王は祭司ウリヤに命じて言った、「朝の燔祭と夕の素祭および王の燔祭とその素祭、ならびに国中の民の燔祭とその素祭および灌祭は、この大きな祭壇の上で焼きなさい。また燔祭の血と犠牲の血はすべてこれにそそぎかけなさい。あの青銅の祭壇をわたしは伺いを立てるのに用いよう」。

16 וַיַּעַשׂ אוּרִיָּה הַכֹּהֵן כְּכֹל אֲשֶׁר צִוָּה הַמֶּלֶךְ אָחָז׃
そして-行った ウリヤは 祭司 すべての-とおりに ところの 命じた 王が アハズが
H6213 H0223 H3548 H3605 H0834 H6680 H4428 H0271

祭司ウリヤはアハズ王がすべて命じたとおりにおこなった。

17 וַיְקַצֵּץ הַמֶּלֶךְ אָחָז אֶת הַמִּסְגְּרוֹת הַמְּכֹנוֹת וַיָּסַר
そして-切り-取った 王は アハズは を 枠を 台車の そして-取り-除いた
H7112 H4428 H0271 H0853 H4526 H4350 H5493

מֵעֲלֵיהֶם (ואת) (אֶת) הַכִּיֹּר וְאֶת הַיָּם הוֹרִד מֵעַל הַבָּקָר הַנְּחֹשֶׁת
それらの-上から (—) (を) 洗盤を そして 海を 降ろした の-上から 牛 青銅の
H5921 (H0853) (H0853) H3595 H0853 H3220 H3381 H5921 H1241 H5178

וַיִּתֵּן אֹתוֹ עַל מַרְצֶפֶת אַבְנִים׃ אֲשֶׁר תַּחְתֶּיהָ
そして-置いた それを の-上に 敷石の 石の ところの その-下に-あった
H5414 H0853 H5921 H4837 H0068 H0834 H8478

またアハズ王は台の鏡板を切り取って、洗盤をその上から移し、また海をその下にある青銅の牛の上からおろして、石の座の上にすえ、

18 וְאֶת־ (מוסך) [מיסך] הַשַּׁבָּת אֲשֶׁר־ בָּנוּ בַּבַּיִת וְאֶת־ מְבוֹא הַמֶּלֶךְ
そして 一 覆いの-廚を 安息日の ところの 建てた 宮に そして 入口を 王の
H0853 H4329 H4329 H7676 H1129 H0853 H3996 H4428

הַחִיצוֹנָה הֵסֵב בֵּית יְהוָה מִפְּנֵי מֶלֶךְ אַשּׁוּר׃
外の 向きを-変えた 宮の 主の の-前から 王 アッシリアの
H2435 H5437 H1004 H3068 H6440 H4428 H0804

また宮のうちに造られていた安息日用のおおいのある道、および王の用いる外の入口をアッスリヤの王のために主の宮から除いた。

19 וְיֶתֶר דִּבְרֵי אָחָז אֲשֶׁר עָשָׂה הֲלֹא־ הֵם כְּתוּבִים עַל־
そして-残りの 事柄 アハズの ところの 行った ではないか それらは 記されて の-上に
H3498 H1697 H0271 H0834 H6213 H3808 H1992 H3789

סֵפֶר דִּבְרֵי הַיָּמִים לְמַלְכֵי יְהוּדָה׃
書 事柄の 日々の の-王たちの ユダ
H5612 H1697 H3117 H4428 H3063

アハズのその他の事績は、ユダの王の歴代志の書にしるされているではないか。

20 וַיִּשְׁכַּב אָחָז עִם־ אֲבֹתָיו וַיִּקָּבֵר עִם־ אֲבֹתָיו בְּעִיר דָּוִד
そして-眠った アハズは と-共に 先祖たち そして-葬られた と-共に 先祖たち の-町に ダビデ
H7901 H0271 H0854 H6912 H0854 H5973 H1732

פ תַּחְתָּיו׃ בְּנוֹ חִזְקִיָּהוּ וַיִּמְלֹךְ
一 彼に-代わって その-子 ヒゼキヤフが そして-王と-なった
H8478 H2396 H4427

アハズは先祖たちと共に眠って、ダビデの町にその先祖たちと共に葬られ、その子ヒゼキヤが代って王となった。

Chapter 17

1 בִּשְׁנַת שְׁתֵּים עֶשְׂרֵה לְאָחָז מֶלֶךְ יְהוּדָה מָלַךְ הוֹשֵׁעַ בֶּן־ אֵלָה
の-年に 十 二 アハズの 王 ユダの 王と-なった ホシェアは の-子 エラ
H8141 H8147 H6240 H0271 H4428 H3063 H1954 H0430

בְּשֹׁמְרוֹן עַל־ יִשְׂרָאֵל תֵּשַׁע שָׁנִים׃
サマリヤで の-上に イスラエル 九 年
H8111 H5921 H3478 H8672 H8141

ユダの王アハズの第十二年にエラの子ホセアが王となり、サマリヤで九年の間、イスラエルを治めた。

2 וַיַּעַשׂ הָרַע בְּעֵינֵי יְהוָה רַק לֹא כְּמַלְכֵי יִשְׂרָאֵל אֲשֶׁר
そして-行った 悪を の-目に 主の ただ なかった の-王たちの-ようには イスラエル ところの
H6213 H7451 H5869 H3068 H7535 H3808 H4428 H3478 H0834

הָיוּ לְפָנָיו׃
いた その-前に
H1961 H6440

彼は主の目の前に悪を行ったが、彼以前のイスラエルの王たちのようではなかった。

3 עָלָיו עָלָה שַׁלְמַנְאֶסֶר מֶלֶךְ אַשּׁוּר וַיְהִי־ לוֹ הוֹשֵׁעַ
彼に-対して 上って-来た シャルマネセルは 王 アッシリアの そして-なった 彼に ホシェアは
H5921 H5927 H8022 H4428 H0804 H1961 H0000 H1954

עֶבֶד וַיָּשֶׁב לוֹ מִנְחָה׃
家来 そして-納めた 彼に 貢ぎ物を
H5650 H7725 H0000 H4503

アッスリヤの王シャルマネセルが攻め上ったので、ホセアは彼に隷属して、みつぎを納めたが、

4

אֶל־	מַלְאָכִים	שָׁלַח	אֲשֶׁר	קֶשֶׁר	בְּהוֹשֵׁעַ	אַשּׁוּר	מֶלֶךְ־	וַיִּמְצָא
に	使者を	送っていた	ところの	陰謀を	ホシェアに	アッシリアの	王は	そして-見つけた
H0413	H4397	H7971		H7195	H1954	H0804	H4428	H4672

כְּשָׁנָה	אַשּׁוּר	לְמֶלֶךְ	מִנְחָה	הֶעֱלָה	וְלֹא־	מִצְרַיִם	מֶלֶךְ־	סוֹא
の-ように	アッシリア	の-王に	貢ぎ物を	納め	そして-なかった	エジプト	王の	ソア
H8141	H0804	H4428	H4503	H5927	H3808	H4714	H4428	H5471

כֶּלֶא׃	בֵּית	וַיַּאַסְרֵהוּ	אַשּׁוּר	מֶלֶךְ	וַיַּעַצְרֵהוּ	בְּשָׁנָה
牢獄	の-家に	そして-繋いだ	アッシリアの	王は	そして-捕らえた	年-ごとに
H3608		H0631	H0804	H4428	H6113	H8141

アッスリヤの王はホセアがついに自分にそむいたのを知った。それはホセアが使者をエジプトの王ソにつかわし、また年々納めていたみつぎを、アッスリヤの王に納めなかったからである。そこでアッスリヤの王は彼を監禁し、獄屋につないだ。

5

שֹׁמְרוֹן	וַיַּעַל	הָאָרֶץ	בְּכָל־	אַשּׁוּר	מֶלֶךְ־	וַיַּעַל	
サマリヤに	そして-上って-来た	地	すべての-中を	アッシリアの	王は	そして-上って-来た	
H8111	H5927	H0776	H3605	H0804	H4428	H5927	

שָׁנִים׃	שָׁלֹשׁ	עָלֶיהָ	וַיָּצַר
年	三	それを	そして-囲んだ
H8141	H7969		

そしてアッスリヤの王は攻め上って国中を侵し、サマリヤに上ってきて三年の間、これを攻め囲んだ。

6

שֹׁמְרוֹן	אֶת־	אַשּׁוּר	מֶלֶךְ־	לָכַד	לְהוֹשֵׁעַ	הַתְּשִׁיעִית	בִּשְׁנַת	
サマリヤを	を	アッシリアの	王は	奪った	ホシェアの	九	の-年に	
H8111	H0853	H0804	H4428	H3920	H1954	H8671	H8141	

בְּחַלַח	אֹתָם	וַיֹּשֶׁב	אַשּׁוּרָה	יִשְׂרָאֵל	אֶת־	וַיֶּגֶל	
ハラフと	彼らを	そして-住まわせた	アッシリアに	イスラエルを	を	そして-捕囚に-した	
H2477	H0853	H3427	H0804	H3478	H0853	H1540	

פ	מָדָי׃	וְעָרֵי	גּוֹזָן	נְהַר	וּבְחָבוֹר
—	メディアの	そして-町々に	ゴザン	川の	そして-ハボル
	H4074		H1470	H5104	H2249

ホセアの第九年になって、アッスリヤの王はついにサマリヤを取り、イスラエルの人々をアッスリヤに捕えていって、ハラと、ゴザンの川ハボルのほとりと、メデアの町々においた。

7

אֱלֹהֵיהֶם	לַיהוָה	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי־	חָטְאוּ	כִּי־	וַיְהִי	
その-神	主に-対して	イスラエル	の-子らが	罪を-犯した	なぜなら	そして-あった	
H0430	H3068	H3478		H2398		H1961	

מִצְרָיִם	מֶלֶךְ־	פַּרְעֹה	יַד	מִתַּחַת	מִצְרַיִם	מֵאֶרֶץ	אֹתָם	הַמַּעֲלֶה
エジプト	王の	ファラオ	手の	の-下から	エジプト	の-地から	彼らを	導き-上った-方
H4714	H4428	H6547	H3027	H8478	H4714	H0776	H0853	H5927

אֲחֵרִים׃	אֱלֹהִים	וַיִּירְאוּ	
他の	神々を	そして-恐れた	
H0312	H0430	H3372	

この事が起ったのは、イスラエルの人々が、自分たちをエジプトの地から導き上って、エジプトの王パロの手をのがれさせられたその神、主にむかって罪を犯し、他の神々を敬い、

8 וַיֵּלְכוּ בְּחֻקּוֹת הַגּוֹיִם אֲשֶׁר הוֹרִישׁ יְהוָה מִפְּנֵי בְּנֵי יִשְׂרָאֵל וּבְמַלְכֵי אֲשֶׁר עָשׂוּ׃
そして-歩んだ の-掟に 諸国民 ところの 追い-出した 主が の-前から 子ら イスラエルの そして-王たちの 行った ところの イスラエル
H3212 H2708 H1471 H834 H3423 H3068 H6440 H1121 H3478 H4428 H6213 H834 H3478

主がイスラエルの人々の前から追い払われた異邦人のならわしに従って歩み、またイスラエルの王たちが定めたならわしに従って歩んだからである。

9 וַיְחַפְּאוּ בְנֵי־יִשְׂרָאֵל דְּבָרִים אֲשֶׁר לֹא־כֵן עַל־יְהוָה אֱלֹהֵיהֶם וַיִּבְנוּ לָהֶם בָּמוֹת בְּכָל־עָרֵיהֶם מִמִּגְדַּל נוֹצְרִים עַד־עִיר מִבְצָר׃
そして-隠した の-子らは イスラエル ことを ところの なかった 正しく に-対して 主 そして-建てた 自分たちの-ために 高き-所を すべての-中に その-町々 から 見張りの-塔 まで 町 要塞の
H2644 H1121 H3478 H1697 H834 H3808 H3651 H5921 H3068 H1129 H3820 H1116 H3605 H5892 H4026 H5341 H5704 H5892 H4013

イスラエルの人々はその神、主にむかって正らぬ事をひそかに行い、見張台から堅固な町に至るまで、すべての町々に高き所を建て、

10 וַיַּצֵּבוּ לָהֶם מַצֵּבוֹת וַאֲשֵׁרִים עַל כָּל־גִּבְעָה גְבֹהָה וְתַחַת כָּל־עֵץ רַעֲנָן׃
そして-立てた 自分たちの-ために 石柱と アシェラ像を の-上に すべての 丘 高い そして-の-下に すべての 木 青い
H5324 H3820 H4676 H842 H5921 H3605 H1389 H1364 H8478 H3605 H6086 H7488

またすべての高い丘の上、すべての青木の下に石の柱とアシラ像を立て、

11 וַיְקַטְּרוּ־שָׁם בְּכָל־בָּמוֹת כַּגּוֹיִם אֲשֶׁר־הֶגְלָה יְהוָה מִפְּנֵיהֶם וַיַּעֲשׂוּ דְּבָרִים רָעִים לְהַכְעִיס אֶת־יְהוָה׃
そして-香を-焚いた そこで すべての-中で 高き-所 の-ように ところの 捕囚に-した 主が その-前から そして-行った ことを 悪い 怒らせる-ために を 主を
H6999 H8033 H3605 H1116 H3651 H834 H1540 H3068 H6440 H6213 H1697 H7451 H3707 H853 H3068

主が彼らの前から捕え移された異邦人がしたように、すべての高き所で香をたき、悪事を行って、主を怒らせた。

12 וַיַּעַבְדוּ אֶת־הַגִּלֻּלִים אֲשֶׁר אָמַר יְהוָה לָהֶם לֹא תַעֲשׂוּ אֶת־הַדָּבָר הַזֶּה׃
そして-仕えた 偶像に ところの 言った 主が 彼らに するな を 行う-ことを を ことを この
H5647 H1544 H834 H0559 H3068 H3808 H3808 H6213 H853 H1697 H2088

また主が彼らに「あなたがたはこの事をしてはならない」と言われたのに偶像に仕えた。

13 וַיָּעַד יְהוָה בְּיִשְׂרָאֵל וּבִיהוּדָה בְּיַד כָּל־נְבִיא כָּל־חוזה לֵאמֹר שֻׁבוּ מִדַּרְכֵיכֶם הָרָעִים וְשִׁמְרוּ מִצְוֹתַי חֻקּוֹתַי כְּכָל־הַתּוֹרָה אֲשֶׁר צִוִּיתִי אֶת־אֲבֹתֵיכֶם וַאֲשֶׁר שָׁלַחְתִּי אֲלֵיכֶם בְּיַד עֲבָדַי הַנְּבִיאִים׃

13 そして-警告した 主は イスラエルに そして-ユダに の-手によって すべての 預言者たち
H3068 H3478 H3063 H3027 H3605 H5030
— H5030
先見者
H2374
すべての
H3605
立ち-帰れ 言って
H7725 H0559
悪い
H7451
あなたがたの-道から
H1870
そして-守れ
H8104
わたしの-戒めを
H4687
あなたがたの-先祖たちに
H0001
を
H0853
命じた
H6680
ところの
H0834
律法
H8451
すべての-とおりに
H3605
わたしの-掟を
H2708
預言者たち わたしの-しもべたち の-手によって あなたがたに 遣わした そして-ところの
H5030 H5650 H3027 H0413 H7971

主はすべての預言者、すべての先見者によってイスラエルとユダを戒め、「翻って、あなたがたの悪い道を離れ、わたしがあなたがたの先祖たちに命じ、またわたしのしもべである預言者たちによってあなたがたに伝えたすべての律法のとおりに、わたしの戒めと定めとを守れ」と仰せられたが、

14 וְלֹא שָׁמֵעוּ וַיַּקְשׁוּ אֶת־עָרְפָּם כְּעֹרֶף אֲבוֹתָם אֲשֶׁר לֹא־הֶאֱמִינוּ בַּיהוָה אֱלֹהֵיהֶם׃

14 しかし-なかった 聞か そして-かたくなに-した を その-うなじを の-うなじの-ように
H3808 H8085 H7185 H0853 H6203 H6203
ところの
H0834
その-先祖たち
H0001
信じ なかった
H0539 H3808
主を
H3068
その-神
H0430

彼らは聞きいれず、彼らの先祖たちがその神、主を信じないで、強情であったように、彼らは強情であった。

15 וַיִּמְאָסוּ אֶת־חֻקָּיו וְאֶת־בְּרִיתוֹ אֲשֶׁר כָּרַת אֶת־אֲבוֹתָם וְאֶת־עֵדוֹתָיו אֲשֶׁר הֵעִיד בָּם וַיֵּלְכוּ אַחֲרֵי הַהֶבֶל וַיֶּהְבָּלוּ וְאַחֲרֵי הַגּוֹיִם אֲשֶׁר סְבִיבוֹתָם אֲשֶׁר צִוָּה יְהוָה אֹתָם לְבִלְתִּי עֲשׂוֹת כָּהֶם׃

15 そして-退けた を そして-掟を そして その-契約を ところの 結んだ を その-先祖たちと
H3988 H0853 H2706 H0853 H1285 H0834 H3772 H0853 H0001
そして-歩んだ
H3212
彼らに
H0853
警告した
H5749
ところの
H0834
その-警告を
H5715
そして
H0853
虚しさ
H1892
の-後に
H0310
主が
H3068
命じた
H6680
ところの
H0834
その-周りの
H5439
ところの
H0834
諸国民
H1471
そして-の-後に
H0310
そして-虚しく-なった
H1891
彼らの-ように 行う-ことを するな-と 彼らに
H1115 H0853

そして彼らは主の定めを捨て、主が彼らの先祖たちと結ばれた契約を破り、また彼らに与えられた警告を軽んじ、かつむなしい偶像に従ってむなしくなり、また周囲の異邦人に従った。これは主が、彼らのようにおこなってはならないと彼らに命じられたものである。

16 וַיַּעַזְבוּ אֶת־כָּל־מִצְוֹת יְהוָה אֱלֹהֵיהֶם וַיַּעֲשׂוּ לָהֶם מַסֵּכָה שְׁנֵי [שנים] עֲגָלִים וַיַּעַשׂ אֲשֵׁרָה וַיִּשְׁתַּחֲוּ לְכָל־צְבָא הַשָּׁמַיִם וַיַּעֲבֹד אֶת־הַבָּעַל׃

16 そして-捨てた を すべての 戒めを 主 その-神の 自分たちの-ために
H5800 H0853 H3605 H4687 H3068 H0430 H3335
そして-作った
H6213
鋳像を
H4541
— 二つの
H8147 H8147
子牛を
H5695
そして-作った
H6213
アシェラ像を
H0842
そして-ひれ-伏した
H7812
すべての-に
H3605
天の
H8064
軍勢
H6635
を
H0853
そして-仕えた
H5647
バアルに
H1168

彼らはその神、主のすべての戒めを捨て、自分のために二つの子牛の像を鋳て造り、またアシラ像を造り、天の万象を拝み、かつバアルに仕え、

17 וַיַּעֲבִירוּ אֶת־בְּנֵיהֶם וְאֶת־בְּנוֹתֵיהֶם בָּאֵשׁ וַיִּקְסְמוּ קְסָמִים וַיְנַחֲשׁוּ וַיִּתְמַכְּרוּ לַעֲשׂוֹת הָרַע בְּעֵינֵי יְהוָה לְהַכְעִיסוֹ׃

וַיַּעֲבִירוּ	אֶת־	בְּנֵיהֶם	וְאֶת־	בְּנוֹתֵיהֶם	בָּאֵשׁ	וַיִּקְסְמוּ	קְסָמִים	
そして–通らせた	を	その–息子たちを	そして	その–娘たちを	火の–中を	そして–用いた	占いを	
H5674	H0853	H1121	H0853	H1323	H0784	H7080	H7081	

וַיְנַחֲשׁוּ	וַיִּתְמַכְּרוּ	לַעֲשׂוֹת	הָרַע	בְּעֵינֵי	יְהוָה	לְהַכְעִיסוֹ׃
そして–まじないを–した	そして–売り–渡した	行う–ために	悪を	の–目に	主の	怒らせる–ために
H5172	H4376	H6213	H7451	H5869	H3068	H3707

またそのむすこ、娘を火に焼いてささげ物とし、占いおよびまじないをなし、主の目の前に悪をおこなうことに身をゆだねて、主を怒らせた。

18 וַיִּתְאַנַּף יְהוָה מְאֹד בְּיִשְׂרָאֵל וַיְסִרֵם מֵעַל פָּנָיו לֹא נִשְׁאַר רַק שֵׁבֶט יְהוּדָה לְבַדּוֹ׃

וַיִּתְאַנַּף	יְהוָה	מְאֹד	בְּיִשְׂרָאֵל	וַיְסִרֵם	מֵעַל	פָּנָיו	לֹא	נִשְׁאַר
そして–怒った	主は	非常に	イスラエルに–対して	そして–退けた	から	御前	なかった	残ら
H0599	H3068	H3966	H3478	H5493	H6440	H6440	H3808	H7604

רַק	שֵׁבֶט	יְהוּדָה	לְבַדּוֹ׃	
ただ	部族のみ	ユダの	それだけ	
H7535	H7626	H3063	H0905	

それゆえ、主は大いにイスラエルを怒り、彼らをみ前から除かれたので、ユダの部族のほか残った者はなかった。

19 גַּם־יְהוּדָה לֹא שָׁמַר אֶת־מִצְוֹת יְהוָה אֱלֹהֵיהֶם וַיֵּלְכוּ בְּחֻקּוֹת אֲשֶׁר עָשׂוּ׃

גַּם־	יְהוּדָה	לֹא	שָׁמַר	אֶת־	מִצְוֹת	יְהוָה	אֱלֹהֵיהֶם	וַיֵּלְכוּ	בְּחֻקּוֹת
また	ユダも	なかった	守ら	を	戒めを	主	その–神の	そして–歩んだ	の–掟に
H1571	H3063	H3808	H8104	H0853	H4687	H3068	H0430	H3212	H2708

אֲשֶׁר	עָשׂוּ׃	
ところの	行った	
H3478		

ところがユダもまたその神、主の戒めを守らず、イスラエルが定めたならわしに歩んだので、

20 וַיִּמְאַס יְהוָה בְּכֹל־זֶרַע יִשְׂרָאֵל וַיְעַנֵּם וַיִּתְּנֵם בְּיַד־שֹׁסִים עַד אֲשֶׁר הִשְׁלִיכָם מִפָּנָיו׃

וַיִּמְאַס	יְהוָה	בְּכֹל־	זֶרַע	יִשְׂרָאֵל	וַיְעַנֵּם	וַיִּתְּנֵם	בְּיַד־	
そして–退けた	主は	すべての	子孫を	イスラエルの	そして–苦しめた	そして–渡した	の–手に	
H3988	H3068	H3605	H2233	H3478	H6031	H5414	H3027	

שֹׁסִים	עַד	אֲשֶׁר	הִשְׁלִיכָם	מִפָּנָיו׃	
略奪者たち	まで	ところの	投げ捨てた	御前から	
H8154	H5704	H3588	H7993	H6440	

主はイスラエルの子孫をことごとく捨て、彼らを苦しめ、彼らを略奪者の手にわたして、ついに彼らをみ前から打ちすてられた。

21 כִּי־קָרַע יִשְׂרָאֵל מֵעַל בֵּית דָּוִד וַיַּמְלִיכוּ אֶת־יָרָבְעָם בֶּן־נְבָט (וירא) וַיַּדַּח יִשְׂרָאֵל אֶת־יָרָבְעָם וַיַּחֲטֵא חֲטָאָה גְדוֹלָה׃

כִּי־	קָרַע	יִשְׂרָאֵל	מֵעַל	בֵּית	דָּוִד	וַיַּמְלִיכוּ	אֶת־	יָרָבְעָם	בֶּן־	נְבָט	(וירא)	וַיַּדַּח
なぜなら	引き–裂いた	イスラエルは	から	家	ダビデの	そして–王と–した	を	ヤロブアムは	の–子	ネバテ	—	そして–引き–離した
H3588	H7167	H3478	H5921	H1004	H1732	H4427	H0853	H3379	H1121	H5028	H7200	H5080

יִשְׂרָאֵל	אֶת־	יָרָבְעָם	וַיַּחֲטֵא	חֲטָאָה	גְדוֹלָה׃	
イスラエルを	を	ヤロブアムを	そして–罪を–犯させた	罪を	大きな	
H3478	H0853	H3379	H2398	H2401		

וְהַחֲטִיאָם	יְהוָה	מֵאַחֲרֵי
そして–罪を–犯させた	主	の–後から
H2398	H3068	

主はイスラエルをダビデの家から裂き離されたので、イスラエルはネバテの子ヤラベアムを王としたが、ヤラベアムはイスラエルに、主に従うことをやめさせ、大きな罪を犯させた。

22 וַיֵּלְכוּ֙ בְּנֵ֣י יִשְׂרָאֵ֔ל בְּכָל־ חַטֹּ֥את יָרָבְעָ֖ם אֲשֶׁ֣ר עָשָׂ֑ה לֹא־ סָ֥רוּ מִמֶּ֖נָּה׃
そして-歩んだ の-子らは イスラエル すべての-中を 罪 ヤロブアムの ところの 行った
H3212 H1121 H3478 H3605 H2403 H3379 H834 H6213
それから 離れ なかった
H4480 H5493 H3808

イスラエルの人々がヤラベアムのおこなったすべての罪をおこない続けて、それを離れなかったので、

23 עַד־ אֲשֶׁר֩ הֵסִ֨יר יְהוָ֜ה אֶת־ יִשְׂרָאֵ֗ל מֵעַל֙ פָּנָ֔יו כַּאֲשֶׁ֣ר דִּבֶּ֔ר בְּיַד֙ כָּל־ עֲבָדָ֖יו הַנְּבִיאִ֑ים וַיִּגֶל֩ יִשְׂרָאֵ֨ל מֵעַ֜ל אַדְמָתּ֗וֹ אַשּׁוּרָה֙ הַיּ֣וֹם הַזֶּ֔ה׃ פ
まで ところの 退けた 主が を イスラエルを から 御前 の-とおりに 語った
H5704 H834 H5493 H3068 H853 H3478 H4480 H6440 H834 H1696
の-手によって すべての その-しもべたち 預言者たち 捕囚に-された そして-イスラエルは から
H3027 H3605 H5650 H5030 H1540 H3478 H4480
その-地 アッシリアに まで 日 この —
H0127 H0804 H5704 H3117 H2088

ついに主はそのしもべである預言者たちによって言われたように、イスラエルをみ前から除き去られた。こうしてイスラエルは自分の国からアッスリヤに移されて今日に至っている。

24 וַיָּבֵ֣א מֶֽלֶךְ־ אַשּׁ֗וּר מִבָּבֶל֙ וּמִכּוּתָ֔ה וּמֵעַוָּ֖א וּמִסְפַרְוַ֑יִם וַיֹּ֣שֶׁב בְּעָרֵ֣י שֹׁמְר֔וֹן תַּ֖חַת בְּנֵ֣י יִשְׂרָאֵ֑ל וַיִּרְשׁ֣וּ אֶת־ שֹׁמְר֔וֹן וַיֵּשְׁב֖וּ בְּעָרֶֽיהָ׃
そして-連れて-来た 王は アッシリアの バビロンから そして-クタから そして-アワから
H0935 H4428 H0804 H0894 H3575 H5755
そして-ハマテから そして-セファルワイムから そして-住まわせた の-町々に サマリヤ の-代わりに
H2574 H5617 H3427 H5892 H8111 H8478
その-町々に そして-住んだ サマリヤを を そして-所有した イスラエルの 子ら
H5892 H3427 H8111 H853 H3423 H3478 H1121

かくてアッスリヤの王はバビロン、クタ、アワ、ハマテおよびセパルワイムから人々をつれてきて、これをイスラエルの人々の代りにサマリヤの町々におらせたので、その人々はサマリヤを領有して、その町々に住んだ。

25 וַיְהִי֙ בִּתְחִלַּ֣ת שִׁבְתָּ֔ם שָׁ֖ם לֹ֣א יָרְא֣וּ אֶת־ יְהוָ֑ה וַיְשַׁלַּ֤ח יְהוָה֙ בָּהֶ֔ם וַיְהִ֥י הֹרְגִ֖ים בָּהֶֽם׃
そして-あった の-初めに その-住まい なかった 恐れ を 主を そして-送った
H1961 H8462 H7931 H3808 H3372 H853 H3068 H7971
そして-いた 殺して 獅子を を 彼らの-中に 主は
H1961 H2026 H738 H853 H8432 H3068

彼らがそこに住み始めた時、主を敬うことをしなかったので、主は彼らのうちにししを送り、ししは彼らのうちの数人を殺した。

וַתּוֹשֶׁב הִגְלִיתָ אֲשֶׁר הַגּוֹיִם לֵאמֹר אַשּׁוּר לְמֶלֶךְ וַיֹּאמְרוּ 26
そして-住まわせた 捕囚に-した ところの 諸国民は 言って アッシリア の-王に そして-言った
H3427 H1540 H0559 H0804 H4428 H0559

אֶת־ בָּם וַיְשַׁלַּח־ הָאָרֶץ אֱלֹהֵי מִשְׁפַּט אֶת־ יֵדְעוּ לֹא שֹׁמְרוֹן בְּעָרֵי
を 彼らの-中に そして-送った 地の 神の 定めを を 知ら ない サマリヤ の-町々に
H0853 H7971 H0776 H0430 H4941 H0853 H3045 H3808 H8111

אֱלֹהֵי מִשְׁפַּט אֶת־ יֹדְעִים אֵינָם כַּאֲשֶׁר אוֹתָם מְמִיתִים וְהִנָּם הָאֲרָיוֹת
神の 定めを を 知ら ない の-ように 彼らを 殺している そして-見よ-それらは 獅子を
H0430 H4941 H0853 H3045 H0369 H0853 H4191 H2009

הָאָרֶץ׃
地の
H0776

そこで人々はアッスリヤの王に告げて言った、「あなたが移してサマリヤの町々におらせられたあの国々の民は、その地の神のおきてを知らないゆえに、その神は彼らのうちにししを送り、ししは彼らを殺した。これは彼らが、その地の神のおきてを知らないためです」。

מֵהַכֹּהֲנִים אֶחָד שָׁמָּה הֹלִיכוּ לֵאמֹר אַשּׁוּר מֶלֶךְ־ וַיְצַו 27
祭司たちの-中から 一人の そこに 連れて-行け 言って アッシリアの 王は そして-命じた
H3548 H0259 H8033 H3212 H0559 H0804 H4428 H6680

אֶת־ וְיֹרֻם שָׁם וְיֵשֵׁבוּ וְיֵלְכוּ מִשָּׁם הִגְלִיתֶם אֲשֶׁר
を そして-教えさせよ そこに そして-住まわせよ そして-行かせ そこから 捕囚に-した ところの
H0853 H8033 H3427 H3212 H8033 H1540

הָאָרֶץ׃ אֱלֹהֵי מִשְׁפַּט
地の 神の 定めを
H0776 H0430 H4941

アッスリヤの王は命じて言った、「あなたがたがあそこから移した祭司のひとりをあそこへ連れて行きなさい。彼をあそこへやって住まわせ、その国の神のおきてをその人々に教えさせなさい」。

וַיֵּשֶׁב מִשֹּׁמְרוֹן הִגְלוּ אֲשֶׁר מֵהַכֹּהֲנִים אֶחָד וַיָּבֹא 28
そして-住んだ サマリヤから 捕囚に-した ところの 祭司たちの-中から 一人の そして-来た
H3427 H8111 H1540 H3548 H0259 H0935

יְהוָה׃ אֶת־ יִירְאוּ אֵיךְ אוֹתָם מוֹרֶה וַיְהִי בְּבֵית־אֵל
主を を 恐れる-べきかを いかに 彼らに 教えて そして-いた ベテルに
H3068 H0853 H3372 H0853 H1961 H1008

そこでサマリヤから移された祭司のひとりが来てベテルに住み、どのように主を敬うべきかを彼らに教えた。

אֲשֶׁר הַבָּמוֹת בְּבֵית וַיַּנִּיחוּ אֱלֹהָיו גּוֹי גּוֹי עֹשִׂים וַיִּהְיוּ 29
ところの 高き-所 の-宮に そして-置いた その-神々を 国民ごとに 国民が 作って そして-いた
H1116 H3240 H0430 H1961

שָׁם׃ יֹשְׁבִים הֵם אֲשֶׁר בְּעָרֵיהֶם גּוֹי גּוֹי הַשֹּׁמְרֹנִים עָשׂוּ
そこに 住んでいた 彼らが ところの その-町々に 国民ごとに 国民が サマリヤの-人々が 作った
H8033 H3427 H1992 H8118

しかしその民はおのおの自分の神々を造って、それをサマリヤびとが造った高き所の家に安置した。民は皆住んでいる町々でそのようにおこなった。

עָשׂוּ כֻּוּת וְאַנְשֵׁי־ בָּבֶל עָשׂוּ אֶת־ סֻכּוֹת בְּנוֹת וְאַנְשֵׁי 30
作った クタの そして-人々は ベノトを スコト・ を 作った バビロンの そして-人々は
H3575 H0376 H5524 H5524 H0853 H0894 H0376

אֶת־ נֶרְגַּל וְאַנְשֵׁי חֲמָת עָשׂוּ אֶת־ אַשִׁימָא׃
を ネルガルを そして-人々は ハマテの 作った を アシマを
H0853 H5370 H0376 H2574 H0853 H0807

すなわちバビロンの人々はスコテ・ベノテを造り、クタの人々はネルガルを造り、ハマテの人々はアシマを造り、

וְהַסְּפַרְוִים תַּרְתָּק וְאֶת־ נִבְחַז עָשׂוּ וְהָעַוִּים 31
そして-セファルワイムの-人々は タルタクを そして ニブハズと 作った そして-アワの-人々は
H5616 H8662 H0853 H5026 H5757

[ספרים] (אֱלֹהֵי) [אלה] וַעֲנַמֶּלֶךְ לְאַדְרַמֶּלֶךְ בָּאֵשׁ בְּנֵיהֶם אֶת־ שְׂרְפִים
— 神々に — アナメレクに アドラメレクと 火で その-子らを を 焚いていた
H5617 H0433 H0433 H6048 H0152 H0784 H0853 H8313

(סְפַרְוָיִם)׃
セファルワイムの
H5617

アワの人々はニブハズとタルタクを造り、セパルワイムびとはその子を火に焼いて、セパルワイムの神アデランメレクおよびアナンメレクにささげた。

כֹּהֲנֵי מִקְצוֹתָם לָהֶם וַיַּעֲשׂוּ יְהוָה אֶת־ יְרֵאִים וַיִּהְיוּ 32
祭司として 一部の-者を 自分たちの-中から そして-任命した 主を を 恐れて そして-いた
H3548 H7098 H1992 H3068 H0853 H3372 H1961

הַבָּמוֹת׃ בְּבֵית לָהֶם עֹשִׂים וַיִּהְיוּ בָּמוֹת
高き-所の の-宮で 自分たちの-ために 仕えて そして-いた 高き-所の
H1116 H1992 H1961 H1116

彼はまた主を敬い、自分たちのうちから一般の民を立てて高き所の祭司としたので、その人々は高き所の家で勤めをした。

הַגּוֹיִם כְּמִשְׁפַּט עֹבְדִים הָיוּ אֱלֹהֵיהֶם וְאֶת־ יְרֵאִים הָיוּ יְהוָה אֶת־ 33
諸国民 の-定めの-とおりに 仕えて いた その-神々にも そして 恐れて いた 主を を
H4941 H5647 H1961 H0430 H0853 H3372 H1961 H3068 H0853

מִשָּׁם׃ אֹתָם הִגְלוּ אֲשֶׁר־
そこから 彼らを 捕囚に-した ところの
H8033 H0853 H1540

このように彼らは主を敬ったが、また彼らが出てきた国々のならわしにしたがって、自分たちの神々にも仕えた。

אֶת־ יְרֵאִים אֵינָם הָרִאשֹׁנִים כַּמִּשְׁפָּטִים עֹשִׂים הֵם הַזֶּה הַיּוֹם עַד 34
を 恐れて ない 以前の の-定めの-とおりに 行っている 彼らは この 日 まで
H0853 H3372 H0369 H7223 H4941 H1992 H2088 H3117 H5704

וְכַתּוֹרָה וּכְמִשְׁפָּטָם כְּחֻקָּתָם עֹשִׂים וְאֵינָם יְהוָה
そして-律法の-とおりにも その-定めの-とおりにも その-掟の-とおりにも 行って そして-ない 主を
H8451 H4941 H2708 H0369 H3068

שָׂם אֲשֶׁר־ יַעֲקֹב בְּנֵי אֶת־ יְהוָה צִוָּה אֲשֶׁר וְכַמִּצְוָה
置いた ところの ヤコブの 子らに を 主が 命じた ところの そして-戒めの-とおりにも
H3290 H0853 H3068 H6680 H4687

שְׁמוֹ יִשְׂרָאֵל׃
その-名を イスラエルと
H8034 H3478

今日に至るまで彼らは先のならわしにしたがっておこなっている。彼らは主を敬わず、また主がイスラエルと名づけられたヤコブの子孫に命じられた定めにも、おきてにも、律法にも、戒めにも従わない。

35 וַיִּכְרֹת יְהוָה אִתָּם בְּרִית וַיְצַו אֹתָם לֵאמֹר לֹא תִירְאוּ אֱלֹהִים אֲחֵרִים
そして–結んだ 主は 彼らと 契約を そして–命じた 言って するな 恐れては 神々を 他の
H3772 H3068 H0854 H1285 H6680 H0559 H3808 H3372 H0430 H0312

וְלֹא תִשְׁתַּחֲווּ לָהֶם וְלֹא תַעַבְדוּם וְלֹא תִזְבְּחוּ לָהֶם׃
そして–するな ひれ–伏しては 彼らに そして–するな 仕えては そして–するな いけにえを–捧げては 彼らに
H3808 H7812 H3808 H5647 H3808 H2076

主はかつて彼らと契約を結び、彼らに命じて言われた、「あなたがたは他の神々を敬ってはならない。また彼らを拝み、彼らに仕え、彼らに犠牲をささげてはならない。

36 כִּי אִם בְּכֹחַ גָּדוֹל וּבִזְרוֹעַ נְטוּיָה אֹתוֹ תִירָאוּ וְלוֹ תִשְׁתַּחֲווּ
ただ のみ を 主は ところの 導き–上った 定めと 木の–地から エジプト の–力と
H3068 H0853 H5927 H0834 H4714 H0776

וְלוֹ תִזְבָּחוּ׃
そして–その–方に いけにえを–捧げよ
H2076

ただ大きな力と伸べた腕とをもって、あなたがたをエジプトの地から導き上った主をのみ敬い、これを拝み、これに犠牲をささげなければならない。

37 וְאֶת הַחֻקִּים וְאֶת הַמִּשְׁפָּטִים וְהַתּוֹרָה וְהַמִּצְוָה אֲשֶׁר כָּתַב
そして 掟と そして 定めと そして–律法と そして–戒めを ところの 書いた
H0853 H2706 H0853 H4941 H8451 H4687 H0834 H3789

לָכֶם תִּשְׁמְרוּן לַעֲשׂוֹת כָּל הַיָּמִים וְלֹא תִירְאוּ אֱלֹהִים אֲחֵרִים׃
あなたがたの–ために 守れ 行う–ために すべての 日々 そして–するな 恐れては 神々を 他の
H8104 H6213 H3605 H3117 H3808 H3372 H0430 H0312

またあなたがたのために書きしるされた定めと、おきてと、律法と、戒めとを、慎んで常に守らなければならない。他の神々を敬ってはならない。

38 וְהַבְּרִית אֲשֶׁר כָּרַתִּי אִתְּכֶם לֹא תִשְׁכָּחוּ וְלֹא תִירְאוּ אֱלֹהִים אֲחֵרִים׃
そして–契約を ところの 結んだ あなたがたと するな 忘れては そして–するな 恐れては 神々を 他の
H1285 H0834 H3772 H0854 H3808 H7911 H3808 H3372 H0430 H0312

わたしがあなたがたと結んだ契約を忘れてはならない。また他の神々を敬ってはならない。

יַצִּיל וְהוּא תִּירְאוּ אֱלֹהֵיכֶם יְהוָה אֶת־ אִם־ כִּי 39
救う–だろう そうすれば–その–方が 恐れよ あなたがたの–神を 主 を のみ ただ
H5337 H1931 H3372 H0430 H3068 H0853

אֹיְבֵיכֶם׃ כֹּל־ מִיַּד אֶתְכֶם
あなたがたの–敵 すべての の–手から あなたがたを
H0341 H3605 H3027 H0853

ただあなたがたの神、主を敬わなければならない。主はあなたがたをそのすべての敵の手から救い出されるであろう」。

עֹשִׂים׃ הֵם הָרִאשׁוֹן כְּמִשְׁפָּטָם אִם־ כִּי שָׁמְעוּ וְלֹא 40
行っている 彼らは 以前の の–定めの–とおりに のみ ただ 聞か しかし–なかった
H1992 H7223 H4941 H8085 H3808

しかし彼らは聞きいれず、かえって先のならわしにしたがっておこなった。

עֹבְדִים הָיוּ פְּסִילֵיהֶם וְאֶת־ יְהוָה אֶת־ יְרֵאִים הָאֱלֶה הַגּוֹיִם וַיִּהְיוּ 41
仕えて いた その–偶像にも そして 主を を 恐れて これらの 諸国民は そして–いた
H5647 H1961 H6456 H0853 H3068 H0853 H3372 H0428 H1961

הֵם אֲבֹתָם עָשׂוּ כַּאֲשֶׁר בְּנֵיהֶם וּבְנֵי וּבְנֵיהֶם גַּם־
彼らは その–先祖たちが 行った の–ように その–子らの そして–の–子ら その–子らも また
H1992 H0001 H1571

עֹשִׂים עַד הַיּוֹם הַזֶּה׃ פ
行っている まで 日 この —
H5704 H3117 H2088

このように、これらの民は主を敬い、またその刻んだ像にも仕えたが、その子たちも、孫たちも同様であって、彼らはその先祖がおこなったように今日までおこなっている。

Chapter 18

מָלַךְ יִשְׂרָאֵל מֶלֶךְ אֵלָה בֶּן־ לְהוֹשֵׁעַ שָׁלֹשׁ בִּשְׁנַת וַיְהִי 1
王と–なった イスラエルの 王 エラ の–子 ホシェアの 三 の–年に そして–あった
H3478 H4428 H0425 H1954 H7969 H8141 H1961

יְהוּדָה׃ מֶלֶךְ אָחָז בֶּן־ חִזְקִיָּה
ユダの 王 アハズ の–子 ヒゼキヤは
H3063 H4428 H0271 H2396

イスラエルの王エラの子ホセアの第三年にユダの王アハズの子ヒゼキヤが王となった。

מָלָךְ שָׁנָה וְתִשַׁע וְעֶשְׂרִים בְּמָלְכוֹ הָיָה שָׁנָה וְחָמֵשׁ עֶשְׂרִים בֶּן־ 2
治めた 年 と–九 そして–二十 王と–なった–とき であった 歳の と–五 二十 の–子
H8141 H8672 H6242 H1961 H8141 H2568 H6242

זְכַרְיָה׃ בַּת־ אֲבִי אִמּוֹ וְשֵׁם בִּירוּשָׁלָם
ゼカルヤ の–娘 アビ その–母の そして–名は エルサレムで
H1323 H0021 H0517 H8034 H3389

彼は王となった時二十五歳で、エルサレムで二十九年の間、世を治めた。その母はゼカリヤの娘で、名をアビといった。

3 וַיַּעַשׂ הַיָּשָׁר בְּעֵינֵי יְהוָה כְּכֹל אֲשֶׁר־
そして–行った 正しい–ことを の–目に 主の すべての–ように ところの
H3477 H3068 H3605

עָשָׂה דָּוִד אָבִיו׃
行った ダビデが その–父
H1732 H0001

ヒゼキヤはすべて先祖ダビデがおこなったように主の目にかなう事を行い、

4 וְהוּא הֵסִיר אֶת־הַבָּמוֹת וְשִׁבַּר אֶת־הַמַּצֵּבֹת וְכָרַת אֶת־
彼は 取り–除いた を 高き–所を そして–砕いた を 石柱を そして–切り–倒した を
H1931 H5493 H0853 H1116 H7665 H0853 H4676 H3772 H0853

הָאֲשֵׁרָה וְנִתַּץ נְחַשׁ הַנְּחֹשֶׁת אֲשֶׁר־עָשָׂה מֹשֶׁה כִּי עַד־
アシェラ像を そして–打ち–砕いた 蛇を 青銅の ところの 作った モーセが なぜなら まで
H0842 H3807 H5175 H4872 H5704

הַיָּמִים הָהֵמָּה הָיוּ בְנֵי־יִשְׂרָאֵל מְקַטְּרִים לוֹ וַיִּקְרָא־לוֹ
日々 それらの いた の–子らは イスラエル 香を–焚いて それに そして–呼んだ それを
H3117 H1992 H1961 H3478 H7121

נְחֻשְׁתָּן׃
ネフシュタンと
H5180

高き所を除き、石柱をこわし、アシラ像を切り倒し、モーセの造った青銅のへびを打ち砕いた。イスラエルの人々はこの時までそのへびに向かって香をたいていたからである。人々はこれをネホシタンと呼んだ。

5 בַּיהוָה אֱלֹהֵי־יִשְׂרָאֵל בָּטָח וְאַחֲרָיו לֹא־הָיָה כָמֹהוּ
主に 神の イスラエル 信頼した そして–その–後に なかった い 彼の–ような–者は
H3068 H0430 H3478 H0982 H3808 H1961 H3644

בְּכֹל מַלְכֵי יְהוּדָה וַאֲשֶׁר הָיוּ לְפָנָיו׃
すべての–中に 王たち ユダの そして–ところの いた その–前に
H3605 H4428 H3063 H1961 H6440

ヒゼキヤはイスラエルの神、主に信頼した。そのために彼のあとにも彼の先にも、ユダのすべての王のうちに彼に及ぶ者はなかった。

6 וַיִּדְבַּק בַּיהוָה לֹא־סָר מֵאַחֲרָיו וַיִּשְׁמֹר מִצְוֹתָיו אֲשֶׁר־
そして–すがった 主に なかった 離れ その–後から そして–守った その–戒めを ところの
H1692 H3068 H3808 H5493 H8104 H4687

צִוָּה יְהוָה אֶת־מֹשֶׁה׃
命じた 主が を モーセに
H6680 H3068 H0853 H4872

すなわち彼は固く主に従って離れることなく、主がモーセに命じられた命令を守った。

7 וַיְהִי יְהוָה עִמּוֹ בְּכֹל אֲשֶׁר־יֵצֵא יַשְׂכִּיל וַיִּמְרֹד
そして–いた 主は 共に 彼と すべての–中で ところの 出て–行く 成功した そして–反逆した
H1961 H3068 H3605 H3318 H7919 H4775

בְּמֶלֶךְ־אַשּׁוּר וְלֹא עָבָדוֹ׃
の–王に アッシリア そして–なかった 仕え
H4428 H0804 H3808 H5647

主が彼と共におられたので、すべて彼が出て戦うところで功をあらわした。彼はアッスリヤの王にそむいて、彼に仕えなかった。

8 הוּא־ הִכָּה אֶת־ פְּלִשְׁתִּים עַד־ עַזָּה וְאֶת־ גְּבוּלֶיהָ מִמִּגְדַּל נוֹצְרִים
彼は 打った を ペリシテ人を まで ガザ そして その-領域を から 見張りの-塔
H1931 H5221 H0853 H6430 H5704 H5804 H0853 H1366 H4026 H5341

עַד־ עִיר מִבְצָר׃ פ
まで 町 要塞の
H5704 H4013

彼はペリシテびとを撃ち敗って、ガザとその領域にまで達し、見張台から堅固な町にまで及んだ。

9 וַיְהִי בַּשָּׁנָה הָרְבִיעִית לַמֶּלֶךְ חִזְקִיָּהוּ הִיא הַשָּׁנָה הַשְּׁבִיעִית לְהוֹשֵׁעַ
そして-あった の-年に 四 の-王の ヒゼキヤフ それは 年の 七 ホシェアの
H1961 H8141 H7243 H4428 H2396 H1931 H8141 H7637 H1954

בֶּן־ אֵלָה מֶלֶךְ יִשְׂרָאֵל עָלָה שַׁלְמַנְאֶסֶר מֶלֶךְ־ אַשּׁוּר עַל־
の-子 エラ 王 イスラエルの 上って-来た シャルマネセルは 王の アッシリア に-対して
H0425 H4428 H3478 H5927 H8022 H4428 H0804

שֹׁמְרוֹן וַיָּצַר עָלֶיהָ׃
サマリヤ そして-囲んだ それを
H8111

ヒゼキヤ王の第四年すなわちイスラエルの王エラの子ホセアの第七年に、アッスリヤの王シャルマネセルはサマリヤに攻め上って、これを囲んだが、

10 וַיִּלְכְּדָהּ מִקְצֵה שָׁלֹשׁ שָׁנִים בִּשְׁנַת־ שֵׁשׁ לְחִזְקִיָּה הִיא שְׁנַת־ תֵּשַׁע
そして-奪った の-終わりに 三 年に 六 ヒゼキヤの それは 年の 九
H3920 H7969 H8141 H8337 H2396 H1931 H8141 H8672

שֹׁמְרוֹן׃ נִלְכְּדָה יִשְׂרָאֵל מֶלֶךְ לְהוֹשֵׁעַ
サマリヤは 奪われた イスラエルの 王 ホシェアの
H8111 H3920 H3478 H4428 H1954

三年の後ついにこれを取った。サマリヤが取られたのはヒゼキヤの第六年で、それはイスラエルの王ホセアの第九年であった。

11 וַיַּגֶל מֶלֶךְ־ אַשּׁוּר אֶת־ יִשְׂרָאֵל אַשּׁוּרָה וַיַּנַּחֵם
そして-捕囚に-した 王は アッシリアの を イスラエルを アッシリアに そして-住まわせた
H1540 H4428 H0804 H0853 H3478 H0804 H5148

בְּחַלַח וּבְחָבוֹר נְהַר גּוֹזָן וְעָרֵי מָדָי׃
ハラフと そして-ハボル 川の ゴザン そして-町々に メディアの
H2477 H2249 H5104 H1470 H5892 H4074

アッスリヤの王はイスラエルの人々をアッスリヤに捕えていって、ハラと、ゴザンの川ハボルのほとりと、メデアの町々に置いた。

12 עַל אֲשֶׁר לֹא־ שָׁמְעוּ בְּקוֹל יְהוָה אֱלֹהֵיהֶם וַיַּעַבְרוּ אֶת־
の-ゆえに ところの なかった 聞か の-声に 主 その-神の そして-破った を
H8085 H3808 H3068 H0430 H5674 H0853

כָּל־ אֲשֶׁר צִוָּה מֹשֶׁה עֶבֶד יְהוָה וְלֹא שָׁמְעוּ וְלֹא עָשׂוּ׃ פ
すべての ところの 命じた モーセが しもべ 主の そして-なかった 聞か その-契約を を
H3605 H6680 H4872 H5650 H3068 H3808 H8085 H1285 H0853

そして-なかった 行わ
H3808

これは彼らがその神、主の言葉にしたがわず、その契約を破り、主のしもべモーセの命じたすべての事に耳を傾けず、また行わなかったからである。

13 וּבְאַרְבַּע עֶשְׂרֵה שָׁנָה לַמֶּלֶךְ חִזְקִיָּה עָלָה סַנְחֵרִיב מֶלֶךְ־אַשּׁוּר
そして-十 四 年に ヒゼキヤ の-王の 上って-来た センナケリブは 王の アッシリア
H0702 H6240 H8141 H2396 H4428 H5927 H5576 H4428 H0804

עַל כָּל־עָרֵי יְהוּדָה הַבְּצֻרוֹת וַיִּתְפְּשֵׂם׃
に-対して すべての 町々に ユダの 要塞の そして-奪った
H3605 H3063 H1219 H8610

ヒゼキヤ王の第十四年にアッスリヤの王セナケリブが攻め上ってユダのすべての堅固な町々を取ったので、

14 וַיִּשְׁלַח חִזְקִיָּה מֶלֶךְ־יְהוּדָה אֶל־מֶלֶךְ אַשּׁוּר לָכִישָׁה לֵאמֹר
そして-送った ヒゼキヤは 王の ユダ に の-王に アッシリア ラキシュに 言って
H7971 H2396 H4428 H3063 H0413 H4428 H0804 H3923 H0559

חָטָאתִי שׁוּב מֵעָלַי אֵת אֲשֶׁר־תִּתֶּן עָלָי
わたしは-罪を-犯した 引き-上げて-ください わたしから を ところの 置く わたしの-上に
H2398 H7725 H0853 H4480 H5414

וַיָּשֶׁת מֶלֶךְ־אַשּׁוּר עַל־חִזְקִיָּה מֶלֶךְ יְהוּדָה שְׁלֹשׁ מֵאוֹת כִּכַּר־כֶּסֶף וְשִׁלֹּשִׁים כִּכַּר זָהָב׃
そして-置いた 王は アッシリアの の-上に ヒゼキヤ 王の ユダ 三 百 負う-だろう タラントの 銀と そして-三十 タラントの 金を
H7760 H4428 H0804 H5921 H2396 H4428 H3063 H7969 H3967 H5375 H3603 H3701 H7970 H3603 H2091

ユダの王ヒゼキヤは人をラキシにつかわしてアッスリヤの王に言った、「わたしは罪を犯しました。どうぞ引き上げてください。わたしに課せられることはなんでもいたします」。アッスリヤの王は銀三百タラントと金三十タラントをユダの王ヒゼキヤに課した。

15 וַיִּתֵּן חִזְקִיָּה אֶת־כָּל־הַכֶּסֶף הַנִּמְצָא בֵּית־יְהוָה וּבְאֹצְרוֹת
そして-与えた ヒゼキヤは を すべての 銀を 見つかった の-宮の 主 そして-宝物庫の
H5414 H2396 H0853 H3605 H3701 H4672 H1004 H3068 H0214

בֵּית הַמֶּלֶךְ׃
家の 王の
H4428

ヒゼキヤは主の宮と王の家の倉とにある銀をことごとく彼に与えた。

16 בָּעֵת הַהִיא קִצַּץ חִזְקִיָּה אֶת־דַּלְתוֹת הֵיכַל יְהוָה וְאֶת־הָאֲמֻנוֹת
その の-時に 切り-取った ヒゼキヤは を 扉を 神殿の 主の そして 柱の-金箔を
H1931 H6256 H7112 H2396 H0853 H1817 H1964 H3068 H0853 H0590

אֲשֶׁר צִפָּה חִזְקִיָּה מֶלֶךְ יְהוּדָה וַיִּתְּנֵם לְמֶלֶךְ אַשּׁוּר׃ פ
ところの 被せた ヒゼキヤが 王 ユダの そして-与えた の-王に アッシリア
H6823 H2396 H4428 H3063 H5414 H4428 H0804

この時ユダの王ヒゼキヤはまた主の神殿の戸および柱から自分が着せた金をはぎ取って、アッスリヤの王に与えた。

17 וַיִּשְׁלַ֣ח מֶֽלֶךְ־אַשּׁ֗וּר אֶת־תַּרְתָּ֤ן וְאֶת־רַב־סָרִיס֙ וְאֶת־רַ֣ב שָׁקֵ֔ה
そして-送った 王は アッシリアの を タルタンと そして-ラブ・ サリス そして-ラブ・ シャケを
H7971 H4428 H0804 H0853 H8661 H0853 H7249 H0853 H7249 H7262

מִן־לָכִ֖ישׁ אֶל־הַמֶּ֑לֶךְ בְּחֵ֣יל כָּבֵ֔ד אֶל־חִזְקִיָּ֖הוּ בִּירוּשָׁלִָ֑ם
から ラキシュ に 王の の-軍勢で 重い ヒゼキヤフの-もとに エルサレムに
H4480 H3923 H0413 H4428 H2428 H3515 H2396 H3389

וַיַּֽעֲמֹ֗דוּ וַיָּבֹ֣אוּ וַיַּעֲל֔וּ וַיַּ֣עַל וַיָּבֹ֔אוּ בִּירוּשָׁלִָ֑ם
そして-立った そして-来た そして-上って-来た そして-上って-来た そして-来た エルサレムに
H5975 H0935 H5927 H5927 H0935 H3389

כּוֹבֵ֔ס שְׂדֵ֣ה בִמְסִלַּ֔ת אֲשֶׁ֖ר הֶֽעֱלִיוֹנָ֑ה הַבְּרֵכָ֣ה בִּתְעָלַ֖ת׃
布さらしの 野 の-大通りに ところの 上の 池 の-水路に
H3526 H7704 H4546 H0834 H5945 H1295 H8585

アッスリヤの王はまたタルタン、ラブサリスおよびラブシャケを、ラキシから大軍を率いてエルサレムにいるヒゼキヤ王のもとにつかわした。彼らは上ってエルサレムに来た。彼らはエルサレムに着くと、布さらし場に行く大路に沿っている上の池の水道のかたわらへ行って、そこに立った。

18 וַיִּקְרְא֣וּ אֶל־הַמֶּ֗לֶךְ וַיֵּצֵ֤א אֲלֵהֶם֙ אֶלְיָקִ֣ים בֶּן־חִלְקִיָּ֔הוּ
そして-呼んだ に 王に そして-出て-来た 彼らの-もとに エルヤキムは の-子 ヒルキヤフ
H7121 H0413 H4428 H3318 H0413 H0471 H1121 H2518

הַסֹּפֵ֖ר וְשֶׁבְנָ֣ה הַבַּ֑יִת עַל־ אֲשֶׁ֥ר וְיוֹאָ֛ח בֶּן־אָסָ֥ף
書記 そして-シェブナは 家 の-上に-いた ところの そして-ヨアフは の-子 アサフ
H5608 H7644 H1004 H5921 H0834 H3098 H1121 H0623

הַמַּזְכִּֽיר׃
記録官
H2142

そして彼らが王を呼んだので、ヒルキヤの子である宮内卿エリアキム、書記官セブナ、およびアサフの子である史官ヨアが彼らのところに出てきた。

19 וַיֹּ֤אמֶר אֲלֵהֶם֙ שָׁקֵ֔ה אִמְרוּ־נָ֥א אֶל־חִזְקִיָּ֖הוּ כֹּֽה־
そして-言った 彼らに ラブ・ シャケは 言え どうか に ヒゼキヤフに この-ように
H0559 H0413 H7262 H7262 H0559 H4994 H0413 H2396 H3541

אָמַ֣ר הַמֶּ֔לֶךְ אַשּׁ֑וּר מֶ֣לֶךְ הַגָּד֗וֹל מָה֙ הַבִּטָּח֣וֹן הַזֶּ֔ה אֲשֶׁ֥ר בָּטָֽחְתָּ׃
言った 王は アッシリアの 王 大いなる 何か 信頼は この ところの 信頼している
H0559 H4428 H0804 H4428 H1419 H4100 H0986 H2088 H0834 H0982

ラブシャケは彼らに言った、「ヒゼキヤに言いなさい、『大王、アッスリヤの王はこう仰せられる。あなたが頼みとする者は何か。

20 אָמַ֣רְתָּ אַךְ־דְּבַר־שְׂפָתַ֔יִם עֵצָ֥ה וּגְבוּרָ֖ה לַמִּלְחָמָ֑ה עַתָּ֥ה עַל־ מִֽי
言った ただの 言葉だ 唇の 策略と 力が 戦いの-ために 今 の-上に 誰を
H0559 H0389 H1697 H8193 H6098 H1369 H4421 H6258 H5921 H4310

בָּטַ֖חְתָּ כִּ֥י מָרַ֖דְתָּ בִּֽי׃
信頼しているのか なぜなら 反逆した わたしに
H0982 H3588 H4775 H0589

口先だけの言葉が戦争をする計略と力だと考えるのか。あなたは今だれにたよって、わたしにそむいたのか。

21 עַתָּה הִנֵּה בָטַחְתָּ לְךָ עַל־מִשְׁעֶנֶת הַקָּנֶה הָרָצוּץ הַזֶּה עַל־מִצְרָיִם אֲשֶׁר יִסָּמֶךְ־אִישׁ וּבָא עָלָיו וְנִקְבָּה כֵּן פַּרְעֹה מֶלֶךְ־מִצְרַיִם לְכָל־הַבֹּטְחִים עָלָיו׃

今 見よ 信頼している あなたの–ために 杖に 蓋の 折れた この すなわち
H6258 H2009 H0982 H0376 H7070 H7533 H2088
寄りかかる–ならば 人が それに そして–入る その–手の–ひらに ところの エジプトに
H5564 H0376 H0935 H3709 H4714
信頼する–者たち すべての–に–とって エジプト 王の ファラオは その–ように そして–突き–通す
H0982 H3605 H4714 H4428 H6547

それに

今あなたは、あの折れかけている葦のつえ、エジプトを頼みとしているが、それは人がよりかかる時、その人の手を刺し通すであろう。エジプトの王パロはすべて寄り頼む者にそのようにする。

22 וְכִי־תֹאמְרוּן אֵלַי אֶל־יְהוָה אֱלֹהֵינוּ בָּטָחְנוּ הֲלוֹא־הוּא אֲשֶׁר הֵסִיר חִזְקִיָּהוּ אֶת־בָּמֹתָיו וְאֶת־מִזְבְּחֹתָיו וַיֹּאמֶר לִיהוּדָה וְלִירוּשָׁלַם לִפְנֵי הַמִּזְבֵּחַ הַזֶּה תִּשְׁתַּחֲווּ בִּירוּשָׁלָם׃

そして–もし 言う–ならば わたしに に わたしたちの–神を 主 信頼している–と ではないか
H3808 H0982 H0430 H3068 H0413 H0413 H0559
そして その–高き–所を その–祭壇を ところの それは 取り–除いた ヒゼキヤフが を そして
H1931 H1116 H4196 H0853 H2396 H5493
そして–言った ユダに そして–エルサレムに の–前で 祭壇 この ひれ–伏せと エルサレムで
H0559 H3063 H3389 H6440 H4196 H2088 H7812 H3389

しかしあなたがもし「われわれは、われわれの神、主を頼む」とわたしに言うのであれば、その神はヒゼキヤがユダとエルサレムに告げて、「あなたがたはエルサレムで、この祭壇の前に礼拝しなければならない」と言って、その高き所と祭壇とを除いた者ではないか。

23 וְעַתָּה הִתְעָרֵב נָא אֶת־אֲדֹנִי אֶת־מֶלֶךְ אַשּׁוּר וְאֶתְּנָה לְךָ אַלְפַּיִם סוּסִים אִם־תּוּכַל לָתֶת לְךָ רֹכְבִים עֲלֵיהֶם׃

そして–今 賭けを–しよう どうか を わが–主と を 王 アッシリアの そして–与えよう
H6258 H6148 H4994 H0854 H0113 H0854 H4428 H0804 H5414
二千の 馬を もし できる–ならば 置く–ことが 乗り手を あなたの–ために あなたに
H0505 H5414 H3201 H7392

それらの–上に

さあ、わたしの主君アッスリヤの王とかけをせよ。もしあなたの方に乗る人があるならば、わたしは馬二千頭を与えよう。

24 וְאֵיךְ תָּשִׁיב פְּנֵי אֶחָד פַּחַת עַבְדֵי אֲדֹנִי הַקְּטַנִּים וַתִּבְטַח לְךָ עַל־מִצְרַיִם לְרֶכֶב וּלְפָרָשִׁים׃

そして–いかに 退ける–のか 顔を 一人の 総督の しもべたちの わが–主の 最も–小さき
H0853 H7725 H6440 H0259 H6346 H5650 H0113
そして–信頼している あなたの–ために の–上に エジプト 戦車と 騎兵の–ために
H0982 H0413 H4714 H7393

あなたはエジプトを頼み、戦車と騎兵を請い求めているが、わたしの主君の家来のうちの最も小さい一隊長でさえ、どうして撃退することができようか。

25 עַתָּה֙ (今 H6258) הֲמִבַּלְעֲדֵ֣י (なしに-であろうか H1107) יְהוָ֔ה (主 H3068) עָלִ֖יתִי (上って-来た H5927) עַל־ (に-対して) הַמָּקוֹם֙ (場所 H4725) הַזֶּ֔ה (この H2088) לְהַשְׁחִתּ֑וֹ (滅ぼす-ために H7843) יְהוָ֣ה (主が H3068) אֵלַ֣י (わたしに H0413) אָמַ֔ר (言った H0559) עֲלֵ֖ה (上って-行け H5927) עַל־ (に-対して) הָאָ֥רֶץ (地 H0776) הַזֹּ֛את (この H2063) וְהַשְׁחִיתָ֖הּ (そして-滅ぼせと H7843):

わたしがこの所を滅ぼすために上ってきたのは、主の許しなしにしたことであろうか。主がわたしにこの地に攻め上ってこれを滅ぼせと言われたのだ』」。

26 וַיֹּ֨אמֶר֙ (そして-言った H0559) אֶלְיָקִ֣ים (エルヤキムは H0471) בֶּן־ (の-子) חִלְקִיָּ֔הוּ (ヒルキヤフ H2518) וְשֶׁבְנָ֖ה (そして-シェブナと H7644) וְיוֹאָ֑ח (そして-ヨアフは H3098) אֶל־ (に H0413) רַבְשָׁקֵ֗ה (シャケに H7262) דַּבֶּר־ (話して-ください H1696) נָ֤א (どうか H4994) אֶל־ (に H0413) עֲבָדֶ֙יךָ֙ (あなたの-しもべたちに H5650) כִּ֣י (なぜなら) אֲרָמִ֔ית (アラム語で H0762) אֲנַ֖חְנוּ (わたしたちは H0587) שֹׁמְעִ֑ים (理解している H8085) וְאַל־ (そして-するな H0408) תְּדַבֶּ֤ר (話しては H1696) עִמָּ֙נוּ֙ (わたしたちに) יְהוּדִ֔ית (ユダの-言葉で H3066) בְּאָזְנֵ֖י (の-耳に H0241) הָעָ֑ם (民) אֲשֶׁ֥ר (ところの) עַל־ (の-上に-いる) הַחֹמָ֖ה (城壁 H2346):

その時ヒルキヤの子エリアキムおよびセブナとヨアはラブシャケに言った、「どうぞ、アラム語でしもべどもに話してください。わたしたちは、それがわかるからです。城壁の上にいる民の聞いているところで、わたしたちにユダヤの言葉で話さないでください」。

27 וַיֹּ֤אמֶר (そして-言った H0559) אֲלֵיהֶם֙ (彼らに H0413) רַבְשָׁקֵ֔ה (シャケは H7262) הַעַל־ (に-対してか) אֲדֹנֶ֥יךָ (あなたの-主と H0113) וְאֵלֶ֖יךָ (そして-あなたに H0413) שְׁלָחַ֣נִי (遣わしたのか H7971) אֲדֹנִ֑י (わが-主は H0113) לְדַבֵּ֗ר (語る-ために H1696) אֶת־ (を H0853) הַדְּבָרִ֤ים (言葉を H1697) הָאֵלֶּה֙ (これらの H0428) הֲלֹ֣א (ではないか H3808) עַל־ (に-対して) הָאֲנָשִׁ֔ים (人々に H0376) וְלִשְׁתּ֥וֹת (そして-飲む-ために H8354) צוֹאָתָ֖ם (自分たちの-糞を H6674) חריהם (—) אֶת (を H0853) לֶאֱכֹ֣ל (食べる-ために H0398) הַחֹמָ֑ה (城壁 H2346) עַל־ (の-上に) הַיֹּשְׁבִ֣ים (座っている H3427) עִמָּכֶ֔ם (あなたがたと-共に):

רַגְלֵיהֶם (—) מימי (自分たちの-尿を H4325) שיניהם (—) אֶת־ (を H0853)

しかしラブシャケは彼らに言った、「わたしの主君は、あなたの主君とあなたにだけでなく、城壁の上に座している人々にも、この言葉を告げるためにわたしをつかわしたのではないか。彼らも、あなたがたと共に自分の糞尿を食い飲みするに至るであろう」。

28 וַיַּעֲמֹ֤ד (そして-立った H5975) רַבְשָׁקֵה֙ (ラブ・シャケは H7262) וַיִּקְרָ֣א (そして-叫んだ H7121) בְּקוֹל־ (の-声で) גָּד֔וֹל (大きな) וַיְדַבֵּ֖ר (そして-語った H1696) יְהוּדִ֑ית (ユダの-言葉で H3066) וַיֹּ֣אמֶר (そして-言った H0559) שִׁמְעוּ֙ (聞け H8085) דְּבַר־ (言葉を H1697) הַמֶּ֣לֶךְ (王の H4428) הַגָּד֔וֹל (大いなる) מֶ֖לֶךְ (王 H4428) אַשּׁ֑וּר (アッシリアの H0804):

そしてラブシャケは立ちあがり、ユダヤの言葉で大声に呼ばわって言った。「大王、アッスリヤの王の言葉を聞け。

29

לֹא	כִּי־	חִזְקִיָּהוּ	לָכֶם	יַשִּׁיא	אַל־	הַמֶּלֶךְ	אָמַר	כֹּה
ない	なぜなら	ヒゼキヤフに	あなたがたを	欺かせては	するな	王は	言った	この–ように
H3808		H2396		H5377	H0408	H4428	H0559	H3541

מִיָּדוֹ׃	אֶתְכֶם	לְהַצִּיל	יוּכַל
その–手から	あなたがたを	救う–ことが	でき
H3027	H0853	H5337	H3201

王はこう仰せられる、『あなたがたはヒゼキヤに欺かれてはならない。彼はあなたがたをわたしの手から救いだすことはできない。

30

יַצִּילֵנוּ	הַצֵּל	לֵאמֹר	יְהוָה	אֶל־	חִזְקִיָּהוּ	אֶתְכֶם	יַבְטַח	וְאַל־
救う–だろう	必ず	言って	主	に	ヒゼキヤフに	あなたがたを	信頼させては	そして–するな
H5337	H5337	H0559	H3068	H0413	H2396	H0853	H0982	H0408

אַשּׁוּר׃	מֶלֶךְ	בְּיַד	הַזֹּאת	הָעִיר	אֶת־	תִּנָּתֵן	וְלֹא	יְהוָה
アッシリアの	王	の–手に	この	町を	を	渡され	そして–ない	主が
H0804	H4428	H3027	H2063		H0853	H5414	H3808	H3068

ヒゼキヤが「主は必ずわれわれを救い出される。この町はアッスリヤ王の手に陥ることはない」と言っても、あなたがたは主を頼みとしてはならない』。

31

אַשּׁוּר	מֶלֶךְ	אָמַר	כֹּה	כִּי	חִזְקִיָּהוּ	אֶל־	תִּשְׁמְעוּ	אַל־
アッシリアの	王は	言った	この–ように	なぜなら	ヒゼキヤフに	に	聞いては	するな
H0804	H4428	H0559	H3541		H2396	H0413	H8085	H0408

אִישׁ־	וְאִכְלוּ	אֵלַי	וְצֵאוּ	בְּרָכָה	אִתִּי	עֲשׂוּ־		
おのおのの	そして–食べよ	わたしの–もとに	そして–出て–来い	和平を	わたしと	しよう		
H0376	H0398	H0413	H3318	H1293	H0854			

בּוֹרוֹ׃	מֵי־	אִישׁ	וּשְׁתוּ	תְּאֵנָתוֹ	וְאִישׁ	גַּפְנוֹ	
井戸の	水を	おのおのの	そして–飲め	いちじくの–木を	そして–おのおのの	ぶどうの–木を	
	H4325	H0376	H8354	H8384	H0376	H1612	

あなたがたはヒゼキヤの言葉を聞いてはならない。アッスリヤの王はこう仰せられる、『あなたがたはわたしと和解して、わたしに降服せよ。そうすればあなたがたはおのおの自分のぶどうの実を食べ、おのおの自分のいちじくの実を食べ、おのおの自分の井戸の水を飲むことができるであろう。

32

כְּאַרְצְכֶם	אֶרֶץ	אֶל־	אֶתְכֶם	וְלָקַחְתִּי	בֹּאִי	עַד־		
あなたがたの–地の–ような	地	に	あなたがたを	そして–連れて–行こう	わたしが–来る	まで		
H0776	H0776	H0413	H0853	H3947	H0935	H5704		

וּדְבַשׁ	יִצְהָר	זַיִת	אֶרֶץ	וּכְרָמִים	לֶחֶם	אֶרֶץ	וְתִירוֹשׁ	דָּגָן	אֶרֶץ
蜂蜜	油と	オリーブと	地の	ぶどう–畑	パンと	地の	ぶどう–酒	穀物と	地の
H1706	H3323	H2132	H0776	H3754	H3899	H0776	H8492	H1715	H0776

כִּי־	חִזְקִיָּהוּ	אֶל־	תִּשְׁמְעוּ	וְאַל־	תָּמֻתוּ	וְלֹא	וִחְיוּ	
なぜなら	ヒゼキヤフに	に	聞いては	そして–するな	死んでは	そして–するな	そして–生きよ	
	H2396	H0413	H8085	H0408	H4191	H3808	H2421	

יַצִּילֵנוּ׃	יְהוָה	לֵאמֹר	אֶתְכֶם	יַסִּית	
救う–だろう–と	主が	言って	あなたがたを	そそのかす	
H5337	H3068	H0559	H0853	H5496	

やがてわたしが来て、あなたがたを一つの国へ連れて行く。それはあなたがたの国のように穀物とぶどう酒のある地、パンとぶどう畑のある地、オリブの木と蜜のある地である。あなたがたは生きながらえることができ、死ぬことはない。ヒゼキヤが「主はわれわれを救われる」と言って、あなたがたを惑わしても彼に聞いてはならない。

33 הַהַצֵּל וְהִצִּילוּ אֱלֹהֵי הַגּוֹיִם אִישׁ אֶת־ אַרְצוֹ מִיַּד מֶלֶךְ אַשּׁוּר׃
果たして 救ったか 神々は 諸国民の それぞれ を その–地を の–手から 王 アッシリアの
H5337 H5337 H0430 H0430 H0376 H0853 H0776 H3027 H4428 H0804

諸国民の神々のうち、どの神がその国をアッスリヤの王の手から救ったか。

34 אַיֵּה אֱלֹהֵי חֲמָת וְאַרְפָּד וְאֵי אֱלֹהֵי סְפַרְוַיִם הֵנַע
どこに–いるか 神々は ハマテの そして–アルパド どこに–いるか 神々は セファルワイムの ヘナと
H0346 H0430 H2574 H0774 H0346 H0430 H5617 H2012

כִּי־ הִצִּילוּ אֶת־ שֹׁמְרוֹן מִיָּדִי׃
なぜなら 救ったか を サマリヤを わたしの–手から
H5337 H0853 H8111 H3027

ハマテやアルパデの神々はどこにいるのか。セパルワイム、ヘナおよびイワの神々はどこにいるのか。彼らはサマリヤをわたしの手から救い出したか。

35 מִי בְכָל־ אֱלֹהֵי הָאֲרָצוֹת אֲשֶׁר־ הִצִּילוּ אֶת־ אַרְצָם מִיָּדִי
誰が すべての–中の 神々 地々の ところの 救ったのか を その–地を わたしの–手から
H4310 H3605 H0430 H0776 H0834 H5337 H0853 H0776 H3027

כִּי־ יַצִּיל יְהוָה אֶת־ יְרוּשָׁלִַם מִיָּדִי׃
なぜなら 救うのか 主が を エルサレムを わたしの–手から
H5337 H3068 H0853 H3389 H3027

国々のすべての神々のうち、その国をわたしの手から救い出した者があったか。主がどうしてエルサレムをわたしの手から救い出すことができよう』」。

36 וְהֶחֱרִישׁוּ הָעָם וְלֹא־ עָנוּ אֹתוֹ דָּבָר כִּי־ מִצְוַת הַמֶּלֶךְ הָיָא
そして–黙った 民は そして–なかった 答え 彼に 言葉を なぜなら 命令が 王の それは
H2790 H5971 H3808 H6030 H0853 H1697 H3588 H4687 H4428 H1931

לֵאמֹר לֹא תַעֲנֻהוּ׃
言って するな 答えては
H0559 H3808

しかし民は黙して、ひと言も彼に答えなかった。王が命じて「彼に答えてはならない」と言っておいたからである。

37 וַיָּבֹא אֶלְיָקִים בֶּן־ חִלְקִיָּה אֲשֶׁר־ עַל־ הַבַּיִת וְשֶׁבְנָא הַסֹּפֵר וְיוֹאָח בֶּן־ אָסָף הַמַּזְכִּיר אֶל־ חִזְקִיָּהוּ קְרוּעֵי בְגָדִים וַיַּגִּדוּ לוֹ דִּבְרֵי רַב־שָׁקֵה׃
そして–来た エルヤキムは ヒルキヤ の–子 ところの の–上に–いた 家 そして–シェブナは 書記 そして–ヨアフは の–子 アサフ 記録官 に ヒゼキヤフの–もとに 引き–裂かれた 衣服で そして–告げた 彼に 言葉を ラブ・シャケの
H0935 H0471 H2518 H1121 H0834 H5921 H1004 H7644 H5608 H3098 H1121 H0623 H2142 H0413 H2396 H7167 H0899 H5046 H0559 H1697 H7262

こうしてヒルキヤの子である宮内卿エリアキム、書記官セブナ、およびアサフの子である史官ヨアは衣を裂き、ヒゼキヤのもとに来て、ラブシャケの言葉を彼に告げた。

Chapter 19

וַיְהִי כִּשְׁמֹעַ חִזְקִיָּהוּ הַמֶּלֶךְ וַיִּקְרַע אֶת־בְּגָדָיו וַיִּתְכַּס 1
そして–あった 聞いた–時 ヒゼキヤは 王 引き裂いた —— その–衣を そして–身を覆った
H1961 H8085 H2396 H4428 H7167 H0853 H0853 H3680

וַיָּבֹא בֵּית יְהוָה׃
そして–入った の–宮に 主
H0935 H1004 H3068

בַּשָּׂק
粗布で
H8242

ヒゼキヤ王はこれを聞いて、衣を裂き、荒布を身にまとって主に宮に入り、

וְאֶת וְיִשְׁלַח אֶלְיָקִים אֲשֶׁר־עַל הַבַּיִת וְשֶׁבְנָא הַסֹּפֵר 2
そして —— エルヤキムと —— —— 宮廷の–長 シェブナ 書記官と
H0853 H0853 H7971 H0471 H0834 H5921 H1004 H7644 H5608

וְאֶת זִקְנֵי הַכֹּהֲנִים מְכֻסִּים בַּשָּׂקִים אֶל־יְשַׁעְיָהוּ הַנָּבִיא בֶּן־אָמוֹץ׃
長老たちを 祭司の 身に–まとって 粗布を —— イザヤの–もとへ 預言者 —— アモツの–子
H2205 H3548 H3680 H8242 H0413 H3470 H5030 H1121 H0531

宮内卿エリアキムと書記官セブナおよび祭司のうちの年長者たちに荒布をまとわせて、アモツの子預言者イザヤのもとにつかわした。

וַיֹּאמְרוּ אֵלָיו כֹּה אָמַר חִזְקִיָּהוּ יוֹם־צָרָה וְתוֹכֵחָה וְנִאָצָה הַיּוֹם הַזֶּה 3
そして–言った 彼に こう 言う ヒゼキヤは の–日 苦難 と–叱責 と–侮辱の 日 この
H0559 H0559 H0413 H3541 H0559 H2396 H3117 H6869 H8433 H5006 H3117 H2088

כִּי בָאוּ בָנִים עַד־מַשְׁבֵּר וְכֹחַ אֵין לְלֵדָה׃
なぜなら 来た 子らが まで 産み口に しかし–力が ない 産む–ための
H3588 H0935 H1121 H5704 H4866 H3581 H0369 H3205

彼らはイザヤに言った、「ヒゼキヤはこう申されます、『きょうは悩みと、懲しめと、はずかしめの日です。胎児がまさに生れようとして、これを産み出す力がないのです。

אוּלַי יִשְׁמַע יְהוָה אֱלֹהֶיךָ אֵת כָּל־דִּבְרֵי רַב־ 4
あるいは 聞いて–くださるかもしれない 主 あなたの–神が —— すべての 言葉を ラブ・
H0194 H8085 H3068 H0430 H0853 H3605 H1697 H7262

שָׁקֵה אֲשֶׁר שְׁלָחוֹ מֶלֶךְ־אַשּׁוּר אֲדֹנָיו לַחֲרֵף אֱלֹהַי חָי
シャケの —— 遣わした の–王 アッシリア その–主人が そしるために 神を 生ける
H7262 H0834 H7971 H4428 H0804 H0113 H2778 H0430 H2416

וְהוֹכִיחַ יְהוָה אֱלֹהֶיךָ אֲשֶׁר שָׁמַע בַּדִּבְרִים אֲשֶׁר יְהוָה אֱלֹהֶיךָ
そして–裁いて–くださるかもしれない その–言葉に–ついて —— 聞かれた 主 あなたの–神が
H3198 H1697 H0834 H8085 H3068 H0430

וְנָשָׂאתָ תְּפִלָּה בְּעַד הַנִּמְצָאָה׃ הַשְּׁאֵרִית
そして–捧げて–ください 祈りを ために 残りの–者の 残されている
H5375 H8605 H1157 H7611 H4672

あなたの神、主はラブシャケがその主君アッスリヤの王につかわされて、生ける神をそしったもろもろの言葉を聞かれたかもしれません。そしてあなたの神、主はその聞いた言葉をとがめられるかもしれません。それゆえ、この残っている者のために祈をささげてください』」。

וַיָּבֹאוּ עַבְדֵי הַמֶּלֶךְ חִזְקִיָּהוּ אֶל־יְשַׁעְיָהוּ׃ 5
そして–来た 家来たちが 王 ヒゼキヤの —— イザヤの–もとへ
H0935 H5650 H4428 H2396 H0413 H3470

ヒゼキヤ王の家来たちがイザヤのもとに来たとき、

6

אָמַר	וְכֹה	אֲדֹנֵיכֶם	אֶל־	תֹּאמְרוּן	כֹּה	יְשַׁעְיָהוּ	לָהֶם	וַיֹּאמֶר
言う	こう	あなたがたの-主人に	—	言いなさい	こう	イザヤは	彼らに	そして-言った
H0559	H3541	H0113	H0413	H0559	H3541			H0559

נַעֲרֵי	גִּדְּפוּ	אֲשֶׁר	שָׁמַעְתָּ	אֲשֶׁר	הַדְּבָרִים	מִפְּנֵי	תִּירָא	אַל־	יְהוָה
若者たちが	冒涜した	—	あなたが-聞いた	—	その-言葉の	前に	恐れるな	—	主は
H5288	H1442		H8085		H1697	H6440	H3372	H0408	H3068

אֹתִי׃	אַשּׁוּר	מֶלֶךְ־
わたしを	アッシリア	の-王
H0853	H0804	H4428

イザヤは彼らに言った、「あなたがたの主君にこう言いなさい、『主はこう仰せられる、アッスリヤの王の家来たちが、わたしをそしった言葉を聞いて恐れるには及ばない。

7

לְאַרְצוֹ	וְשַׁבְתִּי	שְׁמוּעָה	וְשָׁמַע	רוּחַ	בּוֹ	נֹתֵן	הִנְנִי	
自分の-国に	そして-帰り	知らせを	そして-聞いて	霊を	彼の-中に	入れる	見よ、わたしは	
H0776	H7725	H8052	H8085	H7307		H5414	H2009	

בְּאַרְצוֹ׃	בַּחֶרֶב	וְהִפַּלְתִּיו	
自分の-国で	剣で	そして-わたしは-彼を-倒す	
H0776	H2719	H5307	

見よ、わたしは一つの霊を彼らのうちに送って、一つのうわさを聞かせ、彼を自分の国へ帰らせて、自分の国でつるぎに倒れさせるであろう』」。

8

נִלְחָם	אַשּׁוּר	מֶלֶךְ	אֶת־	וַיִּמְצָא	שָׁקָה	רַב־	וַיָּשָׁב	
戦っているのを	アッシリア	の-王が	—	そして-見つけた	シャケは	ラブ・	そして-帰った	
H0804	H4428		H0853	H4672	H7262	H7262	H7725	

מִלָּכִישׁ׃	נָסַע	כִּי	שָׁמַע	כִּי	לִבְנָה	עַל־
ラキシュから	移った-ことを	—	聞いた	なぜなら	リブナに-対して	—
H3923	H5265		H8085		H3841	

ラブシャケは引き返して、アッスリヤの王がリブナを攻めているところへ行った。彼が王のラキシを去ったことを聞いたからである。

9

לְהִלָּחֶם	יָצָא	הִנֵּה	לֵאמֹר	כּוּשׁ	מֶלֶךְ־	תִּרְהָקָה	אֶל־	וַיִּשְׁמַע	
戦うために	出て来た	見よ	と-言う	クシュ	の-王	ティルハカ	について	そして-聞いた	
H3318	H2009		H0559		H4428	H8640	H0413	H8085	

לֵאמֹר׃	חִזְקִיָּהוּ	אֶל־	מַלְאָכִים	וַיִּשְׁלַח	וַיָּשָׁב	אַתָּה		
言って	ヒゼキヤの-もとへ	—	使者たちを	遣わした	そして-再び	あなたと		
H0559	H2396	H0413	H4397	H7971	H7725	H0854		

この時アッスリヤの王はエチオピヤの王テルハカについて、「彼はあなたと戦うために出てきた」と人々がいうのを聞いたので、再び使者をヒゼキヤにつかわして言った、

10

יַשִּׁאֲךָ	אַל־	לֵאמֹר	יְהוּדָה	מֶלֶךְ־	חִזְקִיָּהוּ	אֶל־	תֹּאמְרוּן	כֹּה	
あなたを-欺かせるな	—	言って	ユダ	の-王	ヒゼキヤに	—	言いなさい	こう	
H5377	H0408	H0559	H3063	H4428	H2396	H0413	H0559	H3541	

יְרוּשָׁלַ͏ִם	תִּנָּתֵן	לֹא	לֵאמֹר	בּוֹ	בִּטְחַ	אַתָּה	אֲשֶׁר	אֱלֹהֶיךָ	
エルサレムは	渡されない	決して	言って	その-神に	信頼する	あなたが	—	あなたの-神に	
H3389	H5414	H3808	H0559		H0982			H0430	

אַשּׁוּר׃	מֶלֶךְ	בְּיַד
アッシリアの	王	の-手に
H0804	H4428	H3027

「ユダの王ヒゼキヤにこう言いなさい、『あなたは、エルサレムはアッスリヤの王の手に陥ることはない、と言うあなたの信頼する神に欺かれてはならない。

11 וְהִנֵּה שָׁמַעְתָּ אַתָּה אֵת אֲשֶׁר עָשׂוּ מַלְכֵי אַשּׁוּר לְכָל־
見よ 聞いた あなたは ― ― ― 行った-ことを 王たちが アッシリアの すべての
H2009 H8085 H0853 H4428 H0804 H3605

הָאֲרָצוֹת לְהַחֲרִימָם וְאַתָּה תִנָּצֵל׃
国々に 滅ぼし尽くした-ことを それなのに-あなたが 救われるのか
H0776 H5337

あなたはアッスリヤの王たちがもろもろの国々にした事、彼らを全く滅ぼした事を聞いている。どうしてあなたが救われることができようか。

12 הַהִצִּילוּ אֹתָם אֱלֹהֵי הַגּוֹיִם אֲשֶׁר שִׁחֲתוּ אֲבוֹתָי אֹתָם וְאֶת־
救い出したか 彼らを 神々が 諸国の ― 滅ぼした 私の-先祖たちが ― ― ゴザン と
H5337 H0853 H0430 H1470 H7843 H0001 H0853 H0853 H1470

בְּנֵי עֵדֶן אֲשֶׁר בִּתְלַאשָּׁר׃
の-子らを エデン ― テル・アッサルにある
H0853 H5729 H8515

わたしの父たちはゴザン、ハラン、レゼフ、およびテラサルにいたエデンの人々を滅ぼしたが、その国々の神々は彼らを救ったか。

13 אַיֵּה מֶלֶךְ־חֲמָת וּמֶלֶךְ אַרְפָּד וּמֶלֶךְ לָעִיר סְפַרְוַיִם הֵנַע
どこにいるのか の-王は ハマテ と-の-王は アルパデ と-の-王は の-町 セファルワイム ヘナ
H0335 H4428 H2574 H0853 H0774 H4428 H5617 H2012

וְעִוָּה׃
と-イッワの
H5755

ハマテの王、アルパデの王、セパルワイムの町の王、ヘナの王およびイワの王はどこにいるのか』」。

14 וַיִּקַּח חִזְקִיָּהוּ אֵת־ הַסְּפָרִים מִיַּד הַמַּלְאָכִים וַיִּקְרָאֵם
そして-受け取った ヒゼキヤは ― その-書を の-手から 使者たち そして-読んだ
H3947 H2396 H0853 H3027 H4397 H7121

וַיַּעַל בֵּית יְהוָה וַיִּפְרְשֵׂהוּ חִזְקִיָּהוּ לִפְנֵי יְהוָה׃ פ
そして-上った の-宮に 主 そして-広げた ヒゼキヤは-それを の-前に 主 ―
H5927 H3068 H6566 H2396 H6440 H3068

ヒゼキヤは使者の手から手紙を受け取ってそれを読み、主の宮にのぼっていって、主の前にそれをひろげ、

15 וַיִּתְפַּלֵּל חִזְקִיָּהוּ לִפְנֵי יְהוָה וַיֹּאמַר יְהוָה אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל
そして-祈った ヒゼキヤは の-前で 主 そして-言った 主よ の-神よ イスラエル
H6419 H2396 H6440 H3068 H0559 H3068 H0430 H3478

יֹשֵׁב הַכְּרֻבִים אַתָּה הוּא הָאֱלֹהִים לְבַדְּךָ לְכֹל מַמְלְכוֹת הָאָרֶץ
ケルビムの-上に あなたこそ その 神で あなた-だけ すべての 王国の 地の あなたが
H3742 H0430 H1931 H0905 H3605 H4467 H0776 H0859

אַתָּה עָשִׂיתָ אֶת־ הַשָּׁמַיִם וְאֶת־ הָאָרֶץ׃
造られた ― 天と ― 地を
H0853 H8064 H0853 H0776

そしてヒゼキヤは主の前に祈って言った、「ケルビムの上に座しておられるイスラエルの神、主よ、地のすべての国のうちで、ただあなたただけが神でいらせられます。あなたは天と地を造られました。

16

יְהוָה	פְּקַח	וּשְׁמָע	אָזְנְךָ	וְיהוָה	הַטֵּה
主よ	開いて–ください	そして–聞いて–ください	あなたの–耳を	主よ	傾けて–ください
H3068	H6491	H8085	H0241	H3068	H5186

אֲשֶׁר	סַנְחֵרִיב	דִּבְרֵי	אֶת	וּשְׁמַע	וּרְאֵה	עֵינֶיךָ	
—	センナケリブの	言葉を	—	そして–聞いて–ください	そして–見て–ください	あなたの–目を	
	H5576	H1697	H0853	H8085	H7200		

חָי׃	אֱלֹהִים	לְחָרֵף	שְׁלָחוֹ	
生ける	神を	そしるために	送った	
	H0430		H7971	

主よ、耳を傾けて聞いてください。主よ、目を開いてごらんください。セナケリブが生ける神をそしるために書き送った言葉をお聞きください。

17

אַרְצָם׃	וְאֶת־	הַגּוֹיִם	אֶת־	אַשּׁוּר	מַלְכֵי	הֶחֱרִיבוּ	יְהוָה	אָמְנָם
その–地を	—	諸国と	—	アッシリアの	王たちが	荒らした	主よ	確かに
H0776	H0853		H0853	H0804	H4428		H3068	H0551

主よ、まことにアッスリヤの王たちはもろもろの民とその国々を滅ぼし、

18

כִּי	הֵמָּה	אֱלֹהִים	לֹא	כִּי	בָאֵשׁ	אֱלֹהֵיהֶם	אֶת־	וַיִּתְּנוּ
—	なかった	神では	—	なぜなら	火の–中に	その–神々を	—	そして–投げ入れた
	H1992	H0430	H3808		H0784	H0430	H0853	H5414

וַיְאַבְּדוּם׃	וָאֶבֶן	עֵץ	אָדָם	יְדֵי־	מַעֲשֵׂה	אֵם־
それで–滅ぼした	石で	木と	人	の–手の	造り物	ただの
H0006	H0068	H6086	H0120	H3027	H4639	

またその神々を火に投げ入れました。それらは神ではなく、人の手の作ったもので、木や石だから滅ぼされたのです。

19

וְיֵדְעוּ	מִיָּדוֹ	נָא	הוֹשִׁיעֵנוּ	אֱלֹהֵינוּ	יְהוָה	וְעַתָּה	
そして–知るように	彼の–手から	どうか	救い出して–ください	私たちの–神よ	主よ	そして–今	
H3045	H3027	H4994	H3467	H0430	H3068	H6258	

ס	לְבַדֶּךָ׃	אֱלֹהִים	יְהוָה	אַתָּה	כִּי	הָאָרֶץ	מַמְלְכוֹת	כָּל־
—	ただ–お一人で–あることを	神	主	あなたが	—	地の	王国が	すべての
	H0905	H0430	H3068			H0776	H4467	H3605

われわれの神、主よ、どうぞ、今われわれを彼の手から救い出してください。そうすれば地の国々は皆、主であるあなただけが神でいらせられることを知るようになるでしょう」。

20

יְהוָה	אָמַר	כֹּה־	לֵאמֹר	חִזְקִיָּהוּ	אֶל־	אָמוֹץ	בֶּן־	יְשַׁעְיָהוּ
主は	言う	こう	言って	ヒゼキヤの–もとへ	—	アモツ	の–子	イザヤは
H3068	H0559	H3541	H0559	H2396	H0413	H0531		

וַיִּשְׁלַח	אֲשֶׁר	אֱלֹהֵי	יִשְׂרָאֵל	אֱלֹהֶיךָ	הִתְפַּלָּלְתָּ	אֵלַי	אֶל־	סַנְחֵרִב
そして–遣わした	—	の–神	イスラエル	あなたが–祈った	わたしに	について	センナケリブ	
H7971		H0430	H3478		H0413	H0413		H5576

מֶלֶךְ־	אַשּׁוּר	שָׁמָעְתִּי׃	
の–王	アッシリア	わたしは–聞いた	
H4428	H0804	H8085	

その時アモツの子イザヤは人をつかわしてヒゼキヤに言った、「イスラエルの神、主はこう仰せられる、『アッスリヤの王センナケリブについてあなたがわたしに祈ったことは聞いた』。

21 זֶה הַדָּבָר אֲשֶׁר־דִּבֶּר יְהוָה עָלָיו בָּזָּה לְךָ לָעֲגָה
これが 御言葉で-ある 一 語られた 主が 彼について さげすんだ あなたを あざ笑った
H2088 H1697 H0834 H1696 H3068 H0959 H0959 H3932

בְּתוּלַת בַּת־צִיּוֹן אַחֲרֶיךָ רֹאשׁ הֵנִיעָה בַּת יְרוּשָׁלִָם׃
おとめ 娘 シオンは あなたの-後ろで 頭を 振った 娘 エルサレムは
H1330 H1323 H6726 H0310 H7218 H1323 H3389

主が彼について語られた言葉はこうである、『処女であるシオンの娘はあなたを侮り、あなたをあざける。エルサレムの娘はあなたのうしろで頭を振る。

22 אֶת־מִי חֵרַפְתָּ וְגִדַּפְתָּ וְעַל־מִי הֵרַמְתָּ קוֹל
一 誰を あなたは-そしった また-冒涜した と-誰に-向かって 高く-上げた 声を
H0853 H4310 H2778 H1442 H5375 H4310 H7311 H6963

וַתִּשָּׂא עֵינֶיךָ לְמָרוֹם עַל־קְדוֹשׁ יִשְׂרָאֵל׃
そして-上げた 目を 高く に-向かって 聖なる-方 イスラエルの
H5375 H5869 H4791 H0413 H6918 H3478

あなたはだれをそしり、だれをののしったのか。あなたはだれにむかって声をあげ、目を高くあげたのか。イスラエルの聖者にむかってしたのだ。

23 בְּיַד מַלְאָכֶיךָ חֵרַפְתָּ אֲדֹנָי וַתֹּאמֶר ברכבי (בְּרֹב) רִכְבִּי אֲנִי
の-手で 使者たち あなたは-そしった 主を そして-言った 一 多くの 戦車で 私は
H3027 H4397 H2778 H0136 H0559 H7393 H7230 H7393 H0589

עָלִיתִי מְרוֹם הָרִים יַרְכְּתֵי לְבָנוֹן וְאֶכְרֹת קוֹמַת מִבְחַר אַרְזָיו
登った 高い所 山々の 奥地 レバノンの そして-切り倒す 高さ-ある その-杉を 最良の
H5927 H4791 H2022 H3411 H3844 H3772 H6967 H0730 H4005

בְּרֹשָׁיו מְלוֹן קְצֵה וְאָבוֹאָה יַעַר כַּרְמְלוֹ׃
その-糸杉を の-宿営地 果て そして-入る 森 カルメルの
H1265 H4411 H7093 H0935 H3293 H3759

あなたは使者をもって主をそしって言った、「わたしは多くの戦車をひきいて山々の頂にのぼり、レバノンの奥に行き、たけの高い香柏と最も良いいとすぎを切り倒し、またその果の野営地に行き、その密林にはいった。

24 אֲנִי קָרְתִּי וְשָׁתִיתִי מַיִם זָרִים וְאַחֲרֵב בְּכַף־ פְּעָמַי כָּל
私は 掘り当て そして-飲んだ 水を 異国の そして-干上がらせる の-底で 私の-足 すべての
H0589 H7743 H8354 H4325 H2114 H2717 H3709 H6471 H3605

יְאֹרֵי מָצוֹר׃
川を エジプトの
H2975 H4693

わたしは井戸を掘って外国の水を飲んだ。わたしは足の裏で、エジプトのすべての川を踏みからした」。

25 הֲלֹא־ שָׁמַעְתָּ לְמֶרָחוֹק אֹתָהּ עָשִׂיתִי לִמְיֵמֵי קֶדֶם
聞か-なかったのか それを わたしが-行った の-日々から 古い
H3808 H0853 H6213 H3117 H6924

וַיְצַרְתִּיהָ עַתָּה הֲבִיאֹתִיהָ וּתְהִי לְהַשּׁוֹת גַּלִּים
そして-わたしが-計画した 今 わたしは-それを-もたらした そして-なった 荒廃させるため 石塚に
H3335 H6258 H0935 H1961 H7582 H1530

בְּצֻרוֹת׃ עָרֵי נִצִּים
城壁ある 町々を 砕かれた
H1219 H5892 H6030

あなたは聞かなかったか、昔わたしがこれを定めたことを。堅固な町々をあなたが荒塚とすることも、いにしえの日からわたしが計画して今これをおこなうのだ。

26

עֵשֶׂב	הָיוּ	וַיֵּבֹשׁוּ	חַתּוּ	יָד	קִצְרֵי־	וְיוֹשְׁבֵיהֶן
草の–ように	彼らは–なった	そして–恥じた	おののき	力	乏しい	そして–その–住民たちは
H6212	H1961	H0954	H2865	H3027	H7116	H3427

קָמָה׃	לִפְנֵי	וּשְׁדֵפָה	גַּגּוֹת	חָצִיר	דֶּשֶׁא	וְיֵרַק	שְׂדֵה
育つ	前に	そして–しおれる	屋根の	草の–ように	草の–ように	そして–青い	野の
H7054	H6440		H1406		H1877	H3419	

そのうちに住む民は力弱くおののき、恥をいだいて、野の草のように、青菜のようになり、育たないで枯れる屋根の草のようになった。

27

וְאֶת	יָדָעְתִּי	וּבֹאֲךָ	וְצֵאתְךָ	וְשִׁבְתֶּךָ	
そして	わたしは–知っている	あなたの–入ることも	あなたの–出ることも	あなたの–座ることも	
H0853	H3045	H0935	H3318	H3427	

אֵלָי׃	הִתְרַגִּזְךָ
わたしに–対して	あなたが–怒り狂う–ことも
H0413	H7264

わたしはあなたのすわること、出入りすること、わたしにむかって怒り叫んだことをも知っている。

28

בְּאָזְנָי	עָלָה	וְשַׁאֲנַנְךָ	אֵלָי	הִתְרַגִּזְךָ	יַעַן	
わたしの–耳に	上って来た	あなたの–高ぶりが	わたしに–対して	あなたが–怒り狂い	ゆえに	
H0241	H5927	H7600	H0413	H7264	H3282	

בְּשִׂפְתֹתֶיךָ	וּמִתְגִּי	בְּאַפֶּךָ	חַחִי	וְשַׂמְתִּי	
あなたの–唇に	そして–わたしの–くつわを	あなたの–鼻に	わたしの–鉤を	わたしは–付ける	
H8193	H4964	H0639	H2397		

בָּהּ׃	בָּאתָ	אֲשֶׁר־	בַּדֶּרֶךְ	וַהֲשִׁבֹתִיךָ
その–道で	あなたが–来た	—	その–道を	そして–引き戻す
	H0935		H1870	H7725

あなたがわたしにむかって怒り叫んだことと、あなたの高慢がわたしの耳にはいったため、わたしはあなたの鼻に輪をつけ、あなたの口にくつわをはめて、あなたをもときた道へ引きもどすであろう』。

29

סָפִיחַ	הַשָּׁנָה	אָכוֹל	הָאוֹת	לְךָ	וְזֶה־	
自然に–生えた–ものを	この–年は	食べよ	しるしで–ある	あなたへの	そして–これが	
	H8141	H0398	H0226		H2088	

זֹרְעוּ	הַשְּׁלִישִׁית	וּבַשָּׁנָה	סָחִישׁ	הַשֵּׁנִית	וּבַשָּׁנָה
種を–蒔き	三番	そして–三年目は	自然に–生えた–ものを	二番	そして–二年目は
H2232	H7992	H8141	H7823	H8145	H8141

פְּרִיהֶם׃	וְאִכְלוּ	כְּרָמִים	וְנִטְעוּ	וְקִצְרוּ
その–実を	そして–食べよ	ぶどう園を	そして–ぶどう園を–植え	そして–刈り入れ
H6529	H0398	H3754	H5193	

『あなたに与えるしるしはこれである。すなわち、ことしは落ち穂からはえたものを食べ、二年目にはまたその落ち穂からはえたものを食べ、三年目には種をまき、刈り入れ、ぶどう畑を作ってその実を食べるであろう。

30

פְּרִי	וְעָשָׂה	לְמָטָּה	שֹׁרֶשׁ	הַנִּשְׁאָרָה	יְהוּדָה	בֵּית־	פְּלֵיטַת	וְיָסְפָה	
実を	そして–結ぶ	下に	根を	残された	ユダ	の–家の	逃れた–者	そして–増し加わる	
H6529		H4295	H8328	H7604	H3063		H6413	H3254	

לְמַעְלָה׃
上に
H4605

ユダの家ののがれて残る者は再び下に根を張り、上に実を結ぶであろう。

31 כִּי מִירוּשָׁלַ֙͏ִם תֵּצֵ֣א שְׁאֵרִ֔ית וּפְלֵיטָ֖ה מֵהַ֣ר צִיּ֑וֹן קִנְאַ֥ת
なぜなら エルサレムから 出る 残りの-者が そして-逃れた-者が 山から シオン の-熱心が
H3389 H3318 H7611 H6413 H2022 H6727 H7068

יְהוָ֥ה צְבָאוֹת֛(תַּעֲשֶׂ֥ה זֹּ֖את׃ ס
主 万軍の これを-行う ― ―
H3068 H6635 H6213 H2063

すなわち残る者がエルサレムから出てき、のがれた者がシオンの山から出て来るであろう。主の熱心がこれをされるであろう』。

32 לָכֵ֗ן כֹּה־ אָמַ֤ר יְהוָה֙ אֶל־ מֶ֣לֶךְ אַשּׁ֔וּר לֹ֥א יָבֹ֖א אֶל־ הָעִ֣יר
それゆえ こう 言う 主は について の-王 アッシリア 決して 入らない ― この-町に
H3541 H0559 H3068 H0413 H4428 H0804 H3808 H0935 H0413

הַזֹּ֑את וְלֹא־ יוֹרֶ֣ה שָׁ֔ם חֵ֖ץ וְלֹא־ יְקַדְּמֶ֥נָּה מָגֵ֛ן וְלֹא־ יִשְׁפֹּ֥ךְ
― 射らない そこに 矢を また-決して 先に-立てない 盾を また-決して 積まない
H2063 H3384 H8033 H2671 H3808 H6923 H4043 H3808 H8210

עָלֶ֖יהָ סֹלְלָֽה׃
それに-対して 塁を
H5550

それゆえ、主はアッスリヤの王について、こう仰せられる、『彼はこの町にこない、またここに矢を放たない、盾をもってその前に来ることなく、また塁を築いてこれを攻めることはない。

33 בַּדֶּ֣רֶךְ אֲשֶׁר־ בָּ֔א יָשׁ֖וּב וְאֶל־ הָעִ֣יר הַזֹּ֑את לֹ֥א יָבֹ֖א
その-道を ― 来た 帰る そして-に この-町に ― 入らない
H1870 H3808 H0935 H7725 H0413 H2063 H3808 H0935

נְאֻם־ יְהוָֽה׃
と-主は-言われる ―
H5002 H3068

彼は来た道を帰って、この町に、はいることはない。主がこれを言う。

34 וְנַנּוֹתִ֤י אֶל־ הָעִיר֙ הַזֹּ֣את לְהוֹשִׁיעָ֔הּ לְמַעֲנִ֖י וּלְמַ֣עַן
そして-わたしは-守る ― この-町を 救うために わたし-自身の-ために そして-ために
H1598 H0413 H2063 H3467 H4616 H4616 H4616

דָּוִ֥ד עַבְדִּֽי׃
ダビデ わたしの-しもべの
H1732 H5650

わたしは自分のため、またわたしのしもべダビデのためにこの町を守って、これを救うであろう』」。

35 וַיְהִ֗י בַּלַּ֤יְלָה הַה֙וּא֙ וַיֵּצֵ֣א מַלְאַ֣ךְ יְהוָ֔ה וַיַּ֖ךְ בְּמַחֲנֵ֣ה
そして-あった その-夜 ― 出て-行った 御使いが 主の そして-打った の-陣営で
H1961 H3915 H1931 H3318 H4397 H3068 H5221 H4264

אַשּׁ֑וּר מֵאָ֨ה שְׁמוֹנִ֤ים וַחֲמִשָּׁה֙ אֶ֣לֶף אִ֔ישׁ וַיַּשְׁכִּ֖ימוּ בַּבֹּ֣קֶר
アッシリア 十八万 ― 五千 人を そして-早く-起きた 朝に
H0804 H3967 H8084 H2568 H0505 H7925 H1242

וְהִנֵּ֥ה כֻלָּ֛ם פִּגְרִ֖ים מֵתִֽים׃
すると-見よ 皆 屍 死んでいた
H2009 H3605 H6297 H4191

その夜、主の使が出て、アッスリヤの陣営で十八万五千人を撃ち殺した。人々が朝早く起きて見ると、彼らは皆、死体となっていた。

וַיִּשְׁכֹּ֗ב	אַשּׁוּר֙	מֶ֣לֶךְ־	סַנְחֵרִ֔יב	וַיָּ֖שָׁב	וַיֵּ֑לֶךְ	וַיֵּ֖סַע	36
そして–住んだ	アッシリア	の–王	センナケリブは	そして–帰った	そして–行き	そして–出発した	
H3427	H0804	H4428	H5576	H7725	H3212	H5265	

בְּנִינְוֵֽה׃	
ニネベに	
H5210	

アッスリヤの王セナケリブは立ち去り、帰って行ってニネベにいたが、

								37
וְאַדְרַמֶּ֣לֶךְ	אֱלֹהָ֔יו	נִסְרֹ֖ךְ	וּבֵ֣ית	מִשְׁתַּחֲוֶ֑ה	ה֣וּא	וַיְהִי֙		
アデランメレクと	彼の–神の	ニスロク	の–神殿で	ひれ伏している–とき	彼が	そして–あった		
H0152	H0430	H5268		H7812	H1931	H1961		

אֶ֣רֶץ	נִמְלְט֔וּ	וְהֵמָ֖ה	בַּחֶ֑רֶב	הִכֻּ֥הוּ	(בָּנָ֛יו)	וְשַׂרְאֶ֥צֶר	
の–地に	逃れた	そして–彼らは	剣で	彼を–打ち殺した	その–息子たちが	シャルエツェルが	
H0776	H4422	H1992	H2719	H5221	H1121	H8272	

פ	תַּחְתָּ֖יו׃	בְּנ֣וֹ	חַדֹּ֑ן	אֵ֣סַר־	וַיִּמְלֹ֥ךְ	אֲרָרָֽטָ
—	彼に–代わって	彼の–子が	ハドンが	エサル・	そして–王と–なった	アララテ
	H8478		H0634	H0634		H0780

その神ニスロクの神殿で礼拝していた時、その子アデランメレクとシャレゼルが、つるぎをもって彼を殺し、ともにアララテの地へ逃げて行った。そこでその子エサルハドンが代って王となった。

Chapter 20

									1
בֶּן־	יְשַׁעְיָ֤הוּ	אֵלָיו֙	וַיָּבֹ֣א	לָמ֔וּת	חִזְקִיָּ֖הוּ	חָלָ֑ה	הָהֵ֣ם	בַּיָּמִ֗ים	
の–子	イザヤ	彼の–もとへ	そして–来た	死ぬほどに	ヒゼキヤは	病気に–なった	—	その–頃	
	H0413		H0935	H4191	H2396		H1992	H3117	

כִּ֣י	לְבֵיתֶ֔ךָ	צַ֖ו	יְהוָ֑ה	אָמַ֣ר	כֹּֽה־	אֵלָ֥יו	וַיֹּ֣אמֶר	הַנָּבִ֤יא	אָמוֹץ
なぜなら	あなたの–家に	命じなさい	主は	言う	こう	彼に	そして–言った	預言者が	アモツ
		H6680	H3068	H0559	H3541	H0413	H0559	H5030	H0531

תִּֽחְיֶֽה׃	וְלֹ֥א	אַתָּ֖ה	מֵ֥ת	
生きない	そして–決して	あなたは	死ぬ	
H2421	H3808		H4191	

そのころ、ヒゼキヤは病気になって死にかかっていた。アモツの子預言者イザヤは彼のところにきて言った、「主はこう仰せられます、『家の人に遺言をなさい。あなたは死にます。生きながらえることはできません』」。

									2
לֵאמֹֽר׃	יְהוָ֖ה	אֶל־	וַיִּתְפַּלֵּ֥ל	הַקִּ֑יר	אֶל־	פָּנָ֖יו	אֶת־	וַיָּ֥סֶב	
言って	主に	—	そして–祈った	壁に	—	顔を	—	そして–向けた	
H0559	H3068	H0413	H6419	H7023	H0413	H6440	H0853	H5437	

そこでヒゼキヤは顔を壁に向けて主に祈って言った、

3 אָנָּה יְהוָה זְכָר־נָא אֵת אֲשֶׁר הִתְהַלַּכְתִּי לְפָנֶיךָ
ああ 主よ 思い出して–ください どうか ― ― 私が–歩んだ–ことを あなたの–前で
H0577 H3068 H2142 H4994 H0853 H0834 H1980 H6440

וְהַטּוֹב בְּעֵינֶיךָ עָשִׂיתִי וַיֵּבְךְּ חִזְקִיָּהוּ
そして–良い–ことを あなたの–目に 行った そして–泣いた ヒゼキヤは
H2896 H1058 H2396

בְּכִי׃ גָּדוֹל׃ ס וּבְלֵבָב שָׁלֵם בֶּאֱמֶת
泣き 大いなる ― そして–全き 心で 誠実に
H1058 H1419 H3824 H8003 H0571

「ああ主よ、わたしが真実を真心をもってあなたの前に歩み、あなたの目にかなうことをおこなったのをどうぞ思い起してください」。そしてヒゼキヤは激しく泣いた。

4 וַיְהִי יְשַׁעְיָהוּ לֹא יָצָא [העיר] (חָצֵר) הַתִּיכֹנָה וּדְבַר־
そして–あった イザヤが まだ 出て–いなかった ― の–中庭 真ん中 の–言葉が
H1961 H3068 H3808 H3318 H5892 H2691 H8484 H1697

יְהוָה׃ לֵאמֹר׃ הָיָה אֵלָיו
主 言って あった 彼に
H3068 H0559 H1961 H0413

イザヤがまだ中庭を出ないうちに主の言葉が彼に臨んだ、

5 שׁוּב וְאָמַרְתָּ נְגִיד־ חִזְקִיָּהוּ אֶל־ נָגִיד עַמִּי כֹּה־ אָמַר יְהוָה אֱלֹהֵי
戻って そして–言え ― ヒゼキヤに の–指導者よ わたしの–民 こう 言う 主は の–神
H7725 H0559 H0413 H2396 H5057 H5971 H3541 H0559 H3068 H0430

דִּמְעָתֶךָ אֶת־ רָאִיתִי תְפִלָּתֶךָ אֶת־ שָׁמַעְתִּי אָבִיךָ דָּוִד
あなたの–涙を ― わたしは–見た あなたの–祈りを ― わたしは–聞いた あなたの–父の ダビデ
H1832 H0853 H7200 H8605 H0853 H8085 H0001 H1732

יְהוָה׃ בֵּית תַּעֲלֶה הַשְּׁלִישִׁי בַּיּוֹם לָךְ רָפָא הִנֵּה
主 の–宮に あなたは–上る 三番目 の–日に あなたを 癒す 見よ
H3068 H1004 H5927 H7992 H3117 H0000 H7495 H2009

「引き返して、わたしの民の君ヒゼキヤに言いなさい、『あなたの父ダビデの神、主はこう仰せられる、わたしはあなたの祈を聞き、あなたの涙を見た。見よ、わたしはあなたをいやす。三日目にはあなたは主の宮に上るであろう。

6 וְהֹסַפְתִּי עַל־ יָמֶיךָ חֲמֵשׁ עֶשְׂרֵה שָׁנָה וּמִכַּף מֶלֶךְ־ אַשּׁוּר
そして–加える に あなたの–日数 十五 ― 年を そして–の–手から の–王 アッシリア
H3254 H5921 H3117 H2568 H6240 H8141 H3709 H4428 H0804

וְאֶת הַזֹּאת הָעִיר עַל־ וְגַנּוֹתִי הַזֹּאת הָעִיר וְאֶת אַצִּילְךָ
そして 救い出す この–町を そして 守る ― この–町を ― この–町を そして–自身の–ために
H5337 H0853 H2063 H5892 H6449 H1598 H2063 H5892 H4616

וּלְמַעַן עַבְדִּי׃ דָּוִד
そして–ために わたしの–しもべの ダビデ
H4616 H5650 H1732

かつ、わたしはあなたのよわいを十五年増す。わたしはあなたと、この町とをアッスリヤの王の手から救い、わたしの名のため、またわたしのしもべダビデのためにこの町を守るであろう』」。

7 וַיֹּאמֶר יְשַׁעְיָהוּ קְחוּ דְּבֶלֶת תְּאֵנִים וַיִּקְחוּ וַיָּשִׂימוּ עַל־
そして–言った イザヤは 取りなさい の–塊 いちじく そして–取って 置いた ―
H0559 H3947 H1690 H8384 H3947 H7760 H5921

וַיָּחִי׃ הַשְּׁחִין
そして–癒えた 腫れ物の–上に
H2421 H7822

そしてイザヤは言った、「干しいちじくのひとかたまりを持ってきて、それを腫物につけさせなさい。そうすれば直るでしょう」。

8 וַיֹּאמֶר חִזְקִיָּהוּ אֶל־יְשַׁעְיָהוּ מָה אוֹת כִּי־יִרְפָּא יְהוָה לִי
そして-言った ヒゼキヤは イザヤに 何が しるしで-あるか ― 癒す 主が 私を
H0559 H2396 H0413 H4100 H0226 H7495 H3068

וְעָלִיתִי בַּיּוֹם הַשְּׁלִשִׁי בֵּית יְהוָה׃
そして-私が-上る の-日に 三番目 の-宮に 主
H5927 H3117 H7992 H1004 H3068

ヒゼキヤはイザヤに言った、「主がわたしをいやされる事と、三日目にわたしが主の家に上ることについて、どんなしるしがありましょうか」。

9 וַיֹּאמֶר יְשַׁעְיָהוּ זֶה־לְּךָ הָאוֹת מֵאֵת יְהוָה כִּי יַעֲשֶׂה יְהוָה
そして-言った イザヤは これが あなたへの しるしで-ある からの 主 ― 行う 主が
H0559 H2088 H0854 H3068 H0226 H3068

אֶת־הַדָּבָר אֲשֶׁר דִּבֶּר הֲלֵךְ הַצֵּל עֶשֶׂר מַעֲלוֹת אִם־יָשׁוּב עֶשֶׂר מַעֲלוֹת׃
その-言葉を ― 語られた 進むか 影が 十 段 それとも 戻るか 十 段
H1697 H0853 H1696 H1980 H6738 H6235 H4609 H7725 H6235 H4609

イザヤは言った、「主が約束されたことを行われることについては、主からこのしるしを得られるでしょう。すなわち日影が十度進むか、あるいは十度退くかです」。

10 וַיֹּאמֶר יְחִזְקִיָּהוּ נָקֵל לַצֵּל לִנְטוֹת עֶשֶׂר מַעֲלוֹת לֹא כִּי
そして-言った ヒゼキヤは 容易だ 影が 傾くのは 十 段 そうではなく ―
H0559 H2396 H7043 H6738 H5186 H6235 H4609 H3808 H3588

אִם־יָשׁוּב הַצֵּל אֲחֹרַנִּית עֶשֶׂר מַעֲלוֹת׃
戻らせて-ください 影を 後ろに 十 段
H7725 H6738 H0322 H6235 H4609

ヒゼキヤは答えた、「日影が十度進むことはたやすい事です。むしろ日影を十度退かせてください」。

11 וַיִּקְרָא יְשַׁעְיָהוּ הַנָּבִיא אֶל־יְהוָה וַיָּשֶׁב אֶת־הַצֵּל אֲשֶׁר יָרְדָה בְּמַעֲלוֹת
そして-呼んだ イザヤは 預言者が ― 主に そして-戻した ― 影を その-段で 下がった の-段で
H7121 H3470 H0413 H3068 H7725 H0853 H6738 H0834 H3381 H4609

אָחָז לְמַעְלָה עֶשֶׂר מַעֲלוֹת׃ פ
アハズ 後ろに 十 段 ―
H0271 H0322 H6235 H4609

そこで預言者イザヤが主に呼ばわると、アハズの日時計の上に進んだ日影を、十度退かせられた。

12 בָּעֵת הַהִיא שָׁלַח בְּלֹאדָן בַּלְאֲדָן בֶּן־מְרֹדַךְ בַּלְאֲדָן מֶלֶךְ בָּבֶל סְפָרִים
その-時 ― 遣わした ベロダク・バルアダンは の-子 バルアダン の-王 バビロン 書と
H6256 H1931 H7971 H1255 H1121 H1081 H4428 H0894

וּמִנְחָה אֶל־חִזְקִיָּהוּ כִּי שָׁמַע כִּי חָלָה חִזְקִיָּהוּ׃
贈り物を ― ヒゼキヤの-もとへ なぜなら 聞いた ― 病気に-なった-ことを ヒゼキヤが
H4503 H0413 H2396 H3588 H8085 H3588 H2396

そのころ、バラダンの子であるバビロンの王メロダクバラダンは、手紙と贈り物を持たせて使節をヒゼキヤにつかわした。これはヒゼキヤが病んでいることを聞いたからである。

13 וַיִּשְׁמַע עֲלֵיהֶם חִזְקִיָּהוּ וַיַּרְאֵם אֶת־כָּל־בֵּית נְכֹתֹה אֶת־ — そして-喜んだ / 彼らの-ことを / ヒゼキヤは / そして-見せた / — / すべての / の-家を / 宝物 / —
H8085 H5921 H2396 H7200 H0853 H3605 H0853 H5238 H0853

הַכֶּסֶף וְאֶת־ — 銀と
H3701 H0853

וְאֶת־ — 金と
H2091 H0853

הַזָּהָב וְאֶת־ — 香料と
H1314 H0853

הַבְּשָׂמִים וְאֶת — —
H8081 H0853

שֶׁמֶן הַטּוֹב וְאֵת — 油を / 良い / そして
H3627 H0853

כְּלֵיו בֵּית — 武器 / の-倉庫と
H1961 H3808

לֹא־ אֲשֶׁר דָּבָר הָיָה — なかった / — / 物は / — / —
H7200 H0214 H4672

בְּאוֹצְרֹתָיו נִמְצָא אֲשֶׁר כָּל־ — 彼の-宝物庫に / あった-ものを / — / すべての
H4474 H3605

מֶמְשַׁלְתּוֹ׃ וּבְכָל־ בְּבֵיתוֹ חִזְקִיָּהוּ — 支配地に / その-すべての / 彼の-家と / ヒゼキヤが
H2396

ヒゼキヤは彼らを喜び迎えて、宝物の蔵、金銀、香料、貴重な油および武器倉、ならびにその倉庫にあるすべての物を彼らに見せた。家にある物も、国にある物も、ヒゼキヤが彼らに見せない物は一つもなかった。

14 וַיָּבֹא יְשַׁעְיָהוּ הַנָּבִיא אֶל־ הַמֶּלֶךְ חִזְקִיָּהוּ וַיֹּאמֶר אֵלָיו מָה — 何を / 彼に / そして-言った / ヒゼキヤの-もとへ / 王 / — / 預言者が / イザヤ / そして-来た
H4100 H0413 H0559 H2396 H4428 H0413 H5030 H0935

וְאָמְרוּ הָאֲנָשִׁים מֵאַיִן וַיֹּאמֶר חִזְקִיָּהוּ אֵלֶיךָ בָּאוּ — その-人々は / どこから / そして-言った / ヒゼキヤは / あなたの-もとへ / 来たのか
H0559 H0376 H0370 H0428 H0935 H0413 H0559 H2396

מִבָּבֶל׃ בָּאוּ רְחוֹקָה מֵאֶרֶץ — バビロンから / 来た / 遠い / の-国から
H0894 H0935 H7350 H0776

その時、預言者イザヤはヒゼキヤ王のもとにきて言った、「あの人々は何を言いましたか。どこからきたのですか」。ヒゼキヤは言った、「彼らは遠い国から、バビロンからきたのです」。

15 וַיֹּאמֶר מָה רָאוּ בְּבֵיתֶךָ וַיֹּאמֶר חִזְקִיָּהוּ אֵת — そして-言った / 何を / 見たのか / あなたの-家で / そして-言った / ヒゼキヤは / —
H0559 H4100 H7200 H0559 H2396 H0853

כָּל־ אֲשֶׁר — すべての / —
H3605

בְּאֹצְרֹתָי׃ הֶרְאִיתִם לֹא־ אֲשֶׁר דָּבָר הָיָה לֹא־ רָאוּ בְּבֵיתִי — 私の-宝物庫に / 見せなかった / — / — / 物は / — / なかった / 見た / 私の-家に-ある-ものを
H0214 H7200 H3808 H1697 H1961 H3808 H7200

イザヤは言った、「彼らはあなたの家で何を見ましたか」。ヒゼキヤは答えて言った、「わたしの家にある物を皆見ました。わたしの倉庫のうちには、わたしが彼らに見せない物は一つもありません」。

16 וַיֹּאמֶר יְשַׁעְיָהוּ אֶל־ חִזְקִיָּהוּ שְׁמַע דְּבַר־ יְהוָה׃ — そして-言った / イザヤは / — / ヒゼキヤに / 聞きなさい / の-言葉を / 主
H0559 H0413 H2396 H8085 H1697 H3068

そこでイザヤはヒゼキヤに言った、「主の言葉を聞きなさい、

17 הִנֵּה יָמִים בָּאִים וְנִשָּׂא כָּל־ אֲשֶׁר בְּבֵיתֶךָ וַאֲשֶׁר — 見よ / 日々が / 来る / そして-運び-去られる / すべての / — / あなたの-家に-ある-ものが / そして
H2009 H3117 H0935 H5375 H3605

אָצְרוּ אֲבֹתֶיךָ עַד־ הַיּוֹם הַזֶּה לֹא־ בָבֶלָה יוּבָא לֹא דָבָר יֹאמַר — 蓄えた-ものを / あなたの-先祖たちが / まで / の-日 / この / 何も / バビロンへ / 残らない / 物は / 言う
H0686 H0001 H5704 H3117 H2088 H3808 H0894 H3498 H1697 H0559

יְהוָה׃ — 主は
H3068

『主は言われる、見よ、すべてあなたの家にある物、および、あなたの先祖たちが今日までに積みたくわえた物の、バビロンに運び去られる日が来る。何も残るものはないであろう。

18

וְקח֣[	תּוֹלִ֔יד	אֲשֶׁ֖ר	מִמְּךָ֑	יֵצֵ֣א	אֲשֶׁ֥ר	וּמִבָּנֶ֖יךָ	
—	あなたが-もうける	—	あなたから	出る	—	そして-あなたの-息子たちから	
H3947	H3205			H3318			

בָּבֶֽל׃	מֶ֣לֶךְ	בְּהֵיכַ֖ל	סָרִיסִ֥ים	וְהָי֛וּ	)יִקָּחוּ֥(
バビロンの	王	の-宮殿で	宮廷の-役人に	そして-なる	連れて-行かれる
H0894	H4428	H1964	H5631	H1961	H3947

また、あなたの身から出るあなたの子たちも連れ去られ、バビロンの王の宮殿で宦官となるであろう』」。

19

דְּבַ֣ר	אֲשֶׁ֔ר	יְהוָ֖ה	דְּבַר־	טֽוֹב	יְשַׁעְיָ֑הוּ	אֶל־	חִזְקִיָּ֣הוּ	וַיֹּ֤אמֶר
あなたが-語った	—	主	の-言葉は	良い	イザヤに	—	ヒゼキヤは	そして-言った
H1696		H3068	H1697			H0413	H2396	H0559

בְּיָמָֽי׃	יְהִ֥י	וֶאֱמֶ֖ת	שָׁלֹ֥ום	אִם־	הֲלֹ֑וא	וַיֹּ֣אמֶר
私の-生きている-間に	あるのなら	誠実が	平和と	—	そうでは-ないか	そして-言った
H3117	H1961	H0571	H7965		H3808	H0559

ヒゼキヤはイザヤに言った、「あなたが言われた主の言葉は結構です」。彼は「せめて自分が世にあるあいだ、平和と安全があれば良いことではなかろうか」と思ったからである。

20

הַבְּרֵכָ֔ה	אֶת־	עָשָׂ֖ה	וַאֲשֶׁ֣ר	גְּבוּרָתֹ֑ו	כָּל־	חִזְקִיָּ֣הוּ	דִּבְרֵי֙	וְיֶ֣תֶר
池と	—	造った-こと	—	力と	その-すべての	ヒゼキヤの	事績は	その-他の
H1295	H0853			H1369	H3605	H2396	H1697	

עַל־	כְּתוּבִ֔ים	הֵ֣ם	הֲלֹא־	הָעִ֑ירָה	הַמָּ֣יִם	אֶת־	וַיָּבֵ֖א	הַתְּעָלָ֥ה	וְאֶת־
—	書かれている	それらは	—	町の-中に	水を	—	そして-引いた	水路と	—
	H3789	H1992	H3808		H4325	H0853	H0935		H0853

יְהוּדָֽה׃	לְמַלְכֵ֖י	הַיָּמִ֑ים	דִּבְרֵי֙	סֵ֣פֶר
ユダ	の-王たちの	—	歴代誌	の-書に
H3063	H4428	H3117	H1697	

ヒゼキヤのその他の事績とその武勇および、彼が貯水池と水道を作って、町に水を引いた事は、ユダの王の歴代志の書にしるされているではないか。

21

בְּנֹ֔ו	מְנַשֶּׁ֖ה	וַיִּמְלֹ֣ךְ	אֲבֹתָ֑יו	עִם־	חִזְקִיָּ֣הוּ	וַיִּשְׁכַּ֖ב	
彼の-子が	マナセが	そして-王と-なった	先祖たち	と-共に	ヒゼキヤは	そして-休んだ	
	H4519		H0001		H2396	H7901	

פ	תַּחְתָּ֥יו׃	
—	彼に-代わって	
	H8478	

ヒゼキヤはその先祖たちと共に眠って、その子マナセが代って王となった。

Chapter 21

1

מָלַ֣ךְ	שָׁנָ֔ה	וְחָמֵ֣שׁ	וַחֲמִשִּׁ֖ים	בְּמָלְכֹ֑ו	מְנַשֶּׁ֣ה	שָׁנָה֙	עֶשְׂרֵ֣ה	שְׁתֵּ֔ים	בֶּן־
治めた	年間	—	五十五	王と-なった-時	マナセは	歳の	—	十二	の-子
	H8141	H2568	H2572		H4519	H8141	H6240	H8147	

בָּה׃	חֶפְצִי־	אִמֹּ֔ו	וְשֵׁם	בִּירוּשָׁלִָ֑ם
バ	ヘフツィ・	彼の-母の	そして-名は	エルサレムで
H2657	H2657	H0517	H8034	H3389

マナセは十二歳で王となり、五十五年の間、エルサレムで世を治めた。母の名はヘフジバといった。

2

וַיַּעַשׂ הָרַע בְּעֵינֵי יְהוָה כְּתוֹעֲבֹת הַגּוֹיִם אֲשֶׁר הוֹרִישׁ
そして-行った 悪を の-目に 主 の-忌まわしい-ことの-ように 諸国民 — 追い出した
H3423 H8441 H3068

יְהוָה מִפְּנֵי בְּנֵי יִשְׂרָאֵל׃
主が の-前から の-子ら イスラエル
H3068 H6440 H3478

マナセは主がイスラエルの人々の前から追い払われた国々の民の憎むべきおこないにならって、主の目の前に悪をおこなった。

3

וַיָּשָׁב וַיִּבֶן אֶת־הַבָּמוֹת אֲשֶׁר אִבַּד חִזְקִיָּהוּ אָבִיו וַיָּקֶם
そして-再び 建てた — 高き-所を 壊した ヒゼキヤが 彼の-父 そして-立てた
H7725 H1129 H0853 H1116 H0006 H2396 H0001

מִזְבְּחֹת לַבַּעַל וַיַּעַשׂ אֲשֵׁרָה כַּאֲשֶׁר עָשָׂה אַחְאָב מֶלֶךְ
祭壇を バアルの-ために そして-造った アシェラ像を ちょうど 行った-ように アハブが の-王
H4196 H1168 H6213 H0842 H3644 H6213 H0256 H4428

וַיַּעֲבֹד אֹתָם׃ הַשָּׁמַיִם צְבָא לְכָל־ וַיִּשְׁתַּחוּ יִשְׂרָאֵל
そして-仕えた それらに 天の 軍勢に すべての そして-ひれ伏した イスラエル
H5647 H0853 H8064 H3605 H7812 H3478

彼は父ヒゼキヤがこわした高き所を建て直し、またイスラエルの王アハブがしたようにバアルのために祭壇を築き、アシラ像を造り、かつ天の万象を拝んで、これに仕えた。

4

וּבָנָה מִזְבְּחֹת בְּבֵית יְהוָה אֲשֶׁר אָמַר יְהוָה בִּירוּשָׁלַם אָשִׂים אֶת־
そして-建てた 祭壇を の-宮に 主 — 言われた 主が エルサレムに 置く —
H1129 H4196 H3068 H3068 H0559 H3389 H7760 H0853

שְׁמִי׃
わたしの-名を
H8034

また主の宮のうちに数個の祭壇を築いた。これは主が「わたしの名をエルサレムに置こう」と言われたその宮である。

5

וַיִּבֶן לְכָל־ צְבָא הַשָּׁמָיִם בִּשְׁתֵּי חַצְרוֹת בֵּית־ יְהוָה׃
そして-建てた すべての 軍勢の-ために 天の 二つの 庭に の-宮の 主
H1129 H3605 H6635 H8064 H8147 H2691 H1004 H3068

彼はまた主の宮の二つの庭に天の万象のために祭壇を築いた。

6

וְהֶעֱבִיר אֶת־ בְּנוֹ בָּאֵשׁ וְעוֹנֵן וְנִחֵשׁ וְעָשָׂה
そして-通らせた — 彼の-息子を 火の-中に そして-占いを-行い まじないを-し そして-用いた
H5674 H0853 H1121 H0784 H6049 H5172 H6213

וְיִדְּעֹנִים וְהִרְבָּה לַעֲשׂוֹת הָרַע בְּעֵינֵי יְהוָה לְהַכְעִיס׃
占い師を 大いに 行った 悪を の-目に 主 怒らせる-ために
H3049 H7235 H6213 H7451 H5869 H3068 H3707

またその子を火に焼いてささげ物とし、占いをし、魔術を行い、口寄せと魔法使を用い、主の目の前に多くの悪を行って、主の怒りを引き起した。

7

וַיָּ֣שֶׂם אֶת־ פֶּ֠סֶל הָאֲשֵׁרָ֨ה אֲשֶׁר־ עָשָׂ֜ה בַּבַּ֗יִת אֲשֶׁ֨ר אָמַ֤ר יְהוָה֙
そして-置いた ― 彫り-像を アシェラの ― 造った その-宮に ― 言われた 主が
H6459 H0842 H0853 H0559 H3068

אֶל־ דָּוִ֣ד וְאֶל־ שְׁלֹמֹ֣ה בְנֹ֔ו בַּבַּ֥יִת הַזֶּ֖ה וּבִירוּשָׁלַ֑͏ִם אֲשֶׁ֣ר
― ダビデと そして ソロモンに 彼の-子 この-宮で そして-エルサレムで ―
H1732 H0413 H8010 H2088 H3389

בָּחַ֙רְתִּי֙ מִכֹּ֣ל שִׁבְטֵ֣י יִשְׂרָאֵ֔ל אָשִׂ֥ים אֶת־ שְׁמִ֖י לְעֹולָֽם׃
わたしが-選んだ すべての-中から 部族 イスラエルの 置く ― わたしの-名を 永遠に
H0977 H3605 H7626 H3478 H0853 H8034 H5769

彼はまたアシラの彫像を作って主の宮に置いた。主はこの宮についてダビデとその子ソロモンに言われたことがある、「わたしはこの宮と、わたしがイスラエルのすべての部族のうちから選んだエルサレムとに、わたしの名を永遠に置く。

8

וְלֹ֣א אֹסִ֗יף לְהָנִ֛יד רֶ֥גֶל יִשְׂרָאֵ֖ל מִן־ הָאֲדָמָ֑ה אֲשֶׁ֣ר
そして-決して 再び-はしない さまよわせる-ことを 足を イスラエルの から 地 ―
H3808 H3254 H5110 H7272 H3478 H0127

הֶעֱמַ֙דְתִּי֙ לַאֲבֹותָ֔ם רַ֗ק אִם־ יִשְׁמְר֤וּ לַעֲשֹׂות֙ כְּכֹ֣ל אֲשֶׁ֣ר
わたしが-与えた 先祖たちに ただし ― 守るなら 行う-ことを すべての ―
H5414 H0001 H7535 H8104 H6680 H3605

צִוִּיתִ֔ים וּלְכֹ֣ל הַתֹּורָ֗ה אֲשֶׁ֨ר־ צִוָּ֤ה אֹתָם֙ עַבְדִּ֖י מֹשֶֽׁה׃
わたしが-命じた そして-すべての 律法を ― 命じた 彼らに わたしの-しもべ モーセが
H6680 H8451 H6680 H0853 H5650 H4872

もし、彼らがわたしが命じたすべての事、およびわたしのしもべモーセが命じたすべての律法を守り行うならば、イスラエルの足を、わたしが彼らの先祖たちに与えた地から、重ねて迷い出させないであろう」。

9

וְלֹ֣א שָׁמְע֔וּ וַיַּתְעֵ֥ם מְנַשֶּׁ֖ה לַעֲשֹׂ֣ות הָרַ֑ע מִן־ אֶת־
しかし-決して 聞かなかった そして-惑わした マナセが 行う-ように 悪を よりも ―
H3808 H8085 H8582 H4519 H6213 H7451 H0853

הַגֹּויִ֔ם אֲשֶׁ֥ר הִשְׁמִ֛יד יְהוָ֖ה מִפְּנֵ֣י בְנֵ֥י יִשְׂרָאֵֽל׃
諸国民 ― 滅ぼした 主が の-前から の-子ら イスラエル
H1471 H8045 H3068 H6440 H1121 H3478

しかし彼らは聞きいれなかった。マナセが人々をいざなって悪を行ったことは、主がイスラエルの人々の前に滅ぼされた国々の民よりもはなはだしかった。

10

וַיְדַבֵּ֣ר יְהוָ֗ה בְּיַד־ עֲבָדָ֤יו הַנְּבִיאִים֙ לֵאמֹ֖ר׃
そして-語った 主は の-手を-通して しもべたち 預言者 言って
H1696 H3068 H3027 H5650 H5030 H0559

そこで主はそのしもべである預言者たちによって言われた、

11

יַ֣עַן אֲשֶׁ֣ר עָשָׂ֗ה מְנַשֶּׁ֤ה מֶֽלֶךְ־ יְהוּדָה֙ הַתֹּועֵבֹ֣ת הָאֵ֔לֶּה הֵרַ֖ע
ゆえに ― 行った マナセが の-王 ユダ 忌まわしい-ことを これらの 悪を-行い
H3282 H6213 H4428 H3063 H8441 H0428 H7489

מִכֹּ֣ל אֲשֶׁ֣ר עָשׂ֔וּ הָאֱמֹרִ֖י אֲשֶׁ֣ר לְפָנָ֑יו וַיַּחֲטֵ֥א גַּם־ אֶת־
すべて-よりも ― 行った アモリ人が ― 彼以前に そして-罪を-犯させた また ―
H3605 H6213 H0567 H6213 H6440 H2398 H1571 H0853

פ יְהוּדָ֖ה בְּגִלּוּלָֽיו׃
― ユダにも 彼の-偶像で
H3063 H1544

「ユダの王マナセがこれらの憎むべき事を行い、彼の先にあったアモリびとの行ったすべての事よりも悪い事を行い、またその偶像をもってユダに罪を犯させたので、

12 לָכֵן כֹּה־ אָמַר יְהוָה אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל הִנְנִי מֵבִיא רָעָה
それゆえ こう 言う 主は の–神 イスラエル 見よ、わたしは もたらす 災いを
H3541 H0559 H3068 H0430 H3478 H2009 H0935

עַל־ כָּל־ אֲשֶׁר יְהוּדָה וְיִרוּשָׁלִַם שמעין] [שֹׁמְעָהּ) תִּצַּלְנָה שְׁתֵּי אָזְנָיו׃
の–上に すべての — ユダ エルサレムと 聞く–者は 鳴り響く 両方の 耳が
H3605 — H3063 H3389 H8085 H8085 H6750 H8147 H0241

イスラエルの神、主はこう仰せられる、見よ、わたしはエルサレムとユダに災をくだそうとしている。これを聞く者は、その耳が二つながら鳴るであろう。

13 וְנָטֵיתִי עַל־ יְרוּשָׁלִַם אֶת־ קָו שֹׁמְרוֹן וְאֶת־ מִשְׁקֹלֶת בֵּית
そして–張る の–上に エルサレム — 測り–縄を サマリアの そして 下げ–振りを の–家の
H5186 H0853 H3389 H0853 H8111 H0853 H4949

אַחְאָב וּמָחִיתִי אֶת־ יְרוּשָׁלִַם כַּאֲשֶׁר יִמְחֶה הַצַּלַּחַת מָחָה
アハブ そして–拭い–去る — エルサレムを ちょうど 拭う–ように 皿を 拭いて
H0256 H0853 H3389 H0853 H4747

וְהָפַךְ עַל־ פָּנֶיהָ׃
そして–裏返す — その–面を
H2015 H6440

わたしはサマリヤをはかった測りなわと、アハブの家に用いた下げ振りをエルサレムにほどこし、人が皿をぬぐい、これをぬぐって伏せるように、エルサレムをぬぐい去る。

14 וְנָטַשְׁתִּי אֶת שְׁאֵרִית נַחֲלָתִי וּנְתַתִּים בְּיַד אֹיְבֵיהֶם וְהָיוּ
そして–見捨てる — 残りの–者を わたしの–縄地 そして–渡す の–手に 彼らの–敵 そして–なる
H5203 H0853 H7611 H5159 H5414 H3027 H0341 H1961

לְבַז וְלִמְשִׁסָּה לְכָל־ אֹיְבֵיהֶם׃
略奪と そして–捕奪物に すべての 彼らの–敵に
H0957 H4933 H3605 H0341

わたしは、わたしの嗣業の民の残りを捨て、彼らを敵の手に渡す。彼らはもろもろの敵のえじきとなり、略奪にあうであろう。

15 יַעַן אֲשֶׁר עָשׂוּ הָרַע בְּעֵינַי וַיִּהְיוּ מַכְעִסִים אֹתִי
ゆえに — 行った 悪を わたしの–目に そして–あった 怒らせる–者で わたしを
H3282 H0853 H6213 H7451 H5869 H1961 H3707 H0853

מִן־ הַיּוֹם אֲשֶׁר יָצְאוּ אֲבוֹתָם מִמִּצְרַיִם וְעַד הַיּוֹם הַזֶּה׃
の–日 から 出た 先祖たちが エジプトから まで の–日 この
H3117 H3318 H1 H4714 H5704 H3117 H2088

これは彼らの先祖たちがエジプトを出た日から今日に至るまで、彼らがわたしの目の前に悪を行って、わたしを怒らせたためである」。

16 וְגַם דָּם נָקִי שָׁפַךְ מְנַשֶּׁה הַרְבֵּה מְאֹד עַד אֲשֶׁר מִלֵּא
そして–また 血を 罪なき 流した マナセは 大いに 非常に まで — 満たした
H1571 H1818 H5355 H4519 H7235 H3966 H5704 H834 H4390

אֶת־ יְרוּשָׁלִַם פֶּה לָפֶה מִלְּבַד חַטָּאתוֹ אֲשֶׁר הֶחֱטִיא אֶת־ יְהוּדָה
エルサレムを 端から 端まで の–ほかに 彼の–罪に–加えて — 罪を–犯させた — ユダに
H3389 H6310 H6310 H905 H2403 H834 H2398 H853 H3063

לַעֲשׂוֹת הָרַע בְּעֵינֵי יְהוָה׃
行う–ように 悪を の–目に 主
H3068 H5869 H7451 H6213

マナセはまた主の目の前に悪を行って、ユダに罪を犯させたその罪のほかに、罪なき者の血を多く流して、エルサレムのこの果から、かの果にまで満たした。

17 וְיֶתֶר דִּבְרֵי מְנַשֶּׁה וְכָל־אֲשֶׁר עָשָׂה וְחַטָּאתוֹ אֲשֶׁר חָטָא
その–すべての マナセの 事績は その–他の 彼の–罪と 行った–ことと —
H3605 H4519 H1697 H2398

הֲלֹא־הֵם כְּתוּבִים עַל־סֵפֶר דִּבְרֵי הַיָּמִים לְמַלְכֵי יְהוּדָה׃
書かれている それらは — 歴代誌 の–書に — の–王たちの ユダ
H3789 H1992 H3808 H1697 H3117 H4428 H3063

マナセのその他の事績と、彼がおこなったすべての事およびその犯した罪は、ユダの王の歴代志の書にしるされているではないか。

18 וַיִּשְׁכַּב מְנַשֶּׁה עִם־אֲבֹתָיו וַיִּקָּבֵר בְּגַן־בֵּיתוֹ בְּגַן עֻזָּא
そして–休んだ マナセは と–共に 先祖たち そして–葬られた 彼の–家 の–庭に ウッザ
H7901 H4519 H0001 H6912 H1588 H1588

וַיִּמְלֹךְ אָמוֹן בְּנוֹ תַּחְתָּיו׃ פ
そして–王と–なった アモンが 彼の–子が 彼に–代わって —
H0526 H8478

マナセは先祖たちと共に眠って、その家の園すなわちウザの園に葬られ、その子アモンが代って王となった。

19 בֶּן־עֶשְׂרִים שָׁנָה וּשְׁתַּיִם מָלַךְ בִּירוּשָׁלִָם וְשֵׁם אִמּוֹ מְשֶׁלֶמֶת בַּת־חָרוּץ מִן־יָטְבָה׃
の–子 二十二 — 歳の アモンは 王と–なった–時 二 年間 治めた エルサレムで 彼の–母の メシュレメト の–娘 ハルツ からの ヨトバ
H6242 H8147 H8141 H0526 H8147 H8141 H3389 H8034 H0517 H4922 H1323 H2743 H3192

アモンは王となった時二十二歳であって、エルサレムで二年の間、世を治めた。母はヨテバのハルツの娘で、名をメシュレメテといった。

20 וַיַּעַשׂ הָרַע בְּעֵינֵי יְהוָה כַּאֲשֶׁר עָשָׂה מְנַשֶּׁה אָבִיו׃
そして–行った 悪を の–目に 主 ちょうど 行った–ように マナセが 彼の–父
H6213 H7451 H5869 H3068 H3651 H6213 H4519 H0001

アモンはその父マナセのおこなったように、主の目の前に悪を行った。

21 וַיֵּלֶךְ בְּכָל־הַדֶּרֶךְ אֲשֶׁר־הָלַךְ אָבִיו וַיַּעֲבֹד אֶת־הַגִּלֻּלִים אֲשֶׁר עָבַד אָבִיו וַיִּשְׁתַּחוּ לָהֶם׃
そして–歩んだ すべての 道を — 歩んだ 彼の–父が そして–仕えた — 偶像に 仕えた 彼の–父が そして–ひれ伏した それらに
H3212 H3605 H1870 H0834 H1980 H0001 H5647 H0853 H1544 H5647 H0001 H7812 H0

すなわち彼はすべてその父の歩んだ道に歩み、父の仕えた偶像に仕えて、これを拝み、

22 וַיַּעֲזֹב אֶת־יְהוָה אֱלֹהֵי אֲבֹתָיו וְלֹא הָלַךְ בְּדֶרֶךְ יְהוָה׃
そして–捨てた — 主を の–神 先祖たち 決して 歩まなかった の–道を 主
H5800 H0853 H3068 H0430 H1 H3808 H1980 H1870 H3068

先祖たちの神、主を捨てて、主の道に歩まなかった。

23 וַיִּקְשְׁרוּ עַבְדֵי־אָמוֹן עָלָיו וַיָּמִיתוּ אֶת־הַמֶּלֶךְ בְּבֵיתוֹ׃
そして–謀りを–たてた の–家来たちが アモン 彼に–対して そして–殺した — 王を 彼の–家で
H7194 H5650 H0526 H5921 H4191 H0853 H4428 H1004

アモンの家来たちはついに彼に敵して徒党を結び、王をその家で殺したが、

24 וַיִּקְשְׁרוּ עַבְדֵי־אָמוֹן עַל־הַמֶּלֶךְ וַיָּמִתוּ אֶת־הַמֶּלֶךְ בְּתוֹךְ בֵּיתוֹ׃
そして–打ち殺した の–民が 地 を— すべての に–対する 王 アモン
H5221 H5971 H0776 H0853 H3605 H7194 H4428 H0526

וַיַּמְלִיכוּ עַם־הָאָרֶץ אֶת־יֹאשִׁיָּהוּ בְנוֹ תַּחְתָּיו׃
そして–王と–した の–民は 地 を— ヨシヤを 彼の–子を 彼に–代わって
H4427 H5971 H0776 H0853 H2977 H1121 H8478

国の民は、アモン王に敵して徒党を結んだ者をことごとく撃ち殺した。そして国の民はアモンの子ヨシヤを王としてアモンに代らせた。

25 וְיֶתֶר דִּבְרֵי אָמוֹן אֲשֶׁר־עָשָׂה הֲלֹא־הֵם כְּתוּבִים עַל־סֵפֶר דִּבְרֵי הַיָּמִים לְמַלְכֵי יְהוּדָה׃
その–他の 事績は アモンの — 行った — それらは 書かれている に–書に ユダ の–王たちの — 歴代誌
H1697 H1697 H0526 H3808 H6213 H1992 H3789 H5921 H3063 H4428 H3117 H1697

アモンのその他の事績は、ユダの王の歴代志の書にしるされているではないか。

26 וַיִּקְבְּרוּ אֹתוֹ בְקִבְרָתוֹ בְּגַן־עֻזָּא וַיִּמְלֹךְ יֹאשִׁיָּהוּ בְנוֹ תַּחְתָּיו׃ פ
そして–葬った 彼を 彼の–墓に の–庭に ウッザ そして–王と–なった ヨシヤが 彼の–子が 彼に–代わって — —
H8478 H5921 H1588 H6900 H853 H6912

アモンはウザの園にある墓に葬られ、その子ヨシヤが代って王となった。

Chapter 22

1 בֶּן־שְׁמֹנֶה שָׁנָה יֹאשִׁיָּהוּ בְּמָלְכוֹ וּשְׁלֹשִׁים וְאַחַת שָׁנָה מָלַךְ בִּירוּשָׁלָ͏ִם
エルサレムで 治めた 年間 — 三十一 王と–なった–時 ヨシヤは 歳の 八 の–子
H3389 H4427 H8141 H0259 H7970 H4427 H3117 H8083 H1121

וְשֵׁם אִמּוֹ יְדִידָה בַּת־עַדָיָה מִבָּצְקַת׃
そして–名は 彼の–母の エディダ の–娘 アダヤ ボツカテから
H8034 H3117 H3040 H1323 H5718 H1218

ヨシヤは八歳で王となり、エルサレムで三十一年の間、世を治めた。母はボヅカテのアダヤの娘で、名をエデダといった。

2 וַיַּעַשׂ הַיָּשָׁר בְּעֵינֵי יְהוָה וַיֵּלֶךְ בְּכָל־דֶּרֶךְ דָּוִיד אָבִיו לֹא־סָר יָמִין וּשְׂמֹאוֹל׃ פ
そして–行った 正しい–ことを の–目に 主 そして–歩んだ すべての 道を ダビデ 彼の–父の そして–決して 右にも 左にも —
H3808 H8040 H3225 H5493 H3212 H3605 H1870 H1732 H0001 H3477 H5869 H3068

ヨシヤは主の目にかなう事を行い、先祖ダビデの道に歩んで右にも左にも曲らなかった。

3 וַיְהִי בִּשְׁמֹנֶה עֶשְׂרֵה שָׁנָה לַמֶּלֶךְ יֹאשִׁיָּהוּ שָׁלַח הַמֶּלֶךְ אֶת־שָׁפָן
そして-あった 十八 年目に の-王 ヨシヤ 遣わした 王は ―(H0853) シャファンを
H1961 H8083 H8141 H4428 H7971 H4428 H6240 H2977

בֶּן־אֲצַלְיָהוּ בֶּן־מְשֻׁלָּם הַסֹּפֵר בֵּית יְהוָה לֵאמֹר׃
アツァルヤ の-子 メシュラム の-子 書記官を の-宮へ 主 言って
H0683 H4918 H3068 H0559

ヨシヤ王の第十八年に王はメシュラムの子アザリヤの子である書記官シャパンを主の宮につかわして言った、

4 עֲלֵה אֶל־חִלְקִיָּהוּ הַכֹּהֵן הַגָּדוֹל וְיִתֻּם אֶת־הַכֶּסֶף הַמּוּבָא
上れ ―(H0413) ヒルキヤの-もとへ 祭司 大いなる そして-計算せよ ―(H0853) 銀を 持ち込まれた
H5927 H3548 H2518 H8552 H0853 H3701 H0935

בֵּית יְהוָה אֲשֶׁר אָסְפוּ שֹׁמְרֵי הַסַּף מֵאֵת הָעָם׃
の-宮に 主 ―(H3068) 集めた の-番人たちが 門 から 民
H3068 H0622 H8104 H0854

「大祭司ヒルキヤのもとへのぼって行って、主に宮にはいってきた銀、すなわち門を守る者が民から集めたものの総額を彼に数えさせ、

5 וְיִתְּנוּהוּ (ויתנה) בְּיַד עֹשֵׂי הַמְּלָאכָה הַמְפֻקָּדִים בְּבֵית (בבית)
―(H5414) ―(H5414) ―(H3027) の-行う者たち 工事 ―(H4399) 任命された ―(H0853) の-宮
そして-渡せ

וְיִתְּנוּ אֹתוֹ לְעֹשֵׂי הַמְּלָאכָה אֲשֶׁר בְּבֵית יְהוָה לַחֲזֹק
そして-渡させよ それを の-行う者たちに 工事 ―(H4399) の-宮で 主 修繕する-ために
H5414 H0853 H3068 H2388

בֶּדֶק הַבָּיִת׃
破損を その-宮の
H0919

それを工事をつかさどる主の宮の監督者の手に渡させ、彼らから主の宮で工事をする者にそれを渡して、宮の破れを繕わせなさい。

6 לַחֹצְבִים וְלַגֹּזְרִים וְלִקְנוֹת עֵצִים וְאַבְנֵי מַחְצֵב לַחֲזֹק
大工と 石工と 壁-造りと そして-買う-ために 木材と の-石を 切り出した 修繕する-ために
H2796 H1129 H1443 H7069 H6086 H0068 H4274 H2388

אֶת־הַבָּיִת׃
―(H0853) その-宮を

すなわち木工と建築師と石工にそれを渡し、また宮を繕う材木と切り石を買わせなさい。

7 כִּי לֹא יֵחָשֵׁב עִמָּם הַכֶּסֶף הַנִּתָּן עַל־יָדָם כִּי בֶאֱמוּנָה הֵם עֹשִׂים׃
なぜなら ―(H3027) の-手に 渡された 銀を 彼らと 会計する-必要は-ない 決して ただし 行っている 彼らは 誠実に
H3027 H5414 H3701 H0854 H2803 H3808 H0389 H1992 H0530

ただし彼らは正直に事を行うから、彼らに渡した銀については彼らと計算するに及ばない」。

8 וַיֹּ֤אמֶר חִלְקִיָּהוּ֙ הַגָּד֣וֹל הַכֹּהֵ֔ן עַל־ הַסֵּ֖פֶר סֵ֣פֶר הַתּוֹרָ֑ה
そして-言った ヒルキヤは 大いなる 祭司 に 書記官に の-書を 律法
H0559 H2518 H3548 H0413 H5414 H3068 H4672

שָׁפָ֔ן וַיִּתֵּ֥ן חִלְקִיָּ֖הוּ אֶת־ הַסֵּ֣פֶר אֶל־ שָׁפָ֔ן וַיִּקְרָאֵֽהוּ׃
シャファンに そして-渡した ヒルキヤは — その-書を — シャファンに そして-読んだ
H7121 H0853 H0413 H4428 H3701 H5650 H5413 H0559

その時大祭司ヒルキヤは書記官シャパンに言った、「わたしは主の宮で律法の書を見つけました」。そしてヒルキヤがその書物をシャパンに渡したので、彼はそれを読んだ。

9 וַיָּבֹ֤א שָׁפָן֙ הַסֹּפֵ֔ר אֶל־ הַמֶּ֖לֶךְ וַיָּ֣שֶׁב הַמֶּ֑לֶךְ דָּבָ֔ר
そして-来た シャファンは 書記官が — 王に そして-報告した 王の-もとへ 言葉を
H1961 H8085 H6680 H4428 H3068 H1697

עֲבָדֶ֙יךָ֙ אֶת־ הַכֶּ֣סֶף הַנִּמְצָ֔א בַּבַּ֖יִת וַיֹּ֣אמֶר
あなたの-しもべたちは — 銀を 見つかった その-宮で そして-言った
H0559 H5414 H3027 H0413 H4428 H3701 H4672 H1961

יְהוָ֔ה בֵּ֣ית בְּיַד֙ עֹשֵׂ֣י הַמְּלָאכָ֔ה הַמְפֻקָּדִ֖ים בֵּ֣ית
主 の-宮の 工事 の-行う者たち — の-手に 任命された 主 の-宮の
H3068 H4399 H5650 H0853 H5413 H5046 H6440 H7121 H3548

書記官シャパンは王のもとへ行き、王に報告して言った、「しもべどもは宮にあった銀を皆出して、それを工事をつかさどる主の宮の監督者の手に渡しました」。

10 וַיַּגֶּד֩ שָׁפָ֨ן הַסֹּפֵ֜ר לַמֶּ֗לֶךְ לֵאמֹר֙ נָתַ֤ן לִי֙ חִלְקִיָּ֣ה סֵ֔פֶר
そして-告げた シャファンは 書記官が 王に 言って 与えた わたしに ヒルキヤが 書
H1961 H8085 H6680 H4428 H3068 H1697 H0853 H0413 H4428 H3701 H5650 H5413

וַיִּקְרָאֵ֥הוּ שָׁפָ֖ן לִפְנֵ֥י הַמֶּֽלֶךְ׃ הַכֹּהֵ֔ן
そして-読んだ シャファンが の-前で 王 祭司が
H7121 H6440 H4428 H3548

書記官シャパンはまた王に告げて「祭司ヒルキヤはわたしに一つの書物を渡しました」と言い、それを王の前で読んだ。

11 וַיְהִ֗י כְּשָׁמְעַ֤ הַמֶּ֙לֶךְ֙ אֶת־ דִּבְרֵ֣י סֵ֔פֶר הַתּוֹרָ֑ה וַיִּקְרַ֖ע אֶת־ בְּגָדָֽיו׃
そして-あった 聞いた-時 王が — 言葉を の-書の 律法 引き裂いた — 彼の-衣を
H1961 H8085 H4428 H0853 H1697 H8451 H7167 H0853 H0413

王はその律法の書の言葉を聞くと、その衣を裂いた。

12 וַיְצַ֣ו הַמֶּ֡לֶךְ אֶת־ חִלְקִיָּ֣הוּ הַכֹּהֵן֩ וְאֶת־ אֲחִיקָ֨ם בֶּן־ שָׁפָ֜ן וְאֶת־ עַכְבּ֣וֹר בֶּן־ מִיכָ֗יָהוּ וְאֶת־ שָׁפָן֙ הַסֹּפֵ֔ר וְאֵ֖ת עֲשָׂיָ֣ה עֶבֶד־ הַמֶּ֑לֶךְ לֵאמֹֽר׃
そして-命じた 王は — ヒルキヤと 祭司 そして アヒカム の-子 そして シャファン 書記官と そして アサヤ の-しもべ 王 言って
H6680 H4428 H0853 H2518 H3548 H0853 H0296 H1121 H0853 H7749 H5907 H4320 H0853 H8227 H5650 H6222 H0853 H4428 H0559

そして王は祭司ヒルキヤと、シャパンの子アヒカムと、ミカヤの子アクボルと、書記官シャパンと、王の大臣アサヤとに命じて言った、

13 לְכוּ֙ דִּרְשׁ֣וּ אֶת־ יְהוָ֔ה בַּעֲדִ֖י וּבְעַ֣ד־ הָעָ֑ם וּבְעַד֙ כָּל־

行って 尋ねよ ― 主に わたしの–ために そして–ために 民の そして–ために すべての
H3212 H1875 H0853 H3068 H1157 H1157 H1157 H3605

יְהוּדָ֔ה עַל־ הַדְּבָרִ֖י הַסֵּ֣פֶר הַנִּמְצָ֑א הַזֶּ֔ה כִּי־ גְדוֹלָ֤ה חֲמַת־

ユダの について 言葉 その–書の 見つかった この なぜなら 大きい の–怒りが
H3063 H1697 H4672 H2088 H3588 H1419 H2534

יְהוָה֙ אֲשֶׁ֣ר לֹא־ שָׁמְע֔וּ עַל֙ אֲשֶׁ֣ר לֹא־ עָשׂ֔וּ כְּכָל־

主 ― 聞かなかった ゆえに ― 決して わたしたちに–対して すべての
H3068 H8085 H5921 H3808 H834 H3808 H1931 H3605

הַכָּת֖וּב עָלֵ֑ינוּ׃ אֶת־ הַדָּבָ֥ר הַסֵּ֛פֶר הַזֶּ֥ה לַעֲשׂ֖וֹת

書かれている–ことを わたしたちに–ついて ― 言葉に この–書の ― 行う–ために
H3789 H5921 H0853 H1697 H3588 H2088 H6213

「あなたがたは行って、この見つかった書物の言葉について、わたしのため、民のため、またユダ全国のために主に尋ねなさい。われわれの先祖たちがこの書物の言葉に聞き従わず、すべてわれわれについてしるされている事を行わなかったために、主はわれわれにむかって、大いなる怒りを発しておられるからです」。

14 וַיֵּ֣לֶךְ חִלְקִיָּ֗הוּ וַאֲחִיקָם֙ וְעַכְבּ֣וֹר וְשָׁפָ֔ן וַעֲשָׂיָ֖ה אֶל־

そして–行った ヒルキヤは アヒカムと アクボルと シャファンと アサヤは ―
H3212 H2518 H0296 H5907 H8227 H6222 H0413

חֻלְדָּ֣ה הַנְּבִיאָ֗ה אֵ֚שֶׁת שַׁלֻּ֣ם בֶּן־ תִּקְוָ֣ה בֶן־ חַרְחַס֮ שֹׁמֵר֒

フルダの–もとへ 女–預言者 の–妻 シャルム の–子 ティクワ の–子 ハルハス 番人
H2468 H5031 H0802 H7967 H1121 H8616 H1121 H2745 H8104

הַבְּגָדִ֔ים וְהִ֖יא יֹשֶׁ֣בֶת בִּירוּשָׁלִַ֑ם בַּמִּשְׁנֶ֔ה וַתְּדַבֵּ֥רוּ אֵלֶ֖יהָ׃

衣装の そして–彼女は 住んでいた エルサレムの 第二区に そして–語った 彼女に
H3627 H1931 H3389 H4932 H1696 H0413

そこで祭司ヒルキヤ、アヒカム、アクボル、シャパンおよびアサヤはシャルムの妻である女預言者ホルダのもとへ行った。シャルムはハルハスの子であるテクワの子で、衣装べやを守る者であった。その時ホルダはエルサレムの下町に住んでいた。彼らがホルダに告げたので、

15 וַתֹּ֣אמֶר לָהֶ֗ם כֹּה֙ אָמַ֣ר יְהוָ֔ה אֱלֹהֵ֖י יִשְׂרָאֵ֑ל אִמְר֗וּ

そして–言った 彼らに こう 言う 主は の–神 イスラエル 言いなさい
H3541 H0559 H3068 H0430 H3478 H0559

לָאִ֛ישׁ אֲשֶׁ֥ר שָׁלַ֖ח אֶתְכֶ֥ם אֵלָֽי׃

その–人に ― 遣わした あなたがたを わたしの–もとへ
H0376 H7971 H0853 H0413

ホルダは彼らに言った、「イスラエルの神、主はこう仰せられます、『あなたがたをわたしにつかわした人に言いなさい。

16 כֹּ֚ה אָמַ֣ר יְהוָ֔ה הִנְנִ֥י מֵבִ֛יא רָעָ֖ה אֶל־ הַמָּק֣וֹם הַזֶּ֑ה וְעַל־

こう 言う 主は 見よ、わたしは もたらす 災いを ― この–場所の–上に そして
H3541 H0559 H3068 H2009 H0935 H7451 H0413 H4725 H2088

יוֹשְׁבֶ֔יהָ אֵ֚ת כָּל־ דִּבְרֵ֣י הַסֵּ֔פֶר אֲשֶׁ֥ר קָרָ֖א מֶ֣לֶךְ יְהוּדָֽה׃

その–住民の–上に ― すべての 言葉を その–書の ― 読んだ の–王が ユダ
H3427 H0853 H3605 H1697 H3588 H834 H7121 H4428 H3063

主はこう言われます、見よ、わたしはユダの王が読んだあの書物のすべての言葉にしたがって、災をこの所と、ここに住んでいる民に下そうとしている。

17

וְתַחַת אֲשֶׁר עֲזָבוּנִי וַיְקַטְּרוּ לֵאלֹהִים אֲחֵרִים לְמַעַן
ゆえに — わたしを–捨てた そして–香を–焚いた の–神々に 他の ために
H8478 H0834 H5800 H0853 H6999 H0430 H0312 H4616

הַכְעִיסֵנִי בְּכֹל מַעֲשֵׂה יְדֵיהֶם וְנִצְּתָה חֲמָתִי בַּמָּקוֹם
わたしを–怒らせる すべての 行い–で 彼らの–手の そして–燃える わたしの–怒りが この–場所で
H3707 H3605 H4639 H3027 H3341 H2534 H4725

הַזֶּה וְלֹא תִכְבֶּה׃
— そして–決して 消えない
H2088 H3808 H3518

彼らがわたしを捨てて他の神々に香をたき、自分たちの手で作ったもろもろの物をもって、わたしを怒らせたからである。それゆえ、わたしはこの所にむかって怒りの火を発する。これは消えることがないであろう』。

18

וְאֶל־מֶלֶךְ יְהוּדָה הַשֹּׁלֵחַ אֶתְכֶם לִדְרֹשׁ אֶת־יְהוָה כֹּה תֹאמְרוּ
そして の–王に ユダ 遣わした あなたがたを 尋ねる–ために — 主に こう 言いなさい
H0413 H4428 H3063 H7971 H0853 H1875 H0853 H3068 H3541 H0559

אֵלָיו כֹּה־אָמַר יְהוָה אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל הַדְּבָרִים אֲשֶׁר שָׁמָעְתָּ׃
彼に こう 言う 主は の–神 イスラエル その–言葉に–ついて — あなたが–聞いた
H0413 H0413 H0559 H3068 H0430 H3478 H1697 H0834 H8085

ただし主に尋ねるために、あなたがたをつかわしたユダの王にはこう言いなさい、『あなたが聞いた言葉についてイスラエルの神、主はこう仰せられます、

19

יַעַן רַךְ־לְבָבְךָ וַתִּכָּנַע מִפְּנֵי יְהוָה בְּשָׁמְעֲךָ אֲשֶׁר
ゆえに 柔らかかった あなたの–心が そして–へりくだった の–前で 主 聞いた–時に —
H3282 H7401 H3824 H3665 H6440 H3068 H8085 H0834

דִּבַּרְתִּי עַל־הַמָּקוֹם הַזֶּה וְעַל־יֹשְׁבָיו לִהְיוֹת לְשַׁמָּה וְלִקְלָלָה
わたしが–語った–ことを について この–場所と — そして–について その–住民たち なる–ことを
H1696 H5921 H4725 H2088 H5921 H3427 H1961

וַתִּקְרַע אֶת־בְּגָדֶיךָ וַתִּבְכֶּה לְפָנָי וְגַם אָנֹכִי שָׁמַעְתִּי נְאֻם־יְהוָה׃
そして–引き裂いた — あなたの–衣を そして–泣いた わたしの–前で そして–また わたしも 聞いた と–主は–言われる —
H7167 H0853 H0899 H1058 H6440 H1571 H0589 H8085 H5002 H3068

あなたは、わたしがこの所と、ここに住んでいる民にむかって、これは荒れ地となり、のろいとなるであろうと言うのを聞いた時、心に悔い、主の前にへりくだり、衣を裂いてわたしの前に泣いたゆえ、わたしもまたあなたの言うことを聞いたのであると主は言われる。

20 לָכֵן הִנְנִי אֹסִפְךָ עַל־ אֲבֹתֶיךָ
それゆえ 見よ、わたしは あなたを-集める — あなたの-先祖たちの-もとへ
H3651 H2009 H0622 H5921 H0001

וְנֶאֱסַפְתָּ אֶל־ קִבְרֹתֶיךָ בְּשָׁלוֹם וְלֹא־ תִרְאֶינָה עֵינֶיךָ
そして-あなたは-集められる — あなたの-墓に 平安のうちに そして-決して 見ない
H0622 H0413 H6913 H7965 H3808 H7200

בְּכֹל הָרָעָה אֲשֶׁר־ אֲנִי מֵבִיא עַל־ הַמָּקוֹם הַזֶּה
すべての 災いを — わたしが もたらす — この-場所の-上に —
H3605 H7451 H0834 H0589 H0935 H5921 H4725 H2088

וַיָּשִׁיבוּ אֶת־ הַמֶּלֶךְ דָּבָר׃
そして-報告した 王に 言葉を
H7725 H0853 H4428 H1697

それゆえ、見よ、わたしはあなたを先祖たちのもとに集める。あなたは安らかに墓に集められ、わたしがこの所に下すもろもろの災を目に見ることはないであろう』」。彼らはこの言葉を王に持ち帰った。

Chapter 23

1 וַיִּשְׁלַח הַמֶּלֶךְ וַיַּאַסְפוּ אֵלָיו כָּל־ זִקְנֵי יְהוּדָה וִירוּשָׁלִָם׃
そして-遣わした 王は そして-集めた 彼の-もとに すべての 長老を ユダと エルサレムの
H7971 H4428 H0622 H0413 H3605 H2205 H3063 H3389

そこで王は人をつかわしてユダとエルサレムの長老たちをことごとく集めた。

2 וַיַּעַל הַמֶּלֶךְ בֵּית־ יְהוָה וְכָל־ אִישׁ יְהוּדָה וְכֹל יֹשְׁבֵי
そして-上った 王は の-宮に 主 そして-すべての 人 ユダと そして-すべての 住民
H5927 H4428 H1004 H3068 H3605 H0376 H3063 H3605 H3427

יְרוּשָׁלִַם עִמּוֹ וְהַכֹּהֲנִים וְהַנְּבִיאִים וְכָל־ הָעָם לְמִקָּטֹן
エルサレムの 彼と-共に そして-祭司たちと 預言者たちと そして-すべての 民 小さい-者から
H3389 H0854 H3548 H5030 H3605 H5971 H4705

וְעַד־ גָּדוֹל וַיִּקְרָא בְאָזְנֵיהֶם אֶת־ כָּל־ דִּבְרֵי סֵפֶר
そして-まで 大きい-者 そして-読み-聞かせた 彼らの-耳に — すべての 言葉を の-書の
H5704 H1419 H7121 H0241 H0853 H3605 H1697 H5612

הַבְּרִית הַנִּמְצָא בְּבֵית יְהוָה׃
契約 見つかった の-宮で 主
H1285 H4672 H1004 H3068

そして王はユダのもろもろの人々と、エルサレムのすべての住民および祭司、預言者ならびに大小のすべての民を従えて主の宮にのぼり、主の宮で見つかった契約の書の言葉をことごとく彼らに読み聞かせた。

3 וַיַּעֲמֹד הַמֶּלֶךְ עַל־ הָעַמּוּד וַיִּכְרֹת אֶת־ הַבְּרִית לִפְנֵי יְהוָה
そして-立った 王は — 柱の-傍で — そして-結んだ — 契約を の-前で 主
H5975 H4428 H5921 H5982 H3772 H0853 H1285 H6440 H3068

לָלֶכֶת אַחֲרֵי יְהוָה וְלִשְׁמֹר מִצְוֹתָיו וְאֶת־ עֵדוֹתָיו וְאֶת־
歩む-ために の-後に 主 そして-守る-ために その-戒めと そして その-あかしと そして
H3212 H310 H3068 H8104 H4687 H853 H5715 H853

חֻקֹּתָיו בְּכָל־ לֵב וּבְכָל־ נֶפֶשׁ לְהָקִים אֶת־ דִּבְרֵי הַבְּרִית הַזֹּאת
その-定めを すべての 心と そして-すべての 魂で 立てる-ために — 言葉を 契約の この
H2708 H3605 H3824 H3605 H5315 H6965 H853 H1697 H1285 H2063

עַל־ הַסֵּפֶר הַזֶּה וַיַּעֲמֹד כָּל־ הָעָם בַּבְּרִית׃
— その-書に この そして-立った すべての 民は 契約に
H5921 H5612 H2088 H5975 H3605 H5971 H1285

次いで王は柱のかたわらに立って、主の前に契約を立て、主に従って歩み、心をつくし精神をつくして、主の戒めと、あかしと、定めとを守り、この書物にしるされているこの契約の言葉を行うことを誓った。民は皆その契約に加わった。

4 וַיְצַו הַמֶּלֶךְ אֶת־ חִלְקִיָּהוּ הַכֹּהֵן הַגָּדוֹל וְאֶת־ כֹּהֲנֵי הַמִּשְׁנֶה
そして-命じた 王は — ヒルキヤと 祭司 大いなる そして の-祭司たちと 副
H6680 H4428 H0853 H2518 H3548 H1419 H0853 H3548 H4932

וְאֶת־ שֹׁמְרֵי הַסַּף לְהוֹצִיא מֵהֵיכַל יְהוָה אֶת־ כָּל־ הַכֵּלִים
そして 門 運び出す-ように から 主の-神殿 — すべての 器を
H0853 H5592 H3318 H1964 H3068 H0853 H3605 H3627

הָעֲשׂוּיִם לַבַּעַל וְלָאֲשֵׁרָה וּלְכָל צְבָא הַשָּׁמָיִם וַיִּשְׂרֹף מִחוּץ
造られた バアルと アシェラと そして-すべての 軍勢の-ための 天の そして-焼いた の-外で
H6213 H1168 H0842 H3605 H6635 H8064 H8313 H2351

לִירוּשָׁלַ͏ִם בְּשַׂדְמוֹת קִדְרוֹן וַיִּשָּׂא אֶת־ עֲפָרָם אֶל־ בֵּית־ אֵל׃
エルサレム の-畑で キドロン そして-運んだ — その-灰を ベテルへ
H3389 H7709 H6939 H5375 H0853 H6083 H1008

こうして王は大祭司ヒルキヤと、それに次ぐ祭司たちおよび門を守る者どもに命じて、主の神殿からバアルとアシラと天の万象とのために作ったもろもろの器を取り出させ、エルサレムの外のキデロンの野でそれを焼き、その灰をベテルに持って行かせた。

5 וַיְקַטֵּר לְיַד מַלְכֵי יְהוּדָה וַיִּתֵּן אֲשֶׁר הִכְמִירִים בְּעָרֵי יְהוּדָה וּסְבִיבֹת
そして-香を-焚いた ユダの 王たちが 任命した — 偶像の-祭司たちを の-町々の そして-廃止した
H6999 H3063 H4428 H5414 H0834 H3649 H5892 H0853 H7933

יְרוּשָׁלַ͏ִם וְאֶת־ מְקַטְּרֵי לַבַּעַל וְאֶת־ לַחַמָּזָלוֹת וְאֶת־ לַצְּבָא הַשָּׁמָיִם׃
エルサレム そして-周りの ユダ の-町々の 高き-所で バアルと の-香を-焚く者たちを そして 星座と そして 月と 太陽と 天の
H3389 H5439 H3063 H5892 H1116 H1168 H6999 H0853 H4208 H0853 H3394 H0853 H8121 H8064

また、ユダの町々とエルサレムの周囲にある高き所で香をたくためにユダの王たちが任命した祭司たちを廃し、またバアルと日と月と星宿と天の万象とに香をたく者どもをも廃した。

6 וַיּוֹצֵא אֶת־ הָאֲשֵׁרָה מִבֵּית יְהוָה מִחוּץ לִירוּשָׁלַ͏ִם אֶל־ נַחַל
そして-出した — 主の-宮 から アシェラ像を — エルサレム の-外へ の-川に
H3318 H0853 H1004 H3068 H2351 H3389 H0413 H5158

קִדְרוֹן וַיִּשְׂרֹף אֹתָהּ בְּנַחַל קִדְרוֹן וַיִּדֹּק לְעָפָר וַיִּשְׁלֵךְ אֶת־
キドロン それを の-川で キドロン そして-砕いた 塵に そして-投げ捨てた —
H6939 H0853 H5158 H6939 H1854 H6083 H7993 H0853

עֲפָרָהּ עַל־ קִבְרֵי בְּנֵי הָעָם׃
その-塵を の-上に 墓 の-子ら 民
H6083 H5921 H6913 H1121 H5971

彼はまた主の宮からアシラ像を取り出し、エルサレムの外のキデロン川に持って行って、キデロン川でそれを焼き、それを打ち砕いて粉とし、その粉を民の墓に投げすてた。

7 וַיִּתֹּץ אֶת־ בָּתֵּי הַקְּדֵשִׁים אֲשֶׁר בְּבֵית יְהוָה אֲשֶׁר הַנָּשִׁים
そして-壊した — の-家を 神殿-娼婦 — の-宮に-ある 主 — 女たちが
H5422 H0853 H1004 H6945 H0834 H1004 H3068 H0834 H0802

אֹרְגוֹת שָׁם בָּתִּים לָאֲשֵׁרָה׃
織っていた そこで 幕屋を アシェラの-ために
H0707 H8033 H1004 H0842

また主の宮にあった神殿男娼の家をこわした。そこは女たちがアシラ像のために掛け幕を織る所であった。

8

אֶת־	וַיְטַמֵּא	יְהוּדָה	מֵעָרֵי	הַכֹּהֲנִים	כָּל־	אֶת־	וַיָּבֵא	
—	そして–汚した	ユダの–町々	から	祭司たちを	すべての	—	そして–連れて–来た	
H0853		H3063		H3548	H3605	H0853	H0935	

שָׁבַעבְּאֵר	עַד־	מִגֶּבַע	הַכֹּהֲנִים	שָׁמָּה	קִטְּרוּ־	אֲשֶׁר	הַבָּמוֹת	
ベエル・シェバ	まで	ゲバから	祭司たちが	そこで	香を–焚いていた	—	高き–所を	
H0884	H5704	H1387	H3548	H8033			H1116	

הָעִיר	שַׂר־	יְהוֹשֻׁעַ	שָׁעַר	פֶּתַח	אֲשֶׁר־	הַשְּׁעָרִים	בָּמוֹת	אֶת־	וְנָתַץ
町	の–長	ヨシュア	門	の–入口の	—	門	の–高き–所を	—	そして–壊した
	H8269	H3091	H8179	H6607		H8179	H1116	H0853	H5422

הָעִיר׃	בְּשַׁעַר	אִישׁ	שְׂמֹאול	עַל־	אֲשֶׁר־
町	の–門の	人の	左側に–ある	—	—
	H8179	H0376	H8040		

彼はまたユダの町々から祭司をことごとく召しよせ、また祭司が香をたいたゲバからベエルシバまでの高き所を汚し、また門にある高き所をこわした。これらの高き所は町のつかさヨシュアの門の入口にあり、町の門にはいる人の左にあった。

9

בִּירוּשָׁלִַם	יְהוָה	מִזְבַּח	אֶל־	הַבָּמוֹת	כֹּהֲנֵי	יַעֲלוּ	לֹא	אַךְ
エルサレムで	主	の–祭壇に	—	高き–所	の–祭司たちは	上らなかった	決して	ただし
H3389	H3068	H4196	H0413	H1116	H3548	H5927	H3808	H0389

אֲחֵיהֶם׃	בְּתוֹךְ	מַצּוֹת	אָכְלוּ	אִם־	כִּי
彼らの–兄弟たち	の–中で	種なし–パンを	食べた	—	ただし
H0251	H8432	H4682	H0398		

高き所の祭司たちはエルサレムで主の祭壇にのぼることをしなかったが、その兄弟たちのうちにあって種入れぬパンを食べた。

10

לְבִלְתִּי	הַגֹּם	בֶּן־)בני־[	בְּגֵי	אֲשֶׁר	הַתֹּפֶת	אֶת־	וְטִמֵּא	
もう–誰も	ヒンノムの	ベン・	—	の–谷に	そこは	トフェテを	—	そして–汚した
H1115	H2011			H1516		H8612	H0853	

לַמֹּלֶךְ׃	בָּאֵשׁ	בִּתּוֹ	וְאֶת־	בְּנוֹ	אֶת־	אִישׁ	לְהַעֲבִיר
モレクに	火の–中を	その–娘を	また	その–息子を	—	人が	通らせないように
H4432	H0784	H1323	H0853		H0853	H0376	

王はまた、だれもそのむすこ娘を火に焼いて、モレクにささげ物とすることのないように、ベンヒンノムの谷にあるトペテを汚した。

11

בֵּית־	מְבֹא	לַשֶּׁמֶשׁ	יְהוּדָה	מַלְכֵי	נָתְנוּ	אֲשֶׁר	הַסּוּסִים	אֶת־	וַיַּשְׁבֵּת
主の–	入口から	太陽に	王たちが	ユダの	奉納した	それは	馬を	—	そして–除いた
	H0935	H8121	H3063	H4428	H5414			H0853	

הַשֶּׁמֶשׁ	מַרְכְּבוֹת	וְאֶת־	בַּפַּרְוָרִים	אֲשֶׁר	הַסָּרִיס	מֶלֶךְ	נְתַן־	לִשְׁכַּת	אֶל־	יְהוָה
太陽の	戦車を	そして	外庭に–あった	そこは	宦官の	メレクの	ナタン・	部屋の	まで	宮の
H8121	H4818	H0853	H6503		H5631	H5419	H5419	H3957	H0413	H3068

בָּאֵשׁ׃	שָׂרַף
—	火で–焼いた
H0784	H8313

またユダの王たちが太陽にささげて主の宮の門に置いた馬を、境内にある侍従ナタンメレクのへやのかたわらに移し、太陽の車を火で焼いた。

12 וְאֶת־ הַמִּזְבְּחוֹת אֲשֶׁר עַל־ הַגַּג עֲלִיַּת אָחָז אֲשֶׁר־ עָשׂוּ מַלְכֵי יְהוּדָה
そして 祭壇を それは の–上の 屋上の 高殿の アハズの それを 造った ユダの 王たちが
H0853 H4196 H0834 H5921 H1406 H5944 H0271 H0834 H6213 H4428 H3063

וְאֶת־ הַמִּזְבְּחוֹת אֲשֶׁר עָשָׂה מְנַשֶּׁה בִּשְׁתֵּי חַצְרוֹת בֵּית־ יְהוָה נָתַץ הַמֶּלֶךְ
そして 祭壇を それを 造った マナセが 二つの 庭に 主の– 宮の 打ち壊した 王は
H0853 H4196 H0834 H6213 H4519 H8147 H2691 H1004 H3068 H5422 H4428

וַיְנַתֵּץ מִשָּׁם וַיַּשְׁלֵךְ אֶת־ עֲפָרָם אֶל־ נַחַל קִדְרוֹן׃
そして–砕いた そこから そして–投げ捨てた ― その–ちりを に キドロンの 谷に
H7323 H8033 H7993 H0853 H6083 H0413 H5158 H6939

また王はユダの王たちがアハズの高殿の屋上に造った祭壇と、マナセが主の宮の二つの庭に造った祭壇とをこわして、それを打ち砕き、砕けたものをキデロン川に投げすてた。

13 וְאֶת־ הַבָּמוֹת אֲשֶׁר עַל־ פְּנֵי יְרוּשָׁלַ͏ִם אֲשֶׁר מִימִין לְהַר־ הַמַּשְׁחִית
そして 高き所を それは の–前の 東の エルサレムの それは 右手の の–山 滅びの
H0853 H1116 H0834 H5921 H6440 H3389 H0834 H3225 H2022 H4889

אֲשֶׁר בָּנָה שְׁלֹמֹה מֶלֶךְ־ יִשְׂרָאֵל לְעַשְׁתֹּרֶת שִׁקֻּץ צִידֹנִים
それを 建てた ソロモンが の–王 イスラエルの アシュトレテに 忌むべきもの シドン人の
H0834 H1129 H8010 H4428 H3478 H6253 H8251 H6722

וּלְכְמוֹשׁ שִׁקֻּץ מוֹאָב וּלְמִלְכֹּם תּוֹעֲבַת בְּנֵי־ עַמּוֹן טִמֵּא
そして–ケモシュに 忌むべきもの モアブの そして–ミルコムに 忌まわしいもの の–子らの アンモンの 汚した
H3645 H8251 H4124 H1197 H8441 H1121 H5983 H2930

הַמָּלֶךְ׃
王は
H4428

また王はイスラエルの王ソロモンが昔シドンびとの憎むべき者アシタロテと、モアブびとの憎むべき者ケモシと、アンモンの人々の憎むべき者ミルコムのためにエルサレムの東、滅亡の山の南に築いた高き所を汚した。

14 וַיְשַׁבֵּר אֶת־ הַמַּצֵּבוֹת וַיְכָרֹת אֶת־ הָאֲשֵׁרִים וַיְמַלֵּא אֶת־ מְקוֹמָם עַצְמוֹת אָדָם׃
そして–砕いた ― 石柱を そして–切り倒した ― アシェラ像を そして–満たした ― その–場所を 人の–骨で ―
H7665 H0853 H4676 H3772 H0853 H0842 H4390 H0853 H4725 H6106 H0120

またもろもろの石柱を打ち砕き、アシラ像を切り倒し、人の骨をもってその所を満たした。

15 וְגַם אֶת־ הַבָּמָה הַמִּזְבֵּחַ אֲשֶׁר עָשָׂה יָרָבְעָם בֶּן־ נְבָט אֲשֶׁר הֶחֱטִיא
さらに ― 祭壇を それは の–ベテルに–ある 高き所を それを 造った ヤロブアムが の–子
H1571 H0853 H4196 H0834 H1008 H1116 H0834 H6213 H3379 H1121 H5028

אֶת־ יִשְׂרָאֵל וְאֶת־ הַמִּזְבֵּחַ גַּם אֶת־ הַבָּמָה הָרָס שָׂרַף וְהָאָבֶן טָחַן עַד־ דַּק
― イスラエルに そして その 祭壇を その ― 高き所を 打ち壊した そして–焼いた 石を 粉々に–砕いて
H0853 H3478 H0853 H1931 H4196 H1571 H0853 H1116 H5422 H8313 H68 H1854

וַיְשָׂרֹף אֶת־ הָאֲשֵׁרָה׃
そして–焼いた ― アシェラ像も
H8313 H0853 H0842

また、ベテルにある祭壇と、イスラエルに罪を犯させたネバテの子ヤラベアムが造った高き所、すなわちその祭壇と高き所とを彼はこわし、その石を打ち砕いて粉とし、かつアシラ像を焼いた。

16

וַיִּשְׁלַח בָּהָר שָׁם אֲשֶׁר־ הַקְּבָרִים אֶת־ וַיַּרְא יֹאשִׁיָּהוּ וַיִּפֶן
そして–遣わして 山に あった そこに 墓を — そして–見た ヨシヤは そして–振り向いた
H7971 H2022 H8033 H6913 H0853 H7200 H2977 H6437

וַיְטַמְּאֵהוּ הַמִּזְבֵּחַ עַל־ וַיִּשְׂרֹף הַקְּבָרִים מִן־ הָעֲצָמוֹת אֶת־ וַיִּקַּח
そして–汚した 祭壇の の–上で そして–焼いた 墓から から 骨を — 取り出した
H4196 H8313 H6913 H6106 H0853 H3947

הַדְּבָרִים אֶת־ קָרָא אֲשֶׁר הָאֱלֹהִים אִישׁ קָרָא אֲשֶׁר יְהוָה כִּדְבַר
これらの–言葉を — 告げた 彼が 人が 神の– 告げた それを — 主の–言葉の–通りに
H1697 H0853 H7121 H0430 H0376 H7121 H3068 H1697

הָאֱלֹהִים׃
—
H0428

そしてヨシヤは身をめぐらして山に墓のあるのを見、人をつかわしてその墓から骨を取らせ、それをその祭壇の上で焼いて、それを汚した。昔、神の人が主の言葉としてこの事を呼ばわり告げたが、そのとおりになった。

17

אֵלָיו וַיֹּאמְרוּ רֹאֶה אֲנִי אֲשֶׁר הַלָּז הַצִּיּוּן מָה וַיֹּאמֶר
彼に そして–答えた 見ている 私が それは — あの–碑は 何か そして–言った
H0413 H0559 H7200 H0589 H1975 H6725 H4100 H0559

אֶת־ וַיִּקְרָא מִיהוּדָה בָּא אֲשֶׁר־ הָאֱלֹהִים אִישׁ־ הַקֹּבֵר הָעִיר אַנְשֵׁי
— そして–告げた ユダから 来た 彼は 人の 神の– 墓です — その–町の–人々が
H0853 H7121 H3063 H0935 H0430 H0376 H6913 H0376

בֵּית־אֵל׃ הַמִּזְבֵּחַ עַל עָשִׂיתָ אֲשֶׁר הָאֱלֹהִ֔ים הַדְּבָרִים
祭壇に ベテルの に–ついて 行った あなたが — これらの–言葉を
H1008 H4196 H6213 H0428 H1697

その時ヨシヤは「あそこに見える石碑は何か」と尋ねた。町の人々が彼に「あれはあなたがベテルの祭壇に対して行われたこれらの事を、ユダからきて預言した神の人の墓です」と言ったので、

18

וַיֹּאמֶר הַנִּיחוּ לוֹ אִישׁ אַל־ יָגַע אַל־ עַצְמוֹתָיו וַיְמַלְּטוּ
そして–言った そのままに–しておけ 彼を 誰も 動かすな — その–骨を そして–守られた
H0559 H3240 H0376 H0408 H5128 H6106 H4422

מִשֹּׁמְרוֹן׃ בָּא אֲשֶׁר־ הַנָּבִיא עַצְמוֹת אֶת עַצְמוֹתָיו
サマリヤから 来た 彼は 預言者の 骨の と–共に その–骨は
H8111 H0935 H5030 H6106 H0854 H6106

彼は言った、「そのままにして置きなさい。だれもその骨を移してはならない」。それでその骨と、サマリヤからきた預言者の骨には手をつけなかった。

19

וְגַם אֶת־ כָּל־ בָּתֵּי הַבָּמוֹת אֲשֶׁר וּבָעָרֵי שֹׁמְרוֹן אֲשֶׁר עָשׂוּ
さらに — すべての 家を 高き所の それは の–町々に–ある サマリヤの それを 造った
H1571 H0853 H3605 H1116 H0834 H5892 H8111 H0834 H6213

כְּכֹל־ לָהֶם וַיַּעַשׂ יֹאשִׁיָּהוּ הֵסִיר לְהַכְעִיס יִשְׂרָאֵל מַלְכֵי
すべての– それらに そして–行った ヨシヤは 取り除いた 怒らせるために イスラエルの の–王たちが
H3605 H1992 H6213 H2977 H5493 H3707 H3478 H4428

בְּבֵית־אֵל׃ עָשָׂה אֲשֶׁר הַמַּעֲשִׂים
ベテルで 行った 彼が 行いの–通りに
H1008 H6213 H0834 H4639

またイスラエルの王たちがサマリヤの町々に造って、主を怒らせた高き所の家も皆ヨシヤは取り除いて、彼がすべてベテルに行ったようにこれに行った。

20 וְיִזְבַּח אֶת־ כָּל־ כֹּהֲנֵי הַבָּמוֹת אֲשֶׁר־ שָׁם עַל־ מִזְבְּחוֹת
そして–殺した — すべての 祭司たちを 高き所の そこに–いた — の–上で 祭壇の
H2076 H0853 H3605 H3548 H1116 H8033 H4196

וַיִּשְׂרֹף אֶת־ עַצְמוֹת אָדָם עֲלֵיהֶם וַיָּשָׁב יְרוּשָׁלִָם׃
そして–焼いた — 人の–骨を — その–上で そして–帰った エルサレムに
H8313 H0853 H6106 H0120 H7725 H3389

彼はまた、そこにあった高き所の祭司たちを皆祭壇の上で殺し、人の骨を祭壇の上で焼いた。こうして彼はエルサレムに帰った。

21 וַיְצַו הַמֶּלֶךְ אֶת־ כָּל־ הָעָם לֵאמֹר עֲשׂוּ לַיהוָה פֶּסַח
そして–命じた 王は — すべての 民に 言って 行え 主に 過越の–祭りを
H6680 H4428 H0853 H3605 H5971 H0559 H6213 H3068 H6453

כַּכָּתוּב עַל סֵפֶר הַבְּרִית הַזֶּה׃
書かれている–通りに に 契約の 書の この
H3789 H5921 H5612 H1285 H2088

אֱלֹהֵיכֶם
あなたがたの–神に
H0430

そして王はすべての民に命じて、「あなたがたはこの契約の書にしるされているように、あなたがたの神、主に過越の祭を執り行いなさい」と言った。

22 כִּי לֹא נַעֲשָׂה כַּפֶּסַח הַזֶּה מִימֵי
なぜなら 行われたことが–なかった — このような–過越の–祭りは — の–時代から
H3588 H3808 H6213 H6453 H2088 H3117

שֹׁפְטִים אֲשֶׁר שָׁפְטוּ אֶת־ יִשְׂרָאֵל וְכֹל יְמֵי מַלְכֵי
士師たちの 彼らが 治めた — イスラエルを そして–すべての 時代にも の–王たちの
H8199 H8199 H0853 H3478 H3605 H3117 H4428

יְהוּדָה׃ וּמַלְכֵי יִשְׂרָאֵל
ユダの の–王たちの イスラエルの
H3063 H4428 H3478

さばきづかさがイスラエルをさばいた日からこのかた、またイスラエルの王たちとユダの王たちの世にも、このような過越の祭を執り行ったことはなかったが、

23 כִּי אִם־ בִּשְׁמֹנֶה עֶשְׂרֵה שָׁנָה לַמֶּלֶךְ יֹאשִׁיָּהוּ נַעֲשָׂה הַפֶּסַח הַזֶּה
ただ しかし 十八 — 年に の–王の ヨシヤの 行われた この–過越の–祭りが —
H3588 H0518 H8083 H6240 H8141 H4428 H2977 H6213 H6453 H2088

בִּירוּשָׁלִָם׃ לַיהוָה
エルサレムで 主に
H3389 H3068

ヨシヤ王の第十八年に、エルサレムでこの過越の祭を主に執り行ったのである。

24 וְגַם אֶת־ הָאֹבוֹת וְאֶת־ הַיִּדְּעֹנִים וְאֶת־ הַתְּרָפִים וְאֶת־ הַגִּלֻּלִים וְאֵת
さらに ― 口寄せを-する者を そして 占い師を そして テラピムを そして 偶像を そして
H1571 H0853 H0178 H0853 H3049 H0853 H8655 H0853 H1544 H0853

כָּל־ הַשִּׁקֻּצִים אֲשֶׁר נִרְאוּ בְּאֶרֶץ יְהוּדָה וּבִירוּשָׁלִָם בִּעֵר
すべての 忌むべきものを それは 見られた の-地に ユダの そして-エルサレムに 取り除いた
H3605 H8251 H0834 H7200 H0776 H3063 H3389 H1197

לְמַעַן הָקִים אֶת־ דִּבְרֵי הַתּוֹרָה הַכְּתֻבִים עַל־ סֵפֶר אֲשֶׁר
実行するために ― の-言葉を 律法の 書かれた の-上に 書の それを
H6965 H0853 H1697 H8451 H3789 H5921 H5612 H0834

מָצָא חִלְקִיָּהוּ הַכֹּהֵן בֵּית יְהוָה׃
見つけた ヒルキヤが 祭司が の-宮で 主の
H4672 H2518 H3548 H1004 H3068

ヨシヤはまた祭司ヒルキヤが主の宮で見つけた書物にしるされている律法の言葉を確実に行うために、口寄せと占い師と、テラピムと偶像およびユダの地とエルサレムに見られるもろもろの憎むべき者を取り除いた。

25 וְכָמֹהוּ לֹא־ הָיָה לְפָנָיו מֶלֶךְ אֲשֶׁר־ שָׁב אֶל־ יְהוָה
彼のような-者は いなかった ― 彼の-前に 王は 彼ほど 立ち返った に 主に
H3644 H3808 H1961 H6440 H4428 H0834 H7725 H0413 H3068

בְּכָל־ לְבָבוֹ וּבְכָל־ נַפְשׁוֹ וּבְכָל־ מְאֹדוֹ כְּכֹל תּוֹרַת
すべての- 心で そして-すべての- 魂で そして-すべての- 力で すべての の-律法の-通りに
H3605 H3824 H3605 H5315 H3605 H3966 H3605 H8451

מֹשֶׁה לֹא־ קָם וְאַחֲרָיו לֹא־ עָלָה כָמֹהוּ׃
モーセの ― 起こらなかった そして-彼の-後にも 彼のような-者は
H4872 H3808 H310 H3644

ヨシヤのように心をつくし、精神をつくし、力をつくしてモーセのすべての律法にしたがい、主に寄り頼んだ王はヨシヤの先にはなく、またその後にも彼のような者は起らなかった。

26 אַךְ לֹא־ שָׁב יְהוָה מֵחֲרוֹן אַפּוֹ הַגָּדוֹל אֲשֶׁר־ חָרָה אַפּוֹ
しかし 立ち返らなかった ― 主は の-燃える 怒りから 大きな それが 燃えた その-怒りが
H0389 H3808 H7725 H3068 H2740 H0639 H1419 H0834 H2734 H0639

בִּיהוּדָה עַל כָּל־ הַכְּעָסִים אֲשֶׁר הִכְעִיסוֹ מְנַשֶּׁה׃
ユダに-対して それは すべての 怒らせる-行いの-ために それで 怒らせた マナセが
H3063 H5921 H3605 H3708 H834 H3707 H4519

けれども主はなおユダにむかって発せられた激しい大いなる怒りをやめられなかった。これはマナセがもろもろの腹だたしい行いをもって主を怒らせたためである。

27 וַיֹּאמֶר יְהוָה גַּם אֶת־ יְהוּדָה אָסִיר מֵעַל פָּנַי
そして-言われた 主は もまた ― ユダを 退ける わたしの-前から ―
H0559 H3068 H1571 H0853 H3063 H5493 H5921 H6440

כַּאֲשֶׁר הִסַּרְתִּי אֶת־ יִשְׂרָאֵל וּמָאַסְתִּי אֶת־ הָעִיר הַזֹּאת אֲשֶׁר־
ちょうど-そのように 退けた ― イスラエルを そして-退ける ― この-町を わたしが
H3588 H5493 H0853 H3478 H4480 H0853 H5892 H0853 H2063 H834

בָּחַרְתִּי וְאֶת־ יְרוּשָׁלִַם וְאָמַרְתִּי הַבַּיִת אֲשֶׁר אָשִׂים שְׁמִי
選んだ ― エルサレムを そして 言った この-宮を そこに 置く わたしの-名が
H0977 H0853 H3389 H0559 H1004 H0834 H7760 H8034

יִהְיֶה שָׁם׃
あるであろう そこに
H1961 H8033

それゆえ主は言われた、「わたしはイスラエルを移したように、ユダをもわたしの目の前から移し、わたしが選んだこのエルサレムの町と、わたしの名をそこに置こうと言ったこの宮とを捨てるであろう」。

28

הֵם	הֲלֹא־	עָשָׂה	אֲשֶׁר	וְכָל־	יֹאשִׁיָּהוּ	דִּבְרֵי	וְיֶתֶר
それらは	記されて–いないか	行ったことは	彼が	そして–すべて	ヨシヤの	事蹟は	その–他の
H1992	H3808			H3605	H2977	H1697	

יְהוּדָה׃	לְמַלְכֵי	הַיָּמִים	דִּבְרֵי	סֵפֶר	עַל־	כְּתוּבִים
ユダの	の–王たちの	年代記の	歴代の	の–書の	の–上に	—
H3063	H4428	H3117	H1697			H3789

ヨシヤのその他の事績と、彼が行ったすべての事は、ユダの王の歴代志の書にしるされているではないか。

29

אַשּׁוּר	מֶלֶךְ	עַל־	מִצְרַיִם	מֶלֶךְ־	נְכֹה	פַּרְעֹה	עָלָה	בְיָמָיו
アッシリヤの	の–王に	に–対して	エジプトの	の–王	ネコが	ファラオ	上って–来た	その–時代に
H0804	H4428		H4714	H4428	H6549	H6549	H5927	H3117

וַיְמִיתֵהוּ	לִקְרָאתוֹ	יֹאשִׁיָּהוּ	הַמֶּלֶךְ	וַיֵּלֶךְ	פְּרָת	נְהַר־	עַל־
そして–殺した	彼に–立ち向かい	ヨシヤは	王	そして–行った	ユーフラテスの	の–川	に向かって
H4191	H7125	H2977	H4428	H3212	H6578	H5104	

אֹתוֹ׃	כִּרְאֹתוֹ	בְּמִגִּדּוֹ
彼を	見た–とき	メギドで
H0853	H7200	H4023

ヨシヤの世にエジプトの王パロ・ネコが、アッスリヤの王のところへ行こうと、ユフラテ川をさして上ってきたので、ヨシヤ王は彼を迎え撃とうと出て行ったが、パロ・ネコは彼を見るや、メギドにおいて彼を殺した。

30

וַיַּקְבֻּרֵהוּ	יְרוּשָׁלִַם	וַיְבִאֻהוּ	מִמְּגִדּוֹ	מֵת	עֲבָדָיו	וַיַּרְכֶּב־	
そして–葬った	エルサレムに	そして–運んだ	メギドから	死んで	家来たちは	そして–乗せた	
H6912	H3389	H0935	H4023	H4191	H5650	H7392	

וַיִּמְשְׁחוּ	יֹאשִׁיָּהוּ	בֶּן־	יְהוֹאָחָז	אֶת־	הָאָרֶץ	עַם־	וַיִּקַּח	בְּקִבְרֹתָו
そして–油注ぎした	ヨシヤの	の–子	エホアハズを	—	地の	の–民が	そして–取った	その–墓に
H4886	H2977		H3059	H0853	H0776		H3947	H6900

פ	אָבָיו׃	תַּחַת	אֹתוֹ	וַיַּמְלִיכוּ	אֹתָו
—	その–父の	の–代わりに	彼を	そして–王と–した	彼に
	H0001	H8478	H0853		H0853

その家来たちは彼の死体を車に載せ、メギドからエルサレムに運んで彼の墓に葬った。国の民はヨシヤの子エホアハズを立て、彼に油を注ぎ、王として父に代らせた。

31

מָלַךְ	חֳדָשִׁים	וּשְׁלֹשָׁה	בְּמָלְכֹו	יְהוֹאָחָז	שָׁנָה	וְשָׁלֹשׁ	עֶשְׂרִים	בֶּן־
治めた	か月	三	王に–なった–とき	エホアハズは	歳の	三	二十	の–子
H2320	H7969			H3059	H8141	H7969	H6242	

מִלִּבְנָה׃	יִרְמְיָהוּ	בַּת־	חֲמוּטַל	אִמּוֹ	וְשֵׁם	בִּירוּשָׁלִָם
リブナからの	エレミヤの	の–娘	ハムタル	その–母の	そして–名は	エルサレムで
H3841	H3414	H1323	H2537	H0517	H8034	H3389

エホアハズは王となった時二十三歳で、エルサレムで三か月の間、世を治めた。母はリブナのエレミヤの娘で、名をハムタルといった。

32

אֲבֹתָיו׃	עָשׂוּ	אֲשֶׁר־	כְּכֹל	יְהוָה	בְּעֵינֵי	הָרַע	וַיַּעַשׂ
その–先祖たちが	—	行った	すべての–通りに	主の	の–目に	悪を	そして–行った
H0001			H3605	H3068			

エホアハズは先祖たちがすべて行ったように主の目の前に悪を行ったが、

33 וַיַּאַסְרֵהוּ פַּרְעֹה נְכֹה בְּרִבְלָה בְּאֶרֶץ חֲמָת [בְּמַלְכְּךָ] (מִמְּלֹךְ)
そして-縛った ファラオ ネコが リブラで の-地の ハマテの — 治めることから
H0631 H6549 H6549 H7247 H0776 H2574

בִּירוּשָׁלִָם וַיִּתֵּן־ עַל־ הָאָרֶץ מֵאָה כִכַּר־ כֶּסֶף
エルサレムで そして-課した の-上に 地の 百 の-タラント 銀の
H3389 H5414 H6066 H0776 H3967 H3603 H3701

וְכִכַּר זָהָב׃
そして-タラントの 金の
H3603 H2091

パロ・ネコは彼をハマテの地のリブラにつないで置いて、エルサレムで世を治めることができないようにした。また銀百タラントと金一タラントのみつぎを国に課した。

34 וַיַּמְלֵךְ פַּרְעֹה נְכֹה אֶת־ אֶלְיָקִים בֶּן־ יֹאשִׁיָּהוּ מַלְכוּת תַּחַת יֹאשִׁיָּהוּ אָבִיו
そして-王と-した ファラオ ネコが — エルヤキムを の-子 ヨシヤの の-代わりに ヨシヤの その-父の
H6549 H6549 H0853 H0471 H1121 H2977 H8478 H2977 H0001

וַיַּסֵּב אֶת־ שְׁמוֹ יְהוֹיָקִים וְאֶת־ יְהוֹאָחָז לָקַח וַיָּבֹא מִצְרַיִם וַיָּמָת שָׁם׃
そして-変えた — その-名を エホヤキムに そして エホアハズを 連れて-行った そして-来た エジプトに そして-死んだ そこで
H5437 H0853 H8034 H3079 H0853 H3059 H3947 H0935 H4714 H4191 H8033

そしてパロ・ネコはヨシヤの子エリアキムを父ヨシヤに代って王とならせ、名をエホヤキムと改め、エホアハズをエジプトへ引いて行った。エホアハズはエジプトへ行ってそこで死んだ。

35 וְהַכֶּסֶף וְהַזָּהָב נָתַן יְהוֹיָקִים לְפַרְעֹה אֶךְ הֶעֱרִיךְ אֶת־ הָאָרֶץ
そして-銀を そして-金を 与えた エホヤキムは ファラオに ただし 評価した — 地を
H3701 H2091 H5414 H3079 H6547 H0389 H6186 H0853 H0776

לָתֵת אֶת־ הַכֶּסֶף עַל־ פִּי פַרְעֹה אִישׁ כְּעֶרְכּוֹ
与えるために — 銀を の-命令の-通りに — ファラオの 各人が その-評価の-通りに
H5414 H0853 H3701 H6310 H6547 H0376 H6187

לָתֵת לְפַרְעֹה נְכֹה׃ עַם הָאָרֶץ מֵאֶת־ הַזָּהָב וְאֶת־ הַכֶּסֶף אֶת־ נָשָׂא
与えるために ファラオ ネコに の-民 地の から 金を そして 銀を — 取り立てた
H5414 H6549 H6549 H5971 H0776 H0853 H2091 H0853 H3701 H0853 H5065

ס
—

エホヤキムは金銀をパロに送った。しかし彼はパロの命に従って金を送るために国に税を課し、国の民おのおのからその課税にしたがって金銀をきびしく取り立てて、それをパロ・ネコに送った。

36 בֶּן־ יְהוֹיָקִים שְׁנַת וְחָמֵשׁ עֶשְׂרִים עֶשְׂרֵה וְאַחַת בְּמָלְכוֹ מָלַךְ
の-子 エホヤキムは 歳の 五 二十 — 十一 王に-なった-とき 治めた
H1121 H3079 H8141 H2568 H6242 H6240 H0259 H4427 H4427

וְשֵׁם אִמּוֹ [זְבִידָה] (זְבוּדָה) בַּת־ פְּדָיָה מִן־ רוּמָה׃
そして-名は その-母の — ゼブダ の-娘 ペダヤの からの ルマの
H8034 H0517 H2080 H2081 H1323 H6305 H4480 H7316

エホヤキムは二十五歳で王となり、エルサレムで十一年の間、世を治めた。母はルマのペダヤの娘で、名をゼビダといった。

37 וַיַּעַשׂ הָרַע בְּעֵינֵי יְהוָה כְּכֹל אֲשֶׁר־עָשׂוּ אֲבֹתָיו׃
そして-行った 悪を の-目に 主の すべての-通りに 行った ―
H0001 H3605 H3068 H3605 H0001

エホヤキムは先祖たちがすべて行ったように主の目の前に悪を行った。

Chapter 24

1 בְּיָמָיו עָלָה נְבֻכַדְנֶאצַּר מֶלֶךְ בָּבֶל וַיְהִי־לוֹ יְהוֹיָקִים וַיָּשָׁב וַיִּמְרָד־בּוֹ׃ שָׁנִים שָׁלֹשׁ עֶבֶד׃
その-時代に ネブカドネザルが 上って-来た バビロンの の-王 そして-なった エホヤキムは 彼に そして-反逆した 年間 三 家来と
H3117 H5927 H5019 H0894 H4428 H1961 H3079 H7725 H4775 H8141 H7969 H5650

エホヤキムの世にバビロンの王ネブカデネザルが上ってきたので、エホヤキムは彼に隷属して三年を経たが、ついに翻って彼にそむいた。

2 וַיְשַׁלַּח יְהוָה בּוֹ אֶת־ גְּדוּדֵי כַשְׂדִּים וְאֶת־ גְּדוּדֵי אֲרָם וְאֶת־ גְּדוּדֵי מוֹאָב וְאֶת־ גְּדוּדֵי עַמּוֹן וַיְשַׁלְּחֵם בְּיַד־ עֲבָדָיו אֲשֶׁר דִּבֶּר יְהוָה כִּדְבַר הַנְּבִיאִים׃
そして-遣わした 主は 彼に ― カルデア人の の-略奪隊を そして アラムの の-略奪隊を そして モアブの の-略奪隊を そして アンモンの の-子らの そして-遣わした その-僕べたちの の-手を-通して 語った それを 主の-言葉の-通りに 預言者たちの
H7971 H3068 H0853 H3778 H1416 H0853 H0758 H1416 H0853 H4124 H1416 H0853 H5983 H1121 H7971 H5650 H3027 H1696 H3068 H1697 H3063

主はカルデヤびとの略奪隊、スリヤびとの略奪隊、モアブびとの略奪隊、アンモンびとの略奪隊をつかわしてエホヤキムを攻められた。すなわちユダを攻め、これを滅ぼすために彼らをつかわされた。主がそのしもべである預言者たちによって語られた言葉のとおりである。

3 אַךְ עַל־ פִּי יְהוָה הָיְתָה בִיהוּדָה לְהָסִיר מֵעַל פָּנָיו בְּחַטֹּאת מְנַשֶּׁה כְּכֹל אֲשֶׁר עָשָׂה׃
ただ の-命令の-通りに 主の ― 起こった ユダに 退けるために から その-前の の-罪の-ために マナセの すべての-通りに 彼が 行った
H0389 H6310 H3068 H1961 H3063 H5493 H6440 H4519 H3605

これは全く主の命によってユダに臨んだもので、ユダを主の目の前から払い除くためであった。すなわちマナセがすべておこなったその罪のため、

4 וְגַם דַּם־ נָקִי שָׁפְכָה אֲשֶׁר מִלֵּא יְרוּשָׁלַם דָּם וְלֹא־ אָבָה יְהוָה לִסְלֹחַ׃
さらに の-血を 流した 彼が 罪なき者の の-血で エルサレムを ― そして-満たした の-血で そして-なかった 望ま 主は 赦すことを
H1571 H1818 H8210 H0834 H5355 H4390 H1818 H3389 H3808 H0014 H3068 H5545

また彼が罪なき人の血を流し、罪なき人の血をエルサレムに満たしたためであって、主はその罪をゆるそうとはされなかった。

5	וְיֶתֶר	דִּבְרֵי	יְהוֹיָקִים	וְכָל־	אֲשֶׁר	עָשָׂה	הֲלֹא־	הֵם
	その–他の	事蹟は	エホヤキムの	そして–すべて	彼が	行ったことは	記されて–いないか	それらは
	H3063	H1697	H3079	H3605	H0834	H6213	H3808	H1992

כְּתוּבִים	עַל־	סֵפֶר	דִּבְרֵי	הַיָּמִים	לְמַלְכֵי	יְהוּדָה׃
—	の–上に	の–書の	歴代の	年代記の	の–王たちの	ユダの
H3789	H5921	H5612	H1697	H3117	H4428	H3063

エホヤキムのその他の事績と、彼がおこなったすべての事は、ユダの王の歴代志の書にしるされているではないか。

6	וַיִּשְׁכַּב	יְהוֹיָקִים	עִם־	אֲבֹתָיו	וַיִּמְלֹךְ	יְהוֹיָכִין
	そして–横たわった	エホヤキムは	と–共に	その–先祖たち	そして–王と–なった	エホヤキンが
	H7901	H3079	H5973	H0001	H4427	H3078

תַּחְתָּיו׃	בְּנוֹ
の–代わりに	その–子
H8478	

エホヤキムは先祖たちとともに眠り、その子エホヤキンが代って王となった。

7	וְלֹא־	הוֹסִיף	עוֹד	מֶלֶךְ	מִצְרַיִם	לָצֵאת	מֵאַרְצוֹ	
	そして–もはや	出て–来なかった	再び	の–王は	エジプトの	出て–行くことを	その–地から	
	H3808	H3254	H5750	H4428	H4714	H3318	H0776	

כִּי־	לָקַח	מֶלֶךְ	בָּבֶל	מִנַּחַל	מִצְרַיִם	עַד־	נְהַר־	פְּרָת
なぜなら	奪った	の–王が	バビロンの	の–川から	エジプトの	まで	の–川	ユーフラテスの
H3588	H3947	H4428	H0894	H5158	H4714	H5704	H5104	H6578

כֹּל	אֲשֶׁר	הָיְתָה	לְמֶלֶךְ	מִצְרַיִם׃	פ
すべてを	それは	属していた	の–王に	エジプトの	—
H3605		H1961	H4428	H4714	

エジプトの王は再びその国から出てこなかった。バビロンの王がエジプトの川からユフラテ川まで、すべてエジプトの王に属するものを取ったからである。

8	בֶּן־	שְׁמֹנֶה	עֶשְׂרֵה	שָׁנָה	יְהוֹיָכִין	בְּמָלְכוֹ	וּשְׁלֹשָׁה	חֳדָשִׁים
	の–子	十八	—	歳の	エホヤキンは	王に–なった–とき	三	か月
	H1121	H8083	H6240	H8141	H3078	H4427	H7969	H2320

מָלַךְ	בִּירוּשָׁלָ͏ִם	וְשֵׁם	אִמּוֹ	נְחֻשְׁתָּא	בַּת־	אֶלְנָתָן
治めた	エルサレムで	そして–名は	その–母の	ネフシュタ	の–娘	エルナタンの
H4427	H3389	H8034	H0517	H5179	H1323	H0494

מִירוּשָׁלָ͏ִם׃
エルサレムからの
H3389

エホヤキンは王となった時十八歳で、エルサレムで三か月の間、世を治めた。母はエルサレムのエルナタンの娘で、名をネホシタといった。

9	וַיַּעַשׂ	הָרַע	בְּעֵינֵי	יְהוָה	כְּכֹל	אֲשֶׁר־	עָשָׂה	אָבִיו׃
	そして–行った	悪を	の–目に	主の	すべての–通りに	行った	—	その–父が
	H6213	H7451	H5869	H3068	H3605	H0834	H6213	H1

エホヤキンはすべてその父がおこなったように主の目の前に悪を行った。

10	בָּעֵת	הַהִיא	עָלָה[	](עָלוּ	עַבְדֵי	נְבוּכַדְנֶאצַּר	מֶלֶךְ־	בָּבֶל
	その–時に	—	—	上って–来た	の–家来たちが	ネブカドネザルの	の–王の	バビロンの
	H6256	H1931	H5927	H5927	H5650	H5019	H4428	H0894

יְרוּשָׁלָ͏ִם	וַתָּבֹא	הָעִיר	בַּמָּצוֹר׃	
エルサレムに	そして–入った	その–町は	包囲に	
H3389	H0935		H4692	

そのころ、バビロンの王ネブカデネザルの家来たちはエルサレムに攻め上って、町を囲んだ。

11 וַיָּבֹא נְבוּכַדְנֶאצַּר מֶלֶךְ־בָּבֶל עַל־הָעִיר וַעֲבָדָיו
そして–来た ネブカドネザルが の–王 バビロンの に–対して その–町に そして–その–家来たちが
H0935 H5019 H4428 H0894 H5650

צָרִים עָלֶיהָ׃
包囲して–いた それを

その家来たちが町を囲んでいたとき、バビロンの王ネブカデネザルもまた町に攻めてきた。

12 וַיֵּצֵא יְהוֹיָכִין מֶלֶךְ־יְהוּדָה עַל־מֶלֶךְ בָּבֶל הוּא
そして–出て–行った エホヤキンが の–王 ユダの に–対して バビロンの 彼と
H3318 H3078 H4428 H3063 H0894 H1931

וְאִמּוֹ וַעֲבָדָיו וְשָׂרָיו וְסָרִיסָיו וַיִּקַּח אֹתוֹ מֶלֶךְ
その–母と その–家来たちと その–家臣たちと その–宦官たちが そして–取った 彼を の–王が
H0517 H5650 H8269 H5631 H3947 H0853 H4428

לְמָלְכוֹ׃ שְׁמֹנֶה בִּשְׁנַת בָּבֶל
その–治世の 八 の–年に バビロンの
H8083 H8141 H0894

ユダの王エホヤキンはその母、その家来、そのつかさたち、および侍従たちと共に出て、バビロンの王に降服したので、バビロンの王は彼を捕虜とした。これはネブカデネザルの治世の第八年であった。

13 וַיּוֹצֵא מִשָּׁם אֶת־כָּל־אֹצְרוֹת בֵּית יְהוָה וְאֹצְרוֹת בֵּית
そして–運び–出した そこから — すべての 宝物を 主の の–宮の そして–宝物を の–宮殿の
H3318 H8033 H0853 H3605 H0214 H3068 H0214 H1004

הַמֶּלֶךְ וַיְקַצֵּץ אֶת־כָּל־כְּלֵי הַזָּהָב אֲשֶׁר עָשָׂה שְׁלֹמֹה מֶלֶךְ־
王の そして–切り–取った — すべての の–器を 金の それを 造った ソロモンが の–王
H4428 H7112 H0853 H3605 H3627 H2091 H0834 H6213 H8010 H4428

יְהוָה׃ דִּבֶּר כַּאֲשֶׁר יִשְׂרָאֵל בְּהֵיכַל יְהוָה
通りに — 主が–語った イスラエルの の–神殿で 主の
H3068 H1696 H3478 H1964 H3068

彼はまた主の宮のもろもろの宝物および王の家の宝物をことごとく持ち出し、イスラエルの王ソロモンが造って主の神殿に置いたもろもろの金の器を切りこわした。主が言われたとおりである。

14 וַיִּגְלֶה אֶת־כָּל־וְאֵת כָּל־הַשָּׂרִים כָּל־וְאֵת כָּל־יְרוּשָׁלִַם
そして–捕囚と–した — すべての そして 高官たちを すべての そして エルサレムを
H1540 H0853 H3605 H8269 H3605 H0853 H3389

הֶחָרָשׁ וְכָל־ גּוֹלָה אֲלָפִים)עֲשֶׂרֶת(|עשרה| הַחַיִל גִּבּוֹרֵי
職人を そして–すべての 捕囚として — 一万 — 軍の の–勇士たちを
H2796 H3605 H1473 H0505 H6235 H6235 H2428 H1368

הָאָרֶץ׃ עַם־ דַּלַּת זוּלַת נִשְׁאַר לֹא וְהַמַּסְגֵּר
地の の–民の 貧しい–者たちだけが ただ — 残らなかった そして–鍛冶師を
H0776 H2108 H7604 H3808 H4525

彼はまたエルサレムのすべての市民、およびすべてのつかさとすべての勇士、ならびにすべての木工と鍛冶一万人を捕えて行った。残った者は国の民の貧しい者のみであった。

15 וַיִּגֶל אֶת־ יְהוֹיָכִין בָּבֶלָה וְאֶת־ אֶם הַמֶּלֶךְ וְאֶת־
そして–捕囚と–した — エホヤキンを バビロンに そして の–母を 王の そして
H1540 H0853 H3078 H0894 H0853 H0517 H4428 H0853

נְשֵׁי הַמֶּלֶךְ וְאֶת סָרִיסָיו וְאֶת אולין] וְאֶת אֵילֵי) הָאָרֶץ
の–妻たちを 王の そして その–宦官たちを そして — の–有力者たちを 地の
H0802 H4428 H0853 H5631 H0853 H0352 H0776

הוֹלִיךְ גּוֹלָה מִירוּשָׁלִַם בָּבֶלָה׃
連れて–行った 捕囚として エルサレムから バビロンに
H3212 H1473 H3389 H0894

さらに彼はエホヤキンをバビロンに捕えて行き、また王の母、王の妻たち、および侍従と国のうちのおもな人々をも、エルサレムからバビロンへ捕えて行った。

16 וְאֶת כָּל אַנְשֵׁי הַחַיִל שִׁבְעַת אֲלָפִים הֶחָרָשׁ וְהַמַּסְגֵּר
そして すべての の–戦士たちを 軍の 七千 — そして–職人を そして–鍛冶師を
H0853 H3605 H0376 H2428 H7651 H0505 H2796 H4525

אֶלֶף גּוֹלָה בָּבֶל מֶלֶךְ־ וַיְבִיאֵם מִלְחָמָה עֹשֵׂי גִּבּוֹרִים הַכֹּל
千 捕囚として バビロンの の–王が そして–連れて–来た 戦いの 戦う–者たちを 勇士で すべて
H0505 H1473 H0894 H4428 H0935 H4421 H6213 H1368 H3605

בָּבֶלָה׃
バビロンに
H0894

またバビロンの王はすべて勇敢な者七千人、木工と鍛冶一千人ならびに強くて良く戦う者をみな捕えてバビロンへ連れて行った。

17 וַיַּמְלֶךְ מֶלֶךְ־ בָּבֶל אֶת־ מַתַּנְיָה דֹּדוֹ תַּחְתָּיו וַיַּסֵּב
そして–王と–した の–王が バビロンの — マタニヤを その–叔父を の–代わりに そして–変えた
H4428 H0894 H0853 H4983 H1730 H8478 H5437

פ צִדְקִיָּהוּ׃ שְׁמוֹ אֶת־
— ゼデキヤに その–名を —
H6667 H8034 H0853

そしてバビロンの王はエホヤキンの父の兄弟マッタニヤを王としてエホヤキンに代え、名をゼデキヤと改めた。

18 בֶּן־ עֶשְׂרִים וְאַחַת שָׁנָה צִדְקִיָּהוּ בְּמָלְכוֹ וְאַחַת עֶשְׂרֵה שָׁנָה מָלַךְ
の–子 二十 — 歳の ゼデキヤは 王に–なった–とき 十一 — 年間 治めた
H1121 H6242 H0259 H8141 H6667 H0259 H6240 H8141 H4427

מִלְכָּנָה׃ יִרְמְיָהוּ בַּת־ חֲמוּטַל) חמיטל] אִמּוֹ וְשֵׁם בִּירוּשָׁלִַם
リブナからの エレミヤの の–娘 ハムタル — その–母の そして–名は エルサレムで
H3841 H3414 H1323 H2537 H2537 H0517 H8034 H3389

ゼデキヤは二十一歳で王となり、エルサレムで十一年の間、世を治めた。母はリブナのエレミヤの娘で、名をハムタルといった。

19 וַיַּעַשׂ הָרַע בְּעֵינֵי יְהוָה כְּכֹל אֲשֶׁר־ עָשָׂה יְהוֹיָקִים׃
そして–行った 悪を の–目に 主の すべての–通りに 行った — エホヤキムが
H6213 H7451 H5869 H3068 H3605 H0834 H6213 H3079

ゼデキヤはすべてエホヤキムがおこなったように主の目の前に悪を行った。

20 כִּי עַל־ אַף יְהוָה הָיְתָה בִּירוּשָׁלַ͏ִם וּבִיהוּדָה עַד־ הִשְׁלִכוֹ
なぜなら の–ために 怒りの 主の 起こった エルサレムに そして–ユダに ついに 投げ–捨てた
H3588 H5921 H0639 H3068 H1961 H3389 H3063 H5704 H7993

אֹתָם מֵעַל פָּנָיו וַיִּמְרֹד צִדְקִיָּהוּ בְּמֶלֶךְ בָּבֶל׃ ס
彼らを から その–前の 反逆した ゼデキヤが の–王に バビロンの —
H0853 H4480 H6440 H4775 H6667 H4428 H0894

エルサレムとユダにこのような事の起ったのは主の怒りによるので、主はついに彼らをみ前から払いすてられた。さてゼデキヤはバビロンの王にそむいた。

Chapter 25

1 וַיְהִי בִּשְׁנַת הַתְּשִׁיעִית לְמָלְכוֹ בַּחֹדֶשׁ הָעֲשִׂירִי בֶּעָשׂוֹר לַחֹדֶשׁ בָּא
そして–起こった の–年に 第九 その–治世の の–月に 第十 十日に その–月の 来た
H1961 H8141 H8671 H4427 H2320 H6224 H6218 H2320 H0935

נְבֻכַדְנֶאצַּר מֶלֶךְ־ בָּבֶל הוּא וְכָל־ חֵילוֹ עַל־ יְרוּשָׁלַ͏ִם וַיִּבֶן עָלֶיהָ
ネブカドネザルが の–王 バビロンの 彼と そして–すべての その–軍勢が に–対して エルサレムに それに–対して 築いた それに–対して
H5019 H4428 H0894 H1931 H3605 H2428 H5921 H3389 H5921 H1129 H5921

דָּיֵק סָבִיב׃ וַיָּבֹאוּ הָעִיר עַד עַשְׁתֵּי עֶשְׂרֵה שָׁנָה לַמֶּלֶךְ צִדְקִיָּהוּ׃
そして–入った その–町は 包囲に まで 十一 — 年の の–王の ゼデキヤの
H0935 H5892 H4692 H5704 H6249 H6240 H8141 H4428 H6667

そこでゼデキヤの治世の第九年の十月十日に、バビロンの王ネブカデネザルはもろもろの軍勢を率い、エルサレムにきて、これにむかって陣を張り、周囲にとりでを築いてこれを攻めた。

2 וַתָּבֹא הָעִיר בַּמָּצוֹר עַד עַשְׁתֵּי עֶשְׂרֵה שָׁנָה לַמֶּלֶךְ צִדְקִיָּהוּ׃
そして–入った その–町は 包囲に まで 十一 — 年の の–王の ゼデキヤの
H0935 H5892 H4692 H5704 H6249 H6240 H8141 H4428 H6667

こうして町は囲まれて、ゼデキヤ王の第十一年にまで及んだが、

3 בְּתִשְׁעָה לַחֹדֶשׁ וַיֶּחֱזַק הָרָעָב בָּעִיר וְלֹא־ הָיָה לֶחֶם לְעַם הָאָרֶץ׃
九日に その–月の そして–激しく–なった 飢饉が 町に そして–なかった —— パンが の–民に 地の
H8672 H2320 H2388 H7458 H5892 H3808 H1961 H3899 H5971 H0776

その四月九日になって、町のうちにききんが激しくなり、その地の民に食物がなくなった。

4 וַתִּבָּקַע הָעִיר וְכָל־ אַנְשֵׁי הַמִּלְחָמָה הַלַּיְלָה דֶּרֶךְ
そして–破られた 町は そして–すべての の–戦士たちは 戦いの 夜に の–道を–通って
H1234 H5892 H3605 H0376 H4421 H3915 H1870

וְכַשְׂדִּים עַל־ גַּן הַמֶּלֶךְ וְאֶת־ הַחֹמֹתַיִם הַשֹּׁעַר בֵּין
そして–カルデア人が に–面した の–庭の 王の それは 二つの–城壁の の–門の の–間の
H3778 H5921 H1588 H4428 H0853 H2346 H8179 H0996

הָעֲרָבָה׃ דֶּרֶךְ וַיֵּלֶךְ סָבִיב הָעִיר עַל־
アラバの の–道を そして–行った いた 町の の–周りに
H6160 H1870 H3212 H5439 H5892 H5921

町の一角がついに破れたので、王はすべての兵士とともに、王の園のかたわらにある二つの城壁のあいだの門の道から夜のうちに逃げ出して、カルデヤびとが町を囲んでいる間に、アラバの方へ落ち延びた。

בְּעַרְבוֹת	אֹתוֹ	וַיַּשִּׂגוּ	הַמֶּלֶךְ	אַחַר	כַּשְׂדִּים	חֵיל־	וַיִּרְדְּפוּ	5
の–荒野で	彼を	そして–追いついた	王の	の–後を	カルデアの	の–軍勢が	そして–追いかけた	
H6160	H0853	H5381	H4428		H3778	H2428	H7291	

מֵעָלָיו׃	נָפֹצוּ	חֵילוֹ	וְכָל־	יְרֵחוֹ
彼から	散らされた	その–軍勢は	そして–すべての	エリコの
		H2428	H3605	H3405

しかしカルデヤびとの軍勢は王を追い、エリコの平地で彼に追いついた。彼の軍勢はみな彼を離れて散り去ったので、

בָּבֶל	מֶלֶךְ	אֶל־	אֹתוֹ	וַיַּעֲלוּ	הַמֶּלֶךְ	אֶת־	וַיִּתְפְּשׂוּ	6
バビロンの	の–王の–もとに	に	彼を	そして–連れて–上った	王を	—	そして–捕らえた	
H0894	H4428	H0413	H0853	H5927	H4428	H0853	H8610	

מִשְׁפָּט׃	אִתּוֹ	וַיְדַבְּרוּ	רִבְלָתָה	
裁きを	彼に	そして–言い–渡した	リブラに	
H4941	H0854	H1696	H7247	

カルデヤびとは王を捕え、彼をリブラにいるバビロンの王のもとへ引いていって彼の罪を定め、

עִוֵּר	צִדְקִיָּהוּ	עֵינֵי	וְאֶת־	לְעֵינָיו	שָׁחֲטוּ	צִדְקִיָּהוּ	בְּנֵי	וְאֶת־	7
つぶした	ゼデキヤの	の–目を	そして	その–目の–前で	殺した	ゼデキヤの	の–息子たちを	そして	
H5786	H6667		H0853			H6667		H0853	

ס	בָּבֶל׃	וַיְבִאֻהוּ	בַּנְחֻשְׁתַּיִם	וַיַּאַסְרֵהוּ
—	バビロンに	そして–連れて–行った	青銅の–鎖で	そして–縛った
	H0894	H0935		H0631

ゼデキヤの子たちをゼデキヤの目の前で殺し、ゼデキヤの目をえぐり、足かせをかけてバビロンへ連れて行った。

לַמֶּלֶךְ	שְׁנַת	עֶשְׂרֵה	תִּשַּׁע־	שְׁנַת	הִיא	לַחֹדֶשׁ	בְּשִׁבְעָה	הַחֲמִישִׁי	וּבַחֹדֶשׁ	8
の–王の	年の	—	十九	の–年	それは	その–月の	七日に	第五の	そして–の–月に	
H4428	H8141	H6240	H8672	H8141	H1931	H2320	H7651	H2549	H2320	

מֶלֶךְ־	עֶבֶד	טַבָּחִים	רַב־	נְבוּזַרְאֲדָן	בָּא	בָּבֶל	מֶלֶךְ־	נְבוּכַדְנֶאצַּר
の–王の	の–家来	親衛隊の	の–長	ネブザルアダンが	来た	バビロンの	の–王	ネブカドネザルの
H4428	H5650	H2876		H5018	H0935	H0894	H4428	H5019

יְרוּשָׁלִָם׃	בָּבֶל	
エルサレムに	バビロンの	
H3389	H0894	

バビロンの王ネブカデネザルの第十九年の五月七日に、バビロンの王の臣、侍衛の長ネブザラダンがエルサレムにきて、

בָּתֵּי	כָּל־	וְאֵת	הַמֶּלֶךְ	בֵּית	וְאֶת־	יְהוָה	בֵּית־	אֶת־	וַיִּשְׂרֹף	9
の–家を	すべての	そして	王の	の–宮殿を	そして	主の	の–宮を	—	そして–焼いた	
	H3605	H0853	H4428		H0853	H3068		H0853	H8313	

בָּאֵשׁ׃	שָׂרַף	גְּדוֹל	בֵּית	כָּל־	וְאֶת־	יְרוּשָׁלִָם
火で	焼いた	大きな	の–家を	すべての	そして	エルサレムの
H0784	H8313			H3605	H0853	H3389

主の宮と王の家とエルサレムのすべての家を焼いた。すなわち火をもってすべての大きな家を焼いた。

10 וְאֶת־ חוֹמֹת יְרוּשָׁלִַם סָבִיב נָתְצוּ כָּל־ חֵיל כַּשְׂדִּים אֲשֶׁר
そして の–城壁を エルサレムの 周囲の 打ち壊した すべての の–軍勢が カルデアの それは
H0853 H2346 H3389 H5439 H5422 H3605 H2428 H3778

רַב־ טַבָּחִים׃
の–長の–もとの 親衛隊の
H2876

また侍衛の長と共にいたカルデヤびとのすべての軍勢はエルサレムの周囲の城壁を破壊した。

11 וְאֵת יֶתֶר הָעָם הַנִּשְׁאָרִים בָּעִיר וְאֶת־ הַנֹּפְלִים אֲשֶׁר נָפְלוּ
そして の–残りを 民の 残って–いた 町に そして の–投降者たちを 彼らが 投降した
H0853 H3499 H5971 H7604 H0853 H5307 H5307 H5307

עַל־ הַמֶּלֶךְ בָּבֶל וְאֶת יֶתֶר הֶהָמוֹן הֶגְלָה נְבוּזַרְאֲדָן רַב־
に の–王に バビロンの そして の–残りを 群衆の 捕囚と–した ネブザルアダンは の–長
H4428 H0894 H0853 H3499 H1540 H5018 H7227

טַבָּחִים׃
親衛隊の
H2876

そして侍衛の長ネブザラダンは、町に残された民およびバビロン王に降服した者と残りの群衆を捕え移した。

12 וּמִדַּלַּת הָאָרֶץ הִשְׁאִיר רַב־ טַבָּחִים לְכֹרְמִים וְלִיּוֹגְבִים׃
ただし–貧しい–者を 地の 残した の–長は 親衛隊の ぶどうの–耕作人として そして–農夫として
H1800 H0776 H7604 H7227 H2876 H3755 H3009

ただし侍衛の長はその地の貧しい者を残して、ぶどうを作る者とし、農夫とした。

13 וְאֶת־ עַמּוּדֵי הַנְּחֹשֶׁת אֲשֶׁר בֵּית־ יְהוָה וְאֶת־ הַמְּכֹנוֹת וְאֶת־ יָם
そして の–柱を 青銅の それは の–宮に–ある 主の そして の–台車を そして の–海を
H0853 H5982 H5178 H0834 H1004 H3068 H0853 H4350 H0853 H3220

הַנְּחֹשֶׁת אֲשֶׁר בְּבֵית־ יְהוָה שִׁבְּרוּ כַשְׂדִּים וַיִּשְׂאוּ אֶת־ נְחֹשְׁתָם
青銅の それは の–宮に–ある 主の 砕いた カルデア人は そして–運んだ — その–青銅を
H5178 H0834 H1004 H3068 H7665 H3778 H5375 H0853 H5178

בָּבֶלָה׃
バビロンに
H0894

カルデヤびとはまた主の宮の青銅の柱と、主の宮の洗盤の台と、青銅の海を砕いて、その青銅をバビロンに運び、

14 וְאֶת־ הַסִּירֹת וְאֶת־ הַיָּעִים וְאֶת־ הַמְזַמְּרוֹת וְאֶת־ הַכַּפּוֹת וְאֶת־ כָּל־
そして の–鉈を そして の–十能を そして の–心切りばさみを そして の–皿を そして すべての
H0853 H5518 H0853 H3257 H0853 H4212 H0853 H3709 H0853 H3605

כְּלֵי הַנְּחֹשֶׁת אֲשֶׁר יְשָׁרְתוּ־ בָם לָקָחוּ׃
の–器を 青銅の それで 仕えた それらで 取った
H3627 H5178 H0834 H8334 H0853 H3947

またつぼと、十能と、心切りばさみと、香を盛る皿およびすべて神殿の務に用いる青銅の器、

15 וְאֶת־ הַמַּחְתּוֹת הַמִּזְרָקוֹת אֲשֶׁר זָהָב זָהָב וַאֲשֶׁר־ כֶּסֶף כֶּסֶף לָקָח
そして の–火皿を の–鉢を それは 金の 金を そして–それは 銀の 銀を 取った
H0853 H4289 H4219 H0834 H2091 H2091 H0834 H3701 H3701 H3947

רַב־ טַבָּחִים׃
の–長が 親衛隊の
H2876

また心取り皿と鉢を取り去った。侍衛の長はまた金で作った物と銀で作った物を取り去った。

16 וְהָעַמּוּדִים שְׁנַיִם הַיָּם הָאֶחָד וְהַמְּכֹנוֹת אֲשֶׁר־ עָשָׂה שְׁלֹמֹה לְבֵית
の–宮の–ために ソロモンが 造った それを そして–台車は 一つの 海は 二つの 柱は
H8010 H4350 H0259 H3220 H8147 H5982

יְהוָה הַנְּחֹשֶׁת מִשְׁקָל לֹא־ הָיָה אַחַת לַנְּחֹשֶׁת מִשְׁקָל הַכֵּלִים כָּל־ הָאֵלֶּה׃
主の 量り–知れなかった 一 重さは の–青銅の すべての の–器の これらの
H3068 H3808 H1961 H4948 H3605 H3627 H0428

ソロモンが主の宮のために造った二つの柱と、一つの海と洗盤の台など、これらのもろもろの器の青銅の重さは量ることができなかった。

17 שְׁמֹנֶה עֶשְׂרֵה אַמָּה הָעַמּוּד הָאֶחָד וְכֹתֶרֶת נְחֹשֶׁת וְעָלָיו
十八 一 アンマの の–高さは 柱の 一つの そして–柱頭は 青銅の その–上の
H8083 H6240 H0259 H3805

וְרִמֹּנִים עַל־ הַכֹּתֶרֶת סָבִיב הַכֹּל נְחֹשֶׁת וְהַשֵּׁנִי לָעַמּוּד וְכָאֵלֶּה׃ הַשְּׁבָכָה עַל־
そして–ざくろの–実が の–上に 柱頭の 周囲に すべて 青銅の そして–同様に の–柱にも 第二の 網細工と の–上に 網細工の
H7416 H3805 H5439 H3605 H7969 H6967 H0428 H5982 H8145 H7639

וּשְׁבָכָה אַמּוֹת׀ (אמה) שָׁלֹשׁ וְקוֹמַת הַכֹּתֶרֶת׃
そして–網細工と アンマ 一 三 柱頭の そして–の–高さは
H7639 H7969 H3805 H6967

18 וַיִּקַּח רַב־ טַבָּחִים אֶת־ שְׂרָיָה כֹּהֵן הָרֹאשׁ וְאֶת־ צְפַנְיָהוּ כֹּהֵן
そして–取った の–長は 親衛隊の を– セラヤを の–祭司 第一の そして– ゼパニヤを の–祭司
H3947 H2876 H0853 H8304 H3548 H0853 H6846 H3548

הַמִּשְׁנֶה וְאֶת־ שְׁלֹשֶׁת שֹׁמְרֵי הַסַּף׃
第二の そして– 三人の の–守護者を 敷居の
H4932 H0853 H7969 H8104

侍衛の長は祭司長セラヤと次席の祭司ゼパニヤと三人の門を守る者を捕え、

19 וּמִן־ הָעִיר לָקַח סָרִיס אֶחָד אֲשֶׁר־ הוּא פְקִיד עַל־ אַנְשֵׁי
そして–から 町から 取った の–宦官を 一人の 彼は 指揮官で の–上の の–戦士たちの
H3947 H5631 H0259 H1931 H6496 H0376

הַמִּלְחָמָה וַחֲמִשָּׁה אֲנָשִׁים מְרֹאֵי פְנֵי־ הַמֶּלֶךְ אֲשֶׁר נִמְצְאוּ בָּעִיר
戦いの そして–五人の 人を の–例える–者たち の–顔の 王の 彼らは 見つかった 町に
H4421 H2568 H0376 H7200 H6440 H4428 H4672

וְאֶת־ סֹפֵר שַׂר הַצָּבָא הַמַּצְבִּא אֶת־ עַם הָאָרֶץ וְשִׁשִּׁים אִישׁ מֵעַם הָאָרֶץ הַנִּמְצְאִים בָּעִיר׃
そして– 書記官を の–長の 軍の 彼が–徴兵した を– 民を 地の そして–六十人の 人を の–民の 地の 見つかった 町に
H0853 H8269 H6633 H0853 H0776 H8346 H0376 H0776 H4672

また兵士をつかさどるひとりの役人と、王の前にはべる者のうち、町で見つかった者五人と、その地の民を募った軍勢の長の書記官と、町で見つかったその地の民六十人を町から捕え去った。

20 וַיִּקַּח נְבוּזַרְאֲדָן רַב־ טַבָּחִים וַיֹּלֶךְ אֹתָם
そして-取った ネブザルアダンは の-長 親衛隊の そして-連れて-行った 彼らを
H3947 H5018 H0853 H2876 H3212 H0853

עַל־ מֶלֶךְ בָּבֶל רִבְלָתָה׃
の-もとに の-王の バビロンの リブラに
H4428 H0894 H7247

侍衛の長ネブザラダンは彼らを捕えて、リブラにいるバビロンの王のもとへ連れて行ったので、

21 וַיַּךְ אֹתָם מֶלֶךְ בָּבֶל וַיְמִיתֵם בְּרִבְלָה בְּאֶרֶץ חֲמָת
そして-打ち-殺した 彼らを の-王は バビロンの そして-殺した リブラで の-地の ハマテの
H5221 H0853 H4428 H0894 H4191 H7247 H0776 H2574

וַיִּגֶל יְהוּדָה מֵעַל אַדְמָתוֹ׃
こうして-捕囚と-なった ユダは から その-地
H1540 H3063 H0127

バビロンの王はハマテの地のリブラで彼らを撃ち殺した。このようにしてユダはその地から捕え移された。

22 וְהָעָם הַנִּשְׁאָר בְּאֶרֶץ יְהוּדָה אֲשֶׁר הִשְׁאִיר נְבוּכַדְנֶאצַּר מֶלֶךְ בָּבֶל
そして-民は 残った の-地に ユダの それを 残した ネブカドネザルが の-王 バビロンの
H7604 H0776 H3063 H7604 H5019 H4428 H0894

וַיַּפְקֵד עֲלֵיהֶם אֶת־ גְּדַלְיָהוּ בֶּן־ אֲחִיקָם בֶּן־ שָׁפָן׃ פ
そして-任命した 彼らの-上に — ゲダルヤを の-子 アヒカムの の-子 シャファンの —
H0853 H0296

さてバビロンの王ネブカデネザルはユダの地に残してとどまらせた民の上に、シャパンの子アヒカムの子であるゲダリヤを立てて総督とした。

23 וַיִּשְׁמְעוּ כָּל־ שָׂרֵי הַחֲיָלִים הֵמָּה וְהָאֲנָשִׁים כִּי־ הִפְקִיד
そして-聞いた すべての の-将軍たちが 軍の 彼らと その-部下たちが ことを 任命した
H8085 H3605 H8269 H2428 H1992 H0376

בָּבֶל מֶלֶךְ־ אֶת־ גְּדַלְיָהוּ וַיָּבֹאוּ אֶל־ גְּדַלְיָהוּ הַמִּצְפָּה
バビロンの の-王が — ゲダルヤを そして-来た に ゲダルヤの-もとに ミツパに
H0894 H4428 H0853 H0935 H0413 H4709

וְיִשְׁמָעֵאל בֶּן־ נְתַנְיָה וְיוֹחָנָן בְּנֵי־ קָרֵחַ וּשְׂרָיָה בֶן־ תַּנְחֻמֶת
イシュマエルと の-子 ネタニヤの ヨハナンと の-子 カレアフの セラヤと の-子 タンフメトの
H3458 H5418 H3110 H7143 H8304 H8576

וְאַנְשֵׁיהֶם׃ הֵמָּה הַמַּעֲכָתִי בֶּן־ יְזַנְיָהוּ הַנְּטֹפָתִי
その-部下たちが 彼らと マアカ人の の-子 ヤアザニヤと ネトファ人の
H0376 H1992 H4602 H2970 H5200

時に軍勢の長たちおよびその部下の人々は、バビロンの王がゲダリヤを総督としたことを聞いて、ミヅパにいるゲダリヤのもとにきた。すなわちネタニヤの子イシマエル、カレヤの子ヨハナン、ネトパびとタンホメテの子セラヤ、マアカびとの子ヤザニヤおよびその部下の人々がゲダリヤのもとにきた。

24 וַיִּשָּׁבַע לָהֶם גְּדַלְיָהוּ וְלַאֲנָשֵׁיהֶם וַיֹּאמֶר לָהֶם אַל־
そして-誓った 彼らに ゲダルヤは そして-その-部下たちに そして-言った 彼らに 恐れるな
H7650 H0559 H0376

תִּירְאוּ מֵעַבְדֵי הַכַּשְׂדִּים שְׁבוּ בָאָרֶץ וְעִבְדוּ אֶת־ מֶלֶךְ בָּבֶל
— の-家来たちを カルデアの 住め 地に そして-仕えよ — の-王に バビロンの
H3372 H5650 H3778 H3427 H0776 H5647 H0853 H4428 H0894

וְיִטַב לָכֶם׃ ס
そうすれば-良く-なる あなたがたに —
H3190

ゲダリヤは彼らとその部下の人々に誓って言った、「あなたがたはカルデヤびとのしもべとなることを恐れてはならない。この地に住んで、バビロンの王に仕えなさい。そうすればあなたがたは幸福を得るでしょう」。

25 וַיְהִי בַּחֹדֶשׁ הַשְּׁבִיעִי בָּא יִשְׁמָעֵאל בֶּן־נְתַנְיָה בֶּן־
そして-起こった の-月に 第七の 来た イシュマエルが の-子 ネタニヤの の-子
H1961 H2320 H7637 H0935 H3458 H5418

אֱלִישָׁמָע מִזֶּרַע הַמְּלוּכָה וַעֲשָׂרָה אֲנָשִׁים אִתּוֹ וַיַּכּוּ אֶת־
エリシャマの の-子孫の 王家の そして-十人の 人が 彼と-共に そして-打ち-殺した —
H0476 H2233 H4410 H6235 H0376 H0854 H5221 H0853

גְּדַלְיָהוּ וַיָּמָת וְאֶת־הַיְּהוּדִים וְאֶת־הַכַּשְׂדִּים אֲשֶׁר־הָיוּ
ゲダルヤを そして-死んだ そして の-ユダヤ人を そして の-カルデア人を 彼らは いた
H4191 H0853 H3064 H0853 H3778 H1961

אִתּוֹ בַּמִּצְפָּה׃
彼と-共に ミツパに
H0854 H4709

ところが七月になって、王の血統のエリシャマの子であるネタニヤの子イシマエルは十人の者と共にきて、ゲダリヤを撃ち殺し、また彼と共にミヅパにいたユダヤ人と、カルデヤびとを殺した。

26 וַיָּקֻמוּ כָל־הָעָם מִקָּטֹן וְעַד־גָּדוֹל וְשָׂרֵי
そして-立ち-上がった すべての 民が 小さい-者から まで 大きい-者まで そして-の-将軍たちが
H3605 H5704 H8269

הַחֲיָלִים וַיָּבֹאוּ מִצְרָיִם כִּי יָרְאוּ מִפְּנֵי כַּשְׂדִּים׃ פ
軍の そして-行った エジプトに なぜなら 恐れた の-前で カルデア人の —
H2428 H0935 H4714 H3372 H6440 H3778

そのため、大小の民および軍勢の長たちは、みな立ってエジプトへ行った。彼らはカルデヤびとを恐れたからである。

27 וַיְהִי בִּשְׁלֹשִׁים שָׁנָה וְשֶׁבַע לְגָלוּת יְהוֹיָכִין מֶלֶךְ־
そして-起こった 三十 七 年の の-捕囚の エホヤキンの の-王の
H1961 H7970 H7651 H8141 H1546 H3078 H4428

יְהוּדָה בִּשְׁנֵים עָשָׂר חֹדֶשׁ בְּעֶשְׂרִים וְשִׁבְעָה לַחֹדֶשׁ נָשָׂא
ユダの 十二 月の 二十 七日に その-月の 釈放した
H3063 H8147 H2320 H6242 H7651 H2320 H5375

אֱוִיל מְרֹדַךְ מֶלֶךְ בָּבֶל בִּשְׁנַת מָלְכוֹ רֹאשׁ אֶת־יְהוֹיָכִין מֶלֶךְ־יְהוּדָה מִבֵּית
エビル・ メロダクが の-王 バビロンの の-年に その-治世の —
H0192 H0192 H4428 H0894 H8141 H4428 H3078 H0853 H3063 から

כֶּלֶא׃
牢獄の
H3608

ユダの王エホヤキンが捕え移されて後三十七年の十二月二十七日、すなわちバビロンの王エビルメロダクの治世の第一年に、王はユダの王エホヤキンを獄屋から出して

28 וַיְדַבֵּר אִתּוֹ טֹבוֹת וַיִּתֵּן אֶת־כִּסְאוֹ מֵעַל כִּסֵּא הַמְּלָכִים
そして-語った 彼に 優しく そして-与えた — その-座を の-上に の-座の 王たちの
H1696 H0854 H2896 H5414 H0853 H3678 H4480 H3678 H4428

אֲשֶׁר אִתּוֹ בְּבָבֶל׃
彼らは 彼と-共に-いた バビロンに
H0854 H0894

ねんごろに彼を慰め、その位を彼と共にバビロンにいる王たちの位よりも高くした。

29

כָּל־	לְפָנָיו	תָּמִיד	לֶחֶם	וְאָכַל	כֶּלְאָו	בִגְדֵי	אֶת	וְשַׁנֶּא
すべての	その–前で	常に	パンを	そして–食べた	囚人の	の–衣を	—	そして–着–替えた
H3605	H6440	H8548	H3899	H0398	H3608		H0853	H8132

חַיָּיו׃	יְמֵי
その–生涯の	の–日々
	H3117

こうしてエホヤキンはその獄屋の衣を脱ぎ、一生の間、常に王の前で食事した。

30

בְּיוֹמוֹ	יוֹם	דְּבַר־	הַמֶּלֶךְ	מֵאֵת	לוֹ	נִתְּנָה־	תָּמִיד	אֶרְחַת	וַאֲרֻחָתוֹ
その–日ごとに	日の	の–分を	王から	から	彼に	与えられた	常に	の–糧	そして–その–糧は
H3117	H3117	H1697	H4428	H0854		H5414	H8548	H0737	H0737

חַיָּו׃	יְמֵי	כָּל
その–生涯の	の–日々	すべての
	H3117	H3605

彼は一生の間、たえず日々の分を王から賜わって、その食物とした。

1 Chronicles

Chapter 1

1 אָדָם שֵׁת אֱנוֹשׁ׃
アダム セツ エノシュ
H0121 H8352 H0583

アダム、セツ、エノス、

2 קֵינָן מַהֲלַלְאֵל יֶרֶד׃
ケナン マハラルエル ヤレド
H7018 H4111 H3382

ケナン、マハラレル、ヤレド、

3 חֲנוֹךְ מְתוּשֶׁלַח לָמֶךְ׃
エノク メトシェラ レメク
H2585 H4968 H3929

エノク、メトセラ、ラメク、

4 נֹחַ שֵׁם חָם וָיֶפֶת׃ ס
ノア セム ハム ヤペテ ס
H5146 H8035 H2526 H3315

ノア、セム、ハム、ヤペテ。

5 בְּנֵי יֶפֶת גֹּמֶר וּמָגוֹג מָדַי וְיָוָן וְתֻבַל וּמֶשֶׁךְ וְתִירָס׃ ס
の-子らは ヤペテ ゴメル マゴグ マダイ ヤワン トバル メシェク テラス ס
H3315 H1586 H4031 H4074 H3120 H8422 H4902 H8494

ヤペテの子らはゴメル、マゴグ、マダイ、ヤワン、トバル、メシェク、テラス。

6 וּבְנֵי גֹמֶר אַשְׁכְּנַז וְדִיפַת וְתוֹגַרְמָה׃
そして-の-子らは ゴメル アシュケナズ ディパテ トガルマ
H1586 H0813 H8425

ゴメルの子らはアシケナズ、デパテ、トガルマ。

7 וּבְנֵי יָוָן אֱלִישָׁה תַּרְשִׁישָׁה כִּתִּים וְרוֹדָנִים׃ ס
そして-の-子らは ヤワン エリシャ タルシシュ キッティム ロダニム ס
H3120 H0473 H8659 H3794 H1721

ヤワンの子らはエリシャ、タルシシ、キッテム、ロダニム。

8 בְּנֵי חָם כּוּשׁ וּמִצְרַיִם פּוּט וּכְנָעַן׃
の-子らは ハム クシュ ミツライム プテ カナン
H2526 H4714 H6316

ハムの子らはクシ、エジプト、プテ、カナン。

9 וּבְנֵי כוּשׁ סְבָא וַחֲוִילָה וְסַבְתָא וְרַעְמָא וְסַבְתְכָא וּבְנֵי רַעְמָא
そして-の-子らは クシュ セバ ハビラ サブタ ラアマ サブテカ そして-の-子らは
H7484 H5455 H7484 H5454 H2341 H5434

שְׁבָא וּדְדָן׃ ס
シェバ デダン
H7614 ס

クシの子らはセバ、ハビラ、サブタ、ラアマ、サブテカ。ラアマの子らはシバとデダン。

10 וְכוּשׁ יָלַד אֶת־ נִמְרֹד הוּא הֵחֵל לִהְיוֹת גִּבֹּר בָּאָרֶץ׃ ס
そして-クシュは 生んだ (を) ニムロデ 彼は 始めた なることを 勇士 地-において ס
H3205 H0853 H5248 H1931 H2341 H1961 H1368 H0776

クシはニムロデを生んだ。ニムロデは初めて世の権力ある者となった。

11 וּמִצְרַיִם יָלַד אֶת־ לוּדִים [לוּדִיִּם] וְאֶת־ עֲנָמִים וְאֶת־ לְהָבִים נַפְתֻּחִים׃
そして-ミツライムは 生んだ (を) ルディム [ルディム] そして(を) アナミム そして(を) レハビム ナフトヒム
H4714 H3205 H0853 H3866 H3866 H0853 H6047 H0853 H3853 H5320

エジプトはルデびと、アナムびと、レハブびと、ナフトびと、

12 וְאֶת־ פַּתְרֻסִים וְאֶת־ כַּסְלֻחִים אֲשֶׁר יָצְאוּ מִשָּׁם פְּלִשְׁתִּים וְאֶת־
そして(を) パテロシム そして(を) カスルヒム そこから 出た そこから ペリシテ人 そして(を)
H0853 H6625 H0853 H3695 H3318 H8033 H6430 H0853

כַּפְתֹרִים׃ ס
カフトリム ס
H3732

パテロスびと、カスルびと、カフトルびとを生んだ。カフトルびとからペリシテびとが出た。

13 וּכְנַעַן יָלַד אֶת־ צִידֹן בְּכֹרוֹ וְאֶת־ חֵת׃
そして-カナンは 生んだ (を) シドン 長子-を そして(を) ヘテ
H3205 H0853 H6721 H1060 H0853 H2845

カナンは長子シドンとヘテを生んだ。

14 וְאֶת־ הַיְבוּסִי וְאֶת־ הָאֱמֹרִי וְאֶת־ הַגִּרְגָּשִׁי׃
そして(を) エブス人 そして(を) アモリ人 そして(を) ギルガシ人
H0853 H2983 H0853 H0567 H0853 H1622

またエブスびと、アモリびと、ギルガシびと、

15 וְאֶת־ הַחִוִּי וְאֶת־ הָעַרְקִי וְאֶת־ הַסִּינִי׃
そして(を) ヒビ人 そして(を) アルキ人 そして(を) シニ人
H0853 H2340 H0853 H6208 H0853 H5513

ヒビびと、アルキびと、セニびと、

16 וְאֶת־ הָאַרְוָדִי וְאֶת־ הַצְּמָרִי וְאֶת־ הַחֲמָתִי׃ ס
そして(を) アルワデ人 そして(を) ツェマリ人 そして(を) ハマテ人 ס
H0853 H0721 H0853 H6786 H0853 H2577

アルワデびと、ゼマリびと、ハマテびとを生んだ。

17 בְּנֵי שֵׁם עֵילָם וְאַשּׁוּר וְאַרְפַּכְשָׁד וְלוּד וַאֲרָם וְעוּץ וְחוּל וְגֶתֶר
の-子らは セム エラム アッシュル アルパクシャデ ルド アラム ウツ フル ゲテル
H8035 H5780 H3865 H0758 H5780 H2343 H1666

וָמֶשֶׁךְ׃ ס ס
メシェク
H4902

セムの子らはエラム、アシュル、アルパクサデ、ルデ、アラム、ウズ、ホル、ゲテル、メセクである。

18 וְאַרְפַּכְשָׁד יָלַד אֶת־שֶׁלַח וְשֶׁלַח יָלַד אֶת־עֵבֶר׃
そして-アルパクシャデは 生んだ (を) シェラフ そして-シェラフは 生んだ (を) エベル
H0775 H3205 H0853 H7974 H7974 H3205 H0853 H5677

アルパクサデはシラを生み、シラはエベルを生んだ。

19 וּלְעֵבֶר יֻלַּד שְׁנֵי בָנִים שֵׁם הָאֶחָד פֶּלֶג כִּי בְיָמָיו
そして-エベルに 生まれた 二人の 息子 名は 一人の ペレグ なぜなら 彼の-日々に
H5677 H3205 H8147 H1121 H8034 H0259 H6389 H3117

נִפְלְגָה הָאָרֶץ וְשֵׁם אָחִיו יָקְטָן׃
分かれた 地は そして-名は 彼の-兄弟の ヨクタン
H6385 H0776 H8034 H0251 H3355

エベルにふたりの子が生れた。ひとりの名はペレグ――彼の代に地の民が散り分れたからである――その弟の名はヨクタンといった。

20 וְיָקְטָן יָלַד אֶת־אַלְמוֹדָד וְאֶת־שָׁלֶף וְאֶת־חֲצַרְמָוֶת וְאֶת־יָרַח׃
そして-ヨクタンは 生んだ (を) アルモダド そして(を) シェレフ そして(を) ハツァルマベテ そして(を) ヤラフ
H3355 H3205 H0853 H0486 H0853 H8026 H0853 H2700 H0853 H3392

ヨクタンはアルモダデ、シャレフ、ハザル・マウテ、エラ、

21 וְאֶת־הֲדוֹרָם וְאֶת־אוּזָל וְאֶת־דִּקְלָה׃
そして(を) ハドラム そして(を) ウザル そして(を) ディクラ
H0853 H1916 H0853 H0187 H0853 H1853

ハドラム、ウザル、デクラ、

22 וְאֶת־עֵיבָל וְאֶת־אֲבִימָאֵל וְאֶת־שְׁבָא׃
そして(を) エバル そして(を) アビマエル そして(を) シェバ
H0853 H5858 H0853 H0039 H0853 H7614

エバル、アビマエル、シバ、

23 וְאֶת־אוֹפִיר וְאֶת־חֲוִילָה וְאֶת־יוֹבָב כָּל־אֵלֶּה בְּנֵי
そして(を) オフィル そして(を) ハビラ そして(を) ヨバブ すべての これらは の-子らであった
H0853 H0211 H0853 H2341 H0853 H3103 H3605 H0428

יָקְטָן׃ ס ס
ヨクタン
H3355

オフル、ハビラ、ヨバブを生んだ。これらはみなヨクタンの子である。

24 וְשֵׁם אַרְפַּכְשַׁד שֶׁלַח׃
セム アルパクシャデ シェラフ
H8035 H0775 H7974

セム、アルパクサデ、シラ、

25 עֵבֶר פֶּלֶג רְעוּ׃
エベル ペレグ レウ
H5677 H6389 H7466

エベル、ペレグ、リウ、

26 שְׂרוּג נָחוֹר תָּרַח׃
セルグ ナホル テラ
H8286 H5152 H8646

セルグ、ナホル、テラ、

27 אַבְרָם הוּא סׄ אַבְרָהָם׃ סׄ
アブラム 彼は アブラハム
H0087 H1931 H0085

アブラムすなわちアブラハムである。

28 בְּנֵי אַבְרָהָם יִצְחָק וְיִשְׁמָעֵאל׃ סׄ
の-子らは アブラハム イサク イシュマエル —
H3458 H3327 H0085

アブラハムの子らはイサクとイシマエルである。

29 אֵלֶּה תֹּלְדוֹתָם יִשְׁמָעֵאל בְּכֹר נְבָיוֹת וְקֵדָר וְאַדְבְּאֵל וּמִבְשָׂם׃
これらは 彼らの-子孫 イシュマエルの 長子は ネバヨテ ケダル アデベエル ミブサム
H0428 H8435 H3458 H1060 H5032 H6938 H0110 H4017

彼らの子孫は次のとおりである。イシマエルの長子はネバヨテ、次はケダル、アデビエル、ミブサム、

30 מִשְׁמָע וְדוּמָה מַשָּׂא חֲדַד וְתֵימָא׃
ミシュマ ドマ マッサ ハダド テマ
H4927 H1746 H4854 H2301 H8485

ミシマ、ドマ、マッサ、ハダデ、テマ、

31 יְטוּר נָפִישׁ וְקֵדְמָה אֵלֶּה הֵם בְּנֵי יִשְׁמָעֵאל׃ סׄ
エトル ナフィシュ ケデマ これらは 彼らが の-子らであった イシュマエル
H3195 H5305 H6929 H0428 H1992 H3458

エトル、ネフシ、ケデマ。これらはイシマエルの子孫である。

32 וּבְנֵי קְטוּרָה פִּילֶגֶשׁ אַבְרָהָם יָלְדָה אֶת־ זִמְרָן וְיָקְשָׁן
そして-の-子らは そばめ-の アブラハムの 彼女は-生んだ (を) ジムラン ヨクシャン
H3370 H2175 H0853 H3205 H0085 H6370 H6989

וּמְדָן וְיִשְׁבָּק וְשׁוּחַ וּבְנֵי יָקְשָׁן שְׁבָא וּדְדָן׃ סׄ
メダン イシュバク シュアハ そして-の-子らは ヨクシャン シェバ デダン
H4091 H3435 H7744 H3370 H7614

アブラハムのそばめケトラの子孫は次のとおりである。彼女はジムラン、ヨクシャン、メダン、ミデアン、イシバク、シュワを産んだ。ヨクシャンの子らはシバとデダンである。

33 וּבְנֵי מִדְיָן עֵיפָה וָעֵפֶר חֲנוֹךְ וַאֲבִידָע וְאֶלְדָּעָה כָּל־ אֵלֶּה
そして–の–子らは ミディアン エファ エフェル ハノク アビダ エルダア すべての これらは
H4080 H5891 H6081 H2585 H0028 H0420 H3605 H0428

ס בְּנֵי קְטוּרָה׃ ס
ケトラ の–子らであった
H6989

ミデアンの子らはエパ、エペル、ヘノク、アビダ、エルダア。これらはみなケトラの子孫である。

34 וַיּוֹלֶד אַבְרָהָם אֶת־ יִצְחָק ס בְּנֵי יִצְחָק עֵשָׂו וְיִשְׂרָאֵל׃ ס
そして–生んだ アブラハムは (を) イサク の–子らは イサク エサウ イスラエル
H3205 H0085 H0853 H3327 H3327 H6215 H3478

アブラハムはイサクを生んだ。イサクの子らはエサウとイスラエル。

35 בְּנֵי עֵשָׂו אֱלִיפַז רְעוּאֵל וְיעוּשׁ וְיַעְלָם וְקֹרַח׃ ס
の–子らは エサウ エリパズ レウエル エウシュ ヤラム コラ
H6215 H0464 H7467 H3266 H3281 H7141

エサウの子らはエリパズ、リウエル、エウシ、ヤラム、コラ。

36 בְּנֵי אֱלִיפַז תֵּימָן וְאוֹמָר צְפִי וְגַעְתָּם קְנַז וְתִמְנָע וַעֲמָלֵק׃ ס
の–子らは エリパズ テマン オマル ツェフィ ガタム ケナズ ティムナ アマレク
H0464 H8487 H0201 H6825 H1609 H7073 H8555 H6002

エリパズの子らはテマン、オマル、ゼピ、ガタム、ケナズ、テムナ、アマレク。

37 בְּנֵי רְעוּאֵל נַחַת זֶרַח שַׁמָּה וּמִזָּה׃ ס
の–子らは レウエル ナハテ ゼラフ シャマ ミザ
H7467 H5184 H2226 H8048 H4199

リウエルの子らはナハテ、ゼラ、シャンマ、ミッザ。

38 וּבְנֵי שֵׂעִיר לוֹטָן שׁוֹבָל וְצִבְעוֹן וַעֲנָה וְדִישׁוֹן וְאֶצֶר וְדִישָׁן׃
そして–の–子らは セイル ロタン ショバル ツィブオン アナ ディション エツェル ディシャン
H3877 H7732 H6649 H6034 H1787 H0687 H1789

セイルの子らはロタン、ショバル、ヂベオン、アナ、デション、エゼル、デシャン。

39 וּבְנֵי לוֹטָן חֹרִי וְהוֹמָם וַאֲחוֹת לוֹטָן תִּמְנָע׃ ס
そして–の–子らは ロタン ホリ ホマム そして–姉妹は ロタンの ティムナ
H3877 H2753 H1950 H0269 H3877 H8555

ロタンの子らはホリとホマム。ロタンの妹はテムナ。

40 בְּנֵי שׁוֹבָל עַלְיָן וּמָנַחַת אֵבָל שְׁפִי וְאוֹנָם ס וּבְנֵי
の–子らは ショバル アルヤン マナハテ エバル シピ オナム そして–の–子らは
H7732 H5935 H0208 H8195

צִבְעוֹן אַיָּה וַעֲנָה׃
ツィブオン アヤ アナ
H6649 H0345 H6034

ショバルの子らはアルヤン、マナハテ、エバル、シピ、オナム。ヂベオンの子らはアヤとアナ。

41 בְּנֵי עֲנָה דִּישׁוֹן ס וּבְנֵי דִישׁוֹן חַמְרָן וְאֶשְׁבָּן וְיִתְרָן וּכְרָן׃ ס
の–子は アナ ディション そして–の–子らは ディション ハムラン エシュバン イテラン ケラン
H6034 H1787 H2566 H0790 H3506 H3763

アナの子はデション。デションの子らはハムラン、エシバン、イテラン、ケラン。

42 בְּנֵי־ אֵצֶר בִּלְהָן וְזַעֲוָן יַעֲקָן בְּנֵי דִישׁוֹן עוּץ וַאֲרָן׃ פ
の–子らは エツェル ビルハン ザアワン ヤアカン の–子らは ディション ウツ アラン פ
H0687 H1092 H2190 H3292 H1787 H5780 H0765

エゼルの子らはビルハン、ザワン、ヤカン。デシャンの子らはウズとアラン。

43 וְאֵלֶּה הַמְּלָכִים אֲשֶׁר מָלְכוּ בְּאֶרֶץ אֱדוֹם לִפְנֵי מָלְךְ־ לְבְנֵי
そして–これらは H0428 王たち H4428 その 治めた の–地に H0776 エドム H0123 の–前に H6440 治めた H4428 王が H4428 の–子らに

דִּנְהָבָה׃ עִירוֹ וְשֵׁם בְּעוֹר בֶּן־ בֶּלַע יִשְׂרָאֵל
ディヌハバ H1838 彼の–町の そして–名は H8034 ベオル H1160 の–子 ベラ イスラエル H3478

イスラエルの人々を治める王がまだなかった時、エドムの地を治めた王たちは次のとおりである。ベオルの子ベラ。その都の名はデナバといった。

44 וַיָּמָת וַיִּמְלֹךְ תַּחְתָּיו יוֹבָב בֶּן־ זֶרַח מִבָּצְרָה׃
そして–死んだ H4191 そして–治めた 彼に–代わって H8478 ヨバブ H3103 の–子 ゼラフ H2226 ボツラ–出身の H1224

ベラが死んで、ボズラのゼラの子ヨバブが代って王となった。

45 וַיָּמָת וַיִּמְלֹךְ תַּחְתָּיו חוּשָׁם מֵאֶרֶץ הַתֵּימָנִי׃
そして–死んだ H4191 そして–治めた 彼に–代わって H8478 ヨバブ H3103 フシャム H2367 の–地から H0776 テマン人 H8489

ヨバブが死んで、テマンびとの地のホシャムが代って王となった。

46 וַיָּמָת וַיִּמְלֹךְ תַּחְתָּיו הֲדַד בֶּן־ בְּדַד הַמַּכֶּה
そして–死んだ H4191 そして–治めた 彼に–代わって H8478 ハダド H1908 の–子 ベダド H0911 打ち破った–者 H5221

עֲוִית׃) [עיות] עִירוֹ וְשֵׁם מוֹאָב בִּשְׂדֵה מִדְיָן אֶת־
アウィテ H5762 [アウィヨテ] H5762 彼の–町の そして–名は H8034 モアブ H4124 の–野で ミディアン H4080 (を) H0853

ホシャムが死んで、ベダテの子ハダデが代って王となった。彼はモアブの野でミデアンを撃った。彼の都の名はアビテといった。

47 וַיָּמָת וַיִּמְלֹךְ תַּחְתָּיו שַׂמְלָה מִמַּשְׂרֵקָה׃
そして–死んだ H4191 そして–治めた 彼に–代わって H8478 サムラ H8072 マスレカ–出身の H4957

ハダデが死んで、マスレカのサムラが代って王となった。

48 וַיָּמָת וַיִּמְלֹךְ תַּחְתָּיו שָׁאוּל מֵרְחֹבוֹת הַנָּהָר׃
そして–死んだ H4191 そして–治めた 彼に–代わって H8478 サウル H7586 レホボテから H7344 川の H5104

サムラが死んで、ユフラテ川のほとりのレホボテのサウルが代って王となった。

49 וַיָּמָת וַיִּמְלֹךְ תַּחְתָּיו בַּעַל־חָנָן בֶּן־ עַכְבּוֹר׃
そして–死んだ H4191 そして–治めた 彼に–代わって H8478 バアル・ハナン H1177 の–子 アクボル H5907

サウルが死んで、アクボルの子バアル・ハナンが代って王となった。

עִירֹו וְשֵׁם הֲדַד תַּחְתָּיו וַיִּמְלֹךְ חָנָן־בַּעַל וַיָּמָת 50
彼の–町の そして–名は ハダド 彼に–代わって そして–治めた バアル・ハナン そして–死んだ
H8034 H1908 H8478 H1177 H4191

זָהָב׃מֵי בַּת מַטְרֵד בַּת־ מֵהֵיטַבְאֵל אִשְׁתּוֹ וְשֵׁם פָּעִי
メ・ザハブ の–娘 マテレド の–娘 メヘタブエル 彼の–妻の そして–名は パイ
H4314 H1323 H4308 H1323 H4105 H0802 H8034 H6464

バアル・ハナンが死んで、ハダデが代って王となった。彼の都の名はパイといった。彼の妻はマテレデの娘であって、名をメヘタベルといった。マテレデはメザハブの娘である。

אַלּוּף תִּמְנָע אַלּוּף אֱדוֹם אַלּוּפֵי וַיִּהְיוּ ס הֲדַד וַיָּמָת 51
族長 ティムナ 族長 エドムの 族長たちは そして–なった ס ハダド そして–死んだ
H8555 H0123 H1961 H1908 H4191

יְתֵת׃ אַלּוּף)עַלְוָה([עליה]
エテテ 族長 アルワ [アルヤ]
H3509 H5933 H5933

ハダデも死んだ。エドムの族長は、テムナ侯、アルヤ侯、エテテ侯、

פִּינֹן׃ אַלּוּף אֵלָה אַלּוּף אָהֳלִיבָמָה אַלּוּף 52
ピノン 族長 エラ 族長 オホリバマ 族長
H6373 H0425 H0173

アホリバマ侯、エラ侯、ピノン侯、

מִבְצָר׃ אַלּוּף תֵּימָן אַלּוּף קְנַז אַלּוּף 53
ミブツァル 族長 テマン 族長 ケナズ 族長
H4014 H8487 H7073

ケナズ侯、テマン侯、ミブザル侯、

פ אֱדוֹם׃ אַלּוּפֵי אֵלֶּה עִירָם אַלּוּף מַגְדִּיאֵל אַלּוּף 54
פ エドムの 族長たちであった これらは イラム 族長 マグディエル 族長
H0123 H0428 H5902 H4025

マグデエル侯、イラム侯。これらはエドムの族長である。

Chapter 2

וּזְבֻלוּן׃ יִשָּׂשכָר וִיהוּדָה לֵוִי שִׁמְעוֹן רְאוּבֵן יִשְׂרָאֵל בְּנֵי אֵלֶּה 1
ゼブルン イッサカル ユダ レビ シメオン ルベン イスラエル の–子らである これらは
H2074 H3485 H3063 H3878 H8095 H7205 H3478 H0428

イスラエルの子らは次のとおりである。ルベン、シメオン、レビ、ユダ、イッサカル、ゼブルン、

ס וְאָשֵׁר׃ גָּד נַפְתָּלִי וּבִנְיָמִן יוֹסֵף דָּן 2
ס アシェル ガド ナフタリ ベニヤミン ヨセフ ダン
H0836 H1410 H5321 H1144 H3130 H1835

ダン、ヨセフ、ベニヤミン、ナフタリ、ガド、アセル。

שׁוּעַ מִבַּת־ לוֹ נוֹלַד שְׁלוֹשָׁה וְשֵׁלָה וְאוֹנָן עֵר יְהוּדָה בְּנֵי 3
シュア の–娘から 彼に 生まれた 三人が シェラ オナン エル ユダ の–子らは
H7774 H1323 H3205 H7969 H7956 H0209 H6147 H3063

ס וַיְמִיתֵהוּ׃ יְהוָה בְּעֵינֵי רָע יְהוּדָה בְּכוֹר וְעֵר וַיְהִי הַכְּנַעֲנִית
ס そして–殺された 主 の–目に 悪い ユダの 長子は エル そして–であった カナン人の
H4191 H3068 H3063 H1060 H6147 H1961

ユダの子らはエル、オナン、シラである。この三人はカナンの女バテシュアがユダによって産んだ者である。ユダの長子エルは主の前に悪を行ったので、主は彼を殺された。

4

בְּנֵי	כָּל־	זֶרַח	וְאֶת־	פֶּרֶץ	אֶת־	לוֹ	יָלְדָה	כַּלָּתוֹ	וְתָמָר
の–子らは	すべての	ゼラフ	そして(を)	ペレツ	(を)	彼に	生んだ	彼の–嫁は	そして–タマルは
	H3605	H2226	H0853	H6557	H0853		H3205	H3618	H8559

ס	חֲמִשָּׁה׃	יְהוּדָה	
ס	五人であった	ユダ	
	H2568	H3063	

ユダの嫁タマルはユダによってペレヅとゼラを産んだ。ユダの子らは合わせて五人である。

5

ס	וְחָמוּל׃	חֶצְרוֹן	פֶּרֶץ	בְּנֵי־
ס	ハムル	ヘツロン	ペレツ	の–子らは
	H2538	H2696	H6557	

ペレヅの子らはヘツロンとハムル。

6

ס	חֲמִשָּׁה׃	כֻּלָּם	וְדָרַע	וְכַלְכֹּל	וְהֵימָן	וְאֵיתָן	זִמְרִי	זֶרַח	וּבְנֵי
ס	五人であった	すべて	ダラ	カルコル	ヘマン	エタン	ジムリ	ゼラフ	そして–の–子らは
	H2568	H3605	H1873	H3633	H1968	H0387		H2226	

ゼラの子らはジムリ、エタン、ヘマン、カルコル、ダラで、合わせて五人である。

7

ס	בַּחֵרֶם׃	מָעַל	אֲשֶׁר	יִשְׂרָאֵל	עוֹכֵר	עָכָר	כַּרְמִי	וּבְנֵי
ס	聖絶の–物に	背いた	彼は	イスラエルの	悩ます–者	アカル	カルミ	そして–の–子らは
		H4603		H3478	H5916	H5917	H3756	

カルミの子はアカル。アカルは奉納物について罪を犯し、イスラエルを悩ました者である。

8

עֲזַרְיָה׃	אֵיתָן	וּבְנֵי
アザルヤ	エタン	そして–の–子は
H5838	H0387	

エタンの子はアザリヤである。

9

רָם	וְאֶת־	יְרַחְמְאֵל	אֶת־	לוֹ	נוֹלַד־	אֲשֶׁר	חֶצְרוֹן	וּבְנֵי
ラム	そして(を)	エラフメエル	(を)	彼に	生まれた	それは	ヘツロン	そして–の–子ら
H7410	H0853	H3396	H0853		H3205		H2696	

כְלוּבָי׃	וְאֶת־
ケルバイ	そして(を)
H3621	H0853

ヘツロンに生れた子らはエラメル、ラム、ケルバイである。

10

נַחְשׁוֹן	אֶת־	הוֹלִיד	וְעַמִּינָדָב	עַמִּינָדָב	אֶת־	הוֹלִיד	וְרָם	
ナフション	(を)	生んだ	そして–アミナダブは	アミナダブ	(を)	生んだ	そして–ラムは	
H5177	H0853	H3205	H5992	H5992	H0853	H3205	H7410	

יְהוּדָה׃	בְּנֵי	נְשִׂיא
ユダ	の–子らの	指導者–で
H3063		

ラムはアミナダブを生み、アミナダブはユダの子孫のつかさナションを生んだ。

11

בֹּעַז׃	אֶת־	הוֹלִיד	וְשַׂלְמָא	שַׂלְמָא	אֶת־	הוֹלִיד	וְנַחְשׁוֹן	
ボアズ	(を)	生んだ	そして–サルマは	サルマ	(を)	生んだ	そして–ナフションは	
H1162	H0853	H3205	H8007	H8007	H0853	H3205	H5177	

ナションはサルマを生み、サルマはボアズを生み、

12 וּבֹעַז הוֹלִיד אֶת־עוֹבֵד וְעוֹבֵד הוֹלִיד אֶת־יִשָׁי׃
そして-ボアズは 生んだ (を) オベド そして-オベドは 生んだ (を) エッサイ
H1162 H3205 H0853 H5744 H5744 H3205 H0853 H3448

ボアズはオベデを生み、オベデはエッサイを生んだ。

13 וְאִישַׁי הוֹלִיד אֶת־בְּכֹרוֹ אֶת־אֱלִיאָב וַאֲבִינָדָב הַשֵּׁנִי שִׁמְעָא
そして-エッサイは 生んだ (を) 長子-を (を) エリアブ アビナダブは 第二の シムア
H3448 H3205 H0853 H1060 H0853 H0446 H0041 H8145 H8092

הַשְּׁלִישִׁי׃
第三の
H7992

エッサイは長子エリアブ、次にアビナダブ、第三にシメア、

14 נְתַנְאֵל הָרְבִיעִי רַדַּי הַחֲמִישִׁי׃
ネタヌエルは 第四の ラダイは 第五の
H5417 H7243 H7288 H2549

第四にネタンエル、第五にラダイ、

15 אֹצֶם הַשִּׁשִּׁי דָּוִיד הַשְּׁבִיעִי׃
オツェムは 第六の ダビデは 第七の
H0684 H8345 H1732 H7637

第六にオゼム、第七にダビデを生んだ。

16 וַאֲחִיתֹהֶם (וְאַחְיוֹתֵיהֶם) צְרוּיָה וּבְנֵי צְרוּיָה
[そして-姉妹たちは] そして-姉妹たちは ツェルヤ そして-の-子らは ツェルヤ
H0269 H0269 H6870 H0026 H6870

וַיּוֹאָב וַעֲשָׂהאֵל שְׁלֹשָׁה׃ אַבְשָׁי
アブシャイ ヨアブ アサエル 三人であった
H0052 H3097 H6214 H7969

彼らの姉妹はゼルヤとアビガイルである。ゼルヤの産んだ子はアビシャイ、ヨアブ、アサヘルの三人である。

17 וַאֲבִיגַיִל יָלְדָה אֶת־עֲמָשָׂא וְאֶבְי עֲמָשָׂא אָבִיו יֶתֶר הַיִּשְׁמְעֵאלִי׃
そして-アビガイルは 生んだ (を) アマサ そして-の-父は アマサ エテル イシュマエル人の
H0026 H3205 H0853 H6021 H0001 H6021 H3500 H3459

アビガイルはアマサを産んだ。アマサの父はイシマエルびとエテルである。

18 וְכָלֵב בֶּן־חֶצְרוֹן הוֹלִיד אֶת־עֲזוּבָה אִשָּׁה וְאֶת־יְרִיעוֹת וְאֵלֶּה
そして-カレブは の-子 ヘツロン 生んだ (を) アズバ 妻-を そして(を) エリオテ そして-これらは
H3612 H1121 H2696 H3205 H0853 H5806 H0802 H0854 H3408 H0428

בָּנֶיהָ יֵשֶׁר וְשׁוֹבָב וְאַרְדּוֹן׃
彼女の-子ら エシェル ショバブ アルドン
H3475 H7727 H0715

ヘツロンの子カレブはその妻アズバおよびエリオテによって子をもうけた。その子らはエシル、ショバブ、アルドンである。

19 וַתָּמָת עֲזוּבָה וַיִּקַּח־לוֹ כָּלֵב אֶת־אֶפְרָת וַתֵּלֶד לוֹ
そして-死んだ アズバ めとった そして-彼に カレブは (を) エフラテ そして-生んだ 彼の-ために
H4191 H5806 H3947 H3612 H0853 H0672 H3205 H0853

חוּר׃
フル
H2354

カレブはアズバが死んだのでエフラタをめとった。エフラタはカレブによってホルを産んだ。

20 וְחוּר֙ הוֹלִ֣יד אֶת־ אוּרִ֔י וְאוּרִ֖י הוֹלִ֣יד אֶת־ בְּצַלְאֵ֑ל ס ס
そして-フルは 生んだ (を) ウリ そして-ウリは 生んだ (を) ベツァルエル
H2354 H3205 H0853 H0221 H0221 H3205 H0853 H1212

ホルはウリを生み、ウリはベザレルを生んだ。

21 וְאַחַ֗ר בָּ֤א חֶצְרוֹן֙ אֶל־ בַּת־ מָכִ֣יר אֲבִי־ גִלְעָ֔ד וְה֥וּא לְקָחָ֖הּ
そして-後に 入った ヘツロンは (の-もとに) 娘 の-マキル 父 の-ギルアデ そして-彼は めとった
H0935 H2696 H0413 H1323 H4353 H0001 H1568 H1931 H3947

וְהִ֣וא בֶן־ שִׁשִּׁ֣ים שָׁנָ֔ה וַתֵּ֥לֶד לוֹ֙ אֶת־ שְׂגֻ֖ב׃
そして-彼は 子で 六十 歳であった そして-生んだ 彼に (を) セグブ
H1931 H8346 H8141 H3205 H0853 H7687

そののちヘツロンはギレアデの父マキルの娘の所にはいった。彼が彼女をめとったときは六十歳であった。彼女はヘツロンによってセグブを産んだ。

22 וְשְׂגֻ֣ב הוֹלִ֣יד אֶת־ יָאִ֔יר וַיְהִי־ לוֹ֙ עֶשְׂרִ֣ים וְשָׁלוֹשׁ֔ עָרִ֖ים בְּאֶ֣רֶץ
そして-セグブは 生んだ (を) ヤイル そして-あった 彼に 二十 三 の-町が の-地に
H7687 H3205 H0853 H2971 H1961 H6242 H7969 H0776

הַגִּלְעָֽד׃
ギルアデ
H1568

セグブはヤイルを生んだ。ヤイルはギレアデの地に二十三の町をもっていた。

23 וְאֶת־ קְנַ֣ת וְאֶת־ בְּנֹתֶ֗יהָ מֵאִתָּם֙ אֶת־ חַוֹּ֣ת יָאִ֔יר אֲשֶׁ֥ר לָהֶ֖ם
そして(を) ケナテ (を) 彼らから ヤイル の-村々を (を) アラム ゲシュル そして-奪った
H0853 H7079 H0854 H0854 H2971 H2333 H0853 H0758 H1650 H3947

גְּשׁ֣וּר וַֽאֲרָ֑ם וַיִּקַּ֞ח אֵ֣לֶּה בְנֵי־ מָכִ֗יר אֲבִי־ גִלְעָֽד׃
ゲシュル そして-奪った これらは 子ら の-マキル 父 の-ギルアデ
H1650 H3947 H0428 H1121 H4353 H0001 H1568

すべて の-町 六十 その-村々
H3605 H5892 H8346 H1323

しかしゲシュルとアラムは彼らからハボテ・ヤイルおよびケナテとその村里など合わせて六十の町を取った。これらはみなギレアデの父マキルの子孫であった。

24 וְאַחַ֗ר מוֹת־ חֶצְרוֹן֙ בְּאֶפְרָ֣תָה וְאֵ֥שֶׁת חֶצְרוֹן֙ אֲבִיָּ֔ה וַתֵּ֥לֶד
そして-後に の-死 ヘツロン カレブ・エフラタで そして-妻は ヘツロンの アビヤ そして-生んだ
H0310 H4194 H2696 H3613 H0802 H2696 H0029 H3205

לוֹ֙ אֶת־ אַשְׁח֣וּר אֲבִי־ תְקוֹעַ׃
彼に (を) アシュフル の-父 テコア
H1931 H0853 H0806 H0001 H8620

ヘツロンが死んだのち、カレブは父ヘツロンの妻エフラタの所にはいった。彼女は彼にテコアの父アシュルを産んだ。

25 וַיִּהְיוּ֙ בְּנֵי־ יְרַחְמְאֵ֣ל בְּכ֣וֹר חֶצְרוֹן֮ הַבְּכוֹר֒ וּבוּנָ֣ה וְאָר֔ן
そして-であった 子ら エラフメエル 長子の ヘツロン 長子は ブナ オレン
H1961 H1121 H3396 H1060 H2696 H1060 H0946 H0767

וְאֹ֥פֶם אֲחִיָּֽה׃ רָֽם׃
そして-オツェム アヒヤ ラム
H0684 H0281 H7410

ヘツロンの長子エラメルの子らは長子ラム、次はブナ、オレン、オゼム、アヒヤである。

אֵם	הִיא	עֲטָרָה	וּשְׁמָהּ	לְיֵרַחְמְאֵל	אַחֶרֶת	אִשָּׁה	וַתְּהִי	26
の–母であった	彼女は	アタラ	そして–名は	エラフメエルに	別の	妻は	そして–であった	
H0517	H1931	H5851	H8034	H3396	H0312	H0802	H1961	

ס ס אוֹנָם׃
オナム
H0208

エラメルはまたほかの妻をもっていた。名をアタラといって、オナムの母である。

וְעֵקֶר׃	וְיָמִין	מַעַץ	יְרַחְמְאֵל	בְּכוֹר	רָם	בְּנֵי־	וַיִּהְיוּ	27
エケル	ヤミン	マアツ	エラフメエル	長子の	ラム	の–子ら	そして–であった	
H6134	H3226	H4619	H3396	H1060	H7410		H1961	

エラメルの長子ラムの子らはマアツ、ヤミン、エケルである。

נָדָב	שַׁמַּי	וּבְנֵי	וְיָדָע	שַׁמַּי	אוֹנָם	בְּנֵי־	וַיִּהְיוּ	28
ナダブ	シャンマイ	そして–の–子らは	ヤダ	シャンマイ	オナム	の–子ら	そして–であった	
H5070	H8060		H3047	H8060	H0208		H1961	

וַאֲבִישׁוּר׃
アビシュル
H0051

オナムの子らはシャンマイとヤダである。シャンマイの子らはナダブとアビシュルである。

וְאֶת־	אַחְבָּן	אֶת־	לוֹ	וַתֹּלֶד	אֲבִיהָיִל	אֲבִישׁוּר	אֵשֶׁת	וְשֵׁם	29
そして(を)	アフバン	(を)	彼に	そして–生んだ	アビハイル	アビシュル	の–妻	そして–名は	
H0853	H0257	H0853		H3205	H0032	H0051	H0802	H8034	

מוֹלִיד׃
モリド
H4140

アビシュルの妻の名はアビハイルといって、アバンとモリデを産んだ。

ס ס	בָּנִים׃	לֹא	סֶלֶד	וַיָּמָת	וְאַפַּיִם	סֶלֶד	נָדָב	וּבְנֵי	30
	子が	なく	セレドは	そして–死んだ	アッパイム	セレド	ナダブ	そして–の–子らは	
		H3808	H5540	H4191	H0649	H5540	H5070		

ナダブの子らはセレデとアッパイムである。セレデは子をもたずに死んだ。

וּבְנֵי	שֵׁשָׁן	יִשְׁעִי	וּבְנֵי	יִשְׁעִי	אַפַּיִם	וּבְנֵי		31
そして–の–子は	シェシャン	イシュイ	そして–の–子は	イシュイ	アッパイム	そして–の–子は		
	H8348	H3469		H3469	H0649			

אַחְלָי׃ שֵׁשָׁן
アフライ シェシャン
H0304 H8348

アッパイムの子はイシ、イシの子はセシャン、セシャンの子はアヘライである。

לֹא	יֶתֶר	וַיָּמָת	וְיוֹנָתָן	יֶתֶר	שַׁמַּי	אֲחֵי	יָדָע	וּבְנֵי	32
なく	エテルは	そして–死んだ	ヨナタン	エテル	シャンマイ	の–兄弟	ヤダ	そして–の–子らは	
H3808	H3500	H4191	H3129	H3500	H8060	H0251	H3047		

ס ס בָּנִים׃
子が

シャンマイの兄弟ヤダの子らはエテルとヨナタンである。エテルは子をもたずに死んだ。

33 וּבְנֵי יוֹנָתָן פֶּלֶת וְזָזָא אֵלֶּה הָיוּ בְּנֵי יְרַחְמְאֵל׃
そして-の-子らは ヨナタン ペレテ ザザ これらは であった の-子ら エラフメエル
H3129 H6431 H2117 H0428 H1961 H3396

ヨナタンの子らはペレテとザザである。以上はエラメルの子孫である。

34 וְלֹא־הָיָה לְשֵׁשָׁן בָּנִים כִּי אִם־בָּנוֹת וְלִשֵּׁשָׁן
そして-なかった であった シェシャンには 息子が ただ (しかし) 娘だけ そして-シェシャンには
H3808 H1961 H8348 H1323 H8348

עֶבֶד מִצְרִי וּשְׁמוֹ יַרְחָע׃
僕が-いた エジプト人の そして-名は ヤルハ
H5650 H4713 H8034 H3398

セシャンには男の子はなく、ただ女の子のみであったが、彼はヤルハと呼ぶエジプトびとの奴隷をもっていたので、

35 וַיִּתֵּן שֵׁשָׁן אֶת־בִּתּוֹ לְיַרְחָע עַבְדּוֹ לְאִשָּׁה וַתֵּלֶד לוֹ
そして-与えた シェシャンは (を) 娘-を ヤルハに 僕-の 妻-として そして-生んだ 彼に
H5414 H8348 H0853 H1323 H3398 H5650 H0802 H3205

אֶת־עַתָּי׃
(を) アタイ
H0853 H6262

セシャンは娘を奴隷ヤルハに与えてその妻とさせた。彼女はヤルハによってアッタイを産んだ。

36 וְעַתַּי הוֹלִיד אֶת־נָתָן וְנָתָן הוֹלִיד אֶת־זָבָד׃
そして-アタイは 生んだ (を) ナタン そして-ナタンは 生んだ (を) ザバド
H6262 H3205 H0853 H5416 H5416 H3205 H0853 H2066

アッタイはナタンを生み、ナタンはザバデを生み、

37 וְזָבָד הוֹלִיד אֶת־אֶפְלָל וְאֶפְלָל הוֹלִיד אֶת־עוֹבֵד׃
そして-ザバドは 生んだ (を) エフラル そして-エフラルは 生んだ (を) オベド
H2066 H3205 H0853 H0654 H0654 H3205 H0853 H5744

ザバデはエフラルを生み、エフラルはオベデを生み、

38 וְעוֹבֵד הוֹלִיד אֶת־יֵהוּא וְיֵהוּא הוֹלִיד אֶת־עֲזַרְיָה׃
そして-オベドは 生んだ (を) エフー そして-エフーは 生んだ (を) アザルヤ
H5744 H3205 H0853 H3058 H3058 H3205 H0853 H5838

オベデはエヒウを生み、エヒウはアザリヤを生み、

39 וַעֲזַרְיָה הוֹלִיד אֶת־חֶלֶץ וְחֶלֶץ הוֹלִיד אֶת־אֶלְעָשָׂה׃
そして-アザルヤは 生んだ (を) ヘレツ そして-ヘレツは 生んだ (を) エルアサ
H5838 H3205 H0853 H2503 H2503 H3205 H0853 H0501

アザリヤはヘレヅを生み、ヘレヅはエレアサを生み、

40 וְאֶלְעָשָׂה הוֹלִיד אֶת־סִסְמַי וְסִסְמַי הוֹלִיד אֶת־שַׁלּוּם׃
そして-エルアサは 生んだ (を) シスマイ そして-シスマイは 生んだ (を) シャルム
H0501 H3205 H0853 H5581 H5581 H3205 H0853 H7967

エレアサはシスマイを生み、シスマイはシャルムを生み、

41 וְשַׁלּוּם הוֹלִיד אֶת־יְקַמְיָה וְיְקַמְיָה הוֹלִיד אֶת־אֶלִישָׁמָע׃
そして-シャルムは 生んだ (を) エカムヤ そして-エカムヤは 生んだ (を) エリシャマ
H7967 H3205 H0853 H3359 H3359 H3205 H0853 H0476

シャルムはエカミヤを生み、エカミヤはエリシャマを生んだ。

זִיף	אֲבִי־	הֲוּא	בְּכֹרוֹ	מֵישָׁע	יְרַחְמְאֵל	אֲחֵי	כָּלֵב	וּבְנֵי	42
ジフ	の-父であった	彼は	長子-は	メシャ	エラフメエル	の-兄弟	カレブ	そして-の-子ら	
H2128	H0001	H1931	H1060	H4337	H3396	H0251	H3612		

חֶבְרוֹן׃	אֲבִי	מָרֵשָׁה	וּבְנֵי
ヘブロン	の-父	マレシャ	そして-の-子ら
	H0001	H4762	

エラメルの兄弟であるカレブの子らは長子をマレシャといってジフの父である。マレシャの子はヘブロン。

וְשָׁמַע׃	וְרֶקֶם	וְתַפֻּחַ	קֹרַח	חֶבְרוֹן	וּבְנֵי	43
シェマ	レケム	タプア	コラ	ヘブロン	そして-の-子らは	
H8087	H7552		H7141			

ヘブロンの子らはコラ、タップア、レケム、シマである。

אֶת־	הוֹלִיד	וְרֶקֶם	יָרְקְעָם	אֲבִי	רַחַם	אֶת־	הוֹלִיד	וְשֶׁמַע	44
(を)	生んだ	そして-レケムは	ヨルコアム	の-父	ラハム	(を)	生んだ	そして-シェマは	
H0853	H3205	H7552	H3421	H0001	H7357	H0853	H3205	H8087	

שַׁמָּי׃
シャンマイ
H8060

シマはラハムを生んだ。ラハムはヨルカムの父である。またレケムはシャンマイを生んだ。

בֵּית־צוּר׃	אֲבִי	וּמָעוֹן	מָעוֹן	שַׁמַּי	וּבֶן־	45
ベテ・ツル	の-父であった	そして-マオンは	マオン	シャンマイ	そして-子は	
H1049	H0001	H4584	H4584	H8060		

シャンマイの子はマオン。マオンはベテヅルの父である。

גָּזֵז	וְאֶת־	מוֹצָא	וְאֶת־	חָרָן	אֶת־	יָלְדָה	כָּלֵב	פִּילֶגֶשׁ	וְעֵיפָה	46
ガゼズ	そして(を)	モツァ	そして(を)	ハラン	(を)	生んだ	カレブ	そばめ-の	そして-エファは	
H1495	H0853	H4162	H0853		H0853	H3205	H3612	H6370	H5891	

ס				
ס	גָּזֵז׃	אֶת־	הוֹלִיד	וְחָרָן
	ガゼズ	(を)	生んだ	そして-ハランは
	H1495	H0853	H3205	

カレブのそばめエパはハラン、モザ、ガゼズを産んだ。ハランはガゼズを生んだ。

וָשָׁעַף׃	וְעֵיפָה	וָפֶלֶט	וְגִישָׁן	וְיוֹתָם	רֶגֶם	יָהְדַּי	וּבְנֵי	47
シャアフ	エファ	ペレテ	ゲシャン	ヨタム	レゲム	ヤフダイ	そして-の-子らは	
H8174	H5891	H6404	H1529	H3147	H7276	H3056		

エダイの子らはレゲム、ヨタム、ゲシャン、ペレテ、エパ、シャフである。

תִּרְחֲנָה׃	וְאֶת־	שֶׁבֶר	יָלַד	מַעֲכָה	כָּלֵב	פִּלֶגֶשׁ	48
ティルハナ	そして(を)	シェベル	生んだ	マアカ	カレブ	そばめ-の	
H8647	H0853	H7669	H3205	H4601	H3612	H6370	

カレブのそばめマアカはシベルとテルハナを産み、

וַאֲבִי	מַכְבֵּנָה	אֲבִי	שְׁוָא	אֶת־	מַדְמַנָּה	אֲבִי	שַׁעַף	וַתֵּלֶד	49
そして-の-父	マクベナ	の-父	シェワ	(を)	マドマナ	の-父	シャアフは	そして-生んだ	
H0001	H4343	H0001	H7724	H0853	H4089	H0001	H8174	H3205	

ס				
ס	עַכְסָה׃	כָּלֵב	וּבַת־	גִּבְעָא
	アクサ	カレブの	そして-娘は	ギブア
	H5915	H3612	H1323	H1388

またマデマンナの父シャフおよびマクベナとギベアの父シワを産んだ。カレブの娘はアクサである。

קִרְיַת	אֲבִי	שׁוֹבָל	אֶפְרָתָה	בְּכוֹר	חוּר	בֶּן־	כָּלֵב	בְּנֵי	הָיוּ	אֵלֶּה	50
キルヤテ	の-父	ショバル	エフラタ	長子の	フル	の-子	カレブ	の-子ら	であった	これらは	
H7157	H0001	H7732	H0672	H1060	H2354		H3612		H1961	H0428	

יְעָרִים׃
エアリム
H7157

これらはカレブの子孫であった。エフラタの長子ホルの子らはキリアテ・ヤリムの父ショバル、

בֵּית־גָּדֵר׃	אֲבִי	חָרֹף	בֵּית־לָחֶם	אֲבִי	שַׂלְמָא	51
ベテ・ガデル	の-父	ハレフ	ベツレヘム	の-父	サルマ	
H1013	H0001	H2780	H1035	H0001	H8007	

ベツレヘムの父サルマおよびベテガデルの父ハレフである。

הַמְנֻחוֹת׃	חֲצִי	הָרֹאֶה	יְעָרִים	קִרְיַת	אֲבִי	לְשׁוֹבָל	בָּנִים	וַיִּהְיוּ	52
マナハテ人	半分-の	ハロエ	エアリム	キルヤテ	の-父	ショバルの	息子たちが	そして-であった	
H2679	H2679	H7204	H7157	H7157	H0001	H7732		H1961	

キリアテ・ヤリムの父ショバル子らはハロエとメヌコテびとの半ばである。

יָצְאוּ	מֵאֵלֶּה	וְהַמִּשְׁרָעִי	וְהַשִּׁמְתִי	וְהַפּוּתִי	הַיִּתְרִי	יְעָרִים	קִרְיַת	וּמִשְׁפְּחוֹת	53
出た	これらから	ミシュライ人	シュマテ人	プテ人	イテリ人	エアリム	キルヤテ	そして-氏族は	
H3318	H0428	H4954	H8126	H6336	H3505	H7157	H7157	H4940	

ס	וְהָאֶשְׁתָּאֻלִי׃	הַצָּרְעָתִי	
ס	エシュタオル人	ツォルア人	
	H0848	H6882	

キリアテ・ヤリムの氏族はイテルびと、プテびと、シュマびと、ミシラびとであって、これらからザレアびとおよびエシタオルびとが出た。

הַמָּנַחְתִּי	וַחֲצִי	יוֹאָבֵית	עַטְרוֹת	וּנְטוֹפָתִי	לֶחֱמִבֵית	שַׂלְמָא	בְּנֵי	54
マナハテ人の	そして-半分は	ベテ・ヨアブ	アトロテ	ネトファテ人	ベツレヘム	サルマ	の-子らは	
H2680	H2680	H5854	H5854	H5200	H1035	H8007		

הַצָּרְעִי׃
ツォルア人
H6882

サルマの子らはベツレヘム、ネトパびと、アタロテ・ベテ・ヨアブ、マナハテびとの半ばおよびゾリびとである。

הֵמָּה	שׁוֹכָתִים	שִׁמְעָתִים	תִּרְעָתִים	יַעְבֵּץ	)יֹשְׁבֵי(	]ישבו[	סֹפְרִים	וּמִשְׁפְּחוֹת	55
彼らは	スカテ人	シムア人	テルア人	ヤベツに	住む	[住んだ]	書記たちの	そして-氏族は	
H1992	H7756	H8101	H8654	H3258	H3427	H3427		H4940	

ס	רֵכָב׃	בֵּית־	אֲבִי	מֵחֲמַת	הַבָּאִים	הַקֵּינִים
ס	レカブ	ベテ	の-父	ハマテから	来た-者たち	ケニ人であった
	H7394		H0001		H0935	H7017

またヤベツに住んでいた書記の氏族テラテびと、シメアテびと、スカテびとである。これらはケニびとであってレカブの家の先祖ハマテから出た者である。

Chapter 3

1 וְאֵלֶּה הָיוּ בְנֵי דָוִד אֲשֶׁר נוֹלַד־לוֹ בְּחֶבְרוֹן וְהַבְּכוֹר

そして-これらは であった の-子ら ダビデ それは 生まれた 彼に ヘブロンで 長子は
H0428 H1961 H1732 H0834 H3205 H0518 H2845 H1060

אַמְנוֹן לַאֲחִינֹעַם הַיִּזְרְעֵאלִית דָּנִיֵּאל שֵׁנִי לַאֲבִיגַיִל הַכַּרְמְלִית׃

アムノン アヒノアムの イズレエル人の ダニエル 第二は アビガイルの カルメル人の
H0550 H0293 H3159 H1840 H8145 H0026 H3762

ヘブロンで生れたダビデの子らは次のとおりである。長子はアムノンでエズレルびとアヒノアムから生れ、次はダニエルでカルメルびとアビガイルから生れ、

2 הַשְּׁלִשִׁי לְאַבְשָׁלוֹם בַּת־מַעֲכָה בַּן־תַּלְמַי מֶלֶךְ גְּשׁוּר הָרְבִיעִי אֲדֹנִיָּה

第三は アブシャロム の-娘 マアカ の-子 タルマイ 王の ゲシュル 第四は アドニヤ
H7992 H0053 H1323 H4601 H0001 H8526 H4428 H1650 H7243 H0138

בֶּן־חַגִּית׃

の-子 ハギテ
H1121 H2294

第三はアブサロムでゲシュルの王タルマイの娘マアカの産んだ子、第四はアドニヤでハギテの産んだ子、

3 הַחֲמִישִׁי שְׁפַטְיָה לַאֲבִיטָל הַשִּׁשִּׁי יִתְרְעָם לְעֶגְלָה אִשְׁתּוֹ׃

第五は シェパテヤ アビタルの 第六は イトレアム エグラの 彼の-妻
H2549 H8203 H0037 H8345 H3507 H5698 H0802

第五はシパテヤでアビタルから生れ、第六はイテレアムで、彼の妻エグラから生れた。

4 שִׁשָּׁה נוֹלַד־לוֹ בְּחֶבְרוֹן וַיִּמְלָךְ־שָׁם שֶׁבַע שָׁנִים וְשִׁשָּׁה חֳדָשִׁים

六人が 生まれた 彼に ヘブロンで そして-治めた そこで 七 年 そして-六 か月
H8337 H3205 H0518 H2845 H1961 H8033 H7651 H8141 H8337 H2320

וּשְׁלֹשִׁים שָׁנָה מָלַךְ שָׁנָה וְשָׁלוֹשׁ בִּירוּשָׁלִַם׃ ס ס

そして-三十 年 治めた 年 三 エルサレムで
H7970 H8141 H4427 H8141 H7969 H3389

この六人はヘブロンで彼に生れた。ダビデがそこで王となっていたのは七年六か月、エルサレムで王となっていたのは三十三年であった。

5 וְאֵלֶּה נוֹלְדוּ־לוֹ בִּירוּשָׁלִַם שִׁמְעָא וְשׁוֹבָב וְנָתָן וּשְׁלֹמֹה אַרְבָּעָה

そして-これらは 生まれた 彼に エルサレムで シムア ショバブ ナタン ソロモン 四人
H0428 H3205 H0518 H2845 H3389 H8092 H7727 H5416 H8010 H0702

לְבַת־שׁוּעַ בַּת־עַמִּיאֵל׃

バテ・シュアの の-娘 アミエル
H1340 H1323 H5988

エルサレムで生れたものは次のとおりである。すなわちシメア、ショバブ、ナタン、ソロモン。この四人はアンミエルの娘バテシュアから生れた。

6 וְיִבְחָר וֶאֱלִישָׁמָע וֶאֱלִיפָלֶט׃

イブハル エリシャマ エリパレテ
H2984 H0476 H0467

またイブハル、エリシャマ、エリペレテ、

7 וְנֹגָה וְנֶפֶג וְיָפִיעַ׃

ノガ ネフェグ ヤフィア
H5052 H5298 H3309

ノガ、ネペグ、ヤピア、

8 וְאֱלִישָׁמָע וְאֶלְיָדָע וְאֱלִיפֶלֶט תִּשְׁעָה׃
エリシャマ エルヤダ エリフェレト 九人
H0476 H0450 H0467 H8672

エリシャマ、エリアダ、エリペレテの九人、

9 כָּל בְּנֵי דָוִיד מִלְּבַד פִּילַגְשִׁים בְּנֵי־ וְתָמָר אֲחוֹתָם׃
すべて の-子ら ダビデ のほかに そばめたちの の-子ら そして-タマルは 彼らの-姉妹であった
H3605 H1732 H0905 H6370 H8559 H0269

פ
פ

これらはみなダビデの子である。このほかに、そばめどもの産んだ子らがあり、タマルは彼らの姉妹であった。

10 וּבֶן־ שְׁלֹמֹה רְחַבְעָם אֲבִיָּה בְנוֹ אָסָא בְנוֹ יְהוֹשָׁפָט בְּנוֹ׃
そして-子は ソロモン レハブアム アビヤ 彼の-子 アサ 彼の-子 ヨシャパテ 彼の-子
H8010 H7346 H0029 H0609 H3092

ソロモンの子はレハベアム、その子はアビヤ、その子はアサ、その子はヨシャパテ、

11 יוֹרָם בְּנוֹ אֲחַזְיָהוּ בְנוֹ יוֹאָשׁ בְּנוֹ׃
ヨラム 彼の-子 アハズヤ 彼の-子 ヨアシュ 彼の-子
H3141 H0274 H3101

その子はヨラム、その子はアハジヤ、その子はヨアシ、

12 אֲמַצְיָהוּ בְנוֹ עֲזַרְיָה בְנוֹ יוֹתָם בְּנוֹ׃
アマツヤ 彼の-子 アザルヤ 彼の-子 ヨタム 彼の-子
H0558 H5838 H3147

その子はアマジヤ、その子はアザリヤ、その子はヨタム、

13 אָחָז בְּנוֹ חִזְקִיָּהוּ בְנוֹ מְנַשֶּׁה בְּנוֹ׃
アハズ 彼の-子 ヒゼキヤ 彼の-子 マナセ 彼の-子
H0271 H2396 H4519

その子はアハズ、その子はヒゼキヤ、その子はマナセ、

14 אָמוֹן בְּנוֹ יֹאשִׁיָּהוּ בְנוֹ׃
アモン 彼の-子 ヨシヤ 彼の-子
H0526 H2977

その子はアモン、その子はヨシヤ、

15 וּבְנֵי יֹאשִׁיָּהוּ הַבְּכוֹר יוֹחָנָן הַשֵּׁנִי יְהוֹיָקִים הַשְּׁלִשִׁי צִדְקִיָּהוּ הָרְבִיעִי
そして-の-子らは ヨシヤ 長子は ヨハナン 第二は エホヤキム 第三は ツィデキヤ 第四は
H2977 H1060 H3110 H8145 H3079 H7992 H6667 H7243

שַׁלּוּם׃
シャルム
H7967

ヨシヤの子らは長子ヨハナン、次はエホヤキム、第三はゼデキヤ、第四はシャルムである。

16 וּבְנֵי יְהוֹיָקִים יְכָנְיָה בְנוֹ צִדְקִיָּה בְּנוֹ׃
そして-の-子らは エホヤキム エコニヤ 彼の-子 ツィデキヤ 彼の-子
H3079 H3204 H6667

エホヤキムの子孫はその子はエコニア、その子はゼデキヤである。

17 וּבְנֵי֙ יְכָנְיָ֔ה אַסִּ֖ר שְׁאַלְתִּיאֵ֥ל בְּנֽוֹ׃
そして–の–子らは エコニヤ アシル シェアルティエル 彼の–子
H3204 H0617

捕虜となったエコニヤの子らはその子シャルテル、

18 וּמַלְכִּירָ֤ם וּפְדָיָה֙ וְשֶׁנְאַצַּ֔ר יְקַמְיָ֖ה הוֹשָׁמָ֣ע וּנְדַבְיָ֑ה׃
マルキラム ペダヤ シェナツァル エカムヤ ホシャマ ネダブヤ
H4443 H6305 H8137 H3359 H1953 H5072

マルキラム、ペダヤ、セナザル、エカミア、ホシャマ、ネダビヤである。

19 וּבְנֵ֣י פְדָיָ֔ה זְרֻבָּבֶ֖ל וְשִׁמְעִ֑י וּבְנֵ֣י זְרֻבָּבֶ֔ל מְשֻׁלָּ֖ם וְחֲנַנְיָ֑ה
そして–の–子らは ペダヤ ゼルバベル シムイ そして–子は ゼルバベル メシュラム ハナニヤ
H6305 H2216 H8096 H2216 H4918

וְשְׁלֹמִ֥ית אֲחוֹתָֽם׃
そして–シェロミテは 彼らの–姉妹であった
H0269

ペダヤの子らはゼルバベルとシメイである。ゼルバベルの子らはメシュラムとハナニヤ。シロミテは彼らの姉妹である。

20 וַחֻשָּׁבָ֣ה אֹהֵ֔ל וּבֶרֶכְיָ֖ה וַחֲסַדְיָ֑ה יוּשַׁ֣ב חֶ֔סֶד חֲמֵ֖שׁ׃
ハシュバ オヘル ベレクヤ ハサデヤ ユシャブ ヘセド 五人
H2807 H0169 H1296 H2619 H3142 H3142 H2568

またハシュバ、オヘル、ベレキヤ、ハサデヤ、ユサブ・ヘセデの五人がある。

21 וּבְנֵ֣י חֲנַנְיָ֔ה פְּלַטְיָ֖ה וִישַׁעְיָ֑ה בְּנֵי֙ רְפָיָ֔ה בְּנֵי֙ אַרְנָ֔ן בְּנֵי֙ עֹבַדְיָ֔ה שְׁכַנְיָ֖ה׃ ס
そして–の–子らは ハナニヤ ペラテヤ イザヤ の–子ら レファヤ の–子ら アルナン の–子ら オバデヤ シェカニヤ
H5662 H7935 H6410 H7509 H0770

ハナニヤの子らはペラテヤとエシャヤ、その子レパヤ、その子アルナン、その子オバデヤ、その子シカニヤである。

22 וּבְנֵ֣י שְׁכַנְיָ֔ה שְׁמַעְיָ֖ה וּבְנֵ֣י שְׁמַעְיָ֑ה חַטּ֣וּשׁ יִגְאָ֔ל וּבָרִיחַ֙ וְנְעַרְיָ֔ה וְשָׁפָ֖ט שִׁשָּׁ֥ה׃
そして–の–子らは シェカニヤ シェマヤ そして–の–子らは シェマヤ ハットゥシュ イゲアル 六人
H7935 H8098 H8098 H2407 H3008 H8337

バリア ネアルヤ シャファト
H1282 H5294 H8202

シカニヤの子らはシマヤ。シマヤの子らはハットシ、イガル、バリア、ネアリヤ、シャパテの六人である。

23 וּבְנֵ֣י נְעַרְיָ֔ה אֶלְיוֹעֵינַ֖י וְחִזְקִיָּ֑ה וְעַזְרִיקָ֖ם שְׁלֹשָׁ֥ה׃
そして–子は ネアルヤ エルヨエナイ ヒズキヤ アズリカム 三人
H5294 H2396 H5840 H7969

ネアリヤの子らはエリオエナイ、ヒゼキヤ、アズリカムの三人である。

24

וְיוֹחָנָן	וְעַקּוּב	וּפְלָיָה	וְאֶלְיָשִׁיב	הוֹדַוְיָהוּ)	[הדיוהו	אֶלְיוֹעֵינַי	וּבְנֵי
ヨハナン	アックブ	ペラヤ	エルヤシブ	ホダウヤ	[ホダウヤフ]	エルヨエナイ	そして-の-子らは
H3110	H6126		H0475	H1939	H1939		

וּדְלָיָה	וַעֲנָנִי	שִׁבְעָה׃	ס
デラヤ	アナニ	七人	ס
H1806	H6054	H7651	

エリオエナイの子らはホダヤ、エリアシブ、ペラヤ、アックブ、ヨハナン、デラヤ、アナニの七人である。

Chapter 4

1

וְשׁוֹבָל׃	וְחוּר	וְכַרְמִי	חֶצְרוֹן	פֶּרֶץ	יְהוּדָה	בְּנֵי
ショバル	フル	カルミ	ヘツロン	ペレツ	ユダ	の-子らは
H7732	H2354	H3756	H2696	H6557	H3063	

ユダの子らはペレヅ、ヘヅロン、カルミ、ホル、ショバルである。

2

אֶת־	הֹלִיד	וְיַחַת	יַחַת	אֶת־	הוֹלִיד	שׁוֹבָל	בֶּן־	וּרְאָיָה
(を)	生んだ	そして-ヤハテは	ヤハテ	(を)	生んだ	ショバル	の-子	そして-レアヤは
H0853	H3205	H3189	H3189	H0853	H3205	H7732		H7211

הַצָּרְעָתִי׃	מִשְׁפְּחוֹת	אֵלֶּה	לָהַד	וְאֶת־	אֲחוּמַי
ツォルア人	の-氏族	これらは	ラハデ	そして(を)	アフマイ
H6882	H4940	H0428	H3855	H0853	H0267

ס
ס

ショバルの子レアヤはヤハテを生み、ヤハテはアホマイとラハデを生んだ。これらはザレアびとの一族である。

3

אֲחוֹתָם	וְשֵׁם	וְיִדְבָּשׁ	וְיִשְׁמָא	יִזְרְעֶאל	עִיטָם	אֲבִי	וְאֵלֶּה
彼らの-姉妹の	そして-名は	イドバシュ	イシュマ	イズレエル	エタム	の-父	そして-これらは
H0269	H8034	H3031	H3457	H3157	H5862	H0001	H0428

הַצְּלֶלְפּוֹנִי׃
ハツレルポニ
H6753

エタムの子らはエズレル、イシマおよびイデバシ、彼らの姉妹の名はハゼレルポニである。

4

חוּר	בְּנֵי־	אֵלֶּה	חוּשָׁה	אֲבִי	וְעֶזֶר	גְּדֹר	אֲבִי	וּפְנוּאֵל
フル	の-子ら	これらは	フシャ	の-父	そして-エゼルは	ゲドル	の-父	そして-ペヌエルは
H2354		H0428	H2364	H0001	H5829	H1446	H0001	H6439

בְּכוֹר	אֶפְרָתָה	אֲבִי	לֶחֶם׃בֵּית
長子の	エフラタ	の-父	ベツレヘム
H1060	H0672	H0001	H1035

ゲドルの父はペヌエル、ホシャの父はエゼルである。これらはベツレヘムの父エフラタの長子ホルの子らである。

5

וְנַעֲרָה׃	חֶלְאָה	נָשִׁים	שְׁתֵּי	הָיוּ	תְּקוֹעַ	אֲבִי	וְלְאַשְׁחוּר
ナアラ	ヘルア	妻が	二人の	いた	テコア	の-父	そして-アシュフルには
	H2458	H0802	H8147	H1961	H8620	H0001	H0806

テコアの父アシュルにはふたりの妻ヘラとナアラとがあった。

6

תֵּימְנִי	וְאֶת־	חֶפֶר	וְאֶת־	אֶחֻזָּם	אֶת־	נַעֲרָה	לוֹ	וַתֵּלֶד
テムニ	そして(を)	ヘフェル	そして(を)	アフッザム	(を)	ナアラは	彼に	そして-生んだ
H8488	H0853		H0853	H0275	H0853			H3205

נַעֲרָה׃	בְּנֵי	אֵלֶּה	הָאַחַשְׁתָּרִי	וְאֶת־
ナアラ	の-子らであった	これらは	アハシュタリ	そして(を)
		H0428	H0326	H0853

ナアラはアシュルによってアホザム、ヘペル、テメニおよびアハシタリを産んだ。これらはナアラの子である。

7 וּבְנֵי חֶלְאָה צֶרֶת (וְצֹחַר) [יצחר] וְאֶתְנָן׃
そして-の-子らは ヘルア ツェレテ [イツハル] ツォハル エトナン
H2458 H6889 H3328 H6714 H0869

ヘラの子らはゼレテ、エゾアル、エテナンである。

8 וְקוֹץ הוֹלִיד אֶת־ עֲנוּב וְאֶת־ הַצֹּבֵבָה וּמִשְׁפְּחוֹת אֲחַרְחֵל בֶּן־
そして-コツは 生んだ (を) アヌブ そして(を) ハツォベバ そして-氏族は アハルヘル の-子
H6976 H3205 H0853 H6036 H0853 H6637 H4940 H0316

הָרוּם׃
ハルム
H2037

コツはアヌブとゾベバを生んだ。またハルムの子アハルヘルの氏族も彼から出た。

9 וַיְהִי יַעְבֵּץ נִכְבָּד מֵאֶחָיו וְאִמּוֹ קָרְאָה שְׁמוֹ יַעְבֵּץ לֵאמֹר כִּי יָלַדְתִּי בְעֹצֶב׃
そして-であった ヤベツは 尊ばれた 兄弟たち-より そして-母は 名付けた 彼の-名を ヤベツと 言って なぜなら 生んだ 苦しみ-の中で
H1961 H3258 H3513 H0251 H0517 H7121 H8034 H3258 H0559 H3205

ヤベツはその兄弟のうちで最も尊ばれた者であった。その母が「わたしは苦しんでこの子を産んだから」と言ってその名をヤベツと名づけたのである。

10 וַיִּקְרָא יַעְבֵּץ לֵאלֹהֵי יִשְׂרָאֵל לֵאמֹר אִם־ בָּרֵךְ תְּבָרְכֵנִי וְהִרְבִּיתָ אֶת־ גְּבוּלִי וְהָיְתָה יָדְךָ עִמִּי וְעָשִׂיתָ מֵרָעָה לְבִלְתִּי עֲצֵבִי וַיָּבֵא אֱלֹהִים אֵת אֲשֶׁר־ שָׁאָל׃
そして-呼んだ ヤベツは の-神に イスラエル 言って もし 祈り-を 祈ってください 私-と共に あなたの-手が そして-ありますように 私の-領土を (を) そして-広げてください そして-守ってください 悪-から ない-ように 苦しませることが そして-かなえた 神は (を) 願った それを
H7121 H3258 H0430 H3478 H0559 H1288 H1288 H3027 H1961 H1366 H0853 H1288 H6213 H7451 H1115 H6213 H0935 H0430 H0853 H7592

ヤベツはイスラエルの神に呼ばわって言った、「どうか、あなたが豊かにわたしを恵み、わたしの国境を広げ、あなたの手がわたしとともにあって、わたしを災から免れさせ、苦しみをうけさせられないように」。神は彼の求めるところをゆるされた。

11 וּכְלוּב אֲחִי־ שׁוּחָה הוֹלִיד אֶת־ מְחִיר הִוא אֲבִי אֶשְׁתּוֹן׃
そして-ケルブは の-兄弟 シュハ 生んだ (を) メヒル 彼は の-父であった エシュトン
H3620 H0251 H7746 H3205 H0853 H4243 H1931 H0001 H0850

シュワの兄弟ケルブはメヒルを生んだ。メヒルはエシトンの父、

12 וְאֶשְׁתּוֹן הוֹלִיד אֶת־ בֵּית רָפָא וְאֶת־ פָּסֵחַ וְאֶת־ תְּחִנָּה אֲבִי
そして-エシュトンは (を) 生んだ ベテ・ラパ (を) パセア そして(を) テヒナ の-父
H0850 H3205 H0853 H1051 H0853 H6454 H0853 H8468 H0001

עִיר נָחָשׁ אֵלֶּה אַנְשֵׁי רֵכָה׃ ס
イル・ナハシュ これらは の-人々 レカ ס
H5904 H0428 H0376

エシトンはベテラパ、パセアおよびイルナハシの父テヒンナを生んだ。これらはレカの人々である。

13 וּבְנֵי עָתְנִיאֵל חַתַת׃
そして-の-子らは オトニエル ハタテ
H6274 H2867

וּבְנֵי קְנַז עָתְנִיאֵל וּשְׂרָיָה
そして-の-子らは ケナズ オトニエル セラヤ
H7073 H6274 H8304

ケナズの子らはオテニエルとセラヤ。オテニエルの子らはハタテとメオノタイ。

14 וּמְעוֹנֹתַי הוֹלִיד עָפְרָה וְאֶת־
そして-メオノタイは 生んだ オフラ (を)
H4587 H3205 H6084 H0853

שְׂרָיָה הוֹלִיד אֶת־יוֹאָב אֲבִי גֵיא
セラヤは 生んだ (を) ヨアブ の-父 谷-の
H8304 H3205 H0853 H3097 H0001 H1516

חֲרָשִׁים כִּי חֲרָשִׁים הָיוּ׃ פ
職人たち なぜなら 職人たちが いたからである
H2798 H3588 H2796 H1961

メオノタイはオフラを生み、セラヤはゲハラシムの父ヨアブを生んだ。彼らは工人であったのでゲハラシムと呼ばれたのである。

15 וּבְנֵי כָלֵב בֶּן־יְפֻנֶּה עִירוּ וְנַעַם אֵלָה
そして-の-子らは カレブ の-子 エフネ イル ナアム エラ
H3612 H1121 H3312 H5900 H5277 H0425

וּבְנֵי אֵלָה וְקְנַז׃
そして-の-子は エラ ケナズ
H0425 H7073

エフンネの子カレブの子らはイル、エラおよびナアム。エラの子はケナズ。

16 וּבְנֵי יְהַלֶּלְאֵל זִיף וְזִיפָה תִּירְיָא וַאֲשַׂרְאֵל׃
そして-の-子らは エハレルエル ジフ ジファ ティルヤ アサルエル
H3094 H2128 H2129 H8493 H0840

エハレレルの子らはジフ、ジバ、テリア、アサレルである。

17 וּבְנֵי עֶזְרָה יֶתֶר וּמֶרֶד וְעֵפֶר וְיָלוֹן וַתַּהַר מִרְיָם
そして-の-子は エズラ エテル メレド エフェル ヤロン そして-孕んだ ミリアム
H5834 H3500 H4778 H6081 H3210 H2029 H4813

וְאֶת־שַׁמַּי וְאֶת־יִשְׁבָּח אֲבִי אֶשְׁתְּמֹעַ׃
そして(を) シャンマイ そして(を) イシュバフ の-父 エシュテモア
H0853 H8060 H0853 H3431 H0001 H0851

エズラの子らはエテル、メレデ、エペル、ヤロン。次のものはメレデがめとったパロの娘ビテヤの子らである。すなわち彼女はみごもってミリアム、シャンマイおよびイシバを産んだ。イシバはエシテモアの父である。

18 וְאִשְׁתּוֹ הַיְּהוּדִיָּה יָלְדָה אֶת־יֶרֶד אֲבִי גְדוֹר וְאֶת־חֶבֶר אֲבִי שׂוֹכוֹ
そして-妻は ユダ人の 生んだ (を) エレデ の-父 ゲドル そして(を) ヘベル の-父 ソコ
H0802 H3057 H3205 H0853 H3382 H1121 H1446 H0853 H2268 H1121 H7755

וְאֶת־יְקוּתִיאֵל אֲבִי זָנוֹחַ וְאֵלֶּה בְּנֵי בִתְיָה בַת־פַּרְעֹה אֲשֶׁר
そして(を) エクティエル の-父 ザノア そして-これらは の-子ら ビテヤ の-娘 パロ それを
H0853 H3354 H1121 H2182 H0428 H1121 H1332 H1323 H6547 H0834

לָקַח מָרֶד׃ ס
めとった メレド
H3947 H4778

彼の妻はユダヤ人で、ゲドルの父エレデとソコの父ヘベルとザノアの父エクテエルを産んだ。

19 וּבְנֵי אֵשֶׁת הוֹדִיָּה אֲחוֹת נַחַם אֲבִי קְעִילָה הַגַּרְמִי וְאֶשְׁתְּמֹעַ
そして-の-子らは の-妻 ホデヤ の-姉妹 ナハム の-父 ケイラ ガルミ人の エシュテモア
H1940 H0802 H0269 H5163 H1121 H7084 H1636 H0851

הַמַּעֲכָתִי׃
マアカ人の
H4602

ナハムの姉妹であるホデヤの妻の子らはガルムびとケイラの父およびマアカびとエシテモアである。

20 וּבְנֵי שִׁמְעוֹן אַמְנוֹן וְרִנָּה בֶּן־חָנָן (וְתִילֹון) |ותולון| תֹּוחִי שֹׁוחִי וּבְנֵי׃
そして–の–子らは シモン アムノン リナ ベン・ハナン (ティロン) |トゥロン| ゾヘテ イシュイ そして–の–子らは
H8436 H8436 H1135 H7441 H0550 H7889 H2105 H3469 H1132

シモンの子らはアムノン、リンナ、ベネハナン、テロンである。イシの子らはゾヘテとベネゾヘテである。

21 בְּנֵי שֵׁלָה בֶּן־ יְהוּדָה עֵר אֲבִי לֵכָה וְלַעְדָה אֲבִי מָרֵשָׁה וּמִשְׁפְּחוֹת
の–子らは シェラ の–子 ユダ エル の–父 レカ ラアダ の–父 マレシャ そして–氏族は
H7956 H3063 H6147 H0001 H3922 H3935 H0001 H4762 H4940

בֵּית־ עֲבֹדַת הַבָּץ לְבֵית אַשְׁבֵּעַ׃
の–家 の–仕事 亜麻布の の–家 アシュベア
H0791 H0948 H5656

ユダの子シラの子らはレカの父エル、マレシャの父ラダおよびベテアシベアの亜麻布織の家の一族、

22 וְיוֹקִים וְאַנְשֵׁי כֹזֵבָא וְיוֹאָשׁ וְשָׂרָף אֲשֶׁר־ בָּעֲלוּ לְמוֹאָב וְיָשׁוּבִי לָחֶם וְעַתִּיקִים׃
そして–の–人々 コゼバ ヨアシュ サラフ それらは 治めた モアブを ヤシュビ・レヘム そして–記録は 古いものである
H0376 H3578 H3101 H8315 H0376 H1166 H4124 H3433 H1697 H6267

ならびにモアブを治めてレヘムに帰ったヨキム、コゼバの人々、ヨアシおよびサラフである。その記録は古い。

23 הֵמָּה הַיּוֹצְרִים וְיֹשְׁבֵי נְטָעִים וּגְדֵרָה עִם־ הַמֶּלֶךְ בִּמְלַאכְתּוֹ
彼らは 陶工たちであった そして–住む–者 ネタイムに ゲデラ (と共に) 王の 彼の–仕事のために
H1992 H3335 H3427 H5196 H1448 H4428 H4399

וַיֶּשְׁבוּ שָׁם׃ ס ס
住んだ そこに
H3427 H8033

これらの者は陶器を造る人で、ネタイムおよびゲデラに住み、王の用をするため、王とともに、そこに住んだ。

24 בְּנֵי שִׁמְעוֹן נְמוּאֵל וְיָמִין יָרִיב זֶרַח שָׁאוּל׃
の–子らは シメオン ネムエル ヤミン ヤリブ ゼラフ サウル
H8095 H5241 H3226 H3402 H2226 H7586

シメオンの子らはネムエル、ヤミン、ヤリブ、ゼラ、シャウル。

25 שַׁלֻּם בְּנוֹ מִבְשָׂם בְּנוֹ מִשְׁמָע בְּנוֹ׃
シャルム 彼の–子 ミブサム 彼の–子 ミシュマ 彼の–子
H7967 H4017 H4927

シャウルの子はシャルム、その子はミブサム、その子はミシマ。

26 וּבְנֵי מִשְׁמָע חַמּוּאֵל בְּנוֹ זַכּוּר בְּנוֹ שִׁמְעִי בְּנוֹ׃
そして–の–子らは ミシュマ ハムエル 彼の–子 ザックル 彼の–子 シムイ 彼の–子
H4927 H2536 H2139 H8096

ミシマの子孫は、その子はハムエル、その子はザックル、その子はシメイ。

27 וּלְשִׁמְעִ֑י בָּנִ֣ים שִׁשָּׁ֤ה עָשָׂר֙ וּבָנ֣וֹת שֵׁ֔שׁ וְלְאֶחָ֖יו
そして-シムイには 息子が-いた 十 六人の そして-娘が-いた 六人 そして-兄弟たちには
H8096 H8337 H6240 H1323 H8337 H0251

עַד־ הִרְבּ֔וּ לֹ֣א מִשְׁפַּחְתָּ֗ם וְכֹל֙ רַבִּ֔ים בְּנִ֖ים אֵ֥ין
(ほど) 増えることが なかった 彼らの-氏族は そして-すべての 多く 子が なかった
H5704 H3808 H4940 H3605 H0369

ס בְּנֵ֥י יְהוּדָ֖ה׃ ס
ユダ の-子らほどには
H3063

シメイには男の子十六人、女の子六人あったが、その兄弟たちには多くの子はなかった。またその氏族の者はすべてユダの子孫ほどにはふえなかった。

28 וַיָּשְׁב֗וּ בִּבְאֵר־שָׁבַע֙ וּמוֹלָדָ֔ה חֲצַר־שׁוּעָ֖ל׃
そして-住んだ ベエル・シェバに モラダ ハツァル・シュアル
H3427 H0884 H4137 H2705

彼らの住んだ所はベエルシバ、モラダ、ハザル・シュアル、

29 וּבִבְלְהָ֔ה וּבְעֶצֶ֖ם וּבְתוֹלָֽד׃
ビルハに エツェムに トラドに
H1082 H6107 H8434

ビルハ、エゼム、トラデ、

30 וּבִבְתוּאֵ֔ל וּבְחָרְמָ֖ה וּבְצִיקְלָֽג׃
ベトエルに ホルマに ツィクラグに
H1328 H2767 H6860

ベトエル、ホルマ、チクラグ、

31 מַרְכָּבוֹת֙ וּבֵ֣ית בִּרְאִ֔י וּבֵ֣ית סוּסִ֔ים וּבַחֲצַ֖ר
ベテ・マルカボテに ベテ・ビルイに ハツァル・スシムに
H1024 H1011 H2702

עָרֵיהֶ֑ם עַד־ מֹלְךְ֣ דָּוִ֔יד׃
彼らの-町であった (まで) 治世-の ダビデ
H1732 H5704

ベテ・マルカボテ、ハザル・スシム、ベテ・ビリ、およびシャライムである。これらはダビデの世に至るまで彼らの町であった。

32 וְחַצְרֵיהֶ֕ם עֵיטָ֥ם וַעֲיִ֖ן רִמּ֣וֹן וְתֹכֶ֑ן וְעָשָׁ֔ן עָרִ֖ים חָמֵֽשׁ׃
そして-村々は エタム アイン リモン トケン アシャン の-町 五つ
H2568 H5862 H5871 H8507 H6228

エタム、アイン、リンモン、トケン、アシャンの五つの町である。

33 וְכָל־ חַצְרֵיהֶ֕ם אֲשֶׁ֥ר סְבִיבוֹת֙ הָעָרִ֔ים הָאֵ֖לֶּה עַד־ בָּעַ֑ל זֹ֣את
そして-すべての 村々は それは の-周りの 町々-の これらの (まで) バアル これが
H3605 H2063 H5704 H0428 H5439

וְהִתְיַחְשָׁ֖ם לָהֶ֥ם מוֹשְׁבֹתָֽם׃
そして-系図があった 彼らには 彼らの-住まいであった
H3187 H4186

またこれらの町々の周囲に多くの村があって、バアルまでおよんだ。彼らのすみかは以上のとおりで、彼らはおのおの系図をもっていた。

34 וּמְשׁוֹבָב וְיַמְלֶךְ וְיוֹשָׁה בֶּן־ אֲמַצְיָה׃
そして-メショバブ ヤムレク ヨシャ の-子 アマツヤ
H4877 H3230 H3144 H0558

メショバブ、ヤムレク、アマジヤの子ヨシャ、

35 וְיוֹאֵל וְיֵהוּא בֶּן־ יְוֹשִׁבְיָה בֶּן־ שְׂרָיָה בֶּן־ עֲשִׂיאֵל׃
ヨエル そして-エフーは ヨシビヤ の-子 セラヤ の-子 アシエル
H3100 H3058 H3143 H8304 H6221

ヨエル、アシエルのひこ、セラヤの孫、ヨシビアの子エヒウ。

36 וְאֶלְיוֹעֵינַי וְיַעֲקֹבָה וִישׁוֹחָיָה וַעֲשָׂיָה וַעֲדִיאֵל וְיִשְׁמָעֵאל וּבְנָיָה׃
エルヨエナイ ヤアコバ エショハヤ アサヤ アディエル エシミエル ベナヤ
H3291 H3439 H6222 H5717 H3450 H1141

エリオエナイ、ヤコバ、エショハヤ、アサヤ、アデエル、エシミエル、ベナヤ、

37 וְזִיזָא בֶּן־ שִׁפְעִי בֶּן־ אַלּוֹן בֶּן־ יְדָיָה בֶּן־ שִׁמְרִי בֶּן־ שְׁמַעְיָה׃
ジザ の-子 シフイ の-子 アロン の-子 エダヤ の-子 シムリ の-子 シェマヤ
H2124 H8230 H0438 H3042 H8113 H8098

およびシピの子ジザ。シピはアロンの子、アロンはエダヤの子、エダヤはシムリの子、シムリはシマヤの子である。

38 אֵלֶּה הַבָּאִים בְּשֵׁמוֹת נְשִׂיאִים בְּמִשְׁפְּחוֹתָם וּבֵית אֲבוֹתֵיהֶם
これらは 来た-者で 名-による 指導者たちであった 彼らの-氏族の そして-の-家は 彼らの-父祖の
H0428 H0935 H8034 H4940 H0001

פָּרְצוּ לָרֹב׃
増えた 大いに
H6555 H7230

ここに名をあげた者どもはその氏族の長であって、それらの氏族は大いにふえ広がった。

39 וַיֵּלְכוּ לְמִבוֹא גְדֹר עַד לְמִזְרַח הַגַּיְא לְבַקֵּשׁ מִרְעֶה
そして-行った の-入口まで ゲドル (まで) の-東まで 谷 探すために 牧草地を
H3212 H3996 H1446 H5704 H4217 H1516 H1245 H4829

לְצֹאנָם׃
彼らの-翊のために
H6629

彼らは群れのために牧場を求めてゲドルの入口に行き、谷の東の方まで進み、

40 וַיִּמְצְאוּ מִרְעֶה שָׁמֵן וְטוֹב וְהָאָרֶץ רַחַבַת יָדַיִם וְשֹׁקֶטֶת וְשַׁלְוָה
そして-見つけた 牧草地を 豊かで 良い そして-地は 広い 両手-の 静かで そして-
H4672 H4829 H8082 H2896 H0776 H7342 H3027 H8252

כִּי מִן־ חָם הַיּוֹשְׁבִים שָׁם לְפָנִים׃
なぜなら (から) ハム 住んでいた-者が そこに 以前に
H7961 H2526 H3427 H8033 H6440

ついに豊かな良い牧場を見いだした。その地は広く穏やかで、安らかであった。その地の前の住民はハムびとであったからである。

41 וַיָּבֹאוּ אֵלֶּה הַכְּתוּבִים בְּשֵׁמוֹת בִּימֵי יְחִזְקִיָּהוּ מֶלֶךְ־ יְהוּדָה
そして–来た これらの 書かれた–者たちは 名–による の–日々に ヒゼキヤ 王–の ユダ
H0935 H0428 H3789 H8034 H3117 H2396 H4428 H3063

וְאֶת־ אָהֳלֵיהֶם וַיַּכּוּ אֶת־ הַמְעוּנִים[ ]המעינים(אֲשֶׁר נִמְצְאוּ־
そして(を) 彼らの–天幕を (を) そして–打ち破った [メウニム] メウニ人を それらは 見つかった
H0853 H0168 H0853 H5221 H4586 H4586 H4672

מִרְעֶה כִּי־ תַחְתָּיהֶם וַיֵּשְׁבוּ הַזֶּה הַיּוֹם עַד־ וַיַּחֲרִימֻם שָׁמָּה׃
牧草地が なぜなら 彼らに–代わって そして–住んだ この の–日 (まで) そして–滅ぼした そこに
H4829 H3427 H2088 H3117 H5704 H8033

לְצֹאנָם׃ שָׁם׃
彼らの–翊のために そこに–あった
H6629 H8033

これらの名をしるした者どもはユダの王ヒゼキヤの世に行って、彼らの天幕と、そこにいたメウニびとを撃ち破り、彼らをことごとく滅ぼして今日に至っている。そこには、群れのための牧場があったので、彼らはそこに住んだ。

42 וּמֵהֶם מֵאוֹת חֲמֵשׁ אֲנָשִׁים שֵׂעִיר לְהַר הָלְכוּ שִׁמְעוֹן בְּנֵי מִן־
そして–彼らから 百人 五 人々が–いた セイル の–山に 行った シメオン の–子ら (から)
H1992 H3967 H2568 H0376 H8095 H1980 H2022 H8095 H1121 H4480

בִּרְאֹשָׁם׃ יִשְׁעִי בְּנֵי וְעֶזִיאֵל וְרְפָיָה וּנְעַרְיָה וּפְלַטְיָה
彼らの–頭として イシュイ の–子ら ウジエル レファヤ ネアルヤ ペラテヤ
H3469 H1121 H5816 H7509 H5294 H6410

またシメオンびとのうちの五百人はイシの子らペラテヤ、ネアリヤ、レパヤ、ウジエルをかしらとしてセイル山に行き、

43 וַיַּכּוּ אֶת־ שְׁאֵרִית הַפְּלֵטָה לַעֲמָלֵק וַיֵּשְׁבוּ שָׁם עַד הַיּוֹם
そして–打ち破った (を) の–残り の–逃れた–者を アマレク そして–住んだ そこに (まで) の–日
H5221 H0853 H7611 H6413 H6002 H3427 H8033 H5704 H3117

הַזֶּה׃
この
H2088

アマレクびとで、のがれて残っていた者を撃ち滅ぼして、今日までそこに住んでいる。

Chapter 5

1 וּבְנֵי רְאוּבֵן בְּכוֹר־ יִשְׂרָאֵל כִּי הוּא הַבְּכוֹר׃ וְבִחַלְלוֹ
そして–の–子らは ルベン 長子–の イスラエル なぜなら 彼は 長子であった そして–汚したとき
H7205 H1060 H3478 H3588 H1931 H1060 H2490

יִשְׂרָאֵל בֶּן־ יוֹסֵף לִבְנֵי בְּכֹרָתוֹ נִתְּנָה אָבִיו יְצוּעֵי
イスラエル の–子 ヨセフ の–子らに 彼の–長子の権は 与えられた 彼の–父の の–床を
H3478 H1121 H3130 H1121 H1062 H5414 H0001 H3326

לַבְּכֹרָה׃ לְהִתְיַחֵשׂ וְלֹא
長子–として 登録されることは そして–なかった
H1062 H3187 H3808

イスラエルの長子ルベンの子らは次のとおりである。――ルベンは長子であったが父の床を汚したので、長子の権はイスラエルの子ヨセフの子らに与えられた。それで長子の権による系図にしるされていない。

2 כִּי יְהוּדָה גָּבַר בְּאֶחָיו וּלְנָגִיד מִמֶּנּוּ וְהַבְּכֹרָה
なぜなら ユダは 優れていた 兄弟たち-の中で そして-指導者が 彼から そして-長子の権は
H3063 H1396 H0251 H5057 H1062

לְיוֹסֵף׃ ס ס
ヨセフの
H3130

またユダは兄弟たちにまさる者となり、その中から君たる者がでたが長子の権はヨセフのものとなったのである。

3 בְּנֵי רְאוּבֵן בְּכוֹר יִשְׂרָאֵל חֲנוֹךְ וּפַלּוּא חֶצְרוֹן וְכַרְמִי׃
の-子らは ルベン 長子の イスラエル ハノク パル ヘツロン カルミ
H7205 H1060 H3478 H2585 H6396 H2696 H3756

すなわちイスラエルの長子ルベンの子らはハノク、パル、ヘヅロン、カルミ。

4 בְּנֵי יוֹאֵל שְׁמַעְיָה בְּנוֹ גּוֹג בְּנוֹ שִׁמְעִי בְּנוֹ׃
の-子らは ヨエル シェマヤ 彼の-子 ゴグ 彼の-子 シムイ 彼の-子
H3100 H8098 H1463 H8096

ヨエルの子らはその子はシマヤ、その子はゴグ、その子はシメイ、

5 מִיכָה בְּנוֹ רְאָיָה בְּנוֹ בָּעַל בְּנוֹ׃
ミカ 彼の-子 レアヤ 彼の-子 バアル 彼の-子
H4318 H7211

その子はミカ、その子はレアヤ、その子はバアル、

6 בְּאֵרָה בְּנוֹ אֲשֶׁר הִגְלָה הֶגְלָה תִּלְגַּת פִּלְנֶאסֶר מֶלֶךְ אַשּׁוּר הוּא
ベエラ 彼の-子 それを 捕囚にした ティルガテ ピルネセル 王-の アッシュル 彼は
H0880 H0834 H1540 H8407 H8407 H4428 H0804 H1931

נָשִׂיא לָרְאוּבֵנִי׃
指導者であった ルベン人の
H7206

その子はベエラである。このベエラはアッスリヤの王テルガテ・ピルネセルが捕え移した者である。彼はルベンびとのつかさであった。

7 וְאֶחָיו לְמִשְׁפְּחֹתָיו בְּהִתְיַחֵשׂ לְתֹלְדוֹתָם הָרֹאשׁ יְעִיאֵל וּזְכַרְיָהוּ׃
そして-兄弟たちは 氏族-ごとに 系図-による 彼らの-子孫の かしらは エイエル ゼカルヤ
H0251 H4940 H3187 H8435 H7218 H3273

彼の兄弟たちは、その氏族により、その歴代の系図によれば、かしらエイエルおよびゼカリヤ、

8 וּבֶלַע בֶּן עָזָז בֶּן שְׁמַע בֶּן יוֹאֵל הוּא יָשַׁב בַּעֲרֹעֵר
そして-ベラは の-子 アズズ の-子 シェマ の-子 ヨエル 彼は 住んでいた アロエルに
H5811 H8087 H3100 H1931 H3427 H6177

וְעַד־נְבוֹ וּבַעַל מְעוֹן׃
そして(まで) ネボ バアル・メオン
H5704 H1186

ベラなどである。ベラはアザズの子、シマの孫、ヨエルのひこである。彼はアロエルに住み、ネボおよびバアル・メオンまで及んでいたが、

9 וְלַמִּזְרָח֙ יָשַׁ֔ב לְבֹוא֙ עַד־מְדְבָּ֔רָה מִנְּהַר־פְּרָ֖ת כִּֽי־מִקְנֵיהֶ֣ם רָבְו֔וּ בְּאֶ֥רֶץ גִּלְעָֽד׃

וְלַמִּזְרָח֙	יָשַׁ֔ב	לְבֹוא֙	עַד־	מְדְבָּ֔רָה	מִנְּהַר־	פְּרָ֖ת	כִּֽי־	מִקְנֵיהֶ֣ם
そして-東に	住んだ	の-入口まで	(まで)	荒野	(から)	の-川	なぜなら	彼らの-家畜は
H4217	H3427	H0935	H5704	H4733	H5104	H6578		H4735

רָבְו֔וּ בְּאֶ֥רֶץ גִּלְעָֽד׃
増えた の-地で ギルアデ
H0776 H1568

ギレアデの地で彼の家畜がふえ増したので、彼は東の方ユフラテ川のこなたの荒野の入口にまで住んだ。

10 וּבִימֵ֣י שָׁא֔וּל עָשׂ֖וּ מִלְחָמָ֣ה עִם־הַהַגְרִאִ֑ים וַיִּפְּל֣וּ בְיָדָ֗ם וַיֵּשְׁב֛וּ בְּאָהֳלֵיהֶ֖ם עַל־כָּל־פְּנֵ֥י מִזְרַ֖ח לַגִּלְעָֽד׃ פ

וּבִימֵ֣י	שָׁא֔וּל	עָשׂ֖וּ	מִלְחָמָ֣ה	עִם־	הַהַגְרִאִ֑ים	וַיִּפְּל֣וּ	בְיָדָ֗ם	וַיֵּשְׁב֛וּ	בְּאָהֳלֵיהֶ֖ם	עַל־כָּל־פְּנֵ֥י	מִזְרַ֖ח	לַגִּלְעָֽד׃	פ
そして-の-日々に	サウル	行った	戦いを	(と共に)	ハガル人と	そして-倒れた	彼らの-手に	そして-住んだ	彼らの-天幕に	すべての	の-面	ギルアデ	
H3117	H7586		H4421		H1905	H5307	H3027	H3427	H0168	H3605	H6440	H1568	

またサウルの時、彼らはハガルびとと戦って、これを撃ち倒し、ギレアデの東の全部にわたって彼らの天幕に住んだ。

11 וּבְנֵי־גָ֗ד לְנֶגְדָּם֙ יָשְׁב֣וּ בְאֶ֣רֶץ הַבָּשָׁ֔ן עַד־סַלְכָֽה׃

וּבְנֵי־	גָ֗ד	לְנֶגְדָּם֙	יָשְׁב֣וּ	בְאֶ֣רֶץ	הַבָּשָׁ֔ן	עַד־	סַלְכָֽה׃
そして-の-子らは	ガド	彼らの-向かいに	住んだ	の-地に	バシャン	(まで)	サルカ
H1410		H5048	H3427	H0776	H1316	H5704	H5548

ガドの子孫はこれと相対してバシャンの地に住み、サルカまで及んでいた。

12 יוֹאֵ֥ל הָרֹאשׁ֙ וְשָׁפָ֣ם הַמִּשְׁנֶ֔ה וְיַעְנַ֖י וְשָׁפָ֥ט בַּבָּשָֽׁן׃

יוֹאֵ֥ל	הָרֹאשׁ֙	וְשָׁפָ֣ם	הַמִּשְׁנֶ֔ה	וְיַעְנַ֖י	וְשָׁפָ֥ט	בַּבָּשָֽׁן׃
ヨエルは	かしらで	シャファムは	第二で	ヤアナイ	シャファト	バシャンに
H3100		H8223	H4932	H3285	H8202	H1316

そのかしらはヨエル、次はシャパム、ヤアナイ、シャパテで、ともにバシャンに住んだ。

13 וְאַחֵיהֶ֖ם לְבֵ֣ית אֲבֹותֵיהֶ֑ם מִיכָאֵ֣ל וּמְשֻׁלָּ֔ם וְשֶׁבַע֙ וְיוֹרַ֔י וְיַחְמַ֖י וְזִיַּ֥ע וָעֵ֖בֶר שִׁבְעָֽה׃ ס

וְאַחֵיהֶ֖ם	לְבֵ֣ית	אֲבֹותֵיהֶ֑ם	מִיכָאֵ֣ל	וּמְשֻׁלָּ֔ם	וְשֶׁבַע֙	וְיוֹרַ֔י	וְיַחְמַ֖י	וְזִיַּ֥ע	וָעֵ֖בֶר	שִׁבְעָֽה׃	ס
そして-兄弟たちは	の-家	彼らの-父祖の	ミカエル	メシュラム	シェバ	ヨライ	ヤアカン	ジア	エベル	七人	
H0251		H0001	H4317	H4918	H7652	H3140	H3275	H2127	H5677	H7651	

彼らの兄弟たちは、その氏族によればミカエル、メシュラム、シバ、ヨライ、ヤカン、ジア、エベルの七人である。

14 וְאֵ֖לֶּה בְּנֵ֣י אֲבִיחַ֑יִל בֶּן־חוּרִ֣י בֶן־יָרוֹחַ֔ בֶּן־גִּלְעָ֖ד בֶּן־מִיכָאֵ֥ל בֶּן־יְשִׁישַׁ֛י בֶּן־יַחְדֹּ֥ו בֶן־בּֽוּז׃

וְאֵ֖לֶּה	בְּנֵ֣י	אֲבִיחַ֑יִל	בֶּן־	חוּרִ֣י	בֶן־	יָרוֹחַ֔	בֶּן־	גִּלְעָ֖ד	בֶּן־	מִיכָאֵ֥ל	בֶּן־	יְשִׁישַׁ֛י	בֶּן־	יַחְדֹּ֥ו	בֶן־	בּֽוּז׃
これらは	の-子ら	アビハイル	の-子	フリ	の-子	ヤロア	の-子	ギルアデ	の-子	ミカエル	の-子	エシシャイ	の-子	ヤフド	の-子	ブズ		
H0428		H0032		H2359		H3386		H1568		H4317		H3454		H3163		H0938		

これらはホリの子アビハイルの子らである。ホリはヤロアの子、ヤロアはギレアデの子、ギレアデはミカエルの子、ミカエルはエシサイの子、エシサイはヤドの子、ヤドはブズの子である。

15 אֲחִ֣י גוּנִ֔י בֶּן־עַבְדִיאֵ֖ל בֶּן־רֹ֣אשׁ לְבֵ֣ית אֲבֹותָֽם׃

אֲחִ֣י	גוּנִ֔י	בֶּן־	עַבְדִיאֵ֖ל	בֶּן־	רֹ֣אשׁ	לְבֵ֣ית	אֲבֹותָֽם׃
アヒ	グニ	の-子	アブディエル	の-子	かしら-であった	の-家	彼らの-父祖の
H0277	H1476		H5661				H0001

アヒはアブデルの子、アブデルはグニの子、グニはその氏族の長である。

16 וַיָּשְׁבוּ בַּגִּלְעָד בַּבָּשָׁן וּבִבְנֹתֶיהָ וּבְכָל־ מִגְרְשֵׁי שָׁרוֹן עַל־ תּוֹצְאוֹתָם׃
そして-住んだ ギルアデに バシャンに そして-その-村々に そして-すべての の-牧草地に シャロン (の上に) 彼らの-境界まで
H3427 H1568 H1316 H1323 H3605 H4054 H8289 H8444

彼らはギレアデとバシャンとその村里とシャロンのすべての放牧地に住んで、その四方の境にまで及んでいた。

17 כֻּלָּם הִתְיַחְשׂוּ בִּימֵי יוֹתָם מֶלֶךְ־ יְהוּדָה וּבִימֵי יָרָבְעָם מֶלֶךְ־ יִשְׂרָאֵל׃ פ פ
すべて 登録された の-日々に ヨタム 王-の ユダ そして-の-日々に ヤロブアム 王-の イスラエル
H3605 H3187 H3117 H3147 H4428 H3063 H3117 H3379 H4428 H3478

これらはみなユダの王ヨタムの世とイスラエルの王ヤラベアムの世に系図にのせられた。

18 בְּנֵי־ רְאוּבֵן וְגָדִי וַחֲצִי שֵׁבֶט־ מְנַשֶּׁה מִן־ בְּנֵי־ חַיִל אַנְשִׁים
の-子ら ルベン ガド人 そして-半分-の マナセ (から) の-子ら 勇士 人々-で
H7205 H1425 H2677 H7626 H4519 H0376 H2428

וְאַרְבָּעָה אַרְבָּעִים מִלְחָמָה וּלְמוּדֵי קֶשֶׁת וְדֹרְכֵי וְחֶרֶב נֹשְׂאֵי מָגֵן
四 四十 戦いを そして-学んだ-者 弓を そして-引く-者 そして-剣を 盾を 担ぐ-者
H0702 H0705 H4421 H3925 H7198 H1869 H2719 H4043 H5375

וְשִׁבַּע־ וּשְׁבַע מֵאוֹת וְשִׁשִּׁים אֶלֶף צָבָא׃ יֹצְאֵי
そして-七 百 そして-六十 千 軍に 出る-者
H7651 H3967 H8346 H0505 H3318

ルベンびとと、ガドびとと、マナセの半部族には出て戦いうる者四万四千七百六十人あり、皆勇士で、盾とつるぎをとり、弓をひき、戦いに巧みな人々であった。

19 וַיַּעֲשׂוּ מִלְחָמָה עִם־ הַהַגְרִיאִים יִטּוּר וְנָפִישׁ וְנוֹדָב׃
そして-行った 戦いを (と共に) ハガル人と エトル ナフィシュ ノダブ
H4421 H5973 H1905 H3195 H5305 H5114

彼らはハガルびとおよびエトル、ネフシ、ノダブなどと戦ったが、

20 וַיֵּעָזְרוּ עֲלֵיהֶם וַיִּנָּתְנוּ בְיָדָם הַהַגְרִיאִים וְכָל
そして-助けられた そして-渡された 彼らに-対して 彼らの-手に ハガル人は そして-すべての
H5826 H5414 H5921 H3027 H1905 H3605

שַׁעְמָהֶם כִּי־ לְאֱלֹהִים כִּי זָעֲקוּ בַּמִּלְחָמָה וַיֵּעָתֵר לָהֶם כִּי־
彼らと-共にいた者 なぜなら 神に 叫んだ 戦いの-中で そして-応えられた 彼らに なぜなら
H5973 H3588 H0430 H2199 H4421 H6279 H3588

בָּטְחוּ בוֹ׃
信頼した 彼に
H0982

助けを得てこれを攻めたので、ハガルびとおよびこれとともにいた者は皆、彼らの手にわたされた。これは彼らが戦いにあたって神に呼ばわり、神に寄り頼んだので神はその願いを聞かれたからである。

21 וַיִּשְׁבּוּ מִקְנֵיהֶם גְּמַלֵּיהֶם חֲמִשִּׁים אֶלֶף וְצֹאן מָאתַיִם אַלְפֵי וַחֲמִשִּׁים
そして-捕らえた 彼らの-家畜を 彼らの-らくだを 五十 千頭 そして-羊を 二十万 五十
H7617 H4735 H1581 H2572 H0505 H6629 H3967 H2572

וְנֶפֶשׁ אָדָם מֵאָה אַלְפֵי חֲמוֹרִים וַאֲלָפַיִם אָלֶף׃
そして-人を 人-の 十万 千頭 そして-ろばを 二千頭 千頭
H5315 H0120 H3967 H0505 H2543 H0505 H0505

彼らはその家畜を奪い取ったが、らくだ五万、羊二十五万、ろば二千あり、また人は十万人あった。

22 כִּי־ חֲלָלִים נָפְלוּ רַבִּים כִּי מֵהָאֱלֹהִים הַמִּלְחָמָה וַיֵּשְׁבוּ
なぜなら 死者が 多く 倒れた なぜなら 神からの 戦いであった そして-住んだ
H3427 H4421 H0430 H5307 H7227 H2491 H3588

פ תַּחְתֵּיהֶם עַד־ הַגּוֹלָה׃ פ
彼らに-代わって (まで) 捕囚まで
H8478 H5704 H1473

これはその戦いが神によったので、多くの者が殺されて倒れたからである。そして彼らは捕え移される時まで、これに代ってその所に住んだ。

23 וּבְנֵי חֲצִי מְנַשֶּׁה שֵׁבֶט בָּאָרֶץ יָשְׁבוּ מִבָּשָׁן עַד־ בַּעַל חֶרְמוֹן
そして-の-子ら 半分-の マナセ の-部族 地に 住んだ バシャンから (まで) バアル・ヘルモン
H1121 H2677 H4519 H7626 H0776 H3427 H1316 H5704 H1179

וְהַר־ חֶרְמוֹן הֵמָּה שְׂנִיר רָבוּ׃
そして-の-山 ヘルモン 彼らは セニル 増えた
H2022 H2768 H1992 H8149

マナセの半部族の人々はこの地に住み、ふえ広がって、ついにバシャンからバアル・ヘルモン、セニルおよびヘルモン山にまで及んだ。

24 וְאֵלֶּה רָאשֵׁי בֵית־ אֲבוֹתָם וְעֵפֶר וְיִשְׁעִי וֶאֱלִיאֵל עֲזַרְיֵאל וְ
そして-これらは の-かしらたち の-家 彼らの-父祖の エフェル イシュイ エリエル アズリエル
H0428 H7218 H1004 H0001 H6081 H3469 H0447 H5837

וְיִרְמְיָה וְהוֹדַוְיָה וְיַחְדִיאֵל אַנְשֵׁי חַיִל גִּבֹּרֵי שֵׁמוֹת רָאשִׁים
エレミヤ ホダウヤ ヤフディエル 人々-で 力 勇士-の 名-の かしらたちであった
H3414 H1938 H3164 H0376 H2428 H1368 H8034 H7218

לְבֵית אֲבוֹתָם׃
の-家 彼らの-父祖の
H1004 H0001

その氏族の長たちは次のとおりである。すなわち、エペル、イシ、エリエル、アズリエル、エレミヤ、ホダヤ、ヤデエル。これらは皆その氏族の長で名高い大勇士であった。

25 וַיִּמְעֲלוּ בֵּאלֹהֵי אֲבוֹתֵיהֶם וַיִּזְנוּ אַחֲרֵי אֱלֹהֵי עַמֵּי־ הָאָרֶץ
そして-背いた の-神に 彼らの-父祖の そして-姦淫した の-後に の-神々に の-民々の 地
H4603 H0430 H0001 H2181 H0310 H0430 H5971 H0776

אֲשֶׁר־ הִשְׁמִיד אֱלֹהִים מִפְּנֵיהֶם׃
それらを 滅ぼした 神が 彼らの-前から
H8045 H0430 H6440

彼らは先祖たちの神にむかって罪を犯し、神が、かつて彼らの前から滅ぼされた国の民の神々を慕って、これと姦淫したので、

26

וְאֶת־ そして(を) H0853
אַשּׁוּר アッシュル H0804
מֶלֶךְ־ 王-の H4428
פּוּל プル H6322
וְרוּחַ の-霊を H7307
אֶת־ (を) H0853
יִשְׂרָאֵל イスラエル H3478
אֱלֹהֵי の-神は H0430
וַיָּעַר そして-奏い立てた H5782

וְלַגָּדִי そして-ガド人を H1425
לָרְאוּבֵנִי ルベン人を H7206
וַיַּגְלֵם そして-捕囚にした H1540
אַשּׁוּר アッシュル H0804
מֶלֶךְ 王-の H4428
פִּלְנֶסֶר ピルネセル H8407
תִּלְגַּת ティルガテ H8407
רוּחַ の-霊を H7307

וְנַהַר そして-の-川 H5104
וְחָרָא ハラ H2024
וְחָבוֹר ハボル H2249
לַחְלַח ラヘラに H2477
וַיְבִיאֵם そして-連れて行った H0935
מְנַשֶּׁה マナセ H4519
שֵׁבֶט の-部族 H7626
וְלַחֲצִי そして-半分-の H2677

פ
פ
הַזֶּה׃ この H2088
הַיּוֹם の-日 H3117
עַד (まで) H5704
גּוֹזָן ゴザン H1470

イスラエルの神は、アッスリヤの王プルの心を奮い起し、またアッスリヤの王テルガテ・ピルネセルの心を奮い起されたので、彼はついにルベンびとと、ガドびとと、マナセの半部族を捕えて行き、ハウラとハボルとハラとゴザン川のほとりに移して今日に至っている。

Chapter 6

1

בְּנֵי の-子らは H1121
לֵוִי レビ H3878
גֵּרְשׁוֹן ゲルション H1648
קְהָת ケハテ H6955
וּמְרָרִי׃ メラリ H4847

レビの子らはゲルション、コハテ、メラリ。

2

וּבְנֵי そして-の-子らは H1121
קְהָת ケハテ H6955
עַמְרָם アムラム H6019
יִצְהָר イツハル H3324
וְחֶבְרוֹן ヘブロン H2275
וְעֻזִּיאֵל׃ ウジエル H5816
ס
ס

コハテの子らはアムラム、イヅハル、ヘブロン、ウジエル。

3

וּבְנֵי そして-の-子らは H1121
עַמְרָם アムラム H6019
אַהֲרֹן アロン H0175
וּמֹשֶׁה モーセ H4872
וּמִרְיָם ミリアム H4813
ס
ס
נָדָב ナダブ H5070
אֲהִיה׃ アロン H0175

וְאִיתָמָר׃ イタマル H0385
אֶלְעָזָר エルアザル H0499
וַאֲבִיהוּא アビフ H0030

アムラムの子らはアロン、モーセ、ミリアム。アロンの子らはナダブ、アビウ、エレアザル、イタマル。

4

אֶלְעָזָר エルアザルは H0499
וּבְנֵי そして-の-子らは H1121
הוֹלִיד 生んだ H3205
אֶת־ (を) H0853
פִּינְחָס ピネハスは H6372
פִּינְחָס ピネハス H6372
אֶת־ (を) H0853
הוֹלִיד 生んだ H3205
אֲבִישׁוּעַ׃ アビシュア H0050

エレアザルはピネハスを生み、ピネハスはアビシュアを生み、

5

וַאֲבִישׁוּעַ アビシュアは H0050
הוֹלִיד 生んだ H3205
אֶת־ (を) H0853
בֻּקִּי ブッキ H1231
וּבֻקִּי そして-ブッキは H1231
הוֹלִיד 生んだ H3205
אֶת־ (を) H0853
עֻזִּי׃ ウジ H5813

アビシュアはブッキを生み、ブッキはウジを生み、

6

וְעֻזִּי そして-ウジは H5813
הוֹלִיד 生んだ H3205
אֶת־ (を) H0853
זְרַחְיָה ゼラヒヤ H2228
וּזְרַחְיָה そして-ゼラヒヤは H2228
הוֹלִיד 生んだ H3205
אֶת־ (を) H0853
מְרָיוֹת׃ メラヨテ H4812

ウジはゼラヒヤを生み、ゼラヒヤはメラヨテを生み、

	אֲחִיטוּב׃	אֶת־	הוֹלִיד	וַאֲמַרְיָה	אֲמַרְיָה	אֶת־	הוֹלִיד	מְרָיוֹת	7
	アヒトブ	(を)	生んだ	そして-アマルヤは	アマルヤ	(を)	生んだ	メラヨテは	
	H0285	H0853	H3205	H0568	H0568	H0853	H3205	H4812	

メラヨテはアマリヤを生み、アマリヤはアヒトブを生み、

	אֲחִימָעַץ׃	אֶת־	הוֹלִיד	וְצָדוֹק	צָדוֹק	אֶת־	הוֹלִיד	וַאֲחִיטוּב	8
	アヒマアツ	(を)	生んだ	そして-ツァドクは	ツァドク	(を)	生んだ	そして-アヒトブは	
	H0290	H0853	H3205	H6659	H6659	H0853	H3205	H0285	

アヒトブはザドクを生み、ザドクはアヒマアズを生み、

	יוֹחָנָן׃	אֶת־	הוֹלִיד	וַעֲזַרְיָה	עֲזַרְיָה	אֶת־	הוֹלִיד	וַאֲחִימַעַץ	9
	ヨハナン	(を)	生んだ	そして-アザルヤは	アザルヤ	(を)	生んだ	そして-アヒマアツは	
	H3110	H0853	H3205	H5838	H5838	H0853	H3205	H0290	

アヒマアズはアザリヤを生み、アザリヤはヨナハンを生み、

בָּנָה	אֲשֶׁר־	בַּבַּיִת	כֹּהֵן	אֲשֶׁר	הוּא	עֲזַרְיָה	אֶת־	הוֹלִיד	וְיוֹחָנָן	10
建てた	それを	の-宮で	仕えた	それである	彼は	アザルヤ	(を)	生んだ	そして-ヨハナンは	
H1129			H3547		H1931	H5838	H0853	H3205	H3110	

בִּירוּשָׁלִָם׃	שְׁלֹמֹה
エルサレムに	ソロモンが
H3389	H8010

ヨナハンはアザリヤを生んだ。このアザリヤはソロモンがエルサレムに建てた宮で祭司の務をした者である。

	אֲחִיטוּב׃	אֶת־	הוֹלִיד	וַאֲמַרְיָה	אֲמַרְיָה	אֶת־	עֲזַרְיָה	וַיּוֹלֶד	11
	アヒトブ	(を)	生んだ	そして-アマルヤは	アマルヤ	(を)	アザルヤは	そして-生んだ	
	H0285	H0853	H3205	H0568	H0568	H0853	H5838	H3205	

アザリヤはアマリヤを生み、アマリヤはアヒトブを生み、

	שַׁלּוּם׃	אֶת־	הוֹלִיד	וְצָדוֹק	צָדוֹק	אֶת־	הוֹלִיד	וַאֲחִיטוּב	12
	シャルム	(を)	生んだ	そして-ツァドクは	ツァドク	(を)	生んだ	そして-アヒトブは	
	H7967	H0853	H3205	H6659	H6659	H0853	H3205	H0285	

アヒトブはザトクを生み、ザトクはシャルムを生み、

	עֲזַרְיָה׃	אֶת־	הוֹלִיד	וְחִלְקִיָּה	חִלְקִיָּה	אֶת־	הוֹלִיד	וְשַׁלּוּם	13
	アザルヤ	(を)	生んだ	そして-ヒルキヤは	ヒルキヤ	(を)	生んだ	そして-シャルムは	
	H5838	H0853	H3205	H2518	H2518	H0853	H3205	H7967	

シャルムはヒルキヤを生み、ヒルキヤはアザリヤを生み、

	יְהוֹצָדָק׃	אֶת־	הוֹלִיד	וּשְׂרָיָה	שְׂרָיָה	אֶת־	הוֹלִיד	וַעֲזַרְיָה	14
	エホツァダク	(を)	生んだ	そして-セラヤは	セラヤ	(を)	生んだ	そして-アザルヤは	
	H3087	H0853	H3205	H8304	H8304	H0853	H3205	H5838	

アザリヤはセラヤを生み、セラヤはヨザダクを生んだ。

בְּיַד	וִירוּשָׁלִָם	יְהוּדָה	אֶת־	יְהוָה	בְּהַגְלוֹת	הָלַךְ	וְיהוֹצָדָק		15
の-手によって	エルサレムを	ユダを	(を)	主が	捕囚にしたとき	行った	そして-エホツァダクは		
H3027	H3389	H3063	H0853	H3068	H1540	H1980	H3087		

נְבֻכַדְנֶאצַּר׃	ס
ネブカドネツァル	ס
H5019	

ヨザダクは主がネブカデネザルの手によってユダとエルサレムの人を捕え移された時に捕えられて行った。

16 בְּנֵי לֵוִי גֵּרְשֹׁם קְהָת וּמְרָרִי׃
の–子らは レビ ゲルショム ケハテ メラリ
H3878 H1647 H6955 H4847

レビの子らはゲルション、コハテおよびメラリ。

17 וְאֵלֶּה שְׁמוֹת בְּנֵי־ גֵרְשׁוֹם לִבְנִי וְשִׁמְעִי׃
そして–これらは の–名 ゲルショム リブニ シムイ
H0428 H8034 H1647 H3845 H8096

ゲルションの子らの名はリブニとシメイ。

18 וּבְנֵי קְהָת עַמְרָם וְיִצְהָר וְחֶבְרוֹן וְעֻזִּיאֵל׃
そして–の–子らは ケハテ アムラム イツハル ヘブロン ウジエル
H6955 H6019 H3324 H5816

コハテの子らはアムラム、イヅハル、ヘブロン、ウジエルである。

19 בְּנֵי מְרָרִי מַחְלִי וּמוּשִׁי וְאֵלֶּה מִשְׁפְּחוֹת הַלֵּוִי לַאֲבוֹתֵיהֶם׃
の–子らは メラリ マヘリ ムシ そして–これらは の–氏族 レビ人の 彼らの–父祖による
H4847 H4249 H4187 H0428 H4940 H3881 H0001

メラリの子らはマヘリとムシ。これらはレビびとのその家筋による氏族である。

20 לְגֵרְשֹׁם בְּנוֹ לִבְנִי בְּנוֹ יַחַת בְּנוֹ זִמָּה בְּנוֹ׃
ゲルショムの 彼の–子 リブニ 彼の–子 ヤハテ 彼の–子 ジマ 彼の–子
H1647 H3845 H3189 H2155

ゲルションの子はリブニ、その子はヤハテ、その子はジンマ、

21 יוֹאָח בְּנוֹ עִדּוֹ בְּנוֹ זֶרַח בְּנוֹ יְאָתְרַי בְּנוֹ׃
ヨアフ 彼の–子 イド 彼の–子 ゼラフ 彼の–子 エアトライ 彼の–子
H3098 H5714 H2226 H2979

その子はヨア、その子はイド、その子はゼラ、その子はヤテライ。

22 בְּנֵי קְהָת עַמִּינָדָב בְּנוֹ קֹרַח בְּנוֹ אַסִּיר בְּנוֹ׃
の–子らは ケハテ アミナダブ 彼の–子 コラ 彼の–子 アシル 彼の–子
H6955 H5992 H7141 H0617

コハテの子はアミナダブ、その子はコラ、その子はアシル、

23 אֶלְקָנָה בְּנוֹ וְאֶבְיָסָף בְּנוֹ וְאַסִּיר בְּנוֹ׃
エルカナ 彼の–子 エビヤサフ 彼の–子 アシル 彼の–子
H0511 H0043 H0617

その子はエルカナ、その子はエビアサフ、その子はアシル、

24 תָּחַת בְּנוֹ אוּרִיאֵל בְּנוֹ עֻזִּיָּה בְּנוֹ שָׁאוּל וּבְנוֹ׃
タハテ 彼の–子 ウリエル 彼の–子 ウジヤ 彼の–子 サウル 彼の–子
H8480 H0222 H5818 H7586

その子はタハテ、その子はウリエル、その子はウジヤ、その子はシャウル。

25 וּבְנֵי אֶלְקָנָה עַמָּשַׂי וַאֲחִימוֹת׃
そして–の–子らは エルカナ アマサイ アヒモテ
H0511 H6022 H0287

エルカナの子らはアマサイとアヒモテ、

	בְּנוֹ׃	וְנַחַת	בְּנוֹ	צוֹפַי	אֶלְקָנָה	(בְּנֵי֙)	[בנו]	אֶלְקָנָה	26
	彼の–子	ナハテ	彼の–子	ツォファイ	エルカナ	の–子ら	[彼の–子]	エルカナ	
		H5184		H6689	H0511			H0511	

その子はエルカナ、その子はゾパイ、その子はナハテ、

בְּנוֹ׃	אֶלְקָנָה	בְּנוֹ	יְרֹחָם	בְּנוֹ	אֶלִיאָב	27
彼の–子	エルカナ	彼の–子	エロハム	彼の–子	エリアブ	
	H0511		H3395		H0446	

その子はエリアブ、その子はエロハム、その子はエルカナ。

ס	וַאֲבִיָה׃	וַשְׁנִי	הַבְּכֹר	שְׁמוּאֵל	וּבְנֵי	28
ס	アビヤ	ワシュニ	長子は	サムエル	そして–の–子らは	
	H0029	H2059	H1060	H8050		

サムエルの子らは、長子はヨエル、次はアビヤ。

בְּנוֹ׃	עֻזָּה	בְּנוֹ	שִׁמְעִי	בְּנוֹ	לִבְנִי	מַחְלִי	מְרָרִי	בְּנֵי	29
彼の–子	ウザ	彼の–子	シムイ	彼の–子	リブニ	マヘリ	メラリ	の–子らは	
			H8096		H3845	H4249	H4847		

メラリの子はマヘリ、その子はリブニ、その子はシメイ、その子はウザ、

פ	בְּנוֹ׃	עֲשָׂיָה	בְּנוֹ	חַגִּיָּה	בְּנוֹ	שִׁמְעָא	30
פ	彼の–子	アサヤ	彼の–子	ハギヤ	彼の–子	シムア	
		H6222		H2293		H8092	

その子はシメア、その子はハギヤ、その子はアサヤである。

	יְהוָה	בֵּית	שִׁיר	יְדֵי־	עַל־	דָּוִיד	הֶעֱמִיד	אֲשֶׁר	וְאֵלֶּה	31
	主	の–家	歌	の–手の	(の上に)	ダビデが	立てた	それらを	そして–これらは	
	H3068			H3027		H1732	H5975		H0428	

הָאָרֹן׃	מִמְּנוֹחַ
箱が	置かれた–ときから
H0727	H4494

契約の箱を安置したのち、ダビデが主の宮で歌をうたう事をつかさどらせた人々は次のとおりである。

	עַד־	בַּשִּׁיר	מוֹעֵד֙	אֹהֶל־	מִשְׁכַּן	לִפְנֵי	מְשָׁרְתִים	וַיִּהְיוּ	32
	(まで)	歌–をもって	会見	の–天幕	の–幕屋	の–前で	仕える–者たち	そして–であった	
	H5704		H4150	H0168	H4908	H6440	H8334	H1961	

כְּמִשְׁפָּטָם	וַיַּעַמְדוּ	בִּירוּשָׁלָ֑͏ִם	יְהוָה	בֵּית	אֶת־	שְׁלֹמֹה	בָּנוֹת	
彼らの–規定に従って	そして–立った	エルサレムに	主	の–家を	(を)	ソロモンが	建てた–とき	
H4941	H5975	H3389	H3068		H0853	H8010	H1129	

עֲבוֹדָתָם׃	עַל־
彼らの–務めに	(の上に)
H5656	

彼らは会見の幕屋の前で歌をもって仕えたが、ソロモンがエルサレムに主の宮を建ててからは、一定の秩序に従って務を行った。

33 וְאֵלֶּה הָעֹמְדִים וּבְנֵיהֶם מִבְּנֵי הַקָּהָתִי הֵימָן הַמְשׁוֹרֵר בֶּן־
そして-これらは 立つ-者たちと 彼らの-子ら の-子らから ケハテ人 ヘマン 歌う-者 の-子
H0428 H5975 H6956 H1968 H7891

יוֹאֵל׃ בֶּן־ שְׁמוּאֵל׃
ヨエル の-子 サムエル
H3100 H8050

その務をしたもの、およびその子らは次のとおりである。コハテびとの子らのうちヘマンは歌をうたう者、ヘマンはヨエルの子、ヨエルはサムエルの子、

34 בֶּן־ אֶלְקָנָה בֶּן־ יְרֹחָם בֶּן־ אֱלִיאֵל בֶּן־ תֹּוחַ׃
の-子 エルカナ の-子 エロハム の-子 エリエル の-子 トア
H0511 H3395 H0447 H8430

サムエルはエルカナの子、エルカナはエロハムの子、エロハムはエリエルの子、エリエルはトアの子、

35 בֶּן־ [צִיף] (צוּף) בֶּן־ אֶלְקָנָה בֶּן־ מַחַת בֶּן־ עֲמָשַׂי׃
の-子 [ツィフ] ツフ の-子 エルカナ の-子 マハテ の-子 アマサイ
H6689 H6689 H0511 H4287 H6022

トアはヅフの子、ヅフはエルカナの子、エルカナはマハテの子、マハテはアマサイの子、

36 בֶּן־ צְפַנְיָה בֶּן־ עֲזַרְיָה בֶּן־ יוֹאֵל בֶּן־ אֶלְקָנָה בֶּן־
の-子 ツェパニヤ の-子 アザルヤ の-子 ヨエル の-子 エルカナ の-子
H0511 H6846 H5838 H3100

アマサイはエルカナの子、エルカナはヨエルの子、ヨエルはアザリヤの子、アザリヤはゼパニヤの子、

37 בֶּן־ תַּחַת בֶּן־ אַסִּיר בֶּן־ אֶבְיָסָף בֶּן־ קֹרַח׃
の-子 タハテ の-子 アシル の-子 エビヤサフ の-子 コラ
H8480 H0617 H0043 H7141

ゼパニヤはタハテの子、タハテはアシルの子、アシルはエビアサフの子、エビアサフはコラの子、

38 בֶּן־ יִצְהָר בֶּן־ קְהָת בֶּן־ לֵוִי בֶּן־ יִשְׂרָאֵל׃
の-子 イツハル の-子 ケハテ の-子 レビ の-子 イスラエル
H3324 H6955 H3878 H3478

コラはイヅハルの子、イヅハルはコハテの子、コハテはレビの子、レビはイスラエルの子である。

39 וְאָחָיו עַל־ יְמִינוֹ אָסָף בֶּן־ בֶּרֶכְיָהוּ בֶּן־ שִׁמְעָא׃
そして-兄弟は (の上に) 彼の-右に アサフ の-子 ベレクヤ の-子 シムア
H0251 H5975 H3225 H0623 H1296 H8092

アサフ アサフ 立つ-者で

ヘマンの兄弟アサフはヘマンの右に立った。アサフはベレキヤの子、ベレキヤはシメアの子、

40 בֶּן־ מִיכָאֵל בֶּן־ בַּעֲשֵׂיָה בֶּן־ מַלְכִּיָּה׃
の-子 ミカエル の-子 バアセヤ の-子 マルキヤ
H4317 H1202 H4441

シメアはミカエルの子、ミカエルはバアセヤの子、バアセヤはマルキヤの子、

41 בֶּן־ אֶתְנִי בֶּן־ זֶרַח בֶּן־ עֲדָיָה׃
の-子 エトニ の-子 ゼラフ の-子 アダヤ
H0867 H2226 H5718

マルキヤはエテニの子、エテニはゼラの子、ゼラはアダヤの子、

42 בֶּן־ אֵיתָן בֶּן־ זִמָּה בֶּן־ שִׁמְעִי׃
の-子 エタン の-子 ジマ の-子 シムイ
H0387 H2155 H8096

アダヤはエタンの子、エタンはジンマの子、ジンマはシメイの子、

43 בֶּן־ יַחַת בֶּן־ גֵּרְשֹׁם בֶּן־ לֵוִי׃ ס
の–子 ヤハテ の–子 ゲルショム の–子 レビ ס
H3189 H1647 H3878

シメイはヤハテの子、ヤハテはゲルションの子、ゲルションはレビの子である。

44 וּבְנֵי מְרָרִי אֲחֵיהֶם עַל־ הַשְּׂמְאוֹל אֵיתָן בֶּן־ קִישִׁי בֶּן־
そして–の–子ら メラリ 彼らの–兄弟たちは (の上に) 左に エタン の–子 キシ の–子
H4847 H0251 H8040 H0387 H7029

עַבְדִּי בֶן־ מַלּוּךְ׃
アブディ の–子 マルク
H5660

また彼らの兄弟であるメラリの子らが左に立った。そのうちのエタンはキシの子、キシはアブデの子、アブデはマルクの子、

45 בֶּן־ חִלְקִיָּה בֶּן־ אַמַצְיָה בֶּן־ חֲשַׁבְיָה בֶּן־
の–子 ヒルキヤ の–子 アマツヤ の–子 ハシャビヤ の–子
H2518 H0558 H2811

マルクはハシャビヤの子、ハシャビヤはアマジヤの子、アマジヤはヒルキヤの子、

46 בֶּן־ שָׁמֶר׃ בֶּן־ בָּנִי בֶּן־ אַמְצִי בֶּן־
の–子 シャメル の–子 バニ の–子 アムツィ の–子
H8106 H1137 H0557

ヒルキヤはアムジの子、アムジはバニの子、バニはセメルの子、

47 בֶּן־ מַחְלִי בֶּן־ מוּשִׁי בֶּן־ מְרָרִי בֶּן־ לֵוִי׃ ס
の–子 マヘリ の–子 ムシ の–子 メラリ の–子 レビ ס
H4249 H4187 H4847 H3878

セメルはマヘリの子、マヘリはムシの子、ムシはメラリの子、メラリはレビの子である。

48 וַאֲחֵיהֶם הַלְוִיִּם נְתוּנִים לְכָל־ עֲבוֹדַת מִשְׁכַּן בֵּית הָאֱלֹהִים׃
そして–兄弟たちは レビ人の 任命された すべての 仕事に 幕屋の 家の 神
H0251 H3881 H5414 H3605 H5656 H4908 H0430

彼らの兄弟であるレビびとたちは、神の宮の幕屋のもろもろの務に任じられた。

49 וְאַהֲרֹן וּבָנָיו מַקְטִירִים עַל־ מִזְבַּח הָעוֹלָה וְעַל־ מִזְבַּח
そして–アロンと 彼の–子らは 焼いていた (の上で) 祖壇で 燔祭 そして(の上で) 祖壇で
H0175 H4399 H5927 H3605 H4196 H5930 H4196

הַקֹּדֶשׁ קֹדֶשׁ הַקָּדָשִׁים וּלְכַפֵּר עַל־ יִשְׂרָאֵל
香 すべての の–務めに 聖なる 至聖所の そして–贖うために (の上に) イスラエルを
H7004 H3605 H4399 H6944 H6944 H3722 H5921 H3478

כְּכֹל אֲשֶׁר צִוָּה מֹשֶׁה עֶבֶד הָאֱלֹהִים׃ פ
すべてに–従って それを 命じた モーセが 僕–の 神 פ
H3605 H0834 H6680 H4872 H5650 H0430

アロンとその子らは燔祭の壇と香の祭壇の上にささげることをなし、また至聖所のすべてのわざをなし、かつイスラエルのためにあがないをなした。すべて神のしもべモーセの命じたとおりである。

50 וְאֵלֶּה בְּנֵי אַהֲרֹן אֶלְעָזָר בְּנוֹ פִּינְחָס בְּנוֹ אֲבִישׁוּעַ
そして–これらは の–子ら アロン エルアザル 彼の–子 ピネハス 彼の–子 アビシュア
H0428 H0175 H0499 H6372 H0050

בְּנוֹ׃
彼の–子

アロンの子孫は次のとおりである。アロンの子はエレアザル、その子はピネハス、その子はアビシュア、

51 בְּקִי בְּנוֹ עֻזִּי בְּנוֹ זְרַחְיָה בְּנוֹ׃
ブッキ 彼の–子 ウジ 彼の–子 ゼラヒヤ 彼の–子
H1231 H5813 H2228

その子はブッキ、その子はウジ、その子はゼラヒヤ、

52 מְרָיוֹת בְּנוֹ אֲמַרְיָה בְּנוֹ אֲחִיטוּב בְּנוֹ׃
メラヨテ 彼の–子 アマルヤ 彼の–子 アヒトブ 彼の–子
H4812 H0568 H0285

その子はメラヨテ、その子はアマリヤ、その子はアヒトブ、

53 צָדוֹק בְּנוֹ אֲחִימַעַץ בְּנוֹ׃ ס
ツァドク 彼の–子 アヒマアツ 彼の–子 ס
H6659 H0290

その子はザドク、その子はアヒマアズである。

54 וְאֵלֶּה מוֹשְׁבוֹתָם לְטִירוֹתָם בִּגְבוּלָם לִבְנֵי אַהֲרֹן
そして–これらは 彼らの–住まい 彼らの–陽営による 彼らの–領土の の–子らにとって アロン
H0428 H4186 H2918 H1366 H0175

לְמִשְׁפַּחַת הַקְּהָתִי כִּי לָהֶם הָיָה הַגּוֹרָל׃
の–氏族の ケハテ人 なぜなら 彼らに あった くじが
H4940 H6956 H1992 H1961 H1486

アロンの子孫の住む所はその境のうちにある宿営によっていえば次のとおりである。まずコハテびとの氏族がくじによって得たところ、

55 וַיִּתְּנוּ לָהֶם אֶת־חֶבְרוֹן בְּאֶרֶץ יְהוּדָה וְאֶת־מִגְרְשֶׁיהָ סְבִיבֹתֶיהָ׃
そして–与えた (を) ヘブロンを の–地に ユダ そして(を) その–牧草地を その–周りの
H5414 H0853 H1992 H0776 H3063 H0853 H4054 H5439

すなわち彼らが与えられたところは、ユダの地にあるヘブロンとその周囲の放牧地である。

56 וְאֶת־שְׂדֵה הָעִיר וְאֶת־חֲצֵרֶיהָ נָתְנוּ לְכָלֵב בֶּן־יְפֻנֶּה׃ ס
そして(を) 町の の–畑を そして(を) その–村々を 与えた カレブに の–子 エフネ ס
H0853 H0853 H3312 H5414 H3612 H1121 H3313

ただし、その町の田畑とその村々は、エフンネの子カレブに与えられた。

57 וְלִבְנֵי אַהֲרֹן אֶת־עָרֵי הַמִּקְלָט אֶת־חֶבְרוֹן וְאֶת־לִבְנָה
そして–の–子らに アロン 与えた (を) の–町を 逃れの (を) ヘブロンを そして(を) リブナ
H0853 H5414 H0853 H4733 H0853 H0853 H3841

וְאֶת־יַתִּר וְאֶת־אֶשְׁתְּמֹעַ וְאֶת־מִגְרְשֶׁיהָ׃
そして(を) ヤッティル そして(を) エシュテモア そして(を) その–牧草地
H0853 H3492 H0853 H0851 H0853 H4054

そしてアロンの子孫に与えられたものは、のがれの町であるヘブロンおよびリブナとその放牧地、ヤッテルおよびエシテモアとその放牧地、

58 וְאֶת־חִילֶן וְאֶת־מִגְרְשֶׁיהָ אֶת־דְּבִיר וְאֶת־מִגְרְשֶׁיהָ׃
そして(を) ヒレズ そして(を) その–牧草地 (を) デビル そして(を) その–牧草地
H0853 H2432 H0853 H4054 H0853 H0853 H4054

ヒレンとその放牧地、デビルとその放牧地、

59

וְאֶת־	שֶׁמֶשׁבִּית	וְאֶת־	מִגְרָשֶׁיהָ	וְאֶת־	עָשָׁן	וְאֶת־
そして(を)	ベテ・シェメシュ	そして(を)	その–牧草地	そして(を)	アシャン	そして(を)
H0853	H1053	H0853	H4054	H0853	H6228	H0853

מִגְרָשֶׁיהָ׃	ס
その–牧草地	ס
H4054	

アシャンとその放牧地、ベテシメシとその放牧地である。

60

עָלֶמֶת	וְאֶת־	מִגְרָשֶׁיהָ	וְאֶת־	גֶּבַע	אֶת־	בִּנְיָמִן	וּמִמַּטֵּה	
アレメテ	そして(を)	その–牧草地	そして(を)	ゲバ	(を)	ベニヤミン	そして–の–部族から	
H5964	H0853	H4054	H0853	H1387	H0853	H1144	H4294	

שְׁלֹשׁ־	עָרֵיהֶם	כֹּל־	מִגְרָשֶׁיהָ	וְאֶת־	עֲנָתוֹת	וְאֶת־	מִגְרָשֶׁיהָ	וְאֶת־
十	彼らの–町は	すべての	その–牧草地	そして(を)	アナトテ	そして(を)	その–牧草地	そして(を)
H7969		H3605	H4054	H0853	H6068	H0853	H4054	H0853

עֶשְׂרֵה	עִיר	בְּמִשְׁפְּחוֹתֵיהֶם׃	ס
三	の–町	彼らの–氏族による	ס
H6240		H4940	

またベニヤミンの部族のうちからはゲバとその放牧地、アレメテとその放牧地、アナトテとその放牧地を与えられた。彼らの町は、すべてその氏族のうちに十三あった。

61

חֲצִי	מַטֵּה	מֻמַּחֲצִית	הַמַּטֵּה	מִמִּשְׁפָּחַת	הַנּוֹתָרִים	קְהָת	וְלִבְנֵי
半分–の	の–部族	の–半分から	の–部族の	の–氏族から	残りの	ケハテ	そして–の–子らに
H2677	H4294	H4276	H4294	H4940	H3498	H6955	

מְנַשֶּׁה	בַּגּוֹרָל	עָרֵים	עֶשֶׂר׃	ס
マナセ	くじで	の–町	十	ס
H4519	H1486		H6235	

またコハテの子孫の残りの者は部族の氏族のうちからと、半部族すなわちマナセの半部族のうちからくじによって十の町を与えられた。

62

וּמִמַּטֵּה	יִשָּׂשכָר	מִמַּטֵּה	לְמִשְׁפְּחוֹתָם	גֵּרְשׁוֹם	וְלִבְנֵי
そして–の–部族から	イッサカル	の–部族から	彼らの–氏族による	ゲルショム	そして–の–子らに
H4294	H3485	H4294	H4940	H1647	

שְׁלֹשׁ	עָרִים	בַּבָּשָׁן	מְנַשֶּׁה	וּמִמַּטֵּה	נַפְתָּלִי	וּמִמַּטֵּה		אָשֵׁר
十	の–町	バシャンの	マナセ	そして–の–部族から	ナフタリ	そして–の–部族から		アシェル
H7969		H1316	H4519	H4294	H5321	H4294		H0836

עֶשְׂרֵה׃	ס	
三	ס	
H6240		

またゲルションの子孫はその氏族によってイッサカルの部族、アセルの部族、ナフタリの部族、およびバシャンのマナセの部族のうちから十三の町が与えられた。

63

גָּד	וּמִמַּטֵּה־	רְאוּבֵן	מִמַּטֵּה	לְמִשְׁפְּחוֹתָם	מְרָרִי	לִבְנֵי
ガド	そして–の–部族から	ルベン	の–部族から	彼らの–氏族による	メラリ	の–子らに
H1410	H4294	H7205	H4294	H4940	H4847	

עֶשְׂרֵה׃	שְׁתַּיִם	עָרִים	בַּגּוֹרָל	זְבוּלֻן	וּמִמַּטֵּה		
二	十	の–町	くじで	ゼブルン	そして–の–部族から		
H6240	H8147		H1486	H2074	H4294		

メラリの子孫はその氏族によってルベンの部族、ガドの部族、およびゼブルンの部族のうちからくじによって十二の町が与えられた。

64 וַיִּתְּנוּ בְּנֵי־יִשְׂרָאֵל לַלְוִיִּם אֶת־הֶעָרִים וְאֶת־מִגְרְשֵׁיהֶם׃
そして-与えた の-子らは イスラエル レビ人に (を) の-町を そして(を) その-牧草地を
H5414 H3478 H3881 H0853 H0853 H4054

このようにイスラエルの人々はレビびとに町々とその放牧地とを与えた。

65 וַיִּתְּנוּ בְגוֹרָל מִמַּטֵּה בְנֵי־יְהוּדָה וּמִמַּטֵּה בְנֵי־שִׁמְעוֹן וּמִמַּטֵּה בִנְיָמִן אֵת הֶעָרִים הָאֵלֶּה אֲשֶׁר־יִקְרְאוּ אֶתְהֶם בְּשֵׁמוֹת׃ ס
そして-与えた くじで の-部族から ユダ の-子らの そして-の-部族から シメオン の-子らの
H5414 H1486 H4294 H3063 H0853 H4294 H8095

それらを 呼ばれた それらは これらの の-町を (を) ベニヤミン の-子ら そして-の-部族から
H0853 H7121 H0428 H0853 H1144 H4294

名-で ס
H8034

すなわちユダの子孫の部族とシメオンの部族の子孫と、ベニヤミンの子孫の部族のうちからここに名をあげたこれらの町をくじによって与えた。

66 וּמִמִּשְׁפְּחוֹת בְּנֵי־קְהָת וַיִּהְיוּ עָרֵי גְבוּלָם מִמַּטֵּה אֶפְרָיִם׃
そして-の-氏族から の-子ら ケハテ そして-あった の-町が 彼らの-領土の の-部族から
H4940 H6955 H1961 H0853 H1366 H4294

エフライム
H0669

コハテの子孫の氏族はまたエフライムの部族のうちからも町々を獲てその領地とした。

67 וַיִּתְּנוּ לָהֶם אֶת־עָרֵי הַמִּקְלָט אֶת־שְׁכֶם וְאֶת־מִגְרְשֶׁיהָ וְאֶת־גֶּזֶר וְאֶת־מִגְרְשֶׁיהָ׃
そして-与えた 彼らに (を) の-町を 逃れの (を) シェケムを そして(を) その-牧草地
H5414 H0853 H4733 H0853 H7927 H0853 H4054

そして(を) ゲゼル そして(を) エフライム の-山に
H0853 H1507 H0853 H0669 H2022

その-牧草地
H4054

すなわち彼らが与えられた、のがれの町はエフライムの山地にあるシケムとその放牧地、ゲゼルとその放牧地、

68 וְאֶת־יָקְמְעָם וְאֶת־מִגְרְשֶׁיהָ וְאֶת־חוֹרוֹן בֵּית וְאֶת־מִגְרְשֶׁיהָ׃
そして(を) ヨクメアム そして(を) その-牧草地 そして(を) ベテ・ホロン そして(を) その-牧草地
H0853 H3361 H0853 H4054 H0853 H1032 H0853 H4054

ヨクメアムとその放牧地、ベテホロンとその放牧地、

69 וְאֶת־אַיָּלוֹן וְאֶת־מִגְרְשֶׁיהָ וְאֶת־גַּת־רִמּוֹן וְאֶת־מִגְרְשֶׁיהָ׃ פ
そして(を) アヤロン そして(を) その-牧草地 そして(を) ガテ・リモン そして(を) その-牧草地
H0853 H0357 H0853 H4054 H0853 H1667 H0853 H4054

פ

アヤロンとその放牧地、ガテリンモンとその放牧地である。

בִּלְעָם	וְאֶת־	מִגְרָשֶׁיהָ	וְאֶת־	עָנֵר	אֶת־	מְנַשֶּׁה	מַטֵּה	וּמֵחֲצִית	70
ビルアム	そして(を)	その–牧草地	そして(を)	アネル	(を)	マナセ	の–部族	そして–の–半分から	
	H0853	H4054	H0853	H6063	H0853	H4519	H4294	H4276	

פ	הַנּוֹתָרִים׃	קְהָת	לִבְנֵי־	לְמִשְׁפַּחַת	מִגְרָשֶׁיהָ	וְאֶת־
פ	残りの	ケハテ	の–子らの	の–氏族に	その–牧草地	そして(を)
	H3498	H6955		H4940	H4054	H0853

またマナセの半部族のうちからは、アネルとその放牧地およびビレアムとその放牧地を、コハテの子孫の氏族の残りのものに与えた。

בַּבָּשָׁן	גּוֹלָן	אֶת־	מְנַשֶּׁה	מַטֵּה	חֲצִי	מִמִּשְׁפַּחַת	גֵּרְשׁוֹם	לִבְנֵי	71
バシャンの	ゴランを	(を)	マナセ	の–部族	半分–の	の–氏族から	ゲルショム	の–子らに	
H1316	H1474	H0853	H4519	H4294	H2677	H4940	H1647		

ס	מִגְרָשֶׁיהָ׃	וְאֶת־	עַשְׁתָּרוֹת	וְאֶת־	מִגְרָשֶׁיהָ	וְאֶת־
ס	その–牧草地	そして(を)	アシュタロテ	そして(を)	その–牧草地	そして(を)
	H4054	H0853	H6252	H0853	H4054	H0853

ゲルションの子孫に与えられたものはマナセの半部族のうちからはバシャンのゴランとその放牧地、アシタロテとその放牧地。

דָּבְרַת	אֶת־	מִגְרָשֶׁיהָ	וְאֶת־	קֶדֶשׁ	אֶת־	יִשָּׂשכָר	וּמִמַּטֵּה	72
ダベラテ	(を)	その–牧草地	そして(を)	ケデシュ	(を)	イッサカル	そして–の–部族から	
H1705	H0853	H4054	H0853	H6943	H0853	H3485	H4294	

מִגְרָשֶׁיהָ׃	וְאֶת־	
その–牧草地	そして(を)	
H4054	H0853	

イッサカルの部族のうちからはケデシとその放牧地、ダベラテとその放牧地、

ס	מִגְרָשֶׁיהָ׃	וְאֶת־	עֲנֶם	וְאֶת־	מִגְרָשֶׁיהָ	וְאֶת־	רָאמוֹת	וְאֶת־	73
ס	その–牧草地	そして(を)	アネム	そして(を)	その–牧草地	そして(を)	ラモテ	そして(を)	
	H4054	H0853	H6046	H0853	H4054	H0853	H7216	H0853	

ラモテとその放牧地、アネムとその放牧地。

עַבְדּוֹן	וְאֶת־	מִגְרָשֶׁיהָ	וְאֶת־	מָשָׁל	אֶת־	אָשֵׁר	וּמִמַּטֵּה	74
アブドン	そして(を)	その–牧草地	そして(を)	マシャル	(を)	アシェル	そして–の–部族から	
H5658	H0853	H4054	H0853	H4913	H0853	H0836	H4294	

מִגְרָשֶׁיהָ׃	וְאֶת־	
その–牧草地	そして(を)	
H4054	H0853	

アセルの部族のうちからはマシャルとその放牧地、アブドンとその放牧地、

מִגְרָשֶׁיהָ׃	וְאֶת־	רְחֹב	וְאֶת־	מִגְרָשֶׁיהָ	וְאֶת־	חוּקֹק	וְאֶת־	75
その–牧草地	そして(を)	レホブ	そして(を)	その–牧草地	そして(を)	フコク	そして(を)	
H4054	H0853	H7340	H0853	H4054	H0853		H0853	

ホコクとその放牧地、レホブとその放牧地。

וְאֶת־	מִגְרָשֶׁיהָ	וְאֶת־	בַּגָּלִיל	קֶדֶשׁ	אֶת־	נַפְתָּלִי	וּמִמַּטֵּה	76
そして(を)	その–牧草地	そして(を)	ガリラヤの	ケデシュを	(を)	ナフタリ	そして–の–部族から	
H0853	H4054	H0853	H1551	H6943	H0853	H5321	H4294	

ס	מִגְרָשֶׁיהָ׃	וְאֶת־	קִרְיָתַיִם	וְאֶת־	מִגְרָשֶׁיהָ	וְאֶת־	חַמּוֹן
ס	その–牧草地	そして(を)	キルヤタイム	そして(を)	その–牧草地	そして(を)	ハモン
	H4054	H0853	H7156	H0853	H4054	H0853	H2540

ナフタリの部族のうちからはガリラヤのケデシとその放牧地、ハンモンとその放牧地、キリアタイムとその放牧地である。

מִגְרָשֶׁיהָ	וְאֶת־	רִמּוֹנוֹ	אֶת־	זְבוּלֻן	מִמַּטֵּה	הַנּוֹתָרִים׃	מְרָרִי׃	לִבְנֵי		77
その–牧草地	そして(を)	リモノ	(を)	ゼブルン	の–部族から	残りの	メラリ	の–子らに		
H4054	H0853		H0853	H2074	H4294	H3498	H4847			

מִגְרָשֶׁיהָ׃	וְאֶת־	תָּבוֹר	אֶת־
その–牧草地	そして(を)	タボル	(を)
H4054	H0853	H8396	H0853

このほかのもの、すなわちメラリの子孫に与えられたものはゼブルンの部族のうちからリンモンとその放牧地、タボルとその放牧地、

בָּצֶר	אֶת־	רְאוּבֵן	מִמַּטֵּה	הַיַּרְדֵּן׃	לְמִזְרַח	יְרֵחוֹ	לְיַרְדֵּן	וּמֵעֵבֶר		78
ベツェル	(を)	ルベン	の–部族から	ヨルダン	の–東に	エリコの	ヨルダン	そして–の–向こうに		
H1221	H0853	H7205	H4294	H3383	H4217	H3405	H3383	H5676		

מִגְרָשֶׁיהָ׃	וְאֶת־	יַהְצָה	וְאֶת־	מִגְרָשֶׁיהָ	וְאֶת־	בַּמִּדְבָּר	
その–牧草地	そして(を)	ヤハツァ	そして(を)	その–牧草地	そして(を)	荒野の	
H4054	H0853	H3096	H0853	H4054	H0853		

エリコに近いヨルダンのかなた、すなわちヨルダンの東ではルベンの部族のうちからは荒野のベゼルとその放牧地、ヤザとその放牧地、

מִגְרָשֶׁיהָ׃	וְאֶת־	מֵיפַּעַת	וְאֶת־	מִגְרָשֶׁיהָ	וְאֶת־	קְדֵמוֹת	וְאֶת־	79
その–牧草地	そして(を)	メファアト	そして(を)	その–牧草地	そして(を)	ケデモテ	そして(を)	
H4054	H0853	H4158	H0853	H4054	H0853	H6932	H0853	

ケデモテとその放牧地、メパアテとその放牧地。

וְאֶת־	מִגְרָשֶׁיהָ	וְאֶת־	בַּגִּלְעָד	רָאמוֹת	אֶת־	גָּד	וּמִמַּטֵּה־		80
そして(を)	その–牧草地	そして(を)	ギルアデの	ラモテを	(を)	ガド	そして–の–部族から		
H0853	H4054	H0853	H1568	H7216	H0853	H1410	H4294		

מִגְרָשֶׁיהָ׃	וְאֶת־	מַחֲנַיִם	
その–牧草地	そして(を)	マハナイム	
H4054	H0853	H4266	

ガドの部族のうちからはギレアデのラモテとその放牧地、マハナイムとその放牧地、

ס	מִגְרָשֶׁיהָ׃	וְאֶת־	יַעְזֵיר	וְאֶת־	מִגְרָשֶׁיהָ	וְאֶת־	חֶשְׁבּוֹן	וְאֶת־		81
ס	その–牧草地	そして(を)	ヤゼル	そして(を)	その–牧草地	そして(を)	ヘシュボン	そして(を)		
	H4054	H0853	H3270	H0853	H4054	H0853	H2809	H0853		

ヘシボンとその放牧地、ヤゼルとその放牧地である。

Chapter 7

ס	אַרְבָּעָה׃	וְשִׁמְרוֹן	(יָשׁוּב)	[ישיב]	וּפוּאָה	תּוֹלָע	יִשָּׂשכָר	וּלְבְנֵי	1
ס	四人	シムロン	ヤシュブ	[ヤシブ]	プア	トラ	イッサカル	そして–の–子らに	
	H0702		H3437	H3437	H6312	H8439	H3485		

イッサカルの子らはトラ、プワ、ヤシュブ、シムロムの四人。

2 וּבְנֵי תוֹלָע עֻזִּי וּרְפָיָה יְרִיאֵל וְיַחְמַי וְיִבְשָׁם וְשִׁמוּאֵל
そして-の-子らは トラ ウジ レファヤ エリエル ヤフマイ イブサム サムエル
H8439 H5813 H7509 H3400 H3181 H3005 H8050

רָאשִׁים לְבֵית־ אֲבוֹתָם לְתוֹלָע גִּבּוֹרֵי חַיִל לְתוֹלְדוֹתָם מִסְפָּרָם
かしらたちであった の-家 彼らの-父祖の トラの 勇士-の 力 彼らの-子孫の 彼らの-数は
H0001 H8439 H1368 H2428 H8435 H4557

ס בִּימֵי דָוִיד עֶשְׂרִים־ וּשְׁנַיִם אֶלֶף וְשֵׁשׁ מֵאוֹת׃ ס
の-日々に ダビデ 二十 二 千 そして-六 百人
H3117 H1732 H6242 H8147 H0505 H8337 H3967

トラの子らはウジ、レパヤ、エリエル、ヤマイ、エブサム、サムエル。これは皆トラの子で、その氏族の長である。その子孫の大勇士たる者はダビデの世にはその数二万二千六百人であった。

3 וּבְנֵי עֻזִּי יִזְרַחְיָה וּבְנֵי יִזְרַחְיָה מִיכָאֵל וְעֹבַדְיָה יוֹאֵל
そして-の-子は ウジ イズラヒヤ そして-の-子らは イズラヒヤ ミカエル オバデヤ ヨエル
H5813 H3156 H3156 H4317 H5662 H3100

חֲמִשָּׁה יִשְׁיָה רָאשִׁים כֻּלָּם׃
五人 イシヤ かしらたちであった 皆
H2568 H3449 H3605

ウジの子はイズラヒヤ、イズラヒヤの子らはミカエル、オバデヤ、ヨエル、イシアの五人で、みな長たる者であった。

4 וַעֲלֵיהֶם לְתוֹלְדוֹתָם לְבֵית אֲבוֹתָם גְּדוּדֵי צְבָא מִלְחָמָה שְׁלֹשִׁים
そして-彼らには 子孫-による の-家 彼らの-父祖の の-軍団があった の-軍の 戦い 三十
H8435 H1416 H7970

וְשִׁשָּׁה אֶלֶף כִּי־ הִרְבּוּ נָשִׁים וּבָנִים׃
六 千人 なぜなら 増やした 妻を そして-子を
H8337 H0505 H0802

その子孫のうちに、その氏族に従えば軍勢の士卒三万六千人あった。これは彼らが妻子を多くもっていたからである。

5 וַאֲחֵיהֶם לְכֹל מִשְׁפְּחוֹת יִשָּׂשכָר גִּבּוֹרֵי חַיִל שְׁמוֹנִים וְשִׁבְעָה אֶלֶף
そして-兄弟たちは すべての の-氏族の イッサカル 勇士-の 力 八十 七 千人が
H0251 H3605 H4940 H3485 H1368 H2428 H8084 H7651 H0505

פ הִתְיַחְשָׁם לַכֹּל׃ פ
登録された すべて
H3187 H3605

イッサカルのすべての氏族のうちの兄弟たちで系図によって数えられた大勇士は合わせて八万七千人あった。

6 בִּנְיָמִן בָּלַע וָבֶכֶר יְדִיעֵאֵל שְׁלֹשָׁה׃
ベニヤミン ベラ ベケル エディアエル 三人
H1144 H1071 H3043 H7969

ベニヤミンの子らはベラ、ベケル、エデアエルの三人。

7 וּבְנֵי בָלַע אֶצְבֹּון וָעֻזִּי וְעִזִּיאֵל וִירִימֹות וְעִירִי חֲמִשָּׁה רָאשֵׁי
そして-の-子らは ベラ エツボン ウジ ウジエル エリモテ イリ 五人で の-かしらたち
H1071 H0675 H5813 H5816 H3406 H5901 H2568 H7218

לְבֵית אָבֹות גִּבֹּורֵי חַיִל וְהִתְיַחְשָׁם עֶשְׂרִים וּשְׁנַיִם אֶלֶף וּשְׁלֹשִׁים וְאַרְבָּעָה׃
の-家 父祖の 勇士-の 力 そして-登録は 二十 二 千 そして-三十 四人
H1004 H1368 H2428 H3187 H6242 H8147 H0505 H7970 H0702

ס
ס

ベラの子らはエツボン、ウジ、ウジエル、エレモテ、イリの五人で、皆その氏族の長である。その系図によって数えられた大勇士は二万二千三十四人あった。

8 וּבְנֵי בֶכֶר זְמִירָה וְיֹועָשׁ וֶאֱלִיעֶזֶר וְאֶלְיוֹעֵינַי וְעָמְרִי וְיֵרֵמוֹת וַאֲבִיָּה
そして-の-子らは ベケル ゼミラ ヨアシュ エリエゼル エルヨエナイ オムリ エレモテ アビヤ
H1071 H2160 H3135 H0461 H0410 H6018 H3406 H0029

בְּנֵי־בֶכֶר׃ אֵלֶּה כָּל־ וְעָלֶמֶת וַעֲנָתוֹת
の-子らであった ベケル これらは すべて アレメテ アナトテ
H1121 H1071 H0428 H3605 H5964 H6068

ベケルの子らはゼミラ、ヨアシ、エリエゼル、エリオエナイ、オムリ、エレモテ、アビヤ、アナトテ、アラメテで皆ベケルの子らである。

9 וְהִתְיַחְשָׁם לְתֹולְדוֹתָם רָאשֵׁי בֵּית אֲבוֹתָם גִּבֹּורֵי חַיִל עֶשְׂרִים אֶלֶף
そして-登録は 子孫-による の-かしらたち の-家 彼らの-父祖の 勇士-の 力 二十 千
H3187 H8435 H7218 H1004 H1 H1368 H2428 H6242 H0505

וּמָאתָיִם׃ ס
二百人
H3967
ס

その子孫のうち、その氏族の長として系図によって数えられた大勇士は二万二百人あった。

10 וּבְנֵי יְדִיעֵאל בִּלְהָן וּבְנֵי בִלְהָן יְעוּשׁ(|יעיש| וּבְנֵי בִלְהָן
そして-の-子は エディアエル ビルハン そして-の-子らは ビルハン [エウシュ] エウシュ
H3043 H1092 H1092 H3266 H3266

וְאַחִישָׁחַר׃ וְתַרְשִׁישׁ וְזֵיתָן וְכֵנַעֲנָה וְאֵהוּד וּבִנְיָמִן
アヒシャハル タルシシュ ゼタン ケナアナ エフド ベニヤミン
H0300 H8659 H2133 H3668 H0164 H1144

エデアエルの子はビルハン。ビルハンの子らはエウシ、ベニヤミン、エホデ、ケナアナ、ゼタン、タルシシ、アヒシャハル。

11 כָּל־ אֵלֶּה בְּנֵי יְדִיעֵאל לְרָאשֵׁי הָאָבוֹת גִּבֹּורֵי חָיִל
すべて これらは の-子らで エディアエル の-かしらたちであった 父祖の 勇士-の 力
H3605 H0428 H1121 H3043 H7218 H1004 H1368 H2428

שִׁבְעָה־ עָשָׂר אֶלֶף וּמָאתַיִם יֹצְאֵי צָבָא לַמִּלְחָמָה׃
十 七 千 二百人が 出る-者 軍に 戦いに
H7651 H6240 H0505 H3967 H3318 H6635 H4421

皆エデアエルの子らで氏族の長であった。その子孫のうちには、いくさに出てよく戦う大勇士が一万七千二百人あった。

12 וְשֻׁפָּם וְחֻפִּם בְּנֵי עִיר חֻשִׁם בְּנֵי אַחֵר׃
シュッピム フッピム の-子らであった イル フシムは の-子らであった アヘル
H8206 H2650 H1121 H5893 H2367 H1121 H0313

またイルの子らはシュパムとホパム。アヘルの子はホシムである。

פ פ	בִּלְהָה׃	בְּנֵי	וְשַׁלֻּם	וְיֵצֶר	וְגוּנִּי	יַחְצִיאֵל	נַפְתָּלִי	בְּנֵי		13
	ビルハ	の-子らであった	シャルム	エツェル	グニ	ヤフツィエル	ナフタリ	の-子らは		
			H7967	H3337	H1476	H3185	H5321			

ナフタリの子らはヤハジエル、グニ、エゼル、シャルムで皆ビルハの産んだ子である。

מָכִיר	אֶת־	יָלְדָה	הָאֲרַמִּיָּה	פִּילַגְשׁוֹ	יָלְדָה	אֲשֶׁר	אַשְׂרִיאֵל	מְנַשֶּׁה	בְּנֵי	14
マキル	(を)	生んだ	アラム人の	彼の-そばめは	生んだ	それを	アスリエル	マナセ	の-子らは	
H4353	H0853	H3205	H0761	H6370	H3205		H0844	H4519		

גִּלְעָד׃	אֲבִי
ギルアデ	の-父
H1568	H0001

マナセの子らはそのそばめであるスリヤの女の産んだアスリエル。彼女はまたギレアデの父マキルを産んだ。

אֲחֹתוֹ	וְשֵׁם	וּלְשֻׁפִּים	לְחֻפִּים	אִשָּׁה	לָקַח	וּמָכִיר		15
姉妹の	そして-名は	シュッピムのために	フッピムのために	妻を	めとった	そして-マキルは		
H0269	H8034	H8206	H2650	H0802	H3947	H4353		

בָּנוֹת׃	לִצְלָפְחָד	וַתְּהִי־נָה	צְלָפְחָד	הַשֵּׁנִי	וְשֵׁם	מַעֲכָה
娘たち	ツェロフハドには	そして-いた	ツェロフハド	第二の	そして-名は	マアカ
H1323	H6765	H1961	H6765	H8145	H8034	H4601

マキルはホパムとシュパムの妹マアカという者を妻にめとった。二番目の子はゼロペハデという。ゼロペハデには女の子だけがあった。

פֶּרֶשׁ	שְׁמוֹ	וַתִּקְרָא	בֵּן	מָכִיר	אֵשֶׁת־	מַעֲכָה	וַתֵּלֶד		16
ペレシュ	彼の-名を	そして-名付けた	息子を	マキル	の-妻	マアカは	そして-生んだ		
H6570	H8034	H7121		H4353	H0802	H4601	H3205		

וְרֶקֶם׃	אוּלָם	וּבְנָיו	שֶׁרֶשׁ	אָחִיו	וְשֵׁם	
ラケム	ウラム	そして-彼の-子らは	シェレシュ	彼の-兄弟の	そして-名は	
H7552	H0198		H8329	H0251	H8034	

マキルの妻マアカは男の子を産んで名をペレシと名づけた。その弟の名はシャレシ。シャレシの子らはウラムとラケムである。

מְנַשֶּׁה׃	בֶּן־	מָכִיר	בֶּן־	גִּלְעָד	בְּנֵי	אֵלֶּה	בְּדָן	אוּלָם	וּבְנֵי	17
マナセ	の-子	マキル	の-子	ギルアデ	の-子ら	これらは	ベダン	ウラム	そして-の-子は	
H4519		H4353		H1568		H0428	H0917	H0198		

ウラムの子はベダン。これらはマナセの子マキルの子であるギレアデの子らである。

מַחְלָה׃	וְאֶת־	אֲבִיעֶזֶר	וְאֶת־	אִישְׁהוֹד	אֶת־	יָלְדָה	הַמֹּלֶכֶת	וַאֲחֹתוֹ		18
マヘラ	そして(を)	アビエゼル	そして(を)	イシュホド	(を)	生んだ	ハモレケテ	そして-姉妹は		
H4244	H0853	H0044	H0853	H0379	H0853	H3205	H4447	H0269		

その妹ハンモレケテはイシホデ、アビエゼル、マヘラを産んだ。

פ פ	וַאֲנִיעָם׃	וְלֶקֶחִי	וְשֶׁכֶם	אַחְיָן	שְׁמִידָע	בְּנֵי	וַיִּהְיוּ		19
	アニアム	リクヒ	シェケム	アヒヤン	シェミダ	の-子ら	そして-であった		
	H0593	H3949	H7928	H0291	H8061		H1961		

セミダの子らはアヒアン、シケム、リキ、アニアムである。

20 וּבְנֵי שׁוּתָלַח אֶפְרַיִם בְּנוֹ בֶּרֶד וּבְנוֹ תַּחַת וּבְנוֹ אֶלְעָדָה וּבְנוֹ
そして-の-子らは エフライム シュテラ ベレド 彼の-子 タハテ 彼の-子 エルアダ 彼の-子
H1121 H0669 H7803 H1260 H8480 H0497 H1121

תַּחַת׃ בְּנוֹ
タハテ 彼の-子
H8480

エフライムの子はシュテラ、その子はベレデ、その子はタハテ、その子はエラダ、その子はタハテ、

21 וְזָבָד בְּנוֹ וְשׁוּתֶלַח בְּנוֹ וְעֶזֶר וְאֶלְעָד וְהָרָגוּם אַנְשֵׁי הַנּוֹלָדִים גַּת
ザバド 彼の-子 シュテラ 彼の-子 エゼル エルアド そして-殺した の-人々が ガテ 生まれた
H2066 H1121 H7803 H1121 H5827 H0496 H2026 H0376 H1661 H3205

מִקְנֵיהֶם׃ אֶת־ לָקַחַת יָרְדוּ כִּי בָּאָרֶץ
彼らの-家畜を (を) 奪うために 下った なぜなら 地に
H4735 H0853 H3947 H3381 H0776

その子はザバデ、その子はシュテラである。エゼルとエレアデはガテの土人らに殺された。これは彼らが下って行ってその家畜を奪おうとしたからである。

22 לְנַחֲמוֹ׃ אֶחָיו וַיָּבֹאוּ רַבִּים יָמִים אֲבִיהֶם אֶפְרַיִם וַיִּתְאַבֵּל
慰めるために 兄弟たちが そして-来た 多く 日々を 彼らの-父 エフライムは そして-嘆いた
H5162 H0251 H0935 H7227 H3117 H0001 H0669 H0056

父エフライムが日久しくこのために悲しんだので、その兄弟たちが来て彼を慰めた。

23 וַיָּבֹא אֶל־ אִשְׁתּוֹ וַתַּהַר וַתֵּלֶד בֵּן אֶת־ וַיִּקְרָא
そして-入った (の-もとに) 妻の そして-孕んだ そして-生んだ 息子を (を) そして-名付けた
H0935 H0413 H0802 H2029 H3205 H1121 H0853 H7121

בְּבֵיתוֹ׃ הָיְתָה בְרָעָה כִּי בְּרִיעָה שְׁמוֹ
彼の-家に あった わざわいの-中に なぜなら ベリア 彼の-名を
H1961 H7451 H1274 H1283 H8034

そののち、エフライムは妻のところにはいった。妻ははらんで男の子を産み、その名をベリアと名づけた。その家に災があったからである。

24 וְאֶת הָעֶלְיוֹן וְאֶת־ הַתַּחְתּוֹן בֵּית־חוֹרוֹן אֶת־ וַיִּבֶן שֵׁאֵרָה וּבִתּוֹ
そして 上の そして(を) 下の ベテ・ホロンを (を) そして-建てた シェエラ そして-娘は
H0853 H5945 H0853 H8481 H1032 H0853 H1129 H7609 H1323

אֶזֶן׃ שֵׁאֵרָה
ウズエン シェエラ
H0242 H0242

エフライムの娘セラは上と下のベテホロンおよびウゼン・セラを建てた。

25 בְּנוֹ׃ תַּחַן וּבְנוֹ תֶּלַח וּבְנוֹ רֶשֶׁף וּבְנוֹ רָפַח
彼の-子 タハン 彼の-子 テラ レシェフ 彼の-子 レファ
H8465 H1121 H8520 H1121 H7566 H1121 H7506

ベリアの子はレパ、その子はレセフ、その子はテラ、その子はタハン、

26 בְּנוֹ׃ אֱלִישָׁמָע בְּנוֹ עַמִּיהוּד בְּנוֹ לַעְדָן
彼の-子 エリシャマ 彼の-子 アミフド 彼の-子 ラアダン
H1121 H0476 H1121 H5989 H1121 H3936

その子はラダン、その子はアミホデ、その子はエリシャマ、

27	נֽוּן	בְּנֽוֹ	יְהוֹשֻׁעַ	בְּנֽוֹ׃
	ヌン	彼の–子	ヨシュア	彼の–子
	H5126		H3091	

その子はヌン、その子はヨシュア。

28	וַאֲחֻזָּתָם֙	וּמוֹשְׁבוֹתָ֔ם	בֵּית־אֵ֖ל	וּבְנֹתֶ֑יהָ	וְלַמִּזְרָ֗ח	וְלַמַּעֲרָב֙	נַעֲרָ֔ן	גָּזֶ֖ר
	そして–所有地と	住まいは	ベテル	その–村々	そして–東には	そして–西には	ナアラン	ゲゼル
	H0272	H4186	H1008	H1323	H4217	H4628	H5295	H1507

וּבְנֹתֶ֥יהָ׃	עַיָּ֖ה	עַד־	וּבְנֹתֶ֑יהָ	שְׁכֶ֣ם	וּבְנֹתֶ֔יהָ
その–村々	アヤ	(まで)	その–村々	シェケム	その–村々
H1323	H5804	H5704	H1323	H7927	H1323

エフライムの子孫の領地と住所はベテルとその村々、また東の方ではナアラン、西の方ではゲゼルとその村々、またシケムとその村々、アワとその村々。

29	וּבְנֹתֶ֥יהָ	תַּעְנַ֖ךְ	וּבְנֹתֶ֑יהָ	בֵּית־שְׁאָ֣ן	מְנַשֶּׁ֔ה	בְּנֵי־	יְדֵ֖י	וְעַל־
	その–村々	タアナク	その–村々	ベテ・シェアン	マナセ	の–子らの	の–手に	そして(の上に)
	H1323	H8590	H1323	H1052	H4519		H3027	

פ	יִשְׂרָאֵ֖ל׃	בֶּן־	יוֹסֵ֣ף	בְּנֵ֥י	יָשְׁב֛וּ	בְּאֵ֥לֶּה	וּבְנוֹתֶ֑יהָ	דּ֣וֹר	וּבְנוֹתֶ֔יהָ	מְגִדּ֥וֹ
פ	イスラエル	の–子	ヨセフ	の–子ら	住んだ	これらに	その–村々	ドル	その–村々	メギド
	H3478		H3130		H3427	H0428	H1323	H1756	H1323	H4023

またマナセの子孫の国境に沿って、ベテシャンとその村々、タアナクとその村々、メギドンとその村々、ドルとその村々で、イスラエルの子ヨセフの子孫はこれらの所に住んだ。

30	בְּנֵ֥י	אָשֵׁ֖ר	יִמְנָ֣ה	וְיִשְׁוָ֣ה	וְיִשְׁוִ֑י	וּבְרִיעָ֔ה	וְשֶׂ֥רַח	אֲחוֹתָֽם׃
	の–子らは	アシェル	イムナ	イシュワ	イシュィ	ベリア	そして–セラは	彼らの–姉妹であった
	H0836	H0836	H3232	H3438	H3440	H1283	H8294	H0269

アセルの子らはイムナ、イシワ、エスイ、ベリアおよびその姉妹セラ。

31	וּבְנֵי֙	בְּרִיעָ֔ה	חֶ֖בֶר	מַלְכִּיאֵ֑ל	ה֥וּא	אֲבִי֙	]ברזות[	(בְּרְזָ֖יִת׃)
	そして–の–子らは	ベリア	ヘベル	マルキエル	彼は	の–父であった	[ビルザウテ]	ビルザイト
	H1283	H1283	H2268	H4439	H1931	H0001	H1269	H1269

ベリアの子らはヘベルとマルキエル。マルキエルはビルザヒテの父である。

32	וְחֶ֖בֶר	הוֹלִ֣יד	אֶת־	יַפְלֵ֑ט	וְאֶת־	שׁוֹמֵ֔ר	וְאֶת־	חוֹתָ֖ם	וְאֶת
	そして–ヘベルは	生んだ	(を)	ヤフレト	そして(を)	ショメル	そして(を)	ホタム	そして
	H2268	H3205	H0853	H3310	H0853	H7763	H0853	H2369	H0853

אֲחוֹתָֽם׃	שׁוּעָ֥א
彼らの–姉妹であった	シュア
H0269	H7774

ヘベルはヤフレテ、ショメル、ホタムおよびその姉妹シュアを生んだ。

33	וּבְנֵי֙	יַפְלֵ֔ט	בְּנֵ֥י	אֵ֖לֶּה	וְעַשְׁוָ֣ת	וּבִמְהָ֑ל	פָּסָ֣ךְ	יַפְלֵֽט׃
	そして–の–子らは	ヤフレト	の–子らであった	これらは	アシュワテ	ビムハル	パサク	ヤフレト
	H1121	H3310		H0428	H6220	H1118	H6457	H3310

ヤフレテの子らはパサク、ビムハル、アシワテ。これらはヤレフテの子らである。

34	וּבְנֵי֙	שֶׁמֶ֔ר	אֲחִ֖י	]רוהגה[	(וְרָהֻגָּ֑ה)	]יחבה[	(וְחֻבָּ֖ה)	וַאֲרָֽם׃
	そして–の–子らは	シャメル	アヒ	[ロフガ]	ロフガ	[ヤフバ]	フッバ	アラム
	H1121	H8106	H0277	H7303	H7303	H3160	H3160	H0758

彼の兄弟ショメルの子らはロガ、ホバおよびアラム。

35 וּבֶן־ הֵלֶם אֲחָיו צוֹפַח וְיִמְנָע וְשֶׁלֶשׁ וְעָמָל׃
そして–子は ヘレム 彼の–兄弟の ツォファ イムナ シェレシュ アマル
H1987 H0251 H6690 H3234 H8028 H6000

ショメルの兄弟ヘレムの子らはゾパ、イムナ、シレシ、アマル。

36 בְּנֵי צוֹפָח וְחַרְנֶפֶר וְשׁוּעָל וּבֵרִי וְיִמְרָה׃
の–子らは ツォファ スア ハルネフェル シュアル ベリ イムラ
H6690 H5477 H2774 H7525 H1275 H3236

ゾパの子らはスア、ハルネペル、シュアル、ベリ、イムラ、

37 בָּצֵר הוֹד וְשַׁמָּא וְשִׁלְשָׁה וְיִתְרָן וּבְאֵרָא׃
ベツェル ホド シャマ シルシャ イトラン ベエラ
H1221 H1936 H8037 H8030 H3506 H0878

ベゼル、ホド、シャンマ、シルシャ、イテラン、ベエラ。

38 וּבְנֵי יֶתֶר יְפֻנֶּה וּפִסְפָּה וְאָרָא׃
そして–の–子らは エテル エフネ ピスパ アラ
H3500 H3312 H6462 H0690

エテルの子らはエフンネ、ピスパおよびアラ。

39 וּבְנֵי עֵלָא אֶרַח וְחַנִיאֵל וְרִצְיָא׃
そして–の–子らは ウラ アラ ハニエル リツヤ
H5925 H0733 H2592 H7525

ウラの子らはアラ、ハニエル、およびリヂア。

40 כָּל־ אֵלֶּה בְּנֵי־ אָשֶׁר לְאֹשֵׁי בֵית־ הָאָבוֹת בְּרוּרֵי גִבּוֹרֵי חָיִל׃
すべて これらは アシェル の–子らであった の–かしらたち の–家 父祖の 選ばれた 勇士–の
H3605 H0428 H0836 H0001 H1305 H1368

וְהִתְיַחְשָׁם לְמִלְחָמָה בַּצָּבָא מִסְפָּרָם אֲנָשִׁים׃
そして–登録は 戦いの 軍に–の 彼らの–数は 人々–で
H3187 H4421 H4557 H0376

וְשִׁשָּׁה וְשִׁבְעִים אֶלֶף׃ ס
六 二十 千人
H8337 H6242 H0505 ס

これらは皆アセルの子孫であって、その氏族の長、えりぬきの大勇士、つかさたちのかしらであった。その系図によって数えられた者で、いくさに出てよく戦う者の数は二万六千人であった。

Chapter 8

1 וּבִנְיָמִן הוֹלִיד אֶת־ בֶּלַע בְּכֹרוֹ אַשְׁבֵּל הַשֵּׁנִי
そして–ビニヤミンは 生んだ (address) ベラを その–長子 アシュベルは 第二の–子
H1144 H3205 H0853 H1060 H0788 H8145

וְאַחְרַח הַשְּׁלִישִׁי׃
そして–アフラフは 第三の–子
H0315 H7992

ベニヤミンの生んだ者は長子はベラ、その次はアシベル、第三はアハラ、

	ס ס	הַחֲמִישִׁי׃	וְרָפָא	הָרְבִיעִי	נוֹחָה׀	2
		第五の-子	そして-ラファは	第四の-子	ノハは	
		H2549	H7498	H7243	H5119	

第四はノハ、第五はラパ。

וַאֲבִיהוּד׃	וְגֵרָא	אַדָּר	לְבָלַע	בָּנִים	וַיִּהְיוּ	3
そして-アビフド	そして-ゲラ	アダル	ベラに	子らが	そして-いた	
H0031	H1617	H0146			H1961	

ベラの子らはアダル、ゲラ、アビウデ、

וַאֲחוֹחַ׃	וְנַעֲמָן	וַאֲבִישׁוּעַ	4
そして-アホアフ	そして-ナアマン	そして-アビシュア	
H0265	H5283	H0050	

アビシュア、ナアマン、アホア、

וְחוּרָם׃	וּשְׁפוּפָן	וְגֵרָא	5
そして-フラム	そして-シェフファン	そして-ゲラ	
H2361		H1617	

ゲラ、シフパム、ヒラム。

גֶּבַע	לְיוֹשְׁבֵי	אָבוֹת֙	רָאשֵׁי	הֵ֔ם	אֵ֖לֶּה	אֶחָ֑וד	בְּנֵי	וְאֵ֖לֶּה	6
ゲバ	の-住民の	先祖の	族長たちで	彼らで	これらは	エフドの	の-子ら	そして-これらは	
H1387	H3427	H0001		H1992	H0428	H0261		H0428	

מָנָחַת׃	אֶל־	וַיַּגְלֻ֖ום
マナハテ	へ	そして-追放された
	H0413	H1540

エホデの子らは次のとおりである。（これらはゲバの住民の氏族の長であって、マナハテに捕え移されたものである。）

עֻזָּא	אֶת־	וְהוֹלִיד	הַגְלָם	הוּא	וְגֵרָא	וַאֲחִיָּה	וְנַעֲמָן	7
ウザを	(address)	そして-生んだ	追放した	彼が	そして-ゲラ	そして-アヒヤ	そして-ナアマン	
	H0853	H3205	H1540	H1931	H1617	H0281	H5283	

וְאֶחִיהֻד׃	וְאֶת־	
アヒフド	そして	
H0284	H0853	

すなわちナアマン、アヒヤ、ゲラすなわちヘグラム。ゲラはウザとアヒフデの父であった。

וְאֶת־	חוּשִׁים	אֹתָם	שִׁלְחָ֖ו	מִן־	מוֹאָ֑ב	בִּשְׂדֵ֣ה	הוֹלִיד֙	וְשַׁחֲרַ֔יִם	8
そして	フシム	彼らを	去らせた-後	から	モアブ	の-野で	生んだ	そして-シャハライムは	
H0853		H0853	H7971		H4124		H3205	H7842	

נָשָׁיו׃	בַּעֲרָא
その-妻たち	バアラを
H0802	H1199

シャハライムは妻ホシムとバアラを離別してのち、モアブの国で子らをもうけた。

9 וַיּוֹלֶד מִן־ חֹדֶשׁ אִשְׁתּוֹ אֶת־ יוֹבָב וְאֶת־ צִבְיָא וְאֶת־ מֵישָׁא
そして-生んだ から ホデシュ その-妻 (address) ヨバブ そして ツィブヤ そして メシャ
H3205 H0853 H2321 H0802 H0853 H3103 H0853 H6644 H0853 H4331

וְאֶת־ מַלְכָּם׃
そして マルカム
H0853

彼が妻ホデシによってもうけた子らはヨバブ、ゼビア、メシャ、マルカム、

10 וְאֶת־ יְעוּץ וְאֶת־ שָׁכְיָה וְאֶת־ מִרְמָה אֵלֶּה בָּנָיו רָאשֵׁי אָבוֹת׃
そして エウツ そして サクヤ そして ミルマ これらは その-子らで 族長たちで 先祖の
H0853 H3263 H0853 H7634 H0853 H4821 H0428 H1121 H7218 H1

エウヅ、シャキヤ、ミルマ。これらはその子らであって氏族の長である。

11 וּמַחְשִׁים הוֹלִיד אֶת־ (address) אֲבִיטוּב וְאֶת־ אֶלְפָּעַל׃
そして-フシムからは 生んだ (address) アビトブ そして エルパアル
H3205 H0853 H0036 H0853 H0508

彼はまたホシムによってアビトブとエルパアルをもうけた。

12 וּבְנֵי אֶלְפַּעַל עֵבֶר וּמִשְׁעָם וְשָׁמֶד הוּא בָּנָה
そして-の-子らは エルパアル エベル そして-ミシュアム そして-シャメド 彼が 建てた
H1121 H0505 H0508 H5677 H4936 H8106 H1931 H1129

אוֹנוֹ וְאֶת־ לֹד וּבְנֹתֶיהָ׃
オノを そして ロドと その-周辺の-村々を
H0207 H0853 H3850 H1323

エルパアルの子らはエベル、ミシャムおよびセメド。彼はオノとロドとその村々を建てた者である。

13 וּבְרִעָה וְשֶׁמַע הֵמָּה רָאשֵׁי אָבוֹת לְיוֹשְׁבֵי אַיָּלוֹן הֵמָּה
そして-ベリア そして-シェマ 彼らは 族長たちで 先祖の の-住民の アヤロン 彼らが
H1283 H8087 H1992 H7218 H1 H3427 H0357 H1992

גַּת׃ יוֹשְׁבֵי אֶת־ (address) הִבְרִיחוּ
ガテ の-住民を (address) 追い払った
H1661 H3427 H0853 H1272

またベリアとシマがあった。（これはアヤロンの住民の氏族の長であって、ガテの住民を追い払ったものである。）

14 וְאַחְיוֹ שָׁשָׁק וְיִרְמוֹת׃
そして-アフヨ シャシャク そして-エレモテ
H0283 H8349 H3406

またアヒオ、シャシャク、エレモテ。

15 וּזְבַדְיָה וַעֲרָד וְעֶדֶר׃
そして-ゼバデヤ そして-アラド そして-エデル
H2069 H5738

ゼバデヤ、アラデ、アデル、

16 וּמִיכָאֵל וְיִשְׁפָּה וְיוֹחָא בְּנֵי בְרִיעָה׃
そして-ミカエル そして-イシュパ そして-ヨハは の-子ら ベリアの
H4317 H3472 H3109 H1121 H1283

ミカエル、イシパおよびヨハはベリアの子らであった。

17 וּזְבַדְיָה וּמְשֻׁלָּם וְחִזְקִי וְחֶבֶר׃
そして-ゼバデヤ そして-メシュラム そして-ヒズキ そして-ヘベル
H2069 H4918 H2395 H2268

ゼバデヤ、メシュラム、ヘゼキ、ヘベル、

18 וְיִשְׁמְרַי וְיִזְלִיאָה וְיוֹבָב בְּנֵי אֶלְפָּעַל׃
そして-イシュメライ そして-イズリア そして-ヨバブは の-子ら エルパアルの
H3461 H3152 H3103 H0508

イシメライ、エズリアおよびヨバブはエルパアルの子らであった。

19 וְיָקִים וְזִכְרִי וְזַבְדִי׃
そして-ヤキム そして-ジクリ そして-ザブディ
H3356 H2147 H2067

ヤキン、ジクリ、ザベデ、

20 וֶאֱלִיעֵנַי וְצִלְתַּי וֶאֱלִיאֵל׃
そして-エリエナイ そして-ツィレタイ そして-エリエル
H0462 H6769 H0447

エリエナイ、チルタイ、エリエル、

21 וַעֲדָיָה וּבְרָאָיָה וְשִׁמְרָת בְּנֵי שִׁמְעִי׃
そして-アダヤ そして-ベラヤ そして-シムラテは の-子ら シムイの
H5718 H1256 H8119 H8096

アダヤ、ベラヤおよびシムラテはシマの子らであった。

22 וְיִשְׁפָּן וְעֵבֶר וֶאֱלִיאֵל׃
そして-イシュパン そして-エベル そして-エリエル
H3473 H5677 H0447

イシパン、ヘベル、エリエル、

23 וְעַבְדּוֹן וְזִכְרִי וְחָנָן׃
そして-アブドン そして-ジクリ そして-ハナン
H5658 H2147 H2605

アブドン、ジクリ、ハナン、

24 וַחֲנַנְיָה וְעֵילָם וְעַנְתֹתְיָה׃
そして-ハナヌヤ そして-エラム そして-アントティヤ
H6070

ハナニヤ、エラム、アントテヤ、

25 וְיִפְדְּיָה וּפְנוּאֵל) [וּפְנִיאֵל] בְּנֵי שָׁשָׁק׃
そして-イフデヤ [そして-ペニエル] (そして-ペヌエルは) の-子ら シャシャクの
H3301 H6439 H6439 H8349

イペデヤおよびペヌエルはシャシャクの子らであった。

26 וְשַׁמְשְׁרַי וּשְׁחַרְיָה וַעֲתַלְיָה׃
そして-シャムシェライ そして-シェハルヤ そして-アタルヤ
H8125 H7841 H6271

シャムセライ、シハリア、アタリヤ、

27 וַיַּעֲרֶשְׁיָה וְאֵלִיָּה וְזִכְרִי בְּנֵי יְרֹחָם׃
そして-ヤアレシュヤ そして-エリヤ そして-ジクリは の-子ら エロハムの
H3298 H0452 H2147 H3395

ヤレシャ、エリヤおよびジクリはエロハムの子らであった。

28 אֵ֚לֶּה רָאשֵׁ֣י הָאָב֔וֹת לְתֹֽלְדוֹתָ֖ם רָאשִׁ֑ים אֵ֚לֶּה יָשְׁב֣וּ
これらは 族長たちで 先祖の その-系図に-よると かしらたちで これらは 住んでいた
H0428 H7218 H0001 H8435 H7218 H0428 H3427

בִּירוּשָׁלִָֽם׃ ס ס
エルサレムに
H3389

これらは歴代の氏族の長であり、またかしらであって、エルサレムに住んだ。

29 וּבְגִבְעוֹן֙ יָשְׁב֣וּ אֲבִ֣י גִבְעוֹן֔ וְשֵׁ֥ם אִשְׁתּ֖וֹ מַעֲכָֽה׃
そして-ギブオンに 住んでいた の-父 ギブオンの そして-名は その-妻の マアカ
H1391 H3427 H0001 H1391 H8034 H0802 H4601

ギベオンの父エイエルはギベオンに住み、その妻の名はマアカといった。

30 וּבְנ֣וֹ בְכֹר֔וֹ עַבְדּ֖וֹן וְצ֣וּר וְקִ֑ישׁ וּבַ֖עַל וְנָֽדָב׃
そして-その-子 長子は アブドン そして-ツル そして-キシュ そして-バアル そして-ナダブ
H1060 H5658 H6698 H7027 H1167 H5070

その長子はアブドンで、次はツル、キシ、バアル、ナダブ、

31 וְגְדֹ֖ר וְאַחְיֹ֣ו וְזָכֶֽר׃
そして-ゲドル そして-アフヨ そして-ゼケル
H1446 H0283 H2144

ゲドル、アヒオ、ザケル、

32 וּמִקְלֹ֖ות הֹולִ֣יד אֶת־שִׁמְאָ֑ה גַּ֚ם הֵ֣מָּה לִפְנֵ֣י אֲחֵיהֶ֔ם
そして-ミクロテは 生んだ (address) シムアを 彼らも 向かい側に その-兄弟たちの
H4732 H3205 H0853 H8039 H1992 H5048 H0251

יָשְׁב֖וּ עִם־אֲחֵיהֶ֥ם בִּירוּשָׁלִַ֛ם עִם־ס ס׃
住んでいた と-共に エルサレムに と-その-兄弟たち
H3427 H0251 H3389 H0251

およびミクロテ。ミクロテはシメアを生んだ。これらもまた兄弟たちと向かいあってエルサレムに住んだ。

33 וְנֵ֣ר הֹולִ֣יד אֶת־קִ֔ישׁ וְקִ֣ישׁ הֹולִ֔יד אֶת־שָׁא֖וּל וְשָׁא֣וּל הֹולִ֔יד אֶת־יְהֹונָתָ֥ן וְאֶת־מַלְכִּי־שׁ֖וּעַ וְאֶת־אֲבִינָדָ֣ב וְאֶת־אֶשְׁבָּֽעַל׃
そして-ネルは 生んだ (address) キシュを そして-キシュは 生んだ (address) サウルを そして 生んだ (address) ヨナタン そして マルキ・シュア そして アビナダブ そして エシュバアルを
H5369 H3205 H0853 H7027 H7027 H3205 H0853 H7586 H3083 H0853 H4444 H0853 H0041 H0853 H0792

ネルはキシを生み、キシはサウルを生み、サウルはヨナタン、マルキシュア、アビナダブ、エシバアルを生んだ。

34 וּבֶן־יְהֹונָתָ֖ן מְרִ֣יב בָּ֑עַל מְרִ֣יב בָּ֔עַל הֹולִ֖יד אֶת־מִיכָֽה׃
そして-の-子は ヨナタンの メリブ・バアル メリブ・バアル そして-メリブ・バアルは 生んだ (address) ミカを
H1121 H3083 H4807 H4807 H3205 H0853 H4318

ס ס

ヨナタンの子はメリバアルで、メリバアルはミカエルを生んだ。

35 וּבְנֵי מִיכָה פִּיתוֹן וָמֶלֶךְ וְתַאְרֵעַ וְאָחָז׃
そして-の-子らは ミカの ピトン そして-メレク そして-タレア そして-アハズ
H4318 H6377 H4429 H8390 H0271

ミカの子らはピトン、メレク、タレア、アハズである。

36 וְאָחָז הוֹלִיד אֶת־יְהוֹעַדָּה וְיְהוֹעַדָּה הוֹלִיד אֶת־עָלֶמֶת וְאֶת־עַזְמָוֶת וְאֶת־זִמְרִי וְזִמְרִי הוֹלִיד אֶת־מוֹצָא׃
そして-アハズは 生んだ (address) エホアダを そして-エホアダは 生んだ (address) アレメテ そして (address) アズマベテ そして (address) ジムリを そして-ジムリは 生んだ (address) モツァを
H0271 H3205 H0853 H3085 H3085 H0853 H3205 H0853 H5820 H0853 H0853 H3205 H4162

アハズはエホアダを生み、エホアダはアレメテ、アズマウテ、ジムリを生み、ジムリはモザを生み、

37 וּמוֹצָא הוֹלִיד אֶת־בִּנְעָא רָפָה בְנוֹ אֶלְעָשָׂה בְנוֹ אָצֶל׃
そして-モツァは 生んだ (address) ビヌアを ラファは その-子 エルアサは その-子 アツェルは
H4162 H3205 H0853 H1150 H7498 H1150 H0501 H1150 H0835

בְּנוֹ׃
その-子

モザはビヌアを生んだ。ビヌアの子はラパ、ラパの子はエレアサ、エレアサの子はアゼルである。

38 וּלְאָצֵל שִׁשָּׁה בָנִים וְאֵלֶּה שְׁמוֹתָם עַזְרִיקָם בֹּכְרוּ וְיִשְׁמָעֵאל וְשְׁעַרְיָה וְעֹבַדְיָה וְחָנָן כָּל־אֵלֶּה בְּנֵי׃
そして-アツェルには 六人の 子らが-いた そして-これらは その-名で アズリカム ボクル そして-イシュマエル そして-シェアルヤ そして-オバデヤ そして-ハナン すべて これらは の-子ら
H0835 H8337 H1121 H0428 H8034 H6005 H0835 H3458 H8187 H5662 H2605 H3605 H0428 H1121

אָצֵל׃
アツェルの

アゼルには六人の子があり、その名はアズリカム、ボケル、イシマエル、シャリヤ、オバデヤ、ハナンで、皆アゼルの子である。

39 וּבְנֵי עֵשֶׂק אָחִיו אוּלָם יְעוּשׁ הַשֵּׁנִי בְּכֹרוֹ וְאֱלִיפֶלֶט הַשְּׁלִשִׁי׃
そして-の-子らは エシェク その-兄弟の ウラムは エウシュは 第二の-子 その-長子 そして-エリフェレテは 第三の-子
H6232 H0251 H0198 H3266 H8145 H1060 H0467 H7992

その兄弟エセクの子らは、長子はウラム、次はエウシ、第三はエリペレテである。

40 וַיְהִי בְנֵי־אוּלָם אַנְשֵׁי גִבּוֹרֵי־חַיִל דֹּרְכֵי קֶשֶׁת וּמַרְבִּים
そして-いた の-子らは ウラム 勇士で 力-ある 勇敢な 引く-者たちで 弓を そして-多くの
H1961 H0198 H0376 H1368 H2428 H1869 H7198 H7235

בָּנִים וּבְנֵי בָנִים מֵאָה חֲמִשִּׁים כָּל־אֵלֶּה מִבְּנֵי בִנְיָמִן׃ פ
子らと そして-の-子らの 子らが 百 五十人 すべて これらは の-子孫で ビニヤミンの
H1121 H1121 H1121 H3967 H2572 H3605 H0428 H1121 H1144 פ

ウラムの子らは大勇士で、よく弓を射る者であった。彼は多くの子と孫をもち、百五十人もあった。これらは皆ベニヤミンの子孫である。

Chapter 9

1	וְכָל־	יִשְׂרָאֵל֙	הִתְיַחְשׂ֔וּ	וְהִנָּ֕ם	כְּתוּבִ֖ים	עַל־	סֵ֣פֶר
	そして-すべての	イスラエルは	系図に-記され	そして-見よ	書かれている	の-上に	書物の
	H3605	H3478	H3187	H2009	H3789		

מַלְכֵ֣י	יִשְׂרָאֵ֑ל	וִיהוּדָה֙	הָגְל֣וּ	לְבָבֶ֔ל	בְּמַעֲלָ֖ם׃	
の-王たちの	イスラエル	そして-ユダは	捕囚として-連れて行かれた	バビロンへ	その-不忠実の-ために	
H4428	H3478	H3063	H1540	H0894	H4604	

ס
ס

このようにすべてのイスラエルびとは系図によって数えられた。これらはイスラエルの列王紀にしるされている。ユダはその不信のゆえにバビロンに捕囚となった。

2	וְהַיּוֹשְׁבִ֣ים	הָרִאשֹׁנִ֗ים	אֲשֶׁ֤ר	בַּאֲחֻזָּתָם֙	בְּעָרֵיהֶ֔ם	יִשְׂרָאֵ֖ל	הַכֹּהֲנִֽים׃
	そして-住民たちは	最初の	その	その-所有地に	その-町々に	イスラエル	祠司たち
	H3427	H7223		H0272		H3478	H3548

וְהַנְּתִינִֽים׃	הַלְוִיִּֽם׃	
そして-宮の-しもべたち	レビ人たち	
H5411	H3881	

その領地の町々に最初に住んだものはイスラエルびと、祭司、レビびとおよび宮に仕えるしもべたちであった。

3	וּבִירוּשָׁלַ֗͏ִם	יָשְׁב֤וּ	מִן־	בְּנֵי֙	יְהוּדָ֔ה	וּמִן־	בְּנֵ֣י	בִנְיָמִ֔ן
	そして-エルサレムに	住んだ	からの	の-子ら	ユダの	そして-からの	の-子ら	ビニヤミンの
	H3389	H3427			H3063			H1144

וּמְנַשֶּׁ֖ה׃	אֶפְרַ֥יִם	בְּנֵ֣י	וּמִן־	
そして-マナセ	エフライムの	の-子ら	そして-からの	
H4519	H0669			

またエルサレムにはユダの子孫、ベニヤミンの子孫およびエフライムとマナセの子孫が住んでいた。

4	)מִן־(	)בָּנִי(	]בנימן־[	בֶּן־	אִמְרִ֣י	בֶּן־	עָמְרִ֣י	בֶּן־	עַמִּיה֗וּד	בֶּן־	עוּתַ֛י
	(からの)	(バニ)	[ビニヤミン]	の-子	イムリ	の-子	オムリ	の-子	アミフド	の-子	ウタイ
	H1144	H1137	H1144		H0566		H6018		H5989		H5793

יְהוּדָֽה׃	בֶּן־	פֶּ֖רֶץ	בְּנֵ֥י־	
ユダの	の-子	ペレツ	の-子らの	
H3063		H6557		

すなわちユダの子ペレヅの子孫のうちではアミホデの子ウタイ。アミホデはオムリの子、オムリはイムリの子、イムリはバニの子である。

5	וּמִן־	הַשִּׁילוֹנִ֑י	עֲשָׂיָ֥ה	הַבְּכ֖וֹר	וּבָנָֽיו׃
	そして-からの	シロ人の	アサヤは	長子で	そして-その-子ら
		H7888	H6222	H1060	

シロびとのうちでは長子アサヤとそのほかの子たち。

6	וּמִן־	בְּנֵי֙	זֶ֔רַח	יְעוּאֵ֖ל	וַאֲחֵיהֶ֑ם	שֵׁשׁ־	מֵא֥וֹת	וְתִשְׁעִֽים׃
	そして-からの	の-子らの	ゼラフ	エウエル	そして-その-兄弟たちは	六	百	九十人
			H2226	H3262	H0251	H8337	H3967	H8673

ゼラの子孫のうちではユエルとその兄弟六百九十人。

7

בֶּן־	הוֹדַוְיָה	בֶּן־	מְשֻׁלָּם	בֶּן־	סַלּוּא	בִּנְיָמִן	בְּנֵי	וּמִן־
の–子	ホダブヤ	の–子	メシュラム	の–子	サル	ビニヤミンの	の–子ら	そして–からの
	H1938		H4918			H1144		

הַסְנָאָה׃	
ハセヌア	
H5574	

ベニヤミンの子孫のうちではハセヌアの子ホダビヤの子であるメシュラムの子サル、

8

וּמְשֻׁלָּם	מִכְרִי	בֶּן־	עֻזִּי	בֶּן־	וְאֵלָה	יְרֹחָם	בֶּן־	וְיִבְנְיָהּ	
そして–メシュラム	ミクリ	の–子	ウジ	の–子	そして–エラ	エロハム	の–子	そして–イブネヤ	
H4918	H4381		H5813		H0425	H3395		H2997	

יִבְנְיָה׃	בֶּן־	רְעוּאֵל	בֶּן־	שְׁפַטְיָה	בֶּן־
イブニヤ	の–子	レウエル	の–子	シェファテヤ	の–子
H2998		H7467		H8203	

エロハムの子イブニヤ、ミクリの子であるウジの子エラおよびイブニヤの子リウエルの子であるシパテヤの子メシュラム、

9

אֵלֶּה	כֹּל־	וְשִׁשָּׁה	וַחֲמִשִּׁים	מֵאוֹת	תִּשַׁע	לְתֹלְדוֹתָם	וַאֲחֵיהֶם	
これらの	すべて	六人	五十	百	九	その–系図に–よると	そして–その–兄弟たちは	
H0428	H3605	H8337	H2572	H3967	H8672	H8435	H0251	

ס						
ס	אֲבֹתֵיהֶם׃	לְבֵית	אָבוֹת	רָאשֵׁי	אֲנָשִׁים	
	その–先祖たちの	の–家の	先祖の	族長たちで	人々は	
	H0001		H0001		H0376	

ならびに彼らの兄弟たちで、その系図によれば合わせて九百五十六人。これらの人々は皆その氏族の長であった。

10

וְיָכִין׃	וְיהוֹיָרִיב	יְדַעְיָה	הַכֹּהֲנִים	וּמִן־
そして–ヤキン	そして–エホヤリブ	エダヤ	祠司たちは	そして–からの
H3199	H3080	H3048	H3548	

祭司のうちではエダヤ、ヨアリブ、ヤキン、

11

בֶּן־	מְרָיוֹת	בֶּן־	צָדוֹק	בֶּן־	מְשֻׁלָּם	בֶּן־	חִלְקִיָּה	בֶּן־	עֲזַרְיָה
の–子	メラヨト	の–子	ツァドク	の–子	メシュラム	の–子	ヒルキヤ	の–子	そして–アザルヤ
	H4812		H6659		H4918		H2518		H5838

ס				
ס	הָאֱלֹהִים׃	בֵּית	נְגִיד	אֲחִיטוּב
	神の	の–家の	指導者で	アヒトブ
	H0430		H5057	H0285

およびヒルキヤの子アザリヤ、ヒルキヤはメシュラムの子、メシュラムはザドクの子、ザドクはメラヨテの子、メラヨテはアヒトブの子である。アザリヤは神の宮のつかさである。

12

בֶּן־	וּמַעְשַׂי	מַלְכִּיָּה	בֶּן־	פַּשְׁחוּר	בֶּן־	יְרֹחָם	בֶּן־	וַעֲדָיָהּ	
の–子	そして–マアサイ	マルキヤ	の–子	パシュフル	の–子	エロハム	の–子	そして–アダヤ	
	H4640	H4441		H6583		H3395		H5718	

אִמֵּר׃	בֶּן־	מְשֻׁלְּמִית	בֶּן־	מְשֻׁלָּם	בֶּן־	יַחְזֵרָה	בֶּן־	עֲדִיאֵל
イメル	の–子	メシレミト	の–子	メシュラム	の–子	ヤフゼラ	の–子	アディエル
H0564		H4921		H4918		H3170		H5717

またエロハムの子アダヤ、エロハムはパシュルの子、パシュルはマルキヤの子である。またアデエルの子はマアセヤ、アデエルはヤゼラの子、ヤゼラはメシュラムの子、メシュラムはメシレモテの子、メシレモテはインメルの子である。

13 וַאֲחֵיהֶם לְבֵית רָאשֵׁיהֶם אֲבוֹתָם אֶלֶף וּשְׁבַע מֵאוֹת וְשִׁשִּׁים
そして-その-兄弟たちは の-家の かしらたちで その-先祖たちの 千 そして-七 百 六十人で
H0251 H0001 H0505 H7651 H3967 H8346

גִּבּוֹרֵי חַיִל מְלֶאכֶת עֲבוֹדַת בֵּית־ הָאֱלֹהִים׃
有能な 勇士たちで の-仕事の の-務めの の-家の 神の
H1368 H2428 H4399 H5656 H0430

そのほかに彼らの兄弟たちもあった。これらはその氏族の長で、合わせて一千七百六十人、みな神の宮の務をするのに、はなはだ力のある人々であった。

14 וּמִן־ הַלְוִיִּם שְׁמַעְיָה בֶן־ חַשּׁוּב בֶּן־ עַזְרִיקָם בֶּן־ חֲשַׁבְיָה
そして-からの レビ人たちは シェマヤ の-子 ハシュブ の-子 アズリカム の-子 ハシャビヤ
H3881 H8098 H2815 H5840 H2811

מְרָרִי׃ בְּנֵי מִן־
メラリの の-子ら からの
H4847

レビびとのうちではハシュブの子シマヤ、ハシュブはアズリカムの子、アズリカムはハシャビヤの子で、これらはメラリの子孫である。

15 וּבַקְבַּקָּר חֶרֶשׁ וְגָלָל מַתַּנְיָהוּ בֶן־ מִיכָא זִכְרִי
そして-バクバッカル ヘレシュ そして-ガラル そして-マタニヤ の-子 ミカ ジクリ
H1230 H2792 H1559 H4983 H1559 H4316 H2147

בֶּן־ אָסָף׃
の-子 アサフ
H0623

またバクバッカル、ヘレシ、ガラル、およびアサフの子ジクリの子であるミカの子マッタニヤ、

16 וְעֹבַדְיָהוּ בֶן־ גָּלָל בֶּן־ שְׁמַעְיָה בֶן־ יְדוּתוּן בֶּן־ וּבֶרֶכְיָה בֶן־
そして-オバデヤ の-子 ガラル の-子 シェマヤ の-子 エドトン の-子 そして-ベレクヤ の-子
H5662 H1559 H8098 H3038 H1296

אָסָא בֶן־ אֶלְקָנָה הַיּוֹשֵׁב בְּחַצְרֵי נְטוֹפָתִי׃
アサ の-子 エルカナ 住んでいた-者で の-村々の ネトファ人の
H0609 H0511 H3427 H2691 H5200

ならびにエドトンの子ガラルの子であるシマヤの子オバデヤおよびエルカナの子であるアサの子ベレキヤ、エルカナはネトパびとの村里に住んだ者である。

17 וְהַשֹּׁעֲרִים שַׁלּוּם וְעַקּוּב וְטַלְמוֹן וַאֲחִימָן וַאֲחֵיהֶם
そして-門衛たちは シャルム そして-アックブ そして-タルモン そして-アヒマン そして-その-兄弟で
H7778 H7967 H6126 H2929 H0289 H0251

שַׁלּוּם הָרֹאשׁ׃
シャルムが かしらであった
H7967

門を守るものはシャルム、アックブ、タルモン、アヒマンおよびその兄弟たちで、シャルムはその長であった。

18 וְעַד־ הֵנָּה בְּשַׁעַר הַמֶּלֶךְ מִזְרָחָה הֵמָּה הַשֹּׁעֲרִים לְמַחֲנוֹת בְּנֵי לֵוִי׃
そして-今まで ここに 王の の-門に 東側に 彼らが 門衛たちで の-考営の の-子らの レビ
H5704 H2008 H4428 H8179 H4217 H1992 H7778 H4264 H3878

彼は今日まで東の方にある王の門を守っている。これらはレビの子孫で営の門を守る者である。

19 וְאֶחָיו קֹרַח בֶּן־ אֶבְיָסָף בֶּן־ קוֹרֵא בֶּן־ וְשַׁלֻּם
そして-その-兄弟たちは コラフ の-子 エビヤサフ の-子 コレ の-子 そして-シャルム
H0251 H7141 H0043 H6981 H7967

לָאֹהֶל הַסִּפִּים שֹׁמְרֵי הָעֲבוֹדָה מְלֶאכֶת עַל הַקָּרְחִים אֲבִיו לְבֵית־
幕屋の の-敷居の 番人たちで の-務めの の-仕事 の-上に コラヒ人たちで その-父の の-家の
H0168 H8104 H5656 H4399 H7145 H0001

:הַמָּבוֹא שֹׁמְרֵי יְהוָה מַחֲנֵה עַל־ וַאֲבֹתֵיהֶם
の-入口の 番人たちで 主の の-考営の の-上に そして-その-先祖たちは
H3996 H8104 H3068 H4264 H0001

コラの子エビヤサフの子であるコレの子シャルムおよびその氏族の兄弟たちなどのコラびとは幕屋のもろもろの門を守る務をつかさどった。その先祖たちは主の営をつかさどり、その入口を守る者であった。

20 :עִמּוֹ וַיהוָה לְפָנִים עֲלֵיהֶם הָיָה נָגִיד אֶלְעָזָר בֶּן־ וּפִינְחָס
共に-おられた 主が 以前 彼らの-上に あった 指導者で エルアザル の-子 そして-ピネハス
H3068 H6440 H1961 H5057 H0499 H6372

エレアザルの子ピネハスが、むかし彼らのつかさであった。主は彼とともにおられた。

21 :מוֹעֵד לְאֹהֶל פֶּתַח שֹׁעֵר מְשֶׁלֶמְיָה בֶן זְכַרְיָה
会見の の-幕屋の の-入口の 門衛で メシェレミヤ の-子 ゼカルヤ
H4150 H0168 H6607 H7778 H4920

メシレミヤの子ゼカリヤは会見の幕屋の門を守る者であった。

22 הֵמָּה עָשָׂר וּשְׁנֵים מָאתַיִם בַּסִּפִּים לִשְׁעָרִים הַבְּרוּרִים כֻּלָּם
彼らは 二人で そして-十 二百 の-敷居に 門衛として 選ばれた-者たちは すべての
H1992 H6240 H8147 H3967 H7778 H1305 H3605

הָרֹאֶה וּשְׁמוּאֵל דָּוִיד יְסָד הֵמָּה הִתְיַחְשָׂם בְּחַצְרֵיהֶם
予見者が そして-サムエル ダビデと 任命した 彼らを 系図に-記され その-村々に
H7200 H8050 H1732 H3245 H1992 H3187

:בֶּאֱמוּנָתָם
その-忠実さの-ゆえに
H0530

これらは皆選ばれて門を守る者で、合わせて二百十二人あった。彼らはその村々で系図によって数えられた者で、ダビデと先見者サムエルが彼らを職に任じたのである。

23 וְהֵם עַל־ וּבְנֵיהֶם לְבֵית־ יְהוָה לְבֵית־ הַשְּׁעָרִים עַל־
そして-彼らと そして-その-子らは の-上に の-門の の-家の 主の の-家の 幕屋の
H1992 H8179 H3068 H0168

:לְמִשְׁמָרוֹת
見張り番として
H4931

こうして彼らとその子孫は監守人として、主の家である幕屋の家の門をつかさどった。

24 :וְנֶגְבָּה צָפוֹנָה יָמָּה מִזְרָח הַשְּׁעָרִים יִהְיוּ רוּחוֹת לְאַרְבָּע
そして-南に 北 西 東 門衛たちは いた 方角に 四つの
H5045 H6828 H3220 H4217 H7778 H1961 H7307 H0702

門を守る者は東西南北の四方にいた。

25 וְאֲחֵיהֶם בְּחַצְרֵיהֶם לָבוֹא לְשִׁבְעַת הַיָּמִים מֵעֵת אֶל־עֵת׃
そして–その–兄弟たちは その–村々に–いて 来る–ために の–七の 日ごとに から–時から へ
H0251 H0935 H7651 H3117 H6256 H0413

עִם־אֵלֶּה׃ עֵת
これらの と–共に 時に
H0428 H6256

またその村々にいる兄弟たちは七日ごとに代り、来て彼らを助けた。

26 כִּי בֶאֱמוּנָה הֵמָּה אַרְבַּעַת גִּבֹּרֵי הַשֹּׁעֲרִים הֵם הַלְוִיִּם וְהָיוּ
なぜなら 忠実に 彼らは 四人の 勇士たちで 門衛の 彼らは レビ人で そして–いた
H0530 H1992 H0702 H1368 H7778 H1992 H3881 H1961

עַל־ הַלְּשָׁכוֹת וְעַל בֵּית הָאֹצְרוֹת בֵּית הָאֱלֹהִים׃
の–上に の部屋の そして–の–上に の–倉庫の の–家の 神の
H3957 H0214 H0430

門を守る者の長である四人のレビびとは神の家のもろもろの室と宝とをつかさどった。

27 וְסִבִיבוֹת בֵּית־ הָאֱלֹהִים יָלִינוּ כִּי־ עֲלֵיהֶם מִשְׁמֶרֶת
そして–周りに の–家の 神の 宿泊した なぜなら 彼らの–上に 見張りの–任務が–あり
H5439 H0430 H3885 H3588 H5921 H4931

וְלַבֹּקֶר לַבֹּקֶר׃ עַל־ הַמַּפְתֵּחַ וְהֵם
そして–毎朝 朝ごとに の–上に の–鍵の そして–彼らが
H1242 H1242 H5921 H4668 H1992

彼らは神の家を守る身であるから、そのまわりに宿った。そして朝ごとにこれを開くことをした。

28 וּמֵהֶם עַל־ כְּלֵי הָעֲבוֹדָה לְמִסְפָּר כִּי־ בְמִסְפָּר יְבִיאוּם וּבְמִסְפָּר
そして–彼らの–中には の–上に の–器具の 務めの なぜなら 数えて 持ち込み そして–数えて
H1992 H5921 H3627 H5656 H3588 H4557 H0935 H4557

יוֹצִיאוּם׃
持ち出した
H3318

そのうちに務の器をつかさどる者があった。彼らはその数を調べて携え入り、またその数を調べて携え出した。

29 וּמֵהֶם וְעַל מְמֻנִים עַל־ הַכֵּלִים וְעַל כָּל־
そして–彼らの–中には 任命された–者が–いた の–上に の–器具の そして–の–上に すべての
H1992 H4487 H5921 H3627 H5921 H3605

וְהַלְּבוֹנָה וְהַשֶּׁמֶן וְהַיַּיִן וְהַסֹּלֶת וְעַל־ הַקֹּדֶשׁ כְּלֵי
そして–乳香の そして–油の そして–ぶどう酒の の–小麦粉の そして–の–上に 聖なる の–器具の
H3828 H8081 H3196 H5560 H5921 H6944 H3627

וְהַבְּשָׂמִים׃
そして–香料の
H1314

またそのほかの品、すべての聖なる器および麦粉、ぶどう酒、油、乳香、香料をつかさどる者があった。

30 וּמִן־ בְּנֵי הַכֹּהֲנִים רֹקְחֵי הַמִּרְקַחַת לַבְּשָׂמִים׃
そして–からの の–子らの 祠司たちの 混ぜる–者たちで の–香料の の–香りの
H3548 H7543 H4842 H1314

また祭司のともがらのうちに香料を混ぜる者があった。

31 וּמַתִּתְיָה֙ מִן־ הַלְוִיִּ֔ם הִ֖וא הַבְּכ֣וֹר לְשַׁלֻּ֑ם הַקָּרְחִ֗י בֶּאֱמוּנָ֔ה
そして-マテテヤは からの レビ人たちの 彼は 長子で の-シャルムの コラヒ人で 忠実に
H4993 H3881 H1931 H1060 H7967 H7145 H0530

עַ֚ל מַעֲשֶׂ֣ה הַֽמַּחֲבָ֔תִים׃
の-上に の-仕事の 平鍋の-パンの
H4639 H2281

コラびとシャルムの長子でレビびとのひとりであるマタテヤはせんべいを造る勤めをつかさどった。

32 וּמִן־ בְּנֵ֣י הַקָּהָתִ֗י עַל־ לֶ֙חֶם֙ הַמַּעֲרֶ֔כֶת אֲחֵיהֶ֖ם מִן־ לְהָכִ֑ין
そして-からの の-子らの ケハテ人の からの その-兄弟たちの の-上に 供えの
H6956 H0251 H3899 H4635

שַׁבָּ֥ת בְּשַׁבָּ֖ת ס׃ שַׁבָּֽת׃
準備する-ために の-安息日の 安息日ごとに ס
H7676 H7676

またコハテびとの子孫であるその兄弟たちのうちに供えのパンをつかさどって、安息日ごとにこれを整える者どもがあった。

33 וְאֵ֣לֶּה הַמְשֹׁרְרִ֗ים רָאשֵׁי֙ אָבוֹת֙ לַלְוִיִּ֔ם בַּלְּשָׁכֹ֖ת [פְּטוּרִ֑ים]
そして-これらは の-歌うたいたちで 族長たちで 先祖の の-レビ人の の-部屋に [免除され]
H0428 H7891 H0001 H3881 H3957 H6359

כִּ֣י עֲלֵיהֶ֔ם יוֹמָ֥ם וָלַ֖יְלָה בְּמְלַאכְתָּ֥ם עֹסְקִ֖ים׃ (פְּטוּרִ֑ים)
なぜなら 彼らの-上に 昼も そして-夜も の-務めが-あった (免除されて-いた)
H6362 H3119 H3915 H4399

レビびとの氏族の長であるこれらの者は歌うたう者であって、宮のもろもろの室に住み、ほかの務はしなかった。彼らは日夜自分の務に従ったからである。

34 אֵ֚לֶּה רָאשֵׁ֣י הָאָב֔וֹת לַלְוִיִּ֖ם לְתֹלְדוֹתָ֑ם רָאשִׁ֗ים אֵ֚לֶּה
これらは 先祖の の-レビ人の その-系図に-よると かしらたちで これらは
H0428 H0001 H3881 H8435 H0428

יָשְׁבוּ֙ בִּירוּשָׁלִָ֔ם פ׃ פ
住んでいた エルサレムに
H3427 H3389

これらはレビびとの歴代の氏族の長であって、かしらたる人々であった。彼らはエルサレムに住んだ。

35 וּבְגִבְעוֹן֙ יָשְׁב֣וּ אֲבִי־ גִבְעוֹן֮ [יְעוּאֵל֒] (יְעִיאֵל֒) וְשֵׁ֣ם
そして-ギブオンに 住んでいた の-父 ギブオンの [エウエル] (エイエル) そして-名は
H1391 H3427 H0001 H1391 H3273 H3273 H8034

אִשְׁתּ֔וֹ מַעֲכָֽה׃
その-妻の マアカ
H0802 H4601

ギベオンの父エヒエルはギベオンに住んでいた。その妻の名はマアカといった。

36 וּבְנ֣וֹ הַבְּכ֔וֹר עַבְדּ֖וֹן וְצ֣וּר וְקִ֑ישׁ וּבַ֙עַל֙ וְנֵ֔ר וְנָדָֽב׃
そして-その-子 長子は アブドン そして-ツル そして-キシュ そして-バアル そして-ネル そして-ナダブ
H1060 H5658 H6698 H7027 H1167 H5369 H5070

彼の長子はアブドン、次はツル、キシ、バアル、ネル、ナダブ、

37 וּגְדוֹר וְאַחְיוֹ וְזִכְרִיָּה וּמִקְלוֹת׃
そして-ゲドル そして-アヒヨ そして-ゼカルヤ そして-ミクロテ
H1446 H0283 H4732

ゲドル、アヒオ、ゼカリヤ、ミクロテである。

38 וּמִקְלוֹת הוֹלִיד אֶת־שִׁמְאָם וְאַף־הֵם נֶגֶד
そして-ミクロテは 生んだ (address) シムアムを そして-また 彼らも 向かい側に
H4732 H3205 H0853 H8043 H0637 H1992 H5048

אֲחֵיהֶם׃ עִם־ בִּירוּשָׁלַ͏ִם יָשְׁבוּ אֲחֵיהֶם ס
その-兄弟たち と-共に エルサレムに 住んでいた その-兄弟たちの ס
H0251 H3389 H3427 H0251

ミクロテはシメアムを生んだ。彼らもその兄弟たちとともにエルサレムに住んで、その兄弟たちと向かいあっていた。

39 וְנֵר הוֹלִיד אֶת־קִישׁ וְקִישׁ הוֹלִיד אֶת־שָׁאוּל
そして-ネルは 生んだ (address) キシュを そして-キシュは 生んだ (address) サウルを
H5369 H3205 H0853 H7027 H3205 H0853 H7586

וְשָׁאוּל הוֹלִיד אֶת־ יְהוֹנָתָן וְאֶת־ מַלְכִּי־שׁוּעַ וְאֶת־ אֲבִינָדָב וְאֶת־
そして-サウルは 生んだ (address) ヨナタン そして マルキ・シュア そして アビナダブ そして
H7586 H3205 H0853 H3083 H0853 H4444 H0853 H0041 H0853

אֶשְׁבָּעַל׃
エシュバアルを
H0792

ネルはキシを生み、キシはサウルを生み、サウルはヨナタン、マルキシュア、アビナダブ、エシバアルを生んだ。

40 וּבֶן־ יְהוֹנָתָן מְרִיב־בָּעַל הוֹלִיד אֶת־ מִיכָה׃
そして-の-子は ヨナタンの メリブ・バアル 生んだ (address) ミカを
H3083 H4807 H3205 H0853 H4318

ヨナタンの子はメリバアルで、メリバアルはミカを生んだ。

41 וּבְנֵי מִיכָה פִּיתוֹן וָמֶלֶךְ וְתַחְרֵעַ׃
そして-の-子らは ミカの ピトン そして-メレク そして-タヒレア
H4318 H6377 H4429 H8475

ミカの子らはピトン、メレク、タレアおよびアハズである。

42 וְאָחָז הוֹלִיד אֶת־ יַעְרָה וְיַעְרָה הוֹלִיד אֶת־ עָלֶמֶת
そして-アハズは 生んだ (address) ヤアラを そして-ヤアラは 生んだ (address) アレメテ
H0271 H3205 H0853 H3294 H3294 H0853 H5964

וְאֶת־ עַזְמָוֶת וְאֶת־ זִמְרִי וְזִמְרִי הוֹלִיד אֶת־ מוֹצָא׃
そして アズマベテ そして ジムリを そして-ジムリは 生んだ (address) モツァを
H0853 H5820 H0853 H2174 H3205 H0853 H4162

アハズはヤラを生み、ヤラはアレメテ、アズマウテおよびジムリを生み、ジムリはモザを生み、

43 וּמוֹצָא בְּנָעָא הוֹלִיד אֶת־ רְפָיָה וּרְפָיָה בְּנוֹ אֶלְעָשָׂה בְּנוֹ
そして-モツァは 生んだ (address) ビヌアを そして-レファヤは その-子 エルアサは その-子
H4162 H3205 H0853 H1150 H7509 H0501

אָצֵל׃ בְּנוֹ
アツェルは その-子

モザはビネアを生んだ。ビネアの子はレパヤ、その子はエレアサ、その子はアゼルである。

בֹּכְרוֹ	וְעַזְרִיקָם	שְׁמוֹתָם	וְאֵלֶּה	בָּנִים	שִׁשָּׁה	וְלְאָצֵל	44
ボクル	アズリカム	その-名で	そして-これらは	子らが-いた	六人の	そして-アツェルには	
H1074	H5840	H8034	H0428		H8337		

בְּנֵי	אֵלֶּה	וְחָנָן	וְעֹבַדְיָה	וּשְׁעַרְיָה	וְיִשְׁמָעֵאל
の-子ら	これらは	そして-ハナン	そして-オバデヤ	そして-シェアルヤ	そして-イシュマエル
	H0428	H2605	H5662	H8187	H3458

פ	:אָצֵל
פ	アツェルの

アゼルに六人の男の子があった。その名はアズリカム、ボケル、イシマエル、シャリヤ、オバデヤ、ハナン。これらはみなアゼルの子らであった。

Chapter 10

מִפְּנֵי	יִשְׂרָאֵל	אִישׁ־	וַיָּנָס	בְּיִשְׂרָאֵל	נִלְחֲמוּ	וּפְלִשְׁתִּים	1
の-前から	イスラエル	の-人々は	そして-逃げた	イスラエルに-対して	戦った	そして-ペリシテ人は	
H6440	H3478	H0376	H5127	H3478		H6430	

גִּלְבֹּעַ׃	בְּהַר	חֲלָלִים	וַיִּפְּלוּ	פְּלִשְׁתִּים
ギルボア	の-山で	倒れた-者たちが	そして-倒れた	ペリシテ人の
H1533	H2022		H5307	H6430

さてペリシテびとはイスラエルと戦ったが、イスラエルの人々がペリシテびとの前から逃げ、ギルボア山で殺されて倒れたので、

	בָּנָיו	וְאַחֲרֵי	שָׁאוּל	אַחֲרֵי	פְּלִשְׁתִּים	וַיִּדְבְּקוּ	2
	その-子らの	そして-の-後を	サウルの	の-後を	ペリシテ人は	そして-追いついた	
			H7586		H6430	H1692	

מַלְכִּי־שׁוּעַ	וְאֶת־	אֲבִינָדָב	וְאֶת־	יוֹנָתָן	אֶת־	פְּלִשְׁתִּים	וַיַּכּוּ	
マルキ・シュアを	そして	アビナダブ	そして	ヨナタン	(address)	ペリシテ人は	そして-打ち殺した	
H4444	H0853	H0041	H0853	H3129	H0853	H6430	H5221	

בְּנֵי	:שָׁאוּל
の-子らで	サウルの
	H7586

ペリシテびとはサウルとその子たちのあとを追い、サウルの子ヨナタン、アビナダブおよびマルキシュアを殺した。

בַּקֶּשֶׁת	הַמּוֹרִים	וַיִּמְצָאֻהוּ	שָׁאוּל	עַל־	הַמִּלְחָמָה	וַתִּכְבָּד	3
弓の	射手たちが	そして-見つけた	サウル	の-上に	戦いが	そして-激しくなった	
H7198		H4672	H7586		H4421	H3513	

:הַיּוֹרִים	מִן־	וַיָּחֶל
の-射手たちに-より	から	そして-傷ついた

戦いは激しくサウルにおし迫り、射手の者どもがついにサウルを見つけたので、彼は射手の者どもに傷を負わされた。

4 וַיֹּ֤אמֶר שָׁאוּל֙ אֶל־נֹשְׂא֣ כֵלָ֔יו שְׁלֹ֤ף חַרְבְּךָ֙ וְדָקְרֵ֣נִי בָ֔הּ פֶּן־יָבֹ֥אוּ הָֽאֵלֶּה֙ הָֽעֲרֵלִ֔ים וְהִתְעַלְּלוּ־בִ֖י וְלֹ֣א אָבָ֑ה כִּֽי־יָרֵ֥א נֹשְׂא־כֵלָ֖יו מְאֹ֣ד כִּֽי־יָרֵ֑א וַיִּקַּ֥ח שָׁא֖וּל אֶת־הַחֶ֥רֶב וַיִּפֹּ֖ל עָלֶֽיהָ׃

そして-言った サウルは に の-持ち手に その-武具の 拝け お前の-剣を そして-突き刺せ
H0559 H7586 H0413 H5375 H3627 H8025 H2719 H1856

それで さもないと 来て の-割礼なき-者たちが これらの そして-もてあそび 私を しかし-なかった
H0428 H6435 H0935 H6189 H0428 H1980 H3808

応じ の-持ち手は その-武具の なぜなら 恐れた 非常に ס サウルは そして-取った
H0014 H5375 H3627 H3372 H3966 H7586 H3947

そして-倒れた 剣を (address)
H5307 H2719 H0853

そこでサウルはその武器を執る者に言った、「つるぎを抜き、それをもってわたしを刺せ。さもないと、これらの割礼なき者が来て、わたしをはずかしめるであろう」。しかしその武器を執る者がいたく恐れて聞きいれなかったので、サウルはつるぎをとってその上に伏した。

5 וַיַּ֤רְא נֹשְׂא־כֵלָיו֙ כִּֽי־מֵ֣ת שָׁא֔וּל וַיִּפֹּ֥ל גַּם־ה֖וּא עַל־חַרְבּ֑וֹ וַיָּמֹֽת׃ ס

そして-見た の-持ち手は その-武具の が 死んだと サウルが そして-倒れた また 彼も
H7200 H5375 H3627 H3588 H4191 H7586 H5307 H1571 H1931

ס そして-死んだ 剣の の-上に
H4191 H2719

武器を執る者はサウルの死んだのを見て、自分もまたつるぎの上に伏して死んだ。

6 וַיָּ֣מָת שָׁא֔וּל וּשְׁלֹ֥שֶׁת בָּנָ֖יו וְכָל־בֵּיתֹ֑ו יַחְדָּ֖ו מֵֽתוּ׃

そして-死んだ サウルと そして-三人の その-子らと そして-すべての その-家の-者は 共に
H4191 H7586 H7969 H1121 H3605 H1004 H3162

死んだ
H4191

こうしてサウルと三人の子らおよびその家族は皆ともに死んだ。

7 וַיִּרְא֣וּ כָל־אִ֣ישׁ יִשְׂרָאֵ֗ל אֲשֶׁ֤ר בָּעֵמֶק֙ כִּֽי־נָ֣סוּ כִּֽי־מֵ֔תוּ וַיַּעַזְב֥וּ עָרֵיהֶ֖ם וַיָּנֻ֑סוּ וַיָּבֹ֣אוּ פְלִשְׁתִּ֔ים וַיֵּשְׁב֖וּ בָּהֶֽם׃ ס

そして-見た すべての の-人々が イスラエルの その 谷に-いた が が そして-逃げた 死んだと
H7200 H3605 H0376 H3478 H0834 H6010 H3588 H3588 H5127 H4191

そして-来た そして-逃げた その-町々を そして-捨てた その-子らが サウルと 死んだと
H0935 H5127 H5892 H5800 H1121 H7586 H4191

ס それらに そして-住んだ ペリシテ人が
H3427 H6430

谷にいたイスラエルの人々は皆彼らの逃げるのを見、またサウルとその子らの死んだのを見て、町々をすてて逃げたので、ペリシテびとが来てそのうちに住んだ。

8 וַיְהִי֙ מִמָּחֳרָ֔ת וַיָּבֹ֥אוּ פְלִשְׁתִּ֖ים לְפַשֵּׁ֣ט אֶת־הַחֲלָלִ֑ים וַיִּמְצְא֞וּ אֶת־שָׁא֣וּל וְאֶת־בָּנָ֗יו נֹפְלִים֙ בְּהַ֣ר גִּלְבֹּ֔עַ׃

そして-あった の-翌日 そして-来た ペリシテ人が はぎ取る-ために 倒れた-者たちを
H1961 H4283 H0935 H6430 H6584 H0853 H2491

そして-見つけた (address) サウルと そして 子らが 倒れて-いるのを の-山で ギルボア
H4672 H0853 H7586 H0853 H1121 H5307 H2022 H1533

あくる日ペリシテびとは殺された者から、はぎ取るために来て、サウルとその子らのギルボア山に倒れているのを見、

9

וַיְשַׁלְּחוּ	כֵּלָיו	וְאֶת־	רֹאשׁוֹ	אֶת־	וַיִּשְׁאוּ	וַיַּפְשִׁטֻהוּ
そして–送った	その–武具を	そして	その–頭と	(address)	そして–取った	そして–はぎ取った
H7971	H3627	H0853		H0853	H5375	H6584

הָעָם׃	וְאֶת־	עַצַּבֵּיהֶם	אֶת־	לְבַשֵּׂר	סָבִיב	פְּלִשְׁתִּים	בְּאֶרֶץ־
民に	そして	その–偶像たちと	(address)	知らせる–ために	周りに	ペリシテ人の	の–地に
	H0853	H6091	H0853	H1319	H5439	H6430	H0776

サウルをはいでその首と、よろいかぶとを取り、ペリシテびとの国の四方に人をつかわして、この良き知らせをその偶像と民に告げさせた。

10

תָּקְעוּ	גֻּלְגָּלְתּוֹ	וְאֶת־	אֱלֹהֵיהֶם	בֵּית	כֵּלָיו	אֶת־	וַיָּשִׂימוּ
打ちつけた	その–頭蓋骨を	そして	その–神々の	の–宮に	その–武具を	(address)	そして–置いた
H8628	H1538	H0853	H0430		H3627	H0853	

ס	דָּגוֹן׃	בֵּית	
ס	ダゴンの	の–宮に	
	H1712		

そしてサウルのよろいかぶとを彼らの神の家に置き、首をダゴンの神殿にくぎづけにした。

11

עָשׂוּ	אֲשֶׁר־	כָּל־	אֵת	גִּלְעָד	יָבֵישׁ	כֹּל	וַיִּשְׁמְעוּ	
行ったことを	その	すべて	(address)	ギレアデの–者が	ヤベシュ・	すべての	そして–聞いた	
		H3605	H0853	H1568	H3003	H3605	H8085	

לְשָׁאוּל׃	פְּלִשְׁתִּים
サウルに	ペリシテ人が
H7586	H6430

しかしヤベシ・ギレアデの人々は皆ペリシテびとがサウルにしたことを聞いたので、

12

שָׁאוּל	גּוּפַת	אֶת־	וַיִּשְׂאוּ	חַיִל	אִישׁ	כָּל־	וַיָּקוּמוּ	
サウルの	の–体を	(address)	そして–取った	勇士たちが	の–人々が	すべての	そして–立ち上がった	
H7586	H1480	H0853	H5375	H2428	H0376	H3605		

עַצְמוֹתֵיהֶם	אֶת־	וַיִּקְבְּרוּ	יָבֵישָׁה	וַיְבִיאוּם	בָּנָיו	גּוּפַת	וְאֶת	
その–骨を	(address)	そして–葉った	ヤベシュへ	そして–運び込んだ	その–子らの	の–体を	そして	
H6106	H0853	H6912	H3003	H0935		H1480	H0853	

יָמִים׃	שִׁבְעַת	וַיָּצוּמוּ	בְּיָבֵשׁ	הָאֶלָה	תַּחַת
日間	七	そして–断食した	ヤベシュに–ある	の–樫の–木の	の–下に
H3117	H7651	H6684	H3003	H0424	H8478

勇士たちが皆立ち上がり、サウルのからだとその子らのからだをとって、これをヤベシに持って来て、ヤベシのかしの木の下にその骨を葬り、七日の間、断食した。

13

דְּבַר	עַל־	בַּיהוָה	מָעַל	אֲשֶׁר	בְּמַעֲלוֹ	שָׁאוּל	וַיָּמָת	
の–言葉の	の–上に	主に–対して	背いた	その	その–不忠実の–ために	サウルは	そして–死んだ	
H1697		H3068	H4603		H4604	H7586	H4191	

לִדְרוֹשׁ׃	בָּאוֹב	לִשְׁאוֹל	וְגַם־	שָׁמָר	לֹא־	אֲשֶׁר	יְהוָה
伺いを–立てた	口寄せの–霊媒に	尋ねた	そして–また	守ら	なかった	その	主の
H1875	H0178	H7592	H1571	H8104	H3808		H3068

こうしてサウルは主にむかって犯した罪のために死んだ。すなわち彼は主の言葉を守らず、また口寄せに問うことをして、

14

לְדָוִיד	הַמְלוּכָה	אֶת־	וַיַּסֵּב	וַיְמִיתֵהוּ	בַּיהוָה	דָּרַשׁ	וְלֹא־
ダビデに	の–王権を	(address)	そして–向けた	そして–死なせた	主に	尋ね	そして–なかった
H1732	H4410	H0853	H5437	H4191	H3068	H1875	H3808

פ	יִשָׁי׃	בֶּן־
פ	エッサイ	の–子
	H3448	

主に問うことをしなかった。それで主は彼を殺し、その国を移してエッサイの子ダビデに与えられた。

Chapter 11

1

הִנֵּה	לֵאמֹר	חֶבְרוֹנָה	דָּוִיד	אֶל־	יִשְׂרָאֵל	כָּל־	וַיִּקָּבְצוּ
見よ	言って	ヘブロンに	ダビデの	の–もとに	イスラエルが	すべての	そして–集まった
H2009	H0559		H1732	H0413	H3478	H3605	H6908

אֲנַחְנוּ׃	וּבְשָׂרְךָ	עַצְמְךָ
私たちは	そして–あなたの–肉である	あなたの–骨で
H0587	H1320	H6106

ここにイスラエルの人は皆ヘブロンにいるダビデのもとに集まって来て言った、「われわれは、あなたの骨肉です。

2

הַמּוֹצִיא	אַתָּה	מֶלֶךְ	שָׁאוּל	בִּהְיוֹת	גַּם	שִׁלְשׁוֹם	גַּם־	תְּמוֹל	גַּם־
導き–出し	あなたが	王で	サウルが	いた–時に	また	おといも	また	昨日も	また
H3318		H4428	H7586	H1961	H1571	H8032	H1571	H8543	H1571

לְךָ	אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה	וַיֹּאמֶר	יִשְׂרָאֵל	אֶת־	וְהַמֵּבִיא	
あなたに	あなたの–神が	主が	そして–言われた	イスラエルを	(address)	そして–導き–入れた	
	H0430	H3068	H0559	H3478	H0853	H0935	

תִּהְיֶה	וְאַתָּה	יִשְׂרָאֵל	אֶת־	עַמִּי	אֶת־	תִּרְעֶה	אַתָּה
なるであろう	そして–あなたが	イスラエルを	(address)	わが–民を	(address)	牧うであろう	あなたが
H1961		H3478	H0853		H0853		

יִשְׂרָאֵל׃	עַמִּי	עַל	נָגִיד
イスラエルの	わが–民	の–上に	指導者に
H3478			H5057

先にサウルが王であった時にも、あなたはイスラエルを率いて出入りされました。そしてあなたの神、主はあなたに『あなたはわが民イスラエルを牧する者となり、わが民イスラエルの君となるであろう』と言われました」。

3

וַיִּכְרֹת	חֶבְרוֹנָה	הַמֶּלֶךְ	אֶל־	יִשְׂרָאֵל	זִקְנֵי	כָּל־	וַיָּבֹאוּ	
そして–結んだ	ヘブロンに	王の	の–もとに	イスラエルの	の–長老たちが	すべての	そして–来た	
H3772		H4428	H0413	H3478	H2205	H3605	H0935	

דָּוִיד	אֶת־	וַיִּמְשְׁחוּ	יְהוָה	לִפְנֵי	בְּחֶבְרוֹן	בְּרִית	דָּוִיד	לָהֶם
ダビデを	(address)	そして–油注ぎだ	主の	の–前で	ヘブロンで	契約を	ダビデが	彼らと
H1732	H0853	H4886	H3068	H6440		H1285	H1732	

ס	שְׁמוּאֵל׃	בְּיַד־	יְהוָה	כִּדְבַר	יִשְׂרָאֵל	עַל־	לְמֶלֶךְ
ס	サムエル	の–手に–よる	主の	の–言葉の–とおりに	イスラエルの	の–上に	王として
	H8050	H3027	H3068	H1697	H3478		H4428

このようにイスラエルの長老が皆ヘブロンにいる王のもとに来たので、ダビデはヘブロンで主の前に彼らと契約を結んだ。そして彼らは、サムエルによって語られた主の言葉に従ってダビデに油を注ぎ、イスラエルの王とした。

4 וַיֵּלֶךְ דָּוִיד וְכָל־יִשְׂרָאֵל יְרוּשָׁלַ͏ִם הִיא יְבוּס
そして–行った ダビデと そして–すべての イスラエルは エルサレムへ それは エブス
H3212 H1732 H3605 H3478 H3389 H1931 H2982

וְשָׁם הַיְבוּסִי יֹשְׁבֵי הָאָרֶץ׃
そして–そこに エブス人が–いた の–住民で その–地の
H8033 H2983 H3427 H0776

ダビデとすべてのイスラエルはエルサレムへ行った。エルサレムはすなわちエブスであって、そこにはその地の住民であるエブスびとがいた。

5 וַיֹּאמְרוּ יֹשְׁבֵי לְדָוִיד לֹא תָבוֹא הֵנָּה וַיִּלְכֹּד דָּוִיד
そして–言った の–住民は ダビデに ない 入れ ここに しかし–占領した ダビデは
H0559 H3427 H1732 H3808 H0935 H2008 H3920 H1732

אֶת־מְצַדַת עִיר הִיא צִיּוֹן׃ דָּוִיד
(address) の–要塞を の–町である それが シオンの ダビデの
H0853 H6726 H1931 H6726 H1732

エブスの住民はダビデに言った、「あなたはここにはいってはならない」。しかし、ダビデはシオンの要害を取った。これがすなわちダビデの町である。

6 וַיֹּאמֶר דָּוִיד כָּל־מַכֶּה יְבוּסִי בָּרִאשׁוֹנָה יִהְיֶה לְרֹאשׁ
そして–言った ダビデは すべての の–打つ–者が エブス人を 最初に なるであろう かしらに
H0559 H1732 H3605 H5221 H2983 H7223 H1961 H7217

וַיַּעַל בָּרִאשׁוֹנָה יוֹאָב בֶּן־צְרוּיָה וַיְהִי לְרֹאשׁ׃
そして–上った 最初に ヨアブが の–子 ツェルヤ そして–なった かしらに
H5927 H7223 H3097 H6870 H1961 H7217

この時ダビデは言った、「だれでも第一にエブスびとを撃つ者を、かしらとし、将とする」。ゼルヤの子ヨアブが第一にのぼっていったので、かしらとなった。

7 וַיֵּשֶׁב דָּוִיד בַּמְּצָד עַל־כֵּן קָרְאוּ־לָהּ עִיר דָּוִיד׃
そして–住んだ ダビデは の–要塞に それ–ゆえに その 呼んだ それを の–町と ダビデの
H3427 H1732 H4679 H5921 H3651 H7121 H1931 H5892 H1732

そしてダビデがその要害に住んだので人々はこれをダビデの町と名づけた。

8 וַיִּבֶן הָעִיר מִסָּבִיב מִן־הַמִּלּוֹא וְעַד־הַסָּבִיב וְיוֹאָב
そして–建てた 町を 周囲に から の–ミロの そして–まで の–周囲の そして–ヨアブが
H1129 H5892 H5439 H4407 H5704 H5439 H3097

יְחַיֶּה אֶת־שְׁאָר הָעִיר׃
回復した (address) の–残りを 町の
H2421 H0853 H7605 H5892

ダビデはまたその町の周囲すなわちミロから四方に石がきを築き、ヨアブは町のほかの部分を繕った。

9 וַיֵּלֶךְ דָּוִיד הָלוֹךְ וְגָדוֹל וַיהוָה צְבָאוֹת עִמּוֹ׃ פ
そして–進んだ ダビデは ますます そして–大きくなり そして–主が 万軍の 共に–おられた
H3212 H1732 H1980 H1419 H3068 H6635 H5973 פ

こうしてダビデはますます大いなる者となった。万軍の主が彼とともにおられたからである。

10 וְאֵלֶּה רָאשֵׁי הַגִּבֹּרִים אֲשֶׁר לְדָוִיד הַמְתְחַזְקִים עִמָּו
そして-これらは の-かしらたちで 勇士たちの その ダビデの 強く-支えた-者たちで 彼と-共に
H0428 H7218 H1368 H0834 H1732 H2388

בְּמַלְכוּתֹו עִם־כָּל־יִשְׂרָאֵל לְהַמְלִיכֹו כִּדְבַר יְהוָה
その-王国に-おいて と-共に すべての イスラエルと 王とする-ために の-言葉の-とおりに 主の
H4438 H5973 H3605 H3478 H4427 H1697 H3068

עַל־יִשְׂרָאֵל׃ ס
の-上に イスラエルの
H5921 H3478 ס

ダビデの勇士のおもなものは次のとおりである。彼らはイスラエルのすべての人とともにダビデに力をそえて国を得させ、主がイスラエルについて言われた言葉にしたがって、彼を王とした人々である。

11 וְאֵלֶּה מִסְפַּר הַגִּבֹּרִים אֲשֶׁר לְדָוִיד יָשָׁבְעָם בֶּן־חַכְמֹונִי רֹאשׁ
そして-これは の-数で 勇士たちの その ダビデの ヤショベアム の-子 ハクモニ かしらで
H0428 H4557 H1368 H0834 H1732 H3434 H1121 H2453 H7218

הַשָּׁלִשִׁי הוּא עוֹרֵר אֶת־חֲנִיתֹו עַל־שְׁלֹשׁ מֵאֹות חָלָל בְּפַעַם אֶחָת׃
(三人の-戦士の) 彼が 振り上げた (address) その-槍を の-上に 三 百人の 倒れた-者を の-一度に 一度
H7991 H1931 H5782 H0853 H2595 H5921 H7969 H3967 H2491 H6471 H0259

ダビデの勇士の数は次のとおりである。すなわち三人の長であるハクモニびとの子ヤショベアム、彼はやりをふるって三百人に向かい、一度にこれを殺した者である。

12 וְאַחֲרָיו אֶלְעָזָר בֶּן־דֹּודֹו הָאֲחֹחִי הוּא בִּשְׁלוֹשָׁה הַגִּבֹּרִים׃
そして-その-次に エルアザル の-子 ドド アホア人で 彼は の-三人の-中に-いた 勇士たちの
H0499 H1121 H1734 H0266 H1931 H7969 H1368

彼の次はアホアびとドドの子エレアザルで、三勇士のひとりである。

13 הוּא־הָיָה עִם־דָּוִיד בְּפַס דַּמִּים וְהַפְּלִשְׁתִּים נֶאֶסְפוּ־שָׁם
彼が いた と-共に ダビデと パス・ダミムに そして-ペリシテ人が 集まった そこに
H1931 H1961 H5973 H1732 H6450 H6430 H0622 H8033

לַמִּלְחָמָה וַתְּהִי חֶלְקַת הַשָּׂדֶה מָלְאָה שְׂעֹרִים וְהָעָם נָס מִפְּנֵי
戦いの-ために そして-あった の-一区画が 畠の 満ちた 大麦で そして-民は 逃げた の-前から
H4421 H1961 H2513 H7704 H4392 H8184 H5971 H5127 H6440

פְּלִשְׁתִּים׃
ペリシテ人の
H6430

彼はダビデとともにパスダミムにいたが、ペリシテびとがそこに集まって来て戦った。そこに一面に大麦のはえた地所があった。民はペリシテびとの前から逃げた。

14 וַיִּתְיַצַּב בְּתוֹךְ־הַחֶלְקָה וַיַּצִּילֻהָּ וַיַּכּוּ אֶת־פְּלִשְׁתִּים
そして-立った の-中に その-一区画の そして-救った そして-打ち破った (address) ペリシテ人を
H3320 H8432 H2513 H5337 H5221 H0853 H6430

וַיֹּושַׁע יְהוָה תְּשׁוּעָה גְדוֹלָה׃
そして-救われた 主が の-救いを-もたらした 大きな
H3467 H3068 H8668 H1419

しかし彼は地所の中に立ってこれを防ぎ、ペリシテびとを殺した。そして主は大いなる勝利を与えて彼らを救われた。

15 וַיֵּרְדוּ שְׁלוֹשָׁה מִן־הַשְּׁלוֹשִׁים רָאשׁ עַל־הַצּוּר אֶל־דָּוִיד
そして-下った 三人が からの 三十人の かしらたちで 上に の-岩の の-もとに ダビデの
H3381 H7969 H7970 H7218 H5921 H6697 H0413 H1732

אֶל־מְעָרַת עֲדֻלָּם וּמַחֲנֵה פְלִשְׁתִּים חֹנָה בְּעֵמֶק רְפָאִים׃
の-もとに の-洞窟の アドラム そして-考営が ペリシテ人の 陣取って-いた の-谷に レファイムの
H0413 H4631 H5725 H4264 H6430 H2583 H6010

三十人の長たちのうちの三人は下っていってアドラムのほらあなの岩の所にいるダビデのもとへ行った。時にペリシテびとの軍勢はレパイムの谷に陣を取っていた。

16 וְדָוִיד אָז בַּמְּצוּדָה וְנְצִיב פְּלִשְׁתִּים אָז בֵּית לָחֶם׃
そして-ダビデは その-時 要塞に-いた そして-守備隊が ペリシテ人の その-時 ベツレヘムに-いた
H1732 H0227 H4686 H5333 H6430 H0227 H1035

その時ダビデは要害におり、ペリシテびとの先陣はベツレヘムにあったが、

17 וַיִּתְאָו (וַיֹּאמֶר דָּוִיד מִי יַשְׁקֵנִי מַיִם מִבּוֹר בֵּית־לֶחֶם אֲשֶׁר בַּשָּׁעַר׃
(そして-渇いた) ダビデは そして-言った 誰が 飲ませて-くれるか 水を の-井戸から ベツレヘムの その 門に-ある
H0183 H1732 H0559 H4310 H8248 H4325 H1035 H0834 H8179

ダビデはせつに望んで、「だれかベツレヘムの門のかたわらにある井戸の水をわたしに飲ませてくれるとよいのだが」と言った。

18 וַיִּבְקְעוּ הַשְּׁלֹשָׁה בְּמַחֲנֵה פְלִשְׁתִּים וַיִּשְׁאֲבוּ מַיִם מִבּוֹר
そして-突き破った 三人は の-考営を ペリシテ人の そして-汲み取った 水を の-井戸から
H1234 H7969 H4264 H6430 H7579 H4325 H1035

אֶל־דָּוִיד וַיָּבְאוּ וַיִּשְׂאוּ וַיָּבִיאוּ אֶל־בֵּית לֶחֶם אֲשֶׁר בַּשָּׁעַר וַיִּשְׂאוּ וַיָּבִיאוּ אֶל־דָּוִיד׃
の-もとに そして-持って-来た そして-担いで 門に-ある その ベツレヘムの そして-担いで そして-持って-来た の-もとに ダビデの
H0413 H0935 H5375 H8179 H0834 H1035 H5375 H0935 H0413 H1732

וַיִּנְסֵךְ אֹתָם לַיהוָה׃ וַיֹּאמֶר לְשְׁתוֹתָם דָּוִיד וְלֹא אָבָה אֹתָם
そして-注ぎ-出した それを 主に それを-飲むことを ダビデは 応じ それを しかし-なかった
H5258 H0853 H3068 H8354 H1732 H0014 H0853 H3808

そこでその三人はペリシテびとの陣を突き通って、ベツレヘムの門のかたわらにある井戸の水をくみ取って、ダビデのもとに携えて来た。しかしダビデはそれを飲もうとはせず、それを主の前に注いで、

19 וַיֹּאמֶר חָלִילָה לִּי מֵאֱלֹהַי מֵעֲשׂוֹת זֹאת הֲדַם הָאֲנָשִׁים הָאֵלֶּה
そして-言った とんでもない 私には わが-神から 行うことが これを の-血を 人々の これらの
H0559 H2486 H0589 H0430 H6213 H2063 H1818 H0582 H0428

כִּי בְנַפְשׁוֹתָם בִּיאוּם וְלֹא אָבָה לִשְׁתּוֹת אֶת־הַמַּיִם הָאֵלֶּה שָׁתָה
なぜなら その-いのちを-かけて 持ち帰った そして-なかった 応じ 飲むのか それを-飲むことを これらを 勇士たちが 三人の 行った
H3588 H5315 H0935 H3808 H0014 H8354 H0853 H4325 H0428 H8354 H1368 H7969 H6213

言った、「わが神よ、わたしは断じてこれをいたしません。命をかけて行ったこの人たちの血をどうしてわたしは飲むことができましょう。彼らは命をかけてこの水をとって来たのです」。それゆえ、ダビデはこの水を飲もうとはしなかった。三勇士はこのことをおこなった。

20

וְהוּא֙	הַשְּׁלוּשָׁ֔ה	רָאשׁ֖	הָיָ֑ה	הֽוּא	יוֹאָ֣ב	אֲחִי־	וַאֲבִשָׁ֔י
そして–彼が	三人の	かしらで	あった	彼が	ヨアブの	の–兄弟で	そして–アブシャイは
H1931	H7969		H1961	H1931	H3097	H0251	H0052

]ולא־[	חָלָ֗ל	מֵאוֹת֙	שְׁלֹ֣שׁ	עַל־	חֲנִיתֹ֔ו	אֶת־	עוֹרֵ֖ר
[そして–なかった]	倒れた–者を	百人の	三	の–上に	その–槍を	(address)	振り上げた
H3808		H3967	H7969		H2595	H0853	H5782

בַּשְּׁלוּשָׁ֖ה׃	שֵׁ֥ם	)וְלֹו־(
三人の–中で	名声が–あった	(そして–彼には)
H7969	H8034	

ヨアブの兄弟アビシャイは三十人の長であった。彼はやりをふるって三百人に立ち向かい、これを殺して三人のほかに名を得た。

21

וְעַד־	לְשָׁ֔ר	לָהֶ֖ם	וַיְהִ֑י	נִכְבָּ֣ד	בַּשְּׁנַיִם֙	הַשְּׁלוּשָׁ֔ה	מִן־	
しかし–までは	将軍に	彼らの	そして–なった	尊ばれて	二人に–おいて	三人の–中で	からの	
H5704	H8269		H1961	H3513	H8147	H7969		

ס	בָּֽא׃	לֹ֣א־	הַשְּׁלוּשָׁ֔ה	
ס	達し	なかった	三人の–中には	
	H0935	H3808	H7969	

彼は三十人のうち、最も尊ばれた者で、彼らのかしらとなった。しかし、かの三人には及ばなかった。

22

הַ֣וא	קַבְצְאֵ֗ל	מִן־	פְּעָלִים֙	רַב־	חַ֔יִל	אִישׁ־	בֶּן־	יְהֹוָדָ֖ע	בֶּן־	בְּנָיָ֑ה
彼が	カブツェエル	からの	戦功の	多くの	勇敢な	の–人で	の–子	エホヤダ	の–子	ベナヤ
H1931	H6909		H6467		H2428	H0376		H3077		H1141

וְהִכָּ֔ה	יָרַ֖ד	וְה֣וּא	מוֹאָ֑ב	אֲרִיאֵ֣ל	שְׁנֵי֙	אֶת	הִכָּ֔ה
そして–打ち殺した	下りて	そして–彼が	モアブの	アリエルを	二人の	(address)	打ち殺した
H5221	H3381	H1931	H4124	H0739	H8147	H0853	H5221

הַשָּׁלֶ֑ג׃	בְּיֹ֣ום	הַבֹּ֔ור	בְּתֹ֖וךְ	הָאֲרִ֥י	אֶת־
雪の	の–日に	穴の	の–中で	獅子を	(address)
H7950	H3117		H8432		H0853

エホヤダの子ベナヤは、カブジエル出身の勇士であって、多くのてがらを立てた。彼はモアブのアリエルのふたりの子を撃ち殺した。彼はまた雪の日に下っていって、穴の中でししを撃ち殺した。

23

בָּאַמָּ֔ה	חָמֵ֖שׁ	וּמִדַּ֣ה	אִ֑ישׁ	הַמִּצְרִ֣י	הָאִ֔ישׁ	אֶת־	הִכָּה֙	וְהוּא־
キュビトの	五	背丈が	人で	エジプトの	の–人を	(address)	打ち殺した	そして–彼が
	H2568		H0376	H4713	H0376	H0853	H5221	H1931

וַיֵּרֶד֙	אֹרְגִ֔ים	כְּמְנ֣וֹר	חֲנִית֙	הַמִּצְרִ֔י	וּבְיַ֣ד
そして–下りて–行った	機織りの–棒の	の–ような	槍が–あった	エジプト人の	そして–の–手に
H3381	H0707	H4500	H2595	H4713	H3027

הַמִּצְרִ֔י	מִיַּ֖ד	הַחֲנִ֑ית	אֶת־	וַיִּגְזָ֣ל	בַּשֶּׁ֔בֶט	אֵלָ֖יו
エジプト人の	から–の–手から	槍を	(address)	そして–奪い取った	の–棒で	彼の–もとに
H4713	H3027	H2595	H0853	H1497	H7626	H0413

בַּחֲנִיתֹֽו׃	וַיַּהַרְגֵ֖הוּ	
その–槍で	そして–殺した	
H2595	H2026	

彼はまた身のたけ五キュビトばかりのエジプトびとを撃ち殺した。そのエジプトびとは手に機の巻棒ほどのやりを持っていたが、ベナヤはつえをとって彼の所へ下って行き、エジプトびとの手から、やりをもぎとり、そのやりをもって彼を殺した。

24 אֵ֚לֶּה בְּנָיָ֣הוּ בֶן־יְהוֹיָדָ֔ע וְל֥וֹ שֵׁ֖ם בִּשְׁלוֹשָׁ֑ה
これらを ベナヤフは の-子 エホヤダの そして-彼には 名声が-あった の-三人の-中で
H0428 H1141 H1121 H3077 H0001 H8034 H7969

הַגִּבֹּרִֽים׃
勇士たちの
H1368

エホヤダの子ベナヤは、これらの事を行って三勇士のほかに名を得た。

25 מִן־הַשְּׁלוֹשִׁ֖ים הִנֵּ֣ה נִכְבָּ֑ד וְאֶל־הַשְּׁלוֹשָׁ֣ה לֹא־בָ֔א
からの 三十人の-中で 見よ 尊ばれた 彼は しかし-までは なかった 達し
H4480 H7970 H2009 H3513 H1931 H0413 H3808 H0935

ס וַיְשִׂמֵ֥הוּ דָוִ֖יד עַל־מִשְׁמַעְתּ֑וֹ ס
ダビデは そして-置いた の-上に その-護衛の
H1732 H5921 H4928

彼は三十人のうちに有名であったが、かの三人には及ばなかった。ダビデは彼を侍衛の長とした。

26 וְגִבּוֹרֵ֣י הַחֲיָלִ֗ים עֲשָׂה־אֵ֙לְחָנָ֙ן בֶּן־דֹּד֔וֹ
そして-の-勇士たちは 軍勢の アサヘル の-兄弟で ヨアブの ヨアブの エルハナン の-子
H1368 H2428 H6214 H0251 H3097 H0445 H1121

ס בֵּ֥ית לָֽחֶם׃ ס
ベツレヘムからの
H1035

軍団のうちの勇士はヨアブの兄弟アサヘル。ベツレヘム出身のドドの子エルハナン。

27 שַׁמּ֥וֹת הַחֲרוֹרִ֖י חֶלֶ֣ץ הַפְּלוֹנִֽי׃ ס
シャモト ハロリ人 ヘレツ ペロニ人
H8054 H2033 H2503 H6397

ハロデ出身のシャンマ。ペロンびとヘレヅ。

28 עִירָ֣א בֶן־עִקֵּ֔שׁ הַתְּקוֹעִ֖י אֲבִיעֶ֣זֶר הָעַנְּתוֹתִֽי׃ ס
イラ の-子 イッケシュの テコア人 アビエゼル アナトト人
H5896 H1121 H6142 H8621 H0044 H6069

テコア出身のイッケシの子イラ。アナトテ出身のアビエゼル。

29 סִבְכַּ֣י הַחֻשָׁתִ֗י עִילַ֙י הָאֲחוֹחִֽי׃ ס
シベカイ フシャテ人 イライ アホア人
H5444 H2843 H5866 H0266

ホシャテびとシベカイ。アホアびとイライ。

30 מַהְרַ֣י הַנְּטֹפָתִ֗י חֶלֶ֙ד בֶּן־בָּעֲנָ֙ה הַנְּטֹפָתִֽי׃ ס
マヘライ ネトファ人 ヘレド の-子 バアナの ネトファ人
H4121 H5200 H2466 H1121 H1196 H5200

ネトパ出身のマハライ。ネトパ出身のバアナの子ヘレデ。

31 אִיתַ֣י בֶן־רִיבַ֔י מִגִּבְעַ֖ת בְּנֵ֣י בִנְיָמִ֑ן בְּנָיָ֖ה הַפִּרְעָתֹנִֽי׃ ס
イタイ の-子 リバイの からの-ギブア の-子らの ビニヤミン ベナヤ ピルアトン人
H0863 H1121 H7380 H1390 H1121 H1144 H1141 H6553

ベニヤミンびとのギベアから出たリバイの子イタイ。ピラトンのベナヤ。

32	חוּרַי	מִנַּחֲלֵי	גָּעַשׁ	ס	אֲבִיאֵל	הָעַרְבָתִי׃	ס
	フライ	の–谷川からの	ガアシュの	ס	アビエル	アラバ人	ס
	H2360	H1608	H1608		H0022	H6164	

ガアシの谷のホライ。アルバテびとアビエル。

33	עַזְמָוֶת	הַבַּחֲרוּמִי	אֶלְיַחְבָא	הַשַּׁעַלְבֹנִי׃	ס
	アズマベテ	バフルミ人	エルヤフバ	シャアルボニ人	ס
	H5820	H0978	H0455	H8170	

バハルム出身のアズマウテ。シャルボン出身のエリヤバ。

34	בְּנֵי	הָשֵׁם	הַגִּזֹנִי	יוֹנָתָן	בֶּן־	שָׁגֵה	הַהֲרָרִי׃	ס
	の–子ら	ハシェムの	ギゾニ人	ヨナタン	の–子	シャゲの	ハラリ人	ס
		H2044	H1493	H3129		H7681	H2043	

ギゾンびとハセム。ハラルびとシャゲの子ヨナタン。

35	אֲחִיָּם	בֶּן־	שָׂכָר	הַהֲרָרִי	אֱלִיפָל	בֶּן־	אוּר׃	ס
	アヒアム	の–子	サカルの	ハラリ人	エリファル	の–子	ウルの	ס
	H0279		H7940	H2043	H0465			

ハラルびとサカルの子アヒアム。ウルの子エリパル。

36	חֵפֶר	הַמְּכֵרָתִי	אֲחִיָּה	הַפְּלֹנִי׃	ס
	ヘフェル	メケラテ人	アヒヤ	ペロニ人	ס
		H4382	H0281	H6397	

メケラテびとヘペル。ペロンびとアヒヤ。

37	חֶצְרוֹ	הַכַּרְמְלִי	נַעֲרַי	בֶּן־	אֶזְבָי׃	ס
	ヘツロ	カルメル人	ナアライ	の–子	エズバイの	ס
	H2695	H3761	H5293		H0229	

カルメル出身のヘズロ。エズバイの子ナアライ。

38	יוֹאֵל	אֲחִי	נָתָן	מִבְחָר	בֶּן־	הַגְרִי׃	ס
	ヨエル	の–兄弟で	ナタンの	ミブハル	の–子	ハグリ人の	ס
	H3100	H0251	H5416	H4006		H1905	

ナタンの兄弟ヨエル。ハグリの子ミブハル。

39	צֶלֶק	הָעַמּוֹנִי	נַחְרַי	הַבְּרֹתִי	נֹשֵׂא	כְּלֵי	יוֹאָב	בֶּן־	צְרוּיָה׃
	ツェレク	アンモン人	ナフライ	ベロテ人	の–持ち手で	の–武具の	ヨアブ	の–子	ツェルヤの
	H6768	H5984	H5171	H1307	H5375	H3627	H3097		H6870

ס
ס

アンモンびとゼレク。ゼルヤの子ヨアブの武器を執るもの、ベエロテ出身のナハライ。

40	עִירָא	הַיִּתְרִי	גָּרֵב	הַיִּתְרִי׃	ס
	イラ	イテル人	ガレブ	イテル人	ס
	H5896	H3505	H1619	H3505	

イテルびとイラ。イテルびとガレブ。

41 אוּרִיָּה֙ הַחִתִּ֔י זָבָ֖ד בֶּן־ אַחְלָ֑י׃ ס ס
ウリヤ ヒッテ人 ザバド の-子 アヘライの
H0304 H2850 H2066

ヘテびとウリヤ。アハライの子ザバデ。

42 עֵדִינָ֣א בֶן־ שִׁיזָ֗א הָרְאוּבֵּנִי֙ רֹ֣אשׁ לָרְאוּבֵּנִ֔י וְעָלָ֖יו שְׁלוֹשִֽׁים׃
アディナ の-子 シザの ルベン人で かしらで の-ルベン人の そして-彼の-上に 三十人が-いた
H5721 H7877 H7206 H7206 H7970

ס ס

ルベンびとシザの子アデナ。彼はルベンびとの長であって、三十人を率いた。

43 חָנָ֣ן בֶּן־ מַעֲכָ֗ה וְיוֹשָׁפָ֙ט֙ הַמִּתְנִֽי׃ ס ס
ハナン の-子 マアカの そして-ヨシャファテ ミテニ人
H2605 H4601 H3146 H4981

またマアカの子ハナン。ミテニびとヨシャパテ。

44 עֻזִּיָּ֣א הָעַשְׁתְּרָתִ֗י שָׁמָע֙]ויעואל[ )וְיעִיאֵ֔ל(בְּנֵ֖י חוֹתָ֑ם הָעֲרֹעֵרִֽי׃ ס ס
ウジヤ アシュタロテ人 シャマ [そして-エウエル] (そして-エイエル) の-子ら ホタムの アロエル人
H5814 H6254 H8091 H3273 H3273 H2369 H6200

アシテラテびとウジヤ。アロエルびとホタムの子らシャマとエイエル。

45 יְדִיעֲאֵ֣ל בֶּן־ שִׁמְרִ֗י וְיוֹחָ֙א֙ אֲחָ֔יו הַתִּיצִֽי׃ ס ס
エディアエル の-子 シムリの そして-ヨハ その-兄弟で ティツ人
H3043 H8113 H3109 H0251 H8491

テジびとシムリの子エデアエルおよびその兄弟ヨハ。

46 אֱלִיאֵ֣ל הַמַּחֲוִ֗ים וְיִרִיבַ֙י֙ וְיוֹשַׁוְיָ֔ה בְּנֵ֖י אֶלְנָעָ֑ם וְיִתְמָ֣ה הַמּוֹאָבִֽי׃
エリエル マハビム人 そして-エリバイ そして-ヨシャブヤは の-子ら エルナアムの そして-イトマ モアブ人
H0447 H4233 H3403 H3145 H0493 H3495 H4125

マハブびとエリエル。エルナアムの子らエリバイおよびヨシャビヤ。モアブびとイテマ。

47 אֱלִיאֵ֣ל וְעוֹבֵ֔ד וְיַעֲשִׂיאֵ֖ל הַמְּצֹבָיָ֑ה׃ פ פ
エリエル そして-オベド そして-ヤアシエル メツォバヤ人
H0447 H5744 H3300 H4677

エリエル、オベデおよびメゾバびとヤシエルである。

Chapter 12

1

עָצוּר	עוֹד	לְצִיקְלַג	דָּוִיד	אֶל־	הַבָּאִים	וְאֵלֶּה
閉じ込められて–いた	まだ	ツィクラグに	ダビデの	の–もとに	来た–者たちで	そして–これらは
H6113	H5750	H6860	H1732	H0413	H0935	H0428

עֹזְרֵי	בַּגִּבֹּרִים	וְהֵמָּה	קִישׁ	בֶּן־	שָׁאוּל	מִפְּנֵי	
助ける–者たちで	の–勇士たちの–中に–いた	そして–彼らは	キシュ	の–子	サウルの	の–前から	
H5826	H1368	H1992	H7027		H7586	H6440	

הַמִּלְחָמָה׃	
戦いの	
H4421	

ダビデがキシの子サウルにしりぞけられて、なおチクラグにいた時、次の人々が彼のもとに来た。彼らはダビデを助けて戦った勇士たちのうちにあり、

2

מֵאַחֵי	בַקֶּשֶׁת	וּבַחִצִּים	בָּאֲבָנִים	וּמַשְׂמְאלִים	מַיְמִינִים	קֶשֶׁת	נֹשְׁקֵי
の–兄弟たちからの	弓で	そして–矢を	石を	そして–左手でも	右手でも	弓を	扱う–者たちで
H0251	H7198	H2671	H0068	H8041	H3231	H7198	

מִבִּנְיָמִן׃	שָׁאוּל	
ビニヤミンからの	サウルの	
H1144	H7586	

弓をよくする者、左右いずれの手をもってもよく矢を射、石を投げる者で、ともにベニヤミンびとで、サウルの同族である。

3

[ויזואל]	הַגִּבְעָתִי	הַשְּׁמָעָה	בְּנֵי	וְיוֹאָשׁ	אֲחִיעֶזֶר	הָרֹאשׁ	
[そして–エズエル]	ギブア人	シェマアの	の–子ら	そして–ヨアシュ	アヒエゼル	かしらは	
H3149	H1395	H8094		H3101	H0295		

הָעַנְתֹתִי׃	וְיֵהוּא	וּבְרָכָה	עַזְמָוֶת	בְּנֵי	וָפֶלֶט	(וְיִזִיאֵל	
アナトト人	そして–エフ	そして–ベラカ	アズマベトの	の–子ら	そして–ペレト	(そして–エジエル)	
H6069	H3058	H1294	H5820		H6404	H3149	

そのかしらはアヒエゼル、次はヨアシで、ともにギベア出身のシマアの子たちである。またエジエルとペレテで、ともにアズマウテの子たちである。またベラカおよびアナトテ出身のエヒウ。

4

הַשְּׁלֹשִׁים׃	וְעַל־	בַּשְּׁלֹשִׁים	גִּבּוֹר	הַגִּבְעוֹנִי	וְיִשְׁמַעְיָה	
三十人の	そして–の–上に	三十人の–中の	勇士で	ギブオン人で	そして–イシュマヤ	
H7970		H7970	H1368	H1393	H3460	

またギベオン出身のイシマヤ、彼は三十人のうちの勇士で、その三十人の長である。またエレミヤ、ヤハジエル、ヨハナン、ゲデラ出身のヨザバデ、

5

הַגְּדֵרָתִי׃	וְיוֹזָבָד	וְיוֹחָנָן	וְיַחֲזִיאֵל	וְיִרְמְיָה	
ゲデラ人	そして–ヨザバド	そして–ヨハナン	そして–ヤハズィエル	そして–エレミヤ	
H1452	H3107	H3076	H3166	H3414	

エルザイ、エリモテ、ベアリヤ、シマリヤ、ハリフびとシパテヤ、

6

וּשְׁפַטְיָהוּ	וּשְׁמַרְיָהוּ	וּבְעַלְיָה	וִירִימוֹת	אֶלְעוּזַי	
そして–シェファテヤフ	そして–シェマルヤフ	そして–ベアルヤ	そして–エリモト	エルウザイ	
H8203	H8114	H1183	H3406	H0498	

הַחֲרוּפִי׃)	[החריפין
(ハルフィ人)	[ハリフィ人]
H2741	H2741

エルカナ、イシア、アザリエル、ヨエゼル、ヤショベアムで、これらはコラびとである。

7	אֶלְקָנָה	וְיִשִּׁיָּהוּ	וַעֲזַרְאֵל	וְיוֹעֶזֶר	וְיָשָׁבְעָם	הַקָּרְחִים׃
	エルカナ	そして-イッシヤフ	そして-アザレル	そして-ヨエゼル	そして-ヤショベアム	コラヒ人
	H0511	H3449	H5832	H3134	H3434	H7145

またゲドルのエロハムの子たちであるヨエラおよびゼバデヤである。

8	וְיוֹעֵאלָה	וּזְבַדְיָה	בְּנֵי	יְרֹחָם	מִן־	הַגְּדוֹר׃
	そして-ヨエラ	そして-ゼバデヤは	の-子ら	エロハムの	からの	ゲドル
	H3132	H2069	H1121	H3395	H4480	H1446

ガドびとのうちから荒野の要害に来て、ダビデについた者は皆勇士で、よく戦う軍人、よく盾とやりをつかう者、その顔はししの顔のようで、その速いことは山にいるしかのようであった。

9	וּמִן־	הַגָּדִי	נִבְדְּלוּ	אֶל־	דָּוִיד	לַמְצָד	מִדְבָּרָה	גִּבֹּרֵי
	そして-からの	ガド人の	分かれて-来た	の-もとに	ダビデの	要塞に	荒野の	勇士たちで
	H0413	H1425	H0914	H0413	H1732	H4679	H4057	H1368

	אַרְיֵה	וּפְנֵי	וָרֹמַח	צִנָּה	עֹרְכֵי	לַמִּלְחָמָה	צָבָא	אַנְשֵׁי	הַחַיִל
	獅子の	そして-の-顔は	槍を	盾と	整える-者たちで	戦いの-ための	軍の	の-人々で	軍勢の
	H0738	H6440	H7420			H4421		H0376	H2428

ס	לְמַהֵר׃	הֶהָרִים	עַל־	וְכִצְבָאִים	פְּנֵיהֶם
ס	速かった	山々の	の-上で	そして-かもしかの-ように	その-顔で
		H2022			H6440

彼らのかしらはエゼル、次はオバデヤ、第三はエリアブ、

10	הַשְּׁלִשִׁי׃	אֱלִיאָב	הַשֵּׁנִי	עֹבַדְיָה	הָרֹאשׁ	עֵזֶר
	第三	エリアブは	第二	オバデヤは	かしらで	エゼルが
	H7992	H0446	H8145	H5662		H5829

第四はミシマンナ、第五はエレミヤ、

11	הַחֲמִשִּׁי׃	יִרְמְיָה	הָרְבִיעִי	מִשְׁמַנָּה
	第五	エレミヤは	第四	ミシュマナは
	H2549	H3414	H7243	H4925

第六はアッタイ、第七はエリエル、

12	הַשְּׁבִעִי׃	אֱלִיאֵל	הַשִּׁשִּׁי	עַתַּי
	第七	エリエルは	第六	アタイは
	H7637	H0447	H8345	H6262

第八はヨナハン、第九はエルザバデ、

13	הַתְּשִׁיעִי׃	אֶלְזָבָד	הַשְּׁמִינִי	יוֹחָנָן
	第九	エルザバドは	第八	ヨハナンは
	H8671	H0443	H8066	H3076

第十はエレミヤ、第十一はマクバナイである。

14	עָשָׂר׃	עַשְׂתֵּי	מַכְבַּנַּי	ס	הָעֲשִׂירִי	יִרְמְיָהוּ
	一番目	十	マクバンナイは	ס	第十	エレミヤフは
	H6240	H6249	H4344		H6224	H3414

これらはガドの子孫で軍勢の長たる者、その最も小さい者でも百人に当り、その最も大いなる者は千人に当った。

15

הַקָּטָן	לְמֵאָה׃	אֶחָד	הַצְּבָא	רָאשֵׁי	גָּד	מִבְּנֵי־	אֵלֶּה
最小の–者でも	百人に–匹敵し	一人が	軍勢の	かしらたちで	ガドの	の–子らからの	これらは
	H3967	H0259			H1410		H0428

לָאָלֶף׃	וְהַגָּדוֹל
千人に–匹敵した	そして–最大の–者は
H0505	

正月、ヨルダンがその全岸にあふれたとき、彼らはこれを渡って、谷々にいる者をことごとく東に西に逃げ走らせた。

16

וְהוּא	הָרִאשׁוֹן	בַּחֹדֶשׁ	הַיַּרְדֵּן׀	אֶת־	עָבְרוּ	אֲשֶׁר	הֵם	אֵלֶּה
そして–それが	第一の	の–月に	ヨルダン川を	(address)	渡った	その	彼らで	これらは
H1931	H7223	H2320	H3383	H0853			H1992	H0428

כָּל־	אֶת־	וַיַּבְרִיחוּ	)גְּדוֹתָיו(	]גדיתיו[	כָּל־	עַל־	מְמַלְּא
すべての	(address)	そして–追い払った	(その–岸を)	[その–岸を]	すべての	の–上に	溢れて–いた
H3605	H0853	H1272	H1415	H1415	H3605		H4390

סס	וְלַמַּעֲרָב׃	לַמִּזְרָח	הָעֲמָקִים
סס	そして–西へと	東へと	谷の–住民を
	H4628	H4217	H6010

ベニヤミンとユダの子孫のうちの人々が要害に来て、ダビデについた。

17

לְדָוִיד׃	לַמְּצָד	עַד־	וִיהוּדָה	בִּנְיָמִן׀	בְּנֵי	מִן־	וַיָּבֹאוּ
ダビデの–もとに	要塞に	まで	そして–ユダの	ビニヤミンの	の–子らが	からの	そして–来た
H1732	H4679	H5704	H3063	H1144			H0935

ダビデは出て彼らを迎えて言った、「あなたがたが好意をもって、わたしを助けるために来たのならば、わたしの心もあなたがたと、ひとつになりましょう。しかし、わたしの手になんの悪事もないのに、もしあなたがたが、わたしを欺いて、敵に渡すためであるならば、われわれの先祖の神がどうぞみそなわして、あなたがたを責められますように」。

18

לְשָׁלוֹם	אִם־	לָהֶם	וַיֹּאמֶר	וַיַּעַן	לִפְנֵיהֶם׀	דָּוִיד	וַיֵּצֵא
平和の–ために	もし	彼らに	そして–言った	そして–答えて	彼らの–前に	ダビデが	そして–出た
H7965			H0559		H6440	H1732	H3318

לֵבָב	עֲלֵיכֶם	לִי	יְהִיֶה־	לְעָזְרֵנִי	אֵלַי	בָּאתֶם
心が	あなたがたの–上に	私に	あるであろう	助ける–ために	私の–もとに	来たのなら
H3824			H1961	H5826	H0413	H0935

בְּכַפָּי	חָמָס	בְּלֹא	לְצָרָי	לְרַמּוֹתֵנִי	וְאִם־	לְיָחֵד
わが–手に	不正が	ないのに	敵に	裏切る–ために	しかし–もし	一つに–なる–ために
H3709	H2555	H3808				

סס	וְיוֹכַח׃	אֲבוֹתֵינוּ	אֱלֹהֵי	יֵרָא
סס	そして–裁いて–くださるように	私たちの–先祖の	の–神が	見て–くださるように
	H3198	H0001	H0430	H7200

時に霊が三十人の長アマサイに臨み、アマサイは言った、「ダビデよ、われわれはあなたのもの。エッサイの子よ、われわれはあなたと共にある。平安あれ、あなたに平安あれ。あなたを助ける者に平安あれ。あなたの神があなたを助けられる」。そこでダビデは彼らを受けいれて部隊の長とした。

19 וְרוּחַ לָבְשָׁה אֶת־ עֲמָשַׂי רֹאשׁ]השלושים[ )הַשָּׁלִישִׁים(
そして–霊が 衣った (address) アマサイを かしらで [三十人の] (三人の–戦士の)
H7307 H3847 H0853 H6022 H7991 H7970

לְךָ דָּוִד וְעִמְּךָ בֶן־ יִשַׁי וְשָׁלוֹם וְשָׁלוֹם לְךָ
あなたの–ものです ダビデよ そして–あなたと–共にです の–子よ エッサイ 平和 平和が あなたに
H1732 H7965 H3448 H7965 H7965

וַיְקַבְּלֵם אֱלֹהֶיךָ עֶזָרְךָ כִּי לְעֹזְרֶךָ וְשָׁלוֹם
そして–受け入れた あなたの–神が 助けて–くださる なぜなら あなたを–助ける–者に そして–平和が
H6901 H0430 H5826 H5826 H7965

פ הַגְּדוּד׃ בְּרָאשָׁיו וַיִּתֵּנֵם דָּוִיד
פ 軍団の の–かしらたちに そして–置いた ダビデは
H1416 H5414 H1732

さきにダビデがペリシテびとと共にサウルと戦おうと攻めて来たとき、マナセびと数人がダビデについた。（ただしダビデはついにペリシテびとを助けなかった。それはペリシテびとの君たちが相はかって、「彼はわれわれの首をとって、その主君サウルのもとに帰るであろう」と言って、彼を去らせたからである。）

20 וּמְמַנַּשֶּׁה נָפְלוּ עַל־ דָּוִיד בְּבֹאוֹ עִם־ פְּלִשְׁתִּים
そして–マナセから 落ちて–来た の–もとに ダビデの 彼が–来た–時に と–共に ペリシテ人と
H4519 H5307 H0413 H1732 H0935 H0413 H6430

עַל־ שָׁאוּל לְמִלְחָמָה וְלֹא עֻזָּרָם כִּי בְּעֵצָה שִׁלְּחֻהוּ
の–上に サウルの 戦いの–ために しかし–なかった 助け なぜなら 協議の–上で 送り返した
H7586 H4421 H3808 H5826 H3588 H6098 H7971

׃שָׁאוּל אֲדֹנָיו אֶל־ יִפּוֹל בְּרָאשֵׁינוּ לֵאמֹר פְּלִשְׁתִּים סַרְנֵי
サウル その–主人の の–もとに 寝返るだろう 私たちの–頭で 言って ペリシテ人の の–領主たちが
H7586 H0113 H0413 H5307 H0559 H6430

ダビデがチクラグへ行ったとき、マナセびとアデナ、ヨザバデ、エデアエル、ミカエル、ヨザバデ、エリウ、ヂルタイが彼についた。皆マナセびとの千人の長であった。

21 בְּלֶכְתּוֹ אֶל־ צִיקְלַג נָפְלוּ עָלָיו וּמְמַנַּשֶּׁה עָדְנַח
彼が–行った–時に の–もとに ツィクラグの 落ちて–来た 彼の–もとに マナセから アドナフ
H3212 H0413 H6860 H5307 H5921 H4519 H5734

וְיוֹזָבָד וְיִדִיעֵאל וּמִיכָאֵל וְיוֹזָבָד וְאֶלִיהוּא
そして–ヨザバド そして–エディアエル そして–ミカエル そして–ヨザバド そして–エリフ
H3107 H3043 H4317 H3107 H0453

׃וְצִלְתַּי רָאשֵׁי הָאֲלָפִים אֲשֶׁר לִמְנַשֶּׁה
そして–ツィレタイは かしらたちで 千人隊の その マナセの
H6769 H7218 H0505 H0834 H4519

彼らはダビデを助けて敵軍に当った。彼らは皆大勇士で軍勢の長であった。

22 וְהֵמָּה עָזְרוּ עִם־ דָּוִיד עַל־ הַגְּדוּד כִּי־ גִבּוֹרֵי חַיִל
そして–彼らは 助けた と–共に ダビデを の–上に 略奪–隊の なぜなら 勇士たちで 勇敢な
H1992 H5826 H5973 H1732 H5973 H1416 H3588 H1368 H2428

׃בַּצָּבָא כֻּלָּם וַיִּהְיוּ שָׂרִים
の–中で 皆が そして–なった 将軍たちに
H8269 H3605 H1961

ダビデを助ける者が日に日に加わって、ついに大軍となり、神の軍勢のようになった。

23 כִּי לְעֵת־ יוֹם יוֹם בָּאוּ עַל־ דָּוִיד לְעָזְרוֹ עַד־
なぜなら の–時に 日ごとに 日ごとに 来た の–もとに ダビデの 助ける–ために まで
H3588 H6256 H3117 H3117 H0935 H5921 H1732 H5826 H5704

פ כְּמַחֲנֵה גְדוֹל לְמַחֲנֶה אֱלֹהִים׃
פ の–考営の–ように 大きな の–考営になった 神の
H4264 H1419 H4264 H0430

主の言葉に従い、サウルの国をダビデに与えようとして、ヘブロンにいるダビデのもとに来た武装した軍隊の数は、次のとおりである。

24 וְאֵלֶּה מִסְפְּרֵי רָאשֵׁי הֶחָלוּץ לַצָּבָא בָּאוּ עַל־
そして–これらは の–数で かしらたちの 武装した–者たちの 軍勢の–ための 来た の–もとに
H1571 H4557 H7218 H2502 H6635 H0935 H5921

ס יְהוָה׃ כְּפִי אֵלָיו שָׁאוּל מַלְכוּת לְהָסֵב חֶבְרוֹנָה דָּוִיד
ס 主の の–言葉の–とおりに 彼に サウルの の–王権を 移す–ために ヘブロンに ダビデの
H3068 H6310 H0413 H7586 H4438 H5437 H2275 H1732

ユダの子孫で盾とやりをとり、武装した者六千八百人、

25 בְּנֵי יְהוּדָה נֹשְׂאֵי צִנָּה וָרֹמַח שֵׁשֶׁת אֲלָפִים וּשְׁמוֹנֶה מֵאוֹת חֲלוּצֵי
の–子らは ユダの 担ぐ–者たちで 盾と 槍を 六 千 そして–八 百人で 武装した
H1121 H3063 H5375 H6793 H7420 H8337 H0505 H8083 H3967 H2502

צָבָא׃ ס
軍勢の ס

シメオンの子孫で、よく戦う勇士七千百人、

26 מִן־ בְּנֵי שִׁמְעוֹן גִּבּוֹרֵי חַיִל לְצָבָא שִׁבְעַת אֲלָפִים וּמֵאָה׃
からの の–子らの シメオンの 勇士たちで 勇敢な 軍勢の–ための 七 千 そして–百人
H4480 H1121 H8095 H1368 H2428 H6635 H7651 H0505 H3967

ס
ס

レビの子孫からは四千六百人。

27 מִן־ בְּנֵי הַלֵּוִי אַרְבַּעַת אֲלָפִים וְשֵׁשׁ מֵאוֹת׃ ס
からの の–子らの レビの 四 千 そして–六 百人 ס
H4480 H1121 H3878 H0702 H0505 H8337 H3967

エホヤダはアロンの家のつかさで、彼に属する者は三千七百人。

28 וִיהוֹיָדָע לְאַהֲרֹן הַנָּגִיד וְעִמּוֹ שְׁלֹשֶׁת אֲלָפִים וְשֶׁבַע מֵאוֹת׃
そして–エホヤダは アロンの–家の 指導者で そして–彼と–共に 三 千 そして–七 百人
H3077 H0175 H5057 H6440 H7969 H0505 H7651 H3967

ס
ס

ザドクは年若い勇士で、彼の氏族から出た将軍は二十二人。

29 וְצָדֹק גִּבּוֹר נַעַר חָיִל וּבֵית־ אָבִיו שָׂרִים עֶשְׂרִים
そして-ツァドクは 若くて 勇士で 勇敢な そして-の-家の その-父の 将軍たちが 二十
H6659 H5288 H1368 H2428 H0001 H8269 H6242

וּשְׁנָיִם׃ ס ס
そして-二人
H8147

サウルの同族、ベニヤミンの子孫からは三千人、ベニヤミンびとの多くはなおサウルの家に忠義をつくしていた。

30 וּמִן־ בְּנֵי בִנְיָמִן אֲחֵי שָׁאוּל שְׁלֹשֶׁת אֲלָפִים וְעַד־
そして-からの の-子らの ビニヤミンの の-兄弟たちで サウルの 三 千人で そして-それまで
H1144 H0251 H7586 H7969 H0505 H5704

הֵנָּה׃ בַּיִת מִשְׁמֶרֶת שֹׁמְרִים מַרְבִיתָם שָׁאוּל׃ ס ס
その-時まで その-家の の-忠誠を 守って-いた その-大部分は サウルの
H2008 H0001 H4931 H8104 H4768 H7586

エフライムの子孫からは二万八百人、皆勇士で、その氏族の名ある人々であった。

31 וּמִן־ בְּנֵי אֶפְרַיִם עֶשְׂרִים אֶלֶף וּשְׁמֹנֶה מֵאוֹת גִּבּוֹרֵי חַיִל
そして-からの の-子らの エフライムの 二万 千 そして-八 百人で 勇士たちで 勇敢な
H0669 H6242 H0505 H8083 H3967 H1368 H2428

אֲבוֹתָם׃ לְבֵית שֵׁמוֹת אַנְשֵׁי ס ס
その-先祖たちの の-家の 名声の-ある の-人々で
H0001 H8034 H0376

マナセの半部族からは一万八千人、皆ダビデを王に立てようとして上って来て、名をつらねた者である。

32 וּמֵחֲצִי מַטֵּה מְנַשֶּׁה שְׁמוֹנֶה עָשָׂר אֶלֶף אֲשֶׁר נִקְבוּ בְּשֵׁמוֹת
そして-半部族の の-部族の マナセの 十 八 千人で その 指名された 名に-よって
H2677 H4294 H4519 H8083 H6240 H0505 H0834 H5344 H8034

דָּוִיד׃ אֶת־ לְהַמְלִיךְ לָבוֹא ס ס
ダビデを (address) 王とする-ために 来る-ために
H1732 H0853 H0935

イッサカルの子孫からはよく時勢に通じ、イスラエルのなすべきことをわきまえた人々が来た。その長たる者が二百人あって、その兄弟たちは皆その指揮に従った。

33 וּמִבְּנֵי יִשָּׂשכָר יוֹדְעֵי בִינָה לַעִתִּים לָדַעַת מַה־
そして-の-子らからは イッサカルの 知る-者たちで 理解を の-時の 知る-ために 何を
H3485 H3045 H0998 H6256 H3045 H4100

יִשְׂרָאֵל יַעֲשֶׂה רָאשֵׁיהֶם מָאתַיִם וְכָל־ אֲחֵיהֶם עַל־
イスラエルが すべきかを その-かしらたちは 二百人で そして-すべての その-兄弟たちは の-上に
H3478 H3605 H3967 H0251

פִּיהֶם׃ ס ס
その-命令の-下に
H6310

ゼブルンからは五万人、皆訓練を経た軍隊で、もろもろの武具で身をよろい、一心にダビデを助けた者である。

34 מִזְּבֻלוּן יוֹצְאֵי צָבָא עֹרְכֵי מִלְחָמָה בְּכָל־ כְּלֵי מִלְחָמָה
ゼブルンからは 出る-者たちで 軍に 整える-者たちで すべての の-武具で 戦いの
H2074 H3318 H3605 H4421 H3627 H4421

חֲמִשִּׁים אֶלֶף וְלַעֲרֹךְ בְּלֹא־ לֵב וָלֵב׃ ס ס
五万 千人で そして-整列する-者たちで 二心-なく 心が 一つで
H2572 H0505 H3808

ナフタリからは将たる者一千人および盾とやりをとってこれに従う者三万七千人。

35 וּמִנַּפְתָּלִי שָׂרִים אֶלֶף וְעִמָּהֶם בְּצִנָּה וַחֲנִית שְׁלֹשִׁים
そして–ナフタリからは 将軍たちが 千人で そして–彼らと–共に の–盾と 槍を–持つ–者が 三万
H5321 H8269 H0505 H0854 H1157 H2595 H7970

וְשִׁבְעָה׃ אֶלֶף ס ס
そして–七 千人
H7651 H0505

ダンびとからは武装した者二万八千六百人。

36 וּמִן־ הַדָּנִי עֹרְכֵי מִלְחָמָה עֶשְׂרִים־ וּשְׁמוֹנָה אֶלֶף וְשֵׁשׁ מֵאוֹת׃
そして–からの ダン人の 整える–者たちで 戦いを 二万 八 千 そして–六 百人
H1839 H6186 H4421 H6242 H8083 H0505 H8337 H3967

ס ס

アセルからは戦いの備えをした熟練の者四万人。

37 וּמֵאָשֵׁר יוֹצְאֵי צָבָא לַעֲרֹךְ מִלְחָמָה אַרְבָּעִים אֶלֶף׃ ס ס
そして–アシェルからは 出る–者たちで 軍に 整える–ために 戦いを 四万 千人
H0836 H3318 H6635 H6186 H4421 H0705 H0505

またヨルダンのかなたルベンびと、ガドびと、マナセの半部族からはもろもろの武具で身をよろった者十二万人であった。

38 וּמֵעֵבֶר לַיַּרְדֵּן מִן־ הָרְאוּבֵנִי וְהַגָּדִי וְחֲצִי
そして–の–向こうからの ヨルダン川の からの ルベン人と そして–ガド人と そして–半部族の
H5676 H3383 H4480 H7206 H1425 H2677

שֵׁבֶט מְנַשֶּׁה בְּכֹל כְּלֵי צְבָא מִלְחָמָה מֵאָה וְעֶשְׂרִים אֶלֶף׃
の–部族の マナセの すべての の–武具で 軍の 戦いの 十二万 そして–二万 千人
H7626 H4519 H3605 H3627 H6635 H4421 H3967 H6242 H0505

すべてこれらの戦いの備えをしたいくさびとらは真心をもってヘブロンに来て、ダビデを全イスラエルの王にしようとした。このほかのイスラエルびともまた、心をひとつにしてダビデを王にしようとした。

39 כָּל־ אֵלֶּה אַנְשֵׁי מִלְחָמָה עֹרְכֵי מַעֲרָכָה בְּלֵבָב שָׁלֵם בָּאוּ
すべての これらの の–人々は 戦いの 整列する–者たちで 戦列を の–心で 完全な 来た
H3605 H0428 H0376 H4421 H6186 H4634 H8003 H3824 H0935

לְהַמְלִיךְ אֶת־ דָּוִיד עַל־ כָּל־ יִשְׂרָאֵל וְגַם חֶבְרוֹנָה
王とする–ために (address) ダビデを の–上に すべての イスラエルの そして–また ヘブロンに
H4427 H0853 H1732 H5921 H3605 H3478 H1571

דָּוִיד׃ אֶת־ לְהַמְלִיךְ אֶחָד לֵב יִשְׂרָאֵל שְׁאֵרִית כָּל־
ダビデを (address) 王とする–ために 一つで 心は イスラエルの の–残りの すべての
H1732 H0853 H4427 H0259 H3820 H3478 H7611 H3605

彼らはヘブロンにダビデとともに三日いて、食い飲みした。その兄弟たちは彼らのために備えをしたからである。

40 וַיִּהְיוּ־שָׁם עִם־דָּוִיד יָמִים שְׁלוֹשָׁה אֹכְלִים וְשֹׁתִים כִּי־
そして-いた そこに と-共に ダビデと 日々を 三日間 食べて そして-飲んで なぜなら
H1961 H8033 H1732 H3117 H0398 H8354

עַד־אֱלֹהֵיהֶם הַקְּרוֹבִים־אֵלֵיהֶם׃ וְגַם הֵכִינוּ לָהֶם אֲחֵיהֶם׃
までの 彼らの の-近くの そして-また その-兄弟たちが 彼らの-ために 準備して-くれた
H5704 H0413 H7138 H1571 H0251

בַּחֲמוֹרִים לֶחֶם מְבִיאִים וְנַפְתָּלִי וּזְבֻלוֹן יִשָּׂשכָר
ろばで パンを 持ち-来て-いた そして-ナフタリからの-者たちが そして-ゼブルンと イッサカルと
H2543 H3899 H0935 H5321 H2074 H3485

וְצִמּוּקִים דְּבֵלִים קֶמַח מַאֲכָל וּבַבָּקָר וּבַפְּרָדִים וּבַגְּמַלִּים
そして-干し-ぶどう 干し-いちじく 小麦粉 食物を そして-牛で そして-騾馬で そして-らくだで
H6778 H1690 H7058 H3978 H1241 H6505 H1581

יִשְׂרָאֵל׃ שִׂמְחָה כִּי לֶרֹב וְצֹאן וּבָקָר וְשֶׁמֶן וְיַיִן־
イスラエルに 喜びが-あった なぜなら 豊かに そして-羊を そして-牛 そして-油 そして-ぶどう-酒
H3478 H8057 H7230 H6629 H1241 H8081 H3196

פ
פ

また彼らに近い人々はイッサカル、ゼブルン、ナフタリなどの遠い所の者まで、ろば、らくだ、騾馬、牛などに食物を負わせて来た。すなわち麦粉の食物、干いちじく、干ぶどう、ぶどう酒、油、牛、羊などを多く携えて来た。これはイスラエルに喜びがあったからである。

Chapter 13

1 וַיִּוָּעַץ דָּוִיד עִם־שָׂרֵי הָאֲלָפִים וְהַמֵּאוֹת לְכָל־
そして-相談した ダビデは と 将軍たちと の-千人隊の そして-百人隊の の-すべての
H3289 H1732 H0505 H8269 H3967 H3605

נָגִיד׃
指導者と
H5057

ここにダビデは千人の長、百人の長などの諸将と相はかり、

2 וַיֹּאמֶר דָּוִיד וּלְכָל־ קָהָל לְעֵינֵי כָל־ יִשְׂרָאֵל אִם־ טוֹב
そして-言った ダビデは の-すべての 会衆に イスラエルの もし あなたがたにとって 良いなら
H0559 H1732 H3605 H6951 H3478 H2895

וּמִן־ יְהוָה אֱלֹהֵינוּ נִפְרְצָה נִשְׁלְחָה עַל־
そして-からの-ものの 主の 私たちの-神の 広く-遣わそう 送り-出そう の-もとに
H3068 H0430 H6555 H7971

הַכֹּהֲנִים וְעִמָּהֶם יִשְׂרָאֵל אַרְצוֹת בְּכָל־ הַנִּשְׁאָרִים אַחֵינוּ
祠司たちと そして-彼らと-共に イスラエルの の-地方の すべての 残って-いる 私たちの-兄弟たちの
H3548 H3478 H0776 H3605 H7604 H0251

אֵלֵינוּ׃ וְיִקָּבְצוּ מִגְרְשֵׁיהֶם בְּעָרֵי וְהַלְוִיִּם
私たちの-もとに そして-集まるように その-放牧地の の-町々に-いる そして-レビ人たちが
H0413 H6908 H4054 H3881

そしてダビデはイスラエルの全会衆に言った、「もし、このことをあなたがたがよしとし、われわれの神、主がこれを許されるならば、われわれは、イスラエルの各地に残っているわれわれの兄弟ならびに、放牧地の付いている町々にいる祭司とレビびとに、使をつかわし、われわれの所に呼び集めましょう。

3

דְּרַשְׁנֵהוּ	לֹא	כִּי־	אֱלֵינוּ	אֱלֹהֵינוּ	אֲרוֹן	אֶת־	וְנָסֵבָּה
尋ね	なかった	なぜなら	私たちの–もとに	私たちの–神の	の–箱を	(address)	そして–移そう
H1875	H3808		H0413	H0430	H0727	H0853	H5437

שָׁאוּל׃	בִּימֵי
サウルの	の–日々に
H7586	H3117

また神の箱をわれわれの所に移しましょう。われわれはサウルの世にはこれをおろそかにしたからです」。

4

הַדָּבָר	יָשָׁר	כִּי־	כֵּן	לַעֲשׂוֹת	הַקָּהָל	כָּל־	וַיֹּאמְרוּ
その–ことは	正しかった	なぜなら	その–とおりに	すると	会衆は	すべての	そして–言った
H1697	H3474				H6951	H3605	H0559

הָעָם׃	כָּל־	בְּעֵינֵי
民の	すべての	の–目に
	H3605	

会衆は一同「そうしましょう」と言った。このことがすべての民の目に正しかったからである。

5

מִצְרַיִם	שִׁיחוֹר	מִן־	יִשְׂרָאֵל	כָּל־	אֶת־	דָּוִיד	וַיְקַהֵל
エジプトの	シホル	から	イスラエルを	すべての	(address)	ダビデは	そして–集めた
H4714	H7883		H3478	H3605	H0853	H1732	H6950

מִקִּרְיַת׃יְעָרִים	הָאֱלֹהִים	אֲרוֹן	אֶת־	לְהָבִיא	חֲמָת	לְבוֹא	וְעַד־
キリヤト・エアリムから	神の	の–箱を	(address)	運ぶ–ために	ハマト	の–入り口の	そして–まで
H7157	H0430	H0727	H0853	H0935	H2574	H0935	H5704

そこでダビデはキリアテ・ヤリムから神の箱を運んでくるため、エジプトのシホルからハマテの入口までのイスラエルをことごとく呼び集めた。

6

קִרְיַת	אֶל־	בַּעֲלָתָה	יִשְׂרָאֵל	וְכָל־	דָּוִיד	וַיַּעַל	
キリヤト・	の–もとに	バアラに	イスラエルは	そして–すべての	ダビデと	そして–上った	
H7157	H0413	H1173	H3478	H3605	H1732	H5927	

יְהוָה	וְהָאֱלֹהִים	אֲרוֹן	אֵת	מִשָּׁם	לְהַעֲלוֹת	לִיהוּדָה	אֲשֶׁר	יְעָרִים
主の	神の	の–箱を	(address)	そこから	上らせる–ために	ユダに–属する	その	エアリムへ
H3068	H0430	H0727	H0853	H8033	H5927	H3063		H7157

שֵׁם׃	נִקְרָא	אֲשֶׁר־	הַכְּרוּבִים	יוֹשֵׁב
御名で	呼ばれて–いる	その	ケルビムの–上に	座して–おられる
H8034	H7121		H3742	H3427

そしてダビデとすべてのイスラエルはバアラすなわちユダのキリアテ・ヤリムに上り、ケルビムの上に座しておられる主の名をもって呼ばれている神の箱をそこからかき上ろうと、

7

אֲבִינָדָב	מִבֵּית	חֲדָשָׁה	עֲגָלָה	עַל־	הָאֱלֹהִים	אֲרוֹן	אֶת־	וַיַּרְכִּיבוּ
アビナダブの	の–家から	新しい	車の	の–上に	神の	の–箱を	(address)	そして–載せた
H0041		H2319	H5699		H0430	H0727	H0853	H7392

בָּעֲגָלָה׃	נֹהֲגִים	וְאַחְיוֹ	וְעֻזָּא
車を	導いて–いた	そして–アヒヨが	そして–ウザと
H5699		H0283	

神の箱を新しい車にのせて、アビナダブの家からひきだし、ウザとアヒヨがその車を御した。

8 וְדָוִיד וְכָל־ יִשְׂרָאֵל מְשַׂחֲקִים לִפְנֵי הָאֱלֹהִים בְּכָל־
そして–ダビデと そして–すべての イスラエルは 喜び–踊って–いた の–前で 神の すべての
H1732 H3605 H3478 H7832 H6440 H0430 H3605

עֹז וּבְשִׁירִים וּבְכִנֹּרוֹת וּבִנְבָלִים וּבְתֻפִּים וּבִמְצִלְתָּיִם וּבַחֲצֹצְרוֹת׃
力で そして–歌で そして–琴で そして–竪琴で そして–太鼓で そして–シンバルで そして–ラッパで
H5797 H7892 H3658 H5035 H8596 H4700 H2689

ダビデおよびすべてのイスラエルは歌と琴と立琴と、手鼓と、シンバルと、ラッパをもって、力をきわめて神の前に踊った。

9 וַיָּבֹאוּ עַד־ גֹּרֶן כִידֹן וַיִּשְׁלַח עֻזָּא יָדוֹ
そして–来た まで の–打ち場に キドンの そして–伸ばした ウザは その–手を
H0935 H5704 H1637 H3592 H7971 H5798 H3027

לֶאֱחֹז כִּי שָׁמְטוּ הַבָּקָר׃ הָאָרֹן אֶת־ כִּי
支える–ために 牛が つまずいた なぜなら 箱を (address) なぜなら
H0270 H1241 H8058 H3588 H0727 H0853 H3588

彼らがキドンの打ち場に来た時、ウザは手を伸べて箱を押えた。牛がつまずいたからである。

10 וַיִּחַר־ אַף יְהוָה בְּעֻזָּא וַיַּכֵּהוּ עַל אֲשֶׁר־ שָׁלַח
そして–燃えた の–怒りが 主の ウザに–対して そして–打ち殺した の–ゆえに その 伸ばした
H2734 H0639 H3068 H5798 H5221 H0413 H0834 H7971

יָדוֹ עַל הָאָרוֹן הָאֱלֹהִים׃ לִפְנֵי שָׁם וַיָּמָת
その–手を の–上に 箱の 神の の–前で そこで そして–死んだ
H3027 H5921 H0727 H0430 H6440 H8033 H4191

ウザが手を箱につけたことによって、主は彼に向かって怒りを発し、彼を撃たれたので、彼はその所で神の前に死んだ。

11 וַיִּקְצֹף בְּעֻזָּא פָּרֶץ יְהוָה פָּרֶץ כִּי־ לְדָוִיד וַיִּחַר
そして–怒った ダビデは なぜなら 突き破った 主が 突破を ウザに–対して そして–呼んだ
H2734 H1732 H3588 H6555 H3068 H6556 H5798 H7121

הַיּוֹם עַד עֻזָּא פֶּרֶץ הַהוּא לַמָּקוֹם הַזֶּה׃
の–日の まで ウザと ペレツ・ その その–場所を この
H3117 H5704 H6560 H6560 H1931 H4725 H2088

主がウザを撃たれたので、ダビデは怒った。その所は今日までペレツ・ウザと呼ばれている。

12 וַיִּירָא דָוִיד מִן־ הָאֱלֹהִים בַּיּוֹם הַהוּא לֵאמֹר אֵיכָה
そして–恐れた ダビデは (address) 神を の–日に その 言って どうして 運べるだろうか
H3372 H1732 H0853 H0430 H3117 H1931 H0559 H1963 H0935

אֵלַי אֶת אֲרוֹן הָאֱלֹהִים׃
私の–もとに (address) の–箱を 神の
H0413 H0853 H0727 H0430

その日ダビデは神を恐れて言った、「どうして神の箱を、わたしの所へかいて行けようか」。

13 וְלֹא־ הֵסִיר דָּוִיד אֵלָיו אֶל־ עִיר דָּוִיד
そして–なかった 移さ ダビデは (address) 箱を 彼の–もとに の–もとに の–町の ダビデの
H3808 H5493 H1732 H0853 H0727 H0413 H0413 H5892 H1732

וַיַּטֵּהוּ בֵּית עֹבֵד־ אֱדֹם הַגִּתִּי׃ אֶל־
そして–向けた の–家に オベド・エドムの ガテ人の の–もとに
H5186 H1004 H5654 H1663 H0413

それでダビデはその箱を自分の所ダビデの町へは移さず、これを転じてガテびとオベデ・エドムの家に運ばせた。

14 וַיֵּשֶׁב֙ אֲרוֹן֙ הָאֱלֹהִ֔ים עִם־בֵּ֖ית עֹבֵ֣ד אֱדֹם֑ בְּבֵיתוֹ֙ שְׁלֹשָׁ֔ה
וַיֵּשֶׁב֙ (H3427) そして–とどまった | אֲרוֹן֙ (H0727) の–箱は | הָאֱלֹהִ֔ים (H0430) 神の | עִם־ (H5973) と–共に | בֵּ֖ית (H1004) の–家の | עֹבֵ֣ד אֱדֹם֑ (H5654) オベド・エドムの | בְּבֵיתוֹ֙ (H1004) その–家に | שְׁלֹשָׁ֔ה (H7969) 三

וַיְבָ֣רֶךְ יְהוָ֔ה אֶת־בֵּ֖ית עֹבֵ֣ד אֱדֹ֑ם וְאֶת־כָּל־אֲשֶׁר־
וַיְבָ֣רֶךְ (H1288) そして–祝福した | יְהוָ֔ה (H3068) 主は | אֶת־ (H853) (address) | בֵּ֖ית (H1004) の–家を | עֹבֵ֣ד אֱדֹ֑ם (H5654) オベド・エドムの | וְאֶת־ (H853) そして | כָּל־ (H3605) すべて | אֲשֶׁר־ その

לֽוֹ׃ פ
לֽוֹ׃ 彼に–属する–ものを
פ

神の箱は三か月の間、オベデ・エドムの家に、その家族とともにとどまった。主はオベデ・エドムの家族とそのすべての持ち物を祝福された。

Chapter 14

1 וַיִּשְׁלַ֨ח חִירָ֜ם (חוּרָ֣ם) מֶֽלֶךְ־צֹ֗ר מַלְאָכִים֙ אֶל־דָּוִ֔יד
וַיִּשְׁלַ֨ח (H7971) そして–遣わした | חִירָ֜ם (H2438) [ヒラム] | (חוּרָ֣ם) (H2361) (フラム) | מֶֽלֶךְ־ (H4428) の–王で | צֹ֗ר (H6865) ツロの | מַלְאָכִים֙ (H4397) 使者たちを | אֶל־ (H413) の–もとに | דָּוִ֔יד (H1732) ダビデの

וְעֵצֵ֣י אֲרָזִ֗ים וְחָרָשֵׁי֙ קִ֔יר וְחָרָשֵׁ֖י עֵצִ֑ים לִבְנ֥וֹת
וַעֲצֵי֙ (H6086) そして–の–木と | אֲרָזִ֗ים (H730) 杉の | וְחָרָשֵׁי֙ (H2796) そして–の–職人と | קִ֔יר (H7023) 壁の | וְחָרָשֵׁ֖י (H2796) そして–の–職人を | עֵצִ֑ים (H6086) 木の | לִבְנ֥וֹת (H1129) 建てる–ために

לֽוֹ׃ בָּֽיִת׃
לֽוֹ 彼の–ために
בָּֽיִת׃ 家を

ツロの王ヒラムはダビデに使者をつかわし、彼のために家を建てさせようと香柏および石工と木工を送った。

2 וַיֵּ֣דַע דָּוִ֔יד כִּ֣י הֱכִינָ֥וֹ יְהוָ֖ה לְמֶ֑לֶךְ עַל־כִּי֙
וַיֵּ֣דַע (H3045) そして–知った | דָּוִ֔יד (H1732) ダビデは | כִּ֣י (H3588) が | הֱכִינָ֥וֹ (H3559) 確立したと | יְהוָ֖ה (H3068) 主が | לְמֶ֑לֶךְ (H4428) 王として | עַל־ (H5921) の–上に | כִּי֙ (H3588) なぜなら

נְשֵׂ֥את מַלְכוּתֹ֖ו לְמַ֣עְלָה֑ בַּעֲב֥וּר עַמּ֖וֹ יִשְׂרָאֵֽל׃ פ
נְשֵׂ֥את (H5375) 高く–上げられた | לְמַ֣עְלָה֑ (H4605) 高く | מַלְכוּתֹ֖ו (H4438) その–王国が | בַּעֲב֥וּר (H5668) の–ために | עַמּ֖וֹ その–民の | יִשְׂרָאֵֽל׃ (H3478) イスラエル
פ

ダビデは主が自分を堅く立ててイスラエルの王とされたことと、その民イスラエルのために彼の国を大いに興されたことを悟った。

3 עֹ֚וד דָּוִ֔יד וַיִּקַּ֥ח דָּוִ֖יד נָשִׁ֣ים בִּירוּשָׁלִָ֑ם וַיּ֥וֹלֶד
עֹ֚וד (H5750) さらに | דָּוִ֔יד (H1732) ダビデは | וַיִּקַּ֥ח (H3947) そして–めとった | דָּוִ֖יד (H1732) ダビデは | נָשִׁ֣ים (H0802) 妻たちを | בִּירוּשָׁלִָ֑ם (H3389) エルサレムで | וַיּ֥וֹלֶד (H3205) そして–もうけた

וּבָנֽוֹת׃ בָּנִ֖ים
וּבָנֽוֹת׃ そして–娘たちを (H1323)
בָּנִ֖ים 息子たちと

ダビデはエルサレムでまた妻たちをめとった。そしてダビデにまたむすこ、娘が生れた。

4 וְאֵ֙לֶּה֙ שְׁמ֣וֹת הַיְלוּדִ֔ים אֲשֶׁ֥ר הָיוּ־לֹ֖ו בִּירוּשָׁלִָ֑ם שַׁמּ֖וּעַ
וְאֵ֙לֶּה֙ (H0428) そして–これらは | שְׁמ֣וֹת (H8034) の–名で | הַיְלוּדִ֔ים (H3205) 生まれた–者たちの | אֲשֶׁ֥ר (H834) その | הָיוּ־ (H1961) いた | לֹ֖ו 彼に | בִּירוּשָׁלִָ֑ם (H3389) エルサレムで | שַׁמּ֖וּעַ (H8051) シャムア

וּשְׁלֹֽמֹה׃ נָתָ֖ן וְשׁוֹבָֽב
וּשְׁלֹֽמֹה׃ そして–ソロモン (H8010)
נָתָ֖ן ナタン (H5416)
וְשׁוֹבָֽב そして–ショバブ (H7727)

彼がエルサレムで得た子たちの名は次のとおりである。すなわちシャンマ、ショバブ、、ナタン、ソロモン、

וְיִבְחָר	וֶאֱלִישׁוּעַ	וֶאֱלִיפָלֶט׃	5
そして–イブハル	そして–エリシュア	そして–エルパレト	
H2984	H0474	H0467	

イブハル、エリシュア、エルペレテ、

וְנָעַה	וְנֶפֶג	וְיָפִיעַ׃	6
そして–ノガ	そして–ネフェグ	そして–ヤフィア	
H5052	H5298	H3309	

ノガ、ネペグ、ヤピア、

וֶאֱלִישָׁמָע	וּבְעֶלְיָדָע	וֶאֱלִיפֶלֶט׃	7
そして–エリシャマ	そして–ベエルヤダ	そして–エリファレト	
H0476	H1182	H0467	

エリシャマ、ベエリアダ、エリペレテである。

כָּל־	עַל־	לְמֶלֶךְ	דָּוִיד	נִמְשַׁח	כִּי־	פְּלִשְׁתִּים	וַיִּשְׁמְעוּ	8
すべての	の–上に	王として	ダビデが	油注ぎされたと	が	ペリシテ人は	そして–聞いた	
H3605		H4428	H1732	H4886		H6430	H8085	

דָּוִיד	אֶת־	לְבַקֵּשׁ	פְּלִשְׁתִּים	כָּל־	וַיַּעֲלוּ	יִשְׂרָאֵל	
ダビデを	(address)	捕える–ために	ペリシテ人が	すべての	そして–上った	イスラエルの	
H1732	H0853	H1245	H6430	H3605	H5927	H3478	

לְפָנֶיהָם׃	וַיֵּצֵא	דָּוִיד	וַיִּשְׁמַע
彼らの–前に	そして–出た	ダビデは	そして–聞いた
H6440	H3318	H1732	H8085

さてペリシテびとはダビデが油を注がれて全イスラエルの王になったことを聞いたので、ペリシテびとはみな上ってきてダビデを捜した。ダビデはこれを聞いてこれに当ろうと出ていったが、

רְפָאִים׃	בְּעֵמֶק	וַיִּפְשְׁטוּ	בָּאוּ	וּפְלִשְׁתִּים	9
レファイムの	の–谷で	そして–襲った	来て	そして–ペリシテ人は	
	H6010	H6584	H0935	H6430	

ペリシテびとはすでに来て、レパイムの谷を侵した。

(פְּלִשְׁתִּים)	[פלשתיים]	עַל־	הַאֶעֱלֶה	לֵאמֹר	בֵּאלֹהִים	דָּוִיד	וַיִּשְׁאַל	10
(ペリシテ人の)	[ペリシテ人の]	の–上に	上るべきか	言って	神に	ダビデは	そして–尋ねた	
H6430	H6430		H5927	H0559	H0430	H1732	H7592	

בְּיָדֶךָ׃	וּנְתַתָּם	עֲלֵה	יְהוָה	לוֹ	וַיֹּאמֶר	בְּיָדִי	וּנְתַתָּם
お前の–手に	そして–渡す	上れ	主が	彼に	そして–言われた	わが–手に	そして–渡して–くださるか
H3027	H5414	H5927	H3068		H0559	H3027	H5414

ダビデは神に問うて言った、「ペリシテびとに向かって上るべきでしょうか。あなたは彼らをわたしの手にわたされるでしょうか」。主はダビデに言われた、「上りなさい。わたしは彼らをあなたの手にわたそう」。

דָּוִיד	וַיֹּאמֶר	דָּוִיד	שָׁם	וַיַּכֵּם	בְּבַעַל־פְּרָצִים	וַיַּעֲלוּ		11
ダビデは	そして–言った	ダビデは	そこで	そして–打ち破った	バアル・ペラツィムに	そして–上った		
H1732	H0559	H1732	H8033	H5221	H1188	H5927		

כֵּן	עַל־	מַיִם	כְּפֶרֶץ	בְּיָדִי	אוֹיְבָי	אֶת־	הָאֱלֹהִים	פָּרַץ
その	それ–ゆえに	水の	の–突破の–ように	わが–手で	わが–敵を	(address)	神が	突き破った
		H4325	H6556	H3027	H0341	H0853	H0430	H6555

פְּרָצִים׃בָּעַל	הַהוּא	הַמָּקוֹם	שֵׁם־	קָרְאוּ
バアル・ペラツィムと	その	その–場所の	の–名を	呼んだ
H1188	H1931	H4725	H8034	H7121

そこで彼はバアル・ペラジムへ上っていった。その所でダビデは彼らを打ち敗り、そして言った、「神は破り出る水のように、わたしの手で敵を破られた」。それゆえ、その所の名はバアル・ペラジムと呼ばれている。

12	וַיַּעַזְבוּ־	שָׁם	אֶת־	אֱלֹהֵיהֶם	וַיֹּאמֶר	דָּוִיד	וַיִּשְׂרְפוּ	בָּאֵשׁ׃
	そして–捨てた	そこに	(address)	その–神々を	そして–命じた	ダビデは	そして–焚かれた	火で
	H5800	H8033	H0853	H0430	H0559	H1732	H8313	H0784

פ
פ

彼らが自分たちの神をそこに残して退いたので、ダビデは命じてこれを火で焼かせた。

13	וַיֹּסִיפוּ	עוֹד	פְּלִשְׁתִּים	וַיִּפְשְׁטוּ	בָּעֵמֶק׃
	そして–再び	また	ペリシテ人は	そして–襲った	谷で
	H3254	H5750	H6430	H6584	H6010

ペリシテびとは再び谷を侵した。

14	וַיִּשְׁאַל	דָּוִיד	בֵּאלֹהִים	וַיֹּאמֶר	לוֹ	הֲאֱלֹהִים	לֹא	תַּעֲלֶה
	そして–尋ねた	ダビデは	神に	そして–言われた	彼に	神は	ない	上るな
	H7592	H1732	H0430	H0559		H0430	H3808	H5927

אַחֲרֵיהֶם	הָסֵבْ	מֵעֲלֵיהֶם	וּבָאתָ	לָהֶם	מִמּוּל	הַבְּכָאִים׃
彼らの–後を	回れ	彼らから–離れて	そして–来い	彼らに	の–前から	バカの–木の
	H5437		H0935	H1992	H4136	H1057

ダビデが再び神に問うたので神は言われた、「あなたは彼らを追って上ってはならない。遠回りしてバルサムの木の前から彼らを襲いなさい。

15	וְיִהִי	כְּשָׁמְעֲךָ	אֶת־	קוֹל	הַצְּעָדָה	בְּרָאשֵׁי	הַבְּכָאִים	
	そして–なるであろう	お前が–聞く–時に	(address)	の–音を	行進の	の–頂で	バカの–木の	
	H1961	H8085	H0853				H1057	

אָז	תֵּצֵא	בַּמִּלְחָמָה	כִּי־	יָצָא	הָאֱלֹהִים	לְפָנֶיךָ	לְהַכּוֹת	אֶת־
その–時	出よ	戦いに	なぜなら	出られた	神が	お前の–前に	打つ–ために	(address)
	H3318	H4421		H3318	H0430	H6440	H5221	H0853

מַחֲנֵה	פְּלִשְׁתִּים׃
の–考営を	ペリシテ人の
H4264	H6430

バルサムの木の上に行進の音が聞えたならば、あなたは行って戦いなさい。神があなたの前に出てペリシテびとの軍勢を撃たれるからです」。

16	מַחֲנֵה	אֶת־	וַיַּכּוּ	הָאֱלֹהִים	צִוָּהוּ	כַּאֲשֶׁר	דָּוִיד	וַיַּעַשׂ
	の–考営を	(address)	そして–打ち破った	神が	命じた	の–とおりに	ダビデは	そして–行った
	H4264	H0853	H5221	H0430	H6680		H1732	

גָּזְרָה׃	וְעַד־	מִגִּבְעוֹן	פְּלִשְׁתִּים
ゲゼルまで	そして–まで	ギブオンから	ペリシテ人の
H1507	H5704	H1391	H6430

ダビデは神が命じられたようにして、ペリシテびとの軍勢を撃ち破り、ギベオンからゲゼルに及んだ。

17	וַיֵּצֵא	שֵׁם־	דָּוִיד	בְּכָל־	הָאֲרָצוֹת	וַיהוָה	נָתַן	אֶת־
	そして–出た	の–名声が	ダビデの	すべての	地々に	そして–主が	置いた	(address)
	H3318	H8034	H1732	H3605	H0776	H3068	H5414	H0853

פַּחְדּוֹ	עַל־	כָּל־	הַגּוֹיִם׃
その–恐れを	の–上に	すべての	諸国民の
H6343		H3605	

そこでダビデの名はすべての国々に聞えわたり、主はすべての国びとに彼を恐れさせられた。

Chapter 15

לְאַרְוֹן 箱の–ために H0727	מְקוֹמוֹ 場所を H4725	וַיָּכֶן そして–整えた	דָּוִיד ダビデの H1732	בְּעִיר 都の–中に	בָּתִּים 家々を	לוֹ 自分の–ために	וַיַּעַשׂ־ そして–造った	1

אֹהֶל׃ 天幕を H0168	לוֹ それの–ために	וַיֵּט־ そして–張った H5186	הָאֱלֹהִים 神の H0430

ダビデはダビデの町のうちに自分のために家を建て、また神の箱のために所を備え、これがために幕屋を張った。

אִם־ ただ	כִּי なぜなら	הָאֱלֹהִים 神の H0430	אֲרוֹן 箱を H0727	אֶת־ (を) H0853	לָשֵׂאת 運ぶ–こと H5375	לֹא ない H3808	דָּוִיד ダビデは H1732	אָמַר 言った H0559	אָז その–時	2

יְהוָה 主の H3068	אֲרוֹן 箱を H0727	אֶת־ (を) H0853	לָשֵׂאת 運ぶ–ために H5375	יְהוָה 主は H3068	בָּחַר 選んだ H0977	וּבָם 彼らを	כִּי־ なぜなら	הַלְוִיִּם レビ人–だけが H3881

ס (段落)	עוֹלָם׃ 永遠に H5769	עַד־ まで H5704	וּלְשָׁרְתוֹ そして–仕える–ために H8334

ダビデは言った、「神の箱をかくべき者はただレビびとのみである。主が主の箱をかかせ、また主に長く仕えさせるために彼らを選ばれたからである」。

									3
לְהַעֲלוֹת 運び–上げる–ために H5927	יְרוּשָׁלִַם エルサレムに H3389	אֶל־ (へ) H0413	יִשְׂרָאֵל イスラエルを H3478	כָּל־ すべての H3605	אֶת־ (を) H0853	דָּוִיד ダビデは H1732	וַיְקַהֵל そして–集めた H6950	

לוֹ׃ それの–ために	הֵכִין 備えた	אֲשֶׁר־ (所の)	מְקוֹמוֹ その–場所へ H4725	אֶל־ (へ) H0413	יְהוָה 主の H3068	אֲרוֹן 箱を H0727	אֶת־ (を) H0853

ダビデは主の箱をこれがために備えた所にかき上るため、イスラエルをことごとくエルサレムに集めた。

הַלְוִיִּם׃ レビ人を H3881	וְאֶת־ そして(を) H0853	אַהֲרֹן アロンの H0175	בְּנֵי 子ら–を	אֶת־ (を) H0853	דָּוִיד ダビデは H1732	וַיַּאֲסֹף そして–集めた H0622	4

ダビデはまたアロンの子孫とレビびとを集めた。

ס (段落)	וְעֶשְׂרִים׃ 二十人 H6242	מֵאָה 百 H3967	וְאֶחָיו その–兄弟たちは H0251	הַשַּׂר 長で H8269	אוּרִיאֵל ウリエルが H0222	קְהָת ケハテの H6955	לִבְנֵי ケハテの–子らの	5

すなわち、コハテの子孫のうちからはウリエルを長としてその兄弟百二十人、

ס (段落)	וְעֶשְׂרִים׃ 二十人 H6242	מָאתַיִם 二百 H3967	וְאֶחָיו その–兄弟たちは H0251	הַשַּׂר 長で H8269	עֲשָׂיָה アサヤが H6222	מְרָרִי メラリの H4847	לִבְנֵי メラリの–子らの	6

メラリの子孫のうちからはアサヤを長としてその兄弟二百二十人、

ס (段落)	וּשְׁלֹשִׁים׃ 三十人 H7970	מֵאָה 百 H3967	וְאֶחָיו その–兄弟たちは H0251	הַשַּׂר 長で H8269	יוֹאֵל ヨエルが H3100	גֵּרְשֹׁם ゲルショムの H1648	לִבְנֵי ゲルショムの–子らの	7

ゲルショムの子孫のうちからはヨエルを長としてその兄弟百三十人、

8 לִבְנֵי אֱלִיצָפָן שְׁמַעְיָה הַשָּׂר וְאֶחָיו מָאתָיִם׃ ס
エリツァファンの–子らの エリツァファンの シェマヤが 長で その–兄弟たちは 二百人 (段落)
H0469 H8098 H8269 H0251 H3967

エリザパンの子孫のうちからはシマヤを長としてその兄弟二百人、

9 לִבְנֵי חֶבְרוֹן אֱלִיאֵל הַשָּׂר וְאֶחָיו שְׁמוֹנִים׃ ס
ヘブロンの–子らの ヘブロンの エリエルが 長で その–兄弟たちは 八十人 (段落)
H0447 H8269 H0251 H8084

ヘブロンの子孫のうちからはエリエルを長としてその兄弟八十人、

10 לִבְנֵי עֻזִּיאֵל עַמִּינָדָב הַשָּׂר וְאֶחָיו מֵאָה וּשְׁנֵים עָשָׂר׃
ウジエルの–子らの ウジエル アミナダブが 長で その–兄弟たちは 百 そして–二 十人
H5816 H5992 H8269 H0251 H3967 H8147 H6240

ס
(段落)

ウジエルの子孫のうちからはアミナダブを長としてその兄弟百十二人である。

11 וַיִּקְרָא דָוִיד לְצָדוֹק וּלְאֶבְיָתָר הַכֹּהֲנִים וְלַלְוִיִּם לְאוּרִיאֵל
そして–呼んだ ダビデは ツァドクと アビヤタルを 祭司たちを そして–レビ人の ウリエルを
H7121 H1732 H6659 H0054 H3548 H3881 H0222

עֲשָׂהְ וְיוֹאֵל שְׁמַעְיָה וְאֱלִיאֵל וְעַמִּינָדָב׃
アサヤを ヨエルを シェマヤを エリエルを アミナダブを
H6222 H3100 H8098 H0447 H5992

ダビデは祭司ザドクとアビヤタル、およびレビびとウリエル、アサヤ、ヨエル、シマヤ、エリエル、アミナダブを召し、

12 וַיֹּאמֶר לָהֶם אַתֶּם רָאשֵׁי הָאָבוֹת לַלְוִיִּם הִתְקַדְּשׁוּ
そして–言った 彼らに あなたがたは かしらたちで–ある 父–祖の レビ人の 自らを–聖別し
H0559 H0001 H3881 H6942

אֶל־ יִשְׂרָאֵל אֱלֹהֵי יְהוָה אֲרוֹן אֵת וְהַעֲלִיתֶם אַתֶּם וַאֲחֵיכֶם
(へ) イスラエルの 神の 主の 箱を (を) そして–運び–上げよ あなたがたと 兄弟たちよ
H0413 H3478 H0430 H3068 H0727 H0853 H5927 H0251

לוֹ׃ הֲכִינוֹתִי
それの–ために わたしが–備えた–所に

彼らに言った、「あなたがたはレビびとの氏族の長である。あなたがたとあなたがたの兄弟はともに身を清め、イスラエルの神、主の箱をわたしがそのために備えた所にかき上りなさい。

13 כִּי לְמַבְרֵאשׁוֹנָה לֹא אַתֶּם פָּרַץ יְהוָה אֱלֹהֵינוּ בָּנוּ
なぜなら 最初の–時に なかった あなたがたが 打ち–破られた 主が 我々の–神が 我々の–中で
H3588 H7223 H3808 H0859 H6555 H3068 H0430 H0776

כִּי־ לֹא דְרַשְׁנֻהוּ כַּמִּשְׁפָּט׃
なぜなら ない 求めなかった–からだ 定めの–通りに
H3588 H3808 H1875 H4941

さきにこれをかいた者があなたがたでなかったので、われわれの神、主はわれわれを撃たれました。これはわれわれがその定めにしたがってそれを扱わなかったからです」。

14 וַיִּתְקַדְּשׁוּ הַכֹּהֲנִים וְהַלְוִיִּם לְהַעֲלוֹת אֶת־אֲרוֹן יְהוָה אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל׃
そして–聖別した 祭司たちと レビ人たちは 運び–上げる–ために (を) 箱を 主の 神の
H6942 H3548 H3881 H5927 H0853 H0727 H3068 H0430
イスラエルの
H3478

そこで祭司たちとレビびとたちはイスラエルの神、主の箱をかき上るために身を清め、

15 כִּדְבַר מֹשֶׁה כַּאֲשֶׁר צִוָּה כִּדְבַר יְהוָה עֲלֵיהֶם׃ פ בַּמּוֹטוֹת עַל־כְּתֵפָם׃ וַיִּשְׂאוּ בְנֵי־הַלְוִיִּם אֶת־אֲרוֹן הָאֱלֹהִים כַּאֲשֶׁר צִוָּה מֹשֶׁה
言葉の–通りに モーセが 命じた ように 神の 箱を (を) レビ人の 子らは そして–担いだ
H1697 H4872 H6680 H0430 H0727 H0853 H3881 H5375
(段落) 彼らの–上に 棒で 肩に–のせて 主の
H4133 H3802 H3068

レビびとたちはモーセが主の言葉にしたがって命じたように、神の箱をさおをもって肩にになった。

16 וַיֹּאמֶר דָּוִיד לְשָׂרֵי הַלְוִיִּם לְהַעֲמִיד אֶת־אֲחֵיהֶם הַמְשֹׁרְרִים בִּכְלֵי־שִׁיר נְבָלִים וְכִנֹּרוֹת וּמְצִלְתָּיִם מַשְׁמִיעִים לְהָרִים־קוֹל לְשִׂמְחָה׃ פ
そして–言った ダビデは 長たちに レビ人の 立たせる–ように (を) 彼らの–兄弟たちを
H0559 H1732 H8269 H3881 H5975 H0853 H0251
歌い手たちを 楽器で 歌の 琴と 竪琴と シンバルで 響かせて 上げる–ように 声を
H7891 H3627 H7892 H5035 H3658 H4700 H8085 H7311 H6963
(段落) 喜びの
H8057

ダビデはまたレビびとの長たちに、その兄弟たちを選んで歌うたう者となし、立琴と琴とシンバルなどの楽器を打ちはやし、喜びの声をあげることを命じた。

17 וַיַּעֲמִידוּ הַלְוִיִּם אֶת־הֵימָן בֶּן־יוֹאֵל וּמִן־אֲחָיו בֶּן־אָסָף בְּרֶכְיָהוּ בֶן־קוּשָׁיָהוּ׃ וּמִן־בְּנֵי מְרָרִי אֵיתָן בֶּן־קוּשָׁיָהוּ׃ וּמִן־בְּנֵי גֵרְשֹׁם הֵימָן בֶּן־יוֹאֵל וּמִן־אֲחֵיהֶם מְרָרִי׃ ס
そして–立てた レビ人は (を) ヘマンを 子–の ヨエルの そして–から その–兄弟たちの
H5975 H3881 H0853 H1968 H1121 H3100 H4480 H0251
アサフを 子–の ベレクヤの (段落) そして–から 兄弟たちの メラリの 子らの そして–から エタンを 子–の
H0623 H1121 H1296 H5493 H4480 H0251 H4847 H1121 H4480 H0387 H1121
クシャヤの
H6984

そこでレビびとはヨエルの子ヘマンと、その兄弟ベレキヤの子アサフおよびメラリの子孫である彼らの兄弟クシャヤの子エタンを選んだ。

18 וְעִמָּהֶם אֲחֵיהֶם הַמִּשְׁנִים זְכַרְיָהוּ בֶּן וְיַעֲזִיאֵל וּשְׁמִירָמוֹת
そして-彼らと-共に 兄弟たちの 第二の-者たち ゼカリヤと ベンと ヤアジエルと シェミラモテと
H0251 H4932 H2148 H1122 H3268 H8070

וּמַתִּתְיָהוּ וּמַעֲשִׂיָּהוּ וּבְנָיָהוּ אֱלִיאָב וְעֻנִּי וְיִחִיאֵל
マティテヤと マアセヤと ベナヤと エリアブと ウニと エヒエルと
H4993 H4641 H1141 H0446 H6042 H3171

וּמַקְנֵיָהוּ וֶאֱלִיפְלֵהוּ
ミクネヤと エリフェレフと
H4737 H0466

עֵדֶן וְיִעִיאֵל הַשְּׁעָרִים׃
オベデ・エドムと エイエルは 門衛-であった
H5654 H3273 H7778

またこれに次ぐその兄弟たちがこれと共にいた。すなわちゼカリヤ、ヤジエル、セミラモテ、エイエル、ウンニ、エリアブ、ベナヤ、マアセヤ、マッタテヤ、エリペレホ、ミクネヤおよび門を守る者オベデ・エドムとエイエル。

19 וְהַמְשֹׁרְרִים הֵימָן אָסָף וְאֵיתָן בִּמְצִלְתַּיִם נְחֹשֶׁת לְהַשְׁמִיעַ׃
そして-歌い手たちは ヘマンと アサフと エタンは シンバルで 青銅の 響かせた
H7891 H1968 H0623 H0387 H4700 H5154 H8085

歌うたう者ヘマン、アサフおよびエタンは青銅のシンバルを打ちはやす者であった。

20 וּזְכַרְיָה וַעֲזִיאֵל וּשְׁמִירָמוֹת וְיִחִיאֵל וְעֻנִּי וֶאֱלִיאָב וּמַעֲשִׂיָּהוּ וּבְנָיָהוּ
ゼカリヤと アジエルと シェミラモテと エヒエルと ウニと エリアブと マアセヤと ベナヤは
H2148 H5815 H8070 H3171 H6042 H0446 H4641 H1141

בִּנְבָלִים עַל־ עֲלָמוֹת׃
琴で (に-合わせて) アラモテに
H5961

ゼカリヤ、アジエル、セミラモテ、エイエル、ウンニ、エリアブ、マアセヤ、ベナヤはアラモテにしたがって立琴を奏する者であった。

21 וּמַתִּתְיָהוּ וּמַקְנֵיָהוּ וֶאֱלִיפְלֵהוּ אֱדֹם־עֵבֶד וְיִעִיאֵל וַעֲזַזְיָהוּ בְּכִנֹּרוֹת
マティテヤと ミクネヤと エリフェレフと オベデ・エドムと エイエルと アザズヤは 竪琴で
H4993 H4737 H0466 H5654 H3273 H5812 H3658

עַל־ הַשְּׁמִינִית לְנַצֵּחַ׃
(に-合わせて) シェミニテに 指揮した
H8067 H5329

しかしマッタテヤ、エリペレホ、ミクネヤ、オベデ・エドム、エイエル、アザジヤはセミニテにしたがって琴をもって指揮する者であった。

22 וּכְנַנְיָהוּ שַׂר־ הַלְוִיִּם בְּמַשָּׂא יָסַר כִּי מֵבִין הוּא׃
ケナニヤは 長-で レビ人の 運搬の 指導した なぜなら 熟練して-いた 彼は
H3663 H8269 H3881 H4853 H3256 H3588 H0995 H1931

ケナニヤはレビびとの楽長で、音楽に通じていたので、これを指揮した。

23 וּבֶרֶכְיָהוּ וְאֶלְקָנָה שֹׁעֲרִים לָאָרוֹן׃
ベレクヤと エルカナは 門衛-であった 箱の-ための
H1296 H0511 H7778 H0727

ベレキヤとエルカナは箱のために門を守る者であった。

24 וּשְׁבַנְיָהוּ וְיוֹשָׁפָט וּנְתַנְאֵל וַעֲמָשַׂי וְזִכְרְיָהוּ וּבְנָיָהוּ וְאֱלִיעֶזֶר
シェバニヤと ヨシャファテと ネタヌエルと アマサイと ゼカリヤと ベナヤと エリエゼルは
H7645 H3146 H5417 H6022 H2690 H1141 H0461

הַכֹּהֲנִים מחצצרים מַחְצְרִים בַּחֲצֹצְרוֹת לִפְנֵי אֲרוֹן הָאֱלֹהִים אֱדֹם וְעֹבֵד
祭司たちで [ラッパを-吹いた] ラッパを-吹いた ラッパを 前で 箱の 神の オベデ・エドムと
H3548 H2690 H2690 H6440 H0727 H0430 H5654

לָאָרוֹן׃ שֹׁעֲרִים וְיחִיָּה
箱の-ための 門衛-であった エヒヤは
H0727 H7778 H3174

祭司シバニヤ、ヨシャパテ、ネタネル、アマサイ、ゼカリヤ、ベナヤ、エリエゼルらは神の箱の前でラッパを吹き、オベデ・エドムとエヒアは箱のために門を守る者であった。

25 הַהֹלְכִים הָאֲלָפִים וְשָׂרֵי יִשְׂרָאֵל וְזִקְנֵי דָוִיד וַיְהִי
行って 千人隊の 千人の-長たちが イスラエルの 長老たちと ダビデと そして-いた
H1980 H0505 H8269 H3478 H2205 H1732 H1961

בְּשִׂמְחָה׃ עֹבֵד־אֱדֹם בֵּית מִן־ יְהוָה בְּרִית־ אֲרוֹן אֶת־ לַעֲלוֹת
喜びを-もって オベデ・エドムの 家から (から) 主の 契約の 箱を (を) 運び-上げる-ために
H8057 H5654 H1004 H3068 H1285 H0727 H0853 H5927

ס
(段落)

ダビデとイスラエルの長老たちおよび千人の長たちは行って、オベデ・エドムの家から主の契約の箱を喜び勇んでかき上った。

26 יְהוָה בְּרִית־ אֲרוֹן נֹשְׂאֵי הַלְוִיִּם אֶת־ הָאֱלֹהִים בְּעֶזֹר וַיְהִי
主の 契約の 箱の 担ぐ-者たちを レビ人を (を) 神が 助けた-時 そして-なった
H3068 H1285 H0727 H5375 H3881 H0853 H0430 H5826 H1961

וְשִׁבְעָה פָּרִים וְשִׁבְעָה־ וַיִּזְבְּחוּ׃ אֵילִים
七頭の 雄牛と 七頭の そして-犠牲に-ささげた 雄羊を
H7651 H6499 H7651 H2076

神が主の契約の箱をかくレビびとを助けられたので、彼らは雄牛七頭、雄羊七頭をささげた。

27 הָאָרוֹן אֶת־ הַנֹּשְׂאִים הַלְוִיִּם וְכָל־ בּוּץ מְעִיל וּמְכֻרְבָּל וְדָוִיד
箱を (を) 担ぐ-者たちと レビ人たちと すべての 亜麻布の 上着を まとっていた ダビデは
H0727 H0853 H5375 H3881 H3605 H0948 H4598 H3736 H1732

אֵפוֹד דָּוִיד וְעַל־ הַמְשֹׁרְרִים הַמַּשָּׂא הַשָּׁר כְּנַנְיָהוּ וְהַמְשֹׁרְרִים
エポデを-着ていた ダビデは そして-上に 歌い手たちの 運搬の 長で ケナニヤは 歌い手たちと
H0646 H1732 H7891 H4853 H8269 H3663 H7891

בָּד׃
亜麻布の
H0906

ダビデは亜麻布の衣服を着ていた。箱をかくすべてのレビびとは、歌うたう者、音楽をつかさどるケナニヤも同様である。ダビデはまた亜麻布のエポデを着ていた。

28 בִּתְרוּעָה יְהוָה בְּרִית־ אֲרוֹן אֶת־ מַעֲלִים יִשְׂרָאֵל וְכָל־
喊声と 主の 契約の 箱を (を) 運び-上げていた イスラエルは そして-すべての
H8643 H3068 H1285 H0727 H0853 H5927 H3478 H3605

וְכִנֹּרוֹת׃ בִּנְבָלִים מַשְׁמִעִים וּבִמְצִלְתָיִם וּבַחֲצֹצְרוֹת שׁוֹפָר וּבְקוֹל
竪琴で 琴と 響かせて シンバルで ラッパと 角笛と 角笛の-声と
H3658 H5035 H8085 H4700 H2689 H7782 H6963

こうしてイスラエルは皆、声をあげ、角笛を吹きならし、ラッパと、シンバルと、立琴と琴をもって打ちはやして主の契約の箱をかき上った。

29

וַיְהִי בְּרִית אֲרוֹן בָּא עַד־ עִיר דָּוִיד וּמִיכַל בַּת־ שָׁאוּל
そして–なった 契約の 箱が 来た まで 都に ダビデの ミカルは 娘–で サウルの
H1961 H1285 H0727 H0935 H5704 H1732 H4324 H1323 H7586

וְנִשְׁקָפָה בְּעַד הַחַלּוֹן וַתֵּרֶא אֶת־ הַמֶּלֶךְ דָּוִיד מְרַקֵּד
見下ろしていた (を–通して) 窓から そして–見た (を) 王を ダビデが 踊り
H8259 H1157 H2474 H7200 H0853 H4428 H1732 H7540

וַתָּבֶז לוֹ בְלִבָּהּ׃ פ וּמְשַׂחֵק
そして–軽蔑した 彼を 心の–中で (段落) 楽しんで–いるのを
H0959 H7832

主の契約の箱がダビデの町にはいったとき、サウルの娘ミカルが窓からながめ、ダビデ王の舞い踊るのを見て、心のうちに彼をいやしめた。

Chapter 16

1

וַיָּבִיאוּ אֶת־ אֲרוֹן הָאֱלֹהִים וַיַּצִּיגוּ אֹתוֹ בְּתוֹךְ הָאֹהֶל אֲשֶׁר
そして–運び入れた (を) 箱を 神の そして–置いた それを 真ん中に 天幕の (所の)
H0935 H0853 H0727 H0430 H3322 H0853 H8432 H0168

נָטָה־ לוֹ דָּוִיד וַיַּקְרֵיבוּ לִפְנֵי הָאֱלֹהִים׃ עֹלוֹת וּשְׁלָמִים
張った それのために ダビデが そして–ささげた 全焼の–ささげ物と 和解の–ささげ物を 前で 神の
H5186 H0853 H1732 H7126 H5927 H8002 H6440 H0430

人々は神の箱をかき入れて、ダビデがそのために張った幕屋のうちに置き、そして燔祭と酬恩祭を神の前にささげた。

2

וַיְכַל דָּוִיד מֵהַעֲלוֹת הָעֹלָה וְהַשְּׁלָמִים וַיְבָרֶךְ
そして–終えた ダビデは ささげ終えて 全焼の–ささげ物と 和解の–ささげ物を そして–祝福した
H3615 H1732 H5927 H8002 H1288

אֶת־ הָעָם בְּשֵׁם יְהוָה׃
(を) 民を 名に–よって 主の
H0853 H8034 H3068

ダビデは燔祭と酬恩祭をささげ終えたとき、主の名をもって民を祝福し、

3

וַיְחַלֵּק לְכָל־ אִישׁ יִשְׂרָאֵל מֵאִישׁ וְעַד־ אִשָּׁה לְאִישׁ
そして–分け与えた すべての 人に イスラエルの 男から そして–まで 女まで 一人に
H2505 H3605 H0376 H3478 H0376 H5704 H0802 H0376

כִּכַּר־ לֶחֶם וְאֶשְׁפָּר וַאֲשִׁישָׁה׃
一つの–パンと パンの 肉の–一切れと 干しぶどうの–菓子を
H3603 H3899 H0829 H0809

イスラエルの人々に男にも女にもおのおのパン一つ、肉一切れ、干ぶどう一かたまりを分け与えた。

4 וַיִּתֵּן לִפְנֵי אֲרוֹן יְהוָה מִן־הַלְוִיִּם מְשָׁרְתִים וּלְהַזְכִּיר
そして-置いた 前に 箱の 主の (から) レビ人の 仕える-者たちを そして-覚えさせ
H5414 H6440 H0727 H3068 H3881 H8334 H2142

וּלְהוֹדוֹת וּלְהַלֵּל לַיהוָה אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל׃ פ
そして-感謝し そして-賛美する-ために 主に 神に イスラエルの (段落)
H3034 H3068 H0430 H3478

ダビデはまたレビびとのうちから主の箱の前に仕える者を立てて、イスラエルの神、主をあがめ、感謝し、ほめたたえさせた。

5 אָסָף הָרֹאשׁ וּמִשְׁנֵהוּ זְכַרְיָה יְעִיאֵל וּשְׁמִירָמוֹת וִיחִיאֵל וּמַתִּתְיָה
アサフが 頭で その-次が ゼカリヤ エイエルと シェミラモテと エヒエルと マティテヤと
H0623 H4932 H2089 H3273 H8070 H3171 H4993

וְאֶלִיאָב וּבְנָיָהוּ עֹבֵד־אֱדֹם וְיִעִיאֵל וּבְכֵלֵי נְבָלִים וּבְכִנֹּרוֹת וַאֲסָף בְּמִצִלְתָיִם
エリアブと ベナヤと オベデ・エドムと エイエルは 楽器の 琴と 竪琴で アサフは シンバルで
H0446 H1141 H5654 H3273 H3627 H5035 H3658 H0623 H4700

מַשְׁמִיעַ׃
響かせた
H8085

楽長はアサフ、その次はゼカリヤ、エイエル、セミラモテ、エヒエル、マッタテヤ、エリアブ、ベナヤ、オベデ・エドム、エイエルで、彼らは立琴と琴を弾じ、アサフはシンバルを打ち鳴らし、

6 וּבְנָיָהוּ וְיַחֲזִיאֵל הַכֹּהֲנִים בַּחֲצֹצְרוֹת תָּמִיד לִפְנֵי אֲרוֹן בְּרִית־הָאֱלֹהִים׃
ベナヤと ヤハジエルは 祭司たちで ラッパを 常に 前で 箱の 契約の 神の
H1141 H3166 H3548 H2689 H8548 H6440 H0727 H1285 H0430

祭司ベナヤとヤハジエルは神の契約の箱の前でつねにラッパを吹いた。

7 בַּיּוֹם הַהוּא בָּרֹאשׁ נָתַן דָּוִיד לְהוֹדוֹת לַיהוָה בְּיַד־
その-日に その 初めに ダビデは 与えた その-時 感謝する-ために 主に 手に-よって
H3117 H1931 H7218 H1732 H5414 H0227 H3034 H3068 H3027

אָסָף וְאָחָיו׃ פ
アサフと その-兄弟たちの (段落)
H0623 H0251

その日ダビデは初めてアサフと彼の兄弟たちを立てて、主に感謝をささげさせた。

8 הוֹדוּ לַיהוָה קִרְאוּ בִשְׁמוֹ הוֹדִיעוּ בָעַמִּים עֲלִילֹתָיו׃
感謝せよ 主に 呼べ その-名を 知らせよ 民の-中に その-わざを
H3034 H3068 H7121 H8034 H3045 H5971 H5949

主に感謝し、そのみ名を呼び、そのみわざをもろもろの民の中に知らせよ。

9 שִׁירוּ לוֹ זַמְּרוּ־לוֹ שִׂיחוּ בְּכָל־נִפְלְאוֹתָיו׃
歌え 主に ほめ歌え 主に 語れ すべての 奇しい-わざを
H7891 H3034 H2167 H3068 H7878 H3605 H6381

主にむかって歌え、主をほめ歌え。そのもろもろのくすしきみわざを語れ。

10 הִתְהַלְלוּ בְּשֵׁם קָדְשׁוֹ יִשְׂמַח לֵב מְבַקְשֵׁי יְהוָה׃
誇れ 名を 聖なる-その 喜べ 心よ 求める-者の 主を
H1984 H8034 H6944 H8055 H3824 H1245 H3068

その聖なるみ名を誇れ。どうか主を求める者の心が喜ぶように。

11 דִּרְשׁוּ יְהוָה וְעֻזּוֹ בַּקְּשׁוּ פָנָיו תָּמִיד׃
尋ねよ 主と その-力を 求めよ その-御顔を 常に
H1875 H3068 H5797 H1245 H6440 H8548

主とそのみ力とを求めよ。つねにそのみ顔をたずねよ。

12 זִכְרוּ נִפְלְאֹתָיו אֲשֶׁר עָשָׂה מֹפְתָיו וּמִשְׁפְּטֵי־פִיהוּ׃
思い出せ 奇しい-わざを (所の) 行われた しるしと さばきを その-口の
H2142 H6381 H4941 H4159 H6310

13 זֶרַע יִשְׂרָאֵל עַבְדּוֹ בְּנֵי יַעֲקֹב בְּחִירָיו׃
子孫よ イスラエルの その-しもべの 子らよ ヤコブの 選ばれた-者たちよ
H2233 H3478 H5650 H3290 H0972

そのしもべアブラハムのすえよ、その選ばれたヤコブの子らよ。主のなされたくすしきみわざと、その奇跡と、そのみ口のさばきとを心にとめよ。

14 הוּא יְהוָה בְּכָל־הָאָרֶץ מִשְׁפָּטָיו׃
主こそ 主で 全 地に さばきが-ある
H1931 H3068 H3605 H0776 H4941

彼はわれわれの神、主にいます。そのさばきは全地にある。

15 זִכְרוּ לְעוֹלָם בְּרִיתוֹ דָּבָר צִוָּה לְאֶלֶף דּוֹר׃
覚えよ 永遠に その-契約を 言葉を 命じた 千の 代まで
H2142 H5769 H1285 H1697 H6680 H0505 H1755

主はとこしえにその契約をみこころにとめられる。これはよろずよに命じられたみ言葉であって、

16 אֲשֶׁר כָּרַת אֶת־אַבְרָהָם וּשְׁבוּעָתוֹ לְיִצְחָק׃
(所の) 結んだ (と) アブラハムと その-誓いを イサクに
H3772 H0854 H0085 H7621 H3327

アブラハムと結ばれた契約、イサクに誓われた約束である。

17 וַיַּעֲמִידֶהָ לְיַעֲקֹב לְחֹק לְיִשְׂרָאֵל בְּרִית עוֹלָם׃
そして-定めた ヤコブに-対して 掟と-して イスラエルに-対して 契約を 永遠の
H5975 H3290 H2706 H3478 H1285 H5769

主はこれを堅く立ててヤコブのために定めとし、イスラエルのためにとこしえの契約として、

18 לֵאמֹר לְךָ אֶתֵּן אֶרֶץ־כְּנַעַן חֶבֶל נַחֲלַתְכֶם׃
言って あなたに 与える 地を カナンの 分け前の 嗣業として
H0559 H5414 H0776 H3667 H2256 H5159

言われた、「あなたにカナンの地を与えて、あなたがたの受ける嗣業の分け前とする」と。

19 בִּהְיוֹתְכֶם מְתֵי מִסְפָּר כִּמְעַט וְגָרִים בָּהּ׃
あなたがたが-いた-時 少数の 数の わずかで そして-寄留者と-して そこに
H1961 H4962 H4557 H4592

その時、彼らの数は少なくて、数えるに足らず、かの国で旅びととなり、

20 וַיִּתְהַלְּכוּ מִגּוֹי אֶל־גּוֹי וּמִמַּמְלָכָה אֶל־עַם אַחֵר׃
そして-歩み回った 国から (へ) 国へ そして-王国から (へ) 民へ 他の
H1980 H0413 H1471 H4467 H0413 H0312

国から国へ行き、この国からほかの民へ行った。

21 לֹא־ הִנִּיחַ לְעָשְׁקָם לְאִישׁ וַיּוֹכַח עֲלֵיהֶם מְלָכִים׃
許さなかった 許さなかった 虐げる–ことを 誰にも そして–戒めた 彼らの–ために 王たちを
H3808 H3240 H6231 H0376 H3198 H4428

主は人の彼らをしえたげるのをゆるされず、彼らのために王たちを懲めて、

22 אַל־ תִּגְּעוּ בִמְשִׁיחָי וּבִנְבִיאַי אַל־ תָּרֵעוּ׃ פ
触れるな 油注がれた–者に そして–預言者たちに 触れるな 害を–加えるな (段落)
H0408 H4899 H5030 H5060 H0408

言われた、「わが油そそがれた者たちにさわってはならない。わが預言者たちに害を加えてはならない」と。

23 שִׁירוּ לַיהוָה כָּל־ הָאָרֶץ בַּשְּׂרוּ מִיּוֹם־ אֶל־ יוֹם יְשׁוּעָתוֹ׃
歌え 主に 全 地よ 告げ知らせよ 日から (へ) 日へ その–救いを
H7891 H3068 H3605 H0776 H1319 H3117 H0413 H3117 H3444

全地よ、主に向かって歌え。日ごとにその救を宣べ伝えよ。

24 סַפְּרוּ בַגּוֹיִם אֶת־ כְּבוֹדוֹ בְּכָל־ הָעַמִּים נִפְלְאֹתָיו׃
語れ 国々の–中で (を) その–栄光を すべての 民の–中で 奇しい–わざを
H0853 H1319 H3605 H3519 H6381

もろもろの国の中にその栄光をあらわし、もろもろの民の中にくすしきみわざをあらわせ。

25 כִּי־ גָדוֹל יְהוָה וּמְהֻלָּל מְאֹד וְנוֹרָא הוּא עַל־ כָּל־ אֱלֹהִים׃
まことに 偉大で 主は 大いに–ほめたたえられる 非常に そして–恐るべき 主は (より) すべての 神々より
H3068 H3966 H1931 H3372 H0430 H3605

主は大いなるかたにいまして、いとほめたたうべき者、もろもろの神にまさって、恐るべき者だからである。

26 כִּי כָּל־ אֱלֹהֵי הָעַמִּים אֱלִילִים וַיהוָה שָׁמַיִם עָשָׂה׃
まことに すべての 神々は 民の 偶像で–ある しかし–主は 天を 造られた
H3605 H0430 H3068 H0457 H8064

もろもろの民のすべての神はむなしい。しかし主は天を造られた。

27 הוֹד וְהָדָר לְפָנָיו עֹז וְחֶדְוָה בִּמְקֹמוֹ׃
威光と 輝きが その–前に–ある 力と 喜びが その–場所に–ある
H1935 H1926 H6440 H5797 H2304 H4725

誉と威厳とはそのみ前にあり、力と喜びとはその聖所にある。

28 הָבוּ לַיהוָה מִשְׁפְּחוֹת עַמִּים הָבוּ לַיהוָה כָּבוֹד וָעֹז׃
ささげよ 主に 諸族よ 民の ささげよ 主に 栄光と 力を
H3051 H3068 H4940 H3051 H3519 H5797

もろもろの民のやからよ、主に帰せよ、栄光と力とを主に帰せよ。

29 הָבוּ לַיהוָה כְּבוֹד שְׁמוֹ שְׂאוּ מִנְחָה וּבֹאוּ לְפָנָיו הִשְׁתַּחֲווּ לַיהוָה בְּהַדְרַת־ קֹדֶשׁ׃
ささげよ 主に 栄光を その–名に–ふさわしい 携えて–来い ささげ物を そして–来い その–前に ひれ伏せ 主に 聖なる–輝きの–中で 聖なる
H3051 H3068 H3519 H8034 H5375 H4503 H0935 H6440 H7812 H3068 H1927 H6944

そのみ名にふさわしい栄光を主に帰せよ。供え物を携えて主のみ前にきたれ。聖なる装いをして主を拝め。

30 חִילוּ מִלְּפָנָיו כָּל־הָאָרֶץ אַף־תִּכּוֹן תֵּבֵל בַּל־תִּמּוֹט׃
おののけ その-前に 全 地よ まことに 堅く-立つ 世界は 決して 揺るがない
H2342 H6440 H3605 H0776 H0637 H8398 H1077 H4131

全地よ、そのみ前におののけ。世界は堅く立って、動かされることはない。

31 יִשְׂמְחוּ הַשָּׁמַיִם וְתָגֶל הָאָרֶץ וְיֹאמְרוּ בַגּוֹיִם יְהוָה מָלָךְ׃
喜べ 天よ そして-楽しめ 地よ そして-言え 国々の-中で 主が 統べ治める-と
H8056 H8064 H1523 H0776 H0559 H3068

天は喜び、地はたのしみ、もろもろの国民の中に言え、「主は王であられる」と。

32 יִרְעַם הַיָּם וּמְלוֹאוֹ יַעֲלֹץ הַשָּׂדֶה וְכָל־אֲשֶׁר בּוֹ׃
とどろけ 海よ そして-その-満ちる-ものよ 喜べ 野よ そして-すべて (所の) その-中に-ある-ものよ
H7481 H3220 H4393 H5970 H3605

海とその中に満つるものとは鳴りどよめき、田畑とその中のすべての物は喜べ。

33 אָז יְרַנְּנוּ עֲצֵי הַיָּעַר מִלִּפְנֵי יְהוָה כִּי־בָא לִשְׁפּוֹט אֶת־הָאָרֶץ׃
その-時 叫べ 木々よ 森の 前で 主の まことに 来られる さばく-ために (を) 地を
H0227 H7442 H6086 H3293 H6440 H3068 H3588 H0935 H8199 H0853 H0776

そのとき林のもろもろの木も主のみ前に喜び歌う。主は地をさばくためにこられるからである。

34 הוֹדוּ לַיהוָה כִּי טוֹב כִּי לְעוֹלָם חַסְדּוֹ׃
感謝せよ 主に まことに 善い まことに 永遠に その-恵みは
H3034 H3068 H3588 H2896 H3588 H5769 H2617

主に感謝せよ、主は恵みふかく、そのいつくしみはとこしえに絶えることがない。

35 וְאִמְרוּ הוֹשִׁיעֵנוּ אֱלֹהֵי יִשְׁעֵנוּ וְקַבְּצֵנוּ
そして-言え 救ってください 神よ 我々の-救いの そして-集めてください
H0559 H3467 H0430 H3468 H6908

וְהַצִּילֵנוּ מִן־הַגּוֹיִם לְהֹדוֹת לְשֵׁם קָדְשֶׁךָ לְהִשְׁתַּבֵּחַ
そして-救い出してください (から) 国々から 感謝する-ために 名に 聖なる-あなたの 誇る-ために
H5337 H4480 H1471 H3034 H8034 H6944 H7623

בִּתְהִלָּתֶךָ׃
あなたの-賛美を
H8416

また言え、「われわれの救の神よ、われわれを救い、もろもろの国民の中からわれわれを集めてお救いください。そうすればあなたの聖なるみ名に感謝し、あなたの誉を誇るでしょう。

36 בָּרוּךְ יְהוָה אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל מִן־הָעוֹלָם וְעַד־הָעֹלָם וַיֹּאמְרוּ
ほむべきかな 主 神は イスラエルの (から) 永遠から そして-まで 永遠まで そして-言った
H1288 H3068 H0430 H3478 H4480 H5769 H5704 H5769 H0559

כָּל־הָעָם אָמֵן וְהַלֵּל לַיהוָה׃ פ
すべての 民は アーメン そして-賛美した 主を (段落)
H3605 H5971 H0543 H1984 H3068

イスラエルの神、主は、とこしえからとこしえまでほむべきかな」と。その時すべての民は「アァメン」と言って主をほめたたえた。

37 וַיַּעְזֹ֞ב שָׁ֣ם | לִפְנֵ֣י | אֲרוֹן֮ | בְּרִית־ | יְהוָה֒ | לְאָסָף֙ | וּלְאֶחָ֣יו
そして-残した | そこに | 箱の | 契約の | 主の | アサフと | その-兄弟たちを
H8334 | H0251 | H0623 | H3068 | H1285 | H0727 | H6440 | H8033

לְשָׁרֵ֔ת לִפְנֵ֥י הָאָרֹ֖ון תָּמִ֑יד לְדִבַּר־ יֹ֥ום בְּיוֹמֹ֖ו׃
仕える-ために | 前で | 箱の | 常に | 日ごとの-務めとして | 日 | その-日の
H8334 | H6440 | H0727 | H8548 | H1697 | H3117 | H3117

ダビデはアサフとその兄弟たちを主の契約の箱の前にとめおいて、常に箱の前に仕え、日々のわざを行わせた。

38 וְעֹבֵ֣ד אֱדֹ֗ם | וְאַחֵיהֶם֙ | שִׁשִּׁ֔ים | וּשְׁמֹונָ֖ה | אֱדֹ֣ם | עֹבֵ֑ד | בֶּן־ | יְדִיתֻ֔ון
オベデ・エドムと | その-兄弟たちは | 六十 | 八人で | オベデ・エドムは | 子-の | エディトンの
H5654 | H0251 | H8346 | H8083 | H5654 | H3038

וְחֹסָ֖ה לְשֹׁעֲרִֽים׃
そして-ホサは | 門衛-であった
H2621 | H7778

オベデ・エドムとその兄弟たちは合わせて六十八人である。またエドトンの子オベデ・エドムおよびホサは門守であった。

39 וְאֶת־ | צָד֣וֹק | הַכֹּהֵ֔ן | וְאֶחָיו֙ | הַכֹּהֲנִ֔ים | לִפְנֵ֖י | מִשְׁכַּ֣ן | יְהוָ֑ה | בַּבָּמָ֣ה | אֲשֶׁ֥ר
そして | ツァドクを | 祭司と | その-兄弟たちの | 祭司たちを | 前に | 幕屋の | 主の | 高き-所に | (所の)
H0853 | H6659 | H3548 | H0251 | H3548 | H6440 | H4908 | H3068 | H1116

בְּגִבְעֹֽון׃
ギブオンに
H1391

祭司ザドクとその兄弟である祭司たちはギベオンにある高き所で主の幕屋の前に仕え、

40 לְהַעֲלֹ֨ות | עֹלֹ֤ות | לַיהוָה֙ | עַל־ | מִזְבַּ֣ח | הָעֹלָ֔ה | תָּמִ֖יד
ささげる-ために | 全焼の-ささげ物を | 主に | (の-上で) | 祭壇の-上で | 全焼の-ささげ物の | 常に
H5927 | H3068 | H4196 | H8548

לַבֹּ֖קֶר וְלָעֶ֑רֶב וְלִכְל־ | בְּתֹורַ֣ת | יְהוָ֔ה | אֲשֶׁ֥ר | צִוָּ֖ה
朝に | そして-夕に | そして-すべての | 律法に | 主の | (所の) | 命じた
H1242 | H6153 | H3605 | H8451 | H3068 | H6680

הַכָּתוּב֙ עַל־ יִשְׂרָאֵ֔ל׃
記されて-いる-ことに-従い | (に-対して) | イスラエルに
H3789 | H3478

主がイスラエルに命じられた律法にしるされたすべてのことにしたがって燔祭の壇の上に朝夕たえず燔祭を主にささげた。

41 וְעִמָּהֶ֗ם | הֵימָ֣ן | וִידוּתֻ֔ון | וּשְׁאָ֣ר | הַבְּרוּרִ֔ים | אֲשֶׁ֥ר | נִקְבּ֖וּ
そして-彼らと-共に | ヘマンと | エディトンと | 残りの | 選ばれた-者たちが | (所の) | 名を-指された
H1968 | H3038 | H7605 | H1305

לְהֹדֹ֣ות | לַיהוָ֔ה | כִּ֥י | לְעֹולָ֖ם | חַסְדֹּֽו׃
感謝する-ために | 主に | まことに | 永遠に | その-恵みは
H3034 | H3068 | H5769

בְּשֵׁמֹ֥ות | לְהֹדֹ֣ות
名に-よって | 感謝する-ために
H8034 | H3034

また彼らとともにヘマン、エドトンおよびほかの選ばれて名をしるされた者どもがいて、主のいつくしみの世々限りなきことについて主に感謝した。

42 וְעִמָּהֶם֙ הֵימָ֣ן וִידוּת֔וּן וְחֲצֹצְר֖וֹת וּמְצִלְתַּ֑יִם לְמַשְׁמִיעִ֗ים
そして–彼らと–共に ヘマンと エディトンは ラッパと シンバルで 響かせる–者たちとして
H1968 H3038 H2689 H4700 H8085

וּבְנֵ֣י וִידוּת֔וּן לַשָּׁעַ֖ר׃ וְכֵלֵ֣י שִׁ֔יר הָאֱלֹהִ֑ים
そして–子らは エディトンの 門の–ために そして–楽器で 歌の 神の
H3038 H8179 H3627 H0430

すなわちヘマンおよびエドトンは彼らとともにいて、ラッパ、シンバルおよびその他の聖歌のための楽器をとって音楽を奏し、エドトンの子らは門を守った。

43 וַיֵּלֶךְ֙ כָּל־ הָעָ֔ם אִ֖ישׁ לְבֵיתֹ֑ו וַיָּ֣שָׁב דָּוִ֔יד לְבָרֵ֖ךְ
そして–去った すべての 民は 各人 その–家に そして–戻った ダビデは 祝福する–ために
H3212 H3605 H0376 H1732 H5437 H1288

פ בֵּיתֹ֔ו׃ אֶת־
(段落) その–家を (を)
H0853

こうして民は皆おのおの家に帰り、ダビデはその家族を祝福するために帰って行った。

Chapter 17

1 וַיְהִ֗י כַּאֲשֶׁ֤ר יָשַׁב֙ דָּוִ֣יד בְּבֵיתֹ֔ו וַיֹּ֥אמֶר דָּוִ֖יד אֶל־
そして–あった 住んだ ように ダビデが その–家に そして–言った ダビデは (に)
H1961 H3427 H3427 H1732 H1732 H0559 H1732 H0413

נָתָ֣ן הַנָּבִ֔יא רְאֵ֗ה אָנֹכִי֙ יוֹשֵׁ֣ב בְּבֵ֣ית הָאֲרָזִ֔ים וַאֲרֹון֙ בְּרִית־ יְהוָ֔ה תָּחַ֖ת
ナタンに 預言者の 見よ わたしは 住んでいる 家に 杉の しかし–箱は 契約の 主の 下に–ある
H5416 H5030 H2009 H0595 H3427 H1004 H0727 H1285 H3068 H8478

יְרִיעֹ֑ות׃
幕の
H3407

さてダビデは自分の家に住むようになったとき、預言者ナタンに言った、「見よ、わたしは香柏の家に住んでいるが、主の契約の箱は天幕のうちにある」。

2 וַיֹּ֤אמֶר נָתָן֙ אֶל־ דָּוִ֔יד כָּל֙ אֲשֶׁ֣ר בְּלְבָבְךָ֔ עֲשֵׂ֖ה
そして–言った ナタンは (に) ダビデに すべて (所の) あなたの–心に–ある–ことを 行え
H0559 H5416 H0413 H1732 H3605 H3824

ס עִמָּ֑ךְ׃ הָאֱלֹהִ֖ים כִּ֥י
(段落) あなたと–共に–おられる 神が なぜなら
H0430

ナタンはダビデに言った、「神があなたとともにおられるから、すべてあなたの心にあるところを行いなさい」。

3 וַיְהִ֣י בַלַּ֔יְלָה הַה֖וּא וַיְהִ֣י דְבַר־ אֱלֹהִ֔ים אֶל־ נָתָ֖ן לֵאמֹֽר׃
そして–あった その 夜に そして–あった 言葉が (に) ナタンに 言って
H1961 H1931 H3915 H1961 H1697 H0413 H5416 H0559

その夜、神の言葉がナタンに臨んで言った、

4 לֵ֚ךְ וְאָמַרְתָּ֣ אֶל־ דָּוִ֣יד עַבְדִּ֔י כֹּ֥ה אָמַ֖ר יְהוָ֑ה לֹ֣א אַתָּ֔ה
行け そして–言え (に) ダビデに わたしの–しもべ こう 言われる 主は ない あなたが
H3212 H0559 H0413 H1732 H5650 H3541 H0559 H3068 H3808 H0859

תִּבְנֶ֥ה לִּ֖י הַבַּ֑יִת לָשָֽׁבֶת׃
建てる–ことは わたしの–ために 家を 住む–ための
H1129 H3427

「行ってわたしのしもべダビデに告げよ、『主はこう言われる、わたしの住む家を建ててはならない。

5

יִשְׂרָאֵל אֶת־ הֶעֱלֵיתִי אֲשֶׁר הַיּוֹם מִן־ בְּבַיִת יָשַׁבְתִּי לֹא כִּי
イスラエルを (を) 導き-上げた (所の) 日から (から) 家に 住んだ-ことは ない まことに
H3478 H0853 H5927 H3117 H3427 H3808

וּמִמִּשְׁכָּן׃ אֹהֶל אֶל־ מֵאֹהֶל וָאֶהְיֶה עַד הַיּוֹם הַזֶּה
そして-幕屋から-幕屋へ 天幕へ (へ) 天幕から そして-わたしは-いた まで この 日
H4908 H0168 H0413 H0168 H1961 H5704 H2088 H3117

わたしはイスラエルを導き上った日から今日まで、家に住まわず、天幕から天幕に、幕屋から幕屋に移ったのである。

6

דִּבַּרְתִּי הַדָּבָר יִשְׂרָאֵל בְּכָל־ הִתְהַלַּכְתִּי אֲשֶׁר־ בְּכֹל
語った-ことが-あるか 一言でも イスラエルと-共に すべての 歩んだ (所の) すべての-所で
H1696 H1697 H3478 H3605 H1980 H3605

לֵאמֹר עַמִּי אֶת־ לִרְעוֹת צִוִּיתִי אֲשֶׁר יִשְׂרָאֵל שֹׁפְטֵי אַחַד אֶת־
言って わたしの-民を (を) 牧する-ように 命じた (所の) イスラエルの 裁き人に 一人の (を)
H0559 H0853 H6680 H3478 H8199 H0259 H0854

בָּתֵּי אֲרָזִים׃ לִי בִּיתַ בְּנִיתֶם לֹא־ לָמָּה
杉の 家を わたしの-ために 建てた-のか ない なぜ
H0730 H1129 H3808 H4100

わたしがすべてのイスラエルと共に歩んだすべての所で、わたしの民を牧することを命じたイスラエルのさばきづかさのひとりに、ひと言でも、「どうしてあなたがたは、わたしのために香柏の家を建てないのか」と言ったことがあるだろうか』と。

7

אֲנִי צְבָאוֹת יְהוָה אָמַר כֹּה ס לְדָוִיד לְעַבְדִּי תֹאמַר כֹּה־ וְעַתָּה
わたしは 万軍の 主 言われる こう (段落) ダビデに しもべに 言え こう そして-今
H0589 H3068 H0559 H3541 H1732 H5650 H0559 H3541 H6258

עַל נָגִיד לִהְיוֹת הַצֹּאן אַחֲרֵי מִן־ הַנָּוֶה מִן־ לְקַחְתִּיךָ
(の-上に) 指導者に なる-ために 羊の 後ろから (から) 牧場から (から) 取った-あなたを
H5057 H1961 H6629 H3947

יִשְׂרָאֵל׃ עַמִּי
イスラエルの わたしの-民
H3478

それゆえ今あなたは、わたしのしもべダビデにこう言いなさい、『万軍の主はこう仰せられる、「わたしはあなたを牧場から、羊に従っている所から取って、わたしの民イスラエルの君とし、

8

אֶת־ וָאַכְרִית הָלַכְתָּ אֲשֶׁר בְּכֹל עִמָּךְ וָאֶהְיֶה
(を) そして-断ち-滅ぼした 行った-所で (所の) すべて あなたと-共に そして-わたしは-いた
H0853 H3772 H1980 H3605 H1961

הַגְּדוֹלִים כְּשֵׁם שֵׁם לְךָ וְעָשִׂיתִי מִפָּנֶיךָ אוֹיְבֶיךָ כָּל־
偉大な-者たちの 名の-ように 名を あなたに そして-与えた あなたの-前から 敵を すべての
H8034 H8034 H6440 H0341 H3605

בָּאָרֶץ׃ אֲשֶׁר
地に-いる (所の)
H0776

あなたがどこへ行くにもあなたと共におり、あなたのすべての敵をあなたの前から断ち去った。わたしはまた地の上の大いなる者の名のような名をあなたに得させよう。

9 וְשַׂמְתִּי לְעַמִּי יִשְׂרָאֵל וּנְטַעְתִּיהוּ וְשָׁכַן
そして-定めた 場所を わたしの-民の-ために イスラエルの そして-植えた そして-住む
H4725 H3478 H5193 H7931

תַּחְתָּיו וְלֹא יִרְגַּז עוֹד וְלֹא יוֹסִיפוּ בְּנֵי עַוְלָה
その-場所に そして-ない おののく-ことは もはや そして-ない 続ける-ことは 子らが 悪の
H8478 H3808 H7264 H5750 H3808 H3254

כַּאֲשֶׁר בָּרִאשֹׁנָה׃ לְבַלֹּתוֹ
ように 以前の-ように 苦しめる-ことを
H7223 H1086

そしてわたしはわが民イスラエルのために一つの所を定めて、彼らを植えつけ、彼らを自分の所に住ませ、重ねて動くことのないようにしよう。

10 וּלְמִן יְמֵים אֲשֶׁר צִוִּיתִי שֹׁפְטִים עַל עַמִּי יִשְׂרָאֵל
そして-日々から (所の) 命じた 裁き人たちを (の-上に) わたしの-民 イスラエルの-上に
H3117 H6680 H8199 H3478

וְהִכְנַעְתִּי אֶת כָּל אוֹיְבֶיךָ וְהַגֵּד לְךָ וּבַיִת יִבְנֶה
そして-屈服させた (を) すべての 敵を そして-告げる あなたに そして-家を 建てる
H3665 H0853 H3605 H0341 H5046 H1129

יְהוָה׃ לְךָ
主が あなたの-ために
H3068

また前のように、すなわちわたしがわが民イスラエルの上にさばきづかさを立てた時からこのかたのように、悪い人が重ねてこれを荒すことはないであろう。わたしはまたあなたのもろもろの敵を征服する。かつわたしは主があなたのために家を建てられることを告げる。

11 וְהָיָה כִּי מָלְאוּ יָמֶיךָ לָלֶכֶת עִם אֲבֹתֶיךָ
そして-なる まことに 満ちた-時 あなたの-日が 行く-ために (と-共に) 先祖たちの-もとへ
H1961 H4390 H3117 H3212 H0001

וְהַקִימוֹתִי אֶת זַרְעֲךָ אַחֲרֶיךָ אֲשֶׁר יִהְיֶה מִבָּנֶיךָ
そして-起こす (を) あなたの-子孫を あなたの-後に (所の) なる あなたの-子らから
H0853 H2233 H0853 H1961

וַהֲכִינוֹתִי אֶת מַלְכוּתוֹ׃
そして-堅く-する (を) その-王国を
H0853 H4438

あなたの日が満ち、あなたの先祖たちの所へ行かねばならぬとき、わたしはあなたの子、すなわちあなたの子らのひとりを、あなたのあとに立てて、その王国を堅くする。

12 הוּא יִבְנֶה לִי בַּיִת וְכֹנַנְתִּי אֶת כִּסְאוֹ עַד עוֹלָם׃
彼が 建てる わたしの-ために 家を そして-堅く-する (を) その-王座を まで 永遠に
H1931 H1129 H3678 H0853 H5704 H5769

彼はわたしのために家を建てるであろう。わたしは長く彼の位を堅くする。

13 אֲנִי אֶהְיֶה לוֹ לְאָב וְהוּא יִהְיֶה לִי לְבֵן וְחַסְדִּי
わたしは なる 彼に 父と そして-彼は なる わたしに 子と そして-わたしの-恵みを
H589 H1961 H0001 H1931 H1961 H3808

לֹא אָסִיר מֵאֲשֶׁר הֵסַרְתִּי מֵעִמּוֹ כַּאֲשֶׁר הָיָה מֵאֲשֶׁר לְפָנֶיךָ׃
ない 取り-去る-ことは (から) 取り-去った 彼から ように あった (から) あなたの-前に
H3808 H5493 H5493 H3808 H1961 H6440

わたしは彼の父となり、彼はわたしの子となる。わたしは、わたしのいつくしみを、あなたのさきにあった者から取り去ったように、彼からは取り去らない。

14 וְהַעֲמַדְתִּיהוּ בְּבֵיתִי וּבְמַלְכוּתִי עַד־הָעוֹלָם וְכִסְאֹו יִהְיֶה
そして–立たせる わたしの–家に そして–わたしの–王国に まで 永遠に そして–その–王座は なる
H5975 H1004 H4438 H5704 H5769 H3678 H1961

נָכוֹן עַד־עוֹלָם׃
堅く まで 永遠に
H3559 H5704 H5769

かえって、わたしは彼を長くわたしの家に、わたしの王国にすえおく。彼の位はとこしえに堅く立つであろう』」。

15 כְּכֹל הַדְּבָרִים הָאֵלֶּה וּכְכָל הֶחָזוֹן הַזֶּה כֵּן דִּבֶּר נָתָן
すべての 言葉の これらの そして–すべての 幻の この その–通りに 語った ナタンは
H3605 H1697 H0428 H3605 H2377 H2088 H3651 H1696 H5416

אֶל־דָּוִיד׃ פ
(に) ダビデに (段落)
H0413 H1732

ナタンはすべてこれらの言葉のように、またすべてこの幻のようにダビデに語った。

16 וַיָּבֹא הַמֶּלֶךְ דָּוִיד וַיֵּשֶׁב לִפְנֵי יְהוָה וַיֹּאמֶר מִי־
そして–来た 王 ダビデは そして–座った 前に 主の そして–言った 誰–でしょうか
H0935 H4428 H1732 H3427 H6440 H3068 H0559 H4310

עַד־ הֲבִיאֹתָנִי כִּי בֵיתִי וּמִי אֱלֹהִים יְהוָה אֲנִי
まで 導いて–くださった まことに わたしの–家は そして–何–でしょうか 神よ 主よ わたしは
H5704 H0935 H3588 H1004 H4310 H0430 H3068 H0589

הֲלֹם׃
ここまで
H1988

そこで、ダビデ王は、はいって主の前に座して言った、「主なる神よ、わたしがだれ、わたしの家がなんであるので、あなたはこれまでわたしを導かれたのですか。

17 וַתְּקַטֹּן זֹאת בְּעֵינֶיךָ אֱלֹהִים וַתְּדַבֵּר עַל־בֵּית
そして–小さかった これは あなたの–目に 神よ そして–語られた (の–上に) 家に–ついて
H6994 H2063 H5869 H0430 H1696 H5921 H1004

עַבְדְּךָ לְמֵרָחֹק וּרְאִיתַנִי כְּתֹוַר הָאָדָם הַמַּעֲלָה יְהוָה
遠い–先まで そして–見てくださった 地位の–ように 人の 高い–所の 主よ
H7350 H7200 H8448 H0120 H4605 H3068

אֱלֹהִים׃
神よ
H0430

神よ、これはあなたの目には小さな事です。主なる神よ、あなたはしもべの家について、はるか後の事を語って、きたるべき代々のことを示されました。

18 מַה־יּוֹסִיף עֹוד דָּוִיד אֵלֶיךָ עַל־כָּבוֹד אֶת־עַבְדֶּךָ
何を 加える–ことが–できましょうか さらに ダビデは あなたに (を) 栄誉の–ために しもべ–を
H4100 H3254 H5750 H1732 H0413 H5921 H3519 H0853 H5650

וְאַתָּה יָדַעְתָּ׃ אֶת־עַבְדְּךָ
あなたは (を) しもべを 知って–おられる
H0859 H0853 H5650 H3045

しもべの名誉については、ダビデはこの上あなたに何を申しあげることができましょう。あなたはしもべを知っておられるからです。

הַזֹּאת	הַגְּדוּלָה	כָּל־	אֵת	עָשִׂיתָ	וּכְלִבְּךָ	עַבְדֶּךָ	בַּעֲבוּר	יְהוָה	19
この	偉大さを	すべての	(を)	行われた	そして-あなたの-心の-ままに	しもべの	ために	主よ	
H2063	H1420	H3605	H0853			H5650	H5668	H3068	

הַגְּדֻלּוֹת׃	כָּל־	אֶת־	לְהוֹדִיעַ
偉大な-わざを	すべての	(を)	知らせる-ために
H1420	H3605	H0853	H3045

主よ、あなたはしもべのために、またあなたの心にしたがって、このもろもろの大いなる事をなし、すべての大いなる事を知らされました。

שָׁמַעְנוּ	אֲשֶׁר־	בְּכֹל	זוּלָתֶךָ	אֱלֹהִים	וְאֵין	כָּמוֹךָ	אֵין	יְהוָה	20
聞いた	(所の)	すべて	あなたの-ほかに	神は	そして-ない	あなたの-ような-方は	ない	主よ	
H8085		H3605	H2108	H0430	H0369	H3644	H0369	H3068	

בְּאָזְנֵינוּ׃
我々の-耳で
H0241

主よ、われわれがすべて耳に聞いた所によれば、あなたのようなものはなく、またあなたのほかに神はありません。

הָלַךְ	אֲשֶׁר־	בָּאָרֶץ	אֶחָד	גּוֹי	יִשְׂרָאֵל	כְּעַמְּךָ	וּמִי		21
行かれた	(所の)	地上に	唯一の	国	イスラエルの-ように	あなたの-民の-ように	そして-誰が		
H1980		H0776	H0259		H3478		H4310		

גְּדֻלּוֹת	שֵׁם	לְךָ	לְשׂוּם	עָם	לוֹ	לִפְדּוֹת	הָאֱלֹהִים
偉大な	名を	あなたに	立てる-ために	民を	ご自分の-ために	贖う-ために	神が
H1420	H8034					H6299	H0430

גּוֹיִם׃	מִמִּצְרַיִם	פָּדִיתָ	אֲשֶׁר־	עַמְּךָ	מִפְּנֵי	לְגָרֵשׁ	וְנוֹרָאוֹת
国々を	エジプトから	贖われた	(所の)	あなたの-民の	前から	追い出す-ために	そして-畏るべき
	H4714	H6299			H6440	H1644	H3372

また地上のどの国民が、あなたの民イスラエルのようでありましょうか。これは神が行って、自分のためにあがなって民とし、エジプトからあなたがあがない出されたあなたの民の前から国々の民を追い払い、大いなる恐るべき事を行って、名を得られたものではありませんか。

עוֹלָם	עַד־	לְעָם	לְךָ	וְיִשְׂרָאֵל	עַמְּךָ	אֵת־	וַתִּתֵּן		22
永遠に	まで	民と-して	あなたの-ために	イスラエルを	あなたの-民を	(を)	そして-なさった		
H5769	H5704			H3478		H0853	H5414		

לֵאלֹהִים׃	לָהֶם	הָיִיתָ	יְהוָה	וְאַתָּה
神と	彼らの	なられた	主よ	そして-あなたは
H0430		H1961	H3068	

あなたはあなたの民イスラエルを長くあなたの民とされました。主よ、あなたは彼らの神となられたのです。

וְעַל־	עַבְדְּךָ	עַל־	דִּבַּרְתָּ	אֲשֶׁר	הַדָּבָר	יְהוָה	וְעַתָּה		23
そして(の-上に)	しもべに-ついて	(の-上に)	語られた	(所の)	言葉が	主よ	そして-今		
	H5650		H1696		H1697	H3068	H6258		

כַּאֲשֶׁר	וַעֲשֵׂה	עוֹלָם	עַד־	יֵאָמֵן	בֵּיתוֹ
ように	そして-行ってください	永遠に	まで	確かに-なりますように	その-家に-ついて
		H5769	H5704	H0539	

דִּבַּרְתָּ׃
語られた-通りに
H1696

それゆえ主よ、あなたがしもべと、しもべの家について語られた言葉を長く堅くして、あなたの言われたとおりにしてください。

24

יְהוָה	לֵאמֹר	עוֹלָם	עַד־	שִׁמְךָ	וְיִגְדַּל	וְיֶאֱמַן
主	言って	永遠に	まで	あなたの–名が	そして–あがめられますように	そして–確かに–なり
H3068	H0559	H5769	H5704	H8034	H1431	H0539

עַבְדְּךָ	דָּוִיד	וּבֵית־	לְיִשְׂרָאֵל	אֱלֹהִים	יִשְׂרָאֵל	אֱלֹהֵי	צְבָאוֹת
しもべの	ダビデの	そして–家は	イスラエルの–ための	神で–ある	イスラエルの	神は	万軍の
H5650	H1732		H3478	H0430	H3478	H0430	

לְפָנֶיךָ׃	נָכוֹן
あなたの–前に	堅く–立つ
H6440	

そうすればあなたの名はとこしえに堅くされ、あがめられて、『イスラエルの神、万軍の主はイスラエルの神である』と言われ、またあなたのしもべダビデの家はあなたの前に堅く立つことができるでしょう。

25

לִבְנוֹת	עַבְדְּךָ	אָזֶן	אֶת־	גָּלִיתָ	אֱלֹהַי	אַתָּה	וְכִי
建てる–ことを	しもべの	耳に	(を)	明かされた	わたしの–神よ	あなたは	まことに
H1129	H5650	H0241	H0853	H1540	H0430		

לְפָנֶיךָ׃	לְהִתְפַּלֵּל	עַבְדְּךָ	מָצָא	כֵּן	עַל־	בַּיִת	לוֹ
あなたの–前に	祈る–ことを	しもべは	見出した	そのために	それ–ゆえに	家を	彼の–ために
H6440	H6419	H5650	H4672				

わが神よ、あなたは彼のために家を建てると、しもべに示されました。それゆえ、しもべはあなたの前に祈る勇気を得ました。

26

עַבְדְּךָ	עַל־	וַתְּדַבֵּר	הָאֱלֹהִים	הוּא	אַתָּה־	יְהוָה	וְעַתָּה
しもべに–ついて	(の–上に)	そして–語られた	神で–ある	あなたこそ	あなたこそ	主よ	そして–今
H5650		H1696	H0430	H1931		H3068	H6258

הַזֹּאת׃	הַטּוֹבָה
この	善い–ことを
H2063	

主よ、あなたは神にいまし、この良き事をしもべに約束されました。

27

לְעוֹלָם	לִהְיוֹת	עַבְדְּךָ	בֵּית	אֶת־	לָבָרֵךְ	הוֹאַלְתָּ	וְעַתָּה	
永遠に	ある–ように	しもべの	家を	(を)	祝福する–ことを	喜んでくださった	そして–今	
H5769	H1961	H5650		H0853	H1288	H2974	H6258	

פ	לְעוֹלָם׃	וּמְבֹרָךְ	בֵּרַכְתָּ	יְהוָה	אַתָּה	כִּי־	לְפָנֶיךָ	
(段落)	永遠に	そして–祝福されている	祝福された	主よ	あなたが	まことに	あなたの–前に	
	H5769	H1288	H1288	H3068			H6440	

それゆえどうぞいま、しもべの家を祝福し、あなたの前に長く続かせてくださるように。主よ、あなたの祝福されるものは長く祝福を受けるからです」。

Chapter 18

1

פְּלִשְׁתִּים	אֶת־	דָּוִיד	וַיַּךְ	כֵּן	אַחֲרֵי־	וַיְהִי	
ペリシテ人を	(を)	ダビデは	そして–打ち–破った	その	後に	そして–あった	
H6430	H0853	H1732	H5221			H1961	

פְּלִשְׁתִּים׃	מִיַּד	וּבְנֹתֶיהָ	גַּת	אֶת־	וַיִּקַּח	וַיַּכְנִיעֵם
ペリシテ人の	手から	その–周辺の–町々を	ガテと	(を)	そして–取った	そして–屈服させた
H6430	H3027	H1323	H1661	H0853	H3947	H3665

この後ダビデはペリシテびとを撃ってこれを征服し、ペリシテびとの手からガテとその村々を取った。

2 וַיַּךְ אֶת־מוֹאָב וַיִּהְיוּ מוֹאָב עֲבָדִים לְדָוִיד נֹשְׂאֵי מִנְחָה׃
そして–打ち–破った (を) モアブを そして–なった モアブは 僕と ダビデの 携える–者と–なった 貢ぎ物を
H5221 H0853 H4124 H1961 H4124 H5650 H1732 H5375 H4503

彼はまたモアブを撃った。モアブびとはダビデのしもべとなって、みつぎを納めた。

3 וַיַּךְ דָּוִיד אֶת־הֲדַדְעֶזֶר מֶלֶךְ־צוֹבָה חֲמָתָה בְּלֶכְתּוֹ לְהַצִּיב יָדוֹ בְּנְהַר־פְּרָת׃
そして–打ち–破った ダビデは (を) ハダデゼルを 王–の ツォバの ハマテへの–途中で 行った–時 立てる–ために その–手を 川に ユーフラテスの
H5221 H1732 H0853 H1909 H4428 H6678 H2574 H3212 H5324 H3027 H5104 H6578

ダビデはまた、ハマテのゾバの王ハダデゼルがユフラテ川のほとりに、その記念碑を建てようとして行ったとき彼を撃った。

4 וַיִּלְכֹּד דָּוִיד מִמֶּנּוּ אֶלֶף רֶכֶב וְשִׁבְעַת אֲלָפִים פָּרָשִׁים וְעֶשְׂרִים אֶלֶף אִישׁ רַגְלִי וַיְעַקֵּר דָּוִיד אֶת־כָּל־הָרֶכֶב וַיּוֹתֶר מִמֶּנּוּ מֵאָה רָכֶב׃
そして–捕らえた ダビデは 彼から 千の 戦車と 七千の 騎兵と 二万の 千の それから 切った そして–残した 戦車の–馬を すべての (を) ダビデは 歩兵を 人の 百の 戦車を
H3920 H1732 H3605 H7393 H7651 H6571 H6242 H0505 H3498 H7393 H3605 H0853 H1732 H7273 H0376 H3967 H7393

そしてダビデは彼から戦車一千、騎兵七千人、歩兵二万人を取った。ダビデは一百の戦車の馬を残して、そのほかの戦車の馬はみなその足の筋を切った。

5 וַיָּבֹא אֲרַם לַעְזוֹר לַהֲדַדְעֶזֶר מֶלֶךְ צוֹבָה וַיַּךְ דָּוִיד בַּאֲרָם עֶשְׂרִים וּשְׁנַיִם אֶלֶף אִישׁ׃
そして–来た アラムが 助ける–ために ハダデゼルを 王の ツォバの そして–打ち–破った ダビデは アラムの–中で 二万 二千の 千の 人を
H0935 H0758 H5826 H1909 H4428 H6678 H5221 H1732 H0758 H6242 H8147 H0505 H0376

その時ダマスコのスリヤびとがゾバの王ハダデゼルを助けるために来たので、ダビデはそのスリヤびと二万二千人を殺した。

6 וַיָּשֶׂם דָּוִיד בַּאֲרַם דַּרְמֶשֶׂק וַיְהִי אֲרָם לְדָוִיד עֲבָדִים נֹשְׂאֵי מִנְחָה וַיּוֹשַׁע יְהוָה לְדָוִיד בְּכֹל אֲשֶׁר הָלָךְ׃
そして–置いた ダビデは アラムに ダマスコの そして–なった アラムは 僕と ダビデの 携える–者と–なった 貢ぎ物を そして–救われた 主に–よって ダビデは すべての–所で (所の) 行った
H5221 H1732 H0758 H1834 H1961 H0758 H5650 H1732 H5375 H4503 H3467 H3068 H1732 H3605 H0834 H1980

そしてダビデはダマスコのスリヤに守備隊を置いた。スリヤびとはみつぎを納めてダビデのしもべとなった。主はダビデにすべてその行く所で勝利を与えられた。

7

עַבְדֵי	עַל	הָיוּ	אֲשֶׁר	הַזָּהָב	שִׁלְטֵי	אֶת	דָּוִיד	וַיִּקַּח
家来たちの-上に	(の-上に)	あった	(所の)	金の	盾を	(を)	ダビデは	そして-取った
H5650		H1961		H2091	H7982	H0853	H1732	H3947

יְרוּשָׁלִָם׃	וַיְבִיאֵם	הֲדַדְעֶזֶר
エルサレムに	そして-持ち-帰った	ハダデゼルの
H3389	H0935	H1909

ダビデはハダデゼルのしもべらが持っていた金の盾を奪って、エルサレムに持ってきた。

8

מְאֹד	רַבָּה	נְחֹשֶׁת	דָּוִיד	לָקַח	הֲדַדְעֶזֶר	עָרֵי	וּמִכּוּן	וּמִטִּבְחַת
非常に	多くの	青銅を	ダビデは	取った	ハダデゼルの	町々の	クンから	そして-ティブハトと
H3966			H1732	H3947	H1909		H3560	H2880

כְּלֵי	וְאֶת	הָעַמּוּדִים	וְאֶת־	הַנְּחֹשֶׁת	יָם	אֶת־	שְׁלֹמֹה	עָשָׂה	בָּהּ
器を	そして(を)	柱を	そして(を)	青銅の	海を	(を)	ソロモンは	造った	それで
H3627	H0853	H5982	H0853		H3220	H0853	H8010		

הַנְּחֹשֶׁת׃	פ
青銅の	(段落)

またハダデゼルの町テブハテとクンからダビデは非常に多くの青銅を取った。ソロモンはそれを用いて青銅の海、柱および青銅の器を造った。

9

כָּל־	אֶת־	דָּוִיד	הִכָּה	כִּי	חֲמָת	מֶלֶךְ	תֹּעוּ	וַיִּשְׁמַע
すべての	(を)	ダビデが	打ち-破った-ことを	まことに	ハマテの	王の	トウが	そして-聞いた
H3605	H0853	H1732	H5221		H2574	H4428	H8583	H8085

צוֹבָה׃	מֶלֶךְ־	הֲדַדְעֶזֶר	חֵיל
ツォバの	王-の	ハダデゼルの	軍勢を
H6678	H4428	H1909	H2426

時にハマテの王トイはダビデがゾバの王ハダデゼルのすべての軍勢を撃ち破ったことを聞き、

10

]לשאול־[	דָּוִיד	הַמֶּלֶךְ־	אֶל־	בְּנוֹ	הֲדוֹרָם־	אֶת־	וַיִּשְׁלַח
[尋ねる-ために]	ダビデに	王-に	(に)	その-息子を	ハドラムを	(を)	そして-遣わした
H7592	H1732	H4428	H0413			H0853	H7971

בַּהֲדַדְעֶזֶר	נִלְחַם	אֲשֶׁר	עַל	וְלָבָרְכוֹ	לִשְׁלוֹם	לוֹ	)לִשְׁאָל־(
ハダデゼルと	戦った	(所の)	(に-ついて)	そして-祝福する-ために	平安を	彼の	尋ねる-ために
H1909				H1288	H7965	H7592	H7592

וְכֹל	הֲדַדְעֶזֶר	הָיָה	תֹּעוּ	מִלְחֲמוֹת	אִישׁ	כִּי־	וַיַּכֵּהוּ
そして-すべての	ハダデゼルは	あった	トウの	戦いの	人で-あった	なぜなら	そして-打ち-破った
H3605	H1909	H1961	H8583	H4421	H0376		H5221

וּנְחֹשֶׁת׃	וְכֶסֶף	זָהָב	כְּלֵי
青銅の	銀の	金の	器を
	H3701	H2091	H3627

その子ハドラムをダビデ王につかわして、彼にあいさつさせ、かつ祝を述べさせた。ハダデゼルはかつてしばしばトイと戦いを交えたが、ダビデはハダデゼルと戦って、これを撃ち破ったからである。ハドラムは金、銀および青銅のさまざまの器を贈ったので、

11 גַּם־ אֹתָם הִקְדִּישׁ הַמֶּלֶךְ דָּוִיד לַיהוָה עִם־ הַכֶּסֶף וְהַזָּהָב אֲשֶׁר נָשָׂא
また それらを 聖別した 王 ダビデは 主に 共に 銀と 金を (所の) 取った
H1571 H0853 H6942 H4428 H1732 H3068 H3701 H2091 H5375

מִכָּל־ הַגּוֹיִם מֵאֱדוֹם וּמִמּוֹאָב וּמִבְּנֵי עַמּוֹן וּמִפְּלִשְׁתִּים וּמֵעֲמָלֵק׃
すべての 国々から エドムから そして–モアブから そして–子らから アンモンの そして–ペリシテ人から そして–アマレクから
H3605 H1123 H4124 H5983 H6430 H6002

ダビデ王はこれをエドム、モアブ、アンモンの人々、ペリシテびと、アマクレなどの諸国民のうちから取ってきた金銀とともに、主にささげた。

12 וַאֲבִשַׁי בֶּן־ צְרוּיָה הִכָּה אֶת־ אֱדוֹם בְּגֵיא הַמֶּלַח שְׁמוֹנָה
そして–アブシャイは ツェルヤの 子–の 打ち–破った (を) エドムを 谷で 塩の 一万
H0052 H6870 H1121 H5221 H0853 H0123 H1516 H4417 H8083

עָשָׂר אָלֶף׃
八千人を 千人
H6240 H0505

ゼルヤの子アビシャイは塩の谷で、エドムびと一万八千を撃ち殺した。

13 וַיָּשֶׂם בֶּאֱדוֹם נְצִיבִים כָּל־ אֱדוֹם וַיִּהְיוּ לְדָוִיד עֲבָדִים וַיּוֹשַׁע יְהוָה
そして–置いた エドムに 守備兵を すべての エドムは 僕と ダビデの そして–救われた 主に–よって
H0123 H5333 H3605 H0123 H5650 H1732 H3467 H3068

אֶת־ דָּוִיד בְּכֹל אֲשֶׁר הָלָךְ׃
(を) ダビデは すべての–所で (所の) 行った
H0853 H1732 H3605 H0834 H1980

ダビデはエドムに守備隊を置き、エドムびとは皆ダビデのしもべとなった。主はダビデにすべてその行く所で勝利を与えられた。

14 וַיִּמְלֹךְ דָּוִיד עַל־ כָּל־ יִשְׂרָאֵל וַיְהִי עֹשֶׂה
そして–治めた ダビデは (の–上に) すべての イスラエルの–上に そして–あった 行う–者として
H4427 H1732 H5921 H3605 H3478 H1961 H6213

מִשְׁפָּט וּצְדָקָה לְכָל־ עַמּוֹ׃
公正と 義を すべての その–民に
H4941 H6666 H3605 H5971

こうしてダビデはイスラエルの全地を治め、そのすべての民に公道と正義を行った。

15 וְיוֹאָב בֶּן־ צְרוּיָה עַל־ הַצָּבָא וִיהוֹשָׁפָט בֶּן־ אֲחִילוּד מַזְכִּיר׃
ヨアブは ツェルヤの 子–の (の–上に) 軍の–上に ヨシャファトは 子–の アヒルデの
H3097 H6870 H1121 H5921 H6635 H3092 H1121 H0288 H2142

記録官で–あった

ゼルヤの子ヨアブは軍の長、アヒルデの子ヨシャパテは史官、

16 וְצָדוֹק בֶּן־ אֲחִיטוּב וַאֲבִימֶלֶךְ בֶּן־ אֶבְיָתָר וְשַׂוְשָׁא כֹּהֲנִים
ツァドクは 子–の アヒトブの アビメレクは 子–の エビヤタルの シャウシャは 祭司で–あった
H6659 H1121 H0285 H0040 H1121 H0054 H7798 H3548

וְשָׂפֶר׃
書記で–あった

アヒトブの子ザドクとアビヤタルの子アビメレクは祭司、シャウシャは書記官、

דָּוִיד	וּבְנֵי־	וְהַפְלֵתִי	הַכְּרֵתִי	עַל־	יְהוֹיָדָע	בֶּן־	וּבְנָהוּ	17
ダビデの	そして-子らは	ペレテ人の	ケレテ人の-上に	(の-上に)	エホヤダの	子-の	ベナヤは	
H1732		H6432	H3774		H3077		H1141	

פ	הַמֶּלֶךְ׃	לְיַד	הָרִאשֹׁנִים
(段落)	王の	傍に	第一の-者たちで-あった
	H4428	H3027	H7223

エホヤダの子ベナヤはケレテびととペレテびとの長、ダビデの子たちは王のかたわらにはべる大臣であった。

Chapter 19

וַיִּמְלֹךְ	עַמּוֹן	בְּנֵי־	מֶלֶךְ	נָחָשׁ	וַיָּמָת	כֵּן	אַחֲרֵי־	וַיְהִי	1
そして-治めた	アンモンの	子ら-の	王の	ナハシが	そして-死んだ	その	後に	そして-あった	
H5983			H4428	H5176	H4191			H1961	

תַּחְתָּיו׃	בְּנוֹ	
彼に-代わって	その-息子が	
H8478		

この後アンモンの人々の王ナハシが死んで、その子がこれに代って王となった。

עָשָׂה	כִּי־	נָחָשׁ	בֶּן־	חָנוּן	עִם־	וְחֶסֶד	אֶעֱשֶׂה־	דָּוִיד	וַיֹּאמֶר	2
行った	なぜなら	ナハシの	子-の	ハヌンと	(と-共に)	恵みを	行おう	ダビデは	そして-言った	
		H5176		H2586				H1732	H0559	

עַל־	לְנַחֲמוֹ	מַלְאָכִים	דָּוִיד	וַיִּשְׁלַח	חֶסֶד	עִמִּי	אָבִיו
(に-ついて)	慰める-ために	使者たちを	ダビデは	そして-遣わした	恵みを	わたしと-共に	彼の-父は
	H5162	H4397	H1732	H7971			H0001

אֶל־	עַמּוֹן	בְּנֵי־	אֶרֶץ	אֶל־	דָּוִיד	עַבְדֵי	וַיָּבֹאוּ	אָבִיו
(へ)	アンモンの	子ら-の	地に	(へ)	ダビデの	家来たちが	そして-来た	彼の-父に-ついて
H0413	H5983		H0776	H0413	H1732	H5650	H0935	H0001

לְנַחֲמוֹ׃	חָנוּן
慰める-ために	ハヌンの-もとへ
H5162	H2586

そのときダビデは言った、「わたしはナハシの子ハヌンに、彼の父がわたしに恵みを施したように、恵みを施そう」。そしてダビデは彼をその父のゆえに慰めようとして使者をつかわした。ダビデのしもべたちはハヌンを慰めるためアンモンの人々の地に来たが、

אֶת־	דָּוִיד	הַמְכַבֵּד	לְחָנוּן	עַמּוֹן	בְּנֵי־	שָׂרֵי	וַיֹּאמְרוּ	3
(を)	ダビデが	敬って-いる-と-思うか	ハヌンに	アンモンの	子ら-の	長たちは	そして-言った	
H0853	H1732	H3513	H2586	H5983		H8269	H0559	

מְנַחֲמִים	לְךָ	שָׁלַח	כִּי־	בְעֵינֶיךָ	אָבִיךָ
慰める-者たちを	あなたの-ところに	遣わした-からには	まことに	あなたの-目に	あなたの-父を
H5162		H7971			H0001

בָּאוּ	הָאָרֶץ	וּלְרַגְּלָהּ	וְלַהֲפֹךְ	לַחְקֹר	בַּעֲבוּר	הֲלֹא
来たのだ	地を	そして-偵察する-ために	そして-覆す-ため	探る-ため	ために	そうでは-なく
H0935	H0776	H7270	H2015	H2713	H5668	H3808

פ	אֵלֶיךָ׃	עֲבָדָיו
(段落)	あなたの-もとへ	家来たちは
	H0413	H5650

アンモンの人々のつかさたちはハヌンに言った、「ダビデが慰める者をあなたのもとにつかわしたことによって、あなたは彼があなたの父を尊ぶのだと思われますか。彼のしもべたちが来たのは、この国をうかがい、探って滅ぼすためではありませんか」。

4

וַיִּקַּח	חָנוּן	אֶת־	עַבְדֵי	דָּוִיד	וַיְנַלְּחֵם	וַיִּכְרֹת	אֶת־
そして–取った	ハヌンは	(を)	家来たちを	ダビデの	そして–剃った	そして–切った	(を)
H3947	H2586	H0853	H5650	H1732	H1548	H3772	H0853

מִדְרֵיהֶם	בַּחֲצִי	עַד־	הַמִּפְשָׁעָה	וַיְשַׁלְּחֵם׃
彼らの–衣を	半分に	まで	尻まで	そして–送り–帰した
H4063	H2677	H5704	H4667	H7971

そこでハヌンはダビデのしもべたちを捕えて、そのひげをそり落し、その着物を中ほどから断ち切って腰の所までにして彼らを帰してやった。

5

לִקְרָאתָם	וַיִּשְׁלַח	הָאֲנָשִׁים	עַל־	לְדָוִיד	וַיַּגִּידוּ	וַיֵּלְכוּ
迎えに	そして–遣わした	人々に–ついて	(に–ついて)	ダビデに	そして–告げた	そして–行った
H7125	H7971	H0376		H1732	H5046	H3212

עַד	בִּירֵחוֹ	שְׁבוּ	הַמֶּלֶךְ	וַיֹּאמֶר	מְאֹד	נִכְלָמִים	הָאֲנָשִׁים	הָיוּ	כִּי־
まで	エリコに	留まれ	王は	そして–言った	非常に	恥じて–いた	人々は	あった	なぜなら
H5704	H3405	H3427	H4428	H0559	H3966	H3637	H0376	H1961	

וְשַׁבְתֶּם׃	זְקַנְכֶם	יְצַמָּח	אֲשֶׁר־
そして–帰れ	あなたがたの–ひげが	伸びるまで	(所の)
H7725	H2206	H6779	

ある人々が来て、この人たちのされたことをダビデに告げたので、彼は人をつかわして、彼らを迎えさせた。その人々が非常に恥じたからである。そこで王は言った、「ひげがのびるまでエリコにとどまって、その後帰りなさい」。

6

דָּוִיד	עִם־	הִתְבָּאֲשׁוּ	כִּי	עַמּוֹן	בְּנֵי	וַיִּרְאוּ
ダビデと	(と–共に)	臭く–なった–ことを	まことに	アンモンの	子らが	そして–見た
H1732		H0887		H5983		H7200

לִשְׂכֹּר	כֶּסֶף	כִּכַּר־	אֶלֶף	עַמּוֹן	וּבְנֵי	חָנוּן	וַיִּשְׁלַח
雇う–ために	銀を	タラントの	千の	アンモンの	子らは	ハヌンと	そして–遣わした
	H3701	H3603	H0505	H5983		H2586	H7971

מַעֲכָה	אֲרַם	וּמִן־	נַהֲרַיִם־אֲרָם	מִן־	לָהֶם
マアカから	アラムの	そして(から)	アラム・ナハライムから	(から)	自分たちの–ために
H4601	H0758		H0763		

וּפָרָשִׁים׃	רֶכֶב	וּמִצּוֹבָה
騎兵を	戦車と	そして–ツォバから
	H7393	H6678

アンモンの人々は自分たちがダビデに憎まれることをしたとわかったので、ハヌンおよびアンモンの人々は銀千タラントを送ってメソポタミヤとアラム・マアカ、およびゾバから戦車と騎兵を雇い入れた。

7

מַעֲכָה	מֶלֶךְ	וְאֶת־	רֶכֶב	אֶלֶף	וּשְׁלֹשִׁים	שְׁנַיִם	לָהֶם	וַיִּשְׂכְּרוּ
マアカの	王を	そして(を)	戦車と	千の	三千の	二万	自分たちの–ために	そして–雇った
H4601	H4428	H0853	H7393	H0505	H7970	H8147		

עַמּוֹן	וּבְנֵי	מֵידְבָא	לִפְנֵי	וַיַּחֲנוּ	וַיָּבֹאוּ	עַמּוֹ	וְאֶת־
アンモンの	そして–子らは	メデバの	前に	そして–陣を–張った	そして–来た	その–民を	そして(を)
H5983		H4311	H6440	H2583	H0935		H0853

נֶאֶסְפוּ	מֵעָרֵיהֶם	וַיָּבֹאוּ	לַמִּלְחָמָה׃	פ
集まった	その–町々から	そして–来た	戦いの–ために	(段落)
H0622		H0935	H4421	

すなわち戦車三万二千およびマアカの王とその軍隊を雇い入れたので、彼らは来てメデバの前に陣を張った。そこでアンモンの人々は町々から寄り集まって、戦いに出動した。

8 וַיִּשְׁמַע דָּוִיד וַיְשַׁלַּח אֶת־יוֹאָב וְאֶת כָּל־צְבָא הַגִּבֹּרִים׃
そして-聞いた ダビデは そして-遣わした (を) ヨアブと そして すべての 軍勢を 勇士たちの
H8085 H1732 H7971 H0853 H3097 H0853 H3605 H6639 H1368

ダビデはこれを聞いてヨアブと勇士の全軍をつかわしたので、

9 וַיֵּצְאוּ בְנֵי עַמּוֹן וַיַּעַרְכוּ מִלְחָמָה פֶּתַח הָעִיר
そして-出て-来た 子らは アンモンの そして-整列した 戦いの-ために 入口に 町の
H3318 H1121 H5983 H6186 H4421 H6607 H5892

וְהַמְּלָכִים אֲשֶׁר־בָּאוּ לְבַדָּם בַּשָּׂדֶה׃
そして-王たちは (所の) 来た 別々に 野に
H4428 H0834 H0935 H0905 H7704

アンモンの人々は出て来て町の入口に戦いの備えをした。また助けに来た王たちは別に野にいた。

10 וַיַּרְא יוֹאָב כִּי־הָיְתָה אֵלָיו פְּנֵי־הַמִּלְחָמָה מִפָּנִים וּמֵאָחוֹר
そして-見た ヨアブは まことに あった 彼に-向かって 戦いの 前からと 後ろから
H7200 H3097 H3588 H1961 H0413 H4421 H6440 H6440 H0268

וַיִּבְחַר מִכֹּל בְּחוּרֵי יִשְׂרָאֵל וַיַּעֲרֹךְ לִקְרַאת אֲרָם׃
そして-選んだ すべての 精鋭を イスラエルの そして-整列した 迫る-ために アラムに
H0977 H3605 H0977 H3478 H6186 H7125 H0758

時にヨアブは戦いが前後から自分に向かっているのを見て、イスラエルのえり抜きの兵士のうちから選んで、これをスリヤびとに対して備え、

11 וְאֶת יֶתֶר הָעָם נָתַן בְּיַד אַבְשַׁי אָחִיו וַיַּעַרְכוּ לִקְרַאת בְּנֵי עַמּוֹן׃
そして 残りの 民を 渡した 手に アブシャイの 彼の-兄弟の そして-整列した 迫る-ために アンモンの 子らに
H0853 H3499 H5971 H5414 H3027 H0052 H0251 H6186 H7125 H5983 H1121

そのほかの民を自分の兄弟アビシャイの手にわたして、アンモンの人々に対して備えさせ、

12 וַיֹּאמֶר אִם־תֶּחֱזַק מִמֶּנִּי אֲרָם לִי תְּשׁוּעָה וְהָיִיתָ
そして-言った もし 強ければ わたしより アラムが わたしの-ために 救いと そして-なれ
H0559 H0518 H2388 H4480 H1961 H0758 H3467 H1961

וְאִם־בְּנֵי עַמּוֹן יֶחֱזְקוּ מִמְּךָ וְהוֹשַׁעְתִּיךָ׃ ס
そして-もし 子らが アンモンの 強ければ あなたより そして-救おう (段落)
H0518 H1121 H5983 H2388 H4480 H3467 H5

そして言った、「もしスリヤびとがわたしに手ごわいときは、わたしを助けてください。もしアンモンの人々があなたに手ごわいときは、あなたを助けましょう。

13 חֲזַק וְנִתְחַזְּקָה בְּעַד עַמֵּנוּ וּבְעַד עָרֵי אֱלֹהֵינוּ
強く-あれ そして-強く-あろう ために 我々の-民の そして-ために 町々の 我々の-神の
H2388 H2388 H1157 H5971 H1157 H5892 H0430

וַיהוָה הַטּוֹב בְּעֵינָיו יַעֲשֶׂה׃
そして-主が 善い-と-思う-ことを その-目に 行われる
H3068 H2896 H5869 H6213

勇ましくしてください。われわれの民のためと、われわれの神の町々のために、勇ましくしましょう。どうか、主が良いと思われることをされるように」。

14 וַיִּגַּשׁ יוֹאָב וְהָעָם אֲשֶׁר־עִמּוֹ לִפְנֵי אֲרַם לַמִּלְחָמָה
そして–近づいた ヨアブと 民は (所の) 彼と–共に–いた 前に アラムの 戦いの–ために
H5066 H3097 H5971 H6440 H0758 H4421

וַיָּנֻסוּ מִפָּנָיו׃
そして–逃げた 彼の–前から
H5127 H6440

こうしてヨアブが自分と一緒にいる民と共にスリヤびとに向かって戦おうとして近づいたとき、スリヤびとは彼の前から逃げた。

15 וּבְנֵי עַמּוֹן רָאוּ כִּי־נָס אֲרָם וַיָּנֻסוּ גַּם־הֵם
そして–子らは アンモンの 見た まことに 逃げた–ことを アラムが そして–逃げた 彼らも
H1121 H5983 H7200 H3588 H5127 H0758 H5127 H1571 H1992

מִפְּנֵי אֲבִישַׁי אֲחִיו וַיָּבֹאוּ הָעִירָה וַיָּבֹא יוֹאָב יְרוּשָׁלִָם׃
前から アブシャイの 彼の–兄弟の そして–入った 町の–中に そして–来た ヨアブは エルサレムに
H6440 H0052 H0251 H0935 H5892 H0935 H3097 H3389

פ
(段落)

アンモンの人々はスリヤびとの逃げるのを見て、彼らもまたヨアブの兄弟アビシャイの前から逃げて町にはいった。そこでヨアブはエルサレムに帰った。

16 וַיַּרְא אֲרָם כִּי נִגְּפוּ לִפְנֵי יִשְׂרָאֵל וַיִּשְׁלְחוּ
そして–見た アラムは まことに 打ち–破られた–ことを 前で イスラエルの そして–遣わした
H7200 H0758 H3588 H5062 H6440 H3478 H7971

וַיּוֹצִיאוּ אֶת־אֲשֶׁר בְּעֵבֶר הַנָּהָר וְשׁוֹפַךְ שַׂר־צְבָא הֲדַדְעֶזֶר לִפְנֵיהֶם׃
そして–導き–出した (を) (所の) 向こう側の 川の ショファクが 将軍–で 軍の ハダデゼルの 彼らの–前に–いた
H3318 H0853 H0834 H5676 H5104 H7780 H8269 H6635 H1909 H6440

しかしスリヤびとは自分たちがイスラエルの前に打ち敗られたのを見て、使者をつかわし、ハダデゼルの軍の長ショパクの率いるユフラテ川の向こう側にいるスリヤびとを引き出した。

17 וַיֻּגַּד לְדָוִיד וַיֶּאֱסֹף אֶת־כָּל־יִשְׂרָאֵל וַיַּעֲבֹר
そして–告げられた そして–集めた (を) すべての イスラエルを そして–渡った
H5046 H0622 H0853 H3605 H3478 H5674

וַיָּבֹא אֲלֵיהֶם וַיַּעֲרֹךְ לְקִרַאת אֲרָם וַיִּלָּחֲמוּ עִמּוֹ׃
そして–来た 彼らの–もとへ そして–整列した 彼らに–対して そして–整列した ダビデは
H0935 H0413 H6186 H0413 H6186 H1732

וַיַּרְדֵּן מִלְחָמָה אֲרָם וַיִּלָּחֲמוּ עִמּוֹ׃
ヨルダンを 戦いを アラムに そして–戦った 彼と
H3383 H4421 H0758 H3898

この事がダビデに聞えたので、彼はイスラエルをことごとく集め、ヨルダンを渡り、彼らの所に来て、これに向かって戦いの備えをした。ダビデがこのようにスリヤびとに対して戦いの備えをしたとき、彼はダビデと戦った。

18 וַיָּנָס אֲרָם׀ מִלִּפְנֵי יִשְׂרָאֵל וַיַּהֲרֹג דָּוִיד מֵאֲרָם שִׁבְעַת אַלְפִים
そして–逃げた アラムは 前から イスラエルの そして–殺した ダビデは アラムの 七千の 千の
H5127 H0758 H6440 H3478 H2026 H1732 H0758 H7651 H0505

וְאַרְבָּעִים אֶלֶף אִישׁ רַגְלִי וְאֶת שׁוֹפָךְ שַׂר־ צָבָא הֵמִית׃
四万の 千の 人の 歩兵を そして ショファクを 将軍–の 軍の 殺した
H0705 H0505 H0376 H7273 H0853 H7780 H8269 H6635 H4191

戦車と

しかしスリヤびとがイスラエルの前から逃げたので、ダビデはスリヤびとの戦車の兵七千、歩兵四万を殺し、また軍の長ショパクをも殺した。

19 וַיִּרְאוּ עַבְדֵי הֲדַדְעֶזֶר כִּי נִגְּפוּ לִפְנֵי יִשְׂרָאֵל
そして–見た 家来たちは ハダデゼルの まことに 打ち–破られた–ことを 前で イスラエルの
H7200 H5650 H1909 H3588 H5062 H6440 H3478

וַיַּשְׁלִימוּ עִם־ דָּוִיד וַיַּעַבְדֻהוּ וְלֹא־ אָבָה אֲרָם לְהוֹשִׁיעַ עוֹד אֶת־ בְּנֵי־ עַמּוֹן׃ פ
そして–和を–結んだ (と–共に) ダビデと そして–仕えた そして–ない 望んだ アラムは 救う–ことを もはや アンモンの 子らを (を) (段落)
H7999 H5973 H1732 H5647 H3808 H0014 H0758 H3467 H5750 H5983 H1121 H0853

ハダデゼルのしもべたちは味方の者がイスラエルに打ち敗られたのを見て、ダビデと和を講じ、彼に仕えた。スリヤびとは再びアンモンびとを助けることをしなかった。

Chapter 20

1 וַיְהִי לְעֵת תְּשׁוּבַת הַשָּׁנָה לְעֵת צֵאת הַמְּלָכִים וַיַּנְהֵג יוֹאָב
そして–あった 時に 帰りの 年の 時に 出る 王たちが そして–導いた ヨアブは
H1961 H6256 H8141 H8666 H6256 H3318 H4428 H3097

אֶת־ חֵיל הַצָּבָא וַיְשַׁחֵת אֶת־ אֶרֶץ בְּנֵי־ עַמּוֹן וַיָּבֹא וַיָּצַר
軍勢を 軍の そして–荒らした (を) 地を 子ら–の アンモンの そして–来た そして–包囲した
H2426 H1961 H7843 H0853 H0776 H1121 H5983 H0935 H6696

עַל־ רַבָּה וְדָוִיד יֹשֵׁב בִּירוּשָׁלִָם וְיוֹאָב הִכָּה אֶת־ רַבָּה וַיְהָרְסֶהָ׃
ラバに (に–対して) ダビデは 留まって–いた エルサレムに ヨアブは 打ち–破った (を) ラバを そして–破壊した
H7237 H0853 H1732 H3427 H3389 H3097 H5221 H0853 H7237 H2040

春になって、王たちが戦いに出るに及んで、ヨアブは軍勢を率いてアンモンびとの地を荒し、行ってラバを包囲した。しかしダビデはエルサレムにとどまった。ヨアブはラバを撃って、これを滅ぼした。

2 וַיִּקַּח דָּוִיד אֶת־ עֲטֶרֶת מַלְכָּם מֵעַל רֹאשׁוֹ וַיִּמְצָאָהּ
そして–取った ダビデは (を) 冠を 彼らの–王の から その–頭から そして–見出した
H3947 H1732 H0853 H5850 H4428 H4480 H7218 H4672

מִשְׁקַל כִּכַּר־ זָהָב וּבָהּ אֶבֶן יְקָרָה וַתְּהִי עַל־ רֹאשׁ דָּוִיד וְשַׁלַּל הָעִיר הוֹצִיא מְאֹד׃
重さが 一タラントの 金の その–中に 石が–あり 宝の そして–置かれた (の–上に) 頭の–上に ダビデの そして–戦利品を 町の 持ち–出した 非常に 多く
H4948 H3603 H2091 H0068 H3368 H1961 H5921 H7218 H1732 H7998 H5892 H3318 H3966

そしてダビデは彼らの王の冠をその頭から取りはなした。その金の重さを量ってみると一タラント、またその中に宝石があった。これをダビデの頭に置いた。ダビデはまたその町のぶんどり物を非常に多く持ち出した。

בְּמַגְּרָה	וַיְשַׂר	הוֹצִיא	בָּהּ	אֲשֶׁר־	הָעָם	וְאֶת־	3
のこぎりで	そして-切らせた	導き-出した	その-中の	(所の)	民を	そして(を)	
H4050	H7787	H3318				H0853	

לְכָל	דָּוִיד	יַעֲשֶׂה	וְכֵן	וּבַמְּגֵרוֹת	הַבַּרְזֶל	וּבַחֲרִיצֵי
すべての	ダビデは	行った	そして-この-ように	そして-のこぎりで	鉄の	そして-鉄の-つるはしで
H3605	H1732			H4050	H1270	H2757

פ	יְרוּשָׁלִָם׃	הָעָם	וְכָל־	דָּוִיד	וַיָּשָׁב	עַמּוֹן	בְּנֵי־	עָרֵי
(段落)	エルサレムに	民は	すべての	ダビデと	そして-帰った	アンモンの	子ら-の	町々に
	H3389		H3605	H1732	H7725	H5983		

また彼はそのうちの民を引き出して、これをのこぎりと、鉄のつるはしと、おのを使う仕事につかせた。ダビデはアンモンびとのすべての町々にこのように行った。そしてダビデと民とは皆エルサレムに帰った。

								4
אָז	פְּלִשְׁתִּים	עִם־	בְּגֶזֶר	מִלְחָמָה	וַתַּעֲמֹד	אַחֲרֵיכֵן	וַיְהִי	
その-時	ペリシテ人と	(と-共に)	ゲゼルで	戦いが	そして-起こった	その-後	そして-あった	
	H6430		H1507	H4421	H5975		H1961	

וַיִּכָּנְעוּ׃	הָרְפָאִים	מִילְדֵי	סִפַּי	אֶת־	הַחֻשָׁתִי	סִבְכַּי	הִכָּה
そして-屈服した	レファイムの	子孫の	シッパイを	(を)	フシャテ人の	シベカイが	打ち-破った
H3665		H3211	H5598	H0853	H2843	H5444	H5221

この後ゲゼルでペリシテびとと戦いが起った。その時ホシャびとシベカイが巨人の子孫のひとりシパイを殺した。かれらはついに征服された。

								5
בֶּן־	אֶלְחָנָן	וַיַּךְ	פְּלִשְׁתִּים	אֶת־	מִלְחָמָה	עוֹד	וַתְּהִי־	
子-の	エルハナンが	そして-打ち-破った	ペリシテ人と	(と-共に)	戦いが	また	そして-あった	
	H0445	H5221	H6430	H0854	H4421	H5750	H1961	

חֲנִיתוֹ	וְעֵץ	הַגִּתִּי	גָּלְיָת	אֲחִי	לַחְמִי	אֶת־	(יָעִיר)	[יעור]
その-槍の	そして-柄は	ガテ人の	ゴリアテの	兄弟の	ラヘミを	(を)	ヤイルの	[ヤアル]
H2595	H6086	H1663	H1555	H0251	H3902	H0853	H3265	H3265

אֹרְגִים׃	כְּמְנוֹר
織り手の	機の-棒の-ようで-あった
H0707	H4500

ここにまたペリシテびとと戦いがあったが、ヤイルの子エルハナンはガテびとゴリアテの兄弟ラミを殺した。そのやりの柄は機の巻棒のようであった。

									6
שֵׁשׁ־	וְאֶצְבְּעֹתָיו	מִדָּה	אִישׁ	וַיְהִי	בְּגַת	מִלְחָמָה	עוֹד	וַתְּהִי־	
六	そして-その-指は	大きな	人が	そして-いた	ガテで	戦いが	また	そして-あった	
H8337	H0676		H0376	H1961	H1661	H4421	H5750	H1961	

לְהָרָפָא׃	נוֹלַד	הוּא	וְגַם־	וְאַרְבַּע	עֶשְׂרִים	וָשֵׁשׁ
レファに	生まれた	彼は	そして-また	四本	二十	そして-六で
	H3205	H1931	H1571	H0702	H6242	H8337

またガテに戦いがあったが、そこにひとりの背の高い人がいた。その手の指と足の指は六本ずつで、合わせて二十四本あった。彼もまた巨人から生れた者であった。

								7
אֲחִי	שִׁמְעָא	בֶּן־	יְהוֹנָתָן	וַיַּכֵּהוּ	יִשְׂרָאֵל	אֶת־	וַיְחָרֵף	
兄弟の	シムアの	子-の	ヨナタンが	そして-打ち-破った	イスラエルを	(を)	そして-侮辱した	
H0251	H8092		H3083	H5221	H3478	H0853		

דָּוִיד׃
ダビデの
H1732

彼はイスラエルをののしったので、ダビデの兄弟シメアの子ヨナタンがこれを殺した。

וּבְיַד־	דָּוִיד	בְּיַד־	וַיִּפְּלוּ	בְּגַת	לְהָרָפָא	נוֹלְדוּ	אֵלֶּה	8
そして–手に–よって	ダビデの	手に–よって	そして–倒れた	ガテで	レファに	生まれた	これらは	
H3027	H1732	H3027	H5307	H1661		H3205	H0411	

פ	עַבְדָיו׃
(段落)	その–家来たちの
	H5650

これらはガテで巨人から生れた者であったが、ダビデの手とその家来たちの手に倒れた。

Chapter 21

דָּוִיד	אֶת־	וַיָּסֶת	יִשְׂרָאֵל	עַל־	שָׂטָן	וַיַּעֲמֹד	1
ダビデを	(を)	そして–そそのかした	イスラエルに–対して	(の–上に)	サタンが	そして–立った	
H1732	H0853	H5496	H3478		H7854	H5975	

יִשְׂרָאֵל׃	אֶת־	לִמְנוֹת
イスラエルを	(を)	数える–ように
H3478	H0853	H4487

時にサタンが起ってイスラエルに敵し、ダビデを動かしてイスラエルを数えさせようとした。

אֶת־	סִפְרוּ	לְכוּ	הָעָם	שָׂרֵי	וְאֶל־	יוֹאָב	אֶל־	דָּוִיד	וַיֹּאמֶר	2
(を)	数えよ	行け	民の	長たちに	そして(に)	ヨアブと	(に)	ダビデは	そして–言った	
H0853		H3212		H8269	H0413	H3097	H0413	H1732	H0559	

אֵלַי	וְהָבִיאוּ	דָּן	וְעַד־	שֶׁבַע־מִבְאֵר	יִשְׂרָאֵל	
わたしに	そして–持って–来い	ダンまで	そして–まで	ベエル・シェバから	イスラエルを	
H0413	H0935	H1835	H5704	H0884	H3478	

מִסְפָּרָם׃	אֶת־	וְאֵדְעָה
その–数を	(を)	そして–知らせよ
H4557	H0853	H3045

ダビデはヨアブと軍の将校たちに言った、「あなたがたは行って、ベエルシバからダンまでのイスラエルを数え、その数を調べてわたしに知らせなさい」。

מֵאָה	כָּהֵם	וְעַמּוֹ	עַל־	יְהוָה	יוֹסֵף	יוֹאָב	וַיֹּאמֶר	3
百	彼らの–ように	その–民に	(の–上に)	主が	加えて–くださる–ように	ヨアブは	そして–言った	
H3967	H1992			H3068	H3254	H3097	H0559	

יְבַקֵּשׁ	לָמָּה	לַעֲבָדִים	לַאדֹנִי	כֻּלָּם	הַמֶּלֶךְ	אֲדֹנִי	הֲלֹא	פְּעָמִים
求めるのか	なぜ	僕で–はないか	わが–主の	みな	王よ	わが–主よ	そうでは–ないか	倍を
H1245	H4100	H5650	H0113	H3605	H4428	H0113	H3808	H6471

לְיִשְׂרָאֵל׃	לְאַשְׁמָה	יִהְיֶה	לָמָּה	אֲדֹנִי	זֹאת
イスラエルに–とって	罪と	なるのか	なぜ	わが–主よ	これを
H3478	H0819	H1961	H4100	H0113	H2063

ヨアブは言った、「それがどのくらいあっても、どうか主がその民を百倍に増されるように。しかし王わが主よ、彼らは皆あなたのしもべではありませんか。どうしてわが主はこの事を求められるのですか。どうしてイスラエルに罪を得させられるのですか」。

4

וַיִּתְהַלֵּךְ יוֹאָב וַיֵּצֵא וַיָּבֹא עַל־ חָזַק הַמֶּלֶךְ וּדְבַר־
そして-巡った ヨアブは そして-出た ヨアブに-対して (の-上に) 強かった 王の しかし-言葉は
H1980 H3097 H3318 H3097 H2388 H4428 H1697

יְרוּשָׁלִָם׃ וַיָּבֹא יִשְׂרָאֵל בְּכָל־
エルサレムに そして-来た イスラエルを すべての
H3389 H0935 H3478 H3605

しかし王の言葉がヨアブに勝ったので、ヨアブは出て行って、イスラエルをあまねく行き巡り、エルサレムに帰って来た。

5

כָּל־ וַיְהִי דָּוִיד אֶל־ הָעָם מִפְקַד־ מִסְפָּר אֶת־ יוֹאָב וַיִּתֵּן
全 そして-あった ダビデに (に) 民の 登録の 数を (を) ヨアブは そして-渡した
H3605 H1961 H1732 H0413 H4662 H4557 H0853 H3097 H5414

אַרְבַּע וְיהוּדָה חֶרֶב שֹׁלֵף אִישׁ אֶלֶף וּמֵאָה אַלְפִים אֶלֶף יִשְׂרָאֵל
四百 そして-ユダは 剣を 抜く-者で 人で 千の そして-百の 千の 千の イスラエルは
H0702 H3063 H2719 H8025 H0376 H0505 H3967 H0505 H0505 H3478

חֶרֶב׃ שֹׁלֵף אִישׁ אֶלֶף וְשִׁבְעִים מֵאוֹת
剣を 抜く-者で 人で 千の 七十の 百の
H2719 H8025 H0376 H0505 H7657 H3967

そしてヨアブは民の総数をダビデに告げた。すなわちイスラエルにはつるぎを抜く者が百十万人、ユダにはつるぎを抜く者が四十七万人あった。

6

דְּבַר־ נִתְעַב כִּי־ בְּתוֹכָם פָּקַד לֹא וּבִנְיָמִן וְלֵוִי
言葉を 忌み-嫌った なぜなら 彼らの-中で 数えた-ことは ない ベニヤミンは そして-レビと
H1697 H8581 H8432 H3808 H1144 H3878

יוֹאָב׃ אֶת־ הַמֶּלֶךְ
ヨアブは (を) 王の
H3097 H0854 H4428

しかしヨアブは王の命令を快しとしなかったので、レビとベニヤミンとはその中に数えなかった。

7

אֶת־ וַיַּךְ הַדָּבָר עַל־ הָאֱלֹהִים בְּעֵינֵי וַיֵּרַע
(を) そして-打ち-撃った この ことに-ついて (に-ついて) 神の 目に そして-悪かった
H0853 H5221 H2088 H1697 H0430

פ יִשְׂרָאֵל׃
(段落) イスラエルを
H3478

この事が神の目に悪かったので、神はイスラエルを撃たれた。

8

אֶת־ עָשִׂיתִי אֲשֶׁר מְאֹד חָטָאתִי הָאֱלֹהִים אֶל־ דָּוִיד וַיֹּאמֶר
(を) 行った-ことの (所の) 非常に 罪を-犯しました 神に (に) ダビデは そして-言った
H0853 H3966 H2398 H0430 H0413 H1732 H0559

כִּי עַבְדְּךָ עֲוֹן אֶת־ נָא הַעֲבֶר־ וְעַתָּה הַזֶּה הַדָּבָר
なぜなら しもべの 罪を (を) どうか 取り-除いて-ください そして-今 この ことを
H5650 H5771 H0853 H4994 H6258 H2088 H1697

פ מְאֹד׃ נִסְכַּלְתִּי
(段落) 非常に 愚かで-あった
H3966 H5528

そこでダビデは神に言った、「わたしはこの事を行って大いに罪を犯しました。しかし今どうか、しもべの罪を除いてください。わたしは非常に愚かなことをいたしました」。

9

וַיְדַבֵּר	יְהוָה	אֶל־	גָּד	חֹזֵה	דָּוִיד	לֵאמֹר׃
そして–語られた	主は	(に)	ガドに	先見者の	ダビデの	言って
H1696	H3068	H0413	H1410	H2374	H1732	H0559

主はダビデの先見者ガデに告げて言われた、

10

נְטֵה	אֲנִי	שָׁלוֹשׁ	יְהוָה	אָמַר	כֹּה	לֵאמֹר	דָּוִיד	אֶל־	וְדַבַּרְתָּ	לֵךְ
差し–出す	わたしは	三つを	主は	言われる	こう	言って	ダビデに	(に)	そして–語れ	行け
H5186	H0589	H7969	H3068	H0559	H3541	H0559	H1732	H0413	H1696	H3212

לָךְ׃	וְאֶעֱשֶׂה־	מֵהֶנָּה	אַחַת	לְךָ	בְּחַר־	עָלֶיךָ
あなたに	そして–行う	それらの–中から	一つを	あなたの–ために	選べ	あなたに
		H2007	H0259		H0977	

「行ってダビデに言いなさい、『主はこう仰せられる、わたしは三つの事を示す。あなたはその一つを選びなさい。わたしはそれをあなたに行おう』と」。

11

יְהוָה	אָמַר	כֹּה־	לוֹ	וַיֹּאמֶר	דָּוִיד	אֶל־	גָּד	וַיָּבֹא
主は	言われる	こう	彼に	そして–言った	ダビデの–もとへ	(に)	ガドは	そして–来た
H3068	H0559	H3541		H0559	H1732	H0413	H1410	H0935

לָךְ׃	קַבֵּל־
あなたの–ために	受け–入れよ
	H6901

ガデはダビデのもとに来て言った、「主はこう仰せられます、『あなたは選びなさい。

12

צָרֶיךָ	מִפְּנֵי־	נִסְפֶּה	חֳדָשִׁים	שְׁלֹשָׁה	וְאִם־	רָעָב	שָׁנִים	שָׁלוֹשׁ	אִם־
敵の	前から	滅ぼされる–こと	月の	三つの	あるいは	飢饉か	年の	三	もし
	H6440	H5595	H2320	H7969		H7458	H8141	H7969	

וְדֶבֶר	יְהוָה	חֶרֶב	יָמִים	שְׁלֹשֶׁת	וְאִם־	לִמְשֹׁגֶת	וְאוֹיְבֶךָ	וְחֶרֶב
そして–疫病が	主の	剣が	日の	三つの	あるいは	追い–つく–ことか	敵の	そして–剣が
H1698	H3068	H2719	H3117	H7969		H5381	H0341	H2719

רְאֵה	וְעַתָּה	יִשְׂרָאֵל	גְּבוּל	בְּכֹל־	מַשְׁחִית	יְהוָה	וּמַלְאַךְ	בָּאָרֶץ
見よ	そして–今	イスラエルの	境界を	すべての	滅ぼす–ことか	主の	そして–御使いが	地に
H7200	H6258	H3478	H1366	H3605	H7843	H3068	H4397	H0776

פ	דָּבָר׃	שִׁלְחִי	אֶת־	אָשִׁיב	מָה־
(段落)	言葉を	遣わした–方に	(を)	返す–べきか	何を
	H1697	H7971	H0854	H7725	H4100

すなわち三年のききんか、あるいは三月の間、あなたのあだの前に敗れて、敵のつるぎに追いつかれるか、あるいは三日の間、主のつるぎすなわち疫病がこの国にあって、主の使がイスラエルの全領域にわたって滅ぼすことをするか』。いま、わたしがどういう答をわたしをつかわしたものになすべきか決めなさい」。

13

בְּיַד־	נָא	אֶפְלָה־	מְאֹד	לִי	צַר־	גָּד	אֶל־	דָּוִיד	וַיֹּאמֶר
手に	どうか	落ちたい	非常に	わたしに–とって	苦しい	ガドに	(に)	ダビデは	そして–言った
H3027	H4994	H5307	H3966			H1410	H0413	H1732	H0559

אֶפֹּל׃	אַל־	אָדָם	וּבְיַד־	מְאֹד	רַחֲמָיו	רַבִּים	כִּי־	יְהוָה
落ちたくは	ない–ように	人の	しかし–手には	非常に	その–あわれみは	多い	なぜなら	主の
H5307	H0408	H0120	H3027	H3966				H3068

ダビデはガデに言った、「わたしは非常に悩んでいるが、主のあわれみは大きいゆえ、わたしを主の手に陥らせてください。しかしわたしを人の手に陥らせないでください」。

14 וַיִּתֵּן יְהוָה וַיִּפֹּל מִיִּשְׂרָאֵל שִׁבְעִים אֶלֶף אִישׁ׃
そして-与えた 主は 疫病を そして-倒れた イスラエルから 七万の 千の 人が
H5414 H3068 H1698 H5307 H3478 H7657 H0505 H0376

そこで主はイスラエルに疫病を下されたので、イスラエルびとのうち七万人が倒れた。

15 וַיִּשְׁלַח הָאֱלֹהִים ׀ מַלְאָךְ לִירוּשָׁלַ͏ִם לְהַשְׁחִיתָהּ וּכְהַשְׁחִית רָאָה יְהוָה
そして-遣わした 神は 御使いを エルサレムに 滅ぼす-ために 滅ぼす-時 見た 主は
H7971 H0430 H4397 H3389 H7843 H7843 H7200 H3068

וַיִּנָּחֶם עַל־ הָרָעָה וַיֹּאמֶר לַמַּלְאָךְ הַמַּשְׁחִית רַב
そして-悲しまれた (に-ついて) わざわいに-ついて そして-言われた 御使いに 滅ぼす-者に 十分だ
H5162 H0559 H4397 H7843

עַתָּה הֶרֶף יָדֶךָ וּמַלְאַךְ יְהוָה עֹמֵד עִם־ גֹּרֶן הָאָרְנָן הַיְבוּסִי׃ ס
今 止めよ あなたの-手を そして-御使いは 主の 立って-いた (の-傍に) 打ち場の-傍に オルナンの エブス人の (段落)
H6258 H7503 H3027 H3068 H4397 H5975 H0853 H1637 H0771 H2983

神はまたみ使をエルサレムにつかわして、これを滅ぼそうとされたが、み使がまさに滅ぼそうとしたとき、主は見られて、この災を悔い、その滅ぼすみ使に言われた、「もうじゅうぶんだ。今あなたの手をとどめよ」。そのとき主の使はエブスびとオルナンの打ち場のかたわらに立っていた。

16 וַיִּשָּׂא דָוִיד אֶת־ עֵינָיו וַיַּרְא אֶת־ מַלְאַךְ יְהוָה עֹמֵד בֵּין הָאָרֶץ וּבֵין הַשָּׁמַיִם
そして-上げた ダビデは (を) 目を そして-見た (を) 御使いを 主の 立って-いるのを 間に 地の そして-間に 天の
H5375 H1732 H0853 H5869 H7200 H0853 H4397 H3068 H5975 H0996 H0776 H0996 H8064

וְחַרְבּוֹ שְׁלוּפָה בְיָדוֹ נְטוּיָה עַל־ יְרוּשָׁלַ͏ִם וַיִּפֹּל דָּוִיד וְהַזְּקֵנִים מְכֻסִּים בַּשַּׂקִּים עַל־
そして-その-剣は 抜かれて その-手に 伸ばされて-いた (の-上に) エルサレムの-上に そして-ひれ伏した ダビデと 長老たちは 覆われて 荒布で (の-上に)
H2719 H8025 H3027 H5186 H5307 H1732 H2205 H3680 H8242 H5921

פְּנֵיהֶם׃
顔の-上に
H6440

ダビデが目をあげて見ると、主の使が地と天の間に立って、手に抜いたつるぎをもち、エルサレムの上にさし伸べていたので、ダビデと長老たちは荒布を着て、ひれ伏した。

17 וַיֹּאמֶר דָּוִיד אֶל־ הָאֱלֹהִים הֲלֹא אֲנִי אָמַרְתִּי לִמְנוֹת הָעָם וַאֲנִי־ הוּא אֲשֶׁר־
そして-言った ダビデは (に) 神に そうでは-ないか わたしが 命じたのだ 数える-ように
H0559 H1732 H0413 H0430 H3808 H0589 H0559 H4487

חָטָאתִי וְהָרֵעַ הֵרֵעוֹתִי וְאֵלֶּה בָּעָם אֲנִי־ יְהוָה אֱלֹהַי תְּהִי נָא יָדְךָ בִּי וּבְבֵית
そして-悪を 罪を-犯した (所の) わたしが そして-わたしこそ 民を そして-これらの 行ったのだ
H2398 H1931 H0589 H0428

אָבִי וְלֹא בְעַמְּךָ לִמַּגֵּפָה׃ ס
わたしに そして-家に わたしの-父の ない-ように そして-あなたの-民に-は 疫病の-ために (段落)
H0001 H3808 H4046

わたしの-神よ 主よ したのか 何を 羊たちは どうか どうか-あります-ように あなたの-手が
H0430 H3068 H6213 H4100 H6629 H4994 H1961 H3027

そしてダビデは神に言った、「民を数えよと命じたのはわたしではありませんか。罪を犯し、悪い事をしたのはわたしです。しかしこれらの羊は何をしましたか。わが神、主よ、どうぞあなたの手をわたしと、わたしの父の家にむけてください。しかし災をあなたの民に下さないでください」。

18 וּמַלְאַךְ יְהוָה אָמַר אֶל־גָּד לֵאמֹר לְדָוִיד דָּוִיד יַעֲלֶה וְכִי לְדָוִיד
ダビデは 上る–ように まことに ダビデに 言って ガドに (に) 言った 主の そして–御使いが
H1732 H5927 H0559 H1732 H0559 H1410 H0413 H0559 H3068 H4397

לְהָקִים לַיהוָה מִזְבֵּחַ בְּגֹרֶן אָרְנָן הַיְבוּסִי׃
立てる–ために 主に 祭壇を 打ち場に オルナンの エブス人の
H4196 H3068 H1637 H0771 H2983

時に主の使はガデに命じ、ダビデが上って行って、エブスびとオルナンの打ち場で主のために一つの祭壇を築くように告げさせた。

19 וַיַּעַל דָּוִיד כִּדְבַר־גָּד אֲשֶׁר דִּבֶּר בְּשֵׁם יְהוָה׃
そして–上った ダビデは 言葉に–従って ガドの (所の) 語った 名に–よって 主の
H5927 H1732 H1697 H1410 H1696 H8034 H3068

そこでダビデはガデが主の名をもって告げた言葉に従って上って行った。

20 וַיָּשָׁב אָרְנָן וַיַּרְא אֶת־הַמַּלְאָךְ וְאַרְבַּעַת בָּנָיו
オルナンは そして–振り–向いた そして–見た (を) 御使いを そして–四人の 息子たちは
H0771 H7725 H7200 H0853 H4397 H0702

עִמּוֹ וְאָרְנָן דָּשׁ חִטִּים׃ מִתְחַבְּאִים
彼と–共に オルナンは 脱穀して–いた 小麦を 隠れて–いた
H2406 H1758 H0771 H2244

そのときオルナンは麦を打っていたが、ふりかえってみ使を見たので、ともにいた彼の四人の子は身をかくした。

21 וַיָּבֹא דָּוִיד עַד־אָרְנָן וַיַּבֵּט אָרְנָן וַיַּרְא אֶת־דָּוִיד וַיֵּצֵא מִן־הַגֹּרֶן וַיִּשְׁתַּחוּ לְדָוִיד אַפַּיִם אָרְצָה׃
そして–来た ダビデは まで オルナンの–もとに そして–見つけた オルナンは そして–見た (を)
H0935 H1732 H5704 H0771 H5027 H0771 H7200 H0853

ダビデがオルナンに近づくと、オルナンは目を上げてダビデを見、打ち場から出て来て地にひれ伏してダビデを拝した。

22 וַיֹּאמֶר דָּוִיד אֶל־אָרְנָן לְתִתָּה־לִּי מָקוֹם הַגֹּרֶן
そして–言った ダビデは (に) オルナンに 与えて–くれ わたしに 場所を 打ち場の
H0559 H1732 H0413 H0771 H5414 H4725 H1637

וְאֶבְנֶה־בּוֹ מִזְבֵּחַ לַיהוָה בְּכֶסֶף מָלֵא תִּתְּנֵהוּ לִי
そして–建てたい その–上に 祭壇を 主に 銀の–値の 満額で 与えて–くれ わたしに
H1129 H0 H4196 H3068 H3701 H4392 H5414

וְתֵעָצַר הַמַּגֵּפָה מֵעַל הָעָם׃
そして–止まる–ように 疫病が から 民の–上から
H6113 H4046 H5921

ダビデはオルナンに言った、「この打ち場の所をわたしに与えなさい。わたしは災が民に下るのをとどめるため、そこに主のために一つの祭壇を築きます。あなたは、そのじゅうぶんな価をとってこれをわたしに与えなさい」。

23 וַיֹּאמֶר אָרְנָן אֶל־דָּוִיד קַח־לְךָ וְיַעַשׂ אֲדֹנִי הַמֶּלֶךְ הַטּוֹב בְּעֵינָיו רְאֵה נָתַתִּי הַבָּקָר לָעֹלוֹת וְהַמּוֹרָגִים לָעֵצִים וְהַחִטִּים לַמִּנְחָה הַכֹּל נָתָתִי׃

וַיֹּאמֶר	אָרְנָן	אֶל־	דָּוִיד	קַח־	לְךָ	וְיַעַשׂ	אֲדֹנִי	הַמֶּלֶךְ	הַטּוֹב	בְּעֵינָיו	רְאֵה	נָתַתִּי	הַבָּקָר	לָעֹלוֹת	וְהַמּוֹרָגִים	לָעֵצִים	וְהַחִטִּים	לַמִּנְחָה	הַכֹּל	נָתָתִי׃
そして–言った	オルナンは	(に)	ダビデに	取りなさい	あなたの–ために	そして–行え	わが–主よ	王よ	善い–ことを	その–目に	見よ	与える	牛を	全焼の–ささげ物と–して	そして–脱穀稀を	薪と–して	そして–小麦を	ささげ物と–して	すべてを	与える
H0559	H0771	H0413	H1732	H3947		H6213	H0113	H4428			H7200	H5414	H1241		H4173					

オルナンはダビデに言った、「どうぞこれをお取りなさい。そして王わが主の良しと見られるところを行いなさい。わたしは牛を燔祭のために、打穀機をたきぎのために、麦を素祭のためにささげます。わたしは皆これをささげます」。

24 וַיֹּאמֶר הַמֶּלֶךְ דָּוִיד לְאָרְנָן לֹא כִּי־קָנֹה אֶקְנֶה בְכֶסֶף מָלֵא כִּי לֹא־אֶשָּׂא אֲשֶׁר־לְךָ לַיהוָה וְהַעֲלוֹת עוֹלָה חִנָּם׃

וַיֹּאמֶר	הַמֶּלֶךְ	דָּוִיד	לְאָרְנָן	לֹא	כִּי־	קָנֹה	אֶקְנֶה	בְכֶסֶף	מָלֵא	כִּי	לֹא־	אֶשָּׂא	אֲשֶׁר־	לְךָ	לַיהוָה	וְהַעֲלוֹת	עוֹלָה	חִנָּם׃				
そして–言った	王	ダビデは	オルナンに	いいえ	まことに	買う	買う	銀の–値の	満額で		ない	ささげる–ことは	(所の)	あなたの–ものを	主に	そして–ささげる–ことは	全焼の–ささげ物を	ただで					
H0559	H4428	H1732	H0771	H3808		H7069	H7069	H3701	H4392		H3808	H5375			H3068	H5927		H2600					

ダビデ王はオルナンに言った、「いいえ、わたしはじゅうぶんな代価を払ってこれを買います。わたしは主のためにあなたのものを取ることをしません。また、費えなしに燔祭をささげることをいたしません」。

25 וַיִּתֶּן דָּוִיד לְאָרְנָן בַּמָּקוֹם שֶׁקֶל זָהָב מִשְׁקָל שֵׁשׁ מֵאוֹת׃

וַיִּתֶּן	דָּוִיד	לְאָרְנָן	בַּמָּקוֹם	שֶׁקֶל	זָהָב	מִשְׁקָל	שֵׁשׁ	מֵאוֹת׃															
そして–与えた	ダビデは	オルナンに	その–場所の–ために	シェケルの	金の	重さが	六	百															
H5414	H1732	H0771	H4725	H8255	H2091	H4948	H8337	H3967															

それでダビデはその所のために金六百シケルをはかって、オルナンに払った。

26 וַיִּבֶן שָׁם דָּוִיד לַיהוָה מִזְבֵּחַ וַיַּעַל עֹלוֹת וּשְׁלָמִים וַיִּקְרָא אֶל־יְהוָה וַיַּעֲנֵהוּ בָאֵשׁ מִן־הַשָּׁמַיִם עַל׃

וַיִּבֶן	שָׁם	דָּוִיד	מִזְבֵּחַ	לַיהוָה	וַיַּעַל	עֹלוֹת	וּשְׁלָמִים	וַיִּקְרָא	אֶל־	יְהוָה	וַיַּעֲנֵהוּ	בָאֵשׁ	מִן־	הַשָּׁמַיִם	עַל								
そして–建てた	そこに	ダビデは	祭壇を	主に	そして–ささげた	全焼の–ささげ物と	和解の–ささげ物を	そして–呼んだ	(に)	主に	そして–答えた	火で	(から)	天から	(の–上に)								
H1129	H8033	H1732	H4196	H3068	H5927		H8002	H7121	H0413	H3068	H6030	H0784		H8064									

פ הָעֹלָה׃ מִזְבָּח
(段落) 全焼の–ささげ物の 祭壇の–上に
H4196

こうしてダビデは主のために、その所に一つの祭壇を築き、燔祭と酬恩祭をささげて、主を呼んだ。主は燔祭の祭壇の上に天から火を下して答えられた。

27 וַיֹּאמֶר יְהוָה לַמַּלְאָךְ וַיָּשֶׁב חַרְבּוֹ אֶל־נִדָּנָהּ׃

וַיֹּאמֶר	יְהוָה	לַמַּלְאָךְ	וַיָּשֶׁב	חַרְבּוֹ	אֶל־	נִדָּנָהּ׃																	
そして–言われた	主は	御使いに	そして–戻した	その–剣を	(に)	その–さやに																	
H0559	H3068	H4397	H7725	H2719	H0413	H5084																	

また主がみ使に命じられたので、彼はつるぎをさやにおさめた。

28 בָּעֵת הַהִיא רְאוֹת דָּוִיד כִּי־ עָנָהוּ יְהוָה בְּגֹרֶן אָרְנָן
その–時 H6256 その H1931 見た–時 H7200 ダビデは H1732 まことに 答えた–ことを H3068 主が 打ち場で H1637 オルナンの H0771

וַיִּזְבַּח שָׁם׃ הַיְבוּסִי
そして–いけにえを–ささげた H2076 そこで H8033 エブス人の H2983

その時ダビデは主がエブスびとオルナンの打ち場で自分に答えられたのを見たので、その所で犠牲をささげた。

29 וּמִשְׁכַּן יְהוָה אֲשֶׁר־ עָשָׂה מֹשֶׁה בַּמִּדְבָּר וּמִזְבַּח הָעוֹלָה בָּעֵת
そして–幕屋は H4908 主の H3068 (所の) 造った H6213 モーセが H4872 荒野で そして–祭壇は H4196 全焼の–ささげ物の 時に H6256

הַהֵיא בַּבָּמָה הַגִּבְעוֹן׃ בְּגִבְעוֹן
その H1931 高き–所に H1116 ギブオンに–あった H1391

モーセが荒野で造った主の幕屋と燔祭の祭壇とは、その時ギベオンの高き所にあったからである。

30 וְלֹא־ יָכֹל דָּוִיד לְהִדָּרֵשׁ לְפָנָיו כִּי נִבְעַת מִפְּנֵי חֶרֶב מַלְאַךְ
そして–ない H3808 できた H3201 ダビデは H1732 行く–ことが H3212 その–前に H6440 求める–ために H1875 神を H0430 なぜなら

יְהוָה׃ ס
主の H3068 (段落)

しかしダビデはその前へ行って神に求めることができなかった。彼が主の使のつるぎを恐れたからである。

Chapter 22

1 וַיֹּאמֶר דָּוִיד זֶה הוּא בֵּית יְהוָה הָאֱלֹהִים וְזֶה־ מִזְבַּח
1732 ダビデは H0559 そして–言った H2088 これが H1931 それだ H3068 主の H0430 神の H2088 そして–これが H4196 祭壇で–ある

לְעֹלָה לְיִשְׂרָאֵל׃ ס
全焼の–ささげ物の H3478 イスラエルの–ための (段落)

それでダビデは言った、「主なる神の家はこれである、イスラエルのための燔祭の祭壇はこれである」と。

2 וַיֹּאמֶר דָּוִיד לְכַנּוֹס אֶת־ הַגֵּרִים אֲשֶׁר בְּאֶרֶץ יִשְׂרָאֵל
1732 ダビデは H0559 そして–言った H3664 集める–ように H0853 (を) H1616 寄留者たちを (所の) H0776 地に–いる H3478 イスラエルの

וַיְצַו לַחֲצֹב גָּזִית אַבְנֵי לִבְנוֹת בָּיִת לְבֵית הָאֱלֹהִים׃
そして–立てた H5975 石工を H2672 切り–出す–ために H0068 石を H1496 切り–石の H1129 建てる–ために 家を H0430 神の

ダビデは命じてイスラエルの地にいる他国人を集めさせ、また神の家を建てるのに用いる石を切るために石工を定めた。

3 וּבַרְזֶל לָרֹב לְמַסְמְרֵי הַשְּׁעָרִים וְלַמְחַבְּרוֹת לְדַלְתוֹת וְלַמַּסְמֵרִים
そして–鉄を H1270 多く H7230 釘の–ために H4548 扉の–ための H8179 門の そして–継ぎ手の–ために H4226 ダビデは H1732 備えた

לָרֹב וּנְחֹשֶׁת אֵין מִשְׁקָל׃
多く H7230 ない H0369 量りきれない–ほど H4948 そして–青銅を

ダビデはまた門のとびらのくぎ、およびかすがいに用いる鉄をおびただしく備えた。また青銅を量ることもできないほどおびただしく備えた。

וְהַצֹּרִים	הַצִּידֹנִים	הֵבִיאוּ	כִּי	מִסְפָּר	לְאֵין	אֲרָזִים	וַעֲצֵי	4
ツロ人が	シドン人と	持って-来た	なぜなら	数の	数え-きれない-ほど	杉の	そして-杉の-木も	
H6876	H6722	H0935		H4557	H0369	H0730	H6086	

פ	לְדָוִיד׃	לָרֹב	אֲרָזִים	עֲצֵי
(段落)	ダビデに	多く	杉の	杉の-木を
	H1732	H7230	H0730	H6086

また香柏を数えきれぬほど備えた。これはシドンびととツロの人々がおびただしく香柏をダビデの所に持って来たからである。

	וְהַבַּיִת	וָרָךְ׀	נַעַר	בְּנִי׀	שְׁלֹמֹה	דָּוִיד	וַיֹּאמֶר	5
	そして-家は	経験が-ない	若くて	わたしの-息子で	ソロモンは	ダビデは	そして-言った	
		H7390	H5288		H8010	H1732	H0559	

לְכָל־	וּלְתִפְאֶרֶת׀	לְשֵׁם	לְמַעְלָה	וְלְהַגְדִּיל	לַיהוָה	לִבְנוֹת
すべての	そして-輝きの-ために	名の-ために	上に	大きく-する-ために	主の-ために	建てる-べき
H3605	H8597	H8034	H4605	H1431	H3068	H1129

מוֹתוֹ׃	לִפְנֵי	לָרֹב	דָּוִיד	וַיָּכֶן	לוֹ	נָא	אָכִינָה	הָאֲרָצוֹת
その-死の	前に	多くを	ダビデは	そして-備えた	彼の-ために	どうか	備えよう	地々に
H4194	H6440	H7230	H1732			H4994		H0776

ダビデは言った、「わが子ソロモンは若く、かつ経験がない。また主のために建てる家はきわめて壮大で、万国に名を得、栄えを得るものでなければならない。それゆえ、わたしはその準備をしておこう」と。こうしてダビデは死ぬ前に多くの物資を準備した。

אֱלֹהֵי	לַיהוָה	בַּיִת	לִבְנוֹת	וַיְצַוֶּהוּ	בְּנוֹ	לִשְׁלֹמֹה	וַיִּקְרָא	6
神の	主の-ために	家を	建てる-ように	そして-命じた	その-息子を	ソロモンを	そして-呼んだ	
H0430	H3068		H1129	H6680		H8010	H7121	

ס	יִשְׂרָאֵל׃	
(段落)	イスラエルの	
	H3478	

そして彼はその子ソロモンを召して、イスラエルの神、主のために家を建てることを命じた。

עִם־	הָיָה	אֲנִי׀	)בְּנִי(	]בנו[	לִשְׁלֹמֹה	דָּוִיד	וַיֹּאמֶר	7
(と-共に)	あった	わたしは	わたしの-息子よ	[息子よ]	ソロモンに	ダビデは	そして-言った	
	H1961	H0589			H8010	H1732	H0559	

אֱלֹהָי׃	יְהוָה	לְשֵׁם	בַּיִת	לִבְנוֹת	לִבִּי
わたしの-神の	主の	名の-ために	家を	建てる-ことが	わたしの-心と-共に
H0430	H3068	H8034		H1129	H3824

すなわちダビデはソロモンに言った、「わが子よ、わたしはわが神、主の名のために家を建てようと志していた。

גְּדֹלוֹת	וּמִלְחָמוֹת	שָׁפַכְתָּ	לָרֹב	דָּם	לֵאמֹר	יְהוָה	דְּבַר־	עָלַי	וַיְהִי	8
大きな	そして-戦いを	流した	多く	血を	言って	主の	言葉が	わたしに	そして-あった	
	H4421	H8210	H7230	H1818	H0559	H3068	H1697		H1961	

שָׁפַכְתָּ	רַבִּים	דָּמִים	כִּי	לִשְׁמִי	בַּיִת׀	תִּבְנֶה	לֹא־	עָשִׂיתָ
流した	多くの	血を	なぜなら	わたしの-名の-ために	家を	建てる-ことは	ない	行った
H8210		H1818		H8034		H1129	H3808	

לְפָנָי׃	אַרְצָה	
わたしの-前で	地に	
H6440	H0776	

ところが主の言葉がわたしに臨んで言われた、『おまえは多くの血を流し、大いなる戦争をした。おまえはわたしの前で多くの血を地に流したから、わが名のために家を建ててはならない。

9 הִנֵּה־ בֵן֙ נוֹלָ֣ד לָ֔ךְ הוּא֙ יִהְיֶ֣ה אִ֔ישׁ מְנוּחָ֖ה וַהֲנִחוֹתִ֣י לוֹ֮ מִכָּל־
見よ 息子が 生まれる あなたに 彼は なる 人と 安息の そして–与える 彼に すべての
H2009 H1121 H3205 H1931 H1961 H0376 H4496 H5117 H1931 H3605

אֹיְבָיו֒ מִסָּבִ֗יב כִּ֤י שְׁלֹמֹה֙ יִהְיֶ֣ה שְׁמ֔וֹ וְשָׁל֥וֹם וְשֶׁקֶט֙ אֶתֵּ֣ן
敵からの 周りの なぜなら ソロモンと なる その–名が そして–平和と 静けさを 与える
H0341 H5439 H3588 H8010 H1961 H8034 H7965 H8252 H5414

עַל־ יִשְׂרָאֵ֖ל בְּיָמָֽיו׃
(の–上に) イスラエルの–上に その–日々に
H5921 H3478 H3117

見よ、男の子がおまえに生れる。彼は平和の人である。わたしは彼に平安を与えて、周囲のもろもろの敵に煩わされないようにしよう。彼の名はソロモンと呼ばれ、彼の世にわたしはイスラエルに平安と静穏とを与える。

10 הֽוּא־ יִבְנֶ֤ה בַּ֙יִת֙ לִשְׁמִ֔י וְה֣וּא יִהְיֶה־ לִּ֥י לְבֵ֖ן
彼が 建てる 家を わたしの–名の–ために そして–彼は なる わたしに 子と
H1931 H1129 H1004 H8034 H1931 H1961 H0589 H1121

וַאֲנִי֙ אָכִ֣ין אֶת־ כִּסֵּ֣א מַלְכוּת֔וֹ עַל־ יִשְׂרָאֵ֖ל לְעֹלָֽם׃
そして–わたしは 父と 彼に 堅く–する 王座を その–王国の (の–上に) イスラエルの–上に
H0589 H0001 H0589 H3678 H4438 H5921 H3478

עַד־ עוֹלָֽם׃
まで 永遠に
H5704 H5769

彼はわが名のために家を建てるであろう。彼はわが子となり、わたしは彼の父となる。わたしは彼の王位をながくイスラエルの上に堅くするであろう』。

11 עַתָּ֣ה בְנִ֔י יְהִ֥י יְהוָ֖ה עִמָּ֑ךְ וְהַצְלַחְתָּ֗ וּבָנִ֙יתָ֙
今 わたしの–息子よ ありま–ように 主が あなたと–共に そして–栄えよ そして–建てよ
H6258 H1121 H1961 H3068 H5973 H6743 H1129

בֵּ֣ית יְהוָ֣ה אֱלֹהֶ֔יךָ כַּאֲשֶׁ֥ר דִּבֶּ֖ר עָלֶֽיךָ׃
家を 主の あなたの–神の ように 語られた あなたに–ついて
H1004 H3068 H0430 H3588 H1696 H5921

それでわが子よ、どうか主があなたと共にいまし、あなたを栄えさせて、主があなたについて言われたように、あなたの神、主の家を建てさせてくださるように。

12 וְיִתֶּן־ לְךָ֤ יְהוָה֙ וּבִינָ֣ה וְשֵׂכֶ֔ל וְיַצִּוְךָ֖ עַל־ יִשְׂרָאֵ֑ל וְלִשְׁמֹ֗ר אֶת־ תּוֹרַת֙ יְהוָ֣ה אֱלֹהֶ֔יךָ
そして–与えて–くださる–ように 主が あなたに 悟りを 知恵と そして–命じて–くださる–ように (の–上に) イスラエルの–上に そして–守る–ために (を) 律法を 主の あなたの–神の
H5414 H3068 H0998 H7922 H6680 H5921 H3478 H8104 H0853 H8451 H3068 H0430

אֲךָ֖ ただ
H0389

ただ、どうか主があなたに分別と知恵を賜い、あなたをイスラエルの上に立たせられるとき、あなたの神、主の律法を、あなたに守らせてくださるように。

13 אָז תַּצְלִיחַ אִם־ תִּשְׁמֹור לַעֲשׂות אֶת־ הַחֻקִּים וְאֶת־ הַמִּשְׁפָּטִים אֲשֶׁר
その–時 栄える もし 守れば 行う–ために (を) 掛と そして(を) 定めを (所の)
H6680 H3068 H0853 H8104 H0853 H2706 H0853 H4941

צִוָּה יְהוָה אֶת־ מֹשֶׁה עַל־ יִשְׂרָאֵל חֲזַק וֶאֱמָץ
命じた 主が (を) モーセに (の–上に) イスラエルの–上に 強く–あれ そして–雄々しく–あれ
H6680 H3068 H0853 H4872 H0408 H3478 H2388 H0553

אַל־ תִּירָא וְאַל־ תֵּחָת׃
恐れるな そして–ない–ように おじけるな
H0408 H3372 H0408 H2865

あなたがもし、主がイスラエルについてモーセに命じられた定めとおきてとを慎んで守るならば、あなたは栄えるであろう。心を強くし、勇め。恐れてはならない、おののいてはならない。

14 וְהִנֵּה בְעָנְיִי לְבֵית־ יְהוָה זָהָב כִּכָּרִים מֵאָה־ אֶלֶף הֲכִינוֹתִי
そして–見よ 苦労の–中で 家の–ために 主の 金を タラントの 十万の 千の 備えた
H2009 H6040 H3068 H2091 H3603 H3967 H0505 H0408

וְכֶסֶף אַלְפֵי אֲלָפִים כִּכָּרִים וְלַנְּחֹשֶׁת וְלַבַּרְזֶל אֵין מִשְׁקָל כִּי
そして–銀を 千の 千の タラント そして–青銅と 鉄は ない 量りきれない–ほど なぜなら
H3701 H0505 H0505 H3603 H1270 H0369 H4948

וְעֵצִים וְאַבְנֵים הֲכִינוֹתִי וְעֲלֵיהֶם תּוֹסִיף׃
そして–木と 石を 備えた そして–それらに 加えよ
H3254 H6086 H0068 H1961 H7230

見よ、わたしは苦難のうちにあって主の家のために金十万タラント、銀百万タラントを備え、また青銅と鉄を量ることもできないほどおびただしく備えた。また材木と石をも備えた。あなたはまたこれに加えなければならない。

15 וְעִמְּךָ לָרֹב וְעֹשֵׂי מְלָאכָה חֹצְבִים וְחָרָשֵׁי אֶבֶן וְעֵץ
そして–あなたと–共に 多くの 行う–者たちが–いる 仕事を 石工と 職人たちが–いる 石の 木の
H7230 H4399 H2672 H2796 H0068 H6086

וְכָל־ בְּכָל־ חָכָם מְלָאכָה׃
そして–すべての すべての 知恵ある–者が–いる 仕事に
H3605 H3605 H2450 H4399

あなたにはまた多数の職人、すなわち石や木を切り刻む者、工作に巧みな各種の者がある。

16 לַזָּהָב לַכֶּסֶף וְלַנְּחֹשֶׁת וְלַבַּרְזֶל אֵין
金に–ついては 銀に–ついては そして–青銅に–ついては そして–鉄に–ついては ない
H2091 H3701 H0369 H1270

קוּם וַעֲשֵׂה וִיהִי יְהוָה עִמָּךְ׃ מִסְפָּר
立て そして–行え そして–ある–ように 主が あなたと–共に 数えきれない–ほど
H4557 H6213 H1961 H3068

金、銀、青銅、鉄もおびただしくある。たって行いなさい。どうか主があなたと共におられるように」。

17 וַיְצַו דָּוִיד לְכָל־ שָׂרֵי יִשְׂרָאֵל לְעֻזֹּר לִשְׁלֹמֹה בְּנוֹ׃
そして–命じた ダビデは すべての 長たちに イスラエルの 助ける–ように ソロモンを その–息子を
H6680 H1732 H3605 H8269 H3478 H5826 H8010

ダビデはまたイスラエルのすべてのつかさたちにその子ソロモンを助けるように命じて言った、

18

הֲלֹא	יְהוָה	אֱלֹהֵיכֶם	עִמָּכֶם	וְהֵנִיחַ	לָכֶם
そうでは–ないか	主は	あなたがたの–神は	あなたがたと–共に–おられる	そして–与えた	あなたがたに
H3808	H3068	H0430		H5117	

מִסָּבִיב	וַיִּתֵּן	כִּי	נָתַן	בְּיָדִי	אֶת	יֹשְׁבֵי	הָאָרֶץ	וְנִכְבְּשָׁה	הָאָרֶץ
周りの–安息を	渡した	まことに	与えた	わたしの–手に	(を)	住民を	地の	そして–屈服させた	地を
H5439				H3027	H0853	H3427	H0776	H3533	H0776

לִפְנֵי	יְהוָה	וְלִפְנֵי	עַמּוֹ׃	
前で	主の	そして–前で	その–民の	
H6440	H3068	H6440		

「あなたがたの神、主はあなたがたとともにおられるではないか。四方に泰平を賜わったではないか。主はこの地の民をわたしの手にわたされたので、この地は主の前とその民の前に服している。

19

אֱלֹהֵיכֶם	לַיהוָה	לִדְרוֹשׁ	וְנַפְשְׁכֶם	לְבַבְכֶם	תְּנוּ	עַתָּה
あなたがたの–神を	主を	求める–ために	そして–魂を	あなたがたの–心を	向けよ	今
H0430	H3068	H1875	H5315	H3824	H5414	H6258

וְקוּמוּ	וּבְנוּ	אֶת־	מִקְדַּשׁ	יְהוָה	הָאֱלֹהִים	לְהָבִיא	אֶת־	אֲרוֹן
そして–立て	そして–建てよ	(を)	聖所を	主の	神の	運び–入れる–ために	(を)	箱を
		H0853	H4720	H3068	H0430	H0935	H0853	H0727

בְּרִית־	יְהוָה	וּכְלֵי	קֹדֶשׁ	הָאֱלֹהִים	לַבַּיִת	הַנִּבְנֶה	לְשֵׁם־	יְהוָה׃	פ
契約の	主の	そして–器を	聖なる	神の	家に	建てられる	名の–ために	主の	(段落)
H1285	H3068	H3627	H6944	H0430		H1129	H8034	H3068	

それであなたがたは心をつくし、精神をつくしてあなたがたの神、主を求めなさい。たって主なる神の聖所を建て、主の名のために建てるその家に、主の契約の箱と神の聖なるもろもろの器を携え入れなさい」。

Chapter 23

1

בְּנוֹ	שְׁלֹמֹה	אֶת־	וַיַּמְלֵךְ	יָמִים	וְשָׂבַע	זָקֵן	וְדָוִיד	
彼の–息子	ソロモンを	(を)	そして–王とした	日々に	そして–満ちた	年老いて	そして–ダビデは	
	H8010	H0853		H3117	H7646	H2204	H1732	

יִשְׂרָאֵל׃	עַל־	
イスラエル	(の上に)	
H3478		

ダビデは老い、その日が満ちたので、その子ソロモンをイスラエルの王とした。

2

וְהַלְוִיִּם׃	וְהַכֹּהֲנִים	יִשְׂרָאֵל	שָׂרֵי	כָּל־	אֶת־	וַיֶּאֱסֹף
そして–レビ人たちを	そして–祭司たちと	イスラエルの	長たちを	すべての	(を)	そして–集めた
H3881	H3548	H3478	H8269	H3605	H0853	H0622

ダビデはイスラエルのすべてのつかさおよび祭司とレビびとを集めた。

3

וַיְהִי	וָמָעְלָה	שָׁנָה	שְׁלֹשִׁים	מִבֶּן	הַלְוִיִּם	וַיִּסָּפְרוּ
そして–なった	そして–それ以上	歳	三十	(から)の–歳	レビ人たちは	そして–数えられた
H1961	H4605	H8141	H7970		H3881	

אָלֶף׃	וּשְׁמוֹנָה	שְׁלֹשִׁים	לִגְבָרִים	לְגֻלְגְּלֹתָם	מִסְפָּרָם
千	八	三万	男たちの	頭数で	彼らの–数は
H0505	H8083	H7970	H1397	H1538	H4557

レビびとの三十歳以上のものを数えると、その男の数が三万八千人あった。

אֶלֶף	וְאַרְבָּעָה	עֶשְׂרִים	יְהוָֹה	בֵּית־	מְלֶאכֶת	עַל־	לְנַצֵּחַ	מֵאֵלֶּה	4
千	四	二万	主の	宮の	仕事を	(の上に)	監督する-ために	これらの-うち	
H0505	H0702	H6242	H3068		H4399		H5329	H0428	

:אֲלָפִים	שֵׁשֶׁת	וְשֹׁפְטִים		וְשֹׁטְרִים
千	六	そして-裁き人たちは		そして-役人たちと
H0505	H8337	H8199		H7860

ダビデは言った、「そのうち二万四千人は主の家の仕事をつかさどり、六千人はつかさびと、およびさばきびととなり、

אֲשֶׁר	בַּכֵּלִים	לַיהוָֹה	מְהַלְלִים	אֲלָפִים	וְאַרְבַּעַת	שֹׁעֲרִים	אֲלָפִים	וְאַרְבַּעַת	5
(それを)	楽器で	主を	賛美する-者たち	千は	そして-四	門衛たち	千は	そして-四	
	H3627	H3068		H0505	H0702	H7778	H0505	H0702	

לְהַלֵּל׃	עָשִׂיתִי
賛美する-ために	わたしが-作った

四千人は門を守る者となり、また四千人はさんびのためにわたしの造った楽器で主をたたえよ」。

וּמְרָרִי׃	קְהָת	לְגֵרְשׁוֹן	לְוִי	לִבְנֵי	ס	מַחְלְקוֹת	דָּוִיד	וַיַּחְלְקֵם	6
そして-メラリ	ケハテ	ゲルション	子らを	レビの	(段落)	組に	ダビデは	そして-分けた	
H4847	H6955	H1647	H3878			H4256	H1732		

ס
(段落)

そしてダビデは彼らをレビの子らにしたがってゲルション、コハテ、メラリの組に分けた。

ס	וְשִׁמְעִי׃	לַעְדָּן	לַגֵּרְשֻׁנִּי	7
(段落)	そして-シムイ	ラアダン	ゲルション人には	
	H8096	H3936	H1649	

ゲルションの子らはラダンとシメイ。

ס	שְׁלֹשָׁה׃	וְיוֹאֵל	וְזֶתָם	יְחִיאֵל	הָרֹאשׁ	לַעְדָּן	בְּנֵי	8
(段落)	三人	そして-ヨエル	そして-ゼタム	エヒエル	かしらは	子らは	ラアダンの	
	H7969	H3100	H2241	H3171		H3936		

ラダンの子らは、かしらのエヒエルとゼタムとヨエルの三人。

אֵלֶּה	שְׁלֹשָׁה	וְהָרָן	וַחֲזִיאֵל	)שְׁלוֹמִית(	]שלמות[	שִׁמְעִי	בְּנֵי	9
これらは	三人	そして-ハラン	ハジエル	(シェロミテ)	[シェロモテ]	子らは	シムイの	
H0428	H7969	H2039	H2381	H8013	H8013	H8096		

ס	לְלַעְדָּן׃	הָאָבוֹת	רָאשֵׁי	
(段落)	ラアダンの	父祖の-家の	かしら-たちで	
	H3936	H0001		

シメイの子らはシロミテ、ハジエル、ハランの三人。これらはラダンの氏族の長であった。

שִׁמְעִי	בְּנֵי־	אֵלֶּה	וּבְרִיעָה	וְיעוּשׁ	זִינָא	יַחַת	שִׁמְעִי	וּבְנֵי	10
シムイの	子ら-で	これらは	そして-ベリア	エウシ	ジナ	ヤハテ	子らは	そして-シムイの	
H8096		H0428	H1283	H3266	H2126	H3189	H8096		

:אַרְבָּעָה
四人
H0702

シメイの子らはヤハテ、ジナ、エウシ、ベリアの四人。皆シメイの子で、

11 וַיְהִי־ לַיַּחַת רֹאשׁ הַשֵּׁנִי וְזִיזָה וַיֵּעוּשׁ וּבְרִיעָה לֹא־ הִרְבּוּ
そして-なった ヤハテは かしら 第二 そして-ジザは エウシと ベリアは 多くの 持たなかった
H1961 H3189 H7218 H8145 H2125 H3266 H1283 H3808

בָּנִים לְבֵית אָב לְפִקֻּדָה בְּאֶחָת׃ ס וַיִּהְיוּ
子らを 父祖の-家の 一つの 登録として 一つ (段落) そして-なった
H1121 H1004 H0001 H6486 H0259 H1961

ヤハテはかしら、ジザはその次、エウシとベリアは子が多くなかったので、ともに数えられて一つの氏族となった。

12 בְּנֵי קְהָת עַמְרָם יִצְהָר חֶבְרוֹן וְעֻזִּיאֵל׃ ס אַרְבָּעָה
ケハテの 子らは アムラム イツハル ヘブロン そして-ウジエル (段落) 四人
H6955 H6019 H3324 H2275 H5816 H0702

コハテの子らはアムラム、イツハル、ヘブロン、ウジエルの四人。

13 בְּנֵי עַמְרָם אַהֲרֹן וּמֹשֶׁה וַיִּבָּדֵל אַהֲרֹן לְהַקְדִּישׁוֹ קֹדֶשׁ
アムラムの 子らは アロン そして-モーセ そして-分けられた アロンは 聖別する-ために 聖なる
H6019 H0175 H4872 H0914 H0175 H6942 H6944

הוּא־ וּבָנָיו עַד־ עוֹלָם לְהַקְטִיר לִפְנֵי יְהוָה
彼と そして-彼の-子らは (まで) 永遠に 香を-たく-ために (の前に) 主の
H1931 H1121 H5704 H5769 H6999 H6440 H3068

לְשָׁרְתוֹ וּלְבָרֵךְ בְּשִׁמוֹ עַד־ עוֹלָם׃
仕える-ために そして-祝福する-ために その-御名で (まで) 永遠に
H8334 H1288 H8034 H5704 H5769

アムラムの子らはアロンとモーセである。アロンはその子らとともに、ながくいと聖なるものを聖別するために分かたれて、主の前に香をたき、主に仕え、常に主の名をもって祝福することをなした。

14 וּמֹשֶׁה אִישׁ הָאֱלֹהִים בָּנָיו יִקָּרְאוּ עַל־ שֵׁבֶט הַלֵּוִי׃
そして-モーセは 人で 神の 彼の-子らは 数えられた (の上に) 部族に レビの
H4872 H0376 H0430 H1121 H7121 H5921 H7626 H3878

神の人モーセの子らはレビの部族のうちに数えられた。

15 בְּנֵי מֹשֶׁה גֵּרְשֹׁם וֶאֱלִיעֶזֶר׃
モーセの 子らは ゲルショム そして-エリエゼル
H1121 H4872 H1647 H0461

モーセの子らはゲルションとエリエゼル。

16 בְּנֵי גֵרְשֹׁם שְׁבוּאֵל הָרֹאשׁ׃
ゲルショムの 子らは シェブエル かしら
H1121 H1647 H7619 H7218

ゲルションの子らは、かしらはシブエル。

17 וַיִּהְיוּ בְּנֵי־ אֱלִיעֶזֶר וְלֹא־ הָיָה לֶאֱלִיעֶזֶר רְחַבְיָה הָרֹאשׁ וְלֹא־
そして-なった 子ら-で エリエゼルの レハブヤは かしら そして-ない いた エリエゼルに
H1961 H1121 H0461 H7345 H7218 H3808 H1961 H0461

הוֹסִיף בָּנִים אֲחֵרִים רְחַבְיָה וּבְנֵי רָבּוּ מְאֹד׃
他の 子らが レハブヤの しかし-子らは 非常に-多かった 増えて
H0312 H1121 H7345 H1121 H7235 H4605

エリエゼルの子らは、かしらはレハビヤ。エリエゼルにはこのほかに子がなかった。しかしレハビヤの子らは非常に多かった。

18 בְּנֵי יִצְהָר שְׁלֹמִית הָרֹאשׁ׃ ס
イツハルの 子らは シェロミテ かしら (段落)
H3324

イヅハルの子らは、かしらはシロミテ。

19 בְּנֵי חֶבְרוֹן יְרִיָּהוּ הָרֹאשׁ אֲמַרְיָה הַשֵּׁנִי יַחֲזִיאֵל הַשְּׁלִישִׁי וְיֶקְמְעָם
ヘブロンの 子らは エリヤフ かしら アマルヤ 第二 ヤハジエル 第三 そして-エカムアム
H3404 H0568 H8145 H3166 H7992 H3360

הָרְבִיעִי׃
第四
H7243

ヘブロンの子らは長子はエリヤ、次はアマリヤ、第三はヤハジエル、第四はエカメアム。

20 בְּנֵי עֻזִּיאֵל מִיכָה הָרֹאשׁ וְיִשִּׁיָּה הַשֵּׁנִי׃ ס
ウジエルの 子らは ミカ かしら そして-イシヤ 第二 (段落)
H5816 H4318 H3449 H8145

ウジエルの子らは、かしらはミカ、次はイシアである。

21 בְּנֵי מְרָרִי מַחְלִי וּמוּשִׁי בְּנֵי מַחְלִי אֶלְעָזָר וְלֹא־הָיוּ לְאֶלְעָזָר בָּנִים כִּי אִם־בָּנוֹת וְקִישׁ׃
メラリの 子らは マフリ そして-ムシ マフリの 子らは エルアザル そして-ない 息子たちが ただ (しかし) 娘たちだけ そして-キシュ
H4847 H4249 H4187 H4249 H4191 H0499 H3808 H1961 H3588 H3588 H1323 H7027

メラリの子らはマヘリとムシ。マヘリの子らはエレアザルとキシ。

22 וַיָּמָת אֶלְעָזָר וְלֹא־הָיוּ לוֹ בָּנִים כִּי אִם־בָּנוֹת וַיִּשָּׂאוּם בְּנֵי־קִישׁ אֲחֵיהֶם׃
そして-死んだ エルアザルは そして-ない 彼には 息子たちが ただ (しかし) 娘たちだけ そして-めとった 子ら-が キシュの 彼女たちの-兄弟たち
H4191 H0499 H3808 H1961 H3588 H3588 H1323 H5375 H1121 H7027 H0251

エレアザルは男の子がなくて死に、ただ娘たちだけであったが、キシの子であるその身内の男たちが彼女たちをめとった。

23 בְּנֵי מוּשִׁי מַחְלִי וְעֵדֶר וְיֵרְמוֹת שְׁלֹשָׁה׃
ムシの 子らは マフリ そして-エデル そして-エレモテ 三人
H4187 H4249 H5738 H3406 H7969

ムシの子らはマヘリ、エデル、エレモテの三人である。

24 אֵלֶּה בְּנֵי־לֵוִי לְבֵית אֲבֹתֵיהֶם רָאשֵׁי הָאָבוֹת לִפְקוּדֵיהֶם
これらは 子ら-で レビの 父祖の-家の 彼らの かしら-たち 父祖の-家の 彼らの-登録による
H0428 H1121 H3878 H1004 H0001 H7218 H0001 H6485

בְּמִסְפַּר שֵׁמוֹת לְגֻלְגְּלֹתָם עֹשֵׂה הַמְּלָאכָה לַעֲבֹדַת בֵּית יְהוָה
名の-数で 名の 頭数で 仕事を-する-者たちで 務めの 奉仕の-ための 宮の 主の
H4557 H8034 H1538 H6213 H4399 H5656 H1004 H3068

מִבֶּן עֶשְׂרִים שָׁנָה וָמָעְלָה׃
(から)の-歳 二十 歳 そして-それ以上
H4605 H8141 H6242 H4480

これらはその氏族によるレビの子孫であって、その人数が数えられ、その名がしるされて、主の家の務をなした二十歳以上の者で、氏族の長であった。

25 כִּי אָמַר דָּוִיד הֵנִיחַ יְהוָה אֱלֹהֵי־יִשְׂרָאֵל לְעַמּוֹ
なぜなら 言った ダビデは 安息を-与えた 主は 神は イスラエルの その-民に
H3478 H0430 H3068 H5117 H1732 H0559 H3478

וַיִּשְׁכֹּן בִּירוּשָׁלִַם עַד־לְעוֹלָם׃
そして-住まわれた エルサレムに (まで) 永遠に
H7931 H3389 H5704 H5769

ダビデは言った、「イスラエルの神、主はその民に平安を与え、ながくエルサレムに住まわれる。

26 וְגַם לַלְוִיִּם אֵין־לָשֵׂאת אֶת־הַמִּשְׁכָּן וְאֶת־כָּל
そして-また レビ人たちには 必要は-ない 運ぶ (を) 幕屋を そして(を) すべての
H1571 H3881 H0369 H5375 H0853 H4908 H0853 H3605

כֵּלָיו לַעֲבֹדָתוֹ׃
その-器具を その-奉仕の-ための
H3627 H5656

レビびとは重ねて幕屋およびその勤めの器物をかつぐことはない。

27 כִּי בְדִבְרֵי דָוִיד הָאַחֲרֹנִים אֵלֶּה פְּקוּדֵי בְנֵי־לֵוִי מִבֶּן
なぜなら 言葉に-よって ダビデの 最後の それらは 数で 子ら-の レビの (から)の-歳
H1697 H1732 H0314 H1992 H4557 H3881 H1121 H3881 H1121

עֶשְׂרִים שָׁנָה וּלְמַעְלָה׃
二十 歳 そして-それ以上
H6242 H8141 H4605

――ダビデの最後の言葉によって、レビびとは二十歳以上の者が数えられた――

28 כִּי מַעֲמָדָם עַל־יַד בְּנֵי אַהֲרֹן לַעֲבֹדַת בֵּית יְהוָה
なぜなら 彼らの-立場は (の手の-そばに) アロンの 子ら-の 奉仕の-ため 宮の 主の
H3068 H1004 H0175 H5656 H1004 H3068

עַל־הַחֲצֵרוֹת וְעַל־הַלְּשָׁכוֹת וְעַל־טָהֳרַת לְכָל־קֹדֶשׁ
庭と そして(の上に) 部屋と そして(の上に) 清めと すべての 聖なる-ものの
H2893 H3605 H6944

וּמַעֲשֵׂה עֲבֹדַת בֵּית הָאֱלֹהִים׃
そして-仕事の 奉仕の 宮の 神の
H4639 H5656 H1004 H0430

彼らの務はアロンの子孫を助けて主の家の働きをし、庭とへやの仕事およびすべての聖なるものを清めること、そのほか、すべて神の家の働きをすることである。

29 וְלַמַּצּוֹת וְלָרְקִיקֵי וְלַמֻּנָּחַת וְלַסֹּלֶת וְלַמַּעֲרֶכֶת וּלְלֶחֶם
そして-平鍋の そして-混ぜ合わせた-ものの そして-すべての 量りと そして-秤の
H4227 H7246 H3605 H4884 H4682 H7550 H4503 H5560 H4635 H3899

וְלַמְּחָבַת וְלַמֻּרְבֶּכֶת וְלִכָּל־מְשׂוּרָה וּמִדָּה׃
そして-平鍋の そして-混ぜ合わせた-ものの そして-すべての 量りと そして-秤の
H4227 H7246 H3605 H4884

また供えのパン、素祭の麦粉、種入れぬ菓子、焼いた供え物、油をまぜた供え物をつかさどり、またすべて分量および大きさを量ることをつかさどり、

30 וְלַעֲמֹד בַּבֹּקֶר בַּבֹּקֶר לְהֹדוֹת וּלְהַלֵּל לַיהוָה וְכֵן
そして–立つ–ために 朝ごとに 毎朝 感謝し そして–賛美する–ために 主を そして–同様に
H5975 H1242 H1242 H3034 H3068

לָעֶרֶב׃
夕べにも
H6153

また朝ごとに立って主に感謝し、さんびし、夕にもまたそのようにし、

31 וּלְכֹל עֹלוֹת הַעֲלוֹת לַיהוָה לַשַּׁבָּתוֹת לֶחֳדָשִׁים וְלַמּוֹעֲדִים
そして–すべての ささげる 全焼の–ささげ物を 主に 安息日と 新月と そして–祭りに
H3605 H5927 H3068 H7676 H2320 H4150

בְּמִסְפָּר כְּמִשְׁפָּט עֲלֵיהֶם תָּמִיד לִפְנֵי יְהוָה׃
数に–従って 定めに–従って 彼らの–上に 絶えず (の前に) 主の
H4557 H4941 H8548 H6440 H3068

また安息日と新月と祭日に、主にもろもろの燔祭をささげるときは、絶えず主の前にその命じられた数にしたがってささげなければならない。

32 וְשָׁמְרוּ֙ אֶת־ מִשְׁמֶ֣רֶת אֹ֔הֶל מוֹעֵ֖ד וְאֵ֣ת מִשְׁמֶ֣רֶת הַקֹּ֑דֶשׁ וּמִשְׁמֶ֣רֶת
そして–守った (を) 務めを 天幕の 会見の そして(を) 務めを 聖所の そして–務めを
H8104 H0853 H4931 H0168 H4150 H0853 H4931 H6944 H4931

בְּנֵ֥י אַהֲרֹ֖ן אֲחֵיהֶ֑ם לַעֲבֹדַ֣ת בֵּ֔ית יְהוָ֖ה׃ פ
アロンの 子ら–の 彼らの–兄弟たちの 奉仕の–ための 宮の 主の (段落)
H0175 H0251 H5656 H1004 H3068

このようにして彼らは会見の幕屋と聖所の務を守り、主の家の働きのためにその兄弟であるアロンの子らに仕えなければならない」。

Chapter 24

1 וְלִבְנֵ֣י אַהֲרֹ֔ן מַחְלְקוֹתָ֑ם בְּנֵי֙ אַהֲרֹ֔ן נָדָ֥ב וַאֲבִיה֖וּא אֶלְעָזָ֥ר
そして–子らに アロンの 彼らの–組は 子らは アロンの ナダブ そして–アビフ エルアザル
H0175 H4256 H0175 H1121 H0175 H5070 H0030 H0499

וְאִיתָמָֽר׃
そして–イタマル
H0385

アロンの子孫の組は次のとおりである。すなわちアロンの子らはナダブ、アビウ、エレアザル、イタマル。

2 וַיָּ֤מָת נָדָב֙ וַאֲבִיה֔וּא לִפְנֵ֖י אֲבִיהֶ֑ם וּבָנִ֣ים לֹא־ הָי֣וּ
そして–死んだ ナダブと アビフは (の前に) 彼らの–父の そして–息子たちが ない いた
H4191 H5070 H0030 H6440 H0001 H1121 H3808 H1961

לָהֶ֗ם וַיְכַהֲנ֤וּ אֶלְעָזָר֙ וְאִיתָמָ֔ר עַל־ פְּנֵ֖י אַהֲרֹֽן׃
彼らには そして–祭司として–仕えた エルアザルと イタマルが
H1992 H3547 H0499 H0385

ナダブとアビウはその父に先だって死に、子がなかったので、エレアザルとイタマルが祭司となった。

3 וַיְחַלְּקֵ֣ם דָּוִ֔יד וְצָד֥וֹק מִן־ בְּנֵ֖י אֶלְעָזָ֑ר וַאֲחִימֶ֣לֶךְ
そして–分けた ダビデは そして–ツァドクは (から) 子らの エルアザルの そして–アヒメレクは
H2505 H1732 H6659 H4480 H1121 H0499 H0288

מִבְּנֵ֣י אִיתָמָ֔ר לִפְקֻדָּתָ֖ם בַּעֲבֹדָתָֽם׃
イタマルの 子らの (から) 彼らの–任命に–従って 彼らの–奉仕に
H0385 H1121 H4480 H6486 H5656

ダビデはエレアザルの子孫ザドクとイタマルの子孫アヒメレクの助けによって彼らを分けて、それぞれの勤めにつけた。

4 וַיִּמָּצְאוּ בְּנֵי־ לְבְנֵי־ אֶלְעָזָר רַבִּים לְרָאשֵׁי הַגִּבֹּרִים מִן־ בְּנֵי
そして–見いだされた 子ら–に エルアザルの 多くの かしら–たちが 男たちの (よりも) 子らの
H4672 H0499 H1397

וַיַּחְלְקֵום אִיתָמָר לִבְנֵי אֶלְעָזָר רָאשִׁים לְבֵית־ אָבוֹת שִׁשָּׁה עָשָׂר
そして–分けた イタマルの 子らに エルアザルの かしらたちを 父祖の–家の 父祖の 十六 人
H0385 H0499 H1397 H0001 H8337 H6240

וְלִבְנֵי אִיתָמָר לְבֵית אֲבוֹתָם שְׁמוֹנָה׃
そして–子らに イタマルの 父祖の–家の 彼らの 八人
H0385 H0001 H8083

エレアザルの子孫のうちにはイタマルの子孫のうちよりも長たる人々が多かった。それでエレアザルの子孫で氏族の長である十六人と、イタマルの子孫で氏族の長である者八人にこれを分けた。

5 וַיַּחְלְקוּם בְּגוֹרָלוֹת אֵלֶּה אֶת־ אֵלֶּה כִּי־ הָיוּ שָׂרֵי־ קֹדֶשׁ
そして–分けた くじで これらを (と共に) なぜなら いた 聖所の–長たちと 聖なる
H1486 H0428 H0428 H1961 H8269 H6944

וְשָׂרֵי הָאֱלֹהִים מִבְּנֵי אֶלְעָזָר וּבִבְנֵי אִיתָמָר׃ ס
そして–神の–長たちが 神の 子らの–中に エルアザルの 子らの–中にも イタマルの (段落)
H8269 H0430 H0499 H0385

このように彼らは皆ひとしく、くじによって分けられた。聖所のつかさ、および神のつかさは、ともにエレアザルの子孫とイタマルの子孫から出たからである。

6 וַיִּכְתְּבֵם שְׁמַעְיָהוּ בֶן־ נְתַנְאֵל הַסּוֹפֵר מִן־ הַלֵּוִי לִפְנֵי הַמֶּלֶךְ
そして–書いた シェマヤが 息子–で ネタネルの 書記は (からの) レビ人の (の前で) 王と
H3789 H8098 H1121 H5417 H5612 H3881 H6440 H4428

וְהַשָּׂרִים וְצָדוֹק הַכֹּהֵן וַאֲחִימֶלֶךְ בֶּן־ אֶבְיָתָר
そして–長たちと そして–ツァドク 祭司と そして–アヒメレク 息子–で エビヤタルの
H8269 H6659 H3548 H0288 H1121 H0054

וְרָאשֵׁי הָאָבוֹת לַכֹּהֲנִים וְלַלְוִיִּם בֵּית־ אַב אֶחָד
そして–かしらたちの 父祖の–家の 祭司たちの そして–レビ人たちの 父祖の–家の 父の 一つの
H0001 H3548 H3881 H0001 H0001 H0259

פ לְאִיתָמָר׃ וְאָחֻז אָחֻז לְאֶלְעָזָר וְאָחֻז׃
(段落) イタマルの–ために 取られた そして–取られた エルアザルの–ために 取られた
H0385 H0270 H0270 H0499 H0270

レビびとネタネルの子である書記シマヤは、王とつかさたちと祭司ザドクとアビヤタルの子アヒメレクと祭司およびレビびとの氏族の長たちの前で、これを書きしるした。すなわちエレアザルのために氏族一つを取れば、イタマルのためにも一つを取った。

7 וַיֵּצֵא הַגּוֹרָל הָרִאשׁוֹן לִיהוֹיָרִיב לִידַעְיָה הַשֵּׁנִי׃
そして–出た くじは 第一の エホヤリブに エダヤに 第二
H3318 H1486 H7223 H3080 H3048 H8145

第一のくじはヨアリブに当り、第二はエダヤに当り、

8 לְחָרִם הַשְּׁלִישִׁי לְשְׂעֹרִים הָרְבִיעִי׃
ハリムに 第三 セオリムに 第四
H2766 H7992 H8188 H7243

第三はハリムに、第四はセオリムに、

9	לְמַלְכִּיָּהוּ	הַחֲמִישִׁי	לְמִיָמִן	הַשִּׁשִּׁי׃
	マルキヤに	第五	ミヤミンに	第六
	H4441	H2549	H4326	H8345

第五はマルキヤに、第六はミヤミンに、

10	לְהַקּוֹץ	הַשְּׁבִיעִי	לַאֲבִיָּה	הַשְּׁמִינִי׃
	ハコツに	第七	アビヤに	第八
	H6976	H7637	H0029	H8066

第七はハッコツに、第八はアビヤに、

11	לְיֵשׁוּעַ	הַתְּשִׁעִי	לִשְׁכַנְיָהוּ	הָעֲשִׂרִי׃
	エシュアに	第九	シェカニヤフに	第十
	H3442	H8671	H7935	H6224

第九はエシュアに、第十はシカニヤに、

12	לְאֶלְיָשִׁיב	עַשְׂתֵּי	עָשָׂר	לְיָקִים	שְׁנֵים	עָשָׂר׃
	エリヤシブに	十一	番目	ヤキムに	十二	番目
	H0475	H6249	H6240	H3356	H8147	H6240

第十一はエリアシブに、第十二はヤキムに、

13	לְחֻפָּה	שְׁלֹשָׁה	עָשָׂר	לִישֶׁבְאָב	אַרְבָּעָה	עָשָׂר׃
	フパに	十三	番目	エシュバアブに	十四	番目
	H2647	H7969	H6240	H3428	H0702	H6240

第十三はホッパに、第十四はエシバブに、

14	לְבִלְגָּה	חֲמִשָּׁה	עָשָׂר	לְאִמֵּר	שִׁשָּׁה	עָשָׂר׃
	ビルガに	十五	番目	イメルに	十六	番目
	H1083	H2568	H6240	H0564	H8337	H6240

第十五はビルガに、第十六はインメルに、

15	לְחֵזִיר	שִׁבְעָה	עָשָׂר	לְהַפְצֵץ	שְׁמוֹנָה	עָשָׂר׃
	ヘジルに	十七	番目	ハピツェツに	十八	番目
	H2387	H7651	H6240	H6483	H8083	H6240

第十七はヘジルに、第十八はハピセツに、

16	לְפְתַחְיָהוּ	תִּשְׁעָה	עָשָׂר	לִיחֶזְקֵאל	הָעֶשְׂרִים׃
	ペタヒヤに	十九	番目	エゼキエルに	二十番目
	H6611	H8672	H6240	H3168	H6242

第十九はペタヒヤに、第二十はエゼキエルに、

17	לְיָכִין	אֶחָד	וְעֶשְׂרִים	לְגָמוּל	שְׁנֵים	וְעֶשְׂרִים׃
	ヤキンに	二十一	番目	ガムルに	二十二	番目
	H3199	H0259	H6242	H1577	H8147	H6242

第二十一はヤキンに、第二十二はガムルに、

18	לִדְלָיָהוּ	שְׁלִשָּׁה	וְעֶשְׂרִים	לְמַעַזְיָהוּ	אַרְבָּעָה	וְעֶשְׂרִים׃	פ
	デラヤフに	二十三	番目	マアズヤフに	二十四	番目	(段落)
	H1806	H7969	H6242	H4590	H0702	H6242	

第二十三はデラヤに、第二十四はマアジヤに当った。

כְּמִשְׁפָּטָם	יְהוָה֙	לְבֵית־	לָבוֹא	לַעֲבֹדָתָם	פְּקֻדֹּתָ֔ם	אֱלֶּה	19
彼らの–定めに–従って	主の	宮の	入る	彼らの–奉仕の–ために	彼らの–任命で	これらは	
H4941	H3068		H0935	H5656	H6486	H0428	

פ	יִשְׂרָאֵ֑ל׃	אֱלֹהֵי	יְהוָה	צִוָּ֣ה	כַּאֲשֶׁר	אֲבִיהֶ֖ם	אַהֲרֹ֥ן	בְּיַד
(段落)	イスラエルの	神が	主が	命じた	(のように)	彼らの–父の	アロンの	(の手に–よる)
	H3478	H0430	H3068	H6680		H0001	H0175	H3027

これは、彼らの先祖アロンによって設けられた定めにしたがい、主の家にはいって務をなす順序であって、イスラエルの神、主の彼に命じられたとおりである。

שׁוּבָאֵ֑ל	לִבְנֵי֙	שְׁוּבָאֵ֔ל	עַמְרָ֣ם	לִבְנֵי֙	הַנּוֹתָרִ֔ים	לְלֵוִ֔י	וְלִבְנֵי֙	20
シュバエルの	子らに	シュバエル	アムラムの	子らに	残りの–者たちは	レビの	そして–子らに	
H7619		H7619	H6019		H3498	H3878		

יֶחְדְּיָֽהוּ׃
エヘデヤフ
H3165

このほかのレビの子孫は次のとおりである。すなわちアムラムの子らのうちではシュバエル。シュバエルの子らのうちではエデヤ。

יִשִּׁיָּה׃	הָרֹאשׁ	רְחַבְיָ֖הוּ	לִבְנֵי֙	לְרְחַבְיָ֔הוּ	21
イシヤ	かしらは	レハブヤフの	子らに	レハブヤフに	
H3449		H7345		H7345	

レハビヤについては、レハビヤの子らのうちでは長子イシア。

יָחַת׃	שְׁלֹמוֹת֙	לִבְנֵי֙	שְׁלֹמ֔וֹת	לַיִּצְהָרִ֑י	22
ヤハテ	シェロモテの	子らに	シェロモテ	イツハル人には	
H3189	H8013		H8013	H3325	

イヅハリびとのうちではシロミテ。シロミテの子らのうちではヤハテ。

הָרְבִיעִ֖י׃	יְקַמְעָ֑ם	הַשְּׁלִישִׁ֖י	יַחֲזִיאֵ֑ל	הַשֵּׁנִ֖י	אֲמַרְיָ֣הוּ	יְרִיָּ֔הוּ	וּבְנֵ֖י	23
第四	エカムアム	第三	ヤハジエル	第二	アマルヤフ	エリヤフの	そして–子らは	
H7243	H3360	H7992	H3166	H8145	H0568	H3404		

ヘブロンの子らは長子はエリヤ、次はアマリヤ、第三はヤハジエル、第四はエカメアム。

שָׁמִֽיר׃)	[שמור]	מִיכָ֔ה	לִבְנֵי֙	מִיכָ֔ה	עֻזִּיאֵ֑ל	בְּנֵ֖י	24
(シャミル)	[シャモル]	ミカの	子らに	ミカ	ウジエルの	子らは	
H8053	H8053	H4318		H4318	H5816		

ウジエルの子らのうちではミカ。ミカの子らのうちではシャミル。

זְכַרְיָֽהוּ׃	יִשִּׁיָּ֖ה	לִבְנֵי֙	יִשִּׁיָּ֔ה	מִיכָ֑ה	אֲחֵ֖י	25
ゼカリヤフ	イシヤの	子らに	イシヤ	ミカの	兄弟は	
	H3449		H3449	H4318	H0251	

ミカの兄弟はイシア。イシアの子らのうちではゼカリヤ。

בְּנֽוֹ׃	יַעֲזִיָּ֖הוּ	בְּנֵ֖י	וּמוּשִׁ֑י	מַחְלִ֖י	מְרָרִ֔י	בְּנֵ֖י	26
彼の–息子	ヤアジヤフの	子らは	そして–ムシ	マフリ	メラリの	子らは	
	H3269		H4187	H4249	H4847		

メラリの子らはマヘリとムシ。ヤジアの子らはベノ。

וְעִבְרִֽי׃	וְזַכּ֖וּר	וְשֹׁהָ֑ם	בְּנֽוֹ׃	לְיַעֲזִיָּ֖הוּ	מְרָרִ֔י	בְּנֵ֖י	27
そして–イブリ	そして–ザックル	そして–ショハム	彼の–息子	ヤアジヤフの	メラリの	子らは	
H5681	H2139	H7719		H3269	H4847		

メラリの子孫のヤジアから出た者はベノ、ショハム、ザックル、イブリ。

28 לְמַחְלִי אֶלְעָזָר וְלֹא־ הָיָה לוֹ בָּנִים׃
マフリには エルアザル そして–ない いた 彼には 息子たちが
H4249 H0499 H3808 H1961 H0499

マヘリからエレアザルが出た。彼には子がなかった。

29 לְקִישׁ בְּנֵי־ קִישׁ יְרַחְמְאֵל׃
キシュには キシュの 子ら–は エラフメエル
H7027 H7027 H3396

キシについては、キシの子はエラメル。

30 וּבְנֵי מוּשִׁי מַחְלִי וְעֵדֶר וְיֵרִימוֹת בְּנֵי אֵלֶּה הַלְוִיִּם
そして–子らは ムシの マフリ そして–エデル そして–エリモテ 子らで これらは レビ人の
H4187 H4249 H5980 H3406 H0428 H3881

לְבֵית אֲבֹתֵיהֶם׃
父祖の–家の 彼らの
H0001

ムシの子らはマヘリ、エデル、エリモテ。これらはレビびとの子孫で、その氏族によっていった者である。

31 וַיַּפִּילוּ גּוֹרָלוֹת וְלֶעֻמַּת אֲחֵיהֶם בְּנֵי־ הֵם גַּם־ לִפְנֵי אַהֲרֹן
そして–投げた また 彼らも 対応して くじを 彼らの–兄弟たちと 子ら–の アロンの (の前で)
H5307 H1571 H1992 H5980 H1486 H0251 H0175 H6440

הַמֶּלֶךְ דָּוִיד וְצָדוֹק וַאֲחִימֶלֶךְ וְרָאשֵׁי הָאָבוֹת לַכֹּהֲנִים
王と ダビデ ザドクと そして–ツァドクと アヒメレクと そして–かしらたちの 父祖の–家の 祭司たちの
H4428 H1732 H6659 H0288 H0001 H3548

וְלַלְוִיִּם אָבוֹת הָרֹאשׁ לֶעֻמַּת אָחִיו הַקָּטֹן׃ כ
そして–レビ人たちの 父祖の–家の かしらは 同じく 彼の–弟の 小さい–者と (段落)
H3881 H0001 H0001 H5980 H0251

これらの者もまた氏族の兄もその弟も同様に、ダビデ王と、ザドクと、アヒメレクと、祭司およびレビびとの氏族の長たちの前で、アロンの子孫であるその兄弟たちのようにくじを引いた。

Chapter 25

1 וַיַּבְדֵּל דָּוִיד וְשָׂרֵי הַצָּבָא לַעֲבֹדָה לִבְנֵי אָסָף
そして–分けた ダビデと 長たちは そして–軍の 奉仕の–ために 子らに アサフの
H0914 H1732 H8269 H5656 H0623

וְהֵימָן וִידוּתוּן וְ[הנביאים] (הַנִּבְּאִים) בְּכִנֹּרוֹת בְּנְבָלִים
そして–ヘマンの そして–エドトンの [預言者たち] (預言する–者たちを) 琴で 立琴で
H1968 H3038 H5030 H5012 H3658

וּבִמְצִלְתָּיִם׃ וַיְהִי מִסְפָּרָם אַנְשֵׁי מְלֶאכָה לַעֲבֹדָתָם׃
そして–シンバルで そして–なった 彼らの–数は 人々の 務めの 彼らの–ための
H4700 H1961 H4557 H0376 H4399 H5656

ダビデと軍の長たちはまたアサフ、ヘマンおよびエドトンの子らを勤めのために分かち、琴と、立琴と、シンバルをもって預言する者にした。その勤めをなした人々の数は次のとおりである。

2 לִבְנֵי אָסָף בְּנֵי וַאֲשַׁרְאֵלָה וּנְתַנְיָה וְיוֹסֵף זַכּוּר אָסָף לִבְנֵי
アサフの 子らは そして-アサレラ そして-ネタニヤ そして-ヨセフ ザックル アサフの 子らに
H0623 H0841 H5418 H3130 H2139 H0623

הַמֶּלֶךְ׃ יְדֵי עַל־ הַנִּבָּא אָסָף יְדֵי עַל
王の 手-の (の上に) 預言する-者 アサフの 手-の (の下に)
H4428 H3027 H5012 H0623 H3027

アサフの子たちはザックル、ヨセフ、ネタニヤ、アサレラであって、アサフの指揮のもとに王の命によって預言した者である。

3 לִידוּתוּן יְדוּתוּן בְּנֵי גְּדַלְיָהוּ וּצְרִי וְיִשַׁעְיָהוּ חֲשַׁבְיָהוּ
エドトンには エドトンの 子らは ゲダルヤフ そして-ツェリ そして-イザヤフ ハシャビヤフ
H3038 H3038 H6874 H2811

עַל־ הַנִּבֵּא בַּכִּנּוֹר יְדוּתוּן אֲבִיהֶם יְדֵי עַל שֵׁשָׁה וּמַתִּתְיָהוּ
(の上に) 預言する-者 琴で エドトンの 彼らの-父の 手-の (の下に) 六人 そして-マテテヤフ
H5012 H3658 H3038 H0001 H3027 H8337 H4993

ס לַיהוָה׃ וְהַלֵּל הוֹדוֹת
(段落) 主を そして-賛美する 感謝し
H3068 H3034

エドトンについては、エドトンの子たちはゲダリヤ、ゼリ、エサヤ、ハシャビヤ、マッタテヤの六人で、琴をもって主に感謝し、かつほめたたえて預言したその父エドトンの指揮の下にあった。

4 לְהֵימָן בְּנֵי הֵימָן לִבְקִיָּהוּ מַתַּנְיָהוּ עֻזִּיאֵל שְׁבוּאֵל וִירִימוֹת
ヘマンには 子らは ヘマンの ブッキヤフ マタニヤフ ウジエル シェブエル そして-エリモテ
H1968 H1968 H1232 H4983 H5816 H7619 H3406

חֲנַנְיָה לִיתִי גְּדַלְתִּי אֶלִיאָתָה חָנָנִי יָשְׁבְּקָשָׁה מַלּוֹתִי
ハナニヤ ハナニ エリアタ ギダルティ そして-ロマムティ-エゼル ヨシュベカシャ マロティ
H2607 H0448 H1437 H7320 H3436 H4413

הוֹתִיר מַחֲזִיאוֹת׃
ホティル マハジオト
H1956 H4238

ヘマンについては、ヘマンの子たちはブッキヤ、マッタニヤ、ウジエル、シブエル、エレモテ、ハナニヤ、ハナニ、エリアタ、ギダルテ、ロマムテ・エゼル、ヨシベカシャ、マロテ、ホテル、マハジオテである。

5 כָּל־ אֵלֶּה בָּנִים לְהֵימָן חוֹזֵה הַמֶּלֶךְ בִּדְבְרֵי הָאֱלֹהִים לְהָרִים
すべて これらは 息子たちで ヘマンの 先見者で 王の 言葉に-よる 神の 高める-ために
H3605 H0428 H1968 H2374 H4428 H1697 H0430

וּבָנוֹת שָׁלוֹשׁ׃ עָשָׂר אַרְבָּעָה בָּנִים לְהֵימָן הָאֱלֹהִים וַיִּתֵּן קֶרֶן
そして-娘たちを 三人 人 十四 息子たちを ヘマンに 神は そして-与えた 角を
H1323 H7969 H6240 H0702 H1968 H0430 H5414

これらは皆、神がご自身の約束にしたがって高くされた王の先見者ヘマンの子たちであった。神はヘマンに男の子十四人、女の子三人を与えられた。

6 כָּל־ אֵלֶּה עַל־ יְדֵי אֲבִיהֶם בַּשִּׁיר בֵּית יְהוָה בִּמְצִלְתַּיִם נְבָלִים
すべて これらは (の下に) 手-の 彼らの-父の 歌に-よる 宮の 主の シンバルで 立琴で
H3605 H0428 H3027 H0001 H7892 H1004 H3068 H4700

וְיִדוּתוּן אָסָף ס הַמֶּלֶךְ יְדֵי עַל הָאֱלֹהִים בֵּית לַעֲבֹדַת וְכִנֹּרוֹת
エドトンと アサフと (段落) 王の 手-の (の下に) 神の 宮の 奉仕の-ための そして-琴で
H3038 H0623 H4428 H3027 H0430 H1004 H5656 H3658

וְהֵימָן׃
そして-ヘマン
H1968

これらの者は皆その父の指揮の下にあって、主の宮で歌をうたい、シンバルと立琴と琴をもって神の宮の務をした。アサフ、エドトンおよびヘマンは王の命の下にあった。

7 וַיְהִי מִסְפָּרָם עִם־ אֲחֵיהֶם מְלֻמְּדֵי־ שִׁיר לַיהוָה
そして-なった 彼らの-数は (と共に) 彼らの-兄弟たちの 訓練された-者たちで 歌の 主の
H1961 H4557 H7892 H3925 H7892 H3068

כָּל־ הַמֵּבִין מָאתַיִם שְׁמוֹנִים וּשְׁמוֹנָה׃
すべての 習熟した-者は 二百 八十 八
H3605 H0995 H3967 H8084 H8083

彼らおよび主に歌をうたうことのために訓練され、すべて熟練した兄弟たちの数は二百八十八人であった。

8 וַיַּפִּילוּ גּוֹרָלוֹת מִשְׁמֶרֶת לְעֻמַּת כַּקָּטֹן כַּגָּדוֹל מֵבִין עִם־
そして-投げた くじを 務めの 対応して 小さい-者も 大きい-者も 習熟した-者も (と共に)
H5307 H1486 H4931 H5980 H6996 H1419 H0995 H7892

פ תַּלְמִיד׃
(段落) 弟子も
H8527

彼らは小なる者も、大なる者も、教師も生徒も皆ひとしくその務のためにくじを引いた。

9 וַיֵּצֵא הַגּוֹרָל הָרִאשׁוֹן לְאָסָף לְיוֹסֵף גְּדַלְיָהוּ הַשֵּׁנִי הוּא־
そして-出た くじは 第一の アサフの ヨセフに ゲダルヤフに 第二 彼と
H3318 H1486 H7223 H0623 H3130 H1436 H8145 H1931

וְאֶחָיו וּבָנָיו שְׁנֵים עָשָׂר׃
そして-彼の-兄弟たちと そして-彼の-息子たちは 十二 人
H0251 H1121 H8147 H6240

第一のくじはアサフのためにヨセフに当り、第二はゲダリヤに当った。彼とその兄弟たちおよびその子たち、合わせて十二人。

10 הַשְּׁלִשִׁי זַכּוּר בָּנָיו וּבְנֵי שְׁנֵים עָשָׂר׃
第三 ザックル 彼の-息子たちと そして-彼の-兄弟たちは 十二 人
H7992 H2139 H1121 H0251 H8147 H6240

第三はザックルに当った。その子たちおよびその兄弟たち、合わせて十二人。

11 הָרְבִיעִי לְיִצְרִי בָּנָיו וְאֶחָיו שְׁנֵים עָשָׂר׃
第四 イツリに 彼の-息子たちと そして-彼の-兄弟たちは 十二 人
H7243 H3339 H1121 H0251 H8147 H6240

第四はイヅリに当った。その子たちおよびその兄弟たち、合わせて十二人。

12 הַחֲמִישִׁי נְתַנְיָהוּ בָּנָיו וְאֶחָיו שְׁנֵים עָשָׂר׃
第五 ネタニヤフ 彼の-息子たちと そして-彼の-兄弟たちは 十二 人
H2549 H5418 H1121 H0251 H8147 H6240

第五はネタニヤに当った。その子たちおよびその兄弟たち、合わせて十二人。

13	הַשִּׁשִּׁי	בִּקְיָהוּ	בָּנָיו	וְאֶחָיו	שְׁנֵים	עָשָׂר׃
	第六	ブッキヤフ	彼の–息子たちと	そして–彼の–兄弟たちは	十二	人
	H8345	H1232		H0251	H8147	H6240

第六はブッキヤに当った。その子たちおよびその兄弟たち、合わせて十二人。

14	הַשִּׁבְעִי	יְשַׁרְאֵלָה	בָּנָיו	וְאֶחָיו	שְׁנֵים	עָשָׂר׃
	第七	エサレラ	彼の–息子たちと	そして–彼の–兄弟たちは	十二	人
	H7637	H3480		H0251	H8147	H6240

第七はアサレラに当った。その子たちおよびその兄弟たち、合わせて十二人。

15	הַשְּׁמִינִי	יְשַׁעְיָהוּ	בָּנָיו	וְאֶחָיו	שְׁנֵים	עָשָׂר׃
	第八	イザヤフ	彼の–息子たちと	そして–彼の–兄弟たちは	十二	人
	H8066			H0251	H8147	H6240

第八はエサヤに当った。その子たちおよびその兄弟たち、合わせて十二人。

16	הַתְּשִׁיעִי	מַתַּנְיָהוּ	בָּנָיו	וְאֶחָיו	שְׁנֵים	עָשָׂר׃
	第九	マタニヤフ	彼の–息子たちと	そして–彼の–兄弟たちは	十二	人
	H8671	H4983		H0251	H8147	H6240

第九はマッタニヤに当った。その子たちおよびその兄弟たち、合わせて十二人。

17	הָעֲשִׂירִי	שִׁמְעִי	בָּנָיו	וְאֶחָיו	שְׁנֵים	עָשָׂר׃
	第十	シムイ	彼の–息子たちと	そして–彼の–兄弟たちは	十二	人
	H6224	H8096		H0251	H8147	H6240

第十はシメイに当った。その子たちおよびその兄弟たち、合わせて十二人。

18	עַשְׁתֵּי־	עָשָׂר	עֲזַרְאֵל	בָּנָיו	וְאֶחָיו	שְׁנֵים	עָשָׂר׃
	十一	番目	アザレル	彼の–息子たちと	そして–彼の–兄弟たちは	十二	人
	H6249	H6240	H5832		H0251	H8147	H6240

第十一はアザリエルに当った。その子たちおよびその兄弟たち、合わせて十二人。

19	הַשְּׁנֵים	עָשָׂר	לְחַשַּׁבְיָה	בָּנָיו	וְאֶחָיו	שְׁנֵים	עָשָׂר׃
	十二	番目	ハシャビヤに	彼の–息子たちと	そして–彼の–兄弟たちは	十二	人
	H8147	H6240	H2811		H0251	H8147	H6240

第十二はハシャビヤに当った。その子たちおよびその兄弟たち、合わせて十二人。

20	לִשְׁלֹשָׁה	עָשָׂר	שׁוּבָאֵל	בָּנָיו	וְאֶחָיו	שְׁנֵים	עָשָׂר׃
	十三	番目	シュバエル	彼の–息子たちと	そして–彼の–兄弟たちは	十二	人
	H7969	H6240	H7619		H0251	H8147	H6240

第十三はシュバエルに当った。その子たちおよびその兄弟たち、合わせて十二人。

21	לְאַרְבָּעָה	עָשָׂר	מַתִּתְיָהוּ	בָּנָיו	וְאֶחָיו	שְׁנֵים	עָשָׂר׃
	十四	番目	マテテヤフ	彼の–息子たちと	そして–彼の–兄弟たちは	十二	人
	H0702	H6240	H4993		H0251	H8147	H6240

第十四はマッタテヤに当った。その子たちおよびその兄弟たち、合わせて十二人。

22	לַחֲמִשָּׁה	עָשָׂר	לְיֵרְמוֹת	בָּנָיו	וְאֶחָיו	שְׁנֵים	עָשָׂר׃
	十五	番目	エレモテに	彼の–息子たちと	そして–彼の–兄弟たちは	十二	人
	H2568	H6240	H3406		H0251	H8147	H6240

第十五はエレモテに当った。その子たちおよびその兄弟たち、合わせて十二人。

לִשְׁשָׁה	עָשָׂר	לַחֲנַנְיָהוּ	בָּנָיו	וְאֶחָיו	שְׁנֵים	עָשָׂר׃	23
十六	番目	ハナニヤフに	彼の-息子たちと	そして-彼の-兄弟たちは	十二	人	
H8337	H6240			H0251	H8147	H6240	

第十六はハナニヤに当った。その子たちおよびその兄弟たち、合わせて十二人。

לִשְׁבְעָה	עָשָׂר	לִישְׁבְּקָשָׁה	בָּנָיו	וְאֶחָיו	שְׁנֵים	עָשָׂר׃	24
十七	番目	ヨシュベカシャに	彼の-息子たちと	そして-彼の-兄弟たちは	十二	人	
H7651	H6240	H3436		H0251	H8147	H6240	

第十七はヨシベカシャに当った。その子たちおよびその兄弟たち、合わせて十二人。

לִשְׁמוֹנָה	עָשָׂר	לַחֲנָנִי	בָּנָיו	וְאֶחָיו	שְׁנֵים	עָשָׂר׃	25
十八	番目	ハナニに	彼の-息子たちと	そして-彼の-兄弟たちは	十二	人	
H8083	H6240	H2607		H0251	H8147	H6240	

第十八はハナニに当った。その子たちおよびその兄弟たち、合わせて十二人。

לְתִשְׁעָה	עָשָׂר	לְמַלּוֹתִי	בָּנָיו	וְאֶחָיו	שְׁנֵים	עָשָׂר׃	26
十九	番目	マロティに	彼の-息子たちと	そして-彼の-兄弟たちは	十二	人	
H8672	H6240	H4413		H0251	H8147	H6240	

第十九はマロテに当った。その子たちおよびその兄弟たち、合わせて十二人。

לְעֶשְׂרִים	לֶאֱלִיָּתָה	בָּנָיו	וְאֶחָיו	שְׁנֵים	עָשָׂר׃	27
二十番目	エリアタに	彼の-息子たちと	そして-彼の-兄弟たちは	十二	人	
H6242	H0448		H0251	H8147	H6240	

第二十はエリアタに当った。その子たちおよびその兄弟たち、合わせて十二人。

לְאֶחָד	וְעֶשְׂרִים	לְהוֹתִיר	בָּנָיו	וְאֶחָיו	שְׁנֵים	עָשָׂר׃	28
二十一	番目	ホティルに	彼の-息子たちと	そして-彼の-兄弟たちは	十二	人	
H0259	H6242	H1956		H0251	H8147	H6240	

第二十一はホテルに当った。その子たちおよびその兄弟たち、合わせて十二人。

לִשְׁנֵים	וְעֶשְׂרִים	לְגִדַּלְתִּי	בָּנָיו	וְאֶחָיו	שְׁנֵים	עָשָׂר׃	29
二十二	番目	ギダルティに	彼の-息子たちと	そして-彼の-兄弟たちは	十二	人	
H8147	H6242	H1437		H0251	H8147	H6240	

第二十二はギダルテに当った。その子たちおよびその兄弟たち、合わせて十二人。

לִשְׁלֹשָׁה	וְעֶשְׂרִים	לְמַחֲזִיאוֹת	בָּנָיו	וְאֶחָיו	שְׁנֵים	עָשָׂר׃	30
二十三	番目	マハジオトに	彼の-息子たちと	そして-彼の-兄弟たちは	十二	人	
H7969	H6242	H4238		H0251	H8147	H6240	

第二十三はマハジオテに当った。その子たちおよびその兄弟たち、合わせて十二人。

לְאַרְבָּעָה	וְעֶשְׂרִים	עֶזְרֵלְרוֹמַמְתִּי	בָּנָיו	וְאֶחָיו	שְׁנֵים	עָשָׂר׃	31
二十四	番目	ロマムティ-エゼルに	彼の-息子たちと	そして-彼の-兄弟たちは	十二	人	
H0702	H6242	H7320		H0251	H8147	H6240	

פ
(段落)

第二十四はロマムテ・エゼルに当った。その子たちおよびその兄弟たち、合わせて十二人であった。

Chapter 26

1 לְמַחְלְקוֹת לְשֹׁעֲרִים לַקָּרְחִים מְשֶׁלֶמְיָהוּ בֶּן־ קֹרֵא מִן־ בְּנֵי אָסָף׃
組に 門衛たちの コラ人には メシェレミヤフ 息子-で コレの (からの) 子らの アサフの
H4256 H7778 H7145 H4920 H6981 H7778 H0623

門を守る者の組は次のとおりである。すなわちコラびとのうちでは、アサフの子孫のうちのコレの子メシレミヤ。

2 וְלִמְשֶׁלֶמְיָהוּ בָּנִים הַבְּכוֹר זְכַרְיָהוּ הַשֵּׁנִי יְדִיעֲאֵל זְבַדְיָהוּ
そして-メシェレミヤフには 息子たちがいた 長子 ゼカリヤフ 第二 エディアエル ゼバデヤフ
H4920 H1060 H2069 H8145 H3043

הַשְּׁלִישִׁי יַתְנִיאֵל הָרְבִיעִי׃
第三 ヤトニエル 第四
H7992 H3496 H7243

メシレミヤの子たちは、長子はゼカリヤ、次はエデアエル、第三はゼバデヤ、第四はヤテニエル、

3 עֵילָם הַחֲמִישִׁי יְהוֹחָנָן הַשִּׁשִּׁי אֶלְיְהוֹעֵינַי הַשְּׁבִיעִי׃
エラム 第五 エホハナン 第六 エルヨエナイ 第七
H2549 H3076 H8345 H7637

第五はエラム、第六はヨハナン、第七はエリヨエナイである。

4 עֹבֵד־אֱדֹם וְלוֹ בָּנִים הַבְּכוֹר שְׁמַעְיָה הַשֵּׁנִי יְהוֹזָבָד הַשְּׁלִישִׁי יוֹאָח
そして-オベド・エドムには 息子たちがいた 長子 シェマヤ 第二 エホザバド 第三 ヨアハ
H5654 H8098 H1060 H3075 H8145 H7992

הַחֲמִישִׁי נְתַנְאֵל הָרְבִיעִי עַמִּיאֵל הַשִּׁשִּׁי׃
第五 そして-ネタネル 第四 そして-サカル
H2549 H5417 H7243 H7940

オベデ・エドムの子たちは、長子はシマヤ、次はヨザバデ、第三はヨア、第四はサカル、第五はネタネル、

5 פ עַמִּיאֵל הַשִּׁשִּׁי יִשָּׂשכָר הַשְּׁבִיעִי פְּעֻלְתַּי הַשְּׁמִינִי כִּי בֵּרְכוֹ אֱלֹהִים׃
(段落) アミエル 第六 イッサカル 第七 ペウルタイ 第八 なぜなら 祝福した 神が
H5988 H8345 H3485 H7637 H6469 H8066 H1288 H0430

第六はアンミエル、第七はイッサカル、第八はピウレタイである。神が彼を祝福されたからである。

6 וְלִשְׁמַעְיָה בְּנוֹ נוֹלַד בָּנִים הַמֹּשְׁלִים לְבֵית אֲבִיהֶם
そして-シェマヤに 彼の-息子の 生まれた 息子たちが 支配する-者たちで 父祖の-家の 彼らの
H8098 H1121 H3205 H1121 H4474 H1004 H0001

כִּי־ גִבּוֹרֵי חַיִל הֵמָּה׃
なぜなら 勇士-たちで 力の 彼らは
H1368 H2428 H1992

彼の子シマヤにも数人の子が生れ、有能な人々であったので、その父の家を治める者となった。

7 בְּנֵי שְׁמַעְיָה עָתְנִי וּרְפָאֵל וְעוֹבֵד אֶלְזָבָד אֶחָיו
子らは シェマヤの オトニ そして-レファエル そして-オベド エルザバド 彼の-兄弟たちは
H1121 H8098 H6273 H7501 H5744 H0443 H0251

בְּנֵי־ חַיִל אֱלִיהוּ וְסַמַכְיָהוּ׃
息子たち-で 力の エリフ そして-セマクヤフ
H1121 H2428 H0453 H5565

すなわちシマヤの子たちはオテニ、レパエル、オベデ、エルザバデで、エルザバデの兄弟エリウとセマキヤは力ある人々であった。

8

וּבְנֵיהֶם	הֵמָּה	עֹבֵד־אֱדֹם	וּמִבְנֵי	אֵלֶּה	כָּל־
そして–彼らの–息子たちと	彼らと	オベド・エドムの	子らの–中の	これらは	すべて
	H1992	H5654		H0428	H3605

וּשְׁנַיִם	שִׁשִּׁים	לַעֲבֹדָה	בַכֹּחַ	חַיִל	אִישׁ־	וַאֲחֵיהֶם
二	六十	奉仕の–ための	能力の–ある	力の	人々–で	そして–彼らの–兄弟たちは
H8147	H8346	H5656		H2428	H0376	H0251

אֱדֹם׃לְעֹבֵד
オベド・エドムの
H5654

これらは皆オベデ・エドムの子孫である。彼らはその子たちおよびその兄弟たちと共にその勤めに適した力ある人々で、合わせて六十二人、みなオベデ・エドムに属する者である。

9

ס	עָשָׂר׃	שְׁמוֹנָה	חַיִל	בְּנֵי־	וְאַחִים	בָּנִים	וְלִמְשֶׁלֶמְיָהוּ
(段落)	人	十八	力の	息子たち–で	そして–兄弟たち	息子たちと	そして–メシェレミヤフには
	H6240	H8083	H2428		H0251		H4920

メシレミヤにも子たちと兄弟たち合わせて十八人あって、皆力ある人々であった。

10

לֹא־	כִּי	הָרִאשׁ	שִׁמְרִי	בָּנִים	מְרָרִי	בְּנֵי־	מִן־	וּלְחֹסָה
ない	なぜなら	かしら	シムリ	息子たちがいた	メラリの	子ら–の	(からの)	そして–ホサには
H3808			H8113		H4847			H2621

לְרֹאשׁ׃	אֲבִיהוּ	וַיְשִׂימֵהוּ	בְּכוֹר	הָיָה
かしらとして	彼の–父が	そして–置いた	長子では	いた
	H0001		H1060	H1961

メラリの子孫ホサにも子たちがあった。そのかしらはシムリ、これは長子ではなかったが、父はこれをかしらにしたのであった。

11

בָּנִים	כָּל־	הָרְבִעִי	זְכַרְיָהוּ	הַשְּׁלִשִׁי	טְבַלְיָהוּ	הַשֵּׁנִי	חִלְקִיָּהוּ
息子たちと	すべての	第四	ゼカリヤフ	第三	テバルヤフ	第二	ヒルキヤフ
	H3605	H7243		H7992	H2882	H8145	H2518

עָשָׂר׃	שְׁלֹשָׁה	לְחֹסָה	וְאַחִים
人	十三	ホサの	そして–兄弟たちは
H6240	H7969	H2621	H0251

次はヒルキヤ、第三はテバリヤ、第四はゼカリヤである。ホサの子たちと兄弟たちは合わせて十三人である。

12

לְעֻמַּת	מִשְׁמָרוֹת	הַגְּבָרִים	לְרָאשֵׁי	הַשְּׁעָרִים	מַחְלְקוֹת	לְאֵלֶּה
対応して	務めがあり	男たちの	かしら–たちの	門衛たちの	組があった	これらに
H5980	H4931	H1397		H7778	H4256	H0428

יְהוָה׃	בְּבֵית	לְשָׁרֵת	אֲחֵיהֶם
主の	宮の	仕える–ために	彼らの–兄弟たちと
H3068		H8334	H0251

これらは門を守る者の組の長たる人々であって、その兄弟たちと同様に務をなして、主の宮に仕えた。

13

וָשָׁעַר׃	לְשָׁעַר	אֲבוֹתָם	לְבֵית	כַּגָּדוֹל	כַּקָּטָן	גּוֹרָלוֹת	וַיַּפִּילוּ
各–門の	門の–ために	彼らの	父祖の–家の	大きい–者も	小さい–者も	くじを	そして–投げた
H8179	H8179	H0001				H1486	H5307

פ
(段落)

彼らはそれぞれ門のために小なる者も、大なる者も等しく、その氏族にしたがってくじを引いた。

14 וַיִּפֹּל הַגּוֹרָל מִזְרָחָה לִשֶּׁלֶמְיָהוּ וְזִכְרְיָהוּ בְנוֹ יוֹעֵץ
そして-落ちた くじは 東に シェレミヤフに そして-ゼカリヤフは 彼の-息子の 助言者で
H5307 H1486 H4217 H8018 H0 H1121 H3289

סׂ הַפִּילוּ גוֹרָלוֹת לִבְשֶׂכֶל וַיֵּצֵא גוֹרָלוֹ צָפוֹנָה׃
(段落) 投げた くじを 思慮深い そして-出た 彼の-くじは 北に
H5307 H1486 H7922 H3318 H1486 H6828

東の門のくじはシレミヤに当った。また彼の子で思慮深い議士ゼカリヤのためにくじを引いたが、北の門のくじがこれに当った。

15 אֶדֹם לְעֹבֵד נֶגְבָּה וּלְבָנָיו בֵּית הָאֲסֻפִּים׃
オベド・エドムには 南 そして-彼の-息子たちには 倉庫の 集会所
H5654 H5045 H0 H1004 H0 H0624

オベデ・エドムには南の門のくじ、その子たちには倉のくじ、

16 לְשֻׁפִּים וְלַחוֹסָה לַמַּעֲרָב עִם שַׁעַר שַׁלֶּכֶת בְּמִסְלָה הָעוֹלֶה מִשְׁמָר
シュピムと そして-ホサには 西に (と共に) 門の シャレケトの 大通りの 上りの 務めが
H8206 H0 H2621 H4628 H5973 H8179 H7996 H4546 H5927 H4929

לְעֻמַּת מִשְׁמָר׃
対応して 務めと
H5980 H4929

シュパムとホサには西の門のくじが当った。これは坂の大路にあるシャレケテの門のかたわらにあった。守る者と守る者とが相対していた。

17 לַמִּזְרָחָה הַלְוִיִּם שִׁשָּׁה לַיּוֹם לַצָּפוֹנָה אַרְבָּעָה לַיּוֹם לַנֶּגְבָּה אַרְבָּעָה לַיּוֹם
東には レビ人が 六人 北には 日ごとに 四人 南には 日ごとに 四人
H4217 H3881 H8337 H6828 H3117 H0 H0702 H5045 H3117 H0 H0702

וְלָאֲסֻפִּים שְׁנַיִם שְׁנַיִם׃
そして-倉庫には 二人 ずつ
H0624 H8147 H8147

東の方には毎日六人、北の方には毎日四人、南の方には毎日四人、倉には二人と二人、

18 לַפַּרְבָּר לַמַּעֲרָב אַרְבָּעָה לַמִּסְלָה שְׁנַיִם לַפַּרְבָּר׃
パルバルには 西に 四人 大通りに 二人 パルバルには
H6503 H4628 H0 H0702 H4546 H8147 H6503

西の方パルバルには大路に四人、パルバルに二人。

19 אֵלֶּה מַחְלְקוֹת הַשֹּׁעֲרִים לִבְנֵי הַקָּרְחִי וְלִבְנֵי מְרָרִי׃
これらは 組で 門衛たちの 子らの コラ人の そして-子らの メラリの
H0428 H4256 H7778 H1121 H7145 H0 H1121 H4847

門を守る者の組は以上のとおりで、コラの子孫とメラリの子孫であった。

20 וַהֲלוִיִּם אֲחִיָּה עַל־ אוֹצְרוֹת בֵּית הָאֱלֹהִים וְלֹאֲצְרוֹת
そして-レビ人たちの-うち アヒヤは (の上に) 宝物庫の 宮の 神の そして-宝物庫の
H0 H3881 H0281 H5921 H0214 H1004 H0430 H0 H0214

הַקֳּדָשִׁים׃
聖なる-ものの
H6944

レビびとのうちアヒヤは神の宮の倉および聖なる物の倉をつかさどった。

21 בְּנֵי לַעְדָּן לְלַעְדָּן הַגֵּרְשֻׁנִּי בְּנֵי לַעְדָּן רָאשֵׁי הָאָבוֹת לְלַעְדָּן הַגֵּרְשֻׁנִּי יְחִיאֵלִי׃
子らは ラアダンの 子らで ゲルション人の ラアダンの かしら-たちで 父祖の-家の ラアダンの ゲルション人の エヒエリ人
H3936 H1649 H3936 H0001 H3936 H1649 H3172

ラダンの子孫すなわちラダンから出たゲルションびとの子孫で、ゲルションびとの氏族の長はエヒエリである。

22 בְּנֵי יְחִיאֵלִי זֵתָם וְיוֹאֵל אֲחִיו עַל־ אֹצְרוֹת בֵּית יְהוָה׃
子らは エヒエリの ゼタムと そして-ヨエル 彼の-兄弟は (の上に) 宝物庫の 宮の 主の
H3172 H2241 H3100 H0251 H0214 H1004 H3068

エヒエリ、ゼタムおよびその兄弟ヨエルの子たちは主の宮の倉をつかさどった。

23 לַעַמְרָמִי לַיִּצְהָרִי לַחֶבְרוֹנִי לָעֻזִּיאֵלִי׃
アムラム人 イツハル人 ヘブロン人 ウジエル人には
H6020 H3325 H2276 H5817

アムラムびと、イヅハルびと、ヘブロンびと、ウジエルびとのうちでは次のとおりであった。

24 וּשְׁבוּאֵל בֶּן־ גֵּרְשׁוֹם בֶּן־ מֹשֶׁה נָגִיד עַל־ הָאֹצָרוֹת׃
そして-シェブエルは 息子-で ゲルショムの 息子-で モーセの 長官で (の上に) 宝物庫の
H7619 H1647 H4872 H5057 H0214

すなわちモーセの子ゲルショムの子シブエルは倉のつかさであった。

25 וְאֶחָיו לֶאֱלִיעֶזֶר רְחַבְיָהוּ בְנוֹ וְיִשַׁעְיָהוּ בְנוֹ וְיוֹרָם יְהוּצַדָק בְּנוֹ׃ (וּשְׁלֹמִית) [ושלמות] בְּנוֹ וְזִכְרִי בְנוֹ שְׁלֹמִית בְּנוֹ׃
そして-彼の-兄弟たちは エリエゼルの レハブヤフ 彼の-息子 そして-イザヤフ 彼の-息子 そして-ヨラム ユツダク 彼の-息子 そして-ジクリ [シェロモテ] 彼の-息子 (シェロミテ) 彼の-息子
H0251 H0461 H7345 H1004 H3141 H3145 H1004 H2147 [H8013] H1004 (H8013) H1004

その兄弟でエリエゼルから出た者は、その子はレハビヤ、その子はエサヤ、その子はヨラム、その子はジクリ、その子はシロミテである。

26 הַקֳּדָשִׁים אֹצְרוֹת כָּל־ עַל וְאֶחָיו שְׁלֹמוֹת הוּא
聖なる-ものの 宝物庫の すべての (の上に) そして-彼の-兄弟たちが シェロモテと 彼こそ
H6944 H0214 H3605 H0251 H8013 H1931

הָאֲלָפִים לְשָׂרֵי־ הָאָבוֹת וְרָאשֵׁי הַמֶּלֶךְ דָּוִיד הִקְדִּישׁ אֲשֶׁר
千人の 千人の-長たちと 父祖の-家の そして-かしらたちの 王と ダビデ 聖別した (それを)
H0505 H8269 H0001 H4428 H1732 H6942

הַצָּבָא׃ וְשָׂרֵי וְהַמֵּאוֹת
軍の そして-長たちが そして-百人の-長たちと
H8269 H3967

このシロミテとその兄弟たちはすべての聖なる物の倉をつかさどった。これはダビデ王と、氏族の長と、千人の長と、百人の長と、軍の長たちのささげたものである。

27 יְהוָה׃ לְבֵית לְחַזֵּק הִקְדִּישׁוּ הַשָּׁלָל וּמִן־ הַמִּלְחָמוֹת מִן־
主の 宮を 強める-ために 聖別した 戦利品から そして(からの) 戦いの (からの)
H3068 H2388 H6942 H7998 H4421

すなわち彼らが戦いで獲たぶんどり物のうちから主の宮の修繕のためにささげたものである。

28 וְכֹל הַהִקְדִּישׁ שְׁמוּאֵל הָרֹאֶה וְשָׁאוּל בֶּן־קִישׁ
そして–すべて 聖別した–ものを サムエル 先見者と そして–サウル キシュの
H3605 H6942 H8050 H7200 H7586 H7027

וְאַבְנֵר בֶּן־נֵר וְיוֹאָב בֶּן־צְרוּיָה כָּל הַמַּקְדִּישׁ
そして–アブネル 息子–で ネルの そして–ヨアブ 息子–で ツェルヤの すべて 聖別した–者は
H0074 H5369 H3097 H6870 H3605 H6942

עַל יַד־שְׁלֹמִית וְאֶחָיו׃ פ
(の上に) 手–の シェロミテの そして–彼の–兄弟たちの (段落)
H3027 H0251

またすべて先見者サムエル、キシの子サウル、ネルの子アブネル、ゼルヤの子ヨアブなどがささげた物。すべてこれらのささげ物はシロミテとその兄弟たちが管理した。

29 לְיִצְהָרִי כְּנַנְיָהוּ וּבָנָיו לַמְּלָאכָה הַחִיצוֹנָה עַל־
イツハル人には ケナニヤフと そして–彼の–息子たちが 外の–仕事の (の上に)
H3325 H3663 H1121 H4399 H2435

יִשְׂרָאֵל לְשֹׁטְרִים וּלְשֹׁפְטִים׃
イスラエルの 役人たちとして そして–裁き人たちとして
H3478 H7860 H8199

イヅハルびとのうちでは、ケナニヤとその子たちが、つかさおよびさばきびととしてイスラエルの外事のために選ばれた。

30 לַחֶבְרוֹנִי חֲשַׁבְיָהוּ וְאֶחָיו בְּנֵי־חַיִל אֶלֶף וּשְׁבַע־
ヘブロン人には ハシャビヤフと そして–彼の–兄弟たち 力の 息子たち–で 千 そして–七
H2276 H2811 H0251 H2428 H0505 H7651

מֵאוֹת פְּקֻדַּת יִשְׂרָאֵל עַל מֵעֵבֶר לַיַּרְדֵּן מַעֲרָבָה לְכָל מְלֶאכֶת
百人が 管理の イスラエルの (の上に) (から) ヨルダンの–向こうの 西に すべての 仕事の
H3967 H6486 H3478 H5921 H5676 H3383 H4628 H3605 H4399

יְהוָה וְלַעֲבֹדַת הַמֶּלֶךְ׃
主の そして–奉仕の–ための 王の
H3068 H5656 H4428

ヘブロンびとのうちでは、ハシャビヤおよびその兄弟など勇士千七百人があって、ヨルダンのこなた、すなわち西の方でイスラエルの監督となり、主のすべての事を行い、王に奉仕した。

31 לַחֶבְרוֹנִי יְרִיָּה רֹאשׁ הַחֶבְרוֹנִי לְתֹלְדֹתָיו לְאָבוֹת בִּשְׁנַת
ヘブロン人の–うち ヘブロン人の エリヤは かしら ヘブロン人の 彼らの–系図に–よって 父祖の 年に
H2276 H3404 H7218 H2276 H8435 H1 H8141

הָאַרְבָּעִים לְמַלְכוּת דָּוִיד נִדְרָשׁוּ בָהֶם וַיִּמָּצֵא חַיִל גִּבּוֹרֵי
四十の 王国の ダビデの 探された 彼らの–中に そして–見いだされた 力の 勇士–たちが
H0705 H4438 H1732 H1875 H4672 H2428 H1368

בִיעֶזֶר גִּלְעָד׃
ヤゼルの ギレアデに
H3270 H1568

ヘブロンびとのうちでは、系図と氏族によってエリヤがヘブロンびとの長であったが、ダビデの治世の第四十年に彼らを尋ね求め、ギレアデのヤゼルで彼らのうちから大勇士を得た。

32

רָאשֵׁי	מֵאוֹת	וּשְׁבַע	אַלְפִים	חַיִל	בְּנֵי־	וְאֶחָיו	
かしら-たちで	百人の	そして-七	二千	力の	息子たち-で	そして-彼の-兄弟たちは	
	H3967	H7651	H0505	H2428		H0251	

וְהַגָּדִי	הָרְאוּבֵנִי	עַל־	הַמֶּלֶךְ	דָּוִיד	וַיַּפְקִידֵם	הָאָבוֹת	
そして-ガド人と	ルベン人と	(の上に)	王は	ダビデ	そして-任命した	父祖の-家の	
H1425	H7206		H4428	H1732		H0001	

פ	הַמָּלֶךְ׃	וּדְבַר	הָאֱלֹהִים	דְּבַר	לְכָל־	הַמְנַשִּׁי	שֵׁבֶט	וַחֲצִי
(段落)	王の	そして-事柄の	神の	事柄の	すべての	マナセ人の	部族の	そして-半部族の
	H4428	H1697	H0430	H1697	H3605	H4520	H7626	H2677

ダビデ王は彼とその兄弟など氏族の長たち二千七百人の勇士をルベンびと、ガドびと、マナセびとの半部族の監督となし、すべて神につける事と王の事とをつかさどらせた。

Chapter 27

1

הָאָבוֹת	רָאשֵׁי	לְמִסְפָּרָם	וְיִשְׂרָאֵל	וּבְנֵי	
父祖の-家の	かしら-たちと	彼らの-数に-従って	イスラエルの	そして-子らは	
H0001		H4557	H3478		

הַמְשָׁרְתִים	וְשֹׁטְרֵיהֶם	וְהַמֵּאוֹת	וְהָאֲלָפִים	וְשָׂרֵי	
仕える-者たちで	そして-彼らの-役人たちが	そして-百人の-長たちと	千人の	そして-千人の-長たちと	
H8334	H7860	H3967	H0505	H8269	

לְכָל	בְּחֹדֶשׁ	חֹדֶשׁ	וְהַיֹּצֵאת	הַבָּאָה	הַמַּחְלְקוֹת	דְּבַר	וּלְכָל	הַמֶּלֶךְ	אֶת־
すべての	毎の-月に	月	そして-出る	入る	組の	事柄の	すべての	王に	(を)
H3605	H2320	H2320	H3318	H0935	H4256	H1697	H3605	H4428	H0853

ס	אָלֶף׃	וְאַרְבָּעָה	עֶשְׂרִים	הָאַחַת	הַמַּחְלֹקֶת	הַשָּׁנָה	חָדְשֵׁי
(段落)	千	四	二万	一つの	組の	年の	月々の
	H0505	H0702	H6242	H0259	H4256	H8141	H2320

イスラエルの子孫のうちで氏族の長、千人の長、百人の長、およびつかさたちは年のすべての月の間、月ごとに交替して組のすべての事をなして王に仕えたが、その数にしたがえば各組二万四千人あった。

2

זַבְדִיאֵל	בֶּן־	יָשָׁבְעָם	הָרִאשׁוֹן	לַחֹדֶשׁ	הָרִאשׁוֹנָה	הַמַּחְלֶקֶת	עַל
ザブディエルの	息子-で	ヤショブアム	第一の	月の	第一の	組の	(の上に)
H2068		H3434	H7223	H2320	H7223	H4256	

אָלֶף׃	וְאַרְבָּעָה	עֶשְׂרִים	מַחֲלֻקְתּוֹ	וְעַל	
千	四	二万	彼の-組の	そして(の上に)	
H0505	H0702	H6242	H4256		

まず第一の組すなわち正月の分はザブデエルの子ヤショベアムがこれを率いた。その組には二万四千人あった。

3

הָרִאשׁוֹן׃	לַחֹדֶשׁ	הַצְּבָאוֹת	שָׂרֵי	לְכָל־	הָרֹאשׁ	פֶּרֶץ	בְּנֵי־	מִן־
第一の	月の	軍勢の	長たちの	すべての	かしらで	ペレツの	子ら-の	(からの)
H7223	H2320		H8269	H3605		H6557		

彼はペレヅの子孫で、正月の軍団のすべての将たちのかしらであった。

4

וּמִקְלוֹת	וּמַחֲלֻקְתּוֹ	הָאֲחוֹחִי	דּוֹדַי	הַשֵּׁנִי	הַחֹדֶשׁ	וּמַחֲלֶקֶת	וְעַל
そして-ミクロトは	そして-彼の-組と	アホア人で	ドダイ	第二の	月の	組の	そして(の上に)
H4732	H4256	H0266	H1737	H8145	H2320	H4256	

ס	אָלֶף׃	וְאַרְבָּעָה	עֶשְׂרִים	מַחֲלֻקְתּוֹ	וְעַל	הַנָּגִיד
(段落)	千	四	二万	彼の-組の	そして(の上に)	長官で
	H0505	H0702	H6242	H4256		H5057

二月の組はアホアびとドダイがこれを率いた。その組には二万四千人あった。

רֹאשׁ	הַכֹּהֵן	יְהוֹיָדָע	בֶּן־	בְּנָיָהוּ	הַשְּׁלִישִׁי	לַחֹדֶשׁ	הַשְּׁלִישִׁי׀	הַצָּבָא	שָׂר	5
かしら	祭司で	エホヤダの	息子-で	ベナヤフ	第三の	月の	第三の	軍の	長で	
	H3548	H3077		H1141	H7992	H2320	H7992		H8269	

אָלֶף׃	וְאַרְבָּעָה	עֶשְׂרִים	מַחֲלֹקְתּוֹ	וְעַל׀	
千	四	二万	彼の-組の	そして(の上に)	
H0505	H0702	H6242	H4256		

三月の第三の将は祭司エホヤダの子ベナヤが長であって、その組には二万四千人あった。

עַמִּיזָבָד	וּמַחֲלֹקְתּוֹ	הַשְּׁלֹשִׁים	וְעַל־	הַשְּׁלֹשִׁים	גִּבּוֹר	בְּנָיָהוּ	הוּא	6
アミザバドは	そして-彼の-組の	三十人の	そして(の上に)	三十人の	勇士で	ベナヤフで	彼こそ	
H5990	H4256	H7970		H7970	H1368	H1141	H1931	

ס	בְּנוֹ׃
(段落)	彼の-息子

このベナヤはかの三十人のうちの勇士であって三十人を率い、その子アミザバデがその組にあった。

בְּנוֹ	וְזַבְדְיָה	יוֹאָב	אָחִי	אֵל׀	עֲשָׂה־	הָרְבִיעִי	לַחֹדֶשׁ	הָרְבִיעִי	7
彼の-息子で	そして-ゼバデヤは	ヨアブの	兄弟で	エル	アサヘル	第四の	月の	第四の	
	H2069	H3097	H0251	H6214	H6214	H7243	H2320	H7243	

ס	אָלֶף׃	וְאַרְבָּעָה	עֶשְׂרִים	מַחֲלֹקְתּוֹ	וְעַל׀	אַחֲרָיו	
(段落)	千	四	二万	彼の-組の	そして(の上に)	彼の-後に	
	H0505	H0702	H6242	H4256			

四月の第四の将はヨアブの兄弟アサヘルであって、その子ゼバデヤがこれに次いだ。その組には二万四千人あった。

עֶשְׂרִים	מַחֲלֹקְתּוֹ	וְעַל׀	הַיִּזְרָחִ	שַׁמְהוּת	הַשָּׂר	הַחֲמִישִׁי	לַחֹדֶשׁ	הַחֲמִישִׁי׀	8
二万	彼の-組の	そして(の上に)	イズラハ人で	シャムフト	長は	第五の	月の	第五の	
H6242	H4256		H3155	H8049	H8269	H2549	H2320	H2549	

ס	אָלֶף׃	וְאַרְבָּעָה	
(段落)	千	四	
	H0505	H0702	

五月の第五の将はイズラヒびとシャンモテであって、その組には二万四千人あった。

מַחֲלֹקְתּוֹ	וְעַל׀	הַתְּקוֹעִי	עִקֵּשׁ	בֶּן־	עִירָא	הַשִּׁשִּׁי	לַחֹדֶשׁ	הַשִּׁשִּׁי׀	9
彼の-組の	そして(の上に)	テコア人で	イッケシュの	息子-で	イラ	第六の	月の	第六の	
H4256		H8621	H6142		H5896	H8345	H2320	H8345	

ס	אָלֶף׃	וְאַרְבָּעָה	עֶשְׂרִים	
(段落)	千	四	二万	
	H0505	H0702	H6242	

六月の第六の将はテコアびとイッケシの子イラであって、その組には二万四千人あった。

וְעַל׀	אֶפְרָיִם	בְּנֵי	מִן־	הַפְּלוֹנִי	חֶלֶץ	הַשְּׁבִיעִי	לַחֹדֶשׁ	הַשְּׁבִיעִי׀	10
そして(の上に)	エフライムの	子らの	(からの)	ペロニ人で	ヘレツ	第七の	月の	第七の	
	H0669			H6397	H2503	H7637	H2320	H7637	

ס	אָלֶף׃	וְאַרְבָּעָה	עֶשְׂרִים	מַחֲלֹקְתּוֹ	
(段落)	千	四	二万	彼の-組の	
	H0505	H0702	H6242	H4256	

七月の第七の将はエフライムの子孫であるペロンびとヘレヅであって、その組には二万四千人あった。

עֶשְׂרִים	מַחֲלֻקְתּוֹ	וְעַל	לַזַּרְחִי	הַחֻשָׁתִי	סִבְכַי	הַשְּׁמִינִי	לַחֹדֶשׁ	הַשְּׁמִינִי	11
二万	彼の–組の	そして(の上に)	ゼラヒ人で	フシャ人で	シベカイ	第八の	月の	第八の	
H6242	H4256		H2227	H2843	H5444	H8066	H2320	H8066	

ס	:אֶלֶף	וְאַרְבָּעָה	
(段落)	千	四	
	H0505	H0702	

八月の第八の将はゼラびとの子孫であるホシャびとシベカイであって、その組には二万四千人あった。

(יְמִינִי)	(לַבֶּן)ו	[לבנימיני]	הָעַנְּתֹתִי	אֲבִיעֶזֶר	הַתְּשִׁיעִי	לַחֹדֶשׁ	הַתְּשִׁיעִי		12
(ヤミン人で)	(ベン)	[ベニヤミン人]	アナトテ人で	アビエゼル	第九の	月の	第九の		
H1145	H1121	H1145	H6069	H0044	H8671	H2320	H8671		

ס	:אֶלֶף	וְאַרְבָּעָה	עֶשְׂרִים	מַחֲלֻקְתּוֹ	וְעַל	
(段落)	千	四	二万	彼の–組の	そして(の上に)	
	H0505	H0702	H6242	H4256		

九月の第九の将はベニヤミンの子孫であるアナトテびとアビエゼルであって、その組には二万四千人あった。

עֶשְׂרִים	מַחֲלֻקְתּוֹ	וְעַל	לַזַּרְחִי	הַנְּטוֹפָתִי	מַהְרַי	הָעֲשִׂירִי	לַחֹדֶשׁ	הָעֲשִׂירִי	13
二万	彼の–組の	そして(の上に)	ゼラヒ人で	ネトファ人で	マハライ	第十の	月の	第十の	
H6242	H4256		H2227	H5200	H4121	H6224	H2320	H6224	

ס	:אֶלֶף	וְאַרְבָּעָה	
(段落)	千	四	
	H0505	H0702	

十月の第十の将はゼラびとの子孫であるネトパびとマハライであって、その組には二万四千人あった。

אֶפְרָיִם	בְּנֵי	מִן־	הַפִּרְעָתוֹנִי	בְּנָיָה	הַחֹדֶשׁ	עָשָׂר	לְעַשְׂתֵּי־	עָשָׂר	עַשְׂתֵּי־	14
エフライムの	子らの	(からの)	ピルアトン人で	ベナヤ	月の	番目の	十一	番目の	十一	
H0669			H6553	H1141	H2320	H6240	H6249	H6240	H6249	

ס	:אֶלֶף	וְאַרְבָּעָה	עֶשְׂרִים	מַחֲלֻקְתּוֹ	וְעַל	
(段落)	千	四	二万	彼の–組の	そして(の上に)	
	H0505	H0702	H6242	H4256		

十一月の第十一の将はエフライムの子孫であるピラトンびとベナヤであって、その組には二万四千人あった。

וְעַל	לְעָתְנִיאֵל	הַנְּטוֹפָתִי	חֶלְדַי	הַחֹדֶשׁ	עָשָׂר	לִשְׁנֵים	עָשָׂר	הַשְּׁנֵים	15
そして(の上に)	オトニエルの	ネトファ人で	ヘルダイ	月の	番目の	十二	番目の	十二	
	H6274	H5200	H2469	H2320	H6240	H8147	H6240	H8147	

פ	:אֶלֶף	וְאַרְבָּעָה	עֶשְׂרִים	מַחֲלֻקְתּוֹ	
(段落)	千	四	二万	彼の–組の	
	H0505	H0702	H6242	H4256	

十二月の第十二の将はオテニエルの子孫であるネトパびとヘルダイであって、その組には二万四千人あった。

ס	זִכְרִי	בֶּן־	אֶלִיעֶזֶר	נָגִיד	לְרֹאובֵנִי	יִשְׂרָאֵל	שִׁבְטֵי	וְעַל	16
(段落)	ジクリの	息子–で	エリエゼル	長官は	ルベン人には	イスラエルの	部族の	そして(の上に)	
	H2147		H0461	H5057	H7206	H3478	H7626		

ס	:מַעֲכָה	בֶּן־	שְׁפַטְיָהוּ	לַשִּׁמְעוֹנִי
(段落)	マアカの	息子–で	シェパテヤフ	シメオン人には
	H4601		H8203	H8099

なおイスラエルの部族を治める者たちは次のとおりである。ルベンびとのつかさはヂクリの子エリエゼル。シメオンびとのつかさはマアカの子シパテヤ。

	ס	:צָדֽוֹק	לְאַהֲרֹ֔ן	קְמוּאֵ֖ל	בֶּן־	חֲשַׁבְיָ֑ה	לְלֵוִ֣י	17
	(段落)	ツァドク	アロンには	ケムエルの	息子-で	ハシャビヤ	レビには	
		H6659	H0175	H7055		H2811	H3881	

レビびとのつかさはケムエルの子ハシャビヤ。アロンびとのつかさはザドク。

ס	:מִיכָאֵ֔ל	בֶּן־	עָמְרִ֖י	לְיִשְׁשכָֽר	דָּוִ֣יד	מֵאֲחֵ֑י	אֱלִיה֣וּ	לִֽיהוּדָ֔ה	18
(段落)	ミカエルの	息子-で	オムリ	イッサカルには	ダビデの	兄弟-の中の	エリフ	ユダには	
	H4317		H6018	H3485	H1732	H0251	H0453	H3063	

ユダのつかさはダビデの兄弟のひとりエリウ。イッサカルのつかさはミカエルの子オムリ。

:עַזְרִיאֵ֔ל	בֶּן־	יְרִימ֖וֹת	לְנַפְתָּלִ֑י	עֹבַדְיָ֥הוּ	בֶּן־	יִשְׁמַעְיָ֖הוּ	לִזְבוּלֵֽן	19
アズリエルの	息子-で	エリモテ	ナフタリには	オバデヤの	息子-で	イシュマヤフ	ゼブルンには	
H5837		H3406	H5321	H5662		H3460	H2074	

ס	
(段落)	

ゼブルンのつかさはオバデヤの子イシマヤ。ナフタリのつかさはアズリエルの子エレモテ。

יוֹאֵ֔ל	מְנַשֶּׁ֖ה	שֵׁ֣בֶט	לַחֲצִ֑י	עֲזַזְיָ֥הוּ	בֶּן־	הוֹשֵׁ֖עַ	אֶפְרַ֣יִם	לִבְנֵ֥י	20
ヨエル	マナセの	部族の	半部族に	アザズヤフの	息子-で	ホシェア	エフライムの	子らに	
H3100	H4519	H7626	H2677	H5812		H1954	H0669		

ס	:פְּדָיָ֥הוּ	בֶּן־	
(段落)	ペダヤフの	息子-で	
	H6305		

エフライムの子孫のつかさはアザジヤの子ホセア。マナセの半部族のつかさはペダヤの子ヨエル。

יַעֲשִׂיאֵ֔ל	לְבִנְיָמִ֑ן	ס	זְכַרְיָ֥הוּ	בֶּן־	יְדֽוּ֖עַ	גִּלְעָ֣דָה	הַמְנַשֶּׁ֔ה	לַחֲצִ֣י	21
ヤアシエル	ベニヤミンには	(段落)	ゼカリヤの	息子-で	イド	ギレアデには	マナセの	半部族の	
H3300	H1144				H3035	H1568	H4519	H2677	

ס	:אַבְנֵֽר	בֶּן־	
(段落)	アブネルの	息子-で	
	H0074		

ギレアデにあるマナセの半部族のつかさはゼカリヤの子イド。ベニヤミンのつかさはアブネルの子ヤシエル。

:יִשְׂרָאֵֽל	שִׁבְטֵ֥י	שָׂרֵ֖י	אֵ֑לֶּה	יְרֹחָ֥ם	בֶּן־	עֲזַרְאֵ֔ל	לְדָ֖ן	22
イスラエルの	部族の	長たちで	これらは	エロハムの	息子-で	アザレル	ダンには	
H3478	H7626	H8269	H0428	H3395		H5832	H1835	

ダンのつかさはエロハムの子アザリエル。これらはイスラエルの部族のつかさたちであった。

וּלְמָטָּה	שָׁנָה	עֶשְׂרִים	לְמִבֶּן	מִסְפָּרָם	דָּוִיד֙	נָשָׂא	וְלֹא־		23
そして-それ以下を	歳	二十	(から)の-歳	彼らの-数を	ダビデは	数えた	そして-ない		
H4295	H8141	H6242		H4557	H1732	H5375	H3808		

:הַשָּׁמָֽיִם	כְּכוֹכְבֵי֙	יִשְׂרָאֵ֔ל	אֶת־	לְהַרְבּ֖וֹת	יְהוָ֑ה	אָמַ֣ר	כִּֽי	
天の	星の-ように	イスラエルを	(を)	増やすと	主は	言った	なぜなら	
H8064	H3556	H3478	H0853		H3068	H0559		

しかしダビデは二十歳以下の者は数えなかった。主がかつてイスラエルを天の星のように多くすると言われたからである。

24 יוֹאָב בֶּן־ צְרוּיָה הֵחֵל לִמְנוֹת וְלֹא כִלָּה וַיְהִי
ヨアブは 息子−で ツェルヤの 始めた 数える−ことを しかし−ない 終えた そして−あった
H3097 H1121 H6870 H2490 H4487 H3808 H3615 H1961

בָּזֹאת קֶצֶף עַל־ יִשְׂרָאֵל וְלֹא עָלָה הַמִּסְפָּר בְּמִסְפַּר דִּבְרֵי־
この−ことで 怒りが (の上に) イスラエルの そして−ない 上った その−数は 数の−中に 年代記−の
H2063 H7110 H5921 H3478 H3808 H5927 H4557 H4557 H1697

הַיָּמִים לַמֶּלֶךְ דָּוִיד׃ ס
日々の 王の ダビデの (段落)
H3117 H4428 H1732

ゼルヤの子ヨアブは数え始めたが、これをなし終えなかった。その数えることによって怒りがイスラエルの上に臨んだ。またその数はダビデ王の歴代志に載せなかった。

25 וְעַל אֹצְרוֹת הַמֶּלֶךְ עַזְמָוֶת בֶּן־ עֲדִיאֵל וְעַל
そして(の上に) 宝物庫の 王の アズマウェト 息子−で アディエルの (段落)
H5921 H214 H4428 H5820 H1121 H5717 H5921

אֹצָרוֹת בַּשָּׂדֶה בֶּעָרִים וּבַכְּפָרִים וּבַמִּגְדָּלוֹת יְהוֹנָתָן בֶּן־ עֻזִּיָּהוּ׃ ס
宝物庫の 野の 町々の そして−村々の そして−やぐらの エホナタン 息子−で ウジヤの (段落)
H214 H7704 H5892 H3723 H4026 H3083 H1121 H5818

アデエルの子アズマウテは王の倉をつかさどり、ウジヤの子ヨナタンは田野、町々、村々、もろもろの塔にある倉をつかさどり、

26 וְעַל עֹשֵׂי מְלֶאכֶת הַשָּׂדֶה לַעֲבֹדַת הָאֲדָמָה עֶזְרִי בֶן־
そして(の上に) 働く−者たちの 仕事の 野の 耕作の−ための 土地の エズリ 息子−で
H5921 H6213 H4399 H7704 H5647 H127 H5828 H1121

כְּלוּב׃
ケルブの
H3621

ケルブの子エズリは地を耕す農夫をつかさどり、

27 וְעַל־ הַכְּרָמִים שִׁמְעִי הָרָמָתִי לְאֹצְרוֹת שֻׁבַּכְרָמִים
そして(の上に) ぶどう園の シムイ ラマテ人で 倉庫の ぶどう園の−中の
H5921 H3754 H8096 H7435 H214 H3754

וְעַל הַשִּׁפְמִי׃ ס זַבְדִּי הַיַּיִן
(の上に) シフミ人で (段落) ザブディ ぶどう酒の
H5921 H8225 H2076 H3196

ラマテびとシメイはぶどう畑をつかさどり、シプミびとザブデはぶどう畑から取ったぶどう酒の倉をつかさどり、

28 וְעַל־ הַזֵּיתִים וְהַשִּׁקְמִים אֲשֶׁר בַּשְּׁפֵלָה בַּעַל חָנָן
そして(の上に) オリーブの−木と そして−いちじくの−木の (それらは) 低地に−ある バアル・ハナン
H5921 H2132 H8256 H834 H8219 H1177

וְעַל אֹצְרוֹת הַשָּׁמֶן יוֹאָשׁ׃ ס הַגְּדֵרִי
そして(の上に) 倉庫の 油の ヨアシュ (段落) ゲデラ人で
H5921 H214 H8081 H3135 H1451

ゲデルびとバアル・ハナンは平野のオリブの木といちじく桑の木をつかさどり、ヨアシは油の倉をつかさどり、

29 וְעַל־ הַבָּקָר֙ הָרֹעִ֣ים בַּשָּׁר֔וֹן [שִׁטְרַי] (שִׁרְתַ֖י) הַשָּׁרוֹנִ֑י וְעַל־

そして(の上に) 牛の 放牧する シャロンの [シトライ] (シルタイ) シャロン人で そして(の上に)
H1241 H8289 H7861 H7861 H8290

עַדְלָ֖י׃ ס בֶּן־ שָׁפָ֥ט בָּעֲמָקִ֛ים הַבָּקָ֥ר

アドライの (段落) 息子-で シャファト 谷々の 牛の
H5724 H8202 H6010 H1241

シャロンびとシテライはシャロンで飼う牛の群れをつかさどり、アデライの子シャパテはもろもろの谷におる牛の群れをつかさどり、

30 וְעַל־ הַגְּמַלִּ֖ים יְחְדְיָ֣הוּ הָאִשְׁמְעֵאלִ֑י וְעַל־ הָאֲתֹנֹ֖ות עֹובִ֥יל

そして(の上に) らくだの エヘデヤフ イシュマエル人で そして(の上に) ろばの オビル
H1581 H3165 H3459 H0179 H0860

הַמֵּרֹנָתִֽי׃ ס וְעַל־ הַצֹּ֣אן יָזִ֔יז הַהַגְרִ֖י כָּל־ אֵ֥לֶּה

メロノテ人で (段落) そして(の上に) 羊の ヤジズ ハグリ人で すべて これらは
H4824 H6629 H3151 H1905 H3605 H0428

イシマエルびとオビルはらくだをつかさどり、メロノテびとエデヤはろばをつかさどり、

31 וְעַל־ הַצֹּ֣אן דָּוִ֔יד לַמֶּ֖לֶךְ הָרְכֻ֥וש אֲשֶׁ֛ר

そして(の上に) 羊の ヤジズ ハグリ人で すべて これらは 財産の (それらは)
H6629 H3151 H1905 H3605 H0428 H7399

ダビデの 王の
H1732 H4428

ハガルびとヤジズは羊の群れをつかさどった。彼らは皆ダビデ王の財産のつかさであった。

32 וִיהֹונָתָ֣ן דֹּ֔וד אִ֥ישׁ־ מֵבִ֖ין וְסֹופֵ֑ר הֽוּא

そして-エホナタンは おじ-で ダビデの 助言者で 人-で 賂い そして-書記で 彼は
H3083 H1730 H1732 H3289 H0376 H0995 H1931

וִיחִיאֵ֖ל בֶּן־ חַכְמֹונִ֥י עִם־ בְּנֵ֛י הַמֶּלֶךְ׃

そして-エヒエルは 息子-で ハクモニの (と共に) 子ら-の 王の
H3171 H2453 H4428

またダビデのおじヨナタンは議官で、知恵ある人であり、学者であった。また彼とハクモニの子エヒエルは王の子たちの補佐であった。

33 וַאֲחִיתֹ֥פֶל יֹועֵ֖ץ לַמֶּ֑לֶךְ ס וְחוּשַׁ֥י הָאַרְכִּ֖י רֵ֥עַ

そして-アヒトフェルは 助言者で 王の (段落) そして-フシャイは アルキ人で 友で
H0302 H3289 H4428 H2365 H0757 H7453

הַמֶּֽלֶךְ׃

王の
H4428

アヒトペルは王の議官。アルキびとホシャイは王の友であった。

34 וְאַחֲרֵ֣י אֲחִיתֹ֔פֶל יְהֹויָדָ֥ע בֶּן־ בְּנָיָ֖הוּ וְאֶבְיָתָ֑ר וְשַׂר־

そして-後に アヒトフェルの エホヤダ 息子-で ベナヤフの そして-エビヤタル そして-将軍は
H0302 H3077 H1141 H0054 H8269

צְבָ֥א לַמֶּ֖לֶךְ יוֹאָ֑ב׃ פ

軍の 王の ヨアブ (段落)
H4428 H3097

アヒトペルに次ぐ者はベナヤの子エホヤダおよびアビヤタル。王の軍の長はヨアブであった。

Chapter 28

1 וַיַּקְהֵל דָּוִיד אֶת־כָּל שָׂרֵי יִשְׂרָאֵל שָׂרֵי הַשְּׁבָטִים
そして–集めた ダビデは (を) すべての 長たちを イスラエルの 長たちと 部族の
H6950 H1732 H0853 H3605 H8269 H3478 H8269 H7626

וְשָׂרֵי הַמַּחְלְקוֹת הַמְשָׁרְתִים אֶת־הַמֶּלֶךְ וְשָׂרֵי הָאֲלָפִים
そして–長たちと 組の 仕える–者たちと (を) 王に そして–千人の–長たちと 千人の
H8269 H4256 H8334 H0853 H4428 H8269 H0505

וְשָׂרֵי הַמֵּאוֹת וְלַמֶּלֶךְ רְכוּשׁ־וּמִקְנֵהוּ כָּל־ וְשָׂרֵי
そして–百人の–長たちと 百人の そして–長たちと 王の そして–家畜の 財産–と すべての そして–長たちと
H8269 H3967 H8269 H4428 H4735 H7399 H3605 H8269

וְהַגִּבּוֹרִים וְלִכָּל־ גִּבּוֹר חָיִל
そして–勇士たちと そして–すべての 勇士–で 力の
H1368 H3605 H1368 H2428

עִם־ הַסָּרִיסִים וּלְבָנָיו
(と共に) 宮官たちと そして–彼の–息子たちと
H5631

אֶל־ יְרוּשָׁלִָם׃
(に) エルサレムに
H0413 H3389

ダビデはイスラエルのすべての長官、すなわち部族の長、王に仕えた組の長、千人の長、百人の長、王とその子たちのすべての財産および家畜のつかさ、宦官、有力者、勇士などをことごとくエルサレムに召し集めた。

2 וַיָּקָם דָּוִיד הַמֶּלֶךְ עַל־ רַגְלָיו וַיֹּאמֶר שִׁמְעוּנִי אַחַי
そして–立ち上がった ダビデ 王は (の上に) 彼の–足で そして–言った 聞け わが–兄弟たちよ
H1732 H4428 H0559 H7272 H0251

וְעַמִּי אֲנִי לְבָבִי עִם־ לִבְנוֹת בֵּית מְנוּחָה לַאֲרוֹן בְּרִית־
そして–わが–民よ わたしは わが–心に (と共に) 建てる–ことを 宮を 安息の 箱の–ために 契約の
H0589 H3824 H0854 H1129 H1004 H4496 H0727 H1285

יְהוָה וְלַהֲדֹם רַגְלֵי אֱלֹהֵינוּ וַהֲכִינוֹתִי לִבְנוֹת׃
主の そして–足台の–ために 足の われらの–神の そして–準備した 建てる–ために
H3068 H1916 H7272 H0430 H0853 H1129

そしてダビデ王はその足で立ち上がって言った、「わが兄弟たち、わが民よ、わたしに聞きなさい。わたしは主の契約の箱のため、われわれの神の足台のために安住の家を建てようとの志をもち、すでにこれを建てる準備をした。

3 וְהָאֱלֹהִים אָמַר לִי לֹא־ תִבְנֶה בַּיִת לִשְׁמִי כִּי אִישׁ
しかし–神は 言った わたしに ない 建てる 宮を わが–名の–ために なぜなら 人で
H0430 H0559 H0853 H3808 H1129 H1004 H0854 H0376

מִלְחָמוֹת אָתָּה וְדָמִים שָׁפָכְתָּ׃
戦いの お前は そして–血を 流した
H4421 H0859 H1818 H8210

しかし神はわたしに言われた、『おまえはわが名のために家を建ててはならない。おまえは軍人であって、多くの血を流したからである』と。

4 וַיִּבְחַר יְהוָה אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל מִכָּל בֵּית־אָבִי לִהְיוֹת לְמֶלֶךְ עַל־יִשְׂרָאֵל לְעוֹלָם כִּי בִיהוּדָה בָּחָר לְנָגִיד וּבְבֵית יְהוּדָה בֵּית אָבִי וּבִבְנֵי אָבִי רָצָה בִּי לְהַמְלִיךְ עַל־כָּל־יִשְׂרָאֵל׃

וַיִּבְחַר	יְהוָה	אֱלֹהֵי	יִשְׂרָאֵל	מִכָּל	בֵּית־	אָבִי	לִהְיוֹת	לְמֶלֶךְ	עַל־	יִשְׂרָאֵל	לְעוֹלָם	כִּי	בִיהוּדָה	בָּחָר	לְנָגִיד	
そして–選んだ	主は	神は	イスラエルの	すべての–中から	家–の	わが–父の	なる–ために	王と	(の上に)	イスラエルの	永遠に	なぜなら	ユダを	選んだ	長官として	
H0977	H3068	H0430	H3478	H3605		H0001		H4428		H3478	H5769		H3063	H0977	H5057	
וּבְבֵית	יְהוּדָה	בֵּית	אָבִי	בְּכָל־	בְּנֵי	אָבִי	בִּי	רָצָה								
そして–家の–中で	ユダの	わが–父の	家を	すべての	わが–父の	息子たちの–中で	わたしを	喜んだ								
	H3063			H3605		H0001		H7521								
לְהַמְלִיךְ	עַל־	כָּל־	יִשְׂרָאֵל׃													
なる–ために	(の上に)	すべての	イスラエルの													
		H3605	H3478													

それにもかかわらず、イスラエルの神、主はわたしの父の全家のうちからわたしを選んで長くイスラエルの王とせられた。すなわちユダを選んでかしらとし、ユダの家のうちで、わたしの父の家を選び、わたしの父の子らのうちで、わたしを喜び、全イスラエルの王とせられた。

5 וּמִכָּל־ בָּנַי כִּי־ רַבִּים בָּנִים נָתַן לִי יְהוָה וַיִּבְחַר בִּנִי בִשְׁלֹמֹה לָשֶׁבֶת עַל־ כִּסֵּא מַלְכוּת יְהוָה עַל־ יִשְׂרָאֵל׃

וּמִכָּל־	בָּנַי	כִּי־	רַבִּים	בָּנִים	נָתַן	לִי	יְהוָה	וַיִּבְחַר	בִּנִי	בִשְׁלֹמֹה	לָשֶׁבֶת	עַל־	כִּסֵּא	מַלְכוּת	יְהוָה	עַל־
そして–すべての–中から	わが–息子たちの	なぜなら	多くの	息子たちを	与えた	わたしに	主は	そして–選んだ	わが–息子を	ソロモンを	座る–ために	(の上に)	王座に	王国の	主の	(の上に)
H3605					H5414		H3068	H0977		H8010	H3427		H3678	H4438	H3068	
יִשְׂרָאֵל׃																
イスラエルの																
H3478																

そして主はわたしに多くの子を賜わり、そのすべての子らのうちからわが子ソロモンを選び、これを主の国の位にすわらせて、イスラエルを治めさせようとせられた。

6 וַיֹּאמֶר לִי שְׁלֹמֹה בִּנְךָ הוּא־ יִבְנֶה בֵּיתִי וְחַצֵּרוֹתָי כִּי־ בָחַרְתִּי בּוֹ לִבְנִי וַאֲנִי לִי־ אֶהְיֶה־ לְאָב׃

וַיֹּאמֶר	לִי	שְׁלֹמֹה	בִּנְךָ	הוּא־	יִבְנֶה	בֵּיתִי	וְחַצֵּרוֹתָי	כִּי־	בָחַרְתִּי	בּוֹ	לִבְנִי	וַאֲנִי	לִי־	אֶהְיֶה־	לְאָב׃	
そして–言った	わたしに	ソロモンが	お前の–息子が	彼こそ	建てる	わが–宮と	そして–わが–庭を	なぜなら	選んだ	彼を	息子として	そして–わたしは	わたしの–ために	なる	父と	
H0559		H8010		H1931	H1129				H0977			H0589		H1961	H0001	

主はまたわたしに言われた、『おまえの子ソロモンがわが家およびわが庭を造るであろう。わたしは彼を選んでわが子となしたからである。わたしは彼の父となる。

7 וְהַכִּינוֹתִי אֶת־ מַלְכוּתוֹ עַד־ לְעוֹלָם אִם־ יֶחֱזַק לַעֲשׂוֹת מִצְוֹתַי כַּיּוֹם הַזֶּה׃ וּמִשְׁפָּטַי

וְהַכִּינוֹתִי	אֶת־	מַלְכוּתוֹ	עַד־	לְעוֹלָם	אִם־	יֶחֱזַק	לַעֲשׂוֹת	מִצְוֹתַי	כַּיּוֹם	הַזֶּה׃	וּמִשְׁפָּטַי					
そして–確かにする	(を)	彼の–王国を	(まで)	永遠に	もし	強いなら	行う–ために	わが–戒めと	今日の–ように	この	そして–わが–定めを					
H0853		H4438	H5704	H5769		H2388		H4687	H3117	H2088	H4941					

彼がもし今日のように、わが戒めとわがおきてを固く守って行うならば、わたしはその国をいつまでも堅くするであろう』と。

8 וְעַתָּה לְעֵינֵי כָל־יִשְׂרָאֵל קְהַל־יְהוָה וּבְאָזְנֵי אֱלֹהֵינוּ
今 目の-前で すべての イスラエルの 会衆-の 主の そして-耳の-前で われらの-神の
H6258 H5869 H3605 H3478 H6951 H3068 H0241 H0430

שִׁמְרוּ וְדִרְשׁוּ בְּכָל־מִצְוֹת יְהוָה אֱלֹהֵיכֶם לְמַעַן תִּירְשׁוּ אֶת־
守れ そして-求めよ すべての 戒めを 主の あなたがたの-神の それは 受け継ぐ-ために (を)
H8104 H1875 H3605 H4687 H3068 H0430 H4616 H3423 H0853

הָאָרֶץ הַטּוֹבָה וְהַנְחַלְתָּם לִבְנֵיכֶם אַחֲרֵיכֶם עַד־עוֹלָם׃ פ
地を 良い そして-残す-ために あなたがたの-子らに あなたがたの-後に (まで) 永遠に (段落)
H0776 H2896 H5157 H1121 H0310 H5769

それゆえいま、主の会衆なる全イスラエルの目の前およびわれわれの神の聞かれる所であなたがたに勧める。あなたがたはその神、主のすべての戒めを守り、これを求めなさい。そうすればあなたがたはこの良き地を所有し、これをあなたがたの後の子孫に長く嗣業として伝えることができる。

9 וְאַתָּה שְׁלֹמֹה־בְנִי דַּע אֶת־אֱלֹהֵי אָבִיךָ וְעָבְדֵהוּ בְּלֵב
そして-お前は ソロモンよ わが-息子よ 知れ (を) 神を お前の-父の そして-仕えよ 心で
H6258 H8010 H1121 H3045 H0853 H0430 H0001 H5647 H3824

וּבְנֶפֶשׁ חֲפֵצָה כִּי כָל־לִבּוֹת יְהוָה דּוֹרֵשׁ וְכָל־יֵצֶר מַחְשְׁבוֹת
そして-魂で 喜ぶ なぜなら すべての 心を 主は 探る そして-すべての 思いを 考えの
H5315 H2655 H3605 H3824 H3068 H1875 H3605 H3336 H4284

מְבִין אִם־תִּדְרְשֶׁנּוּ יִמָּצֵא לָךְ וְאִם־תַּעַזְבֶנּוּ יַזְנִיחֲךָ לְעַד׃
知る もし 求めるなら 見いだされる お前に しかし-もし 捨てるなら 退けられる 永遠に
H0995 H0518 H1875 H4672 H0000 H0518 H5800 H2186 H5703

わが子ソロモンよ、あなたの父の神を知り、全き心をもって喜び勇んで彼に仕えなさい。主はすべての心を探り、すべての思いを悟られるからである。あなたがもし彼を求めるならば会うことができる。しかしあなたがもしかれを捨てるならば彼は長くあなたを捨てられるであろう。

10 רְאֵה עַתָּה כִּי־יְהוָה בָּחַר בְּךָ לִבְנוֹת־בַּיִת לְמִקְדָּשׁ חֲזַק
見よ 今 なぜなら 主が 選んだ お前を 建てる-ために 宮を 聖所の-ための 強くあれ
H7200 H6258 H3588 H3068 H0977 H0000 H1129 H1004 H4720 H2388

וַעֲשֵׂה׃ פ
そして-行え (段落)
H6213

それであなたは慎みなさい。主はあなたを選んで聖所とすべき家を建てさせようとされるのだから心を強くしてこれを行いなさい」。

11 וַיִּתֵּן דָּוִיד לִשְׁלֹמֹה בְנוֹ אֶת־תַּבְנִית הָאוּלָם וְאֶת־
そして-与えた ダビデは ソロモンに 彼の-息子に (を) 設計図を 玄関の そして(を)
H5414 H1732 H8010 H1121 H0853 H8403 H0197 H0853

בָּתָּיו וְאוֹצְרֹתָיו וְעֲלִיֹּתָיו וּבְחֻדָּרָיו וּבֵית הַכַּפֹּרֶת׃
その-建物と そして-その-宝物庫と そして-その-二階と そして-その-内室と そして-室の 贖罪所の
H1004 H0214 H5944 H2315 H1004 H3727

こうしてダビデは神殿の廊およびその家、その倉、その上の室、その内の室、贖罪所の室などの計画をその子ソロモンに授け、

12 וְתַבְנִית אֲשֶׁר הָיָה כֹּל בָּרוּחַ עִמּוֹ לְחַצְרוֹת בֵּית־יְהוָה
そして-設計図を あった すべての 霊に-よって 彼と-共に 庭の 主の 宮の
H8403 H1961 H3605 H7307 H3605 H3068

וְלִכָּל־הַלְּשָׁכוֹת סָבִיב לְאֹצְרוֹת בֵּית הָאֱלֹהִים וּלְאֹצְרוֹת הַקֳּדָשִׁים׃
そして-すべての 部屋と 周りの 宝物庫の 神の 宮の 宝物庫の 聖なる-ものの
H3605 H3957 H5439 H0214 H0430 H1004 H0214 H6944

またその心にあったすべてのもの、すなわち主の宮の庭、周囲のすべての室、神の家の倉、ささげ物の倉などの計画を授け、

13 וְלַמַּחְלְקוֹת הַכֹּהֲנִים וְהַלְוִיִּם וּלְכָל־מְלֶאכֶת עֲבוֹדַת בֵּית־יְהוָה
そして-組の 祭司たちと そして-レビ人たちの そして-すべての 仕事の 奉仕の 宮の 主の
H4256 H3548 H3881 H3605 H4399 H5656 H1004 H3068

וּלְכָל־כְּלֵי עֲבוֹדַת בֵּית־יְהוָה׃
そして-すべての 器具の 奉仕の 宮の 主の
H3605 H3627 H5656 H1004 H3068

また祭司およびレビびとの組と、主の宮のもろもろの務の仕事と、主の宮のもろもろの勤めの器物について授け、

14 לַזָּהָב בַּמִּשְׁקָל לַזָּהָב לְכָל־כְּלֵי עֲבוֹדָה וְעֲבוֹדָה לְכָל כְּלֵי עֲבוֹדָה לְכָל־כְּלֵי עֲבוֹדָה בְּמִשְׁקָל לַכֶּסֶף
金の 重さで 金の すべての 器具の 奉仕の 各-奉仕の すべての 器具の 重さで 銀の
H2091 H4948 H2091 H3605 H3627 H5656 H3605 H3627 H4948 H3701

לְכָל־כְּלֵי עֲבוֹדָה וְעֲבוֹדָה׃
すべての 器具の 奉仕の 各-奉仕の
H3605 H3627 H5656 H5656

またもろもろの勤めに用いるすべての金の器を造る金の目方、およびもろもろの勤めに用いる銀の器の目方を定めた。

15 וּמִשְׁקָל לַמְנֹרוֹת הַזָּהָב לְמְנֹרַת זָהָב בְּמִשְׁקָל־מְנוֹרָה
そして-重さを 燭台の 金の 燭台-ごと 重さ-の 金の
H4948 H4501 H2091 H4501 H2091 H4948 H4501

וְלִמְנֹרוֹת הַכֶּסֶף בְּמִשְׁקָל לִמְנוֹרָה וְנֵרֹתֶיהָ וּמְנוֹרָה
そして-燭台の 銀の 重さで 燭台-ごと そして-その-灯火の そして-燭台-ごとの
H4501 H3701 H4948 H4501 H4501 H5216 H4501

וְנֵרֹתֶיהָ כַּעֲבוֹדַת מְנוֹרָה וּמְנוֹרָה׃
そして-その-灯火の 奉仕に-応じて 燭台-ごと そして-燭台-ごとの
H5216 H5656 H4501 H4501

すなわち金の燭台と、そのともしび皿の目方、おのおのの燭台と、そのともしび皿の金の目方を定め、また銀の燭台についてもおのおのの燭台の用法にしたがって燭台と、そのともしび皿の銀の目方を定めた。

16 וְאֶת־הַזָּהָב מִשְׁקָל לְשֻׁלְחַנוֹת לְשֻׁלְחַן הַמַּעֲרֶכֶת וְכֶסֶף
そして(を) 金を 重さで 机の 供え-パンの 机-ごと そして-銀を
H0853 H2091 H4948 H7979 H4635 H7979 H3701

וְשֻׁלְחָן לְשֻׁלְחַנוֹת הַכָּסֶף׃
そして-机-ごとの 机の 銀の
H7979 H7979 H3701

また供えのパンの机については、そのおのおのの机のために金の目方を定め、また銀の机のためにも銀を定め、

17 וְהַמִּזְלָגֹות וְהַמִּזְרָקוֹת וְהַקְּשָׂוֹת וְזָהָב זָהָב טָהוֹר וְלִכְפוֹרֵי הַזָּהָב בְּמִשְׁקָל
そして–肌剖きと そして–鉢と そして–杯は 金の 純金の そして–金の–鉢の 金の 重さで
H4219 H4184 H2091 H2889 H3700 H2091 H4948

וּכְפוֹר׃ לִכְפוֹר בְּמִשְׁקָל הַכֶּסֶף וְלִכְפוֹרֵי וּכְפוֹר לִכְפוֹר
そして–鉢–ごとの 鉢–ごと 重さで 銀の そして–銀の–鉢の そして–鉢–ごとの 鉢–ごと
H4948 H3701

また肉さし、鉢、かめに用いる純金の目方を定め、金の大杯についてもおのおのの目方を定め、銀の大杯についてもおのおのの目方を定め、

18 הַכְּרֻבִים הַמֶּרְכָּבָה וּלְתַבְנִית בַּמִּשְׁקָל מְזֻקָּק זָהָב הַקְּטֹרֶת וּלְמִזְבַּח
ケルビムの 戦車の そして–設計図を 重さで 精錬された 金の 香の そして–祭壇の
H3742 H4818 H8403 H4948 H2212 H2091 H7004 H4196

יְהוָה׃ בְּרִית־ אֲרוֹן עַל־ וְסֹכְכִים לְפָרְשִׂים זָהָב
主の 契約の 箱を (の上に) そして–覆う 広げて 金の
H3068 H1285 H0727 H6566 H2091

また香の祭壇のために精金の目方を定め、また翼を伸べて主の契約の箱をおおっているケルビムの金の車のひな型の金を定めた。

19 הַתַּבְנִית׃ מַלְאֲכוֹת כֹּל הִשְׂכִּיל עָלַי יְהוָה מִיַּד בִּכְתָב הַכֹּל
設計図の 仕事を すべての 惟らせた わたしの–上に 主の (の手から) 書き物で すべてを
H8403 H4399 H3605 H3027 H3791 H3605

פ
(段落)

ダビデはすべての工作が計画にしたがってなされるため、これについて主の手によって書かれたものにより、これをことごとく明らかにした。

20 וַיֹּאמֶר דָּוִיד לִשְׁלֹמֹה בְּנוֹ חֲזַק וֶאֱמַץ וַעֲשֵׂה
そして–言った ダビデは ソロモンに 彼の–息子に 強くあれ そして–雄々しくあれ そして–行え
H0559 H1732 H8010 H2388 H0553

אַל־ תִּירָא אַל־ וְאַל־ תֵּחַת כִּי יְהוָה אֱלֹהִים אֱלֹהַי עִמָּךְ
恐れるな 恐れるな そして–ない おびえるな なぜなら 主が 神が わが–神が お前と–共に
H0408 H3372 H0408 H2865 H3588 H3068 H0430 H0430 H0410 H5973

בֵּית־ עֲבוֹדַת מְלֶאכֶת כָּל־ לִכְלוֹת עַד־ יַעַזְבֶךָּ וְלֹא יַרְפֶּךָּ לֹא
宮の 奉仕の 仕事の すべての 完成する–まで (まで) 捨てない そして–ない 見捨てない ない
H5656 H4399 H3605 H3615 H5704 H5800 H3808 H7503 H3808

יְהוָה׃
主の
H3068

ダビデはその子ソロモンに言った、「あなたは心を強くし、勇んでこれを行いなさい。恐れてはならない。おののいてはならない。主なる神、わたしの神があなたとともにおられるからである。主はあなたを離れず、あなたを捨てず、ついに主の宮の務のすべての工事をなし終えさせられるでしょう。

21 וְהִנֵּה מַחְלְקוֹת הַכֹּהֲנִים וְהַלְוִיִּם לְכָל־עֲבוֹדַת בֵּית הָאֱלֹהִים
そして-見よ 組が 祭司たちの そして-レビ人たちの すべての 奉仕の-ための 宮の 神の
H2009 H4256 H3548 H3881 H3605 H5656 H1004 H0430

וְעִמְּךָ בְּכָל־מְלָאכָה לְכָל־נָדִיב בְּחָכְמָה וּלְכָל־עֲבוֹדָה
そして-お前と-共に すべての 仕事に すべての 志願者が 知恵を-もって すべての 奉仕の-ための
H3605 H4399 H3605 H5081 H2451 H3605 H5656

וְהַשָּׂרִים וְכָל־הָעָם לְכָל־דְּבָרֶיךָ׃ פ
そして-長たちと そして-すべての 民は すべての お前の-言葉の-ために (段落)
H8269 H3605 H3605 H1697

見よ、神の宮のすべての務めのためには祭司とレビびとの組がある。またもろもろの勤めのためにすべての仕事を喜んでする巧みな者が皆あなたと共にある。またつかさたちおよびすべての民もあなたの命じるところをことごとく行うでしょう」。

Chapter 29

1 וַיֹּאמֶר דָּוִיד הַמֶּלֶךְ לְכָל־הַקָּהָל שְׁלֹמֹה בְנִי אֶחָד בָּחַר־בּוֹ
彼を 選んだ 一人 わが-息子は ソロモンは 会衆に すべての 王は ダビデ そして-言った
H0977 H0259 H1121 H8010 H6951 H3605 H4428 H1732 H0559

הַבִּירָה לְאָדָם לֹא כִי גְדוֹלָה וְהַמְּלָאכָה וְרָךְ וְנָעַר אֱלֹהִים
宮殿は 人の-ために ない なぜなら 大きい そして-仕事は そして-弱い 若くて 神が
H1002 H0120 H3808 H1419 H4399 H7390 H5288 H0430

כִּי לַיהוָה אֱלֹהִים׃
なぜなら 主の-ために 神の
H3068 H0430

ダビデ王はまた全会衆に言った、「わが子ソロモンは神がただひとりを選ばれた者であるが、まだ若くて経験がなく、この事業は大きい。この宮は人のためではなく、主なる神のためだからである。

2 וּבְכָל־כֹּחִי הֵכִינוֹתִי לְבֵית־אֱלֹהַי הַזָּהָב וְהַזָּהָב לַזָּהָב וְהַכֶּסֶף
そして-すべての わが-力で 準備した 宮の-ために わが-神の 金を 金の-ために そして-銀を
H3605 H3581 H3559 H1004 H0430 H2091 H2091 H3701

וְהַנְּחֹשֶׁת לַנְּחֹשֶׁת וְהַבַּרְזֶל לַבַּרְזֶל וְהָעֵצִים לָעֵצִים אַבְנֵי־
そして-青銅を 青銅の-ために 鉄を 鉄の-ために そして-木を 木の-ために 石-で
H5178 H5178 H1270 H1270 H6086 H6086 H0068

שֹׁהַם וּמִלּוּאִים אַבְנֵי־פוּךְ וְרִקְמָה וְכֹל אֶבֶן יְקָרָה
縞瑪瑙の そして-はめ込みの 石-で 黒の そして-刺繍と すべての 石で 高価な
H7718 H4394 H0068 H6320 H7553 H3605 H0068 H3368

וְאַבְנֵי־שַׁיִשׁ לָרֹב׃
そして-石-で 大理石の 豊かに
H0068 H7893 H7230

そこでわたしは力をつくして神の宮のために備えた。すなわち金の物を造るために金、銀の物のために銀、青銅の物のために青銅、鉄の物のために鉄、木の物のために木を備えた。その他縞めのう、はめ石、アンチモニイ、色のついた石、さまざまの宝石、大理石などおびただしい。

3 וְעוֹד בְּרִצוֹתִי בְּבֵית אֱלֹהַי יֶשׁ־לִי זָהָב וְכֶסֶף
そして-さらに わが-喜びで 宮に わが-神の ある わたしには 宝が 金の 銀の
H5750 H7521 H1004 H0430 H3426 H3605 H5459 H2091 H3701

נָתַתִּי לְבֵית־אֱלֹהַי מִכֹּל הֵכִינוֹתִי לְבֵית הַקֹּדֶשׁ׃
与えた 宮の-ために わが-神の 加えて すべての-上に 準備した-ものの 宮の-ために 聖所の
H5414 H1004 H0430 H4605 H3605 H3559 H1004 H6944

なおわたしはわが神の宮に熱心なるがゆえに、聖なる家のために備えたすべての物に加えて、わたしの持っている金銀の財宝をわが神の宮にささげる。

4 שְׁלֹשֶׁת אֲלָפִים כִּכְּרֵי זָהָב מִזְּהַב אוֹפִיר וְשִׁבְעַת אֲלָפִים כִּכְּרֵי־כֶסֶף לְטָיַח קִירוֹת הַבָּתִּים׃ מְזֻקָּק

שְׁלֹשֶׁת	אֲלָפִים	כִּכְּרֵי	זָהָב	מִזְּהַב	אוֹפִיר	וְשִׁבְעַת	אֲלָפִים	כִּכַּר־	כֶּסֶף
三	千	キカル-の	金の	金からの	オフィルの	そして-七	千	キカル-の	銀の
H7969	H0505	H3603	H2091	H2091	H0211	H7651	H0505	H3603	H3701

מְזֻקָּק	לְטָיַח	קִירוֹת	הַבָּתִּים׃	
精錬された	塗る-ために	壁を	建物の	
H2212		H7023		

すなわちオフルの金三千タラント、精銀七千タラントをそのもろもろの建物の壁をおおうためにささげる。

5 לַזָּהָב לַזָּהָב וְלַכֶּסֶף וְלַכֶּסֶף וּלְכֹל־ מְלֶאכֶת בְּיַד חָרָשִׁים וּמִי מִתְנַדֵּב לְמַלֵּאות יָדוֹ הַיּוֹם לַיהוָה׃

לַזָּהָב	לַזָּהָב	וְלַכֶּסֶף	וְלַכֶּסֶף	וּלְכֹל־	מְלֶאכֶת	בְּיַד	חָרָשִׁים		
金の-ために	金の	そして-銀の-ために	銀の	そして-すべての	仕事の	手に-よる	職人の		
H2091	H2091	H3701	H3701	H3605	H4399	H3027	H2796		

וּמִי	מִתְנַדֵּב	לְמַלֵּאות	יָדוֹ	הַיּוֹם	לַיהוָה׃	
そして-誰が	志願するか	満たす-ために	彼の-手を	今日	主に	
H4310	H5068	H4390	H3027	H3117	H3068	

金は金の物のために、銀は銀の物のために、すべて工人によって造られるもののために用いる。だれかきょう、主にその身をささげる者のように喜んでささげ物をするだろうか」。

6 וַיִּתְנַדְּבוּ שָׂרֵי הָאָבוֹת שָׂרֵי שִׁבְטֵי וְשָׂרֵי יִשְׂרָאֵל

וַיִּתְנַדְּבוּ	שָׂרֵי	הָאָבוֹת	וְשָׂרֵי	שִׁבְטֵי	יִשְׂרָאֵל
そして-志願した	長たちが	父祖の-家の	そして-長たちと	部族の	イスラエルの
H5068	H8269	H0001	H8269	H7626	H3478

וְשָׂרֵי	הָאֲלָפִים	וְהַמֵּאוֹת	וּלְשָׂרֵי	מְלֶאכֶת	הַמֶּלֶךְ׃	
そして-千人の-長たちと	千人の	そして-百人の-長たちと	そして-長たちが	仕事の	王の	
H8269	H0505	H3967	H8269	H4399	H4428	

そこで氏族の長たち、イスラエルの部族のつかさたち、千人の長、百人の長および王の工事をつかさどる者たちは喜んでささげ物をした。

7 וַיִּתְּנוּ לַעֲבוֹדַת בֵּית־ הָאֱלֹהִים זָהָב כִּכָּרִים חֲמֵשֶׁת־ אֲלָפִים

וַיִּתְּנוּ	לַעֲבוֹדַת	בֵּית־	הָאֱלֹהִים	זָהָב	כִּכָּרִים	חֲמֵשֶׁת־	אֲלָפִים
そして-与えた	奉仕の-ために	宮の	神の	金を	キカルの	五	千
H5414	H5656		H0430	H2091	H3603	H2568	H0505

וְאַדַּרְכֹנִים	רִבּוֹ	וְכֶסֶף	כִּכָּרִים	עֲשֶׂרֶת	אֲלָפִים	וּנְחֹשֶׁת	רִבּוֹ	וּשְׁמוֹנַת
そして-ダリクを	万	そして-銀を	キカルの	一万	千	そして-青銅を	万	そして-八
H0150	H7239	H3701	H3603	H6235	H0505		H7239	H8083

כִּכָּרִים׃	אֶלֶף	מֵאָה־	וּבַרְזֶל	כִּכָּרִים	אֲלָפִים	
キカルの	千	十万	そして-鉄を	キカルの	千	
H3603	H0505	H3967	H1270	H3603	H0505	

こうして彼らは神の宮の務のために金五千タラント一万ダリク、銀一万タラント、青銅一万八千タラント、鉄十万タラントをささげた。

8 וַהֲנִמְצָא אִתּוֹ אֲבָנִים נָתְנוּ לְאוֹצַר בֵּית־ יְהוָה עַל יַד־

וַהֲנִמְצָא	אִתּוֹ	אֲבָנִים	נָתְנוּ	לְאוֹצַר	בֵּית־	יְהוָה	עַל	יַד־
そして-見いだされた	彼らの-もとに	石は	与えた	宝物庫に	宮の	主の	(の上に)	手-の
H4672	H0854	H0068	H5414	H0214		H3068		H3027

יְחִיאֵל	הַגֵּרְשֻׁנִי׃	
エヒエルの	ゲルション人の	
H3171	H1649	

宝石を持っている者はそれをゲルションびとエヒエルの手によって神の宮の倉に納めた。

לַיהוָה	הִתְנַדְּבוּ	שָׁלֵם	בְּלֵב	כִּי	הִתְנַדְּבָם	עַל־	הָעָם	וַיִּשְׂמְחוּ	9
主に	志願した	全き	心で	なぜなら	彼らの–志願を	(の上に)	民は	そして–喜んだ	
H3068	H5068	H8003			H5068			H8055	

פ	:גְּדוֹלָה	שִׂמְחָה	שָׂמַח	הַמֶּלֶךְ	דָּוִיד	וְגַם
(段落)	大きな	喜びを	喜んだ	王も	ダビデ	そして–また
		H8057	H8055	H4428	H1732	H1571

彼らがこのように真心からみずから進んで主にささげたので、民はそのみずから進んでささげたのを喜んだ。ダビデ王もまた大いに喜んだ。

דָּוִיד	וַיֹּאמֶר	הַקָּהָל	כָּל־	לְעֵינֵי	יְהוָה	אֶת־	דָּוִיד	וַיְבָרֶךְ	10
ダビデは	そして–言った	会衆の	すべての	目の–前で	主を	(を)	ダビデは	そして–祝福した	
H1732	H0559	H6951	H3605		H3068	H0853	H1732	H1288	

וְעַד־	מִן־הָעוֹלָם	אֲבִינוּ	יִשְׂרָאֵל	אֱלֹהֵי	יְהוָה	אַתָּה	בָּרוּךְ
そして(まで)	永遠から	われらの–父よ	イスラエルの	神よ	主よ	あなたは	祝福されて–おられます
H5704	H5769	H0001		H0430	H3068		H1288

:עוֹלָם
永遠まで
H5769

そこでダビデは全会衆の前で主をほめたたえた。ダビデは言った、「われわれの先祖イスラエルの神、主よ、あなたはとこしえにほむべきかたです。

וְהַנֵּצַח	וְהַתִּפְאֶרֶת	וְהַגְּבוּרָה	הַגְּדֻלָּה	יְהוָה	לְךָ		11
そして–勝利と	そして–栄光と	そして–力と	大いなることと	主よ	あなたの–ものです		
H5331	H8597	H1369	H1420	H3068			

הַמַּמְלָכָה	יְהוָה	לְךָ	וּבָאָרֶץ	בַּשָּׁמַיִם	כֹּל	כִּי־	וְהַהוֹד
王国は	主よ	あなたの–ものです	そして–地に	天に	すべては	なぜなら	そして–威光が
H4467	H3068		H0776	H8064	H3605		H1935

לְרֹאשׁ:	וְלַכֹּל	וְהַמִּתְנַשֵּׂא
かしらとして	すべての–上に	そして–高められる–お方です
	H3605	H4984

主よ、大いなることと、力と、栄光と、勝利と、威光とはあなたのものです。天にあるもの、地にあるものも皆あなたのものです。主よ、国もまたあなたのものです。あなたは万有のかしらとして、あがめられます。

בַּכֹּל	מוֹשֵׁל	וְאַתָּה	מִלְּפָנֶיךָ	וְהַכָּבוֹד	וְהָעֹשֶׁר		12
すべてを	治める–お方です	そして–あなたは	あなたの–前から	そして–栄誉は	そして–富と		
H3605	H4910		H6440	H3519	H6239		

לְגַדֵּל	וּבְיָדְךָ	וּגְבוּרָה	כֹּחַ	וּבְיָדְךָ	
大きくする–ことと	そして–あなたの–手に	そして–勇ましさが	力と	そして–あなたの–手に	
H1431	H3027	H1369		H3027	

לַכֹּל:	וּלְחַזֵּק
すべてを	そして–強める–ことが
H3605	H2388

富と誉とはあなたから出ます。あなたは万有をつかさどられます。あなたの手には勢いと力があります。あなたの手はすべてのものを大いならしめ、強くされます。

13 וְעַתָּה אֱלֹהֵינוּ מוֹדִים אֲנַחְנוּ לָךְ וּמְהַלְלִים לְשֵׁם תִּפְאַרְתֶּךָ׃
そして-今 われらの-神よ 感謝します わたしたちは あなたに そして-賛美します 御名を 栄光の-あなたの
H6258 H0430 H3034 H0587 H0429 H8034 H8597

われわれの神よ、われわれは、いま、あなたに感謝し、あなたの光栄ある名をたたえます。

14 וְכִי מִי אֲנִי וּמִי עַמִּי כִּי־נַעְצֹר כֹּחַ כָּזֹאת כָּל־הַדָּבָר מִמְּךָ וּמִיָּדְךָ נָתַנּוּ לָךְ׃
そして-まことに 誰が わたしで そして-誰が わが-民で なぜなら 力を この-ように すべては あなたから なぜなら 志願する 与えた そして-あなたの-手から あなたに
H4310 H0589 H4310 H5971 H3605 H2063 H5068 H5414 H3027

しかしわれわれがこのように喜んでささげることができても、わたしは何者でしょう。わたしの民は何でしょう。すべての物はあなたから出ます。われわれはあなたから受けて、あなたにささげたのです。

15 כִּי־גֵרִים אֲנַחְנוּ לְפָנֶיךָ וְתוֹשָׁבִים כְּכָל־אֲבוֹתֵינוּ כַּצֵּל יָמֵינוּ עַל־הָאָרֶץ וְאֵין מִקְוֶה׃
なぜなら 寄留者です わたしたちは あなたの-前に そして-他国人です すべての-ように 影の-ように われらの-日々は (の上に) 地の そして-ない 望みが
H3605 H1616 H0587 H6440 H8453 H3605 H0776 H0369

われわれはあなたの前ではすべての先祖たちのように、旅びとです、寄留者です。われわれの世にある日は影のようで、長くとどまることはできません。

16 יְהוָה אֱלֹהֵינוּ כָּל־הֶהָמוֹן הַזֶּה אֲשֶׁר הֲכִינֹנוּ לִבְנוֹת־לְךָ בֵּית לְשֵׁם קָדְשֶׁךָ מִיָּדְךָ הִיא (הוּא) וְלָךְ הַכֹּל׃
主よ われらの-神よ すべての 豊かな-ものの この (それを) 準備した 建てる-ために 家を 御名の-ために 聖なる-あなたの あなたの-手から [それは] (それは) そして-あなたの-もの すべてが
H3068 H0430 H3605 H1995 H2088 H834 H3559 H1129 H1004 H8034 H6944 H3027 H1931 H1931 H3605

われわれの神、主よ、あなたの聖なる名のために、あなたに家を建てようとしてわれわれが備えたこの多くの物は皆あなたの手から出たもの、また皆あなたのものです。

17 וְיָדַעְתִּי אֱלֹהַי כִּי אַתָּה בֹּחֵן לֵבָב וּמֵישָׁרִים תִּרְצֶה לִבָּב נָתַנְתִּי כָּל־אֵלֶּה וְעַתָּה עַמְּךָ נִמְצְאוּ־פֹה בִּשִׂמְחָה רָאִיתִי לְהִתְנַדֵּב־לָךְ׃
そして-知っています わが-神よ なぜなら あなたは 探る-お方です 心を そして-正しさを 喜ぶ
H3045 H0430 H3588 H0859 H0974 H3824 H4339 H7521

あなたの-民が そして-今 これらを すべての 志願した わが-心の 正しさで わたしは
H5971 H6258 H0428 H3605 H5068 H3824 H3476 H0589

あなたに 志願する-ことを 喜びで 見た ここに 見いだされた
H5068 H8057 H7200 H6311 H4672

わが神よ、あなたは心をためし、また正直を喜ばれることを、わたしは知っています。わたしは正しい心で、このすべての物を喜んでささげました。今わたしはまた、ここにおるあなたの民が喜んで、みずから進んであなたにささげ物をするのを見ました。

18

יְהוָה֙ אֱלֹהֵ֣י אַבְרָהָ֔ם יִצְחָ֖ק וְיִשְׂרָאֵ֑ל אֲבֹתֵ֔ינוּ שָׁמְרָה־
主よ 神よ アブラハムの イサクの そして-イスラエルの われらの-父祖たちの 守って-ください
H3068 H0430 H0085 H3327 H3478 H0001 H8104

זֹּ֣את לְעוֹלָ֗ם לְיֵצֶר֙ מַחְשְׁבוֹת֙ לְבַ֣ב עַמְּךָ֔ וְהָכֵ֥ן לְבָבָ֖ם
これを 永遠に 思いとして 考えの 心の あなたの-民の そして-導いて-ください 彼らの-心を
H2063 H5769 H3336 H4284 H3824 H3824 H3824

אֵלֶֽיךָ׃
あなたに
H0413

われわれの先祖アブラハム、イサク、イスラエルの神、主よ、あなたの民の心にこの意志と精神とをいつまでも保たせ、その心をあなたに向けさせてください。

19

וְלִשְׁלֹמֹ֣ה בְנִ֗י תֵּ֤ן לֵב֙ שָׁלֵ֔ם לִשְׁמֹ֖ר מִצְוֹתֶ֑יךָ
そして-ソロモンに わが-息子に 与えて-ください 心を 全き 守る-ために あなたの-戒めと
H8010 H1121 H5414 H3824 H8003 H8104 H4687

וְלִבְנוֹת֙ הַבִּירָ֔ה אֲשֶׁר־ הַכִּינוֹתִ֖י׃ פ
そして-建てる-ために すべてを そして-行う-ために そして-あなたの-定めを あなたの-あかしと
H1129 H3605 H6213 H2708 H5715

宮殿を (それを) 準備した (段落)
H1002

またわが子ソロモンに心をつくしてあなたの命令と、あなたのあかしと、あなたのさだめとを守らせて、これをことごとく行わせ、わたしが備えをした宮を建てさせてください」。

20

וַיֹּ֣אמֶר דָּוִיד֮ לְכָל־ הַקָּהָל֒ בָּרְכ֣וּ נָ֗א אֶת־ יְהוָה֙ אֱלֹהֵיכֶ֔ם
そして-言った ダビデは すべての 会衆に 祝福せよ どうか (を) 主を あなたがたの-神を
H0559 H1732 H3605 H6951 H1288 H4994 H0853 H3068 H0430

וַיְבָרֶךְ֩ כָּל־ הַקָּהָ֨ל לַיהוָ֜ה אֱלֹהֵ֣י אֲבֹתֵיהֶ֗ם וַיִּקְּדוּ֙
そして-祝福した すべての 会衆は 主を 神を 彼らの-父祖たちの そして-ひざまずいて
H1288 H3605 H6951 H3068 H0430 H0001 H6915

וַיִּשְׁתַּחֲוּ֙ לַיהוָ֣ה וְלַמֶּ֔לֶךְ׃
そして-ひれ伏した 主に そして-王に
H7812 H3068 H4428

そしてダビデが全会衆にむかって、「あなたがたの神、主をほめたたえよ」と言ったので、全会衆は先祖たちの神、主をほめたたえ、伏して主を拝し、王に敬礼した。

21

וַיִּזְבְּח֤וּ זְבָחִים֙ וְלַיהוָ֔ה וַיַּעֲל֥וּ עֹל֖וֹת לַיהוָ֑ה לְמָחֳרַ֣ת הַיּ֔וֹם
そして-ささげた いけにえを 主に そして-ささげた 全焼の-ささげ物を 主に 翌日 日の
H2076 H2077 H3068 H5927 H3068 H4283 H3117

וַיְסָכֵיהֶם֙ וְזִבְחֵ֣י שְׁלָמִ֔ים אֶ֖לֶף כְּבָשִׂ֑ים אֶ֣לֶף אֵילִ֔ים אֶ֖לֶף פָּרִ֑ים הַהוּא֙
そして-それらの-灯祭と そして-いけにえを 千頭 子羊を 千頭 雄羊を 千頭 雄牛を その
H5262 H2077 H0505 H3532 H0505 H0505 H6499 H1931

לְכָל־ יִשְׂרָאֵ֔ל לָרֹ֖ב׃
すべての イスラエルの-ために 豊かに
H3605 H3478 H7230

そしてその翌日彼らは全イスラエルのために主に犠牲をささげた。すなわち燔祭として雄牛一千、雄羊一千、小羊一千をその灌祭と共に主にささげ、おびただしい犠牲をささげた。

22 וַיִּשְׁתּוּ וַיֹּאכְלוּ לִפְנֵי יְהוָה בַּיּוֹם הַהוּא בְּשִׂמְחָה גְּדוֹלָה וַיַּמְלִיכוּ
そして-飲んだ そして-食べた 主の 日に その 喜びで 大きな そして-王とした
H8354 H0398 H3068 H3117 H1931 H8057 H1935

לְנָגִיד לַיהוָה וַיִּמְשְׁחוּ דָּוִיד בֶּן־ לִשְׁלֹמֹה שֵׁנִית
長官として 主の-ために そして-油注いだ ダビデの 息子-で ソロモンを 二度目に
H5057 H3068 H4886 H1732 H8010 H8145

לְכֹהֵן׃ וּלְצָדוֹק
祭司として そして-ツァドクを
H3548 H6659

そしてその日、彼らは大いなる喜びをもって主の前に食い飲みした。彼らはさらに改めてダビデの子ソロモンを王となし、これに油を注いで主の君となし、またザドクを祭司とした。

23 וַיֵּשֶׁב שְׁלֹמֹה עַל־ כִּסֵּא יְהוָה לְמֶלֶךְ תַּחַת־ דָּוִיד אָבִיו
そして-座った ソロモンは (の上に) 王座に 主の 王として (の代わりに) ダビデの 彼の-父の
H3427 H8010 H5921 H3678 H3068 H4428 H8478 H1732 H0001

וַיַּצְלַח וַיִּשְׁמְעוּ אֵלָיו כָּל־ יִשְׂרָאֵל׃
そして-繁栄した そして-聞き従った 彼に すべての イスラエルが
H6743 H8085 H0413 H3605 H3478

こうしてソロモンはその父ダビデに代り、王として主の位に座した。彼は栄え、イスラエルは皆彼に従った。

24 וְכָל־ הַשָּׂרִים וְהַגִּבֹּרִים וְגַם בְּנֵי הַמֶּלֶךְ דָּוִיד
そして-すべての 長たちと そして-勇士たちと そして-また 息子たちも 王の ダビデの
H3605 H8269 H1368 H1571 H3605 H4428 H1732

נָתְנוּ יָד תַּחַת שְׁלֹמֹה הַמֶּלֶךְ׃
与えた 手を (の下に) ソロモン 王の
H5414 H3027 H8478 H8010 H4428

またすべてのつかさたち、勇士たち、およびダビデ王の王子たちも皆ソロモン王に忠誠を誓った。

25 וַיְגַדֵּל יְהוָה אֶת־ שְׁלֹמֹה לְמַעְלָה לְעֵינֵי כָּל־ יִשְׂרָאֵל
そして-大きくした 主は (を) ソロモンを 高く 目の-前で すべての イスラエルの
H1431 H3068 H0853 H8010 H4605 H5869 H3605 H3478

וַיִּתֶּן עָלָיו הוֹד מַלְכוּת אֲשֶׁר לֹא־ הָיָה עַל־ כָּל־ מַלְכֵי
そして-与えた 彼の-上に 威光を 王国の (それは) ない あった-ことの (の上に) すべての 王の
H5414 H5921 H1935 H4438 H0834 H3808 H1961 H5921 H3605 H4428

לְפָנָיו׃ עַל־ יִשְׂרָאֵל׃ פ
彼の-前の (の上に) イスラエルの (段落)
H6440 H5921 H3478

主は全イスラエルの目の前でソロモンを非常に大いならしめ、彼より前のイスラエルのどの王も得たことのない王威を彼に与えられた。

26 וְדָוִיד בֶּן־ יִשַׁי מָלַךְ עַל־ כָּל־ יִשְׂרָאֵל׃
そして-ダビデは 息子-で エッサイの 治めた (の上に) すべての イスラエルを
H1732 H3448 H4427 H5921 H3605 H3478

このようにエッサイの子ダビデは全イスラエルを治めた。

27 וְהַיָּמִים אֲשֶׁר מָלַךְ עַל־ יִשְׂרָאֵל אַרְבָּעִים שָׁנָה בְּחֶבְרוֹן מָלָךְ
そして-日々は (それらは) 治めた (の上に) イスラエルを 四十 年 ヘブロンで 治めた
H3117 H8141 H0705 H3478

וּבִירוּשָׁלַם מָלַךְ שְׁלֹשִׁים וּשְׁלוֹשׁ׃ שָׁנִים שֶׁבַע
そして-エルサレムで 治めた 三十 三 年 七
H3389 H7970 H7969 H8141 H7651

彼がイスラエルを治めた期間は四十年であった。すなわちヘブロンで七年世を治め、エルサレムで三十三年世を治めた。

28 וַיָּמָת בְּשֵׂיבָה טוֹבָה שָׂבַע יָמִים עֹשֶׁר וְכָבוֹד וַיִּמְלֹךְ שְׁלֹמֹה
そして-死んだ 老年で 良い 満ちて 日々と 富と そして-栄誉とに そして-治めた ソロモンが
H4191 H7872 H7649 H3117 H6239 H3519 H8010

בְּנוֹ תַּחְתָּיו׃
彼の-息子が 彼の-代わりに
H8478

彼は高齢に達し、年も富も誉も満ち足りて死んだ。その子ソロモンが彼に代って王となった。

29 וְדִבְרֵי דָוִיד הַמֶּלֶךְ הָרִאשֹׁנִים וְהָאַחֲרֹנִים הִנָּם כְּתוּבִים
そして-言葉は ダビデの 王の 初めの-ものと そして-後の-ものは 見よ 書かれて-いる
H1697 H1732 H4428 H7223 H0314 H2009 H3789

עַל־ דִּבְרֵי שְׁמוּאֵל הָרֹאֶה וְעַל־ דִּבְרֵי נָתָן הַנָּבִיא וְעַל־
(の上に) 言葉の サムエルの 先見者の (の上に) そして 言葉の ナタンの 預言者の そして(の上に)
H1697 H8050 H7200 H1697 H5416 H5030

דִּבְרֵי גָד הַחֹזֶה׃
言葉の ガドの 先見者の
H1697 H1410 H2374

ダビデ王の始終の行為は、先見者サムエルの書、預言者ナタンの書および先見者ガドの書にしるされている。

30 עִם כָּל־ מַלְכוּתוֹ וּגְבוּרָתוֹ וְהָעִתִּים אֲשֶׁר עָבְרוּ
(と共に) すべての 彼の-王国と そして-彼の-勇ましさと そして-時代と (それらは) 過ぎた
H6256 H1369 H4438 H3605

עָלָיו וְעַל־ יִשְׂרָאֵל וְעַל־ כָּל־ מַמְלְכוֹת הָאֲרָצוֹת׃ פ
彼の-上を そして(の上を) イスラエルの そして(の上を) すべての 王国の 諸国の (段落)
H3478 H3605 H4467 H0776

そのうちには彼のすべての政と、その力および彼とイスラエルと他のすべての国々に臨んだ事どもをしるしている。

2 Chronicles

Chapter 1

1 וַיִּתְחַזֵּק שְׁלֹמֹה בֶּן־דָּוִיד עַל־מַלְכוּתֹו וַיהוָה אֱלֹהָיו עִמֹּו וַיְגַדְּלֵהוּ לְמָעְלָה׃

וַיִּתְחַזֵּק	שְׁלֹמֹה	בֶּן־	דָּוִיד	עַל־	מַלְכוּתֹו	וַיהוָה	אֱלֹהָיו	
そして–強くなった	ソロモンは	の–息子	ダビデ	の–上に	王国を	そして–主は	彼の–神は	
H2388	H8010		H1732		H4438	H3068	H0430	

וַיְגַדְּלֵהוּ	לְמָעְלָה׃	עִמֹּו
そして–彼を–大きくされた	非常に	彼と–共に
H1431	H4605	

ダビデの子ソロモンはその国に自分の地位を確立した。その神、主が共にいまして彼を非常に大いなる者にされた。

2 וַיֹּאמֶר שְׁלֹמֹה לְכָל־יִשְׂרָאֵל לְשָׂרֵי הָאֲלָפִים וְהַמֵּאוֹת לְכָל־נָשִׂיא וּלְכָל וְלַשֹּׁפְטִים לְכֹל רָאשֵׁי יִשְׂרָאֵל לְאָבוֹת׃

וַיֹּאמֶר	שְׁלֹמֹה	לְכָל־	יִשְׂרָאֵל	לְשָׂרֵי	הָאֲלָפִים	וְהַמֵּאוֹת		
そして–言った	ソロモンは	すべての	イスラエルに	の–長たちに	千人	そして–百人の		
H0559	H8010	H3605	H3478	H8269	H0505	H3967		

וְלַשֹּׁפְטִים	וּלְכָל	נָשִׂיא	לְכָל־	יִשְׂרָאֵל	רָאשֵׁי	לְאָבוֹת׃	
そして–裁き人たちに	そして–すべての	族長	すべての	イスラエルの	頭たち	父祖たちの	
H8199	H3605		H3605	H3478		H0001	

ソロモンはすべてのイスラエルびと、すなわち千人の長、百人の長、さばきびとおよびイスラエルの全地のすべてのつかさ、氏族のかしらたちに告げた。

3 וַיֵּלֶךְ שְׁלֹמֹה וְכָל־הַקָּהָל עִמֹּו לַבָּמָה אֲשֶׁר בְּגִבְעֹון כִּי־שָׁם הָיָה אֹהֶל מֹועֵד הָאֱלֹהִים אֲשֶׁר עָשָׂה מֹשֶׁה עֶבֶד־יְהוָה בַּמִּדְבָּר׃

וַיֵּלֶךְ	שְׁלֹמֹה	וְכָל־	הַקָּהָל	עִמֹּו	לַבָּמָה	אֲשֶׁר	בְּגִבְעֹון	כִּי־	שָׁם	הָיָה	אֹהֶל	מֹועֵד
そして–行った	ソロモンは	そして–すべての	会衆は	彼と–共に	高き所へ	ところの	ギブオンに	なぜなら	そこに	あった	幕屋	会見の
H3212	H8010	H3605	H6951		H1116		H1391		H8033	H1961	H0168	H4150

הָאֱלֹהִים	אֲשֶׁר	עָשָׂה	מֹשֶׁה	עֶבֶד־	יְהוָה	בַּמִּדְבָּר׃	
神の	ところの	造った	モーセが	しもべ	主の	荒野で	
H0430		H4872	H5650		H3068		

そしてソロモンとイスラエルの全会衆はともにギベオンにある高き所へ行った。主のしもべモーセが荒野で造った神の会見の幕屋がそこにあったからである。

4 אֲבָל אֲרֹון הָאֱלֹהִים דָּוִיד הֶעֱלָה מִקִּרְיַת־יְעָרִים בָּהֵכִין לֹו דָּוִיד כִּי־נָטָה לֹו אֹהֶל בִּירוּשָׁלִָם׃

אֲבָל	אֲרֹון	הָאֱלֹהִים	דָּוִיד	הֶעֱלָה	מִקִּרְיַת־	יְעָרִים	בָּהֵכִין	לֹו	דָּוִיד	כִּי־	נָטָה־	לֹו
しかし	契約の箱を	神の	ダビデは	運び上げた		キルヤテ・エアリムから	備えた–ところへ	それの–ために	ダビデが	なぜなら	張った	それの–ために
H0061	H0727	H0430	H1732	H5927		H7157			H1732		H5186	

אֹהֶל	לֹו	בִּירוּשָׁלִָם׃	
天幕を	それの–ために	エルサレムに	
H0168		H3389	

（しかし神の箱はダビデがすでにキリアテ・ヤリムから、これのために備えた所に運び上らせてあった。ダビデはさきに、エルサレムでこれのために天幕を張って置いたからである。）

5 וּמִזְבַּח הַנְּחֹשֶׁת אֲשֶׁר עָשָׂה בְצַלְאֵל בֶּן־אוּרִי בֶּן־חוּר
そして–祭壇は 青銅の ところの 造った ベツァルエルが の–息子 ウリ の–息子 フル
H4196 H2354 H0221 H1212

וְהַקָּהָל׃ וַיִּדְרְשֵׁהוּ שְׁלֹמֹה יְהוָה מִשְׁכַּן לִפְנֵי שָׁם
そして–会衆は ソロモンは そして–尋ね求めた 主の 幕屋 の–前に 置かれていた
H6951 H8010 H1875 H3068 H4908 H6440

またホルの子であるウリの子ベザレルが造った青銅の祭壇がその所の主の幕屋の前にあり、ソロモンおよび会衆は主に求めた。

6 לְאֹהֶל אֲשֶׁר יְהוָה לִפְנֵי הַנְּחֹשֶׁת מִזְבַּח עַל־ שָׁם שְׁלֹמֹה וַיַּעַל
の–幕屋 ところの 主 の–前で 青銅の 祭壇 の–上の そこで ソロモンは そして–上った
H0168 H3068 H6440 H4196 H8033 H8010 H5927

אָלֶף׃ עֹלוֹת עָלָיו וַיַּעַל מוֹעֵד
千 全焼のいけにえを その–上に そして–ささげた 会見の
H0505 H5927 H4150

ソロモンはそこに上って行って、会見の幕屋のうちにある主の前の青銅の祭壇に燔祭一千をささげた。

7 בַּלַּיְלָה הַהוּא נִרְאָה אֱלֹהִים לִשְׁלֹמֹה וַיֹּאמֶר לוֹ שְׁאַל מָה
その–夜に その 現れた 神は ソロモンに そして–言った 彼に 求めよ 何を
H3915 H1931 H7592 H0430 H7200 H0559 H7592 H4100

לָךְ׃ אֶתֵּן־
あなたに わたしが–与えようか
H5414

その夜、神はソロモンに現れて言われた、「あなたに何を与えようか、求めなさい」。

8 חֶסֶד אָבִי דָּוִיד עִם־ עָשִׂיתָ אַתָּה לֵאלֹהִים שְׁלֹמֹה וַיֹּאמֶר
恵みを わたしの–父に ダビデ と–共に 行われた あなたは 神に ソロモンは そして–言った
H0001 H1732 H6213 H0430 H8010 H0559

תַּחְתָּיו׃ וְהִמְלַכְתָּנִי גָּדוֹל
彼に–代わって そして–私を–王とされた 大きな
H8478

ソロモンは神に言った、「あなたはわたしの父ダビデに大いなるいつくしみを示し、またわたしを彼に代って王とされました。

9 אָבִי דָּוִיד עִם דְּבָרְךָ יֶאֱמַן אֱלֹהִים יְהוָה עַתָּה
わたしの–父への ダビデ と–共に あなたの–言葉が 確かにされますように 神よ 主よ 今
H0001 H1732 H1697 H0539 H0430 H3068 H6258

הָאָרֶץ׃ כַּעֲפַר רַב עַם עַל־ הִמְלַכְתַּנִי אַתָּה כִּי
地の 地の–塵のように 多い 民 の–上に 私を–王とされた あなたは なぜなら
H0776 H6083

主なる神よ、どうぞわが父ダビデに約束された事を果してください。あなたは地のちりのような多くの民の上にわたしを立てて王とされたからです。

10 הַזֹּאת הָעָם־ לִפְנֵי וְאֵצְאָה לִי תֵּן־ וּמַדָּע חָכְמָה עַתָּה
この この–民 の–前で そして–出て行き 私に 与えてください 知識を 知恵と 今
H2088 H6440 H3318 H5414 H4093 H2451 H6258

ס הַגָּדוֹל׃ הַזֶּה עַמְּךָ אֶת־ יִשְׁפֹּט מִי כִּי־ וְאָבוֹאָה
— 大いなる この あなたの–民 を 裁くことができようか 誰が なぜなら そして–入って来る
H2088 H0853 H8199 H4310 H0935

この民の前に出入りすることのできるように今わたしに知恵と知識とを与えてください。だれがこのような大いなるあなたの民をさばくことができましょうか」。

11 וַיֹּאמֶר־ לִשְׁלֹמֹה וְאֱלֹהִים
そして-言った ソロモンに 神は
H0559 H8010 H0430

יַעַן אֲשֶׁר הָיְתָה זֹּאת עִם־
であるから ところの あった この-ことが と-共に
H3282 H1961 H2063

לְבָבֶךָ בְּ וְלֹא־ שָׂאַלְתָּ עֹשֶׁר וְנְכָסִים וְכָבוֹד וְאֶת נֶפֶשׁ
あなたの-心に そして-なかった 求めた 富も 財産も そして-栄誉も そして 命を
H3824 H7592 H3808 H6239 H5233 H3519 H0853 H5315

שֹׂנְאֶיךָ וְגַם־ יָמִים רַבִּים לֹא שָׂאָלְתָּ וַתִּשְׁאַל־ לְךָ
あなたの-敵たちの そして-また 日々 多くの なく 求めたが そして-求めた あなたの-ために
H8130 H1571 H3117 H3808 H7592 H7592

חָכְמָה וּמַדָּע נִתַּן־ לָךְ וְחָכְמָה וְנְכָסִים וְכָבוֹד אֲשֶׁר לֹא־ הָיָה כֵן לַמְּלָכִים אֲשֶׁר לְפָנֶיךָ וְאַחֲרֶיךָ לֹא־ יִהְיֶה־ כֵּן׃
知恵と 知識を 与えられた あなたに そして-富と 財産と 栄誉を 私が-あなたを-王とした ところの 王たちに あなたの-前の そして-あなたの-後にも ない あるであろう ところの そのように
H2451 H4093 H5414 H6239 H5233 H3519 H4428 H6440 H3808 H1961 H3808 H3651

神はソロモンに言われた、「この事があなたの心にあって、富をも、宝をも、誉をも、またあなたを憎む者の命をも求めず、また長命をも求めず、ただわたしがあなたを立てて王としたわたしの民をさばくために知恵と知識とを自分のために求めたので、

12 חָכְמָה וּמַדָּע נִתַּן־ לָךְ וְחָכְמָה וְנְכָסִים וְכָבוֹד אֶתֵּן־ לָךְ
知恵と 知識は 与えられた あなたに そして-富と 財産と 栄誉を わたしは-与える あなたに
H2451 H4093 H5414 H6239 H5233 H3519 H5414

אֲשֶׁר לַמְּלָכִים לְפָנֶיךָ אֲשֶׁר וְאַחֲרֶיךָ
ところの 王たちに あなたの-前の ところの そして-あなたの-後にも
H4428 H6440

לֹא־ הָיָה כֵן לֹא־ יִהְיֶה־ כֵּן׃
なかった あった そのように ない あるであろう そのように
H3808 H1961 H3808 H3651

知恵と知識とはあなたに与えられている。わたしはまたあなたの前の王たちの、まだ得たことのないほどの富と宝と誉とをあなたに与えよう。あなたの後の者も、このようなものを得ないでしょう」。

13 וַיָּבֹא שְׁלֹמֹה לַבָּמָה אֲשֶׁר־ בְּגִבְעוֹן יְרוּשָׁלַם מִלִּפְנֵי אֹהֶל
そして-来た ソロモンは 高き所から ところの ギブオンに-ある エルサレムへ の-前から 幕屋
H0935 H8010 H1116 H0834 H1391 H3389 H6440 H0168

מוֹעֵד וַיִּמְלֹךְ עַל־ יִשְׂרָאֵל׃ פ
会見の そして-治めた の-上に イスラエルを —
H4150 H3478

それからソロモンはギベオンの高き所を去り、会見の幕屋の前を去って、エルサレムに帰り、イスラエルを治めた。

14 וַיֶּאֱסֹף שְׁלֹמֹה רֶכֶב וּפָרָשִׁים וַיְהִי־לוֹ אֶלֶף וְאַרְבַּע־מֵאוֹת
そして-集めた ソロモンは 戦車と 騎兵を あった-そして 彼には 千 そして-四 百の
H0622 H8010 H7393 H6484 H1961 H0505 H0702 H3967

רֶכֶב וּשְׁנֵים־עָשָׂר אֶלֶף פָּרָשִׁים וַיַּנִּיחֵם בְּעָרֵי הָרֶכֶב וְעִם־
戦車と そして-二 十 千の 騎兵が 配置した の-町々に 戦車の そして-と共に
H7393 H8147 H6240 H0505 H6484 H3240 H7393

הַמֶּלֶךְ בִּירוּשָׁלִָם׃
王 エルサレムに
H4428 H3389

ソロモンは戦車と騎兵とを集めたが、戦車一千四百両、騎兵一万二千人あった。ソロモンはこれを戦車の町々と、エルサレムの王のもとに置いた。

15 וַיִּתֵּן הַמֶּלֶךְ אֶת־הַכֶּסֶף וְאֶת־הַזָּהָב בִּירוּשָׁלִַם כָּאֲבָנִים וְאֶת
した 王は を 銀を そして 金を エルサレムで 石のように そして
H5414 H4428 H0853 H3701 H0853 H2091 H3389 H0068 H0853

הָאַרְזִים כַּשִּׁקְמִים אֲשֶׁר־בַּשְּׁפֵלָה לָרֹב׃
杉の木を いちじく桑のように ところの 低地に-ある 豊富に
H0730 H8256 H0834 H8219 H7230

王は銀と金を石のようにエルサレムに多くし、香柏を平野のいちじく桑のように多くした。

16 וּמוֹצָא סֹחֲרֵי הַמֶּלֶךְ מִקְוֵה יִקְחוּ בְּמִחִיר׃
産地は そして-クエから 商人たちは エジプトから ソロモンの-ための ところの 馬の
H4161 H4428 H6299 H3947 H4242

מִקְוֵה וּמוֹצָא סֹחֲרֵי מִמִּצְרַיִם לִשְׁלֹמֹה אֲשֶׁר הַסּוּסִים
そして-クエから 商人たちは エジプトから ソロモンの-ための ところの 馬の
H6299 H4161 H5503 H4714 H8010 H0834 H5483

ソロモンが馬を輸入したのはエジプトとクエからであった。すなわち王の貿易商人がクエから代価を払って受け取って来た。

17 וַיַּעֲלוּ וַיּוֹצִיאוּ מִמִּצְרַיִם מֶרְכָּבָה בְּשֵׁשׁ מֵאוֹת כֶּסֶף וְסוּס
そして-運び上げた そして-持ち出した エジプトから 戦車を 六 百の 銀で そして-馬を
H5927 H3318 H4714 H4818 H8337 H3967 H3701 H5483

בַּחֲמִשִּׁים וּמֵאָה וְכֵן לְכָל־מַלְכֵי הַחִתִּים וּמַלְכֵי אֲרָם
百 五十で そして-同様に すべての 王たちに ヒッタイトの そして-王たちに アラムの
H2572 H3967 H3651 H3605 H4428 H2850 H4428 H0758

יוֹצִיאוּ׃ בְּיָדָם
輸出した 彼らの-手で
H3318 H3027

彼らはエジプトから戦車一両を銀六百シケルで輸入し、馬一頭を銀百五十で輸入した。同じようにこれらのものが彼らによってヘテびとのすべての王たち、およびスリヤの王たちにも輸出された。

Chapter 2

1 וַיֹּאמֶר שְׁלֹמֹה לִבְנוֹת בַּיִת לְשֵׁם יְהוָה וּבַיִת לְמַלְכוּתוֹ׃
そして-言った ソロモンは 建てると 家を の-名のために 主 そして-家を 彼の-王国のための
H0559 H8010 H1129 H1004 H8034 H3068 H1004 H4438

さてソロモンは主の名のために一つの宮を建て、また自分のために一つの王宮を建てようと思った。

2

וַיִּסְפֹּר שְׁלֹמֹה שִׁבְעִים אֶלֶף אִישׁ אִישׁ אֶלֶף וּשְׁמוֹנִים אֶלֶף סַבָּל
そしてソロモンは七十千の人を そして-数えた 七十千の人を そして-八十千の人を 荷を-運ぶ者
H8010 H7657 H0505 H0376 H5449 H8084 H0505 H0376

וְשֵׁשׁ מֵאוֹת׃ פ וְאַלְפַּיִם שְׁלֹשֶׁת עֲלֵיהֶם וּמְנַצְּחִים בָּהָר חֹצֵב
そして-六百 一 千 三 彼らの-上に そして-監督者が 山で 石を-切る者
H8337 H3967 H0505 H7969 H5329 H2022 H2672

そしてソロモンは荷を負う者七万人、山で石を切り出す者八万人、これらを監督する者三千六百人を数え出した。

3

וַיִּשְׁלַח שְׁלֹמֹה אֶל־ חוּרָם מֶלֶךְ־ צֹר לֵאמֹר כַּאֲשֶׁר עָשִׂיתָ
そして-送った ソロモンは に フラム 王 ツロの 言って ように あなたが-なさった
H7971 H8010 H0413 H2361 H4428 H6865 H0559

עִם־ דָּוִיד אָבִי וַתִּשְׁלַח־ לוֹ אֲרָזִים לִבְנוֹת־ לוֹ בַּיִת
と-共に ダビデ わたしの-父に そして-送った 彼に 杉の木を 建てる-ために 彼の-ために 家を
H1732 H0001 H7971 H0730 H1129

לָשֶׁבֶת׃ בּוֹ
住む-ための その-中に
H3427

ソロモンはまずツロのヒラムに人をつかわして言わせた、「あなたはわたしの父ダビデに、その住むべき家を建てるために香柏を送られました。どうぞ彼にされたように、わたしにもして下さい。

4

הִנֵּה אֲנִי בֹנֶה־ בַּיִת לִשְׁמ֣וֹ וְלַיהוָה אֱלֹהָי לְהַקְדִּישׁ לוֹ
見よ わたしは 建てている 家を の-名のために 主 わたしの-神の 聖別する-ために それを
H2009 H0589 H1129 H8034 H3068 H0430 H6942

לְהַקְטִיר לְפָנָיו קְטֹרֶת־ סַמִּים וּמַעֲרֶכֶת תָּמִיד וְעֹלוֹת לַבֹּקֶר
御前で 焚く-ために 香を 香料の そして-並べた-パンと 常に そして-全焼のいけにえを 朝に
H6440 H7004 H5561 H4635 H8548 H1242

וְלָעֶרֶב וְלַשַּׁבָּתוֹת וְלֶחָדָשִׁים וְלַמּוֹעֲדֵי יְהוָה אֱלֹהֵינוּ לְעוֹלָם זֹאת
そして-夕べに 安息日に そして-新月に そして-祭りに 主 わたしたちの-神の 永遠に これは
H6153 H7676 H2320 H4150 H3068 H0430 H5769 H2063

עַל־ יִשְׂרָאֵל׃
の-上に イスラエル
H3478

見よ、わたしはわが神、主の名のために一つの家を建て、これを聖別して彼にささげ、彼の前にこうばしい香をたき、常供のパンを供え、また燔祭を安息日、新月、およびわれらの神、主の定めの祭に朝夕ささげ、これをイスラエルのながく守るべき定めにしようとしています。

5

וְהַבַּיִת אֲשֶׁר־ אֲנִי בוֹנֶה גָּדוֹל כִּי־ גָדוֹל אֱלֹהֵינוּ
そして-家は ところの わたしが 建てる 大きい なぜなら 大きい わたしたちの-神は
H1129 H0589 H0430

מִכָּל־ הָאֱלֹהִים׃
すべての-より 神々
H3605 H0430

またわたしの建てる家は大きな家です。われらの神はすべての神よりも大いなる神だからです。

6

הַשָּׁמַיִם	כִּי	בַּיִת	לוֹ	לִבְנוֹת־	כֹּחַ	יַעֲצָר־	וּמִי	
天も	なぜなら	家を	彼の–ために	建てる–ため	力を	力を–持てようか	そして–誰が	
H8064				H1129		H6113	H4310	

אֶבְנֶה־	אֲשֶׁר	אָנִי	וּמִי	יְכַלְכְּלֶהּוּ	לֹא	הַשָּׁמַיִם	וּשְׁמֵי	
建てようか	ところの	わたしは	そして–誰が	容れることが–できない	ない	天も	そして–天の	
H1129		H0589	H4310	H3557	H3808	H8064	H8064	

לְפָנָיו׃	לְהַקְטִיר	אִם־	כִּי	בַּיִת	לוֹ
御前で	焚く–ために	のみ	ただ	家を	彼の–ために
H6440					

しかし、天も、諸天の天も彼を入れることができないのに、だれが彼のために家を建てることができましょうか。わたしは何者ですか、彼のために家を建てるというのも、ただ彼の前に香をたく所に、ほかならないのです。

7

וּבַכֶּסֶף	בַּזָּהָב	לַעֲשׂוֹת	חָכָם	אִישׁ־	לִי	שְׁלַח־	וְעַתָּה	
そして–銀で	金で	働く–ための	賢い	人を	わたしに	送ってください	そして–今	
H3701	H2091		H2450	H0376		H7971	H6258	

פִּתּוּחִים	לְפַתֵּחַ	וְיֹדֵעַ	וּתְכֶלֶת	וְכַרְמִיל	וּבָאַרְגָּמָן	וּבַבַּרְזֶל	וּבַנְּחֹשֶׁת	
彫刻を	彫る	そして–知る–者	そして–青で	深紅で	そして–紫で	そして–鉄で	そして–青銅で	
H6603		H3045	H8504	H3758	H0710	H1270		

הֵכִין	אֲשֶׁר	וּבִירוּשָׁלִַם	בִּיהוּדָה	עִמִּי	אֲשֶׁר	חַכְמִים	עִם־
備えた	ところの	そして–エルサレムに	ユダに	わたしと–共にいる	ところの	職人たち	と–共に
		H3389	H3063			H2450	

אָבִי׃	דָּוִיד
わたしの–父が	ダビデが
H0001	H1732

それで、どうぞ金、銀、青銅、鉄の細工および紫糸、緋糸、青糸の織物にくわしく、また彫刻の術に巧みな工人ひとりをわたしに送って、父ダビデが備えておいたユダとエルサレムのわたしの工人たちと一緒に働かせてください。

8

כִּי	מִלְּבָנוֹן	וְאַלְגּוּמִּים	בְּרוֹשִׁים	אֲרָזִים	עֲצֵי	לִי	וְשִׁלַּח־
なぜなら	レバノンから	そして–白檀を	もみの木を	杉の	木を	わたしに	そして–送ってください
	H3844	H0418	H1265	H0730	H6086		H7971

לְבָנוֹן	עֲצֵי	לִכְרֹת	יוֹדְעִים	עֲבָדֶיךָ	אֲשֶׁר	יָדַעְתִּי	אֲנִי	
レバノンの	木を	切ることを	知っている	あなたの–しもべたちは	ところの	知っている	わたしは	
H3844	H6086	H3772	H3045	H5650		H3045	H0589	

עֲבָדֶיךָ׃	עִם־	עֲבָדַי	וְהִנֵּה	
あなたの–しもべたちと	と–共に	わたしの–しもべたちが	そして–見よ	
H5650		H5650	H2009	

またどうぞレバノンから香柏、いとすぎ、びゃくだんを送ってください。わたしはあなたのしもべたちがレバノンで木を切ることをよくわきまえているのを知っています。わたしのしもべたちも、あなたのしもべたちと一緒に働かせ、

9

אֲנִי	אֲשֶׁר־	הַבַּיִת	כִּי	לָרֹב	עֵצִים	לִי	וְלַהֲכִין	
わたしが	ところの	家は	なぜなら	豊富に	木を	わたしの–ために	そして–備える–ために	
H0589				H7230	H6086			

וְהַפְלֵא׃	גָּדוֹל	בּוֹנֶה
そして–驚くべき	大きく	建てる
H6381		H1129

わたしのためにたくさんの材木を備えさせてください。わたしの建てる家は非常に広大なものですから。

10 וְהִנֵּה לַחֹטְבִים עֵצֵי הַגִּתִּים לְכֹרְתֵי נָתַתִּי חִטִּים מַכּוֹת
そして-見よ 木を-切る者たちに 木を 伐採する者たちに わたしは-与えた 小麦を 打った
H2009 H2404 H6086 H3772 H5414 H2406 H4347

כֹּרִים עֶשְׂרִים אֶלֶף וּשְׂעֹרִים כֹּרִים עֶשְׂרִים אֶלֶף לַעֲבָדֶיךָ
コル 二十 千 そして-大麦を コル 二十 千 あなたの-しもべたちに
H2242 H0505 H8184 H2242 H0505 H5650

וְיַיִן בַּתִּים עֶשְׂרִים אֶלֶף וְשֶׁמֶן בַּתִּים עֶשְׂרִים אֶלֶף׃ פ
そして-ぶどう酒を バテ 二十 千 そして-油を バテ 二十 千 一
H3196 H1324 H6242 H0505 H8081 H1324 H6242 H0505

わたしは木を切るあなたのしもべたちに砕いた小麦二万コル、大麦二万コル、ぶどう酒二万バテ、油二万バテを与えます」。

11 וַיֹּאמֶר חוּרָם מֶלֶךְ־צֹר בִּכְתָב וַיִּשְׁלַח אֶל־שְׁלֹמֹה אַהֲבַת
そして-言った フラムは 王- ツロの 書面で そして-送った に ソロモン の-愛のゆえに
H0559 H2361 H4428 H6865 H3791 H7971 H0413 H8010 H0160

יְהוָה אֶת־עַמּוֹ נָתָנְךָ עֲלֵיהֶם מֶלֶךְ׃
主 を その-民を あなたを-立てた 彼らの-上に 王として
H3068 H0853 H5414 H4428

そこでツロの王ヒラムは手紙をソロモンに送って答えた、「主はその民を愛するゆえに、あなたを彼らの王とされました」。

12 וַיֹּאמֶר חוּרָם בָּרוּךְ יְהוָה אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל אֲשֶׁר עָשָׂה אֶת־
そして-言った フラムは ほむべき-かな 主 神 イスラエルの ところの 造られた を
H0559 H2361 H1288 H3068 H0430 H3478 H0834 H6213 H0853

הַשָּׁמַיִם וְאֶת־הָאָרֶץ אֲשֶׁר נָתַן לְדָוִיד הַמֶּלֶךְ בֶּן חָכָם יוֹדֵעַ שֵׂכֶל
天を そして 地を ところの 与えた ダビデに 王 の-息子 賢い 知る 知恵と
H8064 H0853 H0776 H0834 H5414 H1732 H4428 H1121 H2450 H3045 H7922

וּבִינָה אֲשֶׁר יִבְנֶה־בַּיִת לַיהוָה וּבַיִת לְמַלְכוּתוֹ׃
そして-理解を ところの 建てる 家を 主の-ために そして-家を 彼の-王国のための
H0998 H0834 H1129 H1004 H3068 H1004 H4438

ヒラムはまた言った、「天地を造られたイスラエルの神、主はほむべきかな。彼はダビデ王に賢い子を与え、これに分別と知恵を授けて、主のために宮を建て、また自分のために、王宮を建てることをさせられた。

13 וְעַתָּה שָׁלַחְתִּי אִישׁ־יוֹדֵעַ חָכָם בִּינָה לְחוּרָם אָבִי׃
そして-今 わたしは-送った 人を 賢い 理解を フラム わたしの-父の
H6258 H7971 H0376 H2450 H0998 H2361 H0001

いまわたしは達人ヒラムという知恵のある工人をつかわします。

14 בֶּן־אִשָּׁה מִן־בְּנוֹת דָּן וְאָבִיו אִישׁ־צֹרִי יוֹדֵעַ לַעֲשׂוֹת
の-息子 女の から 娘たちの ダンの そして-彼の-父は 人 ツロの 知る-者 働く-ための
H1121 H0802 H4480 H1323 H1835 H1931 H0376 H6876 H3045 H6213

וּבַבּוּץ בַּתְכֵלֶת וּבָאַרְגָּמָן וּבְעֵצִים בָּאֲבָנִים בַּבַּרְזֶל בַּנְחֹשֶׁת וּבַכֶּסֶף
そして-亜麻布で 青で 紫で そして-木で 石で 鉄で 青銅で そして-銀で
H0948 H8504 H0713 H6086 H0068 H1270 H5178 H3701

בַּזָּהָב־ וּבַכַּרְמִיל וּלְפַתֵּחַ כָּל־ וְלַחְשֹׁב פִּתּוּחַ כָּל־ מַחֲשֶׁבֶת אֲשֶׁר
金で そして-深紅で そして-彫る すべての そして-考案する 彫刻を すべての 計画を ところの
H2091 H8347 H6603 H3605 H2803 H6603 H3605 H4284 H0834

אָבִיךָ׃ דָּוִיד אֲדֹנִי וְחַכְמֵי חָכְמֶיךָ עִם־ לוֹ יִנָּתֶן־
あなたの-父の ダビデ わが-主 そして-職人たち あなたの-職人たち と-共に 彼に 与えられる
H0001 H1732 H0113 H2450 H2450 H5973 H0834 H5414

彼はダンの子孫である女を母とし、ツロの人を父とし、金銀、青銅、鉄、石、木の細工および紫糸、青糸、亜麻糸、緋糸の織物にくわしく、またよくもろもろの彫刻をし、意匠を凝らしてもろもろの工作をします。彼を用いてあなたの工人およびあなたの父、わが主ダビデの工人と一緒に働かせなさい。

15 וְעַתָּה
今
H6258
הַחִטִּים
小麦と
H2406
וְהַשְּׂעֹרִים
そして-大麦と
H8184
הַשֶּׁמֶן
油と
H8081
וְהַיַּיִן
そして-ぶどう酒を
H3196
אֲשֶׁר
ところの
אָמַר
言った
H0559
אֲדֹנִי
わが-主が
H0113
יִשְׁלַח׃
送ってください
H7971
לַעֲבָדָיו׃
しもべたちに
H5650

それでいまわが主の言われた小麦、大麦、油およびぶどう酒をそのしもべどもに送ってください。

16 וַאֲנַחְנוּ
そして-わたしたちは
H0587
נִכְרֹת
切る
H3772
עֵצִים
木を
H6086
מִן־
から
הַלְּבָנוֹן
レバノン
H3844
כְּכָל־
すべての-とおりに
H3605
צָרְכְּךָ
あなたの-必要に
H6878

וְנָבִיאֵם
そして-運ぶ
H0935
לְךָ
あなたに
רַפְסֹדוֹת
いかだで
H7513
עַל־
の-上を
יָם
海
H3220
יָפוֹ
ヤッフォへ
H3305
וְאַתָּה
そして-あなたが
תַּעֲלֶה
運び上げる
H5927
אֹתָם
それらを
H0853

פ
—
יְרוּשָׁלִָם׃
エルサレムへ
H3389

あなたの求められる材木はレバノンから切りだし、いかだに組んで、海からヨッパに送ります。あなたはそれをエルサレムに運び上げなさい」。

17 וַיִּסְפֹּר
そして-数えた
שְׁלֹמֹה
ソロモンは
H8010
כָּל־
すべての
H3605
הָאֲנָשִׁים
人々を
H0376
הַגֵּרִים
寄留者の
H1616
אֲשֶׁר
ところの
בְּאֶרֶץ
の-地に
H0776
יִשְׂרָאֵל
イスラエル
H3478
אַחֲרֵי
の-後に

הַסְּפָר
数えること
H5610
אֲשֶׁר
ところの
סְפָרָם
数えた
דָּוִיד
ダビデが
H1732
אָבִיו
彼の-父が
H0001
וַיִּמָּצְאוּ
そして-見いだされた
H4672
מֵאָה
百
H3967
וַחֲמִשִּׁים
そして-五十
H2572
אֶלֶף
千
H0505

וּשְׁלֹשֶׁת
そして-三
H7969
אֲלָפִים
千
H0505
וְשֵׁשׁ
そして-六
H8337
מֵאוֹת׃
百
H3967

そこでソロモンはその父ダビデが数えたようにイスラエルの国にいるすべての他国人を数えたが、合わせて十五万三千六百人あった。

18 וַיַּעַשׂ
そして-した
מֵהֶם
彼らの-うちから
H1992
שִׁבְעִים
七十
H7657
אֶלֶף
千を
H0505
סַבָּל
荷を-運ぶ者に
H5449
וּשְׁמֹנִים
そして-八十
H8084
אֶלֶף
千を
H0505
חֹצֵב
石を-切る者に
H2672

בָּהָר
山で
H2022
וּשְׁלֹשֶׁת
そして-三
H7969
אֲלָפִים
千
H0505
וְשֵׁשׁ
そして-六
H8337
מֵאוֹת
百を
H3967
מְנַצְּחִים
監督者に
H5329
לְהַעֲבִיד
働かせる-ため
H5647
אֶת־
を
H0853
הָעָם׃
民を

彼はその七万人を荷を負う者とし、八万人を山で木や石を切る者とし、三千六百人を民を働かせる監督者とした。

Chapter 3

1 וַיָּ֣חֶל שְׁלֹמֹ֗ה לִבְנ֛וֹת אֶת־בֵּ֥ית יְהוָ֖ה בִּירוּשָׁלַ֑͏ִם בְּהַר֙ הַמֹּרִיָּ֔ה
そして-始めた ソロモンは 建てることを を 家を 主の エルサレムに の-山に モリヤ
H2022 H3389 H3068 H0853 H1129 H8010 H4179

אֲשֶׁ֤ר נִרְאָה֙ לְדָוִ֣יד אָבִ֔יהוּ אֲשֶׁ֥ר הֵכִ֖ין בִּמְקוֹם֙ דָּוִ֔יד בְּגֹ֥רֶן
ところの 現れた ダビデに 彼の-父に ところの 備えた の-場所に ダビデの の-打ち場に
H7200 H1732 H0001 H4725 H1637

אָ֣רְנָ֔ן הַיְבוּסִֽי׃
オルナン エブス人の
H0771 H2983

ソロモンはエルサレムのモリアの山に主の宮を建てることを始めた。そこは父ダビデに主が現れられた所、すなわちエブスびとオルナンの打ち場にダビデが備えた所である。

2 וַיָּ֣חֶל לִבְנ֔וֹת בַּחֹ֥דֶשׁ הַשֵּׁנִ֖י בַּשָּׁנָ֣ה הַשֵּׁנִ֑ית בִּשְׁנַ֥ת אַרְבַּ֛ע לְמַלְכוּת֖וֹ׃
そして-始めた 建てることを の-月に 第二の 第二の の-年の 四 彼の-治世の
H1129 H2320 H8145 H8145 H8141 H0702 H4438

ソロモンが宮を建て始めたのは、その治世の四年の二月であった。

3 וְאֵ֙לֶּה֙ יִסַּ֣ד שְׁלֹמֹ֔ה לִבְנ֖וֹת אֶת־בֵּ֣ית הָאֱלֹהִ֑͏ים הָאַמּ֣וֹת בַּמִּדָּ֔ה הָרִאשֹׁנָ֖ה
そして-これらが 基礎とされた ソロモンの 建てる-ための を 家を 神の 長さは
H0428 H3245 H8010 H1129 H0853 H0430 H0753

אַמָּ֥ות שִׁשִּׁ֖ים וְרֹ֣חַב אַמָּ֑ות עֶשְׂרִֽים׃
キュビト 六十 そして-幅は キュビト 二十
H8346 H7341 H6242

ソロモンの建てた神の宮の基の寸法は次のとおりである。すなわち昔の尺度によれば長さ六十キュビト、幅二十キュビト、

4 וְהָאוּלָ֗ם אֲשֶׁ֤ר עַל־פְּנֵי֙ רֹ֣חַב הַבַּ֔יִת אַמּ֖וֹת עַל־פְּנֵ֣י הָאֹ֑רֶךְ
そして-玄関は ところの の-前の 面 幅の 家の キュビト の-前の 面 長さの
H0197 H6440 H7341 H6440 H0753

עֶשְׂרִ֣ים וְגָבַ֔הּ מֵאָ֖ה וְעֶשְׂרִ֣ים וַיְצַפֵּ֑הוּ מִפְּנִימָ֖ה זָהָ֥ב טָהֽוֹר׃
二十 高さは そして- 百 二十 そして-覆った 内側を 金で 純粋な
H6242 H1363 H3967 H6242 H6823 H6441 H2091 H2889

宮の前の廊は宮の幅に従って長さ二十キュビト高さ百二十キュビトで、その内部は純金でおおった。

5 וְאֶת־הַבַּ֣יִת הַגָּד֗וֹל חִפָּ֙הוּ֙ עֵ֣ץ בְּרוֹשִׁ֔ים וַיְחַפֵּ֖הוּ זָהָ֣ב טָ֑וֹב וַיַּ֖עַל
そして 家を 大きい 張った 木で もみの木の そして-覆った 金で 良い そして-上げた
H0853 H1004 H2645 H6086 H1265 H2645 H2091 H0375 H5927

עָלָ֥יו תְּמָרִ֖ים וְשַׁרְשְׁרוֹת׃
その-上に なつめの木を そして-鎖を
H8561 H8333

宮の前の廊は宮の幅に従って長さ二十キュビト高さ百二十キュビトで、その内部は純金でおおった。

またその拝殿はいとすぎの板で張り、精金をもってこれをおおい、その上にしゅろと鎖の形を施した。

6 וַיְצַ֤ף אֶת־הַבַּ֙יִת֙ אֶ֣בֶן יְקָרָ֔ה לְתִפְאֶ֖רֶת וְהַזָּהָ֥ב זְהַ֖ב פַּרְוָֽיִם׃
そして-覆った を 家を 石で 貴重な 美の-ために そして-金は 金 パルヴァイムの
H6823 H0853 H0068 H3368 H8597 H2091 H2091 H6516

また宝石をはめ込んで宮を飾った。その金はパルワイムの金であった。

7 וַיְחַף הַבַּיִת אֶת־ הַקֹּרוֹת הַסִּפִּים וְקִירוֹתָיו וְדַלְתוֹתָיו וַיְצַף זָהָב וַיַּפְתַּח
そして-覆った 家を を 梱を 敷居を そして-壁を そして-扉を 金で そして-彫った
H2645 H0853 H6982 H5592 H7023 H1817 H2091

כְּרוּבִים עַל־ הַקִּירוֹת׃ ס
ケルビムを の-上に 壁に —
H3742 H5921 H7023

彼はまた金をもってその宮、すなわち、梁、敷居、壁および戸をおおい、壁の上にケルビムを彫りつけた。

8 וַיַּעַשׂ אֶת־ בֵּית קֹדֶשׁ הַקָּדָשִׁים אָרְכּוֹ עַל־ פְּנֵי רֹחַב הַבַּיִת
そして-造った を 家を 聖なる 至聖所の その-長さは の-前の 幅の 家の
H0853 H1004 H6944 H6944 H0753 H6440 H7341 H1004

עֶשְׂרִים אַמּוֹת וְרָחְבּוֹ עֶשְׂרִים אַמּוֹת וַיְחַפֵּהוּ זָהָב טוֹב לְכִכָּרִים שֵׁשׁ
二十 キュビト そして-幅は 二十 キュビト そして-覆った 金で 良い タラントで 六
H6242 H0520 H7341 H6242 H0520 H2645 H2091 H2896 H3603 H8337

מֵאוֹת׃
百
H3967

彼はまた至聖所を造った。その長さは宮の長さにしたがって二十キュビト、幅も二十キュビトである。彼は精金六百タラントをもってこれをおおった。

9 וּמִשְׁקַל לִמְסְמְרוֹת זָהָב חֲמִשִּׁים לִשְׁקָלִים וְהָעֲלִיּוֹת זָהָב׃ חִפָּה
そして-重さは 釘の-ための 五十 シェケルで 金の そして-上の-部屋を 金で 覆った
H4948 H4548 H2572 H8255 H2091 H5944 H2091 H2645

その釘の金の重さは五十シケルであった。彼はまた階上の室も金でおおった。

10 וַיַּעַשׂ בְּבֵית קֹדֶשׁ הַקָּדָשִׁים שְׁנַיִם כְּרוּבִים מַעֲשֵׂה צַעֲצֻעִים וַיְצַפּוּ
そして-造った の-家に 聖なる 至聖所の 二つの ケルビムを 仕事 彫り物の そして-覆った
H6213 H1004 H6944 H6944 H8147 H3742 H4639 H6816 H6823

אֹתָם זָהָב׃
それらを 金で
H0853 H2091

彼は至聖所に木を刻んだケルビムの像を二つ造り、これを金でおおった。

11 וְכַנְפֵי הַכְּרוּבִים אָרְכָּם עֶשְׂרִים אַמּוֹת כְּנַף הָאֶחָד חָמֵשׁ לְאַמַּת
そして-翼は ケルビムの その-長さは 二十 キュビト 翼は 一つの 五 の-キュビト
H3671 H3742 H0753 H6242 H0520 H3671 H0259 H2568 H0520

הַכֵּרוּב לְכְנַף מַגַּיַע חָמֵשׁ אַמּוֹת הָאַחֶרֶת וְכַנָּף לְקִיר הַבַּיִת וְכַנָּף
ケルブ の-翼に 届いていた 五 キュビト もう一つの そして-翼は の-壁に 家の そして-翼は
H3742 H3671 H5060 H2568 H0520 H0312 H3671 H7023 H1004 H3671

הָאַחֵר׃
もう一つの
H0312

ケルビムの翼の長さは合わせて二十キュビトあった。すなわち一つのケルブの一つの翼は五キュビトで、宮の壁に届き、ほかの翼も五キュビトで、他のケルブの翼に届き、

12 וְכַנַּף הָאֶחָד הַכְּרוּב הָאַחֶרֶת אַמּוֹת חָמֵשׁ מַגִּיַע לְקִיר הַבַּיִת וְהַכָּנָף
そして-翼は 一つの ケルブの もう一つの キュビト 五 届いていた の-壁に 家の そして-翼は
H3671 H0259 H3742 H0312 H0520 H2568 H5060 H7023 H1004 H3671

הָאַחֵר׃ הַכְּרוּב לְכְנַף דְּבֻקָּה חָמֵשׁ אַמּוֹת הָאַחֶרֶת
もう一つの ケルブ の-翼に つながっていた 五 キュビト もう一つの
H0312 H3742 H3671 H1695 H2568 H0520 H0312

他のケルブの一つの翼も五キュビトで、宮の壁に届き、ほかの翼も五キュビトで、先のケルブの翼に接していた。

13 כַּנְפֵי הַכְּרוּבִים הָאֵלֶּה פְּרֻשִׂים עֶשְׂרִים אַמָּות וְהֵם עֹמְדִים עַל־
翼は ケルブの これらの 広げていた キュビト 二十 そして–彼らは 立っていた の–上に
H3671 H3742 H0428 H6566 H6240 H1992 H5975

רַגְלֵיהֶם וּפְנֵיהֶם לַבָּיִת׃ ס
彼らの–足で そして–顔は 家の–方へ —
H7272 H6440

これらのケルブの翼は広げると二十キュビトあった。かれらは共に足で立ち、その顔は拝殿に向かっていた。

14 וַיַּעַשׂ אֶת־הַפָּרֹכֶת תְּכֵלֶת וְאַרְגָּמָן וְכַרְמִיל וּבוּץ וַיָּעַל
そして–造った を 幕を 青と そして–紫と そして–深紅と 亜麻布で そして–上げた
H6532 H8504 H0713 H3758 H0948 H5927

עָלֶיו כְּרוּבִים׃ ס
その–上に ケルビムを —
H3742

ソロモンはまた青糸、紫糸、緋糸および亜麻糸で垂幕を造り、その上にケルビムの縫い取りを施した。

15 וַיַּעַשׂ לִפְנֵי הַבַּיִת עַמּוּדִים שְׁנַיִם חֲמִשִּׁים אַמָּה וְהַצָּפֶת
そして–造った の–前に 家の 柱を 二つの 三十 キュビト そして–五 長さの
H6440 H1004 H5982 H8147 H7970 H2568 H0753

אֲשֶׁר־עַל־רֹאשׁוֹ חֲמֵשׁ אַמּוֹת׃ ס
ところの の–上の その–頭の 五 キュビト —
H6858 H2568

彼は宮の前に柱を二本造った。その高さは三十五キュビト、おのおのの柱の頂に五キュビトの柱頭を造った。

16 וַיַּעַשׂ שַׁרְשְׁרוֹת בְּדְבִיר וַיִּתֵּן עַל־רָאשׁ הָעַמּוּדִים וַיַּעַשׂ
そして–造った 鎖を 内陣に そして–置いた の–上に 頭 柱の そして–造った
H8333 H1687 H5414 H5921 H7218 H5982

מֵאָה רִמֹּנִים וַיִּתֵּן בְּשַׁרְשְׁרוֹת׃
百 ざくろを そして–置いた 鎖に
H3967 H7416 H5414 H8333

彼は首飾のような鎖を造って、柱の頂につけ、ざくろ百を造ってその鎖の上につけた。

17 וַיָּקֶם אֶת־הָעַמּוּדִים עַל־פְּנֵי הַהֵיכָל אֶחָד מִיָּמִין וְאֶחָד
そして–立てた を 柱を の–前に 面 神殿の 一つを 右に そして–一つを
H0853 H5982 H5921 H6440 H1964 H0259 H3225 H0259

וַיִּקְרָא אֶת־שֵׁם הַיְמָנִי (הימיני) יָכִין וְשֵׁם הַשְּׂמְאלִי בֹּעַז׃
そして–呼んだ を 名を 右の ヤキンと そして–名を 左の ボアズと
H7121 H8034 H3233 H3199 H8034 H8040 H1162

מִהַשְּׂמְאוֹל לַשְּׁמֹאל ס
左に —
H8042

彼はこの柱を神殿の前に、一本を南の方に、一本を北の方に立て、南の方のをヤキンと名づけ、北の方のをボアズと名づけた。

Chapter 4

1 וַיַּעַשׂ מִזְבַּח נְחֹשֶׁת עֶשְׂרִים אַמָּה אָרְכּוֹ וְעֶשְׂרִים אַמָּה רָחְבּוֹ
そして-造った 祭壇を 青銅の 二十 キュビト その-長さ そして-二十 キュビト その-幅
H4196 H5178 H6242 H0753 H6242 H7341

וְעֶשֶׂר אַמּוֹת קוֹמָתוֹ׃ ס
そして-十 キュビト その-高さ
H6235 H6967

ソロモンはまた青銅の祭壇を造った。その長さ二十キュビト、幅二十キュビト、高さ十キュビトである。

2 וַיַּעַשׂ אֶת־הַיָּם מוּצָק עֶשֶׂר בָּאַמָּה מִשְּׂפָתוֹ אֶל־שְׂפָתוֹ עָגֹל
そして-造った を 海を 鋳物の 十 の-キュビト その-縁から 縁へ 丸く
H6213 H0853 H3220 H3332 H6235 H0521 H4185 H8193 H5696

וְקָו שְׁלֹשִׁים בָּאַמָּה יָסֹב אֹתוֹ׃
そして-線は 三十 の-キュビト 囲んだ それを
H6961 H7969 H0521 H5437 H0853

彼はまた海を鋳て造った。縁から縁まで十キュビトであって、周囲は円形をなし、高さ五キュビトで、その周囲は綱をもって測ると三十キュビトあった。

3 וּדְמוּת בְּקָרִים תַּחַת לוֹ וְסֹבְבִים סֹבְבִים אֹתוֹ עֶשֶׂר בָּאַמָּה
そして-像が 牛の の-下に それの 周りに 周りに 囲んでいた それを 十 の-キュビトに
H1823 H1241 H8478 H3961 H5439 H5439 H5437 H0853 H6235 H0521

יְצוּקִים בְּמֻצַק־הוּ׃ הַבָּקָר טוּרִים שְׁנַיִם סֹבֵב הַיָּם אֶת־ מַקִּיפִים
鋳造された 牛は 列で 二つの 周りに 海を を 囲んでいた
H3332 H1241 H2905 H8147 H5439 H3220 H0853 H5437

海の下には三十キュビトの周囲をめぐるひさごの形があって、海の周囲を囲んでいた。そのひさごは二並びで、海を鋳る時に鋳たものである。

4 וּפְנִים עוֹמֵד עַל־ שְׁנֵים עָשָׂר בָּקָר שְׁלֹשָׁה פְּנִים וּפְנִים צָפוֹנָה שְׁלֹשָׁה וּשְׁלוּשָׁה
向いていた 立っていた の-上に 十 二の 牛の 三つが 向いていた 北へ そして-三つが
H6437 H5975 H5921 H8147 H6240 H1241 H7969 H6437 H6828 H7969

וְהַיָּם מִזְרָחָה פְּנִים וּשְׁלֹשָׁה נֶגְבָּה פְּנִים וּשְׁלֹשָׁה וְיָמָּה
そして-海は 東へ 向いていた そして-三つが 南へ 向いていた そして-三つが 西へ
H3220 H4217 H6437 H7969 H5045 H6437 H7969 H3220

בְּיָתָה׃ אֲחֹרֵיהֶם וְכָל־ מִלְמָעְלָה עֲלֵיהֶם
内側へ 彼らの-後ろは そして-すべての 上から 彼らの-上に
H0268 H3605 H4605

その海は十二の牛の上に置かれ、その三つは北に向かい、三つは西に向かい、三つは南に向かい、三つは東に向かっていた。海はその上に置かれ、牛のうしろはみな内に向かっていた。

5 וְעָבְיוֹ טֶפַח וּשְׂפָתוֹ כְּמַעֲשֵׂה שְׂפַת־ כּוֹס פֶּרַח שׁוֹשַׁנָּה
そして-その-厚さは 一-手幅 そして-その-縁は の-仕事のように 縁の 杯の 花の ゆりの
H5672 H2947 H8193 H4639 H8193 H3563 H6525 H7799

וְכִיל בַּתִּים שְׁלֹשֶׁת אֲלָפִים יָכִיל׃ ס
そして-入った バテ 三 千 入った
H3557 H1324 H7969 H0505 H3557

海の厚さは手の幅で、その縁は杯の縁のように、ゆりの花に似せて造られた。海には水を三千バテ入れることができた。

לְרָחְצָה	מִשְּׂמֹאול	וַחֲמִשָּׁה	מִיָּמִין	חֲמִשָּׁה	וַיִּתֵּן	עֶשְׂרָה	כִּיּוֹרִים	וַיַּעַשׂ	6
洗う-ために	左に	そして-五を	右に	五を	そして-置いた	十の	洗盤を	そして-造った	
H7364	H8040	H2568	H3225	H2568	H5414	H6235	H3595		

לִרְחָצָה	וְהַיָּם	בָּם	יָדֵיחוּ	הָעוֹלָה	מַעֲשֵׂה	אֶת־	בָּהֶם	
洗う-ため	そして-海は	それらで	すすいだ	全焼のいけにえの	仕事を	を	それらで	
H7364	H3220		H1740		H4639	H0853		

ס	בּוֹ׃		לַכֹּהֲנִים
—	その-中で		祈司たちの-ための
			H3548

彼はまた物を洗うために洗盤十個を造って、五個を南側に、五個を北側に置いた。その中で燔祭に用いるものを洗った。しかし海は祭司がその中で身を洗うためであった。

חֲמֵשׁ	בְּהֵיכָל	וַיִּתֵּן	כְּמִשְׁפָּטָם	עֶשֶׂר	הַזָּהָב	מְנֹרוֹת	אֶת־	וַיַּעַשׂ	7
五を	神殿に	そして-置いた	その-定めのとおりに	十の	金の	燭台を	を	そして-造った	
H2568	H1964	H5414	H4941	H6235	H2091	H4501	H0853		

ס	מִשְּׂמֹאול׃	וְחָמֵשׁ		מִיָּמִין
—	左に	そして-五を		右に
	H8040	H2568		H3225

彼はまた金の燭台十個をその定めに従って造り、拝殿の中の南側に五個、北側に五個を置き、

מִשְּׂמֹאול	וַחֲמִשָּׁה	מִיָּמִין	חֲמִשָּׁה	בְּהֵיכָל	וַיַּנַּח	עֶשְׂרָה	שֻׁלְחָנוֹת	וַיַּעַשׂ	8
左に	そして-五を	右に	五を	神殿に	そして-置いた	十の	机を	そして-造った	
H8040	H2568	H3225	H2568	H1964	H3240	H6235	H7979		

מֵאָה׃	זָהָב	מִזְרְקֵי	וַיַּעַשׂ	
百の	金の	水鉢を	そして-造った	
H3967	H2091	H4219		

また机十個を造り、神殿の中の南側に五個、北側に五個を置き、また金の鉢百を造った。

לָעֲזָרָה	וּדְלָתוֹת	הַגְּדוֹלָה	וְהָעֲזָרָה	הַכֹּהֲנִים	חָצֵר	וַיַּעַשׂ		9
庭の-ための	そして-扉を	大きい	そして-庭を	祈司たちの	庭を	そして-造った		
H5835			H5835	H3548				

נְחֹשֶׁת׃	צִפָּה	וְדַלְתוֹתֵיהֶם	
青銅で	覆った	そして-その-扉を	
	H6823		

彼はまた祭司の庭と大庭および庭の戸を造り、その戸を青銅でおおった。

נֶגְבָּה׃	מִמּוּל	קֵדְמָה	הַיְמָנִית	מִכֶּתֶף	נָתַן	הַיָּם	וְאֶת־	10
南	の-前に	東の-方に	右の	の-肩に	置いた	海を	そして	
H5045	H4136		H3233	H3802	H5414	H3220	H0853	

彼は海を宮の東南のすみにすえた。

11 וַיַּעַשׂ חוּרָם וְאֶת־הַסִּירוֹת וְאֶת־הַיָּעִים וְאֶת־הַמִּזְרָקוֹת ס

そして-造った フラムは を 釜を そして シャベルを そして 水鉢を
H6213 H2361 H0853 H5518 H0853 H3257 H0853 H4219

וַיְכַל חוּרָם (חירם) לַעֲשׂוֹת אֶת־הַמְּלָאכָה אֲשֶׁר עָשָׂה לַמֶּלֶךְ

そして-終えた フラムは フラムは することを を 仕事を ところの した 王の-ために
H3615 H2438 H2461 H6213 H0853 H4399 H0834 H6213 H4428

שְׁלֹמֹה בְּבֵית הָאֱלֹהִים׃

ソロモン の-家で 神の
H8010 H1004 H0430

ヒラムはまたつぼと十能と鉢とを造った。こうしてヒラムはソロモン王のため、神の宮の工事を終えた。

12 עַמּוּדִים שְׁנַיִם וְהַגְּלֻלוֹת וְהַכֹּתָרוֹת עַל־רֹאשׁ הָעַמּוּדִים שְׁתָּיִם וְהַשְּׂבָכוֹת

柱を 二つの そして-玉と そして-柱頭を の-上の 頭 柱の 二つの そして-網細工を
H5982 H8147 H1543 H3805 H5921 H7218 H5982 H8147 H7639

לְכַסּוֹת שְׁתֵּי אֶת־גֻּלּוֹת הַכֹּתָרוֹת אֲשֶׁר עַל־רֹאשׁ הָעַמּוּדִים׃

覆う-ための 二つの を 玉を 柱頭の ところの の-上の 頭 柱の
H3680 H8147 H0853 H1543 H3805 H0834 H5921 H7218 H5982

すなわち二本の柱と玉と、柱の頂にある二つの柱頭と、柱の頂にある柱頭の二つの玉をおおう二つの網細工と、

13 וְאֶת־הָרִמֹּנִים אַרְבַּע מֵאוֹת שְׁתֵּי לִשְׁתֵּי הַשְּׂבָכוֹת שְׁנַיִם טוּרִים רִמֹּנִים

そして ざくろを 四 百の 二つの-ための の-二つの 網細工 二つの 列の ざくろの
H0853 H7416 H0702 H3967 H8147 H8147 H7639 H8147 H2905 H7416

לַשְּׂבָכָה הָאֶחָת לְכַסּוֹת אֶת־שְׁתֵּי גֻּלּוֹת הַכֹּתָרוֹת אֲשֶׁר עַל־פְּנֵי

の-網細工の-ための 一つの 覆う-ための を 二つの 玉を 柱頭の ところの の-上の 面
H7639 H0259 H3680 H0853 H8147 H1543 H3805 H0834 H5921 H6440

הָעַמּוּדִים׃

柱の
H5982

その二つの網細工のためのざくろ四百、このざくろはおのおの網細工に二並びにつけて、柱の頂にある柱頭の二つの玉を巻いていた。

14 וְאֶת־הַמְּכֹנוֹת עָשָׂה וְאֶת־הַכִּיֹּרוֹת עַל־הַמְּכֹנוֹת׃

そして を 台を 造った そして を 洗盤を の-上に 台の
H0853 H4350 H6213 H0853 H3595 H5921 H4350

彼はまた台と台の上の洗盤と、

15 וְאֶת־הַיָּם אֶחָד וְאֶת־הַבָּקָר שְׁנֵים־עָשָׂר תַּחְתָּיו׃

を 海を 一つの そして 牛を 十-二の その-下に
H0853 H3220 H0259 H0853 H1241 H6240 H8478

一つの海とその下の十二の牛を造った。

16 וְאֶת־הַסִּירוֹת וְאֶת־הַיָּעִים וְאֶת־הַמִּזְלָגוֹת וְאֶת־כָּל־כְּלֵיהֶם עָשָׂה

そして を 釜を そして を シャベルを そして を 肉叉を そして を すべての その-器を 造った
H0853 H5518 H0853 H3257 H0853 H4207 H0853 H3605 H3627 H6213

חוּרָם אָבִיו לְמֶלֶךְ שְׁלֹמֹה לְבֵית יְהוָה נְחֹשֶׁת מָרוּק׃

フラムは 彼の-父は 王の-ために ソロモン の-家の-ために 主の 青銅で 磨かれた
H2361 H0001 H4428 H8010 H1004 H3068 H5178 H4838

つぼ、十能、肉さしなどすべてこれらの器物を、達人ヒラムはソロモン王のため、主の宮のために、光のある青銅で造った。

17

וּבֵין	סֻכּוֹת	בֵּין	הָאֲדָמָה	בַּעֲבִי	הַמֶּלֶךְ	יְצָקָם	הַיַּרְדֵּן	בְּכִכַּר	
そして-の-間で	スコト	の-間で	地の	の-厚い-土で	王は	鋳造した	ヨルダンの	の-平野で	
H0996	H5523	H0996	H0127	H5645	H4428	H3332	H3383	H3603	

צְרֵדָתָה׃
ツェレダタ
H6868

王はヨルダンの低地で、スコテとゼレダの間の粘土の地でこれを鋳た。

18

לֹא	כִי	מְאֹד	לָרֹב	הָאֵלֶּה	הַכֵּלִים	כָּל־	שְׁלֹמֹה	וַיַּעַשׂ
なかった	なぜなら	非常に	豊富に	これらの	器を	すべての	ソロモンは	そして-造った
H3808		H3966	H7230	H0428	H3627	H3605	H8010	

פ	הַנְּחֹשֶׁת׃	מִשְׁקַל	נֶחְקַר
—	青銅の	重さは	調べられなかった
		H4948	H2713

このようにソロモンはこれらのすべての器物を非常に多く造ったので、その青銅の重量は、量ることができなかった。

19

וְאֵת	הָאֱלֹהִים	בֵּית	אֲשֶׁר	הַכֵּלִים	כָּל־	אֵת	שְׁלֹמֹה	וַיַּעַשׂ
そして	神の	家に-ある	ところの	器を	すべての	を	ソロモンは	そして-造った
H0853	H0430			H3627	H3605	H0853	H8010	

הַפָּנִים׃	לֶחֶם	וַעֲלֵיהֶם	הַשֻּׁלְחָנוֹת	וְאֶת־	הַזָּהָב	מִזְבַּח
供えの	パンを	そして-その-上に	机を	そして	金の	祭壇を
H6440	H3899		H7979	H0853	H2091	H4196

こうしてソロモンは神の宮のすべての器物を造った。すなわち金の祭壇と、供えのパンを載せる机、

20

זָהָב	הַדְּבִיר	לִפְנֵי	כַּמִּשְׁפָּט	לְבַעֲרָם	וְנֵרֹתֵיהֶם	הַמְּנֹרוֹת	וְאֶת־
金で	内陣の	の-前で	定めの-とおりに	燃やす-ために	そして-その-灯を	燭台を	そして
H2091	H1687	H6440	H4941			H4501	H0853

סָגוּר׃
純粋な
H5462

また定めのように本殿の前で火をともす純金の燭台と、そのともしび皿を造った。

21

זָהָב׃	מִכְלוֹת	הוּא	זָהָב	וְהַמֶּלְקָחַיִם	וְהַנֵּרוֹת	וְהַפֶּרַח	
金の	完全な	それは	金の	そして-火ばさみを	そして-灯を	そして-花を	
H2091	H4357	H1931	H2091	H4457		H6525	

その花、ともしび皿、心かきは精金であった。

22

וּפִתַּח	סָגוּר	זָהָב	וְהַמִּזְחָתוֹת	וְהַכַּפּוֹת	וְהַמִּזְרָקוֹת	וְהַמְּזַמְּרוֹת	
そして-入口は	純粋な	金の	そして-火皿を	そして-皿を	そして-水鉢を	そして-芯切りばさみを	
H6607	H5462	H2091	H4289	H3709	H4219	H4212	

זָהָב׃	לַהֵיכָל	הַבַּיִת	וְדַלְתֵי	הַקֹּדֶשׁ	לְקֹדֶשׁ	הַפְּנִימִיּוֹת	דַּלְתוֹתָיו	הַבַּיִת
金で	神殿の-ための	家の	そして-扉は	至聖所の	の-聖なる	内側の	その-扉は	家の
H2091	H1964			H6944	H6944	H6442		

また心切りばさみ、鉢、香の杯、心取り皿は純金であった。また宮の戸、すなわち至聖所の内部の戸および拝殿の戸のひじつぼは金であった。

Chapter 5

1 וַתִּשְׁלַ֗ם כָּל־ הַמְּלָאכָ֛ה אֲשֶׁר־ עָשָׂ֥ה שְׁלֹמֹ֖ה לְבֵ֣ית יְהוָ֑ה
そして–完成した すべての 仕事は ところの した ソロモンが の–家の–ための 主の
H3605 H4399 H8010 H6944 H1732 H3701 H0853 H0001 H0853 H8010 H0935

וַיָּבֵ֣א שְׁלֹמֹ֔ה אֶת־ קָדְשֵׁ֖י דָּוִ֣יד אָבִ֑יו וְאֶת־ הַכֶּ֣סֶף וְאֶת־ הַזָּהָ֗ב וְאֶת־ כָּל־ הַכֵּלִים֙ נָתַ֣ן בְּאֹצְר֔וֹת בֵּ֖ית הָאֱלֹהִ֥ים ס׃
そして–持ち込んだ ソロモンは を 聖なる–物を ダビデの 彼の–父の そして 銀と そして 金と すべての 器を 置いた 倉に の–家 神の —
H0935 H8010 H0853 H6944 H1732 H0001 H0853 H3701 H0853 H2091 H3605 H3627 H5414 H0214 H1004 H0430

こうしてソロモンは主の宮のためにしたすべての工事を終った。そしてソロモンは父ダビデがささげた物、すなわち金銀およびもろもろの器物を携えて行って神の宮の宝蔵に納めた。

2 אָ֣ז יַקְהִ֣יל שְׁלֹמֹ֗ה אֶת־ זִקְנֵ֨י יִשְׂרָאֵ֜ל וְאֶת־ כָּל־ רָאשֵׁ֣י הַמַּטּ֗וֹת נְשִׂיאֵ֤י הָאָבוֹת֙ לִבְנֵ֣י יִשְׂרָאֵ֔ל אֶל־ יְרוּשָׁלַ֖͏ִם לְהַעֲל֑וֹת אֶת־ אֲר֣וֹן בְּרִית־ יְהוָ֔ה מֵעִ֥יר דָּוִ֖יד הִ֥יא צִיּֽוֹן׃
その–時 集めた ソロモンは を 長老たちを イスラエルの そして 頭たちを すべての 部族の 族長たちを 父祖の の–息子たちの イスラエルの へ エルサレムに 運び上げる–ために
H0227 H6950 H8010 H0853 H2205 H3478 H0853 H3605 H7218 H4294 H5387 H1004 H1121 H3478 H0413 H3389 H5927
箱を 契約の 主の から–町 ダビデの それは シオン
H0727 H1285 H3068 H4480 H1732 H1931 H6726

ソロモンは主の契約の箱をダビデの町シオンからかつぎ上ろうとして、イスラエルの長老たちと、すべての部族のかしらたちと、イスラエルの人々の氏族の長たちをエルサレムに召し集めた。

3 וַיִּקָּהֲל֣וּ אֶל־ הַמֶּ֔לֶךְ כָּל־ אִ֖ישׁ יִשְׂרָאֵ֑ל בֶּחָ֣ג הִ֔וּא בַּחֹ֖דֶשׁ הַשְּׁבִיעִֽי׃
そして–集まった に 王の–もとに すべての 人は イスラエルの 祭りに それは 月
H6950 H0413 H4428 H3605 H0376 H3478 H2282 H1931 H2320
第七の
H7637

イスラエルの人々は皆七月の祭に王のもとに集まった。

4 וַיָּבֹ֖אוּ כָּל־ זִקְנֵ֣י יִשְׂרָאֵ֑ל וַיִּשְׂא֥וּ הַלְוִיִּ֖ם אֶת־ הָאָרֽוֹן׃
そして–来た すべての 長老たちが イスラエルの そして–担いだ レビ人たちが を 箱を
H0935 H3605 H2205 H3478 H5375 H3881 H0853 H0727

イスラエルの長老たちが皆きたので、レビびとたちは箱を取り上げた。

5 וַיַּעֲל֗וּ אֶת־ הָאָרוֹן֙ וְאֶת־ אֹ֣הֶל מוֹעֵ֔ד וְאֶת־ כָּל־ כְּלֵ֥י הַקֹּ֖דֶשׁ אֲשֶׁ֣ר בָּאֹ֑הֶל אֹתָ֛ם הֶעֱל֥וּ הַכֹּהֲנִ֖ים הַלְוִיִּֽם׃
そして–運び上げた を 箱を そして 幕屋を 会見の そして すべての 器を 聖なる ところの 幕屋に–ある それらを 運び上げた 祭司たちは レビ人たちは
H5927 H0853 H0727 H0853 H0168 H4150 H0853 H3605 H3627 H6944 H0834 H0168 H0853 H5927 H3548 H3881

彼らは箱と、会見の幕屋と、幕屋にあるすべて聖なる器をかつぎ上った。すなわち祭司とレビびとがこれらの物をかつぎ上った。

6

עָלָיו	הַנּוֹעָדִים	יִשְׂרָאֵל	עֲדַת	וְכָל־	שְׁלֹמֹה	וְהַמֶּלֶךְ	
彼と–共に	集まった–者たちは	イスラエルの	会衆は	そして–すべての	ソロモンは	そして–王は	
H3259		H3478	H5712	H3605	H8010	H4428	

יִסָּפְרוּ	לֹא־	אֲשֶׁר	וּבָקָר	צֹאן	מְזַבְּחִים	הָאָרֹן	לִפְנֵי	
数えられなかった	なかった	ところの	そして–牛を	羊を	いけにえとして–ささげた	箱の	の–前で	
	H3808		H1241	H6629	H2076	H0727	H6440	

מֵרֹב׃	יִמָּנוּ	וְלֹא
多さの–ため	数えることが–できなかった	そして–なかった
H7230	H4487	H3808

ソロモン王および彼のもとに集まったイスラエルの会衆は皆箱の前で羊と牛をささげたが、その数が多くて、調べることも数えることもできなかった。

7

דְּבִיר	אֶל־	מְקוֹמוֹ	אֶל־	יְהוָה	בְּרִית־	אֲרוֹן	אֶת־	הַכֹּהֲנִים	וַיָּבִיאוּ
内陣へ	へ	その–場所へ	へ	主の	契約の	箱を	を	祢たちは	そして–運び入れた
H1687	H0413	H4725	H0413	H3068	H1285	H0727	H0853	H3548	H0935

הַכְּרוּבִים׃	כַּנְפֵי	תָּחַת	אֶל־	הַקֹּדֶשׁ	קֹדֶשׁ	אֶל־	הַבָּיִת
ケルビムの	翼の	の–下へ	へ	至聖所の	聖なる	へ	家の
H3742	H3671	H8478	H0413	H6944	H6944	H0413	

こうして祭司たちは主の契約の箱をその場所にかつぎ入れ、宮の本殿である至聖所のうちのケルビムの翼の下に置いた。

8

וַיְכַסּוּ	הָאָרוֹן	מְקוֹם	עַל־	כְּנָפַיִם	פֹּרְשִׂים	הַכְּרוּבִים	וַיִּהְיוּ	
そして–覆った	箱の	場所の	の–上に	翼を	広げていた	ケルビムは	そして–あった	
H3680	H0727	H4725		H3671	H6566	H3742	H1961	

מִלְמָעְלָה׃	בַּדָּיו	וְעַל־	הָאָרוֹן	עַל־	הַכְּרוּבִים	
上から	その–棒を	そして–上に	箱を	の–上に	ケルビムは	
H4605	H0905		H0727		H3742	

ケルビムは翼を箱の所の上に伸べていたので、ケルビムは上から箱とそのさおをおおった。

9

הַדְּבִיר	פְּנֵי	עַל־	הָאָרוֹן	מִן־	הַבַּדִּים	רָאשֵׁי	וַיֵּרָאוּ	הַבַּדִּים	וַיַּאֲרִיכוּ
内陣の	面	の–前で	箱の	から	棒の	先が	そして–見えた	棒は	そして–長かった
H1687	H6440		H0727		H0905		H7200	H0905	H0748

הַזֶּה׃	הַיּוֹם	עַד	שָׁם	וַיְהִי־	הַחוּצָה	יֵרָאוּ	וְלֹא	
この	日	まで	そこに	そして–あった	外には	見えなかった	そして–なかった	
H2088	H3117	H5704	H8033	H1961	H2351	H7200	H3808	

さおは長かったので、さおの端が本殿の前の聖所から見えた。しかし外部には見えなかった。さおは今日までそこにある。

10

אֲשֶׁר	בְּחֹרֵב	מֹשֶׁה	נָתַן	אֲשֶׁר־	הַלֻּחֹת	שְׁנֵי	רַק	בָּאָרוֹן	אֵין
ところの	ホレブで	モーセが	置いた	ところの	板が	二つの	ただ	箱の–中には	なかった
	H2722	H4872	H5414		H3871	H8147	H7535	H0727	H0369

פ	מִמִּצְרָיִם׃	בְּצֵאתָם	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי	עִם־	יְהוָה	כָּרַת	
—	エジプトから	出た–時に	イスラエルの	息子たちと	と–共に	主が	結んだ	
	H4714	H3318	H3478			H3068	H3772	

箱の内には二枚の板のほか何もなかった。これはイスラエルの人々がエジプトから出て来たとき、主が彼らと契約を結ばれ、モーセがホレブでそれを納めたものである。

11 וַיְהִי בְּצֵאת הַכֹּהֲנִים מִן־הַקֹּדֶשׁ כִּי כָל־הַכֹּהֲנִים הַנִּמְצְאִים הִתְקַדָּשׁוּ אֵין לְשִׁמּוֹר לְמַחְלְקוֹת׃
そして–あった の–出た–時に 祢司たちが から 聖所を なぜなら すべての 祢司たちは
H1961 H3318 H3548 H4480 H6944 H3605 H3548
居合わせた 聖別されていた なかった 守ること 組分けを
H4672 H6942 H0369 H8104 H4256

そして祭司たちが聖所から出たとき（ここにいた祭司たちは皆、その組の順にかかわらず身を清めた。

12 וְהַלְוִיִּם הַמְשֹׁרְרִים לְכֻלָּם לְאָסָף לְהֵימָן לִידֻתוּן
そして–レビ人たちは 歌うたちの すべての–ための アサフの ヘマンの エドトンの
H3881 H7891 H3605 H0623 H1968 H3038
וְלִבְנֵיהֶם וְלַאֲחֵיהֶם מְלֻבָּשִׁים בּוּץ בִּמְצִלְתַּיִם וּבִנְבָלִים
そして–彼らの–息子たちと そして–彼らの–兄弟たちは 着ていた 亜麻布を シンバルで そして–琴で
H3881 H0251 H3847 H0948 H4700
וְעֶשְׂרִים לְמֵאָה כֹּהֲנִים וְעִמָּהֶם לְמִזְבֵּחַ מִזְרָח עֹמְדִים וְכִנֹּרוֹת
そして–二十 の–百 祢司たちが そして–彼らと–共に 祭壇の 東に 立っていた そして–竪琴で
H6242 H3967 H3548 H4196 H4217 H5975 H3658
מְחַצְצְרִים׃ מַחְצְרִים בַּחֲצֹצְרוֹת׃
ラッパを–吹く者たち ラッパを–吹く者たち ラッパで
H2690 H2690 H2689

またレビびとの歌うたう者、すなわちアサフ、ヘマン、エドトンおよび彼らの子たちと兄弟たちはみな亜麻布を着、シンバルと、立琴と、琴をとって祭壇の東に立ち、百二十人の祭司は彼らと一緒に立ってラッパを吹いた。

13 וַיְהִי כְּאֶחָד לְמַחְצְרִים וְלַמְשֹׁרְרִים לְהַשְׁמִיעַ קוֹל־אֶחָד לְהַלֵּל וּלְהוֹדוֹת לַיהוָה
そして–あった 一つの–ように ラッパを–吹く者たちと そして–歌うたちが 聞かせる–ために 一つの 声を 賛美し そして–感謝した 主に
H1961 H0259 H2690 H2690 H7891 H8085 H0259 H0853 H1984 H3034 H3068
וְכִי הֵרִימוּ קוֹל בְּחֲצֹצְרוֹת וּבִמְצִלְתַּיִם וּבִכְלֵי הַשִּׁיר וּבְהַלֵּל לַיהוָה כִּי טוֹב
良い なぜなら 主に そして–賛美した–時 歌の そして–楽器で そして–シンバルで ラッパで そして–上げた–時 声を
H2896 H3588 H3068 H1984 H7892 H3627 H4700 H2689 H7311 H0853
כִּי לְעוֹלָם חַסְדּוֹ וְהַבַּיִת מָלֵא עָנָן בֵּית יְהוָה׃
なぜなら 永遠に その–恵みは そして–家は 満ちた 雲で 家は 主の
H3588 H5769 H2617 H1004 H4390 H6051 H1004 H3068

ラッパ吹く者と歌うたう者とは、ひとりのように声を合わせて主をほめ、感謝した）、そして彼らがラッパと、シンバルとその他の楽器をもって声をふりあげ、主をほめて「主は恵みあり、そのあわれみはとこしえに絶えることがない」と言ったとき、雲はその宮すなわち主の宮に満ちた。

14 וְלֹא־יָכְלוּ הַכֹּהֲנִים לַעֲמֹד לְשָׁרֵת מִפְּנֵי הֶעָנָן כִּי־מָלֵא כְבוֹד־יְהוָה אֶת־בֵּית הָאֱלֹהִים׃ פ
そして–なかった できなかった 祢司たちは 立つことが 仕える–ために の–ために 雲の なぜなら 満ちた 栄光が 主の を 家を 神の —
H1961 H3808 H3201 H3548 H5975 H8334 H6440 H6051 H3588 H4390 H3519 H3068 H0853 H1004 H0430 H6

祭司たちは雲のゆえに立って勤めをすることができなかった。主の栄光が神の宮に満ちたからである。

Chapter 6

1 אָז אָמַר שְׁלֹמֹה יְהוָה לִשְׁכֹּן בָּעֲרָפֶל׃
その–時 言った ソロモンは 主は 言われた 住むと 濃い–雲の–中に
H0559 H8010 H3068 H0559 H7931 H6205

そこでソロモンは言った、「主はみずから濃き雲の中に住まおうと言われた。

2 וַאֲנִי בָנִיתִי בֵּית־זְבֻל לָךְ וּמָכוֹן לְשִׁבְתְּךָ עוֹלָמִים׃
そして–わたしは 建てた 家を 住まいの あなたの–ために そして–場所を あなたが–住む–ための 永遠に
H0589 H1129 H0559 H2073 H0559 H4349 H3427 H5769

しかしわたしはあなたのために高き家、とこしえのみすまいを建てた」。

3 וַיָּסֶב הַמֶּלֶךְ אֶת־פָּנָיו וַיְבָרֶךְ אֶת כָּל־קְהַל יִשְׂרָאֵל וְכָל־קְהַל יִשְׂרָאֵל עוֹמֵד׃
そして–向けた 王は 顔を そして–祝福した を すべての 会衆を イスラエルの 会衆は そして–すべての 立っていた
H5437 H4428 H6440 H0853 H1288 H0853 H3605 H6951 H3478 H6951 H3605 H5975

そして王は顔をふり向けてイスラエルの全会衆を祝福した。その時イスラエルの全会衆は立っていた。

4 וַיֹּאמֶר בָּרוּךְ יְהוָה אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל אֲשֶׁר דִּבֶּר בְּפִיו אֶת דָּוִיד אָבִי וּבְיָדָיו מִלֵּא לֵאמֹר׃
そして–言った ほむべき–かな 主は 神 イスラエルの ところの 語られた 御口で を 言って 成就された そして–御手で わたしの–父に ダビデに
H0559 H1288 H3068 H0430 H3478 H0834 H1696 H6310 H0854 H0559 H4390 H3027 H0001 H1732

彼は言った、「イスラエルの神、主はほむべきかな。主は口をもってわが父ダビデに約束されたことを、その手をもってなし遂げられた。すなわち主は言われた、

5 מִן־הַיּוֹם אֲשֶׁר הוֹצֵאתִי אֶת־עַמִּי מֵאֶרֶץ מִצְרַיִם לֹא בָחַרְתִּי בְּעִיר מִכֹּל שִׁבְטֵי יִשְׂרָאֵל לִבְנוֹת בַּיִת לִהְיוֹת שְׁמִי שָׁם וְלֹא בָחַרְתִּי בְּאִישׁ לִהְיוֹת נָגִיד עַל־עַמִּי יִשְׂרָאֵל׃
から 日 ところの わたしが–導き出した を わたしの–民を から–地 エジプトの なかった 選ばなかった の–町を から–すべての 部族の イスラエルの 建てる–ために 家を ある–ために 選ばなかった の–人を ある–ために 指導者として の–上に そして–なかった そこに わたしの–名が わたしの–民 イスラエルの
H3117 H0834 H3318 H0853 H5971 H4714 H0808 H3605 H7626 H3478 H1129 H1004 H1961 H0977 H0376 H1961 H5057 H5921 H0808 H8033 H8034 H5971 H3478

『わが民をエジプトの地から導き出した日から、わたしはわが名を置くべき家を建てるために、イスラエルのもろもろの部族のうちから、どの町をも選んだことがなく、また他のだれをもわが民イスラエルの君として選んだことがない。

6

בְּדָוִיד וָאֶבְחַר שָׁם שְׁמִי לִהְיוֹת בִּירוּשָׁלַ͏ִם וָאֶבְחַר לִהְיוֹת עַמִּי עַל־ יִשְׂרָאֵל׃

ダビデを H1732 そして-選んだ H0977 そこに H8033 わたしの-名が H8034 ある-ために H1961 エルサレムを H3389 そして-選んだ H0977 ある-ために H1961 わたしの-民 H3478 の-上に イスラエルの

わが名を置くために、ただエルサレムだけを選び、またわが民イスラエルを治めさせるために、ただダビデだけを選んだ』。

7

וַיְהִי עִם־ לְבָב דָּוִיד אָבִי לִבְנוֹת בַּיִת לְשֵׁם יְהוָה אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל׃

そして-あった H1961 と-共に H3824 ダビデの H1732 わたしの-父の H0001 建てることを H1129 家を H3478 の-名の-ために H8034 主 H3068 神 H0430 イスラエルの

イスラエルの神、主の名のために家を建てることは、父ダビデの心にあった。

8

וַיֹּאמֶר יְהוָה אֶל־ דָּוִיד אָבִי יַעַן אֲשֶׁר הָיָה עִם־ לְבָבְךָ לִבְנוֹת בַּיִת לִשְׁמִי הֱטִיבוֹתָ כִּי הָיָה עִם־ לְבָבֶךָ׃

そして-言った H0559 主は H3068 に H0413 ダビデに H1732 わたしの-父に H0001 であるから H3282 ところの H834 あった H1961 と-共に H3824 あなたの-心に H1129 建てることを H3478 家を H8034 わたしの-名の-ために H2895 良くした H3588 なぜなら H3426 あった H1961 と-共に H3824 あなたの-心に

しかし主は父ダビデに言われた、『わたしの名のために家を建てることはあなたの心にあった。あなたの心にこの事のあったのは結構である。

9

רַק אַתָּה לֹא תִבְנֶה הַבָּיִת כִּי בִנְךָ הַיּוֹצֵא מֵחַלְצֶ͏ֽיךָ הוּא־ יִבְנֶה הַבַּיִת לִשְׁמִי׃

ただし H7535 あなたは H859 ない H3808 建てない H1129 家を H1004 なぜなら あなたの-息子が H1121 出る-者 H3318 あなたの-腰から H2504 彼が H1931 建てる H1129 家を H1004 わたしの-名の-ために H8034

しかしあなたはその家を建ててはならない。あなたの腰から出るあなたの子がわたしの名のために家を建てるであろう』。

10

וַיָּקֶם יְהוָה אֶת־ דְּבָרוֹ אֲשֶׁר דִּבֶּר וָאָקוּם תַּחַת אָבִי דָּוִיד וָאֵשֶׁב עַל־ כִּסֵּא יִשְׂרָאֵל כַּאֲשֶׁר דִּבֶּר יְהוָה וָאֶבְנֶה הַבַּיִת לְשֵׁם יְהוָה אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל׃

そして-果たした H6965 主は H3068 を H853 その-言葉を H1697 語られた H1696 ところの H834 そして-立ち上がった H6965 の-代わりに H8478 ダビデの H1732 わたしの-父の H0001 そして-座った H3427 の-上に H5921 王座に H3678 イスラエルの H3478 ように H834 主が H3068 語られた H1696 家を H1004 建てた H1129 そして-建てた H1129 家を H1004 の-名の-ために H8034 主 H3068 神 H0430 イスラエルの H3478

そして主はそう言われた言葉を行われた。すなわちわたしは父ダビデに代って立ち、主が言われたように、イスラエルの位に座し、イスラエルの神、主の名のために家を建てた。

11 וָאָשִׂים שָׁם֙ אֶת־הָאָרֹ֔ון אֲשֶׁר־בֹּ֖ו כְּרַ֣ת יְהוָ֑ה בְּרִ֣ית שָׁם֙ אֲשֶׁר־ כְּרַ֣ת יְהוָ֑ה בְּרִ֣ית בְּנֵ֖י עִם־ יִשְׂרָאֵֽל׃

そして–置いた そこに 箱を ところの 結んだ 契約が そこに–ある ところの 主の 結んだ ところの
H7760 H8033 H0727 H0834 H3772 H1285 H8033 H0834 H3068 H3772 H0834

イスラエルの 息子たちと と–共に
H3478

わたしはまた、主がイスラエルの人々と結ばれた主の契約を入れた箱をそこに納めた」。

12 וַיַּעֲמֹד֙ לִפְנֵ֣י מִזְבַּ֣ח יְהוָ֔ה נֶ֖גֶד כָּל־ קְהַ֣ל יִשְׂרָאֵ֑ל וַיִּפְרֹ֖שׂ

そして–立った の–前に 祭壇の 主の の–前に すべての 会衆の イスラエルの そして–広げた
H5975 H6440 H4196 H3068 H5048 H3605 H6951 H3478 H6566

כַּפָּֽיו׃

手を
H3709

ソロモンはイスラエルの全会衆の前、主の祭壇の前に立って、手を伸べた。

13 כִּ֣י עָשָׂ֗ה שְׁלֹמֹה֙ כִּיֹּ֣ור נְחֹ֔שֶׁת וַיִּתְּנֵ֖הוּ בְּתֹ֣וךְ הָעֲזָרָ֑ה חָמֵ֤שׁ אַמֹּות֙ אָרְכֹּ֔ו וְחָמֵ֥שׁ אַמֹּ֖ות רָחְבֹּ֑ו וְאַמֹּ֥ות שְׁלֹשִׁ֖ים קֹומָתֹ֑ו וַיַּעֲמֹד֙

なぜなら 造った ソロモンは 台を 青銅の そして–置いた 庭の 五 キュビト その–長さ そして–五 キュビト その–幅 キュビト 三 その–高さ そして–立った
H3588 H6213 H8010 H3595 H5178 H5414 H8432 H5835 H2568 H0753 H2568 H0702 H7969 H6965 H5975

עַל־ בִּרְכָּיו֙ נֶ֣גֶד כָּל־ קְהַ֣ל יִשְׂרָאֵ֔ל וַיִּפְרֹ֥שׂ כַּפָּ֖יו הַשָּׁמָֽיְמָה׃

の–上に ひざを の–前に すべての 会衆の イスラエルの そして–広げた 手を 天に–向かって
H5921 H1290 H5048 H3605 H6951 H3478 H6566 H3709 H8064

ソロモンはさきに長さ五キュビト、幅五キュビト、高さ三キュビトの青銅の台を造って、庭のまん中にすえて置いたので、彼はその上に立ち、イスラエルの全会衆の前でひざをかがめ、その手を天に伸べて、

14 וַיֹּאמַ֗ר יְהוָ֤ה אֱלֹהֵי֙ יִשְׂרָאֵ֔ל אֵ֣ין כָּמֹ֔וךָ אֱלֹהִ֖ים בַּשָּׁמַ֑יִם

そして–言った 主よ 神よ イスラエルの ない あなたの–ような 神は 天にも
H0559 H3068 H0430 H3478 H0369 H3644 H0430 H8064

הַשֹּׁמֵ֤ר הַבְּרִית֙ וְהַחֶ֔סֶד לַעֲבָדֶ֖יךָ הַהֹלְכִ֣ים לְפָנֶ֑יךָ בְּכָל־ לִבָּֽם׃

守る–方 契約を そして–恵みを しもべたちに 歩く–者たちに あなたの–前を そして–地にも すべての 心で
H8104 H1285 H2617 H5650 H1980 H6440 H0776 H3605

言った、「イスラエルの神、主よ、天にも地にも、あなたのような神はありません。あなたは契約を守られ、心をつくしてあなたの前に歩むあなたのしもべらに、いつくしみを施し、

15 אֲשֶׁר שָׁמַרְתָּ לְעַבְדְּךָ דָּוִיד אָבִי אֵת אֲשֶׁר־ דִּבַּרְתָּ לוֹ
ところの 守られた しもべに ダビデに わたしの–父に を ところの 語られた 彼に
H0834 H8104 H5650 H1732 H0001 H0853 H0834 H1696 H0

בְּפִיךָ וַתְּדַבֵּר וּבְיָדְךָ מִלֵּאתָ כַּיּוֹם הַזֶּה׃
御口で そして–語られた そして–御手で 成就された の–今日 この
H6310 H1696 H3027 H4390 H3117 H2088

あなたのしもべ、わたしの父ダビデに約束されたことを守られました。あなたが口をもって約束されたことを、手をもってなし遂げられたことは、今日見るとおりであります。

16 וְעַתָּה יְהוָה אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל שְׁמֹר לְעַבְדְּךָ לְדָוִיד אָבִי אֵת
そして–今 主よ 神よ イスラエルの 守ってください しもべに ダビデに わたしの–父に を
H6258 H3068 H0430 H3478 H8104 H5650 H1732 H0001 H0853

אֲשֶׁר דִּבַּרְתָּ לוֹ אֲשֶׁר לֹא־ יִכָּרֵת לְךָ אִישׁ מִלְּפָנַי יוֹשֵׁב
ところの 語られた 彼に 言って ない 絶たれない あなたには 人が わたしの–前から 座る–者が
H1696 H0559 H3808 H3772 H0376 H6440 H3427

רַק אִם־ יִשְׁמְרוּ בָנֶיךָ אֶת־ דַּרְכָּם לָלֶכֶת לְפָנַי כַּאֲשֶׁר הָלַכְתָּ
ただし もし 守るなら あなたの–息子たちが を その–道を 歩く–ために わたしの–前を ように 歩んだ
H7535 H0518 H8104 H1121 H0853 H1870 H3212 H6440 H3541

בְּתוֹרָתִי׃ לִפְנֵי כָּל־ יִשְׂרָאֵל עַל־ כִּסֵּא
わたしの–律法に 王座に の–上に イスラエルの
H8451 H3678 H5921 H3478

それゆえ、イスラエルの神、主よ、あなたのしもべ、わたしの父ダビデに、あなたが約束して、『おまえがわたしの前に歩んだように、おまえの子孫がその道を慎んで、わたしのおきてに歩むならば、おまえにはイスラエルの位に座する人がわたしの前に欠けることはない』と言われたことを、ダビデのためにお守りください。

17 וְעַתָּה יְהוָה אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל יֶאֱמַן נָא דְּבָרְךָ אֲשֶׁר דִּבַּרְתָּ
そして–今 主よ 神よ イスラエルの 確かにされますように あなたの–言葉が ところの 語られた
H6258 H3068 H0430 H3478 H0539 H0 H1697 H0834 H1696

לְעַבְדְּךָ לְדָוִיד׃
しもべに ダビデに
H5650 H1732

それゆえ、イスラエルの神、主よ、どうぞ、あなたのしもべダビデに言われた言葉を確認してください。

18 כִּי הַאֻמְנָם יֵשֵׁב אֱלֹהִים אֶת־ הָאָדָם עַל־ הָאָרֶץ הִנֵּה
なぜなら まことに 住まわれるのか 神が と–共に 人と の–上に 地の 見よ
H3588 H0552 H3427 H0430 H0854 H0120 H5921 H0776 H2009

שָׁמַיִם וּשְׁמֵי הַשָּׁמָיִם לֹא יְכַלְכְּלוּךָ אַף כִּי־ הַבַּיִת הַזֶּה
天も そして–天の 天も ない 容れることが–できない まして なぜなら 家は この
H8064 H8064 H8064 H3808 H3557 H0637 H3588 H1004 H2088

אֲשֶׁר בָּנִיתִי׃
ところの わたしが–建てた
H834 H1129

しかし神は、はたして人と共に地上に住まわれるでしょうか。見よ、天も、いと高き天もあなたをいれることはできません。わたしの建てたこの家などなおさらです。

19 וּפָנִיתָ אֶל־ תְּפִלַּת עַבְדְּךָ וְאֶל־ תְּחִנָּתוֹ יְהוָה אֱלֹהָי
そして-向いてください へ 祈りに しもべの そして-へ 願いに 主よ わたしの-神よ
H6437 H0413 H8605 H5650 H0413 H8467 H3068 H0430

לִשְׁמֹעַ אֶל־ הָרִנָּה וְאֶל־ הַתְּפִלָּה אֲשֶׁר מִתְפַּלֵּל עַבְדְּךָ לְפָנֶיךָ׃
聞く-ために を 叫びを そして-を 祈りを ところの しもべが 祈っている あなたの-前で
H8085 H0413 H7440 H0413 H8605 H0413 H6419 H5650 H6440

しかしわが神、主よ、しもべの祈と願いを顧みて、しもべがあなたの前にささげる叫びと祈をお聞きください。

20 לִהְיוֹת עֵינֶיךָ פְתֻחוֹת אֶל־ הַבַּיִת הַזֶּה יוֹמָם וְלַיְלָה אֶל־ הַמָּקוֹם
ある-ために あなたの-目が 開かれて へ 家 この 昼も そして-夜も へ 場所へ
H1961 H6437 H0413 H1004 H2088 H3119 H3915 H0413 H4725

אֲשֶׁר אָמַרְתָּ שָׁמָּה יִהְיֶה שְׁמֶךָ לָשׂוּם אֲשֶׁר תִּתְפַּלֵּל עַבְדְּךָ אֶל־ הַמָּקוֹם הַזֶּה׃
ところの 言われた そこに ある 名を 置くと ところの 祈る しもべが へ 場所 この
H0559 H8033 H8034 H7760 H0834 H6419 H5650 H0413 H4725 H2088

どうぞ、あなたの目を昼も夜もこの家に、すなわち、あなたの名をそこに置くと言われた所に向かってお開きください。どうぞ、しもべがこの所に向かってささげる祈をお聞きください。

21 וְשָׁמַעְתָּ אֶל־ תַּחֲנוּנֵי עַבְדְּךָ וְעַמְּךָ יִשְׂרָאֵל אֲשֶׁר יִתְפַּלְלוּ
そして-聞いてください を 願いを しもべの そして-民の イスラエルの ところの 祈る
H8085 H0413 H8469 H5650 H6419 H3478 H0834 H6419

אֶל־ הַמָּקוֹם הַזֶּה וְאַתָּה תִּשְׁמַע מִן־ שְׁבֻתְךָ מִמְּקוֹם תִּשְׁמַע וְסָלָחְתָּ׃
へ 場所 この そして-あなたが 聞いてください から-場所 から 住まいの
H0413 H4725 H2088 H0859 H8085 H4725 H8085 H3427 H4480

וְשָׁמַעְתָּ הַשָּׁמַיִם
そして-聞いて 天から
H8085 H8064

どうぞ、しもべと、あなたの民イスラエルがこの所に向かって祈る時に、その願いをお聞きください。あなたのすみかである天から聞き、聞いておゆるしください。

22 אִם־ יֶחֱטָא אִישׁ לְרֵעֵהוּ וְנָשָׂא־ בּוֹ אָלָה לְהַאֲלֹתוֹ
もし 罪を-犯すなら 人が 隣人に そして-負わされるなら 彼に 誓いを 誓わせる-ために
H0518 H0376 H7453 H5375 H0935 H0422 H0423

וּבָא אָלָה לִפְנֵי מִזְבַּחֲךָ בַּבַּיִת הַזֶּה׃
そして-来るなら 誓いが の-前に あなたの-祭壇の の-家で この
H0935 H0423 H6440 H4196 H1004 H2088

もし人がその隣り人に対して罪を犯し、誓いをすることを求められるとき、来てこの宮で、あなたの祭壇の前に誓うならば、

23 וְאַתָּה תִּשְׁמַע מִן־ הַשָּׁמַיִם וְעָשִׂיתָ וְשָׁפַטְתָּ
そして-あなたが 聞いてください から 天から そして-行ってください そして-裁いてください
H8085 H4480 H8064 H6213 H8199

אֶת־ עֲבָדֶיךָ לְהָשִׁיב לָרָשָׁע לָתֵת דַּרְכּוֹ בְרֹאשׁוֹ
を しもべたちを 報いる-ために 悪人に 与える-ために その-道を その-頭に
H0853 H5650 H7725 H7563 H5414 H1870 H0776

וּלְהַצְדִּיק צַדִּיק לָתֵת לוֹ כְּצִדְקָתוֹ׃ ס
そして-義とする-ために 義人を 与える-ために 彼に その-義に-応じて —
H6663 H6662 H5414 H0376 H6666

あなたは天から聞いて、行い、あなたのしもべらをさばき、悪人に報いをなして、その行いの報いをそのこうべに帰し、義人を義として、その義にしたがってその人に報いてください。

24 וְאִם־ יִנָּגֵף עַמְּךָ יִשְׂרָאֵל לִפְנֵי אוֹיֵב
そして–もし 打ち負かされるなら あなたの–民が イスラエルが 敵の
H5062 H6440 H3478 H0341

כִּי יֶחֶטְאוּ־ לָךְ וְשָׁבוּ וְהוֹדוּ אֶת־ שְׁמֶךָ וְהִתְפַּלְלוּ
なぜなら 罪を–犯したから あなたに そして–立ち返り そして–告白し を あなたの–名を そして–祈り
H2398 H7725 H3034 H0853 H8034 H6419

וְהִתְחַנְּנוּ לְפָנֶיךָ בַּבַּיִת הַזֶּה׃
そして–願うなら あなたの–前で の–家で この
H6440 H2088

פ

もしあなたの民イスラエルが、あなたに対して罪を犯したために、敵の前に敗れた時、あなたに立ち返って、あなたの名をあがめ、この宮であなたの前に祈り願うならば、

25 וְאַתָּה תִּשְׁמַע מִן־ הַשָּׁמַיִם וְסָלַחְתָּ לְחַטַּאת עַמְּךָ
そして–あなたが 聞いてください から 天から そして–赦してください の–罪を あなたの–民の
H8085 H8064 H5545

וְהֲשִׁיבוֹתָם אֶל־ הָאֲדָמָה אֲשֶׁר־ נָתַתָּה לָהֶם וְלַאֲבֹתֵיהֶם׃
そして–帰らせてください へ 地へ ところの 与えた 彼らに そして–先祖たちに
H7725 H0413 H0127 H5414 H1992 H0001

פ

あなたは天から聞き、あなたの民イスラエルの罪をゆるして、あなたが彼らとその先祖に与えられた地に彼らを帰らせてください。

26 בְּהֵעָצֵר הַשָּׁמַיִם וְלֹא־ יִהְיֶה מָטָר כִּי יֶחֶטְאוּ־ לָךְ
の–閉ざされる–時に 天が ない そして–雨が なぜなら 罪を–犯したから あなたに
H6113 H8064 H3808 H1961 H4306 H2398

וְהִתְפַּלְלוּ אֶל־ הַמָּקוֹם הַזֶּה וְהוֹדוּ אֶת־ שְׁמֶךָ מֵחַטָּאתָם
そして–祈るなら へ 場所 この そして–告白し を あなたの–名を その–罪から
H6419 H0413 H4725 H2088 H3034 H0853 H8034

כִּי תַעֲנֵם׃ וְשׁוּבוּן
なぜなら あなたが–戒められるから 立ち返るなら
H7725

もし彼らがあなたに罪を犯したために、天が閉ざされて、雨がなく、あなたが彼らを苦しめられるとき、彼らがこの所に向かって祈り、あなたの名をあがめ、その罪を離れるならば、

27 וְאַתָּה תִּשְׁמַע הַשָּׁמַיִם וְסָלַחְתָּ לְחַטָּאת עַבְדֶּיךָ
そして–あなたが 聞いてください 天から そして–赦してください の–罪を しもべたちの
H8085 H8064 H5545 H2403 H5650

וְעַמְּךָ יִשְׂרָאֵל כִּי תוֹרֵם אֶל־ דֶּרֶךְ הַטּוֹבָה אֲשֶׁר יֵלְכוּ־
そして–民の イスラエルの なぜなら 教えてください へ 道へ 良い ところの 歩む–べき
H3478 H3384 H0413 H1870 H2896 H3212

בָּהּ וְנָתַתָּה מָטָר עַל־ אַרְצְךָ אֲשֶׁר־ נָתַתָּה לְעַמְּךָ
その–中を そして–与えてください 雨を の–上に あなたの–地に ところの 与えた 民に
H4306 H5414 H0776 H5414

לְנַחֲלָה׃ ס
相続として —
H5159

あなたは天にあって聞き、あなたのしもべ、あなたの民イスラエルの罪をゆるして、彼らに歩むべき良い道を教え、あなたの民に嗣業として賜わった地に雨を降らせてください。

28 רָעָב כִּי־ יִהְיֶה כִּי־ יִהְיֶה בָּאָרֶץ דֶּבֶר שִׁדָּפוֹן וְיֵרָקוֹן
飢饉が なぜなら あるなら 地に 疫病が なぜなら あるなら 立枯れが そして–さびが
H7458 H3588 H1961 H0776 H1698 H3588 H1961 H7711 H3420

שְׁעָרָיו בְּאֶרֶץ אוֹיְבָיו לוֹ יָצַר־ כִּי כָּל־ יִהְיֶה כִּי כָל וְחָסִיל אַרְבֶּה
門の の–地で 敵が 彼を 囲むなら なぜなら あるなら なぜなら そして–いなごが いなごが
H8179 H0776 H0341 H3588 H1961 H3605 H2625 H0697

מַחֲלָה׃ וְכָל־ נֶגַע כָּל־
病が そして–すべての 災いと すべての
H3605 H5061 H3605

もし国にききんがあるか、もしくは疫病、立ち枯れ、腐り穂、いなご、青虫があるか、または敵のために町の門の中に攻め囲まれることがあるか、どんな災害、どんな病気があっても、

29 וּלְכָל לְכָל־ הָאָדָם יִהְיֶה אֲשֶׁר תְּחִנָּה כָּל־ תְּפִלָּה כָּל־
そして–すべての 人の すべての–ために あるなら ところの 願いを すべての 祈りと すべての
H3605 H0120 H3605 H1961 H8467 H3605 H8605 H3605

כַּפָּיו וּפָרַשׂ וּמַכְאֹבוֹ נִגְעוֹ אִישׁ יֵדְעוּ אֲשֶׁר יִשְׂרָאֵל עַמְּךָ
手を そして–広げるなら その–痛みを その–災いと 人が 知る ところの イスラエルの 民の
H3709 H6566 H4341 H5061 H0376 H3045 H3478

הַזֶּה׃ הַבַּיִת אֶל־
この 家 へ
H2088

もし、ひとりか、あるいはあなたの民イスラエルが皆おのおのその心の悩みを知って、この宮に向かい、手を伸べるならば、どんな祈、どんな願いでも、

30

שִׁבְתְּךָ	מְכוֹן	הַשָּׁמַיִם	מִן־	תִּשְׁמַע	וְאַתָּה	
あなたの–住まいの	場所から	天から	から	聞いてください	そして–あなたが	
H3427	H4349	H8064		H8085		

תֵּדַע	אֲשֶׁר	דְּרָכָיו	כְּכֹל־	לָאִישׁ	וְנָתַתָּה	וְסָלַחְתָּ
知る	ところの	その–道の	すべての–とおりに	人に	そして–与えてください	そして–赦してください
H3045		H1870	H3605	H0376	H5414	H5545

בְּנֵי	לְבַב	אֶת־	יָדַעְתָּ	לְבַדְּךָ	אַתָּה	כִּי	לְבָבוֹ	אֶת־
息子たちの	心を	を	知っておられる	あなた–だけが	あなただけが	なぜなら	その–心を	を
	H3824	H0853	H3045	H0905			H3824	H0853

הָאָדָם׃
人の
H0120

あなたはそのすみかである天から聞いてゆるし、おのおのの人に、その心を知っておられるゆえ、そのすべての道にしたがって報いてください。ただあなただけがすべての人の心を知っておられるからです。

31

הֵם	אֲשֶׁר־	הַיָּמִים	כָּל־	בִּדְרָכֶיךָ	לָלֶכֶת	יִירָאוּךָ	לְמַעַן	
彼らが	ところの	日々を	すべての	あなたの–道を	歩く–ために	畏れる–ために	ために	
H1992		H3117	H3605	H1870	H3212	H3372	H4616	

ס	לַאֲבֹתֵינוּ׃	נָתַתָּה	אֲשֶׁר	הָאֲדָמָה	פְּנֵי	עַל־	חַיִּים
—	先祖たちに	与えた	ところの	地の	面	の–上に	生きている
	H0001	H5414		H0127	H6440		

あなたがわれわれの先祖たちに賜わった地に、彼らの生きながらえる日の間、常にあなたを恐れさせ、あなたの道に歩ませてください。

32

הוּא	יִשְׂרָאֵל	מֵעַמְּךָ	לֹא	אֲשֶׁר	הַנָּכְרִי	אֶל־	וְגַם
彼が	イスラエルの	あなたの–民の	ない	ところの	異国人にも	へ	そして–また
H1931	H3478		H3808		H5237	H0413	H1571

הַחֲזָקָה	וְיָדְךָ	הַגָּדוֹל	שִׁמְךָ	לְמַעַן	רְחוֹקָה	מֵאֶרֶץ	וּבָא
力強い	そして–あなたの–手の	大いなる	あなたの–名の	ために	遠い	から–地	そして–来るなら
H2389	H3027		H8034	H4616	H7350	H0776	H0935

הַזֶּה׃	הַבַּיִת	אֶל־	וְהִתְפַּלְלוּ	וּבָאוּ	הַנְּטוּיָה	וּזְרוֹעֲךָ	
この	家	へ	そして–祈るなら	そして–来て	伸ばされた	そして–あなたの–腕の	
H2088		H0413	H6419	H0935	H5186	H2220	

またあなたの民イスラエルの者でなく、他国人で、あなたの大いなる名と、強い手と、伸べた腕のために遠い国から来て、この宮に向かって祈るならば、

33 וְאַתָּה תִּשְׁמַע מִן־הַשָּׁמַיִם מִמְּכוֹן שִׁבְתֶּךָ
そして–あなたが 聞いてください から 天から から–場所 あなたの–住まいの
H8085 H8064 H4349 H3427

וְעָשִׂיתָ כְּכֹל אֲשֶׁר־יִקְרָא אֵלֶיךָ הַנָּכְרִי לְמַעַן יֵדְעוּ
そして–行ってください すべての–とおりに ところの 呼ぶ あなたに 異国人が ために 知る–ために
H3605 H7121 H0413 H5237 H4616 H3045

כְּעַמְּךָ יִשְׂרָאֵל וְלָדַעַת כִּי־שִׁמְךָ נִקְרָא עַל־הַבַּיִת הַזֶּה
あなたの–民の–ように イスラエルの そして–知る–ために なぜなら あなたの–名が 呼ばれている の–上に 家 この
H3478 H3045 H3034 H7121 H0413 H2088

אֲשֶׁר בָּנִיתִי׃
ところの わたしが–建てた
H1129

あなたは、あなたのすみかである天から聞き、すべて他国人があなたに呼び求めるようにしてください。そうすれば地のすべての民はあなたの民イスラエルのように、あなたの名を知り、あなたを恐れ、またわたしが建てたこの宮が、あなたの名によって呼ばれることを知るにいたるでしょう。

34 כִּי־יֵצֵא עַמְּךָ לַמִּלְחָמָה עַל־אוֹיְבָיו בְּדֶרֶךְ אֲשֶׁר
なぜなら 出るなら あなたの–民が 戦いに の–上に 敵に の–道で ところの
H3318 H4421 H0413 H0341 H1870

תִּשְׁלָחֵם וְהִתְפַּלְלוּ אֵלֶיךָ דֶּרֶךְ הָעִיר הַזֹּאת אֲשֶׁר בָּחַרְתָּ בָּהּ
あなたが–遣わす そして–祈るなら あなたに の–方向で 町の この ところの 選んだ それを
H7971 H6419 H0413 H1870 H2063 H0977 H0977

וְהַבַּיִת אֲשֶׁר־בָּנִיתִי לִשְׁמֶךָ׃
そして–家の ところの わたしが–建てた あなたの–名の–ために
H1129 H8034

あなたの民が敵と戦うために、あなたがつかわされる道によって出るとき、もし彼らがあなたの選ばれたこの町と、わたしがあなたの名のために建てたこの宮に向かってあなたに祈るならば、

35 וְשָׁמַעְתָּ מִן־הַשָּׁמַיִם אֶת־תְּפִלָּתָם וְאֶת־תְּחִנָּתָם
そして–聞いてください から 天から を 彼らの–祈りと そして 彼らの–願いを
H8085 H8064 H0853 H8605 H0853 H8467

וְעָשִׂיתָ מִשְׁפָּטָם׃
そして–行ってください その–裁きを
H4941

あなたは天から彼らの祈と願いとを聞いて彼らをお助けください。

36 כִּי יֶחֶטְאוּ־לָךְ כִּי אֵין אָדָם אֲשֶׁר לֹא־יֶחֱטָא
なぜなら あなたに 罪を–犯すなら なぜなら ない 人は ところの ない 罪を–犯さない
H2398 H0369 H0120 H3808 H2398

וְאָנַפְתָּ בָם וְנָתַתָּם לִפְנֵי אוֹיֵב וְשָׁבוּם שׁוֹבֵיהֶם
そして–怒るなら 彼らに そして–引き渡すなら の–前に 敵の そして–捕らえるなら 捕らえた–者たちが
H0599 H5414 H6440 H0341 H7617 H7617

אֶל־אֶרֶץ רְחוֹקָה אוֹ קְרוֹבָה׃
へ 地へ 遠い または 近い
H0413 H0776 H7350 H7138

彼らがあなたに対して罪を犯すことがあって、――罪を犯さない人はないゆえ、――あなたが彼らを怒って、敵にわたし、敵が彼らを捕虜として遠い地あるいは近い地に引いて行くとき、

37

וְהֵשִׁיבוּ	אֶל־	לִבָּם	בָּאָרֶץ	אֲשֶׁר	נִשְׁבוּ־	שָׁם	וְשָׁבוּ
そして–立ち返るなら	へ	心に	の–地で	ところの	捕らわれた	そこで	そして–立ち返り
H7725	H0413	H3824	H0776		H7617	H8033	H7725

וְהִתְחַנְנוּ	אֵלֶיךָ	בְּאֶרֶץ	שֹׁבְיָם	לֵאמֹר	חָטָאנוּ	הֶעֱוִינוּ	וְרָשָׁעְנוּ׃
そして–願うなら	あなたに	の–地で	捕囚の	言って	罪を–犯した	曲がった	そして–悪を–行った
	H0413	H0776	H7633	H0559	H2398		H7561

もし、彼らが捕われて行った地で、みずから省みて悔い、その捕われの地であなたに願い、『われわれは罪を犯し、よこしまな事をし、悪を行いました』と言い、

38

שֹׁבְיָם	בְּאֶרֶץ	נַפְשָׁם	וּבְכָל־	לִבָּם	בְּכָל־	אֵלֶיךָ	וְשָׁבוּ
捕囚の	の–地で	魂で	そして–すべての	心で	すべての	あなたに	そして–立ち返るなら
H7633	H0776	H5315	H3605		H3605	H0413	H7725

לַאֲבוֹתָם	נָתַתָּה	אֲשֶׁר	אַרְצָם	דֶּרֶךְ	וְהִתְפַּלְלוּ	אֹתָם	שָׁבוּ	אֲשֶׁר־
先祖たちに	与えた	ところの	その–地の	の–方向で	そして–祈るなら	彼らを	捕らえた	ところの
H0001	H5414		H0776	H1870	H6419	H0853	H7617	

לִשְׁמֶךָ׃	בָּנִיתִי	אֲשֶׁר־	וְלַבִּית	בָּחַרְתָּ	אֲשֶׁר	וְהָעִיר
あなたの–名の–ために	わたしが–建てた	ところの	そして–家の	選んだ	ところの	そして–町の
H8034	H1129			H0977		

その捕われの地で心をつくし、精神をつくしてあなたに立ち返り、あなたが彼らの先祖に与えられた地、あなたが選ばれた町、わたしがあなたの名のために建てたこの宮に向かって祈るならば、

39

וְאֶת־	תְּפִלָּתָם	אֶת־	שִׁבְתְּךָ	מִמְּכוֹן	הַשָּׁמַיִם	מִן־	וְשָׁמַעְתָּ	
そして	彼らの–祈りと	を	あなたの–住まいの	から–場所	天から	から	そして–聞いてください	
H0853	H8605	H0853	H3427	H4349	H8064		H8085	

אֲשֶׁר	לְעַמְּךָ	וְסָלַחְתָּ	מִשְׁפָּטָם	וְעָשִׂיתָ	תְּחִנָּתֵיהֶם	
ところの	民を	そして–赦してください	その–裁きを	そして–行ってください	彼らの–願いを	
		H5545	H4941		H8467	

לָךְ׃	חָטְאוּ־	
あなたに	罪を–犯した	
	H2398	

あなたのすみかである天から、彼らの祈と願いとを聞いて彼らを助け、あなたに向かって罪を犯したあなたの民をおゆるしください。

40

וְאָזְנֶיךָ	פְּתֻחוֹת	עֵינֶיךָ	נָא	יְהִיוּ־	אֱלֹהַי	עַתָּה	
そして–あなたの–耳が	開かれて	あなたの–目が	どうか	あってください	わたしの–神よ	今	
H0241			H4994	H1961	H0430	H6258	

ס	הַזֶּה׃	הַמָּקוֹם	לִתְפִלַּת	קְשֻׁבוֹת	
—	この	場所の	の–祈りに	注意深く	
	H2088	H4725	H8605		

わが神よ、どうぞ、この所でささげる祈にあなたの目を開き、あなたの耳を傾けてください。

41 וְעַתָּה קוּמָה יְהוָה אֱלֹהִים לְנוּחֶךָ אַתָּה וַאֲרוֹן
そして–今 立ち上がってください 主よ 神よ あなたの–憩いの–場所へ あなたと そして–箱と
H6258 H3068 H0430 H5118 H0727

עֻזֶּךָ כֹּהֲנֶיךָ יְהוָה אֱלֹהִים תְּשׁוּעָה וַחֲסִידֶיךָ
あなたの–力の あなたの–祭司たちが 主よ 神よ 救いを そして–敬虔な–者たちが
H5797 H3548 H3068 H0430 H8668 H2623

יִשְׂמְחוּ בַּטּוֹב׃
喜びますように 善に
H8055

着ますように
H3847

主なる神よ、今あなたと、あなたの力の箱が立って、あなたの安息所におはいりください。主なる神よ、どうぞあなたの祭司たちに救の衣を着せ、あなたの聖徒たちに恵みを喜ばせてください。

42 יְהוָה אֱלֹהִים אַל־ תָּשֵׁב פְּנֵי מְשִׁיחֶךָ
主よ 神よ どうか–ないでください 退けないでください 顔を あなたの–油注がれた–者の
H3068 H0430 H0408 H7725 H6440 H4899

פ עַבְדֶּךָ׃ דָּוִיד לְחַסְדֵי זָכְרָה
— あなたの–しもべの ダビデの の–恵みを 思い出してください
H5650 H1732 H2142

主なる神よ、どうぞあなたの油そそがれた者の顔を退けないでください。あなたのしもべダビデに示されたいつくしみを覚えて下さい」。

Chapter 7

1 וּכְכַלּוֹת שְׁלֹמֹה לְהִתְפַּלֵּל וְהָאֵשׁ יָרְדָה מִן־הַשָּׁמַיִם וַתֹּאכַל
そして–終えた–時 ソロモンが 祈ることを そして–火が 降って–来た 天から そして–焼き尽くした
H3615 H8010 H6419 H0784 H3381 H8064 H0398

הָעֹלָה וְהַזְּבָחִים וּכְבוֹד יְהוָה מָלֵא אֶת־ הַבָּיִת׃
全焼のいけにえを そして–いけにえを そして–栄光が 主の 満たした を 家を
H2077 H3519 H3068 H4390 H0853

ソロモンが祈り終ったとき、天から火が下って燔祭と犠牲を焼き、主の栄光が宮に満ちた。

2 וְלֹא יָכְלוּ הַכֹּהֲנִים לָבוֹא אֶל־ בֵּית יְהוָה כִּי־ מָלְאָה כְּבוֹד־ יְהוָה אֶת־ בֵּית יְהוָה׃
そして–なかった できなかった 祢司たちは 入ることが へ 家へ 主の なぜなら 満たした 栄光が を 家を 主の
H3808 H3201 H3548 H0935 H0413 H1004 H3068 H4390 H3519 H0853 H1004 H3068

主の栄光が主の宮に満ちたので、祭司たちは主の宮に、はいることができなかった。

3 וְכָל בְּנֵי יִשְׂרָאֵל רֹאִים בְּרֶדֶת הָאֵשׁ וּכְבוֹד יְהוָה עַל־ הַבָּיִת וַיִּכְרְעוּ אַפַּיִם אַרְצָה עַל־ הָרִצְפָּה וַיִּשְׁתַּחֲווּ
そして–すべての 息子たちは イスラエルの 見ていた の–降る–時に 火が そして–栄光が 主の 家の の–上に そして–ひざまずいた 顔を 地に の–上に 舗石の そして–ひれ伏した
H3605 H1121 H3478 H7200 H3381 H0784 H3519 H3068 H1004 H5307 H0639 H0776 H5921 H7531 H7812

וְהוֹדוֹת לַיהוָה כִּי טוֹב כִּי לְעוֹלָם חַסְדּוֹ׃
そして–感謝した 主に なぜなら 良い なぜなら 永遠に その–恵みは
H3034 H3068 H3588 H2896 H3588 H5769 H2617

イスラエルの人々はみな火が下ったのを見、また主の栄光が宮に臨んだのを見て、敷石の上で地にひれ伏して拝し、主に感謝して言った、「主は恵みふかく、そのいつくしみはとこしえに絶えることがない」。

4

ס	יְהוָה׃	לִפְנֵי	זֶבַח	זֹבְחִים	הָעָם	וְכָל־	וְהַמֶּלֶךְ
—	主の	の-前で	いけにえを	いけにえを-ささげていた	民は	そして-すべての	そして-王は
	H3068	H6440	H2077	H2076		H3605	H4428

そして王と民は皆主の前に犠牲をささげた。

5

וּשְׁנַיִם	עֶשְׂרִים	הַבָּקָר	זֶבַח	אֶת־	שְׁלֹמֹה	הַמֶּלֶךְ	וַיִּזְבַּח
そして-二	二十	牛の	いけにえを	を	ソロモンは	王は	そして-いけにえとして-ささげた
H8147	H6242	H1241	H2077	H0853	H8010	H4428	H2076

הַמֶּלֶךְ	הָאֱלֹהִים	בֵּית	אֶת־	וַיַּחְנְכוּ	אֶלֶף	וְעֶשְׂרִים	מֵאָה	וְצֹאן	אֶלֶף
王は	神の	家を	を	そして-奉献した	千	そして-二十	百	そして-羊を	千
H4428	H0430		H0853	H2596	H0505	H6242	H3967	H6629	H0505

הָעָם׃	וְכָל־
民は	そして-すべての
	H3605

ソロモン王のささげた犠牲は、牛二万二千頭、羊十二万頭であった。こうして王と民は皆神の宮をささげた。

6

שִׁיר	בִּכְלֵי־	וְהַלְוִיִּם	עֹמְדִים	מִשְׁמְרוֹתָם	עַל־	וְהַכֹּהֲנִים
歌の	の-楽器で	そして-レビ人たちは	立っていた	その-持ち場で	の-上に	そして-祢司たちは
	H3627	H3881	H5975	H4931		H3548

חַסְדּוֹ	לְעוֹלָם	כִּי־	לַיהוָה	לְהוֹדוֹת	הַמֶּלֶךְ	דָּוִיד	עָשָׂה	אֲשֶׁר	יְהוָה
その-恵みは	永遠に	なぜなら	主に	感謝する-ために	王が	ダビデが	造った	ところの	主の
	H5769		H3068	H3034	H4428	H1732			H3068

)מַחְצְרִים(	]מחצצרים[	וְהַכֹּהֲנִים	בְּיָדָם	דָּוִיד	בְּהַלֵּל
ラッパを-吹く者たち	ラッパを-吹く者たち	そして-祢司たちは	彼らの-手で	ダビデが	の-賛美する-時に
H2690	H2690	H3548	H3027	H1732	

ס	עֹמְדִים׃	יִשְׂרָאֵל	וְכָל־	נֶגְדָּם
—	立っていた	イスラエルは	そして-すべての	彼らの-前で
	H5975	H3478	H3605	H5048

祭司はその持ち場に立ち、レビびとも主の楽器をとって立った。その楽器はダビデ王が主に感謝するために造ったもので、ダビデが彼らの手によってさんびをささげるとき、「そのいつくしみは、とこしえに絶えることがない」ととなえさせたものである。祭司は彼らの前でラッパを吹き、すべてのイスラエルびとは立っていた。

7

כִּי־	יְהוָה	בֵּית־	לִפְנֵי	אֲשֶׁר	הֶחָצֵר	תְּוֹךְ	אֶת־	שְׁלֹמֹה	וַיְקַדֵּשׁ
なぜなら	主の	家の	の-前の	ところの	庭の	中を	を	ソロモンは	そして-聖別した
	H3068		H6440			H8432	H0853	H8010	H6942

הַנְּחֹשֶׁת	מִזְבַּח	כִּי־	הַשְּׁלָמִים	חֶלְבֵי	וְאֵת	הָעֹלוֹת	שָׁם	עָשָׂה
青銅の	祭壇は	なぜなら	和解の-いけにえの	脂肪を	そして	全焼のいけにえを	そこで	ささげた
	H4196		H8002	H2459	H0853		H8033	

וְאֶת־	הָעֹלָה	אֶת־	לְהָכִיל	יָכוֹל	לֹא	שְׁלֹמֹה	עָשָׂה	אֲשֶׁר
そして	全焼のいけにえと	を	容れることが	できなかった	なかった	ソロモンが	造った	ところの
H0853		H0853	H3557	H3201	H3808	H8010		

הַחֲלָבִים׃	וְאֶת־	הַמִּנְחָה
脂肪を	そして	穀物の-供え物と
H2459	H0853	H4503

ソロモンはまた主の宮の前にある庭の中を聖別し、その所で、燔祭と酬恩祭のあぶらをささげた。これはソロモンが造った青銅の祭壇が、その燔祭と素祭とあぶらとを載せるに足りなかったからである。

8 וַיַּעַשׂ שְׁלֹמֹה אֶת־הֶחָג בָּעֵת הַהִיא שִׁבְעַת יָמִים וְכָל־
そして-行った ソロモンは を 祭りを の-時に その 七 日間 そして-すべての
H3605 H3117 H7651 H1931 H6256 H2282 H0853 H8010

יִשְׂרָאֵל עִמּוֹ קָהָל גָּדוֹל מְאֹד מִלְּבוֹא חֲמָת עַד־נַחַל מִצְרָיִם׃
イスラエルは 彼と-共に 会衆は 大きい 非常に から-入口 ハマトの まで 川 エジプトの
H3478 H6951 H1419 H3966 H0935 H2574 H5704 H5158 H4714

その時ソロモンは七日の間祭を行った。ハマテの入口からエジプトの川に至るまでのすべてのイスラエルびとが彼と共にあり、非常に大きな会衆であった。

9 וַיַּעֲשׂוּ בַּיּוֹם הַשְּׁמִינִי עֲצֶרֶת כִּי חֲנֻכַּת הַמִּזְבֵּחַ עָשׂוּ שִׁבְעַת יָמִים
そして-行った の-日に 第八の 聖会を なぜなら 奉献式を 祭壇の 行った 七 日間
H3117 H8066 H6116 H3588 H2598 H4196 H6213 H7651 H3117

וְהֶחָג שִׁבְעַת יָמִים׃
そして-祭りを 七 日間
H2282 H7651 H3117

そして八日目に聖会を開いた。彼らは七日の間、祭壇奉献の礼を行い、七日の間祭を行ったが、

10 וּבְיוֹם עֶשְׂרִים וּשְׁלֹשָׁה לַחֹדֶשׁ הַשְּׁבִיעִי שִׁלַּח אֶת־הָעָם לְאָהֳלֵיהֶם
そして-の-日に 二十 そして-三 の-月の 第七の 送った を 民を その-天幕に
H3117 H6242 H7969 H2320 H7637 H7971 H0853 H5971 H0168

שְׂמֵחִים וְטֹובֵי לֵב עַל־הַטּוּבָה אֲשֶׁר עָשָׂה יְהוָה לְדָוִיד וְלִשְׁלֹמֹה וְלְיִשְׂרָאֵל עַמּוֹ׃
喜んで そして-良い 心で の-ために 善の ところの なさった 主が ダビデに そして-ソロモンに そして-イスラエルに その-民に
H8056 H2896 H3820 H3202 H3068 H1732 H8010 H3478 H5971

七月二十三日に至ってソロモンは民をその天幕に帰らせた。皆主がダビデ、ソロモンおよびその民イスラエルに施された恵みのために喜び、かつ心に楽しんで去った。

11 וַיְכַל שְׁלֹמֹה אֶת־בֵּית יְהוָה וְאֶת־בֵּית הַמֶּלֶךְ וְאֵת כֹּל
そして-終えた ソロモンは を 家を 主の 家を そして を 王の そして すべての
H3615 H8010 H0853 H1004 H3068 H1004 H0853 H4428 H0853 H3605

הַבָּא עַל־לֵב שְׁלֹמֹה לַעֲשׂוֹת בְּבֵית־יְהוָה וּבְבֵיתוֹ הִצְלִיחַ׃ פ
来た-ことを の-上に 心に ソロモンの する-ために の-家で 主の で-家で そして-彼の-家で 成功した
H0935 H5921 H3820 H8010 H6213 H1004 H3068 H1004 H6743

こうしてソロモンは主の家と王の家とを造り終えた。すなわち彼は主の家と自分の家について、しようと計画したすべての事を首尾よくなし遂げた。

12 וַיֵּרָא יְהוָה אֶל־שְׁלֹמֹה בַּלַּיְלָה וַיֹּאמֶר לוֹ שָׁמַעְתִּי אֶת־
そして-現れた 主は に ソロモンに 夜に そして-言った に 聞いた を
H7200 H3068 H0413 H8010 H3915 H0559 H0413 H8085 H0853

תְּפִלָּתֶךָ וּבָחַרְתִּי בַּמָּקוֹם הַזֶּה לִי לְבֵית זֶבַח׃
あなたの-祈りを そして-選んだ の-場所を この わたしの-ために の-家として いけにえの
H8605 H0977 H4725 H2088 H0559 H1004 H2077

時に主は夜ソロモンに現れて言われた、「わたしはあなたの祈を聞き、この所をわたしのために選んで、犠牲をささげる家とした。

13

אֲצַוֶּה	וְהֵן־	מָטָר	יִהְיֶה	וְלֹא־	הַשָּׁמַיִם	אֶעְצָר	הֵן
命じるなら	そして-見よ	雨が	あるなら	そして-ないなら	天を	わたしが-閉ざすなら	見よ
H6680	H2005	H4306	H1961	H3808	H8064	H6113	H2005

בְּעַמִּי׃	דֶּבֶר	אֲשַׁלַּח	וְאִם־	הָאָרֶץ	לֶאֱכֹל	חָגָב	עַל־
わたしの-民に	疫病を	遣わすなら	そして-もし	地を	食い尽くすと	いなごに	の-上に
	H1698	H7971		H0776	H0398	H2284	

わたしが天を閉じて雨をなくし、またはわたしがいなごに命じて地の物を食わせ、または疫病を民の中に送るとき、

14

עֲלֵיהֶם	שְׁמִי	נִקְרָא־	אֲשֶׁר	עַמִּי	וְיִכָּנְעוּ
彼らの-上に	わたしの-名が	呼ばれている	ところの	わたしの-民が	そして-へりくだるなら
	H8034	H7121			H3665

הָרָעִים	מִדַּרְכֵיהֶם	וְיָשֻׁבוּ	פָּנַי	וְיבַקְשׁוּ	וְיִתְפַּלְלוּ
悪い	その-道から	そして-立ち返るなら	わたしの-顔を	そして-求めるなら	そして-祈り
	H1870	H7725	H6440	H1245	H6419

אַרְצָם׃	אֶת־	וְאֶרְפָּא	לְחַטָּאתָם	וְאֶסְלַח	הַשָּׁמַיִם	מִן־	אֶשְׁמַע	וַאֲנִי
その-地を	を	そして-癒す	その-罪を	そして-赦し	天から	から	聞く	そして-わたしが
H0776	H0853	H7495		H5545	H8064		H8085	H0589

わたしの名をもってとなえられるわたしの民が、もしへりくだり、祈って、わたしの顔を求め、その悪い道を離れるならば、わたしは天から聞いて、その罪をゆるし、その地をいやす。

15

הַזֶּה׃	הַמָּקוֹם	לִתְפִלַּת	קַשֻּׁבוֹת	וְאָזְנֶיךָ	פְּתֻחוֹת	יִהְיוּ	עֵינַי	עַתָּה
この	場所の	の-祈りに	注意深く	そして-わたしの-耳は	開かれて	ある	わたしの-目は	今
H2088	H4725	H8605		H0241		H1961		H6258

今この所にささげられる祈にわたしの目を開き、耳を傾ける。

16

שָׁם	שְׁמִי	לִהְיוֹת־	הַזֶּה	הַבַּיִת	אֶת־	וְהִקְדַּשְׁתִּי	בָּחַרְתִּי	וְעַתָּה
そこに	わたしの-名が	ある-ために	この	家を	を	そして-聖別した	選んだ	そして-今
H8033	H8034	H1961	H2088		H0853	H6942	H0977	H6258

הַיָּמִים׃	כָּל־	שָׁם	וְלִבִּי	עֵינַי	וְהָיוּ	עוֹלָם	עַד־
日々	すべての	そこに	そして-わたしの-心は	わたしの-目と	そして-ある	永遠に	まで
H3117	H3605	H8033			H1961	H5769	H5704

今わたしはわたしの名をながくここにとどめるために、この宮を選び、かつ聖別した。わたしの目とわたしの心は常にここにある。

17

אָבִיךָ	דָּוִיד	הָלַךְ	כַּאֲשֶׁר	לְפָנַי	תֵּלֵךְ	אִם־	וְאַתָּה
あなたの-父が	ダビデが	歩んだ	ように	わたしの-前を	歩くなら	もし	そして-あなたが
H0001	H1732	H1980		H6440	H3212		

וְחֻקַּי	צִוִּיתִיךָ	אֲשֶׁר	כְּכֹל	וְלַעֲשׂוֹת
そして-わたしの-掟と	わたしが-命じた	ところの	すべての-とおりに	そして-行うなら
H2706	H6680		H3605	

תִּשְׁמֹר׃	וּמִשְׁפָּטַי	
守るなら	そして-わたしの-定めを	
H8104	H4941	

あなたがもし父ダビデの歩んだようにわたしの前に歩み、わたしが命じたとおりにすべて行って、わたしの定めとおきてとを守るならば、

18 וַהֲקִימוֹתִי אֶת כִּסֵּא מַלְכוּתֶךָ כַּאֲשֶׁר כָּרַתִּי לְדָוִיד אָבִיךָ לֵאמֹר
そして–確立する を 王座を あなたの–王国の ように 結んだ ダビデに あなたの–父に 言って
H0853 H3678 H4438 H3772 H1732 H0001 H0559

לֹא־יִכָּרֵת לְךָ אִישׁ מוֹשֵׁל בְּיִשְׂרָאֵל׃
ない 絶たれない あなたには 人が 治める–者が イスラエルを
H3808 H3772 H0376 H4910 H3478

わたしはあなたの父ダビデに契約して『イスラエルを治める人はあなたに欠けることがない』と言ったとおりに、あなたの王の位を堅くする。

19 וְאִם־תְּשׁוּבוּן וַעֲזַבְתֶּם אֶת חֻקּוֹתַי וּמִצְוֹתַי
そして–もし 立ち返るなら あなたがたが 捨てるなら わたしの–掟と そして–戒めを
H7725 H0859 H2708 H4687

אֲשֶׁר נָתַתִּי לִפְנֵיכֶם וַהֲלַכְתֶּם וַעֲבַדְתֶּם אֱלֹהִים אֲחֵרִים וְהִשְׁתַּחֲוִיתֶם לָהֶם׃
ところの 与えた あなたがたの–前に そして–歩き そして–仕えるなら 神々に 他の そして–ひれ伏すなら 彼らに
H5414 H6440 H1980 H5647 H0430 H0312 H7812 H0853

しかし、あなたがたがもし翻って、わたしがあなたがたの前に置いた定めと戒めとを捨て、行って他の神々に仕え、それを拝むならば、

20 וְנִתַּשְׁתִּים מֵעַל אַדְמָתִי אֲשֶׁר נָתַתִּי לָהֶם וְאֶת־הַבַּיִת הַזֶּה אֲשֶׁר הִקְדַּשְׁתִּי לִשְׁמִי אַשְׁלִיךְ מִנֶּגֶד פָּנָי וְאֶתְּנֶנּוּ מָשָׁל וְשִׁנִּינָה בְּכָל־הָעַמִּים׃
そして–引き抜く から–上から わたしの–地から ところの 与えた 彼らに そして–この 家を この ところの 聖別した わたしの–名の–ために 投げ捨てる から–上から わたしの–顔の そして–する ことわざとして そして–嘲笑として すべての–中で 民の
H5428 H5921 H0127 H0834 H5414 H0853 H2088 H1004 H0834 H6942 H8034 H7993 H5921 H6440 H5414 H4912 H8148 H3605 H5971

わたしはあなたがたをわたしの与えた地から抜き去り、またわたしの名のために聖別したこの宮をわたしの前から投げ捨てて、もろもろの民のうちにことわざとし、笑い草とする。

21 וְהַבַּיִת הַזֶּה אֲשֶׁר הָיָה עֶלְיוֹן לְכָל־עֹבֵר יִשֹּׁם עָלָיו וְאָמַר לָמָּה עָשָׂה יְהוָה כָּכָה לָאָרֶץ הַזֹּאת וְלַבַּיִת הַזֶּה׃
そして–家は この ところの 高い あった すべての–ために 通る–者が 驚く それを そして–言う なぜ したのか 主は このように 地に この そして–家に この
H1004 H2088 H5945 H1961 H3605 H5674 H8074 H5921 H0559 H4100 H6213 H3068 H3602 H0776 H2063 H1004 H2088

またこの宮は高いけれども、ついには、そのかたわらを過ぎる者は皆驚いて、『何ゆえ主はこの地と、この宮とにこのようにされたのか』と言うであろう。

22 וְאָמְרוּ֙ עָזְב֣וּ אֶת־ יְהוָ֔ה אֱלֹהֵ֖י אֲבֹתֵיהֶ֑ם אֲשֶׁ֣ר הוֹצִיאָ֔ם

そして–言う עַל֙ אֲשֶׁר֙ עָזְב֣וּ אֶת־ יְהוָ֔ה אֱלֹהֵ֖י אֲבֹתֵיהֶ֑ם אֲשֶׁ֣ר הוֹצִיאָ֔ם
の–ために ところの 捨てた を 主を 神を 先祖たちの ところの 導き出した
H0559 H0853 H3068 H0430 H0001 H3318

וַיַּחֲזִ֣יקוּ֮ בֵּאלֹהִים֒ אֲחֵרִ֗ים וַיִּשְׁתַּחֲוּ֙ לָהֶ֔ם

そして–つかみ取った の–神々に 他の そして–ひれ伏した 彼らに
H2388 H0430 H0312 H7812

מֵאֶ֣רֶץ מִצְרַ֔יִם וַיַּעַבְד֖וּם הַבִּ֣יא כֵ֑ן עַל־ כָּל־ הָרָעָ֥ה הַזֹּֽאת׃

から–地 エジプトの そして–仕えた もたらした それの の–ために すべての わざわいを この
H0776 H4714 H5647 H0935 H3605 H2063

פ

その時、人々は答えて『彼らはその先祖たちをエジプトの地から導き出した彼らの神、主を捨てて、他の神々につき従い、それを拝み、それに仕えたために、主はこのすべての災を彼らの上に下したのである』と言うであろう」。

Chapter 8

1 וַיְהִ֗י מִקֵּץ֙ עֶשְׂרִ֣ים שָׁנָ֔ה אֲשֶׁ֥ר בָּנָ֛ה שְׁלֹמֹ֖ה אֶת־ בֵּ֣ית יְהוָ֑ה וְאֶת־ בֵּיתֽוֹ׃

そして–あった の–終わりに 二十 年の ところの 建てた ソロモンが を 家を 主の
H1961 H7093 H6242 H8141 H1129 H8010 H0853 H1004 H3068

ソロモンは二十年を経て、主の家と自分の家とを建て終った。

2 וְהֶעָרִ֗ים אֲשֶׁ֤ר נָתַן֙ חוּרָ֣ם לִשְׁלֹמֹ֔ה בָּנָ֥ה שְׁלֹמֹ֖ה אוֹתָ֑ם וַיּוֹשֶׁב־ שָׁ֖ם אֶת־ בְּנֵ֥י יִשְׂרָאֵֽל׃

そして–町々を ところの 与えた フラムが ソロモンに 建てた ソロモンは それらを そして–住まわせた そこに を 息子たちを イスラエルの
H5892 H0834 H5414 H2361 H8010 H1129 H8010 H0853 H3427 H8033 H0853 H1121 H3478

またソロモンはヒラムから送られた町々を建て直して、そこにイスラエルの人々を住ませた。

3 וַיֵּ֣לֶךְ שְׁלֹמֹ֔ה חֲמָ֖ת צוֹבָ֑ה וַיֶּחֱזַ֖ק עָלֶֽיהָ׃

そして–行った ソロモンは ハマト ツォバへ そして–勝ち取った それを
H3212 H8010 H2578 H6678 H2388 H5921

ソロモンはまたハマテ・ゾバを攻めて、これを取った。

4 וַיִּבֶן֙ אֶת־ תַּדְמֹ֣ר בַּמִּדְבָּ֔ר וְאֵת֙ כָּל־ עָרֵ֣י הַמִּסְכְּנ֔וֹת אֲשֶׁ֥ר בָּנָ֖ה בַּחֲמָֽת׃

そして–建てた を タドモルを 荒野に そして すべての 町々を 倉庫の ところの 建てた ハマトに
H1129 H0853 H8412 H4057 H3605 H5892 H0834 H1129 H2574

彼はまた荒野にタデモルを建て、もろもろの倉の町をハマテに建てた。

5 וַיִּבֶן אֶת־חוֹרוֹן בֵּית הָעֶלְיוֹן וְאֶת־חוֹרוֹן בֵּית הַתַּחְתּוֹן עָרֵי מָצוֹר חוֹמוֹת דְּלָתַיִם וּבְרִיחַ׃

そして-建てた を ベト・ホロンを 上の そして ベト・ホロンを 下の 町々を 要塞の
H1129 H0853 H1032 H5945 H0853 H1032 H8481 H5892 H4692
城壁と 扉と かんぬきの
H2346

また城壁、門、貫の木のある堅固な町、上ベテホロンと下ベテホロンを建てた。

6 וְאֶת־בַּעְלָת וְאֶת־כָּל־עָרֵי הַמִּסְכְּנוֹת אֲשֶׁר הָיוּ לִשְׁלֹמֹה וְאֶת

そして ソロモンに あった ところの 倉庫の 町々を すべての そして バアラトを そして
H0853 H8010 H1961 H0834 H4543 H5892 H3605 H0853 H1191 H0853

כָּל־עָרֵי הָרֶכֶב וְאֶת־עָרֵי הַפָּרָשִׁים וְאֵת כָּל־חֶשְׁקַ שְׁלֹמֹה

すべての 町々を そして 戦車の 町々を 騎兵の そして すべての 望みを ソロモンの
H3605 H5892 H0853 H7393 H5892 H6571 H0853 H3605 H2837 H8010

בִּירוּשָׁלַ͏ִם וּבַלְּבָנוֹן וּבְכֹל אֶרֶץ מֶמְשַׁלְתּוֹ׃ חָשַׁקְ לִבְנוֹת אֲשֶׁר

建てることを 望んだ ところの エルサレムに そして-レバノンに そして-すべての 地に 彼の-支配の
H1129 H2837 H0834 H3389 H3844 H3605 H0776 H4474

ソロモンはまたバアラテと自分のもっていたすべての倉の町と、すべての戦車の町と、騎兵の町、ならびにエルサレム、レバノンおよび自分の治める全地方に建てようと望んだものを、ことごとく建てた。

7 כָּל־הָעָם הַנּוֹתָר מִן־הַחִתִּי וְהָאֱמֹרִי וְהַפְּרִזִּי וְהַחִוִּי וְהַיְבוּסִי

すべての 民の 残った-者 から ヒッタイトと そして-エモリ人と そして-ペリズ人と そして-ヒヴ人と そして-エブス人の
H3605 H5971 H3498 H4480 H2850 H0567 H6522 H2340 H2983

אֲשֶׁר לֹא מִיִּשְׂרָאֵל הֵמָּה׃

ところの なかった の-イスラエルの 彼らは
H0834 H3808 H3478 H1992

すべてイスラエルの子孫でないヘテびと、アモリびと、ペリジびと、ヒビびと、エブスびとの残った民、

8 מִן־בְּנֵיהֶם אֲשֶׁר נוֹתְרוּ אַחֲרֵיהֶם בָּאָרֶץ אֲשֶׁר לֹא

から 彼らの-息子たちの ところの 残った 彼らの-後に 地に ところの なかった
H4480 H1121 H0834 H3498 H0310 H0776 H0834 H3808

כִלּוּם בְּנֵי יִשְׂרָאֵל לֹא עֲשָׂם שְׁלֹמֹה לָמַס וַיַּעֲלֵם עַד הַיּוֹם הַזֶּה׃

滅ぼさなかった イスラエルの 息子たちが 強制-労働に ソロモンは そして-上げた まで 日
H3615 H3478 H1121 H4522 H8010 H5927 H5704 H3117 H2088

その地にあって彼らのあとに残ったその子孫、すなわちイスラエルの子孫が滅ぼし尽さなかった民に、ソロモンは強制徴募をおこなって今日に及んでいる。

9 וּמִן־ בְּנֵי֙ יִשְׂרָאֵ֔ל אֲשֶׁ֥ר לֹא־ נָתַ֖ן שְׁלֹמֹ֑ה לַעֲבָדִ֣ים
そして-から 息子たちの イスラエルの ところの なかった ソロモンは 奴隷に
H4480 H1121 H3478 H834 H3808 H5414 H8010 H5650

לְמִלַאכְתּ֔וֹ כִּי־ הֵ֣מָּה אַנְשֵׁ֔י מִלְחָמָ֖ה וְשָׂרֵ֣י שָׁלִישָׁ֑יו וְשָׂרֵ֣י
彼の-仕事の-ために なぜなら 彼らは 人々 戦いの 長たち 彼の-副官の そして-長たち
H4399 H3588 H1992 H0376 H4421 H8269 H7991 H8269

רִכְבּ֖וֹ וּפָרָשָֽׁיו׃ פ
彼の-戦車の そして-騎兵の
H7393 H6571

しかし、イスラエルの人々をソロモンはその工事のためには、ひとりも奴隷としなかった。彼らは兵士となり、将校となり、戦車と、騎兵の長となった。

10 וְאֵ֗לֶּה שָׂרֵי֙ [הנציבים] (הַנִּצָּבִ֔ים) אֲשֶׁ֥ר לַמֶּ֖לֶךְ שְׁלֹמֹ֑ה חֲמִשִּׁ֥ים
そして-これらが 長たち 監督者の 監督者の ところの の-王の ソロモンの 五十
H0428 H8269 H5333 H5324 H834 H4428 H8010 H2572

וּמָאתַ֖יִם הָרֹדִ֥ים בָּעָֽם׃
そして-二百 治める-者たち 民を
H3967 H7287 H5971

これらはソロモン王のおもな官吏で、二百五十人あり、民を治めた。

11 וְאֶת־ בַּת־ פַּרְעֹ֗ה הֶעֱלָ֤ה שְׁלֹמֹה֙ מֵעִ֣יר דָּוִ֔יד לַבַּ֕יִת אֲשֶׁ֥ר בָּנָ֖ה
そして 娘を ファラオの 上らせた ソロモンは から-町 ダビデの の-家へ ところの 建てた
H0853 H1323 H6547 H5927 H8010 H4480 H1732 H1004 H834 H1129

לִ֑י כִּ֣י אָמַ֗ר לֹא־ תֵשֵׁ֤ב אִשָּׁה֙ בְּבֵ֣ית דָּוִ֣יד מֶ֔לֶךְ יִשְׂרָאֵ֔ל כִּ֥י
わたしの-ために なぜなら 言った ない 住まない 女は の-家に ダビデの 彼女の-ために
H0559 H3808 H1004 H1732 H3427 H0802 H1004 H1732 H3588

קֹ֖דֶשׁ הֵ֣מָּה אֲשֶׁר־ בָּ֣אָה אֲלֵיהֶ֔ם אֲר֥וֹן יְהוָ֖ה׃ פ
聖なる それらは ところの 来た それらに 箱が 主の
H6944 H1992 H834 H0935 H0413 H0727 H3068

מֶלֶךְ־ יִשְׂרָאֵ֣ל כִּי־ קֹ֖דֶשׁ הֵ֣מָּה אֲשֶׁר־ בָּ֣אָה אֲלֵיהֶ֔ם אֲר֥וֹן יְהוָ֖ה׃ פ
王 イスラエルの なぜなら 聖なる それらは ところの 来た それらに 箱が 主の
H4428 H3478 H3588 H6944 H1992 H834 H0935 H0413 H0727 H3068

ソロモンはパロの娘をダビデの町から連れ上って、彼女のために建てた家に入れて言った、「主の箱を迎えた所は神聖であるから、わたしの妻はイスラエルの王ダビデの家に住んではならない」。

12 אָז֙ הֶעֱלָ֣ה שְׁלֹמֹ֔ה עֹל֥וֹת לַיהוָ֖ה עַל־ מִזְבַּ֣ח יְהוָ֑ה אֲשֶׁ֥ר
その-時 ささげた ソロモンは 全焼のいけにえを 主に の-上に 祭壇の 主の ところの
H0227 H5927 H8010 H5930 H3068 H5921 H4196 H3068 H834

בָּנָ֖ה לִפְנֵ֥י הָאוּלָֽם׃
建てた の-前に 玄関の
H1129 H6440 H0197

ソロモンは廊の前に築いておいた主の祭壇の上で主に燔祭をささげた。

13 וּבִדְבַר־ יוֹם֙ בְּי֣וֹם לְהַעֲל֔וֹת כְּמִצְוַ֥ת מֹשֶׁ֖ה לַשַּׁבָּת֣וֹת
そして-の-ことをして 日 の-日ごとに ささげる-ために 御命令の-とおりに モーセの 安息日に
H1697 H3117 H3117 H5927 H4687 H4872 H7676

וְלַחֳדָשִׁ֗ים וְלַמּוֹעֲדוֹת֙ שָׁל֣וֹשׁ פְּעָמִ֔ים בַּשָּׁנָ֖ה בְּחַ֣ג הַמַּצּ֑וֹת
そして-新月に そして-祭りに 三 回 年に の-祭りに 種入れぬ-パンの
H2320 H4150 H7969 H6471 H8141 H2282 H4682

וּבְחַ֣ג הַשָּׁבֻע֔וֹת וּבְחַ֖ג הַסֻּכּ֑וֹת׃
そして-の-祭りに 週の そして-の-祭りに 仮庵の
H2282 H7620 H2282 H5521

すなわちモーセの命令に従って、毎日定めのようにささげ、安息日、新月および年に三度の祭、すなわち種入れぬパンの祭、七週の祭、仮庵の祭にこれをささげた。

14 וַיַּעֲמֵד כְּמִשְׁפַּט דָּוִיד־ אֲבִיו אֶת־ מַחְלְקוֹת הַכֹּהֲנִים עַל־
そして-立てた の-定めの-とおりに ダビデ 彼の-父の を 組分けを 祭司たちの の-上に
H5975 H4941 H1732 H0001 H0853 H4256 H3548

עֲבֹדָתָם וְהַלְוִיִּם עַל־ מִשְׁמְרוֹתָם לְהַלֵּל וּלְשָׁרֵת נֶגֶד
その-務めの そして-レビ人たちを の-上に その-持ち場の 賛美し そして-仕える-ために の-前で
H5656 H3881 H4931 H1984 H8334 H5048

לְשַׁעַר בְּמַחְלְקוֹתָם וְהַשּׁוֹעֲרִים בְּיוֹמוֹ יוֹם לְדִבְרַי־ הַכֹּהֲנִים
の-門ごとに その-組分けで そして-門衛たちを その-日ごとに 日 の-ことととして 祭司たちの
H8179 H4256 H7778 H3117 H3117 H1697 H3548

:הָאֱלֹהִים אִישׁ־ דָּוִיד מִצְוַת כֵּן כִּי וְשָׁעַר
神の 人 ダビデの 命令は そのように なぜなら 門ごとに
H0430 H0376 H1732 H4687 H8179

ソロモンは、その父ダビデのおきてに従って、祭司の組を定めてその職に任じ、またレビびとをその勤めに任じて、毎日定めのように祭司の前でさんびと奉仕をさせ、また門を守る者に、その組にしたがって、もろもろの門を守らせた。これは神の人ダビデがこのように命じたからである。

15 וְהַלְוִיִּם הַכֹּהֲנִים עַל־ הַמֶּלֶךְ מִצְוַת סָרוּ וְלֹא
そして-レビ人たちに-ついて 祭司たちと の-上の 王の 命令から それなかった そして-なかった
H3881 H3548 H4428 H4687 H5493 H3808

:וְלָאֹצָרוֹת לְכָל־ דָּבָר
そして-倉庫に-ついて 事と すべての-ための
H0214 H1697 H3605

祭司とレビびとはすべての事につき、また倉の事について、王の命令にそむかなかった。

16 וַתִּכֹּן כָּל־ מְלֶאכֶת שְׁלֹמֹה עַד־ הַיּוֹם מוּסַד בֵּית־ יְהוָה
そして-備えられた すべての 仕事は ソロモンの まで 日 基礎から 家の 主の
H3559 H3605 H4399 H8010 H5704 H3117 H4143 H1004 H3068

ס יְהוָה׃ בֵּית שָׁלֵם כָּלְתּוֹ וְעַד־
— 主の 家は 完全であった その-完成まで そして-まで
H3068 H8003 H3615 H5704

このようにソロモンは、主の宮の基をすえた日からこれをなし終えたときまで、その工事の準備をことごとくなしたので、主の宮は完成した。

17 אָז שְׁלֹמֹה הָלַךְ אֲלוֹת וְאֶל־ עֶצְיוֹן־גָּבֶר עַל־ שְׂפַת הַיָּם
その-時 ソロモンは 行った エラトへ そして-へ エツヨン・ゲベルへ の-上に 岸の 海の
H0227 H8010 H1980 H0413 H6100 H5921 H8193 H3220

:בְּאֶרֶץ אֱדוֹם
の-地に エドムの
H0776 H0123

それからソロモンはエドムの地の海べにあるエジオン・ゲベルおよびエロテへ行った。

18

וַיְשַׁלַּח־ לוֹ חוּרָם בְּיַד־ עֲבָדָיו |אוניות| (אֳנִיּוֹת) וַעֲבָדִים
そして–送った 彼に フラムは の–手で しもべたちの 船を 船を そして–しもべたちを
H7971 H3027 H2361 H5650 H0591 H0591 H5650

וַיְקֻחוּ אוֹפִירָה שְׁלֹמֹה עַבְדֵי עִם־ וַיָּבֹאוּ יָם נוֹדְעֵי
そして–取った オフィルへ ソロモンの しもべたちと と–共に そして–来た 海を 知る–者たち
H3947 H0211 H8010 H5650 H0935 H3220 H3045

הַמֶּלֶךְ אֶל־ וַיָּבִיאוּ כִכָּר זָהָב וַחֲמִשִּׁים מֵאוֹת אַרְבַּע־ מִשָּׁם
王へ へ そして–持って来た 金を タラントの そして–五十 百 四 そこから
H4428 H0413 H0935 H2091 H3603 H2572 H3967 H0702 H8033

פ שְׁלֹמֹה׃
— ソロモン
H8010

時にヒラムはそのしもべどもの手によって船団を彼に送り、また海の事になれたしもべどもをつかわしたので、彼らはソロモンのしもべらと共にオフルへ行き、そこから金四百五十タラントを取って、これをソロモン王のもとに携えてきた。

Chapter 9

1

לְנַסּוֹת וַתָּבוֹא שְׁלֹמֹה שֶׁמַע אֶת־ שְׁמֻעָה שְׁבָא וּמַלְכַּת־
試すために そして–やって来た ソロモンの 評判を ～を 聞いて シェバ そして–シェバの–女王は
H5254 H0935 H8010 H8085 H0853 H8085 H7614 H4436

נֹשְׂאִים וּגְמַלִּים מְאֹד כְּבֵד בְּחַיִל בִּירוּשָׁלַם בְּחִידוֹת שְׁלֹמֹה אֶת־
運ばせた そして–らくだに 非常に 重い 隊列と–共に エルサレムに 難問で ソロモンを ～を
H5375 H1581 H3966 H3515 H2428 H3389 H2420 H8010 H0853

שְׁלֹמֹה אֶל־ וַתָּבוֹא יְקָרָה וְאֶבֶן לָרֹב וְזָהָב בְּשָׂמִים
ソロモンの ～の–もとへ そして–来て 石を そして–宝 大量の そして–金と 香料と
H8010 H0413 H0935 H3368 H0068 H7230 H2091 H1314

לִבָּהּ׃ עִם־ הָיָה אֲשֶׁר כָּל־ אֶת עִמּוֹ וַתְּדַבֵּר
彼女の–心に ～と–共に あった ～の すべての–ことを ～を 彼と そして–語った
H3824 H1961 H3605 H0853 H1696

シバの女王はソロモンの名声を聞いたので、難問をもってソロモンを試みようと、非常に多くの従者を連れ、香料と非常にたくさんの金と宝石とをらくだに負わせて、エルサレムのソロモンのもとに来て、その心にあることをことごとく彼に告げた。

2

נֶעְלָם וְלֹא־ דְּבָרֶיהָ כָּל־ אֶת־ שְׁלֹמֹה לָהּ וַיַּגֶּד־
隠された そして–なかった 彼女の–問いを すべての ～を ソロモンは 彼女に そして–告げた
H5956 H3808 H1697 H3605 H0853 H8010 H5046

לָהּ׃ הִגִּיד לֹא אֲשֶׁר מִשְּׁלֹמֹה דָּבָר
彼女に 告げなかった ない ～の ソロモンから 言葉は
H5046 H3808 H8010 H1697

ソロモンは彼女のすべての問に答えた。ソロモンが知らないで彼女に説明のできないことは一つもなかった。

3

אֲשֶׁר וְהַבַּיִת שְׁלֹמֹה חָכְמַת אֶת שְׁבָא מַלְכַּת־ וַתֵּרֶא
～の そして–宮殿を ソロモンの 知恵を ～を シェバ シェバの–女王は そして–見た
H8010 H2451 H0853 H7614 H4436 H7200

בָּנָה׃
彼が–建てた
H1129

シバの女王はソロモンの知恵と、彼が建てた家を見、

וּמַעֲמַד 4
そして–立ち居振る舞いを
H4612
עֲבָדָיו
彼の–家臣たちの
H5650
וּמוֹשַׁב
そして–座席を
H4186
שֻׁלְחָנוֹ
彼の–食卓の
H7979
וּמַאֲכַל
そして–食物を
H3978

וּמַלְבּוּשֵׁיהֶם
そして–彼らの–衣服を
H4403
וּמַשְׁקָיו
そして–彼の–給仕たちを
H4403
וּמַלְבּוּשֵׁיהֶם
そして–彼らの–衣服を
H4403
מְשָׁרְתָיו
彼の–仕える者たちの
H8334

בָּהּ עוֹד הָיָה וְלֹא־ יְהוָה בֵּית יַעֲלֶה אֲשֶׁר וַעֲלָיָתוֹ
彼女に もはや あった そして–なかった 主の 主の–宮の 彼が–上る ～の そして–彼の–階段を
H5750 H1961 H3808 H3068 H5944

רוּחַ׃
息が
H7307

またその食卓の食物と、列座の家来たちと、その侍臣たちの伺候振りと彼らの服装、および彼の給仕たちとその服装、ならびに彼が主の宮でささげる燔祭を見て、全く気を奪われてしまった。

עַל־ בְּאַרְצִי שָׁמַעְתִּי אֲשֶׁר הַדָּבָר אֱמֶת הַמֶּלֶךְ אֶל־ וַתֹּאמֶר 5
～について 私の–国で 私が–聞いた ～の その–言葉は 真実でした 王に ～に そして–言った
H0776 H8085 H1697 H0571 H4428 H0413 H0559

חָכְמָתֶךְ׃ וְעַל־ דְּבָרֶיךְ
あなたの–知恵について そして–～について あなたの–言葉と
H2451 H1697

彼女は王に言った、「わたしが国であなたの事と、あなたの知恵について聞いたうわさは真実でした。

עֵינַי וַתִּרְאֶינָה בָּאתִי׀ אֲשֶׁר־ עַד לְדִבְרֵיהֶם הֶאֱמַנְתִּי וְלֹא־ 6
私の–目が そして–見た 私が–来て ～の ～まで 彼らの–言葉を 私は–信じ そして–なかった
H7200 H0935 H5704 H1697 H0539 H3808

חָכְמָתֶךְ מַרְבִּית חֲצִי לִי הֻגַּד־ לֹא וְהִנֵּה
あなたの–知恵の 偉大さの 半分も 私に 告げられて–いなかった ない そして–見よ
H2451 H4768 H2677 H5046 H3808 H2009

שָׁמָעְתִּי׃ אֲשֶׁר הַשְּׁמוּעָה עַל־ יָסַפְתָּ
私が–聞いた ～の その–評判を ～を あなたは–超えていた
H8085 H8052 H3254

しかしわたしは来て目に見るまでは、そのうわさを信じませんでしたが、今見ると、あなたの知恵の大いなることはその半分もわたしに知らされませんでした。あなたはわたしの聞いたうわさにまさっています。

אַשְׁרֵי אֲנָשֶׁיךָ וְאַשְׁרֵי עֲבָדֶיךָ אֵלֶּה 7
幸いなるかな あなたの–人々は そして–幸いなるかな あなたの–家臣たちは これらの
H0835 H0376 H0835 H5650 H0428

חָכְמָתֶךָ׃ אֶת־ וְשֹׁמְעִים תָּמִיד לְפָנֶיךָ הָעֹמְדִים
あなたの–知恵を ～を そして–聞いている 常に あなたの–前に 立っている者たちは
H2451 H0853 H8085 H8548 H6440 H5975

あなたの奥方たちはさいわいです。常にあなたの前に立って、あなたの知恵を聞くこのあなたの家来たちはさいわいです。

8

לְתִתְּךָ בְּךָ חָפֵץ וַאֲשֶׁר בָּרוּךְ אֱלֹהֶיךָ יְהוָה יְהִי
あなたを–置くことを あなたを 喜ばれた ～の方は ほむべきかな あなたの–神は 主 あれかし
H5414 H1288 H0430 H3068 H1961

אֶת־ אֱלֹהֶיךָ בְּאַהֲבַת אֱלֹהֶיךָ לַיהוָה לְמֶלֶךְ כִּסְאוֹ עַל־
～を あなたの–神の 愛の–ゆえに あなたの–神の 主の–ために 王として ご自身の–王座に ～の–上に
H0853 H0430 H0160 H0430 H3068 H4428 H3678

לְמֶלֶךְ עֲלֵיהֶם וַיִּתֶּנְךָ לְעוֹלָם לְהַעֲמִידוֹ יִשְׂרָאֵל
王として 彼らの–上に そして–あなたを–立てた 永遠に それを–堅く立てるために イスラエルを
H4428 H5414 H5769 H5975 H3478

לַעֲשׂוֹת מִשְׁפָּט וּצְדָקָה׃
正義を 公正と 行うために
H6666 H4941

あなたの神、主はほむべきかな。主はあなたを喜び、あなたをその位につかせ、あなたの神、主のために王とされました。あなたの神はイスラエルを愛して、とこしえにこれを堅くするために、あなたをその王とされ、公道と正義を行われるのです」。

9

וַתִּתֵּן לַמֶּלֶךְ מֵאָה וְעֶשְׂרִים כִּכָּר זָהָב וּבְשָׂמִים רֹקֶחַ לָרֹב מְאֹד
そして–彼女は–贈った 百 二十 タラントの 金と そして–香料を 大量の 非常に
H5414 H3967 H6242 H3603 H2091 H1314 H7230 H3966

אֲשֶׁר־ נָתְנָה הַהוּא כַּבֹּשֶׂם לֹא וְלֹא הָיָה לֹא כַּבֹּשֶׂם אֲשֶׁר־ נָתְנָה
～の 贈った あの あの–香料の–ような あった そして–なかった 石を そして–宝
H5414 H1931 H1314 H1961 H3808 H3368 H0068

שְׁלֹמֹה׃ לַמֶּלֶךְ שְׁבָא מַלְכַּת־
ソロモンに 王 シェバ シェバの–女王が
H8010 H4428 H7614 H4436

そして彼女は金百二十タラント、および非常に多くの香料と宝石とを王に贈った。シバの女王がソロモンに贈ったような香料は、いまだかつてなかった。

10

וְגַם־ הֵבִיאוּ אֲשֶׁר־ שְׁלֹמֹה וְעַבְדֵי (חוּרָם) [חירם] עַבְדֵי גַּם־
そして–また 家臣たちは フラムの フラムの 家臣たちは ～の 持って来た
H1571 H5650 H2438 H2361 H5650 H0935

וְאֶבֶן יְקָרָה׃ אַלְגּוּמִּים עֵצִי הֵבִיאוּ מֵאוֹפִיר זָהָב
そして–宝 石を 白檀の 白檀の–木を 持って来た オフィルから 金を
H0068 H3368 H0418 H6086 H0935 H0211 H2091

オフルから金を携えて来たヒラムのしもべたちとソロモンのしもべたちはまた、びゃくだんの木と宝石をも携えて来た。

11

וַיַּעַשׂ הַמֶּלֶךְ אֶת־ עֵצֵי הָאַלְגּוּמִּים מְסִלּוֹת לְבֵית־ יְהוָה
そして–作った 王は ～を 白檀の–木で 白檀の 階段を 主の–宮の–ための 主の
H6213 H4428 H0853 H6086 H0418 H4546 H1004 H3068

וּלְבֵית הַמֶּלֶךְ וְכִנֹּרוֹת וּנְבָלִים לַשָּׁרִים וְלֹא־
そして–王の–宮の–ための そして–琴と 竪琴を 歌い手たちの–ための そして–見られなかった
H1004 H4428 H3658 H5035 H7891 H3808

נִרְאוּ כָהֵם לְפָנִים בְּאֶרֶץ יְהוּדָה׃
見られなかった それらの–ような–ものは 以前には ユダの–地で ユダの
H7200 H1992 H6440 H0776 H3063

王はそのびゃくだんの木で、主の宮と王の家とに階段を造り、また歌うたう者のために琴と立琴を造った。このようなものはかつてユダの地で見たことがなかった。

12 וְהַמֶּלֶךְ שְׁלֹמֹה נָתַן לְמַלְכַּת־שְׁבָא כָּל־חֶפְצָהּ אֲשֶׁר
そして-王は ソロモンは 与えた シェバの-女王に シェバ すべての 彼女の-望みを ～の
H4428 H8010 H5414 H4436 H7614 H3605 H2656 H0834

הֵבִיאָה אֶל־הַמֶּלֶךְ מִלְּבַד אֲשֶׁר שָׁאֲלָה
彼女が-持って来た-ものの ～の-もとへ 王の ～の-ほかに 彼女が-求めた
H0935 H0413 H4428 H0905 H0834 H7592

פ וַתֵּפֶן וַתֵּלֶךְ לְאַרְצָהּ הִיא וַעֲבָדֶיהָ׃
彼女の-家臣たちは 彼女と 彼女の-国へ そして-去った そして-彼女は-向きを変え
H5650 H1931 H0776 H3212 H2015

ソロモン王は、シバの女王が贈った物に報いたほかに、彼女の望みにまかせて、すべてその求めるものを贈った。そして彼女はその家来たちと共に自分の国へ帰って行った。

13 וַיְהִי מִשְׁקַל הַזָּהָב אֲשֶׁר־בָּא לִשְׁלֹמֹה בִּשְׁנָה אַחַת שֵׁשׁ מֵאוֹת וְשִׁשִּׁים
そして-あった 重さは 金の ～の 来た ソロモンに 一つの 年に 六 百 六十
H1961 H4948 H2091 H0834 H0935 H8010 H0259 H8141 H8337 H3967 H8346

זָהָב׃ כִּכָּרִי וְשֵׁשׁ
金であった タラントの 六
H2091 H3603 H8337

さて一年の間にソロモンの所にはいって来た金の目方は六百六十六タラントであった。

14 וְכָל־מַלְכֵי מְבִיאֵים וְהַסֹּחֲרִים הַתָּרִים מֵאַנְשֵׁי לְבַד
そして-すべての 持って来る-ものの そして-貿易商たちが 行商人たちと 商人たちの 別に
H3605 H0935 H5503 H8446 H0376 H0905

לִשְׁלֹמֹה׃ וְכֶסֶף זָהָב מְבִיאִים הָאָרֶץ וּפַחוֹת עֲרַב
ソロモンに 銀を 金と 持って来た その-地の そして-総督たちは アラビアの
H8010 H3701 H2091 H0935 H0776 H6346

このほかに貿易商および商人の携えて来たものがあった。またアラビヤのすべての王たちおよび国の代官たちも金銀をソロモンに携えてきた。

15 וַיַּעַשׂ הַמֶּלֶךְ שְׁלֹמֹה מָאתַיִם צִנָּה זָהָב שְׁחוּטִים מֵאוֹת שֵׁשׁ
そして-作った 王 ソロモンは 二百の 大盾を 金の 打ち延ばした 六 百
H4428 H8010 H3967 H6793 H2091 H7820 H8337 H3967

זָהָב שָׁחוּט יַעֲלֶה עַל־צִנָּה הָאַחַת׃
金の 打ち延ばした かかった ～に 大盾-一つに 一つの
H2091 H7820 H5927 H6793 H0259

ソロモン王は延金の大盾二百を造った。その大盾にはおのおの六百シケルの延金を用いた。

16 וּשְׁלֹשׁ־מֵאוֹת מָגִנִּים זָהָב שָׁחוּט שְׁלֹשׁ מֵאוֹת זָהָב יַעֲלֶה עַל־
そして-三 百の 小盾を 金の 打ち延ばした 三 百シェケルの 金が かかった ～に
H7969 H3967 H4043 H2091 H7820 H7969 H3967 H2091 H5927

פ הַלְּבָנוֹן׃ יַעַר בְּבֵית וַיִּתְּנֵם הַמֶּלֶךְ הָאַחַת הַמָּגֵן
レバノンの 森の レバノンの-森の-家に 王は そして-置いた 一つの 小盾-一つに
H3844 H4428 H5414 H0259 H4043

また延金の小盾三百を造った。小盾にはおのおの三百シケルの金を用いた。王はこれらをレバノンの森の家に置いた。

17 וַיַּעַשׂ הַמֶּלֶךְ כִּסֵּא־שֵׁן גְּדוֹל וַיְצַפֵּהוּ זָהָב טָהוֹר׃
そして-作った 王は 象牙の-大きな 象牙の 大きな そして-覆った 純金で 純粋な
H4428 H3678 H8127 H1419 H6823 H2091 H2889

王はまた大きな象牙の玉座を造り、純金でこれをおおった。

18 וְשֵׁשׁ מַעֲלוֹת לַכִּסֵּא וְכֶבֶשׁ לַכִּסֵּא בַּזָּהָב מְאֻחָזִים
そして-六つの 段が-あった 王座には そして-足台が 金の 王座に 取り付けられていた
H8337 H3678 H3534 H3678 H2091 H3678 H0270

וּשְׁנַיִם אֲרָיוֹת עֹמְדִים עַל־הַמַּשָּׂבֹת מִקֹּום מִזֶּה וּמִזֶּה וְיָדֹות
そして-二頭の 獅子が 立っていた 座る 座る-場所の ～の あちらに こちらと そして-肘掛けが
H8147 H0738 H5975 H3427 H4725 H5921 H2088 H2088 H3027

אֵצֶל הַיָּדֹות׃
そばに 肘掛けの
H0681 H3027

その玉座には六つの段があり、また金の足台があって共に玉座につらなり、その座する所の両方に、ひじかけがあって、ひじかけのわきに二つのししが立っていた。

19 וּשְׁנֵים עָשָׂר אֲרָיוֹת עֹמְדִים שָׁם עַל־שֵׁשׁ הַמַּעֲלוֹת מִזֶּה וּמִזֶּה
そして-十 二頭の 獅子が 立っていた そこに ～の-上に 六つの 段の こちらと あちらに
H8147 H6240 H0738 H5975 H8033 H5921 H8337 H4609 H2088 H2088

לֹא־נַעֲשָׂה כֵן לְכָל־מַמְלָכָה׃
造られた このように いかなる 王国にも
H3808 H3651 H3605 H4467

なかった

また十二のししが六つの段のおのおのの両側に立っていた。このような物はどこの国でも造られたことがなかった。

20 וְכָל כְּלֵי מַשְׁקֵה הַמֶּלֶךְ שְׁלֹמֹה זָהָב וְכָל כְּלֵי בֵּית־הַיַּעַר הַלְּבָנֹון זָהָב סָגוּר
そして-すべての 器は 飲み物の 王の ソロモンの 金であった そして-すべての 器は 森の レバノンの 純金 純粋な-金であった
H3605 H3627 H4469 H4428 H8010 H2091 H3605 H3627 H3293 H3844 H2091 H5462

אֵין כֶּסֶף נֶחְשָׁב לֹא הָיָה לִמְאוּמָה׃ בִּימֵי שְׁלֹמֹה
なかった 銀は 数えられ 何の-価値も-ないものと ソロモンの ソロモンの-時代には
H0369 H3701 H2803 H3972 H8010 H3117

ソロモン王が飲むときに用いた器はみな金であった。またレバノンの森の家の器もみな純金であって、銀はソロモンの世には尊ばれなかった。

21 כִּי־אֳנִיּוֹת לַמֶּלֶךְ הֹלְכוֹת תַּרְשִׁישׁ עִם עַבְדֵי חוּרָם אַחַת
なぜなら 船は 王の 行っていた タルシシュへ ～と-共に 家臣たちと フラムの 一度
H0591 H4428 H1980 H8659 H5973 H5650 H2361 H0259

לְשָׁלֹשׁ שָׁנִים תָּבוֹאנָה אֳנִיּוֹת תַּרְשִׁישׁ נֹשְׂאוֹת זָהָב וָכֶסֶף שֶׁנְהַבִּים
三 年ごとに 来ていた タルシシュの-船は タルシシュの 運んで来た 金と 銀と 象牙と
H7969 H8141 H0935 H0591 H8659 H5375 H2091 H3701 H8143

וְקוֹפִים וְתוּכִיִּים׃ פ
猿と くじゃくを
H6971 H8500

これは王の船がヒラムのしもべたちを乗せてタルシシへ行き、三年ごとに一度、そのタルシシの船が金、銀、象牙、さる、くじゃくを載せて来たからである。

22 וַיִּגְדַּל הַמֶּלֶךְ שְׁלֹמֹה מִכֹּל מַלְכֵי הָאָרֶץ לְעֹשֶׁר וְחָכְמָה׃
そして-大いなる者となった 王 ソロモンは すべての 王たちより 地の 富と 知恵において
H1431 H4428 H8010 H3605 H4428 H0776 H6239 H2451

このようにソロモン王は富と知恵において、地のすべての王にまさっていたので、

23 וְכָל־ מַלְכֵי הָאָרֶץ מְבַקְּשִׁים אֶת־ פְּנֵי שְׁלֹמֹה לִשְׁמֹעַ
そして–すべての 王たちは 地の 求めていた ～を 顔を ソロモンの 聞くために
H3605 H4428 H0776 H1245 H0853 H6440 H8010 H8085

אֶת־ חָכְמָתוֹ אֲשֶׁר־ נָתַן הָאֱלֹהִים בְּלִבּוֹ׃
～を 彼の–知恵を ～の 与えた 神が 彼の–心に
H0853 H2451 H0834 H5414 H0430 H3820

地のすべての王は神がソロモンの心に授けられた知恵を聞こうとしてソロモンに謁見を求めた。

24 וְהֵם מְבִיאִים אִישׁ מִנְחָתוֹ כְּלֵי כֶסֶף וּכְלֵי זָהָב
そして–彼らは 持って来た 各々 彼の–贈り物を 銀の–器と 銀の 金の–器と
H1992 H0935 H0376 H4503 H3701 H3627 H2091 H3627

וּבְשָׂמִים סוּסִים וּפְרָדִים דְּבַר־ שָׁנָה בְּשָׁנָה׃
そして–香料と 馬と 騾馬を 毎年の–ことであった 年ごとに 年ごとに
H1314 H5483 H6505 H1697 H8141 H8141

וּשְׂלָמוֹת נֶשֶׁק
そして–衣服と 武器と
H8008 H5402

פ

人々はおのおの贈り物を携えてきた。すなわち銀の器、金の器、衣服、没薬、香料、馬、騾馬など年々定まっていた。

25 וַיְהִי לִשְׁלֹמֹה אַרְבַּעַת אַלְפֵי אֲרֻיוֹת סוּסִים וּמַרְכְּבוֹת
そして–あった ソロモンには 四 千の 馬の–厩舎と 馬と 戦車と
H1961 H8010 H0702 H0505 H0723 H5483 H4818

וּשְׁנֵים־ עָשָׂר אֶלֶף וְעִם־ הַמֶּלֶךְ בִּירוּשָׁלָם׃ בְּעָרֵי הָרֶכֶב וַיַּנִּיחֵם
そして–一万 二 王の そして–王の–もとに 戦車の 戦車の–町々に そして–配置した 騎兵が–あった 千の エルサレムに
H8147 H6240 H4428 H5973 H7393 H5892 H3240 H6571 H0505 H3389

ソロモンは馬と戦車のために馬屋四千と騎兵一万二千を持ち、これを戦車の町に置き、またエルサレムの王のもとに置いた。

26 וַיְהִי מוֹשֵׁל בְּכָל־ הַמְּלָכִים מִן־ הַנָּהָר וְעַד־
そして–あった 支配する者 すべての 王たちを ～から 大河から そして–～まで
H1961 H4910 H3605 H4428 H4325 H5104 H5704

אֶרֶץ פְּלִשְׁתִּים וְעַד גְּבוּל מִצְרָיִם׃
ペリシテ人の–地から ペリシテ人の そして–～まで エジプトの–国境まで エジプトの
H0776 H6430 H5704 H1366 H4714

彼はユフラテ川からペリシテびとの地と、エジプトの境に至るまでのすべての王を治めた。

27 וַיִּתֵּן הַמֶּלֶךְ אֶת־ הַכֶּסֶף בִּירוּשָׁלַם כָּאֲבָנִים וְאֶת־ הָאַרְזִים נָתַן
そして–した 王は ～を 銀を エルサレムでは 石のように そして–～を 杉の木を した
H5414 H4428 H0853 H3701 H3389 H0068 H0853 H0730 H5414

כַּשִּׁקְמִים אֲשֶׁר־ בַּשְּׁפֵלָה לָרֹב׃
いちじく桑の–ように ～の 低地の 豊富に
H8256 H0834 H8219 H7230

王はまた銀を石のようにエルサレムに多くし、香柏を平野のいちじく桑のように多くした。

28 וּמוֹצִיאִ֔ים סוּסִ֖ים מִמִּצְרַ֑יִם לִשְׁלֹמֹ֔ה וּמִכָּל־ הָאֲרָצֽוֹת׃
そして-輸出していた 馬を エジプトから ソロモンのために そして-すべての-国から 国々から
H3318 H4714 H8010 H3605 H0776

また人々はエジプトおよび諸国から馬をソロモンのために輸入した。

29 וְיֶתֶר֙ דִּבְרֵ֣י שְׁלֹמֹ֔ה הָרִאשֹׁנִ֖ים וְהָאַחֲרוֹנִ֑ים הֲלֹא־ הֵ֣ם כְּתוּבִ֗ים
そして-残りの 言葉は ソロモンの 最初の そして-最後の ではないか それらは 書かれている
H7605 H1697 H8010 H7223 H0314 H3808 H1992 H3789

עַל־ דִּבְרֵי֙ נָתָ֣ן הַנָּבִ֔יא וְעַל־ נְבוּאַ֖ת אֲחִיָּ֣ה הַשִּׁילֹנִ֑י
～に 言葉に 預言者ナタンの 預言者の そして-～に 預言に シロ人アヒヤの シロ人の
H5416 H1697 H5030 H3808 H5016 H0281 H7888

וּבַחֲזוֹת֙ יְעִדֹ֣ו (יעדין) הַחוֹזֶ֔ה עַל־ יָרָבְעָ֥ם בֶּן־
そして-幻に 先見者イエドの 先見者の ～について ヤロブアムに-ついて ネバテの-子の
H2378 H3260 H2374 H5016 H3379

נְבָֽט׃
ネバテの
H5028

ソロモンのそのほかの始終の行為は、預言者ナタンの書と、シロびとアヒヤの預言と、先見者イドがネバテの子ヤラベアムについて述べた黙示のなかに、しるされているではないか。

30 וַיִּמְלֹךְ֙ שְׁלֹמֹ֔ה בִּירוּשָׁלַ֖͏ִם עַל־ כָּל־ יִשְׂרָאֵ֑ל אַרְבָּעִ֖ים שָׁנָֽה׃
そして-治めた ソロモンは エルサレムで ～の-上に 全 イスラエルを 四十 年
H3389 H8010 H3605 H3478 H0705 H8141

ソロモンはエルサレムで四十年の間イスラエルの全地を治めた。

31 וַיִּשְׁכַּ֣ב שְׁלֹמֹ֔ה עִם־ אֲבֹתָ֖יו וַיִּקָּבֵ֣רוּ בְּעִ֑יר דָּוִ֣יד
そして-眠った ソロモンは ～と-共に 彼の-先祖たちと そして-葬られた 都に ダビデの
H7901 H8010 H0001 H6912 H3732

פ בְּנ֖וֹ תַּחְתָּ֥יו׃ וַיִּמְלֹךְ֙ רְחַבְעָ֣ם
 彼に-代わって 彼の-子が レハブアムが そして-王となった
 H8478 H7346

אָבִ֔יו
彼の-父の
H0001

ソロモンはその先祖たちと共に眠って、父ダビデの町に葬られ、その子レハベアムが代って王となった。

Chapter 10

1 וַיֵּ֣לֶךְ רְחַבְעָ֔ם שְׁכֶ֖מָה כִּ֣י שְׁכֶ֑ם בָּ֣אוּ כָל־ יִשְׂרָאֵ֔ל
そして-行った レハブアムは シェケムへ なぜなら シェケムに 来た 全 イスラエルが
H3212 H7346 H7927 H7927 H0935 H3605 H3478

לְהַמְלִ֖יךְ אֹתֽוֹ׃
王とするために 彼を
H0853

レハベアムはシケムへ行った。すべてのイスラエルびとが彼を王にしようとシケムへ行ったからである。

2 וַיְהִ֗י כְּשָׁמַ֤ע וְהוּא֙ נְבָ֣ט בֶּן־ יָרָבְעָ֔ם בְּמִצְרַ֖יִם
そして-あった 聞いたとき ヤロブアムは ネバテの-子の そして-彼は ネバテの エジプトに-いた
H1961 H8085 H3379 H5028 H1931 H4714

מִמִּצְרָֽיִם׃ וַיָּ֣שָׁב יָרָבְעָ֔ם הַמֶּ֖לֶךְ שְׁלֹמֹ֑ה מִפְנֵ֣י בָרַ֔ח אֲשֶׁ֥ר
エジプトから ヤロブアムは そして-帰った 王の ソロモン ～の-前から 逃げていた ～の
H4714 H3379 H7725 H4428 H8010 H6440 H1272 H0834

ネバテの子ヤラベアムは、ソロモンを避けてエジプトにのがれていたが、これを聞いてエジプトから帰ったので、

3

יִשְׂרָאֵל	וְכָל־	יָרָבְעָם	וַיָּבֹא	לוֹ	וַיִּקְרְאוּ־	וַיִּשְׁלְחוּ
イスラエルは	そして-全	ヤロブアムと	そして-来た	彼を	そして-呼び寄せた	そして-人を-遣わして
H3478	H3605	H3379	H0935		H7121	H7971

לֵאמֹר׃	רְחַבְעָם	אֶל־	וַיְדַבְּרוּ
言って	レハブアムに	～に	そして-語った
H0559	H7346	H0413	H1696

人々は人をつかわして彼を招いた。そこでヤラベアムとすべてのイスラエルは来て、レハベアムに言った、

4

הָקֵל׀	וְעַתָּה	עֻלֵּנוּ	אֶת־	הִקְשָׁה	אָבִיךָ	
軽くしてください	そして-今	我々の-軒を	～を	重くした	あなたの-父は	
H7043	H6258	H5923	H0853	H7185	H0001	

נָתַן	אֲשֶׁר־	הַכָּבֵד	וּמֵעֻלֵּנוּ	הַקָּשָׁה	אָבִיךָ	מֵעֲבֹדַת
置いた	～の	重い	そして-彼の-重い-軛を	きつい	あなたの-父の	あなたの-父の-労働の-きつさを
H5414		H3515	H5923	H7186	H0001	H5656

וְנַעַבְדֶךָּ׃	עָלֵינוּ
そうすれば-我々は-仕えます	我々の-上に
H5647	

「あなたの父は、われわれのくびきを重くしましたが、今あなたの父のきびしい使役と、あなたの父が、われわれに負わせた重いくびきを軽くしてください。そうすればわたしたちはあなたに仕えましょう」。

5

וַיֵּלֶךְ	אֵלָי	וְשׁוּבוּ	יָמִים	שְׁלֹשֶׁת	עוֹד	אֲלֵהֶם	וַיֹּאמֶר	
そして-去った	私のもとに	そして-帰って来い	日したら	三	あと	彼らに	そして-言った	
H3212	H0413	H7725	H3117	H7969	H5750	H0413	H0559	

ס	הָעָם׃	
	民は	

レハベアムは彼らに答えた、「三日の後、またわたしの所に来なさい」。それで民は去った。

6

עֹמְדִים	הָיוּ	אֲשֶׁר־	הַזְּקֵנִים	אֶת־	רְחַבְעָם	הַמֶּלֶךְ	וַיִּוָּעַץ
立っていた	仕えていた	～の	長老たちと	～と	レハブアムは	王は	そして-相談した
H5975	H1961		H2205	H0854	H7346	H4428	H3289

אַתֶּם	אֵיךְ	לֵאמֹר	חַי	בִּהְיוֹתוֹ	אָבִיו	שְׁלֹמֹה	לִפְנֵי
あなたがたは	どのように	言って	生きて	彼が-生きていた-ときに	彼の-父の	ソロモン	～の-前に
		H0559		H1961	H0001	H8010	H6440

דָּבָר׃	הַזֶּה	לָעָם־	לְהָשִׁיב	נוֹעָצִים
言葉を	この	この-民に	答えるために	助言しますか
H1697	H2088		H7725	H3289

レハベアム王は父ソロモンの存命中ソロモンに仕えた長老たちに相談して言った、「あなたがたはこの民にどう返答すればよいと思いますか」。

7

הַזֶּה	לָעָם	לְטוֹב	תִּהְיֶה	אִם־	לֵאמֹר	אֵלָיו	וַיְדַבְּרוּ
この	この-民に	良い-者と	あなたが-なるなら	もし	言って	彼に	そして-語った
H2088			H1961		H0559	H0413	H1696

לְךָ	וְהָיוּ	טוֹבִים	דְּבָרִים	אֲלֵהֶם	וְדִבַּרְתָּ	וּרְצִיתָם
あなたに	そうすれば-彼らは-なるでしょう	良い	言葉を	彼らに	そして-語るなら	そして-喜ばせて
	H1961		H1697	H0413	H1696	H7521

הַיָּמִים׃	כָּל־	עֲבָדִים
日々	すべての	僕べと
H3117	H3605	H5650

彼らはレハベアムに言った、「あなたがもしこの民を親切にあつかい、彼らを喜ばせ、ねんごろに語られるならば彼らは長くあなたのしもべとなるでしょう」。

הַיְלָדִים	אֶת־	וַיִּוָּעַץ	יְעָצֻהוּ	אֲשֶׁר	הַזְּקֵנִים	עֲצַת	אֶת־	וַיַּעֲזֹב	8
若者たちと	～と	そして–相談した	助言した	～の	長老たちの	助言を	～を	そして–捨てた	
H3206	H0854	H3289	H3289		H2205	H6098	H0853		

לְפָנָיו׃	הָעֹמְדִים	אִתּוֹ	גְּדָלוֹ	אֲשֶׁר
彼の–前に	立っている	彼と–共に	育った	～の
H6440	H5975	H0854	H1431	

しかし彼は長老たちが与えた勧めをすてて、自分と一緒に大きくなって自分に仕えている若者たちに相談して、

אֶת־	דָּבָר	וְנָשִׁיב	נוֹעָצִים	אַתֶּם	מָה	אֱלֹהֶם	וַיֹּאמֶר		9
～に	言葉を	そして–我々は–答えよう	助言しますか	あなたがたは	何を	彼らに	そして–言った		
H0853	H1697	H7725	H3289		H4100	H0413	H0559		

נָתַן	אֲשֶׁר־	הָעֹל	מִן־	הָקֵל	לֵאמֹר	אֵלַי	דִּבְּרוּ	אֲשֶׁר	הַזֶּה	הָעָם
置いた	～の	軛を	～から	軽くしてください	言って	私に	語った	～の	この	この–民に
H5414		H5923		H7043	H0559	H0413	H1696		H2088	

עָלֵינוּ׃	אָבִיךָ
我々の–上に	あなたの–父が
	H0001

彼らに言った、「あなたがたは、この民がわたしに向かって、『あなたの父上が、われわれに負わせたくびきを軽くしてください』と言うのに、われわれはなんと返答すればよいと思いますか」。

לָעָם	תֹּאמַר	כֹּה־	לֵאמֹר	אִתּוֹ	גְּדָלוּ	אֲשֶׁר	הַיְלָדִים	אֵלָיו	וַיְדַבְּרוּ	10
民に	言え	このように	言って	彼と–共に	育った	～の	若者たちは	彼に	そして–語った	
H0559	H3541		H0559	H0854	H1431		H3206	H0854	H1696	

וְאַתָּה	עֻלֵּנוּ	אֶת־	הָכְבִּיד	אָבִיךָ	לֵאמֹר	אֵלֶיךָ	דִּבְּרוּ	אֲשֶׁר־	
そして–あなたは	我々の–軛を	～を	重くした	あなたの–父は	言って	あなたに	語った	～の	
	H5923	H0853	H3513	H0001	H0559	H0413	H1696		

מִמָּתְנֵי	עָבֶה	קָטְנִי	אֱלֵהֶם	תֹּאמַר	כֹּה	מֵעָלֵינוּ	הָקֵל
私の–父の–腰より	太い	私の–小指は	彼らに	言え	このように	我々から	軽くしてください
H4975	H5666	H6995	H0413	H0559	H3541		H7043

אָבִי׃
私の–父の
H0001

彼と一緒に大きくなった若者たちは彼に言った、「あなたに向かって、『あなたの父は、われわれのくびきを重くしたが、あなたは、それをわれわれのために軽くしてください』と言ったこの民に、こう言いなさい、『わたしの小指は父の腰よりも太い、

עַל־	אֹסִיף	וַאֲנִי	כָּבֵד	עָל	עֲלֵיכֶם	הֶעְמִיס	אָבִי	וְעַתָּה	11
～の–上に	加える	そして–私は	重い	軛を	あなたがたに	負わせた	私の–父は	そして–今	
	H3254	H0589	H3515	H5923		H6006	H0001	H6258	

ס	בָּעֲקָרְבִים׃	וַאֲנִי	בַּשּׁוֹטִים	אֶתְכֶם	יִסַּר	אָבִי	עֲלֵיכֶם
	サソリの–むちで	そして–私は	革の–むちで	あなたがたを	打った	私の–父は	あなたがたの–軛の
	H6137	H0589	H7752	H0853	H3256	H0001	H5923

父はあなたがたに重いくびきを負わせたが、わたしはさらに、あなたがたのくびきを重くしよう。父はむちであなたがたを懲らしたが、わたしはさそりであなたがたを懲らそう』」。

12 וַיָּבֹא יָרָבְעָם וְכָל־הָעָם אֶל־רְחַבְעָם בַּיּוֹם הַשְּׁלִשִׁי
そして-来た ヤロブアムと そして-全 民は ～の-もとへ レハブアムの 三日-目に 三日目の
H0935 H3379 H3605 H0413 H7346 H3117 H7992

כַּאֲשֶׁר דִּבֶּר הַמֶּלֶךְ לֵאמֹר שׁוּבוּ אֵלַי בַּיּוֹם הַשְּׁלִשִׁי׃
～の-通りに 語った 王が 言って 帰って来い 私のもとに 三日-目に 三日目の
H1696 H4428 H0559 H7725 H0413 H3117 H7992

さてヤラベアムと民は皆、王が「三日目にわたしのところに来なさい」と言ったとおりに、三日目にレハベアムのところへ行った。

13 וַיַּעֲנֵם הַמֶּלֶךְ קָשָׁה וַיַּעֲזֹב הַמֶּלֶךְ רְחַבְעָם אֵת עֲצַת הַזְּקֵנִים׃
そして-答えた 王は 辛く そして-捨てた レハブアムは ～を 助言を 長老たちの
H7186 H4428 H7186 H4428 H0853 H6098 H2205

王は荒々しく彼らに答えた。すなわちレハベアム王は長老たちの勧めをすて、

14 וַיְדַבֵּר אֲלֵהֶם כַּעֲצַת הַיְלָדִים לֵאמֹר אַכְבִּיד אֶת־עֻלְּכֶם וְאָנִי אֹסִיף עַל־עֻלְּכֶם אֲבִי יִסַּר אֶתְכֶם בַּשּׁוֹטִים וְאָנִי בָּעַקְרַבִּים׃
そして-語った 彼らに 若者たちの-助言に-従って 若者たちの 言って 重くする ～を
H1696 H0413 H6098 H3206 H0559 H3513 H0853

革の-むちで あなたがたを 打った 私の-父は その-上に 加える そして-私は あなたがたの-軛を そして-私は サソリの-むちで
H7752 H0853 H3256 H0001 H3254 H0589 H5923 H0589 H6137

若者たちの勧めに従い、彼らに告げて言った、「父はあなたがたのくびきを重くしたが、わたしは更にこれを重くしよう。父はむちであなたがたを懲らしたが、わたしはさそりであなたがたを懲らそう」。

15 וְלֹא־שָׁמַע הַמֶּלֶךְ אֶל־הָעָם כִּי־הָיְתָה נְסִבָּה מֵעִם יְהוָה לְמַעַן הָקִים אֶת־דְּבָרוֹ אֲשֶׁר־דִּבֶּר יְהוָה בְּיַד־אֲחִיָּהוּ הַשִּׁלֹנִי אֶל־יָרָבְעָם בֶּן־נְבָט׃
そして-なかった 聞かなかった 王は 民に ～に なぜなら あった 巻き返しが ～からの
H3808 H8085 H4428 H0413 H3588 H1961 H5252 H4480

～のために 立てる 主が ～を 彼の-言葉を ～の 語った ～の-手によって アヒヤの ヤロブアムに ～に ネバテの ネバテの-子の
H4616 H5975 H3068 H0853 H1697 H0834 H1696 H3027 H0281 H3379 H0413 H5028 H1121

このように王は民の言うことを聞きいれなかった。これは主が、かつてシロびとアヒヤによって、ネバテの子ヤラベアムに言われた言葉を成就するために、神がなされたのであった。

16 וַיַּרְא כָּל־יִשְׂרָאֵל כִּי לֹא שָׁמַע הַמֶּלֶךְ לָהֶם וַיָּשִׁבוּ הָעָם לַמֶּלֶךְ דָּבָר לֵאמֹר מַה־לָּנוּ חֵלֶק וְלֹא־נַחֲלָה בְּדָוִד וְהַמֶּלֶךְ לֵאמֹר אֶת־בֵּיתְךָ רְאֵה עַתָּה דָּוִד וַיֵּלֶךְ כָּל־יִשְׂרָאֵל לְאָהָלָיו׃ ס
そして-全 イスラエルは ～のとき ない 聞かなかった 王が 彼らに そして-答えた 民は
H3605 H3478 H3588 H3808 H8085 H4428 H1992 H7725 H5971

そして-去った イスラエルは 全 各々 イシィの イシィの-子に ダビデよ 今 見よ あなたの-家を 相続が そして-ない ダビデに 分け前が 我々に-あるか 何の 言って 王に ～に
H3212 H3478 H3605 H0376 H3448 H1121 H1732 H6258 H7200 H1004 H5159 H3808 H1732 H2506 H4100 H0559 H4428 H0853

H0168 H3478 H3605 H3212 H1732

イスラエルの人々は皆、王が自分たちの言うことを聞きいれないのを見たので、民は王に答えて言った、「われわれはダビデのうちに何の分があろうか。われわれはエッサイの子のうちに嗣業がない。イスラエルよ、めいめいの天幕に帰れ。ダビデよ、今あなたの家を見よ」。そしてイスラエルは皆彼らの天幕へ去って行った。

וַיִּמְלֹךְ	יְהוּדָה	בְּעָרֵי	הַיֹּשְׁבִים	יִשְׂרָאֵל	וּבְנֵי	17
そして–王となった	ユダの	ユダの–町々に	住んでいる者は	イスラエルの	そして–子らは	
	H3063		H3427	H3478		

רְחַבְעָם׃	עֲלֵיהֶם
レハブアムが	彼らの–上に
H7346	

しかしレハベアムはユダの町々に住んでいるイスラエルの人々を治めた。

הַמַּס	עַל־	אֲשֶׁר	הֲדֹרָם	אֶת־	רְחַבְעָם	הַמֶּלֶךְ	וַיִּשְׁלַח	18
労役の	～の–上にいる	～の	ハドラムを	～を	レハブアムは	王は	そして–遣わした	
H4522				H0853	H7346	H4428	H7971	

וְהַמֶּלֶךְ	וַיָּמָת	אֶבֶן	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי־	בּוֹ	וַיִּרְגְּמוּ־	
そして–王は	そして–死んだ	石を	イスラエルの	イスラエルの–子らは	彼に	そして–投げた	
H4428	H4191	H0068	H3478			H7275	

ס	יְרוּשָׁלִָם׃	לָנוּס	בַּמֶּרְכָּבָה	לַעֲלוֹת	הִתְאַמֵּץ	רְחַבְעָם	
ס	エルサレムへ	逃げるために	戦車に	乗るために	急いだ	レハブアムは	
	H3389	H5127	H4818	H5927	H0553	H7346	

レハベアム王は徴募人の監督であったアドラムをつかわしたが、イスラエルの人々が石で彼を撃ち殺したので、レハベアム王は急いで車に乗り、エルサレムに逃げた。

ס	הַזֶּה׃	הַיּוֹם	עַד	דָּוִיד	בְּבֵית	יִשְׂרָאֵל	וַיִּפְשְׁעוּ
ס	この	今日	～まで	ダビデの	ダビデの–家に	イスラエルは	そして–背いた
	H2088	H3117	H5704	H1732		H3478	H6586

こうしてイスラエルはダビデの家にそむいて今日に至った。

Chapter 11

יְהוּדָה	בֵּית	אֶת־	וַיְקַהֵל	יְרוּשָׁלִַם	רְחַבְעָם	וַיָּבֹא	1
ユダの	家を	～を	そして–集めた	エルサレムに	レハブアムは	そして–来た	
H3063		H0853	H6950	H3389	H7346	H0935	

לְהִלָּחֵם	מִלְחָמָה	עֹשֵׂה	בָּחוּר	אֶלֶף	וּשְׁמוֹנִים	מֵאָה	וּבִנְיָמִן	
戦うために	戦いを	戦いを–する	若く–選ばれた–者を	千の	八十	百	そして–ベニヤミンの	
	H4421		H0977	H0505	H8084	H3967	H1144	

פ	לְרַחַבְעָם׃	הַמַּמְלָכָה	אֶת־	לְהָשִׁיב	יִשְׂרָאֵל	עִם־
פ	レハブアムに	王国を	～を	取り戻すために	イスラエルと	～と
	H7346	H4467	H0853	H7725	H3478	

レハベアムはエルサレムに来て、ユダとベニヤミンの家の者、すなわち、えり抜きの軍人十八万人を集め、国を取りもどすためにイスラエルと戦おうとしたが、

לֵאמֹר׃	הָאֱלֹהִים	אִישׁ־	שְׁמַעְיָהוּ	אֶל־	יְהוָה	דְּבַר־	וַיְהִי	2
言って	神の	神の–人に	シェマヤに	～に	主の	言葉が	そして–あった	
H0559	H0430	H0376	H8098	H0413	H3068	H1697	H1961	

主の言葉が神の人シマヤに臨んで言った、

3 אֶמֹּר אֶל־ רְחַבְעָם בֶּן־ שְׁלֹמֹה מֶלֶךְ יְהוּדָה וְאֶל־ כָּל־
言え ～に レハブアムに ソロモンの–子の ソロモン ユダの 王に そして–～に 全
H0559 H0413 H7346 H8010 H4428 H3063 H0413 H3605

יִשְׂרָאֵל בִּיהוּדָה וּבִנְיָמִן׃ לֵאמֹר
イスラエルに ユダと ベニヤミンに–いる 言って
H3478 H3063 H1144 H0559

「ソロモンの子、ユダの王レハベアムおよびユダとベニヤミンにいるすべてのイスラエルの人々に言いなさい、

4 כֹּה אָמַר יְהוָה לֹא־ תַעֲלוּ֙ תִּלָּחֲמוּ עִם־
このように 言われた 主は ない 上って行くな そして–ない 戦うな ～と
H3541 H0559 H3068 H3808 H5927 H3808 H6633

אֲחֵיכֶם שׁוּבוּ אִישׁ לְבֵיתוֹ כִּי מֵאִתִּי נִהְיָה הַדָּבָר הַזֶּה
あなたがたの–兄弟たちと 帰れ 各々 自分の–家に なぜなら 私から 起こった この–事は この
H0251 H7725 H0376 H1004 H3588 H0854 H1961 H1697 H2088

וַיִּשְׁמְעוּ֙ אֶת־ דִּבְרֵי֙ יְהוָה וַיָּשֻׁבוּ֙ מִלֶּכֶת אֶל־ יָרָבְעָם׃ פ
そして–聞いた ～を 言葉を 主の そして–帰った 行くことから ～に–向かって ヤロブアムに
H8085 H0853 H1697 H3068 H7725 H3212 H0413 H3379

『主はこう仰せられる、あなたがたは上ってはならない。あなたがたの兄弟と戦ってはならない。おのおの自分の家に帰りなさい。この事はわたしから出たのである』」。それで人々は主の言葉を聞き、ヤラベアムを攻めに行くのをやめて帰った。

5 וַיֵּשֶׁב רְחַבְעָם בִּירוּשָׁלִַם וַיִּבֶן עָרִים לְמָצוֹר בִּיהוּדָה׃
そして–住んだ レハブアムは エルサレムに そして–建てた 町々を 要塞の–ために ユダに
H3427 H7346 H3389 H1129 H5892 H4692 H3063

レハベアムはエルサレムに住んで、ユダに防衛の町々を建てた。

6 וַיִּבֶן אֶת־ בֵּית־לֶחֶם וְאֶת־ עֵיטָם וְאֶת־ תְּקוֹעַ׃
そして–建てた ～を ベツレヘムと ～を エタムと ～を テコアを
H1129 H0853 H1035 H0853 H5862 H0853 H8620

すなわちベツレヘム、エタム、テコア、

7 וְאֶת־ בֵּית־צ֙וּר וְאֶת־ שׂוֹכוֹ וְאֶת־ עֲדֻלָּם׃
そして–～を ベツツルと ～を ソコと ～を アドラムを
H0853 H1049 H0853 H7755 H0853 H5725

ベテズル、ソコ、アドラム、

8 וְאֶת־ גַּת וְאֶת־ מָרֵשָׁה וְאֶת־ זִיף׃
そして–～を ガテと ～を マレシャと ～を ジフを
H0853 H1661 H0853 H4762 H0853 H2128

ガテ、マレシャ、ジフ、

9 וְאֶת־ אֲדוֹרַיִם וְאֶת־ לָכִישׁ וְאֶת־ עֲזֵקָה׃
そして–～を アドライムと ～を ラキシュと ～を アゼカを
H0853 H0115 H0853 H3923 H0853 H5825

アドライム、ラキシ、アゼカ、

10 וְאֶת־ צָרְעָה וְאֶת־ אַיָּלוֹן וְאֶת־ חֶבְרוֹן אֲשֶׁר בִּיהוּדָה
そして–〜を ツォラと そして–〜を アヤロンと そして–〜を ヘブロンを 〜の ユダに–ある
H0853 H6881 H0853 H0357 H0853 H2275 H3063

וּבְבִנְיָמִן עָרֵי מִבְצָרוֹת׃
そして–ベニヤミンに–ある 要塞の–町々を 要塞の
H1144 H4694

ゾラ、アヤロン、およびヘブロン。これらはユダとベニヤミンにあって要害の町々である。

11 וַיְחַזֵּק אֶת־ הַמִּבְצָרוֹת וַיִּתֵּן בָּהֶם נְגִידִים וְאֹצְרוֹת מַאֲכָל
そして–強化した 〜を 要塞を そして–置いた その–中に 指揮官と そして–倉庫と 食物と
H2388 H0853 H4694 H5414 H0853 H5057 H0214 H3978

וְשֶׁמֶן וְיָיִן׃
そして–油と ぶどう酒を
H8081 H3196

彼はその要害を堅固にし、これに軍長を置き、糧食と油とぶどう酒をたくわえ、

12 וּבְכָל־ עִיר וָעִיר צִנּוֹת וְרֻמָחִים וַיְחַזֵּקֵם מְאֹד לְהַרְבֵּה
そして–すべての–町に また–町に 盾と 槍を そして–強化した 大いに 非常に
H3605 H5892 H6793 H7420 H2388 H3966 H3966

וַיְהִי־ לוֹ יְהוּדָה וּבִנְיָמִן׃ ס
そして–あった 彼に ユダと ベニヤミンが
H1961 H3063 H1144

またそのすべての町に盾とやりを備えて、これを非常に強化し、そしてユダとベニヤミンを確保した。

13 וְהַכֹּהֲנִים וְהַלְוִיִּם אֲשֶׁר בְּכָל־ יִשְׂרָאֵל הֻתְיַצְּבוּ
そして–祢司たちと レビ人たちは 〜の 全 イスラエルに–いる 彼の–もとに–立った
H3548 H3881 H3605 H3478 H3320

עָלָיו מִכָּל־ גְּבוּלָם׃
彼の–もとに 全–境界から 境界から
H5921 H3605 H1366

イスラエルの全地の祭司とレビびとは四方の境から来てレハベアムに身を寄せた。

14 כִּי־ עָזְבוּ הַלְוִיִּם אֶת־ מִגְרְשֵׁיהֶם וַאֲחֻזָּתָם וַיֵּלְכוּ לִיהוּדָה
捨てた レビ人たちは 〜を 彼らの–放牧地と 彼らの–所有地を そして–行った ユダへと
H5800 H3881 H0853 H4054 H0272 H3212 H3063

וְלִירוּשָׁלָם כִּי־ הִזְנִיחָם יָרָבְעָם וּבָנָיו מִכַּהֵן
そして–エルサレムへ なぜなら 退けた ヤロブアムが そして–彼の–子らが 祢司として–仕えることから
H3389 H3588 H2186 H3379 H1121 H3547

לַיהוָה׃
主に
H3068

すなわちレビびとは自分の放牧地と領地を離れてユダとエルサレムに来た。これはヤラベアムとその子らが彼らを排斥して、主の前に祭司の務をさせなかったためである。

15 וַיַּעֲמֶד־ לוֹ כֹּהֲנִים לַבָּמוֹת וְלַשְּׂעִירִים וְלָעֲגָלִים אֲשֶׁר עָשָׂה׃
そして–立てた 自分の–ために 祢司たちを 高き所の–ために そして–雄山羊の–像の–ために そして–子牛の–像の–ために 〜の 彼が–作った
H5975 H0 H3548 H1116 H5795 H5695 H6213

ヤラベアムは高き所と、みだらな神と、自分で造った子牛のために自分の祭司を立てた。

16 וְאַחֲרֵיהֶם מִכֹּל שִׁבְטֵי יִשְׂרָאֵל הַנֹּתְנִים
そして–彼らの–後に 全–部族から 部族から イスラエルの 心を–傾けている–者たちが
H0853 H5414 H3478 H7626 H3605

אֶת־ לְבָבָם לְבַקֵּשׁ אֶת־ יְהוָה אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל בָּאוּ יְרוּשָׁלַ͏ִם
〜を 彼らの–心を 求めるために 〜を 主を イスラエルの–神を イスラエルの 来た エルサレムに
H0853 H3824 H1245 H0853 H3068 H0430 H3478 H0935 H3389

לַיהוָה אֱלֹהֵי אֲבוֹתֵיהֶם׃ לִזְב�ֹּחַ
主に 彼らの–先祖たちの–神に 先祖たちの いけにえを–ささげるために
H3068 H0430 H0001 H2076

またイスラエルのすべての部族のうちで、すべてその心を傾けて、イスラエルの神、主を求める者は先祖の神、主に犠牲をささげるために、レビびとに従ってエルサレムに来た。

17 וַיְחַזְּקוּ אֶת־ מַלְכוּת יְהוּדָה וַיְאַמְּצוּ אֶת־ רְחַבְעָם בֶּן־
そして–強めた 〜を 王国を ユダの そして–堅くした 〜を レハブアムを ソロモンの–子の
H2388 H0853 H4438 H3063 H0553 H0853 H7346

שְׁלֹמֹה דָּוִיד וּבְדַרְכֵי הָלְכוּ כִּי שָׁלוֹשׁ לִשְׁנֵים שְׁלֹמֹה
ソロモンの ダビデと ダビデと–ソロモンの–道に 歩んだ なぜなら 三 三年の–間 ソロモンの
H8010 H1732 H1870 H1980 H3969 H8141 H8010

שָׁלוֹשׁ׃ לִשְׁנֵים
三 三年の–間
H7969 H8141

このように彼らはユダの国を堅くし、ソロモンの子レハベアムを三年の間強くした。彼らは三年の間ダビデとソロモンの道に歩んだからである。

18 וַיִּקַּח־ רְחַבְעָם אִשָּׁה אֶת־ מָחֲלַת [בן־] (בַּת־) יְרִימוֹת
そして–娶った レハブアムは 妻を 〜を マハラトを 娘の 娘の エリモトの
H3947 H7346 H0802 H0853 H4258 H1323 H3406

לוֹ בֶּן־ יִשַׁי׃ אֱלִיאָב בַּת־ אֲבִיחַיִל דָּוִיד בֶּן־
自分の–ために イシィの イシィの–子の エリアブの 娘を アビハイルを ダビデの ダビデの–子の
H0446 H1323 H0032 H1732 H3448

レハベアムはダビデの子エレモテの娘マハラテを妻にめとった。マハラテはエッサイの子エリアブの娘アビハイルが産んだ者である。

19 וַתֵּלֶד לוֹ בָּנִים אֶת־ יְעוּשׁ וְאֶת־ שְׁמַרְיָה וְאֶת־
そして–産んだ 息子たちを 〜を エウシュと そして–〜を シェマルヤと そして–〜を
H3205 H0853 H3266 H0853 H8114 H0853

זָהַם׃
ザハムを
H2093

彼女はエウシ、シマリヤおよびザハムの三子を産んだ。

20 וַתֵּלֶד אַבְשָׁלוֹם בַּת־ מַעֲכָה אֶת־ לָקַח וְאַחֲרֶיהָ
そして–産んだ アブシャロムの アブシャロムの–娘の マアカを 〜を 娶った そして–彼女の–後に
H3205 H0053 H1323 H4601 H0853 H3947

שְׁלֹמִית׃ וְאֶת־ זִיזָא וְאֶת־ עַתַּי וְאֶת־ אֲבִיָּה אֶת־ לוֹ
シェロミトを そして–〜を ジザと そして–〜を アタイと そして–〜を アビヤと 〜を 彼に
H0853 H2124 H0853 H6262 H0853 H0029 H0853

彼はまた彼女の後にアブサロムの娘マアカをめとった。マアカはアビヤ、アッタイ、ジザおよびシロミテを産んだ。

21 וַיֶּאֱהַב רְחַבְעָם אֶת־מַעֲכָה בַּת־אַבְשָׁלוֹם מִכָּל־
そして-愛した レハブアムは ～を マアカを アブシャロムの-娘の アブシャロムの すべての
H0157 H7346 H0853 H4601 H1323 H0053 H3605

נָשָׁיו וּפִילַגְשָׁיו כִּי נָשָׂא שְׁמוֹנֶה־עֶשְׂרֵה וְשִׁשִּׁים נָשִׁים וּפִילַגְשִׁים וַיּוֹלֶד
彼の-妻たちより そして-側室たちより なぜなら 十八-人の 十八 娶った そして-側室を 妻を そして-もうけた
H0802 H6370 H3588 H8083 H6240 H5375 H6370 H0802 H3205

עֶשְׂרִים וּשְׁמוֹנָה בָּנִים וְשִׁשִּׁים בָּנוֹת׃
二十 八-人の 息子と 六十-人の 娘を
H6242 H8083 H1121 H8346 H1323

レハベアムはアブサロムの娘マアカをすべての妻とそばめにまさって愛した。彼は妻十八人、そばめ六十人をめとって、男の子二十八人と女の子六十人をもうけた。

22 וַיַּעֲמֵד רְחַבְעָם אֶת־אֲבִיָּה בֶּן־מַעֲכָה לְרֹאשׁ לְנָגִיד
そして-立てた レハブアムは ～を アビヤを マアカの-子の マアカの 頭として 指導者として
H5975 H7346 H0853 H0029 H1121 H4601 H7218 H5057

לְהַמְלִיכוֹ׃ כִּי בְאֶחָיו
彼を-王とするために なぜなら 彼の-兄弟たちの-中に
H0251

レハベアムはマアカの子アビヤを立ててかしらとし、その兄弟の長とした。彼はアビヤを王にしようと思ったからである。

23 וַיָּבֶן וַיְפָרֵץ מִכָּל־בָּנָיו לְכָל־אַרְצוֹת יְהוּדָה לְכָל־
そして-賢く-行い そして-広げた 全-息子たちの-うちから 息子たちを 全-地域に 地域に ユダと
H0995 H6555 H3605 H1121 H3605 H0776 H3063

עָרֵי הַמִּבְצָר וַיִּתֵּן לָהֶם הַמָּזוֹן לָרֹב וַיְבַקֶּשׁ לָהֶם נָשִׁים׃
要塞の-町々に 要塞の すべての ベニヤミンの そして-与えた 彼らに 食物を 豊富に 妻たちを 大勢の そして-求めた
H5892 H4694 H3605 H1144 H5414 H1992 H4202 H7230 H0802 H1995 H7592

それで王は賢くとり行い、そのむすこたちをことごとく、ユダとベニヤミンの全地方にあるすべての要害の町に散在させ、彼らに糧食を多く与え、また多くの妻を得させた。

Chapter 12

1 וַיְהִי כְּהָכִין מַלְכוּת רְחַבְעָם וְכָל־יִשְׂרָאֵל עִמּוֹ׃ פ
そして-あった 確立した-とき 王国が レハブアムの そして-強くなった-とき 捨てた ～を
H1961 H3559 H4438 H7346 H2388 H5800 H0853

律法を 主の そして-全 イスラエルも 彼と-共に
H8451 H3068 H3605 H3478 H5973

レハベアムはその国が堅く立ち、強くなるに及んで、主のおきてを捨てた。イスラエルも皆彼にならった。

2

שִׁישָׁק	עָלָה	רְחַבְעָם	לַמֶּלֶךְ	הַחֲמִישִׁית	בַּשָּׁנָה	וַיְהִי
シシャクが	上って来た	レハブアムの	王の	五番目の	五年-目に	そして-あった
H7895	H5927	H7346	H4428	H2549	H8141	H1961

בַּיהוָה׃	מָעֲלוּ	כִּי	יְרוּשָׁלִָם	עַל־	מִצְרַיִם	מֶלֶךְ־
主に	背いた	なぜなら	エルサレムに	～に-向かって	エジプトの	エジプトの-王が
H3068	H4603		H3389		H4714	H4428

彼らがこのように主に向かって罪を犯したので、レハベアム王の五年にエジプトの王シシャクがエルサレムに攻め上ってきた。

3

לָעָם	מִסְפָּר	וְאֵין	פָּרָשִׁים	אֶלֶף	וּבְשִׁשִּׁים	רֶכֶב	וּמְאתַיִם	בְּאֶלֶף
民が	数の	そして-数えきれない	騎兵を-伴い	万	そして-六万の	戦車と	二百の	千
	H4557	H0369		H0505	H8346	H7393	H3967	H0505

וְכוּשִׁים׃	סֻכִּיִים	לוּבִים	מִמִּצְרַיִם	עִמּוֹ	בָּאוּ	אֲשֶׁר־
クシュ人が	スキ人と	リビア人と	エジプトから	彼と-共に	来た	～の
H3569	H5525	H3864	H4714		H0935	

その戦車は一千二百、騎兵は六万、また彼に従ってエジプトから来た民、すなわちリビアびと、スキびと、エチオピヤびとは無数であった。

4

עַד־	וַיָּבֹא	לִיהוּדָה	אֲשֶׁר	הַמְּצֻרוֹת	עָרֵי	אֶת־	וַיִּלְכֹּד
～まで	そして-来た	ユダの	～の	要塞の	要塞の-町々を	～を	そして-取った
H5704	H0935	H3063		H4694		H0853	H3920

ס	יְרוּשָׁלִָם׃
□	エルサレムまで
	H3389

シシャクはユダの要害の町々を取り、エルサレムに迫って来た。

5

יְהוּדָה	וְשָׂרֵי	רְחַבְעָם	אֶל־	בָּא	הַנָּבִיא	וּשְׁמַעְיָה	
ユダの	そして-ユダの-首領たちの	レハブアムの	～の-もとへ	来た	預言者は	そして-シェマヤは	
H3063	H8269	H7346	H0413	H0935	H5030	H8098	

לָהֶם	וַיֹּאמֶר	שִׁישָׁק	מִפְּנֵי	יְרוּשָׁלִַם	אֶל־	נֶאֱסְפוּ	אֲשֶׁר־
彼らに	そして-言った	シシャクの	～から-の-前に	エルサレムに	～に	集まっていた	～の
	H0559	H7895	H6440	H3389	H0413	H0622	

אֶתְכֶם	עֲזַבְתִּי	אֲנִי	וְאַף־	אֹתִי	עֲזַבְתֶּם	אַתֶּם	יְהוָה	אָמַר	כֹּה־
あなたがたを	捨てた	私も	そして-また	私を	捨てた	あなたがたは	主は	言われた	このように
H0853		H0589	H0637	H0853			H3068	H0559	H3541

שִׁישָׁק׃	בְּיַד־
シシャクの	～の-手に
H7895	H3027

そこで預言者シマヤは、レハベアムおよびシシャクのゆえに、エルサレムに集まったユダのつかさたちのもとにきて言った、「主はこう仰せられる、『あなたがたはわたしを捨てたので、わたしもあなたがたを捨ててシシャクにわたした』と」。

6

וְצַדִּיק	וַיֹּאמְרוּ	וְהַמֶּלֶךְ	יִשְׂרָאֵל	שָׂרֵי־	וַיִּכָּנְעוּ
正しい	そして-言った	そして-王は	イスラエルの	イスラエルの-首領たちは	そして-へりくだった
H6662	H0559	H4428	H3478	H8269	H3665

יְהוָה׃
主は
H3068

そこでイスラエルのつかさたち、および王はへりくだって、「主は正しい」と言った。

וּרְאוֹת	יְהוָה	כִּי	נִכְנָעוּ	הָיָה	דְּבַר־	יְהוָה	אֶל־	וּשְׁמַעְיָה
そして-見たとき	主が	～を	へりくだったことを	あった	言葉が	主の	～に	シェマヤに
H7200	H3068		H3665	H1961	H1697	H3068	H0413	H8098

7

וְלֹא־	לִפְלֵיטָה	כְמְעַט֙	לָהֶם	וְנָתַתִּי	אַשְׁחִיתֵם	לֹא	נִכְנְעוּ	לֵאמֹ֔ר
そして-注がない	救いを	まもなく	彼らに	そして-与える	滅ぼさない	ない	へりくだった	言って
H3808	H6413	H4592	H1992	H5414	H7843	H3808	H3665	H0559

שִׁישָׁק׃	בְּיַד־	בִּירוּשָׁלִַ֗ם	חֲמָתִי֙	תִּתָּךְ֙
シシャクの	～の-手によって	エルサレムに	私の-怒りを	注がない
H7895	H3027	H3389	H2534	H5413

主は彼らのへりくだるのを見られたので、主の言葉がシマヤにのぞんで言った、「彼らがへりくだったから、わたしは彼らを滅ぼさないで、間もなく救を施す。わたしはシシャクの手によって、怒りをエルサレムに注ぐことをしない。

וַעֲבוֹדַ֖ת	עֲבֹדָתִ֑י	וְיֵדְע֣וּ	לַעֲבָדִ֔ים	לוֹ	יִהְיוּ־	כִּי	
そして-仕えることを	私に-仕えることと	そして-知るであろう	僕べと	彼に	なるであろう	しかし	
H5656	H5656	H3045	H5650		H1961		8

מַמְלְכ֥וֹת׃	הָאֲרָצֽוֹת׃	ס	
王国の	諸国の		
H4467	H0776		

しかし彼らはシシャクのしもべになる。これは彼らがわたしに仕えることと、国々の王たちに仕えることとの相違を知るためである」。

יְרוּשָׁלִָ֑ם	עַל־	מִצְרַ֖יִם	מֶלֶךְ־	שִׁישָׁק	וַיַּ֥עַל	
エルサレムに	～に-向かって	エジプトの	エジプトの-王は	シシャクは	そして-上って来た	
H3389		H4714	H4428	H7895	H5927	9

אֶת־	הַמֶּלֶךְ	בֵּית	אֹצְר֣וֹת	וְאֶת־	יְהוָ֔ה	בֵּית־	אֹצְר֥וֹת	אֶת־	וַיִּקַּ֖ח
～を	王の	王の-宮の	宝物を	そして-～を	主の	主の-宮の	宝物を	～を	そして-取った
H0853	H4428		H0214	H0853	H3068		H0214	H0853	H3947

שְׁלֹמֹֽה׃	עָשָׂה	אֲשֶׁר	הַזָּהָב	מָגִנֵּי	אֶת־	וַיִּקַּ֔ח	לָקַ֖ח	הַכֹּֽל
ソロモンが	作った	～の	金の	金の-盾を	～を	そして-取った	取った	すべてを
H8010			H2091	H4043	H0853	H3947	H3947	H3605

エジプトの王シシャクはエルサレムに攻めのぼって、主の宮の宝物と、王の家の宝物とを奪い去った。すなわちそれらをことごとく奪い去り、またソロモンの造った金の盾をも奪い去った。

וְהִפְקִ֣יד	נְחֹ֔שֶׁת	מָגִנֵּי	תַּחְתֵּיהֶ֑ם	רְחַבְעָ֖ם	הַמֶּ֥לֶךְ	וַיַּ֣עַשׂ		
そして-任せた	青銅の	青銅の-盾を	それらの-代わりに	レハブアムは	王は	そして-作った		
		H4043	H8478	H7346	H4428			10

הַמֶּלֶךְ׃	בֵּית	פֶּתַח	הַשֹּׁמְרִ֖ים	הָרָצִ֑ים	שָׂרֵי	יַד֙	עַל־	
王の	王の-宮の	入り口を	守っている	護衛の	護衛の-長たちの	手に	～の-手に	
H4428		H6607	H8104	H7323	H8269	H3027		

それでレハベアム王は、その代りに青銅の盾を造って、王の家の門を守る侍衛長たちの手に渡した。

וְנָשְׂא֔וּם	הָרָצִ֑ים	בָּא֣וּ	יְהוָה֙	בֵּית	הַמֶּ֣לֶךְ	בָּ֔א	מִדֵּי־	וַיְהִי֙
そして-運んだ	護衛たちが	来た	主の	主の-宮に	王が	行く	～ごとに	そして-あった
H5375	H7323	H0935	H3068		H4428	H0935	H1767	H1961

הָרָצִֽים׃	תָּא֖	אֶל־	וְהֵשִׁ֥בוּם	
護衛の	護衛の-部屋へ	～へ	そして-戻した	
H7323	H8372	H0413	H7725	

11

王が主の宮にはいるごとに侍衛は来て、これを負い、またこれを侍衛のへやへ持って帰った。

12 וּבְהִכָּנְעוֹ מִמֶּנּוּ שָׁב אַף־יְהוָה וְלֹא לְהַשְׁחִית לְכָלָה
そして–へりくだった–ので 彼から 引いた も–主の 主の そして–ない 滅ぼすことは 完全には
H3665 H4480 H7725 H0639 H3068 H3808 H7843 H3617

וְגַם בִּיהוּדָה הָיָה דְּבָרִים טוֹבִים׃ ס
そして–また ユダには あった 良い–事柄が 良い
H1571 H3063 H1961 H1697 H7809

レハベアムがへりくだったので主の怒りは彼を離れ、彼をことごとく滅ぼそうとはされなかった。またユダの事情もよくなった。

13 וַיִּתְחַזֵּק הַמֶּלֶךְ רְחַבְעָם בִּירוּשָׁלִַם וַיִּמְלֹךְ כִּי
そして–強くなった 王は レハブアムは エルサレムで そして–治めた なぜなら
H2388 H4428 H7346 H3389 H4427 H3588

בֶּן־ אַרְבָּעִים וְאַחַת שָׁנָה וְשִׁבַּע בְּמָלְכוֹ רְחַבְעָם
四十–一–歳の–子であった 四十 一 歳の そして–十七 王と–なった–とき レハブアムは
H1121 H0705 H0259 H8141 H7651 H4427 H7346

שְׁמוֹ אֵת־ לָשׂוּם יְהוָה בָּחַר אֲשֶׁר־ הָעִיר בִּירוּשָׁלִַם מָלַךְ וּשְׁנָה עֶשְׂרֵה
彼の–名を ～を 置くために 主が 選んだ ～の 都で エルサレムで 治めた 年間 十七
H8034 H0853 H7760 H3068 H0977 H0834 H5892 H3389 H4427 H8141 H6240

הָעַמֹּנִית׃ נַעֲמָה וְאִמּוֹ וְשֵׁם יִשְׂרָאֵל שִׁבְטֵי מִכֹּל שָׁם
アンモン人の ナアマであった 彼の–母の そして–名は イスラエルの 部族の–中から すべての そこに
H5985 H5279 H0517 H8034 H3478 H7626 H3605 H8033

レハベアム王はエルサレムで自分の地位を確立し、世を治めた。すなわちレハベアムは四十一歳のとき位につき、十七年の間エルサレムで世を治めた。エルサレムは主がその名を置くためにイスラエルのすべての部族のうちから選ばれた町である。彼の母はアンモンの女で、名をナアマといった。

14 וַיַּעַשׂ הָרָע כִּי לֹא הֵכִין לְבָבוֹ לִדְרוֹשׁ אֵת־ יְהוָה׃
そして–行った 悪を なぜなら ない 定めなかった 彼の–心を 求めるために ～を 主を
H6213 H7451 H3588 H3808 H3559 H3820 H1875 H0853 H3068

ס

レハベアムは主を求めることに心を傾けないで、悪い事を行った。

15 וְדִבְרֵי רְחַבְעָם הָרִאשֹׁנִים וְהָאַחֲרוֹנִים הֲלֹא־ הֵם כְּתוּבִים
そして–言葉は レハブアムの 最初の そして–最後の ではないか それらは 書かれている
H1697 H7346 H7223 H0314 H3808 H1992 H3789

בְּדִבְרֵי שְׁמַעְיָה הַנָּבִיא וְעִדּוֹ הַחוֹזֶה לְהִתְיַחֵשׂ וּמִלְחֲמוֹת רְחַבְעָם
シェマヤの 預言者の そして–イドの 先見者の 系図として そして–戦いは レハブアムと
H8098 H5030 H5714 H2374 H3187 H4421 H7346

וְיָרָבְעָם כָּל־ הַיָּמִים׃
ヤロブアムの すべての 日々
H3379 H3605 H3117

16 וַיִּשְׁכַּב רְחַבְעָם עִם־אֲבֹתָיו וַיִּקָּבֵר בְּעִיר דָּוִיד
そして-眠った レハブアムは 彼の-先祖たちと ～と-共に そして-葬られた ダビデの-町に ダビデの
H7901 H7346 H0001 H6912 H1732

וַיִּמְלֹךְ אֲבִיָּה בְנוֹ תַּחְתָּיו׃ פ
そして-王となった アビヤが 彼の-子が 彼に-代わって
H0029 H8478

レハベアムはその先祖たちと共に眠って、ダビデの町に葬られ、その子アビヤが彼に代って王となった。

Chapter 13

1 בִּשְׁנַת שְׁמוֹנֶה עֶשְׂרֵה שָׁנָה לַמֶּלֶךְ יָרָבְעָם וַיִּמְלֹךְ אֲבִיָּה עַל־יְהוּדָה׃
年に 十八 十八 王の ヤロブアムの そして-王となった アビヤが ～の-上に ユダの
H8141 H8083 H6240 H4428 H3379 H0029 H3063

ヤラベアム王の第十八年にアビヤがユダの王となった。

2 שָׁלֹשׁ שָׁנִים מָלַךְ בִּירוּשָׁלִַם וְשֵׁם אִמּוֹ מִיכָיְהוּ בַת־אוּרִיאֵל מִן־גִּבְעָה וּמִלְחָמָה הָיְתָה בֵּין אֲבִיָּה וּבֵין יָרָבְעָם׃
三 年間 治めた エルサレムで そして-名は 彼の-母の ミカヤであった ウリエルの-娘の ～からの ギベアの そして-戦いが あった ～の-間に アビヤと ～の-間に ヤロブアムの
H7969 H8141 H4427 H3389 H8034 H0517 H4322 H1323 H0222 H1390 H4421 H1961 H0996 H0029 H0996 H3379

彼は三年の間エルサレムで世を治めた。彼の母はギベアのウリエルの娘で、名をミカヤといった。

3 וַיֶּאְסֹר אֲבִיָּה אֶת־הַמִּלְחָמָה בְּחַיִל גִּבּוֹרֵי מִלְחָמָה אַרְבַּע־מֵאוֹת אֶלֶף וְיָרָבְעָם עָרַךְ עִמּוֹ מִלְחָמָה בִּשְׁמוֹנֶה מֵאוֹת אֶלֶף אִישׁ גִּבּוֹר חָיִל׃ ס ס
そして-備えた アビヤは ～を 戦いを 軍勢で 勇士たちの 戦いの 四 千の そして-ヤロブアムは 整えた 彼に-対して 戦いを 八 百 人の 選ばれた-者である ヤロブアムは 力ある-者である 勇士の 選ばれた 人の 千の
H0631 H0029 H0853 H4421 H2428 H1368 H4421 H0702 H0505 H3379 H6186 H4421 H8083 H3967 H0376 H0977 H1368 H2428

ここにアビヤとヤラベアムとの間に戦争が起り、アビヤは四十万の精兵から成る勇敢な軍勢をもって戦いにいで、ヤラベアムも大勇士から成る八十万の精兵をもって、これに向かって戦いの備えをした。

4 וַיָּקָם אֲבִיָּה מֵעַל הַר צְמָרַיִם אֲשֶׁר בְּהַר אֶפְרָיִם וַיֹּאמֶר שְׁמָעֻנִי יָרָבְעָם וְכָל־יִשְׂרָאֵל׃
そして-立ち上がった アビヤは ～の-上に ツェマライム-山の ツェマライムの ～の エフライムの-山地に-ある エフライム そして-言った 聞け ヤロブアムよ そして-全 イスラエルよ
H0029 H5921 H2022 H6787 H0834 H2022 H0669 H0559 H8085 H3379 H3605 H3478

時にアビヤはエフライムの山地にあるゼマライム山の上に立って言った、「ヤラベアムおよびイスラエルの人々よ皆聞け。

5

יִשְׂרָאֵל	אֱלֹהֵי	יְהוָה	כִּי	לָדַעַת	לָכֶם	הֲלֹא
イスラエルの	イスラエルの–神が	主が	～を	知るべきである	あなたがたは	知らないのか
H3478	H0430	H3068		H3045		H3808

וּלְבָנָיו	לוֹ	לְעוֹלָם	יִשְׂרָאֵל	עַל־	לְדָוִיד	מַמְלָכָה	נָתַן
そして–彼の–子らに	彼と	永遠に	イスラエルの	～の–上に	ダビデに	王国を	与えたことを
		H5769	H3478		H1732	H4467	H5414

סּ	מֶלַח׃	בְּרִית	
	塩の	契約で	
	H4417	H1285	

あなたがたはイスラエルの神、主が塩の契約をもってイスラエルの国をながくダビデとその子孫に賜わったことを知らないのか。

6

בֶּן־	שְׁלֹמֹה	עֶבֶד	נְבָט	בֶּן־	יָרָבְעָם	וַיָּקָם
ダビデの–子の	ソロモンの	僕べの	ネバテの	ネバテの–子の	ヤロブアムは	そして–立ち上がった
	H8010	H5650	H5028		H3379	

אֲדֹנָיו׃	עַל־	וַיִּמְרֹד	דָּוִיד
彼の–主人に	～に–対して	そして–反逆した	ダビデの
H0113		H4775	H1732

ところがダビデの子ソロモンの家来であるネバテの子ヤラベアムが起って、その主君にそむき、

7

וַיִּתְאַמְּצוּ	בִּלְיַעַל	בְּנֵי	רֵקִים	אֲנָשִׁים	עָלָיו	וַיִּקָּבְצוּ
そして–強くなった	不耕の	不耕の–輩が	空しい	人々が	彼の–もとに	そして–集まった
H0553	H1100		H7386	H0376		H6908

נַעַר	וְהָיָה	וּרְחַבְעָם	שְׁלֹמֹה	בֶּן־	רְחַבְעָם	עַל־
若く	あった	そして–レハブアムは	ソロモンの	ソロモンの–子の	レハブアムに	～に–対して
H5288	H1961	H7346	H8010		H7346	

לִפְנֵיהֶם׃	הִתְחַזֵּק	וְלֹא	לֵבָב	וְרַךְ־
彼らの–前に	強くなれなかった	そして–なかった	心の	そして–弱い
H6440	H2388	H3808	H3824	H7390

また卑しい無頼のともがらが集まって彼にくみし、ソロモンの子レハベアムに敵したが、レハベアムは若く、かつ意志が弱くてこれに当ることができなかった。

8

בְּיַד	יְהוָה	מַמְלֶכֶת	לִפְנֵי	לְהִתְחַזֵּק	אֹמְרִים	אַתֶּם	וְעַתָּה
～の–手にある	主の	王国の	～の–前に	強くなろうと	言っている	あなたがたは	そして–今
H3027	H3068	H4467	H6440	H2388	H0559		H6258

וְעִמָּכֶם	רָב	הָמוֹן	וְאַתֶּם	דָּוִיד	בְּנֵי	
そして–あなたがたと–共に	大きな	大群衆である	そして–あなたがたは	ダビデの	ダビデの–子らの	
				H1732		

לֵאלֹהִים׃	יָרָבְעָם	לָכֶם	עָשָׂה	אֲשֶׁר	זָהָב	עֲגָלֵי
神として	ヤロブアムが	あなたがたの–ために	作った	～の	金の	金の–子牛が–ある
H0430	H3379				H2091	H5695

今また、あなたがたは大軍をたのみ、またヤラベアムが造って、あなたがたの神とした金の子牛をたのんで、ダビデの子孫の手にある主の国に敵対しようとしている。

9

וְהַלְוִיִּם	אַהֲרֹן	בְּנֵי	אֶת־	יְהוָה	כֹּהֲנֵי	אֶת־	הִדַּחְתֶּם	הֲלֹא
そして–レビ人を	アロンの	アロンの–子らを	～を	主の	祢司たちを	～を	退けた	ではないか
H3881	H0175		H0853	H3068	H3548	H0853	H5080	H3808

הַבָּא	כָּל־	הָאֲרָצוֹת	כְּעַמֵּי	כֹּהֲנִים	לָכֶם	וַתַּעֲשׂוּ	
来る者は	すべての	諸国の	諸国の–民の–ように	祢司たちを	自分の–ために	そして–作った	
H0935	H3605	H0776		H3548			

וְהָיָה	שִׁבְעָה	וְאֵילִם	בָּקָר	בֶּן־	בְּכֶפֶר	יָדוֹ	לְמַלֵּא
そして–なる	七	そして–雄羊–七–匹で	牛の	若い–牛の	若い–雄牛と	彼の–手を	満たすために
H1961	H7651		H1241		H6499	H3027	H4390

ס	אֱלֹהִים׃	לְלֹא	כֹּהֵן
	神でない	神でない–ものの	祢司と
	H0430	H3808	H3548

またあなたがたはアロンの子孫である主の祭司とレビびとを追いだして、他の国々の民がするように祭司を立てたではないか。すなわちだれでも若い雄牛一頭、雄羊七頭を携えてきて、自分を聖別する者は皆あの神でない者の祭司とすることができた。

10

מְשָׁרְתִים	וְכֹהֲנִים	עֲזַבְנֻהוּ	וְלֹא	אֱלֹהֵינוּ	יְהוָה	וַאֲנַחְנוּ	
仕えている	そして–祢司たちは	捨ててはいない	そして–ない	我々の–神であり	主が	そして–我々は	
H8334	H3548		H3808	H0430	H3068	H0587	

בַּמְלָאכֶת׃	וְהַלְוִיִּם	אַהֲרֹן	בְּנֵי	לַיהוָה
務めに–ついている	そして–レビ人は	アロンの	アロンの–子らであり	主に
H4399	H3881	H0175		H3068

しかしわれわれにおいては、主がわれわれの神であって、われわれは彼を捨てない。また主に仕える祭司はアロンの子孫であり、働きをなす者はレビびとである。

11

בָּעֶרֶב	וּבָעֶרֶב־	בַּבֹּקֶר	בַּבֹּקֶר־	עֹלוֹת	לַיהוָה	וּמַקְטִרִים	
夕	そして–夕–ごとに	朝	朝–ごとに	燔祈を	主に	そして–煙を–上らせている	
H6153	H6153	H1242	H1242		H3068		

וּמְנוֹרַת	הַטְּהוֹר	הַשֻּׁלְחָן	עַל־	לֶחֶם	וּמַעֲרֶכֶת	סַמִּים	וּקְטֹרֶת־	
そして–燭台の	清い	机の–上に	～の–上に	パンを	そして–供えの–パンを	香料の	そして–香を	
H4501	H2889	H7979		H3899	H4635	H5561	H7004	

אֶת־	אֲנַחְנוּ	שֹׁמְרִים	כִּי־	בָּעֶרֶב	בָּעֶרֶב	לְבָעֵר	וְנֵרֹתֶיהָ	הַזָּהָב
～を	我々は	守っている	なぜなら	夕	夕–ごとに	灯すために	そして–その–灯火を	金の
H0853	H0587	H8104		H6153	H6153			H2091

אֹתוֹ׃	עֲזַבְתֶּם	וְאַתֶּם	אֱלֹהֵינוּ	יְהוָה	מִשְׁמֶרֶת	
彼を	捨てた	そして–あなたがたは	我々の–神の	主の	務めを	
H0853			H0430	H3068	H4931	

彼らは朝ごと夕ごとに主に燔祭と、こうばしい香をささげ、供えのパンを純金の机の上に供え、また金の燭台とそのともしび皿を整えて、夕ごとにともすのである。このようにわれわれはわれわれの神、主の務を守っているが、あなたがたは彼を捨てた。

12

הַתְּרוּעָה	וַחֲצֹצְרוֹת	וְכֹהֲנָיו	וְהָאֱלֹהִים	בָּרֹאשׁ	עִמָּנוּ	וְהִנֵּה	
雄叫びの	そして–角笛が–ある	そして–彼の–祢司たちと	神が–いる	先頭に	我々と–共に	そして–見よ	
H8643	H2689	H3548	H0430			H2009	

עִם־	תִּלָּחֲמוּ	אַל־	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי	עֲלֵיכֶם	לְהָרִיעַ	
～と	戦うな	ない	イスラエルの	イスラエルの–子らよ	あなたがたに–対して	雄叫びを–上げるために	
		H0408	H3478			H7321	

תַּצְלִיחוּ׃	לֹא	כִּי־	אֲבֹתֵיכֶם	אֱלֹהֵי־	יְהוָה
成功しない	ない	なぜなら	あなたがたの–先祖たちの	神と	主と
	H3808		H0001	H0430	H3068

見よ、神はみずからわれわれと共におられて、われわれのかしらとなられ、また、その祭司たちはラッパを吹きならして、あなたがたを攻める。イスラエルの人々よ、あなたがたの先祖の神、主に敵して戦ってはならない。あなたがたは成功しない」。

13 וְיָרָבְעָם הֵסֵב אֶת־הַמַּאְרָב לָבוֹא מֵאַחֲרֵיהֶם וַיְהִיוּ
そして–ヤロブアムは 回した ～を 待ち伏せを 来るために 彼らの–後ろから そして–あった
H3379 H5437 H0853 H3993 H0935 H3993 H1961

לִפְנֵי יְהוּדָה וְהַמַּאְרָב מֵאַחֲרֵיהֶם׃
～の–前に ユダの そして–待ち伏せが 彼らの–後ろに
H6440 H3063 H3993

ヤラベアムは伏兵を彼らのうしろに回らせたので、彼の軍隊はユダの前にあり、伏兵は彼らのうしろにあった。

14 וַיִּפְנוּ יְהוּדָה וְהִנֵּה לָהֶם הַמִּלְחָמָה פָּנִים וְאָחוֹר וַיִּצְעֲקוּ
そして–振り向いた ユダは そして–見よ 彼らに 戦いが 前と 後ろに–あった そして–叫んだ
H6437 H3063 H2009 H0413 H4421 H6440 H0268 H6817

לַיהוָה וְהַכֹּהֲנִים מחצצרים מַחְצְרִים בַּחֲצֹצְרוֹת׃
主に そして–祢司たちは 角笛を–吹いた 角笛を 角笛で
H3068 H3548 H2690 H2690 H2689

ユダはうしろを見ると、敵が前とうしろとにあったので、主に向かって呼ばわり、祭司たちはラッパを吹いた。

15 וַיָּרִיעוּ אִישׁ יְהוּדָה וַיְהִי כְּהָרִיעַ אִישׁ יְהוּדָה וַיָּרֵעוּ
そして–雄叫びを–上げた 人々は ユダの そして–あった 雄叫びを–上げた 人々が ユダの
H7321 H0376 H3063 H1961 H7321 H0376 H3063

וְהָאֱלֹהִים נָגַף אֶת־יָרָבְעָם וְכָל־יִשְׂרָאֵל לִפְנֵי אֲבִיָּה וְיהוּדָה׃
そして–神が 打ち破った ～を ヤロブアムを そして–全 イスラエルを ～の–前で アビヤの そして–ユダの
H0430 H5062 H0853 H3379 H3605 H3478 H6440 H0029 H3063

そこでユダの人々はときの声をあげた。ユダの人々がときの声をあげると、神はヤラベアムとイスラエルの人々をアビヤとユダの前に打ち敗られたので、

16 וַיָּנוּסוּ בְנֵי־יִשְׂרָאֵל מִפְּנֵי יְהוּדָה וַיִּתְּנֵם אֱלֹהִים
そして–逃げた イスラエルの–子らは イスラエルの ～の–前から ユダの そして–渡した 神が
H5127 H3478 H6440 H3063 H5414 H0430

בְּיָדָם׃
彼らの–手に
H3027

イスラエルの人々はユダの前から逃げた。神が彼らをユダの手に渡されたので、

17 וַיַּכּוּ בָהֶם אֲבִיָּה וְעַמּוֹ מַכָּה רַבָּה וַיִּפְּלוּ חֲלָלִים
そして–打った 彼らを アビヤと 彼の–民は 打撃を 大きな そして–倒れた 死者が
H5221 H0029 H4347 H3423 H5307 H2491

מִיִּשְׂרָאֵל חֲמֵשׁ־מֵאוֹת אֶלֶף אִישׁ בָּחוּר׃
イスラエルから 五 百 千の 人の 選ばれた–者が
H3478 H2568 H3967 H0505 H0376 H0977

アビヤとその民は、彼らをおびただしく撃ち殺した。イスラエルの殺されて倒れた者は五十万人、皆精兵であった。

18 וַיִּכָּנְעוּ בְּנֵי־יִשְׂרָאֵל בָּעֵת הַהִיא וַיֶּאֶמְצוּ בְּנֵי־יְהוּדָה כִּי נִשְׁעֲנוּ עַל־יְהוָה אֱלֹהֵי אֲבוֹתֵיהֶם׃

וַיִּכָּנְעוּ	בְּנֵי־	יִשְׂרָאֵל	בָּעֵת	הַהִיא	וַיֶּאֶמְצוּ	בְּנֵי	יְהוּדָה	כִּי
そして–へりくだった	イスラエルの–子らは	イスラエルの	その–時に	その	そして–強くなった	ユダの–子らは	ユダの	なぜなら
H3665		H3478	H6256	H1931	H0553		H3063	

נִשְׁעֲנוּ	עַל־	יְהוָה	אֱלֹהֵי	אֲבוֹתֵיהֶם׃	
頼った	～に	主に	先祖たちの–神に	先祖たちの	
H8172		H3068	H0430	H0001	

このように、この時イスラエルの人々は打ち負かされ、ユダの人々は勝を得た。彼らがその先祖の神、主を頼んだからである。

19 וַיִּרְדֹּף אֲבִיָּה אַחֲרֵי יָרָבְעָם וַיִּלְכֹּד מִמֶּנּוּ עָרִים אֶת־בֵּית־אֵל וְאֶת־בְּנוֹתֶיהָ וְאֶת־יְשָׁנָה וְאֶת־בְּנוֹתֶיהָ וְאֶת־עֶפְרוֹן)עֶפְרַיִן(וְאֶת־בְּנוֹתֶיהָ׃

וַיִּרְדֹּף	אֲבִיָּה	אַחֲרֵי	יָרָבְעָם	וַיִּלְכֹּד	מִמֶּנּוּ	עָרִים	אֶת־	בֵּית־אֵל	
そして–追った	アビヤは	～の–後を	ヤロブアムの	そして–取った	彼から	町々を	～を	ベテルと	
H7291	H0029		H3379	H3920			H0853	H1008	

וְאֶת־	בְּנוֹתֶיהָ	וְאֶת־	יְשָׁנָה	וְאֶת־	בְּנוֹתֶיהָ	וְאֶת־	עֶפְרוֹן)עֶפְרַיִן(	וְאֶת־בְּנוֹתֶיהָ׃
そして–～を	その–周囲の–町と	そして–～を	エシャナと	そして–～を	その–周囲の–町と	そして–～を	エフラインの	その–周囲の–町を
H0853	H1323	H0853	H3466	H0853	H1323	H0853	H6085	H1323

アビヤはヤラベアムを追撃して数個の町を彼から取った。すなわちベテルとその村里、エシャナとその村里、エフロンとその村里である。

20 וְלֹא־עָצַר כֹּחַ־יָרָבְעָם עוֹד בִּימֵי אֲבִיָּהוּ וַיְנַגְּפֵהוּ יְהוָה וַיָּמֹת׃ פ

וְלֹא־	עָצַר	כֹּחַ־	יָרָבְעָם	עוֹד	בִּימֵי	אֲבִיָּהוּ	
そして–なかった	保てなかった	力を	ヤロブアムは	もはや	アビヤの–時代に	アビヤの	
H3808	H6113		H3379	H5750	H3117	H0029	

וַיְנַגְּפֵהוּ	יְהוָה	וַיָּמֹת׃	פ	
そして–打たれた	主に	そして–死んだ		
H5062	H3068	H4191		

ヤラベアムは、アビヤの世には再び力を得ることができず、主に撃たれて死んだ。

21 וַיִּתְחַזַּק אֲבִיָּהוּ וַיִּשָּׂא־לוֹ נָשִׁים אַרְבַּע עֶשְׂרֵה וַיּוֹלֶד בָּנִים וּשְׁנַיִם עֶשְׂרִים׃ ס

וַיִּתְחַזַּק	אֲבִיָּהוּ	וַיִּשָּׂא־	לוֹ	נָשִׁים	אַרְבַּע	עֶשְׂרֵה	וַיּוֹלֶד		
そして–強くなった	アビヤは	そして–娶った	自分の–ために	妻を	十四	人の	そして–もうけた		
H2388	H0029	H5375		H0802	H0702	H6240	H3205		

בָּנִים	וּשְׁנַיִם	עֶשְׂרִים	וְשֵׁשׁ	עֶשְׂרֵה	בָּנוֹת׃	ס
息子と	二–人の	二十	そして–十六	十六	人の–娘を	
	H8147	H6242	H8337	H6240	H1323	

しかしアビヤは強くなり、妻十四人をめとり、むすこ二十二人、むすめ十六人をもうけた。

22 וְיֶתֶר דִּבְרֵי אֲבִיָּה וּדְרָכָיו וְדִבְרָיו כְּתוּבִּים בְּמִדְרַשׁ הַנָּבִיא עִדּוֹ׃

וְיֶתֶר	דִּבְרֵי	אֲבִיָּה	וּדְרָכָיו	וְדִבְרָיו	כְּתוּבִּים	בְּמִדְרַשׁ	הַנָּבִיא	עִדּוֹ׃
そして–残りの	言葉は	アビヤの	そして–彼の–道と	そして–彼の–言葉は	書かれている	注釈に	預言者の	イドの
H0853	H1697	H0029	H1870	H1697	H3789	H4097	H5030	H5714

アビヤのその他の行為すなわちその行動と言葉は、預言者イドの注釈にしるされている。

Chapter 14

1 וַיִּשְׁכַּב אֲבִיָּה עִם־אֲבֹתָיו וַיִּקְבְּרוּ אֹתוֹ בְּעִיר
アビヤは 〜と−共に 彼の−先祖たちと そして−葬られた 彼を ダビデの−町に
H0029 H0001 H6912 H0853

דָּוִיד וַיִּמְלֹךְ אָסָא בְנוֹ תַּחְתָּיו בְּיָמָיו שָׁקְטָה הָאָרֶץ
ダビデの そして−王となった アサが 彼の−子が 彼に−代わって 彼の−時代に 静かであった 地は
H1732 H0609 H8478 H3117 H8252 H0776

עֶשֶׂר שָׁנִים׃ פ
十 年間 □
H6235 H8141

アビヤはその先祖たちと共に眠って、ダビデの町に葬られ、その子アサが代って王となった。アサの治世に国は十年の間、穏やかであった。

2 וַיַּעַשׂ אָסָא הַטּוֹב וְהַיָּשָׁר בְּעֵינֵי יְהוָה אֱלֹהָיו׃
そして−行った アサは 良いことと 正しいことを 〜の−目に 主の 彼の−神の
H6213 H0609 H2896 H3477 H5869 H3068 H0430

アサはその神、主の目に良しと見え、また正しと見えることを行った。

3 וַיָּסַר אֶת־מִזְבְּחוֹת הַנֵּכָר וְהַבָּמוֹת וַיְשַׁבֵּר אֶת־הַמַּצֵּבוֹת
そして−取り除いた 〜を 異国の−祭壇と 異国の そして−高き所を そして−砕いた 〜を 石柱を
H5493 H0853 H4196 H5236 H1116 H7665 H0853 H4676

וַיְגַדַּע אֶת־הָאֲשֵׁרִים׃
そして−切り倒した 〜を アシェラ像を
H1438 H0853 H0842

彼は異なる祭壇と、もろもろの高き所を取り除き、石柱をこわし、アシラ像を切り倒し、

4 וַיֹּאמֶר לִיהוּדָה לִדְרוֹשׁ אֶת־יְהוָה אֱלֹהֵי אֲבוֹתֵיהֶם וְלַעֲשׂוֹת הַתּוֹרָה
そして−言った ユダに 求めよ 〜を 主を 先祖たちの−神を 先祖たちの 律法と そして−行え
H0559 H3063 H1875 H0853 H3068 H0430 H0001 H8451

וְהַמִּצְוָה׃
戒めを
H4687

ユダに命じてその先祖たちの神、主を求めさせ、おきてと戒めとを行わせ、

5 וַיָּסַר מִכָּל־עָרֵי יְהוּדָה אֶת־הַבָּמוֹת וְאֶת־הַחַמָּנִים
そして−取り除いた 全−町々から 町々から ユダの 〜を 高き所と そして−〜を 香の−祭壇を
H5493 H3605 H5892 H3063 H0853 H1116 H0853 H2553

וַתִּשְׁקֹט הַמַּמְלָכָה לְפָנָיו׃
そして−静かであった 王国は 彼の−前に
H8252 H4467 H6440

ユダのすべての町々から、高き所と香の祭壇とを取り除いた。そして国は彼のもとに穏やかであった。

6 וַיִּבֶן עָרֵי מְצוּרָה בִּיהוּדָה כִּי־שָׁקְטָה הָאָרֶץ וְאֵין־
そして−建てた 要塞の−町々を 要塞の ユダに なぜなら 静かであった 地は そして−なかった
H1129 H4694 H3063 H3588 H8252 H0776 H0369

עִמּוֹ מִלְחָמָה בַּשָּׁנִים הָאֵלֶּה כִּי־הֵנִיחַ יְהוָה לוֹ׃
彼には 戦いが それらの−年には それらの なぜなら 休ませた 主が 彼に
H5973 H4421 H0428 H8141 H3588 H5117 H3068 H0000

彼は国が穏やかであったので、要害の町数個をユダに建てた。また主が彼に平安を賜わったので、この年ごろ戦争がなかった。

חוֹמָה	וְנָסֹב	הָאֵלֶּה	הֶעָרִים	אֶת־	וּנְבֶנֶה	לִיהוּדָה	וַיֹּאמֶר	7
城壁と	そして-巻こう	これらの	これらの-町々を	～を	建てよう	ユダに	そして-言った	
H2346	H5437	H0428		H0853	H1129	H3063	H0559	

יְהוָה	אֶת־	דָּרַשְׁנוּ	כִּי	לְפָנֵינוּ	הָאָרֶץ	עוֹדֶנּוּ	וּבְרִיחִם	דְּלָתַיִם	וּמִגְדָּלִים
主を	～を	求めた	なぜなら	我々の-前に-ある	地は	まだ	かんぬきを	門と	塔と
H3068	H0853	H1875		H6440	H0776	H5750	H1280		H4026

פ	וַיַּצְלִיחוּ׃	וַיִּבְנוּ	מְסָבִיב	לָנוּ	וַיָּנַח	דָּרַשְׁנוּ	אֱלֹהֵינוּ
	そして-成功した	そして-建てた	周囲から	我々に	そして-休ませた	求めた	我々の-神を
		H1129	H5439		H5117	H1875	H0430

彼はユダに言った、「われわれはこれらの町を建て、その周囲に石がきを築き、やぐらを建て、門と貫の木を設けよう。われわれがわれわれの神、主を求めたので、この国はなおわれわれのものであり、われわれが彼を求めたので、四方において、われわれに平安を賜わった」。こうして彼らは滞りなく建て終った。

ס	אֶלֶף	מֵאוֹת	שְׁלֹשׁ	מִיהוּדָה	וְרֹמַח	צִנָּה	נֹשְׂאֵי	חַיִל	לְאָסָא	וַיְהִי	8
	千人の	百	三	ユダから	槍を	大盾と	携える	軍勢が	アサには	そして-あった	
	H0505	H3967	H7969	H3063	H7420		H5375	H2428	H0609	H1961	

כֹּל־	אֶלֶף	וּשְׁמוֹנִים	מָאתַיִם	קֶשֶׁת	וְדֹרְכֵי	מָגֵן	נֹשְׂאֵי	וּמִבִּנְיָמִן
すべての	千人の	八十	二百	弓を	弓を-引く-者が	盾と	携える	そして-ベニヤミンから
H3605	H0505	H8084	H3967	H7198	H1869	H4043	H5375	H1144

חָיִל׃	גִּבּוֹרֵי	אֵלֶּה
力ある	勇士たちである	これらは
H2428	H1368	H0428

アサの軍隊はユダから出た者三十万人あって、盾とやりをとり、ベニヤミンから出た者二十八万人あって、小盾をとり、弓を引いた。これはみな大勇士であった。

שְׁלֹשׁ	וּמַרְכָּבוֹת	אֲלָפִים	אֶלֶף	בְּחַיִל	הַכּוּשִׁי	זֶרַח	אֲלֵיהֶם	וַיֵּצֵא	9
三	そして-戦車が	千の	千	軍勢で	クシュ人の	ゼラが	彼らに-対して	そして-出て来た	
H7969	H4818	H0505	H0505	H2428	H3569	H2226	H0413	H3318	

מָרֵשָׁה׃	עַד־	וַיָּבֹא	מֵאוֹת
マレシャまで	～まで	そして-来た	百
H4762	H5704	H0935	H3967

エチオピヤびとゼラが、百万の軍隊と三百の戦車を率いて、マレシャまで攻めてきた。

צְפַתָה	בְּגֵיא	מִלְחָמָה	וַיַּעַרְכוּ	לְפָנָיו	אָסָא	וַיֵּצֵא	10
ツェファタの	ツェファタの-谷で	戦いを	そして-整えた	彼の-前に	アサは	そして-出た	
H6859	H1516	H4421		H6440	H0609	H3318	

לְמָרֵשָׁה׃
マレシャで
H4762

アサは出て、これを迎え、マレシャのゼパタの谷に戦いの備えをした。

11

עִמָּךְ
あなたには–同じです

אֵין־
ない
H0369

יְהוָה
主よ
H3068

וַיֹּאמַר׀
そして–言った
H0559

אֱלֹהָיו׀
彼の–神に
H0430

יְהוָה
主に
H3068

אֶל־
〜に
H0413

אָסָא
アサは
H0609

וַיִּקְרָא
そして–叫んだ
H7121

אֱלֹהֵינוּ
我々の–神よ
H0430

יְהוָה
主よ
H3068

עָזְרֵנוּ
助けてください
H5826

כֹּחַ
力なき
H3369

לְאֵין
力なき–者との
H0369

רַב׀
大きい–者と

בֵּין
〜の–間に
H0996

לַעְזוֹר׀
助けることは
H5826

הֶהָמוֹן
この–大群衆に

עַל־
〜に–対して

בָּאנוּ
来ました
H0935

וּבְשִׁמְךָ
そして–あなたの–名によって
H8034

נִשְׁעַנּוּ
頼っています
H8172

עָלֶיךָ
あなたに

כִּי־
なぜなら

ס
:אֱנוֹשׁ
人間は
H0582

עִמָּךְ
あなたに–対して

יַעְצֹר
勝てない
H6113

אַל־
ない
H0408

אַתָּה
あなたこそ

אֱלֹהֵינוּ
我々の–神よ
H0430

יְהוָה
主よ
H3068

הַזֶּה
この
H2088

時にアサはその神、主に向かって呼ばわって言った、「主よ、力のある者を助けることも、力のない者を助けることも、あなたにおいては異なることはありません。われわれの神、主よ、われわれをお助けください。われわれはあなたに寄り頼み、あなたの名によってこの大軍に当ります。主よ、あなたはわれわれの神です。どうぞ人をあなたに勝たせないでください」。

12

יְהוּדָה
ユダの
H3063

וְלִפְנֵי
そして–〜の–前で
H6440

אָסָא
アサの
H0609

לִפְנֵי
〜の–前で
H6440

הַכּוּשִׁים
クシュ人を
H3569

אֶת־
〜を
H0853

יְהוָה׀
主は
H3068

וַיִּגֹּף
そして–打った
H5062

:הַכּוּשִׁים
クシュ人は
H3569

וַיָּנֻסוּ
そして–逃げた
H5127

そこで主はアサの前とユダの前でエチオピヤびとを撃ち敗られたので、エチオピヤびとは逃げ去った。

13

וַיִּכָּל
そして–倒れた
H5307

לִגְרָר׀
ゲラルまで
H1642

עַד־
〜まで
H5704

עִמּוֹ׀
彼と–共に–いる

אֲשֶׁר־
〜の

וְהָעָם
民は

אָסָא
アサと
H0609

וַיִּרְדְּפֵם
そして–追った
H7291

יְהוָה
主の
H3068

לִפְנֵי־
主の–前で
H6440

נִשְׁבְּרוּ
砕かれた
H7665

כִּי־
なぜなら

מָחְיָה
生き残る者は
H4241

לָהֶם
彼らには
H1992

לְאֵין
なかった
H0369

מִכּוּשִׁים׀
クシュ人の–中から
H3569

:מְאֹד
非常に
H3966

הַרְבָּה
大量に

שָׁלָל
戦利品を
H7998

וַיִּשְׂאוּ
そして–運んだ
H5375

מַחֲנֵהוּ
彼の–軍勢の
H4264

וְלִפְנֵי
そして–〜の–前で
H6440

アサと彼に従う民は彼らをゲラルまで追撃したので、エチオピヤびとは倒れて、生き残った者はひとりもなかった。主と主の軍勢の前に撃ち破られたからである。ユダの人々の得たぶんどり物は非常に多かった。

14

פַּחַד־
主の–恐れが
H6343

הָיָה
あった
H1961

כִּי־
なぜなら

גְרָר
ゲラルの
H1642

סְבִיבוֹת
ゲラルの–周囲の
H5439

הֶעָרִים׀
町々を

כָּל־
すべての
H3605

אֶת
〜を
H0853

וַיַּכּוּ
そして–打った
H5221

הָיְתָה
あった
H1961

רַבָּה
大きな

בִּזָּה
分捕が
H0961

כִּי־
なぜなら

הֶעָרִים
町々を

כָּל־
すべての
H3605

אֶת־
〜を
H0853

וַיָּבֹזּוּ
そして–奪った
H0962

עֲלֵיהֶם
彼らの–上に

יְהוָה
主の
H3068

:בָּהֶם
それらには

彼らはまた、ゲラルの周囲の町々をことごとく撃ち破った。主の恐れが彼らの上に臨んだからである。そして彼らはそのすべての町をかすめ奪った。その内に多くの物があったからである。

15

וּמְמַלֵּים	לָרֹב	צֹאן	וַיִּשְׁבּוּ	הִכּוּ	מִקְנֵה	אָהֳלֵי	וְגַם־	
そして–らくだを	大量の	羊を	そして–捕らえた	打った	家畜の	家畜の–天幕をも	そして–また	
H1581	H7230	H6629	H7617	H5221	H4735	H0168	H1571	

ס	יְרוּשָׁלִָם׃	וַיָּשֻׁבוּ	
	エルサレムに	そして–帰った	
	H3389	H7725	

また家畜をもっている者の天幕を襲い、多くの羊とらくだを奪い取って、エルサレムに帰った。

Chapter 15

1

אֱלֹהִים׃	רוּחַ	עָלָיו	הָיְתָה	עוֹדֵד	בֶּן־	וַעֲזַרְיָהוּ	
神の	霊が	彼の–上に	あった	オデデの	オデデの–子の	そして–アザルヤは	
H0430	H7307		H1961	H5752		H5838	

時に神の霊がオデデの子アザリヤに臨んだので、

2

יְהוּדָה	וְכָל־	אָסָא	שִׁמְעוּנִי	לוֹ	וַיֹּאמֶר	אָסָא	לִפְנֵי	וַיֵּצֵא
ユダよ	そして–全	アサよ	聞け	彼に	そして–言った	アサの	～の–前に	そして–出た
H3063	H3605	H0609	H8085		H0559	H0609	H6440	H3318

וְאִם־	עִמּוֹ	בִּהְיוֹתְכֶם	עִמָּכֶם	יְהוָה	וּבִנְיָמִן		
そして–もし	彼と–共に	あなたがたが–いる–とき	あなたがたと–共に–いる	主は	そして–ベニヤミンよ		
		H1961		H3068	H1144		

ס	אֶתְכֶם׃	יַעֲזֹב	תַּעַזְבֻהוּ	וְאִם־	לָכֶם	יִמָּצֵא	תִּדְרְשֻׁהוּ
	あなたがたを	捨てる	捨てるなら	そして–もし	あなたがたに	見つけられる	求めるなら
	H0853					H4672	H1875

彼は出ていってアサを迎え、これに言った、「アサおよびユダとベニヤミンの人々よ、わたしに聞きなさい。あなたがたが主と共におる間は、主もあなたがたと共におられます。あなたがたが、もし彼を求めるならば、彼に会うでしょう。しかし、彼を捨てるならば、彼もあなたがたを捨てられるでしょう。

3

וּלְלֹא	אֱמֶת	אֱלֹהֵי	וְלָלֹא	לְיִשְׂרָאֵל	רַבִּים	וְיָמִים		
そして–ない	まことの	まことの–神なく	ない	イスラエルに–あった	多くの	そして–多くの–日々が		
H3808	H0571	H0430	H3808	H3478		H3117		

תּוֹרָה׃	וּלְלֹא	מוֹרֶה	כֹּהֵן
律法なく	そして–ない	教える	教える–祢司なく
H8451	H3808		H3548

そもそも、イスラエルには長い間、まことの神がなく、教をなす祭司もなく、律法もなかった。

4

יִשְׂרָאֵל	אֱלֹהֵי	יְהוָה	עַל־	לוֹ	בַּצַּר־	וַיָּשָׁב	
イスラエルの	イスラエルの–神に	主に	～に	苦難の	苦難の–中で	そして–立ち帰った	
H3478	H0430	H3068				H7725	

לָהֶם׃	וַיִּמָּצֵא	וַיְבַקְשֻׁהוּ	
彼らに	そして–見つけられた	そして–求めた	
	H4672	H1245	

しかし、悩みの時、彼らがイスラエルの神、主に立ち返り、彼を求めたので彼に会った。

5 וּבָעִתִּים הָהֵם אֵין שָׁלוֹם לַיּוֹצֵא וְלַבָּא כִּי מְהוּמוֹת רַבּוֹת
そして–その–時代には なかった 平和が 出る者にも 入る者にも なぜなら 混乱が 大きな
H6256 H0369 H7965 H3318 H0935 H3427 H1992 H4103

עַל כָּל־ יוֹשְׁבֵי הָאֲרָצוֹת׃
〜の–上に すべての 住民の 諸国の
H3605 H3427 H0776

そのころは、出る者にも入る者にも、平安がなく、大いなる騒乱が国々のすべての住民を悩ました。

6 וְכֻתְּתוּ גּוֹי־ בְּגוֹי וְעִיר בְּעִיר כִּי־ אֱלֹהִים הֲמָמָם
そして–砕かれた 国–は–国に 国に そして–町は–町に 町に なぜなら 神が 混乱させた
H3807 H1471 H1471 H5892 H5892 H3588 H0430 H2000

בְּכָל־ צָרָה׃
あらゆる 苦難で
H3605

国は国に、町は町に撃ち砕かれた。神がもろもろの悩みをもって彼らを苦しめられたからです。

7 וְאַתֶּם חִזְקוּ וְאַל־ יִרְפּוּ יְדֵיכֶם כִּי יֵשׁ שָׂכָר לִפְעֻלָּתְכֶם׃ ס
そして–あなたがたは 強くあれ そして–ない 弱くなるな あなたがたの–手は なぜなら ある 報いが あなたがたの–働きには
H7939 H6468 H3027 H3426 H2388 H0408 H7503

しかしあなたがたは勇気を出しなさい。手を弱くしてはならない。あなたがたのわざには報いがあるからです」。

8 וְכִשְׁמֹעַ אָסָא הַדִּבְרִים הָאֵלֶּה וְהַנְּבוּאָה עֹדֵד הַנָּבִיא
そして–聞いた–とき アサが これらの–言葉を これらの 預言を オデデの 預言者の
H8085 H0609 H0428 H1697 H5016 H5752 H5030

וַיַּעֲבֵר מִכָּל־ הַשִּׁקּוּצִים מֵאֶרֶץ יְהוּדָה וּבִנְיָמִן
そして–取り除いた 忌むべき–ものを 全–地から 地から ユダと ベニヤミンの
H5493 H8251 H3605 H0776 H3063 H1144

וּמִן־ הֶעָרִים אֲשֶׁר לָכַד מֵהַר אֶפְרָיִם וַיְחַדֵּשׁ
そして–〜から 町々から 〜の 取った エフライムの–山地から エフライムの そして–新しくした
H3920 H2022 H0669 H2318

אֶת־ מִזְבַּח יְהוָה אֲשֶׁר לִפְנֵי אוּלָם יְהוָה׃
〜を 祭壇を 主の 〜の 〜の–前にある 玄関の–前の 主の
H0853 H4196 H3068 H6440 H0197 H3068

アサはこれらの言葉すなわちオデデの子アザリヤの預言を聞いて勇気を得、憎むべき偶像をユダとベニヤミンの全地から除き、また彼がエフライムの山地で得た町々から除き、主の宮の廊の前にあった主の祭壇を再興した。

9 וַיִּקְבֹּץ אֶת־ כָּל־ יְהוּדָה וּבִנְיָמִן וְהַגָּרִים עִמָּהֶם
そして–集めた 〜を 全 ユダと ベニヤミンと そして–寄留者たちを 彼らと–共に–いる
H6908 H0853 H3605 H3063 H1144 H1616 H5973

מֵאֶפְרַיִם וּמְנַשֶּׁה וּמִשִּׁמְעוֹן כִּי־ נָפְלוּ עָלָיו מִיִּשְׂרָאֵל לָרֹב
マナセと エフライムと シメオンからの なぜなら 来た 彼の–もとへ イスラエルから 大勢
H4519 H0669 H8095 H3588 H5307 H5921 H3478 H7230

פ עִמּוֹ׃ אֱלֹהָיו יְהוָה כִּי־ בְּרֹאתָם
彼と–共に–いると 彼の–神が 主が 〜を 見た–とき
H7200 H3068 H0430

彼はまたユダとベニヤミンの人々およびエフライム、マナセ、シメオンから来て、彼らの間に寄留していた者を集めた。その神、主がアサと共におられるのを見て、イスラエルからアサのもとに下った者が多くあったからである。

10 וַיִּקָּבְצוּ יְרוּשָׁלִַם בַּחֹדֶשׁ הַשְּׁלִישִׁי לִשְׁנַת חֲמֵשׁ־עֶשְׂרֵה
そして-集まった エルサレムに 三番目の-月に 三番目の 十五-年目の 十五
H6908 H3389 H2320 H7992 H8141 H2568 H6240

לְמַלְכוּת אָסָא׃
アサの-治世の アサの
H4438 H0609

彼らはアサの治世の十五年の三月にエルサレムに集まり、

11 וַיִּזְבְּחוּ לַיהוָה בַּיּוֹם הַהוּא מִן־הַשָּׁלָל הֵבִיאוּ בָקָר
そして-いけにえを-ささげた に-主に その-日に 〜からの 戦利品から 持ち帰った 牛を
H2076 H3068 H3117 H1931 H7998 H0935 H1241

וְצֹאן שִׁבְעַת אֲלָפִים׃ וּמְאַת שִׁבְעַת
そして-羊を 七 千-頭 百-頭と 七
H6629 H7651 H0505 H3967 H7651

携えてきたぶんどり物のうちから牛七百頭、羊七千頭をその日主にささげた。

12 וַיָּבֹאוּ בַּבְּרִית לִדְרוֹשׁ אֶת־יְהוָה אֱלֹהֵי אֲבוֹתֵיהֶם בְּכָל־
そして-入った 契約に 求めるために 〜を 主を 先祖たちの-神を 先祖たちの 全-心を-もって
H0935 H1285 H1875 H0853 H3068 H0430 H0001 H3605

לְבָבָם וּבְכָל־נַפְשָׁם׃
心を そして-全-魂を-もって 魂を
H3824 H3605 H5315

そして彼らは契約を結び、心をつくし、精神をつくして先祖の神、主を求めることと、

13 וְכֹל אֲשֶׁר לֹא־יִדְרֹשׁ לַיהוָה אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל
そして-すべての-者は 〜の ない 求めない-者は 主を イスラエルの-神を イスラエルの
H3605 H0834 H3808 H1875 H3068 H0430 H3478

יוּמָת לְמִן־קָטֹן וְעַד־גָּדוֹל לְמֵאִישׁ וְעַד־אִשָּׁה׃
殺される 〜から 小さい-者から 〜まで 大きな-者まで 男から 〜まで 女まで
H4191 H4480 H6996 H5704 H1419 H0376 H5704 H0802

すべてイスラエルの神、主を求めない者は老幼男女の別なく殺さるべきことを約した。

14 וַיִּשָּׁבְעוּ לַיהוָה בְּקוֹל גָּדוֹל וּבִתְרוּעָה וּבַחֲצֹצְרוֹת וּבְשׁוֹפָרוֹת׃
そして-誓った に-主に 大きな 大きな-声で そして-雄叫びで そして-角笛と そして-ラッパで
H7650 H3068 H1419 H7321 H8643 H2689 H7782

そして彼らは大声をあげて叫び、ラッパを吹き、角笛を鳴らして、主に誓いを立てた。

15 וַיִּשְׂמְחוּ כָל־יְהוּדָה עַל־הַשְּׁבוּעָה כִּי בְכָל־לְבָבָם נִשְׁבָּעוּ
そして-喜んだ 全 ユダは 〜に-ついて この-誓いに なぜなら 全-心を-もって 心を 誓った
H8055 H3605 H3063 H5921 H7621 H3588 H3605 H3824 H7650

וּבְכָל־רְצוֹנָם בִּקְשֻׁהוּ וַיִּמָּצֵא לָהֶם וַיָּנַח יְהוָה לָהֶם מִסָּבִיב׃
そして-全-喜びを-もって 喜びを 求めた 見つけられた 彼らに 休ませた 主は 彼らに 周囲から
H3605 H7522 H1245 H4672 H3605 H5117 H3068 H3605 H5439

ユダは皆その誓いを喜んだ。彼らは心をつくして誓いを立て、精神をつくして主を求めたので、主は彼らに会い、四方で彼らに安息を賜わった。

16 וְגַם־ מַעֲכָה אִמָּא לְאָסָא הַמֶּלֶךְ הֵסִירָהּ מִגְּבִירָה אֲשֶׁר־ עָשְׂתָה מִפְלֶצֶת לָאֲשֵׁרָה וַיְכָרֶת אָסָא וַיָּדֶךְ וַיִּשְׂרֹף בְּנַחַל קִדְרוֹן׃

וְגַם־	מַעֲכָה	וְאֵם	אָסָא	הַמֶּלֶךְ	הֵסִירָהּ	מִגְּבִירָה	אֲשֶׁר־	עָשְׂתָה	
そして–また	マアカをも	母である	アサの	王の	退けた	太后から	～の	作った	
H1571	H4601	H0517	H0609	H4428	H5493	H1377			

מִפְלֶצֶת	לָאֲשֵׁרָה	אֵת־	אָסָא	וַיְכָרֶת	מִפְלַצְתָּהּ		
忌むべき–像を	アシェラの–ために	～を	アサは	そして–切り倒した	彼女の–忌むべき–像を		
H4656	H0842	H0853	H0609	H3772	H4656		

וַיְדֶךְ	וַיִּשְׂרֹף	בְּנַחַל	קִדְרוֹן׃	
そして–砕いて	そして–燃やした	キドロンの–谷で	キドロンの	
H1854	H8313	H0609	H6939	

アサ王の母マアカがアシラのために憎むべき像を造ったので、アサは彼女をおとして太后とせず、その憎むべき像を切り倒して粉々に砕き、キデロン川でそれを焼いた。

17 וְהַבָּמוֹת לֹא־ סָרוּ מִיִּשְׂרָאֵל רַק לְבַב־ אָסָא הָיָה שָׁלֵם כָּל־ יָמָיו׃

וְהַבָּמוֹת	לֹא־	סָרוּ	מִיִּשְׂרָאֵל	רַק	לְבַב־	אָסָא	הָיָה	
そして–高き所は	ない	取り除かれなかった	イスラエルからは	ただし	アサの–心は	アサの	あった	
H1116	H3808	H5493	H3478	H7535	H3824	H0609	H1961	

יָמָיו׃	כָּל־	שָׁלֵם
彼の–日々	すべての	全きもので
H3117	H3605	H8003

ただし高き所はイスラエルから除かなかったが、アサの心は一生の間、正しかった。

18 וַיָּבֵא אֶת־ קָדְשֵׁי אָבִיו וְקָדְשָׁיו בֵּית הָאֱלֹהִים כֶּסֶף וְזָהָב וְכֵלִים׃

וַיָּבֵא	אֶת־	קָדְשֵׁי	אָבִיו	וְקָדְשָׁיו	בֵּית			
そして–持ち込んだ	～を	彼の–父の–聖なる–ものと	父の	自分の–聖なる–ものを	神の–宮に			
H0935	H0853	H6944	H0001	H6942				

הָאֱלֹהִים	כֶּסֶף	וְזָהָב	וְכֵלִים׃	
神の	銀と	金と	器を	
H0430	H3701	H2091	H3627	

彼はまた、その父のささげた物および自分のささげた物、すなわち銀、金並びに器物などを主の宮に携え入れた。

19 וּמִלְחָמָה לֹא הָיָתָה עַד־ שְׁנַת שְׁלֹשִׁים וְחָמֵשׁ לְמַלְכוּת אָסָא׃ ס

וּמִלְחָמָה	לֹא	הָיָתָה	עַד־	שְׁנַת	שְׁלֹשִׁים	וְחָמֵשׁ	לְמַלְכוּת	
そして–戦いは	なかった	なかった	～まで	三十–五–年目まで	三十	五	アサの–治世の	
H4421	H3808	H1961	H5704	H8141	H7970	H2568	H4438	

ס	אָסָא׃
	アサの
	H0609

そしてアサの治世の三十五年までは再び戦争がなかった。

Chapter 16

1 בִּשְׁנַת שְׁלֹשִׁים וְשֵׁשׁ לְמַלְכוּת אָסָא עָלָה בַעְשָׁא מֶלֶךְ־ יִשְׂרָאֵל עַל־ יְהוּדָה וַיִּבֶן אֶת־ הָרָמָה לְבִלְתִּי תֵּת יוֹצֵא וָבָא לְאָסָא מֶלֶךְ יְהוּדָה׃

בִּשְׁנַת	שְׁלֹשִׁים	וְשֵׁשׁ	לְמַלְכוּת	אָסָא	עָלָה	בַעְשָׁא	מֶלֶךְ־		
年に	三十	六	アサの–治世の	アサの	上って来た	バアシャが	イスラエルの–王が		
H8141	H7970	H8337	H4438	H0609	H5927	H1201	H4428		

יִשְׂרָאֵל	עַל־	יְהוּדָה	וַיִּבֶן	אֶת־	הָרָמָה	לְבִלְתִּי	תֵּת	
イスラエルの	～に–向かって	ユダに	そして–建てた	～を	ラマを	～ない–ために	許さない	
H3478		H3063	H1129	H0853	H7414	H1115	H5414	

יְהוּדָה׃	מֶלֶךְ	לְאָסָא	וָבָא	יוֹצֵא	
ユダの	ユダの–王の	アサに	入る者も	出る者も	
H3063	H4428	H0609	H0935	H3318	

アサの治世の三十六年にイスラエルの王バアシャはユダに攻め上り、ユダの王アサの所にだれをも出入りさせないためにラマを築いた。

2

הַמֶּלֶךְ	וּבֵית	יְהוָה	בֵּית	מֵאֹצְרוֹת	וְזָהָב	כֶּסֶף	אָסָא	וַיִּצָּא
王の	そして–王の–宮の	主の	主の–宮の	倉庫から	金を	銀と	アサは	そして–取り出した
H4428		H3068		H0214	H2091	H3701	H0609	H3318

לֵאמֹר׃	בְּדַרְמֶשֶׂק	הַיּוֹשֵׁב	אֲרָם	מֶלֶךְ	בֶּן־הֲדַד	אֶל־	וַיִּשְׁלַח
言って	ダマスコに	住んでいる	アラムの	アラムの–王に	ベンハダドに	～に	そして–遣わした
H0559	H1834	H3427	H0758	H4428	H1130	H0413	H7971

そこでアサは主の宮と王の家の宝蔵から金銀を取り出し、ダマスコに住んでいるスリヤの王ベネハダデに贈って言った、

3

הִנֵּה	אָבִיךָ	וּבֵין	אָבִי	וּבֵין	וּבֵינֶךָ	בֵּינִי	בְּרִית		
見よ	あなたの–父の	～の–間に	私の–父と	そして–～の–間に	あなたの–間に	私と	契約が–ある		
H2009	H0001	H0996	H0001	H0996	H0996	H0996	H1285		

בַּעְשָׁא	אֶת־	בְּרִיתְךָ	הָפֵר	לֵךְ	וְזָהָב	כֶּסֶף	לְךָ	שָׁלַחְתִּי
バアシャとの	～との	あなたの–契約を	破ってください	行って	金を	銀と	あなたに	送った
H1201	H0854	H1285		H3212	H2091	H3701		H7971

מֵעָלָי׃	וְיַעֲלֶה	יִשְׂרָאֵל	מֶלֶךְ	
私の–上から	そうすれば–去るでしょう	イスラエルの	イスラエルの–王の	
	H5927	H3478	H4428	

「わたしの父とあなたの父の間のように、わたしとあなたの間に同盟を結びましょう。わたしはあなたに金銀を贈ります。行って、あなたとイスラエルの王バアシャとの同盟を破り、彼をわたしから撤退させてください」。

4

שָׂרֵי	אֶת־	וַיִּשְׁלַח	אָסָא	הַמֶּלֶךְ	אֶל־	הֲדַדְעֶזֶר	וַיִּשְׁמַע	
軍の–将軍たちを	～を	そして–遣わした	アサの	王に	～に	ベンハダドは	そして–聞いた	
H8269	H0853	H7971	H0609	H4428	H0413	H1130	H8085	

אֶת־	וַיַּכּוּ	יִשְׂרָאֵל	עָרֵי	אֶל־	לוֹ	אֲשֶׁר־	הַחַיִל	
～を	そして–打った	イスラエルの	イスラエルの–町々に	～に–向かって	彼の	～の	軍の	
H0853	H5221	H3478		H0413			H2428	

מִסְכְּנוֹת	כָּל־	וְאֵת	עָיוֹן	וְאֶת־	דָּן	וְאֵת	אָבֵל	מָיִם
倉庫の–町々を	すべての	そして–～を	イヨンと	そして–～を	ダンと	そして–～を	アベル	マイムと
H4543	H3605	H0853	H5859	H0853	H1835	H0853	H0066	H0066

נַפְתָּלִי׃	עָרֵי
ナフタリの	町々を
H5321	

ベネハダデはアサ王の言うことを聞き、自分の軍勢の長たちをつかわしてイスラエルの町々を攻め、イヨンとダンとアベル・マイムおよびナフタリのすべての倉の町を撃った。

5

וַיִּשְׁבֹּת	הָרָמָה	אֶת־	מִבְנוֹת	וַיֶּחְדַּל	בַּעְשָׁא	כִּשְׁמֹעַ	וַיְהִי
そして–止めた	ラマを	～を	建てることを	そして–やめた	バアシャが	聞いた–とき	そして–あった
	H7414	H0853	H1129	H2308	H1201	H8085	H1961

ס	מִלַּאכְתּוֹ׃	אֶת־	
	彼の–工事を	～を	
	H4399	H0853	

バアシャはこれを聞いて、ラマを築くことをやめ、その工事を廃した。

6

וְאָסָא (そして-アサは) H0609 / הַמֶּלֶךְ (王は) H4428 / לָקַח (取った) H3947 / אֶת־ (〜を) H0853 / כָּל־ (全) H3605 / יְהוּדָה (ユダを) H3063 / וַיִּשְׂאוּ (そして-運んだ) H5375 / אֶת־ (〜を) H0853 / אַבְנֵי (ラマの-石と) H0068 / הָרָמָה (ラマの) H7414

וְאֶת־ (そして-〜を) H0853 / עֵצֵיהָ (その-木を) H6086 / אֲשֶׁר (〜の) H3605 / בָּנָה (建てていた) H1129 / בַּעְשָׁא (バアシャが) H1201 / וַיִּבֶן (そして-建てた) H1129 / בָּהֶם (それらで) / אֶת־ (〜を) H0853 / גֶּבַע (ゲバと) H1387

וְאֶת־ (そして-〜を) H0853 / הַמִּצְפָּה׃ (ミツパを) H4709 / ס

そこでアサ王はユダの全国の人々を引き連れ、バアシャがラマを建てるために用いた石と木材を運んでこさせ、それをもってゲバとミヅパを建てた。

7

וּבָעֵת (そして-その-時に) H6256 / הַהִיא (その) H1931 / בָּא (来た) H0935 / חֲנָנִי (ハナニが) H2607 / הָרֹאֶה (先見者が) H7200 / אֶל־ (〜の-もとへ) H0413 / אָסָא (アサの) H0609 / מֶלֶךְ (ユダの-王の) H4428 / יְהוּדָה (ユダの) H3063

וַיֹּאמֶר (そして-言った) H0559 / אֵלָיו (彼に) H0413 / בְּהִשָּׁעֶנְךָ (頼った-ので) H8172 / עַל־ (〜に) / מֶלֶךְ (アラムの-王に) H4428 / אֲרָם (アラムの) H0758 / וְלֹא (そして-ない) H3808 / נִשְׁעַנְתָּ (頼らなかった) H8172

עַל־ (〜の-ために) / יְהוָה (主に) H3068 / עַל־ (〜に) / כֵּן (その) / נִמְלַט (逃げた) H4422 / חֵיל (軍勢は) H2426 / מֶלֶךְ־ (アラムの-王の) H4428 / אֲרָם (アラムの) H0758

מִיָּדֶךָ׃ (あなたの-手から) H3027

そのころ先見者ハナニがユダの王アサのもとに来て言った、「あなたがスリヤの王に寄り頼んで、あなたの神、主に寄り頼まなかったので、スリヤ王の軍勢はあなたの手からのがれてしまった。

8

הֲלֹא (ではなかったか) H3808 / הַכּוּשִׁים (クシュ人と) H3569 / וְהַלּוּבִים (リビア人は) H3864 / הָיוּ (あった) H1961 / וְחַיִל (軍勢として) H2428 / לָרֹב (大きな) H7230 / לָרֶכֶב (戦車と) H7393 / וּלְפָרָשִׁים (騎兵として) / לְהַרְבֵּה (非常に)

וּבְהִשָּׁעֶנְךָ (そして-頼った-ので) H8172 / עַל־ (〜に) / יְהוָה (主に) H3068 / נְתָנָם (渡した) H5414 / בְּיָדֶךָ׃ (あなたの-手に) H3027 / מְאֹד (大きな) H3966

かのエチオピヤびとと、リビアびとは大軍で、その戦車と騎兵は、はなはだ多かったではないか。しかしあなたが主に寄り頼んだので、主は彼らをあなたの手に渡された。

9

כִּי (なぜなら) / יְהוָה (主の) H3068 / עֵינָיו (目は) / מְשׁוֹטְטוֹת (見廻らしている) / בְּכָל־ (すべての) H3605 / הָאָרֶץ (地を) H0776 / לְהִתְחַזֵּק (強めるために) H2388 / עִם־ (〜の) / לְבָבָם (心が) H3824 / שָׁלֵם (全き) H8003

כִּי (なぜなら) / זֹאת (これについて) H2063 / מֵעַתָּה (今から) H6258 / יֵשׁ (ある) H3426 / עִמְּךָ (あなたには) / עַל־ (〜について) / נִסְכָּלְתָּ (愚かであった) H5528 / אֵלָיו (彼に-向かう-者を) H0413

מִלְחָמוֹת׃ (戦いが) H4421

主の目はあまねく全地を行きめぐり、自分に向かって心を全うする者のために力をあらわされる。今度の事では、あなたは愚かな事をした。ゆえにこの後、あなたに戦争が臨むであろう」。

10

כִּי־ なぜなら
H4115
הַמַּהְפֶּכֶת 牽獄の
H4115
בֵּית 牽獄の–家に
וַיִּתְּנֵהוּ そして–入れた
H5414
הָרֹאֶה 先見者に
H7200
אֶל־ ～に–対して
H0413
אָסָא アサは
H0609
וַיִּכְעַס そして–怒った
H3707

מִן־ ～の–中から
אָסָא アサは
H0609
וַיְרַצֵּץ そして–踏みにじった
H7533
זֹאת このことに
H2063
עַל־ ～について
עִמּוֹ 彼と
בְּזַעַף 怒りの–中に–あった
H2197

הָעָם 民の
בָּעֵת その–時に
H6256
הַהִיא׃ その
H1931

するとアサはその先見者を怒って、獄屋に入れた。この事のために激しく彼を怒ったからである。アサはまたそのころ民のある者をしえたげた。

11

סֵפֶר 書に
עַל־ ～に
כְּתוּבִים 書かれている
H3789
הִנָּם 見よ
H2009
וְהָאַחֲרוֹנִים そして–最後の
H0314
הָרִאשׁוֹנִים 最初の
H7223
אָסָא アサの
H0609
דִּבְרֵי 言葉は
H1697
וְהִנֵּה そして–見よ
H2009

הַמְּלָכִים 王たちの
לִיהוּדָה ユダと
H3063
וְיִשְׂרָאֵל׃ イスラエルの
H3478

見よ、アサの始終の行為は、ユダとイスラエルの列王の書にしるされている。

12

לְמַעְלָה 上まで
H4605
עַד־ ～まで
H5704
בְּרַגְלָיו 足に
H7272
לְמַלְכוּתוֹ 彼の–治世の
H4438
וָתֵשַׁע 九
H8672
שְׁלוֹשִׁים 三十
H7970
בִּשְׁנַת 三十–九–年目に
H8141
אָסָא アサは
H0609
וַיֶּחֱלָא そして–病んだ
H2456

בָּרֹפְאִים׃ 医者たちを
H7495
כִּי ただ
יְהוָה 主を
H3068
אֶת־ ～を
H0853
דָּרַשׁ 求めなかった
H1875
לֹא־ ない
H3808
בְּחָלְיוֹ 彼の–病においても
H2483
וְגַם־ そして–また
H1571
חָלְיוֹ 彼の–病は
H2483

アサはその治世の三十九年に足を病み、その病は激しくなったが、その病の時にも、主を求めないで医者を求めた。

13

אַרְבָּעִים 四十
H0705
בִּשְׁנַת 四十–一–年目に
H8141
וַיָּמָת そして–死んだ
H4191
אֲבֹתָיו 彼の–先祖たちと
H0001
עִם־ ～と–共に
אָסָא アサは
H0609
וַיִּשְׁכַּב そして–眠った
H7901

וְאַחַת 一
H0259
לְמָלְכוֹ׃ 彼の–治世の

アサは先祖たちと共に眠り、その治世の四十一年に死んだ。

14

וַיִּשְׁכִּיבֻהוּ そして–寝かせた
H7901
דָּוִיד ダビデの
H1732
בְּעִיר ダビデの–町に
לוֹ 自分の–ために
כָּרָה־ 掘った
אֲשֶׁר ～の
בְּקִבְרֹתָיו 彼の–墓に
H6913
וַיִּקְבְּרֵהוּ そして–葬った
H6912

מַעֲשֵׂה 香料師の
H4639
בְּמִרְקַחַת 香料師の–技で
H4842
מְרֻקָּחִים 混ぜ合わせた
H7543
וּזְנִים そして–色々な–種類の
H2177
בְּשָׂמִים 香料と
H1314
מִלְאֵ 満たした
H4390
אֲשֶׁר ～の
בַּמִּשְׁכָּב 寝台に
H4904

פ
לִמְאֹד׃ 非常に
H3966
עַד־ ～まで
H5704
גְּדוֹלָה 大きな
שְׂרֵפָה 火を
H8316
לוֹ 彼の–ために
וַיִּשְׂרְפוּ־ そして–燃やした
H8313

人々は彼が自分のためにダビデの町に掘っておいた墓に葬り、製香の術をもって造った様々の香料を満たした床に横たえ、彼のためにおびただしく香をたいた。

Chapter 17

1 וַיִּמְלֹךְ יְהוֹשָׁפָט בְּנוֹ תַּחְתָּיו וַיִּתְחַזֵּק עַל־
そして-王となった ヨシャファトが 彼の-子が 彼に-代わって そして-強くなった ～に-対して
H3092 H8478 H2388

יִשְׂרָאֵל׃
イスラエルに
H3478

アサの子ヨシャパテがアサに代って王となり、イスラエルに向かって自分を強くし、

2 וַיִּתֵּן־חַיִל בְּכָל־עָרֵי יְהוּדָה הַבְּצֻרוֹת וַיָּתֶן נְצִיבִים בְּאֶרֶץ
そして-置いた 軍勢を すべての 町々に ユダの 要塞の そして-置いた 守備兵を ユダの-地に
H5414 H2428 H3605 H3063 H1219 H5414 H5333 H0776

אָבִיו׃ אָסָא אֲשֶׁר לָכַד אֶפְרַיִם וּבְעָרֵי יְהוּדָה
彼の-父が アサが 取った ～の エフライムの そして-エフライムの-町々に ユダの
H0001 H0609 H3920 H0669 H3063

ユダのすべての堅固な町々に軍隊を置き、またユダの地およびその父アサが取ったエフライムの町々に守備隊を置いた。

3 וַיְהִי יְהוָה עִם־יְהוֹשָׁפָט כִּי הָלַךְ בְּדַרְכֵּי דָוִיד
そして-あった 主は ～と-共に ヨシャファトと なぜなら 歩んだ ダビデの-道に ダビデの
H1961 H3068 H3092 H1980 H1870 H1732

אָבִיו׃ הָרִאשֹׁנִים וְלֹא דָרַשׁ לַבְּעָלִים׃
彼の-父の 最初の そして-ない 求めなかった バアルたちを
H0001 H7223 H3808 H1875

主はヨシャパテと共におられた。彼がその父ダビデの最初の道に歩んで、バアルに求めず、

4 כִּי לֵאלֹהֵי אָבִיו דָּרָשׁ וּבְמִצְוֹתָיו הָלָךְ וְלֹא
なぜなら 父の-神を 求めた 父の そして-彼の-戒めに 歩んだ そして-ない
H3808 H1980 H4687 H1875 H0001 H0430

כְּמַעֲשֵׂה יִשְׂרָאֵל׃
イスラエルの-行いに-従わなかった イスラエルの
H4639 H3478

その父の神に求めて、その戒めに歩み、イスラエルの行いにならわなかったからである。

5 וַיָּכֶן יְהוָה אֶת־הַמַּמְלָכָה בְּיָדוֹ וַיִּתְּנוּ כָל־יְהוּדָה מִנְחָה
そして-確立した 主は ～を 王国を 彼の-手に そして-持って来た 全 ユダは 贈り物を
H3559 H3068 H0853 H4467 H3027 H5414 H3605 H3063 H4503

לִיהוֹשָׁפָט וַיְהִי־לוֹ עֹשֶׁר וְכָבוֹד לָרֹב׃
ヨシャファトに そして-あった 彼に 富と 誉れが 大いに
H3092 H1961 H0369 H6239 H3519 H7230

それゆえ、主は国を彼の手に堅く立てられ、またユダの人々は皆ヨシャパテに贈り物を持ってきた。彼は大いなる富と誉とを得た。

6 וַיִּגְבַּהּ לִבּוֹ בִּדַרְכֵי יְהוָה וְעוֹד הֵסִיר אֶת־הַבָּמוֹת
そして-高くなった 彼の-心は 主の 主の-道に そして-さらに 取り除いた ～を 高き所を
H1361 H1870 H3068 H5750 H5493 H0853 H1116

וְאֶת־ הָאֲשֵׁרִים מִיהוּדָה׃ פ
そして-～を アシェラ像を ユダから
H0853 H0842 H3063

そこで彼は主の道に心を励まし、さらに高き所とアシラ像とをユダから除いた。

וּלְעֹבַדְיָה	לְבֶן־חַיִל	לְשָׂרָיו	שָׁלַח	לְמָלְכּוֹ	שָׁלוֹשׁ	וּבִשְׁנַת	7
オバデヤと	ベンハイルと	彼の–首領たちを	遣わした	彼の–治世の	三	そして–三年目に	
H5662	H1134	H8269	H7971		H7969	H8141	

יְהוּדָה׃	בְּעָרֵי	לְלַמֵּד	וּלְמִיכָיְהוּ	וְלִנְתַנְאֵל	וְלִזְכַרְיָה	
ユダの	ユダの–町々で	教えるために	ミカヤを	ネタネエルと	ゼカルヤと	
H3063		H3925	H4322	H5417		

彼はまたその治世の三年に、つかさたちベネハイル、オバデヤ、ゼカリヤ、ネタンエルおよびミカヤをつかわしてユダの町々で教えさせ、

וּשְׁמִרָמוֹת]	וַעֲשָׂהאֵל	וּזְבַדְיָהוּ	וּנְתַנְיָהוּ	שְׁמַעְיָהוּ	הַלְוִיִּם	וְעִמָּהֶם	8
シェミラモトと	アサヘルと	ゼバデヤと	ネタニヤと	シェマヤと	レビ人の	そして–彼らと–共に	
H8070	H6214	H2069	H5418	H8098	H3881		

הַלְוִיִּם	אֲדֹנִיָּהוּ טוֹב	וְטוֹבִיָּהוּ	וַאֲדֹנִיָּהוּ	וְיוֹנָתָן	וּשְׁמִרָמוֹת)	
レビ人たちが–いた	トブアドニヤの	トビヤと	アドニヤと	ヨナタンと	シェミラモトの	
H3881	H2899	H2900	H0138	H3083	H8070	

הַכֹּהֲנִים׃	וְיוֹרָם	אֱלִישָׁמָע	וְעִמָּהֶם
祢司たちが–いた	ヨラムの	エリシャマと	そして–彼らと–共に
H3548	H3088	H0476	

また彼らと共にレビびとのうちからシマヤ、ネタニヤ、ゼバデヤ、アサヘル、セミラモテ、ヨナタン、アドニヤ、トビヤ、トバドニヤをつかわし、またこれらのレビびとと共に祭司エリシャマとヨラムをもつかわした。

בְּכָל־	וַיָּסֹבּוּ	יְהוָה	תּוֹרַת	סֵפֶר	וְעִמָּהֶם	בִּיהוּדָה	וַיְלַמְּדוּ	9
すべての	そして–巡った	主の	律法の	書が–あった	そして–彼らと–共に	ユダで	そして–教えた	
H3605	H5437	H3068	H8451			H3063	H3925	

בָּעָם׃	וַיְלַמְּדוּ	יְהוּדָה	עָרֵי
民の–中で	そして–教えた	ユダの	ユダの–町々を
	H3925	H3063	

彼らは主の律法の書を携えて、ユダで教をなし、またユダの町々をことごとく巡回して、民の間に教をなした。

סְבִיבוֹת	אֲשֶׁר	הָאֲרָצוֹת	מַמְלְכוֹת	כָּל־	עַל	יְהוָה	פַּחַד	וַיְהִי	10
ユダの–周囲の	～の	諸国の	王国の	すべての	～の–上に	主の	主の–恐れが	そして–あった	
H5439		H0776	H4467	H3605		H3068	H6343	H1961	

יְהוֹשָׁפָט׃	עִם־	נִלְחֲמוּ	וְלֹא	יְהוּדָה
ヨシャファトと	～と	戦わなかった	そして–ない	ユダの
H3092			H3808	H3063

そこでユダの周囲の国々は皆主を恐れ、ヨシャパテと戦うことをしなかった。

גַּם	מַשָּׂא	וְכֶסֶף	מִנְחָה	לִיהוֹשָׁפָט	מְבִיאִים	פְּלִשְׁתִּים	וּמִן־		11
また	貢ぎ物として	銀を	贈り物と	ヨシャファトに	持って来た	ペリシテ人から	そして–～から		
H1571		H3701	H4503	H3092	H0935	H6430			

וְתַיָּשִׁים	מֵאוֹת	וְשִׁבְעָה	אֲלָפִים	שִׁבְעָה	אֵילִים	צֹאן	לוֹ	מְבִיאִים	הָעַרְבִיאִים
そして–雄山羊を	百–頭と	七	千–七	七	雄羊を	羊を	彼に	持って来た	アラビア人は
H8495	H3967	H7651	H0505	H7651		H6629		H0935	

פ	מֵאוֹת׃	וְשִׁבְעָה	אֲלָפִים	שִׁבְעָה
	百–頭	七	千–七	七
	H3967	H7651	H0505	H7651

また、ペリシテびとのうちで贈り物や、みつぎの銀をヨシャパテの所に持ってくる者があり、またアラビヤびとは雄羊七千七百頭、雄やぎ七千七百頭を彼に持ってきた。

12 וַיְהִי יְהוֹשָׁפָט הֹלֵךְ וְגָדֵל עַד־לְמַעְלָה וַיִּבֶן בִּיהוּדָה
そして–あった ヨシャファトは 進み–行った 大きくなり ～まで 上まで 建てた ユダに
H1961 H3092 H1980 H1432 H5704 H4605 H1129 H3063

בִּירָנִיּוֹת וְעָרֵי מִסְכְּנוֹת׃
城塁と そして–倉庫の–町々を 倉庫の
H1003 H4543

こうしてヨシャパテはますます大いになり、ユダに要害および倉の町を建て、

13 וּמְלָאכָה רַבָּה הָיָה לוֹ בְּעָרֵי יְהוּדָה מִלְחָמָה וְאַנְשֵׁי
そして–事業が 大きな あった 彼に ユダの–町々に ユダの 戦いの そして–戦いの–人々が
H4399 H1961 H3063 H4421 H0376

גִבּוֹרֵי חַיִל בִּירוּשָׁלִָם׃
勇士たちが 力ある エルサレムに–いた
H1368 H2428 H3389

ユダの町々に多くの軍需品を持ち、またエルサレムに大勇士である軍人たちを持っていた。

14 וְאֵלֶּה פְּקֻדָתָם לְבֵית אֲבוֹתֵיהֶם לִיהוּדָה שָׂרֵי
そして–これらは 彼らの–登録である 父の–家に–よる 父たちの ユダの–ための 千人の–長たちは
H0428 H6486 H0001 H3063 H8269

ס גִּבּוֹרֵי חַיִל מָאתַיִם שִׁלֹּשׁ מֵאוֹת אֶלֶף׃
勇士たちが 力ある 二百 三 百 千人
H1368 H2428 H3967 H7969 H3967 H0505

וְעִמּוֹ הַשָּׂר עַדְנָה וְעִמּוֹ אַלְפִּים
そして–彼と–共に 長であり アドナが そして–彼と–共に 千の
H5734 H8269 H1368 H0505

彼らをその氏族によって数えれば次のとおりである。すなわちユダから出た千人の長のうちでは、アデナという軍長と彼に従う大勇士三十万人、

15 וְעַל־יָדוֹ יְהוֹחָנָן הַשָּׂר וְעִמּוֹ מָאתַיִם שְׁמוֹנִים אֶלֶף׃ ס
そして–彼の–次に ヨハナンが 長であり そして–彼と–共に 二百 八十 千人
H3027 H3076 H8269 H3967 H8084 H0505

その次は軍長ヨハナンと彼に従う者二十八万人、

16 וְעַל־יָדוֹ עֲמַסְיָה בֶן־זִכְרִי הַמִּתְנַדֵּב לַיהוָה
そして–彼の–次に アマスヤが ジクリの–子の ジクリの 自ら–進んだ 主の–ために
H6007 H3027 H2147 H5068 H3068

וְעִמּוֹ מָאתַיִם אֶלֶף גִּבּוֹר חָיִל׃ ס
そして–彼と–共に 二百 千の 勇士が 力ある
H3967 H0505 H1368 H2428

その次は喜んでその身を主にささげた者ジクリの子アマジヤと彼に従う大勇士二十万人。

17 וּמִן־בִּנְיָמִן גִּבּוֹר חַיִל אֶלְיְדָע וְעִמּוֹ
～から そして–～から ベニヤミンから 勇士の 力ある エルヤダが そして–彼と–共に
H1144 H1368 H2428 H0450

נֹשְׁקֵי־קֶשֶׁת וּמָגֵן מָאתַיִם אֶלֶף׃ ס
弓と–武器を–持つ–者が 弓と 盾を–持つ 二百 千人
H7198 H4043 H3967 H0505

ベニヤミンから出た者のうちでは、エリアダという大勇士と彼に従う弓および盾を持つ者二十万人、

18

חֲלוּצֵי	אֶלֶף	וּשְׁמוֹנִים	מֵאָה־	וְעִמּוֹ	יְהוֹעָדָ֔ה	יָדוֹ	וְעַל־
武装した–者が	千の	八十	百	そして–彼と–共に	ヨホザバドが	彼の	そして–彼の–次に
	H0505	H8084	H3967		H3075	H3027	

צָבָֽא׃	ס
軍の	ס

その次はヨザバデと彼に従う戦いの備えある者十八万人である。

19

הַמֶּלֶךְ	נָתַן	אֲשֶׁר־	מִלְּבַד	הַמֶּלֶךְ	אֶת־	הַמְשָׁרְתִים	אֵלֶּה
王が	置いた	～の	～の–ほかに	王に	～に	仕えている–者たちである	これらが
H4428	H5414		H0905	H4428	H0853	H8334	H0428

פ	יְהוּדָֽה׃	בְּכָל־	הַמִּבְצָר	בְּעָרֵי
ס	ユダの	全–ユダの–中に	要塞の	要塞の–町々に
	H3063	H3605	H4013	

これらは皆王に仕える者たちで、このほかにまたユダ全国の堅固な町々に、王が駐在させた者があった。

Chapter 18

1

לְאַחְאָֽב׃	וַיִּתְחַתֵּן	לָרֹ֖ב	וְכָב֣וֹד	עֹ֑שֶׁר	לִֽיהוֹשָׁפָ֖ט	וַיְהִי
アハブと	そして–縁組みした	多く	栄光が	富と	ヨシャファトに	そして–あった
H0256		H7230	H3519	H6239	H3092	H1961

ヨシャパテは大いなる富と誉とをもち、アハブと縁を結んだ。

2

לוֹ	וַיִּזְבַּח־	לְשֹׁמְר֔וֹן	אַחְאָ֖ב	אֶל־	שָׁנִ֑ים	לְקֵ֣ץ	וַיֵּ֥רֶד
彼の–ために	そして–屠った	サマリヤへ	アハブの–もとに	～へ	数年の	終わりに	そして–下った
	H2076	H8111	H0256	H0413	H8141	H7093	H3381

וַיְסִיתֵֽהוּ	עִמּ֖וֹ	אֲשֶׁ֣ר	וְלָעָ֑ם	לָרֹ֖ב	וּבָקָ֣ר	צֹ֔אן	אַחְאָ֖ב
そして–そそのかした	彼と–共にいる	～の	また–民の–ために	多く	牛を	羊と	アハブは
H5496				H7230	H1241	H6629	H0256

גִּלְעָֽד׃	רָמֹ֖ות	אֶל־	לַעֲלֹ֥ות
ギルアデへ	ラモテ	～へ	上る–ように
H1568	H7433	H0413	H5927

彼は数年の後、サマリヤに下って、アハブをおとずれた。アハブは彼と彼に従ってきた民のために羊と牛を多くほふり、ラモテ・ギレアデに一緒に攻め上ることを彼にすすめた。

3

הֲתֵלֵ֖ךְ	יְהוּדָ֑ה	מֶ֣לֶךְ	יְהוֹשָׁפָ֔ט	אֶל־	יִשְׂרָאֵ֗ל	מֶ֣לֶךְ־	אַחְאָ֖ב	וַיֹּ֥אמֶר
行くか	ユダの	王	ヨシャファトに	～に	イスラエルの	王–	アハブは	そして–言った
H3212	H3063	H4428	H3092	H0413	H3478	H4428	H0256	H0559

כָּמ֑וֹךָ	כָּמ֣וֹנִי	לוֹ֙	וַיֹּ֣אמֶר	גִּלְעָ֔ד	רָמֹ֖ת	עִמִּ֥י
あなたも–私も	私も–あなたも–同じ	彼に	そして–答えた	ギルアデへ	ラモテ	私と–共に
H3644	H3644		H0559	H1568	H7433	

בַּמִּלְחָמָֽה׃	וְעִמְּךָ֖	עַמִּ֑י	וְכַעַמְּךָ֖
戦いに	あなたと–共に	私の–民も	あなたの–民も
H4421			

イスラエルの王アハブはユダの王ヨシャパテに言った、「あなたはわたしと一緒にラモテ・ギレアデに攻めて行きますか」。ヨシャパテは答えた、「わたしはあなたと一つです、わたしの民はあなたの民と一つです。わたしはあなたと一緒に戦いに臨みましょう」。

4 וַיֹּ֥אמֶר יְהוֹשָׁפָ֖ט אֶל־מֶ֣לֶךְ יִשְׂרָאֵ֑ל הֲתֵלֵ֥ךְ אִתִּ֛י כַּיּ֖וֹם נָ֥א דְּרָשׁ־דְּבַ֖ר אֶת־יְהוָֹֽה׃

וַיֹּ֥אמֶר	יְהוֹשָׁפָ֖ט	אֶל־	מֶ֣לֶךְ	יִשְׂרָאֵ֑ל	הֲתֵלֵ֥ךְ	אִתִּ֛י	כַּיּ֖וֹם	נָ֥א	דְּרָשׁ־	דְּבַ֖ר	אֶת־	יְהוָֹֽה׃
そして–言った	ヨシャファトは	～に	王	イスラエルの	行くべきか	私と	今日	どうか	求めよ	言葉を	～を	主の
H0559	H3092	H0413	H4428	H3478	H0853	H0854	H3117	H4994	H1875	H1697	H0853	H3068

ヨシャパテはまたイスラエルの王に言った、「まず主の言葉を求めなさい」。

5 וַיְקַבֵּ֣ץ מֶֽלֶךְ־יִשְׂרָאֵ֗ל אַרְבַּע֙ מֵא֣וֹת אִ֔ישׁ הַנְּבִיאִ֖ים וַיֹּ֣אמֶר אֲלֵהֶ֑ם הַנֵּלֵ֤ךְ אֶל־רָמֹת֙ גִּלְעָ֔ד לַמִּלְחָמָ֖ה אִם־אֶחְדָּ֑ל וַיֹּ֣אמֶר עֲל֔וּ וְיִתֵּ֥ן הָאֱלֹהִ֖ים בְּיַ֥ד הַמֶּֽלֶךְ׃

וַיְקַבֵּ֣ץ	מֶֽלֶךְ־	יִשְׂרָאֵ֗ל	אֶת־	הַנְּבִיאִ֖ים	אַרְבַּע֙	מֵא֣וֹת	אִ֔ישׁ	וַיֹּ֣אמֶר	אֲלֵהֶ֑ם	הַנֵּלֵ֤ךְ	אֶל־	רָמֹת֙	גִּלְעָ֔ד	לַמִּלְחָמָ֖ה
そして–集めた	王–	イスラエルの	～を	預言者たちを	四	百	人	そして–言った		行くべきか	～へ	ラモテ	ギルアデへ	戦いに
H6908	H4428	H3478	H0853	H5030	H0702	H3967	H0376	H0559		H3212	H0413	H7433	H1568	H4421

אִם־	אֶחְדָּ֑ל	וַיֹּ֣אמֶר	עֲל֔וּ	וְיִתֵּ֥ן	הָאֱלֹהִ֖ים	בְּיַ֥ד	הַמֶּֽלֶךְ׃		
それとも	やめるべきか	そして–言った	上れ	そして–与える	神が	手に	王の		
H0518	H2308	H0559	H5927	H5414	H0430	H3027	H4428		

そこでイスラエルの王は預言者四百人を集めて彼らに言った、「われわれはラモテ・ギレアデに、戦いに行くべきか、あるいは控えるべきか」。彼らは言った、「上って行きなさい。神はそれを王の手にわたされるでしょう」。

6 וַיֹּ֣אמֶר יְהוֹשָׁפָ֔ט הַאֵ֣ין פֹּ֔ה נָבִ֥יא לַיהוָ֖ה עוֹד֙ וְנִדְרְשָׁ֣ה מֵאֹתֽוֹ׃

וַיֹּ֣אמֶר	יְהוֹשָׁפָ֔ט	הַאֵ֣ין	פֹּ֔ה	נָבִ֥יא	לַיהוָ֖ה	עוֹד֙	וְנִדְרְשָׁ֣ה	מֵאֹתֽוֹ׃	
そして–言った	ヨシャファトは	いないか	ここに	預言者が	主の	まだ	尋ねよう	彼から	
H0559	H3092	H0369	H6311	H5030	H3068	H5750	H1875	H0853	

ヨシャパテは言った、「ほかにわれわれが問うべき主の預言者はここにいませんか」。

7 וַיֹּ֣אמֶר מֶֽלֶךְ־יִשְׂרָאֵ֗ל אֶל־יְהוֹשָׁפָט֙ עוֹד֙ אִישׁ־אֶחָ֣ד לִדְרוֹשׁ֙ אֶת־יְהוָ֔ה מִֽמֶּ֖נּוּ וַאֲנִ֣י שְׂנֵאתִ֔יהוּ כִּ֣י לֹא־יִתְנַבֵּ֥א עָלַ֛י טוֹב֙ כִּ֣י אִם־רָ֔ע כָּל־יְמֵ֥י חַיָּ֖יו הוּא֙ מִיכָ֣יְהוּ בֶן־יִמְלָ֑א וַיֹּ֣אמֶר יְהוֹשָׁפָ֔ט אַל־יֹאמַ֥ר הַמֶּ֖לֶךְ כֵּֽן׃

וַיֹּ֣אמֶר	מֶֽלֶךְ־	יִשְׂרָאֵ֗ל	אֶל־	יְהוֹשָׁפָט֙	עוֹד֙	אִישׁ־	אֶחָ֣ד	לִדְרוֹשׁ֙	אֶת־	יְהוָ֔ה	מִֽמֶּ֖נּוּ	וַאֲנִ֣י	שְׂנֵאתִ֔יהוּ	כִּ֣י	לֹא־	יִתְנַבֵּ֥א	עָלַ֛י	טוֹב֙	כִּ֣י	אִם־	רָ֔ע	כָּל־	יְמֵ֥י	חַיָּ֖יו	הוּא֙	מִיכָ֣יְהוּ	בֶן־	יִמְלָ֑א	וַיֹּ֣אמֶר	יְהוֹשָׁפָ֔ט	אַל־	יֹאמַ֥ר	הַמֶּ֖לֶךְ	כֵּֽן׃
そして–言った	王–	イスラエルの	～に	ヨシャファトに	まだ	一人の–	男が–いる	尋ねるための	～を	主を	彼から	しかし–私は	彼を–憎んでいる	なぜなら	～ない	預言しない	私に–ついて	良いことを	ただ	～ない	悪いことを	すべての	日々	彼は	ミカヤ	イムラの	～の–子	そして–言った	ヨシャファトは	～ない	言って–は–ならない	王は	そのように
H0559	H4428	H3478	H0413	H3092	H5750	H0376	H0259	H1875	H0853	H3068	H0853	H0589	H8130	H0369	H0408	H5012	H5921	H2896	H0389	H0518	H7451	H3605	H3117	H1931	H4321	H3229	H0559	H3092	H0408	H0559	H4428	H3651

イスラエルの王はヨシャパテに言った、「ほかになおひとりいます。われわれはこの人によって主に問うことができますが、彼はわたしについて良い事を預言したことがなく、常に悪いことだけを預言するので、わたしは彼を憎みます。その者はイムラの子ミカヤです」。ヨシャパテは言った、「王よ、そうは言わないでください」。

8 וַיִּקְרָ֣א מֶֽלֶךְ־יִשְׂרָאֵ֡ל אֶל־סָרִיס֩ אֶחָ֨ד וַיֹּ֜אמֶר מַהֵ֣ר מִיכָ֗הוּ בֶּן־יִמְלָֽא׃

וַיִּקְרָ֣א	מֶֽלֶךְ־	יִשְׂרָאֵ֡ל	אֶל־	סָרִיס֩	אֶחָ֨ד	וַיֹּ֜אמֶר	מַהֵ֣ר	מִיכָ֗הוּ	בֶּן־יִמְלָֽא׃
そして–呼んだ	王	イスラエルの	～を	宦官	一人の	そして–言った	急いで	ミカヤを	
H7121	H4428	H3478	H0413	H5631	H0259	H0559		H4318	

そこでイスラエルの王はひとりの役人を呼んで、「イムラの子ミカヤを急いで連れてきなさい」と言った。

9 וּמֶלֶךְ יִשְׂרָאֵל וִיהוֹשָׁפָט מֶלֶךְ־יְהוּדָה יוֹשְׁבִים אִישׁ עַל־
そして–王 イスラエルの また–ヨシャファト 王– ユダの 座っていた 各々 ～の–上に
H4428 H3478 H3092 H4428 H3063 H3427 H0376

כִּסְאוֹ בְּהִלְבָּשִׁים בְּגָדִים וְיֹשְׁבִים בִּגֹּרֶן פֶּתַח שַׁעַר שֹׁמְרוֹן
自分の–王座に 衣装を–まとい 衣を そして–座っていた 打ち場に 入口の 門の サマリヤの
H3678 H3847 H0899 H3427 H1637 H6607 H8179 H8111

וְכָל־ הַנְּבִיאִים מִתְנַבְּאִים לִפְנֵיהֶם׃
そして–すべての 預言者たちが 預言していた 彼らの–前で
H3605 H5030 H5012 H6440

さてイスラエルの王およびユダの王ヨシャパテは王の衣を着て、サマリヤの門の入口の広場におのおのその玉座に座し、預言者たちは皆その前で預言していた。

10 וַיַּעַשׂ לוֹ צִדְקִיָּהוּ בֶן־ כְּנַעֲנָה קַרְנֵי בַרְזֶל וַיֹּאמֶר
そして–作った 自分の–ために ツィデキヤは ～の–子 ケナアナの 角を 鉄の そして–言った
H6213 H0000 H6667 H1121 H3668 H7161 H1270 H0559

כֹּה־ אָמַר יְהוָה בְּאֵלֶּה תְּנַגַּח אֶת־ אֲרָם עַד־ כַּלּוֹתָם׃
このように 言われる 主は これらで 突き倒せ ～を アラムを ～まで 彼らを–滅ぼし–尽くすまで
H3541 H0559 H3068 H0428 H5055 H0853 H0758 H5704 H3615

ケナアナの子ゼデキヤは鉄の角を造って言った、「主はこう仰せられます、『あなたはこれらの角をもってスリヤびとを突いて滅ぼし尽しなさい』」。

11 וְכָל־ הַנְּבִיאִים נִבְּאִים כֵּן לֵאמֹר עֲלֵה רָמֹת גִּלְעָד
そして–すべての 預言者たちも 預言していた 同じように 言って 上れ ラモテ ギルアデへ
H3605 H5030 H5012 כֵּן H0559 H5927 H7433 H1568

וְהַצְלֵחַ וְנָתַן יְהוָה בְּיַד הַמֶּלֶךְ׃
そして–勝利せよ そして–与える 主が 手に 王の
H6743 H5414 H3068 H3027 H4428

預言者たちは皆そのように預言して言った、「ラモテ・ギレアデに上っていって勝利を得なさい。主はそれを王の手にわたされるでしょう」。

12 וְהַמַּלְאָךְ אֲשֶׁר־ הָלַךְ לִקְרֹא לְמִיכָיְהוּ אֵלָיו לֵאמֹר הִנֵּה דִבְרֵי
そして–使いが ～した 行って 呼びに ミカヤを 彼に 言って 見よ 言葉は
H4397 H0834 H1980 H7121 H4321 H0413 H0559 H2009 H1697

דִבְרֵי כְּפִי אֶחָד בְּפִי הַנְּבִיאִים טוֹב אֶל־ הַמֶּלֶךְ וִיהִי־ נָא דְבָרְךָ
あなたの–言葉も 一つで 口– 預言者たちの 良いことを ～に 王に そして–なるように どうか あなたの–言葉も
H1697 H0259 H6310 H5030 H2896 H0413 H4428 H1961 H4994 H1697

כְּאַחַד מֵהֶם וְדַבֶּרְתָּ טוֹב׃
一人の–ように 彼らの そして–語れ 良いことを
H0259 H1992 H1696 H2896

さてミカヤを呼びに行った使者は彼に言った、「預言者たちは一致して王に良い事を言いました。どうぞ、あなたの言葉も、彼らのひとりの言葉のようにし、良い事を言ってください」。

13 וַיֹּאמֶר מִיכָיְהוּ חַי־ יְהוָה כִּי אֶת־ אֲשֶׁר־ יֹאמַר אֱלֹהַי
そして–言った ミカヤは 生きておられる 主は まことに ～を ～が 言われること 私の–神が
H0559 H4321 H2416 H3068 H3588 H0853 H0834 H0559 H0430

אֹתוֹ אֲדַבֵּר׃
それを 私は–語る
H0853 H1696

ミカヤは言った、「主は生きておられる。わが神の言われることをわたしは申します」。

14

וַיָּבֹא֙ אֶל־ הַמֶּ֔לֶךְ וַיֹּ֥אמֶר אֵלָ֖יו הַמֶּ֣לֶךְ מִיכָ֑הוּ הֲנֵלֵךְ֙ לַמִּלְחָמָ֣ה רָמֹ֔ת וְאֶחְדָּ֖ל אִם־ וַיֹּ֣אמֶר עֲלֵ֔ה וְהַצְלִ֖יחוּ וְיִנָּתְנ֖וּ בְּיֶדְכֶֽם׃

そして–来た / ～の–もとに / 王の / そして–言った / 王は / 彼に / ミカヤよ / 行くべきか / ～へ

そして–渡される / あなたがたの–手に / そして–勝利せよ / 上れ / すると–言った / やめるべきか / それとも / 戦いに / ギルアデへ / ラモテ

H0935 / H0413 / H4428 / H0559 / H4428 / H4318 / H3212 / H0413

H5414 / H3027 / H5927 / H0559 / H2308 / H4421 / H1568 / H7433

彼が王の所へ行くと、王は彼に言った、「ミカヤよ、われわれはラモテ・ギレアデに戦いに行くべきか、あるいは控えるべきか」。彼は言った、「上って行って勝利を得なさい。彼らはあなたの手にわたされるでしょう」。

15

וַיֹּ֣אמֶר אֵלָ֗יו הַמֶּ֙לֶךְ֙ עַד־ כַּמָּ֣ה פְעָמִ֔ים אֲנִ֖י מַשְׁבִּיעֶ֑ךָ אֲשֶׁ֣ר

そして–言った / 彼に / 王は / 何度 / 何度 / 繰り返せば / 私は / あなたに–誓わせるのか / ～を

H0559 / H0413 / H4428 / H4100 / H5704 / H6471 / H0589 / H7650

לֹא־ רַ֥ק אֵלַ֖י תְּדַבֵּ֣ר בְּשֵׁ֥ם אֱמֶ֛ת יְהוָֽה׃

～ない / 語ること / 私に / ただ / 真実を / 名に–よって / 主の

H3808 / H1696 / H0413 / H7535 / H0571 / H8034 / H3068

しかし王は彼に言った、「幾たびあなたを誓わせたら、あなたは主の名をもって、ただ真実のみをわたしに告げるだろうか」。

16

וַיֹּ֣אמֶר רָאִ֗יתִי אֶת־ כָּל־ יִשְׂרָאֵל֙ נְפוֹצִ֔ים עַל־ הֶהָרִ֖ים כַּצֹּ֑אן אֲשֶׁ֣ר אֵין־ לָהֶ֔ן רֹעֶ֖ה וַיֹּ֣אמֶר יְהוָ֔ה לְאֵ֥לֶּה אֲדֹנִ֖ים לֹא־ יְהוָ֑ה

そして–言った / 私は–見た / ～を / すべての / イスラエルが / 散らされている / ～の–上に / 山々の

そして–言われた / 主は / いない / 主人が / これらには / 羊のように / ～に / いない / 彼らに / 羊飼いが

H0559 / H7200 / H0853 / H3605 / H3478 / H0559 / H2022

H0559 / H3068 / H3808 / H0113 / H0428 / H6629 / H0369 / H0834 / H3808 / H7462

בְּשָׁל֖וֹם לְבֵית֥וֹ אִישׁ־ יָשׁ֖וּבוּ׃

平安に / 自分の–家に / 各々 / 帰れ

H7965 / H1004 / H0376 / H7725

彼は言った、「わたしはイスラエルが皆牧者のない羊のように山に散っているのを見ました。すると主は『これらの者は主人をもっていない。彼らをそれぞれ安らかに、その家に帰らせよ』と言われました」。

17

וַיֹּ֣אמֶר אֶל־ מֶ֣לֶךְ יִשְׂרָאֵ֗ל אֶל־ יְהוֹשָׁפָט֙ הֲלֹא֙ אָמַ֣רְתִּי אֵלֶ֔יךָ לֹא־ טוֹב֙ כִּ֣י אִם־ לְרָ֑ע ס

そして–言った / 王– / イスラエルの / ～に / ヨシャファトに / ではないか / 私は–言った / あなたに

彼は–預言しない / ～ない / 良いことを / ただ / ～で / 悪いことを / —

H0559 / H4428 / H3478 / H0413 / H3092 / H3808 / H0559 / H0413

H5012 / H3808 / H0834 / H0369 / H0518 / H7451

イスラエルの王はヨシャパテに言った、「わたしはあなたに、彼はわたしについて良い事を預言せず、ただ悪い事だけを預言すると告げたではありませんか」。

18

וַיֹּ֣אמֶר לָכֵ֗ן שִׁמְעוּ֙ דְּבַר־ יְהוָ֔ה רָאִ֥יתִי אֶת־ יְהוָ֖ה יוֹשֵׁ֑ב וְכָל־ צְבָ֥א הַשָּׁמַ֖יִם עֹמְדִ֣ים עָלָ֔יו מִימִינ֖וֹ וּמִשְּׂמֹאלֽוֹ׃

そして–言った / それゆえ / 聞け / 言葉を / 主の / 私は–見た / 主が / 座っておられる

また–左に / その–右に / ～に / 立っていた / 天の / 軍勢が / そして–すべての / 御座に / ～の–上に

H0559 / H3651 / H8085 / H1697 / H3068 / H7200 / H0853 / H3068 / H3427

H8040 / H3225 / H5921 / H5975 / H8064 / H6635 / H3605 / H3678 / H5921

ミカヤは言った、「それだから主の言葉を聞きなさい。わたしは主がその玉座に座し、天の万軍がその右左に立っているのを見たが、

19 וַיֹּאמֶר יְהוָה מִי יְפַתֶּה אֶת־אַחְאָב מֶלֶךְ־יִשְׂרָאֵל וְיַעַל
そして-言われた 主は 誰が 惑わすか ～を アハブを 王- イスラエルの そして-上って-行き
H0559 H3068 H4310 H4428 H0853 H0256 H4428 H3478 H5927

וַיֹּאמֶר זֶה אֹמֵר כָּכָה וְזֶה אֹמֵר כָּכָה׃
そして-言った ある-者は 言った このように また-ある-者は 言った そのように
H0559 H2088 H0559 H3602 H2088 H0559 H3602

主は、『だれがイスラエルの王アハブをいざなって、ラモテ・ギレアデに上らせ、彼を倒れさせるであろうか』と言われた。するとひとりは、こうしようと言い、ひとりは、ああしようと言った。

20 וַיֵּצֵא הָרוּחַ וַיַּעֲמֹד לִפְנֵי יְהוָה וַיֹּאמֶר אֲנִי אֲפַתֶּנּוּ
そして-出た 一つの-霊が そして-立った 前に 主の そして-言った 私が 彼を-惑わそう
H3318 H7307 H5975 H6440 H3068 H0559 H0589 H6310

וַיֹּאמֶר יְהוָה אֵלָיו בַּמָּה׃
そして-言われた 主は 彼に どのようにか
H0559 H3068 H0413 H4100

その時一つの霊が進み出て、主の前に立ち、『わたしが彼をいざないましょう』と言ったので、主は彼に『何をもってするか』と言われた。

21 וַיֹּאמֶר אֵצֵא וְהָיִיתִי רוּחַ שֶׁקֶר בְּפִי כָּל־נְבִיאָיו
そして-言った 私は-出て-行き そして-なろう 霊と 偽りの 口に すべての 彼の-預言者たちの
H0559 H3318 H1961 H7307 H8267 H6310 H3605 H5030

וַיֹּאמֶר תְּפַתֶּה וְגַם־תּוּכָל צֵא וַעֲשֵׂה־כֵן׃
そして-言った お前は-惑わせる また-必ず できる 出て-行け そして-行え そのように
H0559 H6258 H1571 H3201 H3318 H6213 H3651

彼は『わたしが出て行って、偽りを言う霊となって、すべての預言者の口に宿りましょう』と言った。そこで主は『おまえは彼をいざなって、それをなし遂げるであろう。出て行って、そうしなさい』と言われた。

22 וְעַתָּה הִנֵּה נָתַן יְהוָה רוּחַ שֶׁקֶר בְּפִי נְבִיאֶיךָ אֵלֶּה
そして-今 見よ 置かれた 主は 霊を 偽りの 口に あなたの-預言者たちの これらの
H6258 H2009 H5414 H3068 H7307 H8267 H6310 H5030 H0428

וַיהוָה דִּבֶּר עָלֶיךָ רָעָה׃ ס
しかし-主は 語られた あなたに-ついて 災いを ―
H3068 H1696 H5921 H7451

それゆえ、主は偽りを言う霊をこの預言者たちの口に入れ、また主はあなたについて災を告げられたのです」。

23 וַיִּגַּשׁ צִדְקִיָּהוּ בֶן־כְּנַעֲנָה וַיַּךְ אֶת־עַל־מִיכָיְהוּ
そして-近づいた ツィデキヤは ～の-子 ケナアナの そして-打った ～を ～の-上を ミカヤを
H5066 H6667 H3668 H5221 H0853 H4321

וַיֹּאמֶר אֵי זֶה דֶּרֶךְ רוּחַ־יְהוָה עָבַר מֵאִתִּי לְדַבֵּר אֹתָךְ׃
そして-言った どこを この 道を 霊- 主の 通ったのか 私から 語るために おまえに
H0559 H0335 H2088 H1870 H7307 H3068 H5674 H0854 H1696 H0853

頬を
H3895

するとケナアナの子ゼデキヤが近寄ってミカヤのほおを打って言った、「主の霊がどの道からわたしを離れて行って、あなたに語りましたか」。

24 וַיֹּאמֶר מִיכָיְהוּ הִנְּךָ רֹאֶה בַיּוֹם הַהוּא אֲשֶׁר תָּבוֹא חֶדֶר בְּחֶדֶר לְהֵחָבֵא׃

そして-言った ミカヤは 見よ-あなたは 見る その-日に その 入る あなたが 奥の- 部屋に 隠れるために
H0559 H4321 H2009 H7200 H3117 H1931 H0935 H2315 H2315 H2244

ミカヤは言った、「あなたが奥の間にはいって身を隠す日に見るでしょう」。

25 וַיֹּאמֶר מִיכָיְהוּ קְחוּ אֶת־יֹאשִׁיָּהוּ אֶל־הָעִיר שַׂר־עִיר וְאֶל־יוֹאָשׁ בֶּן־הַמֶּלֶךְ׃

そして-言った ミカヤは 捕らえよ イスラエルの 王 のもとに 町の-長 また-〜の-もとに ヨアシュ 〜の-子 王の
H0559 H4428 H3478 H3947 H0853 H4321 H0413 H8269 H3101 H1121 H4428

イスラエルの王は言った、「ミカヤを捕え、町のつかさアモンと王の子ヨアシの所へ引いて行って、

26 וְאָמַרְתֶּם כֹּה אָמַר הַמֶּלֶךְ שִׂימוּ זֶה בֵּית הַכֶּלֶא וְהַאֲכִלֻהוּ לֶחֶם לַחַץ וּמַיִם לַחַץ עַד שׁוּבִי בְשָׁלוֹם׃

そして-言え このように 言う 王は 入れよ この-者を 獄 の-中に そして-食べさせよ パンを 苦しみの また-水を 苦しみの 〜まで 私が-帰る 無事に
H0559 H3541 H0559 H4428 H7760 H2088 H1004 H3608 H0398 H3899 H3906 H4325 H3906 H5704 H7725 H7965

言いなさい、『王はこう言う、この者を獄屋に入れ、少しばかりのパンと水をもって彼を養い、わたしが勝利を得て帰ってくるのを待て』と」。

27 וַיֹּאמֶר מִיכָיְהוּ אִם־שׁוֹב תָּשׁוּב בְּשָׁלוֹם לֹא־דִבֶּר יְהוָה בִּי שִׁמְעוּ עַמִּים כֻּלָּם׃ פ

そして-言った ミカヤは もし 必ず あなたが-帰るなら 無事に 〜ない 語られなかった 主は 私に-よって 聞け すべての-民よ 皆 —
H0559 H4321 H0518 H7725 H7725 H7965 H3808 H1696 H3068 H0589 H8085 H5971 H3605

ミカヤは言った、「あなたがもし勝利を得て帰るならば、主はわたしによって語られなかったのです」。また彼は言った、「あなたがたすべての民よ、聞きなさい」。

28 וַיַּעַל מֶלֶךְ־יִשְׂרָאֵל וִיהוֹשָׁפָט מֶלֶךְ־יְהוּדָה אֶל־רָמֹת גִּלְעָד׃

そして-上った 王- イスラエルの また-ヨシャファト 王- ユダの 〜へ ラモテ ギルアデへ
H5927 H4428 H3478 H3092 H4428 H3063 H0413 H7433 H1568

こうしてイスラエルの王とユダの王ヨシャパテは、ラモテ・ギレアデに上った。

29 וַיֹּאמֶר יִשְׂרָאֵל אֶל־יְהוֹשָׁפָט הִתְחַפֵּשׂ וָבוֹא בַּמִּלְחָמָה וְאַתָּה לְבַשׁ בִּגְדֶיךָ וַיִּתְחַפֵּשׂ יִשְׂרָאֵל וַיָּבֹאוּ בַּמִּלְחָמָה׃

そして-言った イスラエルの 王 〜に ヨシャファトに 変装して 私は-行こう 戦いに しかし-あなたは 着よ あなたの-衣を そして-変装した イスラエルの 王 そして-行った 戦いに
H0559 H4428 H3478 H0413 H3092 H2664 H0935 H4421 H0859 H3847 H0899 H2664 H3478 H4428 H0935 H4421

イスラエルの王はヨシャパテに言った、「わたしは姿を変えて戦いに行きましょう。しかしあなたは王の衣を着けなさい」。イスラエルの王は姿を変えて戦いに行った。

30

וּמֶלֶךְ	אֲרָם	צִוָּה	אֶת־	שָׂרֵי	הָרֶכֶב	אֲשֶׁר־	לוֹ	לֵאמֹר	לֹא	תִלָּחֲמוּ
そして–王	アラムの	命じていた	～に	長たちに	戦車の	～の	彼の	言って	～ない	戦うな
H4428	H0758	H6680	H0853	H8269	H7393			H0559	H3808	

לְבַדּוֹ׃	יִשְׂרָאֵל	מֶלֶךְ	אֶת־	אִם־	כִּי	הַגָּדוֹל	אֶת־	הַקָּטָן	אֶת־
だけと	イスラエルの	王	～を	～と	ただ	大きい–者とも	～と	小さい–者とも	～と
H0905	H3478	H4428	H0854				H0854		H0854

さて、スリヤの王は、その戦車隊長たちに命じて言った、「あなたがたは小さい者とも、大きい者とも戦ってはならない。ただイスラエルの王とのみ戦いなさい」。

31

מֶלֶךְ	אָמְרוּ	וְהֵמָּה	יְהוֹשָׁפָט	אֶת־	הָרֶכֶב	שָׂרֵי	כִּרְאוֹת	וַיְהִי	
王だ	言った	彼らは	ヨシャファトを	～を	戦車の	長たちが	見た–とき	そして–なった	
H4428	H0559	H1992	H3092	H0853	H7393	H8269	H7200	H1961	

יְהוֹשָׁפָט	וַיִּזְעַק	לְהִלָּחֶם	עָלָיו	וַיָּסֹבּוּ	הוּא	יִשְׂרָאֵל
ヨシャファトは	すると–叫んだ	戦おう–として	彼を	そして–取り囲んだ	彼こそ	イスラエルの
H3092	H2199			H5437	H1931	H3478

מִמֶּנּוּ׃	אֱלֹהִים	וַיָּסִיתֵם	עֶזְרוֹ	וַיהוָה
彼から	神が	そして–引き–離した	彼を–助けた	そして–主が
	H0430	H5496	H5826	H3068

戦車隊長らはヨシャパテを見たとき、これはきっとイスラエルの王だと思ったので、身を巡らしてこれと戦おうとした。しかしヨシャパテが呼ばわったので、主はこれを助けられた。すなわち神は敵を彼から離れさせられた。

32

יִשְׂרָאֵל	מֶלֶךְ	הָיָה	לֹא־	כִּי	הָרֶכֶב	שָׂרֵי	כִּרְאוֹת	וַיְהִי	
イスラエルの	王	ではなかった	～ない	～を	戦車の	長たちは	見た–とき	そして–なった	
H3478	H4428	H1961	H3808		H7393	H8269	H7200	H1961	

מֵאַחֲרָיו׃	וַיָּשֻׁבוּ	
彼を–追うのを–やめた	彼らは–引き–返した	
	H7725	

戦車隊長らは彼がイスラエルの王でないのを見たので、彼を追うことをやめて引き返した。

33

בֵּין	יִשְׂרָאֵל	מֶלֶךְ	אֶת־	וַיַּדְּ	לְתֻמּוֹ	בַּקֶּשֶׁת	מָשַׁךְ	וְאִישׁ	
間の	イスラエルの	王	～に	そして–当たった	何気なく	弓を	引いた	そして–ある–人が	
H0996	H3478	H4428	H0853	H5221	H8537	H7198	H4900	H0376	

(יָדֶךָ	[וידיך]	הַפָּךְ	לָרֶכֶב	וַיֹּאמֶר	הַשִּׁרְיָן	וּבֵין	הַדְּבָקִים
手を	あなたの–手を	向きを–変えて	御者に	そして–言った	鎧の	また–間の	つなぎ目と
H3027	H3027	H2015	H7395	H0559		H0996	H1694

הָחֳלֵיתִי׃	כִּי	הַמַּחֲנֶה	מִן־	וְהוֹצִאתֵנִי	
私は–傷を–負った	なぜなら	陣営から	～から	連れ–出せ–私を	
		H4264		H3318	

しかし、ひとりの人が、なにごころなく弓を引いて、イスラエルの王の胸当と、くさずりの間を射たので、彼はその車の御者に言った、「わたしは傷を受けたから、車をめぐらして、わたしを軍中から運び出せ」。

34

מַעֲמִיד	הָיָה	יִשְׂרָאֵל	וּמֶלֶךְ	הַהוּא	בַּיּוֹם	הַמִּלְחָמָה	וַתַּעַל		
支え–られていた	彼は	イスラエルの	そして–王	その	その–日	戦いは	そして–激しくなった		
H5975	H1961	H3478	H4428	H1931	H3117	H4421	H5927		

הַשָּׁמֶשׁ׃	בּוֹא	לְעֵת	וַיָּמָת	הָעֶרֶב	עַד־	אֲרָם	נֹכַח	בַּמֶּרְכָּבָה
太陽が	沈む	時に	そして–死んだ	夕方まで	～まで	アラムに	向かって	戦車の–中で
H8121	H0935	H6256	H4191	H6153	H5704	H0758	H5227	H4818

その日戦いは激しくなった。イスラエルの王は車の中に自分をささえて立ち、夕暮までスリヤびとに向かっていたが、日の入るころになって死んだ。

Chapter 19

1 וַיָּשָׁב יְהוֹשָׁפָט מֶלֶךְ־יְהוּדָה אֶל־בֵּיתוֹ בְּשָׁלוֹם לִירוּשָׁלָ͏ִם׃
そして–帰った ヨシャファト 王は ユダの 自分の 家に 平安のうちに エルサレムへ
H7725 H3092 H4428 H3063 H0413 H7965 H3389

ユダの王ヨシャパテは、つつがなくエルサレムの自分の家に帰った。

2 וַיֵּצֵא עָלָיו יֵהוּא בֶן־חֲנָנִי הַחוֹזֶה וַיֹּאמֶר אֶל־הַמֶּלֶךְ יְהוֹשָׁפָט הֲלְרָשָׁע תַּעְזֹר וְלִשנְאֵי יְהוָה תֶּאֱהָב וּבְזֹאת עָלֶיךָ קֶצֶף מִלִּפְנֵי יְהוָה׃
すると–出て来た 彼の 前に エフー 息子は ハナニの 先見者が そして–言った 王
H3318 H0413 H6440 H3058 H0413 H2607 H2374 H0559 H0413

愛するのか あなたは 主を–憎む者たちを 助けるのか 悪しき者を 向かって ヨシャファトに
H0157 H3068 H8130 H5826 H7563 H3092 H4428

の 主の–御前から 怒りが–ある あなたの–上に このことの–ゆえに
H3068 H6440

そのとき、先見者ハナニの子エヒウが出てヨシャパテを迎えて言った、「あなたは悪人を助け、主を憎む者を愛してよいのですか。それゆえ怒りが主の前から出て、あなたの上に臨みます。

3 אֲבָל דְּבָרִים טוֹבִים נִמְצְאוּ עִמָּךְ כִּי־בִעַרְתָּ הָאֲשֵׁרוֹת מִן־הָאָרֶץ וַהֲכִינוֹתָ לְבָבְךָ לִדְרֹשׁ הָאֱלֹהִים׃
しかし 良い–事柄が あなたに 見出された あなたの–もとに なぜなら あなたは–取り除いた
H0061 H1697 H4672 H3824 H0430

アシェラ像を この 地から そして–あなたは–備えた 求めるために
H0842 H0776 H1875

しかしあなたには、なお良い事もあります。あなたはアシラ像を国の中から除き、心を傾けて神を求められました」。

4 וַיֵּשֶׁב יְהוֹשָׁפָט בִּירוּשָׁלָ͏ִם וַיָּשָׁב וַיֵּצֵא בָּעָם ס מִבְּאֵר שֶׁבַע עַד־הַר אֶפְרַיִם וַיְשִׁבֵּם אֶל־יְהוָה אֱלֹהֵי אֲבוֹתֵיהֶם׃
こうして–住んだ ヨシャファトは エルサレムに 再び そして–出て行った 民の–中に
H3427 H3092 H3389 H7725 H3318

ベエル・シェバから まで 山地 エフライムの 彼らの 主へと そして–立ち返らせた–彼らを
H0884 H5704 H2022 H0669 H3068 H0413 H7725

神である 先祖たちの
H0001 H0430

ヨシャパテはエルサレムに住んでいたが、また出て、ベエルシバからエフライムの山地まで民の中を巡り、先祖たちの神、主に彼らを導き返した。

5 וַיַּעֲמֶד שֹׁפְטִים בָּאָרֶץ בְּכֹל עָרֵי יְהוּדָה הַבְּצֻרוֹת לְעִיר וָעִיר׃
そして–立てた 裁き人たちを 地に すべての 町々に ユダの 城壁のある 町 ごとに
H5975 H8199 H0776 H3605 H5892 H3063 H1219 H5892

彼はまたユダの国中、すべての堅固な町ごとに裁判人を置いた。

עֹשִׂים	אַתֶּם	מָּה־	רְאוּ	הַשֹּׁפְטִים	אֶל־	וַיֹּאמֶר	6
行っているかを	あなたがたが	何を	よく-見なさい	向かって	裁き人たちに	そして-言った	
		H4100	H7200	H8199	H0413	H0559	

וְעִמָּכֶם	לַיהוָה	כִּי	תִשְׁפְּטוּ	לְאָדָם	לֹא	כִּי
あなたがたと-共に	であり	主の-ために	裁くからである	あなたがたは	人の-ためではなく	なぜなら
	H3068		H8199	H0120	H3808	

מִשְׁפָּט׃	בִּדְבַר
事柄において	裁きの
H4941	H1697

そして裁判人たちに言った、「あなたがたは自分のする事に気をつけなさい。あなたがたは人のために裁判するのではなく、主のためにするのです。あなたがたが裁判する時には、主はあなたがたと共におられます。

כִּי־	וַעֲשׂוּ	שִׁמְרוּ	עֲלֵיכֶם	יְהוָה	פָּחַד־	יְהִי	וְעַתָּה	7
なぜなら	行いなさい	守り	注意して	上に-あるように	あなたがたの	主への-畏れが	それゆえ-今	
		H8104		H3068	H6343	H1961	H6258	

שֹׁחַד׃	וּמִקַּח־	פָּנִים	וּמַשָּׂא	עַוְלָה	אֱלֹהֵינוּ	יְהוָה	עִם־	אֵין
—	ないからである	受けることも	賄賂を	えこひいきも	不正も	私たちの-神には	主	ない
H7810	H4727	H6440	H4856		H0430	H3068		H0369

だからあなたがたは主を恐れ、慎んで行いなさい。われわれの神、主には不義がなく、人をかたより見ることなく、まいないを取ることもないからです」。

וְהַכֹּהֲנִים	הַלְוִיִּם	מִן־	יְהוֹשָׁפָט	הֶעֱמִיד	בִּירוּשָׁלִַם	וְגַם	8
そして	祭司たちと	レビ人と	ヨシャファトは	立てた	エルサレムにおいても	さらに-また	
H3548	H3881		H3092	H5975	H3389	H1571	

יְרוּשָׁלִָם׃	וַיָּשֻׁבוּ	וְלָרִיב	יְהוָה	לְמִשְׁפָּט	לְיִשְׂרָאֵל	הָאָבוֹת	וּמֵרָאשֵׁי
エルサレムに	戻った	彼らは	争いの-ために	主の-裁きと	頭たちの-中から	父祖たちの	イスラエルの
H3389	H7725	H7379	H3068	H4941	H3478	H0001	

ヨシャパテはまたレビびと、祭司、およびイスラエルの氏族の長たちを選んでエルサレムに置き、主のために裁判を行い、争議の解決に当らせた。彼らはエルサレムに居住した。

בֶּאֱמוּנָה	יְהוָה	בְּיִרְאַת	תַּעֲשׂוּן	כֹּה	לֵאמֹר	עֲלֵיהֶם	וַיְצַו	9
そして	誠実に	主への-畏れをもって	行いなさい	このように	言って	彼らに	そして-命じた	
H0530	H3068	H3374		H3541	H0559		H6680	

שָׁלֵם׃	וּבְלֵבָב
—	全き-心で
H8003	H3824

ヨシャパテは彼らに命じて言った、「あなたがたは主を恐れ、真実と真心とをもって行わなければならない。

10 וְכָל־ רִיבْ אֲשֶׁר־ יָבוֹא עֲלֵיכֶם מֵאֲחֵיכֶם
すべての 争いが あなたがたの-もとに-来たなら 兄弟たちから 自分の-町々に
H3605 H7379 H0935 H0251

בְּעָרֵיהֶם הַיֹּשְׁבִים דָּם וְדָם בֵּין־ לְדָמْ בֵּין־ תּוֹרָה לְמִצְוָה
血の 住んでいる 律法や 戒めや 掟や 定めの-ことであっても あなたがたは
H1818 H3427 H1818 H1818 H0996 H8451 H4687

וְהִזְהַרְתָּם וְלֹא לַיהוָה וְיֶאְשְׁמוּ אִתָּם וְלִמְשְׁפָּטִים לְחֻקִּים
そうすれば 彼らに 警告しなさい 彼らは-罪を-犯さず 主に-対して 怒りが あなたがたと
H3541 H2706 H4941 H0853 H3808 H0816 H3068

וְהָיָה־ וְעַל־ עֲלֵיכֶם יָבֹא לֹא אֲשֶׁר אֲחֵיכֶם כֹּה
あなたがたの 来ないであろう このように 兄弟たちの-上に 行いなさい そうすれば
H1961 H3541 H0251

תַּעֲשׂוּן וְלֹא תֶאְשָׁמוּ׃
罪を-犯さないであろう そして ―
H0816 H3808

すべてその町々に住んでいるあなたがたの兄弟たちから、血を流した事または律法と戒め、定めとおきてなどの事について訴えてきたならば、彼らをさとして、主の前に罪を犯させず、怒りがあなたがたと、あなたがたの兄弟たちに臨まないようにしなさい。そのようにすれば、あなたがたは罪を犯すことがないでしょう。

11 וְהִנֵּה אֲמַרְיָהוּ כֹהֵן הָרֹאשׁ עֲלֵיכֶם יְהוָה דְּבַר־ לְכָל
見よ アマルヤフは 祭司の 頭として あなたがたの-上に-立ち すべての 主の 事柄について
H2009 H0568 H3548 H3605 H1697 H3068

וְזַבַדְיָהוּ בֶן־ יִשְׁמָעֵאל הַנָּגִיד לְבֵית־ יְהוּדָה לְכָל
そして-ゼバデヤフは 息子は イシュマエルの 指導者として ユダの-家の すべての 王の
H2069 H3458 H5057 H3063 H3605

וְשֹׁטְרִים הַלְוִיִּם לִפְנֵיכֶם חִזְקוּ דְּבַר־ הַמֶּלֶךְ
役人たちとして レビ人たちが あなたがたの-前に-いる 強くあれ 事柄について 立ち
H7860 H3881 H6440 H2388 H1697 H4428

וַעֲשׂוּ וִיהִי יְהוָה עִם־ הַטּוֹב׃ פ
そして-行いなさい 主が 善い者と 共に おられるように ―
H1961 H3068

見よ、祭司長アマリヤは、あなたがたの上にいて、主の事をすべてつかさどり、イシマエルの子、ユダの家のつかさゼバデヤは王の事をすべてつかさどり、またレビびとはあなたがたの前にあって役人となります。雄々しく行動しなさい。主は正直な人と共におられます」。

Chapter 20

1 וַיְהִי אַחֲרֵיכֵן בָּאוּ בְּנֵי־ מוֹאָבْ וּבְנֵי עַמּוֹן עִמָּם וּמִן־ הָעַמֻּנִים עָלֵי־ יְהוֹשָׁפָט וַיָּבֹא לַמִּלְחָמָה׃
そして-あった その-後に 来た モアブの-子ら と アンモンの-子らと 彼らと-共に 人が 戦いを-するために 来た ヨシャファトに-対して アンモン人の-一部が ―
H1961 H0935 H1121 H4124 H5983 H5984 H3092 H4421

この後モアブびと、アンモンびとおよびメウニびとらがヨシャパテと戦おうと攻めてきた。

2

רֵב	הֶמּוֹן	עָלֶיךָ	בָּא	לֵאמֹר	לִיהוֹשָׁפָט	וַיַּגִּידוּ	וַיָּבֹאוּ
海の	大きな–群衆が	あなたに–対して	来ている	言って	ヨシャファトに	告げた	そして–来て
			H0935	H0559	H3092	H5046	H0935

הִיא	תָּמָר	וְהֵנָּם	מֵאֲרָם	לַיָּם	מֵעֵבֶר
エン・ゲディ	それは	ハツァツォン・タマルに–いる	そして–見よ–彼らは	アラムから	向こうから
H1931	H2688	H2009	H0758	H3220	H5676

עֵין	גֶּדִי׃
である	—
H5872	H5872

その時ある人がきて、ヨシャパテに告げて言った、「海のかなたのエドムから大軍があなたに攻めて来ます。見よ、彼らはハザゾン・タマル（すなわちエンゲデ）にいます」。

3

לַיהוָה	לִדְרוֹשׁ	פָּנָיו	אֶת־	יְהוֹשָׁפָט	וַיִּתֵּן	וַיִּירָא
主を	求めるために	顔を	自分の	ヨシャファトは	そして–向けた	そして–恐れた
H3068	H1875	H6440	H0853	H3092	H5414	H3372

יְהוּדָה׃	כָּל־	עַל־	צוֹם	וַיִּקְרָא־
わたって	ユダに	全	断食を	そして–布告した
H3063	H3605		H6685	H7121

そこでヨシャパテは恐れ、主に顔を向けて助けを求め、ユダ全国に断食をふれさせた。

4

בָּאוּ	יְהוּדָה	עָרֵי	מִכֹּל־	גַּם	מִיְהוָה	לְבַקֵּשׁ	יְהוּדָה	וַיִּקָּבְצוּ
来た	ユダの	町々から	すべての	また	主を	求めるために	ユダは	そして–集まった
H0935	H3063		H3605	H1571	H3068	H1245	H3063	H6908

לְבַקֵּשׁ	אֶת־	יְהוָה׃
求めるために	主を	—
H1245	H0853	H3068

それでユダはこぞって集まり、主の助けを求めた。すなわちユダのすべての町から人々が来て主を求めた。

5

לִפְנֵי	יְהוָה	בְּבֵית	וִירוּשָׁלִַם	יְהוּדָה	בִּקְהַל	יְהוֹשָׁפָט	וַיַּעֲמֹד
新しい	前で	主の–家の	会衆の–中に	エルサレムの	ユダと	ヨシャファトは	そして–立った
H6440	H3068		H3389	H3063	H6951	H3092	H5975

הַחָצֵר	הַחֲדָשָׁה׃
庭の	前に
	H2319

そこでヨシャパテは主の宮の新しい庭の前で、ユダとエルサレムの会衆の中に立って、

6

אֱלֹהִים	הוּא	אַתָּה־	הֲלֹא	אֱבֹתֵינוּ	אֱלֹהֵי	יְהוָה	וַיֹּאמַר
神では–ないか	おられる	天に	あなたこそ	神よ	私たちの–先祖の	主よ	そして–言った
H0430	H1931		H3808	H0001	H0430	H3068	H0559

כֹּחַ	וּבִיָדְךָ	הַגּוֹיִם	מַמְלְכוֹת	בְּכָל	מוֹשֵׁל	וְאַתָּה	בַּשָּׁמַיִם
勢いが–あり	力と	あなたの–手には	王国を	諸国の	すべての	支配しておられる	そして–あなたは
	H3027		H4467	H3605	H4910		H8064

לְהִתְיַצֵּב׃	עָמְדָ	וְאֵין	וּגְבוּרָה
—	立ち向かえない	あなたに–対して	だれも
H3320		H0369	H1369

言った、「われわれの先祖の神、主よ、あなたは天にいます神ではありませんか。異邦人のすべての国を治められるではありませんか。あなたの手には力があり、勢いがあって、あなたに逆らいうる者はありません。

7 וְהֲלֹא אַתָּה אֱלֹהֵינוּ הוֹרַשְׁתָּ אֶת־יֹשְׁבֵי הָאָרֶץ
あなたこそ 私たちの–神 追い出された–のでは–ないか この 地の 住民を あなたの–民
H3808 H0430 H3423 H0853 H3427 H0776

הַזֹּאת מִלִּפְנֵי עַמְּךָ יִשְׂרָאֵל וַתִּתְּנָהּ לְזֶרַע אַבְרָהָם
イスラエルの–前から そして–与えられた 子孫に アブラハムの あなたの–愛する–者の 永遠に —
H2063 H6440 H5971 H3478 H5414 H2233 H0085

אֹהַבְךָ לְעוֹלָם׃
— —
H0157 H5769

われわれの神よ、あなたはこの国の民をあなたの民イスラエルの前から追い払って、あなたの友アブラハムの子孫に、これを永遠に与えられたではありませんか。

8 וַיֵּשְׁבוּ בָהּ וַיִּבְנוּ לְךָ בָהּ מִקְדָּשׁ לְשִׁמְךָ
そして–住み そこに そして–建てた あなたの–ために そこに 聖所を あなたの–御名の–ために
H3427 H1129 H0000 H4720 H8034

לֵאמֹר׃
言って
H0559

彼らはここに住み、あなたの名のためにここに聖所を建てて言いました、

9 אִם־ תָּבוֹא עָלֵינוּ רָעָה חֶרֶב שְׁפוֹט דֶּבֶר וְרָעָב נַעֲמֹד לִפְנֵי
もし 来るなら 私たちの–上に 災いが 剣も 裁きも 疫病も 飢饉も この
H0935 H5921 H7451 H2719 H8196 H1698 H7458 H6440

הַבַּיִת הַזֶּה וְנִזְעַק אֵלֶיךָ מִצָּרָתֵנוּ וְתִשְׁמַע וְתוֹשִׁיעַ׃
家の 前に この 家に–あるから そして–叫ぶ あなたに 私たちの–苦難の–中から あなたは–聞き 救ってくださる
H1004 H6440 H2088 H2199 H0413 H6869 H8085 H3467

『つるぎ、審判、疫病、ききんなどの災がわれわれに臨む時、われわれはこの宮の前に立って、あなたの前におり、その悩みの中であなたに呼ばわります。すると、あなたは聞いて助けられます。あなたの名はこの宮にあるからです』と。

10 וְעַתָּה הִנֵּה בְנֵי־ עַמּוֹן וּמוֹאָב וְהַר־ שֵׂעִיר
今 見よ アンモンの–子らと モアブと セイルの–山の–者たちは あなたが 許さなかった
H6258 H2009 H1121 H5983 H4124 H2022 H8299

אֲשֶׁר לֹא־ נָתַתָּה לְיִשְׂרָאֵל בְּבֹאָם מֵאֶרֶץ מִצְרַיִם כִּי סָרוּ
イスラエルが 通ることを 彼らの–中を 来た–とき エジプトの 地から まことに 避けて
H3478 H5414 H3808 H0935 H4714 H0776

מֵעֲלֵיהֶם וְלֹא הִשְׁמִידוּם׃
— — — —
H5493 H3808 H8045

今アンモン、モアブ、およびセイル山の人々をごらんなさい。昔イスラエルがエジプトの国から出てきた時、あなたはイスラエルに彼らを侵すことをゆるされなかったので、イスラエルは彼らを離れて、滅ぼしませんでした。

11 וְהִנֵּה־ הֵם גֹּמְלִים עָלֵינוּ לָבוֹא לְגָרְשֵׁנוּ מִירֻשָּׁתְךָ
今 見よ 彼らは 報いている 私たちに 来て 追い出そうと–している あなたの–所有地から
H2009 H1992 H1580 H5921 H0935 H1644 H3423

אֲשֶׁר הוֹרַשְׁתָּנוּ׃
あなたが 与えてくださった
H3423

彼らがわれわれに報いるところをごらんください。彼らは来て、あなたがわれわれに賜わったあなたの領地からわれわれを追い払おうとしています。

12

כֹּחַ	בָּנוּ	אֵין	כִּי	בָּם	תִּשְׁפְּטֵ֗	הֲלֹא	אֱלֹהֵינוּ	
大きな	この	力が	私たちには-ない	なぜなら	彼らを	裁いて-くださらないのか	私たちの-神よ	
		H0369			H8199	H3808	H0430	

מָה־	נֵּדַע	לָּא	וַאֲנַחְנוּ	עָלֵינוּ	הַבָּא	הַזֶּה	הָרָב	הֶהָמוֹן	לִפְנֵי
あなたに	ただ	すべきか	何を	わからない	私たちは	私たちに-対して	来ている	前に	群衆の
H4100	H3045	H3808	H0587		H0935	H2088			H6440

עֵינֵינוּ׃	עָלֶיךָ	כִּי	נַעֲשֶׂה
—	—	向いている	私たちの-目が

われわれの神よ、あなたは彼らをさばかれないのですか。われわれはこのように攻めて来る大軍に当る力がなく、またいかになすべきかを知りません。ただ、あなたを仰ぎ望むのみです」。

13

פ	וּבְנֵיהֶם׃	נְשֵׁיהֶם	טַפָּם	גַּם־	יְהוָה	לִפְנֵי	עֹמְדִים	יְהוּדָה	וְכָל־
—	—	子供たちも	妻たちも	幼子も	また	主の-前に	立っていた	ユダが	そして-全
		H0802	H2945	H1571	H3068	H6440	H5975	H3063	H3605

ユダの人々はその幼な子、その妻、および子供たちと共に皆主の前に立っていた。

14

יְעִיאֵל	בֶּן־	בְּנָיָה	בֶּן־	זְכַרְיָהוּ	בֶּן־	וַיַּחֲזִיאֵל		
アサフの	レビ人で	マタヌヤの-子	エイエルの-子	ベナヤの-子	ゼカリヤの-子	すると-ヤハジエル		
H3273		H1141				H3166		

בְּתוֹךְ	יְהוָה	רוּחַ	עָלָיו	הָיְתָה	אָסָף	בְּנֵי	מִן־	הַלֵּוִי	מַתַּנְיָה
—	—	—	—	—	中で	会衆の	その-上に	臨んだ	主の-霊が
H8432	H3068	H7307		H1961	H0623			H3881	H4983

בֶּן־	הַקָּהָל׃	
子孫の-者に	—	
	H6951	

その時主の霊が会衆の中でアサフの子孫であるレビびとヤハジエルに臨んだ。ヤハジエルはゼカリヤの子、ゼカリヤはベナヤの子、ベナヤはエイエルの子、エイエルはマッタニヤの子である。

15

וְהַמֶּלֶךְ	יְרוּשָׁלִַם	וְיֹשְׁבֵי	יְהוּדָה	כָּל־	הַקְשִׁיבוּ	וַיֹּאמֶר		
ヨシャファト-王よ	そして	エルサレムの-住民よ	ユダよ	全	聞きなさい	そして-言った		
H4428	H3389	H3427	H3063	H3605	H7181	H0559		

תִּירְאוּ	אַל־	אַתֶּם	לָכֶם	יְהוָה	אָמַר	כֹּה־	יְהוֹשָׁפָט	
大きな	この	おののくな	恐れるな	あなたがたは	あなたがたに	言われる	主は-こう	
H3372	H0408			H3068	H0559	H3541	H3092	

כִּי	הַזֶּה	הָרָב	הֶהָמוֹן	מִפְּנֵי	תֵּחַתּוּ	וְאַל־		
—	—	神の-ものだからである	戦いは	あなたがたの-ものではなく	なぜなら	群衆の-ゆえに		
	H2088			H6440	H2865	H0408		

לֵאלֹהִים׃	כִּי	הַמִּלְחָמָה	לָכֶם	לֹא	
—	—	—	—	—	
H0430		H4421		H3808	

ヤハジエルは言った、「ユダの人々、エルサレムの住民、およびヨシャパテ王よ、聞きなさい。主はあなたがたにこう仰せられる、『この大軍のために恐れてはならない。おののいてはならない。これはあなたがたの戦いではなく、主の戦いだからである。

16

בְּמַעֲלֵה	עֲלִים	הִנָּם	עֲלֵיהֶם	רְדוּ	מָחָר
ツィツの-坂を	上って-来る	見よ-彼らは	彼らに-向かって	下って-行け	明日
H4608	H5927	H2009		H3381	H4279

יְרוּאֵל׃	מִדְבָּר	פְּנֵי	הַגַּחַל	בְּסוֹף	אֹתָם	וּמְצָאתֶם	תִּצְיִן
—	前で	荒野の	エルエルの	端で	谷の	彼らを	あなたがたは-見つける
H3385		H6440		H5490	H0853	H4672	H6732

あす、彼らの所へ攻め下りなさい。見よ、彼らはツィツの坂から上って来る。あなたがたはエルエルの野の東、谷の端でこれに会うであろう。

17

אֶת־	וּרְאוּ	עִמְדוּ	הִתְיַצְּבוּ	בָּזֹאת	לְהִלָּחֶם	לָכֶם	לֹא
救いを	主の	見よ	じっと-して	しっかり-立ち	これにおいて	戦う-必要は-ない	あなたがたは
H0853	H7200	H5975	H3320	H2063			H3808

וְאַל־	תִּירְאוּ	אַל־	וְירוּשָׁלַ֙ם	יְהוּדָה	עִמָּכֶם	יְהוָה	יְשׁוּעַת
彼らに-向かって	出て-行け	明日	おののくな	恐れるな	エルサレムよ	ユダよ	あなたがたと-共に
H0408	H3372	H0408	H3389	H3063		H3068	H3444

עִמָּכֶם׃	יְהוָה	לִפְנֵיהֶם	צְאוּ	מָחָר		תֵּחַתּוּ
—	—	—	—	あなたがたと-共に-おられる		主が
	H3068	H6440	H3318	H4279		H2865

この戦いには、あなたがたは戦うに及ばない。ユダおよびエルサレムよ、あなたがたは進み出て立ち、あなたがたと共におられる主の勝利を見なさい。恐れてはならない。おののいてはならない。あす、彼らの所に攻めて行きなさい。主はあなたがたと共におられるからである』」。

18

וְיֹשְׁבֵי	יְהוּדָה	וְכָל־	אָרְצָה	אַפַּיִם	יְהוֹשָׁפָט	וַיִּכֹּד
エルサレムの-住民は	ユダと	全	地に-つけて	顔を	ヨシャファトは	そして-ひれ伏した
H3427	H3063	H3605	H0776	H0639	H3092	H6915

לַיהוָה׃	לְהִשְׁתַּחֲוֹת	יְהוָה	לִפְנֵי	נָפְלוּ	יְרוּשָׁלַ֙ם
—	—	主に	礼拝するために	主の-前に	ひれ伏した
H3068	H7812	H3068	H6440	H5307	H3389

ヨシャパテは地にひれ伏した。ユダの人々およびエルサレムの民も主の前に伏して、主を拝した。

19

בְּנֵי	וּמִן־	הַקָּהָתִים	בְּנֵי	מִן־	הַלְוִיִּם	וַיָּקֻמוּ
賛美するために	子孫から	コラ人の	子孫と	ケハテ人の	レビ人たちが	そして-立ち上がった
		H6956			H3881	

לְמַעְלָה׃	גָּדוֹל	בְּקוֹל	יִשְׂרָאֵל	אֱלֹהֵי	לַיהוָה	לְהַלֵּל	הַקְּרָחִים
—	—	—	高らかに	声で	大きな	イスラエルの-神を	主を
H4605			H3478	H0430	H3068		H7145

その時コハテびとの子孫、およびコラびとの子孫であるレビびとが立ち上がり、大声をあげてイスラエルの神、主をさんびした。

20

עָמַד	וּבְצֵאתָם	תְּקוֹעַ	לְמִדְבַּר	וַיֵּצְאוּ	בַּבֹּקֶר	וַיַּשְׁכִּימוּ
ヨシャファトは	立って	出発する-とき	荒野へ	テコアの	出発した	そして-朝-早く-起き
H5975	H3318	H8620		H3318	H1242	H7925

הַאֲמִינוּ	יְרוּשָׁלַ֙ם	וְשִׁבְי	יְהוּדָה	שְׁמָעוּנִי	וַיֹּאמֶר	יְהוֹשָׁפָט
あなたがたの-神を	主を	信じなさい	エルサレムの-住民よ	ユダよ	聞きなさい	言った
H0539	H3389	H3427	H3063	H8085	H0559	H3092

וְהַצְלִיחוּ׃	בִּנְבִיאָיו	הַאֲמִינוּ	וְתַאֲמִנוּ	אֱלֹהֵיכֶם	בַּיהוָה
—	—	そうすれば-成功する	その-預言者たちを	信じなさい	そうすれば-堅く-立つ
	H5030	H0539	H0539	H0430	H3068

彼らは朝早く起きてテコアの野に出て行った。その出て行くとき、ヨシャパテは立って言った、「ユダの人々およびエルサレムの民よ、わたしに聞きなさい。あなたがたの神、主を信じなさい。そうすればあなたがたは堅く立つことができる。主の預言者を信じなさい。そうすればあなたがたは成功するでしょう」。

21 וַיִּוָּעֵץ אֶל־הָעָם וַיַּעֲמֵד מְשֹׁרְרִים לַיהוָה
そして–相談して 民に 立てた 歌い手たちを 主に–向かって 賛美する–者たちを
H3289 H0413 H5975 H7891 H3068

מְהֻלָּלִים לְהַדְרַת־קֹדֶשׁ בְּצֵאת הֶחָלוּץ לְפְנֵי הַמַּחֲנֶה וְאֹמְרִים כִּי לְעוֹלָם חַסְדּוֹ׃
聖なる–飾りを–もって 武装した–者の–前に 出て–行って 言った 主に 感謝せよ まことに 永遠に
H1927 H6944 H3318 H2428 H3034

לַיהוָה כִּי לְעוֹלָם חַסְדּוֹ׃
その–恵みは–続く — — —
H3068 H5769

彼はまた民と相談して人々を任命し、聖なる飾りを着けて軍勢の前に進ませ、主に向かって歌をうたい、かつさんびさせ、「主に感謝せよ、そのいつくしみはとこしえに絶えることがない」と言わせた。

22 וּבְעֵת הֵחֵלּוּ בְרִנָּה וּתְהִלָּה נָתַן יְהוָה מְאָרְבִים לִבְנֵי עַמּוֹן מוֹאָב וְהַר־שֵׂעִיר הַבָּאִים לִיהוּדָה וַיִּנָּגְפוּ׃
そして–彼らが 歌い始めた–とき 賛美を 主は 伏兵を–置かれた アンモンの–子らと モアブと — — — 来ていた ユダに–向かって そして–打ち破られた
H6256 H7440 H8416 H5414 H3068 H4124 H0935 H2022 H5983 H5062

וַיַּעַמְדוּ בְנֵי עַמּוֹן מוֹאָב עַל־יוֹשְׁבֵי הַר־שֵׂעִיר לְהַחֲרִים וּלְהַשְׁמִיד וּכְכַלּוֹתָם
そして–立ち上がった アンモンの–子らと モアブは セイル山の 住民に–対して 滅ぼし尽くし 助けて 互いに 滅ぼし終えると
H5975 H5983 H4124 H5921 H3427 H3615 H8045

עָזַרוּ אִישׁ־בְּרֵעֵהוּ לְמַשְׁחִית׃
絶やすために セイルの–者たちを 滅ぼし合った — — —
H2022 H7453 H4889

23 そして彼らが歌をうたい、さんびし始めた時、主は伏兵を設け、かのユダに攻めてきたアンモン、モアブ、セイル山の人々に向かわせられたので、彼らは打ち敗られた。

すなわちアンモンとモアブの人々は立ち上がって、セイル山の民に敵し、彼らを殺して全く滅ぼしたが、セイルの民を殺し尽すに及んで、彼らもおのおの互に助けて滅ぼしあった。

24 וְיְהוּדָה בָּא עַל־הַמִּצְפֶּה לַמִּדְבָּר וַיִּפְנוּ אֶל־הֶהָמוֹן וְהִנָּם פְּגָרִים נֹפְלִים אָרְצָה וְאֵין פְּלֵיטָה׃
ユダが 来た–とき 荒野の 見晴らし所に 見渡すと 群衆の–方を 見よ 死体が 倒れていた 地に 逃れた–者は いなかった — —
H3063 H0935 H5921 H4707 H6437 H0413 H1993 H6297 H5307 H0776 H0369 H6413

ユダの人々は野の物見やぐらへ行って、かの群衆を見たが、地に倒れた死体だけであって、ひとりものがれた者はなかった。

25

וַיִּמְצְאוּ֙	שְׁלָלָ֔ם	אֶת־	לָבָ֖ז	וְעַמּ֑וֹ	יְהוֹשָׁפָ֣ט	וַיָּבֹ֗א	
彼らの–中に	そして–見つけた	戦利品を	分捕る–ために	その–民が	ヨシャファトと	そして–来た	
H4672	H7998	H0853	H0962		H3092	H0935	

לְאֵין	לָהֶם	וַיְנַצְּלוּ֙	חֲמֻד֔וֹת	וּכְלֵ֣י	וּפְנִינִ֔ים	וּרְכוּשׁ	לָר֖ב	בָּהֶ֑ם
三	運びきれない–ほど	彼らの–ために	そして–はぎ取った	品々を	宝の	死体と	財産と	豊かに
H0369		H5337		H3627	H6297	H7399	H7230	

רַב־	כִּ֥י	הַשָּׁלָ֖ל	אֶת־	בִּזִּ֑ים	שִׁלּ֣וֹשָׁה	יָמִ֔ים	וַיְהִ֖י	מַשָּׂ֥א
—	—	—	—	多かった–からである	まことに	それを	分捕り物を–集めた	日間
		H7998	H0853	H0962	H7969	H3117	H1961	

הֽוּא׃
—
H1931

それでヨシャパテとその民は彼らの物を奪うために来て見ると、多数の家畜、財宝、衣服および宝石などおびただしくあったので、おのおのそれをはぎ取ったが、運びきれないほどたくさんで、かすめ取るに三日もかかった。それほど物が多かったのである。

26

אֶת־	בֵּרָכָ֥ו	שָׁ֛ם	כִּי־	בֵּרָכָ֖ה	לְעֵ֣מֶק	נְקֻהָ֑לוֹ	הָרְבִיעִ֔י	וּבַיּ֖וֹם	
場所の	その	名づけた	それゆえ	主を–ほめたたえた	そこで	ベラカの–谷に	集まった	四日目に	
H0853	H1288	H8033		H1294	H6010	H6950	H7243	H3117	

הַיּ֥וֹם׃	עַד־	בְּרָכָ֖ה	עֵ֣מֶק	הַהֽוּא	הַמָּקוֹם֙	שָׁ֔ם	אֶת־	קָרְא֥וּ	כֵּ֛ן	עַל־	יְהוָ֑ה
—	—	—	—	—	—	—	—	—	今日まで	ベラカの–谷と	名を
H3117	H5704	H1294	H6010	H1931	H4725	H8034	H0853	H7121			H3068

四日目に彼らはベラカの谷に集まり、その所で主を祝福した。それでその所の名を今日までベラカの谷と呼んでいる。

27

בְּרֹאשָׁ֔ם	וְיְהוֹשָׁפָ֖ט	וִירוּשָׁלַ֑͏ִם	יְהוּדָ֣ה	אִ֤ישׁ	כָּל־	וַיָּשֻׁ֗בוּ	
帰るために	先頭に	ヨシャファトを	エルサレムが	人々と	ユダの–すべての	そして–帰った	
	H3092	H3389	H3063	H0376	H3605	H7725	

מֵאוֹיְבֵיהֶֽם׃	יְהוָ֖ה	שִׂמְחָ֣ם	כִּי־	בְּשִׂמְחָ֔ה	יְרוּשָׁלִַ֑͏ִם	אֶל־	לָשׁ֖וּב
—	—	—	敵から	喜ばせてくださったから	主が	喜びを–もって	エルサレムに
H0341	H3068	H8055		H8057	H3389	H0413	H7725

そしてユダとエルサレムの人々は皆ヨシャパテを先に立て、喜んでエルサレムに帰ってきた。主が彼らにその敵のことによって喜びを与えられたからである。

28

יְהוָֽה׃	בֵּ֣ית	אֶל־	וּבַחֲצֹצְר֔וֹת	וּבִכְנֹרוֹת֙	בִּנְבָלִ֔ים	יְרוּשָׁלִַ֑͏ִם	וַיָּבֹ֣אוּ
—	家に	主の	ラッパを–もって	竪琴と	琴と	エルサレムに	そして–入った
H3068		H0413	H2689	H3658		H3389	H0935

すなわち彼らは立琴、琴およびラッパをもってエルサレムの主の宮に来た。

29

בְּשָׁמְעָ֗ם	הָאֲרָצ֔וֹת	מַמְלְכ֣וֹת	כָּל־	עַ֚ל	אֱלֹהִ֣ים	פַּ֣חַד	וַיְהִ֤י	
戦われたと	主が	聞いた–とき	王国の–上に	地の	すべての	神への–畏れが	そして–あった	
H8085	H0776	H4467	H3605		H0430	H6343	H1961	

יִשְׂרָאֵֽל׃	אוֹיְבֵ֖י	עִם	יְהוָ֑ה	נִלְחָ֣ם	כִּ֥י	
—	—	—	—	敵と	イスラエルの	
H3478	H0341		H3068			

そしてもろもろの国の民は主がイスラエルの敵と戦われたことを聞いて神を恐れた。

30 וַתִּשְׁקֹט מַלְכוּת יְהוֹשָׁפָט וַיָּנַח לוֹ אֱלֹהָיו מִסָּבִיב׃
こうして–静まった ヨシャファトの 王国は こうして–休みを–与えた 彼に その–神が 四方から
H8252 H4438 H3092 H5117 H0430 H5439

פ
—

こうして神が四方に安息を賜わったので、ヨシャパテの国は穏やかであった。

31 וַיִּמְלֹךְ יְהוֹשָׁפָט עַל־יְהוּדָה בֶּן־שְׁלֹשִׁים שָׁנָה וְחָמֵשׁ שָׁנִים בְּמָלְכוֹ
こうして–治めた ヨシャファトは ユダを 三十 歳の–とき 五 二十 五
H3092 H3063 H7970 H8141 H2568

וְעֶשְׂרִים שָׁנָה וְחָמֵשׁ שָׁנִים מָלַךְ בִּירוּשָׁלִַם וְשֵׁם אִמּוֹ עֲזוּבָה בַּת־שִׁלְחִי׃
年間 治めた エルサレムで 彼の–母の 名は アズバ シルヒの–娘で–あった — —
H6242 H2568 H8141 H3389 H8034 H0517 H1323 H5806

H7977

このようにヨシャパテはユダを治めた。彼は三十五歳の時、王となり、二十五年の間エルサレムで世を治めた。彼の母の名はアズバといってシルヒの娘である。

32 וַיֵּלֶךְ בְּדֶרֶךְ אָבִיו אָסָא וְלֹא־סָר מִמֶּנָּה לַעֲשׂוֹת הַיָּשָׁר בְּעֵינֵי
そして–歩んだ 父 アサの 道に そこから そらさず 行った 正しい–ことを 主の 目に
H3212 H1870 H0001 H0609 H3808 H5493 H4399 H3477

יְהוָה׃
—
H3068

ヨシャパテは父アサの道を歩んでそれを離れず、主の目に正しいと見られることを行った。

33 אַךְ הַבָּמוֹת לֹא־סָרוּ וְעוֹד הָעָם לֹא־הֵכִינוּ לִבָּם לֵאלֹהֵי אֲבֹתֵיהֶם׃
しかし 高き所は 取り除かれなかった なおも 民は 備えていなかった 心を 先祖たちの 神に
H0389 H1116 H3808 H5493 H5750 H3808 H3824

— —
H0001 H0430

しかし高き所は除かず、また民はその先祖の神に心を傾けなかった。

34 וְיֶתֶר דִּבְרֵי יְהוֹשָׁפָט הָרִאשֹׁנִים וְהָאַחֲרֹנִים הִנָּם כְּתוּבִים
ヨシャファトの 残りの–事績は 初めから 終わりまで 見よ 記されている エフーの
H1697 H3092 H7223 H0314 H2009 H3789

בְּדִבְרֵי יֵהוּא בֶן־חֲנָנִי אֲשֶׁר הֹעֲלָה עַל־סֵפֶר מַלְכֵי יִשְׂרָאֵל׃
ハナニの–子の 言葉に 載せられて イスラエルの 王たちの 書に — — —
H1697 H3058 H0995 H2607 H0834 H5927 H0005 H4428 H3478

ヨシャパテのその他の始終の行為は、ハナニの子エヒウの書にしるされ、イスラエルの列王の書に載せられてある。

35 וְאַחֲרֵי כֵן אִתְחַבַּר יְהוֹשָׁפָט מֶלֶךְ־יְהוּדָה עִם אֲחַזְיָה הוּא הִרְשִׁיעַ לַעֲשׂוֹת׃
その–後 ヨシャファト ユダの–王は アハズヤと 彼は イスラエルの–王
H0310 H3092 H4428 H3063 H0274 H5753

— — —
H7561 H1931 H3478

悪を–行った 者で–あった
H4428

この後ユダの王ヨシャパテはイスラエルの王アハジヤと相結んだ。アハジヤは悪を行った。

אֳנִיּוֹת	וַיַּעֲשׂוּ	תַּרְשִׁישׁ	לָלֶכֶת	אֳנִיּוֹת	לַעֲשׂוֹת	עִמּוֹ	וַיִּתְחַבְּרֵהוּ	36
船を	そして–造った	タルシシュへ	行くために	船を	造った	彼と	そして–同盟して	
H0591		H8659	H3212	H0591			H2266	

גָּבֶר׃בְּעֶצְיֹן
エツヨン・ゲベルで
H6100

ヨシャパテはタルシシへ行く船を造るためにアハジヤと相結び、エジオン・ゲベルで一緒に船数隻を造った。

עַל־	מְמָרְשָׁה	דֹּדָוָהוּ	בֶּן־	אֱלִיעֶזֶר	וַיִּתְנַבֵּא	37
言って	ヨシャファトに–対して	マレシャの–人が	ドダワフの–子	エリエゼルが	そして–預言した	
	H4762	H1735		H0461	H5012	

אֶת־	יְהוָה	פָּרַץ	אֲחַזְיָהוּ	עִם־	כִּי־הִתְחַבַּרְךָ	לֵאמֹר	יְהוֹשָׁפָט
船は	そして–壊れた	あなたの–わざを	砕かれた	主は	アハズヤフと	同盟した–ので	あなたが
H0853	H3068	H6555	H0274		H2266	H0559	H3092

תַּרְשִׁישׁ׃	אֶל־	לָלֶכֶת	עָצְרוּ	וְלֹא	אֳנִיּוֹת	וַיִּשָּׁבְרוּ	מַעֲשֵׂיךָ
—	—	—	—	—	タルシシュへ	できなかった	行くことが
H8659	H0413	H3212	H6113	H3808	H0591	H7665	H4639

その時マレシャのドダワの子エリエゼルはヨシャパテに向かって預言し、「あなたはアハジヤと相結んだので、主はあなたの造った物をこわされます」と言ったが、その船は難破して、タルシシへ行くことができなかった。

Chapter 21

עִם־	וַיִּקָּבֶר	אֲבֹתָיו	עִם־	יְהוֹשָׁפָט	וַיִּשְׁכַּב	1
ダビデの	先祖たちと–共に	そして–葬られた	先祖たちと–共に	ヨシャファトは	そして–横たわった	
	H6912	H0001		H3092	H7901	

תַּחְתָּיו׃	בְּנוֹ	יְהוֹרָם	וַיִּמְלֹךְ	דָּוִיד	בְּעִיר	אֲבֹתָיו
—	—	彼に–代わって	彼の–息子が	ヨラムが	そして–王となった	町に
H8478		H3088		H1732		H0001

ヨシャパテは先祖たちと共に眠り、先祖たちと共にダビデの町に葬られ、その子ヨラムが代って王となった。

וַעֲזַרְיָהוּ	וּזְכַרְיָהוּ	וְיִחִיאֵל	עֲזַרְיָה	יְהוֹשָׁפָט	בְּנֵי	אַחִים	וְלוֹ־	2
ミカエル	アザルヤフ	ゼカリヤ	エヒエル	アザルヤ	ヨシャファトの–子ら	兄弟たちが–いた	彼には	
H5838		H3171	H5838	H3092		H0251		

יִשְׂרָאֵל׃	מֶלֶךְ־	יְהוֹשָׁפָט	בְּנֵי	אֱלֹהִי	כָּל־	וּשְׁפַטְיָהוּ	וּמִיכָאֵל
—	—	—	王の	イスラエルの	ヨシャファトの–子ら	これらは–みな	シェファテヤフ
H3478	H4428	H3092		H0428	H3605	H8203	H4317

ヨシャパテの子であるその兄弟たちはアザリヤ、エヒエル、ゼカリヤ、アザリヤ、ミカエルおよびシパテヤで、皆ユダの王ヨシャパテの子たちであった。

עִם־	וּלְמִגְדָּנוֹת	וּלְזָהָב	לְכֶסֶף	רַבּוֹת	מַתָּנוֹת	אֲבִיהֶם	וְלָהֶם	וַיִּתֵּן	3
城壁の–ある	貴重品を	金と	銀と	多くの	贈り物を	父は	彼らに	そして–与えた	
	H4030	H2091	H3701		H4979	H0001	H1992	H5414	

הוּא	כִּי־	לִיהוֹרָם	נָתַן	הַמַּמְלָכָה	וְאֶת־	בִּיהוּדָה	מִצֹּרוֹת	עָרֵי	
—	長子で–あったから	彼が	ヨラムに	与えた	王国は	しかし	ユダの	町々と–共に	
H1931		H3088	H5414	H4467	H0853	H3063	H4694		

הַבְּכוֹר׃	פ	
—	—	
H1060		

その父は彼らに金、銀、宝物の賜物を多く与え、またユダの要害の町々を与えたが、ヨラムは長子なので、国はヨラムに与えた。

4 וַיָּקָם יְהוֹרָם עַל־ מַמְלֶכֶת אָבִיו וַיִּתְחַזֵּק וַיַּהֲרֹג אֶת־ כָּל־ אֶחָיו בֶּחָרֶב וְגַם מִשָּׂרֵי יִשְׂרָאֵל׃
そして-立った ヨラムは 父の 王国の-上に 強くなって 殺した すべての 兄弟たちを 剣で
H3478 H8269 H1571 H2719 H0251
H3605 H0853 H2026 H2388 H0001 H4467 H3088

ヨラムはその父の位に登って強くなった時、その兄弟たちをことごとくつるぎにかけて殺し、またユダのつかさたち数人を殺した。

5 בֶּן־ שְׁלֹשִׁים שָׁנָה יוֹרָם בְּמָלְכוֹ וּשְׁמוֹנֶה שָׁנִים מָלַךְ בִּירוּשָׁלָ͏ִם׃
三十 二 歳の-とき ヨラムは 王と-なり 八 年間 治めた エルサレムで
H3389
H7970 H8147 H8141 H3088 H8083 H8141

ヨラムは位についた時三十二歳で、エルサレムで八年の間世を治めた。

6 וַיֵּלֶךְ בְּדֶרֶךְ מַלְכֵי יִשְׂרָאֵל כַּאֲשֶׁר עָשׂוּ בֵּית אַחְאָב כִּי בַת־ אַחְאָב הָיְתָה לוֹ אִשָּׁה וַיַּעַשׂ הָרַע בְּעֵינֵי יְהוָה׃
そして-歩んだ イスラエルの 王たちの-道に アハブの 行った-ように 家が 娘が 彼の 妻で-あったから そして-行った 悪を 主の 目に
H1870 H4428 H3478 H0256 H1961 H0802 H3068
H3212 H0256 H6213 H1323 H0251

彼はアハブの家がしたようにイスラエルの王たちの道に歩んだ。アハブの娘を妻としたからである。このように彼は主の目の前に悪をおこなったが、

7 וְלֹא־ אָבָה יְהוָה לְהַשְׁחִית אֶת־ בֵּית דָּוִיד לְמַעַן הַבְּרִית אֲשֶׁר כָּרַת לְדָוִיד וְכַאֲשֶׁר אָמַר לָתֵת לוֹ נִיר וּלְבָנָיו כָּל־ הַיָּמִים׃
しかし 主は 滅ぼそうとは-しなかった ダビデの 家を 契約の-ゆえに 結んだ ダビデと
H3808 H0014 H3068 H7843 H0853 H1732 H4616
言われた-とおり 与えると 彼に 灯を 彼の-子らに いつまでも — — — 彼の
H1285 H3772 H1732 H0559 H5414 H3117 H3605

主はさきにダビデと結ばれた契約のゆえに、また彼とその子孫とにながく、ともしびを与えると約束されたことによって、ダビデの家を滅ぼすことを好まれなかった。

8 בְּיָמָיו פָּשַׁע אֱדוֹם מִתַּחַת יַד־ יְהוּדָה וַיַּמְלִיכוּ עֲלֵיהֶם מֶלֶךְ׃
彼の-時代に 反逆した エドムは ユダの 支配から-離れ そして-立てた 自分たちの-上に 王を
H3117 H6586 H0123 H8478 H3027 H3063
H4428

ヨラムの世にエドムがそむいて、ユダの支配を脱し、みずから王を立てたので、

9 וַיָּקָם֙ יְהוֹרָ֔ם עִם־כָּל־שָׂרָ֖יו וְכָל־הָרֶ֣כֶב עִמּ֑וֹ וַיְהִי֙ הוּא־קָ֣ם לָ֔יְלָה וַיַּכֶּ֣ה אֶת־אֱד֔וֹם הַסֹּבֵ֥ב אֵלָ֖יו וְאֶת־שָׂרֵ֥י הָרָֽכֶב׃

夜に–起きて	そして–あった	彼と–共に	戦車も	すべての	家臣たちと–共に	ヨラムは	そこで–渡った		
H1961		H7393	H3605	H8269		H3088			

13 וַתֵּלֶךְ בְּדֶרֶךְ מַלְכֵי יִשְׂרָאֵל וַתַּזֶּנֶה יְהוּדָה וְאֶת־יוֹשְׁבֵי יְרוּשָׁלִַם כְּהַזְנוֹת בֵּית אַחְאָב וְאֶת־אַחֶיךָ בֵּית־אָבִיךָ הַטּוֹבִים מִמְּךָ הָרָגְתָּ׃

しかし–歩んだ 王たちの–道に イスラエルの そして–淫行させた ユダと 住民を
H1870 H4428 H3478 H2181 H3063
エルサレムの
H0853
また 淫行させた–ように アハブの–家が
H3389 H3427 H0853
あなたより 父の–家の あなたの–兄弟たちを
H0256 H2181
善い–者たちを 殺した あなたの–兄弟たちを 父の–家を
H1571 H0853 H0251 H0001
—
H2026

イスラエルの王たちの道に歩み、ユダとエルサレムの民に、かのアハブの家がイスラエルに姦淫を行わせたように、姦淫を行わせ、またあなたの父の家の者で、あなたにまさっているあなたの兄弟たちを殺したゆえ、

14 הִנֵּה יְהוָה נֹגֵף מַגֵּפָה גְּדוֹלָה בְּעַמֶּךָ וּבְבָנֶיךָ וּבְכָל־רְכוּשֶׁךָ׃

見よ 主は 打つ 大きな–打撃で あなたの–民を あなたの–子らを あなたの–妻たちを
H2009 H3068 H5062 H4046
あなたの–すべての 財産を
H0802 H3605
—
H7399

主は大いなる災をもってあなたの民と子供と妻たちと、すべての所有を撃たれる。

15 וְאַתָּה בְּחֳלָיִים רַבִּים בְּמַחֲלֵה מֵעֶיךָ עַד־יֵצְאוּ מֵעֶיךָ יָמִים עַל־יָמִים מִיָּמִים׃

そして–あなたは 多くの–病にかかり はらわたの 病で ついに 出る あなたの–はらわたが
H2483 H7704 H4578 H3318
日々 日々 病の–ために
H2483 H4578
H3117 H3117
—

あなたはまた内臓の病気にかかって大病になり、それが日に日に重くなって、ついに内臓が出るようになる』」。

16 וַיָּעַר יְהוָה עַל־יְהוֹרָם אֶת רוּחַ פְּלִשְׁתִּים וְהָעַרְבִים אֲשֶׁר עַל־יַד כּוּשִׁים׃

そして–奮い立てた 主は ヨラムに–対して ペリシテ人の–霊を アラビア人と クシュ人の–隣の
H5782 H3068 H3088 H0853 H7307
—
H6430
—
H3569

その時、主はヨラムに対してエチオピヤびとの近くに住んでいるペリシテびととアラビヤびとの霊を振り起されたので、

17 וַיַּעֲלוּ בִיהוּדָה וַיִּבְקָעוּהָ וַיִּשְׁבּוּ אֶת כָּל־הָרְכוּשׁ הַנִּמְצָא לְבֵית־הַמֶּלֶךְ וְגַם בְּנֵי וְנָשָׁיו וְלֹא נִשְׁאַר־לוֹ כִּי אִם־יְהוֹאָחָז בֶּן קָטֹן בָּנָיו׃

そして–攻め上った ユダに そして–突破し そして–捕らえた すべての 財産を 見つかった
H5927 H3063 H1234 H7617 H0853 H3605 H7399
また 王の–家の 彼の–息子たちも 妻たちも 残らなかった 彼には 息子が ただ ヨアハズだけ
H1571 H4428 H4672 H0802 H3808 H7604
息子たちの–中の
—
H3059

彼らはユダに攻め上って、これを侵し、王の家にある貨財をことごとく奪い去り、またヨラムの子供と妻たちをも奪い去ったので、末の子エホアハズのほかには、ひとりも残った者がなかった。

18 וְאַחֲרֵי כָּל־זֹאת נְגָפוֹ יְהוָה בְּמֵעָיו לְחֳלִי
その-後 これら-すべての-後に 打った 主は 彼の-はらわたを 癒しがたい-病で まったく
H0310 H3605 H2063 H5062 H3068 H4578 H2483

אֵין מַרְפֵּא׃
いやしの —
H0369 H4832

このもろもろの事の後、主は彼を撃って内臓にいえがたい病気を起させられた。

19 וַיְהִי לְיָמִים מִיָּמִים וּכְעֵת ׀ צֵאת הַקֵּץ לִשְׁנֵים
そして-あった 日々の 終わりの-時に 二 年の 終わりに 出た 彼の-はらわたが
H1961 H3117 H3117 H6256 H3318 H7093 H3117 H8147

וְלֹא־ עָשׂוּ לוֹ כִּשְׂרֵפַת אֲבֹתָיו׃
焚き物の-ように — — — — 先祖たちの
H0001 H8316 H8316 H8316 H0310

וַיָּמָת בְּתַחֲלֻאָיִם רָעִים וְלֹא־ עָשׂוּ לוֹ כִּשְׂרֵפַת אֲבֹתָיו׃
行わなかった 彼の-ために 民は 焚き物を
H4191 H8463 H7451 H3808

時がたって、二年の終りになり、その内臓が病気のために出て、重い病苦によって死んだ。民は彼の先祖のために香をたいたように、彼のために香をたかなかった。

20 בֶּן־ שְׁלֹשִׁים וּשְׁתַּיִם שָׁנָה בְּמָלְכוֹ וּשְׁמוֹנֶה שָׁנִים מָלַךְ בִּירוּשָׁלִָם וַיֵּלֶךְ בְּלֹא חֶמְדָּה
三十 二 歳の-とき 王と-なり 八 年間 治めた エルサレムで そして-去った 彼の
H1121 H7970 H8147 H1961 H8083 H8141 H3389 H3212

וַיִּקְבְּרֻהוּ בְּעִיר דָּוִיד וְלֹא בְקִבְרוֹת הַמְּלָכִים׃
しかし 町に ダビデの 墓には-なかった —
H6912 H1732 H3808 H6913

ヨラムはその位についた時三十二歳で、八年の間エルサレムで世を治め、ついに死んだ。ひとりも彼を惜しむ者がなかった。人々は彼をダビデの町に葬ったが、王たちの墓にではなかった。

Chapter 22

1 וַיַּמְלִיכוּ ׀ יוֹשְׁבֵי יְרוּשָׁלִַם אֶת־ אֲחַזְיָהוּ בְנוֹ הַקָּטֹן תַּחְתָּיו כִּי כָל־ הָרִאשֹׁנִים הָמִית
そして-王とした エルサレムの-住民は 末の-息子を 彼の アハズヤフを なぜなら
H0310 H3427 H0274 H0853 H3389 H6965

הַגְּדוּד הַבָּא עִם־ הָעַרְבִים לַמַּחֲנֶה וַיִּמְלֹךְ אֲחַזְיָהוּ בֶן־ יְהוֹרָם מֶלֶךְ יְהוּדָה׃ פ
陣営に 来ていた 略奪隊が 殺した 年上の-者たちを-みな こうして-王となった
H1416 H7223 H3605 H3478 H0935

アラビア人と-共に アハズヤフは ヨラムの-子 ユダの-王 — — — — —
H2026 H0274 H3088 H4428 H3063

エルサレムの民はヨラムの末の子アハジヤを彼の代りに王とした。かつてアラビヤびとと一緒に陣営に攻めてきた一隊の者が上の子たちをことごとく殺したので、ユダの王ヨラムの子アハジヤが王となったのである。

2

בֶּן־	אַרְבָּעִים	וּשְׁתַּיִם	שָׁנָה	אֲחַזְיָהוּ	בְּמָלְכוֹ	וְשָׁנָה	אַחַת	מָלַךְ
四十	二	歳の-とき	アハズヤは	王と-なり	―	年間	治めた	エルサレムで
	H0705	H8147	H8141	H0274		H8141	H0259	

בִּירוּשָׁלִָם׃	אִמּוֹ	וְשֵׁם	עָתַלְיָהוּ	בַּת־	עָמְרִי׃
彼の-母の	アタルヤ	名は	オムリの-娘で-あった	―	―
H3389	H0517	H8034	H6271	H1323	H6018

アハジヤは王となった時四十二歳で、エルサレムで一年の間世を治めた。その母はオムリの娘で名をアタリヤといった。

3

גַּם־	הוּא	הָלַךְ	בְּדַרְכֵי	בֵּית	אַחְאָב	כִּי	אִמּוֹ
また	彼も-歩んだ	アハブの-家の	道に	なぜなら	彼の-母が	勃めていたから	悪を-行うように
H1571	H1931	H1980	H1870		H0256		H0517

הָיְתָה	יוֹעַצְתּוֹ	לְהַרְשִׁיעַ׃
―	―	―
H1961	H3289	H7561

アハジヤもまたアハブの家の道に歩んだ。その母が彼の相談相手となって悪を行わせたからである。

4

וַיַּעַשׂ	הָרַע	בְּעֵינֵי	יְהוָה	כְּבֵית	אַחְאָב	כִּי־	הֵמָּה
そして-行った	悪を	主の	目に	アハブの-家の-ように	なぜなら	彼らが	助言者で-あった
			H3068		H0256		H1992

הָיוּ־	לוֹ	לְאַחֲרֵי	מוֹת	אָבִיו	לְמַשְׁחִית	לוֹ׃
父の	死の-後	彼の-滅びの-ために	―	―	―	―
H1961		H3289	H4194	H0001	H4889	

彼はまたアハブの家がしたように主の目の前に悪を行った。すなわちその父が死んだ後、アハブの家の者がその相談役となったので、彼はついに自分を滅ぼすに至った。

5

גַּם	בַּעֲצָתָם	הָלַךְ	וַיֵּלֶךְ	אֶת־	יְהוֹרָם	בֶּן־
また	彼らの-助言に-従って	歩んだ	そして-行った	ヨラムと-共に	アハブの-子	イスラエルの-王
H1571	H6098	H1980	H3212	H0854	H3088	

אַחְאָב	מֶלֶךְ	בְּרָמֹת	גִּלְעָד	וַיַּכּוּ	הָרַמִּים	אֶת־	יוֹרָם׃
戦いに	ハザエルと	アラムの-王に-対して	ラモト・ギレアデで	そして-打った	アラム人は	ヨラムを	
H0256	H4428	H3478	H4421		H2371	H4428	

אֲרָם	בְּרָמוֹת	גִּלְעָד	וַיַּכּוּ	הָרַמִּים	אֶת־	יוֹרָם׃
―	―	―	―	―	―	―
H0758	H7433	H1568	H5221	H7421	H0853	H3141

アハジヤはまた彼らの勧めに従って、イスラエルの王アハブの子ヨラムと共にラモテ・ギレアデへ行き、スリヤの王ハザエルと戦ったが、スリヤびとはヨラムに傷を負わせた。

6 וַיָּשָׁב לְהִתְרַפֵּא בְיִזְרְעֶאל כִּי הַמַּכִּים אֹתוֹ אֲשֶׁר הִכֻּהוּ בָּרָמָה בְּהִלָּחֲמוֹ אֶת־חֲזָאֵל מֶלֶךְ אֲרָם וַעֲזַרְיָהוּ בֶן־יְהוֹרָם מֶלֶךְ יְהוּדָה יָרַד לִרְאוֹת אֶת־יְהוֹרָם בֶּן־אַחְאָב בְּיִזְרְעֶאל כִּי־חֹלֶה הוּא׃

H7414 H5221 H4347 H3157 H7495 H7725 H0758 H4428 H2371 H0854 H3088 H7200 H3381 H3063 H4428 H3088 H0256 H1931 H3157

そこでヨラムはスリヤの王ハザエルと戦った時、ラマで負ったその傷をいやすためにエズレルに帰った。ユダの王ヨラムの子アハジヤはアハブの子ヨラムが病気なのでエズレルに下ってこれを見舞った。

7 וּמֵאֱלֹהִים הָיְתָה תְּבוּסַת יְהוֹרָם לְבוֹא אֶל־יוֹרָם וּבְבֹאוֹ עִם־יֵהוּא בֶן־נִמְשִׁי אֲשֶׁר מְשָׁחוֹ יְהוָה לְהַכְרִית אֶת־בֵּית אַחְאָב׃

H1961 H0430 H8395 H0274 H0935 H3141 H0413 H3068 H4886 H5250

アハジヤがヨラムを見舞に行ったことによって滅びに至ったのは神によって定められたことである。すなわち彼がそこに着いた時、ヨラムと一緒に出て、ニムシの子エヒウを迎えた。エヒウは主がアハブの家を断ち滅ぼすために油を注がれた者である。

8 וַיְהִי כְהִשָּׁפֵט יֵהוּא עִם־בֵּית אַחְאָב וַיִּמְצְאוּ שָׂרֵי יְהוּדָה וּבְנֵי אֲחֵי אֲחַזְיָהוּ מְשָׁרְתִים לַאֲחַזְיָהוּ וַיַּהַרְגֵם׃

H1961 H8199 H3058 H0256 H4672 H3063 H0251 H0274 H8334 H0274 H8269 H0853 H2026

エヒウはアハブの家を罰するにあたって、ユダのつかさたち、およびアハジヤの兄弟たちの子らがアハジヤに仕えているのを見たので、彼らをも殺した。

9 וַיְבַקֵּשׁ אֶת־אֲחַזְיָהוּ וְהוּא נִחְבָּא בְשֹׁמְרוֹן וַיְבִיאֻהוּ אֵלָיו וַיְמִיתֻהוּ וַיִּקְבְּרֻהוּ כִּי אָמְרוּ בֶן־יְהוֹשָׁפָט הוּא אֲשֶׁר־דָּרַשׁ אֶת־יְהוָה בְּכָל־לֵב וְאֵין לְבֵית אֲחַזְיָהוּ כֹּחַ לְהַחֲזִיק בַּמַּמְלָכָה׃

בְּשֹׁמְרוֹן	מִתְחַבֵּא	וְהוּא	וַיִּלְכְּדֻהוּ	אֲחַזְיָהוּ	אֶת־	וַיְבַקֵּשׁ		9
エフーの-もとに	そして-連れて-来た	サマリアに	隠れていた	彼は	アハズヤを	そして-捕らえた		
H8111	H2244	H1931	H3920	H0274	H0853	H1245		
אָמְרוּ	כִּי	וַיִּקְבְּרֻהוּ	וַיְמִתֻהוּ	יֵהוּא	אֶל־	וַיְבִאֻהוּ		
主を	求めた	彼は	ヨシャファトの-子で-ある	言ったから	そして-葬った	そして-殺した		
H0559		H6912	H4191	H3058	H0413	H0935		
בְּכָל־	יְהוָה	אֶת־	דָּרַשׁ	אֲשֶׁר־	הוּא	יְהוֹשָׁפָט	בֶּן־	
—	—	—	王国の-ための	保つ-力が	アハズヤの-家には	そして-なかった	全き-心で	
H3605	H3068	H0853	H1875		H1931	H3092		
לְהַמְלִיכָהּ׃	כֹּחַ	לַעְצֹר	אֲחַזְיָהוּ	לְבֵית	וְאֵין	לִבָּבוֹ		
—	—	—	—	—	—	—		
H4467		H6113	H0274		H0369	H3824		

アハジヤはサマリヤに隠れていたが、エヒウが彼を捜し求めたので、人々は彼を捕え、エヒウのもとに引いてきて、彼を殺した。ただし「彼は心をつくして主を求めたヨシャパテの子である」と人々は言ったのでこれを葬った。こうしてアハジヤの家には国を統べ治めうる者がなくなった。

10 וַעֲתַלְיָהוּ אֵם אֲחַזְיָהוּ כִּי רָאֲתָה אֶת־מוֹת בְּנָהּ וַתָּקָם וַתְּאַבֵּד אֶת־כָּל־זֶרַע הַמַּמְלָכָה לְבֵית יְהוּדָה׃

וַעֲתַלְיָהוּ	אֵם	אֲחַזְיָהוּ	רָאֲתָה	כִּי	מוֹת	בְּנָהּ	וַתָּקָם	10
アタルヤは	アハズヤの-母で	見た-とき	息子が	死んだと	立ち上がって	滅ぼした	すべての	
H6271	H0517	H0274	H7200		H4191			
וַתְּדַבֵּר	אֶת־	כָּל־	זֶרַע	הַמַּמְלָכָה	לְבֵית	יְהוּדָה׃		
王室の-子孫を	ユダの-家の	—	—	—	—	—		
H1696	H0853	H3605	H2233	H4467		H3063		

アハジヤの母アタリヤは自分の子の死んだのを見て、立ってユダの家の王子をことごとく滅ぼしたが、

11 וַתִּקַּח יְהוֹשַׁבְעַת בַּת־הַמֶּלֶךְ אֶת־יוֹאָשׁ בֶּן־אֲחַזְיָהוּ וַתִּגְנֹב אֹתוֹ מִתּוֹךְ בְּנֵי־הַמֻּמָתִים וַתִּתְּנֵהוּ וְאֶת־מֵינִקְתּוֹ בַּחֲדַר הַמִּטּוֹת וַתַּסְתִּירֵהוּ אֲחַזְיָהוּ מִפְּנֵי יְהוֹרָם בֶּן־הַכֹּהֵן יְהוֹיָדָע אֲשֶׁת יְהוֹשַׁבְעַת כִּי הִיא אֲחוֹת אֲחַזְיָהוּ וְלֹא יָכְלָה לַהֲמִיתוֹ׃

בֶּן־	יוֹאָשׁ	אֶת־	הַמֶּלֶךְ	בַּת־	יְהוֹשַׁבְעַת	וַתִּקַּח		11
彼を	そして-盗み出した	アハズヤの-子を	ヨアシュを	王の-娘が	ヨシャベアトが	しかし-取った		
H3101		H0853	H4428	H1323	H3090	H3947		
הַמֻּמָתִים	הַמֶּלֶךְ	בְּנֵי־	מִתּוֹךְ	אֹתוֹ	וַתִּגְנֹב		אֲחַזְיָהוּ	
こうして-隠した	寝室に	彼の-乳母を	彼と	そして-置いた	殺される-者たちの-中から		王の-子らの	
H4191	H4428		H8432	H0853	H1589		H0274	
יְהוֹשַׁבְעַת	וַתַּסְתִּירֵהוּ	הַמִּטּוֹת	בַּחֲדַר	מֵינִקְתּוֹ	וְאֶת־	אֹתוֹ	וַתִּתְּנֵהוּ	
姉妹で-あったので	アハズヤの	彼女は	ヨヤダの-妻が	祭司	ヨラムの	王の-娘で	ヨシャベアトが	
H3090	H5641	H4296	H2315	H3243	H0853	H0853	H5414	
אֲחַזְיָהוּ	אֲחוֹת	הָיְתָה	הִיא	כִּי	הַכֹּהֵן	יְהוֹיָדָע	אֶשֶׁת	יְהוֹרָם	הַמֶּלֶךְ	בַּת־
—	—	—	—	—	—	—	—	—	殺さなかった	アタルヤから
H0274	H0269	H1961	H1931		H3548	H3077	H0802	H3088	H4428	H1323
מִפְּנֵי	עֲתַלְיָהוּ	וְלֹא	הֲמִיתָתְהוּ׃							
—	—	—	—							
H6440	H6271	H3808	H4191							

王の娘エホシバはアハジヤの子ヨアシを王の子たちの殺される者のうちから盗み取り、彼とそのうばを寝室においた。こうしてエホシバがヨアシをアタリヤから隠したので、アタリヤはヨアシを殺さなかった。エホシバはヨラム王の娘、またアハジヤの妹で、祭司エホヤダの妻である。

12 וַיְהִי אִתָּם בְּבֵית הָאֱלֹהִים נֶחְבָּא שֵׁשׁ שָׁנִים וַעֲתַלְיָה מֹלֶכֶת עַל־הָאָרֶץ׃ פ

מֹלֶכֶת	וַעֲתַלְיָה	שָׁנִים	שֵׁשׁ	מִתְחַבֵּא	הָאֱלֹהִים	בְּבֵית	אִתָּם	וַיְהִי	12
この-地を	治めていた	アタルヤが	年間	六	隠れて	神の-家に	彼らと-共に	そして-いた	
H6271		H8141	H8337	H2244	H0430		H0854	H1961	
עַל־	הָאָרֶץ׃	פ							
—	—	—							
	H0776								

こうしてヨアシは神の宮に隠れて彼らと共におること六年、その間アタリヤが国を治めた。

Chapter 23

הַמֵּאֹות	שָׂרֵי	אֶת־	וַיִּקַּח	יְהוֹיָדָע	הִתְחַזֵּק	הַשְּׁבִעִית	וּבַשָּׁנָה	1
エロハムの-子	アザルヤを	長たちを	百人の	そして-取った	ヨヤダは	強くなった	第七の-年に	
H3967	H8269	H0853	H3947	H3077	H2388	H7637	H8141	

וְלַעֲזַרְיָהוּ	יְהוֹחָנָן	בֶּן־	וְיִשְׁמָעֵאל	יְרֹחָם	בֶּן־	לַעֲזַרְיָהוּ	
エリシャファトを	アダヤの-子	マアセヤを	オベドの-子	アザルヤを	エホハナンの-子	イシュマエルを	
H5838	H3076		H3458	H3395		H5838	

זִכְרִי	בֶּן	אֱלִישָׁפָט	וְאֶת־	עֲדָיָהוּ	בֶּן־	מַעֲשֵׂיָהוּ	וְאֶת־	עֹבֵד	בֶּן־
—	—	—	—	—	—	—	契約を-結んだ	彼らと-共に	ジクリの-子
H2147		H0478	H0853	H5718		H4641	H0853	H5744	

בַּבְּרִית׃	עִמּוֹ
—	—
H1285	

第七年になって、エホヤダは勇気をだしてエロハムの子アザリヤ、ヨハナンの子イシマエル、オベデの子アザリヤ、アダヤの子マアセヤ、ジクリの子エリシャパテなどの百人の長たちを招いて契約を結ばせた。

יְהוּדָה	עָרֵי	מִכֹּל־	הַלְוִיִּם	אֶת־	וַיִּקְבְּצוּ	בִיהוּדָה	וַיָּסֹבּוּ	2
そして	ユダの	町々から	すべての	レビ人を	そして-集めた	ユダを	そして-巡った	
H3063		H3605	H3881	H0853	H6908	H3063	H5437	

יְרוּשָׁלִָם׃	אֶל־	וַיָּבֹאוּ	לִישְׂרָאֵל	הָאָבוֹת	וְרָאשֵׁי
—	—	エルサレムに	そして-来た	父祖たちの-頭を	イスラエルの
H3389	H0413	H0935	H3478	H0001	

そこで彼らはユダを行きめぐって、ユダのすべての町からレビびとを集め、またイスラエルの氏族の長たちを集めて、エルサレムに来た。

וַיֹּאמֶר	הַמֶּלֶךְ	עִם־	הָאֱלֹהִים	בְּבֵית	בְּרִית	הַקָּהָל	כָּל־	וַיִּכְרֹת	3
見よ	彼らに	そして-言った	王と	神の-家で	契約を	会衆が	全	そして-結んだ	
H0559	H4428		H0430		H1285	H6951	H3605	H3772	

בְּנֵי	עַל־	יְהוָה	דִּבֶּר	כַּאֲשֶׁר	יְמֹלֵךְ	הַמֶּלֶךְ	בֶּן־	הִנֵּה	לָהֶם
—	—	—	—	子らに-ついて	ダビデの	言われた-とおり	主が	王となる	王の-子が
		H3068	H1696			H4428		H2009	H1992

דָּוִיד׃
—
H1732

そしてその会衆は皆神の宮で王と契約を結んだ。その時エホヤダは彼らに言った、「主がダビデの子孫のことについて言われたように、王の子が位につくべきです。

בָּאֵי	מִכֶּם	הַשַּׁלִּשִׁית	תַּעֲשׂוּ	אֲשֶׁר	הַדָּבָר		זֶה	4
レビ人の	祓司と	来る-者の	安息日に	三分の-一は	あなたがたの-なすべき-ことである		これが	
H0935		H7992			H1697		H2088	

הַסִּפִּים׃	לִשְׁעָרֵי	וְלַלְוִיִּם	לַכֹּהֲנִים	הַמִּשְׁמֶרֶת	
—	—	—	門番となる	敷居の	
	H7778	H3881	H3548	H7676	

あなたがたのなすべき事はこれです。すなわちあなたがた祭司およびレビびとの安息日にはいって来る者の、三分の一は門を守る者となり、

5	וְהַשְּׁלִשִׁית	בְּבֵית	הַמֶּלֶךְ	וְהַשְּׁלִשִׁית	בְּשַׁעַר	הַיְסוֹד	וְכָל־	הָעָם
	三分の−一は	王の−家に	三分の−一は	基の−門に	そして−すべての	民は	主の−家の	庭に
	H7992	H4428	H7992	H7992	H8179	H3247	H3605	

יְהוָה׃	בָּיִת	בְּחַצְרוֹת
—	—	—
H3068		

三分の一は王の家におり、三分の一は礎の門におり、民は皆、主の宮の庭にいなさい。

6	וְהַמְשָׁרְתִים	הַכֹּהֲנִים	אִם־	כִּי	יְהוָה	בֵּית־	יָבֹוא	וְאַל־
	聖で−あるから	入る	彼らは	仕える−者のみ	レビ人の	祝司と	主の−家に	入っては−ならない
	H8334	H3548			H3068		H0935	H0408

יְהוָה׃	מִשְׁמֶרֶת	יִשְׁמְרוּ	הָעָם	וְכָל־	הֵמָּה	קֹדֶשׁ	כִּי־	יָבֹאוּ	לַלְוִיִּם
—	—	—	—	—	—	勤めを	主の	守りなさい	そして−すべての
H3068	H4931	H8104		H3605	H1992	H6944		H0935	H3881

							הֵמָּה	לַלְוִיִּם
							民は	そして−すべての
							H1992	H3881

祭司と、勤めをするレビびとのほかは、だれも主の宮に、はいってはならない。彼らは聖なる者であるから、はいることができる。民は皆、主の命令を守らなければならない。

7	וְהִקִּיפוּ	הַלְוִיִּם	אֶת־	הַמֶּלֶךְ	סָבִיב	אִישׁ	וְכֵלָיו	בְּיָדוֹ
	そして−囲みなさい	レビ人たちは	王を	四方から	各人	その−武器を	手に−持ち	入る−者は
		H3881	H0853	H4428	H5439	H0376	H3627	H3027

וּבְצֵאתוֹ׃	בְּבֹאוֹ	הַמֶּלֶךְ	אֶת־	וְהָיוּ	יוֹמָת	הַבָּיִת	אֶל־	וְהַבָּא
—	—	—	出る−ときも	入る−ときも	王と	そして−共に−いなさい	殺される	家に
H3318	H0935	H4428	H0854	H1961	H4191		H0413	H0935

レビびとはめいめい手に武器をとって王のまわりに立たなければならない。宮にはいる者をすべて殺しなさい。あなたがたは王がはいる時にも出る時にも、王と共にいなさい」。

8	הַכֹּהֵן	יְהוֹיָדָע	צִוָּה	אֲשֶׁר־	כְּכָל	יְהוּדָה	וְכָל־	הַלְוִיִּם	וַיַּעֲשׂוּ
	そして−取った	祝司が	ヨヤダが	命じた−とおりに	すべて	ユダは	全	レビ人と	そして−行った
	H3548	H3077	H6680		H3605	H3063	H3605	H3881	

יוֹצְאֵי	עִם	הַשַּׁבָּת	בָּאֵי	אֲנָשָׁיו	אֶת־	אִישׁ	וַיִּקְחוּ
解放しなかった	なぜなら	去る−者を	安息日に	来る−者と	安息日に	その−部下たちを	各人
H3318		H7676	H0935	H0376	H0853	H0376	H3947

הַמַּחְלְקוֹת׃	אֶת־	הַכֹּהֵן	יְהוֹיָדָע	פָּטַר	לֹא	כִּי	הַשַּׁבָּת
—	—	—	—	—	組分けを	祝司は	ヨヤダは
H4256	H0853	H3548	H3077	H6362	H3808		H7676

そこでレビびとおよびユダの人々は、祭司エホヤダがすべて命じたように行い、めいめいその組の者で、安息日にはいって来るべき者と、安息日に出て行くべき者を率いていた。祭司エホヤダが組の者を去らせなかったからである。

9	וַיִּתֵּן	יְהוֹיָדָע	הַכֹּהֵן	לְשָׂרֵי	הַמֵּאוֹת	אֶת־	הַחֲנִיתִים	וְאֶת־
	そして−与えた	ヨヤダは	祝司は	百人の−長たちに	槍と	盾と	大盾を	ダビデ−王の−もので
	H5414	H3077	H3548	H8269	H3967	H0853	H2595	H0853

הָאֱלֹהִים׃	בֵּית	אֲשֶׁר	דָּוִיד	לַמֶּלֶךְ	אֲשֶׁר	הַשָּׁלִטִים	וְאֶת־	הַמְּגִנּוֹת
—	—	—	—	—	—	—	—	神の−家に−あった
H0430			H1732	H4428		H7982	H0853	H4043

また祭司エホヤダは、神の宮にあるダビデ王のやりおよび大盾、小盾を百人の長たちに渡し、

10

הַבָּיִת	מִכֶּתֶף	בֵּיתוֹ	שִׁלְחָנוֹ	וְאֲשִׁ֨ישׁ	הָעָם	כָּל־	אֶת־	וַיַּעֲמֵ֣ד
家の	右の–側から	家の	手に–持ち	武器を	各人	民を	すべての	そして–立たせた
	H3802	H3027	H7973	H0376		H3605	H0853	H5975

סָבִיב׃	הַמָּלֶךְ	עַל־	וְלַבָּיִת	לַמִּזְבֵּחַ	הַשְּׁמָאלִ֔ית	הַבַּ֖יִת	כֶּ֣תֶף	עַד־	הַיְמָנִ֑ית
—	—	—	—	—	王の–周りに	家の–そばに	そばに	祭壇の	左の–側まで
H5439	H4428			H4196	H8042		H3802	H5704	H3233

また王を守るために、すべての民にめいめい手に武器をとらせ、宮の南側から北側にわたって、祭壇と宮に沿って立たせた。

11

הַנָּזִ֖ר	אֶת־	עָלָ֑יו	וַיִּתְּנ֣וּ	הַמֶּ֔לֶךְ	בֶּן־	אֶת־	וַיּוֹצִיאוּ	
彼を	そして–王とした	御言葉を	冠と	彼の–上に	そして–置いた	王の–子を	そして–連れ出した	
H5145	H0853		H5414	H4428		H0853	H3318	

יְחִ֖י	וַיֹּאמְר֣וּ	וּבָנָ֑יו	יְהוֹיָדָ֔ע	וַיִּמְשָׁחֻ֥הוּ	אֹת֛וֹ	וַיַּמְלִ֥יכוּ	הָעֲדֻיּ֖וֹת	וְאֶת־	
—	—	—	—	王万歳	そして–言った	その–子らが	ヨヤダと	そして–油注ぎした	
H2421	H0559		H3077	H4886	H0853		H5715	H0853	

ס	הַמֶּלֶךְ׃	
—	—	
	H4428	

こうして王の子を連れ出して、これに冠をいただかせ、あかしの書を渡して王となし、エホヤダおよびその子たちが彼に油を注いだ。そして「王万歳」と言った。

12

אֶת־	וְהַמְהַלְלִ֔ים	הָרָצִ֖ים	הָעָ֑ם	קוֹל	אֶת־	עֲתַלְיָ֣הוּ	וַתִּשְׁמַ֣ע	
主の–家に	民の–もとに	そして–来た	王を–賛美する	走り	民の–声を	アタルヤは	そして–聞いた	
H0853		H7323			H0853	H6271	H8085	

יְהוָֽה׃	בֵּ֥ית	הָעָ֖ם	אֶל־	וַתָּבֹ֥וא	הַמֶּֽלֶךְ	
—	—	—	—	—	—	
H3068			H0413	H0935	H4428	

アタリヤは民の走りながら王をほめる声を聞いたので、主の宮に入り、民の所へ行って、

13

וְהַחֲצֹצְרוֹת֙	וְהַשָּׁרִ֔ים	בַּמָּבוֹא֙	עַמּוּדֹ֔ו	עַל־	עֹמֵ֖ד	הַמֶּ֑לֶךְ	וְהִנֵּ֨ה	וַתֵּ֣רֶא
王の–そばに	ラッパが	首長たちと	柱の–そばに	入口の	立っていた	王が	見よ	そして–見た
H2689	H8269	H3996	H5982		H5975	H4428	H2009	H7200

בַּחֲצֹצְרוֹת֒	וְתוֹקְעַ֣	שָׁמֵ֗חַ	הָאָ֔רֶץ	עַם֙	וְכָל־	הַמֶּ֣לֶךְ	עַל־	
楽器で	歌の	歌い手たちが	ラッパを–吹き鳴らし	喜び	民は	地の	そして–すべての	
H2689	H8628	H8056	H0776		H3605	H4428		

עֲתַלְיָ֣הוּ	וַתִּקְרַ֤ע	לְהַלֵּל֙	וּמוֹדִיעִ֔ים	הַשִּׁ֖יר	בִּכְלֵ֣י	וְהַמְשׁוֹרְרִ֑ים	
謀反だ	そして–叫んだ	衣を	自分の	アタルヤは	そこで–引き裂いた	賛美の–導きを–していた	
H6271	H7167		H3045		H3627	H7891	

ס	קֶ֣שֶׁר׃	קֶ֣שֶׁר	וַתֹּ֣אמֶר	בְּנֶ֣דֶּ֔ה	אֶת־	
—	—	—	—	—	謀反だと	
	H7195	H7195	H0559		H0853	

見ると、王は入口で柱のかたわらに立ち、王のかたわらには将軍たちとラッパ手が立っており、また国の民は皆喜んでラッパを吹き、歌をうたう者は楽器をもってさんびしていたので、アタリヤは衣を裂いて「反逆だ、反逆だ」と叫んだ。

14 וַיּוֹצֵא יְהוֹיָדָע הַכֹּהֵן אֶת־ שָׂרֵי הַמֵּאוֹת וְהַמְּאָוֹת פְּקוּדֵי הַחַיִל
そこで–出した ヨヤダは 祭司は 百人の–長たち 軍の–指揮官を そして–言った 彼らに 連れ出せ
H3318 H3068 H3548 H0853 H8269 H3967 H6485 H2428

וַיֹּאמֶר אֲלֵהֶם אַחֲרֶיהָ תּוֹצִיאוּהָ מִבֵּית אֶל־ יוּמָת אַחֲרֶיהָ וְהַבָּא
彼女に 列の–外に 従う–者は 剣で 殺される 祭司は–言ったから 殺してはならぬ 主の–家で —
H0413 H0559 H3318 H0413 H0559 H7713 H0935 H4191

בְּחֶרֶב כִּי אָמַר הַכֹּהֵן לֹא תְמִיתוּהָ בְּבֵית יְהוָה׃
H2719 H0559 H3548 H3808 H4191 H3068

その時エホヤダは軍勢を統率する百人の長たちを呼び出し、「列の間から彼女を連れ出せ、彼女に従う者をつるぎで殺せ」と言った。祭司が彼女を主の宮で殺してはならないと言ったからである。

15 וַיָּשִׂימוּ לָהּ יָדַיִם וַתָּבוֹא וַתָּבוֹא אֶל־ מְבוֹא שַׁעַר־ הַסּוּסִים וַתָּמֶת שָׁם׃ פ
そして–置いた 彼女に 手を そして–来た 馬の–門の 入口に 王の–家の そして–殺した 彼女を —
H7760 H3027 H0935 H0413 H3996 H8179 H5221 H8033

וַיִּכְרֹת יְהוֹיָדָע בְּרִית בֵּינוֹ וּבֵין כָּל־ הָעָם לִהְיוֹת לְעָם לַיהוָה׃ פ
そして–結んだ ヨヤダは 契約を 自分と すべての–民と 王の–間で 主の–民となるために — —
H3772 H3077 H1285 H0996 H0996 H3605 H0996 H3068

そこで人々は彼女に手をかけ、王の家の馬の門の入口まで連れて行き、その所で彼女を殺した。

16 וַיִּכְרֹת יְהוֹיָדָע בְּרִית בֵּינוֹ וּבֵין כָּל־ הָעָם לִהְיוֹת לְעָם לַיהוָה׃ פ
そして–結んだ ヨヤダは 契約を 自分と すべての–民と 王の–間で 主の–民となるために — —
H3772 H3077 H1285 H0996 H0996 H3605 H0996 H3068

וּבֵין הָעָם

エホヤダは自分とすべての民と王との間に、彼らは皆、主の民となるとの契約を結んだ。

17 וַיָּבֹאוּ כָּל־ הָעָם בֵּית־ הַבַּעַל וַיִּתְּצוּהוּ וְאֶת־ מִזְבְּחֹתָיו וְאֶת־ פָּרְצוּ וְאֶת־ מַתָּן כֹּהֵן לִפְנֵי הַמִּזְבְּחוֹת׃
そして–行った すべての 民は バアルの–家に そして–壊した その 祭壇と 破った 像を 殺した 祭壇の–前で 祭司 —
H0935 H3605 H5971 H1004 H5422 H0853 H4196 H4977 H3548 H0853 H6440 H4196

וְאֶת־ שָׁבְרוּ מַתָּן וְאֶת־ בַּעַל צִלְמֵיו
そして マッタンを 殺した バアルの–祭司を そして
H6754 H7665 H4977 H0853 H1168

そこですべての民はバアルの家に行って、それをこわし、その祭壇とその像とを打ち砕き、バアルの祭司マッタンを祭壇の前で殺した。

18 וַיָּשֶׂם יְהוֹיָדָע פְּקֻדֹּת בֵּית יְהוָה בְּיַד הַכֹּהֲנִים
そして–置いた ヨヤダは 主の–家の–管理を 祭司である レビ人の–手に 分けた ダビデが
H7760 H3077 H6486 H1004 H3068 H3027 H3548

הַלְוִיִּם עַל־ חָלַק אֲשֶׁר בֵּית יְהוָה לְהַעֲלוֹת עֹלוֹת יְהוָה כַּכָּתוּב בְּתוֹרַת מֹשֶׁה בְּשִׂמְחָה וּבְשִׁיר עַל יְדֵי
主の–家の–上に 主の–燔祭を ささげるために 書かれている–とおりに モーセの 律法に 喜びと
H3881 H5930 H3068 H3789 H8451 H4872 H8057 H3068 H3027

דָּוִיד׃
H1732

エホヤダはまた主の宮の守衛を、祭司とレビびとの指揮のもとに置いた。このレビびとは昔ダビデがモーセの律法にしるされているように、喜びと歌とをもって主に燔祭をささげるために、主の宮に配置したものであって、今そのダビデの例にならったものである。

19

וַיַּעֲמֵד	עַל־	שַׁעֲרֵי	בֵּית	יְהוָה	וְלֹא־	יָבֹא	
そして–立たせた	主の–家の	門に	汚れた–者が	入らない–ように	どんな–事でも	—	
H5975	H8179	H3068		H3068	H3808	H0935	

טָמֵא	לְכֹל־	דָּבָר׃	
—	—	—	
H2931	H3605	H1697	

彼はまた主の宮のもろもろの門に門衛を置き、汚れた者は何によって汚れた者でも、はいらせないようにした。

20

וַיִּקַּח	אֶת־	שָׂרֵי	הַמֵּאוֹת	עַל־	וְאֶת־	הָאַדִּירִים׀	וְאֶת־
そして–取った	百人の–長と	貴人たちと	支配者たちと	民の–上の	地の	すべての	民を
H3947	H0853	H8269	H3967	H0853	H0853	H0117	H4910

וַיֹּרֶד	הָאָרֶץ	עַם	כָּל־	וְאֶת	בָּעָם	אֶת־	
王の–家に	上の–門を–通って	そして–入った	主の–家から	王を	そして–下らせた	そして–座らせた	
H3381	H0776		H3605	H0853		H0853	

הַמֶּלֶךְ	מִבֵּית	יְהוָה	וַיָּבֹאוּ	בְּתוֹךְ־	שַׁעַר	הָעֶלְיוֹן	בֵּית	הַמֶּלֶךְ	וַיּוֹשִׁיבוּ	אֶת־	הַמֶּלֶךְ
王を	王国の	玉座に	—	—	—	—	—	—	—	—	—
H4428	H4428	H3068	H0935	H8432	H8179			H4428	H3427	H0853	H4428

עַל	כִּסֵּא	הַמַּמְלָכָה׃
—	—	—
	H3678	H4467

こうしてエホヤダは百人の長たち、貴族たち、民のつかさたちおよび国のすべての民を率いて、主の宮から王を連れ下り、上の門から王の家に進み、王を国の位につかせた。

21

וַיִּשְׂמְחוּ	כָּל־	עַם־	הָאָרֶץ	וְהָעִיר	שָׁקְטָה	וְאֶת־	עֲתַלְיָהוּ	הֵמִיתוּ
そして–喜んだ	すべての	地の	民は	そして–町は	静かになった	アタルヤを	殺した	剣で
H8055	H3605		H0776		H8252	H0853	H6271	H4191

בָּחֶרֶב׃	ס	
—	—	
H2719		

国の民は皆喜んだ。町はアタリヤがつるぎで殺された後、穏やかであった。

Chapter 24

1

בֶּן־	שֶׁבַע	שָׁנִים	יוֹאָשׁ	בְּמָלְכוֹ	וְאַרְבָּעִים	שָׁנָה	מָלַךְ	בִּירוּשָׁלִָם
七	歳の–とき	ヨアシュは	王と–なり	四十	年間	治めた	エルサレムで	彼の–母の
	H7651	H8141	H3101		H0705	H8141		H3389

וְשֵׁם	אִמּוֹ	צִבְיָה	מִבְּאֵר׃שָׁבַע
名は	ツィビヤ	ベエル・シェバの–出身	—
H8034	H0517	H6645	H0884

ヨアシは位についた時七歳で、エルサレムで四十年の間、世を治めた。彼の母はベエルシバから出た者で名をヂビアといった。

2

וַיַּעַשׂ	יוֹאָשׁ	הַיָּשָׁר	בְּעֵינֵי	יְהוָה	כָּל־	יְמֵי	יְהוֹיָדָע	הַכֹּהֵן׃
そして–行った	ヨアシュは	正しい–ことを	主の	目に	すべての	日々	ヨヤダの	祇司の
	H3101	H3477		H3068	H3605	H3117	H3077	H3548

ヨアシは祭司エホヤダの世にある日の間は常に主の良しと見られることを行った。

3 וַיִּשָּׂא־ לוֹ יְהוֹיָדָע נָשִׁים שְׁתַּיִם וַיּוֹלֶד בָּנִים וּבָנוֹת׃
そして-めとった 彼の-ために ヨヤダは 妻を 二人 そして-生まれた 息子と 娘が
H5375 H3077 H0802 H8147 H3205 H1323

エホヤダは彼のためにふたりの妻をめとり、彼に男子と女子が生れた。

4 וַיְהִי אַחֲרֵיכֵן הָיָה לְבַב יוֹאָשׁ לְחַדֵּשׁ אֶת־ בֵּית יְהוָה׃
その-後 あった ヨアシュの-心に 修繕する-ことが 主の 家を — — — —
H1961 H1961 H3068

この後ヨアシは主の宮を修繕しようと志して、

5 וַיְקַבֵּץ אֶת־ הַכֹּהֲנִים וְהַלְוִיִּם וַיֹּאמֶר לָהֶם צְאוּ לְעָרֵי
そこで-集めた 祇司と レビ人を そして-言った 彼らに 出て-行け ユダの-町々へ そして-集めよ
H6908 H0853 H3548 H3881 H0559 H3318

יְהוּדָה וְקִבְצוּ מִכָּל־ יִשְׂרָאֵל כֶּסֶף לְחַזֵּק בֵּית
全 イスラエルから 銀を 強めるために あなたがたの-神の あなたがたは
H3063 H6908 H3605 H3478 H3701

אֱלֹהֵיכֶם מִדֵּי שָׁנָה בְּשָׁנָה וְאַתֶּם הַלְוִיִּם׃ וְלֹא מְהַרוּ
急ぎなさい この-事を しかし 急がなかった レビ人は
H0430 H1767 H8141 H8141

כִּי־ לַדָּבָר תְּמַהֲרוּ
— —
H3808 H1697

祭司とレビびとを集めて言った、「ユダの町々へ行って、あなたがたの神の宮を年々修繕する資金をすべてのイスラエルびとから集めなさい。その事を急いでしなさい」。ところがレビびとはこれを急いでしなかった。

6 וַיִּקְרָא הַמֶּלֶךְ לִיהוֹיָדָע הָרֹאשׁ וַיֹּאמֶר לוֹ מַדּוּעַ לֹא־ דָרַשְׁתָּ
そこで-呼んだ 王は ヨヤダを 頭を そして-言った 彼に なぜ 求めなかったのか レビ人に
H7121 H4428 H3077 H0559 H4069 H3808 H1875

מֵיהוּדָה וּמִירוּשָׁלַם לְהָבִיא לַמַּשָּׂאת לַמֹּשֶׁה עֶבֶד־ יְהוָה וְלַקְּהַל
持って-来るように ユダと エルサレムから モーセの 貢を 主の-僕の そして-会衆の
H5414 H3881 H0935 H4872 H0853 H3389 H4864

לְיִשְׂרָאֵל לְאֹהֶל הָעֵדוּת׃
イスラエルの-ための 幕屋の-ために あかしの
H3478 H0168 H5715

それで王はかしらであるエホヤダを召して言った、「あなたはなぜレビびとに求めて、主のしもべモーセがあかしの幕屋のためにイスラエルの会衆に課した税金をユダとエルサレムから取り立てさせないのか」。

7 כִּי עֲתַלְיָהוּ הַמְרַשַּׁעַת בָּנֶיהָ פָּרְצוּ אֶת־ בֵּית הָאֱלֹהִים וְגַם
なぜなら アタルヤ 悪しき-女の 息子たちが 破った 神の 家を また すべての
H6944 H6271 H4849 H1121 H6555 H0853 H0430 H1571

כָּל־ קָדְשֵׁי בֵית־ יְהוָה עָשׂוּ לַבְּעָלִים׃
主の-家の 聖なる-物を 用いた バアルたちの-ために — —
H3605 H6944 H1168 H3068

かの悪い女アタリヤの子らが神の宮に侵入して主の宮のもろもろの奉納物をとり、バアルのために用いたからである。

8 וַיֹּאמֶר הַמֶּלֶךְ וַיַּעֲשׂוּ אֲרוֹן אֶחָד וַיִּתְּנֻהוּ בְּשַׁעַר בֵּית־ יְהוָה
そこで-言った 王は そして-造った 箱を 一つ そして-置いた 門に 外に
H0559 H4428 H6913 H0727 H0259 H5414 H8179 H3068

חוּצָה׃
—
H2351

そこで王は命じて一個の箱を造らせ、これを主の宮の門の外に置き、

מֹשֶׁה	מַשָּׂאַת	לַיהוָה	לְהָבִיא	וּבִירוּשָׁלִַם	בִּיהוּדָה	קֹול	וַיִּתְּנוּ־	9
財を	神の–僕の	モーセの	主に	持って–来るように	エルサレムに	ユダと	そして–布告した	
H4872	H4864	H3068	H0935	H3389	H3063		H5414	

בַּמִּדְבָּר׃	יִשְׂרָאֵל	עַל־	הָאֱלֹהִים	עֶבֶד־	
—	—	—	荒野で–課した	イスラエルに	
	H3478		H0430	H5650	

ユダとエルサレムにふれて、神のしもべモーセが荒野でイスラエルに課した税金を主のために持ってこさせた。

עַד־	לָאָרֹון	וַיַּשְׁלִיכוּ	וַיָּבִיאוּ	הָעָם	וְכָל־	הַשָּׂרִים	כָּל־	וַיִּשְׂמְחוּ	10
満ちるまで	箱に	入れた	持って–来て	民は	すべての	首長と	すべての	そして–喜んだ	
H5704	H0727	H7993	H0935		H3605	H8269	H3605	H8055	

לְכַלָּה׃
—
H3615

すべてのつかさたちおよびすべての民は皆喜んでその税金を持って来て、その箱に投げ入れたので、ついに箱はいっぱいになった。

בְּיַד	הַמֶּלֶךְ	פְּקֻדַּת	אֶל־	הָאָרֹון	אֶת־	יָבִיא	בְּעֵת	וַיְהִי	11
銀が	多いと	見て	レビ人の–手で	管理の–もとに	王の	箱を	運ぶ–とき	そして–あった	
H3027	H4428	H6486	H0413	H0727	H0853	H0935	H6256	H1961	

וּפְקִיד	הַמֶּלֶךְ	סוֹפֵר	וּבָא	הַכֶּסֶף	רַב	כִּי־	וְכִרְאוֹתָם	הַלְוִיִּם
元の–場所に	戻した	そして–運び	箱を	空にした	役人が	祇司の–頭の	王の–書記と	来て
H6496	H4428		H0935	H3701			H7200	H3881

עָשׂוּ	כֵּה	מְקֹמוֹ	אֶל־	וַיְשִׁיבֻהוּ	וַיְאַסְפוּ	הָאָרֹון	אֶת־	וַיַּעַרוּ	הָרִאשׁ	כֵּן
—	—	—	—	—	豊かに	銀を	そして–集めた	毎日	行った	このように
	H3541	H4725	H0413	H7725	H5375	H0727	H0853	H6168		H3548

לָרֹב׃	כֶּסֶף	וַיַּאַסְפוּ־	בְּיוֹם	וְלַיּוֹם
—	—	—	—	—
H7230	H3701	H0622	H3117	H3117

レビびとはその箱に金が多くあるのを見て、王の役人の所へ持って行くと、王の書記と祭司長の下役とが来て、その箱を傾け、これを取ってもとの所に返した。彼らは日々このようにして金をおびただしく集めた。

בֵּית־	עַבוֹדַת	מְלֶאכֶת	עֹשֵׂה	אֶל־	וְיהוֹיָדָע	הַמֶּלֶךְ	וַיִּתְּנֵהוּ	12
そして–雇った	者たちに	仕事の	工事を–行う	主の–家の	ヨヤダは	王と	そして–渡した	
	H5656	H4399		H0413	H3077	H4428	H5414	

לְחָרְשֵׁי	וְגַם	יְהוָה	בַּיִת	לְחַדֵּשׁ	וְחָרָשִׁים	חֹצְבִים	שֹׂכְרִים	וַיִּתְּנוּ	יְהוָה
主の	強めるために	職人も	銅の	鉄と	また	主の–家を	修繕するために	大工を	石工と
H2796	H1571	H3068		H2318	H2796	H2672		H1961	H3068

יְהוָה׃	בַּיִת	אֶת־	לְחַזֵּק	וּנְחֹשֶׁת	בַּרְזֶל	
—	—	—	—	—	家を	
H3068		H0853	H2388		H1270	

王とエホヤダはこれを主の宮の工事をなす者に渡し、石工および木工を雇って、主の宮を修繕させ、また鉄工および青銅工を雇って、主の宮を修復させた。

13 וַיַּעֲשׂוּ֙ עֹשֵׂ֣י הַמְּלָאכָ֔ה וַתַּ֥עַל הָֽאֻרוּכָ֖ה בְּיָדָ֑ם וַתַּֽעֲמֹ֤ד הַבַּ֙יִת֙ לְתִכְנָת֔וֹ וַיְאַמְּצֻֽהוּ׃

そして-働いた 工事の-者たちは そして-進んだ 工事は 彼らの-手によって そして-建てた 神の
H6213 H6213 H4399 H5927 H0724 H4399 H3027
そして-強めた 家を 元の-形に 神の 場所に
H6965 H1004 H0853 H0430 H4971 H0553

工人たちは働いたので、修復の工事は彼らの手によってはかどり、神の宮を、もとの状態に復し、これを堅固にした。

14 וּכְכַלּוֹתָ֗ם הֵבִ֤יאוּ לִפְנֵי֙ הַמֶּ֣לֶךְ וִיהוֹיָדָ֔ע שְׁאָ֖ר כְּלִ֣י הַכֶּ֑סֶף וַיַּֽעֲשֵׂ֣ה כֵלִ֗ים לַֽעֲבוֹדָה֙ וְלָעֹלָ֔ה וְכַפּ֖וֹת וּכְלֵ֣י זָהָ֑ב וַיְהִ֨י מַעֲלִ֜ים עֹלָ֗ה בְּבֵית־ יְהוָה֙ תָּמִ֔יד כָּל־ יְמֵ֖י יְהוֹיָדָֽע׃ פ

終えると 持って-来た 王と 残りの ヨヤダの-前に 銀を そして-造った 器を
H3615 H0935 H6440 H3077 H4428 H0853 H7605 H3701
主の-家の-ための 奉仕の-器と ささげる-ための りと 金と 銀の-器を そして-あった
H1004 H3627 H3627 H3068 H8335 H5927
主の-家で 常に 燔祭を すべての ヨヤダの 日々 ささげる-者たちが
H3709 H2091 H3701 H1961 H5927 H3117 H3068 H8548
— — — — — — — —
H3605 H3117 H3068 —

それをなし終ったとき、余った金を王とエホヤダの前に持って来たので、それをもって主の宮のために器物を造った。すなわち勤めの器、燔祭の器、香の皿、および金銀の器を造った。エホヤダの世にある日の間は、絶えず主の宮で燔祭をささげた。

15 וַיִּזְקַ֥ן יְהוֹיָדָ֖ע וַיִּשְׂבַּ֣ע יָמִ֑ים וַיָּ֤מָת֙ בֶּן־ מֵאָ֣ה וּשְׁלֹשִׁ֣ים שָׁנָ֔ה בְּמוֹתֽוֹ׃

そして-老いた ヨヤダは 日に-満ちて そして-死んだ 三十 歳で 死んだ-とき —
H2204 H3077 H7649 H3117 H1121 H3967 H7970 H8141
H4194

しかしエホヤダは年老い、日が満ちて死んだ。その死んだ時は百三十歳であった。

16 וַיְקַבְּרֻ֣הוּ בְעִיר־ דָּוִ֗יד עִם־ הַמְּלָכִים֙ כִּֽי־ עָשָׂ֣ה ט֔וֹב בְּיִשְׂרָאֵ֖ל וְעִם־ הָֽאֱלֹהִ֑ים וּבֵיתֽוֹ׃ ס

そして-葬られた ダビデの-町に 王たちと-共に 行った-からである 良い-ことを イスラエルにおいて
H6912 H1732 H5973 H4428
神と その-家に-対して
H6213 H3478 H0430 H5973 H1004

人々は彼をダビデの町で王たちの中に葬った。彼はイスラエルにおいて神とその宮とに良い事を行ったからである。

17 וְאַחֲרֵי֙ מ֣וֹת יְהוֹיָדָ֔ע בָּ֥אוּ שָׂרֵ֖י יְהוּדָ֑ה וַיִּשְׁתַּחֲו֤וּ לַמֶּ֙לֶךְ֙ אָ֣ז שָׁמַ֣ע הַמֶּ֔לֶךְ לָהֶֽם׃

ヨヤダの-死の-後 来た ユダの-首長たちが そして-ひれ伏した 王に 聞いた 王は 彼らに
H4194 H3077 H0935 H8269 H3063 H7812 H4428
H0413 H4428 H8085

エホヤダの死んだ後、ユダのつかさたちが来て、うやうやしく王に敬意を表した。王は彼らに聞き従った。

18 וַיַּעַזְבוּ אֶת־ בֵּית יְהוָה אֱלֹהֵי אֲבוֹתֵיהֶם וַיַּעַבְדוּ הָאֲשֵׁרִים וְאֶת־ הָעֲצַבִּים וַיְהִי־ קֶצֶף עַל־ יְהוּדָה וִירוּשָׁלִַם בְּאַשְׁמָתָם זֹאת׃

そして–あった H0853 / 偶像に H5647 / アシェラ像と H0001 / そして–仕えた H0430 / 神の–家を H3068 / 先祖たちの / 主の H0853 / そして–捨てた / この–罪の–ゆえに H1961 / エルサレムの–上に H6091 / ユダと H0853 / 怒りが H0842 / — H0819 / — H3389 / — H3063 / — / — / — H2063

彼らはその先祖の神、主の宮を捨てて、アシラ像および偶像に仕えたので、そのとがのために、怒りがユダとエルサレムに臨んだ。

19 וַיְשַׁלַּח בָּהֶם נְבִאִים לַהֲשִׁיבֶם אֶל־ יְהוָה וַיַּעִידוּ בָם וְלֹא הֶאֱזִינוּ׃ ס

彼らに / そして–警告した H3068 / 主に H0413 / 立ち返らせるために H7725 / 預言者たちを H5030 / 彼らの–中に / そこで–遣わした H7971 / しかし / 耳を–傾けなかった H3808 / — H0238 / — / — / —

主は彼らをご自分に引き返そうとして、預言者たちをつかわし、彼らにむかってあかしをさせられたが、耳を傾けなかった。

20 וְרוּחַ אֱלֹהִים לָבְשָׁה אֶת־ זְכַרְיָהוּ בֶן־ יְהוֹיָדָע הַכֹּהֵן וַיַּעֲמֹד מֵעַל לָעָם וַיֹּאמֶר לָהֶם כֹּה אָמַר הָאֱלֹהִים לָמָּה אַתֶּם עֹבְרִים אֶת־ פִּי יְהוָה וְלֹא תַצְלִיחוּ כִּי־ עֲזַבְתֶּם אֶת־ יְהוָה וַיַּעֲזֹב אֶתְכֶם׃

そして–言った H3548 / 民の–上に H3077 / そして–立った / 祝司の / ヨヤダの–子 H0853 / ゼカリヤに H3847 / 臨んだ H0430 / 神の–霊が H7307 / — / 戒めを H4100 / 主の H0430 / 破るのか H0559 / あなたがたは H3541 / なぜ / 神は H0559 / 言われる / こう / 彼らに H5975 / — / — H3808 / あなたがたを H3068 / 主も–捨てられる H4687 / 主を H0853 / 捨てた–からである / あなたがたは–栄えない / — / — / — / — H0853 / — / — H3068 / — H0853

そこで神の霊が祭司エホヤダの子ゼカリヤに臨んだので、彼は民の前に立ち上がって言った、「神はこう仰せられる、『あなたがたが主の戒めを犯して、災を招くのはどういうわけであるか。あなたがたが主を捨てたために、主もあなたがたを捨てられたのである』」。

21 וַיִּקְשְׁרוּ עָלָיו וַיְרַגְּמֻהוּ אֶבֶן בִּמְצִוַּת הַמֶּלֶךְ בֶּחָצֵר בֵּית יְהוָה׃

そこで–共謀した H7194 / 彼に–対して / そして–石で–打った H7275 / 王の–命令で H0068 / 主の–家の H4687 / 庭で H4428 / — / — / — H3068

しかし人々は彼を害しようと計り、王の命によって、石をもって彼を主の宮の庭で撃ち殺した。

22

וְלֹא־ זָכַר יוֹאָשׁ הַמֶּלֶךְ חַסְדֹּ אֲשֶׁר עָשָׂה יְהוֹיָדָע
そして–覚えて–いなかった ヨアシュ–王は 恵みを ヨヤダが 彼に 施した 彼の–父が
H3808 H2142 H3101 H4428 H3077

אָבִיו עִמּוֹ בְּמוֹתוֹ וַיַּהַרְגֵ בָּנָיו אֶת־ וַיַּרְא יְהוָה
その–息子を 死ぬ–ときに 言った 見てください 主よ そして–報いてください — —
H0001 H2026 H0853 H4191 H7200 H3068

וַיִּדְרֹשׁ׃ פ
—
H1875

このようにヨアシ王はゼカリヤの父エホヤダが自分に施した恵みを思わず、その子を殺した。ゼカリヤは死ぬ時、「どうぞ主がこれをみそなわして罰せられるように」と言った。

23

וַיְהִי לִתְקוּפַת הַשָּׁנָה עָלָה עָלָיו חֵיל אֲרָם וַיָּבֹאוּ
そして–あった 年の–終わりに 上って–来た 彼に–対して 軍が そして–来た ユダと
H1961 H8622 H8141 H5927 H2426 H0758 H0935

אֶל־ יְהוּדָה וַיַּשְׁחִיתוּ מִן־ הָעָם כָּל־ וַיְרוּשְׁלַם וַיָּשָׁחֵיתוּ אֶת־ שָׂרֵי הָעָם
エルサレムに そして–滅ぼした すべての 民の–首長を 民の–中から すべての 戦利品を 送った
H0413 H3063 H3389 H7843 H0853 H3605 H8269

מֵעָם מִלְכֵּי דַּרְמֶשֶׂק׃ וְכָל־ שִׁלְחוּ לְמֶלֶךְ שְׁלָלָם
ダマスコの–王に — — — — —
H1834 H4428 H7971 H7998 H3605

年の終りになって、スリヤの軍勢はヨアシにむかって攻め上り、ユダとエルサレムに来て、民のつかさたちをことごとく民のうちから滅ぼし、そのぶんどり物を皆ダマスコの王に送った。

24

כִּי בִמְעַט אֲנָשִׁים בָּאוּ אֲרַם חֵיל בְּיַד נָתַן
わずかな 人数で 来た アラムの–軍が 渡した しかし–主は 非常に–大きな
H3027 H4705 H0376 H0935 H0758 H2426 H5414

יְהוָה בְּיָדָם הַרַבָּה חַיִל לָרֹב שָׁפְטוּ יְהוָה אֱלֹהֵי אֲבוֹתֵיהֶם
軍を 捨てた–からである 主を 先祖たちの 神を そして ヨアシュに 行った 裁きを —
H3027 H2428 H7230 H3966 H3588 H5921 H3068 H0853 H0430 H0001

וְאֶת־ יוֹאָשׁ עָשׂוּ שְׁפָטִים׃
— — — —
H0854 H3101 H6213 H8201

この時スリヤの軍勢は少数で来たのであるが、主は大軍を彼らの手に渡された。これは彼らがその先祖の神、主を捨てたためである。このように彼らはヨアシを罰した。

25

וּבְלֶכְתָּם מִמֶּנּוּ כִּי־ עָזְבוּ אֹתוֹ [במחליים] (בְּמַחֲלוּיִם)
去った–とき 彼から 大きな–病の–中に 残して 共謀した 彼に–対して 彼の–家臣たちが
H3212 H4480 H3588 H5800 H0853 H4251 H4251

וַיִּקְבְּרֻהוּ בְּעִיר וְלֹא וַיָּמֻת מִטָּתָו עַל־ וַיַּהַרְגֻהוּ עַבְדֵי עָלָיו הִתְקַשְׁרוּ רַבִּים בְּנֵי
そして–葬られた そして–死んだ 彼の–床の–上で そして–殺した 祓司の–血の–ゆえに ヨヤダの–子らの
H6912 H4191 H4296 H5921 H2026 H7194 H5650 H1818 H1121

בְּקִבְרוֹת הַמְּלָכִים׃ ס וְלֹא קְבָרֻהוּ בְּקִבְרוֹת בְּעִיר דָּוִיד יְהוֹיָדָע הַכֹּהֵן
しかし ダビデの–町に
H3548 H3077

H4428 H6913 H6912 H3808 H1732

スリヤ軍はヨアシに大傷を負わせて捨て去ったが、ヨアシの家来たちは祭司エホヤダの子の血のために、党を結んで彼にそむき、彼を床の上に殺して、死なせた。人々は彼をダビデの町に葬ったが、王の墓には葬らなかった。

שִׁמְעָת	בֶּן־	זָבָד	עָלָיו	הַמִּתְקַשְּׁרִים	וְאֵלֶּה	26
アンモン人の-女の	シムアトの-子	ザバドは	彼に-対して	共謀した-者たちである	これらが	
H8100		H2066		H7194	H0428	

הַמּוֹאָבִית׃	שִׁמְרִית	בֶּן־	יְהוֹזָבָד	הָעַמּוֹנִית
—	—	モアブ人の-女の	シムリトの-子	エホザバドは
H4125	H8116		H3075	H5985

党を結んで彼にそむいた者は、アンモンの女シメアテの子ザバデおよびモアブの女シムリテの子ヨザバデであった。

הָאֱלֹהִים	בְּיִת	וְיסוֹד	עָלָיו	הַמַּשָּׂא	(וְיֶרֶב)	[ורב]	וּבָנָיו	27
書かれている	見よ	基の-ことは	神の-家の	彼の-上の	重荷と	大きな	彼の-息子たちと	
H0430		H3247			H7235	H7230		

אֲמַצְיָהוּ	וַיִּמְלֹךְ	הַמְּלָכִים	סֵפֶר	מִדְרַשׁ	עַל־	כְּתוּבִים	הִנָּם
—	—	彼に-代わって	彼の-息子が	アマツヤが	そして-王となった	書の-注解に	王たちの
H0558		H4428		H4097		H3789	H2009

פ	תַּחְתָּיו׃	בְּנוֹ
—	—	—
	H8478	

ヨアシの子らのこと、ヨアシに対する多くの預言および神の宮の修理の事などは、列王の書の注釈にしるされている。ヨアシの子アマジヤが彼に代って王となった。

Chapter 25

שָׁנָה	וְתֵשַׁע	וְעֶשְׂרִים	אֲמַצְיָהוּ	מָלַךְ	שְׁנַת	וְחָמֵשׁ	עֶשְׂרִים	בֶּן־	1
治めた	年間	九	二十	アマツヤは	王と-なった	歳の-とき	五	二十	
H8141	H8672	H6242	H0558		H8141	H2568	H6242		

מִירוּשָׁלָיִם׃	יְהוֹעַדָּן	אִמּוֹ	וְשֵׁם	בִּירוּשָׁלָם	מָלַךְ
—	エルサレムの-出身	エホアダン	名は	彼の-母の	エルサレムで
H3389	H3086	H0517	H8034	H3389	

アマジヤは王となった時二十五歳で、二十九年の間エルサレムで世を治めた。その母はエルサレムの者で、名をエホアダンといった。

								2
שָׁלֵם׃	בְּלֵבָב	לֹא	רַק	יְהוָה	בְּעֵינֵי	הַיָּשָׁר	וַיַּעַשׂ	
—	—	全き-心では-なかった	ただし	目に	主の	正しい-ことを	そして-行った	
H8003	H3824	H3808	H7535	H3068		H3477		

アマジヤは主の良しと見られることを行ったが、全き心をもってではなかった。

								3
אֶת־	וַיַּהַרְגֵ֫	עָלָיו	הַמַּמְלָכָה	חָזְקָה	כַּאֲשֶׁר	וַיְהִי		
王である	打った-者たちを	家臣たちを	殺した	彼の-上に	王国が-強くなると	そして-あった		
H0853	H2026		H4467	H2388		H1961		

אָבִיו׃	הַמֶּלֶךְ	אֶת־	הַמַּכִּים	עַבְדָּיו
—	—	—	—	父を
H0001	H4428	H0853	H5221	H5650

彼は、国が彼の手のうちに強くなったとき、父ヨアシ王を殺害した家来たちを殺した。

4

בְּסֵפֶר	בַּתּוֹרָה	כַּכָּתוּב	כִּי	הַמֻּתָּ֔ת	לֹא	בְּנֵיהֶם	וְאֶת־	
主が–命じた	書に	モーセの	律法に	書かれている–とおり	殺さなかった	彼らの–子らは	しかし	
H8451	H3789		H4191		H3808		H0853	

עַל־	אָבוֹת	יָמוּתוּ	לֹא־	לֵאמֹר	יְהוָה	צַוָּה	אֲשֶׁר־	מֹשֶׁה׀
各人	ただ	父の–ゆえに	死んではならない	子も	子の–ゆえに	父が	死んではならない	言って
H0001	H4191		H3808	H0559	H3068	H6680		H4872

פ	יָמוּתוּ׃	בְּחֶטְאוֹ	אִישׁ	כִּי	אָבוֹת	עַל־	יָמוּתוּ	לֹא־	וּבָנִים׀	בָּנִים
—	—	—	—	—	—	—	—	—	死ぬのである	自分の–罪の–ゆえに
	H4191	H2399	H0376		H0001		H4191	H3808		

しかしその子供たちは殺さなかった。これはモーセの律法の書にしるされている所に従ったのであって、そこに主は命じて、「父は子のゆえに殺されるべきではない。子は父のゆえに殺されるべきではない。おのおの自分の罪のゆえに殺されるべきである」と言われている。

5

אָבוֹת	לְבֵית־	וַיַּעֲמִידֵם	יְהוּדָה	אֶת־	אֲמַצְיָהוּ	וַיִּקָּבֵץ	
百人の–長として	千人の–長と	父祖の–家ごとに	そして–立たせた	ユダを	アマツヤは	そして–集めた	
H0001		H5975	H3063	H0853	H0558	H6908	

לְמִבֶּן	וַיִּפָּקְדֵם	וּבִנְיָמִן	יְהוּדָה	לְכָל־	הַמֵּאוֹת	וּלְשֶׁרֵי	הָאֲלָפִים׀	לְשָׁרֵי	
精錦を	三十万の	そして–見つけた	歳–以上を	二十	そして–数えた	ベニヤミンの	ユダと	全	
		H1144	H3063	H3605	H3967	H8269	H0505	H8269	

אֹחֵז	צָבָא	יוֹצֵא	בָּחוּר	אֶלֶף	מֵאוֹת	שְׁלֹשׁ־	וַיִּמְצָאֵם	וַמַּעֲלָה	שָׁנָה	עֶשְׂרִים
—	—	—	—	—	—	—	—	盾を–取る–者を	槍と	戦いに–出る
H0270		H3318	H0977	H0505	H3967	H7969	H4672	H4605	H8141	H6242

רֹמַח׃	וְצִנָּה
—	—
H7420	

アマジヤはユダの人々を集め、その氏族に従って、千人の長に付属させ、または百人の長に付属させた。ユダとベニヤミンのすべてに行った。そして二十歳以上の者を数えたところ、やりと盾をとって戦いに臨みうる精兵三十万人を得た。

6

כָּסֶף׃	כִּכַּר־	בְּמֵאָה	חֶיל	גִּבּוֹר	אֶלֶף	מֵאָה	מִיִּשְׂרָאֵל	וַיִּשְׂכֹּר
—	—	—	タラントで	銀–百	勇士を	十万の	イスラエルから	そして–雇った
H3701	H3603	H3967	H2428	H1368	H0505	H3967	H3478	

彼はまた銀百タラントをもってイスラエルから大勇士十万人を雇った。

7

יָבֹא	אַל־	הַמֶּלֶךְ	לֵאמֹר	אֵלָיו׀	בָּא	הָאֱלֹהִים	וְאִישׁ	
あなたと–共に	行かせてはならない	王よ	言って	彼の–もとに	来た	神の–人が	そこで	
H0935	H0408	H4428	H0559	H0413	H0935	H0430	H0376	

יִשְׂרָאֵל	עִם־	יְהוָה	אֵין	כִּי	יִשְׂרָאֵל	צְבָא	עִמָּךְ
エフライムの–子らと	すべての	共に–おられない	イスラエルと	主は	なぜなら	軍を	イスラエルの
H3478		H3068	H0369		H3478		

אֶפְרָיִם׃	בְּנֵי	כָּל
—	—	—
H0669		H3605

その時、神の人が彼の所に来て言った、「王よ、イスラエルの軍勢をあなたと共に行かせてはいけません。主はイスラエルびと、すなわちエフライムのすべての人々とは共におられないからです。

8

הָאֱלֹהִים	יַכְשִׁילְךָ	לַמַּלְחָמָה	חֲזַק	עֲשֵׂה	אַתָּה	בָּא	אִם־	כִּי
敵の–前で	あなたを	神は–倒される	戦いのために	強くあれ	行え	あなたが	行くなら	もし
H0430	H3782	H4421	H2388			H0935		

וְלְהַכְשִׁיל׃	לַעְזֹר	בֵּאלֹהִים	כֹּחַ	יֶשׁ־	כִּי	אוֹיֵב	לִפְנֵי	
—	—	—	—	倒す–ためにも	助ける–ためにも	力が	神には–ある–からである	
H3782	H5826	H0430		H3426		H0341	H6440	

もしあなたがこのような方法で戦いに強くなろうと思うならば、神はあなたを敵の前に倒されるでしょう。神には助ける力があり、また倒す力があるからです」。

9

לַעֲשׂוֹת	וּמַה־	הָאֱלֹהִים	לְאִישׁ	אֲמַצְיָהוּ	וַיֹּאמֶר
払った	百–タラントを	では–どうするのか	神の–人に	アマツヤは	そこで–言った
	H4100	H0430	H0376	H0558	H0559

וַיֹּאמֶר	יִשְׂרָאֵל	לְגְדוּד	נָתַתִי	אֲשֶׁר	הַכְכָּר	לְמֵאַת	
これより–多くを	あなたに	与える–ことが	主には–ある	神の–人は	そこで–言った	イスラエルの–軍に	
H0559	H3478	H1416	H5414		H3603	H3967	

מִזֶּה׃	הַרְבֵּה	לְךָ	לָתֵת	לַיהוָה	יֶשׁ	הָאֱלֹהִים	אִישׁ	
—	—	—	—	—	—	—	—	
H2088			H5414	H3068	H3426	H0430	H0376	

アマジヤは神の人に言った、「それではわたしがイスラエルの軍隊に与えた百タラントをどうしましょうか」。神の人は答えた、「主はそれよりも多いものをあなたにお与えになることができます」。

10

מֵאֶפְרַיִם	אִלָּיו	בָּא	אֲשֶׁר־	לַגְּדוּד	אֲמַצְיָהוּ	וַיַּבְדִּילֵם	
自分の–場所に	行かせた	彼の–もとに	エフライムから–来た	部隊を	アマツヤは	そこで–分けた	
H0669	H0413	H0935		H1416	H0558	H0914	

וַיָּשׁוּבוּ	בִּיהוּדָה	מְאֹד	אַפָּם	וַיִּחַר	לְמִקוֹמָם	לָלֶכֶת	
怒りの–中で	自分の–場所に	そして–帰った	ユダに–対して	非常に	彼らの–怒りが	そこで–燃えた	
H7725	H3063	H3966	H0639	H2734	H4725	H3212	

פ	אָף׃	בָּחֳרִי־	לְמִקוֹמָם	
—	—	—	—	
	H0639	H2750	H4725	

そこでアマジヤはエフライムから来て自分に加わった軍隊を分離して帰らせたので、彼らはユダに対して激しい怒りを発し、火のように怒って自分の所に帰った。

11

גַּיְא	וַיֵּלֶךְ	עַמּוֹ	אֶת־	וַיִּנְהַג	הִתְחַזֵּק	וַאֲמַצְיָהוּ
そして–打った	塩の–谷に	そして–行った	自分の–民を	率いた	強くなって	アマツヤは
H1516	H3212		H0853		H2388	H0558

אֱלָפִים׃	עֲשֶׂרֶת	שֵׂעִיר	בְּנֵי־	אֶת־	וַיַּךְ	הַמֶּלַח
—	—	—	—	—	—万–人	セイルの–子らを
H0505	H6235			H0853	H5221	H4417

しかしアマジヤは勇気を出し、その民を率いて塩の谷へ行き、セイルびと一万人を撃ち殺した。

12

יְהוּדָה	בְּנֵי	שָׁבוּ	חַיִּים	אֲלָפִים	וַעֲשֶׂרֶת	
岩の–頂に	そして–連れて–行った	ユダの–子らが	捕らえた	生きたまま	一万–人を	
H3063		H7617		H0505	H6235	

ס	נִבְקָעוּ׃	וְכֻלָּם	הַסֶּלַע	מֵרֹאשׁ־	וַיְשַׁלִּיכוּם	הַסֶּלַע	לְרֹאשׁ	וַיַּבִּיאוּם
—	—	—	—	—	砕けた	彼らは–みな	岩の–頂から	そして–突き落とした
	H1234	H3605	H5553		H7993	H5553		H0935

またユダの人々はこのほかに一万人をいけどり、岩の頂に引いて行って岩の頂から彼らを投げ落したので、皆こなごなに砕けた。

13 וּבְנֵי הַגְּדוּד אֲשֶׁר הֵשִׁיב אֲמַצְיָהוּ לְבִלְתִּי הֹלֶךְ עִמּוֹ מִלְחָמָה

וּבְנֵי	הַגְּדוּד	אֲשֶׁר	הֵשִׁיב	אֲמַצְיָהוּ	לְבִלְתִּי	הֹלֶךְ	עִמּוֹ	מִלְחָמָה
しかし	部隊の–者たちは	送り–返した	アマツヤが	行かせなかった			彼と–共に	戦いに
	H1416		H7725	H0558			H3212	

וַיִּפְשְׁטוּ בְּעָרֵי יְהוּדָה מִשֹּׁמְרוֹן וְעַד־בֵּית חוֹרוֹן וַיַּכּוּ מֵהֶם שְׁלֹשֶׁת אֲלָפִים בִּזָּה רַבָּה׃ ס

וַיִּפְשְׁטוּ	בְּעָרֵי	יְהוּדָה	מִשֹּׁמְרוֹן	וְעַד־	בֵּית	חוֹרוֹן	וַיַּכּוּ	מֵהֶם	שְׁלֹשֶׁת	אֲלָפִים	בִּזָּה	רַבָּה׃	ס
ユダの–町々を	サマリアから	ベト・ホロンまで	そして–打ち殺した	三千–人を	そこで–襲った		多くの–戦利品を						
H6584		H3063	H8111	H5704	H4421		H5221		H7969	H0505	H0962	H0961	

ところがアマジヤが自分と共に戦いに行かせないで帰してやった兵卒らが、サマリヤからベテホロンまでの、ユダの町々を襲って三千人を殺し、多くの物を奪い取った。

14 וַיְהִי אַחֲרֵי בוֹא אֲמַצְיָהוּ מֵהַכּוֹת אֶת־אֱדוֹמִים וַיָּבֵא אֶת־אֱלֹהֵי בְנֵי שֵׂעִיר וַיַּעֲמִידֵם לוֹ לֵאלֹהִים וְלִפְנֵיהֶם יִשְׁתַּחֲוֶה וְלָהֶם יְקַטֵּר׃

וַיְהִי	אַחֲרֵי	בוֹא	אֲמַצְיָהוּ	מֵהַכּוֹת	אֶת־	אֱדוֹמִים	וַיָּבֵא	אֶת־	אֱלֹהֵי	בְנֵי	שֵׂעִיר	וַיַּעֲמִידֵם	לוֹ	לֵאלֹהִים	
そして–あった	アマツヤが–帰った–後	エドム人を–打って	持ち–帰った	セイルの–子らの	神々を		自分の	神として	その–前に	ひれ伏し	それらに	香を–たいた			
H1961		H0935	H0558	H5221	H0853		H0935	H0853	H0430			H5975		H0430	

וְלִפְנֵיהֶם	יִשְׁתַּחֲוֶה	וְלָהֶם	יְקַטֵּר׃
	H7812		
H6440			

アマジヤはエドムびとを殺して帰った時、セイルびとの神々を携えてきて、これを安置して自分の神とし、これを礼拝し、これにささげ物をなした。

15 וַיִּחַר־אַף יְהוָה בַּאֲמַצְיָהוּ וַיִּשְׁלַח אֵלָיו נָבִיא וַיֹּאמֶר לוֹ לָמָּה דָרַשְׁתָּ אֶת־אֱלֹהֵי הָעָם אֲשֶׁר לֹא־הִצִּילוּ אֶת־עַמָּם מִיָּדֶךָ׃

וַיִּחַר־	אַף	יְהוָה	בַּאֲמַצְיָהוּ	וַיִּשְׁלַח	אֵלָיו	נָבִיא	וַיֹּאמֶר	לוֹ	לָמָּה	דָרַשְׁתָּ	אֶת־	אֱלֹהֵי	הָעָם	אֲשֶׁר	לֹא־	הִצִּילוּ	אֶת־	עַמָּם	מִיָּדֶךָ׃
そこで–燃えた	主の–怒りが	アマツヤに–対して	そして–遣わした	彼の–もとに	預言者を	そして–言った	彼に	なぜ	求めたのか	民の	神々を	救えなかった	自分の–民を	あなたの–手から					
H2734	H0639	H3068	H0558	H7971	H0413	H5030	H0559		H4100	H1875	H0853	H0430			H3808	H5337	H0853		H3027

それゆえ、主はアマジヤに向かって怒りを発し、預言者を彼につかわして言わせられた、「かの民の神々は自分の民をあなたの手から救うことができなかったのに、あなたはどうしてそれを求めたのか」。

16

חָדַל־	נְתַנּוּךָ	לַמֶּלֶךְ	הֲלִיוֹעֵץ	לוֹ	וַיֹּאמֶר	אֵלָיו	בְּדַבְּרוֹ	וַיְהִי
なぜ	やめよ	あなたを	したのか	王の–助言者に	彼に	言った	彼に	話している–とき
H2308	H5414	H4428	H3289		H0559	H0413	H1696	H1961

יָדַעְתִּי	וַיֹּאמֶר	הַנָּבִיא	וַיְחַדַּל	יַכְּךָ	לָמָּה	לְךָ	
決められたと	神が	わかった	そして–言った	預言者は	そこで–やめた	打たれたいのか	
H3045	H0559	H5030	H2308	H5221	H4100		

וְלֹא	זֹּאת	עָשִׂיתָ	כִּי־	לְהַשְׁחִיתֶךָ	אֱלֹהִים	יָעַץ	כִּי־	
—	—	私の–助言を	聞かなかった	これを	行った–からである	あなたを	滅ぼすことを	
H3808	H2063			H7843	H0430	H3289		

פ	לַעֲצָתִי׃	שָׁמַעְתָּ	
—	—	—	
	H6098	H8085	

彼がこう王に語ると、王は彼に、「われわれはあなたを王の顧問にしたのですか。やめなさい。あなたはどうして殺されようとするのですか」と言ったので、預言者はやめて言った、「あなたはこの事を行って、わたしのいさめを聞きいれないゆえ、神はあなたを滅ぼそうと定められたことをわたしは知っています」。

17

יוֹאָשׁ	אֶל־	וַיִּשְׁלַח	יְהוּדָה	מֶלֶךְ	אֲמַצְיָהוּ	וַיִּוָּעַץ		
エフーの–子	エホアハズの–子	ヨアシュに	そして–送った	ユダの–王は	アマツヤは	そこで–相談した		
H3101	H0413	H7971	H3063	H4428	H0558	H3289		

נִתְרָאֶה	)לְכָה(	]לְךָ[	לֵאמֹר	יִשְׂרָאֵל	מֶלֶךְ	יֵהוּא	בֶּן־	יְהוֹאָחָז	בֶּן־
—	—	—	—	—	—	顔を–合わせよう	来い	言って	イスラエルの–王に
H7200	H1980	H1980	H0559	H3478	H4428	H3058		H3059	

פָּנִים׃
—
H6440

そこでユダの王アマジヤは協議の結果、人をエヒウの子エホアハズの子であるイスラエルの王ヨアシにつかわし、「さあ、われわれは互に顔をあわせよう」と言わせたところ、

18

מֶלֶךְ־	אֲמַצְיָהוּ	אֶל־	יִשְׂרָאֵל	מֶלֶךְ־	יוֹאָשׁ	וַיִּשְׁלַח	
いばらが	言って	ユダの–王に	アマツヤに	イスラエルの–王は	ヨアシュは	そこで–送った	
H4428	H0558	H0413	H3478	H4428	H3101	H7971	

אֲשֶׁר	הָאֶרֶז	אֶל־	שְׁלַח	בַּלְּבָנוֹן	אֲשֶׁר	הַחוֹחַ	לֵאמֹר	יְהוּדָה
妻として	私の–息子に	あなたの–娘を	与えよ	言って	レバノンの	杉に	送った	レバノンの
	H0730	H0413	H7971	H3844		H2336	H0559	H3063

חַיַּת	וַתַּעֲבֹר	לְאִשָּׁה	לִבְנִי	בִּתְּךָ	אֶת־	תַּנָּה־	לֵאמֹר	בַּלְּבָנוֹן
—	—	—	いばらを	そして–踏みつけた	レバノンの	獣が	野の	すると–通った
		H0802		H1323	H0853	H5414	H0559	H3844

הַחוֹחַ׃	אֶת־	וַתִּרְמֹס	בַּלְּבָנוֹן	אֲשֶׁר	הַשָּׂדֶה	
—	—	—	—	—	—	
H2336	H0853	H7429	H3844			

イスラエルの王ヨアシはユダの王アマジヤに言い送った、「レバノンのいばらが、かつてレバノンの香柏に、『あなたの娘をわたしのむすこの妻に与えよ』と言い送ったところが、レバノンの野獣が通りかかって、そのいばらを踏み倒した。

19

לְהַכְבִּיד	לְבָבְךָ	וּנְשָׂאֵךְ	אֱדוֹם	אֶת־	הִכִּיתָ	הִנֵּה	אָמַרְתָּ	
自分の–家に	今は	誇るために	心が–高ぶった	エドムを	打ったと	見よ	あなたは–言った	
H3513		H5375	H0123	H0853	H5221	H2009	H0559	

עִמָּךְ׃	וִיהוּדָה	אַתָּה	וְנָפַלְתָּ	בְּרָעָה	תִּתְגָּרֶה	לָמָּה	בְּבִיתֶךָ	שְׁבָה	עַתָּה
—	—	共に	ユダも	あなたも	倒れるだろう	災いを	挑むのか	なぜ	とどまれ
	H3063		H5307		H1624	H4100		H3427	H6258

あなたは『見よ、わたしはエドムを撃ち破った』と言って心に誇り高ぶっている。しかしあなたは自分の家にとどまっていなさい。どうしてあなたは災を引き起して、自分もユダも共に滅びようとするのか」。

20	וְלֹא־	שָׁמַע	אֲמַצְיָהוּ	כִּי	מֵהָאֱלֹהִים	הִיא	
	しかし	聞かなかった	アマツヤは	神から–の–ことで–あった	渡すために	彼らを–手に	
	H3808	H8085	H0558		H0430	H1931	

לְמַעַן	תִּתָּם	בְּיַד	כִּי	דָּרְשׁוּ	אֶת	אֱלֹהֵי	אֱדוֹם׃
求めた–からである	エドムの–神々を	—	—	—	—	—	—
H4616	H5414	H3027		H1875	H0853	H0430	H0123

しかしアマジヤは聞きいれなかった。これは神から出たのであって、彼らがエドムの神々を求めたので神は彼らを敵の手に渡されるためである。

21	וַיַּעַל	יוֹאָשׁ	מֶלֶךְ־	יִשְׂרָאֵל	וַיִּתְרָאוּ	פָּנִים	הוּא
	そこで–上った	ヨアシュが	イスラエルの–王が	顔を–合わせた	彼と	アマツヤと	ユダの–王と
	H5927	H3101	H4428	H3478	H7200	H6440	H1931

וַאֲמַצְיָהוּ	מֶלֶךְ־	יְהוּדָה	שֶׁמֶשׁבְּבֵית	אֲשֶׁר	לִיהוּדָה׃	
ベト・シェメシュで	ユダの	—	—	—	—	
H0558	H4428	H3063	H1053		H3063	

そこでイスラエルの王ヨアシは上って来て、ユダのベテシメシでユダの王アマジヤと顔を合わせたが、

22	וַיִּנָּגֵף	יְהוּדָה	לִפְנֵי	יִשְׂרָאֵל	וַיָּנֻסוּ	אִישׁ	לְאָהֳלָיו׃
	そして–打ち破られた	ユダは	イスラエルの–前で	そして–逃げた	各人	自分の–天幕に	—
	H5062	H3063	H6440	H3478	H5127	H0376	H0168

ユダはイスラエルに撃ち破られ、おのおのその天幕に逃げ帰った。

23	וְאֶת	אֲמַצְיָהוּ	יְהוֹאָחָז	יוֹאָשׁ	בֶּן־	יְהוֹאָחָז	בֶּן־
	そして	アマツヤを	イスラエルの–王が	ヨアシュが		捕らえた	エホアハズの–子を
	H0853	H0558	H3059	H3101		H3101	

יְהוֹאָשׁ	בֶּן־	יְהוֹאָחָז	מֶלֶךְ־	יִשְׂרָאֵל	וַיָּבֹא	תָּפְשׁ	
ヨアシュの–子	ユダの–王を	アマツヤを	そして	そして–連れて–行った	エルサレムに	そして–破った	
H3063	H4428	H0558		H3101	H4428	H3478	

וַיְבִיאֻהוּ	יְרוּשָׁלַ͏ִם	וַיִּפְרֹץ	בְּחוֹמַת	יְרוּשָׁלַ͏ִם	מִשַּׁעַר	אֶפְרַיִם	
エフライムの–門から	角の–門まで	四百	アンマ		—	—	—
H0935	H3389	H6555	H2346		H8179	H3389	H0669

שָׁמֶשׁבְּבֵית	עַד־	שַׁעַר	הַפִּנָּה	אַרְבַּע	מֵאוֹת	אַמָּה׃
エルサレムの–城壁を		—	—	—	—	—
H1053	H5704	H8179	H6437	H0702	H3967	

その時イスラエルの王ヨアシはエホアハズの子ヨアシの子であるユダの王アマジヤをベテシメシで捕えて、エルサレムに引いて行き、エルサレムの城壁をエフライム門から、隅の門まで四百キュビトほどをこわし、

24	וְכָל־	הַזָּהָב	וְהַכֶּסֶף	וְאֵת	כָּל־	הַכֵּלִים	הַנִּמְצְאִים	בְּבֵית־
	すべての	金と	銀と	すべての	器を	見つかった	神の–家に	オベド・エドムの–もとに
	H3605	H2091	H3701	H0853	H3605	H3627	H4672	

הָאֱלֹהִים	עִם־	עֹבֵד	אֱדוֹם	וַיָּשָׁב	אֶת־	שֹׁמְרוֹן	אֹצְרוֹת	בֵּית	הַמֶּלֶךְ	וְאֶת	בְּנֵי
王の–家の	宝物と	人質を	そして–帰った		サマリアに		—	—	—	—	—
H0430		H5654	H5654	H7725	H0853	H8111	H0214		H4428	H0853	

הַתַּעֲרֻבוֹת	וַיָּשָׁב	שֹׁמְרוֹן׃	פ
—	—	—	—
H8594	H7725	H8111	

また神の宮のうちで、オベデエドムが守っていたすべての金銀およびもろもろの器物ならびに王の家の財宝を奪い、また人質をとって、サマリヤに帰った。

							25
אַחַרֵי	יְהוּדָה	מֶלֶךְ	יוֹאָשׁ	בֶּן־	אֲמַצְיָהוּ	וַיְחִי	
イスラエルの–王の	エホアハズの–子の	ヨアシュの	ユダの–王は	ヨアシュの–子	アマツヤは	生きた	
	H3063	H4428	H3101		H0558	H2421	

שָׁנָה׃	עֶשְׂרֵה	חֲמֵשׁ	יִשְׂרָאֵל	מֶלֶךְ	יְהוֹאָחָז	בֶּן־	יוֹאָשׁ	מוֹת
—	—	—	—	—	—	年間	十五	死の–後
H8141	H6240	H2568	H3478	H4428	H3059		H3101	H4194

ユダの王ヨアシの子アマジヤはイスラエルの王エホアハズの子ヨアシが死んで後なお十五年生きながらえた。

							26
הִנָּם	הֲלֹא	וְהָאַחֲרוֹנִים	הָרִאשֹׁנִים	אֲמַצְיָהוּ	דִּבְרֵי	וְיֶתֶר	
ユダと	書かれている	見よ	終わりまで	初めから	残りの–事績は	アマツヤの	
H2009	H3808	H0314	H7223	H0558	H1697		

וְיִשְׂרָאֵל׃	יְהוּדָה	מַלְכֵי־	סֵפֶר	עַל־	כְּתוּבִים		
—	—	—	—	書に	イスラエルの–王たちの		
H3478	H3063	H4428	—		H3789		

アマジヤのその他の始終の行為は、ユダとイスラエルの列王の書にしるされているではないか。

								27
עָלָיו	וַיִּקְשְׁרוּ	יְהוָה	מֵאַחֲרֵי	אֲמַצְיָהוּ	סָר	אֲשֶׁר־	וּמֵעֵת	
エルサレムで	謀反を	彼に–対して	共謀した	主に–従うことを	アマツヤが	背いた	その–時から	
	H7194	H3068		H0558	H5493		H6256	

לָכִישָׁה	אַחֲרָיו	וַיִּשְׁלְחוּ	לָכִישָׁה	וַיָּנֻסוּ	בִּירוּשָׁלַם	קֶשֶׁר	
そこで	そして–殺した	ラキシュに	彼の–後を–追って	そこで–遣わして	ラキシュへ	そこで–逃げた	
H3923		H7971	H3923	H5127	H3389	H7195	

שָׁם׃	וַיְמִיתֻהוּ
—	—
H8033	H4191

アマジヤがそむいて、主に従わなくなった時から、人々はエルサレムにおいて党を結び、彼に敵したので、彼はラキシに逃げて行ったが、その人々はラキシに人をやって、彼をその所で殺させた。

								28
בְּעִיר	אֲבֹתָיו	עִם־	אֹתוֹ	וַיְקַבְּרוּ	הַסּוּסִים	עַל־	וַיִּשָּׂאֻהוּ	
—	—	ユダの–町に	先祖たちと–共に	彼を	そして–葬った	馬の–上に	そして–運んだ	
	H0001		H0853	H6912			H5375	

יְהוּדָה׃
—
H3063

人々はこれを馬に負わせて持ってきて、ユダの町でその先祖たちと共にこれを葬った。

Chapter 26

								1
שֵׁשׁ	בֶּן־	וְהוּא	עֻזִּיָּהוּ	אֶת־	יְהוּדָה	עַם	כָּל־	וַיִּקָּחוּ	
彼を	そして–王とした	歳で–あった	十六	彼は	ウジヤを	ユダの–民は	全	そして–取った	
H8337		H1931	H5818	H0853	H3063		H3605	H3947	

אֲמַצְיָהוּ׃	אָבִיו	תַּחַת	אֹתוֹ	וַיַּמְלִיכוּ	שָׁנָה	עֶשְׂרֵה	
—	—	—	—	—	アマツヤに–代わって	父	
H0558	H0001	H8478	H0853	—	H8141	H6240	

そこでユダの民は皆ウジヤをとって王となし、その父アマジヤに代らせた。時に十六歳であった。

שְׁכַב־	אַחֲרֵי	לְיהוּדָה	וַיְשִׁיבֶהָ	אֱילוֹת	אֶת־	בָּנָה	הוּא	2
先祖たちと–共に	横たわった–後	王が	ユダに	そして–戻した	エイラトを	建てた	彼は	
H7901		H3063	H7725		H0853	H1129	H1931	

פ	אֲבֹתָיו׃	עִם־	הַמֶּלֶךְ
—	—	—	—
	H0001		H4428

彼はエラテを建てて、これをふたたびユダのものにした。これはかの王がその先祖たちと共に眠った後であった。

שָׁנָה	וּשְׁתַּיִם	וַחֲמִשִּׁים	בְּמָלְכוֹ	עֻזִּיָּהוּ	שָׁנָה	עֶשְׂרֵה	שֵׁשׁ	בֶּן־	3
エルサレムで	治めた	年間	二	五十	王と–なり	ウジヤは	歳の–とき	十六	
H8141	H8147	H2572		H5818	H8141	H6240	H8337		

יְרוּשָׁלָם׃	מִן־	יְכָלְיָה)	יכיליה]	אִמּוֹ	וְשֵׁם	בִּירוּשָׁלָם	מָלַךְ
—	—	—	—	エルサレムの–出身	エカルヤ	名は	彼の–母の
H3389		H3203	H3203	H0517	H8034	H3389	

ウジヤは王となった時十六歳で、エルサレムで五十二年の間世を治めた。その母はエルサレムの者で名をエコリヤといった。

אָבִיו׃	אֲמַצְיָהוּ	עָשָׂה	אֲשֶׁר־	כְּכֹל	יְהוָה	בְּעֵינֵי	הַיָּשָׁר	וַיַּעַשׂ	4
—	アマツヤが	父	行った–とおり	すべて	目に	主の	正しい–ことを	そして–行った	
H0001	H0558			H3605	H3068		H3477		

ウジヤは父アマジヤがしたように、すべて主の良しと見られることを行った。

בִּרְאֹת	הַמֵּבִין	זְכַרְיָהוּ	בִּימֵי	אֱלֹהִים	לִדְרֹשׁ	וַיְהִי			5
時代に	主を	神を–求めた	神の–幻を–惟る	ゼカリヤの–時代に	神を–求める–ことが	そして–あった			
H7200	H0995		H3117	H0430	H1875	H1961			

ס	הָאֱלֹהִים׃	הִצְלִיחוֹ	יְהוָה	אֶת־	דָּרְשׁוֹ	וּבִימֵי	הָאֱלֹהִים
—	—	—	—	—	—	彼を	神は–栄えさせた
	H0430		H3068	H0853	H1875	H3117	H0430

彼は神を恐れることを自分に教えたゼカリヤの世にある日の間、神を求めることに努めた。彼が主を求めた間、神は彼を栄えさせられた。

חֲוֹמַת	אֶת־	וַיִּפְרֹץ	בַּפְּלִשְׁתִּים	וַיִּלָּחֶם	וַיֵּצֵא			6
ヤブネの–城壁と	ガトの–城壁と	そして–破った	ペリシテ人と	戦った	そして–出て–行って			
H2346	H0853	H6555	H6430		H3318			

וַיִּבֶן	אַשְׁדּוֹד	חוֹמַת	וְאֶת	יַבְנֶה	חוֹמַת	וְאֶת	גַּת	
—	—	—	ペリシテの–中に	アシュドドと	町々を	そして–建てた	アシュドドの–城壁を	
H1129	H0795	H2346	H0853	H2996	H2346	H0853	H1661	

וּבַפְּלִשְׁתִּים׃	בְּאַשְׁדּוֹד	עָרִים
—	—	—
H6430	H0795	

彼は出てペリシテびとと戦い、ガテの城壁、ヤブネの城壁およびアシドドの城壁をくずし、アシドドの地とペリシテびとのなかに町を建てた。

הָעַרְבִֽיִּם)	הערביים]	וְעַל־	פְּלִשְׁתִּים	עַל־	הָאֱלֹהִים	וַיַּעְזְרֵהוּ	7
グル・バアルに	住んでいる	アラビア人に–対して	ペリシテ人と	彼を	神は	そして–助けた	
H6163	H6163		H6430		H0430	H5826	

וְהַמְעוּנִֽים׃	בְּגוּר־בָּעַל	הַיִּשְׁבִים	
—	—	そして–メウニムに–対して	
H4586	H1485	H3427	

神は彼を助けてペリシテびとと、グルバアルに住むアラビヤびとおよびメウニびとを攻め撃たせられた。

עַד־	שְׁמוֹ	וַיֵּלֶךְ	לְעֻזִּיָּהוּ	מִנְחָה	הָעַמּוֹנִים	וַיִּתְּנוּ	8
エジプトの-入口まで	彼の-名は	そして-広まった	ウジヤに	財を	アンモン人は	そして-納めた	
H5704	H8034	H3212	H5818	H4503	H5984	H5414	

לְמָעְלָה׃	עַד־	הֶחָזֵיק	כִּי	מִצְרַיִם	לְבוֹא	
—	—	—	非常に	強くなったから	まことに	
H4605	H5704	H2388		H4714	H0935	

アンモンびとはウジヤにみつぎを納めた。ウジヤは非常に強くなったので、その名はエジプトの入口までも広まった。

הַפִּנָּה	שָׁעַר	עַל־	בִּירוּשָׁלִַם	מִגְדָּלִים	עֻזִּיָּהוּ	וַיִּבֶן	9
曲がり角の-上に	谷の-門の-上に	角の-門の-上に	エルサレムに	塔を	ウジヤは	そして-建てた	
H6438	H8179		H3389	H4026	H5818	H1129	

וַיְחַזְּקֵם׃	הַמִּקְצוֹעַ	וְעַל־	הַגָּיְא	שָׁעַר	וְעַל־	
—	—	—	—	—	そして-強めた	
H2388	H4740		H1516	H8179		

ウジヤはまたエルサレムの隅の門、谷の門および城壁の曲りかどにやぐらを建てて、これを堅固にした。

כִּי	רַבִּים	בֹּרוֹת	וַיַּחְצֹב	בַּמִּדְבָּר	מִגְדָּלִים	וַיִּבֶן	10
彼には-あったから	多くの	水溜めを	そして-掘った	荒野に	塔を	そして-建てた	
			H2672		H4026	H1129	

אִכָּרִים	וּבְמִישׁוֹר	וּבַשְּׁפֵלָה	לּוֹ	הָיָה	רַב	מִקְנֶה־	
カルメルに	山々と	ぶどう園の-農夫が	農夫と	平野にも	低地と	多くの-家畜が	
H0406	H4334	H8219		H1961		H4735	

ס	הָיָה׃	אַדְמָה	אֹהֵב	כִּי־	וּבַכַּרְמֶל	בֶּהָרִים	וְכָרְמִים	
—	—	—	—	—	彼は	土地を	愛した-からである	
	H1961	H0127	H0157		H3760	H2022	H3755	

彼はまた荒野にやぐらを建て、また多くの水ためを掘った。彼は平野にも平地にもたくさんの家畜をもっていたからである。彼はまた農事を好んだので、山々および肥えた畑には農夫とぶどうをつくる者をもっていた。

לִגְדוּד	צָבָא	יוֹצְאֵי	מִלְחָמָה	עֹשֶׂה	חַיִל	לְעֻזִּיָּהוּ	וַיְהִי	11
書記	数えられた	部隊ごとに	出陣する	戦いを-する	軍が	ウジヤには	そして-あった	
H1416		H3318	H4421		H2428	H5818	H1961	

הַסּוֹפֵר	יְעִיאֵל)	יועאל]	בְּיַד	פְּקֻדָּתָם	בְּמִסְפַּר
—	ハナニヤの-指揮の-もとに	王の-将軍	マアセヤの-手と	役人	エイエルの-手によって
	H3273	H3273	H3027	H6486	H4557

הַמֶּלֶךְ׃	מִשְׁרֵי	חֲנַנְיָהוּ	יַד־	עַל	הַשּׁוֹטֵר	וּמַעֲשֵׂיָהוּ	
—	—	—	—	—	—	—	
H4428	H8269		H3027		H7860	H4641	

ウジヤはまたよく戦う一軍団を持っていた。彼らは書記エイエルと、つかさマアセヤによって調べた数に従って組々に分れ、皆王の軍長のひとりハナニヤの指揮下にあった。

מֵאוֹת׃	וְשֵׁשׁ	אַלְפִים	חָיִל	לִגְבוֹרֵי	הָאָבוֹת	רָאשֵׁי	מִסְפַּר	כֹּל	12
—	—	—	—	六百で-あった	二千	勇士の	父祖の-頭の-数は	全部で	
H3967	H8337	H0505	H2428	H1368	H0001		H4557	H3605	

その氏族の長である大勇士の数は合わせて二千六百人であった。

13 וְעַל־ יָדָם חֵיל צָבָא שְׁלֹשׁ מֵאוֹת אֶלֶף וְשִׁבְעָת
彼らの–指揮の–もとに 軍勢は 三十万 七千 五百で 力ある–勇士の 助けるために
H3027 H2426 H2428 H3967 H0505 H7651

הָאוֹיֵב׃ עַל־ לַמֶּלֶךְ לַעְזֹר חָיִל בְּכֹחַ מִלְחָמָה עֹשֵׂי מֵאוֹת וַחֲמֵשׁ אֶלְפִים
— — — — — — — — — 敵に–対して 王を
H0341 H4428 H5826 H2428 H4421 H3967 H2568 H0505

その指揮下にある軍勢は三十万七千五百人で、皆大いなる力をもって戦い、王を助けて敵に当った。

14 וַיָּכֶן לָהֶם עֻזִּיָּהוּ לְכָל־ הַצִּבָּא מָגנִים וְרמָחִים וְכוֹבָעִים וְשִׁרְיוֹת
そして–整えた 彼らの–ために ウジヤは 全軍に 盾と 槍と かぶとと よろいと 弓と
H1992 H5818 H3605 H4043 H7420 H3553

וּקְשָׁתוֹת לְאַבְנֵי קֶלַע׃
投石の–石を — —
H7198 H0068

ウジヤはその全軍のために盾、やり、かぶと、よろい、弓および石投げの石を備えた。

15 וַיַּעַשׂ בִּירוּשָׁלַם חִשְׁבֹנוֹת חֹשֵׁב מַחֲשֶׁבֶת לִהְיוֹת
そして–造った エルサレムに 巧みな–仕掛けを 塔の–上と 資家の–考案の 角の–上に–置くために
H3389 H2810 H2803 H4284 H1961

עַל־ וְעַל־ הַפִּנּוֹת לִירוֹא הֻעָזָה בְּלִתֵּי הַמִּגְדָּלִים עַל־
矢と そして–広まった 彼の–名は 遠くまで 不思議に–助けられた–からである 大きな–石を–射るために
H4026 H6438 H2678

וּבָאֲבָנִים גְּדֹלוֹת וַיֵּצֵא שְׁמוֹ עַד־ מֵרָחוֹק לְמַעְרָה הִפְלִיא כִּי־ לְהֵעָזֵר עַד חָזָק׃
強くなるまで — — — — — — — — — — —
H0068 H3318 H8034 H5704 H7350 H6381 H5826 H5704 H2388

彼はまたエルサレムで技術者の考案した機械を造って、これをやぐらおよび城壁のすみずみにすえ、これをもって矢および大石を射出した。こうして彼の名声は遠くまで広まった。彼が驚くほど神の助けを得て強くなったからである。

16 וּכְחֶזְקָתוֹ גָּבַהּ לִבּוֹ עַד־ לְהַשְׁחִית וַיִּמְעַל בַּיהוָה
しかし–強くなると 高ぶった 彼の–心は 滅びに–至るまで そして–背いた 主に 彼の–神に
H2393 H1361 H3068 H5704 H7843 H4603 H3068

אֱלֹהָיו וַיָּבֹא אֶל־ הֵיכַל לְהַקְטִיר עַל־ מִזְבַּח הַקְּטֹרֶת׃
神殿に 主の そして–入った 香を–たくために 香の–祭壇の–上で — — — —
H0413 H0935 H0430 H1964 H3068 H4196 H7004

ところが彼は強くなるに及んで、その心に高ぶり、ついに自分を滅ぼすに至った。すなわち彼はその神、主にむかって罪を犯し、主の宮にはいって香の祭壇の上に香をたこうとした。

17 וַיָּבֹא אַחֲרָיו עֲזַרְיָהוּ הַכֹּהֵן וְעִמּוֹ וְכֹהֲנִים לַיהוָה שְׁמוֹנִים
そこで–入った アザルヤが 彼の–後に 祭司が 彼と–共に 主の–祭司たちが 八十人
H0935 H5838 H3548 H3548 H3068

בְּנֵי־ חָיִל׃
— —
H2428 H8084

勇敢な–者たちが

その時、祭司アザリヤは主の祭司である勇士八十人を率いて、彼のあとに従ってはいり、

18

לוֹ	וַיֹּאמְרוּ	הַמֶּלֶךְ	עֻזִּיָּהוּ	עַל־	וַיַּעַמְדוּ
ウジヤよ	あなたの–ことではない	彼に	そして–言った	ウジヤ–王に	そして–立ち向かった
	H0559	H4428	H5818		H5975

כִּי	לַיהוָה	לְהַקְטִיר	עֻזִּיָּהוּ	לְךָ	לֹא־
香を–たくための	聖別された–者たちの	アロンの–子らの	祓司たちの–ことである	主に	香を–たくことは
	H3068		H5818		H3808

הַמִּקְדָּשׁ	מִן־	צֵא	לְהַקְטִיר	הַמְקֻדָּשִׁים	אַהֲרֹן	בְּנֵי־	לַכֹּהֲנִים
—	—	主–神からの	誉れは	あなたには–ない	背いた–からである	聖所から	出なさい
H4720		H3318		H6942	H0175		H3548

אֱלֹהִים׃	מֵיְהוָה	לְכָבוֹד	לְךָ	וְלֹא־	מָעַלְתָּ	כִּי
—	—	—	—	—	—	—
H0430	H3068	H3519		H3808	H4603	

ウジヤ王を引き止めて言った、「ウジヤよ、主に香をたくことはあなたのなすべきことではなく、ただアロンの子孫で、香をたくために清められた祭司たちのすることです。すぐ聖所から出なさい。あなたは罪を犯しました。あなたは主なる神から栄えを得ることはできません」。

19

עִם־	וּבְזַעְפּוֹ	לְהַקְטִיר	מִקְטֶרֶת	וּבְיָדוֹ	עֻזִּיָּהוּ	וַיִּזְעַף
祓司たちと	怒っている–とき	香を–たくための	香炉が–あった	手には	ウジヤは	すると–怒った
	H2196		H4730	H3027	H5818	H2196

יְהוָה	בְּבֵית	הַכֹּהֲנִים	לִפְנֵי	בְּמִצְחוֹ	זָרְחָה	וְהַצָּרַעַת	הַכֹּהֲנִים
—	—	香の–祭壇の–そばで	主の–家で	祓司たちの–前で	彼の–額に	現れた	らい病が
H3068		H3548	H6440	H4696	H2224	H6883	H3548

הַקְּטֹרֶת׃	לְמִזְבַּח	מֵעַל
—	—	—
H7004	H4196	

するとウジヤは怒りを発し、香炉を手にとって香をたこうとしたが、彼が祭司に向かって怒りを発している間に、らい病がその額に起った。時に彼は主の宮で祭司たちの前、香の祭壇のかたわらにいた。

20

וְכָל־	הָרֹאשׁ	כֹּהֵן	עֲזַרְיָהוּ	אֵלָיו	וַיִּפֶן	
見よ–彼は	すべての–祓司たちが	祓司の–頭が	アザルヤが	彼に	そして–振り向いた	
H3605		H3548	H5838	H0413	H6437	

וְגַם־	מִשָּׁם	וַיְבַהֲלֻהוּ	בְּמִצְחוֹ	מִצָּרָע	הוּא	וְהִנֵּה־	הַכֹּהֲנִים
出るために	急いだ	彼自身も	また	そこから	そこで–急がせた	額に	らい病で–あった
H1571	H8033	H0926	H4696	H6879	H1931	H2009	H3548

יְהוָה׃	נְגָעוֹ	כִּי	לָצֵאת	נִדְתָּךְ	הוּא	
—	—	—	—	彼を	主が–打った–からである	
H3068	H5060		H3318	H1765	H1931	

祭司の長アザリヤおよびすべての祭司たちが彼を見ると、彼の額にらい病が生じていたので、急いで彼をそこから追い出した。彼自身もまた主に撃たれたことを知って、急いで出て行った。

21

וַיֵּשֶׁב	מוֹתוֹ	יוֹם	עַד־	וּמְצֹרָע	הַמֶּלֶךְ	עֻזִּיָּהוּ	וַיְהִי
らい病の–まま	家に	離れの	そして–住んだ	死の–日まで	らい病の–まま	ウジヤ–王は	そして–いた
H3427	H4194	H3117	H5704	H6879	H4428	H5818	H1961

נִגְזָר	כִּי	מִצָּרָע	(הַחָפְשִׁית)	[החפשות]	בָּיִת	
裁いていた	王の–家の–上に–立ち	彼の–息子が	ヨタムが	主の–家から	断たれた–からである	
H1504		H6879	H2669	H2669		

הָאָרֶץ׃	עַם	אֶת־	שׁוֹפֵט	הַמֶּלֶךְ	בַּיִת	עַל־	בְּנוֹ	וְיוֹתָם	יְהוָה	מִבַּית
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	地の–民を
H0776		H0853	H8199	H4428				H3147	H3068	

ウジヤ王は、死ぬ日までらい病人であった。彼はらい病人であったので、離れ殿に住んだ。主の宮から断たれたからである。その子ヨタムが王の家をつかさどり、国の民を治めた。

בֶּן־	יְשַׁעְיָהוּ	כָּתַב	וְהָאַחֲרֹנִים	הָרִאשֹׁנִים	עֻזִּיָּהוּ	דִּבְרֵי	וְיֶתֶר	22
預言者が	アモツの-子の	イザヤが	書いた	終わりまで	初めから	残りの-事績は	ウジヤの	
	H3789	H0314	H7223	H5818	H1697			

הַנָּבִיא׃	אָמוֹץ
—	—
H5030	H0531

ウジヤのその他の始終の行為は、アモツの子預言者イザヤがこれを書きしるした。

							23
עִם־	אֹתָו	וַיִּקְבְּרוּ	אֲבֹתָיו	עִם־	עֻזִּיָּהוּ	וַיִּשְׁכַּב	
埋葉の	先祖たちと-共に	彼を	そして-葬った	先祖たちと-共に	ウジヤは	そして-横たわった	
	H0853	H6912	H0001		H5818	H7901	

אָמְרוּ	כִּי	לַמְּלָכִים	אֲשֶׁר	הַקְּבוּרָה	בִּשְׂדֶה	אֲבֹתָיו
ヨタムが	そして-王となった	彼は	らい病人で-あると	言った-からである	王たちの	野に
H0559		H4428		H6900		H0001

פ	תַּחְתָּיו׃	בְּנוֹ	יוֹתָם	וַיִּמְלֹךְ	הוּא	מְצֹרָע
—	—	—	—	—	彼に-代わって	彼の-息子が
	H8478		H3147		H1931	H6879

ウジヤは先祖たちと共に眠ったので、人々は「彼はらい病人である」と言って、王たちの墓に連なる墓地に、その先祖たちと共に葬った。その子ヨタムが彼に代って王となった。

Chapter 27

מָלַךְ	שָׁנָה	עֶשְׂרֵה	וְשֵׁשׁ־	בְּמָלְכֹו	יוֹתָם	שָׁנָה	וְחָמֵשׁ	עֶשְׂרִים	בֶּן־	1
治めた	年間	六	そして-十	王と-なった-時に	ヨタム	歳の	と-五	二十	の-息子	
	H8141	H6240	H8337		H3147	H8141	H2568	H6242		

צָדוֹק׃	בַּת־	יְרוּשָׁה	אִמּוֹ	וְשֵׁם	בִּירוּשָׁלִָם
ツァドクの	の-娘	エルシャ	彼の-母の	そして-名は	エルサレムで
H6659	H1323	H3388	H0517	H8034	H3389

ヨタムは王となった時二十五歳で、十六年の間エルサレムで世を治めた。その母はザドクの娘で名をエルシャといった。

עֻזִּיָּהוּ	עָשָׂה	אֲשֶׁר־	כְּכֹל	יְהוָה	בְּעֵינֵי	הַיָּשָׁר	וַיַּעַשׂ		2
ウジヤ	行った	こと-を	すべての-ように	主の	の-目に	正しい-ことを	そして-彼は-行った		
H5818			H3605	H3068		H3477			

מַשְׁחִיתִים׃	הָעָם	וְעוֹד	יְהוָה	הֵיכַל	אֶל־	בָּא	לֹא־	רַק	אָבִיו
堕落-していた	民は	しかし-なお	主の	神殿	に	入ら	なかった	ただし	彼の-父が
H7843		H5750	H3068	H1964	H0413	H0935	H3808	H7535	H0001

ヨタムはその父ウジヤがしたように主の良しと見られることをした。しかし主の宮には、はいらなかった。民はなお悪を行った。

בָּנָה	הָעֶפֶל	וּבְחוֹמַת	הָעֶלְיוֹן	יְהוָה	בֵּית־	שַׁעַר	אֶת־	בָּנָה	הוּא	3
建てた	オフェルの	そして-の-城壁に	上の	主の	の-宮の	門を	—	建てた	彼は	
H1129	H6077	H2346		H3068		H8179	H0853	H1129	H1931	

לָרֹב׃
多くを
H7230

彼は主の宮の上の門を建て、オペルの石がきを多く築き増し、

4 וְעָרִים בָּנָה וּבְחֻרְשִׁים בָּנָה בִּירָנִיּוֹת וּמִגְדָּלִים׃
そして–町々を 建てた そして–森の–中に 建てた 砦と 見張り台を
H1129 H2793 H1129 H1003 H4026

またユダの山地に数個の町を建て、林の間に城とやぐらを築いた。

5 וְהוּא נִלְחַם עִם־מֶלֶךְ בְּנֵי־עַמּוֹן וַיֶּחֱזַק עֲלֵיהֶם
そして–彼は 戦った と 王 の–子らの アンモン そして–打ち勝った 彼らに
H1931 H4428 H5983 H2388

וַיִּתְּנוּ־לוֹ בְּנֵי־עַמּוֹן בַּשָּׁנָה הַהִיא מֵאָה כִכַּר־כֶּסֶף וַעֲשֶׂרֶת
そして–与えた 彼に の–子らは アンモン その–年に その 百 タラントの 銀 そして–一万
H5414 H5983 H8141 H1931 H3967 H3603 H3701 H6235

אַלְפֵי כֹרִים חִטִּים וּשְׂעוֹרִים עֶשְׂרֶת אֲלָפִים זֹאת הֵשִׁיבוּ לוֹ בְּנֵי עַמּוֹן׃
— コルの 小麦と 大麦を 一万 これを 納めた 彼に の–子らは アンモン
H0505 H2406 H8184 H6235 H2063 H7725 H3969 H5983

וּבַשָּׁנָה הַשֵּׁנִית וְהַשְּׁלִשִׁית׃ ס
第三–年にも 二–年にも そして–第 —
H7992 H8145 H8141

彼はアンモンびとの王と戦ってこれに勝った。その年アンモンの人々は銀百タラント、小麦一万コル、大麦一万コルを彼に贈った。アンモンの人々は第二年にも第三年にも同じように彼に納めた。

6 וַיִּתְחַזֵּק כִּי הֵכִין לִפְנֵי יְהוָה אֱלֹהָיו׃ דְּרָכָיו יוֹתָם
そして–強く–なった なぜなら 整えた 彼の–道を の–御前に 主 彼の–神の ヨタムは
H2388 H3147 H3559 H1870 H6440 H3068 H0430

ヨタムはその神、主の前にその行いを堅くしたので力ある者となった。

7 וְיֶתֶר דִּבְרֵי יוֹתָם וְכָל־מִלְחַמְתָּיו וּדְרָכָיו הִנָּם כְּתוּבִים
そして–残りの 事績は ヨタムの そして–すべての 戦いと 彼の–道は 見よ 記されている
H1697 H3147 H3605 H4421 H1870 H2009 H3789

עַל־סֵפֶר מַלְכֵי־יִשְׂרָאֵל וִיהוּדָה׃
の–上に 書 の–王たちの イスラエル と–ユダの
H3063 H3478 H4428 H5612

ヨタムのその他の行為、そのすべての戦いおよびその行いなどは、イスラエルとユダの列王の書にしるされている。

8 בֶּן־עֶשְׂרִים שָׁנָה וְשֵׁשׁ־שָׁנִים מָלַךְ בִּירוּשָׁלִָם׃
の–息子 二十 と–五 歳の であった 王と–なった–時に 十 そして–六 年間 治めた
H6242 H2568 H8141 H1961 H8337 H6240 H8141

彼は王となった時、二十五歳で、十六年の間エルサレムで世を治めた。

9 וַיִּשְׁכַּב יוֹתָם אֶת־אֲבֹתָיו וַיִּקְבְּרוּ אֹתוֹ בְּעִיר דָּוִיד
そして–眠りについた ヨタムは と–共に 先祖たち そして–葬られた 彼を の–町に ダビデの
H7901 H3147 H0854 H0001 H6912 H0853 H5892 H1732

פ בְּנוֹ אָחָז וַיִּמְלֹךְ תַּחְתָּיו׃
— 彼の–息子 アハズが そして–王と–なった 彼に–代わって
H0271 H8478

ヨタムはその先祖と共に眠ったので、ダビデの町に葬られ、その子アハズが彼に代って王となった。

Chapter 28

1 בֶּן־ עֶשְׂרִים שָׁנָה אָחָז בְּמָלְכוֹ וְשֵׁשׁ־ עֶשְׂרֵה שָׁנָה מָלַךְ
二十 の-息子 歳の アハズ 王と-なった-時に そして-十 六 年間 治めた
H6242 H8141 H0271 H8337 H6240 H8141

בִּירוּשָׁלָם וְלֹא־ עָשָׂה הַיָּשָׁר בְּעֵינֵי יְהוָה כְּדָוִיד אָבִיו׃
エルサレムで そして-なかった 行わ 正しい-ことを の-目に 主の ダビデの-ように 彼の-父
H3389 H3808 H6213 H3477 H3068 H1732 H0001

アハズは王となった時二十歳で、十六年の間エルサレムで世を治めたが、その父ダビデとは違って、主の良しと見られることを行わず、

2 וַיֵּלֶךְ בִּדַרְכֵי מַלְכֵי יִשְׂרָאֵל וְגַם מַסֵּכוֹת עָשָׂה לַבְּעָלִים׃
そして-歩んだ の-道に 王たちの イスラエルの そして-また 鋳像を 造った バアルの-ために
H3212 H1870 H4428 H3478 H1571 H4541 H6213

イスラエルの王たちの道に歩み、またもろもろのバアルのために鋳た像を造り、

3 וְהוּא הִקְטִיר בְּגֵיא בֶן־ הִנֹּם וַיְבַעֵר אֶת־ בָּנָיו
そして-彼は 香を-たいた の-谷で の-子の ヒンノム 焼いた そして- 息子たちを
H1931 H6999 H1516 H1121 H2011 H1197 H0853 H1121

בְּאֵשׁ הַגּוֹיִם כְּתֹעֲבוֹת אֲשֶׁר הוֹרִישׁ יְהוָה מִפְּנֵי בְּנֵי׃
火の-中で の-忌み嫌う-ことに-ならい 諸国民の それらを 追い出された 主が の-前から の-子らの
H0784 H8441 H1471 H3423 H3068 H6440 H1121

イスラエル
H3478

ベンヒンノムの谷で香をたき、その子らを火に焼いて供え物とするなど、主がイスラエルの人々の前から追い払われた異邦人の憎むべき行いにならい、

4 וַיִּזְבַּח וַיְקַטֵּר בַּבָּמוֹת וְעַל־ הַגְּבָעוֹת וְתַחַת כָּל־ עֵץ רַעֲנָן׃
そして-いけにえを-ささげ 香を-たいた 高き所で そして-の-上で 丘の そして-の-下で すべての 木の 青々と-した
H2076 H6999 H1116 H5921 H1389 H8478 H3605 H6086 H7488

また高き所の上、丘の上、すべての青木の下で犠牲をささげ、香をたいた。

5 וַיִּתְּנֵהוּ בְּיַד־ מֶלֶךְ אֲרָם וַיַּכּוּ־ בּוֹ וַיִּשְׁבּוּ מִמֶּנּוּ שִׁבְיָה גְדוֹלָה וַיְבִיאוּ דַּרְמֶשֶׂק וְגַם בְּיַד־ מֶלֶךְ יִשְׂרָאֵל נִתָּן וַיַּךְ־ בּוֹ מַכָּה גְדוֹלָה׃ ס
そして-渡された 主は 彼の-神 の-手に 王の アラムの そして-彼らは-打った 彼を
H5414 H3068 H0430 H3027 H4428 H0758 H5221 H1571 H3027

そして-捕虜と-した 彼から 捕虜を 大いなる そして-連れて-きた ダマスコへ そして-また の-手に
H7617 H4457 H7633 H1419 H0935 H1834 H1571 H3027

イスラエルの 王の 渡された そして-彼は-打った 彼を 打撃で 大きな
H3478 H4428 H5414 H5221 H1931 H4347 H1419

—

それゆえ、その神、主は彼をスリヤの王の手に渡されたので、スリヤびとは彼を撃ち破り、その民を多く捕虜として、ダマスコに引いて行った。彼はまたイスラエルの王の手にも渡されたので、イスラエルの王も彼を撃ち破って大いに殺した。

										6
אֶחָד	בְּיוֹם	אֶלֶף	וְעֶשְׂרִים	מֵאָה	בִּיהוּדָה	רְמַלְיָהוּ	בֶּן־	פֶּקַח	וַיַּהַרֹג׃	
―	の-日に	千	と-二十	十二-万を	ユダで	レマルヤの	の-息子	ペカ	そして-殺した	
H0259	H3117	H0505	H6242	H3967	H3063	H7425		H6492	H2026	

אֲבוֹתָם׃	אֱלֹהֵי	יְהוָה	אֶת־	בְּעָזְבָם	חָיִל	בְּנֵי־	הַכֹּל
先祖たちの	神	主を	―	捨てたので	勇士の	の-子ら	すべて
H0001	H0430	H3068	H0853		H2428		H3605

すなわちレマリヤの子ペカはユダで一日のうちに十二万人を殺した。皆勇士であった。これは彼らがその先祖の神、主を捨てたためである。

									7
וְאֶת־	הַמֶּלֶךְ	בֶּן־	מַעֲשֵׂיָהוּ	אֶת־	אֶפְרַיִם	גִּבּוֹר	וּזְכְרִי	וַיַּהַרֹג	
そして	王の	の-息子	マアセヤを	―	エフライムの	勇士	ジクリ	そして-殺した	
H0853	H4428		H4641	H0853	H0669	H1368	H2147	H2026	

ס	הַמֶּלֶךְ׃	מִשְׁנֵה	אֶלְקָנָה	וְאֶת־	הַבַּיִת	נְגִיד	עַזְרִיקָם
―	王の	副官	エルカナを	そして	宮殿の	長官	アズリカムを
	H4428	H4932	H0511	H0853		H5057	H5840

その時、エフライムの勇士ジクリという者が王の子マアセヤ、宮内大臣アズリカムおよび王に次ぐ人エルカナを殺した。

								8
בָּנִים	נָשִׁים	אֶלֶף	מָאתַיִם	מֵאֲחֵיהֶם	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי־	וַיִּשְׁבּוּ	
息子たち	女たち	千	二十-万の	同胞から	イスラエル	の-子らは	そして-捕虜と-した	
	H0802	H0505	H3967	H0251	H3478		H7617	

הַשָּׁלָל	אֶת־	וַיָּבִיאוּ	מֵהֶם	בָּזְזוּ	רָב	שָׁלָל	וְגַם־	וּבָנוֹת
略奪品を	―	そして-持って-きた	彼らから	奪い取った	多くの	略奪品を	そして-また	娘たちを
H7998	H0853	H0935	H1992	H0962		H7998	H1571	H1323

ס	לְשֹׁמְרוֹן׃	
―	サマリアへ	
	H8111	

イスラエルの人々はついにその兄弟のうちから婦人ならびに男子、女子など二十万人を捕虜にし、また多くのぶんどり物をとり、そのぶんどり物をサマリヤに持って行った。

									9
הַצָּבָא	לִפְנֵי	וַיֵּצֵא	שְׁמוֹ	עֹדֵד	לַיהוָה	נָבִיא	הָיָה	וְשָׁם	
軍勢の	の-前に	そして-出て-行った	名の	オデデ	主の	預言者が	いた	そして-そこに	
	H6440	H3318	H8034	H5752	H3068	H5030	H1961	H8033	

אֲבוֹתֵיכֶם	אֱלֹהֵי־	יְהוָה	בַּחֲמַת	הִנֵּה	לָהֶם	וַיֹּאמֶר	לְשֹׁמְרוֹן	הַבָּא
あなたがたの-先祖たちの	神	主	の-怒りで	見よ	彼らに	そして-言った	サマリアへ	来る
H0001	H0430	H3068	H2534	H2009		H0559	H8111	H0935

בְּזַעַף	בָּם	וַתַּהַרְגוּ־	בְּיֶדְכֶם	נְתָנָם	יְהוּדָה	עַל־	
激しい-怒りで	彼らを	そして-あなたがたは-殺した	あなたがたの-手に	渡された	ユダ	に-対する	
H2197		H2026	H3027	H5414	H3063		

הִגִּיעַ׃	לַשָּׁמַיִם	עַד	
届いた	天にまで	まで	
H5060	H8064	H5704	

その時そこに名をオデデという主の預言者があって、サマリヤに帰って来た軍勢の前に進み出て言った、「見よ、あなたがたの先祖の神、主はユダを怒って、これをあなたがたの手に渡されたが、あなたがたは天に達するほどの怒りをもってこれを殺した。

10 וְעַתָּה בְּנֵי־יְהוּדָה וִירוּשָׁלַ͏ִם אַתֶּם אֹמְרִים לְכְבֹשׁ לָכֶם לַעֲבָדִים
今 の-子らを ユダ と-エルサレムの あなたがたは 言っている 従わせようと 奴隷
H6258 H1121 H3063 H3389 H0559 H3533 H5650

וְלִשְׁפָחוֹת אַתְּ רַק־ הֲלֹא לָכֶם עִמָּכֶם אַשְׁמוֹת
と-女奴隷と-して あなたがた ただ ではないか あなたがたの-ために あなたがたの-うちにも 罪が
H8198 H0859 H7535 H3808 H0859 H5973 H0819

לַיהוָה אֱלֹהֵיכֶם׃
主-に-対する あなたがたの-神の
H3068 H0430

それればかりでなく、あなたがたは今、ユダとエルサレムの人々を従わせて、自分の男女の奴隷にしようと思っている。しかしあなたがた自身もまた、あなたがたの神、主に罪を犯しているではないか。

11 וְעַתָּה שִׁמְעוּנִי וְהָשִׁיבוּ הַשִּׁבְיָה אֲשֶׁר שְׁבִיתֶם מֵאֲחֵיכֶם כִּי
今 聞きなさい そして-帰しなさい 捕虜たちを その 捕らえた 兄弟たちから なぜなら
H6258 H8085 H7725 H7633 H0834 H7617 H0251 H3588

חֲרוֹן אַף־ יְהוָה עֲלֵיכֶם׃ ס
燃える 怒り-が 主の あなたがたの-上に —
H2740 H0639 H3068 H5921 H0853

いまわたしに聞き、あなたがたがその兄弟のうちから捕えて来た捕虜を放ち帰らせなさい。主の激しい怒りがあなたがたの上に臨んでいるからです」。

12 וַיָּקֻמוּ אֲנָשִׁים מֵרָאשֵׁי בְנֵי־ אֶפְרַיִם עֲזַרְיָהוּ בֶן־
そして-立ち上がった 人々が かしらたちから 子らの エフライム アザルヤ の-息子
H6965 H0376 H7218 H1121 H0669 H5838 H1121

יְהוֹחָנָן בֶּרֶכְיָהוּ בֶן־ מְשִׁלֵּמוֹת יְחִזְקִיָּהוּ בֶן־ שַׁלֻּם וַעֲמָשָׂא בֶן־
ヨハナンの ベレクヤ の-息子 メシレモトの ヒゼキヤ の-息子 シャルムの そして-アマサ の-息子
H3076 H1296 H1121 H4919 H3169 H1121 H7967 H6021 H1121

חַדְלַי לְעַל־ הַבָּאִים מִן־ הַצָּבָא׃
ハドライの に-対して 来る-者たちに から 軍勢の
H2311 H5921 H0935 H4480 H6635

そこでエフライムびとのおもなる人々、すなわちヨハナンの子アザリヤ、メシレモテの子ベレキヤ、シャルムの子ヒゼキヤ、ハデライの子アマサらもまた、戦争から帰った者どもに向かって立ちあがり、

13 וַיֹּאמְרוּ לֹא־ לָהֶם וְלִקְחָה הַשִּׁבְיָה אֶת־ כִּי לְאַשְׁמַת
そして-言った ない 彼らに 連れて-きては-なら 捕虜たちを — なぜなら の-罪を
H0559 H3808 H0413 H3947 H7633 H0853 H3588 H0819

עָלֵינוּ יְהוָה אֹמְרִים אַתֶּם עַל־ חַטֹּאתֵינוּ וְעַל־
私たちの-上に 主 言っている あなたがたは 私たちの-上に 加えようと の-上に 私たちの-罪 そして-の-上に
H5921 H1254 H0559 H0859 H5921 H0819 H3068 H5921

אַשְׁמָתֵנוּ רַבָּה כִּי־ לָנוּ וַחֲרוֹן אַף עַל־ יִשְׂרָאֵל׃ ס
私たちの-咎 大きい まことに 私たちの 燃える そして-怒りが の-上に イスラエル —
H0819 H7227 H3588 H0369 H2740 H0639 H5921 H3478

彼らに言った、「捕虜をここに引き入れてはならない。あなたがたはわたしどもに主に対するとがを得させて、さらにわれわれの罪とがを増し加えようとしている。われわれのとがは大きく、激しい怒りがイスラエルの上に臨んでいるからです」。

14 וַיַּעַזְבוּ֙ הֶחָלוּץ֙ אֶת־ הַשְּׁבִיָ֔ה וְאֶת־ הַבִּזָּ֖ה לִפְנֵ֣י הַשָּׂרִ֑ים וְכָל־ הָעֵדָ֖ה הַקָּהָֽל׃

וַיַּעַזְבוּ֙	הֶחָלוּץ֙	אֶת־	הַשְּׁבִיָ֔ה	וְאֶת־	הַבִּזָּ֖ה	לִפְנֵ֣י	הַשָּׂרִ֑ים	וְכָל־	הָעֵדָ֖ה	הַקָּהָֽל׃
そして–手放した	武装兵は	—	捕虜たちと	そして	略奪品を	の–前で	首長たちと	すべての–会衆の		—
H5800	H2502	H0853	H7633	H0853	H0961	H6440	H8269	H3605		H6951

そこで兵卒どもがその捕虜とぶんどり物をつかさたちと全会衆の前に捨てておいたので、

15 וַיָּקֻ֣מוּ הָאֲנָשִׁ֗ים אֲשֶׁר־ נִקְבוּ֙ בְּשֵׁמ֔וֹת וַיַּחֲזִ֖יקוּ בַּשְּׁבִיָ֑ה וְכָל־ מַעֲרֻמֵיהֶם֙ הִלְבִּישׁ֣וּ מִן־ הַשָּׁלָ֔ל וַיַּלְבְּשׁ֥וּם וַיְנַעֲל֖וּם וַיַּאֲכִלֻ֣ם וַיַּשְׁקֻ֑ם וַיְסֻכֻּ֗ם וַיְנַהֲלֻם֙ בַּחֲמֹרִ֔ים לְכָל־ כּוֹשֵׁ֖ל וַיְבִיאֻ֣ם אֶל־ עִ֣יר יְרֵח֔וֹ אֲחֵיהֶ֖ם אֵ֣צֶל וַיָּשֻׁ֑בוּ שֹׁמְרֽוֹן׃ פ

וַיָּקֻ֣מוּ	הָאֲנָשִׁ֗ים	אֲשֶׁר־	נִקְבוּ֙	בְּשֵׁמ֔וֹת	וַיַּחֲזִ֖יקוּ	בַּשְּׁבִיָ֑ה	וְכָל־	מַעֲרֻמֵיהֶם֙	הִלְבִּישׁ֣וּ	מִן־	הַשָּׁלָ֔ל	וַיַּלְבְּשׁ֥וּם	וַיְנַעֲל֖וּם	וַיַּאֲכִלֻ֣ם	וַיַּשְׁקֻ֑ם	וַיְסֻכֻּ֗ם	וַיְנַהֲלֻם֙	בַּחֲמֹרִ֔ים	לְכָל־	כּוֹשֵׁ֖ל	וַיְבִיאֻ֣ם	אֶל־	עִ֣יר	יְרֵח֔וֹ	אֲחֵיהֶ֖ם	אֵ֣צֶל	וַיָּשֻׁ֑בוּ	שֹׁמְרֽוֹן׃	פ
そして–立ち上がった	人々は	その	名を–指された	名で	そして–引き取った	捕虜たちを	そして–すべての	裸の–者たちに	着せた	から	略奪品の	そして–着せて	そして–履物を–与え	そして–食べさせ	そして–飲ませ	そして–油を–塗り	そして–導いた	ろばに–乗せて	すべての	弱い–者を	そして–連れて–きた	エリコ	の–町	なつめ椰子の	の–もとに	彼らの–兄弟たち	そして–帰った	サマリアへ	—
H6965	H0376	H0834	H5344	H8034	H2388	H7633	H3605	H4636	H3847		H7998	H3847	H5647	H8248	H5526	H5480	H5095	H2543	H3605	H3782	H0935	H3405		H8558	H0681	H0251	H7725	H8111	

前に名をあげた人々が立って捕虜を受け取り、ぶんどり物のうちから衣服をとって、裸の者に着せ、また、くつをはかせ、食い飲みさせ、油を注ぎなどし、その弱い者を皆ろばに乗せ、こうして彼らをしゅろの町エリコに連れて行って、その兄弟たちに渡し、そしてサマリヤに帰って来た。

16 בָּעֵ֣ת הַהִ֗יא שָׁלַ֤ח הַמֶּ֙לֶךְ֙ אָחָ֔ז עַל־ מַלְכֵ֖י אַשּׁ֑וּר לַעְזֹ֥ר לֽוֹ׃

בָּעֵ֣ת	הַהִ֗יא	שָׁלַ֤ח	הַמֶּ֙לֶךְ֙	אָחָ֔ז	עַל־	מַלְכֵ֖י	אַשּׁ֑וּר	לַעְזֹ֥ר	לֽוֹ׃
の–時に	その	遣わした	王	アハズは	に–対して	王たちに	アッシリアの	助けを	彼に
H6256	H1931	H7971	H4428	H0271		H4428	H0804	H5826	

その時アハズ王は人をアッスリヤの王につかわして助けを求めさせた。

17 וְעוֹד֙ בָּא֣וּ אֲדוֹמִ֔ים וַיַּכּ֖וּ בִּיהוּדָ֑ה וַיַּשְׁבּ֥וּ שֶׁ֖בִי׃

וְעוֹד֙	בָּא֣וּ	אֲדוֹמִ֔ים	וַיַּכּ֖וּ	בִּיהוּדָ֑ה	וַיַּשְׁבּ֥וּ	שֶׁ֖בִי׃		
そして–さらに	来て	エドム人が	そして–打った	ユダを	そして–捕虜を–取った	捕虜を		
H5750	H0935	H0130	H5221	H3063	H7617			

エドムびとが再び侵入してユダを撃ち、民を捕え去ったからである。

18 וּפְלִשְׁתִּ֗ים בְּעָרֵ֤י הַשְּׁפֵלָה֙ וְהַנֶּ֣גֶב֔ לִֽיהוּדָ֖ה וַיִּלְכְּד֣וּ וַיָּשִׁ֗בוּ אֶת־ שׂוֹכֹ֤ו וּבְנוֹתֶ֙יהָ֙ וְאֶת־ הַגִּדֵּר֣וֹת וְאֶת־ אַיָּל֔וֹן וְאֶת־ בֵּית־שֶׁ֖מֶשׁ וּבְנוֹתֶ֑יהָ וְאֶת־ תִּמְנָ֣ה וְאֶת־ גִּמְזֹ֔ו וּבְנוֹתֶ֖יהָ וְאֶת־ תִּמְנָ֣ה וְאֶת־ גִּמְזֹ֔ו וּבְנוֹתֶ֖יהָ וַיֵּשְׁבוּ֙ בָּהֶ֔ם וְאֶת־ שָׁ֑ם

וּפְלִשְׁתִּ֗ים	בְּעָרֵ֤י	הַשְּׁפֵלָה֙	וְהַנֶּ֣גֶב֔	לִֽיהוּדָ֖ה	וַיִּלְכְּד֣וּ	וַיָּשִׁ֗בוּ	אֶת־	שׂוֹכֹ֤ו	וּבְנוֹתֶ֙יהָ֙	וְאֶת־	הַגִּדֵּר֣וֹת	וְאֶת־	אַיָּל֔וֹן	וְאֶת־	בֵּית־שֶׁ֖מֶשׁ	וּבְנוֹתֶ֑יהָ	וְאֶת־	תִּמְנָ֣ה	וְאֶת־	גִּמְזֹ֔ו	וּבְנוֹתֶ֖יהָ	וַיֵּשְׁבוּ֙	בָּהֶ֔ם	וְאֶת־	שָׁ֑ם						
そして	の–町々を	低地の	と–ネゲブの	ユダの	そして–取った	—	その–周辺の–村々と	ソコと		そして	ゲデロトと	そして	アヤロンと	そして	ベテ–シェメシュと		そして	ティムナと	そして	ギムゾと		そして–住んだ		そして	そこに						
H6584		H8219	H5045	H3063	H3920	H0853	H1323	H7755		H0853	H1450	H0853	H0357	H0853	H1053		H0853	H8553	H0853	H1579		H3427		H0853	H8033						

ペリシテびともまた平野の町々およびユダのネゲブの町々を侵して、ベテシメシ、アヤロン、ゲデロテおよびソコとその村里、テムナとその村里、ギムゾとその村里を取って、そこに住んだ。

19 כִּי־ הִכְנִיעַ יְהוָה אֶת־ יְהוּדָה בַּעֲבוּר אָחָז מֶלֶךְ־ יִשְׂרָאֵל כִּי
まことに 低くされた 主は ユダを のゆえに アハズ 王–の イスラエル まことに
H3665 H3068 H0853 H3063 H5668 H0271 H4428 H3478

הִפְרִיעַ בִּיהוּדָה וּמָעֹל מָעַל בַּיהוָה׃
勝手に–ふるまった ユダで そして–大いに–背いた 背いた 主に
H6544 H3063 H4603 H4604 H3068

これはイスラエルの王アハズのゆえに、主がユダを低くされたのであって、彼がユダのうちにみだらなことを行い、主に向かって大いに罪を犯したからである。

20 וַיָּבֹא עָלָיו תִּלְגַּת פִּלְנֶאסֶר מֶלֶךְ אַשּׁוּר וַיָּצַר לוֹ
そして–来た 彼の–もとに ティルガト ピルネセル 王 アッシリアの そして–苦しめた 彼を
H0935 H5921 H8407 H8407 H4428 H0804 H3334 H0853

וְלֹא חִזְּקוֹ׃
そして–なかった 強くは–し
H3808 H2388

アッスリヤの王テルガデ・ピルネセルは彼の所に来たが、彼に力を添えないで、かえって彼を悩ました。

21 כִּי־ חָלַק יְהוָה אֶת־ בֵּית יְהוָה וְאֶת־ בֵּית הַמֶּלֶךְ וְהַשָּׂרִים
分けた 主の 宮の そして 主の 宮の 王の と–首長たちの
H2505 H3068 H0853 H3068 H1004 H4428 H8269

נָתַן לְמֶלֶךְ אַשּׁוּר וְלֹא לְעֶזְרָה לוֹ׃
与えた そして–なかった しかし–ならない 助けには–なら 彼の
H5414 H3808 H5833 H0804 H4428

アハズは主の宮と王の家、およびつかさたちの家の物を取ってアッスリヤの王に与えたが、それはアハズの助けにはならなかった。

22 וּבְעֵת הָצַר לוֹ הוּא אָחָז הַמֶּלֶךְ בַּיהוָה לִמְעֹל וַיּוֹסֶף
そして–の–時に 苦しんだ 彼が 彼は アハズは 王 主に 背いた そして–ますます
H6256 H6887 H3254 H4603 H3068 H1931 H0271 H4428

עוֹד׃
H5750

このアハズ王はその悩みの時にあたって、ますます主に罪を犯した。

23 וַיִּזְבַּח לֵאלֹהֵי דַרְמֶשֶׂק הַמַּכִּים בּוֹ וַיֹּאמֶר כִּי אֱלֹהֵי
そして–いけにえを–ささげた の–神々に ダマスコ 打った 彼を そして–言った まことに 神々が
H2076 H0430 H1834 H5221 H0559 H3588 H0430

אֲרַם הֵם עֹזְרִים אוֹתָם לָהֶם אֶזְבַּח
アラム 彼らは 助けている 彼らを 彼らに いけにえを–ささげよう
H0758 H1992 H5826 H0853 H0413 H2076

מַלְכֵי־ אֲרָם וְהֵם הָיוּ־ לוֹ לְהַכְשִׁילוֹ וּלְכָל־
の–王たちの アラム 彼らは なった 彼の つまずきと–なるもの そして–すべての
H4428 H0758 H1992 H1961 H3588 H7406 H3605

יִשְׂרָאֵל׃
イスラエルの
H3478

すなわち、彼は自分を撃ったダマスコの神々に、犠牲をささげて言った、「スリヤの王たちの神々はその王たちを助けるから、わたしもそれに犠牲をささげよう。そうすれば彼らはわたしを助けるであろう」と。しかし、彼らはかえってアハズとイスラエル全国とを倒す者となった。

24 וַיֶּאֱסֹף אָחָז אֶת־כְּלֵי בֵית־הָאֱלֹהִים וַיְקַצֵּץ אֶת־כְּלֵי בֵית־הָאֱלֹהִים
そして-集めた アハズは 器具を の-宮の 神の そして-切り砕いた 器具を 宮
H0622 H0271 H3627 H1004 H0430 H7112 H3627 H0853

וַיְסַגֵּר אֶת־דַּלְתוֹת בֵּית־יְהוָה וַיַּעַשׂ לוֹ מִזְבְּחוֹת בְּכָל־פִּנָּה בִּירוּשָׁלִָם׃
そして-閉じた 扉を の-宮の 主の そして-造った 彼の-ために すべての 角に エルサレムの
H5462 H1817 H1004 H3068 H6213 H3605 H6438 H3389

アハズは神の宮の器物を集めて、神の宮の器物を切り破り、主の宮の戸を閉じ、エルサレムのすべてのすみずみに祭壇を造り、

25 וּבְכָל־עִיר וָעִיר לִיהוּדָה עָשָׂה בָּמוֹת לְקַטֵּר לֵאלֹהִים אֲחֵרִים
そして-すべての 町 町に ユダの 造った 高き所を 香を-たくための 神々に 他の
H3605 H5892 H5892 H3063 H6213 H1116 H6999 H0430 H0312

וַיַּכְעֵס אֶת־יְהוָה אֱלֹהֵי אֲבֹתָיו׃
そして-怒らせた を 主を 神 先祖たちの
H3707 H0853 H3068 H0430 H0001

ユダのすべての町々に高き所を造って、他の神々に香をたきなどして、先祖の神、主の怒りを引き起した。

26 וְיֶתֶר כָּל־דְּבָרָיו וְדְרָכָיו הָרִאשֹׁנִים וְהָאַחֲרוֹנִים הִנָּם כְּתוּבִים
そして-残りの すべての 彼の-事績と 彼の-道は 初めの と-後の 見よ 記されている
H3499 H3605 H1697 H1870 H7223 H0314 H2009 H3789

עַל־סֵפֶר מַלְכֵי־יְהוּדָה וְיִשְׂרָאֵל׃
の-上に 書 の-王たちの ユダ と-イスラエルの
H5921 H5612 H4428 H3063 H3478

アハズのその他の始終の行為およびそのすべての行動は、ユダとイスラエルの列王の書にしるされている。

27 וַיִּשְׁכַּב אָחָז אֶת־אֲבֹתָיו וַיְקַבְּרֻהוּ בָּעִיר בִּירוּשָׁלִַם כִּי
そして-眠りについた アハズは と-共に 先祖たち そして-葬った の-町に エルサレム しかし
H7901 H0271 H5973 H1 H6912 H5892 H3389 H3588

לֹא הֱבִיאֻהוּ לְקִבְרֵי מַלְכֵי יִשְׂרָאֵל וַיִּמְלֹךְ יְחִזְקִיָּהוּ בְנוֹ תַּחְתָּיו׃ פ
なかった 入れ の-墓に 王たちの イスラエルの そして-王と-なった ヒゼキヤが 彼の-息子 彼に-代わって —
H3808 H0935 H6913 H4428 H3478 H4427 H2396 H1121 H8478 H6

アハズはその先祖たちと共に眠ったので、エルサレムの町にこれを葬った。しかし、イスラエルの王たちの墓には持って行かなかった。その子ヒゼキヤが彼に代って王となった。

Chapter 29

1 מָלַךְ יְחִזְקִיָּהוּ בֶּן־עֶשְׂרִים וְחָמֵשׁ שָׁנָה וְתֵשַׁע שָׁנִים וְעֶשְׂרִים
治めた ヒゼキヤは の-息子 二十 と-五 歳の と-九 年間 二十
H8141 H2396 H1121 H6242 H2568 H8141 H8672 H8141 H6242

שָׁנָה מָלַךְ בִּירוּשָׁלִַם וְשֵׁם אִמּוֹ אֲבִיָּה בַּת־זְכַרְיָהוּ׃
年間 治めた エルサレムで そして-名は 彼の-母の アビヤ の-娘 ゼカルヤの
H8141 H4427 H3389 H8034 H517 H0029 H1323 H2148

ヒゼキヤは王となった時二十五歳で、二十九年の間エルサレムで世を治めた。その母はアビヤと言って、ゼカリヤの娘である。

2 וַיַּעַשׂ הַיָּשָׁר בְּעֵינֵי יְהוָה כְּכֹל אֲשֶׁר־ עָשָׂה דָּוִיד
そして–彼は–行った 正しい–ことを の–目に 主の すべての–ように こと–を ダビデが
H6213 H3477 H5869 H3068 H3605 H1732

אָבִיו׃
彼の–父
H1

ヒゼキヤは父ダビデがすべてなしたように主の良しと見られることをした。

3 הוּא בַּשָּׁנָה הָרִאשׁוֹנָה לְמָלְכוֹ בַּחֹדֶשׁ הָרִאשׁוֹן פָּתַח בִּית־ יְהוָה
彼は の–年の 第一の 治世の の–月の 第一の 開いた –宮の 主の
H1931 H8141 H7223 H4427 H2320 H7223 H6605 H1004 H3068

וַיְחַזְּקֵם׃ אֶת־ דַּלְתוֹת
そして–修理した — 扉を
H2388 H853 H1817

彼はその治世の第一年の一月に主の宮の戸を開き、かつこれを繕った。

4 וַיָּבֵא אֶת־ הַכֹּהֲנִים וְאֶת־ הַלְוִיִּם וַיַּאַסְפֵם לִרְחוֹב
そして–連れて–きた — 祭司たちと そして レビ人たちを そして–集めた の–広場に
H2986 H853 H3548 H1004 H853 H3881 H1004 H7339

הַמִּזְרָח׃
東の
H4217

彼は祭司とレビびとを連れていって、東の広場に集め、

5 וַיֹּאמֶר לָהֶם שִׁמְעוּנִי הַלְוִיִּם עַתָּה הִתְקַדְּשׁוּ וְקַדְּשׁוּ אֶת־
そして–言った 彼らに 聞きなさい レビ人よ 今 自らを–聖別し そして–聖別しなさい —
H2980 H1004 H8085 H3881 H6258 H6942 H1004 H6942 H853

בֵּית יְהוָה אֱלֹהֵי אֲבֹתֵיכֶם וְהוֹצִיאוּ אֶת־ הַנִּדָּה מִן־
宮を 主の 神 あなたがたの–先祖たちの そして–取り除きなさい — 汚れたものを から
H1004 H3068 H0430 H1004 H0001 H3318 H1004 H5079 H1004

הַקֹּדֶשׁ׃
聖所の
H6944

彼らに言った、「レビびとよ、聞きなさい。あなたがたは今、身を清めて、あなたがたの先祖の神、主の宮を清め、聖所から汚れを除き去りなさい。

6 כִּי־ מָעֲלוּ אֲבֹתֵינוּ וְעָשׂוּ הָרַע בְּעֵינֵי יְהוָה־ אֱלֹהֵינוּ
まことに 背いた 私たちの–先祖たちは そして–行った 悪い–ことを の–目に 主 私たちの–神の
H4603 H0001 H6213 H7451 H5869 H3068 H0430

וַיִּתְּנוּ־ עֹרֶף׃ וַיָּסֵבּוּ פְנֵיהֶם מִמִּשְׁכַּן יְהוָה וַיַּעֲזֻבֵהוּ
そして–向けた 背を そして–顔を–背けた 顔を の–住まいから 主の そして–捨てた
H5414 H6203 H5437 H6440 H4908 H3068 H5800

7 גַּם סָגְרוּ דַּלְתוֹת הָאוּלָם וַיְכַבּוּ אֶת־ נֵרוֹת וְקִטֹּרֶת לֹא
また 閉ざした 扉を 玄関の そして–消した — ともしびを そして–香は なかった
H1571 H5462 H1817 H0197 H3518 H0853 H5944 H7004 H3808

הִקְטִירוּ וְעֹלָה לֹא־ הֶעֱלוּ בַּקֹּדֶשׁ לֵאלֹהֵי יִשְׂרָאֵל׃
たか そして–全焼の–ささげ物を なかった ささげ 聖所で –神に イスラエルの
H6999 H5930 H3808 H5927 H6944 H0430 H3478

また廊の戸を閉じ、ともしびを消し、聖所でイスラエルの神に香をたかず、燔祭をささげなかった。

8 וַיְהִי֙ קֶ֣צֶף יְהוָ֔ה עַל־יְהוּדָ֖ה וִירוּשָׁלִָ֑ם וַיִּתְּנֵ֗ם [לְזוּעָה֙] (לְזַוָּעָ֔ה)
そして-あった 怒りが 主の の-上に ユダ と-エルサレム そして-渡された ―(1) 恐怖と
H1961 H7107 H3068 H5921 H3063 H3389 H5414 H2113 H2189

כַּאֲשֶׁ֥ר אַתֶּ֖ם רֹאִ֣ים בְּעֵינֵיכֶֽם׃ וְלִשְׁרֵקָ֥ה לְשַׁמָּ֛ה
ように あなたがたは 見ている 自分の-目で 嘲りの-的に 荒廃と
H3644 H859 H7200 H5869 H8322 H8047

(1) 本節の[לזועה]は、ケレ（読み）。

それゆえ、主の怒りはユダとエルサレムに臨み、あなたがたが目に見るように、主は彼らを恐れと驚きと物笑いにされた。

9 וְהִנֵּ֣ה נָפְל֗וּ אֲבוֹתֵ֙ינוּ֙ בֶּחָ֔רֶב וּבָנֵ֥ינוּ וּבְנוֹתֵ֖ינוּ וְנָשֵׁ֑ינוּ
そして-見よ 倒れた 私たちの-先祖たちは 剣に-よって そして-息子たちと 娘たちと 妻たちは
H2009 H5307 H0001 H2719 H1121 H1323 H0802

עַל־זֹ֖את בַּשִּׁבְיָֽה׃
この-ことの-ゆえに 捕囚と-なっている
H2063 H7628

見よ、われわれの父たちはつるぎにたおれ、われわれのむすこたち、むすめたち、妻たちはこれがために捕虜となった。

10 עַתָּ֗ה לִבִּי֙ לִכְרֹ֣ת בְּרִ֔ית לַיהוָ֖ה אֱלֹהֵ֣י יִשְׂרָאֵ֑ל וְיָשֹׁ֥ב
今 私の-心に 結ぶ-ことが 契約を 主と 神 イスラエルの そして-戻る-ように
H6258 H3824 H3772 H1285 H3068 H0430 H3478 H7725

מִמֶּ֖נּוּ חֲר֥וֹן אַפּֽוֹ׃
私たちから 燃える 怒りが
H4480 H2740 H0639

今わたしは、イスラエルの神、主と契約を結ぶ志をもっている。そうすればその激しい怒りは、われわれを離れるであろう。

11 בָּנַ֗י עַתָּה֙ אַל־תִּשָּׁלוּ֙ כִּי־בָכֶ֣ם בָּחַ֔ר יְהוָ֖ה
わが-子たちよ 今 ない-ように 怠っては-なら まことに あなたがたを 選ばれた 主は
H1121 H6258 H0408 H7952 H3588 H0977 H3068

לַעֲמֹ֣ד לְפָנָ֔יו וּלְהִיוֹת֙ לוֹ֙ מְשָׁרְתִ֣ים וּמַקְטִרִ֔ים׃ ס
立つ-ために 御前に 仕える-ために そして-なる-ために 主の 奉仕する-者と 香を-たく-者と ―
H5975 H6440 H8334 H1961 H3651 H8334 H6999

わが子らよ、今は怠ってはならない。主はあなたがたを選んで、主の前に立って仕えさせ、ご自分に仕える者となし、また香をたく者とされたからである」。

12 וַיָּקֻ֗מוּ מִן־בְּנֵי֙ הַקְּהָתִ֔י עֲזַרְיָ֖הוּ בֶּן־יוֹאֵ֑ל וְיוֹאֵ֣ל בֶּן־עֲמָשַׂ֔י
そして-立ち上がった レビ人たちが マハト の-息子 アマサイの の-息子 ヨエル そして-ヨエル
H6965 H3881 H4287 H1121 H6022 H1121 H3100

וּמִן־בְּנֵ֥י מְרָרִ֖י קִ֣ישׁ בֶּן־עַבְדִּ֑י וַעֲזַרְיָ֣הוּ בֶן־יְהַלְלְאֵ֔ל
そして-から メラリ の-息子 キシュ の-息子 アブディ の-息子 アザルヤ の-息子 エハレルエル
H4480 H4847 H1121 H7027 H1121 H5660 H5838 H1121 H3094

וּמִן־הַגֵּרְשֻׁנִּ֖י יוֹאָ֥ח בֶּן־זִמָּ֖ה וְעֵדֶֽן׃ בֶּן־יוֹאָֽח׃
そして-から ゲルション人の ヨアフ の-息子 ジンマ そして-エデン の-息子 ヨアフ
H4480 H1649 H3098 H1121 H2155 H5731 H1121 H3098

マハトの-息子 ―(1) ―(2) ―(3) ―(4) ―(5) ―(6) ―(7) ―(8) ―(9) ―(10) ―(11) ―(12) ―(13) ―(14) ―(15) ―(16) ―(17) ―(18) ―(19) ―(20) ―(21) ―(22) ―(23) ―(24) ―(25) ―(26) ―(27) ―(28) ―(29) ―(30) ―(31) ―(32) ―(33) ―(34) ―(35) ―(36) ―(37) ―(38) ―(39) ―(40)

そこでレビびとは立ち上がった。すなわちコハテびとの子孫のうちでは、アマサイの子マハテおよびアザリヤの子ヨエル。メラリの子孫では、アブデの子キシおよびエハレレルの子アザリヤ。ゲルションびとのうちでは、ジンマの子ヨアおよびヨアの子エデン。

13 וּמִן־ בְּנֵי וּמִן־ (וְיִעִיאֵל) [וְיעוּאל] שִׁמְרִי אֶלִיצָפָן בְּנֵי וּמִן־
そして-から の-子らの そして-から エイエル — シムリと エリツァファン の-子らの そして-から
H3273 H3273 H8113 H0469

ס זְכַרְיָהוּ וּמַתַּנְיָהוּ׃ אָסָף
— ゼカルヤと マタヌヤ アサフ
H4983 H0623

エリザパンの子孫のうちでは、シムリとエイエル。アサフの子孫のうちでは、ゼカリヤとマッタニヤ。

14 וּמִן־ בְּנֵי וּמִן־ ס וְשִׁמְעִי (יְחִיאֵל) [יחואל] הֵימָן בְּנֵי וּמִן־
そして-から の-子らの そして-から — そして-シムイ エヒエル — ヘマン の-子らの そして-から
H8096 H3171 H3171 H1968

וְעֻזִּיאֵל׃ שְׁמַעְיָה יְדוּתוּן
ウジエル シェマヤと エドトン
H5816 H8098 H3038

ヘマンの子孫のうちでは、エヒエルとシメイ。エドトンの子孫のうちでは、シマヤとウジエルである。

15 הַמֶּלֶךְ כְּמִצְוַת־ וַיָּבֹאוּ וַיִּתְקַדְּשׁוּ אֲחֵיהֶם אֶת־ וַיַּאַסְפוּ
王の の-命令に-よって そして-来た そして-自らを-聖別し 兄弟たちを — そして-集めた
H4428 H4687 H0935 H6942 H0251 H0853 H0622

יְהוָה׃ בֵּית לְטַהֵר יְהוָה בִּדְבְרֵי
主の 宮を 清める-ために 主の の-言葉に-よって
H3068 H2891 H3068 H1697

彼らはその兄弟たちを集めて身を清め、主の言葉による王の命令に従って、主の宮を清めるためにはいって来た。

16 אֶת וַיּוֹצִיאוּ לְטַהֵר יְהוָה בֵּית־ לִפְנִימָה הַכֹּהֲנִים וַיָּבֹאוּ
— そして-運び出した 清める-ために 主の の-宮の 内部に 祭司たちは そして-入った
H0853 H3318 H2891 H3068 H6441 H3548 H0935

יְהוָה בֵּית לַחֲצַר יְהוָה בְּהֵיכַל מָצְאוּ אֲשֶׁר הַטֻּמְאָה כָּל־
主の 宮の の-庭に 主の の-本殿で 見つけた それらを 汚れた-ものを すべての
H3068 H3068 H1964 H4672 H2932 H3605

חוּצָה׃ קִדְרוֹן לְנַחַל־ לְהוֹצִיא הַלְוִיִּם וַיְקַבְּלוּ
外へ キデロン の-川へ 運び出す-ために レビ人たちは そして-受け取った
H2351 H6939 H3318 H3881 H6901

祭司たちが主の宮の奥にはいってこれを清め、主の宮にあった汚れた物をことごとく主の宮の庭に運び出すと、レビびとはそれを受けて外に出し、キデロン川に持って行った。

17 לַחֹדֶשׁ שְׁמוֹנָה וּבְיוֹם לְקַדֵּשׁ הָרִאשׁוֹן לַחֹדֶשׁ בְּאֶחָד וַיָּחֵלּוּ
月の 八 そして-の-八日目に 聖別する-ことを 第一の 月の の-一日に そして-始めた
H2320 H8083 H3117 H6942 H7223 H2320 H0259

וּבְיוֹם שְׁמוֹנָה לְיָמִים יְהוָה בֵּית־ אֶת־ וַיְקַדְּשׁוּ יְהוָה לְאוּלָם בָּאוּ
そして-の-日 八 の-日間で 主の の-宮を — そして-聖別した 主の の-玄関に 来た
H3117 H8083 H3117 H3068 H0853 H6942 H3068 H0197 H0935

ס כִּלּוּ׃ הָרִאשׁוֹן לַחֹדֶשׁ עָשָׂר שִׁשָּׁה
— 終えた 第一の 月の 六 十
H3615 H7223 H2320 H6240 H8337

彼らは正月の元日に清めることを始めて、その月の八日に主の宮の廊に達した。それから主の宮を清めるのに八日を費し、正月の十六日にこれを終った。

18

וַיָּבֹאוּ פְּנִימָה אֶל־חִזְקִיָּהוּ הַמֶּלֶךְ וַיֹּאמְרוּ טִהַרְנוּ אֶת־כָּל־בֵּית
そして-来た 内部に へ ヒゼキヤ 王の そして-言った 清めました ― すべての 宮を
H0935 H6441 H0413 H2396 H4428 H0559 H2891 H0853 H3605

יְהוָה אֶת־מִזְבַּח הָעוֹלָה וְאֶת־כָּל־כֵּלָיו וְאֶת־שֻׁלְחַן הַמַּעֲרֶכֶת
主の ― 祭壇を 全焼の-ささげ物の そして すべての その-器具と そして 机を 供え-パンの
H3068 H0853 H4196 H5930 H0853 H3605 H3627 H0853 H7979 H4635

וְאֶת־כָּל־כֵּלָיו׃
そして すべての その-器具を
H0853 H3605 H3627

そこで彼らはヒゼキヤ王の所へ行って言った、「われわれは主の宮をことごとく清め、また燔祭の壇とそのすべての器物、および供えのパンの机とそのすべての器物とを清めました。

19

וְאֵת כָּל־הַכֵּלִים אֲשֶׁר הִזְנִיחַ הַמֶּלֶךְ אָחָז בִּמַּלְכוּתוֹ בְּמַעֲלוֹ הֵכִנּוּ
そして すべての 器具を それらを 捨てた 王 アハズが 治世に 背きの-中で 整え
H0853 H3605 H3627 H0834 H2186 H4428 H0271 H4438 H4604 H3559

וְהִנָּם לִפְנֵי מִזְבַּח יְהוָה׃ ס
そして-見よ の-前に 祭壇 主の ―
H2009 H6440 H4196 H3068

וְהִקְדַּשְׁנוּ
聖別しました
H6942

またアハズ王がその治世に罪を犯して捨てたすべての器物をも整えて清めました。それらは主の祭壇の前にあります」。

20

וַיַּשְׁכֵּם יְחִזְקִיָּהוּ הַמֶּלֶךְ וַיֵּאֶסֹּף אֶת־הָעִיר שָׂרֵי וַיַּעַל
そして-早朝に-起きた ヒゼキヤ 王は そして-集めた ― 町の 首長たちを そして-上った
H7925 H2396 H4428 H0622 H0853 H5892 H8269 H5927

בֵּית יְהוָה׃
宮へ 主の
H3068

そこでヒゼキヤ王は朝早く起きいで、町のつかさたちを集めて、主の宮に上って行き、

21

וַיָּבִיאוּ שִׁבְעָה־פָרִים וְאֵילִים שִׁבְעָה וְכִבְשִׂים שִׁבְעָה וּצְפִירֵי שִׁבְעָה
そして-彼らは-連れて-きた 雄牛-を 七頭 と-雄羊を 七頭 と-子羊を 七頭 と-雄やぎを 七頭
H0935 H6499 H7651 H0352 H7651 H3532 H7651 H6842 H7651

לְחַטָּאת עַל־הַמַּמְלָכָה וְעַל־הַמִּקְדָּשׁ וְעַל־יְהוּדָה וַיֹּאמֶר לִבְנֵי אַהֲרֹן
罪の-ささげ物として の-ために 王国 と-の-ために 聖所 と-の-ために そして-命じた の-子らに アロン
H2403 H5921 H4467 H5921 H4720 H5921 H3063 H0559 H0175

הַכֹּהֲנִים לְהַעֲלוֹת עַל־מִזְבַּח יְהוָה׃
祭司たちに ささげる-ように の-上に 祭壇 主の
H3548 H5927 H5921 H4196 H3068

雄牛七頭、雄羊七頭、小羊七頭、雄やぎ七頭を引いてこさせ、国と聖所とユダのためにこれを罪祭とし、アロンの子孫である祭司たちに命じてこれを主の祭壇の上にささげさせた。

22

וַיִּשְׁחֲטוּ הַבָּקָר וַיְקַבְּלוּ הַכֹּהֲנִים אֶת־הַדָּם וַיִּזְרְקוּ הַמִּזְבֵּחָה
そして–ほふった 牛を そして–受け取った 祭司たちは ― 血を そして–振りかけた 祭壇に
H7819 H1241 H6901 H3548 H0853 H1818 H2236 H4196

וַיִּשְׁחֲטוּ הָאֵלִים וַיִּזְרְקוּ הַדָּם הַמִּזְבֵּחָה וַיִּשְׁחֲטוּ הַכְּבָשִׂים
そして–ほふった 雄羊を そして–振りかけた 血を 祭壇に そして–ほふった 子羊を
H7819 H0352 H2236 H1818 H4196 H7819 H3532

וַיִּזְרְקוּ הַדָּם הַמִּזְבֵּחָה׃
そして–振りかけた 血を 祭壇に
H2236 H1818 H4196

すなわち、雄牛をほふると、祭司たちはその血を受けて祭壇にふりかけ、また雄羊をほふると、その血を祭壇にふりかけ、また小羊をほふると、その血を祭壇にふりかけた。

23

וַיַּגִּישׁוּ אֶת־שְׂעִירֵי הַחַטָּאת לִפְנֵי הַמֶּלֶךְ וְהַקָּהָל וַיִּסְמְכוּ
そして–近づけた ― 雄やぎを 罪の–ささげ物の の–前に 王 と–会衆 そして–置いた
H7126 H0853 H8163 H2403 H4428 H6951 H7760

עֲלֵיהֶם יְדֵיהֶם׃
その–上に 手を
H5921 H3027

そして罪祭の雄やぎを王と会衆の前に引いて来たので、彼らはその上に手を置いた。

24

וַיִּשְׁחָטוּם הַכֹּהֲנִים וַיְחַטְּאוּ אֶת־דָּמָם לְכָפֶּר הַמִּזְבֵּחָה
そして–ほふった 祭司たちは そして–罪の–ささげ物と–した ― 血を 贖う–ために 祭壇に
H7819 H3548 H2398 H0853 H1818 H3722 H4196

עַל־כָּל־יִשְׂרָאֵל כִּי לְכָל־יִשְׂרָאֵל אָמַר הַמֶּלֶךְ
の–ために すべての イスラエル まことに すべての イスラエルの–ために 命じた 王は
H5921 H3605 H3478 H3588 H3605 H3478 H0559 H4428

וְהַחַטָּאת׃ הָעוֹלָה
罪の–ささげ物を 全焼の–ささげ物と
H2403 H5930

そして祭司たちはこれをほふり、その血を罪祭として祭壇の上にささげてイスラエル全国のためにあがないをした。これは王がイスラエル全国のために燔祭および罪祭をささげることを命じたためである。

25

וַיַּעֲמֵד אֶת־הַלְוִיִּם בֵּית יְהוָה בִּמְצִלְתַּיִם בִּנְבָלִים וּבְכִנֹּרוֹת
そして–配置した ― レビ人たちを 宮に 主の シンバルと 竪琴と 琴を–もって
H5975 H0853 H3881 H1004 H3068 H4700 H5035 H3658

כִּי הַנָּבִיא וְנָתָן הַמֶּלֶךְ חוֹזֵה וְגָד דָּוִיד בְּמִצְוַת
まことに 預言者の そして–ナタン 王の 先見者–の と–ガド ダビデ の–命令の–通りに
H3588 H5030 H5416 H4428 H2374 H1410 H1732 H4687

נְבִיאָיו׃ ס בְּיַד־יְהוָה הַמִּצְוָה בְּיַד־הַלְוִיִּם
預言者たちの ― の–手による 命令が 主の の–手による レビ人たちは
H5030 H3027 H4687 H3068 H3027 H3881

王はまたレビびとを主の宮に置き、ダビデおよび王の先見者ガドと預言者ナタンの命令に従って、これにシンバル、立琴および琴をとらせた。これは主がその預言者によって命じられたところである。

26

וַיַּעַמְדוּ הַלְוִיִּם בִּכְלֵי דָוִיד וְהַכֹּהֲנִים בַּחֲצֹצְרוֹת׃ ס
そして–立った レビ人たちは の–楽器を–もって ダビデの そして–祭司たちは ラッパを–もって ―
H5975 H3881 H3627 H1732 H3548 H2689

こうしてレビびとはダビデの楽器をとり、祭司はラッパをとって立った。

27 וַיֹּאמֶר חִזְקִיָּהוּ לְהַעֲלוֹת הָעֹלָה לְהַמִּזְבֵּחַ וּבְעֵת הֵחֵל
そして–命じた ヒゼキヤは ささげる–ように 全焼の–ささげ物を 祭壇に そして–の–時に 始まった
H0559 H2396 H5927 H4196 H6256

הָעוֹלָה הֵחֵל יְהוָה שִׁיר־ וְהַחֲצֹצְרוֹת עַל־ יְדֵי כְּלֵי דָּוִיד
全焼の–ささげ物の 始まった 歌–が 主の と–ラッパが そして–の–上に 手に 楽器を ダビデの
H5927 H2396 H3068 H2689 H5927 H3027 H3627 H1732

מֶלֶךְ־ יִשְׂרָאֵל׃
王–の イスラエルの
H4428 H3478

そこでヒゼキヤは燔祭を祭壇の上にささげることを命じた。燔祭をささげ始めた時、主の歌をうたい、ラッパを吹き、イスラエルの王ダビデの楽器をならし始めた。

28 וְכָל־ הַקָּהָל מְשְׁתַּחֲוִים וְהַשִּׁיר מְשׁוֹרֵר וְהַחֲצֹצְרוֹת [מחצצרים]
そして–すべての 会衆は ひれ伏し 歌われ そして–歌は そして–ラッパは —
H3605 H6951 H7812 H7891 H2689 H2690

עַד כַּלּוֹת הָעֹלָה׃ (מַחְצְרִים)
まで すべてが 終わる–まで 全焼の–ささげ物が 吹き鳴らされた
H5704 H3605 H3615 H2690

そして会衆は皆礼拝し、歌うたう者は歌をうたい、ラッパ手はラッパを吹き鳴らし、燔祭が終るまですべてこのようであったが、

29 וּכְכַלּוֹת לְהַעֲלוֹת כָּרְעוּ הַמֶּלֶךְ וְכָל־ הַנִּמְצְאִים אִתּוֹ
そして–終わった–時に ささげ ひざまずいた 王と すべての 居合わせた–者たちは 彼と–共に
H3615 H5927 H3766 H4428 H3605 H4672 H0854

וַיִּשְׁתַּחֲווּ׃
そして–ひれ伏した
H7812

ささげる事が終ると、王および彼と共にいた者はみな身をかがめて礼拝した。

30 וַיֹּאמֶר יְחִזְקִיָּהוּ הַמֶּלֶךְ וְהַשָּׂרִים לַלְוִיִּם לְהַלֵּל לַיהוָה בְּדִבְרֵי
そして–命じた ヒゼキヤ 王と 首長たちは レビ人たちに 賛美する–ように 主を の–言葉で
H0559 H2396 H4428 H8269 H3881 H1697 H3068

וַיִּשְׁתַּחֲווּ׃ וַיִּקְדוּ לְשִׁמְחָה עַד־ וַיְהַלְלוּ הַחוֹזֶה וְאָסָף דָּוִיד
ひれ伏した そして–ひざまずき 喜びに–至る まで そして–賛美した 先見者の と–アサフ ダビデ
H7812 H6915 H8057 H5704 H1732 H0623 H2374 H1732

פ
—

またヒゼキヤ王およびつかさたちはレビびとに命じて、ダビデと先見者アサフの言葉をもって主をさんびさせた。彼らは喜んでさんびし、頭をさげて礼拝した。

31 וַיַּ֣עַן יְחִזְקִיָּ֗הוּ וַיֹּ֨אמֶר֙ עַתָּ֣ה מִלְאֵתֶ֔ם יֶדְכֶ֖ם לַיהוָ֑ה גֹּ֣שׁוּ וְהָבִ֤יאוּ זְבָחִים֙ וְתוֹדֹ֔ות לְבֵ֖ית יְהוָ֑ה וַיָּבֵ֣יא הַקָּהָ֗ל זְבָחִים֙ וְתוֹדֹ֔ות וְכָל־נְדִ֖יב לֵ֥ב עֹלֹֽות׃

そして–答えた ヒゼキヤは 今 そして–言った 満たした あなたがたの–手を 主に 近づき
H6258 H0559 H4390 H3027 H3068 H5066
H2396

そして–持って–きなさい いけにえと 感謝の–ささげ物を 主の の–宮に そして–持って–きた 会衆は
H0935 H2077 H8426 H3068 H0935 H6951

全焼の–ささげ物を 心の 自発的な そして–すべての 感謝の–ささげ物を いけにえと
H5081 H3605 H8426 H2077

その時、ヒゼキヤは言った、「あなたがたはすでに主に仕えるために身を清めたのであるから、進みよって、主の宮に犠牲と感謝の供え物を携えて来なさい」と。そこで会衆は犠牲と感謝の供え物を携えて来た。また志ある者は皆燔祭を携えて来た。

32 וַיְהִי֙ מִסְפַּ֣ר הָעֹלָ֔ה אֲשֶׁ֥ר הֵבִ֖יאוּ הַקָּהָ֑ל בָּקָר֙ שִׁבְעִ֣ים אֵילִ֔ים שִׁבְעִ֥ים כְּבָשִׂ֖ים מֵאָ֑ה כָּל־אֵ֖לֶּה לְעֹלָ֥ה לַיהוָֽה׃

そして–あった 数は 全焼の–ささげ物の それら 持って–きた 会衆が 牛 七十頭 雄羊
H1961 H4557 H3605 H0935 H6951 H1241 H7657

これら すべて 主に 全焼の–ささげ物として 子羊 百頭
H0428 H3605 H3068 H3532 H3967

会衆の携えて来た燔祭の数は雄牛七十頭、雄羊百頭、小羊二百頭、これらは皆主に燔祭としてささげるものであった。

33 וְהַקֳּדָשִׁ֗ים בָּקָר֙ שֵׁשׁ־מֵא֣וֹת וְצֹ֔אן שְׁלֹ֥שֶׁת אֲלָפִֽים׃

そして–聖別された–ものは 牛 六 百頭 と–羊 三 千頭
H6944 H1241 H8337 H3967 H6629 H7969 H0505

また奉納物は牛六百頭、小羊三千頭であった。

34 רַ֗ק הַכֹּהֲנִים֙ הָי֣וּ לְמִעָ֔ט וְלֹ֥א יָכְל֖וּ לְהַפְשִׁ֣יט אֶת־כָּל־הָעֹלֹ֑ות וַאֲחֵיהֶ֣ם הַלְוִיִּ֗ם עַד־כְּלֹות֙ הַמְּלָאכָ֔ה עַד־הַקְדִּישׁ֙ הַכֹּהֲנִ֔ים לְבָב֥ הַלְוִיִּ֖ם יְשָׁרִ֣ים לְהִתְקַדֵּ֑שׁ כִּ֣י מִכֹּהֲנִֽים׃

ただ 祭司たちは であった 少なく そして–なかった できず 皮を–はぐ–ことが すべての
H7535 H3548 H1961 H4592 H3808 H3201 H6584 H3605

仕事が 終わる–まで まで レビ人たちが 兄弟たち そして–助けた 全焼の–ささげ物の
H4399 H3615 H5704 H3881 H0251 H2388 H5704

自らを–聖別する–ことに 心で 誠実な レビ人たちは なぜなら 祭司たちが 聖別された そして–まで
H6942 H3824 H3477 H3881 H3548 H6942 H5704

祭司たちよりも
H3548

ところが祭司が少なくてその燔祭の物の皮を、はぎつくすことができなかったので、その兄弟であるレビびとがこれを助けて、そのわざをなし終え、その間に他の祭司たちは身を清めた。これはレビびとが祭司たちよりも、身を清めることに、きちょうめんであったからである。

35 וְגַם֙ עֹלָ֣ה רָבָּ֔ה בְּחֶלְבֵ֖י הַשְּׁלָמִ֑ים וּבַנְּסָכִ֖ים עַל־הָעֹלָ֑ה וַתִּכֹּ֖ון עֲבוֹדַ֥ת בֵּית־יְהוָֽה׃

そして–また 全焼の–ささげ物も 多く の–脂肪と–共に 和解の–ささげ物の
H1571 H7230 H2459 H8002

こうして–整えられた 奉仕が の–宮の 主の
H3559 H5656 H1004 H3068

全焼の–ささげ物の そして–注ぎの–ささげ物と–共に
H5262

このほかおびただしい燔祭があり、また、酬恩祭の脂肪および燔祭の灌祭もあった。こうして、主の宮の勤めは回復された。

לָעָם	הָאֱלֹהִים	הַהֵכִין	עַל	הָעָם	וְכֹל־	יְחִזְקִיָּהוּ	וַיִּשְׂמַח	36
民の–ために	神が	備えられた–ことを	について	民は	すべての	ヒゼキヤと	そして–喜んだ	
H0430					H3605	H2396	H8055	

פ	הַדָּבָר׃	הָיָה	בִּפְתְאֹם	כִּי
—	この–ことは	なった	突然に	まことに
	H1697	H1961	H6597	

この事は、にわかになされたけれども、神がこのように民のために備えをされたので、ヒゼキヤおよびすべての民は喜んだ。

Chapter 30

אִגְּרוֹת	וְגַם־	וִיהוּדָה	יִשְׂרָאֵל	כָּל־	עַל־	יְחִזְקִיָּהוּ	וַיִּשְׁלַח	1
手紙を	そして–また	と–ユダ	イスラエル	すべての	の–もとに	ヒゼキヤは	そして–遣わした	
H0107	H1571	H3063	H3478	H3605		H2396	H7971	

לַעֲשׂוֹת	בִּירוּשָׁלִָם	יְהוָה	לְבֵית־	לָבוֹא	וּמְנַשֶּׁה	אֶפְרַיִם	עַל־	כָּתַב
行う–ために	エルサレムへ	主の	の–宮に	来る–ように	と–マナセに	エフライム	に–対して	書いた
	H3389	H3068		H0935	H4519	H0669		H3789

יִשְׂרָאֵל׃	אֱלֹהֵי	לַיהוָה	פֶּסַח
イスラエルの	神	主に	過越を
H3478	H0430	H3068	H6453

ヒゼキヤはイスラエルとユダにあまねく人をつかわし、また手紙をエフライムとマナセに書き送り、エルサレムにある主の宮に来て、イスラエルの神、主に過越の祭を行うように勧めた。

הַפָּסַח	לַעֲשׂוֹת	בִּירוּשָׁלִָם	הַקָּהָל	וְכֹל־	וְשָׂרָיו	הַמֶּלֶךְ	וַיִּוָּעַץ	2
過越を	行う–ことを	エルサレムで	会衆は	すべての	首長たちと	王と	そして–相談した	
H6453		H3389	H6951	H3605	H8269	H4428	H3289	

הַשֵּׁנִי׃	בַּחֹדֶשׁ
第二の	の–月に
H8145	H2320

王はすでにつかさたちおよびエルサレムにおる全会衆に計って、二月に過越の祭を行うことを定めた。

לֹא־	הַכֹּהֲנִים	כִּי	הַהִיא	בָּעֵת	לַעֲשׂתוֹ	יָכְלוּ	לֹא	כִּי	3
なかった	祭司たちが	なぜなら	その	の–時に	行う–ことが	でき	なかった	なぜなら	
H3808	H3548		H1931	H6256		H3201	H3808		

לִירוּשָׁלִָם׃	נֶאֱסְפוּ	לֹא־	וְהָעָם	הִתְקַדְּשׁוּ
エルサレムに	集まり	なかった	そして–民は	聖別し
H3389	H0622	H3808		H6942

	לְמַדַּי				
	十分に				
	H1767				

——これは身を清めた祭司の数が足らず、民もまた、エルサレムに集まらなかったので、正月にこれを行うことができなかったからである——

הַקָּהָל׃	כָּל־	וּבְעֵינֵי	הַמֶּלֶךְ	בְּעֵינֵי	הַדָּבָר	וַיִּישַׁר	4
会衆の	すべての	そして–の–目に	王の	の–目に	この–ことは	そして–良かった	
H6951	H3605		H4428		H1697	H3474	

この事が、王にも全会衆にも良かったので、

וְעַד־ מִבְּאֵר־שֶׁבַע יִשְׂרָאֵל בְּכָל־ קוֹל לְהַעֲבִיר דָּבָר וַיַּעֲמִידוּ 5
まで ベエル-シェバから イスラエルに すべての 声を 触れを-出す ことを そして-定めた
H5704 H0884 H3478 H3605 H1697 H5975

כִּי בִירוּשָׁלִַם יִשְׂרָאֵל אֱלֹהֵי־ לַיהוָה פֶּסַח לַעֲשׂוֹת לָבֹוא דָּן
まことに エルサレムで イスラエルの 神-の 主に 過越を 行う-ために 来る-ように ダンまで
H3389 H3478 H0430 H3068 H6453 H0935 H1835

כַּכָּתוּב׃ עָשׂוּ לָרֹב לֹא
記された-通りに 行って 多くは なかった
H3789 H7230 H3808

この事を定めて、ベエルシバからダンまでイスラエルにあまねくふれ示し、エルサレムに来て、イスラエルの神、主に過越の祭を行うことを勧めた。これはしるされているように、これを行う者が多くなかったゆえである。

יִשְׂרָאֵל בְּכָל־ וְשָׂרָיו הַמֶּלֶךְ מִיַּד בָּאִגְּרוֹת הָרָצִים וַיֵּלְכוּ׀ 6
イスラエル すべての と-首長たちの 王 の-手から 手紙を-もって 走者たちは そして-行った
H3478 H3605 H8269 H4428 H3027 H0107 H7323 H3212

אֶל־ שׁוּבוּ יִשְׂרָאֵל בְּנֵי לֵאמֹר הַמֶּלֶךְ וּכְמִצְוַת וְיהוּדָה
へ 立ち帰りなさい イスラエル の-子らよ 言って 王の そして-の-命令の-通りに と-ユダに
H0413 H7725 H3478 H0559 H4428 H4687 H3063

אֶל־ וְיָשָׁב וְיִשְׂרָאֵל יִצְחָק אַבְרָהָם אֱלֹהֵי יְהוָה
へ そして-戻って-くださるように と-イスラエルの イサク アブラハム 神 主
H0413 H7725 H3478 H3327 H0085 H0430 H3068

׃אַשּׁוּר מַלְכֵי מִכַּף לָכֶם הַנִּשְׁאֶרֶת הַפְּלֵיטָה
アッシリアの 王たちの の-手から あなたがたに 残された 残りの-者たち
H0804 H4428 H3709 H7604 H6413

そこで飛脚たちは、王とそのつかさたちから受けた手紙をもって、イスラエルとユダをあまねく行き巡り、王の命を伝えて言った、「イスラエルの人々よ、あなたがたはアブラハム、イサク、イスラエルの神、主に立ち返りなさい。そうすれば主は、アッスリヤの王たちの手からのがれた残りのあなたがたに、帰られるでしょう。

בַּיהוָה אֱלֹהֵי אֲבוֹתֵיהֶם וַיִּתְּנֵם לְשַׁמָּה כַּאֲשֶׁר אַתֶּם רֹאִים׃ 7
主に 神 先祖たちの そして-渡された 荒廃に ように あなたがたは 見ている
H3068 H0430 H0001 H5414 H8047 H0834 H0859 H7200

וְאַל־ תִּהְיוּ כַּאֲבוֹתֵיכֶם הָעֹלוּ אֲשֶׁר וְכַאֲחֵיכֶם
そして-ない-ように なっては-なら 先祖たちの-ように 背いた 彼らは と-兄弟たちの-ように
H0408 H1961 H0001 H4603 H0834 H0251

あなたがたの父たちおよび兄弟たちのようになってはならない。彼らはその先祖たちの神、主にむかって罪を犯したので、あなたがたの見るように主は彼らを滅びに渡されたのです。

עַתָּה אַל־ תַּקְשׁוּ עָרְפְּכֶם כַּאֲבוֹתֵיכֶם תְּנוּ־ יָד 8
今 ない-ように うなじを-こわくしては-なら 首を 先祖たちの-ように 差し出しなさい 手を
H6258 H0408 H7185 H6203 H0001 H5414 H3027

וְעִבְדוּ֙ אֶת־ יְהוָה וּבֹאוּ לְמִקְדָּשׁוֹ֙ אֲשֶׁר הִקְדִּישׁ לְעוֹלָם יְהוָה לַיהוָה
そして-仕えなさい — 主に そして-来なさい 聖所に それを 聖別された 永遠に 主に 主に
H5647 H0853 H3068 H4720 H0834 H6942 H5769 H3068 H3068

׃אַפּוֹ חֲרוֹן מִכֶּם וְיָשֹׁב אֱלֹהֵיכֶם
怒りが 燃える あなたがたから そして-戻る-ように あなたがたの-神
H0639 H2740 H7725 H0430

あなたがたの父たちのように強情にならないで、主に帰服し、主がとこしえに聖別された聖所に入り、あなたがたの神、主に仕えなさい。そうすれば、その激しい怒りがあなたがたを離れるでしょう。

9

לְרַחֲמִים	וּבְנֵיכֶם	אֲחֵיכֶם	יְהוָה	עַל־	בְּשׁוּבְכֶם	כִּי
あわれみが–ある	子どもたちに	あなたがたの–兄弟たちと	主	に–対して	立ち帰る–なら	まことに
		H0251	H3068		H7725	

חַנּוּן	כִּי־	הַזֹּאת	לָאָרֶץ	וְלָשׁוּב	שְׁבִיהֶם	לִפְנֵי
恵み深い	まことに	この	この–地に	そして–帰る–ことが–できる	捕らえた–者たちの	の–前で
H2587		H2063	H0776	H7725	H7617	H6440

מִכֶּם	פָּנִים	יָסִיר	וְלֹא־	אֱלֹהֵיכֶם	יְהוָה	וְרַחוּם
もし	あなたがたから	顔を	そして–そむけない	あなたがたの–神は	主	と–あわれみ深い
	H6440	H5493	H3808	H0430	H3068	H7349

פ	אֵלָיו׃	תָּשׁוּבוּ	אִם־	
—	—	主に	立ち帰る–なら	
	H0413	H7725		

もしあなたがたが主に立ち返るならば、あなたがたの兄弟および子供は、これを捕えていった者の前にあわれみを得て、この国に帰ることができるでしょう。あなたがたの神、主は恵みあり、あわれみある方であられるゆえ、あなたがたが彼に立ち返るならば、顔をあなたがたにそむけられることはありません」。

10

וּמְנַשֶּׁה	אֶפְרַיִם	בְּאֶרֶץ־	לָעִיר	וּמֵעִיר	עֹבְרִים	הָרָצִים	וַיִּהְיוּ	
と–マナセ	エフライム	の–地で	町へ	町から	通り過ぎて	走者たちは	そして–あった	
H4519	H0669	H0776				H7323	H1961	

בָּם׃	וּמַלְעֲגִים	עֲלֵיהֶם	מַשְׂחִקִים	וַיִּהְיוּ	זְבֻלוּן	וְעַד־	
彼らを	嘲る–者が	彼らを	あざ笑う–者と	しかし–あった	ゼブルン	そして–まで	
	H3932		H7832	H1961	H2074	H5704	

このように飛脚たちは、エフライムとマナセの国にはいって、町から町に行き巡り、ついに、ゼブルンまで行ったが、人々はこれをあざけり笑った。

11

לִירוּשָׁלִָם׃	וַיָּבֹאוּ	נָכְנְעוּ	וּמִזְּבֻלוּן	וּמְנַשֶּׁה	מֵאָשֵׁר	אֲנָשִׁים	אַךְ־	
エルサレムに	来た	へりくだって	と–ゼブルンから	と–マナセ	アシェルから	人々が	しかし	
H3389	H0935	H3665	H2074	H4519	H0836	H0376	H0389	

ただしアセル、マナセ、ゼブルンのうちには身を低くして、エルサレムにきた人々もあった。

12

לַעֲשׂוֹת	אֶחָד	לֵב	לָהֶם	לָתֶת	הָאֱלֹהִים	יַד	הָיְתָה	בִּיהוּדָה	גַּם	
行う–ために	一つの	心を	彼らに	与える–ため	神の	手が	あった	ユダにも	また	
	H0259			H5414	H0430	H3027	H1961	H3063	H1571	

יְהוָה׃	בִּדְבַר	וְהַשָּׂרִים	הַמֶּלֶךְ	מִצְוַת
主の	の–言葉に–よって	首長たちの	王と	命令を
H3068	H1697	H8269	H4428	H4687

またユダにおいては神の手が人々に一つ心を与えて、王とつかさたちが主の言葉によって命じたことを行わせた。

13

הַמַּצּוֹת	חַג	אֶת־	לַעֲשׂוֹת	לָרֹב	עִם־	יְרוּשָׁלִַם	וַיֶּאֶסְפוּ	
種なし–パンの	祭りを	—	行う–ために	多くの	民–が	エルサレムに	そして–集まった	
H4682	H2282	H0853				H3389	H0622	

מְאֹד׃	לָרֹב	קָהָל	הַשֵּׁנִי	בַּחֹדֶשׁ
大きな	非常に	集団	第二の	の–月に
H3966	H7230	H6951	H8145	H2320

こうして二月になって、多くの民は、種入れぬパンの祭を行うためエルサレムに集まったが、非常に大きな会衆であった。

14 וַיָּקֻמוּ וַיְסִירוּ אֶת־ הַמִּזְבְּחוֹת אֲשֶׁר בִּירוּשָׁלַ͏ִם וְאֵת כָּל־
そして–立ち上がって 取り除いた — 祭壇を その エルサレムに–あった そして すべての
H5975 H5493 H0853 H4196 H0834 H3389 H0853 H3605

הַמְקַטְּרוֹת וַיַּשְׁלִיכוּ לְנַחַל קִדְרוֹן׃
香の–祭壇を 取り除き そして–投げ込んだ の–川に キデロン
H6999 H5493 H7993 H5158 H6939

彼らは立ってエルサレムにあるもろもろの祭壇を取り除き、またすべての香をたく祭壇を取り除いてキデロン川に投げすて、

15 וַיִּשְׁחֲטוּ הַפֶּסַח בְּאַרְבָּעָה עָשָׂר לַחֹדֶשׁ הַשֵּׁנִי וְהַכֹּהֲנִים וְהַלְוִיִּם
そして–ほふった 過越を の–十 四–日に 月の 第二の そして–祭司たちと レビ人たちは
H8149 H6453 H0702 H6240 H2320 H8145 H3548 H3881

וַיִּתְקַדְּשׁוּ וַיָּבִיאוּ עֹלוֹת בֵּית יְהוָה׃
そして–聖別し そして–持って–きた 全焼の–ささげ物を 宮に 主の
H6942 H0935 H5930 H1004 H3068

二月の十四日に過越の小羊をほふった。そこで祭司たちおよびレビびとはみずから恥じ、身を清めて主の宮に燔祭を携えて来た。

16 וַיַּעַמְדוּ עָמְדָם כְּמִשְׁפָּטָם כְּתוֹרַת מֹשֶׁה אִישׁ־
そして–立った 彼らの–持ち場に の–定めの–通りに の–律法の–通りに モーセ 人–の
H5975 H5977 H4941 H8451 H4872 H0376

הָאֱלֹהִים מִיַּד הַכֹּהֲנִים זֹרְקִים אֶת־ הַדָּם מִיַּד הַלְוִיִּם׃
神の 祭司たちは 振りかけていた — 血を の–手から レビ人たちの
H0430 H3548 H2236 H0853 H1818 H3027 H3881

彼らは神の人モーセの律法に従い、いつものようにその所に立ち、祭司たちは、レビびとの手から血を受けて注いだ。

17 כִּי־ רַבַּת בַּקָּהָל אֲשֶׁר לֹא־ הִתְקַדְּשׁוּ וְהַלְוִיִּם עַל־ שְׁחִיטַת
まことに 多い 会衆に ある なかった 聖別し そして–レビ人たちが の–上で ほふる–ことの
H6951 H0834 H3808 H6942 H3881 H5921 H7821

הַפְּסָחִים לְכָל־ לָא טָהוֹר לְהַקְדִּישׁ לַיהוָה׃
過越の–子羊を すべての ない 清く 聖別する–ために 主に
H6453 H3605 H3808 H2889 H6942 H3068

時に、会衆のうちにまだ身を清めていない者が多かったので、レビびとはその清くないすべての人々に代って過越の小羊をほふり、主に清めてささげた。

18 כִּי רֹבַּת הָעָם מַרְבִּית מֵאֶפְרַיִם וּמְנַשֶּׁה יִשָּׂשכָר וּזְבֻלוּן
まことに 大部分の 民 多くの エフライムから と–マナセ イッサカル と–ゼブルンは
H3588 H4768 H5971 H7227 H0669 H4519 H3485 H2074

כִּי לֹא הִטֶּהָרוּ כִּי אָכְלוּ אֶת־ הַפֶּסַח לֹא כַכָּתוּב כִּי הִתְפַּלֵּל
しかし 身を–清め なかった しかし 食べた — 過越を ないのに 記された–通りで しかし 祈った
H3588 H2891 H3808 H3588 H0398 H0853 H6453 H3808 H3789 H3588 H6419

יְחִזְקִיָּהוּ עֲלֵיהֶם לֵאמֹר יְהוָה הַטּוֹב יְכַפֵּר בְּעַד׃
ヒゼキヤは 彼らの–ために 言って 主よ 善い–お方よ 赦して–ください 代わりに
H2396 H5921 H0559 H3068 H2896 H3722 H1157

多くの民すなわちエフライム、マナセ、イッサカル、ゼブルンからきた多くの者はまだ身を清めていないのに、書きしるされたとおりにしないで過越の物を食べた。それでヒゼキヤは、彼らのために祈って言った、「恵みふかき主よ、彼らをゆるしてください。

19

וְלֹא	אֲבוֹתָיו	אֱלֹהֵי	יְהוָה	וְהָאֱלֹהִים	לִדְרוֹשׁ	הֵכִין	לְבָבוֹ	כֹּל־
そして–ないのに	先祖たちの	神	主	神を	求める–ために	備えた	心を	すべての
H3808	H0001	H0430	H3068	H0430	H1875		H3824	H3605

ס	הַקֹּדֶשׁ׃	כְּטָהֳרַת
—	聖所の	の–清めの–通りで
	H6944	H2893

彼らは聖所の清めの規定どおりにしなかったけれども、その心を傾けて神を求め、その先祖の神、主を求めたのです」。

20

ס	הָעָם׃	אֶת־	וַיִּרְפָּא	יְחִזְקִיָּהוּ	אֶל־	יְהוָה	וַיִּשְׁמַע
—	民を	—	そして–いやされた	ヒゼキヤを	—	主は	そして–聞かれた
		H0853	H7495	H2396	H0413	H3068	H8085

主はヒゼキヤに聞いて、民をいやされた。

21

הַמַּצּוֹת	חַג	אֶת־	בִּירוּשָׁלִַם	הַנִּמְצְאִים	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי־	וַיַּעֲשׂוּ	
種なし–パンの	祭りを	—	エルサレムに	居合わせた	イスラエル	の–子らは	そして–行った	
H4682	H2282	H0853	H3389	H4672	H3478			

וְהַכֹּהֲנִים	הַלְוִיִּם	בְּיוֹם	וְיוֹם	לַיהוָה	וּמְהַלְלִים	גְּדוֹלָה	בְּשִׁמְחָה	יָמִים	שִׁבְעַת
祭司たちは	レビ人たちと	毎–日	日	主を	そして–賛美した	大きな	喜びの	日間	七
H3548	H3881	H3117	H3117	H3068			H8057	H3117	H7651

ס	לַיהוָה׃	עֹז	בִּכְלֵי־
—	主に	力の	の–楽器で
	H3068	H5797	H3627

そこでエルサレムに来ていたイスラエルの人々は大いなる喜びをいだいて、七日のあいだ種入れぬパンの祭を行った。またレビびとと祭司たちは日々に主をさんびし、力をつくして主をたたえた。

22

שֵׂכֶל־	הַמַּשְׂכִּילִים	הַלְוִיִּם	כָּל־	לֵב	עַל־	יְחִזְקִיָּהוּ	וַיְדַבֵּר	
良い–悟りの	悟りのある	レビ人たちの	すべての	心	の–上に	ヒゼキヤは	そして–語りかけた	
H7922		H3881	H3605			H2396	H1696	

זִבְחֵי	מְזַבְּחִים	הַיָּמִים	שִׁבְעַת	הַמּוֹעֵד	אֶת־	וַיֹּאכְלוּ	לַיהוָה	טוֹב
いけにえを	いけにえを–ささげ	日間	七	祭りの–食事を	—	そして–食べた	主に	良い
H2077	H2076	H3117	H7651	H4150	H0853	H0398	H3068	

ס	אֲבוֹתֵיהֶם׃	אֱלֹהֵי	לַיהוָה	וּמִתְוַדִּים	שְׁלָמִים	
—	先祖たちの	神	主に	そして–告白した	和解の–ささげ物の	
	H0001	H0430	H3068	H3034	H8002	

そしてヒゼキヤは主の勤めによく通じているすべてのレビびとを深くねぎらった。こうして人々は酬恩祭の犠牲をささげ、その先祖の神、主に感謝して、七日のあいだ祭の供え物を食べた。

23

שִׁבְעַת־	וַיַּעֲשׂוּ	אֲחֵרִים	יָמִים	שִׁבְעַת	לַעֲשׂוֹת	הַקָּהָל	כָּל־	וַיִּוָּעֲצוּ
七–日間を	そして–行った	もう	日間	七	行う–ことを	会衆は	すべての	そして–相談した
H7651		H0312	H3117	H7651		H6951	H3605	H3289

שִׂמְחָה׃	יָמִים
喜びの–うちに	日間
H8057	H3117

なお全会衆は相はかって、さらに七日のあいだ祭を守ることを定め、喜びをもってまた七日のあいだ守った。

24 כִּי חִזְקִיָּהוּ מֶלֶךְ־יְהוּדָה הֵרִים לַקָּהָל אֶלֶף פָּרִים וְשִׁבְעַת אֲלָפִים צֹאן
H2396 H4428 H3063 H7311 H6951 H0505 H6499 H7651 H0505 H6629
וַיְתִקְדְּשׁוּ וְאֶלֶף אֲלָפִים עֲשָׂרֶת וְצֹאן אֶלֶף פָּרִים לַקָּהָל הֵרִימוּ וְהַשָּׂרִים ס
H6942 H0505 H6235 H6629 H0505 H6499 H6951 H8269
כֹּהֲנִים לָרֹב׃
H3548 H7230

時にユダの王ヒゼキヤは雄牛一千頭、羊七千頭を会衆に贈り、また、つかさたちは雄牛一千頭、羊一万頭を会衆に贈った。祭司もまた多く身を清めた。

25 וַיִּשְׂמְחוּ כָּל־קְהַל יְהוּדָה וְהַכֹּהֲנִים וְהַלְוִיִּם וְכָל־הַקָּהָל
H8055 H3605 H6951 H3063 H3548 H3881 H3605 H6951
הַבָּאִים מִיִּשְׂרָאֵל וְהַגֵּרִים מֵאֶרֶץ יִשְׂרָאֵל
H0935 H3478 H1616 H0776 H3478
וְהַיּוֹשְׁבִים בִּיהוּדָה׃
H3427 H3063

ユダの全会衆および祭司、レビびと、ならびにイスラエルからきた全会衆、およびイスラエルの地からきた他国人と、ユダに住む他国人は皆喜んだ。

26 וַתְּהִי שִׂמְחָה־גְדוֹלָה בִּירוּשָׁלִָם כִּי מִימֵי שְׁלֹמֹה בֶן־דָּוִיד
H1961 H8057 H1419 H3389 H3117 H8010 H1732
מֶלֶךְ יִשְׂרָאֵל כָּזֹאת לֹא הָיְתָה בִּירוּשָׁלִָם׃ ס
H4428 H3478 H2063 H3808 H1961 H3389

このようにエルサレムに大いなる喜びがあった。イスラエルの王ダビデの子ソロモンの時からこのかた、このような事はエルサレムになかった。

27 וַיָּקֻמוּ הַכֹּהֲנִים הַלְוִיִּם וַיְבָרְכוּ אֶת־הָעָם וַיִּשָּׁמַע
H8085 H5971 H1288 H0853 H3881 H3548 H6965
בְּקוֹלָם וַתָּבוֹא תְפִלָּתָם לִמְעוֹן קָדְשׁוֹ לַשָּׁמָיִם׃ פ
H8085 H4583 H6944 H8064

このとき祭司たちとレビびとは立って、民を祝福したが、その声は聞かれ、その祈は主の聖なるすみかである天に達した。

Chapter 31

1

הַנִּמְצְאִים׃	יִשְׂרָאֵל	כָּל־	יָצְאוּ	זֹאת	כָּל־	וּכְכַלּוֹת
そこに–いた–者たちは	イスラエル	すべての	出て–行った	この–こと	すべての	そして–終えると
H4672	H3478	H3605	H3318	H2063	H3605	H3615

וַיְנַתְּצוּ	הָאֲשֵׁרִים	וַיְנַדְּעוּ	הַמַּצֵּבוֹת	וַיְשַׁבְּרוּ	יְהוּדָה׃	לְעָרֵי
そして–打ち壊した	アシェラ像を	そして–切り倒した	石柱を	そして–砕いた	ユダ	の–町々へ
H5422	H0842	H1438	H4676	H7665	H3063	

וּבִנְיָמִן	יְהוּדָה	מִכֹּל־	הַמִּזְבֵּחוֹת	וְאֶת־	הַבָּמוֹת	אֶת־
そして–ベニヤミン	ユダ	すべての–中から	祭壇を	そして(を)	高き–所を	(を)
H1144	H3063	H3605	H4196	H0853	H1116	H0853

יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי	כָּל־	וַיָּשׁוּבוּ	לְכַלֹּתָה	עַד־	וּמְנַשֶּׁה	וּבְאֶפְרַיִם
イスラエル	の–子らは	すべての	そして–帰った	完了する	まで	そして–マナセ	そして–エフライム
H3478		H3605	H7725	H3615	H5704	H4519	H0669

ס	לְעָרֵיהֶם׃	לַאֲחֻזָּתוֹ	אִישׁ
(段落)	自分の–町々に	自分の–所有地に	各々
		H0272	H0376

この事がすべて終った時、そこにいたイスラエルびとは皆、ユダの町々に出て行って、石柱を砕き、アシラ像を切り倒し、ユダとベニヤミンの全地、およびエフライムとマナセにある高き所と祭壇とを取りこわし、ついにこれをことごとく破壊した。そしてイスラエルの人々はおのおのその町々、その所領に帰った。

2

עַל־	וְהַלְוִיִּם	הַכֹּהֲנִים	מַחְלְקוֹת	אֶת־	יְחִזְקִיָּהוּ	וַיַּעֲמֵד
(の–上に)	そして–レビ人の	祭司たちの	組分けを	(を)	ヒゼキヤは	そして–立てた
	H3881	H3548	H4256	H0853	H2396	H5975

וְלַלְוִיִּם	לַכֹּהֲנִים	עֲבֹדָתוֹ	כְּפִי	וְאִישׁ	מַחְלְקוֹתָם	
そして–レビ人のために	祭司たちのために	その–奉仕に	に–応じて	各々	彼らの–組に–従い	
H3881	H3548	H5656	H6310	H0376	H4256	

וּלְהַלֵּל	וּלְהֹדוֹת	לְשָׁרֵת	וְלִשְׁלָמִים	לְעֹלָה
そして–賛美するため	そして–感謝するため	仕えるため	そして–和解の–ささげ物のため	全焼の–ささげ物と
	H3034	H8334	H8002	

ס	יְהוָה׃	מַחֲנוֹת	בִּשַׁעֲרֵי	
(段落)	主の	陣営の	の–門で	
	H3068	H4264	H8179	

ヒゼキヤは祭司およびレビびとの班を定め、班ごとにおのおのその勤めに従って、祭司とレビびとに燔祭と酬恩祭をささげさせ、主の営の門で勤めをし、感謝をし、さんびをさせた。

3

הַבֹּקֶר	לְעֹלוֹת	לָעֹלוֹת	רְכוּשׁוֹ	מִן־	הַמֶּלֶךְ	וּמְנָת׃	
朝の	全焼の–ささげ物は	全焼の–ささげ物のため	自分の–財産	から	王の	そして–分け前は	
H1242			H7399		H4428	H4521	

וְלַמּוֹעֲדִים	וְלֶחֳדָשִׁים	לַשַּׁבָּתוֹת	וְהָעֹלוֹת	וְהָעֶרֶב
そして–例祭の	そして–新月の	安息日の	そして–全焼の–ささげ物は	そして–夕べの
H4150	H2320	H7676		H6153

יְהוָה׃	בְּתוֹרַת	כַּכָּתוּב	
主の	の–律法に	書かれて–いる–とおり	
H3068	H8451	H3789	

また燔祭のために自分の財産のうちから王の分を出した。すなわち朝夕の燔祭および安息日、新月、定めの祭などの燔祭のために出して、主の律法にしるされているとおりにした。

4 וַיֹּאמֶר לָעָם לְיוֹשְׁבֵי יְרוּשָׁלִַם לָתֵת מְנָת הַכֹּהֲנִים וְהַלְוִיִּם לְמַעַן יֶחֱזְקוּ בְּתוֹרַת יְהוָה׃

וַיֹּאמֶר	לָעָם	לְיוֹשְׁבֵי	יְרוּשָׁלִַם	לָתֵת	מְנָת	הַכֹּהֲנִים	
そして-命じた	民に	の-住民である	エルサレム	与えるように	分け前を	祭司たちの	
H0559	H5971	H3427	H3389	H5414	H4521	H3548	
וְהַלְוִיִּם	לְמַעַן	יֶחֱזְקוּ	בְּתוֹרַת	יְהוָה׃			
そして-レビ人の	ために	強くなるように	の-律法に	主の			
H3881	H4616	H2388	H8451	H3068			

またエルサレムに住む民に、祭司とレビびとにその分を与えることを命じた。これは彼らをして主の律法に身をゆだねさせるためである。

5 וְכִפְרַץ הַדָּבָר הִרְבּוּ בְּנֵי־יִשְׂרָאֵל רֵאשִׁית דָּגָן

וְכִפְרַץ	הַדָּבָר	הִרְבּוּ	בְּנֵי־	יִשְׂרָאֵל	רֵאשִׁית	דָּגָן
そして-広まると	この-命令が	豊かに-ささげた	の-子らは	イスラエル	初穂を	穀物の
H6555	H1697	H7235	H3478	H3478	H7225	H1715
וְתִירוֹשׁ	וְיִצְהָר	וּדְבַשׁ	וְכֹל	תְּבוּאַת	שָׂדֶה	וּמַעְשַׂר
新しい-ぶどう酒	そして-油を	そして-蜂蜜を	そして-すべての	収穫の	畑の	そして-十分の一を
H8492	H3323	H1706	H3605	H8393	H7704	H4643
הַכֹּל	לָרֹב	הֵבִיאוּ׃				
すべての-ものの	豊かに	持って-来た				
H3605	H7230	H0935				

その命令が伝わるやいなや、イスラエルの人々は穀物、酒、油、蜜ならびに畑のもろもろの産物の初物を多くささげ、またすべての物の十分の一をおびただしく携えて来た。

6 וּבְנֵי יִשְׂרָאֵל וְיהוּדָה הַיּוֹשְׁבִים בְּעָרֵי יְהוּדָה גַּם־הֵם

וּבְנֵי	יִשְׂרָאֵל	וְיהוּדָה	הַיּוֹשְׁבִים	בְּעָרֵי	יְהוּדָה	גַּם־	הֵם
そして-の-子らは	イスラエル	そして-ユダ	住んで-いる	の-町々に	ユダ	もまた	彼らは
H1121	H3478	H3063	H3427	H5892	H3063	H1571	H1992
מַעְשַׂר	בָּקָר	וְצֹאן	וּמַעְשַׂר	קֳדָשִׁים	הַמְקֻדָּשִׁים	לַיהוָה	אֱלֹהֵיהֶם
十分の一を	牛の	そして-羊の	そして-十分の一を	聖なる-物の	聖別された	主に	彼らの-神に
H4643	H1241	H6629	H4643	H6944	H6942	H3068	H0430
הֵבִיאוּ	וַיִּתְּנוּ	עֲרֵמוֹת	עֲרֵמוֹת׃	ס			
持って-来て	そして-積み上げた	山のように	山のように	(段落)			
H0935	H5414	H6194	H6194				

ユダの町々に住んでいたイスラエルとユダの人々もまた牛、羊の十分の一ならびにその神、主にささげられた奉納物を携えて来て、これを積み重ねた。

7 בַּחֹדֶשׁ הַשְּׁלִשִׁי הֵחֵלּוּ לְיִסּוֹד הָעֲרֵמוֹת וּבַחֹדֶשׁ הַשְּׁבִיעִי כִּלּוּ׃ ס

בַּחֹדֶשׁ	הַשְּׁלִשִׁי	הֵחֵלּוּ	לְיִסּוֹד	הָעֲרֵמוֹת	וּבַחֹדֶשׁ	הַשְּׁבִיעִי	כִּלּוּ׃
の-月に	第三の	始めた	積み上げることを	山を	そして-の-月に	第七の	終えた
H2320	H7992	H2490	H3245	H6194	H2320	H7637	H3615
ס							
(段落)							

三月にこれを積み重ねることを始め、七月にこれを終った。

8 וַיָּבֹאוּ יְחִזְקִיָּהוּ וְהַשָּׂרִים וַיִּרְאוּ אֶת־הָעֲרֵמוֹת

וַיָּבֹאוּ	יְחִזְקִיָּהוּ	וְהַשָּׂרִים	וַיִּרְאוּ	אֶת־	הָעֲרֵמוֹת	
そして-来て	ヒゼキヤと	そして-高官たちは	そして-見た	(を)	積み上げた-ものを	
H0935	H2396	H8269	H7200	H0853	H6194	
וַיְבָרְכוּ	אֶת־	יְהוָה	וְאֶת	עַמּוֹ	יִשְׂרָאֵל׃	פ
そして-ほめたたえた	(を)	主を	そして(を)	その-民	イスラエルを	(段落)
H1288	H0853	H3068	H0853	H5971	H3478	

ヒゼキヤおよびつかさたちは来て、その積み重ねた物を見、主とその民イスラエルを祝福した。

9 וַיִּדְרֹשׁ יְחִזְקִיָּהוּ עַל־הַכֹּהֲנִים וְהַלְוִיִּם עַל־הָעֲרֵמוֹת׃

וַיִּדְרֹשׁ	יְחִזְקִיָּהוּ	עַל־	הַכֹּהֲנִים	וְהַלְוִיִּם	עַל־	הָעֲרֵמוֹת׃
そして-尋ねた	ヒゼキヤは	について	祭司たちと	そして-レビ人に	について	積み上げた-ものを
H1875	H2396	H5921	H3548	H3881	H5921	H6194

そしてヒゼキヤがその積み重ねた物について祭司およびレビびとに問い尋ねた時、

10

מֵהָחֵל וַיֹּאמֶר צָדוֹק לְבֵית הָרֹאשׁ הַכֹּהֵן עֲזַרְיָהוּ אֵלָיו וַיַּאמֶר
始めて-以来 そして-言った ツァドク の-家の 頭の 祭司 アザルヤは 彼に そして-答えた
H0559 H6659 H3548 H5838 H0413 H0559

לָרֹב עַד־ וְהוֹתֵר וְשָׂבוֹעַ אָכוֹל יְהוָה בֵּית־ לָבִיא הַתְּרוּמָה
豊かに まで そして-余りが-ある そして-満腹し 食べて 主の の-家に 持って-来ること 奉納物を
H7230 H5704 H3498 H7646 H0398 H3068 H0935 H8641

הַזֹּה׃ הֶהָמוֹן אֶת־ וַהֲנוֹתָר עַמּוֹ אֶת־ בֵּרַךְ יְהוָה כִּי
ものである この-大量の (を) そして-残った-ものが その-民を (を) 祝福された 主が なぜなら
H2088 H0853 H3498 H0853 H1288 H3068

ס
(段落)

ザドクの家から出た祭司の長アザリヤは彼に答えて言った、「民が主の宮に供え物を携えて来ることを始めてからこのかた、われわれは飽きるほど食べたが、たくさん残りました。主がその民を恵まれたからです。それでわれわれは、このように多くの残った物をもっているのです」。

11

וַיְכִינוּ׃ יְהוָה בְּבֵית לְשָׁכוֹת לְהָכִין יְחִזְקִיָּהוּ וַיֹּאמֶר
そして-準備した 主の の-家に 倉を 準備するように ヒゼキヤは そして-命じた
H3068 H3957 H2396 H0559

そこでヒゼキヤは主の宮のうちに室を設けることを命じたので、彼らはこれを設け、

12

בֶּאֱמוּנָה וְהַקֳּדָשִׁים וְהַמַּעֲשֵׂר הַתְּרוּמָה אֶת־ וַיָּבִיאוּ
忠実に そして-聖なる-ものを そして-十分の一と 奉納物と (を) そして-運び-入れた
H0530 H6944 H4643 H8641 H0853 H0935

מִשְׁנֶה׃ אָחִיהוּ וְשִׁמְעִי הַלֵּוִי (כָּנַנְיָהוּ) [כונניהו] נָגִיד וַעֲלֵיהֶם
副官 その-兄弟が そして-シムイ レビ人 コナンヤフ (コナンヤフ) 監督者は そして-その-上に
H4932 H0251 H8096 H3881 H3562 H3562 H5057

その供え物の十分の一および奉納物を忠実に携え入れた。これをつかさどる者のかしらはレビびとコナニヤで、その兄弟シメイは彼に次ぐ者となり、

13

וְיִרִימוֹת וַעֲשָׂהאֵל וְנַחַת וְעֲזַזְיָהוּ וְיִחִיאֵל
そして-エリモト そして-アサエル そして-ナハト そして-アザズヤフ そして-エヒエル
H3406 H6214 H5184 H5812 H3171

וּבְנָיָהוּ וּמַחַת וְיִסְמַכְיָהוּ וְאֱלִיאֵל וְיוֹזָבָד
そして-ベナヤフが そして-マハト そして-イスマクヤフ そして-エリエル そして-ヨザバド
H1141 H4287 H3253 H0447 H3107

בְּמִפְקַד אָחִיו וְשִׁמְעִי (כָּנַנְיָהוּ) [כונניהו] מִיַּד פְּקִידִים
任命-により その-兄弟の そして-シムイ コナンヤフ (コナンヤフ) の-手の-もとに 監督者として
H4662 H0251 H8096 H3562 H3562 H3027 H6496

הָאֱלֹהִים׃ בֵּית־ נָגִיד וַעֲזַרְיָהוּ הַמֶּלֶךְ יְחִזְקִיָּהוּ
神の の-家の 監督者 そして-アザルヤ 王と ヒゼキヤ
H0430 H5057 H5838 H4428 H2396

エヒエル、アザジヤ、ナハテ、アサヘル、エレモテ、ヨザバデ、エリエル、イスマキヤ、マハテ、ベナヤらは、ヒゼキヤ王および神の宮のつかさアザリヤの任命によって、コナニヤおよびその兄弟シメイを助けて、その監督者となった。

14 וְקוֹרֵא בֶן־ יִמְנָה הַלֵּוִי הַשּׁוֹעֵר לַמִּזְרָחָה עַל נִדְבוֹת
そして-コレは の-子 イムナ レビ人 門衛は 東の (を-管理する) 自由の-ささげ物を
H7935 H3232 H3881 H7778 H4217 H5071

הָאֱלֹהִים לָתֵת תְּרוּמַת יְהוָה וְקָדְשֵׁי הַקֳּדָשִׁים׃
神への 分配するため 奉納物を 主への そして-最も-聖なる-ものを 至聖の
H0430 H5414 H8641 H3068 H6944 H6944

東の門を守る者レビびとイムナの子コレは、神にささげる自発のささげ物をつかさどり、主の供え物および最も聖なる物を分配した。

15 וְעַל־ יָדָו עֵדֶן וּמִנְיָמִן וְיֵשׁוּעַ וּשְׁמַעְיָהוּ
そして-その-もとに その-手の エデン そして-ミンヤミン そして-イエシュア そして-シェマヤフ
H3027 H5730 H4509 H3442 H8098

אֲמַרְיָהוּ וּשְׁכַנְיָהוּ בְּעָרֵי הַכֹּהֲנִים בֶּאֱמוּנָה לָתֵת לַאֲחֵיהֶם׃
アマルヤフ そして-シェカンヤフが の-町々で 祭司たちの 忠実に 分配するため その-兄弟たちに
H0568 H7935 H5892 H3548 H0530 H5414 H0251

כַּקָּטֶן׃ כַּגָּדוֹל בְּמַחְלְקוֹת
小さい-者も 大きい-者も 組ごとに
H4256

彼を助ける者はエデン、ミニヤミン、エシュア、シマヤ、アマリヤおよびシカニヤで、皆祭司の町々でその兄弟たちに、班によって、老若ひとしく忠実に分配した。

16 לְבֵית־ הַבָּא לְכֹל־ וּלְמַעְלָה שָׁנִים שָׁלוֹשׁ מִבֶּן לִזְכָרִים הִתְיַחְשָׂם מִלְּבַד
の-家に 入る-者に すべての 以上の 歳 三 から 男子の 登録された 別に
H0935 H3605 H4605 H8141 H7969 H1121 H2145 H3187 H0905

כְּמַחְלְקוֹתֵיהֶם׃ בְּמִשְׁמְרוֹתָם לַעֲבֹדָתָם בְּיוֹמָו יוֹם לִדְבַר־ יְהוָה
その-組に-従って その-当番に-従い その-奉仕のため ごとに 日 の-定めの 主の
H4256 H4931 H5656 H3117 H3117 H1697 H3068

ただしすべて登録された三歳以上の男子で主の宮に入り、その班に従って日々の職分をつくし、その受持の勤めをなす者は除かれた。

17 וְאֶת הַכֹּהֲנִים הִתְיַחֵשׂ לְבֵית אֲבוֹתֵיהֶם וְהַלְוִיִּם מִבֶּן עֶשְׂרִים
そして(を) 祭司たちは 登録された の-家に-従い 彼らの-先祖の そして-レビ人は から 二十
H0853 H3548 H3187 H1004 H0001 H3881 H1121 H6242

כְּמַחְלְקוֹתֵיהֶם׃ בְּמִשְׁמְרוֹתֵיהֶם וּלְמָעְלָה שָׁנָה
その-組に-従って その-当番に-従い 以上の 歳
H4256 H4931 H4605 H8141

祭司の登録はその氏族によってなされ、二十歳以上のレビびとの登録はその班により、その受持にしたがってなされた。

18 וּלְהִתְיַחֵשׂ בְּכָל־ טַפָּם נְשֵׁיהֶם וּבְנֵיהֶם וּבְנוֹתֵיהֶם
そして-登録するため すべての 幼い-子たちを 妻たちを そして-息子たちを そして-娘たちを
H3187 H3605 H2945 H0802 H1121 H1323

לְכֹל־ קָהָל כִּי בֶאֱמוּנָתָם יִתְקַדְּשׁוּ־ קֹדֶשׁ׃
すべての 会衆の なぜなら 忠実に 聖別した 聖なる-ものとして
H3605 H6951 H3588 H0530 H6942 H6944

また祭司はその幼な子、その妻、そのむすこ、その娘、全会衆と共に登録した。彼らは忠実に身を聖なる事にささげたからである。

19 וְלִבְנֵי֙ אַהֲרֹ֣ן הַכֹּהֲנִ֔ים בִּשְׂדֵ֖י מִגְרַ֣שׁ עָרֵיהֶ֑ם בְּכָל־עִ֣יר
そして–の–子らのために アロン 祭司たちには の–畑の 放牧地 彼らの–町々の すべての 町
H0175 H3548 H4054 H5892 H3605

וְעִ֣יר לְעִ֔יר לָתֵ֥ת מָנ֖וֹת לְכָל־זָכָ֑ר בְּשֵׁמ֖וֹת נִקְבּ֥וּ אֲשֶׁ֛ר אֲנָשִׁ֥ים
ごとに 人々が–いて その 名を–指定された 名によって 与えるため 分け前を すべての 男子に
H0376 H0834 H8034 H5414 H4490 H3605 H2145

בַּלְוִיִּ֖ם וּלְכָל־הַתְיַחֵ֥שׁ בַּכֹּהֲנִֽים׃
レビ人の–中の そして–すべての 登録された–者に 祭司たちの–中の
H3881 H3605 H3187 H3548

また町々の放牧地におるアロンの子孫である祭司たちのためには、町ごとに人を名ざし選んで、祭司のうちのすべての男およびレビびとのうちの登録されたすべての者に、その分を与えさせた。

20 וַיַּ֣עַשׂ כָּזֹ֔את יְחִזְקִיָּ֖הוּ בְּכָל־יְהוּדָ֑ה וַיַּ֣עַשׂ הַטּ֥וֹב
そして–行った このように ヒゼキヤは すべての ユダに–おいて そして–行った 善い–ことを
H6213 H2063 H2396 H3605 H3063 H6213 H2896

וְהַיָּשָׁ֖ר וְהָאֱמֶ֥ת לִפְנֵ֛י יְהוָ֥ה אֱלֹהָֽיו׃
そして–正しい–ことを そして–真実な–ことを の–前に 主 その–神の
H3477 H0571 H6440 H3068 H0430

ヒゼキヤはユダ全国にこのようにし、良い事、正しい事、忠実な事をその神、主の前に行った。

21 וּבְכָל־מַעֲשֶׂ֣ה אֲשֶׁר־הֵחֵ֗ל בַּעֲבוֹדַ֤ת בֵּית־הָאֱלֹהִים֙ וּבַתּוֹרָ֣ה
そして–すべての 行いに–おいて (関係詞) 始めた の–奉仕に の–家の 神の そして–律法に
H3605 H4639 H0834 H2490 H5656 H1004 H0430 H8451

וּבַמִּצְוָ֔ה לְדָרְשׁ֖ לֵֽאלֹהָ֑יו בְּכָל־לְבָב֥וֹ עָשָׂ֖ה וְהִצְלִֽיחַ׃ פ
そして–戒めに 求めて その–神を すべての 心を–もって 行い そして–栄えた (段落)
H4687 H1875 H0430 H3605 H3824 H6213 H6743

彼がその神を求めるために神の宮の務につき、律法につき、戒めについて始めたわざは、ことごとく心をつくして行い、これをなし遂げた。

Chapter 32

1 אַחֲרֵ֣י הַדְּבָרִ֣ים הָאֵ֔לֶּה וְהָאֱמֶ֖ת בָּ֣א סַנְחֵרִ֣יב מֶֽלֶךְ־אַשּׁ֑וּר
の–後に これらの–ことと そして–忠実の これらの 来た センナケリブが 王 アッシリアの
H0310 H1697 H0571 H0935 H5576 H4428 H0804

וַיַּ֣רְא כִּ֤י בָא֙ לִשְׁר֣וֹת מִלְחָמָ֔ה וַיֹּ֖אמֶר לְהַבְקִיעָ֑ם
そして–見た (関係詞) 来たことを センナケリブが 戦いに–向かって
H7200 H3588 H0935 H5576 H4421

וַיִּתֵּ֖ן עַל־יְרוּשָׁלָֽ͏ִם׃ עַל־פָּנָ֣יו וַיִּוָּעַ֗ץ אֶל־שָׂרָיו֙ וְגִבֹּרָ֔יו
に–向かって エルサレムに そして–その–顔が そして–相談した に–向かって 自分の–ために 切り–開こうと
H3389 H5921 H6440 H3289 H0413 H1234

ヒゼキヤがこれらの事を忠実に行った後、アッスリヤの王セナケリブが来てユダに侵入し、堅固な町々に向かって陣を張り、これを攻め取ろうとした。

2 וַיַּ֣רְא יְחִזְקִיָּ֔הוּ כִּ֥י בָ֖א סַנְחֵרִ֑יב וּפָנָ֣יו לְמִלְחָמָ֔ה
そして–見た ヒゼキヤは (関係詞) 来たことを センナケリブが そして–その–顔が 戦いに–向かって
H7200 H2396 H3588 H0935 H5576 H6440 H4421

עַל־יְרוּשָׁלָֽ͏ִם׃
に–向かって エルサレムに
H5921 H3389

ヒゼキヤはセナケリブが来て、エルサレムを攻めようとするのを見たので、

3 וַיִּוָּעַץ עִם־שָׂרָיו וְגִבֹּרָיו לִסְתֹּם אֶת־מֵימֵי הָעֲיָנוֹת
そして–相談した と その–高官たちと そして–勇士たちと ふさぐために (を) の–水を 泉の
H3289 H8269 H1368 H0853 H4325

אֲשֶׁר מִחוּץ לָעִיר וַיַּעְזְרוּהוּ׃
(関係詞) の–外に–ある 町の そして–助けた
H2351 H5826

そのつかさたちおよび勇士たちと相談して、町の外にある泉の水を、ふさごうとした。彼らはこれを助けた。

4 וַיִּקָּבְצוּ עַם־רָב וַיִּסְתְּמוּ אֶת־כָּל־הַמַּעְיָנוֹת וְאֶת־הַנַּחַל
そして–集まった の–民が 大勢 そして–ふさいだ (を) すべての 泉を そして(を) 川を
H6908 H0853 H3605 H4599 H0853

הַשֹּׁטֵף בְּתוֹךְ־הָאָרֶץ לֵאמֹר לָמָּה יָבוֹאוּ מַלְכֵי אַשּׁוּר וּמָצְאוּ מַיִם רַבִּים׃
流れる の–中を 地の 言って なぜ 来て の–王たちが アッシリアの そして–見つけるのか 水を 豊かな
H7857 H8432 H0776 H0559 H4100 H0935 H4428 H0804 H4672 H4325

多くの民は集まって、すべての泉および国の中を流れる谷川をふさいで言った、「アッスリヤの王たちがきて、多くの水を得られるようなことをしておいていいだろうか」。

5 וַיִּתְחַזֵּק וַיִּבֶן אֶת־כָּל־הַחוֹמָה הַפְרוּצָה וַיַּעַל עַל־
そして–強くした そして–建てた (を) すべての 城壁を 壊れた そして–上げた の–上に
H2388 H1129 H0853 H3605 H2346 H6555 H5927

הַמִּגְדָּלוֹת וַיְחִזֵּק אֶת־הַמִּלּוֹא עִיר דָּוִיד וַיַּעַשׂ שֶׁלַח רָב וּמָגִנִּים׃
塔まで そして–外に 城壁を 別の (を) ミロを の–町 ダビデの そして–強化した そして–作った 投槍を 大量に そして–盾を
H4026 H2351 H2346 H0312 H0853 H4407 H5892 H1732 H2388 H7973 H7230 H4043

ヒゼキヤはまた勇気を出して、破れた城壁をことごとく築き直して、その上にやぐらを建て、その外にまた城壁を巡らし、ダビデの町のミロを堅固にし、武器および盾を多く造り、

6 וַיִּתֵּן שָׂרֵי מִלְחָמוֹת עַל־הָעָם וַיְקַבְּצֵם אֲלֵיהוּ אֶל־רְחוֹב
そして–置いた の–将軍を 戦いの の–上に 民の そして–集めた 彼らを の–方へ 広場に
H5414 H8269 H4421 H5921 H5971 H6908 H0413 H0413 H7339

שַׁעַר הָעִיר וַיְדַבֵּר עַל־לִבָּם לֵאמֹר׃
の–門の 町の そして–語った に–向かって 彼らの–心に 言って
H8179 H1696 H5921 H3824 H0559

軍長を民の上に置き、町の門の広場に民を集めて、これを励まして言った、

7 חִזְקוּ וֶאֱמָצוּ אַל־תִּירְאוּ וְאַל־תֵּחַתּוּ מִפְּנֵי מֶלֶךְ אַשּׁוּר וּמִלִּפְנֵי כָּל־
強く–あれ そして–雄々しく–あれ 恐れては しては–ならない そして–しては–ならない おののいては 王 の–前に アッシリアの そして–の–前に すべての
H2388 H0553 H3372 H0408 H2865 H4428 H6440 H0804 H6440 H3605

הֶהָמוֹן אֲשֶׁר עִמּוֹ כִּי עִמָּנוּ רַב מֵעִמּוֹ׃
群衆の (関係詞) 彼と–共に–ある なぜなら 私たちと–共に 大きい–方が 彼と–共に–ある–より
H0408 H5973 H3588

「心を強くし、勇みたちなさい。アッスリヤの王をも、彼と共にいるすべての群衆をも恐れてはならない。おののいてはならない。われわれと共におる者は彼らと共におる者よりも大いなる者だからである。

8

לְעָזְרֵנוּ	אֱלֹהֵינוּ	יְהוָה	וְעִמָּנוּ	בְּשָׂר	זְרֹועַ	עִמּוֹ
助けるため	私たちの–神が	主	しかし–私たちと–共に	肉の	腕	彼と–共に–あるのは
H5826	H0430	H3068		H1320	H2220	

מֶלֶךְ־	יְחִזְקִיָּהוּ	דִּבְרֵי	עַל־	הָעָם	וַיִּסָּמְכוּ	מִלְחַמְתֵּנוּ	וּלְהִלָּחֶם
王	ヒゼキヤ	の–言葉に	の–上に	民は	そして–寄りかかった	私たちの–戦いを	そして–戦うため
H4428	H2396	H1697			H5564	H4421	

פ	יְהוּדָה׃
(段落)	ユダの
	H3063

彼と共におる者は肉の腕である。しかしわれわれと共におる者はわれわれの神、主であって、われわれを助け、われわれに代って戦われる」。民はユダの王ヒゼキヤの言葉に安心した。

9

יְרוּשָׁלַ͏ִם	עַבָדָיו	אַשּׁוּר	מֶלֶךְ־	סַנְחֵרִיב	שָׁלַח	זֶה	אַחַר
エルサレムに	その–家来たちを	アッシリアの	王	センナケリブは	遣わした	これ	の–後
H3389	H5650	H0804	H4428	H5576	H7971	H2088	

יְחִזְקִיָּהוּ	עַל־	עִמּוֹ	מַמְשַׁלְתּוֹ	וְכָל־	לָכִישׁ	עַל־	וְהוּא	
ヒゼキヤ	に–向かって	彼と–共に	その–軍勢が	そして–すべての	ラキシュ	に–向かって	そして–彼は	
H2396			H4475	H3605	H3923		H1931	

לֵאמֹר׃	בִּירוּשָׁלַ͏ִם	אֲשֶׁר	יְהוּדָה	כָּל־	וְעַל־	יְהוּדָה	מֶלֶךְ
言って	エルサレムに–いる	(関係詞)	ユダ	すべての	そして–に–向かって	ユダの	王
H0559	H3389		H3063	H3605		H3063	H4428

この後アッスリヤの王セナケリブはその全軍をもってラキシを囲んでいたが、その家来をエルサレムにつかわして、ユダの王ヒゼキヤおよびエルサレムにいるすべてのユダの人に告げさせて言った、

10

אַתֶּם	מָה	עַל־	אַשּׁוּר	מֶלֶךְ	סַנְחֵרִיב	אָמַר	כֹּה
お前たちは	何を	に–ついて	アッシリアの	王	センナケリブは	言う	このように
	H4100		H0804	H4428	H5576	H0559	H3541

יֹשְׁבִים	בְּמָצוֹר	בִּירוּשָׁלָ͏ִם׃	
そして–座って–いる	包囲の–中に	エルサレムに	
H3427	H4692	H3389	

בְּטֻחִים
信頼して–いるのか
H0982

「アッスリヤの王セナケリブはこう言います、『あなたがたは何を頼んでエルサレムにこもっているのか。

11

בָּרָעָב	לָמוּת	אֶתְכֶם	לָתֵת	אֶתְכֶם	מַסִּית	יְחִזְקִיָּהוּ	הֲלֹא
飢饉で	死に	お前たちを	渡すために	お前たちを	そそのかして	ヒゼキヤが	では–ないか
H7458	H4191	H0853	H5414	H0853	H5496	H2396	H3808

אַשּׁוּר׃	מֶלֶךְ	מִכַּף	יַצִּילֵנוּ	אֱלֹהֵינוּ	יְהוָה	לֵאמֹר	וּבְצָמָא
アッシリアの	王	の–手から	救って–くださると	私たちの–神が	主	言って	そして–渇きで
H0804	H4428	H3709	H5337	H0430	H3068	H0559	H6772

ヒゼキヤは「われわれの神、主がアッスリヤの王の手から、われわれを救ってくださる」と言って、あなたがたをそそのかし、飢えと、かわきをもって、あなたがたを死なせようとしているのではないか。

12 הֲלֹא־ הוּא יְחִזְקִיָּהוּ הֵסִיר בָּמֹתָיו וְאֶת־ מִזְבְּחֹתָיו
では–ないか 彼こそ ヒゼキヤが 取り–除いた (を) その–高き–所を そして(を) その–祭壇を
H3808 H1931 H2396 H5493 H0853 H1116 H0853 H4196

וַיֹּאמֶר לִיהוּדָה וְלִירוּשָׁלַ͏ִם לֵאמֹר לִפְנֵי מִזְבֵּחַ אֶחָד תִּשְׁתַּחֲווּ
そして–言った ユダに そして–エルサレムに 言って の–前で 祭壇 一つの ひとは–ふせよ
H0559 H3063 H3389 H0559 H6440 H4196 H0259 H7812

וְעָלָיו תְּקַטֵּירוּ׃
そして–その–上で 香を–たけと

このヒゼキヤは主のもろもろの高き所と祭壇を取り除き、ユダとエルサレムに命じて、「あなたがたはただ一つの祭壇の前で礼拝し、その上に犠牲をささげなければならない」と言った者ではないか。

13 הֲלֹא תֵדְעוּ מֶה עָשִׂיתִי אֲנִי וַאֲבוֹתַי לְכָל עַמֵּי
知ら–ないのか 知らないのか 何を したか 私と そして–私の–先祖が すべての の–民に
H3808 H3045 H4100 H6213 H0589 H0001 H3605

הָאֲרָצוֹת הַיָּכְלוֹ הֲיָכְלוּ אֱלֹהֵי גּוֹיֵ הָאֲרָצוֹת לְהַצִּיל אֶת־ אַרְצָם
地々の できたのか できたのか の–神は の–諸国民 地々の 救うことが (を) その–地を
H0776 H3201 H3201 H0430 H1471 H0776 H5337 H0853 H0776

מִיָּדִי׃
私の–手から
H3027

あなたがたは、わたしおよびわたしの先祖たちが、他の国々のすべての民にしたことを知らないのか。それらの国々の民の神々は、少しでもその国を、わたしの手から救い出すことができたか。

14 מִי בְכָל־ אֱלֹהֵי הַגּוֹיִם הָאֵלֶּה אֲשֶׁר הֶחֱרִימוּ אֲבוֹתַי אֲשֶׁר
誰が すべての–中で の–神々の 諸国民の これらの 滅ぼした 私の–先祖が (関係詞) (関係詞)
H4310 H3605 H0430 H1471 H0428 H2763 H0001 H0834

יָכֹל לְהַצִּיל אֶת־ עַמּוֹ מִיָּדִי כִּי יוּכַל אֱלֹהֵיכֶם לְהַצִּיל אֶתְכֶם מִיָּדִי׃
できたか 救うことが (を) その–民を 私の–手から まして できるだろうか お前たちの–神が 救うことが お前たちを 私の–手から
H3201 H5337 H0853 H5971 H3027 H3588 H3201 H0430 H5337 H0853 H3027

わたしの先祖たちが滅ぼし尽したそれらの国民のもろもろの神のうち、だれか自分の民をわたしの手から救い出すことのできたものがあるか。それで、どうしてあなたがたの神が、あなたがたをわたしの手から救い出すことができよう。

15

וְאַל־	חִזְקִיָּהוּ	אֶתְכֶם	יַשִּׁיא	אַל־	וְעַתָּה
そして-しては-ならない	ヒゼキヤが	お前たちを	欺いては	しては-ならない	そして-今
H0408	H2396	H0853	H5377	H0408	H6258

לֹא	כִּי־	לוֹ	תַאֲמִינוּ	וְאַל־	כָּזֹאת	אֶתְכֶם	יַסִּית	
ない	なぜなら	彼を	信じては	そして-しては-ならない	このように	お前たちを	そそのかしては	
H3808			H0539	H0408	H2063	H0853	H5496	

מִיָּדִי	עַמּוֹ	לְהַצִּיל	וּמַמְלָכָה	גּוֹי	כָּל־	אֱלוֹהַּ	כָּל־	יוּכַל
私の-手から	その-民を	救うことが	そして-王国のも	国民のも	どの	神も	どの	できない
H3027		H5337	H4467		H3605	H0433	H3605	H3201

אֶתְכֶם	יַצִּילוּ	לֹא־	אֱלֹהֵיכֶם	כִּי	אַף	אֲבוֹתָי	וּמִיַּד
お前たちを	救えない	ない	お前たちの-神が	(強調)	ましてや	私の-先祖の	そして-の-手から
H0853	H5337	H3808	H0430		H0637	H0001	H3027

מִיָּדִי׃
私の-手から
H3027

それゆえ、あなたがたはヒゼキヤに欺かれてはならない。そそのかされてはならない。また彼を信じてはならない。いずれの民、いずれの国の神もその民をわたしの手、または、わたしの先祖の手から救いだすことができなかったのだから、ましてあなたがたの神が、どうしてわたしの手からあなたがたを救いだすことができようか』」。

16

וְעַל	הָאֱלֹהִים	יְהוָה	עַל־	עַבְדָּיו	דִּבְּרוּ	וְעוֹד	
そして-に-向かって	神を	主	に-向かって	その-家来たちは	語った	そして-さらに	
	H0430	H3068		H5650	H1696	H5750	

עַבְדּוֹ׃	יְחִזְקִיָּהוּ
その-僕を	ヒゼキヤ
H5650	H2396

セナケリブの家来は、このほかにも多く主なる神、およびそのしもべヒゼキヤをそしった。

17

עָלָיו	וְלֵאמֹר	יִשְׂרָאֵל	אֱלֹהֵי	לַיהוָה	לְחָרֵף	כָּתַב	וְסִפָּרִים	
それに-ついて	そして-言うため	イスラエルの	の-神	主を	そしるために	書いた	そして-書状を	
	H0559	H3478	H0430	H3068		H3789		

מִיָּדִי	עַמּוֹ	הִצִּילוּ	לֹא־	אֲשֶׁר	הָאֲרָצוֹת	גּוֹיֵ	כֵּאלֹהֵי	לֵאמֹר
私の-手から	その-民を	救えなかった	ない	(関係詞)	地々の	の-諸国民	の-神々のように	言って
H3027		H5337	H3808		H0776		H0430	H0559

מִיָּדִי׃	עַמּוֹ	יְחִזְקִיָּהוּ	אֱלֹהֵי	יַצִּיל	לֹא־	כֵּן
私の-手から	その-民を	ヒゼキヤの	の-神は	救えない	ない	そのように
H3027		H2396	H0430	H5337	H3808	

セナケリブはまた手紙を書き送って、イスラエルの神、主をあざけり、かつそしって言った、「諸国の民の神々が、その民をわたしの手から救い出さなかったように、ヒゼキヤの神も、その民をわたしの手から救い出さないであろう」と。

18

אֲשֶׁר	יְרוּשָׁלַ͏ִם	עַם	עַל־	יְהוּדִית	גָּדוֹל	בְּקוֹל־	וַיִּקְרְאוּ	
(関係詞)	エルサレムの	の-民に	に-向かって	ユダの-言葉で	大きな	の-声で	そして-叫んだ	
	H3389			H3066			H7121	

הָעִיר׃	אֶת־	יִלְכְּדוּ	לְמַעַן	וּלְבַהֲלָם	לְיִרְאָם	הַחוֹמָה	עַל־	
町を	(を)	占領する	ために	そして-おびえさせるため	恐れさせるため	城壁の	の-上に-いる	
	H0853	H3920	H4616	H0926	H3372	H2346		

そして彼らは大声をあげ、ユダヤの言葉をもって、城壁の上にいるエルサレムの民に向かって叫び、これをおどし、かつおびやかした。彼らは町を取るためである。

19

מַעֲשֵׂה	הָאָרֶץ	עַמֵּי	אֱלֹהֵי	כְּעַל	יְרוּשָׁלִָם	אֱלֹהֵי	אֶל־	וַיְדַבְּרוּ
造り-物	地の	の-民々の	の-神々	のように	エルサレムの	の-神に	に-向かって	そして-語った
H4639	H0776		H0430		H3389	H0430	H0413	H1696

	ס	הָאָדָם׃	יְדֵי
	(段落)	人の	の-手の
		H0120	H3027

このように彼らがエルサレムの神について語ること、人の手のわざである地上の民の神々について語るようであった。

20

זֹאת	עַל־	הַנָּבִיא	אָמוֹץ	בֶּן־	וְיֶשַׁעְיָהוּ	הַמֶּלֶךְ	יְחִזְקִיָּהוּ	וַיִּתְפַּלֵּל
このこと	に-ついて	預言者は	アモツの	の-子	そして-イザヤ	王と	ヒゼキヤ	そして-祈った
H2063		H5030	H0531			H4428	H2396	H6419

	פ	הַשָּׁמָיִם׃	וַיִּזְעֲקוּ
	(段落)	天に	そして-叫んだ
		H8064	H2199

そこでヒゼキヤ王およびアモツの子預言者イザヤは共に祈って、天に呼ばわったので、

21

וְנָגִיד	חַיִל	גִּבּוֹר	כָּל־	וַיַּכְחֵד	מַלְאָךְ	יְהוָה	וַיִּשְׁלַח	
そして-指揮官を	戦士を	勇士を	すべての	そして-滅ぼした	御使いを	主は	そして-遣わした	
H5057	H2428	H1368	H3605	H3582	H4397	H3068	H7971	

לְאַרְצוֹ	פָּנִים	בְּבֹשֶׁת	וַיָּשָׁב	אַשּׁוּר	מֶלֶךְ	בְּמַחֲנֵה	וְשָׂר	
その-国に	顔に	の-恥を-かいて	そして-帰った	アッシリアの	王	の-陣営の	そして-将軍を	
H0776	H6440	H1322	H7725	H0804	H4428	H4264	H8269	

שָׁם	מֵעָיו	וּמֵיצִיאֵי)׃	ומיציאו]	אֱלֹהָיו	בֵּית	וַיָּבֹא	
そこで	その-腹から-出た-者が	そして-彼の-子らが	(ケティブ)	その-神の	の-家に	そして-入った	
H8033	H4578	H3329	H3329	H0430		H0935	

בֶּחָרֶב׃	הִפִּילֻהוּ
剣で	倒した
H2719	H5307

主はひとりのみ使をつかわして、アッスリヤ王の陣営にいるすべての大勇士と将官、軍長らを滅ぼされた。それで王は赤面して自分の国に帰ったが、その神の家にはいった時、その子のひとりが、つるぎをもって彼をその所で殺した。

22

מִיַּד	יְרוּשָׁלִַם	יֹשְׁבֵי	וְאֵת	יְחִזְקִיָּהוּ	אֶת־	יְהוָה	וַיּוֹשַׁע	
の-手から	エルサレムの	の-住民を	そして(を)	ヒゼキヤを	(を)	主は	そして-救った	
H3027	H3389	H3427	H0853	H2396	H0853	H3068	H3467	

מִסָּבִיב׃	וַיְנַהֲלֵם	כֹּל	וּמִיַּד־	אַשּׁוּר	מֶלֶךְ־	סַנְחֵרִיב	
周囲から	そして-導いた	すべての	そして-の-手から	アッシリアの	王	センナケリブ	
H5439	H5095	H3605	H3027	H0804	H4428	H5576	

このように主は、ヒゼキヤとエルサレムの住民をアッスリヤの王セナケリブの手およびすべての敵の手から救い出し、いたる所で彼らを守られた。

23

וּמִגְדָּנוֹת	לִירוּשָׁלִַם	לַיהוָה	מִנְחָה	מְבִיאִים	וְרַבִּים	
そして-貴重な-贈り物を	エルサレムに	主に	ささげ物を	持って-来た	そして-多くの-者が	
H4030	H3389	H3068	H4503	H0935		

ס	כֵּן׃	מֵאַחֲרֵי־	הַגּוֹיִם	כָּל־	לְעֵינֵי	וַיִּנָּשֵׂא	יְהוּדָה	מֶלֶךְ	לִיחִזְקִיָּהוּ
(段落)	それ	の-後	諸国民の	すべての	の-目に	そして-高められた	ユダの	王	ヒゼキヤに
				H3605		H5375	H3063	H4428	H2396

そこで多くの人々はささげ物をエルサレムに携えてきて主にささげ、また宝物をユダの王ヒゼキヤに贈った。この後ヒゼキヤは万国の民に尊ばれた。

24 בַּיָּמִים הָהֵם חָלָה יְחִזְקִיָּהוּ עַד־לָמוּת וַיִּתְפַּלֵּל אֶל־יְהוָה
その の-日々に 病んだ ヒゼキヤは まで 死ぬほど そして-祈った に 主に
H1992 H3117 H2396 H5704 H4191 H6419 H0413 H3068

וַיֹּאמֶר לוֹ וּמוֹפֵת נָתַן לוֹ׃
そして-言った 彼に そして-しるしを 与えた 彼に
H0559 H4159 H5414

そのころ、ヒゼキヤは病んで死ぬばかりであったが、主に祈ったので、主はこれに答えて、しるしを賜わった。

25 וְלֹא־כְגֻמֶל עָלָיו הֵשִׁיב יְחִזְקִיָּהוּ כִּי גָבְהָה לִבּוֹ
そして-ない の-恩恵に-応じて 彼に 報いなかった ヒゼキヤは なぜなら 高ぶった その-心が
H3808 H1576 H5921 H7725 H2396 H3588 H1361 H3824

וַיְהִי עָלָיו וְעַל־יְהוּדָה וִירוּשָׁלִָם׃ קֶצֶף
そして-あった 彼の-上に そして-の-上に ユダ そして-エルサレムの 怒りが
H1961 H5921 H5921 H3063 H3389 H7110

しかしヒゼキヤはその受けた恵みに報いることをせず、その心が高ぶったので、怒りが彼とユダおよびエルサレムに臨もうとしたが、

26 וַיִּכָּנַע יְחִזְקִיָּהוּ בִּגְבַהּ לִבּוֹ הוּא וְיוֹשְׁבֵי יְרוּשָׁלִָם
そして-へりくだった ヒゼキヤは の-高ぶりに その-心の 彼も そして-の-住民も エルサレムの
H3665 H2396 H1363 H3824 H1931 H3427 H3389

וְלֹא־בָא עֲלֵיהֶם קֶצֶף יְהוָה בִּימֵי יְחִזְקִיָּהוּ׃
そして-ない 来なかった 彼らの-上に の-怒りが 主の の-日々に ヒゼキヤの
H3808 H0935 H5921 H7110 H3068 H3117 H2396

ヒゼキヤはその心の高ぶりを悔いてへりくだり、またエルサレムの住民も同様にしたので、主の怒りは、ヒゼキヤの世には彼らに臨まなかった。

27 וַיְהִי לִיחִזְקִיָּהוּ עֹשֶׁר וְכָבוֹד הַרְבֵּה מְאֹד וְאֹצָרוֹת עָשָׂה־
そして-あった ヒゼキヤに 富が そして-誉れが 非常に 大いに そして-倉を 作った
H1961 H2396 H6239 H3519 H3966 H0214 H6213

לוֹ לְכֶסֶף וּלְזָהָב וּלְאֶבֶן יְקָרָה וְלִבְשָׂמִים
自分のために 銀のため そして-金のため そして-宝石のため 貴重な そして-香料のため
H3701 H2091 H0068 H3368 H1314

וְלִמָּגִנִּים וּלְכָל כְּלֵי חֶמְדָּה׃
そして-盾のため そして-すべての の-器 宝物の
H4043 H3605 H3627

ヒゼキヤは富と栄誉をきわめ、宝蔵を造って、金、銀、宝石、香料、盾および各種の尊い器物をおさめ、

28 וּמִסְכְּנוֹת לְתִבוּאַת דָּגָן וְתִירוֹשׁ וְיִצְהָר וְאֶרְוֹת לְכָל־
そして-倉庫を の-収穫のため 穀物の そして-ぶどう酒の そして-油の そして-小屋を すべての
H4543 H8393 H1715 H8492 H3323 H0723 H3605

וּבְהֵמָה וּלְמִקְנֶה וַעֲדָרִים לָאֲוֻרוֹת׃
家畜のため そして-家畜のため そして-群れを 囲いの-中に
H0929 H0929 H5739 H0220

また倉庫を造って穀物、酒、油などの産物をおさめ、小屋を造って種々の家畜を置き、おりを造って羊の群れを置き、

29 וְעָרִים֙ עָשָׂה֙ לוֹ֔ וּמִקְנֵה־צֹ֖אן וּבָקָ֣ר לָרֹ֑ב כִּ֣י נָתַ֤ן
そして-町々を 作った 自分のために そして-群れを 羊の そして-牛の 豊かに なぜなら 与えた
H5414 H7230 H1241 H6629 H4735 H3966

לוֹ֙ אֱלֹהִ֔ים רְכֻ֖וש רַ֥ב מְאֹֽד׃
彼に 神は 財産を 大いなる 非常に
H0430 H7399 H3966

また多数の町を設け、かつ羊と牛をおびただしく所有した。神が非常に多くの貨財を彼に賜わったからである。

30 וְהֽוּא־יְחִזְקִיָּ֗הוּ סָתַם֙ אֶת־מוֹצָ֣א מֵימֵ֣י גִיחוֹן֮ הָעֶלְיוֹן֒
そして-彼こそ ヒゼキヤである ふさいだ (を) の-出口を の-水の ギホンの 上の
H1931 H2396 H0853 H4161 H4325 H1521

וַיְיַשְּׁרֵם֙ לְמַ֣טָּה־לְמַ֔עְרָבָה לְעִ֖יר דָּוִ֑יד וַיַּצְלַ֤ח יְחִזְקִיָּ֙הוּ֙ בְּכָל־מַעֲשֵׂ֔הוּ׃
そして-導いた の-下へ 西の-方へ の-町へ ダビデの そして-栄えた ヒゼキヤは すべての
H3474 H4295 H4628 H1732 H3605

その-事業に-おいて
H4639

このヒゼキヤはまたギホンの水の上の源をふさいで、これをダビデの町の西の方にまっすぐに引き下した。このようにヒゼキヤはそのすべてのわざをなし遂げた。

31 וְכֵ֗ן בִּמְלִיצֵי֙ שָׂרֵ֣י בָבֶ֔ל הַמְשֻׁלְחִ֥ים עָלָ֖יו לִדְרֹ֣שׁ
そして-そのように の-使者の-件で の-高官の バビロンの 遣わした 彼の-もとに 尋ねるため
H1875 H3887 H8269 H0894 H7971

מוֹפֵ֣ת הַמּ֔וֹפֵת אֲשֶׁ֥ר הָיָ֖ה בָּאָ֑רֶץ עָזָ֤בוֹ הָאֱלֹהִים֙ לְנַסּוֹתוֹ֙ לָדַ֣עַת כָּל־
しるしを (関係詞) あった 地に 離れた 神は 試すために 知るために すべてを
H4159 H1961 H0776 H5254 H3045 H3605

בִּלְבָבֽוֹ׃
その-心の-中の
H3824

しかしバビロンの君たちが使者をつかわして、この国にあった、しるしについて尋ねさせた時には、神は彼を試みて、彼の心にあることを、ことごとく知るために彼を捨て置かれた。

32 וְיֶתֶר֙ דִּבְרֵ֣י יְחִזְקִיָּ֔הוּ וְחַסְדָּ֖יו הִנָּ֣ם כְּתוּבִ֑ים בַּחֲזוֹן֙
そして-残りの の-ことは ヒゼキヤの そして-その-善行は 見よ 書かれて-いる の-幻の-中に
H1697 H2396 H2009 H3789 H2377

יְשַׁעְיָ֤הוּ בֶן־אָמוֹץ֙ הַנָּבִ֔יא עַל־סֵ֖פֶר מַלְכֵ֣י יְהוּדָ֣ה וְיִשְׂרָאֵ֑ל׃
イザヤ の-子 アモツの 預言者の の-上に の-書 の-王たちの ユダ そして-イスラエルの
H3478 H3063 H4428 H5030 H0531

ヒゼキヤのその他の行為およびその徳行は、アモツの子預言者イザヤの黙示とユダとイスラエルの列王の書にしるされている。

33 וַיִּשְׁכַּ֤ב יְחִזְקִיָּהוּ֙ עִם־אֲבֹתָ֔יו וַיְקַבְּרֻ֕הוּ בְּמַעֲלֵ֖ה קִבְרֵ֣י
そして-休んだ ヒゼキヤは と-共に その-先祖たちと そして-葬られた の-上り坂に の-墓の
H7901 H2396 H0001 H6912 H4608 H6913

בְּנֵי־דָוִ֔יד כָּל־יְהוּדָ֖ה וְכָל־יְרוּשָׁלִָ֑ם וּבְמוֹתוֹ֙ עָשׂ֣וּ לוֹ֔ כְּבוֹדָ֖ה
の-子らの ダビデの (を) すべての ユダと 彼に ささげた そして-誉れを その-死に-際して すべての
H1732 H3605 H3063 H4194 H3519

וַיִּמְלֹ֥ךְ מְנַשֶּׁ֛ה בְּנ֖וֹ תַּחְתָּ֑יו׃ פ וְיֹשְׁבֵ֣י יְרוּשָׁלִָ֔ם
そして-王となった マナセが その-子が 彼に-代わって (段落) そして-の-住民が エルサレムの
H4519 H8478 H3427 H3389

ヒゼキヤはその先祖たちと共に眠ったので、ダビデの子孫の墓のうちの高い所に葬られた。ユダの人々およびエルサレムの住民は皆その死に当って彼に敬意を表した。その子マナセが彼に代って王となった。

Chapter 33

בֶּן־	שְׁתֵּים	עֶשְׂרֵה	שָׁנָה	מְנַשֶּׁה	בְּמָלְכוֹ	וַחֲמִשִּׁים	וְחָמֵשׁ	שָׁנָה	מָלַךְ	1
の–子	十二	十二	歳の	マナセは	王となった–とき	そして–五十	そして–五	年	治めた	
	H8147	H6240	H8141	H4519		H2572	H2568	H8141		

בִּירוּשָׁלִָם׃	
エルサレムで	
H3389	

マナセは十二歳で王となり、五十五年の間エルサレムで世を治めた。

וַיַּעַשׂ	הָרַע	בְּעֵינֵי	יְהוָה	כְּתוֹעֲבוֹת	הַגּוֹיִם	אֲשֶׁר		2
そして–行った	悪い–ことを	の–目に	主の	の–忌まわしい–ことのように	諸国民の	(関係詞)		
			H3068	H8441				

הוֹרִישׁ	יְהוָה	מִפְּנֵי	בְּנֵי	יִשְׂרָאֵל׃
追い–出した	主が	の–前から	の–子らの	イスラエルの
H3423	H3068	H6440		H3478

彼は主がイスラエルの人々の前から追い払われた国々の民の憎むべき行いに見ならって、主の目の前に悪を行った。

									3
וַיָּשָׁב	וַיִּבֶן	אֶת־	הַבָּמוֹת	אֲשֶׁר	נִתַּץ	יְחִזְקִיָּהוּ	אָבִיו		
そして–戻した	そして–建てた	(を)	高き–所を	(関係詞)	破壊した	ヒゼキヤが	その–父が		
H7725	H1129	H0853	H1116		H5422	H2396	H0001		

וַיָּקֶם	מִזְבְּחוֹת	לַבְּעָלִים	וַיַּעַשׂ	אֲשֵׁרוֹת	וַיִּשְׁתַּחוּ	לְכֹל־
そして–建てた	祭壇を	バアルたちに	そして–作った	アシェラ像を	そして–ひづまずいた	すべての
	H4196			H0842	H7812	H3605

צְבָא	הַשָּׁמַיִם	וַיַּעֲבֹד	אֹתָם׃	
の–軍勢に	天の	そして–仕えた	それらに	
	H8064	H5647	H0853	

すなわち、その父ヒゼキヤがこわした高き所を再び築き、またもろもろのバアルのために祭壇を設け、アシラ像を造り、天の万象を拝んで、これに仕え、

										4
וּבָנָה	מִזְבְּחוֹת	בְּבֵית	יְהוָה	אֲשֶׁר	אָמַר	יְהוָה	בִּירוּשָׁלִַם	יִהְיֶה־	שְׁמִי	
そして–建てた	祭壇を	の–家に	主の	(関係詞)	言った	主が	エルサレムに	ある	私の–名が	
	H4196		H3068		H0559	H3068	H3389	H1961	H8034	

לְעוֹלָם׃	
永遠に	
H5769	

また主が「わが名は永遠にエルサレムにある」と言われた主の宮のうちに数個の祭壇を築き、

									5
וַיִּבֶן	מִזְבְּחוֹת	לְכֹל־	צְבָא	הַשָּׁמַיִם	בִּשְׁתֵּי	חַצְרוֹת	בֵּית־	יְהוָה׃	
そして–建てた	祭壇を	すべての	の–軍勢に	天の	の–二つの	庭に	の–家の	主の	
	H4196	H3605		H8064	H8147			H3068	

主の宮の二つの庭に天の万象のために祭壇を築いた。

6

וְהוּא֩ הֶֽעֱבִ֨יר אֶת־ בָּנָ֜יו בָּאֵ֣שׁ בְּגֵ֣י בֶן־ הִנֹּ֗ם
そして–彼は 通らせた (を) その–息子たちを 火の–中を の–谷で の–子 ヒノムの
H1931 H0853 H0784 H1516 H2011

וְעוֹנֵ֔ן וְנִחֵ֖שׁ וְכִשֵּׁ֑ף וְעָשָׂ֗ה אוֹב֙ וְיִדְּעוֹנִ֔י
そして–占いを–し そして–まじないを–し そして–魔術を–行い そして–行った 口寄せを そして–占いを
H3049 H0178 H3784 H5172

לְהַכְעִיסוֹ׃ יְהוָ֖ה בְּעֵינֵ֑י הָרַ֥ע לַעֲשׂ֛וֹת הִרְבָּ֥ה
怒らせるために 主の の–目に 悪い–ことを 行うこと 大いに
H3707 H3068

彼はまたベンヒンノムの谷でその子供を火に焼いて供え物とし、占いをし、魔法をつかい、まじないを行い、口寄せと、占い師を任用するなど、主の前に多くの悪を行って、その怒りをひき起した。

7

וַיָּ֣שֶׂם אֶת־ פֶּ֣סֶל הַסֶּ֗מֶל אֲשֶׁ֤ר עָשָׂה֙ בְּבֵ֣ית הָאֱלֹהִ֔ים אֲשֶׁ֨ר אָמַ֜ר
そして–置いた (を) 彫像を の–像を (関係詞) 作った の–家に 神の (関係詞) 言った
H0559 H0430 H5566 H6459 H0853

וּבִירוּשָׁלַ֗͏ִם הַזֹּאת֙ בַּבַּ֣יִת בְּנ֤וֹ שְׁלֹמֹה֙ וְאֶל־ דָּוִ֣יד אֶל־ אֱלֹהִ֔ים
そして–エルサレムに この の–家 その–子に ソロモンに そして–に ダビデに に 神が
H3389 H2088 H0413 H1732 H0413 H0430

לְעֵילֹ֑ם׃ שְׁמִ֖י אֶת־ אָשִׂ֔ים יִשְׂרָאֵ֣ל שִׁבְטֵ֣י מִכֹּ֗ל בָּחַ֙רְתִּי֙ אֲשֶׁ֤ר
永遠に 私の–名を (を) 置く イスラエルの の–部族の すべての–中から 選んだ (関係詞)
H5865 H8034 H0853 H7626 H3605 H0977

彼はまた刻んだ偶像を造って神の宮に安置した。神はこの宮についてダビデとその子ソロモンに言われたことがある、「わたしはこの宮と、わたしがイスラエルのすべての部族のうちから選んだエルサレムとに、わたしの名を永遠に置く。

8

אֲשֶׁ֣ר הָאֲדָמָ֗ה מֵעַל֙ יִשְׂרָאֵ֔ל רֶ֣גֶל אֶת־ לְהָסִ֖יר וְלֹא֙ אוֹסִ֣יף
(関係詞) 地の の–上から イスラエルの の–足を (を) 動かすことを そして–ない 加えて
H0127 H3478 H7272 H0853 H5493 H3254 H3808

אֲשֶׁ֣ר כֹּ֣ל־ אֶת֮ לַעֲשׂוֹת֒ יִשְׁמְר֣וּ אַ֗ךְ וְרַ֕ק לַאֲבֹתֵיכֶ֑ם הֶעֱמַ֖דְתִּי
(関係詞) すべての (を) 行うことを 守るならば もし ただし お前たちの–先祖のために 定めた
H3605 H0853 H8104 H7535 H0001 H5975

מֹשֶֽׁה׃ בְּיַד־ וְהַמִּשְׁפָּטִ֖ים וְהַחֻקִּ֔ים הַתּוֹרָ֗ה לְכֹל־ צִוִּיתִ֔ים
モーセの の–手に–よって そして–おきてを そして–定めと 律法と すべての 命じた
H4872 H3027 H4941 H2706 H8451 H3605 H6680

彼らがもし、わたしがすべて命じた事、すなわち、モーセが伝えたすべての律法と定めとおきてとを慎んで行うならば、わたしがあなたがたの先祖のために定めた地から、重ねてイスラエルの足を移すことをしない」と。

9

וַיַּתַּ֣ע מְנַשֶּׁ֗ה אֶת־ יְהוּדָה֙ וְיֹשְׁבֵ֣י יְרוּשָׁלַ֔͏ִם לַעֲשׂ֖וֹת רָ֑ע
そして–惑わした マナセは (を) ユダを そして–の–住民を エルサレムの 行うことを 悪を
H8582 H4519 H0853 H3063 H3427 H3389 H6213

פ מִפְּנֵ֖י בְּנֵ֣י יִשְׂרָאֵ֔ל׃ הִשְׁמִ֣יד יְהוָ֔ה אֲשֶׁ֥ר הַגּוֹיִ֖ם מִן־
(段落) イスラエルの の–子らの の–前から 主が 滅ぼした (関係詞) 諸国民よりも よりも
H3478 H6440 H3068 H8045

マナセはこのようにユダとエルサレムの住民を迷わせ、主がイスラエルの人々の前に滅ぼされた国々の民にもまさって悪を行わせた。

10

וַיְדַבֵּ֤ר יְהוָה֙ אֶל־ מְנַשֶּׁ֔ה וְאֶל־ עַמּ֖וֹ וְלֹ֣א הִקְשִׁ֑יבוּ׃
そして–語った 主は に マナセに そして–に その–民に しかし–ない 耳を–傾けなかった
H1696 H3068 H0413 H4519 H0413 H5971 H3808 H7181

主はマナセおよびその民に告げられたが、彼らは心に留めなかった。

11

וַיָּבֵא יְהוָה עֲלֵיהֶם אֶת־שָׂרֵי הַצָּבָא אֲשֶׁר לְמֶלֶךְ
そして–もたらした 主は 彼らの–上に (を) の–将軍たちを 軍勢の (関係詞) の–王に–属する
H0935 H3068 H8269 H0853 H8269 H0853 H4428

אַשּׁוּר וַיִּלְכְּדוּ אֶת־מְנַשֶּׁה בַּחֹחִים וַיַּאַסְרֻהוּ בְנְחֻשְׁתַּיִם
アッシリアの そして–捕らえた (を) マナセを 鉤で そして–縛った 青銅の–鎖で
H0804 H3920 H0853 H4519 H2336 H0631 H0631

וַיּוֹלִיכֻהוּ בָּבֶלָה׃
そして–連れて–行った バビロンに
H3212 H0894

それゆえ、主はアッスリヤの王の軍勢の諸将をこれに攻めこさせられたので、彼らはマナセをかぎで捕え、青銅のかせにつないで、バビロンに引いて行った。

12

וּכְהָצֵר לוֹ חִלָּה אֶת־פְּנֵי יְהוָה אֱלֹהָיו וַיִּכָּנַע
そして–苦しみの–中で 彼に 謙った (を) の–顔を 主の その–神に そして–へりくだった
H6887 H0853 H2470 H6440 H3068 H0430 H3665

מְאֹד מִלִּפְנֵי אֱלֹהֵי אֲבֹתָיו׃
非常に の–前に の–神の その–先祖の
H3966 H6440 H0430 H0001

彼は悩みにあうに及んで、その神、主に願い求め、その先祖の神の前に大いに身を低くして、

13

וַיִּתְפַּלֵּל אֵלָיו וַיֵּעָתֵר לוֹ וַיִּשְׁמַע תְּחִנָּתוֹ וַיְשִׁבֵהוּ
そして–祈った 彼に そして–聞き入れた 彼のために そして–聞いた その–嘆願を そして–戻した
H6419 H0413 H6279 H3068 H8085 H8467 H7725

יְרוּשָׁלַם לְמַלְכוּתוֹ וַיֵּדַע מְנַשֶּׁה כִּי יְהוָה הוּא הָאֱלֹהִים׃
エルサレムに その–王国に そして–知った マナセは (関係詞) 主こそ 彼こそ 神で–あると
H3389 H4438 H3045 H4519 H3068 H1931 H0430

神に祈ったので、神はその祈を受けいれ、その願いを聞き、彼をエルサレムに連れ帰って、再び国に臨ませられた。これによってマナセは主こそ、まことに神にいますことを知った。

14

וְאַחֲרֵי־כֵן בָּנָה חוֹמָה חִיצוֹנָה לְעִיר־דָּוִיד מַעְרָבָה לְגִיחוֹן
そして–その–後 それ 建てた 城壁を 外の の–町の ダビデの 西の–方に ギホンへ
H1129 H3651 H2346 H2435 H5892 H1732 H4628 H1521

בַּנַּחַל וְלָבוֹא בְשַׁעַר הַדָּגִים וְסָבַב לָעֹפֶל וַיַּגְבִּיהֻהָ מְאֹד
の–谷に そして–入る–所へ の–門へ 魚の そして–囲んだ オフェルを そして–高く–した 非常に
H1516 H0935 H8179 H1709 H5437 H6077 H1361 H3966

וַיָּשֶׂם שָׂרֵי־חַיִל בְּכֹל הֶעָרִים הַבְּצֻרוֹת בִּיהוּדָה׃
そして–置いた の–将軍を 軍勢の すべての 要塞の–町々に 要塞の ユダに
H7760 H8269 H2428 H3605 H5892 H1219 H3063

この後、彼はダビデの町の外の石がきをギホンの西の方の谷のうちに築き、魚の門の入口にまで及ぼし、またオペルに石がきをめぐらして、非常に高くこれを築き上げ、ユダのすべての堅固な町に軍長を置き、

15

וַיָּסַר אֶת־ אֱלֹהֵי הַנֵּכָר וְאֶת־ הַסֶּמֶל מִבֵּית יְהוָה
そして–取り–除いた (を) の–神々を 異国の そして(を) 像を の–家から 主の
H5493 H0853 H0430 H5236 H0853 H5566 H1129 H3068

וּבִירוּשָׁלִָם וְכָל־ הַמִּזְבְּחוֹת בָּנָה אֲשֶׁר בְּהַר בֵּית־ יְהוָה
そして–エルサレムに そして–すべての 祭壇を (関係詞) 建てた の–山に の–家の 主の
H3389 H3605 H4196 H1129 H2022 H1129 H3068

וַיַּשְׁלֵךְ׃ לָעִיר חִוצָה
そして–投げ–捨てた 町の 外に
H7993 H2351

また主の宮から、異邦の神々および偶像を取り除き、主の宮の山とエルサレムに自分で築いたすべての祭壇を取り除いて、町の外に投げ捨て、

16

וַיִּבֶן)(ויכן[מִזְבַּח יְהוָה וַיִּזְבַּח עָלָיו זִבְחֵי
そして–建てた (ケティブ) 祭壇を 主の そして–ささげた その–上で の–いけにえを
H1129 H4196 H3068 H2076 H5927 H2077

׃יִשְׂרָאֵל אֱלֹהֵי יְהוָה אֶת־ לַעֲבֹד לִיהוּדָה וַיֹּאמֶר וְתוֹדָה שְׁלָמִים
イスラエルの の–神 主に (を) 仕えるように ユダに そして–命じた そして–感謝の 和解の
H3478 H0430 H3068 H0853 H5647 H3063 H0559 H8426 H8002

主の祭壇を築き直して、酬恩祭および感謝の犠牲を、その上にささげ、ユダに命じてイスラエルの神、主に仕えさせた。

17

׃אֱלֹהֵיהֶם לַיהוָה רַק בַּבָּמוֹת זֹבְחִים הָעָם עוֹד אֲבָל
彼らの–神に 主に ただ 高き–所で いけにえを–ささげて–いた 民は まだ しかし
H0430 H3068 H7535 H1116 H2076 H5750 H0061

しかし民は、なお高き所で犠牲をささげた。ただしその神、主にのみささげた。

18

וְדִבְרֵי אֱלֹהָיו אֶל־ וּתְפִלָּתוֹ מְנַשֶּׁה דִּבְרֵי וְיֶתֶר
そして–の–言葉は その–神への に そして–その–祈りと マナセの の–ことは そして–残りの
H1697 H0430 H0413 H8605 H4519 H1697

עַל־ הִנָּם יִשְׂרָאֵל אֱלֹהֵי יְהוָה בְּשֵׁם אֵלָיו הַמְדַבְּרִים הַחוֹזִים
の–上に 見よ イスラエルの の–神 主の の–名に–よって 彼に 語った 先見者たちの
H2009 H3478 H0430 H3068 H8034 H0413 H1696 H2374

׃יִשְׂרָאֵל דִּבְרֵי מַלְכֵי
イスラエルの の–言葉の の–王たちの
H3478 H1697 H4428

マナセのそのほかの行為、その神にささげた祈、およびイスラエルの神、主の名をもって彼に告げた先見者たちの言葉は、イスラエルの列王の記録のうちにしるされている。

19

וְכָל־ חַטָּאתוֹ לוֹ וְהֵעָתֵר־ וּתְפִלָּתוֹ
そして–すべての その–罪と 彼のために そして–聞き入れられた–ことと そして–その–祈りと
H3605 H6279 H8605

וְהֵעֱמִיד בָּמוֹת בָּהֶם בָּנָה אֲשֶׁר וְהַמְקֹמוֹת וּמַעֲלוֹ
そして–立てた 高き–所を そこに 建てた (関係詞) そして–場所は そして–その–不忠実と
H5975 H1116 H1129 H4725 H4604

דִּבְרֵי עַל כְּתוּבִים הִנָּם הִכָּנְעוֹ לִפְנֵי וְהָאֲשֵׁרִים הַפְּסִלִים
の–言葉の の–上に 書かれて–いる 見よ へりくだる の–前に そして–彫像を アシェラ像を
H1697 H5921 H3789 H2009 H3665 H6440 H6456 H0842

׃חוֹזָי
先見者たちの
H2335

またその祈と、祈の聞かれた事、そのもろもろの罪と、とが、その身を低くする前に高き所を築いて、アシラ像および刻んだ像を立てた場所などは、先見者の記録のうちにしるされている。

20 וַיִּשְׁכַּב מְנַשֶּׁה עִם־ אֲבֹתָיו וַיְקַבְּרֻהוּ בְּיתֹו וַיִּמְלֹךְ
そして-休んだ マナセは と-共に その-先祖たちと そして-葬られた その-家に そして-王となった
H7901 H4519 H0001 H6912

פ תַּחְתָּיו׃ בְּנֹו אָמֹון
(段落) 彼に-代わって その-子が アモンが
H8478 H0526

マナセはその先祖たちと共に眠ったので、その家に葬られた。その子アモンが彼に代って王となった。

21 בֶּן־ עֶשְׂרִים וּשְׁתַּיִם שָׁנָה אָמֹון בִּמְלֹכֹו וּשְׁתַּיִם שָׁנִים מָלַךְ
の-子 二十 そして-二 歳の アモンは 王となった-とき そして-二 年 治めた
H6242 H8147 H8141 H0526 H8147 H8141

בִּירוּשָׁלָ͏ִם׃
エルサレムで
H3389

アモンは王となった時二十二歳で、二年の間エルサレムで世を治めた。

22 וַיַּעַשׂ הָרַע בְּעֵינֵי יְהוָה כַּאֲשֶׁר עָשָׂה מְנַשֶּׁה אָבִיו
そして-行った 悪い-ことを の-目に 主の のように 行った マナセが その-父が
H3068 H0001 H4519

וְלִכֹּל־ הַפְּסִילִים אֲשֶׁר עָשָׂה מְנַשֶּׁה אֲבִיו זָבַח אָמֹון
そして-すべての 彫像に (関係詞) 作った マナセが その-父が いけにえを-ささげた アモンは
H3605 H6456 H0834 H6213 H4519 H0001 H2076 H0526

וַיָּעַבְדֵ͏ם׃
そして-仕えた
H5647

彼はその父マナセのしたように主の前に悪を行った。すなわちアモンはその父マナセが造ったもろもろの刻んだ像に犠牲をささげて、これに仕え、

23 וְלֹא נִכְנַע מִלִּפְנֵי יְהוָה כְּהִכָּנַע אָבִיו מְנַשֶּׁה
そして-ない へりくだらなかった の-前に 主の のように-へりくだった その-父が マナセが
H3808 H3665 H6440 H3068 H3665 H0001 H4519

כִּי הוּא אָמֹון הִרְבָּה אַשְׁמָה׃
なぜなら 彼こそ アモンは 増した 罪を
H1931 H0526 H0819

その父マナセが身を低くしたように主の前に身を低くしなかった。かえってこのアモンは、いよいよそのとがを増した。

24 וַיִּקְשְׁרוּ עָלָיו עַבְדָּיו וַיְמִיתֻהוּ בְּבֵיתֹו׃
そして-謀った 彼に-対して その-家来たちが そして-殺した その-家で
H7194 H5650 H4191

その家来たちは党を結んで彼にそむき、彼をその家で殺した。

25 וַיַּכּוּ עַם־ הָאָרֶץ אֶת כָּל־ הַקֹּשְׁרִים עַל־ אָמֹון הַמֶּלֶךְ
そして-打った の-民が 地の (を) すべての 謀反者を に-対する アモンに 王
H5221 H0776 H0853 H3605 H7194 H4428 H0526

פ תַּחְתָּיו׃ בְּנֹו יֹאשִׁיָּהוּ אֶת־ הָאָרֶץ עַם־ וַיַּמְלִיכוּ
(段落) 彼に-代わって その-子を ヨシヤフを (を) 地の の-民は そして-王とした
H8478 H2977 H0853 H0776

しかし国の民は、党を結んでアモン王にそむいた者どもをことごとく撃ち殺した。そして国の民はその子ヨシヤを王となして、そのあとを継がせた。

Chapter 34

1 בֶּן־ שְׁמוֹנֶה יֹאשִׁיָּהוּ שָׁנִים בְּמָלְכוֹ וּשְׁלֹשִׁים וְאַחַת שָׁנָה מָלַךְ
の–子 八 ヨシヤフは 歳の 王となった–とき そして–三十 そして–一 年 治めた
H8083 H2977 H8141 H7970 H0259 H8141

בִּירוּשָׁלִָם׃
エルサレムで
H3389

ヨシヤは八歳のとき王となり、エルサレムで三十一年の間世を治めた。

2 וַיַּעַשׂ הַיָּשָׁר בְּעֵינֵי יְהוָה וַיֵּלֶךְ בִּדַרְכֵי דָּוִיד אָבִיו
そして–行った 正しい–ことを の–目に 主の 歩んだ そして–道に ダビデの その–父の
H3477 H3068 H3212 H1870 H1732 H0001

וְלֹא־ סָר יָמִין וּשְׂמֹאול׃
そして–ない それなかった 右にも そして–左にも
H3808 H5493 H3225 H8040

彼は主の良しと見られることをなし、その父ダビデの道を歩んで、右にも左にも曲らなかった。

3 וּבִשְׁמוֹנֶה שְׁנִים לְמָלְכוֹ וְהוּא עוֹדֶנּוּ נַעַר הֵחֵל לְדָרוֹשׁ לֵאלֹהֵי
そして–八 年の その–治世の そして–彼は まだ 若くて 始めた 求めることを の–神を
H8083 H8141 H1931 H5750 H5288 H2891 H1875 H0430

דָּוִיד אָבִיו וּבִשְׁתֵּים עֶשְׂרֵה שָׁנָה הֵחֵל לְטַהֵר אֶת־ יְהוּדָה
ダビデの その–父の そして–十二 十二 年に 始めた 清めることを (を) ユダと
H1732 H0001 H8147 H6240 H8141 H2891 H0853 H3063

וְהַמַּסֵּכוֹת׃ וְהַפְּסִלִים וְהָאֲשֵׁרִים הַבָּמוֹת מִן־ וִירוּשָׁלִַם
そして–鋳像を そして–彫像と そして–アシェラ像と 高き–所と から そして–エルサレムを
H6456 H0842 H1116 H3389

彼はまだ若かったが、その治世の第八年に父ダビデの神を求めることを始め、その十二年には高き所、アシラ像、刻んだ像、鋳た像などを除いて、ユダとエルサレムを清めることを始め、

4 לְמַעְלָה אֲשֶׁר־ וְהַחַמָּנִים הַבְּעָלִים מִזְבְּחוֹת אֶת לְפָנָיו וַיְנַתְּצוּ
上に–ある (関係詞) そして–香壇を バアルたちの 祭壇を (を) 彼の–前で そして–打ち壊した
H4605 H2553 H4196 H6440 H5422

שִׁבֵּר וְהַמַּסֵּכוֹת וְהַפְּסִלִים וְהָאֲשֵׁרִים גִּדֵּעַ מֵעֲלֵיהֶם
砕いた そして–鋳像を そして–彫像と そして–アシェラ像と 切り–倒した それらの–上に
H7665 H6456 H0842 H1438

הַקִּבְרֵי פְּנֵי עַל־ וַיִּזְרֹק וְהַדַּק
墓の の–表面に の–上に そして–まき–散らした そして–粉々に–し
H6913 H6440 H2236 H1854

לָהֶם׃ הַזֹּבְחִים
それらに いけにえを–ささげて–いた–者たちの
H2076

もろもろのバアルの祭壇を、自分の前で打ちこわさせ、その上に立っていた香の祭壇を切り倒し、アシラ像、刻んだ像、鋳た像を打ち砕いて粉々にし、これらの像に犠牲をささげた者どもの墓の上にそれをまき散らし、

5 וְעַצְמוֹת֙ כְּהֲנִ֣ים שָׂרַ֔ף עַל־]מזבחותים[ )מִזְבְּחוֹתָ֖ם(וַיְטַהֵ֣ר אֶת־
そして–骨を 祭司たちの 焼いた の–上で (ケティブ) それらの–祭壇の–上で 清めた (を)
H6106 H3548 H8313 H0853 H4196 H4196 H2891 H0853

יְרוּשָׁלִָֽם׃ וְאֶת־ יְהוּדָ֥ה
エルサレムを そして(を) ユダを
H3389 H0853 H3063

祭司らの骨をそのもろもろの祭壇の上で焼き、こうしてユダとエルサレムを清めた。

6 וּבְעָרֵ֣י מְנַשֶּׁ֗ה וְאֶפְרַ֛יִם וְשִׁמְע֖וֹן וְעַד־ נַפְתָּלִ֑י
そして–の–町々で マナセの そして–エフライムの そして–シメオンの そして–まで ナフタリの
H4519 H0669 H8095 H5704 H5321

)בְּחָרְבֹתֵיהֶ֖ם( ]בָּתֵּיהֶ֥ם[ ]בְּהָרָ֛ן[סָבִ֥יב׃
その–廃墟の–中で (ケティブ) (ケティブ) 周囲で
H2719 H2022 H5439

またマナセ、エフライム、シメオンおよびナフタリの荒れた町々にもこのようにし、

7 וְהַפְּסִלִ֣ים הָאֲשֵׁרִ֗ים וְאֶת־ הַמִּזְבְּחוֹת֙ אֶת־ וַיְנַתֵּ֤ץ
そして–彫像を アシェラ像を そして(を) 祭壇を (を) そして–打ち壊した
H6456 H0842 H0853 H4196 H0853 H5422

וְכָל־ גִּדְע֣וֹן הַחַמָּנִ֔ים כָּתַ֖ת לְהֵדַ֑ק
そして–すべての 切り–倒した 香壇を 砕いて 粉々に–し
H3605 H1438 H2553 H3807 H1854

וַיָּשָׁב֙ יִשְׂרָאֵ֔ל אֶ֥רֶץ בְּכָל־ כֹּ֣ל לִירוּשָׁלִָֽם׃
そして–帰った イスラエルの の–地で すべての に エルサレムに
H7725 H3478 H0776 H3605 H3389

ס
(段落)

もろもろの祭壇をこわし、アシラ像およびもろもろの刻んだ像を粉々に打ち砕き、イスラエル全国の香の祭壇をことごとく切り倒して、エルサレムに帰った。

8 וּבִשְׁנַ֣ת שְׁמוֹנֶ֣ה עֶשְׂרֵ֔ה לְמָלְכ֖וֹ לְטַהֵ֣ר הָאָ֑רֶץ וְהַבַּ֔יִת שָׁלַ֣ח אֶת־
そして–の–年に 十八 その–治世の に 地と そして–家を 遣わした (を)
H8141 H8083 H6240 H0776 H2891 H0776 H1004 H7971 H0853

וְאֶת֙ הָעִ֔יר שַׁר־ מַעֲשֵׂיָ֖הוּ וְאֶת־ אֲצַלְיָ֥הוּ בֶן־ שָׁפָ֑ן
そして(を) 町の の–市長 マアセヤフを そして(を) アツァルヤフの の–子 シャファンを
H0853 H8269 H4641 H0853 H0683

אֱלֹהָ֖יו׃ יְהוָ֥ה בֵּ֛ית אֶת־ לְחַזֵּ֔ק הַמַּזְכִּ֣יר יוֹאָ֤חָז֙ בֶּן־ יֹאָ֔חָ
その–神の 主の の–家を (を) 修繕するために 記録官を ヨアハズの の–子 ヨアハを
H0430 H3068 H0853 H2388 H2142 H3099 H3098

ヨシヤはその治世の十八年に、国と宮とを清めた時、その神、主の宮を繕わせようと、アザリヤの子シャパン、町のつかさマアセヤおよびヨアハズの子史官ヨアをつかわした。

9 וַיָּבֹאוּ אֶל־חִלְקִיָּהוּ הַכֹּהֵן הַגָּדוֹל וַיִּתְּנוּ אֶת־הַכֶּסֶף הַמּוּבָא
そして–来た ヒルキヤの 祭司 大きなる そして–渡した (を) 銀を 納められた
H0935 H3701 H0853 H5414 H3548 H2518 H0413 H0935

בֵּית־אֱלֹהִים אֲשֶׁר אָסְפוּ־הַלְוִיִּם שֹׁמְרֵי הַסַּף מִיַּד מְנַשֶּׁה
の–家に 神の (関係詞) 集めた レビ人が の–番人たち 敷居の の–手から マナセの
H0430 H0622 H3881 H8104 H3027 H4519

וּמִכֹּל־יְהוּדָה וּבִנְיָמִן וְאֶפְרַיִם וּמִכֹּל שְׁאֵרִית יִשְׂרָאֵל
そして–すべての ユダと そして–ベニヤミンの そして–エフライムの そして–すべての 残りの–者の イスラエルの
H3605 H3063 H0669 H3605 H7611 H3478

וַיָּשֻׁבוּ (וישבו) יְרוּשָׁלִָם׃
そして–帰った (ケティブ) エルサレムに
H7725 H3427 H3389

彼らは大祭司ヒルキヤのもとへ行って、神の宮にはいった金を渡した。これは門を守るレビびとがマナセ、エフライムおよびその他のすべてのイスラエル、ならびにユダとベニヤミンのすべての人、およびエルサレムの住民の手から集めたものである。

10 וַיִּתְּנוּ עַל־יַד עֹשֵׂה הַמְּלָאכָה הַמִּפְקָדִים בְּבֵית יְהוָה
そして–渡した 主の の–家で 任命された 仕事を 行う–者の の–手に の–上に そして–渡した
H5414 H3068 H4399 H3027 H5414

וְהֵם יִתְּנוּ לְחֹצְבֵי וְלִבְנֵי אֲשֶׁר עֹשֵׂי הַמְּלָאכָה בְּבֵית יְהוָה לִבְדּוֹק
そして–木材を 切り–石の の–石を 買うために そして–建築師に 大工に そして–渡した それを 仕事を 行う–者たちに 働いて–いる の–家で 主の 修繕するため
H6086 H4274 H0068 H7069 H1129 H2796 H5414 H0853 H4399 H3068 H0918

וּלְחַזֵּק הַבָּיִת׃
家を そして–強化するため
H2388

彼らはこれを主の宮を監督する職工らの手に渡したので、主の宮で働く職工らは、これを宮を繕い直すために支払った。

11 וַיִּתְּנוּ לֶחָרָשִׁים וְלַבֹּנִים לִקְנוֹת אַבְנֵי מַחְצֵב וְעֵצִים
そして–渡した 大工に そして–建築師に 買うために の–石を 切り–石の そして–木材を
H5414 H2796 H1129 H7069 H0068 H4274 H6086

לַמְחַבְּרוֹת אֲשֶׁר הִשְׁחִיתוּ מַלְכֵי יְהוּדָה׃ הַבָּתִּים אֶת־וּלְקֹרוֹת
つなぎのため (を) そして–梁を–かけるため 建物に (関係詞) 滅ぼした の–王たちが ユダの
H4226 H0853 H3063 H4428 H7843 H1004

すなわち、大工および建築者にこれを渡して、ユダの王たちが破った建物のために、切り石および骨組の材木を買わせ、梁材を整えさせた。

12 וְהָאֲנָשִׁים עֹשִׂים בֶּאֱמוּנָה בַּמְּלָאכָה וְעֲלֵיהֶם מֻפְקָדִים יַחַת
そして–人々は 働いて–いた 忠実に 仕事に そして–その–上に 任命された–者が–いた ヤハト
H0376 H0530 H4399 H3189

וְעֹבַדְיָהוּ הַלְוִיִּם מִן־בְּנֵי מְרָרִי וּזְכַרְיָה וּמְשֻׁלָּם מִן־
そして–オバデヤ レビ人で から の–子らの メラリの そして–ゼカルヤ そして–メシュラム から
H5662 H3881 H1121 H4847 H2148 H4918

וְהַלְוִיִּם כָּל־מֵבִין בִּכְלֵי־שִׁיר׃
そして–レビ人は すべて 理解する–者が の–楽器を 歌の
H3881 H3605 H0995 H3627

לְנַצֵּחַ הַקְּהָתִים בְּנֵי
監督するため ケハトの の–子らの
H5329 H6956

その人々は忠実に仕事をした。その監督者はメラリの子孫であるレビびとヤハテとオバデヤ、およびコハテびとの子孫であるゼカリヤとメシュラムであって、工事をつかさどった。また楽器に巧みなレビびとがこれに伴った。

13

לַעֲבוֹדָה	מְלָאכָה	עֹשֵׂה	לְכֹל	וּמְנַצְּחִים	הַסַּבָּלִים	וְעַל	
奉仕のための	仕事を	行う-者の	すべての	そして-監督者として	運び-人の	そして-の-上に	
H5656	H4399		H3605	H5329	H5449		

וְשֹׁעֲרִים׃	וְשֹׁטְרִים	סוֹפְרִים	וּמֵהַלְוִיִּם	וַעֲבוֹדָה
そして-門衛が-いた	そして-役人と	書記官と	そして-レビ人の-中から	そして-奉仕の
H7778	H7860		H3881	H5656

彼らはまた荷を負う者を監督し、様々の仕事に働くすべての者をつかさどった。また他のレビびとは書記となり、役人となり、また門衛となった。

14

הַכֹּהֵן	חִלְקִיָּהוּ	מָצָא	יְהוָה	בֵּית	הַמּוּבָא	הַכֶּסֶף	אֶת־	וּבְהוֹצִיאָם
祭司	ヒルキヤは	見つけた	主の	の-家に	納められた	銀を	(を)	そして-取り-出す-とき
H3548	H2518	H4672	H3068		H0935	H3701	H0853	H3318

מֹשֶׁה׃	בְּיַד־	יְהוָה	תּוֹרַת־	סֵפֶר	אֶת־
モーセの	の-手に-よる	主の	の-律法の	の-書を	(を)
H4872	H3027	H3068	H8451		H0853

さて彼らが主の宮にはいった金を取りだした時、祭司ヒルキヤはモーセの伝えた主の律法の書を発見した。

15

הַתּוֹרָה	סֵפֶר	הַסּוֹפֵר	שָׁפָן	אֶל־	וַיֹּאמֶר	חִלְקִיָּהוּ	וַיַּעַן
律法の	の-書を	書記官に	シャファンに	に	そして-言った	ヒルキヤは	そして-答えた
H8451				H0413	H0559	H2518	

שָׁפָן׃	אֶל־	הַסֵּפֶר	אֶת־	חִלְקִיָּהוּ	וַיִּתֵּן	יְהוָה	בְּבֵית	מָצָאתִי
シャファンに	に	その-書を	(を)	ヒルキヤは	そして-渡した	主の	の-家で	見つけた
	H0413		H0853	H2518	H5414	H3068		H4672

そこでヒルキヤは書記官シャパンに言った、「わたしは主の宮で律法の書を発見しました」と。そしてヒルキヤはその書をシャパンに渡した。

16

עוֹד	וַיָּשֶׁב	הַמֶּלֶךְ	אֶל־	הַסֵּפֶר	אֶת־	שָׁפָן	וַיָּבֵא	
さらに	そして-報告した	王に	に	その-書を	(を)	シャファンは	そして-持って-行った	
H5750	H7725	H4428	H0413		H0853		H0935	

הֵם	עַבָדֶיךָ	בְּיַד־	נִתָּן	אֲשֶׁר־	כֹּל	לֵאמֹר	דָּבָר	הַמֶּלֶךְ	אֶת־	
彼らは	あなたの-僕たちの	の-手に	委ねられた	(関係詞)	すべての	言って	言葉を	王に	(を)	
H1992	H5650	H3027	H5414		H3605	H0559	H1697	H4428	H0853	

עֹשִׂים׃
行って-いる

シャパンはその書を王のもとに持って行き、さらに王に復命して言った、「しもべらはゆだねられた事をことごとくなし、

17

יַד	עַל־	וַיִּתְּנוּהוּ	יְהוָה	בְּבֵית־	הַנִּמְצָא	הַכֶּסֶף	אֶת־	וַיִּתֵּיכוּ
の-手に	の-上に	そして-渡した	主の	の-家で	見つかった	銀を	(を)	そして-注ぎ-出した
H3027		H5414	H3068		H4672	H3701	H0853	H5413

הַמְּלָאכָה׃	עוֹשֵׂי	יַד	וְעַל־	הַמְפֻקָּדִים
仕事を	行う-者たちの	の-手に	そして-の-上に	任命された-者の
H4399		H3027		

主の宮にあった金をあけて、監督者の手および職工の手に渡しました」。

18 וַיַּגֶּד הַסּוֹפֵר שָׁפָן לַמֶּלֶךְ לֵאמֹר סֵפֶר נָתַן לִי חִלְקִיָּהוּ
そして-告げた 書記官は シャファンは 王に 言って の-書を 与えた 私に ヒルキヤが
H5046 H5608 H8227 H4428 H0559 H5612 H3027 H2518

הַכֹּהֵן קָרָא־בוֹ שָׁפָן לִפְנֵי הַמֶּלֶךְ׃
祭司が そして-読んだ それを シャファンは の-前で 王の
H3548 H7121 H1931 H8227 H6440 H4428

書記官シャパンはまた王に告げて、「祭司ヒルキヤはわたしに一つの書物を渡しました」と言い、シャパンはそれを王の前で読んだ。

19 וַיְהִי כִּשְׁמֹעַ הַמֶּלֶךְ אֶת דִּבְרֵי הַתּוֹרָה וַיִּקְרַע אֶת־
そして-あった 聞いた-とき 王が (を) の-言葉を 律法の そして-引き-裂いた (を)
H1961 H8085 H4428 H0853 H1697 H8451 H7167 H0853

בְּגָדָיו׃
その-衣を

王はその律法の言葉を聞いて衣を裂いた。

20 וַיְצַו הַמֶּלֶךְ אֶת־ וְאֶת־ חִלְקִיָּהוּ אֲחִיקָם בֶּן־ שָׁפָן וְאֶת־ עַבְדּוֹן בֶּן־ מִיכָה וְאֶת־ הַסּוֹפֵר שָׁפָן וְאֶת־ עֵבֶד־ עֲשָׂיָה וְאֶת־ הַמֶּלֶךְ
そして-命じた 王は (を) そして(を) ヒルキヤに そして(を) アヒカムに の-子 シャファンの そして(を) (を) ミカの の-子 アブドンに そして(を) 書記官に シャファンに そして(を) の-僕 アサヤに そして(を) 王の
H6680 H4428 H0853 H0853 H2518 H0853 H0296 H1121 H8227 H0853 H0853 H4318 H1121 H5658 H0853 H5650 H6222 H0853 H4428

לֵאמֹר׃
言って
H0559

そして王はヒルキヤおよびシャパンの子アヒカムとミカの子アブドンと書記官シャパンと王の家来アサヤとに命じて言った、

21 לְכוּ דִרְשׁוּ אֶת־ יְהוָה בַּעֲדִי וּבְעַד הַנִּשְׁאָר בְּיִשְׂרָאֵל
行って 尋ねよ (を) 主に 私の-ために そして-の-ために 残って-いる-者のために イスラエルに
H3212 H1875 H0853 H3068 H1157 H1157 H7604 H3478

וּבִיהוּדָה עַל־ דִּבְרֵי הַסֵּפֶר אֲשֶׁר נִמְצָא כִּי־ גְדוֹלָה חֲמַת־
そして-ユダに に-ついて の-言葉に の 書の (関係詞) 見つかった なぜなら 大きい の-怒りが
H3063 H5921 H1697 H5612 H4672 H3588 H1419 H2534

יְהוָה אֲשֶׁר נִתְּכָה בָּנוּ עַל־ אֲשֶׁר לֹא־ שָׁמְרוּ אֲבוֹתֵינוּ
主の (関係詞) 注がれた 私たちの-上に の-ゆえに (関係詞) ない 守らなかった 私たちの-先祖が
H3068 H3588 H5413 H5921 H3588 H3808 H8104 H1

לַעֲשׂוֹת כְּכָל־ הַכָּתוּב עַל־ הַסֵּפֶר הַזֶּה׃ פ
行うことを すべての-とおり 書かれて-いる の-上に 書の この (段落)
H6213 H3605 H3789 H5921 H5612 H2063

אֶת־ דִּבַּר יְהוָה עַל־ כָּל־ הַכָּתוּב עַל־ הַסֵּפֶר הַזֶּה׃ פ
(を) の-言葉を 主の の-上に すべての-とおり 書かれて-いる の-上に 書の この (段落)
H0853 H1697 H3068 H5921 H3605 H3789 H5921 H5612 H2063

「あなたがたは行って、この発見された書物の言葉についてわたしのために、またイスラエルとユダの残りの者のために主に問いなさい。われわれの先祖たちが主の言葉を守らず、すべてこの書物にしるされていることを行わなかったので、主はわれわれに大いなる怒りを注がれるからです」。

22 וַיֵּלֶךְ חִלְקִיָּהוּ הַמֶּלֶךְ וַאֲשֶׁר אֶל־חֻלְדָּה הַנְּבִיאָה אֵשֶׁת
そして–行った ヒルキヤと そして–(関係詞) 王の–者たちは の–もとに フルダ 預言者の の–妻
H3212 H2518 H0834 H4428 H0413 H2468 H5031 H0802

שַׁלֻּם בֶּן־תִּקְוָה (תוקהת) בֶּן־חַסְרָה שֹׁמֵר הַבְּגָדִים וְהִיא
シャルム の–子 (ケティブ) トクハトの の–子 ハスラの の–番人 衣服の そして–彼女は
H7967 H8445 H8445 H2641 H8104 H0899 H1931

ס כְּזֹאת׃ אֵלֶיהָ וַיְדַבְּרוּ בַּמִּשְׁנֶה בִּירוּשָׁלִַם יוֹשֶׁבֶת
(段落) このように 彼女に そして–語った 第二の–地区に エルサレムに 住んで–いた
H2063 H0413 H1696 H4932 H3389 H3427

そこでヒルキヤおよび王のつかわした人々は、シャルムの妻である女預言者ホルダのもとへ行った。シャルムはハスラの子であるトクハテの子で、衣装を守る者である。時にホルダは、エルサレムの第二区に住んでいた。彼らはホルダにその趣意を語ったので、

23 וַתֹּאמֶר לָהֶם כֹּה־אָמַר יְהוָה אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל אִמְרוּ לָאִישׁ
そして–言った 彼らに このように 言う 主は の–神 イスラエルの 言え その–人に (関係詞)
H0559 H0559 H3541 H0559 H3068 H0430 H3478 H0559 H0376 H0834

ס אֵלָי׃ אֶתְכֶם שָׁלַח
(段落) 私の–もとに お前たちを 遣わした
H0413 H0853 H7971

ホルダは彼らに言った、「イスラエルの神、主はこう仰せられます、『あなたがたをわたしにつかわした人に告げなさい。

24 כֹּה אָמַר יְהוָה הִנְנִי מֵבִיא רָעָה עַל־הַמָּקוֹם הַזֶּה
このように 言う 主は 見よ–私は もたらす わざわいを の–上に この–場所の この
H3541 H0559 H3068 H2009 H0935 H7451 H5921 H4725 H2088

וְעַל־יוֹשְׁבֶיהָ אֵת כָּל־הָאָלוֹת הַכְּתוּבוֹת עַל־הַסֵּפֶר אֲשֶׁר
そして–の–上に その–住民の (を) すべての 呪いを 書かれて–いる の–上に 書の (関係詞)
H3427 H0853 H3605 H0423 H3789 H5921 H5612 H0834

קָרְאוּ לִפְנֵי מֶלֶךְ יְהוּדָה׃
読んだ の–前で 王 ユダの
H7121 H6440 H4428 H3063

主はこう仰せられます。見よ、わたしはユダの王の前で読んだ書物にしるされているもろもろののろい、すなわち災をこの所と、ここに住む者に下す。

25 וְתַחַת אֲשֶׁר עֲזָבוּנִי (ויקטירו) וַיְקַטְּרוּ לֵאלֹהִים אֲחֵרִים לְמַעַן
の–かわりに (関係詞) 捨てた (ケティブ) そして–香を–たいた の–神々に 他の ために
H8478 H0834 H5800 H6999 H0430 H0312 H4616

הַכְעִיסֵנִי בְּכֹל מַעֲשֵׂי יְדֵיהֶם וְתִתָּךְ חֲמָתִי
怒らせるために すべての の–業に–よって 彼らの–手の そして–注がれる 私の–怒りが
H3707 H3605 H4639 H3027 H5413 H2534

בַּמָּקוֹם הַזֶּה וְלֹא תִכְבֶּה׃
この–場所の–上に この そして–ない 消えない
H4725 H2088 H3808 H3518

彼らはわたしを捨てて、他の神々に香をたき、自分の手で造ったもろもろの物をもって、わたしの怒りを引き起そうとしたからである。それゆえ、わたしの怒りは、この所に注がれて消えない。

26 וְאֶל־ מֶלֶךְ יְהוּדָה הַשֹּׁלֵחַ אֶתְכֶם לִדְרֹושׁ בַּיהוָה
そして–に–向かって 王 ユダの 遣わした–者である お前たちを 尋ねるために 主に
H0413 H4428 H3063 H7971 H0853 H1875 H3068

כֹּה־ תֹאמְרוּ אֵלָיו הֵן׀ יְהוָה אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל הַדְּבָרִים
このように 言え 彼に (段落) このように 言う 主は の–神 イスラエルの 言葉に–ついて
H3541 H0559 H0413 H3541 H0559 H3068 H0430 H3478 H1697

אֲשֶׁר שָׁמָעְתָּ׃
聞いた (関係詞)
H8085

しかしあなたがたをつかわして、主に問わせるユダの王にはこう言いなさい。イスラエルの神、主はこう仰せられる。あなたが聞いた言葉については、

27 יַעַן רַךְ־ לְבָבְךָ וַתִּכָּנַע מִלִּפְנֵי אֱלֹהִים בְּשָׁמְעֲךָ אֶת־
の–ゆえに 柔らかかった お前の–心が そして–へりくだった の–前に 神の 聞いた–とき (を)
H3282 H7401 H3824 H3665 H6440 H0430 H8085 H0853

וַתִּכָּנַע דְּבָרָיו עַל־ הַמָּקוֹם הַזֶּה וְעַל־ יֹשְׁבָיו
そして–へりくだった その–言葉を に–ついて この–場所 この その–住民に そして–に–ついて
H3665 H1697 H0413 H4725 H2088 H3427 H0413

וַתִּבְכְּךָ לְפָנַי וַתִּקְרַע בְּגָדֶיךָ אֶת־ וְגַם־ אֲנִי
そして–泣いた 私の–前で そして–引き–裂いた お前の–衣を (を) そして–もまた 私も
H1058 H6440 H7167 H0853 H1571 H0589

שָׁמַעְתִּי נְאֻם־ יְהוָה׃
聞いた の–御告げ 主の
H8085 H5002 H3068

この所と、ここに住む者を責める神の言葉を、あなたが聞いた時、心に悔い、神の前に身をひくくし、わたしの前にへりくだり、衣を裂いて、わたしの前に泣いたので、わたしもまた、あなたに聞いた、と主は言われる。

28 הִנְנִי אֹסִפְךָ אֶל־ אֲבֹתֶיךָ וְנֶאֱסַפְתָּ קִבְרֹתֶיךָ בְּשָׁלוֹם
見よ–私は 集める お前の–先祖の の–もとに 私に 集められる そして–墓に お前の–安らかに
H2009 H0622 H0001 H0413 H0622 H6913 H7965

וְלֹא־ תִרְאֶינָה עֵינֶיךָ בְּכֹל הָרָעָה אֲשֶׁר אֲנִי מֵבִיא עַל־
そして–ない 見ない お前の–目は すべての わざわいを (関係詞) 私が もたらす の–上に
H3808 H7200 H3605 H7451 H0589 H0935

הַמָּקוֹם הַזֶּה וְעַל־ יֹשְׁבָיו וַיָּשִׁבוּ אֶת־ הַמֶּלֶךְ דָּבָר׃ פ
この–場所の この そして–の–上に その–住民の そして–持ち–帰った (を) 王に 言葉を (段落)
H4725 H2088 H3427 H7725 H0853 H4428 H1697

見よ、わたしはあなたを先祖たちのもとに集める。あなたは安らかにあなたの墓に集められる。あなたはわたしがこの所と、ここに住む者に下すもろもろの災を目に見ることがない』と」。彼らは王に復命した。

29 וַיִּשְׁלַח הַמֶּלֶךְ וַיֶּאֱסֹף אֶת־ כָּל־ זִקְנֵי יְהוּדָה וִירוּשָׁלִָם׃
そして–遣わした 王は そして–集めた (を) すべての 長老たちを ユダの そして–エルサレムの
H7971 H4428 H0622 H0853 H3605 H2205 H3063 H3389

そこで王は人をつかわしてユダとエルサレムの長老をことごとく集め、

30 וַיַּעַל הַמֶּלֶךְ בֵּית־ יְהוָה וְכָל־ אִישׁ יְהוּדָה וְיֹשְׁבֵי
そして-行った 王は 家に- 主の そして-すべての 人が ユダの そして-の-住民が
H5927 H4428 H1004 H3068 H3605 H0376 H3063 H3427

יְרוּשָׁלִַם וְהַכֹּהֲנִים וְהַלְוִיִּם וְכָל־ הָעָם מִגָּדוֹל
エルサレムの そして-祭司たちが そして-レビ人が そして-すべての 民が 大きい-者から
H3389 H3548 H3881 H3605 H5971 H1419

וְעַד־ קָטֹן וַיִּקְרָא בְּאָזְנֵיהֶם אֶת־ כָּל־ דִּבְרֵי סֵפֶר
そして-まで 小さい-者まで そして-読んだ 彼らの-耳に (を) すべての の-言葉を の-書の
H5704 H7121 H0241 H0853 H3605 H1697 H5612

הַבְּרִית הַנִּמְצָא בֵּית יְהוָה׃
契約の 見つかった の-家で 主の
H1285 H4672 H1004 H3068

そして王は主の宮に上って行った。ユダのすべての人々、エルサレムの住民、祭司、レビびと、およびすべての民は、老いた者も若い者もことごとく彼に従った。そこで王は主の宮で発見した契約の書の言葉を、ことごとく彼らの耳に読み聞かせ、

31 וַיַּעֲמֹד הַמֶּלֶךְ עַל־ עָמְדוֹ וַיִּכְרֹת אֶת־ הַבְּרִית לִפְנֵי יְהוָה
そして-立った 王は の-上に その-場所に そして-結んだ (を) 契約を の-前で 主の
H5975 H4428 H5921 H5977 H3772 H0853 H1285 H6440 H3068

לָלֶכֶת אַחֲרֵי יְהוָה וְלִשְׁמֹר מִצְוֹתָיו עֵדְוֹתָיו וְחֻקָּיו
歩むために の-後に 主の 守るために そして-その-戒めを その-あかしを そして-その-定めを
H3212 H0310 H3068 H8104 H4687 H0853 H5715

וְאֶת־ כָּל־ לְבָבוֹ וּבְכָל־ נַפְשׁוֹ לַעֲשׂוֹת אֶת־
(を) 行うために 魂を-もって そして-すべての 心を-もって すべての そして-その-定めを
H0853 H6213 H5315 H3605 H3824 H3605 H2706

דִּבְרֵי הַבְּרִית הַכְּתוּבִים עַל־ הַסֵּפֶר הַזֶּה׃
の-言葉を 契約の 書かれて-いる の-上に 書の この
H1697 H1285 H3789 H5921 H5612 H2088

そして王は自分の所に立って、主の前に契約を立て、主に従って歩み、心をつくし、精神をつくして、その戒めと、あかしと定めとをまもり、この書にしるされた契約の言葉を行おうと言い、

32 וַיַּעֲמֵד אֶת כָּל־ הַנִּמְצָא בִּירוּשָׁלִַם וּבִנְיָמִן
そして-立たせた (を) すべての いた-者を エルサレムに そして-ベニヤミンに
H5975 H0853 H3605 H4672 H3389 H1144

וַיַּעֲשׂוּ יוֹשְׁבֵי יְרוּשָׁלִַם כִּבְרִית אֱלֹהִים אֱלֹהֵי אֲבוֹתֵיהֶם׃
そして-行った の-住民は エルサレムの の-契約に-従って 神の の-神 彼らの-先祖の
H3427 H3389 H1285 H0430 H0430 H0001

エルサレムおよびベニヤミンの人々を皆これに加わらせた。エルサレムの住民は先祖の神であるその神の契約にしたがって行った。

33 וַיָּסַר יֹאשִׁיָּהוּ אֶת־כָּל־הַתּוֹעֵבוֹת מִכָּל־הָאֲרָצוֹת
そして-取り-除いた ヨシヤフは (を) すべての 忌まわしい-ものを 地々の
H5493 H3068 H0853 H3605 H8441 H0776

אֲשֶׁר לִבְנֵי יִשְׂרָאֵל הַנִּמְצָא כָּל־ וַיַּעֲבֵד אֶת־ כָּל־
(関係詞) の-子らに-属する イスラエルの いた-者を すべての (を) そして-仕えさせた
H3478 H4672 H3605 H0853 H5647

בְּיִשְׂרָאֵל לַעֲבֹד אֶת־ יְהוָה אֱלֹהֵיהֶם כָּל־ יְמֵי לֹא סָרוּ
イスラエルに 仕えるように (を) 主に 彼らの-神に すべての その-日々 ない それなかった
H3478 H5647 H0853 H3068 H0430 H3605 H3117 H3808 H5493

מֵאַחֲרֵי יְהוָה אֱלֹהֵי אֲבוֹתֵיהֶם׃ פ
の-後から 主の の-神 彼らの-先祖の (段落)
H3068 H0430 H0001

ヨシヤはイスラエルの人々に属するすべての地から、憎むべきものをことごとく取り除き、イスラエルにいるすべての人をその神、主に仕えさせた。ヨシヤが世にある日の間は、彼らは先祖の神、主に従って離れなかった。

Chapter 35

1 וַיַּעַשׂ יֹאשִׁיָּהוּ בִירוּשָׁלִַם פֶּסַח לַיהוָה וַיִּשְׁחֲטוּ הַפֶּסַח
そして-行った ヨシヤフは エルサレムで 過越の-祭りを 主に そして-ほふった 過越の-小羊を
H6213 H2977 H3389 H6453 H3068 H7819 H6453

בְּאַרְבָּעָה עָשָׂר לַחֹדֶשׁ הָרִאשׁוֹן׃
十四 十四 の-月の 第一の
H0702 H6240 H2320 H7223

ヨシヤはエルサレムで主に過越の祭を行った。すなわち正月の十四日に過越の小羊をほふらせ、

2 וַיַּעֲמֵד הַכֹּהֲנִים עַל־ מִשְׁמְרוֹתָם בְּיוַחֲזֵקֵם לַעֲבוֹדַת בֵּית
そして-立てた 祭司たちを の-上に その-当番に そして-励ました の-奉仕のために の-家の
H5975 H3548 H5921 H4931 H2388 H5656 H1004

יְהוָה׃
主の
H3068

祭司にその職務をとり行わせ、彼らを励まして主の宮の務をさせ、

3 וַיֹּאמֶר לַלְוִיִּם]המבונים(הַמְבִינִים) לְכָל־ יִשְׂרָאֵל הַקְּדוֹשִׁים
そして-言った レビ人に (ケティブ) 教える-者である すべての イスラエルの 聖なる-者たちである
H0559 H3881 H0995 H3605 H3478 H6918

לַיהוָה תְּנוּ אֶת־ אֲרוֹן הַקֹּדֶשׁ בַּבַּיִת בָּנָה אֲשֶׁר שְׁלֹמֹה בֶּן־ דָּוִיד
主に 置け (を) の-箱を 聖なる の-家に 建てた (関係詞) ソロモンが の-子 ダビデの
H3068 H5414 H0853 H0727 H6944 H1004 H1129 H0834 H8010 H1121 H1732

מֶלֶךְ יִשְׂרָאֵל אֵין־ לָכֶם מַשָּׂא עַתָּה עִבְדוּ אֶת־ יְהוָה
王 イスラエルの ない お前たちには 荷物が 今 仕えよ (を) 主に
H4428 H3478 H0369 H4853 H6258 H5647 H0853 H3068

וְאֶת עַמּוֹ יִשְׂרָאֵל׃
そして(を) その-民に イスラエルに
H0853 H5971 H3478

אֱלֹהֵיכֶם
お前たちの-神に
H0430

また主の聖なる者となってすべてのイスラエルびとを教えるレビびとに言った、「あなたがたはイスラエルの王ダビデの子ソロモンの建てた宮に、聖なる箱を置きなさい。再びこれを肩にになうに及ばない。あなたがたの神、主およびその民イスラエルに仕えなさい。

4 וְהָכִ֣ונוּ לְבֵית־ אֲבֹותֵיכֶ֗ם כְּמַחְלְקֹותֵיכֶם֙ בִּכְתָ֣ב
そして–準備せよ の–家に–従い お前たちの–先祖の お前たちの–組に–従い の–書き物に–従い
H3791 H4256 H0001

בְּנֹ֔ו׃ שְׁלֹמֹ֖ה וּבְמִכְתַּ֣ב יִשְׂרָאֵ֑ל מֶ֣לֶךְ דָּוִ֖יד
その–子の ソロモンの そして–の–書き物に–従い イスラエルの 王 ダビデの
H8010 H4385 H3478 H4428 H1732

あなたがたはイスラエルの王ダビデの書、およびその子ソロモンの書に基いて氏族にしたがい、その班によって、みずから備えをなし、

5 הָעָ֔ם בְּנֵי֙ לַאֲחֵיכֶ֔ם הָאָבֹ֖ות בֵּ֣ית לְפִלְגֹ֣ות וְעִמְדוּ֙ בַּקֹּ֔דֶשׁ
民の の–子らの お前たちの–兄弟のために 先祖の の–家の の–分課に–従い そして–立て 聖所に
H0251 H0001 H6391 H5975 H6944

לַלְוִיִּֽם׃ אָ֖ב בֵּ֣ית־ וַחֲלֻקַּ֥ת
レビ人のために 先祖の の–家の そして–分かれた
H3881 H0001 H2515

あなたがたの兄弟である民の人々の氏族の区分にしたがって聖所に立ち、このためにレビびとの氏族の分が欠けることのないようにしなさい。

6 לַאֲחֵיכֶ֑ם וְהָכִ֣ינוּ וְהִתְקַדְּשׁ֗וּ הַפָּ֔סַח וְשַׁחֲט֣וּ
お前たちの–兄弟のために そして–準備せよ そして–聖別して 過越の–小羊を そして–ほふれ
H0251 H6942 H6453

פ מֹשֶׁ֔ה׃ בְּיַד־ יְהוָ֖ה כִּדְבַר־ לַעֲשֹׂ֥ות
(段落) モーセの の–手に–よる 主の の–言葉に–従い 行うために
H4872 H3027 H3068 H1697

あなたがたは過越の小羊をほふり、身を清め、あなたがたの兄弟のために備えをし、モーセが伝えた主の言葉にしたがって行いなさい」。

7 הַכֹּ֗ל עִזִּים֙ וּבְנֵי־ כְּבָשִׂ֔ים צֹ֣אן הָעָ֔ם לִבְנֵ֖י יֹאשִׁיָּ֣הוּ וַיָּ֤רֶם
すべて 山羊の そして–の–子を 小羊と 羊を 民の の–子らに ヨシヤフは そして–ささげた
H3605 H5795 H6629 H2977

אֲלָפִ֔ים שְׁלֹ֣שֶׁת וּבָקָ֖ר אֶ֣לֶף שְׁלֹשִׁ֑ים לְמִסְפַּ֣ר הַנִּמְצָ֔א לְכָל־ לַפְּסָחִ֔ים
千 三 そして–牛を 万 三万 の–数 いた–者に すべての 過越の–ささげ物のために
H0505 H7969 H1241 H0505 H7970 H4557 H4672 H3605 H6453

ס הַמֶּ֖לֶךְ׃ מֵרְכ֣וּשׁ אֵ֑לֶּה
(段落) 王の の–財産から これらは
H4428 H7399 H0428

ヨシヤは、小羊および子やぎを民の人々に贈った。これは皆その所にいるすべての人のための過越の供え物であって、その数三万、また雄牛三千を贈った。それらは王の所有から出したのである。

8 וְשָׂרָ֗יו לִנְדָבָה֙ לָעָ֔ם לַכֹּהֲנִ֖ים וְלַלְוִיִּ֑ם הֵרִ֣ימוּ חִלְקִיָּ֗ה
そして-その-高官たちは 自由に 民に 祭司たちに そして-レビ人に ささげた ヒルキヤ
H8269 H5071 H5971 H3548 H3881 H7311 H2518

וְזִכְרִיָּ֥הוּ וִֽיחִיאֵ֖ל נְגִידֵ֣י בֵֽית־הָאֱלֹהִ֑ים נָתְנ֣וּ לַכֹּהֲנִ֔ים
そして-ゼカルヤ そして-エヒエル の-指導者たち の-家の 神の 祭司たちのために 与えた
H2148 H3171 H5057 H1004 H0430 H3548 H5414

לַפְּסָחִ֔ים אַלְפַּ֥יִם וְשֵׁ֖שׁ מֵא֣וֹת וּבָקָ֑ר שְׁלֹ֥שׁ מֵא֖וֹת׃
過越の-ささげ物のために 二千 そして-六 百 そして-牛を 三 百
H6453 H0505 H8337 H3967 H1241 H7969 H3967

そのつかさたちも民と祭司とレビびとに真心から贈った。また神の宮のつかさたちヒルキヤ、ゼカリヤ、エヒエルも小羊と子やぎ二千六百頭、牛三百頭を祭司に与えて過越の供え物とした。

9 וְ(כָנַנְיָ֨הוּ) [וכונניהו] וּשְׁמַעְיָ֤הוּ וּנְתַנְאֵל֙ אֶחָ֔יו
その-兄弟たちと そして-ネタンエル そして-シェマヤ そして-コナンヤフ (ケティブ)
H0251 H5417 H8098 H3562 H3562

הַלְוִיִּ֗ם הֵרִ֣ימוּ שָׂרֵי֙ וְיוֹזָבָ֣ד וְיִעִיאֵ֔ל וַחֲשַׁבְיָ֖הוּ
レビ人の ささげた の-長たち そして-ヨザバド そして-エイエル そして-ハシャブヤフ
H3881 H8269 H3107 H3273 H2811

מֵא֣וֹת׃ חֲמֵ֔שׁ וּבָקָ֑ר אֲלָפִ֣ים חֲמֵ֔שֶׁת לַפְּסָחִ֖ים לַלְוִיִּֽם׃
百 五 そして-牛を 千 五 過越の-ささげ物として レビ人のために
H3967 H2568 H1241 H0505 H2568 H6453 H3881

またレビびとの長である人々すなわちコナニヤおよびその兄弟シマヤ、ネタンエルならびにハシャビヤ、エイエル、ヨザバデなども小羊と子やぎ五千頭、牛五百頭をレビびとに贈って過越の供え物とした。

10 וַתִּכּ֣וֹן הָעֲבוֹדָ֗ה וַיַּעַמְד֤וּ הַכֹּהֲנִים֙ עַל־ עָמְדָ֔ם וְהַלְוִיִּ֖ם
そして-整えられた 奉仕が そして-立った 祭司たちは の-上に その-場所に そして-レビ人は
H3559 H5656 H5975 H3548 H5921 H5977 H3881

כְּמִצְוַ֥ת הַמֶּ֖לֶךְ׃ מַחְלְקוֹתָ֑ם עַל־
の-命令に-従い 王の その-組に の-上に
H4687 H4428 H4256 H5921

このように勤めのことが備わったので、王の命に従って祭司たちはその持ち場に立ち、レビびとはその班に従って仕え、

11 וְהַלְוִיִּ֖ם מִיָּדָ֑ם הַכֹּהֲנִים֙ וַיִּזְרְק֣וּ וַיִּשְׁחֲט֤וּ הַפָּ֔סַח
そして-レビ人は その-手から 祭司たちは そして-振り-かけた そして-ほふった 過越の-小羊を
H3881 H3027 H3548 H2236 H7819 H6453

מַפְשִׁיטִֽם׃
皮を-はいだ
H6584

やがて過越の小羊がほふられたので、祭司はその血を受け取って注いだ。レビびとはその皮をはいだ。

12 לִבְנֵ֣י אָב֔וֹת לְבֵית־ לְמִפְלַגּ֖וֹת לָתֵ֣ת הָעֹלָ֑ה וַיָּסִ֣ירוּ
の-子らに 先祖の の-家の の-分課に 与えるために 全焼の-ささげ物を そして-取り-分けた
H1121 H1 H1004 H4653 H5414 H5930 H5493

כַּכָּת֣וּב וְכֵ֖ן מֹשֶׁ֔ה בְּסֵ֣פֶר לַיהוָ֔ה לְהַקְרִ֣יב הָעָ֗ם
書かれて-いる-とおり そして-そのように モーセの の-書に 主に ささげるために 民の
H3789 H3651 H4872 H5612 H3068 H7126 H5971

לַבָּקָֽר׃
牛にも
H1241

それから燔祭の物をとり分け、それを民の人々の氏族の区分に従って渡し、主にささげさせた。これはモーセの書にしるされたとおりである。また牛をもこのようにした。

13 וַיְבַשְּׁלוּ֩ הַפֶּ֨סַח בָּאֵ֜שׁ כַּמִּשְׁפָּ֗ט וְהַקָּדָשִׁים֙ בִּשְּׁל֣וּ בַסִּרוֹת֔

そして-焼いた 過越の-小羊を 火で の-定めに-従い そして-聖なる-ものを 煮た の-鍋で
H1310 H6944 H4941 H0784 H6453 H1310

וּבַצֵּלָח֖וֹת וּבַדְּוָדִ֑ים וַיָּרִ֣יצוּ לְכָל־ בְּנֵי֙ הָעָ֔ם׃

そして-大鉢で そして-釜で そして-急いで-配った すべての の-子らに 民の
H6745 H1731 H7323 H3605

そして定めに従って過越の小羊を火であぶり、その他の聖なる供え物を深なべ、かま、浅なべなどに煮て、急いですべての民の人々にくばった。

14 וְאַחַ֗ר הֵכִ֤ינוּ לָהֶם֙ וְלַכֹּהֲנִ֔ים כִּ֣י הַכֹּהֲנִ֗ים בְּנֵי֙

そして-後で 準備した 自分たちのために そして-祭司たちのために なぜなら 祭司たちは の-子ら
H1992 H3548 H3548

אַהֲרֹ֔ן בָּעֹלָ֖ה וְהַחֲלָבִ֑ים עַד־ לָ֣יְלָה וְהַלְוִיִּ֖ם

アロンの の-ささげるのに 全焼の-ささげ物と そして-脂肪を まで 夜まで そして-レビ人は
H0175 H5927 H5930 H2459 H5704 H3915 H3881

הֵכִ֥ינוּ לָהֶ֖ם וְלַכֹּהֲנִ֑ים בְּנֵ֥י אַהֲרֹֽן׃

準備した 自分たちのために そして-祭司たちのために の-子ら アロンの
H1992 H3548 H0175

その後、彼らは自分のためと、祭司たちのために備えをした。アロンの子孫である祭司たちは、燔祭と脂肪をささげるのに忙しくて、夜になったからである。それでレビびとは自分たちのためと、アロンの子孫である祭司たちのために備えたのである。

15 וְהַמְשֹׁרְרִ֗ים בְּנֵי־ אָסָף֙ עַל־ מַעֲמָדָ֔ם כְּמִצְוַ֖ת דָּוִ֑יד

そして-歌うたは の-子らの アサフの の-上に その-場所に の-命令に-従い ダビデの
H7891 H1121 H0623 H5921 H4612 H4687 H1732

וִידֻת֥וּן חוֹזֵ֖ה הַמֶּ֣לֶךְ וְהַיְמָ֑ן וְאָסָ֕ף לְשֹׁעֵֽר׃ וְהַשֹּׁעֲרִ֖ים

そして-エドトンの 先見者 王の そして-ヘマンの そして-アサフの の-門ごとに そして-門衛は
H3038 H2374 H4428 H1968 H0623 H8179 H7778

כִּי־ עֲבֹדָתָ֥ם מֵעַ֖ל לָסוּר֑ לָהֶם֙ אֵ֣ין וְעַ֔שָׂר אֲחֵיהֶ֖ם

なぜなら その-奉仕から の-上から 離れる必要が 彼らには ない そして-門に その-兄弟たちが
H5656 H5921 H5493 H0369 H8179 H0251

הַלְוִיִּ֖ם הֵכִ֥ינוּ לָהֶֽם׃

レビ人の 準備した 彼らのために
H3881

アサフの子孫である歌うたう者たちは、ダビデ、アサフ、ヘマンおよび王の先見者エドトンの命に従ってその持ち場におり、門衛たちはおのおの門にいて、その職務を離れるに及ばなかった。兄弟であるレビびとが彼らのために備えたからである。

16 וַתְּכֹ֣ון כָּל־ עֲבוֹדַ֣ת יְהוָ֣ה בַּיּ֣וֹם הַה֗וּא לַעֲשׂ֣וֹת הַפֶּ֣סַח

そして-整えられた すべての 奉仕が 主の その-日に 行うために 過越の-祭りを
H6453 H3605 H5656 H3068 H3117 H1931 H6213

וְהַעֲל֣וֹת עֹל֣וֹת עַל֮ מִזְבַּ֣ח יְהוָה֒ כְּמִצְוַ֣ת הַמֶּ֣לֶךְ

そして-ささげるために 全焼の-ささげ物を の-上に 祭壇の 主の の-命令に-従い 王の
H5927 H5930 H5921 H4196 H3068 H4687 H4428

יֹאשִׁיָּֽהוּ׃

ヨシヤフの
H2977

このようにその日、主の勤めの事がことごとく備わったので、ヨシヤ王の命に従って過越の祭を行い、主の祭壇に燔祭をささげた。

17

בָּעֵת	הַפֶּסַח	אֶת־	הַנִּמְצְאִים	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי־	וַיַּעֲשׂוּ
の–時に	過越の–祭りを	(を)	そこに–いた–者たちが	イスラエルの	の–子らは	そして–行った
H6256	H6453	H0853	H4672	H3478		

יָמִים׃	שִׁבְעַת	הַמַּצּוֹת	חַג	וְאֶת־	הַהִיא
日間	七	種入れぬ–パンの	の–祭りを	そして(を)	その
H3117	H7651	H4682	H2282	H0853	H1931

ここに来ていたイスラエルの人々は、そのとき過越の祭を行い、また七日の間、種入れぬパンの祭を行った。

18

מִימֵי	בְיִשְׂרָאֵל	כָּמֹהוּ	פֶּסַח	נַעֲשָׂה	וְלֹא־	
の–日から	イスラエルで	これのような	過越の–祭りが	行われた–ことが–なかった	そして–ない	
H3117	H3478	H3644	H6453		H3808	

עָשׂוּ	לֹא־	וְיִשְׂרָאֵל	מַלְכֵי	וְכָל־	הַנָּבִיא	שְׁמוּאֵל
行わなかった	ない	イスラエルの	の–王たちは	そして–すべての	預言者の	サムエルの
	H3808	H3478	H4428	H3605	H5030	H8050

וְהַלְוִיִּם	וְהַכֹּהֲנִים	יֹאשִׁיָּהוּ	עָשָׂה	אֲשֶׁר־	כַּפֶּסַח
そして–レビ人が	そして–祭司たちが	ヨシヤフが	行った	(関係詞)	のような–過越の–祭りを
H3881	H3548	H2977			H6453

יְרוּשָׁלָ͏ִם׃	וְיוֹשְׁבֵי	הַנִּמְצָא	וְיִשְׂרָאֵל	יְהוּדָה	וְכָל־	
エルサレムの	そして–の–住民が	そこに–いた–者と	そして–イスラエルが	ユダと	そして–すべての	
H3389	H3427	H4672	H3478	H3063	H3605	

ס
(段落)

預言者サムエルの日からこのかた、イスラエルでこのような過越の祭を行ったことはなかった。またイスラエルの諸王のうちには、ヨシヤが、祭司、レビびと、ならびにそこに来たユダとイスラエルのすべての人々、およびエルサレムの住民と共に行ったような過越の祭を行った者はひとりもなかった。

19

הַזֶּה׃	הַפֶּסַח	נַעֲשָׂה	יֹאשִׁיָּהוּ	לְמַלְכוּת	שָׁנָה	עֶשְׂרֵה	בִּשְׁמוֹנֶה
この	過越の–祭りが	行われた	ヨシヤフの	の–治世の	年に	十八	十八
H2088	H6453		H2977	H4438	H8141	H6240	H8083

この過越の祭はヨシヤの治世の第十八年に行われた。

20

מֶלֶךְ־	נְכֹה	עָלָה	הַבַּיִת	אֶת־	יֹאשִׁיָּהוּ	הֵכִין	אֲשֶׁר	זֹאת	כָּל־	אַחֲרֵי
王	ネコが	上って–来た	家を	(を)	ヨシヤフが	整えた	(関係詞)	これ	すべての	の–後
H4428	H5224	H5927		H0853	H2977			H2063	H3605	

לִקְרָאתוֹ	וַיֵּצֵא	פְּרָת	עַל־	בְּכַרְכְּמִישׁ	לְהִלָּחֶם	מִצְרַיִם
迎えるために	そして–出て–行った	ユフラテスの	の–ほとりの	カルケミシュで	戦うために	エジプトの
H7125	H3318	H6578		H3751		H4714

יֹאשִׁיָּהוּ׃
ヨシヤフは
H2977

このようにヨシヤが宮を整えた後、エジプトの王ネコはユフラテ川のほとりにあるカルケミシで戦うために上ってきたので、ヨシヤはこれを防ごうと出て行った。

21 וַיִּשְׁלַח אֵלָיו וַיֹּאמֶר מַה־לִּי וְלָךְ מֶלֶךְ יְהוּדָה לֹא־עָלֶיךָ אַתָּה הַיּוֹם כִּי בֵּית מִלְחַמְתִּי אֶל־בֵּית וֵאלֹהִים אֲשֶׁר־עִמִּי לְךָ חֲדַל־לְךָ וְאַל־יַשְׁחִיתֶךָ׃

そして-遣わした 彼に 使者を 言って 何の-関係が-あるのか 私と 王よ そして-お前とに
H7971 H0413 H4397 H0559 H4100 H4428

ユダの ない お前に-向かって お前は 今日 に-向かって なぜなら の-家に 私の-戦いの
H3063 H3808 H0413 H3117 H0413 H4421

(関係詞) の-神に-逆らうな お前は やめよ 急がせよと 言った そして-神が
H0430 H2308 H0926 H0559 H0430

滅ぼされるな そして-しては-ならない
H7843 H0408

しかしネコは彼に使者をつかわして言った、「ユダの王よ、われわれはお互に何のあずかるところがありますか。わたしはきょう、あなたを攻めようとして来たのではありません。わたしの敵の家を攻めようとして来たのです。神がわたしに命じて急がせています。わたしと共におられる神に逆らうことをやめなさい。そうしないと、神はあなたを滅ぼされるでしょう」。

22 וְלֹא־הֵסֵב יֹאשִׁיָּהוּ פָּנָיו מִמֶּנּוּ כִּי לְהִלָּחֵם־בּוֹ וְהִתְחַפֵּשׂ וְלֹא־שָׁמַע לְדִבְרֵי נְכוֹ מִפִּי אֱלֹהִים וַיָּבֹא לְהִלָּחֵם בְּבִקְעַת מְגִדּוֹ׃

そして-ない そらさなかった ヨシヤフは その-顔を なぜなら 彼から 戦うために 変装した
H3808 H5437 H2977 H6440 H3588 H4480 H3588 H2664

戦うために の-平野で メギドの
H3588 H1237 H4023

しかしヨシヤは引き返すことを好まず、かえって彼と戦うために、姿を変え、神の口から出たネコの言葉を聞きいれず、行ってメギドの谷で戦ったが、

23 וַיֹּרוּ הַיֹּרִים לַמֶּלֶךְ יֹאשִׁיָּהוּ וַיֹּאמֶר הַמֶּלֶךְ לַעֲבָדָיו הַעֲבִירוּנִי כִּי הָחֳלֵיתִי מְאֹד׃

そして-射た 射手たちが 王に ヨシヤフに そして-言った 王は その-僕たちに 移して-くれ
H3588 H3384 H4428 H3588 H2977 H0559 H4428 H5650 H3588

非常に 重傷を-負った なぜなら
H3966 H2470 H3588

射手の者どもがヨシヤを射あてたので、王はその家来たちに、「わたしを助け出せ。わたしはひどく傷ついた」と言った。

24 וַיַּעֲבִירֻהוּ עֲבָדָיו מִן־הַמֶּרְכָּבָה וַיַּרְכִּיבֻהוּ עַל הַמִּשְׁנֶה אֲשֶׁר־לוֹ וַיּוֹלִיכֻהוּ יְרוּשָׁלַ͏ִם וַיָּמָת וַיִּקָּבֵר בְּקִבְרוֹת אֲבֹתָיו וְכָל־יְהוּדָה וִירוּשָׁלַ͏ִם מִתְאַבְּלִים עַל־יֹאשִׁיָּהוּ׃ פ

そして-移した その-僕たちは から 戦車から 乗せた そして-乗せた 第二の 車に の-上に (関係詞)
H5650 H4480 H4818 H7392 H7392 H4932 H7393 H5921 H3588

彼の そして-連れて-行った エルサレムに そして-死んだ そして-葬られた の-墓に その-先祖の
H3588 H3212 H3389 H4191 H6912 H6913 H1

そして-すべての ユダと そして-エルサレムは 悲しんで-いた のために ヨシヤフの (段落)
H3605 H3063 H3389 H56 H5921 H2977 H6449

そこで家来たちは彼を車から助け出し、王のもっていた第二の車に乗せてエルサレムにつれて行ったが、ついに死んだので、その先祖の墓にこれを葬った。そしてユダとエルサレムは皆ヨシヤのために悲しんだ。

25 וַיְקוֹנֵן יִרְמְיָהוּ עַל־יֹאשִׁיָּהוּ וַיֹּאמְרוּ כָּל־הַשָּׁרִים
そして-哀歌を-詠んだ エレミヤは ヨシヤフの の-ために そして-言った すべての 歌うたと
H6969 H3414 H2977 H0559 H3605 H7891

וְהַשָּׂרוֹת וְלָהֶם בְּקִינוֹתֵיהֶם עַל־יֹאשִׁיָּהוּ עַד־הַיּוֹם וַיִּתְּנוּם
そして-女歌手は 彼らの-哀歌の-中で の-ために ヨシヤフの まで 今日まで そして-定めた
H7891 H7015 H2977 H5704 H3117 H5414

לְחֹק עַל־יִשְׂרָאֵל וְהִנָּם כְּתוּבִים עַל־הַקִּינוֹת׃
定めとして の-上に イスラエルの そして-見よ 書かれて-いる の-上に 哀歌の
H2706 H3478 H2009 H3789 H5921 H7015

時にエレミヤはヨシヤのために哀歌を作った。歌うたう男、歌うたう女は今日に至るまで、その哀歌のうちにヨシヤのことを述べ、イスラエルのうちにこれを例とした。これは哀歌のうちにしるされている。

26 וְיֶתֶר דִּבְרֵי יֹאשִׁיָּהוּ וַחֲסָדָיו כַּכָּתוּב בְּתוֹרַת יְהוָה׃
そして-残りの ヨシヤフの の-ことは そして-その-善行は 書かれて-いる-とおり の-律法に 主の
H3499 H2977 H1697 H2617 H3789 H8451 H3068

ヨシヤのその他の行為、主の律法にしるされた所に従って行った徳行、

27 וּדְבָרָיו הָרִאשֹׁנִים וְהָאַחֲרֹנִים הִנָּם כְּתוּבִים עַל־סֵפֶר מַלְכֵי־
そして-その-ことは 初めの そして-後の 見よ 書かれて-いる の-上に の-書の の-王たちの
H1697 H7223 H0314 H2009 H3789 H5921 H5612 H4428

יִשְׂרָאֵל וִיהוּדָה׃
イスラエル そして-ユダの
H3478 H3063

およびその始終の行いなどは、イスラエルとユダの列王の書にしるされている。

Chapter 36

1 וַיִּקְחוּ עַם־הָאָרֶץ אֶת־יְהוֹאָחָז בֶּן־יֹאשִׁיָּהוּ וַיַּמְלִיכֻהוּ
そして-取った の-民は (を) 地の エホアハズを の-子 ヨシヤフの そして-王とした
H3947 H5971 H0853 H0776 H3059 H1121 H2977 H4427

תַּחַת־אָבִיו בִּירוּשָׁלִָם׃
の-代わりに その-父の エルサレムで
H8478 H0001 H3389

国の民はヨシヤの子エホアハズを立て、エルサレムでその父に代って王とならせた。

2 בֶּן־שָׁלֹשׁ וְעֶשְׂרִים שָׁנָה יוֹאָחָז בְּמָלְכוֹ וּשְׁלֹשָׁה חֳדָשִׁים
二十 の-子 歳の エホアハズは 王となった-とき そして-三 か月 治めた
H7969 H1121 H8141 H3099 H4427 H7969 H2320 H4427

בִּירוּשָׁלִָם׃
エルサレムで
H3389

エホアハズは王となった時二十三歳で、エルサレムで三月の間、世を治めたが、

3 וַיְסִירֵהוּ מֶלֶךְ־מִצְרַיִם בִּירוּשָׁלִָם וַיַּעֲנֹשׁ אֶת־הָאָרֶץ מֵאָה כִּכַּר־כֶּסֶף וְכִכָּר זָהָב׃
そして-退位させた の-王が エジプトの エルサレムで そして-罰した (を) 地を 百
H5493 H4428 H4714 H3389 H6064 H0853 H0776 H3967
の-タラントの そして-タラントの 銀の 金の
H3603 H3603 H3701 H2091

エジプトの王はエルサレムで彼を廃し、かつ銀百タラント、金一タラントの罰金を国に課した。

4 וַיַּמְלֵךְ מֶלֶךְ־מִצְרַיִם אֶת־אֶלְיָקִים אָחִיו עַל־יְהוּדָה
そして-王とした の-王は エジプトの (を) エルヤキムを その-兄弟を の-上に ユダの
H4428 H4714 H0853 H0471 H0251 H3063

וְיִרוּשָׁלִָם וַיַּסֵּב אֶת־שְׁמוֹ יְהוֹיָקִים וְאֶת־יוֹאָחָז׃
そして-エルサレムの そして-変えた (を) その-名を エホヤキムに そして(を) エホアハズを
H3389 H5437 H0853 H8034 H3079 H0853 H3099

וַיְבִיאֵהוּ מִצְרַיְמָה׃ פ נְכֹו לָקַח אָחִיו
そして-連れて-行った エジプトに (段落) ネコは 取った その-兄弟を
H0935 H4714 H5224 H3947 H0251

そしてエジプト王は彼の兄弟エリアキムをユダとエルサレムの王とし、その名をエホヤキムと改め、その兄弟エホアハズを捕えてエジプトへ引いて行った。

5 בֶּן־עֶשְׂרִים שָׁנָה וְחָמֵשׁ שָׁנָה יְהוֹיָקִים בְּמָלְכוֹ וְאַחַת עֶשְׂרֵה שָׁנָה מָלַךְ בִּירוּשָׁלִָם
の-子 二十 そして-五 歳の エホヤキムは 王となった-とき そして-十一 十一 年
H6242 H2568 H8141 H3079 H0259 H6240 H8141

וַיַּעַשׂ הָרַע בְּעֵינֵי יְהוָה אֱלֹהָיו׃
そして-行った 悪い-ことを の-目に 主の その-神の
H3389 H7451 H5869 H3068 H0430

エホヤキムは王となった時二十五歳で、十一年の間エルサレムで世を治めた。彼はその神、主の前に悪を行った。

6 עָלָיו עָלָה נְבוּכַדְנֶאצַּר מֶלֶךְ בָּבֶל וַיַּאַסְרֵהוּ בַּנְחֻשְׁתַּיִם
彼に-向かって 上って-来た ネブカドネツァルが 王 バビロンの そして-縛った 青銅の-鎖で
H5927 H5019 H4428 H0894 H0631

לְהוֹלִיכוֹ בָּבֶלָה׃
連れて-行くために バビロンに
H3212 H0894

時に、バビロンの王ネブカデネザルが彼の所に攻め上り、彼をバビロンに引いて行こうとして、かせにつないだ。

7 וְגַם מִכְלֵי בֵית יְהוָה הֵבִיא נְבוּכַדְנֶאצַּר לְבָבֶל וַיִּתְּנֵם בְּהֵיכָלוֹ בְּבָבֶל׃
そして-置いた その-宮殿に バビロンの 持って-行った ネブカドネツァルは バビロンに そして-の-器の-一部を の-家の 主の
H5414 H1964 H0894 H0935 H5019 H0894 H3627 H1004 H3068

ネブカデネザルはまた主の宮の器物をバビロンに運んで行って、バビロンにあるその宮殿にそれをおさめた。

8 וְיֶתֶר֙ דִּבְרֵ֣י יְהוֹיָקִ֔ים וְתוֹעֲבֹתָ֖יו אֲשֶׁר־
そして-残りの の-ことは エホヤキムの そして-その-忌まわしい-ことは (関係詞)
H3079 H1697 H8441

עָשָׂ֑ה וְהִנָּ֣ם כְּתוּבִ֗ים עַל־ סֵ֚פֶר מַלְכֵ֣י
行った 書かれて-いる の-上に の-書の の-王たちの
H3789 H2009 H4428

יִשְׂרָאֵ֣ל וְיהוּדָ֔ה וַיִּמְלֹ֥ךְ יְהוֹיָכִ֛ין בְּנ֖וֹ תַּחְתָּ֑יו׃ פ
イスラエル そして-ユダの そして-王となった エホヤキンが その-子が 彼に-代わって (段落)
H3478 H3063 H3078 H8478

エホヤキムのその他の行為、その行った憎むべき事および彼がひそかに行った事などは、イスラエルとユダの列王の書にしるされている。その子エホヤキンが彼に代って王となった。

9 בֶּן־ שְׁמוֹנֶ֤ה שָׁנִים֙ יְהוֹיָכִ֣ין בְּמָלְכֹ֔ו וּשְׁלֹשָׁ֥ה חֳדָשִׁ֛ים וַעֲשֶׂ֥רֶת יָמִ֖ים
の-子 八 エホヤキンは 王となった-とき そして-三 か月と そして-十 日
H8083 H8141 H3078 H7969 H2320 H6235 H3117

מָלַ֑ךְ בִּירוּשָׁלָ֔͏ִם וַיַּ֥עַשׂ הָרַ֖ע בְּעֵינֵ֥י יְהוָֽה׃
治めた エルサレムで そして-行った 悪い-ことを の-目に 主の
H3389 H3068

エホヤキンは王となった時八歳で、エルサレムで三月と十日の間、世を治め、主の前に悪を行った。

10 וְלִתְשׁוּבַ֣ת הַשָּׁנָ֗ה שָׁלַ֤ח הַמֶּ֙לֶךְ֙ נְבוּכַדְנֶאצַּ֔ר וַיְבִאֵ֥הוּ
そして-の-年の-変わり目に 年の 遣わした 王は ネブカドネツァル そして-連れて-来た
H8666 H8141 H7971 H4428 H5019 H0935

בָבֶ֑לָה עִם־ כְּלֵ֣י חֶמְדַּ֔ת בֵּית־ יְהוָ֖ה וַיַּמְלֵ֣ךְ אֶת־ צִדְקִיָּ֥הוּ
バビロンに と-共に の-器を 宝物の の-家の 主の そして-王とした (を) ゼデキヤを
H0894 H3627 H2532 H3068 H0853 H6667

אָחִ֥יו עַל־ יְהוּדָ֖ה וִירוּשָׁלִָֽם׃ פ
その-兄弟を の-上に ユダの そして-エルサレムの (段落)
H0251 H3063 H3389

年が改まり春になって、ネブカデネザル王は人をつかわして、彼を主の宮の尊い器物と共にバビロンに連れて行かせ、その兄弟ゼデキヤをユダとエルサレムの王とした。

11 בֶּן־ עֶשְׂרִ֤ים וְאַחַת֙ שָׁנָ֣ה צִדְקִיָּ֔הוּ בְּמָלְכֹ֖ו עֶשְׂרֵ֣ה וְאַחַ֑ת שָׁנָה֙
の-子 二十 そして-一 歳の ゼデキヤは 王となった-とき 十一 そして-十一 年
H6242 H0259 H8141 H6667 H4427 H6240 H0259 H8141

מָלַ֖ךְ בִּירוּשָׁלִָֽם׃
治めた エルサレムで
H3389

ゼデキヤは王となった時二十一歳で、十一年の間エルサレムで世を治めた。

12 וַיַּ֣עַשׂ הָרַ֗ע בְּעֵינֵי֙ יְהוָ֣ה אֱלֹהָ֔יו לֹ֥א נִכְנַ֖ע מִלִּפְנֵ֣י
そして-行った 悪い-ことを の-目に 主の その-神の ない へりくだらなかった の-前に
H6440 H3665 H3808 H0430 H3068 H6440

יִרְמְיָ֥הוּ הַנָּבִ֖יא מִפִּ֣י יְהוָֽה׃
エレミヤの 預言者の の-口からの 主の
H3414 H5030 H6310 H3068

彼はその神、主の前に悪を行い、主の言葉を伝える預言者エレミヤの前に、身をひくくしなかった。

13 וְגַם בַּמֶּלֶךְ נְבוּכַדְנֶאצַּר הִשְׁבִּיעוֹ בֵּאלֹהִים אֲשֶׁר מָרָד
そして-また に-対して ネブカドネツァルに 誓わせた 神に-かけて (関係詞) 反逆した
H1571 H4428 H5019 H7650 H0430 H4775

וַיְאַמֵּץ אֶת־עָרְפּוֹ וַיְקַשֵּׁ֣ה אֶת־לְבָבוֹ מִשּׁוּב אֶל־
そして-強くした (を) その-首を そして-強張った (を) その-心を 立ち-帰ることから の-方に
H0553 H0853 H6203 H7185 H3824 H7725 H0413

יְהוָה אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל׃
主の の-神 イスラエルの
H3068 H0430 H3478

彼はまた、彼に神をさして誓わせたネブカデネザル王にもそむいた。彼は強情で、その心をかたくなにして、イスラエルの神、主に立ち返らなかった。

14 גַּם כָּל־שָׂרֵי הַכֹּהֲנִים וְהָעָם הִרְבּוּ לִמְעָל־מַעַל
そして-また すべての の-長たちは 祭司たちの 民は そして- 増した 不忠実を 不忠実を
H1571 H3605 H8269 H3548 H5971 H7235 H4603 H4603

כְּכֹל תּוֹעֲבוֹת הַגּוֹיִם וַיְטַמְּאוּ אֶת־בֵּית יְהוָה אֲשֶׁר
すべての-とおりに 忌まわしい-ことを 諸国民の そして-汚した (を) の-家を 主の (関係詞)
H3605 H8441 H1471 H2930 H0853 H1004 H3068 H0834

הִקְדִּישׁ בִּירוּשָׁלִָם׃
聖別した エルサレムで
H6942 H3389

祭司のかしらたちおよび民らもまた、すべて異邦人のもろもろの憎むべき行為にならって、はなはだしく罪を犯し、主がエルサレムに聖別しておかれた主の宮を汚した。

15 וַיְשַׁלַּח יְהוָה אֱלֹהֵי אֲבוֹתֵיהֶם עֲלֵיהֶם בְּיַד מַלְאָכָיו
そして-遣わした 主は の-神 彼らの-先祖の 彼らの-上に の-手に-よって その-使者たちを
H7971 H3068 H0430 H0001 H5921 H3027 H4397

הַשְׁכֵּם וְשָׁלֹחַ כִּי־חָמַל עַל־עַמּוֹ וְעַל־מְעוֹנוֹ׃
絶えず そして-遣わして なぜなら 惜しんだ の-上に その-民を そして-の-上に その-住まいを
H7925 H7971 H3588 H2550 H5921 H5971 H5921 H4583

その先祖の神、主はその民と、すみかをあわれむがゆえに、しきりに、その使者を彼らにつかわされたが、

16 וַיִּהְיוּ מְלַעֲבִים בְּמַלְאֲכֵי הָאֱלֹהִים וּבוֹזִים דְּבָרָיו וּמְתַעְתְּעִים
そして-いた 嘲る-者となり の-使者たちを 神の そして-侮り その-言葉を そして-あざけった
H1961 H3931 H4397 H0430 H0959 H1697 H8591

בִּנְבִיאָיו עַד־עָלָה חֲמַת־יְהוָה בְּעַמּוֹ עַד־לְאֵין מַרְפֵּא׃
その-預言者たちを まで 上る の-怒りが 主の その-民に-対して まで ない 癒しが
H5030 H5704 H5927 H2534 H3068 H5971 H5704 H0369 H4832

彼らが神の使者たちをあざけり、その言葉を軽んじ、その預言者たちをののしったので、主の怒りがその民に向かって起り、ついに救うことができないようになった。

17 וַיַּעַל עֲלֵיהֶם אֶת־מֶלֶךְ |כשדיים| (כַּשְׂדִּים) וַיַּהֲרֹג
そして–上らせた 彼らの–上に (を) の–王を (ケティブ) カルデア人の そして–殺した
H5927 H0853 H4428 H3778 H3778 H2026

בַּחוּרֵיהֶם בַּחֶרֶב בְּבֵית מִקְדָּשָׁם וְלֹא חָמַל עַל־בָּחוּר
その–若者たちを 剣で の–家で その–聖所の そして–ない 惜しまなかった の–上に 若者も
H0970 H2719 H1330 H4720 H3808 H2550 H5921 H0970

וּבְתוּלָה זָקֵן וְיָשֶׁשׁ הַכֹּל נָתַן בְּיָדוֹ׃
そして–乙女も 老人も そして–老衰した–者も すべてを 渡した その–手に
H1330 H2205 H3486 H3605 H5414 H3027

そこで主はカルデヤびとの王を彼らに攻めこさせられたので、彼はその聖所の家でつるぎをもって若者たちを殺し、若者をも、処女をも、老人をも、しらがの者をもあわれまなかった。主は彼らをことごとく彼の手に渡された。

18 וְכֹל כְּלֵי בֵית הָאֱלֹהִים הַגְּדֹלִים וְהַקְּטַנִּים וְאֹצְרוֹת
そして–すべての の–器を の–家の 神の 大きい–ものも そして–小さい–ものも そして–宝物を
H3605 H3627 H1004 H0430 H1419 H6996 H0214

בֵּית יְהוָה וְאֹצְרוֹת הַמֶּלֶךְ וְשָׂרָיו הַכֹּל הֵבִיא בָבֶל׃
の–家の 主の そして–宝物を 王の そして–その–高官の すべてを 持って–行った バビロンに
H1004 H3068 H0214 H4428 H8269 H3605 H0935 H0894

彼は神の宮のもろもろの大小の器物、主の宮の貨財、王とそのつかさたちの貨財など、すべてこれをバビロンに携えて行き、

19 וַיִּשְׂרְפוּ אֶת־בֵּית הָאֱלֹהִים וַיְנַתְּצוּ אֵת חוֹמַת יְרוּשָׁלִַם
そして–焼いた (を) の–家を 神の そして–打ち–壊した (を) の–城壁を エルサレムの
H8313 H0853 H1004 H0430 H5422 H0853 H2346 H3389

וְכָל־אַרְמְנוֹתֶיהָ שָׂרְפוּ בָאֵשׁ וְכָל־כְּלֵי מַחֲמַדֶּיהָ לְהַשְׁחִית׃
そして–すべての その–宮殿を 焼いた 火で そして–すべての の–器を 宝物の 滅ぼすために
H3605 H0759 H8313 H0784 H3605 H3627 H4261 H7843

ס
(段落)

神の宮を焼き、エルサレムの城壁をくずし、そのうちの宮殿をことごとく火で焼き、そのうちの尊い器物をことごとくこわした。

20 וַיְגַל מִן־הַחֶרֶב הַשְּׁאֵרִית וַיִּהְיוּ־אֶל בָּבֶל
そして–捕囚として–連れて–行った から 剣の 残りの–者を そして–なった へ バビロンの
H1540 H7611 H2719 H4480 H0413 H0894 H1961

לְעֲבָדִים וּלְבָנָיו לוֹ עַד־מְלֹךְ מַלְכוּת פָּרָס׃
僕となり そして–その–子らに 彼に まで 治める の–王国が ペルシアの
H5650 H1121 H3808 H5704 H4427 H4438 H6539

彼はまたつるぎをのがれた者どもを、バビロンに捕えて行って、彼とその子らの家来となし、ペルシャの国の興るまで、そうして置いた。

21 לְמַלֹּאות דְּבַר־יְהוָה בְּפִי יִרְמְיָהוּ עַד־רָצְתָה הָאָרֶץ אֶת־
満たすために の–言葉を 主の の–口に–よる エレミヤの まで 喜んだ 地が (を)
H3117 H1697 H3068 H6310 H3414 H5704 H7521 H0776 H0853

שַׁבְּתוֹתֶיהָ כָּל־יְמֵי הַשַּׁמָּה שָׁבְתָה לְמַלֹּאות שִׁבְעִים שָׁנָה׃ פ
その–安息日を すべての の–日々 荒れの 休んだ 満たすまで 七十 年を (段落)
H7676 H3605 H3117 H8074 H7676 H7657 H8141

これはエレミヤの口によって伝えられた主の言葉の成就するためであった。こうして国はついにその安息をうけた。すなわちこれはその荒れている間、安息して、ついに七十年が満ちた。

									22
יְהוָה	דְּבַר־	לִכְלוֹת	פָּרַס	מֶלֶךְ	לְכוֹרֶשׁ	אַחַת	וּבִשְׁנַת		
主の	の-言葉を	成就するために	ペルシアの	王	キュロスの	第一の	そして-の-年に		
H3068	H1697	H3615	H6539	H4428	H3566	H0259	H8141		

פָּרַס	מֶלֶךְ־	כּוֹרֶשׁ	רוּחַ	אֶת־	יְהוָה	הֵעִיר	יִרְמְיָהוּ	בְּפִי
ペルシアの	王	キュロスの	の-霊を	(を)	主は	奮い-立たせた	エレミヤの	の-口に-よる
H6539	H4428	H3566	H7307	H0853	H3068	H5782	H3414	H6310

ס	לֵאמֹר׃	בְּמִכְתָּב	וְגַם־	מַלְכוּתּוֹ	בְּכָל־	קוֹל	וַיַּעֲבֶר־
(段落)	言って	の-書き物で	そして-また	その-王国に	すべての	声を	そして-通らせた
	H0559	H4385	H1571	H4438	H3605		

ペルシャ王クロスの元年に当り、主はエレミヤの口によって伝えた主の言葉を成就するため、ペルシャ王クロスの霊を感動されたので、王はあまねく国中にふれ示し、またそれを書き示して言った、

									23
לִי	נָתַן	הָאָרֶץ	מַמְלְכוֹת	כָּל־	פָּרַס	מֶלֶךְ	וְכוֹרֶשׁ	אָמַר־	כֹּה־	
私に	与えた	地の	の-王国を	すべての	ペルシアの	王	キュロスは	言う	このように	
H5414	H0776	H4467	H3605	H6539	H4428	H3566	H0559	H3541		

בִּירוּשָׁלִַם	בַּיִת	לוֹ	לִבְנוֹת־	עָלַי	פָּקַד	וְהוּא־	הַשָּׁמַיִם	אֱלֹהֵי	יְהוָה
エルサレムに	家を	彼のために	建てるように	私に	命じた	そして-彼が	天の	の-神	主が
H3389			H1129			H1931	H8064	H0430	H3068

אֱלֹהָיו	יְהוָה	עַמּוֹ	מִכָּל־	בָּכֶם	מִי־	בִּיהוּדָה	אֲשֶׁר	
その-神が	主	その-民の	すべての-中から	お前たちの-中で	誰でも	ユダに-ある	(関係詞)	
H0430	H3068		H3605		H4310	H3063		

וְיַעַל׃	עִמּוֹ
そして-上れ	彼と-共に-おられる
H5927	

「ペルシャの王クロスはこう言う、『天の神、主は地上の国々をことごとくわたしに賜わって、主の宮をユダにあるエルサレムに建てることをわたしに命じられた。あなたがたのうち、その民である者は皆、その神、主の助けを得て上って行きなさい』」。

Ezra

Chapter 1

1 וּבִשְׁנַת אַחַת לְכוֹרֶשׁ מֶלֶךְ פָּרַס לִכְלוֹת דְּבַר־ יְהוָה מִפִּי יִרְמְיָה
H8141 H0259 H3566 H4428 H6539 H3615 H1697 H3068 H6310 H3414
さて–第 一 クロスの 王 ペルシアの 成就するため 言葉を 主の 口から エレミヤの

הֶעִיר יְהוָה אֶת־ רוּחַ כֹּרֶשׁ מֶלֶךְ־ פָּרַס וַיַּעֲבֶר־ קוֹל בְּכָל־
H5782 H3068 H0853 H7307 H3566 H4428 H6539 H5674 H6963 H3605
奮い立たせた 主は （を） 霊を クロス 王 ペルシアの そこで–布告した 声を 全

מַלְכוּתּוֹ וְגַם־ בִּמְכְתָּב לֵאמֹר׃
H4438 H1571 H4385 H0559
王国に–彼の また 文書でも 言って

ペルシャ王クロスの元年に、主はさきにエレミヤの口によって伝えられた主の言葉を成就するため、ペルシャ王クロスの心を感動されたので、王は全国に布告を発し、また詔書をもって告げて言った、

2 כֹּה אָמַר כֹּרֶשׁ מֶלֶךְ פָּרַס כָּל מַמְלְכוֹת הָאָרֶץ נָתַן לִי יְהוָה
H3541 H0559 H3566 H4428 H6539 H3605 H4467 H0776 H5414 H3068
このように 言う クロス 王 ペルシアの すべての 王国を 地の 与えた 私に 主は

אֲשֶׁר בִּירוּשָׁלַם בְּיִת לוֹ לִבְנוֹת־ עָלַי פָּקַד וְהוּא־ הַשָּׁמַיִם אֱלֹהֵי
H3389 H1004 H3861 H1129 H5921 H6485 H1931 H8064 H0430
ある エルサレムに 宮を 彼のために 建てるよう 私に 命じた そして–彼は 天の 神

בִיהוּדָה׃
H3063
ユダにある

「ペルシャ王クロスはこのように言う、天の神、主は地上の国々をことごとくわたしに下さって、主の宮をユダにあるエルサレムに建てることをわたしに命じられた。

3 מִי־ בָכֶם מִכָּל־ עַמּוֹ עִמּוֹ אֱלֹהָיו יְהִי וְיַעַל
H4310 H3605 H5971 H5973 H1961 H0430 H5973 H5927
誰でも あなたがたの–中で すべての 民の–うち 共に 神が–彼の あるように そして–上れ

יְרוּשָׁלַם אֲשֶׁר בִּיהוּדָה וְיִבֶן אֶת־ בֵּית יְהוָה אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל
H3389 H0834 H3063 H1129 H0853 H1004 H3068 H0430 H3478
エルサレムへ ある ユダにある そして–建てよ （を） 宮を 主の 神 イスラエルの

בִירוּשָׁלַם׃ אֲשֶׁר הָאֱלֹהִים הוּא
H3389 H0834 H0430 H1931
エルサレムに おられる まことの–神 彼こそ

あなたがたのうち、その民である者は皆その神の助けを得て、ユダにあるエルサレムに上って行き、イスラエルの神、主の宮を復興せよ。彼はエルサレムにいます神である。

4 וְכָל־ הַנִּשְׁאָר מִכָּל־ הַמְּקֹמוֹת אֲשֶׁר הוּא גָר־ שָׁם
そして–すべて 残っている–者は すべての 場所から そこに 彼が 寄留している そこで
H3605 H7604 H3605 H4725 H1931 H8033

יְנַשְּׂאוּהוּ אַנְשֵׁי מְקֹמוֹ בְּכֶסֶף וּבְזָהָב וּבִרְכוּשׁ וּבִבְהֵמָה עִם־
助けよ–彼を 人々は 場所の–彼の 銀で また–金で また–財貨で また–家畜で 加えて
H5375 H0376 H4725 H3701 H2091 H7399 H0929

הַנְּדָבָה לְבֵית הָאֱלֹהִים אֲשֶׁר בִּירוּשָׁלִָם׃
自発の–献げ物を 宮の–ための 神の ある エルサレムにある
H5071 H0430 H3389

すべて生き残って、どこに宿っている者でも、その所の人々は金、銀、貨財、家畜をもって助け、そのほかにまたエルサレムにある神の宮のために真心よりの供え物をささげよ」。

5 וַיָּקוּמוּ רָאשֵׁי הָאָבוֹת לִיהוּדָה וּבִנְיָמִן וְהַכֹּהֲנִים וְהַלְוִיִּם
そこで–立ち上がった 族長たち 父祖の ユダと ベニヤミンの また–祭司たちと レビ人たちは
H3881 H3548 H1144 H3063 H0001 H7218 H5782

לְכֹל הֶעִיר הָאֱלֹהִים אֶת־ רוּחוֹ לַעֲלוֹת לִבְנוֹת אֶת־ בֵּית
すべて 奮い立たせた 神が (を) 霊を–彼らの 上るために 建てるために (を) 宮を
H3605 H5782 H0430 H0853 H7307 H5927 H1129 H0853 H1004

יְהוָה אֲשֶׁר בִּירוּשָׁלִָם׃
主の ある エルサレムにある
H3068 H3389

そこでユダとベニヤミンの氏族の長、祭司およびレビびとなど、すべて神にその心を感動された者は、エルサレムにある主の宮を復興するために上って行こうと立ち上がった。

6 וְכָל־ סְבִיבֹתֵיהֶם חִזְּקוּ בִּידֵיהֶם כְּלֵי־ כֶסֶף זָהָב בַּרְכוּשׁ וּבַבְהֵמָה
そして–すべて 周囲の–人々は 力づけた 手を–彼らの 器で 銀の 金で 財貨で また–家畜で
H3605 H5439 H2388 H3027 H3627 H3701 H2091 H7399 H0929

וּבַמִּגְדָּנוֹת לְבַד עַל־ כָּל הִתְנַדֵּב׃ ס
また–高価な–品で 別に 加えて すべての 自発の–献げ物を (セラ)
H4030 H0905 H5921 H3605 H5068

その周囲の人々は皆、銀の器、金、貨財、家畜および宝物を与えて彼らを力づけ、そのほかにまた、もろもろの物を惜しげなくささげた。

7 וְהַמֶּלֶךְ כּוֹרֶשׁ הוֹצִיא אֶת־ כְּלֵי בֵית־ יְהוָה אֲשֶׁר הוֹצִיא
そして–王は クロスは 持ち出した (を) 器を 宮の– 主の それは 持ち出した
H4428 H3566 H3318 H0853 H3627 H1004 H3068 H3318

נְבוּכַדְנֶצַּר מִירוּשָׁלִַם וַיִּתְּנֵם בְּבֵית אֱלָהָיו׃
ネブカドネツァルが エルサレムから そして–納めていた 宮に 神々の–彼の
H5019 H3389 H5414 H1004 H0430

クロス王はまたネブカデネザルが、さきにエルサレムから携え出して自分の神の宮に納めた主の宮の器を取り出した。

8 וַיּוֹצִיאֵם כֹּרֶשׁ מֶלֶךְ פָּרַס עַל־ יַד מִתְרְדָת
そして–取り出した–それらを クロスは 王 ペルシアの (に) 手を–通して ミトレダテ
H3318 H3566 H4428 H6539 H5921 H3027 H4990

הַגִּזְבָּר לְשֵׁשְׁבַּצַּר הַנָּשִׂיא לִיהוּדָה׃
宝庫–管理人の シェシュバツァルに 総督 ユダの
H1489 H8339 H5387 H3063

וַיִּסְפְּרֵם
そして–数え上げた

すなわちペルシャ王クロスは倉づかさミテレダテの手によってこれを取り出して、ユダのつかさセシバザルに数え渡した。

תִּשְׁעָה	מַחֲלָפִים	אֶלֶף	כֶּסֶף	אֲגַרְטְלֵי־	שְׁלֹשִׁים	זָהָב	אֲגַרְטְלֵי	מִסְפָּרָם	וְאֵלֶּה	9
二十	小刀	千	銀の	鉢	三十	金の	鉢	数である–その	そして–これが	
H8672	H4252	H0505	H3701	H0105	H7970	H2091	H0105	H4557	H0428	

וְעֶשְׂרִים׃	ס		
九	（セラ）		
H6242			

その数は次のとおりである。金のたらい一千、銀のたらい一千、香炉二十九、

אָלֶף׃	אֲחֵרִים	כֵּלִים	וַעֲשָׂרָה	מֵאוֹת	אַרְבַּע	מִשְׁנִים	כֶּסֶף	כְּפוֹרֵי	שְׁלֹשִׁים	זָהָב	כְּפוֹרֵי	10
千	他の	器	十	百	四	副次の	銀の	杯	三十	金の	杯	
H0505	H0312	H3627	H6235	H3967	H0702	H4932	H3701		H7970	H2091		

ס
（セラ）

金の鉢三十、銀の鉢二千四百十、その他の器一千、

הֶעֱלָה	הַכֹּל	מֵאוֹת	וְאַרְבַּע	אֲלָפִים	חֲמֵשֶׁת	וְלַכֶּסֶף	לַזָּהָב	כֵּלִים	כָּל־	11
携え上った	すべてを	百であった	四	千	五	銀の	金と	器は	すべての	
H5927	H3605	H3967	H0702	H0505	H2568	H3701	H2091	H3627	H3605	

פ	לִירוּשָׁלִָם׃	מִבָּבֶל	הַגּוֹלָה	הֶעָלוֹת	עִם	שֵׁשְׁבַּצַּר
（ペー）	エルサレムへ	バビロンから	捕囚の–民が	上って来た	共に	シェシュバツァルは
	H3389	H0894	H1473	H5927		H8339

金銀の器は合わせて五千四百六十九あったが、セシバザルは捕囚を連れてバビロンからエルサレムに上った時、これらのものをことごとく携えて上った。

Chapter 2

הֶגְלָה	אֲשֶׁר	הַגּוֹלָה	מִשְׁבֵי	הָעֲלִים	הַמְּדִינָה	בְּנֵי	וְאֵלֶּה	1
捕え移した	すなわち	捕虜の	捕囚から	上って来た–者	州の	子孫で	そして–これらが	
H1540		H1473		H5927	H4082		H0428	

לִירוּשָׁלִַם	וַיָּשׁוּבוּ	לְבָבֶל	בָּבֶל	מֶלֶךְ־	נְבוּכַדְנֶצַּר)	נבוכדנצור[
エルサレムへ	そして–帰って来た	バビロンへ	バビロンの	王	ネブカドネツァルが	(ケティブ)
H3389	H7725	H0894	H0894	H4428	H5020	H5020

לְעִירוֹ׃	אִישׁ	וִיהוּדָה
自分の–町へ	各々	また–ユダへ
	H0376	H3063

バビロンの王ネブカデネザルに捕えられて、バビロンに移された者のうち、捕囚をゆるされてエルサレムおよびユダに上って、おのおの自分の町に帰ったこの州の人々は次のとおりである。

בִּלְשָׁן	מָרְדֳּכַי	רְעֶלְיָה	שְׂרָיָה	נְחֶמְיָה	יֵשׁוּעַ	זְרֻבָּבֶל	עִם־	בָּאוּ	אֲשֶׁר־	2
ビルシャン	モルデカイ	レエラヤ	セラヤ	ネヘミヤ	ヨシュア	ゼルバベル	共に	来た	彼らは	
H1114	H4782	H7480	H8304	H5166	H3442	H2216		H0935		

ס	יִשְׂרָאֵל׃	עַם	אַנְשֵׁי	מִסְפַּר	בַּעֲנָה	רְחוּם	בִּגְוַי	מִסְפָּר
（セラ）	イスラエルの	民の	人々の	数	バアナ	レフム	ビグワイ	ミスパル
	H3478		H0376	H4557	H1196		H0902	H4558

彼らはゼルバベル、エシュア、ネヘミヤ、セラヤ、レエラヤ、モルデカイ、ビルシャン、ミスパル、ビグワイ、レホム、バアナと共に帰ってきた。そのイスラエルの民の人数は次のとおりである。

3 בְּנֵי 子孫は H1121 פַּרְעֹשׁ パルオシュの H6551 אַלְפַּיִם 二-千 H0505 מֵאָה 百 H3967 שִׁבְעִים 七十 H7657 וּשְׁנָיִם׃ 二 H8147 ס （セラ）

パロシの子孫は二千百七十二人、

4 בְּנֵי 子孫は H1121 שְׁפַטְיָה シェファテヤの H8203 שְׁלֹשׁ 三 H7969 מֵאוֹת 百 H3967 שִׁבְעִים 七十 H7657 וּשְׁנָיִם׃ 二 H8147 ס （セラ）

シパテヤの子孫は三百七十二人、

5 בְּנֵי 子孫は H1121 אָרַח アラフの H0733 שֵׁבַע 七 H7651 מֵאוֹת 百 H3967 חֲמִשָּׁה 七十 H2568 וְשִׁבְעִים׃ 五 H7657 ס （セラ）

アラの子孫は七百七十五人、

6 בְּנֵי־ 子孫は H1121 פַּחַת パハテ H6355 מוֹאָב モアブの H6355 לִבְנֵי すなわち-子孫 יֵשׁוּעַ ヨシュアと H3442 יוֹאָב ヨアブの H3097 אַלְפַּיִם 二-千 H0505 שְׁמֹנֶה 八 H8083 מֵאוֹת 百 H3967 וּשְׁנֵים 十 H8147 עָשָׂר׃ 二 H6240 ס （セラ）

パハテ・モアブの子孫すなわちエシュアとヨアブの子孫は二千八百十二人、

7 בְּנֵי 子孫は H1121 עֵילָם エラムの H5867 אֶלֶף 千 H0505 מָאתַיִם 二百 H3967 חֲמִשִּׁים 五十 H2572 וְאַרְבָּעָה׃ 四 H0702 ס （セラ）

エラムの子孫は一千二百五十四人、

8 בְּנֵי 子孫は H1121 זַתּוּא ザットゥの H2240 תְּשַׁע 九 H8672 מֵאוֹת 百 H3967 וְאַרְבָּעִים 四十 H0705 וַחֲמִשָּׁה׃ 五 H2568 ס （セラ）

ザットの子孫は九百四十五人、

9 בְּנֵי 子孫は H1121 זַכָּי ザッカイの H2140 שְׁבַע 七 H7651 מֵאוֹת 百 H3967 וְשִׁשִּׁים׃ 六十 H8346 ס （セラ）

ザッカイの子孫は七百六十人、

10 בְּנֵי 子孫は H1121 בָּנִי バニの H1137 שֵׁשׁ 六 H8337 מֵאוֹת 百 H3967 אַרְבָּעִים 四十 H0705 וּשְׁנָיִם׃ 二 H8147 ס （セラ）

バニの子孫は六百四十二人、

11 בְּנֵי 子孫は H1121 בֵּבָי ベバイの H0893 שֵׁשׁ 六 H8337 מֵאוֹת 百 H3967 עֶשְׂרִים 二十 H6242 וּשְׁלֹשָׁה׃ 三 H7969 ס （セラ）

ベバイの子孫は六百二十三人、

ס	וְשָׁנִים׃	עֶשְׂרִים	מָאתַיִם	אֶלֶף	עַזְגָּד	בְּנֵי	12
（セラ）	二	二十	二百	千	アズガドの	子孫は	
	H8147	H6242	H3967	H0505	H5803		

アズガデの子孫は一千二百二十二人、

ס	וְשִׁשָּׁה׃	שִׁשִּׁים	מֵאוֹת	שֵׁשׁ	אֲדֹנִיקָם	בְּנֵי	13
（セラ）	六	六十	百	六	アドニカムの	子孫は	
	H8337	H8346	H3967	H8337	H0140		

アドニカムの子孫は六百六十六人、

ס	וְשִׁשָּׁה׃	חֲמִשִּׁים	אַלְפַּיִם	בִּגְוָי	בְּנֵי	14
（セラ）	六	五十	二-千	ビグワイの	子孫は	
	H8337	H2572	H0505	H0902		

ビグワイの子孫は二千五十六人、

ס	וְאַרְבָּעָה׃	חֲמִשִּׁים	מֵאוֹת	אַרְבַּע	עָדִין	בְּנֵי	15
（セラ）	四	五十	百	四	アディンの	子孫は	
	H0702	H2572	H3967	H0702	H5720		

アデンの子孫は四百五十四人、

ס	וּשְׁמֹנָה׃	תִּשְׁעִים	לִיחִזְקִיָּה	אָטֵר	בְּנֵי־	16
（セラ）	八	九十	ヒゼキヤの	アテルの	子孫は	
	H8083	H8673	H2396	H0333		

アテルの子孫すなわちヒゼキヤの子孫は九十八人、

ס	וּשְׁלֹשָׁה׃	עֶשְׂרִים	מֵאוֹת	שְׁלֹשׁ	בֵּצָי	בְּנֵי	17
（セラ）	三	二十	百	三	ベツァイの	子孫は	
	H7969	H6242	H3967	H7969	H1209		

ベザイの子孫は三百二十三人、

ס	עָשָׂר׃	וּשְׁנֵים	מֵאָה	יוֹרָה	בְּנֵי	18
（セラ）	二	十	百	ヨラの	子孫は	
	H6240	H8147	H3967	H3139		

ヨラの子孫は百十二人、

ס	וּשְׁלֹשָׁה׃	עֶשְׂרִים	מָאתַיִם	חָשֻׁם	בְּנֵי	19
（セラ）	三	二十	二百	ハシュムの	子孫は	
	H7969	H6242	H3967	H2828		

ハシュムの子孫は二百二十三人、

ס	וַחֲמִשָּׁה׃	תִּשְׁעִים	גִּבָּר	בְּנֵי	20
（セラ）	五	九十	ギバルの	子孫は	
	H2568	H8673	H1402		

ギバルの子孫は九十五人、

ס	וּשְׁלֹשָׁה׃	עֶשְׂרִים	מֵאָה	בֵּית־לָחֶם	בְּנֵי	21
（セラ）	三	二十	百	ベツレヘムの	子孫は	
	H7969	H6242	H3967	H1035		

ベツレヘムの子孫は百二十三人、

22	אַנְשֵׁי	נְטֹפָה	חֲמִשִּׁים	וְשִׁשָּׁה׃
	人々は	ネトファの	五十	六
	H0376	H5199	H2572	H8337

ネトパの人々は五十六人、

23	אַנְשֵׁי	עֲנָתוֹת	מֵאָה	עֶשְׂרִים	וּשְׁמֹנָה׃
	人々は	アナトテの	百	二十	八
	H0376	H6068	H3967	H6242	H8083

ס
（セラ）

アナトテの人々は百二十八人、

24	בְּנֵי	עַזְמָוֶת	אַרְבָּעִים	וּשְׁנָיִם׃
	子孫は	アズマウェトの	四十	二
		H5820	H0705	H8147

ס
（セラ）

アズマウテの子孫は四十二人、

25	בְּנֵי	קִרְיַת	עָרִים֙	כְּפִירָ֣ה	וּבְאֵר֔וֹת	שֶׁבַע	מֵא֖וֹת	וְאַרְבָּעִ֑ים	וּשְׁלֹשָׁה׃
	子孫は	キルヤテ	アリムの	ケフィラ	また–ベエロテの	七	百	四十	三
		H7157	H7157	H3716	H0881	H7651	H3967	H0705	H7969

ס
（セラ）

キリアテ・ヤリム、ケピラおよびベエロテの子孫は七百四十三人、

26	בְּנֵי	הָרָמָה֙	וְגֶ֣בַע	שֵׁ֔שׁ	מֵא֖וֹת	עֶשְׂרִ֑ים	וְאֶחָֽד׃
	子孫は	ラマと	ゲバの	六	百	二十	一
		H7414	H1387	H8337	H3967	H6242	H0259

ס
（セラ）

ラマおよびゲバの子孫は六百二十一人、

27	אַנְשֵׁי	מִכְמָס	מֵאָה	עֶשְׂרִים	וּשְׁנָיִם׃
	人々は	ミクマスの	百	二十	二
	H0376	H4363	H3967	H6242	H8147

ס
（セラ）

ミクマシの人々は百二十二人、

28	אַנְשֵׁי	בֵית־אֵל֙	וְהָעָ֔י	מָאתַ֖יִם	עֶשְׂרִ֑ים	וּשְׁלֹשָׁה׃
	人々は	ベテルと	アイの	二百	二十	三
	H0376	H1008	H5857	H3967	H6242	H7969

ס
（セラ）

ベテルおよびアイの人々は二百二十三人、

29	בְּנֵי	נְבוֹ	חֲמִשִּׁים	וּשְׁנָיִם׃
	子孫は	ネボの	五十	二
			H2572	H8147

ס
（セラ）

ネボの子孫は五十二人、

30	בְּנֵי	מַגְבִּישׁ	מֵאָה	חֲמִשִּׁים	וְשִׁשָּׁה׃
	子孫は	マグビシュの	百	五十	六
		H4019	H3967	H2572	H8337

ס
（セラ）

マグビシの子孫は百五十六人、

31	בְּנֵי֙	עֵילָ֣ם	אַחֵ֔ר	אֶ֖לֶף	מָאתַ֑יִם	חֲמִשִּׁים	וְאַרְבָּעָה׃
	子孫は	エラム	もう一つの	千	二百	五十	四
			H0312	H0505	H3967	H2572	H0702

ס
（セラ）

他のエラムの子孫は一千二百五十四人、

32	בְּנֵי	חָרִם	שְׁלֹשׁ	מֵאוֹת	וְעֶשְׂרִים׃	ס
	子孫は	ハリムの	三	百	二十	（セラ）
		H2766	H7969	H3967	H6242	

ハリムの子孫は三百二十人、

33	בְּנֵי־	לֹד	חָדִיד	וְאוֹנוֹ	שִׁבְעָה	מֵאוֹת	עֶשְׂרִים	וַחֲמִשָּׁה׃	ס
	子孫は	ロド	ハディド	また-オノの	七	百	二十	五	（セラ）
		H3850	H2307	H0207	H7651	H3967	H6242	H2568	

ロド、ハデデおよびオノの子孫は七百二十五人、

34	בְּנֵי	יְרִחֹו	שְׁלֹשׁ	מֵאוֹת	אַרְבָּעִים	וַחֲמִשָּׁה׃	ס
	子孫は	エリコの	三	百	四十	五	（セラ）
		H3405	H7969	H3967	H0705	H2568	

エリコの子孫は三百四十五人、

35	בְּנֵי	סְנָאָה	שְׁלֹשֶׁת	אֲלָפִים	וְשֵׁשׁ	מֵאוֹת	וּשְׁלֹשִׁים׃	ס
	子孫は	セナアの	三	千	六	百	三十	（セラ）
		H5570	H7969	H0505	H8337	H3967	H7970	

セナアの子孫は三千六百三十人。

36	הַכֹּהֲנִים	לִבְנֵי	יְדַעְיָה	לְבֵית	יֵשׁוּעַ	תִּשְׁעָה	מֵאוֹת	שִׁבְעִים	וּשְׁלֹשָׁה׃	ס
	祭司たちは	子孫で	エダヤの	家の-ための	ヨシュアの	九	百	七十	三	（セラ）
	H3548		H3048		H3442	H8672	H3967	H7657	H7969	

祭司は、エシュアの家のエダヤの子孫九百七十三人、

37	בְּנֵי	אִמֵּר	אֶלֶף	חֲמִשִּׁים	וּשְׁנָיִם׃	ס
	子孫は	イメルの	千	五十	二	（セラ）
		H0564	H0505	H2572	H8147	

インメルの子孫一千五十二人、

38	בְּנֵי	פַּשְׁחוּר	אֶלֶף	מָאתַיִם	אַרְבָּעִים	וְשִׁבְעָה׃	ס
	子孫は	パシュフルの	千	二百	四十	七	（セラ）
		H6583	H0505	H3967	H0705	H7651	

パシュルの子孫一千二百四十七人、

39	בְּנֵי	חָרִם	אֶלֶף	וְשִׁבְעָה	עָשָׂר׃	ס
	子孫は	ハリムの	千	十	七	（セラ）
		H2766	H0505	H7651	H6240	

ハリムの子孫一千十七人。

40	הַלְוִיִּם	בְּנֵי־	יֵשׁוּעַ	וְקַדְמִיאֵל	לִבְנֵי	הוֹדַוְיָה	שִׁבְעִים	וְאַרְבָּעָה׃
	レビ人は	子孫で	ヨシュアと	カドミエルの	すなわち-子孫	ホダウヤの	七十	四
	H3881		H3442	H6934		H1938	H7657	H0702

ס
（セラ）

レビびとは、ホダヤの子孫すなわちエシュアとカデミエルの子孫七十四人。

41	הַמְשֹׁרְרִים	בְּנֵי	אָסָף	מֵאָה	עֶשְׂרִים	וּשְׁמֹנָה׃	פ
	歌い手は	子孫で	アサフの	百	二十	八	（ペー）
	H7891		H0623	H3967	H6242	H8083	

歌うたう者は、アサフの子孫百二十八人。

בְּנֵי	הַשֹּׁעֲרִים	בְּנֵי־	שַׁלּוּם	בְּנֵי־	אָטֵר	בְּנֵי־	טַלְמוֹן	בְּנֵי־	עַקּוּב	42
子孫は	門衛の	子孫で	シャルムの	子孫で	アテルの	子孫で	タルモンの	子孫で	アッコブの	
	H7778		H7967		H0333		H2929		H6126	

בְּנֵי	חֲטִיטָא	בְּנֵי	שֹׁבָי	הַכֹּל	מֵאָה	שִׁלֹּשִׁים	וְתִשְׁעָה׃	פ
子孫は	ハティタの	子孫は	ショバイの	合計は	百	三十	九	（ペー）
	H2410		H7630	H3605	H3967	H7970	H8672	

門衛の子孫は、シャルムの子孫、アテルの子孫、タルモンの子孫、アックブの子孫、ハテタの子孫、ショバイの子孫合わせて百三十九人。

הַנְּתִינִים	בְּנֵי־	צִיחָא	בְּנֵי־	חַשּׂוּפָא	בְּנֵי	טַבָּעוֹת׃	43
宮に–仕える–者は	子孫で	ツィハの	子孫で	ハスファの	子孫は	タバオテの	
H5411		H6727		H2817		H2884	

宮に仕えるしもべたちは、ヂハの子孫、ハスパの子孫、タバオテの子孫、

בְּנֵי־	קֵרֹס	בְּנֵי־	סִיעֲהָא	בְּנֵי	פָדוֹן׃	44
子孫で	ケロスの	子孫で	シアハの	子孫は	パドンの	
	H7026		H5517		H6303	

ケロスの子孫、シアハの子孫、パドンの子孫、

בְּנֵי־	לְבָנָה	בְּנֵי־	חֲגָבָה	בְּנֵי	עַקּוּב׃	45
子孫で	レバナの	子孫で	ハガバの	子孫は	アッコブの	
	H3838				H6126	

レバナの子孫、ハガバの子孫、アックブの子孫、

בְּנֵי־	חָגָב	בְּנֵי־	[שמלי]	(שַׁלְמַי)	בְּנֵי	חָנָן׃	46
子孫で	ハガブの	子孫で	(ケティブ)	シャルマイの	子孫は	ハナンの	
	H2285		H8073	H8014		H2605	

ハガブの子孫、シャルマイの子孫、ハナンの子孫、

בְּנֵי־	גִּדֵּל	בְּנֵי־	גַּחַר	בְּנֵי	רְאָיָה׃	47
子孫で	ギデルの	子孫で	ガハルの	子孫は	レアヤの	
	H1435		H1515		H7211	

ギデルの子孫、ガハルの子孫、レアヤの子孫、

בְּנֵי־	רְצִין	בְּנֵי־	נְקוֹדָא	בְּנֵי	גַזָּם׃	48
子孫で	レツィンの	子孫で	ネコダの	子孫は	ガザムの	
	H7526		H5353		H1502	

レヂンの子孫、ネコダの子孫、ガザムの子孫、

בְּנֵי־	עֻזָּא	בְּנֵי־	פָּסֵחַ	בְּנֵי	בֵסַי׃	49
子孫で	ウザの	子孫で	パセアハの	子孫は	ベサイの	
			H6454		H1153	

ウザの子孫、パセアの子孫、ベサイの子孫、

בְּנֵי־	אַסְנָה	בְּנֵי־	[מעינים]	(מְעוּנִים)	בְּנֵי	[נפיסים]	(נְפוּסִים׃)	50
子孫で	アスナの	子孫で	(ケティブ)	メウニムの	子孫は	(ケティブ)	ネフシムの	
	H0619		H4586	H4586		H5304	H5304	

アスナの子孫、メウニムの子孫、ネフシムの子孫、

51 בְּנֵי־ בַקְבֻּק בְּנֵי־ חֲקוּפָא בְּנֵי חַרְחוּר׃
バクブクの 子孫で ハクファの 子孫で ハルフルの 子孫は
H1227 H2709 H2744

バクブクの子孫、ハクパの子孫、ハルホルの子孫、

52 בְּנֵי־ בַצְלוּת בְּנֵי־ מְחִידָא בְּנֵי חַרְשָׁא׃
バツルテの 子孫で メヒダの 子孫で ハルシャの 子孫は
H1213 H4240 H2797

バツリテの子孫、メヒダの子孫、ハルシャの子孫、

53 בְּנֵי־ בַרְקוֹס בְּנֵי־ סִיסְרָא בְּנֵי־ תָמַח׃
バルコスの 子孫で シセラの 子孫で テマフの
H1302 H5516 H8547

バルコスの子孫、シセラの子孫、テマの子孫、

54 בְּנֵי נְצִיחַ בְּנֵי חֲטִיפָא׃
ネツィアハの 子孫は ハティファの
H5335 H2412

ネツィアの子孫、ハテパの子孫である。

55 בְּנֵי עַבְדֵי שְׁלֹמֹה בְּנֵי־ סֹטַי בְּנֵי־ הַסֹּפֶרֶת בְּנֵי פְרוּדָא׃
子孫は しもべたちの ソロモンの 子孫で ソタイの 子孫で ソフェレテの 子孫は ペルダの
H8010 H5650 H5479 H5618 H6514

ソロモンのしもべたちの子孫は、ソタイの子孫、ハッソペレテの子孫、ペリダの子孫、

56 בְּנֵי־ יַעְלָה בְּנֵי־ דַרְקוֹן בְּנֵי גִדֵּל׃
ヤアラの 子孫で ダルコンの 子孫は ギデルの
H3279 H1874 H1435

ヤアラの子孫、ダルコンの子孫、ギデルの子孫、

57 בְּנֵי שְׁפַטְיָה בְּנֵי־ חַטִּיל בְּנֵי פֹכֶרֶת הַצְּבָיִים בְּנֵי אָמִי׃
子孫は シェファテヤの 子孫で ハッティルの 子孫は ポケレテ ハッツェバイムの 子孫は アミの
H8203 H2411 H6380 H6380 H0532

シパテヤの子孫、ハッテルの子孫、ポケレテ・ハッゼバイムの子孫、アミの子孫。

58 כָּל־ הַנְּתִינִים וּבְנֵי עַבְדֵי שְׁלֹמֹה שְׁלֹשׁ מֵאוֹת תִּשְׁעִים וּשְׁנָיִם׃
すべての 宮に–仕える–者と また–子孫は しもべたちの ソロモンの 三 百 九十 二
H3605 H5411 H5650 H8010 H7969 H3967 H8673 H8147

ס
（セラ）

宮に仕えるしもべたちとソロモンのしもべたちの子孫とは合わせて三百九十二人。

59 וְאֵלֶּה הָעֹלִים מִתֵּל מֶלַח תֵּל חַרְשָׁא כְּרוּב אַדָּן אִמֵּר
そして–これらが 上って来た–者で テル–メラフ テル–ハルシャ ケルブ アダン イメルから
H0428 H5927 H8528 H8521 H3743 H0135 H0564

וְלֹא יָכְלוּ לְהַגִּיד בֵּית־אֲבוֹתָם וְזַרְעָם אִם
しかし–ない できなかった 示す–ことが 家を 父祖の–彼らの また–血統を–彼らの かどうか
H3808 H3201 H5046 H1004 H0001 H2233

מִיִּשְׂרָאֵל הֵם׃
イスラエルからか 彼らは
H3478 H1992

次にあげる人々はテル・メラ、テル・ハレサ、ケルブ、アダンおよびインメルから上って来た者であったが、彼らはその氏族とその血統とを示して、そのイスラエルの者であることを明らかにすることができなかった。

60 בְּנֵי־דְלָיָה בְּנֵי־טוֹבִיָּה בְּנֵי נְקוֹדָא שֵׁשׁ מֵאוֹת חֲמִשִּׁים וּשְׁנָיִם׃ ס
デラヤの 子孫で トビヤの 子孫で ネコダの 六 百 五十 二 （セラ）
H1806 H2900 H5353 H8337 H3967 H2572 H8147

すなわちデラヤの子孫、トビヤの子孫、ネコダの子孫で合わせて六百五十二人。

61 וּמִבְּנֵי הַכֹּהֲנִים בְּנֵי חֲבַיָּה בְּנֵי הַקּוֹץ בְּנֵי בַרְזִלַּי אֲשֶׁר
また–子孫の–うち 祭司の 子孫で ホバヤの 子孫で コツの 子孫で バルジライの 彼は
H3548 H2252 H6976 H1271

לָקַח מִבְּנוֹת בַּרְזִלַּי הַגִּלְעָדִי אִשָּׁה וַיִּקָּרֵא עַל־שְׁמָם׃
めとった 娘たちから バルジライ ギレアデ人の 妻を そして–呼ばれた （に） 名で–彼らの
H3947 H1323 H1271 H1569 H0802 H7121 H8034

祭司の子孫のうちにはハバヤの子孫、ハッコヅの子孫、バルジライの子孫があった。バルジライはギレアデびとバルジライの娘たちのうちから妻をめとったので、その名で呼ばれることになった。

62 אֵלֶּה בִּקְשׁוּ הַכְּתָבָם הַמִּתְיַחְשִׂים וְלֹא נִמְצָאוּ וַיְּגֹאֲלוּ
これらの–者は 捜した 記録を–彼らの 系図に–登録された しかし–ない 見つからなかった そして–除外された
H0428 H1245 H3791 H3187 H3808 H4672 H1351

מִן־הַכְּהֻנָּה׃
（から） 祭司職から
H3550

これらの者は系譜に載った者たちのうちに自分の名を尋ねたが見いだされなかったので、汚れた者として、祭司の職から除かれた。

63 וַיֹּאמֶר הַתִּרְשָׁתָא לָהֶם אֲשֶׁר לֹא־יֹאכְלוּ מִקֹּדֶשׁ
そして–言った 総督は 彼らに （こと） （否） 食べてはならない 聖なる–ものの–うち
H0559 H8660 H3808 H0398 H6944

קָדָשִׁים עַד־עֲמֹד כֹּהֵן לְאוּרִים וּלְתֻמִּים׃
最も–聖なる–ものを まで 立つ 祭司が ウリムと トンミムの–ために
H6944 H5704 H5975 H3548 H0224 H8550

総督は彼らに告げて、ウリムとトンミムを身につける祭司の興るまでは、いと聖なる物を食べてはならないと言った。

64 כָּל־הַקָּהָל כְּאֶחָד אַרְבַּע רִבּוֹא אַלְפַּיִם שְׁלֹשׁ־מֵאוֹת שִׁשִּׁים׃
すべて 会衆は 合わせて 四 万 二–千 三 百 六十
H3605 H6951 H0259 H0702 H7239 H0505 H7969 H3967 H8346

会衆は合わせて四万二千三百六十人であった。

65
שְׁלֹשִׁים מֵאוֹת שְׁלֹשׁ אֲלָפִים שִׁבְעַת אֵלֶּה וְאַמְהֹתֵיהֶם עַבְדֵיהֶם מִלְבַד
三十 百 三 千 七 これらは また–女奴隷–彼らの しもべたち–彼らの 別に
H7970 H3967 H7969 H0505 H7651 H0428 H0519 H5650 H0905

:מָאתָיִם וּמְשֹׁרְרוֹת וּמְשֹׁרְרִים וְלָהֶם וְשִׁבְעָה
二百 また–女の–歌い手が 歌い手 また–彼らには 七
H3967 H7891 H7891 H7651

このほかに、しもべおよびはしため合わせて七千三百三十七人、また歌うたう男女二百人あった。

66
:וַחֲמִשָּׁה אַרְבָּעִים מָאתַיִם פְּרִדֵיהֶם וְשִׁשָּׁה שְׁלֹשִׁים מֵאוֹת שְׁבַע סוּסֵיהֶם
五 四十 二百 騾馬は–彼らの 六 三十 百 七 馬は–彼らの
H2568 H0705 H3967 H6505 H8337 H7970 H3967 H7651

その馬は七百三十六頭、その騾馬は二百四十五頭、

67
:וְעֶשְׂרִים מֵאוֹת שְׁבַע אֲלָפִים שֵׁשׁ חֲמֹרֵים וַחֲמִשָּׁה שְׁלֹשִׁים מֵאוֹת אַרְבַּע גְּמַלֵּיהֶם
二十 百 七 千 六 ろばは 五 三十 百 四 らくだは–彼らの
H6242 H3967 H7651 H0505 H8337 H2543 H2568 H7970 H3967 H0702 H1581

פ
（ペー）

そのらくだは四百三十五頭、そのろばは六千七百二十頭あった。

68
בִּירוּשָׁלָ‍ִם אֲשֶׁר יְהוָה לְבֵית בְּבוֹאָם הָאָבוֹת וּמֵרָאשֵׁי
エルサレムにある ある 主の 宮に 着いた–とき 父祖の そして–族長の–一部は
H3389 H3968 H0935 H0001

:מְכוֹנָו עַל־ לְהַעֲמִידוֹ הָאֱלֹהִים לְבֵית הִתְנַדְּבוּ
土台の–上に–その （の上に） 再建する–ために–それを 神の 宮の–ため 自発的に–ささげた
H4349 H5975 H0430 H5068

氏族の長数人はエルサレムにある主の宮の所にきた時、神の宮をもとの所に建てるために真心よりの供え物をささげた。

69
ס וָאֶלֶף רִבְאוֹת שֵׁשׁ־ דַּרְכְּמוֹנִים זָהָב הַמְלָאכָה לְאוֹצַר נָתְנוּ כְּכֹחָם
（セラ） 一–千 万 六 ダリク 金の 工事の 宝庫に ささげた 力に–応じて
H0505 H7239 H8337 H1871 H2091 H4399 H0214 H5414

ס כֻּתֳּנֹת וְכֶסֶף מָנִים חֲמֵשׁ אֲלָפִים וְכֹהֲנִים מֵאָה:
（セラ） また–衣は また–銀 ミナ 五 千 祭司の 百
H3801 H3701 H4488 H2568 H0505 H3548 H3967

すなわち、その力に従って工事のために倉に納めたものは、金六万一千ダリク、銀五千ミナ、祭司の衣服百かさねであった。

70
וְהַשּׁוֹעֲרִים וְהַמְשֹׁרְרִים הָעָם וּמִן־ וְהַלְוִיִּם הַכֹּהֲנִים וַיֵּשְׁבוּ
門衛と 歌い手と 民と また–一部の レビ人と 祭司たちと そして–住んだ
H7778 H7891 H3881 H3548 H3427

ס בְּעָרֵיהֶם: יִשְׂרָאֵל וְכָל־ בְּעָרֵיהֶם וְהַנְּתִינִים
（セラ） 町々に–彼らの イスラエルは すべての 町々に–彼らの 宮に–仕える–者は
H3478 H3605 H5411

祭司、レビびと、および民のある者はエルサレムおよびその近郊に住み、歌うたう者、門衛および宮に仕えるしもべたちはその町々に住み、一般のイスラエルびとは自分たちの町々に住んだ。

Chapter 3

1 וַיִּגַּע֙ הַחֹ֣דֶשׁ הַשְּׁבִיעִ֔י וּבְנֵ֥י יִשְׂרָאֵ֖ל בֶּֽעָרִ֑ים ס
そして-尺た 月が 第七の そして-子らは イスラエルの 町々に-いた （セラ）
H5060 H2320 H7637 H3478

וַיֵּאָסְפ֤וּ הָעָם֙ כְּאִ֣ישׁ אֶחָ֔ד אֶל־ יְרוּשָׁלִָ֖ם׃ ס
そして-集まった 民は 一人の-ように 一つに （へ） エルサレムへ （セラ）
H0622 H0376 H0259 H0413 H3389

こうしてイスラエルの人々はその町々に住んでいたが、七月になって、民はひとりのようにエルサレムに集まった。

2 וַיָּ֗קָם יֵשׁ֤וּעַ בֶּן־ יוֹצָדָק֙ וְאֶחָ֣יו הַכֹּהֲנִ֔ים
そこで-立ち上がった ヨシュアは 息子 ヨツァダクの また-兄弟たち-彼の 祭司たちと
H3442 H1121 H3548

וּזְרֻבָּבֶ֥ל בֶּן־ שְׁאַלְתִּיאֵ֖ל וְאֶחָ֑יו וַיִּבְנ֗וּ אֶת־ מִזְבַּ֛ח
また-ゼルバベル 息子 シェアルティエルの また-兄弟たち-彼の そして-建てた （を） 祭壇を
H2216 H1121 H7597 H0251 H1129 H0853 H4196

בְּתוֹרַ֣ת כַּכָּת֔וּב עֹל֖וֹת עָלָ֑יו לְהַעֲל֥וֹת
律法に 書かれて-いる-とおりに 燔祭の-いけにえを その-上に ささげる-ために
H8451 H3789 H5930 H5921 H5927

עֹל֛וֹת בְּכֹ֥ל יְשׂרָאֵ֖ל אֱלֹהֵ֥י
燔祭の-いけにえを すべての イスラエルの 神の
H5930 H3605 H3478 H0430

מֹשֶׁ֥ה אִישׁ־ הָאֱלֹהִֽים׃
モーセの 人 神の
H4872 H0376 H0430

そこでヨザダクの子エシュアとその仲間の祭司たち、およびシャルテルの子ゼルバベルとその兄弟たちは立って、イスラエルの神の祭壇を築いた。これは神の人モーセの律法にしるされたところに従って、その上に燔祭をささげるためであった。

3 וַיָּכִ֤ינוּ מִכּוֹנָתָיו֙ כִּ֣י בְאֵימָ֔ה עֲלֵיהֶ֖ם
彼らの-上に 恐れが-あった なぜなら 土台の-上に-その
H5921 H0367 H3588 H4350

וַיַּעֲל֤וּ עֹל֙וֹת֙ לַיהוָ֔ה עֹל֥וֹת בֹּ֖קֶר וְעָרֶֽב׃
主に 燔祭の-いけにえを 朝と 夕に
H3068 H5930 H1242 H6153

וַיַּעֲל֥וּ(ויעלו) עָלָ֖יו הָאֲרָצ֑וֹת מֵעַמֵּ֣י
そして-ささげた その-上に 地の 諸-民から
H5927 H5921 H0776 H5971

彼らは国々の民を恐れていたので、祭壇をもとの所に設けた。そしてその上で燔祭を主にささげ、朝夕それをささげた。

4 וַיַּעֲשׂ֗וּ חַג֙ הַסֻּכּ֔וֹת כַּכָּת֖וּב וְעֹלַ֣ת יוֹם֙
そして-行った 祭りを 仮庵の 書かれて-いる-とおりに また-燔祭の-いけにえを 日ごと
H6213 H2282 H5521 H3789 H5930 H3117

בְּי֣וֹם בְּמִסְפָּ֔ר כְּמִשְׁפָּט֙ דְּבַר־ י֥וֹם בְּיוֹמ֑וֹ׃
日ごとに 数に-応じて 定めの-とおりに 事柄の 日ごと その-日に
H3117 H4557 H4941 H1697 H3117 H3117

また、しるされたところに従って仮庵の祭を行い、おきてに従って、毎日ささぐべき数のとおりに、日々の燔祭をささげた。

5 וְאַחֲרֵיכֵן עֹלַת תָּמִיד וְלֶחָדָשִׁים וּלְכָל־מוֹעֲדֵי יְהוָה
その–後 燔祭の–いけにえを 常供の また–新月の–ため また–すべての 例祭の–ため 主の
H310 H8548 H2320 H3605 H4150 H3068

הַמְקֻדָּשִׁים וּלְכָל מִתְנַדֵּב נְדָבָה לַיהוָה׃
聖なる また–すべての 自発的に–ささげる–者の 自発の–ささげ物を 主に
H6942 H3605 H5068 H5071 H3068

そしてその後は常燔祭、新月と主のすべて定められた祭とにささげる供え物および各自が主にささげる真心よりの供え物をささげた。

6 מִיּוֹם לַחֹדֶשׁ הַשְּׁבִיעִי הֵחֵלּוּ לְהַעֲלוֹת עֹלוֹת לַיהוָה
日から 最初の 月の 第七の 始めた ささげる–ことを 燔祭の–いけにえを 主に
H3117 H0259 H2320 H7637 H2490 H5927 H5930 H3068

וְהֵיכַל יְהוָה לֹא יְסֻד׃
しかし–神殿は まだ 主の 基が–置かれていなかった
H1964 H3808 H3068 H3245

すなわち七月一日から燔祭を主にささげることを始めたが、主の宮の基礎はまだすえられてなかった。

7 וַיִּתְּנוּ־כֶסֶף לַחֹצְבִים וְלֶחָרָשִׁים וּמַאֲכָל וּמִשְׁתֶּה וְשֶׁמֶן לַצִּדֹנִים
そして–与えた 銀を 石切りに また–大工に また–食物と 飲み物と 油を シドンの–人々に
H5414 H3701 H2672 H2796 H3978 H4960 H8081 H6722

וְלַצֹּרִים לְהָבִיא עֲצֵי אֲרָזִים מִן־הַלְּבָנוֹן יָפוֹא יָם אֶל־
また–ツロの–人々に 運ぶ–ために 木材を 杉の （から） レバノンから ヤッファの 海へ （へ）
H6876 H0935 H6086 H0730 H3844 H3305 H3220 H0413

פ עֲלֵיהֶם׃ פָּרַס מֶלֶךְ־ כּוֹרֶשׁ כִּרְשָׁיוֹן
（ペー） 彼らに–与えた ペルシアの 王 クロス 許可の–とおりに
H6539 H4428 H3566 H7558

そこで石工と木工に金を渡し、またシドンとツロの人々に食い物、飲み物および油を与えて、ペルシャ王クロスから得た許可に従って、レバノンからヨッパの海に香柏を運ばせた。

8 וּבַשָּׁנָה הַשֵּׁנִית לְבוֹאָם אֶל־ בֵּית הָאֱלֹהִים לִירוּשָׁלַ͏ִם בַּחֹדֶשׁ הַשֵּׁנִי
そして–年の 第二の 到着の–彼らの （へ） 宮に 神の エルサレムの 月に 第二の
H8141 H8145 H0935 H0413 H1004 H0430 H3389 H2320 H8145

וְשְׁאָר יוֹצָדָק בֶּן־ וְיֵשׁוּעַ שְׁאַלְתִּיאֵל בֶּן־ זְרֻבָּבֶל הֵחֵלּוּ
また–残りの ヨツァダクの 息子 また–ヨシュア シェアルティエルの 息子 ゼルバベルは 始めた
H7605 H3442 H3442 H7597 H2216

וְאֶחֵיהֶם הַכֹּהֲנִים וְהַלְוִיִּם וְכָל־ הַבָּאִים מֵהַשְּׁבִי לִירוּשָׁלָ͏ִם
兄弟たち–彼らの 祭司たちと レビ人たちと そして–すべての 来た–者たち 捕囚から エルサレムへ
H0251 H3548 H3881 H3605 H0935 H7628 H3389

וַיַּעֲמִידוּ אֶת־ הַלְוִיִּם מִבֶּן עֶשְׂרִים שָׁנָה וָמַעְלָה לְנַצֵּחַ עַל־
そして–任命した （を） レビ人を 歳から 二十 歳 以上の 監督する–ために （の上に）
H5975 H0853 H3881 H4605 H8141 H6242 H5329

פ בֵּית־ יְהוָה׃ מְלֶאכֶת
（ペー） 宮の 主の 工事を
H4399 H3068

さてエルサレムの神の宮に帰った次の年の二月に、シャルテルの子ゼルバベルとヨザダクの子エシュアはその兄弟である他の祭司、レビびとおよび捕囚からエルサレムに帰って来たすべての人々と共に工事を始め、二十歳以上のレビびとを立てて、主の宮の工事を監督させた。

9 וַיַּעֲמֹ֣ד יֵשׁ֗וּעַ וּבָנָיו֙ וְאֶחָ֔יו קַדְמִיאֵ֖ל וּבָנָ֑יו בְּנֵי־ (そこで-立った ヨシュアと 息子たち-彼のと 兄弟たち-彼の カドミエルと 息子たち-彼の 子孫で)

יְהוּדָ֔ה כְּאֶחָ֖ד לְנַצֵּ֣חַ עַל־ עֹשֶׂ֗ה הַמְּלָאכָה֙ בְּבֵ֣ית הָאֱלֹהִ֔ים (ユダの 一つに-なって 監督する-ために (の上に) 行う-者を 工事を 宮で 神の)

ס (セラ) בְּנֵ֣י חֵנָדָ֔ד בְּנֵיהֶ֥ם וַאֲחֵיהֶ֖ם הַלְוִיִּֽם׃ (子孫で ヘナダドの 息子たち-彼らのと 兄弟たち-彼らの レビ人の)

そこでユダの子孫であるエシュアとその子らおよびその兄弟、カデミエルとその子らは共に立って、神の宮で工事をなす者を監督した。ヘナダデの子らおよびレビびとの子らと、その兄弟たちもまた一緒であった。

10 וַיְיַסְּד֤וּ הַבֹּנִים֙ אֶת־ הֵיכַ֣ל יְהוָ֔ה וַיַּעַמִ֥ידוּ הַכֹּהֲנִ֛ים (そして-基を-置いた 建てる-者たちは (を) 神殿の 主の そして-立てた 祭司たちを)

לְהַלֵּ֑ל בְּמִצְלְתַ֣יִם אָסָ֔ף בְּנֵ֣י וְהַלְוִיִּ֖ם בַּחֲצֹצְרֹ֥ות מְלֻבָּשִֽׁים׃ (讃美する-ために シンバルを-持って アサフの 子孫で また-レビ人を ラッパを-持って 衣を-まとった)

יִשְׂרָאֵֽל׃ מֶ֣לֶךְ־ דָּוִ֔יד יְדֵ֖י עַל־ יְהוָ֔ה אֶת־ (イスラエルの 王 ダビデ 手に-よって (に-よって) 主を (を)

こうして建築者が主の宮の基礎をすえた時、祭司たちは礼服をつけてラッパをとり、アサフの子らであるレビびとはシンバルをとり、イスラエルの王ダビデの指令に従って主をさんびした。

11 וַיַּעֲנ֣וּ לַיהוָ֗ה וּבְהֹודֹ֤ות בְּהַלֵּל֙ לְעֹולָ֔ם כִּי־ טֹ֖וב כִּ֑י (そして-歌い-交わした 讃美して また-感謝して 主に 良い まことに 永遠に まことに)

וְכָל־ הָעָ֗ם תְּרוּעָ֤ה גְדוֹלָה֙ בְּהָרִיעָ֣ם עַל־ יִשְׂרָאֵ֔ל (そして-すべての 民は 叫んだ 叫び-声を 大きな イスラエルの-上に (の上に) 慈しみは-彼の)

ס (セラ) יְהוָ֑ה בֵּית־ הוּסַ֣ד עַל בְּהַלֵּ֣ל לַיהוָ֔ה חַסְדֹּ֖ו (主の 宮の 基が-置かれた (の上に) 主に 讃美して)

彼らは互に歌いあって主をほめ、かつ感謝し、「主はめぐみ深く、そのいつくしみはとこしえにイスラエルに絶えることがない」と言った。そして民はみな主をさんびするとき、大声をあげて叫んだ。主の宮の基礎がすえられたからである。

12 וְרַבִּ֣ים מֵהַכֹּהֲנִ֣ים וְהַלְוִיִּ֗ם וְרָאשֵׁ֤י הָאָבֹות֙ הַזְּקֵנִ֔ים אֲשֶׁ֣ר רָא֔וּ אֶת־ (そして-多くの 祭司たちと レビ人たちと 族長たちの 父祖の 老人たちは 彼らは 見た (を)

הָרִאשֹׁ֗ון בְּבָכִ֣י בְקֹ֔ול גָּדֹ֖ול הַבַּ֣יִת זֶ֤ה בְּעֵינֵיהֶם֙ בֹּכִ֔ים יְסֹ֥ד בְּהִוָּסְדֹ֖ו הַבַּ֥יִת (最初の 泣いて-いた 声で 大きな 宮を この 目に-彼らの 泣いて-いた 基が-置かれた-とき 宮を)

קֹֽול׃ לְהָרִ֑ים בְּשִׂמְחָ֖ה בְּתְרוּעָ֥ה וְרַבִּ֛ים (声を 上げた 喜びの 叫び-声で そして-多くの-者は)

しかし祭司、レビびと、氏族の長である多くの人々のうちに、もとの宮を見た老人たちがあったが、今この宮の基礎のすえられるのを見た時、大声をあげて泣いた。また喜びのために声をあげて叫ぶ者も多かった。

13 וְאֵין הָעָם בְּכִי לְקוֹל תְּרוּעַת הַשִּׂמְחָה לָקוֹל מַכִּירִים הָעָם
しかし–なかった 民は 見分ける–ことが 声を 叫びの 喜びの 声から 泣き–声の 民の
H0369 H8643 H8057 H8643 H6030 H5971 H1065

כִּי הָעָם רָעִים תְּרוּעָה בְּקוֹל גְּדוֹלָה וְהַקּוֹל נִשְׁמַע עַד־ לְמֵרָחוֹק׃
なぜなら 民は 叫んで–いた 叫び–声を 大きな そして–声は 聞こえた （まで） 遠くまで
H3588 H5971 H7321 H8643 H1419 H7032 H8085 H5704 H7350

פ
（ペー）

それで、人々は民の喜び叫ぶ声と、民の泣く声とを聞きわけることができなかった。民が大声に叫んだので、その声が遠くまで聞えたからである。

Chapter 4

1 וַיִּשְׁמְעוּ צָרֵי יְהוּדָה וּבִנְיָמִן כִּי־ בְּנֵי הַגּוֹלָה בֹּנִים הֵיכָל
そして–聞いた 敵たちは ユダと ベニヤミンの （こと） 子らが 捕囚の 建てて–いると 神殿を
H8085 H6862 H3063 H1144 H3588 H1121 H1473 H1129 H1964

לַיהוָה אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל׃
主に 神 イスラエルの
H3068 H0430 H3478

ユダとベニヤミンの敵である者たちは捕囚から帰ってきた人々が、イスラエルの神、主のために神殿を建てていることを聞き、

2 וַיִּגְּשׁוּ אֶל־ זְרֻבָּבֶל וְאֶל־ רָאשֵׁי הָאָבוֹת וַיֹּאמְרוּ לָהֶם
そこで–近づいた （へ） ゼルバベルに また（へ） 族長たちに 父祖の そして–言った 彼らに
H5066 H0413 H2216 H0413 H7218 H1 H0559 H1992

נִבְנֶה כִּי כָכֶם נִדְרֹשׁ לֵאלֹהֵיכֶם עִמָּכֶם
建てたい なぜなら あなたがたの–ように 求めて–いる 神を–あなたがたの 共に–あなたがたと
H1129 H3588 H3644 H1875 H0430 H5973

וְלוֹ וְאֲנַחְנוּ זֹבְחִים מִימֵי חַדּוֹן מֶלֶךְ
彼に 私たちは いけにえを–ささげて–いる 日々から エサル ハドン 王
H0 H0587 H2076 H3117 H0634 H0634 H4428

וְלֹא׀ (ケティブ)
H3808

פֹּה׃ הַמַּעֲלֶה אֹתָנוּ אַשּׁוּר
ここに 私たちを 連れて–来た アッシリアの
H6311 H0853 H5927 H0804

ゼルバベルと氏族の長たちのもとに来て言った、「われわれも、あなたがたと一緒にこれを建てさせてください。われわれはあなたがたと同じく、あなたがたの神を礼拝します。アッスリヤの王エサル・ハドンがわれわれをここにつれて来た日からこのかた、われわれは彼に犠牲をささげてきました」。

3

לְיִשְׂרָאֵל	הָאָבוֹת	רָאשֵׁי	וּשְׁאָר	וְיֵשׁוּעַ	זְרֻבָּבֶל	לָהֶם	וַיֹּאמֶר
イスラエルの	父祖の	族長たちは	また-残りの	ヨシュアと	ゼルバベルと	彼らに	そこで-言った
H3478	H0001		H7605	H3442	H2216		H0559

אֱלֹהֵינוּ	כִּי	לֵאלֹהֵינוּ	בַּיִת	לִבְנוֹת	וְלָנוּ	לָכֶם	לֹא
私たちが	なぜなら	神に-私たちの	宮を	建てる-ことは	私たちには	あなたがたにと	(否)-ない
H0587		H0430		H1129			H3808

כֹּורֶשׁ	הַמֶּלֶךְ	צִוָּנוּ	כַּאֲשֶׁר	יִשְׂרָאֵל	אֱלֹהֵי	לַיהוָה	נִבְנֶה	יַחַד
クロス	王が	命じた-私たちに	ちょうど-ように	イスラエルの	神	主に	建てる	共に
H3566	H4428	H6680		H3478	H0430	H3068	H1129	

פָּרָס׃	מֶלֶךְ
ペルシアの	王
H6539	H4428

しかしゼルバベル、エシュアおよびその他のイスラエルの氏族の長たちは、彼らに言った、「あなたがたは、われわれの神に宮を建てることにあずかってはなりません。ペルシャの王クロス王がわれわれに命じたように、われわれだけで、イスラエルの神、主のために建てるのです」。

4

]ומבלהים[	יְהוּדָה	עַם־	יְדֵי	מְרַפִּים	הָאָרֶץ	עַם־	וַיְהִי
(ケティブ)	ユダの	民の	手を	弱らせる-者に	地の	民が-その-地の	そこで-なった
H1089	H3063		H3027	H7503	H0776		H1961

לִבְנוֹת׃	אוֹתָם	)וּמְבַהֲלִים(
建てる-ことから	彼らを	おびえさせる-者に
H1129	H0853	H0926

そこでその地の民はユダの民の手を弱らせて、その建築を妨げ、

5

כֹּורֶשׁ	יְמֵי	כָּל־	עֲצָתָם	לְהָפֵר	יוֹעֲצִים	עֲלֵיהֶם	וְסֹכְרִים
クロス	日々	すべての	計画を-彼らの	破ふる-ために	助言者を	彼らに-対して	そして-雇った
H3566	H3117	H3605	H6098		H3289		

פָּרָס׃	מֶלֶךְ־	דָּרְיָוֶשׁ	מַלְכוּת	וְעַד־	פָּרָס	מֶלֶךְ
ペルシアの	王	ダレイオス	治世	また-いたる-まで	ペルシアの	王
H6539	H4428	H1867	H4438	H5704	H6539	H4428

その企てを破るために役人を買収して彼らに敵せしめ、ペルシャ王クロスの代からペルシャ王ダリヨスの治世にまで及んだ。

6

עַל־	שִׂטְנָה	כָּתְבוּ	מַלְכוּתוֹ	בִּתְחִלַּת	אֲחַשְׁוֵרוֹשׁ	וּבְמַלְכוּת
(に-対して)	訴えを	書いた	治世の-彼の	初めに	アハシュエロスの	そして-治世に
	H7855	H3789	H4438	H8462	H0325	H4438

ס	וִירוּשָׁלִַם׃	יְהוּדָה	יֹשְׁבֵי
(セラ)	エルサレムの	ユダと	住民に-対して
	H3389	H3063	H3427

アハスエロスの治世、すなわちその治世の初めに、彼らはユダとエルサレムの住民を訴える告訴状を書いた。

7

וּשְׁאָר	טָבְאֵל	מִתְרְדָת	בִּשְׁלָם	כָּתַב	אַרְתַּחְשַׁשְׂתָּא	וּבִימֵי
また-残りの	タベエルと	ミトレダテ	ビシュラムは	書いた	アルタクシェルクセスの	また-日々に
H7605		H4990	H1312	H3789		H3117

פָּרָס	מֶלֶךְ	)אַרְתַּחְשַׁשְׂתְּ(	]ארתחששתא[	עַל־	)כְּנָוָתָיו(	]כנותו[
ペルシアの	王	アルタクシェルクセスに	(ケティブ)	(に)	仲間たち-彼の	(ケティブ)
H6539	H4428				H3674	H3674

פ	אֲרָמִית׃	וּמְתֻרְגָּם	אֲרָמִית	כָּתוּב	הַנִּשְׁתְּוָן	וּכְתָב
(ペー)	アラム語に	また-翻訳されて-いた	アラム語で	書かれて-いた	書簡の	そして-文書は
	H0762	H8638	H0762	H3789	H5406	H3791

またアルタシャスタの世にビシラム、ミテレダテ、タビエルおよびその他の同僚も、ペルシャ王アルタシャスタに手紙を書いた。その手紙の文はアラム語で書かれて訳されていた。

עַל־ חֲדָה אִגְּרָה כְּתָבוּ סָפְרָא וְשִׁמְשַׁי טַעֲם בְּעֵל־ רְחוּם 8
（に-ついて） 一つの 手紙を 書いた 書記官は また-シムシャイは 司令官の 大臣 レフムは
H5922 H2298 H0104 H3790 H5613 H8124 H2942 H1169

כְּנֶמָא׃ מַלְכָּא לְאַרְתַּחְשַׁשְׂתְּא יְרוּשְׁלֶם
次の-ように 王に アルタクシェルクセスに エルサレムに-ついて
H3660 H4430 H3390

長官レホムと書記官シムシャイはアルタシャスタ王にエルサレムを訴えて次のような手紙をしたためた。

כְּנָוָתְהוֹן וּשְׁאָר סָפְרָא וְשִׁמְשַׁי טַעֲם בְּעֵל־ רְחוּם אֱדַיִן 9
仲間たち-彼らの また-残りの 書記官は また-シムシャイは 司令官の 大臣 レフムは その-時
H3675 H7606 H5613 H8124 H2942 H1169 H0116

שׁוּשַׁנְכָיֵא בָּבְלָיֵא)אַרְכְוָיֵא( ]ארכוי[אֲפָרְסָיֵא טַרְפְּלָיֵא וַאֲפַרְסַתְכָיֵא דְּיִנָיֵא
スサンク人 バビロン人 エレク人 (ケティブ) アファルサ人 タルパル人 アファルサテカ人 ディナ人
H7801 H0896 H0756 H0756 H0670 H2967 H1784

עֵלְמָיֵא׃)דֶּהָיֵא( ]דהוא[
エラム人 デハ人 (ケティブ)
H5962 H1723 H1768

すなわち長官レホムと書記官シムシャイおよびその他の同僚、すなわち裁判官、知事、役人、ペルシャ人、エレクの人々、バビロン人、スサの人々すなわちエラムびと、

וְיַקִּירָא רַבָּא אָסְנַפַּר הַגְלִי דִי אִמַּיָא וּשְׁאָר 10
また-高貴なる 大いなる アスナパルが 移住させた すなわち 諸国民は また-残りの
H3358 H7229 H0620 H1541 H1768 H0524 H7606

וּכְעֶנַת׃ נַהֲרָה עֲבַר־ וּשְׁאָר שֹׁמְרָיִן דִי בְּקִרְיָה הִמּוֹ וְיוֹתֶב
今 川の 川の-向こう また-残りの サマリアの すなわち 町に 彼らを そして-住まわせた
H3706 H5103 H5675 H7606 H8115 H1768 H7149 H1994 H3488

およびその他の民すなわち大いなる尊いオスナパルが、移してサマリヤの町々および川向こうのその他の地に住ませた者どもが、

מַלְכָּא אַרְתַּחְשַׁשְׂתְּא עַל־ עֲלוֹהִי שְׁלַחוּ דִי אִגַּרְתָּא פַּרְשֶׁגֶן דְּנָה 11
王に アルタクシェルクセスに （に） 彼に-対して 送った すなわち 手紙の 写し これは
H4430 H5922 H5922 H7972 H1768 H0104 H6573 H1836

פ עֲבֶרֶיךְ אֱנָשׁ עֲבַר־ נַהֲרָה וּכְעֶנַת׃
（ペー） 僕たちは-あなたの 人々で 川の-向こう 川の 今
H5649 H0606 H5675 H5103 H3706

送った手紙の写しはこれである。――「アルタシャスタ王へ、川向こうのあなたのしもべども、あいさつを申し上げます。

מִן־ סְלִקוּ דִי יְהוּדָיֵא דִי לְמַלְכָּא לֶהֱוֵא יְדִיעַ 12
（から） 上って-来た すなわち ユダヤ人が すなわち 王に であれ 知らせる
H4481 H5559 H1768 H3062 H1768 H4430 H1934 H3046

בָּנִין]ובאישתא(מָרְדְתָּא קִרְיְתָא לִירוּשְׁלֶם אֲתוּ עֲלֶינָא לְוָתָךְ
建てて-いる (ケティブ) 反逆の 町を エルサレムに 来た 私たちの-もとへ あなたの-もとから
H1124 H0873 H4779 H7149 H3390 H0858 H5922 H3890

יַחִיטוּ׃ וְאַשַׁיָא)שַׁכְלִילוּ( ]אשכללן[ )וְשׁוּרַיָא( ]וְשׁוּרַיָן[
修復して-いる また-土台を 完成して-いる (ケティブ) 城壁を (ケティブ)
H2338 H0787 H7792 H7792

王よ、ご承知ください。あなたのもとから、わたしたちの所に上って来たユダヤ人らはエルサレムに来て、かのそむいた悪い町を建て直し、その城壁を築きあげ、その基礎をつくろっています。

13

וְשׁוּרַיָּה	תִּתְבְּנֵא	דְּ	קִרְיְתָא	הָן	דִּי	לְמַלְכָּא	לֶהֱוֵא	יְדִיעַ	כְּעַן
また-城壁が	建てられたら	この	町が	もし	すなわち	王に	であれ	知らせる	さて
H7792	H1124	H1791	H7149		H1768	H4430	H1934	H3046	H3705

מַלְכִּים	וְאַפְתָּם	יִנְתְּנוּן	לָא	וַהֲלָךְ	בְּלוֹ	מִנְדָּה־	יְשַׁתַּכְלְלוּן
王たちに	そして-終わりには	納めない-であろう	（否）	通行-税を	税を	貢物を	完成したら
H4430	H0674	H5415	H3809	H1983	H1093	H4061	

תְּהַנְזָק׃
損害を-与える-であろう
H5142

王よ、いまご承知ください。もしこの町を建て、城壁を築きあげるならば、彼らはみつぎ、関税、税金を納めなくなります。そうすれば王の収入が減るでしょう。

14

מַלְכָּא	וְעַרְוַת	מְלַחְנָא	הֵיכְלָא	מְלַח	דִּי־	קֳבֵל	כָּל־	כְּעַן
王の	また-不名誉が	食べて-いる	王宮の	塩を	すなわち	対して	すべての-ことに	さて
H4430	H6173	H4415	H1965	H4416	H1768	H6903	H3606	H3705

שְׁלַחְנָא	דְנָה	עַל־	לְמֶחֱזֵא	לַנָא	אָרִיךְ	לָא
送った	この-ことの-上に	（の上に）	見る-ことが	私たちには	ふさわしくない	（否）
H7972	H1836	H5922	H2370		H0749	H3809

וְהוֹדַעְנָא	לְמַלְכָּא׃
そして-知らせた	王に
H3046	H4430

われわれは王宮の塩をはむ者ですから、王の不名誉を見るに忍びないので、人をつかわして王にお聞かせするのです。

15

וּתְהַשְׁכַּח	אֲבָהָתָךְ	דִּי	דָכְרָנַיָּא	בְּסִפְרֵ־	יְבַקַּר	דִּי
そうすれば-見出す-であろう	父祖の-あなたの	すなわち	記録の	書物で	調べる-ように	（こと）
H7912	H0002	H1768		H5609	H1240	H1768

וּמְהַנְזְקִת	מֶרְדָא	קִרְיָא	דְּךָ	קִרְיְתָא	דִּי	וְתִנְדַּע	דָכְרָנַיָּא	בְּסִפְרָא
また-損害を-与える	反逆の	町は	この	町が	すなわち	そして-知る-であろう	記録の	書物に
H5142	H4779	H7149	H1791	H7149	H1768	H3046		H5609

עַל־	עָלְמָא	יוֹמָת	מִן־	בְּגַוַּהּ	עָבְדִין	וְאֶשְׁתַּדּוּר	וּמְדִנָן	מַלְכִין
（の上に）	古えの	日々から	（から）	その-中で	行って-いた	また-反乱を	また-州に	王たちに
H5922	H5957	H3118	H4481	H1459	H5648	H0849	H4083	H4430

הֲחָרְבַת׃	דְּךָ	קִרְיְתָא	דְנָה
滅ぼされた	この	町は	この-ゆえに
H2718	H1791	H7149	H1836

歴代の記録をお調べください。その記録の書において、この町はそむいた町で、諸王と諸州に害を及ぼしたものであることを見、その中に古来、むほんの行われたことを知られるでしょう。この町が滅ぼされたのはこれがためなのです。

16

וְשׁוּרַיָּה	תִּתְבְּנֵא	דְּ	קִרְיְתָא	הָן	דִּי	לְמַלְכָּא	אֲנַחְנָה	מְהוֹדְעִין
また-城壁が	建てられたら	この	町が	もし	すなわち	王に	私たちは	知らせる
H7792	H1124	H1791	H7149		H1768	H4430	H0586	H3046

אִיתַי	לָא	נַהֲרָא	בַּעֲבַר	חֶלְקָ	דְנָה	לְקֳבֵל	יְשַׁתַּכְלְלוּן
ない-であろう	（否）	川の	川の-向こうの	分け前が	この-ことの	この-ために	完成したら
H0383	H3809	H5103	H5675	H2508	H1836	H6903	

פ	לָךְ׃
（ペー）	あなたには

われわれは王にお知らせいたします。もしこの町が建てられ、城壁が築きあげられたなら、王は川向こうの領地を失うに至るでしょう」。

17 פִּתְגָמָא שְׁלַח מַלְכָּא עַל־ רְחוּם בְּעֵל־ טְעֵם וְשִׁמְשַׁי סָפְרָא
返答を 送った 王は （に） レフムに 大臣 司令官の また–シムシャイに 書記官に
H6600 H7972 H4430 H5922 H1169 H2942 H8124 H5613

וּשְׁאָר נְהַרָה עֲבַר־ וּשְׁאָר בְּשֹׁמְרָיִן יָתְבִין דִּי כְּנָוָתְהוֹן וּשְׁאָר
また–残りの 川の 川の–向こうの また–残りの サマリアに 住んで–いる すなわち 仲間たち–彼らの また–残りの
H7606 H5103 H5675 H7606 H8115 H3488 H1768 H3675 H7606

וּכְעֶת׃ שְׁלָם ס
今 平安 （セラ）
H3706 H8115

王は返書を送って言った、「長官レホム、書記官シムシャイ、その他サマリヤおよび川向こうのほかの所に住んでいる同僚に、あいさつをする。いま、

18 נִשְׁתְּוָנָא דִּי שְׁלַחְתּוּן עֲלֵינָא מְפָרַשׁ קְרִי קָדָמָי׃
書簡を すなわち 送った–あなたがたが 私たちに 明確に 読まれた 私の–前で
H5407 H1768 H7972 H5922 H6568 H7123 H6925

あなたがたがわれわれに送った手紙を、わたしの前に明らかに読ませた。

19 דְּךָ קַרְיְתָא דִּי וְהַשְׁכַּחוּ וּבַקָּרוּ טְעֵם שָׂם וּמִנִּי
この 町は すなわち そして–見出した そして–調べた 命令が 置かれた そして–私から
H1791 H7149 H1768 H7912 H1240 H2942 H7761 H4481

וְאִשְׁתַּדְּוּר מִתְנַשְּׂאָה מַלְכִין עַל־ עֲלְמָא יוֹמָת מִן־
反乱が また–反乱と 反逆して–きた 王たちに–対して （の上に） 古えの 日々から （から）
H0849 H4776 H5376 H4481 H5957 H3118 H4481

מִתְעֲבֵד־ בָּהּ׃
行われて–きた その–中で
H5648

わたしは命令を下して調査させたところ、この町は古来、諸王にそむいた事、その中に反乱、むほんのあったことを見いだした。

20 וּמַלְכִין תַּקִּיפִין הֲוֹו עַל־ יְרוּשְׁלֶם וְשַׁלִּיטִין בְּכֹל
また–王たちが 力ある いた （の上に） エルサレムの–上に また–支配して–いた すべてを
H4430 H8624 H1934 H5922 H3390 H7990 H3606

עֲבַר נַהֲרָה בְּלוֹ וְהַלָךְ מִתְיְהֵב לְהֹון׃
川の–向こうを 川の 税と 通行–税が 納められて–いた 彼らに
H5675 H5103 H1093 H1983 H3052

またエルサレムには大いなる王たちがあって、川向こうの地をことごとく治め、みつぎ、関税、税金を納めさせたこともあった。

21 כְּעַן שִׂימוּ טְעֵם לְבַטָּלָא גֻּבְרַיָּא אִלֵּךְ וְקִרְיְתָא דְּךָ לָא
さて 置け 命令を 止める–ために 人々を これらの そして–町は この （否）
H3705 H7761 H2941 H0989 H1400 H0479 H7149 H1791 H3809

תִּתְבְּנֵא עַד־ מִנִּי טַעֲמָא יִתְשָׂם׃
建てられては–ならない （まで） 私から 命令が 置かれる–まで
H1124 H5705 H4481 H2941 H7761

それであなたがたは命令を伝えて、その人々をとどめ、わたしの命令の下るまで、この町を建てさせてはならない。

לְמָה	דְנָה	עַל־	לְמֶעְבַּד	שְׁלוֹ	הֱוֹוֺ	וְזְהִירִין	22
なぜ	この–ことの–上に	（の上に）	行う–ことを	怠らない–ように	せよ	そして–注意せよ	
H4101	H1836	H5922	H5648	H7960	H1934	H2095	

ס	:מַלְכִין	לְהַנְזָקַת	חֲבָלָא	יִשְׂגֵּא
（セラ）	王たちに	損じさせる–ために	損害が	増大する–のか
	H4430	H5142	H2257	H7680

あなたがたは慎んでこのことについて怠ることのないようにしなさい。どうして損害を増して、王に害を及ぼしてよかろうか」。

(אַרְתַחְשַׁשְׂתְ	ארתחששתא]	דִּי	נִשְׁתְוָנָא	פַּרְשֶׁגֶן	דִּי־	מִן־	אֱדַיִן	23
アルタクシェルクセス	(ケティブ)	すなわち	書簡の	写し	すなわち	（から）	その–時	
		H1768	H5407	H6573	H1768	H4481	H0116	

בִּבְהִילוּ	אֲזַלוּ	וּכְנָוָתְהֹון	סָפְרָא	וְשִׁמְשַׁי	רְחוּם	קֳדָם־	קֳרֵי	מַלְכָּא
急いで	行った	仲間たち–彼らの	書記官と	シムシャイと	レフムと	前で	読まれた	王の
H0924	H0236	H3675	H5613	H8124		H6925	H7123	H4430

וְחֵיל׃	בְּאַדְרָע	הִמְוֹ	וּבַטְלוּ	יְהוּדָיֵא	עַל־	לִירוּשְׁלֶם
また–武力で	腕力で	彼らを	そして–止めた	ユダヤ人に–対して	（に–対して）	エルサレムへ
H2429	H0153	H1994	H0989	H3062	H5922	H3390

ס
（セラ）

アルタシャスタ王の手紙の写しがレホムおよび書記官シムシャイとその同僚の前に読み上げられたので、彼らは急いでエルサレムのユダヤ人のもとにおもむき、腕力と権力とをもって彼らをやめさせた。

בָּטְלָא	וַהֲוָת	בִּירוּשְׁלֶם	דִּי	אֱלָהָא	בֵּית־	עֲבִידַת	בְּטֵלַת	בֵּאדַיִן	24
止まって	そして–あった	エルサレムにある	ある	神の	宮の	工事は	止まった	その–時	
H0989	H1934	H3390	H1768	H0426	H1005	H5673	H0989	H0116	

פ	:פָּרָס	מֶלֶךְ־	דָּרְיָוֶשׁ	לְמַלְכוּת	תַּרְתֵּין	שְׁנַת	עַד	
（ペー）	ペルシアの	王	ダレイオス	治世の	第二の	年まで	（まで）	
	H6540	H4430	H1868	H4437	H8648	H8140	H5705	

それでエルサレムにある神の宮の工事は中止された。すなわちペルシャ王ダリヨスの治世の二年まで中止された。

Chapter 5

נביאיא]	עִדּוֹ	בַּר־	וְזְכַרְיָה	נְבִיָּא)	נביאה]	חַגַּי	וְהִתְנַבִּי	1
(ケティブ)	イドの	息子	また–ゼカリヤは	預言者	(ケティブ)	ハガイは	そして–預言した	
H5029	H5714	H1247		H5029	H5029		H5013	

אֱלָהּ	בְּשֵׁם	וּבִירוּשְׁלֶם	בִּיהוּד	דִּי	יְהוּדָיֵא	עַל־	נְבִיֵּא)
神の	名に–おいて	また–エルサレムに–いる	ユダに–いる	すなわち	ユダヤ人に	（に）	預言者たちは
H0426	H8036	H3390	H3061	H1768	H3062	H5922	H5029

ס	עֲלֵיהֹון׃	יִשְׂרָאֵל
（セラ）	彼らに–対して	イスラエルの
	H5922	H3479

さて預言者ハガイおよびイドの子ゼカリヤのふたりの預言者は、ユダとエルサレムにいるユダヤ人に向かって、彼らの上にいますイスラエルの神の名によって預言した。

2

בְּאַדֵּין — その–時 — H0116
קָמוּ — 立ち上がった — H6966
זְרֻבָּבֶל — ゼルバベルは — H2217
בַּר־ — 息子 — H1247
שְׁאַלְתִיאֵל — シェアルティエルの — H7598
וְיֵשׁוּעַ — また–ヨシュアは — H3443
בַּר־ — 息子 — H1247

וְשָׂרֵיו — そして–始めた — H8271
לְמִבְנֵא — 建てる–ことを — H1124
בֵּית — 宮を — H1005
אֱלָהָא — 神の — H0426
דִּי — すなわち — H1768
בִירוּשְׁלֶם — エルサレムに–ある — H3390

וְעִמְּהוֹן — そして–共に–彼らと — H5974
נְבִיֵּא — 預言者たちが — H5029
(נביאי) — (ケティブ) — H5029
דִּי־ — すなわち — H1768
אֱלָהָא — 神の — H0426
מְסָעֲדִין — 助けて–いた — H5583
לְהוֹן׃ — 彼らを
פ — （ペー）

そこでシャルテルの子ゼルバベルおよびヨザダクの子エシュアは立ちあがって、エルサレムにある神の宮を建て始めた。神の預言者たちも、彼らと共にいて彼らを助けた。

3

בֵּהּ־ — その–同じ — H2166
זִמְנָא — 時に — H0858
אֲתָא — 来た — H0858
עַלֵּיהוֹן — 彼らの–もとに — H5922
תַּתְּנַי — タッテナイは — H8674
פַּחַת — 総督 — H6347
עֲבַר־ — 川の–向こうの — H5675
נַהֲרָה — 川の — H5103

בּוֹזְנַיּ — シェタル–ボズナイと — H8370
וּכְנָוָתְהוֹן — 仲間たち–彼らのと — H3675
וְכֵן — そして–このように — H3652
אָמְרִין — 言った — H0560
לְהֹם — 彼らに — H1836
מַן־ — 誰が — H4479
שָׂם — 置いた — H7761

לְכֹם — あなたがたに
טְעֵם — 命令を — H2942
בַּיְתָא — 宮を — H1005
דְנָה — この — H1836
לִבְנָא — 建てる–ために — H1124
וְאֻשַׁרְנָא — また–城壁を — H0846
דְנָה — この — H1836
לְשַׁכְלָלָה׃ — 完成する–ために
ס — （セラ）

その時、川向こうの州の知事タテナイおよびセタル・ボズナイとその同僚は彼らの所に来てこう言った、「だれがあなたがたにこの宮を建て、この城壁を築きあげることを命じたのか」。

4

אֱדַיִן — その–時 — H0116
כְּנֶמָא — この–ように — H3660
אֲמַרְנָא — 言った — H0560
לְהֹם — 彼らに
מַן־ — 誰の — H4479
שְׁמָתָ֗ת — 名前の — H8036
גְּבְרַיָּא — 人々の — H1400
דִּי־ — すなわち — H1768
דְנָה — この — H1836
בִנְיָנָא — 建物を — H1147

בָּנִין׃ — 建てて–いる — H1124

また「この建物を建てている人々の名はなんというのか」と尋ねた。

5

וְעֵין — しかし–目が — H5870
אֱלָהֲהֹם — 神の–彼らの — H0426
הֲוָת — あった — H1934
עַל־ — （の上に） — H5922
שָׂבֵי — 長老たちの–上に — H7868
יְהוּדָיֵא — ユダヤ人の — H3062
וְלָא־ — そして–ない — H3809

הַמּוֹ — 彼らを — H1994
לְדָרְיָוֶשׁ — ダレイオスに — H1868
יְהֵךְ — 届く–まで — H1946
וְאֵדַיִן — そして–その–時 — H0116
יְתִיבוּן — 返答する–であろう — H8421

בַּטָלוּ — 止めなかった — H0989
עַד־ — （まで） — H5705
טַעְמָא — 命令が — H2941

נִשְׁתְוָנָא — 書簡を — H5407
עַל־ — （に–ついて） — H5922
דְנָה׃ — この–ことに–ついて — H1836
פ — （ペー）

しかしユダヤ人の長老たちの上には、神の目が注がれていたので、彼らはこれをやめさせることができず、その事をダリヨスに奏して、その返答の来るのを待った。

6 פַּרְשֶׁגֶן אִגַּרְתָּא דִּי־שְׁלַח תַּתְּנַי וּ פַּחַת עֲבַר־ נַהֲרָה
写し 手紙の すなわち 送った タッテナイが 総督 川の–向こうの 川の
H6573 H0104 H1768 H7972 H8674 H6347 H5675 H5103

עַל־ נַהֲרָה בַּעֲבַר דִּי אֲפַרְסְכָיֵא וּכְנָוָתֹהִי בּוֹזְנַיּ וּשְׁתַר
（に） 川の 川の–向こうの すなわち アファルサク人 仲間たち–彼の シェタル–ボズナイと
H5922 H5103 H5675 H1768 H3675 H8370

:מַלְכָּא דָּרְיָוֶשׁ
王に ダレイオスに
H4430 H1868

川向こうの州の知事タテナイおよびセタル・ボズナイとその同僚である川向こうの州の知事たちが、ダリヨス王に送った手紙の写しは次のとおりである。

7 מַלְכָּא לְדָרְיָוֶשׁ בְּגַוֹּהּ כְּתִיב וְכִדְנָה עֲלֹוהִי שְׁלַחוּ פִּתְגָמָא
王に ダレイオスに その–中に 書かれて–いた そして–この–ように 彼に 送った 返答を
H4430 H1868 H1459 H3790 H1836 H5922 H7972 H6600

ס שְׁלָמָא :כֻּלָּא
（セラ） あらゆる 平安
H3606 H8001

すなわち、彼らが王に送った手紙には、次のようにしるされてあった。「願わくはダリヨス王に全き平安があるように。

8 רַבָּא אֱלָהָא לְבֵית מְדִינָתָא לִיהוּד אֲזַלְנָא דִּי־ לְמַלְכָּא לֶהֱוֵא וְיַדִּיעַ
大いなる 神の 宮に 州へ ユダの 行った すなわち 王に であれ 知らせる
H7229 H0426 H1005 H4083 H3061 H0236 H1768 H4430 H1934 H3046

בְּכֻתְלַיָּא מְתְּשָׂם וְאָע גְּלָל אֶבֶן מְתְבְּנֵא וְהָוֹא
壁に 置かれて–いる また–木材が 切り–石の 石で 建てられて–いる そして–それは
H3797 H7761 H0636 H1560 H0069 H1124 H1932

ס בִּידֵיהֹם :וּמַצְלַח מְתְעַבְדָא אָסְפַּרְנָא דְּךָ וַעֲבִידְתָּא
（セラ） 手に–彼らの そして–成功して–いる 行われて–いる 熱心に その そして–工事は
H3028 H6744 H5648 H0629 H1791 H5673

王に次のことをお知らせいたします。すなわち、われわれがユダヤ州へ行き、かの大いなる神の宮へ行って見たところ、それは大きな石をもって建てられ、材木を組んで壁をつくり、その工事は勤勉に行われ、彼らの手によって大いにはかどっています。

9 לְכֹם שָׂם מַן־ לְהֹם אֲמַרְנָא כְּנֶמָא אִלֵּךְ לְשָׂבַיָּא שְׁאֶלְנָא אֱדַיִן
あなたがたに 置いた 誰が 彼らに 言った この–ように これらの 長老たちに 尋ねた その–時
H7761 H4479 H0560 H3660 H0479 H7868 H7593 H0116

:לְשַׁכְלְלָה דְּנָה וְאֶשְׁרָנָא לְמִבְנְיָה דְּנָה בַּיְתָא טְעֵם
完成する–ために この また–城壁を 建てる–ために–それを この 宮を 命令を
H1836 H0846 H1124 H1836 H1005 H2942

そこでわれわれはその長老たちに尋ねてこう言いました、『だれがあなたがたにこの宮を建て、この城壁を築きあげることを命じたのか』と。

10 שֵׁם־ נִכְתָּב דִּי לְהוֹדָעוּתָךְ לְהֹם שְׁאֶלְנָא שְׁמָהָתְהֹם וְאַף
名を 書く–ために すなわち 知らせる–ために–あなたに 彼らに 尋ねた 名前を–彼らの また
H8036 H3790 H1768 H3046 H7593 H8036 H0638

ס בְּרָאשֵׁיהֹם :דִּי גְּבַרַיָּא
（セラ） 頭に–彼らの すなわち 人々の
H7217 H1768 H1400

われわれはまた彼らのかしらたる人々の名を書きしるして、あなたにお知らせするために、その名を尋ねました。

11

וְכֵנְמָא פִּתְגָמָא הֲתֵיבוּנָא לְמֵמַר אֲנַחְנָא הִמּוֹ עַבְדּוֹהִי דִּי־ אֱלָהּ
そして–この–ように 返答を 返した–私たちに 言って 私たちは 彼らは 僕である すなわち 神の
H3660 H6600 H8421 H0560 H0586 H1994 H5649 H1768 H0426

שְׁנִין דְּנָהּ מִקַּדְמַת בְּנֵה הֲוָא דִּי־ בַיְתָא וּבְנִין וְאַרְעָא שְׁמַיָּא
年 これの 以前に 建てられて あった すなわち 宮を そして–建てて–いる また–地の 天の
H8140 H1836 H6928 H1124 H1934 H1768 H1005 H1124 H0772 H8065

וְשַׁכְלְלֵהּ׃ בְּנֵהִי רַב לְיִשְׂרָאֵל וּמֶלֶךְ שַׂגִּיאָן
また–完成した–それを 建てた–それを 大いなる イスラエルの また–王が 多くの
H1124 H7229 H3479 H4430 H7690

すると、彼らはわれわれに答えてこう言いました、『われわれは天地の神のしもべであって、年久しい昔に建てられた宮を、再び建てるのです。これはもと、イスラエルの大いなる王の建てあげたものですが、

12

בִּיד הִמּוֹ יְהַב שְׁמַיָּא לֶאֱלָהּ אֲבָהָתַנָא הַרְגִזוּ דִּי מִן־ לָהֵן
手に 彼らを 渡した 天の 神を 父祖たちが–私たちの 怒らせた すなわち （から） しかし
H3028 H1994 H3052 H8065 H0426 H0002 H7265 H1768 H4481 H3861

דְּנָהּ וּבַיְתָה)כַסְדָּאֵה( ]כסדיא[בָבֶל מֶלֶךְ־ נְבוּכַדְנֶצַּר
この そして–宮を–この カルデア人の (ケティブ) バビロンの 王 ネブカドネツァルの
H1836 H1005 H3679 H3679 H0895 H4430 H5020

ס לְבָבֶל׃ הַגְלִי וְעַמָּה סַתְּרֵהּ
（セラ） バビロンへ 捕え移した そして–民を–その 壊した–それを
H0895 H1541 H5972

われわれの先祖たちが、天の神の怒りを引き起したため、神は彼らを、カルデヤびとバビロンの王ネブカデネザルの手に渡されたので、彼はこの宮をこわし、民をバビロンに捕えて行きました。

13

טְעֵם שָׂם מַלְכָּא כֹּורֶשׁ בָבֶל דִּי מַלְכָּא לְכֹורֶשׁ חֲדָה בִּשְׁנַת בְּרַם
命令を 置いた 王は クロスは バビロンの すなわち 王の クロスの 第一の 年に しかし
H2942 H7761 H4430 H3567 H0895 H1768 H4430 H3567 H2298 H8140 H1297

לִבְנָא׃ דְּנָה אֱלָהָא בֵּית־
建てる–ように この 神の 宮を
H1124 H1836 H0426 H1005

ところがバビロンの王クロスの元年に、クロス王は神のこの宮を再び建てることの命令を下されました。

14

נְבוּכַדְנֶצַּר דִּי וְכַסְפָּא דַּהֲבָה דִּי אֱלָהָא בֵּית־ דִּי־ מָאנַיָּא וְאַף
ネブカドネツァルが すなわち 銀の 金と すなわち 神の 宮の すなわち 器を また
H5020 H1768 H3702 H1722 H1768 H0426 H1005 H1768 H3984 H0638

לְהֵיכְלָא הִמּוֹ וְהֵיבֶל בִּירוּשְׁלֶם דִּי הֵיכְלָא מִן־ הַנְפֵּק
神殿に それらを そして–運んだ エルサレムの すなわち 神殿から （から） 取り出した
H1965 H1994 H2987 H3390 H1768 H1965 H4481 H5312

דִּי הֵיכְלָא מִן־ מַלְכָּא כֹּורֶשׁ הִמּוֹ הַנְפֵּק בָבֶל דִּי
すなわち 神殿から （から） 王は クロスは それらを 取り出した バビロンの すなわち
H1768 H1965 H4481 H4430 H3567 H1994 H5312 H0895 H1768

שְׁמֵהּ׃ פֶּחָה דִּי שְׁמֵהּ לְשֵׁשְׁבַצַּר וְיהִיבוּ בָבֶל
任命した–彼を 総督に すなわち 名の–彼の シェシュバツァルに そして–与えられた バビロンの
H7761 H6347 H1768 H8036 H8340 H3052 H0895

またクロス王は先にネブカデネザルが、エルサレムの宮からバビロンの神殿に移した神の宮の金銀の器を、バビロンの神殿から取り出して、彼が総督に任じたセシバザルという名の者に渡して、

15 וַאֲמַר־ לֵהּ וְלֵהּ [אלה] (אֱל) הָמָּו אֲחַת׃
そして-言った 彼に (ケティブ) これらの 器を 取れ 行け 置け-それらを それらを
H0560 H0412 H0412 H0412 H3984 H5376 H0236 H5182 H1994

בְּהֵיכְלָא דִּי בִירוּשְׁלֶם וּבֵית אֱלָהָא יִתְבְּנֵא עַל־ אֲתְרֵהּ׃
神殿に すなわち エルサレムの そして-宮を 神の 建てよ （の上に） 場所の-上に-その
H1965 H1768 H3390 H1005 H0426 H1124 H5922 H0870

ס
（セラ）

彼に言われました、「これらの器を携えて行って、エルサレムにある宮に納め、神の宮をもとの所に建てよ」と。

16 אֱדַיִן דִּי שֵׁשְׁבַּצַּר דֵּךְ אָתָא יְהַב אֻשָּׁיָא דִּי־ בֵית אֱלָהָא דִּי
その-時 すなわち シェシュバツァルは その 来て 据えた 土台を すなわち 宮の 神の すなわち
H0116 H1768 H8340 H1791 H0858 H3052 H0787 H1768 H1005 H0426 H1768

וְלָא מִתְבְּנֵא כְּעַן וְעַד־ אֱדַיִן וּמִן־ בִירוּשְׁלֶם
しかし-まだ 建てられて-いる 今 まで その-時 そして-それ-から エルサレムの
H3809 H1124 H3705 H5705 H0116 H4481 H3390

שְׁלֵם׃
完成して-いない
H8000

そこでこのセシバザルは来てエルサレムにある神の宮の基礎をすえました。その時から今に至るまで、建築を続けていますが、まだ完成しないのです』と。

17 וּכְעַן הָן עַל־ מַלְכָּא טָב יִתְבַּקַּר בְּבֵית גִּנְזַיָּא דִּי־
今-そこで-今 もし （の上に） 王に-おいて 良い-ならば 調べよ-うに 宝庫で 宝物の すなわち
H3705 H1836 H5922 H4430 H2869 H1240 H1005 H1596 H1768

מַלְכָּא דִּי תַמָּה הוּא בְּבָבֶל דִּי אִיתַי הָן מִן־ דִּי־ כּוֹרֶשׁ
王の すなわち そこに-ある バビロンに-ある かどうか ある （から） すなわち クロス
H4430 H1768 H8536 H0895 H0383 H4481 H1768 H3567

מַלְכָּא וּרְעוּת בִּירוּשְׁלֶם דְּנָה בֵּית־ לִמְבְנֵא אֱלָהָא דֵּךְ
王の そして-意向を エルサレムに-ある この-ことに-ついて 宮を 建てる-ために 神の その
H4430 H7470 H3390 H1836 H1005 H1124 H0426 H1791

מַלְכָּא עַל־ שָׁם הַנָּח יִשְׁלַח עֲלֵינָא׃ ס
王の （に-ついて） 置かれた 命令が 送れ 私たちに （セラ）
H4430 H5922 H7761 H2942 H7972 H5922

それで今、もし王がよしと見られるならば、バビロンにある王の宝庫を調べて、エルサレムの神のこの宮を建てることの命令が、はたしてクロス王から出ているかどうかを確かめ、この事についての王のお考えをわれわれに伝えてください」。

Chapter 6

1 בֵּאדַיִן דָּרְיָוֶשׁ מַלְכָּא שָׁם טְעֵם וּבַקְּרוּ בְּבֵית סִפְרַיָּא דִּי
そのとき ダレイオス 王は 命令を 下した そして-調べさせた 記録の 書庫で すなわち
H0116 H1868 H4430 H7761 H2942 H1240 H1005 H5609 H1768

בְּבָבֶל׃ מְהַחֲתִין תַּמָּה גִּנְזַיָּא
バビロンの そこ 収められている 宝物庫に
H0895 H8536 H5182 H1596

そこでダリヨス王は命を下して、バビロンのうちで、古文書をおさめてある書庫を調べさせたところ、

2

וְכֵן־	חֲדָה	מְגִלָּה	מְדִינְתָּה	בְּמָדַי	דִּי	בְּבִירְתָּא	בְּאַחְמְתָא	וְהִשְׁתְּכַח
こう	一つ	巻物が	州の	メディアの	ある	城に	エクバタナで	そして-見つかった
H3652	H2298	H4040	H4083	H4076	H1768	H1001	H0307	H7912

פ	דִּכְרוֹנָה׃	בְּגַוָּהּ	כְּתִיב
P	記録として	その-中に	記されていた
	H1459		H3790

メデヤ州の都エクバタナで、一つの巻物を見いだした。そのうちにこうしるされてある。「記録。

3

אֱלָהָא	בֵּית־	טְעֵם	שָׂם	מַלְכָּא	כּוֹרֶשׁ	מַלְכָּא	לְכוֹרֶשׁ	חֲדָה	בִּשְׁנַת
エルサレムの	神の-宮	下した	命令を	王が	クロス	王の	クロス	第一の	年の
H0426	H1005	H2942	H7761	H4430	H3567	H4430	H3567	H2298	H8140

וְאֻשּׁוֹהִי	דִּבְחִין	דָּבְחַיִן	דִּי־	אֲתַר	יִתְבְּנֵא	בַּיְתָא	בִּירוּשְׁלֶם	
その-基は	いけにえを	いけにえを-ささげる	すなわち	場所	再建せよ	宮は	エルサレムに	
H0787	H1685	H1684	H1768	H0870	H1124	H1005	H3390	

שִׁתִּין׃	אַמִּין	פְּתָיֵהּ	שִׁתִּין	אַמַּיִן	רוּמֵהּ	מְסֻבְּלִין
六十	キュビトで	幅は	六十	キュビトで	高さは	保たれ
H8361	H0521	H6613	H8361	H0521	H7314	H5446

クロス王の元年にクロス王は命を下した、『エルサレムにある神の宮については、犠牲をささげ、燔祭を供える所の宮を建て、その宮の高さを六十キュビトにし、その幅を六十キュビトにせよ。

4

מִן־	וְנִפְקָתָא	חֲדַת	אָע	דִּי־	וְגִדְּדָךְ	תְּלָתָא	גְּלַל	אֶבֶן	דִּי־	נְדַבָּיִן
から	費用は	新しい	木の	の	段は	三段	切り石を	石の	段は	大きな-石の
H4481	H5313	H2323	H0636	H1768	H5073	H8532	H1560	H0069	H1768	H5073

תִּתְיְהֵב׃	מַלְכָּא	בֵּית
支払われる	王の	王の-家
H3052	H4430	H1005

大いなる石の層を三段にし、木の層を一段にせよ。その費用は王の家から与えられる。

5

הַנְפַּק	נְבוּכַדְנֶצַּר	דִּי	וְכַסְפָּא	דַּהֲבָה	דִּי	אֱלָהָא	בֵּית־	מָאנֵי	וְאַף	
持ち出した	ネブカドネツァルが	それ	銀の	金の	すなわち	神の	神の-宮の	器を	また	
H5312	H5020	H1768	H3702	H1722	H1768	H0426	H1005	H3984	H0638	

לְהֵיכְלָא	וְיֵהָךְ	יַהֲתִיבוּן	לְבָבֶל	וְהֵיבֶל	בִּירוּשְׁלֶם	דִּי־	הֵיכְלָא	מִן־	
神殿へ	それらを-行き	返還せよ	バビロンへ	持ち去って	エルサレムの	の	神殿	から	
H1965	H1946	H8421	H0895	H2987	H3390	H1768	H1965	H4481	

ס	אֱלָהָא׃	בְּבֵית	וְתַחֵת	לְאַתְרֵהּ	בִּירוּשְׁלֶם	דִּי־	
S	神の	神の-宮に	安置して	その-場所に	エルサレムの	の	
	H0426	H1005	H5182	H0870	H3390	H1768	

またネブカデネザルが、エルサレムの宮からバビロンに移した神の宮の金銀の器物は、これをかえして、エルサレムにある宮のもとの所に持って行き、これを神の宮に納めよ』」。

6

בּוֹזְנַי	שְׁתַר	נַהֲרָה	עֲבֶר־	פַּחַת	תַּתְּנַי	כְּעַן	
ボズナイよ	シェタル・ボズナイよ	ユーフラテスの	川-向こうの	総督	タテナイよ	今	
H8370	H8370	H5103	H5675	H6347	H8674	H3705	

מִן־	הֲוֹו	רַחִיקִין	נַהֲרָה	בַּעֲבַר	דִּי	אֲפַרְסְכָיֵא	וּכְנָוָתְהוֹן	
から	いよ	遠ざかって	ユーフラテスの	川-向こうに-いる	すなわち	役人たちよ	その-仲間たちよ	
H4481	H1934	H7352	H5103	H5675	H1768		H3675	

תַּמָּה׃
そこ
H8536

「それで川向こうの州の知事タテナイおよびセタル・ボズナイとその同僚である川向こうの州の知事たちよ、あなたがたはこれに遠ざかり、

7 שְׁבֻקוּ לַעֲבִידַת בֵּית־ אֱלָהָא דֵּךְ פַּחַת יְהוּדָיֵא
この–工事を 工事に 神の–宮の 神の この 総督 ユダヤ人と
H7662 H5673 H1005 H0426 H1791 H6347 H3062

וּלְשָׁבֵי יְהוּדָיֵא עַל־ בֵּית־ אֱלָהָא דֵּךְ יִבְנוֹן עַל־ אַתְרֵהּ׃
ユダヤ人の–長老たちに ユダヤ人の 神の–宮 この 建てさせよ その 場所に
H7868 H3062 H1005 H0426 H1791 H1124 H5922 H0870

神のこの宮の工事を彼らに任せ、ユダヤ人の知事とユダヤ人の長老たちに、神のこの宮をもとの所に建てさせよ。

8 וּמִנִּי שָׂם טְעֵם לְמָא דִּי־ תְתַעבְדוּן עִם־ שָׂבֵי יְהוּדָיֵא
わたしから 命令を 下す 何を すなわち なすべきか 共に ユダヤ人の–長老たちと ユダヤ人の
H4481 H7761 H2942 H3964 H1768 H5648 H5974 H7868 H3062

מִדַּת אִלֵּךְ בֵּית־ אֱלָהָא דֵּךְ וּמִנְכְסֵי מַלְכָּא דִּי־ מִנְכָסַיָּא לְמִבְנֵא
あの 建てるために 神の–宮を この 王の–財産から 王の すなわち 貢ぎ物の
H0479 H1124 H1005 H0426 H1791 H5232 H4430 H1768 H4061

אִלֵּךְ לְגֻבְרַיָּא מְתְיַהֲבָא תֶּהֱוֵא נִפְקְתָא אָסְפַּרְנָא נַהֲרָה עֵבֶר
あの その–人々に 支払われるように 与えよ 費用を 速やかに ユーフラテスの 川–向こうの
H0479 H1400 H3052 H1934 H5313 H0629 H5103 H5675

לְבַטָּלָא׃ לָא דִּי־
止めることが–ないように 止めることが–ないように すなわち
H0989 H3809 H1768

わたしはまた命を下し、神のこの宮を建てることについて、あなたがたがこれらのユダヤ人の長老たちになすべき事を示す。王の財産、すなわち川向こうの州から納めるみつぎの中から、その費用をじゅうぶんそれらの人々に与えて、その工事を滞らないようにせよ。

9 וּמָה חַשְׁחָן וּבְנֵי תוֹרִין וְדִכְרִין וְאִמְּרִין וְלַעֲלָוָן לֵאֱלָהּ
そして–必要な ものは すなわち–若い 雄牛 雄羊 子羊 全焼の–ささげ物のための 天の
H4101 H2592 H1123 H8450 H1798 H0563 H5928 H0426

שְׁמַיָּא חִנְטִּין מְלַח וְחֶמַר מִשַּׁח כְּמֵאמַר כָּהֲנַיָּא דִּי־ בִירוּשְׁלֶם לֶהֱוֵא
神への 小麦 塩 ぶどう酒 油を の–言葉に–従い 祭司たちの の エルサレムの 与えよ
H8065 H2591 H4416 H2562 H4887 H3983 H3549 H1768 H3390 H1934

יְהַב לְהֹם יוֹם בְּיוֹם דִּי־ לָא שָׁלוּ׃
与えられる 彼らに 日–ごとに 日–ごとに すなわち 怠り–なく 怠り–なく
H3052 H0000 H3118 H3118 H1768 H3809 H7960

またその必要とするもの、すなわち天の神にささげる燔祭の子牛、雄羊および小羊ならびに麦、塩、酒、油などエルサレムにいる祭司たちの求めにしたがって、日々怠りなく彼らに与え、

10 דִּי־ יְהֵוֶן מְהַקְרְבִין נִיחוֹחִין לֵאֱלָהּ שְׁמַיָּא וּמְצַלַּיִן לְחַיֵּי מַלְכָּא
すなわち 彼らが ささげて なだめの–香りを 天の 神に 祈るためである 命の–ために 王と
H1768 H1934 H7127 H5208 H0426 H8065 H6739 H2417 H4430

וּבְנוֹהִי׃
その–子たちの
H1123

彼らにこうばしい犠牲を天の神にささげさせ、王と王子たちの長寿を祈らせよ。

11 וּמִנִּי֙ שָׂ֣ם טְעֵ֔ם דִּ֚י אֱנָ֣שׁ כָּל־ דִּ֔י יְהַשְׁנֵ֕א פִּתְגָמָ֖א דְּנָ֑ה
わたしから 命令を 下す すなわち すべての 人が もし 変える–なら この–布告を この
H4481 H7761 H2942 H1768 H3606 H0606 H1768 H8133 H6600 H1836

יִתְעֲבֵ֔ד נְוָלִ֖ו וּבַיְתֵ֣הּ עֲלֹ֑הִי יִתְמְחֵ֣א וּזְקִ֔יף בַּיְתֵ֖הּ מִן־ אָ֣ע יִתְנְסַ֔ח
される 廃墟と その–家は その–上に 打たれ 立てられて その–家の から 梁が 引き抜かれ
H5648 H5122 H1005 H5922 H4223 H2211 H1005 H4481 H0636 H5256

דְּנָֽה׃ עַל־
この–ことの–ゆえに この–ことの–ゆえに
H1836 H5922

わたしはまた命を下す。だれでもこの命ずる所を改める者があるならば、その家の梁は抜き取られ、彼はその上にくぎづけにされ、その家はまた、これがために汚物の山とされるであろう。

12 וֵאלָהָּ֡א דִּ֣י שְׁכַ֣ן תַּמָּ֡ה שְׁמֵ֣ה יְמַנַּ֣ר כָּל־ מַלְכ֡וּ וְעַמ֡וּ דִּ֣י
そして–神が その 住まわせた 御名を 倒されよ そこに 御名を 王と 民が もし
H0426 H1768 H7932 H8036 H4049 H8536 H8036 H4430 H5972 H1768

יְדֵ֣הּ יְשַׁלַּ֗ח בֵּית־ אֱלָהָּא֙ דְּ֣ך לְחַבָּלָ֔ה לְהַשְׁנָיָ֖ה
その–手を 手を–伸ばして 神の–宮を この 神の 破壊したり–するなら 変えたり
H3028 H7972 H1005 H1791 H0426 H2255 H8133

דִּ֣י כְנָ֗ה יְתְעֲבֵֽד׃ טְעֵ֣ם אָסְפַּרְנָ֔א דָּרְיָ֥וֶשׁ אֲנָ֖ה בִּירוּשְׁלֶ֑ם פ
すなわち 実行せよ 速やかに 下した 命令を ダレイオスが わたし エルサレムの P
H1768 H5648 H0629 H2942 H7761 H1868 H3390

これを改めようとする者、あるいはエルサレムにある神のこの宮を滅ぼそうとして手を出す王あるいは民は、かしこにその名をとどめられる神よ、願わくはこれを倒されるように。われダリヨスは命を下す。心してこれを行え」。

13 אֱדַ֗יִן תַּתְּנַי֙ פַּחַ֣ת עֵבְרָ֔ה נַהֲרָ֖ה שְׁתַּ֣ר בּוֹזְנַ֑י
そこで タテナイ 総督 川–向こうの ユーフラテスの シェタル・ボズナイ ボズナイと
H0116 H8674 H6347 H5675 H5103 H8370 H8370

אָסְפַּרְנָ֔א כְּנֻמָּ֖א מַלְכָּ֣א דָּרְיָ֑וֶשׁ שְׁלַּ֗ח דִּ֣י לְקֻבֵּ֣ל וּכְנָוָתְהֹ֖ון
速やかに その–通りに 王が ダレイオス 送った すなわち それに–応じて その–仲間たちは
H0629 H3660 H4430 H1868 H7972 H1768 H6903 H3675

עֲבַֽדוּ׃
行った
H5648

ダリヨス王がこう言い送ったので、川向こうの州の知事タテナイおよびセタル・ボズナイとその同僚たちは心してこれを行った。

14)נְבִיָּא( ]נביאה[חַגַּ֣י בְּנִבוּאַ֗ת וּמַצְלְחִ֣ין בְּנָ֔ין יְהוּדָיֵ֖א וְשָׁבֵ֑י
預言者の 預言者 ハガイ 預言により 栄えた 建て ユダヤ人の そして–ユダヤ人の–長老たちは
H5029 H5029 H5017 H6744 H1124 H3062 H7868

יִשְׂרָאֵ֔ל אֱלָהָ֖ה טַ֣עַם מִן־ וְשַׂכְלְל֑וּ וּבְנ֗וֹ עִדּ֣וֹא בַּר־ וְזַכַרְיָ֖ה
イスラエルの イスラエルの–神の 命令により の 完成した 彼らは–建て イドの の–子 ゼカリヤ
H3479 H0426 H2941 H4481 H1124 H5714 H1247

פָּרָֽס׃ מַלְכ֣וּ וְדָרְיָ֥וֶשׁ וְאַרְתַּחְשַׁשְׂתְּא֖ כֹּ֥ורֶשׁ וּמִטְעֵֽם׃
ペルシアの ペルシアの–王の アルタクセルクセス ダレイオスと クロスと 命令により
H6540 H4430 H3567 H2942

そしてユダヤ人の長老たちは、預言者ハガイおよびイドの子ゼカリヤの預言によって建て、これをなし遂げた。彼らはイスラエルの神の命令により、またクロス、ダリヨスおよびペルシャ王アルタシャスタの命によって、これを建て終った。

15 וְשֵׁיצִיאֹ בֵּיתָה דְנָה עַד יוֹם תְלָתָה לִירַח אֲדָר הִיא דִי־ שְׁנַת־
完成した この–宮は この まで 日 三の 月の アダルの それは すなわち 年の
H3319 H1005 H1836 H5705 H3118 H8532 H3393 H0144 H1932 H1768 H8140

פ שֵׁת לְמַלְכוּת דָרְיָוֶשׁ מַלְכָּא׃
P 第六の 治世の ダレイオス 王の
H8353 H4437 H1868 H4430

この宮はダリヨス王の治世の六年アダルの月の三日に完成した。

16 וַעֲבַדוּ בְּנֵי־ יִשְׂרָאֵל כָּהֲנַיָּא וְלֵוָיֵא וּשְׁאָר בְּנֵי־
そして–行った イスラエルの–子ら イスラエルの 祭司たち レビ人 その–他の 捕囚の–子らは
H5648 H1123 H3479 H3549 H3879 H7606 H1123

בְּחֶדְוָה׃ דְנָה אֱלָהָא בֵּית־ חֲנֻכַּת גָלוּתָא
喜びを–もって この 神の 神の–宮の 奉献式を 捕囚の
H2305 H1836 H0426 H1005 H2597 H1547

そこでイスラエルの人々、祭司たち、レビびとおよびその他の捕囚から帰った人々は、喜んで神のこの宮の奉献式を行った。

17 וְהַקְרִבוּ לַחֲנֻכַּת דְנָה אֱלָהָא בֵּית־ תּוֹרִין דְכַרִין מְאָה אִמְּרִין מָאתַיִן אַרְבַּע
ささげた 奉献のために この 神の 神の–宮の 雄牛を 雄羊を 百頭 子羊を 二百頭 四
H7127 H2597 H1836 H0426 H1005 H8450 H1798 H3969 H0563 H3969 H0703

תְּרֵי־ עַל־ כָּל־ לְחַטָּאָה( )לחטיא] עִזִּין וּצְפִירֵי מְאָה
十 すべての すべての 罪の–ための 罪の–ための やぎ 雄やぎを 百頭
H8648 H3606 H5922 H2409 H2409 H5796 H6841 H3969

יִשְׂרָאֵל׃ שִׁבְטֵי לְמִנְיָן עַשַּׂר
イスラエルの 部族の 数に–従い 二
H3479 H7625 H4510 H6236

すなわち神のこの宮の奉献式において、雄牛一百頭、雄羊二百頭、小羊四百頭をささげ、またイスラエルの部族の数にしたがって、雄やぎ十二頭をささげて、すべてのイスラエルびとのための罪祭とした。

18 וַהֲקִימוּ כָּהֲנַיָּא בִּפְלֻגָתְהוֹן וְלֵוָיֵא בִּמְחַלְקָתְהוֹן עַל־ עֲבִידַת אֱלָהָא
立てた 祭司たちを その–組に–分け レビ人を その–班に–分けて について 奉仕の 神への
H6966 H3549 H6392 H3879 H4255 H5922 H5673 H0426

פ כְּכְתָב בִירוּשְׁלֶם דִי מֹשֶׁה׃ סִפְרָ
P 書かれている–通りに エルサレムでの すなわち 書に モーセの
H4873 H5609 H3792 H3390 H1768

またモーセの書にしるされてあるように祭司を組別により、レビびとを班別によって立て、エルサレムで神に仕えさせた。

19 וַיַעַשׂוּ בְּנֵי־ הַגּוֹלָה אֶת־ הַפָּסַח בְּאַרְבָּעָה לַחֹדֶשׁ עָשָׂר
そして–守った 捕囚の–子らは 捕囚から–帰った–者は 過越の 祭を 第一の–月の 四日に 十
H6213 H1121 H1473 H0853 H6453 H0702 H2320 H6240

הָרִאשׁוֹן׃
第一の
H7223

こうして捕囚から帰って来た人々は、正月の十四日に過越の祭を行った。

20 כִּי הַכֹּהֲנִים וְהַלְוִיִּם כְּאֶחָד כֻּלָּם טְהוֹרִים וַיִּשְׁחֲטוּ
なぜなら 祭司たちと レビ人は 一つ-となって みな 清かった ほふった
H2891 H3548 H3881 H0259 H3605 H2889

הַפֶּסַח לְכָל־ בְּנֵי הַגּוֹלָה וְלַאֲחֵיהֶם הַכֹּהֲנִים וְלָהֶם׃
過越の-子羊を すべての 捕囚の-ため 捕囚の-子らの 兄弟たちの-ため 祭司たちの 自分たちの-ため
H6453 H3605 H1473 H0251 H3548 H1992

すなわち祭司、レビびとたちは共に身を清めて皆清くなり、すべて捕囚から帰って来た人々のため、その兄弟である祭司たちのため、また彼ら自身のために過越の小羊をほふった。

21 וַיֹּאכְלוּ בְּנֵי־ יִשְׂרָאֵל הַשָּׁבִים מֵהַגּוֹלָה וְכֹל הַנִּבְדָּל
食べた イスラエルの-子らは イスラエルの 帰って-来た-者 捕囚から すべての 離れた-者も
H0398 H3478 H7725 H1473 H3605 H0914

לִדְרֹשׁ לַיהוָה אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל׃ מִטֻּמְאַת גּוֹיֵי־ הָאָרֶץ אֲלֵהֶם
求めるために 主を 神の イスラエルの 汚れから 諸国の-民の 国の 彼らに-加わり
H1875 H3068 H0430 H3478 H2932 H1471 H0776 H0413

そして捕囚から帰って来たイスラエルの人々、およびその地の異邦人の汚れを捨てて彼らに連なり、イスラエルの神、主を拝しようとする者はすべてこれを食べ、

22 וַיַּעֲשׂוּ חַג־ הַמַּצּוֹת שִׁבְעַת יָמִים בְּשִׂמְחָה וְכִי שִׂמְּחָם
そして-守った 除酵の-祭を 種なしパンの 七 日の-間 喜びを-もって なぜなら 喜ばせた
H8055 H2282 H4682 H7651 H3117 H8057 H3588 H8055

יְהוָה וְהֵסֵּב לֵב מֶלֶךְ־ אַשּׁוּר עֲלֵיהֶם לְחַזֵּק יְדֵיהֶם
主が 向けさせた 心を アッシリアの-王の アッシリアの 彼らに-向けて 強くするため その-手を
H3068 H5437 H3824 H4428 H0804 H5921 H2388 H3027

בְּמְלֶאכֶת בֵּית־ הָאֱלֹהִים אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל׃ פ
工事に 神の-宮の 神の イスラエルの P
H4399 H1004 H0430 H0430 H3478

喜んで七日の間、種入れぬパンの祭を行った。これは主が彼らを喜ばせ、またアッスリヤの王の心を彼らに向かわせ、彼にイスラエルの神にいます神の宮の工事を助けさせられたからである。

Chapter 7

1 וְאַחַר הַדְּבָרִים הָאֵלֶּה בְּמַלְכוּת אַרְתַּחְשַׁסְתְּא מֶלֶךְ־ פָּרָס עֶזְרָא
これらの-事の 後 治世に アルタクセルクセス 王の ペルシアの エズラは
H0310 H1697 H0428 H4438 H0783 H4428 H6539 H5830

בֶּן־ שְׂרָיָה בֶּן־ עֲזַרְיָה בֶּן־ חִלְקִיָּה׃
の-子 セラヤの の-子 アザルヤの の-子 ヒルキヤの
H1121 H8304 H1121 H5838 H1121 H2518

これらの事の後ペルシャ王アルタシャスタの治世にエズラという者があった。エズラはセラヤの子、セラヤはアザリヤの子、アザリヤはヒルキヤの子、

2 בֶּן־ שַׁלּוּם בֶּן־ צָדוֹק בֶּן־ אֲחִיטוּב׃
の-子 シャルムの の-子 ツァドクの の-子 アヒトブの
H1121 H7967 H1121 H6659 H1121 H0285

ヒルキヤはシャルムの子、シャルムはザドクの子、ザドクはアヒトブの子、

3 בֶּן־ אֲמַרְיָה בֶּן־ עֲזַרְיָה בֶּן־ מְרָיוֹת׃
の-子 アマルヤの の-子 アザルヤの の-子 メラヨトの
H1121 H0568 H1121 H5838 H1121 H4812

アヒトブはアマリヤの子、アマリヤはアザリヤの子、アザリヤはメラヨテの子、

4

בֶּן־	זַרְחְיָה	בֶּן־	עֻזִּי	בֶּן־	בֻּקִּי׃	
の–子	ゼラフヤの	の–子	ウジの	の–子	ブキの	
	H2228		H5813		H1231	

メラヨテはゼラヒヤの子、ゼラヒヤはウジの子、ウジはブッキの子、

5

בֶּן־	אֲבִישׁוּעַ	בֶּן־	פִּינְחָס	בֶּן־	אֶלְעָזָר	בֶּן־	אַהֲרֹן	הַכֹּהֵן
の–子	アビシュアの	の–子	ピネハスの	の–子	エルアザルの	の–子	アロンの	大祭司の
	H0050		H6372		H0499		H0175	H3548

הָרֹאשׁ׃
かしらの

ブッキはアビシュアの子、アビシュアはピネハスの子、ピネハスはエレアザルの子、エレアザルは祭司長アロンの子である。

6

הוּא	עֶזְרָא	עָלָה	מִבָּבֶל	וְהוּא־	סֹפֵר	מָהִיר	בְּתוֹרַת	מֹשֶׁה
この	エズラが	上って–来た	バビロンから	彼は	学者で	熟達した	モーセの–律法に	モーセの
H1931	H5830	H5927	H0894	H1931		H4106	H8451	H4872

אֲשֶׁר־	נָתַן	יְהוָה	אֱלֹהֵי	יִשְׂרָאֵל	נִיתֶּן־	לוֹ	הַמֶּלֶךְ	כְּיַד־
すなわち	与えた	主が	イスラエルの–神	イスラエルの	与えた	彼に	王が	御手に–より
	H5414	H3068	H0430	H3478	H5414		H4428	H3027

אֱלֹהָיו׃	עָלָיו	כֹּל	בְּקֶשְׁתּוֹ׃	פ
神の	彼の–上の	すべての	願い通りに	P
H0430		H3605	H1246	

יְהוָה
主の
H3068

このエズラはバビロンから上って来た。彼はイスラエルの神、主がお授けになったモーセの律法に精通した学者であった。その神、主の手が彼の上にあったので、その求めることを王はことごとく許した。

7

וְהַמְשֹׁרְרִים	וְהַלְוִיִּם	הַכֹּהֲנִים	וּמִן־	יִשְׂרָאֵל	מִבְּנֵי־	וַיַּעֲלוּ
歌うたい	レビ人	祭司たち	そして	イスラエルの	イスラエルの–子らの–うちから	上って–行った
H7891	H3881	H3548		H3478		H5927

וְהַשֹּׁעֲרִים	וְהַנְּתִינִים	אֶל־	יְרוּשָׁלַ͏ִם	בִּשְׁנַת־	שֶׁבַע	לְאַרְתַּחְשַׁסְתְּא
門衛	宮に–仕える–者たちが	向かって	エルサレムへ	年の	第七の	アルタクセルクセス
H7778	H5411	H0413	H3389	H8141	H7651	

הַמֶּלֶךְ׃
王の
H4428

アルタシャスタ王の七年にまたイスラエルの人々および祭司、レビびと、歌うたう者、門衛、宮に仕えるしもべなどエルサレムに上った。

8

וַיָּבֹא	יְרוּשָׁלַ͏ִם	בַּחֹדֶשׁ	הַחֲמִישִׁי	הִיא	שְׁנַת	הַשְּׁבִיעִית	לַמָּלֶךְ׃
着いた	エルサレムに	月の	第五の	その	年の	第七の	王の
H0935	H3389	H2320	H2549	H1931	H8141	H7637	H4428

そして王の七年の五月にエズラはエルサレムに来た。

9

כִּי	בְּאֶחָד	לַחֹדֶשׁ	הָרִאשׁוֹן	הוּא	יְסַד־	הַמַּעֲלָה	מִבָּבֶל	וּבְאֶחָד
なぜなら	第一の–月の	月の	第一の	彼は	出発の–日を	旅立ちの	バビロンから	第一の–月の
	H0259	H2320	H7223	H1931	H3246		H0894	H0259

לַחֹדֶשׁ	הַחֲמִישִׁי	בָּא	אֶל־	יְרוּשָׁלַ͏ִם	כְּיַד־	אֱלֹהָיו	הַטּוֹבָה	עָלָיו׃
月の	第五の	着いた	に	エルサレムに	御手に–より	神の	恵み深い	彼の–上の
H2320	H2549	H0935	H0413	H3389	H3027	H0430		

すなわち正月の一日にバビロンを出立して、五月一日にエルサレムに着いた。その神の恵みの手が彼の上にあったからである。

10

כִּי עֶזְרָא הֵכִין לְבָבוֹ לִדְרוֹשׁ אֶת־תּוֹרַת יְהוָה וְלַעֲשֹׂת
なぜなら エズラは 決意した その-心を 究める-ために すなわち 主の-律法を 主の 行う-ため
H3588 H5830 H3559 H3824 H1875 H0853 H8451 H3068 H6213

וּלְלַמֵּד בְּיִשְׂרָאֵל חֹק וּמִשְׁפָּט׃ ס
教える-ため イスラエルで 掟と 定めを S
H3925 H3478 H2706 H4941

エズラは心をこめて主の律法を調べ、これを行い、かつイスラエルのうちに定めとおきてとを教えた。

11

וְזֶה הַפַּרְשֶׁגֶן הַנִּשְׁתְּוָן אֲשֶׁר נָתַן הַמֶּלֶךְ אַרְתַּחְשַׁסְתְּא לְעֶזְרָא הַכֹּהֵן
これは 写しで-ある 書簡の すなわち 与えた 王 アルタクセルクセスが エズラに 祭司
H2088 H6573 H5406 H3588 H5414 H4428 H0863 H5830 H3548

פ הַסֹּפֵר סֹפֵר דִּבְרֵי מִצְוֹת־יְהוָה וְחֻקָּיו עַל־יִשְׂרָאֵל׃
P 学者に 学者 言葉の 主の-戒めの 掟の について イスラエルの
H3588 H5613 H1697 H4687 H3068 H2706 H5921 H3478

主の戒めの言葉、およびイスラエルに賜わった定めに通じた学者で、祭司であるエズラにアルタシャスタ王の与えた手紙の写しは、次のとおりである。

12

אַרְתַּחְשַׁסְתְּא מֶלֶךְ מַלְכַיָּא לְעֶזְרָא כָּהֲנָא סָפַר דָּתָא דִי־אֱלָהּ שְׁמַיָּא
アルタクセルクセス 王の 王の エズラへ 祭司 学者 律法の の 天の-神の 天の
H0863 H4430 H4430 H5831 H3549 H5613 H1882 H1768 H0426 H8065

גְּמִיר וּכְעֶנֶת׃
完全なる 挨拶を
H1585 H3706

「諸王の王アルタシャスタ、天の神の律法の学者である祭司エズラに送る。今、

13

מִנִּי שָׂם טְעֵם כָּל־דִּי בְמַלְכוּתִי מִתְנַדַּב עַמָּה יִשְׂרָאֵל וְכָהֲנוֹהִי וְלֵוָיֵא
わたしから 命令を 下す すなわち すべての わが-王国で 志願する-者が 民-イスラエルの 祭司たちと レビ人が
H4481 H7761 H2942 H1768 H3606 H4437 H5069 H5971 H3549 H3879

לְמֵהָךְ לִירוּשְׁלֶם עִמָּךְ׃ יְהָךְ
行く-ことを エルサレムへ 共に-あなたと 行くがよい
H1946 H3390 H5974 H1946

わたしは命を下す。わが国のうちにいるイスラエルの民およびその祭司、レビびとのうち、すべてエルサレムへ行こうと望む者は皆、あなたと共に行くことができる。

14

מִן־קֳדָם מַלְכָּא וְשִׁבְעַת יָעֲטֹהִי שְׁלִיחַ כָּל־קֳבֵל דִּי מִן־דִּי בִּידָךְ אֱלָהָךְ
御前から 王と その-七人の 顧問が 遣わされた すなわち すべての-理由で すなわち から あなたの-手に-ある あなたの-神の
H6925 H4430 H7655 H3289 H7972 H6903 H3606 H1768 H4481 H3028 H0426

בְּדָת דִּי בְיַד לְבַקָּרָא עַל־יְהוּד וְלִירוּשְׁלֶם׃
律法に-基づき すなわち あなたの-手に-ある 調べる-ため について ユダと エルサレムを
H1882 H1768 H3028 H1240 H5922 H3061 H3390

あなたは、自分の手にあるあなたの神の律法に照して、ユダとエルサレムの事情を調べるために、王および七人の議官によってつかわされるのである。

15 וּלְהֵיטָבָה כֶּסֶף וּדְהַב דִּי־ מַלְכָּא וְעֲטָוהִי הִתְנַדְּבוּ לֵאלָהָא
持って–行くため 銀と 金を すなわち 王と その–顧問たちが ささげた イスラエルの–神に
H2987 H3702 H1722 H1768 H4430 H5069 H0426

יִשְׂרָאֵל דִּי בִּירוּשְׁלֶם מְשְׁכְּנֵהּ׃
イスラエルの その エルサレムに 住まいの–ある
H3479 H1768 H3390 H4907

かつあなたは王およびその議官らが、エルサレムにいますイスラエルの神に真心からささげる銀と金を携え、

16 וְכָל־ כֶּסֶף וּדְהַב דִּי תְהַשְׁכַּח מְדִינַת בְּכָל בָּבֶל עִם־ הִתְנַדְּבוּת
すべての 銀と 金を すなわち 見つかる 州の すべての バビロンの と共に ささげ–物を
H3606 H3702 H1722 H1768 H7912 H4083 H3606 H0895 H5974 H5069

בִּירוּשְׁלֶם׃ דִּי עַמָּא וְכָהֲנַיָּא מִתְנַדְּבִין לְבֵית אֱלָהֲהֹם
エルサレムの の 民と 祭司たちが 自発的に–ささげる ために 彼らの–神の–宮の
H3390 H1768 H5972 H3549 H5069 H1005 H0426

またバビロン全州であなたが獲るすべての金銀、および民と祭司とが、エルサレムにあるその神の宮のために、真心からささげた供え物を携えて行く。

17 כָּל־ קֳבֵל דְּנָה אָסְפַּרְנָא תִּקְנָא בִכְסַפָּא דְּנָה וְתוֹרִין דְּכָרִין אִמְּרִין
すべての 理由で この 速やかに 買え この–金で この 雄牛 雄羊 子羊
H3606 H6903 H1836 H0629 H7066 H3702 H1836 H8450 H1798 H0563

דִּי מַדְבְּחָה עַל־ הִמּוֹ וְתִקְרֻב וְנִסְכֵּיהוֹן וּמִנְחָתְהוֹן
の 祭壇に の–上に それらを ささげよ 注ぎの–ささげ物を 穀物の–ささげ物と
H1768 H4056 H5922 H1994 H7127 H5261 H4504

בִּירוּשְׁלֶם׃ דִּי אֱלָהֲכֹם בֵּית
エルサレムの の あなたがたの–神の あなたがたの–神の–宮の
H3390 H1768 H0426 H1005

それであなたはその金をもって雄牛、雄羊、小羊およびその素祭と灌祭の品々を気をつけて買い、エルサレムにあるあなたがたの神の宮の祭壇の上に、これをささげなければならない。

18 וּמָה דִּי־ עֲלָךְ (עֲלַיִךְ) וְעַל־ אֲחָךְ (אֲחַיִךְ) טַב יְיַשַּׁר בְּשְׁאָר
そして すなわち あなたと あなたと あなたの 兄弟たちが 良い–と–思うなら 残りの
H4101 H1768 H5922 H0252 H0252 H3191 H7606

תַּעַבְדוּן׃ אֱלָהֲכֹם כִּרְעוּת לְמֶעְבַּד וְדַהֲבָה כַסְפָּא
行え あなたがたの–神の あなたがたの–神の–御心に 行う–ことを 金で 銀と
H5648 H0426 H7470 H5648 H1722 H3702

また、あなたとあなたの兄弟たちが、その余った金銀でしようと思うよい事があるならば、あなたがたの神のみ旨に従ってそれを行え。

19 וּמָאנַיָּא דִּי־ יְהָבִין מִתְיַהֲבִין לָךְ לְפָלְחַן בֵּית אֱלָהָךְ הַשְׁלֵם
器を すなわち 与えられた あなたに 奉仕の–ための あなたの–神の–宮の あなたの–神の 届けよ
H3984 H1768 H3052 H6402 H1005 H0426 H8000

קֳדָם אֱלָהּ יְרוּשְׁלֶם׃
御前に エルサレムの–神の エルサレムの
H6925 H0426 H3390

またあなたの神の宮の勤め事のためにあなたが与えられた器は、エルサレムの神の前に納めよ。

20 וּשְׁאָ֣ר חַשְׂח֣וֹת בֵּ֔ית אֱלָהָ֖ךְ דִּ֣י יִפֶּל־לָ֑ךְ

その–他の	必要な–物は	あなたの–神の–宮の	すなわち	必要に–なる	あなたに	
H7606	H2819	H1005	H1768	H5308		

לְמִנְתָּ֣ן מִן־בֵּ֔ית תִּנְּתֵ֖ן גִּנְזֵ֥י מַלְכָּֽא׃

支払う–もの	支払え	から	王の–宝庫の	王の–宝庫の	王の
H5415	H5415	H4481	H1596	H1005	H4430

そのほかあなたの神の宮のために用うべき必要なものがあれば、それを王の倉から出して用いよ。

21 וְאֲנִ֣י אֲנָ֗ה אַרְתַּחְשַׁסְתְּא֙ מַלְכָּ֣א יָהִ֔יב לְכֹ֖ל טְעֵ֣ם שָׂ֑ים דִּ֣י לְגִזְבְּרַיָּ֣א

すなわち	宝庫の–番人に	すべての	下す	命令を	王は	アルタクセルクセス	わたし	わたし
H1768	H1490	H3606	H2942	H7761	H4430			H4481

בַּעֲבַ֣ר נַהֲרָ֔ה דִּ֣י כָל־דִּ֗י סָפְרָ֤א כָּהֲנָה֙ עֶזְרָ֣א יְשֵׁאֲלִנְכ֔וֹן דִּ֖י

川–向こうの		ユーフラテスの	すなわち	すべての	すなわち	求める–ことを	エズラ	祭司	学者
H5675		H5103	H1768	H3606	H1768	H7593	H5831	H3549	H5613

יִתְעֲבֵֽד׃ אָסְפְּרְנָ֣א שְׁמַיָּ֣א אֱלָהָ֣ה דִּי־דָתָ֣א

行え	速やかに	天の	天の–神の	の	律法の
H5648	H0629	H8065	H0426	H1768	H1882

われ、アルタシャスタ王は川向こうの州のすべての倉づかさに命を下して言う、『天の神の律法の学者である祭司エズラがあなたがたに求める事は、すべてこれを心して行え。

22 מְאָ֣ה בַתִּ֗ין חַמַר֙ וְעַד־מְאָ֣ה כֹרִ֔ין חִנְטִ֖ין וְעַד־מְאָ֣ה כַכְּרִ֑ין כָּסַף֙ עַד־

百	バトで	ぶどう酒は	まで	百	コルで	小麦は	まで	百	タラントで	銀は	まで
H3969	H1325	H2562	H5705	H3969		H2591	H5705	H3969	H3604	H3702	H5705

כְּתָ֔ב וּמְלַ֖ח לָ֣א דִּי־מִשְׁח֑ מְאָ֣ה בַתִּ֗ין וְעַד־

制限–なし	制限–なし	すなわち	塩は	百	油は	バトで	まで
H3792	H3809	H1768	H4416	H3969	H4887	H1325	H5705

すなわち銀は百タラントまで、小麦は百コルまで、ぶどう酒は百バテまで、油は百バテまで、塩は制限なく与えよ。

23 לְבֵ֣ית אֲדַרְזְדָּ֗א יִתְעֲבֵד֙ שְׁמַיָּ֣א אֱלָהָ֔ה טַ֖עַם מִן־דִּ֣י כָל־

ために	正確に	行われるべき–ことは	天の	天の–神の	命令に–従い	から	の	すべて
H1005	H0149	H5648	H8065	H0426	H2941	H4481	H1768	H3606

וּבְנוֹהִֽי׃ מַלְכָּ֣א מַלְכ֔וּת עַל־קְצַ֖ף לֶהֱוֵ֑א לְמָ֣ה דִּי־שְׁמַיָּ֣א אֱלָהָ֣ה

その–子たちの	王と	王国の	の–上に	怒りが	あるのか	なぜ	なぜなら	天の	天の–神の–宮の
H1123	H4430	H4437	H5922	H7109	H1934	H4101	H1768	H8065	H0426

天の神の宮のために、天の神の命じるところは、すべて正しくこれを行え。そうしないと神の怒りが、王と王の子らの国に臨むであろう』。

24 נְתִינַיָּ֣א תָרֵעַיָּ֗א זַמָּרַיָּא֙ וְלֵוָיֵ֣א כָּהֲנַיָּ֔א כָּל־דִּ֖י מְהוֹדְעִ֣ין וּלְכֻ֑ם

宮に–仕える–者	門衛	歌うたい	レビ人	祭司	すべての	すなわち	知らせる	あなたがたに
H5412	H8652	H2171	H3879	H3549	H3606	H1768	H3046	

שַׁלִּ֔יט לָ֣א וַהֲלָ֗ךְ בְּלוֹ֙ מִנְדָּ֣ה דְנָ֔ה אֱלָהָ֖א בֵּ֣ית וּפֻלְחֵ֑י

許されない	課すことは–できない	通行税を	関税	みつぎ	この	神の	の–宮の	奉仕する–者たちの
H7990	H3809	H1983	H1093	H4061	H1836	H0426	H1005	H6399

לְמִרְמֵ֥א עֲלֵיהֽוֹם׃

課すことは	彼らに
H7412	H5922

われわれは、またあなたがたに告げる、『祭司、レビびと、歌うたう者、門衛、宮に仕えるしもべ、および神のこの宮の仕えびとたちには、みつぎ、租税、税金を課してはならぬ』。

שָׁפְטִ֔ין	מַנִּ֖י	בִּיד֣וֹ	דִּי־	אֱלָהָ֑ךְ	כְּחָכְמַ֤ת	עֶזְרָא֙	וְאַנְתְּ֔	25
裁判人と	任命せよ	あなたの–手に–ある	すなわち	あなたの–神の	知恵に–従い	エズラよ	あなたは	
H8200	H4483	H3028	H1768	H0426	H2452	H5831	H0607	

בַּעֲבַ֣ר	דִּ֠י	עַמָּ֨ה	לְכֹ֜ל־	דְּאִינִ֣ין׀	[דאנין]	לֶהֱוֹ֗ן	דִּי־	וְדַיָּנִין
川–向こうの	すなわち	民を	すべての	裁く–者を	裁く–者を	裁く–者を	すなわち	裁き人を
H5675	H1768	H5972	H3606	H1778	H1778	H1934	H1768	H1782

לָ֣א	וְדַ֔י	אֱלָהֵ֖ךְ	דָּתַ֣י	יָדְעִ֑ין	לְכֹ֣ל־	נַהֲרָ֔ה	
知らない	知らない–者には	あなたの–神の	あなたの–神の–律法を	知る–者を	すべての	ユーフラテスの	
H3809	H1768	H0426	H1882	H3046	H3606	H5103	

תְּהוֹדְעֽוּן׃	יְדָ֥ע
教えよ	知らない
H3046	H3046

エズラよ、あなたはあなたの手にある神の知恵によって、つかさおよび裁判人を立て、川向こうの州のすべての民、すなわちあなたの神の律法を知っている者たちを、ことごとくさばかせよ。あなたがたはまたこれを知らない者を教えよ。

אֱלָהֵ֔ךְ	דִּי־	דָּתָ֖א	עָבֵ֑ד	לֶהֱוֵ֣א	לָ֗א	דִּי־	וְכֹ֣ל־		26
あなたの–神の	すなわち	あなたの–神の–律法を	行う–者が	なら	行わない	すなわち	すべての		
H0426	H1768	H1882	H5648	H1934	H3809	H1768	H3606		

לְמ֣וֹת	הֵ֔ן	מִנֵּ֖ה	מִתְעֲבֵ֑ד	לֶהֱוֵ֣א	דִּינָ֗ה	אָסְפַּרְנָא֙	מַלְכָּ֔א	דִּ֣י	וְדָתָ֔א
死刑であれ	それが	彼から	行われる–べし	行われる–べし	裁きが	速やかに	王の	の	律法を
H4193		H4481	H5648	H1934	H1780	H0629	H4430	H1768	H1882

פ	וְלֶאֱסוּרִ֖ין׃	נְכָסִ֣ין	לַעֲנָ֑שׁ	הֵ֣ן־	(לִשְׁרֵשִׁ֗י)	[לשרשו]	הֵ֔ן
P	投獄であれ	財産–没収であれ	財産–没収であれ	それが	追放であれ	追放であれ	それが
	H0613	H5232	H6065		H8332	H8332	

あなたの神の律法および王の律法を守らない者を、きびしくその罪に定めて、あるいは死刑に、あるいは追放に、あるいは財産没収に、あるいは投獄に処せよ」。

נָתַ֗ן	אֲשֶׁ֤ר	אֲבוֹתֵ֙ינוּ֙	אֱלָהֵ֔י	יְהוָ֖ה	בָּרְי֣וּךְ		27
与えた	お与えに–なった	わたしたちの–先祖の	わたしたちの–先祖の–神	主	ほむべきかな		
H5414		H0001	H0430	H3068	H1288		

בִּירוּשָׁלִָֽם׃	אֲשֶׁ֣ר	יְהוָ֔ה	בֵּ֖ית	אֶת־	לְפָאֵ֑ר	הַמֶּ֣לֶךְ	בְּלֵ֗ב	כְּזֹאת֙
エルサレムに	ある	主の	主の–宮を	すなわち	飾る–ために	王の	心に	このような–ことを
H3389		H3068		H0853		H4428		H2063

われわれの先祖の神、主はほむべきかな。主はこのように、王の心に、エルサレムにある主の宮を飾る心を起させ、

וּלְכֹ֣ל־	וְעֵֽצָיו֙	הַמֶּ֔לֶךְ	לִפְנֵ֖י	חֶ֑סֶד	הִטָּה־	עָלַ֔י		28
すべての	その–顧問たちと	王と	御前で	慈しみを	傾けて–くださった	わたしに		
H3605	H3289	H4428	H6440		H5186			

אֱלֹהַ֗י	יְהוָה֙	כְּיַד־	הִתְחַזַּקְתִּי֙	וַאֲנִ֔י	הַגִּבֹּרִ֖ים	הַמֶּ֣לֶךְ	שָׂרֵ֑י	
わが–神の	主	御手に–より	奮い立った	わたしは	有力な	王の	有力な–つかさたちの	
H0430	H3068	H3027	H2388	H0589	H1368	H4428	H8269	

פ	עִמִּ֔י׃	לַעֲלֹ֖ות	רָאשִׁ֑ים	מִיִּשְׂרָאֵ֣ל	וָאֶקְבְּצָ֗ה	עָלַ֔י	
P	わたしと–共に	上る–ために	指導者たちを	イスラエルから	集めた	わたしの–上の	
		H5927		H3478	H6908		

また王の前と、その議官の前と王の大臣の前で、わたしに恵みを得させられた。わたしはわが神、主の手がわたしの上にあるので力を得、イスラエルのうちから首領たる人々を集めて、わたしと共に上らせた。

Chapter 8

וְאֵלֶּה	רָאשֵׁי	אֲבֹתֵיהֶם	וְהִתְיַחֲשָׂם	הָעֹלִים	עִמִּי	בְּמַלְכוּת	1
これらは	氏族の-かしらである	先祖たちと	系図の	上って-行った-者の	わたしと-共に	治世に	
H0428		H0001	H3187	H5927		H4438	

אַרְתַּחְשַׁסְתְּא	הַמֶּלֶךְ	מִבָּבֶל׃	ס
アルタクセルクセス	王の	バビロンから	S
	H4428	H0894	

アルタシャスタ王の治世に、バビロンからわたしと一緒に上って来た者の氏族の長、およびその系譜は次のとおりである。

מִבְּנֵי	ס	דָּנִיֵּאל	אִיתָמָר	מִבְּנֵי	ס	גֵּרְשֹׁם	פִּינְחָס	מִבְּנֵי	2
の-子らから	S	ダニエル	イタマルの	の-子らから	S	ゲルショム	ピネハスの	の-子らから	
		H1840	H0385			H1647	H6372		

חַטּוּשׁ׃	דָּוִיד	ס	
ハトゥシュ	ダビデの	S	
H2407	H1732		

ピネハスの子孫のうちではゲルショム。イタマルの子孫のうちではダニエル。ダビデの子孫のうちではシカニヤの子ハットシ。

הִתְיַחֵשׂ	וְעִמּוֹ	זְכַרְיָה	פַּרְעֹשׁ	מִבְּנֵי	ס	שְׁכַנְיָה	מִבְּנֵי	3
登録された	彼と-共に	ゼカルヤ	パロシュの	の-子らから	S	シェカニヤの	の-子らから	
H3187			H6551			H7935		

לִזְכָרִים׃	מֵאָה	וַחֲמִשִּׁים׃	ס	
男子が	百	五十-人	S	
H2145	H3967	H2572		

パロシの子孫のうちではゼカリヤおよび彼と共に系譜に載せられた男百五十人。

מָאתַיִם	וְעִמּוֹ	זְרַחְיָה	בֶּן־	אֶלְיְהוֹעֵינַי	מוֹאָב	פַּחַת	מִבְּנֵי	4
二百の	彼と-共に	ゼラフヤの	の-子	エルヨホエナイ	モアブの	パハト・モアブの	の-子らから	
H3967		H2228			H6355	H6355		

הַזְּכָרִים׃	ס	
男子	S	
H2145		

パハテ・モアブの子孫のうちではゼラヒヤの子エリヨエナイおよび彼と共にある男二百人。

ס	הַזְּכָרִים׃	מֵאוֹת	שְׁלֹשׁ	וְעִמּוֹ	יַחֲזִיאֵל	בֶּן־	שְׁכַנְיָה	מִבְּנֵי	5
S	男子	百の	三	彼と-共に	ヤハズエルの	の-子	シェカニヤの	の-子らから	
	H2145	H3967	H7969		H3166		H7935		

ザッツの子孫のうちではヤハジエルの子シカニヤおよび彼と共にある男三百人。

ס	הַזְּכָרִים׃	חֲמִשִּׁים	וְעִמּוֹ	יוֹנָתָן	בֶּן־	עֵבֶד	עָדִין	וּמִבְּנֵי	6
S	男子	五十の	彼と-共に	ヨナタンの	の-子	エベド	アディンの	の-子らから	
	H2145	H2572		H3129		H5651	H5720		

アデンの子孫のうちではヨナタンの子エベデおよび彼と共にある男五十人。

ס S	:הַזְּכָרִים	שִׁבְעִים	וְעִמּוֹ	עֲתַלְיָה	בֶּן־	יְשַׁעְיָה	עֵילָם	וּמִבְּנֵי	7
	男子 H2145	七十の H7657	彼と–共に	アタルヤの H6271	の–子	イザヤ	エラムの	の–子らから	

エラムの子孫のうちではアタリヤの子エサヤおよび彼と共にある男七十人。

ס S	:הַזְּכָרִים	שְׁמֹנִים	וְעִמּוֹ	מִיכָאֵל	בֶּן־	זְבַדְיָה	שְׁפַטְיָה	וּמִבְּנֵי	8
	男子 H2145	八十の H8084	彼と–共に	ミカエルの H4317	の–子	ゼバデヤ H2069	シェパテヤの H8203	の–子らから	

シパテヤの子孫のうちではミカエルの子ゼバデヤおよび彼と共にある男八十人。

:הַזְּכָרִים	עָשָׂר	וּשְׁמֹנָה	מָאתַיִם	וְעִמּוֹ	יְחִיאֵל	בֶּן־	עֹבַדְיָה	יוֹאָב	מִבְּנֵי	9
男子 H2145	八の H6240	十 H8083	二百 H3967	彼と–共に	エヒエルの H3171	の–子	オバデヤ H5662	ヨアブの H3097	の–子らから	

ס
S

ヨアブの子孫のうちではエヒエルの子オバデヤおよび彼と共にある男二百十八人。

ס S	:הַזְּכָרִים	וְשִׁשִּׁים	מֵאָה	וְעִמּוֹ	יוֹסִפְיָה	בֶּן־	שְׁלוֹמִית	וּמִבְּנֵי	10
	男子 H2145	六十の H8346	百 H3967	彼と–共に	ヨシフヤの H3131	の–子	シェロミトの	の–子らから	

バニの子孫のうちではヨシピアの子シロミテおよび彼と共にある男百六十人。

ס S	:הַזְּכָרִים	וּשְׁמֹנָה	עֶשְׂרִים	וְעִמּוֹ	בֵּבָי	בֶּן־	זְכַרְיָה	בֵּבַי	וּמִבְּנֵי	11
	男子 H2145	八の H8083	二十 H6242	彼と–共に	ベバイの H0893	の–子	ゼカルヤ	ベバイの H0893	の–子らから	

ベバイの子孫のうちではベバイの子ゼカリヤおよび彼と共にある男二十八人。

ס S	:הַזְּכָרִים	וַעֲשָׂרָה	מֵאָה	וְעִמּוֹ	הַקָּטָן	בֶּן־	יוֹחָנָן	עַזְגָּד	וּמִבְּנֵי	12
	男子 H2145	十の H6235	百 H3967	彼と–共に	ハカタンの H6997	の–子	ヨハナン H3110	アズガドの H5803	の–子らから	

アズガデの子孫のうちではハッカタンの子ヨハナンおよび彼と共にある男百十人。

וְשְׁמַעְיָה	יְעִיאֵל	אֶלִיפֶלֶט	שְׁמוֹתָם	וְאֵלֶּה	אַחֲרֹנִים	אֲדֹנִיקָם	וּמִבְּנֵי	13
シェマヤ H8098	イエイエル H3273	エリフェレト H0467	名は H8034	その H0428	後の–者たち H0314	アドニカムの H0140	の–子らから	

ס S	:הַזְּכָרִים	שִׁשִּׁים	וְעִמָּהֶם
	男子 H2145	六十の H8346	彼らと–共に

アドニカムの子孫のうちでは後に来た者どもで、その名はエリペレテ、ユエル、シマヤおよび彼らと共にある男六十人。

פ P	:הַזְּכָרִים	שִׁבְעִים	וְעִמּוֹ	)וְזַכּוּר(	]וזבוד[	עוּתַי	בִּגְוַי	וּמִבְּנֵי	14
	男子 H2145	七十の H7657	彼と–共に	ザクル H2139	ザクル H2072	ウタイと H5793	ビグワイの H0902	の–子らから	

ビグワイの子孫のうちではウタイとザックルおよび彼らと共にある男七十人である。

15 וָאֶקְבְּצֵם
集めた
H6908
אֶל־
に–向かって
H0413
הַנָּהָר֙
川の
H5104
אֶל־
に–向かって
H0413
הַבָּא
流れる
H0935
אַהֲוָ֔א
アハワへ
H0163
וַנַּחֲנֶ֥ה
宿営した
H2583
שָׁ֖ם
そこに
H8033
יָמִ֣ים
日間
H3117
שְׁלֹשָׁ֑ה
三
H7969
וָאֶתְבּוֹנֵ֣ן
見渡した
H0995
בָּעָ֗ם
民と
H0995
וּבַכֹּהֲנִים֙
祭司たちの–中に
H3548
וּמִבְּנֵ֣י
の–子らの–中には
H1121
לֵוִ֔י
レビの
H3878
לֹא־
見つから–なかった
H3808
מָצָ֖אתִי
見つから–なかった
H4672
שָֽׁם׃
そこに
H8033

わたしは彼らをアハワに流れる川のほとりに集めて、そこに三日のあいだ露営した。わたしは民と祭司とを調べたが、そこにはレビの子孫はひとりもいなかったので、

16 וָאֶשְׁלְחָ֞ה
遣わした
H7971
לֶאֱלִיעֶ֣זֶר
エリエゼル
H0461
לַאֲרִיאֵ֗ל
アリエル
H0740
לְשֶׁמַעְיָה֙
シェマヤ
H8098
וּלְאֶלְנָתָ֣ן
エルナタン
H0494
וּלְיָרִ֔יב
ヤリブ
H3402
וּלְאֶלְנָתָ֖ן
エルナタン
H0494
נְתַנְיָ֑ה
ナタン
H5416
וּלְזְכַרְיָ֣ה
ゼカルヤ
H2148
וּלְמְשֻׁלָּ֔ם
メシュラム
H4918
רָאשִׁ֖ים
かしらたちを
H7218
וְלִיוֹיָרִ֥יב
ヨヤリブと
H3114
וּלְאֶלְנָתָ֛ן
エルナタンを
H0494
מְבִינִ֖ים׃
教師たちを
H0995

人をつかわしてエリエゼル、アリエル、シマヤ、エルナタン、ヤリブ、エルナタン、ナタン、ゼカリヤ、メシュラムという首長たる人々を招き、またヨヤリブ、およびエルナタンのような見識のある人々を招いた。

17 וְאוצאה֙
命じた
H3318
וְאָצַוֵּ֣ה)
命じた
H6680
אוֹתָ֔ם
彼らに
H0853
עַל־
に–ついて
H5921
אֲדֹ֥ו
イド
H0112
הָרֹאשׁ֙
かしらに
H7218
בְּכָסְפְיָ֔א
カシフヤという
H3703
הַמָּקֹ֖ום
場所の
H4725
וְאָשִׂ֣ימָה
言葉を–置いた
H7760
בְּפִיהֶ֔ם
口に
H6310
דִּבְרִ֖ים
言葉を
H1697
לְדַבֵּ֑ר
話す–ため
H1696
אֶל־
に
H0413
אֲדֹ֣ו
イドと
H0112
אָחָ֔יו
その–兄弟たち
H0251
הנתונים֙
宮に–仕える–者たちに
H5411
לָ֣נוּ
わたしたちに
H0587
לְהָבִ֤יא־
連れて–来る–ため
H0935
מְשָׁרְתִ֔ים
奉仕者を
H8334
הַמָּקֹ֖ום
場所の
H4725
בְּכָסְפְיָ֑א
カシフヤという
H3703
הַנְּתִינִ֔ים)
宮に–仕える–者たちに
H5411
לְבֵ֖ית
神の–宮の–ために
H1004
אֱלֹהֵֽינוּ׃
神の
H0430

そしてわたしはカシピアという所の首長イドのもとに彼らをつかわし、カシピアという所にいるイドと、その兄弟である宮に仕えるしもべたちに告ぐべき言葉を、彼らに授け、われわれの神の宮のために、仕え人をわれわれに連れて来いと言った。

18 וַיָּבִ֣יאוּ
連れて–来た
H0935
לָ֗נוּ
わたしたちに
H0587
כְּיַד־
御手に–より
H3027
אֱלֹהֵ֙ינוּ֙
神の
H0430
הַטּוֹבָ֔ה
恵み深い
H2896
עָלֵ֖ינוּ
わたしたちの–上の
H5921
אִ֣ישׁ
人を
H0376
שֵׂ֑כֶל
賢明な
H7922
מִבְּנֵ֣י
の–子らから
H1121
מַחְלִ֔י
マヘリの
H4249
בֶּן־
の–子
H1121
לֵוִ֖י
レビの
H3878
יִשְׂרָאֵ֑ל
イスラエルの
H3478
וְשֵׁרֵבְיָ֣ה
シェレビヤと
H8274
וּבָנָ֔יו
その–息子たちと
וְאֶחָ֖יו
兄弟たち
H0251
שְׁמֹנָֽה׃
十
H8083
עָשָׂ֥ר׃
八–人
H6240

われわれの神がよくわれわれを助けられたので、彼らはイスラエルの子、レビの子、マヘリの子孫のうちの思慮深い人、すなわちセレビヤおよびその子らとその兄弟たち十八人を、われわれに連れて来、

19

וּבְנֵיהֶם	אֲחֵיו	מְרָרִי	מִבְּנֵי	יְשַׁעְיָה	וְאִתּוֹ	חֲשַׁבְיָה	וְאֶת־
その-息子たち	兄弟たちと	メラリの	の-子らから	イザヤ	彼と-共に	ハシャビヤと	そして
	H0251	H4847			H0854	H2811	H0853

עֶשְׂרִים׃	ס	
二十-人	S	
H6242		

またハシャビヤおよび彼と共に、メラリの子孫のエサヤとその兄弟およびその子ら二十人、

20

הַלְוִיִּם	לַעֲבֹדַת	וְהַשָּׂרִים	דָּוִיד	שִׁנְּתָן	הַנְּתִינִים	וּמִן־	
レビ人の	奉仕の-ために	指導者たちが	ダビデが	与えた	宮に-仕える-者から	そして	
H3881	H5656	H8269	H1732	H5414	H5411		

בְּשֵׁמוֹת׃	נִקְבוּ	כֻּלָּם	וְעֶשְׂרִים	מָאתַיִם	נְתִינִים
名で	名を-指定された	みな	二十-人	二百	宮に-仕える-者を
H8034		H3605	H6242	H3967	H5411

および宮に仕えるしもべ、すなわちダビデとそのつかさたちが、レビびとに仕えさせるために選んだ宮に仕えるしもべ二百二十人を連れてきた。これらの者は皆その名を言って記録された。

21

אֱלֹהֵינוּ	לִפְנֵי	לְהִתְעַנּוֹת	אַהֲוָא	הַנָּהָר	עַל־	צוֹם	שָׁם	וָאֶקְרָא	
神の	御前で	へりくだる-ため	アハワの	川の	において	断食を	そこで	布告した	
H0430	H6440		H0163	H5104		H6685	H8033	H7121	

וּלְכָל־	וּלְטַפֵּנוּ	לָנוּ	יְשָׁרָה	דֶּרֶךְ	מִמֶּנּוּ	לְבַקֵּשׁ	
すべての	子どもたちの-ため	わたしたちの-ため	まっすぐな	まっすぐな-道を	神から	求める-ため	
H3605	H2945		H3477	H1870		H1245	

רְכוּשֵׁנוּ׃
財産の-ために
H7399

そこでわたしは、かしこのアハワ川のほとりで断食を布告し、われわれの神の前で身をひくくし、われわれと、われわれの幼き者と、われわれのすべての貨財のために、正しい道を示されるように神に求めた。

22

בַּדֶּרֶךְ	מֵאוֹיֵב	לְעָזְרֵנוּ	וּפָרָשִׁים	חַיִל	הַמֶּלֶךְ	מִן־	לִשְׁאוֹל	בַּשְׁתִּי	כִּי
途中で	敵から	助ける-ために	騎兵を	軍隊と	王に	から	求めることを	恋じた	なぜなら
H1870	H0341	H5826		H2428	H4428		H7592	H0954	

מְבַקְשָׁיו	כָּל־	עַל־	אֱלֹהֵינוּ	יַד־	לֵאמֹר	לַמֶּלֶךְ	אָמַרְנוּ	כִּי־	
求める-者の-上に	すべての	の-上に	神の	御手が	言って	王に	言っていた	なぜなら	
H1245	H3605		H0430	H3027	H0559	H4428	H0559		

עֹזְבָיו׃	כָּל־	עַל	וְאַפּוֹ	וְעֻזּוֹ	לְטוֹבָה	
捨てる-者の	すべての	の-上に	怒りは	その-力と	良き-ことの-ために	
	H3605		H0639	H5797		

これは、われわれがさきに王に告げて、「われわれの神の手は、神を求めるすべての者の上にやさしく下り、その威力と怒りとはすべて神を捨てる者の上に下る」と言ったので、わたしは道中の敵に対して、われわれを守るべき歩兵と騎兵とを、王に頼むことを恥じたからである。

23

לָנוּ׃	וַיֵּעָתֵר	זֹאת	עַל־	מֵאֱלֹהֵינוּ	וַנְּבַקְּשָׁה	וַנָּצוּמָה	
わたしたちに	聴き入れて-くださった	この-ことを	に-ついて	神に	求めた	断食して	
	H6279	H2063		H0430	H1245	H6684	

そこでわれわれは断食して、このことをわれわれの神に求めたところ、神はその願いを聞きいれられた。

24 וָאַבְדִּילָה מִשָּׂרֵי הַכֹּהֲנִים שְׁנֵים עָשָׂר לְשֵׁרֵבְיָה חֲשַׁבְיָה וְעִמָּהֶם
選び-分けた 祭司の-長から 祭司の 十 二-人 シェレビヤと ハシャビヤと 彼らと-共に
H0914 H8269 H3548 H8147 H6240 H8274 H2811

עֲשָׂרָה׃ מֵאֲחֵיהֶם
十-人を 兄弟たちから
H6235 H0251

わたしはおもだった祭司十二人すなわちセレビヤ、ハシャビヤおよびその兄弟十人を選び、

25 [ואשקולה] (וָאֶשְׁקְלָה) לָהֶם אֶת־ הַכֶּסֶף וְאֶת־ הַזָּהָב וְאֶת־ הַכֵּלִים
量り-渡した 量り-渡した 彼らに すなわち 銀と すなわち 金と すなわち 器を
H8254 H8254 H1992 H0853 H3701 H0853 H2091 H0853 H3627

תְּרוּמַת בֵּית־ אֱלֹהֵינוּ הַהֵרִימוּ הַמֶּלֶךְ וְיוֹעֲצָיו וְשָׂרָיו וְכָל־
ささげ-物の 神の-宮の ささげた 王と その-顧問たちと その-つかさたちと すべての
H8641 H0430 H2036 H4428 H3289 H8269 H3605

יִשְׂרָאֵל הַנִּמְצָאִים׃
イスラエルが そこに-いた
H3478 H4672

金銀および器物、すなわち王と、その議官と、その諸侯およびすべて在留のイスラエルびとが、われわれの神の宮のためにささげた奉納物を量って彼らに渡した。

26 וָאֶשְׁקְלָה עַל־ יָדָם כֶּסֶף כִּכָּרִים מֵאָה־ שֵׁשׁ וְחֲמִשִּׁים כִּכַּר וּכְלֵי־ כֶסֶף
量り-渡した の-上に 彼らの-手の 銀を タラントで 六 百 五十 タラント 銀-器を 銀の
H8254 H5921 H3027 H3701 H3603 H8337 H3967 H2572 H3603 H3627 H3701

מֵאָה זָהָב לִכְכָּרִים מֵאָה׃ כִּכָּר׃
百 金を タラントの 百 タラント
H3967 H2091 H3603 H3967 H3603

わたしが量って彼らの手に渡したものは、銀六百五十タラント、銀の器百タラント、金百タラントであった。

27 וּכְפִירֵי זָהָב עֶשְׂרִים לַאֲדַרְכֹנִים אֶלֶף וּכְלֵי נְחֹשֶׁת מְצֻהָב טוֹבָה שְׁנַיִם
金の-鉢を 金の 二十 ダリクで 千 青銅の-器を 青銅の 磨かれた 良い 二つ
H3713 H2091 H6242 H0150 H0505 H3627 H5178 H4668 H2896 H8147

חֲמוּדַת כַּזָּהָב׃
尊い 金のように
H2532 H2091

また金の大杯が二十あって、一千ダリクに当る。また光り輝く青銅の器二個あって、その尊いこと金のようである。

28 וָאֹמְרָה אֲלֵהֶם אַתֶּם קֹדֶשׁ לַיהוָה וְהַכֵּלִים וְהַכֶּסֶף וְהַזָּהָב
言った 彼らに あなたがたは 聖である 主に 器も 銀と 金は
H0559 H0413 H0859 H6944 H3068 H3627 H3701 H2091

נְדָבָה לַיהוָה אֱלֹהֵי אֲבֹתֵיכֶם׃
自発の-ささげ物である 主への 先祖の-神への 先祖の
H5071 H3068 H0430 H0001

そしてわたしは彼らに言った、「あなたがたは主に聖別された者である。この器物も聖である。またこの金銀は、あなたがたの先祖の神、主にささげた真心よりの供え物である。

29 שִׁקְד֣וּ וְשִׁמְר֗וּ עַד־ תִּשְׁקְלוּ֙ לִפְנֵי֙ שָׂרֵ֣י הַכֹּהֲנִ֔ים וְהַלְוִיִּ֖ם
見張り 守れ まで 量り-渡すまで 御前で 祭司の-長たちと 祭司の レビ人と
H8245 H8104 H5704 H8254 H6440 H8269 H3548 H3881

וְשָׂרֵ֣י הָאָב֗וֹת לְיִשְׂרָאֵל֙ בִּירוּשָׁלַ֔͏ִם הַלְּשָׁכ֖וֹת בֵּ֥ית יְהוָֽה׃
氏族の-長たちの 先祖の イスラエルの エルサレムで 部屋の 主の-宮の 主の
H8269 H0001 H3478 H3389 H3957 H3068

あなたがたはエルサレムで、主の宮のへやの中で、祭司長、レビびとおよびイスラエルの氏族のかしらたちの前で、これを量るまで、見張り、かつ守りなさい」。

30 וַיְקַבְּל֣וּ הַכֹּהֲנִ֣ים וְהַלְוִיִּ֗ם מִשְׁקַל֙ הַכֶּ֣סֶף וְהַזָּהָ֔ב וְהַכֵּלִ֖ים לְהָבִ֣יא לִירוּשָׁלַ֑͏ִם
受け-取った 祭司たちと レビ人は 重さを 銀と 金と 器の 運ぶ-ため エルサレムへ
H6901 H3548 H3881 H4948 H3701 H2091 H3627 H0935 H3389

פ לְבֵ֖ית אֱלֹהֵֽינוּ׃
P 神の-宮へ 神の
H0430

そこで祭司およびレビびとたちは、その金銀および器物を、エルサレムにあるわれわれの神の宮に携えて行くため、その重さのものを受け取った。

31 וַנִּסְּעָ֣ה מִנְּהַר֮ אַהֲוָא֒ בִּשְׁנֵ֣ים עָשָׂר֙ לַחֹ֣דֶשׁ הָרִאשׁ֔וֹן לָלֶ֥כֶת יְרוּשָׁלָ֑͏ִם
出発した 川の アハワから 第一の-月の 十二日に 月の 行く-ために エルサレムへ
H5265 H5104 H0163 H8147 H6240 H2320 H7223 H3212 H3389

וְיַד־ אֱלֹהֵ֣ינוּ הָיְתָ֣ה עָלֵ֔ינוּ וַיַּצִּלֵ֖נוּ מִכַּ֣ף אוֹיֵ֑ב וְאוֹרֵ֖ב בַּדָּֽרֶךְ׃
御手が 神の あった わたしたちの-上に 救って-くださった 手から 敵の 待ち-伏せから 道の の-上の
H3027 H0430 H1961 H5921 H5337 H3709 H0341 H0693 H1870 H5921

われわれは正月の十二日に、アハワ川を出立してエルサレムに向かったが、われわれの神の手は、われわれの上にあって、敵の手および道に待ち伏せする者の手から、われわれを救われた。

32 וַנָּבֹ֣א יְרוּשָׁלַ֗͏ִם וַנָּ֤שֶׁב שָׁם֙ יָמִ֣ים שְׁלֹשָֽׁה׃
着いた エルサレムに 休んだ そこで 日間 三
H0935 H3389 H3427 H8033 H3117 H7969

われわれはエルサレムに着いて、三日そこにいたが、

33 וּבַיּ֣וֹם הָרְבִיעִ֗י נִשְׁקַל֙ הַכֶּ֣סֶף וְהַזָּהָ֔ב וְהַכֵּלִ֖ים בְּבֵ֣ית אֱלֹהֵ֑ינוּ עַ֚ל יַד־
第四の-日に 第四の 量った 銀と 金と 器を 神の-宮で 神の に 手に
H3117 H7243 H8254 H3701 H2091 H3627 H0430 H5921 H3027

מְרֵמ֣וֹת בֶּן־ אוּרִיָּ֣הוּ הַכֹּהֵ֔ן וְעִמּ֖וֹ אֶלְעָזָ֣ר בֶּן־ פִּינְחָ֑ס וְעִמָּהֶ֗ם
メレモト の-子 ウリヤの 祭司の 彼と-共に エルアザル の-子 ピネハスの 彼らと-共に
H4822 H0120 H3548 H5973 H0499 H1121 H6372 H5973

יוֹזָבָ֣ד בֶּן־ יֵשׁ֣וּעַ וְנוֹעַדְיָ֔ה בִּנּ֖וּי בֶּן־ הַלְוִיִּֽם׃
ヨザバド の-子 イェシュアの ノアデヤ ビンヌイの の-子 レビ人の
H3107 H1121 H3442 H5129 H1131 H1121 H3881

四日目にわれわれの神の宮の内で、その金銀および器物を、ウリヤの子祭司メレモテの手に量って渡した。ピネハスの子エレアザルが彼と共にいた。またエシュアの子ヨザバデ、およびビンヌイの子ノアデヤのふたりのレビびとも、彼らと共にいた。

34 בְּמִסְפָּ֣ר בְּמִשְׁקָ֗ל לַכֹּ֣ל וַיִּכָּתֵ֣ב כָּל־ הַמִּשְׁקָ֔ל בָּעֵ֥ת הַהִ֖יא׃ פ
数により 重さにより すべての 書き-記した すべての 重さを 時に その P
H4557 H4948 H3605 H3789 H3605 H4948 H6256 H1931

すなわちそのすべての数と重さとを調べ、その重さは皆書きとめられた。

35 הַבָּאִים מֵהַשְּׁבִי בְּנֵי־ הַגּוֹלָה הִקְרִיבוּ וְעֹלוֹת
捕囚から–来た–者たち 捕囚から 捕囚の–子らは 捕囚の ささげた 全焼の–ささげ物を
H0935 H7126

לֵאלֹהֵי יִשְׂרָאֵל פָּרִים שְׁנֵים־ עָשָׂר עַל־ כָּל־ יִשְׂרָאֵל וְאֵילִים
イスラエルの–神に イスラエルの 雄牛 十 二–頭 ために すべての イスラエルの 雄羊
H0430 H3478 H6499 H8147 H6240 H5921 H3605 H3478

תִּשְׁעִים וְשִׁשָּׁה כְּבָשִׂים שִׁבְעִים וְשִׁבְעָה צְפִירֵי חַטָּאת שְׁנֵים עָשָׂר הַכֹּל
九十 六–頭 子羊 七十 七–頭 雄やぎ 罪の–ための 十 二–頭 すべて
H8673 H8337 H3532 H7657 H7651 H6842 H2403 H8147 H6240 H3605

עוֹלָה לַיהוָה׃ פ
全焼の–ささげ物である 主への P
H5930 H3068

そのとき捕囚の人々で捕囚から帰って来た者は、イスラエルの神に燔祭をささげた。すなわちイスラエル全体のために雄牛十二頭、雄羊九十六頭、小羊七十七頭をささげ、また罪祭として雄やぎ十二頭をささげた。これらはみな、主にささげた燔祭である。

36 וַיִּתְּנוּ אֶת־ דָּתֵי הַמֶּלֶךְ לַאֲחַשְׁדַּרְפְּנֵי הַמֶּלֶךְ וּפַחֲוֹת עֵבֶר הַנָּהָר
すなわち 王の–法令を 王の 太守たちと 王の 総督に 川–向こうの ユーフラテスの
H0853 H1881 H4428 H0323 H4428 H6346 H5104 H5676

וְנִשְׂאוּ אֶת־ הָעָם וְאֶת־ בֵּית־ הָאֱלֹהִים׃ ס
彼らは–助けた すなわち 民と すなわち 神の–宮を 神の S
H5375 H0853 H0853 H0430

彼らはまた王の命令書を、王の総督たち、および川向こうの州の知事たちに渡したので、彼らは民と神の宮とを援助した。

Chapter 9

1 וּכְכַלּוֹת אֵלֶּה הַשָּׂרִים לֵאמֹר לֹא־
これらが–終わると これらの 近づいて–来た わたしに 指導者たちが 言って 離れて–いない
H3615 H0428 H5066 H0413 H8269 H0559 H3808

נִבְדְּלוּ הָעָם יִשְׂרָאֵל וְהַכֹּהֲנִים וְהַלְוִיִּם מֵעַמֵּי הָאֲרָצוֹת
離れて–いない 民が イスラエルの 祭司たちと レビ人は 諸国の–民から 国々の
H0914 H3816 H3478 H3548 H3881 H5971 H0776

כְּתוֹעֲבֹתֵיהֶם לַכְּנַעֲנִי הַחִתִּי הַפְּרִזִּי הַיְבוּסִי הָעַמֹּנִי הַמֹּאָבִי
その–忌まわしい–ことに カナン人 ヒッタイト人 ペリズ人 エブス人 アンモン人 モアブ人
H8441 H3669 H2850 H6522 H2983 H5984 H4125

וְהָאֱמֹרִי׃ הַמִּצְרִי
アモリ人の エジプト人
H0567 H4713

これらの事がなされた後、つかさたちは、わたしのもとに来て言った、「イスラエルの民、祭司およびレビびとは諸国の民と離れないで、カナンびと、ヘテびと、ペリジびと、エブスびと、アンモンびと、モアブびと、エジプトびと、アモリびとなどの憎むべき事を行いました。

2 כִּי־ נָשְׂאוּ מִבְּנֹתֵיהֶם לָהֶם וְלִבְנֵיהֶם וְהִתְעָרְבוּ זֶרַע הַקֹּדֶשׁ
なぜなら 娶った 彼らの–娘たちを 彼らの–ために 息子たちの–ために 混ぜた 種を 聖なる
H5375 H1323 H1992 H0413 H2233 H6944

בְּעַמֵּי הָאֲרָצוֹת וְיַד הַשָּׂרִים וְהַסְּגָנִים הָיְתָה בַּמָּעַל הַזֹּאת רִאשׁוֹנָה׃
諸国の–民と 国々の 手が 指導者たちと 役人たちの あった 不忠実の–中に この 第一に
H0776 H3027 H8269 H5461 H1961 H4604 H2088 H7223

ס
S

すなわち、彼らの娘たちをみずからめとり、またそのむすこたちにめとったので、聖なる種が諸国の民とまじりました。そしてつかさたる者、長たる者が先だって、このとがを犯しました」。

3 וְכִשְׁמֹעִי אֶת־ הַדָּבָר הַזֶּה אֶת־ כְּתָנְתִּי וּמְעִילִי בִּגְדִי וָאֶמְרְטָה
聞いた–とき すなわち この–言葉を この 引き–裂いた すなわち 着物と 上着を 引き–抜いた
H8085 H0853 H1697 H2088 H7167 H0853 H0899 H4598 H4803

רֹאשִׁי וְזִקְנִי וָאֵשְׁבָה מְשׁוֹמֵם׃
頭の ひげを 座り–込んだ 打ちのめされて
H7218 H2206 H3427 H8074

わたしはこの事を聞いた時、着物と上着とを裂き、髪の毛とひげを抜き、驚きあきれてすわった。

4 וְאֵלַי יֵאָסְפוּ כָּל חָרֵד בִּדְבַר אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל
わたしの–もとに 集まった すべての おそれる–者が 言葉に イスラエルの–神の イスラエルの
H0413 H0622 H3605 H2730 H1697 H0430 H3478

עַל הַמַּעַל הַגּוֹלָה וַאֲנִי יֹשֵׁב מְשׁוֹמֵם עַד מִנְחַת הָעֶרֶב׃
に–ついて 不忠実の 捕囚の–民の わたしは 座って–いた 打ちのめされて まで 夕の–ささげ物の 夕べの
H5921 H4604 H1473 H0589 H3427 H8074 H5704 H4503 H6153

イスラエルの神の言葉におののく者は皆、捕囚から帰って来た人々のとがのゆえに、わたしのもとに集まったが、わたしは夕の供え物の時まで、驚きあきれてすわった。

5 וּבְמִנְחַת בִּגְדִי וּמְעִילִי וּבְקָרְעִי מִתַּעֲנִיתִי קָמְתִי הָעֶרֶב
夕の–ささげ物の–時に 夕べの 立ち–上がった 悲しみから 引き–裂きながら 着物と 上着を
H4503 H6153 H6965 H8589 H7167 H0899 H4598

וָאֶכְרְעָה עַל־ כַּפַּי אֶל־ יְהוָה אֱלֹהָי׃
ひざまずいた の–上に ひざの に–向かって 主 わが–神よ
H3766 H5921 H3709 H0413 H3068 H0430

夕の供え物の時になって、わたしは断食から立ちあがり、着物と上着を裂いたまま、ひざをかがめて、わが神、主にむかって手をさし伸べて、

6 וָאֹמְרָה אֱלֹהַי לְהָרִים פָּנַי אֵלֶיךָ כִּי
言った わが–神よ 上げる–ことが 顔を あなたに なぜなら
H0559 H0430 H7311 H6440 H0413

עֲוֹנֹתֵינוּ רָבוּ לְמַעְלָה רֹאשׁ וְאַשְׁמָתֵנוּ גָדְלָה עַד לַשָּׁמָיִם׃
わたしたちの–咎が 増えて 上に 頭の わたしたちの–罪は 大きく–なった まで 天に
H5771 H7235 H4605 H7218 H0819 H1431 H5704 H8064

気が–ひけます 恥じます わが–神よ 言った
H3637 H0954 H0430 H0559

言った、「わが神よ、わたしはあなたにむかって顔を上げるのを恥じて、赤面します。われわれの不義は積って頭よりも高くなり、われわれのとがは重なって天に達したからです。

7

וּבַעֲוֹנֹתֵינוּ	הַזֹּאת	הַיּוֹם	עַד	גְּדֹלָה	בְּאַשְׁמָה	אֲנַחְנוּ	אֲבֹתֵינוּ	מִימֵי
咬の–ために	この	今日の	まで	大きな	罪の–中に	わたしたちは	先祖の	先祖の–日から
H5771	H2088	H3117	H5704		H0819	H0587	H0001	H3117

וּבַבִּזָּה	בַּשִּׁבְיָ	בַּחֶרֶב	הָאֲרָצוֹת	מַלְכֵי	וּבְיַד	כֹּהֲנֵינוּ	מְלָכֵינוּ	אֲנַחְנוּ	נִתַּנּוּ
略奪に	捕囚に	剣に	国々の	諸国の–王の	手に	祭司たちも	王たちも	わたしたちは	渡された
H0961		H2719	H0776	H4428	H3027	H3548	H4428	H0587	H5414

הַזֶּה׃	כְּהַיּוֹם	פָּנִים	וּבְכָלִמָּת
この	今日の–ように	顔を	恥辱の–顔を
H2088	H3117	H6440	H1322

われわれの先祖の日から今日まで、われわれは大いなるとがを負い、われわれの不義によって、われわれとわれわれの王たち、および祭司たちは国々の王たちの手にわたされ、つるぎにかけられ、捕え行かれ、かすめられ、恥をこうむりました。今日のとおりです。

8

לְהַשְׁאִיר	אֱלֹהֵינוּ	יְהוָה	וּמֵאֵת	תְּחִנָּה	הָיְתָה	רֶגַע	כִּמְעַט־	וְעַתָּה
残す–ために	わたしたちの–神から	主	から	恵みが	あった	一瞬	少しの–間	しかし–今
H7604	H0430	H3068	H0854	H8467	H1961	H7281	H4592	H6258

לְהָאִיר	קָדְשׁוֹ	בִּמְקוֹם	יָתֵד	לָנוּ	וְלָתֶת־	פְּלֵיטָה	לָנוּ	
照らす–ために	聖なる	場所に	杭を	わたしたちに	与える–ために	残りの–者を	わたしたちに	
H0215	H6944	H4725	H3489		H5414	H6413		

בְּעַבְדֻתֵנוּ׃	מְעַט	מָחְיָה	וּלְתִתָנוּ	אֱלֹהֵינוּ	עֵינֵינוּ
奴隷の–中で	少しの	少しの–命を	与える–ために	神が	目を
H5659	H4592	H4241	H5414	H0430	

ところがいま、われわれの神、主は、しばし恵みを施して、のがれ残るべき者をわれわれのうちにおき、その聖所のうちに確かなよりどころを与え、こうしてわれわれの神はわれわれの目を明らかにし、われわれをその奴隷のうちにあって、少しく生き返らせられました。

9

אֱלֹהֵינוּ	עֲזָבָנוּ	לֹא	וּבְעַבְדֻתֵנוּ	אֲנַחְנוּ	עֲבָדִים	כִּי־		
神は	見捨て–なかった	見捨て–なかった	奴隷の–中で	わたしたちは	奴隷で–あった	なぜなら		
H0430		H3808	H5659	H0587	H5650			

לָתֶת־	פָּרַס	מַלְכֵי	לִפְנֵי	חֶסֶד	עָלֵינוּ	וַיַּט־	
与える–ために	ペルシアの	ペルシアの–王たちの	御前で	慈しみを	わたしたちに	傾けて–くださった	
H5414	H6539	H4428	H6440			H5186	

אֶת־	וּלְהַעֲמִיד	אֱלֹהֵינוּ	בֵּית	אֶת־	לְרוֹמֵם	מְחִיָּה	לָנוּ
すなわち	建て–直す–ため	神の	神の–宮を	すなわち	高める–ために	命を	わたしたちに
H0853	H5975	H0430		H0853		H4241	

ס	וּבִירוּשָׁלִָם׃	בִּיהוּדָה	גָּדֵר	לָנוּ	וְלָתֶת־	חָרְבָּתָיו	
S	エルサレムに	ユダと	城壁を	わたしたちに	与える–ために	廃墟を	
	H3389	H3063	H1447		H5414	H2723	

われわれは奴隷の身でありますが、その奴隷たる時にも神はわれわれを見捨てられず、かえってペルシャ王たちの目の前でいつくしみを施して、われわれを生き返らせ、われわれの神の宮を建てさせ、その破壊をつくろわせ、ユダとエルサレムでわれわれに保護を与えられました。

10

מִצְוֹתֶיךָ׃	עָזַבְנוּ	כִּי	זֹאת	אַחֲרֵי־	אֱלֹהֵינוּ	נֹאמַר	מַה־	וְעַתָּה
あなたの–戒めを	捨てた	なぜなら	これの	この–後	神よ	言えましょう	何を	しかし–今
H4687			H2063		H0430	H0559	H4100	H6258

われわれの神よ、この後、何を言うことができましょう。われわれは、あなたの戒めを捨てたからです。

11
אֲשֶׁר　הָאָרֶץ　לֵאמֹר　הַנְּבִיאִים　עַבָּדֶיךָ　בְּיַד　צִוִּיתָ　אֲשֶׁר
すなわち　土地は　言って　預言者たちの　しもべたちの　手を-通して　命じた　すなわち
H0776　H0559　H5030　H5650　H3027　H6680

עַמֵּי　בְּנִדַּת　הִיא　נִדָּה　אֶרֶץ　לְרִשְׁתָּהּ　בָּאִים　אַתֶּם
諸国の-民の　汚れに-より　それは　汚れて-いる　土地は　受け継ぐ-ために　入って-行く　あなたがたが
H5079　H1931　H5079　H0776　H3423　H0935

:בְּטֻמְאָתָם　פֶּה　אֶל־　מִפֶּה　מִלְאוּהָ　אֲשֶׁר　בְּתוֹעֲבֹתֵיהֶם　הָאֲרָצוֹת
汚れで　端まで　に　端から　満たした　すなわち　忌まわしい-ことに-より　国々の
H2932　H6310　H0413　H6310　H4390　H8441　H0776

あなたはかつて、あなたのしもべである預言者たちによって命じて仰せられました、『おまえたちが行って獲ようとする地は、各地の民の汚れにより、その憎むべきわざによって汚れた地で、この果から、かの果まで、その汚れに満ちている。

12
תִּשְׂאוּ　אַל־　וּבְנֹתֵיהֶם　לִבְנֵיהֶם　תִּתְּנוּ　אַל־　בְּנוֹתֵיכֶם　וְעַתָּה
娶るな　娶るな　娘たちを　彼らの-息子に　与えるな　与えるな　娘たちを　だから-今
H5375　H0408　H1323　H5414　H0408　H1323　H6258

תֶּחֶזְקוּ　לְמַעַן　עוֹלָם　עַד־　וְטוֹבָתָם　שְׁלֹמָם　תִּדְרְשׁוּ　וְלֹא־　לִבְנֵיכֶם
強く-なり　そうすれば　永遠に　永遠に　幸いも　平和も　求めるな　求めるな　息子たちの-ために
H2388　H4616　H5769　H5704　H7965　H1875　H3808

:עוֹלָם　עַד־　לִבְנֵיכֶם　וְהוֹרַשְׁתֶּם　הָאָרֶץ　טוּב　אֶת־　וַאֲכַלְתֶּם
永遠に　永遠に　息子たちに　受け継がせる　土地の　良き-ものを　すなわち　食べ
H5769　H5704　H3423　H0776　H2898　H0853　H0398

それでおまえたちの娘を、彼らのむすこに与えてはならない。彼らの娘を、おまえたちのむすこにめとってはならない。また永久に彼らの平安をも福祉をも求めてはならない。そうすればおまえたちは強くなり、その地の良き物を食べ、これを永久におまえたちの子孫に伝えて嗣業とさせることができる』と。

13
הָרָעִים　בְּמַעֲשֵׂינוּ　עָלֵינוּ　הַבָּא　כָּל־　וְאַחֲרֵי
悪い　悪い-行いの-ため　わたしたちに　降り-かかった　すべての　すべての-後に
H4639　H0935　H3605

מֵעֲוֹנֵנוּ　לְמַטָּה　חָשַׂכְתָּ　אֱלֹהֵינוּ　אַתָּה　וְכִי　הַגְּדֹלָה　וּבְאַשְׁמָתֵנוּ
哎より　下に　控えて-くださった　わたしたちの-神よ　あなたは　実に　大きな　大きな-罪の-ために
H5771　H4295　H2820　H0430　H0819

:כָּזֹאת　פְּלֵיטָה　לָנוּ　וְנָתַתָּה
このように　残りの-者を　わたしたちに　与えて-くださった
H2063　H6413　H5414

われわれの悪い行いにより、大いなるとがによって、これらすべてのことが、すでにわれわれに臨みましたが、われわれの神なるあなたは、われわれの不義よりも軽い罰をくだして、このように残りの者を与えてくださったのを見ながら、

14
הַתּוֹעֵבוֹת　בְּעַמֵּי　וְלִהְתְחַתֵּן　מִצְוֹתֶיךָ　לְהָפֵר　הֲנָשׁוּב
忌まわしい-ことの　諸国の-民と　婚姻する-ことを　あなたの-戒めを　破る-ことを　再び-破りましょうか
H8441　H4687　H7725

כִּלִּיָּה　עַד־　בָּנוּ　תֶּאֱנַף־　הֲלוֹא　הָאֵלֶּה
滅ぼす-まで　滅ぼす-まで　わたしたちに　怒らない-でしょうか　怒らない-でしょうか　これらの
H3615　H5704　H0599　H3808　H0428

פ　:וּפְלֵיטָה　שְׁאֵרִית　לְאֵין
P　逃れる-者も　残りも　なくなる-まで
H6413　H7611　H0369

われわれは再びあなたの命令を破って、これらの憎むべきわざを行う民と縁を結んでよいでしょうか。あなたはわれわれを怒って、ついに滅ぼし尽し、残る者も、のがれる者もないようにされるのではないでしょうか。

נִשְׁאַרְנוּ	כִּי־	אַתָּה	צַדִּיק	יִשְׂרָאֵל	אֱלֹהֵי	יְהוָה	15
残って–います	なぜなら	あなたは	正しい–かたです	イスラエルの	イスラエルの–神よ	主よ	
H7604			H6662	H3478	H0430	H3068	

אֵין	כִּי	בְאַשְׁמָתֵינוּ	לְפָנֶיךָ	הִנֶּנּוּ	הַזֶּה	כְּהַיּוֹם	פְּלֵיטָה	
できません	なぜなら	罪の–中に	御前に	ここに–おります	この	今日の–ように	残りの–者が	
H0369		H0819	H6440	H2009	H2088	H3117	H6413	

פ	זֹאת׃	עַל־	לְפָנֶיךָ	לַעֲמֹד
P	この–ことの	の–上に	御前に	立つ–ことが
	H2063		H6440	H5975

ああ、イスラエルの神、主よ、あなたは正しくいらせられます。われわれはのがれて残ること今日のとおりです。われわれは、とがをもってあなたの前にあります。それゆえだれもあなたの前に立つことはできません」。

Chapter 10

נִקְבְּצוּ	הָאֱלֹהִים	בֵּית	לִפְנֵי	וּמִתְנַפֵּל	בֹּכֶה	וּכְהִתְוַדֹּתוֹ	עֶזְרָא	וּכְהִתְפַּלֵּל	1
集まった	神の	神の–宮の	御前で	伏して	泣き	告白し–ながら	エズラが	祈り–ながら	
H6908	H0430		H6440	H5307	H1058	H3034	H5830	H6419	

כִּי־	וְיֶלֶד	וְנָשִׁים	אֲנָשִׁים	מְאֹד	רַב־	קָהָל	מִיִּשְׂרָאֵל	אֵלָיו
なぜなら	子どもたちが	女たち	男たち	非常に	非常に–多くの	会衆が	イスラエルから	彼の–もとに
	H3206	H0802	H0376	H3966		H6951	H3478	H0413

ס	בֶּכִי׃	הַרְבֵּה־	הָעָם	בָּכוֹ
S	泣いて	激しく	民が	泣いた
	H1059			H1058

エズラが神の宮の前に泣き伏して祈り、かつざんげしていた時、男、女および子供の大いなる群集がイスラエルのうちから彼のもとに集まってきた。民はいたく泣き悲しんだ。

לְעֶזְרָא	וַיֹּאמֶר	עֵילָם)עילם[	[עולם	מִבְּנֵי	יְחִיאֵל	בֶּן־	שְׁכַנְיָה	וַיַּעַן	2
エズラに	言った	エラムの	エラムの	の–子らから	エヒエルの	の–子	シェカニヤ	答えた	
H5830	H0559				H3171		H7935		

הָאָרֶץ	מֵעַמֵּי	נָכְרִיּוֹת	נָשִׁים	וַנֹּשֶׁב	בֵּאלֹהֵינוּ	מָעַלְנוּ	אֲנַחְנוּ
国の	諸国の–民から	異国の	女たちを	娶った	神に	不忠実で–あった	わたしたちは
H0776		H5237	H0802	H3427	H0430	H4603	H0587

זֹאת׃	עַל־	לְיִשְׂרָאֵל	מִקְוֶה	יֵשׁ־	וְעַתָּה
この–ことの	に–ついて	イスラエルに	望みが	望みが–ある	しかし–今
H2063		H3478		H3426	H6258

時にエラムの子孫のうちのエヒエルの子シカニヤが、エズラに告げて言った、「われわれは神にむかって罪を犯し、この地の民から異邦の女をめとりました。しかし、このことについてはイスラエルに、今なお望みがあります。

וְהַנּוֹלָד	נָשִׁים	כָּל־	לְהוֹצִיא	לֵאלֹהֵינוּ	בְּרִית	נִכְרֹת־	וְעַתָּה	3
生まれた–者を	女たちと	すべての	送り–出す–ため	神と	契約を	結ぶ	だから–今	
H3205	H0802	H3605	H3318	H0430	H1285	H3772	H6258	

יֵעָשֶׂה׃	וְכַתּוֹרָה	אֱלֹהֵינוּ	בְּמִצְוַת	וְהַחֲרֵדִים	אֲדֹנָי	בַּעֲצַת	מֵהֶם
行われよ	律法の–通りに	神の	戒めに	おそれる–者たちと	わが–主の	勧めに–従い	彼女らから
	H8451	H0430	H4687	H2730	H0113	H6098	H1992

それでわれわれはわが主の教と、われわれの神の命令におののく人々の教とに従って、これらの妻ならびにその子供たちを、ことごとく追い出すという契約を、われわれの神に立てましょう。そして律法に従ってこれを行いましょう。

וְעֲשֵׂה׃	חֲזַק	עִמָּךְ	וַאֲנַחְנוּ	הַדָּבָר	עָלֶיךָ	כִּי־	קוּם	4
行え	強く–あれ	あなたと–共に	わたしたちは	この–事が–ある	あなたの–上に	なぜなら	立て	
	H2388		H0587	H1697				

פ
P

立ちあがってください、この事はあなたの仕事です。われわれはあなたを助けます。心を強くしてこれを行いなさい」。

וְכָל־	הַלְוִיִּם	הַכֹּהֲנִים	שָׂרֵי	אֶת־	וַיַּשְׁבַּע	עֶזְרָא	וַיָּקָם	5
すべての	レビ人と	祭司の	祭司の–長たちと	すなわち	誓わせた	エズラは	立ち–上がった	
H3605	H3881	H3548	H8269	H0853	H7650	H5830		

וַיִּשָּׁבֵעוּ׃	הַזֶּה	כַּדָּבָר	לַעֲשׂוֹת	יִשְׂרָאֵל	
誓った	この	この–言葉の–通りに	行う–ことを	イスラエルに	
H7650	H2088	H1697		H3478	

エズラは立って、おもだった祭司、レビびとおよびすべてのイスラエルびとに、この言葉のように行うことを誓わせたので、彼らは誓った。

יְהוֹחָנָן	לִשְׁכַּת	אֶל־	וַיֵּלֶךְ	הָאֱלֹהִים	בֵּית	מִלִּפְנֵי	עֶזְרָא	וַיָּקָם	6
ヨハナンの	部屋に	に	行った	神の	神の–宮の	御前から	エズラは	立ち–上がった	
H3076	H3957	H0413	H3212	H0430		H6440	H5830		

לֹא־	וּמַיִם	אָכַל	לֹא־	לֶחֶם	שָׁם	וַיֵּלֶךְ	אֶלְיָשִׁיב	בֶּן־	
飲ま–なかった	水も	食べ–なかった	食べ–なかった	パンを	そこで	行った	エルヤシブの	の–子	
H3808	H4325	H0398	H3808	H3899	H8033	H3212	H0475		

ס	הַגּוֹלָה׃	מַעַל	עַל־	מִתְאַבֵּל	כִּי	שָׁתָה
S	捕囚の–民の	不忠実の	に–ついて	悲しんで–いた	なぜなら	飲ま–なかった
	H1473	H4604		H0056		H8354

エズラは神の宮の前から出て、エリアシブの子ヨハナンのへやにはいったが、そこへ行っても彼はパンも食べず、水も飲まずに夜を過ごした。これは彼が、捕囚から帰った人々のとがを嘆いたからである。

יְרוּשָׁלִָם׃	לְהִקָּבֵץ	הַגּוֹלָה	בְּנֵי	לְכָל	וּיְרוּשָׁלִַם	בִּיהוּדָה	קוֹל	וַיַּעֲבִירוּ	7
エルサレムに	集まれ	捕囚の	捕囚の–子らに	すべての	エルサレムに	ユダと	声を	布告した	
H3389	H6908	H1473		H3605	H3389	H3063			

そしてユダおよびエルサレムにあまねく布告を出し、捕囚から帰ったすべての者に告げて、エルサレムに集まるべき事と、

הַשָּׂרִים	כַּעֲצַת	הַיָּמִים	לִשְׁלֹשֶׁת	יָבוֹא	לֹא־	אֲשֶׁר	וְכָל	8
指導者たちと	勃めに–従い	日の–うちに	三の	来ない–なら	来ない–なら	もし	すべての	
H8269	H6098	H3117	H7969	H0935	H3808		H3605	

ס	הַגּוֹלָה׃	מִקְּהַל	יִבָּדֵל	וְהוּא	רְכוּשׁוֹ	כָּל־	יָחֳרַם	וְהַזְּקֵנִים
S	捕囚の–民の	会衆から	除かれる	彼自身は	財産が	すべての	没収される	長老たちの
	H1473	H6951	H0914	H1931	H7399	H3605		H2205

つかさおよび長老たちのさとしに従って、三日のうちにこない者はだれでもその財産はことごとく没収され、その人自身は捕われ人の会から破門されると言った。

9 וַיִּקָּבְצוּ כָל־ אַנְשֵׁי־ יְהוּדָה וּבִנְיָמִן יְרוּשָׁלַ͏ִם לִשְׁלֹשֶׁת הַיָּמִים
集まった すべての ユダの-人々が ユダと ベニヤミンが エルサレムに 三の 日の-うちに
H3605 H0376 H3063 H1144 H3389 H7969 H3117

הִוא חֹדֶשׁ הַתְּשִׁעִי בְּעֶשְׂרִים לַחֹדֶשׁ וַיֵּשְׁבוּ כָל־ הָעָם בִּרְחוֹב בֵּית
すなわち 月の 第九の 二十 日に 座った すべての 民が 広場に 神の-宮の
H1931 H2320 H8671 H6242 H2320 H3427 H3605 H0376 H7339 H1004

פ הָאֱלֹהִים מְרַעִידֵ֔ים עַל־ הַדָּבָר הַזֶּה וּמֵהַגְּשָׁמִים׃
P 神の 震えて-いた に-ついて この-事と 雨の-ために
H0430 H7460 H5921 H1697 H1653

そこでユダとベニヤミンの人々は皆三日のうちにエルサレムに集まった。これは九月の二十日であった。すべての民は神の宮の前の広場に座して、このことのため、また大雨のために震えおののいていた。

10 וַיָּקָם עֶזְרָא הַכֹּהֵן וַיֹּאמֶר אֲלֵיהֶם אַתֶּם מְעַלְתֶּם וַתֹּשִׁיבוּ נָשִׁים
立ち-上がった エズラ 祭司が 言った 彼らに あなたがたは 不忠実で-あった 娶った 女たちを
H0877 H5830 H3548 H0559 H0413 H0859 H4603 H3427 H0802

לְהוֹסִיף עַל־ אַשְׁמַת יִשְׂרָאֵל׃ נָכְרִיּוֹת
加える-ために の-上に 罪を イスラエルの 異国の
H3254 H5921 H0819 H3478 H5237

時に祭司エズラは立って彼らに言った、「あなたがたは罪を犯し、異邦の女をめとって、イスラエルのとがを増した。

11 וְעַתָּה תְּנוּ רְצוֹנָו֙ וְהִבָּדְלוּ֙ אֵלֵי־ אֲבֹתֵיכֶם וַעֲשׂוּ לַיהוָה תּוֹדָה
だから-今 ささげよ 御心を 離れよ 先祖の 行え 先祖の-神に 主に 告白を
H6258 H5414 H7522 H0914 H0001 H6213 H0430 H3068 H8426

מֵעַמֵּי הָאָרֶץ וּמִן־ הַנָּשִׁים הַנָּכְרִיּוֹת׃
諸国の-民から 国の から 異国の-女たちから 異国の
H5971 H0776 H4480 H0802 H5237

それで今、あなたがたの先祖の神、主にざんげして、そのみ旨を行いなさい。あなたがたはこの地の民および異邦の女と離れなさい」。

12 וַיַּעֲנוּ כָּל־ הַקָּהָל֙ וַיֹּאמְרוּ֙ בְּקוֹל גָּדוֹל כֵּן֙]כדבריך[ )כִּדְבָרְךָ(
答えた すべての 会衆が 言った 声で 大きな その-通り あなたの-言葉の あなたの-言葉の
H6030 H3605 H6951 H0559 H6963 H1419 H3651 H1697 H1697

עָלֵינוּ׃ לַעֲשׂוֹת
わたしたちが 行うべき
H5921 H6213

すると会衆は皆大声をあげて答えた、「あなたの言われたとおり、われわれは必ず行います。

13 וְאֶבָּל֙ הָעָם֙ רַבּ֔ וְעֵת֙ וְהַגְּשָׁמִ֔ים וְאֵין֙ כֹּחַ֙ לַעֲמֹד֙ בַּחוּץ֙ וְהַמְּלָאכָה֙
しかし 民は 多く 時は 雨の-季節で 力が-ない 力が 立つ-ことの 外に 仕事は
H0061 H5971 H7227 H6256 H1653 H0369 H0369 H3581 H5975 H2351 H4399

לְפַשֵּׁעַ֙ הִרְבִּינוּ֙ כִּי־ לִשְׁנַ֔יִם וְלֹא֙ אֶחָ֔ד לְיוֹם֙ לֹא־
背く-ことを 多く-犯した なぜなら 二-日の でも-ない 一-日の 一-日 ではない
H6586 H7235 H3588 H8147 H3808 H0259 H3117 H3808

הַזֶּה׃ בַּדָּבָר֙
この 事に-おいて
H2088 H1697

しかし民は多く、また大雨の季節ですから、外に立っていることはできません。またこれは一日やふつかの仕事ではありません。われわれはこの事について大いに罪を犯したからです。

14 יַעֲמְדוּ־נָא שָׂרֵינוּ לְכָל־הָעֵדָה וְכֹל אֲשֶׁר בְּעָרֵינוּ הַהֹשִׁיב
立てよ どうか 指導者たちを すべての 会衆の-ために すべての もし 町々に 娶った-者は
H5975 H4994 H8269 H3605 H6951 H3605 H3427

נָשִׁים נָכְרִיּוֹת וְלָעֵת מְזֻמָּנִים וְעִמָּהֶם זִקְנֵי־כָל־עִיר וָעִיר
女たちを 異国の 時に 定められた 彼らと-共に 町の-長老たちと 町ごとの
H0802 H5237 H6256 H2163 H2163 H5973 H5892 H5892

וְשֹׁפְטֵיהָ עַד עָלְתָה חֲרוֹן אֱלֹהֵינוּ מִמֶּנּוּ עַד־דָּבָר הַזֶּה׃ פ
裁判人が まで 燃える-怒りを 神の わたしたちから まで この P
H8199 H5704 H2740 H0430 H4480 H5704 H2088

それでどうぞ、われわれのつかさたちは全会衆のために立ってください。われわれの町の内に、もし異邦の女をめとった者があるならば、みな定めの時にこさせなさい。またおのおのの町の長老および裁判人も、それと一緒にこさせなさい。そうすればこの事によるわれわれの神の激しい怒りは、ついにわれわれを離れるでしょう」。

15 עַל־עָמְדוּ תִקְוָה בֶּן־יְחִזְיָה וְעַשָּׂהאֵל בֶּן־יוֹנָתָן אַךְ
に 反対した ティクワの の-子 ヤハズヤと アサヘルの の-子 ヨナタン ただ
H5975 H8616 H1121 H3167 H6214 H1121 H3129 H0389

עֲזָרָם׃ הַלֵּוִי וְשַׁבְתַּי וּמְשֻׁלָּם אֶת־זֹאת
助けた レビ人が シャブタイ メシュラムと この-ことに
H5826 H3881 H7678 H4918 H2063

ところがアサヘルの子ヨナタンおよびテクワの子ヤハジアはこれに反対した。そしてメシュラムおよびレビびとシャベタイは彼らを支持した。

16 וַיַּעֲשׂוּ־כֵן בְּנֵי הַגּוֹלָה וַיִּבָּדְלוּ עֶזְרָא הַכֹּהֵן אֲנָשִׁים
行った その-ように 捕囚の-子らは 捕囚の 選び-分けた エズラ 祭司が 人々を
H6213 H3651 H1121 H1473 H0914 H5830 H3548 H0376

רָאשֵׁי בֵּית לְבֵית אֲבֹתָם וְכֻלָּם בְּשֵׁמוֹת וַיֵּשְׁבוּ בְּיוֹם
氏族の-かしらたちを ために 先祖の-家の みな 名を-指定されて 座った 日に
H7218 H1004 H1004 H3605 H8034 H3427 H3117

אֶחָד לַחֹדֶשׁ הָעֲשִׂירִי לְדָרְשׁ דְּבַר׃
第一の 月の 第十の 調べる-ために この-事を
H0259 H2320 H6224 H1875 H1697

そこで捕囚から帰って来た人々はこのように行った。すなわち祭司エズラは、氏族の長たちをその氏族にしたがい、おのおのその名をさして選んだ。彼らは十月の一日から座してこの事を調べ、

17 וַיְכַלּוּ כָּל־אֲנָשִׁים הַהֹשִׁיבוּ נָשִׁים נָכְרִיּוֹת עַד יוֹם אֶחָד לַחֹדֶשׁ
終えた すべての 人々の 娶って-いた 女たちを 異国の までに 日 第一の 月の
H3615 H3605 H0376 H3427 H0802 H5237 H5704 H3117 H0259 H2320

הָרִאשׁוֹן׃ פ
第一の P
H7223

正月の一日になって、異邦の女をめとった人々をことごとく調べ終った。

18 וַיִּמָּצְאוּ מִבְּנֵי הַכֹּהֲנִים אֲשֶׁר הֹשִׁיבוּ נָשִׁים נָכְרִיּוֹת מִבְּנֵי יֵשׁוּעַ בֶּן־יוֹצָדָק וְאֶחָיו מַעֲשֵׂיָהוּ וֶאֱלִיעֶזֶר יָרִיב וְגְדַלְיָהוּ׃

見つかった H4672 / の–子らから H1121 / 祭司の H3548 / すなわち H834 / 娶って–いた H3427 / 女たちを H0802 / 異国の H5237 / イェシュアの H3442 / の–子 H1121 / ヨツァダクの H3087 / その–兄弟たち H0251 / マアセヤ H4641 / エリエゼル H0461 / ヤリブ H3402 / ゲダルヤ

祭司の子孫のうちで異邦の女をめとった事のあらわれた者は、ヨザダクの子エシュアの子ら、およびその兄弟たちのうちではマアセヤ、エリエゼル、ヤリブ、ゲダリヤであった。

19 וַיִּתְּנוּ יָדָם לְהוֹצִיא נְשֵׁיהֶם וַאֲשָׁמִים עַל־אֵיל צֹאן עַל־

手を–与えた H5414 / 手を H3027 / 送り–出す–ため H3318 / 女たちを H0802 / 罪ある–者として H0818 / 雄羊を–一頭 H0352 / の–ために H5921 / 羊の H6629

אַשְׁמָתָם׃ ס

S / その–罪の H0819

彼らはその妻を離縁しようという誓いをなし、すでに罪を犯したというので、そのとがのために雄羊一頭をささげた。

20 וּמִבְּנֵי חֵנִי אֶמֶּר וְזַבַדְיָהוּ׃ ס

イメルの H0564 / ハナニと H2607 / ゼバデヤ H2069 / S

インメルの子らのうちではハナニおよびゼバデヤ。

21 וּמִבְּנֵי חָרִם מַעֲשֵׂיָה וְאֵלִיָּהוּ וּשְׁמַעְיָהוּ וִיחִיאֵל וְעֻזִּיָּה׃

ハリムの H2766 / の–子らから H1121 / マアセヤ H4641 / エリヤ H0452 / シェマヤ H8098 / エヒエル H3171 / ウズヤ H5818

ハリムの子らのうちではマアセヤ、エリヤ、シマヤ、エヒエル、ウジヤ。

22 וּמִבְּנֵי פַשְׁחוּר אֶלְיוֹעֵינַי מַעֲשֵׂיָהוּ יִשְׁמָעֵאל נְתַנְאֵל יוֹזָבָד וְאֶלְעָשָׂה׃

パシュフルの H6583 / の–子らから H1121 / エルヨエナイ H0469 / マアセヤ H4641 / イシュマエル H3458 / ネタネル H5417 / ヨザバド H3107 / エルアサ H0501

ס

S

パシュルの子らのうちではエリオエナイ、マアセヤ、イシマエル、ネタンエル、ヨザバデ、エラサ。

23 וּמִן־הַלְוִיִּם קְלָיָה הוּא קְלִיטָא פְּתַחְיָה יְהוּדָה וֶאֱלִיעֶזֶר׃

から H4480 / レビ人の H3881 / ヨザバド H3107 / シムイ H8096 / ケラヤ H7041 / すなわち H1931 / ケリタ H7042 / ペタヒヤ H6611 / ユダ H3063 / エリエゼル H0461

ס

S

レビびとのうちではヨザバテ、シメイ、ケラヤ（すなわちケリタ）、ペタヒヤ、ユダ、エリエゼル。

24 וּמִן־הַמְשֹׁרְרִים אֶלְיָשִׁיב וּמִן־הַשֹּׁעֲרִים שַׁלֻּם וְטֶלֶם וְאוּרִי׃ ס

から H4480 / 歌うたいの H7891 / エルヤシブ H0475 / から H4480 / 門衛の H7778 / シャルム H7967 / テレム H2928 / ウリ H0221 / S

歌うたう者のうちではエリアシブ。門衛のうちではシャルム、テレム、ウリ。

וְאֶלְעָזָר	וּמִימָן	וּמַלְכִּיָּה	וְיִזִּיָּה	רַמְיָה	פַּרְעֹשׁ	מִבְּנֵי	וּמִיִּשְׂרָאֵל	25
エルアザル	ミヤミン	マルキヤ	イズヤ	ラミヤ	パロシュの	の-子らから	イスラエルから	
H0499	H4326	H4441	H3150	H7422	H6551		H3478	

וּמַלְכִּיָּה׃	וּבְנָיָה	ס
マルキヤ	ベナヤ	S
H4441	H1141	

イスラエルのうち、パロシの子らのうちではラミヤ、エジア、マルキヤ、ミヤミン、エレアザル、ハシャビヤ、ベナヤ。

ס	וְאֶלְיָה׃	וִירֵמוֹת	וְעַבְדִּי	וְיַחִיאֵל	זְכַרְיָה	מַתַּנְיָה	עֵילָם	וּמִבְּנֵי	26
S	エリヤ	エレモト	アブディ	エヒエル	ゼカルヤ	マタニヤ	エラムの	の-子らから	
	H0452	H3406	H5660	H3171		H4983			

エラムの子らのうちではマッタニヤ、ゼカリヤ、エヒエル、アブデ、エレモテ、エリヤ。

ס	וַעֲזִיזָא׃	וְזָבָד	וִירֵמוֹת	מַתַּנְיָה	אֶלְיָשִׁיב	אֶלְיוֹעֵנַי	זַתּוּא	וּמִבְּנֵי	27
S	アジザ	ザバド	エレモト	マタニヤ	エルヤシブ	エルヨエナイ	ザトゥの	の-子らから	
	H5819	H2066	H3406	H4983	H0475		H2240		

ザットの子らのうちではエリオエナイ、エリアシブ、マッタニヤ、エレモテ、ザバデ、アジザ。

ס	עַתְלָי׃	זַבַּי	חֲנַנְיָה	יְהוֹחָנָן	בֵּבָי	וּמִבְּנֵי	28
S	アトライ	ザバイ	ハナニヤ	ヨホハナン	ベバイの	の-子らから	
	H6270	H2079		H3076	H0893		

ベバイの子らのうちではヨハナン、ハナニヤ、ザバイ、アテライ。

ס	)וְרָמוֹת׃(	]ירמות[	וּשְׁאָל	יָשׁוּב	וַעֲדָיָה	מַלּוּךְ	מְשֻׁלָּם	בָּנִי	וּמִבְּנֵי	29
S	ラモト	エレモト	シェアル	ヤシュブ	アダヤ	マルク	メシュラム	バニの	の-子らから	
	H3406	H3406	H7594	H3437	H5718		H4918	H1137		

バニの子らのうちではメシュラム、マルク、アダヤ、ヤシュブ、シヤル、エレモテ。

בְּצַלְאֵל	מַתַּנְיָה	מַעֲשֵׂיָהוּ	בְּנָיָה	וּכְלָל	עַדְנָא	מוֹאָב	פַּחַת	וּמִבְּנֵי	30
ベツァレル	マタニヤ	マアセヤ	ベナヤ	ケラル	アドナ	モアブの	パハト・モアブの	の-子らから	
H1212	H4983	H4641	H1141	H3636	H5733	H6355	H6355		

וּמְנַשֶּׁה׃	וּבִנּוּי	ס
マナセ	ビンヌイ	S
H4519	H1131	

パハテ・モアブの子らのうちではアデナ、ケラル、ベナヤ、マアセヤ、マッタニヤ、ベザレル、ビンヌイ、マナセ。

שִׁמְעוֹן׃	שְׁמַעְיָה	מַלְכִּיָּה	יִשִּׁיָּה	אֱלִיעֶזֶר	חָרִם	וּבְנֵי	31
シメオン	シェマヤ	マルキヤ	イシヤ	エリエゼル	ハリムの	の-子らから	
H8095	H8098	H4441	H3449	H0461	H2766		

ハリムの子らのうちではエリエゼル、イシヤ、マルキヤ、シマヤ、シメオン、

ס	שְׁמַרְיָה׃	מַלּוּךְ	בִּנְיָמִן	32
S	シェマルヤ	マルク	ベニヤミン	
	H8114		H1144	

ベニヤミン、マルク、シマリヤ。

ס	שְׁמַעְיָה׃	מְנַשֶּׁה	יְרֵמַי	אֱלִיפֶלֶט	זָבָד	מַתַּתָּה	מַתְנַי	חָשֻׁם	מִבְּנֵי	33
S	シムイ	マナセ	エレマイ	エリフェレト	ザバド	マタタ	マテナイ	ハシュムの	の-子らから	
	H8096	H4519	H3413	H0467	H2066	H4992	H4982	H2828		

ハシュムの子らのうちではマッテナイ、マッタタ、ザバデ、エリパレテ、エレマイ、マナセ、シメイ。

34	מִבְּנֵי	בְּנֵי	מַעֲדַי	עַמְרָם	וְאוּאֵל׃	ס
	の–子らから	バニの	マアダイ	アムラム	ウエル	S
		H1137	H4572	H6019	H0177	

バニの子らのうちではマアダイ、アムラム、ウエル、

35	בְּנָיָה	בֶּדְיָה	כלהין]	כְּלוּהוּ׃)	
	ベナヤ	ベデヤ	ケルフ	ケルフ	
	H1141	H0912	H3622	H3622	

ベナヤ、ベデヤ、ケルヒ、

36	וַנָיָה	מְרֵמוֹת	אֶלְיָשִׁיב׃
	ワニヤ	メレモト	エルヤシブ
	H2057	H4822	H0475

ワニア、メレモテ、エリアシブ、

37	מַתַּנְיָה	מַתְנַי	ויעשו]	וְיַעֲשָׂי׃)
	マタニヤ	マテナイ	ヤアサイ	ヤアサイ
	H4983	H4982	H3299	H3299

マッタニヤ、マッテナイ、ヤアス。

38	וּבָנִי	וּבִנּוּי	שִׁמְעִי׃
	バニ	ビンヌイ	シムイ
	H1137	H1131	H8096

ビンヌイの子らのうちではシメイ、

39	וְשֶׁלֶמְיָה	וְנָתָן	עַדָיָה׃
	シェレミヤ	ナタン	アダヤ
	H8018	H5416	H5718

シレミヤ、ナタン、アダヤ、

40	מַכְנַדְבַי	שָׁשַׁי	שָׁרָי׃
	マクナデバイ	シャシャイ	シャライ
	H4367	H8343	H8298

マクナデバイ、シャシャイ、シャライ、

41	עַזַרְאֵל	וְשֶׁלֶמְיָהוּ	שְׁמַרְיָה׃
	アザレル	シェレミヤ	シェマルヤ
	H5832	H8018	H8114

アザリエル、シレミヤ、シマリヤ、

42	שַׁלּוּם	אֲמַרְיָה	יוֹסֵף׃	ס
	シャルム	アマルヤ	ヨセフ	S
	H7967	H0568	H3130	

シャルム、アマリヤ、ヨセフ。

43	מִבְּנֵי	נְבוֹ	יְעִיאֵל	מַתִּתְיָה	זָבָד	זְבִינָא	ידו]	יַדָי)	וְיוֹאֵל	בְּנָיָה׃
	の–子らから	ネボの	イエイエル	マテテヤ	ザバド	ゼビナ	ヤダイ	ヤダイ	ヨエル	ベナヤ
		H5015	H3273	H4993	H2066	H2081	H3035	H3035	H3100	H1141

ネボの子らではエイエル、マッタテヤ、ザバデ、ゼビナ、ヤッダイ、ヨエル、ベナヤ。

נָשִׁים	מֵהֶם	וַיֵּשׁ	נָכְרִיּוֹת	נָשִׁים	)נָשְׂאוּ(	]נשאו[	אֵלֶּה	כָּל־	44
女たちが	彼らの–中に	いた	異国の	女たちを	娶った	娶った	これらの–者は	すべての	
H0802	H1992	H3426	H5237	H0802	H5375	H5375	H0428	H3605	

וַיָּשִׂימוּ	בָּנִים׃	פ
生んだ	子らを	—

これらの者は皆異邦の女をめとった者である。彼らはその女たちをその子供と共に離縁した。

Nehemiah

Chapter 1

עֶשְׂרִים	שְׁנַת	)כִּסְלֵיו(	]כסלו[	בְּחֹדֶשׁ־	וַיְהִי	חֲכַלְיָה	בֶּן־	נְחֶמְיָה	דִּבְרֵי	1
第二十の	年の	キスレウの	キスレウの	月に	あった	ハカルヤの	の-子	ネヘミヤの	言葉	
H6242	H8141	H3691	H3691	H2320	H1961	H2446		H5166	H1697	

הַבִּירָה׃	בְּשׁוּשַׁן	הָיִיתִי	וַאֲנִי
城に	シュシャンの	いた	わたしは
H1002	H7800	H1961	H0589

ハカリヤの子ネヘミヤの言葉。第二十年のキスレウの月に、わたしが首都スサにいた時、

הַיְּהוּדָיִם	עַל־	וָאֶשְׁאָלֵם	מִיְּהוּדָה	וַאֲנָשִׁים	הוּא	מֵאַחַי	אֶחָד	חֲנָנִי	וַיָּבֹא	2
ユダヤ人の	に-ついて	尋ねた	ユダから	人々が	彼と	兄弟たちの	一人の	ハナニが	来た	
H3064		H7592	H3063	H0376	H1931	H0251	H0259	H2607	H0935	

יְרוּשָׁלָם׃	וְעַל־	הַשִּׁבְי	מִן־	נִשְׁאָרוּ	אֲשֶׁר־	הַפְּלֵיטָה
エルサレムを	に-ついて	捕囚の	から	残った	すなわち	残りの-者を
H3389				H7604		H6413

わたしの兄弟のひとりハナニが数人の者と共にユダから来たので、わたしは捕囚を免れて生き残ったユダヤ人の事およびエルサレムの事を尋ねた。

בַּמְּדִינָה	שָׁם	הַשִּׁבְי	מִן־	נִשְׁאָרוּ	אֲשֶׁר־	הַנִּשְׁאָרִים	לִי׃	וַיֹּאמְרוּ		3
州に	そこで	捕囚の	から	残った	すなわち	残った-者たちは	わたしに	言った		
H4082	H8033			H7604		H7604		H0559		

בָּאֵשׁ׃	נִצְּתוּ	וּשְׁעָרֶיהָ	מְפֻרָצַת	יְרוּשָׁלַ͏ִם	וְחוֹמַת	וּבְחֶרְפָּה	גְּדֹלָה	בְּרָעָה
火で	焼かれた	門は	崩れて-いる	エルサレムの	城壁は	恥辱の-中に	大きな	苦難の-中に
H0784	H3341	H8179	H6555	H3389	H2346	H2781		

彼らはわたしに言った、「かの州で捕囚を免れて生き残った者は大いなる悩みと、はずかしめのうちにあり、エルサレムの城壁はくずされ、その門は火で焼かれたままであります」と。

יָמִים	וָאֶתְאַבְּלָה	וָאֶבְכֶּה	יָשַׁבְתִּי	הָאֵלֶּה	הַדְּבָרִים	אֶת־	וכְּשָׁמְעִי	וַיְהִי		4
日々	嘆いた	泣いた	座り	これらの	この-言葉を	すなわち	聞いた-とき	あった		
H3117	H0056	H1058	H3427	H0428	H1697	H0853	H8085	H1961		

הַשָּׁמָיִם׃	אֱלֹהֵי	לִפְנֵי	וּמִתְפַּלֵּל	צָם	וָאֶהְיֶה	
天の	天の-神の	御前で	祈って-いた	断食して	断食して-いた	
H8064	H0430	H6440	H6419	H6684	H1961	

わたしはこれらの言葉を聞いた時、すわって泣き、数日のあいだ嘆き悲しみ、断食して天の神の前に祈って、

הַבְּרִית	שֹׁמֵר	וְהַנּוֹרָא	הַגָּדוֹל	הָאֵל	הַשָּׁמַיִם	אֱלֹהֵי	יְהוָה	אָנָּא	וָאֹמַר	5
契約と	守る-かた	おそれ多き	大いなる	神よ	天の	天の-神よ	主よ	どうか	言った	
H1285	H8104	H3372		H0410	H8064	H0430	H3068	H0577	H0559	

מִצְוֹתָיו׃	וּלְשֹׁמְרֵי	לְאֹהֲבָיו	וְחֶסֶד
戒めを	守る-者に-対して	愛する-者と	慈しみを
H4687	H8104	H0157	

言った、「天の神、主、おのれを愛し、その戒めを守る者には契約を守り、いつくしみを施される大いなる恐るべき神よ、

תְּפִלָּ֤ת	אֶל־	לִשְׁמַ֙ע֙	פְּתֻח֣וֹת	וְעֵינֶ֔יךָ	קַשֻּׁבֹ֔ת	אָזְנֶ֖ךָ־	נָ֑א	תְּהִ֨י	6
祈りを	すなわち	聞く-ために	開かれて	あなたの-目が	傾けて	あなたの-耳が	どうか	どうか	
H8605	H0413	H8085				H0241	H4994	H1961	

עַל־	וָלַ֔יְלָה	יוֹמָ֗ם	הַיּוֹם֙	לְפָנֶ֔יךָ	מִתְפַּלֵּ֞ל	אָנֹכִ֤י	אֲשֶׁר	עַבְדְּךָ֙
に-ついて	夜も	昼も	今日	御前で	祈って-いる	わたしが	すなわち	しもべの
	H3915	H3119	H3117	H6440	H6419	H0595		H5650

בְּנֵי־	חַטֹּאות	עַל־	וּמִתְוַדֶּ֔ה	עַבְדֶּ֖יךָ	יִשְׂרָאֵ֑ל	בְּנֵ֣י	
イスラエルの-子らの	罪を	に-ついて	告白する	しもべたちの	イスラエルの	イスラエルの-子らの	
			H3034	H5650	H3478		

חָטָֽאנוּ׃	אָבִ֖י	וּבֵ֣ית־	וַאֲנִ֔י	לָ֙ךְ֙	חָטָ֔אנוּ	אֲשֶׁ֥ר	יִשְׂרָאֵ֛ל
犯しました	父の	家も	わたしも	あなたに-対して	犯しました	すなわち	イスラエルの
H2398	H0001		H0589		H2398		H3478

どうぞ耳を傾け、目を開いてしもべの祈を聞いてください。わたしは今、あなたのしもべであるイスラエルの子孫のために、昼も夜もみ前に祈り、われわれイスラエルの子孫が、あなたに対して犯した罪をざんげいたします。まことにわたしも、わたしの父の家も罪を犯しました。

הַמִּצְוֹ֔ת	אֶת־	שָׁמַ֣רְנוּ	וְלֹא־	לָ֙ךְ֙	חָבַ֣לְנוּ	חֻבָּ֔לְ	7
戒めと	すなわち	守ら-なかった	守ら-なかった	あなたに-対して	破りました	破りました	
H4687	H0853	H8104	H3808				

עַבְדֶּֽךָ׃	מֹשֶׁ֖ה	אֶת־	צִוִּ֥יתָ	אֲשֶׁ֛ר	הַמִּשְׁפָּטִ֔ים	וְאֶת־	הַחֻקִּ֖ים	וְאֶת־
しもべの	モーセに	すなわち	命じた	すなわち	定めを	すなわち	掟と	すなわち
H5650	H4872	H0853	H6680		H4941	H0853	H2706	H0853

われわれはあなたに対して大いに悪い事を行い、あなたのしもべモーセに命じられた戒めをも、定めをも、おきてをも守りませんでした。

לֵאמֹ֑ר	עַבְדְּךָ֙	מֹשֶׁ֔ה	אֶת־	צִוִּ֥יתָ	אֲשֶׁ֛ר	הַדָּבָ֖ר	אֶת־	נָ֣א	זְכָר־	8
言って	しもべに	モーセに	すなわち	命じた	すなわち	言葉を	すなわち	ください	思い-出して	
H0559	H5650	H4872	H0853	H6680		H1697	H0853	H4994	H2142	

בָּעַמִּֽים׃	אֶתְכֶ֖ם	אָפִ֥יץ	אֲנִ֛י	תִּמְעֲל֥וּ	אַתֶּ֑ם
諸国の-民の-中に	あなたがたを	散らす	わたしは	不忠実で-あるなら	あなたがたが
	H0853		H0589	H4603	

どうぞ、あなたのしもべモーセに命じられた言葉を、思い起してください。すなわちあなたは言われました、『もしあなたがたが罪を犯すならば、わたしはあなたがたを、もろもろの民の間に散らす。

יִהְיֶ֔ה	אִם־	אַתֶּ֗ם	וַעֲשִׂיתֶ֣ם	מִצְוֹתַ֔י	וּשְׁמַרְתֶּ֣ם	אֵלַ֔י	וְשַׁבְתֶּ֣ם		9
あっても	たとえ	それを	行うなら	戒めを	守るなら	わたしに	立ち-帰るなら		
H1961		H0853		H4687	H8104	H0413	H7725		

הַמָּקוֹם֙	אֶל־	וְהֵבִיאוֹתִ֔ים)	[והבואתים	אֲקַבְּצֵ֖ם	מִשָּׁ֑ם	הַשָּׁמַ֣יִם	בִּקְצֵה	נִדָּחֲכֶ֔ם
場所に	に	連れて-来る	連れて-来る	集める	そこから	天の	果てに	追い-やられた-者が
H4725	H0413	H0935	H0935	H6908	H8033	H8064		H5080

שָֽׁם׃	שְׁמִ֖י	אֶת־	לְשַׁכֵּ֥ן	בָּחַ֛רְתִּי	אֲשֶׁ֥ר
そこに	御名を	すなわち	住まわせる-ために	選んだ	すなわち
H8033	H8034	H0853	H7931	H0977	

しかし、あなたがたがわたしに立ち返り、わたしの戒めを守って、これを行うならば、たといあなたがたのうちの散らされた者が、天の果にいても、わたしはそこから彼らを集め、わたしの名を住まわせるために選んだ所に連れて来る』と。

10 וְהֵם עַבְדֶּיךָ וְעַמֶּךָ אֲשֶׁר פָּדִיתָ בְכֹחֲךָ הַגָּדוֹל וּבְיָדְךָ הַחֲזָקָה׃
彼らは 彼らは あなたの-しもべたちで あなたの-民です すなわち 贖った 大いなる-力で 大いなる
H1992 H5650 H6299

彼らは、あなたが大いなる力と強い手をもって、あがなわれたあなたのしもべ、あなたの民です。

11 אָנָּא אֲדֹנָי תְּהִי נָא אָזְנְךָ קַשֻּׁבָת וְאֶל־תְּפִלַּת עַבְדְּךָ וְאֶל־תְּפִלַּת עֲבָדֶיךָ הַחֲפִצִים לְיִרְאָה אֶת־שְׁמֶךָ וְהַצְלִיחָה־נָא לְעַבְדְּךָ הַיּוֹם וְתֶן־לוֹ רַחֲמִים לִפְנֵי הָאִישׁ הַזֶּה וַאֲנִי הָיִיתִי מַשְׁקֵה לַמָּלֶךְ׃ פ
主よ どうか 主よ どうか あなたの-耳が 傾けて すなわち 祈りに しもべの すなわち 祈りに しもべたちの 喜んで 畏れる-者たちの 御名を すなわち 成功させて-ください 今日 しもべを 与えて-ください あわれみを 御前で この この-人の 献酌官 わたしは であった
H0577 H0136 H1961 H4994 H0241 H0413 H8605 H5650 H0413 H8605 H5650 H2655 H3372 H8034 H0853 H6743 H4994 H3117 H5650 H5414 H7356 H6440 H2088 H0376 H4945 H0589 H1961
P

主よ、どうぞしもべの祈と、あなたの名を恐れることを喜ぶあなたのしもべらの祈に耳を傾けてください。どうぞ、きょう、しもべを恵み、この人の目の前であわれみを得させてください」。この時、わたしは王の給仕役であった。

Chapter 2

1 וַיְהִי בְּחֹדֶשׁ נִיסָן שְׁנַת עֶשְׂרִים לְאַרתַחְשַׁסְתְּא הַמֶּלֶךְ יַיִן לְפָנָיו וָאֶשָּׂא אֶת־הַיַּיִן וְלֹא־הָיִיתִי רַע לְפָנָיו׃
あった 月に ニサンの 年の 第二十の アルタクセルクセス 王の ぶどう酒が 御前に 取り-上げた すなわち ぶどう酒を 渡した 王に なかった 今まで-なかった 沈んだ-顔で 御前で
H1961 H2320 H5212 H8141 H6242 H0783 H4428 H3196 H6440 H5375 H0853 H3196 H5414 H4428 H1961 H3808 H7489 H6440

アルタシャスタ王の第二十年、ニサンの月に、王の前に酒が出た時、わたしは酒をついで王にささげた。これまでわたしは王の前で悲しげな顔をしていたことはなかった。

2 וַיֹּאמֶר לִי הַמֶּלֶךְ מַדּוּעַ פָּנֶיךָ רָעִים וְאַתָּה אֵינְךָ חוֹלֶה אֵין זֶה כִּי־אִם רַע לֵב וָאִירָא הַרְבָּה מְאֹד׃
言った わたしに 王が なぜ 顔が 沈んで-いるのか あなたは 病気では-ない 病気では 非常に 非常に 非常に-恐れた 心の 悲しみで-ある のみ ただ これは では-ない
H0559 H4428 H4069 H6440 H7489 H0859 H2470 H0369 H2088 H3372 H3966

王はわたしに言われた、「あなたは病気でもないのにどうして悲しげな顔をしているのか。何か心に悲しみをもっているにちがいない」。そこでわたしは大いに恐れて、

3

וָאֹמַר	לַמֶּלֶךְ	הַמֶּלֶךְ	לְעוֹלָם	יְחִיֶּה	מַדּוּעַ	לֹא־
言った	王に	王よ	永遠に	生きて–ください	なぜ	沈まない–で–いられましょうか
H0559	H4428	H4428	H5769	H2421	H4069	H3808

חֲרֵבָה	אֲבֹתַי	קִבְרוֹת	בֵּית־	הָעִיר	אֲשֶׁר	פָּנַי	יֵרֵעוּ
荒れて–いる	先祖の	墓の	先祖の–墓の	町が	すなわち	顔が	沈まない–で–いられましょうか
	H0001	H6913				H6440	

ס	בָּאֵשׁ׃	אֻכְלוּ	וּשְׁעָרֶיהָ
S	火で	焼かれた	門は
	H0784	H0398	H8179

王に申しあげた、「どうぞ王よ、長生きされますように。わたしの先祖の墳墓の地であるあの町は荒廃し、その門が火で焼かれたままであるのに、どうしてわたしは悲しげな顔をしないでいられましょうか」。

4

וַיֹּאמֶר	לִי	הַמֶּלֶךְ	עַל־	מַה־	זֶּה	אַתָּה	מְבַקֵּשׁ	וָאֶתְפַּלֵּל
言った	わたしに	王が	に–ついて	何を	これは	あなたは	求めるのか	祈った
H0559		H4428		H4100	H2088		H1245	H6419

אֶל־	הַשָּׁמָיִם׃	אֱלֹהֵי
に	天の	天の–神に
H0413	H8064	H0430

王はわたしにむかって、「それでは、あなたは何を願うのか」と言われたので、わたしは天の神に祈って、

5

וָאֹמַר	לַמֶּלֶךְ	אִם־	עַל־	הַמֶּלֶךְ	טוֹב	וְאִם־	יִיטַב	עַבְדְּךָ	לְפָנֶיךָ
言った	王に	もし	に–とって	王に	良い–なら	もし	喜ばれる–なら	しもべが	御前で
H0559	H4428			H4428	H2895		H3190	H5650	H6440

אֲשֶׁר	תִּשְׁלָחֵנִי	אֶל־	יְהוּדָה	אֶל־	עִיר	קִבְרוֹת	אֲבֹתַי	וְאֶבְנֶנָּה׃
どうか	遣わして–ください	に	ユダへ	に	町へ	先祖の–墓の	先祖の	建て–直したい
	H7971	H0413	H3063	H0413		H6913	H0001	H1129

王に申しあげた、「もし王がよしとされ、しもべがあなたの前に恵みを得ますならば、どうかわたしを、ユダにあるわたしの先祖の墳墓の町につかわして、それを再建させてください」。

6

וַיֹּאמֶר	לִי	הַמֶּלֶךְ	וְהַשֵּׁגַל	יוֹשֶׁבֶת	אֶצְלוֹ	עַד־	מָתַי	יִהְיֶה	מַהֲלָכֶךָ
言った	わたしに	王が	王妃が	座って–いた	傍に	いつまで	いつまで	である	旅は
H0559		H4428	H7694	H3427	H0681	H5704	H4970	H1961	H4109

וּמָתַי	תָּשׁוּב	וַיִּיטַב	לִפְנֵי־	הַמֶּלֶךְ	וַיִּשְׁלָחֵנִי	וָאֶתְּנָה	לוֹ	זְמָן׃
いつ	帰るのか	喜ばれた	御前で	王の	遣わした	定めた	彼に	時を
H4970	H7725	H3190	H6440	H4428	H7971	H5414		H2165

時に王妃もかたわらに座していたが、王はわたしに言われた、「あなたの旅の期間はどれほどですか。いつごろ帰ってきますか」。こうして王がわたしをつかわすことをよしとされたので、わたしは期間を定めて王に申しあげた。

7

לִי	יִתְּנוּ־	אִגְּרוֹת	טוֹב	הַמֶּלֶךְ	עַל־	אִם־	לַמֶּלֶךְ	וָאֹמַר
わたしに	与えて–ください	手紙を	良い–なら	王に	に–とって	もし	王に	言った
	H5414	H0107	H2895	H4428			H4428	H0559

אֲשֶׁר־	עַד	יַעֲבִירוּנִי	אֲשֶׁר	הַנָּהָר	עֵבֶר	פַּחֲוֹת	עַל־
すなわち	まで	通して–くれる–ため	すなわち	ユーフラテスの	川–向こうの	総督たちに	に–ついて
	H5704			H5104	H5676	H6346	

יְהוּדָה׃	אֶל־	אָבוֹא
ユダに	に	着く
H3063	H0413	H0935

わたしはまた王に申しあげた、「もし王がよしとされるならば、川向こうの州の知事たちに与える手紙をわたしに賜わり、わたしがユダに行きつくまで、彼らがわたしを通過させるようにしてください。

8 וְאִגֶּרֶת אֶל־ אָסָף שֹׁמֵר הַפַּרְדֵּס אֲשֶׁר לַמֶּלֶךְ אֲשֶׁר יִתֵּן־ לִי
手紙も に アサフに 番人 王の–森の すなわち 王の すなわち 与える–ため わたしに
H0107 H0413 H0623 H8104 H6508 H4428 H5414

וְלַבָּיִת הָעִיר וּלְחוֹמַת לַבַּיִת אֲשֶׁר־ הַבִּירָה שַׁעֲרֵי אֶת־ לְקֹרוֹת עֵצִים
家の–ため 町の 城壁と 宮の すなわち 城の 門を すなわち 梱に–かける–ため 木材を
H2346 H1002 H8179 H0853 H6086

הַטּוֹבָה אֱלֹהַי כְּיַד־ הַמֶּלֶךְ לִי וַיִּתֶּן־ אֵלָיו אָבָא אֲשֶׁר־
恵み深い 神の 御手に–より 王は わたしに 与えて–くださった その–中に 入る すなわち
H0430 H3027 H4428 H5414 H0413 H0935

עָלָי׃
わたしの–上の

また王の山林を管理するアサフに与える手紙をも賜わり、神殿に属する城の門を建てるため、また町の石がき、およびわたしの住むべき家を建てるために用いる材木をわたしに与えるようにしてください」。わたしの神がよくわたしを助けられたので、王はわたしの願いを許された。

9 וָאָבוֹא אֶל־ פַּחֲווֹת עֵבֶר הַנָּהָר וָאֶתְּנָה לָהֶם אֵת
行った に 総督たちの–もとに 川–向こうの ユーフラテスの 渡した 彼らに すなわち
H0935 H0413 H6346 H5676 H5104 H5414 H0853

פ וּפָרָשִׁים׃ חֵיל שָׂרֵי הַמֶּלֶךְ עִמִּי וַיִּשְׁלַח הַמֶּלֶךְ אִגְּרוֹת
P 騎兵を 軍の 軍の–長たちと 王は わたしと–共に 遣わした 王の 王の–手紙を
H2428 H8269 H4428 H7971 H4428 H0107

そこでわたしは川向こうの州の知事たちの所へ行って、王の手紙を渡した。なお王は軍の長および騎兵をわたしと共につかわした。

10 וַיִּשְׁמַע סַנְבַלַּט וְטוֹבִיָּה הַחֹרֹנִי הָעֶבֶד הָעַמּוֹנִי וַיֵּרַע לָהֶם
聞いた サンバラト トビヤ ホロニ人と 僕 アンモン人は 不快に–思った 彼らにとって
H8085 H5571 H2900 H2772 H5650 H5984 H1992

רָעָה גְּדֹלָה אֲשֶׁר־ בָּא אָדָם לְבַקֵּשׁ טוֹבָה לִבְנֵי
悪い–ことで–あった 大きな すなわち 来た 人が 求める–ために 幸いを イスラエルの–子らの
H1245 H0120 H0935

יִשְׂרָאֵל׃
イスラエルの
H3478

ところがホロニびとサンバラテおよびアンモンびと奴隷トビヤはこれを聞き、イスラエルの子孫の福祉を求める人が来たというので、大いに感情を害した。

11 וָאָבוֹא אֶל־ יְרוּשָׁלַם וָאֶהְיֶה־ שָׁם יָמִים שְׁלֹשָׁה׃
着いた に エルサレムに いた そこに 日間 三
H0935 H0413 H3389 H1961 H8033 H3117 H7969

わたしはエルサレムに着いて、そこに三日滞在した後、

12 וָאָקוּם לַיְלָה אֲנִי וַאֲנָשִׁים מְעַט עִמִּי וְלֹא־הִגַּדְתִּי לְאָדָם
起きた 夜に わたしと 人々が 少しの わたしと–共に 告げ–なかった 誰にも
H3915 H0589 H0376 H4592 H3808 H5046 H0120

מָה נָתַן אֱלֹהַי לְבִּי לַעֲשׂוֹת לִירוּשָׁלִָם וּבְהֵמָה אֵין
何を 与えたのか 神が 心に 行う–ために エルサレムの–ために 家畜は なかった
H4100 H5414 H0430 H0413 H3820 H3389 H0929 H0369

כִּי אִם־הַבְּהֵמָה אֲשֶׁר אֲנִי רֹכֵב עִמִּי׃ בָּהּ
ただ のみ 家畜が すなわち わたしが 乗って–いる わたしと–共に それに
H3588 H0518 H0929 H0834 H0589 H7392 H0854 H0776

夜中に起き出た。数人の者がわたしに伴ったが、わたしは、神がエルサレムのためになそうとして、わたしの心に入れられたことを、だれにも告げ知らせず、またわたしが乗った獣のほかには、獣をつれて行かなかった。

13 וָאֵצֵא בַּשַּׁעַר גֵּיא לַיְלָה וְאֶל־פְּנֵי עֵין וְאֶל־שַׁעַר הַתַּנִּין וְאֶל־
出た 谷の 夜に 前の 泉へ 竜の に–向かって 門へ
H3318 H1516 H3915 H6440 H5869 H8179 H0413 H8179

הַמפרוצים[וְאֶל־שַׁעַר הָאַשְׁפֹּת וְאֶל־גַּל הַמַּיִם וְאֶל־שַׁעַר הָרָכָב׃]
崩れて–いる すなわち 灯の 調べて–いた 城壁を エルサレムの 崩れて–いる
H6555 H0834 H0830 H1961 H2346 H3389 H6555

וַיַּעַבְרוּ אֶל־שַׁעַר הָעַיִן וְאֶל־בְּרֵכַת הַמֶּלֶךְ וְאֵין מָקוֹם לַבְּהֵמָה
渡った に 泉の に 王の 場所が 家畜の–ために
H5674 H0413 H5869 H0413 H1295 H4428 H0369 H4725 H0929

תַּחְתָּי׃ לַעֲבֹר
わたしの–下を 通る–ために
H8478 H5674

14 וָאֶעֱבֹר בַּנַּחַל לַיְלָה וְאָהִי עֹלֶה בַּשַּׁעַר וְאָשׁוּב וָאָבֹא בְּשַׁעַר
入った 谷の 戻った 上って–いた 流れに–沿って 夜に 調べて–いた 上って–いた
H0935 H1516 H7725 H5927 H5158 H3915 H1961 H0216

15 וָאָהִי וְאָשׁוּב׃ הַגָּיְא
谷の 戻った
H1516 H7725

また泉の門および王の池に行ったが、わたしの乗っている獣の通るべき所もなかった。

16 וְהַסְּגָנִים לֹא יָדְעוּ אֲנָה הָלַכְתִּי וּמָה עֹשֶׂה
役人たちは 知ら–なかった どこに 行ったのか 何を して–いるのか
H5461 H3045 H0575 H1980 H4100 H6213

וְלַיְהוּדִים וְלַכֹּהֲנִים וְלַחֹרִים וְלַסְּגָנִים וּלְיֶתֶר עֹשֵׂה הַמְּלָאכָה עַד־
ユダヤ人にも 祭司にも 貴族にも 役人にも その–他の 行う–者たちに 工事を その–時まで
H3064 H3548 H2715 H5461 H3499 H6213 H4399 H5704

כֵּן לֹא הִגַּדְתִּי׃
その 告げて–いなかった
H3651 H3808 H5046

つかさたちは、わたしがどこへ行ったか、何をしたかを知らなかった。わたしはまたユダヤ人にも、祭司たちにも、尊い人たちにも、つかさたちにも、その他工事をする人々にもまだ知らせなかった。

17 וָאוֹמַר אֲלֵהֶם אַתֶּם רֹאִים אֶת־הָרָעָה אֲשֶׁר אֲנַחְנוּ בָהּ
וָאוֹמַר 言った H0559 | אֲלֵהֶם 彼らに H0413 | אַתֶּם あなたがたは H7200 | רֹאִים 見て–いる H7200 | אֶת־ すなわち H0853 | הָרָעָה 苦難を H7451 | אֲשֶׁר すなわち H0834 | אֲנַחְנוּ わたしたちが H0587 | בָהּ その–中に–いる H0

וְנִבְנֶה 建て–直そう H1129 | אֶת־ すなわち H0853 | לְכוּ さあ H3212 | בָּאֵשׁ 火で H0784 | נִצְתָּו 焼かれた H3341 | וּשְׁעָרֶיהָ 門は H8179 | חֳרֵבָה 荒れて–いる H2717 | יְרוּשָׁלַ͏ִם エルサレムは H3389 | אֲשֶׁר すなわち H0834

חֶרְפָּה׃ עוֹד もはや H5750 | נִהְיֶה ならない–ために H1961 | וְלֹא־ もはや–ならない–ために H3808 | יְרוּשָׁלַ͏ִם エルサレムの H3389 | חוֹמַת 城壁を H2346
恥辱と H2781

しかしわたしはついに彼らに言った、「あなたがたの見るとおり、われわれは難局にある。エルサレムは荒廃し、その門は火に焼かれた。さあ、われわれは再び世のはずかしめをうけることのないように、エルサレムの城壁を築こう」。

18 וָאַגִּיד לָהֶם אֶת־ יַד אֱלֹהַי הַיא אֲשֶׁר־ טוֹבָה עָלַי
וָאַגִּיד 告げた H5046 | לָהֶם 彼らに H0 | אֶת־ すなわち H0853 | יַד 御手を H3027 | אֱלֹהַי 神の H0430 | הַיא それは H1931 | אֲשֶׁר־ すなわち H0834 | טוֹבָה 良き–もので–あった H2896 | עָלַי わたしの–上に H5921

וַיְחַזְּקוּ 強めた H2388 | וּבְנֵינוּ 建てよう H1129 | נָקוּם 立ち–上がろう H6965 | וַיֹּאמְרוּ 言った H0559 | לִי わたしに H0 | אָמַר־ 言った H0559 | אֲשֶׁר すなわち H0834 | הַמֶּלֶךְ 王の H4428 | דִּבְרֵי 言葉を H1697 | וְאַף־ また H0637

פ לַטּוֹבָה׃ יְדֵיהֶם
P 良き–ことの–ために H2896 | 手を H3027

そして、わたしの神がよくわたしを助けられたことを彼らに告げ、また王がわたしに語られた言葉をも告げたので、彼らは「さあ、立ち上がって築こう」と言い、奮い立って、この良きわざに着手しようとした。

19 וַיִּשְׁמַע סַנְבַלַּט וְטוֹבִיָּה הָעֶבֶד הָעַמּוֹנִי וְגֶשֶׁם הָעַרְבִי וַיִּלְעֲגוּ
וַיִּשְׁמַע 聞いた H8085 | סַנְבַלַּט サンバラト H5571 | וְטוֹבִיָּה トビヤ H2900 | הָעֶבֶד 僕 H5650 | הָעַמּוֹנִי アンモン人と H5984 | וְגֶשֶׁם ゲシェム H1654 | הָעַרְבִי アラブ人が H6163 | וַיִּלְעֲגוּ あざ笑った H3932

אֲשֶׁר すなわち H0834 | הַזֶּה これは H2088 | הַדָּבָר ことは H1697 | מָה־ 何の H4100 | וַיֹּאמְרוּ 言った H0559 | עָלֵינוּ わたしたちを H5921 | וַיִּבְזוּ 蔑んだ H0959 | לָנוּ わたしたちを H0
אַתֶּם あなたがたが H0859

מֹרְדִים׃ אַתֶּם הַמֶּלֶךְ הַעַל עֹשִׂים
反逆するのか H4775 | あなたがたは H0859 | 王に H4428 | に–対して H5921 | して–いるのは H6213

ところがホロニびとサンバラテ、アンモンびと奴隷トビヤおよびアラビヤびとガシムがこれを聞いて、われわれをあざけり、われわれを侮って言った、「あなたがたは何をするのか、王に反逆しようとするのか」。

20 וָאָשִׁיב אוֹתָם וַיֹּאמֶר לָהֶם אֱלֹהֵי הַשָּׁמַיִם הוּא יַצְלִיחַ לָנוּ
וָאָשִׁיב 答えた H7725 | אוֹתָם 彼らに H0853 | דָּבָר 言葉を H1697 | וַיֹּאמֶר 言った H0559 | לָהֶם 彼らに H0 | אֱלֹהֵי 天の–神が H0430 | הַשָּׁמַיִם 天の H8064 | הוּא 神が H1931 | יַצְלִיחַ 成功させる H6743 | לָנוּ わたしたちに H0

וְאַנַחְנוּ わたしたち H0587 | עֲבָדָיו その–しもべたちは H5650 | נָקוּם 立ち–上がり H6965 | וּבָנִינוּ 建てる H1129 | אֵין־ ない H0369 | וְלָכֶם あなたがたには H0 | חֵלֶק 分け前も H2506 | וּצְדָקָה 権利も H6666

וְזִכָּרוֹן 記念も H2146 | בִּירוּשָׁלָ͏ִם׃ エルサレムに H3389

わたしは彼らに答えて言った、「天の神がわれわれを恵まれるので、そのしもべであるわれわれは奮い立って築くのである。しかしあなたがたはエルサレムに何の分もなく、権利もなく、記念もない」。

Chapter 3

1

וַיָּקָם	אֶלְיָשִׁיבׄ	הַכֹּהֵן	הַגָּדׄוֹל	וְאֶחָיו	הַכֹּהֲנִים	וַיִּבְנוּ	אֶת־	שַׁעַר
立ち–上がった	エルヤシブ	祭司	大きなる	兄弟たち	祭司たちが	建てた	すなわち	羊の–門を
H6965	H0475	H3548	H1419	H0251	H3548	H1129	H0853	H8179

הַצֹּאן	הֵמָּה	קִדְּשׁוּהוּ	וַיַּעֲמִידוּ	דַּלְתֹתָיו	וְעַד־	מִגְדַּל	הַמֵּאָה	קִדְּשׁוּהוּ	מִגְדַּל
羊の	彼らが	聖別した	立てた	扉を	まで	やぐらへ	百の	聖別した	やぐらへ
H6629	H1992	H6942	H5975	H1817	H5704	H4026	H3967	H6942	H4026

עַד	חֲנַנְאֵל׃	ס	
まで	ハナネルの	S	
H5704	H2606		

かくて大祭司エリアシブは、その兄弟である祭司たちと共に立って羊の門を建て、これを聖別してそのとびらを設け、さらにこれを聖別して、ハンメアの望楼に及ぼし、またハナネルの望楼にまで及ぼした。

2

וְעַל־	יָדׄוֹ	בָּנָה	אַנְשֵׁי	יְרֵחוֹ	ס	וְעַל־	יָדׄוֹ	בָּנָה
その–傾で	その–傾で	建てた	エリコの–人々が	エリコの	S	その–傾で	その–傾で	建てた
H1129	H3027	H1129	H0376	H3405		H1129	H3027	H1129

זַכּוּר	בֶּן־	אִמְרִי׃	ס	
ザクル	の–子	イムリの	S	
H2139	H1121	H0566		

彼の次にはエリコの人々が建て、その次にはイムリの子ザックルが建てた。

3

וַיַּעֲמִידוּ	קֹרׄוֹתָיו	הֵמָּה	הַסְּנָאָה	בְּנֵי	בָּנוּ	הַדָּגִים	שַׁעַר	וְאֶת
立てた	梱を–かけた	彼らが	セナアの	の–子らが	建てた	魚の	魚の–門を	すなわち
H5975		H1992	H5570		H1129	H1709	H8179	H0853

דַּלְתֹתָיו	מַנְעוּלָיו	וּבְרִיחָיו׃	ס	
扉を	錠を	かんぬきを	S	
	H4514	H1280		

魚の門はハッセナアの子らが建て、その梁を置き、そのとびらと横木と貫の木とを設けた。

4

וְעַל־	ס	הַקּוֹץ	בֶּן־	אוּרִיָּהׄ	בֶּן־	מְרֵמוֹת	הֶחֱזִיק	יָדָם	וְעַל־
その–傾で	S	ハコツの	の–子	ウリヤの	の–子	メレモト	修理した	その–傾で	その–傾で
		H6976				H4822	H2388	H3027	

וְעַל־	ס	מְשֵׁיזַבְאֵל	בֶּן־	בֶּרֶכְיָה	בֶּן־	מְשֻׁלָּם	הֶחֱזִיק	יָדָם	
その–傾で	S	メシェザブエルの	の–子	ベレキヤの	の–子	メシュラム	修理した	その–傾で	
		H4898		H1296		H4918	H2388	H3027	

ס	בַּעֲנָא׃	בֶּן־	צָדׄוֹק	הֶחֱזִיק	יָדָם
S	バアナの	の–子	ツァドク	修理した	その–傾で
	H1195		H6659	H2388	H3027

その次にハッコツの子ウリヤの子メレモテが修理し、その次にメシザベルの子ベレキヤの子メシュラムが修理し、その次にバアナの子ザドクが修理した。

5

וְעַל־	יָדָם	הֶחֱזִיקוּ	הַתְּקוֹעִים	וְאַדִּירֵיהֶם	לֹא־	הֵבִיאוּ
その-傾で	その-傾で	修理した	テコアの-人々が	その-貴族たちは	入れ-なかった	入れ-なかった
	H3027	H2388	H8621	H0117	H3808	H0935

צַוְּארָם	בַּעֲבֹדַת	אֲדֹנֵיהֶם׃	ס	
首を	奉仕に	主人の	S	
	H5656	H0113		

その次にテコアびとらが修理したが、その貴人たちはその主の工事に服さなかった。

6

וְאֶת־	שַׁעַר	הַיְשָׁנָה	הֶחֱזִיקוּ	יְוֹיָדָע	בֶּן־	פָּסֵחַ	וּמְשֻׁלָּם	בֶּן־
すなわち	古い-門を	古い	修理した	ヨヤダ	の-子	パセアの	メシュラムと	の-子
H0853	H8179	H3465	H2388	H3111		H6454	H4918	

בְּסוֹדְיָה	הַמָּה	קֹרֹותֵהוּ	וַיַּעֲמִידוּ	דַּלְתֹתָיו	וּמַנְעֻלָיו	וּבְרִיחָיו׃	ס	
ベソデヤの	彼らが	梱を-かけた	立てた	扉を	錠を	かんぬきを	S	
H1152	H1992		H5975		H4514	H1280		

古い門はパセアの子ヨイアダおよびベソデヤの子メシュラムがこれを修理し、その梁を置き、そのとびらと横木と貫の木とを設けた。

7

וְעַל־	יָדָם	הֶחֱזִיק	מְלַטְיָה	הַגִּבְעֹנִי	וְיָדוֹן	הַמֵּרֹנֹתִי	אַנְשֵׁי
その-傾で	その-傾で	修理した	メラテヤ	ギブオン人と	ヤドン	メロノト人と	ギブオンの-人々
	H3027	H2388	H4424	H1393	H3036	H4824	H0376

גִּבְעוֹן	וְהַמִּצְפָּה	לְכִסֵּא	פַּחַת	עֵבֶר	הַנָּהָר׃	ס	
ギブオンの	ミツパの	座の-ために	総督の	川-向こうの	ユーフラテスの	S	
H1391	H4709	H3678	H6346	H5676	H5104		

その次にギベオンびとメラテヤ、メロノテびとヤドン、および川向こうの州の知事の行政下にあるギベオンとミヅパの人々が修理した。

8

עַל־	יָדוֹ	הֶחֱזִיק	עֻזִּיאֵל	בֶּן־	חַרְהַיָּה	צֹורְפִים	ס	וְעַל־
その-傾で	その-傾で	修理した	ウズイエル	の-子	ハルヘヤの	金細工の	S	その-傾で
	H3027	H2388	H5816		H2736	H6884		

יָדוֹ	הֶחֱזִיק	חֲנַנְיָה	בֶּן־	הָרַקָּחִים	וַיַּעַזְבוּ	יְרוּשָׁלַם	עַד	הַחוֹמָה	הָרְחָבָה׃
その-傾で	修理した	ハナニヤ	の-子	香料師の	固めた	エルサレムを	まで	城壁を	広い
H3027	H2388			H7546		H3389	H5704	H2346	H7342

ס
S

その次にハルハヤの子ウジエルなどの金細工人が修理し、その次に製香者のひとりハナニヤが修理した。こうして彼らはエルサレムを城壁の広い所まで復旧した。

9

וְעַל־	יָדָם	הֶחֱזִיק	רְפָיָה	בֶּן־	חוּר	שַׂר	חֲצִי	פֶּלֶךְ	יְרוּשָׁלָם׃
その-傾で	その-傾で	修理した	レファヤ	の-子	フルの	長	半分の	地区の	エルサレムの
	H3027	H2388	H7509		H2354	H8269	H2677	H6418	H3389

ס
S

その次にエルサレムの半区域の知事ホルの子レパヤが修理し、

10

ס	בֵּיתוֹ	וְנֶגֶד	חֲרוּמַף	בֶּן־	יְדָיָה	הֶחֱזִיק	יְדָם	וְעַל־
S	自分の–家の	向かいに	ハルマフの	の–子	エダヤ	修理した	その–傾で	その–傾で
		H5048	H2739		H3042	H2388	H3027	

חֲשַׁבְנְיָה׃	בֶּן־	חַטּוּשׁ	הֶחֱזִיק	יָדוֹ	וְעַל־
ハシャブネヤの	の–子	ハトゥシュ	修理した	その–傾で	その–傾で
H2813		H2407	H2388	H3027	

その次にハルマフの子エダヤが自分の家と向かい合っている所を修理し、その次にはハシャブニヤの子ハットシが修理した。

11

פַּחַת	בֶּן־	וְחַשּׁוּב	חָרִם	בֶּן־	מַלְכִּיָּה	הֶחֱזִיק	שֵׁנִית	מִדָּה
パハト・モアブの	の–子	ハシュブと	ハリムの	の–子	マルキヤ	修理した	第二の	区画の
H6355		H2815	H2766		H4441	H2388	H8145	

ס	הַתַּנּוּרִים׃	מִגְדָּל	וְאֶת	מוֹאָב
S	かまどの	かまどの–やぐらを	すなわち	モアブの
	H8574	H4026	H0853	H6355

ハリムの子マルキヤおよびバハテ・モアブの子ハシュブも他の部分および炉の望楼を修理した。

12

פֶּלֶךְ	חֲצִי	שַׂר	הַלּוֹחֵשׁ	בֶּן־	שַׁלּוּם	הֶחֱזִיק	יָדוֹ	וְעַל־
地区の	半分の	長	ハロヘシュの	の–子	シャルム	修理した	その–傾で	その–傾で
H6418	H2677	H8269	H3873		H7967	H2388	H3027	

ס	וּבְנוֹתָיו׃	הוּא	יְרוּשָׁלָ͏ִם
S	娘たちが	彼と	エルサレムの
	H1323	H1931	H3389

その次にエルサレムの他の半区域の知事ハロヘシの子シャルムがその娘たちと共に修理した。

13

בָּנוּהוּ	הֵמָּה	זָנוֹחַ	וְיוֹשְׁבֵי	חָנוּן	הֶחֱזִיק	הַגַּיְא	שַׁעַר	אֶת
建てた	彼らが	ザノアの	ザノアの–住民が	ハヌンと	修理した	谷の	谷の–門を	すなわち
H1129	H1992	H2182	H3427	H2586	H2388	H1516	H8179	H0853

הַשְּׁפוֹת׃	שַׁעַר	עַד	בַּחוֹמָה	אַמָּה	וְאֶלֶף	וּבְרִיחָיו	מַנְעֻלָיו	דְּלָתוֹתָיו
灶の	灶の–門まで	まで	城壁を	キュビトの	千	かんぬきを	錠を	扉を
H0830	H8179	H5704	H2346		H0505	H1280	H4514	

וַיַּעֲמִידוּ
立てた
H5975

谷の門はハヌンがザノアの民と共にこれを修理し、これを建て直して、そのとびらと横木と貫の木とを設け、また糞の門まで城壁一千キュビトを修理した。

14

פֶּלֶךְ	שַׂר	רֵכָב	בֶּן־	מַלְכִּיָּה	הֶחֱזִיק	הָאַשְׁפּוֹת	שַׁעַר	וְאֶת
地区の	長	レカブの	の–子	マルキヤ	修理した	灶の	灶の–門を	すなわち
H6418	H8269	H7394		H4441	H2388	H0830	H8179	H0853

ס	וּבְרִיחָיו׃	מַנְעֻלָיו	דַּלְתוֹתָיו	וַיַּעֲמִיד	יִבְנֶנּוּ	הוּא	בֵּית־הַכֶּרֶם
S	かんぬきを	錠を	扉を	立てた	建てた	彼が	ベト・ハケレムの
	H1280	H4514		H5975	H1129	H1931	H1021

糞の門はベテ・ハケレムの区域の知事レカブの子マルキヤがこれを修理し、これを建て直して、そのとびらと横木と貫の木とを設けた。

15 וְאֶת֙ שַׁ֣עַר הָעַ֔יִן הֶחֱזִ֖יק שַׁלּ֣וּן בֶּן־כָּל־חֹזֶ֑ה שַׂ֚ר פֶּ֣לֶךְ הַמִּצְפָּ֔ה
וְאֵת֙ שַׁ֣עַר הָעַ֔יִן הֶחֱזִ֖יק שַׁלּ֣וּן בֶּן־כָּל־חֹזֶ֑ה שַׂ֚ר פֶּ֣לֶךְ הַמִּצְפָּ֔ה
ואת שער העין החזיק שלון בן־כל־חזה שר פלך המצפה
ואת שער העין החזיק שלון בן־כל־חזה שר פלך המצפה
ואת שער העין החזיק שלון בן־כל־חזה שר פלך המצפה
ואת שער העין החזיק שלון בן־כל־חזה שר פלך המצפה
すなわち 泉の 修理した シャルン の–子 コル・ホゼの 長 地区の ミツパの
H0853 H8179 H2388 H7968 H3626 H8269 H6418 H4709

הוּא֙ יִבְנֶ֔נּוּ וַיטַלֶּ֖לֻנּוּ [ויעמידון] (וַיַּעֲמִ֣ידוּ) דַּלְתֹתָ֑יו מַנְעֻלָ֖יו וּבְרִיחָ֥יו וְאֶת֙ חוֹמַ֣ת
הוּא֙ יִבְנֶ֔נּוּ וַיטַלֶּ֖לֻנּוּ [ויעמידון] (וַיַּעֲמִ֣ידוּ) דַּלְתֹתָ֑יו מַנְעֻלָ֖יו וּבְרִיחָ֥יו וְאֶת֙ חוֹמַ֣ת
הוא יבננו ויטללנו [ויעמידון] (ויעמידו) דלתתיו מנעליו ובריחיו ואת חומת
הוא יבננו ויטללנו [ויעמידון] (ויעמידו) דלתתיו מנעליו ובריחיו ואת חומת
הוא יבננו ויטללנו [ויעמידון] (ויעמידו) דלתתיו מנעליו ובריחיו ואת חומת
הוא יבננו ויטללנו [ויעמידון] (ויעמידו) דלתתיו מנעליו ובריחיו ואת חומת
彼が 建てた 屋根を–かけた 立てた 扉を 錠を かんぬきを すなわち 城壁を
H1931 H1129 H2926 H5975 H5975 H4514 H1280 H0853 H2346

בְּרֵכַ֣ת הַשֶּׁלַח֮ לְגַ֣ן הַמֶּ֒לֶךְ֒ וְעַד־ הַמַּעֲלוֹת֙ הַיֹּרְדֹ֔ת מֵעִ֖יר דָּוִֽיד׃ ס
בְּרֵכַ֣ת הַשֶּׁלַח֮ לְגַ֣ן הַמֶּ֒לֶךְ֒ וְעַד־ הַמַּעֲלוֹת֙ הַיֹּרְדֹ֔ת מֵעִ֖יר דָּוִֽיד׃ ס
ברכת השלח לגן המלך ועד־ המעלות היורדת מעיר דויד ס
ברכת השלח לגן המלך ועד־ המעלות היורדת מעיר דויד ס
ברכת השלח לגן המלך ועד־ המעלות היורדת מעיר דויד ס
ברכת השלח לגן המלך ועד־ המעלות היורדת מעיר דויד ס
池の シロアムの 王の–園へ 王の まで 階段まで 下る ダビデの–町から ダビデの
H1295 H1588 H4428 H5704 H3381 H1732

泉の門はミヅパの区域の知事コロホゼの子シャルンがこれを修理し、これを建て直して、おおいを施し、そのとびらと横木と貫の木とを設けた。彼はまた王の園のほとりのシラの池に沿った石がきを修理して、ダビデの町から下る階段にまで及んだ。

16 אַחֲרָ֣יו הֶחֱזִ֗יק נְחֶמְיָה֙ בֶּן־עַזְבּ֣וּק שַׂ֚ר פֶּ֣לֶךְ חֲצִ֣י בֵֽית־צ֔וּר עַד־
אַחֲרָ֣יו הֶחֱזִ֗יק נְחֶמְיָה֙ בֶּן־עַזְבּ֣וּק שַׂ֚ר פֶּ֣לֶךְ חֲצִ֣י בֵֽית־צ֔וּר עַד־
אחריו החזיק נחמיה בן־עזבוק שר פלך חצי בית־צור עד־
אחריו החזיק נחמיה בן־עזבוק שר פלך חצי בית־צור עד־
その–後に 修理した ネヘミヤ の–子 アズブクの 長 半分の 地区の ベト・ツルの まで
H5704 H1049 H6418 H2677 H8269 H5802 H5166 H2388 H0310

נֶ֣גֶד קִבְרֵ֣י דָוִ֔יד וְעַד־ הַבְּרֵכָ֖ה הָעֲשׂוּיָ֑ה וְעַד֙ בֵּ֣ית הַגִּבֹּרִֽים׃
נֶ֣גֶד קִבְרֵ֣י דָוִ֔יד וְעַד־ הַבְּרֵכָ֖ה הָעֲשׂוּיָ֑ה וְעַד֙ בֵּ֣ית הַגִּבֹּרִֽים׃
נגד קברי דויד ועד־ הברכה העשויה ועד בית הגבורים׃
נגד קברי דויד ועד־ הברכה העשויה ועד בית הגבורים׃
向かいの ダビデの–墓の ダビデの まで 池まで 造られた まで 勇士たちの–家まで 勇士たちの
H5048 H6913 H1732 H5704 H1295 H5704 H1368

ס
S

その後にベテズルの半区域の知事アズブクの子ネヘミヤが修理して、ダビデの墓と向かい合った所に及び、掘池と勇士の宅にまで及んだ。

17 אַחֲרָ֣יו הֶחֱזִ֗יקוּ הַלְוִיִּ֛ם רְח֥וּם בֶּן־ בָּנִ֖י עַל־ יָדֽוֹ חֲצִ֣י פֶ֣לֶךְ קְעִילָ֑ה
אַחֲרָ֣יו הֶחֱזִ֗יקוּ הַלְוִיִּ֛ם רְח֥וּם בֶּן־ בָּנִ֖י עַל־ יָדֽוֹ חֲצִ֣י פֶ֣לֶךְ קְעִילָ֑ה
אחריו החזיקו הלוים רחום בן־ בני על־ ידו חצי פלך קעילה
אחריו החזיקו הלוים רחום בן־ בני על־ ידו חצי פלך קעילה
その–後に 修理した レビ人が レフム の–子 バニの その–傍で その–傍で 半分の 地区の ケイラの
H3881 H2388 H7084 H6418 H2677 H8269 H2811

ס לִפְלְכּֽוֹ׃
S その–地区の–ために
H6418

その後にバニの子レホムなどのレビびとが修理し、その次にケイラの半区域の知事ハシャビヤがその区域のために修理した。

18 אַחֲרָ֣יו הֶחֱזִ֗יקוּ אֲחֵיהֶם֙ בַּוַּ֣י בֶּן־ חֲצִ֣י פֶ֣לֶךְ קְעִילָֽה׃
אַחֲרָ֣יו הֶחֱזִ֗יקוּ אֲחֵיהֶם֙ בַּוַּ֣י בֶּן־ חֲצִ֣י פֶ֣לֶךְ קְעִילָֽה׃
אחריו החזיקו אחיהם בוי בן־ חצי פלך קעילה׃
אחריו החזיקו אחיהם בוי בן־ חצי פלך קעילה׃
その–後に 修理した 兄弟たちが バワイ の–子 半分の 地区の ケイラの
H0310 H2388 H0251 H0942 H2677 H8269 H2582 H6418 H7084

ס
S

その後にケイラの半区域の知事ヘナダデの子バワイなどその兄弟たちが修理し、

19 וַיְחַזֵּ֣ק עַל־ יָדוֹ֮ עֵ֣זֶר בֶּן־ יֵשׁ֒וּעַ֒ שַׂ֚ר מִדָּ֣ה שֵׁנִ֔ית מִנֶּ֖גֶד עֲלִיַּ֣ת הַנֶּ֑שֶׁק לִמְקָצֽוֹעַ׃ ס
וַיְחַזֵּ֣ק עַל־ יָדוֹ֮ עֵ֣זֶר בֶּן־ יֵשׁ֒וּעַ֒ שַׂ֚ר מִדָּ֣ה שֵׁנִ֔ית מִנֶּ֖גֶד עֲלִיַּ֣ת הַנֶּ֑שֶׁק לִמְקָצֽוֹעַ׃ ס
ויחזק על־ ידו עזר בן־ ישוע שר מדה שנית מנגד עלית הנשק למקצוע׃ ס
ויחזק על־ ידו עזר בן־ ישוע שר מדה שנית מנגד עלית הנשק למקצוע׃ ס
ויחזק על־ ידו עזר בן־ ישוע שר מדה שנית מנגד עלית הנשק למקצוע׃ ס
ויחזק על־ ידו עזר בן־ ישוע שר מדה שנית מנגד עלית הנשק למקצוע׃ ס
その後に その–傍で エゼル の–子 イェシュアの 長 ミツパの 区画の 第二の
H5829 H3027 H3442 H8269 H4740 H8145

S 角の
H4740 武器庫の
H5402 武器庫の–上り口の
H5927 向かいの
H5048

その次にエシュアの子でミヅパの知事であるエゼルが、城壁の曲りかどにある武器倉に上る所と向かい合った他の部分を修理し、

מִן־	שֵׁנִית	מִדָּה	)זַכַּי(	זבי	בֶּן־	בָּרוּךְ	הֶחֱזִיק	הַחֲרָה	אַחֲרָיו	20
から	第二の	区画の	ザバイの	ザバイの	の-子	バルク	修理した	熱心に	その-後に	
	H8145		H2140	H2079		H1263	H2388	H2734		

ס	הַגָּדוֹל׃	הַכֹּהֵן	אֶלְיָשִׁיב	בֵּית	פֶּתַח	עַד־	הַמִּקְצוֹעַ
S	大きなる	祭司の	エルヤシブの	家の	入口まで	まで	角から
		H3548	H0475		H6607	H5704	H4740

その後にザバイの子バルクが、力をつくして城壁の曲りかどから大祭司エリアシブの家の門までの他の部分を修理し、

מִפֶּתַח	שֵׁנִית	מִדָּה	הַקּוֹץ	בֶּן־	אוּרִיָּה	בֶּן־	מְרֵמוֹת	הֶחֱזִיק	אַחֲרָיו	21
入口から	第二の	区画の	ハコツの	の-子	ウリヤの	の-子	メレモト	修理した	その-後に	
H6607	H8145		H6976				H4822	H2388		

ס	אֶלְיָשִׁיב׃	בֵּית	תַּכְלִית	וְעַד־	אֶלְיָשִׁיב	בֵּית		
S	エルヤシブの	家の	端まで	まで	エルヤシブの	家の		
	H0475		H8503	H5704	H0475			

その後にハッコツの子ウリヤの子メレモテが、エリアシブの家の門からエリアシブの家の端までの他の部分を修理し、

הַכִּכָּר׃	אַנְשֵׁי	הַכֹּהֲנִים	הֶחֱזִיקוּ	וְאַחֲרָיו	22
平野の	平野の-人々が	祭司たちが	修理した	その-後に	
H3603	H0376	H3548	H2388		

彼の後に低地の人々である祭司たちが修理し、

הֶחֱזִיק	אַחֲרָיו	ס	בֵּיתָם	נֶגֶד	וְחַשּׁוּב	בִּנְיָמִן	הֶחֱזִיק	אַחֲרָיו	23
修理した	その-後に	S	自分の-家の	向かいに	ハシュブが	ベニヤミンと	修理した	その-後に	
H2388				H5048	H2815	H1144	H2388		

ס	בֵּיתוֹ׃	אֵצֶל	עֲנַנְיָה	בֶּן־	מַעֲשֵׂיָה	בֶּן־	עֲזַרְיָה
S	自分の-家の	傾に	アナニヤの	の-子	マアセヤの	の-子	アザルヤ
		H0681	H6055		H4641		H5838

その後にベニヤミンおよびハシュブが、自分たちの家と向かい合っている所を修理し、その後にアナニヤの子マアセヤの子アザリヤが、自分の家の附近を修理し、

עַד־	עֲזַרְיָה	מִבֵּית	שֵׁנִית	מִדָּה	חֲנָדָד	בֶּן־	בִּנּוּי	הֶחֱזִיק	אַחֲרָיו	24
まで	アザルヤの	家から	第二の	区画の	ヘナダドの	の-子	ビンヌイ	修理した	その-後に	
H5704	H5838		H8145		H2582		H1131	H2388		

הַפִּנָּה׃	וְעַד־	הַמִּקְצוֹעַ	
曲がり角まで	まで	角まで	
H6438	H5704	H4740	

その後にヘナダデの子ビンヌイが、アザリヤの家から城壁の曲りかど、およびすみまでの他の部分を修理した。

הָעֶלְיוֹן	הַמֶּלֶךְ	מִבֵּית	הַיּוֹצֵא	וְהַמִּגְדָּל	הַמִּקְצוֹעַ	מִנֶּגֶד	אוּזַי	בֶּן־	פָּלָל	25
上の	王の	王の-家から	出て-いる	やぐらと	角の	向かいの	ウザイの	の-子	パラル	
	H4428		H3318	H4026	H4740	H5048	H0186		H6420	

ס	פַּרְעֹשׁ׃	בֶּן־	פְּדָיָה	אַחֲרָיו	הַמַּטָּרָה	לַחֲצַר	אֲשֶׁר	
S	パロシュの	の-子	ペダヤ	その-後に	護衛の	護衛の-庭の	すなわち	
	H6551		H6305		H4307			

ウザイの子パラルは、城壁の曲りかどと向かい合っている所、および監視の庭に近い王の上の家から突き出ている望楼と向かい合っている所を修理した。その後にパロシの子ペダヤ、

26 וְהַנְּתִינִים יָשְׁבִים בָּעֹפֶל עַד נֹכַח שַׁעַר הַמַּיִם מִגְדָּל הַיּוֹצֵא׃ ס

26	וְהַנְּתִינִים	יָשְׁבִים	בָּעֹפֶל	עַד	נֹכַח	שַׁעַר	הַמַּיִם	מִגְדָּל	הַיּוֹצֵא׃	ס
	宮に-仕える-者たちは	住んで-いた	オフェルに	まで	向かいの	水の-門の	水の	やぐらと	出て-いる	S
	H5411	H3427	H6077	H5704	H5048	H8179	H4325	H4026	H3318	

およびオペルに住んでいる宮に仕えるしもべたちが、東の方の水の門と向かい合っている所、および突き出ている望楼と向かい合っている所まで修理した。

27 אַחֲרָיו הֶחֱזִיקוּ הַתְּקוֹעִים מִדָּה שְׁנִית מִנֶּגֶד הַמִּגְדָּל הַגָּדוֹל עַד חוֹמַת הָעָפֶל׃

27	אַחֲרָיו	הֶחֱזִיקוּ	הַתְּקוֹעִים	מִדָּה	שְׁנִית	מִנֶּגֶד	הַמִּגְדָּל	הַגָּדוֹל	
	その-後に	修理した	テコアの-人々が	区画の	第二の	向かいの	大きな-やぐらの	大きな	
		H2388	H8621		H8145	H5048	H4026		
	הַיּוֹצֵא	וְעַד	חוֹמַת	הָעָפֶל׃					
	出て-いる	まで	城壁まで	オフェルの					
	H3318	H5704	H2346	H6077					

その後にテコアびとが、突き出ている大望楼と向かい合っている他の部分を修理し、オペルの城壁にまで及んだ。

28 מֵעַל שַׁעַר הַסּוּסִים הֶחֱזִיקוּ הַכֹּהֲנִים אִישׁ לְנֶגֶד בֵּיתוֹ׃ ס

28	מֵעַל	שַׁעַר	הַסּוּסִים	הֶחֱזִיקוּ	הַכֹּהֲנִים	אִישׁ	לְנֶגֶד	בֵּיתוֹ׃	ס
	上から	馬の-門の	馬の	修理した	祭司たちが	それぞれ	向かいに	自分の-家の	S
		H8179		H2388	H3548	H0376	H5048		

馬の門から上の方は祭司たちが、おのおの自分の家と向かい合っている所を修理した。

29 אַחֲרֵיו הֶחֱזִיק צָדוֹק בֶּן־אִמֵּר לְנֶגֶד בֵּיתוֹ וְאַחֲרָיו שְׁמַעְיָה בֶן־שְׁכַנְיָה שֹׁמֵר שַׁעַר הַמִּזְרָח׃ ס

29	אַחֲרָיו	הֶחֱזִיק	צָדוֹק	בֶּן־	אִמֵּר	לְנֶגֶד	בֵּיתוֹ	וְאַחֲרָיו		
	その-後に	修理した	ツァドク	の-子	イメルの	向かいに	自分の-家の	その-後に		
		H2388	H6659		H0564	H5048				
	שְׁמַעְיָה	בֶּן־	שְׁכַנְיָה	שֹׁמֵר	שַׁעַר	הַמִּזְרָח׃	ס			
	シェマヤ	の-子	シェカニヤの	番人	東の-門の	東の	S			
	H8098		H7935	H8104	H8179	H4217				

その後にインメルの子ザドクが、自分の家と向かい合っている所を修理し、その後にシカニヤの子シマヤという東の門を守る者が修理し、

30 אַחֲרָיו (אַחֵרִים) חָנַנְיָה בֶן־שֶׁלֶמְיָה וְחָנוּן בֶּן־צָלָף הֶחֱזִיק אַחֲרָיו מְשֻׁלָּם בֶּן־בֶּרֶכְיָה נֶגֶד לִשְׁכָתוֹ׃ ס

30	אַחֲרָיו	(אַחֵרִים)	חָנַנְיָה	בֶּן־	שֶׁלֶמְיָה	וְחָנוּן	בֶּן־צָלָף	הֶחֱזִיק	אַחֲרָיו	מְשֻׁלָּם	בֶּן־	בֶּרֶכְיָה	נֶגֶד	לִשְׁכָתוֹ׃	ס
	その-後に	その-後に	ハナニヤ	の-子	シェレミヤの	ハヌンと	ツァラフの	修理した	その-後に	メシュラム	の-子	ベレキヤの	向かいに	自分の-部屋の	S
					H8018	H2586	H6764	H2388		H4918		H1296	H5048	H5393	
	שֵׁנִי	מִדָּה	הַשִּׁשִּׁי												
	第二の	区画の	第六の												
	H8145		H8345												

その後にシレミヤの子ハナニヤおよびザラフの第六の子ハヌンが他の部分を修理し、その後にベレキヤの子メシュラムが、自分のへやと向かい合っている所を修理した。

31 אַחֲרָיו (אַחֵרִים) מַלְכִּיָּה בֶן־צֹרְפִי עַד בֵּית הַנְּתִינִים וְהָרֹכְלִים נֶגֶד שַׁעַר הַמִּפְקָד וְעַד עֲלִיַּת הַפִּנָּה׃

31	אַחֲרָיו	(אַחֵרִים)	מַלְכִּיָּה	בֶּן־	צֹרְפִי	עַד	בֵּית	הַנְּתִינִים	וְהָרֹכְלִים	נֶגֶד	שַׁעַר	הַמִּפְקָד	וְעַד	עֲלִיַּת	הַפִּנָּה׃
	その-後に	その-後に	マルキヤ	の-子	金細工師の	まで	家まで	宮に-仕える-者の	商人の	向かいの	召集の-門の	召集の	まで	屋上の-部屋まで	角の
			H4441		H6885	H5704		H5411	H7402	H5048	H8179	H4663	H5704	H5944	H6438

その後に金細工人のひとりマルキヤという者が、召集の門と向かい合っている所を修理して、すみの二階のへやに至り、宮に仕えるしもべたちおよび商人の家にまで及んだ。

פ	וְהָרֹכְלִֽים׃	הַצֹּרְפִ֔ים	הֵחֱזִ֖יקוּ	הַצֹּ֑אן	לְשַׁ֣עַר	הַפִּנָּ֗ה	עֲלִיַּ֛ת	וּבֵ֥ין	32
P	商人が	金細工師と	修理した	羊の	羊の-門の	角の	屋上の-部屋の	間に	
	H7402	H6884	H2388	H6629	H8179	H6438	H5944	H0996	

またすみの二階のへやと羊の門の間は金細工人と商人たちがこれを修理した。

Chapter 4

אֶת־	בּוֹנִ֔ים	אֲנַ֖חְנוּ	כִּי־	סַנְבַלַּ֣ט	שָׁמַ֑ע	כַּאֲשֶׁ֤ר	וַיְהִי֙	1
～を	建てている	私たちが	～ということを	サンバラテが	聞いた	～のとき	そして-あった	
H0853	H1129	H0587		H5571	H8085		H1961	

הַיְּהוּדִֽים׃	עַל־	וַיִּלְעֵ֔ג	הָרְבֵּ֖ה	וַיִּכְעַ֣ס	ל֑וֹ	וַיַּ֣חַר	הַחוֹמָ֔ה
ユダヤ人たちを	～に-対して	そして-あざ笑った	非常に	そして-憤った	彼は	すると-怒った	城壁を
H3064		H3932		H3707		H2734	H2346

サンバラテはわれわれが城壁を築くのを聞いて怒り、大いに憤ってユダヤ人をあざけった。

מֶה	וַיֹּ֣אמֶר	שֹׁמְר֔וֹן	וְחֵ֣יל	אֶחָ֑יו	לִפְנֵ֣י	וַיֹּ֗אמֶר	2
何を	そして-言った	サマリヤの	そして-軍勢の	彼の-同胞たちの	～の-前で	そして-言った	
H4100	H0559	H8111	H2426	H0251	H6440	H0559	

הֲיְזַבְּח֑וּ	לָהֶ֣ם	הֲיַעַזְבוּ֙	עֹשִׂ֔ים	הָאֻמְלָלִ֖ים	הַיְּהוּדִ֥ים
いけにえを-ささげるのか	彼らに	自分たちで-できるのか	しているのか	弱々しい	ユダヤ人たちは
H2076	H1992			H0537	H3064

וְהֵ֣מָּה	הֶעָפָ֗ר	מֵעֲרֵמוֹת֙	הָאֲבָנִ֔ים	אֶת־	הֲיְחַיּ֑וּם	בַּיּ֣וֹם	הַיְכַלּ֔וּ
しかも-それらは	ちりの	瓦礫の-山から	石を	～を	生き返らせるのか	一日で	一日で-終えるのか
H1992	H6083	H6194	H0068	H0853	H2421	H3117	H3615

שְׂרוּפֽוֹת׃
焼けた-ものだ
H8313

彼はその兄弟たちおよびサマリヤの兵隊の前で語って言った、「この弱々しいユダヤ人は何をしているのか。自分で再興しようとするのか。犠牲をささげようとするのか。一日で事を終えようとするのか。塵塚の中の石はすでに焼けているのに、これを取りだして生かそうとするのか」。

בּוֹנִ֔ים	הֵ֖ם	אֲשֶׁר־	גַּ֣ם	וַיֹּ֣אמֶר	אֶצְלוֹ֙	הָעַמֹּנִ֔י	וְטוֹבִיָּ֖ה	3
建てていても	彼らが	～ものを	たとえ	そして-言った	彼の-そばで	アンモン人の	すると-トビヤは	
H1129	H1992		H1571	H0559	H0681	H5984	H2900	

פ	אַבְנֵיהֶ֑ם׃	חוֹמַ֥ת	וּפָרַ֖ץ	שׁוּעָ֥ל	יַעֲלֶ֛ה	אִם־
ペー	彼らの-石の	城壁は	くずれるだろう	きつねが	上ったなら	もし
	H0068	H2346	H6555	H7776	H5927	

またアンモンびとトビヤは、彼のかたわらにいて言った、「そうだ、彼らの築いている城壁は、きつね一匹が上ってもくずれるであろう」と。

וְהָשֵׁ֣ב	בּוּזָּ֔ה	הָיִ֖ינוּ	כִּי־	אֱלֹהֵ֑ינוּ	שְׁמַ֣ע	4
そして-返してください	さげすみの-的に	私たちは-なった	なぜなら	私たちの-神よ	聞いてください	
H7725	H0939	H1961		H0430	H8085	

שִׁבְיָ֔ה׃	בְּאֶ֖רֶץ	לְבִזָּ֑ה	וּתְנֵ֣ם	רֹאשָׁ֔ם	אֶל־	חֶרְפָּתָֽם
捕囚の	捕囚の-地で	略奪の-ために	そして-渡してください	彼らの-頭に	～の-上に	彼らの-そしりを
H7633	H0776	H0961	H5414		H0413	H2781

「われわれの神よ、聞いてください。われわれは侮られています。彼らのはずかしめを彼らのこうべに返し、彼らを捕囚の地でぶんどり物にしてください。

5

וְאַל־ תְּכַסֶּ֣ה עַל־ עֲוֹנָ֔ם וְחַטָּאתָ֖ם
そして–覆わないでください ～の–上に 彼らの–咎を そして–彼らの–罪を
H0408 H3680 H5771

מִלְּפָנֶ֑יךָ אַל־ תִּמָּחֶ֣ה כִּ֤י הִכְעִיסוּ֙ לְנֶ֔גֶד
御前から 消さないでください なぜなら 彼らは–怒らせた ～の–面前で
H6440 H0408 H3707 H5048

הַבּוֹנִֽים׃
建てる者たちの
H1129

彼らのとがをおおわず、彼らの罪をみ前から消し去らないでください。彼らは築き建てる者の前であなたを怒らせたからです」。

6

וַנִּבְנֶה֙ אֶת־ הַחוֹמָ֔ה וַתִּקָּשֵׁ֖ר כָּל־ הַחוֹמָ֣ה עַד־
そして–私たちは–建てた ～を 城壁を そして–つながった すべての 城壁は ～まで
H1129 H0853 H2346 H7194 H3605 H2346 H5704

וַיְהִ֥י לֵ֖ב לָעָ֑ם לַעֲשׂ֖וֹת׃ פ חֶצְיָֽהּ׃
そして–あった 心が 民に 働く–意欲が ペー その–半分まで
H1961 H2677

こうしてわれわれは城壁を築いたが、石がきはみな相連なって、その高さの半ばにまで達した。民が心をこめて働いたからである。

7

וַיְהִ֗י כַּאֲשֶׁ֤ר שָׁמַע֙ סַנְבַלַּ֣ט וְטוֹבִיָּ֔ה וְהָעַרְבִ֖ים
そして–あった ～のとき 聞いた サンバラテと トビヤと そして–アラブ人たちと
H1961 H8085 H5571 H2900

וְהָאַשְׁדּוֹדִ֔ים וְהָעַמֹּנִ֖ים
そして–アシュドデ人たちが そして–アンモン人たちと
H0796 H5984

כִּֽי־ עָלְתָ֞ה אֲרוּכָ֣ה לְחֹמ֗וֹת הֵחֵ֙לּוּ֙ הַפְּרָצִ֔ים וַיִּֽחַר־ לָהֶ֖ם מְאֹֽד׃
～ということを 進んだ 修復が 城壁の 始まった 破れ口が ふさがれることが 彼らは すると–怒った 非常に
H3966 H2734 H6555 H2346 H0724 H5927

כִּֽי־ יְרוּשָׁלַ֛יִם לְהִסָּתֵ֥ם לְהַלָּחֶ֖ם בִּֽירוּשָׁלַ֑יִם וַיִּקְשְׁר֥וּ כֻלָּ֛ם יַחְדָּ֖ו לָב֥וֹא וְלַעֲשׂ֥וֹת
そして エルサレムの ふさがれることが 戦うために エルサレムに 共に 彼ら–すべてが そして–共謀した 来て 起こすために
H3389 H3389 H0935 H7194 H3605 H3389 H3389

לֽוֹ׃ תּוֹעָֽה׃
それに 混乱を
H8442

皆共に相はかり、エルサレムを攻めて、その中に混乱を起そうとした。

9

וַנִּתְפַּלֵּ֣ל אֶל־ אֱלֹהֵ֔ינוּ וַנָּ֥שֶׂם מִשְׁמָ֖ר עֲלֵיהֶ֣ם יוֹמָ֑ם
そして–私たちは–祈った ～に 私たちの–神に そして–立てた 見張りを 彼らに–対して 昼も
H6419 H0413 H0430 H5975 H4929 H3119

וְלַיְלָ֖ה מִפְּנֵיהֶֽם׃
夜も 彼らの–ゆえに
H3915 H6440

そこでわれわれは神に祈り、また日夜見張りを置いて彼らに備えた。

וַנֹּאמֶר יְהוּדָה כָּשַׁל כֹּחַ הַסַּבָּל וְהֶעָפָר הַרְבֶּה וַאֲנַחְנוּ 10
そして–私たちは 多い そして–ちりが 荷を–運ぶ者の 力が 衰えている ユダが すると–言った
H0587 H6083 H5449 H3782 H3063 H0559

לָא נוּכַל לִבְנוֹת בַּחוֹמָה׃
できない できない 建てることが 城壁を
H3808 H3201 H1129 H2346

その時、ユダびとは言った、「荷を負う者の力は衰え、そのうえ、灰土がおびただしいので、われわれは城壁を築くことができない」。

וַיֹּאמְרוּ צָרֵינוּ לֹא יֵדְעוּ וְלֹא 11
そして–言った 私たちの–敵は 知らないうちに 知らないうちに そして–見えないうちに
H0559 H3808 H3045 H3808

יִרְאוּ עַד אֲשֶׁר־ אֶל־ תּוֹכָם וְהָרַגְנוּם וְהִשְׁבַּתְנוּ
見えないうちに ～まで ～するまで 入って ～の–中へ 彼らの–中へ そして–殺し そして–やめさせよう
H7200 H5704 H0935 H0413 H8432 H2026 H7725

אֶת־ הַמְּלָאכָה׃
～を この–工事を
H0853 H4399

またわれわれの敵は言った、「彼らの知らないうちに、また見ないうちに、彼らの中にはいりこんで彼らを殺し、その工事をやめさせよう」。

וַיְהִי כַּאֲשֶׁר־ בָּאוּ הַיְהוּדִים הַיֹּשְׁבִים אֶצְלָם וַיֹּאמְרוּ 12
そして–あった ～のとき 来た ユダヤ人たちが 住んでいる 彼らの–近くに そして–言った
H1961 H0935 H3064 H3427 H0681 H0559

לָנוּ עֶשֶׂר פְּעָמִים מִכֹּל־ הַמְּקֹמוֹת אֲשֶׁר־ תָּשׁוּבוּ עָלֵינוּ׃
私たちに 十 回も すべての 場所から そこから 戻って来て 私たちを–攻めると
H6235 H6471 H3605 H4725 H7725

また彼らの近くに住んでいるユダヤ人たちはきて、十度もわれわれに言った、「彼らはその住んでいるすべての所からわれわれに攻め上るでしょう」と。

וָאַעֲמִיד בַּשְּׁפָלוֹת מֵאַחֲרֵי הַחוֹמָה בצחחיים] לַמְּקֹום מִמִּשְׁפְּחֹתָיו [בַּצְּחִיחִים(13
そこで–私は–配置した 低い–所に その–場所の 城壁の–後ろの 城壁に むき出しの むき出しの–所に
H5975 H8482 H4725 H2346 H6708 H6708

עִם־ חַרְבֹּתֵיהֶם רָמְחֵיהֶם וָאַעֲמִיד אֶת־ הָעָם לְמִשְׁפְּחוֹת
～とともに 彼らの–剣と 彼らの–槍と そして–私は–配置した ～を 民を 家族ごとに
H2719 H7420 H5975 H0853 H4940

וְקַשְׁתֹתֵיהֶם׃
そして–彼らの–弓とを
H7198

そこでわたしは民につるぎ、やりおよび弓を持たせ、城壁の後の低い所、すなわち空地にその家族にしたがって立たせた。

14

הַסְּגָנִים	וְאֶל־	הַחֹרִים	אֶל־	וָאֹמַר	וָאָקוּם	וָאֵרֶא
代官たちと	そして-〜に	貴族たちと	〜に	そして-言った	そして-立ち上がり	そして-私は-見て
H5461	H0413	H2715	H0413	H0559		H7200

הַגָּדוֹל	אֲדֹנָי	אֶת־	מִפְּנֵיהֶם	תִּירְאוּ	אַל־	הָעָם	יֶתֶר	וְאֶל־
大いなる	主を	〜を	彼らを	恐れるな	恐れるな	民に	残りの	そして-〜に
	H0136	H0853	H6440	H3372	H0408			H0413

אֲחֵיכֶם	עַל־	וְהִלָּחֲמוּ	זִכְרוּ	וְהַנּוֹרָא	
あなたがたの-兄弟たち	〜の-ために	そして-戦え	覚えよ	そして-畏れるべき方を	
H0251			H2142	H3372	

נְשֵׁיכֶם	וּבְנֹתֵיכֶם	בְּנֵיכֶם
あなたがたの-妻たち	そして-あなたがたの-娘たち	あなたがたの-息子たち
H0802	H1323	

וּבָתֵּיכֶם׃	פ
そして-あなたがたの-家の-ために	ペー

わたしは見めぐり、立って尊い人々、つかさたち、およびその他の民らに言った、「あなたがたは彼らを恐れてはならない。大いなる恐るべき主を覚え、あなたがたの兄弟、むすこ、娘、妻および家のために戦いなさい」。

15

לָנוּ	נוֹדַע	כִּי־	אוֹיְבֵינוּ	שָׁמְעוּ	כַּאֲשֶׁר־	וַיְהִי	
私たちに	知られた	〜ということを	私たちの-敵が	聞いた	〜のとき	そして-あった	
	H3045		H0341	H8085		H1961	

אֶל־	כֻּלָּנוּ	)וַנָּשָׁב(	]ונשוב[	עֲצָתָם	אֶת־	הָאֱלֹהִים	וַיָּפֶר
〜へ	私たち-皆	私たちは-戻った	それで	彼らの-計画を	〜を	神が	そして-神が-くじかれた
H0413	H3605	H7725	H7725	H6098	H0853	H0430	

מְלַאכְתּוֹ׃	אֶל־	אִישׁ	הַחוֹמָה
自分の-仕事に	〜の	各自	城壁へ
H4399	H0413	H0376	H2346

われわれの敵は自分たちの事が、われわれに悟られたことを聞き、また神が彼らの計りごとを破られたことを聞いたので、われわれはみな城壁に帰り、おのおのその工事を続けた。

16

בַּמְּלָאכָה	עֹשִׂים	נְעָרַי	חֲצִי	הַהוּא	הַיּוֹם	מִן־	וַיְהִי	
工事に	従事していた	私の-部下は	半分の	その	その-日	〜から	そして-あった	
H4399		H5288	H2677	H1931	H3117		H1961	

וְהַשָּׂרִים	וְהַשִּׁרְיָנִים	וְהַקְּשָׁתוֹת	הַמָּגִנִּים	וְהָרְמָחִים	מַחֲזִיקִים	וְחֶצְיָם	
そして-指揮官たちは	よろいを	弓と	盾と	槍と	握っていた	そして-半分は	
H8269		H7198	H4043	H7420	H2388	H2677	

יְהוּדָה׃	בֵּית	כָּל־	אַחֲרֵי
ユダの	家の	すべての	〜の-後ろに
H3063		H3605	

その日から後は、わたしのしもべの半数は工事に働き、半数はやり、盾、弓、よろいをもって武装した。そしてつかさたちは城壁を築いているユダの全家の後に立った。

17

עָשָׂה	יָדוֹ	בְּאַחַת	עֹמְשִׂים	בַּסֶּבֶל	וְהַנּוֹשְׂאִים	בַּחוֹמָה	הַבּוֹנִים
していた	手で	片方の	担いでいた	荷物を	そして-荷を-運ぶ者たちは	城壁で	建てる者たちは
	H3027	H0259	H6006	H5447	H5375	H2346	H1129

הַשָּׁלַח׃	מַחֲזֶקֶת	וְאַחַת	בַּמְּלָאכָה
武器を	握っていた	そして-片方は	工事を
H7973	H2388	H0259	H4399

荷を負い運ぶ者はおのおの片手で工事をなし、片手に武器を執った。

18 וְהַבּוֹנִים (そして-建てていた) H1129 מָתְנָיו (腰に) H4975 עַל־ (〜の-上に) אֲסוּרִים (帯びて) H0631 חַרְבּוֹ (自分の-剣を) H2719 אִישׁ (各自) H0376 וְהַבּוֹנִים (そして-建てる者たちは) H1129
וְהַתּוֹקֵעַ (そして-角笛を-吹く者は) H8628 בַּשּׁוֹפָר (角笛を) H7782 אֶצְלִי׃ (私の-そばにいた) H0681

築き建てる者はおのおのその腰につるぎを帯びて築き建て、ラッパを吹く者はわたしのかたわらにいた。

19 וָאֹמַר (そして-私は-言った) H0559 אֶל־ (〜に) H0413 הַחֹרִים (貴族たちと) H2715 וְאֶל־ (そして-〜に) H0413 הַסְּגָנִים (代官たちと) H5461 וְאֶל־ (そして-〜に) H0413 הָעָם (民に) יֶתֶר (残りの)
הַמְלָאכָה (この-工事は) H4399 הָרְבָה (多く) H7342 וּרְחָבָה (そして-広い) H7342 וַאֲנַחְנוּ (そして-私たちは) H0587 נִפְרָדִים (散らばっている) H6504 עַל־ (〜の-上で) הַחוֹמָה (城壁の-上で) H2346
מֵאָחִיו׃ (兄弟から) H0251 אִישׁ (各自) H0376 רְחוֹקִים (離れている) H7350

わたしは尊い人々、つかさたち、およびその他の民に言った、「工事は大きくかつ広がっているので、われわれは城壁の上で互に遠く離れている。

20 בְּמָקוֹם (〜の-場所で) H4725 אֲשֶׁר (そこで) H0834 תִּשְׁמְעוּ (あなたがたが-聞く) H8085 אֶת־ (〜を) H0853 קוֹל (音を) שׁוֹפָר (角笛の) H7782 הַזֶּה (そこに) H8033 תִּקָּבְצוּ (集まれ) H6908 אֵלֵינוּ (私たちの-もとへ) H0413
לָנוּ׃ (私たちの-ために) יִלָּחֶם (戦ってくださる) אֱלֹהֵינוּ (私たちの-神が) H0430

どこででもラッパの音を聞いたなら、そこにいるわれわれの所に集まってほしい。われわれの神はわれわれのために戦われます」。

21 וַאֲנַחְנוּ (そして-私たちは) H0587 עֹשִׂים (従事していた) בַּמְלָאכָה (工事に) H4399 וְחֶצְיָם (そして-半分は) H2677 מַחֲזִיקִים (握っていた) H2388 בָּרְמָחִים (槍を) H7420 מֵעֲלוֹת (夜明けから) H5927
הַכּוֹכָבִים׃ (星の) H3556 צֵאת (出る-時まで) H3318 עַד (〜まで) H5704 הַשַּׁחַר (夜明けの) H7837

このようにして、われわれは工事を進めたが、半数の者は夜明けから星の出る時まで、やりを執っていた。

22 גַּם (また) H1571 בָּעֵת (その-時) H6256 הַהִיא׀ (その) H1931 אָמַרְתִּי (私は-言った) H0559 לָעָם (民に) אִישׁ (各自) H0376 וְנַעֲרוֹ (その-部下とともに) H5288 בְּתוֹךְ (〜の-中に) H8432 יָלִינוּ (泊まれ)
יְרוּשָׁלִָם (エルサレムの-中に) H3389 וְהָיוּ־ (そして-なるように) H1961 לָנוּ (私たちの-ための) הַלָּיְלָה (夜には) H3915 מִשְׁמָר (見張りとなり) H4929 וְהַיּוֹם (そして-昼には) H3117
מְלָאכָה׃ (仕事に) H4399

その時わたしはまた民に告げて、「おのおのそのしもべと共にエルサレムの内に宿り、夜はわれわれの護衛者となり、昼は工事をするように」と言った。

23	וְאֵין	אֲנִי	וְאַחַי	וְנְעָרַי	וְאַנְשֵׁי	הַמִּשְׁמָר				
	そして-いなかった	私も	そして-私の-兄弟たちも	そして-私の-部下たちも	そして-人々も	見張りの				
	H0369	H0589	H0251	H5288	H0376	H4929				
	אֲשֶׁר	אַחֲרַי	אֵין־	אֲנַחְנוּ	פֹּשְׁטִים	בְּגָדֵינוּ	אִישׁ	שִׁלְחוֹ		
	～の	私の-後ろの	いなかった	私たちは	脱いでいなかった	自分の-衣を	各自	自分の		
			H0369	H0587	H6584		H0376	H7973		
	הַמָּיִם׃	ס								
	水の-ほかは	セラー								
	H4325									

そして、わたしも、わたしの兄弟たちも、わたしのしもべたちも、わたしを護衛する人々も、われわれのうちひとりも、その衣を脱がず、おのおの手に武器を執っていた。

Chapter 5

1	וַתְּהִי	צַעֲקַת	הָעָם	וּנְשֵׁיהֶם	גְּדוֹלָה	אֶל־	אֲחֵיהֶם
	そして-あった	叫びが	民の	そして-その-妻たちの	大きな	～に-対して	彼らの-兄弟たちの
	H1961	H6818		H0802		H0413	H0251
	הַיְּהוּדִים׃						
	ユダヤ人の						
	H3064						

さて、ここに民がその妻と共に、その兄弟であるユダヤ人に向かって大いに叫び訴えることがあった。

2	וְיֵשׁ	אֲשֶׁר	אֹמְרִים	בָּנֵינוּ	וּבְנֹתֵינוּ	אֲנַחְנוּ
	そして-いた	～する者が	言っている	私たちの-息子たちと	そして-私たちの-娘たちは	私たちは
	H3426		H0559		H1323	H0587
	וְנִחְיֶה׃	וְנֹאכְלָה	דָגָן	וְנִקְחָה	רַבִּים	
	そして-生きよう	そして-食べて	穀物を	そして-得よう	多い	
	H2421	H0398	H1715	H3947		

すなわち、ある人々は言った、「われわれはむすこ娘と共に大ぜいです。われわれは穀物を得て、食べて生きていかなければなりません」。

3	וְיֵשׁ	אֲשֶׁר	אֹמְרִים	שָׂדֹתֵינוּ	וּכְרָמֵינוּ	
	そして-いた	～する者が	言っている	私たちの-畑と	そして-私たちの-ぶどう畑と	
	H3426		H0559		H3754	
	בְּרָעָב׃	דָגָן	וְנִקְחָה	עֹרְבִים	אֲנַחְנוּ	וּבָתֵּינוּ
	飢饉の-中で	穀物を	そして-得よう	抵当に-入れている	私たちは	そして-私たちの-家を
	H7458	H1715	H3947	H6148	H0587	

またある人々は言った、「われわれは飢えのために、穀物を得ようと田畑も、ぶどう畑も、家も抵当に入れています」。

4	וְיֵשׁ	אֲשֶׁר	אֹמְרִים	לָוִינוּ	כֶּסֶף	לְמַדַּת	הַמֶּלֶךְ
	そして-いた	～する者が	言っている	私たちは-借りた	銀を	王の-税の-ために	王の
	H3426		H0559		H3701		H4428
	שְׂדֹתֵינוּ	וּכְרָמֵינוּ׃					
	私たちの-畑と	そして-私たちの-ぶどう畑の-ために					
		H3754					

ある人々は言った、「われわれは王の税金のために、われわれの田畑およびぶどう畑をもって金を借りました。

5

וְעַתָּה
そして–今
H6258

כִּבְשָׂר
～と–同じで
H1320

אַחֵינוּ
私たちの–兄弟たちの
H0251

בְּשָׂרֵנוּ
私たちの–肉は
H1320

כִּבְנֵיהֶם
～と–同じで

בָּנֵינוּ
私たちの–子どもたちは

וְהִנֵּה
そして–見よ
H2009

אֲנַחְנוּ
私たちは
H0587

כֹּבְשִׁים
売り渡している
H3533

אֶת־
～を
H0853

בָּנֵינוּ
私たちの–息子たちと

וְאֶת־
そして–～を
H0853

בְּנֹתֵינוּ
私たちの–娘たちを
H1323

לַעֲבָדִים
奴隷として
H5650

וְיֵשׁ
そして–いる
H3426

מִבְּנֹתֵינוּ
私たちの–娘たちの–中には

נִכְבָּשׁוֹת
すでに–奴隷にされている者が
H3533

וְאֵין
そして–ない
H0369

לְאֵל
力が
H0410

יָדֵנוּ
私たちの–手には
H3027

וּשְׂדֹתֵינוּ
そして–私たちの–畑も

וּכְרָמֵינוּ
そして–私たちの–ぶどう畑も
H3754

לַאֲחֵרִים׃
他の人々の–ものだ
H0312

現にわれわれの肉はわれわれの兄弟の肉に等しく、われわれの子供も彼らの子供に等しいのに、見よ、われわれはむすこ娘を人の奴隷とするようにしいられています。われわれの娘のうちには、すでに人の奴隷になった者もありますが、われわれの田畑も、ぶどう畑も他人のものになっているので、われわれにはどうする力もありません」。

6

וַיִּחַר
すると–怒った
H2734

לִי
私は

מְאֹד
非常に
H3966

כַּאֲשֶׁר
～のとき

שָׁמַעְתִּי
聞いた
H8085

אֶת־
～を
H0853

זַעֲקָתָם
彼らの–叫びと
H2201

וְאֶת
～と
H0853

הַדְּבָרִים
これらの–言葉を
H1697

הָאֵלֶּה׃
これらの
H0428

わたしは彼らの叫びと、これらの言葉を聞いて大いに怒った。

7

וַיִּמְלֹךְ
すると–考えた

לִבִּי
私の–心は

עָלַי
私の–中で

וָאָרִיבָה
そして–責めた
H7378

אֶת־
～を
H0854

הַחֹרִים
貴族たちと
H2715

וְאֶת־
～と
H0854

הַסְּגָנִים
代官たちを
H5461

וָאֹמְרָה
そして–言った
H0559

לָהֶם
彼らに

מַשָּׂא
高利を
H4855

אִישׁ־
各自が
H0376

בְּאָחִיו
兄弟に–対して
H0251

אַתֶּם
あなたがたは

נֹשִׂים[נשאים]נֹשֶׁא
取り立てている
H5383

וָאֶתֵּן
そして–開いた
H5414

עֲלֵיהֶם
彼らに–対する

קְהִלָּה
大集会を
H6952

גְּדוֹלָה׃
大きな

わたしはみずから考えたすえ、尊い人々およびつかさたちを責めて言った、「あなたがたはめいめいその兄弟から利息をとっている」。そしてわたしは彼らの事について大会を開き、

8

וָאֹמְרָה
そして–言った
H0559

לָהֶם
彼らに

אֲנַחְנוּ
私たちは
H0587

קָנִינוּ
買い戻した
H7069

אֶת־
～を
H0853

אַחֵינוּ
私たちの–兄弟たちの
H0251

הַיְּהוּדִים
ユダヤ人の
H3064

הַנִּמְכָּרִים
売られていた
H4376

לַגּוֹיִם
異邦人に

כְּדֵי
できる限り
H1767

בְּנוּ
私たちの–力で

וְגַם־
そして–また
H1571

אַתֶּם
あなたがたは

תִּמְכְּרוּ
売るのか
H4376

אֶת־
～を
H0853

אֲחֵיכֶם
あなたがたの–兄弟たちを

וְנִמְכְּרוּ־
そして–売られる
H4376

לָנוּ
私たちに

וַיֶּחֱרְשׁוּ
すると–彼らは–黙り込んだ

וְלֹא
そして–見つけなかった
H3808

מָצְאוּ
見つけなかった
H4672

דָבָר׃
言葉を
H1697

ס
セラー

彼らに言った、「われわれは異邦人に売られたわれわれの兄弟ユダヤ人を、われわれの力にしたがってあがなった。しかるにあなたがたは自分の兄弟を売ろうとするのか。彼らはわれわれに売られるのか」。彼らは黙してひと言もいわなかった。

9

וַיֹּאמֶר׀	וְאֹמַ֗ר	לֹא־	טוֹב	הַדָּבָר	אֲשֶׁר־	אַתֶּם	עֹשִׂים
それで	私は–言った	良くない	良くない	このことは	～の–ことは	あなたがたが	していることは
H0559	H0559	H3808		H1697			

אוֹיְבֵינוּ׃	הַגּוֹיִם	מֵחֶרְפַּת	תֵּלֵכוּ	אֱלֹהֵינוּ	בְּיִרְאַת	הֲלוֹא
私たちの–敵の	異邦人の	そしりの–ゆえに	歩むべきでは	私たちの–神への	畏れの–中を	ではないか
H0341		H2781	H3212	H0430	H3374	H3808

わたしはまた言った、「あなたがたのする事はよくない。あなたがたは、われわれの敵である異邦人のそしりをやめさせるために、われわれの神を恐れつつ事をなすべきではないか。

10

כֶּסֶף	בָּהֶם	נֹשִׁים	וְנַעֲרָי	אַחַי	אֲנִי	וְגַם־	
銀と	彼らに	貸している	そして–私の–部下たちも	私の–兄弟たちも	私も	そして–また	
H3701		H5383	H5288	H0251	H0589	H1571	

הַזֶּה׃	הַמַּשָּׂא	אֶת־	נָּא	נַעֲזָבָה־	וְדָגָן	
この	この–利息の–取り立てを	～を	どうか	どうか–やめよう	そして–穀物を	
H2088	H4855	H0853	H4994		H1715	

わたしもわたしの兄弟たちも、わたしのしもべたちも同じく金と穀物とを貸しているが、われわれはこの利息をやめよう。

11

זֵיתֵיהֶם	כַּרְמֵיהֶם	שְׂדֹתֵיהֶם	כְּהַיּוֹם	לָהֶם	נָּא	הָשִׁיבוּ
彼らの–オリーブ畑を	彼らの–ぶどう畑を	彼らの–畑を	今日にも	彼らに	どうか	返してください
H2132	H3754		H3117		H4994	H7725

אֲשֶׁר	וְהַיִּצְהָר	הַתִּירוֹשׁ	וְהַדָּגָן	הַכֶּסֶף	וּמְאַת	וּבָתֵּיהֶם	
～の	そして–油の	ぶどう酒の	そして–穀物の	銀の	そして–百分の一の	そして–彼らの–家を	
	H3323	H8492	H1715	H3701	H3967		

בָּהֶם׃	נֹשִׁים	אַתֶּם
彼らから	取り立てている	あなたがたが
	H5383	

どうぞ、あなたがたは、きょうにも彼らの田畑、ぶどう畑、オリブ畑および家屋を彼らに返し、またあなたがたが彼らから取っていた金銭、穀物、ぶどう酒、油などの百分の一を返しなさい」。

12

נַעֲשֶׂה	כֵּן	נְבַקֵּשׁ	לָא	וּמֵהֶם֙	נָשִׁיב	וַיֹּאמְרוּ	
いたします	その–とおり	求めません	何も	そして–彼らから	返します	すると–彼らは–言った	
		H1245	H3808	H1992	H7725	H0559	

וָאַשְׁבִּיעֵם	הַכֹּהֲנִים	אֶת־	וָאֶקְרָא֙	אֹמֵ֔ר	אַתָּה	כַּאֲשֶׁר	
そして–誓わせた	祭司たちを	～を	そして–私は–呼んだ	言われる	あなたが	～のとおりに	
H7650	H3548	H0853	H7121	H0559			

הַזֶּה׃	כַּדָּבָר	לַעֲשׂוֹת	
この	この–言葉の–とおりに	行うように	
H2088	H1697		

すると彼らは「われわれはそれを返します。彼らから何をも要求しません。あなたの言うようにします」と言った。そこでわたしは祭司たちを呼び、彼らにこの言葉のとおりに行うという誓いを立てさせた。

13 גַּם־ מִנַּעֲרָתִי חָצְנִי וָאֹמְרָה כָּכָה יְנַעֵר הָאֱלֹהִים
また 私の-衣の-すそを 振るって そして-言った このように 振り落とされるように 神が
H1571 H2684 H5287 H0559 H3602 H5287 H0430

מִבֵּיתוֹ הַזֶּה הַדָּבָר אֶת־ יָקִים לֹא־ אֲשֶׁר הָאִישׁ כָּל־ אֶת־
その-家から この この-言葉を ～を 守らない 守らない ～する 人を すべての ～を
H2088 H1697 H0853 H3808 H3808 H0376 H3605 H0853

וַיֹּאמְרוּ וָרֵק נָעוּר יְהִיֶה וְכָכָה וּמְיִגִיעוֹ
すると-言った そして-空しく 振り落とされて なるように そして-このように そして-その-労苦から
H0559 H7386 H5287 H1961 H3602 H3018

הָעָם וַיַּעַשׂ יְהוָה אֶת־ וַיְהַלְלוּ אָמֵן הַקָּהָל כָּל־
民は そして-行った 主を ～を そして-賛美した アーメンと 会衆は すべての
H3068 H0853 H0543 H6951 H3605

כַּדָּבָר הַזֶּה׃
この-言葉の-とおりに この
H1697 H2088

わたしはまたわたしのふところを打ち払って言った、「この約束を実行しない者を、どうぞ神がこのように打ち払って、その家およびその仕事を離れさせられるように。その人はこのように打ち払われてむなしくなるように」。会衆はみな「アァメン」と言って、主をさんびした。そして民はこの約束のとおりに行った。

14 גַּם מִיּוֹם אֲשֶׁר־ צִוָּה אֹתִי לִהְיוֹת פֶּחָה בְּאֶרֶץ יְהוּדָה מִשְׁנַת
また その-日から ～の 命じられた 私に なるように 総督と ユダの-地の ユダの 第二十
H1571 H3117 H0834 H6680 H0853 H1961 H6346 H0776 H3063 H8141

עֶשְׂרִים וְעַד שְׁלֹשִׁים וּשְׁתַּיִם לְאַרְתַּחְשַׁסְתְּא הַמֶּלֶךְ שָׁנִים שְׁתֵּים
二十 そして-～まで 三十 そして-二の アルタクセルクセス 王の 年 十
H6242 H5704 H7970 H8147 H0783 H4428 H8141 H8147

אָכָלְתִּי׃ לֹא הַפֶּחָה לֶחֶם וְאַחַי אֲנִי עֶשְׂרֵה
食べなかった 食べなかった 総督の パンを そして-私の-兄弟たちは 私と 二
H0398 H3808 H6346 H3899 H0251 H0589 H6240

またわたしは、ユダの地の総督に任ぜられた時から、すなわちアルタシャスタ王の第二十年から第三十二年まで、十二年の間、わたしもわたしの兄弟たちも、総督としての手当てを受けなかった。

15 וְהַפַּחוֹת לִפָנַי אֲשֶׁר־ הָרִאשֹׁנִים הִכְבִּידוּ עַל־ הָעָם וַיִּקְחוּ
そして-先の 先の ～の 私の-前の 重荷を-負わせた ～の-上に 民の-上に そして-取った
H6346 H7223 H0834 H6440 H3513 H5921 H5971 H3947

מֵהֶם בְּלֶחֶם וּמִיַּיִן אַחַר שְׁקָלִים כֶּסֶף־ אַרְבָּעִים אַף
彼らから パンと そして-ぶどう酒から さらに シェケル 銀を 四十 さらに
H1992 H3899 H3196 H0310 H8255 H3701 H0705 H1571

נַעֲרֵיהֶם שָׁלְטוּ עַל־ הָעָם וַאֲנִי לֹא־ עָשִׂיתִי כֵּן
彼らの-部下たちも 支配した ～の-上に 民の-上に しかし-私は しなかった しなかった そのように
H5288 H7980 H5921 H5971 H0589 H3808 H6213 H3651

מִפְּנֵי יִרְאַת אֱלֹהִים׃
～の-ゆえに 畏れの 神への
H6440 H3374 H0430

わたしより以前の総督らは民に重荷を負わせ、彼らから銀四十シケルのほかにパンとぶどう酒を取り、また彼らのしもべたちも民を圧迫した。しかしわたしは神を恐れるので、そのようなことはしなかった。

16 וְגַם בְּמְלֶאכֶת הַחוֹמָה הַזֹּאת הֶחֱזַקְתִּי וְשָׂדֶה לֹא קָנִינוּ וְכָל־ נְעָרַי קְבוּצִים שָׁם עַל־ הַמְּלָאכָה׃

וְגַם	בְּמְלֶאכֶת	הַחוֹמָה	הַזֹּאת	הֶחֱזַקְתִּי	וְשָׂדֶה	לֹא	קָנִינוּ	
そして-また	城壁の-工事に	城壁の	この	携わった	そして-畑を	買わなかった	買わなかった	
H1571	H4399	H2346	H2063	H2388		H3808	H7069	
וְכָל־	נְעָרַי	קְבוּצִים	שָׁם	עַל־	הַמְּלָאכָה׃			
そして-すべての	私の-部下たちは	集まっていた	そこに	～の-ために	工事の-ために			
H3605	H5288	H6908	H8033		H4399			

わたしはかえって、この城壁の工事に身をゆだね、どんな土地をも買ったことはない。わたしのしもべたちは皆そこに集まって工事をした。

17 וְהַבָּאִים וַחֲמִשִּׁים מֵאָה וְהַסְּגָנִים וְהַיְּהוּדִים אִישׁ עַל־ שֻׁלְחָנִי׃ סְבִיבֹתֵינוּ הַגּוֹיִם מִן־ אֲשֶׁר־ אֵלֵינוּ

וְהַבָּאִים		וַחֲמִשִּׁים	מֵאָה	וְהַסְּגָנִים	וְהַיְּהוּדִים	אִישׁ		
そして-来る-者たちと		そして-五十	百	そして-代官たちが	そして-ユダヤ人たちと	人が		
H0935			H3967	H5461	H3064	H0376		
שֻׁלְחָנִי׃	עַל־	סְבִיבֹתֵינוּ		אֲשֶׁר־	הַגּוֹיִם	מִן־	אֵלֵינוּ	
私の-食卓の-上で	～の-上で	私たちの-周囲の		～の	周囲の-異邦人から	～から	私たちの-もとへ	
H7979		H5439					H0413	

またわたしの食卓にはユダヤ人と、つかさたち百五十人もあり、そのほかに、われわれの周囲の異邦人のうちからきた人々もあった。

18 וַאֲשֶׁר הָיָה נַעֲשָׂה לְיוֹם אֶחָד שׁוֹר אֶחָד צֹאן שֵׁשׁ־ וְעוֹפוֹת בְּרֻרוֹת נַעֲשׂוּ־ לִי וּבְיִן עֲשָׂרֶת יָמִים בְּכָל־ וְצִפֻּרִים וְיֵין לְהַרְבֵּה הַזֶּה׃ הָעָם עַל־ הָעֲבֹדָה כֶּבְדָה כִּי־ בִּקַּשְׁתִּי לֹא לֶחֶם הַפֶּחָה וְעִם־ זֶה

וַאֲשֶׁר	הָיָה	נַעֲשָׂה	לְיוֹם	אֶחָד	שׁוֹר	אֶחָד	צֹאן	שֵׁשׁ־		וְעוֹפוֹת	בְּרֻרוֹת	נַעֲשׂוּ־	לִי	וּבְיִן	עֲשָׂרֶת	יָמִים	בְּכָל־	
そして-～が	あった	用意されたものは	一日に	一つの	牛が	一頭	羊が	六-匹の		そして-鳥が	選り-すぐりの	用意された	私の-ために	そして-十	十	日ごとに	すべての	
	H1961		H3117	H0259	H7794	H0259	H6629	H8337		H6833	H1305			H0996	H6235	H3117	H3605	
הַזֶּה׃	הָעָם	עַל־	הָעֲבֹדָה	כֶּבְדָה	כִּי־													
この	民の-上に	～の-上に	労役が	重かった	なぜなら													
H2088			H5656	H3513														
בִּקַּשְׁתִּי	לֹא	הַפֶּחָה	לֶחֶם	זֶה	וְעִם־		לְהַרְבֶּה	יֵין										
求めなかった	求めなかった	総督の	パンを	それでも	そして-それでも		豊富に	ぶどう酒が										
H1245	H3808	H6346	H3899	H2088				H3196										

これがために一日に牛一頭、肥えた羊六頭を備え、また鶏をもわたしのために備え、十日ごとにたくさんのぶどう酒を備えたが、わたしはこの民の労役が重かったので、総督としての手当てを求めなかった。

19 זָכְרָה־ לִי אֱלֹהַי לְטוֹבָה כָּל־ אֲשֶׁר־ עָשִׂיתִי׃ פ

זָכְרָה־	לִי	אֱלֹהַי	לְטוֹבָה	כָּל־	אֲשֶׁר־	עָשִׂיתִי
覚えて-ください	私の-ために	私の-神よ	良いことのために	すべてを	～の	私が-した
H2142		H0430		H3605		
עַל־	הָעָם	הַזֶּה׃	פ			
～の-ために	この-民の	この	ペー			
		H2088				

わが神よ、わたしがこの民のためにしたすべての事を覚えて、わたしをお恵みください。

Chapter 6

1

וַיְהִי	כַּאֲשֶׁר	נִשְׁמַע	לְסַנְבַלַּט	וְטוֹבִיָּה	וְלִגְשֶׁם	הָעַרְבִי
そして–あった	～のとき	聞かれた	サンバラテと	トビヤと	そして–ゲシェムと	アラブ人の
H1961		H8085	H5571	H2900	H1654	

וְלֹא־	הַחוֹמָה	אֶת־	בָּנִיתִי	כִּי	אֹיְבֵינוּ	וּפֶרֶץ
そして–残っていない	城壁を	～を	私が–建てた	～ということを	私たちの–敵たちに	そして–残りの
H3808	H2346	H0853	H1129		H0341	

לֹא־	דְלָתוֹת	הַהִיא	הָעֵת	עַד־	גַּם	פָּרֶץ	בָּהּ	נוֹתַר
まだ–取り付けていなかった	扉は	その	その–時	～まで	ただし	破れ口が	そこに	残っていない
H3808		H1931	H6256	H5704	H1571	H6556		H3498

הֶעֱמַדְתִּי	בַּשְּׁעָרִים׃	
取り付けていなかった	門に	
H5975	H8179	

サンバラテ、トビヤ、アラビヤびとガシムおよびその他のわれわれの敵は、わたしが城壁を築き終って、一つの破れも残らないと聞いた。（しかしその時にはまだ門のとびらをつけていなかったのである。）

2

יַחְדָּו	וְנִוָּעֲדָה	לָבֹא	לֵאמֹר	אֵלַי	וְגֶשֶׁם	סַנְבַלַּט	וַיִּשְׁלַח	
共に	そして–会おう	来い	言って	私に	ゲシェムが	サンバラテと	そこで–送った	
H3259		H3212	H0559	H0413	H1654	H5571	H7971	

רָעָה׃	לִי	לַעֲשׂוֹת	חֹשְׁבִים	וְהֵמָּה	אוֹנוֹ	בְּבִקְעַת	בַּכְּפִירִים	
害を	私に	行うことを	たくらんでいた	しかし–彼らは	オノの	オノの–平野で	ケフィリムで	
			H2803	H1992	H0207	H1237		

そこでサンバラテとガシムはわたしに使者をつかわして言った、「さあ、われわれはオノの平野にある一つの村で会見しよう」と。彼らはわたしに危害を加えようと考えていたのである。

3

עֹשֶׂה	אֲנִי	גְדוֹלָה	מְלָאכָה	לֵאמֹר	מַלְאָכִים	עֲלֵיהֶם	וָאֶשְׁלְחָה	
している	私は	大きな	大きな–仕事を	言って	使者を	彼らに	そこで–私は–送った	
	H0589		H4399	H0559	H4397		H7971	

כַּאֲשֶׁר	הַמְּלָאכָה	תִּשְׁבָּת	לָמָּה	לָרֶדֶת	אוּכַל	וְלֹא	
～のとき	この–仕事が	止まるのか	なぜ	下りて行くことが	できない	そして–できない	
	H4399		H4100	H3381	H3201	H3808	

אֲלֵיכֶם׃	וְיָרַדְתִּי	אַרְפֶּה	
あなたがたの–もとへ	そして–下りて行くのか	私が–手を–離して	
H0413	H3381	H7503	

それでわたしは彼らに使者をつかわして言わせた、「わたしは大いなる工事をしているから下って行くことはできない。どうしてこの工事をさしおいて、あなたがたの所へ下って行き、その間、工事をやめることができようか」。

4

אוֹתָם	וָאָשִׁיב	פְּעָמִים	אַרְבַּע	הַזֶּה	כַּדָּבָר	אֵלַי	וַיִּשְׁלְחוּ	
彼らに	そして–私は–答えた	回も	四	この	この–言葉の–とおりに	私に	そして–送った	
H0853	H7725	H6471	H0702	H2088	H1697	H0413	H7971	

ס	הַזֶּה׃	כַּדָּבָר	
セラー	この	この–言葉の–とおりに	
	H2088	H1697	

彼らは四度までこのようにわたしに人をつかわしたが、わたしは同じように彼らに答えた。

5

אֶת־	חֲמִישִׁית	פָּעַם	הַזֶּה	כַּדָּבָר	סַנְבַלַּט	אֵלַי	וַיִּשְׁלַח	
～を	回目に	五	この	この–言葉の–とおりに	サンバラテが	私に	そして–送った	
H0853	H2549	H6471	H2088	H1697	H5571	H0413	H7971	

בְּיָדוֹ׃	פְּתוּחָה	וְאִגֶּרֶת	נַעֲרוֹ	
その–手に	開いた	そして–書簡を	彼の–部下を	
H3027		H0107	H5288	

ところが、サンバラテは五度目にそのしもべを前のようにわたしにつかわした。その手には開封の手紙を携えていた。

							6
אַתָּה	אֹמֵר	וְגַשְׁמוּ	נִשְׁמָע	בַּגּוֹיִם	בָּהּ	כָּתוּב	
あなたと	言っている	そして-ガシュムが	聞かれている	諸国民の-中で	その中に	書かれていた	
	H0559	H1654	H8085			H3789	

בֹּנֶה	אַתָּה	כֵּן	עַל־	לִמְרֹד	חֹשְׁבִים	וְהַיְהוּדִים
建てている	あなたは	それゆえに	それ-ゆえに	反逆することを	たくらんでいる	そして-ユダヤ人たちは
H1129				H4775	H2803	H3064

הָאֵלֶּה׃	כַּדְּבָרִים	לְמַלְכָּם	הֹוֶה	וְאַתָּה	הַחוֹמָה
これらの	これらの-言葉の-とおりに	王に	彼らの	なろうとしている	そして-あなたは	城壁を
H0428	H1697	H4428				H2346

その中に次のようにしるしてあった、「諸国民の間に言い伝えられ、またガシムも言っているが、あなたはユダヤ人と共に反乱を企て、これがために城壁を築いている。またその言うところによれば、あなたは彼らの王になろうとしている。

							7
לֵאמֹר	בִּירוּשָׁלַ͏ִם	עָלֶיךָ	לִקְרֹא	הֶעֱמַדְתָּ	נְבִיאִים	וְגַם־	
言って	エルサレムで	あなたに-ついて	宣言するために	立てた	預言者たちを	そして-また	
H0559	H3389		H7121	H5975	H5030	H1571	

הָאֵלֶּה	כַּדְּבָרִים	לַמֶּלֶךְ	יִשָּׁמַע	וְעַתָּה	בִּיהוּדָה	מֶלֶךְ
これらの	これらの-言葉の-とおりに	王に	聞かれるだろう	そこで-今	ユダに	王がいる
H0428	H1697	H4428	H8085	H6258	H3063	H4428

ס	יַחְדָּו׃	וְנִוָּעֲצָה	לְכָה	וְעַתָּה	
セラー	共に	そして-共に-相談しよう	来い	そこで-今	
		H3289	H3212	H6258	

またあなたは預言者を立てて、あなたのことをエルサレムにのべ伝えさせ、『ユダに王がある』と言わせているが、そのことはこの言葉のとおり王に聞えるでしょう。それゆえ、今おいでなさい。われわれは共に相談しましょう」。

							8
כַּדְּבָרִים	נִהְיָה	לֹא	לֵאמֹר	אֵלָיו	וָאֶשְׁלְחָה		
これらの-言葉の-とおりのことは	ない	そのようなことは-ない	言って	彼に	そこで-私は-送った		
H1697	H1961	H3808	H0559	H0413	H7971		

בּוֹדֶאם׃	אַתָּה	מְלִבְּךָ	כִּי	אוֹמֵר	אַתָּה	אֲשֶׁר	הָאֵלֶּה
でっち上げている	あなたが	あなたの-心から	なぜなら	言っている	あなたが	～の	これらの
H0908				H0559			H0428

そこでわたしは彼に人をつかわして言わせた、「あなたの言うようなことはしていません。あなたはそれを自分の心から造り出したのです」と。

								9
מִן־	יְדֵיהֶם	יִרְפּוּ	לֵאמֹר	אוֹתָנוּ	מְיָרְאִים	כֻּלָּם	כִּי	
～から	彼らの-手が	弱るだろう	言って	私たちを	恐れさせようとしていた	彼ら-皆が	なぜなら	
	H3027	H7503	H0559	H0853	H3372	H3605		

יָדָי׃	אֶת־	חַזֵּק	וְעַתָּה	תֵּעָשֶׂה	וְלֹא	הַמְּלָאכָה
私の-手を	～を	強めてください	そこで-今	なされないだろう	そして-なされないだろう	工事から
H3027	H0853	H2388	H6258		H3808	H4399

彼らはみな「彼らの手が弱って工事をやめるようになれば、工事は成就しないだろう」と考えて、われわれをおどそうとしたのである。しかし神よ、どうぞいまわたしの手を強めてください。

10 וַאֲנִי־ בָּאתִי בֵּית שְׁמַעְיָה בֶּן־ דְּלָיָה בֶּן־ מְהֵיטַבְאֵל וְהוּא
そして–私は 行った 家へ シェマヤの 息子の デラヤの 息子の メヘタブエルの そして–彼は
H0589 H0935 H1004 H8098 H1806 H1004 H4105 H1931

הַהֵיכָל תּוֹךְ אֶל־ הָאֱלֹהִים בֵּית אֶל־ נֶעֱצָר וַיֹּאמֶר עָצוּר
神殿の 中で ～の–中で 神の 神の–家で ～で 会おう すると–言った 閉じこもっていた
H1964 H8432 H0413 H0430 H0413 H3259 H0559 H6113

בָּאִים וְלַיְלָה לְהָרָגֶךָּ בָּאִים כִּי הַהֵיכָל דַּלְתוֹת וְנִסְגְּרָה
来る そして–夜に あなたを–殺すために 来る なぜなら 神殿の 扉を そして–閉めよう
H0935 H3915 H2026 H0935 H3588 H1964 H1817 H5462

לְהָרָגֶךָּ׃
あなたを–殺すために
H2026

さてわたしはメヘタベルの子デラヤの子シマヤの家に行ったところ、彼は閉じこもっていて言った、「われわれは神の宮すなわち神殿の中で会合し、神殿の戸を閉じておきましょう。彼らはあなたを殺そうとして来るからです。きっと夜のうちにあなたを殺そうとして来るでしょう」。

11 כָּמוֹנִי וּמִי יִבְרַח כָּמוֹנִי הָאִישׁ וָאֹמְרָה
私のような–者で そして–誰が 逃げるだろうか 私のような 私のような–人が そこで–私は–言った
H3644 H4310 H1272 H3644 H0376 H0559

אָבוֹא׃ לֹא וָחָי הַהֵיכָל אֶל־ יָבוֹא אֲשֶׁר־
入らない 入らない そして–生きるだろうか 神殿に ～に 入るだろうか ～する
H0935 H3808 H2425 H1964 H0413 H0935

わたしは言った、「わたしのような者がどうして逃げられよう。わたしのような者でだれが神殿にはいって命を全うすることができよう。わたしははいらない」。

12 כִּי שְׁלָחוֹ אֱלֹהִים לֹא־ וְהִנָּה וָאָכִירָה
なぜなら 遣わしたのでは–なかった 神が それは–なかった そして–見よ そして–私は–見抜いた
H3588 H7971 H0430 H3808 H2009 H0995

שְׂכָרוֹ׃ וְסַנְבַלַּט וְטוֹבִיָּה עָלָי דִּבֶּר הַנְּבוּאָה
雇ったのだ そして–サンバラテが トビヤと 私に–対して 語ったのは この–預言を
H7936 H5571 H2900 H5921 H1696 H5030

わたしは悟った。神が彼をつかわされたのではない。彼がわたしにむかってこの預言を伝えたのは、トビヤとサンバラテが彼を買収したためである。

13 כֵּן וְאֶעֱשֶׂה־ אִירָא לְמַעַן־ הוּא שָׂכוּר לְמַעַן
そのように そして–そのように–行い 私が–恐れて ～の–ために 彼は 雇われた ～の–ために
H3651 H6213 H3372 H4616 H1931 H7936 H4616

יְחָרְפוּנִי׃ לְמַעַן רָע לְשֵׁם לָהֶם וְהָיָה וְחָטָאתִי
私を–そしるために ～の–ために 悪い 悪い–評判の 彼らに そして–なるように そして–罪を–犯し
H2778 H4616 H7451 H8034 H1992 H1961 H2398

פ
ペー

彼が買収されたのはこの事のためである。すなわちわたしを恐れさせ、わたしにこのようにさせて、罪を犯させ、わたしに悪名をきせて侮辱するためであった。

14

אֱלֹהַי	לְטוֹבִיָּה	וּלְסַנְבַלַּט	כְּמַעֲשָׂיו	אֵלֶּה	זָכְרָה
私の–神よ	トビヤと	そして–サンバラテのことを	その–行いに–応じて	これらの	覚えてください
H0430	H2900	H5571	H4639	H0428	H2142

וְגַם	לְנוֹעַדְיָה	הַנְּבִיאָה	וּלְיֶתֶר	הַנְּבִיאִים	אֲשֶׁר	הָיוּ
そして–また	ノアデヤと	女預言者の	そして–残りの	預言者たちのことを	～の	いた
H1571	H5129	H5031	H3498	H5030	H0834	H1961

מְיָרְאִים	אוֹתִי׃	
恐れさせようとしていた	私を	
H3372	H0853	

わが神よ、トビヤ、サンバラテおよび女預言者ノアデヤならびにその他の預言者など、すべてわたしを恐れさせようとする者たちをおぼえて、彼らが行ったこれらのわざに報いてください。

15

פ	יוֹם׃	וּשְׁנַיִם	לַחֲמִשִּׁים	לֶאֱלוּל	וַחֲמִשָּׁה	בְּעֶשְׂרִים	הַחוֹמָה	וַתִּשְׁלַם
ペー	日で	そして–二	五十	エルルの–月の	そして–五	二十	城壁が	そして–完成した
	H3117	H8147	H2572	H0435	H2568	H6242	H2346	

こうして城壁は五十二日を経て、エルルの月の二十五日に完成した。

16

כָּל־	וַיִּרְאוּ	אוֹיְבֵינוּ	כָּל־	שָׁמְעוּ	כַּאֲשֶׁר	וַיְהִי	
すべての	すると–恐れた	私たちの–敵が	すべての	聞いた	～のとき	そして–あった	
H3605	H7200	H0341	H3605	H8085	H0834	H1961	

וַיֵּדְעוּ	בְּעֵינֵיהֶם	מְאֹד	וַיִּפְּלוּ	סְבִיבֹתֵינוּ	אֲשֶׁר	הַגּוֹיִם
そして–知った	彼らの–目に	非常に	そして–落ちた	私たちの–周囲の	～の	周囲の–異邦人は
H3045		H3966	H5307	H5439		

הַזֹּאת׃	הַמְּלָאכָה	נֶעֱשְׂתָה	אֱלֹהֵינוּ	מֵאֵת	כִּי
この	この–工事が	成し遂げられた	私たちの–神から	～から	～ということを
H2063	H4399		H0430	H0854	

われわれの敵が皆これを聞いた時、われわれの周囲の異邦人はみな恐れ、大いに面目を失った。彼らはこの工事が、われわれの神の助けによって成就したことを悟ったからである。

17

הוֹלְכוֹת	אִגְּרוֹתֵיהֶם	יְהוּדָה	חֹרֵי	מַרְבִּים	הָהֵם	בַּיָּמִים	וְגַם
送っていた	彼らの–手紙を	ユダの	ユダの–貴族たちは	多く–送っていた	その	その–日々に	また
H1980	H0107	H3063	H2715		H1992	H3117	H1571

אֲלֵיהֶם׃	בָּאוֹת	לְטוֹבִיָּה	וַאֲשֶׁר	טוֹבִיָּה	עַל־	
彼らの–もとへ	来ていた	トビヤからの	そして–～の	トビヤに	～に	
H0413	H0935	H2900		H2900		

またそのころ、ユダの尊い人々は多くの手紙をトビヤに送った。トビヤの手紙もまた彼らにきた。

18

הוּא	חָתָן	כִּי־	לוֹ	שְׁבוּעָה	בַּעֲלֵי	בִיהוּדָה	רַבִּים	כִּי־
彼は	婿戴	なぜなら	彼に–結んだ者がいた	誓約を	誓約の	ユダには	多くの	なぜなら
H1931	H2860			H7621	H1167	H3063		

מְשֻׁלָּם	בַּת־	אֶת־	לָקַח	בְּנוֹ	וִיהוֹחָנָן	אֶרַח	בֶּן־	לִשְׁכַנְיָה
メシュラムの	娘を	～を	娶った	彼の–息子は	そして–ヨハナンは	アラクの	息子の	シェカニヤの
H4918	H1323	H0853	H3947		H3076	H0733		H7935

בֶּרֶכְיָה׃	בֶּן
ベレキヤの	息子の
H1296	

トビヤはアラの子シカニヤの婿であったので、ユダのうちの多くの者が彼と誓いを立てていたからである。トビヤの子ヨハナンもベレキヤの子メシュラムの娘を妻にめとった。

19	גַּם	טוֹבְיָה	אֹמְרִים	לְפָנַי	וּדְבָרַי	הָיוּ	הָיוּ
	また	彼の–善行を	語っていた	私の–前で	そして–私の–言葉を	語っていた	持ち出していた
	H1571	H2900	H0559	H6440	H1697	H1961	H1961

מוֹצִיאִים	לוֹ	אִגְּרוֹת	שָׁלַח	טוֹבְיָה	לְיִרְאֵנִי׃
持ち出していた	彼に	手紙を	送った	トビヤは	私を–恐れさせるために
H3318		H0107	H7971	H2900	H3372

彼らはまたトビヤの善行をわたしの前に語り、またわたしの言葉を彼に伝えた。トビヤはたびたび手紙を送って、わたしを恐れさせようとした。

Chapter 7

1	וַיִּפָּקְדוּ	הַדְּלָתוֹת	וָאֲעֲמִיד	הַחוֹמָה	נִבְנְתָה	כַּאֲשֶׁר	וַיְהִי
	そして–任命された	扉を	そして–私は–取り付けた	城壁が	建てられた	～のとき	そして–あった
			H5975	H2346	H1129		H1961

וְהַלְוִיִּם׃	וְהַמְשֹׁרְרִים	הַשּׁוֹעֲרִים
そして–レビ人たちが	そして–歌い手たちと	門衛たちと
H3881	H7891	H7778

城壁が築かれて、とびらを設け、さらに門衛、歌うたう者およびレビびとを任命したので、

2	הַבִּירָה	שַׂר	חֲנַנְיָה	וְאֶת־	אָחִי	חֲנָנִי	אֶת־	וָאֲצַוֶּה
	城の	家臣の	ハナニヤと	そして–～を	私の–兄弟と	ハナニと	～を	そして–私は–命じた
	H1002	H8269		H0853	H0251	H2607	H0853	H6680

עַל־	יְרוּשָׁלִָם	כִּי־	הוּא׀	כְּאִישׁ	אֱמֶת	וְיָרֵא	אֶת־
～の–上に	エルサレムの–上に	なぜなら	彼は	～のような–人で	誠実な	そして–畏れる	～を
	H3389		H1931	H0376	H0571	H3372	H0853

מֵרַבִּים׃	הָאֱלֹהִים
多くの者よりも	神を
	H0430

わたしは、わたしの兄弟ハナニと、城のつかさハナニヤに命じて、エルサレムを治めさせた。彼は多くの者にまさって忠信な、神を恐れる者であったからである。

3	עַד־	יְרוּשָׁלִַם	שַׁעֲרֵי	יִפָּתְחוּ	לֹא	לָהֶם	וָאֹמַר)׀	ויאמר]
	～まで	エルサレムの	門を	開けてはならない	開けては–ならない	彼らに	私は–言った	それで
	H5704	H3389	H8179		H3808		H0559	H0559

הַדְּלָתוֹת	יָגִיפוּ	עֹמְדִים	הֵם	וְעַד	הַשֶּׁמֶשׁ	חַם
扉を	閉めよ	立っている–あいだに	彼らが	そして–～の–あいだ	太陽が	暮れる
	H1479	H5975	H1992	H5704	H8121	H2527

בְּמִשְׁמָרוֹ	אִישׁ	יְרוּשָׁלִַם	יֹשְׁבֵי	מִשְׁמָרוֹת	וְהַעֲמֵד	וֶאֱחָזוּ
その–持ち場で	各自	エルサレムの	住民の	見張りを	そして–配置せよ	そして–かんぬきを–かけよ
H4929	H0376	H3389	H3427	H4931	H5975	H0270

בֵּיתוֹ׃	נֶגֶד	וְאִישׁ
自分の–家の–前に	～の–前に	そして–各自
	H5048	H0376

わたしは彼らに言った、「日の暑くなるまではエルサレムのもろもろの門を開いてはならない。人々が立って守っている間に門を閉じさせ、貫の木を差せ。またエルサレムの住民の中から番兵を立てて、おのおのにその所を守らせ、またおのおのの家と向かい合う所を守らせよ」。

4

בְּתוֹכָהּ	מְעַט	וְהָעָם	וּגְדוֹלָה	יָרַחַב	רַחֲבַת	וְהָעִיר
その-中に	少なかった	そして-民は	そして-大きかった	広々として	広くて	そして-町は
H8432	H4592			H3027	H7342	

בְּנוּיִם׃	בָּתִּים	וְאֵין
建てられた	家が	そして-なかった
H1129		H0369

町は広くて大きかったが、その内の民は少なく、家々はまだ建てられていなかった。

5

הַחֹרִים	אֶת־	וָאֶקְבְּצָה	לִבִּי	אֶל־	אֱלֹהַי	וַיִּתֵּן	
貴族たちと	～を	そこで-私は-集めた	私の-心の-上に	～の-上に	私の-神が	そこで-与えた	
H2715	H0853	H6908		H0413	H0430	H5414	

סֵפֶר	וָאֶמְצָא	לְהִתְיַחֵשׂ	הָעָם	וְאֶת־	הַסְּגָנִים	וְאֶת־	
書物を	そして-見つけた	系図に-登録するために	民を	そして-～を	代官たちと	そして-～を	
	H4672	H3187		H0853	H5461	H0853	

פ	בּוֹ׃	כְּתוּב	וָאֶמְצָא	בָּרִאשׁוֹנָה	הָעוֹלִים	הַיַּחַשׂ
ペー	その-中に	書かれているものを	そして-見つけた	最初に	上ってきた者たちの	系図の
		H3789	H4672	H7223	H5927	H3188

時に神はわたしの心に、尊い人々、つかさおよび民を集めて、家系によってその名簿をしらべようとの思いを起された。わたしは最初に上って来た人々の系図を発見し、その中にこのようにしるしてあるのを見いだした。

6

נְבוּכַדְנֶצַּר	הֶגְלָה	אֲשֶׁר	הַגּוֹלָה	מִשְׁבֵי	הָעֹלִים	הַמְּדִינָה	בְּנֵי	וְאֵלֶּה
ネブカドネツァルが	流した	～の	流亡の	捕囚から	上ってきた	州の	子らである	これらは
H5019	H1540		H1473		H5927	H4082		H0428

לְעִירוֹ׃	אִישׁ	וְלִיהוּדָה	לִירוּשָׁלַ͏ִם	וַיָּשֻׁבוּ	בָּבֶל	מֶלֶךְ
自分の-町へ	各自	そして-ユダへ	エルサレムへと	そして-帰った	バビロンの	王の
	H0376	H3063	H3389	H7725	H0894	H4428

バビロンの王ネブカデネザルが捕え移した捕囚のうち、ゆるされてエルサレムおよびユダに上り、おのおの自分の町に帰ったこの州の人々は次のとおりである。

7

נַחֲמָנִי	רַעַמְיָה	עֻזַּרְיָה	נְחַמְיָה	יֵשׁוּעַ	זְרֻבָּבֶל	עִם־	הַבָּאִים	
ナハマニと	ラアミヤと	アザルヤと	ネヘミヤと	ヨシュアと	ゼルバベルと	～と-共に	来た者たちは	
H5167	H7485	H5838	H5166	H3442	H2216		H0935	

אַנְשֵׁי	מִסְפַּר	בַּעֲנָה	נַחֲמוֹם	בִּגְוַי	מִסְפֶּרֶת	בִּלְשָׁן	מָרְדֳּכַי
人々の	数は	バアナである	ネフムと	ビグワイと	ミスペレトと	ビルシャンと	モルデカイと
H0376	H4557	H1196	H5149	H0902	H4559	H1114	H4782

ס	יִשְׂרָאֵל׃	עַם	
セラー	イスラエルの	民の	
	H3478		

彼らはゼルバベル、エシュア、ネヘミヤ、アザリヤ、ラアミヤ、ナハマニ、モルデカイ、ビルシャン、ミスペレテ、ビグワイ、ネホム、バアナと一緒に帰ってきた者たちである。そのイスラエルの民の人数は次のとおりである。

8

ס	וּשְׁנָיִם׃	וְשִׁבְעִים	מֵאָה	אַלְפַּיִם	פַּרְעֹשׁ	בְּנֵי	
セラー	そして-二人	そして-七十	百	二千	パルオシュの	パルオシュの-子ら	
	H8147	H7657	H3967	H0505	H6551		

パロシの子孫は二千百七十二人。

	ס	:וּשְׁנָֽיִם	שִׁבְעִ֥ים	מֵא֖וֹת	שְׁלֹ֑שׁ	שְׁפַטְיָ֖ה	בְּנֵ֥י	9
	セラー	そして-二人	七十	百	三	シェファテヤの	シェファテヤの-子ら	
		H8147	H7657	H3967	H7969	H8203		

シパテヤの子孫は三百七十二人。

	ס	:וּשְׁנָֽיִם	חֲמִשִּׁ֥ים	מֵא֖וֹת	שֵׁ֑שׁ	אָרַ֖ח	בְּנֵ֥י	10
	セラー	そして-二人	五十	百	六	アラクの	アラクの-子ら	
		H8147	H2572	H3967	H8337	H0733		

アラの子孫は六百五十二人。

אַלְפַּ֥יִם	וְיוֹאָ֛ב	יֵשׁ֥וּעַ	לִבְנֵ֥י	מוֹאָ֖ב	פַּחַ֣ת	בְּנֵי־			11
二千	そして-ヨアブの	ヨシュアと	ヨシュアと-〜の-子ら	モアブの	パハト	パハト-モアブの-子ら			
H0505	H3097	H3442		H6355	H6355				
ס	:עָשָׂ֑ר	שְׁמֹנֶ֥ה	מֵא֖וֹת	וּשְׁמֹנֶֽה					
セラー	八人	十	百	そして-八					
	H6240	H8083	H3967	H8083					

パハテ・モアブの子孫すなわちエシュアとヨアブの子孫は二千八百十八人。

	ס	:וְאַרְבָּעָֽה	חֲמִשִּׁ֥ים	מָאתַ֖יִם	אֶ֑לֶף	עֵילָ֖ם	בְּנֵ֥י	12
	セラー	そして-四人	五十	二百	千	エラムの	エラムの-子ら	
		H0702	H2572	H3967	H0505			

エラムの子孫は一千二百五十四人。

	ס	:וַחֲמִשָּׁ֑ה	אַרְבָּעִ֥ים	מֵא֖וֹת	שְׁמֹנֶ֥ה	זַתּ֖וּא	בְּנֵ֥י	13
	セラー	そして-五人	四十	百	八	ザットゥの	ザットゥの-子ら	
		H2568	H0705	H3967	H8083	H2240		

ザットの子孫は八百四十五人。

	ס	:וְשִׁשִּׁ֑ים	מֵא֖וֹת	שְׁבַ֥ע	זַכָּֽי	בְּנֵ֥י	14
	セラー	そして-六十人	百	七	ザッカイの	ザッカイの-子ら	
		H8346	H3967	H7651	H2140		

ザッカイの子孫は七百六十人。

	ס	:וּשְׁמֹנָֽה	אַרְבָּעִ֥ים	מֵא֖וֹת	שֵׁ֑שׁ	בַּנּ֖וּי	בְּנֵ֥י	15
	セラー	そして-八人	四十	百	六	ビヌイの	ビヌイの-子ら	
		H8083	H0705	H3967	H8337	H1131		

ビンヌイの子孫は六百四十八人。

	ס	:וּשְׁמֹנָֽה	עֶשְׂרִ֥ים	מֵא֖וֹת	שֵׁ֑שׁ	בֵּבָ֖י	בְּנֵ֥י	16
	セラー	そして-八人	二十	百	六	ベバイの	ベバイの-子ら	
		H8083	H6242	H3967	H8337	H0893		

ベバイの子孫は六百二十八人。

	ס	:וּשְׁנָֽיִם	עֶשְׂרִ֥ים	מֵא֖וֹת	שְׁלֹ֑שׁ	אַלְפַּ֥יִם	עַזְגָּ֖ד	בְּנֵ֥י	17
	セラー	そして-二人	二十	百	三	二千	アズガドの	アズガドの-子ら	
		H8147	H6242	H3967	H7969	H0505	H5803		

アズガデの子孫は二千三百二十二人。

	ס	:וְשִׁבְעָֽה	שִׁשִּׁ֥ים	מֵא֖וֹת	שֵׁ֑שׁ	אֲדֹנִיקָ֖ם	בְּנֵ֥י	18
	セラー	そして-七人	六十	百	六	アドニカムの	アドニカムの-子ら	
		H7651	H8346	H3967	H8337	H0140		

アドニカムの子孫は六百六十七人。

	ס	וְשִׁבְעָה׃	שִׁשִּׁים	אַלְפַּיִם	בְּנֵי־	בְּנֵי	19
	セラー	そして-七人	六十	二千	ビグワイの	ビグワイの-子ら
		H7651	H8346	H0505	H0902	

ビグワイの子孫は二千六十七人。

	ס	וַחֲמִשָּׁה׃	חֲמִשִּׁים	מֵאוֹת	שֵׁשׁ	עָדִין	בְּנֵי	20
	セラー	そして-五人	五十	百	六	アディンの	アディンの-子ら
		H2568	H2572	H3967	H8337	H5720	

アデンの子孫は六百五十五人。

	ס	וּשְׁמֹנָה׃	תִּשְׁעִים	לִיחִזְקִיָּה	אָטֵר	בְּנֵי־	21
	セラー	そして-八人	九十	ヒズキヤの	アテルの	アテルの-子ら
		H8083	H8673	H2396	H0333	

ヒゼキヤの家のアテルの子孫は九十八人。

	ס	וּשְׁמֹנָה׃	עֶשְׂרִים	מֵאוֹת	שְׁלֹשׁ	חָשֻׁם	בְּנֵי	22
	セラー	そして-八人	二十	百	三	ハシュムの	ハシュムの-子ら
		H8083	H6242	H3967	H7969	H2828	

ハシュムの子孫は三百二十八人。

	ס	וְאַרְבָּעָה׃	עֶשְׂרִים	מֵאוֹת	שְׁלֹשׁ	בֵּצָי	בְּנֵי	23
	セラー	そして-四人	二十	百	三	ベツァイの	ベツァイの-子ら
		H0702	H6242	H3967	H7969	H1209	

ベザイの子孫は三百二十四人。

	ס	עָשָׂר׃	שְׁנֵים	מֵאָה	חָרִיף	בְּנֵי	24
	セラー	二人	十	百	ハリフの	ハリフの-子ら
		H6240	H8147	H3967	H2756	

ハリフの子孫は百十二人。

	ס	וַחֲמִשָּׁה׃	תִּשְׁעִים	גִּבְעוֹן	בְּנֵי	25
	セラー	そして-五人	九十	ギブオンの	ギブオンの-子ら
		H2568	H8673	H1391		

ギベオンの子孫は九十五人。

	ס	וּשְׁמֹנָה׃	שְׁמֹנִים	מֵאָה	וּנְטֹפָה	בֵּית־לֶחֶם	אַנְשֵׁי	26
	セラー	そして-八人	八十	百	そして-ネトファの	ベツレヘムと	ベツレヘムと-〜の-人々
		H8083	H8084	H3967	H5199	H1035	H0376

ベツレヘムおよびネトパの人々は百八十八人。

	ס	וּשְׁמֹנָה׃	עֶשְׂרִים	מֵאָה	עֲנָתוֹת	אַנְשֵׁי	27
	セラー	そして-八人	二十	百	アナトトの	アナトトの-人々
		H8083	H6242	H3967	H6068	H0376	

アナトテの人々は百二十八人。

	ס	וּשְׁנָיִם׃	אַרְבָּעִים	בֵּית־עַזְמָוֶת	אַנְשֵׁי	28
	セラー	そして-二人	四十	ベトアズマウェトの	ベト-アズマウェトの-人々
		H8147	H0705	H1041	H0376	

ベテ・アズマウテの人々は四十二人。

אַרְבָּעִים	מֵאוֹת	שִׁבְעָ	וּבְאֵרוֹת	כְּפִירָה	יְעָרִים	קִרְיַת	אַנְשֵׁי	29
四十	百	七	そして-ベエロトの	ケフィラと	ヨアリムの	キルヤト	キルヤト-〜の-人々	
H0705	H3967	H7651	H0881	H3716	H7157	H7157	H0376	

ס	וּשְׁלֹשָׁה׃	
セラー	そして-三人	
	H7969	

キリアテ・ヤリム、ケピラおよびベエロテの人々は七百四十三人。

ס	וְאֶחָד׃	עֶשְׂרִים	מֵאוֹת	שֵׁשׁ	וָגָבַע	הָרָמָה	אַנְשֵׁי	30
セラー	そして-一人	二十	百	六	ガバの	ラマと	ラマと-〜の-人々	
	H0259	H6242	H3967	H8337	H1387	H7414	H0376	

ラマおよびゲバの人々は六百二十一人。

ס	וּשְׁנָיִם׃	וְעֶשְׂרִים	מֵאָה	מִכְמָס	אַנְשֵׁי	31
セラー	そして-二人	そして-二十	百	ミクマスの	ミクマスの-人々	
	H8147	H6242	H3967	H4363	H0376	

ミクマシの人々は百二十二人。

ס	וּשְׁלֹשָׁה׃	עֶשְׂרִים	מֵאָה	וְהָעָי	בֵּית־אֵל	אַנְשֵׁי	32
セラー	そして-三人	二十	百	そして-アイの	ベテルと	ベテルと-〜の-人々	
	H7969	H6242	H3967	H5857	H1008	H0376	

ベテルおよびアイの人々は百二十三人。

ס	וּשְׁנָיִם׃	חֲמִשִּׁים	אַחֵר	נְבוֹ	אַנְשֵׁי	33
セラー	そして-二人	五十	もう一つの	ネボの	もう一つの-ネボの-人々	
	H8147	H2572	H0312		H0376	

ほかのネボの人々は五十二人。

ס	וְאַרְבָּעָה׃	חֲמִשִּׁים	מָאתַיִם	אֶלֶף	אַחֵר	עֵילָם	בְּנֵי	34
セラー	そして-四人	五十	二百	千	もう一つの	エラムの	もう一つの-エラムの-子ら	
	H0702	H2572	H3967	H0505	H0312			

ほかのエラムの子孫は一千二百五十四人。

ס	וְעֶשְׂרִים׃	מֵאוֹת	שְׁלֹשׁ	חָרִם	בְּנֵי	35
セラー	そして-二十人	百	三	ハリムの	ハリムの-子ら	
	H6242	H3967	H7969	H2766		

ハリムの子孫は三百二十人。

ס	וַחֲמִשָּׁה׃	אַרְבָּעִים	מֵאוֹת	שְׁלֹשׁ	יְרֵחוֹ	בְּנֵי	36
セラー	そして-五人	四十	百	三	エリコの	エリコの-子ら	
	H2568	H0705	H3967	H7969	H3405		

エリコの人々は三百四十五人。

וְאֶחָד׃	וְעֶשְׂרִים	מֵאוֹת	שִׁבְעָ	וְאוֹנוֹ	חָדִיד	לֹד	בְּנֵי־	37
そして-一人	そして-二十	百	七	そして-オノの	ハディドと	ロドと	ロドと-〜の-子ら	
H0259	H6242	H3967	H7651	H0207	H2307	H3850		

ס
セラー

ロド、ハデデおよびオノの人々は七百二十一人。

פ	וּשְׁלֹשִׁים׃	מֵאוֹת	תְּשַׁע	אֲלָפִים	שְׁלֹשֶׁת	סְנָאָה	בְּנֵי	38
ペー	そして-三十人	百	九	千	三	セナアの	セナアの-子ら	
	H7970	H3967	H8672	H0505	H7969	H5570		

セナアの子孫は三千九百三十人。

שִׁבְעִים	מֵאוֹת	תְּשַׁע	יֵשׁוּעַ	לְבֵית	יְדַעְיָה	בְּנֵי	הַכֹּהֲנִים	39
七十	百	九	ヨシュアの	ヨシュアの-家の	ヨダエヤの	ヨダエヤの-子ら	祭司たちは	
H7657	H3967	H8672	H3442		H3048		H3548	

ס	וּשְׁלֹשָׁה׃	
セラー	そして-三人	
	H7969	

祭司では、エシュアの家のエダヤの子孫が九百七十三人。

ס	וּשְׁנָיִם׃	חֲמִשִּׁים	אֶלֶף	אִמֵּר	בְּנֵי	40
セラー	そして-二人	五十	千	イメルの	イメルの-子ら	
	H8147	H2572	H0505	H0564		

インメルの子孫が一千五十二人。

ס	וְשִׁבְעָה׃	אַרְבָּעִים	מָאתַיִם	אֶלֶף	פַּשְׁחוּר	בְּנֵי	41
セラー	そして-七人	四十	二百	千	パシュフルの	パシュフルの-子ら	
	H7651	H0705	H3967	H0505	H6583		

パシュルの子孫が一千二百四十七人。

פ	עָשָׂר׃	שִׁבְעָה	אֶלֶף	חָרִם	בְּנֵי	42
ペー	七人	十	千	ハリムの	ハリムの-子ら	
	H6240	H7651	H0505	H2766		

ハリムの子孫が一千十七人。

שִׁבְעִים	לְהוֹדָוָה	לִבְנֵי	לְקַדְמִיאֵל	יֵשׁוּעַ	בְּנֵי־	הַלְוִיִּם	43
七十	ホデワの	ホデワの-子らの	カドミエルの	ヨシュアの	ヨシュアの-子ら	レビ人たちは	
H7657	H1937		H6934	H3442		H3881	

ס	וְאַרְבָּעָה׃	
セラー	そして-四人	
	H0702	

レビびとでは、エシュアの子孫すなわちホデワの子孫のうちのカデミエルの子孫が七十四人。

ס	וְשִׁמְנָה׃	אַרְבָּעִים	מֵאָה	אָסָף	בְּנֵי	הַמְשֹׁרְרִים	44
セラー	そして-八人	四十	百	アサフの	アサフの-子ら	歌い手たちは	
	H8083	H0705	H3967	H0623		H7891	

歌うたう者では、アサフの子孫が百四十八人。

טַלְמֹן	בְּנֵי־	אָטֵר֙	בְּנֵי־	שַׁלֻּם	בְּנֵי־	הַשֹּׁעֲרִים	45
タルモンの	タルモンの-子ら	アテルの	アテルの-子ら	シャルムの	シャルムの-子ら	門衛たちは	
H2929		H0333		H7967		H7778	

מֵאָה	שֹׁבָי	בְּנֵי	חֲטִיטָא	בְּנֵי	עַקּוּב	בְּנֵי־
百	ショバイの	ショバイの-子ら	ハティタの	ハティタの-子ら	アックブの	アックブの-子ら
H3967	H7630		H2410		H6126	

ס	וְשִׁמְנָה׃	שְׁלֹשִׁים	
セラー	そして-八人	三十	
	H8083	H7970	

門衛では、シャルムの子孫、アテルの子孫、タルモンの子孫、アックブの子孫、ハテタの子孫およびショバイの子孫合わせて百三十八人。

46 הַנְּתִינִים 宮の-しもべたちは H5411 | בְּנֵי־ ツィハの H6727 | בְּנֵי־ ツィハの-子ら | בְּנֵי־ ハスファの | חֲשֻׁפָא ハスファの-子ら | בְּנֵי タバオトの-子ら

טַבָּעוֹת׃ タバオトの H2884

宮に仕えるしもべでは、ジハの子孫、ハスパの子孫、タバオテの子孫、

47 בְּנֵי־ ケロスの-子ら | קֵירֹס ケロスの | בְּנֵי־ シアの-子ら | סִיעָא シアの | בְּנֵי パドンの-子ら | פָּדוֹן׃ パドンの H6303

ケロスの子孫、シアの子孫、パドンの子孫、

48 בְּנֵי־ レバナの-子ら | לְבָנָה レバナの | בְּנֵי־ ハガバの-子ら | חֲגָבָה ハガバの | בְּנֵי シャルマイの-子ら | שַׁלְמַי׃ シャルマイの H8014

レバナの子孫、ハガバの子孫、サルマイの子孫、

49 בְּנֵי־ ハナンの-子ら | חָנָן ハナンの | בְּנֵי־ ギデルの-子ら | גִּדֵּל ギデルの | בְּנֵי־ ガハルの-子ら | גָּחַר׃ ガハルの H1515

ハナンの子孫、ギデルの子孫、ガハルの子孫、

50 בְּנֵי־ レアヤの-子ら | רְאָיָה レアヤの | בְּנֵי־ レツィンの-子ら | רְצִין レツィンの | בְּנֵי ネコダの-子ら | נְקוֹדָא׃ ネコダの H5353

レアヤの子孫、レヂンの子孫、ネコダの子孫、

51 בְּנֵי־ ガザムの-子ら | גַּזָּם ガザムの | בְּנֵי־ ウズァの-子ら | עֻזָּא ウズァの | בְּנֵי パセアクの-子ら | פָּסֵחַ׃ パセアクの H6454

ガザムの子孫、ウザの子孫、パセアの子孫、

52 בְּנֵי־ ベサイの-子ら | בֵּסַי ベサイの | בְּנֵי־ メウニムの-子ら | מְעוּנִים メウニムの | בְּנֵי ネフィシムの-子ら | נפושסים ネフィシムの H5300

נְפִישְׂסִים׃) ネフィシムの H5300

ベサイの子孫、メウニムの子孫、ネフセシムの子孫、

53 בְּנֵי־ バクブクの-子ら | בַּקְבּוּק バクブクの | בְּנֵי־ ハクファの-子ら | חַקּוּפָא ハクファの | בְּנֵי ハルフルの-子ら | חַרְחוּר׃ ハルフルの H2744

バクブクの子孫、ハクパの子孫、ハルホルの子孫、

54 בְּנֵי־ バツリトの-子ら | בַּצְלִית バツリトの | בְּנֵי־ メヒダの-子ら | מְחִידָא メヒダの | בְּנֵי ハルシャの-子ら | חַרְשָׁא׃ ハルシャの H2797

バツリテの子孫、メヒダの子孫、ハルシャの子孫、

55 בְּנֵי־ בְּנֵי־ סִיסְרָא בְּנֵי־ בַּרְקוֹס בְּנֵי־
バルコスの バルコスの-子ら シスラの シスラの-子ら バルコスの バルコスの-子ら
H1302 H5516 H8547

バルコスの子孫、シセラの子孫、テマの子孫、

56 חֲטִיפָא׃ בְּנֵי נְצִיחַ בְּנֵי
ハティファの ハティファの-子ら ネツィアクの ネツィアクの-子ら
H2412 H5335

ネヂアの子孫およびハテパの子孫。

57 בְּנֵי־ סוֹטַי בְּנֵי־ שְׁלֹמֹה עַבְדֵי בְּנֵי
ソフェレトの-子ら ソタイの ソタイの-子ら ソロモンの ソロモンの-僕の ソロモンの-〜の-子ら
H5479 H8010 H5650

פְּרִידָא׃ בְּנֵי סֹפֶרֶת
ペリダの ペリダの-子ら ソフェレトの
H6514 H5618

ソロモンのしもべであった者たちの子孫では、ソタイの子孫、ソペレテの子孫、ペリダの子孫、

58 גֶּדֶל׃ בְּנֵי דַרְקוֹן בְּנֵי־ יַעֲלָא בְּנֵי־
ギデルの ギデルの-子ら ダルコンの ダルコンの-子ら ヤエラの ヤエラの-子ら
H1435 H1874 H3279

ヤアラの子孫、ダルコンの子孫、ギデルの子孫、

59 פֹּכֶרֶת בְּנֵי חַטִּיל בְּנֵי־ שְׁפַטְיָה בְּנֵי
ポケレトの ポケレトの-子ら ハティルの ハティルの-子ら シェファテヤの シェファテヤの-子ら
H6380 H2411 H8203

אָמוֹן׃ בְּנֵי הַצְּבָיִים
アモンの アモンの-子ら ツェバイムの
H0526 H6380

シパテヤの子孫、ハッテルの子孫、ポケレテ・ハッゼバイムの子孫、アモンの子孫。

60 תִּשְׁעִים מֵאוֹת שְׁלֹשׁ שְׁלֹמֹה עַבְדֵי וּבְנֵי הַנְּתִינִים כָּל־
九十 百 三 ソロモンの ソロモンの-僕の そして-〜の-子らは 宮の-しもべと すべての
H8673 H3967 H7969 H8010 H5650 H5411 H3605

וּשְׁנָיִם׃ פ
そして-二人 ペー
H8147

宮に仕えるしもべたちとソロモンのしもべであった者たちの子孫とは合わせて三百九十二人。

61 אַדּוֹן כְּרוּב חַרְשָׁאתָל מֶלַחְמֶתָל הָעוֹלִים וְאֵלֶּה
アドンと ケルブと テル-ハルシャと テル-メラクと 上ってきた そして-これらは
H0114 H3743 H8521 H8528 H5927 H0428

וְזַרְעָם אֲבוֹתָם בֵּית־ לְהַגִּיד יָכְלוּ וְלֹא וְאִמֵּר
そして-子孫を 先祖の 家を 示すことが できなかった そして-できなかった そして-イメルから
H2233 H0001 H5046 H3201 H3808 H0564

הֵם׃ מִיִּשְׂרָאֵל אִם
彼らが イスラエルの-者か かどうか
H1992 H3478

テルメラ、テルハレサ、ケルブ、アドンおよびインメルから上って来た者があったが、その氏族と、血統とを示して、イスラエルの者であることを明らかにすることができなかった。その人々は次のとおりである。

62 בְּנֵי־ דְלָיָה בְּנֵי־ טוֹבִיָּה בְּנֵי נְקוֹדָא שֵׁשׁ מֵאוֹת
デラヤの デラヤの-子ら トビヤの トビヤの-子ら ネコダの ネコダの-子ら 六 百
H1806 H2900 H5353 H8337 H3967

וְאַרְבָּעִים וּשְׁנָיִם׃ ס
そして-四十 そして-二人 セラー
H0705 H8147

すなわちデラヤの子孫、トビヤの子孫、ネコダの子孫であって、合わせて六百四十二人。

63 וּמִן־ הַכֹּהֲנִים הַקּוֹץ בְּנֵי חֲבַיָּה בְּנֵי הַגִּלְעָדִי בַּרְזִלַּי
そして-〜から 祭司たちから ハッコツの ハッコツの-子ら ホバヤの ホバヤの-子ら ギルアド人の バルジライの
H3548 H6976 H2252

מִבְּנוֹת לָקַח אֲשֶׁר בַּרְזִלַּי בְּנֵי אִשָּׁה
娘たちから 娶った 〜の バルジライの バルジライの-子ら 妻を
H1323 H3947 H1271

שְׁמָם׃ עַל־ וַיִּקָּרֵא
彼らの-名で 〜の-名で そして-呼ばれた
H8034 H7121

また祭司のうちにホバヤの子孫、ハッコツの子孫、バルジライの子孫がある。バルジライはギレアデびとバルジライの娘たちのうちから妻をめとったので、その名で呼ばれた。

64 כְּתָבָם הַמִּתְיַחְשִׂים וְלֹא
自分たちの-記録を 系図に-登録された者の そして-見つからなかった
H3791 H3187 H3808

בִּקְשָׁם אֵלֶּה
探した これらの者たちは
H1245 H0428

הַכְּהֻנָּה׃ מִן־ וַיְגֹאֲלוּ נִמְצָא
祭司職から 〜から そして-汚れたものと-された 見つからなかった
H3550 H1351 H4672

これらの者はこの系図に載った者のうちに、自分の籍をたずねたが、なかったので、汚れた者として祭司の職から除かれた。

65 מִקֹּדֶשׁ יֹאכְלוּ לֹא־ אֲשֶׁר לָהֶם הַתִּרְשָׁתָא וַיֹּאמֶר
至聖の-ものから 食べてはならない 食べては-ならない 〜の 彼らに 総督は そして-言った
H6944 H0398 H3808 H8660 H0559

וְתוּמִּים׃ לְאוּרִים הַכֹּהֵן עָמַד עַד עַד הַקֹּדָשִׁים
そして-トンミムの-ために ウリムと 祭司が 立つ 〜まで 至聖の
H8550 H0224 H3548 H5975 H5704 H6944

総督は彼らに告げて、ウリムとトンミムを帯びる祭司の起るまでは、いと聖なる物を食べてはならぬと言った。

66 כָּל־ הַקָּהָל כְּאֶחָד אַרְבַּע רִבּוֹא אַלְפַּיִם שְׁלֹשׁ־ מֵאוֹת
全体の 会衆は 合わせて 四 万 二千 三 百
H3605 H6951 H0259 H0702 H7239 H0505 H7969 H3967

וְשִׁשִּׁים׃
そして-六十人
H8346

会衆は合わせて四万二千三百六十人であった。

67 עַבְדֵיהֶם וְאַמְהֹתֵיהֶם אֵלֶּה שִׁבְעַת אֲלָפִים שְׁלֹשׁ מֵאוֹת שְׁלֹשִׁים
彼らの-僕と そして-彼らの-婢が これら 七 千 三 百 三十
H5650 H0519 H0428 H7651 H0505 H7969 H3967 H7970

מִלְּבַד
のほかに
H0905

וַחֲמִשָּׁה׃ וְאַרְבָּעִים מָאתַיִם וּמְשֹׁרְרוֹת וְלָהֶם מְשֹׁרְרִים וְשִׁבְעָה
そして-五人 そして-四十 二百 そして-女の-歌い手が 男の-歌い手と そして-彼らには そして-七人
H2568 H0705 H3967 H7891 H7891 H7651

このほかに男女の奴隷が七千三百三十七人、歌うたう者が男女合わせて二百四十五人あった。

68
ס
セラー

その馬は七百三十六頭、その騾馬は二百四十五頭、

69
מֵאוֹת שְׁבַע אֲלָפִים שֵׁשׁ חֲמֹרִים ס וַחֲמִשָּׁה שְׁלֹשִׁים מֵאוֹת אַרְבַּע גְּמַלִּים
百 七 千 六 ろばは セラー そして-五頭 三十 百 四 らくだは
H3967 H7651 H0505 H8337 H2543 H2568 H7970 H3967 H0702 H1581

וְעֶשְׂרִים׃
そして-二十頭
H6242

そのらくだは四百三十五頭、そのろばは六千七百二十頭であった。

70
לָאוֹצָר נָתַן הַתִּרְשָׁתָא לַמְלָאכָה נָתְנוּ הָאָבוֹת רָאשֵׁי וּמִקְצָת
倉庫に ささげた 総督は 工事の-ために ささげた 氏族の 氏族の-長たちは そして-一部の
H0214 H5414 H8660 H4399 H5414 H0001 H7117

מֵאוֹת׃ וַחֲמֵשׁ שְׁלֹשִׁים כָּהֲנִים כָּתְנוֹת חֲמִשִּׁים מִזְרָקוֹת אֶלֶף דַּרְכְּמֹנִים זָהָב
百着 そして-五 三十 祭司の 衣を 五十 鉢を 千枚 ダリク 金を
H3967 H2568 H7970 H3548 H3801 H2572 H4219 H0505 H1871 H2091

氏族の長のうち工事のためにささげ物をした人々があった。総督は金一千ダリク、鉢五十、祭司の衣服五百三十かさねを倉に納めた。

71
דַּרְכְּמוֹנִים זָהָב הַמְּלָאכָה לְאוֹצַר נָתְנוּ הָאָבוֹת וּמֵרָאשֵׁי
ダリク 金を 工事の 工事の-倉庫に ささげた 氏族の そして-氏族の-長たちの-一部は
H1871 H2091 H4399 H0214 H5414 H0001

וּמָאתַיִם׃ אַלְפַּיִם מָנִים וְכֶסֶף רִבּוֹא שְׁתֵּי
そして-二百 二千 マナ そして-銀を 万枚 二
H3967 H0505 H4488 H3701 H7239 H8147

また氏族の長のうちのある人々は金二万ダリク、銀二千二百ミナを工事のために倉に納めた。

72
מָנִים וְכֶסֶף רִבּוֹא שְׁתֵּי דַּרְכְּמוֹנִים זָהָב הָעָם שְׁאֵרִית נָתְנוּ וַאֲשֶׁר
マナ そして-銀を 万枚 二 ダリク 金を 民は 残りの ささげた そして-〜の
H4488 H3701 H7239 H8147 H1871 H2091 H7611 H5414

פ וְשִׁבְעָה׃ שִׁשִּׁים כֹּהֲנִים וְכָתֹנֶת אַלְפַּיִם
ペー そして-七着 六十 祭司の そして-祭司の-衣を 二千
H7651 H8346 H3548 H3801 H0505

その他の民の納めたものは金二万ダリク、銀二千ミナ、祭司の衣服六十七かさねであった。

73
וְהַמְשֹׁרְרִים וְהַשּׁוֹעֲרִים וְהַלְוִיִּם וְהַכֹּהֲנִים וַיֵּשְׁבוּ
そして-歌い手たちと そして-門衛たちと そして-レビ人たちと 祭司たちと そして-住んだ
H7891 H7778 H3881 H3548 H3427

בְּעָרֵיהֶם יִשְׂרָאֵל וְכָל־ וְהַנְתִינִים הָעָם וּמִן־
自分たちの-町に イスラエルは そして-すべての そして-宮の-しもべたちと 民と そして-一部の
H3478 H3605 H5411

בְּעָרֵיהֶם׃ יִשְׂרָאֵל וּבְנֵי הַשְּׁבִיעִי הַחֹדֶשׁ וַיִּגַּע
自分たちの-町に イスラエルの そして-〜の-子らは 第七の 第七の-月が そして-訪れた
H3478 H7637 H2320 H5060

こうして祭司、レビびと、門衛、歌うたう者、民のうちのある人々、宮に仕えるしもべたち、およびイスラエルびとは皆その町々に住んだ。イスラエルの人々はその町々に住んで七月になった。

Chapter 8

1 וַיֵּאָסְפוּ֩ כָל־ הָעָ֨ם כְּאִ֜ישׁ אֶחָ֗ד אֶל־ הָרְחֹ֙וב אֲשֶׁ֣ר לִפְנֵי֮ שַׁ֣עַר־ הַמָּ֒יִם֒ וַיֹּ֣אמְרוּ֮ לְעֶזְרָא֒ הַסֹּפֵ֗ר לְהָבִ֞יא אֶת־ סֵ֤פֶר תּוֹרַת֙ מֹשֶׁ֔ה אֲשֶׁ֥ר צִוָּ֖ה יְהוָ֑ה אֶת־ יִשְׂרָאֵֽל׃

וַיֵּאָסְפוּ֩	כָל־	הָעָ֨ם	כְּאִ֜ישׁ	אֶחָ֗ד	אֶל־	הָרְחֹ֙וב	אֲשֶׁ֣ר	לִפְנֵי֮	שַׁ֣עַר־ הַמָּ֒יִם֒
そして–集まった	すべての	民が	一人の–人のように	一つに	～に	広場に	～の	～の–前の	
H0622	H3605		H0376	H0259	H0413	H7339		H6440	

וַיֹּ֣אמְרוּ֮	לְעֶזְרָא֒	הַסֹּפֵ֗ר	לְהָבִ֞יא	אֶת־	סֵ֤פֶר	תּוֹרַת֙	מֹשֶׁ֔ה	אֲשֶׁ֥ר
そして–言った	エズラに	学者の	持って–来るように	～を	書物を	律法の		
H0559	H5830		H0935	H0853		H8451		

צִוָּ֖ה	יְהוָ֑ה	אֶת־	יִשְׂרָאֵֽל׃		
命じた	主が	～に	イスラエルに		
H6680	H3068	H0853	H3478		

מֹשֶׁ֔ה	אֲשֶׁ֥ר	צִוָּ֖ה	יְהוָ֑ה	אֶת־	יִשְׂרָאֵֽל׃			
モーセの	～の	命じた	主が	～に	イスラエルに			
H4872		H6680	H3068	H0853	H3478			

その時民は皆ひとりのようになって水の門の前の広場に集まり、主がイスラエルに与えられたモーセの律法の書を持って来るように、学者エズラに求めた。

2 וַיָּבִ֣יא עֶזְרָ֣א הַכֹּהֵ֡ן אֶת־ הַתּוֹרָה֩ לִפְנֵ֨י הַקָּהָ֜ל מֵאִ֗ישׁ וְעַד־ אִשָּׁה֙ וְלִשְׁמֹ֣עַ בְּיֹ֔ום אֶחָד֙ לַחֹ֣דֶשׁ הַשְּׁבִיעִֽי׃

וַיָּבִ֣יא	עֶזְרָ֣א	הַכֹּהֵ֡ן	אֶת־	הַתּוֹרָה֩	לִפְנֵ֨י	הַקָּהָ֜ל	מֵאִ֗ישׁ	וְעַד־	אִשָּׁה֙
そして–持って–来た	エズラが	祭司の	～を	律法を	～の–前に	会衆の–前に	男から	そして–～まで	女まで
H0935	H5830	H3548	H0853	H8451	H6440	H6951	H0376	H5704	H0802

וְלִשְׁמֹ֣עַ	בְּיֹ֔ום	אֶחָד֙	לַחֹ֣דֶשׁ	הַשְּׁבִיעִֽי׃				
そして–すべての	～の–日に	第一の	～の–月の	第七の				
H3605	H3117	H0259	H2320	H7637				

וְלִשְׁמֹ֣עַ	מֵבִ֔ין	אֶחָד֙	בְּיֹ֔ום	לִשְׁמֹ֣עַ				
そして–すべての	理解できる	第一の	～の–日に	聞くことのできる者に				
H3605	H0995	H0259	H3117	H8085				

祭司エズラは七月の一日に律法を携えて来て、男女の会衆およびすべて聞いて悟ることのできる人々の前にあらわれ、

3 וַיִּקְרָ֣א בּ֠וֹ לִפְנֵי֙ הָרְחֹ֣וב אֲשֶׁ֣ר לִפְנֵי֮ שַׁ֣עַר־ הַמַּ֒יִם֒ מִן־ הָא֣וֹר עַד־ מַחֲצִ֗ית לְעֵינֵי֙ הָאֲנָשִׁ֣ים וְהַנָּשִׁ֔ים וְהַמְּבִינִ֖ים אֶל־ סֵ֣פֶר הַתּוֹרָֽה׃

וַיִּקְרָ֣א	בּ֠וֹ	לִפְנֵי֙	הָרְחֹ֣וב	אֲשֶׁ֣ר	לִפְנֵי֮	שַׁ֣עַר־ הַמַּ֒יִם֒	מִן־	הָא֣וֹר	עַד־
そして–読んだ	その中を	～の–前で	広場の–前で	～の	～の–前の	水の–門の–前の	～から	朝明けから	～まで
H7121		H6440	H7339		H6440	H8179		H0216	H5704

מַחֲצִ֗ית	לְעֵינֵי֙	הָאֲנָשִׁ֣ים	וְהַנָּשִׁ֔ים	וְהַמְּבִינִ֖ים	אֶל־	סֵ֣פֶר	הַתּוֹרָֽה׃	
半分まで	その–日の	男たちと	そして–女たちと	そして–理解できる者たちの–前で	～に–向けられた	律法の–書物に		
H4276	H3117	H0376	H0802	H0995	H0413			

הַמַּ֒יִם֒	שַׁ֣עַר־	לִפְנֵי֙	וְאֶל־	הָרְחֹ֣וב	אֲשֶׁ֣ר	לִפְנֵי֮	שַׁ֣עַר־ הַמַּ֒יִם֒	מִן־
水の	水の–門の–前の	～の–前の	～の	広場の–前で	～の–前で	その中を	そして–読んだ	～から
H4325	H8179	H6440		H7339	H6440		H7121	

הָא֣וֹר	עַד־	מַחֲצִ֗ית	לְעֵינֵי֙	הָאֲנָשִׁ֣ים	וְהַנָּשִׁ֔ים	וְהַמְּבִינִ֖ים	אֶל־	סֵ֣פֶר
朝明けから	～まで	半分まで	その–日の	男たちと	そして–女たちと	そして–理解できる者たちの–前で	～に–向けられた	律法の–書物に
H0216	H5704	H4276	H3117	H0376	H0802	H0995	H0413	

הָעָ֨ם	כָל־	וְאָזְנֵי֙	הַתּוֹרָֽה׃					
民の	すべての	そして–耳が	律法の					
H3605	H0241		H8451					

水の門の前にある広場で、あけぼのから正午まで、男女および悟ることのできる人々の前でこれを読んだ。民はみな律法の書に耳を傾けた。

4

וַיַּעֲמֹד עֶזְרָא הַסֹּפֵר עַל־מִגְדַּל־עֵץ אֲשֶׁר עָשׂוּ לַדָּבָר
そして-立った エズラが 学者の ～の-上に 木の-台の-上に 木の ～の ために
H5975 H5830 H6086 H4026 H1697

וַיַּעֲמֹד אֶצְלוֹ מַתִּתְיָה וְשֶׁמַע וַעֲנָיָה וְאוּרִיָּה
そして-立った 彼の-そばに マテテヤと そして-シェマと そして-アナヤと そして-ウリヤと
H5975 H0681 H4993 H8087 H6043

וַיַּעֲמֹד פְּדָיָה וּמִשָּׁאֵל וּמַלְכִּיָּה וְחַשֻּׁם וְחַשְׁבַּדָּנָה זְכַרְיָה
そして-立った ペダヤと そして-彼の-左には 彼の-右の-側に ～の-側に そして-マアセヤが そして-ヒルキヤと そして-ハシュバダナと ゼカリヤと
H6305 H8040 H3225 H4641 H2518 H2806 H2828 H4441 H4332

וּמְשֻׁלָּם׃ פ
メシュラムがいた ペー
H4918

学者エズラはこの事のために、かねて設けた木の台の上に立ったが、彼のかたわらには右の方にマッタテヤ、シマ、アナヤ、ウリヤ、ヒルキヤおよびマアセヤが立ち、左の方にはペダヤ、ミサエル、マルキヤ、ハシュム、ハシバダナ、ゼカリヤおよびメシュラムが立った。

5

וַיִּפְתַּח עֶזְרָא הַסֹּפֵר לְעֵינֵי כָל־הָעָם כִּי־מֵעַל
そして-開いた エズラが 書物を ～の-目の-前で すべての 民の なぜなら ～より-上に
H5975 H5830 H0853 H3605 H5921

כָּל־הָעָם׃ וּכְפִתְחוֹ עָמְדוּ כָּל־הָעָם הָיָה מִכָּל־הָעָם
民は すべての 立ち上がった そして-開くと いた 民より すべての
H3605 H5975 H1961 H3605

エズラはすべての民の前にその書を開いた。彼はすべての民よりも高い所にいたからである。彼が書を開くと、すべての民は起立した。

6

וַיְבָרֶךְ עֶזְרָא אֶת־יְהוָה הָאֱלֹהִים הַגָּדוֹל וַיַּעֲנוּ כָל־הָעָם
そして-ほめたたえた エズラが ～を 主を 神を 大いなる そして-答えた すべての 民は
H1288 H5830 H0853 H3068 H0430 H1419 H6030 H3605

וְיִשְׁתַּחֲוּ לַיהוָה אַפַּיִם וַיִּקְּדוּ וַיִּקְרָאוּ בְּמַעֲלֵה יְדֵיהֶם אָמֵן אָמֵן
そして-ひれ伏した 主に 顎を そして-ひざまづき そして-ひざまづき 手を 手を-上げて アーメンと アーメン
H7812 H3068 H0639 H6915 H6915 H3027 H4607 H0543 H0543

לָאָרֶץ׃
地に-つけて
H0776

エズラは大いなる神、主をほめ、民は皆その手をあげて、「アァメン、アァメン」と言って答え、こうべをたれ、地にひれ伏して主を拝した。

7

וְיֵשׁוּעַ וּבָנִי וְשֵׁרֵבְיָה יָמִין עַקּוּב שַׁבְּתַי הוֹדִיָּה
そして-ヨシュアと そして-バニと シェレビヤと ヤミンと アックブと シャベタイと ホデヤと
H3442 H1137 H8274 H3226 H6126 H7678 H1941

וְהַלְוִיִּם מַעֲשֵׂיָה וְקְלִיטָא עֲזַרְיָה יוֹזָבָד חָנָן פְּלָאיָה
そして-レビ人たちが マアセヤと ケリタと アザルヤと ヨザバドと ハナンと ペラヤと
H3881 H4641 H7042 H5838 H3107 H2605 H6411

מְבִינִים אֶת־הָעָם לַתּוֹרָה וְהָעָם עַל־מְקֹמוֹ׃
理解させていた ～を 民に 律法を そして-民は ～の-上に その-場所に-立っていた
H0995 H0853 H5971 H8451 H5971 H5921 H4725

エシュア、バニ、セレビヤ、ヤミン、アックブ、シャベタイ、ホデヤ、マアセヤ、ケリタ、アザリヤ、ヨザバデ、ハナン、ペラヤおよびレビびとたちは民に律法を悟らせた。民はその所に立っていた。

8 וַיִּקְרְאוּ בַסֵּפֶר בְּתוֹרַת הָאֱלֹהִים מְפֹרָשׁ וְשׂוֹם שֶׂכֶל וַיָּבִינוּ
そして-読んだ 書物から 神の-律法から 明瞭に そして-意味を 理解を そして-理解した
H7121 H0430 H8451 H0430 H7922 H0995

בַּמִּקְרָא׃ ס
読まれた-ことを セラー
H4744

彼らはその書、すなわち神の律法をめいりょうに読み、その意味を解き明かしてその読むところを悟らせた。

9 וַיֹּאמֶר נְחֶמְיָה הַתִּרְשָׁתָא וְעֶזְרָא הַכֹּהֵן הַסֹּפֵר וְהַלְוִיִּם
そして-言った ネヘミヤと 総督と そして-エズラと 祭司の 学者の そして-レビ人たちが
H0559 H5166 H8660 H5830 H3548 H5830 H3881

הַמְבִינִים אֶת־ לְכָל־ הָעָם הַיּוֹם הַזֶּה קֹדֶשׁ־ הוּא לַיהוָה
理解させている ～を すべての 民に この-日は 聖なる 日である 主に-とって
H0995 H0853 H3605 H5971 H3117 H6918 H1931 H3068

כָּל־ בּוֹכִים כִּי תִבְכּוּ וְאַל־ תִּתְאַבְלוּ אַל־ אֱלֹהֵיכֶם
すべての 泣いていた なぜなら 泣くな そして-泣くな 悲しむな 悲しむな あなたがたの-神に-とって
H3605 H1058 H0408 H1058 H0408 H0056 H0408 H0430

כְּשָׁמְעָם אֶת־ דִּבְרֵי הַתּוֹרָה׃ הָעָם
聞いた-ときに ～を 言葉を 律法の 民が
H8085 H0853 H1697 H8451

総督であるネヘミヤと、祭司であり、学者であるエズラと、民を教えるレビびとたちはすべての民に向かって「この日はあなたがたの神、主の聖なる日です。嘆いたり、泣いたりしてはならない」と言った。すべての民が律法の言葉を聞いて泣いたからである。

10 וַיֹּאמֶר לְכוּ אִכְלוּ מַשְׁמַנִּים וּשְׁתוּ מַמְתַּקִּים
そして-言った 行って 食べなさい 肥えた-ものを そして-飲みなさい 甘い-ものを
H0559 H3212 H0398 H4924 H8354 H4477

וְשִׁלְחוּ מָנוֹת לְאֵין נָכוֹן לוֹ כִּי־ קָדוֹשׁ הַיּוֹם
そして-送りなさい 分け前を ～に 用意の-ない 者に なぜなら 聖なる 日である
H7971 H4490 H0369 H3559 H3588 H6918 H3117

וְאַל־ תֵּעָצֵבוּ כִּי־ חֶדְוַת יְהוָה הִיא לַאֲדֹנֵינוּ
そして-悲しむな なぜなら 喜びこそ 主の それが 私たちの-主に-とって
H0408 H3588 H2304 H3068 H1931 H0136

מָעֻזְּכֶם׃
あなたがたの-力である
H4581

そして彼らに言った、「あなたがたは去って、肥えたものを食べ、甘いものを飲みなさい。その備えのないものには分けてやりなさい。この日はわれわれの主の聖なる日です。憂えてはならない。主を喜ぶことはあなたがたの力です」。

11 וְהַלְוִיִּם מַחְשִׁים לְכָל־ הָעָם לֵאמֹר הַסּוּ כִּי הַיּוֹם
そして-レビ人たちは 静めていた すべての 民を 言って 静かにしなさい なぜなら この-日は
H3881 H2814 H3605 H5971 H0559 H2013 H3588 H3117

וְאַל־ תֵּעָצֵבוּ׃ קֹדֶשׁ
そして-悲しむな 聖なる-日である
H0408 H6918

レビびともまたすべての民を静めて、「泣くことをやめなさい。この日は聖なる日です。憂えてはならない」と言った。

12 וַיֵּלְכוּ כָל־ הָעָם לֶאֱכָל וְלִשְׁתּוֹת וְלִשְׁלֹחַ מָנוֹת וְלַעֲשׂוֹת
そして–行った すべての 民は 食べて そして–飲んで そして–送って 分け前を そして–行った
H3212 H3605 H0398 H8354 H7971 H4490

שִׂמְחָה גְדוֹלָה כִּי הֵבִינוּ בַדְּבָרִים אֲשֶׁר הוֹדִיעוּ לָהֶם׃ ס
喜びを 大きな なぜなら 理解した その–言葉を ～の 知らせられた 彼らに セラー
H8057 H0995 H1697 H3045

すべての民は去って食い飲みし、また分け与えて、大いに喜んだ。これは彼らが読み聞かされた言葉を悟ったからである。

13 וּבַיּוֹם הַשֵּׁנִי נֶאֶסְפוּ רָאשֵׁי הָאָבוֹת לְכָל־ הָעָם הַכֹּהֲנִים
そして–二日目に 二日目の 集まった 氏族の–長たちが 氏族の 民の 祭司たちと
H3117 H8145 H0622 H0001 H3605 H3548

וְהַלְוִיִּם אֶל־ עֶזְרָא הַסֹּפֵר לְהַשְׂכִּיל וְאֶל־ דִּבְרֵי הַתּוֹרָה׃
そして–レビ人たちが ～の–もとに 学者の そして–理解するために ～の 言葉を 律法の
H3881 H0413 H5830 H0413 H1697 H8451

次の日、すべての民の氏族の長たち、祭司、レビびとらは律法の言葉を学ぶために学者エズラのもとに集まってきて、

14 וַיִּמְצְאוּ כָתוּב בַּתּוֹרָה אֲשֶׁר צִוָּה יְהוָה בְּיַד־ מֹשֶׁה
そして–見つけた 書かれていることを 律法に ～の 命じた 主が モーセを–通して モーセを
H4672 H3789 H8451 H6680 H3068 H3027 H4872

אֲשֶׁר יֵשְׁבוּ בְנֵי־ יִשְׂרָאֵל בַּסֻּכּוֹת בֶּחָג בַּחֹדֶשׁ הַשְּׁבִיעִי׃
～のことを 住むべきことを イスラエルの–子らが イスラエルの 仮庵に 祭りの–時に 第七の–月の 第七の
H3427 H3478 H5521 H2282 H2320 H7637

律法のうちに主がモーセに命じられたこと、すなわちイスラエルの人々は七月の祭の間、仮庵の中に住むべきことがしるされているのを見いだした。

15 וַאֲשֶׁר יַשְׁמִיעוּ וְיַעֲבִירוּ קוֹל בְּכָל־ עָרֵיהֶם
そして–～のことを 布告すべきことを 触れ回るべきことを 声を すべての 町々で
H3605

וּבִירוּשָׁלִַם לֵאמֹר צְאוּ הָהָר וְהָבִיאוּ עֲלֵי־ זַיִת עֲלֵי־ עֵץ
そして–エルサレムで 言って 出て行け 山へ そして–持って–来い 枝を オリーブの そして–枝を
H3389 H0559 H3318 H2022 H0935 H5929 H2132 H5929

עָבֹת עֵץ וַעֲלֵי תְמָרִים וַעֲלֵי הֲדַס וַעֲלֵי עֵץ שֶׁמֶן עֵץ
茂った 木の そして–枝を なつめやしの そして–枝を ギンバイの そして–枝を 油の 木の
H5687 H6086 H5929 H8558 H5929 H1918 H5929 H8081 H6086

לַעֲשֹׂת סֻכֹּת כַּכָּתוּב׃ פ
作るために 仮庵を 書かれている–とおりに ペー
H5521 H3789

またすべての町々およびエルサレムにのべ伝えて、「あなたがたは山に出て行って、オリブと野生のオリブ、ミルトス、なつめやし、および茂った木の枝を取ってきて、しるされてあるとおり、仮庵を造れ」と言ってあるのを見いだした。

16

וַיֵּצְא֣וּ	וַיָּבִ֣יאוּ	וַיַּֽעֲשׂוּ֩	לָהֶ֨ם	סֻכּ֜וֹת	אִ֗ישׁ	
そして-出て行った	そして-持って-来た	そして-作った	自分たちの-ために	仮庵を	各自	
H3318	H0935		H1992	H5521	H0376	

וּבִרְחוֹב֙	הָאֱלֹהִ֔ים	בֵּ֖ית	וּבְחַצְר֣וֹת	וּבְחַצְרֹתֵיהֶ֑ם	גַּגּ֗וֹ	עַל־
そして-広場に	神の	神の-家の	そして-庭に	そして-彼らの-庭に	屋上の-上に	～の-上に
H7339	H0430				H1406	

אֶפְרָ֖יִם׃	שַׁ֣עַר	וּבִרְחֹ֣וב	הַמַּ֔יִם	שַׁ֥עַר
エフライムの	エフライムの-門の	そして-広場に	水の	水の-門の
H0669	H8179	H7339	H4325	H8179

それで民は出て行って、それを持って帰り、おのおのその家の屋根の上、その庭、神の宮の庭、水の門の広場、エフライムの門の広場などに仮庵を造った。

17

בַּסֻּכּ֔וֹת	וַיֵּשְׁב֖וּ	סֻכּ֑וֹת	וְהַשָּׁבִ֣י	מִן־	הַשָּׁבִ֗ים	הַקָּהָל֙	כָּל־	וַיַּֽעֲשׂ֤וּ
仮庵に	そして-住んだ	仮庵を	捕囚から	～から	帰って-来た	会衆が	すべての	そして-作った
H5521	H3427	H5521			H7725	H6951	H3605	

כֵּ֣ן	נ֔וּן	בִּן־	יֵשׁ֖וּעַ	מִימֵ֣י	עָשׂ֑וּ	לֹא־	כִּ֣י	
そのように	ヌンの	息子の	ヨシュアの	～の-日以来	していなかった	していなかった	なぜなら	
	H5126		H3442	H3117		H3808		

גְּדוֹלָ֖ה	שִׂמְחָ֥ה	וַתְּהִ֛י	הַה֥וּא	הַיּ֖וֹם	עַד	יִשְׂרָאֵ֑ל	בְּנֵ֣י	
大きな	喜びが	そして-あった	その	その-日まで	～まで	イスラエルの	イスラエルの-子らは	
	H8057	H1961	H1931	H3117	H5704	H3478		

מְאֹֽד׃
非常に
H3966

捕囚から帰って来た会衆は皆仮庵を造って、仮庵に住んだ。ヌンの子ヨシュアの日からこの日まで、イスラエルの人々はこのように行ったことがなかった。それでその喜びは非常に大きかった。

18

הָרִאשׁ֔וֹן	הַיּ֣וֹם	מִן־	בְּי֣וֹם	וְי֗וֹם	הָאֱלֹהִים֙	תּוֹרַ֣ת	בְּסֵ֤פֶר	וַיִּקְרָ֞א	
最初の	最初の-日から	～から	毎日	日	神の	神の-律法の	書物から	そして-読んだ	
H7223	H3117		H3117	H3117	H0430	H8451		H7121	

הַשְּׁמִינִ֖י	וּבַיּ֣וֹם	יָמִ֑ים	שִׁבְעַ֥ת	חָ֛ג	וַיַּֽעֲשׂ֥וּ	הָאַחֲר֖וֹן	הַיּ֥וֹם	עַד
八日目の	そして-八日目に	日間	七	祭りを	そして-行った	最後の	最後の-日まで	～まで
H8066	H3117	H3117	H7651	H2282		H0314	H3117	H5704

	כַּמִּשְׁפָּ֖ט׃	פ	עֲצֶ֥רֶת
	定めの-とおりに	ペー	聖会が-あった
	H4941		H6116

エズラは初めの日から終りの日まで、毎日神の律法の書を読んだ。人々は七日の間、祭を行い、八日目になって、おきてにしたがって聖会を開いた。

Chapter 9

1

יִשְׂרָאֵ֔ל	בְּנֵי־	נֶאֶסְפ֖וּ	הַזֶּ֑ה	לַחֹ֣דֶשׁ	וְאַרְבָּעָ֥ה	עֶשְׂרִ֛ים	וּבְיוֹם֙	
イスラエルの	イスラエルの-子らが	集まった	この	この-月の	そして-四	二十	そして-二十	
H3478		H0622	H2088	H2320	H0702	H6242	H3117	

עֲלֵיהֶֽם׃	וַאֲדָמָ֔ה	וּבְשַׂקִּ֖ים	בְּצ֥וֹם	
自分たちの-上に	そして-土を	そして-荒布を-着て	断食して	
	H0127	H8242	H6685	

その月の二十四日にイスラエルの人々は集まって断食し、荒布をまとい、土をかぶった。

2

וַיִּתְוַדּוּ
そして-告白した
H3034

וַיַּעַמְדוּ
そして-立って
H5975

נֵכָר
異邦の
H5236

בְּנֵי
子らから
H3605

מִכֹּל
すべての
H3478

יִשְׂרָאֵל
イスラエルの
H2233

זֶרַע
子孫が
H0914

וַיִּבָּדְלוּ
そして-分離した

אֲבֹתֵיהֶם׃
先祖たちの
H0001

וַעֲוֹנוֹת
そして-咎に-ついて
H5771

חַטֹּאתֵיהֶם
自分たちの-罪に-ついて

עַל־
〜に-ついて

そしてイスラエルの子孫は、すべての異邦人を離れ、立って自分の罪と先祖の不義とをざんげした。

3

יְהוָה
主の
H3068

תּוֹרַת
主の-律法の
H8451

בְּסֵפֶר
書物から

וַיִּקְרְאוּ
そして-読んだ
H7121

עָמְדָם
その-場所で
H5977

עַל־
〜の-上で

וַיָּקוּמוּ
そして-立ち上がった

וּמִשְׁתַּחֲוִים
そして-ひれ伏していた
H7812

מִתְוַדִּים
告白して
H3034

וְרִבְעִית
そして-四分の一の-時
H7243

הַיּוֹם
その-日の
H3117

רְבִעִית
四分の一の-時
H7243

אֱלֹהֵיהֶם
彼らの-神の
H0430

פ
ペー

אֱלֹהֵיהֶם׃
彼らの-神に
H0430

לַיהוָה
主に
H3068

彼らはその所に立って、その日の四分の一をもってその神、主の律法の書を読み、他の四分の一をもってざんげをなし、その神、主を拝した。

4

קַדְמִיאֵל
カドミエルと
H6934

וּבָנִי
そして-バニと
H1137

יֵשׁוּעַ
ヨシュアと
H3442

הַלְוִיִּם
レビ人の
H3881

מַעֲלֵה
台の-上に
H4608

עַל־
〜の-上に

וַיָּקָם
そして-立った

אֶל־
〜に
H0413

גָּדוֹל
大きな

בְּקוֹל
大きな-声で

וַיִּזְעֲקוּ
そして-叫んだ
H2199

כְּנָנִי
ケナニが
H3662

בְּנֵי
バニと
H1137

שֵׁרֵבְיָה
シェレビヤと
H8274

בְּנֵי
ブニと
H1138

שְׁבַנְיָה
シェバニヤと
H7645

אֱלֹהֵיהֶם׃
彼らの-神に
H0430

יְהוָה
主に
H3068

その時エシュア、バニ、カデミエル、シバニヤ、ブンニ、セレビヤ、バニ、ケナニらはレビびとの台の上に立ち、大声をあげて、その神、主に呼ばわった。

5

חֲשַׁבְנְיָה
ハシャブネヤと
H2813

בָּנִי
バニと
H1137

וְקַדְמִיאֵל
そして-カドミエルと
H6934

יֵשׁוּעַ
ヨシュアと
H3442

הַלְוִיִּם
レビ人たちの
H3881

וַיֹּאמְרוּ
そして-言った
H0559

יְהוָה
主を
H3068

אֵת־
〜を
H0853

בָּרְכוּ
ほめたたえよ
H1288

קוּמוּ
立て

פְּתַחְיָה
ペタクヤが
H6611

שְׁבַנְיָה
シェバニヤと
H7645

הוֹדִיָּה
ホデヤと
H1941

שֵׁרֵבְיָה
シェレビヤと
H8274

שֵׁם
名を
H8034

וִיבָרְכוּ
そして-ほめたたえるように
H1288

הָעוֹלָם
永遠まで
H5769

עַד־
〜まで
H5704

הָעוֹלָם
永遠から
H5769

מִן־
〜から

אֱלֹהֵיכֶם
あなたがたの-神を
H0430

וּתְהִלָּה׃
そして-賛美の-上に
H8416

בְּרָכָה
祝福と
H1293

כָּל־
すべての
H3605

עַל־
〜の-上に

וּמְרוֹמַם
そして-高められるように

כְּבוֹדְךָ
あなたの-栄光の
H3519

それからまたエシュア、カデミエル、バニ、ハシャブニヤ、セレビヤ、ホデヤ、セバニヤ、ペタヒヤなどのレビびとは言った、「立ちあがって永遠から永遠にいますあなたがたの神、主をほめなさい。あなたの尊いみ名はほむべきかな。これはすべての祝福とさんびを越えるものです」。

6

הַשָּׁמַיִם	אֶת־	עָשִׂיתָ	)אַתָּה(	]את[	לְבַדֶּךָ	יְהוָה	הוּא	אַתָּה־
天を	～を	造った	あなたが	あなたが	あなた–だけが	主である	あなたこそ	あなたこそ
H8064	H0853				H0905	H3068	H1931	

עָלֶיהָ	אֲשֶׁר	וְכָל־	הָאָרֶץ	צְבָאָם	וְכָל־	הַשָּׁמַיִם	שְׁמֵי
その–上のものを	～の	そして–すべての	地と	その–軍勢を	そして–すべての	天の	天の–天を
		H3605	H0776		H3605	H8064	H8064

אֶת־	מְחַיֶּה	וְאַתָּה	בָּהֶם	אֲשֶׁר	וְכָל־	הַיַּמִּים
～を	生かしている	そして–あなたは	その–中のものを	～の	そして–すべての	海と
H0853	H2421				H3605	H3220

מְשַׁתַּחֲוִים׃	לְךָ	הַשָּׁמַיִם	וּצְבָא	כֻלָּם
ひれ伏している	あなたに	天の	そして–天の–軍勢が	それら–すべてを
H7812		H8064		H3605

またエズラは言った、「あなたは、ただあなたのみ、主でいらせられます。あなたは天と諸天の天と、その万象、地とその上のすべてのもの、海とその中のすべてのものを造り、これをことごとく保たれます。天の万軍はあなたを拝します。

7

וְהוֹצֵאתוֹ	בְּאַבְרָם	בָּחַרְתָּ	אֲשֶׁר	הָאֱלֹהִים	יְהוָה	הוּא	אַתָּה־
そして–導き–出した	アブラムを	選んだ	～の	神である	主である	あなたこそ	あなたこそ
H3318	H0087	H0977		H0430	H3068	H1931	

אַבְרָהָם׃	שְׁמוֹ	וְשַׂמְתָּ	כַּשְׂדִּים	מֵאוּר
アブラハムに	彼の–名を	そして–変えた	カルデアの	ウルから
H0085	H8034		H3778	

あなたは主、神でいらせられます。あなたは昔アブラムを選んでカルデヤのウルから導き出し、彼にアブラハムという名を与え、

8

עִמּוֹ	וְכָרוֹת	לְפָנֶיךָ	נֶאֱמָן	לִבָּבוֹ	אֶת־	וּמָצָאתָ
彼と	そして–結んだ	あなたの–前に	忠実であることを	彼の–心が	～を	そして–見いだした
	H3772	H6440	H0539	H3824	H0853	H4672

וְהַפְרִזִּי	הָאֱמֹרִי	הַחִתִּי	הַכְּנַעֲנִי	אֶרֶץ	אֶת־	לָתֵת	הַבְּרִית
そして–ペリズ人の	アモリ人の	ヒッタイト人の	カナン人の	地を	～を	与えることを	契約を
H6522	H0567	H2850		H0776	H0853	H5414	H1285

אֶת־	וַתָּקֶם	לְזַרְעוֹ	לָתֵת	וְהַגִּרְגָּשִׁי	וְהַיְבוּסִי
～を	そして–果たした	彼の–子孫に	与えることを	そして–ギルガシ人の	そして–エブス人の
H0853		H2233	H5414	H1622	H2983

אָתָּה׃	צַדִּיק	כִּי	דְבָרֶיךָ
あなたは	正しい	なぜなら	あなたの–言葉を
	H6662		H1697

彼の心があなたの前に忠信なのを見られて、彼と契約を結び、その子孫にカナンびと、ヘテびと、アモリびと、ペリジびと、エブスびとおよびギルガシびとの地を与えると言われたが、ついにあなたはその約束を成就されました。あなたは正しくいらせられるからです。

9

שָׁמַעְתָּ	זַעֲקָתָם	וְאֶת־	בְּמִצְרָיִם	אֲבֹתֵינוּ	עֳנִי	אֶת־	וַתַּרְא
聞いた	彼らの–叫びを	そして–～を	エジプトでの	私たちの–先祖の	苦しみを	～を	そして–見た
H8085	H2201	H0853	H4714	H0001	H6040	H0853	H7200

סוּף׃	יַם־	עַל־	
葦の	葦の–海の–ほとりで	～の–ほとりで	
H5488	H3220		

あなたはわれわれの先祖がエジプトで苦難を受けるのを顧みられ、また紅海のほとりで呼ばわり叫ぶのを聞きいれられ、

10

וַתִּתֵּן אֹתֹת וּמֹפְתִים בְּפַרְעֹה וּבְכָל־עֲבָדָיו
そして-行った しるしと 奇跡を そして-ファラオに-対して そして-すべての 彼の-家来に-対して
H5414 H0226 H4159 H6547 H3605 H5650

וּבְכָל־עַם אַרְצוֹ כִּי יָדַעְתָּ כִּי הֵזִידוּ עֲלֵיהֶם וַתַּעַשׂ־לְךָ שֵׁם כְּהַיּוֹם הַזֶּה׃
そして-すべての 民に-対して 彼の-地の なぜなら 知っていた ～ということを 傲慢に-行ったことを 彼らに-対して そして-得た あなたの-ために 名を 今日の-ように 今日の
H3605 H0776 H3045 H3117 H2102 H8034 H2088

しるしと不思議とをあらわしてパロと、そのすべての家来と、その国のすべての民を攻められました。彼らがわれわれの先祖に対して、ごうまんにふるまったことを知られたからです。そしてあなたが名をあげられたこと今日のようです。

11

וְהַיָּם בָּקַעְתָּ לִפְנֵיהֶם וַיַּעַבְרוּ בְּתוֹךְ־הַיָּם בַּיַּבָּשָׁה
そして-海を 分けた 彼らの-前で そして-渡った ～の-中を 海の-中を 乾いた-地の-上を
H3220 H1234 H6440 H3220 H8432 H3004

וְאֶת־רֹדְפֵיהֶם הִשְׁלַכְתָּ כְּמוֹ־אֶבֶן בְּמַיִם עַזִּים׃
そして-～を 彼らを-追う者を 投げ-入れた 深みに ～のように 石のように 水の-中に 荒ぶる
H0853 H7291 H7993 H4688 H3644 H0068 H4325 H5794

あなたはまた彼らの前で海を分け、彼らに、かわいた地を踏んで海の中を通らせ、彼らを追う者を、石を大水に投げ入れるように淵に投げ入れ、

12

וּבְעַמּוּד עָנָן תַּנְחֵיתָם יוֹמָם וּבְעַמּוּד אֵשׁ לַיְלָה לָהֶם לְהָאִיר
そして-雲の-柱で そして-火の-柱で 昼に 導いた 雲の そして-火の 夜に 照らすために 彼らに
H5982 H5982 H3119 H5148 H6051 H0784 H3915 H0215

בָּהּ׃ יֵלְכוּ־ אֲשֶׁר הַדֶּרֶךְ אֶת־
その-中を 彼らが-歩む ～の 道を ～を
H3212 H1870 H0853

昼は雲の柱をもって彼らを導き、夜は火の柱をもってその行くべき道を照されました。

13

וְעַל הַר־סִינַי יָרַדְתָּ וְדַבֶּר עִמָּהֶם מִשָּׁמָיִם
そして-～の-上に シナイの-山の-上に シナイの 下った そして-語った 彼らと 天から
H5514 H2022 H3381 H1696 H8064

וַתִּתֵּן לָהֶם מִשְׁפָּטִים יְשָׁרִים וְתוֹרוֹת אֱמֶת חֻקִּים
そして-与えた 彼らに 正しい-定めを 正しい 真実の-律法を そして-真実の 良い-掉を
H5414 H4941 H3477 H8451 H0571 H2706

וּמִצְוֹת טוֹבִים׃
そして-戒めを 良い
H4687

あなたはまたシナイ山の上に下り、天から彼らと語り、正しいおきてと、まことの律法および良きさだめと戒めとを授け、

14

וְאֶת־שַׁבַּת קָדְשְׁךָ הוֹדַעְתָּ לָהֶם וּמִצְוֹת וְחֻקִּים
そして-～を 聖なる-安息日を あなたの-聖なる 知らせた 彼らに そして-戒めと そして-掉と
H0853 H7676 H6944 H3045 H4687 H2706

וְתוֹרָה צִוִּיתָ לָהֶם בְּיַד מֹשֶׁה עַבְדֶּךָ׃
そして-律法を 命じた 彼らに ～を-通して モーセを あなたの-僕を-通して
H8451 H6680 H3027 H4872 H5650

あなたの聖なる安息日を彼らに示し、あなたのしもべモーセによって戒めと、さだめと、律法とを彼らに命じ、

15

וְלֶחֶם מִשָּׁמַיִם נָתַתָּה לָהֶם לְרָעְבָם וּמַיִם מִסֶּלַע הוֹצֵאתָ
そして–パンを 天から 与えた 彼らに 飢えの–ために そして–水を 岩から 出した
H3899 H8064 H5414 H7458 H4325 H5553 H3318

לָהֶם לְצִמְאָם וַתֹּאמֶר לָבוֹא לָהֶם לָרֶשֶׁת אֶת־ הָאָרֶץ אֲשֶׁר־
彼らの–ために 渇きの–ために そして–言った 入って 彼らに 受け継ぐように ～を 地を ～の
H6772 H0559 H0935 H0776

נָשָׂאתָ אֶת־ יָדְךָ לָתֵת לָהֶם׃
挙げた ～を あなたの–手を 与えるために 彼らに
H5375 H0853 H3027 H5414

天から食物を与えてその飢えをとどめ、岩から水を出してそのかわきを潤し、また、彼らに与えると誓われたその国にはいって、これを獲るように彼らに命じられました。

16

וְהֵם וַאֲבֹתֵינוּ הֵזִידוּ וַיַּקְשׁוּ אֶת־ עָרְפָּם
しかし–彼らと そして–私たちの–先祖は 傲慢に–行った そして–かたくなにした ～を 首を
H1992 H0001 H2102 H7185 H0853 H6203

וְלֹא שָׁמְעוּ אֶל־ מִצְוֹתֶיךָ׃
そして–聞かなかった ～に 聞かなかった あなたの–戒めに
H3808 H0413 H8085 H4687

しかし彼ら、すなわちわれわれの先祖はごうまんにふるまい、かたくなで、あなたの戒めに従わず、

17

וַיְמָאֲנוּ לִשְׁמֹעַ וְלֹא־ זָכְרוּ נִפְלְאֹתֶיךָ אֲשֶׁר
そして–拒んだ 聞くことを そして–覚えていなかった 覚えていなかった あなたの–不思議を ～の
H3985 H8085 H3808 H2142 H6381

עָשִׂיתָ עִמָּהֶם וַיַּקְשׁוּ אֶת־ עָרְפָּם וַיִּתְּנוּ־ רֹאשׁ לָשׁוּב
行った 彼らと–共に かたくなにした ～を 首を そして–立てた かしらを 戻るために
H7185 H0853 H5414 H7725

וְאַתָּה אֱלוֹהַּ סְלִיחוֹת חַנּוּן וְרַחוּם
しかし–あなたは 赦しの–神 赦しの 恵み深く そして–あわれみ深く
H0433 H5547 H2587 H7349

לְעַבְרָתָם בְּמִרְיָם וְרַב־ וחסדן (חֶסֶד) עֲזַבְתָּם׃ וְלֹא
奴隷の–状態に 反逆して そして–豊かな 恵みの 恵みの 見捨てなかった そして–見捨てなかった
H5659 H4805 H2617 H0639 H0750 H3808

従うことを拒み、あなたが彼らの中で行われた奇跡を心にとめず、かえってかたくなになり、みずからひとりのかしらを立てて、エジプトの奴隷の生活に帰ろうとしました。しかしあなたは罪をゆるす神、恵みあり、あわれみあり、怒ることおそく、いつくしみ豊かにましまして、彼らを捨てられませんでした。

18

זֶה אֱלֹהֶיךָ אֲשֶׁר הֶעֱלָךָ מִמִּצְרַיִם וַיַּעֲשׂוּ נְאָצוֹת גְּדֹלוֹת׃
これが あなたの–神だ 導いた ～の エジプトから そして–行った 大きな–侵害を 大きな
H2088 H0430 H5927 H0834 H4714 H6213 H5006

וַיֹּאמְרוּ זֶה עֵגֶל מַסֵּכָה לָהֶם וְעָשׂוּ כִּי־ אַף
たとえ ～であっても 作った 自分たちの–ために 子牛の 鋳物の これが そして–言った
H0637 H3588 H6213 H5695 H4541 H2088 H0559

また彼らがみずから一つの鋳物の子牛を造って、『これはあなたがたをエジプトから導き上ったあなたがたの神である』と言って、大いに汚し事を行った時にも、

19 וְאַתָּה בְּרַחֲמֶיךָ הָרַבִּים לֹא עֲזַבְתָּם בַּמִּדְבָּר
それでも–あなたは あなたの–大きな–あわれみで 大きな 見捨てなかった 荒野で
H3808

עַמּוּד הֶעָנָן לֹא־סָר מֵעֲלֵיהֶם בְּיוֹמָם לְהַנְחֹתָם בַּדָּרֶךְ וְאֵשׁ־עַמּוּד בַּלַּיְלָה לָהָאִיר לָהֶם בָּהּ בַּדֶּרֶךְ אֲשֶׁר יֵלְכוּ־בָהּ׃
雲の–柱は 離れなかった 彼らの–上から 昼には 導くために 道の–中で ～の 道を 火の–柱も 夜には 照らすために 彼らに 彼らが–歩む その–中を
H5982 H5493 H3808 H6051 H5982 H0853 H3915 H0784 H0853 H0215 H1870 H0853 H3212

あなたは大いなるあわれみをもって彼らを荒野に見捨てられず、昼は雲の柱を彼らの上から離さないで道々彼らを導き、夜は火の柱をもって彼らの行くべき道を照されました。

20 וְרוּחֲךָ הַטּוֹבָה נָתָתָּ לְהַשְׂכִּילָם וּמָנְךָ לֹא־מָנַעְתָּ מִפִּיהֶם וּמַיִם נָתַתָּה לָהֶם לְצִמְאָם׃
そして–あなたの–良い–霊を 彼らを–教えるために そして–あなたの–マナを 引き留めなかった 彼らの–口から そして–水を 与えた 彼らに 渇きの–ために
H7307 H5414 H3808 H4513 H6310 H4325 H5414 H6772

またあなたは良きみたまを賜わって彼らを教え、あなたのマナを常に彼らの口に与え、また水を彼らに与えて、かわきをとどめ、

21 וְאַרְבָּעִים שָׁנָה בַּמִּדְבָּר כִּלְכַּלְתָּם לֹא חָסְרוּ שַׂלְמֹתֵיהֶם וְרַגְלֵיהֶם לֹא בָצֵקוּ׃
そして–四十 年間 養った 荒野で 不足しなかった 引き留めなかった 彼らの–衣は そして–彼らの–足は 引き–切れなかった むくまなかった
H0705 H8141 H3557 H3808 H2637 H3808 H8008 H7272 H1086 H3808 H1216

四十年の間彼らを荒野で養われたので、彼らはなんの欠けるところもなく、その衣服も古びず、その足もはれませんでした。

22 וַתִּתֵּן לָהֶם מַמְלָכוֹת וַעֲמָמִים וַתַּחְלֵקֵם לְפֵאָה וַיִּירְשׁוּ אֶת־אֶרֶץ סִיחֹן מֶלֶךְ־חֶשְׁבּוֹן וְאֶת־אֶרֶץ עוֹג מֶלֶךְ־הַבָּשָׁן׃
そして–与えた 彼らに 王国と そして–民を そして–分けた 端の–方へと そして–受け継いだ 地を 王の シホンの そして–～を 地を 王の ヘシュボンの そして–～を 地を オグの 王の バシャンの
H5414 H4467 H5971 H6285 H2673 H3423 H0776 H4428 H5511 H0853 H0776 H4428 H2809 H0853 H0776 H5747 H4428 H1316

そしてあなたは彼らに諸国、諸民を与えて、これをすべて分かち取らせられました。彼らはヘシボンの王シホンの領地、およびバシャンの王オグの領地を獲ました。

23 וּבְנֵיהֶם הִרְבִּיתָ כְּכוֹכְבֵי הַשָּׁמָיִם וַתְּבִיאֵם אֶל־הָאָרֶץ אֲשֶׁר־
そして–彼らの–子らを 増やした 天の–星の–ように そして–導いた 〜に 地に 〜の
H1121 H7235 H3556 H8064 H0935 H0413 H0776 H0834

אָמַרְתָּ לַאֲבֹתֵיהֶם לָבוֹא וְלָרֶשֶׁת׃
約束した 彼らの–先祖に 入って 受け継ぐようにと
H0559 H0001 H0935 H3423

また彼らの子孫を増して空の星のようにし、彼らの先祖たちに、はいって獲よと言われた地に彼らを導き入れられたので、

24 וַיָּבֹאוּ הַבָּנִים וַיִּירְשׁוּ אֶת־הָאָרֶץ וַתַּכְנַע לִפְנֵיהֶם אֶת־
そして–入った 子らが そして–受け継いだ 〜を 地を 屈服させた そして– 彼らの–前で 〜を
H0935 H1121 H3423 H0853 H0776 H3665 H6440 H0853

הַכְּנַעֲנִים יֹשְׁבֵי הָאָרֶץ וַתִּתְּנֵם בְּיָדָם וְאֶת־מַלְכֵיהֶם
カナン人を その–地の 住民を そして–渡した 彼らの–手に そして–〜を 彼らの–王たちと
H3669 H0776 H3427 H5414 H3027 H0853 H4428

וְאֶת־עַמֵּי הָאָרֶץ לַעֲשׂוֹת בָּהֶם כִּרְצוֹנָם׃
そして–〜を その–地の–民を その–地の 行うために 彼らに 望みの–とおりに
H0853 H0776 H5971 H6213 H7522

その子孫は、はいってこの地を獲ました。あなたはまた、この地に住むカナンびとを彼らの前に征服し、その王たちおよびその地の民を彼らの手に渡して、意のままに扱わせられました。

25 וַיִּלְכְּדוּ עָרִים בְּצֻרוֹת וַאֲדָמָה שְׁמֵנָה וַיִּרְשׁוּ בָּתִּים מְלֵאִים־
そして–取った 町々を 堅固な そして–地を 肥えた そして–受け継いだ 家々を 満ちた
H3920 H5892 H1219 H0127 H8082 H3423 H1004 H4392

כָּל־טוּב בֹּרוֹת חֲצוּבִים כְּרָמִים וְזֵיתִים וְעֵץ מַאֲכָל
すべての 良い–ものに 井戸を 掘られた ぶどう畑を そして–オリーブ畑を そして–果樹を 食べ物の
H3605 H2898 H0953 H2672 H3754 H2132 H6086 H3978

וַיֹּאכְלוּ וַיִּשְׂבְּעוּ וַיְדַשְּׁנוּ וַיִּתְעַדְּנוּ בְּטוּבְךָ
そして–食べて そして–満足して そして–太って そして–楽しんだ あなたの–大きな–恵みの–中で
H0398 H7646 H1277 H5727 H2898

לָרֹב׃ הַגָּדוֹל׃
豊かに 大きな
H7230

それで彼らは堅固な町々および肥えた地を取り、もろもろの良い物の満ちた家、掘池、ぶどう畑、オリブ畑および多くの果樹を獲、食べて飽き、肥え太り、あなたの大いなる恵みによって楽しみました。

26 וַיִּמְרְדוּ וַיַּמְרוּ בָךְ וַיַּשְׁלִכוּ אֶת־תּוֹרָתְךָ
しかし–反抗した そして–反逆した あなたに–対して そして–投げ–捨てた 〜を あなたの–律法を
H4784 H4775 H0310 H7993 H0853 H8451

וְאֶת־נְבִיאֶיךָ הֵעִידוּ בָם לְהָשִׁיבָם אֵלֶיךָ וַיַּעֲשׂוּ גְּדֹלוֹת׃
そして–〜を あなたの–預言者たちを 殺した 〜の 警告した 彼らに 背中の 背中の–後ろに そして–〜を
H0853 H5030 H2026 H0834 H5749 H0310 H1458 H0310

大きな 大きな–侵害を そして–行った あなたの–もとへ 立ち戻らせるために
H1419 H5007 H6213 H0413 H7725

それにもかかわらず彼らは不従順で、あなたにそむき、あなたの律法を後に投げ捨て、彼らを戒めて、あなたに立ち返らせようとした預言者たちを殺し、大いに汚し事を行いました。

27

וּבְעֵת
そして–〜の–時に
H6256
לָהֶם
彼らを
וַיָּצֲרוּ
そして–苦しめた
H3334
צָרֵיהֶם
彼らの–敵の–手に
בְּיַד
〜の–手に
H3027
וַתִּתְּנֵם
そこで–渡した
H5414

תִּשְׁמַע
聞いて
H8085
מִשָּׁמַיִם
天から
H8064
וְאַתָּה
そして–あなたは
אֵלֶיךָ
あなたに
H0413
יִצְעֲקוּ
叫んだ
H6817
צָרָתָם
苦しみの–時に

וְיוֹשִׁיעוּם
そして–救った
H3467
מוֹשִׁיעִים
救い主を
H3467
לָהֶם
彼らに
תִּתֶּן
与えた
H5414
הָרַבִּים
大きな
וְכִרַחֲמֶיךָ
そして–あなたの–大きな–あわれみに–より

צָרֵיהֶם׃
彼らの–敵の–手から
מִיַּד
〜の–手から
H3027

そこであなたは彼らを敵の手に渡して苦しめられましたが、彼らがその苦難の時にあなたに呼ばわったので、あなたは天からこれを聞かれ、大いなるあわれみをもって彼らに救う者を与え、敵の手から救わせられました。

28

בְיַד
〜の–手に
H3027
וַתַּעַזְבֵּם
そこで–見捨てた
לִפְנֵיךָ
あなたの–前で
H6440
רַע
悪を
לַעֲשׂוֹת
行った
יָשׁוּבוּ
戻って
H7725
לָהֶם
彼らは
וּכְנוֹחַ
しかし–安らぐと
H5117

וְאַתָּה
そして–あなたは
וַיִּזְעָקוּךָ
そして–叫んだ
H2199
וַיָּשׁוּבוּ
すると–彼らは–戻って
H7725
בָהֶם
彼らを
וַיִּרְדֵּו
そして–支配した
אֹיְבֵיהֶם
彼らの–敵の–手に
H0341

עִתִּים׃
回も
רַבּוֹת
多くの
כְּרַחֲמֶיךָ
あなたの–あわれみに–より
וְתַצִּילֵם
そして–救った
H5337
תִּשְׁמַע
聞いて
H8085
מִשָּׁמַיִם
天から
H8064

ところが彼らは安息を得るやいなや、またあなたの前に悪事を行ったので、あなたは彼らを敵の手に捨て置いて、これに治めさせられましたが、彼らがまた立ち返ってあなたに呼ばわったので、あなたは天からこれを聞き、あわれみをもってしばしば彼らを救い出し、

29

הֵזִידוּ
傲慢に–行った
H2102
וְהֵמָּה
しかし–彼らは
H1992
תּוֹרָתֶךָ
あなたの–律法に
H8451
אֶל־
〜に
H0413
לַהֲשִׁיבֵם
立ち戻らせるために
H7725
בָּהֶם
彼らに
וַתָּעַד
そして–警告した

חָטְאוּ־
罪を–犯した
H2398
וּבְמִשְׁפָּטֶיךָ
そして–あなたの–定めに–対して
H4941
לְמִצְוֹתֶיךָ
あなたの–戒めに
H4687
שָׁמְעוּ
聞かなかった
H8085
וְלֹא־
そして–聞かなかった
H3808

סוֹרֶרֶת
反抗の
H5637
כָּתֵף
肩を
H3802
וַיִּתְּנוּ
そして–向けた
H5414
בָהֶם
それらに–よって
וְחָיָה
そして–生きる
H2421
אָדָם
人は
H0120
יַעֲשֶׂה
行うならば
אֲשֶׁר־
〜の
בָּם
それらに

שָׁמֵעוּ׃
聞かなかった
H8085
וְלֹא
そして–聞かなかった
H3808
הִקְשׁוּ
かたくなにした
H7185
וְעָרְפָּם
そして–首を
H6203

彼らを戒めて、あなたの律法に引きもどそうとされました。けれども彼らはごうまんにふるまい、あなたの戒めに従わず、人がこれを行うならば、これによって生きるというあなたのおきてを破って罪を犯し、肩をそびやかし、かたくなになって、聞き従おうとはしませんでした。

30

בְּרוּחֲךָ	בָּם	וַתָּעַד	רַבּוֹת	שָׁנִים	עֲלֵיהֶם	וַתְּמַשְׁךְ
あなたの–霊に–よって	彼らに	そして–警告した	多くの	多くの–年	彼らに–対して	そして–忍耐した
H7307				H8141		H4900

בְּיַד	וַתִּתְּנֵם	הֶאֱזִינוּ	וְלֹא	נְבִיאֶיךָ	בְּיַד־	
～の–手に	そこで–渡した	聞かなかった	そして–聞かなかった	預言者たちを	預言者たちを–通して	
H3027	H5414	H0238	H3808	H5030	H3027	

עַמֵּי	הָאֲרָצוֹת׃
諸国の–民の	諸国の
	H0776

それでもあなたは年久しく彼らを忍び、あなたの預言者たちにより、あなたのみたまをもって彼らを戒められましたが、彼らは耳を傾けなかったので、彼らを国々の民の手に渡されました。

31

כָּלָה	עֲשִׂיתָם	לֹא־	הָרַבִּים	וּבְרַחֲמֶיךָ	
全く	滅ぼさなかった	滅ぼさなかった	大きな	しかし–あなたの–大きな–あわれみに–より	
H3617		H3808			

אָתָּה׃	וְרַחוּם	חַנּוּן	אֵל־	כִּי	עֲזַבְתָּם	וְלֹא
あなたは	そして–あわれみ深い	恵み深く	恵み深く	なぜなら	見捨てなかった	そして–見捨てなかった
	H7349	H2587	H0410			H3808

しかしあなたは大いなるあわれみによって彼らを絶やさず、また彼らを捨てられませんでした。あなたは恵みあり、あわれみある神でいらせられるからです。

32

הַבְּרִית	שׁוֹמֵר	וְהַנּוֹרָא	הַגִּבּוֹר	הַגָּדוֹל	הָאֵל	אֱלֹהֵינוּ	וְעַתָּה	
契約と	守る方よ	そして–畏れるべき	力ある	大いなる	大いなる–神よ	私たちの–神よ	そこで–今	
H1285	H8104	H3372	H1368		H0410	H0430	H6258	

כָּל־	אֵת	לְפָנֶיךָ	יִמְעַט	אַל־	וְהַחֶסֶד	
すべての	～を	あなたの–前で	小さく思わないでください	小さく–思わないでください	そして–恵みを	
H3605	H0853	H6440	H4591	H0408		

וּלְכֹהֲנֵינוּ	לְשָׂרֵינוּ	לִמְלָכֵינוּ	מְצָאַתְנוּ	אֲשֶׁר־	הַתְּלָאָה
そして–私たちの–祭司たちに	私たちの–首長たちに	私たちの–王たちに	降りかかった	～の	苦難を
H3548	H8269	H4428	H4672		H8513

מִימֵי	עַמֶּךָ	וּלְכָל־	וְלַאֲבֹתֵינוּ	וְלִנְבִיאֵנוּ
～の–日から	あなたの–民に	そして–すべての	そして–私たちの–先祖に	そして–私たちの–預言者たちに
H3117		H3605	H0001	H5030

הַזֶּה׃	הַיּוֹם	עַד	אַשּׁוּר	מַלְכֵי
今日の	今日の–日まで	～まで	アッシリアの	王たちの–日から
H2088	H3117	H5704	H0804	H4428

それゆえ、われわれの神、契約を保ち、いつくしみを施される大いにして力強く、恐るべき神よ、アッスリヤの王たちの時から今日まで、われわれとわれわれの王たち、つかさたち、祭司たち、預言者たち、先祖たち、およびあなたのすべての民に臨んだもろもろの苦難を小さい事と見ないでください。

33

כִּי־	עָלֵינוּ	הַבָּא	כָּל־	עַל	צַדִּיק	וְאַתָּה
なぜなら	私たちの–上に	降りかかったことに	すべての	～に–おいて	正しい	そして–あなたは
		H0935	H3605		H6662	

הִרְשָׁעְנוּ׃	וַאֲנַחְנוּ	עָשִׂיתָ	אֱמֶת	
悪を–行った	そして–私たちは	行った	誠実に	
H7561	H0587		H0571	

われわれに臨んだすべての事について、あなたは正しいのです。あなたは誠実をもって行われたのに、われわれは悪を行ったのです。

34 וְאֶת־ מְלָכֵינוּ שָׂרֵינוּ כֹּהֲנֵינוּ וַאֲבֹתֵינוּ
そして–〜も 私たちの–王たちも 私たちの–首長たちも 私たちの–祭司たちも そして–私たちの–先祖も
H0853 H4428 H8269 H3548 H0001

לֹא עָשׂוּ תּוֹרָתֶךָ וְלֹא הִקְשִׁיבוּ אֶל־
守らなかった あなたの–律法を そして–耳を–傾けなかった 耳を傾けなかった 〜に
H3808 H8451 H3808 H7181 H0413

מִצְוֹתֶיךָ וּלְעֵדוֹתֶיךָ אֲשֶׁר הַעִידְתָּ בָּהֶם׃
あなたの–戯めに そして–あなたの–証しに 〜の 警告した 彼らに
H4687 H5715

われわれの王たち、つかさたち、祭司たち、先祖たちはあなたの律法を行わず、あなたがお与えになった命令と戒めとに聞き従いませんでした。

35 וְהֵם בְּמַלְכוּתָם וּבְטוּבְךָ הָרָב אֲשֶׁר־ נָתַתָּ לָהֶם
そして–彼らは 彼らの–王国で そして–あなたの–大きな–恵みの–中で 大きな 〜の 与えた 彼らに
H1992 H4438 H2898 H7342 H5414

וּבָאָרֶץ הָרְחָבָה וְהַשְּׁמֵנָה אֲשֶׁר־ נָתַתָּ לִפְנֵיהֶם לֹא
そして–広い–地の–中で 広い そして–肥えた 〜の 与えた 彼らの–前に 仕えなかった
H0776 H7342 H8082 H5414 H6440 H3808

עֲבָדוּךָ וְלֹא־ שָׁבוּ מִמַּעַלְלֵיהֶם הָרָעִים׃
仕えなかった そして–立ち戻らなかった 立ち戻らなかった 彼らの–悪い–行いから 悪い
H5647 H3808 H7725 H4611

すなわち彼らはおのれの国におり、あなたが下さった大きな恵みのうちにおり、またあなたがお与えになった広い肥えた地におりながら、あなたに仕えず、また自分の悪いわざをやめることをしませんでした。

36 הִנֵּה אֲנַחְנוּ הַיּוֹם עֲבָדִים וְהָאָרֶץ אֲשֶׁר־ נָתַתָּה לַאֲבֹתֵינוּ לֶאֱכֹל
見よ 私たちは 今日 奴隷である そして–地を 〜の 与えた 私たちの–先祖に 食べるために
H2009 H0587 H3117 H5650 H0776 H5414 H0001 H0398

טוּבָהּ וְאֶת־ פִּרְיָהּ אֲנַחְנוּ הִנֵּה עֲבָדִים עָלֶיהָ׃
その–良いものを そして–〜を その–実を 私たちは 見よ 奴隷である その–上で
H2898 H0853 H6529 H0587 H2009 H5650

われわれは今日奴隷です。あなたがわれわれの先祖に与えて、その実とその良き物とを食べさせようとされた地で、われわれは奴隷となっているのです。

37 וּתְבוּאָתָהּ מַרְבָּה לַמְּלָכִים אֲשֶׁר־ נָתַתָּה עָלֵינוּ
そして–その–産物は 豊かに–増えている 王たちの–ために 〜の 置いた 私たちの–上に
H8393 H4428 H5414

וּבִבְהֶמְתֵּנוּ מֹשְׁלִים גְּוִיֹּתֵינוּ וְעַל בְּחַטֹּאותֵינוּ
そして–私たちの–家畜も 支配している 私たちの–体の–上に そして–〜の–上に 私たちの–罪の–ゆえに
H0929 H4910 H1472

פ וּבְצָרָה גְדוֹלָה אֲנַחְנוּ׃ כִּרְצוֹנָם
ペー そして–苦難の–中に 大きな 私たちは–いる 望みの–とおりに
H7522 H0587

そしてこの地はわれわれの罪のゆえに、あなたがわれわれの上に立てられた王たちのために多くの産物を出しています。かつ彼らはわれわれの身をも、われわれの家畜をも意のままに左右することができるので、われわれは大いなる苦難のうちにあるのです」。

38

וְכֹתְבִים	אֲמָנָה	כֹּרְתִים	אֲנַחְנוּ	זֹּאת	וּבְכָל־
そして–書いている	確かな–契約を	結んでいる	私たちは	これの–ゆえに	そして–すべての
H3789	H0548	H3772	H0587	H2063	H3605

כֹּהֲנֵינוּ׃	לְוִיֵּנוּ	שָׂרֵינוּ	חֲתֻמִים	וְעַל֙
私たちの–祭司たちが	私たちの–レビ人たちと	私たちの–首長たちと	封印の–上に	そして–〜の–上に
H3548	H3881	H8269	H2856	

このもろもろの事のためにわれわれは堅い契約を結んで、これを記録し、われわれのつかさたち、レビびとたち祭司たちはこれに印を押した。

Chapter 10

1

וְצִדְקִיָּה׃	חַכַלְיָה	בֶּן־	הַתִּרְשָׁתָא	נְחֶמְיָה	הַחֲתוּמִים	וְעַל֙
そして–ツィドキヤ	ハカルヤ	の–子	総督	ネヘミヤ	封印–した–者たちは	そして
H6667	H2446		H8660	H5166	H2856	

印を押した者はハカリヤの子である総督ネヘミヤ、およびゼデキヤ、

2

יִרְמְיָה׃	עֲזַרְיָה	שְׂרָיָה
エレミヤ	アザルヤ	セラヤ
H3414	H5838	H8304

セラヤ、アザリヤ、エレミヤ、

3

מַלְכִּיָּה׃	אֲמַרְיָה	פַּשְׁחוּר
マルキヤ	アマルヤ	パシュフル
H4441	H0568	H6583

パシュル、アマリヤ、マルキヤ、

4

מַלּוּךְ׃	שְׁבַנְיָה	חַטּוּשׁ
マルク	シェバヌヤ	ハットシュ
	H7645	H2407

ハットシ、シバニヤ、マルク、

5

עֹבַדְיָה׃	מְרֵמוֹת	חָרִם
オバデヤ	メレモテ	ハリム
H5662	H4822	H2766

ハリム、メレモテ、オバデヤ、

6

בָּרוּךְ׃	גִּנְּתוֹן	דָּנִיֵּאל
バルク	ギンネトン	ダニエル
H1263	H1599	H1840

ダニエル、ギンネトン、バルク、

7

מִיָמִן׃	אֲבִיָּה	מְשֻׁלָּם
ミヤミン	アビヤ	メシュラム
H4326	H0029	H4918

メシュラム、アビヤ、ミヤミン、

8

ס	הַכִּכָּרִים׃	אֵלֶּה	שְׁמַעְיָה	בִלְגַּי	מַעַזְיָה
セラー	祭司たち	これらは	シェマヤ	ビルガイ	マアジヤ
	H3548	H0428	H8098	H1084	H4590

マアジヤ、ビルガイ、シマヤで、これらは祭司である。

9 וְהַלְוִיִּם יֵשׁוּעַ בֶּן־ אֶזַנְיָה בִּנּוּי מִבְּנֵי חֲנָדָד
そして–レビ人たちは すなわち–ヨシュア の–子 アザニヤ ビンヌイ の–子孫–から ヘナダデ
H3881 H3442 H0245 H1131 H2582

קַדְמִיאֵל׃
カデミエル
H6934

レビびとではアザニヤの子エシュア、ヘナダデの子らのうちのビンヌイ、カデミエル、

10 וַאֲחֵיהֶם שְׁבַנְיָה הוֹדִיָּה קְלִיטָא פְּלָאיָה חָנָן׃
そして–彼らの–兄弟たち シェバヌヤ ホディヤ ケリタ ペラヤ ハナン
H0251 H7645 H1940 H7042 H2605

およびその兄弟シバニヤ、ホデヤ、ケリタ、ペラヤ、ハナン、

11 מִיכָא רְחוֹב חַשַּׁבְיָה׃
ミカ レホブ ハシャブヤ
H4316 H7340 H2811

ミカ、レホブ、ハシャビヤ、

12 זַכּוּר שֵׁרֵבְיָה שְׁבַנְיָה׃
ザックル シェレブヤ シェバヌヤ
H2139 H8274 H7645

ザックル、セレビヤ、シバニヤ、

13 הוֹדִיָּה בָּנִי בִּנְינוּ׃ ס
ホディヤ バニ ベニヌ セラー
H1940 H1137 H1148

ホデヤ、バニ、ベニヌである。

14 רָאשֵׁי הָעָם פַּרְעֹשׁ פַּחַת מוֹאָב עֵילָם זַתּוּא בָּנִי׃
民の–かしらたち は パルオシュ パハテ モアブ エラム ザットゥ バニ
H1137 H2240 H6551 H6355 H6355 H6639

民のかしらではパロシ、パハテ・モアブ、エラム、ザット、バニ、

15 בְּבָי עַזְגָּד בָּנִי׃
ベバイ アズガド ブンニ
H0893 H5803 H1138

ブンニ、アズガデ、ベバイ、

16 אֲדֹנִיָּה בִּגְוַי עָדִין׃
アドニヤ ビグワイ アデン
H0138 H0902 H5720

アドニヤ、ビグワイ、アデン、

17 אָטֵר חִזְקִיָּה עַזּוּר׃
アテル ヒゼキヤ アズル
H0333 H2396 H5809

アテル、ヒゼキヤ、アズル、

18 הוֹדִיָּה חָשֻׁם בֵּצָי׃
ホディヤ ハシュム ベツァイ
H1940 H2828 H1209

ホデヤ、ハシュム、ベザイ、

19 חָרִיף עַנָּתוֹת [נובין] (ניבי׃)
ハリフ アナトテ ノバイ ネバイ
H2756 H6068 H5109 H5109

ハリフ、アナトテ、ノバイ、

20 מַגְפִּיעָשׁ מְשֻׁלָּם חֵזִיר׃
マグピアシュ メシュラム ヘジル
H4047 H4918 H2387

マグピアシ、メシュラム、ヘジル、

21 מְשֵׁיזַבְאֵל צָדוֹק יַדּוּעַ׃
メシェザブエル ツァドク ヤドゥア
H4898 H6659 H3037

メシザベル、ザドク、ヤドア、

22 פְּלַטְיָה חָנָן עֲנָיָה׃
ペラテヤ ハナン アナヤ
H6410 H2605 H6043

ペラテヤ、ハナン、アナニヤ、

23 הוֹשֵׁעַ חֲנַנְיָה חַשּׁוּב׃
ホシェア ハナヌヤ ハッシュブ
H1954 H2815

ホセア、ハナニヤ、ハシュブ、

24 הַלּוֹחֵשׁ פַּלְחָא שׁוֹבֵק׃
ハロヘシュ ピルハ ショベク
H3873 H6401 H7733

ハロヘシ、ピルハ、ショベク、

25 רְחוּם חַשַּׁבְנָה מַעֲשֵׂיָה׃
レフム ハシャブナ マアセヤ
H4641 H2812

レホム、ハシャブナ、マアセヤ、

26 וַאֲחִיָּה חָנָן עָנָן׃
そして-アヒヤ ハナン アナン
H0281 H2605 H6052

アヒヤ、ハナン、アナン、

27 מַלּוּךְ חָרִם בַּעֲנָה׃
マルク ハリム バアナ
H1196 H2766

マルク、ハリム、バアナである。

28 וּשְׁאָ֣ר הָעָ֗ם הַכֹּהֲנִים֙ הַלְוִיִּ֔ם הַשּׁוֹעֲרִ֖ים הַמְשֹׁרְרִ֑ים הַנְתִינִ֗ים
そして-残りの 民 祭司たち レビ人たち 門衛たち 歌い手たち 宮のしもべたち
H7605 H5971 H3548 H3881 H7778 H7891 H5411

וְכָל־ הַנִּבְדָּ֤ל מֵעַמֵּי֙ הָאֲרָצ֔וֹת אֶל־ תּוֹרַ֖ת הָאֱלֹהִ֑ים
そして-すべての 分かれ-出た-者たち の-諸国の-民から その-地の に 律法 神の
H3605 H0914 H5971 H0776 H0413 H8451 H0430

כֹּ֚ל יוֹדֵ֣עַ מֵבִ֔ין׃ וּבְנֹתֵיהֶ֖ם בְּנֵיהֶ֑ם נְשֵׁיהֶ֗ם
すべて 知り 悟る-者は そして-彼らの-娘たち 彼らの-息子たち 彼らの-妻たち
H3605 H3045 H0995 H1323 H1121 H0802

その他の民、祭司、レビびと、門を守る者、歌うたう者、宮に仕えるしもべ、ならびにすべて国々の民と離れて神の律法に従った者およびその妻、むすこ、娘などすべて知識と悟りのある者は、

29 מַחֲזִיקִ֣ים עַל־ אֲחֵיהֶ֗ם אַדִּירֵיהֶם֙ וּבָאִ֔ים בִּשְׁבוּעָ֖ה בְּאָלָ֑ה
加わり に 彼らの-兄弟たち 彼らの-指導者たち そして-入った のろいの-誓いと
H2388 H5921 H0251 H0117 H0935 H7621 H0423

וּבִשְׁבוּעָ֗ה לָלֶ֣כֶת בְּתוֹרַ֣ת הָאֱלֹהִ֔ים אֲשֶׁ֣ר נִתְנָ֔ה בְּיַד֙ מֹשֶׁ֣ה עֶבֶד־
そして-誓約に 歩む-ため の-律法に 神の それは 与えられた の-手-によって モーセ しもべ
H7621 H3212 H8451 H0430 H0834 H5414 H3027 H4872 H5650

וְלִשְׁמֹ֣ר וְלַעֲשׂ֗וֹת אֶת־ כָּל־ מִצְוֹת֙ יְהוָ֣ה אֲדֹנֵ֔ינוּ
そして-守り そして-行う-こと を すべての 戒め 主の 私たちの-主
H8104 H6213 H0853 H3605 H4687 H3068 H0136

וּמִשְׁפָּטָ֖יו וְחֻקָּֽיו׃
そして-その-定めと そして-その-おきてを
H4941 H2706

その兄弟である尊い人々につき従い、神のしもべモーセによって授けられた神の律法に歩み、われわれの主、主のすべての戒めと、おきてと、定めとを守り行うために、のろいと誓いとに加わった。

30 וַאֲשֶׁ֣ר לֹא־ נִתֵּ֣ן בְּנֹתֵ֗ינוּ לְעַמֵּי֙ הָאָ֔רֶץ וְאֶת־ בְּנֹתֵיהֶ֖ם לְבָנֵֽינוּ׃
そして ない 与え 私たちの-娘たちを の-諸国の-民に その-地の そして 彼らの-娘たちを 私たちの-息子たちの-ために
H0834 H3808 H5414 H1323 H5971 H0776 H0853 H1323 H1121

וְלֹ֣א נִקָּ֔ח
めとら ない
H3947 H3808

われわれはこの地の民らにわれわれの娘を与えず、われわれのむすこに彼らの娘をめとらない。

31 וְעַמֵּי֙ הָאָ֔רֶץ הַמְבִיאִ֣ים אֶת־ הַמַּקָּח֗וֹת וְכָל־ שֶׁ֣בֶר בְּי֣וֹם
そして-の-諸国の-民が その-地の 持ち込む を 商品 そして-すべての 穀物を の-日に
H5971 H0776 H0935 H0853 H4728 H3605 H7668 H3117

וּבְי֣וֹם קֹ֔דֶשׁ וְנִטֹּ֖שׁ בַּשַּׁבָּ֑ת מֵהֶ֗ם נִקָּ֣ח לֹא־ לִמְכּ֔וֹר
そして-の-日にも 聖なる そして-放棄する 安息日に 彼ら-から 買わ ない 売る-ために
H3117 H6944 H5203 H7676 H1992 H3947 H3808 H4376

הַשַּׁבָּ֖ת וּבְי֣וֹם
安息日 そして-の-日にも
H7676 H3117

וּמַשָּׂא֙ כָּל־ יָ֔ד׃ הַשְּׁבִיעִ֖ית הַשָּׁנָ֑ה אֶת־
そして-すべての-負債の 取り立てを 手の 第七の その-年 を
H4855 H3605 H3027 H7637 H8141 H0853

またこの地の民らがたとい品物または穀物を安息日に携えて来て売ろうとしても、われわれは安息日または聖日にはそれを買わない。また七年ごとに耕作をやめ、すべての負債をゆるす。

32 וְהֶעֱמַדְנוּ עָלֵינוּ מִצְוֹת לָתֵת עָלֵינוּ שְׁלִשִׁית הַשָּׁקֶל בַּשָּׁנָה
そして–私たちは–定めた 自ら–に 戒めを 納める 自ら–に 三分の一 シェケルを 毎年
H5975 H4687 H5414 H7992 H8255 H8141

לַעֲבֹדַת בֵּית אֱלֹהֵינוּ׃
の–奉仕–のために 神殿 私たちの–神の
H5656 H0430

われわれはまたみずから規定を設けて、われわれの神の宮の用のために年々シケルの三分の一を出し、

33 לְלֶחֶם הַמַּעֲרֶכֶת וּמִנְחַת הַתָּמִיד וְלֶעוֹלַת
の–供えの–パン 陳列の そして–常供の–穀物–ささげ物と 絶えざる そして–常供の–全焼のささげ物と
H3899 H4635 H4503 H8548 H5930

הַתָּמִיד הַשַּׁבָּתוֹת הֶחֳדָשִׁים לַמּוֹעֲדִים וְלַקֳּדָשִׁים וְלַחַטָּאוֹת
絶えざる 安息日の 新月の 例祭の そして–聖なる–ものの–ため そして–罪のささげ物の–ため
H8548 H7676 H2320 H4150 H6944

סֶלָה׃ אֱלֹהֵינוּ בֵּית מְלֶאכֶת וְכֹל יִשְׂרָאֵל עַל לְכַפֵּר
セラー 私たちの–神の 神殿の 仕事 そして–すべての イスラエル の–ため 贖い–をなす
H0430 H4399 H3605 H3478

供えのパン、常素祭、常燔祭のため、安息日、新月および定めの祭の供え物のため、聖なる物のため、イスラエルのあがないをなす罪祭、およびわれわれの神の宮のもろもろのわざのために用いることにした。

34 וְהָעָם הַלְוִיִּם הַכֹּהֲנִים הָעֵצִים קׇרְבַּן עַל הִפַּלְנוּ וְהַגּוֹרָלוֹת
そして–民は レビ人たち 祭司たち 薪の 献納 の–ため 私たちは–引いた そして–くじを
H3881 H3548 H6086 H1486

מְזֻמָּנִים לְעִתִּים אֲבֹתֵינוּ לְבֵית אֱלֹהֵינוּ לְבֵית לְהָבִיא
定められた 定められた–時に 私たちの–先祖の に–家 私たちの–神の に–神殿 運び–入れる–ために
H2163 H6256 H0001 H0430 H0935

כַּכָּתוּב בַּתּוֹרָה׃ אֱלֹהֵינוּ יְהוָה מִזְבַּח עַל לְבַעֵר בְּשָׁנָה שָׁנָה
書かれている–通りに 私たちの–神の 主の 祭壇 の–上で 燃やす–ため 年 年–ごとに
H3789 H0430 H3068 H4196 H0853 H8141 H8141

またわれわれ祭司、レビびとおよび民はくじを引いて、律法にしるされてあるようにわれわれの神、主の祭壇の上にたくべきたきぎの供え物を、年々定められた時に氏族にしたがって、われわれの神の宮に納める者を定めた。

35 וְלְהָבִיא אֶת בִּכּוּרֵי אַדְמָתֵנוּ וּבְכוּרֵי כָּל פְּרִי כָּל
そして–持ち来たる を 初穂 私たちの–地の そして–初なりの–実 すべての 果実 すべての
H0935 H0853 H1061 H0127 H1061 H3605 H6529 H3605

יְהוָה׃ לְבֵית בְּשָׁנָה שָׁנָה עֵץ
主の に–神殿 年 年–ごとに 木の
H3068 H8141 H8141 H6086

またわれわれの土地の初なり、および各種の木の実の初なりを、年々主の宮に携えてくることを誓い、

36 וְאֶת בְּכוֹרוֹת בָּנֵינוּ וּבְהֶמְתֵּינוּ כַּכָּתוּב בַּתּוֹרָה וְאֶת
そして を 初子 私たちの–息子たちの そして–私たちの–家畜の 書かれている–通りに 律法に そして
H0853 H1060 H0853 H3789 H0929 H8451 H0853

בְּכוֹרֵי בְקָרֵינוּ וְצֹאנֵינוּ לְהָבִיא לְבֵית אֱלֹהֵינוּ לַכֹּהֲנִים
初子 私たちの–牛の そして–私たちの–羊の 持ち来たる に–神殿 私たちの–神の 祭司たち–に
H1060 H1241 H6629 H0935 H0853 H0430 H3548

הַמְשָׁרְתִים בְּבֵית אֱלֹהֵינוּ׃
仕えている の–神殿で 私たちの–神の
H8334 H0430

また律法にしるしてあるように、われわれの子どもおよび家畜のういご、およびわれわれの牛や羊のういごを、われわれの神の宮に携えてきて、われわれの神の宮に仕える祭司に渡し、

37 וְאֶת־ רֵאשִׁית / 初物 H7225 / そして H0853
עֲרִיסֹתֵינוּ / 私たちの–こね粉の H6182
וּתְרוּמֹתֵינוּ / そして–私たちの–奉納物と H8641
וּפְרִי / そして–の–果実 H6529
כָּל־ / すべての H3605
עֵץ / 木の H6086
תִּירוֹשׁ / 新しい–ぶどう酒 H8492
וְיִצְהָר / そして–油を H3323
נָבִיא / 持ち来たる H0935
לַכֹּהֲנִים / 祭司たち–に H3548
אֶל־ / へ H0413
לִשְׁכוֹת / 部屋 H3957
בֵּית־ / 神殿の H1004
אֱלֹהֵינוּ / 私たちの–神の H0430
הַמְעַשְּׂרִים / 十分の一を–集める–者たち H6237
הַלְוִיִּם / レビ人たちは H3881
וְהֵם / そして–彼ら H1992
לְלִוִּים / レビ人たち–に H3881
אַדְמָתֵנוּ / 私たちの–地の H0127
וּמַעְשַׂר / そして–十分の一を H4643
עֲבֹדָתֵנוּ׃ / 私たちの–務めの H5656
עָרֵי / 町々–で
בְּכָל / すべての H3605

われわれの麦粉の初物、われわれの供え物、各種の木の実、ぶどう酒および油を祭司のもとに携えて行って、われわれの神の宮のへやに納め、またわれわれの土地の産物の十分の一をレビびとに与えることにした。レビびとはわれわれのすべての農作をなす町において、その十分の一を受くべき者だからである。

38 וְהָיָה / そして–いる H1961
הַכֹּהֵן / 祭司 H3548
בֶּן־ / の–子孫
אַהֲרֹן / アロン H0175
עִם־ / と–共に
הַלְוִיִּם / レビ人たちが H3881
בְּעַשֵּׂר / 十分の一を–集める–とき H6237
הַלְוִיִּם / レビ人たちの H3881
וְהַלְוִיִּם / そして–レビ人たちは
יַעֲלוּ / ささげる H5927
אֶת־ / を H0853
מַעֲשַׂר / 十分の一の H4643
הַמַּעֲשֵׂר / 十分の一を H4643
לְבֵית / に–神殿
אֱלֹהֵינוּ / 私たちの–神の H0430
אֶל־ / へ H0413
הָאוֹצָר׃ / 倉の H0214
לְבֵית / に–宝物庫
הַלִּשְׁכוֹת / 部屋 H3957

レビびとが十分の一を受ける時には、アロンの子孫である祭司が、そのレビびとと共にいなければならない。そしてまたレビびとはその十分の一の十分の一を、われわれの神の宮に携え上って、へやまたは倉に納めなければならない。

39 כִּי / なぜなら
אֶל־ / へ H0413
הַלִּשְׁכוֹת / 部屋 H3957
יָבִיאוּ / 運ぶ H0935
בְּנֵי־ / の–子ら
יִשְׂרָאֵל / イスラエル H3478
וּבְנֵי / そして–の–子ら
לֵוִי / レビ H3878
אֶת־ / を H0853
תְּרוּמַת / 奉納物 H8641
הַדָּגָן / 穀物の H1715
תִּירוֹשׁ / 新しい–ぶどう酒の H8492
וְהַיִּצְהָר / そして–油の H3323
וְשָׁם / そして–そこには H8033
כְּלֵי / 器具 H3627
הַמִּקְדָּשׁ / 聖所の H4720
וְהַכֹּהֲנִים / そして–祭司たち H3548
הַמְשָׁרְתִים / 仕えている H8334
וְהַשּׁוֹעֲרִים / そして–門衛たち H7778
וְהַמְשֹׁרְרִים / そして–歌い手たちが–いる H7891
וְלֹא / そして–ない H3808
נַעֲזֹב / 見捨て
אֶת־ / を H0853
בֵּית / 神殿
אֱלֹהֵינוּ׃ / 私たちの–神の H0430

すなわちイスラエルの人々およびレビの子孫は穀物、ぶどう酒、および油の供え物を携えて行って、聖所の器物および勤めをする祭司、門衛、歌うたう者たちのいるへやにこれを納めなければならない。こうしてわれわれは、われわれの神の宮をなおざりにしない。

Chapter 11

גּוֹרָלֹות הִפִּילוּ הָעָם וּשְׁאָר בִּירוּשָׁלִַם הָעָם שָׂרֵי־ וַיֵּשְׁבוּ 1
くじを くじを-引いた 民は そして-残りの エルサレムに 民の の-つかさたち そして-住んだ
H1486 H5307 H7605 H3389 H8269 H3427

עִיר בִּירוּשָׁלִַם לָשֶׁבֶת הָעֲשָׂרָה מִן־ אֶחָד וּלְהָבִיא
聖なる-都 エルサレムに 住まわせる-ために 十人の-中から から 一人を 連れて-来る-ために
H3389 H3427 H6235 H0259 H0935

בֶּעָרִים׃ הַיָּדוֹת וְתֵשַׁע הַקֹּדֶשׁ
町々に の-部分は そして-九 の
H3027 H8672 H6944

民のつかさたちはエルサレムに住み、その他の民はくじを引いて、十人のうちからひとりずつを、聖都エルサレムに来て住ませ、九人を他の町々に住ませた。

פ בִּירוּשָׁלִַם׃ לָשֶׁבֶת הַמִּתְנַדְּבִים הָאֲנָשִׁים לְכֹל הָעָם וַיְבָרְכוּ 2
ペー エルサレムに 住む-ために 自ら-進んで 人々を すべての 民は そして-祝福した
H3389 H3427 H5068 H0376 H3605 H1288

またすべてみずから進みでてエルサレムに住むことを申し出た人々は、民はこれを祝福した。

יְהוּדָה וּבְעָרֵי בִּירוּשָׁלִַם יָשְׁבוּ אֲשֶׁר הַמְּדִינָה רָאשֵׁי וְאֵלֶּה 3
ユダの そして-の-町々に エルサレムに 住んだ あの 州の かしらたち そして-これらは
H3063 H3389 H3427 H4082 H0428

וְהַלְוִיִּם הַכֹּהֲנִים יִשְׂרָאֵל בְּעָרֵיהֶם בַּאֲחֻזָּתוֹ אִישׁ יָשְׁבוּ
そして-レビ人たち 祭司たち イスラエル 彼らの-町々に 自らの-所有地に 各人 住んだ
H3881 H3548 H3478 H0272 H0376 H3427

שְׁלֹמֹה׃ עַבְדֵי וּבְנֵי וְהַנְּתִינִים
ソロモンの しもべたち そして-の-子ら そして-宮のしもべたち
H8010 H5650 H5411

さてエルサレムに住んだこの州の長たちは次のとおりである。ただしユダの町々ではおのおのその町々にある自分の所有地に住んだ。すなわちイスラエルびと、祭司、レビびと、宮に仕えるしもべ、およびソロモンのしもべであった者たちの子孫である。

מִבְּנֵי בִּנְיָמִן וּמִבְּנֵי יְהוּדָה מִבְּנֵי יָשְׁבוּ וּבִירוּשָׁלִַם 4
の-子ら-から ベニヤミン そして-の-子ら-から ユダ の-子ら-から 住んだ そして-エルサレムに
H1144 H3063 H3427 H3389

בֶּן־ שְׁפַטְיָה בֶּן־ אֲמַרְיָה בֶּן־ זְכַרְיָה בֶּן־ עֻזִּיָּה בֶּן־ עֲתָיָה יְהוּדָה
の-子 シェパテヤ の-子 アマルヤ の-子 ゼカルヤ の-子 ウジヤ の-子 アタヤ ユダ
H8203 H0568 H6265 H3063

פָּרֶץ׃ מִבְּנֵי־ מַהֲלַלְאֵל
ペレツ の-子ら-から マハラルエル
H6557 H4111

そしてエルサレムにはユダの子孫およびベニヤミンの子孫のうちのある者たちが住んだ。すなわちユダの子孫ではウジヤの子アタヤで、ウジヤはゼカリヤの子、ゼカリヤはアマリヤの子、アマリヤはシパテヤの子、シパテヤはマハラレルの子、マハラレルはペレヅの子孫である。

5 וּמַעֲשֵׂיָה בֶן־כָּל־חֹזֶה בֶן־בָּרוּךְ בֶּן־זַכְרִי בֶּן־חֲזָיָה בֶּן־עֲדָיָה בֶּן־
そして-マアセヤ の-子 バルク の-子 コル-ホゼ の-子 ハザヤ の-子 アダヤ の-子
H4641 H1263 H3626 H2382 H5718

יוֹיָרִיב בֶּן־זְכַרְיָה בֶּן־הַשֹּׁלֻנִי׃
ヨヤリブ の-子 ゼカルヤ の-子 シロニ
H3114 H8023

またバルクの子マアセヤで、バルクはコロホゼの子、コロホゼはハザヤの子、ハザヤはアダヤの子、アダヤはヨヤリブの子、ヨヤリブはゼカリヤの子、ゼカリヤはシロニびとの子である。

6 וְכָל־בְּנֵי פֶּרֶץ הַיֹּשְׁבִים בִּירוּשָׁלָ͏ִם אַרְבַּע מֵאוֹת שִׁשִּׁים וּשְׁמֹנָה
すべての の-子ら ペレツ 住んでいた-者たち エルサレムに 四 百 六十 そして-八
H3605 H1121 H6557 H3427 H3389 H0702 H3967 H8346 H8083

אַנְשֵׁי־חָיִל׃ סֶ
の-人 勇敢な セラー
H0376 H2428

ペレヅの子孫でエルサレムに住んだ者は合わせて四百六十八人で、みな勇敢な人々である。

7 וְאֵלֶּה בְּנֵי בִנְיָמִן סַלָּא בֶן־מְשֻׁלָּם בֶּן־יוֹעֵד בֶּן־פְּדָיָה בֶּן־
そして-これらは の-子ら ベニヤミン サル の-子 メシュラム の-子 ヨエド の-子 ペダヤ の-子
H0428 H1121 H1144 H5542 H1121 H4918 H1121 H3133 H1121 H6305

קוֹלָיָה בֶּן־מַעֲשֵׂיָה בֶן־אִיתִיאֵל בֶּן־יְשַׁעְיָה׃
コラヤ の-子 マアセヤ の-子 イティエル の-子 イザヤ
H6964 H1121 H4641 H1121 H0384 H1121 H3470

ベニヤミンの子孫では次のとおりである。すなわちメシュラムの子サルで、メシュラムはヨエデの子、ヨエデはペダヤの子、ペダヤはコラヤの子、コラヤはマアセヤの子、マアセヤはイテエルの子、イテエルはエサヤの子である。

8 וְאַחֲרָיו גַּבַּי סַלָּי תְּשַׁע מֵאוֹת עֶשְׂרִים וּשְׁמֹנָה׃
そして-彼の-後に ガバイ サライ 九 百 二十 そして-八
H1373 H5542 H8672 H3967 H6242 H8083

その次はガバイおよびサライなどで合わせて九百二十八人。

9 וְיוֹאֵל בֶּן־זִכְרִי פָּקִיד עֲלֵיהֶם וִיהוּדָה בֶן־הַסְנוּאָה עַל־
そして-ヨエル ジクリ の-子 監督 彼らの-上に そして-ユダ ハセヌアの-子 の-上に
H3100 H2147 H6496 H5921 H3063 H5574

הָעִיר מִשְׁנֶה׃ פ
その-町 副-総督 ペー
H5892 H4932

ジクリの子ヨエルが彼らの監督である。ハッセヌアの子ユダがその副官として町を治めた。

10 מִן־הַכֹּהֲנִים יְדַעְיָה בֶּן־יוֹיָרִיב יָכִין׃
から 祭司たち エダヤ の-子 ヨヤリブ ヤキン
H4480 H3548 H3048 H1121 H3114 H3199

祭司ではヨヤリブの子エダヤ、ヤキン、

11 שְׂרָיָה בֶן־חִלְקִיָּה בֶּן־מְשֻׁלָּם בֶּן־צָדוֹק בֶּן־מְרָיוֹת בֶּן־
セラヤ の-子 ヒルキヤ の-子 メシュラム の-子 ツァドク の-子 メラヨト の-子
H8304 H1121 H2518 H1121 H4918 H1121 H6659 H1121 H4812

אֲחִיטוּב נְגִיד בֵּית הָאֱלֹהִים׃
アヒトブ 指導者 神殿の 神の
H0285 H5057 H1004 H0430

および神の宮のつかさセラヤで、セラヤはヒルキヤの子、ヒルキヤはメシュラムの子、メシュラムはザドクの子、ザドクはメラヨテの子、メラヨテはアヒトブの子である。

12

וּשְׁנֵים	עֶשְׂרִים	מֵאוֹת	שְׁמֹנֶה	לַבַּיִת	הַמְּלָאכָה	עֹשֵׂי	וַאֲחֵיהֶם
そして–二	二十	百	八	神殿の	の–仕事を	行う–者たち	そして–彼らの–兄弟たち
H8147	H6242	H3967	H8083		H4399		H0251

בֶּן־	זְכַרְיָה	בֶּן־	אַמְצִי	בֶּן־	פְּלַלְיָה	בֶּן־	יְרֹחָם	בֶּן־	וַעֲדָיָה
の–子	ゼカルヤ	の–子	アムツィ	の–子	ペラルヤ	の–子	エロハム	の–子	そして–アダヤ
			H0557		H6421		H3395		H5718

מַלְכִּיָּה׃	בֶּן־	פַּשְׁחוּר
マルキヤ	の–子	パシュフル
H4441		H6583

宮の務をするその兄弟は八百二十二人あり、また、エロハムの子アダヤがある。エロハムはペラリヤの子、ペラリヤはアムジの子、アムジはゼカリヤの子、ゼカリヤはパシホルの子、パシホルはマルキヤの子である。

13

וַעֲמַשְׁסַי	וּשְׁנֵים	אַרְבָּעִים	מָאתַיִם	לְאָבוֹת	רָאשִׁים	וְאֶחָיו	
そして–アマシュサイ	そして–二	四十	二百	父祖の–家の	かしらたち	そして–彼の–兄弟たち	
H6023	H8147	H0705	H3967	H0001		H0251	

אִמֵּר׃	בֶּן־	מְשִׁלֵּמוֹת	בֶּן־	אֲחַזַי	בֶּן־	עֲזַרְאֵל	בֶּן־
イメル	の–子	メシレモト	の–子	アヒザイ	の–子	アザルエル	の–子
H0564		H4919		H0273		H5832	

アダヤの兄弟で、氏族の長たる者は二百四十二人あり、またアザリエルの子アマシサイがある。アザリエルはアハザイの子、アハザイはメシレモテの子、メシレモテはインメルの子である。

14

עֲלֵיהֶם	וּפָקִיד	וּשְׁמֹנָה	עֶשְׂרִים	מֵאָה	חַיִל	גִּבּוֹרֵי	וַאֲחֵיהֶם	
彼らの–上に	そして–監督	そして–八	二十	百	力の	の–勇士たち	そして–彼らの–兄弟たち	
	H6496	H8083	H6242	H3967	H2428	H1368	H0251	

ס	הַגְּדוֹלִים׃	בֶּן־	זַבְדִּיאֵל
セラー	ハゲドリム	の–子	ザブディエル
			H2068

その兄弟である勇士は百二十八人あり、その監督はハッゲドリムの子ザブデエルである。

15

חֲשַׁבְיָה	בֶּן־	עַזְרִיקָם	בֶּן־	חַשּׁוּב	בֶּן־	שְׁמַעְיָה	הַלְוִיִּם	וּמִן־	
ハシャブヤ	の–子	アズリカム	の–子	ハッシュブ	の–子	シェマヤ	レビ人たち	そして–から	
H2811		H5840		H2815		H8098	H3881		

בּוּנִי׃	בֶּן־
ブンニ	の–子
H1138	

レビびとではハシュブの子シマヤで、ハシュブはアズリカムの子、アズリカムはハシャビヤの子、ハシャビヤはブンニの子である。

16

הָאֱלֹהִים	לְבֵית	הַחִיצֹנָה	הַמְּלָאכָה	עַל־	וְיוֹזָבָד	וְשַׁבְתַּי	
神の	の–神殿	外の	の–仕事	の–上に	そして–ヨザバド	そして–シャブタイ	
H0430		H2435	H4399		H3107	H7678	

הַלְוִיִּם׃	מֵרָאשֵׁי
レビ人たちの	から–かしらたち
H3881	

またシャベタイおよびヨザバデがある。これらはレビびとのかしらであって、神の宮の外のわざをつかさどった。

17 וּמַתַּנְיָה בֶּן־מִיכָה בֶּן־זַבְדִּי בֶּן־אָסָף רֹאשׁ הַתְּחִלָּה לְהוֹדֹת
そして-マタニヤ の-子 ミカ の-子 ザブディ の-子 アサフ かしら 初めの 感謝
H4983 H4318 H2067 H0623 H8462 H3034

לַתְּפִלָּה וּבַקְבֻּקְיָה מִשְּׁנֶה אֶל־אַחָיו וְעַבְדָא בֶּן־שַׁמּוּעַ
祈りの-ための そして-バクブキヤ 副 彼の-兄弟たちの-中で そして-アブダ の-子 シャムア
H8605 H1229 H4932 H0251 H5653 H8051

בֶּן־גָּלָל בֶּן־[יְדִיתוּן](יְדוּתוּן׃)
の-子 ガラル の-子 エドトン エドトン
H1559 H3038 H3038

またミカの子マッタニヤがある。ミカはザブデの子、ザブデはアサフの子である。マッタニヤは祈の時に感謝の言葉を唱え始める者である。その兄弟のうちのバクブキヤは彼に次ぐ者であった。またシャンマの子アブダがある。シャンマはガラルの子、ガラルはエドトンの子である。

18 כָּל־הַלְוִיִּם בָּעִיר הַקֹּדֶשׁ מָאתַיִם שְׁמֹנִים וְאַרְבָּעָה׃ פ
すべての レビ人たち の-聖なる-都に の 二百 八十 そして-四 ペー
H3605 H3881 H6944 H3967 H8084 H0702

聖都におるレビびとは合わせて二百八十四人であった。

19 וְהַשּׁוֹעֲרִים עַקּוּב טַלְמוֹן וַאֲחֵיהֶם הַשֹּׁמְרִים בַּשְּׁעָרִים מֵאָה
そして-門衛たち アックブ タルモン そして-彼らの-兄弟たち 見張り-する-者たち 門を 百
H7778 H6126 H2929 H0251 H8104 H8179 H3967

וּשְׁנָיִם׃ שִׁבְעִים
そして-二 七十
H8147 H7657

門衛では門を守るアックブ、タルモンおよびその兄弟たち合わせて百七十二人である。

20 וּשְׁאָר יִשְׂרָאֵל הַכֹּהֲנִים הַלְוִיִּם בְּכָל־עָרֵי יְהוּדָה אִישׁ
そして-残りの イスラエル 祭司たち レビ人たちは の-すべての 町々に ユダの 各人
H7605 H3478 H3548 H3881 H3605 H5892 H3063 H0376

בְּנַחֲלָתוֹ׃
自らの-相続地に
H5159

その他のイスラエルびと、祭司、レビびとたちは皆ユダのすべての町々にあって、おのおの自分の嗣業にとどまった。

21 וְהַנְּתִינִים יֹשְׁבִים בָּעֹפֶל וְצִיחָא וְגִשְׁפָּא עַל־
そして-宮のしもべたちは 住んでいた オフェルに そして-ツィハ そして-ギシュパ の-上に
H5411 H3427 H6077 H6727 H1658

הַנְּתִינִים׃ פ
宮のしもべたち ペー
H5411

ただし宮に仕えるしもべたちはオペルに住み、ヂハおよびギシパが宮に仕えるしもべたちを監督していた。

22 וּפְקִיד הַלְוִיִּם בִּירוּשָׁלַם עֻזִּי בֶן־בָּנִי בֶן־חֲשַׁבְיָה בֶּן־
そして-監督 レビ人たちの エルサレムに ウジ の-子 バニ の-子 ハシャブヤ の-子
H6496 H3881 H3389 H5813 H1137 H2811

מַתַּנְיָה בֶּן־מִיכָא מִבְּנֵי אָסָף הַמְשֹׁרְרִים לִנֶגֶד מְלֶאכֶת בֵּית־
マタニヤ の-子 ミカ の-子-から アサフ 歌い手たちの の-前に 仕事 神殿の
H4983 H4316 H0623 H7891 H5048 H4399 H1004

הָאֱלֹהִים׃
神の
H0430

エルサレムにおるレビびとの監督はウジである。ウジはバニの子、バニはハシャビヤの子、ハシャビヤはマッタニヤの子、マッタニヤはミカの子である。ミカは歌うたう者なるアサフの子孫である。ウジは神の宮のわざを監督した。

כִּי־ מִצְוַת הַמֶּלֶךְ עֲלֵיהֶם וַאֲמָנָה עַל־ הַמְשֹׁרְרִים דְּבַר־ יוֹם בְּיוֹמוֹ׃ 23
なぜなら 命令 の–王の 彼らの–上に そして–定め の–ための 歌い手たち の–毎日の 日ごとの こと
H3117 H1697 H7891 H0548 H4428 H4687

彼らについては王からの命令があって、歌うたう者に日々の定まった分を与えさせた。

וּפְתַחְיָה בֶּן־ מְשֵׁיזַבְאֵל מִבְּנֵי־ זֶרַח בֶּן־ יְהוּדָה לְיַד הַמֶּלֶךְ לְכָל־ דָּבָר לְעָם׃ 24
そして–ペタヒヤ の–子 メシェザブエル の–子ら–から ゼラフ の–子 ユダ の–傾に 王の すべての 事柄 民の–ための
H6611 H4898 H1121 H2226 H3063 H3027 H4428 H3605 H1697

またユダの子ゼラの子孫であるメシザベルの子ペタヒヤは王の手に属して民に関するすべての事を取り扱った。

וְאֶל־ הַחֲצֵרִים בִּשְׂדֹתָם מִבְּנֵי יְהוּדָה יָשְׁבוּ הָאַרְבַּע־קִרְיַת וְלִבְנֹתֶיהָ וּבְדִיבֹן וְלִבְנֹתֶיהָ וְיָקִבְצְאֵל׃ 25
そして–の–ための 村々 その–畑の の–子ら–から ユダ 住んだ キルヤト–アルバに そして–その–娘村に そして–ディボンに そして–その–娘村に そして–エカブツェエルに
H0413 H2691 H7704 H3063 H3427 H7153 H1323 H1769 H1323 H3343

וְלִבְנֹתֶיהָ וְחָצֵרֶיהָ׃
そして–その–娘村に そして–その–村々に
H1323

また村々とその田畑については、ユダの子孫の者はキリアテ・アルバとその村々、デボンとその村々、エカブジエルとその村々に住み、

וּבְבֵית פָּלֶט׃ וּבְבֵית וּבְמוֹלָדָה וּבְיֵשׁוּעַ 26
パレト そして–に–ベト そして–モラダに そして–エシュアに
H1046 H1046 H4137 H3442

エシュア、モラダおよびベテペレテに住み、

וּבְבֵית שֶׁבַע וּבְבִאֹרֶת שׁוּעָל וּבְחָצַר׃ 27
そして–その–娘村に そして–ベエル–シェバに そして–ハツァル–シュアルに
H1323 H0884 H2705

ハザル・シュアルおよびベエルシバとその村々に住み、

וּבְבֹנֹתֶיהָ׃ וּבְמֹכָנָה וּבְצִקְלַג 28
そして–その–娘村に そして–メコナに そして–ツィクラグに
H1323 H4368 H6860

チクラグおよびメコナとその村々に住み、

וּבְיַרְמוּת׃ וּבְצָרְעָה וְרִמּוֹן וּבְעֵין 29
そして–ヤルムトに そして–ツォルアに そして–エン–リモンに
H3412 H6881 H5884

エンリンモン、ザレア、ヤルムテに住み、

וּבְנֹתֶיהָ	עֲזֵקָה	וּשְׂדֹתֶיהָ	לָכִישׁ	וְחַצְרֵיהֶם	עֲדֻלָּם	זָנֹחַ	30
そして-その-娘村	アゼカ	そして-その-畑	ラキシュ	そして-その-村々	アドラム	ザノア	
H1323	H5825		H3923		H5725	H2182	

הִנֹּם׃	גֵּיא־	עַד־	מִבְּאֵר־שֶׁבַע	וַיַּחֲנוּ	
ヒンノム	の-谷	まで	から-ベエル-シェバ	そして-彼らは-宿営した	
H2011	H1516	H5704	H0884	H2583	

ザノア、アドラムおよびそれらの村々、ラキシとその田野、アゼカとその村々に住んだ。こうして彼らはベエルシバからヒンノムの谷にまで宿営した。

וּבְנֹתֶיהָ׃	וּבֵית־אֵל	וְעַיָּה	מִכְמָשׂ	מִגְבַּע	בִּנְיָמִן	וּבְנֵי	31
そして-その-娘村	そして-ベテルに	そして-アヤ	ミクマシュ	ゲバから	ベニヤミン	そして-の-子ら	
H1323	H1008	H5857	H4363	H1387	H1144		

ベニヤミンの子孫はまたゲバからミクマシ、アヤおよびベテルとその村々に住み、

עֲנָתוֹת׃	נֹב	עֲנַנְיָה	32
アナトテ	ノブ	アナニヤ	
H6068	H5011	H6055	

アナトテ、ノブ、アナニヤ、

גִּתָּיִם׃	רָמָה	וְחָצוֹר	33
ギッタイム	ラマ	ハツォル	
H1664	H7414	H2674	

ハゾル、ラマ、ギッタイム、

נְבַלָּט׃	צְבֹעִים	חָדִיד	34
ネバラト	ツェボイム	ハディド	
H5041	H6650	H2307	

ハデデ、ゼボイム、ネバラテ、

הַחָרָשִׁים גֵּי׃	וְאוֹנוֹ	לֹד	35
職人の-谷	そして-オノ	ロド	
	H0207	H3850	

ロド、オノ、工人の谷に住んだ。

פ	לְבִנְיָמִן׃	יְהוּדָה	מַחְלְקוֹת	הַלְוִיִּם	וּמִן־		36
ペー	ベニヤミンに	ユダの	部分	レビ人たちの	そして-から		
	H1144	H3063	H4256	H3881			

レビびとの組のユダにあるもののうちベニヤミンに合したものもあった。

Chapter 12

בֶּן־	זְרֻבָּבֶל	עִם־	עָלוּ	אֲשֶׁר	וְהַלְוִיִּם	הַכֹּהֲנִים	וְאֵלֶּה	1
の-子	ゼルバベル	と-共に	上って-来た	あの	そして-レビ人たち	祭司たち	そして-これらは	
	H2216		H5927		H3881	H3548	H0428	

עֶזְרָא׃	יִרְמְיָה	שְׂרָיָה	וְיֵשׁוּעַ	שְׁאַלְתִּיאֵל
エズラ	エレミヤ	セラヤ	そして-ヨシュア	シェアルティエル
H5830	H3414	H8304	H3442	

シャルテルの子ゼルバベルおよびエシュアと一緒に上ってきた祭司とレビびとは次のとおりである。すなわちセラヤ、エレミヤ、エズラ、

2 アマルヤ H0568 マルク ハットシュ H2407 :

アマリヤ、マルク、ハットシ、

3 シェカニヤ H7935 レフム メレモト H4822 :

シカニヤ、レホム、メレモテ、

4 イド H5714 ギンネトイ アビヤ H0029 :

イド、ギンネトイ、アビヤ、

5 ミヤミン H4326 マアデヤ H4573 ビルガ H1083 :

ミヤミン、マアデヤ、ビルガ、

6 シェマヤ H8098 そして-ヨヤリブ H3114 エダヤ H3048 :

シマヤ、ヨヤリブ、エダヤ、

7 サルー アモク H5987 ヒルキヤ H2518 エダヤ H3048 これらは H0428 かしらたち 祭司たちの H3548 そして-彼らの-兄弟たち H0251

ペー פ
ヨシュア H3442 :
の-時代に H3117

サライ、アモク、ヒルキヤ、エダヤで、これらの者はエシュアの時代に祭司およびその兄弟らのかしらであった。

8 そして-レビ人たちは H3881 ヨシュア H3442 ビンヌイ H1131 カデミエル H6934 シェレブヤ H8274 ユダ H3063 マタニヤ H4983 の-上に

感謝の-歌を H1960 彼 H1931 そして-彼の-兄弟たち H0251 :

レビびとではエシュア、ビンヌイ、カデミエル、セレビヤ、ユダ、マッタニヤで、マッタニヤはその兄弟らと共に感謝のことをつかさどった。

9 そして-バクブキヤ H1229 そして-ウンニ H6042 ウンニ H6042) וְעַנְנִי | ועננ
彼らの-兄弟たち H0251 向かい-合って H5048 交代-で H4931 :

また彼らの兄弟であるバグブキヤおよびウンノは彼らの向かいに立って勤めをした。

10 וְיֵשׁוּעַ הוֹלִיד אֶת־יוֹיָקִים וְיוֹיָקִים הוֹלִיד אֶת־יוֹיָדָע׃ וְאֶלְיָשִׁיב אֶת־

そして-ヨシュアは 生んだ を ヨヤキム ヨヤキムは 生んだ を ヨヤダ そして-エルヤシブは
H3442 H3205 H0853 H3113 H3113 H3205 H0853 H3111 H0475

エシュアの子はヨアキム、ヨアキムの子はエリアシブ、エリアシブの子はヨイアダ、

11 יוֹיָדָע הוֹלִיד אֶת־יוֹנָתָן וְיוֹנָתָן הוֹלִיד אֶת־יַדּוּעַ׃

そして-ヨヤダは 生んだ を ヨナタン ヨナタンは 生んだ を ヤドゥア
H3111 H3205 H0853 H3129 H3129 H3205 H0853 H3037

ヨイアダの子はヨナタン、ヨナタンの子はヤドアである。

12 וּבִימֵי יוֹיָקִים הָיוּ כֹהֲנִים רָאשֵׁי הָאָבוֹת מְרָיָה לִשְׂרָיָה חֲנַנְיָה׃ לִירְמְיָה

そして-の-時代に ヨヤキム いた 祭司たち かしらたち 父祖の-家の セラヤには メラヤ ハナニヤ エレミヤには
H3117 H3113 H1961 H3548 H0001 H8304 H4811 H3414

ヨアキムの時代に祭司で氏族の長であった者はセラヤの氏族ではメラヤ、エレミヤの氏族ではハナニヤ、

13 לְעֶזְרָא מְשֻׁלָּם לַאֲמַרְיָה יְהוֹחָנָן׃

エズラには メシュラム アマルヤには エホハナン
H5830 H4918 H0568 H3076

エズラの氏族ではメシュラム、アマリヤの氏族ではヨハナン、

14 לְמַלּוּכִי (לְמִלִּיכוּ) יוֹנָתָן לִשְׁבַנְיָה יוֹסֵף׃ [למלוכין]

マルキには マルキには ヨナタン シェバニヤには ヨセフ
H3129 H7645 H3130

マルキの氏族ではヨナタン、シバニヤの氏族ではヨセフ、

15 לְחָרִם עַדְנָא לִמְרָיוֹת חֶלְקָי׃

ハリムには アドナ メラヨトには ヘルカイ
H2766 H5733 H4812 H2517

ハリムの氏族ではアデナ、メラヨテの氏族ではヘルカイ、

16 לְעִדּוֹא (לְעַדְיָה) זְכַרְיָה לְגִנְּתוֹן מְשֻׁלָּם׃ [לעדיא]

イドには ゼカルヤ ギンネトンには メシュラム イドには
H5714 H1599 H4918 H5714

イドの氏族ではゼカリヤ、ギンネトンの氏族ではメシュラム、

17 לַאֲבִיָּה זִכְרִי לְמִנְיָמִין לְמוֹעַדְיָה פִּלְטָי׃

アビヤには ジクリ ミニヤミンには モアデヤには ピルタイ
H0029 H2147 H4509 H4153 H6408

アビヤの氏族ではジクリ、ミニヤミンの氏族、モアデヤの氏族ではピルタイ、

18 לְבִלְגָּה שַׁמּוּעַ לְשֶׁמַעְיָה יְהוֹנָתָן׃

ビルガには シャムア シェマヤには エホナタン
H1083 H8051 H8098 H3083

ビルガの氏族ではシャンマ、シマヤの氏族ではヨナタン、

19 וּלְיוֹיָרִיב מַתְּנַי לִידַעְיָה עֻזִּי׃
そして-ヨヤリブには マテナイ エダヤには ウジ
H3114 H4982 H3048 H5813

ヨヤリブの氏族ではマッテナイ、エダヤの氏族ではウジ、

20 לְסַלַּי קַלָּי לְעָמוֹק עֵבֶר׃
サライには カライ アモクには エベル
H7040 H5987 H5677

サライの氏族ではカライ、アモクの氏族ではエベル、

21 לְחִלְקִיָּה חֲשַׁבְיָה לִידַעְיָה נְתַנְאֵל׃
ヒルキヤには ハシャブヤ エダヤには ネタンエル
H2518 H2811 H3048 H5417

ヒルキヤの氏族ではハシャビヤ、エダヤの氏族ではネタンエルである。

22 הַלְוִיִּם בִּימֵי אֶלְיָשִׁיב יוֹיָדָע וְיוֹחָנָן וְיַדּוּעַ כְּתוּבִים
レビ人たちは の-時代に エルヤシブ ヨヤダ そして-ヨハナン そして-ヤドゥア 記録された
H3881 H3117 H0475 H3111 H3110 H3037 H3789

פ פָּרְסִי׃ דָּרְיָוֶשׁ מַלְכוּת עַל־ וְהַכֹּהֲנִים אָבוֹת רָאשֵׁי
ペー ペルシアの ダレイオス 王権 の-時代に そして-祭司たちは 父祖の-家の かしらたち
H6542 H1867 H4438 H3548 H0001

レビびとについては、エリアシブ、ヨイアダ、ヨハナンおよびヤドアの時代に、その氏族の長たちが登録された。また祭司たちもペルシャ王ダリヨスの治世まで登録された。

23 בְּנֵי לֵוִי רָאשֵׁי הָאָבוֹת כְּתוּבִּים עַל־ סֵפֶר דִּבְרֵי הַיָּמִים
の-子ら レビ かしらたち 父祖の-家の 記録された の-上に 書 の-歴代誌 その-日々の
H3878 H0001 H3789 H0001 H1697 H3117

אֶלְיָשִׁיב׃ בֶּן־ יוֹחָנָן יְמֵי וְעַד־
エルヤシブ の-子 ヨハナン の-時代 そして-まで
H0475 H3110 H3117 H5704

レビの子孫で氏族の長たる者は、エリアシブの子ヨハナンの世まで歴代志の書にしるされている。

24 וְרָאשֵׁי הַלְוִיִּם חֲשַׁבְיָה שֶׁרֵבְיָה וְיֵשׁוּעַ בֶּן־ קַדְמִיאֵל
そして-かしらたち レビ人たちの ハシャブヤ シェレブヤ そして-ヨシュア の-子 カデミエル
H3881 H2811 H8274 H3442 H1121 H6934

אִישׁ־ דָּוִיד בְּמִצְוַת לְהוֹדוֹת לְהַלֵּל לְנֶגְדָּם וַאֲחֵיהֶם
人 ダビデ の-命令に-従って 感謝する-ため 賛美し 向かい-合って そして-彼らの-兄弟たち
H0376 H1732 H4687 H3034 H1984 H5048 H0251

מִשְׁמָר׃ מִשְׁמָר לְעֻמַּת הָאֱלֹהִים
交代 の-向かいに 交代 神の
H4929 H5980 H4929 H0430

レビびとのかしらはハシャビヤ、セレビヤおよびカデミエルの子エシュアであって、その兄弟たち相向かい合い、組と組と対応して神の人ダビデの命令に従い、さんびと感謝をささげた。

25 שֹׁמְרִים עַקּוּב טַלְמוֹן מְשֻׁלָּם עֹבַדְיָה וּבַקְבֻקְיָה מַתַּנְיָה
見張り-する-者たち アックブ タルモン メシュラム オバデヤ そして-バクブキヤ マタニヤ
H8104 H6126 H2929 H4918 H5662 H1229 H4983

שֹׁעֲרִים׃ בַּאֲסָפֵי מִשְׁמָר שֹׁעֲרִים
門の の-倉庫に 交代 門衛たち
H8179 H0624 H4929 H7778

マツタニヤ、バクブキヤ、オバデヤ、メシュラム、タルモンおよびアックブは門を守る者で門の内の倉を監督した。

26 אֵ֚לֶּה נְחֶמְיָה וּבִימֵי֙ יוֹצָדָ֣ק בֶּן־ יֵשׁ֔וּעַ בֶּן־ יוֹיָקִ֖ים בִּימֵ֑י הַפֶּ֖חָה הַסּוֹפֵֽר׃ וְעֶזְרָ֥א הַכֹּהֵֽן

これらは ヨヤキム の–時代に 総督の ネヘミヤ そして–エズラ 祭司 書記の ペー
H0428 H3117 H6346 H5166 H5830 H3548

これらはヨザダクの子エシュアの子ヨアキムの時代、また総督ネヘミヤおよび学者である祭司エズラの時代にいた人々である。

27 וּבַחֲנֻכַּ֣ת חוֹמַ֣ת יְרוּשָׁלַ֗͏ִם בִּקְשׁ֤וּ אֶת־ הַלְוִיִּם֙ מִכָּל־ מְקוֹמֹתָ֔ם

そして–の–奉献式に 城壁 エルサレムの 尋めた を レビ人たち すべての 彼らの–場所から
H2598 H2346 H3389 H1245 H0853 H3881 H3605 H4725

לַֽהֲבִיאָ֛ם לְיר֥וּשָׁלַ֖͏ִם לַעֲשׂ֣וֹת חֲנֻכָּ֑ה וְשִׂמְחָה֙ וּבְתוֹדוֹת֙ וּבְשִׁ֔יר

連れて–来る–ために エルサレムに 行う–ために 奉献式を そして–喜びを そして–感謝と そして–歌と
H0935 H3389 H2598 H8057 H8426

בִּמְצִלְתַּ֥יִם נְבָלִ֖ים וּבְכִנֹּרֽוֹת׃

シンバル 琴 そして–竈
H4700 H3658

さてエルサレムの城壁の落成式に当って、レビびとを、そのすべての所から招いてエルサレムにこさせ、感謝と、歌と、シンバルと、立琴と、琴とをもって喜んで落成式を行おうとした。

28 וַיֵּאָסְפ֣וּ בְנֵי֩ הַמְשֹׁרְרִ֨ים וּמִן־ הַכִּכָּ֜ר סְבִיבֹ֗ת וּמִן־ יְרוּשָׁלָ֤͏ִם וּמִן־

そして–集まった の–子ら 歌い手たち から 平野 周辺の エルサレムの そして–から
H0622 H1121 H7891 H3603 H5439 H3389 H4480

חֲצֵרֵי֙ נְטֹפָתִֽי׃

村々 ネトファの
H2691 H5200

そこで、歌うたう人々はエルサレムの周囲の地方、ネトパびとの村々から集まってきた。

29 כִּ֣י חֲצֵרִ֗ים וְעַזְמָ֤וֶת גֶּ֙בַע֙ וּמִשְׂדֹ֣ות וּמִבֵּ֔ית הַגִּלְגָּ֖ל

なぜなら 村々を そして–アズマヴェト ゲバの そして–から–畑 ギルガル そして–から–ベト
H5820 H1387 H1537

בָּנ֥וּ לָהֶ֖ם הַמְשֹׁרְרִ֑ים סְבִיבֹ֥ות יְרוּשָׁלָֽ͏ִם׃

建てた 自らの–ために 歌い手たちは 周辺に エルサレムの
H1129 H1992 H7891 H5439 H3389

またベテギルガルおよびゲバとアズマウテの地方からも集まってきた。この歌うたう者たちはエルサレムの周囲に自分の村々を建てていたからである。

30 וַיִּטַּהֲר֣וּ הַכֹּהֲנִ֔ים וְהַלְוִיִּ֖ם וַיְטַהֲרוּ֙ אֶת־ הָעָ֣ם וְאֶת־ הַשְּׁעָרִֽים׃

そして–身を–清めた 祭司たち そして–レビ人たちは そして–清めた を 民を そして 門を
H2891 H3548 H3881 H2891 H0853 H5971 H0853 H8179

וְאֶת־ הַחוֹמָֽה׃

そして 城壁を
H0853 H2346

そして祭司とレビびとたちは身を清め、また民およびもろもろの門と城壁とを清めた。

31 וָאַעֲלֶה אֶת־שָׂרֵי יְהוּדָה עַל הַחוֹמָה וָאַעֲמִידָה שְׁתֵּי
そして-私は-上らせた を つかさたち の-ユダの の-上に 城壁の そして-私は-立てた 二つの
H5927 H0853 H8269 H3063 H5921 H2346 H5975 H8147

תּוֹדֹת גְּדוֹלוֹת וְתַהֲלֻכֹת לַיָּמִין עַל הַחוֹמָה לְשַׁעַר הָאַשְׁפֹּת׃
感謝の-合唱隊を 大きな そして-行列を 右に の-上を 城壁の の-方へ 灰-捨て場の-門
H8426 H1419 H8418 H3225 H5921 H2346 H8179 H0830

そこでわたしはユダのつかさたちを城壁の上にのぼらせ、また感謝する者の二つの大きな組を作って、行進させた。その一つは城壁の上を右に糞の門をさして進んだ。

32 וַיֵּלֶךְ אַחֲרֵיהֶם הוֹשַׁעְיָה וַחֲצִי שָׂרֵי יְהוּדָה׃
そして-行った 彼らの-後に ホシャヤ そして-半分の つかさたち ユダの
H3212 H0310 H1955 H2677 H8269 H3063

そのあとに従って進んだ者はホシャヤ、およびユダのつかさたちの半ば、

33 וַעֲזַרְיָה עֶזְרָא וּמְשֻׁלָּם׃
そして-アザルヤ エズラ そして-メシュラム
H5838 H5830 H4918

ならびにアザリヤ、エズラ、メシュラム、

34 יְהוּדָה וּבִנְיָמִן וְשֶׁמַעְיָה וְיִרְמְיָה׃ ס
ユダ そして-ベニヤミン そして-シェマヤ そして-エレミヤ セラー
H3063 H1144 H8098 H3414

ユダ、ベニヤミン、シマヤ、エレミヤであった。

35 וּמִבְּנֵי הַכֹּהֲנִים בַּחֲצֹצְרוֹת זְכַרְיָה בֶן־יוֹנָתָן בֶּן־שְׁמַעְיָה
そして-の-子ら-から 祭司たちの ラッパ-を-持って ゼカルヤ の-子 ヨナタン の-子 シェマヤ
H4480 H3548 H2689 H2148 H1121 H3129 H1121 H8098

בֶּן־אָסָף בֶּן־זַכּוּר בֶּן־מִיכָיָה בֶּן־מַתַּנְיָה בֶּן־׃
アサフ の-子 ザックル の-子 ミカヤ の-子 マタニヤ の-子
H0623 H1121 H2139 H1121 H4320 H1121 H4983 H1121

また数人の祭司がラッパをもって従った。すなわちヨナタンの子ゼカリヤ。ヨナタンはシマヤの子、シマヤはマッタニヤの子、マッタニヤはミカヤの子、ミカヤはザックルの子、ザックルはアサフの子である。

36 וְאֶחָיו שְׁמַעְיָה וַעֲזַרְאֵל מִלַּלַי גִּלַּלַי מָעַי נְתַנְאֵל
そして-彼の-兄弟たち シェマヤ そして-アザルエル ミラライ ギララライ マアイ ネタンエル
H0251 H8098 H5832 H4450 H1562 H4597 H5417

וִיהוּדָה חָנָנִי בִּכְלֵי־שִׁיר דָּוִיד אִישׁ הָאֱלֹהִים וְעֶזְרָא הַסּוֹפֵר
そして-ユダ ハナニ の-楽器-を-持って 歌の ダビデの 人 神の そして-エズラ 書記は
H3063 H2607 H3627 H7892 H1732 H0376 H0430 H5830 H5608

לִפְנֵיהֶם׃
彼らの-前に
H6440

またゼカリヤの兄弟たちシマヤ、アザリエル、ミラライ、ギララライ、マアイ、ネタンエル、ユダ、ハナニなどであって、神の人ダビデの楽器を持って従った。そして学者エズラは彼らの先に進んだ。

37 וְעַל שַׁעַר הָעַיִן וְנֶגְדָּם עָלוּ מַעֲלוֹת עִיר דָּוִיד בְּמַעֲלֵה
そして-に 泉の-門 の 向かいに そして-上った 階段 の-町 ダビデ の-上りで
H0413 H8179 H5869 H5048 H5927 H4609 H5892 H1732 H4608

מִזְרָח׃ הַמַּיִם שַׁעַר וְעַד דָּוִיד לְבֵית מֵעַל לַחוֹמָה
東に の 水の-門 そして-まで ダビデの の-家 の-上を 城壁の
H4217 H4325 H8179 H5704 H1732 H1004 H5921 H2346

彼らは泉の門を経て、まっすぐに進み、城壁の上り口で、ダビデの町の階段から上り、ダビデの家の上を過ぎて東の方、水の門に至った。

38 וְהַתּוֹדָה הַשֵּׁנִית הַהוֹלֶכֶת לְמוּאל וַאֲנִי אַחֲרֶיהָ
そして–第二の–感謝の–合唱隊は 第二の 歩いて–行く 向かいに そして–私は その–後に
H8426 H8145 H1980 H4136 H0589

וְעַד הַתַּנּוּרִים לְמִגְדַּל מֵעַל לְהַחוֹמָה מֵעַל הָעָם וַחֲצִי
そして–まで 炒炉の–塔の の–やぐらの–上に の–上を 城壁の の–上を 民の そして–半分の
H5704 H8574 H4026 H2346 H2677

הָרְחָבָה׃ הַחוֹמָה
広い 城壁
H7342 H2346

他の一組の感謝する者は左に進んだ。わたしは民の半ばと共に彼らのあとに従った。そして城壁の上を行き、炉の望楼の上を過ぎて、城壁の広い所に至り、

39 וּמֵעַל לְשַׁעַר־ אֶפְרַיִם וְעַל־ שַׁעַר הַיְשָׁנָה וְעַל־ שָׁעַר
そして–の–上を の–門 エフライムの そして–の–上を 門 古い そして–の–上を 門
H8179 H0669 H8179 H3466 H8179

וְעָמְדוּ הַצֹּאן שַׁעַר וְעַד הַמֵּאָה וּמִגְדַּל חֲנַנְאֵל וּמִגְדַּל הַדָּגִים
そして–立った 羊の 門 そして–まで 百の そして–の–塔 ハナンエル そして–の–塔 魚の
H5975 H6629 H8179 H5704 H3968 H4026 H2606 H4026 H1709

בְּשַׁעַר הַמַּטָּרָה׃
の–門に 見張りの
H8179 H4307

エフライムの門の上を通り、古い門を過ぎ、魚の門およびハナネルの望楼とハンメアの望楼を過ぎて、羊の門に至り、近衛の門に立ち止まった。

40 וַתַּעֲמֹדְנָה שְׁתֵּי בְּבֵית הָאֱלֹהִים וַאֲנִי וַחֲצִי
そして–立った 二つの の–神殿に 神の そして–私と そして–半分の
H5975 H8147 H8426 H0430 H0589 H2677

עִמִּי׃ הַסְּגָנִים
私と–共に 諒代官たちは
H5461

こうして二組の感謝する者は神の宮にはいって立った。わたしもそこに立ち、つかさたちの半ばもわたしと共に立った。

41 וְהַכֹּהֲנִים אֶלְיָקִים מַעֲשֵׂיָה מִנְיָמִין מִיכָיָה אֶלְיוֹעֵינַי זְכַרְיָה חֲנַנְיָה
そして–祭司たち エルヤキム マアセヤ ミニヤミン ミカヤ エリオエナイ ゼカルヤ ハナニヤ
H3548 H0471 H4641 H4509 H4320

בַּחֲצֹצְרוֹת׃
ラッパ–を–持って
H2689

また祭司エリアキム、マアセヤ、ミニヤミン、ミカヤ、エリオエナイ、ゼカリヤ、ハナニヤらはラッパを持ち、

42 וּמַעֲשֵׂיָה וְשִׁמְעִי וְאֶלְעָזָר וְעֻזִּי וִיהוֹחָנָן
そして-マアセヤ そして-シェマヤ そして-エルアザル そして-ウジ そして-エホハナン
H4641 H8098 H0499 H5813 H3076

וּמַלְכִּיָּה וְעֵילָם וְעֶזֶר וַיַּשְׁמִיעוּ הַמְשֹׁרְרִים וְיִזְרַחְיָה
そして-マルキヤ そして-エラム そして-エゼル そして-歌わせた 歌い手たちを そして-イズラヒヤは
H4441 H5829 H8085 H7891 H3156

הַפְקִיד׃
監督
H6496

マアセヤ、シマヤ、エレアザル、ウジ、ヨハナン、マルキヤ、エラムおよびエゼルも共にいた。そして歌うたう者たちは声高く歌った。エズラヒヤはその監督であった。

43 וַיִּזְבְּחוּ בַיּוֹם־ הַהוּא זְבָחִים גְּדוֹלִים וַיִּשְׂמָחוּ כִּי הָאֱלֹהִים
そして-ささげた の-日 その いけにえを 大きな そして-喜んだ なぜなら 神が
H2076 H3117 H1931 H2077 H1419 H8055 H3588 H0430

שִׂמְּחָם וְגַם הַנָּשִׁים וְהַיְלָדִים שָׂמְחָה גְדוֹלָה וְשִׂמְחָתָם וַתִּשָּׁמַע
喜ばせたから そして-また 女たちも そして-子どもたちも 喜んだ 大きな 喜びで そして-聞こえた
H8055 H1571 H0802 H3206 H8055 H1419 H8057 H8085

מֵרָחוֹק׃ יְרוּשָׁלִַם שִׂמְחַת
遠く-から エルサレムの 喜び
H7350 H3389 H8057

こうして彼らはその日、大いなる犠牲をささげて喜んだ。神が彼らを大いに喜び楽しませられたからである。女子供までも喜んだ。それでエルサレムの喜びの声は遠くまで聞えた。

44 וַיִּפָּקְדוּ בַיּוֹם הַהוּא אֲנָשִׁים עַל־ הַנִּשְׂכוֹת לָאֹצָרוֹת לַתְּרוּמוֹת לָרֵאשִׁית
そして-任命された の-日に その 人々が の-上に 部屋に 倉庫の 奉納物の-ため 初穂と
H6485 H3117 H1931 H0376 H5921 H3957 H0214 H8641 H7225

וְלַמַּעַשְׂרוֹת לְכִנּוֹס בָּהֶם לִשְׂדֵי הֶעָרִים מְנָאוֹת הַתּוֹרָה
そして-十分の一の-ため 集める-ために それらの-中に の-畑から 町々の 分け前を 律法の
H4643 H3664 H1931 H7704 H5892 H4521 H8451

וְלַלְוִיִּם כִּי שִׂמְחַת יְהוּדָה עַל־ הַכֹּהֲנִים
そして-レビ人たちの-ために なぜなら 喜び ユダの の-ために 祭司たち
H3881 H3588 H8057 H3063 H5921 H3548

וְעַל־ הַלְוִיִּם הָעֹמְדִים׃
そして-の-ために レビ人たち 立っている
H5975 H3881

その日、倉のもろもろのへやをつかさどる人々を選び、ささげ物、初物、十分の一など律法の定めるところの祭司およびレビびとの分を町々の田畑にしたがって取り集めて、へやに入れることをつかさどらせた。これは祭司およびレビびとの仕えるのを、ユダびとが喜んだからである。

45 וְהַמְשֹׁרְרִים וְהַטָּהֳרָה וּמִשְׁמֶרֶת אֱלֹהֵיהֶם מִשְׁמֶרֶת וַיִּשְׁמֹרוּ
そして-歌い手たちと 清めの そして-務めを 彼らの-神の 務めを そして-守った
H7891 H2893 H4931 H0430 H4931 H8104

וְהַשֹּׁעֲרִים כְּמִצְוַת דָּוִיד וּשְׁלֹמֹה בְנוֹ׃
そして-門衛たちは の-命令に-従って ダビデと ソロモン 彼の-子の
H7778 H4687 H1732 H8010

彼らはダビデおよびその子ソロモンの命令に従って、神の勤めおよび清め事の勤めをした。歌うたう者および門を守る者もそのように行った。

46 כִּי־ בִימֵי דָוִיד וְאָסָף מִקֶּדֶם]ראש[ )רָאשֵׁי(הַמְשֹׁרְרִים
なぜなら の–時代に ダビデ そして–アサフ 昔から かしらたち かしらたち 歌い手たちの
H3588 H3117 H1732 H0623 H7223 H7218 H7891

וְשִׁיר־ תְּהִלָּה וְהֹדוֹת לֵאלֹהִים׃
そして–歌 賛美の そして–感謝の 神に
H7892 H8416 H3034 H0430

昔ダビデおよびアサフの日には、歌うたう者のかしらがひとりいて、神にさんびと感謝をささげる事があった。

47 וְכָל־ יִשְׂרָאֵל בִימֵי זְרֻבָּבֶל וּבִימֵי נְחֶמְיָה נֹתְנִים
そして–すべての イスラエルは の–時代に ゼルバベル そして–の–時代に ネヘミヤ 与えていた
H3605 H3478 H3117 H2216 H3117 H5166 H5414

מְנָיוֹת הַמְשֹׁרְרִים וְהַשֹּׁעֲרִים דְּבַר־ יוֹם בְּיוֹמוֹ וּמַקְדִּשִׁים
分け前を 歌い手たちの そして–門衛たちの の–毎日の 日ごとの こと そして–聖別していた
H4521 H7891 H7778 H1697 H3117 H3117 H6942

לַלְוִיִּם וְהַלְוִיִּם מַקְדִּשִׁים לִבְנֵי אַהֲרֹן׃ פ
レビ人たちの–ために そして–レビ人たちは 聖別していた の–子らの–ために アロン ペー
H3881 H3881 H6942 H0175

またゼルバベルの日およびネヘミヤの日には、イスラエルびとはみな歌うたう者と門を守る者に日々の分を与え、またレビびとに物を聖別して与え、レビびとはまたこれを聖別してアロンの子孫に与えた。

Chapter 13

1 בַּיּוֹם הַהוּא נִקְרָא בְּסֵפֶר מֹשֶׁה בְּאָזְנֵי הָעָם וְנִמְצָא
その日に の–日に その 読まれた の–書に モーセの の–耳に 民の そして–見つかった
H3117 H1931 H7121 H4872 H0241 H5971 H4672

בָּהֶם כָּתוּב אֲשֶׁר לֹא־ יָבוֹא עַמֹּנִי וּמוֹאָבִי בִּקְהַל
それに 書かれている–ことが すなわち ない 入る–べき アンモン人と そして–モアブ人は の–会衆に
H1931 H3789 H0834 H3808 H0935 H5984 H4125 H6951

הָאֱלֹהִים עַד־ עוֹלָם׃
神の まで 永遠に
H0430 H5704 H5769

その日モーセの書を読んで民に聞かせたが、その中にアンモンびと、およびモアブびとは、いつまでも神の会に、はいってはならないとしるされているのを見いだした。

2 כִּי לֹא קִדְּמוּ אֶת־ בְּנֵי יִשְׂרָאֵל בַּלֶּחֶם וּבַמָּיִם וַיִּשְׂכֹּר
なぜなら ない 迎え を の–子ら イスラエル パンで そして–水で そして–雇った
H3588 H3808 H6923 H0853 H1121 H3478 H3899 H4325 H7936

עָלָיו אֶת־ בִּלְעָם לְקַלְלוֹ וַיַּהֲפֹךְ אֱלֹהֵינוּ הַקְּלָלָה לִבְרָכָה׃
彼らに–対して を ビルアムを 呪う–ために しかし–変えた 私たちの–神は 呪いを 祝福に
H5921 H0853 H1109 H7043 H2015 H0430 H7045 H1293

これは彼らがかつて、パンと水をもってイスラエルの人々を迎えず、かえってこれをのろわせるためにバラムを雇ったからである。しかしわれわれの神はそののろいを変えて祝福とされた。

3 וַיְהִי כְּשָׁמְעָם הַתּוֹרָה אֶת־ וַיַּבְדִּילוּ כָּל־ עֵרֶב מִיִּשְׂרָאֵל׃
そして–あった 聞いた–とき を 律法を そして–分けた すべての 混合の–民を イスラエルから
H1961 H8085 H0853 H8451 H0914 H3605 H6154 H3478

人々はこの律法を聞いた時、混血の民をことごとくイスラエルから分け離した。

4 וְלִפְנֵי מִזֶּה אֶלְיָשִׁיב הַכֹּהֵן נָתוּן בִּלְשְׁכַּת בֵּית־ אֱלֹהֵינוּ
そして–これの–前に これの エルヤシブ 祭司は 任命されていた の–部屋に 神殿の 私たちの–神の
H6440 H2088 H0475 H3548 H5414 H3957 H0413 H0430

קָרוֹב לְטוֹבִיָּה׃
近しい トビヤに
H7138 H2900

これより先、われわれの神の宮のへやをつかさどっていた祭司エリアシブは、トビヤと縁組したので、

5 וַיַּעַשׂ לוֹ גְּדוֹלָה לִשְׁכָּה וְשָׁם הָיוּ לִפָּנִים נֹתְנִים
そして–設けた 彼の–ために 部屋を 大きな そして–そこに あった 以前は 納めていた–者が
H3957 H1961 H6440 H5414

אֶת־ הַמִּנְחָה הַלְּבוֹנָה וְהַכֵּלִים מַעְשַׂר וְהַתִּירוֹשׁ הַדָּגָן
を 穀物–ささげ物と 乳香と そして–器具と そして–十分の一の 新しい–ぶどう酒と 穀物と
H0853 H4503 H3828 H3627 H4643 H8492 H1715

וְתְרוּמַת מִצְוַת וְהַיִּצְהָר הַלְוִיִּם וְהַמְשֹׁרְרִים וְהַשֹּׁעֲרִים
奉納物の–ための 命令の そして–油と レビ人たちと そして–歌い手たちと そして–門衛たちと
H8641 H4687 H3323 H3881 H7891 H7778

הַכֹּהֲנִים׃
祭司たちの
H3548

トビヤのために大きなへやを備えた。そのへやはもと、素祭の物、乳香、器物および規定によってレビびと、歌うたう者および門を守る者たちに与える穀物、ぶどう酒、油の十分の一、ならびに祭司のためのささげ物を置いた所である。

6 וּבְכָל־ זֹאת לֹא הָיִיתִי בִירוּשָׁלַם כִּי בִּשְׁנַת שְׁלֹשִׁים וּשְׁתַּיִם
そして–すべての これの–間 ない いた エルサレムに なぜなら の–年に 三十 そして–二の
H3605 H2088 H3808 H1961 H3389 H3588 H8141 H7970 H8147

לְאַרְתַּחְשַׁסְתְּא מֶלֶךְ־ בָּבֶל בָּאתִי אֶל־ הַמֶּלֶךְ יָמִים וּלְקֵץ
アルタクシャスタの 王 バビロンの 私は–行った へ 王の–もとへ 日々の そして–の–終わりに
H4428 H0894 H0935 H0413 H4428 H3117 H7093

נִשְׁאַלְתִּי מִן־ הַמֶּלֶךְ׃
許しを–求めた から 王
H7592 H4428

その当時、わたしはエルサレムにいなかった。わたしはバビロンの王アルタシャスタの三十二年に王の所へ行ったが、しばらくたって王にいとまを請い、

7 וָאָבוֹא לִירוּשָׁלַם וָאָבִינָה עַל־ הָרָעָה אֲשֶׁר עָשָׂה אֶלְיָשִׁיב
そして–私は–来た エルサレムに そして–私は–悟った の–悪を あの 行った エルヤシブが
H0935 H3389 H0995 H7451 H0834 H6213

לְטוֹבִיָּה לַעֲשׂוֹת לוֹ נִשְׁכָּה בְּחַצְרֵי בֵּית הָאֱלֹהִים׃
トビヤの–ために 設ける–ために 彼の–ために 部屋を の–庭に 神殿 神の
H2900 H6213 H0413 H5393 H2691 H1004 H0430

エルサレムに来て、エリアシブがトビヤのためにした悪事、すなわち彼のために神の宮の庭に一つのへやを備えたことを発見した。

8 וַיֵּרַע לִי מְאֹד וָאַשְׁלִיכָה אֶת־כָּל־כְּלֵי בֵית־
そして–悪かった 私には 非常に そして–私は–投げ捨てた を すべての の–家具を 家の
H7451 H0589 H3966 H7993 H0853 H3605 H3627

טוֹבִיָּה מִן־הַחוּץ הַלִּשְׁכָּה׃
トビヤの から 外に その–部屋
H2900 H4480 H2351 H3957

わたしは非常に怒り、トビヤの家の器物をことごとくそのへやから投げだし、

9 וָאֹמְרָה וַיִּטַהֲרוּ הַלְּשָׁכוֹת וָאָשִׁיבָה שָׁם כְּלֵי בֵית
そして–命じた そして–清めた その–部屋を そして–戻した そこに 器具を 神殿の
H0559 H2891 H3957 H7725 H8033 H3627

הָאֱלֹהִים אֶת־הַמִּנְחָה וְהַלְּבוֹנָה׃ פ
神の を 穀物–ささげ物と そして–乳香を セラー
H0430 H0854 H4503 H3828

命じて、すべてのへやを清めさせ、そして神の宮の器物および素祭、乳香などを再びそこに携え入れた。

10 וָאֵדְעָה כִּי־מְנָיוֹת הַלְוִיִּם לֹא נִתָּנָה וַיִּבְרְחוּ אִישׁ־
そして–私は–知った ことを 分け前が レビ人たちの ない 与えられてい そして–逃げた 各人
H3045 H3588 H4521 H3881 H3808 H5414 H1272 H0376

לְשָׂדֵהוּ הַלְוִיִּם וְהַמְשֹׁרְרִים עֹשֵׂי הַמְּלָאכָה׃
自らの–畑に レビ人たちと そして–歌い手たちは 行う–者たち の–仕事を
H7704 H3881 H7891 H6213 H4399

わたしはまたレビびとがその受くべき分を与えられていなかったことを知った。これがためにその務をなすレビびとおよび歌うたう者たちは、おのおの自分の畑に逃げ帰った。

11 וָאָרִיבָה אֶת־הַסְּגָנִים וָאֹמְרָה מַדּוּעַ נֶעֱזַב בֵּית־
そして–叱った を 諒代官たちを そして–私は–言った なぜ 見捨てられたのか 神殿は
H7378 H0854 H5461 H0559 H4069 H5800 H1004

הָאֱלֹהִים וָאֲקַבְּצֵם וָאַעֲמִדֵם עַל־עָמְדָם׃
神の そして–私は–集めた そして–私は–立たせた の–上に 彼らの–持ち場に
H0430 H6908 H5975 H5921 H5977

それでわたしはつかさたちを責めて言った、「なぜ神の宮を捨てさせたのか」。そしてレビびとを招き集めて、その持ち場に復帰させた。

12 וְכָל־יְהוּדָה הֵבִיאוּ מַעְשַׂר הַדָּגָן וְהַתִּירוֹשׁ וְהַיִּצְהָר
そして–すべての ユダは 持ち来たった 十分の一を 穀物の そして–新しい–ぶどう酒の そして–油の
H3605 H3063 H0935 H4643 H1715 H8492 H3323

לָאוֹצָרוֹת׃
倉庫に
H0214

そこでユダの人々は皆、穀物、ぶどう酒、油の十分の一を倉に携えてきた。

13 וָאוֹצְרָה עַל־ אֹוצָרוֹת שְׁלֶמְיָה הַכֹּהֵן וְצָדָוֹק הַסּוֹפֵר
そして–私は–任命した の–上に 倉庫 シェレミヤ 祭司と そして–ツァドク 書記と
H0686 H0214 H8018 H3548 H6659

וּפְדָיָהוְ מִן־ הַלְוִיִּם עַל־ וְ יָדָם חָנָן בֶּן־ זַכּוּר בֶּן־
そして–ペダヤ から レビ人たちの そして–の–下に 彼らの–手の ハナン の–子 ザックル の–子
H6305 H3881 H3027 H2605 H2139

לַאֲחֵיהֶם׃ לַחֲלֹק וַעֲלֵיהֶם נֶחְשְׁבוּ נֶאֱמָנִים כִּי מַתַּנְיָה
彼らの–兄弟たちに 分配する–こと そして–彼らの–上に 認められた 忠実であると なぜなら マタニヤ
H0251 H2803 H0539 H4983

פ
セラー

わたしは祭司シレミヤ、学者ザドクおよびレビびとペダヤを倉のつかさとし、またマッタニヤの子ザックルの子ハナンをその助手として倉をつかさどらせた。彼らは忠実な者と思われたからである。彼らの任務は兄弟たちに分配する事であった。

14 זָכְרָה־ לִי אֱלֹהַי עַל־ זֹאת וְאַל־ תִּמַּח חַסְדַּי אֲשֶׁר
覚えて–ください 私を 私の–神よ の–ためめに これの そして–ない 消し 私の–善行を あの
H2142 H0430 H2063 H0408

וּבְמִשְׁמָרָיו׃ אֱלֹהַי בְּבֵית עָשִׂיתִי
そして–その–務めの–ために 私の–神の の–神殿で 私が–行った
H4929 H0430

わが神よ、この事のためにわたしを覚えてください。わが神の宮とその勤めのためにわたしが行った良きわざをぬぐい去らないでください。

15 בַּיָּמִים הָהֵמָּה רָאִיתִי בִּיהוּדָה דֹּרְכִים־ גִּתּוֹת בַּשַּׁבָּת
の–日々に それらの 私は–見た ユダで 踏んで–いる–者が ぶどう–ふねを 安息日に
H3117 H1992 H7200 H3063 H1869 H1660 H7676

וְאַף־ הַחֲמֹרִים עַל־ וְעֹמְסִים הָעֲרֵמוֹת וּמְבִיאִים
そして–また ろばの の–上に そして–積んで–いる–者が 穂束を そして–運び–入れる–者が
H0637 H2543 H6194 H0935

יְרוּשָׁלַ͏ִם וּמְבִיאִים מַשָּׂא וְכָל־ וּתְאֵנִים עֲנָבִים יַיִן
エルサレムに そして–運び–入れていた 荷物を そして–すべての そして–いちじくと ぶどう ぶどう酒
H3389 H0935 H3605 H8384 H6025 H3196

צָיִד׃ מְכָרָם בְּיוֹם וָאָעִיד הַשַּׁבָּת בְּיוֹם
食物を 彼らが–売る の–日に そして–私は–警告した 安息日の の–日に
H4376 H3117 H7676 H3117

そのころわたしはユダのうちで安息日に酒ぶねを踏む者、麦束を持ってきて、ろばに負わす者、またぶどう酒、ぶどう、いちじくおよびさまざまの荷を安息日にエルサレムに運び入れる者を見たので、わたしは彼らが食物を売っていたその日に彼らを戒めた。

16 מֶכֶר וְכָל־ דָּאג מְבִיאִים בָּהּ יָשְׁבוּ וְהַצֹּרִים
商品を そして–すべての 魚を 持ち込んで–いた そこに 住んでいた そして–ティルス人たちが
H4377 H3605 H1709 H0935 H3427 H6876

וּבִירוּשָׁלָ͏ִם׃ יְהוּדָה לִבְנֵי בַּשַּׁבָּת וּמֹכְרִים
そして–エルサレムで ユダ の–子らに 安息日に そして–売って–いた
H3389 H3063 H7676 H4376

そこに住んでいたツロの人々もまた魚およびさまざまの品物を持ってきて、安息日にユダの人々に売り、エルサレムで商売した。

17 וָאָרִ֣יבָה אֶת־חֹרֵ֣י יְהוּדָ֗ה וָאֹמְרָה֙ לָהֶ֔ם מָ֥ה־הַדָּבָ֖ר הָרָ֣ע הַזֶּ֑ה אֲשֶׁ֤ר אַתֶּם֙ עֹשִׂ֔ים וּמְחַלְּלִ֖ים אֶת־י֥וֹם הַשַּׁבָּֽת׃

そして–私は–叱った を 貴族たち ユダの そして–私は–言った 彼らに 何–という こと
H7378 H0854 H2715 H3063 H0559 H0853 H4100 H1697

あなたがたが 行って–いる 汚して–いる そして– を 日を 安息日の
H0853 H3117 H7676

あの この 悪い
H2088

そこでわたしはユダの尊い人々を責めて言った、「あなたがたはなぜこの悪事を行って、安息日を汚すのか。

18 הֲלוֹא֩ כָּ֨כָה עָשׂ֜וּ אֲבֹתֵיכֶ֗ם וַיָּבֵ֤א אֱלֹהֵ֙ינוּ֙ עָלֵ֣ינוּ וְעַל֙ הָעִ֣יר הַזֹּ֔את כָּל־הָרָעָ֖ה הַזֹּֽאת׃

そうではないか この–ように 行った あなたがたの–先祖たちが そして–もたらした 私たちの–神が
H3808 H3541 H6213 H0001 H0935 H0430

この 町 そして–の–上に この わざわいを すべての を 私たちの–上に
H2063 H5892 H5921 H2063 H7451 H3605 H0853

וְאַתֶּ֗ם מוֹסִיפִ֤ים חָרוֹן֙ עַל־יִשְׂרָאֵ֔ל לְחַלֵּ֖ל אֶת־י֥וֹם הַשַּׁבָּֽת׃

そして–あなたがたは 加えて–いる 怒りを の–上に イスラエル 汚す–ことによって を 安息日を
H3254 H3478 H2740 H5921 H0853 H7676

פ
ペー

あなたがたの先祖も、このように行ったので、われわれの神はこのすべての災を、われわれとこの町に下されたではないか。ところがあなたがたは安息日を汚して、さらに大いなる怒りをイスラエルの上に招くのである」。

19 וַיְהִי֩ כַּאֲשֶׁ֨ר צָלְלוּ֜ שַׁעֲרֵ֣י יְרוּשָׁלַ֗͏ִם לִפְנֵי֙ הַשַּׁבָּ֔ת וָאֹמְרָ֕ה וְיִסָּגְר֥וּ הַדְּלָתוֹת֮ וָאֹמְרָה֒ אֲשֶׁ֣ר לֹ֣א יִפָּתְח֗וּם עַד־אַחַ֤ר הַשַּׁבָּת֙ וּמִנְּעָרַ֣י הֶעֱמַ֔דְתִּי עַל־הַשְּׁעָרִ֖ים לֹא־יָבֹ֣וא מַשָּׂ֑א בְּי֖וֹם הַשַּׁבָּֽת׃

そして–あった 暮れた 門が エルサレムの の–前に 安息日の そして–私は–命じた
H1961 H6751 H8179 H3389 H6440 H7676 H0559

の–ときに
H3117

そして–閉じられた 扉が そして–私は–命じた のことを ない 開く–ことを まで の–後
H5462 H1817 H0559 H0834 H3808 H6605 H5704 H0310

そして–私の–従者たちを 私は–立たせた の–上に 門に ない 入る–べき 荷物が
H5288 H5975 H5921 H8179 H3808 H0935 H4853

安息日の
H7676

の–日に
H3117

そこで安息日の前に、エルサレムのもろもろの門が暗くなり始めた時、わたしは命じてそのとびらを閉じさせ、安息日が終るまでこれを開いてはならないと命じ、わたしのしもべ数人を門に置いて、安息日に荷を携え入れさせないようにした。

20 וַיָּלִ֤ינוּ הָרֹכְלִים֙ וּמֹכְרֵ֣י כָל־מִמְכָּ֔ר מִח֖וּץ לִירוּשָׁלַ֑͏ִם פַּ֥עַם וּשְׁתָֽיִם׃

そして–泊まった 行商人たちと そして–売る–者たち すべての 商品の 外に エルサレムの 一度
H3885 H7402 H4376 H3605 H4465 H2351 H3389 H6471

そして–二度
H8147

これがために、商人およびさまざまの品物を売る者どもは一、二回エルサレムの外に宿った。

21

לִנִים	אַתֶּם	מִדּוּעַ	אֲלֵיהֶם	וָאֹמְרָה	בָּהֶם	וָאָעִידָה
泊まって–いるのか	あなたがたは	なぜ	彼らに	そして–私は–言った	彼らに	そして–私は–警告した
		H4069	H0413	H0559		

הַהִוא	הָעֵת	מִן־	בָּכֶם	אֶשְׁלַח	יָד	תִּשְׁנוּ	אִם־	הַחוֹמָה	נֶגֶד
その	その–時	から	あなたがたに	私は–伸ばす	手を	繰り返すなら	もし	城壁の	の–前に
H1931	H6256			H7971	H3027			H2346	H5048

	ס	בַּשַּׁבָּת׃	בָּאוּ	לֹא־
	セラー	安息日に	来た	ない
		H7676	H0935	H3808

わたしは彼らを戒めて言った、「あなたがたはなぜ城壁の前に宿るのか。もしあなたがたが重ねてそのようなことをするならば、わたしはあなたがたを処罰する」と。そのとき以来、彼らは安息日にはこなかった。

22

וּבָאִים	מְטַהֲרִים	יִהְיוּ	אֲשֶׁר	לַלְוִיִּם	וָאֹמְרָה	
そして–来る–者たち	身を–清める–者たち	なる–べき	あの	レビ人たちに	そして–私は–言った	
H0935	H2891	H1961		H3881	H0559	

זֹאת	גַּם־	הַשַּׁבָּת	יוֹם	אֶת־	לְקַדֵּשׁ	הַשְּׁעָרִים	שֹׁמְרִים
これを	これも–また	安息日の	日を	を	聖める–ために	門を	見張り–する–者たち
H2063	H1571	H7676	H3117	H0853	H6942	H8179	H8104

כְּרֹב	עָלַי	וְחוּסָה	אֱלֹהַי	לִי	זָכְרָה־	
の–豊かさに–応じて	私を	そして–憐れんで–ください	私の–神よ	私を	覚えて–ください	
H7230		H2347	H0430		H2142	

פ	חַסְדֶּךָ׃	
ペー	あなたの–憐れみの	

わたしはまたレビびとに命じて、その身を清めさせ、来て門を守らせて、安息日を聖別した。わが神よ、わたしのためにまた、このことを覚え、あなたの大いなるいつくしみをもって、わたしをあわれんでください。

23

אשדודיות]	נָשִׁים	הֹשִׁיבוּ	הַיְהוּדִים	אֶת־	רָאִיתִי	הָהֵם	בַּיָּמִים	וְגַם
アシュドドの	女を	娶って–いた	ユダヤ人たちが	を	私は–見た	それらの	の–日々に	また
H0796	H0802	H3427	H3064	H0853	H7200	H1992	H3117	H1571

מוֹאֲבִיּוֹת׃	עַמֳּנִיּוֹת)	עמוניות]	אַשְׁדֳּדִיּוֹת)
モアブの	アンモンの	アンモンの	アシュドドの
H4125	H5984	H5984	H0796

そのころまた、わたしはアシドド、アンモン、モアブの女をめとったユダヤ人を見た。

24

וְאֵינָם	אַשְׁדּוֹדִית	מְדַבֶּר	חֲצִי	וּבְנֵיהֶם	
そして–できなかった	アシュドド語を	話して–いた	半分は	そして–彼らの–子どもたちは	
H0369	H0797	H1696	H2677		

וָעָם׃	עַם	וְכִלְשׁוֹן	יְהוּדִית	לְדַבֵּר	מַכִּירִים
そして–民の	民	そして–の–言葉で	ユダヤの–言葉を	話す–ことが	認める–ことが
		H3956	H3066	H1696	

彼らの子供の半分はアシドドの言葉を語って、ユダヤの言葉を語ることができず、おのおのその母親の出た民の言葉を語った。

25

אֲנָשִׁים	מֵהֶם	וָאַכֶּה	וָאֲקַלְלֵם	עִמָּם	וָאָרִיב
人々を	彼らの–中から	そして–私は–打った	そして–私は–呪った	彼らを	そして–私は–叱った
H0376	H1992	H5221	H7043		H7378

תִּתְּנוּ	אִם־	בֵּאלֹהִים	וָאַשְׁבִּיעֵם	וָאֶמְרְטֵם
与えるなら	もし	神に–かけて	そして–私は–誓わせた	そして–私は–髪を–引き抜いた
H5414		H0430	H7650	H4803

מִבְּנֹתֵיהֶם	תִּשְׂאוּ	וְאִם־	לִבְנֵיהֶם	בְּנֹתֵיכֶם
彼らの–娘たちから	娶るなら	そして–もし	彼らの–息子たちに	あなたがたの–娘たちを
H1323	H5375			H1323

לִבְנֵיכֶם	וְלָכֶם׃
あなたがたの–息子たちの–ために	そして–あなたがたの–ために

わたしは彼らを責め、またののしり、そのうちの数人を撃って、その毛を抜き、神の名をさして誓わせて言った、「あなたがたは彼らのむすこに自分の娘を与えてはならない。またあなたがたのむすこ、またはあなたがた自身のために彼らの娘をめとってはならない。

26

יִשְׂרָאֵל	מֶלֶךְ	שְׁלֹמֹה	חָטָא־	אֱלֹה	עַל־	הֲלוֹא
イスラエルの	王	ソロモン	罪を–犯した	これらの	の–ために	そうではないか
H3478	H4428	H8010	H2398	H0428		H3808

לֵאלֹהָיו	וְאָהוּב	כָּמֹהוּ	מֶלֶךְ	הָיָה	לֹא־	הָרַבִּים	וּבַגּוֹיִם
彼の–神に	そして–愛されて–いた	彼の–ような	王が	いた	ない	多くの	そして–諸国の–中で
H0430	H0157	H3644	H4428	H1961	H3808		

אוֹתוֹ	גַּם־	יִשְׂרָאֵל	כָּל־	עַל־	מֶלֶךְ	אֱלֹהִים	וַיִּתְּנֵהוּ	הָיָה
彼を	しかし–また	イスラエル	すべての	の–上に	王として	神は	そして–立てた	いた
H0853	H1571	H3478	H3605		H4428	H0430	H5414	H1961

הַנָּכְרִיּוֹת׃	הַנָּשִׁים	הֶחֱטִיאוּ
異国の	女たちが	罪を–犯させた
H5237	H0802	H2398

イスラエルの王ソロモンはこれらのことによって罪を犯したではないか。彼のような王は多くの国民のうちにもなく、神に愛せられた者である。神は彼をイスラエル全国の王とせられた。ところが異邦の女たちは彼に罪を犯させた。

27

הַזֹּאת	הַגְּדוֹלָה	הָרָעָה	כָּל־	אֶת	לַעֲשׂת	הַנִּשְׁמַע	וְלָכֶם
この	大きな	の–悪を	すべての	を	行う–ことを	聞くに–忍びないのか	そして–あなたがたに
H2063			H3605	H0853		H8085	

נָכְרִיּוֹת׃	נָשִׁים	לְהוֹשִׁיב	בֵּאלֹהֵינוּ	לִמְעֹל
異国の	女を	娶らせる–ことを	私たちの–神に	背く–ことを
H5237	H0802	H3427	H0430	H4603

それゆえあなたがたが異邦の女をめとり、このすべての大いなる悪を行って、われわれの神に罪を犯すのを、われわれは聞き流しにしておけようか」。

28

לְסַנְבַלַּט	חֹתֶן	הַגָּדוֹל	הַכֹּהֵן	אֶלְיָשִׁיב	בֶּן־	יוֹיָדָע	וּמִבְּנֵי
サンバラトの	婿戴	大いなる	祭司	エルヤシブ	の–子	ヨヤダ	そして–の–子ら–から
H5571	H2860		H3548	H0475		H3111	

מֵעָלָי׃	וָאַבְרִיחֵהוּ	הַחֹרֹנִי
私の–もとから	そして–私は–追い払った	ホロン人の
	H1272	H2772

大祭司エリアシブの子ヨイアダのひとりの子はホロニびとサンバラテの婿であったので、わたしは彼をわたしのところから追い出した。

29 זָכְרָה֙ אֱלֹהַ֔י לָהֶ֖ם עַ֣ל גֹּאֲלֵ֑י הַכְּהֻנָּ֖ה וּבְרִ֥ית
覚えて–ください 彼らに–対して 私の–神よ の–ために 汚した–者たち 祢司職を そして–契約を
H2142 H1992 H0430 H5921 H1352 H3550 H1285

הַכְּהֻנָּ֖ה וְהַלְוִיִּֽם׃
祢司職の そして–レビ人たちの
H3550 H3881

わが神よ、彼らのことを覚えてください。彼らは祭司の職を汚し、また祭司およびレビびとの契約を汚しました。

30 וְטִהַרְתִּ֣ים מִכֹּל־נֵכָ֗ר וָאַעֲמִ֤ידָה֙ מִשְׁמָר֣וֹת לַכֹּהֲנִ֔ים
そして–私は–清めた すべての–から 異国の–もの そして–私は–定めた 務めを 祭司たちの–ために
H2891 H3605 H5236 H5975 H4931 H3548

וְלַלְוִיִּ֑ם אִ֣ישׁ בִּמְלַאכְתּ֖וֹ׃
そして–レビ人たちの–ために 各人 自らの–仕事に
H3881 H0376 H4399

このように、わたしは彼らを清めて、異邦のものをことごとく捨てさせ、祭司およびレビびとの務を定めて、おのおのそのわざにつかせた。

31 לִ֣י זָכְרָה־אֱלֹהַ֔י לְטוֹבָ֑ה וְלַבִּכּוּרִ֖ים מְזֻמָּנ֥וֹת בְּעִתִּ֛ים וְלִקְרְבָּ֥ן הָעֵצִֽים׃
私を 覚えて–ください 私の–神よ 善き–ことの–ために そして–初穂の–ために 定められた 定められた–時に そして–の–献納 薪の
H2142 H430 H2142 H1061 H2163 H6256 H7133 H6086

また定められた時に、たきぎの供え物をささげさせ、また初物をささげさせた。わが神よ、わたしを覚え、わたしをお恵みください。

Esther

Chapter 1

1 וַיְהִי בִּימֵי אֲחַשְׁוֵרוֹשׁ הַוּא אֲחַשְׁוֵרוֹשׁ הַמֹּלֵךְ מֵהֹדּוּ וְעַד־כּוּשׁ מֵאָה וְעֶשְׂרִים שָׁבַע מְדִינָה׃

וַיְהִי	בִּימֵי	אֲחַשְׁוֵרוֹשׁ	הַוּא	אֲחַשְׁוֵרוֹשׁ	הַמֹּלֵךְ	מֵהֹדּוּ	וְעַד־	כּוּשׁ	
そして–あった	その–日々に	アハシュエロスの	彼こそ	アハシュエロスで	治めていた–王	インドから	そして–まで	クシュまで	
H1961	H3117	H0325	H1931	H0325	H4428	H1912	H5704	H3967	

5 וּבְמִלֹּאת הַיָּמִים הָאֵלֶּה עָשָׂה הַמֶּלֶךְ לְכָל־הָעָם הַנִּמְצְאִים
そして–満ちた–とき 日々が これらの 催した 王は すべての 民のために いた–者たちに
H4390 H3117 H0428 H4428 H3605 H4672

בְּשׁוּשַׁן הַבִּירָה לְמִגָּדוֹל וְעַד־קָטֹן מִשְׁתֶּה שִׁבְעַת יָמִים חֲצַר
シュシャンの 城にいる 大きい–者から そして–まで 小さい–者まで 宴会を 七 日間 庭で
H7800 H1002 H1419 H5704 H4960 H7651 H3117 H2691

גִּנַּת בִּיתַן הַמֶּלֶךְ׃
園の 離宮の 王の
H1594 H1055 H4428

これらの日が終った時、王は王の宮殿の園の庭で、首都スサにいる大小のすべての民のために七日の間、酒宴を設けた。

6 חוּר וְכַרְפַּס תְּכֵלֶת אָחוּז בְּחַבְלֵי־בוּץ וְאַרְגָּמָן עַל־גְּלִילֵי
白い 綿の–布と そして–青い–布が 掛けられた 紐で 亜麻の そして–紫の その 輪に
H2353 H3768 H8504 H0270 H2338 H0948 H0713 H5921 H1552

כֶּסֶף וְעַמּוּדֵי שֵׁשׁ מִטּוֹת זָהָב וָכֶסֶף עַל רִצְפַת בַּהַט וְשֵׁשׁ
銀の そして–柱に 大理石の 寝台は 金と 銀の その 床の–上に 斑岩と 大理石と
H3701 H5982 H8336 H1722 H2091 H3701 H5921 H7531 H1045 H8336

וְדַר וְסֹחֶרֶת׃
そして–真珠と 黒–大理石の
H1917 H5508

そこには白綿布の垂幕と青色のとばりとがあって、紫色の細布のひもで銀の輪および大理石の柱につながれていた。また長いすは金銀で作られ、石膏と大理石と真珠貝および宝石の切りはめ細工の床の上に置かれていた。

7 רָב מַלְכוּת וְיַיִן שׁוֹנִים מִכֵּלִים וְכֵלִים זָהָב בְּכִלֵי וְהַשְׁקוֹת
豊かで 王室の そして–酒は 異なり 器ごとに そして–器は 金の 器で そして–飲み物は
H7227 H4438 H3196 H8138 H3627 H3627 H2091 H3627 H8248

כְּיַד הַמֶּלֶךְ׃
手の–ままに 王の
H3027 H4428

酒は金の杯で賜わり、その杯はそれぞれ違ったもので、王の大きな度量にふさわしく、王の用いる酒を惜しみなく賜わった。

8 עַל וְכֵן כִּי־אֹנֶס אֵין כַּדָּת וְהַשְׁתִּיָה
その このように なぜなら 強制は なく 定めに–従い そして–飲むことは
H5921 H3651 H3588 H0597 H0369 H1881 H8360

כְּרָצוֹן אִישׁ־אִישׁ׃ לַעֲשׂוֹת בֵּיתוֹ רַב כָּל־
望みの–ままに 各–人の するように 宮殿の 役人に すべての
H7522 H0376 H0376 H6213 H1004 H7227 H3605

その飲むことは法にかない、だれもしいられることはなかった。これは王が人々におのおの自分の好むようにさせよと宮廷のすべての役人に命じておいたからである。

9 גַּם וַשְׁתִּי הַמַּלְכָּה עָשְׂתָה מִשְׁתֵּה נָשִׁים בֵּית הַמַּלְכוּת אֲשֶׁר לַמֶּלֶךְ
また ワシュティ 王妃も 催した 宴会を 女たちのための 王宮の 王室で それは 王の
H1571 H2060 H4436 H6213 H4960 H0802 H1004 H4438 H0834 H4428

ס אֲחַשְׁוֵרוֹשׁ׃
[区切り] アハシュエロスの
H0325

王妃ワシテもまたアハシュエロス王に属する王宮の内で女たちのために酒宴を設けた。

10 בַּיּוֹם הַשְּׁבִיעִי כְּטוֹב לֵב־הַמֶּלֶךְ בַּיָּיִן אָמַר לִמְהוּמָן בִּזְתָא
その-日に 第七の 良くなった-時 心が 王の 酒で 言った メフマンと ビゼタと
H3117 H7637 H2896 H3820 H4428 H3196 H0559 H4104 H0968

חַרְבוֹנָא בִּגְתָא וַאֲבַגְתָא זֵתַר וְכַרְכַּס שִׁבְעַת הַסָּרִיסִים הַמְשָׁרְתִים אֶת־
ハルボナと ビグタと アバグタと ゼタルと カルカスに 七人の 宦官たちに 仕えていた (を)
H2726 H0903 H0005 H2242 H3752 H7651 H5631 H8334 H0854

פְּנֵי הַמֶּלֶךְ אֲחַשְׁוֵרוֹשׁ׃
前で 王の アハシュエロスの
H6440 H4428 H0325

七日目にアハシュエロス王は酒のために心が楽しくなり、王の前に仕える七人の侍従メホマン、ビズタ、ハルボナ、ビグタ、アバグタ、ゼタルおよびカルカスに命じて、

11 לְהָבִיא אֶת־וַשְׁתִּי הַמַּלְכָּה לִפְנֵי הַמֶּלֶךְ בְּכֶתֶר מַלְכוּת לְהַרְאוֹת
連れて-来るよう (を) ワシュティ 王妃を 王の 前に 冠を-かぶせて 王室の 見せるために
H0935 H0853 H2060 H4436 H4428 H6440 H3804 H4438 H7200

הָעַמִּים וְהַשָּׂרִים אֶת־יָפְיָהּ כִּי־טוֹבַת מַרְאֶה הִיא׃
民たちと 高官たちに (を) その-美しさを なぜなら 美しい 容姿の 彼女であった
H5971 H8269 H853 H3308 H3588 H2896 H4758 H1931

王妃ワシテに王妃の冠をかぶらせて王の前にこさせよと言った。これは彼女が美しかったので、その美しさを民らと大臣たちに見せるためであった。

12 וַתְּמָאֵן הַמַּלְכָּה וַשְׁתִּי לָבוֹא בִּדְבַר הַמֶּלֶךְ בְּיַד אֲשֶׁר
しかし-拒んだ 王妃 ワシュティは 来ることを 命令に-より 王の それは 手を-通して
H3985 H4436 H2060 H0935 H1697 H4428 H834 H3027

וַיִּקְצֹף הַמֶּלֶךְ מְאֹד וַחֲמָתוֹ בָעֲרָה בּוֹ׃
そして-怒った 王は 非常に 怒りが そして-燃えた 彼の-内に
H7107 H4428 H3966 H2534 H1158 H0

ところが、王妃ワシテは侍従が伝えた王の命令に従って来ることを拒んだので、王は大いに憤り、その怒りが彼の内に燃えた。

13 וַיֹּאמֶר הַמֶּלֶךְ לַחֲכָמִים יוֹדְעֵי הָעִתִּים כִּי־כֵן דִּבַּר
そして-言った 王は 知恵ある-者たちに 知る-者たち 時を なぜなら このように 言葉は
H0559 H4428 H2450 H3045 H6256 H3588 H3651 H1697

לִפְנֵי כָּל־יוֹדְעֵי דָת וָדִין׃
王の 前で すべての 知る-者たちに 法と 裁きを
H4428 H6440 H3605 H3045 H1881 H1779

そこで王は時を知っている知者に言った、――王はすべて法律と審判に通じている者に相談するのを常とした。

14 וְהַקָּרֹב אֵלָיו כַּרְשְׁנָא שֵׁתָר אַדְמָתָא תַּרְשִׁישׁ מֶרֶס מַרְסְנָא
そして-近い-者 彼に カルシェナと シェタルと アドマタと タルシシュと メレスと マルセナと
H7138 H0413 H3771 H8369 H0133 H8659 H4825 H4826

הַיֹּשְׁבִים רִאשֹׁנָה בְּמַלְכוּת׃ מְמוּכָן שִׁבְעַת שָׂרֵי וְמָדַי פָּרַס רֹאֵי פְּנֵי הַמֶּלֶךְ
座していた 第一に 王国の-中で メムカン 七人の 大臣たち メディアの ペルシアと 見る-者たち 顔を 王の
H3427 H7223 H4438 H4462 H7651 H8269 H4074 H6539 H7200 H6440 H4428

時に王の次にいた人々はペルシャおよびメデアの七人の大臣カルシナ、セタル、アデマタ、タルシシ、メレス、マルセナ、メムカンであった。彼らは皆王の顔を見る者で、国の首位に座する人々であった――

15

לֹא־	אֲשֶׁר	וְעַל	וַשְׁתִּי	בַּמַּלְכָּה	לַעֲשׂוֹת	מָה־	כְּדָת
従わなかった	彼女が	その–ことで	ワシュティに	王妃	なすべきか	何を	法に–従い
H3808			H2060	H4436		H4100	H1881

ס	הַסָּרִיסִים׃	בְּיַד	אֲחַשְׁוֵרוֹשׁ	הַמֶּלֶךְ	מַאֲמַר	אֶת־	עָשְׂתָה
[区切り]	宦官たちの	手を–通した	アハシュエロスの	王の	命令を	(を)	行わなかった
	H5631	H3027	H0325	H4428	H3982	H0853	

「王妃ワシテは、アハシュエロス王が侍従をもって伝えた命令を行わないゆえ、法律に従って彼女にどうしたらよかろうか」。

16

עַל־	לֹא	וְהַשָּׂרִים	הַמֶּלֶךְ	לִפְנֵי	(מְמוּכָן)	[מומכן]	וַיֹּאמֶר
に–対して	ただ–ではない	高官たちの	王と	前で	メムカンは	[メムカン]	そして–言った
	H3808	H8269	H4428	H6440	H4462	H4462	H0559

הַשָּׂרִים	כָּל־	עַל־	כִּי	הַמַּלְכָּה	וַשְׁתִּי	עָוְתָה	לְבַדּוֹ	הַמֶּלֶךְ
高官たちと	すべての	に–対して	むしろ	王妃は	ワシュティ	過ちを–犯した	だけに	王
H8269	H3605			H4436	H2060		H0905	H4428

אֲחַשְׁוֵרוֹשׁ׃	הַמֶּלֶךְ	מְדִינוֹת	בְּכָל־	אֲשֶׁר	הָעַמִּים	כָּל־	וְעַל־
アハシュエロスの	王の	州の–中の	すべての	いる	民たちに	すべての	そして–に–対して
H0325	H4428	H4082	H3605			H3605	

メムカンは王と大臣たちの前で言った、「王妃ワシテはただ王にむかって悪い事をしたばかりでなく、すべての大臣およびアハシュエロス王の各州のすべての民にむかってもしたのです。

17

בַּעְלֵיהֶן	לְהַבְזוֹת	הַנָּשִׁים	כָּל־	עַל־	הַמַּלְכָּה	דְּבַר־	יֵצֵא	כִּי־
夫たちを	軽んじさせる	女たちに	すべての	に–対して	王妃の	言葉が	広まる	なぜなら
H1167	H0959	H0802	H3605		H4436	H1697	H3318	

הַמַּלְכָּה	וַשְׁתִּי	אֶת־	לְהָבִיא	אָמַר	אֲחַשְׁוֵרוֹשׁ	הַמֶּלֶךְ	בְּאָמְרָם	בְּעֵינֵיהֶן
王妃を	ワシュティ	(を)	連れて–来るよう	命じた	アハシュエロスは	王	言って	その–目に
H4436	H2060	H0853	H0935	H0559	H0325	H4428	H0559	

לְפָנָיו	וְלֹא־	בָאָה׃	
その–前に	しかし–来なかった	彼女は	
H6440	H3808	H0935	

王妃のこの行いはあまねくすべての女たちに聞えて、彼らはついにその目に夫を卑しめ、『アハシュエロス王は王妃ワシテに、彼の前に来るように命じたがこなかった』と言うでしょう。

18

שָׁמְעוּ	אֲשֶׁר	וּמָדַי	פָּרַס־	שָׂרוֹת	תֹּאמַרְנָה	הַזֶּה	וְהַיּוֹם
聞いた	その–者たちが	メディアの	ペルシアと	貴婦人たちが	言うだろう	この–日に	そして–今日
H8085		H4074	H6539	H8282	H0559	H2088	H3117

וְקֶצֶף׃	בִּזָּיוֹן	וּכְדַי	הַמֶּלֶךְ	שָׂרֵי	לְכָל	הַמַּלְכָּה	דְּבַר	אֶת־
怒りが–ある	軽蔑と	そして–十分な	王の	高官たちに	すべての	王妃の	言葉を	(を)
	H0963	H1767	H4428	H8269	H3605	H4436	H1697	H0853

王妃のこの行いを聞いたペルシャとメデアの大臣の夫人たちもまた、今日、王のすべての大臣たちにこのように言うでしょう。そうすれば必ず卑しめと怒りが多く起ります。

19 אִם־ עַל־ הַמֶּלֶךְ טוֹב יֵצֵא דְּבַר־ מַלְכוּת מִלְּפָנָיו וְיִכָּתֵב
もし に 王 良ければ 出すべきです 勅令を 王国の 御前から そして–記されるべきです
H3789 H6440 H4438 H1697 H3318 H2895 H4428

בְּדָתֵי פָּרַס־ וּמָדַי וְלֹא תָעֲבוֹר אֲשֶׁר לְא־ תָבוֹא
法律に ペルシアと メディアの そして–取り消せない ように すなわち 二度と 来ないように
H1881 H6539 H4074 H3808 H5674 H834 H3808 H0935

הַמֶּלֶךְ יִתֶּן לְפָנַי וַשְׁתִּי אַחַשְׁוֵרוֹשׁ וּמַלְכוּתָהּ יִתֵּן הַמֶּלֶךְ
王が 与えるべきです ワシュティは 前に 王の アハシュエロスの そして–その–王妃の–位を 与えるべきです 王が
H4428 H5414 H2060 H6440 H4428 H0325 H4438 H5414 H4428

מִמֶּנָּה׃ הַטּוֹבָה לְרֵעוּתָהּ
彼女よりも より–良い その–友に
H7468

もし王がよしとされるならば、ワシテはこの後、再びアハシュエロス王の前にきてはならないという王の命令を下し、これをペルシャとメデアの法律の中に書きいれて変ることのないようにし、そして王妃の位を彼女にまさる他の者に与えなさい。

20 וְנִשְׁמַע פִּתְגָם אֲשֶׁר־ יַעֲשֶׂה הַמֶּלֶךְ בְּכָל־ מַלְכוּתוֹ כִּי הִיא רַבָּה
そして–聞かれる 布告が 王の それを なす すべての 王国で なぜなら それは 広い
H8085 H6599 H4428 H834 H6213 H3605 H4438 H3588 H1931 H7227

וְעַד־ קְטַנָּה׃ לִגְדוֹל לִבְעֲלֵיהֶן יִתְּנוּ יְקָר הַנָּשִׁים וְכָל־
そして–まで 小さい–者まで 大きい–者から 夫たちに 敬意を 与える 女たちは そして–すべての
H5704 H6996 H1419 H1167 H3366 H5414 H0802 H3605

王の下される詔がこの大きな国にあまねく告げ示されるとき、妻たる者はことごとく、その夫を高下の別なく共に敬うようになるでしょう」。

21 הַמֶּלֶךְ וַיַּעַשׂ וְהַשָּׂרִים הַמֶּלֶךְ בְּעֵינֵי הַדָּבָר וַיִּיטַב
王は そして–行った そして–高官たちの 王の 目に その–言葉は そして–良かった
H4428 H8269 H4428 H1697 H3190

כִּדְבַר מְמוּכָן׃
言葉の–通りに メムカンの
H1697 H4462

王と大臣たちはこの言葉をよしとしたので、王はメムカンの言葉のとおりに行った。

22 וַיִּשְׁלַח סְפָרִים אֶל־ כָּל־ מְדִינוֹת הַמֶּלֶךְ אֶל־ מְדִינָה וּמְדִינָה
そして–送った 書簡を その 王の 州に すべての その 州 また–州ごとに
H7971 H5612 H0413 H4428 H4082 H3605 H0413 H4082 H4082

וְאֶל־ עַם וָעַם כִּלְשׁוֹנוֹ לִהְיוֹת כָּל־ אִישׁ
そして 民 また–民ごとに その–言語で すべての すべての 男が
H0413 H5971 H3956 H1961 H3605 H0376

כִּכְתָבָהּ וְאֶל־ עַמּוֹ׃ פ כִּלְשׁוֹן וּמְדַבֵּר בְּבֵיתוֹ שֹׂרֵר
その–文字で そして 自分の–民の [段落] 言語で そして–語るように その–家で 主人で–あるように
H3791 H0413 H5971 H3956 H1696 H1004 H8323

王は王の諸州にあまねく書を送り、各州にはその文字にしたがい、各民族にはその言語にしたがって書き送り、すべて男子たる者はその家の主となるべきこと、また自分の民の言語を用いて語るべきことをさとした。

Chapter 2

1 אַחַר֙ הַדְּבָרִ֣ים הָאֵ֔לֶּה כְּשֹׁךְ֙ חֲמַ֣ת הַמֶּ֣לֶךְ אֲחַשְׁוֵרֹ֔וֹש זָכַ֖ר אֶת־
後に 事柄の これらの 収まった-時 怒りが 王の アハシュエロスの 思い出した (を)
H0853 H2142 H0325 H4428 H2534 H7918 H0428 H1697

וַשְׁתִּ֑י וְאֵ֤ת אֲשֶׁר־עָשְׂתָה֙ וְאֵ֣ת אֲשֶׁר־נִגְזַ֔ר עָלֶ֖יהָ׃
ワシュティを そして 彼女が したことを それが そして 定められたことを 彼女に-対して
H2060 H0853 H0428 H6213 H0853 H1504

これらのことの後、アハシュエロス王の怒りがとけ、王はワシテおよび彼女のしたこと、また彼女に対して定めたことを思い起した。

2 וַיֹּאמְרוּ֙ נַעֲרֵ֣י הַמֶּ֔לֶךְ מְשָׁרְתָ֖יו יְבַקְּשׁ֣וּ לַמֶּ֣לֶךְ נְעָר֑וֹת
そして-言った 若い-側近たちが 王の 仕える-者たちが 探すべきです 王のために 若い-女たちを
H0559 H5288 H4428 H8334 H1245 H4428 H5291

בְּתוּלֹ֥ות טֹובֹ֖ות מַרְאֶֽה׃
処女の 美しい 容姿の
H1330 H2896 H4758

時に王に仕える侍臣たちは言った、「美しい若い処女たちを王のために尋ね求めましょう。

3 וְיַפְקֵ֣ד הַמֶּ֡לֶךְ פְּקִידִים֩ בְּכָל־מְדִינ֨וֹת מַלְכוּתֹ֜ו וְיִקְבְּצ֣וּ
そして-任命すべきです 王が 役人たちを すべての 州に 王国の そして-集めるべきです
H6908 H4428 H6496 H3605 H4082 H4438 H6908

אֶת־כָּל־נַעֲרָ֣ה בְתוּלָ֣ה טֹובַ֣ת מַרְאֶ֗ה אֶל־הַבִּירָ֤ה שׁוּשַׁן֙ אֶל־בֵּ֣ית
(を) すべての 若い-女を 処女の 美しい 容姿の その 城に シュシャンの その 家に
H0853 H3605 H5291 H1330 H2896 H4758 H0413 H1002 H7800 H0413 H1004

הַנָּשִׁ֔ים אֶל־יַ֖ד הֵגֵ֣א סְרִ֣יס הַמֶּ֑לֶךְ שֹׁמֵ֣ר הַנָּשִׁ֔ים וְנָתֹ֖ון תַּמְרוּקֵיהֶֽן׃
女たちの その 手の-もとに ヘガイの 宦官の 王の 守る-者 女たちの そして-与えるべきです 化粧品を
H0802 H0413 H3027 H1896 H5631 H4428 H8104 H0802 H5414 H8562

どうぞ王はこの国の各州において役人を選び、美しい若い処女をことごとく首都スサにある婦人の居室に集めさせ、婦人をつかさどる王の侍従ヘガイの管理のもとにおいて、化粧のための品々を彼らに与えてください。

4 וְהַנַּעֲרָ֗ה אֲשֶׁ֤ר תִּֽיטַב֙ בְּעֵינֵ֣י הַמֶּ֔לֶךְ תִּמְלֹ֖ךְ תַּחַ֣ת וַשְׁתִּ֑י
そして-若い-女が その-者が 良く-見えた 目に 王の 王妃と-なる 代わりに ワシュティの
H5291 H3190 H4428 H4427 H8478 H2060

וַיִּיטַ֥ב הַדָּבָ֖ר בְּעֵינֵ֣י הַמֶּ֑לֶךְ וַיַּ֖עַשׂ כֵּ֥ן׃ ס
そして-良かった その-言葉は 目に 王の そして-行った その-ように [区切り]
H3190 H1697 H4428 H6213 H3651

こうして御意にかなうおとめをとって、ワシテの代りに王妃としてください」。王はこの事をよしとし、そのように行った。

5 אִ֣ישׁ יְהוּדִ֗י הָיָה֙ בְּשׁוּשַׁ֣ן הַבִּירָ֔ה וּשְׁמֹ֖ו מָרְדֳּכַ֣י בֶּן־
人が-いた ユダヤ人の いた シュシャンの 城に そして-その-名は モルデカイ 息子で
H0376 H3064 H1961 H7800 H1002 H8034 H4782

יָאִ֑יר בֶּן־שִׁמְעִ֥י בֶן־קִ֖ישׁ אִ֣ישׁ יְמִינִֽי׃
ヤイルの 息子の シメイの 息子の キシュの 人で ベニヤミンの
H2971 H1121 H8096 H1121 H7027 H0376 H1145

さて首都スサにひとりのユダヤ人がいた。名をモルデカイといい、キシのひこ、シメイの孫、ヤイルの子で、ベニヤミンびとであった。

6

אֲשֶׁר	הַגֹּלָה	עִם־	מִירוּשָׁלַיִם	הָגְלָה	אֲשֶׁר
その–者たちが	捕囚たちと	ともに	エルサレムから	捕囚として–連れられた	彼は
	H1473		H3389	H1540	

הֶגְלָה	אֲשֶׁר	יְהוּדָה	מֶלֶךְ־	יְכָנְיָה	עִם	הָגְלְתָה	
捕囚として–連れた	その–者を	ユダの	王の	エコニヤと	ともに	捕囚として–連れられた	
H1540		H3063	H4428	H3204		H1540	

בָּבֶל׃	מֶלֶךְ	נְבוּכַדְנֶאצַּר
バビロンの	王の	ネブカドネザルが
H0894	H4428	H5019

彼はバビロンの王ネブカデネザルが捕えていったユダの王エコニヤと共に捕えられていった捕虜のひとりで、エルサレムから捕え移された者である。

7

כִּי	דֹדוֹ	בַּת־	אֶסְתֵר	הֵיא	הֲדַסָּה	אֶת־	אֹמֵן	וַיְהִי
なぜなら	おじの	娘で	エステルで	彼女こそ	ハダサの	(を)	養父であった	そして–彼は
	H1730	H1323	H0635	H1931	H1919	H0853	H0539	H1961

מַרְאֶה	וְטוֹבַת	תֹּאַר	יְפַת־	וְהַנַּעֲרָה	וָאֵם	אָב	לָהּ	אֵין
容貌の	そして–美しい	姿の	美しい	そして–若い–女は	母も	父も	彼女には	いなかった
H4758		H8389	H3303	H5291	H0517	H0001		H0369

לְבַת׃	לוֹ	מָרְדֳּכַי	לְקָחָהּ	וְאִמָּהּ	אָבִיהָ	וּבְמוֹת
娘として	彼女を	モルデカイが	引き取った	そして–母が	父が	そして–死んだ–時
H1323		H4782	H3947	H0517	H0001	H4194

彼はそのおじの娘ハダッサすなわちエステルを養い育てた。彼女には父も母もなかったからである。このおとめは美しく、かわいらしかったが、その父母の死後、モルデカイは彼女を引きとって自分の娘としたのである。

8

נְעָרוֹת	וּבְהִקָּבֵץ	וְדָתוֹ	הַמֶּלֶךְ	דְּבַר־	בְּהִשָּׁמַע	וַיְהִי	
若い–女たちが	そして–集められた–時	そして–律法が	王の	命令が	聞かれた–時	そして–あった	
H5291	H6908	H1881	H4428	H1697	H8085	H1961	

וַתִּלָּקַח	הֵגַי	יַד־	אֶל־	הַבִּירָה	שׁוּשַׁן	אֶל־	רַבּוֹת
そして–連れて–行かれた	ヘガイの	手の–もとに	その	城に	シュシャンの	その	多くの
H3947	H1896	H3027	H0413	H1002	H7800	H0413	

הַנָּשִׁים׃	שֹׁמֵר	הֵגַי	יַד	אֶל־	הַמֶּלֶךְ	בֵּית	אֶל־	אֶסְתֵר
女たちの	守る–者	ヘガイの	手の–もとに	その	王の	家に	その	エステルも
H0802	H8104	H1896	H3027	H0413	H4428		H0413	H0635

王の命令と詔が伝えられ、多くのおとめが首都スサに集められて、ヘガイの管理のもとにおかれたとき、エステルもまた王宮に携え行かれ、婦人をつかさどるヘガイの管理のもとにおかれた。

9

אֶת־	וַיְבַהַל	לְפָנָיו	חֶסֶד	וַתִּשָּׂא	בְּעֵינָיו	הַנַּעֲרָה	וַתִּיטַב	
(を)	そして–急いだ	彼の–前で	恵みを	そして–得た	彼の–目に	若い–女は	そして–良かった	
H0853	H0926	H6440		H5375		H5291	H3190	

הָרְאוּיֹת	הַנַּעֲרוֹת	שֶׁבַע	וְאֵת	לָהּ	לָתֵת	מָנוֹתֶהָ	וְאֶת־	תַּמְרוּקֶיהָ
ふさわしい	侍女たちを	七人の	そして	彼女に	与えることを	食事を	そして	化粧品を
H7200	H5291	H7651	H0853		H5414	H4490	H0853	H8562

בֵּית	לְטוֹב	נַעֲרוֹתֶיהָ	וְאֶת־	וַיְשַׁנֶּהָ	הַמֶּלֶךְ	מִבֵּית	לָהּ	לָתֶת־
家の	良い–所に	侍女たちを	彼女と	そして–移した	王の	王の–家から	彼女に	与えるために
		H5291	H0853		H4428			H5414

הַנָּשִׁים׃
女たちの
H0802

このおとめはヘガイの心にかなって、そのいつくしみを得た。すなわちヘガイはすみやかに彼女に化粧の品々および食物の分け前を与え、また宮中から七人のすぐれた侍女を選んで彼女に付き添わせ、彼女とその侍女たちを婦人の居室のうちの最も良い所に移した。

10

מָרְדֳּכַי	כִּי	מוֹלַדְתָּהּ	וְאֶת־	עַמָּהּ	אֶת־	אֶסְתֵּר	הִגִּידָה	לֹא־
モルデカイが	なぜなら	生まれを	そして	民を	(を)	エステルは	告げなかった	明かさなかった
H4782		H4138	H0853		H0853	H0635	H5046	H3808

תַּגִּיד׃	לֹא־	אֲשֶׁר	עָלֶיהָ	צִוָּה
告げないように	明かさないように	それを	彼女に	命じた
H5046	H3808			H6680

エステルは自分の民のことをも、自分の同族のことをも人に知らせなかった。モルデカイがこれを知らすなと彼女に命じたからである。

11

לָדַעַת	הַנָּשִׁים	בֵּית־	חֲצַר	לִפְנֵי	מִתְהַלֵּךְ	מָרְדֳּכַי	יָוֹם	וְיוֹם	וּבְכָל־
知るために	女たちの	家の	庭の	前を	歩いていた	モルデカイは	毎日	日	そして–毎
H3045	H0802			H6440	H1980	H4782	H3117	H3117	H3605

בָּהּ׃	יֵעָשֶׂה	וּמַה־	אֶסְתֵּר	שְׁלוֹם	אֶת־
彼女に	なされるかを	そして–何が	エステルの	安否を	(を)
		H4100	H0635	H7965	H0853

モルデカイはエステルの様子および彼女がどうしているかを知ろうと、毎日婦人の居室の庭の前を歩いた。

12

אֲחַשְׁוֵרוֹשׁ	הַמֶּלֶךְ	אֶל־	וְלָבוֹא	וְנַעֲרָה	נַעֲרָה	תֹּר	וּבְהַגִּיעַ	
アハシュエロスの	王の–もとへ	その	行くための	それぞれの	若い–女の	番が	そして–来た–時	
H0325	H4428	H0413	H0935	H5291	H5291	H8447	H5060	

כֵּן	כִּי	חֹדֶשׁ	עָשָׂר	שְׁנֵים	הַנָּשִׁים	כְּדָת	לָהּ	הָיוֹת	מְקֵץ
このように	なぜなら	月間	十二	十二	女たちの	定めに–従い	彼女に	あった–後	終わりに
		H2320	H6240	H8147	H0802	H1881		H1961	H7093

בַּבְּשָׂמִים	חֳדָשִׁים	וְשִׁשָּׁה	הַמֹּר	בְּשֶׁמֶן	חֳדָשִׁים	שִׁשָּׁה	מְרוּקֵיהֶן	יְמֵי	יִמָּלְאוּ
香料と	月間は	そして–六	没薬の	油で	月間は	六	清めの	日々が	満ちた
H1314	H2320	H8337	H4753	H8081	H2320	H8337	H4795	H3117	H4390

הַנָּשִׁים׃	וּבְתַמְרוּקֵי
女たちの	そして–化粧品で
H0802	H8562

おとめたちはおのおの婦人のための規定にしたがって十二か月を経て後、順番にアハシュエロス王の所へ行くのであった。これは彼らの化粧の期間として、没薬の油を用いること六か月、香料および婦人の化粧に使う品々を用いること六か月が定められていたからである。

13

אֲשֶׁר	כָּל־	אֵת	הַמֶּלֶךְ	אֶל־	בָּאָה	הַנַּעֲרָה	וּבָזֶּה
彼女が	すべての	すべて	王の–もとへ	その	行った	若い–女は	そして–この–ように
	H3605	H0853	H4428	H0413	H0935	H5291	H2088

בַּיִת	עַד־	הַנָּשִׁים	מִבֵּית	עִמָּהּ	לָבוֹא	לָהּ	יִנָּתֵן	תֹּאמַר
家の	まで	女たちの	家から	彼女と–ともに	行くために	彼女に	与えられた	求めた–ものは
	H5704	H0802			H0935		H5414	H0559

הַמֶּלֶךְ׃
王の
H4428

こうしておとめは王の所へ行くのであった。そしておとめが婦人の居室を出て王宮へ行く時には、すべてその望む物が与えられた。

14 וּבָעֶרֶב וַתָּבֹא וּבַבֹּקֶר וַתָּשָׁב אֶל־בֵּית שַׁעַשְׁגַּז שֹׁמֵר הַפִּילַגְשִׁים לֹא־תָבוֹא עוֹד אֶל־הַמֶּלֶךְ אִם־חָפֵץ בָּהּ הַמֶּלֶךְ וְנִקְרְאָה בְשֵׁם׃

וּבָעֶרֶב	וַתָּבֹא	וּבַבֹּקֶר	וַתָּשָׁב	אֶל־	בֵּית	שַׁעַשְׁגַּז	שֹׁמֵר	הַפִּילַגְשִׁים	לֹא־	תָבוֹא	עוֹד	אֶל־	הַמֶּלֶךְ	אִם־	חָפֵץ	בָּהּ	הַמֶּלֶךְ	וְנִקְרְאָה	בְשֵׁם׃
夕方に	彼女は	朝に	そして-戻った	その	家に	シャアシュガズの	守る-者	そばめたちの	二度と-来なかった	来なかった	再び	その	王の-もとに	ただし	望んだならば	彼女を	王が	そして-呼ばれた	名で
H6153	H1931	H1242	H7725	H0413	H1004	H8190	H8104	H6370	H3808	H0935	H5750	H0413	H4428	H3588	H2654	H1931	H4428	H7121	H8034

そして夕方行って、あくる朝第二の婦人の居室に帰り、そばめたちをつかさどる王の侍従シャシガズの管理に移された。王がその女を喜び、名ざして召すのでなければ、再び王の所へ行くことはなかった。

15 וּבְהַגִּיעַ תֹּר־ אֶסְתֵּר בַּת־ אֲבִיחַיִל דֹּד מָרְדֳּכַי אֲשֶׁר לָקְחָהּ־ לְבַת־ לוֹ לְאִשָּׁה רַק אֶת־ אֲשֶׁר־ יֹאמַר הֵגַי סְרִיס־ הַמֶּלֶךְ שֹׁמֵר הַנָּשִׁים וַתְּהִי אֶסְתֵּר נֹשֵׂאת חֵן בְּעֵינֵי כָּל־ רֹאֶיהָ׃

וּבְהַגִּיעַ	תֹּר־	אֶסְתֵּר	בַּת־	אֲבִיחַיִל	דֹּד	מָרְדֳּכַי	אֲשֶׁר	לָקְחָהּ־	לְבַת־	לוֹ	לְאִשָּׁה	רַק	אֶת־	אֲשֶׁר־	יֹאמַר	הֵגַי	סְרִיס־	הַמֶּלֶךְ	שֹׁמֵר	הַנָּשִׁים	וַתְּהִי	אֶסְתֵּר	נֹשֵׂאת	חֵן	בְּעֵינֵי	כָּל־	רֹאֶיהָ׃
そして-来た-時	番が	エステルの	娘の	アビハイルの	おじの	モルデカイの	彼が	引き-取った	娘として	自分の	行くために	ただ	(を)	それを	言った-ものを	ヘガイが	宦官の	王の	守る-者	女たちの	そして-いた	エステルは	得ていた	好意を	目に	すべての	見る-者たちの
H5060	H8447	H0635	H1323	H0032	H1730	H4782	H0834	H3947	H1323	H3807	H0935	H7535	H0853	H0834	H0559	H1896	H5631	H4428	H8104	H0802	H1961	H0635	H5375	H2580	H5869	H3605	H7200

さてモルデカイのおじアビハイルの娘、すなわちモルデカイが引きとって自分の娘としたエステルが王の所へ行く順番となったが、彼女は婦人をつかさどる王の侍従ヘガイが勧めた物のほか何をも求めなかった。エステルはすべて彼女を見る者に喜ばれた。

16 וַתִּלָּקַח אֶסְתֵּר אֶל־ בֵּית מַלְכוּתוֹ אֲחַשְׁוֵרוֹשׁ הַמֶּלֶךְ אֶל־ בַּחֹדֶשׁ הָעֲשִׂירִי הוּא־ חֹדֶשׁ טֵבֵת בִּשְׁנַת־ שֶׁבַע לְמַלְכוּתוֹ׃

וַתִּלָּקַח	אֶסְתֵּר	אֶל־	בֵּית	מַלְכוּתוֹ	אֲחַשְׁוֵרוֹשׁ	הַמֶּלֶךְ	אֶל־	אֶסְתֵּר	וַתִּלָּקַח	בַּחֹדֶשׁ	הָעֲשִׂירִי	הוּא־	חֹדֶשׁ	טֵבֵת	בִּשְׁנַת־	שֶׁבַע	לְמַלְכוּתוֹ׃
そして-連れて-行かれた	エステルは	その	家に	王国の	アハシュエロスの	王の-もとに	その	エステルは	そして-連れて-行かれた	月の	第十の	それは	月で	テベトの	年の	第七の	治世の
H3947	H0635	H0413	H1004	H4438	H0325	H4428	H0413	H0635	H3947	H2320	H6224	H1931	H2320	H2887	H8141	H7651	H4438

エステルがアハシュエロス王に召されて王宮へ行ったのは、その治世の第七年の十月、すなわちテベテの月であった。

17 וַיֶּאֱהַב הַמֶּלֶךְ אֶת־ אֶסְתֵּר מִכָּל־ הַנָּשִׁים וַתִּשָּׂא־ חֵן וָחֶסֶד לְפָנָיו מִכָּל־ הַבְּתוּלֹת וַיָּשֶׂם כֶּתֶר־ מַלְכוּת בְּרֹאשָׁהּ וַיַּמְלִיכֶהָ תַּחַת וַשְׁתִּי׃

וַיֶּאֱהַב	הַמֶּלֶךְ	אֶת־	אֶסְתֵּר	מִכָּל־	הַנָּשִׁים	וַתִּשָּׂא־	חֵן	וָחֶסֶד	לְפָנָיו	מִכָּל־	הַבְּתוּלֹת	וַיָּשֶׂם	כֶּתֶר־	מַלְכוּת	בְּרֹאשָׁהּ	וַיַּמְלִיכֶהָ	תַּחַת	וַשְׁתִּי׃
そして-愛した	王は	(を)	エステルを	すべての-中で	女たちの	そして-得た	好意と	恵みを	彼の-前で	すべての-中で	処女たちの	そして-置いた	冠を	王国の	その-頭に	そして-王妃と-した	代わりに	ワシュティの
H0157	H4428	H0853	H0635	H3605	H0802	H5375	H2580		H6440	H3605	H1330		H3804	H4438			H8478	H2060

王はすべての婦人にまさってエステルを愛したので、彼女はすべての処女にまさって王の前に恵みといつくしみとを得た。王はついに王妃の冠を彼女の頭にいただかせ、ワシテに代って王妃とした。

18 וַיַּעַשׂ הַמֶּלֶךְ מִשְׁתֶּה גָּדוֹל לְכָל־שָׂרָיו וַעֲבָדָיו אֶת מִשְׁתֵּה הַמַּלְכָּה וְהַנָּחָה לַמְּדִינוֹת וַיִּתֵּן מַשְׂאֵת כְּיַד הַמֶּלֶךְ׃

מִשְׁתֶּה	אֵת	וַעֲבָדָיו	שָׂרָיו	לְכָל־	גָּדוֹל	מִשְׁתֵּה	הַמֶּלֶךְ	וַיַּעַשׂ
宴会を	(を)	家臣たちのために	高官たちと	すべての	大きな	宴会を	王は	そして-催した
H4960	H0853	H5650	H8269	H3605		H4960	H4428	

הַמֶּלֶךְ׃	כְּיַד	מַשְׂאֵת	וַיִּתֵּן	עָשָׂה	לַמְּדִינוֹת	וְהַנָּחָה	אֶסְתֵּר
王の	手の-ままに	贈り物を	そして-与えた	与えた	諸州に	そして-免除を	エステルの
H4428	H3027	H4864	H5414		H4082	H2010	H0635

そして王は大いなる酒宴を催して、すべての大臣と侍臣をもてなした。エステルの酒宴がこれである。また諸州に免税を行い、王の大きな度量にしたがって贈り物を与えた。

19 וּבְהִקָּבֵץ בְּתוּלוֹת שֵׁנִית וּמָרְדֳּכַי יֹשֵׁב בְּשַׁעַר־הַמֶּלֶךְ׃

וּבְהִקָּבֵץ	בְּתוּלוֹת	שֵׁנִית	וּמָרְדֳּכַי	יֹשֵׁב	בְּשַׁעַר־	הַמֶּלֶךְ׃
そして-集められた-時	処女たちが	二度目に	そして-モルデカイは	座っていた	門に	王の
H6908	H1330	H8145	H4782	H3427	H8179	H4428

二度目に処女たちが集められたとき、モルデカイは王の門にすわっていた。

20 אֵין אֶסְתֵּר מַגֶּדֶת מֽוֹלַדְתָּהּ וְאֶת־עַמָּהּ כַּאֲשֶׁר צִוָּה מָרְדֳּכַי כַּאֲשֶׁר עֹשָׂה אֶסְתֵּר עִמּוֹ׃

אֵין	אֶסְתֵּר	מַגֶּדֶת	מֽוֹלַדְתָּהּ	וְאֶת־	עַמָּהּ	כַּאֲשֶׁר	צִוָּה
明かさなかった	エステルは	告げていなかった	生まれを	そして	民を	その-ように	命じた
H0369	H0635	H5046	H4138				H6680

כַּאֲשֶׁר	עֹשָׂה	אֶסְתֵּר	מָרְדֳּכַי	מַאֲמַר	וְאֶת־	מָרְדֳּכַי	עָלֶיהָ
その-ように	行っていた	エステルは	モルデカイの	命令を	そして	モルデカイが	彼女に
		H0635	H4782	H3982	H0853	H4782	

ס	אִתּוֹ׃	בְּאָמְנָה	הָיְתָה
[区切り]	彼と-ともにの	育てに	いた-時と-同じく
	H0854	H0545	H1961

エステルはモルデカイが命じたように、まだ自分の同族のことをも自分の民のことをも人に知らせなかった。エステルはモルデカイの言葉に従うこと、彼に養い育てられた時と少しも変らなかった。

21 בַּיָּמִים הָהֵם וּמָרְדֳּכַי יֹשֵׁב בְּשַׁעַר־הַמֶּלֶךְ קָצַף בִּגְתָן וָתֶרֶשׁ שְׁנֵי־סָרִיסֵי הַמֶּלֶךְ מִשֹּׁמְרֵי הַסַּף וַיְבַקְשׁוּ לִשְׁלֹחַ יָד בַּמֶּלֶךְ אֲחַשְׁוֵרֹשׁ׃

בַּיָּמִים	הָהֵם	וּמָרְדֳּכַי	יֹשֵׁב	בְּשַׁעַר־	הַמֶּלֶךְ	קָצַף	בִּגְתָן	וָתֶרֶשׁ	שְׁנֵי־	סָרִיסֵי	הַמֶּלֶךְ	מִשֹּׁמְרֵי	הַסַּף
その-日々に	それらの	そして-モルデカイが	座っていた	門に	王の	怒った	ビグタンと	テレシュが	二人の	宦官たちの	王の	守る-者たちの	戸口の
H3117	H1992		H3427	H8179	H4428	H7107	H0904	H8657	H8147	H5631	H4428	H8104	

וַיְבַקְשׁוּ	לִשְׁלֹחַ	יָד	בַּמֶּלֶךְ	אֲחַשְׁוֵרֹשׁ׃			
そして-求めた	手を-下すことを		王に	アハシュエロスの			
H1245	H7971	H3027	H4428	H0325			

そのころ、モルデカイが王の門にすわっていた時、王の侍従で、王のへやの戸を守る者のうちのビグタンとテレシのふたりが怒りのあまりアハシュエロス王を殺そうとねらっていたが、

22 וַיִּוָּדַע לְמָרְדֳּכַי הַדָּבָר וַיַּגֶּד לְאֶסְתֵּר הַמַּלְכָּה וַתֹּאמֶר אֶסְתֵּר לַמֶּלֶךְ בְּשֵׁם מָרְדֳּכָי׃

וַיִּוָּדַע	לְמָרְדֳּכַי	הַדָּבָר	וַיַּגֶּד	לְאֶסְתֵּר	הַמַּלְכָּה	וַתֹּאמֶר
そして-知られた	モルデカイに	その-事が	そして-告げた	エステルに	王妃の	そして-言った
H3045	H4782	H1697	H5046	H0635	H4436	H0559

אֶסְתֵּר	לַמֶּלֶךְ	בְּשֵׁם	מָרְדֳּכָי׃	
エステルは	王に	名で	モルデカイの	
H0635	H4428	H8034	H4782	

その事がモルデカイに知れたので、彼はこれを王妃エステルに告げ、エステルはこれをモルデカイの名をもって王に告げた。

עֵץ	עַל־	שְׁנֵיהֶם	וַיִּתָּלוּ	וַיִּמָּצֵא	הַדָּבָר	וַיְבֻקַּשׁ	23
木に	その	二人とも	そして–掛けられた	そして–見つかった	その–事が	そして–調べられた	
H6086		H8147	H8518	H4672	H1697	H1245	

פ	הַמֶּלֶךְ׃	לִפְנֵי	הַיָּמִים	דִּבְרֵי	בְּסֵפֶר	וַיִּכָּתֵב
[段落]	王の	前に	日々の	言葉の	書に	そして–記された
	H4428	H6440	H3117	H1697		H3789

その事が調べられて、それに相違ないことがあらわれたので、彼らふたりは木にかけられた。この事は王の前で日誌の書にかきしるされた。

Chapter 3

בֶּן־	הָמָן	אֶת־	אֲחַשְׁוֵרוֹשׁ	הַמֶּלֶךְ	גִּדַּל׀	הָאֵלֶּה	הַדְּבָרִים	וְאַחַר	1
息子の	ハマンを	(を)	アハシュエロスが	王は	昇進させた	これらの	事柄の	後に	
	H2001	H0853	H0325	H4428	H1431	H0428	H1697		

כָּל־	מֵעַל	כִּסְאוֹ	אֶת־	וַיָּשֶׂם	וַיְנַשְּׂאֵהוּ	הָאֲגָגִי	הַמְּדָתָא
すべての	上に	その–座を	(を)	そして–置いた	そして–高めた	アガグ人の	ハメダタの
H3605		H3678	H0853		H5375	H0091	H4099

אִתּוֹ׃	אֲשֶׁר	הַשָּׂרִים
彼と–ともに	いた	高官たちの
H0854		H8269

これらの事の後、アハシュエロス王はアガグびとハンメダタの子ハマンを重んじ、これを昇進させて、自分と共にいるすべての大臣たちの上にその席を定めさせた。

כֹּרְעִים	הַמֶּלֶךְ	בְּשַׁעַר	אֲשֶׁר־	הַמֶּלֶךְ	עַבְדֵי	וְכָל־	2
ひざまずき	王の	門に–いる	その–者たちは	王の	家臣たちは	そして–すべての	
H3766	H4428	H8179		H4428	H5650	H3605	

וּמָרְדֳּכַי	הַמֶּלֶךְ	לוֹ	צִוָּה־	כֵּן	כִּי־	לְהָמָן	וַיִּשְׁתַּחֲוֻיִם
しかし–モルデカイは	王が	彼に–対して	命じた	このように	なぜなら	ハマンに	そして–ひれ伏した
H4782	H4428		H6680			H2001	H7812

יִשְׁתַּחֲוֶה׃	וְלֹא	יִכְרַע	לֹא
ひれ伏さなかった	そして–ひれ伏さなかった	ひざまずかず	ひざまずかず
H7812	H3808	H3766	H3808

王の門の内にいる王の侍臣たちは皆ひざまずいてハマンに敬礼した。これは王が彼についてこうすることを命じたからである。しかしモルデカイはひざまずかず、また敬礼しなかった。

מַדּוּעַ	לְמָרְדֳּכָי	הַמֶּלֶךְ	בְּשַׁעַר	אֲשֶׁר־	הַמֶּלֶךְ	עַבְדֵי	וַיֹּאמְרוּ	3
なぜ	モルデカイに	王の	門に–いる	その–者たちが	王の	家臣たちが	そして–言った	
H4069	H4782	H4428	H8179		H4428	H5650	H0559	

הַמֶּלֶךְ׃	מִצְוַת	אֶת	עֹבֵר	אַתָּה
王の	命令を	(を)	背くのか	あなたは
H4428	H4687	H0853		

そこで王の門にいる王の侍臣たちはモルデカイにむかって、「あなたはどうして王の命令にそむくのか」と言った。

4

שָׁמַע	וְלֹא	יוֹם	וָיוֹם	אֵלָיו׀	כְּאָמְרָם)	באמרם]	וַיְהִי	
聞かなかった	しかし–聞かなかった	毎日	日	彼に	言った–時	[言った–時]	そして–あった	
H8085	H3808	H3117	H3117	H0413	H0559	H0559	H1961	

הִגִּיד	כִּי־	מָרְדֳּכַי	דִּבְרֵי	הֲיַעַמְדוּ׀	לִרְאוֹת	לְהָמָן	וַיַּגִּידוּ	אֲלֵיהֶם	
告げた	なぜなら	モルデカイの	言葉が	立つかどうか	見るために	ハマンに	そして–告げた	彼らに	
H5046		H4782	H1697	H5975	H7200	H2001	H5046	H0413	

יְהוּדִי׃	הוּא	אֲשֶׁר־	לָהֶם
ユダヤ人であると	彼は	彼が	彼らに
H3064	H1931		H1992

彼らは毎日モルデカイにこう言うけれども聞きいれなかったので、その事がゆるされるかどうかを見ようと、これをハマンに告げた。なぜならモルデカイはすでに自分のユダヤ人であることを彼らに語ったからである。

5

וּמִשְׁתַּחֲוֶה	כֹּרֵעַ	מָרְדֳּכַי	אֵין	כִּי־	הָמָן	וַיַּרְא	
そして–ひれ伏さないことを	ひざまずかず	モルデカイが	いない	その–ことを	ハマンは	そして–見た	
H7812	H3766	H4782	H0369		H2001	H7200	

חֵמָה׃	הָמָן	וַיִּמָּלֵא	לוֹ
怒りで	ハマンは	そして–満ちた	彼に
H2534	H2001	H4390	

ハマンはモルデカイのひざまずかず、また自分に敬礼しないのを見て怒りに満たされたが、

6

כִּי־	לְבַדּוֹ	בְּמָרְדֳּכָי	יָד	לִשְׁלֹחַ	בְּעֵינָיו	וַיָּבֶז	
なぜなら	だけに	モルデカイに–だけに	手を	手を–下すことを	彼の–目に	しかし–軽んじた	
	H0905	H4782	H3027	H7971		H0959	

אֶת־	לְהַשְׁמִיד	הָמָן	וַיְבַקֵּשׁ	מָרְדֳּכָי	עַם	אֶת־	לוֹ	הִגִּידוּ
(を)	滅ぼすことを	ハマンは	そして–求めた	モルデカイの	民を	(を)	彼に	告げられた
H0853	H8045	H2001	H1245	H4782		H0853		H5046

מָרְדֳּכָי׃	עַם	אֲחַשְׁוֵרוֹשׁ	מַלְכוּת	בְּכָל־	אֲשֶׁר	הַיְּהוּדִים	כָּל־	
モルデカイの	民である	アハシュエロスの	王国の	すべての	いる	ユダヤ人を	すべての	
H4782		H0325	H4438	H3605		H3064	H3605	

ただモルデカイだけを殺すことを潔しとしなかった。彼らがモルデカイの属する民をハマンに知らせたので、ハマンはアハシュエロスの国のうちにいるすべてのユダヤ人、すなわちモルデカイの属する民をことごとく滅ぼそうと図った。

7

אֲחַשְׁוֵרוֹשׁ	לַמֶּלֶךְ	עֶשְׂרֵה	שְׁתֵּים	בִּשְׁנַת	נִיסָן	חֹדֶשׁ	הוּא־	הָרִאשׁוֹן	בַּחֹדֶשׁ
アハシュエロスの	王の	十二	十二	年の	ニサンの	月で	それは	第一の	月の
H0325	H4428	H6240	H8147	H8141	H5212	H2320	H1931	H7223	H2320

שְׁנֵים־	לְחֹדֶשׁ	וּמֵחֹדֶשׁ	לְיוֹם	וּמִיּוֹם	הָמָן	לִפְנֵי	הַגּוֹרָל	הוּא	פּוּר֙	הִפִּיל
十二	月へ	そして–月から	日へ	日から	ハマンの	前で	くじである	それは	プルを	投げた
H8147	H2320	H2320	H3117	H3117	H2001	H6440	H1486	H1931	H6332	H5307

ס	אֲדָר׃	חֹדֶשׁ	הוּא־	עָשָׂר
[区切り]	アダルの	月で	それは	十二
	H0143	H2320	H1931	H6240

アハシュエロス王の第十二年の正月すなわちニサンの月に、ハマンの前で、十二月すなわちアダルの月まで、一日一日のため、一月一月のために、プルすなわちくじを投げさせた。

8

מְפֻזָּר
散らばって
H6340

אֶחָד
一つの
H0259

עַם־
民が
H3426

יֶשְׁנוֹ
ある
H3426

אֲחַשְׁוֵרוֹשׁ
アハシュエロスの
H0325

לַמֶּלֶךְ
王に
H4428

הָמָן
ハマンは
H2001

וַיֹּאמֶר
そして-言った
H0559

שֹׁנוֹת
異なる

וְדָתֵיהֶם
そして-その-法律は
H1881

מַלְכוּתֶךָ
あなたの-王国の
H4438

מְדִינוֹת
州に
H4082

בְּכָל
すべての
H3605

הָעַמִּים
民々の

בֵּין
中に
H0996

וּמְפֻרָד
そして-分かれて
H6504

אֵין־
益が-ない
H0369

וְלַמֶּלֶךְ
そして-王にとって
H4428

עֹשִׂים
行わない

אֵינָם
守らない
H0369

הַמֶּלֶךְ
王の
H4428

דָּתֵי
法律を
H1881

וְאֶת־
そして
H0853

עָם
民の

מִכָּל־
すべての-中で
H3605

לְהַנִּיחָם׃
放置することは
H3240

שֹׁוֶה
益が-ない

そしてハマンはアハシュエロス王に言った、「お国の各州にいる諸民のうちに、散らされて、別れ別れになっている一つの民がいます。その法律は他のすべての民のものと異なり、また彼らは王の法律を守りません。それゆえ彼らを許しておくことは王のためになりません。

9

כִּכַּר־
タラントの
H3603

אֲלָפִים
千の
H0505

וַעֲשֶׂרֶת
そして-一万
H6235

לְאַבְּדָם
滅ぼすために
H0006

יִכָּתֵב
書かれるべきです
H3789

טוֹב
良ければ
H2895

הַמֶּלֶךְ
王
H4428

עַל־
に

אִם־
もし

גִּנְזֵי
倉庫に
H1595

אֶל־
その
H0413

לְהָבִיא
入れるために
H0935

הַמְלָאכָה
仕事を
H4399

עֹשֵׂי
行う-者たちの

יְדֵי
手に
H3027

עַל־
その

אֶשְׁקוֹל
私が-量りましょう
H8254

כֶּסֶף
銀を
H3701

הַמֶּלֶךְ׃
王の
H4428

もし王がよしとされるならば、彼らを滅ぼせと詔をお書きください。そうすればわたしは王の事をつかさどる者たちの手に銀一万タラントを量りわたして、王の金庫に入れさせましょう」。

10

הַמְדָתָא
ハメダタの
H4099

בֶּן־
息子の

לְהָמָן
ハマンに
H2001

וַיִּתְּנָהּ
そして-与えた
H5414

יָדוֹ
手の
H3027

מֵעַל
から

טַבַּעְתּוֹ
指輪を
H2885

אֶת־
(を)
H0853

הַמֶּלֶךְ
王は
H4428

וַיָּסַר
そして-外した
H5493

הַיְּהוּדִים׃
ユダヤ人の
H3064

צֹרֵר
敵である

הָאֲגָגִי
アガグ人の
H0091

そこで王は手から指輪をはずし、アガグびとハンメダタの子で、ユダヤ人の敵であるハマンにわたした。

11

בּוֹ
彼らに

לַעֲשׂוֹת
するように

וְהָעָם
そして-民も

לָךְ
あなたに

נָתוּן
与えられた
H5414

הַכֶּסֶף
銀は
H3701

לְהָמָן
ハマンに
H2001

הַמֶּלֶךְ
王は
H4428

וַיֹּאמֶר
そして-言った
H0559

בְּעֵינֶיךָ׃
あなたの-目に

כַּטּוֹב
良い-ように

そして王はハマンに言った、「その銀はあなたに与える。その民もまたあなたに与えるから、よいと思うようにしなさい」。

12 וַיִּקָּרְאוּ֩ סִפְרֵ֨י הַמֶּ֜לֶךְ בַּחֹ֣דֶשׁ הָרִאשׁ֗וֹן בִּשְׁלוֹשָׁה֙ עָשָׂ֣ר י֣וֹם בּ֔וֹ
そして–呼ばれた 書記たちが 王の 月の 第一の 十三 日の その
H7121 H4428 H2320 H7223 H7969 H6240 H3117

וַיִּכָּתֵ֗ב כְּכָל־אֲשֶׁ֨ר צִוָּ֜ה הָמָ֤ן אֶל־אֲחַשְׁדַּרְפְּנֵי֙ הַמֶּ֔לֶךְ וְאֶל־
そして–書かれた すべての–通りに それを 命じた ハマンが その 総督たちに 王の そして
H3789 H3605 H4428 H6680 H2001 H0413 H0323 H4428 H0413

וְעָ֖ם עַ֣ם וְשָׂרֵ֑י וְאֶל־מְדִינָ֥ה וּמְדִינָ֛ה כִּכְתָבָ֥הּ אֲשֶׁר־עַל־
また–民ごとに 民の 長官たちに そして また–州ごとに 州 その 者たちの 知事たちに
H8269 H0413 H4082 H4082 H6346

הַמֶּ֔לֶךְ בְּשֵׁ֣ם כִּלְשׁוֹנָ֗ו וְעָ֛ם וְאֶל־עַ֥ם כִּכְתָבָ֖הּ וּמְדִינָ֣ה וּמְדִינָ֑ה
王の 名で その–言語で また–民ごとに そして–民に その–文字で また–州ごとに 州
H4428 H8034 H3956 H3791 H4082 H4082

הַמֶּ֖לֶךְ בְּטַבַּ֣עַת וְנֶחְתָּ֔ם וְנִכְתָּ֗ב אֲחַשְׁוֵרֹ֛שׁ׃
王の 指輪で そして–封印された 書かれた アハシュエロスの
H4428 H2885 H2856 H3789 H0325

そこで正月の十三日に王の書記官が召し集められ、王の総督、各州の知事および諸民のつかさたちにハマンが命じたことをことごとく書きしるした。すなわち各州に送るものにはその文字を用い、諸民に送るものにはその言語を用い、おのおのアハシュエロス王の名をもってそれを書き、王の指輪をもってそれに印を押した。

13 וְנִשְׁלוֹחַ֩ סְפָרִ֨ים בְּיַד֙ הָרָצִ֣ים אֶל־כָּל־מְדִינ֣וֹת הַמֶּ֔לֶךְ לְהַשְׁמִ֥יד לַהֲרֹ֖ג
そして–送られた 書簡が 使者たちの その すべての 州に 王の 滅ぼし 殺し
H7971 H3027 H7323 H0413 H3605 H4082 H4428 H8045 H2026

וּלְאַבֵּ֞ד אֶת־כָּל־הַיְּהוּדִ֣ים מִנַּ֤עַר וְעַד־זָקֵן֙ טַ֣ף וְנָשִׁ֔ים בְּי֥וֹם
そして–絶滅させるために (を) すべての ユダヤ人を 若者から そして–まで 老人まで 子供も 日に そして–女も
H0006 H0853 H3605 H3064 H5288 H5704 H2205 H2945 H3117 H0802

אֶחָ֣ד בִּשְׁלוֹשָׁה֩ עָשָׂ֨ר לְחֹ֜דֶשׁ שְׁנֵ֣ים עָשָׂ֗ר הִוא֙ חֹ֣דֶשׁ אֲדָ֔ר
一つの 十三 十三 月の 十二 十二 それは 月で アダルの
H0259 H6240 H7969 H2320 H8147 H6240 H1931 H2320 H0143

וּשְׁלָלָ֖ם לָבֽוֹז׃
そして–その–財産を 奪うために
H7998 H0962

そして急使をもってその書を王の諸州に送り、十二月すなわちアダルの月の十三日に、一日のうちにすべてのユダヤ人を、若い者、老いた者、子供、女の別なく、ことごとく滅ぼし、殺し、絶やし、かつその貨財を奪い取れと命じた。

14 פַּתִּשְׁגֶּן֩ הַכְּתָ֨ב נִתֵּ֤ן דָּת֙ בְּכָל־מְדִינָ֣ה וּמְדִינָ֔ה גָּלוּי֙ לְכָל־
写しが 書状の 与えられるために 法令として すべての 州 また–州ごとに 公開に すべての
H3791 H5414 H1881 H3605 H4082 H4082 H1540 H3605

הָעַמִּ֖ים לִֽהְיוֹת֙ עֲתִדִ֣ים לַיּ֣וֹם הַזֶּ֔ה׃
民々に 備えるために 準備するために 日の–ために この
H1961 H6264 H3117 H2088

この文書の写しを詔として各州に伝え、すべての民に公示して、その日のために備えさせようとした。

15 הָרָצִ֞ים יָצְא֣וּ דְחוּפִ֗ים בִּדְבַ֤ר הַמֶּ֙לֶךְ֙ וְהַדָּ֣ת נִתְּנָ֔ה בְּשׁוּשַׁ֖ן
使者たちは 出て–行った 急ぎで 命令に–より 王の そして–法令は 出された シュシャンの
H7323 H3318 H1765 H1697 H4428 H1881 H5414 H7800

הַבִּירָ֑ה וְהַמֶּ֤לֶךְ וְהָמָן֙ יָשְׁב֣וּ לִשְׁתּ֔וֹת וְהָעִ֥יר שׁוּשָׁ֖ן נָבֽוֹכָה׃ פ
そして–王と ハマンは 座った 飲むために しかし–都は シュシャンは 混乱した [段落]
H1002 H2001 H3427 H8354 H7800 H0943

急使は王の命令により急いで出ていった。この詔は首都スサで発布された。時に王とハマンは座して酒を飲んでいたが、スサの都はあわて惑った。

Chapter 4

1 וּמָרְדֳּכַי֙ יָדַ֣ע אֶת־כָּל־אֲשֶׁ֣ר נַעֲשָׂ֔ה וַיְקָרַ֣ע
そして–モルデカイは 知った (を) すべて それを なされたことを そして–引き裂いた
H4782 H3045 H0853 H3605 H0834 H6213

מָרְדֳּכַי֮ אֶת־בְּגָדָיו֒ וַיִּלְבַּ֣שׁ שָׂ֗ק וָאֵ֔פֶר וַיֵּצֵא֙ בְּת֣וֹךְ הָעִ֔יר
モルデカイは (を) 衣服を そして–着た 荒布を そして–灰を そして–出た 中へ 都の
H4782 H0853 H0899 H3847 H8242 H0665 H3318 H8432 H5892

וַיִּזְעַ֖ק זְעָקָ֣ה גְדֹלָ֑ה וּמָרָ֖ה׃
そして–叫んだ 叫びを 大きな そして–苦い
H2199 H2201 H1419 H4751

モルデカイはすべてこのなされたことを知ったとき、その衣を裂き、荒布をまとい、灰をかぶり、町の中へ行って大声をあげ、激しく叫んで、

2 וַיָּבֹ֕א עַד־לִפְנֵ֖י שַׁ֣עַר הַמֶּ֑לֶךְ כִּ֣י אֵ֥ין לָב֛וֹא אֶל־שַׁ֥עַר הַמֶּ֖לֶךְ בִּלְב֥וּשׁ שָֽׂק׃
そして–来た まで 前の 門の 王の なぜなら できない 入ることは その 門に 王の
H0935 H5704 H6440 H8179 H4428 H3588 H0369 H0935 H0413 H8179 H4428

荒布の 衣服で
H8242 H3830

王の門の入口まで行った。荒布をまとっては王の門の内にはいることができないからである。

3 וּבְכָל־מְדִינָ֣ה וּמְדִינָ֗ה מְק֤וֹם אֲשֶׁר֙ דְּבַר־הַמֶּ֣לֶךְ וְדָתוֹ֔ מַגִּ֖יעַ
また–すべての 州 また–州ごとに 場所で その 言葉が 王の 届いた
H3605 H4082 H4082 H4725 H0834 H1697 H4428 H1881 H5060

וְצ֣וֹם לַיְהוּדִ֗ים גָּד֤וֹל וּבְכִי֙ וּמִסְפֵּ֔ד שַׂ֥ק וָאֵ֖פֶר יֻצָּֽע׃
そして–断食と ユダヤ人に 大きな 泣きと 嘆きが–あった 荒布と 灰が 敷かれた
H6685 H3064 H1419 H1065 H4553 H8242 H0665 H3331

אֶ֖בֶל 嘆きが H0060
רַבִּֽים׃ 多くの–者に

すべて王の命令と詔をうけ取った各州ではユダヤ人のうちに大いなる悲しみがあり、断食、嘆き、叫びが起り、また荒布をまとい、灰の上に座する者が多かった。

4 וַתָּבֹאנָ֣ה נַעֲר֣וֹת אֶסְתֵּ֗ר וְסָרִיסֶ֙יהָ֙ וַיַּגִּ֣ידוּ לָ֔הּ וַתִּתְחַלְחַ֖ל הַמַּלְכָּ֑ה
そして–来た 侍女たちが エステルの そして–宦官たちが そして–告げた 彼女に そして–苦しんだ 王妃は
H0935 H5291 H0635 H5631 H5046 H3966 H4436

וַתִּשְׁלַ֤ח בְּגָדִים֙ לְהַלְבִּ֣ישׁ אֶת־מָרְדֳּכַ֔י וְלְהָסִ֥יר שַׂקּ֖וֹ מֵעָלָ֑יו וְלֹ֥א קִבֵּֽל׃
そして–送った 衣服を 着せるために (を) モルデカイに そして–取り除くために 荒布を 彼から しかし–受け取らなかった 受け取らなかった
H7971 H0899 H3847 H0853 H4782 H5493 H8242 H4480 H3808 H6901

エステルの侍女たちおよび侍従たちがきて、この事を告げたので、王妃は非常に悲しみ、モルデカイに着物を贈り、それを着せて、荒布を脱がせようとしたが受けなかった。

5 וַתִּקְרָא֙ אֶסְתֵּ֔ר לַהֲתָ֖ךְ מִסָּרִיסֵ֣י הַמֶּ֑לֶךְ אֲשֶׁ֥ר הֶעֱמִ֖יד לְפָנֶ֣יהָ
そして-呼んだ エステルは ハタクを 宦官の-中から 王の その-者を 仕えさせた 彼女の-前に
H7121 H0635 H2047 H5631 H4428 H0853 H5975 H6440

וַתְּצַוֵּ֣הוּ עַל־ מָרְדֳּכָ֔י לָדַ֖עַת מַה־ זֶּ֥ה וְעַל־ מַֽה־ זֶּֽה׃
そして-命じた に-ついて モルデカイに-ついて 知るために 何が これは そして-なぜ 何が
H6680 H5921 H4782 H3045 H4100 H2088 H5921 H4100

これなのかを
H2088

そこでエステルは王の侍従のひとりで、王が自分にはべらせたハタクを召し、モルデカイのもとへ行って、それは何事であるか、何ゆえであるかを尋ねて来るようにと命じた。

6 וַיֵּצֵ֤א הֲתָךְ֙ אֶל־ מָרְדֳּכַ֔י אֶל־ רְח֥וֹב הָעִ֖יר אֲשֶׁ֣ר לִפְנֵ֣י שַֽׁעַר־
そして-出た ハタクは その モルデカイの-もとへ 広場に 都の それは 前の 門の
H3318 H2047 H0413 H4782 H7339 H5892 H6440 H8179

הַמֶּֽלֶךְ׃
王の
H4428

ハタクは出て、王の門の前にある町の広場にいるモルデカイのもとへ行くと、

7 וַיַּגֶּד־ לֽוֹ מָרְדֳּכַ֔י אֵ֚ת כָּל־ אֲשֶׁ֣ר קָרָ֔הוּ וְאֵת֙ פָּרְשַׁ֣ת הַכֶּ֔סֶף
そして-告げた モルデカイは (を) すべて それを 起こったことを そして (を) 詳細を 銀の
H5046 H4782 H0853 H3605 H0834 H7136 H0853 H6575 H3701

אֲשֶׁ֣ר אָמַ֣ר הָמָ֗ן לְשָׁקֹל֙ עַל־ גִּנְזֵ֣י הַמֶּ֔לֶךְ בִּֽ[יהוּדִ֑ים] (בִּֽיהוּדִ֖ים)
それを 言った ハマンが 量ると その 倉庫に 王の [ユダヤ人に-対して] (ユダヤ人に-対して)
H0559 H2001 H8254 H5921 H1595 H4428 H3064 H3064

לְאַבְּדָֽם׃
滅ぼすために
H0006

モルデカイは自分の身に起ったすべての事を彼に告げ、かつハマンがユダヤ人を滅ぼすことのために王の金庫に量り入れると約束した銀の正確な額を告げた。

8 וְאֶת־ פַּתְשֶׁ֨גֶן֙ כְּתָב־ דָּ֣ת הִנָּתְנָ֔ה בְּשׁוּשָׁ֖ן לְהַשְׁמִידָ֑ם וְאֵת֙ לוֹ֙
そして 写しを 書状の 法令の それが 出された シュシャンで 滅ぼすための 彼に
H0853 H6572 H3791 H1881 H0834 H5414 H7800 H8045 H0853

עָלֶ֔יהָ וּלְצַוּ֖וֹת וְלָ֣הּ וּלְהַגִּ֑יד אֶסְתֵּ֖ר אֶת־ לְהַרְא֥וֹת
彼女に そして-命じるために 彼女に そして-告げるために エステルに (を) 見せるために
H6680 H0635 H0853 H7200

עַל־ מִלְּפָנָ֔יו וּלְבַקֵּ֣שׁ לוֹ֙ לְהִתְחַנֵּ֔ן אֶל־ הַמֶּ֖לֶךְ אֶל־ לָב֥וֹא
に-ついて 御前から そして-求めるために 彼に 嘆願するために 王の-もとへ その 行くように
H6440 H1245 H0413 H4428 H0413 H0935

עַמּֽוֹ׃
民の-ために

また彼らを滅ぼさせるために、スサで発布された詔書の写しを彼にわたし、それをエステルに見せ、かつ説きあかし、彼女が王のもとへ行ってその民のために王のあわれみを請い、王の前に願い求めるように彼女に言い伝えよと言った。

9 וַיָּבֹא הָתָךְ וַיַּגֶּד לְאֶסְתֵּר אֵת דִּבְרֵי מָרְדֳּכָי׃

וַיָּבֹא	הָתָךְ	וַיַּגֶּד	לְאֶסְתֵּר	אֵת	דִּבְרֵי	מָרְדֳּכָי׃
そして–来た	ハタクは	そして–告げた	エステルに	(を)	言葉を	モルデカイの
H0935	H2047	H5046	H0635	H0853	H1697	H4782

ハタクが帰ってきてモルデカイの言葉をエステルに告げたので、

10 וַתֹּאמֶר אֶסְתֵּר לַהֲתָךְ וַתְּצַוֵּהוּ אֶל־מָרְדֳּכָי׃

וַתֹּאמֶר	אֶסְתֵּר	לַהֲתָךְ	וַתְּצַוֵּהוּ	אֶל־	מָרְדֳּכָי׃
そして–言った	エステルは	ハタクに	そして–命じた	その	モルデカイに
H0559	H0635	H2047	H6680	H0413	H4782

エステルはハタクに命じ、モルデカイに言葉を伝えさせて言った、

11 כָּל־עַבְדֵי הַמֶּלֶךְ וְעַם־מְדִינוֹת הַמֶּלֶךְ יוֹדְעִים אֲשֶׁר כָּל־אִישׁ וְאִשָּׁה אֲשֶׁר יָבוֹא־אֶל־הַמֶּלֶךְ אֶל־הֶחָצֵר הַפְּנִימִית אֲשֶׁר לֹא־יִקָּרֵא דָּתוֹ לְהָמִית לְבַד אֲשֶׁר יוֹשִׁיט־לוֹ מֵאֲשֶׁר הַמֶּלֶךְ אֶת־שַׁרְבִיט הַזָּהָב וְחָיָה וְאֲנִי לֹא נִקְרֵאתִי לָבוֹא אֶל־הַמֶּלֶךְ זֶה שְׁלוֹשִׁים יוֹם׃

כָּל־	עַבְדֵי	הַמֶּלֶךְ	וְעַם־	מְדִינוֹת	הַמֶּלֶךְ	יוֹדְעִים	אֲשֶׁר	כָּל־	אִישׁ	וְאִשָּׁה	אֲשֶׁר	יָבוֹא־	אֶל־	הַמֶּלֶךְ	אֶל־	הֶחָצֵר	הַפְּנִימִית	אֲשֶׁר	לֹא־	יִקָּרֵא	דָּתוֹ	לְהָמִית
すべての	家臣たちは	王の	そして–民は	諸州の	王の	知っている	それを	すべての	男であれ	女であれ	その–者が	行ったら	その	王の–もとへ	その	庭に	内側の	その–者が		呼ばれずに	法が–ある	死ぬことである
H3605	H5650	H4428		H4082	H4428	H3045		H3605	H0376	H0802		H0935	H0413	H4428	H0413		H6442			H7121	H1881	H4191

לְבַד	אֲשֶׁר	יוֹשִׁיט־	לוֹ	אַחַת	דָּתוֹ	יִקָּרֵא	לֹא־															
ただし	その–者から	差し–伸べた	彼に	一つの	法が–ある	呼ばれずに	呼ばれずに															
H0905	מֵאֲשֶׁר	H3447	לוֹ	H0259	H1881	H7121	H3808															

נִקְרֵאתִי	לֹא	וַאֲנִי	וְחָיָה	הַזָּהָב	שַׁרְבִיט	אֶת־	הַמֶּלֶךְ															
呼ばれていない	呼ばれていない	そして–私は	そして–生きる	金の	笛を	(を)	王が															
H7121	H3808	H0589	H2421	H2091	H8275	H0853	H4428															

יוֹם׃	שְׁלוֹשִׁים	זֶה	הַמֶּלֶךְ	אֶל־	לָבוֹא																	
日である	三十	もう	王の–もとに	その	行くことを																	
H3117	H7970	H2088	H4428	H0413	H0935																	

「王の侍臣および王の諸州の民は皆、男でも女でも、すべて召されないのに内庭にはいって王のもとへ行く者は、必ず殺されなければならないという一つの法律のあることを知っています。ただし王がその者に金の笏を伸べれば生きることができるのです。しかしわたしはこの三十日の間、王のもとへ行くべき召をこうむらないのです」。

12 וַיַּגִּידוּ לְמָרְדֳּכָי אֵת דִּבְרֵי אֶסְתֵּר׃ פ

וַיַּגִּידוּ	לְמָרְדֳּכָי	אֵת	דִּבְרֵי	אֶסְתֵּר׃	פ	
そして–告げた	モルデカイに	(を)	言葉を	エステルの	[段落]	
H5046	H4782	H0853	H1697	H0635		

エステルの言葉をモルデカイに告げたので、

13 וַיֹּאמֶר מָרְדֳּכָי לְהָשִׁיב אֶל־אֶסְתֵּר אַל־תְּדַמֵּי בְנַפְשֵׁךְ לְהִמָּלֵט בֵּית־הַמֶּלֶךְ מִכָּל־הַיְּהוּדִים׃

וַיֹּאמֶר	מָרְדֳּכָי	לְהָשִׁיב	אֶל־	אֶסְתֵּר	אַל־	תְּדַמֵּי	בְנַפְשֵׁךְ	לְהִמָּלֵט	בֵּית־	הַמֶּלֶךְ	מִכָּל־	הַיְּהוּדִים׃										
そして–言った	モルデカイは	答えるように	その	エステルに	思うな	思っては–ならない	心の–中で	逃れられると	家で	王の	すべての–中で	ユダヤ人の										
H0559		H7725	H0413	H0635	H0408	H1819	H5315	H4422		H4428	H3605	H3064										

モルデカイは命じてエステルに答えさせて言った、「あなたは王宮にいるゆえ、すべてのユダヤ人と異なり、難を免れるだろうと思ってはならない。

14

לַיְהוּדִים	יַעֲמֹד	וְהַצָּלָה	רֶוַח	הַזֹּאת	בָּעֵת	תַּחֲרִישִׁי	הַחֲרֵשׁ	אִם־	כִּי
ユダヤ人に	起こる	救いが	助けと	この	時に	黙っていたら	黙って	もし	なぜなら
H3064	H5975	H2020	H7305	H2063	H6256				

אִם־	יוֹדֵעַ	וּמִי	תֹּאבֵדוּ	אָבִיךְ	וּבֵית־	וְאַתְּ	אַחֵר	מִמָּקוֹם	
もし	知るだろうか	そして–誰が	滅びる	父の	そして–家は	しかし–あなたと	別の	場所から	
H3045	H4310	H0006	H0001				H0312	H4725	

לַמַּלְכוּת׃	הִגַּעַתְּ	כָּזֹאת	לְעֵת	
王位に	到達したのだと	このような	時の–ために	
H4438	H5060	H2063	H6256	

あなたがもし、このような時に黙っているならば、ほかの所から、助けと救がユダヤ人のために起るでしょう。しかし、あなたとあなたの父の家とは滅びるでしょう。あなたがこの国に迎えられたのは、このような時のためでなかったとだれが知りましょう」。

15

מָרְדֳּכָי׃	אֶל־	לְהָשִׁיב	אֶסְתֵּר	וַתֹּאמֶר
モルデカイに	その	答えるように	エステルは	そして–言った
H4782	H0413	H7725	H0635	H0559

そこでエステルは命じてモルデカイに答えさせた、

16

בְּשׁוּשָׁן	הַנִּמְצְאִים	הַיְּהוּדִים	כָּל־	אֶת־	כְּנוֹס	לֵךְ	
シュシャンに	いる	ユダヤ人を	すべての	(を)	集めてください	行って	
H7800	H4672	H3064	H3605	H0853	H3664	H3212	

יָמִים	שְׁלֹשֶׁת	תֹּאכְלוּ	וְאַל־	תֹּאכְלוּ	וְאַל־	עָלָי	וְצוּמוּ
日間	三	飲まず	そして–飲まず	食べず	そして–食べず	私の–ために	そして–断食してください
H3117	H7969	H8354	H0408	H0398	H0408		H6684

אָבֹוא	וּבְכֵן	כֵּן	אָצוּם	וְנַעֲרֹתַי	אֲנִי	גַּם־	וָיֹום	לָיְלָה	
行く	そして–その–ようにして	同じく	断食する	そして–侍女たちも	私も	また	昼も	夜も	
H0935			H6684	H5291	H0589	H1571	H3117	H3915	

אָבָדְתִּי׃	אָבַדְתִּי	וְכַאֲשֶׁר	כְּדָת	לֹא־	אֲשֶׁר	הַמֶּלֶךְ	אֶל־
死ぬのです	死ぬなら	そして–もし	法に–ないが	法に–ないが	それは	王の–もとに	その
H0006	H0006		H1881	H3808		H4428	H0413

「あなたは行ってスサにいるすべてのユダヤ人を集め、わたしのために断食してください。三日のあいだ夜も昼も食い飲みしてはなりません。わたしとわたしの侍女たちも同様に断食しましょう。そしてわたしは法律にそむくことですが王のもとへ行きます。わたしがもし死なねばならないのなら、死にます」。

17

אֶסְתֵּר׃	עָלָיו	צִוְּתָה	אֲשֶׁר־	כְּכָל	וַיַּעַשׂ	מָרְדֳּכָי	וַיַּעֲבֹר
エステルが	彼に	命じた	それを	すべての–通りに	そして–行った	モルデカイは	そして–行った
H0635		H6680		H3605		H4782	

ס
[区切り]

モルデカイは行って、エステルがすべて自分に命じたとおりに行った。

Chapter 5

1

וַיְהִי בַּיּוֹם הַשְּׁלִישִׁי וַתִּלְבָּשׁ אֶסְתֵּר מַלְכוּת וַתַּעֲמֹד בַּחֲצַר בֵּית־
そして-あった 日に 第三の そして-着た エステルは 王衣を そして-立った 庭に 家の
H1961 H3117 H7992 H3847 H0635 H4438 H5975

הַמֶּלֶךְ הַפְּנִימִית נֹכַח בֵּית הַמֶּלֶךְ וְהַמֶּלֶךְ יוֹשֵׁב עַל־ כִּסֵּא מַלְכוּתוֹ
王の 内側の 向かいに 家の 王の そして-王は 座っていた その 王座に 王国の
H4428 H6442 H5227 H4428 H4428 H3427 H5227 H3678 H4438

בְּבֵית הַמַּלְכוּת נֹכַח פֶּתַח הַבָּיִת׃
家に 王室の 向かいに 入口の 家の
H4438 H5227 H6607

三日目にエステルは王妃の服を着、王宮の内庭に入り、王の広間にむかって立った。王は王宮の玉座に座して王宮の入口にむかっていたが、

2

וַיְהִי כִּרְאוֹת הַמֶּלֶךְ אֶסְתֵּר הַמַּלְכָּה עֹמֶדֶת בֶּחָצֵר נָשְׂאָה חֵן
そして-あった 見た-時 王が (を) エステルを 王妃が 立っているのを 庭に 得た 好意を
H1961 H7200 H4428 H0853 H0635 H4436 H5975 H5375 H2580

בְּעֵינָיו וַיּוֹשֶׁט הַמֶּלֶךְ לְאֶסְתֵּר אֶת־ הַשַּׁרְבִיט אֲשֶׁר בְּיָדוֹ וַתִּקְרַב
彼の-目に そして-差し-伸べた 王は エステルに (を) 箇を 金の それは 手に-ある そして-近づいた
H5869 H3447 H4428 H0635 H0853 H8275 H2091 H0834 H3027 H7126

אֶסְתֵּר וַתִּגַּע בְּרֹאשׁ הַשַּׁרְבִיט׃ ס
エステルは そして-触れた 先に 箇の [区切り]
H0635 H5060 H8275

王妃エステルが庭に立っているのを見て彼女に恵みを示し、その手にある金の笏をエステルの方に伸ばしたので、エステルは進みよってその笏の頭にさわった。

3

וַיֹּאמֶר לָהּ הַמֶּלֶךְ מַה־ לָּךְ אֶסְתֵּר הַמַּלְכָּה וּמַה־ בַּקָּשָׁתֵךְ
そして-言った 彼女に 王は 何ですか あなたに エステル 王妃よ そして-何が 願いですか
H0559 H0559 H4428 H4100 H0635 H4436 H4100 H1246

עַד־ חֲצִי הַמַּלְכוּת וְיִנָּתֶן לָךְ׃
まで 半分の 王国でも 与えられる あなたに
H5704 H2677 H4438 H5414

王は彼女に言った、「王妃エステルよ、何を求めるのか。あなたの願いは何か。国の半ばでもあなたに与えよう」。

4

וַתֹּאמֶר אֶסְתֵּר אִם־ עַל־ הַמֶּלֶךְ טוֹב יָבוֹא הַמֶּלֶךְ וְהָמָן הַיּוֹם אֶל־
そして-言った エステルは もし に 王 良ければ 来てください 王と ハマンが その 今日
H0559 H0559 H0518 H5921 H4428 H2895 H0935 H4428 H2001 H0413 H3117

הַמִּשְׁתֶּה אֲשֶׁר־ עָשִׂיתִי לוֹ׃
宴会に それを 私が-準備した 彼のために
H4960 H0834 H6213 H0

エステルは言った、「もし王がよしとされるならば、きょうわたしが王のために設けた酒宴に、ハマンとご一緒にお臨みください」。

5

וַיֹּאמֶר הַמֶּלֶךְ מַהֲרוּ אֶת־ הָמָן לַעֲשׂוֹת אֶת־ דְּבַר אֶסְתֵּר וַיָּבֹא
そして-言った 王は 急がせよ (を) ハマンを するために (を) 言葉を エステルの そして-来た
H0559 H4428 H4116 H0853 H2001 H6213 H0853 H1697 H0635 H0935

הַמֶּלֶךְ וְהָמָן אֶל־ הַמִּשְׁתֶּה אֲשֶׁר־ עָשְׂתָה אֶסְתֵּר׃
王と ハマンが その 宴会に それを 準備した エステルが
H4428 H2001 H0413 H4960 H0834 H6213 H0635

そこで王は「ハマンを速く連れてきて、エステルの言うようにせよ」と言い、やがて王とハマンはエステルの設けた酒宴に臨んだ。

6 וַיֹּאמֶר הַמֶּלֶךְ לְאֶסְתֵּר בְּמִשְׁתֵּה הַיָּיִן מַה־שְּׁאֵלָתֵךְ וְיִנָּתֶן לָךְ
そして-言った 王は エステルに 宴会で 酒の 何が 願いですか 与えられる あなたに
H0559 H4428 H0635 H4960 H3196 H4100 H7596 H5414

וּמַה־בַּקָּשָׁתֵךְ עַד־חֲצִי הַמַּלְכוּת וְתֵעָשׂ׃
そして-何が 求めですか まで 半分の 王国でも なされる
H4100 H1246 H5704 H2677 H4438

酒宴の時、王はエステルに言った、「あなたの求めることは何か。必ず聞かれる。あなたの願いは何か。国の半ばでも聞きとどけられる」。

7 וַתַּעַן אֶסְתֵּר וַתֹּאמֶר שְׁאֵלָתִי וּבַקָּשָׁתִי׃
そして-答えた エステルは そして-言った 私の-願いと 求めは
H6030 H0635 H0559 H7596 H1246

エステルは答えて言った、「わたしの求め、わたしの願いはこれです。

8 אִם־מָצָאתִי חֵן בְּעֵינֵי הַמֶּלֶךְ וְאִם־עַל־הַמֶּלֶךְ טוֹב
もし 見いだしたなら 好意を 目に 王の そして-もし に 王
H4672 H2580 H5869 H4428 H0518 H5921 H4428 H2895

לָתֵת אֶת־שְׁאֵלָתִי וְלַעֲשׂוֹת אֶת־בַּקָּשָׁתִי יָבֹא הַמֶּלֶךְ
与えることを (を) 私の-願いを そして-かなえることを (を) 私の-求めを 来てください 王と
H5414 H0853 H7596 H6213 H0853 H1246 H0935 H4428

וְהָמָן אֶל־הַמִּשְׁתֶּה אֲשֶׁר אֶעֱשֶׂה לָהֶם וּמָחָר אֶעֱשֶׂה כִּדְבַר הַמֶּלֶךְ׃
ハマンが その 宴会に それを 私が-準備する 彼らのために そして-明日 私が-行う 言葉の-通りに 王の
H2001 H0413 H4960 H0834 H6213 H3915 H4279 H6213 H1697 H4428

もしわたしが王の目の前に恵みを得、また王がもしわたしの求めを許し、わたしの願いを聞きとどけるのをよしとされるならば、ハマンとご一緒に、あすまた、わたしが設けようとする酒宴に、お臨みください。わたしはあす王のお言葉どおりにいたしましょう」。

9 וַיֵּצֵא הָמָן בַּיּוֹם הַהוּא שָׂמֵחַ וְטוֹב לֵב וְכִרְאוֹת הָמָן אֶת־מָרְדֳּכַי בְּשַׁעַר הַמֶּלֶךְ
そして-出た ハマンは その 喜び そして-良い 心で しかし-見た-時 ハマンが (を) モルデカイを 門で 王の
H3318 H2001 H1931 H8056 H2896 H3820 H7200 H2001 H0853 H4782 H8179 H4428

וְלֹא־קָם וְלֹא־זָע מִמֶּנּוּ וַיִּמָּלֵא הָמָן עַל־מָרְדֳּכַי חֵמָה׃
そして-立たず そして-震えず 彼の-前で 怒りで モルデカイに に-対して ハマンは そして-満ちた
H3808 H3808 H2111 H4480 H2534 H4782 H5921 H2001 H4390

こうしてハマンはその日、心に喜び楽しんで出てきたが、ハマンはモルデカイが王の門にいて、自分にむかって立ちあがりもせず、また身動きもしないのを見たので、モルデカイに対し怒りに満たされた。

10 וַיִּתְאַפַּק הָמָן וַיָּבוֹא אֶל־בֵּיתוֹ וַיִּשְׁלַח וַיָּבֵא אֶת־אֹהֲבָיו וְאֶת־זֶרֶשׁ אִשְׁתּוֹ׃
しかし-抑えた ハマンは そして-来た その 家に そして-送り そして-呼んだ (を) 友人たちを そして (を) ゼレシュを 妻を
H0662 H2001 H0935 H0413 H1004 H7971 H0935 H0853 H0157 H0853 H2238 H0802

しかしハマンは耐え忍んで家に帰り、人をやってその友だちおよび妻ゼレシを呼んでこさせ、

11 וַיְסַפֵּר לָהֶם הָמָן אֶת־כְּבוֹד עָשְׁרוֹ וְרֹב בָּנָיו וְאֵת
そして–語った 彼らに ハマンは (を) 栄光を 富の そして–多さを 息子たちの そして
H0853 H2001 H0853 H3519 H6239 H7230 H1992

כָּל־אֲשֶׁר גִּדְּלוֹ הַמֶּלֶךְ וְאֵת אֲשֶׁר נְשָׂאוֹ עַל־הַשָּׂרִים
すべての それを 高めた 王が そして それを 昇進させた その–上に 高官たちの
H3605 H1431 H4428 H0853 H0834 H5375 H8269

וְעַבְדֵי הַמֶּלֶךְ׃
そして–家臣たちの 王の
H5650 H4428

そしてハマンはその富の栄華と、そのむすこたちの多いことと、すべて王が自分を重んじられたこと、また王の大臣および侍臣たちにまさって自分を昇進させられたことを彼らに語った。

12 וַיֹּאמֶר הָמָן אַף לֹא־הֵבִיאָה אֶסְתֵּר הַמַּלְכָּה עִם־
また ハマンは そして–言った 他に–入れなかった 入れなかった エステルは 王妃は ともに
H0637 H2001 H0559 H3808 H0935 H0635 H4436

הַמֶּלֶךְ אֶל־הַמִּשְׁתֶּה אֲשֶׁר־עָשְׂתָה כִּי אִם־אֹתִי וְגַם־
その 王と 宴会に それを 準備した ただし ただ 私だけを そして–また
H0413 H4428 H4960 H0834 H6213 H3588 H0853 H1571

לְמָחָר אֲנִי לָהּ׃ קְרוּא־עִם־הַמֶּלֶךְ׃
明日も 私は 彼女の–もとに ともに 王と 招かれている
H4279 H0589 H7121 H0854 H4428

ハマンはまた言った、「王妃エステルは酒宴を設けたが、わたしのほかはだれも王と共にこれに臨ませなかった。あすもまたわたしは王と共に王妃に招かれている。

13 וְכָל־זֶה אֵינֶנּוּ שֹׁוֶה לִי בְּכָל־עֵת אֲשֶׁר אֲנִי רֹאֶה
しかし–すべての これは 意味がない 価値がない 私には すべての 時に 私が 見る
H3605 H2088 H0369 H7737 H3605 H6256 H0589 H7200

אֶת־מָרְדֳּכַי הַיְהוּדִי יוֹשֵׁב בְּשַׁעַר הַמֶּלֶךְ׃
(を) モルデカイを ユダヤ人が 座っているのを 門に 王の
H0853 H4782 H3064 H3427 H8179 H4428

しかしユダヤ人モルデカイが王の門に座しているのを見る間は、これらの事もわたしには楽しくない」。

14 וַתֹּאמֶר לוֹ זֶרֶשׁ אִשְׁתּוֹ וְכָל־אֹהֲבָיו יַעֲשׂוּ־עֵץ גָּבֹהַּ
そして–言った 彼に ゼレシュが 妻が そして–すべての 友人たちが 作りなさい 柱を 高い
H0559 H0802 H2238 H3605 H0157 H6213 H6086 H1364

אֱמֹר לַמֶּלֶךְ וְיִתְלוּ אֶת־מָרְדֳּכַי עָלָיו וּבֹא־עִם־הַמֶּלֶךְ
言いなさい 王に そして–掛けなさい (を) モルデカイを その–上に そして–行きなさい ともに 王と
H0559 H4428 H8518 H0853 H4782 H5921 H0935 H0854 H4428

אֶל־הַמִּשְׁתֶּה שָׂמֵחַ וַיִּיטַב הַדָּבָר לִפְנֵי הָמָן וַיַּעַשׂ עֵץ׃ פ
その 宴会に 喜んで そして–良かった その–言葉は ハマンの 前に そして–作った 柱を [段落]
H0413 H4960 H8056 H3190 H1697 H2001 H6440 H6086

その時、妻ゼレシとすべての友は彼に言った、「高さ五十キュビトの木を立てさせ、あすの朝、モルデカイをその上に掛けるように王に申し上げなさい。そして王と一緒に楽しんでその酒宴においでなさい」。ハマンはこの事をよしとして、その木を立てさせた。

Chapter 6

1 בַּלַּ֣יְלָה הַה֣וּא נָדְדָ֣ה שְׁנַ֣ת הַמֶּ֣לֶךְ וַיֹּ֣אמֶר לְהָבִ֗יא אֶת־ סֵ֚פֶר הַזִּכְרֹנ֣וֹת דִּבְרֵ֣י הַיָּמִ֔ים וַיִּהְי֖וּ נִקְרָאִ֥ים לִפְנֵ֖י הַמָּֽלֶךְ׃

その夜に 夜に H3915 / その H1931 / 逃げた 逃げた H5074 / 眠りが 眠りが H8142 / 王の 王の H4428 / 持って-来るように (を) H0853 持って-来るように H0935 / そして-命じた そして-命じた H0559 / 書を 書を / 記録の H2146 / 言葉の 言葉の H1697 / 日々の 日々の H3117 / そして-あった そして-あった H1961 / 読まれた 読まれた H7121 / 前で 前で H6440 / 王の 王の H4428

その夜、王は眠ることができなかったので、命じて日々の事をしるした記録の書を持ってこさせ、王の前で読ませたが、

2 וַיִּמָּצֵ֗א כָּת֣וּב אֲשֶׁ֤ר הִגִּיד֙ מָרְדֳּכַ֔י עַל־ בִּגְתָנָ֥א וָתֶ֖רֶשׁ שְׁנֵ֣י סָרִיסֵ֣י הַמֶּ֑לֶךְ מִשֹּׁמְרֵ֣י הַסַּ֔ף וַיְבַקְשׁ֕וּ לִשְׁלֹ֥חַ יָ֖ד בַּמֶּ֥לֶךְ אֲחַשְׁוֵרֽוֹשׁ׃

そして-見つかった そして-見つかった H4672 / 書かれていた 書かれていた H3789 / それを それを / 告げた 告げた H5046 / モルデカイが モルデカイが H4782 / に-ついて に-ついて / ビグタナと ビグタナと H0904 / テレシュの テレシュの H8657 / 二人の 二人の H8147 / 宦官の 宦官の H5631 / 王の 王の H4428 / 守る-者たちの 守る-者たちの H8104 / 戸口の 戸口の H5592 / その-者たちが その-者たちが / 求めた 求めた H1245 / 手を-下すことを 手を-下すことを H7971 / 手を 手を H3027 / 王に 王に H4428 / アハシュエロスの アハシュエロスの H0325

その中に、モルデカイがかつて王の侍従で、王のへやの戸を守る者のうちのビグタナとテレシのふたりが、アハシュエロス王を殺そうとねらっていることを告げた、としるされているのを見いだした。

3 וַיֹּ֣אמֶר הַמֶּ֣לֶךְ מָ֤ה נַֽעֲשָׂה֙ יְקָ֣ר וּגְדוּלָ֔ה לְמָרְדֳּכַ֖י עַל־ זֶ֑ה וַיֹּאמְר֣וּ נַעֲרֵ֤י הַמֶּ֙לֶךְ֙ מְשָׁרְתָ֔יו לֹא־ נַֽעֲשָׂ֥ה עִמּ֖וֹ דָּבָֽר׃

そして-言った そして-言った H0559 / 王は 王は H4428 / 何の 何の H4100 / なされたか なされたか / 讃れと 讃れと H3366 / 大いなる-ことが 大いなる-ことが H1420 / モルデカイに モルデカイに H4782 / に-対して に-対して / これに これに H2088 / そして-言った そして-言った H0559 / 若い-側近たちが 若い-側近たちが H5288 / 王の 王の H4428 / 仕える-者たちが 仕える-者たちが H8334 / 何も-なされていない 何も-なされていない H3808 / なされていない なされていない / 彼に 彼に / 何も 何も H1697

そこで王は言った、「この事のために、どんな栄誉と爵位をモルデカイに与えたか」。王に仕える侍臣たちは言った、「何も彼に与えていません」。

4 וְהָמָ֣ן בָּ֔א לַחֲצַ֖ר בֵּ֣ית־ הַמֶּ֑לֶךְ וַיֹּ֣אמֶר הַמֶּ֣לֶךְ לְמִ֣י יֶחְפָּ֣ץ הַמֶּ֣לֶךְ בִּיקָר֔וֹ מִ֚י בֶּחָצֵ֣ר הַמֶּ֔לֶךְ וְהָמָ֕ן בָּ֖א לַחֲצַ֣ר בֵּית־ הַמֶּ֑לֶךְ לֵאמֹ֣ר לַמֶּ֔לֶךְ לִתְל֖וֹת אֶת־ מָרְדֳּכַ֥י עַל־ הָעֵ֛ץ אֲשֶׁר־ הֵכִ֥ין לֽוֹ׃

そして-言った そして-言った H0559 / 王は 王は H4428 / 誰が 誰が H4310 / 庭に-いるか 庭に-いるか / そして-ハマンは そして-ハマンは H2001 / 来ていた 来ていた H0935 / 庭に 庭に H2691 / 家の 家の / 王の 王の H4428 / 外側の 外側の H2435 / 言うために 言うために H0559 / 王に 王に H4428 / 掛けるように 掛けるように H8518 / (を) (を) H0853 / モルデカイを モルデカイを H4782 / その その / 柱に 柱に H6086 / それを それを / 準備した 準備した / 彼のために 彼のために

王は言った、「庭にいるのはだれか」。この時ハマンはモルデカイのために設けた木にモルデカイを掛けることを王に申し上げようと王宮の外庭にはいってきていた。

וַיֹּאמֶר בֶּחָצֵר עֹמֵד הָמָן הִנֵּה אֶלָּיו הַמֶּלֶךְ נְעָרֵי וַיֹּאמְרוּ 5
そして-言った 庭に 立っている ハマンが 見よ 彼に 王の 若い-側近たちが そして-言った
H0559 H5975 H2001 H2009 H0413 H4428 H5288 H0559

הַמֶּלֶךְ׃ בָּא
王は 入れ
H4428 H0935

王の侍臣たちが「ハマンが庭に立っています」と王に言ったので、王は「ここへ、はいらせよ」と言った。

וַיָּבוֹא הָמָן וַיֹּאמֶר לוֹ הַמֶּלֶךְ מַה־ לֵּעָשׂוֹת אִישׁ בָּאֲשֶׁר הַמֶּלֶךְ חָפֵץ 6
そして-入った ハマンは そして-言った 彼に 王は 何を すべきか 人に その-者を 王が
H0935 H2001 H0559 H4428 H4100 H0376 H4428

בִּיקָרוֹ׃ לַעֲשׂוֹת הַמֶּלֶךְ יַחְפֹּץ לְמִי בִלְבּוֹ הָמָן וַיֹּאמֶר בִּיקָרוֹ חָפֵץ
尊ぶことを 望む 王が その-者を 人に 王に その ハマンは そして-言った 尊ぶことを 望む
H3366 H4428 H3148 H3366

מִמֶּנִּי׃ יוֹתֵר יֵקָר
私よりも より-以上に 譽れを
H3148 H3366

やがてハマンがはいって来ると王は言った、「王が栄誉を与えようと思う人にはどうしたらよかろうか」。ハマンは心のうちに言った、「王はわたし以外にだれに栄誉を与えようと思われるだろうか」。

בִּיקָרוֹ׃ חָפֵץ הַמֶּלֶךְ אֲשֶׁר אִישׁ הַמֶּלֶךְ אֶל־ הָמָן וַיֹּאמֶר 7
尊ぶことを 望む 王が その-者を 人に 王に その ハマンは そして-言った
H3366 H4428 H0376 H4428 H0413 H2001 H0559

ハマンは王に言った、「王が栄誉を与えようと思われる人のためには、

רָכַב אֲשֶׁר וְסוּס הַמֶּלֶךְ בּוֹ לָבַשׁ־ אֲשֶׁר מַלְכוּת לְבוּשׁ יָבִיאוּ 8
乗った それに そして-馬を 王が それを 着た それを 王国の 衣服を 持って-来させよ
H7392 H4428 H3847 H4438 H3830 H0935

בְּרֹאשׁוֹ׃ מַלְכוּת כֶּתֶר נְתָן אֲשֶׁר וַאֲשֶׁר הַמֶּלֶךְ עָלָיו
その-頭に 王国の 冠が 置かれた そして-それに 王が それに
H4438 H3804 H5414 H4428

王の着られた衣服を持ってこさせ、また王の乗られた馬、すなわちその頭に王冠をいただいた馬をひいてこさせ、

הַפַּרְתְּמִים הַמֶּלֶךְ מִשְׁרֵי אִישׁ יַד־ עַל־ וְהַסּוּס הַלְבּוּשׁ וְנָתוֹן 9
貴族の 王の 高官の-中の 人の 手に その そして-馬を 衣服を そして-与えるべきです
H6579 H4428 H8269 H0376 H3027 H5414 H3830

עַל־ וְהַרְכִּיבֵהוּ בִּיקָרוֹ חָפֵץ הַמֶּלֶךְ אֲשֶׁר הָאִישׁ אֶת־ וְהַלְבִּישׁוּ
その そして-乗せて-行かせよ 尊ぶことを 望む 王が その-者を 人に (を) そして-着せよ
H7392 H3366 H4428 H0376 H0853 H3847

אֲשֶׁר לְאִישׁ יֵעָשֶׂה כָּכָה לְפָנָיו וְקָרְאוּ הָעִיר בִּרְחוֹב הַסּוּס
その-者を 人に なされる このように その-前で そして-呼ばわせよ 都の 広場で 馬に
H0376 H6440 H7121 H7339

בִּיקָרוֹ׃ חָפֵץ הַמֶּלֶךְ
尊ぶことを 望む 王が
H3366 H4428

その衣服と馬とを王の最も尊い大臣のひとりの手にわたして、王が栄誉を与えようと思われる人にその衣服を着させ、またその人を馬に乗せ、町の広場を導いて通らせ、『王が栄誉を与えようと思う人にはこうするのだ』とその前に呼ばわらせなさい」。

10 וַיֹּ֣אמֶר הַמֶּ֡לֶךְ לְהָמָ֣ן מַהֵ֣ר קַח֩ אֶת־הַלְּבוּשׁ֨ וְאֶת־הַסּ֜וּס כַּאֲשֶׁ֣ר
そして-言った 王は ハマンに 急げ 取れ (を) 衣服を そして 馬を その-ように
H0559 H4428 H2001 H4782 H3947 H0853 H3830 H0853 H3605

דִּבַּ֗רְתָּ וַעֲשֵׂה־כֵ֤ן לְמָרְדֳּכַי֙ הַיְּהוּדִ֔י הַיּוֹשֵׁ֖ב בְּשַׁ֣עַר הַמֶּ֑לֶךְ
言った-とおりに そして-しよ その-ように モルデカイに ユダヤ人の 座っている 門に 王の
H1696 H3605 H4782 H3064 H3427 H8179 H4428

אַל־תַּפֵּ֥ל דָּבָ֖ר מִכֹּ֣ל אֲשֶׁ֣ר דִּבַּ֑רְתָּ׃
欠かすな 落とすな 何も すべての-中から それを 言った-ことから
H0408 H5307 H1697 H3605 H1696

それで王はハマンに言った、「急いであなたが言ったように、その衣服と馬とを取り寄せ、王の門に座しているユダヤ人モルデカイにそうしなさい。あなたが言ったことを一つも欠いてはならない」。

11 וַיִּקַּ֣ח הָמָ֗ן אֶת־הַלְּבוּשׁ֙ וְאֶת־הַסּ֔וּס וַיַּלְבֵּ֖שׁ אֶת־מָרְדֳּכָ֑י
そして-取った ハマンは (を) 衣服を そして (を) 馬を そして-着せた (を) モルデカイに
H3947 H2001 H0853 H3830 H0853 H0853 H3847 H0853 H4782

וַיַּרְכִּבֵ֣הוּ֮ בִּרְחוֹב֣ הָעִיר֒ וַיִּקְרָ֣א לְפָנָ֔יו כָּכָ֕ה יֵעָשֶׂ֖ה לָאִ֥ישׁ אֲשֶׁר־
そして-乗せた 広場で 都の そして-叫んだ その-前で このように なされる 人に その-者を
H7392 H7339 H7121 H6440 H3602 H6213 H0376 H0834

הַמֶּ֥לֶךְ חָפֵ֖ץ בִּיקָרֽוֹ׃
王が 望む 尊ぶことを
H4428 H2654 H3366

そこでハマンは衣服と馬とを取り寄せ、モルデカイにその衣服を着せ、彼を馬に乗せて町の広場を通らせ、その前に呼ばわって、「王が栄誉を与えようと思う人にはこうするのだ」と言った。

12 וַיָּ֥שָׁב מָרְדֳּכַ֖י אֶל־שַׁ֣עַר הַמֶּ֑לֶךְ וְהָמָן֙ נִדְחַ֣ף אֶל־בֵּיתּ֔וֹ אָבֵ֖ל
そして-戻った モルデカイは 門に 王の ハマンは しかし-急いだ その 家に 嘆き
H7725 H4782 H8179 H4428 H2001 H1765 H0413 H1004 H0056

וַחֲפ֥וּי רֹֽאשׁ׃
そして-覆って 頭を
H2645

こうしてモルデカイは王の門に帰ってきたが、ハマンは憂え悩み、頭をおおって急いで家に帰った。

13 וַיְסַפֵּ֣ר הָמָ֗ן לְזֶ֙רֶשׁ֙ אִשְׁתּ֔וֹ וּלְכָל־אֹהֲבָ֖יו אֵ֣ת כָּל־אֲשֶׁ֣ר
そして-語った ハマンは ゼレシュに 妻に そして-すべての 友人たちに (を) すべて それを
H2707 H2001 H2238 H0802 H3605 H0157 H0853 H3605 H0834

מִזֶּ֣רַע אִם־מָרְדֳּכַ֗י אֲשֶׁר־הֵחֵ֤ל נְפֹל֙ לְפָנָ֔יו לֹ֥א תוּכַ֖ל
子孫であるなら もし 妻が ゼレシュが 知恵ある-者たちと 彼に そして-言った 起こったことを
H2233 H0518 H0802 H2238 H2450 H0559 H7200

לְהִנָּקֵ֣ם ל֑וֹ כִּ֥י נָפוֹל֙ תִּפּ֣וֹל לְפָנָֽיו׃
勝てない 勝てない その-前で 倒れることを 始めたなら その-者の-前で モルデカイが ユダヤ人の
H3201 H3808 H6440 H5307 H2490 H0834 H4782 H3064

その-前に 倒れる 必ず-倒れる なぜなら 彼に
H6440 H5307 H5307 H3588 H0

そしてハマンは自分の身に起った事をことごとくその妻ゼレシと友だちに告げた。するとその知者たちおよび妻ゼレシは彼に言った、「あのモルデカイ、すなわちあなたがその人の前に敗れ始めた者が、もしユダヤ人の子孫であるならば、あなたは彼に勝つことはできない。必ず彼の前に敗れるでしょう」。

14 וַיְבַהֲלוּ הִגִּיעוּ הַמֶּלֶךְ וְסָרִיסֵי עִמּוֹ מְדַבְּרִים עוֹדָם
そして-急いだ 到着した 王の そして-宦官たちが 彼と 話している-うちに まだ-彼らが
H0926 H5060 H4428 H5631 H1696 H5750

לְהָבִיא אֶת־ הָמָן אֶל־ הַמִּשְׁתֶּה אֲשֶׁר־ עָשְׂתָה אֶסְתֵּר׃
連れて-行くために (を) ハマンを その 宴会に それを 準備した エステルが
H0935 H0853 H2001 H0413 H4960 H0834 H6213 H0635

彼らがなおハマンと話している時、王の侍従たちがきてハマンを促し、エステルが設けた酒宴に臨ませた。

Chapter 7

1 וַיָּבֹא הַמֶּלֶךְ וְהָמָן לִשְׁתּוֹת עִם־ אֶסְתֵּר הַמַּלְכָּה׃
そして-来た 王と ハマンが 飲むために ともに エステルと 王妃と
H0935 H4428 H2001 H8354 H0854 H6135 H4436

王とハマンは王妃エステルの酒宴に臨んだ。

2 וַיֹּאמֶר הַמֶּלֶךְ לְאֶסְתֵּר גַּם בַּיּוֹם הַשֵּׁנִי בְּמִשְׁתֵּה הַיָּיִן מַה־ שְׁאֵלָתֵךְ
そして-言った 王は エステルに また 日に 第二の 宴会で 酒の 何が 願いですか
H0559 H4428 H0635 H1571 H3117 H8145 H4960 H3196 H4100 H7596

וְתִנָּתֶן לָךְ וּמַה־ בַּקָּשָׁתֵךְ עַד־ חֲצִי הַמַּלְכוּת וְתֵעָשׂ׃
そして-与えられる あなたに そして-何が 求めですか まで 半分の 王国でも なされる
H5414 H0000 H4100 H1246 H5704 H2677 H4438 H6213

このふつか目の酒宴に王はまたエステルに言った、「王妃エステルよ、あなたの求めることは何か。必ず聞かれる。あなたの願いは何か。国の半ばでも聞きとどけられる」。

3 וַתַּעַן אֶסְתֵּר הַמַּלְכָּה וַתֹּאמֶר אִם־ מָצָאתִי חֵן בְּעֵינַיִךְ
そして-答えた エステルは 王妃は そして-言った もし 見いだしたなら 好意を あなたの-目に
H6030 H0635 H4436 H0559 H0518 H4672 H2580 H5869

וְעַמִּי בִּשְׁאֵלָתִי נַפְשִׁי לִי תִנָּתֶן־ טוֹב הַמֶּלֶךְ עַל־ וְאִם־ הַמֶּלֶךְ
そして-民を 願いとして 命を 私に 与えてください 良ければ 王 に そして-もし 王よ
H5971 H7596 H5315 H0000 H5414 H2895 H4428 H5921 H0518 H4428

בְּבַקָּשָׁתִי׃
求めとして
H1246

王妃エステルは答えて言った、「王よ、もしわたしが王の目の前に恵みを得、また王がもしよしとされるならば、わたしの求めにしたがってわたしの命をわたしに与え、またわたしの願いにしたがってわたしの民をわたしに与えてください。

4

וְאִלּוּ לְאַבֵּד וּלְהָרֹג לְהַשְׁמִיד וְעַמִּי אֲנִי נִמְכַּרְנוּ כִּי
そして-もし そして-絶滅させるために 殺し 滅ぼし 民は 私と 売られたのです なぜなら
H0432 H0006 H2026 H8045 H0589 H4376

שֹׁוֶה הַצָּר אֵין כִּי הֶחֱרַשְׁתִּי נִמְכַּרְנוּ וְלִשְׁפָחוֹת לַעֲבָדִים
値しない 敵は いない なぜなら 黙っていたでしょう 売られたのなら そして-婢として 奴隷として
H0369 H4376 H8198 H5650

ס בְּנֵזֶק הַמֶּלֶךְ׃
[区切り] 損害に 王の
H5143 H4428

わたしとわたしの民は売られて滅ぼされ、殺され、絶やされようとしています。もしわたしたちが男女の奴隷として売られただけなら、わたしは黙っていたでしょう。わたしたちの難儀は王の損失とは比較にならないからです」。

5

הוּא מִי הַמַּלְכָּה לְאֶסְתֵּר וַיֹּאמֶר אֲחַשְׁוֵרוֹשׁ הַמֶּלֶךְ וַיֹּאמֶר
彼こそ 誰が 王妃に エステルに そして-言った アハシュエロスが 王は そして-言った
H1931 H4310 H4436 H0635 H0559 H0325 H4428 H0559

כֵּן׃ לַעֲשׂוֹת לִבּוֹ מִלְאוֹ אֲשֶׁר־ הוּא זֶה וְאֵי־ זֶה
このように することを 心を 満たした その-者が 彼は これは そして-どこの これは
H4390 H1931 H2088 H0335 H2088

アハシュエロス王は王妃エステルに言った、「そんな事をしようと心にたくらんでいる者はだれか。またどこにいるのか」。

6

הַזֶּה הָרָע הָמָן וְאוֹיֵב צַר אִישׁ אֶסְתֵּר וַתֹּאמֶר־
この 悪い ハマンです そして-仇の 敵の 人です エステルは そして-言った
H2088 H2001 H0341 H0376 H0635 H0559

וְהַמַּלְכָּה׃ הַמֶּלֶךְ מִלִּפְנֵי נִבְעַת וְהָמָן
王妃の 王と 前で 恐れおののいた そして-ハマンは
H4436 H4428 H6440 H1204 H2001

エステルは言った、「そのあだ、その敵はこの悪いハマンです」。そこでハマンは王と王妃の前に恐れおののいた。

7

וְהָמָן הַבִּיתָן גִּנַּת אֶל־ הַיַּיִן מִמִּשְׁתֵּה בַּחֲמָתוֹ קָם וְהַמֶּלֶךְ
そして-ハマンは 離宮の 園に その 酒の 宴会から 怒りの-中で 立ち上がった そして-王は
H2001 H1055 H1594 H0413 H3196 H4960 H2534 H4428

כִּי־ רָאָה כִּי הַמַּלְכָּה מֵאֶסְתֵּר נַפְשׁוֹ עַל־ לְבַקֵּשׁ עָמַד
それを 見た なぜなら 王妃から エステルから 命を に-ついて 求めるために 立った
H7200 H4436 H0635 H5315 H1245 H5975

הַמֶּלֶךְ׃ מֵאֵת הָרָעָה אֵלָיו כְּלְתָה
王の から 悪が 彼に 定められたと
H4428 H0854 H0413 H3615

王は怒って酒宴の席を立ち、宮殿の園へ行ったが、ハマンは残って王妃エステルに命ごいをした。彼は王が自分に害を加えようと定めたのを見たからである。

8 וְהַמֶּלֶךְ שָׁב מִגִּנַּת הַבִּיתָן אֶל־בֵּית מִשְׁתֵּה הַיַּיִן וְהָמָן נֹפֵל
そして-王は 戻った 園から 離宮の その 家に 宴会の 酒の そして-ハマンは 倒れていた
H4428 H7725 H1594 H1055 H0413 H1055 H4960 H3196 H2001 H5307

עַל־ הַמִּטָּה אֲשֶׁר אֶסְתֵּר הָיָה עָלֶיהָ וַיֹּאמֶר הַמֶּלֶךְ הֲגַם לִכְבּוֹשׁ אֶת־
その 寝台の-上に そこに エステルが いる そして-言った 王は またも 襲うのか (を)
H4296 H0834 H0635 H1961 H5921 H0559 H4428 H1571 H3533 H0853

הַמַּלְכָּה עִמִּי בַּבָּיִת הַדָּבָר יָצָא מִפִּי הַמֶּלֶךְ וּפְנֵי הָמָן נֶחְפָּוּ׃
王妃を 私と-ともに 家で 言葉が 出た 口から 王の そして-顔が ハマンの 覆われた
H4436 H5973 H1004 H1697 H3318 H6310 H4428 H6440 H2001 H2645

ס
[区切り]

王が宮殿の園から酒宴の場所に帰ってみると、エステルのいた長いすの上にハマンが伏していたので、王は言った、「彼はまたわたしの家で、しかもわたしの前で王妃をはずかしめようとするのか」。この言葉が王の口から出たとき、人々は、ハマンの顔をおおった。

9 וַיֹּאמֶר חַרְבוֹנָה אֶחָד מִן־הַסָּרִיסִים לִפְנֵי הַמֶּלֶךְ גַּם הִנֵּה־ הָעֵץ
そして-言った ハルボナが 一人の その 宦官の-中の 前の 王の また 見よ 柱が
H0559 H2726 H0259 H4480 H5631 H6440 H4428 H1571 H2009 H6086

אֲשֶׁר־ עָשָׂה הָמָן לְמָרְדֳּכַי אֲשֶׁר דִּבֶּר־ טוֹב עַל־ הַמֶּלֶךְ תְּלוּהוּ עָלָיו׃
それを 作った ハマンが モルデカイのために その-者が 語った 良いことを に-ついて 王に 掛けよ その-上に
H0834 H6213 H2001 H4782 H0834 H1696 H2896 H5921 H4428 H8518 H5921

וַיֹּאמֶר הַמֶּלֶךְ תְּלוּהוּ עָלָיו׃ וַיֹּאמֶר אַמָּה חֲמִשִּׁים בָּבַיִת הָמָן גָּבֹהַּ עֹמֵד
そして-言った 王は 掛けよ その-上に アンマの 五十 家に ハマンの 高く 立っている
H0559 H4428 H8518 H5921 H0559 H0520 H2572 H1004 H2001 H1364 H5975

その時、王に付き添っていたひとりの侍従ハルボナが「王のためによい事を告げたあのモルデカイのためにハマンが用意した高さ五十キュビトの木がハマンの家に立っています」と言ったので、王は「彼をそれに掛けよ」と言った。

10 וַיִּתְלוּ אֶת־ הָמָן עַל־ הָעֵץ אֲשֶׁר־ הֵכִין לְמָרְדֳּכָי
そして-掛けた (を) ハマンを その 柱に それを 準備した モルデカイのために
H8518 H0853 H2001 H5921 H6086 H0834 H3559 H4782

וַחֲמַת הַמֶּלֶךְ שָׁכָכָה׃ פ
そして-怒りが 王の 収まった [段落]
H2534 H4428 H7918

そこで人々はハマンをモルデカイのために備えてあったその木に掛けた。こうして王の怒りは和らいだ。

Chapter 8

1 בַּיּוֹם הַהוּא נָתַן הַמֶּלֶךְ אֲחַשְׁוֵרוֹשׁ לְאֶסְתֵּר הַמַּלְכָּה אֶת־ בֵּית הָמָן
その 日に その 与えた 王は アハシュエロスが エステルに 王妃に (を) 家を ハマンの
H1931 H3117 H5414 H4428 H0325 H0635 H4436 H0853 H1004 H2001

צֹרֵר הַיְּהוּדִים׃ וַתַּגֶּד הַיְּהוּדִי׃ אֶסְתֵּר כִּי־ מָה הוּא־ זֶה וְאֵי זֶה הוּא אֲשֶׁר־
敵の [ユダヤ人の] エステルが なぜなら 何であるか 彼が どこに その-者が
H6862 H3064 H0635 H3588 H4100 H1931 H2088 H0335 H1931 H0834

מָלְאָה נַפְשׁוֹ לַעֲשׂוֹת כֵּן׃ לָהּ׃
彼女に-とって
H0559 H3651 H5315 H6213

מְלָא נַפְשׁוֹ לַעֲשׂוֹת כֵּן׃ לָהּ׃
彼が 何であるか エステルが
H1931 H4100 H0635

その日アハシュエロス王は、ユダヤ人の敵ハマンの家を王妃エステルに与えた。モルデカイは王の前にきた。これはエステルが自分とモルデカイがどんな関係の者であるかを告げたからである。

2

וַיִּתֵּן	מֶהָמָן	הֶעֱבִיר	אֲשֶׁר	טַבַּעְתּוֹ	אֶת־	הַמֶּלֶךְ	וַיָּסַר
そして–与えた	ハマンから	取り上げた	それを	指輪を	(を)	王は	そして–外した
H5414	H2001			H2885	H0853	H4428	H5493

פ	הָמָן׃	בֵּית	עַל־	מָרְדֳּכָי	אֶת־	אֶסְתֵּר	וַתָּשֶׂם	לְמָרְדֳּכָי
[段落]	ハマンの	家の	その–上に	モルデカイを	(を)	エステルは	そして–置いた	モルデカイに
	H2001			H4782	H0853	H0635		H4782

王はハマンから取り返した自分の指輪をはずして、モルデカイに与えた。エステルはモルデカイにハマンの家を管理させた。

3

רַגְלֶיהָ	לִפְנֵי	וַתִּפֹּל	הַמֶּלֶךְ	לִפְנֵי	וַתְּדַבֵּר	אֶסְתֵּר	וַתֹּסֶף
足の	前に	そして–ひれ伏した	王の	前で	そして–話した	エステルは	そして–再び
H7272	H6440	H5307	H4428	H6440	H1696	H0635	H3254

וְאֶת	הָאֲגָגִי	הָמָן	רָעַת	אֶת־	לְהַעֲבִיר	לוֹ	וַתִּתְחַנֶּן־	וַתֵּבְךְּ
そして	アガグ人の	ハマンの	悪を	(を)	取り除くように	彼に	そして–嘆願した	そして–泣いた
H0853	H0091	H2001		H0853				H1058

הַיְּהוּדִים׃	עַל־	חָשַׁב	אֲשֶׁר	מַחֲשַׁבְתּוֹ
ユダヤ人に	に–対して	企てた	それを	計略を
H3064		H2803		H4284

エステルは再び王の前に奏し、その足もとにひれ伏して、アガグびとハマンの陰謀すなわち彼がユダヤ人に対して企てたその計画を除くことを涙ながらに請い求めた。

4

אֶסְתֵּר	וַתָּקָם	הַזָּהָב	שַׁרְבֵט	אֶת	לְאֶסְתֵּר	הַמֶּלֶךְ	וַיּוֹשֶׁט
エステルは	そして–立ち上がった	金の	笏を	(を)	エステルに	王は	そして–差し–伸べた
H0635		H2091	H8275	H0853	H0635	H4428	H3447

הַמֶּלֶךְ׃	לִפְנֵי	וַתַּעֲמֹד
王の	前に	そして–立った
H4428	H6440	H5975

王はエステルにむかって金の笏を伸べたので、エステルは身を起して王の前に立ち、

5

לְפָנָיו	חֵן	מָצָאתִי	וְאִם־	טוֹב	הַמֶּלֶךְ	עַל־	אִם־	וַתֹּאמֶר
御前に	好意を	見いだしたなら	そして–もし	良ければ	王	に	もし	そして–言った
H6440	H2580	H4672			H4428			H0559

לְהָשִׁיב	יִכָּתֵב	בְּעֵינָיו	אֲנִי	וְטוֹבָה	הַמֶּלֶךְ	לִפְנֵי	הַדָּבָר	וְכָשֵׁר
取り消すために	書かれるべきです	目に	私が	そして–良い	王の	前に	事が	そして–正しい
H7725	H3789		H0589		H4428	H6440	H1697	H3787

לְאַבֵּד	כָּתַב	אֲשֶׁר	הָאֲגָגִי	הַמְּדָתָא	בֶּן־	הָמָן	מַחֲשֶׁבֶת	הַסְּפָרִים	אֶת־
滅ぼすために	書いた	それを	アガグ人の	ハメダタの	息子の	ハマンの	計略の	書簡を	(を)
H0006	H3789		H0091	H4099		H2001	H4284		H0853

הַמֶּלֶךְ׃	מְדִינוֹת	בְּכָל־	אֲשֶׁר	הַיְּהוּדִים	אֶת־
王の	州に	すべての	いる	ユダヤ人を	(を)
H4428	H4082	H3605		H3064	H0853

そして言った、「もし王がよしとされ、わたしが王の前に恵みを得、またこの事が王の前に正しいと見え、かつわたしが王の目にかなうならば、アガグびとハンメダタの子ハマンが王の諸州にいるユダヤ人を滅ぼそうとはかって書き送った書を取り消す旨を書かせてください。

6

כִּי	אֵיכָכָה	אוּכַל	וְרָאִיתִי	אֲשֶׁר־	בָּרָעָה	יִמְצָא	אֶת־	עַמִּי
なぜなら	どうして	できるでしょうか	見ることが	それが	悪を	降りかかる	(を)	民に
		H3201	H7200			H4672	H0853	

וְאֵיכָכָה	אוּכַל	וְרָאִיתִי	בְּאָבְדַן	מוֹלַדְתִּי׃	ס	
そして-どうして	できるでしょうか	見ることが	滅びを	同胞の	[区切り]	
	H3201	H7200	H0013	H4138		

どうしてわたしは、わたしの民に臨もうとする災を、だまって見ていることができましょうか。どうしてわたしの同族の滅びるのを、だまって見ていることができましょうか」。

7

הַיְּהוּדִי	וּלְמָרְדֳּכַי	הַמַּלְכָּה	לְאֶסְתֵּר	אֲחַשְׁוֵרוֹשׁ	הַמֶּלֶךְ	וַיֹּאמֶר	
ユダヤ人に	そして-モルデカイに	王妃に	エステルに	アハシュエロスが	王は	そして-言った	
H3064	H4782	H4436	H0635	H0325	H4428	H0559	

עָלָיו	הָעֵץ	עַל־	תָּלָה	וְאֹתוֹ	לְאֶסְתֵּר	נָתַתִּי	הָמָן	בֵּית־	הִנֵּה
その-ことで	柱に	その	掛けた	そして-彼を	エステルに	与えた	ハマンの	家を	見よ
	H6086		H8518	H0853	H0635	H5414	H2001		H2009

בַּיְּהוּדִים׃)	]ביהודיים[	יָדוֹ	שָׁלַח	אֲשֶׁר־
ユダヤ人に	[ユダヤ人に]	手を	伸ばした	彼が
H3064	H3064	H3027	H7971	

アハシュエロス王は王妃エステルとユダヤ人モルデカイに言った、「ハマンがユダヤ人を殺そうとしたので、わたしはハマンの家をエステルに与え、またハマンを木に掛けさせた。

8

בְּשֵׁם	בְּעֵינֵיכֶם	כַּטּוֹב	הַיְּהוּדִים	עַל־	כִּתְבוּ	וְאַתֶּם	
名で	あなたがたの-目に	良い-ように	ユダヤ人に	に-ついて	書きなさい	そして-あなたがたは	
H8034			H3064		H3789		

הַמֶּלֶךְ	בְּשֵׁם־	נִכְתָּב	אֲשֶׁר־	כְּתָב	כִּי־	הַמֶּלֶךְ	בְּטַבַּעַת	וְחִתְמוּ	הַמֶּלֶךְ
王の	名で	書かれた	それが	書状は	なぜなら	王の	指輪で	そして-封印しなさい	王の
H4428	H8034	H3789		H3791		H4428	H2885	H2856	H4428

לְהָשִׁיב׃	אֵין	הַמֶּלֶךְ	בְּטַבַּעַת	וְנַחְתּוֹם
取り消せない	取り消せない	王の	指輪で	そして-封印された
H7725	H0369	H4428	H2885	H2856

あなたがたは自分たちの思うままに王の名をもってユダヤ人についての書をつくり、王の指輪をもってそれに印を押すがよい。王の名をもって書き、王の指輪をもって印を押した書はだれも取り消すことができない」。

9

סִיוָן	חֹדֶשׁ	הוּא־	הַשְּׁלִישִׁי	בַּחֹדֶשׁ	הַהִיא	בָּעֵת־	הַמֶּלֶךְ	סֹפְרֵי־	וַיִּקָּרְאוּ
シワンの	月で	それは	第三の	月の	その	時に	王の	書記たちが	そして-呼ばれた
H5510	H2320	H1931	H7992	H2320	H1931	H6256	H4428		H7121

אֶל־	מָרְדֳּכַי	צִוָּה	אֲשֶׁר־	כְּכָל־	וַיִּכָּתֵב	בּוֹ	וְעֶשְׂרִים	בִּשְׁלוֹשָׁה
その	モルデカイが	命じた	それを	すべての-通りに	そして-書かれた	日のその	二十三	二十三
H0413	H4782	H6680		H3605	H3789		H6242	H7969

מֵהֹדּוּ	וְאֲשֶׁר	הַמְּדִינוֹת	וְשָׂרֵי	וְהַפַּחוֹת	הָאֲחַשְׁדַּרְפְּנִים־	וְאֶל	הַיְּהוּדִים
インドから	それらの	諸州の	長官たちに	知事たちと	総督たちと	そして	ユダヤ人に
H1912		H4082	H8269	H6346	H0323	H0413	H3064

כִּכְתָבָהּ	וּמְדִינָה	מְדִינָה	מְדִינָתָהּ	וּמֵאָה	וְעֶשְׂרִים	שֶׁבַע	כּוּשׁ	וְעַד־
その-文字で	また-州ごとに	州	州の	と-百の	二十	百	クシュまで	そして-まで
H3791	H4082	H4082	H4082	H3967	H6242	H7651		H5704

וְכִלְשׁוֹנָם׃	כִּכְתָבָם	הַיְּהוּדִים	וְאֶל־	כִּלְשׁוֹנוֹ	וָעָם	וְעַם
そして-その-言語で	その-文字で	ユダヤ人に	そして	その-言語で	また-民ごとに	そして-民に
H3956	H3789	H3064	H0413	H3956		

その時王の書記官が召し集められた。それは三月すなわちシワンの月の二十三日であった。そしてインドからエチオピヤまでの百二十七州にいる総督、諸州の知事および大臣たちに、モルデカイがユダヤ人について命じたとおりに書き送った。すなわち各州にはその文字を用い、各民族にはその言語を用いて書き送り、ユダヤ人に送るものにはその文字と言語とを用いた。

וַיִּשְׁלַח 10
そして-送った
H7971

הַמֶּלֶךְ
王の
H4428

בְּטַבַּעַת
指輪で
H2885

וַיַּחְתֹּם
そして-封印した
H2856

אֲחַשְׁוֵרֹושׁ
アハシュエロスの
H0325

הַמֶּלֶךְ
王の
H4428

בְּשֵׁם
名で
H8034

וַיִּכְתֹּב
そして-書いた
H3789

סְפָרִים
書簡を

בְּיַד
手で
H3027

הָרָצִים
使者たちの
H7323

בַּסּוּסִים
馬に-乗った

רֹכְבֵי
乗り手たちの
H7392

הָרֶכֶשׁ
駿馬の
H7409

הָאֲחַשְׁתְּרָנִים
王室の-馬の
H0327

בְּנֵי
子の

הָרַמָּכִים׃
牡馬の
H7424

その書はアハシュエロス王の名をもって書かれ、王の指輪をもって印を押し、王の御用馬として、そのうまやに育った早馬に乗る急使によって送られた。

אֲשֶׁר 11
それを

נָתַן
与えた
H5414

הַמֶּלֶךְ
王が
H4428

לַיְהוּדִים
ユダヤ人に
H3064

אֲשֶׁר
いる

בְּכָל־
すべての
H3605

עִיר־
町

וָעִיר
また-町ごとの

לְהִקָּהֵל
集まり
H6950

עַל־
に-ついて

לְהַשְׁמִיד
滅ぼし
H8045

וְלַהֲרֹג
そして-殺し
H2026

וּלְאַבֵּד
そして-絶滅させるために
H0006

אֶת־
(を)
H0853

וְלַעֲמֹד
そして-立つことを
H5975

נַפְשָׁם
命の-ために
H5315

כָּל־
すべての
H3605

חֵיל
軍勢を
H2428

עַם
民の

וּמְדִינָה
そして-州の
H4082

הַצָּרִים
敵対する

אֹתָם
彼らに
H0853

טַף
子供も
H2945

וְנָשִׁים
そして-女も
H0802

וּשְׁלָלָם
そして-財産を
H7998

לָבוֹז׃
奪うために
H0962

その中で、王はすべての町にいるユダヤ人に、彼らが相集まって自分たちの生命を保護し、自分たちを襲おうとする諸国、諸州のすべての武装した民を、その妻子もろともに滅ぼし、殺し、絶やし、かつその貨財を奪い取ることを許した。

בְּיוֹם 12
日に
H3117

אֶחָד
一つの
H0259

בִּכְל־
すべての
H3605

מְדִינוֹת
州に
H4082

הַמֶּלֶךְ
王の
H4428

אֲחַשְׁוֵרוֹשׁ
アハシュエロスの
H0325

בִּשְׁלוֹשָׁה
十三
H7969

עָשָׂר
十三
H6240

לְחֹדֶשׁ
月の
H2320

שְׁנֵים־
十二
H8147

עָשָׂר
十二

חֹדֶשׁ
月で
H2320

הוּא־
それは
H1931

אֲדָר׃
アダルの
H0143

ただしこの事をアハシュエロス王の諸州において、十二月すなわちアダルの月の十三日に、一日のうちに行うことを命じた。

פִּתְשֶׁגֶן 13
写しが

הַכְּתָב
書状の
H3791

לְהִנָּתֵן
与えられるために
H5414

דָּת
法令として
H1881

בִּכְל־
すべての
H3605

מְדִינָה
州
H4082

וּמְדִינָה
また-州ごとに
H4082

לְכָל־
すべての
H3605

גָּלּוּי
公開に
H1540

הָעַמִּים
民々に

וְלִהְיוֹת
そして-備えるために
H1961

היהודיים]
[ユダヤ人が]
H3064

היְּהוּדִים)
ユダヤ人が
H3064

עתודים]
[準備する]
H6259

עֲתִידִים)
準備する
H6264

לַיּוֹם
日の-ために
H3117

הַזֶּה
この
H2088

לְהִנָּקֵם
復讐するために
H5358

מֵאֹיְבֵיהֶם׃
敵から
H0341

この書いた物の写しを詔として各州に伝え、すべての民に公示して、ユダヤ人に、その日のために備えして、その敵にあだをかえさせようとした。

14 הָרָצִים רֹכְבֵי הָרֶכֶשׁ הָאֲחַשְׁתְּרָנִים יָצְאוּ מְבֹהָלִים וּדְחוּפִים
使者たちは 乗り手たちの 駿馬の 王室の-馬の 出て-行った 急ぎで そして-押し-出されて
H7323 H7392 H7409 H0327 H3318 H0926 H1765

פ בְּדָת נִתְּנָה בְּשׁוּשַׁן הַבִּירָה׃ וְהַמֶּלֶךְ בְּרַד יָשְׁבוּ לִשְׁתּוֹת
[段落] 命令に-より 王の そして-法令は 出された シュシャンの 城で
H1697 H4428 H1881 H5414 H7800 H1002

王の御用馬である早馬に乗った急使は、王の命によって急がされ、せきたてられて出て行った。この詔は首都スサで出された。

15 וּמָרְדֳּכַי יָצָא מִלִּפְנֵי הַמֶּלֶךְ בִּלְבוּשׁ מַלְכוּת תְּכֵלֶת וְחוּר וַעֲטֶרֶת זָהָב
そして-モルデカイは 出た 前から 王の 衣服で 王国の 青と 白の そして-冠で 金の
H4782 H3318 H6440 H4428 H3830 H4438 H8504 H2353 H5850 H2091

גְּדוֹלָה וְשִׂמְחָה׃ וְצָהֳלָה שׁוּשַׁן וְהָעִיר וְאַרְגָּמָן בּוּץ וְתַכְרִיךְ
大きな そして-喜んだ 叫び シュシャンは そして-都は そして-紫の 亜麻の そして-外套で
H1419 H8055 H6670 H7800 H5892 H0713 H0948 H8509

モルデカイは青と白の朝服を着、大きな金の冠をいただき、紫色の細布の上着をまとって王の前から出て行った。スサの町中、声をあげて喜んだ。

16 לַיְהוּדִים הָיְתָה אוֹרָה וְשִׂמְחָה וְשָׂשׂוֹן וִיקָר׃
ユダヤ人には あった 光が そして-喜びが そして-楽しみが そして-誉れが
H3064 H1961 H0216 H8057 H8342 H3366

ユダヤ人には光と喜びと楽しみと誉があった。

17 וּבְכָל־ מְדִינָה וּמְדִינָה וּבְכָל־ עִיר וָעִיר מָקוֹם אֲשֶׁר
すべての-そして 州ごとに また-州ごとに すべての-そして 町 また-町ごとに 場所で その
H3605 H4082 H4082 H3605 H5892 H5892 H4725

דְּבַר־ הַמֶּלֶךְ וְדָתוֹ מַגִּיעַ שִׂמְחָה לַיְהוּדִים מִשְׁתֶּה וְיוֹם
言葉が 王の 法令が そして- 届いた 喜びが ユダヤ人に 宴会と そして-日が
H1697 H4428 H1881 H5060 H8057 H3064 H4960 H3117

טוֹב וְרַבִּים מֵעַמֵּי הָאָרֶץ מִתְיַהֲדִים כִּי־ נָפַל פַּחַד־ הַיְהוּדִים
良い そして-多くの 民々から 地の ユダヤ人に-なった なぜなら 落ちた 恐れが ユダヤ人の
H2896 H7227 H5971 H0776 H3054 H3588 H5307 H6343 H3064

עֲלֵיהֶם׃
彼らの-上に

いずれの州でも、いずれの町でも、すべて王の命令と詔の伝達された所では、ユダヤ人は喜び楽しみ、酒宴を開いてこの日を祝日とした。そしてこの国の民のうち多くの者がユダヤ人となった。これはユダヤ人を恐れる心が彼らのうちに起ったからである。

Chapter 9

1

וּבִשְׁנֵים
そして-十二
H8147

עָשָׂר חֹדֶשׁ
月の 十二
H2320 H6240

הִוא־ חֹדֶשׁ
それは 月で
H1931 H2320

אֲדָר בִּשְׁלוֹשָׁה
アダルの 十三
H0143 H7969

עָשָׂר יוֹם
十三 日の
H6240 H3117

בּוֹ אֲשֶׁר
その それは

הִגִּיעַ דְּבַר־
届いた 言葉が
H5060 H1697

הַמֶּלֶךְ וְדָתוֹ
王の そして-法令が
H4428 H1881

לְהֵעָשׂוֹת בַּיּוֹם
実行されるために 日に
H3117

אֲשֶׁר שִׁבְּרוּ אֹיְבֵי
その 望んだ 敵たちが
H0341

הַיְהוּדִים שִׁלְטוּ יִשְׁלְטָוּ
ユダヤ人の 支配することを 支配した
H3064 H7980 H7980

הוּא אֲשֶׁר
それが それを
H1931

וְנַהֲפוֹךְ בָּהֶם
しかし-覆った 彼らを
H2015

הַיְהוּדִים
ユダヤ人が
H3064

הֵמָּה
彼らが
H1992

בְּשֹׂנְאֵיהֶם׃
憎む-者たちを
H8130

十二月すなわちアダルの月の十三日、王の命令と詔の行われる時が近づいたとき、すなわちユダヤ人の敵が、ユダヤ人を打ち伏せようと望んでいたのに、かえってユダヤ人が自分たちを憎む者を打ち伏せることとなったその日に、

2

נִקְהֲלוּ הַיְהוּדִים
集まった ユダヤ人は
H6950 H3064

בְּעָרֵיהֶם בְּכָל־
町々に すべての
H5892 H3605

מְדִינוֹת הַמֶּלֶךְ
州に 王の
H4082 H4428

אֲחַשְׁוֵרוֹשׁ
アハシュエロスの
H0325

לִשְׁלֹחַ
手を-下すために
H7971

יָד בִּמְבַקְשֵׁי
手を 求める-者たちに
H3027 H1245

רָעָתָם וְאִישׁ
悪を そして-人は
H0376

לֹא־ עָמַד
立たなかった 立たなかった
H3808 H5975

לִפְנֵיהֶם כִּי־
彼らの-前に なぜなら
H6440

הָעַמִּים׃ כָּל־
民々の-上に すべての
H3605

עַל־ פַּחְדָם
その 恐れが
H6343

נָפַל
落ちた
H5307

ユダヤ人はアハシュエロス王の各州にある自分たちの町々に集まり、自分たちに害を加えようとする者を殺そうとしたが、だれもユダヤ人に逆らうことのできるものはなかった。すべての民がユダヤ人を恐れたからである。

3

וְעֹשֵׂי וְהַפַּחוֹת
そして-行う-者たち 知事たちと
H6346

וְהָאֲחַשְׁדַּרְפְּנִים הַמְּדִינוֹת
そして-総督たちと 諸州の
H0323 H4082

שָׂרֵי וְכָל־
長官たちは そして-すべての
H8269 H3605

הַמְּלָאכָה אֲשֶׁר
仕事を その-者たちの
H4399

מְנַשְּׂאִים לַמֶּלֶךְ
助けた 王の
H5375 H4428

אֶת־ הַיְהוּדִים כִּי־
(を) ユダヤ人を なぜなら
H0853 H3064

נָפַל פַּחַד־
落ちた 恐れが
H5307 H6343

עֲלֵיהֶם׃ מָרְדֳּכָי
彼らの-上に モルデカイの
H4782

諸州の大臣、総督、知事および王の事をつかさどる者は皆ユダヤ人を助けた。彼らはモルデカイを恐れたからである。

4

כִּי־ גָּדוֹל
なぜなら 大きかった
H1419

הָאִישׁ כִּי־
人は なぜなら
H0376

מָרְדֳּכַי הוֹלֵךְ
モルデカイは ますます
H4782 H1980

וְגָדוֹל׃ פ
大きく-なった [段落]

וְשָׁמְעוֹ הוֹלֵךְ
そして-名声が ますます
H8089 H1980

הַמֶּלֶךְ בְּבֵית מָרְדֳּכַי
王の 家で モルデカイは
H4428 H4782

בְּכָל־ מְדִינָה
すべての 州に
H3605 H4082

モルデカイは王の家で大いなる者となり、その名声は各州に聞えわたった。この人モルデカイがますます勢力ある者となったからである。

5

וְאַבְדָן	וְהָרֶג	חֶרֶב	מַכַּת־	אֹיְבֵיהֶם	בְּכָל־	הַיְּהוּדִים	וַיַּכּוּ	
絶滅で	そして-殺害と	剣の	打撃で	敵たちを	すべての	ユダヤ人は	そして-打った	
H0012	H2027	H2719	H4347	H0341	H3605	H3064	H5221	

כִּרְצוֹנָם׃	בְּשֹׂנְאֵיהֶם	וַיַּעֲשׂוּ
望みの-ままに	憩む-者たちに	そして-行った
H7522	H8130	

そこでユダヤ人はつるぎをもってすべての敵を撃って殺し、滅ぼし、自分たちを憎む者に対し心のままに行った。

6

אִישׁ׃	מֵאוֹת	חֲמֵשׁ	וְאַבֵּד	הַיְּהוּדִים	הָרְגוּ	הַבִּירָה	וּבְשׁוּשַׁן
人を	百	五	そして-滅ぼした	ユダヤ人は	殺した	城で	そして-シュシャンの
H0376	H3967	H2568	H0006	H3064	H2026	H1002	H7800

ユダヤ人はまた首都スサにおいても五百人を殺し、滅ぼした。

7

אַסְפָּתָא׃	וְאֶת	דַּלְפוֹן	וְאֶת	פַּרְשַׁנְדָּתָא	וְאֶת	
アスパタと	そして	ダルフォンと	そして	パルシャンダタと	そして	
H0630	H0853	H1813	H0853	H6577	H0853	

またパルシャンダタ、ダルポン、アスパタ、

8

אֲרִידָתָא׃	וְאֶת	אֲדַלְיָא	וְאֶת	פּוֹרָתָא	וְאֶת	
アリダタと	そして	アダリヤと	そして	ポラタと	そして	
H0743	H0853	H0118	H0853	H6334	H0853	

ポラタ、アダリヤ、アリダタ、

9

וַיְזָתָא׃	וְאֶת	אֲרִדַי	וְאֶת	אֲרִיסַי	וְאֶת	פַּרְמַשְׁתָּא	וְאֶת	
ヴァイザタを	そして	アリダイと	そして	アリサイと	そして	パルマシュタと	そして	
H2055	H0853	H0742	H0853	H0747	H0853	H6534	H0853	

パルマシタ、アリサイ、アリダイ、ワエザタ、

10

וּבַבִּזָּה	הָרָגוּ	הַיְּהוּדִים	צֹרֵר	הַמְּדָתָא	בֶּן־	הָמָן	בְּנֵי	עֲשֶׂרֶת	
しかし-奪い物には	殺した	ユダヤ人の	敵の	ハメダタの	息子の	ハマンの	息子たちを	十人の	
H0961	H2026	H3064		H4099		H2001		H6235	

יָדָם׃	אֶת־	שָׁלְחוּ	לֹא
手を	(を)	伸ばさなかった	伸ばさなかった
H3027	H0853	H7971	H3808

すなわちハンメダタの子で、ユダヤ人の敵であるハマンの十人の子をも殺した。しかし、そのぶんどり物には手をかけなかった。

11

ס	הַמֶּלֶךְ׃	לִפְנֵי	הַבִּירָה	בְּשׁוּשַׁן	הַהֲרוּגִים	מִסְפַּר	בָּא	הַהוּא	בַּיּוֹם
[区切り]	王の	前に	城の	シュシャンの	殺された-者の	数が	来た	その	日に
	H4428	H6440	H1002	H7800	H2026	H4557	H0935	H1931	H3117

その日、首都スサで殺された者の数が王に報告されると、

12

הַיְהוּדִים	הָרְגוּ׀	הַבִּירָה	בְּשׁוּשַׁן	הַמַּלְכָּה	לְאֶסְתֵּר	הַמֶּלֶךְ	וַיֹּאמֶר	
ユダヤ人は	殺した	城で	シュシャンの	王妃に	エステルに	王は	そして-言った	
H3064	H2026	H1002	H7800	H4436	H0635	H4428	H0559	

מְדִינוֹת	בִּשְׁאָר	הָמָן	בְּנֵי־	עֲשֶׂרֶת	וְאֶת׀	אִישׁ	מֵאוֹת	חֲמֵשׁ	וְאַבֵּד
州では	残りの	ハマンの	息子たちを	十人の	そして	人と	百	五	そして-滅ぼした
H4082	H7605	H2001		H6235	H0853	H0376	H3967	H2568	H0006

בַּקָּשָׁתֶךְ	וּמַה־	לָּךְ	וְיִנָּתֶן	שְׁאֵלָתֵךְ׀	וּמַה־	עָשָׂה	מָּה	הַמֶּלֶךְ
求めですか	そして-何が	あなたに	与えられる	願いですか	そして-何が	したか	何を	王の
H1246	H4100		H5414	H7596	H4100		H4100	H4428

וְתֵעָשׂ׃	עוֹד
なされる	まだ
	H5750

王は王妃エステルに言った、「ユダヤ人は首都スサで五百人を殺し、またハマンの十人の子を殺した。王のその他の諸州ではどんなに彼らは殺したことであろう。さてあなたの求めることは何か。必ず聞かれる。更にあなたの願いは何か。必ず聞きとどけられる」。

13

מָחָר	גַּם־	יִנָּתֵן	טוֹב	הַמֶּלֶךְ	עַל־	אִם־	אֶסְתֵּר׀	וַתֹּאמֶר
明日も	また	与えられるべきです	良ければ	王	に	もし	エステルは	そして-言った
H4279	H1571	H5414		H4428			H0635	H0559

עֲשֶׂרֶת	וְאֶת	הַיּוֹם	כְּדָת	לַעֲשׂוֹת	בְּשׁוּשָׁן	אֲשֶׁר	לַיְהוּדִים׀	
十人の	そして	今日の	法令の-通りに	することを	シュシャンに-いる	いる	ユダヤ人に	
H6235	H0853	H3117	H1881		H7800		H3064	

הָעֵץ׃	עַל־	יִתְלוּ	הָמָן	בְּנֵי־
柱に	その	掛けるべきです	ハマンの	息子たちを
H6086		H8518	H2001	

エステルは言った、「もし王がよしとされるならば、どうぞスサにいるユダヤ人にあすも、きょうの詔のように行うことをゆるしてください。かつハマンの十人の子を木に掛けさせてください」。

14

וְאֶת	בְּשׁוּשָׁן	דָּת	וַתִּנָּתֵן	כֵּן	לְהֵעָשׂוֹת	הַמֶּלֶךְ׀	וַיֹּאמֶר	
そして	シュシャンで	法令が	そして-出された	その-ように	なされるように	王は	そして-言った	
H0853	H7800	H1881	H5414			H4428	H0559	

תָּלוּ׃	הָמָן	בְּנֵי־	עֲשֶׂרֶת
掛けた	ハマンの	息子たちを	十人の
H8518	H2001		H6235

王はそうせよと命じたので、スサにおいて詔が出て、ハマンの十人の子は木に掛けられた。

15

עָשָׂר׀	אַרְבָּעָה	בְּיוֹם	גַּם־	בְּשׁוּשָׁן	אֲשֶׁר־	הַיְהוּדִים)׀	[היהודיים]	וַיִּקָּהֲלוּ
十四	十四	日に	また	シュシャンに	いる	ユダヤ人が	[ユダヤ人が]	そして-集まった
H6240	H0702	H3117	H1571	H7800		H3064	H3064	H6950

וּבַבִּזָּה	אִישׁ	מֵאוֹת	שְׁלֹשׁ	בְּשׁוּשָׁן	וַיַּהַרְגוּ	אֲדָר	לְחֹדֶשׁ	
しかし-奪い物には	人を	百	三	シュシャンで	そして-殺した	アダルの	月の	
H0961	H0376	H3967	H7969	H7800	H2026	H0143	H2320	

יָדָם׃	אֶת־	שָׁלְחוּ	לֹא
手を	(を)	伸ばさなかった	伸ばさなかった
H3027	H0853	H7971	H3808

アダルの月の十四日にまたスサにいるユダヤ人が集まり、スサで三百人を殺した。しかし、そのぶんどり物には手をかけなかった。

16 וּשְׁאָר֣ הַיְּהוּדִ֗ים אֲשֶׁ֤ר בִּמְדִינוֹת֙ הַמֶּ֣לֶךְ נִקְהֲל֔וּ וְעָמַ֖ד עַל־
そして-残りの ユダヤ人は いる 諸州に 王の 集まり そして-立ち に-ついて
H7605 H3064 H0834 H4082 H4428 H6950 H5975

נַפְשָׁ֑ם וְנוֹחַ֙ מֵאֹיְבֵיהֶ֔ם וְהָרֹ֗ג בְּשַׂנְאֵיהֶם֙ חֲמִשָּׁ֣ה וְשִׁבְעִ֔ים אָ֖לֶף
命の-ために そして-休んだ 敵から そして-殺した 憎む-者たちの-中から 五 七十 千人を
H5315 H5118 H0341 H2026 H8130 H2568 H7657 H0505

בָּ֥זָּה לֹ֣א שָׁלְח֔וּ אֶת־יָדָ֖ם׃
しかし-奪い物には 伸ばさなかった 伸ばさなかった (を) 手を
H0961 H3808 H7971 H0853 H3027

王の諸州にいる他のユダヤ人もまた集まって、自分たちの生命を保護し、その敵に勝って平安を得、自分たちを憎む者七万五千人を殺した。しかし、そのぶんどり物には手をかけなかった。

17 בִּיּ֣וֹם שְׁלוֹשָׁ֣ה עָשָׂ֣ר לְחֹ֣דֶשׁ אֲדָ֗ר וְנוֹחַ֙ בְּאַרְבָּעָ֣ה עָשָׂ֔ר בּ֖וֹ וְעָשָׂ֑ה
日に 十三 月の アダルの そして-休んだ 十四 十四 日にその そして-した
H3117 H7969 H6240 H2320 H0143 H5117 H0702 H6240 H0834 H6213

וְשִׂמְחָֽה׃ מִשְׁתֶּ֥ה וְיוֹם֙ אֹת֔וֹ
そして-喜びの 宴会の 日として それを
H8057 H4960 H3117 H0853

これはアダルの月の十三日であって、その十四日に休んで、その日を酒宴と喜びの日とした。

18 וְהַיְּהוּדִ֞ים אֲשֶׁ֣ר בְּשׁוּשָׁ֗ן נִקְהֲל֤וּ בִּשְׁלוֹשָׁה־עָשָׂר֙ בּ֔וֹ וְעָשָׂ֖ה בְּאַרְבָּעָ֣ה עָשָׂ֑ר
そして-ユダヤ人は いる シュシャンに 集まった 十三 日にその そして-十四 十四 日にその
H3064 H0834 H7800 H6950 H7969 H6240 H0834 H6213 H0702 H6240

וְנוֹחַ֙ בּ֔וֹ בַּחֲמִשָּׁ֣ה עָשָׂ֔ר וְעָשָׂ֖ה אֹתוֹ֙ וְשִׂמְחָֽה׃ מִשְׁתֶּ֥ה וְיוֹם֙
そして-休んだ 日にその 十五 十五 日にその そして-した それを そして-喜びの 宴会の 日として
H5117 H0834 H2568 H6240 H0834 H6213 H0853 H8057 H4960 H3117

[והיהודיים] (וְהַיְּהוּדִ֞ים) אֲשֶׁ֣ר־בְּשׁוּשָׁ֗ן נִקְהֲל֤וּ בִּשְׁלוֹשָׁה־עָשָׂר֙ בּ֔וֹ וְעָשָׂ֖ה בְּאַרְבָּעָ֣ה עָשָׂ֑ר
[そして-ユダヤ人は] そして-ユダヤ人は いる シュシャンに 集まった 十三 日にその そして-十四 十四 日にその
H3064 H3064 H0834 H7800 H6950 H7969 H6240 H0834 H6213 H0702 H6240

וְנוֹחַ֙ בּ֔וֹ בַּחֲמִשָּׁ֣ה עָשָׂ֔ר וְעָשָׂ֖ה אֹתוֹ֙ וְשִׂמְחָֽה׃ מִשְׁתֶּ֥ה וְיוֹם֙
そして-休んだ 日にその 十五 十五 日にその そして-した それを そして-喜びの 宴会の 日として
H5117 H0834 H2568 H6240 H0834 H6213 H0853 H8057 H4960 H3117

しかしスサにいるユダヤ人は十三日と十四日に集まり、十五日に休んで、その日を酒宴と喜びの日とした。

19 עַל־כֵּ֣ן הַיְּהוּדִ֗ים [הפרוזים] (הַפְּרָזִ֜ים) הַיֹּשְׁבִ֣ים בְּעָרֵי֮ הַפְּרָזוֹת֒ עֹשִׂ֞ים
その-ために ユダヤ人は [田舎の] 田舎の 住んでいる 町々に 田舎の している
H3064 H6521 H6521 H3427 H6519 H6213

אֶת־יוֹם֙ אַרְבָּעָ֣ה עָשָׂ֔ר לְחֹ֣דֶשׁ אֲדָ֗ר שִׂמְחָה֙ וּמִשְׁתֶּ֔ה וְיוֹם֙ טֹ֔וב
(を) 日を 十四 十四 月の アダルの 喜びと 宴会と そして-日として 良い
H0853 H3117 H6240 H0702 H2320 H0143 H8057 H4960 H3117 H2896

פ לְרֵעֵ֖הוּ׃ אִ֣ישׁ מָנ֔וֹת וּמִשְׁלֹ֥חַ
[段落] 友に 人が 贈り物を そして-送ることを
H7453 H0376 H4490

それゆえ村々のユダヤ人すなわち城壁のない町々に住む者はアダルの月の十四日を喜びの日、酒宴の日、祝日とし、互に食べ物を贈る日とした。

20 וַיִּכְתֹּ֣ב מָרְדֳּכַ֗י אֶת־הַדְּבָרִ֤ים הָאֵלֶּה֙ וַיִּשְׁלַ֣ח סְפָרִ֔ים אֶל־כָּל־
そして-書いた モルデカイは (を) 事柄を これらの そして-送った 書簡を その すべての
H3789 H4782 H0853 H1697 H0428 H7971 H0413 H3605

הַיְּהוּדִ֞ים אֲשֶׁ֣ר בְּכָל־מְדִינ֣וֹת הַמֶּ֗לֶךְ אֲחַשְׁוֵרוֹשׁ֙ הַקְּרוֹבִ֣ים וְהָרְחוֹקִ֔ים׃
ユダヤ人に いる すべての 州に 王の アハシュエロスの 近い-者も 遠い-者も
H3064 H0834 H3605 H4082 H4428 H0325 H7138 H7350

モルデカイはこれらのことを書きしるしてアハシュエロス王の諸州にいるすべてのユダヤ人に、近い者にも遠い者にも書を送り、

21 לְקַיֵּם֙ עֲלֵיהֶ֔ם לִֽהְיוֹת֙ עֹשִׂ֔ים אֶת־ יוֹם֙ אַרְבָּעָ֣ה עָשָׂ֔ר לְחֹ֖דֶשׁ
定めるために 彼らの–上に することを 行うことを (を) 日を 十四 十四 月の
H3117 H0853 H1961 H6240 H0702 H2320

וְשָׁנָֽה׃ שָׁנָ֔ה בְּכָל־ בּ֣וֹ בְּי֔וֹם עָשָׂ֥ר חֲמִשָּׁ֖ה יוֹם־ וְאֶת֙ אֲדָ֔ר
また–年ごとに 年 すべての 日のその 十五 十五 日を そして アダルの
H8141 H8141 H3605 H6240 H2568 H3117 H0853 H0143

アダルの月の十四日と十五日とを年々祝うことを命じた。

22 כַּיָּמִ֗ים אֲשֶׁר־ נָ֣חוּ בָהֶם֮ הַיְּהוּדִים֒ מֵאֹיְבֵיהֶם֙ וְהַחֹ֗דֶשׁ אֲשֶׁר֙ נֶהְפַּ֣ךְ
日々の–ように それを 休んだ それらに ユダヤ人が 敵から そして–月が それは 変わった
H3117 H5117 H3064 H0341 H2320

לָהֶ֔ם מִיָּג֣וֹן לְשִׂמְחָ֔ה וּמֵאֵ֖בֶל לְי֣וֹם טֽוֹב לַעֲשׂ֤וֹת אוֹתָם֙ יְמֵי֙
彼らに 悲しみから 喜びに そして–嘆きから 日に 良い するように それらを 日々として
H1992 H3015 H8057 H0060 H3117 H2896 H0853 H3117

וּמַתָּנ֖וֹת אִ֣ישׁ לְרֵעֵ֑הוּ מִשְׁלֹ֥חַ וְשִׂמְחָ֛ה מִשְׁתֶּ֥ה לַיָּמִ֖ים׃
そして–贈り物を 友に 人が 贈り物を そして–送ることを そして–喜びの 宴会の 貧しい–者に
H4979 H7453 H0376 H4490 H8057 H4960 H0034

すなわちこの両日にユダヤ人がその敵に勝って平安を得、またこの月は彼らのために憂いから喜びに変り、悲しみから祝日に変ったので、これらを酒宴と喜びの日として、互に食べ物を贈り、貧しい者に施しをする日とせよとさとした。

23 וְקִבֵּ֣ל הַיְּהוּדִ֗ים אֵת֙ אֲשֶׁר־ הֵחֵ֣לּוּ לַעֲשׂ֔וֹת וְאֵת֙ אֲשֶׁר־ כָּתַ֣ב
そして–受け入れた ユダヤ人は (を) それを 始めた することを そして それを 書いた
H6901 H3064 H0853 H0834 H2490 H6213 H0853 H0834 H3789

מָרְדֳּכָ֖י אֲלֵיהֶֽם׃
モルデカイが 彼らに
H4782 H0413

そこでユダヤ人は彼らがすでに始めたように、またモルデカイが彼らに書き送ったように、行うことを約束した。

24 כִּ֣י הָמָ֣ן בֶּן־ הַמְּדָתָ֗א הָאֲגָגִי֙ צֹרֵ֣ר כָּל־ הַיְּהוּדִ֔ים חָשַׁ֖ב
なぜなら ハマンは 息子の ハメダタの アガグ人の 敵の すべての ユダヤ人の 企てた
H2001 H1121 H4099 H0091 H6862 H3605 H3064 H2803

לְהָמֵ֑ם הַג֣וֹרָל הִ֔וא פּ֖וּר וְהִפִּ֥יל לְאַבְּדָ֛ם הַיְּהוּדִ֥ים עַל־
混乱させ くじである それは プルを そして–投げた 滅ぼすために ユダヤ人に に–対して
H2000 H1486 H1931 H6332 H5307 H0006 H3064

וּלְאַבְּדָֽם׃
そして–滅ぼすために
H0006

これはアガグびとハンメダタの子ハマン、すなわちすべてのユダヤ人の敵がユダヤ人を滅ぼそうとはかり、プルすなわちくじを投げて彼らを絶やし、滅ぼそうとしたが、

25 וּבְבֹאָהּ לִפְנֵי הַמֶּלֶךְ אָמַר עִם־הַסֵּפֶר יָשׁוּב מַחֲשַׁבְתּוֹ הָרָעָה אֲשֶׁר־
それを 悪い 計略が 戻るべきである 書状で ともに 言った 王の 前に しかし–来た–時
H4284 H7725 H0559 H4428 H6440 H0935

חָשַׁב עַל־ הַיְּהוּדִים עַל־ רֹאשׁוֹ וְתָלוּ אֹתוֹ וְאֶת־ בָּנָיו עַל־
その 息子たちを そして 彼を そして–掛けた 頭の–上に その ユダヤ人に に–対して 企てた
H0853 H0853 H8518 H3064 H2803

הָעֵץ׃
柱に
H6086

エステルが王の前にきたとき、王は書を送って命じ、ハマンがユダヤ人に対して企てたその悪い計画をハマンの頭上に臨ませ、彼とその子らを木に掛けさせたからである。

26 עַל־ כֵּן קָרְאוּ לַיָּמִים הָאֵלֶּה פוּרִים עַל־ שֵׁם הַפּוּר
プルの 名に–より その–ことで プリムと これらの 日々を 呼んだ これの その–ために
H6332 H8034 H6332 H0428 H3117 H7121

עַל־ כֵּן עַל־ כָּל־ דִּבְרֵי הָאִגֶּרֶת הַזֹּאת וּמָה־ רָאוּ עַל־
その–ために その–ために すべての 言葉の 書簡の この そして–何を 見たか
H3605 H1697 H0107 H2063 H4100 H7200

כָּכָה הִגִּיעַ וּמָה עַל־ אֲלֵיהֶם׃
このように 届いたか そして–何が その–ことで 彼らに
H3602 H5060 H4100 H0413

このゆえに、この両日をプルの名にしたがってプリムと名づけた。そしてこの書のすべての言葉により、またこの事について見たところ、自分たちの会ったところによって、

27 קִיְּמוּ וְקִבְּלוּ (וקבל) הַיְּהוּדִים וְעַל־ עֲלֵיהֶם
定めた [そして–受け入れた] そして–受け入れた ユダヤ人は そして–その 自分たちの–上に
H6901 H6901 H3064

לִהְיוֹת יַעֲבֹר וְלֹא עֲלֵיהֶם הַנִּלְוִים כָּל־ וְעַל זַרְעָם
することを 止めない そして–止めない 彼らに 加わる–者の すべての そして 子孫の–上に
H1961 H3808 H3605 H2233

וְכִזְמַנָּם כִּכְתָבָם הָאֵלֶּה הַיָּמִים אֶת שְׁנֵי עֹשִׂים
そして–その–定められた–時に その–書かれた–通りに これらの 日々を 二つの (を) 行うことを
H2165 H3791 H0428 H3117 H8147 H0853

וְשָׁנָה׃ שָׁנָה בְּכָל־
また–年ごとに 年 すべての
H8141 H8141 H3605

ユダヤ人は相定め、年々その書かれているところにしたがい、その定められた時にしたがって、この両日を守り、自分たちと、その子孫およびすべて自分たちにつらなる者はこれを行い続けて廃することなく、

28 מִשְׁפָּחָה וָדוֹר דּוֹר בְּכָל־ וְנַעֲשִׂים נִזְכָּרִים הָאֵלֶּה וְהַיָּמִים
氏族 また–世代ごとに 世代 すべての そして–行われる 覚えられ これらの そして–日々は
H4940 H1755 H1755 H3605 H2142 H0428 H3117

הָאֵלֶּה הַפּוּרִים יְמֵי וְעִיר וָעִיר וּמְדִינָה מְדִינָה וּמִשְׁפָּחָה
これらの プリムの そして–日々は また–町ごとに そして–町 また–州ごとに 州 また–氏族ごとに
H0428 H6332 H3117 H4082 H4082 H4940

ס מִזַּרְעָם׃ יָסוּף לֹא־ וְזִכְרָם הַיְּהוּדִים מִתּוֹךְ יַעֲבְרוּ לֹא
[区切り] 子孫から 絶えない 絶えない そして–記憶は ユダヤ人の 中から 終わらない 終わらない
H2233 H5486 H3808 H2143 H3064 H8432 H3808

この両日を、代々、家々、州々、町々において必ず覚えて守るべきものとし、これらのプリムの日がユダヤ人のうちに廃せられることのないようにし、またこの記念がその子孫の中に絶えることのないようにした。

29 וַתִּכְתֹּב אֶסְתֵּר הַמַּלְכָּה בַּת־אֲבִיחַיִל וּמָרְדֳּכַי הַיְּהוּדִי אֵת־
(を) ユダヤ人が そして–モルデカイが アビハイルの 娘の 王妃が エステルが そして–書いた
H0854 H3064 H4782 H0032 H1323 H4436 H0635 H3789

כָּל־תֹּקֶף לְקַיֵּם אֵת אִגֶּרֶת הַפּוּרִים הַזֹּאת הַשֵּׁנִית׃
すべての 権威を–もって 確立するために (を) 書簡を プリムの この 第二の
H3605 H8633 H0853 H0107 H6332 H2063 H8145

さらにアビハイルの娘である王妃エステルとユダヤ人モルデカイは、権威をもってこのプリムの第二の書を書き、それを確かめた。

30 וַיִּשְׁלַח סְפָרִים אֶל־כָּל־הַיְּהוּדִים אֶל־מְאָה וְעֶשְׂרִים וְשֶׁבַע מְדִינוֹת
そして–送った 書簡を その 全ての ユダヤ人に その 百 二十 と–百の 州の
H7971 H0413 H3605 H3064 H0413 H7651 H6242 H3967 H4082

מַלְכוּת אֲחַשְׁוֵרוֹשׁ דִּבְרֵי שָׁלוֹם וֶאֱמֶת׃
王国の アハシュエロスの 言葉で 平和の そして–真実の
H4438 H0325 H1697 H7965 H0571

そしてアハシュエロスの国の百二十七州にいるすべてのユダヤ人に、平和と真実の言葉をもって書を送り、

31 לְקַיֵּם אֶת־יְמֵי הַפֻּרִים הָאֵלֶּה בִּזְמַנֵּיהֶם כַּאֲשֶׁר קִיַּם
定めた その–ように その–定められた–時に これらの プリムの 日々を (を) 確立するために
H2165 H0428 H6332 H3117 H0853

עֲלֵיהֶם מָרְדֳּכַי הַיְּהוּדִי וְאֶסְתֵּר הַמַּלְכָּה וְכַאֲשֶׁר קִיְּמוּ
彼らの–上に モルデカイが ユダヤ人が そして–エステルが 王妃が そして–その–ように 定めた
H4782 H3064 H0635 H4436

עַל־נַפְשָׁם וְעַל־זַרְעָם דִּבְרֵי הַצּוֹמוֹת וְזַעֲקָתָם׃
その 自分たちの–上に 子孫の–上に 事柄を 断食の そして–叫びの
H5315 H2233 H1697 H6685 H2201

断食と悲しみのことについて、ユダヤ人モルデカイと王妃エステルが、かつてユダヤ人に命じたように、またユダヤ人たちが、かつて自分たちとその子孫のために定めたように、プリムのこれらの日をその定めた時に守らせた。

32 וּמַאֲמַר אֶסְתֵּר קִיַּם דִּבְרֵי הַפֻּרִים הָאֵלֶּה וְנִכְתָּב בַּסֵּפֶר׃ פ
そして–命令が エステルの 確立した 事柄を プリムの これらの そして–記された 書に [段落]
H3982 H0635 H1697 H6685 H0428 H3789

エステルの命令はプリムに関するこれらの事を確定した。またこれは書にしるされた。

Chapter 10

1 וַיָּשֶׂם הַמֶּלֶךְ אֲחַשְׁוֵרוֹשׁ (אחשרש) עַל־הָאָרֶץ מַס וְאִיֵּי הַיָּם׃
そして–課した 王–は (アハシュエロス) [アハシュエロス] ～の–上に 貢ぎ物–を そして–島々–に 海–の
H4428 H0325 H0325 H0776 H4522 H0339 H3220

アハシュエロス王はその国および海に沿った国々にみつぎを課した。

2

וְכָל־ מַעֲשֵׂה תָקְפּוֹ וּגְבוּרָתוֹ וּפָרָשַׁת
そして–すべての 行い–は 彼の–力–と そして–彼の–勇気–と そして–説明–は
H3605 H4639 H8633 H1369 H6575

גְּדֻלַּת מָרְדֳּכַי אֲשֶׁר גִּדְּלוֹ הַמֶּלֶךְ הֲלוֹא־ הֵם כְּתוּבִים עַל־ סֵפֶר
偉大さ–の モルデカイ–の それ–を 高めた 王–が まさに それらは 記されて–いる ～の–上に 書–に
H1420 H4782 H834 H1431 H4428 H3808 H1992 H3789 H5921 H5612

דִּבְרֵי הַיָּמִים לְמַלְכֵי מָדַי וּפָרָס׃
言葉–の 日々–の 王たち–の メディア–と ペルシア–の
H1697 H3117 H4428 H4074 H6539

彼の権力と勢力によるすべての事業、および王がモルデカイを高い地位にのぼらせた事の詳しい話はメデアとペルシャの王たちの日誌の書にしるされているではないか。

3

כִּי מָרְדֳּכַי הַיְּהוּדִי מִשְׁנֶה לַמֶּלֶךְ אֲחַשְׁוֵרוֹשׁ וְגָדוֹל
なぜなら モルデカイ–は ユダヤ人–で 第二–の–位にあり 王–の アハシュエロス–に そして–偉大で
H3588 H4782 H3064 H4932 H4428 H0325 H1419

לַיְּהוּדִים וְרָצוּי לְרֹב אֶחָיו דֹּרֵשׁ טוֹב לְעַמּוֹ
ユダヤ人たち–に そして–好まれ 大多数–の 彼の–兄弟たち–に 求めた 幸い–を 彼の–民–の–ために
H3064 H7521 H7230 H251 H1875 H2896 H5971

וְדֹבֵר שָׁלוֹם לְכָל־ זַרְעוֹ׃
そして–語った 平和–を すべての 彼の–子孫–に
H1696 H7965 H3605 H2233

ユダヤ人モルデカイはアハシュエロス王に次ぐ者となり、ユダヤ人の中にあって大いなる者となり、その多くの兄弟に喜ばれた。彼はその民の幸福を求め、すべての国民に平和を述べたからである。

Job

Chapter 1

1 אִ֤ישׁ הָיָה֙ בְּאֶ֣רֶץ־ע֔וּץ אִיּ֖וֹב שְׁמ֑וֹ וְהָיָ֣ה הָאִ֤ישׁ הַהוּא֙ תָּ֣ם
人が いた ウツの-地に ウツ 名の ヨブと-いう そして-いた その-人は その 潔く
H0376 H1961 H0776 H5780 H8034 H0347 H1961 H0376 H1931 H8535

וְיָשָׁ֖ר וְיָרֵ֣א אֱלֹהִ֑ים וְסָ֖ר מֵרָֽע׃
正しく 畏れる-者で 神を 離れていた 悪から
H3477 H3373 H0430 H5493

ウツの地にヨブという名の人があった。そのひととなりは全く、かつ正しく、神を恐れ、悪に遠ざかった。

2 וַיִּוָּלְד֖וּ לֽוֹ׃ שִׁבְעָ֥ה בָנִ֖ים וְשָׁלֹ֥שׁ בָּנֽוֹת׃
生まれた 彼に 七人の 息子と 三人の 娘が
H3205 H0376 H7651 H1121 H7969 H1323

彼に男の子七人と女の子三人があり、

3 וַיְהִ֣י מִקְנֵ֗הוּ שִׁבְעַ֤ת אַלְפֵי־צֹאן֙ וּשְׁלֹ֣שֶׁת אַלְפֵ֣י גְמַלִּ֔ים וַחֲמֵ֥שׁ
そして-あった 彼の-家畜は 七千の 頭の- 羊と 三千の 頭の らくだと 五
H1961 H4735 H7651 H0505 H6629 H7969 H0505 H1581 H2568

מֵא֣וֹת צֶ֔מֶד־בָּקָ֖ר וַחֲמֵ֣שׁ מֵא֣וֹת אֲתֹנ֑וֹת וַעֲבֻדָּ֥ה רַבָּ֖ה מְאֹ֑ד
百の くびきの- 牛と 五 百の 雌ろばと しもべが 非常に 多かった
H3967 H6776 H1241 H2568 H3967 H0860 H5657 H7227 H3966

וַיְהִ֣י הָאִ֤ישׁ הַה֙וּא֙ גָּד֣וֹל מִכֹּ֣ל בְּנֵי־קֶ֔דֶם׃
そして-あった その-人は その 偉大で すべての 人々の-中で 東の
H1961 H1931 H1419 H3605 H0376 H6924

その家畜は羊七千頭、らくだ三千頭、牛五百くびき、雌ろば五百頭で、しもべも非常に多く、この人は東の人々のうちで最も大いなる者であった。

4 וְהָלְכ֣וּ בָנָ֗יו וְעָשׂ֤וּ מִשְׁתֶּה֙ בֵּ֣ית אִ֣ישׁ יוֹמ֔וֹ וְשָׁלְח֖וּ וְקָרְא֣וּ
そして-行って 彼の-息子たちは 設けた 宴会を 家で 各自 その-日に そして-遣わして 招いた
H1980 H1121 H6213 H4960 H1004 H0376 H3117 H7971 H7121

לִשְׁלֹ֣שֶׁת אחיתיהם֔ אַחְיוֹתֵיהֶ֖ם לֶאֱכֹ֥ל וְלִשְׁתּ֖וֹת עִמָּהֶֽם׃
三人の 姉妹たちを 姉妹たちを 食べ 飲むために 彼らと-共に
H7969 H0269 H0269 H0398 H8354

そのむすこたちは、めいめい自分の日に、自分の家でふるまいを設け、その三人の姉妹をも招いて一緒に食い飲みするのを常とした。

וַיְקַדְּשֵׁם וְהִשְׁכִּים בַּבֹּקֶר וְהֶעֱלָה עֹלוֹת מִסְפָּר כְּכֻלָּם כִּי אָמַר אִיּוֹב אוּלַי חָטְאוּ בָנַי וּבֵרְכוּ אֱלֹהִים בִּלְבָבָם כֹּה יַעֲשֶׂה אִיּוֹב כָּל־הַיָּמִים׃ פ 5

彼らを–聖別した ヨブは 遣わして 宴会の 日々の 一巡りすると 時に そして–なった
H6942 H0347 H7971 H4960 H3117 H1961

言った なぜなら すべての–者の 数だけ 全焼の–捧げ物を 捧げた 朝に そして–早起きして
H0559 H3605 H4557 H5927 H1242 H7925

心の–中で 神を 呪った–かもしれない 私の–息子たちが 罪を–犯して もしかすると ヨブは
H3824 H0430 H1288 H2398 H0194 H0347

— 日々を すべての ヨブは していた このように
H3117 H3605 H0347 H3602

そのふるまいの日がひとめぐり終るごとに、ヨブは彼らを呼び寄せて聖別し、朝早く起きて、彼らすべての数にしたがって燔祭をささげた。これはヨブが「わたしのむすこたちは、ことによったら罪を犯し、その心に神をのろったかもしれない」と思ったからである。ヨブはいつも、このように行った。

וַיְהִי הַיּוֹם וַיָּבֹאוּ בְּנֵי הָאֱלֹהִים לְהִתְיַצֵּב עַל־יְהוָה וַיָּבֹא גַם־הַשָּׂטָן בְּתוֹכָם׃ 6

ある日、神の子たちが来て、主の前に立った。サタンも来てその中にいた。

וַיֹּאמֶר יְהוָה אֶל־הַשָּׂטָן וַיַּעַן הַשָּׂטָן אֶת־יְהוָה וַיֹּאמַר מִשּׁוֹט בָּאָרֶץ וּמֵהִתְהַלֵּךְ בָּהּ׃ 7

言われた 主が に サタン 答えた 来たのか どこから サタン に 主が 言われた
H0559 H3068 H7854 H0413 H3068 H0559

— 主に 言った
H0853 H3068 H0559

— 地を 歩き–回ることから
H0776

主は言われた、「あなたはどこから来たか」。サタンは主に答えて言った、「地を行きめぐり、あちらこちら歩いてきました」。

וַיֹּאמֶר יְהוָה אֶל־הַשָּׂטָן הֲשַׂמְתָּ לִבְּךָ עַל־עַבְדִּי אִיּוֹב כִּי אֵין כָּמֹהוּ בָאָרֶץ אִישׁ תָּם וְיָשָׁר יְרֵא אֱלֹהִים וְסָר מֵרָע׃ 8

言われた 主が に サタン 留めたか 心に–お前は — わが–しもべ ヨブを なぜなら
H0559 H3068 H7854 H0413 H3068 H0559

悪から 離れている 神を 畏れ 正しく 潔く 人で 地に 彼のような–者は いない
H5493 H0430 H3373 H3477 H8535 H0376 H0776 H3644 H0369

主はサタンに言われた、「あなたはわたしのしもべヨブのように全く、かつ正しく、神を恐れ、悪に遠ざかる者の世にないことを気づいたか」。

וַיַּעַן הַשָּׂטָן אֶת־יְהוָה וַיֹּאמֶר הַחִנָּם יָרֵא אִיּוֹב אֱלֹהִים׃ 9

答えた サタンは — 主に 言った 理由–なく 畏れるだろうか ヨブが 神を
H7854 H0853 H3068 H0559 H2600 H3372 H0347 H0430

サタンは主に答えて言った、「ヨブはいたずらに神を恐れましょうか。

10 הֲלֹא־ (אַתָּה) |את| שַׂכְתָּ בַּעֲדוֹ וּבְעַד־ בֵּיתוֹ וּבְעַד־ כָּל־ אֲשֶׁר־
ではないか あなたが あなたが 守って 彼を その-家を 彼の-家を また すべての ものを
H3808 H7753 H1157 H1157 H1157 H3605

לוֹ מִסָּבִיב מַעֲשֵׂה יָדָיו בֵּרַכְתָּ וּמִקְנֵהוּ פָּרַץ בָּאָרֶץ׃
彼の 周りに 手の-業を 祝福し その-家畜は 増え広がっている 地に
H5439 H4639 H1288 H4735 H6555 H0776

あなたは彼とその家およびすべての所有物のまわりにくまなく、まがきを設けられたではありませんか。あなたは彼の勤労を祝福されたので、その家畜は地にふえたのです。

11 וְאוּלָם שְׁלַח־ נָא יָדְךָ וְגַע בְּכָל־ אֲשֶׁר־ לוֹ אִם־ לֹא
しかし どうか 伸ばして あなたの-手を 打ってください すべての ものを 彼の きっと ない
H0199 H4994 H7971 H3027 H5060 H3605 H3808

פָּנֶיךָ עַל־ יְבָרֶכְךָ׃
顔 あなたの-面に-向かって 呪うでしょう
H6440 H1288

しかし今あなたの手を伸べて、彼のすべての所有物を撃ってごらんなさい。彼は必ずあなたの顔に向かって、あなたをのろうでしょう」。

12 וַיֹּאמֶר יְהוָה אֶל־ הַשָּׂטָן הִנֵּה כָּל־ אֲשֶׁר־ לוֹ בְּיָדֶךָ רַק
言われた 主が に サタン 見よ すべての ものは 彼の お前の-手の-中にある ただ
H0559 H3068 H0413 H7854 H2009 H3605 H0834 H3027 H7535

אֵלָיו אַל־ תִּשְׁלַח הַשָּׂטָן וַיֵּצֵא מֵעִם פְּנֵי יְהוָה׃
彼には してはならない 手を-伸ばすことを サタンは 出て-行った 御前から 御前
H0413 H0408 H7971 H7854 H3318 H6440 H3068

主はサタンに言われた、「見よ、彼のすべての所有物をあなたの手にまかせる。ただ彼の身に手をつけてはならない」。サタンは主の前から出て行った。

13 וַיְהִי הַיּוֹם וּבָנָיו וּבְנֹתָיו אֹכְלִים וְשֹׁתִים יַיִן בְּבֵית אֲחִיהֶם
ある 日 彼の-息子たちと 娘たちが 食べて 飲んでいた ぶどう酒を 家で 彼らの-兄の
H1961 H3117 H1323 H0398 H8354 H3196 H1004 H0251

הַבְּכוֹר׃
長男の
H1060

ある日ヨブのむすこ、娘たちが第一の兄の家で食事をし、酒を飲んでいたとき、

14 וּמַלְאָךְ בָּא אֶל־ אִיּוֹב וַיֹּאמֶר הַבָּקָר חֹרְשׁוֹת וְהָאֲתֹנוֹת רֹעוֹת
使いが 来て ― ヨブに 言った 牛が 耕していて ろばが 草を-食べていた
H4397 H0935 H0413 H0347 H0559 H1241 H2790 H0860 H7462

עַל־ יְדֵיהֶם׃
その-そばで そのそばで
H3027

使者がヨブのもとに来て言った、「牛が耕し、ろばがそのかたわらで草を食っていると、

15
רַק־ ただ H7535
וָאִמָּלְטָה 逃れた H4422
חָרֶב 刃で H2719
לְפִי־ 剣の H6310
הִכּוּ 打ち殺した H5221
הַנְּעָרִים 若者たちを H5288
וְאֶת־ そして H0853
וַתִּקָּחֵם 奪い取った H3947
שְׁבָא シェバが H7614
וַתִּפֹּל 襲いかかり H5307
לְבַדִּי 一人だけが H0905
אֲנִי 私 H0589
לְהַגִּיד 告げるために H5046
לָךְ׃ あなたに

シバびとが襲ってきて、これを奪い、つるぎをもってしもべたちを打ち殺しました。わたしはただひとりのがれて、あなたに告げるために来ました」。

16
מִן־ から
נָפְלָה 降ってきた H5307
אֱלֹהִים 神の H0430
אֵשׁ 神の-火が H0784
וַיֹּאמַר 言った H0559
בָּא 来て H0935
זֶה 別の-者が H2088
מְדַבֵּר 話している-と H1696
זֶה この-者が H2088
עוֹד まだ H5750
לְבַדִּי 一人だけが H0905
אֲנִי 私 H0589
רַק־ ただ H7535
וָאִמָּלְטָה 逃れた H4422
וַתֹּאכַל 焼き尽くした H0398
וּבַנְּעָרִים 若者たちを H5288
בַּצֹּאן 羊と H6629
וַתִּבְעַר 燃え上がった
הַשָּׁמָיִם 天から H8064
לָךְ׃ あなたに
לְהַגִּיד 告げるために H5046

彼がなお語っているうちに、またひとりが来て言った、「神の火が天から下って、羊およびしもべたちを焼き滅ぼしました。わたしはただひとりのがれて、あなたに告げるために来ました」。

17
שְׁלֹשָׁה 三つの H7969
וְשָׂמוּ 分かれて
כַּשְׂדִּים カルデア人が H3778
וַיֹּאמַר 言った H0559
בָּא 来て H0935
זֶה 別の-者が H2088
מְדַבֵּר 話している-と H1696
זֶה この-者が H2088
עוֹד まだ H5750
חָרֶב 刃で H2719
לְפִי־ 剣の H6310
הִכּוּ 打ち殺した H5221
הַנְּעָרִים 若者たちを H5288
וְאֶת־ そして H0853
וַיִּקָּחוּם 奪い取った H3947
הַגְּמַלִּים らくだを H1581
עַל־ 一
וַיִּפְשְׁטוּ 襲いかかり H6584
רָאשִׁים 隊に
לָךְ׃ あなたに
לְהַגִּיד 告げるために H5046
לְבַדִּי 一人だけが H0905
אֲנִי 私 H0589
רַק־ ただ H7535
וָאִמָּלְטָה 逃れた H4422

彼がなお語っているうちに、またひとりが来て言った、「カルデヤびとが三組に分れて来て、らくだを襲ってこれを奪い、つるぎをもってしもべたちを打ち殺しました。わたしはただひとりのがれて、あなたに告げるために来ました」。

18
אֹכְלִים 食べて H0398
וּבְנוֹתֶיךָ 娘たちが H1323
בָּנֶיךָ あなたの-息子たちと
וַיֹּאמַר 言った H0559
בָּא 来て H0935
זֶה 別の-者が H2088
מְדַבֵּר 話している-と H1696
זֶה この-者が H2088
עֹד まだ H5704
הַבְּכוֹר׃ 長男の H1060
אֲחִיהֶם 彼らの-兄の H0251
בְּבֵית 家で
יַיִן ぶどう酒を H3196
וְשֹׁתִים 飲んでいた H8354

彼がなお語っているうちに、またひとりが来て言った、「あなたのむすこ、娘たちが第一の兄の家で食事をし、酒を飲んでいると、

19

הַבַּ֣יִת	פִּנּ֣וֹת	בְּאַרְבַּע֮	וַיִּגַּע֒	הַמִּדְבָּ֗ר	מֵעֵבֶר֙	וְהִנֵּ֣ה	בָּאָ֔ה	גְּדוֹלָ֖ה	רוּחַ֑
家の	隅を	四つの	打って	荒野の	向こうから	すると–見よ	来て	大きな	大きな–風が
H6438	H0702	H5060	H5676	H0935	H7307	H2009			

לְהַגִּ֥יד	לְבַדִּ֖י	אֲנִ֥י	רַק־	וָאִמָּלְטָ֣ה	וַיָּמֻ֤תוּ	הַנְּעָרִים֙	עַל־	וַיִּפֹּ֣ל	
告げるために	–人だけが	私	ただ	逃れた	彼らは–死んだ	若者たちの–上に	—	倒れ	
H5046	H0905	H0589	H7535	H4422	H4191	H5288		H5307	

לָֽךְ׃	
あなたに	

荒野の方から大風が吹いてきて、家の四すみを撃ったので、あの若い人たちの上につぶれ落ちて、皆死にました。わたしはただひとりのがれて、あなたに告げるために来ました」。

20

וַיִּפֹּ֖ל	רֹאשׁ֑וֹ	אֶת־	וַיָּ֣גָז	מְעִלּ֔וֹ	אֶת־	וַיִּקְרַ֥ע	אִיּ֛וֹב	וַיָּ֖קָם
地に–ひれ伏して	頭を	—	そり落とした	上着を	—	引き裂いた	ヨブは	立ち上がり
H5307		H0853	H1494	H4598	H0853	H7167	H0347	

וַיִּשְׁתָּֽחוּ׃	אַ֥רְצָה
礼拝した	地に
H7812	H0776

このときヨブは起き上がり、上着を裂き、頭をそり、地に伏して拝し、

21

וַיֹּ֣אמֶר	עָרֹ֗ם	יָצָ֣אתִי(	מִבֶּ֣טֶן	אִמִּי֮	וְעָרֹם֒	אָשׁ֣וּב	שָּׁמָּ֔ה	יְהוָ֖ה	נָתַ֑ן	יְהוָ֣ה	
言った	裸で	出てきた	母の	胎から	裸で	帰ろう	そこに	主が	与え	主が	
H0559	H6174	H3318	H0990	H0517	H6174	H7725	H8033	H3068	H5414	H3068	

מְבֹרָֽךְ׃	יְהוָֽה׃	שֵׁ֥ם	יְהִ֗י	לָקָ֥ח
祝福–された	主の	御名を	ほめたたえよ	取られた
H1288	H3068	H8034	H1961	H3947

そして言った、「わたしは裸で母の胎を出た。また裸でかしこに帰ろう。主が与え、主が取られたのだ。主のみ名はほむべきかな」。

22

תִּפְלָ֑ה	נָתַ֥ן	וְלֹא־	אִיּ֛וֹב	חָטָ֥א	לֹא־	זֹ֖את	בְּכָל־
愚かさを	帰することは	なかった	ヨブに	罪を–犯すことは	なかった	この–ことにおいて	すべての
H8604	H5414	H3808	H0347	H2398	H3808	H2063	H3605

פ	לֵאלֹהִֽים׃
—	神に
	H0430

すべてこの事においてヨブは罪を犯さず、また神に向かって愚かなことを言わなかった。

Chapter 2

1

הַשָּׂטָן֙	גַּם־	וַיָּבֹ֣וא	יְהוָ֔ה	עַל־	לְהִתְיַצֵּ֖ב	הָאֱלֹהִ֑ים	בְּנֵי	וַיָּבֹ֣אוּ	הַיּ֗וֹם	וַיְהִי
サタンも	また	来た	主の	御前に	立つために	子らが	神の	来た	日	そして–あった
H7854	H1571	H0935	H3068		H3320	H0430		H0935	H3117	H1961

יְהוָֽה׃	עַל־	לְהִתְיַצֵּ֖ב	בְּתוֹכָֽם
主の	御前に	立つために	その–中に
H3068		H3320	H8432

ある日、また神の子たちが来て、主の前に立った。サタンもまたその中に来て、主の前に立った。

2 וַיֹּאמֶר יְהוָה אֶל־הַשָּׂטָן אַיֵּה תָּבֹא וַיַּעַן הַשָּׂטָן אֶת־יְהוָה וַיֹּאמַר מִשּׁוֹט בָּאָרֶץ וּמֵהִתְהַלֵּךְ בָּהּ׃
言われた 主が に サタン どこ から 来たのか 答えた サタンは ― 主に 言った
H0559 H3068 H0413 H7854 H0335 H2088 H0935 H0559 H7854 H0853 H3068 H0559
地を 歩き–回ることから 巡り–歩くことから そこを
H0776 H1980

主はサタンに言われた、「あなたはどこから来たか」。サタンは主に答えて言った、「地を行きめぐり、あちらこちら歩いてきました」。

3 וַיֹּאמֶר יְהוָה אֶל־הַשָּׂטָן הֲשַׂמְתָּ לִבְּךָ עַל־עַבְדִּי אִיּוֹב כִּי אֵין כָּמֹהוּ בָאָרֶץ אִישׁ תָּם וְיָשָׁר יְרֵא אֱלֹהִים וְסָר מֵרָע וְעֹדֶנּוּ מַחֲזִיק בְּתֻמָּתוֹ וַתְּסִיתֵנִי בּוֹ לְבַלְּעוֹ חִנָּם׃
言われた 主が に サタン 心に–留めたか おまえは ― ヨブを なぜなら
H0559 H3068 H0413 H7854 H3820 H0413 H5650 H0347 H3588
なおも 悪から 離れている 神を 畏れ 正しく 潔く 人で 地に 彼のような–者は いない
H5750 H7451 H5493 H0430 H3373 H3477 H8535 H0376 H0776 H3644 H0369
理由–なく 滅ぼすために 彼を おまえは–わたしを–そそのかした 彼の–誠実さを 保っている
H2600 H1104 H0 H5496 H8538 H2388

主はサタンに言われた、「あなたは、わたしのしもべヨブのように全く、かつ正しく、神を恐れ、悪に遠ざかる者の世にないことを気づいたか。あなたは、わたしを勧めて、ゆえなく彼を滅ぼそうとしたが、彼はなお堅く保って、おのれを全うした」。

4 וַיַּעַן הַשָּׂטָן אֶת־יְהוָה וַיֹּאמַר עוֹר בְּעַד־עוֹר וְכֹל אֲשֶׁר לָאִישׁ יִתֵּן בְּעַד נַפְשׁוֹ׃
答えた サタンは ― 主に 言った 皮には 皮を 代えて すべての ものを 人は 与える
H0559 H7854 H0853 H3068 H0559 H5785 H1157 H3605 H0834 H0376 H5414
自分の–命の 代わりに
H5315 H1157

サタンは主に答えて言った、「皮には皮をもってします。人は自分の命のために、その持っているすべての物をも与えます。

5 אוּלָם שְׁלַח־נָא יָדְךָ וְגַע אֶל־עַצְמוֹ וְאֶל־בְּשָׂרוֹ אִם־לֹא עַל־פָּנֶיךָ יְבָרֶכֶךָּ׃
しかし しかし どうか 伸ばして 打ってください その 肉を きっと ― 彼の–骨と その ― 呪うでしょう
H0199 H4994 H7971 H3027 H5060 H0413 H6106 H0413 H1320 H0518 H0413 H1288
あなたの–面に–向かって 顔 ない
H0413 H6440 H3808

しかしいま、あなたの手を伸べて、彼の骨と肉とを撃ってごらんなさい。彼は必ずあなたの顔に向かって、あなたをのろうでしょう」。

6 וַיֹּאמֶר יְהוָה אֶל־הַשָּׂטָן הִנֵּהוּ בְיָדֶךָ אַךְ אֶת־נַפְשׁוֹ שְׁמֹר׃
言われた 主が に サタン 見よ–彼は おまえの–手の–中にある ただ ― 彼の–命だけは 守れ
H0559 H3068 H0413 H7854 H2009 H3027 H0389 H0853 H5315 H8104

主はサタンに言われた、「見よ、彼はあなたの手にある。ただ彼の命を助けよ」。

7 וַיֵּצֵא הַשָּׂטָן מֵאֵת פְּנֵי יְהוָה וַיַּךְ אֶת־אִיּוֹב בִּשְׁחִין רָע מִכַּף
出て-行った サタンは から 御前 主の 打った を ヨブを 悪い はれ物で 足の-裏から
H3318 H7854 H0854 H6440 H3068 H5221 H0853 H0347 H7854 H7822 H3709

רַגְלוֹ (וְעַד) [עַד] קָדְקֳדוֹ׃
彼の まで まで 頭の-てっぺん
H7272 H5704 H5704 H6936

サタンは主の前から出て行って、ヨブを撃ち、その足の裏から頭の頂まで、いやな腫物をもって彼を悩ました。

8 וַיִּקַּח־לוֹ חֶרֶשׂ לְהִתְגָּרֵד בּוֹ וְהוּא יֹשֵׁב בְּתוֹךְ־
取った 彼は 土器の-かけらを かき-むしるために それで そして-彼は 座っていた 中に
H3947 H0376 H2789 H1623 H0376 H1931 H3427 H8432

הָאֵפֶר׃
灰の
H0665

ヨブは陶器の破片を取り、それで自分の身をかき、灰の中にすわった。

9 וַתֹּאמֶר לוֹ אִשְׁתּוֹ עֹדְךָ מַחֲזִיק בְּתֻמָּתֶךָ בָּרֵךְ אֱלֹהִים
言った 彼に 彼の-妻が まだ 保っているのか あなたの-誠実さを 呪いなさい 神を
H0559 H0376 H0802 H5750 H2388 H8538 H1288 H0430

וָמֻת׃
そして-死になさい
H4191

時にその妻は彼に言った、「あなたはなおも堅く保って、自分を全うするのですか。神をのろって死になさい」。

10 וַיֹּאמֶר אֵלֶיהָ כְּדַבֵּר הַנְּבָלוֹת אַחַת הַטּוֹב נְקַבֵּל מֵאֵת הָאֱלֹהִים וְאֶת־הָרָע לֹא נְקַבֵּל בְּכָל־זֹאת
言った 彼女に 話すように 愚かな-女のように 一人の 良いものを 受けるのに から 神 そして 悪いものは ない 受けないのか すべての この-ことにおいて
H0559 H0413 H1696 H5036 H0259 H0853 H6901 H0854 H0430 H0853 H7451 H3808 H6901 H3605 H2063

לֹא־חָטָא אִיּוֹב בִּשְׂפָתָיו׃ פ
なかった 罪を-犯すことは ヨブに 彼の-唇で —
H3808 H2398 H0347 H8193 H0376

しかしヨブは彼女に言った、「あなたの語ることは愚かな女の語るのと同じだ。われわれは神から幸をうけるのだから、災をも、うけるべきではないか」。すべてこの事においてヨブはそのくちびるをもって罪を犯さなかった。

11 וַיִּשְׁמְעוּ שְׁלֹשֶׁת רֵעֵי אִיּוֹב אֵת כָּל־הָרָעָה הַזֹּאת הַבָּאָה עָלָיו וַיָּבֹאוּ
聞いた 三人の 友人が ヨブの — すべての 災いを この 降りかかった 彼に 来た
H8085 H7969 H7453 H0347 H0853 H3605 H7451 H2063 H0935 H0376 H0935

אִישׁ מִמְּקֹמוֹ אֱלִיפַז הַתֵּימָנִי וּבִלְדַּד הַשּׁוּחִי וְצוֹפַר הַנַּעֲמָתִי
各々 自分の-場所から エリファズ テマン人の ビルダデ シュアハ人の ツォファル ナアマ人の
H0376 H4725 H0464 H8489 H1085 H7747 H6691 H5284

וַיִּוָּעֲדוּ יַחְדָּו לָבוֹא לָנוּד־לוֹ וְלִנַחֲמוֹ׃
約束し合って 共に 来て 慰め 彼を 嘆くために
H3259 H3162 H0935 H5110 H0376 H5162

時に、ヨブの三人の友がこのすべての災のヨブに臨んだのを聞いて、めいめい自分の所から尋ねて来た。すなわちテマンびとエリパズ、シュヒびとビルダデ、ナアマびとゾパルである。彼らはヨブをいたわり、慰めようとして、たがいに約束してきたのである。

וַיִּשְׂאוּ	אֶת־	עֵינֵיהֶם	מֵרָחוֹק	וְלֹא	הִכִּירֻהוּ	וַיִּשְׂאוּ	קוֹלָם	וַיִּבְכּוּ	וַיִּקְרְעוּ	12
上げた	—	目を	遠くから	なかった	見分けることが	上げて	声を	泣いた	引き裂いた	
H5375	H0853	H5375	H7350	H3808	H5375	H5375	H6963	H1058	H7167	

אִישׁ	מְעִילוֹ	וַיִּזְרְקוּ	עָפָר	עַל־	רָאשֵׁיהֶם	הַשָּׁמָיְמָה׃
各々	上着を	まき散らした	塵を	—	頭の–上に	天に–向かって
H0376	H4598	H2236	H6083	H5921	H7218	H8064

彼らは目をあげて遠方から見たが、彼のヨブであることを認めがたいほどであったので、声をあげて泣き、めいめい自分の上着を裂き、天に向かって、ちりをうちあげ、自分たちの頭の上にまき散らした。

אֵלָיו	דֹּבֵר	וְאֵין־	לֵילוֹת	וְשִׁבְעַת	יָמִים	שִׁבְעַת	לָאָרֶץ	אִתּוֹ	וַיֵּשְׁבוּ	13
彼に	話す–者は	誰も–なかった	夜	七	日	七	地に	彼と–共に	座った	
H0413	H1696	H0369	H3915	H7651	H3117	H7651	H0776	H0854	H3427	

מְאֹד׃	הַכְאֵב	גָּדַל	כִּי־	רָאוּ	כִּי	דָבָר
非常に	苦しみが	大きい	と	見たからである	なぜなら	言葉を
H3966	H3511	H1431		H7200		H1697

こうして七日七夜、彼と共に地に座していて、ひと言も彼に話しかける者がなかった。彼の苦しみの非常に大きいのを見たからである。

Chapter 3

פ	יוֹמוֹ׃	אֶת־	וַיְקַלֵּל	פִּיהוּ	אֶת־	אִיּוֹב	פָּתַח	כֵּן	אַחֲרֵי־	1
—	自分の–日を	—	呪った	口を	—	ヨブは	開いた	それから	その–後	
	H3117	H0853	H7043	H6310	H0853	H0347				

この後、ヨブは口を開いて、自分の生れた日をのろった。

וַיֹּאמַר׃	אִיּוֹב	וַיַּעַן	2
言った	ヨブは	答えた	
H0559	H0347		

すなわちヨブは言った、

גָּבֶר׃	הָרָה	אָמַר	וְהַלַּיְלָה	בּוֹ	אֻלַּד	יוֹם	יֹאבַד	3
男が–と	身ごもった	言った	また–夜が	その–日が	生まれた	日が	滅びるがよい	
H1397	H2029	H0559	H3915		H3205	H3117	H0006	

「わたしの生れた日は滅びうせよ。『男の子が、胎にやどった』と言った夜もそのようになれ。

עָלָיו	תּוֹפַע	וְאַל־	מִמָּעַל	אֱלוֹהַּ	יִדְרְשֵׁהוּ	אַל־	חֹשֶׁךְ	יְהִי	הַהוּא	הַיּוֹם	4
その–上に	輝くな	輝くな	上から	神が	尋ねるな	それを	闇に	なれ	その	その–日よ	
	H3313	H0408	H4605	H0433	H1875	H0408	H2822	H1961	H1931	H3117	

נְהָרָה׃
光が
H5105

その日は暗くなるように。神が上からこれを顧みられないように。光がこれを照さないように。

יוֹם׃	כְּמְרִירֵי	יְבַעֲתֻהוּ	עֲנָנָה	עָלָיו	תִּשְׁכָּן־	וְצַלְמָוֶת	חָשְׁךְ	יִגְאָלֻהוּ	5
日の–ように	暗さが	おびやかせ	雲が	その–上に	住まわしめよ	死の–陰が	闇と	贖い–取れ	
H3117	H3650	H1204	H6053		H7931	H6757	H2822		

やみと暗黒がこれを取りもどすように。雲が、その上にとどまるように。日を暗くする者が、これを脅かすように。

יְרָחִים	בְּמִסְפָּר	שָׁנָה	בִּימֵי	יֵחַד	אַל־	אֹפֶל	יִקָּחֻהוּ	הַהוּא	הַלַּיְלָה	6
月の	数の–中に	年の	日々の–中に	加わるな	なるな	暗黒が	捕らえよ	その	その–夜を	
H3391	H4557	H8141	H3117	H2302	H0408	H0652	H3947	H1931	H3915	

יָבֹא׃	אַל־
入るな	それは
H0935	H0408

その夜は、暗やみが、これを捕えるように。年の日のうちに加わらないように。月の数にもはいらないように。

בוֹ׃	רְנָנָה	תָּבֹא	אַל־	גַּלְמוּד	יְהִי	הַהוּא	הַלַּיְלָה	הִנֵּה	7
その–中に	喜びの–声が	入るな	入るな	不毛に	なれ	その	その–夜よ	見よ	
	H7445	H0935	H0408	H1565	H1961	H1931	H3915	H2009	

また、その夜は、はらむことのないように。喜びの声がそのうちに聞かれないように。

לִוְיָתָן׃	עֹרֵר	הָעֲתִידִים	יוֹם	אֹרְרֵי־	יְקֻבְהוּ	8
レヴィアタンを	呑び起こせ	備えた–者よ	日を	日を–呪う–者が	呪え	
H3882	H5782	H6264	H3117	H0779		

日をのろう者が、これをのろうように。レビヤタンを奮い起すに巧みな者が、これをのろうように。

שַׁחַר׃	בְּעַפְעַפֶּי־	יְרֶאֶה	וְאַל־	וָאַיִן	לְאוֹר	יְקֻוֶּה־	נִשְׁפּוֹ	כּוֹכְבֵי	יֶחְשְׁכוּ	9
曙の	まぶたを	見るな	見るな	しかし–ない	光を	待て	その–黄昏の	星が	暗くなれ	
H7837	H6079	H7200	H0408	H0369	H0216		H5399	H3556	H2821	

その明けの星は暗くなるように。光を望んでも、得られないように。また、あけぼののまぶたを見ることのないように。

מֵעֵינָי׃	עָמָל	וַיַּסְתֵּר	בִּטְנִי	דַּלְתֵּי	סָגַר	לֹא	כִּי	10
私の–目から	苦しみを	隠した	胎の	扉を	閉じることが	なかった	なぜなら	
	H5999	H5641	H0990		H5462	H3808		

これは、わたしの母の胎の戸を閉じず、また悩みをわたしの目に隠さなかったからである。

וְאָגֽוֹעַ׃	יָצָאתִי	מִבֶּטֶן	אָמוּת	מֵרֶחֶם	לֹא	לָמָּה	11
息絶えることが	出て	胎から	死ぬことが	胎から	なかったのか	なぜ	
H1478	H3318	H0990	H4191	H7358	H3808	H4100	

なにゆえ、わたしは胎から出て、死ななかったのか。腹から出たとき息が絶えなかったのか。

אִינָֽק׃	כָּי	שָׁדַיִם	וּמַה־	בִּרְכָּיִם	קִדְּמוּנִי	מַדּוּעַ	12
飲むための	あったのか	乳が	また–なぜ	ひざが	迎えたのか	なぜ	
H3243			H4100	H1290	H6923	H4069	

なにゆえ、ひざが、わたしを受けたのか。なにゆえ、乳ぶさがあって、わたしはそれを吸ったのか。

לִי׃	נָוחַ	אָז	יָשַׁנְתִּי	וְאֶשְׁקוֹט	שָׁכַבְתִּי	עַתָּה	כִּי־	13
私には	休めたのに	そうすれば	眠って	静かに–していたのに	横たわって	今	なぜなら–今	
	H5117		H3462	H8252	H7901	H6258		

そうしなかったならば、わたしは伏して休み、眠ったであろう。そうすればわたしは安んじており、

לָמוֹ׃	חֳרָבוֹת	הַבֹּנִים	אֶרֶץ	וְנֽוֹעֲצֵי	מְלָכִים	עִם־	14
自分のために	廃墟を	建てた–者よ	地の	謀臣と	王たちと	共に	
	H2723	H1129	H0776	H3289	H4428		

自分のために荒れ跡を築き直した地の王たち、参議たち、

15 אוֹ עִם־שָׂרִים זָהָב לָהֶם הַמְמַלְאִים בָּתֵּיהֶם כָּסֶף׃
あるいは 共に 首領たちと 金が 彼らに 満たした 家を 銀で
H0176 H5973 H8269 H2091 H1992 H4390 H1004 H3701

あるいは、こがねを持ち、しろがねを家に満たした君たちと一緒にいたであろう。

16 אוֹ כְּנֵפֶל טָמוּן לֹא אֶהְיֶה כְּעוֹלָלִים לֹא־רָאוּ
あるいは 流産のように 埋められて なかったのに 存在が 幼子のように 見なかった 見なかった
H0176 H5309 H2934 H3808 H1961 H5768 H3808 H7200

אוֹר׃
光を
H0216

なにゆえ、わたしは人知れずおりる胎児のごとく、光を見ないみどりごのようでなかったのか。

17 שָׁם רְשָׁעִים חָדְלוּ יָגָעַ וְשָׁם יָנוּחוּ כֹּחַ׃
そこでは 悪人は やめる 悩ますことを そこで 休む 給れた-者が 力に
H8033 H7563 H2308 H7267 H8033 H5117 H3019 H3581

かしこでは悪人も、あばれることをやめ、うみ疲れた者も、休みを得、

18 יַחַד אֲסִירִים שַׁאֲנָנוּ לֹא שָׁמְעוּ קוֹל נֹגֵשׂ׃
共に 囚人も 安らぐ ない 聞かない 声を 追い-使う-者の
H3162 H0615 H7599 H3808 H8085 H6963 H5065

捕われ人も共に安らかにおり、追い使う者の声を聞かない。

19 קָטֹן וְגָדוֹל שָׁם הוּא וְעֶבֶד חָפְשִׁי מֵאֲדֹנָיו׃
小さい-者も 大きい-者も そこに いる 僕も 自由である 主人から
H6996 H1419 H8033 H1961 H5650 H2670 H0113

小さい者も大きい者もそこにおり、奴隷も、その主人から解き放される。

20 לָמָּה יִתֵּן לְעֻמַּל אוֹר וְחַיִּים לְמָרֵי נָפֶשׁ׃
なぜ 与えるのか 苦しむ-者に 光を また-命を 苦い-思いの 魂に
H4100 H5414 H6001 H0216 H2416 H4751 H5315

なにゆえ、悩む者に光を賜い、心の苦しむ者に命を賜わったのか。

21 הַמְחַכִּים לַמָּוֶת וְאֵינֶנּוּ וַיַּחְפְּרֻהוּ מִמַּטְמוֹנִים׃
待ち-望む-者よ 死を しかし-ない 探し-求める 宝よりも
H2442 H4194 H0369 H2658 H4301

このような人は死を望んでも来ない、これを求めることは隠れた宝を掘るよりも、はなはだしい。

22 הַשְּׂמֵחִים אֶל־גִּיל יָשִׂישׂוּ כִּי יִמְצְאוּ־קָבֶר׃
喜ぶ-者よ 大いに 喜びを 喜ぶ 時に 見つける 墓を
H8055 H0413 H1523 H7797 H3588 H4672 H6913

彼らは墓を見いだすとき、非常に喜び楽しむのだ。

23 לַגֶּבֶר אֲשֶׁר־דַּרְכּוֹ נִסְתָּרָה וַיָּסֶךְ אֱלוֹהַּ בַּעֲדוֹ׃
人にとって その 道が 隠されている 囲っている 神が 彼の-周りを
H1397 H0834 H1870 H5641 H5526 H0433 H1157

なにゆえ、その道の隠された人に、神が、まがきをめぐらされた人に、光を賜わるのか。

24 כִּי־לִפְנֵי לַחְמִי אַנְחָתִי תָּבֹא וַיִּתְּכוּ כַּמַּיִם שַׁאֲגֹתָי׃
なぜなら 前に 食事の 嘆きが 来る 注ぎ-出される 水のように 私の-叫びが
H3588 H6440 H3899 H0585 H0935 H5413 H4325 H7581

わたしの嘆きはわが食物に代って来り、わたしのうめきは水のように流れ出る。

לִי׃	יָבֹא	נַאֲנָחָתִי	וַאֲשַׁוְעָתִי	וַיֵּאָתֵנִי	פָּחַדְתִּי	פַּחַד	כִּי	25
私に	来た	おびえた	そして	それが–来た	恐れた	恐れを	なぜなら	
H0935		H3025		H0857	H6342	H6343		

わたしの恐れるものが、わたしに臨み、わたしの恐れおののくものが、わが身に及ぶ。

פ	רֹגֶז׃	וַיָּבֹא	נָחָתִי	וְלֹא־	שָׁקַטְתִּי	וְלֹא	וְשָׁלַוְתִּי	לָא	26
—	悩みが	来た	休みも	なかった	静けさも	なかった	安らぎは	なかった	
	H7267	H0935	H5117	H3808	H8252	H3808	H7951	H3808	

わたしは安らかでなく、またおだやかでない。わたしは休みを得ない、ただ悩みのみが来る」。

Chapter 4

וַיֹּאמַר׃	הַתֵּימָנִי	אֱלִיפַז	וַיַּעַן	1
言った	テマン人の	エリファズは	答えた	
H0559	H8489	H0464		

その時、テマンびとエリパズが答えて言った、

יוּכָל׃	מִי	בְּמִלִּין	וְעָצֹר	תִּלְאֶה	אֵלֶיךָ	דָּבָר	הֲנִסֶּה	2
できるか	誰が	言葉を	しかし–抑えることを	疲れるか	あなたに	言葉を	試みたら	
H3201	H4310	H4405	H6113	H3811	H0413	H1697	H5254	

「もし人があなたにむかって意見を述べるならば、あなたは腹を立てるでしょうか。しかしだれが黙っておれましょう。

תְּחַזֵּק׃	רָפוֹת	וְיָדַיִם	רַבִּים	יִסַּרְתָּ	הִנֵּה	3
強くしてきた	弱い	弱い–手を	多くの–者を	教えてきた	見よ	
H2388	H7504	H3027		H3256	H2009	

見よ、あなたは多くの人を教えさとし、衰えた手を強くした。

תְּאַמֵּץ׃	כֹּרְעוֹת	וּבִרְכַּיִם	מוֹטָ֑ךָ	יְקִימוּן	כּוֹשֵׁל	4
強くしてきた	折れた	折れた–ひざを	あなたの–言葉は	立たせた	つまずく–者を	
H0553	H3766	H1290	H4405		H3782	

あなたの言葉はつまずく者をたすけ起し、かよわいひざを強くした。

וַתִּבָּהֵל׃	עָלֶיךָ	תִּגַּע	וַתֵּלֶא	אֵלֶיךָ	תָּבוֹא	וְעַתָּה	כִּי	5
おびえる	あなたに	触れた	疲れる	あなたに	来た	今	しかし	
H0926	H5704	H5060	H3811	H0413	H0935	H6258		

ところが今、この事があなたに臨むと、あなたは耐え得ない。この事があなたに触れると、あなたはおじ惑う。

דַּרְכֶּיךָ׃	וְתֻמָּם	תִּקְוָתֶךָ	כִּסְלָתֶךָ	יִרְאָתְךָ	הֲלֹא	6
あなたの–道の	潔白と	あなたの–望みが	あなたの–確信に	あなたの–畏れが	ではないか	
H1870	H8537		H3690	H3374	H3808	

あなたが神を恐れていることは、あなたのよりどころではないか。あなたの道の全きことは、あなたの望みではないか。

נִכְחָדוּ׃	יְשָׁרִים	וְאֵיפֹה	אָבָד	נְקִי	הֲוּא	מִי	נָא	זְכָר־	7
絶えたか	正しい–者が	また–どこで	滅びたか	潔くて	その–者が	誰が	どうか	思い–出しなさい	
H3582	H3477	H0375	H0006		H1931	H4310	H4994	H2142	

考えてみよ、だれが罪のないのに、滅ぼされた者があるか。どこに正しい者で、断ち滅ぼされた者があるか。

8 כַּאֲשֶׁר רָאִיתִי חֹרְשֵׁי אָוֶן וְזֹרְעֵי עָמָל יְקַצְּרֻהוּ׃
私が–見たとおり 見た 耕す–者は 罪を また–蒔く–者は 苦しみを 刈り–取る
H7200 H0205 H2232 H5999

わたしの見た所によれば、不義を耕し、害悪をまく者は、それを刈り取っている。

9 מִנִּשְׁמַת אֱלוֹהַּ יֹאבֵדוּ וּמֵרוּחַ אַפּוֹ יִכְלוּ׃
息吹きで 神の 滅びる 怒りの–息で 彼の 尽きる
H5397 H0433 H0006 H7307 H0639 H3615

彼らは神のいぶきによって滅び、その怒りの息によって消えうせる。

10 שְׁאַגַת אַרְיֵה וְקוֹל שָׁחַל וְשִׁנֵּי כְפִירִים נִתָּעוּ׃
呑える–声と 獅子の また–声と 若い–獅子の 歯も 小–獅子の 折られた
H7581 H0738 H7826 H8127 H3715 H5421

ししのほえる声、たけきししの声はともにやみ、若きししのきばは折られ、

11 לַיִשׁ אָבַד מִבְּלִי־טָרֶף וּבְנֵי לָבִיא יִתְפָּרָדוּ׃
雄–獅子は 滅びる なくて 獲物が 子らも 雌–獅子の 散らされる
H3918 H0006 H1097 H2964 H1121 H3833 H6504

雄じしは獲物を得ずに滅び、雌じしの子は散らされる。

12 וְאֵלַי יִגָּנֵב דָּבָר וַתִּקַּח אָזְנִי מֶמֶנּוּ שֶׁמֶץ׃
私に 言葉が 忍び–寄った 受けた 耳が ささやきを その
H0413 H1697 H1589 H3947 H0241 H8102 H4480

さて、わたしに、言葉がひそかに臨んだ、わたしの耳はそのささやきを聞いた。

13 בְּשַׂעִפִּים מֵחֶזְיֹנוֹת לָיְלָה בִּנְפֹל תַּרְדֵּמָה עַל־אֲנָשִׁים׃
惑いの–中で 幻から 夜の 落ちる–時に 深い–眠りが 一 人々に
H7907 H2384 H3915 H5307 H8639 H5921 H0376

すなわち人の熟睡するころ、夜の幻によって思い乱れている時、

14 פָּחַד קָרָאנִי וּרְעָדָה וְרֹב עַצְמוֹתַי הַפְחִיד׃
恐れが 襲った おののきが 多くの 骨を 震えさせた
H6343 H7122 H7461 H7230 H6106 H6342

恐れがわたしに臨んだので、おののき、わたしの骨はことごとく震えた。

15 וְרוּחַ עַל־פָּנַי יַחֲלֹף תְּסַמַּר שַׂעֲרַת בְּשָׂרִי׃
霊が 一 私の–顔を 過ぎった 逆立った 毛が 肉体の
H7307 H5921 H6440 H2498 H5568 H8185 H1320

時に、霊があって、わたしの顔の前を過ぎたので、わたしの身の毛はよだった。

16 וַיַּעֲמֹד לֹא־אַכִּיר מַרְאֵהוּ תְּמוּנָה לְנֶגֶד עֵינָי דְּמָמָה
立っていた しかし–なかった 見分けることが その–姿を 形が 目の–前に 私の 静けさと
H5975 H3808 H4758 H8544 H5048 H5869 H1827

וָקוֹל אֶשְׁמָע׃
声を 聞いた
H8085

そのものは立ちどまったが、わたしはその姿を見わけることができなかった。一つのかたちが、わたしの目の前にあった。わたしは静かな声を聞いた、

17 הַאֱנוֹשׁ מֵאֱלוֹהַּ יִצְדָּק אִם מֵעֹשֵׂהוּ יִטְהַר־גָּבֶר׃
人が 清いか 造り–主より また 正しいか 神より 人が
H1397 H2891 H6213 H6663 H0433 H0582

『人は神の前に正しくありえようか。人はその造り主の前に清くありえようか。

18 הֵן | בְּעֲבָדָיו | לֹא | יַאֲמִין | וּבְמַלְאָכָיו | יָשִׂים | תָּהֳלָה׃
見よ | しもべたちさえ | ない | 信頼しない | 御使いたちにさえ | 置く | 過ちを
H2005 | H5650 | H3808 | H0539 | H4397 | H7760 | H8417

見よ、彼はそのしもべをさえ頼みとせず、その天使をも誤れる者とみなされる。

19 אַף | שֹׁכְנֵי | בָתֵּי־ | חֹמֶר | אֲשֶׁר־ | בֶּעָפָר | יְסוֹדָם | יְדֻכְּאוּם | לִפְנֵי־ | עָשׁ׃
ましてや | 住む-者は | 家に | 土の | その | 塵に | 基がある | 砕かれる | 前に | 蛾の
H0637 | H7931 | H1004 | H2563 | H6083 | H3247 | H1792 | H6440

まして、泥の家に住む者、ちりをその基とする者、しみのようにつぶされる者。

20 מִבֹּקֶר | לָעֶרֶב | יֻכָּתּוּ | מִבְּלִי | מֵשִׂים | לָנֶצַח | יֹאבֵדוּ׃
朝から | 夕まで | 打ち-砕かれる | なくて | 気づく-者も | 永遠に | 滅びる
H1242 | H6153 | H3807 | H1097 | H7760 | H5331 | H0006

彼らは朝から夕までの間に打ち砕かれ、顧みる者もなく、永遠に滅びる。

21 הֲלֹא־ | נָסַע | יִתְרָם | בָּם | יָמוּתוּ | וְלֹא | בְחָכְמָה׃
ではないか | 引き-抜かれた | 綾の-紐が | 彼らの-中で | 死ぬ | しかも-ない | 知恵によって
H3808 | H5265 | H3498 | H4191 | H3808 | H2451

もしその天幕の綱が彼らのうちに取り去られるなら、ついに悟ることもなく、死にうせるではないか』。

Chapter 5

1 קְרָא־ | נָא | הֲיֵשׁ | עוֹנֶךָּ | וְאֶל־ | מִי | מִקְּדֹשִׁים | תִּפְנֶה׃
叫びなさい | どうか | いるか | 答える-者が | そして | 誰に | 聖なる-者の-中で | 向くのか
H7121 | H4994 | H3426 | H6030 | H0413 | H4310 | H6918 | H6437

試みに呼んでみよ、だれかあなたに答える者があるか。どの聖者にあなたは頼もうとするのか。

2 כִּי־ | לְאֱוִיל | יַהֲרֹג־ | כָּעַס | וּפֹתֶה | תָּמִית | קִנְאָה׃
なぜなら | 愚かな-者を | 殺す | 怒りが | 愚もうな-者を | 殺す | ねたみが
H3588 | H0191 | H2026 | H3708 | H6612 | H4191 | H7068

確かに、憤りは愚かな者を殺し、ねたみはあさはかな者を死なせる。

3 אֲנִי־ | רָאִיתִי | אֱוִיל | מַשְׁרִישׁ | וָאֶקּוֹב | נָוֵהוּ | פִּתְאֹם׃
私が | 見た | 愚かな-者が | 根を-張るのを | しかし-呪った | その-住まいを | たちまち
H0589 | H7200 | H0191 | H8327 | H6895 | H5116 | H6597

わたしは愚かな者の根を張るのを見た、しかしわたしは、にわかにそのすみかをのろった。

4 יִרְחֲקוּ | מִיֶּשַׁע | בָּנָיו | וְיִדַּכְּאוּ | בַּשַּׁעַר | וְאֵין | מַצִּיל׃
遠ざかる | 救いから | 彼の-息子たちは | 砕かれる | 門で | いない | 救う-者が
H7368 | H3468 | H1121 | H1792 | H8179 | H0369 | H5337

その子らは安きを得ず、町の門でしえたげられても、これを救う者がない。

5 אֲשֶׁר | וּקְצִירוֹ | רָעֵב | יֹאכֵל | וְאֶל־ | מִצִּנִּים | יִקָּחֵהוּ | וְשֹׁאֵף | צַמִּים | חֵילָם׃
その | 収穫を | 飢えた-者が | 食べる | そして | 茨からも | 奪い-取る | 飲み-込む | 罠が | 彼らの-富を
H0834 | H7105 | H7457 | H0398 | H0413 | H6791 | H3947 | H8321 | H6782 | H2428

その収穫は飢えた人が食べ、いばらの中からさえ、これを奪う。また、かわいた者はその財産をあえぎ求める。

6 כִּי | לֹא־ | יֵצֵא | מֵעָפָר | אָוֶן | וּמֵאֲדָמָה | לֹא־ | יִצְמַח | עָמָל׃
なぜなら | ない | 出ない | 塵から | 罪は | 土から | ない | 芽生えない | 苦しみは
H3588 | H3808 | H3318 | H6083 | H0205 | H0127 | H3808 | H6779 | H5999

苦しみは、ちりから起るものでなく、悩みは土から生じるものでない。

7	כִּי־	אָדָם	לְעָמָל	יוּלָּד	וּבְנֵי־	רֶשֶׁף	יַגְבִּיהוּ	עוּף׃
	なぜなら	人は	苦しみのために	生まれる	火花が	火花の	上へ–飛ぶように	飛ぶ
		H0120	H5999	H3205		H7565	H1361	

人が生れて悩みを受けるのは、火の子が上に飛ぶにひとしい。

8	אוּלָם	אֲנִי	אֶדְרָשׁ	אֶל־	וְאֶל־	אֱלֹהִים	אָשִׂים	דִּבְרָתִי׃	
	しかし	私は	求める	—	そして	神に	委ねる	私の–訴えを	
	H0199	H0589	H1875	H0413	H0413	H0430		H1700	

しかし、わたしであるならば、神に求め、神に、わたしの事をまかせる。

9	עֹשֶׂה	גְדֹלוֹת	וְאֵין	חֵקֶר	נִפְלָאוֹת	עַד־	אֵין	מִסְפָּר׃
	行われる	大いなる–ことを	ない	究めが	不思議を	ないほどの	ない	数が
			H0369	H2714	H6381	H5704	H0369	H4557

彼は大いなる事をされるかたで、測り知れない、その不思議なみわざは数えがたい。

10	הַנֹּתֵן	מָטָר	עַל־	פְּנֵי־	אֶרֶץ	וְשֹׁלֵחַ	מַיִם	עַל־	פְּנֵי	חוּצוֹת׃
	与える	雨を	—	面に	地の	送る	水を	—	面に	野の
	H5414	H4306		H6440	H0776	H7971	H4325		H6440	H2351

彼は地に雨を降らせ、野に水を送られる。

11	לָשׂוּם	שְׁפָלִים	לְמָרוֹם	וְקֹדְרִים	שָׂגְבוּ	יֵשַׁע׃
	置くために	低い–者を	高く	悲しむ–者は	上げられる	救いに
		H8217	H4791	H6937	H7682	H3468

彼は低い者を高くあげ、悲しむ者を引き上げて、安全にされる。

12	מֵפֵר	מַחְשְׁבוֹת	עֲרוּמִּים	וְלֹא־	תַעֲשֶׂינָה	יְדֵיהֶם	תּוּשִׁיָּה׃
	破る	計画を	狡潼な–者の	ない	成し遂げない	手が	成功を
		H4284	H6175	H3808		H3027	H8454

彼は悪賢い者の計りごとを敗られる。それで何事もその手になし遂げることはできない。

13	לֹכֵד	חֲכָמִים	בְּעָרְמָם	וַעֲצַת	נִפְתָּלִים	נִמְהָרָה׃
	捕らえる	賢い–者を	その–策略で	企みも	曲がった–者の	急ぎ–取られる
	H3920	H2450	H6193	H6098	H6617	

彼は賢い者を、彼ら自身の悪巧みによって捕え、曲った者の計りごとをくつがえされる。

14	יוֹמָם	יְפַגְּשׁוּ־	וְכַלַּיְלָה	חֹשֶׁךְ	יְמַשְׁשׁוּ	בַצָּהֳרָיִם׃
	昼に	出会う	夜のように	闇に	手探りする	真昵に
	H3119	H6298	H3915	H2822	H4959	

彼らは昼も、やみに会い、真昼にも、夜のように手探りする。

15	וַיֹּשַׁע	מֵחֶרֶב	מִפִּיהֶם	וּמִיַּד	חָזָק	אֶבְיוֹן׃
	救う	剣から	彼らの–口の	手から	強い–者の	貧しい–者を
	H3467	H2719	H6310	H3027	H2389	H0034

彼は貧しい者を彼らの口のつるぎから救い、また強い者の手から救われる。

16	וַתְּהִי	לַדַּל	תִּקְוָה	וְעַלְתָה	קָפְצָה	פִּיהָ׃
	ある	乏しい–者に	望みが	不正は	閉ざす	口を
	H1961	H1800			H7092	H6310

それゆえ乏しい者に望みがあり、不義はその口を閉じる。

17 הִנֵּה אַשְׁרֵי אֱנוֹשׁ יוֹכְחֶנּוּ אֱלוֹהַּ וּמוּסַר שַׁדַּי אַל־ תִּמְאָס׃
見よ 幸いである 人は 戒められる 神に 訓らしを 全能者の するな 拒むことを
H2009 H0835 H0582 H3198 H0433 H4148 H7706 H0408

見よ、神に戒められる人はさいわいだ。それゆえ全能者の懲しめを軽んじてはならない。

18 כִּי הוּא יַכְאִיב וְיֶחְבָּשׁ יִמְחַץ וְ[וידו] (וְיָדָיו) תִּרְפֶּינָה׃
なぜなら 彼は 傷つけ 包む 打ち しかし その–手が 癒す
H1931 H3510 H2280 H4272 H3027 H3027 H7495

彼は傷つけ、また包み、撃ち、またその手をもっていやされる。

19 בְּשֵׁשׁ צָרוֹת יַצִּילֶךָּ וּבְשֶׁבַע לֹא־ יִגַּע בְּךָ רָע׃
六つの 苦難から 救う 七つ目でも ない 触れない あなたに 悪が
H8337 H5337 H7651 H3808 H5060

彼はあなたを六つの悩みから救い、七つのうちでも、災はあなたに触れることがない。

20 בָּרָעָב פָּדְךָ מִמָּוֶת וּבְמִלְחָמָה מִיַּד חָרֶב׃
飢饉の–時に 贖う 死から 戦いの–時に 手から 剣の
H7458 H6299 H4194 H4421 H3027 H2719

ききんの時には、あなたをあがなって、死を免れさせ、いくさの時には、つるぎの力を免れさせられる。

21 בְּשׁוֹט לָשׁוֹן תֵּחָבֵא וְלֹא־ תִירָא מְשֹׁד כִּי יָבוֹא׃
打つ–舞いから 舌の 隠れる ない 恐れない 滅びを 来る
H7752 H3956 H2244 H3808 H3372 H7701 H0935

あなたは舌をもってむち打たれる時にも、おおい隠され、滅びが来る時でも、恐れることはない。

22 לְשֹׁד וּלְכָפָן תִּשְׂחָק וּמֵחַיַּת הָאָרֶץ אַל־ תִּירָא׃
滅びと 飢饉を 笑う 獣をも 地の ためらうな 恐れるな
H7701 H3720 H7832 H0776 H0408 H3372

あなたは滅びと、ききんとを笑い、地の獣をも恐れることはない。

23 כִּי עִם־ אַבְנֵי הַשָּׂדֶה בְּרִיתֶךָ וְחַיַּת הַשָּׂדֶה הָשְׁלְמָה־ לָּךְ׃
なぜなら 共に 石と 野の あなたの–契約があり 獣も 野の 和らぐ あなたと
H1285 H0068

あなたは野の石と契約を結び、野の獣はあなたと和らぐからである。

24 וְיָדַעְתָּ כִּי־ שָׁלוֹם אָהֳלֶךָ וּפָקַדְתָּ נָוְךָ וְלֹא תֶחֱטָא׃
と 平安であることを あなたの–天幕が 見回して あなたの–牧場を ない 欠けは
H3045 H7965 H0168 H6485 H5116 H3808 H2398

あなたは自分の天幕の安全なことを知り、自分の家畜のおりを見回っても、欠けた物がなく、

25 וְיָדַעְתָּ כִּי־ רַב זַרְעֶךָ וְצֶאֱצָאֶיךָ כְּעֵשֶׂב הָאָרֶץ׃
と 多いことを あなたの–子孫が あなたの–子孫も 草のように 地の
H3045 H2233 H6631 H6212 H0776

また、あなたの子孫の多くなり、そのすえが地の草のようになるのを知るであろう。

26 תָּבוֹא בְכֹלַח אֶל־ קֶבֶר כַּעֲלוֹת גָּדִישׁ בְּעִתּוֹ׃
入るであろう 満ちた–力で に 墓に 上がるように 穂の–束が その–時に
H0935 H3624 H0413 H6913 H5927 H1620 H6256

あなたは高齢に達して墓に入る、あたかも麦束をその季節になって打ち場に運びあげるようになるであろう。

27 הִנֵּה־ זֹאת חֲקַרְנוּהָ כֵּן־ הִיא שִׁמְעֶנָּה וְאַתָּה דַּע־
見よ これを 究めた その–通り である 聞きなさい そして–あなたも 知りなさい
H2009 H2063 H2713 H1931 H8085 H3045

לָךְ׃ פ
自分の–ために
—

見よ、われわれの尋ねきわめた所はこのとおりだ。あなたはこれを聞いて、みずから知るがよい」。

Chapter 6

1 וַיַּעַן אִיּוֹב וַיֹּאמַר׃
そして–答えた ヨブは そして–言った
H0347 H0559

ヨブは答えて言った、

2 לוּ שָׁקוֹל יִשָּׁקֵל כַּעְשִׁי וְהיתין(וְהַוֹּתִי)׳ בְּמאזְנִים יִשָּׂאוּ־
もし 量って 量られたなら 私の–苦悩は 私の–災いも 私の–災いも 秤の–上で 持ち上げられ
H3863 H8254 H8254 H1962 H1962 H3976 H5375

יָחַד׃
共に

「どうかわたしの憤りが正しく量られ、同時にわたしの災も、はかりにかけられるように。

3 כִּי־ עַתָּה מֵחוֹל יַמִּים יִכְבָּד עַל־ כֵּן דִּבְרַי לָעוּ׃
なぜなら 今 砂よりも 海の 重い その– ゆえに 私の–言葉は 取り乱した
H6258 H2344 H3220 H3513 H1697

そうすれば、これは海の砂よりも重いに相違ない。それゆえ、わたしの言葉が軽率であったのだ。

4 כִּי חִצֵּי שַׁדַּי עִמָּדִי אֲשֶׁר חֲמָתָם שֹׁתָה רוּחִי בְּעוּתֵי אֱלוֹהַּ
なぜなら 矢が 全能者の 私の–中に–ある その 毒を 飲んでいる 私の–霊は 恐怖が 神の
H2671 H7706 H5978 H2534 H8354 H7307 H1161 H0433

יַעַרְכוּנִי׃
私を–攻めている

全能者の矢が、わたしのうちにあり、わたしの霊はその毒を飲み、神の恐るべき軍勢が、わたしを襲い攻めている。

5 הֲיִנְהַק־ פֶּרֶא עַל־ דֶּשֶׁא אִם יִגְעֶה־ שׁוֹר עַל־ בְּלִילוֹ׃
鳴くだろうか 野ろばが 草の–上で 青草の あるいは 鳴くだろうか 牛が その 飼い葉の–前で
H5101 H6501 H1877 H1600 H7794 H1098

野ろばは、青草のあるのに鳴くであろうか。牛は飼葉の上でうなるであろうか。

6 הֲיֵאָכֵל תָּפֵל מִבְּלִי־ מֶלַח אִם־ יֶשׁ־ בְּרִיר שַׁעַם חַלְמוּת׃
食べられようか 味気ない–ものが 塩– なしに あるいは あるか 汁に 味が ぜにあおいの
H0398 H1097 H4417 H3426 H7388 H2940 H2495

味のない物は塩がなくて食べられようか。すべりひゆのしるは味があろうか。

7 מֵאֲנָה לְנָגְעוֹ נַפְשִׁי הֵמָּה כְּדֵוִי לַחְמִי׃
拒んでいる 触れることを 私の–魂は それらは 嫌悪する–もの 私の–食べ物の
H3985 H5060 H5315 H1992 H1741 H3899

わたしの食欲はこれに触れることを拒む。これは、わたしのきらう食物のようだ。

אֱלוֹהַּ׃	יִתֵּן	וְתִקְוָתִי	שֶׁאֶלְתִּי	תָּבוֹא	יִתֵּן	מִי־	8
神が	与えてくださるなら	そして-私の-望みを	私の-願いが	来るなら	与えられたなら	ああ	
H0433	H5414		H7596	H0935	H5414	H4310	

どうかわたしの求めるものが獲られるように。どうか神がわたしの望むものをくださるように。

יָדוֹ	יַתֵּר	וַיְדַכְּאֵנִי	אֱלוֹהַּ	וְיֹאֶל	9
その-御手を	解き放ち	私を-砕いてくださり	神が	そして-決めてくださり	
H3027		H1792	H0433	H2974	

וַיְבַצְּעֵנִי׃
私を-断ち切ってくださるなら
H1214

どうか神がわたしを打ち滅ぼすことをよしとし、み手を伸べてわたしを断たれるように。

לֹא	בֶחִילָה	וַאֲסַלְּדָה	נֶחָמָתִי	ועֹוד	וְתְהִי	10
惜しまぬ	苦痛の-中で	そして-躍り上がるだろう	私の-慰めとなり	なおも	そして-なるなら	
H3808		H5539	H5165	H5750	H1961	

קְדוֹשׁ׃	אִמְרֵי	כִּחַדְתִּי	לֹא	כִּי־	יַחְמֹול	
聖なる-方の	言葉を	隠さなかった	ない	なぜなら	容赦しない	
H6918	H0561	H3582	H3808		H2550	

そうすれば、わたしはなお慰めを得、激しい苦しみの中にあっても喜ぶであろう。わたしは聖なる者の言葉を否んだことがないからだ。

נַפְשִׁי׃	אַאֲרִיךְ	כִּי־	קִצִּי	וּמַה־	אֲיַחֵל	כִּי־	כֹּחִי	מַה־	11
私の-命を	延ばそうか	それで	私の-終わりは	また-何か	待ち望もうか	それで	私の-力は	何か	
H5315	H0748		H7093	H4100	H3176			H4100	

わたしにどんな力があって、なお待たねばならないのか。わたしにどんな終りがあるので、なお耐え忍ばねばならないのか。

נְחוּשׁ׃	בְּשָׂרִי	אִם־	כֹּחִי	אֲבָנִים	כֹּחַ	אִם־	12
青銅か	私の-肉は	あるいは	私の-力なら	石の	力が	もし	
H5153	H1320			H0068			

わたしの力は石の力のようであるのか。わたしの肉は青銅のようであるのか。

מִמֶּנִּי׃	נִדְּחָה	וְתִשִׁיָּה	בִּי	עֶזְרָתִי	אֵין	הַאִם	13
私から	追いやられた	そして-知恵は	私の-内に	私の-助けは	ない	まことに	
	H5080	H8454		H5833	H0369		

まことに、わたしのうちに助けはなく、救われる望みは、わたしから追いやられた。

יַעֲזוֹב׃	שַׁדַּי	וְיִרְאַת	חָסֶד	מֵרֵעֵהוּ	לַמָּס	14
捨てるとしても	全能者への	そして-畏れを	慈しみが-あるべきだ	友からの	苦しむ-者に	
	H7706	H3374		H7453	H4523	

その友に対するいつくしみをさし控える者は、全能者を恐れることをすてる。

יַעַבְרוּ׃	נְחָלִים	כַּאֲפִיק	נָחַל	כְּמוֹ־	בָּגְדוּ	אַחַי	15
過ぎ去る	涸れ川の	流れ床のように	涸れ川の	ように	裏切った	私の-兄弟たちは	
		H0650		H3644	H0898	H0251	

わが兄弟たちは谷川のように、過ぎ去る出水のように欺く。

שָׁלֶג׃	יִתְעַלֵּם־	עָלֵימוֹ	קֶרַח	מִנִּי־	הַקֹּדָרִים	16
雪が	隠される	その-上に	氷の	ために	暗くなる	
H7950	H5956		H7140		H6937	

これは氷のために黒くなり、そのうちに雪が隠れる。

מִמְּקוֹמָם׃	נִדְעֲכוּ	בְּחֻמּוֹ	נִצְתָּתוּ	יִזָּרְבוּ	בְּעֵת	17
その-場所から	消え去る	暑さの-中で	消え失せる	暖かくなると	時に	
H4725	H1846	H2527	H6789	H2215	H6256	

これは暖かになると消え去り、暑くなるとその所からなくなる。

וְיֹאבֵדוּ׃	בַּתֹּהוּ	יַעֲלוּ	דַּרְכָּם	אָרְחוֹת	יֶלְּפְתוּ	18
そして-消える	荒野に	上って行き	その-道筋の	道から	逸れていく	
H0006	H8414	H5927	H1870	H0734	H3943	

隊商はその道を転じ、むなしい所へ行って滅びる。

לָמוֹ׃	קִוּוּ־	שְׁבָא	הֲלִיכֹת	תֵּמָא	אָרְחוֹת	הֶבִיטוּ	19
それらに	望みをかけた	シェバの	旅人たちは	テマの	隊商は	見つめた	
		H7614	H1979	H8485	H0734	H5027	

テマの隊商はこれを望み、シバの旅びとはこれを慕う。

וַיֶּחְפָּרוּ׃	עָדֶיהָ	בָּאוּ	בָּטָח	כִּי־	בֹּשׁוּ	20
そして-面目を失った	そこに	来てみると	信頼していたのに	なぜなら	恥じた	
H2659	H5704	H0935	H0982		H0954	

彼らはこれにたよったために失望し、そこに来てみて、あわてる。

וַתִּירָאוּ׃	חֲתַת	תִּרְאוּ	)לוֹ(	]לא[	הֱיִיתֶם	עַתָּה	כִּי־	21
そして-恐れている	恐怖を	見て	それに	無に	あなたがたは-なった	今	なぜなら	
H3372	H2866	H7200		H3808	H1961	H6258		

あなたがたは今わたしにはこのような者となった。あなたがたはわたしの災難を見て恐れた。

בַּעֲדִי׃	שְׁחַדְתֶּם	וּמִכֹּחֲכֶם	לִי	הָבוּ	אָמַרְתִּי	הֲכִי־	22
私の-ために	贈り物をせよと	あなたがたの-力から	私に	与えよ	私が-言ったか	まさか	
H1157	H7809			H3051	H0559		

わたしは言ったことがあるか、『わたしに与えよ』と、あるいは『あなたがたの財産のうちからわたしのために、まいないを贈れ』と、

תַּפְרִדוּנִי׃	עָרִיצִים	וּמִיַּד	צָר	מִיַּד־	וּמַלְּטוּנִי	23
贖い出せと	暴虐な-者の	そして-手から	敵の	手から	そして-救い出せ	
H6299	H6184	H3027		H3027	H4422	

あるいは『あだの手からわたしを救い出せ』と、あるいは『しえたげる者の手からわたしをあがなえ』と。

לִי׃	הָבִינוּ	שָׁגִיתִי	וּמַה־	אַחֲרִישׁ	וַאֲנִי	הוֹרוּנִי	24
私に	悟らせてくれ	過ちを-犯したか	また-何を	黙ろう	そうすれば-私は	教えてくれ	
	H0995	H7686	H4100		H0589		

わたしに教えよ、そうすればわたしは黙るであろう。わたしの誤っている所をわたしに悟らせよ。

מִכֶּם׃	הוֹכֵחַ	יוֹכִיחַ	וּמַה־	יֹשֶׁר	אִמְרֵי־	נִמְרְצוּ	מַה־	25
あなたがたから	叱責が	証明するのか	しかし-何を	正しい	言葉だろう	痛烈な	なんと	
	H3198	H3198	H4100	H3476	H0561	H4834	H4100	

正しい言葉はいかに力のあるものか。しかしあなたがたの戒めは何を戒めるのか。

נוֹאָשׁ׃	אִמְרֵי	וּלְרוּחַ	תַּחְשְׁבוּ	מְלִּים	הַלְהוֹכֵחַ	26
絶望した-者の	言葉を	そして-風に	つもりか	叱責する	言葉を	
H2976	H0561	H7307	H2803	H4405	H3198	

あなたがたは言葉を戒めうると思うのか。望みの絶えた者の語ることは風のようなものだ。

27 אַף־ עַל־ תַּפִּילוּ יָתוֹם תִּכְרֹו֥ וְתִכְר֗וּ עַל־ רֵעֵיכֶֽם׃
さらに 0637 くじ引きを 5307 投げ 3490 孤児の-上に 0 そして-取り引きする 友を 7453 について

あなたがたは、みなしごのためにくじをひき、あなたがたの友をさえ売り買いするであろう。

28 וְעַתָּה֮ הוֹאִ֪ילוּ פְּנ֫וּ־ בִ֥י וְעַל־ אִם־ פְּנֵיכֶ֥ם אֲכַזָּֽב׃
しかし-今 6258 どうか 2974 向き直って 6437 私に 0 そして 6440 もし 3576 あなたがたの-面前で 私が-偽るなら

今、どうぞわたしを見られよ、わたしはあなたがたの顔に向かって偽らない。

29 שֻׁ֭בוּ־ נָ֣א אַל־ תְּהִי֣ עַוְלָ֑ה וְ֝שֻׁ֗בוּ [ושבו])וְשׁוּבוּ(עֹ֥ד צִדְקִ֗י בָּ֥הּ׃
戻ってくれ 7725 どうか 4994 不義が 0408 あっては-ならない 1961 不正は 6664 私の-正しさは その-中に-ある 7725 そして-戻れ 7725 そして-戻れ 5750 なおも

どうぞ、思いなおせ、まちがってはならない。さらに思いなおせ、わたしの義は、なおわたしのうちにある。

30 הֲיֵ֣שׁ־ בִּלְשׁוֹנִ֣י עַוְלָ֑ה אִם־ חִכִּ֥י לֹא־ יָ֝בִ֗ין הַוּֽוֹת׃
あるか 3426 私の-舌に 3956 不正が 0 あるいは 0408 私の-口蓋は 2441 分からないのか 3808 見分けられないのか 0995 災いを 1942

わたしの舌に不義があるか。わたしの口は災をわきまえることができぬであろうか。

Chapter 7

1 הֲלֹא־ צָבָ֣א לֶאֱנ֣וֹשׁ עַל־ [על])עֲלֵי־(אֶ֑רֶץ וְכִימֵ֥י שָׂ֝כִ֗יר יָמָֽיו׃
ではないか 3808 苦役が 6635 人に 0582 地の 0 [地の] 0776 上で 地の)0 雇い人の 7916 そして-日々は 3117 その-日々のように 3117

地上の人には、激しい労務があるではないか。またその日は雇人の日のようではないか。

2 כְּעֶ֥בֶד יִשְׁאַ֗ף צֵ֭ל וְכִשְׂכִּ֣יר יְקַוֶּ֑ה פָּֽעֳלֽוֹ׃
奴隷の-ように 5650 慕い求める 7602 影を 6738 雇い人の-ように 7916 そして 0 待ち望む 6960 その-報酬を 6467

奴隷が夕暮を慕うように、雇人がその賃銀を望むように、

3 כֵּ֤ן הִנְחַ֣לְתִּי לִ֑י יַרְחֵי־ שָׁ֭וְא וְלֵילוֹת֮ עָמָ֪ל מִנּ֫וּ־ לִֽי׃
そのように 3651 私は-受け継いだ 5157 私に 3391 月々を 7723 空しい 3915 そして-夜々が 5999 苦しみの 4487 定められた 私に 0

わたしは、むなしい月を持たせられ、悩みの夜を与えられる。

4 אִם־ שָׁכַ֥בְתִּי וְאָ֝מַ֗רְתִּי מָתַ֤י אָקוּם֙ וּמִדַּד־ עֶ֣רֶב וְשָׂבַ֖עְתִּי נְדָדִ֣ים עֲדֵי־ נָֽשֶׁף׃
もし 0 横たわるなら 7901 そして-言う 0559 いつ 4970 起き上がるのかと 6965 そして-長引く 4059 夕べまで 6153 そして-満ちている 7646 寝返りで 5076 まで 5704 夜明けの 5399

わたしは寝るときに言う、『いつ起きるだろうか』と。しかし夜は長く、暁までころびまわる。

רָנַּע	עוֹרִי	עָפָר	)וְנוּשׁ(	]וגיש[	רִמָּה	בְּשָׂרִי	לָבֵשׁ	5
裂けて	私の-皮膚は	塵の	そして-塊を	そして-塊を	蛆を	私の-肉は	まとっている	
	H5785	H6083	H1487	H1487	H7415	H1320	H3847	

וַיִּמָּאֵס׃
そして-ただれている

わたしの肉はうじと土くれとをまとい、わたしの皮は固まっては、またくずれる。

תִּקְוָה׃	בְּאֶפֶס	וַיִּכְלוּ	אֶרֶג	מִנִּי־	קַלּוּ	יָמַי	6
ないままに	望みの	そして-尽きる	機織りの-杼	よりも	速い	私の-日々は	
		H3615	H0708		H7043	H3117	

わたしの日は機のひよりも速く、望みをもたずに消え去る。

לִרְאוֹת	עֵינִי	תָּשׁוּב	לֹא־	חַיִּי	רוּחַ	כִּי־	זְכֹר	7
見ることに	私の-目は	戻らない	再び	私の-命は	風である	まことに	思い出してください	
H7200		H7725	H3808		H7307		H2142	

טוֹב׃
良いものを

記憶せよ、わたしの命は息にすぎないことを。わたしの目は再び幸を見ることがない。

וְאֵינֶנִּי׃	בִּי	עֵינֶיךָ	רֹאִי	עַיִן	תְּשׁוּרֵנִי	לֹא־	8
そして-私は-いない	私に-向かうとき	あなたの-目が	見る-者の	目は	私を	見ない	
H0369			H7210		H7789	H3808	

わたしを見る者の目は、かさねてわたしを見ることがなく、あなたがわたしに目を向けられても、わたしはいない。

יַעֲלֶה׃	לֹא	שְׁאוֹל	יוֹרֵד	כֵּן	וְיֹלֵךְ	עָנָן	כָּלָה	9
上って来ない	もはや	陰府に	下って行く-者は	そのように	そして-行くように	雲が	消え去る	
H5927	H3808	H7585	H3381		H3212	H6051	H3615	

雲が消えて、なくなるように、陰府に下る者は上がって来ることがない。

מְקֹמוֹ׃	עוֹד	יַכִּירֶנּוּ	וְלֹא־	לְבֵיתוֹ	עוֹד	יָשׁוּב	לֹא־	10
その-場所は	もう	認めない	そして-もはや	その-家に	もう	戻らない	再び	
H4725	H5750		H3808		H5750	H7725	H3808	

彼は再びその家に帰らず、彼の所も、もはや彼を認めない。

אָשִׂיחָה	רוּחִי	בְּצַר	אֲדַבְּרָה	פִּי	אֶחְשָׂךְ	לֹא	אֲנִי	גַּם־	11
嘆こう	私の-霊の	苦しみの-中で	語ろう	私の-口を	黙らない	抑えない	私も	だから	
H7878	H7307		H1696	H6310	H2820	H3808	H0589	H1571	

נַפְשִׁי׃ בְּמַר
私の-魂の 苦さの-中で
H5315 H4751

それゆえ、わたしはわが口をおさえず、わたしの霊のもだえによって語り、わたしの魂の苦しさによって嘆く。

מִשְׁמָר׃	עָלַי	תָּשִׂים	כִּי־	תַּנִּין	אִם־	אָנִי	הַיָם־	12
見張りを	私の-上に	置くのか	なぜ	竜なのか	あるいは	私は	海-なのか	
H4929						H0589	H3220	

わたしは海であるのか、龍であるのか、あなたはわたしの上に見張りを置かれる。

13 כִּי־ אָמַרְתִּי תְנַחֵמֵנִי עַרְשִׂי יִשָּׂא בְשִׂיחִי מִשְׁכָּבִי׃
もし 私が–言うなら 慰めてくれると 私の–寝床が 軽くしてくれると 嘆きの–中で 私の–臥所が
H0559 H5162 H6210 H5375 H7879 H4904

『わたしの床はわたしを慰め、わたしの寝床はわが嘆きを軽くする』とわたしが言うとき、

14 וְחִתַּתָנִי בַּחֲלֹמוֹת וּמֵחֶזְיֹנוֹת תְּבַעֲתָנִי׃
そして–恐れさせる 夢で そして–幻で おびえさせる
H2865 H2472 H2384 H1204

あなたは夢をもってわたしを驚かし、幻をもってわたしを恐れさせられる。

15 וַתִּבְחַר מַחֲנָק נַפְשִׁי מָוֶת מֵעַצְמוֹתָי׃
そして–選ぶ 窒息を 私の–魂は 死を この–骨よりも
H0977 H4267 H5315 H4194 H6106

それゆえ、わたしは息の止まることを願い、わが骨よりもむしろ死を選ぶ。

16 מָאַסְתִּי לְעֹלָם לֹא־ אֶחְיֶה חֲדַל מִמֶּנִּי כִּי־ הֶבֶל יָמָי׃
私は–嫌った 永遠には 生きたくない 生きたくない 放っておいてくれ なぜなら 私から 空しい 私の–日々は
H3808 H5769 H2421 H2308 H3117 H1892

わたしは命をいとう。わたしは長く生きることを望まない。わたしに構わないでください。わたしの日は息にすぎないのだから。

17 מָה־ אֱנוֹשׁ כִּי תְגַדְּלֶנּוּ וְכִי־ תָשִׁית אֵלָיו לִבֶּךָ׃
何であろう 人間とは なぜ 大きくするのか そして–なぜ 向けるのか 彼に あなたの–心を
H4100 H0582 H3588 H1431 H3588 H7896 H0413

人は何者なので、あなたはこれを大きなものとし、これにみ心をとめ、

18 וַתִּפְקְדֶנּוּ לְרָגָעִים לִבְקָרִים תִּבְחָנֶנּוּ׃
そして–訪れるのか 毎朝 絶え間なく 試みるのか
H6485 H1242 H7281 H0974

朝ごとに、これを尋ね、絶え間なく、これを試みられるのか。

19 כַּמָּה לֹא־ תִשְׁעֶה מִמֶּנִּי לֹא־ תַרְפֶּנִי עַד־ בִּלְעִי רֹקִי׃
いつまで 目を 放さないのか 私から 放して くれないのか まで 飲み込む 私の–唾を
H4100 H3808 H8159 H4480 H3808 H7503 H5704 H1104 H7536

いつまで、あなたはわたしに目を離さず、つばをのむまも、わたしを捨てておかれないのか。

20 חָטָאתִי מָה אֶפְעַל לְךָ נֹצֵר הָאָדָם לָמָּה שַׂמְתַנִי׃
たとえ–罪を–犯したとして 何を なしえようか あなたに 見張る–方よ 人を なぜ 置いたのか
H2398 H4100 H6466 H0413 H0120 H5341 H4100 H7760

וְאֶהְיֶה עָלַי לְמַשָּׂא׃ לְךָ לְמִפְגָּע
そして–なったのか 私自身に 重荷と あなたの 的と–して
H1961 H4645

人を監視される者よ、わたしが罪を犯したとて、あなたに何をなしえようか。なにゆえ、わたしをあなたの的とし、わたしをあなたの重荷とされるのか。

21 וּמָה֙ לֹא־ תִשָּׂ֣א פִשְׁעִ֔י וְתַעֲבִ֖יר אֶת־ עֲוֹנִ֑י
そして–なぜ 赦さないのか 赦さないのか 私の–背きを そして–取り除かないのか 私の 咎を
H4100 H3808 H5375 H6588 H0853 H5771

כִּ֣י עַתָּ֔ה לֶעָפָ֖ר אֶשְׁכָּ֑ב וְשִׁחַרְתַּ֖נִי וְאֵינֶֽנִּי׃ פ
なぜなら 今 塵の–中に 横たわる そして–捜しても 私は–いない
H6258 H6083 H7901 H7836 H0369

なにゆえ、わたしのとがをゆるさず、わたしの不義を除かれないのか。わたしはいま土の中に横たわる。あなたがわたしを尋ねられても、わたしはいないでしょう」。

Chapter 8

1 וַיַּ֣עַן בִּלְדַּ֣ד הַשּׁוּחִ֔י וַיֹּאמַֽר׃
そして–答えた ビルダデは シュア人の そして–言った
H6258 H1085 H7747 H0559

時にシュヒびとビルダデが答えて言った、

2 עַד־ אָ֭ן תְּמַלֶּל־ אֵ֑לֶּה וְר֥וּחַ כַּבִּ֝יר אִמְרֵי־ פִֽיךָ׃
いつ–まで いつまで これらを 語るのか 激しい そして–風が 言葉は あなたの–口の
H5704 H0575 H0428 H1524 H7307 H0561 H6310

「いつまであなたは、そのような事を言うのか。あなたの口の言葉は荒い風ではないか。

3 הַאֵ֣ל יְעַוֵּ֣ת מִשְׁפָּ֑ט וְאִם־ שַׁדַּ֥י יְעַוֶּ֝֗ת צֶֽדֶק׃
まことに–神が 曲げるだろうか 公正を あるいは 全能者が 曲げるだろうか 義を
H0410 H5791 H4941 H0410 H7706 H5791 H6664

神は公義を曲げられるであろうか。全能者は正義を曲げられるであろうか。

4 אִם־ בָּנֶ֥יךָ חָטְא֣וּ ל֑וֹ וַיְשַׁלְּחֵ֖ם בְּיַד־ פִּשְׁעָֽם׃
もし あなたの–息子たちが 罪を–犯したなら 彼に–対して そして–送ったのだ 手に その–背きの
H7971 H3027 H6588

あなたの子たちが彼に罪を犯したので、彼らをそのとがの手に渡されたのだ。

5 אִם־ אַתָּ֤ה תְ֭שַׁחֵר אֶל־ אֵ֣ל וְאֶל־ שַׁדַּ֣י תִּתְחַנָּֽן׃
もし あなたが 尋めるなら 神を 神に そして 全能者に 嘆願するなら
H7836 H0410 H0413 H7706

あなたがもし神に求め、全能者に祈るならば、

6 אִם־ זַ֣ךְ וְ֭יָשָׁר אַתָּ֑ה כִּ֤י עַתָּ֨ה ׀ יָ֥עִיר עָלֶ֗יךָ וְשִׁלַּ֥ם נְ֝וַת צִדְקֶֽךָ׃
もし 清く そして–正しいなら あなたが まことに 今 目覚めさせるだろう あなたの–ために そして–回復させるだろう 住まいを あなたの–義の
H2134 H3477 H0413 H6258 H5782 H7999 H6664

あなたがもし清く、正しくあるならば、彼は必ずあなたのために立って、あなたの正しいすみかを栄えさせられる。

7 וְהָיָ֣ה רֵאשִׁ֣יתְךָ֭ מִצְעָ֑ר וְאַחֲרִיתְךָ֥ יִשְׂגֶּ֝֗ה מְאֹֽד׃
そして–なるだろう 初めは あなたの–小さくても 終わりは そして–あなたの–非常に大きくなる 非常に
H1961 H7225 H4705 H0319 H3966

あなたの初めは小さくあっても、あなたの終りは非常に大きくなるであろう。

	אֲבוֹתָם׃	לְחֵקֶר	וְכוֹנֵן	רִישׁוֹן	לְדָר	נָא	שְׁאַל־	כִּי־	8
	先祖たちの	探求に	そして–備えよ	先の	世代に	どうか	尋ねてみよ	なぜなら	
	H0001	H2714		H7223	H1755	H4994	H7592		

先の代の人に問うてみよ、先祖たちの尋ねきわめた事を学べ。

יָמֵינוּ	צֵל	כִּי	נֵדָע	וְלֹא	אֲנַחְנוּ	תְמוֹל	כִּי־	9
私たちの–日々は	影だ	なぜなら	知らない	そして–知らない	私たちは	昨日の–者だ	なぜなら	
H3117	H6738		H3045	H3808	H0587	H8543		

עֲלֵי־	אָרֶץ׃
上の	地の
	H0776

われわれはただ、きのうからあった者で、何も知らない、われわれの世にある日は、影のようなものである。

מִלִּים׃	יוֹצִאוּ	וּמִלִּבָּם	לָךְ	יֹאמְרוּ	יוֹרוּךָ	הֵם	הֲלֹא־	10
言葉を	取り出す	そして–心から	あなたに	言ってくれる	教えてくれる	彼らが	まことに	
H4405	H3318			H0559		H1992	H3808	

彼らはあなたに教え、あなたに語り、その悟りから言葉を出さないであろうか。

מָיִם׃	בְּלִי־	אָחוּ	יִשְׂגֶּה־	בְּצֵה	בְּלֹא	גֹּמֶא	הֲיִגְאֶה־	11
水なしに	なしに	葦が	伸びるだろうか	沼地なしに	なしに	パピルスが	育つだろうか	
H4325	H1097	H0260		H1207	H3808	H1573	H1342	

紙草は泥のない所に生長することができようか。葦は水のない所において茂ることができようか。

יִיבָשׁ׃	חָצִיר	כָּל־	וְלִפְנֵי	יִקָּטֵף	לֹא	בְּאִבּוֹ	עֹדֶנּוּ	12
枯れる	草よりも	すべての	そして–先に	摘み取られない–うちに	まだ	芽生えの–ままで	まだ	
H3001		H3605	H6440	H6998	H3808	H0003	H5750	

これはなお青くて、まだ刈られないのに、すべての草に先だって枯れる。

תֹּאבֵד׃	חָנֵף	וְתִקְוַת	אֵל	שְׁכְחֵי	כָּל־	אָרְחוֹת	כֵּן	13
滅びる	不敬虔な–者の	そして–望みは	神を	忘れる–者の	すべての	道は	そのように	
H0006	H2611		H0410	H7911	H3605	H0734		

すべて神を忘れる者の道はこのとおりだ。神を信じない者の望みは滅びる。

מִבְטַחוֹ׃	עַכָּבִישׁ	וּבֵית	כִּסְלוֹ	יָקוֹט	אֲשֶׁר־	14
その–頼みである	蛛の	そして–家は	その–確信は	断たれる	その	
H4009	H5908		H3689	H6990		

その頼むところは断たれ、その寄るところは、くもの巣のようだ。

יָקוּם׃	וְלֹא	בּוֹ	יַחֲזִיק	יַעֲמֹד	וְלֹא	בֵּיתוֹ	עַל־	יִשָּׁעֵן	15
保たない	しかし–それは	それに	しがみつく	立たない	しかし–それは	家に	その	寄りかかる	
	H3808		H2388	H5975	H3808			H8172	

その家によりかかろうとすれば、家は立たず、それにすがろうとしても、それは耐えない。

תֵּצֵא׃	וְנִקְתּוֹ	גִּנָּתוֹ	וְעַל	שֶׁמֶשׁ	לִפְנֵי־	הוּא	רָטֹב	16
伸び出る	その–若枝が	その–庭に	そして	太陽の	前で	彼は	潤っている	
H3318	H3127	H1593		H8121	H6440	H1931	H7373	

彼は日の前に青々と茂り、その若枝を園にはびこらせ、

יֶחֱזֶה׃	אֲבָנִים	בֵּית	יְסֻבָּכוּ	שָׁרָשָׁיו	גֵּל	עַל־	17
掴む	石の	家を	絡み合う	その–根は	石塞の	の–上に	
H2372	H0068		H5440	H8328	H1530		

その根を石塚にからませ、岩の間に生きていても、

רְאִיתֶֽיךָ׃	לֹֽא	בֹּ֑ו	וְכִחֵ֥שׁ	מְמְקֹומֹ֗ו	יְבַלְּעֻֽנּו׃	אִם־	18
お前を	見たことがないと	彼を	そして–否定する	その–場所から	引き抜かれるなら	もし	
H7200	H3808		H3584	H4725	H1104		

もしその所から取り除かれれば、その所は彼を拒んで言うであろう、『わたしはあなたを見たことがない』と。

יִצְמָֽחוּ׃	אַחֵ֥ר	וּמֵעָפָ֖ר	דַּרְכֹּ֑ו	מְשׂ֥וֹשׂ	הֽוּא׃	הֵן־	19
芽生える	別の–ものが	そして–塵から	その–道の	喜びである	それが	見よ	
H6779	H0312	H6083	H1870	H4885	H1931	H2005	

見よ、これこそ彼の道の喜びである、そしてほかの者が地から生じるであろう。

מְרֵעִֽים׃	בְּיַד־	יַחֲזִ֥יק	וְלֹא־	תָּ֑ם	יִמְאַס־	לֹ֣א	אֵ֭ל	הֵן־	20
悪を–行う–者の	手を	支えない	そして–決して	潔白な–者を	退けない	決して	神は	見よ	
	H3027	H2388	H3808	H8535		H3808	H0410	H2005	

見よ、神は全き人を捨てられない。また悪を行う者の手を支持されない。

תְּרוּעָֽה׃	וּשְׂפָתֶ֥יךָ	פִּ֑יךָ	שְׂחֹ֥וק	יְמַלֵּ֗ה	עַד־	21
歓声で	そして–あなたの–唇を	あなたの–口を	笑いで	満たすだろう	ついに	
H8643	H8193	H6310	H7814	H4390	H5704	

彼は笑いをもってあなたの口を満たし、喜びの声をもってあなたのくちびるを満たされる。

פ	אֹיְבֶֽיךָ׃	רְשָׁעִ֑ים	וְאֹ֥הֶל	בֹּ֗שֶׁת	יִלְבְּשׁ֣וּ	שְׂנֵאֶ֭יךָ	22
	なくなる	悪しき–者の	そして–天幕は	恥を	まとうだろう	あなたを–憎む–者は	
	H0369	H7563	H0168	H1322	H3847	H8130	

あなたを憎む者は恥を着せられ、悪しき者の天幕はなくなる」。

Chapter 9

וַיֹּאמַֽר׃	אִיֹּ֥וב	וַיַּ֗עַן	1
そして–言った	ヨブは	そして–答えた	
H0559	H0347		

ヨブは答えて言った、

עִם־	אֱנֹ֑ושׁ	יִצְדַּ֥ק	וּמַה־	כֵּ֗ן	כִּי־	יָדַ֥עְתִּי	אָ֭מְנָם	2
対して	人が	義と–されようか	しかし–どうして	そうだと	それが	私は–知っている	まことに	
	H0582	H6663	H4100			H3045	H0551	

אֵֽל׃
神に
H0410

「まことにわたしは、その事のそのとおりであることを知っている。しかし人はどうして神の前に正しくありえようか。

אֶלֶף׃	מִנִּי־	אַחַת	יַעֲנֶ֑נּוּ	לֹא־	עִמֹּ֗ו	לָרִ֥יב	יֶחְפֹּ֣ץ	אִם־	3
一つも	千の–中の	一つも	答えられない	答えられない	彼と	争うことを	望むなら	もし	
H0505		H0259		H3808		H7378			

よし彼と争おうとしても、千に一つも答えることができない。

4
חֲכַם לֵבָב וְאַמִּיץ כֹּחַ מִי־הִקְשָׁה אֵלָיו וַיִּשְׁלָם׃
知恵ある 心において そして-強い 力において 誰が 強情を-張ったか 彼に-対して そして-無事でいたか
H2450 H3824 H0533 H3808 H4310 H7185 H0413

彼は心賢く、力強くあられる。だれが彼にむかい、おのれをかたくなにして、栄えた者があるか。

5
הַמַּעְתִּיק הָרִים וְלֹא יָדָעוּ אֲשֶׁר הָפָכָם בְּאַפּוֹ׃
動かす-方 山々を そして-それらは 知らない どうして 覆したかを 怒りの-中で
H6275 H2022 H3808 H3045 H0834 H2015 H0639

彼は、山を移されるが、山は知らない。彼は怒りをもって、これらをくつがえされる。

6
הַמַּרְגִּיז אֶרֶץ מִמְּקוֹמָהּ וְעַמּוּדֶיהָ יִתְפַּלָּצוּן׃
揺り動かす-方 地を その-場所から そして-その-柱は 震える
H7264 H0776 H4725 H5982 H6426

彼が、地を震い動かしてその所を離れさせられると、その柱はゆらぐ。

7
הָאֹמֵר לַחֶרֶס וְלֹא יִזְרָח וּבְעַד כּוֹכָבִים יַחְתֹּם׃
命じる-方 太陽に そして-それは 昇らない そして 星々を 封じる
H0559 H2775 H3808 H2224 H1157 H3556 H2856

彼が日に命じられると、日は出ない。彼はまた星を閉じこめられる。

8
נֹטֶה שָׁמַיִם לְבַדּוֹ וְדוֹרֵךְ עַל־בָּמֳתֵי יָם׃
広げる-方 天を ただ-独りで そして-踏み行く の-上を 高波の 海の
H5186 H8064 H0905 H1869 H5921 H1116 H3220

彼はただひとり天を張り、海の波を踏まれた。

9
עֹשֶׂה־עָשׁ כְּסִיל וְכִימָה וְחַדְרֵי תֵימָן׃
造る-方 北斗星を オリオンを そして-プレアデスを そして-南の-星座を 南の
H6213 H5906 H3685 H3598 H2315 H8486

彼は北斗、オリオン、プレアデスおよび南の密室を造られた。

10
עֹשֶׂה גְדֹלוֹת עַד־אֵין וְנִפְלָאוֹת עַד־אֵין מִסְפָּר׃
なさる-方 大いなる-事を 計り-知れない ない そして-不思議を 数え-切れない ない 数が
H6213 H1419 H5704 H0369 H6381 H5704 H0369 H4557

彼が大いなる事をされることは測りがたく、不思議な事をされることは数知れない。

11
הֵן יַעֲבֹר עָלַי וְלֹא אֶרְאֶה וַיַּחֲלֹף וְלֹא־אָבִין לוֹ׃
見よ 通り過ぎる 私の-そばを しかし-見えない 見えない そして-過ぎ去る しかし-気づかない 彼に
H2005 H5674 H5921 H3808 H7200 H2498 H3808 H0995 H0

見よ、彼がわたしのかたわらを通られても、わたしは彼を見ない。彼は進み行かれるが、わたしは彼を認めない。

12
הֵן יַחְתֹּף מִי יְשִׁיבֶנּוּ מִי־יֹאמַר אֵלָיו מַה־תַּעֲשֶׂה׃
見よ 奪い取るなら 誰が 引き戻せようか 誰が 言えようか 彼に 何を しているのかと
H2005 H2862 H4310 H7725 H4310 H0559 H0413 H4100

見よ、彼が奪い去られるのに、だれが彼をはばむことができるか。だれが彼にむかって『あなたは何をするのか』と言うことができるか。

13 אֱלוֹהַּ לֹא־ יָשִׁיב אַפּוֹ תחתו] תַּחְתָּיו) שָׁחֲחוּ עֻזְרֵי
神は 取り消さない 取り消さない その–怒りを その–下に その–下に かがんだ 助ける–者たちも
H0433 H3808 H7725 H0639 H8478 H8478 H7817 H5826

רָהַב׃
ラハブの
H7293

神はその怒りをやめられない。ラハブを助ける者どもは彼のもとにかがんだ。

14 אַף כִּי־ אָנֹכִי אֶעֱנֶנּוּ אֶבְחַר דְּבָרָי עִמּוֹ׃
ましてや 私が 私が 答えられようか 選ぶだろう 私の–言葉を 彼に–対して
H0637 H0595 H0977 H6030 H1697

どうしてわたしは彼に答え、言葉を選んで、彼と議論することができよう。

15 אֲשֶׁר אִם־ אֶתְחַנָּן׃ לְמִשְׁפְּטִי אֶעֱנֶה לֹא לֹא אֶעֱנֶה צַדַּקְתִּי אִם־ אֲשֶׁר
たとえ もし 私が–正しくても 答えられない 答えられない 私の–裁き–主に 嘆願するだけだ
H0834 H0518 H6663 H3808 H3808 H8199 H2603

たといわたしは正しくても答えることができない。わたしを責められる者にあわれみを請わなければならない。

16 אִם־ קָרָאתִי וַיַּעֲנֵנִי לֹא־ אַאֲמִין כִּי־ יַאֲזִין
もし 呼びかけて そして–答えてくださっても 信じない 信じない それが 耳を–傾けているとは
H0518 H7121 H6030 H3808 H0539 H0518 H0238

קוֹלִי׃
私の–声に

たといわたしが呼ばわり、彼がわたしに答えられても、わたしの声に耳を傾けられたとは信じない。

17 אֲשֶׁר־ בִּשְׂעָרָה יְשׁוּפֵנִי וְהִרְבָּה פְצָעַי חִנָּם׃
なぜなら 嵐で 砕くのだ そして–増やした 私の–傷を 理由なく
H0834 H8183 H7779 H6030 H6482 H2600

彼は大風をもってわたしを撃ち砕き、ゆえなく、わたしに多くの傷を負わせ、

18 לֹא־ יְתִנֵנִי הָשֵׁב רוּחִי כִּי יַשְׂבְּעֵנִי מְרֹרִים׃
許さない 私に 取り戻すことを 私の–息を なぜなら 満たすのだ 苦い–もので
H0518 H5414 H7725 H7307 H0518 H7646 H4472

わたしに息をつかせず、苦い物をもってわたしを満たされる。

19 אִם־ לְכֹחַ אַמִּיץ הִנֵּה וְאִם־ לְמִשְׁפָּט מִי יוֹעִידֵנִי׃
もし 力なら 強い 見よ もし 裁きなら 誰が 呼び出せようか
H0518 H3581 H0533 H2009 H0518 H4941 H4310 H3259

力の争いであるならば、彼を見よ、さばきの事であるならば、だれが彼を呼び出すことができよう。

20 אִם־ אֶצְדָּק פִּי יַרְשִׁיעֵנִי תָּם־ אָנִי וַיַּעְקְּשֵׁנִי׃
たとえ 正しくても 私の–口が 罪ありとする 潔白であっても 私は そして–曲げられる
H0518 H6663 H6310 H7561 H8535 H0589 H6140

たといわたしは正しくても、わたしの口はわたしを罪ある者とする。たといわたしは罪がなくても、彼はわたしを曲った者とする。

21 תָּם־ אָנִי לֹא־ אֵדַע נַפְשִׁי אֶמְאַס חַיָּי׃
潔白であっても 私は 知らない 知らない 私の–魂を 嫌う 私の–命を
H8535 H0589 H3808 H3045 H5315 H3988 H2416

わたしは罪がない、しかしわたしは自分を知らない。わたしは自分の命をいとう。

22 אַחַת הִיא וְרָשָׁע תָּם אָמַרְתִּי כֵּן עַל־ הִיא אַחַת
一つの–ことだ それは それ–ゆえに それゆえに 私は–言う 潔白な–者も そして–悪しき–者も 彼は
H0259 H1931 H0559 H8535 H7563 H1931

מְכַלֶּה׃
滅ぼす
H3615

皆同一である。それゆえ、わたしは言う、『彼は罪のない者と、悪しき者とを共に滅ぼされるのだ』と。

23 אִם־ שׁוֹט יָמִית פִּתְאֹם לְמַסָּת נְקִיִּם יִלְעָג׃
もし 災いが 殺すなら 突然に 絶望に 罪なき–者の 嘲笑う
H7752 H4191 H6597 H3932

災がにわかに人を殺すような事があると、彼は罪のない者の苦難をあざ笑われる。

24 וְאֶרֶץ נִתְּנָה בְיַד־ רָשָׁע פְּנֵי־ שֹׁפְטֶיהָ יְכַסֶּה אִם־ לֹא
地は 渡された 手に 悪しき–者の 顔を 裁き–主たちの 覆う もし そうでないなら
H0776 H5414 H3027 H7563 H6440 H8199 H3680 H0645 H3808

אֶפּוֹא מִי־ הוּא׃
それなら 誰が そうしたのか
H4310 H1931

世は悪人の手に渡されてある。彼はその裁判人の顔をおおわれる。もし彼でなければ、これはだれのしわざか。

25 וְיָמַי קַלּוּ מִנִּי־ רָץ בָּרְחוּ לֹא־ רָאוּ טוֹבָה׃
そして–私の–日々は 速い よりも 走る–者より 逃げ去った 見なかった 見なかった 幸いを
H3117 H7043 H4480 H7323 H1272 H3808 H7200

わたしの日は飛脚よりも速く、飛び去って幸を見ない。

26 חָלְפוּ עִם־ אֳנִיּוֹת אֵבֶה כְּנֶשֶׁר יָטוּשׁ עֲלֵי־ אֹכֶל׃
過ぎ去った ともに 舟の–ように 葦の 鷲の–ように 襲う の–上に 獲物の
H2498 H5973 H0591 H0016 H5404 H2907 H5921 H0400

これは走ること葦舟のごとく、えじきに襲いかかる、わしのようだ。

27 אִם־ אָמַרְתִּי אֶשְׁכְּחָה שִׂיחִי אֶעֱזְבָה פָנַי וַאֲבַלֵּיגָה׃
もし 私が–言うなら 忘れようと 私の–嘆きを 捨てようと 私の–顔を そして–明るくしようと
H0559 H7911 H7879 H5800 H6440 H1082

たといわたしは『わが嘆きを忘れ、憂い顔をかえて元気よくなろう』と言っても、

28 תְּנַקֶּנִי׃ לֹא כִּי־ יָדַעְתִּי עַצְּבָתִי כָּל־ יָגֹרְתִּי
してくれないと 無罪とは まことに 知っている 私の–苦痛を すべての 恐れる
H5352 H3808 H3045 H6094 H3605 H3025

わたしはわがもろもろの苦しみを恐れる。あなたがわたしを罪なき者とされないことをわたしは知っているからだ。

29 אִיגָע׃ הֶבֶל זֶה לָמָּה־ אֶרְשָׁע אָנֹכִי
労するのか 空しく これほど なぜ 罪ありと–される 私は
H3021 H1892 H2088 H4100 H7561 H0595

わたしは罪ある者とされている。どうして、いたずらに労する必要があるか。

30 כַּפָּי׃ בְּבֹר וַהֲזַכּוֹתִי שָׁלֶג)בְּמֵי־( ]במו־[הִתְרַחַצְתִּי אִם־
私の–手を 灰汁で そして–清めたとしても 雪の 水で 水で 洗ったとしても たとえ
H3709 H1253 H2141 H7950 H4325 H1119 H7364

たといわたしは雪で身を洗い、灰汁で手を清めても、

אָז	בַּשַּׁחַת	תִּטְבְּלֵנִי	וְתֶעָבוּנִי	שַׂלְמוֹתָי׃	31
その時	汚水の-中に	沈めるだろう	そして-嫌悪するだろう	私の-衣も	
H0227	H7845	H2881	H8581	H8008	

あなたはわたしを、みぞの中に投げ込まれるので、わたしの着物も、わたしをいとうようになる。

יַחְדָּו׃	נָבוֹא	אֵעָנֶנּוּ	כָּמֹנִי	אָיִשׁ	לֹא־	כִּי־	32
共に	共に-行こう	答えられるものではない	私の-ような	人ではない	人ではない	なぜなら	
H3162	H0935		H3644	H0376	H3808		

בַּמִּשְׁפָּט׃
裁きの-場に
H4941

神はわたしのように人ではないゆえ、わたしは彼に答えることができない。われわれは共にさばきに臨むことができない。

שְׁנֵינוּ׃	עַל־	יָדוֹ	יָשֶׁת	מוֹכִיחַ	בֵּינֵינוּ	יֵשׁ־	לֹא	33
我ら-両方の	の-上に	その-手を	置く-者が	仲裁人が	私たちの-間に	いない	いない	
H8147		H3027	H7896	H3198	H0996	H3426	H3863	

われわれの間には、われわれふたりの上に手を置くべき仲裁者がない。

תְּבַעֲתַנִי׃	אַל־	וְאֵמָתוֹ	שִׁבְטוֹ	מֵעָלַי	יָסֵר	34
おびえさせるな	私を	そして-その-恐れが	その-杖を	私から	取り除いてくれ	
H1204	H0408	H0367	H7626		H5493	

どうか彼がそのつえをわたしから取り離し、その怒りをもって、わたしを恐れさせられないように。

אֲנֹכִי	כֵּן	לֹא־	כִּי	אִירָאֵנּוּ	וְלֹא	אֲדַבְּרָה	35
私は	そうではない	そうではない	しかし	恐れないだろう	そして-恐れない	そうすれば-語ろう	
H0595		H3808		H3372	H3808	H1696	

עִמָּדִי׃
私自身の-内に
H5978

そうすれば、わたしは語って、彼を恐れることはない。わたしはみずからそのような者ではないからだ。

Chapter 10

בְּמַר	אֲדַבְּרָה	שִׂיחִי	עָלַי	אֶעֱזְבָה	בְּחַיָּי	נַפְשִׁי	נָקְטָה	1
苦さの-中で	語ろう	私の-嘆きを	私の-上に	解き放とう	私の-命を	私の-魂は	嫌悪する	
H4751	H1696	H7879				H5315	H5354	

נַפְשִׁי׃
私の-魂の
H5315

わたしは自分の命をいとう。わたしは自分の嘆きを包まず言いあらわし、わが魂の苦しみによって語ろう。

תָּרִיבֵנִי׃	מַה־	אֶל־	אֱלוֹהַּ	אַל־	תַּרְשִׁיעֵנִי	הוֹדִיעֵנִי	עַל	2
争うのか	何の-ために	に-向かって	神に	どうか	罪ありとしないでください	知らせてください	なぜ	
H7378	H4100	H0413	H0433	H0408	H7561	H3045		

わたしは神に申そう、わたしを罪ある者とされないように。なぜわたしと争われるかを知らせてほしい。

כַּפֶּיךָ	יְגִיעַ	תִּמְאַס	כִּי־	תַעֲשֹׁק	כִּי־	וְלָךְ	הַטּוֹב	3
あなたの–手の	労苦を	退けることが	ことが	虐げることが	ことが	あなたにとって	良いのか	
H3709	H3018			H6231				

הוֹפָעְתָּ׃	רְשָׁעִים	עֲצַת	וְעַל־
光を–放つのか	悪しき–者の	謀りの–上に	そして
H3313	H7563	H6098	

あなたはしえたげをなし、み手のわざを捨て、悪人の計画を照すことを良しとされるのか。

תִּרְאֶה׃	אֱנוֹשׁ	כִּרְאוֹת	אִם־	לָךְ	בָּשָׂר	הַעֵינֵי	4
見るのか	人が	見る–ように	あるいは	あなたには	肉の	目が–あるのか	
H7200	H0582	H7200			H1320		

あなたの持っておられるのは肉の目か、あなたは人が見るように見られるのか。

גָּבֶר׃	כְּיָמֵי	שְׁנוֹתֶיךָ	אִם־	יָמֶיךָ	אֱנוֹשׁ	הֲכִימֵי	5
人の	日々の–ように	あなたの–年月は	あるいは	あなたの–日々は	人の	の–ように–短いか	
H1397	H3117	H8141		H3117	H0582	H3117	

あなたの日は人の日のごとく、あなたの年は人の年のようであるのか。

תְּדָרֹושׁ׃	וְלִחַטָּאתִי	לַעֲוֹנִי	תְּבַקֵּשׁ	כִּי־	6
追い求めるのか	そして–私の–罪を	私の–咎を	探るのか	なぜ	
H1875		H5771	H1245		

あなたはなにゆえわたしのとがを尋ね、わたしの罪を調べられるのか。

מִיָּדְךָ	וְאֵין	אֶרְשָׁע	לֹא	כִּי־	דַעְתְּךָ	עַל־	7
あなたの–手から	そして–いない	悪くない	私は	まことに	あなたの–知識によれば	にも–かかわらず	
H3027	H0369	H7561	H3808		H1847		

מַצִּיל׃
救う–者は
H5337

あなたはわたしの罪のないことを知っておられる。またあなたの手から救い出しうる者はない。

וַתְּבַלְּעֵנִי׃	סָּבִיב	יַחַד	וַיַּעֲשׂוּנִי	עֶצְּבוּנִי	יָדֶיךָ	8
そして–滅ぼすのか	周りを	共に	そして–造った	形作り	あなたの–手が	
H1104	H5439				H3027	

あなたの手はわたしをかたどり、わたしを作った。ところが今あなたはかえって、わたしを滅ぼされる。

תְּשִׁיבֵנִי׃	עָפָר	וְאֶל־	עִשִּׂיתָנִי	כַּחֹמֶר	כִּי־	נָא	זְכָר־	9
戻すのか	塵に	そして	造ったのだと	粘土の–ように	まことに	どうか	思い出してください	
H7725	H6083	H0413				H4994	H2142	

どうぞ覚えてください、あなたは土くれをもってわたしを作られた事を。ところが、わたしをちりに返そうとされるのか。

תַּקְפִּיאֵנִי׃	וְכַגְּבִנָּה	תַּתִּיכֵנִי	כֶּחָלָב	הֲלֹא	10
固めたのではないか	そして–チーズの–ように	注ぎ	乳の–ように	まことに	
	H1385	H5413	H2461	H3808	

あなたはわたしを乳のように注ぎ、乾酪のように凝り固まらせたではないか。

תְּסֹכְכֵנִי׃	וְגִידִים	וּבַעֲצָמוֹת	תַּלְבִּישֵׁנִי	וּבָשָׂר	עוֹר	11
織り合わせた	そして–筋で	そして–骨と	まとわせ	そして–肉を	皮膚と	
	H1517	H6106	H3847	H1320	H5785	

あなたは肉と皮とをわたしに着せ、骨と筋とをもってわたしを編み、

רוּחִי׃	שָׁמְרָה	וּפְקֻדָּתְךָ	עִמָּדִי	עָשִׂיתָ	וָחֶסֶד	חַיִּים	12
私の-霊を	守った	そして-あなたの-配慮が	私に	与えてくださった	そして-慈しみを	命と	
H7307	H8104	H6486	H5978				

命といつくしみとをわたしに授け、わたしを顧みてわが霊を守られた。

זֹאת	כִּי־	יָדַעְתִּי	בִלְבָבֶךָ	צָפַנְתָּ	וְאֵלֶּה		13
これが	まことに	私は-知っている	あなたの-心の-中に	隠していた	しかし-これらを		
H2063		H3045	H3824	H6845	H0428		

עִמָּךְ׃
あなたの-内に-あったと

しかしあなたはこれらの事をみ心に秘めおかれた。この事があなたの心のうちにあった事をわたしは知っている。

תְּנַקֵּנִי׃	לֹא	וּמֵעֲוֹנִי	וּשְׁמַרְתָּנִי	חָטָאתִי	אִם־		14
してくれない	無罪とは	そして-私の-咎から	そして-見張っていた	私が-罪を-犯したなら	もし		
H5352	H3808	H5771	H8104	H2398			

わたしがもし罪を犯せば、あなたはわたしに目をつけて、わたしを罪から解き放されない。

אֶשָּׂא	לֹא־	וְצָדַקְתִּי	לִי	אַלְלַי	רָשַׁעְתִּי	אִם־	15
上げられない	上げられない	そして-正しくても	私に	嘆かわしい	悪を-行ったなら	もし	
H5375	H3808	H6663		H0480	H7561		

עָנְיִי׃	וּרְאֵה	קָלוֹן	שְׂבֵעַ	רֹאשִׁי
私の-苦しみを	そして-見てください	恥辱で	満ちている	私の-頭を
H6040	H7202	H7036	H7649	

わたしがもし悪ければわたしはわざわいだ。たといわたしが正しくても、わたしは頭を上げることができない。わたしは恥に満ち、悩みを見ているからだ。

בִּי׃	תִּתְפַּלָּא־	וְתָשׁוּב	תְּצוּדֵנִי	כְּשַׁחַל	וְיִגְאֶה	16
私に-対して	不思議を-行う	そして-再び	狩り立てる	獅子の-ように	そして-高くなると	
	H6381	H7725		H7826	H1342	

もし頭をあげれば、あなたは、ししのようにわたしを追い、わたしにむかって再びくすしき力をあらわされる。

חֲלִיפוֹת	עִמָּדִי	כַּעַשֶּׂךָ	וְתֶרֶב	נִגְדִּי	וְעֵדֶיךָ	תְּחַדֵּשׁ	17
交代と	私に-対して	あなたの-怒りを	そして-増やす	私に-対して	あなたの-証人を	新たにする	
H2487	H5978			H5048	H5707	H2318	

עִמִּי׃	וְצָבָא
私に-対して	そして-軍勢が

あなたは証人を入れ替えてわたしを攻め、わたしにむかってあなたの怒りを増し、新たに軍勢を出してわたしを攻められる。

תִּרְאֵנִי׃	לֹא־	וְעַיִן	אֶגְוָע	הֹצִאתָנִי	מֵרֶחֶם	וְלָמָּה	18
見なかったのに	見なかったのに	そして-目が	息絶えていたら	出したのか	胎から	そして-なぜ	
H7200	H3808		H1478	H3318	H7358	H4100	

なにゆえあなたはわたしを胎から出されたか、わたしは息絶えて目に見られることなく、

אוּבָל׃	לַקֶּבֶר	מִבֶּטֶן	אֶהְיֶה	הָיִיתִי	לֹא־	כַּאֲשֶׁר	19
運ばれたのに	墓へ	胎から	あったら	存在しなかった	存在しなかった-かの-ように	あたかも	
H2986	H6913	H0990	H1961	H1961	H3808		

胎から墓に運ばれて、初めからなかった者のようであったなら、よかったのに。

מִמֶּנִּי	)וְשִׁית(	]ישית[	)וַחֲדַל(	]יחדל[	יָמַי	מְעַט	הֲלֹא־	20
私から	目をそらせ	目をそらせ	やめてくれ	やめてくれ	私の–日々は	僅かだ	まことに–少ない	
H7896	H7896	H2308	H2308	H3117	H4592	H3808		

מְעָט׃	וְאַבְלִיגָה
少しだけ	そして–明るくならせてくれ
H4592	H1082

わたしの命の日はいくばくもないではないか。どうぞ、しばしわたしを離れて、少しく慰めを得させられるように。

וְצַלְמָוֶת׃	חֹשֶׁךְ	אֶרֶץ	אֶל־	אָשׁוּב	וְלֹא	אֵלֵךְ	בְּטֶרֶם	21
そして–死の–影の	闇の	地に	に–向かって	戻らない	そして–戻らない	私が–行く	行く–前に	
H6757	H2822	H0776	H0413	H7725	H3808	H3212	H2962	

わたしが行って、帰ることのないその前に、これを得させられるように。わたしは暗き地、暗黒の地へ行く。

וַתִּפַּע	סְדָרִים	וְלֹא	צַלְמָוֶת	אֹפֶל	כְּמוֹ	וּעֵיפָתָה	אֶרֶץ	22
そして–輝く	秩序のない	そして–秩序のない	死の–影の	暗闇の	ように	深い–暗さの	地は	
H3313	H5468	H3808	H6757	H0652	H3644	H5890	H0776	

פ	אֹפֶל׃	כְּמוֹ־
	暗闇の	ように
	H0652	H3644

これは暗き地で、やみにひとしく、暗黒で秩序なく、光もやみのようだ」。

Chapter 11

וַיֹּאמַר׃	הַנַּעֲמָתִי	צֹפַר	וַיַּעַן
そして–言った	ナアマ人の	ツォファルは	そして–答えた
H0559	H5284	H6691	

そこでナアマびとゾパルは答えて言った、

יִצְדָּק׃	שִׂפְתַיִם	אִישׁ	וְאִם־	יֵעָנֶה	לֹא	דְּבָרִים	הֲרַב	2
正しいと–されるのか	唇の	人は	それとも	答えられない	答えられないのか	言葉に	多くの	
H6663	H8193	H0376			H3808	H1697	H7230	

「言葉が多ければ、答なしにすまされるだろうか。口の達者な人は義とされるだろうか。

מַכְלִם׃	וְאַיִן	וַתִּלְעַג	יַחֲרִישׁוּ	מְתִים	בַּדֶּיךָ	3
恥じられないのか	誰も	そして–嘲笑って	黙らせるのか	人々を	あなたの–空言が	
H3637	H0369	H3932		H4962	H0907	

あなたのむなしい言葉は人を沈黙させるだろうか。あなたがあざけるとき、人はあなたを恥じさせないだろうか。

בְּעֵינֶיךָ׃	הָיֵיתִי	וּבַר	לִקְחִי	זַךְ	וַתֹּאמֶר	4
あなたの–目に	私は–あった	そして–潔白である	私の–教えは	清い	そして–言った	
	H1961	H1249	H3948	H2134	H0559	

あなたは言う、『わたしの教は正しい、わたしは神の目に潔い』と。

עִמָּךְ׃	שְׂפָתָיו	וְיִפְתַּח	דַּבֵּר	אֱלוֹהַּ	יִתֵּן	מִי־	וְאוּלָם	5
あなたに–対して	その–唇を	そして–開くなら	語ることを	神が	与えるだろう	誰が	しかし–ああ	
	H8193		H1696	H0433	H5414	H4310	H0199	

どうぞ神が言葉を出し、あなたにむかってくちびるを開き、

וְלַ֥ע	לָ֝תוּשִׁיָּ֗ה	כִּפְלַ֥יִם	כִּֽי־	חָכְמָ֥ה	תָ֝עֲלֻמ֗וֹת	ולְךָ֥	וְיַגֶּד־	6
そして–知れ	知恵において	二倍である	まことに	知恵の	秘密を	あなたに	そして–告げるなら	
H3045	H8454	H3718		H2451	H8587		H5046	

מֵעֲוֹנֶ֑ךָ׃	אֱלוֹהַּ	לְךָ֥	יַשֶּׁה	כִּֽי־
あなたの–咎の–一部を	神が	あなたに	忘れているのだ	まことに
H5771	H0433		H5382	

知恵の秘密をあなたに示されるように。神はさまざまの知識をもたれるからである。それであなたは知るがよい、神はあなたの罪よりも軽くあなたを罰せられることを。

תִּמְצָֽא׃	שַׁדַּי	תַּכְלִ֥ית	עַד־	אִם	תִּמְצָ֑א	אֱלוֹהַּ	הַחֵקֶר	7
見出せるか	全能者の	極みまで	極みまで	あるいは	見出せるか	神の–深みを	探り–得るか	
H4672	H7706	H8503	H5704		H4672	H0433	H2714	

あなたは神の深い事を窮めることができるか。全能者の限界を窮めることができるか。

תֵּדָֽע׃	מַה־	מִּשְׁאוֹל֮	עֲמֻקָּ֥ה	תִּפְעָ֑ל	מַה־	שָׁ֝מַ֗יִם	גָּבְהֵ֥י	8
知れるか	何を	陰府よりも	深い	なせるか	何を	天よりも	高い	
H3045	H4100	H7585	H6013	H6466	H4100	H8064	H1363	

それは天よりも高い、あなたは何をなしうるか。それは陰府よりも深い、あなたは何を知りうるか。

יָֽם׃	מִנִּי־	וּרְחָבָ֥ה	מִדָּ֑הּ	מֵאֶ֥רֶץ	אֶ֝רְכָּ֗הּ			9
海よりも	よりも	そして–広い	その–度は	地よりも	長い			
H3220		H7342	H4055	H0776	H0752			

その量は地よりも長く、海よりも広い。

יְשִׁיבֶ֥נּוּ׃	וּמִ֑י	וְקָהֵ֥יל	וְיַסְגִּ֑יר	יַ֝חֲלֹ֗ף	אִם־			10
引き戻せようか	誰が	そして–召集するなら	そして–閉じ込め	通り過ぎ	もし			
H7725	H4310	H6950	H5462	H2498				

彼がもし行きめぐって人を捕え、さばきに召し集められるとき、だれが彼をはばむことができよう。

יִתְבּוֹנָֽן׃	וְלֹ֣א	אָ֭וֶן	וַיַּ֣רְא־	שָׁ֑וְא	מְתֵי־	יָדַ֥ע	ה֝֗וּא	כִּֽי־	11
見過ごすだろうか	そして–それを	悪を	そして–見る	偶りの	人々を	知っている	彼は	なぜなら	
H0995	H3808	H0205	H7200	H7723	H4962	H3045	H1931		

彼は卑しい人間を知っておられるからだ。彼は不義を見る時、これに心をとめられぬであろうか。

יִוָּלֵֽד׃	אָדָ֥ם	פֶּ֑רֶא	וְעַ֥יר	יִלָּ֝בֵ֗ב	נָבוּב֮	וְאִ֪ישׁ	12
生まれる	人として	野ろばの	そして–子ろばが	悟るが	空虚な	そして–人は	
H3205	H0120	H6501	H5895		H5014	H0376	

しかし野ろばの子が人として生れるとき、愚かな者も悟りを得るであろう。

כַּפֶּֽךָ׃	אֵלָ֑יו	וּפָרַשְׂתָּ֥	לִבֶּ֗ךָ	הֲכִינוֹתָ֥	אַ֝תָּ֗ה	אִם־	13
あなたの–手を	彼に–向かって	そして–広げるなら	あなたの–心を	備えるなら	あなたが	もし	
H3709	H0413	H6566					

もしあなたが心を正しくするならば、神に向かって手を伸べるであろう。

תַּשְׁכֵּֽן׃	וְאַל־	הַרְחִיקֵ֑הוּ	בְּיָדְךָ֥	אָ֝וֶן	אִם־		14
住まわせるな	そして–住まわせるな	遠ざけよ	あなたの–手に–あるなら	悪が	もし		
H7931	H0408	H7368	H3027	H0205			

עַוְלָ֥ה׃	בְּאָהָלֶֽיךָ
不正を	あなたの–天幕に
	H0168

もしあなたの手に不義があるなら、それを遠く去れ、あなたの天幕に悪を住まわせてはならない。

15 כִּי־ אָז֣ תִּשָּׂ֣א פָנֶ֣יךָ מִמּ֑וּם וְהָיִ֥יתָ מֻ֝צָ֗ק וְלֹ֣א תִירָֽא׃

כִּי־	אָז֣	תִּשָּׂ֣א	פָנֶ֣יךָ	מִמּ֑וּם	וְהָיִ֥יתָ	מֻ֝צָ֗ק	וְלֹ֣א
なぜなら	その時	上げられる	あなたの-顔を	汚れなく	そして-なるだろう	堅固に	そして-恐れない
		H5375	H6440		H1961	H3332	H3808

תִירָֽא׃
恐れない
H3372

そうすれば、あなたは恥じることなく顔をあげることができ、堅く立って、恐れることはない。

16 כִּי֣ עָ֭מָל תִּשְׁכַּ֣ח תִּזְכֹּ֑ר כְּ֝מַ֗יִם עָבְר֥וּ׃

כִּי־	עָ֭מָל	תִּשְׁכַּ֣ח	כְּמַ֗יִם	עָבְר֥וּ	תִּזְכֹּ֑ר	
なぜなら	苦しみを	忘れるだろう	水の-ように	過ぎ去った	思い出すだろう	
	H5999	H7911	H4325		H2142	

あなたは苦しみを忘れ、あなたのこれを覚えることは、流れ去った水のようになる。

17 וּ֝מִצָּהֳרַ֗יִם יָק֥וּם חָלֶ֑ד תִּֽהְיֶ֥ה כַבֹּֽקֶר׃ נָגַ֣הּ

וּ֝מִצָּהֳרַ֗יִם	יָק֥וּם	חָלֶ֑ד	נָגַ֣הּ	כַבֹּֽקֶר׃	תִּֽהְיֶ֥ה	
そして-真昼よりも	立ち上がる	人生が	輝きが	朝の-ように	なるだろう	
		H2465		H1242	H1961	

そしてあなたの命は真昼よりも光り輝き、たとい暗くても朝のようになる。

18 וְ֭בָטַחְתָּ כִּֽי־ יֵ֣שׁ תִּקְוָ֑ה וְ֝חָפַרְתָּ֗ לָבֶ֥טַח תִּשְׁכָּֽב׃

וְ֭בָטַחְתָּ	כִּֽי־	יֵ֣שׁ	תִּקְוָ֑ה	וְ֝חָפַרְתָּ֗	לָבֶ֥טַח	תִּשְׁכָּֽב׃	
そして-信頼するだろう	まことに	あるのだ	望みが	そして-探して	安らかに	横たわるだろう	
H0982		H3426		H2658	H0983	H7901	

あなたは望みがあるゆえに安んじ、保護されて安らかにいこうことができる。

19 וְרָבְצְתָ֣ וְאֵ֣ין מַחֲרִ֑יד וְחִלּ֥וּ פָ֝נֶ֗יךָ רַבִּֽים׃

וְרָבְצְתָ֣	וְאֵ֣ין	מַחֲרִ֑יד	וְחִלּ֥וּ	פָ֝נֶ֗יךָ	רַבִּֽים׃	
そして-伏しても	恐れる-者は-いない	恐れる者が	そして-嫉むだろう	あなたの-顔を	多くの-者が	
H7257	H0369	H2729		H6440		

あなたは伏してやすみ、あなたを恐れさせるものはない。多くの者はあなたの好意を求めるであろう。

20 וְעֵינֵ֣י רְ֭שָׁעִים תִּכְלֶ֣ינָה וּמָנ֣וֹס אָ֑בַד מִ֝נְהֶ֗ם וְתִקְוָתָ֥ם נָ֜פֶשׁ׃ מָ֣פַח־

וְעֵינֵ֣י	רְ֭שָׁעִים	תִּכְלֶ֣ינָה	וּמָנ֣וֹס	אָ֑בַד	מִ֝נְהֶ֗ם	וְתִקְוָתָ֥ם	
しかし-目は	悪しき-者の	衰える	そして-逃れ場は	失われる	彼らから	そして-その-望みは	
	H7563	H3615	H4498	H0006			

פ	נָ֜פֶשׁ׃	מָ֣פַח־	
	命の	息絶え	
	H5315	H4646	

しかし悪しき者の目は衰える。彼らは逃げ場を失い、その望みは息の絶えるにひとしい」。

Chapter 12

1 וַיַּ֣עַן אִיּ֣וֹב וַיֹּאמַֽר׃

וַיַּ֣עַן	אִיּ֣וֹב	וַיֹּאמַֽר׃
そして-答えた	ヨブは	そして-言った
	H0347	H0559

そこでヨブは答えて言った、

2 אָמְנָ֣ם כִּ֭י אַתֶּ֣ם עַ֑ם וְעִמָּכֶ֥ם תָּ֝מ֗וּת חָכְמָֽה׃

אָמְנָ֣ם	כִּ֭י	אַתֶּ֣ם	עַ֑ם	וְעִמָּכֶ֥ם	תָּ֝מ֗וּת	חָכְמָֽה׃
まことに	それこそ	あなたがたこそ	民だ	そして-あなたがたと-共に	死ぬのだろう	知恵が
H0551					H4191	H2451

「まことに、あなたがたのみ、人である、知恵はあなたがたと共に死ぬであろう。

3

מִכֶּם	אָנֹכִי	נֹפֵל	לֹא־	כְּמוֹכֶם	וְלֵב	לִי	גַּם־
あなたがたより	私は	劣らない	劣らない	あなたがたと–同じ	心が–ある	私にも	また–私にも
	H0595	H5307	H3808	H3644	H3824		H1571

אֵלֶּה׃	כְּמוֹ־	אֵין	מִי־	וְאֶת־
これらの	ような–ことが	ないのか	誰に	そして
H0428	H3644	H0369	H4310	H0854

しかしわたしも、あなたがたと同様に悟りをもつ。わたしはあなたがたに劣らない。だれがこのような事を知らないだろうか。

4

שְׂחֹק	וַיַּעֲנֵהוּ	לֵאלוֹהַּ	קֹרֵא	אֶהְיֶה	וּלְרֵעֵהוּ	שְׂחֹק
笑い草に	そして–答えてくださったのに	神に	呼びかけた–者が	なっている	友の–ための	笑い草に
H7814		H0433	H7121	H1961	H7453	H7814

תָּמִים׃	צַדִּיק
潔白な–者が	義なる
H8549	H6662

わたしは神に呼ばわって、聞かれた者であるのに、その友の物笑いとなっている。正しく全き人は物笑いとなる。

5

רָגֶל׃	לְמוֹעֲדֵי	נָכוֹן	שַׁאֲנַן	לְעַשְׁתְּוֹת	בּוּז	לַפִּיד
足の	つまずく–者の–ために	備えられている	安泰な–者の	思いの–中に–ある	侮りの	松明は
H7272	H4571		H7600	H6248	H0937	H3940

安らかな者の思いには、不幸な者に対する侮りがあって、足のすべる者を待っている。

6

לַאֲשֶׁר	אֵל	לְמַרְגִּיזֵי	וּבַטֻּחוֹת	לְשֹׁדְדִים	וְאָהֳלִים	יִשְׁלָיוּ
その–もの	神を	怒らせる–者のために	そして–安全である	略奪者の	天幕は	安らかである
	H0410	H7264	H0987	H7703	H0168	H7951

בְּיָדוֹ׃	אֱלוֹהַּ	הֵבִיא
その–手に	神が	もたらした
H3027	H0433	H0935

かすめ奪う者の天幕は栄え、神を怒らす者は安らかである。自分の手に神を携えている者も同様だ。

7

הַשָּׁמַיִם	וְעוֹף	וְתֹרֶךָּ	בְּהֵמוֹת	נָא	שְׁאַל־	וְאוּלָם
空の	また–鳥に	そうすれば–教えてくれる	獣に	どうか	尋ねてみよ	しかし–どうか
H8064	H5775		H0929	H4994	H7592	H0199

לָךְ׃	וְיַגֶּד־
あなたに	そして–告げてくれる
	H5046

しかし獣に問うてみよ、それはあなたに教える。空の鳥に問うてみよ、それはあなたに告げる。

8

הַיָּם׃	דְּגֵי	לְךָ	וְיסַפְּרוּ	וְתֹרֶךָּ	לָאָרֶץ	שְׂיַח	אוֹ
海の	魚も	あなたに	そして–語ってくれる	そうすれば–教えてくれる	地に	語りかけよ	あるいは
H3220	H1709				H0776	H7878	

あるいは地の草や木に問うてみよ、彼らはあなたに教える。海の魚もまたあなたに示す。

9

עָשְׂתָה	יְהוָה׀	יַד־	כִּי	אֵלֶּה	בְּכָל־	יָדַע	לֹא־	מִי
なさったのだと	主の	手が	まことに	これらの	すべての–中で	知らないか	知らないか	誰が
	H3068	H3027		H0428	H3605	H3045	H3808	H4310

זֹּאת׃
これを
H2063

これらすべてのもののうち、いずれか主の手がこれをなしたことを知らぬ者があろうか。

אִישׁ׃	בְּשַׂר־	כָּל־	וְרוּחַ	חָי	כָּל־	נֶפֶשׁ	בְּיָדוֹ	אֲשֶׁר	10
人の	肉なる-人の	すべての	そして-息が	生き物の	すべての	魂が	手の-中に-ある	その	
H0376	H1320	H3605	H7307		H3605	H5315	H3027		

すべての生き物の命、およびすべての人の息は彼の手のうちにある。

לוֹ׃	יִטְעַם־	אֹכֶל	וְחֵךְ	תִּבְחָן	מִלִּין	אֹזֶן	הֲלֹא־	11
それの-ために	味わう	食べ物を	そして-口蓋が	見分ける	言葉を	耳が	まことに	
	H2938	H0400	H2441	H0974	H4405	H0241	H3808	

口が食物を味わうように、耳は言葉をわきまえないであろうか。

תְּבוּנָה׃	יָמִים	וְאֹרֶךְ	חָכְמָה	בִּישִׁישִׁים	12
理解が-ある	日々の-内に	そして-長い	知恵が-あり	老人の-内に	
H8394	H3117	H0753	H2451	H3453	

老いた者には知恵があり、命の長い者には悟りがある。

וּתְבוּנָה׃	עֵצָה	לוֹ	וּגְבוּרָה	חָכְמָה	עִמּוֹ	13
そして-理解が-ある	勧めが-あり	彼に	そして-力が-ある	知恵が-あり	彼の-内に	
H8394	H6098		H1369	H2451		

知恵と力は神と共にあり、深慮と悟りも彼のものである。

אִישׁ	עַל־	יִסְגֹּר	יִבָּנֶה	וְלֹא	יַהֲרוֹס	הֵן	14
人を	の-上に	閉じ込めるなら	建てられない	そして-建てられない	壊すなら	見よ	
H0376		H5462	H1129	H3808	H2040	H2005	

יִפָּתֵחַ׃	וְלֹא
開かれない	そして-開かれない
	H3808

彼が破壊すれば、再び建てることができない。彼が人を閉じ込めれば、開き出すことができない。

אֶרֶץ׃	וַיְהַפְכוּ	וַיְשַׁלַּחֵם	וַיִּבָּשׁוּ	בַּמַּיִם	יַעְצָר	הֵן	15
地を	そして-覆す	そして-解き放つなら	そして-干上がる	水を	せき止めるなら	見よ	
H0776	H2015	H7971	H3001	H4325	H6113	H2005	

彼が水を止めれば、それはかれ、彼が水を出せば、地をくつがえす。

וּמַשְׁגֶּה׃	שֹׁגֶג	לוֹ	וְתוּשִׁיָּה	עֹז	עִמּוֹ	16
そして-迷わす-者も	迷う-者も	彼に	そして-知恵が-ある	力が-あり	彼の-内に	
H7686	H7683		H8454	H5797		

力と深き知恵は彼と共にあり、惑わされる者も惑わす者も彼のものである。

יְהוֹלֵל׃	וְשֹׁפְטֵי	שׁוֹלָל	יוֹעֲצִים	מוֹלִיךְ	17
狂わせる	そして-裁き-主たちを	裸足で	謀臣たちを	導く	
	H8199	H7758	H3289	H3212	

彼は議士たちを裸にして連れ行き、さばきびとらを愚かにし、

בְּמָתְנֵיהֶם׃	אֵזוֹר	וַיֶּאְסֹר	פִּתֵּחַ	מְלָכִים	מוּסַר	18
その-腰に	帯を	そして-縛る	解き	王たちの	束縛を	
H4975	H0232	H0631		H4428	H4148	

王たちのきずなを解き、彼らの腰に腰帯を巻き、

יְסַלָּף׃	וְאֵתָנִים	שׁוֹלָל	כֹּהֲנִים	מוֹלִיךְ	19
覆す	そして-強い-者を	裸足で	祢司たちを	導く	
H5557	H0386	H7758	H3548	H3212	

祭司たちを裸にして連れ行き、力ある者を滅ぼし、

20 מֵסִיר שְׂפָה לְנֶאֱמָנִים וְטַעַם זְקֵנִים יִקָּח׃
取り除く 言葉を 信頼される–者から そして–分別を 長老たちの 奪う
H5493 H8193 H0539 H2940 H2205 H3947

みずから頼む者たちの言葉を奪い、長老たちの分別を取り去り、

21 שֹׁפֵךְ בּוּז עַל־נְדִיבִים וּמְזִיחַ אֲפִיקִים רָפָּה׃
注ぎかける 侮りを の–上に 高貴な–者の そして–緩める 帯を 強い–者の
H8210 H0937 H5081 H2414 H0650 H7503

君たちの上に侮りを注ぎ、強い者たちの帯を解き、

22 מְגַלֶּה עֲמֻקוֹת מִחֹשֶׁךְ וַיֹּצֵא לָאוֹר צַלְמָוֶת׃
あらわにする 深い–ものを の–中から 闇の そして–導き出す 光に 死の–影を
H1540 H6013 H2822 H3318 H0216 H6757

暗やみの中から隠れた事どもをあらわし、暗黒を光に引き出し、

23 מַשְׂגִּיא לַגּוֹיִם וַיְאַבְּדֵם שֹׁטֵחַ לַגּוֹיִם וַיְנַחֵם׃
大きくする 諸国民を そして–滅ぼす 広げる 諸国民を そして–導く
H7679 H7849 H0006 H5148

国々を大きくし、またこれを滅ぼし、国々を広くし、また捕え行き、

24 מְסִיר לֵב רָאשֵׁי עַם־הָאָרֶץ וַיַּתְעֵם בְּתֹהוּ לֹא־דָרֶךְ׃
取り除く 心を 長たちの 民の– 地の そして–迷わせる 荒野に 道のない 道のない
H5493 H3820 H7218 H5971 H0776 H8582 H8414 H3808 H1870

地の民の長たちの悟りを奪い、彼らを道なき荒野にさまよわせ、

25 יְמַשְׁשׁוּ־חֹשֶׁךְ וְלֹא־אוֹר וַיַּתְעֵם כַּשִּׁכּוֹר׃
手探りする 闇の–中を そして–光なく 光なく そして–迷わせる 酔っぱらいの–ように
H4959 H2822 H3808 H0216 H8582 H7910

光なき暗やみに手探りさせ、酔うた者のようによろめかせる。

Chapter 13

1 הֵן־כֹּל רָאֲתָה עֵינִי שָׁמְעָה אָזְנִי וַתָּבֶן לָהּ׃
見よ すべてを 見た 私の–目は 聞いた 私の–耳は そして–悟った それを
H2005 H3605 H7200 H5869 H8085 H0241 H0995

見よ、わたしの目は、これをことごとく見た。わたしの耳はこれを聞いて悟った。

2 כְּדַעְתְּכֶם יָדַעְתִּי גַּם־אֲנִי לֹא־נָפַל אָנֹכִי׃
あなたがたの–知る–とおりに 私も–知っている また 私も 劣らない 私は
H1847 H3045 H1571 H0589 H3808 H5307 H0595

מִכֶּם׃
あなたがたより

あなたがたの知っている事は、わたしも知っている。わたしはあなたがたに劣らない。

אוּלָם אֲנִי אֶל־שַׁדַּי אֶדַּבֵּר וְהוֹכֵחַ אֶל־אֵל אֶחְפָּץ׃ 3
しかし 私は 全能者に 語りたい そして–討論することを に–向かって 神に 望む
H0199 H0589 H7706 H1696 H3198 H0413 H0410

しかしわたしは全能者に物を言おう、わたしは神と論ずることを望む。

וְאוּלָם אַתֶּם טֹפְלֵי־שָׁקֶר רֹפְאֵי אֱלִל כֻּלְּכֶם׃ 4
しかし–まことに あなたがたは 塗り固める–者だ 偽りを 医者だ 役に立たない 皆
H0199 H2950 H8267 H7495 H0457 H3605

あなたがたは偽りをもってうわべを繕う者、皆、無用の医師だ。

מִי־יִתֵּן הַחֲרֵשׁ תַּחֲרִישׁוּן וְתִהְיֶה לָכֶם לְחָכְמָה׃ 5
ああ 与えられたなら 黙って 黙っていれば そして–なっただろう あなたがたにとって 知恵と
H4310 H5414 H2790 H2790 H1961 H3808 H2451

どうか、あなたがたは全く沈黙するように。これがあなたがたの知恵であろう。

שִׁמְעוּ־נָא תוֹכַחְתִּי וְרִבוֹת שְׂפָתַי הַקְשִׁיבוּ׃ 6
聞いてくれ どうか 私の–訴えを そして–訴えに 私の–唇の 耳を–傾けよ
H8085 H4994 H8432 H7379 H8193 H7181

今、わたしの論ずることを聞くがよい。わたしの口で言い争うことに耳を傾けるがよい。

הַלְאֵל תְּדַבְּרוּ עַוְלָה וְלוֹ תְּדַבְּרוּ רְמִיָּה׃ 7
まことに–神の–ために 語るのか 不正を そして–彼の–ために 語るのか 偽りを
H0410 H1696 H5766 H1696 H3808

あなたがたは神のために不義を言おうとするのか。また彼のために偽りを述べるのか。

הֲפָנָיו תִּשָּׂאוּן אִם־לָאֵל תְּרִיבוּן׃ 8
偏るのか 彼の–顔に あるいは 神の–ために 争うのか
H6440 H5375 H0518 H0410 H7378

あなたがたは彼にひいきしようとするのか。神のために争おうとするのか。

הֲטוֹב כִּי־יַחְקָר אִתְּכֶם אִם־כְּהָתֵל בֶּאֱנוֹשׁ תְּהָתֵלּוּ בוֹ׃ 9
良いのか もし 調べるなら あなたがたを あるいは 欺くように 人を 欺くのか 彼を
H2896 H3588 H2713 H0854 H0518 H3887 H0582 H8591 H0

神があなたがたを調べられるとき、あなたがたは無事だろうか。あなたがたは人を欺くように彼を欺くことができるか。

הוֹכֵחַ יוֹכִיחַ אִתְּכֶם אִם־בַּסֵּתֶר פָּנִים תִּשָּׂאוּן׃ 10
必ず 叱責するだろう あなたがたを もし 密かに 偏るなら 偏るなら
H3198 H3198 H0854 H0518 H5643 H6440 H5375

あなたがたがもし、ひそかにひいきするならば、彼は必ずあなたがたを責められる。

הֲלֹא שְׂאֵתוֹ תְבַעֵת אֶתְכֶם וּפַחְדּוֹ יִפֹּל עֲלֵיכֶם׃ 11
まことに その–威光が 恐れさせる あなたがたを そして–その–恐れが 降りかかる あなたがたの–上に
H3808 H7613 H1204 H0854 H6343 H5307 H5921

その威厳はあなたがたを恐れさせないであろうか。彼をおそれる恐れがあなたがたに臨まないであろうか。

12 זִכְרֹנֵיכֶם ׀ מִשְׁלֵי־אֵפֶר לְגַבֵּי־חֹמֶר גַּבֵּיכֶם׃
あなたがたの–格言は 灰の ことわざだ 壁だ 粘土の あなたがたの–砲台は
H2146 H0665 H4912 H1354 H2563 H1354

あなたがたの格言は灰のことわざだ。あなたがたの盾は土の盾だ。

13 הַחֲרִישׁוּ מִמֶּנִּי וַאֲדַבְּרָה־אָנִי וְיַעֲבֹר עָלַי מָה׃
黙ってくれ 私から–離れて そして–語らせてくれ 私に そして–降りかかれ 私の–上に 何でも
H2790 H4480 H1696 H0589 H5674 H5921 H4100

黙して、わたしにかかわるな、わたしは話そう。何事でもわたしに来るなら、来るがよい。

14 עַל־מָה אֶשָּׂא בְשָׂרִי בְשִׁנָּי וְנַפְשִׁי אָשִׂים בְּכַפָּי׃
なぜ なぜ 取るのか 私の–肉を 歯で そして–私の–命を 置くのか 私の–手の–上に
H5375 H1320 H8127 H5315 H7760 H3709

わたしはわが肉をわが歯に取り、わが命をわが手のうちに置く。

15 הֵן יִקְטְלֵנִי לֹא(לוֹ) אֲיַחֵל אַךְ־דְּרָכַי לְפָנָיו אוֹכִיחַ׃
たとえ 殺されても それでも 待ち望む ただ 私の–道を に–向かって その–御前に 討論しよう
H2005 H6991 H3808 H3176 H0389 H1870 H0413 H6440 H3198

見よ、彼はわたしを殺すであろう。わたしは絶望だ。しかしなおわたしはわたしの道を彼の前に守り抜こう。

16 גַּם־הוּא לִי לִישׁוּעָה כִּי־לֹא לִפְנָיו חָנֵף יָבוֹא׃
また これこそ 私にとって 救いと–なる なぜなら しない その–御前に 不敬虔な–者は 来ない
H1571 H1931 H3444 H3588 H3808 H6440 H2611 H0935

これこそわたしの救となる。神を信じない者は、神の前に出ることができないからだ。

17 שִׁמְעוּ שָׁמוֹעַ מִלָּתִי וְאַחֲוָתִי בְּאָזְנֵיכֶם׃
聞け しっかりと 私の–言葉を そして–私の–訴えを あなたがたの–耳に
H8085 H8085 H4405 H0262 H0241

あなたがたはよくわたしの言葉を聞き、わたしの述べる所を耳に入れよ。

18 הִנֵּה־נָא עָרַכְתִּי מִשְׁפָּט יָדַעְתִּי כִּי־אֲנִי אֶצְדָּק׃
見よ どうか 私は–整えた 訴えを 私は–知っている まことに 私が 義と–されると
H2009 H4994 H6186 H4941 H3045 H3588 H0589 H6663

見よ、わたしはすでにわたしの立ち場を言い並べた。わたしは義とされることをみずから知っている。

19 מִי־הוּא יָרִיב עִמָּדִי כִּי־עַתָּה אַחֲרִישׁ וְאֶגְוַע׃
誰が 一体 争うのか 私と なぜなら 今 黙って そして–息絶えるだろう
H4310 H1931 H7378 H5978 H3588 H6258 H2790 H1478

だれかわたしと言い争う事のできる者があろうか。もしあるならば、わたしは黙して死ぬであろう。

20 אַךְ־שְׁתַּיִם אַל־תַּעַשׂ עִמָּדִי אָז מִפָּנֶיךָ לֹא אֶסָּתֵר׃
ただ 二つの–ことを しないでください しないでください 私に–対して そうすれば あなたの–御前から 隠れない 隠れない
H0389 H8147 H0408 H6213 H5978 H0227 H6440 H3808 H5641

ただわたしに二つの事を許してください。そうすれば、わたしはあなたの顔をさけて隠れることはないでしょう。

21 כַּפְּךָ֣ מֵעָלַ֣י הַרְחֵ֑ק וְאֵמָתְךָ֥ אַל־תְּבַעֲתַֽנִי׃
あなたの–手を 私から 遠ざけてください そして–あなたの–恐れが 私を おびえさせるな
H3709 H7368 H0367 H0408 H1204

あなたの手をわたしから離してください。あなたの恐るべき事をもってわたしを恐れさせないでください。

22 וְקָרָ֣א וְאָנֹכִ֣י אֶעֱנֶ֑ה אוֹ־אֲדַבֵּ֥ר וְהָשִׁיבֵ֣נִי׃
そして–呼びかけてください そうすれば–私が 答えよう あるいは 私が–語ろう そして–答えてください
H7121 H0595 H6030 H1696 H7725

そしてお呼びください、わたしは答えます。わたしに物を言わせて、あなたご自身、わたしにお答えください。

23 כַּמָּ֤ה לִי֙ עֲוֹנ֣וֹת וְחַטָּא֔וֹת פִּשְׁעִ֖י וְחַטָּאתִ֑י הוֹדִיעֵֽנִי׃
どれほど 私に 咎と そして–罪が–あるのか 私の–背きと そして–私の–罪を 知らせてください
H4100 H5771 H6588 H2403 H3045

わたしのよこしまと、わたしの罪がどれほどあるか。わたしのとがと罪とをわたしに知らせてください。

24 לָ֣מָּה־פָנֶ֣יךָ תַסְתִּ֑יר וְתַחְשְׁבֵ֖נִי לְאוֹיֵ֣ב לָֽךְ׃
なぜ あなたの–顔を 隠すのか そして–みなすのか 敵と あなたの
H4100 H6440 H5641 H2803 H0341

なにゆえ、あなたはみ顔をかくし、わたしをあなたの敵とされるのか。

25 הֶעָלֶ֣ה נִדָּ֣ף תַּעֲרֹ֑ץ וְאֶת־קַ֥שׁ יָבֵ֖שׁ תִּרְדֹּֽף׃
木の葉を 吹き飛ばされた 恐れさせるのか そして 藁を 乾いた 追いかけるのか
H5929 H5086 H6206 H0853 H7179 H3002 H7291

あなたは吹き回される木の葉をおどし、干あがったもみがらを追われるのか。

26 כִּֽי־תִכְתֹּ֣ב עָלַ֣י מְרֹר֔וֹת וְתוֹרִישֵׁ֖נִי עֲוֹנ֥וֹת נְעוּרָֽי׃
なぜなら 書きつける 私の–上に 苦い–ことを そして–受け継がせる 咎を 若き–日の
H3789 H5921 H4846 H3423 H5771 H5288

あなたはわたしについて苦き事どもを書きしるし、わたしに若い時の罪を継がせ、

27 וְתָּ֣שֶׂם בַּסַּ֣ד רַגְלַ֑י וְתִשְׁמֹ֥ר כָּל־אָרְחֹתָ֖י עַל־שָׁרְשֵׁ֣י רַגְלַ֣י תְּחַקֶּֽה׃
そして–置く 足かせに 私の–足を そして–見張る すべての 私の–道を の–上に 根の 私の–足の 刻み込む
H7760 H5465 H7272 H8104 H3605 H0734 H5921 H8328 H7272 H2707

わたしの足を足かせにはめ、わたしのすべての道をうかがい、わたしの足の周囲に限りをつけられる。

28 וְה֣וּא כְ֭רָקָב יִבְלֶ֣ה כְּבֶ֑גֶד אָכָ֖לוֹ עָֽשׁ׃
そして–彼は 腐った–ものの–ように 朽ちる 衣の–ように 食い尽くす 蟻が
H1931 H7538 H1086 H0899 H0398

このような人は腐れた物のように朽ち果て、虫に食われた衣服のようにすたれる。

Chapter 14

1 אָדָ֤ם יְלוּד־אִ֙שָּׁה֙ קְצַ֣ר יָמִ֔ים וְשֹׂבַ֖ע רֹ֣גֶז׃
人は 生まれた 女から 短い 日々の そして–満ちている 苦悩で
H0120 H3205 H0802 H7116 H3117 H7649 H7267

女から生れる人は日が短く、悩みに満ちている。

2

כְּצִיץ	יָצָא	וַיִּמָּל	וַיִּבְרַח	כַּצֵּל	וְלֹא	יַעֲמֹד׃
花の–ように	出て	そして–しおれる	そして–逃げる	影の–ように	そして–留まらない	留まらない
H3318			H1272	H6738	H3808	H5975

彼は花のように咲き出て枯れ、影のように飛び去って、とどまらない。

3

בְּמִשְׁפָּט	תָּבִיא	וְאֹתִי	עֵינֶךָ	פָּקַחְתָּ	זֶה	עַל־	אַף־
裁きに	連れて来るのか	そして–私を	あなたの–目を	開いたのか	この–者の	の–上に	それでも
H4941	H0935	H0853		H6491	H2088		H0637

עִמָּךְ׃
あなたと–共に

あなたはこのような者にさえ目を開き、あなたの前に引き出して、さばかれるであろうか。

4

מִי־	יִתֵּן	טָהוֹר	מִטָּמֵא	לֹא	אֶחָד׃
ああ	与えられたなら	清い–ものを	汚れた–ものから	いない	一人も
H4310	H5414	H2889	H2931	H3808	H0259

だれが汚れたもののうちから清いものを出すことができようか、ひとりもない。

5

אִם	וְחֻרוּצִים	יָמָיו	מִסְפַּר־	חֻדָּשָׁיו	אִתָּךְ	]חקו[
もし	定められているなら	その–日々が	数が	その–月々の	あなたの–元に–ある	その–境界を
	H2782	H3117	H4557	H2320	H0854	H2706

)חֻקָּיו(	עָשִׂיתָ	וְלֹא	יַעֲבֹר׃
その–境界を	定めたのだ	そして–超えられない	超えられない
H2706		H3808	

その日は定められ、その月の数もあなたと共にあり、あなたがその限りを定めて、越えることのできないようにされたのだから、

6

כְּשָׂכִיר	יִרְצֶה	עַד־	וְיַחְדֹּל	מֵעָלָיו	שְׁעֵה
雇い人の–ように	楽しむまで	楽しむまで	そして–休ませてください	彼から	目を–そらしてください
H7916	H7521	H5704	H2308		H8159

יוֹמוֹ׃
その–日を
H3117

彼から目をはなし、手をひいてください。そうすれば彼は雇人のように、その日を楽しむことができるでしょう。

7

וְיֹנַקְתּוֹ	יַחֲלִיף	וְעוֹד	יִכָּרֵת	אִם־	תִּקְוָה	לָעֵץ	יֵשׁ	כִּי
そして–その–若枝は	芽吹く	なお	切り倒されても	たとえ	望みが	木には	ある	なぜなら
H3127	H2498	H5750	H3772			H6086	H3426	

תֶּחְדָּל׃	לֹא
絶えない	絶えない
H2308	H3808

木には望みがある。たとい切られてもまた芽をだし、その若枝は絶えることがない。

8

גִּזְעוֹ׃	יָמוּת	וּבֶעָפָר	שָׁרְשׁוֹ	בָּאָרֶץ	יַזְקִין	אִם־
その–切り株が	死んでも	そして–塵の–中で	その–根が	地の–中で	老いても	たとえ
H1503	H4191	H6083	H8328	H0776	H2204	

たといその根が地の中に老い、その幹が土の中に枯れても、

9 מֵרֵ֣יחַ מַ֭יִם יַפְרִ֑חַ וְעָ֥שָׂה קְ֝צִ֗יר כְּמוֹ־נָטַֽע׃
水の-香りで 水の 芽吹く そして-伸ばす 枝を ように 植えたばかりの-ように
H7381 H4325 H3644

なお水の潤いにあえば芽をふき、若木のように枝を出す。

10 וְגֶ֣בֶר יָ֭מוּת וַיֶּחֱלָ֑שׁ וַיִּגְוַ֥ע אָ֝דָ֗ם וַאַיּוֹ׃
しかし-人は 死ぬと そして-倒れる そして-息絶える 人は そして-どこに-いるのか
H1397 H4191 H2522 H1478 H0120 H0346

しかし人は死ねば消えうせる。息が絶えれば、どこにおるか。

11 אָ֣זְלוּ־מַ֭יִם מִנִּ֣י יָ֑ם וְ֝נָהָ֗ר יֶחֱרַ֥ב וְיָבֵֽשׁ׃
尽きる 水が から 海から 干上がり そして-川は 渇く
H0235 H4325 H4325 H3220 H2722 H5104 H3001

水が湖から消え、川がかれて、かわくように、

12 וְאִ֥ישׁ שָׁכַ֗ב וְלֹ֤א יָקוּ֙ם עַד־בְּלִ֣תִּי שָׁ֭מַיִם לֹ֣א יָקִ֑יצוּ וְלֹ֥א יֵ֝עֹ֗רוּ מִשְּׁנָתָֽם׃
そして-人は 横たわり そして-起き上がらない まで なくなるまで 天が 目覚めない 目覚めない そして-起こされない その-眠りから
H0376 H7901 H3808 H5704 H1115 H8064 H6974 H3808 H5782 H8142

人は伏して寝、また起きず、天のつきるまで、目ざめず、その眠りからさまされない。

13 מִֽי־יִ֭תֵּן בִּשְׁא֣וֹל תַּצְפִּ֑נֵנִי יַ֥סְתִּירֵ֝נִ֗י עַד־שׁ֣וּב אַ֭פֶּךָ תָּשִׁ֣ית לִ֑י חָ֝֗ק וְתִזְכְּרֵ֥נִי׃
ああ 与えられたなら 陰府に 隠してくださるなら 隠してくださるなら まで 収まるまで あなたの-怒りが 定めてくださるなら 私に 時を そして-思い出してくださるなら
H4310 H5414 H7585 H6845 H5641 H5704 H7725 H0639 H7896 H3605 H2142

どうぞ、わたしを陰府にかくし、あなたの怒りのやむまで、潜ませ、わたしのために時を定めて、わたしを覚えてください。

14 אִם־יָ֭מוּת גֶּ֣בֶר יִחְיֶ֑ה כָּל־יְמֵ֥י צְ֝בָאָ֗י אֲיַחֵ֥ל עַד־בֹּ֣א חֲלִיפָתִֽי׃
もし 死んだら 人は 生き返るだろうか すべての 日々を 私の-勤めの 待ち望むだろう 来るまで 来るまで 私の-交代が
H0518 H4191 H1397 H2421 H3605 H3117 H6635 H3176 H0935 H5704 H2487

人がもし死ねば、また生きるでしょうか。わたしはわが服役の諸日の間、わが解放の来るまで待つでしょう。

15 תִּקְרָ֣א וְאָ֭נֹכִי אֶֽעֱנֶ֑ךָּ לְ֝מַעֲשֵׂ֗ה יָדֶ֥יךָ תִכְסֹֽף׃
呼んでください そうすれば-私が 答えよう 御手の-業を あなたの-手の 慈しんでくださるなら
H7121 H0595 H6030 H4639 H3027 H3700

あなたがお呼びになるとき、わたしは答えるでしょう。あなたはみ手のわざを顧みられるでしょう。

16 כִּֽי־עַ֭תָּה צְעָדַ֣י תִּסְפּ֑וֹר לֹ֥א תִ֝שְׁמֹ֗ר עַל־חַטָּאתִֽי׃
なぜなら 今 私の-歩みを 数えている 見張らないでください 見張らないでください の-上に 私の-罪の
H0834 H6258 H6806 H5608 H8104 H3808 H5921 H2403

その時あなたはわたしの歩みを数え、わたしの罪を見のがされるでしょう。

17 חָתַם בִּצְרוֹר פִּשְׁעִי וַתִּטְפֹּל עַל־עֲוֹנִי׃
封印されている 袋の–中に 私の–背きは そして–塗り固めた の–上に 私の–咎の
H2856 H6588 H2950 H5771

わたしのとがは袋の中に封じられ、あなたはわたしの罪を塗りかくされるでしょう。

18 וְאוּלָם הַר־נוֹפֵל יִבּוֹל צוּר יֶעְתַּק מִמְּקֹמוֹ׃
しかし–まことに 山が 崩れるなら 朽ちる そして–岩が 動かされる その–場所から
H0199 H2022 H5307 H0110 H6697 H6275 H4725

しかし山は倒れてくずれ、岩もその所から移される。

19 אֲבָנִים שָׁחֲקוּ מַיִם תִּשְׁטֹף־ סְפִיחֶיהָ עֲפַר־ אֶרֶץ וְתִקְוַת אֱנוֹשׁ הֶאֱבַדְתָּ׃
石を 削り取る 水が そして–洗い流す その–流れが 塵を 地の そして–望みを 人の 滅ぼした
H0068 H7833 H4325 H7857 H6083 H0776 H8615 H0582 H0006

水は石をうがち、大水は地のちりを洗い去る。このようにあなたは人の望みを断たれる。

20 תִּתְקְפֵהוּ לָנֶצַח וַיַּהֲלֹךְ מְשַׁנֶּה פָּנָיו וַתְּשַׁלְּחֵהוּ׃
打ち勝つ 永遠に そして–去る 変えて その–顔を そして–送り出す
H8630 H5331 H1980 H8138 H6440 H7971

あなたはながく彼に勝って、彼を去り行かせ、彼の顔かたちを変らせて追いやられる。

21 יִכְבְּדוּ בָנָיו וְלֹא יֵדָע וְיִצְעֲרוּ וְלֹא־ יָבִין לָמוֹ׃
尊くても その–息子たちが そして–知らない 知らない そして–卑しくても そして–悟らない それを 悟らない
H3513 H1121 H3808 H3045 H6819 H3808 H0995

彼の子らは尊くなっても、彼はそれを知らない、卑しくなっても、それを悟らない。

22 אַךְ־ עָלָיו בְּשָׂרוֹ תָּאֵב וְעָלָיו נַפְשׁוֹ תֶּאְבָּל׃ פ
ただ その–上に その–肉が 痛むだけだ その–上に そして–その–魂が 嘆くだけだ
H0389 H1320 H3510 H5921 H5315 H0056

ただおのが身に痛みを覚え、おのれのために嘆くのみである」。

Chapter 15

1 וַיַּעַן אֱלִיפַז הַתֵּימָנִי וַיֹּאמַר׃
そして–答えた エリファズは テマン人の そして–言った
H0559 H8489 H0464 H0559

そこでテマンびとエリパズは答えて言った、

2 הֲחָכָם יַעֲנֶה דַעַת־ רוּחַ וְיִמַּלֵּא קָדִים בִּטְנוֹ׃
賢い–者が 答えるだろうか 知識で 風の–ような そして–満たすだろうか 東風で その–腹を
H2450 H3045 H7307 H4390 H6921 H0990

「知者はむなしき知識をもって答えるであろうか。東風をもってその腹を満たすであろうか。

3

יוֹעִיל	לֹא־	וּמִלִּים	יִסְכֹּן	לָא	בְּדָבָר	הוֹכֵחַ
益のない	益のない	そして–言葉で	役に立たない	役に立たない	言葉で	討論するのか
H3276	H3808	H4405	H5532	H3808	H1697	H3198

בָּם׃
それらによって

役に立たない談話をもって論じるであろうか。無益な言葉をもって争うであろうか。

4

אֵל׃	לִפְנֵי־	שִׂיחָה	וְתִגְרַע	יִרְאָה	תָּפֵר	אַתָּה	אַף־
神の	御前での	黙想を	そして–減らす	畏れを	破り捨てる	あなたは	それどころか
H0410	H6440	H7881	H1639	H3374			H0637

ところがあなたは神を恐れることを捨て、神の前に祈る事をやめている。

5

עֲרוּמִּים׃	לְשׁוֹן	וְתִבְחַר	פִּיךָ	עֲוֹנֶךָ	יְאַלֵּף	כִּי
狡識な–者の	舌を	そして–選んでいる	あなたの–口に	あなたの–咎が	教えている	なぜなら
H6175	H3956	H0977	H6310	H5771	H0502	

あなたの罪はあなたの口を教え、あなたは悪賢い人の舌を選び用いる。

6

יַעֲנוּ־	וּשְׂפָתֶיךָ	אָנִי	וְלֹא־	פִּיךָ	יַרְשִׁיעֲךָ	
証言する	そして–あなたの–唇が	私ではない	そして–私ではない	あなたの–口が	罪ありとする	
	H8193	H0589	H3808	H6310	H7561	

בָּךְ׃
あなたに–対して

あなたの口みずからあなたの罪を定める、わたしではない。あなたのくちびるがあなたに逆らって証明する。

7

חוֹלָלְתָּ׃	גְּבָעוֹת	וְלִפְנֵי	תִּוָּלֵד	אָדָם	הֲרִאישׁוֹן
産み出されたのか	丘の	そして–前に	生まれたのか	人として	最初の
	H1389	H6440	H3205	H0120	H7223

あなたは最初に生れた人であるのか。山よりも先に生れたのか。

8

חָכְמָה׃	אֵלֶיךָ	וְתִגְרַע	תִּשְׁמַע	אֱלוֹהַּ	הַבְסוֹד	
知恵を	あなたの–元に	そして–引き寄せたのか	聞いたのか	神の	の–嘗りを	
H2451	H0413	H1639	H8085	H0433	H5475	

あなたは神の会議にあずかったのか。あなたは知恵を独占しているのか。

9

תָּבִין	נֵדָע	וְלָא	יָדַעְתָּ	מַה־	
悟っているか	知らないことを	そして–私たちが	あなたは–知っているか	何を	
H0995	H3045	H3808	H3045	H4100	

הִוא׃	עִמָּנוּ	וְלֹא־
ないものを	私たちの–内には	そして–私たちの–内には
H1931		H3808

あなたが知るものはわれわれも知るではないか。あなたが悟るものはわれわれも悟るではないか。

10

מֵאָבִיךָ	כַּבִּיר	בָּנוּ	יָשִׁישׁ	גַּם־	שֵׂב	גַּם־	
あなたの–父よりも	はるかに–年老いた	私たちの–中に–いる	老人も	また	白髪の–者も	また	
H0001	H3524		H3453	H1571	H7867	H1571	

יָמִים׃
日々において
H3117

われわれの中にはしらがの人も、年老いた人もあって、あなたの父よりも年上だ。

11	הַמְעַט	מִמְּךָ	תַּנְחֻמוֹת	אֵל	וְדָבָר	לָאַט	עִמָּךְ׃
	小さいのか	あなたにとって	慰めが	神の	そして–言葉が	優しい	あなたに–対する
	H4592		H8575	H0410	H1697		

神の慰めおよびあなたに対するやさしい言葉も、あなたにとって、あまりに小さいというのか。

12	מַה־	יִּקָּחֲךָ	לִבֶּךָ	וּמַה־	יִרְזְמוּן	עֵינֶיךָ׃	
	なぜ	奪われるのか	あなたの–心が	そして–なぜ	ちらつくのか	あなたの–目が	
	H4100	H3947		H4100	H7335		

どうしてあなたの心は狂うのか。どうしてあなたの目はしばたたくのか。

13	כִּי־	תָשִׁיב	אֶל־	אֵל	רוּחֶךָ	וְהוֹצֵאתָ	מִפִּיךָ	מִלִּין׃
	なぜなら	向けるのか	に–対して	神に	あなたの–霊を	そして–出すのか	あなたの–口から	言葉を
		H7725	H0413	H0410	H7307	H3318	H6310	H4405

あなたが神にむかって気をいらだて、このような言葉をあなたの口から出すのはなぜか。

14	מָה־	אֱנוֹשׁ	כִּי־	יִזְכֶּה	וְכִי־	יִצְדַּק	יְלוּד	אִשָּׁה׃
	何であろう	人とは	それで	清く–あれるか	それで	義と–されるか	生まれた–者が	女から
	H4100	H0582		H2135		H6663	H3205	H0802

人はいかなる者か、どうしてこれは清くありえよう。女から生れた者は、どうして正しくありえよう。

15	הֵן	בקדשו]	בְּקְדֹשָׁיו)	לֹא	יַאֲמִין	וְשָׁמַיִם	לֹא־
	見よ	その–聖なる–者をさえ	その–聖なる–者を	信頼しない	信頼しない	そして–天も	清くない
	H2005	H6918	H6918	H3808	H0539	H8064	H3808

זַכּוּ	בְעֵינָיו׃
清くない	その–目には
H2141	

見よ、神はその聖なる者にすら信を置かれない、もろもろの天も彼の目には清くない。

16	אַף	כִּי־	נִתְעָב	וְנֶאֱלָח	אִישׁ־	שֹׁתֶה	כַּמַּיִם	עַוְלָה׃
	ましてや	忘まわしく	忘まわしく	そして–腐れた	人は	飲む–者は	水の–ように	不正を
	H0637		H8581	H0444	H0376	H8354	H4325	

まして憎むべき汚れた者、また不義を水のように飲む人においては。

17	אֲחַוְךָ	שְׁמַע־	לִי	וְזֶה־	חָזִיתִי	וַאֲסַפְּרָה׃
	告げよう	聞いてくれ	私に	そして–これを	私は–見た	そして–語ろう
	H2331	H8085		H2088	H2372	

わたしはあなたに語ろう、聞くがよい。わたしは自分の見た事を述べよう。

18	אֲשֶׁר־	חֲכָמִים	יַגִּידוּ	וְלֹא	כִחֲדוּ	מֵאֲבוֹתָם׃
	それを	賢い–者たちが	告げてきた	そして–隠さなかった	隠さなかった	その–先祖たちから
		H2450	H5046	H3808	H3582	H0001

これは知者たちがその先祖からうけて、隠す所なく語り伝えたものである。

19	לָהֶם	לְבַדָּם	נִתְּנָה	הָאָרֶץ	וְלֹא־	עָבַר	זָר	בְּתוֹכָם׃
	彼らに	彼らだけに	与えられた	地が	そして–通らなかった	通らなかった	他国の–者は	その–中を
		H0905	H5414	H0776	H3808			H8432

彼らにのみこの地は授けられて、他国人はその中に行き来したことがなかった。

20
נִצְפְּנוּ שָׁנִים וּמִסְפָּר מְתָחוֹלֵל הוּא רָשָׁע יְמֵי כָּל־
隠されている 年が そして–数えられた もだえ苦しむ 彼は 悪しき–者は 日々を すべての
H6845 H8141 H4557 H1931 H7563 H3117 H3605

לְעָרִיץ׃
暴虐な–者の–ために
H6184

悪しき人は一生の間、もだえ苦しむ。残酷な人には年の数が定められている。

21
יְבוֹאֻנּוּ׃ שׁוֹדֵד בְּשָׁלוֹם בְּאָזְנָיו פְּחָדִים קוֹל־
襲って来る 略奪者が 平和の–時に その–耳に 恐ろしい 声が
H0935 H7703 H7965 H0241 H6343

その耳には恐ろしい音が聞え、繁栄の時にも滅ぼす者が彼に臨む。

22
הוּא (וְצָפוּי) [וצפון] חֹשֶׁךְ מִנִּי־ שׁוּב יַאֲמִין לֹא־
彼は 定められている そして–定められている 闇から から 戻れると 信じない 信じない
H1931 H6822 H6822 H2822 H7725 H0539 H3808

חָרֶב׃ אֱלֵי־
剣の の–ために
H2719 H0413

彼は、暗やみから帰りうるとは信ぜず、つるぎにねらわれる。

23
נָכוֹן כִּי־ וְיָדַע אַיֵּה לַלֶּחֶם הוּא נֹדֵד
備えられていると まことに 知っている どこに–あるかと パンを–求めて 彼は さまよう
H3045 H0346 H3899 H1931 H5074

חֹשֶׁךְ׃ יוֹם־ בְּיָדוֹ
闇の 日が その–手に
H2822 H3117 H3027

彼は食物はどこにあるかと言いつつさまよい、暗き日が手近に備えられてあるのを知る。

24
לַכִּידוֹר׃ עָתִיד וּכְמֶלֶךְ תִּתְקְפֵהוּ וּמְצוּקָה צַר יְבַעֲתֻהוּ׃
戦いの–ために 備えた 王の–ように 打ち勝つ そして–苦悩が 苦難と 恐れさせる
H3593 H6264 H4428 H8630 H4691 H1204

悩みと苦しみとが彼を恐れさせ、戦いの備えをした王のように彼に打ち勝つ。

25
יִתְנַבָּר׃ שַׁדַּי וְאֶל־ יָדוֹ אֵל אֶל־ נָטָה כִּי־
強がった 全能者に–対して そして その–手を 神に に–対して 伸ばした なぜなら
H1396 H7706 H0413 H3027 H0410 H0413 H5186

これは彼が神に逆らってその手を伸べ、全能者に逆らって高慢にふるまい、

26
מָגִנָּיו׃ גַּבֵּי בַּעֲבִי בְּצַוָּאר אֵלָיו יָרוּץ
盾の 背の 厚い 首を–突き出して 彼に–向かって 突進する
H4043 H1354 H5672 H0413 H7323

盾の厚い面をもって強情に、彼にはせ向かうからだ。

27
כֶּסֶל׃ עֲלֵי־ פִּימָה וַיַּעַשׂ בְּחֶלְבּוֹ פָּנָיו כִּסָּה כִּי־
腰の の–上に 肉を そして–付けた その–脂肪で その–顔を 覆った なぜなら
H3689 H6371 H2459 H6440 H3680

また彼は脂肪をもってその顔をおおい、その腰には脂肪の肉を集め、

28 וַיִּשְׁכְּנוּ עָרִים נִכְחָדוֹת בָּתִּים לֹא־יֻשְׁבוּ אֲשֶׁר לָמוֹ
そして-住んだ 町々に 滅ぼされた 家々に 住む-者のない 住む-者のない それらは そこに
H7931 H5892 H3582 H1004 H3427 H3808 H0834 H0000

הִתְעַתָּדוּ לְגַלִּים׃
定められていた 廃墟と-なることが
H6257 H1530

滅ぼされた町々に住み、人の住まない家、荒塚となる所におるからだ。

29 לֹא־יֶעְשַׁר וְלֹא־יָקוּם חֵילוֹ וְלֹא־יֵטֶה לָאָרֶץ
富まない 富まない その-財産は 立たない そして-立たない 伸びない 地に
H3808 H6238 H2428 H3808 H3808 H5186 H0776

מִנְלָם׃
その-実りは
H4512

彼は富める者とならず、その富はながく続かない、また地に根を張ることはない。

30 לֹא־יָסוּר מִנִּי־חֹשֶׁךְ יְנַקְתּוֹ תְּיַבֵּשׁ שַׁלְהֶבֶת וְיָסוּר בְּרוּחַ
逃れない から 闇から その-若枝を 枯らす 炎が そして-去る 息に-よって
H3808 H5493 H4480 H2822 H3127 H3001 H7957 H5493 H7307

פִּיו׃
その-口の
H6310

彼は暗やみからのがれることができない。炎はその若枝を枯らし、その花は風に吹き去られる。

31 אַל־יַאֲמֵן בַּשָּׁוְא(בשו) שָׁוְא תִּהְיֶה כִּי־תָעָה תְמוּרָתוֹ׃
信じるな 信じるな 空しい-ものを 空しい-ものを なぜなら 迷わされて その-報いと なるだろう
H0408 H0539 H7723 H7723 H3588 H8582 H8545 H1961

彼をしてみずから欺いて、むなしい事にたよらせてはならない。その報いはむなしいからだ。

32 בְּלֹא־יוֹמוֹ תִּמָּלֵא וְכַפָּתוֹ לֹא רַעֲנָנָה׃
その-時が-来ない その-日の-前に 満ちる そして-その-枝は 青くない 青くない
H3808 H3117 H4390 H3712 H3808 H7488

彼の時のこない前にその事がなし遂げられ、彼の枝は緑とならないであろう。

33 יַחְמָס כַּגֶּפֶן בִּסְרוֹ וְיַשֵּׁל כַּזַּיִת נִצָּתוֹ׃
振り落とす 葡萄の-ように その-未熟の-実を そして-落とす オリーブの-ように その-花を
H2554 H1612 H1154 H7993 H2132 H5328

彼はぶどうの木のように、その熟さない実をふり落すであろう。またオリブの木のように、その花を落すであろう。

34 כִּי־עֲדַת חָנֵף אֻכְלָה וְאֵשׁ אָהֳלֵי־שֹׁחַד׃
なぜなら 会衆は 不敬虐な-者の 不毛だ そして-火が 焼き尽くす 天幕を 賄賂の
H3588 H5712 H2611 H1565 H0784 H0398 H0168 H7810

神を信じない者のやからは子なく、まいないによる天幕は火で焼き滅ぼされるからだ。

35 ס הָרָה עָמָל וְיָלַד אָוֶן וּבִטְנָם תָּכִין מִרְמָה׃
孕む 苦悩を そして-産む 悪を そして-その-胎は 備える 欺きを
H2029 H5999 H3205 H0205 H0990 H3559 H4820

彼らは害悪をはらみ、不義を生み、その腹は偽りをつくる」。

Chapter 16

1 וַיַּעַן אִיּוֹב וַיֹּאמַר׃
そして–答えた ヨブは そして–言った
H0559 H0347

そこでヨブは答えて言った、

2 שָׁמַעְתִּי כָאֵלֶּה רַבּוֹת מְנַחֲמֵי עָמָל כֻּלְּכֶם׃
聞いた このような–ことを 多く 慰める–者たちよ 苦しみの あなたがた–皆は
H8085 H0428 H7227 H5999 H3605

「わたしはこのような事を数多く聞いた。あなたがたは皆人を慰めようとして、かえって人を煩わす者だ。

3 הֲיֵשׁ קֵץ לְדִבְרֵי רוּחַ אוֹ מַה יַּמְרִיצְךָ כִּי תַעֲנֶה׃
終わりが–あるのか 言葉に 風の あるいは 何が あなたを–駆り立てるのか それで 答えるのか
H7093 H1697 H7307 H0176 H4100 H4834 H3588 H6030

むなしき言葉に、はてしがあろうか。あなたは何に激して答をするのか。

4 גַּם אָנֹכִי כָּכֶם אֲדַבֵּרָה לוּ נַפְשְׁכֶם תַּחַת נַפְשִׁי אֶחְבִּירָה עֲלֵיכֶם מִלִּים וְאָנִיעָה בְּמוֹ רֹאשִׁי׃
また 私も あなたがたの–ように 語ることが–できた もし あったなら あなたがたの–魂が 代わりに 私の–魂の 並べ立てただろう あなたがたに–対して 言葉を そして–振っただろう この 頭を
H1571 H0595 H3651 H1696 H3863 H3426 H5315 H8478 H5315 H2266 H5921 H4405 H5128 H1119 H7218

わたしもあなたがたのように語ることができる。もしあなたがたがわたしと代ったならば、わたしは言葉を練って、あなたがたを攻め、あなたがたに向かって頭を振ることができる。

5 אַאַמֵּצְכֶם בְּמוֹ פִי וְנִיד שְׂפָתַי יַחְשֹׂךְ׃
力づけただろう この 口で そして–動きは 唇の 抑えただろう
H0553 H1119 H6310 H5205 H8193 H2820

また口をもって、あなたがたを強くし、くちびるの慰めをもって、あなたがたの苦しみを和らげることができる。

6 אִם דַּבְּרָה לֹא יֵחָשֵׂךְ כְּאֵבִי וְאִם חָדַלְתִּי מַה מִּנִּי אֵלֵךְ׃
たとえ 語っても ない 和らがない 痛みは そして–やめても 何が 私から 去るだろうか
H0518 H1696 H3808 H2820 H3511 H2308 H4100 H4480 H1980

たといわたしは語っても、わたしの苦しみは和らげられない。たといわたしは忍んでも、どれほどそれがわたしを去るであろうか。

7 אַךְ עַתָּה הֶלְאָנִי הֵשַׁמְתָּ כָּל עֲדָתִי׃
確かに 今 疲れ果てさせた 荒廃させた すべての 仲間を
H0389 H6258 H3811 H8074 H3605 H5712

8

בְּפָנַי	כַּחֲשִׁי	בִּי	וַיָּקָם	הָיָה	לְעֵד	וַתִּקְמְטֵנִי
顔に–向かって	やせ衰えは	私に–対して	そして–立ち上がった	なった	証人と	そして–しわ寄せた
H6440	H3585			H1961	H5707	H7059

יַעֲנֶה׃
証言する

彼はわたしを、しわ寄らせた。これがわたしに対する証拠である。またわたしのやせ衰えた姿が立って、わたしを攻め、わたしの顔にむかって証明する。

9

עֵינָיו	יִלְטוֹשׁ	וְצָרָי	בִּשְׁנָיו	עָלַי	חָרַק	וַיִּשְׂטְמֵנִי	וְטָרַף	אַפּוֹ
目を	研ぎ澄ます	敵は	歯を	私に–対して	きしらせた	そして–敵視した	引き裂いた	怒りが
	H3913		H8127		H2786	H7852	H2963	H0639

לִי׃
私に

彼は怒ってわたしをかき裂き、わたしを憎み、わたしに向かって歯をかみ鳴らした。わたしの敵は目を鋭くして、わたしを攻める。

10

יִתְמַלָּאוּן׃	עָלַי	יַחַד	לְחָיַי	הִכּוּ	בְּחֶרְפָּה	בְּפִיהֶם	וְעָלַי	פָּעֲרוּ
群がった	私に–対して	共に	頬を	打った	侮辱して	口を	私に–対して	開いた
H4390			H3895	H5221	H2781	H6310		H6473

人々はわたしに向かって口を張り、侮ってわたしのほおを打ち、ともに集まってわたしを攻める。

11

יְרָטֵנִי׃	רְשָׁעִים	יָדָיו	וְעַל־	עָוֶל	אֶל	אֵל	יַסְגִּרֵנִי
投げ出した	悪しき–者たちの	手に	そして–上に	不義な–者に	へ	神は	引き渡した
	H7563	H3027		H5760	H0413	H0410	H5462

神はわたしをよこしまな者に渡し、悪人の手に投げいれられる。

12

וַיְפַצְפְּצֵנִי	בְּעָרְפִּי	וְאֶחֱז	וַיְפָרְפְּרֵנִי	וָאֶהְיֶה	שָׁלֵו	
そして–粉々に–した	首筋を	そして–つかんだ	そして–打ち砕いた	暮らしていた	安らかに	
	H6203	H0270		H1961	H7961	

לְמַטָּרָה׃	לוֹ	וַיְקִימֵנִי
的として	ご自身の	そして–立てた
H4307		

わたしは安らかであったのに、彼はわたしを切り裂き、首を捕えて、わたしを打ち砕き、わたしを立てて的とされた。

13

לָאָרֶץ	יִשְׁפּוֹךְ	יַחְמוֹל	וְלֹא	כִלְיוֹתַי	יְפַלַּח	רַבָּיו	וְעָלַי	יָסֹבּוּ
地に	注ぎ出す	容赦しない	そして–ない	腎臓を	突き刺す	射手たちは	私を	囲んだ
H0776	H8210	H2550	H3808	H3629	H6398	H7228		H5437

מְרֹרָתִי׃
胆汁を
H4845

その射手はわたしを囲む。彼は無慈悲にもわたしの腰を射通し、わたしの肝を地に流れ出させられる。

14

כְּגִבּוֹר׃	עָלָי	יָרֻץ	פֶּרֶץ	פְּנֵי־	עַל־	פֶּרֶץ	יִפְרְצֻנִי
勇士の–ように	私に–向かって	走る	破れ口の	面に	の–上に	破れ口を	打ち破る
H1368		H7323	H6556	H6440		H6556	H6555

彼はわたしを打ち破って、破れに破れを加え、勇士のようにわたしに、はせかかられる。

15 | 荒布を H8242 | 縫い付けた H8609 | 上に H5921 | 肌の H1539 | そして-汚した H1744 | 塵の-中に H6083 | 角を :קַרְנִי
15 | שָׂק | תָּפַרְתִּי | עָלַי | גִּלְדִּי | וְעִלַּלְתִּי | בֶּעָפָר | קַרְנִי׃

わたしは荒布を膚に縫いつけ、わたしの角をちりに伏せた。

16 | 顔は H6440 | [赤くなった H2560] | (赤く-腫れた H2560) | から H4480 | 泣くこと H1065 | そして-上に H5921 | まぶたには H6079 | 死の-陰が :צַלְמָוֶת H6757
16 | פָּנַי | חמרמרה | חַמְרְמְרוּ) | מִנִּי־ | בֶכִי | וְעַל | עַפְעַפַּי | צַלְמָוֶת׃

わたしの顔は泣いて赤くなり、わたしのまぶたには深いやみがある。

17 | にも-かかわらず H5921 | ない H3808 | 暴虐は H2555 | 手に H3709 | そして-祈りは H8605 | 清い H2134 :זַכָּה
17 | עַל | לֹא־ | חָמָס | בְּכַפָּי | וּתְפִלָּתִי | זַכָּה׃

しかし、わたしの手には暴虐がなく、わたしの祈は清い。

18 | 地よ H0776 | ない H0408 | 覆い-隠すな H3680 | 血を H1818 | そして-ない H0408 | あるな H1961 | 場所が H4725 | 叫びの-ために :לְזַעֲקָתִי H2201
18 | אֶרֶץ | אַל־ | תְּכַסִּי | דָמִי | וְאַל־ | יְהִי | מָקוֹם | לְזַעֲקָתִי׃

地よ、わたしの血をおおってくれるな。わたしの叫びに、休む所を得させるな。

19 | 今も H1571 | なお H6258 | 見よ H2009 | 天に H8064 | 証人が H5707 | そして-保証人が H7717 | 高き-所に :בַּמְּרוֹמִים H4791
19 | גַּם־ | עַתָּה | הִנֵּה־ | בַשָּׁמַיִם | עֵדִי | וְשָׂהֲדִי | בַּמְּרוֹמִים׃

見よ、今でもわたしの証人は天にある。わたしのために保証してくれる者は高い所にある。

20 | 嘲る-者たちは H3887 | 友よ H7453 | へ-向かって H0413 | 神に H0433 | 滴り落ちた H1811 | 目は :עֵינִי
20 | מְלִיצַי | רֵעַי | אֶל־ | אֱלוֹהַּ | דָּלְפָה | עֵינִי׃

わたしの友はわたしをあざける、しかしわたしの目は神に向かって涙を注ぐ。

21 | そして-弁じてくださるように H3198 | 人の-ために H1397 | と-共に H5973 | 神と H0433 | そして-人の-子が H1121 | 人の H0120 | 隣人の-ために :לְרֵעֵהוּ H7453
21 | וְיוֹכַח | לְגֶבֶר | עִם־ | אֱלוֹהַּ | וּבֶן־ | אָדָם | לְרֵעֵהוּ׃

どうか彼が人のために神と弁論し、人とその友との間をさばいてくれるように。

22 | なぜなら H3588 | 年月は H8141 | 数えられる H4557 | 来る H0857 | そして-道を H0734 | ない H3808 | 戻らない H7725 | 行く :אֵהָלֵךְ H1980
22 | כִּי־ | שְׁנוֹת | מִסְפָּר | יֶאֱתָיוּ | וְאֹרַח | לֹא־ | אָשׁוּב | אֵהָלֵךְ׃

数年過ぎ去れば、わたしは帰らぬ旅路に行くであろう。

Chapter 17

1 | 霊は H7307 | 砕かれた H2689 | 日々は H3117 | 消えた H2193 | 墓が H6913 | 私の-もの :לִי
1 | רוּחִי | חֲבָלָה | יָמַי | נִזְעָכוּ | קְבָרִים | לִי׃

わが霊は破れ、わが日は尽き、墓はわたしを待っている。

2 | たしかに H0518 | ないか H3808 | 嘲りが H2049 | 私の-周りに H5978 | そして-反抗の-中で H4784 | 留まる H3885 | 目は :עֵינִי
2 | אִם־ | לֹא | הֲתֻלִים | עִמָּדִי | וּבְהַמְרוֹתָם | תָּלַן | עֵינִי׃

まことにあざける者どもはわたしのまわりにあり、わが目は常に彼らの侮りを見る。

	לְיָדִי	הוּא	מִי	עִמָּךְ	עָרְבֵנִי	נָא	שִׂימָה־	3
	手に	彼が	誰が	あなたの–もとで	保証して–ください	どうか	置いて–ください	
	H3027	H1931	H4310		H6148	H4994		
							יִתָּקַע׃	
							打ち–合うだろうか	
							H8628	

どうか、あなた自ら保証となられるように。ほかにだれがわたしのために保証となってくれる者があろうか。

	תְּרוֹמֵם׃	לָא	כֵּן	עַל־	מִשֶּׂכֶל	צָפַנְתָּ	לִבָּם	כִּי־	4
	高めない	ない	こそ	その–ために	理解から	隠した	彼らの–心を	なぜなら	
		H3808			H7922	H6845			

あなたは彼らの心を閉じて、悟ることのないようにされた。それゆえ、彼らに勝利を得させられるはずはない。

	תִּכְלֶינָה׃	בָּנָיו	וְעֵינֵי	רֵעִים	יַגִּיד	לֶחֱלֶק	5
	衰える	子らの	そして–目は	友を	告げる	分け前の–ために	
	H3615			H7453	H5046		

分け前を得るために友を訴えるものは、その子らの目がつぶれるであろう。

	אֱהִיֵה׃	לְפָנִים	וְתֹפֶת	עַמִּים	לְמָשָׁל	וְהֹצֵנְנִי	6
	なる	顔に	そして–吐きかけられる–者と	民の	ことわざの–ために	そして–立てた	
	H1961	H6440	H8611		H4914	H3322	

彼はわたしを民の笑い草とされた。わたしは顔につばきされる者となる。

	כֻּלָּם׃	כַּצֵּל	וְיִצְרָי	עֵינִי	מִכַּעַשׂ	וַתָּכַהּ	7
	すべて	影の–ように	そして–肌は	目は	悲しみから	そして–かすんだ	
	H3605	H6738	H3338				

わが目は憂いによってかすみ、わがからだはすべて影のようだ。

	יִתְעַר׃	חָנֵף	עַל־	וְנָקִי	זֹאת	עַל־	יְשָׁרִים	יָשֹׁמּוּ	8
	奨る	不敬虔な–者に	に–対して	そして–罪なき–者は	これに	に–ついて	正しき–者は	驚く	
	H5782	H2611			H2063		H3477	H8074	

正しい者はこれに驚き、罪なき者は神を信ぜぬ者に対して憤る。

	אֹמֶץ׃	יֹסִיף	יָדַיִם	וְטָהֳר־	דַּרְכּוֹ	צַדִּיק	וְיֹאחֵז	9
	力を	増す	手の	そして–清き	道を	義人は	そして–保つ	
	H0555	H3254	H3027	H2891	H1870	H6662	H0270	

それでもなお正しい者はその道を堅く保ち、潔い手をもつ者はますます力を得る。

	בָּכֶם	אֶמְצָא	וְלֹא־	נָא	וּבֹאוּ	תָּשֻׁבוּ	כֻלָּם	וְאוּלָם	10
	あなたがたの–中に	見つからない	そして–ない	さあ	そして–来い	引き返せ	皆	しかし	
		H4672	H3808	H4994	H0935	H7725	H3605	H0199	
								חָכָם׃	
								賢者を	
								H2450	

しかし、あなたがたは皆再び来るがよい、わたしはあなたがたのうちに賢い者を見ないのだ。

	לִבִּי׃	מִזְרְעֹתַי	נִתְּקוּ	זִמֹּתַי	עָבְרוּ	יָמַי	11
	心の	願いは	断ち切られた	計画は	過ぎ去った	日々は	
	H3824	H4180	H5423	H2154		H3117	

わが日は過ぎ去り、わが計りごとは敗れ、わが心の願いも敗れた。

חֹֽשֶׁךְ׃	מִפְּנֵי־	קָרֹוב	אֹור	יָשִׂימוּ	לְיָום	לָיְלָה	12
闇の	前に	近いと	光が	変える	昼と	夜を	
H2822	H6440	H7138	H0216		H3117	H3915	

彼らは夜を昼に変える。彼らは言う、『光が暗やみに近づいている』と。

יְצוּעָי׃	רִפַּדְתִּי	בַּחֹֽשֶׁךְ	בֵּיתִי	שְׁאֹול	אֲקַוֶּה	אִם־	13
寝床を	敷いた	闇の–中に	家として	陰府を	期待するなら	もし	
	H7502	H2822		H7585			

わたしがもし陰府をわたしの家として望み、暗やみに寝床をのべ、

לָרִמָּה׃	וְאַחֹתִי	אִמִּי	אָתָּה	אָבִי	קָרָאתִי	לַשַּׁחַת	14
蛇に	そして–姉妹よと	母よと	あなたは	父よと	呼んだ	墓穴に	
H7415	H0269	H0517		H0001	H7121	H7845	

穴に向かって『あなたはわたしの父である』と言い、うじに向かって『あなたはわたしの母、わたしの姉妹である』と言うならば、

יְשׁוּרֶנָּה׃	מִי	וְתִקְוָתִי	תִקְוָתִי	אֶפֹו	וְאַיֵּה	15
見るだろうか	誰が	そして–望みを	望みは	一体	そして–どこに	
H7789	H4310			H0645	H0346	

わたしの望みはどこにあるか、だれがわたしの望みを見ることができようか。

ס	נָחַת׃	עָפָר	עַל־	יָחַד	אִם־	תֵּרַדְנָה	שְׁאֹל	בַּדִּי	16
—	休むのか	塵の	の–上に	共に	はたして	下る	陰府に	かんぬきで	
		H6083				H3381	H7585	H0905	

これは下って陰府の関門にいたり、われわれは共にちりに下るであろうか」。

Chapter 18

וַיֹּאמַר׃	הַשֻּׁחִי	בִּלְדָּד	וַיַּעַן	1
そして–言った	シュアハ人–は	ビルダデ	そして–答えた	
H0559	H7747	H1085		

そこでシュヒびとビルダデは答えて言った、

נְדַבֵּר׃	וְאַחַר	תָּבִינוּ	לְמִלִּין	קִנְצֵי	תְשִׂימוּן	וְאָנָה	עַד־	2
語ろう	そうすれば–後に	悟りなさい	言葉–に	罠–を	仕掛けるのか	あなたがたは	いつ–まで	
H1696		H0995	H4405	H7078		H0575	H5704	

「あなたはいつまで言葉にわなを設けるのか。あなたはまず悟るがよい、それからわれわれは論じよう。

בְּעֵינֵיכֶם׃	נִטְמֵינוּ	כַּבְּהֵמָה	נֶחְשַׁבְנוּ	מַדּוּעַ	3
あなたがたの–目–に	汚れた–者と	家畜–のように	みなされるのか	なぜ	
	H2933	H0929	H2803	H4069	

なぜ、われわれは獣のように思われるのか。なぜ、あなたの目に愚かな者と見えるのか。

אֶרֶץ	תֵּעָזֵב	לְמַעַנְךָ	בְּאַפֹּו	נַפְשֹׁו	טֹרֵף	4
地–は	見捨てられるのか	あなた–の–ために	怒り–の–中–で	自分–の–魂–を	引き裂く–者よ	
H0776		H4616	H0639	H5315	H2963	

מִמְּקֹמֹו׃	צֹור	וְיֵעָתֵק־	
その–場所–から	岩–が	動かされるのか	
H4725	H6697	H6275	

怒っておのが身を裂く者よ、あなたのために地は捨てられるだろうか。岩はその所から移されるだろうか。

אִשּׁוֹ׃	שַׁבִּיב	נֹגַהּ	וְלֹא־	יִדְעָךְ	רְשָׁעִים	אוֹר	גַּם	5
その–火–の	炎–は	輝かない	そして–ない	消える	悪しき者–たちの	光–は	まことに	
H0784	H7632	H5050	H3808	H1846	H7563	H0216	H1571	

悪しき者の光は消え、その火の炎は光を放たず、

יִדְעָךְ׃	עָלָיו	וְנֵרוֹ	בְּאָהֳלוֹ	חָשַׁךְ	אוֹר	6
消える	彼–の–上–で	そして–その–ともしび–は	その–天幕–の–中–で	暗くなる	光–は	
H1846			H0168	H2821	H0216	

その天幕のうちの光は暗く、彼の上のともしびは消える。

עֲצָתוֹ׃	וְתַשְׁלִיכֵהוּ	אוֹנוֹ	צַעֲדֵי	יְצֻרוּ	7
その–計画–に	そして–投げ倒される	その–力–の	歩み–は	狭められる	
H6098	H7993	H0202	H6806	H3334	

その力ある歩みはせばめられ、その計りごとは彼を倒す。

יִתְהַלָּךְ׃	שְׁבָכָה	וְעַל־	בְּרַגְלָיו	בְּרֶשֶׁת	שֻׁלַּח	כִּי־	8
歩く	落とし穴–の	そして–上–を	その–足–で	網–の–中–に	追い込まれる	なぜなら	
H1980	H7639		H7272	H7568	H7971		

彼は自分の足で網にかかり、また落し穴の上を歩む。

צַמִּים׃	עָלָיו	יַחֲזֵק	פָּח	בְּעָקֵב	יֹאחֵז	9
縄–が	彼–の–上–に	しっかりと–つかむ	わな–が	かかと–を	捕らえる	
H6782		H2388		H6119	H0270	

わなは彼のかかとを捕え、網わなは彼を捕える。

נָתִיב׃	עֲלֵי	וּמַלְכְּדוֹ	חַבְלוֹ	בָּאָרֶץ	טָמוּן	10
小道–の	上–に	そして–その–わな–は	その–綱–は	地–の–中–に	隠されている	
		H4434		H0776	H2934	

輪なわは彼を捕えるために地に隠され、張り網は彼を捕えるために道に設けられる。

לְרַגְלָיו׃	וְהֶפִיצֵהוּ	בַלָּהוֹת	בְּעָתָתְהוּ	סָבִיב	11
その–足–を	そして–追い散らす	恐怖–が	恐れさせる	四方–から	
H7272		H1091	H1204	H5439	

恐ろしい事が四方にあって彼を恐れさせ、その歩みにしたがって彼を追う。

לְצַלְעוֹ׃	נָכוֹן	וְאֵיד	אֹנוֹ	רָעֵב	יְהִי־	12
その–傍ら–に	備えられている	そして–災い–が	その–力–は	飢えた–者–に	なる	
H6763		H0343	H0202	H7457	H1961	

その力は飢え、災は彼をつまずかすために備わっている。

מָוֶת׃	בְּכוֹר	בַּדָּיו	יֹאכַל	עוֹרוֹ	בַּדֵּי	יֹאכַל	13
死–の	初子–が	その–肢体–を	食い尽くす	その–皮膚–の	部分–を	食い尽くす	
H4194	H1060	H0905	H0398	H5785	H0905	H0398	

その皮膚は病によって食いつくされ、死のういごは彼の手足を食いつくす。

בַּלָּהוֹת׃	לְמֶלֶךְ	וְתַצְעִדֵהוּ	מִבְטַחוֹ	מֵאָהֳלוֹ	יִנָּתֵק	14
恐怖–の	王–の–もとへ	そして–連れ去られる	その–頼み–は	その–天幕–から	引き離される	
H1091	H4428	H6805	H4009	H0168	H5423	

彼はその頼む所の天幕から引き離されて、恐れの王のもとに追いやられる。

15 תִּשְׁכֹּ֣ן בְּאָהֳלוֹ֮ מִבְלִי־ לוֹ֒ יִזֶּ֣רֶה עַל־ נָוֵ֣הוּ גָפְרִ֣ית׃
住む その–天幕–に 何もない–者–が 彼–に まき散らされる 上–に その–住まい–の 硫黄–が
H7931 H0168 H1097 H2219 H5921 H5116 H1614

彼に属さない者が彼の天幕に住み、硫黄が彼のすまいの上にまき散らされる。

16 מִתַּחַת֮ שָׁרָשָׁיו֒ יִבָּשׁ֣וּ וּמִמַּ֣עַל יִמָּ֣ל קְצִירֽוֹ׃
下–から その–根–は 枯れる そして–上–から しおれる その–枝–は
H8478 H8328 H3001 H4605 H3888

下ではその根が枯れ、上ではその枝が切られる。

17 זִכְרוֹ־ אָבַ֣ד מִנִּי־ אֶ֑רֶץ וְלֹא־ שֵׁ֥ם לוֹ֙ עַל־ פְּנֵי־ חֽוּץ׃
その–記憶–は 消え失せる から 地–の そして–ない 名–は 彼–に 上–に 面–の 広場–の
H2143 H0006 H4480 H0776 H3808 H8034 H3807 H5921 H6440 H2351

彼の形見は地から滅び、彼の名はちまたに消える。

18 יֶהְדְּפֵ֣הוּ מֵאוֹר֮ וּמִתֵּבֵל֒ יְנֻדֶּֽהוּ׃
追い出される 光–から そして–世界–から 闇–の–中 へ 追放される
H1920 H0216 H8398 H2822 H0413 H5074

彼は光からやみに追いやられ、世の中から追い出される。

19 לֹֽא־ נִ֤ין וְלֹא־ לוֹ֙ נֶ֣כֶד בְּעַמּ֑וֹ וְאֵ֥ין שָׂרִ֖יד בְּמְגוּרָֽיו׃
ない 子孫–は そして–ない 彼–に 末裔–は その–民–の–中–に そして–いない 生き残り–は その–寄留地–に
H3808 H5209 H3808 H3808 H5220 H0369 H8300 H4033

彼はその民の中に子もなく、孫もなく、彼のすみかには、ひとりも生き残る者はない。

20 עַל־ יוֹמ֣וֹ נָשַׁ֔מּוּ אַחֲרֹנִ֖ים וְקַדְמֹנִ֥ים אָחֲזוּ֙ שְׁעָֽר׃
に–対して その–日 驚く 後–の–者–たちは そして–先–の–者–たちは つかまれた 戦慄–に
H5921 H3117 H8074 H0314 H6931 H0270

西の者は彼の日について驚き、東の者はおじ恐れる。

21 אַךְ־ אֵ֣לֶּה מִשְׁכְּנ֣וֹת עַוָּ֑ל וְזֶ֥ה מָ֝קוֹם֗ לֹא־ יָדַ֥ע אֵֽל׃ ס
まことに これ–が 住まい–である 不義–の–者–の そして–これ–が 場所–である ない 知らない–者–の 神–を セラ
H0389 H0428 H4908 H5767 H2088 H4725 H3808 H3045 H0410

まことに、悪しき者のすまいはこのようであり、神を知らない者の所はこのようである」。

Chapter 19

1 וַיַּ֖עַן אִיּ֣וֹב וַיֹּאמַֽר׃
そして–答えた ヨブ–は そして–言った
H0559 H0347 H3808

そこでヨブは答えて言った、

2 עַד־ אָנָה תּוֹגִיוּן נַפְשִׁי וְתְדַכְּאוּנַנִי בְּמִלִּים׃
いつ–まで あなたがたは 苦しめるのか わたしの–魂–を そして–砕くのか–わたし–を 言葉–で
H5704 H0575 H3013 H5315 H1792 H4405

「あなたがたはいつまでわたしを悩まし、言葉をもってわたしを打ち砕くのか。

3 זֶה עֶשֶׂר פְּעָמִים תַּכְלִימוּנִי לֹא־ תֵבֹשׁוּ תַּהְכְּרוּ־ לִי׃
これ–で 十 回–も 辱めた–わたし–を ない–のか 恥じ 冷たく–した わたし–に
H2088 H6235 H6471 H3637 H3808 H0954 H1970

あなたがたはすでに十度もわたしをはずかしめ、わたしを悪くあしらってもなお恥じないのか。

4 וְאַף־ אָמְנָם שָׁגִיתִי אִתִּי תָּלִין
そして–たとえ–本当に 確かに わたし–が–過った–として わたし–の–もとに とどまる
H0637 H0551 H7686 H0854

מִשְׁוּנָתִי׃
わたしの–過ち–は
H4879

たといわたしが、まことにあやまったとしても、そのあやまちは、わたし自身にとどまる。

5 אִם־ אָמְנָם עָלַי תַּגְדִּילוּ עָלַי וְתוֹכִיחוּ
もし 本当に わたし–に–対して 高ぶるなら わたし–に–対して そして–論じるなら
H0551 H1431 H3198

חֶרְפָּתִי׃
わたしの–恥辱–を
H2781

もしあなたがたが、まことにわたしに向かって高ぶり、わたしの恥を論じるならば、

6 דְּעוּ־ עַתָּה כִּי־ אֱלוֹהַּ עִוָּתָנִי וּמְצוּדוֹ עָלָי
知りなさい それなら まことに 神–が 曲げた–わたし–を そして–その–網–を わたし–の–上に
H3045 H0645 H0433 H5791

הֵקִיף׃
巡らした

『神がわたしをしえたげ、その網でわたしを囲まれたのだ』と知るべきだ。

7 הֵן אֶצְעַק חָמָס וְלֹא אֵעָנֶה אֶשַּׁוַּע וְאֵין
見よ わたし–は–叫ぶ 暴虐–と しかし–ない 答え–は わたし–は–助け–を–求める しかし–ない
H2005 H6817 H2555 H3808 H6030 H7768 H0369

מִשְׁפָּט׃
公正–は
H4941

見よ、わたしが『暴虐』と叫んでも答えられず、助けを呼び求めても、さばきはない。

8 אָרְחִי גָדַר וְלֹא אֶעֱבוֹר וְעַל נְתִיבוֹתַי חֹשֶׁךְ יָשִׂים׃
わたしの–道–を 塞いだ そして–ない 通れ–ない そして–上–に わたしの–小道–に 闇–を 置いた
H0734 H1443 H3808 H5674 H5921 H5410 H2822 H7760

彼はわたしの道にかきをめぐらして、越えることのできないようにし、わたしの行く道に暗やみを置かれた。

9 כְּבוֹדִי מֵעָלַי הִפְשִׁיט וַיָּסַר עֲטֶרֶת רֹאשִׁי׃
わたしの–栄光–を わたし–から 剥ぎ取った そして–取り去った 冠–を わたしの–頭–の
H3519 H6584 H5493 H5850

彼はわたしの栄えをわたしからはぎ取り、わたしのこうべから冠を奪い、

כָּעֵץ	וַיִּסַּע	וָאֵלֵךְ	סָבִיב	יְתָצֵנִי	10
木-の-ように	そして-引き抜いた	そして-わたし-は-去る	四方-から	打ち壊した-わたし-を	
H6086	H5265	H3212	H5439	H5422	

תִּקְוָתִי׃
わたしの-望み-を

四方からわたしを取りこわして、うせさせ、わたしの望みを木のように抜き去り、

לוֹ	וַיַּחְשְׁבֵנִי	אַפּוֹ	עָלַי	וַיִּחַר	11
ご自分-にとって	そして-みなした-わたし-を	その-怒り-は	わたし-に-対して	そして-燃えた	
	H2803	H0639		H2734	

כְּצָרָיו׃
敵-の-ように

わたしに向かって怒りを燃やし、わたしを敵のひとりのように思われた。

וַיַּחֲנוּ	דַּרְכּוֹ	עָלַי	וַיָּסֹלּוּ	גְּדוּדָיו	יָחַד	יָבֹאוּ	12
そして-陣を張った	その-道-を	わたし-に-対して	そして-築いた	その-軍勢-が	共に	来た	
H2583	H1870		H5549	H1416		H0935	

לְאָהֳלִי׃	סָבִיב
わたしの-天幕-の	周り-に
H0168	H5439

その軍勢がいっせいに来て、塁を築いて攻め寄せ、わたしの天幕のまわりに陣を張った。

זָרוּ	אַךְ־	וְיֹדְעַי	הִרְחִיק	מֵעָלַי	אַחַי	13
疎遠-に-なった	まったく	そして-わたしの-知人-たちは	遠ざけた	わたし-から	わたしの-兄弟-を	
	H0389	H3045	H7368		H0251	

מִמֶּנִּי׃
わたし-から

彼はわたしの兄弟たちをわたしから遠く離れさせられた。わたしを知る人々は全くわたしに疎遠になった。

שְׁכֵחוּנִי׃	וּמְיֻדָּעַי	קְרוֹבָי	חָדְלוּ	14
忘れた-わたし-を	そして-わたしの-親しい-者-たちは	わたしの-親族-は	去った	
H7911	H3045	H7138	H2308	

わたしの親類および親しい友はわたしを見捨て、

נָכְרִי	תַּחְשְׁבֵנִי	לְזָר	וְאַמְהֹתַי	בֵּיתִי	גָּרֵי	15
異国人-と	みなす-わたし-を	他人-と	そして-わたしの-女-奴隷-たちは	わたしの-家-の	寄留者-は	
H5237	H2803		H0519			

בְּעֵינֵיהֶם׃	הָיִיתִי
彼女-たちの-目-に	なった-わたし-は
	H1961

わたしの家に宿る者はわたしを忘れ、わたしのはしためらはわたしを他人のように思い、わたしは彼らの目に他国人となった。

לוֹ׃	אֶתְחַנֶּן־	פִּי	בְּמוֹ־	יַעֲנֶה	וְלֹא	קָרָאתִי	לְעַבְדִּי	16
彼-に	懇願した	自ら	わたしの-口-で	答え-ない	しかし-ない	呼びかけた	わたしの-僕-に	
		H6310	H1119		H3808	H7121	H5650	

わたしがしもべを呼んでも、彼は答えず、わたしは口をもって彼に請わなければならない。

17 רוּחִי זָרָה לְאִשְׁתִּי וְחַנֹּתִי לִבְנֵי בִטְנִי׃
わたしの–息–は 嫌われた わたしの–妻–に そして–わたしの–嘆き–は 子ら–に わたしの–母–の–胎–の
H7307 H2088 H0802 H2589 H0990

わたしの息はわが妻にいとわれ、わたしは同じ腹の子たちにきらわれる。

18 גַּם־ עֲוִילִים מָאֲסוּ בִי אָקוּמָה וַיְדַבְּרוּ־
さえ–も 幼い–者–たち–が 蔑んだ わたし–を わたし–が–立ち上がると そして–語った
H1571 H5759 H3988 H0589 H1696

בִי׃
わたし–に–対して

わらべたちさえもわたしを侮り、わたしが起き上がれば、わたしをあざける。

19 וְזֶה־ סוֹדִי מְתֵי כֹּל־ תָּעֲבוּנִי
そして–この わたしの–親しい–仲間–の 人々–は すべて–の 忌み嫌った–わたし–を
H2088 H5475 H4962 H3605 H8581

בִי׃ נֶהְפְּכוּ־ אָהֲבְתִי
わたし–に 背いた わたし–が–愛した–者–たちは
H2015 H0157

親しい人々は皆わたしをいみきらい、わたしの愛した人々はわたしにそむいた。

20 וְאִתַּמְלְטָה דָּבְקָה עַצְמִי וּבְבְשָׂרִי בְּעוֹרִי
そして–わたし–は–逃れた しがみつく わたしの–骨–は そして–わたしの–肉–に わたしの–皮膚–に
H4422 H1692 H6106 H1320 H5785

שִׁנָּי׃ בְּעוֹר
わたしの–歯–の 皮–だけ–で
H8127 H5785

わたしの骨は皮と肉につき、わたしはわずかに歯の皮をもってのがれた。

21 חָנֵּנִי חָנֵּנִי אַתֶּם רֵעָי כִּי יַד־ אֱלוֹהַּ נָגָעָה
憐れんでください 憐れんでください あなたがた わたしの–友–よ なぜなら 手–が 神–の 打った
H7453 H3027 H0433 H5060

בִי׃
わたし–を

わが友よ、わたしをあわれめ、わたしをあわれめ、神のみ手がわたしを打ったからである。

22 תִּרְדְּפֵנִי כְמוֹ־ אֵל וּמִבְּשָׂרִי לֹא תִשְׂבָּעוּ׃
追い回すのか–わたし–を のように 神–の そして–わたしの–肉–で ない 満足するのか
H7291 H3644 H0410 H1320 H3808 H7646

なぜ
H4100

あなたがたは、なにゆえ神のようにわたしを責め、わたしの肉をもって満足しないのか。

23 מִי־ יִתֵּן אַפּוֹ וְיִכָּתְבוּן מִלָּי יִתֵּן מִי־
ああ 与えられるなら どうか そして–書き記されるなら わたしの–言葉–が 与えられるなら ああ
H4310 H5414 H0645 H3789 H4405 H5414 H4310

בַּסֵּפֶר וְיֻחָקוּ׃
書物–に そして–刻まれるなら
H2710

どうか、わたしの言葉が、書きとめられるように。どうか、わたしの言葉が、書物にしるされるように。

24 בְּעֵט־ 鉄–の H5842 | בַּרְזֶל 筆–と H1270 | וְעֹפֶרֶת 鉛–で H5777 | לָעַד 永遠–に H5703 | בַּצּוּר 岩–に H6697 | יֵחָצְבוּן׃ 刻み込まれるなら H2672

鉄の筆と鉛とをもって、ながく岩に刻みつけられるように。

25 וַאֲנִי そして–わたし–は H0589 | יָדַעְתִּי 知っている H3045 | גֹּאֲלִי わたしの–贖い主–は | חָי 生きている | וְאַחֲרוֹן そして–最後–に H0314 | עַל־ 上–に | עָפָר 塵–の H6083

יָקוּם׃ 立たれる

わたしは知る、わたしをあがなう者は生きておられる、後の日に彼は必ず地の上に立たれる。

26 וְאַחַר そして–後に | עוֹרִי わたしの–皮膚–が H5785 | נִקְּפוּ־ 打ち壊された | זֹאת この–後に H2063 | וּמִבְשָׂרִי そして–わたしの–肉体–から H1320

אֱלוֹהַּ׃ 神–を H0433 | אֶחֱזֶה わたし–は–仰ぎ見る H2372

わたしの皮がこのように滅ぼされたのち、わたしは肉を離れて神を見るであろう。

27 אֲשֶׁר その–方–を | וַאֲנִי わたし–は H0589 | אֶחֱזֶה־ 仰ぎ見る H2372 | לִי わたし–のために | וְעֵינַי そして–わたしの–目–が | רָאוּ 見た H7200 | וְלֹא־ そして–ない H3808

זָר 他人–の–目–では–なく | כָּלוּ 衰え果てた H3615 | כִלְיֹתַי わたしの–内臓–は H3629 | בְּחֵקִי׃ わたしの–胸–の–中–で H2436

しかもわたしの味方として見るであろう。わたしの見る者はこれ以外のものではない。わたしの心はこれを望んでこがれる。

28 כִּי なぜなら | תֹאמְרוּ あなたがた–が–言うなら H0559 | מַה־ 何–を H4100 | נִרְדָּף־ 追い詰めよう H7291 | לוֹ 彼–を | וְשֹׁרֶשׁ そして–根 H8328 | דָּבָר 事–の H1697 | נִמְצָא־ 見つかった H4672

בִּי׃ わたし–に

あなたがたがもし『われわれはどうして彼を責めようか』と言い、また『事の根源は彼のうちに見いだされる』と言うならば、

29 גְּורוּ 恐れなさい | לָכֶם あなたがた–自身 | מִפְּנֵי־ 前–から H6440 | חֶרֶב 剣–の H2719 | כִּי־ なぜなら | חֵמָה 怒り–は H2534 | עֲוֹנוֹת 不義–に–対する H5771 | חֶרֶב 剣–の H2719 | לְמַעַן ために H4616

תֵּדְעוּן あなたがたが–知る H3045 | שׁדין[裁き–を H1779 | שַׁדִּין׃((裁き–を) H1779 | ס セラ

つるぎを恐れよ、怒りはつるぎの罰をきたらすからだ。これによって、あなたがたは、さばきのあることを知るであろう」。

Chapter 20

1 וַיַּעַן צוֹפַר הַנַּעֲמָתִי וַיֹּאמַר׃
そして–答えた ツォファル ナアマ人–は そして–言った
H6691 H5284 H0559

そこでナアマびとゾパルは答えて言った、

2 לָכֵן שְׂעִפָּי יְשִׁיבֻנִי וּבַעֲבוּר חֻשִׁי בִּי׃
それゆえ わたしの–思い–が 答えさせる–わたし–に そして–その–ために 急ぎ–が わたし–の–中–に
H7725 H5668

「これによって、わたしは答えようとの思いを起し、これがために心中しきりに騒ぎ立つ。

3 מוּסַר כְּלִמָּתִי אֶשְׁמָע וְרוּחַ מִבִינָתִי יַעֲנֵנִי׃
訓 わたしの–恥–の わたし–は–聞いた そして–霊–が わたしの–惟り–から 答えさせる–わたし–に
H4148 H3639 H8085 H7307 H0998

わたしはわたしをはずかしめる非難を聞く、しかし、わたしの悟りの霊がわたしに答えさせる。

4 הֲזֹאת יָדַעְתָּ מִנִּי־קֶדֶם מִשּׂוּם אָדָם עָלֵי־אָרֶץ׃
これ–を あなた–は–知っているか から 永遠 置かれた 人–が 上–に 地–の
H2063 H3045 H5703 H4100 H0120 H5921 H0776

あなたはこの事を知らないのか、昔から地の上に人の置かれてよりこのかた、

5 כִּי רִנַּת רְשָׁעִים קָצֵר וְשִׂמְחַת חָנֵף עֲדִי־רָגַע׃
まことに 叫び–は 悪しき者–たちの 短い そして–喜び–は 偽善者–の ただ 一瞬–の
H7445 H7563 H7138 H8057 H2611 H5704 H7281

悪しき人の勝ち誇はしばらくであって、神を信じない者の楽しみはただつかのまであることを。

6 אִם־יַעֲלֶה לַשָּׁמַיִם שְׂאֵתוֹ וְרֹאשׁוֹ לֶעָב יִגְיָע׃
たとえ 上るとも 天–に その–高さ–が そして–その–頭–が 雲–に 届くとも
H5927 H8064 H7863 H7218 H5645 H5060

たといその高さが天に達し、その頭が雲におよんでも、

7 כְּגֵלָלוֹ לָנֶצַח יֹאבֵד רֹאָיו יֹאמְרוּ אַיּוֹ׃
その–糞–の–ように 永遠–に 滅びる 見た–者–たち–は 言う どこ–に
H1561 H5331 H0006 H7200 H0559 H0335

彼はおのれの糞のように、とこしえに滅び、彼を見た者は言うであろう、『彼はどこにおるか』と。

8 כַּחֲלוֹם יָעוּף וְלֹא יִמָּצֵא וְיִדַּד כַּחֶזְיוֹן לָיְלָה׃
夢–の–ように 飛び去る そして–ない 見つけられる–彼–を そして–追い払われる 幻–の–ように 夜–の
H2472 H3808 H4672 H5074 H2384 H3915

彼は夢のように飛び去って、再び見ることはない。彼は夜の幻のように追い払われるであろう。

9 עַיִן שָׁזְפָתּוּ וְלֹא תוֹסִיף עוֹד תְּשׁוּרֶנּוּ וְלֹא־תְקוּמוֹ׃
目–が 見つめた–彼–を しかし–ない 再び もはや 見る–彼–を そして–ない その–場所–は
H7805 H3808 H3254 H5750 H7789 H3808 H4725

彼を見た目はかさねて彼を見ることがなく、彼のいた所も再び彼を見ることがなかろう。

10
בָּנָיו יְרַצּוּ דַלִּים וְיָדָיו תָּשֵׁבְנָה אוֹנוֹ׃
その-子ら-が 御機嫌-を-取る 貧しい-者-に そして-その-手-が 返す その-富-を
H1121 H7521 H1800 H3027 H7725 H0202

その子らは貧しい者に恵みを求め、その手は彼の貨財を償うであろう。

11
עַצְמוֹתָיו מָלְאוּ]עלומו[(עֲלוּמָיו) עַל־ עָפָר תִּשְׁכָּב׃
その-骨-は 満ちていた [若さ-で] (若さ-で) 上-に 塵-の 横たわる
H6106 H4390 H5934 H5934 H6083 H7901

その骨には若い力が満ちている、しかしそれは彼と共にちりに伏すであろう。

12
אִם־ תַּמְתִּיק רָעָה בְּפִיו תַּחַת לְשׁוֹנוֹ׃ יַכְחִידֶנָּה
たとえ 甘くても 悪-が その-口-に 下-に その-舌-の 隠しても-それ-を
H4985 H7451 H6310 H8478 H3956 H3582

たとい悪は彼の口に甘く、これを舌の裏にかくし、

13
יַחְמֹל עָלֶיהָ וְלֹא יַעַזְבֶנָּה וְיִמְנָעֶנָּה בְתוֹךְ
惜しんでも それ-を そして-ない 手放しても-それ-を そして-とどめていても-それ-を 中-に
H2550 H5921 H3808 H5800 H4513 H8432

חִכּוֹ׃
その-口蓋-の
H2441

これを惜しんで捨てることなく、口の中に含んでいても、

14
לַחְמוֹ בְּמֵעָיו נֶהְפָּךְ מְרוֹרַת פְּתָנִים בְּקִרְבּוֹ׃
その-食物-は その-内臓-の-中-で 変わる 毒-となる 毒蛇-の その-中-で
H3899 H4578 H2015 H4846 H6620 H7130

その食物は彼の腹の中で変り、彼の内で毒蛇の毒となる。

15
חַיִל בָּלַע וַיְקִאֵנּוּ מִבִּטְנוֹ יוֹרִשֶׁנּוּ אֵל׃
富-を 飲み込んだ そして-吐き出す-それ-を その-腹-から 追い出す-それ-を 神-が
H2428 H1104 H6958 H0990 H3423 H0410

彼は貨財をのんでも、またそれを吐き出す、神がそれを彼の腹から押し出されるからだ。

16
רֹאשׁ־ פְּתָנִים יִינָק תַּהַרְגֵּהוּ לְשׁוֹן אֶפְעֶה׃
頭-を 毒蛇-の 吸う 殺す-彼-を 舌-が まむし-の
H7219 H6620 H3243 H2026 H3956 H0660

彼は毒蛇の毒を吸い、まむしの舌は彼を殺すであろう。

17
אַל־ יֶרְא בְּפַלְגֹּות נַהֲרֵי נַחֲלֵי דְּבַשׁ וְחֶמְאָה׃
ない 見る-彼は 流れ-を 川-の 流れ-を 蜜-の そして-乳脂-の
H0408 H7200 H6390 H5104 H5158 H1706

彼は蜜と凝乳の流れる川々を見ることができない。

18
מֵשִׁיב יְגִיעַ וְלֹא יִבְלָע כְּחֵיל תְּמוּרָתוֹ וְלֹא יַעֲלֹס׃
返す 労苦-の-実-を そして-ない 飲み込む 富-の-ように その-交換-の そして-ない 喜ぶ
H7725 H3022 H3808 H1104 H2428 H8545 H3808 H5965

彼はほねおって獲たものを返して、それを食うことができない。その商いによって得た利益をもって楽しむことができない。

19
כִּי־ רָצַץ דַּלִּים עָזַב בַּיִת גָּזַל וְלֹא יִבְנֵהוּ׃
なぜなら 砕いた 見捨てた 貧しい-者-を 家-を 奪った そして-ない 建てる-それ-を
H7533 H5800 H1004 H1497 H3808 H1129

彼が貧しい者をしえたげ、これを捨てたからだ。彼は家を奪い取っても、それを建てることができない。

יְמַלָּט׃	לֹא	בַּחֲמוּדוֹ	בִּבְטְנוֹ	שָׁלֵו	יָדַע	לֹא־	כִּי	20
救う	ない	その–宝–で	その–腹–の–中–で	平安–を	知らなかった	ない	なぜなら	
H4422	H3808		H0990	H7961	H3045	H3808		

彼の欲張りは足ることを知らぬゆえ、その楽しむ何物をも救うことができないであろう。

טוּבוֹ׃	יָחִיל	לֹא־	כֵּן	עַל־	לְאָכְלוֹ	שָׂרִיד	אֵין־	21
その–繁栄–は	続く	ない	それ–ゆえに	それ–ゆえに	その–食べ物–の	残り–は	ない	
H2898		H3808			H0400	H8300	H0369	

彼が残して食べなかった物とては一つもない。それゆえ、その繁栄はながく続かないであろう。

תְּבוֹאֵנוּ׃	עָמֵל	יַד	כָּל־	לוֹ	יֵצֵר	שְׂפְקוֹ	בִּמְלֹאוּת	22
襲う–彼–に	苦しむ–者–の	手–が	すべて–の	彼–に	狭まる	その–豊かさ–が	満ちる–ときに	
H0935		H3027	H3605		H3334		H4390	

その力の満ちている時、彼は窮境に陥り、悩みの手がことごとく彼の上に臨むであろう。

אַפּוֹ	חֲרוֹן	בּוֹ	יְשַׁלַּח־	בִּטְנוֹ	לְמַלֹּא	וְיִהִי		23
その–怒り–の	燃える–怒り–を	彼–に	送る	その–腹–を	満たす–ために	そうなる		
H0639	H2740		H7971	H0990	H4390	H1961		
בְּלֶחוּמוֹ׃	עָלָיו	וַיַּמְטֵר						
その–戦い–の–雨–を	彼ら–の–上–に	そして–降らせる						
H3894		H4305						

彼がその腹を満たそうとすれば、神はその激しい怒りを送って、それを彼の上に降り注ぎ、彼の食物とされる。

נְחוּשָׁה׃	קֶשֶׁת	תַּחְלְפֵהוּ	בַּרְזֶל	מִנֶּשֶׁק	יִבְרַח	24
青銅–の	弓–が	貫く–彼–を	鉄–の	武器–から	逃げる	
H5154	H7198	H2498	H1270	H5402	H1272	

彼は鉄の武器を免れても、青銅の矢は彼を射通すであろう。

אֵמִים׃	עָלָיו	יַהֲלֹךְ	מִמְרָרָתוֹ	וּבָרָק	מִגֵּוָה	וַיֵּצֵא	שָׁלַף	25
恐怖–が	彼–の–上–に	行く	その–胆のう–から	そして–稲光–が	体–から	そして–出た	引き抜いた	
H0367		H1980	H4846		H1465	H3318	H8025	

彼がこれをその身から引き抜けば、きらめく矢じりがその肝から出てきて、恐れが彼の上に臨む。

לֹא־	אֻשַּׁ	תְּאָכְלֵהוּ	לִצְפֻּנָיו	טָמוּן	חֹשֶׁךְ	כָּל־		26
ない	火–が	食い尽くす–彼–を	その–秘密–の–ために	隠されている	闇–が	すべて–の		
H3808	H0784	H0398	H6845	H2934	H2822	H3605		
בְּאָהֳלוֹ׃	שָׂרִיד	יֵרַע	נָפַח					
その–天幕–の–中–で	残り–の–者–は	苦しむ	吹き起こされた					
H0168	H8300	H3415	H5301					

もろもろの暗黒が彼の宝物のためにたくわえられ、人が吹き起したものでない火が彼を焼きつくし、その天幕に残っている者を滅ぼすであろう。

לוֹ׃	מִתְקוֹמָמָה	וְאֶרֶץ	עֲוֹנוֹ	שָׁמַיִם	יְגַלּוּ	27
彼–に–対して	立ち上がる	そして–地–が	その–咎–を	天–が	明かす	
		H0776	H5771	H8064	H1540	

天は彼の罪をあらわし、地は起って彼を攻めるであろう。

אַפּוֹ׃	בְּיוֹם	נְגָרוֹת	בֵּיתוֹ	יְבוּל	יָגֶל	28
その–怒り–の	日–に	流される	その–家–の	収穫–は	流れ去る	
H0639	H3117	H5064		H2981	H1540	

その家の財産は奪い去られ、神の怒りの日に消えうせるであろう。

29

אִמְרוֹ	וְנַחֲלַת	מֵאֱלֹהִים	רָשָׁע	אָדָם	חֵלֶק־	זֶה
その–定め–の	そして–受け継ぐ–もの–である	神–から–の	悪しき	人–の	分け前–である	これ–が
H0561	H5159	H0430	H7563	H0120		H2088

פ	מֵאֵל׃
ペ	神–から–の
	H0410

これが悪しき人の神から受ける分、神によって定められた嗣業である」。

Chapter 21

1

וַיַּעַן	אִיּוֹב	וַיֹּאמַר׃
そして–答えた	ヨブ–は	そして–言った
	H0347	H0559

そこでヨブは答えて言った、

2

שִׁמְעוּ	שָׁמוֹעַ	מִלָּתִי	וּתְהִי־	זֹאת	תַּנְחוּמֹתֵיכֶם׃
聞きなさい	よく–聞きなさい	わたしの–言葉–を	そして–なりなさい	これ–が	あなたがたの–慰め–と
H8085	H8085	H4405	H1961	H2063	H8575

「あなたがたはとくと、わたしの言葉を聞き、これをもって、あなたがたの慰めとするがよい。

3

שָׂאוּנִי	וְאָנֹכִי	אֲדַבֵּר	וְאַחַר	דַּבְּרִי	תַּלְעִיג׃
耐えなさい–わたし–を	そして–わたし–が	語る	そして–後–に	わたし–が–語った–後–に	嘲笑しなさい
H5375	H0595	H1696		H1696	H3932

まずわたしをゆるして語らせなさい。わたしが語ったのち、あざけるのもよかろう。

4

לֹא־	מֹּה־	וְאִם־	שִׂיחִי	לְאָדָם	הֵאָנֹכִי	
ない	なぜ	そして–もし	訴えているのか–わたし–の–嘆き–は	人–に–対して	わたし–が	
H3808	H4069		H7879	H0120	H0595	

רוּחִי׃	תִּקָּצַר
わたしの–霊–は	短くなるのか
H7307	

わたしのつぶやきは人に対してであろうか。わたしはどうして、いらだたないでいられようか。

5

פֶּה׃	עַל־	יָד	וְשִׂימוּ	וְהָשֹּׁמּוּ	אֵלַי	פְּנוּ־
口–の	上–に	手–を	そして–置きなさい	そして–驚きなさい	わたし–に	向きなさい
H6310		H3027		H8074	H0413	H6437

あなたがたはわたしを見て、驚き、手を口にあてるがよい。

6

בִּשָּׂרִי	וְאֶחָז	וְנִבְהָלְתִּי	זָכַרְתִּי	וְאִם־	פַּלָּצוּת׃
わたしの–肉体–を	そして–捕らえる	そして–おののいた	思い出したなら	そして–もし	戦慄–が
H1320	H0270	H0926	H2142		H6427

わたしはこれを思うと恐ろしくなって、からだがしきりに震えわななく。

7

חָיִל׃	גָּבְרוּ	גַּם־	עָתְקוּ	יְחְיוּ	רְשָׁעִים	מַדּוּעַ
力–に–おいて	強くなる	さらに	老いて	生きるのか	悪しき者–たちは	なぜ
H2428	H1396	H1571	H6275	H2421	H7563	H4069

なにゆえ悪しき人が生きながらえ、老齢に達し、かつ力強くなるのか。

לְעֵינֵיהֶם׃	וְצֶאֱצָאֵיהֶם	עִמָּם	לִפְנֵיהֶם	נָכוֹן	זַרְעָם	8
彼らの–目–の–前–に	そして–その–子孫–は	彼ら–と–共に	彼らの–前–に	定まっている	その–子孫–は	
	H6631		H6440		H2233	

その子らは彼らの前に堅く立ち、その子孫もその目の前に堅く立つ。

עֲלֵיהֶם׃	אֱלוֹהַּ	שֶׁבֶט	וְלֹא	מִפָּחַד	שָׁלוֹם	בָּתֵּיהֶם	9
彼ら–の–上–に	神–の	松–は	そして–ない	恐れ–から	平安–である	その–家–は	
	H0433	H7626	H3808	H6343	H7965		

その家は安らかで、恐れがなく、神のつえは彼らの上に臨むことがない。

תִּשְׁכָּל׃	וְלֹא	פָּרָתוֹ	תַּפַּלֵּט	יַגְעֶל	וְלֹא	עִבֵּר	שׁוֹרוֹ	10
流産しない	そして–ない	その–雌牛–は	産む	失敗しない	そして–ない	交わって	その–雄牛–は	
	H3808	H6510	H6403	H1602	H3808		H7794	

その雄牛は種を与えて、誤ることなく、その雌牛は子を産んで、そこなうことがない。

יִרְקֹדוּן׃	וְיַלְדֵיהֶם	עֲוִילֵיהֶם	כַּצֹּאן	יְשַׁלֵּחוּ	11
踊る	そして–その–子ども–たちは	その–幼い–子ら–を	羊–の–ように	送り出す	
H7540	H3206	H5759	H6629	H7971	

彼らはその小さい者どもを群れのように連れ出し、その子らは舞い踊る。

עוּגָב׃	לְקוֹל	וְיִשְׂמְחוּ	וְכִנּוֹר	כְּתֹף	יִשְׂאוּ	12
笛–の	音–に	そして–喜ぶ	琴–を	太鼓–と	担ぐ	
H5748		H8055	H3658	H8596	H5375	

彼らは手鼓と琴に合わせて歌い、笛の音によって楽しみ、

יֵחָתוּ׃	שְׁאוֹל	וּבְרֶגַע	יְמֵיהֶם	בְּטוֹב	(יְכַלּוּ)	[יבלו]	13
下る	陰府–に	そして–一瞬–で	その–日々–を	幸い–の–中–で	(過ごす)	[過ごす]	
H5181	H7585	H7281	H3117		H3615	H1086	

その日をさいわいに過ごし、安らかに陰府にくだる。

חָפָצְנוּ׃	לֹא	דְּרָכֶיךָ	וְדַעַת	מִמֶּנּוּ	סוּר	לָאֵל	וַיֹּאמְרוּ	14
望まない	ない	あなたの–道–の	そして–知識–を	わたしたち–から	離れよ	神–に	そして–言った	
	H3808	H1870	H1847		H5493	H0410	H0559	

彼らは神に言う、『われわれを離れよ、われわれはあなたの道を知ることを好まない。

נִפְגַּע־	כִּי	נוֹעִיל	וּמַה־	נַעַבְדֶנּוּ	כִּי־	שַׁדַּי	מַה־	15
訴えよう	それなら	益–が–あるか	そして–何–の	仕えよう–その–方–に	それなら	全能者–は	何–か	
H6293		H3276	H4100	H5647		H7706	H4100	

בּוֹ׃
その–方–に

全能者は何者なので、われわれはこれに仕えねばならないのか。われわれはこれに祈っても、なんの益があるか』と。

מֶנִּי׃	רָחֲקָה	רְשָׁעִים	עֲצַת	טוּבָם	בְיָדָם	לֹא	הֵן	16
わたし–から	遠い	悪しき者–たちの	計画–は	その–繁栄–は	その–手–の–中–に	ない	見よ	
	H7368	H7563	H6098	H2898	H3027	H3808	H2005	

見よ、彼らの繁栄は彼らの手にあるではないか。悪人の計りごとは、わたしの遠く及ぶ所でない。

אֵידָם	עֲלֵימוֹ	וְיָבֹא	יִדְעָךְ	רְשָׁעִים	נֵר־	וְכַמָּה	17
その–災い–が	彼ら–の–上–に	そして–来る	消えるのか	悪しき者–たちの	ともしび–が	どれほど	
H0343		H0935	H1846	H7563		H4100	

בְּאַפּוֹ׃	יְחַלֵּק	חֲבָלִים
その–怒り–の–中–で	分け与えるのか	苦痛–を
H0639		

悪人のともしびの消されること、幾たびあるか。その災の彼らの上に臨むこと、神がその怒りをもって苦しみを与えられること、幾たびあるか。

סוּפָה׃	גְּנָבַתּוּ	וּכְמֹץ	רוּחַ	לִפְנֵי־	כְּתֶבֶן	יִהְיוּ	18
嵐–が	盗んだ	そして–籾–の–ように	風–の	前–の	わら–の–ように	なるのか	
	H1589	H4671	H7307	H6440	H8401	H1961	

彼らが風の前のわらのようになること、あらしに吹き去られるもみがらのようになること、幾たびあるか。

וְיֵדָע׃	אֵלָיו	יְשַׁלֵּם	אוֹנוֹ	לִבְנָיו	יִצְפֹּן־	אֱלוֹהַּ	19
そうすれば–知るだろう	彼自身–に	報いなさい	その–罰–を	その–子ら–の–ために	蓄える	神–が	
H3045	H0413		H0205		H6845	H0433	

あなたがたは言う、『神は彼らの罪を積みたくわえて、その子らに報いられるのだ』と。どうかそれを彼ら自身に報いて、彼らにその罪を知らせられるように。

יִשְׁתֶּה׃	שַׁדַּי	וּמֵחֲמַת	כִּידֹו	עֵינָיו)(	]עינו[	יִרְאוּ	20
飲みなさい	全能者–の	そして–怒り–から	その–滅び–を	(その–目–が)	[その–目–が]	見よ	
H8354	H7706	H2534	H3589			H7200	

すなわち彼ら自身の目にその滅びを見させ、全能者の怒りを彼らに飲ませられるように。

חֻצָּיו׃	חָדָשָׁיו	וּמִסְפַּר	אַחֲרָיו	בְּבֵיתוֹ	חֶפְצוֹ	מַה־	כִּי	21
絶たれた	その–月–の	そして–数–は	彼–の–後–に	その–家–に	喜び–が–あるのか	何–の	なぜなら	
	H2320	H4557			H2656	H4100		

その月の数のつきるとき、彼らはその後の家になんのかかわる所があろうか。

יִשְׁפּוֹט׃	רָמִים	וְהוּא	דָּעַת	יְלַמֶּד־	לָאֵל	22
裁く	高き–者–を	そして–その–方–が	知識–を	教えられるのか	神–に	
H8199		H1931	H1847	H3925	H0410	

神は天にある者たちをさえ、さばかれるのに、だれが神に知識を教えることができようか。

וְשַׁלְיו׃	שַׁלְאֲנַן	כֻּלּוֹ	תָּמוֹ	בְּעֶצֶם	יָמוּת	זֶה	23
そして–平安–で	安らか–で	すべて–が	完全–の–中–で	まさに	死ぬ	ある–者–は	
H7961	H7946	H3605	H8537	H6106	H4191	H2088	

ある者は繁栄をきわめ、全く安らかに、かつおだやかに死に、

יְשֻׁקֶּה׃	עַצְמוֹתָיו	וּמֹחַ	חָלָב	מָלְאוּ	עֲטִינָיו	24
潤っていた	その–骨–の	そして–髄–は	乳–で	満ちていた	その–乳房–は	
H8248	H6106	H4221	H2461	H4390	H5845	

そのからだには脂肪が満ち、その骨の髄は潤っている。

בַּטּוֹבָה׃	אָכַל	וְלֹא־	מָרָה	בְּנֶפֶשׁ	יָמוּת	וְזֶה	25
幸い–を	食べた	そして–ない	苦い	魂–の–中–で	死ぬ	そして–ある–者–は	
	H0398	H3808	H4751	H5315	H4191	H2088	

ある者は心を苦しめて死に、なんの幸をも味わうことがない。

26 יַחַד֮ עַל־ עָפָר֒ יִשְׁכָּבוּ֒ וְרִמָּ֣ה תְכַסֶּ֔ה עֲלֵיהֶֽם׃
共に 上–に 塵–の 横たわる そして–蛇–が 覆う 彼ら–の–上–を
H3680 H7415 H7901 H6083

彼らはひとしくちりに伏し、うじにおおわれる。

27 הֵ֭ן יָדַ֣עְתִּי מַחְשְׁבוֹתֵיכֶ֑ם וּמְזִמּ֖וֹת תַּחְמְסוּ׃ עָלָֽי
見よ 知っている–は–わたし 思い–を–あなたがたの そして–たくらみ–を 企てている わたし–に–対して
H2005 H3045 H4284 H4209 H2554

見よ、わたしはあなたがたの思いを知り、わたしを害しようとするたくらみを知る。

28 כִּ֤י תֹ֭אמְרוּ אַיֵּ֣ה בֵּית־ נָדִ֑יב וְאֵ֥י אֹ֝הֶל מִשְׁכְּנ֗וֹת רְשָׁעִֽים׃
なぜなら あなたがた–が–言う どこ–に 家–は 高貴な–者–の そして–どこ–に 天幕–は 住まい–の 悪しき者–たちの
H0559 H0346 H1004 H5081 H0346 H0168 H4908 H7563

あなたがたは言う、『王侯の家はどこにあるか、悪人の住む天幕はどこにあるか』と。

29 הֲלֹ֣א שְׁ֭אַלְתֶּם דֶּ֣רֶךְ עֹבְרִ֑י וְאֹתֹתָ֥ם לֹ֝א תְנַכֵּֽרוּ׃
ない–のか 尋ねた 道–の 旅人–たち–に そして–その–しるし–を ない 認めないのか
H3808 H7592 H1870 H5869 H0226 H3808

あなたがたは道行く人々に問わなかったか、彼らの証言を受け入れないのか。

30 כִּ֤י לְי֣וֹם רָ֭עָה יֵחָשֵׂ֣ךְ אֵ֑יד לְי֥וֹם עֶ֝בְרוֹת יוּבָלוּ׃
まことに 日–に 悪しき–者–は 免れる 災い–の 日–に 怒り–の 導かれる
H3117 H7451 H2820 H0343 H3117 H5678 H2986

すなわち、災の日に悪人は免れ、激しい怒りの日に彼は救い出される。

31 מִֽי־ יַגִּ֣יד עַל־ פָּ֭נָיו דַּרְכּ֑וֹ וְ֝הוּא־ עָשָׂ֗ה מִי֙ יְשַׁלֶּם־ לֽוֹ׃
誰–が 告げるのか 対して その–顔–に その–道–を そして–彼–が 行った–こと–に–対して 誰–が 報いるのか 彼–に
H4310 H5046 H5869 H6440 H1870 H1931 H4310 H3605 H7999

だれが彼に向かって、その道を告げ知らせる者があるか、だれが彼のした事を彼に報いる者があるか。

32 וְעַל־ גֵּ֭דִישׁ יִשְׁקֹ֑וד יוּבַ֥ל לְ֝קִבְר֗וֹת וְהוּא֙
そして–上–で 塚–の 見張りをする 運ばれる 墓–へ そして–彼–は
H5921 H1531 H8245 H2986 H6913 H1931

彼はかかれて墓に行き、塚の上で見張りされ、

33 מָתְק֣וּ לוֹ֮ רִגְבֵּי֒ נָ֣חַל וְאַחֲרָ֣יו כָּל־ אָדָ֣ם יִמְשֹׁ֑וךְ וְלִ֝פְנָ֗יו אֵ֣ין מִסְפָּֽר׃
甘い 彼–には 土塊–は 谷–の そして–その–後–に すべて–の 人–が 従う そして–その–前–にも ない 数–が
H4985 H7263 H5158 H3605 H0120 H4900 H6440 H0369 H4557

谷の土くれも彼には快く、すべての人はそのあとに従う。彼の前に行った者も数えきれない。

34	וְאֵיךְ	תְּנַחֲמוּנִי	הֶבֶל	וּתְשׁוּבֹתֵיכֶם	נִשְׁאַר־	מָעַל׃
	そして–どうして	慰めるのか–わたし–を	空しく	そして–あなたがたの–答え–には	残っている	不実–が
	H0559	H5162	H1892	H8666	H7604	H4604

ס
セラ

それで、あなたがたはどうしてむなしい事をもって、わたしを慰めようとするのか。あなたがたの答は偽り以外の何ものでもない」。

Chapter 22

1	וַיַּעַן	אֱלִיפַז	הַתֵּימָנִי	וַיֹּאמַר׃
	そして–答えた	エリファズ	テマン人–は	そして–言った
	H0559	H0464	H8489	H0559

そこでテマンびとエリパズは答えて言った、

2	הַלְאֵל	יִסְכָּן־	גֶּבֶר	כִּי־	יִסְכְּנוּ	עָלָיו	מַשְׂכִּיל׃
	神–に–対して	役立つのか	人–が	まことに	役立つ	その–方–に–対して	賢い–者–が
	H0410	H5532	H1397		H5532		

「人は神を益することができるであろうか。賢い人も、ただ自身を益するのみである。

3	הַחֵפֶץ	לְשַׁדַּי	כִּי	תִצְדָּק	וְאִם־	בֶּצַע	
	喜び–であろうか	全能者–に–とって	それなら	あなた–が–正しい–と	そして–もし	利益–が–あるか	
	H2656	H7706		H6663		H1215	
	כִּי־	תַתֵּם	דְּרָכֶיךָ׃				
	それなら	完全であるなら	あなたの–道–が				
		H8552	H1870				

あなたが正しくても、全能者になんの喜びがあろう。あなたが自分の道を全うしても、彼になんの利益があろう。

4	הַמִּיִרְאָתְךָ	יִכְיַחֲךָ	יָבוֹא	עִמְּךָ	בַמִּשְׁפָּט׃
	あなたの–畑れ深さ–の–ゆえに	戒めるのか–あなた–を	来るのか	あなた–と–共に	裁判–に
	H3374	H3198	H0935		H4941

神はあなたが神を恐れることのゆえに、あなたを責め、あなたをさばかれるであろうか。

5	הֲלֹא	רָעָתְךָ	רַבָּה	וְאֵין־	קֵץ	לַעֲוֹנֹתֶיךָ׃
	ではない–のか	あなたの–悪–は	大きい	そして–ない	終わり–は	あなたの–咎–に
	H3808			H0369	H7093	H5771

あなたの悪は大きいではないか。あなたの罪は、はてしがない。

6	כִּי־	תַחְבֹּל	אַחֶיךָ	חִנָּם	וּבִגְדֵי	עֲרוּמִּים	תַּפְשִׁיט׃
	なぜなら	取った	あなたの–兄弟–から	理由なく–質–を	そして–衣–を	裸の–者–たちの	剥ぎ取った
			H0251	H2600		H6174	H6584

あなたはゆえなく兄弟のものを質にとり、裸な者の着物をはぎ取り、

7	לֹא־	מַיִם	תַּשְׁקֶה	עָיֵף	תִּמְנַע־	וּמֵרָעֵב	לֶחֶם׃
	ない	水–を	飲ませた	疲れた–者–に	差し止めた	そして–飢えた–者–から	パン–を
	H3808	H4325	H8248	H5889	H4513	H7457	H3899

疲れた者に水を飲ませず、飢えた者に食物を与えなかった。

:בָּהּ	יָשַׁב	פָּנִים	וּנְשׂוּא	הָאָרֶץ	לוֹ	זְרוֹעַ	וְאִישׁ	8
そこ–に	住んだ	顔–の–者–が	そして–尊ばれた	地–は	彼–のもの	腕力–の	そして–人–は	
	H3427	H6440	H5375	H0776		H2220	H0376	

力ある人は土地を得、名ある人はそのうちに住んだ。

:יְדֵכָא	יְתֹמִים	וּזְרֹעוֹת	רֵיקָם	שִׁלַּחְתָּ	אַלְמָנוֹת	9
砕いた	孤児–たちの	そして–腕–を	空手–で	送り返した	寡婦–たち–を	
H1792	H3490	H2220	H7387	H7971	H0490	

あなたは、やもめをむなしく去らせた。みなしごの腕は折られた。

:פִּתְאֹם	פַּחַד	וְיִבַהֲלֵךְ	פַּחִים	סְבִיבוֹתֶיךָ	כֵּן	עַל־		10
突然–に	恐怖–が	そして–おののかせる	罠–が–ある	あなたの–周り–に	それ–ゆえに	それ–ゆえに		
H6597	H6343	H0926		H5439				

それゆえ、わなはあなたをめぐり、恐怖は、にわかにあなたを驚かす。

:תְּכַסֶּךָּ	מַיִם	וְשִׁפְעַת־	תִּרְאֶה	לֹא־	חֹשֶׁךְ	אוֹ־		11
覆う–あなた–を	水–の	そして–洪水–が	見えないのか	ない	闇–を	あるいは		
H3680	H4325	H8229	H7200	H3808	H2822			

あなたの光は暗くされ、あなたは見ることができない。大水はあなたをおおうであろう。

:רָמוּ	כִּי־	כּוֹכְבִים	רֹאשׁ	וּרְאֵה	שָׁמַיִם	גֹּבַהּ	אֱלוֹהַּ	הֲלֹא־	12
高い	まことに	星–の	頂–を	そして–見よ	天–の	高い	神–は	はい–ないのか	
		H3556		H7200	H8064	H1363	H0433	H3808	

神は天に高くおられるではないか。見よ、いと高き星を。いかに高いことよ。

								13
:יִשְׁפּוֹט	עֲרָפֶל	הַבְעַד	אֵל	יָדַע	מַה־	וְאָמַרְתָּ		
裁くのか	暗雲–の	背後–の	神–は	知っているのか	何–を	そして–あなた–は–言った		
H8199	H6205	H1157	H0410	H3045	H4100	H0559		

それであなたは言う、『神は何を知っておられるか。彼は黒雲を通して、さばくことができるのか。

								14
:יִתְהַלָּךְ	שְׁמֵים	וְחוּג	יִרְאֶה	וְלֹא	לוֹ	סֵתֶר־	עָבִים	
歩く	天–の	そして–圏–を	見えない	そして–ない	彼–に	覆い–である	雲–は	
H1980	H8064	H2329	H7200	H3808			H5645	

濃い雲が彼をおおい隠すと、彼は見ることができない。彼は天の大空を歩まれるのだ』と。

								15
:אָוֶן	מְתֵי־	דָּרְכוּ	אֲשֶׁר	תִּשְׁמֹר	עוֹלָם	הַאֹרַח		
不義–の	不義–の–者–たち–が	踏んだ	その	守るのか	昔–の	道–を		
H0205	H4962	H1869		H8104	H5769	H0734		

あなたは悪しき人々が踏んだいにしえの道を守ろうとするのか。

								16
:יְסוֹדָם	יוּצַק	נָהָר	עֵת	וְלֹא־	קָמְטוּ	אֲשֶׁר־		
その–基–を	流し去った	川–が	時–に	そして–ない	縮め取られた	彼ら–は		
H3247	H3332	H5104	H6256	H3808	H7059			

彼らは時がこないうちに取り去られ、その基は川のように押し流された。

								17
:לָמוֹ	שַׁדַּי	יִפְעָל	וּמַה־	מִמֶּנּוּ	סוּר	לָאֵל	הָאֹמְרִים	
彼ら–に	全能者–は	行うのか	そして–何–を	わたしたち–から	離れよ	神–に	言っていた–者–たちは	
	H7706	H6466	H4100		H5493	H0410	H0559	

彼らは神に言った、『われわれを離れてください』と、また『全能者はわれわれに何をなしえようか』と。

18 וְהוּא מִלֵּא בָתֵּיהֶם טוֹב וַעֲצַת רְשָׁעִים רָחֲקָה מֶנִּי׃
そして–その–方–が 満たした その–家–を 幸い–で しかし–計画–は 悪しき者–たちの 遠い
H1931 H4390 H6098 H7563 H7368

しかし神は彼らの家を良い物で満たされた。ただし悪人の計りごとはわたしのくみする所ではない。

19 יִרְאוּ צַדִּיקִים וְיִשְׂמָחוּ וְנָקִי יִלְעַג־לָמוֹ׃
見る 正しき–者–たちは そして–喜ぶ そして–潔白な–者–は 嘲笑する 彼ら–を
H7200 H6662 H8055 H3932

正しい者はこれを見て喜び、罪なき者は彼らをあざ笑って言う、

20 אִם־לֹא נִכְחַד קִימָנוּ וְיִתְרָם אָכְלָה אֵשׁ׃
まことに ない 滅ぼされたのか わたしたちの–敵–は そして–その–残り–を 食い尽くした 火–が
H3808 H3582 H7009 H3398 H0784

『まことにわれわれのあだは滅ぼされ、その残した物は火で焼き滅ぼされた』と。

21 הַסְכֵּן־נָא וְשִׁלַּם עִמּוֹ בָּהֶם תְּבוּאָתֶךָ טוֹבָה׃
親しみなさい どうか その–方–と そして–和解しなさい それら–に–よって あなたの–収穫–は 良くなる
H5532 H4994 H5532 H0935

あなたは神と和らいで、平安を得るがよい。そうすれば幸福があなたに来るでしょう。

22 קַח־נָא מִפִּיו תּוֹרָה וְשִׂים אִמָרָיו בִּלְבָבֶךָ׃
受けなさい どうか その–口–から 教え–を そして–置きなさい その–言葉–を あなたの–心–の–中–に
H3947 H4994 H6310 H8451 H0561 H3824

どうか、彼の口から教を受け、その言葉をあなたの心におさめるように。

23 אִם־תָּשׁוּב עַד־שַׁדַּי תִּבָּנֶה תַּרְחִיק עַוְלָה מֵאָהָלֶיךָ׃
もし 立ち帰るなら に 全能者–の–もと 建て直される 遠ざけなさい 不義–を あなたの–天幕–から
H7725 H5704 H7706 H1129 H7368 H0168

あなたがもし全能者に立ち返って、おのれを低くし、あなたの天幕から不義を除き去り、

24 וְשִׁית־עַל־עָפָר בָּצֶר וּבְצוּר נְחָלֵי אוֹפִיר׃
そして–置きなさい 上–に 塵–の 金–を そして–岩–に 谷川–の オフィル–の
H7896 H5921 H6083 H1220 H6697 H5158 H0211

こがねをちりの中に置き、オフルのこがねを谷川の石の中に置き、

25 וְהָיָה שַׁדַּי בְּצָרֶיךָ וְכֶסֶף תּוֹעָפוֹת לָךְ׃
そして–なる 全能者–が あなたの–宝–と そして–銀–が 豊かな あなた–に
H1961 H7706 H1220 H3701 H8443

全能者があなたのこがねとなり、あなたの貴重なしろがねとなるならば、

כִּי־ אָז עַל־ שַׁדַּי תִּתְעַנָּג וְתִשָּׂא אֶל־ אֱלוֹהַּ 26
なぜなら その–時 上–に 全能者–の–もと–で 喜ぶ そして–上げる へ 神–の–もと
H3588 H0227 H5921 H7706 H6026 H5375 H0413 H0433

פָּנֶיךָ׃
あなたの–顔–を
H6440

その時、あなたは全能者を喜び、神に向かって顔をあげることができる。

תַּעְתִּיר אֵלָיו וְיִשְׁמָעֶךָּ וְנָדָרֶיךָ תְּשַׁלֵּם׃ 27
祈る その–方–に そして–聞かれる–あなたの–祈り–が そして–誓い–を 果たす
H6279 H0413 H8085 H5088

あなたが彼に祈るならば、彼はあなたに聞かれる。そしてあなたは自分の誓いを果す。

וְתִגְזַר־ אֹמֶר וְיָקָם לָךְ וְעַל־ דְּרָכַיִךְ נֹגַהּ אוֹר׃ 28
そして–定めるなら 事–を そして–立つ あなた–に そして–上–に あなたの–道–の 輝く 光–が
H1504 H0562 H6965 H0000 H5921 H1870 H5050 H0216

כִּי־ הֻשְׁפִּילוּ וַתֹּאמֶר גֵּוֶה וְשַׁח עֵינַיִם 29
なぜなら 低くされた–とき そして–あなた–が–言う 上げよ–と そして–へりくだった 目–の–者–を
H3588 H8213 H0559 H1466 H7807

יוֹשִׁעַ׃
救う
H3467

彼は高ぶる者を低くされるが、へりくだる者を救われるからだ。

יְמַלֵּט אִי־ נָקִי וְנִמְלַט בְּבֹר כַּפֶּיךָ׃ פ 30
救う ない 潔白–でない–者–をも そして–救われる 清さ–に–よって あなたの–手–の ペ
H4422 H0369 H5355 H1252 H4422 H3709

彼は罪のない者を救われる。あなたはその手の潔いことによって、救われるであろう」。

Chapter 23

וַיַּעַן אִיּוֹב וַיֹּאמַר׃ 1
そして–答えた ヨブ–は そして–言った
H6030 H0347 H0559

そこでヨブは答えて言った、

גַּם־ הַיּוֹם מְרִי שִׂיחִי יָדִי כְּבֵדָה עַל־ 2
今日–も–また 今日 反逆–である わたしの–嘆き–は わたしの–手–は 重い 上–に
H1571 H3117 H4805 H7879 H3027 H3513 H5921

אַנְחָתִי׃
わたしの–うめき–の
H0585

「きょうもまた、わたしのつぶやきは激しく、彼の手はわたしの嘆きにかかわらず、重い。

3 מִי־ יִתֵּן יְדַעְתִּי וְאֶמְצָאֵהוּ אָבוֹא עַד־
ああ 与えられるなら 知っていたなら そして-見つけるなら-その-方-を 行くのに まで
H4310 H5414 H3045 H4672 H0935 H5704

תְּכוּנָתוֹ׃
その-御座-の
H8499

どうか、彼を尋ねてどこで会えるかを知り、そのみ座に至ることができるように。

4 אֶעֱרְכָה לְפָנָיו מִשְׁפָּט וּפִי אֲמַלְּאָה תּוֹכָחוֹת׃
並べるのに その-前-に 訴え-を そして-わたしの-口-を 満たすのに 論証-で
H6440 H4941 H6310 H4390

わたしは彼の前にわたしの訴えをならべ、口をきわめて論議するであろう。

5 אֵדְעָה מִלִּים יַעֲנֵנִי וָאָבִינָה מַה־ יֹאמַר לִי׃
知るのに 言葉-を 答えてくださる-わたし-に そして-悟るのに 何-を 言われるか わたし-に
H3045 H4405 H6030 H0995 H4100 H0559

わたしは、わたしに答えられるみ言葉を知り、わたしに言われる所を悟ろう。

6 הַבְרָב־ כֹּחַ יָרִיב עִמָּדִי לֹא אַךְ־ הוּא יָשֶׂם בִּי׃
大いなる 力-で 争うのか わたし-と いいえ ただ その-方-が 置くだろう わたし-の-中-に
H7378 H5978 H3808 H0389 H1931 H7760 H0907

彼は大いなる力をもって、わたしと争われるであろうか、いな、かえってわたしを顧みられるであろう。

7 שָׁם יָשָׁר נוֹכָח עִמּוֹ וַאֲפַלְטָה לָנֶצַח מִשֹּׁפְטִי׃
そこ-で 正しい-者-が 論じる その-方-と そして-免れる 永遠-に わたしの-裁き主-から
H8033 H3477 H3198 H6403 H5331 H8199

かしこでは正しい人は彼と言い争うことができる。そうすれば、わたしはわたしをさばく者から永久に救われるであろう。

8 הֵן קֶדֶם אֵהָלֵךְ וְאֵינֶנּוּ וְאָחוֹר וְלֹא־ אָבִין לוֹ׃
見よ 前-へ 行くが そこに-おられない そして-後ろ-へ そして-ない 認めない その-方-を
H2005 H1980 H0369 H0268 H3808 H0995

見よ、わたしが進んでも、彼を見ない。退いても、彼を認めることができない。

9 שְׂמֹאול בַּעֲשׂתָו וְלֹא־ יַעְטֹף יָמִין וְלֹא אֶחֱזֶה אֶרְאֶה׃
左-へ 働かれる-ときに そして-ない 捕らえる 隠れる 右-に そして-ない 見えない
H8040 H3808 H2372 H5956 H3225 H3808 H7200

左の方に尋ねても、会うことができない。右の方に向かっても、見ることができない。

10 כִּי־ יָדַע דָּרֶךְ עִמָּדִי בְּחָנַנִי כַּזָּהָב אֵצֵא׃
なぜなら 知っておられる 道-を わたし-と-共に-ある 試したら-わたし-を 金-の-ように 出る
H3045 H1870 H5978 H0974 H2091 H3318

しかし彼はわたしの歩む道を知っておられる。彼がわたしを試みられるとき、わたしは金のように出て来るであろう。

11 בְּאֲשֻׁרוֹ אָחֲזָה רַגְלִי דַּרְכּוֹ שָׁמַרְתִּי וְלֹא־ נָטִיתִי׃
その-歩み-に 保った わたしの-足-を その-道-を 守った そして-ない それた
H0270 H7272 H1870 H8104 H3808 H5186

わたしの足は彼の歩みに堅く従った。わたしは彼の道を守って離れなかった。

פִּיו׃	אִמְרֵי־	צָפַנְתִּי	מֵחֻקֹּו	אָמֵישׁ	וְלֹא	שְׂפָתָיו	מִצְוַת	12
その–口–の	言葉–を	蓄えた	わたしの–定め–よりも	退いた	そして–ない	その–唇–の	指図–を	
H6310	H0561	H6845	H2706	H4185	H3808	H8193	H4687	

わたしは彼のくちびるの命令にそむかず、その口の言葉をわたしの胸にたくわえた。

וְנַפְשֹׁו	יְשִׁיבֶנּוּ	וּמִי	בְּאֶחָד	וְהוּא		13
そして–その–魂–が	引き戻せるのか–その–方–を	そして–誰–が	一つ–に–あって	そして–その–方–は		
H5315	H7725	H4310	H0259	H1931		

וַיַּעַשׂ׃	אִוְּתָה
そして–行った	望んだ
	H0183

しかし彼は変ることはない。だれが彼をひるがえすことができようか。彼はその心の欲するところを行われるのだ。

עִמֹּו׃	רַבֹּות	וְכָהֵנָּה	חֻקִּי	יַשְׁלִים	כִּי	14
その–方–に–は–ある	多く	そして–この–ような–こと–が	わたしの–定め–を	成し遂げる	なぜなら	
	H2007		H2706			

彼はわたしのために定めた事をなし遂げられる。そしてこのような事が多く彼の心にある。

מִמֶּנּוּ׃	וְאֶפְחַד	אֶתְבּוֹנֵן	אֶבְהֶל	מִפָּנָיו	כֵּן	עַל־	15
その–方–を	そして–恐れる	思い巡らすと	おののく	その–前–で	それ–ゆえに	それ–ゆえに	
	H6342	H0995	H0926	H6440			

それゆえ、わたしは彼の前におののく。わたしは考えるとき、彼を恐れる。

הִבְהִילָנִי׃	וְשַׁדַּי	לִבִּי	הֵרַךְ	וְאֵל		16
おののかせた–わたし–を	そして–全能者–が	わたしの–心–を	弱くした	そして–神–が		
H0926	H7706		H7401	H0410		

神はわたしの心を弱くされた。全能者はわたしを恐れさせられた。

אֹפֶל׃	כִּסָּה־	וּמִפָּנַי	חֹשֶׁךְ	מִפְּנֵי־	נִצְמַתִּי	לֹא	כִּי־	17
暗黒–が	覆った	そして–わたしの–顔–から	闇–の	前–に	絶たれなかった	ない	なぜなら	
H0652	H3680	H6440	H2822	H6440	H6789	H3808		

わたしは、やみによって閉じこめられ、暗黒がわたしの顔をおおっている。

Chapter 24

לֹא־	)וְיֹדְעָיו(	]וידעו[	עִתִּים	נִצְפְּנוּ	לֹא־	מֵשַׁדַּי	מַדּוּעַ	1
ない	(知る–者–たちは)	[知る–者–たちは]	時–は	隠されていないのか	ない	全能者–から	なぜ	
H3808	H3045	H3045	H6256	H6845	H3808	H7706	H4069	

יָמָיו׃	חָזוּ
その–日–を	見ない
H3117	H2372

なにゆえ、全能者はさばきの時を定めておかれないのか。なにゆえ、彼を知る者がその日を見ないのか。

וַיִּרְעוּ׃	גָּזָלוּ	עֵדֶר	יַשִּׂיגוּ	גְּבֻלוֹת	2
そして–飼った	奪った	羊の群れ–を	動かす	境界–を	
	H1497	H5739	H5381	H1367	

世には地境を移す者、群れを奪ってそれを飼う者、

3 חֲמוֹר יְתוֹמִים יִנְהָגוּ יַחְבְּלוּ שׁוֹר אַלְמָנָה׃
ろば–を 孤児–たちの 追い立てた 取り上げた–質–に 雄牛–を 寡婦–の
H2543 H3490 H1920 H2254 H7794 H0490

みなしごのろばを追いやる者、やもめの牛を質に取る者、

4 אֶבְיוֹנִים מִדֶּרֶךְ יַחַד נֶחְבְּאוּ עֲנִיֵּי־ אָרֶץ׃
貧しい–者–たち–を 道–から 共に 隠れた 貧しい–者–たち–は 地–の
H0034 H1870 H3162 H2244 H6035 H0776

貧しい者を道から押しのける者がある。世の弱い者は皆彼らをさけて身をかくす。

5 הֵן פְּרָאִים בְּמִדְבָּר יָצְאוּ בְּפָעֳלָם מְשַׁחֲרֵי לָטָרֶף
見よ 野ろば–のように 荒野–の–中–で 出て行く その–働き–の–中–で 求める–者–として 糧–を
H2005 H6501 H4057 H3318 H6467 H7836 H2964

לַנְּעָרִים׃ לֶחֶם לוֹ עֲרָבָה
若者–たち–の–ための パン–である 彼ら–には 荒野–が
H5288 H3899 H6160

見よ、彼らは荒野におる野ろばのように出て働き、野で獲物を求めて、その子らの食物とする。

6 בַּשָּׂדֶה בְּלִילוֹ [יקצירון] (יִקְצֹרוּ) וְכֶרֶם רָשָׁע יְלַקֵּטוּ׃
野–で その–飼い葉–を [刈り取る] (刈り取る) そして–ぶどう畑–で 悪しき–者–の 落ち穂–を–拾う
H1098 H3754 H7563 H3953

彼らは畑でそのまぐさを刈り、また悪人のぶどう畑で拾い集める。

7 עָרוֹם יָלִינוּ וְאֵין כְּסוּת לְבוּשׁ מִבְלִי בַּקָּרָה׃
裸–で 過ごす そして–ない 衣–が ない–まま 寒さ–の–中–に
H6174 H4057 H0369 H3830 H1097 H7135

彼らは着る物がなく、裸で夜を過ごし、寒さに身をおおうべき物もない。

8 מִזֶּרֶם הָרֵים מִבְלִי וּמַחְסֶה חִבְּקוּ־ צוּר׃
山–の–雨–で 山–の 濡れる そして–ない–まま 避け場–が 抱きしめた 岩–を
H2230 H2022 H7372 H1097 H4268 H2263 H6697

彼らは山の雨にぬれ、しのぎ場もなく岩にすがる。

9 יָגְזְלוּ מִשַּׁד יָתוֹם וְעַל־ עָנִי יַחְבֹּלוּ׃
奪った 乳房–から 孤児–の そして–上–に 貧しい–者–の 取り上げた–質–を
H1497 H7699 H3490 H5921 H6041

（みなしごをその母のふところから奪い、貧しい者の幼な子を質にとる者がある。）

10 עָרוֹם הָלְכוּ לְבוּשׁ בְּלִי נָשְׂאוּ וְרְעֵבִים עֹמֶר׃
裸–で 歩いた 衣–が ない–まま 運んだ そして–飢えて 束–を
H6174 H1980 H3830 H1097 H5375 H7457

彼らは着る物がなく、裸で歩き、飢えつつ麦束を運び、

11 בֵּין־ שׁוּרֹתָם יַצְהִירוּ יְקָבִים דָּרְכוּ וַיִּצְמָאוּ׃
間–で その–壁–の 油–を–絞る 酒ぶね–を 踏んだ そして–渇いた
H0996 H6671 H3342 H1869 H6770

悪人のオリブ並み木の中で油をしぼり、酒ぶねを踏んでも、かわきを覚える。

12 מֵעִיר מְתִים יִנְאָקוּ וְנֶפֶשׁ־חֲלָלִים תְּשַׁוֵּעַ
町–から 死にゆく–者–たち–が うめく そして–魂–が 傷ついた–者–たちの 助け–を–求める
H5892 H4962 H5008 H5315 H2491 H7768

וֵאלוֹהַּ לֹא־יָשִׂים תִּפְלָה׃
そして–神–は ない 求めない 不法–を
H0433 H3808 H7760 H8604

町の中から死のうめきが起り、傷ついた者の魂が助けを呼び求める。しかし神は彼らの祈を顧みられない。

13 הֵמָּה הָיוּ בְּמֹרְדֵי־אוֹר לֹא הִכִּירוּ דְּרָכָיו וְלֹא יָשֻׁבוּ בְּנְתִיבֹתָיו׃
彼ら–は である 反逆する–者–で 光–に ない 認めない その–道–を そして–ない とどまらない その–小道–に
H1992 H1961 H4775 H0216 H3808 H5234 H1870 H3808 H7725

光にそむく者たちがある。彼らは光の道を知らず、光の道にとどまらない。

14 לָאוֹר יָקוּם רוֹצֵחַ עָנִי וְאֶבְיוֹן כַּגַּנָּב יְהִי וּבַלַּיְלָה׃
光–の–もとで 立ち上がる 殺人者–が 貧しい–者–と 乏しい–者–を 盗人–の–ように なる そして–夜–には
H0216 H6965 H7523 H6041 H0034 H1590 H1961 H3915

人を殺す者は暗いうちに起き出て弱い者と貧しい者を殺し、夜は盗びととなる。

15 וְעֵין נֹאֵף שָׁמְרָה נֶשֶׁף לֵאמֹר לֹא־תְשׁוּרֵנִי עָיִן וְסֵתֶר פָּנִים יָשִׂים׃
そして–目–は 姦通者–の 見張った 夕暮れ–を 言って ない 見る–わたし–を 目–は そして–覆い–を 置いた
H5869 H5003 H8104 H5399 H0559 H3808 H7789 H5869 H6440

姦淫する者の目はたそがれを待って、『だれもわたしを見ていないだろう』と言い、顔におおう物を当てる。

16 בַּחֹשֶׁךְ בָּתִּים יָחְתְּרוּ יוֹמָם חָתְמוּ־לָמוֹ לֹא יָדְעוּ אוֹר׃
闇–の–中–で 家–を 昼–には 封じこもった 自分–たち–を ない 知らない 光–を
H2822 H1004 H3119 H2856 H0 H3808 H3045 H0216

彼らは暗やみで家をうがち、昼は閉じこもって光を知らない。

17 כִּי יַחְדָּו צַלְמָוֶת לָמוֹ בֹּקֶר כִּי־יַכִּיר צַלְמָוֶת בַּלְהוֹת׃
なぜなら 共に 死の–影–である 彼ら–には 朝–は なぜなら 知っている 死の–影–の 恐怖–を
H3162 H3162 H6757 H0 H1242 H3045 H6757 H1091

彼らには暗黒は朝である。彼らは暗黒の恐れを友とするからだ。

18 קַל־הוּא עַל־פְּנֵי מַיִם תְּקֻלַּל חֶלְקָתָם בָּאָרֶץ לֹא־יִפְנֶה דֶּרֶךְ כְּרָמִים׃
軽い 彼–は 上–の 面–の 水–の 呪われている その–分け前–は 地–の–上–で ない 向かない 道–へ ぶどう畑–の
H7031 H1931 H5921 H6440 H4325 H7043 H2506 H776 H3808 H6437 H1870 H3754

あなたがたは言う、『彼らは水のおもてにすみやかに流れ去り、その受ける分は地でのろわれ、酒ぶねを踏む者はだれも彼らのぶどう畑の道に行かない。

חֲטָאוֹ׃	שְׁאוֹל	שֶׁלֶג	מֵימֵי־	יִגְזְלוּ	חֹם	גַּם־	צִיָּה	19
罪–を–犯した–者–を	陰府–が	雪–の	雪解け水–を	奪い取る	熱–が	また–は	日照り–と	
H2398	H7585	H7950	H4325	H1497	H2527	H1571	H6723	

ひでりと熱さは雪水を奪い去る、陰府が罪を犯した者に対するも、これと同様だ。

וַתִּשָּׁבֵר	יִזָּכֵר	לֹא־	עוֹד	רִמָּה	מְתָקוֹ	וְרֶחֶם	יִשְׁכָּחֵהוּ	20
そして–折られる	思い出されない	ない	もはや	蛇–には	甘い	母の–胎–が	忘れる–彼–を	
H7665	H2142	H3808	H5750	H7415	H4988	H7358	H7911	

עַוְלָה׃	כָּעֵץ
不義–は	木–の–ように
	H6086

町の広場は彼らを忘れ、彼らの名は覚えられることなく、不義は木の折られるように折られる』と。

יֵיטִיב׃	לֹא	וְאַלְמָנָה	תֵּלֵד	לֹא	עֲקָרָה	רֹעֶה	21
善くしない	ない	そして–寡婦–に	産まない	ない	不妊–の–女–を	食い物にする	
H3190	H3808	H0490	H3205	H3808	H6135		

彼らは子を産まぬうまずめをくらい、やもめをあわれむことをしない。

בְּחַיִּין׃	יַאֲמִין	וְלֹא־	יָקוּם	בְּכֹחוֹ	אַבִּירִים	וּמָשַׁךְ		22
命–を	信じない	そして–ない	立ち上がる	その–力–で	強き–者–たち–を	そして–引きずり出す		
	H0539	H3808			H0047	H4900		

しかし神はその力をもって、強い人々を生きながらえさせられる。彼らは生きる望みのない時にも起きあがる。

דַּרְכֵיהֶם׃	עַל־	וְעֵינֵיהוּ	וְיִשָּׁעֵן	לָבֶטַח	לוֹ	יִתֵּן־		23
その–道–の	上–に	そして–その–目–は	そして–寄りかかる	安全–を	彼–に	与える		
H1870			H8172	H0983		H5414		

神が彼らに安全を与えられるので、彼らは安らかである。神の目は彼らの道の上にある。

יִקָּפְצוּן	כַּכֹּל	וְנִמְכּוּ	וְאֵינֶנּוּ	וּמְעַט	רָמוּ			24
引き縮む	すべて–の–もののように	そして–低くされる	そして–いなくなる	少し–の–間	高められた			
H7092	H3605	H4355	H0369	H4592	H7426			

יִמָּלוּ׃	שִׁבֹּלֶת	וּכְרֹאשׁ
切り取られる	穂–の	そして–頭–の–ように

彼らはしばし高められて、いなくなり、ぜにあおいのように枯れて消えうせ、麦の穂先のように切り取られる。

לְאַל	וְיָשֵׂם	יַכְזִיבֵנִי	מִי	אֶפּוֹ	לֹא	וְאִם־		25
無–に	そして–するのか	嘘とするのか–わたし–を	誰–が	さあ	ない–なら	そして–もし		
H0408		H3576	H4310	H0645	H3808			

ס	מִלָּתִי׃
セラ	わたしの–言葉–を
	H4405

もし、そうでないなら、だれがわたしにその偽りを証明し、わが言葉のむなしいことを示しうるだろうか」。

Chapter 25

וַיֹּאמַר׃	הַשּׁוּחִי	בִּלְדָּד	וַיַּעַן	1
そして–言った	シュアハ人–は	ビルダデ	そして–答えた	
H0559	H7747	H1085		

そこでシュヒびとビルダデは答えて言った、

2 הַמְשָׁל וָפַחַד עִמּוֹ עֹשֶׂה שָׁלוֹם בִּמְרוֹמָיו׃
支配–と そして–畏れ–は その–方–と–共に–ある 造る–方–は 平和–を その–高き–所–で
H4910 H6343 H4310 H6343 H7965 H4791

「大権と恐れとは神と共にある。彼は高き所で平和を施される。

3 הֲיֵשׁ מִסְפָּר לִגְדוּדָיו וְעַל־מִי לֹא־יָקוּם אוֹרֵהוּ׃
あるのか 数–が その–軍勢–に そして–上–に 誰–の ない 昇るのか その–光–は
H3426 H4557 H1416 H4310 H3808 H0216

その軍勢は数えることができるか。何物かその光に浴さないものがあるか。

4 וּמַה־יִּצְדַּק אֱנוֹשׁ עִם־אֵל וּמַה־יִּזְכֶּה יְלוּד אִשָּׁה׃
そして–どうして 正しくなれるのか 人–が 前–に 神–の そして–どうして 清くなれるのか 女–から–生まれた 者–が
H4100 H6663 H0582 H0410 H4100 H2135 H3205 H0802

それで人はどうして神の前に正しくありえようか。女から生れた者がどうして清くありえようか。

5 הֵן עַד־יָרֵחַ וְלֹא יַאֲהִיל וְכוֹכָבִים לֹא־זַכּוּ בְעֵינָיו׃
見よ たとえ 月–さえ そして–ない 輝かない 星–さえ ない 清い–とは–いえない その–目–に
H2005 H5704 H3394 H3808 H0166 H3556 H3808 H2141

見よ、月さえも輝かず、星も彼の目には清くない。

6 אַף כִּי־אֱנוֹשׁ רִמָּה וּבֶן־אָדָם תּוֹלֵעָה׃ פ
まして 人–は 蛇–である そして–子–は 人–の 地虫–である ペ
H0637 H0582 H7415 H0120

うじのような人、虫のような人の子はなおさらである」。

Chapter 26

1 וַיַּעַן אִיּוֹב וַיֹּאמַר׃
そして–答えた ヨブ–は そして–言った
H0559 H0347

そこでヨブは答えて言った、

2 מָה־עָזַרְתָּ לְלֹא־כֹחַ זְרוֹעַ לֹא־עֹז הוֹשַׁעְתָּ׃
何–と 助けたのか ない–者–を 力–の 腕–を ない 強さ–の 救ったのか
H4100 H5826 H3808 H3808 H2220 H5797 H3467

「あなたは力のない者をどれほど助けたかしれない。気力のない腕をどれほど救ったかしれない。

3 מָה־יָּעַצְתָּ לְלֹא חָכְמָה וְתוּשִׁיָּה לָרֹב הוֹדָעְתָּ׃
何–と 助言したのか ない–者–に 知恵–の そして–洞察–を 豊か–に 示したのか
H4100 H3289 H3808 H2451 H8454 H7230 H3045

知恵のない者をどれほど教えたかしれない。悟りをどれほど多く示したかしれない。

מִמָּךְ׃	יָצְאָה	מִי	וְנִשְׁמַת־	מִלִּין	הִגַּדְתָּ	מִי	אֶת־	4
あなた–から	出たのか	誰–の	そして–息–は	言葉–を	述べたのか	誰–に–対して	誰–に	
	H3318	H4310	H5397	H4405	H5046	H4310	H0854	

あなたはだれの助けによって言葉をだしたのか。あなたから出たのはだれの霊なのか。

וְשֹׁכְנֵיהֶם׃	מַּיִם	מִתָּחַת	יְחוֹלָלוּ	הָרְפָאִים	5
そして–その–住まう–者–たち–は	水–の	下–から	もだえ苦しむ	死者の–霊–たちは	
H7931	H4325	H8478		H7496	

亡霊は水およびその中に住むものの下に震う。

לֶאֱבַדּוֹן׃	כְּסוּת	וְאֵין	נֶגְדּוֹ	שְׁאוֹל	עָרוֹם	6
滅び–に	覆い–は	そして–ない	その–前–に	陰府–は	裸–である	
H0011	H3682	H0369	H5048	H7585	H6174	

神の前では陰府も裸である。滅びの穴もおおい隠すものはない。

מָה׃	בְלִי־	עַל־	אֶרֶץ	תֹּלֶה	תֹּהוּ	עַל־	צָפוֹן	נֹטֶה	7
何もない–上–に	ない–もの–の	上–に	地–を	吹ける	空虚–の	上–に	北–を	広げる	
H1099	H1099		H0776	H8518	H8414		H6828	H5186	

彼は北の天を空間に張り、地を何もない所に掛けられる。

תַּחְתָּם׃	עָנָן	נִבְקַע	וְלֹא־	בְּעָבָיו	מַּיִם	צֹרֵר־	8
その–下–で	雲–は	裂けない	そして–ない	その–厚い–雲–の–中–に	水–を	包む	
H8478	H6051	H1234	H3808	H5645	H4325		

彼は水を濃い雲の中に包まれるが、その下の雲は裂けない。

עֲנָנוֹ׃	עָלָיו	פָּרְשָׂה	כִּסֵּה	פְּנֵי־	מְאַחֵז	9
その–雲–を	その–上–に	広げる	御座–の	面–を	覆う	
H6051		H6576	H3678	H6440	H0270	

彼は月のおもてをおおい隠して、雲をその上にのべ、

חֹשֶׁךְ׃	עִם־	אוֹר	תַּכְלִית	עַד־	מָיִם	פְּנֵי־	עַל־	חָג	חָק־	10
闇–と	と–の–境–の	光–の	果て–の	まで	水–の	面–の	上–に	引いた	境界–を	
H2822		H0216	H8503	H5704	H4325	H6440		H2328	H2706	

水のおもてに円を描いて、光とやみとの境とされた。

מְגַעֲרָתוֹ׃	וְיִתְמְהוּ	יְרוֹפָפוּ	שָׁמַיִם	עַמּוּדֵי	11
その–叱り–に	そして–驚く	揺らぐ	天–の	柱–は	
H1606	H8539	H7322	H8064	H5982	

彼が戒めると、天の柱は震い、かつ驚く。

רָהַב׃	מָחַץ	)וּבִתְבוּנָתוֹ(	]ובתובנתו[	הַיָּם	רָגַע	בְּכֹחוֹ	12
ラハブ–を	打ち砕いた	(そして–その–悟り–で)	[そして–その–悟り–で]	海–を	静めた	その–力–で	
H7293	H4272	H8394	H8394	H3220			

彼はその力をもって海を静め、その知恵をもってラハブを打ち砕き、

בָּרִיחַ׃	נָחָשׁ	יָדוֹ	חוֹלָלָה	שָׁפְרָה	שָׁמַיִם	בְּרוּחוֹ	13
逃げる	蛇–を	その–手–が	刺し貫いた	澄み渡った	天–は	その–息–で	
H1281	H5175	H3027		H8235	H8064	H7307	

その息をもって天を晴れわたらせ、その手をもって逃げるへびを突き通される。

14 הֵן־ 見よ H2005 אֵלֶּה וְאֶלְהּ これら–は H0428 קְצוֹת 端–に–過ぎない H7098 דרכן [その–道–の] H1870 דַּרְכָּיו (その–道–の) H1870 מַה־ そして–何–と H4100 שָׁמֶץ かすかな H8102 דָּבָר ささやき–を H1697

נִשְׁמַע־ 聞いた–に–過ぎない H8085 בּוֹ その–方–に–ついて וְרַעַם そして–雷鳴り–を H7482 גבורתו [その–力–の] H1369 גְּבוּרוֹתָיו (その–力–の) H1369 מִי 誰–が H4310 יִתְבּוֹנָן׃ 悟るのか H0995

ס セラ

見よ、これらはただ彼の道の端にすぎない。われわれが彼について聞く所はいかにかすかなささやきであろう。しかし、その力のとどろきに至っては、だれが悟ることができるか」。

Chapter 27

1 וַיֹּסֶף 続けた H3254 אִיּוֹב ヨブ–は H0347 שְׂאֵת 取り上げて H5375 מְשָׁלוֹ その–言葉–を H4912 וַיֹּאמַר׃ そして–言った H0559

ヨブはまた言葉をついで言った、

2 חַי־ 生きておられる H5315 אֵל 神–に–かけて H0410 הֵסִיר 退けた H5493 מִשְׁפָּטִי わたしの–正義–を H4941 שַׁדַּי וְ そして–全能者–が H7706 הֵמַר 苦しめた H4843

נַפְשִׁי׃ わたしの–魂–を H5315

「神は生きておられる。彼はわたしの義を奪い去られた。全能者はわたしの魂を悩まされた。

3 כִּי־ なぜなら כָל־ すべて–の H3605 עוֹד なお H5750 נִשְׁמָתִי わたしの–息–が H5397 בִּי わたし–の–中–に וְרוּחַ そして–霊–が H7307 אֱלוֹהַּ 神–の H0433

בְּאַפִּי׃ わたしの–鼻–の–中–に H0639

わたしの息がわたしのうちにあり、神の息がわたしの鼻にある間、

4 אִם־ ない H3808 תְּדַבֵּרְנָה 語る H1696 שְׂפָתַי わたしの–唇–が H8193 עַוְלָה 不義–を לְשׁוֹנִי そして–わたしの–舌–が H3956 יֶהְגֶּה つぶやく H1897 אִם־ ない H3808 רְמִיָּה׃ 偽り–を

わたしのくちびるは不義を言わない、わたしの舌は偽りを語らない。

5 חָלִילָה 断じて–ありえない H2486 לִי׳ わたし–には אִם־ もし צַדֵּיק 正しい–とするなら H6663 אַתְכֶם あなたがた–を H0853 עַד־ まで H5704 אֶגְוַע 息絶える–まで H1478

לֹא־ ない H3808 אָסִיר 退けない H5493 תֻּמָּתִי わたしの–誠実–を H8538 מִמֶּנִּי׃ わたし–から

わたしは断じて、あなたがたを正しいとは認めない。わたしは死ぬまで、潔白を主張してやめない。

לְבָבִי	יֶחֱרַף	לֹא־	אַרְפָּה	וְלֹא	הֶחֱזַקְתִּי	בְצִדְקָתִי	6
わたしの–心–は	責めない	ない	手放さない–それ–を	そして–ない	しがみついた	わたしの–正義–に	
H3824		H3808	H7503	H3808	H2388	H6666	

מִיָּמָי׃	
わたしの–日々–の–うち–の	
H3117	

わたしは堅くわが義を保って捨てない。わたしは今まで一日も心に責められた事がない。

כְּעַוָּל׃	וּמִתְקוֹמְמַי	אֹיְבִי	כֶּרֶשַׁע	יְהִי		7
不義–の–者の–ように	そして–わたしに–立ち向かう–者–は	わたしの–敵–は	悪しき–者–の–ように	なれ		
H5767		H0341	H7563	H1961		

どうか、わたしの敵は悪人のようになり、わたしに逆らう者は不義なる者のようになるように。

יְשֻׁלַּל	כִּי	יִבְצַע	כִּי	חָנֵף	תִּקְוַת	מַה־	כִּי	8
引き抜く	それなら	取り去られるとき	それなら	偽善者–に	望み–が–あるのか	何–の	なぜなら	
H7953		H1214		H2611		H4100		

נַפְשׁוֹ׃	אֱלוֹהַּ
その–魂–を	神–が
H5315	H0433

神が彼を断ち、その魂を抜きとられるとき、神を信じない者になんの望みがあろう。

צָרָה׃	עָלָיו	תָּבוֹא	כִּי־	אֵל	יִשְׁמַע	הַצַּעֲקָתוֹ	9
苦難–が	彼–の–上–に	来る	なぜなら	神–は	聞くのか	その–叫び–を	
		H0935		H0410	H8085	H6818	

災が彼に臨むとき、神はその叫びを聞かれるであろうか。

עֵת׃	בְּכָל־	אֱלוֹהַּ	יִקְרָא	יִתְעַנַּג	שַׁדַּי	עַל־	אִם־	10
時–に	すべて–の	神–を	呼ぶのか	喜ぶのか	全能者–の–もと–で	上–に	もし	
H6256	H3605	H0433	H7121	H6026	H7706			

彼は全能者を喜ぶであろうか、常に神を呼ぶであろうか。

לֹא	שַׁדַּי	עִם־	אֲשֶׁר	אֵל	בִּיד־	אֶתְכֶם	אוֹרֶה	11
ない	全能者–と	共に	その–もの–を	神–の	手–に–ある–もの–を	あなたがた–に	教えよう	
H3808	H7706			H0410	H3027	H0853		

אֲכַחֵד׃	
隠さない	
H3582	

わたしは神のみ手についてあなたがたに教え、全能者と共にあるものを隠すことをしない。

תֶּהְבְּלוּ׃	הֶבֶל	זֶה	וְלָמָּה־	חֲזִיתֶם	כֻּלְּכֶם	אַתֶּם	הֵן־	12
空しく–なるのか	空しく	このような	そして–なぜ	見た	皆	あなたがた–自身	見よ	
H1891	H1892	H2088	H4100	H2372	H3605		H2005	

見よ、あなたがたは皆みずからこれを見た、それなのに、どうしてむなしい者となったのか。

עָרִיצִים	וְנַחֲלַת	אֵל	עִם־	וְרָשָׁע	אָדָם	חֵלֶק־	וְזֶה	13
暴君–たち–が	そして–受け継ぐ–もの–である	神–の	前–に	悪しき	人–の	分け前–である	これ–が	
H6184	H5159	H0410		H7563	H0120		H2088	

יִקָּחוּ׃	מִשַּׁדַּי
受け取る	全能者–から
H3947	H7706

これは悪人の神から受ける分、圧制者の全能者から受ける嗣業である。

14 אִם־ יִרְבּוּ בָנָיו לְמוֹ־ חָרֶב וְצֶאֱצָאָיו לֹא יִשְׂבְּעוּ־ לָחֶם׃
たとえ 増えても その-子ら-が ため 剣-の 子孫-は ない 満足しない パン-で
H3899 H7646 H3808 H6631 H2719 H3926

その子らがふえればつるぎに渡され、その子孫は食物に飽きることがない。

15 שְׂרִידָיו (שריד) בַּמָּוֶת יִקָּבְרוּ וְאַלְמְנֹתָיו לֹא תִבְכֶּינָה׃
[その-生き残り-たちは] 死-に-よって 葉られる そして-その-寡婦-たちは 泣かない ない
H8300 H4194 H6912 H0490 H8300 H3808

その生き残った者は疫病で死んで埋められ、そのやもめらは泣き悲しむことをしない。

16 אִם־ יִצְבֹּר כֶּסֶף כֶּעָפָר וְכַחֹמֶר יָכִין מַלְבּוּשׁ׃
たとえ 積み上げても 塵-の-ように 銀-を そして-粘土-の-ように 整えても 衣服-を
H6651 H6083 H3701 H4403

たとい彼は銀をちりのように積み、衣服を土のように備えても、

17 יָכִין וְצַדִּיק יִלְבָּשׁ וְכֶסֶף נָקִי יַחֲלֹק׃
整えても そして-正しい-者-が 着る そして-銀-を 潔白な-者-が 分け取る
H6662 H3847 H3701

その備えるものは正しい人がこれを着、その銀は罪なき者が分かち取るであろう。

18 בָּנָה כָעָשׁ בֵּיתוֹ וְכִסֻּכָּה עָשָׂה נֹצֵר׃
建てた その-家-を 蛾-の-巣-の-ように そして-仮小屋-の-ように 造った 番人-が
H1129 H5341 H5521

彼の建てる家は、くもの巣のようであり、番人の造る小屋のようである。

19 עָשִׁיר וְלֹא יֵאָסֵף פָּקַח עֵינָיו וְאֵינֶנּוּ׃
富んだ-者-は ない 集められない 開いた その-目-を そして-いなくなった
H6223 H3808 H0622 H6491 H0369

彼は富める身で寝ても、再び富むことがなく、目を開けばその富はない。

20 תַּשִּׂיגֵהוּ כַמַּיִם בַּלָּהוֹת לַיְלָה גְּנָבַתְהוּ סוּפָה׃
追いつく-彼-を 水-の-ように 恐怖-が 夜-に 盗んだ 嵐-が-彼-を
H5381 H4325 H1091 H3915 H1589

恐ろしい事が大水のように彼を襲い、夜はつむじ風が彼を奪い去る。

21 יִשָּׂאֵהוּ קָדִים וְיֵלַךְ וְיִשְׂעֲרֵהוּ מִמְּקֹמוֹ׃
運び去る-彼-を 東風-が そして-去る そして-吹き飛ばす-彼-を その-場所-から
H5375 H6921 H3212 H4725

東風が彼を揚げると、彼は去り、彼をその所から吹き払う。

22 וְיִשְׁלַךְ עָלָיו וְלֹא יַחְמֹל מִיָּדוֹ בָּרוֹחַ יִבְרָח׃
そして-投げつける 彼-に そして-ない 惜しまない その-手-から 逃げて 逃げる
H7993 H3808 H2550 H3027 H1272 H1272

それは彼を投げつけて、あわれむことなく、彼はその力からのがれようと、もがく。

23 יִשְׁפֹּק כַּפָּיו עָלָיו וְיִשְׁרֹק מִמְּקֹמוֹ׃
打ち鳴らす 彼ら-に-対して そして-口笛-を-吹く その-手-を 彼-に-対して その-場所-から
H8319 H3709 H4725

それは彼に向かって手を鳴らし、あざけり笑って、その所から出て行かせる。

Chapter 28

יָזֹקּוּ׃	לַזָּהָב	וּמָקוֹם	מוֹצָא	לַכֶּסֶף	יֵשׁ	כִּי	1
精錬する	金-の-ための	そして-場所-が-ある	鉱脈-が	銀-の-ために	ある	まことに	
H2212	H2091	H4725	H4161	H3701	H3426		

しろがねには掘り出す穴があり、精錬するこがねには出どころがある。

נְחוּשָׁה׃	יָצוּק	וְאֶבֶן	יֻקַּח	מֵעָפָר	בַּרְזֶל	2
銅-を	溶かし出す	そして-石-から	取り出される	塵-から	鉄-は	
H5154	H6694	H0068	H3947	H6083	H1270	

くろがねは土から取り、あかがねは石から溶かして取る。

אֹפֶל	אֶבֶן	חוֹקֵר	הוּא	תַּכְלִית	וְלִכְלֹ֣	לַחֹשֶׁךְ	שָׂם	וְקֵץ	3
暗闇-の	石-を	探る	彼-は	果て-まで	そして-すべて-の	闇-に	置いた	終わり-を	
H0652	H0068	H2713	H1931	H8503	H3605	H2822		H7093	

וְצַלְמָוֶת׃
そして-死の-影-の
H6757

人は暗やみを破り、いやはてまでも尋ねきわめて、暗やみおよび暗黒の中から鉱石を取る。

דָּלוּ	רֶגֶל	מִנִּי־	הַנִּשְׁכָּחִים	נָ֫ר	מֵעִם־	וּנְתִיב	פָּרַץ	4
ぶら下がった	足-の	から	忘れられた-者-たち-は	居留地-の	から-離れた	水路-を	切り開いた	
H1809	H7272		H7911				H6555	

נָעוּ׃	מֵאֱנוֹשׁ
揺れた	人-から-離れて
H5128	H0582

彼らは人の住む所を離れて縦穴をうがち、道行く人に忘れられ、人を離れて身をつりさげ、揺れ動く。

אֵשׁ׃	כְּמוֹ־	נֶהְפְּכָה	וְתַחְתֶּיהָ	לֶחֶם	יֵצֵא־	מִמֶּנָּה	אֶרֶץ	5
火-の	の-ように	変わる	そして-その-下-は	パン-が	出る	そこ-から	地-は	
H0784	H3644	H2015	H8478	H3899	H3318		H0776	

地はそこから食物を出す。その下は火でくつがえされるようにくつがえる。

לוֹ׃	זָהָב	וְעַפְרֹת	אַבְנֶיהָ	סַפִּיר	מְקוֹם־	6
そこ-に	金-の	そして-塵-は	その-石-は	サファイア-の	場所-である	
	H2091	H6083	H0068	H5601	H4725	

その石はサファイヤのある所、そこにはまた金塊がある。

אַיָּה׃	עַיִן	שְׁזָפָתּוּ	וְלֹא	עָיִט	יְדָעוֹ	לֹא־	נָתִיב	7
鷲-の	目-が	見つめた	そして-ない	猛禽-は	知らない	ない	小道-を	
H0344		H7805	H3808	H5861	H3045	H3808		

その道は猛禽も知らず、たかの目もこれを見ず、

שָׁחַל׃	עָלָיו	עָדָה	לֹא־	שָׁחַץ	בְּנֵי־	הִדְרִיכֻהוּ	לֹא־	8
獅子-は	そこ-を	通った	ない	誇り-の	子-は	踏んだ-そこ-を	ない	
H7826			H3808	H7830		H1869	H3808	

猛獣もこれを踏まず、ししもこれを通らなかった。

	הָרֵֽים׃	מִשֹּׁרֶשׁ	הָפַךְ	יָדוֹ	שָׁלַח	בָּחַלָמִישׁ	9
	山-を	根-から	倉した	その-手-を	伸ばした	硫岩-に	
	H2022	H8328	H2015	H3027	H7971	H2496	

人は堅い岩に手をくだして、山を根元からくつがえす。

	עֵינוֹ׃	רָאֲתָה	יְקָר	וְכָל־	בִּקַּע	יְאֹרִים	בַּצּוּרוֹת	10
	その-目-は	見た	宝-を	そして-すべて-の	切り開いた	水路-を	岩-の-中-に	
		H7200	H3366	H3605	H1234	H2975	H6697	

彼は岩に坑道を掘り、その目はもろもろの尊い物を見る。

	פ	אוֹר׃	יָצָא	וְתַעֲלֻמָה	חִבֵּשׁ	נְהָרוֹת	מִבְכִּי	11
	ペ	光-に	出した	そして-隠れた-もの-を	せき止めた	川-の	溶く-の-から	
		H0216	H3318	H8587	H2280	H5104	H1065	

彼は水路をふさいで、漏れないようにし、隠れた物を光に取り出す。

	בִּינָה׃	מְקוֹם	זֶה	וְאֵי	תִּמָּצֵא	מֵאַיִן	וְהַחָכְמָה	12
	悟り-の	場所-が-あるのか	この	そして-どこ-に	見つかるのか	どこ-から	そして-知恵-は	
	H0998	H4725	H2088	H0335	H4672	H0370	H2451	

しかし知恵はどこに見いだされるか。悟りのある所はどこか。

	חַיִּים׃	בְּאֶרֶץ	תִּמָּצֵא	וְלֹא	עֶרְכָּהּ	אֱנוֹשׁ	יָדַע	לֹא־	13
	生ける-者-の	地-の-中-に	見つからない	そして-ない	その-価値-を	人-は	知らない	ない	
		H0776	H4672	H3808	H6187	H0582	H3045	H3808	

人はそこに至る道を知らない、また生ける者の地でそれを獲ることができない。

	עִמָּדִי׃	אֵין	אָמַר	וְיָם	הִיא	בִּי־	לֹא	אָמַר	תְּהוֹם	14
	わたし-と-共に	ない	言った	そして-海-は	それ-は	わたし-の-中に	ない	言った	深淵-は	
	H5978	H0369	H0559	H3220	H1931		H3808	H0559	H8415	

淵は言う、『それはわたしのうちにない』と。また海は言う、『わたしのもとにない』と。

	מְחִירָהּ׃	כֶּסֶף	יִשָּׁקֵל	וְלֹא	תַּחְתֶּיהָ	סְגוֹר	יֻתַּן	לֹא־	15
	その-代価-は	銀-で	量られる	そして-ない	その-代わり-に	純金-では	与えられる	ない	
	H4242	H3701	H8254	H3808	H8478	H5458	H5414	H3808	

精金もこれと換えることはできない。銀も量ってその価とすることはできない。

	וְסַפִּיר׃	יֻקַּר	בְּשֹׁהַם	אוֹפִיר	בְּכֶתֶם	תֵּסָלֶה	לֹא־	16
	そして-サファイア-でも	貴い	紅瑪瑙-でも	オフィル-の	純金-では	量られない	ない	
	H5601	H3368	H7718	H0211	H3800		H3808	

オフルの金をもってしても、その価を量ることはできない。尊い縞めのうも、サファイヤも同様である。

	פָּז׃	כְּלִי־	וּתְמוּרָתָהּ	וּזְכוֹכִית	זָהָב	יַעֲרֻכֶנָּה	לֹא־	17
	純金-の	器-である	そして-その-交換-は	そして-ガラス-も	金-も	並べられない-それ-に	ない	
	H6337	H3627	H8545	H2137	H2091		H3808	

こがねも、玻璃もこれに並ぶことができない。また精金の器物もこれと換えることができない。

	מִפְנִינִים׃	חָכְמָה	וּמֶשֶׁךְ	יִזָּכֵר	לֹא	וְגָבִישׁ	רָאמוֹת	18
	真珠-より-高い	知恵-の	そして-価値-は	思い出されない	ない	そして-水晶-も	珊瑚-も	
	H6443	H2451	H4901	H2142	H3808	H1378	H7215	

さんごも水晶も言うに足りない。知恵を得るのは真珠を得るのにまさる。

פ	תְּסֻלָּה׃	לֹא	טָהוֹר	בְּכֶתֶם	כּוּשׁ	פִּטְדַת־	יַעַרְכֶנָּה	לֹא־
ペ	量られない	ない	純粋な	純金-でも	クシュ-の	紅玉-は	並べられない-それ-に	ない
		H3808	H2889	H3800		H6357		H3808

19

エチオピヤのトパズもこれに並ぶことができない。純金をもってしても、その価を量ることはできない。

בִּינָה׃	מְקוֹם	זֶּה	וְאֵי	תָּבוֹא	מֵאַיִן	וְהַחָכְמָה	
悟り-の	場所-が-あるのか	この	そして-どこ-に	来るのか	どこ-から	そして-知恵-は	
H0998	H4725	H2088	H0335	H0935	H0370	H2451	

20

それでは知恵はどこから来るか。悟りのある所はどこか。

נִסְתָּרָה׃	הַשָּׁמָיִם	וּמֵעוֹף	חָי	כָּל־	מֵעֵינֵי	וְנֶעְלָמָה
隠されている	天-の	そして-鳥-からも	生ける-もの-の	すべて-の	目-から	そして-隠されている
H5641	H8064	H5775		H3605		H5956

21

これはすべての生き物の目に隠され、空の鳥にも隠されている。

שְׁמֻעָה׃	בְּאָזְנֵינוּ	שָׁמָעְנוּ	אָמְרוּ	וָמָוֶת	אֲבַדּוֹן
その-うわさ-を	わたしたちの-耳-で	聞いた	言った	そして-死-は	滅び-と
	H0241	H8085	H0559	H4194	H0011

22

滅びも死も言う、『われわれはそのうわさを耳に聞いただけだ』。

מְקוֹמָהּ׃	אֶת־	יָדַע	וְהוּא	דַּרְכָּהּ	הֵבִין	אֱלֹהִים
場所-を	その	知っておられる	そして-その-方-が	その-道-を	悟っておられる	神-が
H4725	H0853	H3045	H1931	H1870	H0995	H0430

23

神はこれに至る道を悟っておられる、彼はそのある所を知っておられる。

יִרְאֶה׃	הַשָּׁמָיִם	כָּל־	תָּחַת	יַבִּיט	הָאָרֶץ	לִקְצוֹת־	הוּא	כִּי־
見られる	天-の	すべて-の	下-に	見渡される	地-の	果て-まで	その-方-が	なぜなら
H7200	H8064	H3605	H8478	H5027	H0776	H7098	H1931	

24

彼は地の果までもみそなわし、天が下を見きわめられるからだ。

בְּמִדָּה׃	תִּכֶּן	וּמַיִם	מִשְׁקָל	לָרוּחַ	לַעֲשׂוֹת
尺度-で	量った	そして-水-を	重さ-を	風-に	造る-ために
	H8505	H4325	H4948	H7307	

25

彼が風に重さを与え、水をますで量られたとき、

קוֹלוֹת׃	לַחֲזִיז	וְדֶרֶךְ	חֹק	לַמָּטָר	בַּעֲשֹׂתוֹ
声-の	雷雲-の	そして-道-を	掟-を	雨-に	定めた-とき
	H2385	H1870	H2706	H4306	

26

彼が雨のために規定を設け、雷のひらめきのために道を設けられたとき、

חֲקָרָהּ׃	וְגַם־	הֲכִינָהּ	וַיְסַפְּרָהּ	רָאָהּ	אָז	
探り尽くした-それ-を	そして-また	確かめた-それ-を	そして-述べた-それ-を	見た-それ-を	その-時	
H2713	H1571			H7200		

27

彼は知恵を見て、これをあらわし、これを確かめ、これをきわめられた。

וְסוּר	חָכְמָה	הִיא	אֲדֹנָי	יִרְאַת	הֵן	לָאָדָם	וַיֹּאמֶר	
そして-離れる-こと-が	知恵-である	それ-こそ	主-の	畏れ-は	見よ	人-に	そして-言われた	
H5493	H2451	H1931	H0136	H3374	H2005	H0120	H0559	

28

ס	בִּינָה׃	מֵרָע
セラ	悟り-である	悪-から
	H0998	

そして人に言われた、『見よ、主を恐れることは知恵である、悪を離れることは悟りである』と」。

Chapter 29

וַיֹּאמַר׃	מְשָׁלוֹ	שְׂאֵת	אִיּוֹב	וַיֹּסֶף	1
そして–言った	その–たとえを	語ることを	ヨブは	そして–続けた	
H0559	H4912	H5375	H0347	H3254	

ヨブはまた言葉をついで言った、

יִשְׁמְרֵנִי׃	אֱלוֹהַּ	כִּימֵי	קֶדֶם	כְּיַרְחֵי־	יִתְּנֵנִי	מִי־	2
私を–守ってくださった	神が	あの–日々の	昔の	あの–月々の	私を–戻してくれるのか	誰が	
H8104	H0433	H3117		H3391	H5414	H4310	

「ああ過ぎた年月のようであったらよいのだが、神がわたしを守ってくださった日のようであったらよいのだが。

חֹשֶׁךְ׃	אֵלֵךְ	לְאוֹרוֹ	רֹאשִׁי	עָלַי	נֵרוֹ	בְּהָלָּו	3
闇の–中を	私は–歩んだ	その–光によって	頭の	私の–上に	その–ともしびを	輝かせた–とき	
H2822	H3212	H0216					

あの時には、彼のともしびがわたしの頭の上に輝き、彼の光によってわたしは暗やみを歩んだ。

אָהֳלִי׃	עָלַי	אֱלוֹהַּ	בְּסוֹד	חָרְפִּי	בִּימֵי	הָיִיתִי	כַּאֲשֶׁר	4
天幕の	私の–上に	神の	親しい–交わりが	私の–壮年の	日々に	私が–いた	あの–ように	
H0168		H0433	H5475	H2779	H3117	H1961		

わたしの盛んな時のようであったならよいのだが。あの時には、神の親しみがわたしの天幕の上にあった。

נְעָרָי׃	סְבִיבוֹתָי	עִמָּדִי	שַׁדַּי	בְּעוֹד	5
子どもたちが–いた	私の–周りに	私と–共にいて	全能者が	まだ	
H5288	H5439	H5978	H7706	H5750	

あの時には、全能者がなおわたしと共にいまし、わたしの子供たちもわたしの周囲にいた。

שָׁמֶן׃	פַּלְגֵי־	עִמָּדִי	יָצוּק	וְצוּר	בְּחֶמְאָה	הֲלִיכָי	בִּרְחָץ	6
油の	流れを	私の–ために	注ぎ出した	そして–岩が	乳で	私の–歩みを	洗った–とき	
H8081	H6388	H5978	H6694	H6697		H1978	H7364	

あの時、わたしの足跡は乳で洗われ、岩もわたしのために油の流れを注ぎだした。

מוֹשָׁבִי׃	אָכִין	בָּרְחוֹב	קֶרֶת	עֲלֵי־	שַׁעַר	בְּצֵאתִי	7
私の–座を	私は–備えた	広場に	丘の	町の–上の	門へ	出て行った–とき	
H4186		H7339	H7176		H8179	H3318	

あの時には、わたしは町の門に出て行き、わたしの座を広場に設けた。

עָמָדוּ׃	קָמוּ	וְיָשִׁישִׁים	וְנֶחְבָּאוּ	נְעָרִים	רָאוּנִי	8
立った	立ち上がり	老人たちも	そして–身を–隠した	若者たちは–私を	見た	
H5975		H3453	H2244	H5288	H7200	

若い者はわたしを見てしりぞき、老いた者は身をおこして立ち、

לְפִיהֶם׃	יָשִׂימוּ	וְכַף	בְּמִלִּים	עָצְרוּ	שָׂרִים	9
口の–上に	置いた	そして–手を	言葉を	控えた	首長たちは	
H6310		H3709	H4405	H6113	H8269	

君たる者も物言うことをやめて、その口に手を当て、

דָּבְקָה׃	לְחִכָּם	וּלְשׁוֹנָם	נֶחְבָּאוּ	נְגִידִים	קוֹל־	10
張りついた	上顎に	そして–舌は	沈黙した	指導者たちの	声は	
H1692	H2441	H3956	H2244	H5057		

尊い者も声をおさめて、その舌を上あごにつけた。

11 כִּי אֹזֶן שָׁמְעָה וַתְּאַשְּׁרֵנִי וְעַיִן רָאָתָה וַתְּעִידֵנִי׃
まことに 耳が 聞いて 私を–幸いと–呼んだ そして–目が 見て 私を–証しした
H0241 H8085 H0833 H7200

耳に聞いた者はわたしを祝福された者となし、目に見た者はこれをあかしした。

12 כִּי־אֲמַלֵּט עָנִי מְשַׁוֵּעַ וְיָתוֹם וְלֹא־עֵזֶר לוֹ׃
なぜなら 私は–助け出した 貧しい–者を 叫ぶ–者を 孤児を そして–誰も 助ける–者がいない 者を
H4422 H6041 H7768 H3490 H3808 H5826

これは助けを求める貧しい者を救い、また、みなしごおよび助ける人のない者を救ったからである。

13 בִּרְכַּת אֹבֵד עָלַי תָּבֹא וְלֵב אַלְמָנָה אַרְנֵן׃
祝福が 滅びゆく–者の 私の–上に 来た やもめの そして–心を 私は–喜ばせた
H1293 H0006 H0935 H0490

今にも滅びようとした者の祝福がわたしに来た。わたしはまたやもめの心をして喜び歌わせた。

14 צֶדֶק לָבַשְׁתִּי וַיִּלְבָּשֵׁנִי כְּמְעִיל וְצָנִיף מִשְׁפָּטִי׃
義を 私は–まとった それは–私を–覆った 外套の–ように そして–頭巾は 私の–公正
H6664 H3847 H3847 H4598 H6797 H4941

わたしは正義を着、正義はわたしをおおった。わたしの公義は上着のごとく、また冠のようであった。

15 עֵינַיִם הָיִיתִי לַעִוֵּר וְרַגְלַיִם לַפִּסֵּחַ אָנִי׃
目と 私は–なった 盲人の–ための そして–足と 足の–不自由な–者の–ための 私は
H1961 H5787 H7272 H6455 H0589

わたしは目しいの目となり、足なえの足となり、

16 אָב אֲנֹכִי לָאֶבְיוֹנִים וְרִב לֹא־יָדַעְתִּי חָקַרְתִּיהוּ׃
父と 私は–なった 貧しい–者たちの そして–訴えを 知らない 者の–ことも–私は 調べた
H0001 H0595 H0034 H7379 H3808 H3045 H2713

貧しい者の父となり、知らない人の訴えの理由を調べてやった。

17 וָאֲשַׁבְּרָה מְתַלְּעוֹת עַוָל וּמִשִּׁנָּיו אַשְׁלִיךְ טָרֶף׃
そして–私は–砕いた 牙を 不正な–者の そして–その–歯から 投げ捨てた 獲物を
H7665 H4973 H5767 H8127 H7993 H2964

わたしはまた悪しき者のきばを折り、その歯の間から獲物を引き出した。

18 וָאֹמַר עִם־קִנִּי אֶגְוָע וְכַחוֹל אַרְבֶּה יָמִים׃
そして–私は–思った 私の–巣と–共に 巣で 私は–死ぬだろう そして–砂の–ように 増やすだろう 日々を
H0559 H7064 H1478 H2344 H3117

その時、わたしは言った、『わたしは自分の巣の中で死に、わたしの日は砂のように多くなるであろう。

19 שָׁרְשִׁי פָּתוּחַ אֶל־מָיִם וְטַל יָלִין בִּקְצִירִי׃
私の–根は 開かれている 水の–そばに 水の 露は そして–宿る 私の–枝に
H8328 H0413 H4325 H2919

わたしの根は水のほとりにはびこり、露は夜もすがらわたしの枝におくであろう。

20 כְּבוֹדִי חָדָשׁ עִמָּדִי וְקַשְׁתִּי בְיָדִי תַּחֲלִיף׃
私の–栄光は 新しく 私と–共にあり そして–私の–弓は 私の–手の–中で 新しくなる
H3519 H2319 H5978 H7198 H3027 H2498

わたしの栄えはわたしと共に新しく、わたしの弓はわたしの手にいつも強い』と。

עֲצָתִֽי׃	לְמוֹ	וַיִּדְּמוּ	וַיְחִלּוּ	שָׁמְעוּ	לִי־	21
私の-助言を	私の-ために	そして-黙った	そして-待ち望んだ	人々は-聞いた	私の-言葉に	
H6098	H3926		H3176	H8085		

人々はわたしに聞いて待ち、黙して、わたしの教に従った。

מִלָּתִֽי׃	תִּטְּפוּ	וְעֲלֵימוֹ	יְשַׁנּוּ	לֹא	דִבְרִי	אַחֲרֵי	22
私の-言葉は	したたった	そして-彼らの-上に	言葉を	繰り返さなかった	彼らは	私の-言葉の-後に	
H4405	H5197			H3808	H1697		

わたしが言った後は彼らは再び言わなかった。わたしの言葉は彼らの上に雨のように降りそそいだ。

לְמַלְקֽוֹשׁ׃	פָּעֲרוּ	וּפִיהֶם	לִי	כַּמָּטָר	וְיִחֲלוּ	23
春の-雨に	大きく-開けた	そして-口を	私を	雨の-ように	そして-待った	
H4456	H6473	H6310		H4306	H3176	

彼らは雨を待つように、わたしを待ち望み、春の雨を仰ぐように口を開いて仰いだ。

יַפִּילוּן׃	לֹא	פָּנַי	וְאוֹר	יַאֲמִינוּ	לֹא	אֱלֵהֶם	אֶשְׂחַק	24
彼らは	落とさなかった	私の-顔の	そして-光を	彼らは	信じなかった	彼らに	微笑んでも	
H5307	H3808	H6440	H0216	H0539	H3808	H0413	H7832	

彼らが希望を失った時にも、わたしは彼らにむかってほほえんだ。彼らはわたしの顔の光を除くことができなかった。

בַּגְּדוּד	כְּמֶלֶךְ	וְאֶשְׁכּוֹן	רֹאשׁ	וְאֵשֵׁב	דַּרְכָּם׀	אֶבְחַר	25
軍勢の-中で	王の-ように	そして-住んだ	頭として	そして-座った	彼らの-道を	私は-選んだ	
H1416	H4428	H7931		H3427	H1870	H0977	

יְנַחֵם׃	אֲבֵלִים	כַּאֲשֶׁר
慰める-者として	嘆く-者たちを	あの-ように
H5162	H0057	

わたしは彼らのために道を選び、そのかしらとして座し、軍中の王のようにしており、嘆く者を慰める人のようであった。

Chapter 30

אֲבוֹתָם	מָאַסְתִּי	אֲשֶׁר־	לְיָמִים	מִמֶּנִּי	צְעִירִים	עָלַי׀	שָׂחֲקוּ	וְעַתָּה	1
父親たちの	私が-軽蔑した	その	年-下の	私より	若い-者たちが	私を	嘲り-笑う	しかし-今	
H0001			H3117		H6810		H7832	H6258	

צֹאנִֽי׃	כַּלְבֵי	עִם־	לָשִׁית
私の-羊の	犬たちと	共に	置くことさえ
H6629	H3611		H7896

しかし今はわたしよりも年若い者が、かえってわたしをあざ笑う。彼らの父はわたしが卑しめて、群れの犬と一緒にさえしなかった者だ。

כֹּֽחַ׃	אָבַד	עָלֵימוֹ	לִי	לָמָּה	יְדֵיהֶם	כֹּחַ	גַּם־	2
活力は	失われた	彼らの-上に	私に	何の-ために	彼らの-手の	力さえ	また	
H3624	H0006			H4100	H3027		H1571	

彼らの手の力からわたしは何を得るであろうか、彼らはその気力がすでに衰えた人々だ。

וּמְשֹׁאָה׃	שׁוֹאָה	אֶמֶשׁ	צִיָּה	הַעֹרְקִים	גַּלְמוּד	וּבְכָפָן	בְּחֶסֶר	3
廃墟の	荒廃と	昨夜の	荒野を	かじる-者たち	やせ衰え	飢えで	欠乏と	
H4875		H0570	H6723	H6207	H1565	H3720	H2639	

彼らは乏しさと激しい飢えとによって、かわいた荒れ地をかむ。

4	הַקֹּטְפִים	מַלּוּחַ	עֲלֵי־	שִׂיחַ	וְשֹׁרֶשׁ	רְתָמִים	לַחְמָם׃
	摘む–者たち	野草を	茂みの–傍らで	茂みの	そして–根を	えにしだの	彼らの–食糧とした
	H6998	H4408		H7880	H8328	H7574	H3899

彼らは、ぜにあおいおよび灌木の葉を摘み、れだまの根をもって身を暖める。

5	מִן־	גּוֹ	יְגֹרָשׁוּ	יָרִיעוּ	עֲלֵימוֹ	כַּגַּנָּב׃
	人々の–中から	社会から	追い出された	叫ばれた	彼らに–対して	盗人の–ように
			H1644	H7321		H1590

彼らは人々の中から追いだされ、盗びとを追うように、人々は彼らを追い呼ばわる。

6	בַּעֲרוּץ	גְּחָלִים	לִשְׁכֹּן	חֹרֵי	עָפָר	וְכֵפִים׃
	谷間の	涸れ谷に	住み	穴の–中の	土の	そして–岩の
	H6178		H7931	H2356	H6083	H3710

彼らは急流の谷間に住み、土の穴または岩の穴におり、

7	בֵּין־	שִׂיחִים	יִנְהָקוּ	תָּחַת	חָרוּל	יִסָּפָחוּ׃
	茂みの–間で	茂みの	叫び	下に	いらくさの	集まった
	H0996	H7880	H5101	H8478	H2738	

灌木の中にいななき、いらくさの下に押し合う。

8	מִן־	נִכְאוּ	שֵׁם	בְּלִי־	בְּנֵי	גַם־	נָבָל	בְּנֵי־
	追い出された	打たれて	者の–子ら	名の–ない	名も–ない	また	愚かな	愚かな–者の–子ら
		H5217	H8034	H1097		H1571	H5036	

	הָאָרֶץ׃
	地から
	H0776

彼らは愚かな者の子、また卑しい者の子であって、国から追いだされた者だ。

9	וְעַתָּה	נְגִינָתָם	הָיִיתִי	וָאֱהִי	לָהֶם	לְמִלָּה׃
	しかし–今	彼らの–嘲りの–歌と	私は–なった	そして–なった	彼らに–とって	物笑いの–種に
	H6258	H5058	H1961	H1961	H1992	H4405

それなのに、わたしは今彼らの歌となり、彼らの笑い草となった。

10	תָּעֲבוּנִי	רָחֲקוּ	מֶנִּי	וּמִפָּנַי	לֹא־	חָשְׂכוּ	רֹק׃
	嫌悪し	遠ざかった	私から	そして–私の–顔から	控えなかった	彼らは	唾を
	H8581	H7368		H6440	H3808	H2820	H7536

彼らはわたしをいとい、遠くわたしをはなれ、わたしの顔につばきすることも、ためらわない。

11	כִּי־	יִתְרוֹ[יִתְרִי]	פִּתַּח	וַיְעַנֵּנִי	וְרֶסֶן	מִפָּנַי	שִׁלְּחוּ׃
	まことに	彼の	解き放ち	私を–苦しめた	そして–手綱を	私の–前で	放った
			弦を			H6440	H7971

神がわたしの綱を解いて、わたしを卑しめられたので、彼らもわたしの前に慎みを捨てた。

12	עַל־	יָמִין	פִּרְחַח	יָקוּמוּ	רַגְלַי	שִׁלְּחוּ	וַיְסֹלּוּ	עָלַי	אָרְחוֹת
	右に	右の	若い–群れが	立ち上がり	私の–足を	追い払い	そして–築いた	私に–対して	道を
		H3225	H6526		H7272	H7971	H5549		H0734

	אֵידָם׃
	滅びの
	H0343

このともがらはわたしの右に立ち上がり、わたしを追いのけ、わたしにむかって滅びの道を築く。

לָמוֹ׃	עֹזֵר	לֹא	יֹעִילוּ	לְהַוָּתִי	נָתִיבָתִי	נָתְסוּ	13
彼らには	いない	助ける–者も	促した	私の–滅びを	私の–道を	壊した	
	H5826	H3808	H3276	H1942		H5420	

彼らはわたしの道をこわし、わたしの災を促す。これをさし止める者はない。

הִתְנַלְּגוּ׃	שֹׁאָה	תָּחַת	יֶאֱתָיוּ	רָחָב	כְּפֶרֶץ	14
転がり–込んだ	荒廃の	廃墟の–下で	押し寄せた	広い	広い–裂け目の–ように	
H1556		H8478	H0857	H7342	H6556	

彼らは広い破れ口からはいるように進みきたり、破壊の中をおし寄せる。

וּכְעָב	נִדְבָתִי	כָּרוּחַ	תִּרַדַּף	בַּלָּהוֹת	עָלַי	הָהְפַּךְ	15
そして–雲の–ように	私の–高貴さを	風の–ように	追い払った	恐怖が	私の–上に	向けられた	
H5645	H5082	H7307	H7291	H1091		H2015	

יְשֻׁעָתִי׃	עָבְרָה
私の–救いは	過ぎ去った
H3444	

恐ろしい事はわたしに臨み、わたしの誉は風のように吹き払われ、わたしの繁栄は雲のように消えうせた。

עָנִי׃	יְמֵי־	יֹאחֲזוּנִי	נַפְשִׁי	תִּשְׁתַּפֵּךְ	עָלַי	וְעַתָּה	16
苦悩の	苦しみの–日々が	捕らえる	私の–魂は	注ぎ出される	私の–上に	そして–今	
H6040	H3117	H0270	H5315	H8210		H6258	

今は、わたしの魂はわたしの内にとけて流れ、悩みの日はわたしを捕えた。

יִשְׁכָּבוּן׃	לֹא	וְעֹרְקִי	מֵעָלָי	נָקַר	עֲצָמַי	לַיְלָה	17
眠らない	休まない	そして–痛みは	私の–上で	突き刺される	私の–骨は	夜に	
H7901	H3808	H6207		H5365	H6106	H3915	

夜はわたしの骨を激しく悩まし、わたしをかむ苦しみは、やむことがない。

יַאַזְרֵנִי׃	כְּתָנְתִּי	כְּפִי	לְבוּשִׁי	יִתְחַפָּשׂ	כֹּחַ	בְּרָב־	18
私を–締めつける	私の–下着が	襟の–ように	私の–衣は	変えられる	力で	大いなる–力で	
H0247	H3801	H6310	H3830	H2664			

それは暴力をもって、わたしの着物を捕え、はだ着のえりのように、わたしをしめつける。

וָאֶפֶר׃	כֶּעָפָר	וָאֶתְמַשֵּׁל	לַחֹמֶר	הֹרָנִי	19
そして–灰の–ように	塵の–ように	そして–私は–なった	泥の–中に	投げ込まれた	
H0665	H6083				

神がわたしを泥の中に投げ入れられたので、わたしはちり灰のようになった。

בִּי׃	וַתִּתְכֹּנֵן	עָמַדְתִּי	תַּעֲנֵנִי	וְלֹא	אֵלֶיךָ	אֲשַׁוַּע	20
私を	そして–あなたは–見つめる	私は–立っている	あなたは–私に	しかし–答えない	あなたに	叫ぶ	
	H0995	H5975		H3808	H0413	H7768	

わたしがあなたにむかって呼ばわっても、あなたは答えられない。わたしが立っていても、あなたは顧みられない。

תִּשְׂטְמֵנִי׃	יָדְךָ	בְּעֻצֶּם	לִי	לְאַכְזָר	תֵּהָפֵךְ	21
私を–敵視する	あなたの–手で	力–強い	私に–対して	残酷な–者に	変わられた	
H7852	H3027	H6108		H0393	H2015	

あなたは変って、わたしに無情な者となり、み手の力をもってわたしを攻め悩まされる。

תוּשִׁיָּה׃)	[תשוה	וְתָמוֹגְגֵנִי	תַּרְכִּיבֵנִי	רוּחַ	אֵל־	תִּשָּׂאֵנִי	22
知恵を	嵐の	そして–溶かした	私を–乗せ	風に	風の–上に	持ち上げた	
H8454	H7738	H4127	H7392	H7307	H0413	H5375	

あなたはわたしを揚げて風の上に乗せ、大風のうなり声の中に、もませられる。

לְכֹל־	מוֹעֵד	וּבֵית	תְּשִׁיבֵנִי	מָוֶת	יָדַעְתִּי	כִּי־	23
すべての–生ける	定められた	そして–家に	あなたは–私を–帰す	死に	私は–知っている	まことに	
H3605	H4150		H7725	H4194	H3045		

חָי׃
者の

わたしは知っている、あなたはわたしを死に帰らせ、すべての生き物の集まる家に帰らせられることを。

שׁוּעַ׃	לָהֶן	בְּפִידוֹ	אִם־	יָדֶךָ	יִשְׁלַח־	בְּעִי	לֹא־	אַךְ	24
叫ぶ–とき	彼らが	その–滅びの–中で	もし	手を	手を	伸ばさないか	廃墟の–中で	しかし	
H7769	H3860	H6365		H3027	H7971	H1164	H3808	H0389	

さりながら荒塚の中にある者は、手を伸べないであろうか、災の中にある者は助けを呼び求めないであろうか。

לָאֶבְיוֹן׃	נַפְשִׁי	עָגְמָה	יוֹם	לְקֹשֵׁה־	בָּכִיתִי	לָא	אִם־	25
貧しい–者の–ために	私の–魂は	悲しんだ	日に	苦しむ–者の–ために	泣いた	私は–泣いた	確かに	
H0034	H5315	H5701	H3117	H7186	H1058	H3808		

わたしは苦しい日を送る者のために泣かなかったか。わたしの魂は貧しい人のために悲しまなかったか。

וַיָּבֹא	לְאוֹר	וָאֲיַחֲלָה	רָע	וַיָּבֹא	קִוִּיתִי	טוֹב	כִּי	26
しかし–来た	光を	そして–待ち望んだ	悪が	しかし–来た	私は–待ち望んだ	良いことを	まことに	
H0935	H0216	H3176		H0935				

אֹפֶל׃
暗闇が
H0652

しかしわたしが幸を望んだのに災が来た。光を待ち望んだのにやみが来た。

עָנִי׃	יְמֵי־	קִדְּמֻנִי	דָּמוּ	וְלֹא־	רֻתְּחוּ	מֵעַי		27
苦悩の	苦しみの–日々が	迎えた–私を	止まない	そして–静まらない	煮えたぎり	私の–内臓は		
H6040	H3117	H6923		H3808	H7570	H4578		

わたしのはらわたは沸きかえって、静まらない。悩みの日がわたしに近づいた。

אֲשַׁוֵּעַ׃	בַּקָּהָל	קַמְתִּי	חַמָּה	בְלֹא	הָלַכְתִּי	קֹדֵר	28
叫んだ	会衆の–中で	立ち上がり	太陽の	太陽–なしに	私は–歩いた	暗く	
H7768	H6951		H2535	H3808	H1980	H6937	

わたしは日の光によらずに黒くなって歩き、公会の中に立って助けを呼び求める。

יַעֲנָה׃	לִבְנוֹת	וְרֵעַ	לְתַנִּים	הָיִיתִי	אָח	29
娘たちの	だちょうの	そして–仲間と	ジャッカルの	私は–なった	兄弟と	
H3284	H1323	H7453		H1961	H0251	

わたしは山犬の兄弟となり、だちょうの友となった。

חֹרֶב׃	מִנִּי־	חֲרָרָה	וְעַצְמִי־	מֵעָלַי	שָׁחַר	עוֹרִי	30
熱の–ために	燃えた	熱で	そして–私の–骨は	剥がれ落ちた	黒ずみ	私の–皮膚は	
		H2787	H6106		H7835	H5785	

わたしの皮膚は黒くなって、はげ落ち、わたしの骨は熱さによって燃え、

בֹּכִים׃	לְקוֹל	וְעֻגָבִי	כִּנֹּרִי	לְאֵבֶל	וַיְהִי	31
泣く–者たちの	声に	そして–私の–笛は	私の–竪琴は	嘆きに	そして–なった	
H1058		H5748	H3658	H0060	H1961	

わたしの琴は悲しみの音となり、わたしの笛は泣く者の声となった。

Chapter 31

בְּתוּלָֽה׃	עַל־	אֶתְבּוֹנֵן	וּמָה	לְעֵינָי	כָּרַתִּי	בְּרִית	1
娘を	若い–女を	見つめようか	そして–なぜ	私の–目と	私は–結んだ	契約を	
H1330		H0995	H4100		H3772	H1285	

わたしは、わたしの目と契約を結んだ、どうして、おとめを慕うことができようか。

מִמְּרוֹמִֽים׃	שַׁדַּי	וְנַחֲלַת	מִמָּעַל	אֱלוֹהַּ	חֵלֶק	וּמָה	2
高き–所からの	全能者の	そして–受け継ぎか	上からの	神の	分け前か	そして–何が	
H4791	H7706	H5159	H4605	H0433		H4100	

もしそうすれば上から神の下される分はどんなであろうか。高き所から全能者の与えられる嗣業はどんなであろうか。

אָ֑וֶן׃	לְפֹעֲלֵי	וְנֵכֶר	לְעַוָּל	אֵיד	הֲלֹא־	3
不正を	行う–者たちに	そして–災いが	不正な–者に	わざわいが	破滅では–ないか	
H0205	H6466	H5235	H5767	H0343	H3808	

不義なる者には災が下らないであろうか。悪をなす者には災難が臨まないであろうか。

יְסַפֵּֽר׃	צְעָדַי	וְכָל־	דְּרָכַי	יִרְאֶה	הוּא	הֲלֹא־	4
数えている	私の–歩みを	そして–すべての	私の–道を	見ている	彼は	見ては–いないか	
	H6806	H3605	H1870	H7200	H1931	H3808	

彼はわたしの道をみそなわし、わたしの歩みをことごとく数えられぬであろうか。

רַגְלִֽי׃	מִרְמָה	עַל־	וַתָּחַשׁ	שָׁוְא	עִם־	הָלַכְתִּי	אִם־	5
私の–足が	欺きに	欺きに–向かって	そして–急いだなら	偽りと	共に	私が–歩んだなら	もし	
H7272	H4820			H7723		H1980		

もし、わたしがうそと共に歩み、わたしの足が偽りにむかって急いだことがあるなら、

תֻּמָּתִֽי׃	אֱלוֹהַּ	וְיֵדַע	צֶדֶק	בְּמֹאזְנֵי־	יִשְׁקְלֵנִי		6
私の–誠実を	神は	そして–知るだろう	正義の	正しい–秤で	量ってください–私を		
H8538	H0433	H3045	H6664	H3976	H8254		

（正しいはかりをもってわたしを量れ、そうすれば神はわたしの潔白を知られるであろう。）

לִבִּי	הָלַךְ	עֵינַי	וְאַחַר	הַדֶּרֶךְ	מִנִּי	אַשֻּׁרִי	תִּטֶּה	אִם	7
私の–心が	従って	私の–目に	そして–後を	その–道から	道から	私の–歩みが	それたなら	もし	
	H1980			H1870			H5186		

פ	מֻאוּם׃	דָּבַק	וּבְכַפַּי	
—	汚れが	付いたなら	そして–私の–手に	
		H1692	H3709	

もしわたしの歩みが、道をはなれ、わたしの心がわたしの目にしたがって歩み、わたしの手に汚れがついていたなら、

יְשֹׁרָֽשׁוּ׃	וְצֶאֱצָאַי	יֹאכַל	וְאַחֵר	אֶזְרָעָה	8
引き抜かれよ	そして–私の–子孫は	食べよ	他の–者が	蒲いたものを	
H8327	H6631	H0398	H0312	H2232	

わたしのまいたのを他の人が食べ、わたしのために成長するものが、抜き取られてもかまわない。

9 אִם־ נִפְתָּה לִבִּי עַל־ אִשָּׁה וְעַל־ פֶּתַח רֵעִי׃ אָרָבְתִּי׃

もし 誘われたなら 私の–心が 女に–よって 女に 戸口で 隣人の 私が

もし、わたしの心が、女に迷ったことがあるか、またわたしが隣り人の門で待ち伏せしたことがあるなら、

10 אֲחֵרִין׃ יִכְרְעוּן וְעָלֶיהָ אִשְׁתִּי לְאַחֵר תִּטְחַן

他の–者たちが かがめよ そして–彼女の–上に 私の–妻が 他の–者の–ために 粤いて–かけよ

わたしの妻が他の人のためにうすをひき、他の人が彼女の上に寝てもかまわない。

11 כִּי־]הוּא( ]וְהִיא(זִמָּה)הֵיא( ]וְהִוא(עָוֹן פְּלִילִים׃

なぜなら それは それは 恥だから それは それは 咲きである 裁きの

これは重い罪であって、さばきびとに罰せられるべき悪事だからである。

12 כִּי אֵשׁ הֵיא עַד־ אֲבַדּוֹן תֹּאכֵל וּבְכָל־ תְּשָׁרֵשׁ׃ תְּבוּאָתִי

まことに 火であり それは 滅びの–場まで 滅びの–場まで 焼き尽くす そして–すべての 根絶やしにする 私の–収穫を

これは滅びに至るまでも焼きつくす火であって、わたしのすべての産業を根こそぎ焼くであろう。

13 אִם־ אֶמְאַס מִשְׁפַּט עַבְדִּי וַאֲמָתִי בְּרִבָּם עִמָּדִי׃

もし 私が–退けたなら 権利を 私の–僕の そして–女僕の 訴えた–とき 私に

わたしのしもべ、また、はしためがわたしと言い争ったときに、わたしがもしその言い分を退けたことがあるなら、

14 וְכִי־ אֵל יָקוּם כִּי־ אֶעֱשֶׂה וּמָה אֶפְקֹד אֲשִׁיבֶנּוּ׃ מָה

そして–もし–訪れるなら 神が 立ち上がるなら もし–立ち上がるなら 私は–するだろう そして–何を 私は–答えようか 何を 訪れるなら

神が立ち上がられるとき、わたしはどうしようか、神が尋ねられるとき、なんとお答えしようか。

15 הֲלֹא־ בַבֶּטֶן עָשַׂנִי עָשֵׂהוּ וַיְכֹנְנֵנוּ בָּרֶחֶם אֶחָד׃

同じ 胎内で そして–形作った 彼をも–造った 私を–造った–方が 胎内で 同じく

わたしを胎内に造られた者は、彼をも造られたのではないか。われわれを腹の内に形造られた者は、ただひとりではないか。

16 אִם־ אֶמְנַע מֵחֵפֶץ דַּלִּים וְעֵינֵי אַלְמָנָה אַכְלֶה׃

もし 私が–拒んだなら 願いを 貧しい–者の そして–目を やもめの 衰えさせたなら

わたしがもし貧しい者の願いを退け、やもめの目を衰えさせ、

17 וְאֹכַל פִּתִּי לְבַדִּי וְלֹא־אָכַל יָתוֹם
そして–食べたなら 私の–パンを 一人で そして–食べなかったなら 孤児が
H0398 H0905 H3808 H0398 H3490

מִמֶּנָּה׃
それから

あるいはわたしひとりで食物を食べて、みなしごに食べさせなかったことがあるなら、

18 כִּי מִנְּעוּרַי גְּדָלַנִי כְּאָב וּמִבֶּטֶן אִמִּי אַנְחֶנָּה׃
まことに 若い–時から 育てた–私は 父の–ように そして–母の–胎内から 私の–母の 導いた–彼女を
H3490 H5148 H0517 H0990 H0001 H1431

（わたしは彼の幼い時から父のように彼を育て、またその母の胎を出たときから彼を導いた。）

19 אִם־אֶרְאֶה אוֹבֵד מִבְלִי לְבוּשׁ וְאֵין כְּסוּת לָאֶבְיוֹן׃
もし 私が–見たなら 滅びゆく–者が 着る–物なく 衣服なく そして–ないなら 覆いが 貧しい–者に
H7200 H0006 H1097 H3830 H0369 H3682 H0034

もし着物がないために死のうとする者や、身をおおう物のない貧しい人をわたしが見た時に、

20 אִם־לֹא בֵּרְכוּנִי חלצו[חֶלְצֵיו(וּמִגֵּז כְּבָשַׂי יִתְחַמָּם׃
もし 祝福しなかったなら 私を–彼の 彼の 腰が そして–毛で 私の–羊の 温まったなら
H3808 H1288 H2504 H2504 H1488 H3532 H2552

その腰がわたしを祝福せず、また彼がわたしの羊の毛で暖まらなかったことがあるなら、

21 אִם־הֵנַפְתִּי עַל־יָתוֹם יָדִי כִּי־אֶרְאֶה בַּשָּׁעַר עֶזְרָתִי׃
もし 私が–振り上げたなら 孤児に–対して 私の–手を なぜなら–見たから 門で 私の–助けを
H3490 H3027 H7200 H8179 H5833

もしわたしを助ける者が門におるのを見て、みなしごにむかってわたしの手を振り上げたことがあるなら、

22 כְּתֵפִי מִשִּׁכְמָהּ תִּפּוֹל וְאֶזְרֹעִי מִקָּנָהּ תִּשָּׁבֵר׃
私の–肩が 肩から 落ちよ そして–私の–腕が 関節から 折れよ
H3802 H7929 H5307 H0248 H7070 H7665

わたしの肩骨が、肩から落ち、わたしの腕が、つけ根から折れてもかまわない。

23 כִּי פַחַד אֵלַי אֵיד אֵל וּמִשְּׂאֵתוֹ לֹא אוּכָל׃
まことに 恐れだった 私には 災いが 神の そして–その–威光に 耐えられなかった 私は
H6343 H0413 H0343 H0410 H7613 H3808 H3201

わたしは神から出る災を恐れる、その威光の前には何事もなすことはできない。

24 אִם־שַׂמְתִּי זָהָב כִּסְלִי וְלַכֶּתֶם מִבְטַחִי׃
もし 私が–置いたなら 金を 私の–望みと そして–純金に 私が–言ったなら 私の–頼みと
H2091 H3689 H3800 H0559 H4009

わたしがもし金をわが望みとし、精金をわが頼みと言ったことがあるなら、

25 אִם־ אֶשְׂמַח 私が–喜んだなら H8055 כִּי־ 多い–ことを רַב 多い H2428 חֵילִי 私の–富が H2428 וְכִי־ そして–豊かな H3524 כַּבִּיר 豊かな H3524 מָצְאָה 得たと H4672
יָדִי׃ 私の–手が H3027

わたしがもしわが富の大いなる事と、わたしの手に多くの物を獲た事とを喜んだことがあるなら、

26 אִם־ もし אֶרְאֶה 私が–見たなら H7200 אוֹר 太陽の–光を H0216 כִּי 輝く–とき יָהֵל 輝く H3394 וְיָרֵחַ そして–月が H3394 יָקָר 麗しく H3368 הֹלֵךְ׃ 進むのを H1980

わたしがもし日の輝くのを見、または月の照りわたって動くのを見た時、

27 וַיִּפְתְּ なら–誘われたなら בַּסֵּתֶר 密かに לִבִּי 私の–心が וַתִּשַּׁק そして–口づけたなら יָדִי 私の–手が H3027 לְפִי׃ 口に H6310

心ひそかに迷って、手に口づけしたことがあるなら、

28 גַּם־ それも–また H1571 הִוא それは H1931 עָוֹן 咲きである H5771 פְּלִילִי 裁きの H6416 כִּי־ なぜなら–私が כִּחַשְׁתִּי 欺いたことになる H3584 לָאֵל 神を H0410 מִמָּעַל׃ 上におられる H4605

これもまたさばきびとに罰せらるべき悪事だ。わたしは上なる神を欺いたからである。

29 אִם־ もし אֶשְׂמַח 私が–喜んだなら H8055 בְּפִיד 滅びを H6365 מְשַׂנְאִי 私を–憎む–者の H8130 וְהִתְעוֹרַרְתִּי そして–小踊りしたなら H5782 כִּי־ 彼に–見舞われた–とき
מְצָאוֹ 見舞われた–とき H4672 רָע׃ 悪が

わたしがもしわたしを憎む者の滅びるのを喜び、または災が彼に臨んだとき、勝ち誇ったことがあるなら、

30 וְלֹא־ そして–許さなかった H3808 נָתַתִּי 私は–与えなかった H5414 לַחֲטֹא 罪を–犯すことを H2398 חִכִּי 私の–口に H2441 לִשְׁאֹל 求めることを H7592 בְּאָלָה 呪いで H0423
נַפְשׁוֹ׃ 彼の–命を H5315

（わたしはわが口に罪を犯させず、のろいをもって彼の命を求めたことはなかった。）

31 אִם־ 確かに לֹא 言わなかったか H3808 אָמְרוּ 言った H0559 מְתֵי 人々が H4962 אָהֳלִי 私の–天幕の H0168 מִי־ 誰が–くれるか H4310 יִתֵּן くれるか H5414 מִבְּשָׂרוֹ 彼の–肉で H1320
נִשְׂבָּע׃ 者は–いないと H7646 לֹא 満足しない H3808

もし、わたしの天幕の人々で、『だれか彼の肉に飽きなかった者があるか』と、言わなかったことがあるなら、

32 בַּחוּץ 外で H2351 לֹא־ 泊まらせなかった H3808 יָלִין 泊まらせなかった גֵּר 旅人を H1616 דְּלָתַי 私の–戸を לָאֹרַח 旅人に H0734 אֶפְתָּח׃ 私は–開いた

（他国人はちまたに宿らず、わたしはわが門を旅びとに開いた。）

33 אִם־ כִּסִּיתִי כְאָדָם פִּשְׁעִי לִטְמוֹן בְּחִבִּי עֲוֹנִי׃
もし 私が–隠したなら 人の–ように 私の–背きを 隠すために 私の–懐に 私の–咎を
H3680 H0121 H6588 H2934 H2243 H5771

わたしがもし人々の前にわたしのとがをおおい、わたしの悪事を胸の中に隠したことがあるなら、

34 כִּי אֶֽעֱרֹץ הָמוֹן רַבָּה וּבוּז־ מִשְׁפָּחוֹת יְחִתֵּנִי וָאֶדֹּם׃ לֹא־ אֵצֵא פָּתַח׃
確かに 私が–恐れたのは 群衆の 大きな そして–軽蔑が 氏族の 私を–恐れさせた そして–黙り 出なかった 出なかった 戸口から
H6206 H0937 H4940 H2865 H3318 H3808 H6607

わたしが大衆を恐れ、宗族の侮りにおじて、口を閉じ、門を出なかったことがあるなら、

35 מִי יִתֶּן־ לִי שֹׁמֵעַ וְלִי יִתֶּן־ הֵן־ תָּוִי שַׁדַּי יַעֲנֵנִי סֵפֶר כָּתַב אִישׁ רִיבִי׃
誰が 与えて–くれるか 私に 聞いて–くれる–者を 私に 見よ 私の–署名だ 全能者が 私に–答えてください そして–書物を 書いた 私の–敵対者が 訴えの
H4310 H5414 H8085 H2005 H8420 H7706 H3789 H0376 H7379

ああ、わたしに聞いてくれる者があればよいのだが、（わたしのかきはんがここにある。どうか、全能者がわたしに答えられるように。）ああ、わたしの敵の書いた告訴状があればよいのだが。

36 אִם־ לֹא עַל־ שִׁכְמִי אֶשָּׂאֶנּוּ אֶעֱנֶדֶנּוּ עֲטָרוֹת לִי׃
確かに 私は–肩の–上に 担うだろう 私の–肩に それを 縞むだろう 冠の–ように 私に
H3808 H7926 H5375 H6029 H5850

わたしは必ずこれを肩に負い、冠のようにこれをわが身に結び、

37 מִסְפַּר צְעָדַי אַגִּידֶנּוּ כְּמוֹ־ נָגִיד אֶקְרָבֶנּוּ׃
数を わが–歩みの 私は–告げるだろう 導く–者の–ように 指導者の–ように 私は–近づくだろう
H4557 H6806 H5046 H3644 H5057 H7126

わが歩みの数を彼に述べ、君たる者のようにして、彼に近づくであろう。

38 אִם־ עָלַי אַדְמָתִי תִזְעָק וְיַחַד תְּלָמֶיהָ יִבְכְּיוּן׃
もし 私に–対して 私の–地が 叫ぶなら そして–共に その–畠の–溝が 泣くなら
H0127 H2199 H3162 H8525 H1058

もしわが田畑がわたしに向かって呼ばわり、そのうねみぞが共に泣き叫んだことがあるなら、

39 אִם־ אָכַלְתִּי כֹחָהּ בְּלִי־ כֶסֶף וְנֶפֶשׁ בְּעָלֶיהָ הָפָחְתִּי׃
もし その–力を 対価–なしに 代金なしに そして–命を その–持ち主の 私が–食べたなら 絶ったなら
H0398 H1097 H3701 H5315 H1167 H5301

もしわたしが金を払わないでその産物を食べ、その持ち主を死なせたことがあるなら、

תַּמּוּ	בָּאֻשָּׁה	שְׂעֹרָה	וְתַחַת־	חוֹחַ	יֵצֵא	וְחִטָּה	תָּחַת	40
終わった	毒麦が	大麦の	そして–大麦の–代わりに	いばらが	生えよ	小麦の	小麦の–代わりに	
H8552	H0890	H8184	H8478	H2336	H3318	H2406	H8478	

פ	אִיּוֹב׃	דִּבְרֵי
—	ヨブの	言葉は
	H0347	H1697

小麦の代りに、いばらがはえ、大麦の代りに雑草がはえてもかまわない」。ヨブの言葉は終った。

Chapter 32

הַהוּא	כִּי	אִיּוֹב	אֶת־	מֵעֲנוֹת	הָאֵלֶּה	הָאֲנָשִׁים	שְׁלֹשֶׁת	וַיִּשְׁבְּתוּ	1
彼は	なぜなら	ヨブに	ヨブに	答えることを	これらの	人々は	三人の	そして–止めた	
H1931		H0347	H0853		H0428	H0376	H7969		

פ	בְּעֵינָיו׃	צַדִּיק
—	自分の–目に	正しかった
		H6662

このようにヨブが自分の正しいことを主張したので、これら三人の者はヨブに答えるのをやめた。

בְּאִיּוֹב	רָם	מִמִּשְׁפַּחַת	הַבּוּזִי	בַּרַכְאֵל	בֶּן־	אֱלִיהוּא	וְאַף	וַיִּחַר	2
ヨブに–対して	ラムの	氏族の	ブズ人の	バラクエルの	息子	エリフの	怒りが	そして–燃えた	
H0347	H7410	H4940	H0940	H1292		H0453	H0639	H2734	

מֵאֱלֹהִים׃	נַפְשׁוֹ	צַדְּקוֹ	עַל־	אַפּוֹ	חָרָה
神よりも	自分の–魂を	正しいと–した	なぜなら	彼の–怒りは	燃えた
H0430	H5315	H6663		H0639	H2734

その時ラム族のブズびとバラケルの子エリフは怒りを起した。すなわちヨブが神よりも自分の正しいことを主張するので、彼はヨブに向かって怒りを起した。

									3
לֹא־	אֲשֶׁר	עַל	אַפּוֹ	חָרָה	רֵעָיו	וּבִשְׁלֹשֶׁת			
見つけなかった	彼らが	なぜなら	彼の–怒りは	燃えた	友人たちに–対しても	そして–三人の			
H3808			H0639	H2734	H7453	H7969			

אִיּוֹב׃	אֶת־	וַיַּרְשִׁיעוּ	מַעֲנֶה	מָצְאוּ
ヨブを	ヨブを	それでいて–罪ありとした	答えを	見つけなかった
H0347	H0853	H7561	H4617	H4672

またヨブの三人の友がヨブを罪ありとしながら、答える言葉がなかったので、エリフは彼らにむかっても怒りを起した。

									4
מִמֶּנּוּ	הֵמָּה	זְקֵנִים־	כִּי	בִּדְבָרִים	אִיּוֹב	אֶת־	חִכָּה	וֵאֲלִיהוּ	
彼より	彼らは	年上だった	なぜなら	言葉で	ヨブに	ヨブに	待っていた	そして–エリフは	
	H1992	H2205		H1697	H0347	H0853	H2442	H0453	

לְיָמִים׃
日々において
H3117

エリフは彼らが皆、自分よりも年長者であったので、ヨブに物言うことをひかえて待っていたが、

									5
וַיִּחַר	הָאֲנָשִׁים	שְׁלֹשֶׁת	בְּפִי	מַעֲנֶה	אֵין	כִּי	אֱלִיהוּא	וַיַּרְא	
そして–燃えた	人々の	三人の	口に	答えが	ないことを	もはや	エリフは	そして–見た	
H2734	H0376	H7969	H6310	H4617	H0369		H0453	H7200	

פ	אַפּוֹ׃
—	彼の–怒りは
	H0639

ここにエリフは三人の口に答える言葉のないのを見て怒りを起した。

6 וַיַּעַן אֱלִיהוּא בֶּן־בַּרַכְאֵל הַבּוּזִי וַיֹּאמַר
そして–答えた エリフは 息子 バラクエルの ブズ人の そして–言った
H6030 H0453 H1121 H1292 H0940 H0559

צָעִיר אֲנִי וְאַתֶּם יְשִׁישִׁים עַל־כֵּן זָחַלְתִּי וָאִירָא
若くて 私は 老人である しかし–あなたがたは それゆえ それゆえ 私は–ためらった そして–恐れた
H6810 H0589 H3453 H0859 H5921 H3514 H3372

מֵחַוֹת דֵּעִי אֶתְכֶם׃ יָמִים לֵיכוּ
述べることを 私の–意見を あなたがたに 日々において
H2331 H1843 H0853 H3117

ブズびとバラケルの子エリフは答えて言った、「わたしは年若く、あなたがたは年老いている。それゆえ、わたしははばかって、わたしの意見を述べることをあえてしなかった。

7 אָמַרְתִּי יָמִים יְדַבְּרוּ וְרֹב שָׁנִים יוֹדִיעוּ חָכְמָה׃
私は–思った 年配者が 語るべきだと そして–多くの 年月が 教えるべきだと 知恵を
H0559 H3117 H1696 H7230 H8141 H3045 H2451

わたしは思った、『日を重ねた者が語るべきだ、年を積んだ者が知恵を教えるべきだ』と。

8 אָכֵן רוּחַ־הִיא בֶּאֱנוֹשׁ וְנִשְׁמַת שַׁדַּי תְּבִינֵם׃
しかし–まことに 霊が それは 人の–内にある そして–息吹きが 全能者の 悟りを–与える
H0403 H7307 H1931 H0582 H5397 H7706 H0995

しかし人のうちには霊があり、全能者の息が人に悟りを与える。

9 לֹא־רַבִּים יֵחְכָּמוּ וּזְקֵנִים יָבִינוּ מִשְׁפָּט׃
年老いた–者が 多くの–者が 賢いとは–限らない そして–老人が 悟るとは–限らない 公正を
H3808 H7227 H2449 H2205 H0995 H4941

老いた者、必ずしも知恵があるのではなく、年とった者、必ずしも道理をわきまえるのではない。

10 לָכֵן אָמַרְתִּי שִׁמְעָה־לִּי אֲחַוֶּה דֵּעִי אַף־אֲנִי׃
それゆえ 私は–言う 聞いてください 私に 述べよう 私の–意見を 私も–また 私も
H3651 H0559 H8085 H0589 H2331 H1843 H0637 H0589

ゆえにわたしは言う、『わたしに聞け、わたしもまたわが意見を述べよう』。

11 הֵן הוֹחַלְתִּי לְדִבְרֵיכֶם אָזִין עַד־תְּבוּנֹתֵיכֶם עַד־תַּחְקְרוּן מִלִּין׃
見よ 私は–待った あなたがたの–言葉を 耳を–傾けた あなたがたの 理解を 探り–尽くすまで 言葉を
H2005 H3176 H1697 H0238 H5704 H8394 H5704 H4405

見よ、わたしはあなたがたの言葉に期待し、その知恵ある言葉に耳を傾け、あなたがたが言うべき言葉を捜し出すのを待っていた。

12 וְעַד־אֵלֶּה הִנֵּה אֵין לְאִיּוֹב מוֹכִיחַ עוֹנֶה מִכֶּם׃ אֲמָרָיו
そして–あなたがたに 私は–注意した しかし–見よ いなかった ヨブに 論駁する–者が 答える–者が あなたがたの–中に 彼の–言葉に
H5704 H0995 H2009 H0369 H0347 H3198 H6030 H4405

わたしはあなたがたに心をとめたが、あなたがたのうちにヨブを言いふせる者はひとりもなく、また彼の言葉に答える者はひとりもなかった。

13
יְדַפֵּנּוּ אֱלֹ֑ וֽ חָכְמָ֥ה מָצָ֗אנוּ תָּ֭אמְרוּ פֶּן־
打ち負かすのであり 神が 知恵を 見つけたと 言わない-でください 言わない-でください
H5086 H0410 H2451 H4672 H0559 H6435

לֹא־ אִֽישׁ׃
人が 人では-ないと
H0376 H3808

おそらくあなたがたは言うだろう、『われわれは知恵を見いだした、彼に勝つことのできるのは神だけで、人にはできない』と。

14
וְלֹא־ עָרַךְ֣ אֵלַ֣י מִלִּ֑ין וּ֝בְאִמְרֵיכֶ֗ם לֹ֣א אֲשִׁיבֶֽנּוּ׃
そして-向けなかった 向けなかった 私に 言葉を そして-あなたがたの-言葉で 答えない 私は-彼に
H3808 H0413 H4405 H0561 H3808 H7725

彼はその言葉をわたしに向けて言わなかった。わたしはあなたがたの言葉をもって彼に答えることはしない。

15
חַתּ֑וּ וְלֹא־ עָ֥נוּ עוֹד֮ הֶעְתִּ֪יקוּ מֵ֫הֶ֥ם מִלִּ֥ים׃
打ちのめされた 答えなかった 彼らは もはや 離れた 彼らから 言葉は
H2865 H3808 H6275 H1992 H4405

彼らは驚いて、もはや答えることをせず、彼らには、もはや言うべき言葉がない。

16
וְֽהוֹחַלְתִּי֮ כִּֽי־ לֹ֤א יְדַ֪בְּרוּ֫ כִּ֥י עָ֭מְדוּ לֹא־
そして-私は-待った しかし-語らない 語らない 彼らは なぜなら 立ち尽くした 答えなかった
H3176 H3808 H1696 H3808 H5975 H3808

עָנ֥וּ עוֹד׃
彼らは もはや
H5750

彼らは物言わず、立ちとどまって、もはや答えるところがないので、わたしはこれ以上待つ必要があろうか。

17
אֲנִ֥י אַף־ דֵּעִ֑י אֲחַוֶּ֥ה חֶלְקִ֝֗י אֲנִ֤י אַף־ אֶעֱנֶֽה׃
私も 私も-また 私の-意見を 述べよう 分を 私の 私も-また 答えよう
H0589 H0637 H1843 H2331 H2329 H0589 H0637

わたしもまたわたしの分を答え、わたしの意見を述べよう。

18
בִּטְנִֽי׃ רֽוּחַ֥ תְּ֝צִיקַ֗תְנִי מִלִּ֥ים מָלֵ֑תִי כִּֽי
私の-内の 霊が 迫る 言葉で 満ちている まことに
H0990 H7307 H6693 H4405 H4390

わたしには言葉が満ち、わたしのうちの霊がわたしに迫るからだ。

19
חֲדָשִׁ֑ים כְּא֥וֹבוֹת יִפָּ֝תֵ֗חַ לֹא־ כְיַ֥יִן בִּטְנִ֥י הִנֵּֽה־
新しい 新しい-革袋の-ように 開かない 開かない ぶどう酒の-ように 私の-内は 見よ
H2319 H0178 H3808 H3196 H0990 H2009

יִבָּקֵֽעַ׃
張り裂けそうだ
H1234

見よ、わたしの心は口を開かないぶどう酒のように、新しいぶどう酒の皮袋のように、今にも張りさけようとしている。

20
וְאֵעָנֶ֑ה שְׂפָתַ֥י אֶ֝פְתַּ֗ח לִ֣י וְיֵרָוַח־ אֲדַבְּרָ֥ה
そして-答えよう 私の-唇を 開こう 私は そうすれば-楽になる 語ろう
H8193 H7304 H1696

わたしは語って、気を晴らし、くちびるを開いて答えよう。

21 אַל־ נָא אֶשָּׂא פְּנֵי־ אִישׁ וְאֶל־ אָדָם אֹכַנֶּה׃
決して 決して ひいきはしない 人の 人の–顔を そして–人に 人に へつらわない 私は
H0408 H4994 H5375 H0376 H6440 H0413 H0120 H3808 H3655

わたしはだれをもかたより見ることなく、また何人とにもへつらうことをしない。

22 כִּי לֹא יָדַעְתִּי אֲכַנֶּה כִּמְעַט יִשָּׂאֵנִי
まことに 知らない 私は へつらうことを そうすれば–ただちに 取り去るだろう–私を
H3808 H3045 H3655 H4592 H5375

עֹשֵׂנִי׃
私を–造った–方が

わたしはへつらうことを知らないからだ。もしへつらうならば、わたしの造り主は直ちにわたしを滅ぼされるであろう。

Chapter 33

1 וְאוּלָם אִיּוֹב נָא שְׁמַע־ מִלָּי וְכָל־ דְּבָרַי הַאֲזִינָה׃
しかし–どうか どうか ヨブよ 私の–言葉を そして–すべての 耳を–傾けよ 私の–言葉に–耳を–傾けよ
H0199 H4994 H8085 H0347 H4405 H3605 H0238 H1697

だから、ヨブよ、今わたしの言うことを聞け、わたしのすべての言葉に耳を傾けよ。

2 הִנֵּה־ נָא פָּתַחְתִּי פִּי דִּבְּרָה לְשׁוֹנִי בְּחִכִּי׃
どうか 見よ–どうか 私は–開いた 私の–口を 語る 私の–舌が 口の–中で
H4994 H2009 H6310 H1696 H3956 H2441

見よ、わたしは口を開き、口の中の舌は物言う。

3 יְשָׁר־ לִבִּי אֲמָרֵי דַּעַת וְשִׂפְתַי בָּרוּר מִלְלוּ׃
正しさが 私の–心の 私の–言葉である そして–知識を 私の–唇は 純粋に 語る
H3476 H0561 H1847 H8193 H1305

わたしの言葉はわが心の正しきを語り、わたしのくちびるは真実をもってその知識を語る。

4 רוּחַ־ אֵל עָשָׂתְנִי וְנִשְׁמַת שַׁדַּי תְּחַיֵּנִי׃
神の–霊が 神の 私を–造った そして–息吹きが 全能者の 私を–生かす
H7307 H0410 H6913 H5397 H7706 H2421

神の霊はわたしを造り、全能者の息はわたしを生かす。

5 אִם־ תּוּכַל הֲשִׁיבֵנִי עֲרָכָה לְפָנַי הִתְיַצָּבָה׃
もし できるなら 答えてください–私に 整えて 私の–前に 立ちなさい
H0518 H3201 H7725 H6440 H3320

あなたがもしできるなら、わたしに答えよ、わたしの前に言葉を整えて、立て。

6 הֵן־ אֲנִי כְפִיךָ לָאֵל מֵחֹמֶר קֹרַצְתִּי גַּם־ אֲנִי׃
見よ 私も あなたと–同じく 神の–前に 粘土から 形作られた 私も–また 私も
H2005 H0589 H6310 H0410 H2563 H7169 H1571 H0589

見よ、神に対しては、わたしもあなたと同様であり、わたしもまた土から取って造られた者だ。

לֹא־	עָלֶיךָ	וְאַכְפִּי	תְבַעֲתֶךָּ	לָא	אֵמָתִי	הִנֵּה	7
重くない	あなたの–上に	そして–私の–重荷は	あなたを	おびえさせない	私の–恐れは	見よ	
H3808		H0405	H1204	H3808	H0367	H2009	

יִכְבָּד׃
重くない
H3513

見よ、わたしの威厳はあなたを恐れさせない、わたしの勢いはあなたを圧しない。

אֶשְׁמָע׃	מִלַּיִן	וְקוֹל	בְּאָזְנָי	אָמַרְתָּ	אַךְ		8
私は–聞いた	言葉の	そして–声を	私の–耳に	あなたは–言った	ただし		
H8085	H4405		H0241	H0559	H0389		

確かに、あなたはわたしの聞くところで言った、わたしはあなたの言葉の声を聞いた。

לִי׃	עָוֹן	וְלֹא	אָנֹכִי	חָף	פָּשַׁע	בְּלִי	אֲנִי	זַךְ	9
私には	咲きは	そして–ない	私は	潔白で	背きなく	罪なくて	私は	清くて	
	H5771	H3808	H0595	H2643	H6588	H1097	H0589	H2134	

あなたは言う、『わたしはいさぎよく、とがはない。わたしは清く、不義はない。

לוֹ׃	לְאוֹיֵב	יַחְשְׁבֵנִי	יִמְצָא	עָלַי	תְּנוּאוֹת	הֵן	10
私を	敵と	みなす	見つける	私に–対して	口実を	見よ	
	H0341	H2803	H4672		H8569	H2005	

見よ、彼はわたしを攻める口実を見つけ、わたしを自分の敵とみなし、

אָרְחֹתָי׃	כָּל־	יִשְׁמֹר	רַגְלָי	בַּסַּד	יָשֵׂם	11
私の–道を	すべての	見張る	私の–足を	足かせに	置く	
H0734	H3605	H8104	H7272	H5465		

わたしの足をかせにはめ、わたしのすべての行いに目をとめられる』と。

מֵאֱנוֹשׁ׃	אֱלוֹהַּ	יִרְבֶּה	כִּי־	אֶעֱנֶךָּ	צָדַקְתָּ	לֹא־	זֹאת	הֵן־	12
人よりも	神は	大きい	なぜなら–大きい	私は–答える	あなたは	正しくない	これは	見よ	
H0582	H0433				H6663	H3808	H2063	H2005	

見よ、わたしはあなたに答える、あなたはこの事において正しくない。神は人よりも大いなる者だ。

יַעֲנֶה׃	לָא־	דְּבָרָיו	כָּל־	כִּי	רִיבוֹתָ	אֵלָיו	מַדּוּעַ	13
彼は	答えない	彼の–言葉に	すべての	なぜなら	あなたは–争うのか	彼に	なぜ	
	H3808	H1697	H3605		H7378	H0413	H4069	

あなたが『彼はわたしの言葉に少しも答えられない』といって、彼に向かって言い争うのは、どういうわけであるか。

יְשׁוּרֶנָּה׃	לָא	וּבִשְׁתַּיִם	אֵל	יְדַבֵּר־	בְּאַחַת	כִּי־	14
気づかない	人は–気づかない	そして–二度	神は	語る–神は	一度	まことに–一度	
H7789	H3808	H8147	H0410	H1696	H0259		

神は一つの方法によって語られ、また二つの方法によって語られるのだが、人はそれを悟らないのだ。

בִּתְנוּמוֹת	אֲנָשִׁים	עַל־	תַּרְדֵּמָה	בִּנְפֹל	לַיְלָה	חֶזְיוֹן	וּבַחֲלוֹם	15
まどろみの–中で	人々の	人々の–上に	深い–眠りが	落ちる–とき	夜の	幻の	夢の–中で	
H8572	H0376		H8639	H5307	H3915	H2384	H2472	

מִשְׁכָּב׃	עֲלֵי
床の	床の–上の
H4904	

人々が熟睡するとき、または床にまどろむとき、夢あるいは夜の幻のうちで、

16 אָז יִגְלֶה אֹזֶן אֲנָשִׁים וּבְמוֹסָרָם יַחְתֹּם׃
その–とき 開く 耳を 人々の そして–戒めで 封じる
H1540 H0241 H0376 H4561 H2856

彼は人々の耳を開き、警告をもって彼らを恐れさせ、

17 לְהָסִיר אָדָם מַעֲשֶׂה וְגֵוָה מִגֶּבֶר יְכַסֶּה׃
遠ざけるために 人を 行いから そして–高慢を 人から 隠す
H5493 H0120 H4639 H1466 H1397 H3680

こうして人にその悪しきわざを離れさせ、高ぶりを人から除き、

18 יַחְשֹׂךְ נַפְשׁוֹ מִשָּׁחַת וְחַיָּתוֹ מֵעֲבֹר בַּשָּׁלַח׃
守る 彼の–魂を 穴から 滅びの そして–彼の–命を 渡ることから 剣によって
H2820 H5315 H7845 H4480 H2416 H4480 H7973

その魂を守って、墓に至らせず、その命を守って、つるぎに滅びないようにされる。

19 וְהוּכַח בְּמַכְאוֹב עַל־מִשְׁכָּבוֹ וְרִיב [וְרוֹב] עֲצָמָיו אֵתָן׃
そして–戒められる 痛みで 床の–上で 彼の–床の そして–多くの 彼の–骨は 絶えず–痛む
H3198 H4341 H5921 H4904 H7379 H7230 H6106 H0386

人はまたその床の上で痛みによって懲らされ、その骨に戦いが絶えることなく、

20 וְזָהֲמָתוּ לַחֶם חַיָּתוֹ וְנַפְשׁוֹ מַאֲכָל תַּאֲוָה׃
そして–嫌悪する パンを 彼の–命が そして–彼の–魂が 食物を 好みの
H2092 H3899 H2416 H5315 H3978 H8378

その命は、食物をいとい、その食欲は、おいしい食物をきらう。

21 כָּלוּ בְשָׂרוֹ מֵרְאִי וְשִׁפְיוֹ [וְשֻׁפִּי] עַצְמוֹתָיו לֹא
衰える 彼の–肉は 見えなくなるまで そして–あらわになる 彼の–骨は 見えなかった
H3615 H1320 H7210 H8205 H8192 H6106 H3808

רֹאוּ׃
見えなかった
H7200

その肉はやせ落ちて見えず、その骨は見えなかったものまでもあらわになり、

22 וְתִקְרַב לַשַּׁחַת נַפְשׁוֹ וְחַיָּתוֹ לַמְמִתִים׃
そして–近づく 穴に 彼の–魂は そして–彼の–命は 死を–もたらす–者に
H7126 H7845 H5315 H2416 H4191

その魂は墓に近づき、その命は滅ぼす者に近づく。

23 אִם־יֵשׁ עָלָיו מַלְאָךְ מֵלִיץ אֶחָד מִנִּי־אָלֶף לְהַגִּיד
もし ある 彼の–そばに 御使いが 仲介者が 一人の 千の 告げるために
H3426 H5921 H4397 H3887 H0259 H0505 H5046

לְאָדָם יָשְׁרוֹ׃
人に 彼の–正しさを
H0120 H3476

もしそこに彼のためにひとりの天使があり、千のうちのひとりであって、仲保となり、人にその正しい道を示すならば、

24 וַיְחֻנֵּנוּ וַיֹּאמֶר פְּדָעֵהוּ מֵרֶדֶת שַׁחַת מָצָאתִי כֹפֶר׃
そして–憐れみ そして–言う 彼を–救え 下ることから 穴に 私は–見つけた 贖いを
H2603 H0559 H6308 H3381 H7845 H4672

神は彼をあわれんで言われる、『彼を救って、墓に下ることを免れさせよ、わたしはすでにあがないしろを得た。

25 רֻטַּפַּשׁ בְּשָׂרוֹ מִנָּעַר יָשׁוּב לִימֵי עֲלוּמָיו׃
新鮮になる 彼の-肉は 若さよりも 彼は-戻る 日々に 若き-日の
H7375 H1320 H5290 H7725 H3117 H5934

彼の肉を幼な子の肉よりもみずみずしくならせ、彼を若い時の元気に帰らせよ』と。

26 יֶעְתָּר אֶל־אֱלוֹהַּ וְיִרְצֵהוּ וַיַּרְא פָּנָיו בִּתְרוּעָה וַיָּשֶׁב
祈る 神に 神に そして-受け入れられる そして-見る 彼の-顔を 喜びで そして-戻す
H6279 H0433 H0413 H7521 H7200 H6440 H8643 H7725

לֶאֱנוֹשׁ צִדְקָתוֹ׃
人に 彼の-義を
H0582 H6666

その時、彼が神に祈るならば、神は彼を顧み、喜びをもって、み前にいたらせ、その救を人に告げ知らせられる。

27 וְיָשָׁר אֲנָשִׁים עַל־ וַיֹּאמֶר חָטָאתִי הֶעֱוֵיתִי
歌う 人々の-前で 人々の そして-言う 私は-罪を-犯した 曲げた
H7789 H0376 H0559 H2398 H3477

וְלֹא־ שָׁוָה לִי׃
しかし-報いが 等しくなかった 私には
H3808

彼は人々の前に歌って言う、『わたしは罪を犯し、正しい事を曲げた。しかしわたしに報復がなかった。

28 פָּדָה [נפשי נַפְשִׁי (וְחַיָּתוֹ) וחיתי] בַּשָּׁחַת מֵעֲבֹר (נַפְשׁוֹ) בָּאוֹר תִּרְאֶה׃
贖った 彼の 彼の-魂を 渡ることから 穴に そして-彼の-命は 彼の-命は 光の-中で 見る
H6299 H5315 H5315 H7845 H5674 H5315 H0216 H7200

彼はわたしの魂をあがなって、墓に下らせられなかった。わたしの命は光を見ることができる』と。

29 הֵן־ כָּל־ אֵלֶּה יִפְעַל־ אֵל פְּעָמַיִם שָׁלוֹשׁ עִם־ גָּבֶר׃
見よ すべての-これらを 行う-神は 神は 二度 三度 人と-共に 人と
H2005 H3605 H0428 H6466 H0410 H6471 H7969 H5973 H1397

見よ、神はこれらすべての事をふたたび、みたび人に行い、

30 לְהָשִׁיב נַפְשׁוֹ מִנִּי־ שָׁחַת לְאוֹר בְּאוֹר הַחַיִּים׃
戻すために 彼の-魂を 穴から 滅びの 照らすために 光で 命の
H7725 H5315 H7845 H0215 H0216

その魂を墓から引き返し、彼に命の光を見させられる。

31 הַקְשֶׁב אִיּוֹב שְׁמַע־ לִי הַחֲרֵשׁ וְאָנֹכִי אֲדַבֵּר׃
耳を-傾けよ ヨブよ 聞け 私に 黙れ そして-私が 語ろう
H7181 H0347 H8085 H0595 H1696

ヨブよ、耳を傾けてわたしに聞け、黙せよ、わたしは語ろう。

32 אִם־ יֵשׁ־ מִלִּין כִּי־ חָפַצְתִּי צַדֶּקָךְ׃
もし あるなら 言葉が なぜなら-私は 私は-望む あなたの-正しさを
H3426 H4405 H3588 H2654 H6663

あなたがもし言うべきことがあるなら、わたしに答えよ、語れ、わたしはあなたを正しい者にしようと望むからだ。

33 אִם־ אַתָּה אֵין שְׁמַע־ לִי הַחֲרֵשׁ וַאֲלַמֶּדְךָ חָכְמָה׃ ס
もし あなたは ないなら 聞け 私に 黙れ そして-私が-教えよう 知恵を —
H0369 H8085 H0589 H2451

もし語ることがないなら、わたしに聞け、黙せよ、わたしはあなたに知恵を教えよう」。

Chapter 34

1 וַיַּעַן אֱלִיהוּא וַיֹּאמַר׃
そして-答えた エリフは そして-言った
H0559 H0453

エリフはまた答えて言った、

2 שִׁמְעוּ חֲכָמִים לִי וְיֹדְעִים הַאֲזִינוּ לִי׃
聞け 賢い-者たちよ 私の-言葉を そして-知る-者たちよ 耳を-傾けよ 私に
H8085 H2450 H4405 H3045 H0238

「あなたがた知恵ある人々よ、わたしの言葉を聞け、あなたがた知識ある人々よ、わたしに耳を傾けよ。

3 כִּי־אֹזֶן מִלִּין תִּבְחָן וְחֵךְ יִטְעַם לֶאֱכֹל׃
まことに 耳は 言葉を 試す そして-口は 味わう 食べ物を
H0241 H4405 H0974 H2441 H2938 H0398

口が食物を味わうように、耳は言葉をわきまえるからだ。

4 מִשְׁפָּט נִבְחֲרָה־לָּנוּ נֵדְעָה בֵינֵינוּ מַה־טּוֹב׃
公正を 選び取ろう 私たちの-ために 知ろう 私たちの-間で 何が 良いかを
H4941 H0977 H3045 H0996 H4100

われわれは正しい事を選び、われわれの間に良い事の何であるかを明らかにしよう。

5 כִּי־אָמַר אִיּוֹב צָדַקְתִּי וְאֵל הֵסִיר מִשְׁפָּטִי׃
まことに 言った ヨブは 私は-正しい しかし-神が 取り去った 私の-権利を
H0559 H0347 H6663 H0410 H5493 H4941

ヨブは言った、『わたしは正しい、神はわたしの公義を奪われた。

6 עַל־מִשְׁפָּטִי אֲכַזֵּב חִצִּי אָנוּשׁ בְּלִי־פָשַׁע׃
私の-裁きについて 私の-裁きに 偽るだろうか 私の-矢傷は 癒えない 背きなくても 背きなくても
H4941 H3576 H2671 H0605 H1097 H6588

わたしは正しいにもかかわらず、偽る者とされた。わたしにはとががないけれども、わたしの矢傷はいえない』と。

7 מִי־גֶבֶר כְּאִיּוֹב יִשְׁתֶּה־לַּעַג כַּמָּיִם׃
誰が 男であろう ヨブの-ような 飲む-者が 嘲りを 水の-ように
H4310 H1397 H0347 H8354 H3933 H4325

だれかヨブのような人があろう。彼はあざけりを水のように飲み、

8 וְאָרַח לַחֶבְרָה עִם־פֹּעֲלֵי אָוֶן וְלָלֶכֶת עִם־אַנְשֵׁי רֶשַׁע׃
そして-歩む 交わりの-ために 共に 行う-者たちと 不正を そして-歩む 共に 人々と 悪の
H0732 H2274 H6466 H0205 H3212 H0376 H7562

悪をなす者どもと交わり、悪人と共に歩む。

9 כִּי־אָמַר לֹא יִסְכָּן־גֶּבֶר בִּרְצֹתוֹ עִם־אֱלֹהִים׃
まことに 言ったからだ 益は-ないと 益は-ない 人には 喜んでも 共に 神と
H0559 H3808 H5532 H1397 H7521 H0430

彼は言った、『人は神と親しんでも、なんの益もない』と。

10 וְלָכֵן אַנְשֵׁי לֵבָב שִׁמְעוּ לִי חָלִלָה לָאֵל מֵרֶשַׁע וְשַׁדַּי מֵעָוֶל׃
それゆえ 悟りの-ある 心の 人々よ-聞け 私に 決して-あり得ない 神が 悪を-行うことは 全能者が 不正を
H0376 H3824 H8085 H0408 H2486 H0410 H7562 H7706

それであなたがた理解ある人々よ、わたしに聞け、神は断じて悪を行うことなく、全能者は断じて不義を行うことはない。

11 כִּי פֹעַל אָדָם יְשַׁלֶּם־לוֹ וְכְאֹרַח אִישׁ יַמְצִאֵנּוּ׃
まことに 行いを 人の 報いる-彼は 彼に そして-道に-応じて 人の 見いだす
H6467 H0120 H7999 H0408 H0734 H0376 H4672

神は人のわざにしたがってその身に報い、おのおのの道にしたがって、その身に振りかからせられる。

12 אַף־אָמְנָם לֹא־יַרְשִׁיעַ וְשַׁדַּי לֹא יְעַוֵּת מִשְׁפָּט׃
確かに-まことに 悪を-行わない 全能者は 曲げない 公正を 曲げない
H0637 H0551 H0410 H3808 H7561 H7706 H3808 H4941 H5791

まことに神は悪しき事を行われない。全能者はさばきをまげられない。

13 מִי־פָקַד עָלָיו אֶרְצָה וּמִי שָׂם תֵּבֵל כֻּלָּהּ׃
誰が 委ねたのか 彼に 地を そして-誰が 置いたのか 世界を その-すべてを
H4310 H6485 H5921 H0776 H4310 H7760 H8398 H3605

だれかこの地を彼にゆだねた者があるか。だれか全世界を彼に負わせた者があるか。

14 אִם־יָשֵׂם אֵלָיו לִבּוֹ רוּחוֹ וְנִשְׁמָתוֹ אֵלָיו יֶאֱסֹף׃
もし 向けるなら 彼に 彼の-心を 彼の-霊と そして-彼の-息吹きを 彼に 集めるなら
H0413 H3820 H0413 H7307 H5397 H0413 H0622

神がもしその霊をご自分に取りもどし、その息をご自分に取りあつめられるならば、

15 יִגְוַע כָּל־בָּשָׂר יָחַד וְאָדָם עַל־עָפָר יָשׁוּב׃
息絶える すべての 肉は 共に そして-人は 塵に 塵に 戻る
H1478 H3605 H1320 H3162 H0120 H6083 H7725

すべての肉は共に滅び、人はちりに帰るであろう。

16 וְאִם־בִּינָה שִׁמְעָה־זֹּאת הַאֲזִינָה לְקוֹל מִלָּי׃
もし-悟りが-あるなら 悟りが 聞け これを 耳を-傾けよ 声に 私の-言葉の
H0408 H0998 H8085 H2063 H0238 H6963 H4405

もし、あなたに悟りがあるならば、これを聞け、わたしの言うところに耳を傾けよ。

17 הַאַף מִשְׂנֵא מִשְׁפָּט יַחֲבוֹשׁ וְאִם־צַדִּיק כַּבִּיר תַּרְשִׁיעַ׃
まことに 憎む-者が 公正を 治めようか それとも-もし 正しく-力強い 力強い 罪ありとするのか
H0637 H8130 H4941 H2280 H0518 H6662 H3524 H7561

公義を憎む者は世を治めることができようか。正しく力ある者を、あなたは非難するであろうか。

18 הָאֹמֵר לְמֶלֶךְ בְּלִיָּעַל רָשָׁע אֶל־נְדִיבִים׃
言えるか 王に 無価値な-者よと 悪しき-者よと 貴族たちに 貴族たちに
H0559 H4428 H1100 H7563 H0413 H5081

王たる者に向かって『よこしまな者』と言い、つかさたる者に向かって、『悪しき者』と言うことができるであろうか。

שׁוֹעֵ	נִכַּר־	וְלֹא	שָׂרִים	פְּנֵי	נָשָׂא	לֹא־	אֲשֶׁר	19
富める–者を	認めない	そして–認めない	首長たちの	顔を	ひいきしない	ひいきしない	彼は	
		H3808	H8269	H6440	H5375	H3808		

כֻּלָּם׃	יָדָיו	מַעֲשֵׂה	כִּי־	דָּל	לִפְנֵי־	
すべては	手の	手の–わざである	なぜなら–彼の	貧しい–者の	貧しい–者の–前で	
H3605	H3027	H4639		H1800	H6440	

神は君たる者をもかたより見られることなく、富める者を貧しき者にまさって顧みられることはない。彼らは皆み手のわざだからである。

וְיַעֲבְרוּ	עָם	יִגְעֲשׁוּ	לָיְלָה	וַחֲצוֹת	יָמֻתוּ	וְרֶגַע	20
そして–過ぎ去る	民は	揺れ動く	夜の	そして–真夜中に	彼らは–死ぬ	一瞬に	
		H1607	H3915	H2676	H4191	H7281	

בְיָד׃	לֹא	אַבִּיר	וְיָסִירוּ	
手に–よらず	人の–手に–よらず	力ある–者も	そして–取り除かれる	
H3027	H3808	H0047	H5493	

彼らはまたたく間に死に、民は夜の間に振われて、消えうせ、力ある者も人手によらずに除かれる。

יִרְאֶה׃	צְעָדָיו	וְכֹל־	אִישׁ	דַּרְכֵי־	עַל־	עֵינָיו	כִּי־	21
見ている	彼の–歩みを	そして–すべての	人の	人の–道の	人の–道の–上に	彼の–目は	まことに	
H7200	H6806	H3605	H0376	H1870				

神の目が人の道の上にあって、そのすべての歩みを見られるからだ。

אָוֶן׃	פֹּעֲלֵי	שָׁם	לְהִסָּתֵר	צַלְמָוֶת	וְאֵין	חֹשֶׁךְ	אֵין־	22
不正を	行う–者たちが	そこに	隠れられる–ところは	死の–陰も	ない	闇も	ない	
H0205	H6466	H8033	H5641	H6757	H0369	H2822	H0369	

悪を行う者には身を隠すべき暗やみもなく、暗黒もない。

בַּמִּשְׁפָּט׃	אֵל	אֶל־	לַהֲלֹךְ	עוֹד	יָשִׂים	אִישׁ	עַל־	לֹא	כִּי	23
裁きに	神の	神の–前に	行くことを	もはや	定めない	人に	人に–対して	定めない	まことに	
H4941	H0410	H0413	H1980	H5750		H0376		H3808		

人がさばきのために神の前に出るとき、神は人のために時を定めておかれない。

תַּחְתָּם׃	אֲחֵרִים	וַיַּעֲמֵד	חֵקֶר	לֹא־	כַּבִּירִים	יָרַע	24
彼らの–代わりに	他の–者を	そして–立てる	調べなくても	調べなくても	力ある–者を	打ち砕く	
H8478	H0312	H5975	H2714	H3808	H3524		

彼は力ある者をも調べることなく打ち滅ぼし、他の人々を立てて、これに替えられる。

וַיְדַכְּאוּ׃	לַיְלָה	וְהָפַךְ	מַעְבָּדֵיהֶם	יָכִיר	לָכֵן	25
そして–砕かれる	夜に	そして–覆す	彼らの–行いを	彼は–知る	それゆえ	
H1792	H3915	H2015	H4566			

このように、神は彼らのわざを知り、夜の間に彼らをくつがえされるので、彼らはやがて滅びる。

רֹאִים׃	בִּמְקוֹם	סָפְקָם	רְשָׁעִים	תַּחַת־	26
見える	見える–場所で	彼らを–打つ	悪しき–者たちを	悪人として–打つ	
H7200	H4725		H7563	H8478	

彼は人々の見る所で、彼らをその悪のために撃たれる。

27 אֲשֶׁר עַל־ כֵּן סָרוּ מֵאַחֲרָיו וְכָל־ דְּרָכָיו
なぜなら それゆえ 彼らは–背いた 彼に–従うことから そして–すべての 彼の–道を
H5493 H3605 H1870

לֹא הִשְׂכִּילוּ׃
悟らなかった
H3808

これは彼らがそむいて彼に従わず、その道を全く顧みないからだ。

28 לְהָבִיא אֵלָיו צַעֲקַת־ דָּל וְצַעֲקַת עֲנִיִּים יִשְׁמָע׃
届けるために 彼の–もとに 叫びを 貧しい–者の そして–叫びを 苦しむ–者の 彼は–聞く
H0935 H6818 H1800 H6818 H6041 H8085

こうして彼らは貧しき者の叫びを彼のもとにいたらせ、悩める者の叫びを彼に聞かせる。

29 וְהוּא יַשְׁקִט וּמִי יַרְשִׁעַ וְיַסְתֵּר פָּנִים וּמִי יְשׁוּרֶנּוּ
しかし–彼が 静めれば 誰が 責められようか そして–彼が–隠せば 顔を 誰が 見られようか
H1931 H8252 H4310 H7561 H5641 H6440 H4310 H7789

וְעַל־ גּוֹי וְעַל־ אָדָם יָחַד׃
しかも–国に–対しても そして–人に–対しても 人に 同機に
H0120

彼が黙っておられるとき、だれが非難することができようか。彼が顔を隠されるとき、だれが彼を見ることができようか。一国の上にも、一人の上にも同様だ。

30 מִמְּלֹךְ אָדָם מֵחָנֵף מִמֹּקְשֵׁי עָם׃
王となることから–防ぐ 人を 不敬虐な–者が 民を–罠に–かける–者が 民を
H0120 H2611 H4170

これは神を信じない者が世を治めることがなく、民をわなにかける事のないようにするためである。

31 כִּי־ אֶל־ אֵל נָשָׂאתִי הֶאָמַר לֹא אֶחְבֹּל׃
まことに 神に 神に 言ったのか 私は–担った もう–しない 壊さないと
H0413 H0410 H0559 H5375 H3808

だれが神に向かって言ったか、『わたしは罪を犯さないのに、懲しめられた。

32 בִּלְעֲדֵי אֶחֱזֶה אַתָּה הוֹרֵנִי עָוֶל אִם־ פָּעַלְתִּי לֹא אֹסִיף׃
見えない–ものを 私に–見せてください あなたが 教えてください–私に 不正を もし 私が–行ったなら もう–しない 私は–繰り返さない
H1107 H2372 H3254 H6466 H3808

わたしの見ないものをわたしに教えられたい。もしわたしが悪い事をしたなら、重ねてこれをしない』と。

33 כִּי־ מֵאִתָּךְ יְשַׁלְּמֶנָּה כִּי־ מָאַסְתָּ כִּי אַתָּה תִבְחַר וְלֹא־ אָנִי וּמַה־ יָּדַעְתָּ דַבֵּר׃
なぜなら–あなたが 退けたからか あなたが–退けたからか 報いるべきか あなたの–思い通りに 選ぶのであり 私では 私では–ない そして–何を あなたが–知っているのか 語れ
H1696 H3045 H4100 H0589 H3808 H0977 H0376

あなたが拒むゆえに、彼はあなたの好むように報いをされるであろうか。あなたみずから選ぶがよい、わたしはしない。あなたの知るところを言いなさい。

34 אַנְשֵׁי לֵב יֹאמְרוּ לִי וְגֶבֶר חָכָם שֹׁמֵעַ לִי׃
惟りの–ある 心の 人々は–言う 私に そして–賢い 賢い 人は–聞く 私に
H0376 H3824 H0559 H1397 H2450 H8085

悟りある人々はわたしに言うだろう、わたしに聞くところの知恵ある人は言うだろう、

בְּהַשְׂכִּיל׃	לֹא	וּדְבָרָיו	יְדַבֵּר	בְּדַעַת	לֹא־	אִיּוֹב	35
洞察なく	洞察なく	そして–彼の–言葉は	語る	知識なく	知識なく	ヨブは	
	H3808	H1697	H1696	H1847	H3808	H0347	

『ヨブの言うところは知識がなく、その言葉は悟りがない』と。

בְּאַנְשֵׁי־	תְּשֻׁבֹת	עַל־	נֶצַח	עַד־	אִיּוֹב	יִבָּחֵן	אָבִי	36
不正の–人々の–ようだから	答えが	なぜなら	終わりまで	終わりまで	ヨブが	試されよ	願わくは	
H0376	H8666		H5331	H5704	H0347	H0974	H0015	

אָֽוֶן׃	
不正の	
H0205	

どうかヨブが終りまで試みられるように、彼は悪人のように答えるからである。

וְיֵרֵב	יִסְפֹּק	בֵּינֵינוּ	פִּשְׁעַ	חַטָּאתוֹ	עָלֵ֫ינוּ	סְ֭יף	כִּי	37
そして–増す	手を–打ち	私たちの–間で	背きを	彼の–罪の	彼の–罪の–上に	加える	まことに	
		H0996	H6588			H3254		

ס	לָאֵל׃	אֲמָרָיו
—	神に–対して	彼の–言葉を
	H0410	H0561

彼は自分の罪に、とがを加え、われわれの中にあって手をうち、神に逆らって、その言葉をしげくする」。

Chapter 35

וַיֹּאמַר׃	אֱלִיהוּ	וַיַּעַן	1
そして–言った	エリフは	そして–答えた	
H0559	H0453		

エリフはまた答えて言った、

מֵאֵל׃	צִדְקִי	אָמַרְתָּ	לִמְשָׁפָט	חָשַׁבְתָּ	הֶזֹּאת	2
神より–大きいと	私の–義は	あなたは–言った	正しいと	あなたは–思ったのか	これを	
H0410	H6664	H0559	H4941	H2803	H2063	

「あなたはこれを正しいと思うのか、あなたは『神の前に自分は正しい』と言うのか。

מֵחַטָּאתִי׃	אֹעִיל	מָה־	לָּךְ	יִסְכָּן־	מַה־	תֹּאמַר	כִּי־	3
私の–罪より	得が–あるか	何の	あなたに	益が–あるか	何の–益が–あるか	あなたは–言う	まことに	
	H3276	H4100		H5532	H4100	H0559		

あなたは言う、『これはわたしになんの益があるか、罪を犯したのとくらべてなんのまさるところがあるか』と。

עִמָּךְ׃	רֵעֶיךָ	וְאֶת־	מִלִּין	אֲשִׁיבֶךָּ	אֲנִי	4
あなたと–共に	友人たちにも	そして–あなたの	言葉で	答えよう–あなたに	私が	
	H7453	H0853	H4405	H7725	H0589	

わたしはあなたおよび、あなたと共にいるあなたの友人たちに答えよう。

מִמֶּךָּ׃	גְּבֹהוּ	שְׁחָקִים	וְשׁוּר	וּרְאֵה	שָׁמַיִם	הַבֵּט	5
あなたより	高い	雲を	そして–仰ぎ–見よ	そして–見よ	天を	見上げよ	
	H1361	H7834	H7789	H7200	H8064	H5027	

天を仰ぎ見よ、あなたの上なる高き空を望み見よ。

מַה־	פִּשְׁעֶיךָ	וְרַבּוּ	בּוֹ	תִּפְעָל־	מַה־	חָטָאתָ	אִם־
何を	あなたの–背きが	そして–多くても	彼に	行うのか	何を	あなたが–罪を–犯しても	もし
H4100	H6588	H7231		H6466	H4100	H2398	

לוֹ׃	תַּעֲשֶׂה־
彼に	行うのか

あなたが罪を犯しても、彼になんのさしさわりがあるか。あなたのとがが多くても、彼に何をなし得ようか。

מִיָּדְךָ	מַה־	אוֹ	לוֹ	תִּתֶּן־	מַה־	צָדַקְתָּ	אִם־
あなたの–手から	何を	あるいは	彼に	与えるのか	何を	あなたが–正しくても	もし
H3027	H4100			H5414	H4100	H6663	

יִקָּח׃
受け取るのか
H3947

またあなたは正しくても、彼に何を与え得ようか。彼はあなたの手から何を受けられるであろうか。

צִדְקָתֶךָ׃	אָדָם	וּלְבֶן־	רִשְׁעֶךָ	כָּמוֹךָ	לְאִישׁ־	8
あなたの–義が	人の	そして–人の–子に	あなたの–悪が–影響する	あなたの–ような	人に	
H6666	H0120		H7562	H3644	H0376	

あなたの悪はただあなたのような人にかかわり、あなたの義はただ人の子にかかわるのみだ。

רַבִּים׃	מִזְּרוֹעַ	יְשַׁוְּעוּ	יַזְעִיקוּ	עֲשׁוּקִים	מֵרֹב	9
強い–者の	腕から	叫ぶ	叫ぶ	虐げられた–者が	多くの	
	H2220	H7768	H2199	H6217	H7230	

しえたげの多いために叫び、力ある者の腕のゆえに呼ばわる人々がある。

זְמִרוֹת	נֹתֵן	עֹשָׂי	אֱלוֹהַּ	אַיֵּה	אָמַר	וְלֹא־	10
歌を	与える–方は	私を–造った–方は	神は	どこに–いるのか	言わない	しかし–言わない	
H2158	H5414		H0433	H0335	H0559	H3808	

בַּלָּיְלָה׃	
夜に	
H3915	

しかし、ひとりとして言う者はない、『わが造り主なる神はどこにおられるか、彼は夜の間に歌を与え、

יְחַכְּמֵנוּ׃	הַשָּׁמָיִם	וּמֵעוֹף	אֶרֶץ	מִבַּהֲמוֹת	מְלַּפֵּנוּ	11
鳥よりも–賢くする	天の	そして–空の	地の	獣よりも–多く	教える–方は–私たちに	
H2449	H8064	H5775	H0776	H0929	H0502	

地の獣よりも多く、われわれを教え、空の鳥よりも、われわれを賢くされる方である』と。

רָעִים׃	גְּאוֹן	מִפְּנֵי	יַעֲנֶה	וְלֹא	יִצְעֲקוּ	שָׁם	12
悪い–者の	高慢の–ために	なぜなら	彼は	しかし–答えない	彼らは–叫ぶ	そこで	
	H1347	H6440		H3808	H6817	H8033	

彼らが叫んでも答えられないのは、悪しき者の高ぶりによる。

יְשׁוּרֶנָּה׃	לֹא	וְשַׁדַּי	אֵל	וּשְׁמַע	לֹא־	שָׁוְא	אַךְ־	13
目を–留めない	目を–留めない	そして–全能者も	神は	聞かない	聞かない	空しい–ことは	確かに	
H7789	H3808	H7706	H0410	H8085	H3808	H7723	H0389	

まことに神はむなしい叫びを聞かれない。また全能者はこれを顧みられない。

לְפָנָיו	דִּין	תְּשׁוּרֶנּוּ	לֹא	תֹאמַר	כִּי־	אַף	14
彼の–前に–あるから	裁きが	彼が	見えないと	あなたが–言うなら	あなたが–言うなら	ましてや	
H6440	H1779	H7789	H3808	H0559		H0637	

וְתְחוֹלֶל־	לוֹ׃
そして–待て	彼を

あなたが彼を見ないと言う時はなおさらだ。さばきは神の前にある。あなたは彼を待つべきである。

בַּפָּשׁ	יָדַע	וְלֹא־	אַפּוֹ	פָּקַד	אַיִן	כִּי־	וְעַתָּה	15
愈かさを	知らない	そして–知らない	彼の–怒りで	罰しない	ない	なぜなら–罰しない	しかし–今	
H6580	H3045	H3808	H0639		H0369		H6258	

מְאֹד׃
大いに
H3966

今彼が怒りをもって罰せず、罪とがを深く心にとめられないゆえに

פ	יַכְבִּר׃	מִלִּין	דַּעַת	בִּבְלִי־	פִּיהוּ	יִפְצֶה־	הֶבֶל	וְאִיּוֹב	16
—	増やす	言葉を	知識なく	知識なく	彼の–口を	開く	空しく	そして–ヨブは	
	H3527	H4405	H1847	H1097	H6310	H6475	H1892	H0347	

ヨブは口を開いてむなしい事を述べ、無知の言葉をしげくする」。

Chapter 36

וַיֹּאמַר׃	אֱלִיהוּא	וַיֹּסֶף	1
そして–言った	エリフは	そして–続けた	
H0559	H0453	H3254	

エリフは重ねて言った、

מִלִּים׃	לֵאלוֹהַּ	עוֹד	כִּי	וַאֲחַוֶּךָּ	זְעֵיר	לִי	כַּתַּר־	2
言葉が–ある	神の–ために	まだ	なぜなら	そして–私は–示そう	少し	私に	待ってください	
H4405	H0433	H5750		H2331	H2191		H3803	

「しばらく待て、わたしはあなたに示すことがある。なお神のために言うべき事がある。

צֶדֶק׃	אֶתֶּן־	וּלְפֹעֲלִי	לְמֵרָחוֹק	דֵּעִי	אֶשָּׂא	3
義を	帰そう	そして–私の–造り主に	遠くから	私の–知識を	私は–運ぶ	
H6664	H5414	H6466	H7350	H1843	H5375	

わたしは遠くからわが知識を取り、わが造り主に正義を帰する。

עִמָּךְ׃	דֵּעוֹת	תְּמִים	מִלָּי	שֶׁקֶר	לֹא־	אָמְנָם	כִּי־	4
あなたと–共にいる	知識の	完全なる–者が	私の–言葉は	偽りでは	偽りでは–ない	確かに	まことに	
	H1844	H8549	H4405	H8267	H3808	H0551		

まことにわたしの言葉は偽らない。知識の全き者があなたと共にいる。

לֵב׃	כֹּחַ	כַּבִּיר	יִמְאָס	וְלֹא	כַּבִּיר	אֵל	הֵן־	5
心の	力ある–方である	力強く	軽蔑しない	しかし–軽蔑しない	力強く	神は	見よ	
		H3524		H3808	H3524	H0410	H2005	

見よ、神は力ある者であるが、何をも卑しめられない、その悟りの力は大きい。

6 לֹא־ יְחַיֶּה רָשָׁע וּמִשְׁפַּט עֲנִיִּים יִתֵּן׃
生かして-おかない 悪しき-者を そして-公正を 苦しむ-者に 与える
H3808 H2421 H7563 H4941 H6041 H5414

彼は悪しき者を生かしておかれない、苦しむ者のためにさばきを行われる。

7 לֹא־ יִגְרַע מִצַּדִּיק עֵינָיו וְאֶת־ מְלָכִים לַכִּסֵּא
そらさない 正しい-者から 彼の-目を そして-王たちも 王たちも 玉座に
H3808 H1639 H6662 H0854 H4428 H3678

וַיִּשִׁבֵם לָנֶצַח וַיִּגְבָּהוּ׃
そして-座らせる 永遠に そして-高める
H3427 H5331 H1361

彼は正しい者から目を離さず、位にある王たちと共に、とこしえに、彼らをすわらせて、尊くされる。

8 וְאִם־ יֵאָסְרוּ בַזִּקִים יִלָּכְדוּן בְּחַבְלֵי־ עֹנִי׃
そして-もし 縛られた-者が 鎖で 捕らえられるなら 縄で 苦しみの
H0631 H3920 H6040

もし彼らが足かせにつながれ、悩みのなわに捕えられる時は、

9 וַיַּגֶּד לָהֶם פָּעָלָם וּפִשְׁעֵיהֶם כִּי־ יִתְגַּבָּרוּ׃
その-とき-告げる 彼らに 彼らの-行いを そして-彼らの-背きを おごったと 高ぶったと
H5046 H1992 H6467 H6588 H1396

彼らの行いと、とがと、その高ぶったふるまいを彼らに示し、

10 וַיְגַל אָזְנָם לַמּוּסָר וַיֹּאמֶר כִּי־ יָשֻׁבוּן מֵאָוֶן׃
そして-開く 彼らの-耳を 戒めに そして-言う 立ち-帰れと 立ち-帰れと 不正から
H1540 H0241 H4148 H0559 H7725 H0205

彼らの耳を開いて、教を聞かせ、悪を離れて帰ることを命じられる。

11 אִם־ יִשְׁמְעוּ וְיַעֲבֹדוּ יְכַלּוּ יְמֵיהֶם בַּטּוֹב וּשְׁנֵיהֶם
もし 聞いて そして-仕えるなら 過ごす 彼らの-日々を 幸いに そして-彼らの-年月を
H8085 H5647 H3615 H3117 H2896 H8141

בַּנְּעִימִים׃
快さの-中で

もし彼らが聞いて彼に仕えるならば、彼らはその日を幸福に過ごし、その年を楽しく送るであろう。

12 וְאִם־ לֹא יִשְׁמְעוּ בְּשֶׁלַח יַעַבְרוּ וְיִגְוְעוּ בְּלִי־ דָעַת׃
しかし-もし 聞かないなら 聞かないなら 剣で 過ぎ去る そして-息絶える 知識なく 知識なく
H3808 H8085 H7973 H5674 H1478 H1097 H1847

しかし彼らが聞かないならば、つるぎによって滅び、知識を得ないで死ぬであろう。

13 וְחַנְפֵי־ לֵב יָשִׂימוּ אָף לֹא יְשַׁוְּעוּ כִּי אָסָרָם׃
そして-不敬虚な-者は 心の 蓄える 怒りを 叫び-求めない 縛られても
H2611 H3820 H7760 H0639 H3808 H7768 H3612

縛られても
H0631

心に神を信じない者どもは怒りをたくわえ、神に縛られる時も、助けを呼び求めることをしない。

14 תָּמֻת נַפְשָׁם בַּנָּעַר וְחַיָּתָם בַּקְּדֵשִׁים׃
死ぬ 彼らの–魂は 若くして そして–彼らの–命は 神殿の–男娼の–中で
H4191 H5315 H5290 H6945

彼らは年若くして死に、その命は恥のうちに終る。

15 יְחַלֵּץ עָנִי בְעָנְיוֹ וְיֶגֶל בַּלָּחַץ אָזְנָם׃
救う 苦しむ–者を 苦しみの–中で そして–開く 迫りの–中で 彼らの–耳を
H6041 H6040 H1540 H3906 H0241

神は苦しむ者をその苦しみによって救い、彼らの耳を逆境によって開かれる。

16 וְאַף הֲסִיתְךָ מִפִּי צָר רְחַב לֹא־מוּצָק תַּחְתֶּיהָ׃
そして–また 導こうとした–あなたを 口から 苦しみの 広い–場所に 狭まない 狭まない その–下の
H0637 H5496 H6310 H7338 H3808 H4164 H8478

וְנַחַת שֻׁלְחָנְךָ מָלֵא דָּשֶׁן׃
そして–食卓は あなたの–食卓は 満ちていた 豊かさで
H7979 H4390 H1880

神はまたあなたを悩みから、束縛のない広い所に誘い出された。そしてあなたの食卓に置かれた物はすべて肥えた物であった。

17 וְדִין־ רָשָׁע מָלֵאתָ דִּין וּמִשְׁפָּט יִתְמֹכוּ׃
そして–裁きで 悪しき–者の 満ちた 裁きと 公正が 支える
H1779 H7563 H4390 H1779 H4941 H8551

しかしあなたは悪人のうくべきさばきをおのれに満たし、さばきと公義はあなたを捕えている。

18 כִּי־ חֵמָה פֶּן־ יְסִיתְךָ בְסֵפֶק וְרָב־ כֹּפֶר׃
なぜなら–怒りが 怒りが 誘うことのない–よう 誘うことのない–よう 嘲りで そして–大きな 贖いに
H2534 H6435 H5496

אַל־ יַטֶּךָּ׃
そらすことのない–よう そらすことのない–よう
H0408 H5186

あなたは怒りに誘われて、あざけりに陥らぬように心せよ。あがないしろの大いなるがために、おのれを誤るな。

19 הֲיַעַרְךָ לְבִלְתִּי בְצָר וְכֹל מַאֲמַצֵי־ כֹחַ׃
役に–立つか あなたの–叫びは 苦しみでは–なく 苦しみでは そして–すべての 力の–努力も 力の
H7769 H3808 H1222 H3605 H3981

あなたの叫びはあなたを守って、悩みを免れさせるであろうか、いかに力をつくしても役に立たない。

20 אַל־ תִּשְׁאַף לַעֲלוֹת לַיְלָה עַמִּים תַּחְתָּם׃
憐れむな 憐れむな 夜を 上がることを 民が その–場所から
H0408 H3915 H5927 H5971 H8478

人々がその所から断たれるその夜を慕ってはならない。

21 הִשָּׁמֶר אַל־ תֶּפֶן אֶל־ אָוֶן כִּי־ עַל־ זֶה בָּחַרְתָּ מֵעֹנִי׃
気をつけよ 向かうな 向かうな 不正に なぜなら–これを これの–ために これの 苦しみよりも あなたは–選んだ
H8104 H0408 H6437 H0413 H0205 H3588 H5921 H2088 H6040 H0977

慎んで悪に傾いてはならない。あなたは悩みよりもむしろこれを選んだからだ。

מוֹרֶה׃	כָּמֹהוּ	מִי	בְכֹחוֹ	יַשְׂגִּיב	אֵל	הֵן־	22
教師であろうか	彼の–ような	誰が	彼の–力で	高く–あげられる	神は	見よ	
H3644		H4310		H7682	H0410	H2005	

見よ、神はその力をもってあがめられる。だれか彼のように教える者があるか。

עַוְלָה׃	פָּעַלְתָּ	אָמַר	וּמִי־	דַּרְכּוֹ	עָלָיו	פָּקַד	מִי־	23
不正を	あなたは–行ったと	言ったのか	そして–誰が	彼の–道を	彼に	定めたのか	誰が	
	H6466	H0559	H4310	H1870			H4310	

だれか彼のためにその道を定めた者があるか。だれか『あなたは悪い事をした』と言いうる者があるか。

אֲנָשִׁים׃	שֹׁרְרוּ	אֲשֶׁר	פָּעֳלוֹ	תַּשְׂגִּיא	כִּי־	זְכֹר	24
人々が	歌った	それを	彼の–わざを	あなたは–素晴らしいと	たたえよと	覚えておけ	
H0376	H7891		H6467	H7679		H2142	

神のみわざをほめたたえる事を忘れてはならない。これは人々の歌いあがめるところである。

מֵרָחוֹק׃	יַבִּיט	אֱנוֹשׁ	בּוֹ	חָזוּ־	אָדָם	כָּל־	25
遠くから	見つめる	人が	それを	見た	人が	すべての	
H7350	H5027	H0582		H2372	H0120	H3605	

すべての人はこれを仰ぎ見る。人は遠くからこれを見るにすぎない。

וְלֹא־	שְׁנָיו	מִסְפָּר	נֵדָע	וְלָא	שַׁגִּיא	אֵל	הֵן־	26
そして–探り得ない	彼の–年の	数も	私たちには	しかし–知り得ない	大いなる–方	神は	見よ	
H3808	H8141	H4557	H3045	H3808	H7689	H0410	H2005	

חֵקֶר׃
探り得ない
H2714

見よ、神は大いなる者にいまして、われわれは彼を知らない。その年の数も計り知ることができない。

לְאֵדֹו׃	מָטָר	יָזְקוּ	מַיִם	נִטְפֵי־	יְגַרַע	כִּי	27
彼の–霧の–ために	雨となる	漉過して	水の	滴を	引き上げる	まことに	
H0108	H4306	H2212	H4325		H1639		

彼は水のしたたりを引きあげ、その霧をしたたらせて雨とされる。

רָב׃	אָדָם	וְעַלֵי	יִרְעֲפוּ	שְׁחָקִים	יִזְלוּ	אֲשֶׁר־	28
豊かに	人の	人の–上に	したたらせる	雲が	注ぐ	それを	
	H0120		H7491	H7834	H5140		

空はこれを降らせて、人の上に豊かに注ぐ。

סְכָתוֹ׃	תְּשֻׁאוֹת	עָב	מִפְרְשֵׂי־	יָבִין	אִם־	אַף	29
彼の–幕屋の	雷鳴りを	雲の	広がりを	惟れようか	誰が–惟れようか	また	
H5521	H8663	H5645	H4666	H0995		H0637	

だれか雲の広がるわけと、その幕屋のとどろくわけとを悟ることができようか。

כְּסָה׃	הַיָּם	וְשָׁרְשֵׁי	אוֹרוֹ	עָלָיו	פָּרַשׂ	הֵן־	30
覆う	海の	そして–根を	彼の–光を	その–上に	広げる	見よ	
H3680	H3220	H8328	H0216		H6566	H2005	

見よ、彼はその光をおのれのまわりにひろげ、また海の底をおおわれる。

לְמַכְבִּיר׃	אֹכֶל	יִתֵּן־	עַמִּים	יָדִין	בָּם	כִּי־	31
豊かに	食物を	与える	民を	裁く	これらによって	まことに–これらによって	
H4342	H0400	H5414		H1777			

彼はこれらをもって民をさばき、食物を豊かに賜い、

32	עַל־	כַּפַּיִם	כִּסָּה־	אֹור	וַיְצַו	עָלֶיהָ	בְּמַפְגִּיעַ׃
	手の–上に	手の	覆う	光を	そして–命じる	それに	撃つ–ようにと
		H3709	H3680	H0216	H6680		H6293

いなずまをもってもろ手を包み、これに命じて敵を打たせられる。

33	יַגִּיד	עָלָיו	רֵעֹו	מִקְנֶה	אַף	עַל־	עוֹלֶה׃
	告げる	それに–ついて	彼の–雷鳴りが	家畜に–対しても	また	上り–行く	ものに–対しても
	H5046		H7452	H4735	H0637		H5927

そのとどろきは、悪にむかって怒りに燃える彼を現す。

Chapter 37

1	אַף־	לְזֹאת	יֶחֱרַד	לִבִּי	וְיִתַּר	מִמְּקוֹמֹו׃	
	また	これに	おののく	私の–心は	そして–跳ねる	その–場所から	
	H0637	H2063	H2729			H4725	

これがためにわが心もまたわななき、その所からとび離れる。

2	שִׁמְעוּ	שָׁמוֹעַ	בְּרַגְזֹו	קֹלֹו	וְהֶגֶה	מִפִּיו	יֵצֵא׃
	聞け	よく–聞け	怒りの	彼の–声を	そして–とどろきを	彼の–口から	出る
	H8085	H8085	H7267		H1899	H6310	H3318

聞け、神の声のとどろきを、またその口から出るささやきを。

3	תָּחַת־	כָּל־	הַשָּׁמַיִם	יְשַׁלְּחוּ	וְאוֹרֹו	עַל־	כַּנְפוֹת	הָאָרֶץ׃
	すべての–下に	すべての	天の	放つ	そして–彼の–稲妻を	地の–果てまで	果てまで	地の
	H8478	H3605	H8064	H3474	H0216		H3671	H0776

彼はこれを天が下に放ち、その光を地のすみずみまで至らせられる。

4	וְאַחֲרָיו	יִשְׁאַג־	קֹול	יַרְעֵם	בְּקֹול	גְּאוֹנֹו	וְלֹא	יְעַקְּבֵם
	その–後に	とどろく–声が	声が	雷鳴らす	声で	彼の–威光の	そして–抑えない	抑えない
		H7580		H7481		H1347	H3808	H6117

כִּי־	יִשָּׁמַע	קֹולֹו׃	
聞こえる–とき	聞こえる	彼の–声が	
	H8085		

その後、声とどろき、彼はそのいかめしい声をもって鳴り渡られる。その声の聞える時、彼はいなずまを引きとめられない。

5	יַרְעֵם	אֱלֹ	בְּקֹולֹו	נִפְלָאֹות	עֹשֶׂה	גְּדֹלֹות	וְלֹא
	雷鳴らす–神は	神は	彼の–声で	不思議を	行う–方	大いなる–ことを	そして–知り得ない
	H7481	H0410		H6381			H3808

נְדָעָ׃
私たちには
H3045

神はその驚くべき声をもって鳴り渡り、われわれの悟りえない大いなる事を行われる。

6	כִּי	לַשֶּׁלֶג	יֹאמַר	הֱוֵא	אָרְצָה	וְגֶשֶׁם	מָטָר	וְגֶשֶׁם	מִטְרֹות	עֻזֹּו׃
	まことに	雪に	命じる	降れと	地に	そして–雨に	雨に	そして–雨に	大雨に	彼の–力の
		H7950	H0559		H0776		H4306	H1653	H4306	H5797

彼は雪に向かって『地に降れ』と命じ、夕立ちおよび雨に向かって『強く降れ』と命じられる。

7

מַעֲשֵׂהוּ׃	אֲנָשִׁי	כָּל־	לְדַעַת	יַחְתֹּום	אָדָם	כָּל־	בְּיַד־
彼の–わざを	人々が	すべての	知るために	封じる	人の	すべての	すべての–人の–手に
H4639	H0376	H3605	H3045	H2856	H0120	H3605	H3027

彼はすべての人の手を封じられる。これはすべての人にみわざを知らせるためである。

8

תִּשְׁכֹּן׃	וּבְמְעֹונֹתֶיהָ	אֳרֶב	בְּמוֹ־	חַיָּה	וַתָּבֹא
留まる	そして–その–住みかに	隠れ家に	その–隠れ家に	獣は	そして–入る
H7931	H4585	H0695	H1119		H0935

その時、獣は穴に入り、そのほらにとどまる。

9

קָרָה׃	וּמִמְּזָרִים	סוּפָה	תָּבֹוא	הַחֶדֶר	מִן־
寒さが	そして–北風から	嵐が	来る	内室から	南から
H7135	H4215		H0935	H2315	

つむじ風はそのへやから、寒さは北風から来る。

10

בְּמוּצָק׃	מַיִם	וְרָחַב	קֶרַח	יִתֵּן־	אֵל	מִנִּשְׁמַת־
凍った	水の	そして–広がりは	氷が	与えられる	神の	神の–息吹きで
H4164	H4325	H7341	H7140	H5414	H0410	H5397

神のいぶきによって氷が張り、広々とした水は凍る。

11

אוֹרֹו׃	עָנָן	יָפִיץ	עָב	יַטְרִיחַ	בְּרִי	אַף־
彼の–稲妻の	雲を	まき散らす	雲を	重くする	潤いで	また–潤いで
H0216	H6051		H5645	H2959	H7377	H0637

彼は濃い雲に水気を負わせ、雲はそのいなずまを散らす。

12

כָּל	לְפָעֳלָם	(בְּתַחְבּוּלֹתָיו)	[בתחבולתו]	מִתְהַפֵּךְ	וּמְסִבֹּות	וְהוּא
すべてを	行うために	導きに–よって	彼の	向きを–変える	巡りながら	そして–それは
H3605	H6467	H8458	H8458	H2015	H4524	H1931

אָרְצָה׃	תֵּבֵל	פְּנֵי	עַל־	וְיצַוֶּם	אֲשֶׁר
地の	世界の	表の	地の–表の–上で	命じることを	彼が
H0776	H8398	H6440		H6680	

これは彼の導きによってめぐる。彼の命じるところをことごとく世界のおもてに行うためである。

13

לְחֶסֶד	אִם־	לְאַרְצֹו	אִם־	לְשֵׁבֶט	אִם־
憐れみで	あるいは–憐れみで	彼の–地の–ために	あるいは–彼の	復の	あるいは–村で
		H0776		H7626	

יַמְצְאֵהוּ׃
それを–行わせる
H4672

神がこれらをこさせるのは、懲しめのため、あるいはその地のため、あるいはいつくしみのためである。

14

אֵל׃	נִפְלְאֹות	וְהִתְבֹּונָן	עֲמֹד	אִיֹּוב	זֹאת	הַאֲזִינָה
神の	不思議を	そして–思い巡らせ	立ち止まれ	ヨブよ	これに	耳を–傾けよ
H0410	H6381	H0995	H5975	H0347	H2063	H0238

ヨブよ、これを聞け、立って神のくすしきみわざを考えよ。

15

עֲנָנֹו׃	אֹור	וְהוֹפִיעַ	עֲלֵיהֶם	אֱלוֹהַּ	בְּשׂוּם־	הֲתֵדַע
彼の–雲の	光を	そして–輝かせることを	それらの–上に	神が	神が–定める–とき	知っているか
H6051	H0216	H3313		H0433		H3045

あなたは知っているか、神がいかにこれらに命じて、その雲の光を輝かされるかを。

16	הֲתֵדַע	עַל־	מִפְלְשֵׁי־	עָב	מִפְלְאוֹת	תְּמִים	דֵּעִים׃
	知っているか	釣り–合いを	釣り–合いを	雲の	不思議を	完全なる–方の	知識の
	H3045		H4657	H5645	H4652	H8549	H1843

あなたは知っているか、雲のつりあいと、知識の全き者のくすしきみわざを。

17	אֲשֶׁר־	בְּגָדֶיךָ	חַמִּים	בְּהַשְׁקֵט	אֶרֶץ	מִדָּרוֹם׃
	あなたの	衣が	温かい–ことを	静める–とき	地を	南風で
		H0899	H2525	H8252	H0776	H1864

南風によって地が穏やかになる時、あなたの着物が熱くなることを。

18	תַּרְקִיעַ	עִמּוֹ	לִשְׁחָקִים	חֲזָקִים	כְּרְאִי	מוּצָק׃
	広げられるか	彼と–共に	大空を	固い	鏡の–ように	鋳造の
	H7554		H7834	H2389	H7209	H3332

あなたは鋳た鏡のように堅い大空を、彼のように張ることができるか。

19	הוֹדִיעֵנוּ	מַה־	נֹּאמַר	לוֹ	לֹא־	נַעֲרֹךְ	מִפְּנֵי־	חֹשֶׁךְ׃
	教えてください–私たちに	何を	言うべきか	彼に	整えられない	整えられない	闇の–ために	闇の
	H3045	H4100	H0559		H3808		H6440	H2822

われわれが彼に言うべき事をわれわれに教えよ、われわれは暗くて、言葉をつらねることはできない。

20	הֲיְסֻפַּר־	לוֹ	כִּי	אֲדַבֵּר	אִם־	אָמַר	אִישׁ	כִּי
	告げられるべきか	彼に	私が–語ると	私が–語ると	もし–人が	言ったなら	人が	確かに
				H1696		H0559	H0376	

יְבֻלָּע׃
飲み込まれるだろう
H1104

わたしは語ることがあると彼に告げることができようか、人は滅ぼされることを望むであろうか。

21	וְעַתָּה	לֹא	רָאוּ	אוֹר	בָּהִיר	הוּא	בַּשְּׁחָקִים	וְרוּחַ
	しかし–今	見えない	見えない	光は	明るく	それは	雲の–中に	しかし–風が
	H6258	H3808	H7200	H0216	H0925	H1931	H7834	H7307

וַתְּטַהֲרֵם׃
清めた
H2891

光が空に輝いているとき、風過ぎて空を清めると、人々はその光を見ることができない。

22	מִצָּפוֹן	זָהָב	יֵאָתֶה	עַל־	אֱלוֹהַּ	נוֹרָא	הוֹד׃
	北から	金の–輝きが	来る	神の–上に	神の	畑れ多き	威光が–ある
	H6828	H2091	H0857		H0433	H3372	H1935

北から黄金のような輝きがでてくる。神には恐るべき威光がある。

23	שַׁדַּי	לֹא־	מְצָאנֻהוּ	שַׂגִּיא־	כֹּחַ	וּמִשְׁפָּט	וְרֹב־
	全能者を	見いだし得ない	見いだし得ない	力に–おいて	力に	そして–公正と	そして–大いなる
	H7706	H3808	H4672	H7689		H4941	H7230

צְדָקָה	לֹא	יְעַנֶּה׃
義において	曲げない	彼は
H6666	H3808	

全能者は――われわれはこれを見いだすことができない。彼は力と公義とにすぐれ、正義に満ちて、これを曲げることはない。

פ	לֵב׃	חַכְמֵי־	כָל־	יִרְאָהוּ	לֹא־	אַנְשִׁים	יִרְאוּהוּ	לָכֵן	24
—	心の	心の–者を	すべての–賢い	彼は	見つめない	人々は–彼を	畑れる	それゆえ	
	H2450	H3605	H7200	H3808	H0376	H3372			

それゆえ、人々は彼を恐れる。彼はみずから賢いと思う者を顧みられない」。

Chapter 38

וַיֹּאמַר׃	הַסְּעָרָה)	מִן()	הסערה]	מנ]	אִיּוֹב	אֶת־	יְהוָה	וַיַּעַן־	1
そして–言った	嵐の–中から	の–中から	の	の	ヨブに	ヨブに	主は	そして–答えた	
H0559	H5591	H4480			H0347	H0853	H3068		

この時、主はつむじ風の中からヨブに答えられた、

דָּעַת׃	בְּלִי־	בְמִלִּין	עֵצָה	מַחְשִׁיךְ	וְזֶה	מִי	2
知識なき	知識なき	言葉で	勃りごとを	暗くする–者か	これは	誰が	
H1847	H1097	H4405	H6098	H2821	H2088	H4310	

「無知の言葉をもって、神の計りごとを暗くするこの者はだれか。

וְהוֹדִיעֵנִי׃	וְאֶשְׁאָלְךָ	חֲלָצֶיךָ	כְּגֶבֶר	נָא	אֱזָר־	3
そして–知らせよ	そして–私が–問おう	あなたの–腰を	男の–ように	さあ	縞めよ	
H3045	H7592	H2504	H1397	H4994	H0247	

あなたは腰に帯して、男らしくせよ。わたしはあなたに尋ねる、わたしに答えよ。

יָדַעְתָּ	אִם־	הַגֵּד	אָרֶץ	יְסַדְתִּי־	הָיִיתָ	אֵיפֹה		4
あなたが–知っているなら	もし	告げよ	地の	私が–基を–据えた–とき	あなたは–いたのか	どこに		
H3045		H5046	H0776	H3245	H1961	H0375		
							בִינָה׃	
							惟りを	
							H0998	

わたしが地の基をすえた時、どこにいたか。もしあなたが知っているなら言え。

נָטָה	מִי־	אוֹ	תֵּדָע	כִּי	מָמַדֶיהָ	שָׂם	מִי־	5
張ったのか	誰が	あるいは	あなたは–知っている	確かに	その–寸法を	定めたのか	誰が	
H5186	H4310		H3045		H4461		H4310	
						קָו׃	עָלֶיהָ	
						測り–縄を	その–上に	

あなたがもし知っているなら、だれがその度量を定めたか。だれが測りなわを地の上に張ったか。

פִּנָּתָהּ׃	אֶבֶן	יָרָה׳	מִי־	אוֹ	הָטְבְּעוּ	אֲדָנֶיהָ	מָה	עַל־	6
その–隅の	石を	据えたのか	誰が	あるいは	沈められたのか	その–土台は	何の	何の–上に	
H6438	H0068		H4310		H2883	H0134	H4100		

その土台は何の上に置かれたか。その隅の石はだれがすえたか。

אֱלֹהִים׃	בְּנֵי	כָל־	וַיָּרִיעוּ	בֹּקֶר	כּוֹכְבֵי	יַחַד	בְּרָן־	7
神の	子らが	すべての	そして–叫んだ	明けの	星々が	共に	歌った–とき	
H0430		H3605	H7321	H1242	H3556			

かの時には明けの星は相共に歌い、神の子たちはみな喜び呼ばわった。

וַיָּסֶךְ	בִּדְלָתַיִם	יָם	בְּגִיחֹו	מֵרֶחֶם	יֵצֵא׃
そして-閉ざした	扉で	海を	溢れ出た-とき	胎内から	出た-とき
H3318	H7358	H1518	H3220		

8

海の水が流れいで、胎内からわき出たとき、だれが戸をもって、これを閉じこめたか。

חֲתֻלָּתוֹ׃	וַעֲרָפֶל	לְבֻשׁוֹ	עָנָן	בְּשׂוּמִי	
その-産着として	そして-濃い-闇を	その-衣として	雲を	私が-置いた-とき	
H2854	H6205	H3830	H6051		

9

あの時、わたしは雲をもって衣とし、黒雲をもってむつきとし、

וְדָלָתָיִם׃	בְּרִיחַ	וָאֶשְׁבֹּר	חֻקִּי	עָלָיו	וָאֶשְׁבֹּר
扉を	かんぬきと	そして-置いた	私の-境界を	その-上に	そして-私が-定めた
	H1280		H2706		H7665

10

これがために境を定め、関および戸を設けて、

יָשִׁית	וּפֹא־	תִּסָּיף	וְלֹא	תָּבוֹא	פֹּה	עַד־	וָאֹמַר	
置かれる	そして-ここで	越えるな	しかし-それ以上は	来てよい	ここまで	ここまで	そして-言った	
H7896	H6311	H3254	H3808	H0935	H6311	H5704	H0559	

גַּלֶּיךָ׃	בִּגְאוֹן
あなたの-波の	高ぶりに
H1530	H1347

11

言った、『ここまで来てもよい、越えてはならぬ、おまえの高波はここにとどまるのだ』と。

(הַשַּׁחַר)	(יְדַעְתָּה)	[שחר]	[ידעתה]	בֹּקֶר	צִוִּיתָ	יְמֵימֶיךָ
曙に	知らせたか	知らせたか	知らせたか	朝に	命じたことが-あるか	あなたの-日々の-中で
H7837	H3045	H7837	H3045	H1242	H6680	H3117

מְקֹמוֹ׃
その-場所を
H4725

12

あなたは生れた日からこのかた朝に命じ、夜明けにその所を知らせ、

מִמֶּנָּה׃	רְשָׁעִים	וְיִנָּעֲרוּ	הָאָרֶץ	בְּכַנְפוֹת	לֶאֱחֹז
そこから	悪しき-者を	そして-振り落とすために	地の	果てを	つかむために
	H7563	H5287	H0776	H3671	H0270

13

これに地の縁をとらえさせ、悪人をその上から振り落させたことがあるか。

לְבוּשׁ׃	כְּמוֹ	וְיִתְיַצְּבוּ	חוֹתָם	כְּחֹמֶר	תִּתְהַפֵּךְ
衣の-ように	衣の-ように	そして-立つ	印章の	粘土の-ように	変わる
H3830	H3644	H3320	H2368		H2015

14

地は印せられた土のように変り、衣のようにいろどられる。

תִּשָּׁבֵר׃	רָמָה	וּזְרוֹעַ	אוֹרָם	מֵרְשָׁעִים	וְיִמָּנַע	
砕かれる	高く-上げた	そして-腕は	彼らの-光は	悪しき-者から	そして-堕えられる	
H7665		H2220	H0216	H7563	H4513	

15

悪人はその光を奪われ、その高くあげた腕は折られる。

הִתְהַלָּכְתָּ׃	תְּהוֹם	וּבְחֵקֶר	יָם	נִבְכֵי־	עַד־	הֲבָאתָ
歩いたことが-あるか	深淵を	そして-探って	海の	源まで	海の-源まで	行ったことが-あるか
H1980	H8415	H2714	H3220	H5033	H5704	H0935

16

あなたは海の源に行ったことがあるか。淵の底を歩いたことがあるか。

17 הֲנִגְלוּ־לְךָ שַׁעֲרֵי־מָוֶת וְשַׁעֲרֵי צַלְמָוֶת תִּרְאֶה׃
開かれたか あなたに 門が 死の そして-門を 死の-陰の 見たことが-あるか
H1540 H8179 H4194 H8179 H6757 H7200

死の門はあなたのために開かれたか。あなたは暗黒の門を見たことがあるか。

18 הֲתִתְבֹּנַנְתָּ עַד־רָחְבֵי אֶרֶץ הַגֶּד אִם־יָדַעְתָּ כֻּלָּהּ׃
惜ったことが-あるか 広がりを 広がりを 地の 告げよ もし あなたが-知っているなら その-すべてを
H0995 H5704 H7338 H0776 H5046 H3045 H3605

あなたは地の広さを見きわめたか。もしこれをことごとく知っているならば言え。

19 אֵי־זֶה דֶּרֶךְ יִשְׁכָּן־אוֹר וְחֹשֶׁךְ אֵי־זֶה מְקֹמוֹ׃
どこに-あるのか どこに 道は 光が-住む 光が 闇は そして-どこに どこに その-場所は
H0335 H2088 H1870 H7931 H0216 H2822 H0335 H2088 H4725

光のある所に至る道はいずれか。暗やみのある所はどこか。

20 כִּי תִקָּחֶנּוּ אֶל־גְּבוּלוֹ וְכִי־אֹרְחוֹת בֵּיתוֹ תָּבִין׃
確かに あなたは-連れて行ける その-境界に その-境界に そして-確かに その-家の 道を あなたは-知っている
H3947 H1366 H0413 H0995

あなたはこれをその境に導くことができるか。その家路を知っているか。

21 אָז כִּי־תִוָּלֵד וּמִסְפַּר יָמֶיךָ כִּי־יָדַעְתָּ׃
その-とき その-とき あなたは-生まれたのか そして-数は あなたの-日の あなたは-知っているのか
H3205 H4557 H3117 H3045

רַבִּים׃
多いのか

あなたは知っているだろう、あなたはかの時すでに生れており、またあなたの日数も多いのだから。

22 הֲבָאתָ אֶל־אֹצְרוֹת שָׁלֶג וְאֹצְרוֹת בָּרָד תִּרְאֶה׃
行ったことが-あるか 倉庫に 雪の 倉庫に そして-雹の-倉庫を 雹の 見たことが-あるか
H0935 H0413 H7950 H0214 H1259 H7200

あなたは雪の倉にはいったことがあるか。ひょうの倉を見たことがあるか。

23 אֲשֶׁר־חָשַׂכְתִּי לְעֶת־צָר לְיוֹם קְרָב וּמִלְחָמָה׃
それらを 私が-蓄えた 苦難の-時の-ために 苦難の 戦いの-日の-ために 戦いの そして-戦争の
H2820 H6256 H6256 H3117 H7128 H4421

これらは悩みの時のため、いくさと戦いの日のため、わたしがたくわえて置いたものだ。

24 אֵי־זֶה דֶּרֶךְ יֶחֱלַק־אוֹר יָפֵץ קָדִים עָלֵי־אָרֶץ׃
どこに-あるのか どこに 道は 分かれる 光が 散らすのか 東風が 地の-上に 地の
H0335 H2088 H1870 H2673 H0216 H6921 H5921 H0776

光の広がる道はどこか。東風の地に吹き渡る道はどこか。

קָלוֹת׃	לַחֲזִיז	וְדֶרֶךְ	תְּעָלָה	לַשֶּׁטֶף	פִּלַּג	מִי־
稲妻の	雷の	そして–道を	水路を	洪水の–ために	切り–開いたのか	誰が
H2385	H1870	H7858	H6385	H4310		25

だれが大雨のために水路を切り開き、いかずちの光のために道を開き、

בּוֹ׃	אָדָם	לֹא־	מִדְבָּר	אִישׁ	לֹא־	אֶרֶץ	עַל־	לְהַמְטִיר
そこには	人の	人の–いない	荒野に	人の	人の–いない	地の	地の–上に	降らせるために
	H0120	H3808		H0376	H3808	H0776		H4305

26

人なき地にも、人なき荒野にも雨を降らせ、

דֶּשֶׁא׃	מֹצָא	וּלְהַצְמִיחַ	וּמְשֹׁאָה	שְׁאָה	לְהַשְׂבִּיעַ
草の	芽を	そして–芽生えさせるために	荒れ地を	荒廃と	満たすために
H1877	H4161	H6779	H4875		H7646

27

荒れすたれた地をあき足らせ、これに若草をはえさせるか。

טָל׃	אֶגְלֵי־	הוֹלִיד	מִי־	אוֹ	אָב	לַמָּטָר	הֵישׁ־
露の	滴を	生んだのか	誰が	あるいは	父が	雨に	あるのか
H2919	H0096	H3205	H4310		H0001	H4306	H3426

28

雨に父があるか。露の玉はだれが生んだか。

יְלָדוֹ׃	מִי	שָׁמַיִם	וּכְפֹר	הַקֶּרַח	יָצָא	מִי	מִבֶּטֶן
産んだのか	誰が	天の	そして–霜を	氷は	出たのか	誰の	胎内から
H3205	H4310	H8064		H7140	H3318	H4310	H0990

29

氷はだれの胎から出たか。空の霜はだれが生んだか。

יִתְלַכָּדוּ׃	תְּהוֹם	וּפְנֵי	יִתְחַבָּאוּ	מַיִם	כָּאֶבֶן	
凍りつく	深淵の	そして–表面は	固まる	水は	石の–ように	
H3920	H8415	H6440	H2244	H4325	H0068	30

水は固まって石のようになり、淵のおもては凍る。

תְּפַתֵּחַ׃	כְּסִיל	מוֹשְׂכוֹת	אִם־	כִּימָה	מַעֲדַנּוֹת	הֲתִקְשֹׁר
解くか	オリオンの	帯を	あるいは	プレアデスの	紐を	繋げるか
	H3685	H4189		H3598	H4575	H7194

31

あなたはプレアデスの鎖を結ぶことができるか。オリオンの綱を解くことができるか。

תַּנְחֵם׃	בָּנֶיהָ	עַל־	וְעַיִשׁ	בְּעִתּוֹ	מַזָּרוֹת	הֲתוֹצִיא
導くか	子らと	その–子らと–共に	そして–大熊座を	その–時に	星座を	導き–出せるか
H5148			H5906	H6256	H4216	H3318

32

あなたは十二宮をその時にしたがって引き出すことができるか。北斗とその子星を導くことができるか。

בָּאָרֶץ׃	מִשְׂטָרָו	תָּשִׂים	אִם־	שָׁמַיִם	חֻקּוֹת	הֲיָדַעְתָּ
地の–上に	その–支配を	定められるか	定められるか	天の	定めを	知っているか
H0776	H4896			H8064	H2708	H3045

33

あなたは天の法則を知っているか、そのおきてを地に施すことができるか。

תְּכַסֶּךָּ׃	מַיִם	וְשִׁפְעַת־	קוֹלֶךָ	לֶעָב	הֲתָרִים
あなたを–覆うか	水の	そして–洪水が	あなたの–声を	雲に	上げられるか
H3680	H4325	H8229		H5645	

34

あなたは声を雲にあげ、多くの水にあなたをおおわせることができるか。

35 הֲתְשַׁלַּח בְּרָקִים וְיֵלְכוּ וְיֹאמְרוּ לְךָ הִנֵּנוּ׃
遣わせるか 稲妻を そして-行くか そして-言うか あなたに ここに-いますと
H7971 H0559 H3212 H0559 H2009

あなたはいなずまをつかわして行かせ、『われわれはここにいる』と、あなたに言わせることができるか。

36 מִי־שָׂת בַּטֻּחוֹת חָכְמָה אוֹ מִי־נָתַן לַשֶּׂכְוִי בִינָה׃
誰が 置いたのか 内なる-部分に 知恵を あるいは 誰が 与えたのか 心に 惟りを
H4310 H7896 H2910 H2451 H0176 H4310 H5414 H7907 H0998

雲に知恵を置き、霧に悟りを与えたのはだれか。

37 מִי־יְסַפֵּר שְׁחָקִים בְּחָכְמָה וְנִבְלֵי שָׁמַיִם מִי יַשְׁכִּיב׃
誰が 数えられようか 雲を 知恵で そして-水瓶を 天の 誰が 傾けられようか
H4310 H5608 H7834 H2451 H5035 H8064 H4310 H7901

だれが知恵をもって雲を数えることができるか。だれが天の皮袋を傾けて、

38 בְּצֶקֶת עָפָר לַמּוּצָק וְרִגְבִּים יִדְבָּקוּ׃
泥が-固まる-とき 塵が 固まりに そして-土くれが くっつく
H3332 H6083 H4165 H7263 H1692

ちりを一つに流れ合させ、土くれを固まらせることができるか。

39 הֲתָצוּד לְלָבִיא טֶרֶף וְחַיַּת כְּפִירִים תְּמַלֵּא׃
狩れるか 雌獅子の-ために 獲物を そして-食欲を 若い-獅子の 満たせるか
H6679 H3833 H2964 H2416 H7409 H4390

あなたはししのために食物を狩り、子じしの食欲を満たすことができるか。

40 כִּי־יָשְׁחוּ בַּמְעוֹנוֹת יֵשְׁבוּ בַּסֻּכָּה לָמוֹ־אָרֵב׃
ふせる ふせる-とき 隠れ家に 座る-とき 茂みの-中に 待ち-伏せの 待ち-伏せで
H7817 H4585 H3427 H5521 H3926 H0693

彼らがほら穴に伏し、林のなかに待ち伏せする時、あなたはこの事をなすことができるか。

41 מִי יָכִין לָעֹרֵב צֵידוֹ כִּי־יְלָדָיו (ילדו) אֶל־אֵל יִתְעוּ בִלְבִלִי־אֹכֶל׃
誰が 備えるのか 烏の-ために その-食物を その-雛が その-雛が 神に 神に 雛が
H4310 H3559 H6158 H6677 H3206 H3206 H0410 H0410 H3206

יְשַׁוְּעוּ בְּהִתְעוֹ לִבְלִי־אֹכֶל׃
叫ぶ-とき さまよい 食物なく 食物なく
H7768 H8582 H1097 H0400

からすの子が神に向かって呼ばわり、食物がなくて、さまようとき、からすにえさを与える者はだれか。

Chapter 39

1 הֲתֵדַע עֵת לֶדֶת יַעֲלֵי־סָלַע חֹלֶל אַיָּלוֹת תִּשְׁמֹר׃
知っているか 時を 産む 岩山の-山羊の 産むことを 雌鹿の 見守るか
H3045 H6256 H3205 H3277 H5553 H2342 H0355 H8104

あなたは岩間のやぎが子を産むときを知っているか。あなたは雌じかが子を産むのを見たことがあるか。

2 תִּסְפֹּר יְרָחִים תְּמַלֶּאנָה וְתֵדַע עֵת לֶדְתָּנָה׃
数えるか 月を 満ちるまで そして-知っているか 時を 産む
H5608 H3391 H4390 H3045 H6256 H3205

これらの妊娠の月を数えることができるか。これらが産む時を知っているか。

3

תִּכְרַעְנָה	יַלְּדֵיהֶן	תְּפַלַּחְנָה	חֶבְלֵיהֶם	תְּשַׁלַּחְנָה׃
かがむ	子を–産み	産み–落とす	産みの–苦しみを	送り–出す
H3766	H3206	H6398		H7971

これらは身をかがめて子を産み、そのはらみ子を産みいだす。

4

לָמוֹ׃	שָׁבוּ	וְלֹא־	יָצְאוּ׀	בַּבָּר	יִרְבּוּ	בְּנֵיהֶם	יַחְלְמוּ
彼らの–もとに	戻らない	そして–戻らない	出て–行く	野で	育つ	その–子らは	強く–なる
	H7725	H3808	H3318				

その子は強くなって、野に育ち、出て行って、その親のもとに帰らない。

5

פִּתָּח׃	מִי	עָרוֹד	וּמוֹסְרוֹת	חָפְשִׁי	פֶּרֶא	שִׁלַּח	מִי־
解いたのか	誰が	野ろばの	そして–繋ぎを	自由に	野ろばを	放ったのか	誰が
	H4310	H6171	H4147	H2670	H6501	H7971	H4310

だれが野ろばを放って、自由にしたか。だれが野ろばのつなぎを解いたか。

6

מְלֵחָה׃	וּמִשְׁכְּנוֹתָיו	בֵּיתוֹ	עֲרָבָה	שַׂמְתִּי	אֲשֶׁר־
塩地とした	そして–その–住みかを	その–家として	荒野を	置いた	私が
H4420	H4908		H6160		

わたしは荒野をその家として与え、荒れ地をそのすみかとして与えた。

7

יִשְׁמָע׃	לֹא	נוֹגֵשׂ	תְּשׁוּאוֹת	קִרְיָה	לַהֲמוֹן	יִשְׂחַק
聞かない	聞かない	追い立てる–者の	叫びを	町の	騒ぎを	笑う
H8085	H3808	H5065	H8663	H7151		H7832

これは町の騒ぎをいやしめ、御者の呼ぶ声を聞きいれず、

8

יְדַרּוֹשׁ׃	יָרָק	כֹּל־	וְאַחַר	מִרְעֵהוּ	הָרִים	יְתוּר
探す	緑の–ものを	すべての	そして–後を–追う	その–牧場として	山々を	巡る
H1875	H3387	H3605		H4829	H2022	H3491

山を牧場としてはせまわり、もろもろの青物を尋ね求める。

9

עַל־	יָלִין׀	אִם־	עָבְדֶךָ	רֵים	הֲיֹאבֶה	
あなたの–飼い葉桶の–そばで	過ごすか	あるいは–過ごすか	あなたに–仕えることを	野牛が	愿うか	
			H5647	H7214	H0014	

אֲבוּסֶךָ׃
飼い葉桶の
H0018

野牛は快くあなたに仕え、あなたの飼葉おけのかたわらにとどまるだろうか。

10

אַחֲרֶיךָ׃	עֲמָקִים	יְשַׂדֵּד	אִם־	עֲבֹתוֹ	בְּתֶלֶם	רֵים	הֲתקשר־
あなたの–後に	谷を	ならすか	あるいは–ならすか	その–縄で	畠の–溝に	野牛を	繋げるか
	H6010	H7702		H5688	H8525	H7214	H7194

あなたは野牛に手綱をつけてうねを歩かせることができるか、これはあなたに従って谷を耕すであろうか。

11

יְגִיעֶךָ׃	אֵלָיו	וְתַעֲזֹב	כֹּחוֹ	רַב	כִּי־	בּוֹ	הֲתִבְטַח־
あなたの–労働を	彼に	そして–任せるか	彼の–力は	大きい	大きい–からと	彼を	信頼するか
H3018	H0413						H0982

その力が強いからとて、あなたはこれに頼むであろうか。またあなたの仕事をこれに任せるであろうか。

12 הֲתַאֲמִין בּוֹ כִּי־ ישוב] יָשִׁיב(זַרְעֶךָ וְגָרְנְךָ
信じるか 彼を 彼が–帰すと 彼が–帰すと 帰すと あなたの–種を そして–あなたの–打ち場に
H0539 H7725 H7725 H7725 H2233 H1637

יֶאֱסֹף׃
集めると
H0622

あなたはこれにたよって、あなたの穀物を打ち場に運び帰らせるであろうか。

13 כְּנַף־ רְנָנִים נֶעֱלָסָה אִם־ אֶבְרָה חֲסִידָה וְנוֹצָה׃
羽は だちょうの 誇らしく–はばたく しかし–羽か 羽か こうのとりの そして–羽毛か
H3671 H7443 H5965 H0084 H2624 H5133

だちょうは威勢よくその翼をふるう。しかしこれにはきれいな羽と羽毛があるか。

14 כִּי־ תַעֲזֹב לָאָרֶץ בֵּיצֶיהָ וְעַל־ עָפָר תְּחַמֵּם׃
まことに–捨てる 捨てる 地に その–卵を そして–土の–上で 土の 温める
H0776 H1000 H6083 H2552

これはその卵を土の中に捨て置き、これを砂のなかで暖め、

15 וַתִּשְׁכַּח כִּי־ רֶגֶל תְּזוּרָהּ וְחַיַּת הַשָּׂדֶה תִּדְרُשָׁהּ׃
そして–忘れる 足が 足が 踏みつぶすかもしれないと そして–獣が 野の 踏みにじるかもしれないと
H7911 H7272 H2115 H1758

足でつぶされることも、野の獣に踏まれることも忘れている。

16 הִקְשָׁיַח בָּנֶיהָ לִלֹּא־ לָהּ יְגִיעָהּ לָרִיק בִּלְי־
厳しく–する その–子に 自分の–ものでで–ない–かの–ように 自分の 空しく 労働は 恐れ–なく
H7188 H1121 H3808 H0 H3018 H7385 H1097

פָּחַד׃
恐れなく
H6343

これはその子に無情であって、あたかも自分の子でないようにし、その苦労のむなしくなるをも恐れない。

17 כִּי־ הִשָּׁהּ אֱלוֹהַּ חָכְמָה וְלֹא־ חָלַק לָהּ בַּבִּינָה׃
なぜなら–忘れさせた 忘れさせた 神が 知恵を そして–分け与えなかった 分け与えなかった それに 悟りを
H5382 H0433 H2451 H3808 H2505 H0 H0998

これは神がこれに知恵を授けず、悟りを与えなかったゆえである。

18 כָּעֵת תַּמְרִיא תִּשְׂחַק לַסּוּס וּלְרֹכְבוֹ׃
しかし–その–時 高く 駆ける–とき 笑う 馬を そして–その–乗り手を
H6256 H4791 H4754 H7832 H5483 H7392

これがその身を起して走る時には、馬をも、その乗り手をもあざける。

19 הֲתִתָּן לַסּוּס גְּבוּרָה צַוָּארוֹ רַעְמָה׃
与えるか 馬に 力を 着せるか その–首に たてがみを
H5414 H5483 H1369 H3847 H6677 H7483

あなたは馬にその力を与えることができるか。力をもってその首を装うことができるか。

20 הֲתַרְעִישֶׁנּוּ כָּאַרְבֶּה הוֹד נַחְרוֹ אֵימָה׃
跳ばせるか いなごの-ように 威光は その-いななきの 恐ろしい
H7493 H0697 H1935 H0367

あなたはこれをいなごのように、とばせることができるか。その鼻あらしの威力は恐ろしい。

21 יַחְפְּרוּ בָעֵמֶק וְיָשִׂישׂ בִּכֹּחַ יֵצֵא לִקְרַאת־נָשֶׁק׃
掻く 谷で そして-喜ぶ 力を-もって 出て-行く 武具に-向かって 武具に
H2658 H6010 H7797 H3318 H7125 H5402

これは谷であがき、その力に誇り、みずから出ていって武器に向かう。

22 יִשְׂחַק לְפַחַד וְלֹא יֵחָת וְלֹא יָשׁוּב מִפְּנֵי־
笑う 恐れを おびえない そして-おびえない 引き返さない 剣の-前から
H7832 H6343 H2865 H3808 H7725 H6440

חָרֶב׃
剣の
H2719

これは恐れをあざ笑って、驚くことなく、つるぎをさけて退くことがない。

23 עָלָיו תִּרְנֶּה אַשְׁפָּה לַהַב חֲנִית וְכִידוֹן׃
その-上で 鳴る 矢筒が きらめき 槍の そして-投げ槍の
H6440 H7439 H0827 H3851 H2595 H3591

矢筒はその上に鳴り、やりと投げやりと、あいきらめく。

24 בְּרַעַשׁ וְרֹגֶז יְגַמֵּא־אֶרֶץ וְלֹא־יַאֲמִין כִּי־קוֹל
激しく そして-袈裟りながら 飲み込む 地を 信じない 角笛の-音だと 角笛の
H7494 H7267 H1572 H0776 H0539 H3808 H0559 H7782

שׁוֹפָר׃
角笛の
H7782

これはたけりつ、狂いつ、地をひとのみにし、ラッパの音が鳴り渡っても、立ちどまることがない。

25 בְּדֵי שׁוֹפָר יֹאמַר הֶאָח וּמֵרָחוֹק יָרִיחַ מִלְחָמָה רַעַם
角笛が-鳴るごとに 角笛が 言う アハ そして-遠くから 嗅ぎつける 戦いを 雷鳴りを
H1767 H7782 H0559 H1889 H7350 H7306 H4421 H7482

וּתְרוּעָה׃ שָׂרִים
そして-雄叫びを 指揮官の
H8643 H8269

これはラッパの鳴るごとにハアハアと言い、遠くから戦いをかぎつけ、隊長の大声およびときの声を聞き知る。

26 הֲמִבִינְךָ֥ יָאֲבֶר־נֵץ יִפְרֹשׂ כנפו[ )כְּנָפָיו(לְתֵימָן׃
あなたの-惟りでか 羽ばたくのか 鷹が 広げるのか その-翼を 翼を 南に-向かって
H0998 H0082 H5861 H6566 H3671 H3671 H8486

たかが舞いあがり、その翼をのべて南に向かうのは、あなたの知恵によるのか、

27 אִם־עַל־פִּיךָ יְרוּם נָשֶׁר וְכִי יַגְבִּיהַּ קִנּוֹ׃
あなたの-命令でか 高く-上がるのか 高く 鷲が そして-作るのか 作るのか
H0998 H5921 H6310 H5404 H1361 H6310

その-巣を
H7064

わしがかけのぼり、その巣を高い所につくるのは、あなたの命令によるのか。

28 סֶלַע יִשְׁכֹּן וְיִתְלֹנָן עַל־שֶׁן־סֶלַע וּמְצוּדָה׃
岩に 住み そして–泊まる 岩の–尖に 尖に 岩の
H5553 H7931 H8127 H5553

これは岩の上にすみかを構え、岩のとがり、または険しい所におり、

29 מִשָּׁם חָפַר־אֹכֶל לְמֵרָחוֹק עֵינָיו יַבִּיטוּ׃
そこから 探す 食物を 遠くまで その–目は 見つめる
H8033 H2658 H0400 H7350 H5027

そこから獲物をうかがう。その目の及ぶところは遠い。

30 וְאֶפְרֹחָיו (ואפרחון) יְעַלְעוּ־דָם וּבַאֲשֶׁר חֲלָלִים שָׁם
そして–その–雛は 雛は すする 血を そして–そこに 倒れた–者が–いる–ところ そこに
H0667 H0667 H5966 H1818 H8033

פ הֽוּא׃
— 彼が–いる
H1931

そのひなもまた血を吸う。おおよそ殺された者のある所には、これもそこにいる」。

Chapter 40

1 וַיַּעַן יְהוָה אֶת־אִיּוֹב וַיֹּאמַר׃
そして–答えた 主は ヨブに そして–言った
H0559 H0347 H0853 H3068

主はまたヨブに答えて言われた、

2 הַרֵב עִם־שַׁדַּי יִסּוֹר מוֹכִיחַ אֱלוֹהַּ יַעֲנֶנָּה׃ פ
争うのか 全能者と–共に 全能者と 戒める–者が 論駁する–者が 神を 答えよ —
H7378 H7706 H3250 H3198 H0433

「非難する者が全能者と争おうとするのか、神と論ずる者はこれに答えよ」。

3 וַיַּעַן אִיּוֹב אֶת־יְהוָה וַיֹּאמַר׃
そして–答えた ヨブは 主に そして–言った
H0559 H0347 H0853 H3068

そこで、ヨブは主に答えて言った、

4 הֵן קַלֹּתִי מָה אֲשִׁיבֶךָּ יָדִי שַׂמְתִּי לְמוֹ־פִי׃
見よ 小さい 私は–何を 答えようか–あなたに 私の–手を 置く 私の–口の–上に 口の
H2005 H7043 H4100 H7725 H3027 H3926 H6310

「見よ、わたしはまことに卑しい者です、なんとあなたに答えましょうか。ただ手を口に当てるのみです。

5 אַחַת דִּבַּרְתִּי וְלֹא אֶעֱנֶה וּשְׁתַּיִם וְלֹא אוֹסִיף׃
一度 私は–語った しかし–答えない 答えない そして–二度 しかし–繰り返さない 繰り返さない
H0259 H1696 H3808 H6311 H8147 H3808 H3254

פ
—

わたしはすでに一度言いました、また言いません、すでに二度言いました、重ねて申しません」。

וַיֹּאמֶר׃	)סְעָרָה(	ו()מִן	]סערה[	]מנ[	אִיּוֹב	אֶת־	יְהוָה	וַיַּעַן־	6
そして-言った	嵐の-中から	の-中から	の	の	ヨブに	ヨブに	主は	そして-答えた	
H0559	H5591	H4480			H0347	H0853	H3068		

主はまたつむじ風の中からヨブに答えられた、

וְהוֹדִיעֵנִי׃	אֶשְׁאָלְךָ֖	חֲלָצֶ֑יךָ	כְּגֶ֣בֶר	נָ֔א	אֱזָר־	7
そして-知らせよ	私が-問おう	あなたの-腰を	男の-ように	さあ	縞めよ	
H3045	H7592	H2504	H1397	H4994	H0247	

「あなたは腰に帯して、男らしくせよ。わたしはあなたに尋ねる、わたしに答えよ。

לְמַעַן	תַּרְשִׁיעֵ֑נִי	מִשְׁפָּטִ֖י	תָּפֵ֣ר	הַאַף	8
あなたが-正しく-あるために	私を-罪ありとするのか	私の-公正を	覆すのか	まことに	
H4616	H7561	H4941		H0637	

תִּצְדָּֽק׃	
正しく-あるために	
H6663	

あなたはなお、わたしに責任を負わそうとするのか。あなたはわたしを非とし、自分を是としようとするのか。

תַּרְעֵם׃	כָּמֹהוּ	וּבְקוֹל֥	לָ֑ךְ	וּכְאֵ֣ל	זְר֣וֹעַ	וְאִם־	9
雷鳴らせるのか	彼の-ような	そして-声で	あなたに	神の-ような	腕が	それとも-あるのか	
H7481	H3644			H0410	H2220		

あなたは神のような腕を持っているのか、神のような声でとどろきわたることができるか。

תִּלְבָּֽשׁ׃	וְהָדָ֥ר	וְה֑וֹד	גָּ֣בַהּ	גָּא֣וֹן	נָ֔א	עֲדֵ֖ה	10
まとえ	輝きを	そして-誉れと	高さで	威光と	さあ	飾れ	
H3847	H1926	H1935	H1363	H1347	H4994		

あなたは威光と尊厳とをもってその身を飾り、栄光と華麗とをもってその身を装ってみよ。

וְהַשְׁפִּילֵ֥הוּ׃	גַּאֶ֑ה	כֹּל־	וּרְאֵ֣ה	אַפֶּ֔ךָ	עֶבְרוֹת֖	הָפֵ֥ץ	11
そして-低くせよ	高ぶる-者を	すべての	そして-見よ	あなたの-怒りの	溢れを	注ぎ出せ	
H8213	H1343	H3605	H7200	H0639	H5678		

あなたのあふるる怒りを漏らし、すべての高ぶる者を見て、これを低くせよ。

תַּחְתָּֽם׃	רְשָׁעִ֑ים	וְהָדְכָ֣ה	הַכְנִיעֵ֔מוֹ	גַּאֶ֖ה	כֹּל־	רְאֵ֣ה	12
その-場で	悪しき-者を	そして-踏みにじれ	屈服させよ	高ぶる-者を	すべての	見よ	
H8478	H7563	H1915	H3665	H1343	H3605	H7200	

すべての高ぶる者を見て、これをかがませ、また悪人をその所で踏みつけ、

בַּטָּמ֥וֹן׃	חֲבָשׁ֑	פְּנֵיהֶ֣ם	יָחַ֔ד	בֶּעָפָ֖ר	טָמְנָ֥ם	13
隠した-場所に	縛れ	その-顔を	共に	塵の-中に	埋めよ-彼らを	
H2934	H2280	H6440		H6083	H2934	

彼らをともにちりの中にうずめ、その顔を隠れた所に閉じこめよ。

יְמִינֶֽךָ׃	לְךָ֑	תּוֹשִׁ֣יעַ	כִּי־	אוֹדֶ֖ךָּ	אֲנִי֙	וְגַם־	14
あなたの-右手が	あなたを	救えると	まことに	認めよう-あなたを	私も	そうすれば-また	
H3225		H3467		H3034	H0589	H1571	

そうすれば、わたしもまた、あなたをほめて、あなたの右の手はあなたを救うことができるとしよう。

יֹאכַֽל׃	כַּבָּקָ֖ר	חָצִ֣יר	עִמָּ֑ךְ	עָשִׂ֖יתִי	אֲשֶׁר־	בְּהֵמ֥וֹת	נָ֔א	הִנֵּה־	15
食べる	牛の-ように	草を	あなたと-共に	造った	私が-造った	ベヘモトを	さあ	見よ-さあ	
H0398	H1241					H0930	H4994	H2009	

河馬を見よ、これはあなたと同様にわたしが造ったもので、牛のように草を食う。

16 הִנֵּה־נָא בְמָתְנָיו כֹחוֹ וְאוֹנוֹ בִּשְׁרִירֵי בִטְנוֹ׃
見よ–さあ さあ 腰に–あり その–力は そして–その–勢いは 筋肉に–ある 腹の
H2009 H4994 H4975 H3581 H0202 H8306 H0990

見よ、その力は腰にあり、その勢いは腹の筋にある。

17 יַחְפֹּץ זְנָבוֹ כְּמוֹ־אָרֶז גִּידֵי פַחְדּוֹ (פַּחֲדָיו) יְשֹׂרָגוּ׃
曲げる その–尾を 杉の 筋は その–太ももの 太ももの 絡み–合っている
H2654 H2180 H0730 H1517 H6344 H6344 H8276

これはその尾を香柏のように動かし、そのももの筋は互にからみ合う。

18 עֲצָמָיו כְּאַפִּיקֵי נְחוּשָׁה גְּרָמָיו כְּמִטִּיל בַּרְזֶל׃
その–骨は 管の–ようである 青銅の その–肋骨は 棒の–ようである 鉄の
H6106 H0650 H5154 H1634 H4300 H1270

その骨は青銅の管のようで、その肋骨は鉄の棒のようだ。

19 הִוא רֵאשִׁית דַּרְכֵי־אֵל הָעֹשׂוֹ יַגַּשׁ חַרְבּוֹ׃
それは 初めの–ものである 道の 神の 造った–方が 近づける その–剣を
H1931 H7225 H1870 H0410 H6213 H5066 H2719

これは神のわざの第一のものであって、これを造った者がこれにつるぎを授けた。

20 כִּי־לוֹ יִשְׂאוּ־הָרִים עֵשֶׂב וְכָל־חַיַּת הַשָּׂדֶה יְשַׂחֲקוּ־שָׁם׃
まことに それに 運ぶ 山々が 産物を そして–すべての 獣が 野の 遊ぶ そこで
H3588 H0944 H5375 H2022 H3605 H2416 H7832 H8033

山もこれがために食物をいだし、もろもろの野の獣もそこに遊ぶ。

21 תָּחַת־צְאֲלִים יִשְׁכָּב בְּסֵתֶר קָנֶה וּבִצָּה׃
葦の–下に 蓮の 伏す 隠れ家に 葦の そして–沼の
H8478 H6628 H7901 H5643 H7070 H1207

これは酸棗の木の下に伏し、葦の茂み、または沼に隠れている。

22 יְסֻכֻּהוּ צַלְלֵי עֲרָבֵי־נָחַל יְסֹבְבוּהוּ׃
覆う 蓮が 柳が 小川の 囲む その–陰を
H5643 H6628 H6155 H5158 H5437 H6752

酸棗の木はその陰でこれをおおい、川の柳はこれをめぐり囲む。

23 הֵן יַעְשֹׁק לֹא יָחְפֹּז יִבְטַח כִּי־יָגִיחַ יַרְדֵּן אֶל־פִּיהוּ׃
見よ 大河が–溢れても 川が 急がない 急がない 安心する ヨルダン川が–溢れても 溢れても 口に その–口に ヨルダン川が
H2009 H6231 H5104 H3808 H2648 H0982 H3383 H1518 H6310 H0413 H3383

見よ、たとい川が荒れても、これは驚かない。ヨルダンがその口に注ぎかかっても、これはあわてない。

24 בְּעֵינָיו יִקָּחֶנּוּ בִּמְוֹקְשִׁים יִנָּקֹב־אָף׃
その–目の–前で 捕らえられるか 罠で 貫けるか その–鼻を
H5869 H3947 H4170 H5344 H0639

だれが、かぎでこれを捕えることができるか。だれが、わなでその鼻を貫くことができるか。

Chapter 41

1

תְּמֹשֵׁךְ	לִוְיָתָן	בְּחַכָּה	וּבְחֶבֶל	תַּשְׁקִיעַ	לְשֹׁנוֹ׃
引き-上げるか	レヴィアタンを	釣り-針で	そして-縄で	沈めるか	その-舌を
H4900	H3882	H2443		H8257	H3956

あなたはつり針でわにをつり出すことができるか。糸でその舌を押えることができるか。

2

הֲתָשִׂים	אַגְמֹן	בְּאַפּוֹ	וּבְחוֹחַ	תִּקּוֹב	לֶחְיוֹ׃
通せるか	葦の-紐を	その-鼻に	そして-かぎで	貫くか	その-顎を
	H0100	H0639	H2336		H3895

あなたは葦のなわをその鼻に通すことができるか。つり針でそのあごを突き通すことができるか。

3

הֲיַרְבֶּה	אֵלֶיךָ	תַּחֲנוּנִים	אִם־	יְדַבֶּר	אֵלֶיךָ	רַכּוֹת׃
増やすか	あなたに	嘆願を	あるいは-語るか	語るか	あなたに	優しく
	H0413	H8469		H1696	H0413	H7390

これはしきりに、あなたに願い求めるであろうか。柔らかな言葉をあなたに語るであろうか。

4

הֲיִכְרֹת	בְּרִית	עִמָּךְ	תִּקָּחֶנּוּ	לְעֶבֶד	עוֹלָם׃
結ぶか	契約を	あなたと	取るか	僕として	永遠の
H3772	H1285		H3947	H5650	H5769

これはあなたと契約を結ぶであろうか。あなたはこれを取って、ながくあなたのしもべとすることができるであろうか。

5

הַתְשַׂחֵק־	בּוֹ	כַּצִּפּוֹר	וְתִקְשְׁרֶנּוּ	לְנַעֲרוֹתֶיךָ׃
遊ぶか	それと	鳥の-ように	そして-繋ぐか	あなたの-娘たちの-ために
H7832		H6833	H7194	H5291

あなたは鳥と戯れるようにこれと戯れ、またあなたのおとめたちのために、これをつないでおくことができるであろうか。

6

יִכְרוּ	עָלָיו	חַבָּרִים	יְחֻצּוּהוּ	בֵּין	כְּנַעֲנִים׃
取り引くか	それを-めぐって	仲間が	分けるか	商人たちの-間で	商人たちの
		H2271	H2673	H0996	

商人の仲間はこれを商品として、小売商人の間に分けるであろうか。

7

הֲתִמַּלֵּא	בְשֻׂכּוֹת	עוֹרוֹ	וּבְצִלְצָל	דָּגִים	רֹאשׁוֹ׃
満たせるか	銛で	その-皮を	そして-銛で	魚の	その-頭を
H4390	H7905	H5785		H1709	

あなたは、もりでその皮を満たし、やすでその頭を突き通すことができるか。

8

שִׂים־	עָלָיו	כַּפֶּךָ	זְכֹר	מִלְחָמָה	אַל־	תּוֹסֵף׃
置け	その-上に	あなたの-手を	覚えておけ	戦いを	二度と-するな	するな
		H3709	H2142	H4421	H0408	H3254

あなたの手をこれの上に置け、あなたは戦いを思い出して、再びこれをしないであろう。

9

הֵן־	תּוֹחַלְתּוֹ	נִכְזָבָה	הֲגַם	אֶל־	מַרְאָיו	יָטֵל׃
見よ	その-望みは	裏切られる	まさか	その-姿を-見ただけでも	姿を	投げ-倒される
H2005	H8431	H3576	H1571	H0413	H4758	H2904

見よ、その望みはむなしくなり、これを見てすら倒れる。

10

לֹא־	אַכְזָר	כִּי	יְעוֹרֶרֶנּוּ	וּמִי	הוּא	לְפָנָי	יִתְיַצָּב׃
勇敢な-者は-いない	勇敢な	それを-導く	導く	それでは-誰が	誰が	私の-前に	立てようか
H3808	H0393		H5782	H4310	H1931	H6440	H3320

あえてこれを激する勇気のある者はひとりもない。それで、だれがわたしの前に立つことができるか。

11 מִי הִקְדִּימַנִי וַאֲשַׁלֵּם תַּחַת כָּל־הַשָּׁמַיִם לִי־הוּא׃
誰が 私に–先に–与えたのか そして–私が–報いると 全天の–下に すべての 天の 私の–ものである それは
H4310 H6923 H8064 H3605 H8478 H1931

だれが先にわたしに与えたので、わたしはこれに報いるのか。天が下にあるものは、ことごとくわたしのものだ。

12 לֹא־]לֹ֭א[אַחֲרִישׁ דַּבָּיו עַל־וּדְבַר־גְּבוּרוֹת וְחֵין עֶרְכּוֹ׃
黙らない 黙らない その–肢に–ついて そして–力の–言葉と 力の そして–美しい 姿の
H3808 H0907 H1697 H1369 H2433 H6187

わたしはこれが全身と、その著しい力と、その美しい構造について黙っていることはできない。

13 מִי־גָלָה לְבוּשׁוֹ בְּכֶפֶל רִסְנוֹ מִי יָבוֹא׃
誰が 剥いだのか その–衣の 二重の その–手綱の–内に 誰が 入れようか
H4310 H1540 H3830 H3718 H7448 H4310 H0935

だれがその上着をはぐことができるか。だれがその二重のよろいの間にはいることができるか。

14 דַּלְתֵי פָנָיו מִי פָתָח סְבִיבוֹת שִׁנָּיו אֵימָה׃
扉を その–顔の 誰が 開けたのか 周りには その–歯の 恐怖が–ある
H1817 H6440 H4310 H6605 H5439 H8127 H0367

だれがその顔の戸を開くことができるか。そのまわりの歯は恐ろしい。

15 גַּאֲוָה אֲפִיקֵי מָגִנִּים סְגוּר חוֹתָם צָר׃
誇りである 列は 盾の 閉じられた 印で 固く
H1346 H0650 H4043 H5462 H2368

その背は盾の列でできていて、その堅く閉じたさまは密封したように、

16 אֶחָד בְּאֶחָד יִגָּשׁוּ וְרוּחַ לֹא־יָבוֹא בֵּינֵיהֶם׃
一つが 一つに 接して そして–風も 通らない 通らない その–間を
H0259 H0259 H5066 H7307 H3808 H0935 H0996

相互に密接して、風もその間に、はいることができず、

17 אִישׁ־בְּאָחִיהוּ יִדְבָּקוּ יִתְלַכָּדוּ וְלֹא יִתְפָּרֵדוּ׃
一つが その–仕種に くっつき 持ち–合い そして–離れない 離れない
H0376 H0251 H1692 H3920 H3808 H6504

互に相連なり、固く着いて離すことができない。

18 עֲטִישֹׁתָיו תָּהֵל אוֹר וְעֵינָיו כְּעַפְעַפֵּי־שָׁחַר׃
その–くしゃみは 放つ 光を そして–その–目は まぶたの–ようである 曙の
H5846 H0216 H3940 H6079 H7837

これが、くしゃみすれば光を発し、その目はあけぼののまぶたに似ている。

19 מִפִּיו לַפִּידִים תֵּהֵלֹכְנָה כִּידוֹדֵי אֵשׁ יִתְמַלָּטוּ׃
その–口から たいまつが 出る 火花が 火の 飛び–散る
H6310 H3940 H1980 H3590 H0784 H4422

その口からは、たいまつが燃えいで、火花をいだす。

20	מִנְּחִירָיו	יֵצֵא	עָשָׁן	כְּרְוּד	נָפוּחַ	וְאַנְמָן׃
	その-鼻から	出る	煙が	釜の-ように	沸き立つ	そして-葦の-ように
	H5156	H3318	H6227	H1731	H5301	H0100

その鼻の穴からは煙が出てきて、さながら煮え立つなべの水煙のごとく、燃える葦の煙のようだ。

21	נַפְשׁוֹ	גֶּחָלִים	תְּלַהֵט	וְלַהַב	מִפְיו	יֵצֵא׃
	その-息は	炭火を	燃やす	そして-炎が	その-口から	出る
	H5315	H1513	H3857	H3851	H6310	H3318

その息は炭火をおこし、その口からは炎が出る。

22	בְּצַוָּארוֹ	יָלִין	עֹז	וּלְפָנָיו	תָּרוּץ	דְּאָבָה׃
	その-首に	宿る	力が	そして-その-前に	跳ねる	恐怖が
	H6440	H5797	H1750	H6440	H1750	H1670

その首には力が宿っていて、恐ろしさが、その前に踊っている。

23	מַפְלֵי	בְשָׂרוֹ	דָּבְקוּ	יָצוּק	עָלָיו	בַּל־	יִמּוֹט׃
	ひだは	その-肉の	くっついている	固く	その-上に	動かない	動かない
	H4651	H1320	H1692	H3332	H5921	H1077	H4131

その肉片は密接に相連なり、固く身に着いて動かすことができない。

24	לִבּוֹ	יָצוּק	כְּמוֹ־	אֶבֶן	וְיָצוּק	כְּפֶלַח	תַּחְתִּית׃
	その-心は	固い	石の-ように	石の	そして-固い	下臼の-ように	下の
	H3332	H3332	H3644	H0068	H3332	H6400	H8482

その心臓は石のように堅く、うすの下石のように堅い。

25	מִמְּשַׁתּוֹ	יָגוּרוּ	אֵלִים	מִשְּׁבָרִים	יִתְחַטָּאוּ׃
	その-起き上がりに	恐れる	力ある-者も	波の-ために	おののく
	H7613	H1481	H0410	H7667	H2398

その身を起すときは勇士も恐れ、その衝撃によってあわて惑う。

26	מַשִּׂיגֵהוּ	חֶרֶב	בְּלִי	תָקוּם	חֲנִית	מַסָּע	וְשִׁרְיָה׃
	剣が-届いても	剣が	立たない	立たない	槍も	投げ槍も	そして-鄧も
	H5381	H2719	H1097		H2595		

つるぎがこれを撃っても、きかない、やりも、矢も、もりも用をなさない。

27	יַחְשֹׁב	לְתֶבֶן	כַּבַּרְזֶל	לְעֵץ	רִקָּבוֹן	נְחוּשָׁה׃
	みなす	わらの-ように	鉄を	朽ちた-木の-ように	朽ちた-木の	青銅を
	H2803	H8401	H1270	H6086	H7539	H5154

これは鉄を見ること、わらのように、青銅を見ること朽ち木のようである。

28	לֹא־	יַבְרִיחֶנּוּ	בֶּן־	קֶשֶׁת	לְקַשׁ	נֶהְפְּכוּ־	לוֹ	אַבְנֵי־	קֶלַע׃
	逃がせない	逃がせない	矢の-子が	弓の	わらに-変わる	変わる	それには	石が	投石の
	H3808	H1272		H7198	H7179	H2015		H0068	

弓矢もこれを逃がすことができない。石投げの石もこれには、わらくずとなる。

29	כְּקַשׁ	נֶחְשְׁבוּ	תוֹתָח	וַיִּשְׂחַק	לְרַעַשׁ	כִּידוֹן׃
	わらの-ように	みなす	こん棒を	そして-笑う	響きを	投げ槍の
	H7179	H2803	H8455	H7832	H7494	H3591

こん棒もわらくずのようにみなされ、投げやりの響きを、これはあざ笑う。

30 תַּחְתָּיו חַדּוּדֵי חָרֶשׁ יִרְפַּד חָרוּץ עַל־ טִיט׃
その-下腹は 鋭い-破片である 土器の 布き-広げる 脱穀機の-ように 泥の-上に 泥の
H8478 H2303 H2789 H7502

その下腹は鋭いかわらのかけらのようで、麦こき板のようにその身を泥の上に伸ばす。

31 יַרְתַּיַּח כַּסִּיר מְצוּלָה יָם יָשִׂים כַּמֶּרְקָחָה׃
沸かす 釜の-ように 深みを 海を 変える 香油の-壺の-ように
H7570 H4688 H3220 H4841

これは淵をかなえのように沸きかえらせ、海を香油のなべのようにする。

32 אַחֲרָיו יָאֵיר נָתִיב יַחְשֹׁב תְּהוֹם לְשֵׂיבָה׃
その-後に 輝く 跡が 思わせる 深淵を 白髪の-ように
H0215 H2803 H8415 H7872

これは自分のあとに光る道を残し、淵をしらがのように思わせる。

33 אֵין־ עַל־ עָפָר מָשְׁלוֹ הֶעָשׂוּי לִבְלִי־ חָת׃
ない 地の-上に 地の 比べられるものは 造られた 恐れなく 恐れなく
H0369 H6083 H1097

地の上にはこれと並ぶものなく、これは恐れのない者に造られた。

34 אֶת־ כָּל־ גָּבֹהַּ יִרְאֶה הוּא מֶלֶךְ עַל־ כָּל־ בְּנֵי־
すべての 高き-ものを 見下ろす それは 王である すべての-上に すべての 子らの-上に
H3605 H1364 H7200 H1931 H4428 H3605 H3605

ס שָׁחַץ׃
— 誇りの
H7830

これはすべての高き者をさげすみ、すべての誇り高ぶる者の王である」。

Chapter 42

1 וַיַּעַן אִיּוֹב אֶת־ יְהוָה וַיֹּאמַר׃
そして-答えた ヨブは — 主に そして-言った
H0559 H3068 H0853 H0347

そこでヨブは主に答えて言った、

2 ידעת] (וָאֵדָעָה) כִּי־ כֹל תּוּכָל וְלֹא־ יִבָּצֵר מִמְּךָ
— 知っています — すべてを あなたは-できると 何も 妨げられない あなたから
H3045 H3045 H3605 H3201 H3808 H1219

מְזִמָּה׃
計画は
H4209

「わたしは知ります、あなたはすべての事をなすことができ、またいかなるおぼしめしでも、あなたにできないことはないことを。

3 מִי זֶה מַעְלִים עֵצָה בְּלִי דָעַת לָכֵן וְלֹא הִגַּדְתִּי
誰が この 隠す-者は 摂理を なしに 知識 それゆえ しかし 私は-語りました
H4310 H2088 H5956 H6098 H1097 H1847 H3808 H5046

אֵדָע׃ וְלֹא מִמֶּנִּי נִפְלָאוֹת אָבִין
知りませんでした しかし 私には 驚くべき-ことを 悟りませんでした
H3045 H3808 H6381 H0995

『無知をもって神の計りごとをおおうこの者はだれか』。それゆえ、わたしはみずから悟らない事を言い、みずから知らない、測り難い事を述べました。

4

וְהוֹדִיעֵנִי׃	אֶשְׁאָלְךָ֖	אַדַּבֵּ֑ר	וְאָנֹכִ֣י	נָּ֗א	שְׁמַע־
そして–教えてください	あなたに–問います	語ります	そして–私が	—	どうか–聞いてください
H3045	H7592	H1696	H0595	H4994	H8085

『聞け、わたしは語ろう、わたしはあなたに尋ねる、わたしに答えよ』。

5

רָאָתְךָ׃	עֵינִי	וְעַתָּ֣ה	שְׁמַעְתִּ֣יךָ	אֹ֭זֶן	לְשֵׁמַע־
あなたを–見ました	私の–目が	しかし–今は	あなたを–聞きました	聞いたことで	耳で
H7200		H6258	H8085	H0241	

わたしはあなたの事を耳で聞いていましたが、今はわたしの目であなたを拝見いたします。

6

פ	וָאֶפֶר׃	עָפָ֥ר	עַל־	וְנִחַמְתִּי֮	אֶמְאַ֪ס	כֵּ֫ן	עַל־
—	灰の–上で	塵と	—	そして–悔い改めます	私は–退け	それゆえ	—
	H0665	H6083		H5162			

それでわたしはみずから恨み、ちり灰の中で悔います」。

7

אִיּ֑וֹב	אֶל־	הָאֵ֥לֶּה	הַדְּבָרִ֗ים	אֶת־	יְהוָ֣ה	דִּבֶּ֣ר	אַחַ֣ר	וַיְהִי
ヨブに	—	これらの	これらの–言葉を	—	主が	語った	後に	そして–なった
H0347	H0413	H0428	H1697	H0853	H3068	H1696		H1961

בְּךָ֖	אַפִּ֥י	חָרָ֛ה	הַתֵּימָנִ֑י	אֱלִיפַ֣ז	אֶל־	יְהוָ֔ה	וַיֹּ֣אמֶר
あなたと	私の–怒りが	燃えた	テマン人の	エリパズに	—	主は	そして–言われた
	H0639	H2734	H8489	H0464	H0413	H3068	H0559

כְּעַבְדִּ֖י	נְכוֹנָ֥ה	אֵלַ֛י	דִּבַּרְתֶּ֥ם	לֹ֣א	כִּ֤י	רֵעֶ֙יךָ֙	וּבִשְׁנֵ֣י
私の–しもべ	ことを	私に	あなたがたは–語らなかった	正しく	なぜなら	友に	あなたの–二人の
H5650		H0413	H1696	H3808		H7453	H8147

אִיּֽוֹב׃
ヨブの–ように
H0347

主はこれらの言葉をヨブに語られて後、テマンびとエリパズに言われた、「わたしの怒りはあなたとあなたのふたりの友に向かって燃える。あなたがたが、わたしのしもべヨブのように正しい事をわたしについて述べなかったからである。

8

וּלְכ֣וּ	אֵילִ֔ים	וְשִׁבְעָ֥ה	פָרִ֛ים	שִׁבְעָ֥ה־	לָכֶ֖ם	קְח֣וּ־	וְעַתָּ֑ה
そして–行きなさい	雄羊を	七頭の	雄牛と	七頭の	あなたがたのために	取りなさい	そこで–今
H3212		H7651	H6499	H7651		H3947	H6258

בַּעֲדְכֶ֖ם	עוֹלָ֑ה	וְהַעֲלִיתֶ֣ם	אִיּ֔וֹב	עַבְדִּ֖י	אֶל־
あなたがたのために	全焼の–いけにえを	そして–ささげなさい	ヨブの–もとへ	私の–しもべ	—
H1157		H5927	H0347	H5650	H0413

פָּנָ֔יו	אִם־	כִּ֣י	עֲלֵיכֶ֗ם	יִתְפַּלֵּ֣ל	עַבְדִּ֤י	וְאִיּוֹב֙
彼の–顔を	—	まことに	あなたがたのために	祈るであろう	私の–しもべが	そして–ヨブ
H6440				H6419	H5650	H0347

לֹ֣א	כִּ֤י	נְבָלָה֙	עִמָּכֶ֔ם	עֲשׂ֖וֹת	לְבִלְתִּ֑י	אֶשָּׂ֣א
正しく	なぜなら	愚かなことを	あなたがたに	行わないように	—	私は–受け入れる
H3808		H5039			H1115	H5375

אִיּֽוֹב׃	כְּעַבְדִּ֖י	נְכוֹנָ֥ה	אֵלַ֛י	דִּבַּרְתֶּ֥ם
ヨブの–ように	私の–しもべ	ことを	私に	あなたがたは–語らなかった
H0347	H5650		H0413	H1696

それで今、あなたがたは雄牛七頭、雄羊七頭を取って、わたしのしもべヨブの所へ行き、あなたがたのために燔祭をささげよ。わたしのしもべヨブはあなたがたのために祈るであろう。わたしは彼の祈を受けいれるによって、あなたがたの愚かを罰することをしない。あなたがたはわたしのしもべヨブのように正しい事をわたしについて述べなかったからである」。

9

הַנַּעֲמָתִי	צֹפַר	הַשּׁוּחִי	וּבִלְדַּד	הַתֵּימָנִי	אֱלִיפַז	וַיֵּלְכוּ	
ナアマ人の	ツォファル	シュア人の	そして-ビルダデ	テマン人の	エリパズ	そして-行った	
H5284	H6691	H7747	H1085	H8489	H0464	H3212	

פְּנֵי	אֶת־	יְהוָה	וַיִּשָּׂא	יְהוָה	אֱלֵיהֶם	דִּבֶּר	כַּאֲשֶׁר	וַיַּעֲשׂוּ
の-顔を	—	主は	そして-受け入れられた	主が	彼らに	語られた	ように	そして-行った
H6440	H0853	H3068	H5375	H3068	H0413	H1696		

אִיּוֹב׃
ヨブの
H0347

そこでテマンびとエリパズ、シュヒびとビルダデ、ナアマびとゾパルは行って、主が彼らに命じられたようにしたので、主はヨブの祈を受けいれられた。

10

רֵעֵהוּ	בְּעַד	בְּהִתְפַּלְלוֹ	אִיּוֹב	)שְׁבוּת(	]שבית[	אֶת־	שָׁב	וַיהוָה
友のために	のために	祈った-とき	ヨブの	繁栄を	—	—	回復された	そして-主は
H7453	H1157	H6419	H0347	H7622	H7622	H0853	H7725	H3068

לְמִשְׁנֶה׃	לְאִיּוֹב	אֲשֶׁר	כָּל־	אֶת־	יְהוָה	וַיֹּסֶף	
二倍に	ヨブが	持っていた	すべてを	—	主は	そして-増やされた	
H4932	H0347		H3605	H0853	H3068	H3254	

ヨブがその友人たちのために祈ったとき、主はヨブの繁栄をもとにかえし、そして主はヨブのすべての財産を二倍に増された。

11

וְכָל־	)אַחְיוֹתָיו(	]אחיתיו[	וְכָל־	אֶחָיו	כָּל־	אֵלָיו	וַיָּבֹאוּ	
すべての	姉妹たちと	—	すべての	兄弟たちと	すべての	彼の-もとに	そして-来た	
H3605	H0269	H0269	H3605	H0251	H3605	H0413	H0935	

לוֹ	וַיָּנֻדוּ	בְּבֵיתוֹ	לֶחֶם	עִמּוֹ	וַיֹּאכְלוּ	לְפָנִים	יְדָעָיו	
彼に	そして-同情し	彼の-家で	食事を	彼と-共に	そして-食べた	以前の	知人たちが	
	H5110		H3899		H0398	H6440	H3045	

וַיִּתְּנוּ־	עָלָיו	יְהוָה	הֵבִיא	אֲשֶׁר־	הָרָעָה	כָּל־	עַל	אֹתוֹ	וַיְנַחֲמוּ
そして-与えた	彼に	主が	もたらした	—	災いを	すべての	について	彼を	そして-慰めた
H5414		H3068	H0935			H3605		H0853	H5162

ס	אֶחָד׃	זָהָב	נֶזֶם	וְאִישׁ	אֶחָת	קְשִׂיטָה	אִישׁ	לוֹ
—	一つ	金の	金の-輪を	そして-各自が	一つ	ケシタ-銀貨を	各自が	彼に
	H0259	H2091	H5141	H0376	H0259	H7192	H0376	

そこで彼のすべての兄弟、すべての姉妹、および彼の旧知の者どもことごとく彼のもとに来て、彼と共にその家で飲み食いし、かつ主が彼にくだされたすべての災について彼をいたわり、慰め、おのおの銀一ケシタと金の輪一つを彼に贈った。

12

לוֹ	וַיְהִי־	מֵרֵאשִׁתּוֹ	אִיּוֹב	אַחֲרִית	אֶת־	בֵּרַךְ	וַיהוָה	
彼は	そして-持つようになった	初めより-多く	ヨブの	後の-日々を	—	祝福された	そして-主は	
H1961		H7225	H0347	H0319	H0853	H1288	H3068	

אֲתוֹנוֹת׃	וְאֶלֶף	בָּקָר	צֶמֶד	וְאֶלֶף־	גְּמַלִּים	אֲלָפִים	וְשִׁשֶּׁת	צֹאן	אֶלֶף	עֶשֶׂר	אַרְבָּעָה
雌ろばを	千の	牛と	くびきの	千の	らくだと	頭の	六千の	羊と	頭の	四千の	一万
H0860	H0505	H1241	H6776	H0505	H1581	H0505	H8337	H6629	H0505	H6240	H0702

主はヨブの終りを初めよりも多く恵まれた。彼は羊一万四千頭、らくだ六千頭、牛一千くびき、雌ろば一千頭をもった。

13

וַיְהִי־	לוֹ	שִׁבְעָה	בָנִים	וְשָׁלוֹשׁ	בָּנוֹת׃
そして–持つようになった	彼は	七人の	息子と	三人の	娘を
H1961		H7658		H7969	H1323

また彼は男の子七人、女の子三人をもった。

14

וַיִּקְרָא	שֵׁם־	הָאַחַת	יְמִימָה	וְשֵׁם	הַשֵּׁנִית	קְצִיעָה	וְשֵׁם
そして–名づけた	名を	第一の–娘を	エミマと	そして–名を	第二の–娘を	ケツィアと	そして–名を
H7121	H8034	H0259	H3224	H8034	H8145	H7103	H8034

הַשְּׁלִישִׁית	קֶרֶן	הַפּוּךְ׃	
第三の–娘を	ケレン・	ハプクと	
H7992	H7163	H7163	

彼はその第一の娘をエミマと名づけ、第二をケジアと名づけ、第三をケレン・ハップクと名づけた。

15

וְלֹא	נִמְצְאָה	נָשִׁים	יָפוֹת	כִּבְנוֹת	אִיּוֹב	בְּכָל־	הָאָרֶץ	
そして	見つからなかった	女性は	美しい	ヨブの–娘たちの–ように	ヨブの	すべての	地に	
H3808	H4672	H0802	H3303	H1323	H0347	H3605	H0776	

וַיִּתֵּן	לָהֶם	אֲבִיהֶם	נַחֲלָה	בְּתוֹךְ	אֲחֵיהֶם׃	ס
そして–与えた	彼女たちに	父が	相続地を	の–中に	兄弟たちの	—
H5414	H1992	H0001	H5159	H8432	H0251	

全国のうちでヨブの娘たちほど美しい女はなかった。父はその兄弟たちと同様に嗣業を彼らにも与えた。

16

אֶת־	(וַיִּרְאֶה)	[ויראן]	שָׁנָה	וְאַרְבָּעִים	מֵאָה	זֹאת	אַחֲרֵי־	אִיּוֹב	וַיְחִי
—	そして–見た	—	年	四十	百	これ	この–後	ヨブは	そして–生きた
H0853	H7200	H7200	H8141	H0705	H3967	H2063		H0347	H2421

דֹּרוֹת׃	אַרְבָּעָה	בָּנָיו	בְּנֵי	וְאֶת־	בָּנָיו
世代を	四	息子たちの	の–息子たちを	そして	息子たちと
H1755	H0702			H0853	

この後、ヨブは百四十年生きながらえて、その子とその孫と四代までを見た。

17

וַיָּמָת	אִיּוֹב	זָקֵן	וּשְׂבַע	יָמִים׃
そして–死んだ	ヨブは	年老いて	そして–満ちた	日々に
H4191	H0347	H2205	H7649	H3117

ヨブは年老い、日満ちて死んだ。

Psalms

Chapter 1

1 אַשְׁרֵי־ 幸いな H0835 הָאִישׁ その-人 H0376 אֲשֶׁר ～ところの H3808 לֹא ～ない H1980 הָלַךְ 歩んだ H6098 בַּעֲצַת ～の-助言に H7563 רְשָׁעִים 悪しき-者たちの H1870 וּבְדֶרֶךְ また-～の-道に
חַטָּאִים 罪人たちの H2400 לֹא ～ない H5975 עָמָד 立った H4186 וּבְמוֹשַׁב また-～の-座に H3887 לֵצִים 嘲る-者たちの H3808 לֹא ～ない H3427 יָשָׁב׃ 座った

悪しき者のはかりごとに歩まず、罪びとの道に立たず、あざける者の座にすわらぬ人はさいわいである。

2 כִּי むしろ H0518 אִם ～こそ H3808 בְּתוֹרַת ～の-律法に H3068 יְהוָה 主の H2656 חֶפְצוֹ その-喜び H8451 וּבְתוֹרָתוֹ また-その-律法を H1897 יֶהְגֶּה 口ずさむ H3119 יוֹמָם 昼も H3915 וָלָיְלָה׃ 夜も

このような人は主のおきてをよろこび、昼も夜もそのおきてを思う。

3 וְהָיָה そして-なる H1961 כְּעֵץ 木の-ように H6086 שָׁתוּל 植えられた H8362 עַל־ ～の-そばの H6388 פַּלְגֵי 水の-流れの H4325 מָיִם 水 H0834 אֲשֶׁר ～ところの H6529 וּפִרְיוֹ その-実を
יִתֵּן 結ぶ H5414 בְּעִתּוֹ 時-が-来れば H6256 וְעָלֵהוּ また-その-葉は H5929 לֹא־ ～ない H3808 יִבּוֹל 枯れる H3605 וְכֹל そして-すべて H0834 אֲשֶׁר־ ～するところの H6213 יַעֲשֶׂה 行う-ことは
יַצְלִיחַ׃ 栄える

このような人は流れのほとりに植えられた木の時が来ると実を結び、その葉もしぼまないように、そのなすところは皆栄える。

4 לֹא־ ～ない H3808 כֵּן そう-では H7563 הָרְשָׁעִים 悪しき-者たちは H3588 כִּי むしろ H0518 אִם־ ～こそ H4671 כַּמֹּץ 籾殻の-ように H0834 אֲשֶׁר־ ～ところの H5086 תִּדְּפֶנּוּ 吹き-飛ばす
רוּחַ׃ 風が H7307

悪しき者はそうでない、風の吹き去るもみがらのようだ。

5 עַל־ それ-ゆえ H3651 כֵּן ～ゆえ H3808 לֹא־ ～ない H6965 יָקֻמוּ 立つ H7563 רְשָׁעִים 悪しき-者たちは H4941 בַּמִּשְׁפָּט さばきに H2400 וְחַטָּאִים また-罪人たちも H5712 בַּעֲדַת ～の-集いに
צַדִּיקִים׃ 正しき-者たちの H6662

それゆえ、悪しき者はさばきに耐えない。罪びとは正しい者のつどいに立つことができない。

תֹּאבֵֽד׃	רְשָׁעִים	וְדֶרֶךְ	צַדִּיקִים	דֶּרֶךְ	יְהוָה	יוֹדֵעַ	כִּי־	6
滅びる	悪しき-者たちの	しかし-道は	正しき-者たちの	道を	主は	知っておられる	なぜなら	
H0006	H7563	H1870	H6662	H1870	H3068	H3045		

主は正しい者の道を知られる。しかし、悪しき者の道は滅びる。

Chapter 2

רִיק׃	יֶהְגּוּ־	וּלְאֻמִּים	גּוֹיִם	רָגְשׁוּ	לָמָּה	1
空しき-ことを	つぶやくのか	また-もろもろの-民は	諸国の-民は	騒ぎ立つのか	なぜ	
H7385	H1897	H3816		H7283	H4100	

なにゆえ、もろもろの国びとは騒ぎたち、もろもろの民はむなしい事をたくらむのか。

						יִתְיַצְּבוּ		2
יְהוָה	עַל־	יָחַד	נוֹסְדוּ־	וְרוֹזְנִים	אֶרֶץ	מַלְכֵי־		
主に	～に-対して	共に	共に-謀る	また-支配者たちは	地の	王たちは-地の		立ち-上がる
H3068			H3245	H7336	H0776	H4428		H3320

מְשִׁיחֽוֹ׃	וְעַל־
その-油注がれた-者に	また-～に-対して
H4899	

地のもろもろの王は立ち構え、もろもろのつかさはともに、はかり、主とその油そそがれた者とに逆らって言う、

עֲבֹתֵימוֹ׃	מִמֶּנּוּ	וְנַשְׁלִיכָה	מוֹסְרוֹתֵימוֹ	אֶת־	נְנַתְּקָה	3
彼らの-繋を	私たちから	そして-投げ-捨てよう	彼らの-戻を	～を	引き-ちぎろう	
H5688		H7993	H4147	H0853	H5423	

「われらは彼らのかせをこわし、彼らのきずなを解き捨てるであろう」と。

לָמוֹ׃	יִלְעַג־	אֲדֹנָי	יִשְׂחָק	בַּשָּׁמַיִם	יוֹשֵׁב	4
彼らを	嘲笑される	主は	笑われる	天に	座しておられる-方は	
	H3932	H0136	H7832	H8064	H3427	

天に座する者は笑い、主は彼らをあざけられるであろう。

יְבַהֲלֵמוֹ׃	וּבַחֲרוֹנוֹ	בְּאַפּוֹ	אֵלֵימוֹ	יְדַבֵּר	אָז	5
恐れさせられる	また-その-熱い-怒りで	その-怒りを-もって	彼らに	語られる	その-時	
H0926	H2740	H0639	H0413	H1696		

そして主は憤りをもって彼らに語り、激しい怒りをもって彼らを恐れ惑わせて言われる、

קָדְשִׁי׃	הַר־	צִיּוֹן	עַל־	מַלְכִּי	נָסַכְתִּי	וַאֲנִי	6
わたしの-聖なる	山-の-上に	ツィオン	～の-上に	わたしの-王を	立てた	しかし-わたしは	
H6944	H2022	H6726		H4428		H0589	

「わたしはわが王を聖なる山シオンに立てた」と。

							אֲסַפְּרָה	7
הַיּוֹם	אֲנִי	אַתָּה	בְנִי	אֵלַי	אָמַר	יְהוָה	חֹק	אֶל	～に-ついて	述べよう
今日	わたしは	あなたは	わが-子よ	わたしに	仰せられた	主の	定めを			
H3117	H0589			H0413	H0559	H3068	H2706	H0413		

יְלִדְתִּיךָ׃
あなたを-生んだ
H3205

わたしは主の詔をのべよう。主はわたしに言われた、「おまえはわたしの子だ。きょう、わたしはおまえを生んだ。

נַחֲלָתֶךָ	גּוֹיִם	וְאֶתְּנָה	מִמֶּנִּי	שְׁאַל	8
あなたの–受け–継ぎとして	諸国の–民を	そうすれば–与えよう	わたしに	求めよ	
H5159		H5414		H7592	

אֶרֶץ׃	אַפְסֵי־	וַאֲחֻזָּתְךָ
地の	地の–果てを	また–あなたの–所有として
H0776		H0272

わたしに求めよ、わたしはもろもろの国を嗣業としておまえに与え、地のはてまでもおまえの所有として与える。

תְנַפְּצֵם׃	יוֹצֵר	כִּכְלִי	בַּרְזֶל	בְּשֵׁבֶט	תְּרֹעֵם	9
粉々に–砕く	陶器師の	陶器師の–器の–ように	鉄の	鉄の–杖で	打ち–砕く	
	H3335	H3627	H1270	H7626		

おまえは鉄のつえをもって彼らを打ち破り、陶工の作る器物のように彼らを打ち砕くであろう」と。

אָרֶץ׃	שֹׁפְטֵי	הִוָּסְרוּ	הַשְׂכִּילוּ	מְלָכִים	וְעַתָּה	10
地の	さばき人たちよ–地の	戒めを–受けよ	悟りて–行え	王たちよ	それ–ゆえ–今	
H0776	H8199	H3256		H4428	H6258	

それゆえ、もろもろの王よ、賢くあれ、地のつかさらよ、戒めをうけよ。

בִּרְעָדָה׃	וְגִילוּ	בִּירְאָה	יְהוָה	אֶת־	עִבְדוּ	11
おののきを–もって	そして–喜べ	畏れを–もって	主に	～を	仕えよ	
	H1523	H3374	H3068	H0853	H5647	

恐れをもって主に仕え、おののきをもって

כִּמְעַט	יִבְעַר	כִּי־	דַּרְכּוֹ	וְתֹאבְדוּ	וְיֶאֱנַף	פֶּן־	בַּר	נַשְּׁקוּ־	12
たちまち	燃え–上がる	なぜなら	道から	そして–滅びる	怒られ	そうでなければ	子に	口づけよ	
H4592			H1870	H0006	H0599	H6435	H1248		

בּוֹ׃	חוֹסֵי	כָּל־	אַשְׁרֵי	אַפּוֹ
主に	身を–避ける–者は	すべての	幸いな	その–怒りは
	H2620	H3605	H0835	H0639

その足に口づけせよ。さもないと主は怒って、あなたがたを道で滅ぼされるであろう、その憤りがすみやかに燃えるからである。すべて主に寄り頼む者はさいわいである。

Chapter 3

מָה־	יְהוָה	בְּנוֹ׃	אַבְשָׁלוֹם	וּמִפְּנֵי	בְּבָרְחוֹ	לְדָוִד	מִזְמוֹר	1
なんと	主よ	その–息子の	アブシャロム	～から–面前の	逃れた–ときの	ダビデの	賛歌	
H4100	H3068		H0053	H6440	H1272	H1732	H4210	

עָלָי׃	קָמִים	רַבִּים	צָרָי	רַבּוּ
わたしに–対して	立ち–上がる	多くの–者が	わが–敵は	多いのか
				H7231

ダビデがその子アブサロムを避けてのがれたときの歌 主よ、わたしに敵する者のいかに多いことでしょう。わたしに逆らって立つ者が多く、

סֶלָה׃	בֵּאלֹהִים	לוֹ	יְשׁוּעָתָה	אֵין	לְנַפְשִׁי	אֹמְרִים	רַבִּים	2
セラ	神に–よる	彼には	救いは	～ない	わが–魂に–ついて	言っている	多くの–者が	
H5542	H0430		H3444	H0369	H5315	H0559		

「彼には神の助けがない」と、わたしについて言う者が多いのです。[セラ

3 וְאַתָּה יְהוָה מָגֵן בַּעֲדִי כְּבוֹדִי וּמֵרִים רֹאשִׁי׃
しかし–あなたは 主よ 盾である わたしの–まわりに わが–栄光 そして–高く–上げる–方
H3068 H4043 H1157 H3519

しかし主よ、あなたはわたしを囲む盾、わが栄え、わたしの頭を、もたげてくださるかたです。

4 קוֹלִי אֶל־יְהוָה אֶקְרָא וַיַּעֲנֵנִי מֵהַר קָדְשׁוֹ סֶלָה׃
わが–声で ～に–向かって 主に 叫ぶ そして–答えてくださる ～から–山から 聖なる–山から セラ
H0413 H3068 H7121 H6944 H5542

わたしが声をあげて主を呼ばわると、主は聖なる山からわたしに答えられる。[セラ

5 אֲנִי שָׁכַבְתִּי וָאִישָׁנָה הֱקִיצוֹתִי כִּי יְהוָה יִסְמְכֵנִי׃
わたしは 横たわった そして–眠った 目覚めた なぜなら 主が 支えてくださるから
H0589 H7901 H3462 H6974 H3068 H5564

わたしはふして眠り、また目をさます。主がわたしをささえられるからだ。

6 לֹא־אִירָא מֵרִבְבוֹת עָם אֲשֶׁר סָבִיב שָׁתוּ עָלָי׃
～ない 恐れる 幾万の–人をも 民の ～ところの 四方に 布陣を–しきた わたしに–対して
H3808 H3372 H7233 H5439 H7896

わたしを囲んで立ち構えるちよろずの民をもわたしは恐れない。

7 קוּמָה יְהוָה הוֹשִׁיעֵנִי אֱלֹהַי כִּי־הִכִּיתָ אֶת־כָּל שִׁנֵּי לֶחְיֵי אוֹיְבַי רִשָּׁעִים שִׁבַּרְתָּ׃
立ち–上がってください 主よ 救ってください わが–神よ なぜなら 打たれた ～を すべての わが–敵の 顎を 歯を 悪しき–者たちの 砕かれた
H7665 H7563 H8127 H3895 H0341 H5221 H0853 H3605 H0430 H3467 H3068 H6965

主よ、お立ちください。わが神よ、わたしをお救いください。あなたはわたしのすべての敵のほおを打ち、悪しき者の歯を折られるのです。

8 לַיהוָה הַיְשׁוּעָה עַל־עַמְּךָ בִרְכָתֶךָ סֶלָה׃
主に–こそ 救いは–ある ～の–上に あなたの–民の–上に あなたの–祝福あれ セラ
H3068 H3444 H5542 H1293

救は主のものです。どうかあなたの祝福があなたの民の上にありますように。[セラ

Chapter 4

1 לַמְנַצֵּחַ בִּנְגִינוֹת מִזְמוֹר לְדָוִד׃ בְּקָרְאִי עֲנֵנִי אֱלֹהֵי צִדְקִי בַּצָּר הִרְחַבְתָּ לִי חָנֵּנִי וּשְׁמַע תְּפִלָּתִי׃
指揮者の–ために 弦楽器に–合わせて 賛歌 ダビデの わたしが–呼ぶ–とき 答えてください わが–正義の–神よ 苦しみの–中で 広げてくださった わたしに 憐れんでください そして–聞いてください わが–祈りを
H0430 H6664 H7337 H3605 H4210 H1732 H7121 H6965 H8085 H8605

聖歌隊の指揮者によって琴にあわせてうたわせたダビデの歌 わたしの義を助け守られる神よ、わたしが呼ばわる時、お答えください。あなたはわたしが悩んでいた時、わたしをくつろがせてくださいました。わたしをあわれみ、わたしの祈をお聞きください。

2

תֶּאֱהָבוּן	לְכְלִמָּה	כְּבוֹדִי	מָה	עַד־	אִישׁ	בְּנֵי
愛するのか	辱めに–変えるのか	わが–誉れを	いつまで	いつ–まで	人よ	人の–子らよ
H0157	H3639	H3519	H4100	H5704	H0376	

סֶלָה׃	כָּזָב	תְּבַקְשׁוּ	רִיק
セラ	偽りを	求めるのか	空しき–ことを
H5542	H3577	H1245	H7385

人の子らよ、いつまでわたしの誉をはずかしめるのか。いつまでむなしい言葉を愛し、偽りを慕い求めるのか。[セラ

3

יְהוָה	לוֹ	חָסִיד	יְהוָה	הִפְלָה	כִּי־	וּדְעוּ
主は	ご自分の–ために	忠実な–者を	主は	特別に–扱われた	なぜなら	しかし–知れ
H3068		H2623	H3068	H6395		H3045

אֵלָיו׃	בְּקָרְאִי	יִשְׁמַע
主に	わたしが–呼ぶ–とき	聞いてくださる
H0413	H7121	H8085

しかしあなたがたは知るがよい、主は神を敬う人をご自分のために聖別されたことを。主はわたしが呼ばわる時におききくださる。

4

עַל־	בְּלִבַבְכֶם	אִמְרוּ	תֶּחֱטָאוּ	וְאַל־	רִגְזוּ	
～の–上で	心の–中で–あなたがたの	語れ	罪を–犯すな	しかし–～ない	おののけ	
H3824		H0559	H2398	H0408	H7264	

סֶלָה׃	וְדֹמּוּ	מִשְׁכַּבְכֶם	
セラ	そして–静まれ	床の–上で–あなたがたの	
H5542		H4904	

あなたがたは怒っても、罪を犯してはならない。床の上で静かに自分の心に語りなさい。[セラ

5

יְהוָה׃	אֶל־	וּבִטְחוּ	צֶדֶק	זִבְחֵי־	זִבְחוּ
主に	～に	そして–信頼せよ	義の	正しき–いけにえを	ささげよ
H3068	H0413	H0982	H6664	H2077	H2076

義のいけにえをささげて主に寄り頼みなさい。

6

עָלֵינוּ	נְסֵה־	טוֹב	יַרְאֵנוּ	מִי־	אֹמְרִים׀	רַבִּים
私たちの–上に	掛けて–ください	良き–ものを	見せてくれるのか	誰が	言っている	多くの–者が
	H5375		H7200	H4310	H0559	

יְהוָה׃	פָּנֶיךָ	אוֹר
主よ	御顔の–光を	光を
H3068	H6440	H0216

多くの人は言う、「どうか、わたしたちに良い事が見られるように。主よ、どうか、み顔の光をわたしたちの上に照されるように」と。

7

וְתִירוֹשָׁם	דְּגָנָם	מֵעֵת	בְּלִבִּי	שִׂמְחָה	נָתַתָּה	
また–新しき–酒が	彼らの–穀物と	～より–大きい–時の	わが–心に	喜びを	与えてくださった	
H8492	H1715	H6256		H8057	H5414	

רָבּוּ׃
豊かに–なった
H7231

あなたがわたしの心にお与えになった喜びは、穀物と、ぶどう酒の豊かな時の喜びにまさるものでした。

8 בְּשָׁלוֹם יַחְדָּו֮ אֶשְׁכְּבָה וְאִישָׁן כִּי־ אַתָּה יְהוָה לְבָדָד
平安の–うちに 共に 横たわり そして–眠る なぜなら あなたただけが 主よ ただ–一人でも
H7965 H3162 H7901 H3462 H3588 H3068 H0910

לָבֶטַח תּוֹשִׁיבֵנִי׃
安全に 住まわせてくださる
H0983 H3427

わたしは安らかに伏し、また眠ります。主よ、わたしを安らかにおらせてくださるのは、ただあなただけです。

Chapter 5

1 לַמְנַצֵּחַ֮ אֶל־ הַנְּחִילוֹת֒ מִזְמוֹר֙ לְדָוִ֔ד׃ אֲמָרַי֥ הַאֲזִינָ֑ה
指揮者の–ために 笛に 賛歌 ダビデの わが–言葉を 耳を–傾けてください
H5329 H5155 H4210 H1732 H0561 H0238

יְהוָ֥ה בִּינָ֗ה הַגִּיגִֽי׃
主よ 惟ってください わが–つぶやきを
H3068 H0995 H1901

聖歌隊の指揮者によって笛にあわせてうたわせたダビデの歌 主よ、わたしの言葉に耳を傾け、わたしの嘆きに、み心をとめてください。

2 הַקְשִׁיבָה֮ לְקוֹל֒ שַׁוְּעִ֣י מַלְכִּ֣י וֵאלֹהָ֑י כִּ֥י־ אֵ֝לֶ֗יךָ אֶתְפַּלָּֽל׃
耳を–傾けてください ～の–声に わが–叫びの わが–王よ また–わが–神よ なぜなら あなたに 祈るから
H7181 H7773 H4428 H0430 H3588 H0413 H6419

わが王、わが神よ、わたしの叫びの声をお聞きください。わたしはあなたに祈っています。

3 יְהוָ֤ה בֹּ֭קֶר קוֹלִ֣י תִּשְׁמַ֑ע בֹּ֥קֶר אֶֽעֱרָךְ־ לָ֝ךְ֗ וְאֲצַפֶּֽה׃
主よ 朝に わが–声を 聞いてください 朝に 整える あなたの–ために そして–待ち–望む
H3068 H1242 H8085 H1242 H6822

主よ、朝ごとにあなたはわたしの声を聞かれます。わたしは朝ごとにあなたのためにいけにえを備えて待ち望みます。

4 כִּ֤י לֹ֣א אֵ֭ל חָפֵ֣ץ רֶ֑שַׁע וְרַ֥ע לֹא־ יְגֻרְךָ֥׃
なぜなら ～ない 神では–ない 喜ぶ 悪を あなたは ～ない 宿ることが–できない 悪は
H3588 H3808 H0410 H2655 H7562 H0859 H3808 H7451

あなたは悪しき事を喜ばれる神ではない。悪人はあなたのもとに身を寄せることはできない。

5 לֹא־ יִתְיַצְּב֣וּ הוֹלְלִ֣ים לְנֶ֭גֶד עֵינֶ֑יךָ שָׂ֝נֵ֗אתָ כָּל־ פֹּ֣עֲלֵי אָֽוֶן׃
～ない 立つことが–できない 高慢な–者は ～の–前に あなたの–目の–前に 憎まれる すべての 不法を–行う–者を 不法の
H3808 H3320 H1984 H5048 H3605 H0205 H6466

高ぶる者はあなたの目の前に立つことはできない。あなたはすべて悪を行う者を憎まれる。

6

וְתָעֵב	וּמִרְמָה	דָּמִים	אִישׁ־	כָּזָב	דֹּבְרֵי	תְּאַבֵּד
忌み-嫌われる	また-欺く-者を	血の	血を-流す-者と	偽りの	偽りを-語る-者を	滅ぼされる
H8581	H4820	H1818	H0376	H3577	H1696	H0006

יְהוָה׃
主は
H3068

あなたは偽りを言う者を滅ぼされる。主は血を流す者と、人をだます者を忌みきらわれる。

7

אֶשְׁתַּחֲוֶה	בֵּיתֶךָ	אָבוֹא	חַסְדְּךָ	בְּרֹב	וַאֲנִי	
ひれ-伏す	あなたの-家に	入る	あなたの-憐れみに-よって	豊かなる	しかし-わたしは	
H7812		H0935		H7230	H0589	

בְיִרְאָתֶךָ׃	קָדְשְׁךָ	הֵיכַל־	אֶל־
畏れを-もって-あなたの	聖なる-あなたの	宮に-向かって-聖なる	～に-向かって
H3374	H6944	H1964	H0413

しかし、わたしはあなたの豊かないつくしみによって、あなたの家に入り、聖なる宮にむかって、かしこみ伏し拝みます。

8

]הושרן	שׁוֹרְרָי	לְמַעַן	בְּצִדְקָתֶךָ	נְחֵנִי	יְהוָה	
	わが-敵の-ために	～の-ために	あなたの-義を-もって	導いてください	主よ	
H3474	H8324	H4616	H6666	H5148	H3068	

דַּרְכְּךָ׃	לְפָנַי	(הַיְשֶׁר
あなたの-道を	わたしの-前に	まっすぐに-してください
H1870	H6440	H3474

主よ、わたしのあだのゆえに、あなたの義をもってわたしを導き、わたしの前にあなたの道をまっすぐにしてください。

9

פָּתוּחַ	קֶבֶר־	הַוּוֹת	קִרְבָּם	נְכוֹנָה	בְּפִיהוּ	אֵין	כִּי
開いた	開いた-墓	滅び	彼らの-内は	確かな-ものは	彼らの-口には	～ない	なぜなら
	H6913	H1942	H7130		H6310	H0369	

יַחֲלִיקוּן׃	לְשׁוֹנָם	גְּרוֹנָם
へつらう	彼らの-舌は	彼らの-のどは
	H3956	H1627

彼らの口には真実がなく、彼らの心には滅びがあり、そののどは開いた墓、その舌はへつらいを言うのです。

10

פִּשְׁעֵיהֶם	בְּרֹב	מֵמֹעֲצוֹתֵיהֶם	יִפְּלוּ	אֱלֹהִים	וְהַאֲשִׁימֵם	
その-背きの-ゆえに	多くの	彼らの-謀り事から	倒れさせてください	神よ	罰してください	
H6588	H7230	H4156	H5307	H0430	H0816	

בָּךְ׃	מָרוּ	כִּי־	הַדִּיחֵמוֹ
あなたに	反逆した	なぜなら	追い-払ってください
	H4784		H5080

神よ、どうか彼らにその罪を負わせ、そのはかりごとによって、みずから倒れさせ、その多くのとがのゆえに彼らを追いだしてください。彼らはあなたにそむいたからです。

11

יְרַנְּנוּ	לְעוֹלָם	בָּךְ	חֹוסֵי	כָּל־	וְיִשְׂמְחוּ	
歌うがよい	とこしえに	あなたに	身を-避ける-者は	すべての	そして-喜ぶがよい	
	H5769		H2620	H3605	H8055	

שְׁמֶךָ׃	אֹהֲבֵי	בָּךְ	וְיַעְלְצוּ	עֲלֵימוֹ	וְתָסֵךְ
御名を-あなたの	愛する-者は	あなたに-あって	そして-喜び-踊る	彼らの-上に	そして-覆ってください
H8034	H0157		H5970		

しかし、すべてあなたに寄り頼む者を喜ばせ、とこしえに喜び呼ばわらせてください。また、み名を愛する者があなたによって喜びを得るように、彼らをお守りください。

רָצ֑וֹן	כַּצִּנָּה	יְהוָ֗ה	צַ֭דִּיק	תְּבָרֵ֣ךְ	אַתָּ֣ה	כִּי־	12
恵みを–もって	盾の–ように	主よ	正しき–者を	祝福される	あなたは	なぜなら	
H7522		H3068	H6662	H1288			

תַּעְטְרֶ֥נּוּ׃
取り–囲んでくださる

主よ、あなたは正しい者を祝福し、盾をもってするように、恵みをもってこれをおおい守られます。

Chapter 6

יְהוָ֑ה	לְדָוִ֥ד׃	מִזְמ֗וֹר	הַשְּׁמִינִ֥ית	עַל־	בִּנְגִינוֹת֮	לַמְנַצֵּ֪חַ	1
主よ	ダビデの	賛歌	第八の–調べで	～の–上に	弦楽器に–合わせて	指揮者の–ために	
H3068	H1732	H4210	H8067		H5058	H5329	

בְּחֲמָתְךָ֣	וְאַל־	תּוֹכִיחֵ֥נִי	בְּאַפְּךָ֣	אַל־	
あなたの–激しき–怒りで	また–～ないでください	戦めないでください	あなたの–怒りで	～ないでください	
H2534	H0408	H3198	H0639	H0408	

תְיַסְּרֵֽנִי׃
罰しないでください
H3256

聖歌隊の指揮者によってシェミニテにあわせ琴をもってうたわせたダビデの歌 主よ、あなたの怒りをもって、わたしを責めず、あなたの激しい怒りをもって、わたしを懲しめないでください。

כִּ֣י	יְהוָ֣ה	רְפָאֵ֑נִי	אֲנִ֥י	אֻמְלַ֗ל	כִּ֣י	יְהוָ֣ה	חָ֭נֵּנִי	2
なぜなら	主よ	癒してください	わたしは	衰え–果てている	なぜなら	主よ	憐れんでください	
	H3068	H7495	H0589	H0536		H3068		

עֲצָמָ֥י׃	נִבְהֲלוּ֮
わが–骨が	おののいている
H6106	H0926

主よ、わたしをあわれんでください。わたしは弱り衰えています。主よ、わたしをいやしてください。わたしの骨は悩み苦しんでいます。

מָתָֽי׃	עַד־	יְהוָ֑ה	)וְאַתָּה(	]ואת[	מְאֹ֣ד	נִבְהֲלָ֥ה	וְנַפְשִׁ֗י	3
いつまで	いつ–まで	主よ	しかし–あなたは		いたく	深く–おののいている	また–わが–魂も	
H4970	H5704	H3068			H3966	H0926	H5315	

わたしの魂もまたいたく悩み苦しんでいます。主よ、あなたはいつまでお怒りになるのですか。

לְמַ֥עַן	הוֹשִׁיעֵ֑נִי	נַפְשִׁ֗י	חַלְּצָ֥ה	יְהוָ֣ה	שׁוּבָ֤ה	4
～の–ゆえに	救ってください	わが–魂を	助け–出してください	主よ	立ち–帰ってください	
H4616	H3467	H5315		H3068	H7725	

חַסְדֶּֽךָ׃
あなたの–憐れみの–ゆえに

主よ、かえりみて、わたしの命をお救いください。あなたのいつくしみにより、わたしをお助けください。

5 כִּי אֵין בַּמָּוֶת זִכְרֶךָ בִּשְׁאוֹל מִי יוֹדֶה־לָּךְ׃
なぜなら ～ない 死の–中には あなたを–覚える–ことは 陰府で 誰が 感謝するでしょうか あなたに
H3034 H4310 H7585 H2143 H4194 H0369

死においては、あなたを覚えるものはなく、陰府においては、だれがあなたをほめたたえることができましょうか。

6 יָגַעְתִּי בְּאַנְחָתִי אַשְׂחֶה בְכָל־לַיְלָה מִטָּתִי בְּדִמְעָתִי עַרְשִׂי אַמְסֶה׃
疲れ–果てた わが–嘆きに 浮かべる 毎–夜ごとに 夜ごとに わが–床を わが–涙で わが–寝台を 湿らせる
H3021 H0585 H7811 H3605 H3915 H4296 H1832 H6210 H4529

わたしは嘆きによって疲れ、夜ごとに涙をもって、わたしのふしどをただよわせ、わたしのしとねをぬらした。

7 עָשְׁשָׁה מִכַּעַס עֵינִי עָתְקָה בְכָל־צוֹרְרָי׃
衰えた 悔しさの–ゆえに わが–目は 弱く–なった すべての–ために わが–敵の–ために
H6244 H6275 H3605

わたしの目は憂いによって衰え、もろもろのあだのゆえに弱くなった。

8 סוּרוּ מִמֶּנִּי כָּל־פֹּעֲלֵי אָוֶן כִּי־שָׁמַע יְהוָה קוֹל בִּכְיִי׃
離れよ わたしから すべての 不法を–行う–者よ 不法の なぜなら 聞かれた 主は 声を わが–泣きの
H5493 H3605 H6466 H0205 H8085 H3068 H1065

すべて悪を行う者よ、わたしを離れ去れ。主はわたしの泣く声を聞かれた。

9 שָׁמַע יְהוָה תְּחִנָּתִי יְהוָה תְּפִלָּתִי יִקָּח׃
聞かれた 主は わが–嘆願を 主は わが–祈りを 受け–入れてくださる
H8085 H3068 H8467 H3068 H8605 H3947

主はわたしの願いを聞かれた。主はわたしの祈をうけられる。

10 וְיֵבֹשׁוּ וְיִבָּהֲלוּ מְאֹד כָּל־אֹיְבָי יָשֻׁבוּ רָגַע׃ יֵבֹשׁוּ
恥を–受けるがよい そして–おののくがよい いたく すべての わが–敵は 立ち–帰るがよい たちまちに 恥を–受けるがよい
H0954 H0926 H3966 H3605 H0341 H7725 H7281 H0954

わたしの敵は恥じて、いたく悩み苦しみ、彼らは退いて、たちどころに恥をうけるであろう。

Chapter 7

1

כּוּשׁ	דִּבְרֵי־	עַל־	לַיהוָה	שָׁר	אֲשֶׁר־	לְדָוִד	שִׁגָּיוֹן
クシュ	言葉に–ついて	～に–ついて	主に	歌った	～ところの	ダビデの	シガヨン
	H1697		H3068	H7891		H1732	H7692

מִכָּל־	הוֹשִׁיעֵנִי	וְחַסֵּיתִי	בְךָ	אֱלֹהַי	יְהוָה	בֶּן־יְמִינִי׃
すべての–～から	救ってください	身を–避けた	あなたに	わが–神よ	主よ	ベニヤミンの–子の
H3605	H3467	H2620		H0430	H3068	H1145

וְהַצִּילֵנִי׃	רֹדְפַי
そして–助け–出してください	追う–者から
H5337	H7291

ベニヤミンびとクシのことについてダビデが主にむかってうたったシガヨンの歌 わが神、主よ、わたしはあなたに寄り頼みます。どうかすべての追い迫る者からわたしを救い、わたしをお助けください。

2

מַצִּיל׃	וְאֵין	פֹּרֵק	נַפְשִׁי	כְּאַרְיֵה	יִטְרָף	פֶּן־
救う–者は	そして–～ない	かみ–砕き	わが–魂を	獅子の–ように	引き–裂く	そうでなければ
H5337	H0369	H6561	H5315		H2963	H6435

さもないと彼らは、ししのように、わたしをかき裂き、助ける者の来ないうちに、引いて行くでしょう。

3

בְּכַפָּי׃	עָוֶל	יֶשׁ־	אִם־	זֹאת	עָשִׂיתִי	אִם־	אֱלֹהַי	יְהוָה
わが–手に	不正が	あるならば	もし	これを	行ったならば	もし	わが–神よ	主よ
H3709		H3426		H2063			H0430	H3068

わが神、主よ、もしわたしがこの事を行ったならば、もしわたしの手によこしまな事があるならば、

4

רֵיקָם׃	צוֹרְרִי	וָאֲחַלְּצָה	רָע	שְׁלוֹמִי	גָּמַלְתִּי	אִם־	
理由なく	わが–敵を	そして–奪ったならば	悪を	平和に–暮らす–者に	報いたならば	もし	
H7387					H1580		

もしわたしの友に悪をもって報いたことがあり、ゆえなく、敵のものを略奪したことがあるならば、

5

חַיַּי	לָאָרֶץ	וְיִרְמֹס	וְיַשֵּׂג	נַפְשִׁי	וְאוֹיֵב	יְרַדֵּף	
わが–命を	地に	そして–踏み–つけるがよい	そして–追い–つくがよい	わが–魂を	敵が	追うがよい	
	H0776	H7429	H5381	H5315	H0341	H7291	

סֶלָה׃	יִשְׁכֹּן	לֶעָפָר	וּכְבוֹדִי
セラ	住まわせるがよい	塵に	また–わが–誉れを
H5542	H7931	H6083	H3519

敵にわたしを追い捕えさせ、わたしの命を地に踏みにじらせ、わたしの魂をちりにゆだねさせてください。[セラ

6

בְּעַבְרוֹת	הֵנָּשֵׂא	בְּאַפֶּךָ	וְיהוָה	קוּמָה	
怒りに–対して–わが–敵の	高く–上げてください	あなたの–怒りを–もって	主よ	立ち–上がってください	
H5678	H5375	H0639	H3068		

צִוִּיתָ׃	מִשְׁפָּט	אֵלַי	וְעוּרָה	צוֹרָרָי
命じてくださった	さばきを	わたしの–ために	そして–目覚めてください	わが–敵の
H6680	H4941	H0413	H5782	

主よ、怒りをもって立ち、わたしの敵の憤りにむかって立ちあがり、わたしのために目をさましてください。あなたはさばきを命じられました。

7

לַמָּרוֹם	וְעָלֶיהָ	תְסוֹבְבֶךָּ	לְאֻמִּים	וַעֲדַת	
高き–所に	そして–その–上に	取り–囲む	諸国の–民の	そして–会衆が–諸国の–民の	
H4791		H5437	H3816	H5712	

שׁוּבָה׃
立ち–帰ってください
H7725

もろもろの民をあなたのまわりにつどわせ、その上なる高みくらにおすわりください。

וּכְתֻמִּי	כְּצִדְקִי	יְהוָה	שָׁפְטֵנִי	עַמִּים	יָדִין	יְהוָה	8
また–わが–誠実に–応じて	わが–義に–応じて	主よ	さばいてください	諸国の–民を	さばかれる	主よ	
H8537	H6664	H3068	H8199		H1777	H3068	

עָלָי׃
わたしの–上に–ある

主はもろもろの民をさばかれます。主よ、わたしの義と、わたしにある誠実とに従って、わたしをさばいてください。

צַדִּיק	וּתְכוֹנֵן	רִשְׁעֵי	וְרַע	נָא	יִגְמָר־	9
正しき–者を	そして–堅く–してください	悪しき–者たちの	悪を	どうか	終わらせてください	
H6662		H7563		H4994	H1584	

צַדִּיק׃	אֱלֹהִים	וּכְלָיוֹת	לִבּוֹת	וּבֹחֵן	
正しき–方	神は	はらわたを	心と	そして–調べる–方	
H6662	H0430	H3629	H3826	H0974	

どうか悪しき者の悪を断ち、正しき者を堅く立たせてください。義なる神よ、あなたは人の心と思いとを調べられます。

לֵב׃	יְשָׁרֵי־	מוֹשִׁיעַ	אֱלֹהִים	עַל־	מָגִנִּי	10
心の	心の–正しき–者を	救う–方	神の–上に	～の–上に	わが–盾は	
	H3477	H3467	H0430		H4043	

わたしを守る盾は神である。神は心の直き者を救われる。

יוֹם׃	בְּכָל־	זֹעֵם	וְאֵל	צַדִּיק	שׁוֹפֵט	אֱלֹהִים	11
日ごとに	毎–日	怒る–方	そして–神は	正しき–方	正しき–さばき–人	神は	
H3117	H3605	H2194	H0410	H6662	H8199	H0430	

神は義なるさばきびと、日ごとに憤りを起される神である。

וְיָכוֹנֵנָהּ׃	דָּרַךְ	קַשְׁתּוֹ	יְלַטָּשׁ	חַרְבּוֹ	יָשׁוּב	לֹא	אִם־	12
そして–準備した	張った	その–弓を	研ぐ	その–剣を	立ち–帰る	～ないならば	もし	
	H1869	H7198	H3913	H2719	H7725	H3808		

もし人が悔い改めないならば、神はそのつるぎをとぎ、その弓を張って構え、

יִפְעָל׃	לְדֹלְקִים	חִצָּיו	מָוֶת	כְּלֵי־	הֵכִין	וְלוֹ	13
作る	燃える–者に–対して	その–矢を	死の	死の–武器を	準備した	そして–彼の–ために	
H6466	H1814	H2671	H4194	H3627			

また死に至らせる武器を備え、その矢を火矢とされる。

שָׁקֶר׃	וְיָלַד	עָמָל	וְהָרָה	אָוֶן	יְחַבֵּל־	הִנֵּה	14
偽りを	そして–産む	悪謀を	そして–孕む	不法を	はらむ–者は	見よ	
H8267	H3205	H5999	H2029	H0205		H2009	

見よ、悪しき者は邪悪をはらみ、害毒をやどし、偽りを生む。

יִפְעָל׃	בְּשַׁחַת	וַיִּפֹּל	וַיַּחְפְּרֵהוּ	כָּרָה	בּוֹר	15
作った	その–穴に	そして–落ちた	そして–深く–掘った	掘った	穴を	
H6466	H7845	H5307	H2658			

彼は穴を掘って、それを深くし、みずから作った穴に陥る。

יֵרֵד׃	חֲמָסוֹ	קָדְקֳדּוֹ	וְעַל	בְּרֹאשׁוֹ	עֲמָלוֹ	יָשׁוּב	16
下る	その–暴力は	その–頭頂の–上に	そして–～の–上に	その–頭の–上に	その–悪謀は	立ち–帰る	
H3381	H2555	H6936			H5999	H7725	

その害毒は自分のかしらに帰り、その強暴は自分のこうべに下る。

17

עֶלְיוֹן׃	יְהוָה	שֵׁם־	וַאֲזַמְּרָה	כְּצִדְקוֹ	יְהוָה	אוֹדֶה
いと–高き–方の	主の	御名を	そして–ほめ–歌う	その–義に–応じて	主に	感謝する
	H3068	H8034	H2167	H6664	H3068	H3034

わたしは主にむかって、その義にふさわしい感謝をささげ、いと高き者なる主の名をほめ歌うであろう。

Chapter 8

1

מָה־	אֲדֹנֵינוּ	יְהוָה׃	לְדָוִד	מִזְמוֹר	הַגִּתִּית	עַל־	לַמְנַצֵּחַ		
なんと	私たちの–主よ	主よ	ダビデの	賛歌	ギッティトに–合わせて	～の–上に	指揮者の–ために		
H4100	H0113	H3068	H1732	H4210	H1665		H5329		
עַל־	הוֹדְךָ	תְּנָה	אֲשֶׁר	הָאָרֶץ	בְּכָל־	שִׁמְךָ	אַדִּיר		
～の–上に	あなたの–栄光を	置かれた	～ところの	地に	すべての–～に	あなたの–御名は	威光–ある		
	H1935	H5414		H0776	H3605	H8034	H0117		
							הַשָּׁמָיִם׃		
							天の–上に		
							H8064		

聖歌隊の指揮者によってギテトにあわせてうたわせたダビデの歌 主、われらの主よ、あなたの名は地にあまねく、いかに尊いことでしょう。あなたの栄光は天の上にあり、

2

צוֹרְרֶיךָ	לְמַעַן	עֹז	יִסַּדְתָּ	וְיֹנְקִים	וְעוֹלְלִים	מִפִּי		
あなたの–敵の–ために	～の–ために	力を	定められた	また–乳飲み–子の	幼子と	口から–幼子の		
	H4616	H5797	H3245	H3243	H5768	H6310		
					וּמִתְנַקֵּם׃	אוֹיֵב	לְהַשְׁבִּית	
					また–復讐する–者を	敵と	黙らせる–ために	
					H5358	H0341		

みどりごと、ちのみごとの口によって、ほめたたえられています。あなたは敵と恨みを晴らす者とを静めるため、あだに備えて、とりでを設けられました。

3

אֲשֶׁר	וְכוֹכָבִים	יָרֵחַ	אֶצְבְּעֹתֶיךָ	מַעֲשֵׂי	שָׁמֶיךָ	אֶרְאֶה	כִּי־	
～ところの	また–星々を	月と	あなたの–指の	御手の–わざを	あなたの–天を	見る–とき	なぜなら	
	H3556	H3394	H0676	H4639	H8064	H7200		
							כּוֹנָנְתָּה׃	
							定められた	

わたしは、あなたの指のわざなる天を見、あなたが設けられた月と星とを見て思います。

4

כִּי	אָדָם	וּבֶן־	תִּזְכְּרֶנּוּ	כִּי־	אֱנוֹשׁ	מָה־	
～というのか	人の	また–人の–子は	覚えてくださるとは	～というのか	人は	何であろう	
	H0120		H2142		H0582	H4100	
						תִּפְקְדֶנּוּ׃	
						顧みてくださるとは	

人は何者なので、これをみ心にとめられるのですか、人の子は何者なので、これを顧みられるのですか。

5

תְּעַטְּרֵהוּ׃	וְהָדָר	וְכָבוֹד	מֵאֱלֹהִים	מְּעַט	וַתְּחַסְּרֵהוּ	
冠を–かぶせられた	また–威光を–もって	そして–栄光と	神よりも	わずかに	わずかに–低くされた	
	H1926	H3519	H0430	H4592	H2637	

ただ少しく人を神よりも低く造って、栄えと誉とをこうむらせ、

רַגְלָיו׃	תַּחַת־	שַׁתָּה	כֹּל	יָדֶיךָ	בְּמַעֲשֵׂי	תַמְשִׁילֵהוּ	6
その–足の	～の–下に–その–足の	置かれた	すべてを	あなたの–手の	御手の–わざを	治めさせられる	
H7272	H8478	H7896	H3605	H3027	H4639	H4910	

これにみ手のわざを治めさせ、よろずの物をその足の下におかれました。

שָׂדָי׃	בַּהֲמוֹת	וְגַם	כֻּלָּם	וַאֲלָפִים	צֹנָה	7
野の	野の–獣も	また–さらに	すべてを	また–牛を	羊と
H0929	H1571	H3605	H0504	H6792	

すべての羊と牛、また野の獣、

יַמִּים׃	אָרְחוֹת	עֹבֵר	הַיָּם	וּדְגֵי	שָׁמַיִם	צִפּוֹר	8
海の	海の–道を	通り–行く–ものも	海の	また–海の–魚と	天の	空の–鳥と	
H3220	H0734		H3220	H1709	H8064	H6833	

空の鳥と海の魚、海路を通うものまでも。

הָאָרֶץ׃	בְּכָל־	שִׁמְךָ	אַדִּיר	מָה־	אֲדֹנֵינוּ	יְהוָה	9
地に	すべての–～に	あなたの–御名は	威光–ある	なんと	私たちの–主よ	主よ	
H0776	H3605	H8034	H0117	H4100	H0113	H3068	

主、われらの主よ、あなたの名は地にあまねく、いかに尊いことでしょう。

Chapter 9

אֲסַפְּרָה	לִבִּי	בְּכָל־	יְהוָה	אוֹדֶה	לְדָוִד׃	מִזְמוֹר	לַבֵּן	עַלְמוּת	לַמְנַצֵּחַ	1
語ります	心–で	すべての	主に	感謝します	ダビデの	歌	ラベンの	アルムテ	指揮者–に	
		H3605	H3068	H3034	H1732	H4210	H4192	H4192	H5329	

נִפְלְאוֹתֶיךָ׃	כָּל־
驚くべき–わざ–を	すべての
H6381	H3605

聖歌隊の指揮者によってムツラベンのしらべにあわせてうたわせたダビデの歌 わたしは心をつくして主に感謝し、あなたのくすしきみわざをことごとく宣べ伝えます。

עֶלְיוֹן׃	שִׁמְךָ	אֲזַמְּרָה	בָּךְ	וְאֶעֶלְצָה	אֶשְׂמְחָה	2
いと高き–方よ	御名–を	ほめ歌います	あなた–に	歓喜します	喜びます	
	H8034	H2167		H5970	H8055	

いと高き者よ、あなたによってわたしは喜びかつ楽しみ、あなたの名をほめ歌います。

מִפָּנֶיךָ׃	וְיֹאבְדוּ	יִכָּשְׁלוּ	אָחוֹר	אוֹיְבַי	בְּשׁוּב־	3
御前–から	滅びます	つまずき	後ろ–に	敵–が	退くとき	
H6440	H0006	H3782	H0268	H0341	H7725	

わたしの敵は退くとき、つまずき倒れてあなたの前に滅びました。

צֶדֶק׃	שׁוֹפֵט	לְכִסֵּא	יָשַׁבְתָּ	וְדִינִי	מִשְׁפָּטִי	עָשִׂיתָ	כִּי־	4
正義–の	さばく–方	王座–に	座られた	訴え–を	裁き–を	行われた	なぜなら	
H6664	H8199	H3678	H3427	H1779	H4941			

あなたがわたしの正しい訴えを助け守られたからです。あなたはみくらに座して、正しいさばきをされました。

וָעֶד׃	לְעוֹלָם	מָחִיתָ	שְׁמָם	רָשָׁע	אָבַדְתָּ	גּוֹיִם	גָּעַרְתָּ	5
とこしえ–まで	永遠–に	消し去った	彼らの–名–を	悪者–を	滅ぼされた	諸国–を	叱られた	
H5703	H5769		H8034	H7563	H0006		H1605	

あなたはもろもろの国民を責め、悪しき者を滅ぼし、永久に彼らの名を消し去られました。

וְהָאוֹיֵב	תַּמּוּ	חֳרָבוֹת	לָנֶצַח	וְעָרִים	נָתַשְׁתָּ	אָבַד	זִכְרָם	הֵמָּה׃
敵–は	尽きた	廃墟–は	永久–に	町々–を	引き抜かれた	滅びた	記憶–は	彼ら–の
H0341	H8552	H2723	H5331		H5428	H0006	H2143	H1992

6

敵は絶えはてて、とこしえに滅び、あなたが滅ぼされたもろもろの町はその記憶さえ消えうせました。

וַיהוָה	לְעוֹלָם	יֵשֵׁב	כּוֹנֵן	לַמִּשְׁפָּט	כִּסְאוֹ׃
しかし–主は	永遠–に	座しておられる	据えられた	さばき–のため	御座–を
H3068	H5769	H3427		H4941	H3678

7

しかし主はとこしえに、み位に座し、さばきのために、みくらを設けられました。

וְהוּא	יִשְׁפֹּט־	תֵּבֵל	בְּצֶדֶק	יָדִין	לְאֻמִּים	בְּמֵישָׁרִים׃
主は	さばかれる	世界–を	義–をもって	裁かれる	諸国–の–民–を	公正–に
H1931	H8199	H8398	H6664	H1777	H3816	H4339

8

主は正義をもって世界をさばき、公平をもってもろもろの民をさばかれます。

וַיְהִי	יְהוָה	מִשְׂגָּב	לַדָּךְ	מִשְׂגָּב	לְעִתּוֹת	בַּצָּרָה׃
主は	主は	砦–と–なる	虐げられた–者–に	砦–と–なる	苦難–の	時–に
H1961	H3068		H1790		H6256	

9

主はしえたげられる者のとりで、なやみの時のとりでです。

וְיִבְטְחוּ	בְךָ	יוֹדְעֵי	שְׁמֶךָ	כִּי	לֹא־	עָזַבְתָּ	דֹרְשֶׁיךָ	יְהוָה׃
信頼する	あなた–に	知る–者–は	御名–を	なぜなら	決して	見捨てない	求める–者–を	主よ
H0982		H3045	H8034		H3808		H1875	H3068

10

み名を知る者はあなたに寄り頼みます。主よ、あなたを尋ね求める者をあなたは捨てられたことがないからです。

זַמְּרוּ	לַיהוָה	יֹשֵׁב	צִיּוֹן	הַגִּידוּ	בָעַמִּים	עֲלִילוֹתָיו׃
ほめ歌え	主–に	住む–方	シオン–に	告げ知らせよ	民–の–中–に	御業–を
H2167	H3068	H3427	H6726	H5046		H5949

11

シオンに住まわれる主にむかってほめうたい、そのみわざをもろもろの民のなかに宣べ伝えよ。

כִּי־	דֹרֵשׁ	דָּמִים	אוֹתָם	זָכַר	לֹא־	שָׁכַח	צַעֲקַת	[עניים
なぜなら	求める–方は	血–を	彼ら–を	覚えておられる	決して	忘れない	叫び–を	貧しい
	H1875	H1818	H0853	H2142	H3808	H7911	H6818	H6041

(עֲנָוִים׃)
者たち–の
H6035

12

血を流す者にあだを報いられる主は彼らを心にとめ、苦しむ者の叫びをお忘れにならないからです。

חָנֵּנִי	יְהוָה	רְאֵה	עָנְיִי	מִשֹּׂנְאָי	מְרוֹמְמִי
あわれんでください	主よ	見てください	苦しみ–を	憎む–者–から–の	引き上げてくださる–方よ
	H3068	H7200	H6040	H8130	

13

מִשַּׁעֲרֵי	מָוֶת׃
死–の	門–から
H8179	H4194

主よ、わたしをあわれんでください。死の門からわたしを引きあげられる主よ、あだする者のわたしを悩ますのをみそなわしてください。

לְמַעַן	אֲסַפְּרָה	כָּל־	תְּהִלָּתֶיךָ	בְּשַׁעֲרֵי	בַּת־	צִיּוֹן	אָגִילָה	בִישׁוּעָתֶךָ׃
語り告げるため	語ります	すべての	賛美–を	門–で	娘–の	シオン–の	喜びます	救い–に
H4616		H3605	H8416	H8179	H1323	H6726	H1523	H3444

14

そうすれば、わたしはあなたのすべての誉を述べ、シオンの娘の門で、あなたの救を喜ぶことができましょう。

15 טָבְעוּ בְשַׁחַת עָשׂוּ בְּרֶשֶׁת־זוּ טָמָנוּ נִלְכְּדָה בְּרֶגֶל־זוּ׃
沈んだ 穴-に 造った 網-に 彼ら-が 隠した 捕らえられた 足-が
H2883 H7845 H6213 H7568 H2098 H2934 H3920 H7272

もろもろの国民は自分の作った穴に陥り、隠し設けた網に自分の足を捕えられる。

16 וְנוֹדַע יְהוָה מִשְׁפָּט בְּפֹעַל כַּפָּיו הִגָּיוֹן סֶלָה׃
知られた 主は さばき-を 手-の わざ-で 黙想 セラ
H3045 H3068 H4941 H6467 H3709 H1902 H5542

主はみずからを知らせ、さばきを行われた。悪しき者は自分の手で作ったわなに捕えられる。[ヒガヨン、セラ

17 יָשׁוּבוּ רְשָׁעִים לִשְׁאוֹלָה כָּל־גּוֹיִם שְׁכֵחֵי אֱלֹהִים׃
帰る 悪者-は よみ-に すべての 諸国-は 忘れる-者-たち 神-を
H7725 H7563 H7585 H3605 H1471 H7913 H0430

悪しき者、また神を忘れるもろもろの国民は陰府へ去って行く。

18 כִּי לֹא לָנֶצַח יִשְׁכַּח אֶבְיוֹן תִּקְוַת [ענוים] (עֲנִיִּים) תֹּאבֵד׃
なぜなら 決して 永遠-に 忘れられない 貧しい-者-は 望み-は 苦しむ 者たち-の 失われない
H3808 H5331 H7911 H34 H8615 H6035 H6041 H6 H0006

לָעַד׃
永久-に
H5703

貧しい者は常に忘れられるのではない。苦しむ者の望みはとこしえに滅びるのではない。

19 קוּמָה יְהוָה אַל־יָעֹז אֱנוֹשׁ יִשָּׁפְטוּ גּוֹיִם עַל־פָּנֶיךָ׃
立ち上がってください 主よ 決して 勝たせるな 人-を さばかれよ 諸国-は 御前-で —
H6965 H3068 H408 H5810 H582 H8199 H1471 H6440

主よ、立ちあがってください。人に勝利を得させず、もろもろの国民に、み前でさばきを受けさせてください。

20 שִׁיתָה יְהוָה מוֹרָה לָהֶם יֵדְעוּ גּוֹיִם אֱנוֹשׁ הֵמָּה סֶלָה׃
置いてください 主よ 恐れ-を 彼ら-に 知らせてください 諸国-に 人間 にすぎないと セラ
H7896 H3068 H4172 H1992 H3045 H1471 H582 H1992 H5542

主よ、彼らに恐れを起させ、もろもろの国民に自分がただ、人であることを知らせてください。[セラ

Chapter 10

1 לָמָּה יְהוָה תַּעֲמֹד בְּרָחוֹק תַּעְלִים לְעִתּוֹת בַּצָּרָה׃
なぜ 主よ 立っておられるのですか 遠く-に 隠されるのですか 苦難-の 時-に
H4100 H3068 H5975 H7350 H5956 H6256 H6256

主よ、なにゆえ遠く離れて立たれるのですか。なにゆえ悩みの時に身を隠されるのですか。

2 בִּגְאַוַּת רָשָׁע יִדְלַק עָנִי בְּמִזְמֹּות זוּ חָשָׁבוּ׃
高慢-で 悪者-は 追い立てる 貧しい-者-を 企み-に 彼ら-が 考えた
H1346 H7563 H1814 H6041 H4209 H2098 H2803

悪しき者は高ぶって貧しい者を激しく責めます。どうぞ彼らがその企てたはかりごとにみずから捕えられますように。

3 כִּי־הִלֵּל רָשָׁע עַל־תַּאֲוַת נַפְשׁוֹ וּבֹצֵעַ בֵּרַךְ נִאֵץ יְהוָה׃
なぜなら 誇る 悪者-は -の 欲望-で 魂-の 貪欲-な-者-は 祝福-し 侮る 主-を
H3588 H1984 H7563 H5921 H8378 H5315 H1214 H1288 H5006 H3068

悪しき者は自分の心の願いを誇り、むさぼる者は主をのろい、かつ捨てる。

רָשָׁע	בִּגְבַהּ	אַפּוֹ	בַּל־	יִדְרֹשׁ	אֵין	אֱלֹהִים	כָּל־	מְזִמֹּתָיו׃	4
悪者–は	高慢–で	鼻–の	決して	尋ねない	いない	神–は	すべての	企み–に	
H7563	H1363	H0639	H1077	H1875	H0369	H0430	H3605	H4209	

悪しき者は誇り顔をして、神を求めない。その思いに、すべて「神はない」という。

יָחִילוּ	[דרכו	ו()דְרָכָיו	בְּכָל־	עֵת	מָרוֹם	מִשְׁפָּטֶיךָ	מִנֶּגְדּוֹ	כָּל־	צוֹרְרָיו	5
栄える	道–は	—	すべての	時–に	高く	裁き–は	彼–から–遠い	すべての	敵–に	
	H1870	H1870	H3605	H6256	H4791	H4941	H5048	H3605		

יָפִיחַ	בָּהֶם׃
吹きかける	彼ら–に
H6315	

彼の道は常に栄え、あなたのさばきは彼を離れて高く、彼はそのすべてのあだを口先で吹く。

אָמַר	בְּלִבּוֹ	בַּל־	אֶמּוֹט	לְדֹר	וָדֹר	אֲשֶׁר	לֹא־	בְּרָע׃	6
言った	心–の–中–で	決して	揺るがない	代–から	代–へ	私–は	決して	災い–に–あわない	
H0559		H1077	H4131	H1755	H1755		H3808		

彼は心の内に言う、「わたしは動かされることはなく、世々わざわいにあうことがない」と。

אָלָה	פִּיהוּ	מָלְאָה	וּמִרְמוֹת	תָּחַת	וָתֶךְ	לְשׁוֹנוֹ	עָמָל	וָאָוֶן׃	7
呪い–で	口–は	満ちている	偽り–と	舌–の	欺き–で	下–に	害悪–と	悪–がある	
H0423	H6310	H4390	H4820	H8478	H8496	H3956	H5999	H0205	

その口はのろいと、欺きと、しえたげとに満ち、その舌の下には害毒と不正とがある。

וְשָׁב	בְּמַאְרַב	חַצְרֵים	בְּמִסְתָּרִים	יַהֲרֹג	נָקִי	עֵינָיו	לַחֶלְכָה	יִצְפֹּנוּ׃	8
座る	待ち伏せ–に	村々–の	隠れ場所–で	殺す	罪なき–者–を	目–は	哀れな–者–を	窺い見る	
H3427	H3993	H2691	H4565	H2026	H5355	H5869	H2489	H6845	

彼は村里の隠れ場におり、忍びやかな所で罪のない者を殺す。その目は寄るべなき者をうかがい、

יֶאֱרֹב	וּבַמִּסְתָּר	כְּאַרְיֵה	בְּסֻכָּה	יֶאֱרֹב	לַחֲטֹף	עָנִי	יַחְטֹף		9
潜む	隠れ場–で	獅子–のように	茂み–に	待ち伏せる	捕らえる–ため	貧しい–者–を	捕らえる		
H0693	H4565		H5520	H0693	H2414	H6041	H2414		

בְּרִשְׁתּוֹ׃	בְּמָשְׁכוֹ	עָנִי
網–に	引いて	貧しい–者–を
H7568	H4900	H6041

隠れ場にひそむししのように、ひそかに待ち伏せする。彼は貧しい者を捕えようと待ち伏せし、貧しい者を網にひきいれて捕える。

כָּאִים׃()	חֵיל()	[חלכאים	בַּעֲצוּמָיו	וְנָפַל	יָשַׁח	יִדְכֶּה()	[ודכה	10
者たち–は	—	哀れな	力強い–者–に	倒れる	かがむ	—	打ち砕かれ	
H3512	H2426	H2489	H6099	H5307	H7817	H1794	H1794	

寄るべなき者は彼の力によって打ちくじかれ、衰え、倒れる。

אָמַר	בְּלִבּוֹ	שָׁכַח	אֵל	הִסְתִּיר	פָּנָיו	בַּל־	רָאָה	לָנֶצַח׃	11
言った	心–の–中–で	忘れた	神–は	隠された	顔–を	決して	見ない	永遠–に	
H0559		H7911	H0410	H5641	H6440	H1077	H7200	H5331	

彼は心のうちに言う、「神は忘れた、神はその顔を隠した、神は絶えて見ることはなかろう」と。

12 קוּמָה יְהוָה אֵל נְשָׂא יָדְךָ אַל־תִּשְׁכַּח]עניים[
立ち上がってください 主よ 神よ 上げてください 御手–を 決して 忘れないでください 貧しい
H6035 H3068 H0410 H5375 H3027 H0408 H7911 H6041

):עֲנָוִים(
者たち–を
H6035

主よ、立ちあがってください。神よ、み手をあげてください。苦しむ者を忘れないでください。

13 עַל־ מֶה נִאַץ רָשָׁע אֱלֹהִים אָמַר בְּלִבּוֹ לֹא תִדְרֹשׁ׃
なぜ — 侮る 悪者–は 神–を 言った 心–の–中–で 決して 追及しない–と
H4100 H5006 H7563 H0430 H0559 H3808 H1875

なにゆえ、悪しき者は神を侮り、心のうちに「あなたはとがめることをしない」と言うのですか。

14 רָאִתָּה כִּי־ אַתָּה עָמָל וְכַעַס תַּבִּיט לָתֵת בְּיָדֶךָ
見ておられる まことに あなた–は 害悪–と 苦痛–を 見つめておられる 報いる–ため 御手–で
H7200 H3588 H0859 H5999 H3708 H5027 H5414 H3027

עֹזֵר׃ הָיִיתָ אַתָּה יָתוֹם חֵלְכָה יַעֲזֹב עָלֶיךָ
助け–手 なっておられる あなた–は 孤児–の 哀れな–者–は 委ねる あなた–に
H5826 H1961 H0859 H3490 H2489 H5800 H0413

あなたはみそなわし、悩みと苦しみとを見て、それをみ手に取られます。寄るべなき者はあなたに身をゆだねるのです。あなたはいつもみなしごを助けられました。

15 שְׁבֹר זְרוֹעַ רָשָׁע וְרָע תִּדְרוֹשׁ־ רִשְׁעוֹ בַל־
砕いてください 腕–を 悪者–の 邪悪–な–者–の 追及してください 悪–を 決して
H7665 H2220 H7563 H7451 H1875 H7562 H1077

תִּמְצָא׃
見つからない–まで
H4672

悪しき者と悪を行う者の腕を折り、その悪を一つも残さないまでに探り出してください。

16 יְהוָה מַלְכּוֹ עוֹלָם וָעֶד אָבְדוּ גּוֹיִם מֵאַרְצוֹ׃
主は 王 永遠–の とこしえ–の 滅びた 諸国–は 御地–から
H3068 H4428 H5769 H5703 H0006 H1471 H0776

主はとこしえに王でいらせられる。もろもろの国民は滅びて主の国から跡を断つでしょう。

17 תַּאֲוַת עֲנָוִים שָׁמַעְתָּ יְהוָה תָּכִין לִבָּם תַּקְשִׁיב אָזְנֶךָ׃
願い–を へりくだる–者–の 聞かれた 主よ 確かにされる 心–を 耳–を–傾ける 御耳–を
H8378 H6035 H8085 H3068 H3559 H3820 H7181 H0241

主よ、あなたは柔和な者の願いを聞き、その心を強くし、耳を傾けて、

18 לִשְׁפֹּט יָתוֹם וְדַךְ לְבַל־ יוֹסִיף עוֹד יַעֲרִיץ אֱנוֹשׁ
さばく–ため 孤児–と 虐げられた–者–を もはや 続けない 再び おびえさせる–こと–を 人–が
H8199 H3490 H1790 H1077 H3254 H5750 H6206 H0582

מִן־ הָאָרֶץ׃
–の 地–から
H0776

みなしごと、しえたげられる者とのためにさばきを行われます。地に属する人は再び人を脅かすことはないでしょう。

Chapter 11

1 לַמְנַצֵּחַ לְדָוִד בַּיהוָה חָסִיתִי אֵיךְ תֹּאמְרוּ לְנַפְשִׁי
指揮者に ダビデの 主に 私は-身を-寄せた どうして あなたがたは-言うのか 私の-魂に
H5329 H1732 H3068 H2620 H0559 H5315

נוּדִי( ]נודו[הַרְכֶּם צִפּוֹר׃
逃げよ 逃げよ あなたがたの-山へ 鳥のように
H5110 H5110 H2022 H6833

聖歌隊の指揮者によってうたわせたダビデの歌 わたしは主に寄り頼む。なにゆえ、あなたがたはわたしにむかって言うのか、「鳥のように山にのがれよ。

2 כִּי הִנֵּה הָרְשָׁעִים יִדְרְכוּן קֶשֶׁת כּוֹנְנוּ חִצָּם עַל־יֶתֶר
なぜなら 見よ 悪しき者たちが 弓を-引き 弓を 彼らは-構えた 矢を ～の-上に 弦に
H3588 H2009 H7563 H1869 H7198 H3559 H2671 H5978 H3499

לִירוֹת בְּמוֹ־אֹפֶל לְיִשְׁרֵי־לֵב׃
射ようと ～の-中で 闇の 心の-正しい者たちを 心の
H3384 H1119 H0652 H3477 H3820

見よ、悪しき者は、暗やみで、心の直き者を射ようと弓を張り、弦に矢をつがえている。

3 כִּי הַשָּׁתוֹת יֻהֲרֵסוּן צַדִּיק מַה־פָּעָל׃
もし 土台が 壊されるなら 正しい者は 何を なし得ようか
H3588 H8356 H2040 H6662 H4100 H6466

基が取りこわされるならば、正しい者は何をなし得ようか」と。

4 יְהוָה בְּהֵיכַל קָדְשׁוֹ יְהוָה בַּשָּׁמַיִם כִּסְאוֹ עֵינָיו יֶחֱזוּ עַפְעַפָּיו
主は 聖なる-宮に ご自分の 主は 天に その-御座が-ある その-目は 見通し その-まぶたは
H3068 H1964 H6944 H3068 H8064 H3678 H5869 H2372 H6079

יִבְחֲנוּ בְּנֵי אָדָם׃
試みる 人の 子らを
H0974 H1121 H0120

主はその聖なる宮にいまし、主のみくらは天にあり、その目は人の子らをみそなわし、そのまぶたは人の子らを調べられる。

5 יְהוָה צַדִּיק יִבְחָן וְרָשָׁע וְאֹהֵב חָמָס שָׂנְאָה נַפְשׁוֹ׃
主は 正しい者を 試みられる しかし-悪しき者と 暴虐を-愛する者を 暴虐を 憎まれる その-魂は
H3068 H6662 H0974 H7563 H0157 H2555 H8130 H5315

主は正しき者をも、悪しき者をも調べ、そのみ心は乱暴を好む者を憎まれる。

6 יַמְטֵר עַל־רְשָׁעִים פַּחִים אֵשׁ וְגָפְרִית וְרוּחַ זִלְעָפוֹת מְנָת
降らせる ～の-上に 悪しき者たちに 罠を 火と 硫黄と 燃える-風を 激しい 彼らの-杯の
H4305 H5921 H7563 H6341 H0784 H1614 H7307 H2152 H4521

כּוֹסָם׃
分として

主は悪しき者の上に炭火と硫黄とを降らせられる。燃える風は彼らがその杯にうくべきものである。

7 כִּי־צַדִּיק יְהוָה צְדָקוֹת אָהֵב יָשָׁר יֶחֱזוּ פָנִימוֹ׃
まことに 正しい 主は 正義を 愛される 直ぐな者は 仰ぎ見る 御顔を
H3588 H6662 H3068 H6666 H0157 H3477 H2372 H6440

主は正しくいまして、正しい事を愛されるからである。直き者は主のみ顔を仰ぎ見るであろう。

Chapter 12

נְצַח	כִּי־	יְהוָה	הוֹשִׁיעָה	לְדָוִד׃	מִזְמוֹר	הַשְּׁמִינִית	עַל־	לַמְנַצֵּחַ	1
尽きた	なぜなら	主よ	救ってください	ダビデの	詩篇	第八篇の	～の-上に	指揮者に	
H1584		H3068	H3467	H1732	H4210	H8067		H5329	

אָדָם׃	מִבְּנֵי	אֱמוּנִים	פָּסוּ	כִּי־	חָסִיד
人の	人の-子らの-中から	忠実な者たちが	消え去った	まことに	敬虔な者が
H0120		H0539	H6461		H2623

聖歌隊の指揮者によってシェミニテにあわせてうたわせたダビデの歌 主よ、お助けください。神を敬う人は絶え、忠信な者は人の子らのなかから消えうせました。

וְלֵב	בְּלֵב	חֲלָקוֹת	שִׂפַת	רֵעֵהוּ	אֶת־	אִישׁ	יְדַבְּרוּ	וְשָׁוְא	2
二心の	二心の-心で	滑らかな	へつらいの-唇で	隣人に	～と	各々が	話す	空しいことを	
			H8193	H7453	H0854	H0376	H1696	H7723	

יְדַבֵּרוּ׃
彼らは-話す
H1696

人はみなその隣り人に偽りを語り、へつらいのくちびると、ふたごころとをもって語る。

מְדַבֶּרֶת	לָשׁוֹן	חֲלָקוֹת	שִׂפְתֵי	כָּל־	יְהוָה	יַכְרֵת	3
語る	大きなことを-語る-舌を	へつらいの	滑らかな-唇を	すべての	主が	断ち切られるように	
H1696	H3956		H8193	H3605	H3068	H3772	

גְּדֹלוֹת׃
大きなことを

主はすべてのへつらいのくちびると、大きな事を語る舌とを断たれるように。

מִי	אֲדֹנֵינוּ	שְׂפָתֵינוּ	נִגְבִּיר	לְלְשֹׁנֵנוּ	וְאָמְרוּ	אֲשֶׁר	4
誰が	私たちの-ものだ	私たちの-唇は	打ち勝とう	私たちの-舌で	言った	彼らは-言った	
H4310	H0854	H8193	H1396	H3956	H0559		

לָנוּ׃	אֲדוֹן
私たちの	主人で-あろうか
	H0113

彼らは言う、「わたしたちは舌をもって勝を得よう、わたしたちのくちびるはわたしたちのものだ、だれがわたしたちの主人であるか」と。

אָקוּם	עַתָּה	אֶבְיוֹנִים	מֵאַנְקַת	עֲנִיִּים	מְשֹׁד	5
私は-立ち上がる	今	乏しい者たちの	うめきの-ゆえに	貧しい者たちの	蹂みにじられる-ゆえに	
	H6258	H0034	H0603	H6041	H7701	

לוֹ׃	יָפִיחַ	בְּיֶשַׁע	אָשִׁית	יְהוָה	יֹאמַר
彼のために	慕う者を	安全の-中に	置く	主は	言われる
	H6315	H3468	H7896	H3068	H0559

主は言われる、「貧しい者がかすめられ、乏しい者が嘆くゆえに、わたしはいま立ちあがって、彼らをその慕い求める安全な所に置こう」と。

6
אִמְרוֹת יְהוָה אִמָּרוֹת טְהוֹרוֹת כֶּסֶף צָרוּף בַּעֲלִיל לָאָרֶץ
主の 主の–言葉は 純粋な 純粋な–言葉 銀のように 精錬された るつぼの–中で 地の
H3068 H0776
מְזֻקָּק שִׁבְעָתָיִם׃
七度–漱められた 七度
H2212 H7659

主のことばは清き言葉である。地に設けた炉で練り、七たびきよめた銀のようである。

7
אַתָּה־ יְהוָה תִּשְׁמְרֵם תִּצְּרֶנּוּ ותִּנָּצְרֵנוּ מִן־ הַדּוֹר זוּ לְעוֹלָם׃
あなたが 主よ 彼らを–守られる 私たちを–保たれる ～から この–世代から この 永遠に
H0776 H5769

主よ、われらを保ち、とこしえにこの人々から免れさせてください。

8
כְּרֻם זְלוּת לִבְנֵי אָדָם׃ יִתְהַלָּכוּן רְשָׁעִים סָבִיב
卓さが–高められるとき 卓さが 人の–子らの–中で 人の 歩き回る 悪しき者たちが 四方に
H1980 H7563 H5439

卑しい事が人の子のなかにあがめられている時、悪しき者はいたる所でほしいままに歩いています。

Chapter 13

1
עַד־ נֶצַח תִּשְׁכָּחֵנִי תַּסְתִּיר אֶת־ מִמֶּנִּי׃ פָּנֶיךָ אָנָה יְהוָה עַד־ לַמְנַצֵּחַ לְדָוִד׃ מִזְמוֹר
いつ–まで 永遠に 私を–忘れるのですか 隠されるのですか ～を 私から あなたの–御顔を いつまで 主よ いつまで いつ–まで 指揮者に ダビデの 詩篇
H5704 H5331 H7911 H5641 H0853 H6440 H0575 H3068 H0575 H5704 H5329 H4210

聖歌隊の指揮者によってうたわせたダビデの歌 主よ、いつまでなのですか。とこしえにわたしをお忘れになるのですか。いつまで、み顔をわたしに隠されるのですか。

2
עֵצוֹת אָשִׁית בְּנַפְשִׁי יָגוֹן בְּלִבָּבִי אָנָה עַד־ יָרוּם אֹיְבִי עָלָי׃ יוֹמָם עַד־ אָנָה
思い悩みを 抱かねばならぬのか 私の–魂の–中に 悲しみを 私の–心の–中に いつまで いつ–まで 勝ち誇るのか 私の–敵は 私の–上に 日ごとに いつ–まで いつまで
H6098 H7896 H5315 H3015 H3824 H0575 H5704 H0575 H0341 H3119

いつまで、わたしは魂に痛みを負い、ひねもす心に悲しみをいだかなければならないのですか。いつまで敵はわたしの上にあがめられるのですか。

3
פֶּן־ עֵינַי הָאִירָה אֱלֹהָי יְהוָה עֲנֵנִי הַבִּיטָה
そうでなければ 私の–目を 照らしてください 私の–神よ 主よ 答えてください 見てください
H6435 H0215 H0430 H3068 H5027
אִישָׁן הַמָּוֶת׃
私は–眠る 死の–眠りを
H3462 H4194

わが神、主よ、みそなわして、わたしに答え、わたしの目を明らかにしてください。さもないと、わたしは死の眠りに陥り、

כִּי	יָגִילוּ	צָרַי	יְכָלְתִּיו	אֹיְבַי	יֹאמַר	פֶּן־	4
私が	喜ぶだろう	私の–敵たちが	私に–勝ったと	私の–敵が	言うだろう	そうでなければ	
H1523			H3201	H0341	H0559	H6435	

אֲמֹוט׃	
揺らぐとき	
H4131	

わたしの敵は「わたしは敵に勝った」と言い、わたしのあだは、わたしの動かされることによって喜ぶでしょう。

						5
בִּישׁוּעָתֶךָ	לִבִּי	יָגֶל	בָּטַחְתִּי	בְחַסְדֶּךָ	וַאֲנִי	
あなたの–救いに	私の–心は	喜ぶ	信頼した	あなたの–恵みに	しかし–私は	
H3444		H1523	H0982		H0589	

しかしわたしはあなたのいつくしみに信頼し、わたしの心はあなたの救を喜びます。

					6
עָלָי׃	גָּמַל	כִּי	לַיהוָה	אָשִׁירָה	
私に	豊かに–恩を–与えられた	なぜなら	主に	私は–歌う	
	H1580		H3068	H7891	

主は豊かにわたしをあしらわれたゆえ、わたしは主にむかって歌います。

Chapter 14

								1
הֵשְׁחִיתוּ	אֱלֹהִים	אֵין	בְּלִבּוֹ	נָבָל	אָמַר	לְדָוִד	לַמְנַצֵּחַ	
彼らは–堕落し	神は	いない	心の–中で	愚かな者が	言った	ダビデの	指揮者に	
H7843	H0430	H0369		H5036	H0559	H1732	H5329	

טוֹב׃	עֹשֵׂה־	אֵין	עֲלִילָה	הֶתְעִיבוּ
善を	善を–行う者は	いない	行いを	忌まわしい–ことを–行い
		H0369	H5949	H8581

聖歌隊の指揮者によってうたわせたダビデの歌 愚かな者は心のうちに「神はない」と言う。彼らは腐れはて、憎むべき事をなし、善を行う者はない。

									2
מַשְׂכִּיל	הֲיֵשׁ	לִרְאוֹת	אָדָם	בְּנֵי־	עַל־	הִשְׁקִיף	מִשָּׁמַיִם	יְהוָה	
惟る者が	いるかどうか	見るために	人の	人の–子らを	～の–上に	見下ろされた	天から	主は	
	H3426	H7200	H0120			H8259	H8064	H3068	

דֹּרֵשׁ	אֶת־	אֱלֹהִים׃	
求める者が	～を	神を	
H1875	H0853	H0430	

主は天から人の子らを見おろして、賢い者、神をたずね求める者があるかないかを見られた。

										3
אֶחָד׃	גַּם־	אַיִן	טוֹב	עֹשֵׂה־	אֵין	נֶאֱלָחוּ	יַחְדָּו	סָר	הַכֹּל	
一人も	一人–も	いない	善を	善を–行う者は	いない	腐り果てた	共に	背き	すべてが	
H0259	H1571	H0369			H0369	H0444		H5493	H3605	

彼らはみな迷い、みなひとしく腐れた。善を行う者はない、ひとりもない。

								4
עַמִּי	אָכְלֵי	אָוֶן	פֹּעֲלֵי	כָּל־	יָדְעוּ	הֲלֹא		
私の–民を	食らう者たちが	不法を	不法を–行う者たちは	すべての	知らないのか	知らないのか		
H0398		H0205	H6466	H3605	H3045	H3808		

קָרָאוּ׃	לֹא	יְהוָה	לֶחֶם	אָכְלוּ	
呼ばない	呼ばない	主を	パンのように	食らう	
H7121	H3808	H3068	H3899	H0398	

すべて悪を行う者は悟りがないのか。彼らは物食うようにわが民をくらい、また主を呼ぶことをしない。

צַדִּיק׃	בְּדוֹר	אֱלֹהִים	כִּי־	פָּחַד	פָּחֲדוּ	שָׁם	5
正しい者の	正しい者の-世代の-中に	神は	なぜなら	恐れを	彼らは-恐れた	そこで	
H6662	H1755	H0430		H6343	H6342	H8033	

その時、彼らは大いに恐れた。神は正しい者のやからと共におられるからである。

מַחְסֵיהוּ׃	יְהוָה	כִּי	תָּבִישׁוּ	עֲנִי	עֲצַת־	6
その-避け所である	主が	しかし	辱める	貧しい者の	貧しい者の-計画を	
H4268	H3068		H0954	H6041	H6098	

あなたがたは貧しい者の計画をはずかしめようとする。しかし主は彼の避け所である。

שְׁבוּת	יְהוָה	בְּשׁוּב	יִשְׂרָאֵל	יְשׁוּעַת	מִצִּיּוֹן	יִתֵּן	מִי	7
捕囚の-身を	主が	帰らせるとき	イスラエルの	救いを	ツィオンから	与えるだろうか	誰が	
H7622	H3068	H7725	H3478	H3444	H6726	H5414	H4310	

יִשְׂרָאֵל׃	יִשְׂמַח	יַעֲקֹב	יָגֶל	עַמּוֹ
イスラエルは	楽しむだろう	ヤコブは	喜ぶだろう	その-民の
H3478	H8055	H3290	H1523	

どうか、シオンからイスラエルの救が出るように。主がその民の繁栄を回復されるとき、ヤコブは喜び、イスラエルは楽しむであろう。

Chapter 15

יִשְׁכֹּן	מִי־	בְּאָהֳלֶךָ	יָגוּר	מִי־	יְהוָה	לְדָוִד	מִזְמוֹר	1
住むことが-できるか	誰が	あなたの-幕屋に	宿ることが-できるか	誰が	主よ	ダビデの	詩篇	
H7931	H4310	H0168		H4310	H3068	H1732	H4210	

קָדְשֶׁךָ׃	בְּהַר
聖なる	あなたの-聖なる-山に
H6944	H2022

ダビデの歌 主よ、あなたの幕屋にやどるべき者はだれですか、あなたの聖なる山に住むべき者はだれですか。

בִּלְבָבוֹ׃	אֱמֶת	וְדֹבֵר	צֶדֶק	וּפֹעֵל	תָּמִים	הוֹלֵךְ	2
心の-中で	真実を	語る者	義を	行う者	全き者として	歩む者	
H3824	H0571	H1696	H6664	H6466	H8549	H1980	

直く歩み、義を行い、心から真実を語る者、

לֹא־	וְחֵרְפָּה	רָעָה	לְרֵעֵהוּ	עָשָׂה	לֹא־	לְשֹׁנוֹ	עַל־	וְרָגַל	לֹא־	3
受けない者	そしりを	悪を	隣人に	悪を	行わない者	舌で	～の-上に	中傷を	そしらぬ者	
H3808	H2781		H7453		H3808	H3956		H7270	H3808	

קָרֹבוֹ׃	עַל־	נָשָׂא
親しい者に	～に-対して	受けない
H7138		H5375

その舌をもってそしらず、その友に悪をなさず、隣り人に対するそしりを取りあげず、

נִשְׁבָּע	יְכַבֵּד	יְהוָה	יִרְאֵי	וְאֶת־	נִמְאָס	בְּעֵינָיו	וְנִבְזֶה	4
誓って	尊ぶ者	主を	畏れる者たちを	しかし	嫌う者	その-目に	軍んぜられる者を	
H7650	H3513	H3068	H3373		H0853		H0959	

יָמֵר׃	וְלֹא	לְהָרַע
変えない	変えない者	損に-なっても
H4171	H3808	

その目は神に捨てられた者を卑しめ、主を恐れる者を尊び、誓った事は自分の損害になっても変えることなく、

לֹא	נָקִי	עַל־	וְשֹׁחַד	בְּנֶשֶׁךְ	נָתַן	לֹא־	וְכֹפֶר	5
受けない者	罪なき者に	～に–対して	賄賂を	利息付きで	貸さない	貸さない者	自分の–金を	
H3808			H7810	H5392	H5414	H3808	H3701	

לָעוֹלָם׃	יִמּוֹט	לֹא	אֱלֶּה	עֹשֵׂה־	לָקַח
永遠に	揺るがない	決して	これらを	これらを–行う者は	受けない
H5769	H4131	H3808	H0428		H3947

利息をとって金銭を貸すことなく、まいないを取って罪のない者の不利をはかることをしない人である。これらの事を行う者はとこしえに動かされることはない。

Chapter 16

בָּךְ׃	חָסִיתִי	כִּי־	אֵל	שָׁמְרֵנִי	לְדָוִד	מִכְתָּם	1
あなたに	私は–身を–寄せた	なぜなら	神よ	守ってください	ダビデの	ミクタム	
	H2620		H0410	H8104	H1732	H4387	

ダビデのミクタムの歌 神よ、わたしをお守りください。わたしはあなたに寄り頼みます。

עָלֶיךָ׃	בַל־	טוֹבָתִי	אָתָּה	אֲדֹנָי	לַיהוָה	אָמַרְתְּ	2
あなたの–ほかには	ない	私の–幸いは	あなたこそ	わが–主よ	主に	私は–言った	
	H1077			H0136	H3068	H0559	

わたしは主に言う、「あなたはわたしの主、あなたのほかにわたしの幸はない」と。

חֶפְצִי־	כָל־	וְאַדִּירֵי	הֵמָּה	בָּאָרֶץ	אֲשֶׁר־	לִקְדוֹשִׁים	3
私の–喜びは	すべての	尊い者たちであり	彼らは	地にいる	～の	聖なる者たちに	
H2656	H3605	H0117	H1992	H0776		H6918	

בָם׃
彼らの–中に–ある

地にある聖徒は、すべてわたしの喜ぶすぐれた人々である。

אַסִּיךְ	בַל־	מָהֲרוּ	אַחֵר	עַצְּבוֹתָם	יִרְבּוּ	4
私は–注がない	注がない	急いだ者たちは	他の神の–後を	彼らの–悲しみを	増すだろう	
	H1077		H0312	H6094		

שְׂפָתָי׃	עַל־	שְׁמוֹתָם	אֶת־	אֶשָּׂא	וּבַל־	מִדָּם	נִסְכֵּיהֶם	
私の–唇に	～の–上に	彼らの–名を	～を	口に–しない	また–ない	血の	彼らの–血の–灼祈を	
H8193		H8034	H0853	H5375	H1077	H1818	H5262	

おおよそ、ほかの神を選ぶ者は悲しみを増す。わたしは彼らのささげる血の灌祭を注がず、その名を口にとなえることをしない。

תּוֹמִיךְ	אַתָּה	וְכוֹסִי	חֶלְקִי	מָנָת־	יְהוָה	5
保ってくださる	あなたが	私の–杯である	私の–受け分であり	私の–受ける–分であり	主は	
H8551				H4490	H3068	

גּוֹרָלִי׃
私の–運命を
H1486

主はわたしの嗣業、またわたしの杯にうくべきもの。あなたはわたしの分け前を守られる。

עָלָי׃	שָׁפְרָה	נַחֲלַת	אַף־	בַּנְּעִמִים	לִי	נָפְלוּ־	חֲבָלִים	6
私の–上に–ある	美しく	美しい–嗣ぐわしさが	まことに	點しい–地に	私に	落ちた	測り線が	
	H8231	H5159	H0637			H5307		

測りなわは、わたしのために好ましい所に落ちた。まことにわたしは良い嗣業を得た。

7
יְסָרוּנִי לֵילוֹת אַף־ יְעָצָנִי אֲשֶׁר יְהוָה אֶת־ אֲבָרֵךְ
戒める 夜も まことに 助言してくださる ～のかた 主を ～を 私は-ほめたたえる
H3256 H3915 H0637 H3289 H3068 H0853 H1288
כִלְיוֹתָי׃
私の-内なる-思いが
H3629

わたしにさとしをさずけられる主をほめまつる。夜はまた、わたしの心がわたしを教える。

8
אֶמּוֹט׃ בַּל־ מִימִינִי כִּי תָמִיד לְנֶגְדִּי יְהוָה שִׁוִּיתִי
揺るがない 決して 私の-右に-おられる なぜなら 常に 私の-前に 主を 置いた
H4131 H1077 H3225 H8548 H5048 H3068

わたしは常に主をわたしの前に置く。主がわたしの右にいますゆえ、わたしは動かされることはない。

9
לָבֶטַח׃ יִשְׁכֹּן בְּשָׂרִי אַף־ כְּבוֹדִי וַיָּגֶל לִבִּי שָׂמַח וְלָכֵן
安全に 住む 私の-肉体も まことに 私の-光栄は 楽しむ 私の-心は 喜ぶ それゆえ
H0983 H7931 H1320 H0637 H3519 H1523 H8055

このゆえに、わたしの心は楽しみ、わたしの魂は喜ぶ。わたしの身もまた安らかである。

10
חֲסִידְךָ תִתֶּן לֹא־ לִשְׁאוֹל נַפְשִׁי תַּעֲזֹב לֹא־ כִּי
あなたの-聖なる者が 許さない 許さない よみに 私の-魂を 捨て置かない 捨て置かない なぜなら
H2623 H5414 H3808 H7585 H5315 H3808
לִרְאוֹת׃ שָׁחַת
滅びを 見ることを
H7845 H7200

あなたはわたしを陰府に捨ておかれず、あなたの聖者に墓を見させられないからである。

11
תּוֹדִיעֵנִי אָרַח חַיִּים שָׂבַע שְׂמָחוֹת אֶת־ פָּנֶיךָ נְעִמוֹת
知らせてくださる 命の-道を 命の 満ち溢れる 喜びが 御顔の 楽しみが
H3045 H0734 H2416 H7648 H8057 H0854 H6440
בִּימִינְךָ נֶצַח׃
あなたの-右の-手に 永遠に
H3225 H5331

あなたはいのちの道をわたしに示される。あなたの前には満ちあふれる喜びがあり、あなたの右には、とこしえにもろもろの楽しみがある。

Chapter 17

1
רִנָּתִי הַקְשִׁיבָה צֶדֶק וְיהוָה שִׁמְעָה לְדָוִד תְּפִלָּה
私の-叫びに 耳を-傾けてください 義を 主よ 聞いてください ダビデの 祈り
H7440 H7181 H6664 H3068 H8085 H1732 H8605
מִרְמָה׃ שִׂפְתֵי בְּלֹא תְפִלָּתִי הַאֲזִינָה
偽りの 唇からの 偶りの-ない 私の-祈りに 耳を-傾けてください
H4820 H8193 H3808 H8605 H0238

ダビデの祈 主よ、正しい訴えを聞き、わたしの叫びにみ心をとめ、偽りのないくちびるから出るわたしの祈に耳を傾けてください。

2
מֵישָׁרִים׃ תֶּחֱזֶינָה עֵינֶיךָ יֵצֵא מִשְׁפָּטִי מִלְּפָנֶיךָ
公正を 見られるように あなたの-目が 出るように 私の-裁きが あなたの-御前から
H4339 H2372 H3318 H4941 H6440

どうかわたしについての宣告がみ前から出て、あなたの目が公平をみられるように。

זַמּוֹתִי	תִּמְצָא	בַל־	צְרַפְתָּנִי	לַיְלָה	פָּקַדְתָּ	וּלְבִּי	בָּחַנְתָּ	3
私は–決意した	見いださない	見いださない	精錬された	夜に	訪れられた	私の–心を	試された	
H2161	H4672	H1077	H6884	H3915			H0974	

פִּי׃	יַעֲבָר־	בַּל־
私の–口は	越えないと	決して
H6310		H1077

あなたがわたしの心をためし、夜、わたしに臨み、わたしを試みられても、わたしのうちになんの悪い思いをも見いだされないでしょう。わたしの口も罪を犯しません。

אָרְחוֹת	שָׁמַרְתִּי	אֲנִי	שְׂפָתֶיךָ	בִּדְבַר	אָדָם	לִפְעֻלוֹת	4
暴虐の–道から	守った	私は	あなたの–唇の	あなたの–唇の–言葉により	人の	人の–行いについて	
H0734	H8104	H0589	H8193	H1697	H0120	H6468	

פָּרִיץ׃
暴虐の
H6530

人のおこないの事をいえば、あなたのくちびるの言葉によって、わたしは不法な者の道を避けました。

פְּעָמָי׃	נָמוֹטוּ	בַל־	בְּמַעְגְּלוֹתֶיךָ	אֲשֻׁרַי	תָּמֹךְ	5
私の–足が	よろめかないように	決して	あなたの–道の–中で	私の–歩みを	支えてください	
H6471	H4131	H1077	H4570		H8551	

わたしの歩みはあなたの道に堅く立ち、わたしの足はすべることがなかったのです。

לִי	אָזְנְךָ	הַט־	אֵל	תַּעֲנֵנִי	כִּי־	קְרָאתִיךָ	אַתָּה־	6
私に	あなたの–耳を	傾けてください	神よ	答えてくださる	なぜなら	あなたを–呼んだ	私は	
	H0241	H5186	H0410			H7121	H0589	

אִמְרָתִי׃	שְׁמַע
私の–言葉を	聞いてください
	H8085

神よ、わたしはあなたに呼ばわります。あなたはわたしに答えられます。どうか耳を傾けて、わたしの述べることをお聞きください。

מִמִּתְקוֹמְמִים	חוֹסִים	מוֹשִׁיעַ	חֲסָדֶיךָ	הַפְלֵה	7
立ち向かう者たちから	身を–寄せる者たちを	救うかたよ	あなたの–恵みの–不思議を	示してください	
	H2620	H3467		H6395	

בִּימִינֶךָ׃
あなたの–右の–手で
H3225

寄り頼む者をそのあだから右の手で救われる者よ、あなたのいつくしみを驚くばかりにあらわし、

תַּסְתִּירֵנִי׃	כְּנָפֶיךָ	בְּצֵל	עַיִן	בַּת־	כְּאִישׁוֹן	שָׁמְרֵנִי	8
隠してください	あなたの–翼の	御翼の–陰に	瞳の	目の	瞳のように	守ってください	
H5641	H3671	H6738		H1323	H0380	H8104	

ひとみのようにわたしを守り、みつばさの陰にわたしを隠し、

עָלָי׃	יַקִּיפוּ	בְּנֶפֶשׁ	אֹיְבַי	שֹׁדְדוּנִי	זוּ	רְשָׁעִים	מִפָּנַי	9
私を	取り囲む	命がけで	私の–敵たちが	荒らす者たちから	この	悪しき者たちの	～の–前から	
		H5315	H0341	H7703	H2098	H7563	H6440	

わたしをしえたげる悪しき者から、わたしを囲む恐ろしい敵から、のがれさせてください。

10 חֶלְבָּמוֹ פִּימוֹ דִּבְּרוּ בְּגֵאוּת׃
彼らの–脂肪の–心を 彼らの–口は 語る 高慢を
H2459 H6310 H1696 H1348

彼らはその心を閉じて、あわれむことなく、その口をもって高ぶって語るのです。

11 אֲשֻׁרֵינוּ עַתָּה סבבונו׃ (סְבָבוּנוּ) עֵינֵיהֶם יָשִׁיתוּ לִנְטוֹת בָּאָרֶץ׃
私たちの–歩みを 今 取り囲んだ 取り囲んだ 彼らの–目を 向けた 地に 地に–倒そうと
H6258 H5437 H5437 H7896 H0776 H5186

彼らはわたしを追いつめ、わたしを囲み、わたしを地に投げ倒さんと、その目をそそぎます。

12 דְּמוּתֹנוֹ כְּאַרְיֵה יִכְסֹף לִטְרֹף וְכִכְפִיר יוֹשֵׁב בְּמִסְתָּרִים׃
彼の–姿は 獅子のように 切望する 引き裂くことを 若い–獅子のように 潜む 隠れ場に
H1825 H3700 H2963 H3700 H4565

彼らはかき裂かんと、いらだつししのごとく、隠れた所にひそみ待つ子じしのようです。

13 קוּמָה יְהוָה קַדְּמָה פָּנָיו הַכְרִיעֵהוּ
立ち上がってください 主よ 立ち向かってください 彼の–顔に ひざまずかせてください
H3068 H6923 H6440 H3766

חַרְבֶּךָ׃ מֵרָשָׁע נַפְשִׁי פַּלְטָה
あなたの–剣で 悪しき者から 私の–魂を 救い出してください
H2719 H7563 H5315 H6403

主よ、立ちあがって、彼らに立ちむかい、彼らを倒してください。つるぎをもって悪しき者からわたしのいのちをお救いください。

14 מִמְתִּים יְדֶךָ יְהוָה מִמְתִּים מֵחֶלֶד חֶלְקָם בַּחַיִּים
人々から あなたの–手で 主よ 人々から この–世の 彼らの–受け分は この–世の–命に–ある
H4962 H3027 H3068 H4962 H2465

וְהִנִּיחוּ בָנִים יִשְׂבְּעוּ בִטְנָם תִּמְלָא וּצְפוּנְךָ׃ (וְצָפִינְךָ) לְעוֹלְלֵיהֶם׃ יִתְרָם
そして–残す 子らが 満足する 彼らの–腹が 満たされる あなたの–秘めたもので あなたの–宝で 彼らの–幼子たちに 彼らの–余りを
H3240 H7646 H0990 H4390 H6845 H6840 H5768

主よ、み手をもって人々からわたしをお救いください。すなわち自分の分け前をこの世で受け、あなたの宝をもってその腹を満たされる世の人々からわたしをお救いください。彼らは多くの子に飽き足り、その富を幼な子に残すのです。

15 אֲנִי בְּצֶדֶק אֶחֱזֶה פָּנֶיךָ אֶשְׂבְּעָה בְהָקִיץ תְּמוּנָתֶךָ׃
私は 義の–中で 仰ぎ見る あなたの–御顔を 満足する 目覚めるとき あなたの–御姿で
H0589 H6664 H2372 H6440 H7646 H6974 H8544

しかしわたしは義にあって、み顔を見、目ざめる時、みかたちを見て、満ち足りるでしょう。

Chapter 18

1 ולַמְנַצֵּחַ לְעֶבֶד יְהוָה לְדָוִד אֲשֶׁר דִּבֶּר וּ לַיהוָה אֶת־ דִּבְרֵי הַשִּׁירָה הַזֹּאת
指揮者–に しもべ–の 主–の ダビデ–の (彼–は 語った 主–に 一– 言葉–を 歌–の この
H5329 H5650 H3068 H1732 H1696 H3068 H0853 H1697 H7586 H2063

בְּיוֹם הִצִּיל־ יְהוָה אוֹתוֹ מִכַּף כָּל־ אֹיְבָיו וּמִיַּד שָׁאוּל׃
日–に 救い出された 主–が 彼–を 手–から すべての 敵–の 手–から–も サウル–の）
H3117 H5337 H3068 H0853 H3709 H3605 H0341 H3027 H7586

וַיֹּאמַר אֶרְחָמְךָ יְהוָה חִזְקִי׃
そして–言った 愛します 主–よ わが–力–よ
H0559 H7355 H3068 H2391

聖歌隊の指揮者によってうたわせた主のしもべダビデの歌、すなわち主がもろもろのあだの手とサウルの手から救い出された日にダビデはこの歌の言葉を主にむかって述べて言った わが力なる主よ、わたしはあなたを愛します。

2 וַיהוָה סַלְעִי וּמְצוּדָתִי וּמְפַלְטִי אֵלִי צוּרִי אֶחֱסֶה־ בּוֹ מָגִנִּי
主–は わが–岩 わが–救い主 わが–神 わが–岩 わが–砦 わが–盾 主–に 身–を–避ける わが–盾
H3068 H5553 H6403 H0410 H6697 H4686 H4043 H0935 H2620 H4043

וְקֶרֶן־ יִשְׁעִי מִשְׂגַּבִּי׃
わが–救い–の 角 わが–砦
H3468

主はわが岩、わが城、わたしを救う者、わが神、わが寄り頼む岩、わが盾、わが救の角、わが高きやぐらです。

3 מְהֻלָּל אֶקְרָא יְהוָה וּמִן־ אֹיְבַי אִוָּשֵׁעַ׃
ほむべき 呼び求める 主–を 敵–から 一– 救われる
H1984 H7121 H3068 H0341 H3467

わたしはほめまつるべき主に呼ばわって、わたしの敵から救われるのです。

4 אֲפָפוּנִי חֶבְלֵי־ מָוֶת וְנַחֲלֵי בְלִיָּעַל יְבַעֲתוּנִי׃
取り巻いた 綱–が 死–の 奔流–が 滅び–の おびえさせた
H0661 H2256 H4194 H5158 H1100 H1204

死の綱は、わたしを取り巻き、滅びの大水は、わたしを襲いました。

5 חֶבְלֵי שְׁאוֹל סְבָבוּנִי קִדְּמוּנִי מוֹקְשֵׁי מָוֶת׃
綱–が よみ–の 取り巻いた 迎えた 罠–が 死–の
H2256 H7585 H5437 H6923 H4170 H4194

陰府の綱は、わたしを囲み、死のわなは、わたしに立ちむかいました。

6 בַּצַּר־ לִי וְאֶל־ אֱלֹהַי אֶקְרָא יְהוָה וַיִּשְׁמַע מֵהֵיכָלוֹ קוֹלִי
苦しみ–の 中–で 呼び求めた 主–を わが–神–に 一– 叫んだ 聞かれた 宮–から わが–声–を
H6869 H0996 H7121 H3068 H0413 H0430 H7768 H8085 H1964 H6963

וְשַׁוְעָתִי לְפָנָיו תָּבוֹא בְאָזְנָיו׃
叫び–は 御前–に 届いた 御耳–に
H7775 H6440 H0935 H0241

わたしは悩みのうちに主に呼ばわり、わが神に叫び求めました。主はその宮からわたしの声を聞かれ、主にさけぶわたしの叫びがその耳に達しました。

7 וַתִּגְעַשׁ וַתִּרְעַשׁ הָאָרֶץ וּמוֹסְדֵי הָרִים יִרְגָּזוּ וַיִּתְגָּעֲשׁוּ כִּי־ חָרָה לוֹ׃
揺れ動いた 震えた 地–は 基–が 山々–の 震えた 揺さぶられた なぜなら 怒られた 主–が
H1607 H7493 H0776 H4146 H2022 H7264 H1607 H3588 H2734 H3068

そのとき地は揺れ動き、山々の基は震い動きました。主がお怒りになったからです。

מִמֶּנּוּ׃	בָּעֲרוּ	גֶּחָלִים	תֹּאכֵל	מִפִּיו	וְאֵשׁ־	בְּאַפּוֹ	וְעָשָׁן	עָלָה	8
主–から	燃えた	炭–が	焼き尽くす	口–から	火–が	鼻–から	煙–が	立ち上った	
		H1513	H0398	H6310	H0784	H0639	H6227	H5927	

煙はその鼻から立ちのぼり、火はその口から出て焼きつくし、炭はそれによって燃えあがりました。

רַגְלָיו׃	תָּחַת	וַיַּעֲרָפֶל	וַיֵּרַד	שָׁמַיִם	וַיֵּט		9
足–の	下–に	暗闇–が	降りて来られた	天–を	傾けられた		
H7272	H8478	H6205	H3381	H8064	H5186		

主は天をたれて下られ、暗やみがその足の下にありました。

רוּחַ׃	כַּנְפֵי־	עַל־	וַיֵּדָא	וַיָּעָף	כְּרוּב	עַל־	וַיִּרְכָּב		10
風–の	翼–に	—	舞い降りた	飛ばれた	ケルブ–に	—	乗られた		
H7307	H3671		H1675		H3742		H7392		

主はケルブに乗って飛び、風の翼をもってかけり、

שְׁחָקִים׃	עָבֵי	מַיִם	חֶשְׁכַת־	סֻכָּתוֹ	סְבִיבוֹתָיו	סִתְרוֹ	וַחֹשֶׁךְ	יָשֶׁת	11
雲–を	厚い	水–の	暗い	幕屋–と	周り–に	隠れ場–と	闇–を	置かれた	
H7834	H5645	H4325	H2824	H5521	H5439		H2822	H7896	

やみをおおいとして、自分のまわりに置き、水を含んだ暗い濃き雲をその幕屋とされました。

אֵשׁ׃	וְגַחֲלֵי־	בָּרָד	עָבְרוּ	עָבָיו	נֶגְדּוֹ	מִנֹּגַהּ	12
火–の	炭–と	雹–と	過ぎ去った	雲–は	御前–の	輝き–から	
H0784	H1513	H1259		H5645	H5048	H5051	

そのみ前の輝きから濃き雲を破って、ひょうと燃える炭とが降ってきました。

אֵשׁ׃	וְגַחֲלֵי־	בָּרָד	קֹלוֹ	יִתֵּן	וְעֶלְיוֹן	יְהוָה	וּבַשָּׁמַיִם	וַיַּרְעֵם	13
火–の	炭–と	雹–と	声–を	発せられた	いと–高き–方–は	主–は	天–に	雷鳴–を–鳴らされた	
H0784	H1513	H1259		H5414		H3068	H8064	H7481	

主はまた天に雷をとどろかせ、いと高き者がみ声を出されると、ひょうと燃える炭とが降ってきました。

וַיְהֻמֵּם׃	רָב	וּבְרָקִים	וַיְפִיצֵם	חִצָּיו	וַיְשַׁלַּח	14
混乱させた	多く	稲妻–を	散らされた	矢–を	放たれた	
H2000	H7232			H2671	H7971	

主は矢を放って彼らを散らし、いなずまをひらめかして彼らを打ち敗られました。

רוּחַ	מִנִּשְׁמַת	יְהוָה	מִנַּעֲרָתְךָ	תֵּבֵל	מוֹסְדוֹת	וַיִּגָּלוּ	מַיִם	אֲפִיקֵי	וַיֵּרָאוּ	15
風–の	息吹–で	主–よ	叱責–で	世界–の	基–が	あらわになった	水–の	水底–が	現れた	
H7307	H5397	H3068	H1606	H8398	H4146	H1540	H4325	H0650	H7200	

אַפֶּךָ׃	
鼻–の	
H0639	

主よ、そのとき、あなたのとがめと、あなたの鼻のいぶきとによって、海の底はあらわれ、地の基があらわになったのです。

רַבִּים׃	מִמַּיִם	יְמָשֵׁנִי	יִקָּחֵנִי	מִמְּרוֹם	יִשְׁלַח	16
大いなる	水–から	引き上げられた	取り上げられた	高み–から	伸ばされた	
	H4325	H4871	H3947	H4791	H7971	

主は高い所からみ手を伸べて、わたしを捕え、大水からわたしを引きあげ、

17	יַצִּילֵ֑נִי	מֵאֹיְבִ֥י	עָ֝ז	מִשֹּׂנְאַ֗י	כִּֽי־	אָמְצ֥וּ	מִמֶּֽנִּי׃
	救い出された	敵–から	強い	憎む–者–から	なぜなら	強かった	私–より
	H5337	H0341	H5794	H8130		H0553	

わたしの強い敵と、わたしを憎む者とからわたしを助け出されました。彼らはわたしにまさって強かったからです。

18	יְקַדְּמ֣וּנִי	בְי֣וֹם־	אֵ֭ידִי	וַיְהִי־	יְהוָ֥ה	לְמִשְׁעָ֗ן	לִֽי׃
	立ちはだかった	日–に	災い–の	しかし–なった	主–は	支え–と	私–に
	H6923	H3117	H0343	H1961	H3068		

彼らはわたしの災の日にわたしを襲いました。しかし主はわたしのささえとなられました。

19	וַיּוֹצִיאֵ֥נִי	לַ֝מֶּרְחָ֗ב	יְחַלְּצֵ֥נִי	כִּֽי	חָפֵ֥ץ	בִּֽי׃	
	導き出された	広い–場所–に	助け出された	なぜなら	喜ばれた	私–を	
	H3318	H4800					

主はわたしを広い所につれ出し、わたしを喜ばれるがゆえに、わたしを助けられました。

20	יִגְמְלֵ֥נִי	יְהוָ֑ה	כְּ֝צִדְקִ֗י	כְּבֹ֣ר	יָדַ֣י	יָשִׁ֖יב	לִֽי׃
	報いてくださる	主–は	義–に–従い	清さ–に–応じて	手–の	返してくださる	私–に
	H1580	H3068	H6664	H1252	H3027	H7725	

主はわたしの義にしたがってわたしに報い、わたしの手の清きにしたがってわたしに報いかえされました。

21	כִּֽי־	שָׁמַ֥רְתִּי	דַּרְכֵ֑י	יְהוָ֗ה	וְלֹא־	רָ֭שַׁעְתִּי	מֵאֱלֹהָֽי׃	
	なぜなら	守った	道–を	主–の	逆らわなかった	—	わが–神–に	
		H8104	H1870	H3068	H3808	H7561	H0430	

わたしは主の道を守り、悪意をもって、わが神を離れたことがなかったのです、

22	כִּ֤י	כָל־	מִשְׁפָּטָ֖יו	לְנֶגְדִּ֑י	וְחֻקֹּתָ֥יו	לֹא־	אָסִ֥יר	מֶֽנִּי׃
	なぜなら	すべての	裁き–は	前–に–ある	掟–を	退けなかった	—	私–から
		H3605	H4941	H5048	H2708	H3808	H5493	

そのすべてのおきてはわたしの前にあって、わたしはその定めを捨てたことがなかったのです。

23	וָאֱהִ֣י	תָ֭מִים	עִמּ֑וֹ	וָאֶשְׁתַּמֵּ֥ר	מֵעֲוֹנִֽי׃	
	完全–で–あった	—	主–と–共に	守った	咎–から	
	H1961	H8549		H8104	H5771	

わたしは主の前に欠けたところがなく、自分を守って罪を犯しませんでした。

24	וַיָּ֣שֶׁב־	יְהוָ֣ה	לִ֑י	כְּ֝צִדְקִ֗י	כְּבֹ֣ר	יָדַ֣י	לְנֶ֥גֶד	עֵינָֽיו׃
	返してくださった	主–は	私–に	義–に–応じて	清さ–に–応じて	手–の	前–の	御目–の
	H7725	H3068		H6664	H1252	H3027	H5048	

このゆえに主はわたしの義にしたがい、その目の前にわたしの手の清きにしたがってわたしに報いられました。

25	עִם־	חָסִ֣יד	תִּתְחַסָּ֑ד	עִם־	גִּבֹּ֥ר	תָּ֝מִ֗ים	תִּתַּמָּֽם׃
	忠実–な–者–には	—	忠実–を–示される	全き–者–には	—	—	全き–を–示される
		H2623			H1399	H8549	H8552

あなたはいつくしみある者には、いつくしみある者となり、欠けたところのない者には、欠けたところのない者となり、

26	עִם־	נָבָ֥ר	תִּתָּבָ֑ר	וְעִם־	עִקֵּ֥שׁ	תִּתַּפָּֽל׃
	清い–者–には	—	清さ–を–示される	曲がった–者–には	—	巧み–に–対される
		H1305	H1305		H6141	H6617

清い者には、清い者となり、ひがんだ者には、ひがんだ者となられます。

27 כִּי־ אַתָּה עַם־ עָנִי תוֹשִׁיעַ וְעֵינַיִם רָמוֹת תַּשְׁפִּיל׃
なぜなら あなた–は 民–を 苦しむ 救われる 目–を 高ぶる 低くされる
H3467 H6041 H8213

あなたは苦しんでいる民を救われますが、高ぶる目をひくくされるのです。

28 כִּי־ אַתָּה תָאִיר נֵרִי יְהוָה אֱלֹהַי יַגִּיהַ חָשְׁכִּי׃
なぜなら あなた–は 灯される ともし火–を 主–は わが–神–は 照らされる 闇–を
H0215 H3068 H0430 H5050 H2822

あなたはわたしのともしびをともし、わが神、主はわたしのやみを照されます。

29 כִּי־ בְךָ אָרֻץ גְּדוּד וּבֵאלֹהַי אֲדַלֶּג־ שׁוּר׃
なぜなら あなた–に–よって 走り抜ける 軍勢–を わが–神–に–よって 飛び越える 城壁–を
H7323 H1416 H0430 H1801

まことに、わたしはあなたによって敵軍を打ち破り、わが神によって城壁をとび越えることができます。

30 הָאֵל תָּמִים דַּרְכּוֹ אִמְרַת־ יְהוָה צְרוּפָה מָגֵן הוּא לְכֹל
神–は 完全–で–ある 道–が 仰せ–は 主–の 純粋–で–ある 盾–で–ある 主–は すべての
H0410 H8549 H1870 H3068 H6884 H4043 H1931 H3605

הַחֹסִים בּוֹ׃
身–を–避ける–者–に 主–に
H2620

この神こそ、その道は完全であり、主の言葉は真実です。主はすべて寄り頼む者の盾です。

31 כִּי מִי אֱלוֹהַּ מִבַּלְעֲדֵי יְהוָה וּמִי צוּר זוּלָתִי
なぜなら 誰–が 神–で–あろうか 主–の–ほか–に 一 誰–が 岩–で–あろうか ほか–に
H4310 H0433 H1107 H3068 H4310 H6697 H2108

אֱלֹהֵינוּ׃
われらの–神–の
H0430

主のほかに、だれが神でしょうか。われらの神のほかに、だれが岩でしょうか。

32 הָאֵל הַמְאַזְּרֵנִי חָיִל וַיִּתֵּן תָּמִים דַּרְכִּי׃
神–は 力–で–帯びさせる 力–を 与えられた 完全–な 道–を
H0410 H0247 H2428 H5414 H8549 H1870

神はわたしに力を帯びさせ、わたしの道を安全にされました。

33 מְשַׁוֶּה רַגְלַי כָּאַיָּלוֹת וְעַל בָּמוֹתַי יַעֲמִידֵנִי׃
等しくされる 足–を 鹿–の–ように 一 高い–所–に 立たせてくださる
H7272 H0355 H1116 H5975

神はわたしの足をめじかの足のようにされ、わたしを高い所に安全に立たせ、

34 מְלַמֵּד יָדַי לַמִּלְחָמָה וְנִחֲתָה קֶשֶׁת־ נְחוּשָׁה זְרוֹעֹתָי׃
教えてくださる 手–に 戦い–を 曲げさせる 弓–を 青銅–の 腕–が
H3925 H3027 H4421 H5181 H7198 H5154 H2220

わたしの手を戦いに慣らされたので、わたしの腕は青銅の弓をもひくことができます。

35 וַתִּתֶּן־ לִי מָגֵן יִשְׁעֶךָ וִימִינְךָ תְסָעְדֵנִי וְעַנְוָתְךָ תַרְבֵּנִי׃
与えてくださった 私–に 盾–を 救い–の 右–の–手–は 支えてくださる 謙遜–は 大きくしてくださる
H5414 H4043 H3468 H3225 H5582 H6037

あなたはその救の盾をわたしに与え、あなたの右の手はわたしをささえ、あなたの助けはわたしを大いなる者とされました。

36 תַּרְחִיב צַעֲדִי תַּחְתָּי וְלֹא מָעֲדוּ קַרְסֻלָי׃
広げてくださった 歩み-を 下-に 滑らなかった — くるぶし-は
H7337 H6806 H8478 H3808 H4571 H7166

あなたがわたしの歩む所を広くされたので、わたしの足はすべらなかったのです。

37 אֶרְדְּפָה אוֹיְבַי וְאַשִּׂיגֵם וְלֹא־אָשׁוּב עַד־כַּלּוֹתָם׃
追った 敵-を 追いついた 引き返さなかった — 滅ぼし尽くす-まで —
H7291 H0341 H5381 H3808 H7725 H5704 H3615

わたしは敵を追って、これに追いつき、これを滅ぼしつくすまでは帰らなかったのです。

38 אֶמְחָצֵם וְלֹא־יֻכְלוּ קוּם תַּחַת רַגְלָי׃
打ち砕いた 立てなかった — 起き上がる-ことが 下-に 足-の
H4272 H3808 H3201 H7272 H8478 H5307

わたしが彼らを突き通したので、彼らは立ちあがることができず、わたしの足もとに倒れました。

39 וַתְּאַזְּרֵנִי חַיִל לַמִּלְחָמָה תַּכְרִיעַ קָמַי תַּחְתָּי׃
帯びさせてくださった 力-を 戦い-の-ための 屈服させてくださった 立ち上がる-者-を 下-に
H0247 H2428 H4421 H3766 H8478

あなたは戦いのためにわたしに力を帯びさせ、わたしに立ち向かう者らをわたしのもとに、かがませられました。

40 וְאֹיְבַי נָתָתָּה לִּי עֹרֶף מְשַׂנְאַי וְאַצְמִיתֵם׃
敵-の 与えてくださった 私-に 背-を 憎む-者-を 滅ぼした
H0341 H5414 H6203 H8130 H6789

あなたは敵にその後をわたしに向けさせられたので、わたしは自分を憎む者を滅ぼしました。

41 יְשַׁוְּעוּ וְאֵין־מוֹשִׁיעַ עַל־יְהוָה וְלֹא עָנָם׃
叫んだ しかし-いなかった 救う-者-は 主-に — 答えなかった
H7768 H0369 H3467 H5921 H3068 H3808

彼らは助けを叫び求めたが、救う者はなく、主にむかって叫んだけれども、彼らに答えられなかったのです。

42 וְאֶשְׁחָקֵם כְּעָפָר עַל־פְּנֵי־רוּחַ כְּטִיט חוּצוֹת אַרִיקֵם׃
砕いた 塵-の-ように 前-の 風-の 泥-の-ように 通り-の 注ぎ出した
H7833 H6083 H6440 H7307 H2916 H2351 H7324

わたしは彼らを風の前のちりのように細かに砕き、ちまたの泥のように打ち捨てました。

43 תְּפַלְּטֵנִי מֵרִיבֵי עָם תְּשִׂימֵנִי לְרֹאשׁ גּוֹיִם לֹא־יָדַעְתִּי יַעַבְדוּנִי׃
救い出してくださった 争い-から 民-の 立ててくださった 頭-と 諸国-の 民-で 知らなかった 仕える
H6403 H7379 H5971 H7218 H7895 H1471 H3808 H5647

あなたは民の争いからわたしを救い、わたしをもろもろの国民のかしらとされました。わたしの知らなかった民がわたしに仕えました。

44 לִשְׁמַע אֹזֶן יִשָּׁמְעוּ לִי בְּנֵי־נֵכָר יְכַחֲשׁוּ־לִי׃
聞く-や-いなや 耳-で 従う 私-に 子ら-は 異国-の へつらう 私-に
H8085 H0241 H3584 H5236 H3584

彼らはわたしの事を聞くと、ただちにわたしに従い、異邦の人々はきて、わたしにへつらいました。

בְּנֵי־	נֵכָר	יִבֹּלוּ	וַיַּחְרִגוּ	מִמִּסְגְּרוֹתֵיהֶם׃	45
子ら–は	異国–の	衰える	震え–ながら	砦–から–出てくる	
H5236			H2727	H4526	

異邦の人々は打ちしおれて、その城から震えながら出てきました。

חַי־	יְהוָה	וּבָרוּךְ	צוּרִי	וְיָרוּם	אֱלוֹהֵי	יִשְׁעִי׃	46
生きておられる	主–は	ほむべき–かな	わが–岩–は	崇められよ	神–は	わが–救い–の	
	H3068	H1288	H6697		H0433	H3468	

主は生きておられます。わが岩はほむべきかな。わが救の神はあがむべきかな。

הָאֵל	הַנּוֹתֵן	נְקָמוֹת	לִי	וַיַּדְבֵּר	עַמִּים	תַּחְתָּי׃	47
神–は	与えてくださる	復讐–を	私–に	従わせてくださった	民–を	下–に	
H0410	H5414	H5360		H1696		H8478	

神はわたしにあだを報いさせ、もろもろの民をわたしのもとに従わせ、

חָמָס	מֵאִישׁ	תְּרוֹמְמֵנִי	קָמַי	מִן־	אַף	מֵאֹיְבָי	מְפַלְּטִי	48
人–から	暴虐–の	高めてくださる	立ち上がる–者–の–上に	—	さらに	敵–から	救い出される	
H2555	H0376				H0637	H0341	H6403	

תַּצִּילֵנִי׃
救い出してくださる
H5337

わたしの敵からわたしを救い出されました。まことに、あなたはわたしに逆らって起りたつ者の上にわたしをあげ、不法の人からわたしを救い出されました。

עַל־	כֵּן	אוֹדְךָ	בַּגּוֹיִם	יְהוָה	וּלְשִׁמְךָ	אֲזַמְּרָה׃	49
それゆえ	—	感謝します	諸国–の–中–で	主–よ	御名–を	ほめ歌います	
		H3034		H3068	H8034	H2167	

このゆえに主よ、わたしはもろもろの国民のなかであなたをたたえ、あなたのみ名をほめ歌います。

מגדל]	(מַגְדִּיל֗	יְשׁוּעוֹת	מַלְכּוֹ	וְעֹשֶׂה	וְחֶסֶד	לִמְשִׁיחוֹ	לְדָוִד		50
大いなる	—	救い–を	王–に	示される	恵み–を	油–注がれた–者–に	ダビデ–と		
H1431	H1431	H3444	H4428			H4899	H1732		

וּלְזַרְעוֹ	עַד־	עוֹלָם׃
その–子孫–に	—	永遠–に
H2233	H5704	H5769

主はその王に大いなる勝利を与え、その油そそがれた者に、ダビデとその子孫とに、とこしえにいつくしみを加えられるでしょう。

Chapter 19

יָדָיו	וּמַעֲשֵׂה	אֵל	כְּבוֹד־	מְסַפְּרִים	הַשָּׁמַיִם	לְדָוִד׃	מִזְמוֹר	לַמְנַצֵּחַ	1
御手–の	わざ–を	神–の	栄光–を	語り告げる	天–は	ダビデ–の	歌	指揮者–に	
H3027	H4639	H0410	H3519		H8064	H1732	H4210	H5329	

הָרָקִיעַ׃	מַגִּיד
大空–は	告げ知らせる
H7549	H5046

聖歌隊の指揮者によってうたわせたダビデの歌 もろもろの天は神の栄光をあらわし、大空はみ手のわざをしめす。

2 יוֹם לְיוֹם יַבִּיעַ אֹמֶר וְלַיְלָה לְלַיְלָה יְחַוֶּה־דָּעַת׃
日–は 日–へ 注ぎ出す 言葉–を 夜–は 夜–へ 伝える 知識–を
H3117 H3117 H5042 H0562 H3915 H3915 H2331 H1847

この日は言葉をかの日につたえ、この夜は知識をかの夜につげる。

3 אֵין־אֹמֶר וְאֵין דְּבָרִים בְּלִי נִשְׁמַע קוֹלָם׃
ない 言葉–は ない 話–は なくて 聞こえる 声–は
H0369 H0562 H0369 H1697 H1097 H8085

話すことなく、語ることなく、その声も聞えないのに、

4 בְּכָל־הָאָרֶץ יָצָא קַוָּם וּבִקְצֵה תֵבֵל מִלֵּיהֶם לַשֶּׁמֶשׁ שָׂם־
すべての 地–に 出て行った 响き–が 果て–に 世界–の 言葉–が 太陽–の–ために 置かれた
H3605 H0776 H3318 H6963 H7097 H8398 H4405 H8121 H7760

אָהֶל בָּהֶם׃
幕屋–を その–中–に
H0168

その響きは全地にあまねく、その言葉は世界のはてにまで及ぶ。神は日のために幕屋を天に設けられた。

5 וְהוּא כְּחָתָן יֹצֵא מֵחֻפָּתוֹ יָשִׂישׂ כְּגִבּוֹר לָרוּץ אֹרַח׃
太陽–は 花婿–の–ように 出てくる 部屋–から 喜ぶ 勇士–の–ように 走る 道–を
H1931 H2860 H3318 H2646 H7797 H1368 H7323 H0734

日は花婿がその祝のへやから出てくるように、また勇士が競い走るように、その道を喜び走る。

6 מִקְצֵה הַשָּׁמַיִם מוֹצָאוֹ וּתְקוּפָתוֹ עַל־קְצוֹתָם וְאֵין נִסְתָּר מֵחַמָּתוֹ׃
果て–から 天–の 出発–し 巡り–は — 果て–まで ない 隠れられる–もの–は 熱–から
H7098 H8064 H4161 H8622 H5921 H7098 H0369 H5641 H2535

それは天のはてからのぼって、天のはてにまで、めぐって行く。その暖まりをこうむらないものはない。

7 תּוֹרַת יְהוָה תְּמִימָה מְשִׁיבַת נָפֶשׁ עֵדוּת יְהוָה נֶאֱמָנָה מַחְכִּימַת
律法–は 主–の 完全–で–あり 生き返らせる 魂–を 証–は 主–の 確か–で–あり 賢くする
H8451 H3068 H8549 H7725 H5315 H5715 H3068 H0539 H2449

פֶּתִי׃
愚かな–者–を

主のおきては完全であって、魂を生きかえらせ、主のあかしは確かであって、無学な者を賢くする。

8 פִּקּוּדֵי יְהוָה יְשָׁרִים מְשַׂמְּחֵי־לֵב מִצְוַת יְהוָה בָּרָה מְאִירַת עֵינָיִם׃
教え–は 主–の 正しく 喜ばせる 心–を 戒め–は 主–の 清く 照らす 目–を
H6490 H3068 H3477 H8055 H3820 H4687 H3068 H1249 H0215

主のさとしは正しくて、心を喜ばせ、主の戒めはまじりなくて、眼を明らかにする。

9 יִרְאַת יְהוָה טְהוֹרָה עוֹמֶדֶת לָעַד מִשְׁפְּטֵי־יְהוָה אֱמֶת צָדְקוּ
畏れ–は 主–の 清らか–で–あり 立っている 永遠–に さばき–は 主–の 真実–で–あり 正しい
H3374 H3068 H2889 H5975 H5703 H4941 H3068 H0571 H6663

יַחְדָּו׃
共–に

主を恐れる道は清らかで、とこしえに絶えることがなく、主のさばきは真実であって、ことごとく正しい。

צוּפִֽים׃	וְנֹ֥פֶת	מִדְּבַ֗שׁ	וּמְתוּקִ֥ים	רָ֑ב	וּמִפָּ֥ז	מְ֝זָהָ֗ב	הַנֶּחֱמָדִ֥ים	10
巣房–の	滴り–と	蜜–より	甜い	多くの	純金–よりも	金–より	慕わしい	
H6688	H5317	H1706	H4966		H6337	H2091		

これらは金よりも、多くの純金よりも慕わしく、また蜜よりも、蜂の巣のしたたりよりも甘い。

רָֽב׃	עֵקֶב	בְּשָׁמְרָ֥ם	בָּ֝הֶ֗ם	נִזְהָ֥ר	עַבְדֶּ֑ךָ	גַּם־	11
大きい	報い–は	守る–こと–に	それら–に–よって	戒められる	しもべ–は	また	
	H6118	H8104			H5650	H1571	

あなたのしもべは、これらによって戒めをうける。これらを守れば、大いなる報いがある。

נַקֵּֽנִי׃	מִנִּסְתָּר֥וֹת	יָ֝בִ֗ין	מִי־	שְׁגִיא֥וֹת	12
清めてください	隠れた–過ち–から	理解できようか	誰–が	過ち–を	
H5352	H5641	H0995	H4310	H7691	

だれが自分のあやまちを知ることができましようか。どうか、わたしを隠れたとがから解き放ってください。

אָ֥ז	בִּ֑י	יִמְשְׁל֥וּ־	אָ֝֗ל	עַבְדֶּ֥ךָ	חָשֵׂ֑ךְ	וּמִזֵּדִ֥ים	גַּם	13
その時	私–を	支配させないでください	決して	しもべ–を	守ってください	傲慢–から	また	
	H4910		H0408	H5650	H2820	H2086	H1571	

רָֽב׃	מִפֶּ֥שַׁע	וְנִקֵּ֑יתִי	אֵיתָֽם׃
大きな	罪–から	清められる	完全–で–あり
	H6588	H5352	H8552

また、あなたのしもべを引きとめて、故意の罪を犯させず、これに支配されることのないようにしてください。そうすれば、わたしはあやまちのない者となって、大いなるとがを免れることができるでしょう。

צוּרִ֥י	יְהוָ֑ה	לְפָנֶ֥יךָ	לִבִּ֗י	וְהֶגְיוֹן֮	פִּ֪י	אִמְרֵי־	וְלִרְצ֥וֹן	יִ֝הְי֗וּ	14
わが–岩–よ	主–よ	御前–に	心–の	思い–が	口–の	言葉–が	喜ばれますように	どうか	
H6697	H3068	H6440		H1902	H6310	H0561	H7522	H1961	

וְגֹאֲלִֽי׃
わが–贖い主–よ

わが岩、わがあがないぬしなる主よ、どうか、わたしの口の言葉と、心の思いがあなたの前に喜ばれますように。

Chapter 20

יְשַׂגֶּבְךָ֥	צָרָ֑ה	בְּי֣וֹם	יְ֭הוָה	יַעַנְךָ֗	לַמְנַצֵּ֥חַ	מִזְמ֑וֹר	לְדָוִֽד׃	1
守ってくださるように	苦難–の	日–に	主–が	答えてくださるように	指揮者–に	歌	ダビデ–の	
H7682		H3117	H3068		H5329	H4210	H1732	

יַעֲקֹֽב׃	אֱלֹהֵ֥י	וְשֵׂ֖ם
ヤコブ–の	神–の	名–が
H3290	H0430	H8034

聖歌隊の指揮者によってうたわせたダビデの歌 主が悩みの日にあなたに答え、ヤコブの神のみ名があなたを守られるように。

יִסְעָדֶֽךָּ׃	וּמִצִּיּ֥וֹן	מִקְדָּשׁ֑וֹ	עָזְרְךָ֥	יִשְׁלַֽח־	2
支えてくださるように	シオン–から	聖所–から	助け–を	送ってくださるように	
H5582	H6726	H6944	H5828	H7971	

主が聖所から助けをあなたにおくり、シオンからあなたをささえ、

סֶּלָה׃	יְדַשְּׁנֶה	וְעוֹלָתְךָ	מִנְחָתֶךָ	כָּל־	יִזְכֹּר	3
セラ	喜んでくださるように	全燔の-いけにえ-を	供え物-を	すべての	覚えてくださるように	
H5542	H1878		H4503	H3605	H2142	

あなたのもろもろの供え物をみ心にとめ、あなたの燔祭をうけられるように。[セラ

יְמַלֵּא׃	עֲצָתְךָ	וְכָל־	כִּלְבָבֶךָ	לְךָ	יִתֶּן־	4
満たしてくださるように	計画-を	すべての	心-の-のぞみ-を	あなた-に	与えてくださるように	
H4390	H6098	H3605	H3824		H5414	

主があなたの心の願いをゆるし、あなたのはかりごとをことごとく遂げさせられるように。

יְהוָה	יְמַלֵּא	נִדְגֹּל	אֱלֹהֵינוּ	וּבְשֵׁם־	בִּישׁוּעָתֶךָ	וְנָרֹנְנָה	5
主-が	満たしてくださるように	旗-を-掲げる	われらの-神-の	名-の-もと	救い-に	叫びます	
H3068	H4390		H0430	H8034	H3444		

מִשְׁאֲלוֹתֶיךָ׃	כָּל־
願い-を	すべての
H4862	H3605

われらがあなたの勝利を喜びうたい、われらの神のみ名によって旗を揚げるように。主があなたの求めをすべて遂げさせられるように。

קָדְשׁוֹ	מִשְּׁמֵי	יַעֲנֵהוּ	מְשִׁיחוֹ	יְהוָה	וְהוֹשִׁיעַ	כִּי	יָדַעְתִּי	עַתָּה	6
聖なる	天-から	答えられる	油注がれた-者-を	主-が	救われたと	まことに	知っている	今	
H6944	H8064		H4899	H3068	H3467		H3045	H6258	

יְמִינוֹ׃	יֵשַׁע	בִּגְבֻרוֹת
右-の-手-の	—	力強い-救い-を-もって
H3225	H3468	H1369

今わたしは知る、主はその油そそがれた者を助けられることを。主はその右の手による大いなる勝利をもってその聖なる天から彼に答えられるであろう。

								7
אֱלֹהֵינוּ	יְהוָה	בְּשֵׁם־	וַאֲנַחְנוּ	בַּסּוּסִים	וְאֵלֶּה	בָּרֶכֶב	אֵלֶּה	
われらの-神-の	主-の	名-を	しかし-われら-は	馬-を	ある-者-は	戦車-を	ある-者-は	
H0430	H3068	H8034	H0587		H0428	H7393	H0428	

נַזְכִּיר׃
呼び求める
H2142

ある者は戦車を誇り、ある者は馬を誇る。しかしわれらは、われらの神、主のみ名を誇る。

וַנִּתְעוֹדָד׃	קָמְנוּ	וַאֲנַחְנוּ	וְנָפָלוּ	כָּרְעוּ	הֵמָּה	8
立ち上がった	起き上がり	しかし-われら-は	倒れた	ひざまずき	彼ら-は	
		H0587	H5307	H3766	H1992	

彼らはかがみ、また倒れる。しかしわれらは起きて、まっすぐに立つ。

קָרְאֵנוּ׃	בְיוֹם־	יַעֲנֵנוּ	הַמֶּלֶךְ	הוֹשִׁיעָה	יְהוָה	9
呼ぶ-われら-が	日-に	答えてください	王-よ	救ってください	主-よ	
H7121	H3117		H4428	H3467	H3068	

主よ、王に勝利をおさずけください。われらが呼ばわる時、われらにお答えください。

Chapter 21

1	לַמְנַצֵּחַ	מִזְמ֥וֹר	לְדָוִ֗ד׃	יְהוָה֮	בְּעֻזְּךָ֪	יִשְׂמַ֫ח־	מֶ֥לֶךְ	וּבִישׁוּעָתְךָ֑	מַה־
	指揮者に	賛歌	ダビデの	主よ	あなたの–力に	喜ぶ	王は	あなたの–救いに	なんと
	H5329	H4210	H1732	H3068	H5797	H8055	H4428	H3444	H4100
								יָגֵ֥ל*	]]׀ יגילמְאֹֽד׃[
								喜び踊る	大いに
								H3966	H3966

聖歌隊の指揮者によってうたわせたダビデの歌 主よ、王はあなたの力によって喜び、あなたの助けによって、いかに大きな喜びをもつことでしょう。

2	תַּאֲוַ֣ת	לִבּ֑וֹ	לֹ֥א	נָתַ֗תָּה	וַ֭אֲרֶשֶׁת	שְׂפָתָ֣יו	בַּל־	מָנַ֥עְתָּ	סֶֽלָה׃
	願いを	その–心の	彼に	あなたは–与えた	そして–求めを	その–唇の	決して	拒まなかった	セラ
	H8378	H3824	H3808	H5414	H0782	H8193	H1077	H4513	H5542

あなたは彼の心の願いをゆるし、そのくちびるの求めをいなまれなかった。[セラ

3	כִּי־	תְקַדְּמֶ֥נּוּ	בִּרְכ֥וֹת	ט֑וֹב	תָּ֝שִׁ֗ית	עֲטֶ֣רֶת	לְרֹאשׁ֥וֹ	פָּ֝ז׃
	まことに	あなたは–彼を–迎えた	祝福で	良い	あなたは–置いた	冠を	その–頭に	純金の
	H3588	H6923	H1293	H2896	H7896	H5850	H7218	H6337

あなたは大いなる恵みをもって彼を迎え、そのかしらに純金の冠をいただかせられる。

4	חַיִּ֤ים	שָׁ֭אַל	מִמְּךָ֣	נָתַ֣תָּה	לּ֑וֹ	אֹ֥רֶךְ	יָ֝מִ֗ים	עוֹלָ֥ם	וָעֶֽד׃
	命を	彼は–求めた	あなたに	あなたは–与えた	彼に	長い	日々を	永遠に	そして–とこしえに
	H2416	H7592	H4480	H5414	H0	H0753	H3117	H5769	H5703

彼がいのちを求めると、あなたはそれを彼にさずけ、世々限りなくそのよわいを長くされた。

5	גָּד֣וֹל	כְּבוֹד֑וֹ	בִּישׁוּעָתֶ֗ךָ	הוֹד	וְ֭הָדָר	תְּשַׁוֶּ֣ה	עָלָ֣יו׃	
	大きい	その–栄光は	あなたの–救いにより	威厳と	輝きを	あなたは–置く	彼の–上に	
	H1419	H3519	H3444	H1935	H1926	H7737	H5921	

あなたの助けによって彼の栄光は大きい。あなたは誉と威厳とを彼に与えられる。

6	כִּי־	תְשִׁיתֵ֣הוּ	בְרָכ֣וֹת	לָעַ֑ד	תְּחַדֵּ֥הוּ	בְשִׂמְחָ֗ה	אֶת־	
	まことに	あなたは–彼を–置く	祝福として	永遠に	あなたは–彼を–喜ばせる	喜びで	共に	
	H3588	H7896	H1293	H5703	H2302	H8057	H0854	
							פָּנֶֽיךָ׃	
							あなたの–御顔の	
							H6440	

まことに、あなたは彼をとこしえに恵まれた者とし、み前に喜びをもって楽しませられる。

7	כִּי־	הַמֶּ֥לֶךְ	בּוֹטֵ֗חַ	בַּיהוָ֑ה	וּבְחֶ֥סֶד	עֶלְי֥וֹן	בַּל־	יִמּֽוֹט׃
	まことに	王は	信頼する	主に	そして–恵みにより	いと高き–方の	決して	揺るがない
	H3588	H4428	H0982	H3068	H2617	H5945	H1077	H4131

王は主に信頼するゆえ、いと高き者のいつくしみをこうむって、動かされることはない。

8	תִּמְצָ֣א	יְמִינֶ֑ךָ	אֹיְבֶ֗יךָ	לְכֹ֣ל־	יָ֭דֶךָ	תִּמְצָ֣א
	見つけ出す	あなたの–右の手は	あなたの–敵を	すべての	あなたの–手は	見つける
	H4672	H3225	H0341	H3605	H3027	H4672
						שֹׂנְאֶֽיךָ׃
						あなたを–憎む者らを
						H8130

あなたの手はもろもろの敵を尋ね出し、あなたの右の手はあなたを憎む者を尋ね出すであろう。

9 תְּשִׁיתֵמוֹ כְּתַנּוּר אֵשׁ לְעֵת פָּנֶיךָ יְהוָה בְּאַפּוֹ
あなたは–彼らを–置く 炉の–ように 火の その–時に あなたの–御顔の 主は その–怒りで
H7896 H8574 H0784 H6256 H6440 H3068 H0639

יְבַלְּעֵם וְתֹאכְלֵם אֵשׁ׃
彼らを–呑み込む そして–火が–彼らを–焼き尽くす 火で
H1104 H0398 H0784

あなたが怒る時、彼らを燃える炉のようにするであろう。主はみ怒りによって彼らをのみつくされる。火は彼らを食いつくすであろう。

10 פִּרְיָמוֹ מֵאֶרֶץ תְּאַבֵּד וְזַרְעָם מִבְּנֵי אָדָם׃
その–実を 地から あなたは–滅ぼす そして–その–子孫を 人の–子らの–中から アダムの
H6529 H0776 H0006 H2233 H0120

あなたは彼らのすえを地から断ち、彼らの種を人の子らの中から滅ぼすであろう。

11 כִּי־ נָטוּ עָלֶיךָ רָעָה חָשְׁבוּ מְזִמָּה בַל־ יוּכָלוּ׃
たとえ 彼らが–企てても あなたに–対して 悪を 彼らが–たくらんでも はかりごとを 決して
H5186 H7451 H2803 H4209 H1077

成し遂げられない
H3201

たとい彼らがあなたにむかって悪い事を企て、悪いはかりごとを思いめぐらしても、なし遂げることはできない。

12 כִּי תְשִׁיתֵמוֹ שֶׁכֶם בְּמֵיתָרֶיךָ תְּכוֹנֵן עַל־
まことに あなたは–彼らを–向けさせる 背を あなたの–弓弦で あなたは–狙いを–定める 向かって
H7896 H7926 H4340

פְּנֵיהֶם׃
彼らの–顔に
H6440

あなたは彼らを逃げ走らせ、あなたの弓弦を張って、彼らの顔をねらうであろう。

13 רוֹמָה יְהוָה בְּעֻזֶּךָ נָשִׁירָה וְנְזַמְּרָה
高く–あげられよ 主よ あなたの–力で 私たちは–歌おう そして–ほめたたえよう
H7311 H3068 H5797 H7891 H2167

גְּבוּרָתֶךָ׃
あなたの–力強い–わざを
H1369

主よ、力をあらわして、みずからを高くしてください。われらはあなたの大能をうたい、かつほめたたえるでしょう。

Chapter 22

1 לַמְנַצֵּחַ עַל־ אַיֶּלֶת הַשַּׁחַר מִזְמוֹר לְדָוִד׃ אֵלִי אֵלִי לָמָה
指揮者に ついて 暁の–雌鹿 その 賛歌 ダビデの わが–神よ わが–神よ なぜ
H5329 H5921 H0365 H7837 H4210 H1732 H0410 H0410 H4100

עֲזַבְתָּנִי רָחוֹק מִישׁוּעָתִי דִּבְרֵי שַׁאֲגָתִי׃
あなたは–私を–見捨てたのか 遠く–離れている 私の–救いから 言葉から 私の–叫びの
H5800 H7350 H3444 H1697 H7581

聖歌隊の指揮者によってあけぼののめじかのしらべにあわせてうたわせたダビデの歌 わが神、わが神、なにゆえわたしを捨てられるのですか。なにゆえ遠く離れてわたしを助けず、わたしの嘆きの言葉を聞かれないのですか。

דּוּמִיָּה	וְלֹא־	לַיְלָה	תַּעֲנֶה	וְלֹא	יוֹמָם	אֶקְרָא	אֱלֹהַי	2
沈黙は	そして–ない	そして–夜に	あなたは–答えない	しかし–ない	昼に	私は–叫ぶ	わが–神よ	
H1747	H3808	H3915		H3808	H3119	H7121	H0430	

לִי׃	
私に	

わが神よ、わたしが昼よばわっても、あなたは答えられず、夜よばわっても平安を得ません。

יִשְׂרָאֵל׃	תְּהִלּוֹת	יוֹשֵׁב	קָדוֹשׁ	וְאַתָּה	3
イスラエルの	賛美の–上に	座しておられる	聖なる–方	しかし–あなたは	
H3478	H8416	H3427	H6918		

しかしイスラエルのさんびの上に座しておられるあなたは聖なるおかたです。

וַתְּפַלְּטֵמוֹ׃	בָּטְחוּ	אֲבֹתֵינוּ	בָּטְחוּ	בְּךָ	4
あなたは–彼らを–救い出した	彼らは–信頼し	私たちの–先祖は	信頼した	あなたに	
H6403	H0982	H0001	H0982		

われらの先祖たちはあなたに信頼しました。彼らが信頼したので、あなたは彼らを助けられました。

וְלֹא־	בָטְחוּ	בְּךָ	וְנִמְלָטוּ	זָעֲקוּ	אֵלֶיךָ	5
そして–なかった	彼らは–信頼し	あなたに	そして–助け出された	彼らは–叫び	あなたに	
H3808	H0982		H4422	H2199	H0413	

בוֹשׁוּ׃	
恥じることは	
H0954	

彼らはあなたに呼ばわって救われ、あなたに信頼して恥をうけなかったのです。

עָם׃	וּבְזוּי	אָדָם	חֶרְפַּת	אִישׁ	וְלֹא־	תּוֹלַעַת	וְאָנֹכִי	6
民に	そして–蔑まれる	人々の	そしりを–受ける	人では	そして–ない	虫であり	しかし–私は	
	H0959	H0120	H2781	H0376	H3808		H0595	

しかし、わたしは虫であって、人ではない。人にそしられ、民に侮られる。

רֹאשׁ׃	יָנִיעוּ	בִּשְׂפָה	יַפְטִירוּ	לִי	יַלְעִגוּ	רָאַי	כָּל־	7
頭を	振る	唇で	彼らは–口を–開き	私を	あざ笑う	私を–見る–者は	すべての	
	H5128	H8193	H6362		H3932	H7200	H3605	

すべてわたしを見る者は、わたしをあざ笑い、くちびるを突き出し、かしらを振り動かして言う、

חָפֵץ	כִּי	יְצִילֵהוּ	יְפַלְּטֵהוּ	יְהוָה	אֶל־	גֹּל	8
喜ぶからだ	なぜなら	主が–彼を–助ける–だろう	主が–彼を–救い出す–だろう	主に	向かって	委ねよ	
		H5337	H6403	H3068	H0413	H1556	

בּוֹ׃	
彼を	

「彼は主に身をゆだねた、主に彼を助けさせよ。主は彼を喜ばれるゆえ、主に彼を救わせよ」と。

אִמִּי׃	שָׁדַי	עַל־	מַבְטִיחִי	מִבֶּטֶן	גֹּחִי	אַתָּה	כִּי־	9
私の–母の	乳房の	上で	私を–安らがせた–方	胎から	私を–引き出した–方	あなたが	まことに	
H0517			H0982	H0990	H1518			

しかし、あなたはわたしを生れさせ、母のふところにわたしを安らかに守られた方です。

10

אָתָּה׃	אֱלִי	אִמִּי	מִבֶּטֶן	מֵרֶחֶם	הָשְׁלַכְתִּי	עָלֶיךָ
あなたは	わが–神	私の–母の	胎内から	母胎から	私は–委ねられた	あなたの–上に
	H0410	H0517	H0990	H7358	H7993	

わたしは生れた時から、あなたにゆだねられました。母の胎を出てからこのかた、あなたはわたしの神でいらせられました。

11

אֵין	כִּי־	קְרוֹבָה	צָרָה	כִּי־	מְמֵנִי	תִּרְחַק	אַל־
いない	なぜなら	近いからです	苦しみが	なぜなら	私から	遠ざからないでください	どうか
H0369		H7138				H7368	H0408

עוֹזֵר׃
助ける–者が
H5826

わたしを遠く離れないでください。悩みが近づき、助ける者がないのです。

12

כְּתָרוּנִי׃	בָּשָׁן	אַבִּירֵי	רַבִּים	פָּרִים	סְבָבוּנִי
私を–囲んだ	バシャンの	力–強い–者たち	多くの	雄牛たちが	私を–取り囲んだ
H3803	H1316	H0047		H6499	H5437

多くの雄牛はわたしを取り巻き、バシャンの強い雄牛はわたしを囲み、

13

וְשֹׁאֲגוּ׃	טֹרֵף	אַרְיֵה	פִּיהֶם	עָלַי	פָּצוּ
そして–吼える	引き裂き	獅子のように	その–口を	私に–向かって	開いた
H7580	H2963		H6310		H6475

かき裂き、ほえたけるししのように、わたしにむかって口を開く。

14

לִבִּי	הָיָה	עַצְמוֹתָי	כָּל־	וְהִתְפָּרְדוּ	נִשְׁפַּכְתִּי	כַּמָּיִם
私の–心は	なった	私の–骨は	すべての	そして–外れた	私は–注ぎ出された	水の–ように
	H1961	H6106	H3605	H6504	H8210	H4325

מֵעָי׃	בְּתוֹךְ	נָמַס	כַּדּוֹנָג	
私の–はらわたの	内の–中で	溶けた	蝋の–ように	
H4578	H8432	H4549	H1749	

わたしは水のように注ぎ出され、わたしの骨はことごとくはずれ、わたしの心臓は、ろうのように、胸のうちで溶けた。

15

וְלַעֲפַר־	מַלְקוֹחָי	מְדֻבָּק	וּלְשׁוֹנִי	כֹּחִי	וּכַחֶרֶשׂ	יָבֵשׁ
そして–塵の–中に	私の–あごに	貼り付いた	そして–私の–舌は	私の–力は	土器の–ように	乾いた
H6083		H1692	H3956		H2789	H3001

תִּשְׁפְּתֵנִי׃	מָוֶת	
あなたは–私を–置く	死の	
H8239	H4194	

わたしの力は陶器の破片のようにかわき、わたしの舌はあごにつく。あなたはわたしを死のちりに伏させられる。

16

כְּאַרְיֵ֫	הִקִּיפוּנִי	מְרֵעִים	עֲדַת	כְּלָבִים	סְבָבוּנִי	כִּי
獅子の–ように	私を–囲んだ	悪を–行う–者の	群れが	犬たちが	私を–取り囲んだ	まことに
			H5712	H3611	H5437	

וְרַגְלָי׃	יָדַי	
私の–足を	私の–手と	
H7272	H3027	

まことに、犬はわたしをめぐり、悪を行う者の群れがわたしを囲んで、わたしの手と足を刺し貫いた。

17 אֲסַפֵּר כָּל־ עַצְמוֹתָי הֵמָּה יַבִּיטוּ יִרְאוּ־ בִי׃
私は–数える すべての 私の–骨を 彼らは じっと–見つめ 見る 私を
H5608 H3605 H6106 H1992 H5027 H7200

わたしは自分の骨をことごとく数えることができる。彼らは目をとめて、わたしを見る。

18 יְחַלְּקוּ בְגָדַי לָהֶם וְעַל־ לְבוּשִׁי יַפִּילוּ גוֹרָל׃
私の–衣を 彼らの–間で そして–ついて 私の–着物の 彼らは–投げる くじを
H1992 H3830 H5307 H1486

彼らは互にわたしの衣服を分け、わたしの着物をくじ引にする。

19 וְאַתָּה יְהוָה אַל־ תִּרְחָק אֲיָלוּתִי לְעֶזְרָתִי חוּשָׁה׃
しかし–あなたは 主よ どうか 遠ざからないでください わが–力よ 私の–助けに 急いでください
H3068 H0408 H7368 H0360 H5833

しかし主よ、遠く離れないでください。わが力よ、速く来てわたしをお助けください。

20 הַצִּילָה מֵחֶרֶב נַפְשִׁי מִיַּד־ כֶּלֶב יְחִידָתִי׃
救い出してください 剣から 私の–魂を 手から 犬の 私の–ただ一つの–命を
H5337 H2719 H5315 H3027 H3611 H3173

わたしの魂をつるぎから、わたしのいのちを犬の力から助け出してください。

21 הוֹשִׁיעֵנִי מִפִּי אַרְיֵה וּמִקַּרְנֵי רֵמִים עֲנִיתָנִי׃
救ってください 口から 獅子の そして–角から 野牛の あなたは–私に–答えてくださった
H3467 H6310 H7214

わたしをししの口から、苦しむわが魂を野牛の角から救い出してください。

22 אֲסַפְּרָה שִׁמְךָ לְאֶחָי בְּתוֹךְ קָהָל אֲהַלְלֶךָּ׃
私は–語ろう あなたの–名を 私の–兄弟に 中で 会衆の 私は–あなたを–賛美しよう
H8034 H0251 H8432 H6951

わたしはあなたのみ名を兄弟たちに告げ、会衆の中であなたをほめたたえるでしょう。

23 יִרְאֵי יְהוָה הַלְלוּהוּ כָּל־ זֶרַע יַעֲקֹב כַּבְּדוּהוּ וְגוּרוּ
主を–畏れる–者よ 主を 主を–賛美せよ すべての 子孫よ ヤアコブの 主を–あがめよ そして–畏れよ
H3373 H3068 H3605 H2233 H3290 H3513

מִמֶּנּוּ כָּל־ זֶרַע יִשְׂרָאֵל׃
主を すべての 子孫よ イスラエルの
H3605 H2233 H3478

主を恐れる者よ、主をほめたたえよ。ヤコブのもろもろのすえよ、主をあがめよ。イスラエルのもろもろのすえよ、主をおじおそれよ。

24 כִּי לֹא־ בָזָה וְלֹא־ שִׁקַּץ עֱנוּת עָנִי וְלֹא־ הִסְתִּיר פָּנָיו מִמֶּנּוּ וּבְשַׁוְּעוֹ אֵלָיו שָׁמֵעַ׃
なぜなら なかった 蔑むことは そして–なかった 忌み嫌うことは 苦しみを 貧しい–者の 隠すことは その–御顔を 彼から 彼が–叫んだ–とき 主に–向かって 聞いてくださった
H3808 H0959 H3808 H8262 H6039 H6041 H5641 H6440 H3808 H7768 H0413 H8085

主が苦しむ者の苦しみをかろんじ、いとわれず、またこれにみ顔を隠すことなく、その叫ぶときに聞かれたからである。

נֶגֶד	אֲשַׁלֵּם	נְדָרַי	רַב	בִּקְהַל	תְּהִלָּתִי	מֵאִתְּךָ	25
前で	私は-果たそう	私の-誓いを	大きな	会衆の-中で	私の-賛美は	あなたから	
H5048		H5088		H6951	H8416	H0854	

יְרֵאָיו׃
主を-畏れる-者の
H3373

大いなる会衆の中で、わたしのさんびはあなたから出るのです。わたしは主を恐れる者の前で、わたしの誓いを果します。

דֹּרְשָׁיו	יְהוָה	יְהַלְלוּ	וְיִשְׂבְּעוּ	וְעַנָוִים	יֹאכְלוּ	26
主を-求める-者たちは	主を	賛美するだろう	そして-満ち足りる	へりくだる-者たちは	食べるだろう	
H1875	H3068		H7646	H6035	H0398	

לָעַד׃	לִבַּבְכֶם	יְחִי
永遠に	あなたがたの-心よ	生きよ
H5703	H3824	H2421

貧しい者は食べて飽くことができ、主を尋ね求める者は主をほめたたえるでしょう。どうか、あなたがたの心がとこしえに生きるように。

אֶרֶץ	אַפְסֵי־	כָּל־	יְהוָה	אֶל־	וְיָשֻׁבוּ	וְיִזְכְּרוּ	27
地の	果ての	すべての	主に	向かって	そして-立ち返るだろう	思い出すだろう	
H0776		H3605	H3068	H0413	H7725	H2142	

גּוֹיִם׃	מִשְׁפְּחוֹת	כָּל־	לְפָנֶיךָ	וְיִשְׁתַּחֲווּ
諸国の	氏族が	すべての	あなたの-前に	そして-ひれ伏すだろう
	H4940	H3605	H6440	H7812

地のはての者はみな思い出して、主に帰り、もろもろの国のやからはみな、み前に伏し拝むでしょう。

בַּגּוֹיִם׃	וּמֹשֵׁל	הַמְּלוּכָה	לַיהוָה	כִּי	28
諸国を	そして-治める-方である	王国は	主の-ものである	なぜなら	
	H4910	H4410	H3068		

国は主のものであって、主はもろもろの国民を統べ治められます。

כָּל־	יִכְרְעוּ	לְפָנָיו	אֶרֶץ	דִּשְׁנֵי־	כָּל־	וַיִּשְׁתַּחֲווּ	אָכְלוּ	29
すべての	ひざまずく	その-前に	地の	豊かな-者たちは	すべての	そして-ひれ伏した	食べた	
H3605	H3766	H6440	H0776	H1879	H3605	H7812	H0398	

חָיָּה׃	לֹא	וְנַפְשׁוֹ	עָפָר	יוֹרְדֵי
生きて-いない	ない	そして-その-魂は	塵に	下る-者たちは
H2421	H3808	H5315	H6083	H3381

地の誇り高ぶる者はみな主を拝み、ちりに下る者も、おのれを生きながらえさせえない者も、みなそのみ前にひざまずくでしょう。

לַדּוֹר׃	לָאדֹנָי	יְסֻפַּר	יַעַבְדֻנּוּ	זֶרַע	30
来たる-代に	主に-ついて	語り伝えられるだろう	主に-仕えるだろう	子孫が	
H1755	H0136		H5647	H2233	

子々孫々、主に仕え、人々は主のことをきたるべき代まで語り伝え、

עָשָׂה׃	כִּי	נוֹלָד	לְעַם	צִדְקָתוֹ	וְיַגִּידוּ	יָבֹאוּ	31
主が-なさった	まことに	生まれる	民に	その-義を	そして-告げ知らせるだろう	彼らは-来て	
		H3205		H6666	H5046	H0935	

主がなされたその救を後に生れる民にのべ伝えるでしょう。

Chapter 23

מִזְמ֥וֹר	לְדָוִ֑ד	יְהוָ֥ה	רֹ֝עִ֗י	לֹ֣א	אֶחְסָֽר׃
賛歌	ダビデの	主は	私の–羊飼い	ない	私は–乏しく
H4210	H1732	H3068		H3808	H2637

1

ダビデの歌 主はわたしの牧者であって、わたしには乏しいことがない。

יַנְהֲלֵ֑נִי	מְנֻחֽוֹת	מֵ֝י	עַל־	יְרַבִּיצֵ֗נִי	דֶּ֣שֶׁא	בִּנְאוֹת
主は–私を–導く	憩いの	水の	傾らに	主は–私を–伏させる	草の	緑の–牧場に
H5095	H4496	H4325		H7257	H1877	H4999

2

主はわたしを緑の牧場に伏させ、いこいのみぎわに伴われる。

שְׁמֽוֹ׃	לְמַ֥עַן	צֶּ֝דֶק	בְּמַעְגְּלֵי־	נַחֵ֗נִי	יְשׁוֹבֵ֣ב	נַפְשִׁ֑י
その–御名の	ために	義の	正しい–道に	主は–私を–導く	主は–生き返らせる	私の–魂を
H8034	H4616	H6664	H4570	H5148	H7725	H5315

3

主はわたしの魂をいきかえらせ、み名のためにわたしを正しい道に導かれる。

כִּי־	רָ֭ע	אִירָ֣א	לֹא־	צַלְמָ֑וֶת	בְּגֵ֤יא	אֵ֥לֵךְ	כִּי־	גַּם
なぜなら	悪を	私は–恐れない	ない	死の–影の	谷を	私が–歩んでも	もし	たとえ
	H3372		H3808	H6757	H1516	H3212		H1571

4

אַתָּ֥ה	עִמָּדִ֑י	שִׁבְטְךָ֥	וּמִשְׁעַנְתֶּ֗ךָ	הֵ֣מָּה	יְנַחֲמֻֽנִי׃
あなたが	私と–共に–いてくださる	あなたの–杖と	そして–あなたの–杖が	それらが	私を–慰めてくださる
	H5978	H7626		H1992	H5162

たといわたしは死の陰の谷を歩むとも、わざわいを恐れません。あなたがわたしと共におられるからです。あなたのむちと、あなたのつえはわたしを慰めます。

תַּעֲרֹ֣ךְ	לְפָנַ֑י	שֻׁלְחָ֥ן	נֶ֝גֶד	צֹרְרָ֗י	דִּשַּׁ֣נְתָּ	בַּשֶּׁ֥מֶן
あなたは–整えてくださる	私の–前に	食卓を	前で	私の–敵の	あなたは–注いでくださる	油で
	H6440	H7979	H5048		H1878	H8081

5

רְוָיָֽה׃	כּוֹסִ֥י	רֹאשִׁ֗י
溢れている	私の–杯は	私の–頭に
H7310		

あなたはわたしの敵の前で、わたしの前に宴を設け、わたしのこうべに油をそそがれる。わたしの杯はあふれます。

חַיָּ֑י	יְמֵ֥י	כֹּל־	יְרָדְפ֥וּנִי	וָחֶ֗סֶד	טֽוֹב	וְאַ֣ךְ	6
私の–生涯の	日々	すべての	私を–追ってくるだろう	そして–慈しみが	恵みと	まことに	
	H3117	H3605	H7291			H0389	

יָמִֽים׃	לְאֹ֥רֶךְ	יְהוָ֑ה	בְּבֵית־	וְשַׁבְתִּ֥י	
日々を	長く	主の	家に	そして–私は–住むだろう	
H3117	H0753	H3068		H3427	

わたしの生きているかぎりは必ず恵みといつくしみとが伴うでしょう。わたしはとこしえに主の宮に住むでしょう。

Chapter 24

1 לְדָוִד מִזְמוֹר לַיהוָה הָאָרֶץ וּמְלוֹאָהּ תֵּבֵל
ダビデの 賛歌 主の-ものである 地は そして-その-満ちるものは 世界と
H1732 H4210 H3068 H0776 H4393 H8398

וְיֹשְׁבֵי בָהּ׃
その中に-住む-者たちは その-中に
H3427

ダビデの歌 地と、それに満ちるもの、世界と、そのなかに住む者とは主のものである。

2 כִּי־הוּא עַל־יַמִּים יְסָדָהּ וְעַל־נְהָרוֹת יְכוֹנְנֶהָ׃
なぜなら 主が の-上に 海 それを-基づけた そして-の-上に 川 それを-定めた
H1931 H5921 H3220 H3245 H5921 H5104 H3559

主はその基を大海のうえにすえ、大川のうえに定められた。

3 מִי־יַעֲלֶה בְהַר־יְהוָה וּמִי־יָקוּם בִּמְקוֹם קָדְשׁוֹ׃
誰が 登るのか 山に 主の そして-誰が 立つのか 場所に その-聖なる
H4310 H5927 H2022 H3068 H4310 H6965 H4725 H6944

主の山に登るべき者はだれか。その聖所に立つべき者はだれか。

4 נְקִי כַפַּיִם וּבַר־לֵבָב אֲשֶׁר לֹא־נָשָׂא לַשָּׁוְא נַפְשִׁי וְלֹא נִשְׁבַּע לְמִרְמָה׃
清い 手と そして-潔い 心の-者 その-者は ない 持ち上げない 偶像に その-魂を そして-ない 誓わない 偽りを
H5355 H3709 H1249 H3824 H834 H3808 H5375 H7723 H5315 H3808 H7650 H4820

手が清く、心のいさぎよい者、その魂がむなしい事に望みをかけない者、偽って誓わない者こそ、その人である。

5 יִשָּׂא בְרָכָה מֵאֵת יְהוָה וּצְדָקָה מֵאֱלֹהֵי יִשְׁעוֹ׃
受ける 祝福を から 主 そして-義を 神から その-救いの
H5375 H1293 H0854 H3068 H6666 H0430 H3468

このような人は主から祝福をうけ、その救の神から義をうける。

6 זֶה דּוֹר דֹּרְשָׁיו מְבַקְשֵׁי פָנֶיךָ יַעֲקֹב סֶלָה׃
これが 世代である (דרשו) 主を-求める-者の 求める-者たち あなたの-御顔を ヤアコブよ セラ
H2088 H1755 H1875 H1875 H7200 H6440 H3290 H5542

これこそ主を慕う者のやから、ヤコブの神の、み顔を求める者のやからである。[セラ

7 שְׂאוּ שְׁעָרִים רָאשֵׁיכֶם וְהִנָּשְׂאוּ פִּתְחֵי עוֹלָם וְיָבוֹא מֶלֶךְ הַכָּבוֹד׃
上げよ 門よ あなたがたの-頭を そして-上げられよ 戸よ 永遠の そうすれば-入られる 王が 栄光の
H5375 H8179 H7218 H5375 H6607 H5769 H0935 H4428 H3519

門よ、こうべをあげよ。とこしえの戸よ、あがれ。栄光の王がはいられる。

8 מִי זֶה מֶלֶךְ הַכָּבוֹד יְהוָה עִזּוּז וְגִבּוֹר יְהוָה גִּבּוֹר מִלְחָמָה׃
誰か これは 王とは 栄光の 主 力強く 主 そして-勇ましい 勇士である 戦いの
H4310 H2088 H4428 H3519 H3068 H5808 H3068 H1368 H1368 H4421

栄光の王とはだれか。強く勇ましい主、戦いに勇ましい主である。

9

מֶּלֶךְ	וְיָבֹא	עוֹלָם	פִּתְחֵי	וּשְׂאוּ	רָאשֵׁיכֶם	וְשְׂאֶרְים	שְׂאוּ
王が	そうすれば–入られる	永遠の	戸よ	そして–上げよ	あなたがたの–頭を	門よ	上げよ
H4428	H0935	H5769	H6607	H5375		H8179	H5375

הַכָּבוֹד׃
栄光の
H3519

門よ、こうべをあげよ。とこしえの戸よ、あがれ。栄光の王がはいられる。

10

סֶּלָה׃	הַכָּבוֹד	מֶּלֶךְ	הוּא	צְבָאוֹת	יְהוָה	הַכָּבוֹד	מֶּלֶךְ	זֶה	הוּא	מִי
セラ	栄光の	王である	その–方が	万軍の	主	栄光の	王とは	これは	それは	誰か
H5542	H3519	H4428	H1931		H3068	H3519	H4428	H2088	H1931	H4310

この栄光の王とはだれか。万軍の主、これこそ栄光の王である。[セラ

Chapter 25

1

אֶשָּׂא׃	נַפְשִׁי	יְהוָה	אֵלֶיךָ	לְדָוִד
私は–上げる	私の–魂を	主よ	あなたに–向かって	ダビデの
H5375	H5315	H3068	H0413	H1732

ダビデの歌 主よ、わが魂はあなたを仰ぎ望みます。

2

אַל־	אֵבוֹשָׁה	אַל־	בָּטַחְתִּי	בְךָ	אֱלֹהַי	
どうか	恥を–受けさせないでください	どうか	私は–信頼する	あなたに	わが–神よ	
H0408	H0954	H0408	H0982		H0430	

לִי׃	אֹיְבַי	יַעַלְצוּ
私に–対して	私の–敵を	勝ち誇らせないでください
	H0341	H5970

わが神よ、わたしはあなたに信頼します。どうか、わたしをはずかしめず、わたしの敵を勝ち誇らせないでください。

3

הַבּוֹגְדִים	יֵבֹשׁוּ	יֵבֹשׁוּ	לֹא	קֹוֶיךָ	כָּל־	גַּם	
裏切る–者たちである	恥じるのは	恥じない	ない	あなたを–待ち望む–者は	すべての	まことに	
H0898	H0954	H0954	H3808		H3605	H1571	

רֵיקָם׃
理由もなく
H7387

すべてあなたを待ち望む者をはずかしめず、みだりに信義にそむく者をはずかしめてください。

4

לַמְּדֵנִי׃	אָרְחוֹתֶיךָ	הוֹדִיעֵנִי	יְהוָה	דְּרָכֶיךָ	
私に–教えてください	あなたの–小道を	私に–知らせてください	主よ	あなたの–道を	
H3925	H0734	H3045	H3068	H1870	

主よ、あなたの大路をわたしに知らせ、あなたの道をわたしに教えてください。

5

אֱלֹהֵי	אַתָּה	כִּי־	וְלַמְּדֵנִי	וּבַאֲמִתֶּךָ	הַדְרִיכֵנִי	
神である	あなたは	なぜなら	そして–教えてください	あなたの–真実の–中で	私を–導いてください	
H0430			H3925	H0571	H1869	

הַיּוֹם׃	כָּל־	קִוִּיתִי	אוֹתְךָ	יְשִׁעִי
日を	すべての	私は–待ち望む	あなたを	私の–救いの
H3117	H3605		H0853	H3468

あなたのまことをもって、わたしを導き、わたしを教えてください。あなたはわが救の神です。わたしはひねもすあなたを待ち望みます。

מֵעוֹלָם	כִּי	וַחֲסָדֶיךָ	יְהוָה	רַחֲמֶיךָ	זְכֹר־	6
永遠から	なぜなら	そして-あなたの-慈しみを	主よ	あなたの-あわれみを	思い出してください	
H5769			H3068		H2142	

הֵמָּה׃
それらは-ある
H1992

主よ、あなたのあわれみと、いつくしみとを思い出してください。これはいにしえから絶えることがなかったのです。

תִּזְכֹּר	אַל־	וּפְשָׁעַי	וְנְעוּרַי	חַטָּאוֹת		7
思い出さないでください	どうか	そして-私の-背きを	私の-若き-日の	罪を		
H2142	H0408	H6588				

יְהוָה׃	טוּבְךָ	לְמַעַן	אַתָּה	לִי־	זְכָר־	כְּחַסְדֶּךָ
主よ	あなたの-善きことの	ために	あなたよ	私を	思い出してください	あなたの-慈しみに-従って
H3068	H2898	H4616			H2142	

わたしの若き時の罪と、とがとを思い出さないでください。主よ、あなたの恵みのゆえに、あなたのいつくしみにしたがって、わたしを思い出してください。

בַּדָּרֶךְ׃	חַטָּאִים	יוֹרֶה	כֵּן	עַל־	יְהוָה	וְיָשָׁר	טוֹב־	8
道の-中で	罪人を	教える	この	それ-ゆえに	主は	そして-正しい	善く	
H1870	H2400				H3068	H3477		

主は恵みふかく、かつ正しくいらせられる。それゆえ、主は道を罪びとに教え、

דַּרְכּוֹ׃	עֲנָוִים	וְיַלְמֵד	בַּמִּשְׁפָּט	עֲנָוִים	יַדְרֵךְ	9
その-道を	へりくだる-者に	そして-教える	正義の-中で	へりくだる-者を	導く	
H1870	H6035	H3925	H4941	H6035	H1869	

へりくだる者を公義に導き、へりくだる者にその道を教えられる。

וְעֵדֹתָיו׃	בְּרִיתוֹ	לְנֹצְרֵי	וֶאֱמֶת	חֶסֶד	יְהוָה	אָרְחוֹת	כָּל־	10
その-証しを	その-契約と	守る-者には	そして-真実である	慈しみと	主の	道は	すべての	
	H1285	H5341	H0571		H3068	H0734	H3605	

主のすべての道はその契約とあかしとを守る者にはいつくしみであり、まことである。

רַב־	כִּי	לַעֲוֹנִי	וְסָלַחְתָּ	יְהוָה	שִׁמְךָ	לְמַעַן־	11
大きい-からです	なぜなら	私の-咎を	そして-赦してください	主よ	あなたの-御名の	ために	
		H5771	H5545	H3068	H8034	H4616	

הוּא׃
それは
H1931

主よ、み名のために、わたしの罪をおゆるしください。わたしの罪は大きいのです。

יִבְחָר׃	בְּדֶרֶךְ	יוֹרֶנּוּ	יְהוָה	יִרָא	הָאִישׁ	זֶה	מִי־	12
彼が-選ぶ-べき	道を	主が-教える	主を	畏れる	人は	この	誰か	
H0977	H1870		H3068	H3373	H0376	H2088	H4310	

主を恐れる人はだれか。主はその選ぶべき道をその人に教えられる。

אָרֶץ׃	יִירַשׁ	וְזַרְעוֹ	תָּלִין	בְּטוֹב	נַפְשׁוֹ	13
地を	受け継ぐ	そして-その-子孫は	宿る	善き-中に	その-魂は	
H0776	H3423	H2233			H5315	

彼はみずからさいわいに住まい、そのすえは地を継ぐであろう。

14
סוֹד (秘密は H5475) יְהוָה (主の H3068) לִירֵאָיו (主を–畏れる–者に–ある H3373) וּבְרִיתוֹ (そして–その–契約は H1285) לְהוֹדִיעָם׃ (彼らに–知らせるためである H3045)

主の親しみは主をおそれる者のためにあり、主はその契約を彼らに知らせられる。

15
עֵינַי (私の–目は) תָּמִיד (常に H8548) אֶל־ (向かっている H0413) יְהוָה (主に H3068) כִּי (なぜなら) הוּא־ (主が H1931) יוֹצִיא (引き出してくださる H3318) מֵרֶשֶׁת (網から H7568) רַגְלָי׃ (私の–足を H7272)

わたしの目は常に主に向かっている。主はわたしの足を網から取り出されるからである。

16
פְּנֵה־ (向いてください H6437) אֵלַי (私に H0413) וְחָנֵּנִי (そして–憐れんでください) כִּי־ (なぜなら) יָחִיד (孤独で H3173) וְעָנִי (そして–苦しんでいる H6041) אָנִי׃ (私は H0589)

わたしをかえりみ、わたしをあわれんでください。わたしはひとりわびしく苦しんでいるのです。

17
צָרוֹת (苦しみが) לְבָבִי (私の–心の H3824) הִרְחִיבוּ (広がった H7337) מִמְּצוּקוֹתַי (私の–苦悩から H4691) הוֹצִיאֵנִי׃ (私を–引き出してください H3318)

わたしの心の悩みをゆるめ、わたしを苦しみから引き出してください。

18
רְאֵה (見てください H7200) עָנְיִי (私の–苦しみと H6040) וַעֲמָלִי (そして–私の–労苦を H5999) וְשָׂא (そして–赦してください H5375) לְכָל־ (すべての H3605) חַטֹּאותָי׃ (私の–罪を)

わたしの苦しみ悩みをかえりみ、わたしのすべての罪をおゆるしください。

19
רְאֵה־ (見てください H7200) אוֹיְבַי (私の–敵を H0341) כִּי־ (なぜなら) רַבּוּ (彼らは–多い H7231) וְשִׂנְאַת (そして–憐みで H8135) חָמָס (暴力の H2555) שְׂנֵאוּנִי׃ (彼らは–私を–憎む H8130)

わたしの敵がいかに多く、かつ激しい憎しみをもってわたしを憎んでいるかをごらんください。

20
שָׁמְרָה (守ってください H8104) נַפְשִׁי (私の–魂を H5315) וְהַצִּילֵנִי (そして–救い出してください H5337) אַל־ (どうか H0408) אֵבוֹשׁ (恥じさせないでください H0954) כִּי־ (なぜなら)
חָסִיתִי (私は–身を–寄せる H2620) בָךְ׃ (あなたに)

わたしの魂を守り、わたしをお助けください。わたしをはずかしめないでください。わたしはあなたに寄り頼んでいます。

21
תֹּם־ (潔白と H8537) וְיֹשֶׁר (そして–正直が H3476) יִצְּרוּנִי (私を–守ってください H5341) כִּי (なぜなら) קִוִּיתִיךָ׃ (私は–あなたを–待ち望む)

どうか、誠実と潔白とが、わたしを守ってくれるように。わたしはあなたを待ち望んでいます。

22
פְּדֵה (贖ってください H6299) אֱלֹהִים (神よ H0430) אֶת־ (を H0853) יִשְׂרָאֵל (イスラエルを H3478) מִכֹּל (すべての–中から H3605) צָרוֹתָיו׃ (その–苦しみの)

神よ、イスラエルをあがない、すべての悩みから救いだしてください。

Chapter 26

ולְדָוִד שָׁפְטֵנִי יְהוָה כִּי־ אֲנִי בְתֻמִּי הָלַכְתִּי וּבַיהוָה בָּטַחְתִּי לֹא אֶמְעָד׃ 1
ダビデの 裁いてください 主よ なぜなら 私は 潔白の-中で 歩んできた そして-主に 私は-揺らがない ない 私は-信頼した
H1732 H8199 H3068 H3588 H0589 H8537 H1980 H3068 H4571 H3808 H0982

ダビデの歌 主よ、わたしをさばいてください。わたしは誠実に歩み、迷うことなく主に信頼しています。

בְּחָנֵנִי יְהוָה וְנַסֵּנִי צרופה [צָרְפָה] (כִלְיוֹתַי) 2
試してください 主よ そして-調べてください — 精錬してください 私の-心と
H0974 H3068 H5254 H6884 H6884 H3629

וְלִבִּי׃
そして-私の-思いを

主よ、わたしをためし、わたしを試み、わたしの心と思いとを練りきよめてください。

כִּי־ חַסְדְּךָ לְנֶגֶד עֵינָי וְהִתְהַלַּכְתִּי בַּאֲמִתֶּךָ׃ 3
なぜなら あなたの-慈しみは 前に-ある 私の-目の そして-私は-歩んできた あなたの-真実の-中で
H3588 H2617 H5048 H5869 H1980 H0571

あなたのいつくしみはわたしの目の前にあり、わたしはあなたのまことによって歩みました。

לֹא־ יָשַׁבְתִּי עִם־ מְתֵי־ שָׁוְא וְעִם נַעֲלָמִים לֹא 4
ない 私は-座らなかった 共に 者たちの 虚偽の そして-共に 偽善者たちと ない
H3808 H3427 H5973 H4962 H7723 H5956 H3808

אָבוֹא׃
私は-行かない
H0935

わたしは偽る人々と共にすわらず、偽善者と交わらず、

שָׂנֵאתִי קְהַל מְרֵעִים וְעִם־ רְשָׁעִים לֹא אֵשֵׁב׃ 5
私は-憎んだ 会衆を 悪を-行う-者の そして-共に 悪人と ない 私は-座らない
H8130 H6951 H7489 H5973 H7563 H3808 H3427

悪を行う者のつどいを憎み、悪しき者と共にすわることをしません。

אֶרְחַץ בְּנִקָּיוֹן כַּפָּי וַאֲסֹבְבָה אֶת־ מִזְבַּחֲךָ יְהוָה׃ 6
私は-洗おう 清さの-中で 私の-手を そして-私は-巡ろう を 祭壇を あなたの-主よ
H7364 H5355 H3709 H5437 H0853 H4196 H3068

主よ、わたしは手を洗って、罪のないことを示し、あなたの祭壇をめぐって、

לְשְׁמֹעַ בְּקוֹל תּוֹדָה וּלְסַפֵּר כָּל־ נִפְלְאוֹתֶיךָ׃ 7
聞かせるために 声で 感謝の そして-語るために すべての あなたの-不思議な-わざを
H8085 H6963 H8426 H1696 H3605 H6381

感謝の歌を声高くうたい、あなたのくすしきみわざをことごとくのべ伝えます。

יְהוָה אָהַבְתִּי מְעוֹן בֵּיתֶךָ וּמְקוֹם מִשְׁכַּן כְּבוֹדֶךָ׃ 8
主よ 私は-愛する 住まいを あなたの-家の そして-場所を 幕屋の あなたの-栄光の
H3068 H0157 H4583 H1004 H4725 H4908 H3519

主よ、わたしはあなたの住まわれる家と、あなたの栄光のとどまる所とを愛します。

9 אַל־ תֶּאֱסֹף נַפְשִׁי עִם־ חַטָּאִים חַיָּי׃ דָּמִים אַנְשֵׁי וְעִם־
どうか 集めないでください 私の–魂を 共に 罪人と 私の–命を 血の 人々と そして–共に
H0408 H0622 H5315 H2400 H0408 H1818 H0376

どうか、わたしを罪びとと共に、わたしのいのちを、血を流す人々と共に、取り去らないでください。

10 אֲשֶׁר־ בִּידֵיהֶם זִמָּה שְׂחַד׃ מָלְאָה וִימִינָם
その–者たちの 手には 悪志が–ある 賄賂で 満ちている そして–その–右の手は
H0834 H3027 H2154 H7810 H4390 H3225

彼らの手には悪い企てがあり、彼らの右の手は、まいないで満ちています。

11 וְחָנֵּנִי׃ פְּדֵנִי וֶאֱלָךְ בְּתֻמִּי וַאֲנִי
そして–憐れんでください 贖ってください 歩もう 潔白の–中で しかし–私は
H2603 H6299 H3212 H8537 H0589

しかしわたしは誠実に歩みます。わたしをあがない、わたしをあわれんでください。

12 יְהוָה׃ אֲבָרֵךְ בְּמַקְהֵלִים בְּמִישׁוֹר עָמְדָה רַגְלִי
主を 私は–賛美しよう 会衆の–中で 平らな–地に 立っている 私の–足は
H3068 H1288 H4721 H4334 H5975 H7272

わたしの足は平らかな所に立っています。わたしは会衆のなかで主をたたえましょう。

Chapter 27

1 וְלְדָוִד יְהוָה אוֹרִי וְיִשְׁעִי מִמִּי אִירָא יְהוָה מָעוֹז־ חַיַּי
ダビデの 主は 私の–光 そして–私の–救い 誰を 私は–恐れようか 主は 砦である 私の–命の
H1732 H3068 H0216 H3468 H4310 H3372 H3068 H4581

מִמִּי אֶפְחָד׃
誰を 私は–おびえようか
H4310 H6342

ダビデの歌 主はわたしの光、わたしの救だ、わたしはだれを恐れよう。主はわたしの命のとりでだ。わたしはだれをおじ恐れよう。

2 בְּקָרֵב עָלַי לְאָכְלֶ֤ת אֶת־ בְּשָׂרִי צָרַי
近づいた–とき 私に–向かって 悪を–行う–者たちが 食らうとして を 私の–肉を 私の–敵と
H7126 H5921 H4189 H0398 H0853 H1320 H6862

וְאֹיְבַי לִי הֵמָּה כָּשְׁלוּ וְנָפָלוּ׃
そして–私の–仕敵が 私に 彼らは つまずき そして–倒れた
H0341 H0369 H1992 H3782 H5307

わたしのあだ、わたしの敵である悪を行う者どもが、襲ってきて、わたしをそしり、わたしを攻めるとき、彼らはつまずき倒れるであろう。

3 אִם־ תָּקוּם עָלַי תַּחֲנֶה מַחֲנֶה לֹא־ יִירָא לִבִּי אִם־
たとえ 布陣を–張っても 私に–対して 軍勢が ない 恐れない 私の–心は たとえ 起きても
H0518 H2583 H5921 H4264 H3808 H3372 H3820 H0518

בְּזֹאת אֲנִי בוֹטֵחַ׃ מִלְחָמָה עָלַי
それでも 私は 信頼する 戦いが 私に–対して
H2063 H0589 H0982 H4421 H5921

たとい軍勢が陣営を張って、わたしを攻めても、わたしの心は恐れない。たといいくさが起って、わたしを攻めても、なおわたしはみずから頼むところがある。

4
אַחַת ׀ שָׁאַלְתִּי מֵאֵת־ יְהוָה אוֹתָהּ אֲבַקֵּשׁ שִׁבְתִּי בְּבֵית־ יְהוָה כָּל־ יְמֵי חַיַּי לַחֲזוֹת בְּנֹעַם־ יְהוָה וּלְבַקֵּר בְּהֵיכָלוֹ׃
一つの-ことを 私は-求めた から 主 それを 私は-求める 住むことを 家に 主の
H0259 H7592 H0854 H3068 H0853 H1245 H3427 H1239 H3068
その-宮で そして-尋ねるために 主の 麗しさを 仰ぎ-見るために 私の-生涯の 日々 すべての
H1964 H1239 H3068 H5278 H2372 H3117 H3605

わたしは一つの事を主に願った、わたしはそれを求める。わたしの生きるかぎり、主の家に住んで、主のうるわしきを見、その宮で尋ねきわめることを。

5
כִּי בְּסֻכֹּה יַצְפְּנֵנִי בְּיוֹם רָעָה יַסְתִּרֵנִי בְּסֵתֶר אָהֳלוֹ בְּצוּר יְרוֹמְמֵנִי׃
なぜなら 主は-私を-隠してくださる 仮庵に 日に 患難の 主は-私を-隠してくださる 奈の-中に
H6845 H5520 H3117 H5641
その-幕屋の 岩の-上に 主は-私を-高く-上げてくださる
H0168 H6697

それは主が悩みの日に、その仮屋のうちにわたしを潜ませ、その幕屋の奥にわたしを隠し、岩の上にわたしを高く置かれるからである。

6
וְעַתָּה יָרוּם רֹאשִׁי עַל אֹיְבַי סְבִיבוֹתַי וְאֶזְבְּחָה בְאָהֳלוֹ זִבְחֵי תְרוּעָה אָשִׁירָה וַאֲזַמְּרָה לַיהוָה׃
そして-今 高く-上げられる 私の-頭は 上に 私の-敵の 周りの そして-私は-ささげよう
H6258 H7218 H5921 H0341 H5439 H2076
その-幕屋で いけにえを 喜びの 私は-歌おう そして-ほめたたえよう 主に
H0168 H2077 H8643 H7891 H2167 H3068

今わたしのこうべはわたしをめぐる敵の上に高くあげられる。それゆえ、わたしは主の幕屋で喜びの声をあげて、いけにえをささげ、歌って、主をほめたたえるであろう。

7
שְׁמַע־ יְהוָה קוֹלִי אֶקְרָא וְחָנֵּנִי וַעֲנֵנִי׃
聞いてください 主よ 私の-声を 私が-叫ぶ-とき そして-憐れんでください そして-答えてください
H8085 H3068 H6963 H7121 H2603 H6030

主よ、わたしが声をあげて呼ばわるとき、聞いて、わたしをあわれみ、わたしに答えてください。

8
לְךָ אָמַר לִבִּי בַּקְּשׁוּ פָנָי אֶת־ פָּנֶיךָ יְהוָה אֲבַקֵּשׁ׃
あなたに 言った 私の-心は 求めよ 私の-顔を を あなたの-御顔を 主よ 私は-求める
H0559 H3820 H1245 H6440 H0853 H6440 H3068 H1245

あなたは仰せられました、「わが顔をたずね求めよ」と。あなたにむかって、わたしの心は言います、「主よ、わたしはみ顔をたずね求めます」と。

9
אַל־ תַּסְתֵּר פָּנֶיךָ מִמֶּנִּי אַל־ תַּט־ בְּאַף עֶזְרָתִי הָיִיתָ אַל־ תִּטְּשֵׁנִי וְאַל־ תַּעַזְבֵנִי אֱלֹהֵי יִשְׁעִי׃
どうか 隠さないでください あなたの-御顔を 私から どうか 退けないでください 怒りで
H0408 H5641 H6440 H4480 H0408 H5186 H0639
どうか 私を-見捨てないでください そして-どうか 私の-助けでありました あなたは どうか あなたの-僕を
H0408 H5203 H0408 H1961 H5833 H5650
私の-救いの 神よ 私を-捨てないでください
H3468 H0430

み顔をわたしに隠さないでください。怒ってあなたのしもべを退けないでください。あなたはわたしの助けです。わが救の神よ、わたしを追い出し、わたしを捨てないでください。

10
כִּי־ אָבִי וְאִמִּי עֲזָבוּנִי וַיהוָה יַאַסְפֵנִי׃
たとえ 私の–父と そして–私の–母が 私を–見捨ても しかし–主が 私を–受け入れてくださる
H3068 H0517 H0001

たとい父母がわたしを捨てても、主がわたしを迎えられるでしょう。

11
הֹורֵנִי יְהוָה דַּרְכֶּךָ וּנְחֵנִי בְּאֹרַח מִישׁוֹר לְמַעַן שׁוֹרְרָי׃
教えてください 主よ あなたの–道を そして–導いてください 平らな–小道を 平坦な ために 私の–敵の
H3068 H1870 H5148 H0734 H4334 H4616 H8324

主よ、あなたの道をわたしに教え、わたしのあだのゆえに、わたしを平らかな道に導いてください。

12
אַל־ תִּתְּנֵנִי בְּנֶפֶשׁ צָרָי כִּי קָמוּ־ בִי וְיָפֵחַ חָמָס׃
どうか 私を–渡さないでください 意のままに 私の–敵の なぜなら 立ち上がった 私に–対して そして–吐き出す 暴力を
H0408 H5414 H5315 H6862 H3588 H6965 H0413 H2555

עֵדֵי־ שֶׁקֶר
証人たちが 偽りの
H5707 H8267

わたしのあだの望むがままに、わたしを引き渡さないでください。偽りのあかしをする者がわたしに逆らって起り、暴言を吐くからです。

13
לוּלֵא הֶאֱמַנְתִּי לִרְאוֹת בְּטוּב־ יְהוָה בְּאֶרֶץ חַיִּים׃
もし–なかったら 私が–信じることが 見ることを 恵みを 主の 地で 生ける–者の
H3884 H0539 H7200 H2898 H3068 H0776 H2416

わたしは信じます、生ける者の地でわたしは主の恵みを見ることを。

14
קַוֵּה אֶל־ יְהוָה חֲזַק וְיַאֲמֵץ לִבֶּךָ וְקַוֵּה אֶל־ יְהוָה׃
待ち望め 向かって 主に 強く–あれ そして–雄々しく–あれ あなたの–心よ そして–待ち望め 向かって 主に
H6960 H0413 H3068 H2388 H0553 H3820 H6960 H0413 H3068

主を待ち望め、強く、かつ雄々しくあれ。主を待ち望め。

Chapter 28

1
לְדָוִד אֵלֶיךָ יְהוָה אֶקְרָא צוּרִי אַל־ תֶּחֱרַשׁ מִמֶּנִּי פֶּן־ תֶּחֱשֶׁה מִמֶּנִּי וְנִמְשַׁלְתִּי עִם־ יֹרְדֵי בוֹר׃
ダビデの 向かって–あなたに–主よ 私は–叫ぶ わが–岩よ どうか 沈黙しないでください 私から さもないと 黙ったら 私から そして–私は–同じになる 共に 下る–者たちと 穴に
H1732 H0413 H3068 H7121 H6697 H0408 H2790 H4480 H6435 H2814 H4480 H7737 H5973 H3381 H0953

ダビデの歌 主よ、わたしはあなたにむかって呼ばわります。わが岩よ、わたしにむかって耳しいとならないでください。もしあなたが黙っておられるならば、おそらく、わたしは墓に下る者と等しくなるでしょう。

2
שְׁמַע קוֹל תַּחֲנוּנָי בְּשַׁוְּעִי אֵלֶיךָ בְּנָשְׂאִי יָדַי
聞いてください 声を 私の–嘆願の 私が–叫ぶ–とき あなたに 私が–上げる–とき 私の–手を
H8085 H6963 H8469 H7768 H0413 H5375 H3027

אֶל־ דְּבִיר קָדְשֶׁךָ׃
向かって 至聖所に あなたの–聖なる
H0413 H1687 H6944

わたしがあなたにむかって助けを求め、あなたの至聖所にむかって手をあげるとき、わたしの願いの声を聞いてください。

3
אַל־ תִּמְשְׁכֵנִי עִם־ רְשָׁעִים וְעִם־ פֹּעֲלֵי אָוֶן
どうか 私を–引きずらないでください 共に 悪人と そして–共に 行う–者たちと 不正を
H0408 H4900 H5973 H7563 H5973 H6466 H0205

דֹּבְרֵי שָׁלוֹם עִם־ רֵעֵיהֶם וְרָעָה בִלְבָבָם׃
語る–者たち 平和を 共に その–隣人と しかし–悪が–ある その–心には
H1696 H7965 H5973 H7453 H7451 H3824

悪しき者および悪を行う者らと共にわたしを引き行かないでください。彼らはその隣り人とむつまじく語るけれども、その心には害悪をいだく者です。

4
תֵּן־ לָהֶם כְּפָעֳלָם וּכְרֹעַ מַעַלְלֵיהֶם כְּמַעֲשֵׂה
与えてください 彼らに その–行いに–応じて そして–悪しき その–行為に–応じて わざに–応じて
H5414 H1992 H6467 H7451 H4611 H4639

יָדֵיהֶם הָשֵׁב גְּמוּלָם לָהֶם׃
その–手の 与えてください 彼らに 報いてください その–報いを 彼らに
H3027 H5414 H1992 H7725 H1576 H1992

どうぞ、そのわざにしたがい、その悪しき行いにしたがって彼らに報い、その手のわざにしたがって彼らに報い、その受くべき罰を彼らに与えてください。

5
כִּי לֹא יָבִינוּ אֶל־ פָּעֳלֹת יְהוָה וְאֶל־ מַעֲשֵׂה יָדָיו
なぜなら ない 彼らは–理解しない を 主の わざを そして–を その–御手の 業を
H3588 H3808 H0995 H0413 H6468 H3068 H0413 H4639 H3027

יְהֶרְסֵם וְלֹא יִבְנֵם׃
主は–彼らを–壊す そして–ない 建て直さない
H2040 H3808 H1129

彼らは主のもろもろのみわざと、み手のわざとを顧みないゆえに、主は彼らを倒して、再び建てられることはない。

6
בָּרוּךְ יְהוָה כִּי־ שָׁמַע קוֹל תַּחֲנוּנָי׃
ほめられよ 主は なぜなら 聞いてくださった 声を 私の–嘆願の
H1288 H3068 H3588 H8085 H6963 H8469

主はほむべきかな。主はわたしの願いの声を聞かれた。

7
יְהוָה עֻזִּי וּמָגִנִּי בּוֹ בָטַח לִבִּי וְנֶעְזָרְתִּי
主は 私の–力 そして–私の–盾 主に 信頼した 私の–心は そして–私は–助けられた
H3068 H5797 H4043 H0982 H3820 H3820 H5826

וַיַּעֲלֹז לִבִּי וּמִשִּׁירִי אֲהוֹדֶנּוּ׃
そして–喜び踊った 私の–心は そして–私の–歌で 私は–主を–賛美する
H5937 H3820 H7892 H3034

主はわが力、わが盾。わたしの心は主に寄り頼む。わたしは助けを得たので、わたしの心は大いに喜び、歌をもって主をほめたたえる。

8
יְהוָה עֹז־ לָמוֹ וּמָעוֹז יְשׁוּעוֹת מְשִׁיחוֹ הוּא׃
主は 力で–ある 彼らに–とって そして–砦である 救いの その–油注がれた–者の それは
H3068 H5797 H3820 H4581 H3444 H4899 H1931

主はその民の力、その油そそがれた者の救のとりでである。

9 והוֹשִׁיעָה֮ אֶת־ עַמֶּךָ֒ וּבָרֵךְ֒ אֶת־ נַחֲלָתֶךָ֑
救ってください を あなたの–民を そして–祝福してください を あなたの–受け継ぎを
H3467 H0853 H5971 H1288 H0853 H5159

וְרָעֵ֥ם וְנַשְּׂאֵ֗ם עַד־ הָעוֹלָֽם׃
そして–養い そして–抱き上げてください まで 永遠
H7462 H5375 H5704 H5769

どうぞ、あなたの民を救い、あなたの嗣業を恵み、彼らの牧者となって、とこしえに彼らをいだき導いてください。

Chapter 29

1 מִזְמ֥וֹר לְדָוִ֑ד הָ֝בוּ֗ לַיהוָ֥ה בְּנֵי־ אֵלִ֑ים הָ֝בוּ֗ לַיהוָ֥ה כָּב֥וֹד וָעֹֽז׃
賛歌 ダビデの 帰せよ 主に 子らよ 神の 帰せよ 主に 栄光と そして–力を
H4210 H1732 H3051 H3068 H0410 H3051 H3068 H3519 H5797

ダビデの歌 神の子らよ、主に帰せよ、栄光と力とを主に帰せよ。

2 הָ֝בוּ֗ לַיהוָ֥ה כְּב֣וֹד שְׁמ֑וֹ הִשְׁתַּחֲו֥וּ לַיהוָ֥ה בְּהַדְרַת־ קֹֽדֶשׁ׃
帰せよ 主に 栄光を その–御名の ひれ伏せよ 主に 輝きの–中で 聖なる
H3051 H3068 H3519 H8034 H7812 H3068 H1927 H6944

み名の栄光を主に帰せよ、聖なる装いをもって主を拝め。

3 קוֹל֮ יְהוָ֪ה עַל־ הַ֫מָּ֥יִם אֵ֣ל הַכָּב֣וֹד הִרְעִ֑ים יְ֝הוָ֗ה עַל־ מַ֥יִם רַבִּֽים׃
声が 主の の–上にある 水 神 栄光の 雷鳴らす 主は の–上に–おられる 水
H6963 H3068 H5921 H4325 H0410 H3519 H7481 H3068 H5921 H4325

主のみ声は水の上にあり、栄光の神は雷をとどろかせ、主は大水の上におられる。

4 קוֹל־ יְהוָ֥ה בַּכֹּ֑חַ קוֹל֮ יְ֝הוָ֗ה בֶּהָדָֽר׃
声は 主の 力ある 声は 主の 威厳ある
H6963 H3068 H3581 H6963 H3068 H1926

主のみ声は力があり、主のみ声は威厳がある。

5 קוֹל֮ יְהוָ֪ה שֹׁבֵ֫ר אַרְזִ֥ים וַיְשַׁבֵּ֣ר יְ֭הוָה אֶת־ אַרְזֵ֖י הַלְּבָנֽוֹן׃
声が 主の 折る 杉を そして–折る 主は を 杉を レバノンの
H6963 H3068 H7665 H0730 H7665 H3068 H0853 H0730 H3844

主のみ声は香柏を折り砕き、主はレバノンの香柏を折り砕かれる。

6 וַיַּרְקִידֵ֥ם כְּמ֣וֹ עֵ֑גֶל לְבָנ֥וֹן וְ֝שִׂרְיֹ֗ן כְּמ֥וֹ בֶן־ רְאֵמִֽים׃
そして–跳ねさせる ように 子牛の レバノンと そして–シルヨンを ように 子の 野牛の
H7540 H3644 H5695 H3844 H8303 H3644 H1121 H7214

主はレバノンを子牛のように踊らせ、シリオンを若い野牛のように踊らされる。

7 קוֹל־ יְהוָ֥ה חֹצֵ֥ב לַהֲבוֹת־ אֵֽשׁ׃
声が 主の 放つ 稲妙を 火の
H6963 H3068 H2672 H3852 H0784

主のみ声は炎をひらめかす。

קָדֵֽשׁ׃ מִדְבָּ֑ר יְהוָ֥ה יָחִ֗יל מִדְבַּ֥ר יָחִ֗יל יְהוָ֥ה קוֹל 8
カデシュの 荒野を 主は 震わせる 荒野を 震わせる 主の 声が
H6946 H3068 H3068 H3068

主のみ声は荒野を震わせ、主はカデシの荒野を震わされる。

אֹמֵ֥ר כֻּלּ֗וֹ וּבְהֵיכָלֹ֥ו יְעָרֹ֑ות וַיֶּחֱשֹׂ֥ף אַיָּלֹ֗ות יְחוֹלֵ֥ל יְהוָ֥ה קוֹל 9
言う すべてが そして-その-宮で 森を そして-裸にする 雌鹿を もだえさせる 主の 声が
H0559 H3605 H1964 H2834 H0355 H3068

כָּבֹֽוד׃
栄光と
H3519

主のみ声はかしの木を巻きあげ、また林を裸にする。その宮で、すべてのものは呼ばわって言う、「栄光」と。

לְעֹולָֽם׃ מֶ֣לֶךְ יְהוָ֥ה וַיֵּ֑שֶׁב יָ֝שָׁ֗ב לַמַּבּ֥וּל יְהוָ֥ה 10
永遠に 王として 主は そして-座す 座した 大洪水の-上に 主は
H5769 H4428 H3068 H3427 H3427 H3999 H3068

主は洪水の上に座し、主はみくらに座して、とこしえに王であらせられる。

בַּשָּׁלֹֽום׃ עַמֹּ֑ו אֶת־ יְבָרֵ֥ךְ יְהוָ֥ה יִתֵּ֗ן לְעַמֹּ֑ו עֹ֥ז יְהוָ֥ה 11
平和で その-民を を 祝福する 主は 与える その-民に 力を 主は
H7965 H0853 H1288 H3068 H5414 H5797 H3068

主はその民に力を与え、平安をもってその民を祝福されるであろう。

Chapter 30

מִזְמֹ֥ור 1
賛歌
H4210

שִׁיר־ חֲנֻכַּ֥ת הַבָּ֑יִת לְדָוִֽד׃ אֲרֹומִמְךָ֥ יְהוָ֗ה כִּ֤י
歌 奉献の 家の ダビデの 私は-あなたを-あがめる 主よ なぜなら
H2598 H1732 H3068

דִּלִּיתָֽנִי׃ וְלֹא־ שִׂמַּ֖חְתָּ אֹיְבַ֣י לִ֑י
あなたは-私を-引き上げた そして-なかった 喜ばせることは 私の-敵を 私に-対して
H1802 H3808 H8055 H0341

宮をささげるときにうたったダビデの歌 主よ、わたしはあなたをあがめます。あなたはわたしを引きあげ、敵がわたしの事によって喜ぶのを、ゆるされなかったからです。

רְפָאתָֽנִי׃ וַתְּ אֵלָ֗יךָ שִׁוַּ֥עְתִּי אֱלֹהָ֑י יְהוָ֥ה 2
そして-あなたは-私を-癒した あなたに 私は-叫んだ わが-神よ 主よ
H7495 H0413 H7768 H0430 H3068

わが神、主よ、わたしがあなたにむかって助けを叫び求めると、あなたはわたしをいやしてくださいました。

]מיורדי־[חִיִּיתַ֥נִי נַפְשִׁ֗י שְׁאֹ֫ול מִן־ הֶעֱלִ֥יתָ יְהוָ֥ה 3
― あなたは-私を-生かした 私の-魂を 陰府 から あなたは-引き上げた 主よ
H3381 H2421 H5927 H3068

בֹּֽור׃)מִיְּרִדִי־(穴に 下る-者たちの-中から
H3381

主よ、あなたはわたしの魂を陰府からひきあげ、墓に下る者のうちから、わたしを生き返らせてくださいました。

4 זַמְּרוּ לַיהוָה חֲסִידָיו וְהוֹדוּ לְזֵכֶר קָדְשׁוֹ׃
ほめたたえよ 主に その-聖徒よ そして-感謝せよ 記念に その-聖なる
H2167 H3068 H2623 H3034 H2143 H6944

主の聖徒よ、主をほめうたい、その聖なるみ名に感謝せよ。

5 כִּי רֶגַע בְּאַפּוֹ חַיִּים בִּרְצוֹנוֹ בָּעֶרֶב יָלִין בֶּכִי וְלַבֹּקֶר רִנָּה׃
なぜなら 一瞬である その-怒りは 命が-ある その-恵みには 夕べに 宿る 涙が しかし-朝には 喜びの-叫びが
H3588 H7281 H0639 H2416 H7522 H6153 H3885 H1065 H1242 H7440

その怒りはただつかのまで、その恵みはいのちのかぎり長いからである。夜はよもすがら泣きかなしんでも、朝と共に喜びが来る。

6 וַאֲנִי אָמַרְתִּי בְשַׁלְוִי בַּל־אֶמּוֹט לְעוֹלָם׃
そして-私は 言った 安らぎの-中で 決して 揺るがない 永遠に
H0589 H0559 H7959 H1077 H4131 H5769

わたしは安らかな時に言った、「わたしは決して動かされることはない」と。

7 יְהוָה בִּרְצוֹנְךָ הֶעֱמַדְתָּה לְהַרְרִי עֹז הִסְתַּרְתָּ פָּנֶיךָ הָיִיתִי נִבְהָל׃
主よ あなたの-恵みにより あなたは-立たせた 私の-山を 力ある あなたが-隠した 御顔を 私は-なった おびえる-者に
H3068 H7522 H5975 H2042 H5797 H5641 H6440 H1961 H0926

主よ、あなた恵みをもって、わたしをゆるがない山のように堅くされました。あなたがみ顔をかくされたので、わたしはおじ惑いました。

8 אֵלֶיךָ יְהוָה אֶקְרָא וְאֶל־אֲדֹנָי אֶתְחַנָּן׃
あなたに 主よ 私は-叫ぶ そして-向かって 主に 私は-嘆願する
H0413 H3068 H7121 H0413 H0136 H2603

主よ、わたしはあなたに呼ばわりました。ひたすら主に請い願いました、

9 מַה־בֶּצַע בְּדָמִי בְּרִדְתִּי שָׁחַת הֲיוֹדְךָ עָפָר הֲיַגִּיד אֲמִתֶּךָ׃
何の 利益が-あるか 私の-血に 私が-下る-とき 滅びに 塵が-あなたを-賛美するか 塵が 語るか あなたの-真実を
H4100 H1215 H1818 H3381 H7845 H3034 H6083 H5046 H0571

「わたしが墓に下るならば、わたしの死になんの益があるでしょうか。ちりはあなたをほめたたえるでしょうか。あなたのまことをのべ伝えるでしょうか。

10 שְׁמַע־יְהוָה וְחָנֵּנִי יְהוָה הֱיֵה־עֹזֵר לִי׃
聞いてください 主よ そして-憐れんでください 主よ なってください 助ける-方に 私に-とって
H8085 H3068 H2603 H3068 H1961 H5826 H3807

主よ、聞いてください、わたしをあわれんでください。主よ、わたしの助けとなってください」と。

11 הָפַכְתָּ מִסְפְּדִי לִי פִּתַּחְתָּ שַׂקִּי
あなたは–変えた 私の–嘆きを 踊りに 私の–ために あなたは–解いた
H2015 H4553 H4234 H8242

וַתְּאַזְּרֵנִי שִׂמְחָה׃
そして–私に–帯びせた 喜びを
H0247 H8057

あなたはわたしのために、嘆きを踊りにかえ、荒布を解き、喜びをわたしの帯とされました。

12 וְלֹא יִדֹּם כְּבוֹד יְזַמֶּרְךָ יְהוָה אֱלֹהַי לְעוֹלָם אוֹדֶךָּ׃
そして–ない 沈黙しない 栄光が ほめたたえる 主よ わが–神よ 永遠に 私は–あなたに–感謝する
H3808 H1993 H3519 H2167 H3068 H0430 H5769 H3034

これはわたしの魂があなたをほめたたえて、口をつぐむことのないためです。わが神、主よ、わたしはとこしえにあなたに感謝します。

Chapter 31

1 לַמְנַצֵּחַ מִזְמוֹר לְדָוִד בְּךָ יְהוָה חָסִיתִי אַל־אֵבוֹשָׁה
指揮者に 賛歌 ダビデの あなたに 主よ 私は–身を–寄せる どうか 恥じさせないでください
H5329 H4210 H1732 H3068 H2620 H0408 H0954

לְעוֹלָם בְּצִדְקָתְךָ פַּלְּטֵנִי׃
永遠に あなたの–義によって 救い出してください
H5769 H6666 H6403

聖歌隊の指揮者によってうたわせたダビデの歌 主よ、わたしはあなたに寄り頼みます。とこしえにわたしをはずかしめず、あなたの義をもってわたしをお助けください。

2 הַטֵּה אֵלַי אָזְנְךָ מְהֵרָה הַצִּילֵנִי הֱיֵה־לִי
傾けてください 私に あなたの–耳を 急いで 救い出してください なって ください 私に–とって
H5186 H0413 H0241 H4120 H5337 H1961

לְבֵית מָעוֹז לְהוֹשִׁיעֵנִי׃ מְצוּדוֹת
家に 力ある 私を–救うために 要塞の
H4581 H3467

あなたの耳をわたしに傾けて、すみやかにわたしをお救いください。わたしのためにのがれの岩となり、わたしを救う堅固な城となってください。

3 כִּי־סַלְעִי וּמְצוּדָתִי אָתָּה וְלִמַּעַן שִׁמְךָ
なぜなら 私の–岩 そして–私の–要塞である あなたは そして–ために あなたの–御名の
H5553 H4616 H8034

תַּנְחֵנִי וּתְנַהֲלֵנִי׃
私を–導いてください そして–私を–導いてください
H5148 H5095

まことに、あなたはわたしの岩、わたしの城です。み名のためにわたしを引き、わたしを導き、

4 תּוֹצִיאֵנִי מֵרֶשֶׁת זוּ טָמְנוּ לִי כִּי־אַתָּה מָעוּזִּי׃
引き出してください 網から この 仕掛けた 私に なぜなら あなたが 私の–砦である
H3318 H7568 H2098 H2934 H4581

わたしのためにひそかに設けた網からわたしを取り出してください。あなたはわたしの避け所です。

אֱמֶת׃	אֵל	יְהוָה	אוֹתִי	פָּדִיתָה	רוּחִי	אַפְקִיד	בְּיָדֶךָ	5
真実の	神よ	主よ	私を	あなたは–贖った	私の–霊を	私は–委ねる	あなたの–御手に	
H0571	H0410	H3068	H0853	H6299	H7307		H3027	

わたしは、わが魂をみ手にゆだねます。主、まことの神よ、あなたはわたしをあがなわれました。

בָּטַחְתִּי׃	יְהוָה	אֵל־	וַאֲנִי	שָׁוְא	הַבְלֵי־	הַשֹּׁמְרִים	שָׂנֵאתִי	6
信頼する	主に	向かって	しかし–私は	虚偽の	空しき–ものを	守る–者を	私は–憎んだ	
H0982	H3068	H0413	H0589	H7723	H1892	H8104	H8130	

あなたはむなしい偶像に心を寄せる者を憎まれます。しかしわたしは主に信頼し、

אֶת־	רָאִיתָ	אֲשֶׁר	בְּחַסְדֶּךָ	וְאֶשְׂמְחָה	אָגִילָה		7
を	あなたは–見てくださった	なぜなら	あなたの–慈しみに	そして–喜ぼう	私は–喜び踊ろう		
H0853	H7200			H8055	H1523		

נַפְשִׁי׃	בְּצָרוֹת	יָדָעְתָּ	עָנְיִי
私の–魂を	苦悩の–中の	あなたは–知ってくださった	私の–苦しみを
H5315		H3045	H6040

あなたのいつくしみを喜び楽しみます。あなたがわたしの苦しみをかえりみ、わたしの悩みにみこころをとめ、

בַּמֶּרְחָב	הֶעֱמַדְתָּ	אוֹיֵב	בְיַד־	הִסְגַּרְתָּנִי	וְלֹא	8
広い–場所に	あなたは–立たせた	敵の	手に	あなたは–私を–渡さなかった	そして–なかった	
H4800	H5975	H0341	H3027	H5462	H3808	

רַגְלָי׃
私の–足を
H7272

わたしを敵の手にわたさず、わたしの足を広い所に立たせられたからです。

עֵינִי	בְּכַעַס	עָשְׁשָׁה	לִי	צַר־	כִּי	יְהוָה	חָנֵּנִי	9
私の–目は	悲しみで	衰えた	私には	苦しい–からです	なぜなら	主よ	憐れんでください	
		H6244				H3068		

וּבִטְנִי׃	נַפְשִׁי
そして–私の–体も	私の–魂も
H0990	H5315

主よ、わたしをあわれんでください。わたしは悩み苦しんでいます。わたしの目は憂いによって衰え、わたしの魂も、からだもまた衰えました。

כֹּחִי	בַּעֲוֹנִי	כָּשַׁל	בַּאֲנָחָה	וּשְׁנוֹתַי	חַיַּי	בְיָגוֹן	כָּלוּ	כִּי	10
私の–力は	私の–咎で	弱った	嘆きで	そして–私の–年も	私の–命は	悲しみで	尽きた	なぜなら	
	H5771	H3782	H0585	H8141		H3015	H3615		

עָשְׁשׁוּ׃	וַעֲצָמַי
衰えた	そして–私の–骨も
H6244	H6106

わたしのいのちは悲しみによって消えゆき、わたしの年は嘆きによって消えさり、わたしの力は苦しみによって尽き、わたしの骨は枯れはてました。

מְאֹד	וְלִשְׁכֵנַי	חֶרְפָּה	הָיֵיתִי	צָרַי	מִכֹּל־				11
大いに	そして–私の–隣人には	そしりに	私は–なった	私の–敵の	すべての–中で				
H3966	H7934	H2781	H1961		H3605				

מִמֶּנִּי׃	נָדְדוּ	בַּחוּץ	רֹאַי	לְמְיָדָעַי	וּפַחַד
私から	逃げた	外で	私を–見る–者は	私の–知人には	そして–恐れとなった
	H5074	H2351	H7200	H3045	H6343

わたしはすべてのあだにそしられる者となり、隣り人には恐れられ、知り人には恐るべき者となり、ちまたでわたしを見る者は避けて逃げます。

	אֹבֵד׃	כִּכְלִי	הָיִיתִי	מֵלֵב	כְּמֵת	נִשְׁכַּחְתִּי	12
	失われた	壊れた-器の-ように	私は-なった	心から	死人の-ように	私は-忘れられた	
	H0006	H3627	H1961		H4191	H7911	

わたしは死んだ者のように人の心に忘れられ、破れた器のようになりました。

יַחַד	בְּהִוָּסְדָם	מִסָּבִיב	מָגוֹר	רַבִּים	דִּבַּת	וְשָׁמַעְתִּי	כִּי	13
一緒に	彼らが-共に-謀る-とき	四方から	恐れが	多くの-者の	そしりを	私は-聞いた	なぜなら	
	H3245	H5439	H4032		H1681	H8085		

זָמְמוּ׃	נַפְשִׁי	לָקַחַת	עָלָי	
彼らは-たくらんだ	私の-命を	奪おうとする	私に-対して	
H2161	H5315	H3947		

まことに、わたしは多くの人のささやくのを聞きます、「至る所に恐るべきことがある」と。彼らはわたしに逆らってともに計り、わたしのいのちを取ろうと、たくらむのです。

	אָתָּה׃	אֱלֹהָי	אָמַרְתִּי	יְהוָה	בָטַחְתִּי	עָלֶיךָ	וַאֲנִי	14
	あなたは	わが-神である	私は-言った	主よ	信頼する	あなたに	しかし-私は	
		H0430	H0559	H3068	H0982		H0589	

しかし、主よ、わたしはあなたに信頼して、言います、「あなたはわたしの神である」と。

	וּמֵרֹדְפָי׃	אוֹיְבָי	מִיַּד־	הַצִּילֵנִי	עִתֹּתַי	בְיָדֶךָ	15
	そして-私の-追手の	私の-敵の	手から	救い出してください	私の-時は	あなたの-御手に-ある	
	H7291	H0341	H3027	H5337	H6256	H3027	

わたしの時はあなたのみ手にあります。わたしをわたしの敵の手と、わたしを責め立てる者から救い出してください。

	בְּחַסְדֶּךָ׃	הוֹשִׁיעֵנִי	עַבְדֶּךָ	עַל־	פָּנֶיךָ	הָאִירָה	16
	あなたの-慈しみで	救ってください	あなたの-僕の	の-上に	あなたの-御顔を	輝かせてください	
		H3467	H5650		H6440	H0215	

み顔をしもべの上に輝かせ、いつくしみをもってわたしをお救いください。

יִדְמוּ	רְשָׁעִים	יֵבֹשׁוּ	קְרָאתִיךָ	כִּי	אֵבוֹשָׁה	אַל־	יְהוָה	17
沈黙せよ	悪人よ	恥じよ	私は-あなたを-呼んだ	なぜなら	恥じさせないでください	どうか	主よ	
	H7563	H0954	H7121		H0954	H0408	H3068	

לִשְׁאוֹל׃	
陰府で	
H7585	

主よ、わたしはあなたに呼ばわります、わたしをはずかしめないでください。悪しき者に恥をうけさせ、彼らに声をあげさせずに陰府に行かせてください。

	וָבוּז׃	בְּגַאֲוָה	עָתָק	צַדִּיק	עַל־	הַדֹּבְרוֹת	שָׁקֶר	שִׂפְתֵי	תֵּאָלַמְנָה	18
	そして-侮べつを	高慢と	傲慢を	義人に	に-対して	語る-者たちよ	偽りの	唇よ	黙らせられよ	
	H0937	H1346	H6277	H6662		H1696	H8267	H8193	H0481	

高ぶりと侮りとをもって正しい者をみだりにそしる偽りのくちびるをつぐませてください。

פָּעַלְתָּ	לִירֵאֶיךָ	צָפַנְתָּ	אֲשֶׁר־	טוּבְךָ	רַב־	מָה		19
あなたは-行った	あなたを-畏れる-者に	あなたは-蓄えた	それを	あなたの-恵みは	大きい	なんと		
H6466	H3373	H6845		H2898		H4100		

אָדָם׃	בְּנֵי	נֶגֶד	בָּךְ	לַחֹסִים
人の	子らの	前で	あなたに	身を-寄せる-者に
H0120		H5048		H2620

あなたを恐れる者のためにたくわえ、あなたに寄り頼む者のために人の子らの前に施されたあなたの恵みはいかに大いなるものでしょう。

20

תִּצְפְּנֵם	אִישׁ	מֵרֶכְסֵי	פָּנֶיךָ	בְּסֵתֶר	תַּסְתִּירֵם׀
あなたは–彼らを–隠す	人の	謀りごとから	あなたの–御顔の	奈の–中に	あなたは–彼らを–隠す
H6845	H0376	H7407	H6440		H5641

לְשֹׁנוֹת׃	מֵרִיב	בְּסֻכָּה
舌の	争いから	仮庵に
H3956	H7379	H5521

あなたは彼らをみ前のひそかな所に隠して人々のはかりごとを免れさせ、また仮屋のうちに潜ませて舌の争いを避けさせられます。

21

מָצוֹר׃	בְּעִיר	לִּי	חַסְדּוֹ	הִפְלָיא	כִּי	יְהוָה	בָּרוּךְ
囲まれた	城市の–中で	私に	その–慈しみを	不思議に–示した	なぜなら	主は	ほめられよ
H4692				H6381		H3068	H1288

主はほむべきかな、包囲された町のようにわたしが囲まれたとき、主は驚くばかりに、いつくしみをわたしに示された。

22

אָכֵן	עֵינֶיךָ	מִנֶּגֶד	נִגְרַזְתִּי	בְחָפְזִי	אָמַרְתִּי	וַאֲנִי
しかし–まことに	あなたの–目の	前から	私は–断たれた	憐ての–中で	言った	そして–私は
H0403		H5048	H1629	H2648	H0559	H0589

אֵלֶיךָ׃	בְּשַׁוְּעִי	תַּחֲנוּנַי	קוֹל	שָׁמַעְתָּ
あなたに	私が–叫んだ–とき	私の–嘆願の	声を	あなたは–聞いてくださった
H0413	H7768	H8469		H8085

わたしは驚きあわてて言った、「わたしはあなたの目の前から断たれた」と。しかしわたしがあなたに助けを呼び求めたとき、わたしの願いを聞きいれられた。

23

עַל־	וּמְשַׁלֵּם	יְהוָה	נֹצֵר	אֱמוּנִים	חֲסִידָיו	כָּל־	יְהוָה	אֶת־	אֶהֱבוּ
に–対して	そして–報いる	主は	守る	忠実な–者を	その–聖徒よ	すべての	主を	を	愛せよ
		H3068	H5341	H0539	H2623	H3605	H3068	H0853	H0157

גַּאֲוָה׃	עֹשֶׂה	יֶתֶר
高慢を	行う–者に	豊かに
H1346		

すべての聖徒よ、主を愛せよ。主は真実な者を守られるが、おごりふるまう者にはしたたかに報いられる。

24

לַיהוָה׃	הַמְיַחֲלִים	כָּל־	לְבַבְכֶם	וְיַאֲמֵץ	חִזְקוּ
主に	待ち望む–者よ	すべての	あなたがたの–心よ	そして–雄々しく–あれ	強く–あれ
H3068	H3176	H3605	H3824	H0553	H2388

すべて主を待ち望む者よ、強くあれ、心を雄々しくせよ。

Chapter 32

1

חַטָּאָה׃	כְּסוּי	פֶּשַׁע	נְשׂוּי־	אַשְׁרֵי	מַשְׂכִּיל	לְדָוִד
罪を	覆われた–者は	背きを	赦された–者は	幸いなるかな	教訓の–歌	ダビデの
H2401	H3680	H6588	H5375	H0835	H4905	H1732

ダビデのマスキールの歌 そのとががゆるされ、その罪がおおい消される者はさいわいである。

2

רְמִיָּה׃	בְּרוּחוֹ	וְאֵין	עָוֹן	לוֹ	יְהוָה	יַחְשֹׁב	לֹא	אָדָם	אַשְׁרֵי
偽りが	その–霊に	そして–ない	咎を	彼に	主が	数えない	ない	人は	幸いなるかな
	H7307	H0369	H5771		H3068	H2803	H3808	H0120	H0835

主によって不義を負わされず、その霊に偽りのない人はさいわいである。

3 כִּי־ הֶחֱרַשְׁתִּי בָלוּ עַצְמָי בְּשַׁאֲגָתִי כָּל־ הַיּוֹם׃
私が 沈黙していた–とき 衰えた 私の–骨は 私の–うめきで すべての 日を
H3588 H2790 H1086 H6106 H7581 H3605 H3117

わたしが自分の罪を言いあらわさなかった時は、ひねもす苦しみうめいたので、わたしの骨はふるび衰えた。

4 כִּי יוֹמָם וָלַיְלָה תִּכְבַּד עָלַי יָדֶךָ נֶהְפַּךְ
なぜなら 昼も そして–夜も 重く–のしかかった 私の–上に あなたの–御手が 変わった
H3588 H3119 H3915 H3513 H5921 H3027 H2015

לְשַׁדִּי בְּחַרְבֹנֵי קַיִץ סֶלָה׃
私の–潤いは 乾きの–中で 夏の セラ
H3955 H2725 H7019 H5542

あなたのみ手が昼も夜も、わたしの上に重かったからである。わたしの力は、夏のひでりによってかれるように、かれ果てた。[セラ

5 חַטָּאתִי אוֹדִיעֲךָ וַעֲוֹנִי לֹא־ כִסִּיתִי אָמַרְתִּי
私の–罪を 私は–あなたに–告げた そして–私の–咎を ない 私は–隠さなかった 私は–言った
H2403 H3045 H5771 H3808 H3680 H0559

חַטָּאתִי וְאַתָּה נָשָׂאתָ עֲוֹן סֶלָה׃ לַיהוָה פְּשָׁעַי עָלָי אוֹדֶה
私の–罪を そして–あなたは 赦した 咎を セラ 主に 私の–背きを に–ついて 私は–告白しよう
H2403 H859 H5375 H5771 H5542 H3068 H6588 H5921 H3034

わたしは自分の罪をあなたに知らせ、自分の不義を隠さなかった。わたしは言った、「わたしのとがを主に告白しよう」と。その時あなたはわたしの犯した罪をゆるされた。[セラ

6 עַל־ זֹאת יִתְפַּלֵּל כָּל־ וְחָסִיד אֵלֶיךָ לְעֵת מְצֹא רַק
この–ゆえに このことの 祈るべきである すべての 聖徒は あなたに 時に 見いだされる ただ
H5921 H2063 H6419 H3605 H2623 H413 H6256 H4672 H7535

לֹא אֵלָיו הֵמָּה לָמַיִם רַבִּים שִׁטְפַת לֹא יַגִּיעוּ׃
ない 彼に 大いなる 水の 大–洪水の 届かない
H3808 H413 H7227 H4325 H7858 H5060

このゆえに、すべて神を敬う者はあなたに祈る。大水の押し寄せる悩みの時にもその身に及ぶことはない。

7 אַתָּה סֵתֶר לִי מִצַּר תִּצְּרֵנִי רָנֵּי פַלֵּט
あなたは 隠れ家である 私の 苦しみから あなたは–私を–守る 喜びの–歌で 救いの
H859 H5643 H3924 H6862 H5341 H7440 H6405

תְּסוֹבְבֵנִי סֶלָה׃
あなたは–私を–囲む セラ
H5437 H5542

あなたはわたしの隠れ場であって、わたしを守って悩みを免れさせ、救をもってわたしを囲まれる。[セラ

8 אַשְׂכִּילְךָ וְאוֹרְךָ בְּדֶרֶךְ־ זּוּ תֵלֵךְ אִיעֲצָה
私は–あなたを–教えよう そして–あなたを–導こう 道を この 歩む–べき 私は–助言しよう
H7919 H1870 H2098 H3212 H3289

עָלֶיךָ עֵינִי׃
あなたの–上に 私の–目を–置いて
H5921 H5869

わたしはあなたを教え、あなたの行くべき道を示し、わたしの目をあなたにとめて、さとすであろう。

9 אַל־ תִּהְיוּ כְּסוּס כְּפֶרֶד אֵין הָבִין בְּמֶתֶג־ וָרֶסֶן עֶדְיָו לִבְלוֹם בַּל קְרֹב אֵלֶיךָ׃
どうか ならないでください 馬の–ように 騾馬の–ように ない 理解が くつわと そして–手綱で 制えるために さもないと 近づかない あなたに
H0408 H1961 H5483 H6505 H0369 H0995 H4964 H7448 H5716 H1077 H7126 H0413

あなたはさとりのない馬のようであってはならない。また騾馬のようであってはならない。彼らはくつわ、たづなをもっておさえられなければ、あなたに従わないであろう。

10 רַבִּים מַכְאוֹבִים לָרָשָׁע וְהַבּוֹטֵחַ בַּיהוָה חֶסֶד יְסוֹבְבֶנּוּ׃
多い 苦しみが 悪人には しかし–信頼する–者を 主に 慈しみが 取り囲む
H7227 H4341 H7563 H0982 H3068 H2617 H5437

悪しき者は悲しみが多い。しかし主に信頼する者はいつくしみで囲まれる。

11 שִׂמְחוּ בַיהוָה וְגִילוּ צַדִּיקִים וְהָרְנִינוּ כָּל־ יִשְׁרֵי־ לֵב׃
喜べ 主に–あって そして–喜び踊れ 義人よ そして–喜びの–声を–上げよ すべての 正しい–者よ 心の
H8055 H3068 H1523 H6662 H7442 H3605 H3477 H3820

正しき者よ、主によって喜び楽しめ、すべて心の直き者よ、喜びの声を高くあげよ。

Chapter 33

1 רַנְּנוּ צַדִּיקִים בַּיהוָה לַיְשָׁרִים נָאוָה תְהִלָּה׃
喜びの–声を–上げよ 義人よ 主に–あって 正しい–者には ふさわしい 賛美が
H7442 H6662 H3068 H3477 H5000 H8416

正しき者よ、主によって喜べ、さんびは直き者にふさわしい。

2 הוֹדוּ לַיהוָה בְּכִנּוֹר בְּנֵבֶל עָשׂוֹר זַמְּרוּ־ לוֹ׃
感謝せよ 主に 琴で 十弦の 琴で ほめたたえよ 主に
H3034 H3068 H3658 H5035 H6218 H2167 H3927

琴をもって主をさんびせよ、十弦の立琴をもって主をほめたたえよ。

3 שִׁירוּ־ לוֹ שִׁיר חָדָשׁ הֵיטִיבוּ נַגֵּן בִּתְרוּעָה׃
歌え 主に 歌を 新しい 巧みに 奏でよ 喜びの–叫びと–共に
H7891 H3927 H7892 H2319 H3190 H5059 H8643

新しい歌を主にむかって歌い、喜びの声をあげて巧みに琴をかきならせ。

4 כִּי־ יָשָׁר דְּבַר־ יְהוָה וְכָל־ מַעֲשֵׂהוּ בֶּאֱמוּנָה׃
なぜなら 正しい 言葉は 主の そして–すべての その–わざは 誠実である
H3588 H3477 H1697 H3068 H3605 H4639 H0530

主のみことばは直く、そのすべてのみわざは真実だからである。

5 אֹהֵב צְדָקָה וּמִשְׁפָּט חֶסֶד יְהוָה מָלְאָה הָאָרֶץ׃
愛する 義と そして–正義を 慈しみで 主の 満ちている 地は
H0157 H6666 H4941 H2617 H3068 H4390 H0776

主は正義と公平とを愛される。地は主のいつくしみで満ちている。

צְבָאָם׃	כָּל־	פִּיו	וּבְרוּחַ	נַעֲשׂוּ	שָׁמַיִם	יְהוָה	בִּדְבַר	6
その–軍勢は	すべての	その–口の	そして–息によって	造られた	天は	主の	言葉によって	
H3605	H6310	H7307		H8064	H3068	H1697		

もろもろの天は主のみことばによって造られ、天の万軍は主の口の息によって造られた。

תְּהוֹמוֹת׃	בְּאֹצָרוֹת	נֹתֵן	הַיָּם	מֵי	כַּנֵּד	כֹּנֵס	7
深淵を	倉に	置く	海の	水を	堰の–ように	集める	
H8415	H0214	H5414	H3220	H4325	H5067	H3664	

主は海の水を水がめの中に集めるように集め、深い淵を倉におさめられた。

תֵּבֵל׃	יֹשְׁבֵי	כָּל־	יָגוּרוּ	מִמֶּנּוּ	הָאָרֶץ	כָּל־	מֵיְהוָה	יִירְאוּ	8
世界に	住む–者よ	すべての	おじけるがよい	主を	地よ	すべての	主を	畏れよ	
H8398	H3427	H3605			H0776	H3605	H3068	H3372	

全地は主を恐れ、世に住むすべての者は主を恐れかしこめ。

וַיֵּעָמֹד׃	צִוָּה	הוּא־	וַיְהִי	אָמַר	הוּא	כִּי	9
そして–それは–立った	命じた	主が	そして–それは–成った	言われた	主が	なぜなら	
H5975	H6680	H1931	H1961	H0559	H1931		

主が仰せられると、そのようになり、命じられると、堅く立ったからである。

עַמִּים׃	מַחְשְׁבוֹת	הֵנִיא	גּוֹיִם	עֲצַת־	הֵפִיר	יְהוָה	10
民々の	たくらみを	無にする	諸国の	計画を	破る	主は	
	H4284	H5106		H6098	H6331	H3068	

主はもろもろの国のはかりごとをむなしくし、もろもろの民の企てをくじかれる。

וָדֹר׃	לְדֹר	לִבּוֹ	מַחְשְׁבוֹת	תַּעֲמֹד	לְעוֹלָם	יְהוָה	עֲצַת	11
そして–代々に	代々に	その–心の	思いは	立つ	永遠に	主の	計画は	
H1755	H1755		H4284	H5975	H5769	H3068	H6098	

主のはかりごとはとこしえに立ち、そのみこころの思いは世々に立つ。

לְנַחֲלָה	בָּחַר	וְהָעָם	אֱלֹהָיו	יְהוָה	אֲשֶׁר־	הַגּוֹי	אַשְׁרֵי	12
受け継ぎとして	主が–選んだ	民よ	その–神である	主が	その	国は	幸いなるかな	
H5159	H0977		H0430	H3068			H0835	
							לוֹ׃	
							その–ために	

主をおのが神とする国はさいわいである。主がその嗣業として選ばれた民はさいわいである。

הָאָדָם׃	בְּנֵי	כָּל־	אֶת־	רָאָה	יְהוָה	הִבִּיט	מִשָּׁמַיִם	13
人の	子らを	すべての	を	見る	主は	見下ろす	天から	
H0120		H3605	H0853	H7200	H3068	H5027	H8064	

主は天から見おろされ、すべての人の子らを見、

הָאָרֶץ׃	יֹשְׁבֵי	כָּל־	אֶל	הִשְׁגִּיחַ	שִׁבְתּוֹ	מִמְּכוֹן־	14
地に	住む–者を	すべての	向かって	見守る	その–住まいの	場所から	
H0776	H3427	H3605	H0413	H7688	H3427	H4349	

そのおられる所から地に住むすべての人をながめられる。

מַעֲשֵׂיהֶם׃	כָּל־	אֶל־	הַמֵּבִין	לִבָּם	יַחַד	הַיֹּצֵר	15
その–わざを	すべての	を	理解する–方は	その–心を	共に	造る–方は	
H4639	H3605	H0413	H0995			H3335	

主はすべて彼らの心を造り、そのすべてのわざに心をとめられる。

כֹּֽחַ׃	בְּרֹב־	יִנָּצֵל	לֹא־	גִּבּוֹר	חַיִל	בְּרֹב־	נוֹשָׁע	הַמֶּלֶךְ	אֵין־	16
力の	大きな–力で	救われない	ない	勇士も	軍の	大きな–軍勢で	救われない	王は	ない	
H7230		H5337	H3808	H1368	H2428	H7230	H3467	H4428	H0369	

王はその軍勢の多きによって救を得ない。勇士はその力の大いなるによって助けを得ない。

יְמַלֵּֽט׃	לֹֽא	חֵילוֹ	וּבְרֹב	לִתְשׁוּעָה	הַסּוּס	שֶׁקֶר	17
救えない	ない	その–力でも	そして–大きな	救いには	馬は	偽りである	
H4422	H3808	H2428	H7230	H8668		H8267	

馬は勝利に頼みとならない。その大いなる力も人を助けることはできない。

לְחַסְדּֽוֹ׃	לַמְיַחֲלִים	יְרֵאָיו	אֶל־	יְהוָה	עֵין	הִנֵּה	18
その–慈しみを	待ち望む–者に	主を–畏れる–者に	向かっている	主の	目は	見よ	
	H3176	H3373	H0413	H3068		H2009	

見よ、主の目は主を恐れる者の上にあり、そのいつくしみを望む者の上にある。

בָּרָעָֽב׃	וּלְחַיּוֹתָם	נַפְשָׁם	מִמָּוֶת	לְהַצִּיל	19
飢饉の–中で	そして–生かすために	その–魂を	死から	救うために	
H7458	H2421	H5315	H4194	H5337	

これは主が彼らの魂を死から救い、ききんの時にも生きながらえさせるためである。

הֽוּא׃	וּמָגִנֵּנוּ	עֶזְרֵנוּ	לַיהוָה	חִכְּתָה	נַפְשֵׁנוּ	20
主は	そして–私たちの–盾である	私たちの–助け	主を	待ち望む	私たちの–魂は	
H1931	H4043	H5828	H3068	H2442	H5315	

われらの魂は主を待ち望む。主はわれらの助け、われらの盾である。

בָּטָֽחְנוּ׃	קָדְשׁוֹ	בְּשֵׁם	כִּי	לִבֵּנוּ	יִשְׂמַח	בּוֹ	כִּי־	21
私たちは–信頼する	その–聖なる	御名に	なぜなら	私たちの–心は	喜ぶ	主に–あって	なぜなら	
H0982	H6944	H8034			H8055			

われらは主の聖なるみ名に信頼するがゆえに、われらの心は主にあって喜ぶ。

לָֽךְ׃	יְחַלְנוּ	כַּאֲשֶׁר	עָלֵינוּ	יְהוָה	חַסְדְּךָ	יְהִי־	22
あなたを	私たちが–待ち望む	の–ように	私たちの–上に	主よ	あなたの–慈しみを	あらせたまえ	
	H3176			H3068		H1961	

主よ、われらが待ち望むように、あなたのいつくしみをわれらの上にたれてください。

Chapter 34

אֲבִימֶלֶךְ	לִפְנֵי	טַעְמוֹ	אֶת־	בְּשַׁנּוֹתָו	לְדָוִד	1
アビメレクの	前で	その–振る舞いを	を	彼が–変えた–とき	ダビデの	
H0040	H6440	H2940	H0853		H1732	

עֵת	בְּכָל־	יְהוָה	אֶת־	אֲבָרְכָה	וַיֵּלַךְ׃	וַיְגָרְשֵׁהוּ	
時に	すべての	主を	を	私は–ほめたたえよう	そして–彼は–去った	そして–彼は–彼を–追い出した	
H6256	H3605	H3068	H0853	H1288	H1980	H1644	

בְּפִֽי׃	תְּהִלָּתוֹ	תָּמִיד	
私の–口に	その–賛美が	常に	
H6310	H8416	H8548	

ダビデがアビメレクの前で狂ったさまをよそおい、追われて出ていったときの歌 わたしは常に主をほめまつる。そのさんびはわたしの口に絶えない。

וְיִשְׂמְחוּ׃	עֲנָוִים	יִשְׁמְעוּ	נַפְשִׁי	תִּתְהַלֵּל	בַּיהוָה	2
そして–喜ぶだろう	へりくだる–者たちが	聞くだろう	私の–魂は	誇る	主に–あって	
H8055	H6035	H8085	H5315		H3068	

わが魂は主によって誇る。苦しむ者はこれを聞いて喜ぶであろう。

יַחְדָּו׃	שְׁמוֹ	וּנְרוֹמְמָה	אִתִּי	לַיהוָה	גַּדְּלוּ	3
共に	その–御名を	そして–あがめよう	私と–共に	主を	崇めよ	
	H8034		H0854	H3068	H1431	

わたしと共に主をあがめよ、われらは共にみ名をほめたたえよう。

הִצִּילָנִי׃	מְגוּרוֹתַי	וּמִכָּל־	וְעָנָנִי	יְהוָה	אֶת־	דָּרַשְׁתִּי	4
救い出した	私の–恐れから	そして–すべての	そして–主は–答えた	主を	を	私は–求めた	
H5337	H4034	H3605		H3068	H0853	H1875	

わたしが主に求めたとき、主はわたしに答え、すべての恐れからわたしを助け出された。

יֶחְפָּרוּ׃	אַל־	וּפְנֵיהֶם	וְנָהֲרוּ	אֵלָיו	הִבִּיטוּ	5
恥じなかった	決して	そして–その–顔は	そして–輝いた	主に	仰ぎ–見た	
H2659	H0408	H6440		H0413	H5027	

主を仰ぎ見て、光を得よ、そうすれば、あなたがたは、恥じて顔を赤くすることはない。

הוֹשִׁיעוֹ׃	צָרוֹתָיו	וּמִכָּל־	שָׁמֵעַ	וַיהוָה	קָרָא	עָנִי	זֶה	6
救った	その–苦しみから	そして–すべての	聞いた	そして–主は	叫んだ	苦しむ–者が	この	
H3467		H3605	H8085	H3068	H7121	H6041	H2088	

この苦しむ者が呼ばわったとき、主は聞いて、すべての悩みから救い出された。

וַיְחַלְּצֵם׃	לִירֵאָיו	סָבִיב	יְהוָה	מַלְאַךְ־	חֹנֶה	7
そして–彼らを–救い出す	主を–畏れる–者の	周りに	主の	御使いが	宿営する	
	H3373	H5439	H3068	H4397	H2583	

主の使は主を恐れる者のまわりに陣をしいて彼らを助けられる。

בּוֹ׃	יֶחֱסֶה־	הַגֶּבֶר	אַשְׁרֵי	יְהוָה	טוֹב	כִּי־	וּרְאוּ	טַעֲמוּ	8
主に	身を–寄せる	人は	幸いなるかな	主は	善い	まことに	そして–見よ	味わえ	
	H2620	H1397	H0835	H3068			H7200	H2938	

主の恵みふかきことを味わい知れ、主に寄り頼む人はさいわいである。

לִירֵאָיו׃	מַחְסוֹר	אֵין	כִּי־	קְדֹשָׁיו	יְהוָה	אֶת־	יְרָאוּ	9
主を–畏れる–者には	乏しさは	ない	なぜなら	その–聖徒よ	主を	を	畏れよ	
H3373	H4270	H0369		H6918	H3068	H0853	H3372	

主の聖徒よ、主を恐れよ、主を恐れる者には乏しいことがないからである。

כָּל־	יַחְסְרוּ	לֹא־	יְהוָה	וְדֹרְשֵׁי	וְרָעֵבוּ	רָשׁוּ	כְּפִירִים		10
すべての	乏しくない	ない	主を	しかし–求める–者は	そして–飢える	貧しくなり	若い–獅子も		
H3605	H2637	H3808	H3068	H1875	H7456	H7326			
								טוֹב׃	
								善き–ものに	

若きししは乏しくなって飢えることがある。しかし主を求める者は良き物に欠けることはない。

11 לְכוּ־ בָנִים שִׁמְעוּ־ לִי יִרְאַת יְהוָה אֲלַמֶּדְכֶם׃
来なさい 子らよ 聞きなさい 私に 畏れを 主の 私が–教えよう
H3212 H8085 H3374 H3068 H3925

子らよ、来てわたしに聞け、わたしは主を恐るべきことをあなたがたに教えよう。

12 מִי־ הָאִישׁ הֶחָפֵץ חַיִּים אֹהֵב יָמִים לִרְאוֹת טוֹב׃
誰か 人は 望む 命を 愛する 日々を 見るために 善き–ものを
H4310 H0376 H2655 H2416 H0157 H3117 H7200

さいわいを見ようとして、いのちを慕い、ながらえることを好む人はだれか。

13 נְצֹר לְשׁוֹנְךָ מֵרָע וּשְׂפָתֶיךָ מִדַּבֵּר מִרְמָה׃
守れ あなたの–舌を 悪から そして–あなたの–唇を 語ることから 偽りを
H5341 H3956 H7451 H8193 H1696 H4820

あなたの舌をおさえて悪を言わせず、あなたのくちびるをおさえて偽りを言わすな。

14 סוּר מֵרָע וַעֲשֵׂה־ טוֹב בַּקֵּשׁ שָׁלוֹם וְרָדְפֵהוּ׃
離れよ 悪から 善を 求めよ 平和を そして–行え 善を 求めよ そして–それを–追い求めよ
H5493 H7451 H6213 H1245 H7965 H6213 H7291

悪を離れて善をおこない、やわらぎを求めて、これを努めよ。

15 עֵינֵי יְהוָה אֶל־ צַדִּיקִים וְאָזְנָיו אֶל־ שַׁוְעָתָם׃
目は 主の 義人に 向かっている そして–その–耳は 向かっている その–叫びに
H5869 H3068 H6662 H0413 H0241 H0413 H7775

主の目は正しい人をかえりみ、その耳は彼らの叫びに傾く。

16 פְּנֵי יְהוָה בְּעֹשֵׂי רָע לְהַכְרִית מֵאֶרֶץ זִכְרָם׃
御顔は 主の 行う–者に–対して 悪を 断ち–絶つために 地から その–記憶を
H6440 H3068 H6213 H7451 H3772 H0776 H2143

主のみ顔は悪を行う者にむかい、その記憶を地から断ち滅ぼされる。

17 צָעֲקוּ וַיהוָה שָׁמֵעַ וּמִכָּל־ צָרוֹתָם הִצִּילָם׃
彼らは–叫んだ そして–主は 聞いた すべての その–苦しみから 救い出した
H6817 H3068 H8085 H3605 H6869 H5337

正しい者が助けを叫び求めるとき、主は聞いて、彼らをそのすべての悩みから助け出される。

18 קָרוֹב יְהוָה לְנִשְׁבְּרֵי־ לֵב וְאֶת־ דַּכְּאֵי־ רוּחַ יוֹשִׁיעַ׃
近く–おられる 主は 砕かれた–者に 心の そして 打ちひしがれた–者を 霊の 救う
H7138 H3068 H7665 H3820 H0853 H1792 H7307 H3467

主は心の砕けた者に近く、たましいの悔いくずおれた者を救われる。

19 רַבּוֹת רָעוֹת צַדִּיק וּמִכֻּלָּם יַצִּילֶנּוּ יְהוָה׃
多い 患難が 義人には しかし–その–すべてから 救い出す 主は
H7227 H7451 H6662 H3605 H5337 H3068

正しい者には災が多い。しかし、主はすべてその中から彼を助け出される。

20 שֹׁמֵר כָּל־ עַצְמוֹתָיו אַחַת מֵהֵנָּה לֹא נִשְׁבָּרָה׃
守る すべての その–骨を 一つも その–中の ない 折られない
H8104 H3605 H6106 H0259 H2007 H3808 H7665

主は彼の骨をことごとく守られる。その一つだに折られることはない。

תְּמוֹתֵת	רָעָה	וְשֹׂנְאֵי	צַדִּיק	יֶאְשָׁמוּ׃		21
殺す	悪人を	悪が	そして-憎む-者は	義人を	罰せられる	
H4191	H7563	H8130	H6662	H0816		

悪は悪しき者を殺す。正しい者を憎む者は罪に定められる。

פּוֹדֶה	יְהוָה	נֶפֶשׁ	עֲבָדָיו	וְלֹא	יֶאְשְׁמוּ׃	כָּל־	הַחֹסִים	בּוֹ׃
贖う	主は	魂を	その-僕たちの	そして-ない	罰せられない	すべての	身を-寄せる-者は	主に
H6299	H3068	H5315	H5650	H3808	H0816	H3605	H2620	

主はそのしもべらの命をあがなわれる。主に寄り頼む者はひとりだに罪に定められることはない。

Chapter 35

לְדָוִד	רִיבָה	יְהוָה	אֶת־	יְרִיבַי	לְחַם	אֶת־	לְחֲמָי׃	1
ダビデの	争ってください	主よ	を	私と-争う-者と	戦ってください	を	私と-戦う-者と	
H1732	H7378	H3068	H0853	H3401		H0853		

ダビデの歌 主よ、わたしと争う者とあらそい、わたしと戦う者と戦ってください。

					2
הַחֲזֵק	מָגֵן	וְצִנָּה	וְקוּמָה	בְּעֶזְרָתִי׃	
取ってください	盾と	そして-大盾を	そして-立ち上がってください	私の-助けに	
H2388	H4043			H5833	

盾と大盾とを執って、わたしを助けるために立ちあがってください。

						3
וְהָרֵק	חֲנִית	וְסֻגֹר	לִקְרַאת	רֹדְפָי	אֱמֹר	
そして-拝いてください	槍を	そして-塞いでください	迎えて	私の-追手を	言ってください	
H7324	H2595		H7125	H7291	H0559	

לְנַפְשִׁי	יִשְׁעָתֵךְ	אֲנִי׃	
私の-魂に	あなたの-救いである	私は	
H5315	H3444	H0589	

やりと投げやりとを抜いて、わたしに追い迫る者に立ちむかい、「わたしはおまえの救である」と、わたしに言ってください。

								4
יֵבֹשׁוּ	וְיִכָּלְמוּ	מְבַקְשֵׁי	נַפְשִׁי	יִסֹּגוּ	אָחוֹר	וְיַחְפְּרוּ	חֹשְׁבֵי	
恥じよ	そして-辱められよ	求める-者よ	私の-命を	退け	後ろに	そして-恥じよ	たくらむ-者よ	
H0954	H3637	H1245	H5315	H5472	H0268	H2659	H2803	

רָעָתִי׃
私の-悪を

どうか、わたしの命を求める者をはずかしめ、いやしめ、わたしにむかって悪をたくらむ者を退け、あわてふためかせてください。

							5
יְהִי	כְּמֹץ	לִפְנֵי־	רוּחַ	וּמַלְאַךְ	יְהוָה	דּוֹחֶה׃	
なれ	籾の-ように	前で	風の	そして-御使いが	主の	追い払うように	
H1961	H4671	H6440	H7307	H4397	H3068		

彼らを風の前のもみがらのようにし、主の使に彼らを追いやらせてください。

						6
יְהִי־	דַרְכָּם	חֹשֶׁךְ	וַחֲלַקְלַקּוֹת	וּמַלְאַךְ	יְהוָה	רֹדְפָם׃	
なれ	その-道が	闇と	そして-滑りやすく	そして-御使いが	主の	彼らを-追うように	
H1961	H1870	H2822	H2519	H4397	H3068	H7291	

彼らの道を暗く、なめらかにし、主の使に彼らを追い行かせてください。

	לְנַפְשִׁי׃	חָפְרוּ	חִנָּם	רִשְׁתָּם	שִׁחַת	לִי	טָמְנוּ־	חִנָּם	כִּי־	7
	私の–魂の–ために	掘った	理由なく	その–網の	穴を	私に	隠した	理由なく	なぜなら	
	H5315	H2658	H2600	H7568	H7845		H2934	H2600		

彼らはゆえなくわたしのために網を隠し、ゆえなくわたしのために穴を掘ったからです。

תִּלְכְּדֵהוּ	טָמֵן	אֲשֶׁר־	וְרִשְׁתּוֹ	יֵדָע	לֹא־	שׁוֹאָה	תְּבוֹאֶהוּ	8
彼を–捕らえよ	隠した	その	そして–その–網が	彼が–知らない–うちに	ない	滅びが	来よ	
H3920	H2934		H7568	H3045	H3808		H0935	

בָּהּ׃	יִפָּל־	בְּשׁוֹאָה	
その–中に	落ちよ	滅びの–中に	
	H5307		

不意に滅びを彼らに臨ませ、みずから隠した網にとらえられ、彼らを滅びに陥らせてください。

בִּישׁוּעָתוֹ׃	תָּשִׂישׂ	בַּיהוָה	תָּגִיל	וְנַפְשִׁי	9
その–救いに	喜ぶ	主に–あって	喜び踊る	そして–私の–魂は	
H3444	H7797	H3068	H1523	H5315	

そのときわが魂は主によって喜び、その救をもって楽しむでしょう。

	עָנִי	מַצִּיל	כָּמוֹךָ	מִי	יְהוָה	תֹּאמַרְנָה	וְעַצְמוֹתַי	כָּל	10
	苦しむ–者を	救う–方	あなたの–ようであろうか	誰が	主よ	言う	私の–骨が	すべての	
	H6041	H5337	H3644	H4310	H3068	H0559	H6106	H3605	

מִגְּזָלוֹ׃	וְאֶבְיוֹן	וְעָנִי	מִמֶּנּוּ	מֵחָזָק
奪う–者から	そして–乏しい–者を	そして–苦しむ–者と	彼よりも	強い–者から
H1497	H0034	H6041		H2389

わたしの骨はことごとく言うでしょう、「主よ、だれかあなたにたぐうべき者がありましょう。あなたは弱い者を強い者から助け出し、弱い者と貧しい者を、かすめ奪う者から助け出される方です」と。

יִשְׁאָלוּנִי׃	יָדַעְתִּי	לֹא־	אֲשֶׁר	חָמָס	עֵדֵי	יְקוּמוּן	11
彼らは–私に–問う	私は–知らない–ことを	ない	その	暴力の	証人が	立ち上がる	
H7592	H3045	H3808		H2555	H5707		

悪意のある証人が起って、わたしの知らない事をわたしに尋ねる。

לְנַפְשִׁי׃	שְׁכוֹל	טוֹבָה	תָּחַת	רָעָה	יְשַׁלְּמוּנִי	12
私の–魂に	孤独を	善の	の–代わりに	悪を	彼らは–私に–報いる	
H5315	H7908		H8478			

彼らは悪をもってわたしの善に報い、わが魂を寄るべなき者とした。

נַפְשִׁי	בַצּוֹם	עִנִּיתִי	שָׂק	לְבוּשִׁי	בַּחֲלוֹתָם	וַאֲנִי	13
私の–魂を	断食で	私は–苦しめた	荒布であった	私の–衣は	彼らが–病む–とき	しかし–私は	
H5315	H6685		H8242	H3830		H0589	

תָּשׁוּב׃	חֵיקִי	עַל־	וּתְפִלָּתִי	
帰った	私の–胸の	の–上に	そして–私の–祈りは	
H7725	H2436		H8605	

しかし、わたしは彼らが病んだとき、荒布をまとい、断食してわが身を苦しめた。わたしは胸にこうべをたれて祈った、

14
כְּרֵעִ֣י כְּאָ֣ח לִ֑י הִתְהַלָּכְתִּי֮ כַּאֲבֶל־אֵ֪ם קֹ֫דֵ֥ר
友の–ように 兄弟の–ように 私に–とって 私は–歩いた 母を–嘆く–ように 暗く
H7453 H0251 H1980 H0517 H0057 H6937

שַׁחֹ֥תִּי׃
私は–身を–かがめた
H7817

ちょうど、わが友、わが兄弟のために悲しんだかのように。わたしは母をいたむ者のように悲しみうなだれて歩きまわった。

15
וּבְצַלְעִ֥י שָׂמְח֗וּ וְנֵאָסְפ֥וּ נֵאָסְפ֮וּ עָלַ֪י נְ֫כִ֥ים
しかし–私が–つまずいた–とき 彼らは–喜んだ そして–集まった 集まった 私に–対して 打つ–者たちが
H6761 H8055 H0622 H0622 H5222

וְלֹ֣א יָדַ֑עְתִּי קָ֝רְע֗וּ וְלֹא־דָ֥מּוּ׃
そして–なかった 私は–知らなかった 彼らは–引き裂いた そして–なかった 止めることは
H3808 H3045 H7167 H3808

しかし彼らはわたしのつまずくとき、喜びつどい、ともに集まってわたしを責めた。わたしの知らない他国の者はわたしをののしってやめなかった。

16
בְּחַנְפֵ֣י לַ֭עֲגֵי מָעֻ֣ג חָרַ֥ק עָלַ֗י שִׁנֵּימוֹ׃
不敬虐な–者たちの–中で 嘲りの 食卓の 歯を–すり–鳴らした 私に–対して その–歯を
H2611 H3934 H4580 H2786 H5315

彼らはますます、けがす言葉をもってあざけり、わたしにむかって歯をかみならした。

17
אֲדֹנָ֗י כַּמָּ֥ה תִּ֝רְאֶ֗ה מִשֹּׁאֵיהֶ֥ם מִכְּפִירִ֥ים
主よ いつまで 見ておられるのか 取り戻してください その–滅びから 若い–獅子から
H0136 H4100 H7200 H7725 H5315

נַפְשִׁ֑י יְחִידָתִֽי׃
私の–ただ一つの–命を
H3173

主よ、いつまであなたはながめておられますか、わたしを彼らの破壊から、わたしのいのちを若きししから救い出してください。

18
אוֹדְךָ֥ בְקָהָ֥ל רָ֑ב בְּעַ֖ם עָ֣צוּם אֲהַלְלֶֽךָּ׃
私は–あなたに–感謝しよう 会衆の–中で 大きな 民の–中で 強い 私は–あなたを–賛美しよう
H3034 H6951 H7227 H5971 H6099

わたしは大いなるつどいの中で、あなたに感謝し、多くの民の中で、あなたをほめたたえるでしょう。

19
אַל־יִשְׂמְח֣וּ לִ֭י אֹיְבַ֣י שֶׁ֑קֶר שׂנְאַ֖י חִנָּ֣ם אַל־
どうか 喜ばせないでください 私に–ついて 私の–敵を 偽りの 憎む–者が 理由なく
H0408 H8055 H3034 H8267 H8130 H2600

יִקְרְצוּ־עָֽיִן׃
目くばせしないでください 目を
H7169

偽ってわたしの敵となった者どものわたしについて喜ぶことを許さないでください。ゆえなく、わたしを憎む者どものたがいに目くばせすることを許さないでください。

20 כִּי לֹא שָׁלוֹם וְעַל רִגְעֵי־אֶרֶץ דִּבְרֵי יְדַבֵּרוּ
なぜなら ない 平和を そして–に–対して 静かな–者たちに 地の 言葉を
H3808 H7965 H0776 H7282 H1697 H1696

מִרְמוֹת יַחֲשֹׁבוּן׃
欺きの 彼らは–たくらむ
H4820 H2803

彼らは平和を語らず、国のうちに穏やかに住む者にむかって欺きの言葉をたくらむからです。

21 וַיַּרְחִיבוּ עָלַי פִּיהֶם אָמְרוּ הֶאָח הֶאָח רָאֲתָה עֵינֵינוּ׃
そして–大きく–開いた 私に–対して その–口を 彼らは–言った ああ ああ 見た 私たちの–目が
H7337 H6310 H0559 H1889 H1889 H7200

彼らはわたしにむかって口をあけひろげ、「あはぁ、あはぁ、われらの目はそれを見た」と言います。

22 רָאִיתָה יְהוָה אַל־תֶּחֱרַשׁ אֲדֹנָי אַל־תִּרְחַק מִמֶּנִּי׃
あなたは–見た 主よ どうか 沈黙しないでください 主よ どうか 遠ざからないでください 私から
H7200 H3068 H0408 H0136 H0408 H7368

主よ、あなたはこれを見られました。もださないでください。主よ、わたしに遠ざからないでください。

23 הָעִירָה וְהָקִיצָה לְמִשְׁפָּטִי אֱלֹהַי וַאדֹנָי לְרִיבִי׃
目覚めてください そして–起きてください 私の–裁きの–ために わが–神よ そして–わが–主よ 私の–訴えの–ために
H5782 H6974 H4941 H0430 H0136 H7379

わが神、わが主よ、わがさばきのため、わが訴えのために奮いたち、目をさましてください。

24 שָׁפְטֵנִי יְהוָה כְּצִדְקֶךָ וְאַל־יִשְׂמְחוּ־לִי׃
裁いてください あなたの–義に–従って 主よ わが–神よ そして–どうか 喜ばせないでください 私に–ついて
H8199 H6664 H3068 H0430 H0408 H8055

わが神、主よ、あなたの義にしたがってわたしをさばき、わたしの事について彼らを喜ばせないでください。

25 אַל־יֹאמְרוּ בְלִבָּם הֶאָח נַפְשֵׁנוּ אַל־יֹאמְרוּ בִלַּעֲנוּהוּ׃
どうか 言わせないでください その–心の–中で ああ 私たちの–望みどおりと どうか 私たちは–彼を–呑み込んだと 言わせないでください
H0408 H0559 H1889 H5315 H0408 H1104 H0559

彼らにその心のうちで、「あはぁ、われらの願ったことが達せられた」と言わせないでください。また彼らに「われらは彼を滅ぼしつくした」と言わせないでください。

26 יֵבֹשׁוּ וְיַחְפְּרוּ יַחְדָּו שְׂמֵחֵי רָעָתִי יִלְבְּשׁוּ־בוּשָׁה וּכְלִמָּה הַמַּגְדִּילִים עָלָי׃
恥じよ そして–辱められよ 共に 喜ぶ–者よ 私の–患難を 身に–まとえ 恥と そして–辱めを 高ぶる–者よ 私に–対して
H0954 H2659 H3162 H7451 H3847 H1322 H3639 H1431

わたしの災を喜ぶ者どもをともに恥じ、あわてふためかせてください。わたしにむかって誇りたかぶる者どもに恥と、はずかしめとを着せてください。

יְהוָה יִגְדַּל תָּמִיד וְיֹאמְרוּ צַדְּקִי חֲפֵצֵי וְיִשְׂמְחוּ֣ יָרֹנּוּ 27
主は 崇められよ 常に そして-言え 私の-義を 望む-者よ そして-喜べ 喜びの-声を-上げよ
H3068 H1431 H8548 H0559 H6664 H2655 H8055

עַבְדּֽוֹ׃ שְׁלֹ֑ום הֶֽחָפֵ֥ץ
その-僕の 平和を 望む-方は
H5650 H7965 H2655

わたしの義を喜ぶ者をば喜びの声をあげて喜ばせ、「そのしもべの幸福を喜ばれる主は大いなるかな」とつねに言わせてください。

וּלְשׁוֹנִי תְּהִגֶּה צִדְקֶךָ כָּל־ הַיּ֝וֹם תְּהִלָּתֶֽךָ׃ 28
そして-私の-舌は 語る あなたの-義を すべての 日を あなたの-賛美を
H3956 H1897 H6664 H3605 H3117 H8416

わたしの舌はひねもすあなたの義と、あなたの誉とを語るでしょう。

Chapter 36

לַמְנַצֵּ֥חַ לְעֶבֶד־ לְדָוִ֗ד נְאֻם־ פֶּ֤שַׁע לָרָ֨שָׁע בְּקֶ֣רֶב לִבִּ֑י אֵ֣ין־ 1
指揮者に 僕の ダビデの 宣言が-ある 背きの 悪人に-対して 内に 私の-心の ない
H5329 H5650 H1732 H5002 H6588 H7563 H7130 H0369

נֶ֝גֶד עֵינָֽיו׃ אֱלֹהִ֥ים פַּ֜חַד
その-目の 前に 神の 畏れが
H5048 H0430 H6343

聖歌隊の指揮者によってうたわせた主のしもべダビデの歌 とがは悪しき者にむかい、その心のうちに言う。その目の前に神を恐れる恐れはない。

לְהַשְׂנִֽא׃ עֲוֹנֹ֑ו לִמְצֹ֣א בְעֵינָ֭יו אֲלֵ֣יו הֶחֱלִ֗יק כִּי־ 2
憎むために その-咎を 見つけることを その-目には 自分に-対して へつらう なぜなら
H8130 H5771 H4672 H0413

彼は自分の不義があらわされないため、また憎まれないために、みずからその目でおもねる。

לְהֵיטִֽיב׃ לְהַשְׂכִּ֑יל חָדַ֥ל וּמִרְמָ֗ה אָ֭וֶן פִּ֣יו דִּבְרֵי־ 3
善を-行うことを 賢く-振る舞うことを やめた そして-偽りである 不正と その-口の 言葉は
H3190 H2308 H4820 H0205 H6310 H1697

その口の言葉はよこしまと欺きである。彼は知恵を得ることと、善を行う事とをやめた。

רָ֑ע טֹ֣וב לֹא־ דֶּ֭רֶךְ עַל־ יִתְיַצֵּ֗ב מִשְׁכָּבֹ֥ו עַל־ יַחְשֹׁ֑ב וָאָ֥וֶן 4
悪を 善くない ない 道の の-上に 彼は-立つ その-床の の-上で 彼は-たくらむ 不正を
H3808 H1870 H5324 H4904 H2803 H0205

יִמְאָֽס׃ לֹֽא
退けない ない
H3808

彼はその床の上でよこしまな事をたくらみ、よからぬ道に身をおいて、悪をきらわない。

שְׁחָקִֽים׃ עַד־ אֱמוּנָתְךָ֑ חַסְדְּךָ֥ בַּשָּׁמַ֗יִם יְ֝הוָ֥ה 5
雲に まで-届く あなたの-誠実は あなたの-慈しみは 天に-ある 主よ
H7834 H5704 H0530 H8064 H3068

主よ、あなたのいつくしみは天にまで及び、あなたのまことは雲にまで及ぶ。

וּבְהֵמָה	אָדָם־	רַבָּה	תְהוֹם	מִשְׁפָּטֶיךָ	אֵל	כְּהַרְרֵי־	צִדְקָתְךָ	6
そして–獣を	人と	大いなる	深淵である	あなたの–裁きは	神の	山の–ようである	あなたの–義は	
H0929	H0120		H8415	H4941	H0410	H2042	H6666	

תּוֹשִׁיעַ	יְהוָה׃
救う	主よ
H3467	H3068

あなたの義は神の山のごとく、あなたのさばきは大きな淵のようだ。主よ、あなたは人と獣とを救われる。

כְּנָפֶיךָ	בְּצֵל	אָדָם	וּבְנֵי	אֱלֹהִים	חַסְדְּךָ	יָקָר	מַה־	7
あなたの–翼の	影に	人の	そして–子らは	神よ	あなたの–慈しみは	尊い	なんと	
H3671	H6738	H0120		H0430		H3368	H4100	

יֶחֱסָיוּן׃
身を–寄せる
H2620

神よ、あなたのいつくしみはいかに尊いことでしょう。人の子らはあなたの翼のかげに避け所を得、

תַּשְׁקֵם׃	עֲדָנֶיךָ	וְנַחַל	בֵּיתֶךָ	מִדֶּשֶׁן	יִרְוְיֻן	8
あなたは–彼らに–飲ませる	あなたの–喜びの	そして–川で	あなたの–家の	豊かさで	満たされる	
H8248				H1880	H7301	

あなたの家の豊かなのによって飽き足りる。あなたはその楽しみの川の水を彼らに飲ませられる。

אוֹר׃	נִרְאֶה־	בְּאוֹרְךָ	חַיִּים	מְקוֹר	עִמְּךָ	כִּי־	9
光を	私たちは–見る	あなたの–光の–中で	命の	泉が	あなたの–もとに–ある	なぜなら	
H0216	H7200	H0216		H4726			

いのちの泉はあなたのもとにあり、われらはあなたの光によって光を見る。

לֵב׃	לְיִשְׁרֵי־	וְצִדְקָתְךָ	לְיֹדְעֶיךָ	חַסְדְּךָ	מְשֹׁךְ	10
心の	正しい–者に	そして–あなたの–義を	あなたを–知る–者に	あなたの–慈しみを	続けてください	
	H3477	H6666	H3045		H4900	

どうか、あなたを知る者に絶えずいつくしみを施し、心の直き者に絶えず救を施してください。

אַל־	רְשָׁעִים	וְיַד־	גַּאֲוָה	רֶגֶל	תְּבוֹאֵנִי	אַל־	11
どうか	悪人の	そして–手を	高慢の	足を	来させないでください	どうか	
H0408	H7563	H3027	H1346	H7272	H0935	H0408	

תְּנִדֵנִי׃
私を–追い払わせないでください
H5110

高ぶる者の足がわたしを踏み、悪しき者の手がわたしを追い出すことをゆるさないでください。

יָכְלוּ	וְלֹא־	דָּחֹוּ	אָוֶן	פֹּעֲלֵי	נָפְלוּ	שָׁם	12
できない	そして–ない	彼らは–突き落とされた	不正を	行う–者たちが	倒れた	そこで	
H3201	H3808		H0205	H6466	H5307	H8033	

קוּם׃
起き上がることが

悪を行う者はそこに倒れ、彼らは打ち伏せられて、起きあがることはできない。

Chapter 37

1 וְלְדָוִד אַל־תִּתְחַר בַּמְרֵעִים אַל־תְּקַנֵּא בְּעֹשֵׂי עַוְלָה׃
ダビデの 心を–燃やすな 悪を–行う–者に–対して うらやむな 行う–者に 不正を
H1732 H0408 H2734 H7065 H0408

ダビデの歌 悪をなす者のゆえに、心を悩ますな。不義を行う者のゆえに、ねたみを起すな。

2 כִּי כֶחָצִיר מְהֵרָה יִמָּלוּ וְכִירֶק דֶּשֶׁא יִבּוֹלוּן׃
なぜなら 草の–ように たちまち 彼らは–しおれる そして–青草の–ように 草の 彼らは–枯れる
H4120 H1877 H3418

彼らはやがて草のように衰え、青菜のようにしおれるからである。

3 בְּטַח בַּיהוָה וַעֲשֵׂה־טוֹב שְׁכָן־אֶרֶץ וּרְעֵה אֱמוּנָה׃
信頼せよ 主に 善を 住め 地に そして–養え 誠実を
H0982 H3068 H7931 H0776 H0530

主に信頼して善を行え。そうすればあなたはこの国に住んで、安きを得る。

4 וְהִתְעַנַּג עַל־יְהוָה וְיִתֶּן־לְךָ מִשְׁאֲלֹת לִבֶּךָ׃
そして–喜べ に–あって 主に そうすれば–主は–与える あなたに 願いを あなたの–心の
H6026 H3068 H5414 H4862

主によって喜びをなせ。主はあなたの心の願いをかなえられる。

5 גֹּל עַל־יְהוָה וְהוּא יַעֲשֶׂה׃
委ねよ に 主に そうすれば–主が 行ってくださる
H1556 H3068 H1931

あなたの道を主にゆだねよ。主に信頼せよ、主はそれをなしとげ、

6 וְהוֹצִיא כָאוֹר צִדְקֶךָ וּמִשְׁפָּטְךָ כַּצָּהֳרָיִם׃
そして–輝かせる 光の–ように あなたの–義を そして–あなたの–正義を 真昼の–ように
H3318 H0216 H6664 H4941

あなたの義を光のように明らかにし、あなたの正しいことを真昼のように明らかにされる。

7 דֹּם לַיהוָה וְהִתְחוֹלֵל לוֹ אַל־תִּתְחַר בְּמַצְלִיחַ דַּרְכּוֹ׃
黙して 主の–前に そして–忍耐して–待て 主を どうか 栄える–者に その–道で
H3068 H2734 H0408 H1870

בְּאִישׁ עֹשֶׂה מְזִמּוֹת׃
に–対して 行う–者に はかりごとを
H0376 H4209

主の前にもだし、耐え忍びて主を待ち望め。おのが道を歩んで栄える者のゆえに、悪いはかりごとを遂げる人のゆえに、心を悩ますな。

8 הֶרֶף מֵאַף וַעֲזֹב חֵמָה אַל־תִּתְחַר אַךְ־לְהָרֵעַ׃
やめよ 怒りを 捨てよ 憤りを どうか 心を–燃やすな ただ 悪を–行うために
H7503 H0639 H5800 H2534 H0408 H2734 H0389

怒りをやめ、憤りを捨てよ。心を悩ますな、これはただ悪を行うに至るのみだ。

9 כִּי־מְרֵעִים יִכָּרֵתוּן וְקֹוֵי יְהוָה הֵמָּה יִירְשׁוּ־אָרֶץ׃
なぜなら 悪を–行う–者は 断たれる しかし–待ち望む–者は 彼らが 受け継ぐ 地を
H3772 H0776 H3423 H1992 H3068

悪を行う者は断ち滅ぼされ、主を待ち望む者は国を継ぐからである。

10 וְעוֹד מְעַט וְאֵין רָשָׁע וְהִתְבּוֹנַנְתָּ עַל־מְקוֹמוֹ וְאֵינֶנּוּ׃
そして–もう–少しで わずかな–時が–たてば そして–いない 悪人は そして–あなたが–見ても の–上に その–場所の
H5750 H4592 H0369 H7563 H0995 H4725

悪しき者はただしばらくで、うせ去る。あなたは彼の所をつぶさに尋ねても彼はいない。

11 וַעֲנָוִים יִירְשׁוּ־אָרֶץ וְיִתְעַנְּגוּ עַל־רֹב שָׁלוֹם׃
しかし–へりくだる–者は 地を 受け継ぐ そして–喜ぶ に–あって 豊かな 平和に
H6035 H3423 H0776 H6026 H7230 H7965

しかし柔和な者は国を継ぎ、豊かな繁栄をたのしむことができる。

12 זֹמֵם רָשָׁע לַצַּדִּיק וְחֹרֵק עָלָיו שִׁנָּיו׃
たくらむ 悪人は 義人に–対して そして–歯を–すり–鳴らす 彼に–対して その–歯を
H2161 H7563 H6662 H2786 H5921 H8127

悪しき者は正しい者にむかってはかりごとをめぐらし、これにむかって歯がみする。

13 אֲדֹנָי יִשְׂחַק־לוֹ כִּי־רָאָה כִּי־יָבֹא יוֹמוֹ׃
主は 笑う 彼を なぜなら 見るからである まことに 来ることを その–日が
H0136 H7832 H3588 H7200 H3588 H0935 H3117

しかし主は悪しき者を笑われる、彼の日の来るのを見られるからである。

14 חֶרֶב פָּתְחוּ רְשָׁעִים וְדָרְכוּ קַשְׁתָּם לְהַפִּיל עָנִי וְאֶבְיוֹן לִטְבֹּחַ יִשְׁרֵי־דָרֶךְ׃
剣を 拝いた 悪人は そして–張った その–弓を 倒すために 苦しむ–者と そして–乏しい–者を 正しい–者を 屠るために 道の
H2719 H6605 H7563 H1869 H7198 H5307 H6041 H0034 H3477 H2873 H1870

悪しき者はつるぎを抜き、弓を張って、貧しい者と乏しい者とを倒し、直く歩む者を殺そうとする。

15 חַרְבָּם תָּבוֹא בְלִבָּם וְקַשְׁתוֹתָם תִּשָּׁבַרְנָה׃
その–剣は 入る その–心に そして–その–弓は 折られる
H2719 H0935 H3824 H7198 H7665

しかしそのつるぎはおのが胸を刺し、その弓は折られる。

16 טוֹב־מְעַט לַצַּדִּיק מֵהֲמוֹן רְשָׁעִים רַבִּים׃
善い わずかでも 義人の–ものは それより–まさる 悪人の 多くの–富より
H2896 H4592 H6662 H1995 H7563 H7227

正しい人の持ち物の少ないのは、多くの悪しきの者の豊かなのにまさる。

17 כִּי זְרוֹעוֹת רְשָׁעִים תִּשָּׁבַרְנָה וְסוֹמֵךְ צַדִּיקִים יְהוָה׃
なぜなら 腕は 悪人の 折られる しかし–支える 義人を 主は
H3588 H2220 H7563 H7665 H5564 H6662 H3068

悪しき者の腕は折られるが、主は正しい者を助けささえられるからである。

18 יוֹדֵעַ יְהוָה יְמֵי תְמִימִם וְנַחֲלָתָם לְעוֹלָם תִּהְיֶה׃
知っておられる 主は 日々を 潔白な–者の そして–その–受け継ぎは 永遠に ある
H3045 H3068 H3117 H8549 H5159 H5769 H1961

主は全き者のもろもろの日を知られる。彼らの嗣業はとこしえに続く。

יִשְׂבָּעוּ׃	רְעָבֹון	וּבִימֵי	רָעָה	בְּעֵת	יֵבֹשׁוּ	לֹא־
満たされる	飢饉の	そして–日にも	患難の	時に	彼らは–恥じない	ない
H7646	H7459	H3117		H6256	H0954	H3808

19

彼らは災の時にも恥をこうむらず、ききんの日にも飽き足りる。

כָּלוּ׃	בְּעָשָׁן	כָּלוּ	כָּרִים	כִּיקַר	יְהוָה	וְאֹיְבֵי	יֹאבֵדוּ	וְרִשְׁעִים	כִּי
尽きる	煙の–中で	尽きる	牧場の	尊さの–ように	主の	そして–敵は	滅びる	悪人は	なぜなら
H3615	H6227	H3615		H3368	H3068	H0341	H0006	H7563	

20

しかし、悪しき者は滅び、主の敵は牧場の栄えの枯れるように消え、煙のように消えうせる。

וְנוֹתֵן׃	חוֹנֵן	וְצַדִּיק	יְשַׁלֵּם	וְלֹא	רָשָׁע	לֹוֶה
そして–与える	憐れみ	しかし–義人は	返さない	そして–ない	悪人は	借りる
H5414		H6662		H3808	H7563	

21

悪しき者は物を借りて返すことをしない。しかし正しい人は寛大で、施し与える。

יִכָּרֵתוּ׃	וּמְקֻלָּלָיו	אֶרֶץ	יִירְשׁוּ	מְבֹרָכָיו	כִּי	
断たれる	しかし–その–呪われた–者は	地を	受け継ぐ	その–祝福された–者は	なぜなら	
H3772	H7043	H0776	H3423	H1288		

22

主に祝福された者は国を継ぎ、主にのろわれた者は断ち滅ぼされる。

יֶחְפָּץ׃	וְדַרְכּוֹ	כּוֹנָנוּ	גֶּבֶר	מִצְעֲדֵי־	מֵיְהוָה	
主は–喜ぶ	そして–その–道を	定められる	人の	歩みが	主によって	
	H1870		H1397	H4703	H3068	

23

人の歩みは主によって定められる。主はその行く道を喜ばれる。

יָדוֹ׃	סוֹמֵךְ	יְהוָה	כִּי־	יוּטָל	לֹא־	יִפֹּל	כִּי־
その–手を	支える	主が	なぜなら	打ちひしがれない	ない	彼が–倒れても	たとえ
H3027	H5564	H3068		H2904	H3808	H5307	

24

たといその人が倒れても、全く打ち伏せられることはない、主がその手を助けささえられるからである。

נֶעֱזָב	צַדִּיק	רָאִיתִי	וְלֹא־	זָקַנְתִּי	גַּם־	הָיִיתִי	וְנַעַר		
見捨てられるのを	義人が	私は–見たことがない	しかし–ない	老いた	そして–もう	私は	若かった		
	H6662	H7200	H3808	H2204	H1571	H1961	H5288		
				לֶחֶם׃	מְבַקֵּשׁ־	וְזַרְעֹו			
				パンを	求めるのを	そして–その–子孫が			
				H3899	H1245	H2233			

25

わたしは、むかし年若かった時も、年老いた今も、正しい人が捨てられ、あるいはその子孫が食物を請いあるくのを見たことがない。

לִבְרָכָה׃	וְזַרְעֹו	וּמַלֵּוֶה	חוֹנֵן	הַיּוֹם	כָּל־		
祝福となる	そして–その–子孫は	そして–貸す	憐れみ	日を	すべての		
H1293	H2233			H3117	H3605		

26

正しい人は常に寛大で、物を貸し与え、その子孫は祝福を得る。

לְעוֹלָם׃	וּשְׁכֹן	טוֹב	וַעֲשֵׂה־	מֵרָע	סוּר	
永遠に	そうすれば–住むだろう	善を	そして–行え	悪から	離れよ	
H5769	H7931				H5493	

27

悪をさけて、善を行え。そうすれば、あなたはとこしえに住むことができる。

לְעוֹלָם	חֲסִידָיו	אֶת־	יַעֲזֹב	וְלֹא־	מִשְׁפָּט	אֹהֵב	וְיהוָה	כִּי	28
永遠に	その–聖徒を	を	見捨てない	そして–ない	正義を	愛する	主は	なぜなら	
H5769	H2623	H0853		H3808	H4941	H0157	H3068		

נִכְרָת׃	רְשָׁעִים	וְזֶרַע	נִשְׁמָרוּ
断たれる	悪人の	しかし–子孫は	彼らは–守られる
H3772	H7563	H2233	H8104

主は公義を愛し、その聖徒を見捨てられないからである。正しい者はとこしえに助け守られる。しかし、悪しき者の子孫は断ち滅ぼされる。

עָלֶיהָ׃	לָעַד	וְיִשְׁכְּנוּ	אֶרֶץ	יִירְשׁוּ־	צַדִּיקִים	29
その–上に	永遠に	そして–住む	地を	受け継ぐ	義人は	
	H5703	H7931	H0776	H3423	H6662	

正しい者は国を継ぎ、とこしえにその中に住むことができる。

מִשְׁפָּט׃	תְּדַבֵּר	וּלְשׁוֹנוֹ	חָכְמָה	יֶהְגֶּה	צַדִּיק	פִּי־	30
正義を	語る	そして–その–舌は	知恵を	語る	義人の	口が	
H4941	H1696	H3956	H2451	H1897	H6662	H6310	

正しい者の口は知恵を語り、その舌は公義を述べる。

אֲשֻׁרָיו׃	תִּמְעַד	לֹא	בִלְבּוֹ	אֱלֹהָיו	תּוֹרַת	31
その–歩みは	滑らない	ない	その–心に–ある	その–神の	律法が	
	H4571	H3808		H0430	H8451	

その心には神のおきてがあり、その歩みはすべることがない。

לַהֲמִיתוֹ׃	וּמְבַקֵּשׁ	לַצַּדִּיק	רָשָׁע	צוֹפֶה	32
彼を–殺すことを	そして–求める	義人に–対して	悪人は	待ち伏せる	
H4191	H1245	H6662	H7563	H6822	

悪しき者は正しい人をうかがい、これを殺そうとはかる。

בְּהִשָּׁפְטוֹ׃	יַרְשִׁיעֶנּוּ	וְלֹא	בְיָדוֹ	יַעַזְבֶנּוּ	לֹא־	יְהוָה	33
裁かれる–ときに	彼を–罪ありとしない	そして–ない	その–手に	彼を–捨てない	ない	主は	
H8199	H7561	H3808	H3027		H3808	H3068	

主は正しい人を悪しき者の手にゆだねられない、またさばかれる時、これを罪に定められることはない。

וְיָרוֹמֶמְךָ	דַּרְכּוֹ	וּשְׁמֹר	וְיהוָה	אֶל־	קַוֵּה	34
そうすれば–主は–あなたを–上げる	その–道を	そして–守れ	主に	向かって	待ち望め	
	H1870	H8104	H3068	H0413		

תִּרְאֶה׃	רְשָׁעִים	בְּהִכָּרֵת	אֶרֶץ	לָרֶשֶׁת
あなたは–見るだろう	悪人が	断たれる–とき	地を	受け継ぐために
H7200	H7563	H3772	H0776	H3423

主を待ち望め、その道を守れ。そうすれば、主はあなたを上げて、国を継がせられる。あなたは悪しき者の断ち滅ぼされるのを見るであろう。

רַעֲנָן׃	כְּאֶזְרָח	וּמִתְעָרֶה	עָרִיץ	רָשָׁע	רָאִיתִי	35
青々とした	地の–木の–ように	そして–繁った	暴君の–ような	悪人を	私は–見た	
	H0249	H6168	H6184	H7563	H7200	

わたしは悪しき者が勝ち誇って、レバノンの香柏のようにそびえたつのを見た。

36 וְיַעֲבֹר וְהִנֵּה אֵינֶנּוּ וָאֲבַקְשֵׁהוּ וְלֹא
しかし–彼は–過ぎ去った そして–見よ 彼は–いなかった そして–私は–探したが そして–なかった
H5674 H2009 H0369 H1245 H3808

נִמְצָא׃
見つからなかった
H4672

しかし、わたしが通り過ぎると、見よ、彼はいなかった。わたしは彼を尋ねたけれども見つからなかった。

37 שְׁמָר־ תָּם וּרְאֵה יָשָׁר כִּי־ אַחֲרִית לְאִישׁ שָׁלוֹם׃
見守れ 潔白な–者を そして–見よ 正しい–者を なぜなら 未来が–ある 人には 平和の
H8104 H8535 H7200 H3477 H0319 H0376 H7965

全き人に目をそそぎ、直き人を見よ。おだやかな人には子孫がある。

38 וּפֹשְׁעִים יַחְדָּו נִשְׁמְדוּ אַחֲרִית רְשָׁעִים נִכְרָתָה׃
しかし–背く–者は 共に 滅ぼされる 未来は 悪人の 断たれる
H6586 H3162 H8045 H0319 H7563 H3772

しかし罪を犯す者どもは共に滅ぼされ、悪しき者の子孫は断たれる。

39 וּתְשׁוּעַת צַדִּיקִים מֵיְהוָה מָעוּזָּם הִוא בְּעֵת צָרָה׃
そして–救いは 義人の 主から–来る その–砦である 時に 苦しみの
H8668 H6662 H3068 H4581 H6256

正しい人の救は主から出る。主は彼らの悩みの時の避け所である。

40 וַיְעֹזְרֵם יְהוָה וַיְפַלְּטֵם יְפַלְּטֵם מֵרְשָׁעִים וְיוֹשִׁיעֵם כִּי־ חָסוּ
そして–助ける 主は 救い出す そして–救い出す 救い出す 悪人から そして–救う なぜなら 身を–寄せた
H5826 H3068 H6403 H6403 H7563 H3467 H3588 H2620

בּוֹ׃
主に

主は彼らを助け、彼らを解き放ち、彼らを悪しき者どもから解き放って救われる。彼らは主に寄り頼むからである。

Chapter 38

1 מִזְמוֹר לְדָוִד לְהַזְכִּיר׃ יְהוָה אַל־ בְּקִצְפְּךָ תוֹכִיחֵנִי
賛歌 ダビデの 記念の–ために どうか 主よ どうか 私を–責めないでください
H4210 H1732 H2142 H0408 H3068 H0408 H3198

תְיַסְּרֵנִי׃ וּבַחֲמָתְךָ
私を–懲らしめないでください そして–あなたの–憤りで
H3256 H2534

記念のためにうたったダビデの歌 主よ、あなたの憤りをもってわたしを責めず、激しい怒りをもってわたしを懲らさないでください。

2 יָדֶךָ׃ עָלַי וַתִּנְחַת בִּי נָחֲתוּ חִצֶּיךָ כִּי־
あなたの–御手が 私の–上に そして–のしかかった 私に 突き刺さった あなたの–矢が なぜなら
H3027 H5181 H5181 H2671

あなたの矢がわたしに突き刺さり、あなたの手がわたしの上にくだりました。

3
אֵין־ מְתָם בִּבְשָׂרִי מִפְּנֵי זַעְמֶךָ אֵין־ שָׁלוֹם מִפְּנֵי בַּעֲצָמַי מִפְּנֵי חַטָּאתִי׃
ない 健全な–ところが 私の–肉体に 前で あなたの–怒りの ない 平安が 前で 私の–骨には 私の–罪の
H0369 H4974 H1320 H6440 H2195 H0369 H7965 H6440 H6106

あなたの怒りによって、わたしの肉には全きところなく、わたしの罪によって、わたしの骨には健やかなところはありません。

4
כִּי עֲוֹנֹתַי עָבְרוּ רֹאשִׁי כְּמַשָּׂא כָּבֵד יִכְבְּדוּ מִמֶּנִּי׃
なぜなら 私の–咎が 越えた 私の–頭を 重荷の–ように 重い 重すぎる 私には
H5771 H6296 H3515 H3513

わたしの不義はわたしの頭を越え、重荷のように重くて負うことができません。

5
הִבְאִישׁוּ נָמַקּוּ חַבּוּרֹתָי מִפְּנֵי אִוַּלְתִּי׃
臭くなった そして–化膿した 私の–傷は ために 私の–愚かさの
H0887 H4743 H2250 H6440 H0200

わたしの愚かによって、わたしの傷は悪臭を放ち、腐れただれました。

6
נַעֲוֵיתִי שַׁחֹתִי עַד־ מְאֹד כָּל־ הַיּוֹם קֹדֵר הִלָּכְתִּי׃
私は–曲がった 私は–身を–かがめた まで 大いに すべての 日を 暗く 私は–歩いた
H5791 H7817 H5704 H3966 H3605 H3117 H6937 H1980

わたしは折れかがんで、いたくうなだれ、ひねもす悲しんで歩くのです。

7
כִּי־ כְסָלַי מָלְאוּ נִקְלֶה וְאֵין מְתֹם בִּבְשָׂרִי׃
なぜなら 私の–腰は 満ちている 炎症で そして–ない 健全な–ところが 私の–肉体に
H3689 H4390 H7033 H0369 H4974 H1320

わたしの腰はことごとく焼け、わたしの肉には全きところがありません。

8
נְפוּגוֹתִי וְנִדְכֵּיתִי עַד־ מְאֹד שָׁאַגְתִּי מִנַּהֲמַת לִבִּי׃
私は–麻痺し そして–打ちひしがれた まで 大いに 私は–うめいた うなりから 私の–心の
H6313 H1794 H5704 H3966 H7580 H5100

わたしは衰えはて、いたく打ちひしがれ、わたしの心の激しい騒ぎによってうめき叫びます。

9
אֲדֹנָי נֶגְדְּךָ כָּל־ תַּאֲוָתִי וְאַנְחָתִי מִמְּךָ לֹא־
主よ あなたの–前に–ある すべての 私の–願いは そして–私の–嘆きは あなたから ない
H0136 H5048 H3605 H8378 H0585 H3808

נִסְתָּרָה׃
隠れてはいない
H5641

主よ、わたしのすべての願いはあなたに知られ、わたしの嘆きはあなたに隠れることはありません。

10
לִבִּי סְחַרְחַר עֲזָבַנִי כֹּחִי וְאוֹר־ עֵינַי גַּם־ הֵם
私の–心は 激しく–鼓動する 去った 私の–力は そして–光が 私の–目の それも–また それらも
H5503 H5800 H6118 H0216 H5869 H1571 H1992

אֵין אִתִּי׃
ない 私と–共に
H0369 H0854

わたしの胸は激しく打ち、わたしの力は衰え、わたしの目の光もまた、わたしを離れ去りました。

11

מֵרָחֹק	וּקְרוֹבַי	יַעֲמֹדוּ	נִגְעִי	מִנֶּגֶד	וְרֵעַי	וְאֹהֲבַי
遠くに	そして–私の–親族は	立ち止まる	私の–患いの	前から	そして–私の–友は	私の–愛する–者と
H7350	H7138	H5975	H5061	H5048	H7453	H0157

עָמָדוּ׃
立った
H5975

わが友、わがともがらはわたしの災を見て離れて立ち、わが親族もまた遠く離れて立っています。

12

הַוּוֹת	דִּבְּרוּ	רָעָתִי	וְדֹרְשֵׁי	נַפְשִׁי	מְבַקְשֵׁי	וַיְנַקְּשׁוּ
滅びを	語る	私の–悪を	そして–求める–者は	私の–命を	求める–者が	そして–罠を–仕掛ける
H1942	H1696		H1875	H5315	H1245	H5367

יֶהְגּוּ׃	הַיּוֹם	כָּל־	וּמִרְמוֹת
彼らは–たくらむ	日を	すべての	そして–欺きを
H1897	H3117	H3605	H4820

わたしのいのちを求める者はわなを設け、わたしをそこなおうとする者は滅ぼすことを語り、ひねもす欺くことをはかるのです。

13

לֹא	וּכְאִלֵּם	אֶשְׁמָע	לֹא	כֶּחֵרֵשׁ	וַאֲנִי	
ない	そして–口がきけない–者の–ように	聞かない	ない	耳の–聞こえない–者の–ように	しかし–私は	
H3808	H0483	H8085	H3808	H2795	H0589	

יִפְתַּח־	פִּיו׃
開かない	その–口を
	H6310

しかしわたしは耳しいのように聞かず、おしのように口を開きません。

14

תּוֹכָחוֹת׃	בְּפִיו	וְאֵין	שֹׁמֵעַ	לֹא־	אֲשֶׁר	כְּאִישׁ	וָאֱהִי
反論が	その–口には	そして–ない	聞かない	ない	その	人の–ように	そして–私は–なった
	H6310	H0369	H8085	H3808		H0376	H1961

まことに、わたしは聞かない人のごとく、議論を口にしない人のようです。

15

אֱלֹהָי׃	אֲדֹנָי	תַּעֲנֶה	אַתָּה	הוֹחָלְתִּי	יְהוָה	לְךָ	כִּי־
わが–神よ	主よ	答えてくださる	あなたが	私は–待ち望む	主よ	あなたに	なぜなら
H0430	H0136			H3176	H3068		

しかし、主よ、わたしはあなたを待ち望みます。わが神、主よ、あなたこそわたしに答えられるのです。

16

רַגְלִי	בְּמוֹט	לִי	יִשְׂמְחוּ־	פֶּן־	אָמַרְתִּי	כִּי־	
私の–足の	私の–足が–滑る–とき	私に–ついて	喜ぶだろう	さもないと	私は–言った	なぜなら	
H7272	H4131		H8055	H6435	H0559		

הִגְדִּילוּ׃	עָלָי
彼らは–高ぶった	私に–対して
H1431	

わたしは祈ります、「わが足のすべるとき、わたしにむかって高ぶる彼らにわたしのことによって喜ぶことをゆるさないでください」と。

17

תָּמִיד׃	נֶגְדִּי	וּמַכְאוֹבִי	נָכוֹן	לְצֶלַע	אֲנִי	כִּי־
常に	私の–前に–ある	そして–私の–痛みは	近い	倒れる–ことに	私は	なぜなら
H8548	H5048	H4341		H6761	H0589	

わたしは倒れるばかりになり、わたしの苦しみは常にわたしと共にあります。

18 כִּי־ אֲנִיד אַגִּיד אֶדְאַג מֵחַטָּאתִי׃
なぜなら 私の–哎を 私は–告げる 私は–怕れる 私の–罪の–ために
H5771 H5046 H1672

わたしは、みずから不義を言いあらわし、わが罪のために悲しみます。

19 וְאֹיְבַי חַיִּים עָצְמוּ וְרַבּוּ שֹׂנְאַי שָׁקֶר׃
そして–私の–敵は 生きており 強い そして–多い 私を–憎む–者は 偽りで
H0341 H8267 H8130 H7231

ゆえなく、わたしに敵する者は強く、偽ってわたしを憎む者は多いのです。

20 וּמְשַׁלְּמֵי רָעָה תַּחַת טוֹבָה יִשְׂטְנוּנִי תַּחַת רָדְפִי־[ ]
そして–報いる–者は 悪を の–代わりに 善の 私に–敵対する の–代わりに —
H8478 H7853 H8478 H7291

)רָדְפִי־(אַל־ תִּרְחַק מִמֶּנִּי׃
私が–追うことの どうか 遠ざからないでください 私から
H7291 H0408 H7368

悪をもって善に報いる者は、わたしがよい事に従うがゆえに、わがあだとなります。

21 אַל־ תַּעַזְבֵנִי יְהוָה אֱלֹהַי אַל־ תִּרְחַק מִמֶּנִּי׃
どうか 私を–見捨てないでください 主よ わが–神よ どうか 遠ざからないでください 私から
H0408 H3068 H0430 H0408 H7368

主よ、わたしを捨てないでください。わが神よ、わたしに遠ざからないでください。

22 חוּשָׁה לְעֶזְרָתִי אֲדֹנָי תְּשׁוּעָתִי׃
急いでください 私の–助けに 主よ 私の–救いよ
H5833 H0136 H8668

主、わが救よ、すみやかにわたしをお助けください。

Chapter 39

1 לַמְנַצֵּחַ)לידיתון([לְיִדוּתוּן] מִזְמוֹר לְדָוִד׃ אָמַרְתִּי אֶשְׁמְרָה דְרָכַי
指揮者に (エドゥトンに) [エドゥトンに] 賛歌 ダビデの 私は–言った 私は–守ろう 自分の–道を
H5329 H3038 H3038 H4210 H1732 H0559 H8104 H1870

מֵחַטָּא בִּלְשׁוֹנִי אֶשְׁמְרָה לְפִי מַחְסוֹם בְּעֹד רָשָׁע נֶגְדִּי׃
罪を–犯さないように 自分の–舌で 私は–守ろう 自分の–口に 口輪を いる–間は 悪しき者が 私の–前に
H2398 H3956 H8104 H6310 H4269 H5704 H7563 H5048

聖歌隊の指揮者エドトンによってうたわせたダビデの歌 わたしは言った、「舌をもって罪を犯さないために、わたしの道を慎み、悪しき者のわたしの前にある間はわたしの口にくつわをかけよう」と。

2 נֶאֱלַמְתִּי דוּמִיָּה הֶחֱשֵׁיתִי מִטּוֹב וּכְאֵבִי נֶעְכָּר׃
私は–黙り込んだ 沈黙して 私は–静まった 善い–ことからも しかし–私の–痛みは かき立てられた
H0481 H1747 H2814 H3511 H5916

わたしは黙して物言わず、むなしく沈黙を守った。しかし、わたしの悩みはさらにひどくなり、

3

חַם־	וְלִבִּי	בְּקִרְבִּי	בַּהֲגִיגִי	תִּבְעַר־	אֵשׁ	דִּבַּרְתִּי	בִּלְשׁוֹנִי׃
燃えた	私の–心は	内に	思い巡らすと	燃え上がった	火が	私は–語った	自分の–舌で
H2552		H7130	H1901		H0784	H1696	H3956

わたしの心はわたしのうちに熱し、思いつづけるほどに火が燃えたので、わたしは舌をもって語った。

4

הוֹדִיעֵנִי	וְיהוָה	קִצִּי	וּמִדַּת	יָמַי	מַה־	הֶיְא	
知らせてください	主よ	私の–終わりを	そして–私の–日々の–長さが	どれほどか	何で	あるかを	
H3045	H3068	H7093		H3117	H4100	H1931	

אֵדְעָה	מֶה־	חָדֵל	אָנִי׃	
私が–知るように	どれほど	はかない	私が	
H3045	H4100	H2310	H0589	

「主よ、わが終りと、わが日の数のどれほどであるかをわたしに知らせ、わが命のいかにはかないかを知らせてください。

5

כְּאַיִן	וְחֶלְדִּי	יָמַי	נָתָתָּה	וּטְפָחוֹת	הִנָּה	
無いに–等しい	そして–私の–寿命は	私の–日々を	あなたは–定めた	手幅ほどに	見よ	
H0369	H2465	H3117	H5414	H2947	H2009	

סֶלָה׃	נִצָּב	אָדָם	כָּל־	הֶבֶל	כָּל־	אַךְ	נֶגְדֶּךָ
セラ	立っている	人は	すべての	空しさ	すべての	まことに	あなたの–前では
H5542	H5324	H0120	H3605	H1892	H3605	H0389	H5048

見よ、あなたはわたしの日をつかのまとされました。わたしの一生はあなたの前では無にひとしいのです。まことに、すべての人はその盛んな時でも息にすぎません。[セラ

6

יִצְבֹּר	יֶהֱמָיוּן	הֶבֶל	אַךְ־	אִישׁ	יִתְהַלֶּךְ־	וּבְצֶלֶם	אַךְ־
蓄える	彼らは–騒ぎ立てる	空しく	まことに	人は	歩み回る	幻の–中を	まことに
H6651	H1993	H1892	H0389	H0376	H1980	H6754	H0389

אֹסְפֵם׃	מִי־	יֵדַע	וְלֹא־	
集めるかを	誰が	—	しかし–知らない	
H0622	H4310	H3045	H3808	

まことに人は影のように、さまよいます。まことに彼らはむなしい事のために騒ぎまわるのです。彼は積みたくわえるけれども、だれがそれを収めるかを知りません。

7

הֵיא׃	לְךָ	תּוֹחַלְתִּי	אֲדֹנָי	קִוִּיתִי	מָה־	וְעַתָּה
ある	あなたに	私の–望みは	わが–主よ	私は–待ち望んだのか	何を	そして–今
H1931		H8431	H0136		H4100	H6258

主よ、今わたしは何を待ち望みましょう。わたしの望みはあなたにあります。

8

אַל־	נָבָל	חֶרְפַּת	הַצִּילֵנִי	פִּשְׁעַי	מִכָּל־	
しないでください	—	愚か者の–そしりを	私を–救い出してください	背きから	すべての–私の	
H0408	H5036	H2781	H5337	H6588	H3605	

תְּשִׂימֵנִי׃
私に–置くことを

わたしをすべてのとがから助け出し、愚かな者にわたしをあざけらせないでください。

9

עָשִׂיתָ׃	אַתָּה	כִּי	פִּי	אֶפְתַּח־	לֹא	נֶאֱלַמְתִּי	
なさったから	あなたが	なぜなら	口を	開かない	ない	私は–黙った	
			H6310		H3808	H0481	

わたしは黙して口を開きません。あなたがそれをなされたからです。

10
כָּלִ֥יתִי׃ אֲנִ֗י יָ֭דְךָ מִתִּגְרַ֣ת נִגְעֶ֑ךָ מֵעָלַ֥י הָסֵֽר׃
消え果てた 私は 責めによって あなたの–手の あなたの–打ちを 私から 取り除いてください
H3615 H0589 H3027 H8409 H5061 H5493

あなたが下された災をわたしから取り去ってください。わたしはあなたのみ手に打ち懲らされることにより滅びるばかりです。

11
כָּעָ֥שׁ וַתָּ֗מֶס אִ֣ישׁ יִסַּ֣רְתָּ וְעָ֭וֹן עַל־ בְּתוֹכָחוֹת֮
蛾のように そして–溶かした 人を あなたは–戒めた 咎 に–対する 懲らしめによって
H4529 H0376 H3256 H5771

סֶּ֑לָה׃ אָ֝דָ֗ם כָּל־ הֶ֣בֶל אַ֭ךְ חֲמוּדֹ֥ו
セラ 人は すべての 空しい まことに その–宝を
H5542 H0120 H3605 H1892 H0389

あなたは罪を責めて人を懲らされるとき、その慕い喜ぶものを、しみが食うように、消し滅ぼされるのです。まことにすべての人は息にすぎません。[セラ

12
דִּמְעָתִ֑י אֶל־ הַאֲזִינָ֥ה׀ וְשַׁוְּעָתִ֥י יְ֝הוָ֗ה וּתְפִלָּתִ֥י שִׁמְעָה־
私の–涙 に 耳を–傾けてください そして–私の–叫びに 主よ 私の–祈りを 聞いてください
H1832 H0413 H0238 H7775 H3068 H8605 H8085

כְּכָל־ תּ֝וֹשָׁ֗ב עִמָּ֥ךְ אָנֹכִ֥י גֵּ֑ר כִּ֥י תֶּחֱרַ֣שׁ אַל־
すべての–私の 旅人 あなたの–もとに 私は 寄留者 なぜなら 黙ることを しないでください
H3605 H0595 H1616 H0408

אֲבוֹתָֽי׃
先祖たちのように
H0001

主よ、わたしの祈を聞き、わたしの叫びに耳を傾け、わたしの涙を見て、もださないでください。わたしはあなたに身を寄せる旅びと、わがすべての先祖たちのように寄留者です。

13
אֵלֵ֥ךְ בְּטֶ֑רֶם וְאַבְלִ֥יגָה מִמֶּ֝נִּ֗י הָשַׁ֣ע
しまう–前に 私が–行って そうすれば–私は–喜ぶ 私から 目を–そらしてください
H3212 H2962 H1082 H8159

וְאֵינֶֽנִּי׃
そして–いなくなる–前に
H0369

わたしが去って、うせない前に、み顔をそむけて、わたしを喜ばせてください」。

Chapter 40

1
לַמְנַצֵּ֥חַ לְדָוִ֗ד מִזְמ֫וֹר׃ קִוֹּ֣יתִי קִוָּ֣ה יְהוָ֑ה וַיֵּ֖ט אֵלַ֣י
指揮者に ダビデの 賛歌 待ち望んで 私は–待ち望んだ 主を そして–傾けた 私に
H5329 H1732 H4210 H6960 H3068 H5186 H0413

וַיִּשְׁמַ֥ע שַׁוְעָתִֽי׃
そして–聞いた 私の–叫びを
H8085 H7775

聖歌隊の指揮者によってうたわせたダビデの歌 わたしは耐え忍んで主を待ち望んだ。主は耳を傾けて、わたしの叫びを聞かれた。

2 וַיַּעַלֵנִי מִבּוֹר שָׁאוֹן מִטִּיט הַיָּוֵן וַיָּקֶם עַל־
そして-引き上げた 滅びの-穴から 騒がしい 泥の-沼から ぬかるみの そして-立たせた の-上に
H5927 H7588 H2916 H3121

סֶלַע כּוֹנֵן רַגְלַי אֲשֻׁרָי׃
岩 定めた 私の-足を 私の-歩みを
H5553 H7272

主はわたしを滅びの穴から、泥の沼から引きあげて、わたしの足を岩の上におき、わたしの歩みをたしかにされた。

3 וַיִּתֵּן בְּפִי שִׁיר חָדָשׁ תְּהִלָּה לֵאלֹהֵינוּ יִרְאוּ רַבִּים
そして-置いた 私の-口に 新しい-歌を — 賛美を 私たちの-神への 見るだろう 多くの者が
H5414 H6310 H7892 H2319 H8416 H0430 H7200

וְיִירָאוּ וְיִבְטְחוּ בַּיהוָה׃
そして-畏れるだろう そして-信頼するだろう 主に
H3372 H0982 H3068

主は新しい歌をわたしの口に授け、われらの神にささげるさんびの歌をわたしの口に授けられた。多くの人はこれを見て恐れ、かつ主に信頼するであろう。

4 אַשְׁרֵי הַגֶּבֶר אֲשֶׁר־שָׂם יְהוָה מִבְטַחוֹ וְלֹא־פָנָה אֶל־
幸いなるかな その-人は という 置いた 主を その-よりどころと そして-ない 向かない に
H0835 H1397 H0834 H7760 H3068 H4009 H3808 H6437 H0413

רְהָבִים וְשָׂטֵי כָזָב׃
高ぶる者たち そして-傾りに-走る者たちに 偽りの
H7295 H7750 H3577

主をおのが頼みとする人、高ぶる者にたよらず、偽りの神に迷う者にたよらない人はさいわいである。

5 רַבּוֹת עָשִׂיתָ אַתָּה יְהוָה אֱלֹהַי נִפְלְאֹתֶיךָ
多くのことを あなたは-なした あなたが 主よ 私の-神よ あなたの-不思議を
H7227 H6213 H0859 H3068 H0430 H6381

וּמַחְשְׁבֹתֶיךָ אֵלֵינוּ אֵין עֲרֹךְ אֵלֶיךָ אַגִּידָה
そして-あなたの-計画を 私たちに-対する ない 比べうるものが あなたに 私が-告げようとしても
H4284 H0413 H0369 H6186 H0413 H5046

מִסַּפֵּר׃ עָצְמוּ וַאֲדַבֵּרָה
数えきれない 多すぎて 語っても
H1696

わが神、主よ、あなたのくすしきみわざと、われらを思うみおもいとは多くて、くらべうるものはない。わたしはこれを語り述べようとしても多くて数えることはできない。

6 לִי כָּרִיתָ אָזְנַיִם חָפַצְתָּ לֹא־ וּמִנְחָה
私のために あなたは-開いた 耳を あなたは-望まなかった ない そして-供え物も
H0241 H2654 H3808 H4503

זֶבַח וְעוֹלָה לֹא שָׁאָלְתָּ׃ וַחֲטָאָה
いけにえも 全燔の-いけにえも ない あなたは-求めなかった そして-罪の-いけにえも
H2077 H5930 H3808 H7592 H2401

あなたはいけにえと供え物とを喜ばれない。あなたはわたしの耳を開かれた。あなたは燔祭と罪祭とを求められない。

7 אָז אָמַרְתִּי הִנֵּה־ בָּאתִי בִּמְגִלַּת־ סֵפֶר כָּתוּב עָלָי׃
その時 私は-言った 見よ 私は-来た 巻物の-書に — 書かれている 私に-ついて
H0559 H2009 H0935 H4039 H5612 H3789

その時わたしは言った、「見よ、わたしはまいります。書の巻に、わたしのためにしるされています。

8 לַעֲשׂוֹת־ רְצוֹנְךָ אֱלֹהַי חָפָצְתִּי וְתוֹרָתְךָ בְּתוֹךְ
行うことを あなたの-御心を 私の-神よ 私は-喜んだ そして-あなたの-律法は 私の-内に-ある
H4578 H0430 H7522 H8451 H8432

מֵעָי׃
私の-はらわた
H4578

わが神よ、わたしはみこころを行うことを喜びます。あなたのおきてはわたしの心のうちにあります」と。

9 בִּשַׂרְתִּי צֶדֶק בְּקָהָל רָב הִנֵּה שְׂפָתַי לֹא אֶכְלָא יְהוָה
私は-告げた 義を 大いなる-会衆の-中で — 見よ 私の-唇を ない 私は-押えない 主よ
H1319 H6664 H6951 H2009 H8193 H3808 H3607 H3068

אַתָּה יָדָעְתָּ׃
あなたは 知っておられる
H3045

わたしは大いなる集会で、救についての喜びのおとずれを告げ示しました。見よ、わたしはくちびるを閉じませんでした。主よ、あなたはこれをご存じです。

10 צִדְקָתְךָ לֹא־ בְּתוֹךְ לִבִּי כִסִּיתִי אֱמוּנָתְךָ
あなたの-義を ない 私の-内に 私は-隠さなかった 私の-心 あなたの-誠実と
H6666 H3808 H8432 H3680 H0530

וּתְשׁוּעָתְךָ אָמַרְתִּי לֹא־ כִחַדְתִּי חַסְדְּךָ
そして-あなたの-救いを 私は-言った ない 私は-隠さなかった あなたの-恵みと
H8668 H0559 H3808 H3582

וַאֲמִתְּךָ לְקָהָל רָב׃
そして-あなたの-真実を に 大いなる-会衆
H0571 H6951

わたしはあなたの救を心のうちに隠しおかず、あなたのまことと救とを告げ示しました。わたしはあなたのいつくしみとまことをとを大いなる集会に隠しませんでした。

11 אַתָּה יְהוָה לֹא־ תִכְלָא רַחֲמֶיךָ מִמֶּנִּי חַסְדְּךָ
あなたは 主よ ない 押さえないでください あなたの-あわれみを 私から あなたの-恵みと
H3068 H3808 H3607

וַאֲמִתְּךָ תָּמִיד יִצְּרוּנִי׃
そして-あなたの-真実が 常に 私を-守るように
H0571 H8548 H5341

主よ、あなたのあわれみをわたしに惜しまず、あなたのいつくしみとまことをもって常にわたしをお守りください。

12 כִּי אָפְפוּ־ עָלַי רָעוֹת עַד־ אֵין מִסְפָּר הִשִּׂיגוּנִי
なぜなら 取り囲んだ 私の-上に わざわいが 数えきれないほど ない 数が 追いついた
H0661 H5704 H0369 H4557 H5381

עֲוֹנֹתַי וְלֹא־ יָכְלְתִּי לִרְאוֹת מִשַּׂעֲרוֹת רֹאשִׁי
私の-咎が そして-ない 私は-できなかった 見ることが 多くなり 私の-頭の-髪よりも —
H5771 H3808 H3201 H7200 H8185

וְלִבִּי עֲזָבָנִי׃
そして-私の-心は 私を-見捨てた

数えがたい災がわたしを囲み、わたしの不義がわたしに追い迫って、物見ることができないまでになりました。それはわたしの頭の毛よりも多く、わたしの心は消えうせるばかりになりました。

13
רְצֵה יְהוָה לְהַצִּילֵנִי יְהוָה לְעֶזְרָתִי חוּשָׁה׃
喜んでください 主よ 私を–救い出すことを 主よ 私の–助けに 急いでください
H7521 H3068 H5337 H3068 H5833

主よ、みこころならばわたしをお救いください。主よ、すみやかにわたしをお助けください。

14
יֵבֹשׁוּ וְיַחְפְּרוּ יַחַד מְבַקְשֵׁי נַפְשִׁי לִסְפּוֹתָהּ יִסֹּגוּ אָחוֹר
恥じよ そして–辱められよ 共に 求める者たちよ 私の–いのちを 滅ぼそうとする 退け 後ろに
H0954 H2659 H3162 H5315 H5595 H5472 H0268

וְיִכָּלְמוּ חֲפֵצֵי רָעָתִי׃
そして–辱めを–受けよ 望む者たちよ 私の–不幸を
H3637 H2655

わたしのいのちを奪おうと尋ね求める者どもをことごとく恥じあわてさせてください。わたしのそこなわれることを願う者どもをうしろに退かせ、恥を負わせてください。

15
יָשֹׁמּוּ עֵקֶב בָּשְׁתָּם הָאֹמְרִים לִי לִי וְהֶאָח׃
荒れ果てよ その 報いとして その–恥の 言う者たちよ 私に ああ ああと
H8074 H6118 H1322 H0559 H1889 H1889

わたしにむかって「あはぁ、あはぁ」と言う者どもを自分の恥によって恐れおののかせてください。

16
יָשִׂישׂוּ וְיִשְׂמְחוּ בְךָ כָּל מְבַקְשֶׁיךָ יֹאמְרוּ תָמִיד
喜び–踊れ そして–楽しめ あなたの–内に すべての あなたを–求める者たちよ 言え 常に
H7797 H8055 H3605 H0559 H8548

יִגְדַּל יְהוָה אֹהֲבֵי תְשׁוּעָתֶךָ׃
大いなるかな 主はと 愛する者たちよ あなたの–救いを
H1431 H3068 H0157 H8668

しかし、すべてあなたを尋ね求める者はあなたによって喜び楽しむように。あなたの救を愛する者は常に「主は大いなるかな」ととなえるように。

17
וַאֲנִי עָנִי וְאֶבְיוֹן אֲדֹנָי יַחֲשָׁב לִי עֶזְרָתִי
そして–私は 苦しむ者 そして–乏しい者 わが–主が 思いを–向ける 私に 私の–助けよ
H0589 H6041 H0034 H0136 H2803 H0589

וּמְפַלְטִי אָתָּה אֱלֹהַי אַל תְּאַחַר׃
そして–私の–救い主よ あなたは 私の–神よ しないでください 遅れることを
H6403 H0408 H0430 H0408 H0309

わたしは貧しく、かつ乏しい。しかし主はわたしをかえりみられます。あなたはわが助け、わが救主です。わが神よ、ためらわないでください。

Chapter 41

1
לַמְנַצֵּחַ מִזְמוֹר לְדָוִד׃ אַשְׁרֵי מַשְׂכִּיל אֶל דָּל בְּיוֹם רָעָה
指揮者–のために 賛歌 ダビデ–の 幸いな–者 思いやる ～を 弱い–者 災い–の–日–に わざわい
H4422 H4210 H1732 H0835 H0413 H1800 H3117

יְמַלְּטֵהוּ יְהוָה׃
救い–出される 主–に–よって
H4422 H3068

聖歌隊の指揮者によってうたわせたダビデの歌 貧しい者をかえりみる人はさいわいである。主はそのような人を悩みの日に救い出される。

תִּתְּנֵ֑הוּ	וְאַל־	בְּאֶ֥רֶץ	וְאֹשַׁר׀	יאשר	וְיִחְיֵ֗הוּ	יִשְׁמְרֵ֥הוּ	וְיְהוָ֥ה	2
渡さ–れない	そして–決して–ない	地–の–上–で	祝福–される	幸い–と–され	生かし	守り	主–は	
H5414	H0408	H0776	H0833	H0833	H2421	H8104	H3068	

אֹיְבָ֖יו׃	בְּנֶ֣פֶשׁ
敵–の	意のまま–に
H0341	H5315

主は彼を守って、生きながらえさせられる。彼はこの地にあって、さいわいな者と呼ばれる。あなたは彼をその敵の欲望にわたされない。

בְּחָלְיֽוֹ׃	הָפַ֥כְתָּ	מִשְׁכָּבוֹ֮	כָּל־	דְּוָ֪י	עֻ֫רְשׁ	עַל־	יִסְעָדֶ֥נּוּ	יְהוָ֥ה	3
病–の–中–で	変え–て–くださる	寝床–を	すべて–の	床	病–の	～の–上–で	支え–られる	主–は	
H2483	H2015	H4904	H3605	H1741	H6210		H5582	H3068	

主は彼をその病の床でささえられる。あなたは彼の病む時、その病をことごとくいやされる。

כִּי־	נַפְשִׁ֗י	רְפָאָ֥ה	חָ֫נֵּנִי	יְהוָ֥ה	אָמַ֗רְתִּי	אֲנִי־	4
なぜなら	私–の–たましい–を	癒して–ください	憐れんで–ください	主–よ	言った	私–は	
	H5315	H7495		H3068	H0559	H0589	

לָֽךְ׃	חָטָ֥אתִי
あなた–に–対して	罪–を–犯した–からです
	H2398

わたしは言った、「主よ、わたしをあわれみ、わたしをいやしてください。わたしはあなたにむかって罪を犯しました」と。

שְׁמֽוֹ׃	וְאָבַ֥ד	יָ֝מוּת	מָתַ֗י	לִ֫י	רַ֥ע	יֹאמְר֣וּ	אוֹיְבַ֑י	5
その–名–は	そして–滅びる–のか	死ぬ–のか	いつ	私–に–ついて	悪–を	言う	敵–たちは	
H8034	H0006	H4191	H4970			H0559	H0341	

わたしの敵はわたしをそしって言う、「いつ彼は死に、その名がほろびるであろうか」と。

יֵצֵ֣א	לֽוֹ	אָ֭וֶן	יִקְבָּץ־	לִבּ֑וֹ	יְדַבֵּ֥ר	שָׁ֝וְא	וְלִרְא֥וֹת	בָּ֗א	וְאִם־	6
出て–行き	自分–に	悪意–を	集める	その–心–は	語る	偽り–を	見舞い–に	来て	もし	
H3318		H0205	H6908		H1696	H7723	H7200	H0935		

יְדַבֵּֽר׃	לַחֻֽוץ׃
言いふらす	外–で
H1696	H2351

そのひとりがわたしを見ようとして来るとき、彼は偽りを語り、その心によこしまを集め、外に出てはそれを言いふらす。

רָעָ֣ה	יַחְשְׁב֣וּ	וְעָלַ֑י	שֹׂנְאַ֥י	כָּל־	יִתְלַחֲשׁ֣וּ	עָלַ֗י	יַ֫חַד	7
災い–を	たくらむ	私–に–対して	私–を–憎む–者–は	すべて–の	ささやき–合う	私–に–対して	共–に	
	H2803		H8130	H3605	H3907			

לִֽי׃
私–に

すべてわたしを憎む者はわたしについて共にささやき、わたしのために災を思いめぐらす。

לָקֽוּם׃	יוֹסִ֥יף	לֹא־	שָׁכַ֗ב	וַאֲשֶׁ֥ר	בּ֑וֹ	יָצ֥וּק	בְּלִיַּ֥עַל	דְּבַר־	8
と	起き–上がれない	もう–二度–と	伏した–者–は	そして	彼–に	注がれた	悪–の	恐ろしい	
	H3254	H3808	H7901			H3332	H1100	H1697	

彼らは言う、「彼に一つのたたりがつきまとったから、倒れ伏して再び起きあがらないであろう」と。

הִגְדִּיל	לַחְמִי	אָכַל	בּוֹ	בָּטַחְתִּי	אֲשֶׁר־	וְשֹׁלֹמִי	אִישׁ	גַּם־	9
持ち–上げた	私–の–パン–を	食べていた	者	信頼–していた	私–が	友–さえ	親しい	さらに	
H1431	H3899	H0398		H0982		H7965	H0376	H1571	

עָקֵב׃	עָלָי
かかと–を	私–に–対して
H6119	

わたしの信頼した親しい友、わたしのパンを食べた親しい友さえもわたしにそむいてくびすをあげた。

וַאֲשַׁלְּמָה	וַהֲקִימֵנִי	חָנֵּנִי	יְהוָה	וְאַתָּה	10
報いる–ことが–できる–ように	起こして–ください	憐れんで–ください	主–よ	しかし–あなた–は	
			H3068		

לָהֶם׃
彼ら–に
H1992

しかし主よ、わたしをあわれみ、わたしを助け起してください。そうすればわたしは彼らに報い返すことができます。

לֹא־	כִּי	בִי	חָפַצְתָּ	כִּי־	יָדַעְתִּי	בְּזֹאת	11
決して–ない	なぜなら	私–を	喜んで–いる–と	あなた–が	知った	この–ことによって	
H3808					H3045	H2063	

עָלָי׃	אֹיְבִי	יָרֵיעַ
私–に–対して	敵–が	勝ちどき–を–上げない
	H0341	H7321

わたしの敵がわたしに打ち勝てないことによって、あなたがわたしを喜ばれることをわたしは知ります。

לְעוֹלָם׃	לְפָנֶיךָ	וַתַּצִּיבֵנִי	בִּי	תָּמַכְתָּ	בְּתֻמִּי	וַאֲנִי	12
永遠–に	御前–に	立たせて–くださった	私–を	支えて–くださった	誠実さ–の–ゆえに	そして–私–を	
H5769	H6440	H5324		H8551	H8537	H0589	

あなたはわたしの全きによって、わたしをささえ、とこしえにみ前に置かれます。

וְאָמֵן	הָעוֹלָם	וְעַד	מֵהָעוֹלָם	יִשְׂרָאֵל	אֱלֹהֵי	וְיהוָה	בָּרוּךְ	13
アーメン	永遠–に	そして–〜まで	永遠–の–昔–から	イスラエル–の	神	主	ほむべき–かな	
H0543	H5769	H5704	H5769	H3478	H0430	H3068	H1288	

וְאָמֵן׃
アーメン
H0543

イスラエルの神、主はとこしえからとこしえまでほむべきかな。アァメン、アァメン。

Chapter 42

עַל־	תַּעֲרֹג	כְּאַיָּל	קֹרַח׃	לִבְנֵי־	מַשְׂכִּיל	לַמְנַצֵּחַ	1
〜の–ほとり–の	慕い–求める–ように	鹿–が	賛歌	コラ–の–子ら–の	教訓–の	指揮者–のために	
	H6165	H0354	H7141		H4905	H5329	

אֱלֹהִים׃	אֵלֶיךָ	תַּעֲרֹג	נַפְשִׁי	כֵּן	מָיִם	אֲפִיקֵי־
神–よ	あなた–を	慕い–求める	私–の–たましい–は	そのように	流れ–を	水–の
H0430	H0413	H6165	H5315		H4325	H0650

聖歌隊の指揮者によってうたわせたコラの子のマスキールの歌 神よ、しかが谷川を慕いあえぐように、わが魂もあなたを慕いあえぐ。

2

צָמְאָה
渇く
H6770

נַפְשִׁי
私-の-たましい-は
H5315

לֵאלֹהִים
神-を
H0430

לְאֵל
生ける
H0410

חָי
神-を

מָתַי
いつ
H4970

אָבוֹא
行ける-のか
H0935

וְאֵרָאֶה
そして-まみえる-のか
H7200

פְּנֵי
御顔-に
H6440

אֱלֹהִים׃
神-の
H0430

わが魂はかわいているように神を慕い、いける神を慕う。いつ、わたしは行って神のみ顔を見ることができるだろうか。

3

הָיְתָה־
なった
H1961

לִּי
私-に

דִמְעָתִי
私-の-涙-が
H1832

לֶחֶם
食物-と
H3899

יוֹמָם
昼-も
H3119

וָלָיְלָה
夜-も
H3915

בֶּאֱמֹר
言われる-とき
H0559

אֵלַי
私-に
H0413

כָּל־
一日-中
H3605

הַיּוֹם
絶えず
H3117

אַיֵּה
どこ-に-いる-のか
H0346

אֱלֹהֶיךָ׃
お前-の-神-は
H0430

人々がひねもすわたしにむかって「おまえの神はどこにいるのか」と言いつづける間はわたしの涙は昼も夜もわたしの食物であった。

4

אֶלֶּה
これら-を
H0428

וְאֶזְכְּרָה
思い出し
H2142

וְאֶשְׁפְּכָה
そして-注ぎ出す
H8210

עָלַי
〜の-上-に

נַפְשִׁי
私-の-たましい-を
H5315

כִּי
なぜなら

וְאֶעֱבֹר
進んで-行った

חוֹגֵג׃
祝い
H2287

הָמוֹן
群衆-の
H1995

וְתוֹדָה
感謝-の
H8426

רִנָּה
喜び-の
H7440

בְּקוֹל־
声-と

אֱלֹהִים
神-の
H0430

בַּיִת
家

עַד־
〜まで
H5704

אַדִּיר
導いて
H1718

בְּסָךְ
群衆-の-中-を
H5519

わたしはかつて祭を守る多くの人と共に群れをなして行き、喜びと感謝の歌をもって彼らを神の家に導いた。今これらの事を思い起して、わが魂をそそぎ出すのである。

5

מַה־
なぜ
H4100

תִּשְׁתּוֹחֲחִי
うなだれる-のか
H7817

נַפְשִׁי
私-の-たましい-よ
H5315

וַתֶּהֱמִי
なぜ-嘆く-のか
H1993

עָלָי
私-の-内-で

הוֹחִילִי
待ち望め
H3176

לֵאלֹהִים
神-を
H0430

כִּי־
なぜなら

עוֹד
なお
H5750

אוֹדֶנּוּ
感謝-する
H3034

יְשׁוּעוֹת
救い-を
H3444

פָּנָיו׃
御顔-の
H6440

わが魂よ、何ゆえうなだれるのか。何ゆえわたしのうちに思いみだれるのか。神を待ち望め。わたしはなおわが助け、わが神なる主をほめたたえるであろう。

6

אֱלֹהָי
私-の-神-よ
H0430

עָלַי
〜の-上-で

נַפְשִׁי
私-の-たましい-は
H5315

תִּשְׁתּוֹחָח
うなだれる
H7817

עַל־
それ-ゆえ

כֵּן
だから

אֶזְכָּרְךָ
思い出す
H2142

מֵאֶרֶץ
地-から
H0776

יַרְדֵּן
ヨルダン-の
H3383

וְחֶרְמוֹנִים
ヘルモン-の
H2769

מֵהַר
山-から
H2022

מִצְעָר׃
ミツァル-の
H4706

わが魂はわたしのうちにうなだれる。それで、わたしはヨルダンの地から、またヘルモンから、ミザルの山からあなたを思い起す。

7 תְּהוֹם־ תְּהוֹם אֶל־ קוֹרֵא לְקוֹל צִנּוֹרֶיךָ כָּל־ מִשְׁבָּרֶיךָ
深淵–が 深淵–を ～に–向かい 呼ぶ 声–に あなた–の–滝–の すべて–の あなた–の–大波–と
H8415 H8415 H0413 H7121 H6794 H3605 H4867

וְגַלֶּיךָ עָלַי עָבָרוּ׃
あなた–の–うねり–が 私–の–上–を 越えた
H1530

あなたの大滝の響きによって淵々呼びこたえ、あなたの波、あなたの大波はことごとくわたしの上を越えていった。

8 וּיְמָם יְצַוֶּה יְהוָה חַסְדּוֹ וּבַלַּיְלָה שִׁירָהּ עִמִּי תְּפִלָּה לְאֵל
昼–には 命じ–られる 主–が 恵み–を 夜–には その 歌–が 私–と–共–に 祈り–が 神–に
H3119 H6680 H3068 H2617 H3915 H7892 H5973 H8605 H0410

חַיָּי׃
私–の–いのち–の
H2416

昼には、主はそのいつくしみをほどこし、夜には、その歌すなわちわがいのちの神にささげる祈がわたしと共にある。

9 וְאוֹמְרָה לְאֵל סַלְעִי לָמָּה־ שְׁכַחְתָּנִי לָמָּה קֹדֵר אֵלֵךְ בְּלַחַץ
言う 神–に 私–の–岩–よ なぜ 忘れ–られた–のか なぜ 暗く 歩む–のか 圧迫–の–中–で
H0559 H0410 H5553 H4100 H7911 H4100 H6937 H1980 H3906

אוֹיֵב׃
敵–の
H0341

わたしはわが岩なる神に言う、「何ゆえわたしをお忘れになりましたか。何ゆえわたしは敵のしえたげによって悲しみ歩くのですか」と。

10 וּבְרֶצַח בְּעַצְמוֹתַי חֵרְפוּנִי צוֹרְרָי בְּאָמְרָם אֵלַי כָּל־ הַיּוֹם
砕く–ように 私–の–骨–を 辱める 苦しめる–者–が 言い–ながら 私–に 一日–中 絶えず
H7524 H6106 H2778 H6887 H0559 H0413 H3605 H3117

אֱלֹהֶיךָ׃ אַיֵּה
お前–の–神–は どこ–に–いる–のか
H0430 H0346

わたしのあだは骨も砕けるばかりにわたしをののしり、ひねもすわたしにむかって「おまえの神はどこにいるのか」と言う。

11 לֵאלֹהִים הוֹחִילִי עָלָי תֶּהֱמִי וּמַה־ נַּפְשִׁי וּתְשׁוּחֲחִי מַה־
神–を 待ち望め 私–の–内–で 嘆く–のか なぜ 私–の–たましい–よ うなだれる–のか なぜ
H0430 H3176 H5921 H1993 H4100 H5315 H7817 H4100

כִּי־ עוֹד אוֹדֶנּוּ יְשׁוּעֹת פָּנַי וֵאלֹהָי׃
なぜなら なお 感謝–する 救い 私–の–顔–の 私–の–神
H3588 H5750 H3034 H3444 H6440 H0430

わが魂よ、何ゆえうなだれるのか。何ゆえわたしのうちに思いみだれるのか。神を待ち望め。わたしはなおわが助け、わが神なる主をほめたたえるであろう。

Chapter 43

1

לֹא־	מִגּוֹי	רִיבִי	וְרִיבָה	וֵאלֹהִים	שָׁפְטֵנִי	
不–敬虔な	国民–から	私–の–訴え–を	そして–弁護して–ください	神–よ	裁いて–ください	
H3808		H7379	H7378	H0430	H8199	

תְּפַלְּטֵנִי׃	וְעִוְלָה	מִרְמָה	מֵאִישׁ־	חָסִיד	
救い出して–ください	そして–不正–の	欺き–の	人–から	敬虔–のない	
H6403		H4820	H0376	H2623	

神よ、わたしをさばき、神を恐れない民にむかって、わたしの訴えをあげつらい、たばかりをなすよこしまな人からわたしを助け出してください。

2

קֹדֶר	לָמָּה־	זְנַחְתָּנִי	לָמָּה	מָעוּזִּי	אֱלֹהֵי	אַתָּה	כִּי־
暗く	なぜ	見捨て–られた–のか	なぜ	私–の–砦–である	神	あなた–こそ	なぜなら
H6937	H4100		H4100	H4581	H0430		

אוֹיֵב׃	בְּלַחַץ	אֶתְהַלֵּךְ	
敵–の	圧迫–の–中–で	歩む–のか	
H0341	H3906	H1980	

あなたはわたしの寄り頼む神です。なぜわたしを捨てられたのですか。なぜわたしは敵のしえたげによって悲しみ歩くのですか。

3

יַנְחוּנִי	הֵמָּה	וַאֲמִתְּךָ	אוֹרְךָ	שְׁלַח־	
導いて–ください	それら–が	あなた–の–真実–を	あなた–の–光–を	送って–ください	
H5148	H1992	H0571	H0216	H7971	

מִשְׁכְּנוֹתֶיךָ׃	וְאֶל־	קָדְשְׁךָ	הַר־	אֶל־	יְבִיאוּנִי	
あなた–の–住まい–に	そして–〜へ	あなた–の–聖なる	山	〜へ	連れて–行って–ください	
H4908	H0413	H6944	H2022	H0413	H0935	

あなたの光とまこととを送ってわたしを導き、あなたの聖なる山と、あなたの住まわれる所にわたしをいたらせてください。

4

בְּכִנּוֹר	וְאוֹדְךָ	גִּילִי	שִׂמְחַת	אֵל	אֶל־	אֱלֹהִים	מִזְבַּח	אֶל־	וְאָבוֹאָה
琴–で	そして–感謝–する	楽しみ–の	喜び–の	神	〜へ	神–の	祢壇	〜へ	そして–行く
H3658	H3034		H8057	H0410	H0413	H0430	H4196	H0413	H0935

אֱלֹהָי׃	אֱלֹהִים
私–の–神–よ	神–よ
H0430	H0430

その時わたしは神の祭壇へ行き、わたしの大きな喜びである神へ行きます。神よ、わが神よ、わたしは琴をもってあなたをほめたたえます。

5

לֵאלֹהִים	הוֹחִילִי	עָלָי	תֶּהֱמִי	וּמַה־	נַפְשִׁי	וּתְשׁתּוֹחֲחִי	מַה־		
神–を	待ち望め	私–の–内–で	嘆く–のか	なぜ	私–の–たましい–よ	うなだれる–のか	なぜ		
H0430	H3176		H1993	H4100	H5315	H7817	H4100		

וֵאלֹהָי׃	פָּנָי	יְשׁוּעֹת	אוֹדֶנּוּ	עוֹד	כִּי־
私–の–神	私–の–顔–の	救い	感謝–する	なお	なぜなら
H0430	H6440	H3444	H3034	H5750	

わが魂よ、何ゆえうなだれるのか。何ゆえわたしのうちに思いみだれるのか。神を待ち望め。わたしはなおわが助け、わが神なる主をほめたたえるであろう。

Chapter 44

1

שָׁמַעְנוּ	בְאָזְנֵינוּ	וֵאלֹהִים	מַשְׂכִּיל׃	לִבְנֵי־	קֹרַח	לַמְנַצֵּחַ
聞いた	私たち-の-耳-で	神-よ	教訓-の	コラ-の-子ら-の	賛歌	指揮者-のために
H8085	H0241	H0430	H4905		H7141	H5329

קֶדֶם׃	בְּיֵמֵי	בִּימֵיהֶם	פָּעַלְתָּ	פֹּעַל	לָנוּ	סִפְּרוּ־	אֲבוֹתֵינוּ
昔-の	日-に	彼ら-の-日-に	なさった	わざ-を	私たち-に	語った	先祖-たち-が
	H3117	H3117	H6466	H6467			H0001

聖歌隊の指揮者によってうたわせたコラの子のマスキールの歌 神よ、いにしえ、われらの先祖たちの日に、あなたがなされたみわざを彼らがわれらに語ったのを耳で聞きました。

2

וַתְּשַׁלְּחֵם׃	לְאֻמִּים	תָּרַע	וַתִּטָּעֵם	הוֹרַשְׁתָּ	גּוֹיִם	יָדְךָ	וְאַתָּה
そして-追い散らした	民-を	苦しめた	植えた	追い出し	諸国民-を	御手-で	あなた-は
H7971	H3816		H5193	H3423		H3027	

すなわちあなたはみ手をもって、もろもろの国民を追い払ってわれらの先祖たちを植え、またもろもろの民を悩まして、われらの先祖たちをふえ広がらせられました。

3

וּזְרוֹעָם	אֶרֶץ	יָרְשׁוּ	בְּחַרְבָּם	לֹא	כִּי	
そして-彼ら-の-腕-も	地-を	得た-ので-は-ない	剣-で	彼ら-の-剣-で-は-ない	なぜなら	
H2220	H0776	H3423	H2719	H3808		

וְאוֹר	וּזְרוֹעֲךָ	יְמִינְךָ	כִּי־	לָמוֹ	הוֹשִׁיעָה	לֹא־	
そして-光	あなた-の-腕-と	あなた-の-右の-手-と	むしろ	彼ら-を	救い-が	救わ-なかった	
H0216	H2220	H3225			H3467	H3808	

רְצִיתָם׃	כִּי	פָּנֶיךָ	
喜んだ-から	なぜなら	あなた-の-御顔-の	
H7521		H6440	

彼らは自分のつるぎによって国を獲たのでなく、また自分の腕によって勝利を得たのでもありません。ただあなたの右の手、あなたの腕、あなたのみ顔の光によるのでした。あなたが彼らを恵まれたからです。

4

יַעֲקֹב׃	יְשׁוּעוֹת	צַוֵּה	אֱלֹהַי	מַלְכִּי	הוּא	אַתָּה־
ヤコブ-に	救い-を	命じて-ください	神-よ	私-の-王	その-お方	あなた-こそ
H3290	H3444	H6680	H0430	H4428	H1931	

あなたはわが王、わが神、ヤコブのために勝利を定められる方です。

5

קָמֵינוּ׃	נָבוּס	בְּשִׁמְךָ	נְנַגַּח	צָרֵינוּ	בְךָ
立ち向かう-者-を	踏み-つける	あなた-の-御名-に-よって	突き-倉す	敵-を	あなた-に-よって
	H0947	H8034	H5055		

われらはあなたによって、あだを押し倒し、われらに立ちむかう者を、み名によって踏みにじるのです。

6

תּוֹשִׁיעֵנִי׃	לֹא	וְחַרְבִּי	אֶבְטָח	בְּקַשְׁתִּי	לֹא	כִּי
私-を	救え-ない	そして-私-の-剣-も	信頼-しない	私-の-弓-を	頼ら-ない	なぜなら
H3467	H3808	H2719	H0982	H7198	H3808	

わたしは自分の弓を頼まず、わたしのつるぎもまた、わたしを救うことができないからです。

7

הֲבִישׁוֹתָנוּ׃	וּמְשַׂנְאֵינוּ	מִצָּרֵינוּ	הוֹשַׁעְתָּנוּ	כִּי	
恥じ入らせた	そして-憎む-者-を	敵-から	救って-くださった	なぜなら	
H0954	H8130		H3467		

しかしあなたはわれらをあだから救い、われらを憎む者をはずかしめられました。

8

סֶלָה׃	נוֹדֶה	לְעוֹלָם	וְשִׁמְךָ	הַיּוֹם	כָּל־	הִלַּלְנוּ	בֵּאלֹהִים
セラ	感謝-する	永遠-に	そして-あなた-の-御名-を	絶えず	一日-中	誇った	神-に-よって
H5542	H3034	H5769	H8034	H3117	H3605		H0430

われらは常に神によって誇り、とこしえにあなたのみ名に感謝するでしょう。[セラ

9 אַף־ זָנַחְתָּ וַתַּכְלִימֵנוּ וְלֹא־ תֵצֵא בְּצִבְאוֹתֵינוּ׃
しかし 見捨てた そして-辱めた そして-出ない 出陣-しない 私たち-の-軍勢-と-共に
H0637 H2186 H3637 H3808 H3318

ところがあなたはわれらを捨てて恥を負わせ、われらの軍勢と共に出て行かれませんでした。

10 תָּשִׁיבֵנוּ אָחוֹר מִנִּי־ צָר וּמְשַׂנְאֵינוּ לָמוֹ׃ שָׁסּוּ
退かせた 後ろ-へ 敵-から 苦しめる-者 そして-憎む-者-が 思い-のまま-に 略奪-した
H7725 H0268 H3334 H8130 H8154

あなたがわれらをあだの前から退かせられたので、われらの敵は心のままにかすめ奪いました。

11 תִּתְּנֵנוּ כְּצֹאן מַאֲכָל וּבַגּוֹיִם זֵרִיתָנוּ׃
渡した 羊-の-ように 食物-の-ために そして-諸国民-の-中-に 散らした
H5414 H6629 H3978 H2219

あなたはわれらをほふられる羊のようにし、またもろもろの国民のなかに散らされました。

12 תִּמְכֹּר־ עַמְּךָ בְּלֹא־ הוֹן וְלֹא־ רָבִיתָ בִּמְחִירֵיהֶם׃
売った あなた-の-民-を 値なく 富-なく そして-増やさ-なかった 増やさ-なかった その-代金-で
H4376 H3808 H1952 H3808 H4242

あなたはわずかの金であなたの民を売り、彼らのために高い価を求められませんでした。

13 תְּשִׂימֵנוּ חֶרְפָּה לִשְׁכֵנֵינוּ לַעַג וָקֶלֶס לִסְבִיבוֹתֵינוּ׃
させた 辱め-を 隣人-から-の 嘲り-と 侮蔑-を 周囲-から-の
H2781 H7934 H3933 H7047 H5439

あなたはわれらを隣り人にそしらせ、われらをめぐる者どもに侮らせ、あざけらせられました。

14 תְּשִׂימֵנוּ מָשָׁל בַּגּוֹיִם מְנוֹד־ רֹאשׁ בְּלְאֻמִּים׃
させた たとえ-を 諸国民-の-中-で 頭-を 民-の-中-で 諸国民-の
H4912 H4493 H3816 H3816

またもろもろの国民のなかにわれらを笑い草とし、もろもろの民のなかに笑い者とされました。

15 כָּל־ הַיּוֹם כְּלִמָּתִי נֶגְדִּי וּבֹשֶׁת פָּנַי כִּסָּתְנִי׃
一日-中 絶えず 恥辱-が 私-の-前-に そして-羞恥-が 顔-を 覆った
H3605 H3117 H3639 H5048 H1322 H6440 H3680

わがはずかしめはひねもすわたしの前にあり、恥はわたしの顔をおおいました。

16 מִקּוֹל מְחָרֵף וּמְגַדֵּף מִפְּנֵי אוֹיֵב וּמִתְנַקֵּם׃
声-から そしる-者-の 冶とく-者-の 顔-から 敵-の 復讐-する-者-の
H6963 H2778 H1442 H6440 H0341 H5358

これはそしる者と、ののしる者の言葉により、敵と、恨みを報いる者のゆえによるのです。

17 כָּל־ זֹאת בָּאַתְנוּ וְלֹא שְׁכַחֲנוּךָ וְלֹא־ שִׁקַּרְנוּ בִּבְרִיתֶךָ׃
これ-すべて の-こと-が 降りかかった しかし-忘れ-なかった あなた-を そして-偽ら-なかった
H3605 H2063 H0935 H3808 H7911 H3808

あなた-の-契約-に 裏切ら-なかった
H1285 H8266

これらの事が皆われらに臨みましたが、われらはあなたを忘れず、あなたの契約にそむくことがありませんでした。

18

מִנִּי	אֲשֻׁרֵינוּ	וַתֵּט	לִבֵּנוּ	אָחוֹר	נָסוֹג	לֹא־
～から	私たち–の–歩み–が	そして–それた	私たち–の–心–は	後ろ–に	後ろ–に	退か–なかった
		H5186		H0268	H5472	H3808

אָרְחֶֽךָ׃
あなた–の–道–の
H0734

われらの心はたじろがず、またわれらの歩みはあなたの道を離れませんでした。

19

בְּצַלְמָוֶת׃	עָלֵינוּ	וַתְּכַס	תַּנִּים	בִּמְקוֹם	דִּכִּיתָנוּ	כִּי
死–の–影–で	私たち–の–上–に	そして–覆われた	ジャッカル–の	場所–で	砕かれた	それでも
H6757		H3680		H4725	H1794	

それでもあなたは山犬の住む所でわれらを砕き、暗やみをもってわれらをおおわれました。

20

זָֽר׃	לְאֵל	כַּפֵּינוּ	וַנִּפְרֹשׂ	אֱלֹהֵינוּ	שָׁם	שָׁכַחְנוּ	אִם־
神–に	他–の	私たち–の–手–を	そして–広げた–なら	私たち–の–神–の	御名–を	忘れた–なら	もし
	H0410	H3709	H6566	H0430	H8034	H7911	

われらがもしわれらの神の名を忘れ、ほかの神に手を伸べたことがあったならば、

21

יֹדֵֽעַ	הוּא	כִּי־	זֹּאת	יַחֲקָר־	אֱלֹהִים	הֲלֹא	
知って–おられる	神–は	なぜなら	これ–を	調べる–ので–は–ないか	神–は	探り–出さない–だろうか	
H3045	H1931		H2063	H2713	H0430	H3808	

לֵֽב׃	תַּעֲלֻמוֹת
心–の	秘密–を
	H8587

神はこれを見あらわされないでしょうか。神は心の秘密をも知っておられるからです。

22

טִבְחָֽה׃	כְּצֹאן	נֶחְשַׁבְנוּ	הַיּוֹם	כָּל־	הֹרַגְנוּ	עָלֶיךָ	כִּי־	
屠殺–の	羊–の–ように	みなされる	絶えず	一日–中	殺される	あなた–の–ために	それなのに	
H2878	H6629	H2803	H3117	H3605	H2026			

ところがわれらはあなたのためにひねもす殺されて、ほふられる羊のようにみなされました。

23

תִּזְנַֽח	אַל־	הָקִיצָה	אֲדֹנָי	תִּישָׁן	לָמָּה	וְעוּרָה	
見捨て–られない	決して–ない	起きて–ください	主–よ	眠る–のですか	なぜ	目覚めて–ください	
	H0408	H6974	H0136	H3462	H4100	H5782	

לָנֶֽצַח׃
永遠–に
H5331

主よ、起きてください。なぜ眠っておられるのですか。目をさましてください。われらをとこしえに捨てないでください。

24

וְלַחֲצֵנוּ׃	עָנְיֵנוּ	תִּשְׁכַּח	תַּסְתִּיר	פָּנֶיךָ	לָמָּה־	
そして–圧迫–を	私たち–の–苦しみ–を	忘れる–のですか	隠される–のですか	御顔–を	なぜ	
H3906	H6040	H7911	H5641	H6440	H4100	

なぜあなたはみ顔を隠されるのですか。なぜわれらの悩みと、しえたげをお忘れになるのですか。

25

בִּטְנֵנוּ׃	לָאָרֶץ	דָּבְקָה	נַפְשֵׁנוּ	לֶעָפָר	שָׁחָה	כִּי
私たち–の–腹–が	地–に	へばりついた	私たち–の–たましい–は	塵–に	伏した	なぜなら
H0990	H0776	H1692	H5315	H6083	H7743	

まことにわれらの魂はかがんで、ちりに伏し、われらのからだは土につきました。

26 קוּמָה עֶזְרָתָה לָּנוּ וּפְדֵנוּ לְמַעַן
立ち上がって–ください 助け–として 私たち–の–ために そして–购って–ください ～の–ために
H6299 H5833 H4616

חַסְדֶּךָ׃
あなた–の–恵み–の

起きて、われらをお助けください。あなたのいつくしみのゆえに、われらをあがなってください。

Chapter 45

1 לַמְנַצֵּחַ עַל־שֹׁשַׁנִּים לִבְנֵי־קֹרַח מַשְׂכִּיל שִׁיר יְדִידֹת׃
指揮者–のために ～に–合わせて ゆり–の コラ–の–子ら–の 教訓–の 歌 愛–の
H5329 H7799 H7141 H4905

וְעֵט לְשׁוֹנִי לְמֶלֶךְ מַעֲשַׂי אֲנִי אֹמֵר טוֹב דָּבָר וּלְבִי רָחַשׁ
筆 私–の–舌–は 王–に 私–の–作品–を 私–は 言う 良い 言葉 私–の–心–から 湧き–出る
H5842 H3956 H4428 H4639 H0589 H0559 H1697 H7370

סוֹפֵר מָהִיר׃
書記–の 巧みな
H4106

聖歌隊の指揮者によってゆりの花のしらべにあわせてうたわせたコラの子のマスキールの歌、愛の歌 わたしの心はうるわしい言葉であふれる。わたしは王についてよんだわたしの詩を語る。わたしの舌はすみやかに物書く人の筆のようだ。

2 יָפְיְפִיתָ מִבְּנֵי אָדָם הָוּצַק חֵן בְּשִׂפְתוֹתֶיךָ עַל־כֵּן בֵּרַכְךָ אֱלֹהִים לְעוֹלָם׃
麗しい 人–の–子–より 人–の 注がれた 恵み–が あなた–の–唇–に それ–ゆえ だから 祝福した 神–が 永遠–に
H3302 H0120 H3332 H2580 H8193 H5769

あなたは人の子らにまさって麗しく、気品がそのくちびるに注がれている。このゆえに神はとこしえにあなたを祝福された。

3 חֲגֹר־חַרְבְּךָ עַל־יָרֵךְ גִּבּוֹר הוֹדְךָ וְהַדָּרֶךָ׃
帯びなさい 剣–を あなた–の 腰 勇士–よ 輝き–と
H2296 H2719 H3409 H1368 H1935 H1926

ますらおよ、光栄と威厳とをもって、つるぎを腰に帯びよ。

4 וְהַדָּרְךָ רְכַב צַלַּח עַל־דְּבַר־אֱמֶת וְעַנְוָה־צֶדֶק וְתוֹרְךָ נוֹרָאוֹת יְמִינֶךָ׃
そして–輝き–の–中–で 進み 駆け ～の–上–に 真実–の 柔和–の 正義–の そして–教える 畳れる–こと–を あなた–の–右の–手–が
H1926 H6037 H6664 H7392 H1697 H0571 H3372 H3225

真理のため、また正義を守るために威厳をもって、勝利を得て乗り進め。あなたの右の手はあなたに恐るべきわざを教えるであろう。

5 חִצֶּיךָ שְׁנוּנִים עַמִּים תַּחְתֶּיךָ יִפְּלוּ בְּלֵב אוֹיְבֵי הַמֶּלֶךְ׃
あなた–の–矢–は 鋭い 民–が あなた–の–下–に 倒れる ～の–中–に 敵–の 王–の
H2671 H8150 H5971 H8478 H5307 H0341 H4428

あなたの矢は鋭くて、王の敵の胸をつらぬき、もろもろの民はあなたのもとに倒れる。

6	כִּסְאֲךָ	אֱלֹהִים	עוֹלָם	וָעֶד	שֵׁבֶט	מִישׁוֹר	שֵׁבֶט	מַלְכוּתֶךָ׃
	あなた–の–御座–は	神–よ	永遠–に	そして–とこしえに	笏	公正–の	笏–は	あなた–の–王国–の
	H3678	H0430	H5769	H5703	H7626	H4334	H7626	H4438

神から賜わったあなたの位は永遠にかぎりなく続き、あなたの王のつえは公平のつえである。

7	אָהַבְתָּ	צֶדֶק	וַתִּשְׂנָא	רֶשַׁע	עַל־	כֵּן	מְשָׁחֲךָ	אֱלֹהִים	אֱלֹהֶיךָ
	愛した	正義–を	そして–憎んだ	悪–を	それ–ゆえ	だから	油注ぎ–た	神–が	あなた–の–神–が
	H0157	H6664	H8130	H7562			H4886	H0430	H0430

מֵחֲבֵרֶיךָ׃	שֶׁמֶן	שָׂשׂוֹן	
仲間–より–まさって	油–を	喜び–の	
H2270	H8081	H8342	

あなたは義を愛し、悪を憎む。このゆえに神、あなたの神は喜びの油をあなたのともがらにまさって、あなたに注がれた。

8	מֹר־	וַאֲהָלוֹת	קְצִיעוֹת	כָּל־	בִּגְדֹתֶיךָ	מִן־	הֵיכְלֵי	שֵׁן	מִנִּי
	没薬–と	沈香–と	肉桂–が	すべて–の	あなた–の–衣–に	〜から	宮殿–の	象牙–の	〜から
	H4753	H0174	H7102	H3605			H1964	H8127	H4482

שִׂמְּחוּךָ׃	
喜ばせる	
H8055	

あなたの衣はみな没薬、芦薈、肉桂で、よいかおりを放っている。琴の音は象牙の殿から出て、あなたを喜ばせる。

9	בְּנוֹת	מְלָכִים	בִּיקָרוֹתֶיךָ	נִצְּבָה	שֵׁגַל	לִימִינְךָ	בְּכֶתֶם
	娘–たち	王–の	あなた–の–尊い–者–の–中–に	立つ	王妃–が	あなた–の–右–に	純金–の
	H1323	H4428	H3368	H5324	H7694	H3225	H3800

אוֹפִיר׃	
オフィル–の	
H0211	

あなたの愛する女たちのうちには王の娘たちがあり、王妃はオフルの金を飾って、あなたの右に立つ。

10	שִׁמְעִי־	בַת	וּרְאִי	וְהַטִּי	אָזְנֵךְ	וְשִׁכְחִי
	聞きなさい	娘–よ	そして–見なさい	そして–傾けなさい	あなた–の–耳–を	そして–忘れなさい
	H8085	H1323	H7200	H5186	H0241	H7911

וּבֵית	אָבִיךְ׃	
そして–家–を	あなた–の–父–の	
	H0001	

עַמֵּךְ
あなた–の–民–を

娘よ、聞け、かえりみて耳を傾けよ。あなたの民と、あなたの父の家とを忘れよ。

11	אֲדֹנַיִךְ	הִוא	כִּי־	יָפְיֵךְ	הַמֶּלֶךְ	וְיִתְאָו
	あなた–の–主–である	彼–こそ	なぜなら	あなた–の–美–を	王–が	そうすれば–愛でる
	H0113	H1931		H3308	H4428	H0183

לוֹ׃	וְהִשְׁתַּחֲוִי־
彼–に	そして–ひれ伏しなさい
	H7812

王はあなたのうるわしさを慕うであろう。彼はあなたの主であるから、彼を伏しおがめ。

12	וּבַת־	צֹר	בְּמִנְחָה	פָּנַיִךְ	יְחַלּוּ	עֲשִׁירֵי	עָם׃
	そして–娘	ツロ–の	贈り物–を–もって	あなた–の–顔–を	求める	富める–者–たち	民–の
	H1323	H6865	H4503	H6440		H6223	

ツロの民は贈り物をもちきたり、民のうちの富める者もあなたの好意を請い求める。

13 כָּל־ כְּבוּדָּה בַת־ מֶלֶךְ פְּנִימָה מִמִּשְׁבְּצוֹת זָהָב לְבוּשָׁהּ׃
すべて-の 栄光-は 娘 王-の 内-に-あり 金糸-の 金-の 衣-を-まとう
H3605 H1323 H4428 H6441 H4865 H2091 H3830

王の娘は殿のうちで栄えをきわめ、こがねを織り込んだ衣を着飾っている。

14 לְרִקְמוֹת תּוּבָל לַמֶּלֶךְ בְּתוּלוֹת אַחֲרֶיהָ רֵעוֹתֶיהָ מוּבָאוֹת
刺繍-の-衣-で 導かれる 王-の-もと-に 乙女-たち-が 彼女-の-後-に 友-たち-が 連れて-来られる
H7553 H2986 H4428 H1330 H0935 H7464 H0935

לָךְ׃
あなた-に

彼女は縫い取りした衣を着て王のもとに導かれ、その供びとなるおとめらは彼女に従ってその行列にある。

15 תּוּבַלְנָה בְּשִׂמְחָת וְגִיל תֻּבָאֶינָה בְּהֵיכַל מֶלֶךְ׃
導かれる 喜び-と 楽しみ-を-もって 入る 宮殿-に 王-の
H2986 H8057 H1964 H0935 H4428

彼らは喜びと楽しみとをもって導かれ行き、王の宮殿にはいる。

16 תַּחַת יִהְיוּ אֲבֹתֶיךָ בָּנֶיךָ תְּשִׁיתֵמוֹ לְשָׂרִים בְּכָל־ הָאָרֶץ׃
～の-代わり-に なる 先祖-の 息子-たち-が 立てる 君主-として すべて-の 地-に
H8478 H1961 H0001 H7896 H8269 H3605 H0776

あなたの子らは父祖に代って立ち、あなたは彼らを全地に君とするであろう。

17 אַזְכִּירָה שִׁמְךָ בְּכָל־ דֹּר דֹּר עַל־ כֵּן עַמִּים יְהוֹדֻךָ
覚えさせる あなた-の-御名-を すべて-の 世代-の 世代-に だから 民-が 讃える
H2142 H8034 H3605 H1755 H1755 H5769 H3034

לְעֹלָם וָעֶד׃
永遠-に そして-とこしえに
H5769 H5703

わたしはあなたの名をよろず代におぼえさせる。このゆえにもろもろの民は世々かぎりなくあなたをほめたたえるであろう。

Chapter 46

1 לַמְנַצֵּחַ לִבְנֵי־ קֹרַח שִׁיר׃ עַלָמוֹת עַל־ לָנוּ אֱלֹהִים
指揮者-のために コラ-の-子ら-の 賛歌 歌 アラモト-の ～に-合わせて 私たち-の 神-は
H5329 H7141 H5961 H0430

מְאֹד׃ נִמְצָא בְּצָרוֹת עֻזָּרָה וָעֹז מַחֲסֶה
大いに 見出される 苦難-の-中-に 助け-は 力-である 避け所-であり
H3966 H4672 H5833 H5797 H4268

聖歌隊の指揮者によって女の声のしらべにあわせてうたわせたコラの子の歌 神はわれらの避け所また力である。悩める時のいと近き助けである。

2 בְּלֵב הָרִים וּבְמוֹט אֶרֶץ בְּהָמִיר וְנִירָא לֹא־ כֵן עַל־
中-で 山-が そして-揺れる-とき 地-が 変わる-とき 恐れ-ない 恐れ-ない だから それ-ゆえ
H2022 H4131 H0776 H4171 H3372 H3808

יַמִּים׃
海-の
H3220

このゆえに、たとい地は変り、山は海の真中に移るとも、われらは恐れない。

3	יֶהֱמ֣וּ	מֵימָ֣יו	יִרְעֲשׁ֣וּ	הָרִ֣ים	בְּגַאֲוָתֹ֑ו	סֶּֽלָה׃	
	うなり	水–が	そして–揺れる	山–が	その–高まり–に–よって	セラ	
	H1993	H4325	H7493	H2022	H1346	H5542	

たといその水は鳴りとどろき、あわだつとも、そのさわぎによって山は震え動くとも、われらは恐れない。[セラ

4	נָהָ֤ר	פְּלָגָ֨יו	יְשַׂמְּח֥וּ	עִיר־	אֱלֹהִ֑ים	קֹ֝דֶשׁ	מִשְׁכְּנֵי	עֶלְיֽוֹן׃
	川–が–ある	その–流れ–が	喜ばせる	都–を	神–の	聖なる	住まい–を	いと高き–お方–の
	H5104	H6388	H8055		H0430	H6918	H4908	

一つの川がある。その流れは神の都を喜ばせ、いと高き者の聖なるすまいを喜ばせる。

5	אֱלֹהִ֥ים	בְּקִרְבָּ֗הּ	בַּל־	תִּמּ֑וֹט	יַעֲזְרֶ֥הָ	אֱ֝לֹהִ֗ים	לִפְנ֣וֹת
	神–は	その–中–に–おられる	決して–揺るが–ない	揺るが–ない	助ける	神–が	明け方–の–頃–に
	H0430	H7130	H1077	H4131	H5826	H0430	H6437

בֹּֽקֶר׃	
朝	
H1242	

神がその中におられるので、都はゆるがない。神は朝はやく、これを助けられる。

6	הָמ֣וּ	גּוֹיִ֑ם	מָ֝֗טוּ	מַמְלָכ֥וֹת	נָתַ֥ן	בְּקֹולֹ֑ו	תָּמ֖וֹג	אָֽרֶץ׃
	うなった	諸国民–が	傾いた	諸王国–が	発した	御声–を	溶けた	地–が
	H1993		H4131	H4467	H5414		H4127	H0776

もろもろの民は騒ぎたち、もろもろの国は揺れ動く、神がその声を出されると地は溶ける。

7	יְהוָ֣ה	צְבָאֹ֣ות	עִמָּ֑נוּ	מִשְׂגָּ֥ב־	לָ֝נוּ	אֱלֹהֵ֥י	יַעֲקֹ֗ב	סֶּֽלָה׃
	主–は	万軍–の	私たち–と–共–に	砦–である	私たち–の–ために	神	ヤコブ–の	セラ
	H3068					H0430	H3290	H5542

万軍の主はわれらと共におられる、ヤコブの神はわれらの避け所である。[セラ

8	לְכ֣וּ־	חֲזוּ֮	מִפְעֲלֹ֪ות	יְהוָ֫ה	אֲשֶׁר־	שָׂ֥ם	שַׁמֹּ֑ות	בָּאָֽרֶץ׃
	来て–見なさい	見なさい	わざ–を	主–の	～を	置いた	荒廃–を	地–の–上–に
	H3212	H2372		H3068			H8047	H0776

来て、主のみわざを見よ、主は驚くべきことを地に行われた。

9	מַשְׁבִּ֣ית	מִלְחָמֹ֣ות	עַד־	קְצֵ֥ה	הָאָ֑רֶץ	קֶ֥שֶׁת	יְשַׁבֵּ֗ר	וְקִצַּ֥ץ	חֲנִ֗ית	עֲגָלֹ֥ות
	終わらせる	戦争–を	～まで	果て	地–の	弓–を	折り	そして–断ち切る	槍–を	戦車–を
		H4421	H5704		H0776	H7198	H7665	H7112	H2595	H5699

יִשְׂרָ֖ף בָּאֵֽשׁ׃	
焔で–焼く 火–で	
H8313 H0784	

主は地のはてまでも戦いをやめさせ、弓を折り、やりを断ち、戦車を火で焼かれる。

10	הַרְפּ֣וּ	וְדְעוּ֮	כִּֽי־	אָ֪נֹכִ֫י	אֱלֹהִ֥ים	אָר֑וּם	בַּגֹּויִ֗ם
	静まりなさい	そして–知りなさい	私–が	私–こそ	神–である–と	崇められる	諸国民–の–中–で
	H7503	H3045		H0595	H0430		

בָּאָֽרֶץ׃	אָרֽוּם
地–の–上–で	崇められる
H0776	

「静まって、わたしこそ神であることを知れ。わたしはもろもろの国民のうちにあがめられ、全地にあがめられる」。

11 יְהוָה צְבָאוֹת עִמָּנוּ מִשְׂגָּב־לָנוּ אֱלֹהֵי יַעֲקֹב סֶלָה׃
主–は 万軍–の 私たち–と–共–に 砦–である 私たち–の–ために 神 ヤコブ–の セラ
H3068 H6635 H5973 H4869 H0430 H3290 H5542

万軍の主はわれらと共におられる、ヤコブの神はわれらの避け所である。[セラ

Chapter 47

1 לַמְנַצֵּחַ לִבְנֵי־קֹרַח מִזְמוֹר׃ כָּל־הָעַמִּים תִּקְעוּ־כָף הָרִיעוּ לֵאלֹהִים בְּקוֹל רִנָּה׃
指揮者–のために コラ–の–子ら–の 賛歌 賛歌 すべて–の 民–よ 打ち鳴らせ 手–を 叫びなさい 神–に 声–で 喜び–の
H5329 H7141 H4210 H3605 H8628 H3709 H7321 H0430 H6963 H7440

聖歌隊の指揮者によってうたわせたコラの子の歌 もろもろの民よ、手をうち、喜びの声をあげ、神にむかって叫べ。

2 כִּי־יְהוָה עֶלְיוֹן נוֹרָא מֶלֶךְ גָּדוֹל עַל־כָּל־הָאָרֶץ׃
なぜなら 主–は いと高き–お方 畏れるべき–お方 王 大いなる ～の–上–に すべて–の 地–の
H3068 H5945 H3372 H4428 H1419 H5921 H3605 H0776

いと高き主は恐るべく、全地をしろしめす大いなる王だからである。

3 יַדְבֵּר עַמִּים וּלְאֻמִּים תַּחְתֵּינוּ רַגְלֵינוּ׃
従わせる 民–を そして–諸国民–を 私たち–の–下–に ～の–下–に 私たち–の–足–の
H1696 H5971 H3816 H8478 H8478 H7272

主はもろもろの民をわれらに従わせ、もろもろの国をわれらの足の下に従わせられた。

4 יִבְחַר־לָנוּ אֶת־נַחֲלָתֵנוּ אֶת־גְּאוֹן יַעֲקֹב אֲשֶׁר־אָהֵב סֶלָה׃
選んで–くださる ～を 私たち–の–受け継ぎ–を ～を ヤコブ–の 誇り–を ～を 愛した セラ
H0977 H0853 H5159 H0853 H3290 H1347 H0853 H0157 H5542

主はその愛されたヤコブの誇をわれらの嗣業として、われらのために選ばれた。[セラ

5 עָלָה אֱלֹהִים בִּתְרוּעָה יְהוָה בְּקוֹל שׁוֹפָר׃
上られた 神–は 叫び–と–共に 主–は 音–と–共に 角笛–の
H5927 H0430 H8643 H3068 H6963 H7782

神は喜び叫ぶ声と共にのぼり、主はラッパの声と共にのぼられた。

6 זַמְּרוּ אֱלֹהִים זַמְּרוּ זַמְּרוּ לְמַלְכֵּנוּ זַמְּרוּ׃
讃美–せよ 神–を 讃美–せよ 讃美–せよ 私たち–の–王–に 讃美–せよ
H2167 H0430 H2167 H2167 H4428 H2167

神をほめうたえよ、ほめうたえよ、われらの王をほめうたえよ、ほめうたえよ。

7 כִּי מֶלֶךְ כָּל־הָאָרֶץ אֱלֹהִים זַמְּרוּ מַשְׂכִּיל׃
なぜなら 王–である すべて–の 地–の 神–は 讃美–せよ 教訓–を–もって
H4428 H3605 H0776 H0430 H2167 H7919

神は全地の王である。巧みな歌をもってほめうたえよ。

8	מָלַךְ	אֱלֹהִים	עַל־	גּוֹיִם	אֱלֹהִים	יָשַׁב	עַל־	כִּסֵּא	קָדְשׁוֹ׃
	治める	神–は	～の–上–に	諸国民–を	神–は	座り–たまう	～の–上–に	御座	聖なる–御座–の
	H0430	H0430			H0430	H3427		H3678	H6944

神はもろもろの国民を統べ治められる。神はその聖なるみくらに座せられる。

9	נְדִיבֵי	עַמִּים	נֶאֱסָפוּ	עַם	אֱלֹהֵי	אַבְרָהָם	כִּי	לֵאלֹהִים	מָגִנֵּי־
	高貴な–者–たち	民–の	集まった	民–として	神	アブラハム–の	なぜなら	神–の–もの	盾–は
	H5081		H0622		H0430	H0085		H0430	H4043

נַעֲלָה׃	מְאֹד	אֶרֶץ	
崇められる	大いに	地–の	
H5927	H3966	H0776	

もろもろの民の君たちはつどい来て、アブラハムの神の民となる。地のもろもろの盾は神のものである。神は大いにあがめられる。

Chapter 48

1	שִׁיר	מִזְמוֹר	לִבְנֵי־	קֹרַח׃	גָּדוֹל	יְהוָה	וּמְהֻלָּל	מְאֹד
	歌	賛歌	コラ–の–子ら–の		大いなる	主–は	そして–讃えられるべき	大いに
		H4210		H7141		H3068		H3966

קָדְשׁוֹ׃	הַר־	אֱלֹהֵינוּ	בְּעִיר	
聖なる–山–の	山	私たち–の–神–の	都–に–おいて	
H6944	H2022	H0430		

コラの子の歌、さんび 主は大いなる神であって、われらの神の都、その聖なる山で、大いにほめたたえらるべき方である。

2	יְפֵה	נוֹף	מְשׂוֹשׂ	כָּל־	הָאָרֶץ	הַר־	צִיּוֹן	יַרְכְּתֵי	צָפוֹן	קִרְיַת	מֶלֶךְ
	美しい	高み–は	喜び–の	すべて–の	地–の	山	シオン–の	奴–に	北–の	都	王–の
	H3303	H5131	H4885	H3605	H0776	H2022	H6726	H3411	H6828	H7151	H4428

רָב׃
大いなる–王–の

シオンの山は北の端が高くて、うるわしく、全地の喜びであり、大いなる王の都である。

3	אֱלֹהִים	בְּאַרְמְנוֹתֶיהָ	נוֹדַע	לְמִשְׂגָּב׃
	神–は	その–宮殿–の–中–で	知られる	砦–として
	H0430	H0759	H3045	

そのもろもろの殿のうちに神はみずからを高きやぐらとして現された。

4	כִּי־	הִנֵּה	הַמְּלָכִים	נוֹעֲדוּ	עָבְרוּ	יַחְדָּו׃
	見よ	見よ	王–たち–が	集まった	共に–進んだ	共に
		H2009	H4428	H3259		

見よ、王らは相会して共に進んできたが、

5	הֵמָּה	רָאוּ	כֵּן	תָּמָהוּ	נִבְהֲלוּ	נֶחְפָּזוּ׃
	彼ら–は	見て	そのように	驚いた	恐れおののき	逃げ去った
	H1992	H7200		H8539	H0926	H2648

彼らは都を見るや驚き、あわてふためき、急ぎ逃げ去った。

6

כַּיּוֹלֵדָה׃	חִיל	שָׁם	אֲחָזָתַם	רֶעָדָה
産婦-の-ように	苦しみ-が	そこ-で	捕らえた	おののき-が
H3205		H8033	H0270	

おののきは彼らに臨み、その苦しみは産みの苦しみをする女のようであった。

7

תַּרְשִׁישׁ׃	אֳנִיּוֹת	תְּשַׁבֵּר	קָדִים	בְּרוּחַ
タルシシュ-の	船-を	砕く	東-の	風-で
H8659	H0591	H7665	H6921	H7307

あなたは東風を起してタルシシの舟を破られた。

8

אֱלֹהֵינוּ	בְּעִיר	צְבָאוֹת	יְהוָה	בְּעִיר־	רָאִינוּ	כֵּן	שָׁמַעְנוּ	כַּאֲשֶׁר
私たち-の-神-の	都-で	万軍-の	主-の	都-で	見た	そのように	聞いた	聞いた-とおりに
H0430			H3068		H7200		H8085	

סֶלָה׃	עוֹלָם	עַד־	יְכוֹנְנֶהָ	אֱלֹהִים
セラ	永遠-に	永遠-に	守る	神-が
H5542	H5769	H5704		H0430

さきにわれらが聞いたように、今われらは万軍の主の都、われらの神の都でこれを見ることができた。神はとこしえにこの都を堅くされる。[セラ

9

הֵיכָלֶךָ׃	בְּקֶרֶב	חַסְדֶּךָ	אֱלֹהִים	דִּמִּינוּ
宮殿-の-あなた-の	中-で	あなた-の-恵み-を	神-よ	思い巡らした
H1964	H7130		H0430	H1819

神よ、われらはあなたの宮のうちであなたのいつくしみを思いました。

10

אֶרֶץ	קְצוֵי־	עַל־	תְּהִלָּתְךָ	כֵּן	אֱלֹהִים	כִּשִׁמְךָ
地-の	果て-の	～まで	あなた-の-讃美-は	そのように	神-よ	あなた-の-御名-の-ように
H0776	H7099		H8416		H0430	H8034

יְמִינֶךָ׃	מָלְאָה	צֶדֶק
あなた-の-右-の-手-は	満ちている	正義-で
H3225	H4390	H6664

神よ、あなたの誉は、あなたのみ名のように、地のはてにまで及びます。あなたの右の手は勝利で満ちています。

11

מִשְׁפָּטֶיךָ׃	לְמַעַן	יְהוּדָה	בְּנוֹת	תָּגֵלְנָה	צִיּוֹן	הַר־	וְיִשְׂמַח
あなた-の-裁き-の	～の-ゆえに	ユダ-の	娘-たち-が	喜ぶ	シオン-の	山-は	喜ぶ
H4941	H4616	H3063	H1323	H1523	H6726	H2022	H8055

あなたのさばきのゆえに、シオンの山を喜ばせ、ユダの娘を楽しませてください。

12

מִגְדָּלֶיהָ׃	סִפְרוּ	וְהַקִּיפוּהָ	צִיּוֹן	סֹבּוּ
塔-を-その	数えなさい	そして-囲みなさい	シオン-を	巡りなさい
H4026			H6726	H5437

シオンのまわりを歩き、あまねくめぐって、そのやぐらを数え、

13

לְמַעַן	אַרְמְנוֹתֶיהָ	פַּסְגוּ	לְחֵילָהּ	וּלְבִכֶּם	שִׁיתוּ
～の-ために	宮殿-を-その	見渡しなさい	城壁-に-その	あなたがた-の-心-を	心-を-向けなさい
H4616	H0759	H6448	H2430		H7896

אַחֲרוֹן׃	לְדוֹר	תְּסַפְּרוּ
後-の	世代-に	語りなさい
H0314	H1755	

その城壁に心をとめ、そのもろもろの殿をしらべよ。これはあなたがたが後の代に語り伝えるためである。

הִוא	וְעֶד	עוֹלָם	אֱלֹהֵינוּ	אֱלֹהִים	וְזֶה	כִּי	14
この–お方–が	そして–とこしえに	永遠–に	私たち–の–神–である	神	この–お方	なぜなら	
H1931	H5703	H5769	H0430	H0430	H2088		

:מָוֻת	עַל־	יְנַהֲגֵנוּ
死–を	越えて	導いて–くださる
H4192		

これこそ神であり、世々かぎりなくわれらの神であって、とこしえにわれらを導かれるであろう。

Chapter 49

הָעַמִּים	כֹּל־	זֹאת	שִׁמְעוּ־	:מִזְמוֹר	קֹרַח	לִבְנֵי־	וְלַמְנַצֵּחַ	1
民–よ	すべて–の	これ–を	聞きなさい	賛歌	賛歌	コラ–の–子ら–の	指揮者–のために	
	H3605	H2063	H8085	H4210	H7141		H5329	

:חָלֶד	יֹשְׁבֵי	כֹּל־	הַאֲזִינוּ
世–に	住む–者–よ	すべて–の	耳–を–傾けなさい
H2465	H3427	H3605	H0238

聖歌隊の指揮者によってうたわせたコラの子の歌 もろもろの民よ、これを聞け、すべて世に住む者よ、耳を傾けよ。

:וְאֶבְיוֹן	עָשִׁיר	יַחַד	אִישׁ	בְּנֵי־	גַּם־	אָדָם	בְּנֵי	גַּם־	2
そして–貧しい–者–も	富める–者–も	共–に	人–の	子–も	高い–者–も	人–の	子–も	低い–者–も	
H0034	H6223		H0376		H1571	H0120		H1571	

低きも高きも、富めるも貧しきも、共に耳を傾けよ。

:תְּבוּנוֹת	לִבִּי	וְהָגוּת	חָכְמוֹת	יְדַבֵּר	פִּי	3
英知–を	私–の–心–の	そして–思い	知恵–を	語る	私–の–口–は	
H8394		H1900	H2454	H1696	H6310	

わが口は知恵を語り、わが心は知識を思う。

:חִידָתִי	בְכִנּוֹר	אַפְתַּח	אָזְנִי	לְמָשָׁל	אַטֶּה	4
私–の–謎–を	琴–で	開く	私–の–耳–を	たとえ–に	傾ける
H2420	H3658		H0241	H4912	H5186

わたしは耳をたとえに傾け、琴を鳴らして、わたしのなぞを解き明かそう。

:יְסוֹבְנִי	עֲקֵבַי	עֲוֹן	רָע	בְּימֵי	אִירָא	לָמָּה	5
囲む–とき	私–の–かかと–の	不正–が	わざわい–の	日–に	恐れる–のか	なぜ	
H5437	H6120	H5771		H3117	H3372	H4100	

わたしをしえたげる者の不義がわたしを取り囲む悩みの日に、どうして恐れなければならないのか。

:יִתְהַלָּלוּ	עָשְׁרָם	וּבְרֹב	חֵילָם	עַל־	הַבֹּטְחִים	6
誇る	財産–の	そして–多さ–を	富–を	～に	信頼–する–者	
	H6239	H7230	H2428		H0982	

彼らはおのが富をたのみ、そのたからの多いのを誇る人々である。

לֵאלֹהִים	יִתֵּן	לֹא־	אִישׁ	יִפְדֶּה	פָּדֹה	לֹא־	אָח	7
神–に	払え–ない	払え–ない	人–を	贖え–ない	贖う–こと–は	決して–ない	兄弟–であっても	
H0430	H5414	H3808	H0376	H6299	H6299	H3808	H0251	

:כָּפְרוֹ
その–身代金–を

まことに人はだれも自分をあがなうことはできない。そのいのちの価を神に払うことはできない。

8
וְיֵקַר פִּדְיוֹן נַפְשָׁם וְחָדַל לְעוֹלָם׃
そして-高価-である 購い-は たましい-の そして-閊める 永遠-に
H3365 H5315 H2308 H5769

9
וְיִחִי־עוֹד לָנֶצַח לֹא יִרְאֶה הַשָּׁחַת׃
そして-生きる なお 永遠-に 見ない 見ない 滅び-の-穴-を
H2421 H5750 H5331 H3808 H7200 H7845

とこしえに生きながらえて、墓を見ないためにそのいのちをあがなうには、あまりに価高くて、それを満足に払うことができないからである。

10
כִּי יִרְאֶה חֲכָמִים יָמוּתוּ יַחַד כְּסִיל וָבַעַר יֹאבֵדוּ
なぜなら 見る 知恵ある-者-も 死ぬ 共-に 愚か-な-者-も 無知-な-者-も 滅びる
H7200 H2450 H4191 H3684 H1198 H0006

וְעָזְבוּ לַאֲחֵרִים חֵילָם׃
そして-残す 他人-に 富-を
H0312 H2428

まことに賢い人も死に、愚かな者も、獣のような者も、ひとしく滅んで、その富を他人に残すことは人の見るところである。

11
קִרְבָּם בָּתֵּימוֹ לְעוֹלָם מִשְׁכְּנֹתָם לְדֹר וָדֹר קָרְאוּ בִשְׁמוֹתָם
彼ら-の-内心-は 家-が 永遠-に 住まい-が 世代-から 世代-へ 名付けた 自分-の-名-で
H7130 H1004 H5769 H4908 H1755 H1755 H7121 H8034

עֲלֵי אֲדָמוֹת׃
〜の-上-に 土地-の
H0127

たとい彼らはその地を自分の名をもって呼んでも、墓こそ彼らのとこしえのすまい、世々彼らのすみかである。

12
וְאָדָם בִּיקָר בַּל־יָלִין נִמְשָׁל כַּבְּהֵמוֹת נִדְמוּ׃
しかし-人-は 栄誉-の-中-に 留まれ-ない 留まれ-ない たとえられる 獣-の-ように 滅びる
H0120 H3366 H1077 H1077 H4911 H0929 H1820

人は栄華のうちに長くとどまることはできない、滅びうせる獣にひとしい。

13
זֶה דַּרְכָּם כֶּסֶל לָמוֹ וְאַחֲרֵיהֶם בְּפִיהֶם יִרְצוּ סֶלָה׃
これ-が 彼ら-の-道 愚かさ-の 彼ら-の そして-後-の-者-は 口-で-彼らの 喜ぶ セラ
H2088 H1870 H3689 H0000 H0310 H6310 H7521 H5542

これぞ自分をたのむ愚かな者どもの成りゆき、自分の分け前を喜ぶ者どもの果である。[セラ

14
כַּצֹּאן לִשְׁאוֹל שַׁתּוּ מָוֶת יִרְעֵם וַיִּרְדּוּ בָם יְשָׁרִים לַבֹּקֶר
羊-の-ように 陰府-に 置かれる 死-が 飼う そして-治める 彼ら-を 正しい-者-が 朝-に
H6629 H7585 H8371 H4194 H7462 H7287 H3477 H1242

וְצוּרָם לִבְלוֹת שְׁאוֹל מִזְּבֻל לוֹ׃
そして-形-は 朽ちる 陰府-が 住まい-から 彼ら-の
H6699 H1086 H7585 H2073

[וצירם]
その
H6736

彼らは陰府に定められた羊のように死が彼らを牧するであろう。彼らはまっすぐに墓に下り、そのかたちは消えうせ、陰府が彼らのすまいとなるであろう。

15
אַךְ־אֱלֹהִים יִפְדֶּה נַפְשִׁי מִיַּד־שְׁאוֹל כִּי יִקָּחֵנִי סֶלָה׃
しかし 神-が 購う 私-の-たましい-を 手-から 陰府-の なぜなら 受け入れる セラ
H0389 H0430 H6299 H5315 H3027 H7585 H3947 H5542

しかし神はわたしを受けられるゆえ、わたしの魂を陰府の力からあがなわれる。[セラ

16 אַל־תִּירָא כִּי־יַעֲשַׁר אִישׁ כִּי־יִרְבֶּה כְּבוֹד בֵּיתוֹ׃
恐れる–な 人–が 富む–とき 人–が 増す–とき 栄光–を その–家–の
H3372 H0376 H6238 H3408 H3519

人が富を得るときも、その家の栄えが増し加わるときも、恐れてはならない。

17 כִּי לֹא בְמוֹתוֹ יִקַּח הַכֹּל לֹא־יֵרֵד אַחֲרָיו כְּבוֹדוֹ׃
なぜなら 何も–ない 死ぬ–とき 持って–行けない すべて–を 降り–ない 彼–の–後–に 栄光–は–その
H3808 H4194 H3947 H3605 H3808 H3519

彼が死ぬときは何ひとつ携え行くことができず、その栄えも彼に従って下って行くことはないからである。

18 כִּי־נַפְשׁוֹ בְּחַיָּיו יְבָרֵךְ וְיוֹדֶךָ כִּי־תֵיטִיב לָךְ׃
たとえ その–たましい–を 生きて–いる–うち–に 祝福し そして–讃える うまく–行く–とき 自分–の–ために うまく–行く–と
H5315 H1288 H3034 H3190

たとい彼が生きながらえる間、自分を幸福と思っても、またみずから幸な時に、人々から称賛されても、

19 תָּבוֹא עַד־דּוֹר אֲבוֹתָיו עַד־נֶצַח לֹא יִרְאוּ־אוֹר׃
行く 世代 先祖–の 永遠–に 永遠–に 見ない 見ない 光–を
H0935 H1755 H0001 H5331 H5704 H3808 H7200 H0216

彼はついにおのれの先祖の仲間に連なる。彼らは絶えて光を見ることがない。

20 אָדָם בִּיקָר וְלֹא יָבִין נִמְשַׁל כַּבְּהֵמוֹת נִדְמוּ׃
人–は 栄誉–の–中–に–いても 理解–しない 惟る–ことなく たとえられる 獣–の–ように 滅びる
H0120 H3366 H3808 H0995 H0929 H1820

人は栄華のうちに長くとどまることはできない。滅びうせる獣にひとしい。

Chapter 50

1 מִזְמוֹר לְאָסָף אֵל אֱלֹהִים יְהוָה דִּבֶּר וַיִּקְרָא־אֶרֶץ מִמִּזְרַח־שֶׁמֶשׁ עַד־מְבוֹאוֹ׃
賛歌 アサフ–の 神 神–の–神 主–は 語り そして–呼びかけた 地–に 日–の–昇る–ところ–から 太陽 ～まで 沈む–ところ–の
H4210 H0623 H0410 H0430 H3068 H1696 H7121 H0776 H4217 H8121 H5704 H3996

アサフの歌 全能者なる神、主は詔して、日の出るところから日の入るところまであまねく地に住む者を召し集められる。

2 מִצִּיּוֹן מִכְלַל־יֹפִי אֱלֹהִים הוֹפִיעַ׃
シオン–から 全き 美–の 神–は 輝いた
H6726 H4359 H3308 H0430 H3313

神は麗しさのきわみであるシオンから光を放たれる。

3 יָבֹא אֱלֹהֵינוּ וְאַל־יֶחֱרַשׁ אֵשׁ לְפָנָיו תֹּאכֵל
来る 私たち–の–神–が そして–決して–ない 黙ら–ない 火–が 御前–で 焼き尽くす
H0935 H0430 H0408 H2790 H0784 H6440 H0398

וּסְבִיבָיו נִשְׂעָרָה מְאֹד׃
そして–周囲–に 荒れ狂う 大いに
H5439 H8175 H3966

われらの神は来て、もだされない。み前には焼きつくす火があり、そのまわりには、はげしい暴風がある。

4 יִקְרָא אֶל־ הַשָּׁמַיִם מֵעָל וְאֶל־ הָאָרֶץ לָדִין עַמּוֹ׃
呼びかける ～に 天–に 上–から そして–～に 地–に 裁く–ために 民–を–その
H7121 H0413 H8064 H5920 H0413 H0776 H1777 H5971

神はその民をさばくために、上なる天および地に呼ばわれる、

5 אִסְפוּ־ לִי חֲסִידָי כֹּרְתֵי בְרִיתִי עָלֵי־ זָבַח׃
集めなさい 私–に 私–の–忠実な–者–を 結んだ–者–を 私–の–契約–を ～の–上–で いけにえ–を–もって
H0622 H3772 H2623 H1285 H2077

「いけにえをもってわたしと契約を結んだわが聖徒をわたしのもとに集めよ」と。

6 וַיַּגִּידוּ שָׁמַיִם צִדְקוֹ כִּי־ אֱלֹהִים הוּא שֹׁפֵט סֶלָה׃
そして–告げる 天–が 義–を–その なぜなら 神–こそ その–お方 裁き主–である セラ
H5046 H8064 H6664 H3588 H0430 H1931 H8199 H5542

天は神の義をあらわす、神はみずから、さばきぬしだからである。[セラ

7 שִׁמְעָה עַמִּי וַאֲדַבֵּרָה יִשְׂרָאֵל וְאָעִידָה בָּךְ אֱלֹהִים
聞きなさい 私–の–民–よ そして–語る イスラエル–よ そして–証言–する お前–に–対して 神
H8085 H5971 H1696 H3478 H5749 H0430

אֱלֹהֶיךָ אָנֹכִי׃
お前–の–神–である 私–は
H0430 H0595

「わが民よ、聞け、わたしは言う。イスラエルよ、わたしはあなたにむかってあかしをなす。わたしは神、あなたの神である。

8 לֹא עַל־ זִבְחֶיךָ אוֹכִיחֶךָּ וְעוֹלֹתֶיךָ לְנֶגְדִּי תָמִיד׃
責め–ない ～の–こと–で お前–の–いけにえ–を 責め–ない そして–お前–の–燔祭–は 私–の–前–に 常–に
H3198 H5921 H2077 H3808 H5930 H5048 H8548

わたしがあなたを責めるのは、あなたのいけにえのゆえではない。あなたの燔祭はいつもわたしの前にある。

9 לֹא־ אֶקַּח מִבֵּיתְךָ פָּר מִמִּכְלְאוֹתֶיךָ עַתּוּדִים׃
取ら–ない 取ら–ない お前–の–家–から 雄牛–を お前–の–囲い–から 雄山羊–を
H3808 H3947 H1004 H6499 H4356 H6260

わたしはあなたの家から雄牛を取らない。またあなたのおりから雄やぎを取らない。

10 כִּי־ לִי כָּל־ חַיְתוֹ־ יָעַר בְּהֵמוֹת בְּהַרְרֵי־ אֶלֶף׃
私–の–もの すべて–の 獣–は 森–の 家畜–も 山–の–上–の 千–の
H3605 H2042 H0505

林のすべての獣はわたしのもの、丘の上の千々の家畜もわたしのものである。

11 יָדַעְתִּי כָּל־ עוֹף הָרִים וְזִיז שָׂדָי עִמָּדִי׃
知っている すべて–の 鳥–を 山–の そして–生き物 野–の 私–と–共に–ある
H3045 H3605 H5775 H2022 H5978

わたしは空の鳥をことごとく知っている。野に動くすべてのものはわたしのものである。

12 אִם־ אֶרְעַב לֹא־ אֹמַר לָךְ כִּי־ לִי תֵבֵל וּמְלֹאָהּ׃
もし 飢えて–も 言わ–ない 言わ–ない お前–に なぜなら 私–の–もの 世界–は
H7456 H3808 H0559 H8398
そして–それ–に–満ちる–もの–も
H4393

たといわたしは飢えても、あなたに告げない、世界とその中に満ちるものとはわたしのものだからである。

13 הַאוֹכַל בְּשַׂר אַבִּירִים וְדַם עַתּוּדִים אֶשְׁתֶּה׃
食べる–だろうか 肉–を 雄牛–の そして–血–を 雄山羊–の 飲む–だろうか
H0398 H1320 H0047 H1818 H6260 H8354

わたしは雄牛の肉を食べ、雄やぎの血を飲むだろうか。

14 זְבַח לֵאלֹהִים תּוֹדָה וְשַׁלֵּם לְעֶלְיוֹן נְדָרֶיךָ׃
ささげなさい 神–に 感謝–を そして–果たしなさい いと高き–お方–に 誓い–を–お前–の
H2076 H0430 H8426 H7999 H5945 H5088

感謝のいけにえを神にささげよ。あなたの誓いをいと高き者に果せ。

15 וּקְרָאֵנִי בְיוֹם צָרָה אֲחַלֶּצְךָ וְתְכַבְּדָנִי׃
そして–呼びなさい 日–に 苦難–の 救い–出す そして–崇めなさい
H7121 H3117 H6869 H2502 H3513

悩みの日にわたしを呼べ、わたしはあなたを助け、あなたはわたしをあがめるであろう」。

16 וְלָרָשָׁע אָמַר אֱלֹהִים מַה־ לְּךָ לְסַפֵּר חֻקָּי וַתִּשָּׂא בְרִיתִי עָלֶיךָ פִּיךָ׃
しかし–悪しき–者–に 言った 神–は 何の–権利–が–あるのか 語る–ことに 私–の–定め–を
H7563 H0559 H0430 H4100 H2706
そして–口–に–する 私–の–契約–を ～の–上–に お前–の–口–の
H5375 H1285 H5921 H6310

しかし神は悪しき者に言われる、「あなたはなんの権利があってわたしの定めを述べ、わたしの契約を口にするのか。

17 וְאַתָּה שָׂנֵאתָ מוּסָר וַתַּשְׁלֵךְ דְּבָרַי אֲחַרֶיךָ׃
お前–は 憎んだ 戒め–を そして–捨てた 私–の–言葉–を 後ろ–に
H8130 H4148 H7993 H1697

あなたは教を憎み、わたしの言葉を捨て去った。

18 אִם־ רָאִיתָ גַּנָּב וַתִּרֶץ עִמּוֹ וְעִם מְנָאֲפִים חֶלְקֶךָ׃
もし 見て 盗人-を 共に-走った 彼-と そして-〜と 姦淫-する-者-と お前-の-分け前-を-分かち合った
H7200 H1590 H7521 H5003

あなたは盗びとを見ればこれとむつみ、姦淫を行う者と交わる。

19 פִּיךָ שָׁלַחְתָּ בְרָעָה וּלְשׁוֹנְךָ תַצְמִיד מִרְמָה׃
お前-の-口-を 放った 悪-に そして-お前-の-舌-は 結びつける 欺き-を
H6310 H7971 H3956 H6775 H4820

あなたはその口を悪にわたし、あなたの舌はたばかりを仕組む。

20 תֵּשֵׁב בְּאָחִיךָ תְדַבֵּר בְּבֶן־ אִמְּךָ תִתֵּן דְּפִי׃
座りながら 兄弟-に-対して 語り 息子-に-対して 母-の-お前の 与える 中傷-を
H3427 H0251 H1696 H0517 H5414 H1848

あなたは座してその兄弟をそしり、自分の母の子をののしる。

21 אֵלֶּה עָשִׂיתָ וְהֶחֱרַשְׁתִּי דִּמְיתָ הָיוֹת־ אֶהְיֶה כָּמוֹךָ אוֹכִיחֲךָ וְאֶעֶרְכָה לְעֵינֶיךָ׃
これら-を 行った そして-黙っていた 思った 〜である-と 私-が お前-の-よう-だ-と 責める そして-並べる お前-の-目-の-前-に
H0428 H6213 H2790 H1819 H1961 H1961 H3644 H3198 H6186 H5869

あなたがこれらの事をしたのを、わたしが黙っていたので、あなたはわたしを全く自分とひとしい者と思った。しかしわたしはあなたを責め、あなたの目の前にその罪をならべる。

22 זֹאת נָא בִינוּ־ שֹׁכְחֵי אֱלוֹהַּ פֶּן־ אֶטְרֹף וְאֵין מַצִּיל׃
これ-を さあ 理解-せよ 忘れる-者-よ 神-を さもなくば 引き裂く そして-いない 救う-者-は
H2063 H4994 H0995 H7911 H0433 H6435 H2963 H0369 H5337

神を忘れる者よ、このことを思え。さもないとわたしはあなたをかき裂く。そのときだれも助ける者はないであろう。

23 זֹבֵחַ תּוֹדָה יְכַבְּדָנְנִי וְשָׁם דֶּרֶךְ אַרְאֶנּוּ בְּיֵשַׁע אֱלֹהִים׃
ささげる-者-は 感謝-を 崇める そして-正す-者-は 道-を 見せる 救い-を 神-の
H2076 H8426 H3513 H7200 H1870 H3468 H0430

感謝のいけにえをささげる者はわたしをあがめる。自分のおこないを慎む者にはわたしは神の救を示す」。

Chapter 51

1 לַמְנַצֵּחַ מִזְמוֹר לְדָוִד׃ בְּבוֹא־ אֵלָיו נָתָן הַנָּבִיא כַּאֲשֶׁר־ בָּא
指揮者-のために 賛歌 ダビデ-の 来た-とき 彼-の-もと-に ナタン 預言者-が 〜の-後 入った
H5329 H4210 H1732 H0935 H0413 H5416 H5030 H0834 H0935

בַּת־שָׁבַע׃ אֶל־ חָנֵּנִי אֱלֹהִים כְּחַסְדֶּךָ כָּרֹב רַחֲמֶיךָ מְחֵה פְשָׁעָי׃
バト・シェバ 〜の-もと-に 憐れんで-ください 神-よ あなた-の-恵み-に-よって 豊かなる あなた-の-憐れみ-に-よって 拭い去って-ください 私-の-背き-を
H1339 H0413 H2603 H0430 H2617 H7230 H7356 H4878 H6588

聖歌隊の指揮者によってうたわせたダビデの歌、これはダビデがバテセバに通った後預言者ナタンがきたときによんだもの 神よ、あなたのいつくしみによって、わたしをあわれみ、あなたの豊かなあわれみによって、わたしのもろもろのとがをぬぐい去ってください。

טַהֲרֵנִי׃	וּמֵחַטָּאתִי	מֵעֲוֹנִי	כַּבְּסֵנִי	(הֵרֶב)	[הרבה]	2
清めて–ください	そして–私–の–罪–から	私–の–咸–から	洗って–ください	十分–に	十分–に	
H2891		H5771	H3526			

わたしの不義をことごとく洗い去り、わたしの罪からわたしを清めてください。

תָּמִיד׃	נֶגְדִּי	וְחַטָּאתִי	אֵדָע	אֲנִי	פִּשָׁעַי	כִּי־	3
常–に	私–の–前–に	そして–私–の–罪–は	知っている	私–は	私–の–背き–を	なぜなら	
H8548	H5048		H3045	H0589	H6588		

わたしは自分のとがを知っています。わたしの罪はいつもわたしの前にあります。

לְמַעַן	עָשִׂיתִי	בְּעֵינֶיךָ	וְהָרַע	חָטָאתִי׀	וּלְבַדְּךָ	לְךָ	4
～の–ために	行った	あなた–の–目–に	そして–悪–を	罪–を–犯した	あなた–だけ–に	あなた–に	
H4616				H2398	H0905		

בְּשָׁפְטֶךָ׃	תִּזְכֶּה	בְּדָבְרֶךָ	תִּצְדָּק
あなた–の–裁き–に–おいて	純潔–と–される	あなた–の–言葉–に–おいて	正しい–と–される
H8199	H2135	H1696	H6663

わたしはあなたにむかい、ただあなたに罪を犯し、あなたの前に悪い事を行いました。それゆえ、あなたが宣告をお与えになるときは正しく、あなたが人をさばかれるときは誤りがありません。

אִמִּי׃	יֶחֱמַתְנִי	וּבְחֵטְא	חוֹלָלְתִּי	בְעָוֹן	הֵן־	5
母–が–私–の	孕んだ	そして–罪–の–中–に	生まれた	咸–の–中–に	見よ	
H0517	H3179	H2399		H5771	H2005	

見よ、わたしは不義のなかに生れました。わたしの母は罪のうちにわたしをみごもりました。

תוֹדִיעֵנִי׃	חָכְמָה	וּבְסָתֻם	בַּטְּחוֹת	חָפַצְתָּ	אֱמֶת	הֵן־	6
知らせて–くださる	知恵–を	そして–隠れた–ところ–に	内なる–ところ–に	望まれる	真実–を	見よ	
H3045	H2451		H2910		H0571	H2005	

見よ、あなたは真実を心のうちに求められます。それゆえ、わたしの隠れた心に知恵を教えてください。

אַלְבִּין׃	וּמִשֶּׁלֶג	תְּכַבְּסֵנִי	וְאֶטְהָר	בְּאֵזוֹב	תְּחַטְּאֵנִי	7
白くなる	そうすれば–雪–より	洗って–ください	そうすれば–清くなる	ヒソプ–で	清めて–ください	
	H7950	H3526	H2891	H0231	H2398	

ヒソプをもって、わたしを清めてください、わたしは清くなるでしょう。わたしを洗ってください、わたしは雪よりも白くなるでしょう。

דִכִּיתָ׃	עֲצָמוֹת	תָּגֵלְנָה	וְשִׂמְחָה	שָׂשׂוֹן	תַּשְׁמִיעֵנִי	8
砕いた	骨–が	喜ぶ–ように	楽しみ–を	喜び–と	聞かせて–ください	
H1794	H6106	H1523	H8057	H8342	H8085	

わたしに喜びと楽しみとを満たし、あなたが砕いた骨を喜ばせてください。

מְחֵה׃	עֲוֹנֹתַי	וְכָל־	מֵחֲטָאַי	פָּנֶיךָ	הַסְתֵּר	9
拭い去って–ください	私–の–咸–を	そして–すべて–の	私–の–罪–から	御顔–を	隠して–ください	
	H5771	H3605	H2399	H6440	H5641	

み顔をわたしの罪から隠し、わたしの不義をことごとくぬぐい去ってください。

10 לֵב טָהוֹר בְּרָא־ לִי אֱלֹהִים וְרוּחַ נָכוֹן חַדֵּשׁ
心–を 清い 造って–ください 私–に 神–よ そして–霊–を 揺るぎない 新たにして–ください
H2318 H2889 H0430 H7307 H7307 H2318

בְּקִרְבִּי׃
私–の–内–に
H7130

神よ、わたしのために清い心をつくり、わたしのうちに新しい、正しい霊を与えてください。

11 אַל־ תַּשְׁלִיכֵנִי מִלְּפָנֶיךָ וְרוּחַ קָדְשְׁךָ אַל־
決して–ない 聖なる–霊–の–あなた–の そして–霊–を 御前–から 捨てない–で–ください 決して–ない
H0408 H6944 H7307 H6440 H7993 H0408

תִּקַּח מִמֶּנִּי׃
私–から 取ら–ない–で–ください
H3947

わたしをみ前から捨てないでください。あなたの聖なる霊をわたしから取らないでください。

12 הָשִׁיבָה לִּי שְׂשׂוֹן יִשְׁעֶךָ וְרוּחַ נְדִיבָה תִסְמְכֵנִי׃
帰して–ください 私–に 喜び–を あなた–の–救い–の そして–霊–で いさぎよい 支えて–ください
H7725 H8342 H3468 H7307 H5081 H5564

あなたの救の喜びをわたしに返し、自由の霊をもって、わたしをささえてください。

13 אֲלַמְּדָה פֹשְׁעִים דְּרָכֶיךָ וְחַטָּאִים אֵלֶיךָ יָשׁוּבוּ׃
教える 背く–者–に あなた–の–道–を そして–罪人–が あなた–に 立ち帰る
H3925 H6586 H1870 H2400 H0413 H7725

そうすればわたしは、とがを犯した者にあなたの道を教え、罪びとはあなたに帰ってくるでしょう。

14 הַצִּילֵנִי מִדָּמִים אֱלֹהִים אֱלֹהֵי תְּשׁוּעָתִי תְּרַנֵּן לְשׁוֹנִי
救い出して–ください 血–の–咸–から 神–よ 神–よ 私–の–救い–の 歌う 私–の–舌–が
H5337 H1818 H0430 H0430 H8668 H7442 H3956

צִדְקָתֶךָ׃
あなた–の–義–を
H6666

神よ、わが救の神よ、血を流した罪からわたしを助け出してください。わたしの舌は声高らかにあなたの義を歌うでしょう。

15 אֲדֹנָי שְׂפָתַי תִּפְתָּח וּפִי יַגִּיד תְּהִלָּתֶךָ׃
主–よ 私–の–唇–を 開いて–ください そうすれば–私–の–口–が 告げる あなた–の–讃美–を
H0136 H8193 H6310 H5046 H8416

主よ、わたしのくちびるを開いてください。わたしの口はあなたの誉をあらわすでしょう。

16 כִּי לֹא־ תַחְפֹּץ זֶבַח וְאֶתְּנָה עוֹלָה לֹא תִרְצֶה׃
なぜなら 望ま–ない 望ま–ない いけにえ–を さもなくば–ささげる 燔祭–を 喜ば–ない 喜ば–ない
H3808 H2077 H5414 H5930 H3808 H7521

あなたはいけにえを好まれません。たといわたしが燔祭をささげてもあなたは喜ばれないでしょう。

17 זִבְחֵי אֱלֹהִים רוּחַ נִשְׁבָּרָה לֵב־ נִשְׁבָּר וְנִדְכֶּה אֱלֹהִים לֹא תִבְזֶה׃
いけにえ–は 神–の 霊–である 砕かれた 心 砕かれた そして–へりくだれる 神–よ 侮ら–ない 侮ら–ない
H2077 H0430 H7307 H7665 H7665 H1794 H0430 H0959 H3808

神の受けられるいけにえは砕けた魂です。神よ、あなたは砕けた悔いた心をかろしめられません。

יְרוּשָׁלִָם׃	חוֹמוֹת	תִּבְנֶה	צִיּוֹן	אֶת־	בִּרְצוֹנְךָ	הֵיטִיבָה	18
エルサレム–の	城壁–を	建てて–ください	シオン–を	～を	あなた–の–恩恵–で	善くして–ください	
H3389	H2346	H1129	H6726	H0853	H7522	H3190	

あなたのみこころにしたがってシオンに恵みを施し、エルサレムの城壁を築きなおしてください。

יַעֲלוּ	אָז	וְכָלִיל	עוֹלָה	צֶדֶק	זִבְחֵי־	תַחְפֹּץ	אָז	19
ささげられる	その時	そして–全き–いけにえ–を	燔祭–と	義–の	いけにえ–を	喜ばれる	その時	
H5927		H3632		H6664	H2077			

פָּרִים׃	מִזְבַּחֲךָ	עַל־
雄牛–が	あなた–の–祭壇–に	～の–上–に
H6499	H4196	

その時あなたは義のいけにえと燔祭と、全き燔祭とを喜ばれるでしょう。その時あなたの祭壇に雄牛がささげられるでしょう。

Chapter 52

וַיַּגֶּד	הָאֲדֹמִי	דּוֹאֵג	וּבְבוֹא	לְדָוִד׃	מַשְׂכִּיל	לַמְנַצֵּחַ	1
そして–告げた	エドム–人–の	ドエグ–が	来た–とき	ダビデ–の	教訓–の	指揮者–のために	
H5046	H0130	H1673	H0935	H1732	H4905	H5329	

תִּתְהַלֵּל	מַה־	אֲחִימֶלֶךְ׃	בֵּית	אֶל־	דָּוִד	בָּא	לוֹ	וַיֹּאמֶר	לְשָׁאוּל
誇る–のか	なぜ	アヒメレク–の	家	～へ	ダビデ–が	来た	彼–に	そして–言った	サウル–に
	H4100	H0288		H0413	H1732	H0935		H0559	H7586

הַיּוֹם׃	כָּל־	אֵל	חֶסֶד	הַגִּבּוֹר	בָּרָעָה
絶えない	一日–中	神–の	恵み–は	勇士–よ	悪–を
H3117	H3605	H0410		H1368	

聖歌隊の指揮者によってうたわせたダビデのマスキールの歌。これはエドムびとドエグがサウルにきて、「ダビデはアヒメレクの家にきた」と告げたときにダビデがよんだもの 力ある者よ、何ゆえあなたは神を敬う人に与えた災について誇るのか。あなたはひねもす人を滅ぼすことをたくらむ。

רְמִיָּה׃	עֹשָׂה	מְלֻטָּשׁ	כְּתַעַר	לְשׁוֹנֶךָ	תַּחְשֹׁב	הַוּוֹת	2
欺き–を	行う	磨かれた	剃刀–の–ように	お前–の–舌–は	たくらむ	滅び–を	
		H3913	H8593	H3956	H2803	H1942	

虚偽を行う者よ、あなたの舌は鋭いかみそりのようだ。

סֶלָה׃	צֶדֶק	מִדַּבֵּר	וּשְׁקֶר	מִטּוֹב	רָע	אָהַבְתָּ	3
セラ	義–を	語る–こと–よりも	偽り–を	善–よりも	悪–を	愛した	
H5542	H6664	H1696	H8267			H0157	

あなたは善よりも悪を好み、まことを語るよりも偽りを語ることを好む。[セラ

מִרְמָה׃	לְשׁוֹן	בָּלַע	דִּבְרֵי־	כָּל־	אָהַבְתָּ	4
欺き–の	舌–よ	破滅–の	言葉–を	すべて–の	愛した	
H4820	H3956	H1105	H1697	H3605	H0157	

欺きの舌よ、あなたはすべての滅ぼす言葉を好む。

5

וְשֶׁרֶשְׁךָ	מֵאֶרֶץ	וְיסָחֲךָ	יַחְתְּךָ	לָנֶצַח	יִתָּצְךָ	אֵל	גַּם־
そして–根–を–お前の	天幕–から	そして–引き抜く	捨てる	永遠–に	引き倒す	神–もまた	それゆえ
H8327	H0168	H5255	H2846	H5331	H5422	H0410	H1571

סֶּלָה׃	חַיִּים	מֵאֶרֶץ
セラ	生ける–者–の	地–から
H5542		H0776

しかし神はとこしえにあなたを砕き、あなたを捕えて、その天幕から引き離し、生ける者の地から、あなたの根を絶やされる。[セラ

6

יִשְׂחֲקוּ׃	וְעָלָיו	וְיִרְאוּ	צַדִּיקִים	וְיִרְאוּ
笑う	そして–彼–に–ついて	そして–畏れる	正しい–者–が	そして–見る
H7832		H3372	H6662	H7200

正しい者はこれを見て恐れ、彼を笑って言うであろう、

7

וְיִבְטַח	מָעֻזּוֹ	אֱלֹהִים	יָשִׂים	לֹא	הַגֶּבֶר	הִנֵּה
そして–信頼–した	その–砦–と–して	神–を	置か–なかった	置か–なかった	この–人–は	見よ
H0982	H4581	H0430		H3808	H1397	H2009

בְּהַוָּתוֹ׃	יָעֹז	עָשְׁרוֹ	בְּרֹב
その–悪意–で	強めた	富–を	多く–の
H1942	H5810	H6239	H7230

「神をおのが避け所とせず、その富の豊かなるを頼み、その宝に寄り頼む人を見よ」と。

8

בְּחֶסֶד־	בָּטַחְתִּי	אֱלֹהִים	בְּבֵית	רַעֲנָן	כְּזַיִת	וַאֲנִי
恵み–を	信頼–する	神–の	家–に–ある	青々とした	オリーブ–の–木–の–ように	しかし–私–は
	H0982	H0430			H2132	H0589

וָעֶד׃	עוֹלָם	אֱלֹהִים
そして–とこしえに	永遠–に	神–の
H5703	H5769	H0430

しかし、わたしは神の家にある緑のオリブの木のようだ。わたしは世々かぎりなく神のいつくしみを頼む。

9

כִּי־	שִׁמְךָ	וַאֲקַוֶּה	עָשִׂיתָ	כִּי	לְעוֹלָם	אוֹדְךָ
なぜなら	あなた–の–御名–を	そして–待ち望む	行って–くださった	なぜなら	永遠–に	感謝–する
	H8034				H5769	H3034

חֲסִידֶיךָ׃	נֶגֶד	טוֹב
忠実な–者–の–あなた–の	前–で	良い–から
H2623	H5048	

あなたがこの事をなされたので、わたしはとこしえに、あなたに感謝し、聖徒の前であなたのみ名をふれ示そう。これはよいことだからである。

Chapter 53

1

נָבָל	אָמַר	לְדָוִד׃	מַשְׂכִּיל	מָחֲלַת	עַל־	לַמְנַצֵּחַ
愚か–な–者–は	言った	ダビデ–の	教訓–の	マハラト–の	～に–合わせて	指揮者–のために
H5036	H0559	H1732	H4905	H4257		H5329

אֵין	עֹוֶל	וְהִתְעִיבוּ	חָשְׁחִיתוּ	אֱלֹהִים	אֵין	בְּלִבּוֹ
いない	不正–を	そして–忌まわしい–こと–を–した	堕落–した	神–は	いない	心–の–中–で
H0369		H8581	H7843	H0430	H0369	

טוֹב׃	עֹשֵׂה־
善–を	行う–者–は

聖歌隊の指揮者によってマハラテのしらべにあわせてうたわせたダビデのマスキールの歌 愚かな者は心のうちに「神はない」と言う。彼らは腐れはて、憎むべき不義をおこなった。善を行う者はない。

2

מַשְׂכִּיל	הֲיֵשׁ	לִרְאוֹת	אָדָם	בְּנֵי	עַל־	הִשְׁקִיף	מִשָּׁמַיִם	אֱלֹהִים
惟る–者–が	いるか	見る–ために	人–の	子–たち	～の–上–に	見下ろした	天–から	神–は
	H3426	H7200	H0120			H8259	H8064	H0430

אֱלֹהִים׃	אֶת־	דֹּרֵשׁ
神–を	～を	求める–者–が
H0430	H0853	H1875

神は天から人の子を見おろして、賢い者、神を尋ね求める者があるかないかを見られた。

3

אֶחָד׃	גַּם־	אֵין	טוֹב	עֹשֵׂה־	אֵין	נֶאֱלָחוּ	יַחְדָּו	סָג	כֻּלּוֹ
一人–も	一人–も	いない	善–を	行う–者–は	いない	腐敗–した	共–に	背いた	すべて–が
H0259	H1571	H0369			H0369	H0444		H5472	H3605

彼らは皆そむき、みなひとしく堕落した。善を行う者はない、ひとりもない。

4

אָכְלוּ	עַמִּי	אֹכְלֵי	אָוֶן	פֹּעֲלֵי	יָדְעוּ	הֲלֹא	
食べた	私–の–民–を	食べる–者–は	悪–を	行う–者–は	知らない–のか	知らない–のか	
H0398		H0398	H0205	H6466	H3045	H3808	

קָרָאוּ׃	לֹא	אֱלֹהִים	לֶחֶם
呼ば–なかった	呼ば–なかった	神–を	パン–を–食べる–ように
H7121	H3808	H0430	H3899

悪を行う者は悟りがないのか。彼らは物食うようにわが民を食らい、また神を呼ぶことをしない。

5

פִּזַּר	אֱלֹהִים	כִּי־	פָּחַד	הָיָה	לֹא־	פָּחַד	פָּחֲדוּ־	שָׁם	
散らした	神–が	なぜなら	恐れ–は	なかった–のに	なかった–のに	恐れ–を	恐れた	そこ–で	
H6340	H0430		H6343	H1961	H3808	H6343	H6342	H8033	

מְאָסָם׃	אֱלֹהִים	כִּי־	הֲבִשֹּׁתָה	חֹנֶךָ	עַצְמוֹת
退けた	神–が	なぜなら	辱めた	囲む–者–の–お前–を	骨–を
	H0430		H0954	H2583	H6106

彼らは恐るべきことのない時に大いに恐れた。神はよこしまな者の骨を散らされるからである。神が彼らを捨てられるので、彼らは恥をこうむるであろう。

6

שְׁבוּת	אֱלֹהִים	בְּשׁוּב	יִשְׂרָאֵל	יְשׁוּעוֹת	מִצִּיּוֹן	יִתֵּן	מִי	
捕囚–を	神–が	回復–する–とき	イスラエル–の	救い–を	シオン–から	与える–のか	誰–が	
H7622	H0430	H7725	H3478	H3444	H6726	H5414	H4310	

יִשְׂרָאֵל׃	יִשְׂמַח	יַעֲקֹב	יָגֵל	עַמּוֹ
イスラエル–が	喜ぶ	ヤコブ–が	喜ぶ	民–の–その
H3478	H8055	H3290	H1523	

どうか、シオンからイスラエルの救が出るように。神がその民の繁栄を回復される時、ヤコブは喜び、イスラエルは楽しむであろう。

Chapter 54

וַיֹּאמְרוּ	הַזִּיפִים	בְּבוֹא	לְדָוִד׃	מַשְׂכִּיל	בִּנְגִינֹת	לַמְנַצֵּחַ	1
そして–言った	ジフ–人–が	来た–とき	ダビデ–の	教訓–の	弦楽器–に–合わせて	指揮者–のために	
H0559	H2130	H0935	H1732	H4905	H5058	H5329	

אֱלֹהִים׃	עִמָּנוּ	מִסְתַּתֵּר	דָּוִד	הֲלֹא	לְשָׁאוּל
神–よ	私たち–の–中–に	隠れている	ダビデ–は	見よ–ではないか	サウル–に
H0430		H5641	H1732	H3808	H7586

תְּדִינֵנִי׃	וּבִגְבוּרָתְךָ	הוֹשִׁיעֵנִי	בְּשִׁמְךָ
裁いて–ください	そして–あなた–の–力–で	救って–ください	あなた–の–御名–に–よって
H1777	H1369	H3467	H8034

聖歌隊の指揮者によって琴をもってうたわせたダビデのマスキールの歌。これはジフびとがサウルにきて、「ダビデはわれらのうちに隠れている」と言った時によんだもの 神よ、み名によってわたしを救い、み力によってわたしをさばいてください。

פִּי׃	לְאִמְרֵי־	הַאֲזִינָה	תְּפִלָּתִי	שְׁמַע	אֱלֹהִים	2
私–の–口–の	言葉–に	耳–を–傾けて–ください	私–の–祈り–を	聞いて–ください	神–よ	
H6310	H0561	H0238	H8605	H8085	H0430	

神よ、わたしの祈をきき、わが口の言葉に耳を傾けてください。

בִּקְשׁוּ	וְעָרִיצִים	עָלַי	קָמוּ	וְזָרִים	כִּי	3
求めた	そして–横暴な–者–が	私–に–対して	立ち上がった	見知らぬ–者–が	なぜなら	
H1245	H6184					

סֶלָה׃	לְנֶגְדָּם	אֱלֹהִים	שָׂמוּ	לֹא	נַפְשִׁי
セラ	前–に–自分–の	神–を	置か–なかった	置か–なかった	私–の–いのち–を
H5542	H5048	H0430		H3808	H5315

高ぶる者がわたしに逆らって起り、あらぶる者がわたしのいのちを求めています。彼らは神をおのが前に置くことをしません。[セラ

נַפְשִׁי׃	בְּסֹמְכֵי	אֲדֹנָי	לִי	עֹזֵר	אֱלֹהִים	הִנֵּה	4
私–の–いのち–を	支える–者–の–中–に	主–が	私–を	助ける–お方–である	神–が	見よ	
H5315	H5564	H0136		H5826	H0430	H2009	

見よ、神はわが助けぬし、主はわがいのちを守られるかたです。

הַצְמִיתֵם׃	בַּאֲמִתְּךָ	לִשׁוֹרְרָי	הָרַע)	וָשָׁיב]	יָשׁוּב	5
絶ち–滅ぼして–ください	あなた–の–真実–に–よって	監視–する–者–に	敵–に–私–の	悪–を	報いる	
H6789	H0571	H8324		H7725	H7725	

神はわたしのあだに災をもって報いられるでしょう。あなたのまことをもって彼らを滅ぼしてください。

טוֹב׃	כִּי־	יְהוָה	שִׁמְךָ	אוֹדֶה	לְךָ	אֶזְבְּחָה־	בִּנְדָבָה	6
良い–から	なぜなら	主–よ	あなた–の–御名–を	感謝–する	あなた–に	ささげる	自由な–意志–で	
		H3068	H8034	H3034		H2076	H5071	

わたしは喜んであなたにいけにえをささげます。主よ、わたしはみ名に感謝します。これはよい事だからです。

עֵינִי׃	רָאָתָה	וּבְאֹיְבַי	הִצִּילָנִי	צָרָה	מִכֹּל־	כִּי	7
私–の–目–が	見た	そして–敵–の–上–に	救って–くださった	苦難–から	すべて–の	なぜなら	
	H7200	H0341	H5337		H3605		

あなたはすべての悩みからわたしを救い、わたしの目に敵の敗北を見させられたからです。

Chapter 55

1

אֱלֹהִים	הַאֲזִינָה	לְדָוִד׃	מַשְׂכִּיל	בִּנְגִינֹת	לַמְנַצֵּחַ
神–よ	耳–を–傾けて–ください	ダビデ–の	教訓–の	弦楽器–に–合わせて	指揮者–のために
H0430	H0238	H1732	H4905	H5058	H5329

מִתְחִנָּתִי׃	תִּתְעַלָּם	וְאַל־	תְּפִלָּתִי
私–の–嘆願–から	隠れ–ない–で–ください	そして–決して–ない	私–の–祈り–に
H8467	H5956	H0408	H8605

聖歌隊の指揮者によって琴をもってうたわせたダビデのマスキールの歌 神よ、わたしの祈に耳を傾けてください。わたしの願いを避けて身を隠さないでください。

2

וְאָהֵימָה׃	בְּשִׂיחִי	אָרִיד	וַעֲנֵנִי	לָי	הַקְשִׁיבָה	
そして–嘆く	私–の–怖い–の–中–で	動揺–する	そして–答えて–ください	私–に	注意–して–ください	
H1949	H7879	H7300			H7181	

わたしにみこころをとめ、わたしに答えてください。わたしは悩みによって弱りはて、

3

אָוֶן	עָלַי	יָמִיטוּ	כִּי־	רָשָׁע	עָקַת	מִפְנֵי	אוֹיֵב	מִקּוֹל
悪意–を	私–の–上–に	陣り来らせる	なぜなら	悪しき–者–の	圧迫	顔–から	敵–の	声–から
H0205		H4131		H7563	H6125	H6440	H0341	

יִשְׂטְמוּנִי׃	וּבְאַף
憎む	そして–怒り–で
H7852	H0639

敵の声と、悪しき者のしえたげとによって気が狂いそうです。彼らはわたしに悩みを臨ませ、怒ってわたしを苦しめるからです。

4

עָלָי׃	נָפְלוּ	מָוֶת	וְאֵימוֹת	בְּקִרְבִּי	יָחִיל	לִבִּי
私–の–上–に	降りかかった	死–の	そして–恐怖–が	私–の–内–で	もだえ–苦しむ	私–の–心–は
	H5307	H4194	H0367	H7130		

わたしの心はわがうちにもだえ苦しみ、死の恐れがわたしの上に落ちました。

5

פַּלָּצוּת׃	וַתְּכַסֵּנִי	בִּי	יָבֹא	וְרַעַד	יִרְאָה
戦慄–が	そして–覆った	私–に	来た	おののき–が	恐れ–と
H6427	H3680		H0935		H3374

恐れとおののきがわたしに臨み、はなはだしい恐れがわたしをおおいました。

6

אָעוּפָה	כַּיּוֹנָה	אֵבֶר	לִי	יִתֶּן־	מִי־	וָאֹמַר
飛び–去り	鴿–の–ような	羽–を	私–に	与えて–くれる–のか	誰–が	そして–言った
	H3123	H0083		H5414	H4310	H0559

וְאֶשְׁכֹּנָה׃
そして–休む–のに
H7931

わたしは言います、「どうか、はとのように翼をもちたいものだ。そうすればわたしは飛び去って安きを得るであろう。

7

סֶלָה׃	בַּמִּדְבָּר	אָלִין	נְדֹד	אַרְחִיק	הִנֵּה
セラ	荒野–に	宿る	逃れる	遠く–に	見よ
H5542			H5074	H7368	H2009

わたしは遠くのがれ去って、野に宿ろう。[セラ

8

מִסָּעַר׃	סֹעָה	מֵרוּחַ	לִי	מִפְלָט	אָחִישָׁה
暴風–から	嵐–の	風–から	私–の–ために	避け所–へ	急ぐ
	H5584	H7307		H4655	

わたしは急ぎ避難して、はやてとあらしをのがれよう」と。

וְרִיב	חָמָס	רָאִיתִי	כִּי־	לְשׁוֹנָם	פַּלַּג	אֲדֹנָי	בַּלַּע	9
争い–を	暴力–と	見た	なぜなら	彼ら–の–舌–を	乱して–ください	主–よ	滅ぼして–ください	
H7379	H2555	H7200		H3956	H6385	H0136	H1104	

בָּעִיר׃	
都–の–中–に	

主よ、彼らのはかりごとを打ち破ってください。彼らの舌を混乱させてください。わたしは町のうちに暴力と争いとを見るからです。

בְּקִרְבָּהּ׃	וְעָמָל	וְאָוֶן	חוֹמֹתֶיהָ	עַל־	יְסוֹבְבֻהָ	וְלַיְלָה	יוֹמָם	10
その–中–に	苦難–が	そして–悪意–と	城壁–の–その	～の–上–を	巡る	夜–も	昼–も	
H7130	H5999	H0205	H2346		H5437	H3915	H3119	

彼らは昼も夜も町の城壁の上を歩きめぐり、町のうちには害悪と悩みとがあります。

וּמִרְמָה׃	תַּךְ	מֵרְחֹבָהּ	יָמִישׁ	וְלֹא־	בְּקִרְבָּהּ	הַוּוֹת		11
偽り–が	欺き–と	その–広場–から	離れ–ない	そして–離れ–ない	その–中–に	破滅–が		
H4820	H8496	H7339	H4185	H3808	H7130	H1942		

また滅ぼす事が町のうちにあり、しえたげと欺きとはその市場を離れることがありません。

מְשַׂנְאִי	לֹא־	וְאֶשָּׂא	יְחֶרְפַּנִי	אוֹיֵב	לֹא־	כִּי		12
憎む–者–が	私–を–憎む–者–では–ない	耐えられる	辱める–のなら	敵–が	敵–では–ない	なぜなら		
H8130	H3808	H5375		H0341	H3808			

מִמֶּנּוּ׃	וְאֶסָּתֵר	הִגְדִּיל	עָלָי
彼–から	隠れる	高ぶった–のなら	私–に–対して
	H5641	H1431	

わたしをののしる者は敵ではありません。もしそうであるならば忍ぶことができます。わたしにむかって高ぶる者はあだではありません。もしそうであるならば身を隠して彼を避けることができます。

וּמְיֻדָּעִי׃	אַלּוּפִי	כְּעַרְכִּי	אֱנוֹשׁ	וְאַתָּה	13
私–の–親しい–者	私–の–友	私–と–同じ–立場–の	人	しかし–お前–は	
H3045		H6187	H0582		

しかしそれはあなたです、わたしと同じ者、わたしの同僚、わたしの親しい友です。

בְּרָגֶשׁ׃	נְהַלָּךְ	אֱלֹהִים	בְּבֵית	סּוֹד	נַמְתִּיק	יַחְדָּו	אֲשֶׁר	14
群衆–の–中–で	歩いた	神–の	家–で	語らい–を	生けした	共–に	共–に	
	H1980	H0430		H5475	H4985			

われらはたがいに楽しく語らい、つれだって神の宮に上りました。

רָעוֹת	כִּי־	חַיִּים	שְׁאוֹל	יֵרְדוּ	עֲלֵימוֹ	()מָוֶת	)יַשֵּׁ(	]ישימות[15
悪–が	なぜなら	生きたまま	陰府–に	下る	彼ら–の–上–に	死–が	死–が	欺け
			H7585	H3381		H4194	H5377	H3451

בְּקִרְבָּם׃	בִּמְגוּרָם
彼ら–の–内–に	彼ら–の–住まい–に
H7130	H4033

どうぞ、死を彼らに臨ませ、生きたままで陰府に下らせ、恐れをもって彼らを墓に去らせてください。

יוֹשִׁיעֵנִי׃	וַיהוָה	אֶקְרָא	אֱלֹהִים	אֵל־	אֲנִי	16
救って–くださる	そして–主–が	呼ぶ	神–に	～に	私–は	
H3467	H3068	H7121	H0430	H0413	H0589	

しかしわたしが神に呼ばわれば、主はわたしを救われます。

17 עֶרֶב וָבֹקֶר וְצָהֳרַיִם אָשִׂיחָה וְאֶהֱמֶה וַיִּשְׁמַע קוֹלִי׃
夕-も 朝-も そして-真昼-も 嘆き そして-うめく そして-聞いて-くださる 私-の-声-を
H6153 H1242 H7878 H1993 H8085

夕べに、あしたに、真昼にわたしが嘆きうめけば、主はわたしの声を聞かれます。

18 פָּדָה בְשָׁלוֹם נַפְשִׁי מִקְּרָב־לִי כִּי־בְרַבִּים הָיוּ עִמָּדִי׃
購った 平安-の-うち-に 私-の-たましい-を 戦い-から 私-の なぜなら 多く-の-者-が いた
H6299 H7965 H5315 H7128 H0369 H5978

たといわたしを攻める者が多くとも、主はわたしがたたかう戦いからわたしを安らかに救い出されます。

19 וְיִשְׁמַע וְיַעֲנֵם וֵאל קֶדֶם יוֹשֵׁב סֶלָה אֲשֶׁר אֵין חֲלִיפוֹת לָמוֹ וְלֹא יָרְאוּ אֱלֹהִים׃
聞いて-くださる そして-答える 神-が 昔-から そして-座る-お方 セラ 彼ら-には ない 変わり-が 彼ら-に そして-恐れ-ない 恐れ-ない 神-を
H8085 H0410 H3427 H6256 H5542 H0369 H2487 H3808 H3372 H0430

昔からみくらに座しておられる神は聞いて彼らを悩まされるでしょう。[セラ彼らはおきてを守らず、神を恐れないからです。

20 שָׁלַח יָדָיו חִלֵּל בְּרִיתוֹ׃ בִּשְׁלֻמָיו
伸ばした 手-を-その 汚した その-契約-を 親しい-者-に-対して
H7971 H3027 H2490 H1285 H7965

わたしの友はその親しき者に手を伸ばして、その契約を破った。

21 וְחָלְקוּ מַחְמָאֹת פִּיהוּ וְקֶרֶב־לִבּוֹ רַכּוּ דְבָרָיו׃ וְהֵמָּה פְתִחוֹת׃ מִשֶּׁמֶן
滑らか-である バター-の-ように その-口-は しかし-戦い-が その-心-に 柔らかい その-言葉-は 抜いた-剣 しかし-それら-は 油-より
H2490 H4260 H6310 H7128 H3824 H7401 H1697 H6609 H1992 H8081

その口は牛酪よりもなめらかだが、その心には戦いがある。その言葉は油よりもやわらかだが、それは抜いたつるぎである。

22 יְכַלְכְּלֶךָּ וְהוּא יְהָבְךָ וְיהוָה עַל־ הַשְׁלֵךְ
支えて-くださる そうすれば-この-お方-が お前-の-重荷-を 主-に ～の-上-に 委ねなさい
H3557 H1931 H3053 H3068 H7993

לְעוֹלָם מוֹט לַצַּדִּיק׃ יִתֵּן לֹא־
永遠-に 揺れる-こと-を 正しい-者-が 許さ-ない 決して-ない
H5769 H4131 H6662 H5414 H3808

あなたの荷を主にゆだねよ。主はあなたをささえられる。主は正しい人の動かされるのを決してゆるされない。

23 וְאַתָּה וֵאלֹהִים תּוֹרִדֵם לִבְאֵר שַׁחַת אַנְשֵׁי דָמִים וְמִרְמָה
しかし-あなた-は 神-よ 落として-くださる 穴-に 滅び-の 人-を 血-の そして-欺き-の
H0430 H3381 H0875 H7845 H0376 H1818 H4820

לֹא־ יֶחֱצוּ יְמֵיהֶם וַאֲנִי אֶבְטַח־בָּךְ׃
半分-も 生き-ない その-日-を しかし-私-は 信頼-する あなた-に
H3808 H2673 H3117 H0589 H0982

しかし主よ、あなたは彼らを滅びの穴に投げ入れられます。血を流す者と欺く者とはおのが日の半ばも生きながらえることはできません。しかしわたしはあなたに寄り頼みます。

Chapter 56

בְּאָחְזֹ	מִכְתָּם	לְדָוִד	רְחֹקִים	אִלֶּם	יוֹנַת	עַל־	וְלַמְנַצֵּחַ	1
捕らえた–とき	ミクタム	ダビデ–の	遠き–の	沈黙–の	鳩	～に–合わせて	指揮者–のために	
H0270	H4387	H1732	H7350	H0482	H3123		H5329	

כָּל־	אֱנוֹשׁ	שְׁאָפַנִי	כִּי־	אֱלֹהִים	חָנֵּנִי	בְּגַת׃	פְּלִשְׁתִּים	אֹתוֹ
一日–中	人–が	踏みにじる	なぜなら	神–よ	憐れんで–ください	ガト–で	ペリシテ–人–が	彼–を
H3605	H0582			H0430		H1661	H6430	H0853

יְלָחֲצֵנִי׃	לֹחֵם	הַיּוֹם
圧迫–する	戦う–者–が	絶えず
H3905		H3117

聖歌隊の指揮者によって、「遠き所におる音をたてぬはと」のしらべにあわせてうたわせたダビデのミクタムの歌。これはダビデがガテでペリシテびとに捕えられたときによんだもの 神よ、どうかわたしをあわれんでください。人々がわたしを踏みつけ、あだする人々がひねもすわたしをしえたげます。

מָרוֹם׃	לִי	לֹחֲמִים	רַבִּים	כִּי־	הַיּוֹם	כָּל־	שׁוֹרְרַי	שָׁאֲפוּ	2
高慢–に	私–に	戦う–者–が	多く–の	なぜなら	絶えず	一日–中	監視–する–者–が	踏みにじる	
H4791					H3117	H3605	H8324		

わたしの敵はひねもすわたしを踏みつけ、誇りたかぶって、わたしと戦う者が多いのです。

אֶבְטָח׃	אֵלֶיךָ	אֲנִי	אִירָא	יוֹם	3
信頼–する	あなた–に	私–は	恐れる–日–に	日–に	
H0982	H0413	H0589	H3372	H3117	

わたしが恐れるときは、あなたに寄り頼みます。

מַה־	אִירָא	לֹא	בָטַחְתִּי	בֵּאלֹהִים	דְּבָרוֹ	אֲהַלֵּל	בֵּאלֹהִים		4
何–を	恐れ–ない	恐れ–ない	信頼–する	神–に	その–言葉–を	讃える	神–に–よって		
H4100	H3372	H3808	H0982	H0430	H1697		H0430		

לִי׃	בָּשָׂר	יַעֲשֶׂה
私–に	肉–なる–者–が	できる–のか
	H1320	

わたしは神によって、そのみ言葉をほめたたえます。わたしは神に信頼するゆえ、恐れることはありません。肉なる者はわたしに何をなし得ましょうか。

רָע׃	מַחְשְׁבֹתָם	כָּל־	עָלַי	יְעַצְּבוּ	דְּבָרַי	הַיּוֹם	כָּל־	5
悪意–である	彼ら–の–思い–は	すべて–の	私–に–対して	歪める	私–の–言葉–を	絶えず	一日–中	
	H4284	H3605			H1697	H3117	H3605	

彼らはひねもすわたしの事を妨害し、その思いはことごとくわたしにわざわいします。

קָווּ	כַּאֲשֶׁר	יִשְׁמְרוּ	עֲקֵבָי	הֵמָּה	(יִצְפּוֹנוּ)	[יצפינו]	וְגָרוּ	6
待ち–辞けた	～の–ように	見張る	私–の–足跡–を	彼ら–が	潜む	潜む	集まり	
	H8104	H6119		H1992	H6845	H6845		

נַפְשִׁי׃
私–の–いのち–を
H5315

彼らは共に集まって身をひそめ、わたしの歩みに目をとめ、わたしのいのちをうかがい求めます。

הוֹרֵד	וּעַמִּים	בְּאַף	לָמוֹ	פַּלֵּט־	אָוֶן	עַל־	7
落として–ください	民–を	怒り–で	彼ら–を	逃がさ–ない–で–ください	悪–の	～の–ゆえに	
H3381		H0639		H6405	H0205		

אֱלֹהִים׃
神–よ
H0430

神よ、彼らにその罪を報い、憤りをもってもろもろの民を倒してください。

בְּנֹאדֶךָ	דִמְעָתִי	שִׂימָה	אַתָּה	סָפַרְתָּה	נֹדִי	8
あなた–の–革袋–に	私–の–涙–を	入れて–ください	あなた–が	数えて–おられる	私–の–さまよい–を	
H4997	H1832				H5112	

בְּסִפְרָתֶךָ׃	הֲלֹא
あなた–の–書物–に	ない–のですか
	H3808

あなたはわたしのさすらいを数えられました。わたしの涙をあなたの皮袋にたくわえてください。これは皆あなたの書にしるされているではありませんか。

אֱלֹהִים	כִּי־	יָדַעְתִּי	זֶה־	אֶקְרָא	בְּיוֹם	אָחוֹר	אוֹיְבַי	יָשׁוּבוּ	אָז	9
神–が	～と	知っている	これ–を	呼ぶ–私が	日–に	後ろ–に	敵–が–私–の	退く	その時	
H0430		H3045	H2088	H7121	H3117	H0268	H0341	H7725		

לִי׃
私–の–ため–に

わたしが呼び求める日に、わたしの敵は退きます。これによって神がわたしを守られることを知ります。

דָּבָר׃	אֲהַלֵּל	בַּיהוָה	דָּבָר	אֲהַלֵּל	בֵּאלֹהִים	10
言葉–を	讃える	主–に–よって	言葉–を	讃える	神–に–よって	
H1697		H3068	H1697		H0430	

わたしは神によってそのみ言葉をほめたたえ、主によってそのみ言葉をほめたたえます。

לִי׃	אָדָם	יַעֲשֶׂה	מַה־	אִירָא	לֹא	בָּטַחְתִּי	בֵּאלֹהִים	11
私–に	人–が	できる–のか	何–を	恐れ–ない	恐れ–ない	信頼–する	神–に	
	H0120		H4100	H3372	H3808	H0982	H0430	

わたしは神に信頼するゆえ、恐れることはありません。人はわたしに何をなし得ましょうか。

לָךְ׃	תּוֹדֹת	אֲשַׁלֵּם	נְדָרֶיךָ	אֱלֹהִים	עָלַי	12
あなた–に	感謝–を	果たす	あなた–の–誓い–が–ある	神–よ	私–の–上–に	
	H8426		H5088	H0430		

神よ、わたしがあなたに立てた誓いは果さなければなりません。わたしは感謝の供え物をあなたにささげます。

רַגְלָי	הֲלֹא	מָוֶת	נַפְשִׁי	הִצַּלְתָּ	כִּי		13
私–の–足–を	そうでは–ないか	死–から	私–の–たましい–を	救って–くださった	なぜなら		
H7272	H3808	H4194	H5315	H5337			

הַחַיִּים׃	בְּאוֹר	אֱלֹהִים	לִפְנֵי	לְהִתְהַלֵּךְ	מִדֶּחִי
生きて–いる–者–の	光–の–中–で	神–の	御前–で	歩む–ために	つまずき–から
	H0216	H0430	H6440	H1980	H1762

あなたはわたしの魂を死から救い、わたしの足を守って倒れることなく、いのちの光のうちで神の前にわたしを歩ませられたからです。

Chapter 57

מִכְתָּם	לְדָוִד	תַּשְׁחֵת	אַל־	לַמְנַצֵּחַ	1
ミクタム	ダビデ-の	滅ぼさ-ない-で-ください	滅ぼさ-ない-で-ください	指揮者-のために	
H4387	H1732	H0516	H0516	H5329	

חָנֵּנִי	וֵאלֹהִים	חָנֵּנִי	בַּמְּעָרָה׃	שָׁאוּל	מִפְּנֵי־	בִּבְרֹחוֹ
憐れんで-ください	神-よ	憐れんで-ください	洞窟-の-中-で	サウル-の	顔-から	逃げた-とき
	H0430		H4631	H7586	H6440	H1272

אֶחְסֶה	כְּנָפֶיךָ	וּבְצֵל־	נַפְשִׁי	חָסָיָה	בְךָ	כִּי
身-を-避ける	あなた-の-翼-の	そして-影-に	私-の-たましい-は	身-を-寄せる	あなた-に	なぜなら
H2620	H3671	H6738	H5315	H2620		

הַוּוֹת׃	יַעֲבֹר	עַד
破滅-が	過ぎ去る	～まで
H1942		H5704

聖歌隊の指揮者によって、「滅ぼすな」というしらべにあわせてうたわせたダビデのミクタムの歌。これはダビデが洞にはいってサウルの手をのがれたときによんだもの 神よ、わたしをあわれんでください。わたしをあわれんでください。わたしの魂はあなたに寄り頼みます。滅びのあらしの過ぎ去るまではあなたの翼の陰をわたしの避け所とします。

עָלָי׃	גֹּמֵר	לָאֵל	עֶלְיוֹן	לֵאלֹהִים	אֶקְרָא	2
私-の-ために	成し遂げる-お方-に	神-に	いと高き-お方-に	神-に	呼ぶ	
	H1584	H0410		H0430	H7121	

わたしはいと高き神に呼ばわります。わたしのためにすべての事をなしとげられる神に呼ばわります。

חַסְדּוֹ	אֱלֹהִים	יִשְׁלַח	סֶלָה	שֹׁאֲפִי	חֵרֵף	וַיּוֹשִׁיעֵנִי	וּמִשָּׁמַיִם	יִשְׁלַח	3
恵み-を-その	神-が	送る	セラ	踏みにじる-者-を	辱めた	そして-救う	天-から	送る	
	H0430	H7971	H5542			H3467	H8064	H7971	

וַאֲמִתּוֹ׃
そして-真実-を-その
H0571

神は天から送ってわたしを救い、わたしを踏みつける者をはずかしめられます。[セラすなわち神はそのいつくしみとまことをとを送られるのです。

								4
שִׁנֵּיהֶם	אָדָם	בְּנֵי־	לְהָטִים	אֶשְׁכְּבָה	לְבָאִים	בְּתוֹךְ	וְנַפְשִׁי	
その-歯-は	人-の	子-らの	燃える-者-の	横たわる	獅子-の	中-に-ある	私-の-たましい-は	
H8127	H0120		H3857	H7901		H8432	H5315	

חֲנִית׃	וְחִצִּים	וּלְשׁוֹנָם	חֶרֶב	חַדָּה׃	
槍-であり	そして-矢-である	そして-その-舌-は	剣-である	鋭い	
H2595	H2671	H3956	H2719	H2299	

わたしは人の子らをむさぼり食らうししの中に横たわっています。彼らの歯はほこ、また矢、彼らの舌は鋭いつるぎです。

							5
הָאָרֶץ	כְּל־	עַל	אֱלֹהִים	הַשָּׁמַיִם	עַל־	רוּמָה	
地-の	すべて-の	～の-上-に	神-よ	天-の	～の-上-に	高く-あられますように	
H0776	H3605		H0430	H8064			

כְּבוֹדֶךָ׃
あなた-の-栄光-が
H3519

神よ、みずからを天よりも高くし、みさかえを全地の上にあげてください。

נָפְלוּ	שִׂיחָה	לְפָנַי	כָּרוּ	נַפְשִׁי	כָּפַף	לְפְעָמַי	הֵכִינוּ	וְרֶשֶׁת	6
落ちた	穴–を	私–の–前–に	掘った	私–の–たましい–を	曲げた	私–の–歩み–に	準備–した	網–を	
H5307	H7882	H6440		H5315	H3721	H6471		H7568	

סֶּלָה׃	בְּתוֹכָהּ
セラ	その–中–に
H5542	H8432

彼らはわたしの足を捕えようと網を設けました。わたしの魂はうなだれました。彼らはわたしの前に穴を掘りました。しかし彼らはみずからその中に陥ったのです。[セラ

וַאֲזַמָּרָה׃	אָשִׁירָה	לִבִּי	נָכוֹן	אֱלֹהִים	לִבִּי	נָכוֹן	7
そして–讃美–する	歌う	私–の–心–は	揃って–いる	神–よ	私–の–心–は	揃って–いる	
H2167	H7891			H0430			

神よ、わたしの心は定まりました。わたしの心は定まりました。わたしは歌い、かつほめたたえます。

שָׁחַר׃	אָעִירָה	וְכִנּוֹר	הַנֵּבֶל	עוּרָה	כְבוֹדִי	עוּרָה	8
曙–を	目覚めさせる	そして–竈–よ	琴–よ	目覚めよ	私–の–栄光–よ	目覚めよ	
H7837	H5782	H3658		H5782	H3519	H5782	

わが魂よ、さめよ。立琴よ、琴よ、さめよ。わたしはしののめを呼びさまします。

אֻמִּים׃	בַּל־	אֲזַמֶּרְךָּ	אֲדֹנָי	וּבָעַמִּים	אוֹדְךָ	9
諸国民–の	諸国民–の–中–で	讃美–する	主–よ	民–の–中–で	感謝–する	
H3816	H1077	H2167	H0136		H3034	

主よ、わたしはもろもろの民の中であなたに感謝し、もろもろの国の中であなたをほめたたえます。

שְׁחָקִים	וְעַד־	חַסְדֶּךָ	שָׁמַיִם	עַד־	גָּדַל	כִּי־	10
雲–に–まで	そして–〜まで	あなた–の–恵み–は	天–に–まで	〜まで	大きい	なぜなら	
H7834	H5704		H8064	H5704			

אֲמִתֶּךָ׃
あなた–の–真実–は
H0571

あなたのいつくしみは大きく、天にまで及び、あなたのまことは雲にまで及びます。

הָאָרֶץ	כָּל־	עַל	אֱלֹהִים	שָׁמַיִם	עַל־	רוּמָה	11
地–の	すべて–の	〜の–上–に	神–よ	天–の	〜の–上–に	高く–あられますように	
H0776	H3605		H0430	H8064			

כְּבוֹדֶךָ׃
あなた–の–栄光–が
H3519

神よ、みずからを天よりも高くし、みさかえを全地の上にあげてください。

Chapter 58

הַאֱמֻנָם	מִכְתָּם׃	לְדָוִד	תַּשְׁחֵת	אַל־	לַמְנַצֵּחַ	1
本当–に	ミクタム	ダビデ–の	滅ぼさ–ない–で–ください	滅ぼさ–ない–で–ください	指揮者–のために	
H0552	H4387	H1732	H0516	H0516	H5329	

אָדָם׃	בְּנֵי	תִּשְׁפְּטוּ	מֵישָׁרִים	תְּדַבֵּרוּן	צֶדֶק	אִלֻּם
人–の	子–ら–よ	裁く–のか	公正–に	語る–のか	義–を	沈黙–して
H0120		H8199	H4339	H1696	H6664	H0482

聖歌隊の指揮者によって、「滅ぼすな」というしらべにあわせてうたわせたダビデのミクタムの歌 あなたがた力ある者よ、まことにあなたがたは正しい事を語り、公平をもって人の子らをさばくのか。

תְּפַלָּסוּן׃	יְדֵיכֶם	חָמָס	בָּאָרֶץ	תִּפְעָלוּן	עוֹלֹת	בְּלֵב	אַף־
量り-出す	お前たち-の-手-で	暴力-を	地-の-上-で	行う	不正-を	心-の-中-で	むしろ
H6424	H3027	H2555	H0776	H6466			H0637

2

否、あなたがたは心のうちに悪い事をたくらみ、その手は地に暴虐を行う。

כָּזָב׃	דִּבְּרֵי	מִבֶּטֶן	תָּעוּ	מֵרָחֶם	רְשָׁעִים	זָרוּ
偽り-を	語る-者-として	母-の-胎-から	迷った	胎-から	悪しき-者-は	それた
H3577	H1696	H0990	H8582	H7358	H7563	

3

悪しき者は胎を出た時から、そむき去り、生れ出た時から、あやまちを犯し、偽りを語る。

יַאְטֵם	חֵרֵשׁ	פֶּתֶן	כְּמוֹ־	נָחָשׁ	חֲמַת־	כִּדְמוּת	לָמוֹ	חֲמַת־
ふさぐ	耳-が-聞こえない	コブラ-の	～の-ように	蛇-の	毒-に	似て-いる	彼ら-に	毒-が-ある
H0331	H2795	H6620	H3644	H5175	H2534	H1823		H2534

אָזְנוֹ׃
その-耳-を
H0241

4

מְחַכָּם׃	חֲבָרִים	חוֹבֵר	מְלַחֲשִׁים	לְקוֹל	יִשְׁמַע	לֹא־	אֲשֶׁר
巧みな	呑術-を	唱える-者-の	まじない-師-の	声-に	聞か-ない	聞か-ない	～は
H2449	H2267	H2266	H3907		H8085	H3808	

5

彼らはへびの毒のような毒をもち、魔法使または巧みに呪文を唱える者の声を聞かない耳をふさぐ耳しいのまむしのようである。

וְנַתֵּץ	כְּפִירִים	מַלְתְּעוֹת	בְּפִימוֹ	שִׁנֵּימוֹ	הֲרָס־	אֱלֹהִים
引き抜いて-ください	若獅子-の	牙-を	口-の-中-で	歯-を-彼ら-の	折って-ください	神-よ
H5422		H4459	H6310	H8127	H2040	H0430

יְהוָה׃
主-よ
H3068

6

神よ、彼らの口の歯を折ってください。主よ、若いししのきばを抜き砕いてください。

חִצָּיו)	חצו	יִדְרֹךְ	לָמוֹ	יִתְהַלְכוּ־	מָיִם	כְּמוֹ־	יִמָּאֲסוּ
その-矢-が	その	張る-とき	彼ら-が	流れ去る-ように	水-の	～の-ように	消え去る-ように
H2671	H2671	H1869		H1980	H4325	H3644	

יִתְמוֹלָלוּ׃	כְּמוֹ
折れる-ように	～の-ように
	H3644

7

彼らを流れゆく水のように消え去らせ、踏み倒される若草のように衰えさせてください。

אֵשֶׁת	נֵפֶל	יַהֲלֹךְ	תָּמֵס	שַׁבְלוּל	כְּמוֹ	
女-の	死産-の-ように	行く-ように	溶ける-ように	かたつむり-が	かたつむり-の-ように	
H0802	H5309	H1980	H8557	H7642	H3644	

שֶׁמֶשׁ׃	חָזוּ	בַל־
太陽-を	見ない-ように	見ない-ように
H8121	H2372	H1077

8

また溶けてどろどろになるかたつむりのように、時ならず生れた日を見ぬ子のようにしてください。

9

כְּמוֹ־	חַי	כְּמוֹ־	אָטָד	סִירֹתֵיכֶם	יָבִינוּ	בְּטֶרֶם
～の–ように	生–の–まま	～の–ように	いばら–を	お前たち–の–鍋–が	知る–前–に	知る–前–に
H3644		H3644	H0329		H0995	H2962

יִשְׂעָרֵנּוּ׃	חֲרוֹן
吹き飛ばす	燃える–怒り–の–ように
	H2740

あなたがたの釜がまだいばらの熱を感じない前に青いのも、燃えているのも共につむじ風に吹き払われるように彼らを吹き払ってください。

10

בְּדַם	יִרְחַץ	פְּעָמָיו	נָקָם	חָזָה	כִּי־	צַדִּיק	יִשְׂמַח
血–の–中–で	洗う	その–足–を	復讐–を	見る–とき	見る–とき	正しい–者–が	喜ぶ
H1818	H7364	H6471	H5359	H2372		H6662	H8055

הָרָשָׁע׃
悪しき–者–の
H7563

正しい者は復讐を見て喜び、その足を悪しき者の血で洗うであろう。

11

אֱלֹהִים	יֵשׁ־	אָךְ	לַצַּדִּיק	פְּרִי	אַךְ־	אָדָם	וְיֹאמַר
神–が	おられる	確か–に	正しい–者–に	報い–が–ある	確か–に	人–は	そして–言う
H0430	H3426	H0389	H6662	H6529	H0389	H0120	H0559

בָּאָרֶץ׃	שֹׁפְטִים
地–の–上–に	裁く–お方–が
H0776	H8199

そして人々は言うであろう、「まことに正しい者には報いがある。まことに地にさばきを行われる神がある」と。

Chapter 59

1

מִכְתָּם	לְדָוִד	תַּשְׁחֵת	אַל־	לַמְנַצֵּחַ
ミクタム	ダビデ–の	滅ぼさ–ない–で–ください	滅ぼさ–ない–で–ください	指揮者–のために
H4387	H1732	H0516	H0516	H5329

הַצִּילֵנִי	לַהֲמִיתוֹ׃	הַבַּיִת	אֶת־	וַיִּשְׁמְרוּ	שָׁאוּל	בְּשִׁלַּח
救い出して–ください	殺す–ために	家–を	～を	そして–見張った	サウル–が	遣わした–とき
H5337	H4191		H0853	H8104	H7586	H7971

תְּשַׂגְּבֵנִי׃	מִמִּתְקוֹמְמָי	אֱלֹהָי	וּמֵאֹיְבָי
高く–守って–ください	立ち向かう–者–から	私–の–神–よ	敵–から–私–の
H7682		H0430	H0341

聖歌隊の指揮者によって、「滅ぼすな」というしらべにあわせてうたわせたダビデのミクタムの歌。これはサウルがダビデを殺そうとして人をつかわし、その家をうかがわせたときダビデのよんだもの わが神よ、どうかわたしをわが敵から助け出し、わたしに逆らって起りたつ者からお守りください。

2

הוֹשִׁיעֵנִי׃	דָּמִים	וּמֵאַנְשֵׁי	אָוֶן	מִפֹּעֲלֵי	הַצִּילֵנִי
救って–ください	血–の	そして–人–から	悪–を	行う–者–から	救い出して–ください
H3467	H1818	H0376	H0205	H6466	H5337

悪を行う者からわたしを助け出し、血を流す人からわたしをお救いください。

3
כִּי הִנֵּה אָרְבוּ לְנַפְשִׁי יָגוּרוּ עָלַי עַזִּים
なぜなら 見よ 待ち伏せた 私–の–いのち–を 集まる 私–に–対して 強い–者–が
H3588 H2009 H0693 H5315 H3498 H5921 H5794
לֹא־פָשְׁעִי וְלֹא־חַטָּאתִי יְהוָה׃
私–の–背き–では–ない 私–の–罪–でも–ない 主–よ
H3808 H6588 H3808 H2403 H3068

見よ、彼らはひそみかくれて、わたしの命をうかがい、力ある人々が共に集まってわたしを攻めます。主よ、わたしにとがも罪もなく、

4
בְּלִי־עָוֹן יְרוּצוּן וְיִכּוֹנָנוּ עוּרָה לִקְרָאתִי וּרְאֵה׃
走り–回り 咸–なく 咸–なく そして–構える 目覚めて–ください 私–に–会い–に そして–見て–ください
H7323 H5771 H1097 H3559 H5782 H7125 H7200

わたしにあやまちもないのに、彼らは走りまわって備えをします。わたしを助けるために目をさまして、ごらんください。

5
וְאַתָּה יְהוָה־אֱלֹהִים צְבָאוֹת אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל הָקִיצָה
そして–あなた–は 主 神 万軍–の 神 イスラエル–の 目覚めて–ください
H3588 H3068 H0430 H6635 H0430 H3478 H6974
לִפְקֹד כָּל־הַגּוֹיִם אַל־תָּחֹן כָּל־בֹּגְדֵי אָוֶן סֶלָה׃
罰する–ために すべて–の 決して–ない 諸国民–を すべて–の 憐れま–ない–で–ください 裏切る–者–を 悪–の セラ
H6485 H3605 H0408 H1471 H3605 H2603 H0898 H0205 H5542

万軍の神、主よ、あなたはイスラエルの神です。目をさまして、もろもろの国民を罰し、悪をたくらむ者どもに、あわれみを施さないでください。[セラ

6
יָשׁוּבוּ לָעֶרֶב יֶהֱמוּ כַכֶּלֶב וְיסֹבְבוּ עִיר׃
帰って–来る タ–に うなる 犬–の–ように そして–巡る 都–を
H7725 H6153 H1993 H3611 H5437

彼らは夕ごとに帰ってきて、犬のようにほえて町をあさりまわる。

7
הִנֵּה יַבִּיעוּן בְּפִיהֶם חֲרָבוֹת בִּשְׂפָתוֹתֵיהֶם כִּי־מִי שֹׁמֵעַ׃
見よ 吐き出す 口–で–その 剣–が 唇–に–その なぜなら 誰–が 聞いて–いる–のか–と
H2009 H5042 H6310 H2719 H8193 H3588 H4310 H8085

見よ、彼らはその口をもってほえ叫び、そのくちびるをもってうなり、「だれが聞くものか」と言う。

8
וְאַתָּה יְהוָה תִּשְׂחַק־לָמוֹ תִּלְעַג לְכָל־גּוֹיִם׃
しかし–あなた–は 主–よ 笑う 彼ら–を 嘲る すべて–の 諸国民–を
H0859 H3068 H7832 H3932 H3605 H1471

しかし、主よ、あなたは彼らを笑い、もろもろの国民をあざけり笑われる。

9
עֻזּוֹ אֵלֶיךָ אֶשְׁמְרָה כִּי־אֱלֹהִים מִשְׂגַּבִּי׃
その–力–よ あなた–に 待ち望む なぜなら 神–は 私–の–砦–である
H5797 H0413 H8104 H3588 H0430 H4869

わが力よ、わたしはあなたにむかってほめ歌います。神よ、あなたはわたしの高きやぐらです。

	בִּשׁוֹרָרָי׃	יַרְאֵנִי	אֱלֹהִים	יְקַדְּמֵנִי	חַסְדִּי)	]חסדו[	אֱלֹהֵי	10
	敵-の-上-に	見せて-くださる	神-が	迎えて-くださる	恵み-の-私-の	恵み-の-私-の	神	
	H8324	H7200	H0430	H6923			H0430	

わが神はそのいつくしみをもってわたしを迎えられる。わが神はわたしに敵の敗北を見させられる。

עַמִּי	יִשְׁכְּחוּ	פֶּן־	וְתַהַרְגֵם	אַל־	11
私-の-民-が	忘れる	さもなくば	殺さ-ない-で-ください	殺さ-ない-で-ください	
H7911	H6435		H2026	H0408	

אֲדֹנָי׃	מָגִנֵּנוּ	וְהוֹרִידֵמוֹ	בְּחֵילְךָ	הֲנִיעֵמוֹ
主-よ	私たち-の-盾-である	そして-落として-ください	あなた-の-力-で	さまよわせて-ください
H0136	H4043	H3381	H2428	H5128

どうぞ、わが民の忘れることのないために、彼らを殺さないでください。主、われらの盾よ、み力をもって彼らをよろめかせ、彼らを倒れさせないでください。

בִּגְאוֹנָם	וְיִלָּכְדוּ	שִׂפְתֵימוֹ	דְּבַר־	פִּימוֹ	חַטַּאת־	12
彼ら-の-高慢-の-ゆえに	そして-捕らえられる	彼ら-の-唇-の	言葉-が	彼ら-の-口-の	罪-が	
H1347	H3920	H8193	H1697	H6310		

יְסַפָּרוּ׃	וּמִכַּחַשׁ	וּמֵאָלָה
語る	そして-偽り-の-ゆえに	そして-呪い-と
	H3585	H0423

彼らの口の罪、そのくちびるの言葉のために彼らをその高ぶりに捕われさせてください。彼らが語るのろいと偽りのために

וְאֵינֵמוֹ	כַּלֵּה	בְּחֵמָה	כַּלֵּה		13
そして-いなくなる-ように	絶ち-滅ぼして-ください	怒り-で	絶ち-滅ぼして-ください		
H0369	H3615	H2534	H3615		

סֶלָה׃	הָאָרֶץ	לְאַפְסֵי	בְיַעֲקֹב	מֹשֵׁל	אֱלֹהִים	כִּי־	וְיֵדְעוּ
セラ	地-の	果て-に-まで	ヤコブ-に-おいて	治める-と	神-が	～と	そして-知る-ように
H5542	H0776		H3290	H4910	H0430		H3045

憤りをもって彼らを滅ぼし、もはやながらえることのないまでに、彼らを滅ぼしてください。そうすれば地のはてまで、人々は神がヤコブを治められることを知るに至るでしょう。[セラ

עִיר׃	וְיָסֹבּוּבוּ	כַּכֶּלֶב	יֶהֱמוּ	לָעֶרֶב	וְיָשׁוּבוּ	14
都-を	そして-巡る	犬-の-ように	うなる	夕-に	そして-帰って-来る	
	H5437	H3611	H1993	H6153	H7725	

彼らは夕ごとに帰ってきて、犬のようにほえて町をあさりまわる。

יִשְׂבְּעוּ	לֹא	אִם־	לְאֵכֶל	יְנִיעוּן)	]ינועון[	הֵמָּה	15
満たされ-ない-なら	満たされ-ない-なら	もし	食べ物-を-求めて	さまよう	さまよう	彼ら-は	
H7646	H3808		H0398	H5128	H5128	H1992	

וְיָלִינוּ׃
そして-うなる

彼らは食い物のためにあるきまわり、飽くことを得なければ怒りうなる。

16

וַאֲנִי אָשִׁיר עֻזֶּךָ וַאֲרַנֵּן לַבֹּקֶר חַסְדֶּךָ כִּי־
しかし–私–は 歌う H7891 あなた–の–力–を H5797 そして–喜び–歌う 朝–に H1242 あなた–の–恵み–を なぜなら

הָיִיתָ מִשְׂגָּב לִי מְנוֹס בְּיוֹם צַר־ לִי׃
あった H1961 砦–で 私–の–ために そして–避け所–で H4498 日–に H3117 苦難–の 私–の

しかし、わたしはあなたのみ力をうたい、朝には声をあげてみいつくしみを歌います。あなたはわたしの悩みの日にわが高きやぐらとなり、わたしの避け所となられたからです。

17

עֻזִּי אֵלֶיךָ אֲזַמֵּרָה כִּי־ אֱלֹהִים מִשְׂגַּבִּי אֱלֹהֵי חַסְדִּי׃
私–の–力–よ H5797 あなた–に H0413 讃美–する H2167 なぜなら 神–は H0430 私–の–砦–である H4387 神 H0430 私–の–恵み–の

わが力よ、わたしはあなたにむかってほめうたいます。神よ、あなたはわが高きやぐら、わたしにいつくしみを賜わる神であられるからです。

Chapter 60

1

לַמְנַצֵּחַ עַל־ שׁוֹשַׁן עֵדוּת מִכְתָּם לְדָוִד לְלַמֵּד׃ בְּהַצּוֹתוֹ
指揮者に H5329 ついて– エドゥト H7802 シュシャン H7802 ミクタム H4387 ダビデの H1732 教えのために H3925 彼が–戦った–とき

אֶת־ נַהֲרַיִם אֲרָם וְאֶת־ צוֹבָה אֲרָם וַיָּשָׁב יוֹאָב וַיַּךְ
～を H0853 アラム・ナハライム H0763 および– H0853 アラム・ツォバ H0760 そして–ヨアブは–帰り H7725 ヨアブ H3097 そして–打った H5221

אֶת־ אֱדוֹם בְּגֵיא־ מֶלַח שְׁנֵים עָשָׂר אֶלֶף׃ אֱלֹהִים זְנַחְתָּנוּ
～を H0853 エドム H0123 塩の– H1516 谷で H4417 一万– H8147 二– H6240 千人を H0505 神よ H0430 あなたは–私たちを–退けた

פָּרַצְתָּנוּ אָנַפְתָּ תְּשׁוֹבֵב לָנוּ׃
あなたは–私たちを–打ち破った H6555 あなたは–怒られた H0599 私たちを–回復させてください H7725 私たちに

聖歌隊の指揮者によって、「あかしのゆり」というしらべにあわせて教のためにうたわせたダビデのミクタムの歌。これはダビデが、アラムナハライムおよびアラムゾバと戦ったとき、ヨアブがその帰りに、塩の谷でエドムびと一万二千人を殺したときによんだもの 神よ、あなたはわれらを捨て、われらを打ち破られました。あなたは憤られました。再びわれらをかえしてください。

2

כִּי־ רָפָה שִׁבָרֶיהָ פִּצַמְתָּהּ הִרְעַשְׁתָּה אֶרֶץ
なぜなら– H7667 その–裂け目を H7495 癒してください H6480 あなたは–それを–裂いた H0776 地を H7493 あなたは–地を–震わせた

מָטָה׃
揺れている H4131

あなたは国を震わせ、これを裂かれました。その破れをいやしてください。国が揺れ動くのです。

3

הִרְאֵיתָה עַמֶּךָ קָשָׁה הִשְׁקִיתָנוּ יַיִן תַּרְעֵלָה׃
あなたは–示した H7200 あなたの–民に 苦難を H7186 あなたは–私たちに–飲ませた H8248 よろめきの– H3196 ぶどう酒を H8653

あなたはその民に耐えがたい事をさせ、人をよろめかす酒をわれらに飲ませられました。

4

נָתַתָּה לִירֵאֶיךָ נֵס לְהִתְנוֹסֵס מִפְּנֵי קֶשֶׁט סֶלָה׃
あなたは–与えた H5414 あなたを–畏れる者たちに H3373 旗を H5251 掲げるために H5127 ～の–前で H6440 真理 セラ H5542

あなたは弓の前からのがれた者を再び集めようとあなたを恐れる者のために一つの旗を立てられました。[セラ

5 לְמַעַן יֵחָלְצוּן יְדִידֶיךָ הוֹשִׁיעָה יְמִינְךָ
〜のために 救い出されるように あなたの–愛する者たちが 救ってください あなたの–右の手で
H4616 H2502 H3467 H3225

וְעַנֵּנִי׃ (וענני)
そして–答えてください 私に
H6032 H6032

あなたの愛される者が助けを得るために、右の手をもって勝利を与え、われらに答えてください。

6 וֵאלֹהִים דִּבֶּר בְּקָדְשׁוֹ אָעִלְזָה אֲחַלְּקָה שְׁכֶם וְעֵמֶק
神は 語られた その–聖所で 私は–喜び踊る 私は–分け与える シェケムを そして–スコトの–
H0430 H1696 H6944 H5937 H2505 H7927 H6010

אֲמַדֵּד׃ סֻכּוֹת
私は–測り分ける 谷を
H4058 H5523

神はその聖所で言われた、「わたしは大いなる喜びをもってシケムを分かち、スコテの谷を分かち与えよう。

7 לִי גִלְעָד וְלִי מְנַשֶּׁה וְאֶפְרַיִם מָעוֹז רֹאשִׁי
私のものだ ギルアデは そして–私のものだ マナセは そして–エフライムは 砦 私の–頭の
H1568 H4519 H0669 H4581

יְהוּדָה מְחֹקְקִי׃
ユダは 私の–つえ
H3063 H2710

ギレアデはわたしのもの、マナセもわたしのものである。エフライムはわたしのかぶと、ユダはわたしのつえである。

8 וּמוֹאָב סִיר רַחְצִי עַל־ אֱדוֹם אַשְׁלִיךְ נַעֲלִי עָלַי
モアブは 洗い– 鉢 〜の–上に エドム 私は–投げる 私の–履き物を 私に–向かって
H4124 H7366 H5921 H0123 H7993 H5275

פְּלֶשֶׁת הִתְרֹעֲעִי׃
ペリシテよ 叫べ
H6429 H7321

モアブはわたしの足だらい、エドムにはわたしのくつを投げる。ペリシテについては、かちどきをあげる」と。

9 מִי יְבָלְנִי עִיר מָצוֹר מִי נָחֲנִי עַד־ אֱדוֹם׃
だれが 私を–導くのか 城塞の– 町へ だれが 私を–導いたのか 〜まで エドム
H4310 H2986 H5892 H4692 H4310 H5148 H5704 H0123

だれがわたしを堅固な町に至らせるでしょうか。だれがわたしをエドムに導くでしょうか。

10 הֲלֹא־ אַתָּה אֱלֹהִים זְנַחְתָּנוּ וְלֹא־ תֵצֵא אֱלֹהִים
あなたではないか– あなたが 神よ 私たちを–退けた そして–出ない 出て行かない 神よ
H3808 H0859 H0430 H2186 H3808 H3318 H0430

בְּצִבְאוֹתֵינוּ׃
私たちの–軍勢と–ともに

神よ、あなたはわれらを捨てられたではありませんか。神よ、あなたはわれらの軍勢と共に出て行かれません。

11 הָבָה־ לָנוּ עֶזְרַת מִצָּר וְשָׁוְא תְּשׁוּעַת אָדָם׃
与えてください– 私たちに 助けを 敵に–対して なぜなら–むなしい 人の–救いは 人間の
H3051 H5833 H6862 H7723 H8668 H0120

われらに助けを与えて、あだにむかわせてください。人の助けはむなしいのです。

צָרֵינוּ׃	יָבוּס	וְהוּא	חָיִל	נַעֲשֶׂה־	בֵאלֹהִים	12
私たちの–敵を	踏みにじる	そして–主こそが	力ある–わざを	私たちは–行う	神に–あって	
	H0947	H1931	H2428		H0430	

われらは神によって勇ましく働きます。われらのあだを踏みにじる者は神だからです。

Chapter 61

רִנָּתִי	אֱלֹהִים	שִׁמְעָה	לְדָוִד׃	נְגִינֹת	עַל־	וְלַמְנַצֵּחַ	1
私の–叫び–を	神–よ	聞いて–ください	ダビデ–の	弦楽器–の	～の–上に	指揮者–に	
H7440	H0430	H8085	H1732	H5058		H5329	

תְּפִלָּתִי׃	הַקְשִׁיבָה
私の–祈り–に	耳–を–傾けて–ください
H8605	H7181

聖歌隊の指揮者によって琴にあわせてうたわせたダビデの歌 神よ、わたしの叫びを聞いてください。わたしの祈に耳を傾けてください。

בְּצוּר־	לִבִּי	בַּעֲטֹף	אֶקְרָא	אֵלֶיךָ	וְהָאָרֶץ	מִקְצֵה	2
岩–の–上に	私の–心–が	弱り果てる–とき	呼び求めます	あなた–に	地	～の–果て–から	
H6697			H7121	H0413	H0776		

תַּנְחֵנִי׃	מִמֶּנִּי	יָרוּם
私–を	私–より	高く–導いて–ください
H5148		

わが心のくずおれるとき、わたしは地のはてからあなたに呼ばわります。わたしを導いてわたしの及びがたいほどの高い岩にのぼらせてください。

אוֹיֵב׃	מִפְּנֵי	עֹז	מִגְדַּל־	לִי	מַחְסֶה	הָיִיתָ	כִּי־	3
敵	～の–前–で	力–の	堅固な–塔	私–の	避け所	あなた–は	なぜなら	
H0341	H6440	H5797	H4026		H4268	H1961		

あなたはわたしの避け所、敵に対する堅固なやぐらです。

כְּנָפֶיךָ	בְּסֵתֶר	אֶחֱסֶה	עוֹלָמִים	בְּאָהָלֶךָ	אָגוּרָה	4
あなたの–翼–の	隠れ場–に	身–を–避けます	とこしえ–に	あなたの–幕屋–に	住まわせて–ください	
H3671		H2620	H5769	H0168		

סֶלָה׃
セラ
H5542

わたしをとこしえにあなたの幕屋に住まわせ、あなたの翼の陰にのがれさせてください。[セラ

יָרַשְׁתָּ	נָתַתָּ	לִנְדָרָי	שָׁמַעְתָּ	אֱלֹהִים	אַתָּה	כִּי־	5
受け継ぎ–を	与えて–くださった	私の–誓い–を	聞いて–くださった	神–よ	あなた–は	なぜなら	
H3425	H5414	H5088	H8085	H0430			

שְׁמֶךָ׃	יִרְאֵי
あなたの–御名–を	畏れる–者–に
H8034	H3373

神よ、あなたはわたしのもろもろの誓いを聞き、み名を恐れる者に賜わる嗣業をわたしに与えられました。

דֹּר׃	וָדֹר	כְּמוֹ־	שְׁנוֹתָיו	תּוֹסִיף	מֶלֶךְ	יְמֵי־	עַל־	יָמִים	6
代	代–また	～の–ように	その–年月–は	加えて–ください	王–の	日々–の	～の–上に	日々–を	
H1755	H1755	H3644	H8141	H3254	H4428	H3117		H3117	

どうか王のいのちを延ばし、そのよわいをよろずよに至らせてください。

מַן	וֶאֱמֶת	חֶסֶד	אֱלֹהִים	לְפָנָי	עוֹלָם	יֵשֵׁב	7
備えて–ください	真実–を	恵み–と	神	～の–前–に	とこしえ–に	座して–おられます	
H4487	H0571		H0430	H6440	H5769	H3427	

יְנַצְּרֵהוּ׃
彼–を–守る–ように
H5341

彼をとこしえに神の前に王たらしめ、いつくしみとまことに命じて彼を守らせてください。

וְיוֹם	נְדָרַי	לְשַׁלְּמִי	לָעַד	שִׁמְךָ	אֲזַמְּרָה	כֵּן	8
日–ごと	私の–誓い–を	果たす–ため–に	とこしえ–に	あなたの–御名–を	ほめ歌います	それゆえ	
H3117	H5088		H5703	H8034	H2167		

יוֹם׃
日–ごと
H3117

そうすればわたしはとこしえにみ名をほめうたい、日ごとにわたしのもろもろの誓いを果すでしょう。

Chapter 62

דּוּמִיָּה	אֱלֹהִים	אֶל־	אַךְ	לְדָוִד׃	מִזְמוֹר	יְדוּתוּן	עַל־	לַמְנַצֵּחַ	1
静まり	神–に	～に–向かって	ただ	ダビデ–の	賛歌	エドトン–の	～の–上に	指揮者–に	
H1747	H0430	H0413	H0389	H1732	H4210	H3038		H5329	

יְשׁוּעָתִי׃	מִמֶּנּוּ	נַפְשִׁי
私の–救い	その方–から	私の–魂–は
H3444		H5315

聖歌隊の指揮者によってエドトンのしらべにしたがってうたわせたダビデの歌 わが魂はもだしてただ神をまつ。わが救は神から来る。

רַבָּה׃	אֶמּוֹט	לֹא־	מִשְׁגַּבִּי	וְיִשׁוּעָתִי	צוּרִי	הוּא	אַךְ־	2
大いに	揺るがない	決して	私の–砦	私の–救い	私の–岩	その方–は	ただ	
	H4131	H3808		H3444	H6697	H1931	H0389	

神こそわが岩、わが救、わが高きやぐらである。わたしはいたく動かされることはない。

כֻּלְּכֶם	תְּרָצְּחוּ	אִישׁ	עַל	תְּהוֹתְתוּ	וְאָנָה	עַד־	3
皆–で	殺そうと–する	人–に	～の–上に	襲い–かかるのか	おまえ–たちは	いつ–まで	
H3605	H7523	H0376		H2050	H0575	H5704	

הַדְּחוּיָה׃	גָּדֵר	נָטוּי	כְּקִיר
倒れ–かかった	垣根	傾いた	傾いた–壁–の–ように
	H1447	H5186	H7023

あなたがたは、いつまで人に押し迫るのか。あなたがたは皆、傾いた石がきのように、揺り動くまがきのように人を倒そうとするのか。

יְבָרֵכוּ	בְּפִיו	כָּזָב	יִרְצוּ	לְהַדִּיחַ	יָעֲצוּ	וּמִשְּׂאֵתוֹ	אַךְ	4
祝福–する	その–口–で	偽り–を	喜ぶ	突き–落とそうと	企んだ	その–高き所–から	ただ	
H1288	H6310	H3577	H7521	H5080	H3289	H7613	H0389	

סֶלָה׃	יְקַלְלוּ־	וּבְקִרְבָּם
セラ	呪う	しかし–内心–では
H5542	H7043	H7130

彼らは人を尊い地位から落そうとのみはかり、偽りを喜び、その口では祝福し、心のうちではのろうのである。[セラ

אַךְ	דֹּומִי	נַפְשִׁי	כִּי־	מִמֶּנּוּ	תִקְוָתִי׃		5
ただ	静まれ	私の–魂–よ	なぜなら	その方–から	私の–望み		
H0389		H5315					
לֵאלֹהִים							
神–に							
H0430							

わが魂はもだしてただ神をまつ。わが望みは神から来るからである。

אַךְ־	הוּא	צוּרִי	וְיִשׁוּעָתִי	מִשְׂגַּבִּי	לֹא	אֶמּוֹט׃	6
ただ	その方–は	私の–岩	私の–救い	私の–砦	決して	揺るがない	
H0389	H1931	H6697	H3444		H3808	H4131	

神こそわが岩、わが救、わが高きやぐらである。わたしは動かされることはない。

עַל־	אֱלֹהִים	יִשְׁעִי	וּכְבוֹדִי	צוּר־	עֻזִּי	מַחְסִי	בֵּאלֹהִים׃	7
～の–上に	神–に	私の–救い–と	私の–栄光	力–の–岩	私の–力	私の–避け所	神–の–うちに	
	H0430	H3468	H3519	H6697	H5797	H4268	H0430	

わが救とわが誉とは神にある。神はわが力の岩、わが避け所である。

לִבַּכֶם	לְפָנָיו	שִׁפְכוּ־	עָם	עֵת	בְּכָל־	בּוֹ	בִּטְחוּ	8
あなたがたの–心–を	その方の–前–に	注ぎ出せ	民–よ	時–に	すべて–の	その方–に	信頼–せよ	
H3824	H6440	H8210		H6256	H3605		H0982	
סֶלָה׃	לָנוּ	מַחֲסֶה־	אֱלֹהִים					
セラ	私たち–の	避け所	神–は					
H5542		H4268	H0430					

民よ、いかなる時にも神に信頼せよ。そのみ前にあなたがたの心を注ぎ出せ。神はわれらの避け所である。[セラ

בְּמֹאזְנַיִם	אִישׁ	בְּנֵי	כָזָב	אָדָם	בְּנֵי־	הֶבֶל	אַךְ	9
秤–に–かければ	人–の	人の–子–は	偽り–で–ある	アダム–の	人の–子–は	空しい	まことに	
H3976	H0376		H3577	H0120		H1892	H0389	
יָחַד׃	מֵהֶבֶל	הֵמָּה	לַעֲלוֹת					
共に	空しさ–よりも	彼ら–は	上がる					
	H1892	H1992	H5927					

低い人はむなしく、高い人は偽りである。彼らをはかりにおけば、彼らは共に息よりも軽い。

וְחַיִל	תֶּהְבָּלוּ	אַל־	וּבְגָזֵל	בְּעֹשֶׁק	תִּבְטְחוּ	אַל־		10
富–が	空しく–なって–は–ならない	頼る–な	略奪–にも	搾取–に	信頼して–は–ならない	頼る–な		
H2428	H1891	H0408	H1498	H6233	H0982	H0408		
לֵב׃	תָּשִׁיתוּ	אַל־	יָנוּב	כִּי־				
心–に	心–を	置く–な	増えて–も	もし				
	H7896	H0408	H5107					

あなたがたは、しえたげにたよってはならない。かすめ奪うことに、むなしい望みをおいてはならない。富の増し加わるとき、これに心をかけてはならない。

לֵאלֹהִים׃	עֹז	כִּי	שָׁמַעְתִּי	זוּ	שְׁתָּיִם־	אֱלֹהִים	דִּבֶּר	וְאַחַת	11
神–の–もの	力–は	すなわち	聞いた	これ–を	二度	神–は	語られた	一度	
H0430	H5797		H8085	H2098	H8147	H0430	H1696	H0259	

神はひとたび言われた、わたしはふたたびこれを聞いた、力は神に属することを。

כְּמַעֲשֵׂהוּ׃	לְאִישׁ	תְּשַׁלֵּם	אַתָּה	כִּי־	חָסֶד	אֲדֹנָי	וְלְךָ־	12
その–行い–に–応じて	人–に	報いられる	あなた–は	なぜなら	恵み	主–よ	そして–あなた–の	
H4639	H0376					H0136		

主よ、いつくしみもまたあなたに属することを。あなたは人おのおののわざにしたがって報いられるからである。

Chapter 63

אַתָּה	אֱלִי	וֵאלֹהַי׃	יְהוּדָה	בְּמִדְבַּר	בִּהְיוֹתוֹ	לְדָוִד	מִזְמוֹר	1
あなた–は	私の–神	神–よ	ユダ–の	荒野–に	彼が–いた–とき	ダビデ–の	賛歌	
	H0410	H0430	H3063		H1961	H1732	H4210	

בְּשָׂרִי	לְךָ	כָּמַהּ	נַפְשִׁי	וְלְךָ	צָמְאָה	אֲשַׁחֲרֶךָּ	
私の–肉体–は	あなた–を	慕い–求めます	私の–魂–は	あなた–に	渇いて–います	私は–求めます	
H1320		H3642	H5315		H6770	H7836	

מָיִם׃	בְּלִי־	וְעָיֵף	צִיָּה	בְּאֶרֶץ־
水–の	ない–地–で	疲れた	荒れ果てた	乾いた–地–に
H4325	H1097	H5889	H6723	H0776

ユダの野にあったときによんだダビデの歌 神よ、あなたはわたしの神、わたしは切にあなたをたずね求め、わが魂はあなたをかわき望む。水なき、かわき衰えた地にあるように、わが肉体はあなたを慕いこがれる。

וּכְבוֹדֶךָ׃	עֻזֶּךָ	לִרְאוֹת	חָזִיתִיךָ	בַּקֹּדֶשׁ	כֵּן	2
あなたの–栄光–を	あなたの–力–と	見る–ために	仰ぎ–見ました	聖所–にて	そのように	
H3519	H5797	H7200	H2372	H6944		

それでわたしはあなたの力と栄えとを見ようと、聖所にあって目をあなたに注いだ。

יְשַׁבְּחוּנֶךָ׃	שְׂפָתַי	מֵחַיִּים	חַסְדְּךָ	טוֹב	כִּי־	3
あなた–を–賛美します	私の–唇–が	いのち–よりも	あなたの–恵み–は	良い	なぜなら	
	H8193					

あなたのいつくしみは、いのちにもまさるゆえ、わがくちびるはあなたをほめたたえる。

כַּפָּי׃	אֶשָּׂא	בִּשְׁמֶךָ	בְחַיָּי	אֲבָרֶכְךָ	כֵּן	4
私の–手–を	上げます	あなたの–御名–に–よって	私の–生涯–に	賛美します	そのように	
H3709	H5375	H8034		H1288		

わたしは生きながらえる間、あなたをほめ、手をあげて、み名を呼びまつる。

יְהַלֶּל־	רְנָנוֹת	וְשִׂפְתֵי	נַפְשִׁי	תִּשְׂבַּע	וְדֶשֶׁן	חֵלֶב	כְּמוֹ	5
賛美します	喜び–の	そして–唇–で	私の–魂–は	満たされます	豊かさ–で	脂–と	あたかも	
	H7445	H8193	H5315	H7646	H1880	H2459	H3644	

פִּי׃
私の–口–は
H6310

בָּךְ׃	אֶהְגֶּה־	בְּאַשְׁמֻרוֹת	יְצוּעָי	עַל־	זְכַרְתִּיךָ	אִם־	6
あなた–に–ついて	黙想します	夜–の–見張り–に	私の–床–の	～の–上–で	思い出す–なら	もし	
	H1897	H0821			H2142		

わたしが床の上であなたを思いだし、夜のふけるままにあなたを深く思うとき、わたしの魂は髄とあぶらとをもってもてなされるように飽き足り、わたしの口は喜びのくちびるをもってあなたをほめたたえる。

אֲרַנֵּן׃	כְּנָפֶיךָ	וּבְצֵל	לִי	עֶזְרָתָה	הָיִיתָ	כִּי־	7
喜び–歌います	あなたの–翼–の	あなたの–翼の–陰–に	私–に–とって	助け	あなた–は	なぜなら	
	H3671	H6738		H5833	H1961		

あなたはわたしの助けとなられたゆえ、わたしはあなたの翼の陰で喜び歌う。

יְמִינֶךָ׃	תָּמְכָה	בִּי	אַחֲרֶיךָ	נַפְשִׁי	דָּבְקָה	8
あなたの–右の–手–が	支えて–くださる	私–を	あなた–に	私の–魂–は	すがりつきます	
H3225	H8551			H5315	H1692	

わたしの魂はあなたにすがりつき、あなたの右の手はわたしをささえられる。

הָאָרֶץ׃	בְּתַחְתִּיּוֹת	יָבֹאוּ	נַפְשִׁי	יְבַקְשֻׁהָ	לְשׁוֹאָה	וְהֵמָּה	9
地–の	地–の–深み–に	下る–であろう	私の–魂–を	求める	滅び–の–ために	しかし–彼ら–は	
H0776	H8482	H0935	H5315	H1245		H1992	

しかしわたしの魂を滅ぼそうとたずね求める者は地の深き所に行き、

יִהְיוּ׃	שֻׁעָלִים	מָנָת	חֶרֶב	יְדֵי־	עַל־	יַגִּירֻהוּ	10
なる–であろう	狐–の	分け前–となる	剣–の	剣–の–手–に	～の–上に	流される	
H1961	H7776	H4521	H2719	H3027		H5064	

つるぎの力にわたされ、山犬のえじきとなる。

כִּי	בּוֹ	הַנִּשְׁבָּע	כָּל־	יִתְהַלֵּל	בֵּאלֹהִים	יִשְׁמַח	וְהַמֶּלֶךְ	11
なぜなら	その方–に–かけて	誓う–者–は	すべて–の	誇る	神–に–あって	喜ぶ	しかし–王–は	
		H7650	H3605		H0430	H8055	H4428	

שָׁקֶר׃	דּוֹבְרֵי־	פִּי	יִסָּכֵר
偽り–を	語る–者–の	口–が	ふさがれる
H8267	H1696	H6310	H5534

しかし王は神にあって喜び、神によって誓う者はみな誇ることができる。偽りを言う者の口はふさがれるからである。

Chapter 64

מִפְּחַד	בְּשִׂיחִי	קוֹלִי	אֱלֹהִים	שְׁמַע־	לְדָוִד׃	מִזְמוֹר	לַמְנַצֵּחַ	1
敵の–恐れ–から	私の–嘆き–の	私の–声–を	神–よ	聞いて–ください	ダビデ–の	賛歌	指揮者–に	
H6343	H7879		H0430	H8085	H1732	H4210	H5329	

חַיָּי׃	תִּצֹּר	אוֹיֵב
私の–いのち–を	守って–ください	敵–の
	H5341	H0341

聖歌隊の指揮者によってうたわせたダビデの歌 神よ、わたしが嘆き訴えるとき、わたしの声をお聞きください。敵の恐れからわたしの命をお守りください。

אָוֶן׃	פֹּעֲלֵי	מֵרִגְשַׁת	מְרֵעִים	מְסוֹד	תַּסְתִּירֵנִי	2
不正–を	行う–者–の	騒ぎ–から	悪者–の	悪者の–謀–から	隠して–ください	
H0205	H6466			H5475	H5641	

わたしを隠して、悪を行う者のひそかなはかりごとから免れさせ、不義を行う者のはかりごとから免れさせてください。

מָר׃	דָּבָר	חִצָּם	דָּרְכוּ	לְשׁוֹנָם	כְּחֶרֶב	שָׁנְנוּ	אֲשֶׁר	3
毒–の	苦い–言葉	その–矢–を	張った	その–舌–を	剣の–ように	研ぎ澄ました	彼ら–は	
H4751	H1697	H2671	H1869	H3956	H2719	H8150		

彼らはその舌をつるぎのようにとぎ、苦い言葉を矢のように放ち、

יִירָאוּ׃	וְלֹא	יֹרֻהוּ	פִּתְאֹם	תָּם	בַּמִּסְתָּרִים	לִירוֹת	4
恐れ–は	そして–ない	射つ	突然	無垢な–者–を	隠れ場–から	射る–ために	
H3372	H3808		H6597	H8535	H4565		

隠れた所から罪なき者を射ようとする。にわかに彼を射て恐れることがない。

מִי	אָמְרוּ	מוֹקְשִׁים	לִטְמוֹן	יְסַפְּרוּ	רָע	דָּבָר	וְלָמוֹ	יְחַזְּקוּ־	5
誰–が	言った	罠–を	仕掛ける–ために	語り合う	悪い	悪い–言葉–を	彼ら–自身–を	強め合う	
H4310	H0559	H4170	H2934			H1697		H2388	

לָמוֹ׃	יִרְאֶה־
彼ら–を	見る–か
	H7200

彼らは悪い企てを固くたもち、共にはかり、ひそかにわなをかけて言う、「だれがわれらを見破ることができるか。

עָמֹק׃	וְלֵב	אִישׁ	וְקֶרֶב	מְחֻקָּשׁ	חֵפֶשׁ	תַּמְנוּ	עוֹלֹת	יַחְפְּשׂוּ־	6
深い	そして–心–は	人–の	そして–内心–は	巧みな	企み–を	完成–させた	不正–を	探し–求める	
H6013		H0376	H7130	H2664	H2665	H8552		H2664	

だれがわれらの罪をたずね出すことができるか。われらは巧みに、はかりごとを考えめぐらしたのだ」と。人の内なる思いと心とは深い。

מַכּוֹתָם׃	הָיוּ	פִּתְאֹם	חֵץ	אֱלֹהִים	וַיֹּרֵם	7
彼らの–打ち傷–と	なった	突然	矢–を	神–から	しかし–射られた	
H4347	H1961	H6597	H2671	H0430		

しかし神は矢をもって彼らを射られる。彼らはにわかに傷をうけるであろう。

בָּם׃	רֹאֵה	כָּל־	יִתְנַדֵּדוּ	לְשׁוֹנָם	עָלֵימוֹ	וַיַּכְשִׁילוּהוּ	8
彼ら–を	見る–者–は	すべて–の	首–を–振る	その–舌–が	彼ら–の–上に	つまずかせた	
	H7200	H3605	H5074	H3956		H3782	

神は彼らの舌のゆえに彼らを滅ぼされる。彼らを見る者は皆そのこうべを振るであろう。

הִשְׂכִּילוּ׃	וּמַעֲשֵׂהוּ	אֱלֹהִים	פֹּעַל	וַיַּגִּידוּ	אָדָם	כָּל־	וַיִּירְאוּ	9
悟った	その–わざ–を	神–の	行い–を	そして–告げた	人–は	すべて–の	そして–恐れた	
	H4639	H0430	H6467	H5046	H0120	H3605	H3372	

その時すべての人は恐れ、神のみわざを宣べ伝え、そのなされた事を考えるであろう。

כָּל־	וְיִתְהַלְלוּ	בּוֹ	וְחָסָה	בַּיהוָה	צַדִּיק	יִשְׂמַח	10
すべて–の	そして–誇る	その方–に	そして–身を避ける	主–に–あって	義人–は	喜ぶ	
H3605			H2620	H3068	H6662	H8055	

לֵב׃	יִשְׁרֵי־
心–の	心–の–正しい–者
	H3477

正しい人は主にあって喜び、かつ主に寄り頼む。すべて心の直き者は誇ることができる。

Chapter 65

בְּצִיּוֹן	אֱלֹהִים	תְּהִלָּה	דְּמִיָּה	לְךָ	שִׁיר׃	לְדָוִד	מִזְמוֹר	לַמְנַצֵּחַ	1
シオン–で	神–よ	賛美–が–ある	沈黙–の	あなた–に	講	ダビデ–の	歌	指揮者–に	
H6726	H0430	H8416	H1747			H1732	H4210	H5329	

נֶדֶר׃	יְשֻׁלַּם־	לְךָ
誓い–が	果たされる	あなた–に
H5088		

聖歌隊の指揮者によってうたわせたダビデの歌、さんび 神よ、シオンにて、あなたをほめたたえることはふさわしいことである。人はあなたに誓いを果すであろう。

2 שֹׁמֵעַ תְּפִלָּה עָדֶיךָ כָּל־ בָּשָׂר יָבֹאוּ׃
聞かれる–方 祈り–を あなた–の–もと–へ すべての 肉なる–者–が 参ります
H8085 H8605 H5704 H3605 H1320 H0935

3 דִּבְרֵי עֲוֹנֹת גָּבְרוּ מֶנִּי פְּשָׁעֵינוּ אַתָּה תְכַפְּרֵם׃
言葉–が 咎–の 勝った 私–に 背き–を あなた–が 贖ってくださる
H1697 H5771 H1396 H6588

祈を聞かれる方よ、すべての肉なる者は罪のゆえにあなたに来る。われらのとががわれらに打ち勝つとき、あなたはこれをゆるされる。

4 אַשְׁרֵי תִּבְחַר וּתְקָרֵב יִשְׁכֹּן חֲצֵרֶיךָ נִשְׂבְּעָה בְּטוּב בֵּיתֶךָ
幸いなるかな 選び 近づけられる–者–は 住む 庭–に 満たされる 良き–もの–で 家–の
H0835 H0977 H7126 H7931 H2898 H7646

קֹדֶשׁ הֵיכָלֶךָ׃
聖なる 宮–の
H6918 H1964

あなたに選ばれ、あなたに近づけられて、あなたの大庭に住む人はさいわいである。われらはあなたの家、あなたの聖なる宮の恵みによって飽くことができる。

5 קְצוֹת כָּל־ מִבְטָח יְשֻׁעָנוּ אֱלֹהֵי תַּעֲנֵנוּ בְצֶדֶק נוֹרָאוֹת
果て–の すべての 頼り–で–ある 救い–の 神–よ 答えてくださる 義–を–もって 畏るべき–わざ–で
H7099 H3605 H4009 H3468 H0430 H6664 H3372

אֶרֶץ וְיָם רְחֹקִים׃
地–の 海–の 遠き
H0776 H3220 H7350

われらの救の神よ、地のもろもろのはてと、遠き海の望みであるあなたは恐るべきわざにより、救をもってわれらに答えられる。

6 מֻכִּין הָרִים בְּכֹחוֹ נֶאְזָר בִּגְבוּרָה׃
据えられる 山々–を 力–で 帯びておられる 力–を
H3559 H2022 H3581 H0247 H1369

あなたは大能を帯び、そのみ力によって、もろもろの山を堅く立たせられる。

7 וּמַשְׁבִּיחַ שְׁאוֹן יַמִּים שְׁאוֹן גַּלֵּיהֶם וַהֲמוֹן לְאֻמִּים׃
静められる どよめき–を 海–の どよめき–を 波–の 騒ぎ–を 諸国–の–民–の
H7623 H7588 H3220 H7588 H1530 H1995 H3816

あなたは海の響き、大波の響き、もろもろの民の騒ぎを静められる。

8 וַיִּירְאוּ יֹשְׁבֵי קְצָוֹת מֵאוֹתֹתֶיךָ בֹּקֶר וְעֶרֶב תַּרְנִין׃
畏れる 住む–者たち–は 果て–の しるし–を 朝–の 夕–の 喜ばせる
H3372 H3427 H7098 H0226 H1242 H6153 H7442

それゆえ、地のはてに住む人々も、あなたのもろもろのしるしを見て恐れる。あなたは朝と夕の出る所をして喜び歌わせられる。

9 פָּקַדְתָּ הָאָרֶץ וַתְּשֹׁקְקֶהָ רַבַּת תַּעְשְׁרֶנָּה אֱלֹהִים פֶּלֶג מָלֵא
訪れてくださる 地–を 潤してくださる 大いに 豊かにしてくださる 神–の 川–は 満ちている
H6485 H0776 H7783 H7235 H6238 H0430 H6388 H4390

תְּכִינֵם כֵּן כִּי־ דְגָנָם תָּכִין מָיִם׃
整えてくださる そのように なぜなら 穀物–を 備えてくださる 水–で
H3559 H3651 H3588 H1715 H3559 H4325

あなたは地に臨んで、これに水をそそぎ、これを大いに豊かにされる。神の川は水で満ちている。あなたはそのように備えして彼らに穀物を与えられる。

תְּלָמֶיהָ	רַוֵּה	נַחֵת	גְּדוּדֶיהָ	בִּרְבִיבִים	תְּמוֹגְגֶנָּה	צִמְחָהּ	10
瞳–を	潤してくださる	下げてくださる	土塊–を	雨–で	柔らかくしてくださる	芽–を	
H8525	H7301	H5181	H1418	H7241	H4127	H6780	

תְּבָרֵךְ׃
祝福してくださる
H1288

あなたはその田みぞを豊かにうるおし、そのうねを整え、夕立ちをもってそれを柔らかにし、そのもえ出るのを祝福し、

דָּשֶׁן׃	יִרְעֲפוּן	וּמַעְגָּלֶיךָ	טוּבֶךָ	שָׁנַת	עִטַּרְתָּ	11
脂–を	滴らせる	轍–は	恵み–の	年–に	冠をかぶせてくださる	
H1880	H7491	H4570		H8141		

またその恵みをもって年の冠とされる。あなたの道にはあぶらがしたたる。

תַּחְגֹּרְנָה׃	גְּבָעוֹת	וְגִיל	מִדְבָּר	נְאוֹת	יִרְעֲפוּ	12
帯びる	丘–は	喜び–で	荒野–の	牧草地–は	滴らせる	
H2296	H1389			H4999	H7491	

野の牧場はしたたり、小山は喜びをまとい、

יָשִׁירוּ׃	אַף־	יִתְרוֹעָעוּ	בָּר	יַעֲטְפוּ־	וַעֲמָקִים	הַצֹּאן	וְכָרִים	לָבְשׁוּ	13
歌う	まことに	叫び–喜ぶ	穀物–で	覆われる	谷々–は	羊–で	牧場–は	着飾った	
H7891	H0637	H7321			H6010	H6629		H3847	

牧場は羊の群れを着、もろもろの谷は穀物をもっておおわれ、彼らは喜び呼ばわって共に歌う。

Chapter 66

הָאָרֶץ׃	כָּל־	לֵאלֹהִים	הָרִיעוּ	מִזְמוֹר	שִׁיר	לַמְנַצֵּחַ	1
地–よ	すべての	神–に	叫べ	歌	講	指揮者–に	
H0776	H3605	H0430	H7321	H4210		H5329	

聖歌隊の指揮者によってうたわせた歌、さんび 全地よ、神にむかって喜び呼ばわれ。

תְּהִלָּתוֹ׃	כְּבוֹד	שִׂימוּ	שְׁמוֹ	כִּבְוֹד־	זַמְּרוּ	2
賛美–の	栄光–を	置け	御名–の	栄光–を	ほめ歌え	
H8416	H3519		H8034	H3519	H2167	

そのみ名の栄光を歌え。栄えあるさんびをささげよ。

אֹיְבֶיךָ׃	לְךָ	יְכַחֲשׁוּ	עֻזֶּךָ	בְּרֹב	מַעֲשֶׂיךָ	נוֹרָא	מַה־	לֵאלֹהִים	אִמְרוּ	3
敵–は	あなた–に	へつらう	力–に–より	大いなる	御業–は	畏るべき	なんと	神–に	言え	
H0341		H3584	H5797	H7230	H4639	H3372	H4100	H0430	H0559	

神に告げよ。「あなたのもろもろのみわざは恐るべきかな。大いなるみ力によって、あなたの敵はみ前に屈服し、

סֶלָה׃	שִׁמְךָ	יְזַמְּרוּ	לָךְ	וְיַזַּמְּרוּ־	לָךְ	יִשְׁתַּחֲוּ	וְהָאָרֶץ	כָּל־	4
セラ	御名–を	ほめ歌う	あなた–に	ほめ歌う	あなた–に	ひれ伏す	地–は	すべての	
H5542	H8034	H2167		H2167		H7812	H0776	H3605	

全地はあなたを拝み、あなたをほめうたい、み名をほめうたうであろう」と。[セラ

אָדָם׃	בְּנֵי	עַל־	עֲלִילָה	נוֹרָא	אֱלֹהִים	מִפְעָלוֹת	וּרְאוּ	לְכוּ	5
人–の	子ら–に–対して	—	わざ–が–ある	畏るべき	神–の	御業–を	見よ	来て	
H0120			H5949	H3372	H0430		H7200	H3212	

来て、神のみわざを見よ。人の子らにむかってなされることは恐るべきかな。

בּוֹ׃	נִשְׂמְחָה־	שָׁם	בְּרָגֶל	יַעַבְרוּ	בַּנָּהָר	לַיַּבָּשָׁה	וָיָם	הָפַךְ	6
主-を	喜んだ	そこ-で	徒歩-で	渡った	川-を	乾いた-地-に	海-を	変えられた	
	H8055	H8033	H7272		H5104	H3004	H3220	H2015	

神は海を変えて、かわいた地とされた。人々は徒歩で川を渡った。その所でわれらは神を喜んだ。

אַל־	וְהַסּוֹרְרִים	תִּצְפֶּינָה	בַּגּוֹיִם	עֵינָיו	עוֹלָם	וּבִגְבוּרָתוֹ	מֹשֵׁל		7
決して	背く-者たち-よ	見張っておられる	諸国-を	目-は	永遠-に	力-で	治めておられる		
H0408	H5637	H6822			H5769	H1369	H4910		
				סֶלָה׃	לָמוֹ	(יָרוּמוּ)	[ירימון]		
				セラ	自ら-を	—	高ぶるな		
				H5542					

神は大能をもって、とこしえに統べ治め、その目はもろもろの国民を監視される。そむく者はみずからを高くしてはならない。[セラ

תְּהִלָּתוֹ׃	קוֹל	וְהַשְׁמִיעוּ	אֱלֹהֵינוּ	וְעַמִּים	בָּרְכוּ		8
賛美-の	声-を	聞かせよ	われらの-神-を	民-よ	たたえよ		
H8416		H8085	H0430		H1288		

もろもろの民よ、われらの神をほめよ。神をほめたたえる声を聞えさせよ。

רַגְלֵנוּ׃	לַמּוֹט	נָתַן	וְלֹא־	בַּחַיִּים	נַפְשֵׁנוּ	הַשָּׂם	9
足-を	よろめく-こと-に	—	滑らせない	命-の-中-に	魂-を	置いてくださる-方	
H7272	H4132	H5414	H3808		H5315		

神はわれらを生きながらえさせ、われらの足のすべるのをゆるされない。

כָּסֶף׃	כִּצְרֹף־	צְרַפְתָּנוּ	אֱלֹהִים	בְּחַנְתָּנוּ	כִּי־	10
銀-を	精錬する-ように	精錬された	神-よ	試された	なぜなら	
H3701	H6884	H6884	H0430	H0974		

神よ、あなたはわれらを試み、しろがねを練るように、われらを練られた。

בְּמָתְנֵינוּ׃	מוּעָקָה	שַׂמְתָּ	בְּמְצוּדָה	הֲבֵאתָנוּ	11
腰-に	負担-を	置かれた	網-に	導かれた	
H4975	H4157			H0935	

あなたはわれらを網にひきいれ、われらの腰に重き荷を置き、

לָרְוָיָה׃	וַתּוֹצִיאֵנוּ	וּבַמָּיִם	בָּאֵשׁ	בָּאנוּ־	לְרֹאשֵׁנוּ	אֱנוֹשׁ	הִרְכַּבְתָּ		12
潤い-に	導き出してくださった	水-に	火-に	入った	頭-の-上-に	人-を	乗せられた		
H7310	H3318	H4325	H0784	H0935		H0582	H7392		

人々にわれらの頭の上を乗り越えさせられた。われらは火の中、水の中を通った。しかしあなたはわれらを広い所に導き出された。

נְדָרָי׃	לְךָ	אֲשַׁלֵּם	בְּעוֹלוֹת	בֵּיתֶךָ	אָבוֹא	13
誓い-を	あなた-に	果たします	全焼の-いけにえ-を-もって	家-に	入ります	
H5088					H0935	

わたしは燔祭をもってあなたの家に行き、わたしの誓いをあなたに果します。

לִי׃	בַּצַּר־	פִּי	וְדִבֶּר־	שְׂפָתָי	פָּצוּ	אֲשֶׁר־	14
—	苦しみ-の-中-で	口-が	語った	唇-が	—	開いた	
		H6310	H1696	H8193	H6475		

これはわたしが悩みにあったとき、わたしのくちびるの言い出したもの、わたしの口が約束したものです。

15
עֹלוֹת מְחֵימִים אֱלֹהֵי אֲעֲלֶה לְךָ עִם קְטֹרֶת אֵילִים אֶעֱשֶׂה
全焼の-いけにえ-を 肥った-もの-を ささげます あなた-に と-共に 香-の 雄羊-の ささげます
H5927 H4220 H7004

בָּקָר עִם עַתּוּדִים סֶלָה׃
牛-を と-共に 雄山羊-を セラ
H1241 H6260 H5542

わたしは肥えたものの燔祭を雄羊のいけにえの煙と共にあなたにささげ、雄牛と雄やぎとをささげます。[セラ

16
לְכוּ שִׁמְעוּ וַאֲסַפְּרָה כָּל יִרְאֵי אֱלֹהִים אֲשֶׁר עָשָׂה לְנַפְשִׁי׃
来て 聞け 語ります すべての 畏れる-者たち-よ 神-を こと-を なされた 魂-に
H3212 H8085 H3605 H3373 H0430 H4639 H5315

すべて神を恐れる者よ、来て聞け。神がわたしのためになされたことを告げよう。

17
אֵלָיו פִּי קָרָאתִי וְרוֹמַם תַּחַת לְשׁוֹנִי׃
主-に 口-で 呼びかけた 崇め-が 下-に 舌-の
H0413 H6310 H7121 H7318 H8478 H3956

わたしは声をあげて神に呼ばわり、わが舌をもって神をあがめた。

18
אָוֶן אִם רָאִיתִי בְלִבִּי לֹא יִשְׁמַע אֲדֹנָי׃
悪-を もし 見たなら 心-に 決して 聞かれない 主-は
H0205 H0518 H7200 H3824 H8085 H0136

もしわたしが心に不義をいだいていたならば、主はお聞きにならないであろう。

19
אָכֵן שָׁמַע אֱלֹהִים הִקְשִׁיב בְּקוֹל תְּפִלָּתִי׃
まことに 聞かれた 神-は 心-を-留められた 声-に 祈り-の
H0403 H8085 H0430 H7181 H6963 H8605

しかし、まことに神はお聞きになり、わが祈の声にみこころをとめられた。

20
בָּרוּךְ אֱלֹהִים אֲשֶׁר לֹא הֵסִיר תְּפִלָּתִי וְחַסְדּוֹ מֵאִתִּי׃
ほむべきかな 神-は 決して ー 退けなかった 祈り-を 恵み-も 私-から
H1288 H0430 H0834 H3808 H5493 H8605 H2617 H0854

神はほむべきかな。神はわが祈をしりぞけず、そのいつくしみをわたしから取り去られなかった。

Chapter 67

1
לַמְנַצֵּחַ בִּנְגִינֹת מִזְמוֹר שִׁיר׃ אֱלֹהִים יְחָנֵּנוּ וִיבָרְכֵנוּ
指揮者-に 弦の-楽器-で 歌 講 神-よ あわれんでください 祝福してください
H5329 H5058 H4210 H7892 H0430 H2603 H1288

יָאֵר פָּנָיו אִתָּנוּ סֶלָה׃
照らしてください 御顔-を われら-に セラ
H0215 H6440 H0854 H5542

聖歌隊の指揮者によって琴にあわせてうたわせた歌、さんび どうか、神がわれらをあわれみ、われらを祝福し、そのみ顔をわれらの上に照されるように。[セラ

2
לָדַעַת בָּאָרֶץ דַּרְכֶּךָ בְּכָל גּוֹיִם יְשׁוּעָתֶךָ׃
知られるため 地-に 道-が すべての 諸国-に 救い-が
H3045 H0776 H1870 H3605 H1471 H3444

これはあなたの道があまねく地に知られ、あなたの救の力がもろもろの国民のうちに知られるためです。

3

יוֹדֻךָ	וַעֲמִּים	אֱלֹהִים	יוֹדוּךָ	עַמִּים	כֻּלָּם׃
感謝します	民–が	神–よ	感謝します	民–が	すべての
H3034	H0430	H3034	H3605		

神よ、民らにあなたをほめたたえさせ、もろもろの民にあなたをほめたたえさせてください。

4

בָּאָרֶץ	וּלְאֻמִּים	מִישׁוֹר	עַמִּים	תִּשְׁפֹּט	כִּי־	לְאֻמִּים	יְרַנְּנוּ	יִשְׂמְחוּ
地–に	諸国–の–民–を	公正–に	民–を	さばかれる	なぜなら	諸国–の–民–が	歌います	喜びます
H0776	H3816	H4334		H8199		H3816		H8055

סֶלָה׃	תַּנְחֵם
セラ	導いてくださる
H5542	H5148

もろもろの国民を楽しませ、また喜び歌わせてください。あなたは公平をもってもろもろの民をさばき、地の上なるもろもろの国民を導かれるからです。[セラ

5

יוֹדֻךָ	וַעֲמִּים	אֱלֹהִים	יוֹדוּךָ	עַמִּים	כֻּלָּם׃
感謝します	民–が	神–よ	感謝します	民–が	すべての
H3034	H0430	H3034	H3605		

神よ、民らにあなたをほめたたえさせ、もろもろの民にあなたをほめたたえさせてください。

6

אֱלֹהֵינוּ׃	אֱלֹהִים	יְבָרְכֵנוּ	יְבוּלָהּ	נָתְנָה	אֶרֶץ
われらの–神–が	神–が	祝福してくださる	実り–を	出した	地–は
H0430	H0430	H1288	H2981	H5414	H0776

地はその産物を出しました。神、われらの神はわれらを祝福されました。

7

אֶרֶץ׃	אַפְסֵי־	כָל־	אֹתוֹ	וְיִירְאוּ	אֱלֹהִים	יְבָרְכֵנוּ
地–の	果て–が	すべての	主–を	畏れるように	神–が	祝福してくださる
H0776		H3605	H0853	H3372	H0430	H1288

神はわれらを祝福されました。地のもろもろのはてにことごとく神を恐れさせてください。

Chapter 68

1

וְיָנוּסוּ	אוֹיְבָיו	יָפוּצוּ	אֱלֹהִים	יָקוּם	שִׁיר׃	מִזְמוֹר	לְדָוִד	לַמְנַצֵּחַ
逃げる	敵–が	散らされる	神–よ	立ち上がってください	講	歌	ダビデ–の	指揮者–に
H5127	H0341		H0430			H4210	H1732	H5329

מְפָנָיו׃	מְשַׂנְאָיו
御前–から	憎む–者–が
H6440	H8130

聖歌隊の指揮者によってうたわせたダビデの歌、さんび 神よ、立ちあがって、その敵を散らし、神を憎む者をみ前から逃げ去らせてください。

2

רְשָׁעִים	יֹאבְדוּ	אֵשׁ	מִפְנֵי־	דּוֹנֵג	כְּהִמַּס	תִּנְדֳּךְ	עָשָׁן	כְּהִנְדֹּף
悪者–は	滅びる	火–の	前–で	ろう–が	溶ける–ように	追い払われる	煙–が	追い払われる–ように
H7563	H0006	H0784	H6440	H1749	H4549	H5086	H6227	H5086

אֱלֹהִים׃	מִפְנֵי
神–の	御前–から
H0430	H6440

煙の追いやられるように彼らを追いやり、ろうの火の前に溶けるように悪しき者を神の前に滅ぼしてください。

3 וְצַדִּיקִים יִשְׂמְחוּ יַעַלְצוּ לִפְנֵי אֱלֹהִים וְיָשִׂישׂוּ בְּשִׂמְחָה׃
しかし-正しい-者-は 喜ぶ 歓喜する 御前-で 神-の 喜び-に-喜ぶ 喜び-で
H6662 H8055 H5970 H6440 H0430 H7797 H8057

しかし正しい者を喜ばせ、神の前に喜び踊らせ、喜び楽しませてください。

4 שִׁירוּ לֵאלֹהִים זַמְּרוּ שֵׂלוּ לָרֹכֵב בָּעֲרָבוֹת בְּיָהּ שְׁמוֹ וְעִלְזוּ לְפָנָיו׃
歌え 神-に ほめ歌え 高めよ 乗り物-を 荒野-を-行く-方-の ヤー-と 御名-は 喜べ 御前-に
H7891 H0430 H2167 H5549 H7392 H6160 H3050 H8034 H5937

神にむかって歌え、そのみ名をほめうたえ。雲に乗られる者にむかって歌声をあげよ。その名は主、そのみ前に喜び踊れ。

5 אֲבִי יְתוֹמִים וְדַיָּן אַלְמָנוֹת אֱלֹהִים בִּמְעוֹן קָדְשׁוֹ׃
父-で-ある 孤児-の さばき主-で-ある やもめ-の 神-は 住まい-に 聖なる
H0001 H3490 H1781 H0490 H0430 H4583 H6944

その聖なるすまいにおられる神はみなしごの父、やもめの保護者である。

6 אֱלֹהִים מוֹשִׁיב יְחִידִים בַּיְתָה מוֹצִיא אֲסִירִים בַּכּוֹשָׁרוֹת אַךְ סוֹרְרִים שָׁכְנוּ צְחִיחָה׃
神-は 住まわせてくださる 孤独な-者-を 家-に 導き出される 囚人-を 繁栄-に しかし 背く-者-は 住む 乾いた-地-に
H0430 H3427 H3173 H3318 H0615 H3574 H0389 H5637 H7931 H6707

神は寄るべなき者に住むべき家を与え、めしゅうどを解いて幸福に導かれる。しかしそむく者はかわいた地に住む。

7 אֱלֹהִים בְּצֵאתְךָ לִפְנֵי עַמֶּךָ בְּצַעְדְּךָ בִּישִׁימוֹן סֶלָה׃
神-よ 出て行かれた-とき 御前-で 民-の 歩まれた-とき 荒野-を セラ
H0430 H3318 H6440 H6805 H3452 H5542

神よ、あなたが民に先だち出て、荒野を進み行かれたとき、[セラ

8 אֶרֶץ רָעָשָׁה אַף־ שָׁמַיִם נָטְפוּ מִפְּנֵי אֱלֹהִים זֶה סִינַי מִפְּנֵי אֱלֹהִים יִשְׂרָאֵל׃
地-は 震えた また 天-も 滴った 御前-で 神-の この シナイ-も 御前-で 神-の イスラエル-の
H0776 H7493 H0637 H8064 H5197 H6440 H0430 H2088 H5514 H6440 H0430 H3478

シナイの主なる神の前に、イスラエルの神なる神の前に、地は震い、天は雨を降らせました。

9 גֶּשֶׁם נְדָבוֹת תָּנִיף אֱלֹהִים נַחֲלָתְךָ וְנִלְאָה אַתָּה כוֹנַנְתָּהּ׃
雨-を 豊かな 降らしてくださった 神-よ 嗣業-が 稼れた-とき あなた-が 固めてくださった
H1653 H5071 H0430 H5159 H3811

神よ、あなたは豊かな雨を降らせて、疲れ衰えたあなたの嗣業の地を回復され、

10 חַיָּתְךָ יָשְׁבוּ־ בָּהּ תָּכִין בְּטוּבָתְךָ לֶעָנִי אֱלֹהִים׃
群れ-が 住んだ その-中-に 備えてくださった 恵み-で 貧しい-者-の-ために 神-よ
H2416 H3427 H2896 H2898 H6041 H0430

あなたの群れは、そのうちにすまいを得ました。神よ、あなたは恵みをもって貧しい者のために備えられました。

11 אֲדֹנָי יִתֶּן־אֹמֶר הַמְבַשְּׂרוֹת צָבָא רָב׃
主–は 与えられる 言葉–を 告げる–女たち–は 軍勢–が 多い
H0136 H5414 H0562 H1319

主は命令を下される。おとずれを携えた女たちの大いなる群れは言う、

12 מַלְכֵי צְבָאוֹת יִדֹּדוּן יִדֹּדוּן וְנוַת בַּיִת תְּחַלֵּק שָׁלָל׃
王たち–は 軍勢–の 逃げる 逃げる 家–に–残る–女–は 家–の 分ける 戦利品–を
H4428 H5074 H5074 H7998

「もろもろの軍勢の王たちは逃げ去り、逃げ去った」と。家にとどまる女たちは獲物を分ける、

13 אִם־תִּשְׁכְּבוּן בֵּין שִׁפְתָּיִם כַּנְפֵי יוֹנָה נֶחְפָּה בַכֶּסֶף וְאֶבְרוֹתֶיהָ בִּירַקְרַק חָרוּץ׃
もし 伏すなら 間–に 石–の 翼–は 鳩–の 覆われている 銀–で 羽–は 黄金色–の 金–で
H7901 H0996 H7193 H3671 H3123 H2645 H3701 H0084 H3422 H2742

たとい彼らは羊のおりの中にとどまるとも。はとの翼は、しろがねをもっておおわれ、その羽はきらめくこがねをもっておおわれる。

14 בְּפָרֵשׂ שַׁדַּי מְלָכִים בָּהּ תַּשְׁלֶג בְּצַלְמוֹן׃
全能者–が 散らされた–とき 王たち–を そこ–で 雪–が–降った ツァルモン–に
H7706 H6566 H4428 H7949

全能者がかしこで王たちを散らされたとき、ザルモンに雪が降った。

15 הַר־אֱלֹהִים הַר־הַר גַּבְנֻנִּים הַר־הַר בָּשָׁן הַר־הַר גַּבְנֻנִּים הַר־הַר בָּשָׁן׃
山–は 神–の 山–は 峰々–の 山–は バシャン–の 山–は 峰々–の 山–は バシャン–の
H2022 H0430 H2022 H1386 H2022 H1316 H2022 H1386 H2022 H1316

神の山、バシャンの山、峰かさなる山、バシャンの山よ。

16 וְלָמָּה תְּרַצְּדוּן הָרִים גַּבְנֻנִּים הָהָר חָמַד אֱלֹהִים לְשִׁבְתּוֹ אַף־יְהוָה יִשְׁכֹּן לָנֶצַח׃
なぜ ねたむのか 山々–よ 峰々–の 山–を 望まれた 神–が 住まい–に まことに 主–は 住まわれる 永遠–に
H4100 H7520 H2022 H1386 H2022 H2530 H0430 H3427 H0637 H3068 H7931 H5331

峰かさなるもろもろの山よ、何ゆえ神がすまいにと望まれた山をねたみ見るのか。まことに主はとこしえにそこに住まわれる。

17 רֶכֶב אֱלֹהִים רִבֹּתַיִם אַלְפֵי שִׁנְאָן אֲדֹנָי בָּם סִינָי בַּקֹּדֶשׁ׃
戦車–は 神–の 幾万 幾千–もの 輝き 主–は その–中–に シナイ–の 聖所–に
H7393 H0430 H7239 H0505 H8136 H0136 H0369 H5514 H6944

主は神のいくさ車幾千万をもって、シナイから聖所に来られた。

18 עָלִיתָ לַמָּרוֹם שָׁבִיתָ שֶּׁבִי לָקַחְתָּ מַתָּנוֹת בָּאָדָם וְאַף סֹרְרִים לִשְׁכֹּן יָהּ אֱלֹהִים׃
上られた 高み–に 捕らえられた 捕虜–を 受け取られた 贈り物–を 人々–の–中–で また 背く–者たち–も 住まわせる–ために ヤー 神–よ
H5927 H4791 H7617 H7628 H3947 H4979 H0120 H0637 H5637 H7931 H3050 H0430

あなたはとりこを率い、人々のうちから、またそむく者のうちから贈り物をうけて、高い山に登られた。主なる神がそこに住まわれるためである。

19 בָּרוּךְ אֲדֹנָי יוֹם יוֹם יַעֲמָס־לָנוּ הָאֵל יְשׁוּעָתֵנוּ סֶלָה׃
ほむべきかな 主-よ 日-ごと 日-ごと 担ってくださる われら-を 神-は われらの-救い セラ
H1288 H0136 H3117 H3117 H6006 H0410 H3444 H5542

日々にわれらの荷を負われる主はほむべきかな。神はわれらの救である。[セラ

20 וְהָאֵל לָנוּ לָאֵל מוֹשָׁעוֹת וְלַיהוִה אֲדֹנָי לַמָּוֶת תּוֹצָאוֹת׃
神-は われら-に 救い-の 主-に 主-よ 死-からの 脱出-が-ある
H0410 H0136 H4190 H3069 H0136 H4194 H8444

われらの神は救の神である。死からのがれ得るのは主なる神による。

21 אַךְ־אֱלֹהִים יִמְחַץ רֹאשׁ אֹיְבָיו קָדְקֹד שֵׂעָר מִתְהַלֵּךְ בַּאֲשָׁמָיו׃
まことに 神-は 砕かれる 頭-を 敵-の 頭頂-を 髪-の 歩く-者-の 咎-の-中-を
H0389 H0430 H4272 H7218 H0341 H6936 H8181 H1980 H0817

神はその敵のこうべを打ち砕き、おのがとがの中に歩む者の毛深い頭のいただきを打ち砕かれる。

22 אָמַר אֲדֹנָי מִבָּשָׁן אָשִׁיב אָשִׁיב מִמְצֻלוֹת יָם׃
言われた 主-は 踏みつけるため バシャン-から 帰らせる 帰らせる 深み-から 海-の
H0559 H0136 H1316 H7725 H7725 H4688 H3220

主は言われた、「わたしはバシャンから彼らを携え帰り、海の深い所から彼らを携え帰る。

23 וְלִמַּעַן תִּמְחַץ רַגְלְךָ בְּדָם לְשׁוֹן כְּלָבֶיךָ מֵאֹיְבִים מָנָהוּ׃
踏みつけるため 打ち砕く 足-が 血-に 舌-が 犬-の 敵-から 分け前-を
H4616 H4272 H7272 H1818 H3956 H3611 H0341

あなたはその足を彼らの血に浸し、あなたの犬の舌はその分け前を敵から得るであろう」と。

24 רָאוּ הֲלִיכוֹתֶיךָ אֱלֹהִים הֲלִיכוֹת אֵלִי מַלְכִּי בַקֹּדֶשׁ׃
見た 行列-を 神-よ 行列-を わが-神 わが-王-の 聖所-へ-の
H7200 H1979 H0430 H1979 H0410 H4428 H6944

神よ、人々はあなたのこうごうしい行列を見た。わが神、わが王の、聖所に進み行かれるのを見た。

25 קָדְמוּ שָׂרִים אַחַר נֹגְנִים בְּתוֹךְ עֲלָמוֹת תֻּפֵּפוֹת׃
前-に 歌い-手-が 後-に 弾き-手-が 中-に 乙女-たち-が 鼓-を-打つ
H6923 H7891 H0310 H5059 H8432 H5959 H8608

歌う者は前に行き、琴をひく者はあとになり、おとめらはその間にあって手鼓を打って言う、

26 בְּמַקְהֲלוֹת בָּרְכוּ אֱלֹהִים יְהוָה מִמְקוֹר יִשְׂרָאֵל׃
集会-に-おいて たたえよ 神-を 主-を 泉-から イスラエル-の
H4721 H1288 H0430 H3068 H4726 H3478

「大いなる集会で神をほめよ。イスラエルの源から出た者よ、主をほめまつれ」と。

27 שָׁם בִּנְיָמִן צָעִיר רֹדֵם שָׂרֵי יְהוּדָה רִגְמָתָם שָׂרֵי זְבוּלוּן
そこ-に ベニヤミン-が 若き 導く-者 首領-が ユダ-の 一団-が 首領-が ゼブルン-の
H8033 H1144 H6810 H7287 H8269 H3063 H7277 H8269 H2074

שָׂרֵי נַפְתָּלִי׃
首領-が ナフタリ-の
H8269 H5321

そこに彼らを導く年若いベニヤミンがおり、その群れの中にユダの君たちがおり、ゼブルンの君たち、ナフタリの君たちがいる。

28	צַוָּה	אֱלֹהֶיךָ	עֻזָּךְ		עוּזָּה	אֱלֹהִים	זֹּו	פָּעַלְתָּ
	命じてください	神-よ	力-を		力-を-示してください	神-よ	これ-を	行われた
	H6680	H0430	H5797		H5810	H0430	H2098	H6466

לָנוּ׃
われら-の-ために

神よ、あなたの大能を奮い起してください。われらのために事をなされた神よ、あなたの力をお示しください。

29	מֵֽהֵיכָלְךָ֥	עַל־	יְרוּשָׁלִָ֗ם	לְךָ֥	יוֹבִ֫ילוּ	מְלָכִ֥ים	שֵׁ֜י׃
	宮-から	—	エルサレム-の-上-の	あなた-に	携える	王たち-が	贈り物-を
	H1964		H3389		H2986	H4428	H7862

エルサレムにあるあなたの宮のために、王たちはあなたに贈り物をささげるでしょう。

30	גְּעַ֤ר	חַ֖יַּת	קָנֶ֣ה	עֲדַ֣ת	אֲבִירִ֑ים	בְּעֻגְלֵ֥י	עַמִּ֗ים	מִתְרַפֵּ֥ס
	叱ってください	獣-を	葦-の	群れ-を	雄牛-の	子牛たち-と-共に	民-の	ひれ伏す-者-は
	H1605		H7070		H0047	H5695		H7511

בְּרַצֵּי־	כֶ֭סֶף	בְּז֣וֹר	עַמִּ֑ים	קְרָב֥וֹת	יֶחְפָּ֝צוּ׃	
銀-の-塗り物-を-持ちて	—	散らしてください	民-を	戦い-を	好む	
H7518	H3701	H0967		H7128		

葦の中に住む獣、もろもろの民の子牛を率いる雄牛の群れをいましめてください。みつぎ物をむさぼる者たちを足の下に踏みつけ、戦いを好むもろもろの民を散らしてください。

31	יֵֽאֲתָ֣יוּ	חַשְׁמַנִּ֑ים	מִנִּ֥י	מִצְרַ֗יִם	כּ֭וּשׁ	תָּרִ֣יץ	יָדָ֑יו	לֵאלֹהִֽים׃
	来る	貴人-が	から	エジプト-から	クシュ-は	急ぎ-伸べる	手-を	神-に
	H0857	H2831		H4714		H7323	H3027	H0430

青銅をエジプトから持ちきたらせ、エチオピヤには急いでその手を神に伸べさせてください。

32	מַמְלְכ֣וֹת	הָ֭אָרֶץ	שִׁ֣ירוּ	לֵאלֹהִ֑ים	זַמְּר֖וּ	אֲדֹנָ֗י	סֶּֽלָה׃	
	王国-よ	地-の	歌え	神-に	ほめ歌え	主-に	セラ	
	H4467	H0776	H7891	H0430	H2167	H0136	H5542	

地のもろもろの国よ、神にむかって歌え、主をほめうたえ。[セラ

33	לָ֭רֹכֵב	בִּשְׁמֵ֣י	שְׁמֵי־	קֶ֑דֶם	הֵ֤ן	יִתֵּ֖ן	בְּקוֹלוֹ	קוֹל֣	עֹֽז׃
	乗る-方-に	天-の	天-の	太古-の	見よ	発せられる	声-で	声-を	力-の
	H7392	H8064	H8064		H2005	H5414			H5797

いにしえからの天の天に乗られる主にむかってほめうたえ。見よ、主はみ声を出し、力あるみ声を出される。

34	תְּנ֣וּ	עֹ֭ז	לֵאלֹהִ֑ים	עַל־	יִשְׂרָאֵ֗ל	גַּאֲוָתוֹ֥	וְעֻזּ֖וֹ	בַּשְּׁחָקִֽים׃
	帰せよ	力-を	神-に	—	イスラエル-の-上-に	威光-が-あり	力-は	雲-の-中-に
	H5414	H5797	H0430		H3478	H1346	H5797	H7834

力を神に帰せよ。その威光はイスラエルの上にあり、その力は雲の中にある。

35	נ֣וֹרָא	אֱלֹהִ֣ים	מִמִּקְדָּשֶׁ֑יךָ	אֵ֥ל	יִשְׂרָאֵ֗ל	הֽוּא	נֹתֵ֣ן	עֹ֭ז
	畏るべき-かな	神-は	聖所-から	神-は	イスラエル-の	主-は	与えてくださる	力-を
	H3372	H0430	H4720	H0410	H3478	H1931	H5414	H5797

וְתַעֲצֻמ֥וֹת	לָ֝עָ֗ם	בָּר֣וּךְ	אֱלֹהִֽים׃	
力強き-わざ-を	民-に	ほむべきかな	神-は	
H8592		H1288	H0430	

神はその聖所で恐るべく、イスラエルの神はその民に力と勢いとを与えられる。神はほむべきかな。

Chapter 69

1 לַמְנַצֵּחַ עַל־ שֹׁשַׁנִּים לְדָוִד׃ הוֹשִׁיעֵנִי אֱלֹהִים כִּי בָאוּ
指揮者–に — ゆり–の–調べ–で ダビデ–の 救ってください 神–よ なぜなら 入ってきた
H5329 H0413 H7799 H1732 H3467 H0430 H3588 H0935

מַיִם עַד־ נָפֶשׁ׃
水–が まで 魂–に
H4325 H5704 H5315

聖歌隊の指揮者によってゆりの花のしらべにあわせてうたわせたダビデの歌 神よ、わたしをお救いください。大水が流れ来て、わたしの首にまで達しました。

2 וְטָבַעְתִּי בִּיוֵן מְצוּלָה וְאֵין מָעֳמָד בָּאתִי בְמַעֲמַקֵּי־ מַיִם וְשִׁבֹּלֶת שִׁטָּפָתְנִי׃
沈んだ 泥–の 深み–に ない 足場–が 入った 深み–に 水–の 流れ–が 押し流した
H2883 H3121 H4688 H0369 H4613 H0935 H4615 H4325 H7857

わたしは足がかりもない深い泥の中に沈みました。わたしは深い水に陥り、大水がわたしの上を流れ過ぎました。

3 יָגַעְתִּי בְקָרְאִי נִחַר גְּרוֹנִי כָּלוּ עֵינַי מְיַחֵל לֵאלֹהָי׃
疲れた 叫び–で かれた のど–が 尽きた 目–が 待ち望んで 神–を
H3021 H7121 H2787 H1627 H3615 H5869 H3176 H0430

わたしは叫びによって疲れ、わたしののどはかわき、わたしの目は神を待ちわびて衰えました。

4 רַבּוּ מִשַּׂעֲרוֹת רֹאשִׁי שֹׂנְאַי חִנָּם עָצְמוּ מַצְמִיתַי אֹיְבַי שֶׁקֶר
多い 髪–より 頭–の 憎む–者–は 理由なく 強い 滅ぼそうとする–者–は 敵–は 偶り–の
H7231 H8185 H7218 H8130 H2600 H6105 H6789 H0341 H8267

אָז לֹא־ גָזַלְתִּי אָשִׁיב׃
その時 — 盗まなかった もの–を 返す
H1497 H3808 H0834 H7725

ゆえなく、わたしを憎む者はわたしの頭の毛よりも多く、偽ってわたしの敵となり、わたしを滅ぼそうとする者は強いのです。わたしは盗まなかった物をも償わなければならないのですか。

5 אֱלֹהִים אַתָּה יָדַעְתָּ לְאִוַּלְתִּי וְאַשְׁמוֹתַי מִמְּךָ לֹא־ נִכְחָדוּ׃
神–よ あなた–は 知っておられる 愚かさ–を 咎–は あなた–から 決して 隠れていない
H0430 H0859 H3045 H0200 H0819 H4480 H3808 H3582

神よ、あなたはわたしの愚かなことを知っておられます。わたしのもろもろのとがはあなたに隠れることはありません。

6 אַל־ יֵבֹשׁוּ בִי קֹוֶיךָ אֲדֹנָי יְהוִה צְבָאוֹת אַל־
決して 恥ずかしめないでください 私によって 待ち望む者–を 主–よ 主–なる 万軍–の 決して
H0408 H0954 H0871 H6960 H0136 H3069 H6635 H0408

יִכָּלְמוּ בִי מְבַקְשֶׁיךָ אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל׃
辱めないでください 私によって 求める者–を 神–よ イスラエル–の
H3637 H0871 H1245 H0430 H3478

万軍の神、主よ、あなたを待ち望む者がわたしの事によって、はずかしめられることのないようにしてください。イスラエルの神よ、あなたを求める者がわたしの事によって、恥を負わせられることのないようにしてください。

7 כִּי־ עָלֶיךָ נָשָׂאתִי חֶרְפָּה כִּסְּתָה כְלִמָּה פָּנָי׃
なぜなら あなたのために 負った そしり–を 覆った 恥–が 顔–を
H3588 H5375 H2781 H3680 H3639 H6440

わたしはあなたのためにそしりを負い、恥がわたしの顔をおおったのです。

8 מוּזָ֥ר הָיִ֗יתִי לְאֶחָ֫י וְנָכְרִ֥י לִבְנֵי־אִמִּֽי׃
よそ者-に なった 兄弟-に 異邦人-に 子ら-に 母-の
H1961 H0251 H5237 H0517

わたしはわが兄弟には、知らぬ者となり、わが母の子らには、のけ者となりました。

9 כִּֽי־קִנְאַ֣ת בֵּיתְךָ֣ אֲכָלָ֑תְנִי וְחֶרְפּ֖וֹת חוֹרְפֶ֣יךָ נָפְל֖וּ עָלָֽי׃
熱心-が 家-の 食い尽くした そしり-が そしる者-の 降りかかった 私-に
H7068 H0398 H2781 H5315

あなたの家を思う熱心がわたしを食いつくし、あなたをそしる者のそしりがわたしに及んだからです。

10 וָאֶבְכֶּ֣ה בַצּ֣וֹם נַפְשִׁ֑י וַתְּהִי֖ לַחֲרָפ֣וֹת לִֽי׃
泣いた 断食-で 魂-を なった そしり-と 私-に
H1058 H6685 H5315 H1961 H2781

わたしが断食をもってわたしの魂を悩ませば、かえってそれによってそしりをうけました。

11 וָאֶתְּנָ֣ה לְבוּשִׁ֣י שָׂ֑ק וָאֱהִ֖י לָהֶ֣ם לְמָשָׁ֣ל׃
着た 衣として 荒布-を なった 彼ら-に 笑い草-に
H5414 H3830 H8242 H1961 H1992 H4912

わたしが荒布を衣とすれば、かえって彼らのことわざとなりました。

12 יָשִׂ֣יחוּ בִ֑י יֹשְׁבֵ֖י שָׁ֣עַר וְנִגְּינ֖וֹת שׁוֹתֵ֣י שֵׁכָֽר׃
話す 私のことを 座る者-が 門-に 歌となる 飲む者-の 酒-を
H7878 H0589 H3427 H8179 H5058 H8354 H7941

わたしは門に座する者の話題となり、酔いどれの歌となりました。

13 וַאֲנִ֤י תְפִלָּתִי־לְךָ֣ יְ֭הוָה עֵ֣ת רָצ֑וֹן אֱלֹהִ֥ים בְּרָב־חַ֝סְדֶּ֗ךָ עֲנֵ֥נִי בֶּֽאֱמֶת־יִשְׁעֶֽךָ׃
しかし私は 祈り-を あなた-に 主-よ 時-に 恵み-の 神-よ 豊かな 恵み-で 答えてください 救い-の 真実-で
H0589 H8605 H0589 H3068 H6256 H7522 H0430 H7230 H2603 H6030 H3468 H0571

しかし主よ、わたしはあなたに祈ります。神よ、恵みの時に、あなたのいつくしみの豊かなるにより、わたしにお答えください。

14 הַצִּילֵ֥נִי מִטִּ֑יט וְאַל־אֶ֝טְבָּ֗עָה אִנָּצְלָ֥ה מִשֹּׂנְאַ֑י וּ֝מִמְּעַמְקֵי־מָֽיִם׃
救い出してください 泥-から 沈まないように — 救われますように 憎む者-から 深み-から 水-の
H5337 H2916 H0408 H2883 H5337 H8130 H4615 H4325

あなたのまことの救により、わたしを泥の中に沈まぬよう助け出してください。わたしを憎む者から、また深い水からわたしを助け出してください。

15 אַל־תִּשְׁטְפֵ֣נִי שִׁבֹּ֣לֶת מַ֭יִם וְאַל־תִּבְלָעֵ֣נִי מְצוּלָ֑ה וְאַל־תֶּאְטַר־עָלַ֖י בְּאֵ֣ר פִּֽיהָ׃
決して 押し流さないでください 流れ-が 水-の 飲み込まないでください — 深み-が 閉じないでください 私の上に 井戸-が 口-を
H0408 H7857 H7857 H4325 H0408 H1104 H4688 H0408 H0332 H0875 H6310

大水がわたしの上を流れ過ぎることなく、淵がわたしをのむことなく、穴がその口をわたしの上に閉じることのないようにしてください。

16 עֲנֵנִי יְהוָה כִּי־ טוֹב חַסְדֶּךָ כְּרֹב רַחֲמֶיךָ פְּנֵה
答えてください 主-よ 良いから 一 恵み-は 豊かな あわれみに応じて 振り向いてください
H6437 H7230

אֵלָי׃
私-に
H0413

主よ、あなたのいつくしみの深きにより、わたしにお答えください。あなたのあわれみの豊かなるにより、わたしを顧みてください。

17 וְאַל־ תַּסְתֵּר פָּנֶיךָ מֵעַבְדֶּךָ כִּי־ צַר־ לִי מַהֵר
決して 隠さないでください 御顔-を しもべ-から なぜなら 苦しい 私-は 急いで
H0408 H5641 H6440 H5650

עֲנֵנִי׃
答えてください

あなたの顔をしもべに隠さないでください。わたしは悩んでいるのです。すみやかにわたしにお答えください。

18 קָרְבָה אֶל־ נַפְשִׁי גְּאָלֶהָ לְמַעַן אֹיְבַי פְּדֵנִי׃
近づいてください 一 魂-に 贖ってください 敵のために 一 解き放ってください
H7126 H0413 H5315 H0341 H4616 H6299

わたしに近く寄って、わたしをあがない、わが敵のゆえにわたしをお救いください。

19 אַתָּה יָדַעְתָּ חֶרְפָּתִי וּבָשְׁתִּי וְכִלְמָתִי כָּל־ נֶגְדֶּךָ צוֹרְרָי׃
あなたは 知っている 私の-恥辱を 私の-恥ずかしさと 私の-辱めを あなたの-前に すべての 私の-敵が-いる
H3045 H2781 H1322 H3639 H5048 H3605

あなたはわたしの受けるそしりと、恥と、はずかしめとを知っておられます。わたしのあだは皆あなたの前にあります。

20 וְחֶרְפָּה שֶׁבְרָה לִבִּי וָאָנוּשָׁה וָאֲקַוֶּה לָנוּד וָאַיִן וְלַמְנַחֲמִים וְלֹא מָצָאתִי׃
恥辱が 砕いた 私の-心を 私は-弱り果てた 私は-待ち望んだ 同情する-者を しかし-いなかった 慰める-者たちを しかし 見つけなかった
H2781 H7665 H3820 H5136 H6960 H5110 H0369 H5162 H3808 H4672

そしりがわたしの心を砕いたので、わたしは望みを失いました。わたしは同情する者を求めたけれども、ひとりもなく、慰める者を求めたけれども、ひとりも見ませんでした。

21 וַיִּתְּנוּ בְּבָרוּתִי רֹאשׁ וְלִצְמָאִי יַשְׁקוּנִי חֹמֶץ׃
彼らは-与えた 私の-食物に 毒草を 私の-渇きに 飲ませた 酢を
H5414 H1267 H7219 H6772 H8248 H2558

彼らはわたしの食物に毒を入れ、わたしのかわいた時に酢を飲ませました。

22 יְהִי־ שֻׁלְחָנָם לִפְנֵיהֶם לְפָח וְלִשְׁלוֹמִים לְמוֹקֵשׁ׃
なれ 彼らの-食卓は 彼らの-前で 罠と 安らぎの-ための-者たちへの わなと
H1961 H7979 H6440 H6658 H7965 H4170

彼らの前の食卓を網とし、彼らが犠牲をささげる祭を、わなとしてください。

תֵּחְשַׁכְנָה	עֵינֵיהֶם	מֵרְאוֹת	וּמָתְנֵיהֶם	תָּמִיד	הַמְעַד׃	23
暗くなれ	彼らの–目は	見えなく–なるように	彼らの–腰を	絶えず	よろめかせよ	
H2821		H7200	H4975	H8548	H4571	

彼らの目を暗くして見えなくし、彼らの腰を常に震わせ、

שְׁפָךְ־	עֲלֵיהֶם	זַעְמֶךָ	וַחֲרוֹן	אַפְּךָ	יַשִּׂגֵם׃	24
注げ	彼らの–上に	あなたの–憤りを	あなたの–燃える	怒りが	彼らを–捕らえよ	
H8210		H2195	H2740	H0639	H5381	

あなたの憤りを彼らの上にそそぎ、あなたの激しい怒りを彼らに追いつかせてください。

תְּהִי־	טִירָתָם	נְשַׁמָּה	בְּאָהֳלֵיהֶם	אַל־	יְהִי	יוֹשֵׁב׃	25
なれ	彼らの–宿営は	荒れ果て	彼らの–天幕には	だれも	いる–者が	いないように	
H1961	H2918	H8074	H0168	H0408	H1961	H3427	

彼らの宿営を荒し、ひとりもその天幕に住まわせないでください。

כִּי־	אַתָּה	אֲשֶׁר־	הִכִּיתָ	רָדָפוּ	וְאֶל־	מַכְאוֹב	26
なぜなら	あなたが	その	打った–者を	彼らは–追い回し	そして	痛みについて	
H5221			H7291	H0413	H4341		

חֲלָלֶיךָ	יְסַפֵּרוּ׃
あなたに–刺された–者たちの	語り合う

彼らはあなたが撃たれた者を迫害し、あなたが傷つけられた者をさらに苦しめるからです。

תֹּסֶף־	עָוֹן	עַל־	עֲוֹנָם	אַל־	וְאַל־	יָבֹאוּ	בְּצִדְקָתֶךָ׃	27
加えよ	咎を	その	咎の–上に	入らせるな	だれも	彼らを	あなたの–義の–中に	
H5414	H5771		H5771	H0408	H0408	H0935	H6666	

彼らに、罰に罰を加え、あなたの赦免にあずからせないでください。

יִמָּחוּ	מִסֵּפֶר	חַיִּים	וְעִם	צַדִּיקִים	אַל־	יִכָּתְבוּ׃	28
消し去られよ	いのちの–書から	いのちの	そして	正しい–者たちと–ともに	書き記されるな	彼らが	
				H6662	H0408	H3789	

彼らをいのちの書から消し去って、義人のうちに記録されることのないようにしてください。

וַאֲנִי	עָנִי	וְכוֹאֵב	יְשׁוּעָתְךָ	אֱלֹהִים	תְּשַׂגְּבֵנִי׃	29
しかし–私は	苦しみ	痛む–者である	あなたの–救いが	神よ	私を–高く–守ってください	
H0589	H6041	H3510	H3444	H0430	H7682	

しかしわたしは悩み苦しんでいます。神よ、あなたの救がわたしを高い所に置かれますように。

אֲהַלְלָה	שֵׁם־	אֱלֹהִים	בְּשִׁיר	וַאֲגַדְּלֶנּוּ	בְּתוֹדָה׃	30
私は–ほめたたえよう	御名を	神の	歌をもって	私は–あがめよう–それを	感謝をもって	
	H8034	H0430		H1431	H8426	

わたしは歌をもって神の名をほめたたえ、感謝をもって神をあがめます。

וְתִיטַב	לַיהוָה	מִשּׁוֹר	פָּר	מַקְרִן	מַפְרִיס׃	31
そしてこれは–喜ばれる	主に	雄牛よりも	牡牛よりも	角の–ある	ひづめの–ある	
H3190	H3068	H7794	H6499	H7160	H6536	

これは雄牛または角とひずめのある雄牛にまさって主を喜ばせるでしょう。

רָאוּ	עֲנָוִים	יִשְׂמְחוּ	דֹּרְשֵׁי	אֱלֹהִים	וִיחִי	לְבַבְכֶם׃	32
見よ	へりくだる–者たちよ	喜べ	神を–求める–者たちよ	神を	生きよ	あなたがたの–心よ	
H7200	H6035	H8055	H1875	H0430	H2421	H3824	

へりくだる者は、これを見て喜べ。神を求める者よ、あなたがたの心を生きかえらせよ。

33 כִּי־ שֹׁמֵעַ אֶל־ אֶבְיוֹנִים יְהוָה וְאֶת־ אֲסִירָיו לֹא
なぜなら 聞いておられる その 貧しい-者たちの-声を 主は そして ご自分の-囚人たちを 決して
H3808 H0615 H0853 H3068 H0034 H0413 H8085 H0959

בָזָה׃
蔑まなかった

主は乏しい者に聞き、その捕われ人をかろしめられないからである。

34 יְהַלְלוּהוּ שָׁמַיִם וָאָרֶץ יַמִּים וְכָל־ רֹמֵשׂ בָּם׃
ほめたたえよ-主を 天と 地とよ 海と そして-すべての 動く-ものよ そこに-ある
H8064 H0776 H3220 H3605 H7430

天と地は主をほめたたえ、海とその中に動くあらゆるものは主をほめたたえよ。

35 כִּי אֱלֹהִים יוֹשִׁיעַ צִיּוֹן וְיִבְנֶה עָרֵי יְהוּדָה וְיָשְׁבוּ
なぜなら 神は 救われる シオンを そして-建てられる 町々を ユダの そして人々は-住み
H0430 H3467 H6726 H1129 H3063 H3427

שָׁם וִירֵשׁוּהָ׃
そこに それを-所有する
H8033 H3423

神はシオンを救い、ユダの町々を建て直されるからである。そのしもべらはそこに住んでこれを所有し、

36 וְזֶרַע עַבְדָיו נְחָלָהּ וְאֹהֲבֵי שְׁמוֹ
そして子孫が 主の-しもべたちの それを-受け継ぎ そして-御名を-愛する-者たちが 主の-名を
H2233 H5650 H5157 H0157 H8034

יִשְׁכְּנוּ־ בָהּ׃
そこに-住む その-中に
H7931

そのしもべらの子孫はこれを継ぎ、み名を愛する者はその中に住むであろう。

Chapter 70

1 לַמְנַצֵּחַ לְדָוִד לְהַזְכִּיר׃ אֱלֹהִים לְהַצִּילֵנִי יְהוָה
指揮者の-ために ダビデの 記念の-ために 神よ 私を-救い-出してください 主よ
H5329 H1732 H2142 H0430 H5337 H3068

לְעֶזְרָתִי חוּשָׁה׃
私を-助ける-ために 急いで-ください
H5833

聖歌隊の指揮者によってうたわせたダビデの記念の歌 神よ、みこころならばわたしをお救いください。主よ、すみやかにわたしをお助けください。

2 יֵבֹשׁוּ וַיַּחְפְּרוּ מְבַקְשֵׁי נַפְשִׁי יִסֹּגוּ אָחוֹר וְיִכָּלְמוּ
恥を-受けよ 辱められよ 私の-いのちを-求める 者たちよ 退けられよ 後ろに 恥じ入れ
H0954 H2659 H1245 H5315 H5472 H0268 H3637

חֲפֵצֵי רָעָתִי׃
望む-者たちよ 私の-災いを
H2655

わたしのいのちをたずね求める者どもを恥じあわてさせてください。わたしのそこなわれることを願う者どもをうしろに退かせ、恥を負わせてください。

יָשׁוּבוּ	עַל־	עֵקֶב	בָּשְׁתָּם	הָאֹמְרִים	וְהֶאָח	וְהֶאָח׃	3
その	報いとして	彼らの–恥の	言う–者たちよ	あはは	あはは		
H7725	H6118	H1322	H0559	H1889	H1889		

「あはぁ、あはぁ」と言う者どもを自分の恥によって恐れおののかせてください。

תָּמִיד	וְיֹאמְרוּ	מְבַקְשֶׁיךָ	כָּל־	בְּךָ	וְיִשְׂמְחוּ	יָשִׂישׂוּ	4
いつも	そして言え	あなたを–求める–者たちよ	すべての	あなたの–うちに	楽しめ	喜べ	
H8548	H0559	H1245	H3605		H8055	H7797	

יְשׁוּעָתֶךָ׃	אֹהֲבֵי	אֱלֹהִים	יִגְדַּל	
あなたの–救いを	愛する–者たちよ	神は	大いなるかな	
H3444	H0157	H0430	H1431	

すべてあなたを尋ね求める者はあなたによって喜び楽しむように。あなたの救を愛する者はつねに「神は大いなるかな」ととなえるように。

עֶזְרִי	לִי	חוּשָׁה־	אֱלֹהִים	וְאֶבְיוֹן	עָנִי	וַאֲנִי	5
私の–助けよ	私の–ところに	急いで–ください	神よ	貧しい–者である	苦しく	しかし–私は	
H5828			H0430	H0034	H6041	H0589	

תְּאַחַר׃	אַל־	יְהוָה	אַתָּה	וּמְפַלְטִי	
ください	遅れ–ないで	主よ	あなたは	私の–救い主よ	
H0309	H0408	H3068		H6403	

しかし、わたしは貧しく、かつ乏しい。神よ、急いでわたしに来てください。あなたはわが助け、わが救主です。主よ、ためらわないでください。

Chapter 71

לְעוֹלָם׃	אֵבוֹשָׁה	אַל־	חָסִיתִי	יְהוָה	בְּךָ־	1
永遠に	恥を–受けさせないで–ください	決して	私は–身を–避ける	主よ	あなたの–うちに	
H5769	H0954	H0408	H2620	H3068		

主よ、わたしはあなたに寄り頼む。とこしえにわたしをはずかしめないでください。

אֵלַי	הַטָּה־	וְתַפַלְּטֵנִי	תַצִּילֵנִי	בְּצִדְקָתְךָ	2
私に	傾けて–ください	私を–逃れさせてください	私を–救い–出してください	あなたの–義によって	
H0413	H5186	H6403	H5337	H6666	

וְהוֹשִׁיעֵנִי׃	אָזְנְךָ	
私を–救ってください	あなたの–耳を	
H3467	H0241	

あなたの義をもってわたしを助け、わたしを救い出してください。あなたの耳を傾けて、わたしをお救いください。

צִוִּיתָ	תָּמִיד	לָבוֹא	מָעוֹן	לְצוּר	וְלִי	הֱיֵה	3
命じて–ください	いつも	入る–ための	住まいと	岩の–ような	私にとって	なってください	
H6680	H8548	H0935	H4583	H6697		H1961	

אָתָּה׃	וּמְצוּדָתִי	סַלְעִי	כִּי־	לְהוֹשִׁיעֵנִי	
あなたである	私の–要塞とは	私の–岩と	なぜなら	私を–救う–ことを	
		H5553		H3467	

わたしのためにのがれの岩となり、わたしを救う堅固な城となってください。あなたはわが岩、わが城だからです。

	מְעַוָּל	מִכַּף	רָשָׁע	מִיַּד	פַּלְּטֵנִי	אֱלֹהַי	4
	不正な–者の	の–掌から	悪しき–者の	の–手から	私を–逃れさせてください	私の–神よ	
	H5765	H3709	H7563	H3027	H6403	H0430	

וְחוֹמֵץ׃
等と–残忍な–者の

わが神よ、悪しき者の手からわたしを救い、不義、残忍な人の支配から、わたしを救い出してください。

מִנְּעוּרָי׃	מִבְטַחִי	יְהוִה	אֲדֹנָי	תִּקְוָתִי	אַתָּה	כִּי־	5
私の–若い–時から	私の–信頼である	主よ	主よ	私の–望みである	あなたは	なぜなら	
	H4009	H3069	H0136				

主なる神よ、あなたはわたしの若い時からのわたしの望み、わたしの頼みです。

גּוֹזִי	אַתָּה	אִמִּי	מִמְּעֵי	מִבֶּטֶן	נִסְמַכְתִּי	עָלֶיךָ	6
私を–取り–上げた–方	あなたが	私の–母の	母の–胎内から	胎から	支えられてきた	あなたに	
H1491		H0517	H4578	H0990	H5564		

תָּמִיד׃	תְּהִלָּתִי	בְּךָ
いつも	私の–賛美が–ある	あなたの–うちに
H8548	H8416	

わたしは生れるときからあなたに寄り頼みました。あなたはわたしを母の胎から取り出されたかたです。わたしは常にあなたをほめたたえます。

עֹז׃	מַחֲסִי־	וְאַתָּה	לְרַבִּים	הָיֵיתִי	כְּמוֹפֵת	7
力の	私の–避け–所である	しかし–あなたは	多くの–人にとって	私は–なった	驚きの–しるしの–ように	
H5797	H4268			H1961	H4159	

わたしは多くの人に怪しまれるような者となりました。しかしあなたはわたしの堅固な避け所です。

תִּפְאַרְתֶּךָ׃	הַיּוֹם	כָּל־	תְּהִלָּתֶךָ	פִּי	יִמָּלֵא	8
あなたの–輝きで	その	一日–中	あなたへの–賛美で	私の–口は	満たされる	
H8597	H3117	H3605	H8416	H6310	H4390	

わたしの口はひねもす、あなたをたたえるさんびと、頌栄とをもって満たされています。

אַל־	כֹּחִי	כִּכְלוֹת	זִקְנָה	לְעֵת	תַּשְׁלִיכֵנִי	אַל־	9
見捨てないで–ください	私の–力が	尽きる–時に	老いの	の–時に	私を	捨てないで–ください	
H0408		H3615	H2209	H6256	H7993	H0408	

תַּעַזְבֵנִי׃
私を

わたしが年老いた時、わたしを見離さないでください。わたしが力衰えた時、わたしを見捨てないでください。

נוֹעֲצוּ	נַפְשִׁי	וְשֹׁמְרֵי	לִי	אוֹיְבַי	אָמְרוּ	כִּי־	10
共に–計った	私の–いのちを	見張る–者たちが	私に–対して	私の–敵たちが	言った	なぜなら	
H3289	H5315	H8104		H0341	H0559		

יַחְדָּו׃
一緒に

わたしの敵はわたしについて語り、わたしのいのちをうかがう者は共にはかって、

11 לֵאמֹר אֱלֹהִים עֲזָבוֹ רִדְפוּ וְתִפְשׂוּהוּ כִּי־ אֵין מַצִּיל׃
言って 神は 彼を–見捨てた 追え 彼を–捕らえよ なぜなら いない 救う–者が
H0559 H0430 H7291 H8610 H0369 H5337

「神は彼を見捨てた。彼を助ける者がないから彼を追って捕えよ」と言います。

12 אֱלֹהִים אַל־ תִּרְחַק מִמֶּנִּי אֱלֹהַי לְעֶזְרָתִי חישה]
神よ 遠く–離れないで–ください 遠く 私から 私の–神よ 私の–助けの–ために 急いで
H0430 H0408 H7368 H0430 H5833 H2439

חוּשָׁה׃)
ください
H2363

神よ、わたしに遠ざからないでください。わが神よ、すみやかに来てわたしを助けてください。

13 יֵבֹשׁוּ יִכְלוּ שֹׂטְנֵי נַפְשִׁי יַעֲטוּ חֶרְפָּה וּכְלִמָּה
恥じよ 滅びよ 私の–いのちに–敵対する–者たちよ 私の–いのちに かぶられよ 辱めと 恥とを
H0954 H3615 H7853 H5315 H3639

מְבַקְשֵׁי רָעָתִי׃
私の–納いを–求める 者たちよ
H1245

わたしにあだする者を恥じさせ、滅ぼしてください。わたしをそこなわんとする者を、そしりと、はずかしめとをもっておおってください。

14 וַאֲנִי תָּמִיד אֲיַחֵל וְהוֹסַפְתִּי עַל־ כָּל־ תְּהִלָּתֶךָ׃
しかし–私は 絶えず 望み–続ける 私は–加えよう すべての すべての あなたへの–賛美の–上に
H0589 H8548 H3176 H3254 H3605 H8416

しかしわたしは絶えず望みをいだいて、いよいよあなたをほめたたえるでしょう。

15 וּפִי יְסַפֵּר צִדְקָתֶךָ כָּל־ הַיּוֹם תְּשׁוּעָתֶךָ כִּי לֹא יָדַעְתִּי
私の–口は 語る あなたの–義を 一日–中 その あなたの–救いを なぜなら わたしは 知らない
H6310 H6666 H3605 H3117 H8668 H3808 H3045

סִפְרוֹת׃
その–数を
H5615

わたしの口はひねもすあなたの義と、あなたの救とを語るでしょう。わたしはその数を知らないからです。

16 אָבוֹא בִּגְבֻרוֹת אֲדֹנָי יְהוִה אַזְכִּיר צִדְקָתְךָ לְבַדֶּךָ׃
私は–来る 力強い–わざをもって 主の 主の 私は–記念する あなたの–義を あなただけの
H0935 H1369 H0136 H3069 H2142 H6666 H0905

わたしは主なる神の大能のみわざを携えゆき、ただあなたの義のみを、ほめたたえるでしょう。

17 אֱלֹהִים לִמַּדְתַּנִי מִנְּעוּרָי וְעַד־ הֵנָּה אַגִּיד
神よ あなたは–教えた 私の–若い–時から そして–今まで ここまで 私は–告げる
H0430 H3925 H5704 H2008 H5046

נִפְלְאוֹתֶיךָ׃
あなたの–不思議な–わざを
H6381

神よ、あなたはわたしを若い時から教えられました。わたしはなお、あなたのくすしきみわざを宣べ伝えます。

18 וְגַם־ וְזָקְנָה־ עַד־ וּשְׂיבָה֥ אֱלֹהִ֗ים אַל־ תַּעַזְבֵ֑נִי
そして-また 老いて に-至るまで 白髪に-なるまで 神よ 見捨てないで-ください 私を
H1571 H2209 H5704 H7872 H0430 H0408

עֻזְּךָ֖ לְכָל־ יָב֥וֹא לְדֹ֗ור זְרוֹעֲךָ֥ אַגִּ֑יד עַד־ :גְּבוּרָתֶֽךָ
あなたの-力を 来る-者に すべての 次の-世代に あなたの-腕を 私が-告げるまで 私が-告げるまで
H1369 H0935 H3605 H1755 H2220 H5046 H5704

神よ、わたしが年老いて、しらがとなるとも、あなたの力をきたらんとするすべての代に宣べ伝えるまで、わたしを見捨てないでください。

19 וְצִדְקָתְךָ֣ אֱלֹהִ֑ים עַד־ מָר֥וֹם אֲשֶׁר־ עָשִׂ֗יתָ גְּדֹלֹ֥ות אֱלֹהִ֗ים
あなたの-義は 神よ に-至るまで 高き-所に あなたは 行われた 大いなる-ことを 神よ
H6666 H0430 H5704 H4791 H0430

:כָּמֽוֹךָ מִֽי
あなたの-ようであろうか 誰が
H3644 H4310

神よ、あなたの大能と義とは高い天にまで及ぶ。あなたは大いなる事をなされました。神よ、だれかあなたに等しい者があるでしょうか。

20 אֲשֶׁ֤ר תַּרְאִ֨ינוּ[צָרֹ֣ות רַ֭בֹּות וְרָעֹ֑ות תָּשׁ֥וּב תְּחַיֵּ֗נוּ(ני) וּ(תַּ֝שִׁיבֵ֗נִי) מְהֹמֹ֥ות הָאָ֗רֶץ וּמִתְ
あなたは 見せて-くださった 苦難を 多くの 恐ろしい 再び 生かして くださる 私に 深い-淵から 地の 再び 引き-上げてくださる
H7200 H6862 H7451 H7725 H2421 H7200 H8415 H0776 H7725 H5927

:תַּעֲלֵֽנִי
引き-上げてくださる
H5927

あなたはわたしを多くの重い悩みにあわされましたが、再びわたしを生かし、地の深い所から引きあげられるでしょう。

21 וְתִסֹּ֥ב גְּדֻלָּתִ֑י תַּ֝רְבֶּ֗ה :תְּנַחֲמֵֽנִי
私の-大いさを 増してください 囲んで 慰めてください
H1420 H5437 H5162

あなたはわたしの誉を増し、再びわたしを慰められるでしょう。

22 אַ֭ף אֲנִ֣י אֹודְךָ֣ בְּכִנֹּ֑ור אֱ֝לֹהָ֗י אֲזַמְּרָה־ בְּכֵ֥לִי נֶ֝בֶל֗ אֲמִתְּךָ֥
また 私も 感謝する 琴の-楽器で 琴で 私の-神よ 私は-ほめ歌う あなたの-まことを
H1571 H0589 H3034 H3627 H5035 H0430 H2167 H0571

:יִשְׂרָאֵֽל קְדֹ֣וש לְךָ֥ בְכִנֹּ֑ור
イスラエルの 聖なる-方よ あなたに 琴で
H3478 H6918 H3658

わが神よ、わたしはまた立琴をもってあなたと、あなたのまこととをほめたたえます。イスラエルの聖者よ、わたしは琴をもってあなたをほめ歌います。

23 תְּרַנַּ֣נָּה שְׂ֭פָתַי כִּ֣י אֲזַמְּרָה־ לָּ֑ךְ וְ֝נַפְשִׁ֗י אֲשֶׁ֥ר
歓び-歌う 私の-唇は なぜなら 私が-ほめ歌う-時 あなたに 私の-たましいも それを
H7442 H8193 H3588 H2167 H0000 H5315 H0834

:פָּדִֽיתָ
購ってくださった
H6299

わたしがあなたにむかってほめ歌うとき、わがくちびるは喜び呼ばわり、あなたがあがなわれたわが魂もまた喜び呼ばわるでしょう。

חָפְרוּ	כִּי־	בֹשׁוּ	כִּי־	צִדְקָתֶךָ	תֶּהְגֶּה	הַיּוֹם	כָּל־	לְשׁוֹנִי	גַּם־	24
辱められた	なぜなら	恥じた	なぜなら	あなたの-義を	語る	その	一日-中	私の-舌も	また	
H2659		H0954		H6666	H1897	H3117	H3605	H3956	H1571	

רָעָתִי׃	מְבַקְשֵׁי
者たちが	私の-納いを-求める
	H1245

わたしの舌もまたひねもすあなたの義を語るでしょう。わたしをそこなわんとした者が恥じあわてたからです。

Chapter 72

לִבֶּן־	וְצִדְקָתְךָ	תֵּן	לְמֶלֶךְ	מִשְׁפָּטֶיךָ	אֱלֹהִים	וּלְשֶׁלֹמֹה	1
王の-子に	あなたの-義を	与えてください	王に	あなたの-公正を	神よ	ソロモンの-ために	
	H6666	H5414	H4428	H4941	H0430	H8010	

מֶלֶךְ׃
王の
H4428

ソロモンの歌 神よ、あなたの公平を王に与え、あなたの義を王の子に与えてください。

בְּמִשְׁפָּט׃	וַעֲנִיֶּיךָ	בְּצֶדֶק	עַמְּךָ	יָדִין	2
公正をもって	あなたの-苦しむ-者たちを	義をもって	あなたの-民を	裁いてください	
H4941	H6041	H6664		H1777	

彼は義をもってあなたの民をさばき、公平をもってあなたの貧しい者をさばくように。

בְּצֶדֶק׃	וּגְבָעוֹת	לָעָם	שָׁלוֹם	הָרִים	יִשְׂאוּ	3
義をもって	丘々もまた	民に	平和を	山々が	もたらせ	
H6666	H1389		H7965	H2022	H5375	

もろもろの山と丘とは義によって民に平和を与えるように。

אֶבְיוֹן	לִבְנֵי	יוֹשִׁיעַ	עָם	עֲנִיֵּי־	וְיִשְׁפָּט	4
貧しい	貧しい-者の-子らを	救ってください	民の	民の-苦しむ-者たちを	裁いてください	
H0034		H3467		H6041	H8199	

עוֹשֵׁק׃	וִידַכֵּא
圧制者を	砕いてください
H6231	H1792

彼は民の貧しい者の訴えを弁護し、乏しい者に救を与え、しえたげる者を打ち砕くように。

דּוֹרִים׃	דּוֹר	יָרֵחַ	וְלִפְנֵי	שֶׁמֶשׁ	עִם־	יִירָאוּךָ	5
代々	代々	月の	月の-前に	太陽と	太陽と-ともに	畏れよ	
H1755	H1755	H3394	H6440	H8121		H3372	

彼は日と月とのあらんかぎり、世々生きながらえるように。

אָרֶץ׃	זַרְזִיף	כִּרְבִיבִים	גֵּז	עַל־	כִּמְטָר	יֵרֵד	6
地を	滋す-ように	大雨の-ように	刈り取った-草の	の-上に	雨の-ように	降るように	
H0776		H7241	H1488		H4306	H3381	

彼は刈り取った牧草の上に降る雨のごとく、地を潤す夕立ちのごとく臨むように。

7 יִפְרַח־ בְּיָמָיו צַדִּיק וְרֹב שָׁלוֹם עַד־ בְּלִי יָרֵחַ׃
栄えよ その-日に 義なる-者よ おびただしい 平和が なくなるまで ない 月が
H5704 H1097 H3394

彼の世に義は栄え、平和は月のなくなるまで豊かであるように。

8 וְיֵרְדְּ מִיָּם עַד־ יָם וּמִנָּהָר עַד־ אַפְסֵי־ אָרֶץ׃
治めよ 海から 海まで 川から に-至るまで 地の-果て 地の
H3220 H3220 H5104 H5704 H0776

彼は海から海まで治め、川から地のはてまで治めるように。

9 לְפָנָיו יִכְרְעוּ צִיִּים וְאֹיְבָיו עָפָר יְלַחֵכוּ׃
その-前に ひざまずけ 荒野の-民よ その-敵たちは ちりを なめよ
H6440 H3766 H6728 H0341 H6083 H3897

彼のあだは彼の前にかがみ、彼の敵はちりをなめるように。

10 מַלְכֵי תַרְשִׁישׁ וְאִיִּים מִנְחָה יָשִׁיבוּ שְׁבָא סְבָא וּמַלְכֵי אֶשְׁכָּר
タルシシの 島々の 貢ぎ物を 持ち帰らせよ シバの セバの 贈り物を
H8659 H0339 H4503 H7725 H7614 H5434 H0814

יַקְרִיבוּ׃
ささげよ
H7126

タルシシおよび島々の王たちはみつぎを納め、シバとセバの王たちは贈り物を携えて来るように。

11 וְיִשְׁתַּחֲווּ־ לוֹ כָּל־ מַלְכִים כָּל־ גּוֹיִם יַעַבְדוּהוּ׃
ひれ伏よ 彼に すべての 王たちよ すべての 国々よ 彼に-仕えよ
H7812 H3605 H4428 H3605 H5647

もろもろの王は彼の前にひれ伏し、もろもろの国民は彼に仕えるように。

12 כִּי־ יַצִּיל אֶבְיוֹן מְשַׁוֵּעַ וְאָנִי וְאֵין־ עֹזֵר
なぜなら 救うからである 貧しい-者を 叫ぶ-者を そして-苦しむ-者を いない-者で 助ける-者が
H5337 H0034 H7768 H6041 H0369 H5826

לוֹ׃
彼に

彼は乏しい者をその呼ばわる時に救い、貧しい者と、助けなき者とを救う。

13 יָחֹס עַל־ דַּל וְאֶבְיוֹן וְנַפְשׁוֹת אֶבְיוֹנִים יוֹשִׁיעַ׃
あわれむ の-上に 弱い-者と 貧しい-者とを いのちを 貧しい-者たちの 救う
H2347 H5921 H1800 H0034 H5315 H0034 H3467

彼は弱い者と乏しい者とをあわれみ、乏しい者のいのちを救い、

14 מִתָּוֶךְ וּמֵחָמָס יִגְאַל נַפְשָׁם וְיִיקַר דָּמָם בְּעֵינָיו׃
詐欺からと 暴力から 購う 彼らの-いのちを 尊ばれる 彼らの-血は その-目に
H8496 H2555 H3365 H5315 H1818

彼らのいのちを、しえたげと暴力とからあがなう。彼らの血は彼の目に尊い。

15 וְיִחְיֶ֗ה וְיִתֶּן־ לוֹ֮ מִזְהַ֪ב שְׁבָ֫א וְיִתְפַּלֶּל־ בַּ֭עֲדוֹ תָּמִ֣יד
生きよ 彼に–与えられるように の–金が シバの 祈りが–ささげられよ 彼の–ために 絶えず
H2421 H5414 H2091 H7614 H6419 H1157 H8548

כָּל־ הַיּ֑וֹם יְבָרְכֻ֥נְהוּ׃
一日–中 その 祈よ–彼を
H3605 H3117 H1288

彼は生きながらえ、シバの黄金が彼にささげられ、彼のために絶えず祈がささげられ、ひねもす彼のために祝福が求められるように。

16 יְהִי־ פִ֥סַת־ בַּ֝֗ר בָּאָ֥רֶץ בְּרֹ֣אשׁ הָרִ֣ים יִרְעַ֣שׁ כַּלְבָּנ֣וֹן פִּרְיֹ֑ו
あれ 豊かな–穂が 穀物の 地に の–頂に 山々の 揺れよ レバノンの–ように その–実が
H1961 H6451 H1250 H0776 H7218 H2022 H7493 H3844 H6529

וְיָצִ֥יצוּ מֵ֝עִ֗יר כְּעֵ֣שֶׂב הָאָֽרֶץ׃
花咲け 町から 草の–ように 地の
H6692 H5892 H6212 H0776

国のうちには穀物が豊かにみのり、その実はレバノンのように山々の頂に波打ち、人々は野の草のごとく町々に栄えるように。

17 יְהִ֤י שְׁמ֨וֹ לְעוֹלָ֗ם לִ֭פְנֵי־ שֶׁ֣מֶשׁ]ינין[ )יִנּ֣וֹן(שְׁמ֑וֹ
あれ その–名が 永遠に の–前に 太陽の 続け その–名が その–名が
H1961 H8034 H5769 H6440 H8121 H5125 H5125 H8034

וְיִתְבָּרְכ֣וּ בּ֭וֹ כָּל־ גּוֹיִ֣ם יְאַשְּׁרוּהֽוּ׃
祝福を–得るように 彼によって すべての 国々が 彼を–幸いと–呼ぶように
H1288 H3605 H1471 H0833

彼の名はとこしえに続き、その名声は日のあらん限り、絶えることのないように。人々は彼によって祝福を得、もろもろの国民は彼をさいわいなる者ととなえるように。

18 וּבָר֣וּךְ יְ֭הוָה אֱלֹהִ֣ים אֱלֹהֵ֣י יִשְׂרָאֵ֑ל עֹשֵׂ֥ה נִפְלָא֗וֹת
ほめたたえよ 主を 神を 神を イスラエルの 行われる–方よ 不思議な–わざを
H1288 H3068 H0430 H0430 H3478 H6213 H6381

לְבַדֹּֽו׃
ただ–おひとりで
H0905

イスラエルの神、主はほむべきかな。ただ主のみ、くすしきみわざをなされる。

19 וּבָר֣וּךְ שֵׁ֭ם כְּבוֹד֑וֹ לְעוֹלָ֗ם וְיִמָּלֵ֣א כְּבוֹד֑וֹ אֶת־ כָּל־ הָאָ֥רֶץ
ほめたたえよ 御名を 栄光の–その 永遠に 満たすように その–栄光が その 全て 地を
H1288 H8034 H3519 H5769 H4390 H3519 H853 H3605 H0776

אָמֵ֖ן וְאָמֵֽן׃
アーメン アーメン
H0543 H0543

その光栄ある名はとこしえにほむべきかな。全地はその栄光をもって満たされるように。アァメン、アァメン。

20 כָּל֥וּ תְפִלּ֗וֹת דָּ֝וִ֗ד בֶּן־ יִשָֽׁי׃
終わる 祈りが ダビデの の–子である エッサイの
H3615 H8605 H1732 H1121 H3448

エッサイの子ダビデの祈は終った。

Chapter 73

1 מִזְמ֗וֹר לְאָסָ֫ף אַ֤ךְ טוֹב֙ לְיִשְׂרָאֵ֣ל אֱלֹהִ֔ים לְבָרֵ֖י לֵבָֽב׃
賛歌 アサフの まことに 良い イスラエルに-対して 神は 心の-清い 者に
H4210 H0623 H0389 H0369 H3478 H0430 H1249 H3824

アサフの歌 神は正しい者にむかい、心の清い者にむかって、まことに恵みふかい。

2 וַאֲנִ֗י כִּ֭מְעַט נָטָ֣יוּ (נטו) רַגְלָ֑י כְּאַ֥יִן (שפכה) שָׁפְכ֖וּ (שפכו) אֲשֻׁרָֽי׃
しかし-私は あやうく それた 私の-足が ほとんど すべった 私の-足が 私の-歩みが
H0589 H4592 H5186 H7272 H0369 H8210 H8210

しかし、わたしは、わたしの足がつまずくばかり、わたしの歩みがすべるばかりであった。

3 כִּֽי־ קִנֵּ֥אתִי בְּהוֹלְלִ֑ים שְׁל֖וֹם רְשָׁעִ֣ים אֶרְאֶֽה׃
なぜなら 私は-嫉妬した 誠り高ぶる-者たちを 平安を 悪しき-者たちの 見て
H7065 H1984 H7965 H7563 H7200

これはわたしが、悪しき者の栄えるのを見て、その高ぶる者をねたんだからである。

4 כִּֽי־ אֵ֭ין חַרְצֻבּ֣וֹת לְמוֹתָ֑ם וּבָרִ֖יא אוּלָֽם׃
なぜなら ない 苦悩が 彼らの-死には 健やかで-ある 彼らの-体は
H3588 H0369 H2784 H4194 H1277 H0001

彼らには苦しみがなく、その身はすこやかで、つやがあり、

5 בַּעֲמַ֣ל אֱנ֭וֹשׁ לֹ֣א יִהְי֑וּן וְעִם־ אָדָ֖ם לֹ֣א יְנֻגָּֽעוּ׃
人の 苦労の-中に ない そして 人と-ともに 打たれることが ない
H0582 H5999 H0369 H3808 H0120 H5060

ほかの人々のように悩むことがなく、ほかの人々のように打たれることはない。

6 לָכֵ֤ן גַּאֲוָ֨ה ׀ תַּעְנְקֵ֗מוֹ יַעְטָ֣ף חָ֭מָס לָמֽוֹ׃
それゆえ 高慢で-ある 彼らの-首飾りは 身に-まとう 暴力を 彼らには
H3588 H1346 H6059 H5844 H2555 H0003

それゆえ高慢は彼らの首飾となり、暴力は衣のように彼らをおおっている。

7 יָצָ֣א מִחֵ֣לֶב עֵינֵ֑מוֹ עָ֝בְר֗וּ מַשְׂכִּיּ֥וֹת לֵבָֽב׃
出て-くる 脂肪から 彼らの-目は 越える 心の-空想を 心の
H3318 H2459 H5869 H5674 H4906 H3824

彼らは肥え太って、その目はとびいで、その心は愚かな思いに満ちあふれている。

8 וְיָמֵ֥קּוּ וַ֝יְדַבְּר֗וּ בְּרָ֣ע עֹ֭שֶׁק מִמָּר֣וֹם יְדַבֵּֽרוּ׃
嘲り 話し 悪を-もって 圧制を 高き-所から 彼らは-話す
H4167 H1696 H7451 H6231 H4791 H1696

彼らはあざけり、悪意をもって語り、高ぶって、しえたげを語る。

9 שַׁ֭תּוּ בַּשָּׁמַ֣יִם פִּיהֶ֑ם וּ֝לְשׁוֹנָ֗ם תִּתְהַלֵּךְ֥ בָּאָֽרֶץ׃
置く 天に 彼らの-口を 彼らの-舌は 歩き回る 地の-上を
H7896 H8064 H6310 H3956 H1980 H0776

彼らはその口を天にさからって置き、その舌は地をあるきまわる。

10 לָכֵ֤ן יָשׁ֣וּב (ישיבו) עַמּ֣וֹ הֲלֹ֑ם וּמֵ֥י מָ֝לֵ֗א יִמָּצֽוּ׃
それゆえ 立ち-戻る その-民が ここに 水が 満ちた 絞り-出される 彼らには
H7725 H7725 H5769 H4325 H4392 H4680

それゆえ民は心を変えて彼らをほめたたえ、彼らのうちにあやまちを認めない。

11 וְאָמְרוּ֮ אֵיכָ֤ה יָ֘דַ֤ע אֵ֗ל וְיֵ֥שׁ דֵּ֥עָה בְּעֶלְיֽוֹן׃
そして–言う どうして 知ろうか 神が あるのか 知識が いと高き–方に
H0559 H3045 H0410 H3426 H1844

彼らは言う、「神はどうして知り得ようか、いと高き者に知識があろうか」と。

12 הִנֵּ֣ה אֵ֭לֶּה רְשָׁעִ֑ים וְשַׁלְוֵ֖י עוֹלָ֣ם הִשְׂגּ֣וּ חָֽיִל׃
見よ これらが 悪しき–者たちで–ある 安らかな–者たちで 永遠に 増し–た 富を
H2009 H0428 H7563 H7961 H5769 H3498 H2428

見よ、これらは悪しき者であるのに、常に安らかで、その富が増し加わる。

13 אַ֤ךְ רִ֤֘יק זִכִּ֣יתִי לִבָּ֗בִי וָאֶרְחַ֣ץ בְּנִקָּי֣וֹן כַּפָּֽי׃
まことに 空しく 清めた 私の–心を 洗った 潔さの–中で 私の–手を
H0389 H7385 H2135 H3824 H7364 H5356 H3709

まことに、わたしはいたずらに心をきよめ、罪を犯すことなく手を洗った。

14 וָֽאֱהִ֥י נָ֘גוּעַ֤ כָּל־ הַ֗יּוֹם וְתוֹכַחְתִּ֥י לַ֝בְּקָרִֽים׃
私は–なった 打たれる–者と 一日–中 その 私の–懲らしめが–ある 毎朝
H1961 H5060 H3605 H3117 H8433 H1242

わたしはひねもす打たれ、朝ごとに懲しめをうけた。

15 אִם־ כָּ֭מוֹ הִנֵּ֣ה דּ֣וֹר בָּנֶ֑יךָ בָּגַ֥דְתִּי אֲ֝סַפְּרָ֗ה
もし この–ように 見よ 世代を あなたの–子らの 裏切ったであろう
H0559 H3644 H2009 H1755 H0898

もしわたしが「このような事を語ろう」と言ったなら、わたしはあなたの子らの代を誤らせたであろう。

16 וָֽאֲחַשְּׁבָ֗ה לָדַ֣עַת זֹ֭את עָ֣מָל]הִיא(הוּא֮)[בְּעֵינָֽי׃
私が–考えた 知ろうと これを 苦労で–あった それは それは 私の–目に
H2803 H3045 H2063 H5999 H1992 H1931

しかし、わたしがこれを知ろうと思いめぐらしたとき、これはわたしにめんどうな仕事のように思われた。

17 עַד־ אָ֭בוֹא אֶל־ מִקְדְּשֵׁי־ אֵ֑ל אָבִ֥ינָה לְאַחֲרִיתָֽם׃
ついに 私が–入った に 神の–聖所に 私は–理解した 彼らの–末路を
H5704 H0935 H0413 H4720 H0410 H0995 H0319

わたしが神の聖所に行って、彼らの最後を悟り得たまではそうであった。

18 אַךְ֮ לַ֤חֲלָקוֹת֨ תָּ֘שַׁ֤תָּ לָ֗מוֹ הִ֭פַּלְתָּם לְמַשּׁוּאֽוֹת׃
まことに 滑りやすい–所に 置いた 彼らを 落とした 滅びの–中に
H0389 H7896 H4876 H5307

まことにあなたは彼らをなめらかな所に置き、彼らを滅びに陥らせられる。

19 אֵ֭יךְ הָ֣יוּ לְשַׁמָּ֑ה כְּרָגַ֥ע סָ֝פ֗וּ תַּ֣מּוּ מִן־ בַּלָּהֽוֹת׃
どうして なったのか 荒れ果てた–場所に 一瞬にして 滅びた 尽きた から 恐怖の
H0374 H1961 H7281 H5486 H8552 H4480 H1091

なんと彼らはまたたくまに滅ぼされ、恐れをもって全く一掃されたことであろう。

20 כַּחֲל֣וֹם מֵ֭הָקִיץ אֲדֹנָ֑י בְּעִ֥יר צַלְמָ֝֗ם תִּבְזֶֽה׃
夢の–ように 目覚めた–時の 主よ 目覚めて 彼らの–影を 侵る
H2472 H6974 H0136 H5782 H6754 H0959

あなたが目をさまして彼らの影をかろしめられるとき、彼らは夢みた人の目をさました時のようである。

21 כִּי יִתְחַמֵּץ לִבָּבִי וְכִלְיוֹתַי אֶשְׁתּוֹנָן׃
なぜなら 苦しんだ 私の–心が 私の–内臓が 刺された
H3824 H3629 H8150

わたしの魂が痛み、わたしの心が刺されたとき、

22 וַאֲנִי־בַעַר לֹא אֵדָע בְּהֵמוֹת הָיִיתִי עִמָּךְ׃
なぜなら 無知で 知らなかった 獣の–ようで–あった あなたの–前で
H0589 H1198 H3808 H3045 H0929 H1961

わたしは愚かで悟りがなく、あなたに対しては獣のようであった。

23 וַאֲנִי תָמִיד עִמָּךְ אָחַזְתָּ בְּיַד־יְמִינִי׃
しかし–私は 絶えず あなたと–ともに–いる あなたは–取った 私の–右の–手を 私の
H0589 H8548 H5973 H0270 H3027 H3225

けれどもわたしは常にあなたと共にあり、あなたはわたしの右の手を保たれる。

24 בַּעֲצָתְךָ תַנְחֵנִי וְאַחַר כָּבוֹד תִּקָּחֵנִי׃
あなたの–勧めで 導いてくださる そして–その–後 栄光の–中に 受け–入れてくださる
H6098 H5148 H0310 H3519 H3947

あなたはさとしをもってわたしを導き、その後わたしを受けて栄光にあずからせられる。

25 מִי־לִי בַשָּׁמָיִם וְעִמְּךָ לֹא־חָפַצְתִּי בָאָרֶץ׃
誰が 私には 天に–いるのか そして–あなたと–ともに 望まない 私は 地上には–何も
H4310 H3808 H8064 H5973 H3808 H2654 H0776

わたしはあなたのほかに、だれを天にもち得よう。地にはあなたのほかに慕うものはない。

26 כָּלָה שְׁאֵרִי וּלְבָבִי צוּר־לִבָּבִי וְחֶלְקִי אֱלֹהִים לְעוֹלָם׃
衰える 私の–肉体が 私の–心も 岩で–ある 私の–心の 私の–受ける–分で–ある 神が 永遠に
H3615 H7607 H3824 H6697 H3824 H2506 H0430 H5769

わが身とわが心とは衰える。しかし神はとこしえにわが心の力、わが嗣業である。

27 כִּי־הִנֵּה רְחֲקֶיךָ יֹאבֵדוּ הִצְמַתָּה כָּל־זוֹנֶה מִמֶּךָּ׃
なぜなら 見よ 遠く–離れる–者たちは 滅びる 滅ぼした すべての 不実な–者を あなたから
H3588 H2009 H7369 H0006 H6789 H3605 H2181 H4480

見よ、あなたに遠い者は滅びる。あなたは、あなたにそむく者を滅ぼされる。

28 וַאֲנִי קִרְבַת אֱלֹהִים לִי־טוֹב שַׁתִּי בַאדֹנָי יְהוִה מַחְסִי לְסַפֵּר כָּל־מַלְאֲכוֹתֶיךָ׃
しかし–私は 近づくことが 神に 私にとって 良い 置いた 主なる 主に 私の–避け–所を 語る–ために すべての あなたの–わざを
H0589 H7132 H0430 H3588 H2896 H7896 H0136 H3069 H4268 H5608 H3605 H4399

しかし神に近くあることはわたしに良いことである。わたしは主なる神をわが避け所として、あなたのもろもろのみわざを宣べ伝えるであろう。

Chapter 74

1 מַשְׂכִּיל לְאָסָף לָמָה אֱלֹהִים זָנַחְתָּ לָנֶצַח יֶעְשַׁן אַפְּךָ
教訓の–歌 アサフの なぜ 神よ 捨てたのか 永遠に 燃えるのか あなたの–怒りが
H4905 H0623 H4100 H0430 H2186 H5331 H6225 H0639
בְּצֹאן מַרְעִיתֶךָ׃
の–羊に–対して あなたの–牧場の
H6629 H4830

アサフのマスキールの歌 神よ、なぜ、われらをとこしえに捨てられるのですか。なぜ、あなたの牧の羊に怒りを燃やされるのですか。

2 הַר־ נַחֲלָתֶךָ גָּאַלְתָּ שֵׁבֶט עֲדָתְךָ קָנִיתָ קֶדֶם זְכֹר
山を あなたの–嗣業の 部族を 购い–戻した 昔 得た あなたの–会衆を 思い–出してください
H2022 H5159 H7626 H1350 H6924 H7069 H5712 H2142
בּוֹ׃ שָׁכַנְתָּ זֶה צִיּוֹן
そこに 住まわれた これは シオンの
H7931 H2088 H6726

昔あなたが手に入れられたあなたの公会、すなわち、あなたの嗣業の部族となすためにあがなわれたものを思い出してください。あなたが住まわれたシオンの山を思い出してください。

3 הָרִימָה פְּעָמֶיךָ לְמַשֹּׁאוֹת נֶצַח כֹּל־ הֵרַע אוֹיֵב
上げてください あなたの–足を 永遠の–廃墟に–向けて 永遠の 悪を–行った すべての 敵が
H7311 H6471 H4876 H5331 H3605 H7489 H0341
בַּקֹּדֶשׁ׃
聖所の–中で
H6944

とこしえの滅びの跡に、あなたの足を向けてください。敵は聖所で、すべての物を破壊しました。

4 שָׁאֲגוּ צָרֶיךָ בְּקֶרֶב מוֹעֲדֶךָ שָׂמוּ אוֹתֹתָם
噴えた あなたの–敵たちが の–中で あなたの–会合の–場の 彼らは–置いた 自分たちの–旗を
H7580 H6862 H7130 H4150 H7760 H0226
אֹתוֹת׃
旗として
H0226

あなたのあだは聖所の中でほえさけび、彼らのしるしを立てて、しるしとしました。

5 יִוָּדָע כִּמְבִיא לְמַעְלָה בְּסִבֳּךְ־ עֵץ קַרְדֻּמוֹת׃
知られる 持ち–込む–者の–ように 上に 茅の–中で 木の 斧を
H3045 H0935 H4605 H5442 H6086 H7134

彼らは上の入口では、おのをもって木の格子垣を切り倒しました。

6 וְעַתָּה(וְעַתָּה) פִּתּוּחֶיהָ יָחַד בְּכַשִּׁיל וְכֵילַפּוֹת יַהֲלֹמוּן׃
その 彫り物を 共に のとで のとで 打ち–壊す
H6258 H6603 H3162 H3781 H3597 H1986

また彼らは手おのと鎚とをもって聖所の彫り物をことごとく打ち落しました。

7 שָׁלְחוּ בָאֵשׁ מִקְדָּשֶׁךָ לָאָרֶץ חִלְּלוּ מִשְׁכַּן שִׁמֶךָ׃
放火した 火を–もって あなたの–聖所に 地に–まで 汚した 住まいを あなたの–御名の
H7971 H0784 H4720 H0776 H2490 H4908 H8034

彼らはあなたの聖所に火をかけ、み名のすみかをけがして、地に倒しました。

בָּאָֽרֶץ׃	אֶל	מוֹעֲדֵי־	כָל־	שָׂרְפוּ	יָחַד	נִינָם	בְּלִבָּם	אָמְרוּ	8
地の–中の	神の	神の–会合の–場を	すべての	焼いた	共に	滅ぼそう	彼らの–心の–中で	言った	
H0776	H0410	H4150	H3605	H8313		H3238		H0559	

彼らは心のうちに言いました、「われらはことごとくこれを滅ぼそう」と。彼らは国のうちの神の会堂をことごとく焼きました。

וְלֹא־	נָבִיא	עוֹד	אֵין־	רָאִינוּ	לֹא	אוֹתֹתֵינוּ		9
私たちの–中には	預言者が	もう	もはや–いない	私たちは	見なかった	私たちの–しるしを		
H3808	H5030	H5750	H0369	H7200	H3808	H0226		

מָה׃	עַד־	יֹדֵעַ	אִתָּנוּ
いない	いつまでかを	知る	知る–者が
H4100	H5704	H3045	H0854

われらは自分たちのしるしを見ません。預言者も今はいません。そしていつまで続くのか、われらのうちには、知る者がありません。

לָנֶֽצַח׃	שִׁמְךָ	אוֹיֵב	יְנָאֵץ	צָר	יְחָרֵף	אֱלֹהִים	מָתַי	עַד־	10
永遠に	あなたの–名を	敵が	侵すのか	敵は	嘲るのか	神よ	いつまで	いつまで	
H5331	H8034	H0341	H5006			H0430	H4970	H5704	

神よ、あだはいつまであざけるでしょうか。敵はとこしえにあなたの名をののしるでしょうか。

)חֵיקְךָ(	]חוקך[	מִקֶּרֶב	וִימִינְךָ	יָדְךָ	תָּשִׁיב	לָמָּה	11
あなたの–懐の	あなたの–懐の	の–中から	あなたの–右の–手を	あなたの–手を	引っ込めるのか	なぜ	
H2436	H2706	H7130	H3225	H3027	H7725	H4100	

כָלָֽה׃
滅ぼしてください
H3615

なぜあなたは手を引かれるのですか。なぜあなたは右の手をふところに入れておかれるのですか。

הָאָֽרֶץ׃	בְּקֶרֶב	יְשׁוּעוֹת	פָּעַל	מִקֶּדֶם	מַלְכִּי	וֵאלֹהִים	12
地の	の–中で	救いの–わざを	行う–方である	昔からの	私の–王で–ある	しかし–神は	
H0776	H7130	H3444	H6466		H4428	H0430	

神はいにしえからわたしの王であって、救を世の中に行われた。

הַמָּֽיִם׃	עַל־	תַּנִּינִים	רָאשֵׁי	שִׁבַּרְתָּ	יָם	בְּעֻזֶּךָ	פוֹרַרְתָּ	אַתָּה	13
水の	の–上で	竜たちの	頭を	砕いた	海を	あなたの–力で	分けた	あなたは	
H4325				H7665	H3220	H5797			

あなたはみ力をもって海をわかち、水の上の龍の頭を砕かれた。

לְצִיִּים׃	לְעָם	מַאֲכָל	תִּתְּנֶנּוּ	לִוְיָתָן	רָאשֵׁי	רִצַּצְתָּ	אַתָּה	14
荒野の–民に	民に	食物として	それを–与えた	レヴィアタンの	頭を	砕いた	あなたは	
H6728		H3978	H5414	H3882		H7533		

あなたはレビヤタンの頭をくだき、これを野の獣に与えてえじきとされた。

אֵיתָן׃	נַהֲרוֹת	הוֹבַשְׁתָּ	אַתָּה	וְנַחַל	מַעְיָן	בָּקַעְתָּ	אַתָּה	15
永遠に–流れる	川を	枯らした	あなたは	流れを	泉と	裂いた	あなたは	
H0386	H5104	H3001			H4599	H1234		

あなたは泉と流れとを開き、絶えず流れるもろもろの川をからされた。

16
לְךָ יוֹם אַף־ לְךָ הָאָתָה לָיְלָה אַתָּה הֲכִינוֹתָ מָאוֹר
あなたの–ものである 昼は また あなたの–ものである 夜も あなたは 備えた 光と
H3974 H3915 H0637 H3117

וְשָׁמֶשׁ׃
太陽を
H8121

昼はあなたのもの、夜もまたあなたのもの。あなたは光と太陽とを設けられた。

17
אַתָּה אַתָּה יְצַרְתָּם׃ קַיִץ וְחֹרֶף אֶרֶץ גְּבוּלוֹת כָּל־ הִצַּבְתָּ אַתָּה
あなたは あなたが 造った 冬とを 夏と 地の 境を すべての 定めた あなたは
H3335 H2779 H7019 H0776 H1367 H3605 H5324

あなたは地のもろもろの境を定め、夏と冬とを造られた。

18
זְכָר־ זֹאת אוֹיֵב וְחֵרֵף יְהוָה וְעַם נָבָל נָאֲצוּ
思い–出してください これを 敵が 嘲ったことを 主を 愚かな–民が 愚かな 侵したことを
H2142 H2063 H0341 H2778 H3068 H5036 H5006

שְׁמֶךָ׃
あなたの–名を
H8034

主よ、敵はあなたをあざけり、愚かな民はあなたのみ名をののしります。この事を思い出してください。

19
אַל־ תִּתֵּן לַחַיַּת נֶפֶשׁ תּוֹרֶךָ חַיַּת
渡さないで–ください 与えないで–ください 獣に いのちを あなたの–山鳩の いのちを
H0408 H5414 H2416 H5315 H8449

לָנֶצַח׃ תִּשְׁכַּח אַל־ עֲנִיֶּיךָ
永遠に 忘れないで–ください 忘れないで–ください あなたの–苦しむ–者たちの
H5331 H7911 H0408 H6041

どうかあなたのはとの魂を野の獣にわたさないでください。貧しい者のいのちをとこしえに忘れないでください。

20
חָמָס׃ נְאוֹת אֶרֶץ מַחֲשַׁכֵּי־ מָלְאוּ כִּי לַבְּרִית הַבֵּט
暴力の 住まいで 地の 地の–暗い–場所は 満ちた なぜなら 契約を 省みてください
H2555 H4999 H0776 H4285 H4390 H1285 H5027

あなたの契約をかえりみてください。地の暗い所は暴力のすまいで満ちています。

21
עָנִי נִכְלָם דַּךְ יָשֹׁב אַל־
苦しむ–者と 恥を–受けて 踏みにじられた–者を 帰らせないで–ください 帰らせないで–ください
H6041 H3637 H1790 H7725 H0408

שְׁמֶךָ׃ יְהַלְלוּ וְאֶבְיוֹן
あなたの–名を ほめたたえるように 貧しい–者が
H8034 H0034

しえたげられる者を恥じさせないでください。貧しい者と乏しい者とにみ名をほめたたえさせてください。

22
זְכֹר רִיבֶךָ רִיבָה אֱלֹהִים קוּמָה
思い–出してください あなたの–訴えを 争ってください 神よ 立ち上がってください
H2142 H7379 H7378 H0430

הַיּוֹם׃ כָּל־ נָבָל מִנִּי־ חֶרְפָּתְךָ
その 一日–中 愚かな–者からの からの あなたへの–嘲りを
H3117 H3605 H5036 H2781

神よ、起きてあなたの訴えをあげつらい、愚かな者のひねもすあなたをあざけるのをみこころにとめてください。

23 אַל־ תִּשְׁכַּח קוֹל צוֹרְרֶיךָ שְׁאוֹן
忘れないで–ください 声を あなたの–敵たちの 騒ぎを
H0408 H7911 H6963 H7588

קָמֶיךָ עֹלֶה תָּמִיד׃
あなたに–逆らう–者たちの 上り–続ける 絶えず
H6965 H5927 H8548

あなたのあだの叫びを忘れないでください。あなたの敵の絶えずあげる騒ぎを忘れないでください。

Chapter 75

1 לַמְנַצֵּחַ אַל־ תַּשְׁחֵת מִזְמוֹר לְאָסָף שִׁיר׃ וְלְךָ הוֹדִינוּ אֱלֹהִים
指揮者の–ために 滅ぼすな 滅ぼすな 賛歌 アサフの 歌 あなたに 感謝する 神よ
H5329 H0516 H0516 H4210 H0623 H7892 H3034 H0430

הוֹדִינוּ וְקָרוֹב שְׁמֶךָ סָפְרוּ נִפְלְאוֹתֶיךָ׃
感謝する 近い あなたの–御名は 人々は–語る あなたの–不思議な–わざを
H3034 H7138 H8034 H5608 H6381

聖歌隊の指揮者によって、「滅ぼすな」というしらべにあわせてうたわせたアサフの歌、さんび 神よ、われらはあなたに感謝します。われらは感謝します。われらはあなたのみ名を呼び、あなたのくすしきみわざを語ります。

2 כִּי אֶקַּח מוֹעֵד אֲנִי מֵישָׁרִים אֶשְׁפֹּט׃
なぜなら 私が–定める 時を 私が 公正をもって 裁く
H3947 H4150 H0589 H4339 H8199

定まった時が来れば、わたしは公平をもってさばく。

3 נָמֹגִים אֶרֶץ וְכָל־ יֹשְׁבֶיהָ אָנֹכִי תִּכַּנְתִּי עַמּוּדֶיהָ סֶלָה׃
溶ける 地が その–すべての 住む–者たちと 私が 定めた その–柱を セラ
H4127 H0776 H3605 H3427 H0595 H8505 H5982 H5542

地とすべてこれに住むものがよろめくとき、わたしはその柱を堅くする。[セラ

4 אָמַרְתִּי לַהוֹלְלִים אַל־ תָּהֹלּוּ וְלָרְשָׁעִים אַל־ תָּרִימוּ
私は–言った 誇り高ぶる–者たちに 誇るな そして–悪しき–者たちに 上げるな
H0559 H1984 H0408 H7563 H0408

קָרֶן׃
角を

わたしは、誇る者には「誇るな」と言い、悪しき者には「角をあげるな、

5 אַל־ תָּרִימוּ לַמָּרוֹם קַרְנְכֶם תְּדַבְּרוּ בְצַוָּאר עָתָק׃
上げるな 高き–所に あなたがたの–角を 話すな 騎り高ぶる–首で 傲慢な
H0408 H4791 H7161 H1696 H6677 H6277

角を高くあげるな、高慢な態度をもって語るな」と言う。

6 כִּי לֹא מִמּוֹצָא וּמִמַּעֲרָב וְלֹא מִמִּדְבַּר הָרִים׃
なぜなら からでは–ない 東から 西からでも なく 荒野からでも 山々からでも
H3588 H3808 H4161 H4628 H3808 H4057 H2022

上げることは東からでなく、西からでなく、また荒野からでもない。

יָרִֽים׃	וְזֶה	יַשְׁפִּיל	זֶה	שֹׁפֵט	אֱלֹהִים	כִּי־	7
高くする	あの–者を	低くし	この–者を	裁き–主で–ある	神こそ	なぜなら	
	H2088	H8213	H2088	H8199	H0430		

それはさばきを行われる神であって、神はこれを下げ、かれを上げられる。

וַיַּעַר	מֶסֶךְ	מָלֵא	וְחֹמֶר	וְיַ֫יִן	יְהוָה	בְּיַד־	כּוֹס	כִּי	8
注ぐ	混ぜもので	満ちて–いる	泡立ち	そして–ぶどう酒が	主の	の–手に–ある	杯が	なぜなら	
H5064	H4538	H4392		H3196	H3068	H3027			

אֶ֝רֶץ׃	רִשְׁעֵי־	כֹּל	יִשְׁתּוּ	יִמְצוּ	שְׁמָרֶיהָ	אַךְ־	מִזֶּה
地の	悪しき–者たちが	すべての	飲む	絞り–出し	その–澄を	まことに	これから
H0776	H7563	H3605	H8354	H4680	H8105	H0389	H2088

主の手には杯があって、よく混ぜた酒があわだっている。主がこれを注ぎ出されると、地のすべての悪しき者はこれを一滴も残さずに飲みつくすであろう。

יַעֲקֹֽב׃	לֵאלֹהֵי	אֲזַמְּרָה	לְעֹלָם	אַגִּיד	וַאֲנִי	9
ヤコブの	神に	ほめ歌う	永遠に	告げる	しかし–私は	
H3290	H0430	H2167	H5769	H5046	H0589	

しかしわたしはとこしえに喜び、ヤコブの神をほめうたいます。

צַדִּֽיק׃	קַרְנוֹת	תְּרוֹמַמְנָה	אֲנַדֵּעַ	רִשְׁעִים	קַרְנֵי	וְכָל־	10
正しい–者の	角は	高められる	私は–切り–落とす	悪しき–者たちの	角を	すべての	
H6662			H1438	H7563		H3605	

悪しき者の角はことごとく切り離されるが正しい者の角はあげられるであろう。

Chapter 76

אֱלֹהִים	בִּיהוּדָה	נוֹדָע	שִֽׁיר׃	לְאָסָף	מִזְמוֹר	בִּנְגִינֹת	לַמְנַצֵּחַ	1
神は	ユダに–おいて	知られて–いる	歌	アサフの	賛歌	弦楽器で	指揮者の–ために	
H0430	H3063	H3045		H0623	H4210	H5058	H5329	

שְׁמוֹ׃	גָּדוֹל	בְּיִשְׂרָאֵל
その–名は	大いなる	イスラエルに–おいて
H8034		H3478

聖歌隊の指揮者によって琴にあわせてうたわせたアサフの歌、さんび 神はユダに知られ、そのみ名はイスラエルにおいて偉大である。

בְּצִיּֽוֹן׃	וּמְעוֹנָתוֹ	סֻכּוֹ	בְּשָׁלֵם	וַיְהִי	2
シオンに	その–住まいは	その–仮庵が	サレムに	置かれた	
H6726	H4585	H5520	H8004	H1961	

その幕屋はサレムにあり、そのすまいはシオンにある。

סֶּלָה׃	וּמִלְחָמָה	וְחֶרֶב	מָגֵן	קֶשֶׁת	רִשְׁפֵי־	שָׁבַר	שָׁמָּה	3
セラ	戦争を	剣と	盾と	弓の	火の–矢を	砕いた	そこで	
H5542	H4421	H2719	H4043	H7198	H7565	H7665	H8033	

かしこで神は弓の火矢を折り、盾とつるぎと戦いの武器をこわされた。[セラ

טָֽרֶף׃	מֵהַרְרֵי־	אַדִּיר	אַתָּה	נָאוֹר	4
略奪の	の–山々よりも	威厳なる	あなたは	輝かしい	
H2964	H2042	H0117		H0215	

あなたは永久の山々にまさって光栄あり、威厳がある。

5	אֻשְּׁתּוֹלְלוּ	אַבִּירֵי	לֵב	נָמוּ	שְׁנָתָם	וְלֹא־	מָצְאוּ
	心を–奪われた	勇士たちは	心の	眠りに–落ちた	彼らの–眠りに	見つけなかった	見つけなかった
	H0047			H5123	H8142	H3808	H4672

יְדֵיהֶם׃	חַיִל	אַנְשֵׁי־	כָּל־
彼らの–手を	力の	戦士たちは	すべての
H3027	H2428	H0376	H3605

雄々しい者はかすめられ、彼らは眠りに沈み、いくさびとは皆その手を施すことができなかった。

6	מִגַּעֲרָתְךָ	אֱלֹהֵי	יַעֲקֹב	נִרְדָּם	וְרֶכֶב	וָסוּס׃
	あなたの–叱責によって	神よ	ヤコブの	眠りに–落ちた	戦車も	馬も
	H1606	H0430	H3290	H7290	H7393	

ヤコブの神よ、あなたのとがめによって、乗り手と馬とは深い眠りに陥った。

7	וְאַתָּה	נוֹרָא	אַתָּה	וּמִי־	יַעֲמֹד	לְפָנֶיךָ	מֵאָז
	あなたこそ	恐れ多き–方で–ある	あなたこそ	誰が	立ち–得ようか	あなたの–前に	その–時から
		H3372		H4310	H5975	H6440	

אַפֶּךָ׃
あなたの–怒りの
H0639

しかし、あなたこそは恐るべき方である。あなたが怒りを発せられるとき、だれがみ前に立つことができよう。

8	מִשָּׁמַיִם	הִשְׁמַעְתָּ	דִּין	אֶרֶץ	יָרְאָה	וְשָׁקְטָה׃	
	天から	聞かせた	裁きを	地は	恐れ	静まった	
	H8064	H8085	H1779	H0776	H3372	H8252	

9	בְּקוּם־	לַמִּשְׁפָּט	אֱלֹהִים	לְהוֹשִׁיעַ	כָּל־	עַנְוֵי־	אֶרֶץ
	立ち上がる–時	裁きの–ために	神が	救う–ために	すべての	地の–へりくだる–者たちを	地の
		H4941	H0430	H3467	H3605	H6035	H0776

סֶלָה׃
セラ
H5542

あなたは天からさばきを仰せられた。神が地のしえたげられた者を救うために、さばきに立たれたとき、地は恐れて、沈黙した。[セラ

10	כִּי־	חֲמַת	אָדָם	תּוֹדֶךָ	שְׁאֵרִית	חֵמוֹת	תַּחְגֹּר׃
	まことに	人の–怒りも	人の	あなたを–ほめたたえる	残りの	怒りの	帯びる
		H2534	H0120	H3034	H7611	H2534	H2296

まことに人の怒りはあなたをほめたたえる。怒りの余りをあなたは帯とされる。

11	נִדְּרוּ	וְשַׁלְּמוּ	לַיהוָה	אֱלֹהֵיכֶם	כָּל־	סְבִיבָיו	יוֹבִילוּ
	誓いを–立てよ	果たせよ	主に	あなたがたの–神に	すべての	周りの–者よ	持ち–来たらせよ
	H5087		H3068	H0430	H3605	H5439	H2986

שַׁי׃	לַמּוֹרָא׃
贈り物を	恐れ多き–方に
H7862	

あなたがたの神、主に誓いを立てて、それを償え。その周囲のすべての者は恐るべき主に贈り物をささげよ。

12	יִבְצֹר	רוּחַ	נְגִידִים	נוֹרָא	לִמַּלְכֵי־	אָרֶץ׃
	切り–落とす	霊を	君主たちの	恐れ多き–方で–ある	地の–王たちに–とって	地の
	H1219	H7307	H5057	H3372	H4428	H0776

主はもろもろの君たちのいのちを断たれる。主は地の王たちの恐るべき者である。

Chapter 77

אֶל־	קוֹלִי	:מִזְמוֹר	לְאָסָף	[וְ]ידוּתוּן	)ידיתון(	עַל־	לַמְנַצֵּחַ	1
に–向かう	私の–声は	賛歌	アサフの	エドトンの	エデトンの	に–従って	指揮者の–ために	
H0413		H4210	H0623	H3038	H3038		H5329	

:אֵלָי	וְהַאֲזִין	אֱלֹהִים	אֶל־	קוֹלִי	וְאֶצְעָקָה	אֱלֹהִים
私に	耳を–傾けてください	神に	に–向かう	私の–声は	私は–叫ぶ	神に
H0413	H0238	H0430	H0413		H6817	H0430

聖歌隊の指揮者によってエドトンのしらべにしたがってうたわせたアサフの歌 わたしは神にむかい声をあげて叫ぶ。わたしが神にむかって声をあげれば、神はわたしに聞かれる。

תָּפוּג	וְלֹא	נִגְּרָה	לַיְלָה	וְיָדִי	דָּרַשְׁתִּי	אֲדֹנָי	צָרָתִי	בְּיוֹם	2
なかった	休むことが	差し–伸べられ	夜も	私の–手は	私は–尋んだ	主を	私の–苦難の	の–日に	
H6313	H3808	H5064	H3915	H3027	H1875	H0136		H3117	

:נַפְשִׁי	הִנָּחֵם	מֵאֲנָה	
私の–たましいは	慰められることを	拒んだ	
H5315	H5162	H3985	

わたしは悩みの日に主をたずね求め、夜はわが手を伸べてたゆむことなく、わが魂は慰められるのを拒む。

:סֶלָה	רוּחִי	וְתִתְעַטֵּף	אָשִׂיחָה	וְאֶהֱמָיָה	אֱלֹהִים	אֶזְכְּרָה	3
セラ	私の–霊は	衰える	思い–巡らす	うめく	神を	思い–出す	
H5542	H7307		H7878	H1993	H0430	H2142	

わたしは神を思うとき、嘆き悲しみ、深く思うとき、わが魂は衰える。[セラ

:אֲדַבֵּר	וְלֹא	נִפְעַמְתִּי	עֵינָי	שְׁמֻרוֹת	אָחַזְתָּ	4
できなかった	話すことが	動揺した	私の–目の	まぶたを	開いたままに–した	
H1696	H3808	H6470		H8109	H0270	

あなたはわたしのまぶたをささえて閉じさせず、わたしは物言うこともできないほどに悩む。

:עוֹלָמִים	שְׁנוֹת	מִקֶּדֶם	יָמִים	חִשַּׁבְתִּי	5
遠き–昔の	年々を	昔の	日々を	思い–巡らせた	
H5769	H8141		H3117	H2803	

わたしは昔の日を思い、いにしえの年を思う。

:רוּחִי	וַיְחַפֵּשׂ	אָשִׂיחָה	לִבִּי	עִם־	בַּלַּיְלָה	נְגִינָתִי	אֶזְכְּרָה	6
私の–霊は	探り–求める	思い–巡らす	私の–心と	私の–心と–ともに	夜に	私の–歌を	思い–出す	
H7307	H2664	H7878	H3824		H3915	H5058	H2142	

わたしは夜、わが心と親しく語り、深く思うてわが魂を探り、言う、

:עוֹד	לִרְצוֹת	יֹסִיף	וְלֹא־	אֲדֹנָי	וְיִזְנַח	לְעוֹלָמִים׀	7
もう	喜んで–くださらないのか	再び	もはや	主は	捨てるのか	永遠に	
H5750	H7521	H3254	H3808	H0136		H5769	

「主はとこしえにわれらを捨てられるであろうか。ふたたび、めぐみを施されないであろうか。

:וָדֹר	לְדֹר	אֹמֶר	גָּמַר	חַסְדּוֹ	לָנֶצַח	הֶאָפֵס	8
世々に	世々に	御言葉は	終わったのか	その–慕しみは	永遠に	絶えたのか	
H1755	H1755	H0562	H1584		H5331	H0656	

そのいつくしみはとこしえに絶え、その約束は世々ながくすたれるであろうか。

9 הֲשָׁכַח חַנּוֹת אִם־ אֵל קָפַץ בְּאַף רַחֲמָיו סֶלָה׃
忘れたのか 憐れみを 神は 閉ざしたのか 怒りの-中で その-あわれみを セラ
H7911 H2589 H0410 H7092 H0639 H5542

神は恵みを施すことを忘れ、怒りをもってそのあわれみを閉じられたであろうか」と。[セラ

10 וָאֹמַר חַלּוֹתִי הִיא שְׁנוֹת יְמִין עֶלְיוֹן׃
私は-言った 私の-痛みで-ある これが 年々は 右の-手の いと高き-方の
H0559 H2470 H1931 H8141 H3225

その時わたしは言う、「わたしの悲しみはいと高き者の右の手が変ったことである」と。

11 [אזכיר] (אֶזְכּוֹר) מַעַלְלֵי־ יָהּ כִּי־ אֶזְכְּרָה מִקֶּדֶם פִּלְאֶךָ׃
思い-起こす 思い-起こす わざを 主の まことに 思い-起こす 昔からの あなたの-不思議を
H2142 H2142 H4611 H3050 H2142 H6382

わたしは主のみわざを思い起す。わたしは、いにしえからのあなたのくすしきみわざを思いいだす。

12 וְהָגִיתִי בְכָל־ פָּעֳלֶךָ וּבַעֲלִילוֹתֶיךָ אָשִׂיחָה׃
黙想する すべての あなたの-わざに-ついて あなたの-御業に-ついて 私は-語る
H1897 H3605 H6467 H5949 H7878

わたしは、あなたのすべてのみわざを思い、あなたの力あるみわざを深く思う。

13 אֱלֹהִים בַּקֹּדֶשׁ דַּרְכֶּךָ מִי־ אֵל גָּדוֹל כֵּאלֹהִים׃
神よ 聖なる-所に-ある あなたの-道は だれが 神が 大いなる 神の-ように
H0430 H6944 H1870 H4310 H0410 H1419 H0430

神よ、あなたの道は聖である。われらの神のように大いなる神はだれか。

14 אַתָּה הָאֵל עֹשֵׂה פֶּלֶא הוֹדַעְתָּ בָעַמִּים עֻזֶּךָ׃
あなたこそ 神で-ある 行う-方で-ある 不思議を 知らせた 諸国民の-中で あなたの-力を
H0410 H6382 H3045 H5971 H0797

あなたは、くすしきみわざを行われる神である。あなたは、もろもろの民の間に、その大能をあらわし、

15 גָּאַלְתָּ בִּזְרוֹעַ עַמֶּךָ בְּנֵי־ יַעֲקֹב וְיוֹסֵף סֶלָה׃
購った 御腕をもって あなたの-民を の-子らを ヤコブの ヨセフの セラ
H6299 H2220 H5971 H1121 H3290 H3130 H5542

その腕をもっておのれの民をあがない、ヤコブとヨセフの子らをあがなわれた。[セラ

16 רָאוּךָ מַיִם אֱלֹהִים רָאוּךָ מַיִם יָחִילוּ אַף יִרְגְּזוּ תְהֹמוֹת׃
見た 水が 神よ 見た 水が おののいた また 震えた 深海も
H7200 H4325 H0430 H7200 H4325 H2342 H0637 H7264 H8415

神よ、大水はあなたを見た。大水はあなたを見ておののき、淵もまた震えた。

17 זָרְמוּ מַיִם עָבוֹת נָתְנוּ קוֹל שְׁחָקִים גַּם־ חִצֶּיךָ יִתְהַלָּכוּ׃
流れ-出た 水が 雲から 声を 発した 天空が また あなたの-矢が 飛び-交った
H2229 H4325 H5645 H6963 H5414 H7834 H0637 H2687 H1980

雲は水を注ぎいだし、空は雷をとどろかし、あなたの矢は四方にきらめいた。

18 קוֹל רַעַמְךָ בַּגַּלְגַּל הֵאִירוּ בְרָקִים תֵּבֵל רָגְזָה וַתִּרְעַשׁ הָאָרֶץ׃
声が あなたの-雷の 廻りの-中で 照らした 稲妻が 世界を 震えた 揺れた 地が
H6963 H7482 H1534 H0215 H1300 H8398 H7264 H7493 H0776

あなたの雷のとどろきは、つむじ風の中にあり、あなたのいなずまは世を照し、地は震い動いた。

רַבִּים	בְּמַיִם	)וְשָׁבִילְךָ(	]ושביליך[	דַּרְכֶּךָ	בַּיָּם	19
大いなる	大水の-中に	あなたの-小道は	あなたの-小道は	あなたの-道は	海の-中に-あった	
	H4325	H7635	H7635	H1870	H3220	

נֹדָעוּ׃	לֹא	וְעִקְּבוֹתֶיךָ
知られなかった	知られなかった	あなたの-足跡は
H3045	H3808	H6119

あなたの大路は海の中にあり、あなたの道は大水の中にあり、あなたの足跡はたずねえなかった。

וְאַהֲרֹן׃	מֹשֶׁה	בְּיַד־	עַמֶּךָ	כַּצֹּאן	נָחִיתָ	20
アロンの	モーセの	の-手によって	あなたの-民を	羊の-群れの-ように	導いた	
H0175	H4872	H3027		H6629	H5148	

あなたは、その民をモーセとアロンの手によって羊の群れのように導かれた。

Chapter 78

אָזְנְכֶם	הַטּוּ	תּוֹרָתִי	עַמִּי	הַאֲזִינָה	לְאָסָף	מַשְׂכִּיל	1
あなたがたの-耳を	傾けよ	私の-教えに	私の-民よ	耳を-傾けよ	アサフの	教訓の-歌	
H0241	H5186	H8451		H0238	H0623	H4905	

פִּי׃	לְאִמְרֵי־
私の	私の-口の-言葉に
H6310	H0561

アサフのマスキールの歌 わが民よ、わが教を聞き、わが口の言葉に耳を傾けよ。

קֶדֶם׃	מִנִּי־	חִידוֹת	אַבִּיעָה	פִּי	בְמָשָׁל	אֶפְתְּחָה	2
昔からの	昔からの	謎を	述べよう	私の-口を	たとえで	開こう	
		H2420	H5042	H6310	H4912		

わたしは口を開いて、たとえを語り、いにしえからの、なぞを語ろう。

לָנוּ׃	סִפְּרוּ־	וַאֲבוֹתֵינוּ	וַנֵּדָעֵם	שָׁמַעְנוּ	אֲשֶׁר	3
私たちに	語った	私たちの-先祖たちが	知って-いる	私たちが-聞いた	それを	
		H0001	H3045	H8085		

これはわれらがさきに聞いて知ったこと、またわれらの先祖たちがわれらに語り伝えたことである。

וְעֻזּוֹ	יְהוָה	תְּהִלּוֹת	מְסַפְּרִים	אַחֲרוֹן	לְדוֹר	מִבְּנֵיהֶם	נְכַחֵד	לֹא	4
その-力と	主の	賛美を	語り-伝える	後の	次の-世代に	その-子らから	隠さない	隠さない	
H5807	H3068	H8416		H0314	H1755		H3582	H3808	

עָשָׂה׃	אֲשֶׁר	וְנִפְלְאוֹתָיו
行われた	それを	その-不思議な-わざを
		H6381

われらはこれを子孫に隠さず、主の光栄あるみわざと、その力と、主のなされたくすしきみわざとをきたるべき代に告げるであろう。

אֶת־	צִוָּה	אֲשֶׁר	בְּיִשְׂרָאֵל	שָׂם	וְתוֹרָה	בְּיַעֲקֹב	וְעֵדוּת	וַיָּקֶם	5
その	命じた	それを	イスラエルの-中に	置いた	律法を	ヤコブの-中に	あかしを	立てた	
H0853	H6680		H3478		H8451	H3290	H5715		

לְבְנֵיהֶם׃	לְהוֹדִיעָם	אֲבוֹתֵינוּ
その-子らに	知らせる-ために	私たちの-先祖に
	H3045	H0001

主はあかしをヤコブのうちにたて、おきてをイスラエルのうちに定めて、その子孫に教うべきことをわれらの先祖たちに命じられた。

וַיְסַפְּרוּ	יָקֻמוּ	יִוָּלְדוּ	בָּנִים	אַחֲרוֹן	דּוֹר	וְיֵדְעוּ	לְמַעַן	6
語り-伝える-ために	立ち-上がり	生まれ	子らが	後の	世代が	知る-ために	知る-ために	
		H3205		H0314	H1755	H3045	H4616	

לִבְנֵיהֶם׃
その-子らに

これは次の代に生れる子孫がこれを知り、みずから起って、そのまた子孫にこれを伝え、

אֵל	מַעַלְלֵי־	יִשְׁכְּחוּ	וְלֹא	כִּסְלָם	בֵּאלֹהִים	וְיָשִׂימוּ	7
神の	神の-わざを	忘れない-ために	忘れない-ために	彼らの-信頼を	神の-中に	置く-ために	
H0410	H4611	H7911	H3808	H3689	H0430		

יִנְצְרוּ׃	וּמִצְוֹתָיו
守る-ために	その-戒めを
H5341	H4687

彼らをして神に望みをおき、神のみわざを忘れず、その戒めを守らせるためである。

דּוֹר	וּמֹרֶה	סוֹרֵר	דּוֹר	כַּאֲבוֹתָם	וְיִהְיוּ	וְלֹא		8
世代で	反抗の	反逆の	世代で	先祖たちの-ように	ならない-ために	ならない-ために		
H1755	H4784	H5637	H1755	H0001	H1961	H3808		

רוּחוֹ׃	אֵל	אֶת־	נֶאֱמָנָה	וְלֹא־	לִבּוֹ	הֵכִין	לֹא־
その-霊が	神に	に-対して	忠実でなかった	忠実でなかった	その-心を	整えなかった	整えなかった
H7307	H0410	H0854	H0539	H3808			H3808

またその先祖たちのようにかたくなで、そむく者のやからとなり、その心が定まりなく、その魂が神に忠実でないやからとならないためである。

קְרָב׃	בְּיוֹם	הָפְכוּ	קֶשֶׁת	רוֹמֵי־	נוֹשְׁקֵי	אֶפְרַיִם	בְּנֵי־	9
戦いの	の-日に	引き-返した	弓の	弓を-引く	弓を-引く-者たち	エフライムの	の-子らは	
H7128	H3117	H2015	H7198			H0669		

エフライムの人々は武装し、弓を携えたが、戦いの日に引き返した。

לָלֶכֶת׃	מֵאֲנוּ	וּבְתוֹרָתוֹ	אֱלֹהִים	בְּרִית	שָׁמְרוּ	לֹא		10
従うことを	拒んだ	その-律法に	神の	契約を	守らなかった	守らなかった		
H3212	H3985	H8451	H0430	H1285	H8104	H3808		

彼らは神の契約を守らず、そのおきてにしたがって歩むことを拒み、

הֶרְאָם׃	אֲשֶׁר	וְנִפְלְאוֹתָיו	עֲלִילוֹתָיו	וַיִּשְׁכְּחוּ	11
見せた	それを	その-不思議を	その-わざを	忘れた	
H7200		H6381	H5949	H7911	

神がなされた事と、彼らに示されたくすしきみわざとを忘れた。

צֹעַן׃	שְׂדֵה־	מִצְרַיִם	בְּאֶרֶץ	פֶּלֶא	עָשָׂה	אֲבוֹתָם	נֶגֶד	12
ツオアンの	の-野で	エジプトの	の-地で	不思議を	行った	先祖たちの	の-前で	
H6814		H4714	H0776	H6382		H0001	H5048	

神はエジプトの地と、ゾアンの野でくすしきみわざを彼らの先祖たちの前に行われた。

נֵד׃	כְּמוֹ־	מַיִם	וַיַּצֵּב־	וַיַּעֲבִירֵם	יָם	בָּקַע	13
壁の	の-ように	水を	立てた	渡らせた	海を	割った	
H5067	H3644	H4325	H5324		H3220	H1234	

神は海を分けて彼らを通らせ、水を立たせて山のようにされた。

14 וַיַּנְחֵם בֶּעָנָן יוֹמָם וְכָל־הַלַּיְלָה בְּאוֹר אֵשׁ׃
導いた 雲で 昼には 一晩−中 その 火の光で 火の
H5148 H6051 H3119 H3605 H3915 H0216 H0784

昼は雲をもって彼らを導き、夜は、よもすがら火の光をもって彼らを導かれた。

15 יְבַקַּע צֻרִים בַּמִּדְבָּר וַיַּשְׁקְ כִּתְהֹמוֹת רָבָה׃
裂いた 岩を 荒野で 飲ませた 深海の−ように 豊かに
H1234 H6697 H3452 H8248 H8415

神は荒野で岩を裂き、淵から飲むように豊かに彼らに飲ませ、

16 וַיּוֹצֵא נוֹזְלִים מִסָּלַע וַיּוֹרֶד כַּנְּהָרוֹת מָיִם׃
流れ−出させた 流れを 岩から 流れ−下らせた 川の−ように 水を
H3318 H5140 H5553 H3381 H5104 H4325

また岩から流れを引いて、川のように水を流れさせられた。

17 וַיּוֹסִיפוּ עוֹד לַחֲטֹא־לוֹ לַמְרוֹת עֶלְיוֹן בַּצִיָּה׃
続けた−さらに まだ 罪を−犯すことを その−方に−対して 逆らうことを いと高き−方に 荒野で
H3254 H5750 H2398 H3808 H4784 H6723

ところが彼らはなお神にむかって罪をかさね、荒野でいと高き者にそむき、

18 וַיְנַסּוּ־אֵל בִּלְבָבָם לִשְׁאֵל־אֹכֶל לְנַפְשָׁם׃
試した 神を 彼らの−心の−中で 求めることで 食物を 自分たちの−たましいの−ために
H5254 H0410 H3824 H7592 H0400 H5315

おのが欲のために食物を求めて、その心のうちに神を試みた。

19 וַיְדַבְּרוּ בֵאלֹהִים אָמְרוּ הֲיוּכַל אֵל לַעֲרֹךְ שֻׁלְחָן בַּמִּדְבָּר׃
話した 神に−逆らって 言った できるか 神に 整えることが 食卓を 荒野で
H1696 H0430 H0559 H3201 H0410 H7979

また彼らは神に逆らって言った、「神は荒野に宴を設けることができるだろうか。

20 הֵן הִכָּה־צוּר וַיָּזוּבוּ מַיִם וְנְחָלִים יִשְׁטְפוּ הַגַּם־לֶחֶם יוּכַל אִם־יָכִין שְׁאֵר לְעַמּוֹ׃
見よ 打った 岩を 流れ−出た 水が 激流が あふれた また パンも できるのか 肉を 備えることが−できるのか その−民に
H2005 H5221 H6697 H2100 H4325 H7857 H1571 H3899 H3201 H7607 H3559

見よ、神が岩を打たれると、水はほとばしりいで、流れがあふれた。神はまたパンを与えることができるだろうか。民のために肉を備えることができるだろうか」と。

21 וְלָכֵן שָׁמַע יְהוָה וַיִּתְעַבָּר וְאֵשׁ נִשְׁקָה בְיַעֲקֹב וְגַם־אַף עָלָה בְּיִשְׂרָאֵל׃
それゆえ 聞いた 主は 怒った 火が 燃え−上がった ヤコブに−対して また 怒りが 上った イスラエルに−対して
H8085 H3068 H5927 H0784 H5400 H3290 H1571 H0639 H5927 H3478

それゆえ、主は聞いて憤られた。火はヤコブにむかって燃えあがり、怒りはイスラエルにむかって立ちのぼった。

22 כִּי לֹא־הֶאֱמִינוּ בֵאלֹהִים וְלֹא־בָטְחוּ בִּישׁוּעָתוֹ׃
なぜなら 信じなかった 神を 信じなかった 頼らなかった その−救いに
H3808 H0430 H3808 H0982 H3444

これは彼らが神を信ぜず、その救の力を信用しなかったからである。

23 וַיְצַו שְׁחָקִים מִמָּעַל וְדַלְתֵי שָׁמַיִם פָּתָח׃
命じた 天空に 上から 天の-戸を 開いた
H6680 H7834 H4605 H8064

しかし神は上なる大空に命じて天の戸を開き、

24 וַיַּמְטֵר עֲלֵיהֶם מָן לֶאֱכֹל וּדְגַן־שָׁמַיִם נָתַן לָמוֹ׃
降らせた 彼らの-上に マナを 食べる-ために 天の-穀物を 与えた 彼らに
H4305 H0398 H1715 H8064 H5414

彼らの上にマナを降らせて食べさせ、天の穀物を彼らに与えられた。

25 לֶחֶם אַבִּירִים אָכַל אִישׁ צֵידָה שָׁלַח לָהֶם לָשְׂבַע׃
パンを 御使いたちの 食べた 人は 食物を 送った 彼らに 飽きる-ほどに
H3899 H0047 H0398 H0376 H6720 H7971 H1992 H7648

人は天使のパンを食べた。神は彼らに食物をおくって飽き足らせられた。

26 יַסַּע קָדִים בַּשָּׁמָיִם וַיְנַהֵג בְּעֻזּוֹ תֵימָן׃
起こした 東風を 天に 導いた その-力で 南風を
H5265 H6921 H8064 H5797 H8486

神は天に東風を吹かせ、み力をもって南風を導かれた。

27 וַיַּמְטֵר עֲלֵיהֶם כֶּעָפָר שְׁאֵר וְכְחוֹל יַמִּים עוֹף כָּנָף׃
降らせた 彼らの-上に ちりの-ように 肉を 海の-砂の-ように 海の 羽の-ある 鳥を
H4305 H6083 H7607 H2344 H3220 H5775 H3671

神は彼らの上に肉をちりのように降らせ、翼ある鳥を海の砂のように降らせて、

28 וַיַּפֵּל בְּקֶרֶב מַחֲנֵהוּ סָבִיב לְמִשְׁכְּנֹתָיו׃
落とした の-中に その-宿営の 周りに その-住まいの
H5307 H7130 H4264 H5439 H4908

その宿営のなか、そのすまいのまわりに落された。

29 וַיֹּאכְלוּ וַיִּשְׂבְּעוּ מְאֹד וְתַאֲוָתָם לֹא זָרוּ׃
食べた 満腹した 大いに その-欲望を もたらした 彼らに
H0398 H7646 H3966 H8378 H0935 H1992

こうして彼らは食べて、飽き足ることができた。神が彼らにその望んだものを与えられたからである。

30 לֹא־זָרוּ מִתַּאֲוָתָם עוֹד אָכְלָם בְּפִיהֶם׃
離れなかった 離れなかった その-欲望から まだ その-食物が 口の-中に-ある-うちに
H3808 H8378 H5750 H0400 H6310

ところが彼らがまだその欲を離れず、食物がなお口の中にあるうちに、

31 וְאַף אֱלֹהִים עָלָה בָהֶם וַיַּהֲרֹג בְּמִשְׁמַנֵּיהֶם וּבַחוּרֵי יִשְׂרָאֵל הִכְרִיעַ׃
それでも-怒りが 神の 上った 彼らに-対して 殺した その-肥えた-者たちの-中で 若者たちを イスラエルの 打ち-倒した
H0639 H0430 H5927 H1992 H2026 H4305 H0970 H3478 H3766

神の怒りが彼らにむかって立ちのぼり、彼らのうちの最も強い者を殺し、イスラエルのうちのえり抜きの者を打ち倒された。

32
בְּכָל־ זֹאת חָטְאוּ־ עוֹד וְלֹא־ הֶאֱמִינוּ
これら–すべての–にも–かかわらず 罪を–犯した なおも 信じなかった 信じなかった
H3605 H2063 H2398 H5750 H3808 H0539

בְּנִפְלְאוֹתָיו׃
その–不思議な–わざを
H6381

すべてこれらの事があったにもかかわらず、彼らはなお罪を犯し、そのくすしきみわざを信じなかった。

33
וַיִּכַל־ בַּהֶבֶל יְמֵיהֶם וּשְׁנוֹתָם בַּבֶּהָלָה׃
終わらせた 空しさの–中で 彼らの–日々を 彼らの–年々を 恐怖の–中で
H3615 H1892 H3117 H8141 H0928

それゆえ神は彼らの日を息のように消えさせ、彼らの年を恐れをもって過ごさせられた。

34
אִם־ הָרָגָם וְדָרְשׁוּהוּ וְשָׁבוּ וְשִׁחֲרוּ־ אֵל׃
殺した–時 殺した–時 尋んだ–その–方を 立ち–戻って 求めた 神を
H2026 H1875 H7725 H7836 H0410

神が彼らを殺されたとき、彼らは神をたずね、悔いて神を熱心に求めた。

35
וַיִּזְכְּרוּ כִּי־ אֱלֹהִים צוּרָם וְאֵל עֶלְיוֹן גֹּאֲלָם׃
思い–出した その 神が 岩で–あることを そして–神が いと高き 贖い–主で–あることを
H2142 H0430 H6697 H0410

こうして彼らは、神は彼らの岩、いと高き神は彼らのあがないぬしであることを思い出した。

36
וַיְפַתּוּהוּ בְּפִיהֶם וּבִלְשׁוֹנָם יְכַזְּבוּ־ לוֹ׃
欺いた–その–方を 口で 舌で 偽った その–方に
H6310 H3956 H3576

しかし彼らはその口をもって神にへつらい、その舌をもって神に偽りを言った。

37
וְלִבָּם לֹא־ נָכוֹן עִמּוֹ וְלֹא נֶאֶמְנוּ בִּבְרִיתוֹ׃
彼らの–心は 確かでなかった 確かでなかった その–方と–ともに 忠実でなかった 忠実でなかった
H3808 H3808 H0539

その–契約に
H1285

彼らの心は神にむかって堅実でなく、神の契約に真実でなかった。

38
וְהוּא רַחוּם יְכַפֵּר עָוֹן וְלֹא־ יַשְׁחִית וְהִרְבָּה לְהָשִׁיב אַפּוֹ וְלֹא־ יָעִיר כָּל־ חֲמָתוֹ׃
しかし–その–方は あわれみ深く 赦す 咎を 滅ぼさない 多くの–場合 壮すを–翻した 怒りを 全ての 起こさなかった 全ての 憤りを
H1931 H7349 H3722 H5771 H7843 H3808 H7725 H0639 H3605 H5782 H3808 H2534

しかし神はあわれみに富まれるので、彼らの不義をゆるして滅ぼさず、しばしばその怒りをおさえて、その憤りをことごとくふり起されなかった。

39
וַיִּזְכֹּר כִּי־ בָשָׂר הֵמָּה רוּחַ הוֹלֵךְ וְלֹא יָשׁוּב׃
思い–出した その 肉で–あることを 彼らが 息で–あり 過ぎ–行く 戻らない 戻らない
H2142 H1320 H1992 H7307 H1980 H3808 H7725

また神は、彼らがただ肉であって、過ぎ去れば再び帰りこぬ風であることを思い出された。

בְּיִשִׁימוֹן׃	יַעֲצִיבוּהוּ	בַּמִּדְבָּר	יַמְרוּהוּ	כַּמָּה	40
死の-荒野で	悲しませたのか-その-方を	荒野で	逆らったのか-その-方に	何度	
H3452			H4784	H4100	

幾たび彼らは野で神にそむき、荒野で神を悲しませたことであろうか。

הִתְווּ׃	יִשְׂרָאֵל	וּקְדוֹשׁ	אֵל	וַיְנַסּוּ	וַיָּשׁוּבוּ	41
傷つけた	イスラエルの	聖なる-方を	神を	試した	繰り-返し	
H8428	H3478	H6918	H0410	H5254	H7725	

彼らはかさねがさね神を試み、イスラエルの聖者を怒らせた。

צָר׃	מִנִּי־	פָּדָם	אֲשֶׁר־	יוֹם	יָדוֹ	אֶת־	זָכְרוּ	לֹא־	42
敵から	から	购った	その	日を	御手を	その	思い-出さなかった	思い-出さなかった	
		H6299		H3117	H3027	H0853	H2142	H3808	

彼らは神の力をも、神が彼らをあだからあがなわれた日をも思い出さなかった。

צֹעַן׃	בִּשְׂדֵה־	מוֹפְתָיו	אֹתוֹתָיו	בְּמִצְרַיִם	שָׂם	אֲשֶׁר־	43
ツオアンの	の-野で	その-不思議を	その-しるしを	エジプトで	置いた	それを	
H6814		H4159	H0226	H4714			

神はエジプトでもろもろのしるしをおこない、ゾアンの野でもろもろの奇跡をおこない、

יִשְׁתָיוּן׃	בַל־	וְנוֹזְלֵיהֶם	יְאֹרֵיהֶם	לְדָם	וַיַּהֲפֹךְ	44
飲めない-ように	飲めない-ように	彼らの-流れを	彼らの-川を	血に	変えた	
H8354	H1077	H5140	H2975	H1818	H2015	

彼らの川を血に変らせて、その流れを飲むことができないようにされた。

וַתַּשְׁחִיתֵם׃	וּצְפַרְדֵּעַ	וַיֹּאכְלֵם	עָרֹב	בָּהֶם	יְשַׁלַּח	45
滅ぼした	かえるを	食い-尽くした	あぶを	彼らの-中に	送った	
H7843	H6854	H0398	H6157		H7971	

神ははえの群れを彼らのうちに送って彼らを食わせ、かえるを送って彼らを滅ぼされた。

לָאַרְבֶּה׃	וְיִגִיעָם	יְבוּלָם	לֶחָסִיל	וַיִּתֵּן	46
いなごに	彼らの-労苦を	彼らの-産物を	いなごに	与えた	
H0697	H3018	H2981	H2625	H5414	

また神は彼らの作物を青虫にわたし、彼らの勤労の実をいなごにわたされた。

בַּחֲנָמַל׃	וְשִׁקְמוֹתָם	גַּפְנָם	בַּבָּרָד	יַהֲרֹג	47
霜で	彼らの-いちじくの-木を	彼らの-ぶどうの-木を	雹で	殺した	
H2602	H8256	H1612	H1259	H2026	

神はひょうをもって彼らのぶどうの木を枯らし、霜をもって彼らのいちじく桑の木を枯らされた。

לָרְשָׁפִים׃	וּמִקְנֵיהֶם	בְּעִירָם	לַבָּרָד	וַיַּסְגֵּר	48
稲妙に	彼らの-群れを	彼らの-家畜を	雹に	引き-渡した	
H7565	H4735	H1165	H1259	H5462	

神は彼らの家畜をひょうにわたし、彼らの群れを燃えるいなずまにわたされた。

מַלְאֲכֵי	מִשְׁלַחַת	וְצָרָה	וָזַעַם	עֶבְרָה	אַפּוֹ	חֲרוֹן	בָּם	יְשַׁלַּח־	49
恐ろしい-御使いたちの	送り-込みを	苦難と	憤りと	怒りと	怒りを	燃える	彼らの-中に	送った	
H4397	H4917		H2195	H5678	H0639	H2740		H7971	

רָעִים׃
組を

神は彼らの上に激しい怒りと、憤りと、恨みと、悩みと、滅ぼす天使の群れとを放たれた。

נַפְשָׁם	מִמָּוֶת	חָשַׂךְ	לֹא־	לְאַפּוֹ	נָתִיב	יְפַלֵּס	50
彼らの-いのちを	死から	惜しまなかった	惜しまなかった	その-怒りの-ために	道を	整えた	
H5315	H4194	H2820	H3808	H0639		H6424	

הִסְגִּיר׃	לַדֶּבֶר	וְחַיָּתָם
引き-渡した	疫病に	彼らの-生き物を
H5462	H1698	

神はその怒りのために道を設け、彼らの魂を死から免れさせず、そのいのちを疫病にわたされた。

חָם׃	בְּאָהֳלֵי־	אוֹנִים	רֵאשִׁית	בְּמִצְרָיִם	בְּכוֹר	כָּל־	וַיַּךְ	51
ハムの	の-天幕で	力の	初穂を	エジプトで	初子を	すべての	打った	
H2526	H0168	H0202	H7225	H4714	H1060	H3605	H5221	

神はエジプトですべてのういごを撃ち、ハムの天幕で彼らの力の初めの子を撃たれた。

בַּמִּדְבָּר׃	כַּעֵדֶר	וַיְנַהֲגֵם	עַמּוֹ	כַּצֹּאן	וַיַּסַּע	52
荒野を	群れの-ように	導いた	その-民を	羊の-ように	出立たせた	
	H5739			H6629	H5265	

こうして神はおのれの民を羊のように引き出し、彼らを荒野で羊の群れのように導き、

הַיָּם׃	כִּסָּה	אוֹיְבֵיהֶם	וְאֶת־	פָּחֲדוּ	וְלֹא	לָבֶטַח	וַיַּנְחֵם	53
海が	覆った	彼らの-敵を	その	恐れなかった	恐れなかった	安全に	導いた	
H3220	H3680	H0341	H0853	H6342	H3808	H0983	H5148	

彼らを安らかに導かれたので彼らは恐れることがなかった。しかし海は彼らの敵をのみつくした。

יְמִינוֹ׃	קָנְתָה	זֶּה	הַר־	קָדְשׁוֹ	גְּבוּל	אֶל־	וַיְבִיאֵם	54
その-右の-手が	得た	この	山に	その-聖なる	境に	に	導いた-そして	
H3225	H7069	H2088	H2022	H6944	H1366	H0413	H0935	

神は彼らをその聖地に伴い、その右の手をもって獲たこの山に伴いこられた。

וַיַּשְׁכֵּן	נַחֲלָה	בְּחֶבֶל	וַיַּפֵּל	גּוֹיִם	וּמִפְּנֵיהֶם	וַיְגָרֶשׁ	55
住まわせた	嗣業の-地を	縄で	分け-与えた-そして	諸国民を	彼らの-前から	追い-出した	
H7931	H5159		H5307		H6440	H1644	

יִשְׂרָאֵל׃	שִׁבְטֵי	בְּאָהֳלֵיהֶם
イスラエルの	部族を	彼らの-天幕に
H3478	H7626	H0168

神は彼らの前からもろもろの国民を追い出し、その地を分けて嗣業とし、イスラエルの諸族を彼らの天幕に住まわせられた。

שָׁמָרוּ׃	לֹא	וְעֵדוֹתָיו	עֶלְיוֹן	אֱלֹהִים	אֶת־	וַיְמָרוּ	וַיְנַסּוּ	56
守らなかった	守らなかった	その-あかしを	いと高き-方に	神に	に-対して	逆らった	試した	
H8104	H3808			H0430	H0853	H4784	H5254	

しかし彼らはいと高き神を試み、これにそむいて、そのもろもろのあかしを守らず、

רְמִיָּה׃	כְּקֶשֶׁת	נֶהְפְּכוּ	כַּאֲבוֹתָם	וַיִּבְגְּדוּ	וַיִּסֹּגוּ	57
欺く-弓の	の-ように	形を-変えた	先祖たちの-ように	裏切った	背き-去り	
	H7198	H2015	H0001	H0898	H5472	

そむき去って、先祖たちのように真実を失い、狂った弓のようにねじれた。

יַקְנִיאוּהוּ׃	וּבִפְסִילֵיהֶם	בְּבָמוֹתָם	וַיַּכְעִיסוּהוּ	58
ねたませた-その-方を	偶像で	高き-所で	怒らせた-その-方を	
H7065	H6456	H1116	H3707	

彼らは高き所を設けて神を怒らせ、刻んだ像をもって神のねたみを起した。

59 שָׁמַע אֱלֹהִים וַיִּתְעַבָּר וַיִּמְאַס מְאֹד בְּיִשְׂרָאֵל׃
聞いた 神は 怒った 退けた 大いに イスラエルを
H8085 H0430 H3966 H3478

神は聞いて大いに怒り、イスラエルを全くしりぞけられた。

60 וַיִּטֹּשׁ מִשְׁכַּן שִׁלֹה אֹהֶל שָׁכַן בָּאָדָם׃
捨てた 住まいを シロの 幕屋を 住まわせた 人の-中に
H5203 H4908 H7887 H0168 H7931 H0120

神は人々のなかに設けた幕屋なるシロのすまいを捨て、

61 וַיִּתֵּן לַשִּׁבְיָ עֻזּוֹ וְתִפְאַרְתּוֹ בְּיַד־ צָר׃
与えた 捕囚に その-力を その-輝きを の-手に 敵の
H5414 H5797 H8597 H3027

その力をとりことならせ、その栄光をあだの手にわたされた。

62 וַיַּסְגֵּר לַחֶרֶב עַמּוֹ וּבְנַחֲלָתוֹ הִתְעַבָּר׃
引き-渡した 剣に その-民を その-嗣業に-対して 怒った
H5462 H2719 その-嗣業に-対して H5159

神はその民をつるぎにわたし、その嗣業にむかって大いなる怒りをもらされた。

63 בַּחוּרָיו אָכְלָה־ אֵשׁ וּבְתוּלֹתָיו לֹא הוּלָלוּ׃
その-若者たちを 火が-食い-尽くした 火が その-乙女たちは 婚姻の-歌を 歌わなかった
H0970 H0398 H0784 H1330 H3808

火は彼らの若者たちを焼きつくし、彼らのおとめたちは婚姻の歌を失い、

64 כֹּהֲנָיו בַּחֶרֶב נָפָלוּ וְאַלְמְנֹתָיו לֹא תִבְכֶּינָה׃
その-祢司たちは 剣によって 倒れた その-未亡人たちは 泣くことが 泣くことが-できなかった
H3548 H2719 H5307 H0490 H3808 H1058

彼らの祭司たちはつるぎによって倒れ、彼らのやもめたちは嘆き悲しむことさえしなかった。

65 וַיִּקַץ כְּיָשֵׁן אֲדֹנָי כְּגִבּוֹר מְתָרוֹנֵן מִיַּיִן׃
目覚めた 眠る-者の-ように 主は 勇士の-ように 叫ぶ ぶどう酒から
H3364 H3463 H0136 H1368 H3196

そのとき主は眠った者のさめたように、勇士が酒によって叫ぶように目をさまして、

66 וַיַּךְ־ צָרָיו אָחוֹר חֶרְפַּת עוֹלָם נָתַן לָמוֹ׃
打った その-敵を 後ろに 永遠の-恥を 永遠の 与えた 彼らに
H5221 H0268 H2781 H5769 H5414

そのあだを撃ち退け、とこしえの恥を彼らに負わせられた。

67 וַיִּמְאַס בְּאֹהֶל יוֹסֵף וּבְשֵׁבֶט אֶפְרַיִם לֹא בָחָר׃
退けた-そして の-天幕を ヨセフの の-部族を エフライムの 選ばなかった 選ばなかった
H3808 H0168 H3130 H7626 H0669 H3808 H0977

神はヨセフの天幕をしりぞけ、エフライムの部族を選ばず、

68 וַיִּבְחַר אֶת־ שֵׁבֶט יְהוּדָה אֶת־ הַר צִיּוֹן אֲשֶׁר אָהֵב׃
選んだ-そして その 部族を ユダの その 山を シオンの それを 愛した
H0977 H0853 H7626 H3063 H0853 H2022 H6726 H0157

ユダの部族を選び、神の愛するシオンの山を選ばれた。

69 וַיִּבֶן כְּמוֹ־רָמִים מִקְדָּשׁוֹ כָּאָרֶץ יְסָדָהּ לְעוֹלָם׃
建てた-そして の-ように 高き-所の その-聖所を の-ように 基づいた 永遠に
H1129 H3644 H7311 H4720 H0776 H3245 H5769

神はその聖所を高い天のように建て、とこしえに基を定められた地のように建てられた。

70 וַיִּבְחַר בְּדָוִד עַבְדּוֹ וַיִּקָּחֵהוּ מִמִּכְלְאֹת צֹאן׃
選んだ-そして ダビデを その-僕を 取り-上げた-そして 羊の-囲いから 羊の
H0977 H1732 H5650 H3947 H4356 H6629

神はそのしもべダビデを選んで、羊のおりから取り、

71 מֵאַחַר עָלוֹת מְבִיאוֹ לִרְעוֹת בְּיַעֲקֹב עַמּוֹ וּבְיִשְׂרָאֵל נַחֲלָתוֹ׃
の-後から 乳を-出す-羊の 連れて-来た 牧する-ために ヤコブを その-民を イスラエルを その-嗣業を
H5763 H0935 H5749 H3290 H5971 H3478 H5159

乳を与える雌羊の番をするところからつれて来て、その民ヤコブ、その嗣業イスラエルの牧者とされた。

72 וַיִּרְעֵם כְּתֹם לְבָבוֹ וּבִתְבוּנוֹת כַּפָּיו יַנְחֵם׃
牧した-そして 正しい 心で 巧みな 手で 導いた
H7462 H8537 H3824 H8394 H3709 H5148

こうして彼は直き心をもって彼らを牧し、巧みな手をもって彼らを導いた。

Chapter 79

1 מִזְמוֹר לְאָסָף אֱלֹהִים בָּאוּ גוֹיִם בְּנַחֲלָתֶךָ טִמְּאוּ אֶת־הֵיכַל קָדְשֶׁךָ שָׂמוּ יְרוּשָׁלַ͏ִם לְעִיִּים׃
賛歌 アサフの 神よ 侵入した 諸国民が あなたの-嗣業の-地に 汚した その 神殿を あなたの-聖なる 変えた その エルサレムを 廃墟に
H4210 H0623 H0430 H0935 H1471 H5159 H2930 H0853 H1964 H6944 H7760 H0853 H3389 H5856

アサフの歌 神よ、もろもろの異邦人はあなたの嗣業の地を侵し、あなたの聖なる宮をけがし、エルサレムを荒塚としました。

2 נָתְנוּ נִבְלַת עֲבָדֶיךָ מַאֲכָל לְעוֹף הַשָּׁמַיִם בְּשַׂר חֲסִידֶיךָ לְחַיְתוֹ־אָרֶץ׃
与えた その-死体を あなたの-僕べたちの 食物として 空の-鳥に 肉を あなたの-忠実な-者たちの 地の 地の-獣に
H5414 H0853 H5038 H5650 H3978 H5775 H8064 H1320 H2623 H0776 H2416

彼らはあなたのしもべのしかばねを空の鳥に与えてえさとし、あなたの聖徒の肉を地の獣に与え、

3 שָׁפְכוּ דָמָם כַּמַּיִם סָבִיב לִירוּשָׁלַ͏ִם וְאֵין קוֹבֵר׃
流した 彼らの-血を 水の-ように 周りに エルサレムの いなかった 葉る-者が
H8210 H1818 H4325 H5439 H3389 H0369 H6912

その血をエルサレムのまわりに水のように流し、これを葬る人がありませんでした。

4 הָיֵינוּ לֶעָג לִשְׁכֵנֵינוּ חֶרְפָּה וְקֶלֶס לִסְבִיבוֹתֵינוּ׃
なった 隣人たちの 嘲りと そしりと あざけりと 周りの–者たちの
H1961 H7934 H3933 H2781 H7047 H5439

われらは隣り人にそしられ、まわりの人々に侮られ、あざけられる者となりました。

5 עַד־מָה יְהוָה תֶּאֱנַף לָנֶצַח תִּבְעַר כְּמוֹ־אֵשׁ קִנְאָתֶךָ׃
いつまで 主よ 怒るのか 永遠に 燃えるのか の–ように 火の あなたの–ねたみは
H5704 H3068 H0599 H5331 H1814 H3644 H0784 H7068

主よ、いつまでなのですか。とこしえにお怒りになられるのですか。あなたのねたみは火のように燃えるのですか。

6 שְׁפָךְ חֲמָתְךָ אֶל־הַגּוֹיִם אֲשֶׁר לֹא־יְדָעוּךָ וְעַל
注いでください あなたの–怒りを の–上に 諸国民の その 知らない あなたを の–上に
H8210 H2534 H0413 H1471 H0834 H3808 H3045 H5921

מַמְלָכוֹת אֲשֶׁר בְּשִׁמְךָ לֹא קָרָאוּ׃
王国の その あなたの–名を 呼ばない 呼ばない
H4467 H0834 H8034 H3808 H7121

どうか、あなたを知らない異邦人と、あなたの名を呼ばない国々の上にあなたの怒りを注いでください。

7 כִּי אָכַל אֶת־יַעֲקֹב וְאֶת־נָוֵהוּ הֵשַׁמּוּ׃
なぜなら 食い–尽くした その ヤコブを その 住まいを 荒らした
H3588 H0398 H0853 H3290 H0853 H5116 H8074

彼らはヤコブを滅ぼし、そのすみかを荒したからです。

8 אַל־תִּזְכָּר־לָנוּ עֲוֹנֹת רִאשֹׁנִים מְהֵר יְקַדְּמוּנוּ רַחֲמֶיךָ כִּי דַלּוֹנוּ מְאֹד׃
思い–出すな 私たちに 咎を 以前の 急いで 迎えに–来てください あなたの–あわれみよ なぜなら 衰えた 大いに
H0408 H0408 H5771 H7223 H4116 H6923 H7356 H3588 H1809 H3966

われらの先祖たちの不義をみこころにとめられず、あわれみをもって、すみやかにわれらを迎えてください。われらは、はなはだしく低くされたからです。

9 עָזְרֵנוּ אֱלֹהֵי יִשְׁעֵנוּ עַל־דְּבַר כְּבוֹד־שְׁמֶךָ וְהַצִּילֵנוּ וְכַפֶּר עַל־חַטֹּאתֵינוּ לְמַעַן שְׁמֶךָ׃
助けてください 神よ 私たちの–救いの の–ために 事の 御名の–栄光の あなたの–名の 救い–出してください 赦してください の–上に 私たちの–罪の の–ために あなたの–名の
H5826 H0430 H3468 H5921 H1697 H3519 H8034 H5337 H3722 H5921 H2403 H4616 H8034

われらの救の神よ、み名の栄光のためにわれらを助け、み名のためにわれらを救い、われらの罪をおゆるしください。

10 לָמָּה יֹאמְרוּ בַגּוֹיִם אַיֵּה אֱלֹהֵיהֶם יִוָּדַע בגוים בַּגּוֹיִם נִקְמַת דַּם־עֲבָדֶיךָ הַשָּׁפוּךְ׃
なぜ 言うのか 諸国民が どこに–いるのか 彼らの–神は 知られるように 諸国民の–中で 諸国民の 復讐が 血の あなたの–僕べたちの 流された
H4100 H0559 H1471 H0346 H0430 H3045 H1471 H1471 H5360 H1818 H5650 H8210

לְעֵינֵינוּ
私たちの–目の–前で

どうして異邦人は言うのでしょう、「彼らの神はどこにいるのか」と。あなたのしもべらの流された血の報いをわれらのまのあたりになして、異邦人に知らせてください。

זְרוֹעֲךָ	כִּגְדֻלָּ֑	אֲסִ֖יר	אֵ֣נְקַת	לְפָנֶ֗יךָ	תָּבֹ֥וא	11
あなたの–腕の	の–大いさに–よって	囚人の	うめきを	あなたの–前に	届け	
H2220	H1433	H0616	H0603	H6440	H0935	

תְּמוּתָֽה׃	בְּנֵ֥י	הוֹתֵֽר׃
死の	子らを	生かして–おいてください
H8546		H3498

捕われ人の嘆きをあなたのみ前にいたらせ、あなたの大いなる力により、死に定められた者を守りながらえさせてください。

אֲדֹנָֽי׃	חֶרְפּ֣וּ	אֲשֶׁ֣ר	חֶרְפָּתָ֣ם	חֵיקָ֑ם	אֶל־	שִׁבְעָתַ֥יִם	לְשָׁכְנֵ֗ינוּ	וְהָשֵׁ֥ב	12
主よ	そしった	それを	そしりを	彼らの–懐の	の–中に	七倍にして	隣人たちに	報いてください	
H0136			H2781	H2436	H0413	H7659	H7934	H7725	

主よ、われらの隣り人があなたをそしったそしりを七倍にして彼らのふところに報い返してください。

לְדֹ֑ר	לְעוֹלָ֗ם	לְךָ֣	נוֹדֶ֣ה	מַרְעִיתֶ֭ךָ	וְצֹ֣אן	וְעַמְּךָ֣	וַאֲנַ֝חְנ֗וּ	13
世々に	永遠に	あなたに	感謝する	あなたの–牧場の	羊で–ある	あなたの–民で–あり	私たちは	
H1755	H5769		H3034	H4830	H6629		H0587	

תְּהִלָּתֶֽךָ׃	נְסַפֵּ֥ר	לְדֹ֗ר
あなたへの–賛美を	語り–伝える	世々に
H8416		H1755

そうすれば、あなたの民、あなたの牧の羊は、とこしえにあなたに感謝し、世々あなたをほめたたえるでしょう。

Chapter 80

וְיִשְׂרָאֵ֑ל	רֹ֖עֶה	מִזְמ֣וֹר׃	לְאָסָ֗ף	עֵדֻ֥ת	שֹׁשַׁנִּ֗ים	אֶל־	לַמְנַצֵּ֥חַ	1
イスラエルの	牧者よ	賛歌	アサフの	あかしの	ゆりの–花の	に–従って	指揮者の–ために	
H3478		H4210	H0623	H7802	H7802	H0413	H5329	

הַכְּרוּבִ֑ים	יֹשְׁבָ֥	יוֹסֵ֗ף	כַּצֹּ֣אן	נֹהֵ֥ג	הַאֲזִ֖ינָה
ケルビムの–上に	座す–方よ	ヨセフを	羊の–群れの–ように	導く–方よ	耳を–傾けてください
H3742	H3427	H3130	H6629		H0238

הוֹפִֽיעָה׃
輝いてください
H3313

聖歌隊の指揮者によってゆりの花のしらべにあわせてうたわせたアサフのあかしの歌 イスラエルの牧者よ、羊の群れのようにヨセフを導かれる者よ、耳を傾けてください。ケルビムの上に座せられる者よ、光を放ってください。

גְּבוּרָתֶ֑ךָ	אֶת־	עוֹרְרָ֥ה	וּמְנַשֶּׁ֗ה	וּבִנְיָמִ֥ן	וְאֶפְרַ֝יִם	לִפְנֵ֥י	2
あなたの–力を	その	奮い–起こしてください	マナセの	ベニヤミンの	エフライムの	の–前で	
H1369	H0853	H5782	H4519	H1144	H0669	H6440	

לָּֽנוּ׃	לִישֻׁעָתָ֥ה	וּלְכָ֗ה
私たちの	救いの–ために	来てください
	H3444	H3212

エフライム、ベニヤミン、マナセの前にあなたの力を振り起し、来て、われらをお救いください。

וְנִוָּשֵׁעָֽה׃	פָּנֶ֣יךָ	וְהָאֵ֑ר	הֲשִׁיבֵ֗נוּ	אֱלֹהִ֥ים	3
救われるために	あなたの–御顔を	輝かせてください	回復させてください	神よ	
H3467	H6440	H0215	H7725	H0430	

神よ、われらをもとに返し、み顔の光を照してください。そうすればわれらは救をえるでしょう。

עַמֶּךָ׃	בִּתְפִלַּת	עָשַׁנְתָּ	מָתַי	עַד־	צְבָאוֹת	אֱלֹהִים	יְהוָה	4
あなたの–民の	の–祈りに–対して	怒るのか	いつまで	いつまで	万軍の	神よ	主よ	
	H8605	H6225	H4970	H5704		H0430	H3068	

万軍の神、主よ、いつまで、その民の祈にむかってお怒りになるのですか。

שָׁלִישׁ׃	בִּדְמָעוֹת	וַתַּשְׁקֵמוֹ	דִּמְעָה	לֶחֶם	הֶאֱכַלְתָּם	5
溢れるほどに	涙を	飲ませた	涙の	パンを	食べさせた	
	H1832	H8248	H1832	H3899	H0398	

あなたは涙のパンを彼らに食わせ、多くの涙を彼らに飲ませられました。

לָמוֹ׃	יִלְעֲגוּ־	וְאֹיְבֵינוּ	לִשְׁכֵנֵינוּ	מָדוֹן	תְּשִׂימֵנוּ	6
私たちを	嘲う	私たちの–敵たちは	隣人たちの	争いの–種として	置いた–私たちを	
	H3932	H0341	H7934	H4066		

あなたはわれらを隣り人のあざけりとし、われらの敵はたがいにあざわらいました。

וְנִוָּשֵׁעָה׃	פָּנֶיךָ	וְהָאֵר	הָשִׁיבֵנוּ	צְבָאוֹת	אֱלֹהִים	7
救われるために	あなたの–御顔を	輝かせてください	回復させてください	万軍の	神よ	
H3467	H6440	H0215	H7725		H0430	

万軍の神よ、われらをもとに返し、われらの救われるため、み顔の光を照してください。

וַתִּטָּעֶהָ׃	גּוֹיִם	תְּגָרֵשׁ	תַּסִּיעַ	מִמִּצְרַיִם	גֶּפֶן	8
植えた–それを	諸国民を	追い–出した	引き–抜いた	エジプトから	ぶどうの–木を	
H5193		H1644	H5265	H4714	H1612	

あなたは、ぶどうの木をエジプトから携え出し、もろもろの国民を追い出して、これを植えられました。

אָרֶץ׃	וַתְּמַלֵּא־	שָׁרָשֶׁיהָ	וַתַּשְׁרֵשׁ	לְפָנֶיהָ	פִּנִּיתָ	9
地を	満たした	その–根を	根を–下ろした	その–前を	整えた	
H0776	H4390	H8328	H8327	H6440	H6437	

あなたはこれがために地を開かれたので、深く根ざして、国にはびこりました。

אֵל׃	אַרְזֵי־	וַעֲנָפֶיהָ	צִלָּהּ	הָרִים	כָּסּוּ	10
神の	神の–杉の–木を	その–枝は	その–陰が	山々を	覆った	
H0410	H0730	H6057	H6738	H2022	H3680	

山々はその影でおおわれ、神の香柏はその枝でおおわれました。

יוֹנְקוֹתֶיהָ׃	נָהָר	וְאֶל־	יָם	עַד־	קְצִירָהּ	תְּשַׁלַּח	11
その–若木を	川に	に–向かって	海に	に–至るまで	その–枝を	伸ばした	
H3127	H5104	H0413	H3220	H5704		H7971	

これはその枝を海にまでのべ、その若枝を大川にまでのべました。

דָּרֶךְ׃	עֹבְרֵי	כָּל־	וְאָרוּהָ	גְּדֵרֶיהָ	פָּרַצְתָּ	לָמָּה	12
道を	通る–者たちが	すべての	摘み–取る	その–垣根を	破ったのか	なぜ	
H1870		H3605	H0717	H1447	H6555	H4100	

あなたは何ゆえ、そのかきをくずして道ゆくすべての人にその実を摘み取らせられるのですか。

יִרְעֶנָּה׃	שָׂדָי	וְזִיז	מִיָּעַר	חֲזִיר	יְכַרְסְמֶנָּה	13
食い–荒らす	野の	野の–動物が	森からの	いのししが	食い–荒らす	
				H2386	H3765	

林のいのししはこれを荒し、野のすべての獣はこれを食べます。

וּרְאֵה	מִשָּׁמַיִם	הַבֵּט	נָא	שׁוּב־	צְבָאוֹת	אֱלֹהִים	14
見てください	天から	見おろしてください	どうか	立ち-戻ってください	万軍の	神よ	
H7200	H8064	H5027	H4994	H7725		H0430	

וּפְקֹד׃	גֶּפֶן	זֹאת׃
訪れてください	ぶどうの-木を	この
	H1612	H2063

万軍の神よ、再び天から見おろして、このぶどうの木をかえりみてください。

לָךְ׃	אִמַּצְתָּה	בֵּן	וְעַל־	יְמִינֶךָ	נָטְעָה	אֲשֶׁר־	וְכַנָּה	15
あなたの-ために	強めた	子の	の-上に	あなたの-右の-手が	植えた	それを	苗木を	
	H0553			H3225	H5193		H3657	

あなたの右の手の植えられた幹と、みずからのために強くされた枝とをかえりみてください。

יֹאבֵדוּ׃	פְּנֵיךָ	מִגַּעֲרַת	כְּסוּחָה	בָּאֵשׁ	שְׂרֻפָה	16
滅びる	あなたの-御顔の	の-叱責から	切り-倒された	火で	焼かれた	
H0006	H6440	H1606	H3683	H0784	H8313	

彼らは火をもってこれを焼き、これを切り倒しました。彼らをみ顔のとがめによって滅ぼしてください。

אָדָם	בֶּן־	עַל־	יְמִינֶךָ	אִישׁ	עַל־	יָדְךָ	תְּהִי־	17
人の	人の-子の	の-上に	あなたの-右の-手の	人の	の-上に	あなたの-手を	置いてください	
H0120			H3225	H0376		H3027	H1961	

לָךְ׃	אִמַּצְתָּ
あなたの-ために	強めた
	H0553

しかしあなたの手をその右の手の人の上におき、みずからのために強くされた人の子の上においてください。

נִקְרָא׃	וּבְשִׁמְךָ	תְּחַיֵּנוּ	מִמֶּךָּ	נָסוֹג	וְלֹא־	18
呼ぶ	あなたの-名を	生かしてください	あなたから	背かない	背かない	
H7121	H8034	H2421		H5472	H3808	

そうすれば、われらはあなたを離れ退くことはありません。われらを生かしてください。われらはあなたのみ名を呼びます。

וְנִוָּשֵׁעָה׃	פָּנֶיךָ	הָאֵר	הֲשִׁיבֵנוּ	צְבָאוֹת	אֱלֹהִים	יְהוָה	19
救われるために	あなたの-御顔を	輝かせてください	回復させてください	万軍の	神よ	主よ	
H3467	H6440	H0215	H7725		H0430	H3068	

万軍の神、主よ、われらをもとに返し、み顔の光を照してください。そうすればわれらは救をえるでしょう。

Chapter 81

הָרִיעוּ	עוּזֵּנוּ	לֵאלֹהִים	הָרְנִינוּ	לְאָסָף׃	הַגִּתִּית	עַל־	וְלַמְנַצֵּחַ	1
喜びの-声を-あげよ	私たち-の-力	神-に	喜び-歌え	アサフ-の	ギッティト	の-上に	指揮者-に	
H7321	H5797	H0430					H5329	

יַעֲקֹב׃	לֵאלֹהֵי
ヤコブ	の-神-に
H3290	H0430

聖歌隊の指揮者によってギテトのしらべにあわせてうたわせたアサフの歌 われらの力なる神にむかって高らかに歌え。ヤコブの神にむかって喜びの声をあげよ。

2

שְׂאוּ־	זִמְרָה	וּתְנוּ־	תֹף	כִּנּוֹר	נָעִים	עִם־	נָבֶל׃
取り–あげよ	歌–を	そして–打ち–鳴らせ	太鼓–を	琴–を	美しい	と–共に	竪琴
H5375	H2172	H5414	H8596	H3658			

歌をうたい、鼓を打て。良い音の琴と立琴とをかきならせ。

3

תִּקְעוּ	בַחֹדֶשׁ	שׁוֹפָר	בַּכֶּסֶה	לְיוֹם	חַגֵּנוּ׃	
吹き–鳴らせ	新月–に	角笛–を	満月–に	の–日–に	私たち–の–祭り	
H8628	H2320	H7782	H3677	H3117	H2282	

新月と満月とわれらの祭の日とにラッパを吹きならせ。

4

כִּי	חָק	לְיִשְׂרָאֵל	הוּא	מִשְׁפָּט	לֵאלֹהֵי	יַעֲקֹב׃
なぜなら	定め	イスラエル–の–ために	それ–は	裁き	の–神–の	ヤコブ
	H2706	H3478	H1931	H4941	H0430	H3290

これはイスラエルの定め、ヤコブの神のおきてである。

5

וְעֵדוּת	בִּיהוֹסֵף	שָׂמוֹ	בְּצֵאתוֹ	עַל־	אֶרֶץ	מִצְרָיִם	שְׂפַת
証し–を	ヨセフ–の–中–に	彼–は–置いた	出て–行った–とき	に–対して	地–の	エジプト	言葉–を
H5715	H3084		H3318		H0776	H4714	H8193

לֹא־	יָדַעְתִּי	אֶשְׁמָע׃
ない	知った	私–は–聞いた
H3808	H3045	H8085

神が出てエジプトの国を攻められたとき、ヨセフのなかにこれを立てて、あかしとされた。わたしはかしこでまだ知らなかった言葉を聞いた、

6

הֲסִירוֹתִי	מִסֶּבֶל	שִׁכְמוֹ	כַּפָּיו	מִדּוּד	תַּעֲבֹרְנָה׃
取り–除いた	重荷–から	その–肩–を	その–手–は	かご–から	解放–された
H5493	H5447	H7926	H3709	H1731	

「わたしはあなたの肩から重荷をのぞき、あなたの手をかごから免れさせた。

7

בַּצָּרָה	קָרָאתָ	וָאֲחַלְּצֶךָּ	אֶעֱנְךָ	בְּסֵתֶר	רַעַם	אֶבְחָנְךָ	עַל־
苦難–の–中–で	呼んだ	そして–救い–出した	答えた	隠れた–場所–で	雷–の	試みた	の–上–で
	H7121				H7482	H0974	

מֵי	מְרִיבָה	סֶלָה׃	
水–の	メリバ	セラ	
H4325	H4809	H5542	

あなたが悩んだとき、呼ばわったのでわたしはあなたを救った。わたしは雷の隠れた所で、あなたに答え、メリバの水のほとりで、あなたを試みた。[セラ

8

שִׁמְעָה	וְאָעִידָה	בָּךְ	יִשְׂרָאֵל	אִם־	תִּשְׁמַע־	לִי׃	
聞け	そして–警告–する	あなた–に	イスラエル–よ	もし	聞く–ならば	わたし–に	
H8085			H3478		H8085		

わが民よ、聞け、わたしはあなたに勧告する。イスラエルよ、あなたがわたしに聞き従うことを望む。

9

לֹא־	יִהְיֶה	בְּךָ	אֵל	זָר	וְלֹא	תִשְׁתַּחֲוֶה	
ない	あっては–ならない	あなた–の–中–に	神–は	異国–の	そして–ない	ひれ伏しては–ならない	
H3808	H1961		H0410		H3808	H7812	

לְאֵל	נֵכָר׃	
の–神–に	外国–の	
H0410	H5236	

あなたのうちに他の神があってはならない。あなたは外国の神を拝んではならない。

10 וְאָנֹכִי יְהוָה הַמַּעַלְךָ מֵאֶרֶץ מִצְרָיִם הַרְחֶב־ פִּיךָ וַאֲמַלְאֵהוּ׃
わたし–は 主 導き–上った–者 の–地–から エジプト 大きく–開け あなた–の–口–を そして–満たそう
H0595 H3068 H5927 H0776 H4714 H7337 H6310 H4390

わたしはエジプトの国から、あなたをつれ出したあなたの神、主である。あなたの口を広くあけよ、わたしはそれを満たそう。

11 וְלֹא־ שָׁמַע עַמִּי לְקוֹלִי וְיִשְׂרָאֵל לֹא־ אָבָה לִי׃
しかし–ない 聞いた わが–民–は わたし–の–声–に そして–イスラエル–は 従おうと–した わたし–に
H3808 H8085 H5971 H0596 H3478 H0014 H3807

しかしわが民はわたしの声に聞き従わず、イスラエルはわたしを好まなかった。

12 וָאֲשַׁלְּחֵהוּ בִּשְׁרִירוּת לִבָּם יֵלְכוּ בְּמוֹעֲצוֹתֵיהֶם׃
それで–任せた 頑な–な その–心–に 歩ませた 自分–の–思い–の–まま–に
H7971 H8307 H3824 H3212 H4156

それゆえ、わたしは彼らをそのかたくなな心にまかせ、その思いのままに行くにまかせた。

13 לוּ עַמִּי שֹׁמֵעַ לִי יִשְׂרָאֵל בִּדְרָכַי יְהַלָּכוּ׃
ああ わが–民–が 聞いて–いたら わたし–に イスラエル–が わたし–の–道–に 歩んで–いたら
H3863 H5971 H8085 H3478 H1870 H1980

わたしはわが民のわたしに聞き従い、イスラエルのわが道に歩むことを欲する。

14 כִּמְעַט אוֹיְבֵיהֶם אַכְנִיעַ וְעַל צָרֵיהֶם אָשִׁיב יָדָי׃
すぐ–に その–敵–を 屈服–させ そして–の–上–に その–苦しめる–者–に 向けた–であろう わたし–の–手–を
H4592 H0341 H3665 H5921 H6887 H7725 H3027

わたしはすみやかに彼らの敵を従え、わが手を彼らのあだに向けよう。

15 מְשַׂנְאֵי יְהוָה יְכַחֲשׁוּ־ לוֹ וְיִהְיֶה עִתָּם לְעוֹלָם׃
憎む–者–は 主–を へつらい–服従し 彼–に そして–あった–であろう その–時–は 永遠–に
H8130 H3068 H3584 H0 H1961 H6256 H5769

主を憎む者も彼らに恐れ従い、彼らの時はとこしえに続くであろう。

16 וַיַּאֲכִילֵהוּ מֵחֵלֶב חִטָּה וּמִצּוּר דְּבַשׁ אַשְׂבִּיעֶךָּ׃
そして–食べ–させた 最良–の–小麦–で 小麦–の そして–岩–から 蜜–で 満たそう
H0398 H2459 H2406 H6697 H1706 H7646

わたしは麦の最も良いものをもってあなたを養い、岩から出た蜜をもってあなたを飽かせるであろう」。

Chapter 82

1 מִזְמוֹר לְאָסָף אֱלֹהִים נִצָּב בַּעֲדַת־ אֵל בְּקֶרֶב אֱלֹהִים יִשְׁפֹּט׃
詩篇 アサフ–の 神–は 立って–おられる の–集い–に 神 の–中–で 裁か–れる
H4210 H0623 H0430 H5324 H5712 H0410 H7130 H0430 H8199

アサフの歌 神は神の会議のなかに立たれる。神は神々のなかで、さばきを行われる。

סֶּלָה׃	תִּשְׂאוּ־	רְשָׁעִים	וּפְנֵי	עָוֶל	תִּשְׁפְּטוּ־	מָתַי	עַד־	2
セラ	持ち-上げる-のか	悪人-の	そして-顔-を	不正-に	裁く-のか	いつ-まで	いつ-まで	
H5542	H5375	H7563	H6440		H8199	H4970	H5704	

「あなたがたはいつまで不正なさばきをなし、悪しき者に好意を示すのか。[セラ

הַצְדִּיקוּ׃	וְרָשׁ	עָנִי	וְיָתוֹם	דַּל	שִׁפְטוּ־	3
義と-せよ	そして-乏しい-者-を	貧しい-者-と	そして-孤児-を	弱い-者-と	裁け	
H6663	H7326	H6041	H3490	H1800	H8199	

弱い者と、みなしごとを公平に扱い、苦しむ者と乏しい者の権利を擁護せよ。

הַצִּילוּ׃	רְשָׁעִים	מִיַּד	וְאֶבְיוֹן	דַּל	פַּלְטוּ־	4
助け-出せ	悪人-の	の-手-から	そして-貧しい-者-を	弱い-者-と	救い-出せ	
H5337	H7563	H3027	H0034	H1800	H6403	

弱い者と貧しい者を救い、彼らを悪しき者の手から助け出せ」。

כָּל־	יִמּוֹטוּ	יִתְהַלֵּכוּ	בַּחֲשֵׁכָה	יָבִינוּ	וְלֹא	וְיֵדָעוּ	לֹא	5
全て-の	揺ら-いで-いる	歩き-回る	闇-の-中-を	悟ら-ない	そして-ない	知ら-ない	ない	
H3605	H4131	H1980	H2825	H0995	H3808	H3045	H3808	

מוֹסְדֵי	אֶרֶץ׃
基-は	地-の
H4144	H0776

彼らは知ることなく、悟ることもなくて、暗き中をさまよう。地のもろもろの基はゆり動いた。

כֻּלְּכֶם׃	עֶלְיוֹן	וּבְנֵי	אַתֶּם	אֱלֹהִים	אָמַרְתִּי	אֲנִי־	6
すべて	いと-高き-者-の	そして-子ら-で	あなたがた-は	神々-で	言った	わたし-は	
H3605				H0430	H0559	H0589	

わたしは言う、「あなたがたは神だ、あなたがたは皆いと高き者の子だ。

תִּפֹּלוּ׃	הַשָּׂרִים	וּכְאַחַד	תְּמוּתוּן	כְּאָדָם	אָכֵן	7
倒れる-であろう	君-たち-の	そして-の-一人-の-ように	死ぬ-であろう	人-の-ように	しかし	
H5307	H8269	H0259	H4191	H0120	H0403	

しかし、あなたがたは人のように死に、もろもろの君のひとりのように倒れるであろう」。

בְּכָל־	תִּנְחַל	אַתָּה	כִּי־	הָאָרֶץ	שָׁפְטָה	אֱלֹהִים	קוּמָה	8
全て-の	受け-継がれる	あなた-が	なぜなら	地-を	裁いて-ください	神-よ	立ち-上がれ	
H3605	H5157			H0776	H8199	H0430		

הַגּוֹיִם׃
国々-を

神よ、起きて、地をさばいてください。すべての国民はあなたのものだからです。

Chapter 83

תֶּחֱרַשׁ	אַל־	לָךְ	דֳמִי־	אַל־	אֱלֹהִים	לְאָסָף׃	מִזְמוֹר	שִׁיר	1
黙って-いないで	ない	ください	沈黙-しないで	ない	神-よ	アサフ-の	詩篇	歌	
	H0408		H1824	H0408	H0430	H0623	H4210		

אֵל׃	תִּשְׁקֹט	וְאַל־
神-よ	静かに-しないで	そして-ない
H0410	H8252	H0408

アサフの歌、さんび 神よ、沈黙を守らないでください。神よ、何も言わずに、黙っていないでください。

נָשְׂאוּ	מְשַׂנְאֶיךָ	יֶהֱמָיוֹן	אוֹיְבֶיךָ	הִנֵּה	כִּי־	2
持ち–上げた	そして–あなた–を–憎む–者–が	騒ぎ–立てる	あなた–の–敵–が	見よ	なぜなら–見よ	
H5375	H8130	H1993	H0341	H2009		

רֹאשׁ׃
頭–を

見よ、あなたの敵は騒ぎたち、あなたを憎む者は頭をあげました。

עַל־	וְיִתְיָעֲצוּ	סוֹד	יַעֲרִימוּ	עַמֶּךָ	עַל־	3
に–対して	そして–相談–する	計略–を	巧みに–謀る	あなた–の–民–に	に–対して	
	H3289	H5475	H6191			

צְפוּנֶיךָ׃
あなた–の–隠された–者–に
H6845

彼らはあなたの民にむかって巧みなはかりごとをめぐらし、あなたの保護される者にむかって相ともに計ります。

שֵׁם־	יִזָּכֵר	וְלֹא־	מִגּוֹי	וְנִכְחֲדֵם	לְכוּ	אָמְרוּ	4
名–は	記憶–されない–ように	そして–ない	国民–から	そして–絶やそう	さあ	言った	
H8034	H2142	H3808		H3582	H3212	H0559	

עוֹד׃ יִשְׂרָאֵל
もはや イスラエル–の
H5750 H3478

彼らは言います、「さあ、彼らを断ち滅ぼして国を立てさせず、イスラエルの名をふたたび思い出させないようにしよう」。

יִכְרֹתוּ׃	בְּרִית	עָלֶיךָ	יַחְדָּו	לֵב	נוֹעֲצוּ	כִּי	5
結ぶ	契約–を	あなた–に–対して	一つ–に	心–を	相談–した	なぜなら	
H3772	H1285				H3289		

彼らは心をひとつにして共にはかり、あなたに逆らって契約を結びます。

וְהַגְרִים׃	מוֹאָב	וְיִשְׁמְעֵאלִים	אֱדוֹם	אָהֳלֵי		6
そして–ハグリ–人	モアブ	そして–イシュマエル–人	エドム	天幕–の		
H1905	H4124	H3459	H0123	H0168		

すなわちエドムの天幕に住む者とイシマエルびと、モアブとハガルびと、

צוֹר׃	יֹשְׁבֵי	עִם־	פְּלֶשֶׁת	וַעֲמָלֵק	וְעַמּוֹן	גְּבָל	7
ツロ	住む–者–の	と–共に	ペリシテ	そして–アマレク	そして–アンモン	ゲバル	
H6865	H3427		H6429	H6002	H5983	H1381	

ゲバルとアンモンとアマレク、ペリシテとツロの住民などです。

סֶלָה׃	לוֹט	לִבְנֵי־	זְרוֹעַ	הָיוּ	עִמָּם	נִלְוָה	אַשּׁוּר	גַּם־	8
セラ	ロト	の–子ら–の	腕–と	なった	彼ら–と	加わった	アッシリア–も	また	
H5542	H3876		H2220	H1961			H0804	H1571	

アッスリヤもまた彼らにくみしました。彼らはロトの子孫を助けました。[セラ

9
בְּנַחַל
の–川–で
H2985
כִּיבִין
ヤビン–の–ように
H2985
כְּסִיסְרָא
シスラ–の–ように
H5516
כְּמִדְיָן
ミディアン–の–ように
H4080
לָהֶם
彼ら–に
H1992
עֲשֵׂה־
して–ください
קִישׁוֹן׃
キション
H7028

あなたがミデアンにされたように、キション川でシセラとヤビンにされたように、彼らにしてください。

10
לָאֲדָמָה׃
土–の
H0127
דֶּשֶׁן
肥やし–と
H1828
הָיוּ
なった
H1961
בְּעֵין־דֹּאר
エン・ドル–で
H5874
נִשְׁמְדוּ
滅ぼされた
H8045

彼らはエンドルで滅ぼされ、地のために肥料となりました。

11
וְכִזְאֵב
そして–ゼエブ–の–ように
H2062
כְּעֹרֵב
オレブ–の–ように
H6159
נְדִיבֵמוֹ
その–貴人–を
H5081
שִׁיתֵמוֹ
して–ください
H7896
וְכִזֶבַח
そして–ゼバハ–の–ように
H2078
נְסִיכֵמוֹ׃
君主–たち–を
כָּל־
全て–の
H3605
וּכְצַלְמֻנָּע
そして–ツァルムンナ–の–ように
H6759

彼らの貴人をオレブとゼエブのように、そのすべての君たちをゼバとザルムンナのようにしてください。

12
אֲשֶׁר
彼ら–が
אָמְרוּ
言った
H0559
נִירְשָׁה
占領–しよう
H3423
לָנוּ
自分–の–ため–に
אֵת
を
H0853
נְאוֹת
牧場–を
H4999
אֱלֹהִים׃
神–の
H0430

彼らは言いました、「われらは神の牧場を獲て、われらの所有にしよう」と。

13
אֱלֹהַי
わが–神–よ
H0430
שִׁיתֵמוֹ
して–ください
H7896
כַּגַּלְגַּל
回転草–の–ように
H1534
כְּקַשׁ
籾–の–ように
H7179
לִפְנֵי־
の–前–の
H6440
רוּחַ׃
風
H7307

わが神よ、彼らを巻きあげられるちりのように、風の前のもみがらのようにしてください。

14
כְּאֵשׁ
火–が–の–ように
H0784
תִּבְעַר־
燃える
H1197
יָעַר
森–を
H3293
וּכְלֶהָבָה
そして–炎–が–の–ように
H3852
תְּלַהֵט
燃え–あがらせる
H3857
הָרִים׃
山々–を
H2022

林を焼く火のように、山を燃やす炎のように、

15
כֵּן
その–ように
תִּרְדְּפֵם
追い–かけて–ください
H7291
בְּסַעֲרָתֶךָ
あなた–の–嵐–で
וּבְסוּפָתְךָ
そして–あなた–の–暴風–で
תְבַהֲלֵם׃
恐れ–させて–ください
H0926

あなたのはやてをもって彼らを追い、つむじかぜをもって彼らを恐れさせてください。

16
מַלֵּא
満たして–ください
H4390
פְּנֵיהֶם
その–顔–を
H6440
קָלוֹן
恥–で
H7036
וְיבַקְשׁוּ
そうすれば–求める–であろう
H1245
שִׁמְךָ
あなた–の–名–を
H8034
יְהוָה׃
主–よ
H3068

彼らの顔に恥を満たしてください。主よ、そうすれば彼らはあなたの名を求めるでしょう。

17
יֵבֹשׁוּ
恥じ–よ
H0954
וְיִבָּהֲלוּ
そして–おののき–よ
H0926
עֲדֵי־
いつ–まで–も
H5703
עַד
永遠–に
H5704
וְיַחְפְּרוּ
そして–辱めを–受け–よ
H2659
וְיֹאבֵדוּ׃
そして–滅び–よ
H0006

彼らをとこしえに恥じ恐れさせ、あわて惑って滅びうせさせてください。

עֶלְיוֹן	לְבַדֶּךָ	יְהוָה	שִׁמְךָ	אַתָּה	כִּי־	וְיֵדְעוּ	18
いと–高き–者	ただ–独り	主	その–名–は	あなた–だけ–が	なぜなら	そして–知る–ように	
H0905		H3068	H8034			H3045	

הָאָרֶץ׃	כָּל־	עַל־
地	全て–の	の–上–に
H0776	H3605	

主という名をおもちになるあなたのみ、全地をしろしめすいと高き者であることを彼らに知らせてください。

Chapter 84

יְדִידוֹת	מַה־	מִזְמוֹר׃	קֹרַח	לִבְנֵי־	הַגִּתִּית	עַל־	לַמְנַצֵּחַ	1
愛しい	なんと	詩篇	コラ	の–子ら–の	ギッティト	の–上–に	指揮者–に	
	H4100	H4210	H7141		H1665		H5329	

צְבָאוֹת׃	יְהוָה	מִשְׁכְּנוֹתֶיךָ
万軍–の	主–よ	あなた–の–住まい–は
	H3068	H4908

聖歌隊の指揮者によってギテトのしらべにあわせてうたわせたコラの子の歌 万軍の主よ、あなたのすまいはいかに麗しいことでしょう。

לִבִּי	יְהוָה	לְחַצְרוֹת	נַפְשִׁי	וְכָלְתָה	וְגַם־	נִכְסְפָה	2
わが–心–と	主	の–庭–を	わが–魂–は	絶え–入る	そして–また	憧れ–求める	
	H3068		H5315	H3615	H1571	H3700	

חָי׃	אֶל־	אֵל	יְרַנְּנוּ	וּבְשָׂרִי
生ける	神–に	に–向かって	喜び–歌う	そして–わが–肉体–は
	H0410	H0413		H1320

わが魂は絶えいるばかりに主の大庭を慕い、わが心とわが身は生ける神にむかって喜び歌います。

שָׁתָה	אֲשֶׁר־	לָהּ	קֵן	וּדְרוֹר	בַּיִת	מָצְאָה	וְצִפּוֹר	גַּם־	3
置いた	そこ–に	自分–の–ために	巣–を	そして–つばめ–は	家–を	見つけた	雀–も	また	
H7896			H7064	H1866		H4672	H6833	H1571	

וֵאלֹהָי׃	מַלְכִּי	צְבָאוֹת	יְהוָה	מִזְבְּחוֹתֶיךָ	אֶת־	אֶפְרֹחֶיהָ	
そして–わが–神–よ	わが–王–よ	万軍–の	主–よ	祭壇–を	あなた–の	その–雛–を	
H0430	H4428		H3068	H4196	H0853	H0667	

すずめがすみかを得、つばめがそのひなをいれる巣を得るように、万軍の主、わが王、わが神よ、あなたの祭壇のかたわらにわがすまいを得させてください。

סֶלָה׃	יְהַלְלוּךָ	עוֹד	בֵּיתֶךָ	יוֹשְׁבֵי	אַשְׁרֵי	4
セラ	讃美–して–いる	絶えず	あなた–の–家–に	住む–者–は	幸い–なるかな	
H5542		H5750		H3427	H0835	

あなたの家に住み、常にあなたをほめたたえる人はさいわいです。[セラ

בִּלְבָבָם׃	מְסִלּוֹת	בָּךְ	לוֹ	עֹוז־	אָדָם	אַשְׁרֵי	5
その–心–の–中–に	大路–が	あなた–の–中–に	彼–に	力–を	人–は	幸い–なるかな	
H3824	H4546			H5797	H0120	H0835	

その力があなたにあり、その心がシオンの大路にある人はさいわいです。

מוֹרֶה׃	יַעְטֶה	בְּרָכוֹת	גַּם־	יְשִׁיתוּהוּ	מַעְיָן	הַבָּכָא	בְּעֵמֶק	וְעֹבְרֵי	6
早い–雨–が	覆う	祝福–で	また	する	泉–と	涙–の	の–谷–を	通り–過ぎる	
H4175		H1293	H1571	H7896	H4599	H1056	H6010		

彼らはバカの谷を通っても、そこを泉のある所とします。また前の雨は池をもってそこをおおいます。

7 יֵלְכוּ מֵחַיִל אֶל־חָיִל יֵרָאֶה אֶל־אֱלֹהִים בְּצִיּוֹן׃
進み–行く 力–から 力–へ に–向かって 現れる 神–の の–前–に シオン–で
H3212 H2428 H2428 H0413 H7200 H0430 H0413 H6726

彼らは力から力に進み、シオンにおいて神々の神にまみえるでしょう。

8 יְהוָה אֱלֹהִים צְבָאוֹת שִׁמְעָה תְפִלָּתִי הַאֲזִינָה אֱלֹהֵי יַעֲקֹב סֶלָה׃
主–よ 神–よ 万軍–の 聞いて–ください わが–祈り–を 耳を–傾けて–ください の–神–よ ヤコブ セラ
H3068 H0430 H6635 H8085 H8605 H0238 H0430 H3290 H5542

万軍の神、主よ、わが祈をおききください。ヤコブの神よ、耳を傾けてください。[セラ

9 מָגנֵנוּ רְאֵה אֱלֹהִים וְהַבֵּט פְּנֵי מְשִׁיחֶךָ׃
私たち–の–盾–よ 見て–ください 神–よ そして–顧みて–ください の–顔–を あなた–の–油注がれた–者
H4043 H7200 H0430 H5027 H6440 H4899

神よ、われらの盾をみそなわし、あなたの油そそがれた者の顔をかえりみてください。

10 כִּי טוֹב־יוֹם בַּחֲצֵרֶיךָ מֵאָלֶף בָּחַרְתִּי הִסְתּוֹפֵף בְּבֵית אֱלֹהַי מִדּוּר בְּאָהֳלֵי־רֶשַׁע׃
なぜなら 良い 一日–は あなた–の–庭–に–おける 千–より 選ぶ 敷居–に–立つ–こと–を の–家–に よりも–住む–こと–を の–天幕–に 悪
H3588 H2896 H3117 H2691 H0505 H0977 H5605 H1004 H4908 H0168 H7562

あなたの大庭にいる一日は、よそにいる千日にもまさるのです。わたしは悪の天幕にいるよりは、むしろ、わが神の家の門守となることを願います。

11 כִּי שֶׁמֶשׁ וּמָגֵן יְהוָה אֱלֹהִים חֵן וְכָבוֹד יִתֵּן יְהוָה לֹא יִמְנַע־טוֹב לַהֹלְכִים בְּתָמִים׃
なぜなら 太陽–であり そして–盾–である 主–は 神–は 恵み–と そして–栄光–を 与える 主–は ない 拒ま–ない 良い–もの–を の–歩む–者–に 全き–もの–の–中–で
H3588 H8121 H4043 H3068 H0430 H2580 H3519 H5414 H3068 H3808 H4513 H2896 H1980 H8549

主なる神は日です、盾です。主は恵みと誉とを与え、直く歩む者に良い物を拒まれることはありません。

12 יְהוָה צְבָאוֹת אַשְׁרֵי אָדָם בֹּטֵחַ בָּךְ׃
主–よ 万軍–の 幸い–なるかな 人–は 信頼–する あなた–に
H3068 H6635 H0835 H0120 H0982

万軍の主よ、あなたに信頼する人はさいわいです。

Chapter 85

1 לַמְנַצֵּחַ לִבְנֵי־קֹרַח מִזְמוֹר׃ רָצִיתָ יְהוָה אַרְצֶךָ שַׁבְתָּ שְׁבוּת[שבות] יַעֲקֹב׃
指揮者–に の–子ら–の コラ 詩篇 喜んで–くださった 主–よ あなた–の–地–を 帰ら–せた 捕囚–の 捕囚–の ヤコブ–の
H5329 H0141 H4210 H7521 H3068 H0776 H7725 H7622 H7622 H3290

聖歌隊の指揮者によってうたわせたコラの子の歌 主よ、あなたはみ国にめぐみを示し、ヤコブの繁栄を回復されました。

2 רָצִ֣יתָ יְהוָ֣ה אַרְצֶ֑ךָ שַׁ֝בְתָּ שְׁב֣וּת יַעֲקֹֽב׃
あなた–は 喜ばれた 主–よ あなた–の–地–を 帰らせた 捕らわれ–を ヤコブ–の
H7521 H3068 H0776 H7725 H7622 H3290

あなたはその民の不義をゆるし、彼らの罪をことごとくおおわれました。[セラ

3 נָשָׂ֣אתָ עֲוֹ֣ן עַמֶּ֑ךָ כִּ֝סִּ֗יתָ כָּל־חַטָּאתָ֥ם סֶֽלָה׃
あなた–は 赦した 咎–を 民–の–あなた 覆った 全て–の 罪–その–を セラ
H5375 H5771 H5971 H3680 H3605 H2403 H5542

あなたはすべての怒りを捨て、激しい憤りを遠ざけられました。

4 אָסַ֣פְתָּ כָל־עֶבְרָתֶ֑ךָ הֵ֝שַׁ֗בְתָּ מֵחֲר֣וֹן אַפֶּֽךָ׃
あなた–は 取り–去った 全て–の 怒り–を あなた–の–怒り–を やめた 燃える–怒り–から あなた–の
H0622 H3605 H5678 H7725 H2740 H0639

5 שׁוּבֵ֣נוּ אֱ֭לֹהֵי יִשְׁעֵ֑נוּ וְ֝הָפֵ֗ר כַּעַסְךָ֥ עִמָּֽנוּ׃
私たち–に–対する あなた–の–怒り–を そして–やめて–ください 私たち–の–救い–の の–神–よ 立ち–帰らせて–ください
H5973 H3708 H3468 H0430 H7725

われらの救の神よ、われらを回復し、われらに対するあなたの憤りをおやめください。

6 הַלְעוֹלָ֥ם תֶּאֱנַף־בָּ֑נוּ תִּ֝מְשֹׁךְ־אַפְּךָ֥ לְדֹ֗ר וָדֹֽר׃
また–代々–に 代々–に–わたって 引き–延ばす–のか あなた–の–怒り–を 私たち–に お–怒りに–なる–のか 永遠–に
H1755 H0639 H4900 H0599 H5769

7 הֲלֹא־אַתָּ֣ה תָשׁ֣וּב תְּחַיֵּ֑נוּ וְ֝עַמְּךָ֗ יִשְׂמְחוּ־בָֽךְ׃
あなた–に–あって 喜ぶ–であろう そうすれば–あなた–の–民–は 生かして–くださる–のは 立ち–帰って あなた–が では–ない–のか
H8055 H3808 H7725 H0859 H2421

あなたの民が、あなたによって喜びを得るため、われらを再び生かされないのですか。

8 הַרְאֵ֣נוּ יְ֭הוָה חַסְדֶּ֑ךָ וְ֝יֶשְׁעֲךָ֗ תִּתֶּן־לָֽנוּ׃
私たち–に 与えて–ください そして–あなた–の–救い–を あなた–の–憐れみ–を 主–よ 見せて–ください
H5414 H3468 H2617 H3068 H7200

主よ、あなたのいつくしみをわれらに示し、あなたの救をわれらに与えてください。

9 אֶשְׁמְעָ֣ה מַה־יְּדַבֵּ֣ר הָ֭אֵל יְהוָ֑ה כִּ֤י יְדַבֵּ֖ר שָׁל֥וֹם אֶל־עַמּ֗וֹ
その–民–に そして–に–向かって 聞こう 何–を 語られる–か 神–は 主–は なぜなら 語られる 平和–を に–向かって
H5971 H0413 H8085 H4100 H1696 H0410 H3068 H1696 H7965 H0413

וְאֶל־חֲסִידָ֑יו וְאַל־יָ֝שׁ֗וּבוּ לְכִסְלָֽה׃
そして–に–向かって その–聖徒–たち–に そして–ない 帰る–ように 愚かさ–に
H0413 H2623 H0408 H7725 H3690

わたしは主なる神の語られることを聞きましょう。主はその民、その聖徒、ならびにその心を主に向ける者に、平和を語られるからです。

בְּאַרְצֵנוּ׃	כָּבוֹד	לִשְׁכֹּן	יְשׁוּעָתוֹ	לִירֵאָיו	קָרוֹב	אַךְ		9
私たち–の–地–に	栄光–を	住まわ–せる–ために	その–救い–は	その–畏れる–者–に	近い	まこと–に		
H0776	H3519	H7931	H3468	H3373	H7138	H0389		

まことに、その救は神を恐れる者に近く、その栄光はわれらの国にとどまるでしょう。

נָשָׁקוּ׃	וְשָׁלוֹם	צֶדֶק	נִפְגָּשׁוּ	וֶאֱמֶת	חֶסֶד־	10
口づけ–した	そして–平和–は	義–と	出会った	そして–真実–は	憐れみ–と	
	H7965	H6664	H6298	H0571		

いつくしみと、まこととは共に会い、義と平和とは互に口づけし、

נִשְׁקָף׃	מִשָּׁמַיִם	וְצֶדֶק	תִּצְמָח	מֵאֶרֶץ	אֱמֶת	11
見下ろす	天–から	そして–義–は	芽生え–出る	地–から	真実–は	
H8259	H8064	H6664	H6779	H0776	H0571	

まことは地からはえ、義は天から見おろすでしょう。

יְבוּלָהּ׃	תִּתֵּן	וְאַרְצֵנוּ	הַטּוֹב	יִתֵּן	יְהוָה	גַּם־	12
その–産物–を	与える	そして–私たち–の–地–は	良い–もの–を	与える	主–は	また	
H2981	H5414	H0776		H5414	H3068	H1571	

主が良い物を与えられるので、われらの国はその産物を出し、

פְּעָמָיו׃	לְדֶרֶךְ	וְיָשֶׂם	יְהַלֶּךָ	לְפָנָיו	צֶדֶק	13
その–歩み–を	の–道–に	そして–置く	歩む	その–前–を	義–は	
H6471	H1870		H1980	H6440	H6664	

義は主のみ前に行き、その足跡を道とするでしょう。

Chapter 86

עָנִי	כִּי־	עֲנֵנִי	אָזְנְךָ	יְהוָה	הַטֵּה־	לְדָוִד	תְּפִלָּה	1
貧しく	なぜなら	答えて–ください	あなた–の–耳–を	主–よ	傾けて–ください	ダビデ–の	祈り	
H6041			H0241	H3068	H5186	H1732	H8605	

אָנִי׃	וְאֶבְיוֹן
私–は	そして–乏しい
H0589	H0034

ダビデの祈 主よ、あなたの耳を傾けて、わたしにお答えください。わたしは苦しみかつ乏しいからです。

עַבְדֶּךָ	הוֹשַׁע	אֲנִי	חָסִיד	כִּי־	נַפְשִׁי	שָׁמְרָה		2
あなた–の–僕–を	救って–ください	私–は	忠実–で	なぜなら	わが–魂–を	守って–ください		
H5650	H3467	H0589	H2623		H5315	H8104		

אֵלֶיךָ׃	הַבּוֹטֵחַ	אֱלֹהָי	אַתָּה
あなた–に	信頼–する–者	わが–神	あなた–は
H0413	H0982	H0430	

わたしのいのちをお守りください。わたしは神を敬う者だからです。あなたに信頼するあなたのしもべをお救いください。あなたはわたしの神です。

הַיּוֹם׃	כָּל־	אֶקְרָא	אֵלֶיךָ	כִּי	אֲדֹנָי	חָנֵּנִי	3
終日	一日–中	呼び–求める	あなた–に	なぜなら	主–よ	憐れんで–ください	
H3117	H3605	H7121	H0413		H0136		

主よ、わたしをあわれんでください。わたしはひねもすあなたに呼ばわります。

4

שַׂמֵּחַ	נֶפֶשׁ	עַבְדֶּךָ	כִּי	אֵלֶיךָ	אֲדֹנָי	נַפְשִׁי	אֶשָּׂא׃
喜ばせて–ください	魂–を	あなた–の–僕–の	なぜなら	あなた–に	主–よ	わが–魂–を	持ち–上げる
H8055	H5315	H5650		H0413	H0136	H5315	H5375

あなたのしもべの魂を喜ばせてください。主よ、わが魂はあなたを仰ぎ望みます。

5

כִּי־	אַתָּה	אֲדֹנָי	טוֹב	וְסַלָּח	וְרַב־	חֶסֶד	לְכָל־
なぜなら	あなた–は	主–よ	良く	そして–赦して–くださる	そして–豊か–な	憐れみ–を	全て–の–に
		H0136		H5546			H3605

קֹרְאֶיךָ׃
呼び–求める–者–に
H7121

主よ、あなたは恵みふかく、寛容であって、あなたに呼ばわるすべての者にいつくしみを豊かに施されます。

6

הַאֲזִינָה	יְהוָה	תְּפִלָּתִי	וְהַקְשִׁיבָה	בְּקוֹל	תַּחֲנוּנוֹתָי׃
耳を–傾けて–ください	主–よ	わが–祈り–に	そして–耳を–傾けて–ください	の–声–に	わが–嘆願–の
H0238	H3068	H8605	H7181		H8469

主よ、わたしの祈に耳を傾け、わたしの願いの声をお聞きください。

7

בְּיוֹם	צָרָתִי	אֶקְרָאֶךָּ	כִּי	תַעֲנֵנִי׃
の–日–に	苦難–の	呼ぶ	なぜなら	答えて–くださる
H3117		H7121		

わたしの悩みの日にわたしはあなたに呼ばわります。あなたはわたしに答えられるからです。

8

אֵין־	כָּמוֹךָ	בָּאֱלֹהִים	אֲדֹנָי	וְאֵין	כְּמַעֲשֶׂיךָ׃	
ない	あなた–の–よう–な–者–は	神々–の–中–に	主–よ	そして–ない	あなた–の–業–の–よう–な	
H0369	H3644	H0430	H0136	H0369	H4639	

主よ、もろもろの神のうちにあなたに等しい者はなく、また、あなたのみわざに等しいものはありません。

9

כָּל־	גּוֹיִם	אֲשֶׁר	עָשִׂיתָ	וְיָבֹאוּ	וְיִשְׁתַּחֲווּ	לְפָנֶיךָ	אֲדֹנָי
全て–の	国々–は	あなた–が	造られた	来て	そして–ひれ伏す	あなた–の–前–に	主–よ
H3605				H0935	H7812	H6440	H0136

וְיכַבְּדוּ	לִשְׁמֶךָ׃
そして–崇める	あなた–の–名–を
H3513	H8034

主よ、あなたが造られたすべての国民はあなたの前に来て、伏し拝み、み名をあがめるでしょう。

10

כִּי־	גָדוֹל	אַתָּה	וְעֹשֵׂה	נִפְלָאוֹת	אַתָּה	אֱלֹהִים	לְבַדֶּךָ׃
なぜなら	大いなる	あなた–は	そして–行う	不思議–を	あなた–は	神–である	ただ–独り
				H6381		H0430	H0905

あなたは大いなる神で、くすしきみわざをなされます。ただあなたのみ、神でいらせられます。

11

יָחֵד	בַּאֲמִתֶּךָ	אֲהַלֵּךְ	דַּרְכֶּךָ	וְיהוָה	הוֹרֵנִי	
一つに–して–ください	あなた–の–真実–の–中–を	歩みます	あなた–の–道–を	主–よ	教えて–ください	
H3161	H0571	H1980	H1870	H3068		

שְׁמֶךָ׃	לְיִרְאָה	לְבָבִי
あなた–の–名–を	の–畏れる–ために	わが–心–を
H8034	H3372	H3824

主よ、あなたの道をわたしに教えてください。わたしはあなたの真理に歩みます。心をひとつにしてみ名を恐れさせてください。

לְעוֹלָם׃	שִׁמְךָ	וַאֲכַבְּדָה	לְבָבִי	בְכָל־	אֱלֹהַי	אֲדֹנָי	אוֹדְךָ	12
永遠-に	あなた-の-名-を	そして-崇める	わが-心	全て-の-心-で	わが-神-よ	主-よ	感謝-します	
H5769	H8034	H3513	H3824	H3605	H0430	H0136	H3034	

わが神、主よ、わたしは心をつくしてあなたに感謝し、とこしえに、み名をあがめるでしょう。

מִשְׁאוֹל	נַפְשִׁי	וְהִצַּלְתָּ	עָלָי	גָּדוֹל	חַסְדְּךָ	כִּי־	13
の-陰府-から	わが-魂-を	そして-救った	私-の-上-に	大きい	あなた-の-憐れみ-は	なぜなら	
H7585	H5315	H5337					

תַּחְתִּיָּה׃
深き
H8482

わたしに示されたあなたのいつくしみは大きく、わが魂を陰府の深い所から助け出されたからです。

בִּקְשׁוּ	עָרִיצִים	וַעֲדַת	עָלַי	קָמוּ־	זֵדִים	וֵאלֹהִים	14
求めた	暴虐-な-者-の	そして-集団-が	私-に-対して	立ち-上がった	高慢-な-者-が	神-よ	
H1245	H6184	H5712			H2086	H0430	

לְנֶגְדָּם׃	שָׂמוּךְ	וְלֹא	נַפְשִׁי
彼ら-の-前-に	置か-ない	そして-ない	わが-魂-を
H5048		H3808	H5315

神よ、高ぶる者はわたしに逆らって起り、荒ぶる者の群れはわたしのいのちを求め、彼らは自分の前にあなたを置くことをしません。

אַפַּיִם	אֶרֶךְ	וְחַנּוּן	רַחוּם	אֵל־	אֲדֹנָי	וְאַתָּה	15
怪り-に	怒り-に-遅く	そして-恵み-深く	憐れみ-深く	神-は	主-よ	しかし-あなた-は	
H0639	H0750	H2587	H7349	H0410	H0136		

וֶאֱמֶת׃	חֶסֶד	וְרַב־
そして-真実	憐れみ-と	そして-豊か-な
H0571		

しかし主よ、あなたはあわれみと恵みに富み、怒りをおそくし、いつくしみと、まことに豊かな神でいらせられます。

עֻזֶּךָ	תְּנָה־	וְחָנֵּנִי	אֵלַי	פְּנֵה	16
あなた-の-力-を	与えて-ください	そして-憐れんで-ください	私-に	顧みて-ください	
H5797	H5414		H0413	H6437	

אֲמָתֶךָ׃	לְבֶן־	וְהוֹשִׁיעָה	לְעַבְדֶּךָ
あなた-の-婢-の	の-子-を	そして-救って-ください	あなた-の-僕-に
H0519		H3467	H5650

わたしをかえりみ、わたしをあわれみ、あなたのしもべにみ力を与え、あなたのはしための子をお救いください。

וְיֵבֹשׁוּ	שֹׂנְאַי	וְיִרְאוּ	לְטוֹבָה	אוֹת	עִמִּי	עֲשֵׂה־	17
そして-恥じる	憎む-者-が	そうすれば-見る	良き-もの-の	しるし-を	私-と-共に	して-ください	
H0954	H8130	H7200		H0226			

וְנִחַמְתָּנִי׃	עֲזַרְתָּנִי	יְהוָה	אַתָּה	כִּי־
そして-慰めた	助けた	主-よ	あなた-が	なぜなら
H5162	H5826	H3068		

わたしに、あなたの恵みのしるしをあらわしてください。そうすれば、わたしを憎む者どもはわたしを見て恥じるでしょう。主よ、あなたはわたしを助け、わたしを慰められたからです。

Chapter 87

1	לִבְנֵי־	קֹרַח	מִזְמ֥וֹר	שִׁ֗יר	יְסוֹדָתוֹ֮	בְּהַרְרֵי־	קֹדֶשׁ׃
	の-子ら-の	コラ	詩篇	歌	その-基-は	の-聖なる-山-に	聖-なる
	H7141	H4210		H3248		H2042	H6944

コラの子の歌、さんび 主が基をすえられた都は聖なる山の上に立つ。

2	אֹהֵב֮	יְהוָ֪ה	שַׁעֲרֵי	צִ֫יּ֥וֹן	מִכֹּ֥ל	מִשְׁכְּנ֑וֹת	יַעֲקֹֽב׃
	愛して-おられる	主-は	の-門-を	シオン	全て-の-より	住まい-より	ヤコブ-の
	H0157	H3068	H8179	H6726	H3605	H4908	H3290

主はヤコブのすべてのすまいにまさって、シオンのもろもろの門を愛される。

3	נִכְבָּד֣וֹת	מְדֻבָּ֣ר	בָּ֭ךְ	עִ֣יר	הָאֱלֹהִ֑ים	סֶֽלָה׃
	栄光-ある	こと-が-語られる	あなた-に-ついて	都-よ	神-の	セラ
	H3513	H1696			H0430	H5542

神の都よ、あなたについて、もろもろの栄光ある事が語られる。[セラ

4	וְצ֥וֹר	פְּלֶ֗שֶׁת	הִנֵּ֤ה	לֹ֭וֹדְעָי	וּבָבֶ֣ל	רַ֭הַב	אַזְכִּ֣יר	עִם־	זֶ֑ה	כּ֥וּשׁ	יֻלַּד־	שָׁ֝֗ם׃
	そして-ツロ-と	ペリシテ-と	見よ	知る-者-の-中-に	そして-バビロン-を	ラハブ-と	挙げよう	と-共に	この-者-は	クシュ	生まれた	そこ-で
	H6865	H6429	H2009	H3045	H0894	H7294	H2142		H2088		H3205	H8033

わたしはラハブとバビロンをわたしを知る者のうちに挙げる。ペリシテ、ツロ、またエチオピヤを見よ。「この者はかしこに生れた」と言われる。

5	וְהוּא֮	בָּ֪הּ	יֻלַּד־	וְאִ֫ישׁ	אִ֣ישׁ	יֵאָמַ֣ר	וּלְצִיּ֑וֹן	יְכוֹנְנֶ֖הָ
	そして-彼-が	そこ-に	生まれた	そして-人-が	人-また	言われる	そして-シオン-に-ついて	堅く-する
	H1931		H3205	H0376	H0376	H0559	H6726	

עֶלְיֽוֹן׃
いと-高き-者-が

しかしシオンについては「この者も、かの者もその中に生れた」と言われる。いと高き者みずからシオンを堅く立てられるからである。

6	יְהוָ֗ה	יִסְפֹּ֥ר	בִּכְתֹ֥וב	עַמִּ֑ים	זֶ֥ה	יֻלַּד־	שָׁ֝֗ם	סֶֽלָה׃
	主-は	数え-あげる	書き-記す-とき	諸国の民-を	この-者-は	生まれた	そこ-で	セラ
	H3068		H3789		H2088	H3205	H8033	H5542

主がもろもろの民を登録されるとき、「この者はかしこに生れた」としるされる。[セラ

7	וְשָׁרִ֥ים	כְּחֹלְלִ֑ים	כָּל־	מַעְיָ֖נַי	בָּֽךְ׃
	そして-歌う-者-も	踊る-者-の-ように	全て-の	わが-泉-は	あなた-の-中-に
	H7891		H3605	H4599	

歌う者と踊る者はみな言う、「わがもろもろの泉はあなたのうちにある」と。

Chapter 88

1 שִׁיר מִזְמ֥וֹר לִבְנֵי־קֹ֑רַח לַמְנַצֵּ֥חַ עַל־מָחֲלַ֥ת לְעַנּ֗וֹת מַשְׂכִּ֥יל לְהֵימָ֥ן הָאֶזְרָ֑חִי׃
歌 詩篇 コラ の子ら の 指揮者 に マハラト 歌う ために 教訓 の エズラ 人 ヘマン の

יְהוָ֣ה אֱלֹהֵ֣י יְשׁוּעָתִ֑י יֹ֥ום־צָעַ֝קְתִּי בַלָּ֗יְלָה נֶגְדֶּֽךָ׃
主 よ の 神 よ わが 救い の 昼 も 叫んだ 夜 も あなた の 前 に

2 תָּבֹ֣וא לְפָנֶ֣יךָ תְּפִלָּתִ֑י הַטֵּ֥ה אָ֝זְנְךָ֗ לְרִנָּתִֽי׃
届いて ください あなた の 前 に わが 祈り が 傾けて ください 耳 を わが 叫び に

聖歌隊の指揮者によってマハラテ・レアノテのしらべにあわせてうたわせたコラの子の歌、さんび。エズラびとヘマンのマスキールの歌 わが神、主よ、わたしは昼、助けを呼び求め、夜、み前に叫び求めます。

3 כִּֽי־שָׂבְעָ֣ה בְרָעֹ֣ות נַפְשִׁ֑י וְחַיַּ֥י לִשְׁא֝֗וֹל הִגִּֽיעוּ׃
なぜなら 満ちて いる 苦難 で わが 魂 は そして わが 命 は 陰府 に 近づいた

わたしの祈をみ前にいたらせ、わたしの叫びに耳を傾けてください。

4 נֶחְשַׁ֥בְתִּי עִם־יֹ֝ורְדֵ֗י בֹּ֥ור כְּגֶ֑בֶר אֵ֖ין אֵֽיל׃
数えられた と 共に 下る 者 の 穴 に なった の ように ない 力 の

わたしの魂は悩みに満ち、わたしのいのちは陰府に近づきます。

5 בַּמֵּתִ֥ים חָפְשִׁ֑י כְּמֹו֮ חֲ֝לָלִ֗ים שֹׁכְבֵ֣י קֶ֭בֶר אֲשֶׁ֣ר לֹ֣א זְכַרְתָּ֑ם וְ֝הֵ֗מָּה מִיָּדְךָ֥ נִגְזָֽרוּ׃
死人 の 中 に 自由 な の ように 倒れた 者 の 横たわる 墓 に その ない 記憶 され ない そして 彼ら は あなた の 手 から 断たれた

すなわち死人のうちに捨てられた者のように、墓に横たわる殺された者のように、あなたが再び心にとめられない者のようになりました。彼らはあなたのみ手から断ち滅ぼされた者です。

6 שַׁתַּ֣נִי בְ֭בֹור בְּמַחֲשַׁכִּ֑ים בִּ֝מְצֹולֹ֗ות׃
置いた の 穴 の 最も 深き 所 に の 闇 の 中 に 深淵 の 中 に

あなたはわたしを深い穴、暗い所、深い淵に置かれました。

7 עָלַ֣י סָ֭מְכָה חֲמָתֶ֑ךָ וְכָל־מִשְׁבָּרֶ֖יךָ עִנִּ֣יתָ סֶּ֣לָה׃
私 の 上 に 重く のしかかる あなた の 怒り が そして 全て の 大波 で 苦しめた セラ

あなたの怒りはわたしの上に重く、あなたはもろもろの波をもってわたしを苦しめられました。[セラ

וְלֹא	כָּלְאִ֑	לָמוֹ	תוֹעֵבוֹת	שָׂתַנִי	מְמֶנִּי	מְיָדְעַי	הִרְחַקְתָּ	8
そして–ない	閉じ–込められ	彼ら–に	嫌悪–の–もの–と	した	私–から	知り–人–を	遠ざけた	
H3808	H3607		H8441	H7896		H3045	H7368	

אֵצֵ֥א׃	
出られない	
H3318	

あなたはわが知り人をわたしから遠ざけ、わたしを彼らの忌みきらう者とされました。わたしは閉じこめられて、のがれることはできません。

שִׁטַּחְתִּי	יוֹם	בְּכָל־	יְהוָה	קְרָאתִיךָ	עָנְיִ	מִנִּי	דָּאֲבָה	עֵינִי	9
広げた	日–ごと	全て–の	主–よ	呼び–求めた	苦しみ	の–ために	衰えた	わが–目–は	
H7849	H3117	H3605	H3068	H7121	H6040		H1669		

כַּפָּ֑י׃	אֵלֶיךָ
わが–手–を	あなた–に–向かって
H3709	H0413

わたしの目は悲しみによって衰えました。主よ、わたしは日ごとにあなたを呼び、あなたにむかってわが両手を伸べました。

סֶּלָה׃	יוֹדוּךָ	וְיָקוּמוּ	רְפָאִים	אִם־	פֶּלֶא	תַּעֲשֶׂה־	הֲלַמֵּתִים	10
セラ	感謝–する–のか	立ち–上がって	死者–が	あるいは	不思議–を	行う–のか	の–ために–か	
H5542	H3034		H7496		H6382		H4191	

あなたは死んだ者のために奇跡を行われるでしょうか。なき人のたましいは起きあがってあなたをほめたたえるでしょうか。[セラ

בָּאֲבַדּ֑וֹן׃	אֱמוּנָתְךָ	חַסְדֶּךָ	בַּקֶּ֫בֶר	הַיְסֻפָּר	11
滅び–の–場所–で	あなた–の–誠実–は	あなた–の–憐れみ–は	墓–の–中–で	語られる–のか	
H0011	H0530		H6913		

あなたのいつくしみは墓のなかに、あなたのまことは滅びのなかに、宣べ伝えられるでしょうか。

נִשְׁיָּה׃	בְּאֶ֫רֶץ	וְצִדְקָתְךָ֥	פִּלְאֶךָ	בַּחֹשֶׁךְ	הֲיִוָּדַע	12
忘却	の–地–で	そして–あなた–の–義–は	あなた–の–不思議–は	の–闇–の–中–で	知られる–のか	
H5388	H0776	H6666	H6382	H2822	H3045	

あなたの奇跡は暗やみに、あなたの義は忘れの国に知られるでしょうか。

תְּקַדְּמֶךָּ׃	תְּפִלָּתִי	וּבַבֹּ֫קֶר	שִׁוַּעְתִּי	יְהוָה	אֵלֶיךָ	וַאֲנִי	13
先立つ	わが–祈り–は	そして–朝–に	叫び–求めた	主–よ	あなた–に	しかし–私–は	
H6923	H8605	H1242	H7768	H3068	H0413	H0589	

しかし主よ、わたしはあなたに呼ばわります。あしたに、わが祈をあなたのみ前にささげます。

מִמֶּנִּי׃	פָּנֶיךָ	תַּסְתִּיר	נַפְשִׁי	תִּזְנַח	יְהוָה	לָמָּה	14
私–から	あなた–の–顔–を	隠す–のか	わが–魂–を	拒む–のか	主–よ	なぜ	
	H6440	H5641	H5315		H3068	H4100	

主よ、なぜ、あなたはわたしを捨てられるのですか。なぜ、わたしにみ顔を隠されるのですか。

אָפוּנָה׃	אֵמֶיךָ	נָשָׂאתִי	מִנֹּ֫עַר	וְגוֹעַ	אֲנִי	עָנִי	15
絶望–する	あなた–の–恐ろしさ–を	負った	若き–時–から	そして–死に–かけて	私–は	貧しく	
H6323	H0367	H5375	H5290	H1478	H0589	H6041	

わたしは若い時から苦しんで死ぬばかりです。あなたの脅しにあって衰えはてました。

צִמְּתוּתֶיךָ׃	בְּעוּתֶיךָ	חֲרוֹנֶיךָ	עָבְרוּ	עָלָי	16
滅ぼした	あなた–の–恐ろしさ–が	あなた–の–燃える–怒り–が	過ぎ–去った	私–の–上–を	
H6789	H1161	H2740			

あなたの激しい怒りがわたしを襲い、あなたの恐ろしい脅しがわたしを滅ぼしました。

17 סַבּוּנִי כַמַּיִם הַיּוֹם כָּל־ הִקִּיפוּ עָלַי יָחַד׃
囲んだ 水-の-ように 終日 一日-中 取り-囲んだ 私-を 共に
H5437 H4325 H3117 H3605

これらの事がひねもす大水のようにわたしをめぐり、わたしを全く取り巻きました。

18 הִרְחַקְתָּ מִמֶּנִּי אֹהֵב וְרֵעַ מְיֻדָּעַי מַחְשָׁךְ׃
遠ざけた 私-から 愛する-者-と そして-友-を 知り-人-は 闇
H7368 H0157 H7453 H3045 H4285

あなたは愛する者と友とをわたしから遠ざけ、わたしの知り人を暗やみにおかれました。

Chapter 89

1 מַשְׂכִּיל לְאֵיתָן הָאֶזְרָחִי׃ חַסְדֵּי יְהוָה עוֹלָם אָשִׁירָה לְדֹר וָדֹר
教訓の-歌 エタンの エズラ人の 主の-恵みを 永遠に 歌います 代々に わたって
H4905 H0387 H0250 H3068 H5769 H7891 H1755 H1755

בְּפִי׃ אֲמוּנָתְךָ אוֹדִיעַ
わたしの-口で あなたの-真実を 告げ知らせます
H6310 H0530 H3045

エズラびとエタンのマスキールの歌 主よ、わたしはとこしえにあなたのいつくしみを歌い、わたしの口をもってあなたのまことをよろずよに告げ知らせます。

2 כִּי־ אָמַרְתִּי עוֹלָם חֶסֶד יִבָּנֶה שָׁמַיִם בַּהּ׃ תָּכִן אֲמוּנָתְךָ
なぜなら わたしは-言いました 永遠に 恵みは 建てられます 天に あなたは-堅く立てます あなたの-真実を
H0559 H5769 H2617 H1129 H8064 H3559 H0530

あなたのいつくしみはとこしえに堅く立ち、あなたのまことは天のようにゆるぐことはありません。

3 כָּרַתִּי בְרִית לִבְחִירִי נִשְׁבַּעְתִּי לְדָוִד עַבְדִּי׃
わたしは-結びました 契約を わたしの-選んだ者と わたしは-誓いました ダビデに わたしの-しもべに
H3772 H1285 H0972 H7650 H1732 H5650

あなたは言われました、「わたしはわたしの選んだ者と契約を結び、わたしのしもべダビデに誓った、

4 עַד־ עוֹלָם אָכִין זַרְעֶךָ וּבָנִיתִי לְדֹר־ וָדוֹר
永遠に とこしえに わたしは-堅くします あなたの-子孫を そして-建てます 代々に わたって
H5704 H5769 H3559 H2233 H1129 H1755 H1755

סֶלָה׃ כִסְאֶךָ
セラ あなたの-王座を
H5542 H3678

『わたしはあなたの子孫をとこしえに堅くし、あなたの王座を建てて、よろずよに至らせる』」。[セラ

5 וְיוֹדוּ שָׁמַיִם פִּלְאֲךָ יְהוָה אַף־ אֱמוּנָתְךָ
そして-たたえます 天は あなたの-不思議を 主よ まことに あなたの-真実を
H3034 H8064 H6382 H3068 H0637 H0530

בִּקְהַל קְדֹשִׁים׃
聖なる者の-集いの中で 聖なる者たちの
H6951 H6918

主よ、もろもろの天にあなたのくすしきみわざをほめたたえさせ、聖なる者のつどいで、あなたのまことをほめたたえさせてください。

6	לַיהוָה	יִדְמֶה	לַיהוָה	יַעֲרֹךְ	בַּשַּׁחַק	מִי	כִי
	主に	似ているでしょうか	主に	比べられましょうか	雲の中で	だれが	なぜなら
	H3068	H1819	H3068		H7834	H4310	

בִּבְנֵי	אֵלִים׃	
神の-子らの中で	力ある者たちの	
	H0410	

大空のうちに、だれか主と並ぶものがあるでしょうか。神の子らのうちに、だれか主のような者があるでしょうか。

7	וְנוֹרָא	רַבָּה	קְדֹשִׁים	בְּסוֹד־	נַעֲרָץ	אֵל
	そして-恐るべきお方です	大いに	聖なる者たちの	聖なる者たちの-集いの中で	畏れられます	神は
	H3372		H6918	H5475	H6206	H0410

עַל־	כָּל־	סְבִיבָיו׃
すべての	すべての	周りの者たちの-上に
	H3605	H5439

主は聖なる者の会議において恐るべき神、そのまわりにあるすべての者にまさって大いなる恐るべき者です。

8	וֶאֱמוּנָתְךָ	יָהּ	וְחָסִין	כָּמוֹךָ	מִי־	צְבָאוֹת	אֱלֹהֵי	וְיהוָה
	あなたの-真実は	主よ	力ある	あなたの-ような	だれが	万軍の	神よ	主よ
	H0530	H3050	H2626	H3644	H4310		H0430	H3068

סְבִיבוֹתֶיךָ׃	
あなたの-周りに-あります	
H5439	

万軍の神、主よ、主よ、だれかあなたのように大能のある者があるでしょうか。あなたのまことは、あなたをめぐっています。

9	תְּשַׁבְּחֵם׃	אַתָּה	גַּלָּיו	בְּשׂוֹא	הַיָּם	בְּגֵאוּת	מוֹשֵׁל	אַתָּה
	静められます	あなたが	その-波を	波が-立ち上がるとき	海の	高ぶりを	支配されます	あなたは
			H1530	H7721	H3220	H1348	H4910	

あなたは海の荒れるのを治め、その波の起るとき、これを静められます。

10	עֻזֶּךָ	בִּזְרוֹעַ	רָהַב	כֶּחָלָל	דִכָּאתָ	אַתָּה
	あなたの-力の	あなたの-力強い-腕で	ラハブを	刺し殺された者の-ように	砕かれました	あなたは
	H5797	H2220	H7294		H1792	

אוֹיְבֶיךָ׃	פִּזַּרְתָּ
あなたの-敵を	散らされました
H0341	H6340

あなたはラハブを、殺された者のように打ち砕き、あなたの敵を力ある腕をもって散らされました。

11	וּמְלֹאָהּ	תֵּבֵל	אֶרֶץ	לְךָ	אַף־	שָׁמַיִם	לְךָ
	その-満ちるものを	世界と	地も	あなたの-ものです	まことに	天は	あなたの-ものです
	H4393	H8398	H0776		H0637	H8064	

יְסַדְתָּם׃	אַתָּה
据えられました	あなたが
H3245	

もろもろの天はあなたのもの、地もまたあなたのもの、世界とその中にあるものとはあなたがその基をおかれたものです。

12 צָפוֹן וְיָמִין אַתָּה בְרָאתָם תָּבוֹר וְחֶרְמוֹן בְּשִׁמְךָ יְרַנֵּנוּ׃
北と 南を あなたが 創造されました タボルと ヘルモンは あなたの-御名に 喜び歌います
H6828 H3225 H853 H1254 H8396 H2768 H8034 H7442

北と南はあなたがこれを造られました。タボルとヘルモンは、み名を喜び歌います。

13 לְךָ זְרוֹעַ עִם־גְּבוּרָה תָּעֹז יָדֶךָ תָּרוּם יְמִינֶךָ׃
あなたの-ものです 力ある-腕は 力と-ともに 力を 強くなります あなたの-手は 高く上げられます あなたの-右の手は
H3225

あなたは大能の腕をもたれます。あなたの手は強く、あなたの右の手は高く、

14 צֶדֶק וּמִשְׁפָּט מְכוֹן כִּסְאֶךָ חֶסֶד וֶאֱמֶת יְקַדְּמוּ פָּנֶיךָ׃
義と 公正が 基です あなたの-王座の 恵みと まことが 先立ちます あなたの-御前に
H6664 H4941 H4349 H3678 H2617 H0571 H6923 H6440

義と公平はあなたのみくらの基、いつくしみと、まことはあなたの前に行きます。

15 אַשְׁרֵי הָעָם יוֹדְעֵי תְרוּעָה יְהוָה בְּאוֹר־פָּנֶיךָ יְהַלֵּכוּן׃
幸いなるかな その-民は 知っている者は 喜びの-叫びを 主よ あなたの-御顔の-光の中を 歩みます
H0835 H5971 H3045 H8643 H3068 H0216 H1980

祭の日の喜びの声を知る民はさいわいです。主よ、彼らはみ顔の光のなかを歩み、

16 בְּשִׁמְךָ יָגִילוּן כָּל־הַיּוֹם וּבְצִדְקָתְךָ יָרוּמוּ׃
あなたの-御名に 喜び踊ります 一日 中 あなたの-義により 高められます
H8034 H1523 H3605 H3117 H6666

ひねもす、み名によって喜び、あなたの義をほめたたえます。

17 כִּי־תִפְאֶרֶת עֻזָּמוֹ אָתָּה וּבְרְצוֹנְךָ תָּרִים קַרְנֵנוּ׃
なぜなら 輝きは その-力の あなたです あなたの-恵みにより 高く 上げられます わたしたちの-角は
H8597 H5797 H7522 H7311

あなたは彼らの力の栄光だからです。われらの角はあなたの恵みによって高くあげられるでしょう。

18 כִּי לַיהוָה מָגִנֵּנוּ וְלִקְדוֹשׁ יִשְׂרָאֵל מַלְכֵּנוּ׃
なぜなら 主の-ものです わたしたちの-盾は イスラエルの イスラエルの わたしたちの-王は
H3068 H4043 H6918 H3478 H4428

われらの盾は主に属し、われらの王はイスラエルの聖者に属します。

19 אָז דִּבַּרְתָּ־בְחָזוֹן לַחֲסִידֶיךָ וַתֹּאמֶר
そのとき あなたは-語られました 幻の中で あなたの-聖徒たちに そして-言われました
H0559 H2623 H2377 H1696

שִׁוִּיתִי עֵזֶר עַל־גִּבּוֹר הֲרִימוֹתִי בָחוּר מֵעָם׃
わたしは-置きました 助けを 勇者の-上に 勇者の 選ばれた者を わたしは-高く上げました 民の中から
H5828 H1368 H0970

昔あなたは幻をもってあなたの聖徒に告げて言われました、「わたしは勇士に栄冠を授け、民の中から選ばれた者を高くあげた。

20 מָשַׁחְתִּיו׃ קָדְשִׁי בְּשֶׁמֶן עַבְדִּי דָּוִד מָצָאתִי
油注ぎました 聖なる わたしの-聖なる-油で わたしの-しもべを ダビデを わたしは-見出しました
H4886 H6944 H8081 H5650 H1732 H4672

わたしはわがしもべダビデを得て、これにわが聖なる油をそそいだ。

21 תְאַמְּצֶנּוּ׃ זְרוֹעִי אַף־ עִמּוֹ תִּכּוֹן יָדִי אֲשֶׁר
彼を-強めます わたしの-腕は まことに 彼と-ともに 堅く-支えます 手は わたしの
H0553 H2220 H0637 H3027

わが手は常に彼と共にあり、わが腕はまた彼を強くする。

22 יְעַנֶּנּוּ׃ לֹא עֹלָה וּבֶן־ בּוֹ אוֹיֵב יַשָּׁא לֹא־
彼を 苦しめません 不義の 不義の-子も 彼から 敵を 取り立てません 敵は
H3808 H0341 H5378 H3808

敵は彼をだますことなく、悪しき者は彼を卑しめることはない。

23 אָגּוֹף׃ וּמְשַׂנְאָיו צָרָיו מִפָּנָיו וְכִתּוֹתִי
わたしは-打ちます 彼を-憎む者たちを 彼の-敵を 彼の-前で わたしは-打ち砕きます
H5062 H8130 H6440 H3807

わたしは彼の前にもろもろのあだを打ち滅ぼし、彼を憎む者どもを打ち倒す。

24 תָּרוּם וּבְשְׁמִי עִמּוֹ וְחַסְדִּי וֶאֱמוּנָתִי
高く上げられます わたしの-名により 彼と-ともに-あります わたしの-恵みは わたしの-真実と
H8034 H0530

קַרְנוֹ׃
彼の-角は

わがまことと、わがいつくしみは彼と共にあり、わが名によって彼の角は高くあげられる。

25 יְמִינוֹ׃ וּבַנְּהָרוֹת יָדוֹ בַּיָּם וְשַׂמְתִּי
彼の-右の手を 川々の-上に 彼の-手を 海の-上に わたしは-置きます
H3225 H5104 H3027 H3220

わたしは彼の手を海の上におき、彼の右の手を川の上におく。

26 וְצוּר אֵלִי אָתָּה אָבִי יְקָרְאֵנִי הוּא
そして-わたしの-救いの-岩よ わたしの-神よ あなたは わたしの-父よ わたしを-呼びます 彼は
H6697 H0410 H0001 H7121 H1931

יְשׁוּעָתִי׃
わたしの-救いの
H3444

彼はわたしにむかい『あなたはわが父、わが神、わが救の岩』と呼ぶであろう。

27 אָרֶץ׃ לְמַלְכֵי־ עֶלְיוֹן אֶתְּנֵהוּ בְּכוֹר אָנִי אַף־
地の 地の-王たちの中で いと高き者と します 長子と わたしは まことに
H0776 H4428 H5414 H1060 H0589 H0637

わたしはまた彼をわがういごとし、地の王たちのうちの最も高い者とする。

28 לְעוֹלָ֗ם |אשמור־|)אֶשְׁמָר־(לוֹ֮ חַסְדִּי֒ וּבְרִיתִ֣י נֶאֱמָנֶ֣ת לֽוֹ׃
永遠に | わたしは-守ります | 守ります | 彼の-ために | わたしの-恵みを | わたしの-契約は | 確かです
H5769 | H8104 | H8104 | H0 | H2617 | H1285 | H0539

わたしはとこしえに、わがいつくしみを彼のために保ち、わが契約は彼のために堅く立つ。

29 וְשַׂמְתִּי֮ לָעַ֪ד זַרְע֫וֹ וְכִסְא֥וֹ כִימֵ֖י שָׁמָֽיִם׃
わたしは-立てます | 永遠に | 彼の-子孫を | 彼の-王座は | 天の-日数の-ように | 天の
H5703 | H2233 | H3678 | H3117 | H8064

わたしは彼の家系をとこしえに堅く定め、その位を天の日数のようにながらえさせる。

30 אִם־ יַעֲזְב֣וּ בָנָ֣יו תּוֹרָתִ֑י וּבְמִשְׁפָּטַ֥י לֹ֝א יֵלֵכֽוּן׃
もし | 捨てるなら | 彼の-子らが | わたしの-律法を | わたしの-定めの中を | 歩まないなら | 歩まないなら
H8451 | H4941 | H3212

もしその子孫がわがおきてを捨て、わがさばきに従って歩まないならば、

31 אִם־ חֻקֹּתַ֥י יְחַלֵּ֑לוּ וּמִצְוֹתַ֥י לֹ֝א יִשְׁמֹֽרוּ׃
もし | わたしの-掟を | 汚すなら | わたしの-戒めを | 守らないなら | 守らないなら
H2708 | H4687 | H8104

もし彼らがわが定めを犯し、わが戒めを守らないならば、

32 וּפָקַדְתִּ֣י בְשֵׁ֣בֶט פִּשְׁעָ֑ם וּבִנְגָעִ֥ים עֲוֹנָֽם׃
わたしは-罰します | 杖で | 彼らの-背きを | 打ち傷で | 彼らの-咎を
H7626 | H6588 | H5061 | H5771

わたしはつえをもって彼らのとがを罰し、むちをもって彼らの不義を罰する。

33 וְחַסְדִּ֥י לֹֽא־ אָפִ֗יר וְלֹא־ אֲ֭שַׁקֵּר מֵֽעִמּֽוֹ׃
しかし-わたしの-恵みを | 取り去りません | 取り去りません | 偽りません | 偽りません | 彼から
H3808 | H6331 | H3808 | H8266

בֶּאֱמוּנָתִֽי׃
わたしの-真実に
H0530

しかし、わたしはわがいつくしみを彼から取り去ることなく、わがまことにそむくことはない。

34 לֹ֤א אֲחַלֵּ֗ל בְּרִיתִ֥י לֹא־ אַ֝שְׁנֶ֗ה וּמוֹצָ֣א שְׂפָתַ֣י לֹ֣א
汚しません | わたしの-契約を | 汚しません | 変えません | わたしの-唇から-出たことを | わたしの-唇の | 変えません
H3808 | H1285 | H3808 | H4161 | H8193 | H3808

אֲשַׁנֶּֽה׃
変えません

わたしはわが契約を破ることなく、わがくちびるから出た言葉を変えることはない。

35 אַחַ֤ת נִשְׁבַּ֣עְתִּי בְקָדְשִׁ֑י אִם־ לְדָוִ֥ד אֲכַזֵּֽב׃
一度 | わたしは-誓いました | わたしの-聖さにかけて | 決して | ダビデに | 偽りを-言いません
H0259 | H7650 | H6944 | H0 | H1732 | H3576

わたしはひとたびわが聖によって誓った。わたしはダビデに偽りを言わない。

36 זַרְע֣וֹ לְעוֹלָ֣ם יִהְיֶ֑ה וְכִסְא֖וֹ כַּשֶּׁ֣מֶשׁ נֶגְדִּֽי׃
彼の-子孫は | 永遠に | 続きます | 彼の-王座は | 太陽の-ように | わたしの-前に-あります
H2233 | H5769 | H1961 | H3678 | H8121 | H5048

彼の家系はとこしえに続き、彼の位は太陽のように常にわたしの前にある。

37 כְּיָרֵחַ יִכּוֹן עוֹלָם וְעֵד בַּשַּׁחַק נֶאֱמָן סֶלָה׃
月の-ように 堅く立ちます 永遠に 証人は 空に-あって 確かです セラ
H3394 H5769 H5707 H7834 H0539 H5542

また月のようにとこしえに堅く定められ、大空の続くかぎり堅く立つ」。[セラ

38 וְאַתָּה זָנַחְתָּ וַתִּמְאָס הִתְעַבַּרְתָּ עִם־מְשִׁיחֶךָ׃
しかし-あなたは 退けられました そして-拒まれました 激しく-怒られました あなたの-油注がれた者に
H5707 H2186 H4899

しかしあなたは、あなたの油そそがれた者を捨ててしりぞけ、彼に対して激しく怒られました。

39 נֵאַרְתָּה בְּרִית עַבְדֶּךָ חִלַּלְתָּ לָאָרֶץ נִזְרוֹ׃
破棄されました あなたの-しもべとの-契約を あなたの-しもべの 汚されました 地に 彼の-冠を
H5010 H1285 H5650 H2490 H0776 H5145

あなたはそのしもべとの契約を廃棄し、彼の冠を地になげうって、けがされました。

40 פָּרַצְתָּ כָּל־גְּדֵרֹתָיו שַׂמְתָּ מִבְצָרָיו מְחִתָּה׃
破られました すべての 彼の-城壁を されました 彼の-とりでを 廃墟と
H6555 H3605 H1448 H7760 H4013 H4288

あなたはその城壁をことごとくこわし、そのとりでを荒れすたれさせられました。

41 שַׁסֻּהוּ כָּל־עֹבְרֵי דָּרֶךְ הָיָה חֶרְפָּה לִשְׁכֵנָיו׃
奪い取りました すべての 通りがかりの者たちが 道を 彼は-なりました そしりと 隣人たちへの
H8155 H3605 H5674 H1870 H1961 H2781 H7934

そこを通り過ぎる者は皆彼をかすめ、彼はその隣り人のあざけりとなりました。

42 הֲרִימוֹתָ יְמִין צָרָיו שִׂמַּחְתָּ כָּל־אוֹיְבָיו׃
高く上げられました 右の手が 彼の-敵の 喜ばせられました すべての 彼の-敵を
H7311 H3225 H6965 H8055 H3605 H0341

あなたは彼のあだの右の手を高くあげ、そのもろもろの敵を喜ばせられました。

43 אַף־תָּשִׁיב צוּר חַרְבּוֹ וְלֹא הֲקִימוֹתָהוּ בַּמִּלְחָמָה׃
まことに 鈍くされました 刃が 彼の-剣の そして-立たせませんでした 立たせませんでした 戦いの中で
H0637 H7725 H6697 H2719 H3808 H6965 H4421

まことに、あなたは彼のつるぎの刃をかえして、彼を戦いに立たせられなかったのです。

44 הִשְׁבַּתָּ מִטְהָרוֹ וְכִסְאוֹ לָאָרֶץ מְגַרְתָּה׃
取り除かれました 彼の-輝きを 彼の-王座を 地に 投げ倒されました
H7673 H2892 H3678 H0776 H4048

あなたは彼の手から王のつえを取り去り、その王座を地に投げすてられました。

45 הִקְצַרְתָּ יְמֵי עֲלוּמָיו הֶעֱטִיתָ עָלָיו בּוּשָׁה סֶלָה׃
短くされました 日々を 彼の-若さの 覆われました 彼の-上に 恥で セラ
H7114 H3117 H5934 H5844 H5921 H0955 H5542

あなたは彼の若き日をちぢめ、恥をもって彼をおおわれました。[セラ

46 עַד־ מָה יְהוָה תִּסָּתֵר לָנֶצַח תִּבְעַר כְּמוֹ־ אֵשׁ
いつまで ですか 主よ 隠されるのですか 永遠に 燃えるのですか 火の–ように 火の
H5704 H4100 H3068 H5641 H5331 H3644 H0784

חֲמָתֶךָ׃
あなたの–怒りは
H2534

主よ、いつまでなのですか。とこしえにお隠れになるのですか。あなたの怒りはいつまで火のように燃えるのですか。

47 זְכָר־ אֲנִי מָה־ חָלֶד עַל־ מַה־ שָּׁוְא
思い出してください わたしを いのちは いかに–短いか いかに はかないものとして
H2142 H0589 H2465 H4100 H4100 H7723

בָּרָאתָ כָּל־ בְּנֵי־ אָדָם׃
あなたは–創造されたのか すべての 人の–子らを 人の
H0120 H3605

主よ、人のいのちの、いかに短く、すべての人の子を、いかにはかなく造られたかを、みこころにとめてください。

48 מִי גֶבֶר יִחְיֶה ׀ וְלֹא יִרְאֶה־ מָוֶת יְמַלֵּט
だれが 人が 生きて そして–見ないでしょうか 死を 救い出せるでしょうか
H4310 H1397 H2421 H3808 H4194 H4422

נַפְשׁוֹ מִיַּד־ שְׁאוֹל סֶלָה׃
自分の–いのちを よみの–手から よみの セラ
H5315 H3027 H7585 H5542

だれか生きて死を見ず、その魂を陰府の力から救いうるものがあるでしょうか。[セラ

49 אֵיפֹה וְהָרִאשֹׁנִים חַסְדֶּיךָ נִשְׁבַּעְתָּ לְדָוִד
どこに–ありますか 昔の あなたの–恵みは が–誓われた ダビデに
H0346 H7223 H2617 H7650 H1732

אֲדֹנָי בֶּאֱמוּנָתֶךָ׃
主よ あなたの–真実をもって
H0136 H0530

主よ、あなたがまことをもってダビデに誓われた昔のいつくしみはどこにありますか。

50 זְכֹר אֲדֹנָי חֶרְפַּת עֲבָדֶיךָ שְׂאֵתִי
思い出してください 主よ そしりを あなたの–しもべたちへの わたしが–負っていることを
H2142 H0136 H2781 H5650 H5375

בְחֵיקִי כָּל־ רַבִּים עַמִּים׃
わたしの–胸に すべての 多くの 民々の
H2436 H3605

51 אֲשֶׁר חֵרְפוּ אֹיְבֶיךָ יְהוָה אֲשֶׁר חֵרְפוּ עִקְּבוֹת
そしりました そしりました あなたの–敵たちが 主よ そしりました 足跡を
H6119

מְשִׁיחֶךָ׃
あなたの–油注がれた者の
H4899

主よ、あなたのしもべがうけるはずかしめをみこころにとめてください。主よ、あなたのもろもろの敵はわたしをそしり、あなたの油そそがれた者の足跡をそしります。わたしはもろもろの民のそしりをわたしのふところにいだいているのです。

52

בָּרוּךְ	יְהוָה	לְעוֹלָם	אָמֵן	וְאָמֵן׃
ほむべきかな	主は	永遠に	アーメン	アーメン
H1288	H3068	H5769	H0543	H0543

主はとこしえにほむべきかな。アァメン、アァメン。

Chapter 90

1

תְּפִלָּה	לְמֹשֶׁה	אִישׁ־	הָאֱלֹהִים	אֲדֹנָי	מָעוֹן	אַתָּה	הָיִיתָ	לָּנוּ
祈り	モーセの	人の	神の	主よ	住まいで	あなたは	あられました	わたしたちに–とって
H8605	H4872	H0376	H0430	H0136	H4583		H1961	

בְּדֹר	וָדֹר׃
代々に	わたって
H1755	H1755

神の人モーセの祈 主よ、あなたは世々われらのすみかでいらせられる。

2

וְתֵבֵל	אֶרֶץ	וַתְּחוֹלֵלָ	יֻלָּדוּ	הָרִים	וּבְטֶרֶם	
世界を	地と	あなたが–産み出されました	生まれる–前に	山々が	山々が–生まれる–前に	
H8398	H0776		H3205	H2022	H2962	

אֵל׃	אַתָּה	עוֹלָם	עַד־	וּמֵעוֹלָם
神です	あなたは	未来まで	永遠の	永遠の–昔から
H0410		H5769	H5704	H5769

山がまだ生れず、あなたがまだ地と世界とを造られなかったとき、とこしえからとこしえまで、あなたは神でいらせられる。

3

אָדָם׃	בְּנֵי־	שׁוּבוּ	וַתֹּאמֶר	דַּכָּא	עַד־	אֱנוֹשׁ	תָּשֶׁב
人の	人の–子らよ	帰れ	そして–言われます	塵に	塵に	人を	あなたは–帰らせます
H0120		H7725	H0559		H5704	H0582	H7725

あなたは人をちりに帰らせて言われます、「人の子よ、帰れ」と。

4

יַעֲבֹר	כִּי	אֶתְמוֹל	כְּיוֹם	בְּעֵינֶיךָ	שָׁנִים	אֶלֶף	כִּי	
過ぎ去る	過ぎ去る–ように	昨日の	昨日の–ようです	あなたの–目には	年も	千	なぜなら	
		H0865	H3117		H8141	H0505		

בַּלָּיְלָה׃	וְאַשְׁמוּרָה
夜の	夜の–ひと時の–ようです
H3915	H0821

あなたの目の前には千年も過ぎ去ればきのうのごとく、夜の間のひと時のようです。

5

יַחֲלֹף׃	כָּחָצִיר	בַּבֹּקֶר	יְהִיוּ	שֵׁנָה	זְרַמְתָּם
移り変わります	草の–ように	朝には	彼らは–なります	眠りの–ように	あなたは–流し去られます
H2498		H1242	H1961	H8142	H2229

あなたは人を大水のように流れ去らせられます。彼らはひと夜の夢のごとく、あしたにもえでる青草のようです。

6

וְיָבֵשׁ׃	יְמוֹלֵל	לָעֶרֶב	וְחָלָף	יָצִיץ	בַּבֹּקֶר	
そして–枯れます	しおれ	夕べには	そして–移り変わりますが	花–咲き	朝には	
H3001		H6153	H2498		H1242	

あしたにもえでて、栄えるが、夕べには、しおれて枯れるのです。

7 כִּי־ כָלִינוּ בְאַפֶּךָ וּבַחֲמָתְךָ נִבְהָלְנוּ׃
まことに わたしたちは–尽きます あなたの–怒りの–中で あなたの–憤りに おびえます
H3615 H0639 H2534 H0926

われらはあなたの怒りによって消えうせ、あなたの憤りによって滅び去るのです。

8 שַׁתָּ(ה) עֲוֹנֹתֵינוּ לְנֶגְדֶּךָ עֲלֻמֵּנוּ
置かれました あなたは–置かれました わたしたちの–咎を あなたの–前に わたしたちの–隠れた–罪を
H7896 H7896 H5771 H5048 H5956

לִמְאוֹר פָּנֶיךָ׃
あなたの–御顔の–光の–中に あなたの–御顔の
H3974 H6440

あなたはわれらの不義をみ前におき、われらの隠れた罪をみ顔の光のなかにおかれました。

9 כִּי כָל־ יָמֵינוּ פָּנוּ בְעֶבְרָתֶךָ
まことに すべての わたしたちの–日々は 過ぎ去りました あなたの–怒りの–中で
H3605 H3117 H6437 H5678

כָּמוֹ־ הֶגֶה׃ שָׁנֵינוּ כִלְינוּ
ため息の ため息の–ように わたしたちの–年を わたしたちは–終えました
H1899 H3644 H8141 H3615

われらのすべての日は、あなたの怒りによって過ぎ去り、われらの年の尽きるのは、ひと息のようです。

10 וְאִם בִּגְבוּרֹת שְׁנוֹתֵינוּ בָהֶם שִׁבְעִים שָׁנָה
あるいは 健やかであれば わたしたちの–年の その中で 七十 年
H0518 H1369 H8141 H8141 H7657 H8141

וְרָהְבָם כִּי־ גָז וַנָּעֻפָה׃ חִישׁ
その–誇りは まことに–速やかに 速やかに 過ぎ去り
H7296 H3588 H1468 H2440

עָמָל וָאָוֶן שְׁמוֹנִים שָׁנָה
労苦と 悲しみです 八十 年
H5999 H0205 H8084 H8141

わたしたちは–飛び去ります

われらのよわいは七十年にすぎません。あるいは健やかであっても八十年でしょう。しかしその一生はただ、ほねおりと悩みであって、その過ぎゆくことは速く、われらは飛び去るのです。

11 מִי־ יוֹדֵעַ עֹז אַפֶּךָ וּכְיִרְאָתְךָ עֶבְרָתֶךָ׃
だれが–知るでしょうか 力を あなたの–怒りの あなたへの–畏れに–ふさわしく あなたの–憤りを
H4310 H5797 H0639 H3374 H5678

だれがあなたの怒りの力を知るでしょうか。だれがあなたをおそれる恐れにしたがってあなたの憤りを知るでしょうか。

12 לִמְנוֹת כֵּן יָמֵינוּ הוֹדַע וְנָבִא לְבַב חָכְמָה׃
数えることを そのように わたしたちの–日々を 教えてください そうすれば–得ます 知恵の–心を 知恵の
H4487 H3651 H3117 H3045 H0935 H3824 H2451

われらにおのが日を数えることを教えて、知恵の心を得させてください。

13 שׁוּבָה יְהוָה עַד־מָתָי וְהִנָּחֵם עַל־עֲבָדֶיךָ׃
帰ってきてください 主よ いつ-まで ですか あわれんでください あなたの-しもべたちを
H7725 H3068 H5704 H4970 H5162 H5650

主よ、み心を変えてください。いつまでお怒りになるのですか。あなたのしもべをあわれんでください。

14 שַׂבְּעֵנוּ בַבֹּקֶר חַסְדֶּךָ וְנְרַנְּנָה וְנִשְׂמְחָה בְכָל־יָמֵינוּ׃
満たしてください 朝に あなたの-恵みで そうすれば-喜び歌います そして-喜びます すべての わたしたちの-日々に
H7646 H1242 H2617 H8055 H3605 H3117

あしたに、あなたのいつくしみをもってわれらを飽き足らせ、世を終るまで喜び楽しませてください。

15 שַׂמְּחֵנוּ כִּימוֹת עִנִּיתָנוּ שְׁנוֹת רָאִינוּ רָעָה׃
喜ばせてください 苦しめられた-日々に-ふさわしく 苦しめられた 災いを-見た-年に-ふさわしく 災いを
H8055 H3117 H6031 H8141 H7200 H7451

あなたがわれらを苦しめられた多くの日と、われらが災にあった多くの年とに比べて、われらを楽しませてください。

16 יֵרָאֶה אֶל־עֲבָדֶיךָ פָּעֳלֶךָ וְהַדְרְךָ עַל־בְּנֵיהֶם׃
現れてください あなたの-しもべたちに あなたの-みわざを あなたの-栄光を その-子らの
H7200 H0413 H6467 H5650 H1926 H1121

あなたのみわざを、あなたのしもべらに、あなたの栄光を、その子らにあらわしてください。

17 וִיהִי נֹעַם אֲדֹנָי אֱלֹהֵינוּ עָלֵינוּ וּמַעֲשֵׂה יָדֵינוּ כּוֹנְנָה עָלֵינוּ וּמַעֲשֵׂה יָדֵינוּ כּוֹנְנֵהוּ׃
ありますように 恵みが 主の わたしたちの-神の わたしたちの-上に わたしたちの-手のわざを 堅く-立ててください わたしたちの-手の 堅く-立ててください わたしたちの-手の
H1961 H5278 H0136 H0430 H5921 H4639 H3559 H3027 H3559 H3027

われらの神、主の恵みを、われらの上にくだし、われらの手のわざを、われらの上に栄えさせてください。われらの手のわざを栄えさせてください。

Chapter 91

1
יֹשֵׁב בְּסֵתֶר עֶלְיוֹן בְּצֵל שַׁדַּי יִתְלוֹנָן׃
住む-者は 隠れ場に いと高き-方の 陰の-中で 全能者の 宿ります
H3427 H7706 H6738

いと高き者のもとにある隠れ場に住む人、全能者の陰にやどる人は

2
אֹמַר לַיהוָה מַחְסִי וּמְצוּדָתִי אֱלֹהַי אֶבְטַח־בּוֹ׃
わたしは-言います 主に わたしの-避け所 わたしの-とりで わたしの-神よ わたしは-信頼します
H0559 H3068 H4268 H6738 H0430 H0982

主に言うであろう、「わが避け所、わが城、わが信頼しまつるわが神」と。

3
כִּי הוּא יַצִּילְךָ מִפַּח יָקוּשׁ מִדֶּבֶר הַוּוֹת׃
まことに 主は 救い出してくださいます 鳥を-捕る者の-わなから 鳥を-捕る者の 滅びの-疫病から 滅びの
H1931 H5337 H6738 H3353 H1698 H1942

主はあなたをかりゅうどのわなと、恐ろしい疫病から助け出されるからである。

4
בְּאֶבְרָתוֹ יֶסֶךְ לָךְ וְתַחַת־כְּנָפָיו תֶּחְסֶה צִנָּה וְסֹחֵרָה אֲמִתּוֹ׃
主の-翼で 覆ってくださいます あなたを その-翼の-下に その-翼の あなたは-身を-避けます 大盾と 小盾です 主の-真実は
H0084 H3671 H8478 H2620 H0571 H5507

主はその羽をもって、あなたをおおわれる。あなたはその翼の下に避け所を得るであろう。そのまことは大盾、また小盾である。

5
לֹא־תִירָא מִפַּחַד לָיְלָה מֵחֵץ יָעוּף יוֹמָם׃
恐れません 恐れません 夜の-恐怖を 夜の 矢を 飛んでくる 昼に
H3808 H3372 H6343 H3915 H2671 H3119

あなたは夜の恐ろしい物をも、昼に飛んでくる矢をも恐れることはない。

6
בָּאֹפֶל יַהֲלֹךְ מִקֶּטֶב יָשׁוּד צָהֳרָיִם׃
暗闇の中を-歩く 歩く 滅びを 荒らす 真昼の
H0652 H1980 H6986 H7736

また暗やみに歩きまわる疫病をも、真昼に荒す滅びをも恐れることはない。

7
יִפֹּל מִצִּדְּךָ אֶלֶף וּרְבָבָה מִימִינֶךָ אֵלֶיךָ לֹא יִגָּשׁ׃
倒れます あなたの-かたわらで 千人が 万人が あなたの-右で あなたには 近づきません
H5307 H6654 H0505 H7233 H3225 H0413 H3808

たとい千人はあなたのかたわらに倒れ、万人はあなたの右に倒れても、その災はあなたに近づくことはない。

8
רַק בְּעֵינֶיךָ תַבִּיט וְשִׁלֻּמַת רְשָׁעִים תִּרְאֶה׃
ただ あなたの-目で 見ます そして-悪しき者への-報いを 悪しき者への 見ます
H7535 H5027 H8011 H7563 H7200

あなたはただ、その目をもって見、悪しき者の報いを見るだけである。

9 כִּי־ אַתָּה יְהוָה מַחְסִי עֶלְיוֹן שַׂמְתָּ
まことに あなたは 主を わたしの–避け所を いと高き–方を
H4268 H3068

מְעוֹנֶךָ׃
あなたの–住まいと
H4583

あなたは主を避け所とし、いと高き者をすまいとしたので、

10 לֹא־ תְאֻנֶּה אֵלֶיךָ רָעָה וְנֶגַע לֹא־ יִקְרַב בְּאָהֳלֶךָ׃
降りかかりません 災いは あなたに 降りかかりません 疫病も 近づきません あなたの–天幕に
H3808 H0579 H0413 H3808 H5061 H7126 H0168

災はあなたに臨まず、悩みはあなたの天幕に近づくことはない。

11 כִּי מַלְאָכָיו יְצַוֶּה־ לָךְ לִשְׁמָרְךָ בְּכָל־
まことに 主の–御使いたちに 命じられます あなたの–ために 守るように あなたの–すべての
H3605 H8104 H6680 H4397

דְּרָכֶיךָ׃
あなたの–道で
H1870

これは主があなたのために天使たちに命じて、あなたの歩むすべての道であなたを守らせられるからである。

12 עַל־ כַּפַּיִם יִשָּׂאוּנְךָ פֶּן־ תִּגֹּף בָּאֶבֶן רַגְלֶךָ׃
その–手の上に 手の上に あなたを–担います あなたの–足が 打ちつけないように 石に あなたの–足を
H3709 H5375 H6435 H5062 H0068 H7272

彼らはその手で、あなたをささえ、石に足を打ちつけることのないようにする。

13 עַל־ שַׁחַל וָפֶתֶן תִּדְרֹךְ תִּרְמֹס כְּפִיר וְתַנִּין׃
あなたは–踏みます 獅子と 毒蛇を 踏みます 踏みにじります 若い–獅子と 竜を
H7826 H6620 H1869 H7429

あなたはししと、まむしとを踏み、若いししと、へびとを足の下に踏みにじるであろう。

14 כִּי־ בִי חָשַׁק וַאֲפַלְּטֵהוּ אֲשַׂגְּבֵהוּ כִּי־ יָדַע שְׁמִי׃
まことに わたしに 慕い–求めたので わたしは–助け出します わたしは–高く上げます まことに 知っているからです わたしの–名を
H7682 H6403 H8034 H3045

彼はわたしを愛して離れないゆえに、わたしは彼を助けよう。彼はわが名を知るゆえに、わたしは彼を守る。

15 וְיִקְרָאֵנִי וְאֶעֱנֵהוּ עִמּוֹ־אָנֹכִי בְּצָרָה
わたしを–呼びます わたしは–答えます わたしは–ともに–います わたしが 苦しみの中で
H7121 H0595

אֲחַלְּצֵהוּ וַאֲכַבְּדֵהוּ׃
わたしは–助け出し 栄光を–与えます
H3513

彼がわたしを呼ぶとき、わたしは彼に答える。わたしは彼の悩みのときに、共にいて、彼を救い、彼に光栄を与えよう。

16 אֹרֶךְ יָמִים אַשְׂבִּיעֵהוּ וְאַרְאֵהוּ בִּישׁוּעָתִי׃
長い–日々で 日々で 満たします そして–見せます わたしの–救いを
H0753 H3117 H7646 H7200 H3444

わたしは長寿をもって彼を満ち足らせ、わが救を彼に示すであろう。

Chapter 92

1 מִזְמוֹר שִׁיר לְיוֹם הַשַּׁבָּת׃ טוֹב לְהֹדוֹת לַיהוָה
賛歌 歌 安息日の–ための 安息日の 感謝することは よいことです 主に
H4210 H7676 H3117 H3034 H3068

וּלְזַמֵּר לְשִׁמְךָ עֶלְיוֹן׃
そして–ほめ歌うことは あなたの–御名に いと高き–方よ
H2167 H8034

安息日の歌、さんび いと高き者よ、主に感謝し、み名をほめたたえるのは、よいことです。

2 לְהַגִּיד בַּבֹּקֶר חַסְדֶּךָ וֶאֱמוּנָתְךָ בַּלֵּילוֹת׃
告げ知らせることは 朝に あなたの–恵みを あなたの–真実を 夜ごとに
H5046 H1242 H0530 H3915

あしたに、あなたのいつくしみをあらわし、夜な夜な、あなたのまことをあらわすために、

3 עֲלֵי־עָשׂוֹר וַעֲלֵי־נָבֶל עֲלֵי הִגָּיוֹן בְּכִנּוֹר׃
十弦の–楽器で 十弦の 竪琴で 琴で 調べに–合わせて 竪琴の
H6218 H1902 H3658

十弦の楽器と立琴を用い、琴のたえなる調べを用いるのは、よいことです。

4 כִּי שִׂמַּחְתַּנִי יְהוָה בְּפָעֳלֶךָ בְּמַעֲשֵׂי יָדֶיךָ אֲרַנֵּן׃
まことに あなたは–喜ばせてくださいました 主よ あなたの–みわざで あなたの–手の 喜び歌います
H8055 H3068 H6467 H4639 H7442

主よ、あなたはみわざをもってわたしを楽しませられました。わたしはあなたのみ手のわざを喜び歌います。

5 מַה־גָּדְלוּ מַעֲשֶׂיךָ יְהוָה מְאֹד עָמְקוּ מַחְשְׁבֹתֶיךָ׃
なんと–大きいことか 大きいことか あなたの–みわざは 主よ まことに 深いことか あなたの–御思いは
H4100 H1431 H4639 H3068 H3966 H6009 H4284

主よ、あなたのみわざはいかに大いなることでしょう。あなたのもろもろの思いは、いとも深く、

6

אֶת־	בָּזֹאת	לֹא־	יָבִין	וּכְסִיל	יֵדָע	לֹא	בַּעַר	אִישׁ־
この–ことを	悟りません	悟りません	愚か者は	知りません	知りません	愚かな	愚かな–人は	
H0853	H0995	H3808	H3684	H3045	H3808	H1198	H0376	

זֹאת׃
このことを
H2063

鈍い者は知ることができず、愚かな者はこれを悟ることができません。

7

כָּל־	וַיָּצִיצוּ	עֵשֶׂב	כְּמוֹ	וַיָּצִיצוּ	רְשָׁעִים	בִּפְרֹחַ
すべての	すべての–不法を–行う者が–栄えても	草の	草の–ように	悪しき者が	悪しき者が–栄えても	
H3605		H6212	H3644	H7563		

עַד׃	עֲדֵי־	לְהִשָּׁמְדָם	אָוֶן	פֹּעֲלֵי
永遠に	永遠に	滅ぼされる–ためです	不法を	不法を–行う者が
H5704	H5703	H8045	H0205	H6466

たとい、悪しき者は草のようにもえいで、不義を行う者はことごとく栄えても、彼らはとこしえに滅びに定められているのです。

8

יְהוָה׃	לְעֹלָם	מָרוֹם	וְאַתָּה
おられます–主よ	永遠に	高き–所に	しかし–あなたは
H3068	H5769	H4791	

しかし、主よ、あなたはとこしえに高き所にいらせられます。

9

יִתְפָּרְדוּ	יֹאבְדוּ	אֹיְבֶיךָ	הִנֵּה	כִּי־	יְהוָה	וְאֹיְבֶיךָ	הִנֵּה	כִּי
散らされます	滅びます	あなたの–敵は	見よ	まことに	主よ	あなたの–敵は	見よ	まことに
H6504	H0006	H0341	H2009		H3068	H0341	H2009	

אָוֶן׃	פֹּעֲלֵי	כָּל־
不法を	不法を–行う者は	すべての
H0205	H6466	H3605

主よ、あなたの敵、あなたの敵は滅び、不義を行う者はことごとく散らされるでしょう。

10

בְּשֶׁמֶן	בַּלֹּתִי	קַרְנִי	כִּרְאֵים	וַתָּרֶם
新しい–油で	わたしは–注がれました	わたしの–角は	野牛の–角の–ように	しかし–高く上げられました
H8081			H7214	

רַעֲנָן׃
新しい

しかし、あなたはわたしの角を野牛の角のように高くあげ、新しい油をわたしに注がれました。

11

עָלַי	בַּקָּמִים	בְּשׁוּרָי	עֵינִי	וַתַּבָּט
わたしに–向かって	わたしに–立ち向かう	わたしの–敵を	わたしの–目は	わたしの–目は–見ました
		H7790		H5027

אָזְנָי׃	תִּשְׁמַעְנָה	מְרֵעִים
わたしの–耳は	わたしの–耳は–聞きました	悪を行う者たちについて
H0241	H8085	

わたしの目はわが敵の没落を見、わたしの耳はわたしを攻める悪者どもの破滅を聞きました。

12

יִשְׂגֶּה׃	בַּלְּבָנוֹן	כְּאֶרֶז	יִפְרָח	כַּתָּמָר	צַדִּיק
そびえ立ちます	レバノンの	レバノンの–杉の–ように	栄えます	なつめ椰子の–ように	正しい者は
	H3844	H0730		H8558	H6662

正しい者はなつめやしの木のように栄え、レバノンの香柏のように育ちます。

13 שְׁתוּלִים בְּבֵית יְהוָה בְּחַצְרוֹת אֱלֹהֵינוּ יַפְרִיחוּ׃
植えられた者たちは 主の 主の-家に わたしたちの-神の わたしたちの-神の-庭で 花を-咲かせます
H8362 H3068 H0430

彼らは主の家に植えられ、われらの神の大庭に栄えます。

14 עוֹד יְנוּבוּן בְּשֵׂיבָה דְּשֵׁנִים וְרַעֲנַנִּים יִהְיוּ׃
なおも 実を-結びます 白髪の-時にも みずみずしく そして-青々と あり続けます
H5750 H5107 H7872 H1879 H1961

彼らは年老いてなお実を結び、いつも生気に満ち、青々として、

15 לְהַגִּיד כִּי־יָשָׁר יְהוָה צוּרִי וְלֹא־עַוְלָתָה (עולתה)
告げ知らせます まことに 正しい-方です 主は わたしの-岩 不正は 不正は
H5046 H3477 H3068 H6697 H3808

בּוֹ׃
主の中に-ありません

主の正しいことを示すでしょう。主はわが岩です。主には少しの不義もありません。

Chapter 93

1 יְהוָה מָלָךְ גֵּאוּת לָבֵשׁ לָבֵשׁ יְהוָה עֹז
主は 統べられます 威光を 身に-まとわれました 身に-まとわれました 主は 力を
H3068 H1348 H3847 H3847 H3068 H5797

תִּמּוֹט׃ בַּל־ תִּבֶּל תִּכּוֹן אַף־ הִתְאַזָּר
揺るぎません 揺るぎません 世界は 堅く-立ちます まことに 帯びられました
H4131 H1077 H8398 H0637 H0247

主は王となり、威光の衣をまとわれます。主は衣をまとい、力をもって帯とされます。まことに、世界は堅く立って、動かされることはありません。

2 נָכוֹן כִּסְאֲךָ מֵאָז מֵעוֹלָם אָתָּה׃
堅く-立ちます あなたの-王座は 昔から 永遠の-昔から あなたは-おられます
H3678 H5769

あなたの位はいにしえより堅く立ち、あなたはとこしえよりいらせられます。

3 נָשְׂאוּ נְהָרוֹת יְהוָה נָשְׂאוּ נְהָרוֹת קוֹלָם יִשְׂאוּ נְהָרוֹת דֳּכְיָם׃
上げました 川々は 主よ 上げました 川々は その-声を 上げます 川々は その-波を
H5375 H5104 H3068 H5375 H5104 H6963 H5375 H5104 H1796

主よ、大水は声をあげました。大水はその声をあげました。大水はそのとどろく声をあげます。

4 מִמְּקֹלוֹת מַיִם רַבִּים אַדִּירִים מִשְׁבְּרֵי־ יָם אַדִּיר
大水の-響きよりも 大水の 多くの 力ある 砕ける-波よりも 海の 力ある-お方です
H4325 H0117 H4867 H3220 H0117

בַּמָּרוֹם יְהוָה׃
高き所に-おられる 主は
H4791 H3068

主は高き所にいらせられて、その勢いは多くの水のとどろきにまさり、海の大波にまさって盛んです。

יְהוָה	קֹדֶשׁ	נַאֲוָה־	לְבֵיתְךָ	מְאֹד	נֶאֶמְנוּ	וְעֵדֹתֶיךָ	5
主よ	聖なることです	ふさわしいのは	あなたの-家には	まことに	確かです	あなたの-あかしは	
H3068	H6944	H4998		H3966	H0539		

יָמִים׃	לְאֹרֶךְ
日々の	長きに-わたって
H3117	H0753

あなたのあかしはいとも確かです。主よ、聖なることはとこしえまでもあなたの家にふさわしいのです。

Chapter 94

הוֹפִיעַ׃	נְקָמוֹת	אֵל	יְהוָה	נְקָמוֹת	אֵל־	1
輝いてください	復讐の	神よ	主よ	復讐の	神よ	
H3313	H5360	H0410	H3068	H5360	H0410	

あだを報いられる神、主よ、あだを報いられる神よ、光を放ってください。

עַל־	גְּמוֹל	הָשֵׁב	הָאָרֶץ	שֹׁפֵט	הִנָּשֵׂא	2
高ぶる者たちの-上に	報いを	報いてください	地の	さばき主よ	立ち上がってください	
	H1576	H7725	H0776	H8199	H5375	

גֵּאִים׃	
高ぶる者たちの	
H1343	

地をさばかれる者よ、立って高ぶる者にその受くべき罰をお与えください。

יַעֲלֹזוּ׃	רְשָׁעִים	מָתַי	עַד־	יְהוָה	וּרְשָׁעִים	מָתַי	עַד־	3
勝ち誇るのですか	悪しき者は	ですか	いつまで	主よ	悪しき者は	ですか	いつまで	
H5937	H7563	H4970	H5704	H3068	H7563	H4970	H5704	

主よ、悪しき者はいつまで、悪しき者はいつまで勝ち誇るでしょうか。

אָוֶן׃	פֹּעֲלֵי	כָּל־	יֶתְאַמְּרוּ	עָתָק	יְדַבְּרוּ	יַבִּיעוּ	4
不法を	不法を-行う者は	すべての	自慢します	傲慢な-ことを	語ります	湧き出します	
H0205	H6466	H3605	H0559	H6277	H1696	H5042	

彼らは高慢な言葉を吐き散らし、すべて不義を行う者はみずから高ぶります。

יְעַנּוּ׃	וְנַחֲלָתְךָ	יְדַכְּאוּ	יְהוָה	עַמְּךָ	5
苦しめます	あなたの-受継ぎの-民を	踏みにじります	主よ	あなたの-民を	
	H5159	H1792	H3068		

主よ、彼らはあなたの民を打ち砕き、あなたの嗣業を苦しめます。

יְרַצֵּחוּ׃	וְיתוֹמִים	יַהַרְגוּ	וְגֵר	אַלְמָנָה		6
殺します	みなしごを	殺します	在留者を	やもめと		
H7523	H3490	H2026	H1616	H0490		

彼らはやもめと旅びとのいのちをうばい、みなしごを殺します。

יַעֲקֹב׃	אֱלֹהֵי	יָבִין	וְלֹא־	יָהּ	יִרְאֶה־	לֹא	וַיֹּאמְרוּ	7
ヤコブの	ヤコブの-神は	悟らないと	悟らないと	主は	見ないと	見ない	彼らは-言います	
H3290	H0430	H0995	H3808	H3050	H7200	H3808	H0559	

彼らは言います、「主は見ない、ヤコブの神は悟らない」と。

תַּשְׂכִּילוּ׃	מָתַי	וּכְסִילִים	בָּעָם	בֹּעֲרִים	בִּינוּ	8
悟るのか	いつ	愚か者よ	民の中の	愚かな者よ	悟りなさい	
	H4970	H3684			H0995	

民のうちの鈍き者よ、悟れ。愚かな者よ、いつ賢くなるだろうか。

עַיִן	יֹצֵר	אִם־	יִשְׁמָע	הֲלֹא	אֹזֶן	הַנָּטַע	9
目を	造った方が	造った方が	聞かないでしょうか	聞かないでしょうか	耳を	植えた方が	
	H3335		H8085	H3808	H0241	H5193	

יַבִּיט׃	הֲלֹא
見ないでしょうか	見ないでしょうか
H5027	H3808

耳を植えた者は聞くことをしないだろうか、目を造った者は見ることをしないだろうか。

דָּעַת׃	אָדָם	הַמְלַמֵּד	יוֹכִיחַ	הֲלֹא	גּוֹיִם	הַיֹּסֵר	10
知識を	人に	教える方が	罰しないでしょうか	罰しないでしょうか	諸国民を	戒める方が	
H1847	H0120	H3925	H3198	H3808		H3256	

もろもろの国民を懲らす者は罰することをしないだろうか、人を教える者は知識をもたないだろうか。

הָבֶל׃	הֵמָּה	כִּי־	אָדָם	מַחְשְׁבוֹת	יֹדֵעַ	יְהוָה	11
空しいのです	それは	まことに–それは	人の	思いを	知っておられます	主は	
H1892	H1992		H0120	H4284	H3045	H3068	

主は人の思いの、むなしいことを知られる。

תְּלַמְּדֶנּוּ׃	וּמִתּוֹרָתְךָ	יָהּ	תְיַסְּרֶנּוּ	אֲשֶׁר־	הַגֶּבֶר	וְאַשְׁרֵי	12
教えられる	あなたの–律法から	主よ	戒められる	あなたが	その–人は	幸いなるかな	
H3925	H8451	H3050	H3256		H1397	H0835	

主よ、あなたによって懲らされる人、あなたのおきてを教えられる人はさいわいです。

לְרָשָׁע	יִכָּרֶה	עַד	רָע	מִימֵי	לוֹ	לְהַשְׁקִיט	13
悪しき者の–ために	掘られるまで	掘られるまで	災いの	災いの–日々から	彼を	静める–ためです	
H7563		H5704		H3117		H8252	

שָׁחַת׃
穴が
H7845

あなたはその人を災の日からのがれさせ、悪しき者のために穴が掘られるまでその人に平安を与えられます。

לֹא	וְנַחֲלָתוֹ	עַמּוֹ	יְהוָה	יִטֹּשׁ	לֹא־	כִּי	14
捨てません	主の–受継ぎの–民を	主の–民を	主は	見捨てません	見捨てません	まことに	
H3808	H5159		H3068	H5203	H3808		

יַעֲזֹב׃
捨てません

主はその民を捨てず、その嗣業を見捨てられないからです。

לֵב׃	יִשְׁרֵי־	כָּל־	וְאַחֲרָיו	מִשְׁפָּט	יָשׁוּב	צֶדֶק	עַד־	כִּי־	15
心の	心の–正しい者が	すべての	その–後に–従います	さばきは	帰ります	義に	義に	まことに	
	H3477	H3605		H4941	H7725	H6664	H5704		

さばきは正義に帰り、すべて心の正しい者はそれに従うでしょう。

16 מִי־ מְרֵעִים עִם־ לִי יָקוּם מִי־
だれが 悪を–行う者に 悪を–行う者に–対して わたしの–ために 立ち上がるでしょうか だれが
H4310 H4310

אָוֶן׃ פֹּעֲלֵי עִם־ לִי יִתְיַצָּב
不法を 不法を–行う者に 不法を–行う者に–対して わたしの–ために 立ち向かうでしょうか
H0205 H6466 H3320

だれがわたしのために立ちあがって、悪しき者を責めるだろうか。だれがわたしのために立って、不義を行う者を責めるだろうか。

17 שָׁכְנָה וּכְמְעַט לִי עֶזְרָתָה לוּלֵי יְהוָה
住んでいたでしょう もう–少しで わたしに–とって 助けで–なかったなら 主が もし–主が
H7931 H4592 H5833 H3068 H3884

נַפְשִׁי׃ דוּמָּה
わたしの–魂は 沈黙の–中に
H5315 H1745

もしも主がわたしを助けられなかったならば、わが魂はとくに音なき所に住んだであろう。

18 אִם־ אָמַרְתִּי מָטָה רַגְלִי חַסְדְּךָ יְהוָה יִסְעָדֵנִי׃
もし わたしが–言ったなら すべったと わたしの–足が あなたの–恵みが 主よ 支えてくださいます
H0559 H4131 H7272 H2617 H3068 H5582

しかし「わたしの足がすべる」と思ったとき、主よ、あなたのいつくしみはわたしをささえられました。

19 בְּרֹב שַׂרְעַפַּי בְּקִרְבִּי תַּנְחוּמֶיךָ יְשַׁעַשְׁעוּ נַפְשִׁי׃
多くの 思い–悩みが わたしの–内に–あるとき あなたの–慰めが 喜ばせます わたしの–魂を
H7230 H8312 H7130 H8575 H8055 H5315

わたしのうちに思い煩いの満ちるとき、あなたの慰めはわが魂を喜ばせます。

20 יִצֵּר עָמָל עָלֵי־ חֹק׃ יְהַיְחָבְרֵךְ כִּסֵּא הַוּוֹת
作り出す者が 苦難を 律法に–よって 律法に 滅びの 滅びの–王座が 交わるでしょうか
H3335 H5999 H5921 H2706 H1942 H3678 H2266

定めをもって危害をたくらむ悪しき支配者はあなたと親しむことができるでしょうか。

21 וְדַם נָקִי יַרְשִׁיעוּ׃ עַל־ נֶפֶשׁ צַדִּיק וְדַם יָגוֹדוּ
罪なき 罪なき者の–血を 正しい者の 正しい者の–いのちに 正しい者の–いのちに 襲いかかります 有罪と–します
H5355 H1818 H6662 H5315 H5921 H1413 H7561

彼らは相結んで正しい人の魂を責め、罪のない者に死を宣告します。

22 מַחְסִי׃ לְצוּר וֵאלֹהַי לְמִשְׂגָּב לִי יְהוָה וַיְהִי
避け所の 避け所の–岩と わたしの–神は 高き–とりでと わたしに–とって 主は しかし–なりました
H4268 H6697 H0430 H4869 H3068 H1961

しかし主はわが高きやぐらとなり、わが神はわが避け所の岩となられました。

23 יַצְמִיתֵם וּבְרָעָתָם אוֹנָם אֶת־ וְעַל־יהֶם וַיָּשֶׁב
滅ぼされます 彼らの–悪によって 彼らの–不法を 彼らの–不法を 彼らの–上に 報いられました
H6789 H0853 H5921 H7725

אֱלֹהֵינוּ׃ יְהוָה יַצְמִיתֵם
わたしたちの–神が 主が 滅ぼされます
H0430 H3068 H6789

主は彼らの不義を彼らに報い、彼らをその悪のゆえに滅ぼされます。われらの神、主は彼らを滅ぼされます。

Chapter 95

1 לְכוּ נְרַנְּנָה לַיהוָה נָרִיעָה לְצוּר יִשְׁעֵנוּ׃
さあ 喜び歌いましょう 主に 叫びましょう 救いの–岩に 救いの
H3212 H3068 H7321 H6697 H3468

さあ、われらは主にむかって歌い、われらの救の岩にむかって喜ばしい声をあげよう。

2 נְקַדְּמָה פָנָיו בְּתוֹדָה בִּזְמִרוֹת נָרִיעַ לוֹ׃
進み出ましょう 主の–御前に 感謝を–もって 賛歌を–もって 叫びましょう 主に
H6923 H6440 H8426 H2158 H7321

われらは感謝をもって、み前に行き、主にむかい、さんびの歌をもって、喜ばしい声をあげよう。

3 כִּי אֵל גָּדוֹל יְהוָה וּמֶלֶךְ גָּדוֹל עַל־כָּל־אֱלֹהִים׃
まことに 大いなる–神です 大いなる 主は 大いなる–王です すべての–神々の–上に
H0410 H3068 H4428 H3605 H0430

主は大いなる神、すべての神にまさって大いなる王だからである。

4 אֲשֶׁר בְּיָדוֹ מֶחְקְרֵי־אָרֶץ וְתוֹעֲפוֹת הָרִים לוֹ׃
主の 御手の–中に–あります 地の 地の–深みが 山々の–頂も 山々の –ものです
H3027 H0776 H4278 H8443 H2022

地の深い所は主のみ手にあり、山々の頂もまた主のものである。

5 אֲשֶׁר־לוֹ הַיָּם וְהוּא עָשָׂהוּ וְיַבֶּשֶׁת יָדָיו יָצָרוּ׃
主の –ものです 海は 主が 造られました 乾いた–地も 主の–手が 形づくられました
H1931 H3220 H6774 H3006 H3027 H3335

海は主のもの、主はこれを造られた。またそのみ手はかわいた地を造られた。

6 בֹּאוּ נִשְׁתַּחֲוֶה וְנִכְרָעָה נִבְרְכָה לִפְנֵי־יְהוָה עֹשֵׂנוּ׃
さあ ひれ伏しましょう ひざまずきましょう ひざまずきましょう 主の–御前に 主の
H0935 H7812 H3766 H1288 H6440 H3068

さあ、われらは拝み、ひれ伏し、われらの造り主、主のみ前にひざまずこう。

7 כִּי הוּא אֱלֹהֵינוּ וַאֲנַחְנוּ עַם מַרְעִיתוֹ וְצֹאן יָדוֹ הַיּוֹם אִם־בְּקֹלוֹ תִשְׁמָעוּ׃
まことに 主は わたしたちの–神です わたしたちは 民です 主の–牧場の 羊です 主の–御手の 今日 もし 主の–御声を 聞くなら
H3117 H0430 H0587 H4830 H6629 H3027

主はわれらの神であり、われらはその牧の民、そのみ手の羊である。どうか、あなたがたは、きょう、そのみ声を聞くように。

8
כִּמְרִיבָה
メリバの–時の–ように
H4808
לִבַבְכֶם
あなたがたの–心を
H3824
תַּקְשׁוּ
かたくなにしては–なりません
H7185
אַל־
かたくなにしては–なりません
H0408
כְּיוֹם
マッサの–日の–ように
H3117
מַסָּה
マッサの
בַּמִּדְבָּר׃
荒野での

あなたがたは、メリバにいた時のように、また荒野のマッサにいた日のように、心をかたくなにしてはならない。

9
אֲשֶׁר
そのとき
נִסּוּנִי
試みました
אֲבוֹתֵיכֶם
あなたがたの–先祖たちが
H0001
בְּחָנוּנִי
試しました
H0974
גַּם־
また–見ました
H1571
רָאוּ
見ました
H7200
פָּעֳלִי׃
わたしの–みわざを
H6467

あの時、あなたがたの先祖たちはわたしのわざを見たにもかかわらず、わたしを試み、わたしをためした。

10
אַרְבָּעִים
四十
H0705
שָׁנָה
年
H8141
אָקוּט
わたしは–嫁いました
H6962
בְּדוֹר
その–世代を
H1755
וָאֹמַר
そして–言いました
H0559
עַם
心の–迷う–民である
תֹּעֵי
心の–迷う
H8582
לֵבָב
心の
H3824
הֵם
彼らは
H1992
וְהֵם
彼らは
H1992
לֹא־
知らなかった
H3808
יָדְעוּ
知らなかった
H3045
דְרָכָי׃
わたしの–道を
H1870

わたしは四十年の間、その代をきらって言った、「彼らは心の誤っている民であって、わたしの道を知らない」と。

11
אֲשֶׁר־
それゆえ
נִשְׁבַּעְתִּי
わたしは–誓いました
H7650
בְאַפִּי
わたしの–怒りの中で
H0639
אִם־
決して
יְבֹאוּן
入りません
H0935
אֶל־
わたしの–安息の–地に
H0413
מְנוּחָתִי׃
わたしの–安息の
H4496

それゆえ、わたしは憤って、彼らはわが安息に入ることができないと誓った。

Chapter 96

1
שִׁירוּ
歌いなさい
H7891
לַיהוָה
主に
H3068
שִׁיר
新しい–歌を
חָדָשׁ
新しい
H2319
שִׁירוּ
歌いなさい
H7891
לַיהוָה
主に
H3068
כָּל־
全地よ
H3605
הָאָרֶץ׃
全地よ
H0776

新しい歌を主にむかってうたえ。全地よ、主にむかってうたえ。

2
שִׁירוּ
歌いなさい
H7891
לַיהוָה
主に
H3068
בָּרֲכוּ
ほめたたえなさい
H1288
שְׁמוֹ
主の–御名を
H8034
בַּשְּׂרוּ
告げ知らせなさい
H1319
מִיּוֹם־
日々に
H3117
לְיוֹם
日々に
H3117
יְשׁוּעָתוֹ׃
主の–救いを
H3444

主にむかって歌い、そのみ名をほめよ。日ごとにその救を宣べ伝えよ。

3
סַפְּרוּ
語りなさい
בַגּוֹיִם
諸国の–中で
כְּבוֹדוֹ
主の–栄光を
H3519
בְּכָל־
すべての–民の–中で
H3605
הָעַמִּים
すべての–民の
נִפְלְאוֹתָיו׃
主の–不思議を
H6381

もろもろの国の中にその栄光をあらわし、もろもろの民の中にそのくすしきみわざをあらわせ。

הוּא	נוֹרָא	מְאֹד	וּמְהֻלָּל	יְהוָה	גָּדוֹל	כִּי	4
主は	恐れるべき–お方です	大いに	大いに–賛美されるべき	主は	大いなる–お方です	まことに	
H1931	H3372	H3966		H3068			

אֱלֹהִים׃	כָּל־	עַל־
神々の	すべての	すべての–神々の–上に
H0430	H3605	

主は大いなる神であって、いともほめたたうべきもの、もろもろの神にまさって恐るべき者である。

עָשָׂה׃	שָׁמַיִם	וַיהוָה	אֱלִילִים	הָעַמִּים	אֱלֹהֵי	כָּל־	וְכִי	5
造られました	天を	しかし–主は	偶像です	諸国民の	諸国民の–神々は	すべての	まことに	
	H8064	H3068	H0457		H0430	H3605		

もろもろの民のすべての神はむなしい。しかし主はもろもろの天を造られた。

בְּמִקְדָּשׁוֹ׃	וְתִפְאֶרֶת	עֹז	לְפָנָיו	וְהָדָר	הוֹד־	6
主の–聖所に–あります	輝きが	力と	主の–御前に–あります	威光が	尊厳と	
H4720	H8597	H5797	H6440	H1926	H1935	

誉と、威厳とはそのみ前にあり、力と、うるわしさとはその聖所にある。

וָעֹז׃	כָּבוֹד	לַיהוָה	הָבוּ	עַמִּים	מִשְׁפְּחוֹת	לַיהוָה	הָבוּ	7
力を	栄光と	主に	帰しなさい	諸国民の	諸国民の–家々よ	主に	帰しなさい	
H5797	H3519	H3068	H3051		H4940	H3068	H3051	

もろもろの民のやからよ、主に帰せよ、栄光と力とを主に帰せよ。

וּבֹאוּ	מִנְחָה	שְׂאוּ־	שְׁמוֹ	כְּבוֹד	לַיהוָה	הָבוּ	8
そして–入りなさい	供え物を	携えて–来なさい	主の–御名に–ふさわしい	栄光を	主に	帰しなさい	
H0935	H4503	H5375	H8034	H3519	H3068	H3051	

לְחַצְרוֹתָיו׃
主の–庭に

そのみ名にふさわしい栄光を主に帰せよ。供え物を携えてその大庭にきたれ。

הָאָרֶץ׃	כָּל־	מִפָּנָיו	חִילוּ	קֹדֶשׁ	בְּהַדְרַת־	לַיהוָה	הִשְׁתַּחֲווּ	9
全地よ	全地よ	主の–御前で	おののきなさい	聖なる	聖なる–輝きの–中で	主に	ひれ伏しなさい	
H0776	H3605	H6440		H6944	H1927	H3068	H7812	

聖なる装いをして主を拝め、全地よ、そのみ前におののけ。

בַּל־	תִּבֶּל	תִּכּוֹן	אַף־	מָלָךְ	יְהוָה	וּבַגּוֹיִם	אִמְרוּ	10
揺るぎません	世界は	堅く–立ちます	まことに	統べられると	主が	諸国の–中で	言いなさい	
H1077	H8398		H0637		H3068		H0559	

בְּמֵישָׁרִים׃	עַמִּים	יָדִין	תִּמּוֹט
公正を–もって	諸国民を	さばかれます	揺るぎません
H4339		H1777	H4131

もろもろの国民の中に言え、「主は王となられた。世界は堅く立って、動かされることはない。主は公平をもってもろもろの民をさばかれる」と。

וּמְלֹאוֹ׃	הַיָּם	יִרְעַם	הָאָרֶץ	וְתָגֵל	הַשָּׁמַיִם	יִשְׂמְחוּ	11
その–満ちるものよ	海と	とどろきなさい	地よ	楽しみなさい	天よ	喜びなさい	
H4393	H3220	H7481	H0776	H1523	H8064	H8055	

天は喜び、地は楽しみ、海とその中に満ちるものとは鳴りどよめき、

12

אָז בּוֹ אֲשֶׁר־ וְכָל־ שָׂדַי יַעֲלֹז
そのとき その中の その中の–すべてのものよ その中の–すべてのものよ 野と 喜びなさい
H3605 H5937

יָעַר׃ עֲצֵי־ כָּל־ יְרַנְּנוּ
森の 森の–木々は すべての 喜び歌います
H6086 H3605

田畑とその中のすべての物は大いに喜べ。そのとき、林のもろもろの木も主のみ前に喜び歌うであろう。

13

הָאָרֶץ לִשְׁפֹּט בָּא כִּי בָּא כִּי וְיהוָה לִפְנֵי
地を さばく–ために 来られます まことに 来られます まことに 主の 主の–御前で
H0776 H8199 H0935 H0935 H3068 H6440

בֶּאֱמוּנָתוֹ׃ וְעַמִּים בְּצֶדֶק תֵּבֵל יִשְׁפֹּט־
主の–真実を–もって 諸国民を 義を–もって 世界を さばかれます
H0530 H6664 H8398 H8199

主は来られる、地をさばくために来られる。主は義をもって世界をさばき、まことをもってもろもろの民をさばかれる。

Chapter 97

רַבִּים׃ אִיִּים יִשְׂמְחוּ הָאָרֶץ תָּגֵל מָלָךְ יְהוָה

1

多くの 多くの–島々よ 楽しみなさい 地よ 喜びなさい 統べられます 主が
H0339 H8055 H0776 H1523 H3068

主は王となられた。地は楽しみ、海に沿った多くの国々は喜べ。

כִּסְאוֹ׃ מְכוֹן וּמִשְׁפָּט צֶדֶק סְבִיבָיו וַעֲרָפֶל עָנָן

2

主の–王座の 基です 公正が 義と 主の–周りに–あります 暗闇が 雲と
H3678 H4349 H4941 H6664 H5439 H6205 H6051

雲と暗やみとはそのまわりにあり、義と正とはそのみくらの基である。

צָרָיו׃ סָבִיב וּתְלַהֵט תֵּלֵךְ לְפָנָיו אֵשׁ

3

主の–敵を 周りの そして–燃え尽くします 行きます 主の–御前を 火が
H5439 H3857 H3212 H6440 H0784

火はそのみ前に行き、そのまわりのあだを焼きつくす。

הָאָרֶץ׃ וַתָּחֶל רָאֲתָה תֵּבֵל בָּרָקָיו הֵאִירוּ

4

地は おののきました 見て 世界を 主の–稲妻は 照らしました
H0776 H7200 H8398 H0215

主のいなずまは世界を照し、地は見ておののく。

הָאָרֶץ׃ כָּל־ אֲדוֹן מִלִּפְנֵי יְהוָה מִלִּפְנֵי נָמַסּוּ כַּדּוֹנַג הָרִים

5

全地の 全地の 主の 主の–御前で 主の 主の–御前で 溶けました ろうの–ように 山々は
H0776 H3605 H0113 H6440 H3068 H6440 H4549 H1749 H2022

もろもろの山は主のみ前に、全地の主のみ前に、ろうのように溶けた。

כְּבוֹדוֹ׃ הָעַמִּים כָּל־ וְרָאוּ צִדְקוֹ הַשָּׁמַיִם הִגִּידוּ

6

主の–栄光を 諸国民は すべての そして–見ました 主の–義を 天は 告げ知らせました
H3519 H3605 H7200 H6664 H8064 H5046

もろもろの天はその義をあらわし、よろずの民はその栄光を見た。

7 וְיֵבֹשׁוּ כָּל־ עֹבְדֵי פֶּסֶל הַמִּתְהַלְלִים בָּאֱלִילִים הִשְׁתַּחֲווּ־ לוֹ כָּל־
恥じなさい すべての 仕える者よ 偶像に 誇る者よ 偶像を ひれ伏しなさい 主に すべての
H0954 H3605 H5647 H6459 H1323 H0457 H7812 H3605

אֱלֹהִים׃
神々よ
H0430

すべて刻んだ像を拝む者、むなしい偶像をもってみずから誇る者ははずかしめをうける。もろもろの神は主のみ前にひれ伏す。

8 שָׁמְעָה וַתִּשְׂמַח צִיּוֹן וַתָּגֵלְנָה בְּנוֹת יְהוּדָה לְמַעַן
聞いて 喜びました シオンは 喜び踊りました ユダの娘たちは ユダの あなたの-さばきの-ゆえに
H8085 H8055 H6726 H1523 H1323 H3063 H4616

מִשְׁפָּטֶיךָ יְהוָה׃
あなたの-さばきの 主よ
H4941 H3068

主よ、あなたのさばきのゆえに、シオンは聞いて喜び、ユダの娘たちは楽しむ。

9 כִּי־ אַתָּה יְהוָה עֶלְיוֹן עַל־ כָּל־ הָאָרֶץ מְאֹד נַעֲלֵיתָ
まことに あなたは 主です いと高き-お方 全地の-上に 全地の 大いに 高められています
H3068 H5945 H3605 H0776 H3966 H5927

עַל־ כָּל־ אֱלֹהִים׃
すべての-神々の-上に すべての 神々の
H3605 H0430

主よ、あなたは全地の上にいまして、いと高く、もろもろの神にまさって大いにあがめられます。

10 אֹהֲבֵי יְהוָה שִׂנְאוּ רָע שֹׁמֵר נַפְשׁוֹת חֲסִידָיו
主を-愛する者よ 主を 憎めなさい 悪を 守られます いのちを 主の-聖徒たちの
H0157 H3068 H8130 H7451 H8104 H5315 H2623

מִיַּד רְשָׁעִים יַצִּילֵם׃
悪しき者の-手から 悪しき者の 救い出されます
H3027 H7563 H5337

主は悪を憎む者を愛し、その聖徒のいのちを守り、これを悪しき者の手から助け出される。

11 אוֹר זָרֻעַ לַצַּדִּיק וּלְיִשְׁרֵי־ לֵב שִׂמְחָה׃
光が まかれています 正しい者の-ために 心の-正しい者には 心の 喜びが-あります
H0216 H2232 H6662 H3477 H3824 H8057

光は正しい人のために現れ、喜びは心の正しい者のためにあらわれる。

12 שִׂמְחוּ צַדִּיקִים בַּיהוָה וְהוֹדוּ לְזֵכֶר קָדְשׁוֹ׃
喜びなさい 正しい者よ 主に-あって そして-感謝しなさい 聖なる-御名の-記念に 聖なる
H8055 H6662 H3068 H3034 H2143 H6944

正しき人よ、主によって喜べ、その聖なるみ名に感謝せよ。

Chapter 98

1 מִזְמ֗וֹר שִׁ֤ירוּ֙ לַֽיהוָ֣ה שִׁ֣יר חָדָ֔שׁ כִּֽי־ נִפְלָא֥וֹת עָשָׂ֑ה
賛歌 H4210 歌いなさい H7891 主に H3068 新しい歌を 新しい H2319 まことに 不思議を H6381 行われました

הוֹשִׁ֣יעָה־ לּ֣וֹ יְמִינ֗וֹ וּזְרֹ֥עַ קָדְשֽׁוֹ׃
救いを–得ました H3467 主の–ために 主の–右の手と H3225 聖なる腕が H2220 聖なる H6944

歌 新しき歌を主にむかってうたえ。主はくすしきみわざをなされたからである。その右の手と聖なる腕とは、おのれのために勝利を得られた。

2 הוֹדִ֣יעַ יְ֭הוָה יְשׁוּעָת֑וֹ לְעֵינֵ֥י הַגּוֹיִ֗ם גִּלָּ֥ה צִדְקָתֽוֹ׃
知らせられました H3045 主は H3068 主の–救いを H3444 諸国の–目の–前に 諸国の H1540 現されました 主の–義を H6666

主はその勝利を知らせ、その義をもろもろの国民の前にあらわされた。

3 זָכַ֣ר חַסְדּ֣וֹ וֶֽאֱמוּנָת֣וֹ לְבֵ֣ית יִשְׂרָאֵ֑ל רָא֥וּ כָל־ אַפְסֵי־ אָ֝֗רֶץ אֵ֣ת יְשׁוּעַ֣ת אֱלֹהֵ֣ינוּ׃
思い出されました H2142 主の–恵みと 真実を H0530 イスラエルの–家に–対する イスラエルの H3478 見ました H7200 地の–果てまで 地の H0776 わたしたちの–神の H0430 救いを H3444 見ました H0853 すべての H3605

主はそのいつくしみと、まことをイスラエルの家にむかって覚えられた。地のもろもろのはては、われらの神の勝利を見た。

4 הָרִ֣יעוּ לַֽיהוָ֣ה כָּל־ הָ֭אָרֶץ פִּצְח֣וּ וְרַנְּנ֣וּ וְזַמֵּֽרוּ׃
叫びなさい H7321 主に H3068 全地よ H3605 全地よ H0776 声を–上げなさい H6476 喜び歌いなさい ほめ歌いなさい H2167

全地よ、主にむかって喜ばしき声をあげよ。声を放って喜び歌え、ほめうたえ。

5 זַמְּר֣וּ לַ֭יהוָה בְּכִנּ֑וֹר בְּכִנּ֥וֹר וְק֝֗וֹל זִמְרָֽה׃
ほめ歌いなさい H2167 主に H3068 琴で H3658 琴と H3658 歌の–声で 歌の H2172

琴をもって主をほめうたえ。琴と歌の声をもってほめうたえ。

6 בַּחֲצֹצְר֣וֹת וְק֣וֹל שׁוֹפָ֑ר הָרִ֥יעוּ ׀ לִפְנֵ֥י הַמֶּ֝֗לֶךְ יְהוָֽה׃
ラッパと H2689 角笛の–声で 角笛の H7782 叫びなさい H7321 主の–御前で H6440 王なる H4428 主の H3068

ラッパと角笛の音をもって王なる主の前に喜ばしき声をあげよ。

7 יִרְעַ֣ם הַ֭יָּם וּמְלֹאֹ֑ו תֵּבֵ֥ל וְ֝יֹשְׁבֵ֗י בָּֽהּ׃
とどろきなさい H7481 海と H3220 その–満ちるものよ H4393 世界と H8398 その中に–住む者よ その中に H3427 その中に

海とその中に満ちるもの、世界とそのうちに住む者とは鳴りどよめけ。

8 נְהָר֥וֹת יִמְחֲא֣וּ־ כָ֑ף יַ֥חַד הָ֝רִ֗ים יְרַנֵּֽנוּ׃
川々よ H5104 手を–打ちならしなさい H4222 手を H3709 ともに 山々よ H2022 喜び歌いなさい

大水はその手を打ち、もろもろの山は共に主のみ前に喜び歌え。

9 לִפְנֵי־ יְהוָה כִּי בָא׀ לִשְׁפֹּט הָאָרֶץ לִשְׁפֹּט־ יִשְׁפֹּט תֵּבֵל
主の–御前で 主の まことに 来られます 地を さばく–ために さばかれます 世界を
H6440 H3068 H0935 H8199 H0776 H8199 H8398

בְּצֶדֶק וְעַמִּים בְּמֵישָׁרִים׃
義を–もって 諸国民を 公正を–もって
H6664 H4339

主は地をさばくために来られるからである。主は義をもって世界をさばき、公平をもってもろもろの民をさばかれる。

Chapter 99

1 יְהוָה מָלָךְ יִרְגְּזוּ עַמִּים יֹשֵׁב כְּרוּבִים תָּנוּט
主が 統べられます おののきなさい 諸国民よ 座しておられます ケルビムの–上に 揺れ動きなさい
H3068 H7264 H5120

הָאָרֶץ׃
地よ
H0776

主は王となられた。もろもろの民はおののけ。主はケルビムの上に座せられる。地は震えよ。

2 יְהוָה בְּצִיּוֹן גָּדוֹל וְרָם הוּא עַל־
主は シオンに–おいて 大いなる–お方です 高く–おられます 主は すべての–諸国民の–上に
H3068 H6726 H1931

כָּל־ הָעַמִּים׃
すべての 諸国民の
H3605

主はシオンにおられて大いなる神、主はもろもろの民の上に高くいらせられる。

3 יוֹדוּ שִׁמְךָ גָּדוֹל וְנוֹרָא קָדוֹשׁ הוּא׃
たたえなさい 主の–御名を 大いなる 恐れ多き 聖なる–お方です 主は
H3034 H8034 H3372 H6918 H1931

彼らはあなたの大いなる恐るべきみ名をほめたたえるであろう。主は聖でいらせられる。

4 וְעֹז מֶלֶךְ מִשְׁפָּט אָהֵב אַתָּה כּוֹנַנְתָּ מֵישָׁרִים מִשְׁפָּט וּצְדָקָה
力ある–王は 王は 公正を 愛されます あなたは 立てられました 公平を 公正と 義を
H5797 H4428 H4941 H0157 H0430 H4339 H4941 H6666

בְּיַעֲקֹב אַתָּה עָשִׂיתָ׃
ヤコブの–中で あなたが 行われました
H3290

大能の王であり、公義を愛する者であるあなたは堅く公平を立て、ヤコブの中に正と義とを行われた。

5 רוֹמְמוּ יְהוָה אֱלֹהֵינוּ וְהִשְׁתַּחֲווּ לַהֲדֹם רַגְלָיו
あがめなさい 主を わたしたちの–神を ひれ伏しなさい 主の–足台の–前に 主の–足の
H3068 H0430 H7812 H1916 H7272

קָדוֹשׁ הוּא׃
聖なる–お方です 主は
H6918 H1931

われらの神、主をあがめ、その足台のもとで拝みまつれ。主は聖でいらせられる。

6 מֹשֶׁה וְאַהֲרֹן בְּכֹהֲנָיו וּשְׁמוּאֵל בְּקֹרְאֵי
モーセと アロンは 主の–祭司の中に–おり サムエルは 主の–御名を–呼ぶ者の中に–おりました
H4872 H0175 H3548 H8050 H7121

שְׁמוֹ קֹרְאִים אֶל־ יְהוָה וְהוּא יַעֲנֵם׃
主の–御名を 彼らは–呼びました 主に 主に 主は 答えられました
H8034 H7121 H0413 H3068 H1931

その祭司の中にモーセとアロンとがあった。そのみ名を呼ぶ者の中にサムエルもあった。彼らが主に呼ばわると、主は答えられた。

7 בְּעַמּוּד עָנָן יְדַבֶּר אֲלֵיהֶם שָׁמְרוּ עֵדֹתָיו וְחֹק נָתַן־
雲の–柱の中で 雲の 語られました 彼らに 守りました 主の–あかしを 定めを 与えられました
H5982 H6051 H1696 H0413 H8104 H5414 H2706

לָמוֹ׃
彼らに

主は雲の柱のうちで彼らに語られた。彼らはそのあかしと、彼らに賜わった定めとを守った。

8 יְהוָה אֱלֹהֵינוּ אַתָּה עָנִיתָם אֵל נֹשֵׂא הָיִיתָ
主よ わたしたちの–神よ あなたは 答えられました 赦す–神で–あられました 赦す あられました
H3068 H0430 H0859 H6030 H5375 H1961

לָהֶם וְנֹקֵם עַל־ עֲלִילוֹתָם׃
彼らに–対して しかし–報いられました 彼らの–行いに–対して 彼らの–行いに
H1992 H5358 H5949

われらの神、主よ、あなたは彼らに答えられた。あなたは彼らにゆるしを与えられた神であったが、悪を行う者には報復された。

9 רוֹמְמוּ יְהוָה אֱלֹהֵינוּ וְהִשְׁתַּחֲווּ לְהַר קָדְשׁוֹ
あがめなさい 主を わたしたちの–神を ひれ伏しなさい 主の–聖なる–山に–向かって 主の–聖なる
H7311 H3068 H0430 H7812 H2022 H6944

כִּי־ קָדוֹשׁ יְהוָה אֱלֹהֵינוּ׃
まことに 聖なる–お方です 主は わたしたちの–神は
H6918 H3068 H0430

われらの神、主をあがめ、その聖なる山で拝みまつれ。われらの神、主は聖でいらせられるからである。

Chapter 100

1 מִזְמוֹר לְתוֹדָה הָרִיעוּ לַיהוָה כָּל־ הָאָרֶץ׃
賛歌 感謝の–ための 叫びなさい 主に 全地よ 全地よ
H4210 H8426 H7321 H3068 H3605 H0776

感謝の供え物のための歌 全地よ、主にむかって喜ばしき声をあげよ。

2 עִבְדוּ אֶת־ יְהוָה בְּשִׂמְחָה בֹּאוּ לְפָנָיו בִּרְנָנָה׃
仕えなさい 主に 喜びを–もって 来なさい 主の–御前に 歌いつつ
H5647 H3068 H8057 H0935 H6440 H7445

喜びをもって主に仕えよ。歌いつつ、そのみ前にきたれ。

3

עֲשָׂנוּ	הִוא־	אֱלֹהִים	הוּא	יְהוָה	כִּי־	דְּעוּ
わたしたちを–造られました	主が	神であることを	主こそ	主こそ	まことに	知りなさい
	H1931	H0430	H1931	H3068		H3045

מַרְעִיתוֹ׃	וְצֹאן	עַמּוֹ	אֲנַחְנוּ	)וְלוֹ(	]ולא[
主の–牧場の	羊です	主の–民	わたしたちは	主の	わたしたちは–主の–ものです
H4830	H6629		H0587		H3808

主こそ神であることを知れ。われらを造られたものは主であって、われらは主のものである。われらはその民、その牧の羊である。

4

לוֹ	הוֹדוּ־	בְּתְהִלָּה	חֲצֵרֹתָיו	בְּתוֹדָה	וּשְׁעָרָיו	בֹּאוּ
主に	感謝しなさい	賛美を–もって	主の–庭に	感謝を–もって	主の–門に	入りなさい
	H3034	H8416		H8426	H8179	H0935

שְׁמוֹ׃	בָּרֲכוּ
主の–御名を	ほめたたえなさい
H8034	H1288

感謝しつつ、その門に入り、ほめたたえつつ、その大庭に入れ。主に感謝し、そのみ名をほめまつれ。

5

וְעַד־	דֹּר	וָדֹר	חַסְדּוֹ	לְעוֹלָם	יְהוָה	טוֹב	כִּי־
わたって	代々に	代々に–わたって	主の–恵みは–続きます	永遠に	主は	よき–方です	まことに
H1755	H1755	H5704		H5769	H3068		

אֱמוּנָתוֹ׃
主の–真実は–続きます
H0530

主は恵みふかく、そのいつくしみはかぎりなく、そのまことはよろず代に及ぶからである。

Chapter 101

1

אָזַמָּרָה׃	יְהוָה	לְךָ	אָשִׁירָה	וּמִשְׁפָּט	חֶסֶד־	מִזְמוֹר	לְדָוִד
ほめ歌います	主よ	あなたに	歌います	公正を	恵みと	賛歌	ダビデの
H2167	H3068		H7891	H4941		H4210	H1732

ダビデの歌 わたしはいつくしみと公義について歌います。主よ、わたしはあなたにむかって歌います。

2

אֵלָי	תָּבוֹא	מָתַי	תָּמִים	בְּדֶרֶךְ	וַאַשְׂכִּילָה
わたしの–もとに	来てくださいますか	いつ	全き	全き–道に	わたしは–心を–用います
H0413	H0935	H4970	H8549	H1870	

בֵּיתִי׃	בְּקֶרֶב	לְבָבִי	בְּתֹם־	אֶתְהַלֵּךְ
わたしの–家の	わたしの–家の–中で	全き–心の	全き–心を–もって	わたしは–歩みます
	H7130	H3824	H8537	H1980

わたしは全き道に心をとめます。あなたはいつ、わたしに来られるでしょうか。わたしは直き心をもって、わが家のうちを歩みます。

3

עֲשֹׂה־	בְּלִיָּעַל	דְּבַר־	עֵינַי	לְנֶגֶד	וְאָשִׁית	לֹא־	
行うことを	卓なる	卓なる–ことを	わたしの–目の	わたしの–目の–前に	置きません	置きません	
	H1100	H1697		H5048	H7896	H3808	

בִּי׃	יִדְבָּק	לֹא	שָׂנֵאתִי	סֵטִים
わたしに	まとわりません	それは	憎みます	過ちを
	H1692	H3808	H8130	H7750

わたしは目の前に卑しい事を置きません。わたしはそむく者の行いを憎みます。それはわたしに付きまといません。

4
לֵבָב עִקֵּשׁ יָסוּר מִמֶּנִּי רָע לֹא אֵדָע׃
曲がった–心は 曲がった 退きます わたしから 悪を 知りません 知りません
H3824 H6141 H5493 H3808 H3045

ひがんだ心はわたしを離れるでしょう。わたしは悪い事を知りません。

5
(מלושני) מְלָשְׁנִין בַּסֵּתֶר רֵעֵהוּ אוֹתוֹ אַצְמִית גְּבַהּ־ עֵינַיִם
中傷する者を 中傷する者を ひそかに 隣人を その者を 滅ぼします 高慢な–目と 目と
H3960 H3960 H7453 H0853 H6789 H1362

לֵבָב וּרְחַב אֹתוֹ לֹא אוּכָל׃
心の 傲慢な–心の–者を その者を 忍びません 忍びません
H3824 H7342 H0853 H3808 H3201

ひそかに、その隣り人をそしる者をわたしは滅ぼします。高ぶる目と高慢な心の人を耐え忍ぶ事はできません。

6
עִמָּדִי לָשֶׁבֶת בְּנֶאֱמְנֵי־ אֶרֶץ וְעֵינַי
わたしと–共に 共に–住む–ために 地の 地の–忠実な者に–注ぎます わたしの–目は
H5978 H3427 H0776 H0539

יְשָׁרְתֵנִי׃ הֹלֵךְ תָּמִים בְּדֶרֶךְ זֶה
わたしに–仕えます その者が 全き 全き–道を 全き–道を–歩む者が
H8334 H1931 H8549 H1870 H1980

わたしは国のうちの忠信な者に好意を寄せ、わたしと共に住まわせます。全き道を歩む者はわたしに仕えるでしょう。

7
רַמָּיָה עֹשֵׂה בֵּיתִי בְּקֶרֶב וֵשֵׁב לֹא־
偽りを 偽りを–行う者を わたしの–家の わたしの–家の–中に 住ませません 住ませません
H7130 H3427 H3808

עֵינָי׃ לְנֶגֶד יִכּוֹן לֹא־ שְׁקָרִים דֹּבֵר
わたしの–目の わたしの–目の–前に 堅く–立ちません 堅く–立ちません 嘘を 嘘を–語る者は
H5048 H3808 H8267 H1696

欺くことをする者はわが家のうちに住むことができません。偽りを言う者はわが目の前に立つことができません。

8
כָּל־ יְהוָה מֵעִיר־ לְהַכְרִית אֶרֶץ רִשְׁעֵי־ כָּל־ אַצְמִית לַבְּקָרִים
すべての 主の 主の–都から 断ちます 地の 地の–悪しき者を すべての 滅ぼします 朝ごとに
H3605 H3068 H3772 H0776 H7563 H3605 H6789 H1242

פֹּעֲלֵי אָוֶן׃
不法を 不法を–行う者を
H0205 H6466

わたしは朝ごとに国の悪しき者をことごとく滅ぼし、不義を行う者をことごとく主の都から断ち除きます。

Chapter 102

1
תְּפִלָּה לְעָנִי כִּי־ יַעֲטֹף וְלִפְנֵי יְהוָה יִשְׁפֹּךְ שִׂיחוֹ׃ יְהוָה
祈り 苦しむ者の 弱り果てて 弱り果てて 主の 注ぎ出します 嘆きを 主よ
H8605 H6041 H5848 H3605 H6440 H3068 H8210 H7879 H3068

שַׁוְעָתִי אֵלֶיךָ תָּבוֹא׃ תְּפִלָּתִי שְׁמָעָה
わたしの–叫びが あなたに 届きますように わたしの–祈りを 聞いてください
H7775 H0413 H0935 H8605 H8085

苦しむ者が思いくずおれてその嘆きを主のみ前に注ぎ出すときの祈 主よ、わたしの祈をお聞きください。わたしの叫びをみ前に至らせてください。

2

צָר　בְּיוֹם　מִמֶּנִּי　פָּנֶיךָ　תַּסְתֵּר　אַל־
苦しみの　苦しみの–日に　わたしから　あなたの–御顔を　隠さないでください　隠さないでください
H3117　H6440　H5641　H0408

מַהֵר　אֶקְרָא　בְּיוֹם　אָזְנְךָ　אֵלַי　הַטֵּה־　לִי
速やかに　呼ぶ　呼ぶ–日に　あなたの–耳を　わたしに　傾けてください　わたしに–とって
H7121　H3117　H0241　H0413　H5186

עֲנֵנִי׃
答えてください

わたしの悩みの日にみ顔を隠すことなく、あなたの耳をわたしに傾け、わが呼ばわる日に、すみやかにお答えください。

3

כִּי־　כָלוּ　בְעָשָׁן　יָמָי　וְעַצְמוֹתַי　כְּמוֹקֵד
まことに　消えました　煙の–ように　わたしの–日々は　わたしの–骨は　燃える–炉の–ように　燃える
H3615　H6227　H3117　H6106　H3644　H4168

נֶחָרוּ׃
燃えました
H2787

わたしの日は煙のように消え、わたしの骨は炉のように燃えるからです。

4

הוּכָּה־　כָּעֵשֶׂב　וַיִּבַשׁ　לִבִּי　כִּי־　שָׁכַחְתִּי
打たれました　草の–ように　枯れました　わたしの–心は　まことに–忘れました　忘れました
H5221　H6212　H3001　H7911

מֵאֲכֹל　לַחְמִי׃
食べることを　わたしの–パンを
H0398　H3899

わたしの心は草のように撃たれて、しおれました。わたしはパンを食べることを忘れました。

5

מִקּוֹל　אַנְחָתִי　דָּבְקָה　עַצְמִי　לִבְשָׂרִי׃
嘆きの–声の–ゆえに　嘆きの　張り付きました　わたしの–骨は　わたしの–肉に
H0585　H1692　H6106　H1320

わが嘆きの声によってわたしの骨はわたしの肉に着きます。

6

דָּמִיתִי　לְקָאַת　מִדְבָּר　הָיִיתִי　כְּכוֹס　חֳרָבוֹת׃
似ています　荒野の–ペリカンに　荒野の　なりました　廃墟の–ふくろうの–ように　廃墟の
H1819　H6893　H1961　H6833　H2723

わたしは荒野のはげたかのごとく、荒れた跡のふくろうのようです。

7

שָׁקַדְתִּי　וָאֱהִי　כְּצִפּוֹר　בּוֹדֵד　עַל־　גָּג׃
眠れません　わたしは–なりました　屋根の–上の–孤独な–鳥の–ように　孤独な　屋根の–上の　屋根の
H8245　H1961　H6833　H0909　H1406

わたしは眠らずに屋根にひとりいるすずめのようです。

8

כָּל־　הַיּוֹם　חֵרְפוּנִי　אוֹיְבָי　מְהוֹלָלַי　בִּי　נִשְׁבָּעוּ׃
一日中　一日中　そしります　わたしの–敵は　わたしを–嘲る者は　わたしの–名を–もって　呼びます
H3605　H3117　H0341　H7650

わたしの敵はひねもす、わたしをそしり、わたしをあざける者はわが名によってのろいます。

9 כִּי־ אֵפֶר כַּלֶּחֶם אָכָלְתִּי וְשִׁקֻּוַי בִּבְכִי מָסָכְתִּי׃
まことに 灰を パンの–ように 食べました わたしの–飲み物に 涙を 混ぜました
H1065 H0665 H3899 H0398 H8249 H1065 H4537

わたしは灰をパンのように食べ、わたしの飲み物に涙を交えました。

10 מִפְּנֵי־ זַעַמְךָ וְקִצְפֶּךָ כִּי נְשָׂאתַנִי וַתַּשְׁלִיכֵנִי׃
あなたの–怒りと あなたの–怒りの 憤りの–ゆえに まことに 持ち上げて 投げ捨てられました
H6440 H2195 H7993 H5375

これはあなたの憤りと怒りのゆえです。あなたはわたしをもたげて投げすてられました。

11 יָמַי כְּצֵל נָטוּי וַאֲנִי כָּעֵשֶׂב אִיבָשׁ׃
わたしの–日々は 傾いた–影の–ようです 傾いた わたしは 草の–ように 枯れます
H3117 H6738 H5186 H0589 H6212 H3001

わたしのよわいは夕暮の日影のようです。わたしは草のようにしおれました。

12 וְאַתָּה יְהוָה לְעוֹלָם תֵּשֵׁב וְזִכְרְךָ לְדֹר וָדֹר׃
しかし–あなたは 主よ 永遠に 座しておられます あなたの–御名は 代々に わたって–続きます
H1755 H1755 H2143 H3427 H5769 H3068

しかし主よ、あなたはとこしえにみくらに座し、そのみ名はよろず代に及びます。

13 אַתָּה תָּקוּם תְּרַחֵם צִיּוֹן כִּי־ עֵת לְחֶנְנָהּ כִּי־ בָא מוֹעֵד׃
あなたは 立ち上がって あわれみます シオンを まことに–時が–来ました 時が 恵みを–施す–時が 来ました
H6256 H6726 H7355 H6256 H4150

あなたは立ってシオンをあわれまれるでしょう。これはシオンを恵まれる時であり、定まった時が来たからです。

14 כִּי־ רָצוּ עֲבָדֶיךָ אֶת־ אֲבָנֶיהָ וְאֶת־ עֲפָרָהּ יְחֹנֵנוּ׃
まことに 愛します あなたの–しもべたちは シオンの–石を シオンの 塵さえも その–塵を 愛おしみます
H7521 H5650 H0853 H0068 H0853 H6083

あなたのしもべはシオンの石をも喜び、そのちりをさえあわれむのです。

15 וְיִירְאוּ גּוֹיִם אֶת־ שֵׁם יְהוָה וְכָל־ מַלְכֵי הָאָרֶץ אֶת־ כְּבוֹדֶךָ׃
諸国は 主の–御名を 主の 全ての 地の–王たちは 地の そうすれば–畏れます 主の–栄光を あなたの
H3372 H0853 H8034 H3068 H3605 H4428 H0776 H3519

もろもろの国民は主のみ名を恐れ、地のもろもろの王はあなたの栄光を恐れるでしょう。

16 כִּי־ בָנָה יְהוָה צִיּוֹן נִרְאָה בִּכְבוֹדוֹ׃
まことに 建てられます 主が シオンを 現れます 主の–栄光の 中に
H1129 H3068 H6726 H7200 H3519

主はシオンを築き、その栄光をもって現れ、

17 פָּנָה אֶל־תְּפִלַּת הָעַרְעָר וְלֹא־בָזָה תְּפִלָּתָם׃ אֵת־
顧みられました 之しい者の-祈りに 之しい者の 蔑ろには 蔑ろには-されませんでした 彼らの-祈りを 彼らの-祈りを
H6437 H0413 H8605 H6199 H3808 H0959 H8605 H0853

乏しい者の祈をかえりみ、彼らの願いをかろしめられないからです。

18 תִּכָּתֵב זֹאת לְדוֹר אַחֲרוֹן וְעַם נִבְרָא יְהַלֵּל־יָהּ׃
書き記されます これは 後の-代の-ために 後の 造られる-民が 造られる 主を 賛美します
H3789 H2063 H1755 H0314 H6944 H0776 H3050

きたるべき代のために、この事を書きしるしましょう。そうすれば新しく造られる民は、主をほめたたえるでしょう。

19 כִּי־הִשְׁקִיף מִמְּרוֹם קָדְשׁוֹ יְהוָה מִשָּׁמַיִם אֶל־אֶרֶץ הִבִּיט׃
まことに 見おろされました 聖なる-高き所から 聖なる 主は 天から 地を 地を 見おろされました
H8259 H4791 H6944 H3068 H8064 H0413 H0776 H5027

主はその聖なる高き所から見おろし、天から地を見られた。

20 לִשְׁמֹעַ אֶנְקַת אָסִיר לְפַתֵּחַ בְּנֵי תְמוּתָה׃
聞く-ために 嘆きを 囚人の 解き放つ-ために 死に定められた-者たちを 死に
H8085 H0603 H0615 H6605 H4194 H8546

これは捕われ人の嘆きを聞き、死に定められた者を解き放ち、

21 לְסַפֵּר בְּצִיּוֹן שֵׁם יְהוָה וּתְהִלָּתוֹ בִּירוּשָׁלִָם׃
語り告げる-ために シオンに-おいて 主の-御名を 主の 主の-賛美を エルサレムに-おいて
H6726 H8034 H3068 H8416 H3389

人々がシオンで主のみ名をあらわし、エルサレムでその誉をあらわすためです。

22 בְּהִקָּבֵץ עַמִּים יַחְדָּו וּמַמְלָכוֹת לַעֲבֹד אֶת־יְהוָה׃
諸国民が-集まるとき 諸国民が ともに 諸国が 仕える-ために 主に 主に
H6908 H5971 H3162 H4467 H5647 H0853 H3068

その時もろもろの民、もろもろの国はともに集まって、主に仕えるでしょう。

23 עִנָּה בַדֶּרֶךְ כֹּחִי)כחן[קִצַּר יָמָי׃
弱められました 途上で わたしの-力は わたしの-力は 短くされました わたしの-日々は
H6031 H1870 H3581 H3581 H7114 H3117

主はわたしの力を中途でくじき、わたしのよわいを短くされました。

24 אֹמַר אֵלִי אַל־תַּעֲלֵנִי בַּחֲצִי יָמָי בְּדוֹר וָדוֹר שְׁנוֹתֶיךָ׃
わたしは-言います わたしの-神よ 取り去らないでください 取り去らないでください 半ばで わたしの-日々の 代々に-わたって 代々に あなたの-年は-続きます
H0559 H0410 H0408 H5927 H2677 H3117 H1755 H1755 H8141

わたしは言いました、「わが神よ、どうか、わたしのよわいの半ばでわたしを取り去らないでください。あなたのよわいはよろず代に及びます」と。

25	לְפָנִים	הָאָרֶץ	יָסַדְתָּ	וּמַעֲשֵׂה	יָדֶיךָ	שָׁמָיִם׃
	昔	地を	据えられました	天も	あなたの–手の–わざです	あなたの–手の
	H6440	H0776	H3245	H4639	H3027	H8064

あなたはいにしえ、地の基をすえられました。天もまたあなたのみ手のわざです。

26	וְהֵמָּה	יֹאבֵדוּ	וְאַתָּה	תַּעֲמֹד	וְכֻלָּם	כַּבֶּגֶד	יִבְלוּ
	それらは	滅びますが	あなたは	立っておられます	それらは–すべて	衣の–ように	古びます
	H1992	H0006		H5975	H3605		H1086

וְיַחֲלֹפוּ׃	תַּחֲלִיפֵם	כַּלְבּוּשׁ	
そして–過ぎ去ります	取り替えられます	衣の–ように	
H2498	H2498	H3830	

これらは滅びるでしょう。しかしあなたは長らえられます。これらはみな衣のように古びるでしょう。あなたがこれらを上着のように替えられると、これらは過ぎ去ります。

27	וְאַתָּה־	הוּא	וּשְׁנוֹתֶיךָ	לֹא	יִתָּמּוּ׃
	しかし–あなたは	同じです	あなたの–年は	尽きません	尽きません
		H1931	H8141	H3808	H8552

しかしあなたは変ることなく、あなたのよわいは終ることがありません。

28	בְּנֵי־	עֲבָדֶיךָ	יִשְׁכֹּנוּ	וְזַרְעָם	לְפָנֶיךָ
	あなたの–しもべたちの–子らは	あなたの–しもべたちの	住みます	その–子孫は	あなたの–御前に
		H5650	H7931	H2233	H6440

יִכּוֹן׃
堅く–立ちます

あなたのしもべの子らは安らかに住み、その子孫はあなたの前に堅く立てられるでしょう。

Chapter 103

1	לְדָוִד	בָּרְכִי	נַפְשִׁי	אֶת־	יְהוָה	וְכָל־	קְרָבָי
	ダビデの	ほめたたえよ	わたしの–魂よ	主を	主を	すべての	わたしの–内なるものよ
	H1732	H1288	H5315	H0853	H3068	H3605	H7130

אֶת־	שֵׁם	קָדְשׁוֹ׃
ほめたたえよ	聖なる–御名を	聖なる
H0853	H8034	H6944

ダビデの歌 わがたましいよ、主をほめよ。わがうちなるすべてのものよ、その聖なるみ名をほめよ。

2	בָּרְכִי	נַפְשִׁי	אֶת־	יְהוָה	וְאַל־	תִּשְׁכְּחִי	כָּל־	גְּמוּלָיו׃
	ほめたたえよ	わたしの–魂よ	主を	主を	忘れては–なりません	忘れては	すべての	主の–恵みを
	H1288	H5315	H0853	H3068	H0408	H7911	H3605	H1576

わがたましいよ、主をほめよ。そのすべてのめぐみを心にとめよ。

3	הַסֹּלֵחַ	לְכָל־	הָרֹפֵא	עֲוֹנֵכִי	לְכָל־	תַּחֲלָאֵיכִי׃
	赦してくださいます	すべての	癒してくださいます	あなたの–咎を	すべての	あなたの–病を
	H5545	H3605	H7495	H5771	H3605	H8463

主はあなたのすべての不義をゆるし、あなたのすべての病をいやし、

4 הַנּוֹאֵל מִשָּׁחַת חַיָּיְכִי הַמְעַטְּרֵכִי חֶסֶד וְרַחֲמִים׃
あなたの–いのちを 滅びから 贖ってくださいます 冠を–被せてくださいます 恵みと あわれみの
H7845

あなたのいのちを墓からあがないいだし、いつくしみと、あわれみとをあなたにこうむらせ、

5 הַמַּשְׂבִּיעַ בַּטּוֹב עֶדְיֵךְ תִּתְחַדֵּשׁ כַּנֶּשֶׁר נְעוּרָיְכִי׃
満たしてくださいます よきもので あなたの–生涯を 新たになります 鷲の–ように あなたの–若さは
H7646 H5716 H2318 H5404

あなたの生きながらえるかぎり、良き物をもってあなたを飽き足らせられる。こうしてあなたは若返って、わしのように新たになる。

6 עֹשֶׂה צְדָקוֹת יְהוָה וּמִשְׁפָּטִים לְכָל־עֲשׁוּקִים׃
行われます 義を 主は 公正を すべての 踏みにじられている者の–ために
H6666 H3068 H4941 H3605 H6231

主はすべてしえたげられる者のために正義と公正とを行われる。

7 יוֹדִיעַ דְּרָכָיו לְמֹשֶׁה לִבְנֵי יִשְׂרָאֵל עֲלִילוֹתָיו׃
知らせられました 主の–道を モーセに イスラエルの–子らに イスラエルの 主の–みわざを
H3045 H1870 H4872 H3478 H5949

主はおのれの道をモーセに知らせ、おのれのしわざをイスラエルの人々に知らせられた。

8 רַחוּם וְחַנּוּן יְהוָה אֶרֶךְ אַפַּיִם וְרַב־חָסֶד׃
あわれみ深く 恵み深き–お方です 主は 怒るのに–遅く 怒るのに 恵み–豊かなる 恵みに
H7349 H2587 H3068 H0750 H0639

主はあわれみに富み、めぐみふかく、怒ること遅く、いつくしみ豊かでいらせられる。

9 לֹא־לָנֶצַח יָרִיב וְלֹא לְעוֹלָם יִטּוֹר׃
とこしえまでは 責められません 永遠に 永遠に 怒りを–保たれません
H3808 H5331 H7378 H3808 H5769 H5201

主は常に責めることをせず、また、とこしえに怒りをいだかれない。

10 לֹא כַחֲטָאֵינוּ עָשָׂה לָנוּ וְלֹא כַּעֲוֹנֹתֵינוּ גָּמַל עָלֵינוּ׃
わたしたちの–罪に わたしたちに なされません わたしたちの–咎に–応じて わたしたちに 報いられません わたしたちの–咎に
H2399 H3808 H5771 H1580

主はわれらの罪にしたがってわれらをあしらわず、われらの不義にしたがって報いられない。

11 כִּי כְגֹבַהּ שָׁמַיִם עַל־הָאָרֶץ גָּבַר חַסְדּוֹ עַל־יְרֵאָיו׃
まことに 天が–高い–ように 天が 地の 大きいのです 主の–恵みは 主を–畏れる者の–上に 主を–畏れる者の
H8064 H1361 H0776 H1396 H3373

天が地よりも高いように、主がおのれを恐れる者に賜わるいつくしみは大きい、

12
כִּרְחַק מִזְרָח מִמַּעֲרָב הִרְחִיק מִמֶּנּוּ אֶת־
東が–遠い–ように 東が 西から 遠くされました わたしたちから わたしたちの–背きを
H7368 H4217 H4628 H7368 H0853

פְּשָׁעֵינוּ׃
わたしたちの–背きを
H6588

東が西から遠いように、主はわれらのとがをわれらから遠ざけられる。

13
כְּרַחֵם אָב עַל־בָּנִים רִחַם יְהוָה עַל־יְרֵאָיו׃
父が–あわれむ–ように 父が 子らを 子らを あわれまれます 主は 主を–畏れる者を
H7355 H0001 H1121 H7355 H3068 H3373

父がその子供をあわれむように、主はおのれを恐れる者をあわれまれる。

14
כִּי־ הוּא יָדַע יִצְרֵנוּ זָכוּר עָפָר אֲנָחְנוּ׃
まことに 主は 知っておられます わたしたちの–成り立ちを 覚えておられます わたしたちが–塵で–あることを
H1931 H3045 H3336 H2142 H6083 H0587

主はわれらの造られたさまを知り、われらのちりであることを覚えていられるからである。

15
אֱנוֹשׁ כֶּחָצִיר יָמָיו כְּצִיץ הַשָּׂדֶה כֵּן יָצִיץ׃
人は 草の–ようです その–日々は 野の–花の–ように そのように 咲きます
H0582 H3117

人は、そのよわいは草のごとく、その栄えは野の花にひとしい。

16
כִּי רוּחַ עָבְרָה־ בּוֹ וְאֵינֶנּוּ וְלֹא־ יַכִּירֶנּוּ עוֹד
まことに 風が 吹き過ぎれば その上を それは–なくなります その–場所も 認めません もはや
H7307 H5674 H0369 H3808 H5750

מְקוֹמוֹ׃
その–場所を
H4725

風がその上を過ぎると、うせて跡なく、その場所にきいても、もはやそれを知らない。

17
וְחֶסֶד יְהוָה מֵעוֹלָם וְעַד־ עוֹלָם עַל־
しかし–主の–恵みは 主の 永遠の–昔から 永遠の–未来まで 永遠の 主を–畏れる者の–上に–あります
H3068 H5769 H5704 H5769

יְרֵאָיו וְצִדְקָתוֹ לִבְנֵי בָנִים׃
主を–畏れる者の 主の–義は 子らの–上に–あります 子らの–子らの
H3373 H6666

しかし主のいつくしみは、とこしえからとこしえまで、主を恐れる者の上にあり、その義は子らの子に及び、

18
לְשֹׁמְרֵי בְרִיתוֹ וְלִזְכְּרֵי פִקֻּדָיו לַעֲשׂוֹתָם׃
守る者の–ために 主の–契約を 覚えて–行う者の–ために 主の–戒めを 行う
H8104 H1285 H2142 H6490

その契約を守り、その命令を心にとめて行う者にまで及ぶ。

19
יְהוָה בַּשָּׁמַיִם הֵכִין כִּסְאוֹ וּמַלְכוּתוֹ בַכֹּל מָשָׁלָה׃
主は 天に 堅く-立てられました 主の-王座を 主の-統治は すべてを 治められます
H3068 H8064 H3678 H4438 H3605 H4910

主はその玉座を天に堅くすえられ、そのまつりごとはすべての物を統べ治める。

20
בָּרְכוּ יְהוָה מַלְאָכָיו גִּבֹּרֵי כֹחַ עֹשֵׂי דְבָרוֹ לִשְׁמֹעַ בְּקוֹל דְּבָרוֹ׃
ほめたたえよ 主を 主の-御使いたちよ 力ある-勇者たちよ 力の 行う者たちよ 主の-言葉を 聞き従う-者たちよ 主の-御声に 主の-御声の
H1288 H3068 H4397 H1368 H3581 H6213 H1697 H8085 H1697

主の使たちよ、そのみ言葉の声を聞いて、これを行う勇士たちよ、主をほめまつれ。

21
בָּרְכוּ יְהוָה כָּל־צְבָאָיו מְשָׁרְתָיו עֹשֵׂי רְצוֹנוֹ׃
ほめたたえよ 主を すべての 主の-軍勢よ 主の-仕える者たちよ 行う者たちよ 主の-御心を
H1288 H3068 H3605 H6635 H8334 H6213 H7522

そのすべての万軍よ、そのみこころを行うしもべたちよ、主をほめよ。

22
בָּרְכוּ יְהוָה כָּל־מַעֲשָׂיו בְּכָל־מְקוֹמוֹת מֶמְשַׁלְתּוֹ בָּרְכִי נַפְשִׁי אֶת־יְהוָה׃
ほめたたえよ 主を すべての 主の-造られたものよ すべての 主の-統治の場所で 主の-統治の わたしの-魂よ 主を
H1288 H3068 H3605 H4639 H3605 H4725 H4475 H5315 H0853 H3068

主が造られたすべての物よ、そのまつりごとの下にあるすべての所で、主をほめよ。わがたましいよ、主をほめよ。

Chapter 104

1
יְהוָה אֱלֹהַי גָּדַלְתָּ מְאֹד הוֹד וְהָדָר לָבָשְׁתָּ׃
主を 主を 主よ わたしの-神よ 大いなる-お方です まことに 尊厳と 威光を 身に-まとわれます
H3068 H3068 H0430 H1431 H3966 H1935 H1926 H3847

わがたましいよ、主をほめよ。わが神、主よ、あなたはいとも大いにして誉と威厳とを着、

2
עֹטֶה־אוֹר כַּשַּׂלְמָה נוֹטֶה שָׁמַיִם כַּיְרִיעָה׃
光を-まとわれます 衣の-ように 広げられます 天を 幕の-ように
H0216 H8008 H5186 H8064 H3407

光を衣のようにまとい、天を幕のように張り、

3
הַמְקָרֶה בַמַּיִם עֲלִיּוֹתָיו הַשָּׂם־עָבִים רְכוּבוֹ הַמְהַלֵּךְ עַל־כַּנְפֵי רוּחַ׃
建てられます 水の-上に 主の-高殿を 雲を-主の-車と-されます 主の-車と 歩まれます 風の-翼の上を 風の-翼の 風の
H7136 H4325 H5944 H7760 H5645 H7392 H1980 H5921 H3671 H7307

水の上におのが高殿のうつばりをおき、雲をおのれのいくさ車とし、風の翼に乗りあるき、

עֹשֶׂה	מַלְאָכָיו	רוּחוֹת	מְשָׁרְתָיו	אֵשׁ	לֹהֵט׃
造られます	主の–御使いを	風として	主の–仕える者を	燃える–火として	燃える
H6213	H4397	H7307	H8334	H0784	H3857

4

風をおのれの使者とし、火と炎をおのれのしもべとされる。

יָסַד־	אֶרֶץ	עַל־	מְכוֹנֶיהָ	בַּל־	תִּמּוֹט	עוֹלָם	וָעֶד׃
据えられました	地を	その–基の上に	その–基の	揺るぎません	揺るぎません	永遠に	永遠に
H3245	H0776	H4349	H4349	H1077	H4131	H5769	H5703

5

あなたは地をその基の上にすえて、とこしえに動くことのないようにされた。

תְּהוֹם	כַּלְבוּשׁ	כִּסִּיתָו	עַל־	הָרִים	יַעַמְדוּ־	מָיִם׃
深淵で	衣の–ように	覆われました	山々の–上に	山々の	水が–立ちました	水が
H8415	H3830	H3680	H4349	H2022	H5975	H4325

6

あなたはこれを衣でおおうように大水でおおわれた。水はたたえて山々の上を越えた。

מִן־	גַּעֲרָתְךָ	יְנוּסוּן	מִן־	קוֹל	רַעַמְךָ
あなたの–叱責により	あなたの–叱責の	逃げました	あなたの–雷の–声に	あなたの–雷の	あなたの–雷の
	H1606	H5127			H7482

7

יֵחָפֵזוּן׃
急ぎました
H2648

あなたのとがめによって水は退き、あなたの雷の声によって水は逃げ去った。

יַעֲלוּ	הָרִים	יֵרְדוּ	בְקָעוֹת	אֶל־	מְקוֹם	
上がりました	山々は	下がりました	谷々は	あなたが–定められた–場所に	定められた–場所に	
H5927	H2022	H3381	H1237	H0413	H4725	

8

וְזֶה	יָסַדְתָּ	לָהֶם׃
その–場所に	定められました	そのために
H2088	H3245	H1992

山は立ちあがり、谷はあなたが定められた所に沈んだ。

גְּבוּל־	שַׂמְתָּ	בַּל־	עָבְרוּן	בַּל־	יְשׁוּבוּן	לְכַסּוֹת
境を–置かれました	置かれました	越えません	越えません	帰りません	帰りません	覆う–ために
H1366	H7760	H1077	H5674	H1077	H7725	H3680

9

הָאָרֶץ׃
地を
H0776

あなたは水に境を定めて、これを越えさせず、再び地をおおうことのないようにされた。

הַמְשֻׁלָּח	מַעְיָנִים	בַּנְּחָלִים	בֵּין	הָרִים	יְהַלְּכוּן׃
湧かせられます	泉を	谷々に	山々の–間を	山々の	流れます
H7971	H4599		H0996	H2022	H1980

10

あなたは泉を谷にわき出させ、それを山々の間に流れさせ、

יַשְׁקוּ	כָּל־	חַיְתוֹ	שָׂדָי	יִשְׁבְּרוּ	פְּרָאִים	צְמָאָם׃
潤します	すべての	野の–獣を	野の	癒します	野ろばは	渇きを
H8248	H3605			H7665	H6501	H6772

11

野のもろもろの獣に飲ませられる。野のろばもそのかわきをいやす。

12	עֲלֵיהֶם	עוֹף־	הַשָּׁמַיִם	יִשְׁכֹּון	מִבֵּין	עֳפָאִים	יִתְּנוּ־	קוֹל׃
	その–ほとりに	空の–鳥が	空の	住みます	枝々の–間から	枝々の	声を–上げます	声を
		H5775	H8064	H7931	H0996	H6073	H5414	

空の鳥もそのほとりに住み、こずえの間にさえずり歌う。

13	מַשְׁקֶה	הָרִים	מֵעֲלִיּוֹתָיו	מִפְּרִי	מַעֲשֶׂיךָ	תִּשְׂבָּע
	潤されます	山々を	主の–高殿から	あなたの–みわざの–実で	あなたの–みわざの	満たされます
	H8248	H2022	H5944	H6529	H4639	H7646

הָאָרֶץ׃
地は
H0776

あなたはその高殿からもろもろの山に水を注がれる。地はあなたのみわざの実をもって満たされる。

14	מַצְמִיחַ	וְחָצִיר	לַבְּהֵמָה	וְעֵשֶׂב	לַעֲבֹדַת	הָאָדָם
	生えさせられます	草を	家畜の–ために	植物を	人が–耕す–ために	人が
	H6779		H0929	H6212	H5656	H0120

לֶחֶם	מִן־	הָאָרֶץ׃
パンを	地から	地から
H3899		H0776

あなたは家畜のために草をはえさせ、また人のためにその栽培する植物を与えて、地から食物を出させられる。

15	וְיַיִן	יְשַׂמַּח	לְבַב־	אֱנוֹשׁ	לְהַצְהִיל	פָּנִים	מִשָּׁמֶן	וְלֶחֶם	לְבַב־	אֱנוֹשׁ
	ぶどう酒は	喜ばせます	人の–心を	人の	輝かせます	顔を	油で	パンは	支えます	人の–心を
	H3196	H8055	H3824	H0582		H6440	H8081	H3899	H3824	H0582

יִסְעָד׃
人の
H5582

すなわち人の心を喜ばすぶどう酒、その顔をつややかにする油、人の心を強くするパンなどである。

16	יִשְׂבְּעוּ	עֲצֵי	יְהוָה	אַרְזֵי	לְבָנוֹן	אֲשֶׁר	נָטָע׃
	潤います	主の–木々は	主の	レバノンの–杉は	レバノンの	主が	植えられた
	H7646	H6086	H3068	H0730	H3844		H5193

主の木と、主がお植えになったレバノンの香柏とは豊かに潤され、

17	אֲשֶׁר־	שָׁם	צִפֳּרִים	יְקַנֵּנוּ	חֲסִידָה	בְּרוֹשִׁים	בֵּיתָהּ׃
	その中に	その中に	鳥たちが	巣を–作ります	こうのとりは	もみの木を	その–家と–します
		H8033	H6833	H7077	H2624	H1265	

鳥はその中に巣をつくり、こうのとりはもみの木をそのすまいとする。

18	הָרִים	הַגְּבֹהִים	לַיְעֵלִים	סְלָעִים	מַחְסֶה	לַשְּׁפַנִּים׃
	高い–山々は	高い	野山羊の–ためです	岩々は	避け所です	岩狸の–ための
	H2022	H1364	H3277	H5553	H4268	

高き山はやぎのすまい、岩は岩だぬきの隠れる所である。

19	עָשָׂה	יָרֵחַ	לְמוֹעֲדִים	שָׁמֶשׁ	יָדַע	מְבוֹאֹו׃
	造られました	月を	季節の–ために	太陽は	知っています	その–沈む–場所を
		H3394	H4150	H8121	H3045	H3996

あなたは月を造って季節を定められた。日はその入る時を知っている。

20
תָּשֶׁת־ 置かれます H7896
חֹשֶׁךְ 闇を H2822
וַיְהִי そして-なります H1961
לָיְלָה 夜と H3915
בּוֹ־ その中に-動きます
תִּרְמֹשׂ 動きます H7430
כָּל־ すべての H3605
חַיְתוֹ־ 森の-獣が
יָעַר׃ 森の

あなたは暗やみを造って夜とされた。その時、林の獣は皆忍び出る。

21
הַכְּפִירִים 若い-獅子たちは
שֹׁאֲגִים ほえます H7580
לַטָּרֶף 獲物を-求めて H2964
וּלְבַקֵּשׁ 求めます H1245
מֵאֵל 神に H0410
אָכְלָם׃ その-食べ物を H0400

若きししはほえてえさを求め、神に食物を求める。

22
תִּזְרַח 太陽が-昇ると H2224
הַשֶּׁמֶשׁ 太陽が H8121
יֵאָסֵפוּן 退きます H0622
וְאֶל־ その-ねぐらに H0413
מְעוֹנֹתָם その-ねぐらに H4585
יִרְבָּצוּן׃ 横たわります H7257

日が出ると退いて、その穴に寝る。

23
יֵצֵא 人は-出て-行きます H3318
אָדָם 人は H0120
לְפָעֳלוֹ その-働きに H6467
וְלַעֲבֹדָתוֹ その-労働に H5656
עֲדֵי־ 夕べまで H5704
עֶרֶב׃ 夕べまで H6153

人は出てわざにつき、その勤労は夕べに及ぶ。

24
מָה־ なんと-多いことか H4100
רַבּוּ 多いことか H7231
מַעֲשֶׂיךָ あなたの-みわざは H4639
יְהוָה 主よ H3068
כֻּלָּם すべて H3605
בְּחָכְמָה 知恵を-もって H2451
עָשִׂיתָ 造られました
מָלְאָה 満ちています H4390
הָאָרֶץ 地は H0776
קִנְיָנֶךָ׃ あなたの-造られたもので H7075

主よ、あなたのみわざはいかに多いことであろう。あなたはこれらをみな知恵をもって造られた。地はあなたの造られたもので満ちている。

25
זֶה この H2088
הַיָּם 海は H3220
גָּדוֹל 大きく
וּרְחַב 広く H7342
יָדָיִם 広く H3027
שָׁם־ その中に-動くものが H8033
רֶמֶשׂ 動くものが H7431
וְאֵין 数えきれないほど H0369
גְּדֹלוֹת׃ 大きいものも
עִם־ 大きいものも
קְטַנּוֹת 小さいものも
חַיּוֹת 生き物が
מִסְפָּר 数えきれない H4557

かしこに大いなる広い海がある。その中に無数のもの、大小の生き物が満ちている。

26
לְשַׂחֶק־ その中で-遊ぶ-ために H7832
יָצַרְתָּ あなたが-造られました H3335
זֶה־ これは H2088
לִוְיָתָן レビヤタンが H3882
יְהַלֵּכוּן 行き交います H1980
אֳנִיּוֹת 船が H0591
שָׁם その中を H8033
בּוֹ׃ その中で

そこに舟が走り、あなたが造られたレビヤタンはその中に戯れる。

27 כֻּלָּם אֵלֶיךָ יְשַׂבֵּרוּן לָתֵת אָכְלָם בְּעִתּוֹ׃
それらは–すべて あなたに 望みます 与える–ために 食べ物を 時に–かなって
H3605 H0413 H7663 H5414 H0400 H6256

彼らは皆あなたが時にしたがって食物をお与えになるのを期待している。

28 תִּתֵּן לָהֶם יִלְקֹטוּן תִּפְתָּח יָדְךָ יִשְׂבְּעוּן טוֹב׃
それらに 与えられます それらは–集めます 開かれます あなたの–御手が 満たされます よきもので
H1992 H5414 H3950 H6605 H3027 H7646 H2896

あなたがお与えになると、彼らはそれを集める。あなたが手を開かれると、彼らは良い物で満たされる。

29 תַּסְתִּיר פָּנֶיךָ יִבָּהֵלוּן תֹּסֵף רוּחָם יִגְוָעוּן וְאֶל־עֲפָרָם יְשׁוּבוּן׃
隠されます あなたの–御顔を おびえます 取り去られます その–息を 息絶えます その–塵に 塵に
H5641 H6440 H0926 H0622 H7307 H1478 H0413 H6083
帰ります
H7725

あなたがみ顔を隠されると、彼らはあわてふためく。あなたが彼らの息を取り去られると、彼らは死んでちりに帰る。

30 תְּשַׁלַּח רוּחֲךָ יִבָּרֵאוּן וְתְחַדֵּשׁ פְּנֵי אֲדָמָה׃
送られます あなたの–霊を 造られます そして–新たにされます 地の面が 地の
H7971 H7307 H0000 H2318 H6440 H0127

あなたが霊を送られると、彼らは造られる。あなたは地のおもてを新たにされる。

31 יְהִי כְבוֹד יְהוָה לְעוֹלָם יִשְׂמַח יְהוָה בְּמַעֲשָׂיו׃
続きますように 主の–栄光が 主の 永遠に 喜ばれますように 主が 主の–みわざを
H1961 H3519 H3068 H5769 H8055 H3068 H4639

どうか、主の栄光がとこしえにあるように。主がそのみわざを喜ばれるように。

32 הַמַּבִּיט לָאָרֶץ וַתִּרְעָד יִגַּע בֶּהָרִים וְיֶעֱשָׁנוּ׃
地を 見おろされます それは–震えます 触れられます 山々に それは–煙を–上げます
H0776 H5027 H7460 H5060 H2022 H6225

主が地を見られると、地は震い、山に触れられると、煙をいだす。

33 אָשִׁירָה לַיהוָה בְּחַיָּי אֲזַמְּרָה לֵאלֹהַי בְּעוֹדִי׃
歌います 主に 生きている–限り ほめ歌います わたしの–神に 命が–ある–限り
H7891 H3068 H2416 H2167 H0430 H5750

わたしは生きるかぎり、主にむかって歌い、ながらえる間はわが神をほめ歌おう。

34 יֶעֱרַב עָלָיו שִׂיחִי אָנֹכִי אֶשְׂמַח בַּיהוָה׃
喜ばれますように 主に わたしの–思いが わたしは 喜びます 主に–あって
H6149 H5921 H7879 H0595 H8055 H3068

どうか、わたしの思いが主に喜ばれるように。わたしは主によって喜ぶ。

35 יִתַּמּוּ חַטָּאִים מִן־הָאָרֶץ וּרְשָׁעִים עוֹד אֵינָם בָּרְכִי נַפְשִׁי אֶת־יְהוָה הַלְלוּ־יָהּ׃
滅びますように 罪人が 地から 地から 悪しき者が もはや いなくなりますように ほめたたえよ わたしの–魂よ 主を ハレルヤ 主を 主を
H8552 H2400 H0776 H4480 H7563 H5750 H0369 H1288 H5315 H3068 H1984 H3050

どうか、罪びとが地から断ち滅ぼされ、悪しき者が、もはや、いなくなるように。わがたましいよ、主をほめよ。主をほめたたえよ。

Chapter 105

1 הוֹדוּ לַיהוָה קִרְאוּ בִשְׁמוֹ הוֹדִיעוּ בָעַמִּים עֲלִילוֹתָיו׃

感謝しなさい	主に	呼びなさい	主の–御名を	知らせなさい	諸国民の–中で	主の–みわざを
H3034	H3068	H7121	H8034	H3045		H5949

主に感謝し、そのみ名を呼び、そのみわざをもろもろの民のなかに知らせよ。

2 שִׁירוּ־לוֹ זַמְּרוּ־לוֹ שִׂיחוּ בְּכָל־נִפְלְאוֹתָיו׃

歌いなさい	主に	ほめ歌いなさい	主に	語りなさい	すべての	主の–不思議を
H7891		H2167		H7878	H3605	H6381

主にむかって歌え、主をほめうたえ、そのすべてのくすしきみわざを語れ。

3 הִתְהַלְלוּ בְשֵׁם קָדְשׁוֹ יִשְׂמַח לֵב מְבַקְשֵׁי יְהוָה׃

誇りなさい	聖なる–御名を	聖なる	喜びなさい	心よ	主を–求める者よ
	H8034	H6944	H8055		H1245	H3068

その聖なるみ名を誇れ。主を尋ね求める者の心を喜ばせよ。

4 דִּרְשׁוּ יְהוָה וְעֻזּוֹ בַּקְשׁוּ פָנָיו תָּמִיד׃

求めなさい	主を	主の–力を	求めなさい	主の–御顔を	絶えず
H1875	H3068	H5797	H1245	H6440	H8548

主とそのみ力とを求めよ、つねにそのみ顔を尋ねよ。

5 זִכְרוּ נִפְלְאוֹתָיו אֲשֶׁר־עָשָׂה מֹפְתָיו וּמִשְׁפְּטֵי־פִיהוּ׃

思い出しなさい	主の–不思議を	主が–行われた	行われた	主の–しるしを	主の–口の–さばきを
H2142	H6381			H4159	H4941

主の–口の
H6310

6 זֶרַע אַבְרָהָם עַבְדּוֹ בְּנֵי יַעֲקֹב בְּחִירָיו׃

子孫よ	アブラハムの	主の–しもべの	子らよ	ヤコブの	主の–選ばれた者の
H2233	H0085	H5650		H3290	H0972

そのしもべアブラハムの子孫よ、その選ばれた者であるヤコブの子らよ、主のなされたくすしきみわざと、その奇跡と、そのみ口のさばきとを心にとめよ。

7 הוּא יְהוָה אֱלֹהֵינוּ בְּכָל־הָאָרֶץ מִשְׁפָּטָיו׃

主こそ	主です	わたしたちの–神です	全地に	全地に	主の–さばきが–あります
H1931	H3068	H0430	H3605	H0776	H4941

彼はわれらの神、主でいらせられる。そのさばきは全地にある。

8 זָכַר לְעוֹלָם בְּרִיתוֹ דָּבָר צִוָּה לְאֶלֶף דּוֹר׃

覚えておられます	永遠に	主の–契約を	命じられた–言葉を	命じられた	千–代に–わたって	千
H2142	H5769	H1285	H1697	H6680	H0505	H1755

主はとこしえに、その契約をみこころにとめられる。これはよろず代に命じられたみ言葉であって、

9 אֲשֶׁר כָּרַת אֶת־אַבְרָהָם וּשְׁבוּעָתוֹ לְיִשְׂחָק׃

結ばれた	結ばれた	アブラハムと	アブラハムと	主の–誓いを	イサクに
	H3772	H0854	H0085	H7621	H3446

アブラハムと結ばれた契約、イサクに誓われた約束である。

10 וַיַּעֲמִידֶהָ לְיַעֲקֹב לְחֹק לְיִשְׂרָאֵל בְּרִית עוֹלָם׃
立てられました ヤコブに–対して 掛として イスラエルに–対して 永遠の–契約として 永遠の
H5975 H3290 H2706 H3478 H1285 H5769

主はこれを堅く立てて、ヤコブのために定めとし、イスラエルのために、とこしえの契約として

11 לֵאמֹר לְךָ אֶתֵּן אֶת־אֶרֶץ כְּנָעַן חֶבֶל
言われました あなたに わたしは–与えます カナンの–地を カナンの 分け前として
H0559 H5414 H0853 H0776 H3293

נַחֲלַתְכֶם׃
あなたがたの–受継ぎの
H5159

言われた、「わたしはあなたにカナンの地を与えて、あなたがたの受ける嗣業の分け前とする」と。

12 בְּהִיוֹתָם מְתֵי מִסְפָּר כִּמְעַט וְגָרִים בָּהּ׃
まだ–少なかったが 少数で 少数で まことに–少なく 寻りびとで–ありました その中に
H1961 H4962 H4557 H4592 H1616 H0

このとき彼らの数は少なくて、数えるに足らず、その所で旅びととなり、

13 וַיִּתְהַלְּכוּ מִגּוֹי מִגּוֹי אֶל־אֶל מַמְלָכָה עַם אַחֵר׃
さまよいました 国から 国へと 国へと 王国から 他の–民へと 他の 民へと
H1980 H4480 H1471 H0413 H4467 H5971 H0312

この国からかの国へ行き、この国から他の民へ行った。

14 לֹא־הִנִּיחַ לְאָדָם לְעָשְׁקָם וַיּוֹכַח
許されませんでした 許されませんでした だれにも 彼らを–踏みにじることを 戒められました
H3808 H3240 H0120 H6231 H3198

עֲלֵיהֶם מְלָכִים׃
彼らの–ゆえに 王たちを
H4428

主は人の彼らをしえたげるのをゆるさず、彼らのために王たちを懲しめて、

15 אַל־תִּגְּעוּ בִמְשִׁיחָי וְלִנְבִיאַי אַל־תָּרֵעוּ׃
触れては–ならない 触れては わたしの–油注がれた者に わたしの–預言者にも 害を–加えては–ならない
H0408 H5060 H4899 H5030 H0408

言われた、「わが油そそがれた者たちにさわってはならない、わが預言者たちに害を加えてはならない」と。

16 וַיִּקְרָא רָעָב עַל־כָּל־מַטֵּה־לֶחֶם שָׁבָר׃
呼び寄せられました 飢饉を 地の–上に すべての パンの–資を パンの 断たれました
H7121 H7458 H0776 H3605 H4294 H3899 H7665

主はききんを地に招き、人のつえとするパンをことごとく砕かれた。

17 שָׁלַח לִפְנֵיהֶם לְעֶבֶד נִמְכַּר יוֹסֵף׃
遣わされました 彼らの–前に 奴隷として 人を ヨセフは 売られました
H7971 H6440 H5650 H0376 H3130 H4376

また彼らの前にひとりをつかわされた。すなわち売られて奴隷となったヨセフである。

18

נַפְשׁוֹ׃	בָּאָה	בַּרְזֶל׃	)רַגְלוֹ(	]רגליו[	בַּכֶּבֶל	עִנּוּ
彼の-魂に	貫かれました	鉄が	彼の-足は	彼の-足は	足かせで	苦しめられました
H5315	H0935	H1270	H7272	H7272	H3525	

彼の足は足かせをもって痛められ、彼の首は鉄の首輪にはめられ、

19

צְרָפָתְהוּ׃	יְהוָה	אִמְרַת	דְּבָרוֹ	בָּא־	עֵת	עַד־
試みました	主の	主の-言葉が	主の-言葉が	成就した	時まで	その-時まで
H6884	H3068		H1697	H0935	H6256	H5704

彼の言葉の成る時まで、主のみ言葉が彼を試みた。

20

וַיְפַתְּחֵהוּ׃	עַמִּים	מֹשֵׁל	וַיַּתִּירֵהוּ	מֶלֶךְ	שָׁלַח
自由に-しました	諸国民の	諸国民の-支配者が	解き放ちました	王が	遣わされました
		H4910		H4428	H7971

王は人をつかわして彼を解き放ち、民のつかさは彼に自由を与えた。

21

קִנְיָנוֹ׃	בְּכָל־	וּמֹשֵׁל	לְבֵיתוֹ	אָדוֹן	שָׂמוֹ
彼の-所有の-上に	すべての	支配者として	彼の-家の	主人として	立てました
H7075	H3605	H4910		H0113	

王はその家のつかさとしてその所有をことごとくつかさどらせ、

22

יְחַכָּם׃	וּזְקֵנָיו	בְּנַפְשׁוֹ	שָׂרָיו	לֶאְסֹר	
知恵を-教える-ために	彼の-長老たちに	彼の-思いのままに	彼の-家臣を	縛る-ために	
H2449	H2205	H5315	H8269	H0631	

その心のままに君たちを教えさせ、長老たちに知恵を授けさせた。

23

חָם׃	בְּאֶרֶץ־	גָּר	וְיַעֲקֹב	מִצְרַיִם	יִשְׂרָאֵל	וַיָּבֹא
ハムの	ハムの-地に	寻りびました	ヤコブは	エジプトに	イスラエルは	来ました
H2526	H0776		H3290	H4714	H3478	H0935

その時イスラエルはエジプトにきたり、ヤコブはハムの地に寄留した。

24

מִצָּרָיו׃	וַיַּעֲצִמֵהוּ	מְאֹד	עַמּוֹ	אֶת־	וַיֶּפֶר	
彼らの-敵よりも	強くされました	大いに	主の	主の-民を	増やされました	
		H3966		H0853	H6509	

主はその民を大いに増し加え、これをそのあだよりも強くされた。

25

לְהִתְנַכֵּל	עַמּוֹ	לִשְׂנֹא	לִבָּם	הָפַךְ	
計りごとを-たくらむ-ように	主の-民を	憎む-ように	彼らの-心を	変えられました	
H5230		H8130		H2015	
				בַּעֲבָדָיו׃	
				主の-しもべたちに-対して	
				H5650	

主は人々の心をかえて、その民を憎ませ、そのしもべたちを悪賢く扱わせられた。

26

בּוֹ׃	בָּחַר־	אֲשֶׁר	אַהֲרֹן	עַבְדּוֹ	מֹשֶׁה	שָׁלַח
選ばれた	選ばれた	主が	アロンを	主の-しもべを	モーセを	遣わされました
	H0977		H0175	H5650	H4872	H7971

主はそのしもべモーセと、そのお選びになったアロンとをつかわされた。

27

חָם׃	בְּאֶרֶץ	וּמֹפְתִים	אֹתוֹתָיו	דִּבְרֵי	בָם	שָׂמוּ־
ハムの	ハムの-地で	不思議を	主の-しるしを	主の-しるしの-言葉を	彼らの-中で	行われました
H2526	H0776	H4159	H0226	H1697		

彼らはハムの地で主のしるしと、奇跡とを彼らのうちにおこなった。

אֶת־	מָרוּ	וְלֹא־	וַיַּחְשֵׁךְ	חֹשֶׁךְ	שָׁלַח	28
主の-言葉に	逆らいませんでした	逆らいませんでした	そして-暗くなりました	闇を	遣わされました	
H0853	H4784	H3808	H2821	H2822	H7971	

דְּבָרוֹ׃)	[דברוו
主の-言葉に	主の-言葉に
H1697	H1697

主は暗やみをつかわして地を暗くされた。しかし彼らはそのみ言葉に従わなかった。

דְּגָתָם׃	אֶת־	וַיָּמֶת	לְדָם	מֵימֵיהֶם	אֶת־	הָפַךְ	29
彼らの	彼らの-魚を	死なせました	血に	彼らの	彼らの-水を	変えられました	
H1710	H0853	H4191	H1818	H4325	H0853	H2015	

主は彼らの水を血に変らせて、その魚を殺された。

מַלְכֵיהֶם׃	בְּחַדְרֵי	צְפַרְדְּעִים	אַרְצָם	שָׁרַץ	30
王たちの	王たちの-寝室の中さえ	蛙で	彼らの-地は	湧きました	
H4428	H2315	H6854	H0776	H8317	

彼らの国には、かえるが群がり、王の寝間にまではいった。

גְּבוּלָם׃	בְּכָל־	כִּנִּים	עָרֹב	וַיָּבֹא	אָמַר	31
境の中に	すべての	ブヨが	あぶの-群れが	すると-来ました	命じられました	
H1366	H3605	H3654	H6157	H0935	H0559	

主が言われると、はえの群れがきたり、ぶよが国じゅうにあった。

בְּאַרְצָם׃	לֶהָבוֹת	אֵשׁ	בָּרָד	גִּשְׁמֵיהֶם	נָתַן	32
彼らの-地に	燃える	燃える-火を	雹を	雨の-代わりに	与えられました	
H0776	H3852	H0784	H1259	H1653	H5414	

主は雨にかえて、ひょうを彼らに与え、きらめくいなずまを彼らの国に放たれた。

גְּבוּלָם׃	עֵץ	וַיְשַׁבֵּר	וּתְאֵנָתָם	גַּפְנָם	וַיַּךְ	33
彼らの-境の	彼らの-境の-木々が	折られました	いちじくの木が	彼らの-ぶどうの木と	打たれました	
H1366	H6086	H7665	H8384	H1612	H5221	

主は彼らのぶどうの木と、いちじくの木とを撃ち、彼らの国のもろもろの木を折り砕かれた。

מִסְפָּר׃	וְאֵין	וְיֶלֶק	אַרְבֶּה	וַיָּבֹא	אָמַר	34
数えきれない	数えきれないほど	若い-いなごが	いなごが	すると-来ました	命じられました	
H4557	H0369	H3218	H0697	H0935	H0559	

主が言われると、いなごがきたり、無数の若いいなごが来て、

אַדְמָתָם׃	פְּרִי	וַיֹּאכַל	בְּאַרְצָם	עֵשֶׂב	כָּל־	וַיֹּאכַל	35
彼らの-地の	実りを	食い尽くしました	彼らの-地の	草を	すべての	食い尽くしました	
H0127	H6529	H0398	H0776	H6212	H3605	H0398	

彼らの国のすべての青物を食いつくし、その地の実を食いつくした。

אוֹנָם׃	לְכָל־	רֵאשִׁית	בְּאַרְצָם	בְּכוֹר	כָּל־	וַיַּךְ	36
彼らの-力の	すべての	初めての-力が	彼らの-地の	初子が	すべての	打たれました	
H0202	H3605	H7225	H0776	H1060	H3605	H5221	

主は彼らの国のすべてのういごを撃ち、彼らのすべての力の初めを撃たれた。

37

וַיּוֹצִיאֵם,	בְּכֶסֶף	וְזָהָב	וְאֵין	בִּשְׁבָטָיו
導き出されました	銀と	金を-持って	彼らの-部族の-中に	彼らの-部族の
H3318	H3701	H2091	H0369	H7626

כּוֹשֵׁל׃	
つまずく者は-いませんでした	
H3782	

そして金銀を携えてイスラエルを出て行かせられた。その部族のうちに、ひとりの倒れる者もなかった。

38

פַּחְדָּם	נָפַל	כִּי־	בְּצֵאתָם	מִצְרַיִם	שָׂמַח
彼らへの-恐れが	落ちていた	まことに-落ちていたので	彼らが-去ったとき	エジプトは	喜びました
H6343	H5307		H3318	H4714	H8055

עֲלֵיהֶם׃
彼らの-上に

エジプトは彼らの去るのを喜んだ。彼らに対する恐れが彼らに臨んだからである。

39

לָיְלָה׃	לְהָאִיר	וְאֵשׁ	לְמָסָךְ	עָנָן	פָּרַשׂ
夜に	照らす-ために	火を	覆いとして	雲を	広げられました
H3915	H0215	H0784	H4539	H6051	H6566

主は雲をひろげておおいとし、夜は火をもって照された。

40

יַשְׂבִּיעֵם׃	שָׁמַיִם	וְלֶחֶם	שְׁלָו	וַיָּבֵא	שָׁאַל
満たされました	天の	天の-パンで	うずらが	すると-来ました	求めました
H7646	H8064	H3899	H7958	H0935	H7592

また彼らの求めによって、うずらを飛びきたらせ、天から、かてを豊かに彼らに与えられた。

41

נָהָר׃	בַּצִּיּוֹת	הָלְכוּ	מַיִם	וַיָּזוּבוּ	צוּר	פָּתַח
川となって	乾いた-地に	流れました	水が	流れ出ました	岩が	開かれました
H5104	H6723	H1980	H4325	H2100	H6697	

主が岩を開かれると、水がほとばしり出て、かわいた地に川のように流れた。

42

אֶת־	קָדְשׁוֹ	דְּבַר	אֶת־	זָכַר		כִּי־
アブラハムに-対する	聖なる	聖なる	聖なる-言葉を	覚えておられたからです		まことに
H0853	H6944	H1697	H0853	H2142		

עַבְדּוֹ׃	אַבְרָהָם
主の-しもべへの	アブラハムに
H5650	H0085

これは主がその聖なる約束と、そのしもべアブラハムを覚えられたからである。

43

בְּחִירָיו׃	אֶת־	בְּרִנָּה	בְּשָׂשׂוֹן	עַמּוֹ	וַיּוֹצִא
主の-選ばれた者を	主の-選ばれた者を	歌を-もって	喜びを-もって	主の-民を	導き出されました
H0972	H0853	H7440	H8342		H3318

こうして主はその民を導いて喜びつつ出て行かせ、その選ばれた民を導いて歌いつつ出て行かせられた。

44

יִירָשׁוּ׃	לְאֻמִּים	וַעֲמַל	גּוֹיִם	אַרְצוֹת	לָהֶם	וַיִּתֵּן
受け継ぎました	諸国民の	諸国民の-労苦の-実りを	諸国の	諸国の-地を	彼らに	与えられました
H3423	H3816	H5999		H0776	H1992	H5414

主はもろもろの国びとの地を彼らに与えられたので、彼らはもろもろの民の勤労の実を自分のものとした。

45

יָהּ׃	הַלְלוּ־	יִנְצְרוּ	וְתוֹרֹתָיו	חֻקָּיו	יִשְׁמְרוּ	וּבַעֲבוּר
主を	ハレルヤ	保つ-ために	主の-律法を	主の-掛を	守る	守る-ために
H3050		H5341	H8451	H2706	H8104	H5668

これは彼らが主の定めを守り、そのおきてを行うためである。主をほめたたえよ。

Chapter 106

1 וְהַלְלוּיָהּ הוֹדוּ לַיהוָה כִּי־טוֹב כִּי לְעוֹלָם חַסְדּוֹ׃
ハレルヤ 感謝せよ 主に H3068 まことに 良い-方 まことに 永遠に H5769 その-恵みは

主をほめたたえよ。主に感謝せよ、主は恵みふかく、そのいつくしみはとこしえに絶えることがない。

2 מִי יְמַלֵּל גְּבוּרוֹת יְהוָה יַשְׁמִיעַ כָּל־תְּהִלָּתוֹ׃
誰が H4310 語り-尽くせようか 力ある-御業を H1369 主の H3068 聞かせ-得ようか H8085 すべての H3605 賛美を H8416

だれが主の大能のみわざを語り、その誉をことごとく言いあらわすことができようか。

3 אַשְׁרֵי שֹׁמְרֵי מִשְׁפָּט עֹשֵׂה צְדָקָה בְכָל־עֵת׃
幸いだ 守る-者は 公正を 行う-者は 義を H6666 あらゆる H3605 時に H6256

公正を守る人々、常に正義を行う人はさいわいである。

4 זָכְרֵנִי יְהוָה בִּרְצוֹן עַמֶּךָ פָּקְדֵנִי בִּישׁוּעָתֶךָ׃
覚えてください-私を H2142 主よ H3068 恵みを-もって H7522 あなたの-民への 顧みてください-私を 救いを-もって H3444

主よ、あなたがその民を恵まれるとき、わたしを覚えてください。あなたが彼らを救われるとき、わたしを助けてください。

5 לִרְאוֹת בְּטוּבַת בְּחִירֶיךָ לִשְׂמֹחַ בְּשִׂמְחַת גּוֹיֶךָ לְהִתְהַלֵּל עִם־נַחֲלָתֶךָ׃
見させてください H7200 幸いを 選ばれた-者の H0972 喜ばせてください H8055 喜びを-もって H8057 国民の あなたの-嗣業と H5159 誇らせてください 共に

そうすれば、わたしはあなたの選ばれた者の繁栄を見、あなたの国民の喜びをよろこび、あなたの嗣業と共に誇ることができるでしょう。

6 חָטָאנוּ עִם־אֲבוֹתֵינוּ הֶעֱוִינוּ הִרְשָׁעְנוּ׃
私たちは-罪を-犯した 先祖たちと 共に 私たちは-曲がったことをした 私たちは-悪を-行った H7561

われらは先祖たちと同じく罪を犯した。われらは不義をなし、悪しきことを行った。

7 אֲבוֹתֵינוּ בְּמִצְרַיִם לֹא־הִשְׂכִּילוּ נִפְלְאוֹתֶיךָ לֹא זָכְרוּ וַיַּמְרוּ עַל־יָם בְּיַם־סוּף׃
先祖たちは H0001 エジプトで H4714 悟ら- H3808 なかった あなたの-不思議な-業を H6381 思い出さ- H3808 なかった H2142 そして-逆らった ～で H5921 海 H3220 ～の-海で H3220 葦の H5488

われらの先祖たちはエジプトにいたとき、あなたのくすしきみわざに心を留めず、あなたのいつくしみの豊かなのを思わず、紅海で、いと高き神にそむいた。

8
וַיּוֹשִׁיעֵם׀ לְמַעַן שְׁמוֹ לְהוֹדִיעַ אֶת־גְּבוּרָתוֹ׃
しかし-救われた-彼らを ～の-ために その-御名の 知らせるために （直接目的語） その-力を
H3467 H4616 H8034 H3045 H0853 H1369

けれども主はその大能を知らせようと、み名のために彼らを救われた。

9
וַיִּגְעַר בְּיַם־סוּף וַיֶּחֱרָב וַיּוֹלִיכֵם בִּתְהֹמוֹת כַּמִּדְבָּר׃
そして-叱られた ～の-海を 葦の すると-干上がった そして-導かれた-彼らを 深みの-中を 荒野の-ように
H1605 H3220 H5488 H2717 H3212 H8415

主は紅海をしかって、それをかわかし、彼らを導いて荒野を行くように、淵を通らせられた。

10
וַיּוֹשִׁיעֵם׀ מִיַּד שׂוֹנֵא וַיִּגְאָלֵם מִיַּד אוֹיֵב׃
しかし-救われた-彼らを ～の-手から 憎む-者の ～の-手から そして-贖われた-彼らを 敵の
H3467 H3027 H8130 H3027 H3027 H0341

こうして主は彼らをあだの手から救い、敵の力からあがなわれた。

11
וַיְכַסּוּ־מַיִם צָרֵיהֶם אֶחָד מֵהֶם לֹא נוֹתָר׃
すると-覆った 水が 彼らの-敵を 一人も 彼らの-うち （否定） 残らなかった
H3680 H4325 H6862 H0259 H1992 H3808 H3498

水が彼らのあだをおおったので、そのうち、ひとりも生き残った者はなかった。

12
וַיַּאֲמִינוּ בִּדְבָרָיו יָשִׁירוּ תְּהִלָּתוֹ׃
そして-信じた その-御言葉を 歌った その-賛美を
H0539 H1697 H7891 H8416

このとき彼らはそのみ言葉を信じ、その誉を歌った。

13
מִהֲרוּ׀ שָׁכְחוּ מַעֲשָׂיו לֹא־חִכּוּ לַעֲצָתוֹ׃
しかし-すぐに 忘れた その-御業を （否定） 待たなかった その-導きを
H4118 H7911 H4639 H3808 H2442 H6098

しかし彼らはまもなくそのみわざを忘れ、その勧めを待たず、

14
וַיִּתְאַוּוּ תַאֲוָה בַּמִּדְבָּר וַיְנַסּוּ־אֵל בִּישִׁימוֹן׃
そして-激しく-欲した 欲望を 荒野で そして-試みた 神を 荒れ地で
H0183 H8378 H4057 H5254 H0410 H3452

野でわがままな欲望を起し、荒野で神を試みた。

15
וַיִּתֵּן לָהֶם שְׁאֵלָתָם וַיְשַׁלַּח רָזוֹן בְּנַפְשָׁם׃
すると-与えられた 彼らに 求めた-ものを しかし-送られた やせ-衰えを 彼らの-魂に
H5414 H1992 H7596 H7971 H7332 H5315

主は彼らにその求めるものを与えられたが、彼らのうちに病気を送って、やせ衰えさせられた。

16
וַיְקַנְאוּ לְמֹשֶׁה בַּמַּחֲנֶה לְאַהֲרֹן קְדוֹשׁ יְהוָה׃
そして-妬んだ モーセを 宿営で アロンを 聖なる-者 主の
H7065 H4872 H4264 H0175 H6918 H3068

人々が宿営のうちでモーセをねたみ、主の聖者アロンをねたんだとき、

אֲבִירָם׃	עֲדַת	עַל־	וַתִּכַּס	דָּתָן	וַתִּבְלַע	אֶרֶץ	תִּפְתַּח־	17
アビラムの	一味の	～の-上を	そして-覆った	ダタンを	そして-呑み込んだ	地が	開いた	
H0048	H5712		H3680	H1885	H1104	H0776		

地が開けてダタンを飲み、アビラムの仲間をおおった。

רְשָׁעִים׃	תְּלַהֶט	לֶהָבָה	בַּעֲדָתָם	אֵשׁ	וַתִּבְעַר־	18
悪しき-者たちを	焼き尽くした	炎が	その-群れの-中で	火が	そして-燃えた	
H7563	H3857	H3852	H5712	H0784		

火はまたこの仲間のうちに燃え起り、炎は悪しき者を焼きつくした。

לְמַסֵּכָה׃	וַיִּשְׁתַּחֲווּ	בְּחֹרֵב	עֵגֶל	יַעֲשׂוּ־	19
鋳物の-像に	そして-ひれ伏した	ホレブで	子牛を	造った	
	H7812	H2722	H5695		

彼らはホレブで子牛を造り、鋳物の像を拝んだ。

עֵשֶׂב׃	אֹכֵל	שׁוֹר	בְּתַבְנִית	כְּבוֹדָם	אֶת־	וַיָּמִירוּ	20
草を	食べる	雄牛の	姿と	その-栄光を	（直接目的語）	すると-取り替えた	
H6212	H0398	H7794	H8403	H3519	H0853	H4171	

彼らは神の栄光を草を食う牛の像と取り替えた。

בְּמִצְרָיִם׃	גְּדֹלוֹת	עֹשֶׂה	מוֹשִׁיעָם	אֵל	שָׁכְחוּ	21
エジプトで	大いなる-ことを	行われた-方	救い-主を	神を	忘れた	
H4714			H3467	H0410	H7911	

סוּף׃	יַם־	עַל־	נוֹרָאוֹת	חָם	בְּאֶרֶץ	נִפְלָאוֹת	22
葦の	～の-海で	～で	恐るべき-ことを	ハムの	～の-地で	不思議な-業を	
H5488	H3220		H3372	H2526	H0776	H6381	

彼らは、エジプトで大いなる事をなし、ハムの地でくすしきみわざをなし、紅海のほとりで恐るべき事をなされた救主なる神を忘れた。

בַּפָּרֶץ	עָמַד	בְּחִירוֹ	מֹשֶׁה	לוּלֵי	לְהַשְׁמִידָם	וַיֹּאמֶר	23
破れ口に	立った	その-選ばれた-者が	モーセ	もし-なければ	滅ぼそうと-彼らを	そして-言われた	
H6556	H5975	H0972	H4872	H3884	H8045	H0559	

מֵהַשְׁחִית׃	חֲמָתוֹ	לְהָשִׁיב	לְפָנָיו
滅ぼすことから	その-怒りを	翻すために	御前に
H7843	H2534	H7725	H6440

それゆえ、主は彼らを滅ぼそうと言われた。しかし主のお選びになったモーセは破れ口で主のみ前に立ち、み怒りを引きかえして、滅びを免れさせた。

לִדְבָרוֹ׃	הֶאֱמִינוּ	לֹא־	חֶמְדָּה	בְּאֶרֶץ	וַיִּמְאֲסוּ	24
その-御言葉を	信じなかった	（否定）	麗しい	～の-地を	すると-退けた	
H1697	H0539	H3808		H0776		

彼らは麗しい地を侮り、主の約束を信ぜず、

יְהוָה׃	בְּקוֹל	שָׁמְעוּ	לֹא	בְּאָהֳלֵיהֶם	וַיֵּרָגְנוּ	25
主の	～の-声に	聞かなかった	（否定）	天幕の-中で	そして-つぶやいた	
H3068		H8085	H3808	H0168	H7279	

またその天幕でつぶやき、主のみ声に聞き従わなかった。

בַּמִּדְבָּר׃	אוֹתָם	לְהַפִּיל	לָהֶם	יָדוֹ	וַיִּשָּׂא	26
荒野で	彼らを	倒すために	彼らに-向かって	その-手を	そこで-上げられた	
	H0853	H5307	H1992	H3027	H5375	

それゆえ、主はみ手をあげて、彼らに誓い、彼らを荒野で倒れさせ、

בָּאֲרָצוֹת׃	וּלְזָרוֹתָם	בַּגּוֹיִם	זַרְעָם	וּלְהַפִּיל	27
諸国の-間に	また-散らすために	諸国民の-中で	その-子孫を	また-倒すために	
H0776	H2219		H2233	H5307	

またその子孫を、もろもろの国民のうちに追い散らし、もろもろの地に彼らをまき散らそうとされた。

מֵתִים׃	זִבְחֵי	וַיֹּאכְלוּ	לְבַעַל	פְּעוֹר	וַיִּצָּמְדוּ	28
死者の	いけにえを	そして-食べた	バアル・ペオルに		すると-結び付いた	
H4191	H2077	H0398	H1187		H6775	

また彼らはペオルのバアルを慕って、死んだ者にささげた、いけにえを食べた。

מַגֵּפָה׃	בָּם	וַתִּפְרָץ־	בְּמַעַלְלֵיהֶם	וַיִּכְעִיסוּ	29
疫病が	彼らの-中に	すると-発生した	その-行いによって	そして-怒らせた	
H4046		H6555	H4611	H3707	

彼らはそのおこないをもって主を怒らせたので、彼らのうちに疫病が起った。

הַמַּגֵּפָה׃	וַתֵּעָצַר	וַיְפַלֵּל	פִּינְחָס	וַיַּעֲמֹד	30
疫病は	すると-止まった	さばきを-行った	ピネハスが	すると-立ち上がった	
H4046	H6113	H6419	H6372	H5975	

その時ピネハスが立って仲裁にはいったので、疫病はやんだ。

עוֹלָם׃	עַד־	וָדֹר	לְדֹר	לִצְדָקָה	לוֹ	וַתֵּחָשֶׁב	31
至るまで	永遠に	限りなく	代々	義と	彼に	そして-数えられた	
H5769	H5704	H1755	H1755	H6666		H2803	

これによってピネハスはよろず代まで、とこしえに義とされた。

בַּעֲבוּרָם׃	לְמֹשֶׁה	וַיֵּרַע	מְרִיבָה	מֵי	עַל־	וַיַּקְצִיפוּ	32
彼らの-ゆえに	モーセに	すると-災いが-来た	メリバの	～の-水で	～で	また-怒らせた	
H5668	H4872		H4808	H4325		H7107	

彼らはまたメリバの水のほとりで主を怒らせたので、モーセは彼らのために災にあった。

בִּשְׂפָתָיו׃	וַיְבַטֵּא	רוּחוֹ	אֶת־	הִמְרוּ	כִּי־	33
その-唇で	そして-軽率に-語った	その-霊に	（直接目的語）	逆らった	なぜなら	
H8193	H0981	H7307	H0853	H4784		

これは彼らが神の霊にそむいたとき、彼がそのくちびるで軽率なことを言ったからである。

לָהֶם׃	יְהוָה	אָמַר	אֲשֶׁר	הָעַמִּים	אֶת־	הִשְׁמִידוּ	לֹא־	34
彼らに	主が	命じた	～を	諸国の-民を	（直接目的語）	滅ぼさなかった	（否定）	
H1992	H3068	H0559			H0853	H8045	H3808	

彼らは主が命じられたもろもろの民を滅ぼさず、

מַעֲשֵׂיהֶם׃	וַיִּלְמְדוּ	בַגּוֹיִם	וַיִּתְעָרְבוּ	35
その-わざを	そして-学んだ	諸国民と	そして-交わった	
H4639	H3925		H6148	

かえってもろもろの国民とまじってそのわざにならい、

לְמוֹקֵשׁ׃	לָהֶם	וַיִּהְיוּ	עַצְּבֵיהֶם	אֶת־	וַיַּעַבְדוּ	36
罠と	彼らにとって	すると-なった	その-偶像に	（直接目的語）	そして-仕えた	
H4170	H1992	H1961	H6091	H0853	H5647	

自分たちのわなとなった偶像に仕えた。

37 וַיִּזְבְּחוּ֙ אֵ֣ת בְּנֵיהֶ֔ם וְאֶת־בְּנֹתֵיהֶ֖ם לַשֵּׁדִֽים׃
そして-いけにえに-ささげた (直接目的語) その-息子たちを また その-娘たちを 悪霊に
H2076 H0853 H1323 H0853 H1323 H7700

彼らはそのむすこ、娘たちを悪霊にささげ、

38 וַיִּשְׁפְּכ֤וּ דָם־נָקִי֙ דַּם בְּנֵיהֶ֣ם וּבְנוֹתֵיהֶ֔ם אֲשֶׁ֣ר זָבְח֔וּ לַעֲצַבֵּ֖י כְּנָ֑עַן וַתֶּחֱנַ֥ף הָאָ֖רֶץ בַּדָּמִֽים׃
そして-流した 血を 罪なき ～の-血を その-息子たちの また-娘たちの (関係代名詞)
H8210 H1818 H5355 H1818 H1323

いけにえに-ささげた 偶像に カナンの すると-汚された その-地は 血で
H2076 H6091 H3667 H2610 H0776 H1818

罪のない血、すなわちカナンの偶像にささげたそのむすこ、娘たちの血を流した。こうして国は血で汚された。

39 וַיִּטְמְא֖וּ בְּמַעֲשֵׂיהֶ֑ם וַיִּזְנ֥וּ בְּמַעַלְלֵיהֶֽם׃
そして-汚れた その-行いによって そして-淫行を-犯した その-わざによって
H2930 H4639 H2181 H4611

このように彼らはそのわざによっておのれを汚し、そのおこないによって姦淫をなした。

40 וַיִּֽחַר־אַ֥ף יְהוָ֗ה בְּעַמּ֑וֹ וַיְתָעֵ֥ב אֶת־נַחֲלָתֽוֹ׃
すると-燃えた 怒りが 主の その-民に-対して そして-忌み嫌われた (直接目的語) その-嗣業を
H2734 H0639 H3068 H5971 H8581 H0853 H5159

それゆえ、主の怒りがその民にむかって燃え、その嗣業を憎んで、

41 וַיִּתְּנֵ֖ם בְּיַד־גּוֹיִ֑ם וַיִּמְשְׁלוּ֙ בָּהֶ֣ם שֹׂנְאֵיהֶֽם׃
そして-渡された ～の-手に 諸国民の すると-支配した 彼らを 憎む-者が
H5414 H3027 H1471 H4910 H1992 H8130

彼らをもろもろの国民の手にわたされた。彼らはおのれを憎む者に治められ、

42 וַיִּלְחָצ֖וּם אוֹיְבֵיהֶ֑ם וַיִּכָּנְע֥וּ תַחַת־יָדָֽם׃
そして-圧迫した 敵が すると-屈服した ～の-下に その-手の
H3905 H0341 H3665 H8478 H3027

その敵にしえたげられ、その力の下に征服された。

43 פְּעָמִ֣ים רַבּ֔וֹת יַצִּילֵ֑ם וְהֵ֣מָּה יַמְרוּ֙ בַּעֲצָתָ֔ם וַיִּמַּ֖כּוּ בַּעֲוֹנָֽם׃
何度も 何度も 救い-出された-彼らを しかし-彼らは 逆らった その-はかりごとで そして-沈んだ
H6471 H6471 H5337 H1992 H4784 H6098 H4355

その-咎の-中に
H5771

主はしばしば彼らを助けられたが、彼らははかりごとを設けてそむき、その不義によって低くされた。

44 וַיַּ֣רְא בְּשָׁמְעוֹ֙ בְּצָ֣רָתָ֔ם בְּרָנָּתָֽם׃
しかし-顧みられた 苦しみを 彼らの 聞かれた-とき (直接目的語) その-叫びを
H7200 H6869 H1992 H8085 H0853 H7440

それにもかかわらず、主は彼らの叫びを聞かれたとき、その悩みをかえりみ、

45 וַיִּזְכֹּר לָהֶם בְּרִיתוֹ וַיִּנָּחֵם כְּרֹב חֲסָדָיו׃)
そして-思い出された 彼らのために その-契約を そして-悔やまれた 豊かな その-恵みに-従って
H2142 H1992 H1285 H5162 H7230

その契約を彼らのために思い出し、そのいつくしみの豊かなるにより、みこころを変えられ、

46 וַיִּתֵּן אוֹתָם לְרַחֲמִים לִפְנֵי כָּל־שׁוֹבֵיהֶם׃
そして-与えられた 彼らを 憐れみに ～の-前で すべての 捕らえた-者の
H5414 H0853 H6440 H3605 H7617

彼らをとりこにした者どもによって、あわれまれるようにされた。

47 וְהוֹשִׁיעֵנוּ יְהוָה אֱלֹהֵינוּ וְקַבְּצֵנוּ מִן־הַגּוֹיִם
救ってください-私たちを 主よ 私たちの-神よ 集めてください-私たちを ～から 諸国民の
H3467 H3068 H0430 H6908

לְהֹדוֹת לְשֵׁם קָדְשֶׁךָ לְהִשְׁתַּבֵּחַ בִּתְהִלָּתֶךָ׃
感謝するために ～の-御名に あなたの-聖なる 誇るために あなたの-賛美を
H3034 H8034 H6944 H8416

われらの神、主よ、われらを救って、もろもろの国民のなかから集めてください。われらはあなたの聖なるみ名に感謝し、あなたの誉を誇るでしょう。

48 בָּרוּךְ־יְהוָה אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל מִן־הָעוֹלָם וְעַד־הָעוֹלָם וְאָמַר
ほむべきかな 主 神 イスラエルの ～から 永遠-から ～まで 永遠まで そして-言え
H1288 H3068 H0430 H3478 H5769 H5704 H5769 H0559

כָּל־הָעָם אָמֵן הַלְלוּ־יָהּ׃
すべての 民は アーメン ハレル- ヤ
H3605 H0543 H3050

イスラエルの神、主はとこしえからとこしえまでほむべきかな。すべての民は「アァメン」ととなえよ。主をほめたたえよ。

Chapter 107

1 הוֹדוּ לַיהוָה כִּי־טוֹב כִּי לְעוֹלָם חַסְדּוֹ׃
感謝せよ 主に まことに 良い-方 まことに 永遠に その-恵みは
H3034 H3068 H5769

「主に感謝せよ、主は恵みふかく、そのいつくしみはとこしえに絶えることがない」と、

2 יֹאמְרוּ גְּאוּלֵי יְהוָה אֲשֶׁר גְּאָלָם מִיַּד־צָר׃
言え 贖われた-者たちは 主の （関係代名詞） 贖われた-彼らを ～の-手から 敵の
H0559 H3068 H3027

主にあがなわれた者は言え。主は彼らを悩みからあがない、

3 וּמִמַּעֲרָב וּמִצָּפוֹן וּמִמִּזְרָח קִבְּצָם וּמֵאַרְצוֹת וּמִיָּם׃
また-西から 北から 東から 集められた-彼らを また-諸国の-地から また-海から
H4628 H6828 H4217 H6908 H0776 H3220

もろもろの国から、東、西、北、南から彼らを集められた。

מָצָֽאוּ׃	לֹ֣א	מוֹשָׁ֑ב	עִ֥יר	דֶּ֝֗רֶךְ	בִּישִׁימ֥וֹן	בְּמִדְבָּ֑ר	תָּע֥וּ	4
見つけなかった	（否定）	住む–べき	町	道で	荒れ地の	荒野を	さまよった	
H4672	H3808	H4186		H1870	H3452		H8582	

彼らは人なき荒野にさまよい、住むべき町にいたる道を見いださなかった。

תִּתְעַטָּ֥ף׃	בָּ֝הֶ֗ם	נַפְשָׁ֥ם	צְמֵאִ֑ים	גַּם־	רְעֵבִ֥ים	5
衰え–果てた	彼らの–うちで	その–魂は	渇いて	また	飢えて	
		H5315	H6771	H1571	H7457	

彼らは飢え、またかわき、その魂は彼らのうちに衰えた。

יַצִּילֵֽם׃	מִמְּצוּקוֹתֵ֑יהֶם	לָ֝הֶ֗ם	בַּצַּ֥ר	יְהוָ֥ה	אֶל־	וַיִּצְעֲק֥וּ	6
救い–出された–彼らを	その–苦悩から	彼らの	苦しみの–中で	主に	～に	すると–叫んだ	
H5337	H4691	H1992		H3068	H0413	H6817	

彼らはその悩みのうちに主に呼ばわったので、主は彼らをその悩みから助け出し、

מוֹשָֽׁב׃	עִ֥יר	אֶל־	לָ֝לֶ֗כֶת	יְשָׁרָ֥ה	בְּדֶ֥רֶךְ	וַיַּדְרִיכֵ֑ם	7
住む–べき	町	～へ	行かせるために	まっすぐな	～の–道を	そして–導かれた–彼らを	
H4186		H0413	H3212	H3477	H1870	H1869	

住むべき町に行き着くまで、まっすぐな道に導かれた。

אָדָֽם׃	לִבְנֵי	וְנִפְלְאוֹתָ֑יו	חַסְדּ֥וֹ	לַיהוָ֥ה	יוֹד֥וּ	8
子らに	人の	また–不思議な–業を	その–恵みを	主に	感謝せよ	
H0120		H6381		H3068	H3034	

どうか、彼らが主のいつくしみと、人の子らになされたくすしきみわざとのために、主に感謝するように。

טֽוֹב׃	מִלֵּא־	רְעֵבָ֑ה	וְנֶ֥פֶשׁ	שִׁקְּקָ֥ה	נֶ֝פֶשׁ	הִשְׂבִּ֥יעַ	כִּֽי־	9
良い–もので	満たされた	飢えた	また–魂を	渇いた	魂を	満たされた	まことに	
	H4390	H7457	H5315	H8264	H5315	H7646		

主はかわいた魂を満ち足らせ、飢えた魂を良き物で満たされるからである。

וּבַרְזֶֽל׃	עֳנִ֥י	אֲסִירֵ֑י	וְצַלְמָ֥וֶת	חֹ֝שֶׁךְ	יֹ֣שְׁבֵי	10
また–鉄の	苦しみの	囚われ人たち	また–死の–陰に	暗闇に	座する–者たち	
H1270	H6040	H0615	H6757	H2822	H3427	

暗黒と深いやみの中にいる者、苦しみと、くろがねに縛られた者、

נָאָֽצוּ׃	עֶלְיוֹן֙	וַעֲצַ֣ת	אֵ֑ל	אִמְרֵי־	הִמְר֥וּ	כִּֽי־	11
侮った	いと高き–方の	また–助言を	神の	御言葉に	逆らった	なぜなら	
H5006		H6098	H0410	H0561	H4784		

彼らは神の言葉にそむき、いと高き者の勧めを軽んじたので、

עֹזֵֽר׃	וְאֵ֥ין	כָּ֝שְׁל֗וּ	לָ֑ם	בֶּעָמָ֥ל	וַיִּכְנַ֥ע	12
助ける–者は	しかし–（否定）	つまずいた	その–心は	労苦で	すると–屈服させられた	
H5826	H0369	H3782		H5999	H3665	

主は重い労働をもって彼らの心を低くされた。彼らはつまずき倒れても、助ける者がなかった。

יוֹשִׁיעֵֽם׃	מִמְּצֻקוֹתֵ֑יהֶם	לָ֝הֶ֗ם	בַּצַּ֥ר	יְהוָ֥ה	אֶל־	וַיִּזְעֲק֥וּ	13
救われた–彼らを	その–苦悩から	彼らの	苦しみの–中で	主に	～に	すると–叫んだ	
H3467	H4691	H1992		H3068	H0413	H2199	

彼らはその悩みのうちに主に呼ばわったので、主は彼らをその悩みから救い、

יְנַתָּק׃	וּמוֹסְרוֹתֵיהֶם	וְצַלְמָוֶת	מֵחֲשֵׁךְ	יֽוֹצִיאֵם	14
断ち-切られた	また-その-縄目を	また-死の-陰から	暗闇から	連れ出された-彼らを	
H5423	H4147	H6757	H2822	H3318	

暗黒と深いやみから彼らを導き出して、そのかせをこわされた。

אָדָם׃	לִבְנֵי	וְנִפְלְאוֹתָיו	חַסְדּוֹ	לַיהוָה	יוֹדוּ	15
子らに	人の	また-不思議な-業を	その-恵みを	主に	感謝せよ	
H0120		H6381		H3068	H3034	

どうか、彼らが主のいつくしみと、人の子らになされたくすしきみわざとのために、主に感謝するように。

גָּדֵֽעַ׃	בַּרְזֶל	וּבְרִיחֵי	נְחֹשֶׁת	דַּלְתוֹת	שִׁבַּר	כִּי־	16
断ち-切られた	鉄の	また-かんぬきを	青銅の	扉を	打ち砕かれた	まことに	
H1438	H1270	H1280			H7665		

主は青銅のとびらをこわし、鉄の貫の木を断ち切られたからである。

יִתְעַנּוּ׃	וּמֵעֲוֹנֹתֵיהֶם	פִּשְׁעָם	מִדֶּרֶךְ	אֱוִלִים	17
その-咎のゆえに-苦しんだ	また	その-背きの	～の-道から	愚かな-者たちは	
	H5771	H6588	H1870	H0191	

ある者はその罪に汚れた行いによって病み、その不義のゆえに悩んだ。

מָוֶת׃	שַׁעֲרֵי	עַד־	וַיַּגִּיעוּ	נַפְשָׁם	תְּתַעֵב	אָכֶל	כָּל־	18
死の	門に	～の-近くに	そして-近づいた	その-魂は	忌み嫌った	食べ物を	あらゆる	
H4194	H8179	H5704	H5060	H5315	H8581	H0400	H3605	

彼らはすべての食物をきらって、死の門に近づいた。

יוֹשִׁיעֵם׃	מִמְּצֻקוֹתֵיהֶם	לָהֶם	בַּצַּר	יְהוָה	אֶל־	וַיִּזְעֲקוּ	19
救われた-彼らを	その-苦悩から	彼らの	苦しみの-中で	主に	～に	すると-叫んだ	
H3467	H4691	H1992		H3068	H0413	H2199	

彼らはその悩みのうちに主に呼ばわったので、主は彼らをその悩みから救い、

סֶּלָה׃	מִשְּׁחִיתוֹתָם׃	וַיְמַלֵּט	וַיִּרְפָּאֵם	דְּבָרוֹ	יִשְׁלַח	20
（セラ）	その-滅びから	そして-救い出された	そして-癒された-彼らを	その-御言葉を	送られた	
	H7825	H4422	H7495	H1697	H7971	

そのみ言葉をつかわして、彼らをいやし、彼らを滅びから助け出された。

סֶּלָה׃	אָדָם׃	לִבְנֵי	וְנִפְלְאוֹתָיו	חַסְדּוֹ	לַיהוָה	יוֹדוּ	21
（セラ）	子らに	人の	また-不思議な-業を	その-恵みを	主に	感謝せよ	
	H0120		H6381		H3068	H3034	

どうか、彼らが主のいつくしみと、人の子らになされたくすしきみわざとのために、主に感謝するように。

סֶּלָה׃	בְּרִנָּה׃	מַעֲשָׂיו	וְיַסַּפְרוּ	תּוֹדָה	זִבְחֵי	וְיִזְבְּחוּ	22
（セラ）	喜びの-歌で	その-御業を	そして-語れ	感謝の	いけにえを	そして-ささげよ	
	H7440	H4639		H8426	H2077	H2076	

彼らが感謝のいけにえをささげ、喜びの歌をもって、そのみわざを言いあらわすように。

סֶּלָה׃	רַבִּים׃	בְּמַיִם	מְלַאכְתָּה	עֹשֵׂי	בָּאֳנִיּוֹת	הַיָּם	יוֹרְדֵי	23
（セラ）	大いなる	水の-上で	仕事を	行う-者たち	船で	海に	下る-者たち	
		H4325	H4399		H0591	H3220	H3381	

舟で海にくだり、大海で商売をする者は、

24	הֵמָּה	רָאוּ	מַעֲשֵׂי	יְהוָה	וְנִפְלְאוֹתָיו	בִּמְצוּלָה׃	סֶלָה׀
	彼らは	見た	御業を	主の	また–不思議な–業を	深みで	（セラ）
	H1992	H7200	H4639	H3068	H6381	H4688	

主のみわざを見、また深い所でそのくすしきみわざを見た。

25	וַיֹּאמֶר	וַיַּעֲמֵד׀	רוּחַ	סְעָרָה	וַתְּרוֹמֵם	גַּלָּיו׃	סֶלָה׀
	すると–命じられた	そして–立った	風が	嵐の	すると–高くした	その–波を	（セラ）
	H0559	H5975	H7307	H5927	H8415	H1530	

主が命じられると暴風が起って、海の波をあげた。

26	יַעֲלוּ	שָׁמַיִם	יֵרְדוּ	תְּהוֹמוֹת	נַפְשָׁם	בְּרָעָה	תִּתְמוֹגָג׃
	上る	天に	下る	深みに	その–魂は	災いの–中で	溶けた
	H5927	H8064	H3381	H8415	H5315		H4127

彼らは天にのぼり、淵にくだり、悩みによってその勇気は溶け去り、

27	יָחוֹגוּ	וְיָנוּעוּ	כַּשִּׁכּוֹר	וְכָל־	חָכְמָתָם	תִּתְבַּלָּע׃
	よろめき	そして–揺れた	酔った–者の–ように	そして–すべての	知恵は	飲み込まれた
	H2287	H5128	H7910	H3605	H2451	H1104

酔った人のようによろめき、よろめいて途方にくれる。

28	וַיִּצְעֲקוּ	אֶל־	יְהוָה	בַּצַּר	לָהֶם	וּמִמְצוּקֹתֵיהֶם	יוֹצִיאֵם׃
	すると–叫んだ	～に	主に	苦しみの–中で	彼らの	また–その–苦悩から	導き出された–彼らを
	H6817	H0413	H3068		H1992	H4691	H3318

彼らはその悩みのうちに主に呼ばわったので、主は彼らをその悩みから救い出された。

29	יָקֵם	סְעָרָה	לִדְמָמָה	וַיֶּחֱשׁוּ	גַּלֵּיהֶם׃
	静められた	嵐を	静けさに	すると–静まった	その–波は
			H1827	H2814	H1530

主があらしを静められると、海の波は穏やかになった。

30	וַיִּשְׂמְחוּ	כִּי־	יִשְׁתֹּקוּ	וַיַּנְחֵם	אֶל־	מְחוֹז	חֶפְצָם׃
	すると–喜んだ	まことに	静まった–ので	そして–導かれた–彼らを	～へ	港	望みの
	H8055		H8367	H5148	H0413	H4231	H2656

こうして彼らは波の静まったのを喜び、主は彼らをその望む港へ導かれた。

31	יוֹדוּ	לַיהוָה	חַסְדּוֹ	וְנִפְלְאוֹתָיו	לִבְנֵי	אָדָם׃
	感謝せよ	主に	その–恵みを	また–不思議な–業を	人の	子らに
	H3034	H3068		H6381		H0120

どうか、彼らが主のいつくしみと、人の子らになされたくすしきみわざとのために、主に感謝するように。

32	וִירֹמְמוּהוּ	בִּקְהַל־	עָם	וּבְמוֹשַׁב	זְקֵנִים	יְהַלְלוּהוּ׃
	そして–あがめよ–主を	会衆の–集いで	民の	また–長老たちの–座で	長老たちの	ほめたたえよ–主を
		H6951		H4186	H2205	

彼らが民の集会で主をあがめ、長老の会合で主をほめたたえるように。

33	יָשֶׂם	נְהָרוֹת	לְמִדְבָּר	וּמֹצָאֵי	מַיִם	לְצִמָּאוֹן׃
	変えられる	川を	荒野に	また–泉を	水の	乾いた–地に
		H5104		H4161	H4325	H6774

主は川を野に変らせ、泉をかわいた地に変らせ、

34 אֶרֶץ פְּרִי לִמְלֵחָה מֵרָעַת יֹשְׁבֵי בָּהּ׃
実りの–地を 実りの 塩地に ～の–悪の–ゆえに 住む–者の そこに
H0776 H6529 H4420 H4420 H3427

肥えた地をそれに住む者の悪のゆえに塩地に変らせられる。

35 יָשֶׂם מִדְבָּר לַאֲגַם־ מַיִם מֵאֶרֶץ וְצִיָּה לְמֹצָאֵי מָיִם׃
荒野を 変えられる 池に 水の また–乾いた–地を 乾いた 泉に 水の
H4420 H6529 H0098 H4325 H0776 H6723 H4161 H4325

主は野を池に変らせ、かわいた地を泉に変らせ、

36 וַיְנוֹשֵׁב שָׁם רְעֵבִים וַיְכוֹנְנוּ עִיר מוֹשָׁב׃
そして–住まわせられた そこに 飢えた–者たちを すると–築いた 町を 住む–べき
H3427 H8033 H7457 H3427 H4186

飢えた者をそこに住まわせられる。こうして彼らはその住むべき町を建て、

37 וַיִּזְרְעוּ שָׂדוֹת וַיִּטְּעוּ כְרָמִים וַיַּעֲשׂוּ פְּרִי תְבוּאָה׃
そして–蒔いた 畑を また–植えた ぶどう畑を すると–得た 実りの 収穫を
H2232 H7704 H5193 H3754 H6213 H6529 H8393

畑に種をまき、ぶどう畑を設けて多くの収穫を得た。

38 וַיְבָרֲכֵם וַיִּרְבּוּ מְאֹד וּבְהֶמְתָּם לֹא יַמְעִיט׃
そして–祝福された–彼らを 大いに すると–増えた また–その–家畜を （否定） 減らさなかった
H1288 H3966 H7235 H0929 H3808 H4591

主が彼らを祝福されたので彼らは大いにふえ、その家畜の減るのをゆるされなかった。

39 וַיִּמְעֲטוּ וַיָּשׁוּחוּ מֵעֹצֶר רָעָה וְיָגוֹן׃ ס
しかし–減らされ また–かがめられた 圧迫の–ゆえに 災いと また–悲しみの （セラ）
H4591 H7817 H6115 H7451 H3015

彼らがしえたげと、悩みと、悲しみとによって減り、かつ卑しめられたとき、

40 שֹׁפֵךְ בּוּז עַל־ נְדִיבִים וַיַּתְעֵם בְּתֹהוּ לֹא־ דָרֶךְ׃
注がれる 侮りを ～の–上に 貴族たちの そして–さまよわせられる–彼らを 混沌の–中を 道なき （所に）
H8210 H0937 H5921 H5081 H8582 H8414 H3808 H1870

主はもろもろの君に侮りをそそぎ、道なき荒れ地にさまよわせられた。

41 וַיְשַׂגֵּב אֶבְיוֹן מֵעֹנִי וַיָּשֶׂם כַּצֹּאן מִשְׁפָּחוֹת׃
しかし–高く–上げられる 貧しい–者を 苦しみから そして–増やされる 羊の–群れの–ように 家族を
H7682 H0034 H6040 H7760 H6629 H4940

しかし主は貧しい者を悩みのうちからあげて、その家族を羊の群れのようにされた。

42 יִרְאוּ יְשָׁרִים וְיִשְׂמָחוּ וְכָל־ עַוְלָה קָפְצָה פִיהָ׃
見よ 正しい–者たちは そして–喜べ しかし–すべての 不正は 閉ざした その–口を
H7200 H3477 H8055 H3605 H6924 H7092 H6310

正しい者はこれを見て喜び、もろもろの不義はその口を閉じた。

43 מִי־ חָכָם וְיִשְׁמָר־ אֵלֶּה וְיִתְבּוֹנְנוּ חַסְדֵי יְהוָה׃
誰か 知恵ある–者は そして–守れ これらを そして–悟れ 恵みを 主の
H4310 H2450 H8104 H0428 H0995 H2617 H3068

すべて賢い者はこれらの事に心をよせ、主のいつくしみをさとるようにせよ。

Chapter 108

1 שִׁיר מִזְמוֹר לְדָוִד׃ נָכוֹן לִבִּי אֱלֹהִים אָשִׁירָה וַאֲזַמְּרָה אַף־
歌 賛歌 ダビデの 定まった 私の–心は 神よ 歌おう また–ほめ歌おう まことに
H7891 H4210 H1732 H3519 H0430 H7891 H2167 H0637

כְּבוֹדִי׃
私の–栄光よ
H3519

ダビデの歌、さんび 神よ、わが心は定まりました。わが心は定まりました。わたしは歌い、かつほめたたえます。わが魂よ、さめよ。

2 עוּרָה הַנֵּבֶל וְכִנּוֹר אָעִירָה שָׁחַר׃
目覚めよ 琴よ また–竈よ 私は–目覚めさせよう 曙を
H5782 H5782 H3658 H5782 H7837

立琴よ、琴よ、さめよ。わたしはしののめを呼びさまします。

3 אוֹדְךָ בָעַמִּים וַאֲזַמֶּרְךָ בַּלְּאֻמִּים׃
感謝しよう–あなたに 諸国の–民の–中で また–ほめ歌おう–あなたを 諸国の–
H3034 H3816 H2167 H1077

יְהוָה
主よ
H3068

主よ、わたしはもろもろの民の中であなたに感謝し、もろもろの国の中であなたをほめたたえます。

4 כִּי־גָדוֹל מֵעַל־שָׁמַיִם חַסְדֶּךָ וְעַד־שְׁחָקִים אֲמִתֶּךָ׃
まことに 大いなる ～より–高く 天より あなたの–恵みは また–～まで 雲まで あなたの–真実は
H3588 H1419 H4480 H8064 H2617 H5704 H7834 H0571

あなたのいつくしみは大きく、天にまでおよびあなたのまことは雲にまで及ぶ。

5 רוֹמָה עַל־שָׁמַיִם אֱלֹהִים וְעַל כָּל־הָאָרֶץ כְּבוֹדֶךָ׃
高く–あれ ～の–上に 天の 神よ また–～の–上に すべての 地の あなたの–栄光を
H7311 H5921 H8064 H0430 H5921 H3605 H0776 H3519

神よ、みずからを天よりも高くし、みさかえを全地の上にあげてください。

6 לְמַעַן יֵחָלְצוּן יְדִידֶיךָ הוֹשִׁיעָה יְמִינְךָ וַעֲנֵנִי׃
～の–ために 救われる–ように あなたの–愛する–者が 救ってください あなたの–右の–手で そして–答えてください–私に
H4616 H2502 H3039 H3467 H3225 H6030

あなたの愛される者が助けを得るために、右のみ手をもって救をほどこし、わたしに答えてください。

7 אֱלֹהִים דִּבֶּר בְּקָדְשׁוֹ אֶעְלֹזָה אֲחַלְּקָה שְׁכֶם וְעֵמֶק סֻכּוֹת אֲמַדֵּד׃
神は 語られた その–聖なる–所で 喜び踊ろう 分けよう シケムを また–谷を スコトの 測ろう
H0430 H1696 H6944 H5937 H2505 H7927 H6010 H5523 H4058

神はその聖所で言われた、「わたしは大いなる喜びをもってシケムを分かち、スコテの谷を分かち与えよう。

8

יְהוּדָה ראשִׁי מָעוֹז וְאֶפְרַיִם מְנַשֶּׁה לִי וּגְלְעָד לִי
ユダは 私の–頭の 砦 また–エフライムは マナセは 私の–ものだ ギルアデは 私の–ものだ
H3063 H4581 H0669 H4519 H1568

מְחֹקְקִי׃
私の–笛
H2710

ギレアデはわたしのもの、マナセもわたしのものである。エフライムはわたしのかぶと、ユダはわたしのつえである。

9

פְּלֶשֶׁת עֲלֵי־ נַעֲלִי אַשְׁלִיךְ אֱדוֹם עַל־ רַחְצִי סִיר וּמוֹאָב
ペリシテに ～の–上に 私の–履物を 投げよう エドムに ～の–上に 私の 洗い–椀 モアブは
H6429 H5275 H7993 H0123 H7366 H4124

אֶתְרוֹעָע׃
勝どきを–あげよう
H7321

モアブはわたしの足だらい、エドムにはわたしのくつを投げる。ペリシテについては、かちどきをあげる」。

10

אֱדוֹם׃ עַד־ נָחַנִי מִי מְבֻצָּר עִיר יְבַלֵּנִי מִי
エドムまで ～まで 導いた–私を 誰が 堅固な 町 導く–私を 誰が
H0123 H5704 H5148 H4310 H4013 H2986 H4310

だれがわたしを堅固な町に至らせるであろうか。だれがわたしをエドムに導くであろうか。

11

תֵּצֵא וְלֹא־ זְנַחְתָּנוּ אֱלֹהִים הֲלֹא־
出て–行かれないのですか しかし–（否定） 捨てられたのですか–私たちを 神よ いったい–（否定）
H3318 H3808 H0430 H3808

בְּצִבְאֹתֵינוּ׃ אֱלֹהִים
私たちの–軍勢と–共に 神よ
H0430

神よ、あなたはわれらを捨てられたではありませんか。神よ、あなたはわれらの軍勢と共に出て行かれません。

12

אָדָם׃ תְּשׁוּעַת וְשָׁוְא מִצָּר עֶזְרַת לָנוּ הָבָה־
人の 救いは しかし–空しい 敵に–対する 助けを 私たちに 与えてください
H0120 H8668 H7723 H5833 H3051

われらに助けを与えて、あだにむかわせてください。人の助けはむなしいからです。

13

צָרֵינוּ׃ יָבוּס וַיהוָה חָיִל נַעֲשֶׂה־ בֵּאלֹהִים
私たちの–敵を 踏みにじられる そして–主が 力ある–業を 行おう 神によって
H0947 H1931 H2428 H0430

われらは神によって勇ましく働きます。われらのあだを踏みにじる者は神だからです。

Chapter 109

1

תֶּחֱרַשׁ׃ אַל־ תְּהִלָּתִי אֱלֹהֵי מִזְמוֹר לְדָוִד לַמְנַצֵּחַ
沈黙しないでください （否定） 私の–賛美の 神よ 賛歌 ダビデの 指揮者の–ために
H0408 H8416 H0430 H4210 H1732 H5329

聖歌隊の指揮者によってうたわせたダビデの歌 わたしのほめたたえる神よ、もださないでください。

2 כִּי פִּי רָשָׁע וּפִי־מִרְמָה עָלַי פָּתָחוּ דִּבְּרוּ אִתִּי לְשׁוֹן
なぜなら 口を 悪しき-者の また-口を 欺きの 私に-向かって 開いた 語った 私に 興の
H6310 H7563 H6310 H4820 H5921 H6605 H1696 H0854 H3956

שָׁקֶר׃
偽りの
H8267

彼らは悪しき口と欺きの口をあけて、わたしにむかい、偽りの舌をもってわたしに語り、

3 וְדִבְרֵי שִׂנְאָה סְבָבוּנִי וַיִּלָּחֲמוּנִי חִנָּם׃
また-言葉を 憎しみの 囲んだ-私を そして-戦った-私に 理由なく
H1697 H8135 H5437 H3898 H2600

恨みの言葉をもってわたしを囲み、ゆえなくわたしを攻めるのです。

4 תַּחַת־אַהֲבָתִי יִשְׂטְנוּנִי וַאֲנִי תְפִלָּה׃
-の-代わりに 私の-愛の 敵対した-私に しかし-私は 祈りだ
H8478 H0160 H7853 H0589 H8605

彼らはわが愛にむくいて、わたしを非難します。しかしわたしは彼らのために祈ります。

5 וַיָּשִׂימוּ עָלַי רָעָה תַּחַת טוֹבָה וְשִׂנְאָה תַּחַת אַהֲבָתִי׃
そして-置いた 私の-上に 悪を -の-代わりに 善の また-憎しみを -の-代わりに 私の-愛の
H7760 H5921 H7451 H8478 H2896 H8135 H8478 H0160

彼らは悪をもってわが善に報い、恨みをもってわが愛に報いるのです。

6 הַפְקֵד עָלָיו רָשָׁע וְשָׂטָן יַעֲמֹד עַל־יְמִינוֹ׃
立てよ 彼の-上に 悪しき-者を そして-訴える-者を 立たせよ ～の-右に 彼の
H6485 H5921 H7563 H7854 H5975 H5921 H3225

彼の上に悪しき人を立て、訴える者に彼を訴えさせてください。

7 בְּהִשָּׁפְטוֹ יֵצֵא רָשָׁע וּתְפִלָּתוֹ תִּהְיֶה לַחֲטָאָה׃
さばかれる-とき 出よ 有罪と また-その-祈りは なれ 罪と
H8199 H3318 H7563 H8605 H1961 H2401

彼がさばかれるとき、彼を罪ある者とし、その祈を罪に変えてください。

8 יְהִי־יָמָיו מְעַטִּים פְּקֻדָּתוֹ יִקַּח אַחֵר׃
なれ その-日数は 少なく その-職を 取れ 他の-者が
H1961 H3117 H4592 H6486 H3947 H0312

その日を少なくし、その財産をほかの人にとらせ、

9 יְהִי־בָנָיו יְתוֹמִים וְאִשְׁתּוֹ אַלְמָנָה׃
なれ その-子らは 孤児に また-その-妻は やもめに
H1961 H1121 H3490 H0802 H0490

その子らをみなしごにし、その妻をやもめにしてください。

10 וְנוֹעַ יָנוּעוּ בָנָיו וְשָׁאֲלוּ וְדָרְשׁוּ מֵחָרְבוֹתֵיהֶם׃
さまよえ さまよえ その-子らは そして-乞え そして-求めよ その-廃墟から
H5128 H5128 H1121 H7592 H1875 H2723

その子らを放浪者として施しをこわせ、その荒れたすまいから追い出させてください。

11 יְנַקֵּשׁ נוֹשֶׁה לְכָל־ אֲשֶׁר־ לוֹ וְיָבְזוּ זָרִים
罠に-かけよ 債権者が すべての-〜に （関係代名詞）-〜を 彼に そして-奪え 見知らぬ-者が
H5367 H5383 H3605 H0834 H0962

יְגִיעוֹ׃
その-労苦を
H3018

彼が持っているすべての物を債主に奪わせ、その勤労の実をほかの人にかすめさせてください。

12 אַל־ יְהִי־ לוֹ מֹשֵׁךְ חָסֶד וְאַל־ יְהִי חוֹנֵן
（否定） あるな 彼に 延ばす-者は 恵みを また-（否定） あれ 情けを-かける-者は
H0408 H1961 H4900 H2617 H0408 H1961

לִיתוֹמָיו׃
その-孤児たちに
H3490

彼にいつくしみを施す者はひとりもなく、またそのみなしごをあわれむ者もなく、

13 יְהִי־ אַחֲרִיתוֹ לְהַכְרִית בְּדוֹר אַחֵר יִמַּח שְׁמָם׃
なれ その-子孫は 断たれる-ものに 〜の-代に 次の 消されよ その-名が
H1961 H0319 H3772 H1755 H0312 H4293 H8034

その子孫を絶えさせ、その名を次の代に消し去ってください。

14 יִזָּכֵר עֲוֹן אֲבֹתָיו אֶל־ יְהוָה וְחַטָּאת אִמּוֹ אַל־
覚えられよ 咎が その-父たちの 〜の-前で 主の また-罪を その-母の （否定）
H2142 H5771 H0001 H0413 H3068 H2403 H0517 H0408

תִּמָּח׃
消されない-ように

その父たちの不義は主のみ前に覚えられ、その母の罪を消し去らないでください。

15 יְהִי־ נֶגֶד־ יְהוָה תָּמִיד וְיַכְרֵת מֵאֶרֶץ זִכְרָם׃
あれ 〜の-前に 主の 常に そして-断たれよ 地から その-記憶が
H1961 H5048 H3068 H8548 H3772 H0776 H2143

それらを常に主のみ前に置き、彼の記憶を地から断ってください。

16 יַעַן אֲשֶׁר לֹא זָכַר עֲשׂוֹת חֶסֶד וַיִּרְדֹּף אִישׁ־
〜の-ゆえに （関係代名詞） （否定） 覚えなかった 行うことを 恵みを そして-追いかけた 人を
H3282 H0834 H3808 H2142 H6213 H2617 H7291 H0376

עָנִי וְאֶבְיוֹן וְנִכְאֵה לֵבָב לְמוֹתֵת׃
苦しむ また-貧しい また-傷ついた 心の 殺すために
H6041 H0034 H5218 H3824 H4191

これは彼がいつくしみを施すことを思わず、かえって貧しい者、乏しい者を責め、心の痛める者を殺そうとしたからです。

17 וַיֶּאֱהַב קְלָלָה וַתָּבוֹא לוֹ וְלֹא־ חָפֵץ בִּבְרָכָה וַתִּרְחַק מִמֶּנּוּ׃
そして-愛した 呪いを すると-来た-彼に しかし-（否定） 喜ばなかった 祝福を すると-遠ざかった 彼から
H0157 H7045 H0935 H3808 H2654 H1293 H7368

彼はのろうことを好んだ。のろいを彼に臨ませてください。彼は恵むことを喜ばなかった。恵みを彼から遠ざけてください。

18 וַיִּלְבַּשׁ קְלָלָה כְּמַדּוֹ וַתָּבֹא כַמַּיִם בְּקִרְבּוֹ וְכַשֶּׁמֶן בְּעַצְמוֹתָיו׃
そして-身に-まとった 呪いを その-衣の-ように すると-入った 水の-ように その-内に また-油の-ように その-骨に
H3847 H7045 H4055 H0935 H4325 H7130 H8081 H6106

彼はのろいを衣のように着た。のろいを水のようにその身にしみこませ、油のようにその骨にしみこませてください。

19 תְּהִי־לוֹ כְּבֶגֶד יַעְטֶה וּלְמֵזַח תָּמִיד יַחְגְּרֶהָּ׃
なれ 彼にとって 衣の-ように 身に-まとう また-帯の-ように 常に 締める
H1961 H2296 H8548

またそれを自分の着る着物のようにならせ、常に締める帯のようにならせてください。

20 זֹאת פְּעֻלַּת שְׂטָנַי מֵאֵת יְהוָה וְהַדֹּבְרִים רָע עַל־נַפְשִׁי׃
これが 報い 私の-敵の ～からの 主からの また-語る-者の 悪を ～に-対して 私の-魂に
H2063 H6468 H7853 H0854 H3068 H1696 H7451 H5315

これがわたしを非難する者と、わたしに逆らって悪いことを言う者の主からうける報いとしてください。

21 וְאַתָּה יְהוִה אֲדֹנָי עֲשֵׂה־אִתִּי לְמַעַן שְׁמֶךָ כִּי־טוֹב חַסְדְּךָ הַצִּילֵנִי׃
しかし-あなたは 主よ 我が-主よ 行ってください 私に ～の-ために あなたの-御名の まことに 良い あなたの-恵みは 救ってください-私を
H0589 H3069 H0136 H6213 H0854 H4616 H8034 H3588 H2617 H5337

しかし、わが主なる神よ、あなたはみ名のために、わたしを顧みてください。あなたのいつくしみの深きにより、わたしをお助けください。

22 כִּי־עָנִי וְאֶבְיוֹן אָנֹכִי וְלִבִּי חָלַל בְּקִרְבִּי׃
まことに 貧しく また-乏しい 私は また-私の-心は 傷ついている 私の-内に
H3588 H6041 H0034 H0595 H3820 H7130

わたしは貧しく、かつ乏しいのです。わたしの心はわがうちに傷ついています。

23 כְּצַל־כְּנָטוֹתוֹ נֶהֱלָכְתִּי נֹעַרְתִּי כָּאַרְבֶּה׃
影の-ように 傾く-ときの 私は-去り行く 振り-落とされた いなごの-ように
H6738 H5186 H1980 H5287 H0697

わたしは夕日の影のように去りゆき、いなごのように追い払われます。

24 בִּרְכַּי כָּשְׁלוּ מִצּוֹם וּבְשָׂרִי כָחַשׁ מִשָּׁמֶן׃
私の-膝は よろめいた 断食から また-私の-肉体は やせた 脂肪を-失い
H1290 H3782 H6685 H1320 H3584 H8081

わたしのひざは断食によってよろめき、わたしの肉はやせ衰え、

25 וַאֲנִי הָיִיתִי חֶרְפָּה לָהֶם יִרְאוּנִי יָנִיעוּן רֹאשָׁם׃
また-私は なった そしりと 彼らにとって 見る-彼らは-私を 振る その-頭を
H0589 H1961 H2781 H1992 H7200 H5128 H7218

わたしは彼らにそしられる者となりました。彼らはわたしを見ると、頭を振ります。

עָזְרֵנִי	יְהוָה	אֱלֹהָי	הוֹשִׁיעֵנִי	כְּחַסְדֶּךָ׃	26
助けてください–私を	主よ	私の–神よ	救ってください–私を	あなたの–恵みに–従って	
H5826	H3068	H0430	H3467		

わが神、主よ、わたしをお助けください。あなたのいつくしみにしたがって、わたしをお救いください。

וְיֵדְעוּ	כִּי־	יָדְךָ	זֹּאת	אַתָּה	יְהוָה	עָשִׂיתָה׃	27
そして–知らせてください	まことに	あなたの–手が	これを	あなたが	主よ	行われたのだと	
H3045		H3027	H2063		H3068		

主よ、これがあなたのみ手のわざであること、あなたがそれをなされたことを、彼らに知らせてください。

						28
וְיֵבֹשׁוּ	וְקָמוּ	תְּבָרֵךְ	וְאַתָּה	הֵמָּה	יְקַלְלוּ־	
そして–恥を–受けた	立ち上がった–彼らは	祝福される	しかし–あなたは	彼らは	呪う–彼らは	
H0954		H1288		H1992	H7043	

יִשְׂמָח׃	וְעַבְדְּךָ
喜ぶ	しかし–あなたの–僕は
H8055	H5650

彼らはのろうけれども、あなたは祝福されます。わたしを攻める者をはずかしめ、あなたのしもべを喜ばせてください。

						29
יִלְבְּשׁוּ	שׂוֹטְנַי	כְּלִמָּה	וְיַעֲטוּ	כַמְּעִיל	בָּשְׁתָּם׃	
身に–まとえ	私の–敵は	恥辱を	そして–覆え	外套の–ように	その–恥を	
H3847	H7853	H3639		H4598	H1322	

わたしを非難する者にはずかしめを着せ、おのが恥を上着のようにまとわせてください。

							30
אוֹדֶה	יְהוָה	מְאֹד	בְּפִי	וּבְתוֹךְ	רַבִּים	אֲהַלְלֶנּוּ׃	
感謝しよう	主に	大いに	私の–口で	また–〜の–中で	多くの–者の	ほめたたえよう–主を	
H3034	H3068	H3966	H6310	H8432			

わたしはわが口をもって大いに主に感謝し、多くの人のなかで主をほめたたえます。

						31
כִּי־	יַעֲמֹד	לִימִין	אֶבְיוֹן	לְהוֹשִׁיעַ	מִשֹּׁפְטֵי	נַפְשׁוֹ׃	
まことに	立たれる	右に	貧しい–者の	救うために	さばく–者から	その–魂を	
	H5975	H3225	H0034	H3467	H8199	H5315	

主は貧しい者の右に立って、死罪にさだめようとする者から彼を救われるからです。

Chapter 110

										1
לְדָוִד	מִזְמוֹר	נְאֻם	וְיהוָה	לַאדֹנִי	שֵׁב	לִימִינִי	עַד־	אָשִׁית	אֹיְבֶיךָ	
ダビデの	賛歌	御告げ	主の	我が–主に	座せ	私の–右に	〜まで	置くまで	あなたの–敵を	
H1732	H4210	H5002	H3068	H0113	H3427	H3225	H5704	H7896	H0341	

הֲדֹם	לְרַגְלֶיךָ׃
足台として	あなたの–足の
H1916	H7272

ダビデの歌 主はわが主に言われる、「わたしがあなたのもろもろの敵をあなたの足台とするまで、わたしの右に座せよ」と。

							2
מַטֵּה־	עֻזְּךָ	יִשְׁלַח	יְהוָה	מִצִּיּוֹן	רְדֵה	בְּקֶרֶב	אֹיְבֶיךָ׃	
杖を	あなたの–力の	遣わされる	主が	シオンから	治めよ	〜の–中で	あなたの–敵の	
H4294	H5797	H7971	H3068	H6726		H7130	H0341	

主はあなたの力あるつえをシオンから出される。あなたはもろもろの敵のなかで治めよ。

קֹדֶשׁ	בְּהַדְרֵי־	חֵילֶךָ	בְּיוֹם	נְדָבֹת	עַמְּךָ
聖の	聖なる–輝きの–中で	あなたの–軍勢の	～の–日に	喜んで–ささげる	あなたの–民は
H6944	H1926	H2428	H3117	H5071	

יַלְדֻתֶיךָ׃	טַל	לְךָ	מִשְׁחָר	מֵרֶחֶם
若さの	露の–ように	あなたに	曙の	曙の–胎から
H3208	H2919		H4891	H7358

3

あなたの民は、あなたがその軍勢を聖なる山々に導く日に心から喜んでおのれをささげるであろう。あなたの若者は朝の胎から出る露のようにあなたに来るであろう。

עַל־	לְעוֹלָם	כֹּהֵן	אַתָּה־	יִנָּחֵם	וְלֹא	וְיהוָה	נִשְׁבַּע
～の–位に–従って	永遠に	祢司	あなたは	悔いられない	そして–（否定）	主は	誓われた
	H5769	H3548		H5162	H3808	H3068	H7650

מַלְכִּי־צֶדֶק׃	דִּבְרָתִי
メルキゼデクの	～の–位に
H4442	H1700

4

主は誓いを立てて、み心を変えられることはない、「あなたはメルキゼデクの位にしたがってとこしえに祭司である」。

מְלָכִים׃	אַפּוֹ	בְּיוֹם־	מָחַץ	יְמִינְךָ	עַל־	אֲדֹנָי
王たちを	その–怒りの	～の–日に	打ち–砕かれる	あなたの	～の–右に–おられる	主は
H4428	H0639	H3117	H4272	H3225		H0136

5

主はあなたの右におられて、その怒りの日に王たちを打ち破られる。

רַבָּה׃	אֶרֶץ	עַל־	רֹאשׁ	מָחַץ	גְּוִיּוֹת	מָלֵא	בַּגּוֹיִם	דָּן
広大なる	地の	～の–上に	かしらを	打ち–砕かれる	屍で	満たす	諸国民の–中で	さばかれる
	H0776			H4272	H1472	H4390		H1777

6

主はもろもろの国のなかでさばきを行い、しかばねをもって満たし、広い地を治める首領たちを打ち破られる。

רֹאשׁ׃	יָרִים	כֵּן	עַל־	יִשְׁתֶּה	בַּדֶּרֶךְ	מִנַּחַל
かしらを	高く–上げられる	それゆえに	それの–ゆえに	飲まれる	道の–働らで	～から–流れの
				H8354	H1870	

7

彼は道のほとりの川からくんで飲み、それによって、そのこうべをあげるであろう。

Chapter 111

וְעֵדָה׃	יְשָׁרִים	בְּסוֹד	לֵבָב	בְּכָל־	יְהוָה	אוֹדֶה	וְהּ	הַלְלוּ
会衆の	正しい–者たちの	親しい–集いの–中で	心で	すべての	主に	感謝する	ヤハ	ハレルヤ
H5712	H3477	H5475	H3824	H3605	H3068	H3034	H3050	

1

主をほめたたえよ。わたしは正しい者のつどい、および公会で、心をつくして主に感謝する。

חֲפֻצֵיהֶם׃	לְכָל־	דְּרוּשִׁים	יְהוָה	מַעֲשֵׂי	גְּדֹלִים
喜ぶ–者たちに	すべての	求められる	主の	業は	大いなる
H2656	H3605	H1875	H3068	H4639	

2

主のみわざは偉大である。すべてそのみわざを喜ぶ者によって尋ね窮められる。

לָעַד׃	עֹמֶדֶת	וְצִדְקָתוֹ	פָּעֳלוֹ	וְהָדָר	הוֹד־
永遠に	立つ	その–義は	その–御業	威厳は	栄光と
H5703	H5975	H6666	H6467	H1926	H1935

3

そのみわざは栄光と威厳とに満ち、その義はとこしえに、うせることがない。

יְהוָה׃	וְרַחוּם	חַנּוּן	לְנִפְלְאֹתָיו	עָשָׂה	זֵכֶר	4
主は	あわれみ深い	恵み深く	奇しい-業の-ために	造られた	記念を	
H3068	H7349	H2587	H6381		H2143	

主はそのくすしきみわざを記念させられた。主は恵みふかく、あわれみに満ちていられる。

בְּרִיתוֹ׃	לְעוֹלָם	יִזְכֹּר	לִירֵאָיו	נָתַן	טֶרֶף	5
その-契約を	永遠に	覚えておられる	畏れる-者に	与えた	食物を	
H1285	H5769	H2142	H3373	H5414	H2964	

主はおのれを恐れる者に食物を与え、その契約をとこしえに心にとめられる。

גּוֹיִם׃	נַחֲלַת	לָהֶם	לָתֶת	לְעַמּוֹ	הִגִּיד	מַעֲשָׂיו	כֹּחַ	6
諸国の	嗣業を	彼らに	与えるため	その-民に	告げた	その-業の	力を	
	H5159		H5414		H5046	H4639		

主はもろもろの国民の所領をその民に与えて、みわざの力をこれにあらわされた。

פִּקּוּדָיו׃	כָּל־	נֶאֱמָנִים	וּמִשְׁפָּט	אֱמֶת	יָדָיו	מַעֲשֵׂי	7
戒めは	すべての	確かである	公正	真実と	その-手の	御手の-業は	
H6490	H3605	H0539	H4941	H0571	H3027	H4639	

そのみ手のわざは真実かつ公正であり、すべてのさとしは確かである。

וְיָשָׁר׃	בֶּאֱמֶת	עֲשׂוּיִם	לְעוֹלָם	לָעַד	סְמוּכִים	8
正しさで	真実と	行われる	とこしえに	永遠に	堅く-立てられ	
H3477	H0571		H5769	H5703	H5564	

これらは世々かぎりなく堅く立ち、真実と正直とをもってなされた。

שְׁמוֹ׃	וְנוֹרָא	קָדוֹשׁ	בְּרִיתוֹ	לְעוֹלָם	צִוָּה־	לְעַמּוֹ	שָׁלַח	פְּדוּת	9
その-御名は	畏るべき	聖なる	その-契約を	永遠に	命じた	その-民に	送られた	贖いを	
H8034	H3372	H6918	H1285	H5769	H6680		H7971	H6304	

主はその民にあがないを施し、その契約をとこしえに立てられた。そのみ名は聖にして、おそれおおい。

תְּהִלָּתוֹ׃	עֹשֵׂיהֶם	לְכָל־	טוֹב	שֵׂכֶל	יְהוָה	יִרְאַת	וְחָכְמָה	רֵאשִׁית	10
その-賛美は	行う-者たちに	すべての	良い	良い-悟りを-持つ	主を	畏れ	知恵の	初めは	
H8416		H3605		H7922	H3068	H3374	H2451	H7225	

עֹמֶדֶת׃	לָעַד
立つ	永遠に
H5975	H5703

主を恐れることは知恵のはじめである。これを行う者はみな良き悟りを得る。主の誉は、とこしえに、うせることはない。

Chapter 112

מְאֹד׃	חָפֵץ	בְּמִצְוֹתָיו	יְהוָה	אֶת־	יָרֵא	אִישׁ	אַשְׁרֵי־	וָהּ	הַלְלוּ	1
甚だ	大いに-喜ぶ	その-戒めを	主を	(object)	畏れる	人は	幸いな	ヤハ	ハレルヤ	
H3966		H4687	H3068	H0853	H3372	H0376	H0835	H3050		

主をほめたたえよ。主をおそれて、そのもろもろの戒めを大いに喜ぶ人はさいわいである。

יְבֹרָךְ׃	יְשָׁרִים	דּוֹר	זַרְעוֹ	יִהְיֶה	בָּאָרֶץ	גִּבּוֹר	2
祝福される	正しい-者たちの	世代は	その-子孫は	なる	地に	力ある-者と	
H1288	H3477	H1755	H2233	H1961	H0776	H1368	

その子孫は地において強くなり、正しい者のやからは祝福を得る。

3 הוֹן־ וְעֹשֶׁר בְּבֵיתוֹ וְצִדְקָתוֹ עֹמֶדֶת לָעַד׃
富と 財は その-家に その-義は 立つ 永遠に
H1952 H6239 H6666 H5975 H5703

繁栄と富とはその家にあり、その義はとこしえに、うせることはない。

4 זָרַח בַּחֹשֶׁךְ אוֹר לַיְשָׁרִים חַנּוּן וְרַחוּם וְצַדִּיק׃
昇る 闇の-中に 光が 正しい-者たちに 恵み深く あわれみ深く 正しい
H2224 H2822 H0216 H3477 H2587 H7349 H6662

光は正しい者のために暗黒の中にもあらわれる。主は恵み深く、あわれみに満ち、正しくいらせられる。

5 טוֹב־ אִישׁ חוֹנֵן וּמַלְוֶה יְכַלְכֵּל דְּבָרָיו בְּמִשְׁפָּט׃
幸いな 人は 恵む 貸す-者 支える その-言葉を 公正で
H3557 H0376 H4941 H1697

恵みを施し、貸すことをなし、その事を正しく行う人はさいわいである。

6 כִּי־ לְעוֹלָם לֹא־ יִמּוֹט לְזֵכֶר עוֹלָם יִהְיֶה צַדִּיק׃
まことに 永遠に 決して 揺るがない 記念として なる 永遠の 正しい-者は
H5769 H3808 H4131 H2143 H1961 H5769 H6662

正しい人は決して動かされることなく、とこしえに覚えられる。

7 מִשְּׁמוּעָה רָעָה לֹא יִירָא נָכוֹן לִבּוֹ בָּטֵחַ בַּיהוָה׃
悪い-知らせを 悪い (not) 恐れない 堅い その-心は 信頼する 主に
H8052 H7451 H3808 H3372 H3559 H3824 H3068

彼は悪いおとずれを恐れず、その心は主に信頼してゆるがない。

8 בְּצָרָיו׃ יִרְאֶה אֲשֶׁר־ עַד יִירָא לֹא לִבּוֹ סָמוּךְ
その-敵を 見る (until) ついに 恐れない (not) その-心は 支えられた
H7200 H5704 H3372 H3808 H3824 H5564

その心は落ち着いて恐れることなく、ついにそのあだについての願いを見る。

9 תָּרוּם קַרְנוֹ לָעַד עֹמֶדֶת צִדְקָתוֹ לָאֶבְיוֹנִים נָתַן וּפִזַּר
高く-上がる その-角は 永遠に 立つ その-義は 貧しい-者たちに 施した 豊かに-分け与え
H5414 H6340 H5703 H5975 H6666 H0034

כָּבוֹד׃
栄光の-中で
H3519

彼は惜しげなく施し、貧しい者に与えた。その義はとこしえに、うせることはない。その角は誉を得てあげられる。

10 תֹּאבֵד׃ רְשָׁעִים תַּאֲוַת וְנָמָס יַחֲרֹק שִׁנָּיו וְכָעַס וְיִרְאֶה רָשָׁע
滅びる 悪者たちの 望みは 溶ける 噛みしめ その-歯を 怒り 見て 悪者は
H0006 H7563 H8378 H4549 H2786 H8127 H3707 H7200 H7563

悪しき者はこれを見て怒り、歯をかみならして溶け去る。悪しき者の願いは滅びる。

Chapter 113

1 יְהוָה׃ שֵׁם אֶת־ הַלְלוּ יְהוָה עַבְדֵי הַלְלוּ וְהּ הַלְלוּ
主の 御名を (object) 賛美せよ 主の 僕たちよ 賛美せよ ヤハ ハレルヤ
H3068 H8034 H0853 H3068 H5650 H3050

主をほめたたえよ。主のしもべたちよ、ほめたたえよ。主のみ名をほめたたえよ。

יְהִי	שֵׁם	יְהוָה	מְבֹרָךְ	מֵעַתָּה	וְעַד־	עוֹלָם׃	2
あれ	御名が	主の	祝福されよ	今より	とこしえまで	永遠に	
H1961	H8034	H3068	H1288	H6258	H5704	H5769	

今より、とこしえに至るまで主のみ名はほむべきかな。

מְמִזְרַח־	שֶׁמֶשׁ	עַד־	מְבוֹאוֹ	מְהֻלָּל	שֵׁם	יְהוָה׃	3
日の–昇る–所から	太陽の	沈む–所まで	その–沈む–所まで	賛美される	御名は	主の	
H4217	H8121	H5704	H3996		H8034	H3068	

日のいずるところから日の入るところまで、主のみ名はほめたたえられる。

רָם	עַל־	כָּל־	גּוֹיִם	יְהוָה	עַל	הַשָּׁמַיִם	כְּבוֹדוֹ׃	4
高い	上に	すべての	諸国より	主は	上に	天より	その–栄光は	
		H3605		H3068		H8064	H3519	

主はもろもろの国民の上に高くいらせられ、その栄光は天よりも高い。

מִי	כַּיהוָה	אֱלֹהֵינוּ	הַמַּגְבִּיהִי	לָשָׁבֶת׃	5
誰が	主の–ような	我らの–神が	高く–座して	住まわれる	
H4310	H3068	H0430	H1361	H3427	

われらの神、主にくらぶべき者はだれか。主は高き所に座し、

הַמַּשְׁפִּילִי	לִרְאוֹת	בַּשָּׁמַיִם	וּבָאָרֶץ׃	6
低く–かがみて	見られる	天を	地を	
H8213	H7200	H8064	H0776	

遠く天と地とを見おろされる。

מְקִימִי	מֵעָפָר	דָּל	מֵאַשְׁפֹּת	יָרִים	אֶבְיוֹן׃	7
起こして	塵から	乏しい–者を	芥塞から	引き上げる	貧しい–者を	
	H6083	H1800	H0830		H0034	

主は貧しい者をちりからあげ、乏しい者をあくたからあげて、

לְהוֹשִׁיבִי	עִם־	נְדִיבִים	עִם	נְדִיבֵי	עַמּוֹ׃	8
座らせる	共に	高貴な–者たちと	共に	高貴な–者たちと	その–民の	
H3427		H5081		H5081		

もろもろの君たちと共にすわらせ、その民の君たちと共にすわらせられる。

וּמוֹשִׁיבִי	עֲקֶרֶת	הַבַּיִת	אֵם־	הַבָּנִים	שְׂמֵחָה	הַלְלוּ־	יָהּ׃	9
住まわせる	不妊の–女を	家の	母として	子らの	喜ぶ	ハレルヤ	ヤハ	
H3427	H6135		H0517		H8056		H3050	

また子を産まぬ女に家庭を与え、多くの子供たちの喜ばしい母とされる。主をほめたたえよ。

Chapter 114

בְּצֵאת	יִשְׂרָאֵל	מִמִּצְרָיִם	בֵּית	יַעֲקֹב	מֵעַם	לֹעֵז׃	1
出た–時	イスラエルが	エジプトから	家が	ヤコブの	民から	異言の	
H3318	H3478	H4714		H3290		H3937	

イスラエルがエジプトをいで、ヤコブの家が異言の民を離れたとき、

הָיְתָה	יְהוּדָה	לְקָדְשׁוֹ	יִשְׂרָאֵל׀	מַמְשְׁלוֹתָיו׃	2
なった	ユダは	その–聖所と	イスラエルは	その–支配の–地と	
H1961	H3063	H6944	H3478	H4475	

ユダは主の聖所となり、イスラエルは主の所領となった。

3	הַיָּם	רָאָה	וַיָּנֹס	הַיַּרְדֵּן	יִסֹּב	לְאָחוֹר׃
	海は	見て	逃げた	ヨルダンは	退いた	後ろへ
	H3220	H7200	H5127	H3383	H5437	H0268

海はこれを見て逃げ、ヨルダンはうしろに退き、

4	הֶהָרִים	רָקְדוּ	כְּאֵילִים	גְּבָעוֹת	כִּבְנֵי־	צֹאן׃
	山々は	踊った	雄羊の–ように	丘々は	小羊の–ように	羊の
	H2022	H7540		H1389		H6629

山は雄羊のように踊り、小山は小羊のように踊った。

5	מַה־	לְךָ	הַיָּם	כִּי	תָנוּס	הַיַּרְדֵּן	תִּסֹּב	לְאָחוֹר׃
	何が	お前に	海よ	(that)	逃げるのか	ヨルダンよ	退くのか	後ろへ
	H4100		H3220		H5127	H3383	H5437	H0268

海よ、おまえはどうして逃げるのか、ヨルダンよ、おまえはどうしてうしろに退くのか。

6	הֶהָרִים	תִּרְקְדוּ	כְּאֵילִים	גְּבָעוֹת	כִּבְנֵי־	צֹאן׃
	山々よ	踊るのか	雄羊の–ように	丘々よ	小羊の–ように	羊の
	H2022	H7540		H1389		H6629

山よ、おまえたちはどうして雄羊のように踊るのか、小山よ、おまえたちはどうして小羊のように踊るのか。

7	מִלִּפְנֵי	אָדוֹן	חוּלִי	אָרֶץ	מִלִּפְנֵי	אֱלוֹהַּ	יַעֲקֹב׃
	御前から	主の	おののけ	地よ	御前から	神の	ヤコブの
	H6440	H0113		H0776	H6440	H0433	H3290

地よ、主のみ前におののけ、ヤコブの神のみ前におののけ。

8	הַהֹפְכִי	הַצּוּר	אֲגַם־	מָיִם	חַלָּמִישׁ	לְמַעְיְנוֹ־	מָיִם׃
	変える–方	岩を	水の–池に	水の	硫石を	水の–泉に	水の
	H2015	H6697	H0098	H4325	H2496	H4599	H4325

主は岩を池に変らせ、石を泉に変らせられた。

Chapter 115

1	לְךָ	לֹא	לָנוּ	יְהוָה	לֹא	לָנוּ	כִּי־	לְשִׁמְךָ	תֵּן	כָּבוֹד
	それは	我らに–ではなく		主よ	それは	我らに–ではなく	ただ	御名に	与えてください	栄光を
	H3808			H3068	H3808			H8034	H5414	H3519

	עַל־	חַסְדְּךָ	עַל־	אֲמִתֶּךָ׃
	御–恵みの–ゆえに	恵みの	御–真実の–ゆえに	真実の
				H0571

主よ、栄光をわれらにではなく、われらにではなく、あなたのいつくしみと、まことのゆえに、ただ、み名にのみ帰してください。

2	לָמָּה	יֹאמְרוּ	הַגּוֹיִם	אַיֵּה־	נָּא	אֱלֹהֵיהֶם׃
	なぜ	言うのか	諸国は	どこに	いるのか	彼らの–神は
	H4100	H0559		H0346	H4994	H0430

なにゆえ、もろもろの国民は言うのでしょう、「彼らの神はどこにいるのか」と。

3	וֵאלֹהֵינוּ	בַּשָּׁמָיִם	כֹּל	אֲשֶׁר־	חָפֵץ	עָשָׂה׃
	我らの–神は	天に	すべて	望む–ことを	望まれた	行われた
	H0430	H8064	H3605			

われらの神は天にいらせられる。神はみこころにかなうすべての事を行われる。

4 עֲצַבֵּיהֶם כֶּסֶף וְזָהָב מַעֲשֵׂה יְדֵי אָדָם׃
彼らの–偶像は 銀と 金 作り物 人の–手の 人の
H6091 H3701 H2091 H4639 H3027 H0120

彼らの偶像はしろがねと、こがねで、人の手のわざである。

5 פֶּה־ לָהֶם וְלֹא יְדַבֵּרוּ עֵינַיִם לָהֶם וְלֹא יִרְאוּ׃
口が それらに–あるが 話せない 目が それらに–あるが しかし 見えない
H6310 H1992 H1696 H3808 H1992 H3808 H7200

それは口があっても語ることができない。目があっても見ることができない。

6 אָזְנַיִם לָהֶם וְלֹא יִשְׁמָעוּ אַף לָהֶם וְלֹא יְרִיחוּן׃
耳が それらに–あるが しかし 聞こえない 鼻が それらに–あるが しかし 嗅げない
H0241 H3808 H8085 H0639 H3808 H7306

耳があっても聞くことができない。鼻があってもかぐことができない。

7 וְיֵדֵיהֶם וְלֹא־ יְמִישׁוּן רַגְלֵיהֶם וְלֹא יְהַלֵּכוּ לֹא־ יֶהְגּוּ בִגְרוֹנָם׃
その–手は しかし 触れない その–足は しかし 歩けない (not) 声も–出せない その–喉から
H3027 H3808 H4184 H7272 H3808 H1980 H3808 H1897 H1627

手があっても取ることができない。足があっても歩くことができない。また、のどから声を出すこともできない。

8 כְּמוֹהֶם יִהְיוּ עֹשֵׂיהֶם כֹּל אֲשֶׁר־ בָּטַח בָּהֶם׃
それらの–ように なる 造る–者たちも すべて 信頼する–者も それらに
H3644 H1961 H6213 H3605 H0982

これを造る者と、これに信頼する者とはみな、これと等しい者になる。

9 יִשְׂרָאֵל בְּטַח בַּיהוָה עֶזְרָם וּמָגִנָּם הוּא׃
イスラエルよ 信頼せよ 主に その–助け その–盾である 主は
H3478 H0982 H3068 H5828 H4043 H1931

イスラエルよ、主に信頼せよ。主は彼らの助け、また彼らの盾である。

10 בֵּית אַהֲרֹן בִּטְחוּ בַּיהוָה עֶזְרָם וּמָגִנָּם הוּא׃
家よ アロンの 信頼せよ 主に その–助け その–盾である 主は
H1004 H0175 H0982 H3068 H5828 H4043 H1931

アロンの家よ、主に信頼せよ。主は彼らの助け、また彼らの盾である。

11 יִרְאֵי יְהוָה בִּטְחוּ בַּיהוָה עֶזְרָם וּמָגִנָּם הוּא׃
畏れる–者よ 主を 信頼せよ 主に その–助け その–盾である 主は
H3373 H3068 H0982 H3068 H5828 H4043 H1931

主を恐れる者よ、主に信頼せよ。主は彼らの助け、また彼らの盾である。

12 יְהוָה זְכָרָנוּ יְבָרֵךְ יְבָרֵךְ בֵּית יִשְׂרָאֵל יְבָרֵךְ אֶת־ בֵּית אַהֲרֹן׃
主は 我らを–覚えて 祝福される 祝福される 家を イスラエルの 祝福される (object) 家を アロンの
H3068 H2142 H1288 H1288 H0853 H1004 H3478 H1288 (object) H0853 H0175

主はわれらをみこころにとめられた。主はわれらを恵み、イスラエルの家を恵み、アロンの家を恵み、

13 יְבָרֵךְ יִרְאֵי יְהוָה הַקְּטַנִּים עִם־ הַגְּדֹלִים׃
祝福される 畏れる–者を 主を 小さい–者も 共に 大きい–者も
H1288 H3373 H3068 H6996 H5973 H1419

また、小さい者も、大いなる者も、主を恐れる者を恵まれる。

14 יֹסֵף יְהוָה עֲלֵיכֶם עֲלֵיכֶם וְעַל־בְּנֵיכֶם׃
主が 加えてくださる あなたがたに あなたがたに あなたがたの-子らにも 子らに
H3068 H3254

どうか、主があなたがたを増し加え、あなたがたと、あなたがたの子孫とを増し加えられるように。

15 בְּרוּכִים אַתֶּם לַיהוָה עֹשֵׂה שָׁמַיִם וָאָרֶץ׃
祝福された-者 あなたがたは 主に 造られた-方 天と 地を
H1288 H3068 H8064 H0776

天地を造られた主によってあなたがたが恵まれるように。

16 הַשָּׁמַיִם שָׁמַיִם לַיהוָה וְהָאָרֶץ נָתַן לִבְנֵי־אָדָם׃
天は 天は 主の-もの しかし-地は 与えた 人の-子らに 人の
H8064 H8064 H3068 H0776 H5414 H0120

天は主の天である。しかし地は人の子らに与えられた。

17 לֹא הַמֵּתִים יְהַלְלוּ־יָהּ וְלֹא כָּל־יֹרְדֵי דוּמָה׃
(not) 死者は 賛美しない ヤハを また すべての 下る-者も 沈黙の-地に
H3808 H4191 H3050 H3808 H3605 H3381 H1745

死んだ者も、音なき所に下る者も、主をほめたたえることはない。

18 וַאֲנַחְנוּ נְבָרֵךְ יָהּ מֵעַתָּה וְעַד־עוֹלָם הַלְלוּ־יָהּ׃
しかし-我らは 祝福する ヤハを 今より とこしえまで 永遠に ハレルヤ ヤハ
H0587 H1288 H3050 H6258 H5704 H5769 H3050 H3050

しかし、われらは今より、とこしえに至るまで、主をほめまつるであろう。主をほめたたえよ。

Chapter 116

1 אָהַבְתִּי כִּי־יִשְׁמַע יְהוָה אֶת־קוֹלִי תַּחֲנוּנָי׃
愛する なぜなら 聞いてくださる 主が (object) 私の-声を 私の-嘆願を
H0157 H3068 H8085 H0853 H6963 H8469

わたしは主を愛する。主はわが声と、わが願いとを聞かれたからである。

2 כִּי־הִטָּה אָזְנוֹ לִי וּבְיָמַי אֶקְרָא׃
なぜなら 傾けてくださった その-耳を 私に 私の-日々に 呼び-求める
H5186 H0241 H3117 H7121

主はわたしに耳を傾けられたので、わたしは生きるかぎり主を呼びまつるであろう。

3 אֲפָפוּנִי חֶבְלֵי־מָוֶת וּמְצָרֵי שְׁאוֹל מְצָאוּנִי צָרָה וְיָגוֹן אֶמְצָא׃
取り囲んだ 綱が 死の 苦しみが よみの 見つけた 苦難と 悲しみを 見出した
H0661 H2256 H4194 H4712 H7585 H4672 H6869 H3015 H4672

死の綱がわたしを取り巻き、陰府の苦しみがわたしを捕えた。わたしは悩みと悲しみにあった。

4 וּבְשֵׁם־יְהוָה אֶקְרָא אָנָּה יְהוָה מַלְּטָה נַפְשִׁי׃
そして-御名を 主の 呼ぶ ああ 主よ 救ってください 私の-魂を
H8034 H3068 H7121 H0577 H3068 H4422 H5315

その時わたしは主のみ名を呼んだ。「主よ、どうぞわたしをお救いください」と。

5 חַנּוּן יְהוָה וְצַדִּיק וֵאלֹהֵינוּ מְרַחֵם׃
恵み深く 主は 正しい 我らの-神は あわれみ深い
H2587 H3068 H6662 H0430 H7355

主は恵みふかく、正しくいらせられ、われらの神はあわれみに富まれる。

יְהוֹשִׁיעַ׃	וְלִי	דַּלּוֹתִי	יְהוָה	פְּתָאיִם	שֹׁמֵר	6
救われた	私を	私が–弱った–時	主は	素朴な–者を	守る–方	
H3467		H1809	H3068		H8104	

主は無学な者を守られる。わたしが低くされたとき、主はわたしを救われた。

עָלָיְכִי׃	גָּמַל	יְהוָה	כִּי־	לְמְנוּחָיְכִי	נַפְשִׁי	שׁוּבִי	7
あなたに	報いて–くださった	主が	なぜなら	安らぎに	わが–魂よ	戻れ	
	H1580	H3068		H4496	H5315	H7725	

わが魂よ、おまえの平安に帰るがよい。主は豊かにおまえをあしらわれたからである。

אֶת־	דִּמְעָה	מִן־	עַיִן	אֶת־	מָוֶת	נַפְשִׁי	חִלַּצְתָּ	כִּי	8
(object)	涙から	(from)	私の–目を	(object)	死から	私の–魂を	救い出された	まことに	
H0853	H1832			H0853	H4194	H5315			

מִדֶּחִי׃	רַגְלִי
つまずきから	私の–足を
H1762	H7272

あなたはわたしの魂を死から、わたしの目を涙から、わたしの足をつまずきから助け出されました。

הַחַיִּים׃	בְּאַרְצוֹת	יְהוָה	לִפְנֵי	אֶתְהַלֵּךְ	9
生ける–者の	地で	主の	御前に	歩む	
	H0776	H3068	H6440	H1980	

わたしは生ける者の地で、主のみ前に歩みます。

מְאֹד׃	עָנִיתִי	אֲנִי	אֲדַבֵּר	כִּי	הֶאֱמַנְתִּי	10
甚だ	苦しんだ	私は	語る	それゆえ	信じた	
H3966		H0589	H1696		H0539	

「わたしは大いに悩んだ」と言った時にもなお信じた。

כֹּזֵב׃	הָאָדָם	כָּל־	בְּחָפְזִי	אָמַרְתִּי	אֲנִי	11
偽り者	人は	すべての	慌てて	言った	私は	
H3576	H0120	H3605	H2648	H0559	H0589	

わたしは驚きあわてたときに言った、「すべての人は当にならぬ者である」と。

עָלָי׃	תַּגְמוּלוֹהִי	כָּל־	לַיהוָה	אָשִׁיב	מָה־	12
私への	報いに–対して	すべての	主に	返せよう	何を	
	H8408	H3605	H3068	H7725	H4100	

わたしに賜わったもろもろの恵みについて、どうして主に報いることができようか。

אֶקְרָא׃	יְהוָה	וּבְשֵׁם	אֶשָּׂא	יְשׁוּעוֹת	כּוֹס־	13
呼ぶ	主の	そして–御名を	掲げる	救いの	杯を	
H7121	H3068	H8034	H5375	H3444		

わたしは救の杯をあげて、主のみ名を呼ぶ。

עַמּוֹ׃	לְכָל־	נָּא	נֶגְדָּה־	אֲשַׁלֵּם	לַיהוָה	נְדָרַי	14
その–民の	すべての	どうか	前で	果たす	主に	私の–誓いを	
	H3605	H4994	H5048		H3068	H5088	

わたしはすべての民の前で、主にわが誓いをつぐなおう。

לַחֲסִידָיו׃	הַמָּוְתָה	יְהוָה	בְּעֵינֵי	יָקָר	15
その–聖徒たちの	死は	主の	御目に	尊い	
H2623	H4194	H3068		H3368	

主の聖徒の死はそのみ前において尊い。

16 אֲנָּה יְהוָה כִּי־אֲנִי עַבְדֶּךָ אֲנִי עַבְדְּךָ בֶּן־אֲמָתֶךָ
ああ 主よ まことに 私は あなたの–僕です 私は あなたの–僕 子です あなたの–はしためのの
H0577 H3068 H3068 H0589 H5650 H0589 H5650 H1121 H0519

פִּתַּחְתָּ לְמוֹסֵרָי׃
解いてくださった 私の–縄を
H4147

主よ、わたしはあなたのしもべです。わたしはあなたのしもべ、あなたのはしための子です。あなたはわたしのなわめを解かれました。

17 לְךָ־אֶזְבַּח תּוֹדָה וּבְשֵׁם יְהוָה אֶקְרָא׃
あなたに 捧げる いけにえを 感謝の そして–御名を 主の 呼ぶ
H7121 H3068 H8034 H8426 H2077 H2076

わたしは感謝のいけにえをあなたにささげて、主のみ名を呼びます。

18 נְדָרַי לַיהוָה אֲשַׁלֵּם נֶגְדָּה־נָּא לְכָל־עַמּוֹ׃
私の–誓いを 主に 果たす 前で どうか すべての その–民の
H5088 H3068 H7999 H5048 H4994 H3605

わたしはすべての民の前で主にわが誓いをつぐないます。

19 בְּחַצְרוֹת בֵּית יְהוָה בְּתוֹכֵכִי יְרוּשָׁלִָם הַלְלוּ־יָהּ׃
庭で 宮の 主の あなたの–中で エルサレムよ ハレルヤ ヤハ
H3050 H3389 H8432 H3068 H1004 H1984

エルサレムよ、あなたの中で、主の家の大庭の中で、これをつぐないます。主をほめたたえよ。

Chapter 117

1 הַלְלוּ אֶת־יְהוָה כָּל־גּוֹיִם שַׁבְּחוּהוּ כָּל־הָאֻמִּים׃
賛美せよ (object) 主を すべての 諸国よ 称えよ すべての 民族よ
H1984 H0853 H3068 H3605 H1471 H7623 H3605 H0523

もろもろの国よ、主をほめたたえよ。もろもろの民よ、主をたたえまつれ。

2 כִּי גָבַר עָלֵינוּ חַסְדּוֹ וֶאֱמֶת־יְהוָה לְעוֹלָם הַלְלוּ־יָהּ׃
なぜなら 力強い 我らに–対して その–恵みは 真実は 主の 永遠に ハレルヤ ヤハ
H3588 H1396 H5921 H2617 H0571 H3068 H5769 H1984 H3050

われらに賜わるそのいつくしみは大きいからである。主のまことはとこしえに絶えることがない。主をほめたたえよ。

Chapter 118

1 הוֹדוּ לַיהוָה כִּי־טוֹב כִּי לְעוֹלָם חַסְדּוֹ׃
感謝せよ 主に まことに 良い まことに 永遠に その–恵みは
H3034 H3068 H3588 H2896 H3588 H5769 H2617

主に感謝せよ、主は恵みふかく、そのいつくしみはとこしえに絶えることがない。

2 יֹאמַר־נָא יִשְׂרָאֵל כִּי לְעוֹלָם חַסְדּוֹ׃
言え どうか イスラエルよ まことに 永遠に その–恵みは
H0559 H4994 H3478 H3588 H5769 H2617

イスラエルは言え、「そのいつくしみはとこしえに絶えることがない」と。

3	יֹאמְרוּ־	נָא	בֵּית־	אַהֲרֹן	כִּי	לְעוֹלָם	חַסְדּוֹ׃
	言え	どうか	家よ	アロンの	まことに	永遠に	その–恵みは
	H0559	H4994		H0175		H5769	

アロンの家は言え、「そのいつくしみはとこしえに絶えることがない」と。

4	יֹאמְרוּ־	נָא	יִרְאֵי	יְהוָה	כִּי	לְעוֹלָם	חַסְדּוֹ׃
	言え	どうか	畏れる–者よ	主を	まことに	永遠に	その–恵みは
	H0559	H4994	H3373	H3068		H5769	

主をおそれる者は言え、「そのいつくしみはとこしえに絶えることがない」と。

5	מִן־	הַמֵּצַר	קָרָאתִי	יָהּ	עָנָנִי	בַמֶּרְחָב	יָהּ׃
	(from)	苦しみの–中から	呼んだ	ヤハに	答えてくださった	広い–所で	ヤハが
		H4712	H7121	H3050		H4800	H3050

わたしが悩みのなかから主を呼ぶと、主は答えて、わたしを広い所に置かれた。

6	יְהוָה	לִי	לֹא	אִירָא	מַה־	יַּעֲשֶׂה	לִי	אָדָם׃
	主が	私の–側に	(not)	恐れない	何を	行えよう	私に	人が
	H3068		H3808	H3372	H4100			H0120

主がわたしに味方されるので、恐れることはない。人はわたしに何をなし得ようか。

7	יְהוָה	לִי	בְּעֹזְרָי	וַאֲנִי	אֶרְאֶה	בְשֹׂנְאָי׃
	主が	私の–側に	助ける–者として	私は	見る	憧む–者を
	H3068		H5826	H0589	H7200	H8130

主はわたしに味方し、わたしを助けられるので、わたしを憎む者についての願いを見るであろう。

8	טוֹב	לַחֲסוֹת	בַּיהוָה	מִבְטֹחַ	בָּאָדָם׃
	良い	身を–寄せることは	主に	信頼するより	人に
		H2620	H3068	H0982	H0120

主に寄り頼むは人にたよるよりも良い。

9	טוֹב	לַחֲסוֹת	בַּיהוָה	מִבְטֹחַ	בִּנְדִיבִים׃
	良い	身を–寄せることは	主に	信頼するより	高貴な–者に
		H2620	H3068	H0982	H5081

主に寄り頼むはもろもろの君にたよるよりも良い。

10	כָּל־	גּוֹיִם	סְבָבוּנִי	בְּשֵׁם	יְהוָה	כִּי	אַמִילַם׃
	すべての	諸国が	取り囲んだ	御名によって	主の	まことに	断ち–切る
	H3605		H5437	H8034	H3068		

もろもろの国民はわたしを囲んだ。わたしは主のみ名によって彼らを滅ぼす。

11	סַבּוּנִי	גַם־	סְבָבוּנִי	בְּשֵׁם	יְהוָה	כִּי	אַמִילַם׃
	囲み	また	取り囲んだ	御名によって	主の	まことに	断ち–切る
	H5437	H1571	H5437	H8034	H3068		

彼らはわたしを囲んだ、わたしを囲んだ。わたしは主のみ名によって彼らを滅ぼす。

12	סַבּוּנִי	כִּדְבוֹרִים	דָּעֲכוּ	כְּאֵשׁ	קוֹצִים	בְּשֵׁם	יְהוָה	כִּי	אַמִילַם׃
	囲んだ	蜂の–ように	消えた	茨の–火の–ように	茨の	御名によって	主の	まことに	断ち–切る
	H5437	H1682	H1846	H0784	H6975	H8034	H3068		

彼らは蜂のようにわたしを囲み、いばらの火のように燃えたった。わたしは主のみ名によって彼らを滅ぼす。

13	דַּחֹה	דְּחִיתַנִי	לִנְפֹּל	וַיהוָה	עֲזָרָנִי׃
	激しく	押された	倒れそうに	しかし–主が	助けてくださった
			H5307	H3068	H5826

わたしはひどく押されて倒れようとしたが、主はわたしを助けられた。

14	עָזִּי	וְזִמְרָת	יָהּ	וַיְהִי־	לִי	לִישׁוּעָה׃
	私の–力	私の–歌	ヤハは	そして–なった	私に	救いと
	H5797	H2176	H3050	H1961		H3444

主はわが力、わが歌であって、わが救となられた。

15	וְקוֹל	רִנָּה	וִישׁוּעָה	בְּאָהֳלֵי	צַדִּיקִים	יְמִין	יְהוָה	עֹשָׂה	חָיִל׃
	声が	喜びの	救いの	天幕の–中に	正しい–者の	右の–手が	主の	行う	力ある–業を
		H7440	H3444	H0168	H6662	H3225	H3068		H2428

聞け、勝利の喜ばしい歌が正しい者の天幕にある。「主の右の手は勇ましいはたらきをなし、

16	יְמִין	יְהוָה	רוֹמֵמָה	יְמִין	יְהוָה	עֹשָׂה	חָיִל׃
	右の–手が	主の	高く–上げられる	右の–手が	主の	行う	力ある–業を
	H3225	H3068	H7426	H3225	H3068		H2428

主の右の手は高くあがり、主の右の手は勇ましいはたらきをなす」。

17	לֹא	אָמוּת	כִּי־	אֶחְיֶה	וַאֲסַפֵּר	מַעֲשֵׂי	יָהּ׃
	(not)	死なない	かえって	生きる	そして–語る	業を	ヤハの
	H3808	H4191		H2421		H4639	H3050

わたしは死ぬことなく、生きながらえて、主のみわざを物語るであろう。

18	יַסֹּר	יִסְרַנִּי	יָהּ	וְלַמָּוֶת	לֹא	נְתָנָנִי׃
	厳しく	戒められた	ヤハに	しかし–死には	(not)	渡されなかった
	H3256	H3256	H3050	H4194	H3808	H5414

主はいたくわたしを懲らされたが、死にはわたされなかった。

19	פִּתְחוּ־	לִי	שַׁעֲרֵי־	צֶדֶק	אָבֹא־	בָם	אוֹדֶה	יָהּ׃
	開けよ	私に	門を	義の	入る	そこに	感謝する	ヤハに
			H8179	H6664	H0935		H3034	H3050

わたしのために義の門を開け、わたしはその内にはいって、主に感謝しよう。

20	זֶה־	הַשַּׁעַר	לַיהוָה	צַדִּיקִים	יָבֹאוּ	בוֹ׃
	これが	門	主の	正しい–者が	入る	そこに
	H2088	H8179	H3068	H6662	H0935	

これは主の門である。正しい者はその内にはいるであろう。

21	אוֹדְךָ	כִּי	עֲנִיתָנִי	וַתְּהִי־	לִי	לִישׁוּעָה׃
	感謝する	なぜなら	答えてくださった	そして–なった	私に	救いと
	H3034			H1961		H3444

わたしはあなたに感謝します。あなたがわたしに答えて、わが救となられたことを。

22	אֶבֶן	מָאֲסוּ	הַבּוֹנִים	הָיְתָה	לְרֹאשׁ	פִּנָּה׃
	石が	退けた	建てる–者たちが	なった	要と	隠の
	H0068		H1129	H1961		H6438

家造りらの捨てた石は隅のかしら石となった。

23	מֵאֵת	יְהוָה	הָיְתָה	זֹּאת	הִיא	נִפְלָאת	בְּעֵינֵינוּ׃
	主から	主の	なった	これは	それは	不思議な–こと	我らの–目に
	H0854	H3068	H1961	H2063	H1931	H6381	

これは主のなされた事でわれらの目には驚くべき事である。

24	זֶה־	הַיּוֹם	עָשָׂה	יְהוָה	נָגִילָה	וְנִשְׂמְחָה	בּוֹ׃
	これが	日	造られた	主が	喜び	楽しもう	それを
	H2088	H3117		H3068	H1523	H8055	

これは主が設けられた日であって、われらはこの日に喜び楽しむであろう。

25	אָנָּא	יְהוָה	הוֹשִׁיעָה	נָּא	אָנָּא	הַצְלִיחָה	נָּא׃
	どうか	主よ	救ってください	どうか	どうか	栄えさせてください	どうか
	H0577	H3068	H3467	H4994	H0577		H4994

主よ、どうぞわれらをお救いください。主よ、どうぞわれらを栄えさせてください。

26	בָּרוּךְ	הַבָּא	בְּשֵׁם	יְהוָה	בֵּרַכְנוּכֶם	מִבֵּית	יְהוָה׃
	祝福された	来る–方	御名によって	主の	祝福する	宮から	主の
	H1288	H0935	H8034	H3068	H1288		H3068

主のみ名によってはいる者はさいわいである。われらは主の家からあなたをたたえます。

27	וְאֵל	יְהוָה	הָאִיר	לָנוּ	אִסְרוּ־	חַג	בַּעֲבֹתִים	עַד־	קַרְנוֹת
	神である	主は	照らしてくださった	我らに	繋げ	祭りの–いけにえを	綱で	角まで	角の
	H0410	H3068	H0215		H0631	H2282	H5688	H5704	

הַמִּזְבֵּחַ׃	
祭壇の	
H4196	

主は神であって、われらを照された。枝を携えて祭の行列を祭壇の角にまで進ませよ。

28	אֵלִי	אַתָּה	וְאוֹדֶךָּ	אֱלֹהַי	אֲרוֹמְמֶךָּ׃
	私の–神	あなたは	感謝する	私の–神	あがめる
	H0410		H3034	H0430	

あなたはわが神、わたしはあなたに感謝します。あなたはわが神、わたしはあなたをあがめます。

29	הוֹדוּ	לַיהוָה	כִּי־	טוֹב	כִּי	לְעוֹלָם	חַסְדּוֹ׃
	感謝せよ	主に	まことに	良い	まことに	永遠に	その–恵みは
	H3034	H3068				H5769	

主に感謝せよ、主は恵みふかく、そのいつくしみはとこしえに絶えることがない。

Chapter 119

1	אַשְׁרֵי	תְמִימֵי־	דָרֶךְ	הַהֹלְכִים	בְּתוֹרַת	יְהוָה׃	
	幸いな	全き–者	道の	歩む–者	律法に	主の	
	H0835	H8549	H1870	H1980	H8451	H3068	

アレフ おのが道を全くして、主のおきてに歩む者はさいわいです。

2	אַשְׁרֵי	נֹצְרֵי	עֵדֹתָיו	בְּכָל־	לֵב	יִדְרְשׁוּהוּ׃
	幸いな	守る–者	その–証しを	すべての	心で	尋ねる
	H0835	H5341		H3605		H1875

主のもろもろのあかしを守り心をつくして主を尋ね求め、

	הָלְכוּ׃	בִּדְרָכָיו	עַוְלָה	פָּעֲלוּ	לֹא־	אַף	3
	歩む	その–道に	不義を	行わない	(not)	また	
	H1980	H1870		H6466	H3808	H0637	

また悪を行わず、主の道に歩む者はさいわいです。

מְאֹד׃	לִשְׁמֹר	פִּקֻּדֶיךָ	צִוִּיתָה	אַתָּה	4
しっかりと	守るよう	その–戒めを	命じられた	あなたが	
H3966	H8104	H6490	H6680		

あなたはさとしを命じて、ねんごろに守らせられます。

חֻקֶּיךָ׃	לִשְׁמֹר	דְּרָכָי	יִכֹּנוּ	אַחֲלַי	5
その–掟を	守るよう	私の–道が	定まるように	ああ	
H2706	H8104	H1870		H0305	

どうかわたしの道を堅くして、あなたの定めを守らせてください。

מִצְוֹתֶיךָ׃	כָּל־	אֶל־	בְּהַבִּיטִי	אֵבוֹשׁ	לֹא־	אָז	6
その–戒めを	すべての	(to)	見る–時	恥じない	(not)	その–時	
H4687	H3605	H0413	H5027	H0954	H3808		

わたしは、あなたのもろもろの戒めに目をとめる時、恥じることはありません。

צִדְקֶךָ׃	מִשְׁפְּטֵי	לִמַּדִי	לֵבָב	בְיֹשֶׁר	אוֹדְךָ	7
義の	裁きを	学ぶ–時	心で	正しい–心で	感謝する	
H6664	H4941	H3925	H3824	H3476	H3034	

わたしは、あなたの正しいおきてを学ぶとき、正しい心をもってあなたに感謝します。

מְאֹד׃	עַד־	תַּעַזְבֵנִי	אַל־	אֶשְׁמֹר	חֻקֶּיךָ	אֶת־	8
私を	全く	見捨てないでください	(not)	守る	その–掟を	(object)	
H3966	H5704		H0408	H8104	H2706	H0853	

わたしはあなたの定めを守ります。わたしを全くお捨てにならないでください。

כִּדְבָרֶךָ׃	לִשְׁמֹר	אָרְחוֹ	אֶת־	נַעַר	יְזַכֶּה־	בַּמָּה	9
御言葉に–従って	守ることで	その–道を	(object)	若者が	清めるのか	何で	
H1697	H8104	H0734	H0853	H5288	H2135	H4100	

ベス 若い人はどうしておのが道を清く保つことができるでしょうか。み言葉にしたがって、それを守るよりほかにありません。

מִמִּצְוֹתֶיךָ׃	תַּשְׁגֵּנִי	אַל־	דָּרַשְׁתִּיךָ	לִבִּי	בְכָל־		10
その–戒めから	迷わせないでください	(not)	尋ねた	心で	すべての		
H4687	H7686	H0408	H1875		H3605		

わたしは心をつくしてあなたを尋ね求めます。わたしをあなたの戒めから迷い出させないでください。

לָךְ׃	אֶחֱטָא־	לֹא	לְמַעַן	אִמְרָתֶךָ	צָפַנְתִּי	בְלִבִּי	11
あなたに	罪を–犯さない–ため	(not)	それは	御言葉を	隠した	心の–中に	
	H2398	H3808	H4616		H6845		

わたしはあなたにむかって罪を犯すことのないように、心のうちにみ言葉をたくわえました。

חֻקֶּיךָ׃	לַמְּדֵנִי	יְהוָה	אַתָּה	בָּרוּךְ	12
その–掟を	教えてください	主よ	あなたは	祝福された–方	
H2706	H3925	H3068		H1288	

あなたはほむべきかな、主よ、あなたの定めをわたしに教えてください。

בִּשְׂפָתַי	סִפַּרְתִּי	כֹּל	מִשְׁפְּטֵי־	פִיךָ׃	13
唇で	語った	すべての	裁きを	御口の	
H8193	H5608	H3605	H4941	H6310	

わたしはくちびるをもって、あなたの口から出るもろもろのおきてを言いあらわします。

בְּדֶרֶךְ	עֵדְוֹתֶיךָ	שַׂשְׂתִּי	כְּעַל	כָּל־	הָהֹן׃	14
道で	その–証しの	喜んだ	すべての–富の–ように	すべての	富の	
H1870	H5715	H7797		H3605	H1952	

わたしは、もろもろのたからを喜ぶように、あなたのあかしの道を喜びます。

בְּפִקֻּדֶיךָ	אָשִׂיחָה	וְאַבִּיטָה	אׇרְחֹתֶיךָ׃	15
その–戒めについて	思い巡らす	そして–見る	その–道を	
H6490	H7878	H5027	H0734	

わたしは、あなたのさとしを思い、あなたの道に目をとめます。

בְּחֻקֹּתֶיךָ	אֶשְׁתַּעֲשָׁע	לֹא	אֶשְׁכַּח	דְּבָרֶךָ׃	16
その–掠を	喜ぶ	(not)	忘れない	御言葉を	
H2708		H3808	H7911	H1697	

わたしはあなたの定めを喜び、あなたのみ言葉を忘れません。

גְּמֹל	עַל־	עַבְדְּךָ	אֶחְיֶה	וְאֶשְׁמְרָה	דְבָרֶךָ׃	17
報いてください	(upon)	僕に	生きる	そして–守る	御言葉を	
H1580		H5650	H2421	H8104	H1697	

ギメル あなたのしもべを豊かにあしらって、生きながらえさせ、み言葉を守らせてください。

גַּל־	עֵינַי	וְאַבִּיטָה	נִפְלָאוֹת	מִתּוֹרָתֶךָ׃	18
開いてください	私の–目を	そして–見る	不思議な–ことを	御律法の	
H1540		H5027	H6381	H8451	

わたしの目を開いて、あなたのおきてのうちのくすしき事を見させてください。

גֵּר	אָנֹכִי	בָּאָרֶץ	אַל־	תַּסְתֵּר	מִמֶּנִּי	מִצְוֹתֶיךָ׃	19
寄留者	私は	地に	(not)	隠さないでください	私から	その–戒めを	
H1616	H0595	H0776	H0408	H5641		H4687	

わたしはこの地にあっては寄留者です。あなたの戒めをわたしに隠さないでください。

גָּרְסָה	נַפְשִׁי	לְתַאֲבָה	אֶל־	מִשְׁפָּטֶיךָ	בְכָל־	עֵת׃	20
砕けた	私の–魂は	憧れで	(to)	御–裁きを	すべての–時に	時に	
H1638	H5315	H8375	H0413	H4941	H3605	H6256	

わが魂はつねにあなたのおきてを慕って、絶えいるばかりです。

גָּעַרְתָּ	זֵדִים	אֲרוּרִים	הַשׁׁגִים	מִמִּצְוֹתֶיךָ׃	21
叱られた	高慢な–者を	呪われた–者を	それた–者	その–戒めから	
H1605	H2086	H0779	H7686	H4687	

あなたは、あなたの戒めから迷い出る高ぶる者、のろわれた者を責められます。

גַּל	מֵעָלַי	חֶרְפָּה	וָבוּז	כִּי	עֵדׇתֶיךָ	נָצָרְתִּי׃	22
取り除いてください	私から	辱めと	侮りを	なぜなら	その–証しを	守った	
H1556		H2781	H0937			H5341	

わたしはあなたのあかしを守りました。彼らのそしりと侮りとをわたしから取り去ってください。

23 גַּם יָשְׁבוּ שָׂרִים בִּי נִדְבָּרוּ עַבְדְּךָ יָשִׂיחַ בְּחֻקֶּיךָ׃
たとえ 座って 高官たちが 私に-ついて 話しても 僕は 思い巡らす その-掟を
H1571 H3427 H8269 H1696 H5650 H7878 H2706

たといもろもろの君が座して、わたしをそこなおうと図っても、あなたのしもべは、あなたの定めを深く思います。

24 גַּם־ עֵדְוֹתֶיךָ שַׁעֲשָׁעָי אַנְשֵׁי עֲצָתִי׃
また その-証しは 私の-喜び 私の-助言者 助言の
H1571 H5715 H8191 H0376 H6098

あなたのあかしは、わたしを喜ばせ、わたしを教えさとすものです。

25 דָּבְקָה לֶעָפָר נַפְשִׁי חַיֵּנִי כִדְבָרֶךָ׃
しがみついた 塵に 私の-魂は 生かしてください 御言葉に-従って
H1692 H6083 H5315 H2421 H1697

ダレス わが魂はちりについています。み言葉に従って、わたしを生き返らせてください。

26 דְּרָכַי סִפַּרְתִּי וַתַּעֲנֵנִי לַמְּדֵנִי חֻקֶּיךָ׃
私の-道を 語った 答えてくださった 教えてください その-掟を
H1870 H5608 H6030 H3925 H2706

わたしが自分の歩んだ道を語ったとき、あなたはわたしに答えられました。あなたの定めをわたしに教えてください。

27 דֶּרֶךְ־ פִּקּוּדֶיךָ הָבִינֵנִי וְאָשִׂיחָה בְּנִפְלְאוֹתֶיךָ׃
道を 御-戒めの 悟らせてください そして-思い巡らす 不思議な-業を
H1870 H6490 H0995 H7878 H6381

あなたのさとしの道をわたしにわきまえさせてください。わたしはあなたのくすしきみわざを深く思います。

28 דָּלְפָה נַפְשִׁי מִתּוּגָה קַיְּמֵנִי כִדְבָרֶךָ׃
浮かべた 私の-魂は 悲しみで 立たせてください 御言葉に-従って
H1811 H5315 H8424 H6965 H1697

わが魂は悲しみによって溶け去ります。み言葉に従って、わたしを強くしてください。

29 דֶּרֶךְ־ שֶׁקֶר הָסֵר מִמֶּנִּי וְתוֹרָתְךָ חָנֵּנִי׃
道を 偽りの 遠ざけてください 私から 御律法を 恵んでください
H1870 H8267 H5493 H4480 H8451 H2603

偽りの道をわたしから遠ざけ、あなたのおきてをねんごろに教えてください。

30 דֶּרֶךְ־ אֱמוּנָה בָּחָרְתִּי מִשְׁפָּטֶיךָ שִׁוִּיתִי׃
道を 信実の 選んだ 御-裁きを 置いた
H1870 H0530 H0977 H4941

わたしは真実の道を選び、あなたのおきてをわたしの前に置きました。

31 דָּבַקְתִּי בְעֵדְוֹתֶיךָ יְהוָה אַל־ תְּבִישֵׁנִי׃
しがみついた その-証しに 主よ (not) 恥じさせないでください
H1692 H5715 H3068 H0408 H0954

主よ、わたしはあなたのあかしに堅く従っています。願わくは、わたしをはずかしめないでください。

32 דֶּרֶךְ־ מִצְוֹתֶיךָ אָרוּץ כִּי תַרְחִיב לִבִּי׃
道を 御-戒めの 走る なぜなら 広げてくださる 私の-心を
H1870 H4687 H7323 H3588 H7337 H3820

あなたがわたしの心を広くされるとき、わたしはあなたの戒めの道を走ります。

33	הוֹרֵ֣נִי	יְהוָ֣ה	דֶּ֣רֶךְ	חֻקֶּ֣יךָ	וְאֶצְּרֶ֑נָּה	עֵ֝קֶב׃
	教えてください	主よ	道を	その–掟の	そして–守る	終わりまで
	H3068	H1870	H2706	H5341	H6118	

へ 主よ、あなたの定めの道をわたしに教えてください。わたしは終りまでこれを守ります。

34	הֲבִינֵ֣נִי	וְאֶצְּרָ֣ה	תּוֹרָתֶ֑ךָ	וְאֶשְׁמְרֶ֖נָּה	בְּכָל־	לֵֽב׃
	惟らせてください	そして–守る	御律法を	そして–守る	すべての	心で
	H0995	H5341	H8451	H8104	H3605	

わたしに知恵を与えてください。わたしはあなたのおきてを守り、心をつくしてこれに従います。

35	הַדְרִיכֵ֣נִי	בִּנְתִ֣יב	מִצְוֹתֶ֑יךָ	כִּי־	בּ֖וֹ	חָפָֽצְתִּי׃
	導いてください	小道に	その–戒めの	なぜなら	それを	喜ぶ
	H1869		H4687			

わたしをあなたの戒めの道に導いてください。わたしはそれを喜ぶからです。

36	הַט־	לִבִּ֣י	אֶל־	עֵדוֹתֶ֑יךָ	וְאַל־	בָּצַֽע׃
	傾けてください	私の–心を	(to)	その–証しに	そして–なく	不正な–利得に
	H5186		H0413	H5715	H0408	H1215

わたしの心をあなたのあかしに傾けさせ、不正な利得に傾けさせないでください。

37	הַעֲבֵ֣ר	עֵינַ֣י	מֵרְא֣וֹת	שָׁ֑וְא	בִּדְרָכֶ֖ךָ	חַיָּֽנִי׃
	そらせてください	私の–目を	見ることから	空しい–ものを	御–道で	生かしてください
			H7200	H7723	H1870	H2421

わたしの目をほかにむけて、むなしいものを見させず、あなたの道をもって、わたしを生かしてください。

38	הָקֵ֣ם	לְעַבְדֶּ֣ךָ	אִמְרָתְךָ֑	אֲשֶׁ֖ר	לְיִרְאָתֶ֣ךָ׃
	確かめてください	僕に	御言葉を	それは	畏れの–ための
		H5650			H3374

あなたを恐れる者にかかわる約束をあなたのしもべに堅くしてください。

39	הַעֲבֵ֣ר	חֶרְפָּתִ֣י	אֲשֶׁ֣ר	יָגֹ֑רְתִּי	כִּ֖י	מִשְׁפָּטֶ֣יךָ	טוֹבִֽים׃
	取り除いてください	私の–辱めを	それを	恐れた	なぜなら	御–裁きは	良い
		H2781		H3025		H4941	

わたしの恐れるそしりを除いてください。あなたのおきては正しいからです。

40	הִנֵּ֣ה	תָאַ֣בְתִּי	לְפִקֻּדֶ֑יךָ	בְּצִדְקָתְךָ֖	חַיָּֽנִי׃
	見よ	慕れた	その–戒めを	御–義によって	生かしてください
	H2009	H8373	H6490	H6666	H2421

見よ、わたしはあなたのさとしを慕います。あなたの義をもって、わたしを生かしてください。

41	וְיָבֹ֣אנִי	חֲסָדֶ֑ךָ	יְהוָה֮	תְּשׁוּעָתְךָ֪	כְּאִמְרָתֶֽךָ׃
	来ますように	御恵みが	主よ	御救いが	御言葉の–とおりに
	H0935		H3068	H8668	

ワウ 主よ、あなたの約束にしたがって、あなたのいつくしみと、あなたの救をわたしに臨ませてください。

42	וְאֶעֱנֶ֣ה	חֹרְפִ֣י	דָבָ֑ר	כִּֽי־	בָטַ֖חְתִּי	בִּדְבָרֶֽךָ׃
	そして–答える	辱める–者に	言葉で	なぜなら	信頼した	御言葉に
			H1697		H0982	H1697

そうすれば、わたしをそしる者に、答えることができます。わたしはあなたのみ言葉に信頼するからです。

לְמִשְׁפָּטֶֽךָ	כִּי	מְאֹד	עַד־	אֱמֶת	דְּבַר־	מִפִּי	תַּצֵּל	וְאַל־	43
御-裁きに	なぜなら	非常に	全く	真実の	言葉を	私の-口から	取り去らないでください	そして	
H4941		H3966	H5704	H0571	H1697	H6310	H5337	H0408	

יִחָלְתִּֽי׃
希望を-置いた
H3176

またわたしの口から真理の言葉をことごとく除かないでください。わたしの望みはあなたのおきてにあるからです。

וָעֶד׃	לְעוֹלָם	תָּמִיד	תּוֹרָתְךָ	וְאֶשְׁמְרָה	44
とこしえに	永遠に	常に	御律法を	そして-守る	
H5703	H5769	H8548	H8451	H8104	

わたしは絶えず、とこしえに、あなたのおきてを守ります。

דָּרָֽשְׁתִּי׃	פִּקֻּדֶֽיךָ	כִּי	בָרְחָבָה	וְאֶתְהַלְּכָה	45
尋ねた	その-戒めを	なぜなら	広い-所で	そして-歩む	
H1875	H6490		H7342	H1980	

わたしはあなたのさとしを求めたので、自由に歩むことができます。

אֵבוֹשׁ׃	וְלֹא	מְלָכִים	נֶגֶד	בְּעֵדֹתֶֽיךָ	וַאֲדַבְּרָה	46
恥じない	そして	王たちの	前で	その-証しについて	そして-語る	
H0954	H3808	H4428	H5048		H1696	

わたしはまた王たちの前にあなたのあかしを語って恥じることはありません。

אָהָֽבְתִּי׃	אֲשֶׁר	בְּמִצְוֹתֶֽיךָ	וְאֶשְׁתַּעֲשָׁע	47
愛した	それを	その-戒めを	そして-喜ぶ	
H0157		H4687		

わたしは、わたしの愛するあなたの戒めに自分の喜びを見いだすからです。

בְּחֻקֶּֽיךָ׃	וְאָשִׂיחָה	אָהָֽבְתִּי	אֲשֶׁר	מִצְוֹתֶֽיךָ	אֶל־	כַּפַּי	וְאֶשָּׂא־	48
その-掟を	そして-思い巡らす	愛した	それを	その-戒めに	(to)	私の-手を	そして-上げる	
H2706	H7878	H0157		H4687	H0413	H3709	H5375	

わたしは、わたしの愛するあなたの戒めを尊び、あなたの定めを深く思います。

יִחַלְתָּֽנִי׃	אֲשֶׁר	עַל	לְעַבְדֶּֽךָ	דָּבָר	זְכֹר־	49
希望を-与えた	それによって	それによって	僕への	御言葉を	思い出してください	
H3176			H5650	H1697	H2142	

ザイン どうか、あなたのしもべに言われたみ言葉を思い出してください。あなたはわたしにそれを望ませられました。

חִיָּתְנִי׃	אִמְרָתֶֽךָ	כִּי	בְעָנְיִי	נֶחָמָתִי	זֹאת	50
生かした	御言葉が	なぜなら	苦しみの-中で	私の-慰め	これが	
H2421			H6040	H5165	H2063	

あなたの約束はわたしを生かすので、わが悩みの時の慰めです。

נָטִֽיתִי׃	לֹא	מִתּוֹרָתְךָ	מְאֹד	עַד־	הֱלִיצֵנִי	זֵדִים	51
それなかった	(not)	御律法から	甚だ	非常に	嘲った	高慢な-者が	
H5186	H3808	H8451	H3966	H5704	H3887	H2086	

高ぶる者は大いにわたしをあざ笑います。しかしわたしはあなたのおきてを離れません。

52 זָכַרְתִּי מִשְׁפָּטֶיךָ מֵעוֹלָם יְהוָה וָאֶתְנֶחָם׃
思い出した 御–裁きを 昔からの 主よ そして–慰められた
H2142 H4941 H5769 H3068 H5162

主よ、わたしはあなたの昔からのおきてを思い出して、みずから慰めます。

53 זַלְעָפָה אֲחָזַתְנִי מֵרְשָׁעִים עֹזְבֵי תּוֹרָתֶךָ׃
怒りが 捕らえた 悪者から 棄てる–者から 御律法を
H2152 H0270 H7563 H8451

あなたのおきてを捨てる悪しき者のゆえに、わたしは激しい憤りを起します。

54 זְמִרוֹת הָיוּ־לִי חֻקֶּיךָ בְּבֵית מְגוּרָי׃
歌と なった 私に その–掠は 家で 寄留の
H2158 H1961 H2706 H4033

あなたの定めはわが旅の家で、わたしの歌となりました。

55 זָכַרְתִּי בַלַּיְלָה שִׁמְךָ יְהוָה וָאֶשְׁמְרָה תּוֹרָתֶךָ׃
思い出した 夜に 御名を 主よ そして–守った 御律法を
H2142 H3915 H8034 H3068 H8104 H8451

主よ、わたしは夜の間にあなたのみ名を思い出して、あなたのおきてを守ります。

56 זֹאת הָיְתָה־לִּי כִּי פִקֻּדֶיךָ נָצָרְתִּי׃
これが なった 私に なぜなら その–戒めを 守った
H2063 H1961 H6490 H5341

わたしはあなたのさとしを守ったことによって、この祝福がわたしに臨みました。

57 חֶלְקִי יְהוָה אָמַרְתִּי לִשְׁמֹר דְּבָרֶיךָ׃
私の–受け分 主よ 言った 守ると 御言葉を
H1697 H8104 H0559 H3068

ヘス 主はわたしの受くべき分です。わたしはあなたのみ言葉を守ることを約束します。

58 חִלִּיתִי פָנֶיךָ בְכָל־לֵב חָנֵּנִי כְּאִמְרָתֶךָ׃
願った 御顔を すべての 心で 恵んでください 御言葉の–とおりに
H2470 H6440 H3605

わたしは心をつくして、あなたの恵みを請い求めます。あなたの約束にしたがって、わたしをお恵みください。

59 חִשַּׁבְתִּי דְרָכָי וָאָשִׁיבָה רַגְלַי אֶל־עֵדֹתֶיךָ׃
考えた 私の–道を そして–向けた 私の–足を (to) その–証しに
H2803 H1870 H7725 H7272 H0413

わたしは、あなたの道を思うとき、足をかえして、あなたのあかしに向かいます。

60 חַשְׁתִּי וְלֹא הִתְמַהְמָהְתִּי לִשְׁמֹר מִצְוֹתֶיךָ׃
急いだ そして 遅れなかった 守るために その–戒めを
H2363 H3808 H4102 H8104 H4687

わたしはあなたの戒めを守るのに、すみやかで、ためらいません。

61 חֶבְלֵי רְשָׁעִים עִוְּדֻנִי תּוֹרָתְךָ לֹא שָׁכָחְתִּי׃
綱が 悪者の 縛った 御律法を (not) 忘れなかった
H2256 H7563 H5844 H8451 H3808 H7911

たとい、悪しき者のなわがわたしを捕えても、わたしはあなたのおきてを忘れません。

62 חֲצוֹת־לַיְלָה אָקוּם לְהוֹדוֹת לָךְ עַל מִשְׁפְּטֵי צִדְקֶךָ׃
真夜中に 夜中 起きる 感謝する あなたに (for) 裁きを 義の
H2676 H3915 H3034 H4941 H6664

わたしはあなたの正しいおきてのゆえに夜半に起きて、あなたに感謝します。

63 חָבֵר אֲנִי לְכָל־אֲשֶׁר יְרֵאוּךָ וּלְשֹׁמְרֵי פִקּוּדֶיךָ׃
友 私は すべての それらの 畏れる-者の 守る-者の その-戒めを
H2270 H0589 H3605 H3372 H8104 H6490

わたしは、すべてあなたを恐れる者、またあなたのさとしを守る者の仲間です。

64 חַסְדְּךָ יְהוָה מָלְאָה הָאָרֶץ חֻקֶּיךָ לַמְּדֵנִי׃
御恵みが 主よ 満ちている 地に その-掟を 教えてください
H2617 H3068 H4390 H0776 H2706 H3925

主よ、地はあなたのいつくしみで満ちています。あなたの定めをわたしに教えてください。

65 טוֹב עָשִׂיתָ עִם־עַבְדְּךָ יְהוָה כִּדְבָרֶךָ׃
良く 行われた (with) 僕に 主よ 御言葉の-とおりに
H2896 H6213 H5973 H5650 H3068 H1697

テス 主よ、あなたはみ言葉にしたがってしもべをよくあしらわれました。

66 טוּב טַעַם וָדַעַת לַמְּדֵנִי כִּי בְמִצְוֹתֶיךָ הֶאֱמָנְתִּי׃
良い 分別と 知識を 教えてください なぜなら その-戒めを 信じた
H2898 H2940 H1847 H3925 H3588 H4687 H0539

わたしに良い判断と知識とを教えてください。わたしはあなたの戒めを信じるからです。

67 טֶרֶם אֶעֱנֶה אֲנִי שֹׁגֶג וְעַתָּה אִמְרָתְךָ שָׁמָרְתִּי׃
苦しむ-前は 苦しむ 私は 迷った しかし-今は 御言葉を 守る
H2962 H6031 H0589 H7683 H6258 H0565 H8104

わたしは苦しまない前には迷いました。しかし今はみ言葉を守ります。

68 טוֹב־אַתָּה וּמֵטִיב לַמְּדֵנִי חֻקֶּיךָ׃
良い-方 あなたは 良く-行う-方 教えてください その-掟を
H2896 H0859 H6213 H3925 H2706

あなたは善にして善を行われます。あなたの定めをわたしに教えてください。

69 טָפְלוּ עָלַי שֶׁקֶר אֲנִי בְכָל־לֵב אֶצֹּר פִּקּוּדֶיךָ׃
塗りつけた 私に 偽りを 高慢な-者が 私は すべての 心で 守る その-戒めを
H2950 H5921 H8267 H2086 H0589 H3605 H3824 H5341 H6490

高ぶる者は偽りをもってわたしをことごとくおおいます。しかしわたしは心をつくしてあなたのさとしを守ります。

70 טָפַשׁ כַּחֵלֶב לִבָּם אֲנִי תּוֹרָתְךָ שָׁעֲשָׁעְתִּי׃
鯛った 脂の-ように 彼らの-心は 私は 御律法を 喜ぶ
H2954 H2459 H3820 H0589 H8451 H7831

彼らの心は肥え太って脂肪のようです。しかしわたしはあなたのおきてを喜びます。

71 טוֹב־לִי כִּי־עֻנֵּיתִי לְמַעַן אֶלְמַד חֻקֶּיךָ׃
良かった 私にとって まことに 苦しめられたこと それは 学ぶ-ため その-掟を
H2896 H3807 H0589 H3588 H6031 H4616 H3925 H2706

苦しみにあったことは、わたしに良い事です。これによってわたしはあなたのおきてを学ぶことができました。

72	טוֹב־	לִי	תּוֹרַת־	פִּיךָ	מֵאַלְפֵי	זָהָב	וָכָסֶף׃
	良い	私にとって	律法は	御口の	幾千より	金と	銀の
			H8451	H6310	H0505	H2091	H3701

あなたの口のおきては、わたしのためには幾千の金銀貨幣にもまさるのです。

73	יָדֶיךָ	עָשׂוּנִי	וַיְכוֹנְנוּנִי	הֲבִינֵנִי	וְאֶלְמְדָה	מִצְוֹתֶיךָ׃
	御手が	造られた	形作られた	惟らせてください	そして–学ぶ	その–戒めを
	H3027			H0995	H3925	H4687

ヨード あなたのみ手はわたしを造り、わたしを形造りました。わたしに知恵を与えて、あなたの戒めを学ばせてください。

74	יִרְאֶיךָ	יִרְאוּנִי	וְיִשְׂמָחוּ	כִּי	לִדְבָרְךָ	יִחָלְתִּי׃
	畏れる–者が	見て	喜ぶ	なぜなら	御言葉に	希望を–置いた
	H3373	H7200	H8055		H1697	H3176

あなたを恐れる者はわたしを見て喜ぶでしょう。わたしはみ言葉によって望みをいだいたからです。

75	יָדַעְתִּי	יְהוָה	צֶדֶק	כִּי־	מִשְׁפָּטֶיךָ	וֶאֱמוּנָה	עִנִּיתָנִי׃
	知っている	主よ	正しい	まことに	御–裁きは	そして–信実に	苦しめられた
	H3045	H3068	H6664		H4941	H0530	

主よ、わたしはあなたのさばきの正しく、また、あなたが真実をもってわたしを苦しめられたことを知っています。

76	יְהִי־	נָא	חַסְדְּךָ	לְנַחֲמֵנִי	כְּאִמְרָתְךָ	לְעַבְדֶּךָ׃
	ありますように	どうか	御恵みが	慰める–ために	御言葉の–とおりに	僕への
	H1961	H4994		H5162		H5650

あなたがしもべに告げられた約束にしたがって、あなたのいつくしみをわが慰めとしてください。

77	יְבֹאוּנִי	רַחֲמֶיךָ	וְאֶחְיֶה	תּוֹרָתְךָ	כִּי־	שַׁעֲשֻׁעָי׃
	来ますように	御あわれみが	そして–生きる	御律法は	なぜなら	私の–喜び
	H0935		H2421	H8451		H8191

あなたのあわれみをわたしに臨ませ、わたしを生かしてください。あなたのおきてはわが喜びだからです。

78	יֵבֹשׁוּ	זֵדִים	כִּי־	שֶׁקֶר	עִוְּתוּנִי	אֲנִי	אָשִׂיחַ	בְּפִקּוּדֶיךָ׃
	恥じるがよい	高慢な–者が	なぜなら	偽りで	曲げた	私は	思い巡らす	その–戒めを
	H0954	H2086		H8267	H5791	H0589	H7878	H6490

高ぶる者に恥をこうむらせてください。彼らは偽りをもって、わたしをくつがえしたからです。しかしわたしはあなたのさとしを深く思います。

79	יָשׁוּבוּ	לִי	יִרְאֶיךָ	(וְיֹדְעֵי)[וידעון]	עֵדֹתֶיךָ׃
	戻りますように	私に	畏れる–者が	知る–者も	その–証しを
	H7725		H3373	H3045	H3045

あなたをおそれる者と、あなたのあかしを知る者とをわたしに帰らせてください。

80	יְהִי־	לִבִּי	תָמִים	בְּחֻקֶּיךָ	לְמַעַן	לֹא	אֵבוֹשׁ׃
	ありますように	私の–心が	全き	その–掟に	それは	(not)	恥じない–ために
	H1961		H8549	H2706	H4616	H3808	H0954

わたしの心を全くして、あなたの定めを守らせてください。そうすればわたしは恥をこうむることがありません。

81	כָּלְתָה	לִתְשׁוּעָתְךָ	נַפְשִׁי	לִדְבָרְךָ	יִחָלְתִּי׃
	尽きた	御救いに–対して	私の–魂は	御言葉に	希望を–置いた
	H3615	H8668	H5315	H1697	H3176

カフ わが魂はあなたの救を慕って絶えいるばかりです。わたしはみ言葉によって望みをいだきます。

82	כָּלְו֣וּ	עֵינַ֣י	לְאִמְרָתֶ֑ךָ	לֵאמֹ֥ר	מָתַ֥י	תְּנַחֲמֵ֗נִי׃
	尽きた	私の–目が	御言葉に–対して	言う	いつ	慰めてくださるのか
	H3615			H0559	H4970	H5162

わたしの目はあなたの約束を待つによって衰え、「いつ、あなたはわたしを慰められるのですか」と尋ねます。

83	כִּֽי־	הָיִ֥יתִי	כְנֹאד	בְּקִיטֹ֑ור	חֻקֶּ֥יךָ	לֹ֝א	שָׁכָֽחְתִּי׃
	まことに	なった	革袋の–ように	煙の–中の	その–掟を	(not)	忘れなかった
		H1961	H4997	H7008	H2706	H3808	H7911

わたしは煙の中の皮袋のようになりましたが、なお、あなたの定めを忘れませんでした。

84	כַּמָּ֥ה	יְמֵי־	עַבְדֶּ֑ךָ	מָתַ֥י	תַּ֝עֲשֶׂ֗ה	בְּרֹדְפַ֥י	מִשְׁפָּֽט׃
	幾らか	僕の–日々は	僕の	いつ	行われるのか	追う–者に–対して	裁きを
	H4100	H3117	H5650	H4970		H7291	H4941

あなたのしもべの日はどれほど続くでしょうか。いつあなたは、わたしを迫害する者をさばかれるでしょうか。

85	כָּר֣וּ	לִ֭י	זֵדִ֑ים	שִׂיחֹ֥ות	אֲשֶׁ֥ר	לֹ֝א	כְּתֹורָתֶֽךָ׃
	掘った	私に	高慢な–者が	落とし–穴を	それは	(not)	御律法に–従わない
			H2086	H7882		H3808	H8451

高ぶる者はわたしをおとしいれようと穴を掘りました。彼らはあなたのおきてに従わない人々です。

86	כָּל־	מִצְוֹתֶ֥יךָ	אֱמוּנָ֑ה	שֶׁ֥קֶר	רְדָפ֥וּנִי	עָזְרֵֽנִי׃	
	すべての	その–戒めは	信実	偽りで	追われた	助けてください	
	H3605	H4687	H0530	H8267	H7291	H5826	

あなたの戒めはみな真実です。彼らは偽りをもってわたしを迫害します。わたしをお助けください。

87	כִּמְעַ֥ט	כִּלּ֑וּנִי	בָּאָ֥רֶץ	וַ֝אֲנִ֗י	לֹא־	עָזַ֥בְתִּי	פִקֻּדֶֽיךָ׃
	ほとんど	滅ぼされた	地で	しかし–私は	(not)	捨てなかった	その–戒めを
	H4592	H3615	H0776	H0589	H3808		H6490

彼らはこの地において、ほとんどわたしを滅ぼしました。しかし、わたしはあなたのさとしを捨てませんでした。

88	כְּחַסְדֶּ֥ךָ	חַיֵּ֑נִי	וְ֝אֶשְׁמְרָ֗ה	עֵדוּת	פִּֽיךָ׃
	御恵みに–従って	生かしてください	そして–守る	証しを	御口の
		H2421	H8104	H5715	H6310

あなたのいつくしみにしたがってわたしを生かしてください。そうすればわたしはあなたの口から出るあかしを守ります。

89	לְעוֹלָ֥ם	יְ֝הוָ֗ה	דְּבָרְךָ֥	נִצָּ֑ב	בַּשָּׁמָֽיִם׃
	永遠に	主よ	御言葉は	立つ	天に
	H5769	H3068	H1697	H5324	H8064

ラメド 主よ、あなたのみ言葉は天においてとこしえに堅く定まり、

90	לְדֹ֣ר	וָ֭דֹר	אֱמוּנָתֶ֑ךָ	כּוֹנַ֥נְתָּ	אֶ֝֗רֶץ	וַתַּעֲמֹֽד׃
	代々に	代々に	御信実は	定められた	地を	そして–立つ
	H1755	H1755	H0530		H0776	H5975

あなたのまことはよろずよに及びます。あなたが地を定められたので、地は堅く立っています。

91	לְ֭מִשְׁפָּטֶיךָ	עָמְד֣וּ	הַיֹּ֑ום	כִּ֥י	הַכֹּ֥ל	עֲבָדֶֽיךָ׃
	御–裁きの–ために	立つ	今日	なぜなら	すべては	その–僕
	H4941	H5975	H3117		H3605	H5650

これらのものはあなたの仰せにより、堅く立って今日に至っています。よろずのものは皆あなたのしもべだからです。

92 לוּלֵי תוֹרָתְךָ שַׁעֲשֻׁעָי אָז אָבַדְתִּי בְעָנְיִי׃
もし-なければ 御律法が 私の-喜び その-時 滅びた 苦しみの-中で
H3884 H8451 H8191 H0006 H6040

あなたのおきてがわが喜びとならなかったならば、わたしはついに悩みのうちに滅びたでしょう。

93 לְעוֹלָם לֹא־ אֶשְׁכַּח פִּקּוּדֶיךָ כִּי בָּם חִיִּיתָנִי׃
永遠に (not) 忘れない その-戒めを なぜなら それによって 生かしてくださった
H5769 H3808 H7911 H6490 H3588 H2421

わたしは常にあなたのさとしを忘れません。あなたはこれをもって、わたしを生かされたからです。

94 לְךָ־ אֲנִי הוֹשִׁיעֵנִי כִּי פִקּוּדֶיךָ דָרָשְׁתִּי׃
あなたの-もの 私は 救ってください なぜなら その-戒めを 尋ねた
H3588 H0589 H3467 H3588 H6490 H1875

わたしはあなたのものです。わたしをお救いください。わたしはあなたのさとしを求めました。

95 לִי קִוּוּ רְשָׁעִים לְאַבְּדֵנִי עֵדֹתֶיךָ אֶתְבּוֹנָן׃
私を 待ち伏せた 悪者が 滅ぼそうと その-証しを 惟る
H3588 H7563 H0006 H5715 H0995

悪しき者はわたしを滅ぼそうと待ち伏せています。しかし、わたしはあなたのあかしを思います。

96 לְכָל תִּכְלָה רָאִיתִי קֵץ רְחָבָה מִצְוָתְךָ מְאֹד׃
すべての 完全には 見た 終わりを 広い その-戒めは 甚だ
H3605 H8502 H7200 H7093 H7342 H4687 H3966

わたしはすべての全きことに限りあることを見ました。しかしあなたの戒めは限りなく広いのです。

97 מָה־ אָהַבְתִּי תוֹרָתֶךָ כָּל־ הַיּוֹם הִיא שִׂיחָתִי׃
何と 愛した 御律法を 終日 日 それは 私の-思い
H4100 H0157 H8451 H3605 H3117 H1931 H7881

メム いかにわたしはあなたのおきてを愛することでしょう。わたしはひねもすこれを深く思います。

98 מֵאֹיְבַי תְּחַכְּמֵנִי מִצְוֹתֶךָ כִּי לְעוֹלָם הִיא־ לִי׃
敵より 賢く-される その-戒めが なぜなら 永遠に それは 私の-もの
H0341 H2449 H4687 H3588 H5769 H1931

あなたの戒めは常にわたしと共にあるので、わたしをわが敵にまさって賢くします。

99 מִכָּל־ מְלַמְּדַי הִשְׂכַּלְתִּי כִּי עֵדוֹתֶיךָ שִׂיחָה לִי׃
すべての-師より 師より 悟った なぜなら その-証しが 思い 私の
H3605 H3925 H7919 H3588 H5715 H7881

わたしはあなたのあかしを深く思うので、わがすべての師にまさって知恵があります。

100 מִזְּקֵנִים אֶתְבּוֹנָן כִּי פִקּוּדֶיךָ נָצָרְתִּי׃
長老より 惟る なぜなら その-戒めを 守った
H2205 H0995 H3588 H6490 H5341

わたしはあなたのさとしを守るので、老いた者にまさって事をわきまえます。

101 מִכָּל־ אֹרַח רָע כָּלִאתִי רַגְלַי לְמַעַן אֶשְׁמֹר דְּבָרֶךָ׃
すべての-道から 道から 悪い 引き止めた 私の-足を それは 守る-ために 御言葉を
H3605 H0734 H7451 H3607 H7272 H4616 H8104 H1697

わたしはみ言葉を守るために、わが足をとどめて、すべての悪い道に行かせません。

102	מִמִּשְׁפָּטֶיךָ	לֹא־	סָרְתִּי	כִּי־	אַתָּה	הוֹרֵתָנִי׃
	御–裁きから	(not)	それなかった	なぜなら	あなたが	教えてくださった
	H4941	H3808	H5493			

あなたがわたしを教えられたので、わたしはあなたのおきてを離れません。

103	מַה־	נִּמְלְצוּ	לְחִכִּי	אִמְרָתֶךָ	מִדְּבַשׁ	לְפִי׃
	何と	甘い	私の–口に	御言葉は	蜜より	口に
	H4100	H4452	H2441		H1706	H6310

あなたのみ言葉はいかにわがあごに甘いことでしょう。蜜にまさってわが口に甘いのです。

104	מִפִּקּוּדֶיךָ	אֶתְבּוֹנָן	עַל־	כֵּן	שָׂנֵאתִי	כָּל־	אֹרַח
	その–戒めから	悟る	それゆえ	それゆえ	憎んだ	すべての	道を
	H6490	H0995			H8130	H3605	H0734

	שָׁקֶר׃
	偽りの
	H8267

わたしはあなたのさとしによって知恵を得ました。それゆえ、わたしは偽りのすべての道を憎みます。

105	נֵר־	לְרַגְלִי	דְּבָרֶךָ	וְאוֹר	לִנְתִיבָתִי׃
	灯火	私の–足に	御言葉は	そして–光	私の–小道に
		H7272	H1697	H0216	

ヌン あなたのみ言葉はわが足のともしび、わが道の光です。

106	נִשְׁבָּעְתִּי	וָאֲקַיֵּמָה	לִשְׁמֹר	מִשְׁפְּטֵי	צִדְקֶךָ׃
	誓った	そして–確かめた	守ると	裁きを	義の
	H7650		H8104	H4941	H6664

わたしはあなたの正しいおきてを守ることを誓い、かつこれを実行しました。

107	נַעֲנֵיתִי	עַד־	מְאֹד	יְהוָה	חַיֵּנִי
	苦しませられた	非常に	甚だ	主よ	生かしてください
		H5704	H3966	H3068	H2421

	כִּדְבָרֶךָ׃
	御言葉の–とおりに
	H1697

わたしはいたく苦しみました。主よ、み言葉に従って、わたしを生かしてください。

108	נִדְבוֹת	פִּי	רְצֵה־	נָא	יְהוָה	וּמִשְׁפָּטֶיךָ	לַמְּדֵנִי׃
	自発の–捧げ物を	口の	受け入れてください	どうか	主よ	御–裁きを	教えてください
	H5071	H6310	H7521	H4994	H3068	H4941	H3925

主よ、わがさんびの供え物をうけて、あなたのおきてを教えてください。

109	נַפְשִׁי	בְכַפִּי	תָּמִיד	וְתוֹרָתְךָ	לֹא	שָׁכָחְתִּי׃
	私の–魂は	手の–中に	常に	御律法を	(not)	忘れない
	H5315	H3709	H8548	H8451	H3808	H7911

わたしのいのちは常に危険にさらされています。しかし、わたしはあなたのおきてを忘れません。

110	נָתְנוּ	רְשָׁעִים	פַּח	לִי	וּמִפִּקּוּדֶיךָ	לֹא	תָעִיתִי׃
	仕掛けた	悪者が	罠を	私に	その–戒めから	(not)	迷わなかった
	H5414	H7563			H6490	H3808	H8582

悪しき者はわたしのためにわなを設けました。しかし、わたしはあなたのさとしから迷い出ません。

111	נָחַלְתִּי	עֵדוֹתֶיךָ	לְעוֹלָם	כִּי־	שְׂשׂוֹן	לִבִּי	הֵמָּה׃
	受け継いだ	その–証しを	永遠に	なぜなら	喜び	私の–心の	それらは
	H5157	H5715	H5769		H8342		H1992

あなたのあかしはとこしえにわが嗣業です。まことに、そのあかしはわが心の喜びです。

112 נָטִ֥יתִי לִבִּ֗י לַעֲשׂ֣וֹת חֻקֶּ֣יךָ לְעוֹלָ֑ם עֵ֝קֶב׃
傾けた 私の-心を 行うために その-掠を 永遠に 終わりまで
H5186 H3820 H6213 H2706 H5769 H6118

わたしはあなたの定めを終りまで、とこしえに守ろうと心を傾けます。

113 סֵעֲפִ֥ים שָׂנֵ֑אתִי וְ֝תוֹרָתְךָ֗ אָהָֽבְתִּי׃
二心の-者を 憎んだ 御律法を 愛した
H5588 H8130 H8451 H0157

サメク わたしは二心の者を憎みます。しかしあなたのおきてを愛します。

114 סִתְרִ֣י וּמָגִנִּ֑י אָ֝תָּ֗ה לִדְבָרְךָ֥ יִחָלְתִּי׃
私の-隠れ場 私の-盾 あなたは 御言葉に 希望を-置いた
H5643 H4043 H0859 H1697 H3176

あなたはわが隠れ場、わが盾です。わたしはみ言葉によって望みをいだきます。

115 סוּרוּ־ מִמֶּ֥נִּי מְרֵעִ֑ים וְ֝אֶצְּרָ֗ה מִצְוֹ֥ת אֱלֹהָֽי׃
去れ 私から 悪い-者よ そして-守る 戒めを 私の-神の
H5493 H4480 H7489 H6213 H4687 H0430

悪をなす者よ、わたしを離れ去れ、わたしはわが神の戒めを守るのです。

116 סָמְכֵ֣נִי כְאִמְרָתְךָ֣ וְאֶחְיֶ֑ה וְ֝אַל־ תְּבִישֵׁ֗נִי מִשִּׂבְרִֽי׃
支えてください 御言葉の-とおりに そして-生きる そして 恥じさせないでください 私の-希望から
H5564 H0559 H2421 H0408 H0954 H7664

あなたの約束にしたがって、わたしをささえて、ながらえさせ、わが望みについて恥じることのないようにしてください。

117 סְעָדֵ֣נִי וְאִוָּשֵׁ֑עָה וְ֝אֶשְׁעָ֗ה בְּחֻקֶּ֥יךָ תָמִֽיד׃
支えてください そして-救われる そして-見る その-掠を 常に
H5582 H3467 H8159 H2706 H8548

わたしをささえてください。そうすれば、わたしは安らかで、常にあなたの定めに心をそそぎます。

118 סָלִ֥יתָ כָּל־ שׁוֹגִ֑ים מֵ֝חֻקֶּ֗יךָ כִּי־ שֶׁ֣קֶר תַּרְמִיתָֽם׃
退けられた すべての それる-者が その-掠から なぜなら 偽りである 彼らの-欺きは
H5541 H3605 H7686 H2706 H3588 H8267 H8649

すべてあなたの定めから迷い出る者をあなたは、かろしめられます。まことに、彼らの欺きはむなしいのです。

119 סִגִּ֣ים הִשְׁבַּ֣תָּ כָל־ רִשְׁעֵי־ אָ֑רֶץ לָ֝כֵ֗ן אָהַ֥בְתִּי עֵדֹתֶֽיךָ׃
かすとして 除かれた すべての 悪者を 地の それゆえ 愛した その-証しを
H5509 H7673 H3605 H7563 H0776 H3651 H0157 H5715

あなたは地のすべての悪しき者を、金かすのようにみなされます。それゆえ、わたしはあなたのあかしを愛します。

120 סָמַ֣ר מִפַּחְדְּךָ֣ בְשָׂרִ֑י וּ֝מִמִּשְׁפָּטֶ֗יךָ יָרֵ֥אתִי׃
震えた 御畏れで 私の-肉体は 御-裁きを 畏れた
H5568 H6343 H1320 H4941 H3372

わが肉はあなたを恐れるので震えます。わたしはあなたのさばきを恐れます。

121 עָשִׂ֣יתִי מִשְׁפָּ֣ט וָצֶ֑דֶק בַּל־ תַּנִּיחֵ֥נִי לְעֹשְׁקָֽי׃
行った 裁きと 義を (not) 放置しないでください 虐げる-者に
H6213 H4941 H6664 H1077 H3240 H6231

アイン わたしは正しく義にかなったことを行いました。わたしを捨てて、しえたげる者にゆだねないでください。

זֵדִים׃	יַעַשְׁקֻנִי	אַל־	לְטוֹב	עַבְדְּךָ	עָרַב	122
高慢な–者に	虐げさせないでください	(not)	善の–ために	僕を	保証してください	
H2086	H6231	H0408		H5650	H6148	

しもべのために保証人となって、高ぶる者にわたしを、しえたげさせないでください。

צִדְקֶךָ׃	וּלְאִמְרַת	לִישׁוּעָתֶךָ	כָּלוּ	עֵינַי	123
義の	御言葉に–対して	御救いに–対して	尽きた	私の–目は	
H6664		H3444	H3615		

わが目はあなたの救と、あなたの正しい約束とを待ち望んで衰えます。

לַמְּדֵנִי׃	וְחָקֶיךָ	כְּחַסְדֶּךָ	עַבְדְּךָ	עִם־	עֲשֵׂה	124
教えてください	その–掟を	御恵みに–従って	僕に	(with)	行ってください	
H3925	H2706		H5650			

あなたのいつくしみにしたがって、しもべをあしらい、あなたの定めを教えてください。

עֵדֹתֶיךָ׃	וְאֵדְעָה	הֲבִינֵנִי	אֲנִי	עַבְדְּךָ־	125
その–証しを	そして–知る	惟らせてください	私は	僕です	
	H3045	H0995	H0589	H5650	

わたしはあなたのしもべです。わたしに知恵を与えて、あなたのあかしを知らせてください。

תּוֹרָתֶךָ׃	הֵפֵרוּ	לַיהוָה	לַעֲשׂוֹת	עֵת	126
御律法を	破った	主よ	行う–ための	時である	
H8451		H3068		H6256	

彼らはあなたのおきてを破りました。今は主のはたらかれる時です。

וּמִפָּז׃	מִזָּהָב	מִצְוֹתֶיךָ	אָהַבְתִּי	כֵּן	עַל־	127
純金より	金より	その–戒めを	愛した	それゆえ	それゆえ	
H6337	H2091	H4687	H0157			

それゆえ、わたしは金よりも、純金よりもまさってあなたの戒めを愛します。

שָׂנֵאתִי׃	שֶׁקֶר	אֹרַח	כָּל־	יִשָּׁרְתִּי	כָּל	פִּקּוּדֶיךָ	כָּל־	כֵּן	עַל־	128
憎んだ	偽りの	道を	すべての	正しいと–した	すべて	戒めを	すべての	それゆえ	それゆえ	
H8130	H8267	H0734	H3605	H3474	H3605	H6490	H3605			

それゆえ、わたしは、あなたのもろもろのさとしにしたがって、正しき道に歩み、すべての偽りの道を憎みます。

נַפְשִׁי׃	נְצָרָתַם	כֵּן	עַל־	עֵדוֹתֶיךָ	פְּלָאוֹת	129
私の–魂が	守った	それゆえ	それゆえ	その–証しは	不思議な	
H5315	H5341			H5715	H6382	

ペ あなたのあかしは驚くべきものです。それゆえ、わが魂はこれを守ります。

פְּתָיִים׃	מֵבִין	יָאִיר	דְּבָרֶיךָ	פֶּתַח	130
素朴な–者を	惟らせる	照らす	御言葉の	開くことが	
	H0995	H0215	H1697	H6608	

み言葉が開けると光を放って、無学な者に知恵を与えます。

אֶאֱהָבְתִּי׃	לְמִצְוֹתֶיךָ	כִּי	וָאֶשְׁאָפָה	פִּי־	פָּעַרְתִּי	131
慕れた	その–戒めを	なぜなら	そして–あえいだ	口を	開いた	
H2968	H4687			H6310	H6473	

わたしはあなたの戒めを慕うゆえに、口を広くあけてあえぎ求めました。

132 פְּנֵה־ אֵלַי וְחָנֵּנִי כְּמִשְׁפָּט לְאֹהֲבֵי שְׁמֶךָ׃
向いてください 私に 恵んでください 裁きの–とおりに 愛する–者に–対する 御名を
H6437 H0413 H2603 H4941 H0157 H8034

み名を愛する者に常にされるように、わたしをかえりみ、わたしをあわれんでください。

133 פְּעָמַי הָכֵן בְּאִמְרָתֶךָ וְאַל־ תַּשְׁלֶט־ בִּי כָּל־
私の–歩みを 確かにしてください 御言葉によって そして 支配させないでください 私に いかなる
H6471 H3559 H0408 H7980 H3605

אָוֶן׃
悪も
H0205

あなたの約束にしたがって、わが歩みを確かにし、すべての不義に支配されないようにしてください。

134 פְּדֵנִי מֵעֹשֶׁק אָדָם וְאֶשְׁמְרָה פִּקּוּדֶיךָ׃
贖ってください 虐げから 人の そして–守る その–戒めを
H6299 H6233 H0120 H8104 H6490

わたしを人のしえたげからあがなってください。そうすればわたしは、あなたのさとしを守ります。

135 פָּנֶיךָ הָאֵר בְּעַבְדֶּךָ וְלַמְּדֵנִי אֶת־ חֻקֶּיךָ׃
御顔を 照らしてください 僕に そして–教えてください (object) その–掟を
H6440 H0215 H5650 H3925 H0853 H2706

み顔をしもべの上に照し、あなたの定めを教えてください。

136 פַּלְגֵי־ מַיִם עֵינָי יָרְדוּ עַל לֹא־ שָׁמְרוּ תוֹרָתֶךָ׃
流れが 水の 流れた 私の–目から (for) (not) 守らなかった 御律法を
H6388 H4325 H3381 H5869 H3808 H8104 H8451

人々があなたのおきてを守らないので、わが目の涙は川のように流れます。

137 צַדִּיק אַתָּה יְהוָה וְיָשָׁר מִשְׁפָּטֶיךָ׃
正しい あなたは 主よ そして–正しい 御–裁きは
H6662 H0859 H3068 H3477 H4941

ツァデー 主よ、あなたは正しく、あなたのさばきは正しいのです。

138 צִוִּיתָ צֶדֶק עֵדְוֹתֶיךָ וֶאֱמוּנָה מְאֹד׃
命じられた 義を その–証しを そして–信実を 甚だ
H6680 H6664 H5715 H0530 H3966

あなたの正義と、この上ない真実とをもってあなたのあかしを命じられました。

139 צִמְּתַתְנִי קִנְאָתִי כִּי־ שָׁכְחוּ דְבָרֶיךָ צָרָי׃
滅ぼした 私の–熱心が なぜなら 忘れた 御言葉を 私の–敵が
H6789 H7068 H3588 H7911 H1697 H6862

わたしのあだが、あなたのみ言葉を忘れるので、わが熱心はわたしを滅ぼすのです。

140 צְרוּפָה אִמְרָתְךָ מְאֹד וְעַבְדְּךָ אֲהֵבָהּ׃
精錬された 御言葉は 甚だ 僕は 愛した
H6884 H0565 H3966 H5650 H0157

あなたの約束はまことに確かです。あなたのしもべはこれを愛します。

141 צָעִיר אָנֹכִי וְנִבְזֶה פִּקֻּדֶיךָ לֹא שָׁכָחְתִּי׃
小さく 私は 蔑られた その–戒めを (not) 忘れなかった
H6810 H0595 H0959 H6490 H3808 H7911

わたしは取るにたらない者で、人に侮られるけれども、なお、あなたのさとしを忘れません。

צִדְקָתְךָ צֶדֶק לְעוֹלָם וְתוֹרָתְךָ אֱמֶת׃ 142
御義は 義である 永遠に 御律法は 真実
H6666 H6664 H5769 H8451 H0571

あなたの義はとこしえに正しく、あなたのおきてはまことです。

צַר־ וּמָצוֹק מְצָאוּנִי מִצְוֹתֶיךָ שַׁעֲשֻׁעָי׃ 143
苦しみと 悩みが 見つけた その-戒めは 私の-喜び
H8191 H4687 H4672 H4689

悩みと苦しみがわたしに臨みました。しかしあなたの戒めはわたしの喜びです。

צֶדֶק עֵדְוֹתֶיךָ לְעוֹלָם הַבִינֵנִי וְאֶחְיֶה׃ 144
義である その-証しは 永遠に 惟らせてください そして-生きる
H6664 H5715 H5769 H0995 H2421

あなたのあかしはとこしえに正しいのです。わたしに知恵を与えて、生きながらえさせてください。

קָרָאתִי בְכָל־ לֵב עֲנֵנִי יְהוָה חֻקֶּיךָ אֶצֹּרָה׃ 145
呼んだ すべての-心で 心で 答えてください 主よ その-掟を 守る
H7121 H3605 H3820 H6030 H3068 H2706 H5341

コフ わたしは心をつくして呼ばわります。主よ、お答えください。わたしはあなたの定めを守ります。

קְרָאתִיךָ הוֹשִׁיעֵנִי וְאֶשְׁמְרָה עֵדֹתֶיךָ׃ 146
呼んだ 救ってください そして-守る その-証しを
H7121 H3467 H8104

わたしはあなたに呼ばわります。わたしをお救いください。わたしはあなたのあかしを守ります。

קִדַּמְתִּי בַנֶּשֶׁף וָאֲשַׁוֵּעָה [לִדְבָרֶיךָ] (לִדְבָרְךָ) יִחָלְתִּי׃ 147
先立った 曙に そして-叫んだ 御言葉に 御言葉に 希望を-置いた
H6923 H5399 H7768 H1697 H1697 H3176

わたしは朝早く起き出て呼ばわります。わたしはみ言葉によって望みをいだくのです。

קִדְּמוּ עֵינַי אַשְׁמֻרוֹת לָשִׂיחַ בְּאִמְרָתֶךָ׃ 148
先立った 私の-目が 夜更けに 思い巡らす-ために 御言葉を
H6923 H5869 H0821 H7878

わが目は夜警の交代する時に先だってさめ、あなたの約束を深く思います。

קוֹלִי שִׁמְעָה יְהוָה כְחַסְדֶּךָ כְּמִשְׁפָּטֶךָ חַיֵּנִי׃ 149
私の-声を 聞いてください 主よ 御恵みに-従って 御-裁きに-従って 生かしてください
H6963 H8085 H3068 H2617 H4941 H2421

あなたのいつくしみにしたがって、わが声を聞いてください。主よ、あなたの公義にしたがって、わたしを生かしてください。

קָרְבוּ רֹדְפֵי זִמָּה מִתּוֹרָתְךָ רָחָקוּ׃ 150
近づいた 追う-者が 悪志の 御律法から 遠い
H7126 H7291 H2154 H8451 H7368

わたしをしえたげる者が悪いたくらみをもって近づいています。彼らはあなたのおきてを遠くはなれているのです。

קָרוֹב אַתָּה יְהוָה וְכָל־ מִצְוֹתֶיךָ אֱמֶת׃ 151
近い あなたは 主よ すべての その-戒めは 真実
H7138 H859 H3068 H3605 H4687 H0571

しかし主よ、あなたは近くいらせられます。あなたのもろもろの戒めはまことです。

152 קֶדֶם | יָדַעְתִּי | מֵעֵדֹתֶיךָ | כִּי | לְעוֹלָם | יְסַדְתָּם׃
昔から | 知っていた | その–証しから | まことに | 永遠に | 定められた
H3245 | H5769 | H3045

わたしは早くからあなたのあかしによって、あなたがこれをとこしえに立てられたことを知りました。

153 רְאֵה־ | עָנְיִי | וְחַלְּצֵנִי | כִּי־ | תּוֹרָתְךָ | לֹא | שָׁכָחְתִּי׃
見てください | 私の–苦しみを | 救い出してください | なぜなら | 御律法を | (not) | 忘れなかった
H7200 | H6040 | H3808 | H8451 | H7911

レシ わが悩みを見て、わたしをお救いください。わたしはあなたのおきてを忘れないからです。

154 רִיבָה | רִיבִי | וּגְאָלֵנִי | לְאִמְרָתְךָ | חַיֵּנִי׃
争ってください | 私の–争いを | 贖ってください | 御言葉の–とおりに | 生かしてください
H7378 | H7379 | H2421

わが訴えを弁護して、わたしをあがない、あなたの約束にしたがって、わたしを生かしてください。

155 רָחוֹק | מֵרְשָׁעִים | יְשׁוּעָה | כִּי־ | חֻקֶּיךָ | לֹא | דָרָשׁוּ׃
遠い | 悪者から | 救いは | なぜなら | その–掠を | (not) | 尋ねなかった
H7350 | H7563 | H3444 | H2706 | H3808 | H1875

救は悪しき者を遠く離れている。彼らはあなたの定めを求めないからです。

156 רַחֲמֶיךָ | וְרַבִּים | יְהוָה | כְּמִשְׁפָּטֶיךָ | חַיֵּנִי׃
あなたの–あわれみは | 大きい | 主よ | 御–裁きの–とおりに | 生かしてください
H3068 | H4941 | H2421

主よ、あなたのあわれみは大きい。あなたの公義に従って、わたしを生かしてください。

157 רַבִּים | רֹדְפַי | וְצָרַי | מֵעֵדְוֹתֶיךָ | לֹא | נָטִיתִי׃
多い | 追う–者と | 敵が | その–証しから | (not) | それなかった
H7291 | H5715 | H3808 | H5186

わたしをしえたげる者、わたしをあだする者は多い。しかしわたしは、あなたのあかしを離れません。

158 רָאִיתִי | בֹגְדִים | וָאֶתְקוֹטָטָה | אֲשֶׁר | אִמְרָתְךָ | לֹא | שָׁמָרוּ׃
見た | 裏切る–者を | そして–怒った | それらの | 御言葉を | (not) | 守らなかった
H7200 | H0898 | H6962 | H8104 | H3808

不信仰な者があなたのみ言葉を守らないので、わたしは彼らを見て、いとわしく思います。

159 רְאֵה | כִּי־ | פִקּוּדֶיךָ | אָהָבְתִּי | יְהוָה | כְּחַסְדְּךָ | חַיֵּנִי׃
見てください | まことに | その–戒めを | 愛した | 主よ | 御恵みの–とおりに | 生かしてください
H7200 | H6490 | H0157 | H3068 | H2421

わたしがいかにあなたのさとしを愛するかをお察しください。主よ、あなたのいつくしみにしたがって、わたしを生かしてください。

160 רֹאשׁ־ | דְּבָרְךָ | אֱמֶת | וּלְעוֹלָם | כָּל־ | מִשְׁפַּט | צִדְקֶךָ׃
初めが | 御言葉の | 真実 | 永遠に | すべての | 裁きは | 義の
H7225 | H1697 | H0571 | H5769 | H3605 | H4941 | H6664

あなたのみ言葉の全体は真理です。あなたの正しいおきてのすべてはとこしえに絶えることはありません。

161 שָׂרִים | רְדָפוּנִי | חִנָּם | ומדבריך] | (וּמִדְּבָרְךָ | פָּחַד | לִבִּי׃
高官たちが | 追った | いわれなく | 御言葉から | 御言葉の | 畏れた | 私の–心が
H8269 | H7291 | H2600 | H1697 | H1697 | H6342

シン もろもろの君はゆえなくわたしをしえたげます。しかしわが心はみ言葉をおそれます。

רָֽב׃	שָׁלָ֗ל	כְּמוֹצֵ֥א	אִמְרָתֶֽךָ׃	עַל־	אָנֹכִ֥י	שָׂ֝שׂ	162
大きな	分捕り物を	見つけた–ように	御言葉に	御言葉に–ついて	私は	喜ぶ	
	H7998	H4672			H0595	H7797	

わたしは大いなる獲物を得た者のようにあなたのみ言葉を喜びます。

אָהָֽבְתִּי׃	תּוֹרָתְךָ֥	וְאֶתְעֵ֣בָה	שָׂנֵ֣אתִי	שֶׁ֭קֶר	163
愛した	御律法を	忌み嫌った	憎んだ	偽りを	
H0157	H8451	H8581	H8130	H8267	

わたしは偽りを憎み、忌みきらいます。しかしあなたのおきてを愛します。

צִדְקֶֽךָ׃	מִשְׁפְּטֵ֣י	עַל֮	הִלַּ֪לְתִּ֫יךָ	בְּי֥וֹם	שֶׁ֝בַע	164
義の	裁きを	(for)	賛美した	日に	七–度	
H6664	H4941			H3117	H7651	

わたしはあなたの正しいおきてのゆえに、一日に七たびあなたをほめたたえます。

מִכְשֽׁוֹל׃	לָ֝מוֹ	וְאֵין־	תוֹרָתֶ֗ךָ	לְאֹהֲבֵ֣י	רָ֭ב	שָׁל֣וֹם	165
つまずきが	彼らには	なく	御律法を	愛する–者に	大きな	平安が	
H4383		H0369	H8451	H0157		H7965	

あなたのおきてを愛する者には大いなる平安があり、何ものも彼らをつまずかすことはできません。

עָשִׂ֥יתִי׃	וּמִצְוֹתֶ֑יךָ	יְהוָ֥ה	לִ֝ישׁוּעָתְךָ֗	שִׂבַּ֥רְתִּי	166
行った	その–戒めを	主よ	御救いを	待ち望んだ	
	H4687	H3068	H3444		

主よ、わたしはあなたの救を望み、あなたの戒めをおこないます。

מְאֹֽד׃	וָאֹהֲבֵֽם	עֵדֹתֶ֑יךָ	נַפְשִׁ֥י	שָׁ֝מְרָ֗ה	167
非常に	そして–愛した	その–証しを	私の–魂が	守った	
H3966	H0157		H5315	H8104	

わが魂は、あなたのあかしを守ります。わたしはいたくこれを愛します。

נֶגְדֶּֽךָ׃	דְּרָכַ֥י	כָּל־	כִּ֑י	וְעֵדֹתֶ֗יךָ	פִּקּ֥וּדֶ֫יךָ	שָׁ֝מַ֗רְתִּי	168
御前に–ある	私の–道は	すべての	なぜなら	その–証しを	その–戒めを	守った	
H5048	H1870	H3605			H6490	H8104	

わがすべての道があなたのみ前にあるので、わたしはあなたのさとしと、あかしとを守ります。

הֲבִינֵֽנִי׃	כְּדָבָרֶֽךָ׃	יְהוָ֑ה	לְפָנֶ֣יךָ	רִנָּתִ֥י	תִּקְרַ֗ב	169
惟らせてください	御言葉の–とおりに	主よ	御前に	私の–叫びが	近づきますように	
H0995	H1697	H3068	H6440	H7440	H7126	

タウ 主よ、どうか、わが叫びをみ前にいたらせ、み言葉に従って、わたしに知恵をお与えください。

הַצִּילֵֽנִי׃	כְּאִמְרָתֶֽךָ׃	לְפָנֶ֣יךָ	תְּחִנָּתִ֥י	תָּבֹ֗וא	170
救い出してください	御言葉の–とおりに	御前に	私の–嘆願が	届きますように	
H5337		H6440	H8467	H0935	

わが願いをみ前にいたらせ、み言葉にしたがって、わたしをお助けください。

חֻקֶּֽיךָ׃	תְּלַמְּדֵ֥נִי	כִּ֑י	תְּהִלָּ֗ה	שְׂפָתַ֥י	תַּבַּ֫עְנָה	171
その–掟を	教えてくださる	なぜなら	賛美を	私の–唇が	溢れますように	
H2706	H3925		H8416	H8193	H5042	

あなたの定めをわたしに教えられるので、わがくちびるはさんびを唱えます。

172 תַּעַן לְשׁוֹנִי אִמְרָתֶךָ כִּי כָל־מִצְוֹתֶיךָ צֶדֶק׃
歌う 私の–舌が 御言葉を なぜなら すべての その–戒めは 義
H6030 H3956 H0565 H3588 H3605 H4687 H6664

あなたのすべての戒めは正しいので、わが舌はみ言葉を歌います。

173 תְּהִי־יָדְךָ לְעָזְרֵנִי כִּי פִקּוּדֶיךָ בָחָרְתִּי׃
ありますように 御手が 助ける–ために なぜなら その–戒めを 選んだ
H1961 H3027 H5826 H3588 H6490 H0977

わたしはあなたのさとしを選びました。あなたのみ手を、常にわが助けとしてください。

174 תָּאַבְתִּי לִישׁוּעָתְךָ יְהוָה וְתוֹרָתְךָ שַׁעֲשָׁעָי׃
慕れた 御救いを 主よ 御律法は 私の–喜び
H8373 H3444 H3068 H8451 H8191

主よ、わたしはあなたの救を慕います。あなたのおきてはわたしの喜びです。

175 תְּחִי־נַפְשִׁי וְתְהַלְלֶךָּ וּמִשְׁפָּטְךָ יַעְזְרֵנִי׃
生きますように 私の–魂が そして–賛美する 御–裁きが 助けてくださる
H2421 H5315 H1984 H4941 H5826

わたしを生かして、あなたをほめたたえさせ、あなたのおきてを、わが助けとしてください。

176 תָּעִיתִי כְּשֶׂה אֹבֵד בַּקֵּשׁ עַבְדֶּךָ כִּי מִצְוֹתֶיךָ לֹא
迷った 羊の–ように 失われた 尋ねてください 僕を なぜなら その–戒めを (not)
H8582 H7716 H0006 H1245 H5650 H3588 H4687 H3808

שָׁכָחְתִּי׃
忘れなかった
H7911

わたしは失われた羊のように迷い出ました。あなたのしもべを捜し出してください。わたしはあなたの戒めを忘れないからです。

Chapter 120

1 שִׁיר לַמַּעֲלוֹת אֶל־יְהוָה בַּצָּרָתָה לִי קָרָאתִי וַיַּעֲנֵנִי׃
歌 都上りの (to) 主に 苦しみの–中で 私の 呼んだ 答えてくださった
H7892 H4609 H0413 H3068 H6862 H0589 H7121 H6030

都もうでの歌 わたしが悩みのうちに、主に呼ばわると、主はわたしに答えられる。

2 יְהוָה הַצִּילָה נַפְשִׁי מִשְּׂפַת־שֶׁקֶר מִלְּשׁוֹן רְמִיָּה׃
主よ 救ってください 私の–魂を 唇から 偽りの 舌から 欺きの
H3068 H5337 H5315 H8193 H8267 H3956 H7423

「主よ、偽りのくちびるから、欺きの舌から、わたしを助け出してください」。

3 מַה־יִּתֶּן לְךָ וּמַה־יֹּסִיף לָּךְ לָשׁוֹן רְמִיָּה׃
何を お前に 与えられるか 何を お前に 加えられるか 舌よ 欺きの
H4100 H5414 H0000 H4100 H3254 H3956 H7423

欺きの舌よ、おまえに何が与えられ、何が加えられるであろうか。

4 חִצֵּי גִבּוֹר שְׁנוּנִים עִם גַּחֲלֵי רְתָמִים׃
矢が 勇士の 鋭く–研いだ–矢が 共に 炭火が えにしだの
H2671 H1368 H8150 H5973 H1513 H7574

ますらおの鋭い矢と、えにしだの熱い炭とである。

קֵדָר׃	אָהֳלֵי	עִם־	שָׁכַנְתִּי	מֶשֶׁךְ	גָּרְתִּי	כִּי־	לִי	אֽוֹיָה־	5
ケダルの	天幕に	共に	住んだ	メシェクに	寄留した	まことに	私に	ああ	
H6938	H0168		H7931	H4902				H0190	

わざわいなるかな、わたしはメセクにやどり、ケダルの天幕のなかに住んでいる。

שָׁלֽוֹם׃	שׂוֹנֵא	עִם	נַפְשִׁי	לָהּ	שָׁכְנָה־	רַבַּת	6
平和を	憎む–者と	共に	私の–魂は	そこに	住んだ	長く	
H7965	H8130		H5315		H7931		

わたしは久しく平安を憎む者のなかに住んでいた。

לַמִּלְחָמָה׃	הֵמָּה	אֲדַבֵּר	וְכִי	שָׁלוֹם	אֲנִי־	7
戦いの–ために	彼らは	語ると	しかし	平和	私は	
H4421	H1992	H1696		H7965	H0589	

わたしは平安を願う、しかし、わたしが物言うとき、彼らは戦いを好む。

Chapter 121

עֶזְרִי׃	יָבֹא	מֵאַיִן	הֶהָרִים	אֶל־	עֵינַי	אֶשָּׂא	לַמַּעֲלוֹת	שִׁיר	1
私の–助けは	来るのか	どこから	山々に	(to)	私の–目を	上げる	都上りの	歌	
H5828	H0935	H0370	H2022	H0413		H5375			

都もうでの歌 わたしは山にむかって目をあげる。わが助けは、どこから来るであろうか。

וָאָרֶץ׃	שָׁמַיִם	עָשָׂה	יְהוָה	מֵעִם	עֶזְרִי	2
地を	天と	造られた–方	主から	(from)	私の–助けは	
H0776	H8064		H3068		H5828	

わが助けは、天と地を造られた主から来る。

שֹׁמְרֶךָ׃	יָנוּם	אַל־	רַגְלֶךָ	לַמּוֹט	יִתֵּן	אַל־	3
守る–方は	まどろまない	(not)	あなたの–足に	よろめくことを	許さない	(not)	
H8104	H5123	H0408	H7272	H4132	H5414	H0408	

主はあなたの足の動かされるのをゆるされない。あなたを守る者はまどろむことがない。

יִשְׂרָאֵל׃	שׁוֹמֵר	יִישָׁן	וְלֹא	יָנוּם	לֹא־	הִנֵּה	4
イスラエルの	守る–方	眠らない	また	まどろまず	(not)	見よ	
H3478	H8104	H3462	H3808	H5123	H3808	H2009	

見よ、イスラエルを守る者はまどろむこともなく、眠ることもない。

יְמִינֶךָ׃	יָד־	עַל־	צִלְּךָ	יְהוָה	שֹׁמְרֶךָ	יְהוָה	5
右の	手の	(at)	あなたの–陰	主は	あなたの–守り	主は	
H3225	H3027		H6738	H3068	H8104	H3068	

主はあなたを守る者、主はあなたの右の手をおおう陰である。

בַּלָּיְלָה׃	וְיָרֵחַ	יַכֶּכָּה	לֹא־	הַשֶּׁמֶשׁ	יוֹמָם	6
夜に	月も	打ち–つけない	(not)	太陽が	潅	
H3915	H3394	H5221	H3808	H8121	H3119	

昼は太陽があなたを撃つことなく、夜は月があなたを撃つことはない。

נַפְשֶׁךָ׃	אֶת־	יִשְׁמֹר	רָע	מִכָּל־	יִשְׁמָרְךָ	יְהוָה	7
あなたの–魂を	(object)	守る	悪から	すべての–悪から	守る	主が	
H5315	H0853	H8104		H3605	H8104	H3068	

主はあなたを守って、すべての災を免れさせ、またあなたの命を守られる。

8 יְהוָה יִשְׁמָר־צֵאתְךָ וּבוֹאֶךָ מֵעַתָּה וְעַד־עוֹלָם׃
主が 守る 出る-時も 帰る-時も 今より とこしえまで 永遠に
H3068 H8104 H3318 H0935 H6258 H5704 H5769

主は今からとこしえに至るまで、あなたの出ると入るとを守られるであろう。

Chapter 122

1 שִׁיר הַמַּעֲלוֹת לְדָוִד שָׂמַחְתִּי בְּאֹמְרִים לִי בֵּית יְהוָה נֵלֵךְ׃
歌 都上りの ダビデの 喜んだ 言った-者に 私に 宮に 主の 行こう
H3212 H3068 H0559 H8055 H1732

ダビデがよんだ都もうでの歌 人々がわたしにむかって「われらは主の家に行こう」と言ったとき、わたしは喜んだ。

2 עֹמְדוֹת הָיוּ רַגְלֵינוּ בִּשְׁעָרַיִךְ יְרוּשָׁלָ͏ִם׃
立っている いた 我らの-足が 御-門の-中に エルサレムよ
H5975 H1961 H7272 H8179 H3389

エルサレムよ、われらの足はあなたの門のうちに立っている。

3 יְרוּשָׁלַ͏ִם הַבְּנוּיָה כְּעִיר שֶׁחֻבְּרָה־לָּהּ יַחְדָּו׃
エルサレムは 建てられた 都の-ように 結び-合わされた 共に 一つに
H3389 H1129 H5892 H2266 H3161 H3162

しげくつらなった町のように建てられているエルサレムよ、

4 שֶׁשָּׁם עָלוּ שִׁבְטִים שִׁבְטֵי־יָהּ עֵדוּת לְיִשְׂרָאֵל לְהֹדוֹת לְשֵׁם יְהוָה׃
そこに 上った 部族が 部族が ヤハの 証しとして イスラエルの-ために 感謝する-ために 御名に 主の
H8033 H5927 H7626 H7626 H3050 H5715 H3478 H3034 H8034 H3068

もろもろの部族すなわち主の部族が、そこに上って来て主のみ名に感謝することは、イスラエルのおきてである。

5 כִּי שָׁמָּה יָשְׁבוּ כִסְאוֹת לְמִשְׁפָּט כִּסְאוֹת לְבֵית דָּוִיד׃
まことに そこに 置かれた 座が 裁きの-ための 座が 家の-ための ダビデの
H3588 H8033 H3427 H3678 H4941 H3678 H1004 H1732

そこにさばきの座、ダビデの家の王座が設けられてあった。

6 שַׁאֲלוּ שְׁלוֹם יְרוּשָׁלָ͏ִם יִשְׁלָיוּ אֹהֲבָיִךְ׃
祈れ 平安を エルサレムの 安らぎが-あるように 愛する-者に
H7592 H7965 H3389 H7951 H0157

エルサレムのために平安を祈れ、「エルサレムを愛する者は栄え、

7 יְהִי־שָׁלוֹם בְּחֵילֵךְ שַׁלְוָה בְּאַרְמְנוֹתָיִךְ׃
ありますように 平安が 城壁の-中に 安らぎが 宮殿の-中に
H1961 H7965 H2426 H7962 H0759

その城壁のうちに平安があり、もろもろの殿のうちに安全があるように」と。

8 לְמַעַן אַחַי וְרֵעָי אֲדַבְּרָה־נָּא שָׁלוֹם בָּךְ׃
それは 私の-兄弟と 友の-ために 言おう どうか 平安が お前に
H4616 H0251 H7453 H1696 H4994 H7965

わが兄弟および友のために、わたしは「エルサレムのうちに平安があるように」と言い、

9	לָמַעַן	בֵּית־	יְהוָה	אֱלֹהֵינוּ	אֲבַקְשָׁה	טוֹב	לָךְ׃
	それは	宮の–ために	主の	我らの–神の	求める	幸いを	お前に
	H4616		H3068	H0430	H1245		

われらの神、主の家のために、わたしはエルサレムのさいわいを求めるであろう。

Chapter 123

1	שִׁיר	הַמַּעֲלוֹת	אֵלֶיךָ	נָשָׂאתִי	אֶת־	עֵינַי	הַיֹּשְׁבִי	בַּשָּׁמָיִם׃
	歌	都上りの	あなたに	上げた	(object)	私の–目を	座しておられる–方	天に
			H0413	H5375	H0853		H3427	H8064

都もうでの歌 天に座しておられる者よ、わたしはあなたにむかって目をあげます。

2	הִנֵּה	כְעֵינֵי	עֲבָדִים	אֶל־	יַד	אֲדוֹנֵיהֶם	כְּעֵינֵי	שִׁפְחָה	אֶל־
	見よ	目の–ように	僕たちの	(to)	手に	その–主人の	目の–ように	女僕の	(to)
	H2009		H5650	H0413	H3027	H0113		H8198	H0413

יָד	גְּבִרְתָּהּ	כֵּן	עֵינֵינוּ	אֶל־	יְהוָה	אֱלֹהֵינוּ	עַד	שֶׁיְּחָנֵנוּ׃
手に	その–女主人の	そのように	我らの–目は	(to)	主に	我らの–神に	まで	恵んでくださる
H3027	H1404			H0413	H3068	H0430	H5704	

見よ、しもべがその主人の手に目をそそぎ、はしためがその主婦の手に目をそそぐように、われらはわれらの神、主に目をそそいで、われらをあわれまれるのを待ちます。

3	חָנֵּנוּ	יְהוָה	חָנֵּנוּ	כִּי־	רַב	שָׂבַעְנוּ	בּוּז׃
	恵んでください	主よ	恵んでください	まことに	多く	満ちた	侮りに
		H3068				H7646	H0937

主よ、われらをあわれんでください。われらをあわれんでください。われらに侮りが満ちあふれています。

4	רַבַּת	שֶׂבְעָה־	לָהּ	נַפְשֵׁנוּ	הַלַּעַג	הַשַּׁאֲנַנִּים	הַבּוּז	לִגְאֵיוֹנִים׃
	多く	満ちた	それに	我らの–魂は	嘲りに	安らかな–者の	侮りに	高慢な–者の
		H7646		H5315	H3933	H7600	H0937	H1349

思い煩いのない者のあざけりと、高ぶる者の侮りとは、われらの魂に満ちあふれています。

Chapter 124

1	שִׁיר	הַמַּעֲלוֹת	לְדָוִד	לוּלֵי	יְהוָה	שֶׁהָיָה	לָנוּ	יֹאמַר־	נָא
	歌	都上りの	ダビデの	もし–なければ	主が	共に–いた	我らと	言え	どうか
				H3884	H3068	H1961		H0559	H4994

יִשְׂרָאֵל׃
イスラエルよ
H3478

ダビデがよんだ都もうでの歌 今、イスラエルは言え、主がもしわれらの方におられなかったならば、

2	לוּלֵי	יְהוָה	שֶׁהָיָה	לָנוּ	בְּקוּם	עָלֵינוּ	אָדָם׃
	もし–なければ	主が	共に–いた	我らと	立ち上がった–時	我らに–対して	人が
	H3884	H3068	H1961				H0120

人々がわれらに逆らって立ちあがったとき、主がもしわれらの方におられなかったならば、

בָּנוּ׃	אַפָּם	בַּחֲרוֹת	בְּלָעֻונוּ	חַיִּים	אֱזַי	3
我らに–対して	彼らの–怒りが	燃えた–時	飲み込んだ	生きたまま	その–時	
	H0639	H2734	H1104		H0233	

彼らの怒りがわれらにむかって燃えたったとき、彼らはわれらを生きているままで、のんだであろう。

נַפְשֵׁנוּ׃	עַל־	עָבַר	נַחְלָה	שְׁטָפוּונוּ	הַמָּיִם	אֱזַי	4
我らの–魂を	(over)	過ぎた	流れが	押し–流した	水が	その–時	
H5315				H7857	H4325	H0233	

また大水はわれらを押し流し、激流はわれらの上を越え、

הַזֵּדוֹנִים׃	הַמָּיִם	נַפְשֵׁנוּ	עַל־	עָבַר	אֱזַי	5
荒れ狂う	水が	我らの–魂を	(over)	過ぎた	その–時	
H2121	H4325	H5315			H0233	

さか巻く水はわれらの上を越えたであろう。

לְשִׁנֵּיהֶם׃	טֶרֶף	נְתָנָנוּ	שֶׁלֹּא	יְהוָה	בָּרוּךְ	6
彼らの–歯に	獲物として	我らを	渡さなかった	主は	祝福された	
H8127	H2964	H5414	H3808	H3068	H1288	

主はほむべきかな。主はわれらをえじきとして彼らの歯にわたされなかった。

נִמְלָטְנוּ׃	וַאֲנַחְנוּ	נִשְׁבָּר	הַפָּח	יוֹקְשִׁים	מִפָּח	נִמְלְטָה	כְּצִפּוֹר	נַפְשֵׁנוּ	7
逃れた	そして–我らは	壊れた	罠は	罠師の	罠から	逃れた	鳥の–ように	我らの–魂は	
H4422	H0587	H7665		H3369		H4422	H6833	H5315	

われらは野鳥を捕えるわなをのがれる鳥のようにのがれた。わなは破れてわれらはのがれた。

וָאָרֶץ׃	שָׁמַיִם	עֹשֵׂה	יְהוָה	בְּשֵׁם	עֶזְרֵנוּ	8
地を	天と	造られた–方	主の	御名による	我らの–助けは	
H0776	H8064		H3068	H8034	H5828	

われらの助けは天地を造られた主のみ名にある。

Chapter 125

יֵשֵׁב׃	לְעוֹלָם	יִמּוֹט	לֹא־	צִיּוֹן	כְּהַר־	בַּיהוָה	הַבֹּטְחִים	הַמַּעֲלוֹת	שִׁיר	1
留まる	永遠に	揺るがず	(not)	シオンの	山の–ように	主に	信頼する–者は	都上りの	歌	
H3427	H5769	H4131	H3808	H6726	H2022	H3068	H0982			

都もうでの歌 主に信頼する者は、動かされることなくて、とこしえにあるシオンの山のようである。

מֵעַתָּה	לְעַמּוֹ	סָבִיב	וַיהוָה	לָהּ	סָבִיב	הָרִים	יְרוּשָׁלַ͏ִם	2
今より	その–民を	囲んでいる	そのように–主が	それを	囲んでいる	山々が	エルサレムは	
H6258		H5439	H3068		H5439	H2022	H3389	

עוֹלָם׃	וְעַד־
永遠に	とこしえまで
H5769	H5704

山々がエルサレムを囲んでいるように、主は今からとこしえにその民を囲まれる。

כִּי לֹא יָנוּחַ שֵׁבֶט הָרֶשַׁע עַל גּוֹרַל הַצַּדִּיקִים לְמַעַן לֹא 3
まことに (not) H3808 留まらない H5117 杖は H7626 悪の H7562 (upon) H7626 分け前に H1486 正しい-者の H6662 それは H4616 (not) H3808

יִשְׁלְחוּ הַצַּדִּיקִים בְּעַוְלָתָה יְדֵיהֶם׃
伸ばさない-ために H7971 正しい-者が H6662 不義に その-手を H3027

これは悪しき者のつえが正しい者の所領にとどまることなく、正しい者がその手を不義に伸べることのないためである。

הֵיטִיבָה יְהוָה לַטּוֹבִים וְלִישָׁרִים בְּלִבּוֹתָם׃ 4
良くしてください H2895 主よ H3068 良い-者に 正しい-者に 心の H3826

主よ、善良な人と、心の正しい人とに、さいわいを施してください。

וְהַמַּטִּים עַקַלְקַלּוֹתָם יוֹלִיכֵם יְהוָה אֶת פֹּעֲלֵי הָאָוֶן שָׁלוֹם עַל 5
それる-者は H5186 曲がった-道に H6128 導かれる H3212 主に H3068 (object) H0854 行う-者と-共に H6466 不義を H0205 平安が H7965 (upon)

יִשְׂרָאֵל׃
イスラエルに H3478

しかし転じて自分の曲った道に入る者を主は、悪を行う者と共に去らせられる。イスラエルの上に平安があるように。

Chapter 126

שִׁיר הַמַּעֲלוֹת בְּשׁוּב יְהוָה אֶת שִׁיבַת צִיּוֹן הָיִינוּ כְּחֹלְמִים׃ 1
歌 都上りの 回復させた-時 主が H3068 (object) H0853 繁栄を H7870 シオンの H6726 なった H1961 夢見る-者の-ように

都もうでの歌 主がシオンの繁栄を回復されたとき、われらは夢みる者のようであった。

אָז יִמָּלֵא שְׂחוֹק פִּינוּ וּלְשׁוֹנֵנוּ רִנָּה אָז יֹאמְרוּ בַגּוֹיִם 2
その-時 満ちた H4390 笑いで H7814 我らの-口は H6310 我らの-舌は H3956 喜びで H7440 その-時 言った H0559 諸国の-中で

הִגְדִּיל יְהוָה לַעֲשׂוֹת עִם אֵלֶּה׃
大いなる-ことを H1431 主が H3068 行われた 共に これらの-者と H0428

その時われらの口は笑いで満たされ、われらの舌は喜びの声で満たされた。その時「主は彼らのために大いなる事をなされた」と言った者が、もろもろの国民の中にあった。

הִגְדִּיל יְהוָה לַעֲשׂוֹת עִמָּנוּ הָיִינוּ שְׂמֵחִים׃ 3
大いなる-ことを H1431 主が H3068 行われた 我らと-共に なった H1961 喜ぶ-者に H8056

主はわれらのために大いなる事をなされたので、われらは喜んだ。

שׁוּבָה יְהוָה אֶת שבותנו [שְׁבִיתֵנוּ] כַּאֲפִיקִים בַּנֶּגֶב׃ 4
回復させてください H7725 主よ H3068 (object) H0853 捕囚を H7622 捕囚を H7622 川の-ように H0650 ネゲブの H5045

主よ、どうか、われらの繁栄を、ネゲブの川のように回復してください。

5 הַזֹּרְעִים בְּדִמְעָה בְּרִנָּה יִקְצֹרוּ׃
蒔く-者は 涙で 喜びで 刈り取る
H2232 H1832 H7440

涙をもって種まく者は、喜びの声をもって刈り取る。

6 הָלוֹךְ וְלָכוֹ נֹשֵׂא מֶשֶׁךְ־הַזָּרַע בֹּא־יָבוֹא בְרִנָּה נֹשֵׂא אֲלֻמֹּתָיו׃
行く 行く 泣きながら 携えて 袋を 種の 必ず-来る 帰って 喜びで 携えて 束を
H1980 H3212 H1058 H5375 H4901 H2233 H0935 H0935 H7440 H5375 H0485

種を携え、涙を流して出て行く者は、束を携え、喜びの声をあげて帰ってくるであろう。

Chapter 127

1 שִׁיר הַמַּעֲלוֹת לִשְׁלֹמֹה אִם־יְהוָה לֹא־יִבְנֶה בַּיִת שָׁוְא עָמְלוּ בוֹנָיו בּוֹ אִם־יְהוָה לֹא־יִשְׁמָר־עִיר שָׁוְא שָׁקַד שׁוֹמֵר׃
歌 都上りの ソロモンの もし 主が (not) 建てないなら 家を 空しく 労した 建てる-者が それに もし 主が (not) 守らないなら 町を 空しく 見張る 番人が
H7723 H5998 H1129 H3808 H3068 H8010 H4608 H1004 H7723 H8245 H8104 H1129 H0996 H0518 H3068 H3808 H8104 H5892 H7723 H8245 H8104

ソロモンがよんだ都もうでの歌 主が家を建てられるのでなければ、建てる者の勤労はむなしい。主が町を守られるのでなければ、守る者のさめているのはむなしい。

2 שָׁוְא לָכֶם וְלָכֶם מַשְׁכִּימֵי קוּם מְאַחֲרֵי־שֶׁבֶת אֹכְלֵי לֶחֶם כֵּן יִתֵּן לִידִידוֹ שֵׁנָא׃
空しい あなたがたに-は 早く-起きる-者の 起きる 遅く-座る-者の 座る 食べる-者の パンを そのように 与える 愛する-者に 眠りを
H7723 H3899 H5414 H8142

あなたがたが早く起き、おそく休み、辛苦のかてを食べることは、むなしいことである。主はその愛する者に、眠っている時にも、なくてならぬものを与えられるからである。

3 הִנֵּה נַחֲלַת יְהוָה בָּנִים שָׂכָר פְּרִי הַבָּטֶן׃
見よ 嗣業である 主の 子らは 報い 実は 胎の
H2009 H5159 H3068 H1121 H7939 H6529 H0990

見よ、子供たちは神から賜わった嗣業であり、胎の実は報いの賜物である。

4 כְּחִצִּים בְּיַד־גִּבּוֹר כֵּן בְּנֵי הַנְּעוּרִים׃
矢の-ように 手に 勇士の 若い-時の 子らは そのように
H2671 H3027 H1368 H5271 H1121 H3651

壮年の時の子供は勇士の手にある矢のようだ。

5 אַשְׁרֵי הַגֶּבֶר אֲשֶׁר מִלֵּא אֶת־אַשְׁפָּתוֹ מֵהֶם לֹא־יֵבֹשׁוּ כִּי־יְדַבְּרוּ אֶת־אוֹיְבִים בַּשָּׁעַר׃
幸いな 男は それらで 満たした (object) その-箙を それらで (not) 恥じない なぜなら 語る (object) 敵と 門で
H0835 H1397 H4390 H0853 H0827 H1992 H3808 H0954 H3588 H1696 H0853 H0341 H8179

矢の満ちた矢筒を持つ人はさいわいである。彼は門で敵と物言うとき恥じることはない。

Chapter 128

1 שִׁיר הַמַּעֲלוֹת אַשְׁרֵי כָּל־יְרֵא יְהוָה הַהֹלֵךְ בִּדְרָכָיו׃
歌 都上りの 幸いな すべての 畏れる–者 主を 歩む–者 その–道を
H1870 H1980 H3068 H3373 H3605 H0835

都もうでの歌 すべて主をおそれ、主の道に歩む者はさいわいである。

2 יְגִיעַ כַּפֶּיךָ כִּי תֹאכֵל אַשְׁרֶיךָ וְטוֹב לָךְ׃
労苦を 手の まことに 食べる 幸いな 良い–ことが お前に
H3018 H3709 H0398 H0835

あなたは自分の手の勤労の実を食べ、幸福で、かつ安らかであろう。

3 אֶשְׁתְּךָ כְּגֶפֶן פֹּרִיָה בְּיַרְכְּתֵי בֵיתֶךָ בָּנֶיךָ כִּשְׁתִלֵי זֵיתִים סָבִיב לְשֻׁלְחָנֶךָ׃
お前の–妻は ぶどうの–木の–ように 実り–豊かな 奥に お前の–家の お前の–子らは 苗の–ように オリーブの 囲んで お前の–食卓を
H0802 H1612 H6509 H3411 H1397 H8363 H2132 H5439 H7979

あなたの妻は家の奥にいて多くの実を結ぶぶどうの木のようであり、あなたの子供たちは食卓を囲んでオリブの若木のようである。

4 הִנֵּה כִי־כֵן יְבֹרַךְ גָּבֶר יְרֵא יְהוָה׃
見よ まことに そのように 祝福される 男は 畏れる 主を
H2009 H1288 H1397 H3373 H3068

見よ、主をおそれる人は、このように祝福を得る。

5 יְבָרֶכְךָ יְהוָה מִצִּיּוֹן וּרְאֵה בְטוּב יְרוּשָׁלִָם כֹּל יְמֵי חַיֶּיךָ׃
主が 祝福してくださる シオンから そして–見る 幸いを エルサレムの すべての 日々 生涯の
H3068 H1288 H6726 H7200 H2898 H3389 H3605 H3117

主はシオンからあなたを祝福されるように。あなたは世にあるかぎりエルサレムの繁栄を見、

6 וּרְאֵה־בָנִים לְבָנֶיךָ שָׁלוֹם עַל־יִשְׂרָאֵל׃
そして–見る 子らを 子らの–子を 平安が (upon) イスラエルに
H7200 H3478

またあなたの子らの子を見るであろう。どうぞ、イスラエルの上に平安があるように。

Chapter 129

1 שִׁיר הַמַּעֲלוֹת רַבַּת צָרְרוּנִי מִנְּעוּרַי יֹאמַר־נָא יִשְׂרָאֵל׃
歌 都上りの 多く 苦しめた 若い–時から 言え どうか イスラエルよ
H3478 H4994 H0559

都もうでの歌 今イスラエルは言え、「彼らはわたしの若い時から、ひどくわたしを悩ました。

2 רַבַּת צָרְרוּנִי מִנְּעוּרַי גַּם לֹא־יָכְלוּ לִי׃
多く 苦しめた 若い–時から しかし (not) 勝てなかった 私に
H3201 H3808 H1571

彼らはわたしの若い時から、ひどくわたしを悩ました。しかしわたしに勝つことができなかった。

3	עַל־	גַּבִּי	חָרְשׁוּ	חֹרְשִׁים	הֶאֱרִיכוּ	[למענותם]	(לְמַעֲנִיתָֽם׃)
	(upon)	私の–背に	耕した	耕す–者が	長く–した	その–除を	その–除を
		H1354			H0748	H4618	H4618

耕す者はわたしの背の上をたがやして、そのうねみぞを長くした」と。

4	יְהוָה	צַדִּיק	קִצֵּץ	עֲבֹת	רְשָׁעִֽים׃	
	主は	正しい	断ち–切られた	綱を	悪者の	
	H3068	H6662	H7112	H5688	H7563	

主は正しくいらせられ、悪しき者のなわを断ち切られた。

5	יֵבֹשׁוּ	וְיִסֹּגוּ	אָחוֹר	כֹּל	שֹׂנְאֵי	צִיּֽוֹן׃
	恥じるがよい	そして–退くがよい	後ろへ	すべての	憎む–者が	シオンを
	H0954	H5472	H0268	H3605	H8130	H6726

シオンを憎む者はみな、恥を得て、退くように。

6	יִהְיוּ	כַּחֲצִיר	גַּגּוֹת	שֶׁקִּדְמַת	שָׁלַף	יָבֵשׁ׃
	なるがよい	草の–ように	屋根の	伸びる–前に	引き抜かれる	枯れる
	H1961		H1406	H6927	H8025	H3001

彼らを、育たないさきに枯れる屋根の草のようにしてください。

7	שֶׁלֹּא	מִלֵּא	כַפּוֹ	קוֹצֵר	וְחִצְנוֹ	מְעַמֵּֽר׃
	それで	満たさない	手を	刈る–者は	懐も	束ねる–者の
	H3808	H4390	H3709		H2683	

これを刈る者はその手に満たず、これをたばねる者はそのふところに満たない。

8	וְלֹא	וְאָמְרוּ	הָעֹבְרִים	בִּרְכַּת־	יְהוָה	אֲלֵיכֶם	בֵּרַכְנוּ	אֶתְכֶם
	そして	言わない	通りがかりの–者が	祝福が	主の	あなたがたに	祝福する	あなたがたを
	H3808	H0559		H1293	H3068	H0413	H1288	H0853

בְּשֵׁם	יְהוָֽה׃
御名によって	主の
H8034	H3068

かたわらを過ぎる者は、「主の恵みがあなたの上にあるように。われらは主のみ名によってあなたがたを祝福する」と言わない。

Chapter 130

1	שִׁיר	הַמַּעֲלוֹת	מִמַּעֲמַקִּים	קְרָאתִיךָ	יְהוָֽה׃
	歌	都上りの	深みから	呼んだ	主よ
			H4615	H7121	H3068

2	אֲדֹנָי	שִׁמְעָה	בְקוֹלִי	תִּהְיֶינָה	אָזְנֶיךָ	קַשֻּׁבוֹת	לְקוֹל	תַּחֲנוּנָֽי׃
	主よ	聞いてください	私の–声を	ありますように	御耳が	注意深く	声に	私の–嘆願の
	H0136	H8085		H1961	H0241			H8469

3	אִם־	עֲוֹנוֹת	תִּשְׁמָר־	יָהּ	אֲדֹנָי	מִי	יַעֲמֹֽד׃
	もし	罪を	見張るなら	ヤハよ	主よ	誰が	立てよう
		H5771	H8104	H3050	H0136	H4310	H5975

4	כִּי־	עִמְּךָ	הַסְלִיחָה	לְמַעַן	תִּוָּרֵֽא׃
	まことに	御–もとに	赦しが–ある	それは	畏れられる–ために
			H5547	H4616	H3372

5 קִוִּיתִי יְהוָה נַפְשִׁי קִוְּתָה וְלִדְבָרוֹ הוֹחָלְתִּי׃
待ち望んだ 主を 私の-魂は 待ち望んだ 御言葉に 希望を-置いた
H3176 H3068 H5315 H3176 H1697 H3176

6 נַפְשִׁי לַאדֹנָי מִשֹּׁמְרִים לַבֹּקֶר לַבֹּקֶר שֹׁמְרִים לַבֹּקֶר׃
私の-魂は 主に-対して 待つ-者より 朝を 朝を 待つ-者より
H5315 H0136 H8104 H1242 H1242 H8104

7 יַחֵל יִשְׂרָאֵל אֶל־ יְהוָה כִּי־ עִם־ יְהוָה הַחֶסֶד וְהַרְבֶּה
待ち望め イスラエルよ (to) 主に まことに 主の-もとに 恵みが-ある そして-豊かな
H3176 H3478 H0413 H3068 H3068 H2617 H7235

עִמּוֹ פְּדוּת׃
その-もとに 贖いが-ある
H6304

8 וְהוּא יִפְדֶּה יִשְׂרָאֵל אֶת־ מִכֹּל עֲוֹנֹתָיו׃
そして-主が 贖われる イスラエルを (object) すべての-罪から 罪から
H1931 H6299 H3478 H0853 H3605 H5771

Chapter 131

1 שִׁיר הַמַּעֲלוֹת לְדָוִד יְהוָה לֹא־ גָבַהּ לִבִּי וְלֹא־ רָמוּ
歌 都上りの ダビデの 主よ (not) 高ぶらない 私の-心は また 高く-ならない
H7892 H4609 H1732 H3068 H3808 H1361 H3820 H7311

עֵינָי וְלֹא־ הִלַּכְתִּי בִגְדֹלוֹת וּבְנִפְלָאוֹת מִמֶּנִּי׃
私の-目は また 歩かない 大いなる-ことに 不思議な-ことに 私を-超えた
H5869 H3808 H1980 H1419 H6381 H4480

2 אִם־ לֹא שִׁוִּיתִי וְדוֹמַמְתִּי נַפְשִׁי כְּגָמֻל עַל־ אִמּוֹ
まことに (not) 静めた 黙らせた 私の-魂を 乳離れの-子の-ように (upon) その-母の
H3808 H7737 H1826 H5315 H1580 H5921 H0517

כְּגָמֻל עָלַי נַפְשִׁי׃
乳離れの-子の-ように 私の-上に 私の-魂は
H1580 H5921 H5315

3 יַחֵל יִשְׂרָאֵל אֶל־ יְהוָה מֵעַתָּה וְעַד־ עוֹלָם׃
待ち望め イスラエルよ (to) 主に 今より とこしえまで 永遠に
H3176 H3478 H0413 H3068 H6258 H5704 H5769

Chapter 132

1 שִׁיר הַמַּעֲלוֹת זְכוֹר־ יְהוָה לְדָוִד אֵת כָּל־ עֻנּוֹתוֹ׃
歌 都上りの 思い出してください 主よ ダビデの-ために (object) すべての その-苦しみを
H7892 H4609 H2142 H3068 H1732 H0853 H3605 H6041

2 אֲשֶׁר נִשְׁבַּע לַיהוָה נָדַר לַאֲבִיר יַעֲקֹב׃
それで 誓った 主に 誓った 力ある-方に ヤコブの
H0834 H7650 H3068 H5087 H0046 H3290

3 אִם־ אָבֹא בְּאֹהֶל בֵּיתִי אִם־ עָלָה עַל־ עֶרֶשׂ יְצוּעָי׃
まことに 入らない 天幕に 私の-家の まことに 上らない (upon) 床に 私の-寝台の
H0518 H0168 H1004 H0518 H5927 H5921 H6210 H3326

4 אִם־ אֶתֵּן שְׁנַת לְעֵינָי לְעַפְעַפָּי תְּנוּמָה׃
まことに 与えない 眠りを 私の–目に 私の–まぶたに まどろみを
H8572 H6079 H8153 H5414

5 עַד־ אֶמְצָא מָקוֹם לְיהוָה מִשְׁכָּנוֹת לַאֲבִיר יַעֲקֹב׃
まで 見つける 場所を 主の–ための 住まいを 力ある–方の–ための ヤコブの
H5704 H4672 H4725 H3068 H4908 H0046 H3290

6 הִנֵּה־ שְׁמַעֲנוּהָ בְּאֶפְרָתָה מְצָאנוּהָ בִּשְׂדֵי־ יָעַר׃
見よ 聞いた エフラタで 見つけた 野の–中で 森の
H2009 H8085 H0672 H4672

7 נָבוֹאָה לְמִשְׁכְּנוֹתָיו נִשְׁתַּחֲוֶה לַהֲדֹם רַגְלָיו׃
入ろう その–住まいに ひれ伏そう 足台に その–足の
H0935 H4908 H7812 H1916 H7272

8 קוּמָה יְהוָה לְמְנוּחָתֶךָ אַתָּה וַאֲרוֹן עֻזֶּךָ׃
起ちてください 主よ 御–憩いの–場所へ あなたと 御力の–箱が 御力の
H3068 H4496 H0727 H5797

9 כֹּהֲנֶיךָ יִלְבְּשׁוּ־ צֶדֶק וַחֲסִידֶיךָ יְרַנֵּנוּ׃
御–祭司が 身にまとう 義を 御–聖徒が 喜び–歌う
H3548 H3847 H6664 H2623

10 בַּעֲבוּר דָּוִד עַבְדֶּךָ אַל־ תָּשֵׁב פְּנֵי מְשִׁיחֶךָ׃
それは ダビデの–ために 僕の (not) 退けないでください 顔を 油注がれた–者の
H5668 H1732 H5650 H0408 H7725 H6440 H4899

11 נִשְׁבַּע־ יְהוָה לְדָוִד אֱמֶת לֹא־ יָשׁוּב מִמֶּנָּה מִפְּרִי בִטְנְךָ אָשִׁית׃
誓った 主が ダビデに 真実を (not) 翻さない それから 実から お前の–胎の 置く
H7650 H3068 H1732 H0571 H3808 H7725 H4480 H6529 H0990 H7896

לְכִסֵּא־ לָךְ׃
座に お前の
H3678

12 אִם־ יִשְׁמְרוּ בְרִיתִי וְעֵדֹתִי זוֹ אֲלַמְּדֵם גַּם־ בְּנֵיהֶם
もし 守るなら 私の–契約を 私の–証しを これを 教える また 彼らの–子も
H8104 H1285 H2090 H3925 H1571

עֲדֵי־ עַד יֵשְׁבוּ לְכִסֵּא־ לָךְ׃
とこしえに 永遠に 座る 座に お前の
H5703 H5703 H3427 H3678

13 כִּי־ בָחַר יְהוָה בְּצִיּוֹן אִוָּה לְמוֹשָׁב לוֹ׃
まことに 選んだ 主が シオンを 望まれた 住まいとして それを
H0977 H3068 H6726 H0183 H4186

14 זֹאת־ מְנוּחָתִי עֲדֵי־ עַד פֹּה־ אֵשֵׁב כִּי אִוִּיתִיהָ׃
これが 私の–憩いの–場所 とこしえに 永遠に ここに 住む まことに 望んだ
H2063 H4496 H5703 H5703 H6311 H3427 H3588 H0183

15 צֵידָהּ בָּרֵךְ אֲבָרֵךְ אֶבְיוֹנֶיהָ אַשְׂבִּיעַ לָחֶם׃
その–食糧を 祝福して 祝福する その–貧しい–者を 満足させる パンで
H1288 H1288 H0034 H7646 H3899

16 וְכֹהֲנֶיהָ אַלְבִּישׁ יֶשַׁע וַחֲסִידֶיהָ רַנֵּן יְרַנֵּנוּ׃
その–祭司を 身にまとわせる 救いを その–聖徒が 喜びに 喜び–歌う
H3548 H3847 H3468 H2623 H7444

17 שָׁם אַצְמִיחַ קֶרֶן לְדָוִד עָרַכְתִּי נֵר לִמְשִׁיחִי׃
そこに 生えさせる 角を ダビデの-ために 整えた 灯を 油注がれた-者の-ために
H8033 H6779 H7161 H1732 H5216 H4899

18 אוֹיְבָיו אַלְבִּישׁ בֹּשֶׁת וְעָלָיו יָצִיץ נִזְרוֹ׃
その-敵を 身にまとわせる 恥を そして-その-上に 輝く その-冠が
H0341 H3847 H1322 H5921 H6692 H5145

Chapter 133

1 שִׁיר לְדָוִד הִנֵּה מַה־טּוֹב וּמַה־נָּעִים שֶׁבֶת אַחִים גַּם־יָחַד׃
歌 ダビデの 見よ 何と 良く 何と 快いことか 住むことは 兄弟が また 一つに
H7892 H1732 H2009 H4100 H2896 H4100 H5278 H0251 H1571 H3162

2 כַּשֶּׁמֶן הַטּוֹב עַל־הָרֹאשׁ יֹרֵד עַל־הַזָּקָן זְקַן־אַהֲרֹן שֶׁיֹּרֵד עַל־פִּי מִדּוֹתָיו׃
油の-ように 良い (upon) 頭に 流れる (upon) ひげに ひげに アロンの 流れる (upon) 口に その-衣の
H8081 H2896 H5921 H7218 H3381 H5921 H2206 H2206 H0175 H3381 H5921 H6310 H4055

3 כְּטַל־חֶרְמוֹן שֶׁיֹּרֵד עַל־הָרְרֵי צִיּוֹן כִּי שָׁם צִוָּה יְהוָה אֶת־הַבְּרָכָה חַיִּים עַד־הָעוֹלָם׃
露の-ように ヘルモンの 下りる (upon) 山々に シオンの まことに そこに 命じられた 主が 祝福を 命を とこしえまで 永遠の
H2919 H2768 H3381 H5921 H2042 H6726 H3588 H8033 H6680 H3068 H1293 H2416 H5704 H5769

Chapter 134

1 שִׁיר הַמַּעֲלוֹת הִנֵּה בָּרְכוּ אֶת־יְהוָה כָּל־עַבְדֵי יְהוָה הָעֹמְדִים בְּבֵית־יְהוָה בַּלֵּילוֹת׃
歌 都上りの 見よ 祝福せよ (object) 主を すべての 僕たちよ 主の 立つ-者 宮に 主の 夜々に
H7892 H4609 H2009 H1288 H0853 H3068 H3605 H5650 H3068 H5975 H1004 H3068 H3915

2 שְׂאוּ־יְדֵכֶם קֹדֶשׁ וּבָרְכוּ אֶת־יְהוָה׃
上げよ 手を 聖なる-所へ そして-祝福せよ (object) 主を
H5375 H3027 H6944 H1288 H0853 H3068

3 יְבָרֶכְךָ יְהוָה מִצִּיּוֹן עֹשֵׂה שָׁמַיִם וָאָרֶץ׃
祝福してくださる 主が シオンから 造られた-方 天と 地を
H1288 H3068 H6726 H6213 H8064 H0776

Chapter 135

1 הַלְלוּ יָהּ הַלְלוּ־ אֶת־ שֵׁם יְהוָה הַלְלוּ עַבְדֵי יְהוָה׃
ハレルヤ 賛美せよ (object) 御名を 主の 賛美せよ 僕たちよ 主の
H1984 H3050 H1984 H0853 H8034 H3068 H1984 H5650 H3068

2 שֶׁעֹמְדִים בְּבֵית יְהוָה בְּחַצְרוֹת בֵּית אֱלֹהֵינוּ׃
立つ-者 宮に 主の 庭に 宮の 我らの-神の
H5975 H1004 H3068 H2691 H1004 H0430

3 הַלְלוּ־ יָהּ כִּי־ טוֹב יְהוָה זַמְּרוּ לִשְׁמוֹ כִּי נָעִים׃
賛美せよ ヤハを まことに 良い 主は 歌え 御名に まことに 快い
H1984 H3050 H3588 H2896 H3068 H2167 H8034 H3588 H5273

4 כִּי־ יַעֲקֹב בָּחַר לוֹ יָהּ יִשְׂרָאֵל לִסְגֻלָּתוֹ׃
まことに ヤコブを 選んだ 御-自分の-ために ヤハが イスラエルを 宝として
H3588 H3290 H0977 H3050 H3478 H5459

5 כִּי אֲנִי יָדַעְתִּי כִּי־ גָדוֹל יְהוָה וַאֲדֹנֵינוּ מִכָּל־ אֱלֹהִים׃
まことに 私は 知っている まことに 大いなる 主は 我らの-主は すべての-神より 神より
H3588 H0589 H3045 H3588 H1419 H3068 H0136 H3605 H0430

6 כֹּל אֲשֶׁר־ חָפֵץ יְהוָה עָשָׂה בַּשָּׁמַיִם וּבָאָרֶץ בַּיַּמִּים וְכָל־ תְּהוֹמוֹת׃
すべて 望まれた 望まれた-ことを 主が 行われた 天で 地で 海で すべての-深みで 深みで
H3605 H2654 H0834 H3068 H6213 H8064 H0776 H3220 H3605 H8415

7 מַעֲלֶה נְשִׂאִים מִקְצֵה הָאָרֶץ בְּרָקִים לַמָּטָר מוֹצֵא רוּחַ מֵאוֹצְרוֹתָיו׃
上らせる 雲を 果てから 地の 稲妻を 雨の-ために 造られた 出される 風を 倉から
H5927 H5387 H7097 H0776 H1300 H4306 H6213 H3318 H7307 H0214

8 שֶׁהִכָּה בְכוֹרֵי מִצְרָיִם מֵאָדָם עַד־ בְּהֵמָה׃
打ち-殺された 初子を エジプトの 人から 家畜まで 家畜まで
H5221 H1060 H4714 H0120 H5704 H0929

9 שָׁלַח אֹתוֹת וּמוֹפְתִים בְּתוֹכֵכִי מִצְרַיִם בְּפַרְעֹה וּבְכָל־ עֲבָדָיו׃
送られた しるしと 不思議を お前の-中で エジプトよ ファラオに その-すべての-僕に 僕に
H7971 H0226 H4159 H8432 H4714 H6547 H3605 H5650

10 שֶׁהִכָּה גּוֹיִם רַבִּים וַהָרַג מְלָכִים עֲצוּמִים׃
打ち-殺された 諸国を 多くの そして-殺した 王たちを 力ある
H5221 H1471 H7227 H2026 H4428 H6099

11 וּלְסִיחוֹן מֶלֶךְ הָאֱמֹרִי וּלְעוֹג מֶלֶךְ הַבָּשָׁן וּלְכֹל מַמְלְכוֹת כְּנָעַן׃
シホンを 王 アモリ人の オグを 王 バシャンの そして-すべての 王国を カナンの
H5511 H4428 H0567 H5747 H4428 H1316 H3605 H4467 H3667

12 וְנָתַן אַרְצָם נַחֲלָה נַחֲלָה לְיִשְׂרָאֵל עַמּוֹ׃
そして-与えた その-地を 嗣業として 嗣業として イスラエルに その-民に
H5414 H0776 H5159 H5159 H3478 H5971

13 יְהוָה שִׁמְךָ לְעוֹלָם יְהוָה זִכְרְךָ לְדֹר־ וָדֹר׃
主よ 御名は 永遠に 主よ 御記念は 代々に 代々に
H3068 H8034 H5769 H3068 H2143 H1755 H1755

14 כִּי־ יָדִין יְהוָה עַמּוֹ וְעַל־ עֲבָדָיו יִתְנֶחָם׃
まことに 主が 民を そして その-僕たちを あわれむ
H3588 H1777 H3068 H5971 H5921 H5650 H5162

15 עֲצַבֵּי הַגּוֹיִם כֶּסֶף וְזָהָב מַעֲשֵׂה יְדֵי אָדָם׃
偶像は 諸国の 銀と 金 作り物 人の–手の 人の
H6091 H1471 H3701 H2091 H4639 H3027 H0120

16 פֶּה־ לָהֶם וְלֹא יְדַבֵּרוּ עֵינַיִם לָהֶם וְלֹא יִרְאוּ׃
口が それらに–あるが 話せない 目が それらに–あるが しかし 見えない
H6310 H1992 H1696 H5869 H1992 H3808 H7200

17 אָזְנַיִם לָהֶם וְלֹא יַאֲזִינוּ אַף אֵין־ יֵשׁ־ רוּחַ בְּפִיהֶם׃
耳が それらに–あるが しかし 聞こえない また ない ない 息も その–口に
H0241 H1992 H3808 H0238 H0637 H0369 H3426 H7307 H6310

18 כְּמוֹהֶם יִהְיוּ עֹשֵׂיהֶם כֹּל אֲשֶׁר־ בֹּטֵחַ בָּהֶם׃
それらの–ように なる 造る–者たちも すべて 信頼する–者も 信頼する それらに
H3644 H1961 H6213 H3605 H0982

19 בֵּית יִשְׂרָאֵל בָּרֲכוּ אֶת־ יְהוָה בֵּית אַהֲרֹן בָּרֲכוּ אֶת־ יְהוָה׃
家よ イスラエルの 祝福せよ (object) 主を 家よ アロンの 祝福せよ (object) 主を
H1004 H3478 H1288 H0853 H3068 H1004 H0175 H1288 H0853 H3068

20 בֵּית הַלֵּוִי בָּרֲכוּ אֶת־ יְהוָה בָּרֲכוּ אֶת־ יְהוָה יִרְאֵי יְהוָה׃
家よ レビの 祝福せよ (object) 主を 祝福せよ (object) 主を 畏れる–者よ 主を
H1004 H3878 H1288 H0853 H3068 H1288 H0853 H3068 H3373 H3068

21 בָּרוּךְ יְהוָה מִצִּיּוֹן שֹׁכֵן יְרוּשָׁלָ͏ִם הַלְלוּ־ יָהּ׃
祝福された 主は シオンから 住まわれる–方 エルサレムに ハレルヤ ヤハ
H1288 H3068 H6726 H7931 H3389 H1984 H3050

Chapter 136

1 הוֹדוּ לַיהוָה כִּי־ טוֹב כִּי לְעוֹלָם חַסְדּוֹ׃
感謝せよ 主に まことに 良い–方 まことに とこしえに その–慈しみは–続く
H3034 H3068 H3588 H2896 H3588 H5769 H2617

2 הוֹדוּ לֵאלֹהֵי הָאֱלֹהִים כִּי לְעוֹלָם חַסְדּוֹ׃
感謝せよ 神の–中の 神に まことに とこしえに その–慈しみは–続く
H3034 H0430 H0430 H3588 H5769 H2617

3 הוֹדוּ לַאֲדֹנֵי הָאֲדֹנִים כִּי לְעוֹלָם חַסְדּוֹ׃
感謝せよ 主の–中の 主に まことに とこしえに その–慈しみは–続く
H3034 H0113 H0113 H3588 H5769 H2617

4 לְעֹשֵׂה נִפְלָאוֹת גְּדֹלוֹת לְבַדּוֹ כִּי לְעוֹלָם חַסְדּוֹ׃
行われる–方に 不思議な–業を 大いなる ただ–独りで まことに とこしえに その–慈しみは–続く
H6213 H6381 H1419 H0905 H3588 H5769 H2617

5 לְעֹשֵׂה הַשָּׁמַיִם בִּתְבוּנָה כִּי לְעוֹלָם חַסְדּוֹ׃
造られた–方に 天を 英知をもって まことに とこしえに その–慈しみは–続く
H6213 H8064 H8394 H3588 H5769 H2617

6 לְרֹקַע הָאָרֶץ עַל־ הַמָּיִם כִּי לְעוֹלָם חַסְדּוֹ׃
広げられた–方に 地を 水の–上に 水の まことに とこしえに その–慈しみは–続く
H7554 H0776 H5921 H4325 H3588 H5769 H2617

7 לְעֹשֵׂה אוֹרִים גְּדֹלִים כִּי לְעוֹלָם חַסְדּוֹ׃
造られた–方に 光を 大いなる まことに とこしえに その–慈しみは–続く
H6213 H0216 H1419 H3588 H5769 H2617

8 אֶת־ 太陽を H0853
הַשֶּׁמֶשׁ 太陽が H8121
לְמֶמְשֶׁלֶת 支配する-ために H4475
בַּיּוֹם 昼を H3117
כִּי まことに
לְעוֹלָם とこしえに H5769
חַסְדּוֹ׃ その-慈しみは-続く

9 אֶת־ 月を H0853
הַיָּרֵחַ 月と H3394
וְכוֹכָבִים 星々が H3556
לְמֶמְשְׁלוֹת 支配する-ために H4475
בַּלָּיְלָה 夜を H3915
כִּי まことに
לְעוֹלָם とこしえに H5769
חַסְדּוֹ׃ その-慈しみは-続く

10 לְמַכֵּה 打たれた-方に H5221
מִצְרַיִם エジプトを H4714
בִּבְכוֹרֵיהֶם その-初子-において H1060
כִּי まことに
לְעוֹלָם とこしえに H5769
חַסְדּוֹ׃ その-慈しみは-続く

11 וַיּוֹצֵא 導き-出された H3318
יִשְׂרָאֵל イスラエルを H3478
מִתוֹכָם その-中から H8432
כִּי まことに
לְעוֹלָם とこしえに H5769
חַסְדּוֹ׃ その-慈しみは-続く

12 בְּיָד 強い H3027
חֲזָקָה 手と H2389
וּבִזְרוֹעַ 伸ばされた H2220
נְטוּיָה 腕をもって H5186
כִּי まことに
לְעוֹלָם とこしえに H5769
חַסְדּוֹ׃ その-慈しみは-続く

13 לְגֹזֵר 分けられた-方に H1504
יַם־ 葦の H3220
סוּף 海を H5488
לִגְזָרִים 二つに H1506
כִּי まことに
לְעוֹלָם とこしえに H5769
חַסְדּוֹ׃ その-慈しみは-続く

14 וְהֶעֱבִיר 渡らせた
יִשְׂרָאֵל イスラエルを H3478
בְּתוֹכוֹ その-中を H8432
כִּי まことに
לְעוֹלָם とこしえに H5769
חַסְדּוֹ׃ その-慈しみは-続く

15 וְנִעֵר 投げ-落とされた H5287
פַּרְעֹה ファラオと H6547
וְחֵילוֹ その-軍勢を H2428
בְיַם־ 葦の H3220
סוּף 海に H5488
כִּי まことに
לְעוֹלָם とこしえに H5769
חַסְדּוֹ׃ その-慈しみは-続く

16 לְמוֹלִיךְ 導かれた-方に H3212
עַמּוֹ その-民を
בַּמִּדְבָּר 荒野を-通して
כִּי まことに
לְעוֹלָם とこしえに H5769
חַסְדּוֹ׃ その-慈しみは-続く

17 לְמַכֵּה 打たれた-方に H5221
מְלָכִים 王たちを H4428
גְּדֹלִים 大いなる
כִּי まことに
לְעוֹלָם とこしえに H5769
חַסְדּוֹ׃ その-慈しみは-続く

18 וַיַּהֲרֹג 殺された H2026
מְלָכִים 王たちを H4428
אַדִּירִים 力-ある H0117
כִּי まことに
לְעוֹלָם とこしえに H5769
חַסְדּוֹ׃ その-慈しみは-続く

19 לְסִיחוֹן シホンを H5511
מֶלֶךְ 王 H4428
הָאֱמֹרִי アモリ人の H0567
כִּי まことに
לְעוֹלָם とこしえに H5769
חַסְדּוֹ׃ その-慈しみは-続く

20 וּלְעוֹג オグを H5747
מֶלֶךְ 王 H4428
הַבָּשָׁן バシャンの H1316
כִּי まことに
לְעוֹלָם とこしえに H5769
חַסְדּוֹ׃ その-慈しみは-続く

21 וְנָתַן 与えられた H5414
אַרְצָם その-地を H0776
לְנַחֲלָה 嗣業として H5159
כִּי まことに
לְעוֹלָם とこしえに H5769
חַסְדּוֹ׃ その-慈しみは-続く

22 נַחֲלָה לְיִשְׂרָאֵל עַבְדּוֹ כִּי לְעוֹלָם חַסְדּוֹ׃
嗣業として イスラエルに その-しもべに まことに とこしえに その-慈しみは-続く
H5159 H3478 H5650 H3899 H5769

23 שֶׁבִּשְׁפְלֵנוּ זָכַר לָנוּ כִּי לְעוֹלָם חַסְדּוֹ׃
私たちが-低くされた-時 覚えてくださった 私たちを まことに とこしえに その-慈しみは-続く
H8216 H2142 H5769

24 וַיִּפְרְקֵנוּ מִצָּרֵינוּ כִּי לְעוֹלָם חַסְדּוֹ׃
解き-放ってくださった 敵から まことに とこしえに その-慈しみは-続く
H6561 H5769

25 נֹתֵן לֶחֶם לְכָל־ בָּשָׂר כִּי לְעוֹלָם חַסְדּוֹ׃
与える-方 食物を すべての 肉なる-ものに まことに とこしえに その-慈しみは-続く
H5414 H3899 H3605 H1320 H5769

26 הוֹדוּ לְאֵל הַשָּׁמָיִם כִּי לְעוֹלָם חַסְדּוֹ׃
感謝せよ 天の 神に まことに とこしえに その-慈しみは-続く
H3034 H0410 H8064 H5769

Chapter 137

1 עַל נַהֲרוֹת בָּבֶל שָׁם יָשַׁבְנוּ גַּם־ בָּכִינוּ בְּזָכְרֵנוּ
の-ほとりで 川の バビロンの そこで 私たちは-座った また 泣いた 思い-出した-時
H5104 H0894 H8033 H3427 H1571 H1058 H2142

אֶת־ צִיּוֹן׃
シオンを
H0853 H6726

2 עַל־ עֲרָבִים בְּתוֹכָהּ תָּלִינוּ כִּנֹּרוֹתֵינוּ׃
柳の-上に 柳に その-中の 掛けた 私たちの-琴を
H6155 H8432 H8518 H3658

3 כִּי שָׁם שְׁאֵלُונוּ שׁוֹבֵינוּ דִּבְרֵי־ שִׁיר וְתוֹלָלֵינוּ שִׂמְחָה
なぜなら そこで 求めた 私たちを-捕えた-者が 歌の 言葉を 私たちを-虐げる-者が 喜びを
H3588 H8033 H7592 H7617 H1697 H7892 H8057

שִׁירוּ לָנוּ מִשִּׁיר צִיּוֹן׃
歌え 私たちに シオンの-歌の-中から シオンの
H7891 H6726

4 אֵיךְ נָשִׁיר אֶת־ שִׁיר־ יְהוָה עַל אַדְמַת נֵכָר׃
どうして 歌えるだろうか 主の 歌を 主の 異国の 地の 上で
H0834 H7891 H0853 H7892 H3068 H5921 H0127 H5236

5 אִם־ אֶשְׁכָּחֵךְ יְרוּשָׁלִָם תִּשְׁכַּח יְמִינִי׃
もし 忘れるなら エルサレムを 忘れよ 私の-右手よ
H0518 H7911 H3389 H7911 H3225

6 אִם־ לֹא אַעֲלֶה לְחִכִּי לְשׁוֹנִי תִּדְבָּק־ לֹא אִם־ לֹא אַזְכֶּרְכִי
もし ないなら 置かないなら 口蓋に 私の-舌が つく-がよい もし ないなら 覚えないなら
H0518 H3808 H5927 H3956 H1692 H0518 H3808 H2142

אֶת־ יְרוּשָׁלִַם עַל רֹאשׁ שִׂמְחָתִי׃
エルサレムを 私の-最も-大きな 頂に 喜びの
H0853 H3389 H5921 H7218 H8057

7 זְכֹר יְהוָה לִבְנֵי אֱדוֹם אֵת יוֹם יְרוּשָׁלִָם
覚えてください 主よ エドムの-子らを エドムの 日を エルサレムの
H2142 H3068 H0123 H0853 H3117 H3389

הָאֹמְרִים עָרוּ עָרוּ עַד הַיְסוֹד בָּהּ׃
言った-者たちを 壊せ 壊せ その-基まで 基まで それを
H0559 H6168 H6168 H5704 H3247

8 בַּת־ בָּבֶל הַשְּׁדוּדָה אַשְׁרֵי שֶׁיְּשַׁלֶּם־ לָךְ אֶת־ גְּמוּלֵךְ
娘よ バビロンの 滅ぼされる-者よ 幸いなるかな 報いる-者は お前に お前の 仕打ちを
H1323 H0894 H7703 H0835 H7999 H0853 H1576

שָׁגָמַלְתְּ לָנוּ׃
お前が-した-ように 私たちに
H1580

9 וְאַשְׁרֵי שֶׁיֹּאחֵז וְנִפֵּץ אֶת־ עֹלָלַיִךְ אֶל־ הַסָּלַע׃
幸いなるかな 掴み-取る-者は 打ち-砕く-者は お前の 幼子を 岩に 岩に
H0835 H0270 H5310 H0853 H5768 H0413 H5553

Chapter 138

1 לְדָוִד אוֹדְךָ בְכָל־ לִבִּי נֶגֶד אֱלֹהִים אֲזַמְּרֶךָּ׃
ダビデの-詩 感謝します すべての 心をもって 前において 神々の ほめ-歌います
H1732 H3034 H3605 H3820 H5048 H0430 H2167

2 אֶשְׁתַּחֲוֶה אֶל־ הֵיכַל קָדְשְׁךָ וְאוֹדֶה אֶת־ שְׁמֶךָ
ひれ伏します あなたの-聖なる 宮に-向かって 聖なる 感謝します あなたの 御名を
H7812 H0413 H1964 H6944 H3034 H0853 H8034

עַל־ חַסְדְּךָ וְעַל־ אֲמִתֶּךָ כִּי־ הִגְדַּלְתָּ
あなたの-慈しみの-ゆえに 慈しみと あなたの-真実の-ゆえに 真実の なぜなら 大きくされた
H3804 H2617 H0571 H3588 H1431

עַל־ כָּל־ שִׁמְךָ אִמְרָתֶךָ׃
すべての-上に すべての 御名の 御言葉を
H3605 H8034 H0565

3 בְּיוֹם קָרָאתִי וַתַּעֲנֵנִי תַּרְהִבֵנִי בְנַפְשִׁי עֹז׃
私が-呼んだ-日に 呼び-求めた-時 答えてくださった 勇気づけてくださった 私の-魂に 力を
H3117 H7121 H6030 H7292 H5315 H5797

4 יוֹדוּךָ יְהוָה כָּל־ מַלְכֵי־ אֶרֶץ כִּי שָׁמְעוּ אִמְרֵי־
感謝します 主よ すべての 地の-王たちが 地の なぜなら 聞いたから あなたの-口の-言葉を
H3034 H3068 H3605 H4428 H0776 H3588 H8085 H0561

פִיךָ׃
口の
H6310

5 וְיָשִׁירוּ בִּדַרְכֵי יְהוָה כִּי גְדוֹל כְּבוֹד יְהוָה׃
歌うでしょう 主の-道について 主の 大きいからです なぜなら 主の 主の-栄光は
H7891 H1870 H3068 H3588 H1419 H3519 H3068

6 כִּי־ רָם יְהוָה וְשָׁפָל יִרְאֶה וְגָבֹהַּ מִמֶּרְחָק יְיֵדָֽע׃
なぜなら 高くあっても 主は 低い–者を 見てくださり 高ぶる–者を 遠くから–見抜かれます 知っておられます
H3045 H4801

7 אִם־ אֵלֵךְ בְּקֶרֶב צָרָה תְּחַיֵּנִי עַל אַף אֹיְבַי וְתוֹשִׁיעֵנִי יְמִינֶֽךָ׃
たとえ 歩いても 苦難の–中を 生かしてくださいます 敵–怒りに–向かって 敵の 救ってくださいます あなたの–右の–手が
H3212 H7130 H2421 H0639 H0341 H3467 H3225

תִּשְׁלַח יָדֶֽךָ
伸ばしてくださいます 御手を
H7971 H3027

8 יְהוָה יִגְמֹר בַּעֲדִי יְהוָה חַסְדְּךָ לְעוֹלָם מַעֲשֵׂי יָדֶֽיךָ׃ אַל־ תֶּרֶף׃
主は 成し–遂げてくださいます 私の–ために 主よ あなたの–慈しみは とこしえに 御手の–業を 捨てないで ください
H3068 H1584 H1157 H3068 H2617 H5769 H3027 H0408 H7503

Chapter 139

1 לַמְנַצֵּחַ לְדָוִד יְהוָה חְקַרְתַּנִי וַתֵּדָֽע׃
指揮者の–ために ダビデの 詩篇 主よ 探られました 知っておられます
H5329 H1732 H4210 H3068 H2713 H3045

2 אַתָּה יָדַעְתָּ שִׁבְתִּי וְקוּמִי בַּנְתָּה לְרֵעִי מֵרָחֹֽוק׃
あなたは 知っておられます 座ることも 立つことも 悟り–知っておられます 私の–思いを 遠くから
H3045 H3427 H6965 H0995 H7454 H7350

3 אָרְחִי וְרִבְעִי זֵרִיתָ וְכָל־ דְּרָכַי הסכנתה׃
私の–歩みも 伏すことも 調べ–尽くされます 私の–すべての 道を 精通–知っておられます
H0734 H7252 H2219 H3605 H1870 H5532

4 כִּי אֵין מִלָּה בִּלְשׁוֹנִי הֵן יְהוָה יָדַעְתָּ כֻּלָּֽהּ׃
なぜなら まだ–ないのに 言葉が 私の–舌に 見よ 主よ 知っておられます すべてを
H3588 H0369 H4405 H3956 H2005 H3068 H3045 H3605

5 אָחוֹר וָקֶדֶם צַרְתָּנִי וַתָּשֶׁת עָלַי כַּפֶּכָֽה׃
後ろからも 前からも 囲まれています 置かれています 私の–上に 御手が
H0268 H6923 H7896 H5921 H3709

6 פְּלִיאָה(פלאיה) דַּעַת מִמֶּנִּי נִשְׂגְּבָה לֹא־ אוּכַל לָהּ׃
不思議なる 知識は 私には 高くて 届かない 届かない それに
H6383 H1847 H4480 H7682 H3808 H3201

7 אָנָה אֵלֵךְ מֵרוּחֶךָ וּמֵאָנָה מִפָּנֶיךָ אֶבְרָֽח׃
どこに 行けましょうか あなたの–霊から どこに 逃れましょうか あなたの–御前から
H0575 H3212 H7307 H0575 H6440 H1272

8 אִם־ たとえ H5266
אֶסָּק 昇っても H8064
שָׁמַיִם 天に H8033
שָׁם そこに H8033
אַתָּה あなたが–おられます
וְאַצִּיעָה 敷いても H3331
שְׁאוֹל よみに H7585
הִנָּךְ׃ 見よ–そこにも H2009

9 אֶשָּׂא 取って H5375
כַנְפֵי־ 翼を H3671
שָׁחַר 曙の H7837
אֶשְׁכְּנָה 住んでも H7931
בְּאַחֲרִית 果てに H0319
יָם׃ 海の H3220

10 גַּם־ そこでも H1571
יָדְךָ 御手が H3027
שָׁם そこで H8033
תַּנְחֵנִי 導いてくださいます H5148
וְתֹאחֲזֵנִי 支えてくださいます H0270
יְמִינֶךָ׃ 右の–手が H3225

11 וָאֹמַר 言った H0559
אַךְ־ ただ H0389
חֹשֶׁךְ 闇が H2822
יְשׁוּפֵנִי 覆うだろうと H7779
וְלַיְלָה しかし–夜も H3915
אוֹר 光となります H0216
בַּעֲדֵנִי׃ 私の–周りで H1157

12 גַּם־ それでも H1571
חֹשֶׁךְ־ 闇も H2822
לֹא־ 暗くは–ない H3808
יַחְשִׁיךְ 暗くは–ない H2821
מִמֶּךָּ あなたには
וְלַיְלָה 夜も H3915
כַּיּוֹם 昼のように H3117
יָאִיר 輝きます H0215
כַּחֲשֵׁיכָה 闇も H2825
כָּאוֹרָהּ׃ 光の–ようです

13 כִּי־ なぜなら H3588
אַתָּה あなたが
קָנִיתָ 造られました H7069
כִלְיֹתָי 私の–内臓を H3629
תְּסֻכֵּנִי 織り–合わせてくださいました H5526
בְּבֶטֶן 母の–胎の–中で H0990
אִמִּי׃ 母の H0517

14 אוֹדְךָ 感謝します H3034
עַל なぜなら H5921
כִּי まことに H3588
נוֹרָאוֹת 畑れ多く H3372
נִפְלֵיתִי 造られました H6395
נִפְלָאִים 不思議です H6381
מַעֲשֶׂיךָ あなたの–業は H4639
וְנַפְשִׁי 私の–魂は H5315
יֹדַעַת よく–知っています H3045
מְאֹד׃ よく H3966

15 לֹא־ 隠されては–いませんでした H3808
נִכְחַד 隠されては–いませんでした H3582
עַצְמִי 私の–骨は H6108
מִמֶּךָּ あなたから
אֲשֶׁר־ 私が
עֻשֵּׂיתִי 造られた–時
בְּתַחְתִּיּוֹת 地の–深みで H8482
אָרֶץ׃ 地の H0776
רֻקַּמְתִּי 織り–成された–時 H7551
בַסֵּתֶר 隠れた–所で

16 וְגֶלְמִי 私の–胎児を H1564
רָאוּ 見ておられました H7200
עֵינֶיךָ あなたの–目が
וְעַל־ あなたの–書に
סִפְרְךָ 書に
כֻּלָּם すべてが H3605
יִכָּתֵבוּ 記されていました H3789
יָמִים 日々が H3117
יֻצָּרוּ 形づくられました H3335
וְלוֹ)その–一つも(
אֶחָד 一つも H0259
בָּהֶם׃ その–中に

17 וְלִי 私にとって
מַה־ なんと H4100
יָקְרוּ 貴いことでしょう H3365
רֵעֶיךָ あなたの–御思いは H7454
אֵל 神よ H0410
מֶה なんと H4100
עָצְמוּ 大きいことでしょう
רָאשֵׁיהֶם׃ その–総数は

18 אֶסְפְּרֵם מִחּוֹל יִרְבּוּן הֲקִיצֹתִי וְעוֹדִי עִמָּךְ׃
数えても 砂よりも 多いのです 目覚めても なお あなたと–共に–います
H5608 H2344 H7235 H6974 H5750

19 אִם־ תִּקְטֹל אֱלוֹהַּ רָשָׁע וְאַנְשֵׁי דָמִים סוּרוּ מֶנִּי׃
もし 殺してくださるなら 神よ 悪しき–者を 流血の–人々よ 去れ 私から
H0518 H6991 H0433 H7563 H0376 H1818 H5493 H4480

20 אֲשֶׁר יֹאמְרֻךָ לִמְזִמָּה נָשְׂא לַשָּׁוְא עָרֶיךָ׃
彼らは 言います 悪意をもって 担ぎ–上げます 偽りに あなたの–敵を
H1931 H0559 H4209 H5375 H7723 H6145

21 הֲלוֹא־ מְשַׂנְאֶיךָ יְהוָה אֶשְׂנָא וּבְתַקּוֹמְמֶיךָ אֶתְקוֹטָט׃
まことに あなたを–憎む–者を 主よ 憎みます あなたに–逆らう–者を 忌みます
H3808 H8130 H3068 H8130 H8130 H6962

22 תַּכְלִית שִׂנְאָה שְׂנֵאתִים לְאוֹיְבִים הָיוּ לִי׃
完全なる 憎しみをもって 憎みます 敵と–なります なります 私にとって
H8503 H8135 H8130 H0341 H1961

23 חָקְרֵנִי אֵל וְדַע לִבָּבִי בְּחָנֵנִי וְדַע שַׂרְעַפָּי׃
探ってください 神よ 知ってください 私の–心を 試してください 知ってください 私の–思いを
H2713 H0410 H3045 H3824 H0974 H3045 H8312

24 וּרְאֵה אִם־ דֶּרֶךְ־ עֹצֶב בִּי וְנַחֵנִי בְּדֶרֶךְ׃ עוֹלָם׃
見てください もし 悲しみの–道が 私に–あるなら 導いてください とこしえの–道に とこしえの
H7200 H0518 H1870 H6089 H3272 H5148 H1870 H5769

Chapter 140

1 לַמְנַצֵּחַ מִזְמוֹר לְדָוִד׃ חַלְּצֵנִי יְהוָה מֵאָדָם רָע
指揮者の–ために 詩篇 ダビデの 助け–出してください 主よ 悪しき–人から 悪しき
H5329 H4210 H1732 H2502 H3068 H0120 H7451

מֵאִישׁ חֲמָסִים תִּנְצְרֵנִי׃
暴力の–人から 暴力の 守ってください
H0376 H2555 H5341

聖歌隊の指揮者によってうたわせたダビデの歌 主よ、悪しき人々からわたしを助け出し、わたしを守って、乱暴な人々からのがれさせてください。

2 אֲשֶׁר חָשְׁבוּ רָעוֹת בְּלֵב כָּל־ יוֹם יָגוּרוּ מִלְחָמוֹת׃
彼らは 企みます 悪を 心の–中で 毎日 日ごとに 集まります 戦いの–ために
H2803 H7451 H3820 H3605 H3117 H1481 H4421

彼らは心のうちに悪い事をはかり、絶えず戦いを起します。

3 שָׁנְנוּ לְשׁוֹנָם כְּמוֹ־ נָחָשׁ חֲמַת עַכְשׁוּב תָּחַת שְׂפָתֵימוֹ סֶלָה׃
研ぎます 彼らの–舌を 蛇の–ように 蛇の 毒が まむしの その–下に 唇の セラ
H8150 H3956 H3644 H5175 H2534 H5919 H8478 H8193 H5542

彼らはへびのようにおのが舌を鋭くし、そのくちびるの下にはまむしの毒があります。[セラ

תִּנְצְרֵנִי	חֲמָסִים	מֵאִישׁ	רָשָׁע	מִידֵי	וְיהוָה	שָׁמְרֵנִי	4
守ってください	暴力の	暴力の–人から	悪しき–者の	悪しき–者の–手から	主よ	守ってください	
H5341	H2555	H0376	H7563	H3027	H3068	H8104	

פְּעָמָי׃	לִדְחוֹת	חָשְׁבוּ	אֲשֶׁר
私の–足を	つまずかせることを	企みます	彼らは
H6471		H2803	

主よ、わたしを保って、悪しき人の手からのがれさせ、わたしを守って、わが足をつまずかせようとする乱暴な人々からのがれさせてください。

מַעְגָּל	לְיַד־	רֶשֶׁת	פָּרְשׂוּ	וַחֲבָלִים	לִי	פַּח	וּגְאִים	טָמְנוּ־	5
道の	道の–働に	網を	張りました	綱と	私の–ために	罠を	高ぶる–者が	隠しました	
H4570	H3027	H7568	H6566				H1343	H2934	

סֶּלָה׃	לִי	שָׁתוּ־	מוֹקְשִׁים	
セラ	私の–ために	仕掛けました	わなを	
H5542		H7896	H4170	

高ぶる者はわたしのためにわなを伏せ、綱をもって網を張り、道のほとりにわなを設けました。[セラ

תַּחֲנוּנָי׃	קוֹל	יְהוָה	הַאֲזִינָה	אָתָּה	אֵלִי	לַיהוָה	אָמַרְתִּי	6
私の–嘆願の	声に	主よ	耳を–傾けてください	あなたです	私の–神よ	主に	言いました	
H8469		H3068	H0238		H0410	H3068	H0559	

わたしは主に言います、「あなたはわが神です。主よ、わが願いの声に耳を傾けてください。

נָשָׁק׃	בְּיוֹם	לְרֹאשִׁי	סַכְתָּה	יְשׁוּעָתִי	עֹז	אֲדֹנָי	יְהוִה	7
戦いの	戦いの–日に	私の–頭を	覆ってくださいました	私の–救いの	力	神よ	主なる	
H5402	H3117			H3444	H5797	H0136	H3069	

わが救の力、主なる神よ、あなたは戦いの日に、わがこうべをおおわれました。

זְמָמוֹ	רָשָׁע	מַאֲוַיֵּי	יְהוָה	תִּתֵּן	אַל־		8
彼らの–企みを	悪しき–者の	悪しき–者の–望みを	主よ	与えないでください	与えないでください		
H2162	H7563	H3970	H3068	H5414	H0408		

סֶּלָה׃	יָרוּמוּ	תָּפֵק	אַל־
セラ	高ぶらない–ように	達させないでください	達させないでください
H5542		H6329	H0408

主よ、悪しき人の願いをゆるさないでください。その悪しき計画をとげさせないでください。[セラ

יִכָּסְמוּ׃)	[יכסומו	שְׂפָתֵימוֹ	עֲמַל	מְסִבָּי	רֹאשׁ	9
覆うであろう	覆うであろう	彼らの–唇の	労苦が	囲む–者たちの	頭が	
H3680	H3680	H8193	H5999	H4524		

わたしを囲む者がそのこうべをあげるとき、そのくちびるの害悪で彼らをおおってください。

בְּמַהֲמֹרוֹת	יַפִּלֵם	בָּאֵשׁ	גֶּחָלִים	עֲלֵיהֶם	יִמּוֹטוּ)	[ימיטון	10
深い–穴に	落とすであろう	火の–中に	燃える–炭が	彼らの–上に	降るであろう	降るであろう	
H4113	H5307	H0784	H1513		H4131	H4131	

יָקוּמוּ׃	בַּל־
立てない–ように	二度と
	H1077

燃える炭を彼らの上に落してください。彼らを穴に投げ入れ、再び上がることのできないようにしてください。

11 אִישׁ לָשׁוֹן בַּל־ יִכּוֹן בָּאָרֶץ אִישׁ־ חָמָס רָעָה
悪口を–言う–者は 舌の 定まらない 定まらない 地には 暴力の–人を 悪が
H0376 H3956 H1077 H3956 H0776 H0376 H2555

יְצוּדֶנּוּ לְמַדְחֵפוֹת׃
狩るであろう 滅ぼす–ために
H4073

悪口を言う者を世に立たせないでください。乱暴な人をすみやかに災に追い捕えさせてください」。

12 וידעת] יָדַעְתִּי(כִּי־ יַעֲשֶׂה יְהוָה דִּין עָנִי
知っています 知っています まことに 行ってくださいます 主は 苦しむ–訴えを 苦しむ–者の
H3045 H3045 H3068 H1779 H6041

אֶבְיוֹנִים׃ מִשְׁפַּט
乏しい–者の 乏しい–者の–裁きを
H0034 H4941

わたしは主が苦しむ者の訴えをたすけ、貧しい者のために正しいさばきを行われることを知っています。

13 אַךְ צַדִּיקִים יוֹדוּ לִשְׁמֶךָ יֵשְׁבוּ יְשָׁרִים אֶת־ פָּנֶיךָ׃
まことに 正しい–者は 感謝します 御名に 住まいます 正しい–者は あなたの–御前に 御前に
H0389 H6662 H3034 H8034 H3427 H3477 H0854 H6440

正しい人は必ずみ名に感謝し、直き人はみ前に住むでしょう。

Chapter 141

1 מִזְמוֹר לְדָוִד יְהוָה קְרָאתִיךָ חוּשָׁה לִי הַאֲזִינָה
詩篇 ダビデの 主よ 呼び–求めます 急いでください 私の–もとに 耳を–傾けてください
H4210 H1732 H3068 H7121 H2363 H0238

קוֹלִי בְקָרְאִי־ לָךְ׃
私の–声に 呼び–求める–時 あなたに
H7121

ダビデの歌 主よ、わたしはあなたに呼ばわります。すみやかにわたしをお助けください。わたしがあなたに呼ばわるとき、わが声に耳を傾けてください。

2 תִּכּוֹן תְּפִלָּתִי קְטֹרֶת לְפָנֶיךָ מַשְׂאַת כַּפַּי
整えられますように 私の–祈りが 香のように 御前に 両手を–上げることが 両手の
H8605 H7004 H6440 H4864 H3709

מִנְחַת־ עֶרֶב׃
夕べの–供え物の–ように 夕べの
H4503 H6153

わたしの祈を、み前にささげる薫香のようにみなし、わたしのあげる手を、夕べの供え物のようにみなしてください。

3 שִׁיתָה יְהוָה שָׁמְרָה לְפִי נְצֹרָה עַל־ דֶּל שְׂפָתָי׃
置いてください 主よ 見張りを 私の–口に 守ってください 私の–唇の 戸を 唇の
H7896 H3068 H8108 H6310 H5341 H5921 H1817 H8193

主よ、わが口に門守を置いて、わがくちびるの戸を守ってください。

4

לְהִתְעֹולֵֽל	רָ֭ע	וְלִדְבַ֣ר	לִבִּ֑י	תַּט־	אַל־
行わない–ように	悪しき	悪しき–事に	私の–心を	傾けないでください	傾けないでください
		H1697		H5186	H0408

וּבַל־	אָ֝וֶן	פֹּ֗עֲלֵי־	אִישִׁ֥ים	אֶת־	בְּרֶ֫שַׁע	וְעִלֻּלֹ֥ות
食べない–ように	不正の	不正を–行う	人々と	不正を–行う–人々と	悪の–中で	悪しき–業を
H1077	H0205	H6466	H0376	H0854	H7562	H5949

בְּמַנְעַמֵּיהֶֽם׃	אֶלְחַ֥ם
彼らの–ごちそうを	食べない–ように
H4516	

悪しき事にわが心を傾けさせず、不義を行う人々と共に悪しきわざにあずからせないでください。また彼らのうまき物を食べさせないでください。

5

רֹ֑אשׁ	שֶׁ֥מֶן	וְיוֹכִיחֵ֥נִי	חֶ֝סֶד	וְצַדִּ֗יק	יְהַלְמֵ֥נִי־	
頭の	油の–ような	戒めてください	慈しみをもって	正しい–者が	打ってください	
	H8081	H3198		H6662	H1986	

וּתְפִלָּתִ֥י	עֹ֑וד	כִּי־	רֹאשִׁ֥י	אַל־	
私の–祈りは	なお	なぜなら–なお	私の–頭を	拒まないでください	拒まないでください
H8605	H5750			H5106	H0408

בְּרָעֹותֵיהֶֽם׃
彼らの–悪に–対して

正しい者にいつくしみをもってわたしを打たせ、わたしを責めさせてください。しかし悪しき者の油をわがこうべにそそがせないでください。わが祈は絶えず彼らの悪しきわざに敵しているからです。

6

נָעֵ֥מוּ׃	כִּ֤י	אִמְרַ֗י	וְשָׁמְע֥וּ	שֹׁפְטֵיהֶ֑ם	סֶ֥לַע	בִּידֵי־	נִשְׁמְט֥וּ	
快いからです	なぜなら	私の–言葉を	聞くであろう	彼らの–裁き人が	岩の	岩の–手に	落とされた	
H5276		H0561	H8085	H8199	H5553	H3027	H8058	

彼らはおのれを罪に定める者にわたされるとき、主のみ言葉のまことなることを学ぶでしょう。

7

שְׁאֹ֑ול׃	לְפִ֥י	עַצְמֵ֥ינוּ	נְפִזְר֥וּ	בָּאָ֗רֶץ	וּבֹקֵ֥עַ	פֹּלֵ֑חַ	כְּמֹ֥ו	
よみの	よみの–口に	私たちの–骨が	散らばれました	地を	割る–ように	耕す–者が	あたかも	
H7585	H6310	H6106	H6340	H0776	H1234	H6398	H3644	

人が岩を裂いて地の上に打ち砕くように、彼らの骨は陰府の口にまき散らされるでしょう。

8

אַל־	חָסִ֣יתִי	בְכָ֑ה	עֵינָ֥י	אֲדֹנָ֗י	יְ֭הוָה	וְאֵלֶ֣יךָ	כִּ֤י
捨てないでください	頼ります	あなたに	私の–目は	神よ	主なる	あなたに	なぜなら
H0408	H2620			H0136	H3069	H0413	

נַפְשִׁ֥י׃	תְּעֵ֑ר
私の–魂を	捨てないでください
H5315	H6168

しかし主なる神よ、わが目はあなたに向かっています。わたしはあなたに寄り頼みます。わたしを助けるものもないままに捨ておかないでください。

9

אָ֑וֶן׃	פֹּ֝עֲלֵ֗י	וּמֹקְשֹׁ֥ות	לִ֭י	יָקְשׁ֥וּ	פַּ֗ח	מִ֣ידֵי	שָׁמְרֵ֑נִי	
不正の	不正を–行う–者の	わなからも	私に	仕掛けた	罠の	罠の–手から	守ってください	
H0205	H6466	H4170		H3369		H3027	H8104	

わたしを守って、彼らがわたしのために設けたわなと、悪を行う者のわなとをのがれさせてください。

10

אֶעֱבֹֽור׃	עַד־	אָנֹכִ֥י	יַ֝חַד	רְשָׁעִ֗ים	בְּמַכְמֹרָ֥יו	יִפְּל֑וּ	
過ぎ–去ります	過ぎ–去るまで	私は	共に	悪しき–者が	自らの–罠に	落ちるであろう	
	H5704	H0595		H7563		H5307	

わたしがのがれると同時に、悪しき者をおのれの網に陥らせてください。

Chapter 142

אֶזְעָק	יְהוָה	אֶל־	קוֹלִי	תְּפִלָּה׃	בַּמְּעָרָה	בִּהְיוֹתוֹ	לְדָוִד	מַשְׂכִּיל	1
叫びます	主に	主に	私の–声をあげて	祈り	洞窟に	いた–時	ダビデの	教訓の–詩	
H2199	H3068	H0413		H8605	H4631	H1961	H1732	H4905	

אֶתְחַנָּן׃	יְהוָה	אֶל־	קוֹלִי
嘆願します	主に	主に	私の–声をあげて
	H3068	H0413	

ダビデがほら穴にいた時によんだマスキールの歌、祈 わたしは声を出して主に呼ばわり、声を出して主に願い求めます。

אַגִּיד׃	לְפָנָיו	צָרָתִי	שִׂיחִי	לְפָנָיו	אֶשְׁפֹּךְ	2
告げます	御前に	私の–苦しみを	私の–嘆きを	御前に	注ぎ–出します	
H5046	H6440		H7879	H6440	H8210	

わたしはみ前にわが嘆きを注ぎ出し、み前にわが悩みをあらわします。

נְתִיבָתִי	יָדַעְתָּ	וְאַתָּה	רוּחִי	עָלַי	בְּהִתְעַטֵּף	3
私の–道を	知っておられます	しかし–あなたは	私の–霊が	私の–上に	弱り–果てた–時	
	H3045		H7307			

לִי׃	פַּח	טָמְנוּ	אֶהַלֵּךְ	זוּ	בְּאֹרַח־	
私の–ために	罠を	隠しました	歩む	この	私が–歩む–道に	
		H2934	H1980	H2098	H0734	

わが霊のわがうちに消えうせようとする時も、あなたはわが道を知られます。彼らはわたしを捕えようとわたしの行く道にわなを隠しました。

מָנוֹס	אָבַד	מַכִּיר	לִי	וְאֵין־	וּרְאֵה	וְיָמִין	הַבֵּיט	4
逃れ–場が	失われました	知る–者が	私には	誰も–いない	見てください	右を	見てください	
H4498	H0006			H0369	H7200	H3225	H5027	

לְנַפְשִׁי׃	דּוֹרֵשׁ	אֵין	מִמֶּנִּי
私の–魂を	求める–者が	誰も–いない	私から
H5315	H1875	H0369	

わたしは右の方に目を注いで見回したが、わたしに心をとめる者はひとりもありません。わたしには避け所がなく、わたしをかえりみる人はありません。

חֶלְקִי	מַחְסִי	אַתָּה	אָמַרְתִּי	יְהוָה	אֵלֶיךָ	זָעַקְתִּי	5
私の–受け分	私の–避け所	あなたが	言いました	主よ	あなたに	叫びました	
	H4268		H0559	H3068	H0413	H2199	

הַחַיִּים׃	בְּאֶרֶץ
生ける–者の	生ける–者の–地において
	H0776

主よ、わたしはあなたに呼ばわります。わたしは言います、「あなたはわが避け所、生ける者の地でわたしの受くべき分です。

הַצִּילֵנִי	מְאֹד	דַּלֹּתִי	כִּי־	רִנָּתִי	אֶל־	וְהַקְשִׁיבָה	6
救ってください	非常に	弱り–果てました	なぜなら	叫びに	私の	耳を–傾けてください	
H5337	H3966	H1809		H7440	H0413	H7181	

מִמֶּנִּי׃	אָמְצוּ	כִּי	מֵרֹדְפַי	
私よりも	強いからです	なぜなら	追う–者から	
	H0553		H7291	

どうか、わが叫びにみこころをとめてください。わたしは、はなはだしく低くされています。わたしを責める者から助け出してください。彼らはわたしにまさって強いのです。

יַכְתָּרוּ	בִי	שִׁמְךָ	אֶת־	לְהוֹדוֹת	נַפְשִׁי	וּמִמַּסְגֵּר	הוֹצִיאָה	7
囲むでしょう	私の–周りに	御名に	あなたの	感謝する–ために	私の–魂を	牢獄から	出してください	
H3803		H8034	H0853	H3034	H5315	H4525	H3318	

עָלָי׃	תִּגְמֹל	כִּי	צַדִּיקִים
私に	報いてくださいます	なぜなら	正しい–者が
	H1580		H6662

わたしをひとやから出し、み名に感謝させてください。あなたが豊かにわたしをあしらわれるので、正しい人々はわたしのまわりに集まるでしょう」。

Chapter 143

תַּחֲנוּנָי	אֶל־	הַאֲזִינָה	תְּפִלָּתִי	שְׁמַע	יְהוָה	לְדָוִד	מִזְמוֹר	1
嘆願に	私の	耳を–傾けてください	私の–祈りを	聞いてください	主よ	ダビデの	詩篇	
H8469	H0413	H0238	H8605	H8085	H3068	H1732	H4210	

בְּצִדְקָתֶךָ׃	עֲנֵנִי	בֶּאֱמֻנָתֶךָ
あなたの–義をもって	答えてください	あなたの–真実をもって
H6666		H0530

ダビデの歌 主よ、わが祈を聞き、わが願いに耳を傾けてください。あなたの真実と、あなたの正義とをもって、わたしにお答えください。

כִּי	עַבְדֶּךָ	אֶת־	בְּמִשְׁפָּט	תָּבוֹא	וְאַל־		2
なぜなら	しもべを	あなたの–しもべと	裁きに	入らないでください	入らないでください		
	H5650	H0854	H4941	H0935	H0408		

חָי׃	כָּל־	לְפָנֶיךָ	יִצְדַּק	לֹא־
生ける–者の–中に	すべての	御前に	正しい–者は	正しい–者は–いない
	H3605	H6440	H6663	H3808

あなたのしもべのさばきにたずさわらないでください。生ける者はひとりもみ前に義とされないからです。

הוֹשִׁיבַנִי	חַיָּתִי	לָאָרֶץ	דִּכָּא	נַפְשִׁי	וְאוֹיֵב	רָדַף	כִּי	3
住まわせます	私の–命を	地に	踏み–にじります	私の–魂を	敵が	追ってきます	なぜなら	
H3427		H0776	H1792	H5315	H0341	H7291		

עוֹלָם׃	כְּמֵתֵי	בְּמַחֲשַׁכִּים
永遠の	死んだ–者の–ように	闇の–中に
H5769	H4191	H4285

敵はわたしをせめ、わがいのちを地に踏みにじり、死んで久しく時を経た者のようにわたしを暗い所に住まわせました。

לִבִּי׃	יִשְׁתּוֹמֵם	בְּתוֹכִי	רוּחִי	עָלַי	וַתִּתְעַטֵּף	4
私の–心が	驚きます	私の–中で	私の–霊が	私の–上に	弱り–果てます	
	H8074	H8432	H7307			

それゆえ、わが霊はわがうちに消えうせようとし、わが心はわがうちに荒れさびれています。

יָדֶיךָ	בְּמַעֲשֵׂה	פָּעָלֶךָ	בְּכָל־	הָגִיתִי	מִקֶּדֶם	וְיָמִים	זָכַרְתִּי	5
御手の	御手の–業を	御業を	すべての	思い–巡らします	昔の	昔の–日々を	思い–出します	
H3027	H4639	H6467	H3605	H1897		H3117	H2142	

אָשׂוֹחֵחַ׃
思い–巡らします
H7878

わたしはいにしえの日を思い出し、あなたが行われたすべての事を考え、あなたのみ手のわざを思います。

6

פָּרַשְׂתִּי	יָדַי	אֵלֶיךָ	נַפְשִׁי	כְּאֶרֶץ־	עֲיֵפָה	לְךָ	סֶלָה׃
広げます	私の–手を	あなたに–向かって	私の–魂は	渇いた–地の–ように	渇いた	あなたを	セラ
H6566	H3027	H0413	H5315	H0776	H5889		H5542

わたしはあなたにむかって手を伸べ、わが魂は、かわききった地のようにあなたを慕います。[セラ

7

תַּסְתֵּר	אַל־	רוּחִי	כָּלְתָה	יְהוָה	עֲנֵנִי	מַהֵר	
隠さないでください	隠さないでください	私の–霊が	尽きます	主よ	答えてください	急いでください	
H5641	H0408	H7307	H3615	H3068			

בּוֹר׃	יֹרְדֵי	עִם־	וְנִמְשַׁלְתִּי	מִמֶּנִּי	פָּנֶיךָ
穴に	穴に–下る–者と	同じに–なる	ならない–ように	私から	御顔を
	H3381				H6440

主よ、すみやかにわたしにお答えください。わが霊は衰えます。わたしにみ顔を隠さないでください。さもないと、わたしは穴にくだる者のようになるでしょう。

8

הוֹדִיעֵנִי	בָּטָחְתִּי	בְךָ	כִּי־	חַסְדֶּךָ	וּבַבֹּקֶר	הַשְׁמִיעֵנִי
知らせてください	頼ります	あなたに	なぜなら	あなたの–慈しみを	朝に	聞かせてください
	H0982				H1242	H8085

נַפְשִׁי׃	נָשָׂאתִי	אֵלֶיךָ	כִּי־	אֵלֵךְ	זֶּה	דֶּרֶךְ־
私の–魂を	上げます	あなたに	なぜなら	歩みます	この	行くべき–道を
H5315	H5375	H0413		H3212	H2098	H1870

あしたに、あなたのいつくしみを聞かせてください。わたしはあなたに信頼します。わが歩むべき道を教えてください。わが魂はあなたを仰ぎ望みます。

9

כִּסִּיתִי׃	אֵלֶיךָ	יְהוָה	מֵאֹיְבַי	הַצִּילֵנִי
隠れます	あなたに	主よ	敵から	救ってください
H3680	H0413	H3068	H0341	H5337

主よ、わたしをわが敵から助け出してください。わたしは避け所を得るためにあなたのもとにのがれました。

10

טוֹבָה	רוּחֲךָ	אֱלֹהַי	אַתָּה	כִּי־	רְצוֹנֶךָ	לַעֲשׂוֹת	וְלַמְּדֵנִי
良い	あなたの–霊が	私の–神です	あなたが	なぜなら	御心を	行うことを	教えてください
	H7307	H0433			H7522		H3925

מִישׁוֹר׃	בְּאֶרֶץ	תַּנְחֵנִי
平らなる	平らなる–地に	導いてください
H4334	H0776	H5148

あなたのみむねを行うことを教えてください。あなたはわが神です。恵みふかい、みたまをもってわたしを平らかな道に導いてください。

11

מִצָּרָה	תּוֹצִיא	וּבְצִדְקָתְךָ	תְּחַיֵּנִי	יְהוָה	שִׁמְךָ	לְמַעַן־
苦難から	出してください	あなたの–義をもって	生かしてください	主よ	御名の	御名の–ゆえに
	H3318	H6666	H2421	H3068	H8034	H4616

נַפְשִׁי׃
私の–魂を
H5315

主よ、み名のために、わたしを生かし、あなたの義によって、わたしを悩みから救い出してください。

12 וּבְחַסְדְּךָ תַּצְמִית אֹיְבָי וְהַאֲבַדְתָּ כָּל־צֹרְרֵי
あなたの–慈しみをもって 滅ぼしてください 私の–敵を 滅ぼしてください すべての 苦しめる–者を
H6789 H0341 H0006 H3605

נַפְשִׁי כִּי אֲנִי עַבְדֶּךָ׃
私の–魂を なぜなら 私は あなたの–しもべです
H5315 H0589 H5650

また、あなたのいつくしみによって、わが敵を断ち、わがあだをことごとく滅ぼしてください。わたしはあなたのしもべです。

Chapter 144

1 וּלְדָוִד בָּרוּךְ יְהוָה צוּרִי הַמְלַמֵּד יָדַי לְקְרָב אֶצְבְּעוֹתַי
ダビデの–詩 ほむべきかな 主は 私の–岩 教えてくださる–方 私の–手に 戦いを 私の–指に
H1732 H1288 H3068 H6697 H3925 H3027 H7128 H0676

לַמִּלְחָמָה׃
戦いを
H4421

ダビデの歌 わが岩なる主はほむべきかな。主は、いくさすることをわが手に教え、戦うことをわが指に教えられます。

2 חַסְדִּי וּמְצוּדָתִי מִשְׂגַּבִּי וּמְפַלְטִי לִי מָגִנִּי וּבוֹ חָסֵיתִי הָרוֹדֵד
私の–慈しみ 私の–城 私の–砦 私の–救い–主 私の–ために 私の–盾 主に 頼ります 従わせる–方
H2620 H4043 H6403 H7286

עַמִּי תַּחְתָּי׃
私の–民を 私の–下に
H8478

主はわが岩、わが城、わが高きやぐら、わが救主、わが盾、わが寄り頼む者です。主はもろもろの民をおのれに従わせられます。

3 יְהוָה מָה־אָדָם וַתֵּדָעֵהוּ בֶּן־אֱנוֹשׁ וַתְּחַשְּׁבֵהוּ׃
主よ 何でしょうか 人間とは 知ってくださるのは 人の–子とは 人の 思ってくださるのは
H3068 H4100 H0120 H3045 H0582 H2803

人よ、人は何ものなので、あなたはこれをかえりみ、人の子は何ものなので、これをみこころに、とめられるのですか。

4 אָדָם לַהֶבֶל דָּמָה יָמָיו כְּצֵל עוֹבֵר׃
人間は 息の–ようです 似ています その–日々は 影の–ように 過ぎ–去ります
H0120 H1892 H1819 H3117 H6738

人は息にひとしく、その日は過ぎゆく影にひとしいのです。

5 יְהוָה הַט־שָׁמֶיךָ וְתֵרֵד גְּעֵ בֶהָרִים וְיֶעֱשָׁנוּ׃
主よ 傾けてください 天を 降ってください 触れてください 山々に 煙を–上げます
H3068 H5186 H8064 H3381 H5060 H2022 H6225

主よ、あなたの天を垂れてくだり、山に触れて煙を出させてください。

6 בְּרוֹק בָּרָק וּתְפִיצֵם שְׁלַח חִצֶּיךָ וּתְהֻמֵּם׃
稲妻を–放ち 稲妻を 散らしてください 放ってください あなたの–矢を 混乱させてください
H1299 H1300 H7971 H2671 H2000

いなずまを放って彼らを散らし、矢を放って彼らを打ち敗ってください。

7
שְׁלַח יָדֶיךָ מִמָּרוֹם פְּצֵנִי וְהַצִּילֵנִי מִמַּיִם רַבִּים
伸ばしてください 御手を 高き–所から 助け–出してください 救ってください 大水から 大水から
H7971 H3027 H4791 H6475 H5337 H4325

מִיַּד בְּנֵי נֵכָר׃
異国の–子らの–手から 異国の–子らの 異国の
H3027 H5236

高い所からみ手を伸べて、わたしを救い、大水から、異邦人の手からわたしを助け出してください。

8
אֲשֶׁר פִּיהֶם דִּבֶּר־שָׁוְא וִימִינָם יְמִין שֶׁקֶר׃
彼らの 口は 語ります 偽りを 彼らの–右手は 右手は 偽りの
H6310 H1696 H7723 H3225 H3225 H8267

彼らの口は偽りを言い、その右の手は偽りの右の手です。

9
אֱלֹהִים שִׁיר חָדָשׁ אָשִׁירָה לָךְ בְּנֵבֶל עָשׂוֹר אֲזַמְּרָה־לָּךְ׃
神よ 新しい–歌を 新しい 歌います あなたに 十弦の–琴で 十弦の あなたに ほめ–歌います
H0430 H2319 H7891 H6218 H2167

神よ、わたしは新しい歌をあなたにむかって歌い、十弦の立琴にあわせてあなたをほめ歌います。

10
הַנּוֹתֵן תְּשׁוּעָה לַמְלָכִים מֵחֶרֶב רָעָה׃
与える–方 救いを 王たちに 悪しき–剣から 悪しき
H5414 H8668 H4428 H2719

עַבְדּוֹ דָּוִד אֶת־דָּוִד הַפּוֹצֶה
その–しもべを ダビデを ダビデを 助け–出す–方
H5650 H1732 H0853 H6475

あなたは王たちに勝利を与え、そのしもべダビデを救われます。

11
פְּצֵנִי וְהַצִּילֵנִי מִיַּד בְּנֵי־נֵכָר אֲשֶׁר פִּיהֶם דִּבֶּר־שָׁוְא וִימִינָם יְמִין שֶׁקֶר׃
助け–出してください 救ってください 異国の–子らの–手から 異国の–子らの 異国の 口は 語ります 偽りを 彼らの–右手は 右手は 偽りの
H6475 H5337 H3027 H1696 H7723 H3225 H3225 H8267

わたしを残忍なつるぎから救い、異邦人の手から助け出してください。彼らの口は偽りを言い、その右の手は偽りの右の手です。

12
אֲשֶׁר בָּנֵינוּ כִּנְטִעִים מְגֻדָּלִים בְּנְעוּרֵיהֶם בְּנוֹתֵינוּ כְּזָוִיֹּת
その–時 息子が 苗の–ように 育ちます 若い–時に 娘が 角石の–ように
H1696 H5195 H1431 H1323 H2106

מְחֻטָּבוֹת תַּבְנִית הֵיכָל׃
彫られた 宮殿の–形に 宮殿の
H2404 H8403 H1964

われらのむすこたちはその若い時、よく育った草木のようです。われらの娘たちは宮の建物のために刻まれたすみの柱のようです。

13
מְזָנֵינוּ מְלֵאִים מְפִיקִים מִזַּן אֶל־זַן צֹאנֵנוּ
私たちの–倉は 満ちて 与えます あらゆる–種類の あらゆる–種類の 種類の 私たちの–羊が
H4200 H4392 H6329 H2177 H0413 H2177 H6629

מַאֲלִיפוֹת מְרֻבָּבוֹת בְּחוּצוֹתֵינוּ׃
万と–増え 万と–増え 私たちの–街で
H0503 H7231 H2351

われらの倉は満ちて様々の物を備え、われらの羊は野でちよろずの子を産み、

יוֹצֵאת	וְאֵין	פֶּרֶץ	אֵין־	מְסֻבָּלִים	אַלּוּפֵינוּ	14
出て–行く–者も	出て–行く–者も–なく	破れ–口なく	破れ–口が–なく	荷を–負い	私たちの–牛が	
H3318	H0369	H6556	H0369	H5445		
			בְּרְחֹבֹתֵינוּ׃	צְוָחָה	וְאֵין	
			私たちの–広場で	叫び–声も	叫び–声も–ない	
			H7339	H6682	H0369	

われらの家畜はみごもって子を産むに誤ることなく、われらのちまたには悩みの叫びがありません。

אֱלֹהָיו׃	שֶׁיְּהוָה	הָעָם	אַשְׁרֵי	לּוֹ	שֶׁכָּכָה	הָעָם	אַשְׁרֵי	15
その–神である	主が	民は	幸いなるかな	幸いを	この–ような	民は	幸いなるかな	
H0430	H3068		H0835		H3602		H0835	

このような祝福をもつ民はさいわいです。主をおのが神とする民はさいわいです。

Chapter 145

לְעוֹלָם	שִׁמְךָ	וַאֲבָרְכָה	הַמַּלְכִּי	אֱלוֹהַי	אֲרוֹמִמְךָ	לְדָוִד	תְּהִלָּה	1
とこしえに	御名を	ほめ–たたえます	王よ	私の–神よ	あがめます	ダビデの	賛美の–詩	
H5769	H8034	H1288	H4428	H0433		H1732	H8416	
							וָעֶד׃	
							とこしえに	
							H5703	

ダビデのさんびの歌 わが神、王よ、わたしはあなたをあがめ、世々かぎりなくみ名をほめまつります。

וָעֶד׃	לְעוֹלָם	שִׁמְךָ	וַאֲהַלְלָה	אֲבָרְכֶךָּ	יוֹם	בְּכָל־	2
とこしえに	とこしえに	御名を	賛美します	ほめ–たたえます	日ごとに	毎日	
H5703	H5769	H8034		H1288	H3117	H3605	

わたしは日ごとにあなたをほめ、世々かぎりなくみ名をほめたたえます。

אֵין	וְלִגְדֻלָּתוֹ	מְאֹד	וּמְהֻלָּל	יְהוָה	גָּדוֹל	3
計り–知れない	その–大きさは	大いに	大いに–賛えられるべきです	主は	大いなるかな	
H0369	H1420	H3966		H3068		
					חֵקֶר׃	
					計り–知れない	
					H2714	

主は大いなる神で、大いにほめたたえらるべきです。その大いなることは測り知ることができません。

יַגִּידוּ׃	וּגְבוּרֹתֶיךָ	מַעֲשֶׂיךָ	יְשַׁבַּח	לְדוֹר	דּוֹר	4
告げます	力ある–業を	御業を	賛美します	世代へ	世代から	
H5046	H1369	H4639		H1755	H1755	

この代はかの代にむかってあなたのみわざをほめたたえ、あなたの大能のはたらきを宣べ伝えるでしょう。

אָשִׂיחָה׃	נִפְלְאוֹתֶיךָ	וְדִבְרֵי	הוֹדֶךָ	כְּבוֹד	הֲדַר	5
思い–巡らします	不思議なる	不思議なる–言葉を	威光を	栄光ある	輝かしく	
H7878	H6381	H1697	H1935	H3519	H1926	

わたしはあなたの威厳の光栄ある輝きと、あなたのくすしきみわざとを深く思います。

אֲסַפְּרֶנָּה׃	וּגְדוּלָּתְךָ)	[וגדולתיך	יֹאמֵרוּ	נוֹרְאֹתֶיךָ	וֶעֱזוּז	6
述べます	大いなる	大いなる	語ります	畑れ多き–業を	力ある	
	H1420	H1420	H0559	H3372	H5807	

人々はあなたの恐るべきはたらきの勢いを語り、わたしはあなたの大いなることを宣べ伝えます。

יְרַנְּנוּ׃	וְצִדְקָתְךָ	יַבִּיעוּ	טוּבְךָ	רַב־	זֵכֶר	7
喜び–歌います	義を	溢れ–出させます	善を	豊かなる	記憶を	
	H6666	H5042	H2898		H2143	

彼らはあなたの豊かな恵みの思い出を言いあらわし、あなたの義を喜び歌うでしょう。

חָסֶד׃	וּגְדַל־	אַפַּיִם	אֶרֶךְ	יְהוָה	וְרַחוּם	חַנּוּן	8
慈しみの	豊かなる–慈しみを–持ちます	怒るに	怒るに–遅く	主は	あわれみ深く	恵み深く	
		H0639	H0750	H3068	H7349	H2587	

主は恵みふかく、あわれみに満ち、怒ることおそく、いつくしみ豊かです。

מַעֲשָׂיו׃	כָּל־	עַל־	וְרַחֲמָיו	לַכֹּל	יְהוָה	טוֹב־	9
御業の–上に	すべての	すべての	その–あわれみは	すべてに	主は	良き–方です	
H4639	H3605			H3605	H3068		

主はすべてのものに恵みがあり、そのあわれみはすべてのみわざの上にあります。

יְבָרְכוּכָה׃	וַחֲסִידֶיךָ	מַעֲשֶׂיךָ	כָּל־	יְהוָה	יוֹדוּךָ		10
ほめ–たたえます	聖なる–者が	御業が	すべての	主よ	感謝します		
H1288	H2623	H4639	H3605	H3068	H3034		

主よ、あなたのすべてのみわざはあなたに感謝し、あなたの聖徒はあなたをほめまつるでしょう。

יְדַבֵּרוּ׃	וּגְבוּרָתְךָ	יֹאמֵרוּ	מַלְכוּתְךָ	כְּבוֹד	11
述べます	力ある–業を	語ります	御国の	栄光を	
H1696	H1369	H0559	H4438	H3519	

彼らはみ国の栄光を語り、あなたのみ力を宣べ、

מַלְכוּתוֹ׃	הֲדַר	וּכְבוֹד	גְּבוּרָתָיו	הָאָדָם	לִבְנֵי	וְלְהוֹדִיעַ	12
御国を	輝かしき	栄光ある	力ある–業を	人の	人の–子らに	知らせる–ために	
H4438	H1926	H3519	H1369	H0120		H3045	

あなたの大能のはたらきと、み国の光栄ある輝きとを人の子に知らせるでしょう。

וָדוֹר׃	דּוֹר	בְּכָל־	וּמֶמְשַׁלְתְּךָ	עָלָמִים	כָּל־	מַלְכוּת	מַלְכוּתְךָ	13
世代に	世代と	すべての	あなたの–支配は	世々の	すべての	御国は	あなたの–御国は	
H1755	H1755	H3605	H4475	H5769	H3605	H4438	H4438	

あなたの国はとこしえの国です。あなたのまつりごとはよろずよに絶えることはありません。

הַכְּפוּפִים׃	לְכָל־	וְזוֹקֵף	הַנֹּפְלִים	לְכָל־	יְהוָה	סוֹמֵךְ	14
かがむ–者を	すべての	起こしてくださいます	倒れる–者を	すべての	主は	支えてくださいます	
H3721	H3605	H2210	H5307	H3605	H3068	H5564	

主はすべて倒れんとする者をささえ、すべてかがむ者を立たせられます。

אֶת־	לָהֶם	נוֹתֵן־	וְאַתָּה	יְשַׂבֵּרוּ	אֵלֶיךָ	כֹּל	עֵינֵי־	15
食物を	彼らに	与えてくださいます	あなたが	仰ぎ–見ます	あなたを	すべての	すべての–目が	
H0853	H1992	H5414			H0413	H3605		

בְּעִתּוֹ׃	אָכְלָם
時にかなって	食物を
H6256	H0400

よろずのものの目はあなたを待ち望んでいます。あなたは時にしたがって彼らに食物を与えられます。

רָצוֹן׃	חַי	לְכֹל־	וּמַשְׂבִּיעַ	יָדֶךָ	אֶת־	פּוֹתֵחַ	16
望みを	生ける–ものの	すべての	満たしてくださいます	御手を	御手を	開いてくださいます	
H7522		H3605	H7646	H3027	H0853		

あなたはみ手を開いて、すべての生けるものの願いを飽かせられます。

17
צַדִּיק יְהוָה בְּכָל־דְּרָכָיו וְחָסִיד בְּכָל־מַעֲשָׂיו׃
正しいかな 主は すべての 道において 慈しみ深いかな すべての 御業において
H6662 H3068 H3605 H1870 H2623 H3605 H4639

主はそのすべての道に正しく、そのすべてのみわざに恵みふかく、

18
קָרוֹב יְהוָה לְכָל־קֹרְאָיו לְכֹל אֲשֶׁר יִקְרָאֻהוּ בֶּאֱמֶת׃
近いかな 主は すべての 呼ぶ–者に まことに 呼ぶ–者に 真実をもって
H7138 H3068 H3605 H7121 H3605 H7121 H0571

すべて主を呼ぶ者、誠をもって主を呼ぶ者に主は近いのです。

19
רְצוֹן־ יְרֵאָיו יַעֲשֶׂה וְאֶת־שַׁוְעָתָם יִשְׁמַע וְיוֹשִׁיעֵם׃
望みを 畑れる–者の 行ってくださいます その–叫びを 叫びを 聞いてくださいます 救ってくださいます
H7522 H3373 H6213 H0853 H7775 H8085 H3467

主はおのれを恐れる者の願いを満たし、またその叫びを聞いてこれを救われます。

20
שׁוֹמֵר יְהוָה אֶת־כָּל־אֹהֲבָיו וְאֵת כָּל־הָרְשָׁעִים יַשְׁמִיד׃
守ってくださいます 主は すべての 愛する–者を しかし すべての 悪しき–者を 滅ぼされます
H8104 H3068 H3605 H0157 H0853 H3605 H7563 H8045

主はおのれを愛する者をすべて守られるが、悪しき者をことごとく滅ぼされます。

21
תְּהִלַּת יְהוָה יְדַבֶּר־ פִּי וִיבָרֵךְ כָּל־בָּשָׂר שֵׁם קָדְשׁוֹ לְעוֹלָם וָעֶד׃
賛美を 主の 語ります 私の–口が ほめ–たたえよ すべての 肉なる–ものが 御名を 聖なる–御名を とこしえに とこしえに
H8416 H3068 H1696 H6310 H1288 H3605 H1320 H8034 H6944 H5769 H5703

わが口は主の誉を語り、すべての肉なる者は世々かぎりなくその聖なるみ名をほめまつるでしょう。

Chapter 146

1
הַלְלוּ־ יָהּ הַלְלִי נַפְשִׁי אֶת־יְהוָה׃
ハレルヤ ハレルヤ 賛美せよ 私の–魂よ 主を
H3050 H1984 H5315 H0853 H3068

主をほめたたえよ。わが魂よ、主をほめたたえよ。

2
אֲהַלְלָה יְהוָה בְּחַיָּי אֲזַמְּרָה לֵאלֹהַי בְּעוֹדִי׃
賛美します 主を 生きる–限り ほめ–歌います 私の–神に ある–限り
H1984 H3068 H2416 H2167 H0430 H5750

わたしは生けるかぎりは主をほめたたえ、ながらえる間は、わが神をほめうたおう。

3
אַל־ תִּבְטְחוּ בִּנְדִיבִים בְּבֶן־ אָדָם שֶׁאֵין לוֹ תְּשׁוּעָה׃
頼っては–ならない 君主たちに 人の–子に 人の 救いが–ない 彼には 救いが
H0408 H5081 H1121 H0120 H3467 H0369 H3444

もろもろの君に信頼してはならない。人の子に信頼してはならない。彼らには助けがない。

עֵשְׁתֹּנֹתָיו׃	אָבְדוּ	הַהוּא	בַּיּוֹם	לְאַדְמָתוֹ	יָשָׁב	רוּחוֹ	תֵּצֵא	4
その-企てが	滅びる	その	その-日に	その-地に	帰る	その-息が	出て-行く	
H6250	H0006	H1931	H3117	H0127	H7725	H7307	H3318	

その息が出ていけば彼は土に帰る。その日には彼のもろもろの計画は滅びる。

עַל־	שִׂבְרוֹ	בְּעֶזְרוֹ	יַעֲקֹב	שָׁאֵל	אַשְׁרֵי	5
主の-上に	その-望みを-置く-者は	その-助けである-者は	ヤコブの	ヤコブの-神が	幸いなるかな	
	H7664	H5828	H3290	H0410	H0835	

אֱלֹהָיו׃	יְהוָה
その-神である	主の
H0430	H3068

ヤコブの神をおのが助けとし、その望みをおのが神、主におく人はさいわいである。

הַשֹּׁמֵר	בָּם	אֲשֶׁר־	כָּל־	וְאֶת־	הַיָּם	אֶת־	וָאָרֶץ	שָׁמַיִם	וְעֹשֵׂה	6
守られる-方	その-中の	すべてを	すべての	その-中の	海と	海と	地を	天と	造られた-方	
H8104			H3605	H0853	H3220	H0853	H0776	H8064		

לְעוֹלָם׃	אֱמֶת
とこしえに	真実を
H5769	H0571

主は天と地と、海と、その中にあるあらゆるものを造り、とこしえに真実を守り、

מַתִּיר	יְהוָה	לָרְעֵבִים	לֶחֶם	נֹתֵן	לָעֲשׁוּקִים	וּמִשְׁפָּט	עֹשֶׂה	7
解き-放つ-方	主は	飢える-者に	食物を	与える-方	虐げられる-者の-ために	裁きを	行われる-方	
	H3068	H7457	H3899	H5414	H6231	H4941		

אֲסוּרִים׃	
囚人を	
H0631	

しえたげられる者のためにさばきをおこない、飢えた者に食物を与えられる。主は捕われ人を解き放たれる。

אֹהֵב	יְהוָה	כְּפוּפִים	זֹקֵף	יְהוָה	עִוְרִים	פֹּקֵחַ	וְיהוָה	8
愛される-方	主は	かがむ-者を	起こしてくださる-方	主は	盲人の-目を	開かれる-方	主は	
H0157	H3068	H3721	H2210	H3068	H5787	H6491	H3068	

צַדִּיקִים׃	
正しい-者を	
H6662	

主は盲人の目を開かれる。主はかがむ者を立たせられる。主は正しい者を愛される。

וְדֶרֶךְ	יְעוֹדֵד	וְאַלְמָנָה	יָתוֹם	גֵּרִים	אֶת־	שֹׁמֵר	וְיהוָה	9
しかし-道を	支えてくださる	やもめを	孤児と	寄留者を	寄留者を	守られる-方	主は	
H1870		H0490	H3490	H1616	H0853	H8104	H3068	

יְעַוֵּת׃	רְשָׁעִים
曲げられる	悪しき-者の
H5791	H7563

主は寄留の他国人を守り、みなしごと、やもめとをささえられる。しかし、悪しき者の道を滅びに至らせられる。

יָהּ׃	הַלְלוּ־	וָדֹר	לְדֹר	צִיּוֹן	אֱלֹהַיִךְ	לְעוֹלָם	יְהוָה	יִמְלֹךְ	10
ハレルヤ	ハレルヤ	世代へ	世代から	シオンよ	あなたの-神よ	とこしえに	主は	治められる	
H3050		H1755	H1755	H6726	H0430	H5769	H3068		

主はとこしえに統べ治められる。シオンよ、あなたの神はよろず代まで統べ治められる。主をほめたたえよ。

Chapter 147

נָּעִים	כִּי־	אֱלֹהֵינוּ	זַמְּרָה	טוֹב	כִּי־	וְהָ	הַלְלוּ	1
快く	まことに	私たちの–神を	ほめ–歌うことは	良いことです	まことに	ハレルヤ	ハレルヤ	
		H0430	H2167			H3050		

תְּהִלָּה׃	נָאוָה
賛美は	ふさわしいのです
H8416	H5000

主をほめたたえよ。われらの神をほめうたうことはよいことである。主は恵みふかい。さんびはふさわしいことである。

יְכַנֵּס׃	יִשְׂרָאֵל	נִדְחֵי	יְהוָה	יְרוּשָׁלִַם	בּוֹנֵה	2
集められる	イスラエルの	追われた–者を	主は	エルサレムを	建てられる–方	
H3664	H3478		H3068	H3389	H1129	

主はエルサレムを築き、イスラエルの追いやられた者を集められる。

לְעַצְּבוֹתָם׃	וּמְחַבֵּשׁ	לֵב	לִשְׁבוּרֵי	הָרֹפֵא	3
その–傷を	包んでくださる	心の	心の–砕けた–者を	癒してくださる–方	
H6094	H2280		H7665	H7495	

主は心の打ち砕かれた者をいやし、その傷を包まれる。

יִקְרָא׃	שֵׁמוֹת	לְכֻלָּם	לַכּוֹכָבִים	מִסְפָּר	מוֹנֶה	4
呼ばれる	名を	すべてに	星々の	数を	数えられる–方	
H7121	H8034	H3605	H3556	H4557	H4487	

主はもろもろの星の数を定め、すべてそれに名を与えられる。

מִסְפָּר׃	אֵין	לִתְבוּנָתוֹ	כֹּחַ	וְרַב־	אֲדוֹנֵינוּ	גָּדוֹל	5
計り–知れない	計り–知れない	その–英知は	力の	豊かなる	私たちの–主は	大いなるかな	
H4557	H0369	H8394			H0113		

われらの主は大いなる神、力も豊かであって、その知恵ははかりがたい。

אָרֶץ׃	עֲדֵי־	רְשָׁעִים	מַשְׁפִּיל	יְהוָה	עֲנָוִים	מְעוֹדֵד	6
地に	地まで	悪しき–者を	低くされる–方	主は	柔和な–者を	支えてくださる–方	
H0776	H5704	H7563	H8213	H3068	H6035		

主はしえたげられた者をささえ、悪しき者を地に投げ捨てられる。

בְּכִנּוֹר׃	לֵאלֹהֵינוּ	זַמְּרוּ	בְּתוֹדָה	לַיהוָה	עֱנוּ	7
琴をもって	私たちの–神に	ほめ–歌え	感謝をもって	主に	歌え	
H3658	H0430	H2167	H8426	H3068		

主に感謝して歌え、琴にあわせてわれらの神をほめうたえ。

חָצִיר׃	הָרִים	הַמַּצְמִיחַ	מָטָר	לָאָרֶץ	הַמֵּכִין	בְּעָבִים	שָׁמַיִם	הַמְכַסֶּה	8
草を	山々に	生えさせる–方	雨を	地に	備えられる–方	雲で	天を	覆われる–方	
	H2022	H6779	H4306	H0776		H5645	H8064	H3680	

主は雲をもって天をおおい、地のために雨を備え、もろもろの山に草をはえさせ、

יִקְרָאוּ׃	אֲשֶׁר	עֹרֵב	לִבְנֵי	לַחְמָהּ	לִבְהֵמָה	נוֹתֵן	9
呼ぶ	呼ぶ	烏の	烏の–子に	その–食物を	家畜に	与える–方	
H7121		H6158		H3899	H0929	H5414	

食物を獣に与え、また鳴く小がらすに与えられる。

10 לֹא | בִגְבוּרַת | הַסּוּס | יֶחְפָּץ | לֹא־ | בְּשׁוֹקֵי | הָאִישׁ | יִרְצֶה׃
לֹא
喜ばれない
H3808
בִגְבוּרַת
馬の-力を
H1369
הַסּוּס
馬の
H5483
יֶחְפָּץ
喜ばれない
H2654
לֹא־
人の-足を
H3808
בְּשׁוֹקֵי
人の-足を
H7785
הָאִישׁ
人の
H0376
יִרְצֶה׃
喜ばれない
H7521

主は馬の力を喜ばれず、人の足をよみせられない。

11 רוֹצֶה | יְהוָה | אֶת־ | יְרֵאָיו | אֶת־ | הַמְיַחֲלִים | לְחַסְדּוֹ׃
רוֹצֶה
喜ばれる
H7521
יְהוָה
主は
H3068
אֶת־
畑れる-者を
H0853
יְרֵאָיו
畑れる-者を
H3373
אֶת־
待ち-望む-者を
H0853
הַמְיַחֲלִים
待ち-望む-者を
H3176
לְחַסְדּוֹ׃
その-慈しみを

主はおのれを恐れる者とそのいつくしみを望む者とをよみせられる。

12 שַׁבְּחִי | יְרוּשָׁלַ͏ִם | אֶת־ | יְהוָה | הַלְלִי | אֱלֹהַיִךְ | צִיּוֹן׃
שַׁבְּחִי
賛美せよ
H7623
יְרוּשָׁלַ͏ִם
エルサレムよ
H3389
אֶת־
主を
H0853
יְהוָה
主を
H3068
הַלְלִי
ほめ-たたえよ
H1984
אֱלֹהַיִךְ
あなたの-神を
H0430
צִיּוֹן׃
シオンよ
H6726

エルサレムよ、主をほめたたえよ。シオンよ、あなたの神をほめたたえよ。

13 כִּי־ | חִזַּק | בְּרִיחֵי | שְׁעָרָיִךְ | בֵּרַךְ | בָּנָיִךְ
כִּי־
なぜなら
H3588
חִזַּק
強められました
H2388
בְּרִיחֵי
門の-かんぬきを
H1280
שְׁעָרָיִךְ
門の
H8179
בֵּרַךְ
祈福されました
H1288
בָּנָיִךְ
あなたの-子らを

בְּקִרְבֵּךְ׃
あなたの-中で
H7130

主はあなたの門の貫の木を堅くし、あなたのうちにいる子らを祝福されるからである。

14 הַשָּׂם־ | גְּבוּלֵךְ | שָׁלוֹם | חֵלֶב | חִטִּים | יַשְׂבִּיעֵךְ׃
הַשָּׂם־
置かれる-方
H7760
גְּבוּלֵךְ
あなたの-境に
H1366
שָׁלוֹם
平和を
H7965
חֵלֶב
最良の
H2459
חִטִּים
小麦で
H2406
יַשְׂבִּיעֵךְ׃
満たしてくださる
H7646

主はあなたの国境を安らかにし、最も良い麦をもってあなたを飽かせられる。

15 הַשֹּׁלֵחַ | אִמְרָתוֹ | אָרֶץ | עַד־ | מְהֵרָה | יָרוּץ | דְּבָרוֹ׃
הַשֹּׁלֵחַ
送られる-方
H7971
אִמְרָתוֹ
その-御言葉を
H0565
אָרֶץ
地に
H0776
עַד־
非常に-速く
H5704
מְהֵרָה
速く
H4120
יָרוּץ
走ります
H7323
דְּבָרוֹ׃
その-言葉は
H1697

主はその戒めを地に下される。そのみ言葉はすみやかに走る。

16 הַנֹּתֵן | כַּצֶּמֶר | כְּפוֹר | כָּאֵפֶר | יְפַזָּר׃
הַנֹּתֵן
与える-方
H5414
כַּצֶּמֶר
羊毛の-ように
H6785
כְּפוֹר
霜を
H3713
כָּאֵפֶר
灰の-ように
H0665
יְפַזָּר׃
撒かれる
H6340

主は雪を羊の毛のように降らせ、霜を灰のようにまかれる。

17 מַשְׁלִיךְ | קַרְחוֹ | כְּפִתִּים | לִפְנֵי | קָרָתוֹ | מִי | יַעֲמֹד׃
מַשְׁלִיךְ
投げる-方
H7993
קַרְחוֹ
氷を
H7140
כְּפִתִּים
粒の-ように
H6595
לִפְנֵי
その-寒さの-前に
H6440
קָרָתוֹ
寒さの
H7135
מִי
誰が
H4310
יַעֲמֹד׃
耐えられようか
H5975

主は氷をパンくずのように投げうたれる。だれがその寒さに耐えることができましょうか。

18 יִשְׁלַח | דְּבָרוֹ | וַיְמַסֵּם | יַשֶּׁב | רוּחוֹ | יִזְלוּ־ | מָיִם׃
יִשְׁלַח
送られる
H7971
דְּבָרוֹ
その-言葉を
H1697
וַיְמַסֵּם
溶かされる
H4529
יַשֶּׁב
吹かせる
H5380
רוּחוֹ
その-風を
H7307
יִזְלוּ־
流れる
H5140
מָיִם׃
水が
H4325

主はみ言葉を下してこれを溶かし、その風を吹かせられると、もろもろの水は流れる。

19 מַגִּיד | [דברו] | דְּבָרָיו) | לְיַעֲקֹב | חֻקָּיו | וּמִשְׁפָּטָיו | לְיִשְׂרָאֵל׃
מַגִּיד
告げる-方
H5046
[דברו]
その-御言葉を
H1697
דְּבָרָיו)
御言葉を
H1697
לְיַעֲקֹב
ヤコブに
H3290
חֻקָּיו
その-描を
H2706
וּמִשְׁפָּטָיו
その-裁きを
H4941
לְיִשְׂרָאֵל׃
イスラエルに
H3478

主はそのみ言葉をヤコブに示し、そのもろもろの定めと、おきてとをイスラエルに示される。

יְדָעוּם	בַּל־	וּמִשְׁפָּטִים	גּוֹי	לְכָל־	וְכֵן	עָשָׂה	לֹא	20
知らない	知らない	その–裁きを	国にも	どの–国にも	このように	行われなかった	行われなかった	
H3045	H1077	H4941		H3605			H3808	

יָהּ׃	הַלְלוּ־
ハレルヤ	ハレルヤ
H3050	

主はいずれの国民をも、このようにはあしらわれなかった。彼らは主のもろもろのおきてを知らない。主をほめたたえよ。

Chapter 148

בַּמְּרוֹמִים׃	הַלְלוּהוּ	הַשָּׁמַיִם	מִן־	יְהוָה	אֶת־	הַלְלוּ	וְיָהּ	הַלְלוּ	1
高き–所で	賛美せよ	天から	天から	主を	主を	賛美せよ	ハレルヤ	ハレルヤ	
H4791		H8064		H3068	H0853		H3050		

主をほめたたえよ。もろもろの天から主をほめたたえよ。もろもろの高き所で主をほめたたえよ。

צְבָאָיו׃)	[צבאו	כָּל־	הַלְלוּהוּ	מַלְאָכָיו	כָּל־	הַלְלוּהוּ	2
万軍よ	万軍よ	すべての	賛美せよ	御使いよ	すべての	賛美せよ	
		H3605		H4397	H3605		

その天使よ、みな主をほめたたえよ。その万軍よ、みな主をほめたたえよ。

אוֹר׃	כּוֹכְבֵי	כָּל־	הַלְלוּהוּ	וְיָרֵחַ	שֶׁמֶשׁ	הַלְלוּהוּ	3
光の	輝く–星々よ	すべての	賛美せよ	月よ	太陽よ	賛美せよ	
H0216	H3556	H3605		H3394	H8121		

日よ、月よ、主をほめたたえよ。輝く星よ、みな主をほめたたえよ。

הַשָּׁמָיִם׃	מֵעַל	וְאֲשֶׁר	וְהַמַּיִם	הַשָּׁמַיִם	שְׁמֵי	הַלְלוּהוּ	4
天の	上の	天の–上の	水よ	天の	天の–天よ	賛美せよ	
H8064			H4325	H8064	H8064		

いと高き天よ、天の上にある水よ、主をほめたたえよ。

וְנִבְרָאוּ׃	צִוָּה	הוּא	כִּי	יְהוָה	שֵׁם	אֶת־	יְהַלְלוּ	5
造られた	命じられた	主が	なぜなら	主の	御名を	主の	賛美せよ	
	H6680	H1931		H3068	H8034	H0853		

これらのものに主のみ名をほめたたえさせよ、これらは主が命じられると造られたからである。

יַעֲבוֹר׃	וְלֹא	נָתַן	חָק־	לְעוֹלָם	לָעַד	וַיַּעֲמִידֵם	6
越えない	越えない	定められた	描を–定められた	とこしえに	永遠に	立てられました	
	H3808	H5414	H2706	H5769	H5703	H5975	

主はこれらをとこしえに堅く定め、越えることのできないその境を定められた。

תְּהֹמוֹת׃	וְכָל־	תַּנִּינִים	הָאָרֶץ	מִן־	יְהוָה	אֶת־	הַלְלוּ	7
深みよ	すべての–深みよ	海の–獣よ	地から	地から	主を	主を	賛美せよ	
H8415	H3605		H0776		H3068	H0853		

海の獣よ、すべての淵よ、地から主をほめたたえよ。

דְּבָרוֹ׃	עֹשָׂה	סְעָרָה	רוּחַ	וְקִיטוֹר	שֶׁלֶג	וְכָבָד	אֵשׁ	8
その–言葉を	行う–もの	嵐の	嵐の–風よ	湯気よ	雪よ	雹よ	火よ	
H1697			H7307	H7008	H7950	H1259	H0784	

火よ、あられよ、雪よ、霜よ、み言葉を行うあらしよ、

9 הֶהָרִים וְכָל־גְּבָעוֹת עֵץ פְּרִי וְכָל־אֲרָזִים׃
山々よ すべての 丘よ 実の木よ 実の すべての 杉よ
H2022 H3605 H1389 H6086 H6529 H3605 H0730

もろもろの山、すべての丘、実を結ぶ木、すべての香柏よ、

10 הַחַיָּה וְכָל־בְּהֵמָה רֶמֶשׂ וְצִפּוֹר כָּנָף׃
獣よ すべての 家畜よ 這う-ものよ 翼ある-鳥よ 翼の
H2416 H3605 H0929 H7431 H6833 H3671

野の獣、すべての家畜、這うもの、翼ある鳥よ、

11 מַלְכֵי־אֶרֶץ וְכָל־לְאֻמִּים שָׂרִים כֹּל שֹׁפְטֵי אָרֶץ׃
地の-王たちよ 地の すべての 国々の-民よ 君主たちよ すべての 地の-裁き人よ 地の
H4428 H0776 H3605 H3816 H8269 H3605 H8199 H0776

地の王たち、すべての民、君たち、地のすべてのつかさよ、

12 בַּחוּרִים וְגַם־בְּתוּלוֹת זְקֵנִים עִם־נְעָרִים׃
若き-男よ また 若き-女よ 老人よ 子供と-共に 子供と
H0970 H1571 H1330 H2205 H5288

若い男子、若い女子、老いた人と幼い者よ、

13 וְיהַלְלוּ אֶת־שֵׁם יְהוָה כִּי־נִשְׂגָּב שְׁמוֹ לְבַדּוֹ הוֹדוֹ
賛美せよ 主の 御名を 主の なぜなら 高いからです その-御名は ただ-独り その-栄光は
H1984 H0853 H8034 H3068 H3588 H7682 H8034 H0905 H1935
עַל־אֶרֶץ וְשָׁמָיִם׃
地と-天の-上に 天の
H0776 H8064

彼らをして主のみ名をほめたたえさせよ。そのみ名は高く、たぐいなく、その栄光は地と天の上にあるからである。

14 וַיָּרֶם קֶרֶן לְעַמּוֹ תְּהִלָּה לְכָל־חֲסִידָיו
上げてくださいました 角を その-民の-ために 賛美を すべての 聖なる-者の-ために
H7311 H7161 H5971 H8416 H3605 H2623
לִבְנֵי יִשְׂרָאֵל עַם־קְרֹבוֹ הַלְלוּ־יָהּ׃
イスラエルの-子らの イスラエルの 近き 近き-民の ハレルヤ ハレルヤ
H1121 H3478 H7138 H5971 H1984 H3050

主はその民のために一つの角をあげられた。これはすべての聖徒のほめたたえるもの、主に近いイスラエルの人々のほめたたえるものである。主をほめたたえよ。

Chapter 149

1 הַלְלוּ־יָהּ שִׁירוּ לַיהוָה שִׁיר חָדָשׁ תְּהִלָּתוֹ בִּקְהַל
ハレルヤ ハレルヤ 歌え 主に 新しい-歌を 新しい その-賛美を 聖なる-者の-集いで
H1984 H3050 H7891 H3068 H7892 H2319 H8416 H6951
חֲסִידִים׃
聖なる-者の
H2623

主をほめたたえよ。主にむかって新しい歌をうたえ。聖徒のつどいで、主の誉を歌え。

2

בְּמַלְכָּם׃	יָגִילוּ	צִיּוֹן	בְּנֵי־	בְּעֹשָׂיו	יִשְׂרָאֵל	יִשְׂמַח
その-王にあって	踊れ	シオンの	シオンの-子らよ	造り-主にあって	イスラエルよ	喜べ
H4428	H1523	H6726			H3478	H8055

イスラエルにその造り主を喜ばせ、シオンの子らにその王を喜ばせよ。

3

לוֹ׃	יְזַמְּרוּ־	וְכִנּוֹר	בְּתֹף	בְּמָחוֹל	שְׁמוֹ	יְהַלְלוּ
主に	ほめ-歌え	琴をもって	太鼓と	踊りをもって	その-御名を	賛美せよ
	H2167	H3658	H8596	H4234	H8034	

彼らに踊りをもって主のみ名をほめたたえさせ、鼓と琴とをもって主をほめ歌わせよ。

4

בִּישׁוּעָה׃	עֲנָוִים	יְפָאֵר	בְּעַמּוֹ	יְהוָה	רוֹצֶה	כִּי־
救いをもって	柔和な-者を	飾ってくださいます	その-民を	主は	喜ばれるからです	なぜなら
H3444	H6035			H3068	H7521	

主はおのが民を喜び、へりくだる者を勝利をもって飾られるからである。

5

מִשְׁכְּבוֹתָם׃	עַל־	יְרַנְּנוּ	בְכָבוֹד	חֲסִידִים	יַעְלְזוּ
床の	床の-上で	歌え	栄光の-中で	聖なる-者よ	喜べ
H4904			H3519	H2623	H5937

聖徒を栄光によって喜ばせ、その床の上で喜び歌わせよ。

6

בְּיָדָם׃	פִּיפִיּוֹת	וְחֶרֶב	בִּגְרוֹנָם	אֵל	רוֹמְמוֹת
手に-ある	両刃の	両刃の-剣が	喉に-あり	神の	賛美が
H3027	H6374	H2719	H1627	H0410	H7319

そののどには神をあがめる歌があり、その手にはもろ刃のつるぎがある。

7

אֻמִּים׃	בַּל־	תּוֹכֵחֹת	בַּגּוֹיִם	גְּמוּלָה	לַעֲשׂוֹת
諸国の	諸国の-民に	懲らしめを	諸国の-民に	復讐を	行う-ために
H3816	H1077			H5360	

これはもろもろの国にあだを返し、もろもろの民を懲らし、

8

בַּרְזֶל׃	בְּכַבְלֵי	וְנִכְבְּדֵיהֶם	בְּזִקִּים	מַלְכֵיהֶם	לֶאְסֹר
鉄の	鉄の-鉄鎖で	その-貴人たちを	鏃で	その-王たちを	縛る-ために
H1270	H3525	H3513		H4428	H0631

彼らの王たちを鎖で縛り、彼らの貴人たちを鉄のかせで縛りつけ、

9

הַלְלוּ־	חֲסִידָיו	לְכָל־	הוּא	הָדָר	כָּתוּב	מִשְׁפָּט	וּבָהֶם	לַעֲשׂוֹת
ハレルヤ	聖なる-者の-ために	すべての	これは	栄誉です	記された	裁きを	彼らに	行う-ために
	H2623	H3605	H1931	H1926	H3789	H4941		

יָהּ׃
ハレルヤ
H3050

しるされたさばきを彼らに行うためである。これはそのすべての聖徒に与えられる誉である。主をほめたたえよ。

Chapter 150

1

עֻזּוֹ׃	בִּרְקִיעַ	הַלְלוּהוּ	בְקָדְשׁוֹ	אֵל	הַלְלוּ־	וְיָהּ	הַלְלוּ
力の	力の-大空で	賛美せよ	その-聖所で	神を	賛美せよ	ハレルヤ	ハレルヤ
H5797	H7549		H6944	H0410		H3050	

主をほめたたえよ。その聖所で神をほめたたえよ。その力のあらわれる大空で主をほめたたえよ。

הַלְלוּהוּ	בִּגְבוּרֹתָיו	הַלְלוּהוּ	כְּרֹב	גֻּדְלוֹ׃	2
賛美せよ	力ある-業の-ゆえに	賛美せよ	満ちたる	大いなる-ゆえに	
	H1369		H7230	H1433	

その大能のはたらきのゆえに主をほめたたえよ。そのすぐれて大いなることのゆえに主をほめたたえよ。

הַלְלוּהוּ	בְּתֵקַע	שׁוֹפָר	הַלְלוּהוּ	בְּנֵבֶל	וְכִנּוֹר׃	3
賛美せよ	角笛の-音で	角笛の	賛美せよ	琴と	琴で	
	H8629	H7782			H3658	

ラッパの声をもって主をほめたたえよ。立琴と琴とをもって主をほめたたえよ。

הַלְלוּהוּ	בְּתֹף	וּמָחוֹל	הַלְלוּהוּ	בְּמִנִּים	וְעוּגָב׃	4
賛美せよ	太鼓と	踊りで	賛美せよ	弦楽器と	笛で	
	H8596	H4234		H4482	H5748	

鼓と踊りとをもって主をほめたたえよ。緒琴と笛とをもって主をほめたたえよ。

הַלְלוּהוּ	בְּצִלְצְלֵי־	שָׁמַע	הַלְלוּהוּ	בְּצִלְצְלֵי	תְרוּעָה׃	5
賛美せよ	響く-シンバルで	響く	賛美せよ	高らかな-シンバルで	高らかな	
					H8643	

音の高いシンバルをもって主をほめたたえよ。鳴りひびくシンバルをもって主をほめたたえよ。

כֹּל	הַנְּשָׁמָה	תְּהַלֵּל	יָהּ	הַלְלוּ־	יָהּ׃	6
すべての	息ある-ものよ	賛美せよ	主を	ハレルヤ	ハレルヤ	
H3605	H5397		H3050		H3050	

息のあるすべてのものに主をほめたたえさせよ。主をほめたたえよ。

Proverbs

Chapter 1

1 מִשְׁלֵי שְׁלֹמֹה בֶּן־דָּוִד מֶלֶךְ יִשְׂרָאֵל׃
箴言 ソロモン の-子 ダビデ 王 イスラエルの
H4912 H8010 H1732 H4428 H3478

ダビデの子、イスラエルの王ソロモンの箴言。

2 לָדַעַת חָכְמָה וּמוּסָר לְהָבִין אִמְרֵי בִינָה׃
知るための 知恵 と-訓戒を 悟るため 言葉を 分別の
H3045 H2451 H4148 H0995 H0561 H0998

これは人に知恵と教訓とを知らせ、悟りの言葉をさとらせ、

3 לָקַחַת מוּסַר הַשְׂכֵּל צֶדֶק וּמִשְׁפָּט וּמֵישָׁרִים׃
受けるため 教訓を 思慮の 正義 と-公正 と-公平を
H3947 H4148 H6664 H4941 H4339

賢い行いと、正義と公正と公平の教訓をうけさせ、

4 לָתֵת לִפְתָאיִם עָרְמָה לְנַעַר דַּעַת וּמְזִמָּה׃
与えるため 未熟な-者に 賢さを 若者に 知識 と-思慮を
H5414 H6195 H5288 H1847 H4209

思慮のない者に悟りを与え、若い者に知識と慎みを得させるためである。

5 יִשְׁמַע חָכָם וְיוֹסֶף לֶקַח וְנָבוֹן תַּחְבֻּלוֹת יִקְנֶה׃
聞けば 知恵ある-者は さらに-増し 学びを 聡明な-者は 導きを 得る
H8085 H2450 H3254 H3948 H0995 H8458 H7069

賢い者はこれを聞いて学に進み、さとい者は指導を得る。

6 לְהָבִין מָשָׁל וּמְלִיצָה דִּבְרֵי חֲכָמִים וְחִידֹתָם׃
理解するため 格言 と-たとえ 言葉を 知恵ある-者たちの と-その-謎を
H0995 H4912 H4426 H1697 H2450 H2420

人はこれによって箴言と、たとえと、賢い者の言葉と、そのなぞとを悟る。

7 יִרְאַת יְהוָה רֵאשִׁית דָּעַת חָכְמָה וּמוּסָר אֱוִילִים בָּזוּ׃ פ
畏れこそ 主の 初め 知識の 知恵 と-訓戒を 愚か者は 軽んじる [セラ]
H3374 H3068 H7225 H1847 H2451 H4148 H0191 H0936

主を恐れることは知識のはじめである、愚かな者は知恵と教訓を軽んじる。

8 שְׁמַע בְּנִי מוּסַר אָבִיךָ וְאַל־תִּטֹּשׁ תּוֹרַת אִמֶּךָ׃
聞きなさい わが-子よ 教えを 父の そして-捨てるな 教えを 母の
H8085 H1121 H4148 H0001 H0408 H5203 H8451 H0517

わが子よ、あなたは父の教訓を聞き、母の教を捨ててはならない。

9 וְכִי לִוְיַת חֵן הֵם לְרֹאשֶׁךָ וַעֲנָקִים לְגַרְגְּרֹתֶיךָ׃
まことに 花輪は 恵みの それらは 頭に 飾りは 首に
H3880 H2580 H1992 H7218 H6060 H1621

それらは、あなたの頭の麗しい冠となり、あなたの首の飾りとなるからである。

10 בְּנִי אִם־יְפַתּוּךָ חַטָּאִים אַל־תֵּאבֶה׃
わが–子よ もし 誘うなら 罪人が 従うな 従うな
H1121 H0518 H6601 H2400 H0408 H0014

わが子よ、悪者があなたを誘っても、それに従ってはならない。

11 אִם־יֹאמְרוּ֣ לְכָה אִתָּנוּ נֶאֶרְבָה לְדָם נִצְפְּנָה לָנָקִי׃
もし 彼らが–言うなら 来い 一緒に 待ち伏せよう 血を–流すために 潜もう 罪なき–者を
H0518 H0559 H3212 H0854 H0693 H1818 H6845 H5355

חִנָּם׃
理由なく
H2600

彼らがあなたに向かって、「一緒に来なさい。われわれは待ち伏せして、人の血を流し、罪のない者を、ゆえなく伏してねらい、

12 נִבְלָעֵם כִּשְׁאוֹל חַיִּים וּתְמִימִים כְּיוֹרְדֵי בוֹר׃
呑み込もう 陰府の–ように 生きたまま 全き–者を 穴に–下る–者の–ように 穴に
H1104 H7585 H2416 H8549 H3381 H0953

陰府のように、彼らを生きたままで、のみ尽し、健やかな者を、墓に下る者のようにしよう。

13 כָּל־הוֹן יָקָר נִמְצָא נְמַלֵּא בָתֵּינוּ שָׁלָל׃
あらゆる 富を 貴い 見つけよう 満たそう 家々を 分捕り–物で
H3605 H1952 H3368 H4672 H4390 H1004 H7998

われわれは、さまざまの尊い貨財を得、奪い取った物で、われわれの家を満たそう。

14 גּוֹרָלְךָ תַּפִּיל בְּתוֹכֵנוּ כִּיס אֶחָד יְהִיֶה לְכֻלָּנוּ׃
お前の–くじを 投げよ 我らの–中に 財布は 一つ とする 我ら–皆で
H1486 H5307 H8432 H3599 H0259 H1961 H3605

あなたもわれわれの仲間に加わりなさい、われわれは共に一つの金袋を持とう」と言っても、

15 בְּנִי אַל־תֵּלֶךְ בְּדֶרֶךְ אִתָּם מְנַע רַגְלְךָ מִנְּתִיבָתָם׃
わが–子よ 行くな 歩むな 道を 彼らと 引き留めよ 足を その–道から
H1121 H0408 H3212 H1870 H0854 H4513 H7272 H5410

わが子よ、彼らの仲間になってはならない、あなたの足をとどめて、彼らの道に行ってはならない。

16 כִּי רַגְלֵיהֶם לָרַע יָרוּצוּ וַיְמַהֲרוּ לִשְׁפֹּךְ־דָּם׃
なぜなら 彼らの–足は 悪へ 走り 急ぐ 血を–流す–ことに 血を
H3588 H7272 H7451 H7323 H3212 H8210 H1818

彼らの足は悪に走り、血を流すことに速いからだ。

17 כִּי־חִנָּם מְזֹרָה הָרֶשֶׁת בְּעֵינֵי כָּל־בַּעַל כָּנָף׃
まことに 無駄に 張られる 網は 目の–前で すべての 翼–ある 鳥の
H3588 H2600 H2219 H7568 H5869 H3605 H1167 H3671

すべて鳥の目の前で網を張るのは、むだである。

18 וְהֵם לְדָמָם יֶאֱרֹבוּ יִצְפְּנוּ לְנַפְשֹׁתָם׃
しかし–彼らは 自らの–血を 待ち伏せ 潜む 自らの–魂を
H1992 H1818 H0693 H6845 H5315

彼らは自分の血を待ち伏せし、自分の命を伏してねらうのだ。

19 כֵּן אָרְחוֹת כָּל־בֹּצֵעַ בָּצַע נֶפֶשׁ בְּעָלָיו יִקָּח׃ פ
このように 道は すべての 不正な–利得を 貪る–者の 命を 持ち主の 奪う [セラ]
H0734 H3605 H1214 H1215 H5315 H1167 H3947

すべて利をむさぼる者の道はこのようなものである。これはその持ち主の命を取り去るのだ。

20 חָכְמוֹת תָּרֹנָּה בָּרְחֹבוֹת תִּתֵּן קוֹלָהּ׃
知恵は 叫び 広場で 発する 声を
H2454 H7442 H7339 H5414

知恵は、ちまたに呼ばわり、市場にその声をあげ、

21 בְּרֹאשׁ הֲמוֹת תִּקְרָא בִּפְתְחֵי שְׁעָרִים בָּעִיר אִמְרֶיהָ תֹאמֵר׃
騒がしい 場の–頂で 呼びかける 城門の 入口で 町で 言葉を 語る
H7588 H1993 H7121 H6607 H8179 H0548 H0561 H0559

城壁の頂で叫び、町の門の入口で語る。

22 עַד־מָתַי פְּתָיִם תְּאֶהֲבוּ פֶתִי וְלֵצִים לָצוֹן חָמְדוּ וּכְסִילִים לָהֶם יִשְׂנְאוּ־דָעַת׃
いつまで 未熟な–者よ 愛するのか 無知を 嘲る–者は 嘲りを 好み 愚か者は 自ら 知識を–憎む
H5704 H0659 H0157 H6612 H3887 H3944 H2530 H3684 H1992 H1847

「思慮のない者たちよ、あなたがたは、いつまで思慮のないことを好むのか。あざける者は、いつまで、あざけり楽しみ、愚かな者は、いつまで、知識を憎むのか。

23 תָּשׁוּבוּ לִתוֹכַחְתִּי הִנֵּה אַבִּיעָה לָכֶם רוּחִי אוֹדִיעָה דְבָרַי׃
立ち返れ わが–戒めに 見よ 注ぎ出そう あなたがたに わが–霊を 知らせよう わが–言葉を
H7725 H8433 H2009 H5042 H3045 H7307 H3045 H1697

אֶתְכֶם׃
あなたがたに
H0853

わたしの戒めに心をとめよ、見よ、わたしは自分の思いを、あなたがたに告げ、わたしの言葉を、あなたがたに知らせる。

24 יַעַן קָרָאתִי וַתְּמָאֲנוּ נָטִיתִי יָדִי וְאֵין
〜ゆえに わたしが–呼んだのに あなたがたは–拒んだ 差し伸べた 手を だが–誰も
H3282 H7121 H3985 H5186 H3027 H0369

מַקְשִׁיב׃
耳を–傾けなかった
H7181

わたしは呼んだが、あなたがたは聞くことを拒み、手を伸べたが、顧みる者はなく、

25 וַתִּפְרְעוּ כָּל־עֲצָתִי וְתוֹכַחְתִּי לֹא אֲבִיתֶם׃
あなたがたは–無視した すべての わが–忠告を わが–戒めを 受け入れ–なかった 受け入れなかった
H6544 H3605 H6098 H8433 H3808 H0014

かえって、あなたがたはわたしのすべての勧めを捨て、わたしの戒めを受けなかったので、

בְּבֹא	אֶלְעַג	אֶשְׂחָק	בְּאֵידְכֶם	אֲנִי	גַּם־	26
恐怖が–来る–時に	嘲ろう	笑おう	あなたがたの–災いの–時に	わたしも	わたしも–また	
H0935	H3932	H7832	H0343	H0589	H1571	

פַּחְדְּכֶם׃
あなたがたの–恐怖に
H6343

わたしもまた、あなたがたが災にあう時に、笑い、あなたがたが恐慌にあう時、あざけるであろう。

יֶאֱתֶה	כְסוּפָה	וֶאֵידְכֶם ׀	פַּחְדְּכֶם	כְּשׁוֹאָה()	[כשאוה]	בְּבֹא	27
襲う–時	つむじ風の–ように	災いが	あなたがたの–恐れが	嵐の–ように	[ケティブ]	恐怖が–来る–時	
H0857		H0343	H6343		H7584	H0935	

וְצוּקָה׃	צָרָה	עֲלֵיכֶם	בְּבֹא
と–苦悩が	苦難	あなたがたに	来る–時
			H0935

これは恐慌が、あらしのようにあなたがたに臨み、災が、つむじ風のように臨み、悩みと悲しみとが、あなたがたに臨む時である。

יְשַׁחֲרֻנְנִי	אֶעֱנֶה	וְלֹא	יְקָרְאֻנְנִי	אָז	28
懸命に–わたしを–尋ねても	答えない	わたしは–答え–ない	彼らが–わたしを–呼んでも	その–時	
H7836		H3808	H7121		

יְמְצָאֻנְנִי׃	וְלֹא
見つけられない	見つけ–ない
H4672	H3808

その時、彼らはわたしを呼ぶであろう、しかし、わたしは答えない。ひたすら、わたしを求めるであろう、しかし、わたしに会えない。

לֹא	יְהוָה	וְיִרְאַת	דָּעַת	שָׂנְאוּ	כִּי־	תַּחַת	29
（彼らは）–選ばなかった	主の	畏れを	知識を	憎んだ	彼らが–憎んだ–からだ	（それは）	
H3808	H3068	H3374	H1847	H8130		H8478	

בָּחָרוּ׃
選ばなかった
H0977

彼らは知識を憎み、主を恐れることを選ばず、

תּוֹכַחְתִּי׃	כָּל־	נָאֲצוּ	לַעֲצָתִי	אָבוּ	לֹא־	30
わが–戒めを	すべての	侮った	わが–忠告を	受け入れなかった	受け入れ–なかった	
	H3605	H5006	H6098	H0014	H3808	

わたしの勧めに従わず、すべての戒めを軽んじたゆえ、

יִשְׂבָּעוּ׃	וּמִמֹּעֲצֹתֵיהֶם	דַּרְכָּם	מִפְּרִי	וְיֹאכְלוּ ׀	31
飽かされる	自らの–企てに	自らの–道の	実を	そこで–彼らは–食らう	
H7646	H4156	H1870	H6529	H0398	

自分の行いの実を食らい、自分の計りごとに飽きる。

תְּאַבְּדֵם׃	כְּסִילִים	וְשַׁלְוַת	תַּהַרְגֵּם	פְּתָיִם	מְשׁוּבַת	כִּי	32
滅ぼす	愚か者を	安逸は	殺し	未熟な–者を	背きは	なぜなら	
H0006	H3684	H7962	H2026		H4878		

思慮のない者の不従順はおのれを殺し、愚かな者の安楽はおのれを滅ぼす。

פ	רָעָה׃	מִפַּחַד	וְשַׁאֲנַן	בֶּטַח	יִשְׁכֹּן־	לִי	וְשֹׁמֵעַ	33
[セラ]	災いの	恐れ–なく	安らぎ	安らかに	住む	わたしに	しかし–聞く–者は	
		H6343	H7599	H0983	H7931		H8085	

しかし、わたしに聞き従う者は安らかに住まい、災に会う恐れもなく、安全である」。

Chapter 2

אִתָּךְ׃	תִּצְפֹּן	וּמִצְוֹתַי	אִמָּרַי	תִּקָּח	אִם־	בְּנִי	1
お前の–うちに	心に–納めるなら	わが–戒めを	わが–言葉を	受け入れるなら	もし	わが–子よ	
H0854	H6845	H4687	H0561	H3947			

わが子よ、もしあなたがわたしの言葉を受け、わたしの戒めを、あなたの心におさめ、

לַתְּבוּנָה׃	לִבְּךָ	תַּטֶּה	אָזְנֶךָ	לַחָכְמָה	לְהַקְשִׁיב	2
英知に	心を	向けなさい	耳を	知恵に	耳を–傾けて	
H8394		H5186	H0241	H2451	H7181	

あなたの耳を知恵に傾け、あなたの心を悟りに向け、

קוֹלֵךְ׃	תִּתֶּן	לַתְּבוּנָה	תִּקְרָא	לַבִּינָה	אִם	כִּי	3
声を	上げるなら	悟りを	呼び求め	英知を	もし	まことに	
	H5414	H8394	H7121	H0998			

しかも、もし知識を呼び求め、悟りを得ようと、あなたの声をあげ、

תַּחְפְּשֶׂנָּה׃	וְכַמַּטְמוֹנִים	כַּכֶּסֶף	תְּבַקְשֶׁנָּה	אִם־	4
探り–出すなら	隠された–宝の–ように	銀の–ように	それを–尋めるなら	もし	
H2664	H4301	H3701	H1245		

銀を求めるように、これを求め、かくれた宝を尋ねるように、これを尋ねるならば、

תִּמְצָא׃	אֱלֹהִים	וְדַעַת	יְהוָה	יִרְאַת	תָּבִין	אָז	5
見いだす	神の	知識を	主の	畏れを	悟るであろう	その–時	
H4672	H0430	H1847	H3068	H3374	H0995		

あなたは、主を恐れることを悟り、神を知ることができるようになる。

וּתְבוּנָה׃	דַּעַת	מִפְּיו	חָכְמָה	יִתֵּן	יְהוָה	כִּי־	6
と–英知が–出る	知識	御口から	知恵を	与えられる	主は	なぜなら	
H8394	H1847	H6310	H2451	H5414	H3068		

これは、主が知恵を与え、知識と悟りとは、み口から出るからである。

תֹּם׃	לְהֹלְכֵי	מָגֵן	תוּשִׁיָּה	לַיְשָׁרִים	)יִצְפֹּן(	]וצפן[	7
全きを	歩む–者に	盾となる	知恵を	正しい–者に	蓄えられる	[ケティブ]	
H8537	H1980	H4043	H8454	H3477	H6845	H6845	

彼は正しい人のために、確かな知恵をたくわえ、誠実に歩む者の盾となって、

יִשְׁמֹר׃	)חֲסִידָיו(	]חסידו[	וְדֶרֶךְ	מִשְׁפָּט	אָרְחוֹת	לָנְצֹר	8
守られる	忠実な–者たちの	[ケティブ]	道を	公正の	道を	守るため	
H8104	H2623	H2623	H1870	H4941	H0734	H5341	

公正の道を保ち、その聖徒たちの道筋を守られる。

טוֹב׃	מַעְגַּל־	כָּל־	וּמֵישָׁרִים	וּמִשְׁפָּט	צֶדֶק	תָּבִין	אָז	9
道を	良い	すべての	と–公平を	と–公正	正義	悟るであろう	その–時	
	H4570	H3605	H4339	H4941	H6664	H0995		

そのとき、あなたは、ついに正義と公正、公平とすべての良い道を悟る。

10	כִּי־	תָבוֹא	חָכְמָה	בִלְבֶּךָ	וְדַעַת	לְנַפְשְׁךָ	יִנְעָם׃
	なぜなら	入る時	知恵が	心に	知識が	魂に	快い
		H0935	H2451		H1847	H5315	H5276

これは知恵が、あなたの心にはいり、知識があなたの魂に楽しみとなるからである。

11	מְזִמָּה	תִשְׁמֹר	עָלֶיךָ	תְבוּנָה	תִנְצְרֶכָּה׃	
	思慮が	守り	お前を	英知が	保つ	
	H4209	H8104		H8394	H5341	

慎みはあなたを守り、悟りはあなたを保って、

12	לְהַצִּילְךָ	מִדֶּרֶךְ	רָע	מֵאִישׁ	מְדַבֵּר	תַּהְפֻּכוֹת׃
	救うために	悪の–道から	悪から	人から	語る	曲がった–ことを
	H5337	H1870		H0376	H1696	H8419

悪の道からあなたを救い、偽りをいう者から救う。

13	הָעֹזְבִים	אָרְחוֹת	יֹשֶׁר	לָלֶכֶת	בִּדַרְכֵי־	חֹשֶׁךְ׃
	捨てる–者たちは	道を	正しい	歩むために	闇の–道を	闇の
		H0734	H3476	H3212	H1870	H2822

彼らは正しい道を離れて、暗い道に歩み、

14	הַשְּׂמֵחִים	לַעֲשׂוֹת	רָע	יָגִילוּ	בְּתַהְפֻּכוֹת	רָע׃
	喜ぶ–者たちは	行うことを	悪を	嬉々する	曲がった–ことに	悪の
	H8056			H1523	H8419	

悪を行うことを楽しみ、悪人の偽りを喜び、

15	אֲשֶׁר	אָרְחֹתֵיהֶם	עִקְּשִׁים	וְנִלְוָזִים	בְּמַעְגְּלוֹתָם׃
	～の	彼らの–道は	曲がり	そして–よこしまである	その–歩みにおいて
		H0734	H6141	H3868	H4570

その道は曲り、その行いは、よこしまである。

16	לְהַצִּילְךָ	מֵאִשָּׁה	זָרָה	מִנָּכְרִיָּה	אֲמָרֶיהָ	הֶחֱלִיקָה׃
	救うために	異邦の–女から	異国の–女	他国の–女	言葉で	へつらう
	H5337	H0802		H5237	H0561	

慎みと悟りはまたあなたを遊女から救い、言葉の巧みな、みだらな女から救う。

17	הָעֹזֶבֶת	אַלּוּף	נְעוּרֶיהָ	וְאֶת־	בְּרִית	אֱלֹהֶיהָ	שָׁכֵחָה׃
	捨てた–女は	伴侶を	若き–日の	そして	契約を	神との	忘れた–女
				H0853	H1285	H0430	H7911

彼女は若い時の友を捨て、その神に契約したことを忘れている。

18	כִּי	שָׁחָה	אֶל־	מָוֶת	בֵּיתָהּ	וְאֶל־	רְפָאִים׃	
	なぜなら	沈む	死へと	死へと	彼女の–家は	そして	死者たちの–元へ	
		H7743	H0413	H4194		H0413	H7496	

その家は死に下り、その道は陰府におもむく。

19	כָּל־	הַבָּאֶיהָ	לֹא	יְשׁוּבוּן	וְלֹא־	יַשִּׂיגוּ	אָרְחוֹת	חַיִּים׃
	すべて	彼女の–もとに–行く–者は	戻れ–ない	戻らない	得–ない	得ない	命の–道を	命の
	H3605	H0935	H3808	H7725	H3808	H5381	H0734	

すべて彼女のもとへ行く者は、帰らない、また命の道にいたらない。

	תְּשִׁמֹֽר׃	צַדִּיקִ֑ים	וְאָרְחוֹת	טוֹבִ֥ים	בְּדַרְכֵ֗ךְ	תֵּלֵךְ֮	לְמַ֣עַן	20
	守るため	正しい–者の	道を	善き–者の	道を	歩むため	それは–〜ため	
	H8104	H6662	H0734		H1870	H3212	H4616	

こうして、あなたは善良な人々の道に歩み、正しい人々の道を守ることができる。

	בָּהּ׃	יִוָּתְרוּ֙	וּתְמִימִ֣ים	אָ֭רֶץ	יִשְׁכְּנ֣וּ	יְשָׁרִ֑ים	כִּי־	21
	そこに	残る	全き–者は	地に	住む	正しい–者は	なぜなら	
		H3498	H8549	H0776	H7931	H3477		

正しい人は地にながらえ、誠実な人は地にとどまる。

פ	מִמֶּ֑נָּה׃	יִסָּח֥וּ	וּבוֹגְדִ֗ים	יִכָּרְת֥וּ	מֵאָ֥רֶץ	וְרִשְׁעִ֗ים	22
[セラ]	そこから	引き–抜かれる	不実な–者は	断たれる	地から	しかし–悪者は	
		H5255	H0898	H3772	H0776	H7563	

しかし悪しき者は地から断ち滅ぼされ、不信実な者は地から抜き捨てられる。

Chapter 3

	לִבֶּֽךָ׃	יִצֹּ֣ר	וּמִצְוֹתַ֑י	תִּשְׁכָּ֥ח	אַל־	תּוֹרָתִ֥י	בְּנִ֗י	1
	心で	守れ	わが–戒めを	忘れるな	忘れるな	わが–教えを	わが–子よ	
		H5341	H4687	H7911	H0408	H8451		

わが子よ、わたしの教を忘れず、わたしの戒めを心にとめよ。

	לָ֗ךְ׃	יוֹסִ֣יפוּ	וְשָׁל֑וֹם	חַיִּ֥ים	וּשְׁנ֣וֹת	יָ֭מִים	אֲרֶךְ	כִּ֤י	2
	お前に	加える	平安を	命の	年月と	日々と	長き	なぜなら	
		H3254	H7965		H8141	H3117	H0753		

そうすれば、これはあなたの日を長くし、命の年を延べ、あなたに平安を増し加える。

	לוּחַ֑	עַל־	כָּתְבֵ֥ם	גַּרְגְּרוֹתֶ֗יךָ	עַל־	קָשְׁרֵ֥ם	יַעַזְבֵ֗ךְ	אַל־	וֶאֱמֶ֥ת	חֶ֝סֶד	3
	板に	〜に	書き記せ	首に	〜に	結びつけよ	お前から	離れるな	誠実が	慕いと	
	H3871		H3789	H1621		H7194		H0408	H0571		

לִבֶּֽךָ׃
心の

いつくしみと、まこととを捨ててはならない、それをあなたの首に結び、心の碑にしるせ。

פ	וְאָדָ֑ם׃	אֱלֹהִ֥ים	בְּעֵינֵ֗י	טֽוֹב	וְשֵׂכֶל־	חֵ֥ן	וּמְצָא־	4
[セラ]	と–人の	神の	目に	良き	良き–評判を	恵みと	そうすれば–見いだす	
	H0120	H0430			H7922	H2580	H4672	

そうすれば、あなたは神と人との前に恵みと、誉とを得る。

	תִּשָּׁעֵֽן׃	אַל־	בִּינָתְךָ֥	וְאֶל־	לִבֶּ֑ךָ	בְּכָל־	יְהוָה֮	אֶל־	בְּטַ֪ח	5
	頼るな	頼るな	自分の–惟りに	そして–〜に	心で	全き	主に	〜に	信頼せよ	
	H8172	H0408	H0998	H0413		H3605	H3068	H0413	H0982	

心をつくして主に信頼せよ、自分の知識にたよってはならない。

	אֹרְחֹתֶ֖יךָ׃	יְיַשֵּׁ֥ר	וְה֣וּא	דָעֵ֑הוּ	דְּרָכֶ֗יךָ	בְּכָל־	6
	お前の–道を	まっすぐに–する	そうすれば–主は	主を–認めよ	道で	すべての	
	H0734	H3474	H1931	H3045	H1870	H3605	

すべての道で主を認めよ、そうすれば、主はあなたの道をまっすぐにされる。

מֵרָֽע׃	וְסוּר	יְהוָה	אֶת־	יְרָא	בְּעֵינֶֽיךָ	חָכָם	תְּהִי	אַל־	7
悪から	そして–離れよ	主を	～を	畏れよ	自分の–目に	知恵が–あると	思うな	思うな	
	H5493	H3068	H0853	H3372		H2450	H1961	H0408	

自分を見て賢いと思ってはならない、主を恐れて、悪を離れよ。

לְעַצְמוֹתֶֽיךָ׃	וְשִׁקּוּי	לְשָׁרֶֽךָ	תְּהִי	רִפְאוּת	8
骨に	潤いとなる	体に	なる	癒しとなる	
H6106	H8250	H8270	H1961	H7500	

そうすれば、あなたの身を健やかにし、あなたの骨に元気を与える。

תְּבוּאָתֶֽךָ׃	כָּל־	וּמֵרֵאשִׁית	מֵהוֹנֶךָ	יְהוָה	אֶת־	כַּבֵּד	9
収穫の	すべての	初穂を–もって	富を–もって	主を	～を	敬え	
H8393	H3605	H7225	H1952	H3068	H0853	H3513	

あなたの財産と、すべての産物の初なりをもって主をあがめよ。

פ	יִפְרְצוּ׃	יְקָבֶיךָ	וְתִירוֹשׁ	שְׂבַע	אֲסָמֶיךָ	וְיִמָּלְאוּ	10
[セラ]	あふれる	酒ぶねは	新しい–ぶどう汁で	豊かに	倉は	そうすれば–満ちる	
	H6555	H3342	H8492	H7647	H0618	H4390	

そうすれば、あなたの倉は満ちて余り、あなたの酒ぶねは新しい酒であふれる。

בְּתוֹכַחְתּוֹ׃	תָּקֹץ	וְאַל־	תִּמְאַס	אַל־	בְּנִי	יְהוָה	מוּסַר	11
その–戒めを	いとうな	そして–いとうな	拒むな	拒むな	わが–子よ	主の	訓戒を	
	H6973	H0408		H0408		H3068	H4148	

わが子よ、主の懲しめを軽んじてはならない、その戒めをきらってはならない。

יִרְצֶֽה׃	בֵּן	אֶת־	וְכְאָב	יוֹכִיחַ	יְהוָה	יֶאֱהַב	אֲשֶׁר	אֵת	כִּי	12
喜ぶ	子を	～を	父が–～の–ように	戒められる	主は	愛する–者を	～の	～を	なぜなら	
H7521		H0853	H0001	H3198	H3068	H0157		H0853		

主は、愛する者を、戒められるからである、あたかも父がその愛する子を戒めるように。

תְּבוּנָֽה׃	יָפִיק	וְאָדָם	חָכְמָה	מָצָא	אָדָם	אַשְׁרֵי	13
英知を	得る	人は	知恵を	見いだす	人は	幸いなるかな	
H8394	H6329	H0120	H2451	H4672	H0120	H0835	

知恵を求めて得る人、悟りを得る人はさいわいである。

תְּבוּאָתָֽהּ׃	וּמֵחָרוּץ	כֶּסֶף	מִסְּחַר־	סַחְרָהּ	טוֹב	כִּי	14
実りは	純金よりも	銀の	利益よりも	利益は	良い	なぜなら	
H8393		H3701	H5505	H5504			

知恵によって得るものは、銀によって得るものにまさり、その利益は精金よりも良いからである。

בָּהּ׃	יְשֻׁוּ־	לֹא	חֲפָצַיִךְ	וְכָל־	(מִפְּנִינִים)	[מפניים]	הִיא	יְקָרָה	15
それに	比べえない	比べ–えない	望みは	すべての	珊瑚よりも	[ケティブ]	それは	貴い	
	H3808		H2656	H3605	H6443	H6443	H1931	H3368	

知恵は宝石よりも尊く、あなたの望む何物も、これと比べるに足りない。

וְכָבוֹד׃	עֹשֶׁר	בִּשְׂמֹאולָהּ	בִּימִינָהּ	יָמִים	אֹרֶךְ		16
誉れが	富と	左手には	右手に	日々が	長き		
H3519	H6239	H8040	H3225	H3117	H0753		

その右の手には長寿があり、左の手には富と、誉がある。

17 דְּרָכֶיהָ דַרְכֵי־ נֹעַם וְכָל־ נְתִיבוֹתֶיהָ שָׁלוֹם׃
その–道は 快い 道 すべての 小道は 平安
H1870 H1870 H5278 H3605 H7965

その道は楽しい道であり、その道筋はみな平安である。

18 עֵץ־ חַיִּים הִיא לַמַּחֲזִיקִים בָּהּ וְתֹמְכֶיהָ מְאֻשָּׁר׃ פ
命の 木である それは 握り–しめる–者に それを 支える–者は 幸い [セラ]
H6086 H1931 H2388 H8551 H0833

知恵は、これを捕える者には命の木である、これをしっかり捕える人はさいわいである。

19 יְהוָה בְּחָכְמָה יָסַד־ אָרֶץ כּוֹנֵן שָׁמַיִם בִּתְבוּנָה׃
主は 知恵に–よって 基を–置いた 地の 定めた 天を 英知に–よって
H3068 H2451 H3245 H0776 H8064 H8394

主は知恵をもって地の基をすえ、悟りをもって天を定められた。

20 בְּדַעְתּוֹ תְהוֹמוֹת נִבְקָעוּ וּשְׁחָקִים יִרְעֲפוּ־ טָל׃
知識に–よって 深淵が 裂けた 雲は 滴らす 露を
H1847 H8415 H1234 H7834 H7491 H2919

その知識によって海はわきいで、雲は露をそそぐ。

21 בְּנִי אַל־ יָלֻזוּ מֵעֵינֶיךָ נְצֹר תּוּשִׁיָּה וּמְזִמָּה׃
わが–子よ 離れるな 離れるな 目から 守れ 知恵と 思慮を
H1847 H0408 H3868 H5341 H8454 H4209

わが子よ、確かな知恵と、慎みとを守って、それをあなたの目から離してはならない。

22 וְיִהְיוּ חַיִּים לְנַפְשֶׁךָ וְחֵן לְגַרְגְּרֹתֶיךָ׃
それらは–なる 命と 魂に 恵みと 首に
H1961 H2580 H5315 H1621

それはあなたの魂の命となりあなたの首の飾りとなる。

23 אָז תֵּלֵךְ לָבֶטַח דַּרְכֶּךָ וְרַגְלְךָ לֹא תִגּוֹף׃
その–時 歩む 安らかに 道を 足は つまずか–ない つまずかない
H3212 H0983 H1870 H7272 H3808 H5062

こうして、あなたは安らかに自分の道を行き、あなたの足はつまずくことがない。

24 אִם־ תִּשְׁכַּב לֹא־ תִפְחָד וְשָׁכַבְתָּ וְעָרְבָה שְׁנָתֶךָ׃
横たわる–時 恐れ–ない 恐れない 恐れない 横たわれば 快い 眠りが
H3808 H7901 H6342 H7901 H6149 H8142

あなたは座しているとき、恐れることはなく、伏すとき、あなたの眠りはここちよい。

25 אַל־ תִּירָא מִפַּחַד פִּתְאֹם וּמִשֹּׁאַת רְשָׁעִים כִּי תָבֹא׃
恐れるな 恐怖を 突然の 滅びを 悪者の ～も 来ても
H3372 H6343 H6597 H7563 H3588 H0935

あなたはにわかに起る恐怖を恐れることなく、悪しき者の滅びが来ても、それを恐れることはない。

26 כִּי־ יְהוָה יִהְיֶה בְכִסְלֶךָ וְשָׁמַר רַגְלְךָ מִלָּכֶד׃
なぜなら 主が ある 支えとして 守る 足を 罠から
H3588 H3068 H1961 H3689 H8104 H7272 H3921

これは、主があなたの信頼する者であり、あなたの足を守って、わなに捕われさせられないからである。

27 אַל־ תִּמְנַע־ טוֹב מִבְּעָלָיו בִּהְיוֹת לְאֵל [ידיך] (יָדְךָ) לַעֲשׂוֹת׃
拒むな 善を 受けるべき-者から ある-時に 力が [ケティブ] 手に 行うための
H0408 H4513 H1167 H1961 H0410 H3027 H3027

あなたの手に善をなす力があるならば、これをなすべき人になすことをさし控えてはならない。

28 אַל־ תֹּאמַר לְרֵעֲךָ (ו)לֵךְ וָשׁוּב וּמָחָר אֶתֵּן וְיֵשׁ [לרעיך]
言うな 言うな H0559 H7453 [ケティブ] H7453 行け H3212 また-来い H7725 明日 H4279 与えようと H5414 あるのに H3426

עִמָּךְ׃
お前の-もとに
H0854

あなたが物を持っている時、その隣り人に向かい、「去って、また来なさい。あす、それをあげよう」と言ってはならない。

29 אַל־ תַּחְרֹשׁ עַל־ רֵעֲךָ רָעָה וְהוּא־ יוֹשֵׁב לָבֶטַח אִתָּךְ׃
企むな 企むな H0408 ～に-対して H7453 隣人に H7453 悪を H7451 彼が H1931 住んでいるのに H3427 安心して H0983 お前と H0854

あなたの隣り人がかたわらに安らかに住んでいる時、これに向かって、悪を計ってはならない。

30 אַל־ תָּרֵב (תָּרִיב) [תרוב] עִם־ אָדָם חִנָּם אִם־ לֹא גָמָלְךָ רָעָה׃
争うな 争うな [ケティブ] H7378 ～と H0120 人と H2600 理由なく H0408 もし H3808 ～ないなら H1580 悪を-行って 悪を

もし人があなたに悪を行ったのでなければ、ゆえなく、これと争ってはならない。

31 אַל־ תְּקַנֵּא בְּאִישׁ חָמָס וְאַל־ תִּבְחַר בְּכָל־ דְּרָכָיו׃
うらやむな H0408 人を H0376 暴力の H2555 そして-選ぶな H0408 選ぶな H0977 いかなる H3605 道も H1870

暴虐な人を、うらやんではならない、そのすべての道を選んではならない。

32 כִּי תוֹעֲבַת יְהוָה נָלֵוז וְאֶת־ יְשָׁרִים סוֹדוֹ׃
なぜなら H3588 忌み嫌う H8441 主は H3068 曲がった-者を H3868 しかし H0854 正しい-者と H3477 親しまれる H5475

よこしまな者は主に憎まれるからである、しかし、正しい者は主に信任される。

33 מְאֵרַת יְהוָה בְּבֵית רָשָׁע וּנְוֵה צַדִּיקִים יְבָרֵךְ׃
呪いが H3994 主の H3068 家に-ある 悪者の H7563 しかし-住まいを 正しい-者の H6662 祝福される H1288

主の、のろいは悪しき者の家にある、しかし、正しい人のすまいは主に恵まれる。

34 אִם־ לַלֵּצִים הוּא־ יָלִיץ [ולעניים] (וְלַעֲנָוִים) יִתֵּן־ חֵן׃
もし H3588 嘲る-者を H3887 主は H1931 嘲られる H3887 [ケティブ] H6041 へりくだる-者には H6035 恵みを-与える H5414 恵みを H2580

彼はあざける者をあざけり、へりくだる者に恵みを与えられる。

35 כָּבוֹד חֲכָמִים יְנְחָלוּ וּכְסִילִים מֵרִים קָלוֹן׃ פ
誉れを H3519 知恵ある-者は H2450 受け継ぐ H5157 しかし-愚か者は H3684 担う H7311 恥を H7036 [セラ]

知恵ある者は、誉を得る、しかし、愚かな者ははずかしめを得る。

Chapter 4

1 שִׁמְעוּ בָנִים מוּסַר אָב וְהַקְשִׁיבוּ לָדַעַת בִּינָה׃
聞きなさい 子らよ 訓戒を 父の 耳を-傾けなさい 知るため 分別を
H8085 H1121 H4148 H0001 H7181 H3045 H0998

子供らよ、父の教を聞き、悟りを得るために耳を傾けよ。

2 כִּי לֶקַח טוֹב נָתַתִּי לָכֶם תּוֹרָתִי אַל־תַּעֲזֹבוּ׃
なぜなら 良き-教えを 良き 与えた お前たちに わが-教えを 捨てるな 拗てるな
H3948 H2896 H5414 H3948 H8451 H0408

わたしは、良い教訓を、あなたがたにさずける。わたしの教を捨ててはならない。

3 כִּי־בֵן הָיִיתִי לְאָבִי רַךְ וְיָחִיד לִפְנֵי אִמִּי׃
なぜなら 子で-あった わたしは 父にとって 柔らかく 唯一の-子 前で 母の
H3206 H1961 H0001 H7390 H3173 H6440 H0517

わたしもわが父には子であり、わが母の目には、ひとりのいとし子であった。

4 וַיֹּרֵנִי וַיֹּאמֶר לִי יִתְמָךְ־דְּבָרַי לִבֶּךָ שְׁמֹר מִצְוֹתַי וֶחְיֵה׃
父が-教えた 言った わたしに 支えよ わが-言葉を 守れ 心で わが-戒めを そして-生きよ
H3384 H0559 H3820 H8551 H1697 H8104 H3824 H4687 H2421

父はわたしを教えて言った、「わたしの言葉を、心に留め、わたしの戒めを守って、命を得よ。

5 קְנֵה חָכְמָה קְנֵה בִינָה אַל־תִּשְׁכַּח וְאַל־תֵּט מֵאִמְרֵי־פִי׃
得よ 知恵を 得よ 英知を 忘れるな 忘れるな それるな わが-口の-言葉から
H7069 H2451 H7069 H0998 H0408 H7911 H5186 H0561 H6310

それを忘れることなく、またわが口の言葉にそむいてはならない、知恵を得よ、悟りを得よ。

6 אַל־תַּעַזְבֶהָ וְתִשְׁמְרֶךָּ אֱהָבֶהָ וְתִצֳּרֶךָּ׃
捨てるな それを 守るから 愛せよ 保つから
H0408 H5800 H8104 H0157 H5341

知恵を捨てるな、それはあなたを守る。それを愛せよ、それはあなたを保つ。

7 רֵאשִׁית חָכְמָה קְנֵה חָכְמָה וּבְכָל־קִנְיָנְךָ קְנֵה בִינָה׃
初めは 知恵の 得よ 知恵を すべての 産を-もって 得よ 英知を
H7225 H2451 H7069 H2451 H3605 H7075 H7069 H0998

知恵の初めはこれである、知恵を得よ、あなたが何を得るにしても、悟りを得よ。

8 סַלְסְלֶהָּ וְתָרוֹמְמֶךָּ תְּכַבְּדֶךָּ כִּי תְחַבְּקֶנָּה׃
高めよ 高めるから 敬われる なぜなら 抱きしめれば
H5549 H7311 H3513 H3588 H2263

それを尊べ、そうすれば、それはあなたを高くあげる、もしそれをいだくならば、それはあなたを尊くする。

9 תִּתֵּן לְרֹאשְׁךָ לִוְיַת־חֵן עֲטֶרֶת תִּפְאֶרֶת תְּמַגְּנֶךָּ׃
与える 頭に 花輪を 恵みの 冠を 輝きの 授ける
H5414 H7218 H3880 H2580 H5850 H8597 H4042

それはあなたの頭に麗しい飾りを置き、栄えの冠をあなたに与える」。

10 שְׁמַע בְּנִי וְקַח אִמָּרַי וְיִרְבּוּ לְךָ שְׁנוֹת חַיִּים׃
聞きなさい わが–子よ 受け入れよ わが–言葉を そうすれば–増える お前に 年月が 命の
H8085 H3947 H0561 H8141

わが子よ、聞け、わたしの言葉をうけいれよ、そうすれば、あなたの命の年は多くなる。

11 בְּדֶרֶךְ חָכְמָה הוֹרִתִּיךָ הִדְרַכְתִּיךָ בְּמַעְגְּלֵי־יֹשֶׁר׃
道を 知恵の 教えた 導いた 正しき 転びに
H1870 H2451 H8451 H1869 H4570 H3476

わたしは知恵の道をあなたに教え、正しい道筋にあなたを導いた。

12 בְּלֶכְתֶּךָ לֹא־יֵצַר צַעֲדֶךָ וְאִם־תָּרוּץ לֹא תִכָּשֵׁל׃
歩む–時 狭められない 狭められ–ない 歩みは 走る–時も 走っても つまずか–ない つまずかない
H3212 H3334 H3808 H6806 H0518 H7323 H3808 H3782

あなたが歩くとき、その歩みは妨げられず、走る時にも、つまずくことはない。

13 הַחֲזֵק בַּמּוּסָר אַל־תַּרְפֶּה נְצֹרֶהָ כִּי־הִיא חַיֶּיךָ׃
持ちなさい 訓戒を–しっかり 手放すな 手放すな 守れ なぜなら それこそ お前の–命
H2388 H4148 H0408 H7503 H5341 H3588 H1931

教訓をかたくとらえて、離してはならない、それを守れ、それはあなたの命である。

14 בְּאֹרַח רְשָׁעִים אַל־תָּבֹא וְאַל־תֵּלֶךְ בְּדֶרֶךְ רָעִים׃
道に 悪者の 入るな 入るな 歩むな 歩むな 道を 悪しき–者の
H0734 H7563 H0935 H0408 H0408 H0833 H1870

よこしまな者の道に、はいってはならない、悪しき者の道を歩んではならない。

15 פְּרָעֵהוּ אַל־תַּעֲבָר־בּוֹ שְׁטֵה מֵעָלָיו וַעֲבוֹר׃
避けよ 通るな 通るな そこを それて そこから かけよ
H0408 H7847

それを避けよ、通ってはならない、それを離れて進め。

16 כִּי לֹא יָשְׁנוּ אִם־לֹא יָרֵעוּ וְנִגְזְלָה שְׁנָתָם׃
なぜなら 眠らない 眠らない 悪を–行わ–ない–と 害しては 奪われる 眠りが
H3462 H3808 H7489 H3808 H1497 H8142

כִּי לֹא יִכְשְׁלוּ [יכשולו] אִם־לֹא (יַכְשִׁילוּ׃)
なぜなら ないと [ケティブ] つまずかせ–ない–と つまずかせないと
H3808 H3782 H3782

彼らは悪を行わなければ眠ることができず、人をつまずかせなければ、寝ることができず、

17 כִּי לֶחֶם לֶחֶמוּ רֶשַׁע וְיֵין חֲמָסִים יִשְׁתּוּ׃
なぜなら 彼らは–食う パンを 悪の また–ぶどう酒を 暴力の 飲む
H3899 H7562 H3196 H2555 H8354

不正のパンを食らい、暴虐の酒を飲むからである。

18 וְאֹרַח צַדִּיקִים כְּאוֹר נֹגַהּ הוֹלֵךְ וְאוֹר נָכוֹן עַד־נְכוֹן הַיּוֹם׃
しかし–道は 正しい–者の 光の–ように 輝く 進む 輝き–増し 真昨の 満ちる 昌まで
H0734 H6662 H0216 H5051 H1980 H0215 H5704 H3117

正しい者の道は、夜明けの光のようだ、いよいよ輝きを増して真昼となる。

19 דֶּרֶךְ רְשָׁעִים כַּאֲפֵלָה לֹא יָדְעוּ בַּמֶּה יִכָּשְׁלוּ׃ פ
道は 悪者の 闇の–ようだ 知ら–ない 知らない 何に つまずくのか [セラ]
H1870 H7563 H0653 H3808 H3045 H4100 H3782

悪しき人の道は暗やみのようだ、彼らは何につまずくかを知らない。

20	בְּנִי	לְדִבְרַי	הַקְשִׁיבָה	לַאֲמָרַי	הַט־	אָזְנֶךָ׃
	わが–子よ	わが–言葉に	耳を–傾けよ	わが–言葉に	傾けよ	耳を
		H1697	H7181	H0561	H5186	H0241

わが子よ、わたしの言葉に心をとめ、わたしの語ることに耳を傾けよ。

21	אַל־	יַלִּיזוּ	מֵעֵינֶיךָ	שָׁמְרֵם	בְּתוֹךְ	לִבֶּךָ׃
	離れるな	離れるな	目から	守れ	心の–中に	心の
	H0408	H3868		H8104	H8432	H3824

それを、あなたの目から離さず、あなたの心のうちに守れ。

22	כִּי־	חַיִּים	הֵם	לְמֹצְאֵיהֶם	וּלְכָל־	בְּשָׂרוֹ	מַרְפֵּא׃
	なぜなら	命で–ある	それらは	見いだす–者に	全き	体に	癒し
			H1992	H4672	H3605	H1320	H4832

それは、これを得る者の命であり、またその全身を健やかにするからである。

23	מִכָּל־	מִשְׁמָר	נְצֹר	לִבֶּךָ	כִּי־	מִמֶּנּוּ	תּוֹצְאוֹת	חַיִּים׃
	何よりも	守って	守れ	心を	なぜなら	そこから	流れ出る	命が
	H3605	H4929	H5341				H8444	

油断することなく、あなたの心を守れ、命の泉は、これから流れ出るからである。

24	הָסֵר	מִמְּךָ	עִקְּשׁוּת	פֶּה	וּלְזוּת	שְׂפָתַיִם	הַרְחֵק	מִמֶּךָּ׃
	取り除け	お前から	曲がった	口を	よこしまな	唇を	遠ざけよ	お前から
	H5493	H6310	H6143	H3891	H8193	H7368		

曲った言葉をあなたから捨てさり、よこしまな談話をあなたから遠ざけよ。

25	עֵינֶיךָ	לְנֹכַח	יַבִּיטוּ	וְעַפְעַפֶּיךָ	יְיַשְּׁרוּ	נֶגְדֶּךָ׃
	目を	まっすぐに	見つめよ	まぶたを	まっすぐに–する	前方を
		H5227	H5027	H6079	H3474	H5048

あなたの目は、まっすぐに正面を見、あなたのまぶたはあなたの前を、まっすぐに見よ。

26	פַּלֵּס	מַעְגַּל	רַגְלֶךָ	וְכָל־	דְּרָכֶיךָ	יִכֹּנוּ׃
	平らに–せよ	道を	足の	すべての	道を	定めよ
	H6424	H4570	H7272	H3605	H1870	

あなたの足の道に気をつけよ、そうすれば、あなたのすべての道は安全である。

27	אַל־	תֵּט־	יָמִין	וּשְׂמֹאול	הָסֵר	רַגְלְךָ	מֵרָע׃
	それるな	それるな	右にも	左にも	遠ざけよ	足を	悪から
	H0408	H5186	H3225	H8040	H5493	H7272	

右にも左にも迷い出てはならない、あなたの足を悪から離れさせよ。

Chapter 5

1	בְּנִי	לְחָכְמָתִי	הַקְשִׁיבָה	לִתְבוּנָתִי	הַט־	אָזְנֶךָ׃
	わが–子よ	わが–知恵に	耳を–傾けよ	わが–英知に	傾けよ	耳を
		H2451	H7181	H8394	H5186	H0241

わが子よ、わたしの知恵に心をとめ、わたしの悟りに耳をかたむけよ。

2	לִשְׁמֹר	מְזִמּוֹת	וְדַעַת	שְׂפָתֶיךָ	יִנְצֹרוּ׃
	保つため	思慮を	知識を	唇が	守る
	H8104	H4209	H1847	H8193	H5341

これは、あなたが慎みを守り、あなたのくちびるに知識を保つためである。

חָכְמָה׃	מִשָּׁמֶן	וְחָלָק	זָרָה	שִׂפְתֵי	תִּטֹּפְנָה	נֹפֶת	כִּי	3
口は	油より	滑らかで	異国の–女の	唇は	滴らす	密を	なぜなら	
H2441	H8081	H2509		H8193	H5197	H5317		

遊女のくちびるは蜜をしたたらせ、その言葉は油よりもなめらかである。

פִּיּוֹת׃	כְּחֶרֶב	חַדָּה	כְּלַעֲנָה	מָרָה	וְאַחֲרִיתָהּ	4
両刃の	剣の–ように	鋭い	よもぎの–ように	苦く	しかし–その–終わりは	
H6310	H2719	H2299	H3939	H4751	H0319	

しかしついには、彼女はにがよもぎのように苦く、もろ刃のつるぎのように鋭くなる。

יִתְמֹכוּ׃	צְעָדֶיהָ	שְׁאוֹל	מָוֶת	יֹרְדוֹת	רַגְלֶיהָ	5
捕らえる	その–歩みは	陰府を	死へ	下る	彼女の–足は	
H8551	H6806	H7585	H4194	H3381	H7272	

その足は死に下り、その歩みは陰府の道におもむく。

פ	תֵּדָע׃	לֹא	מַעְגְּלֹתֶיהָ	נָעוּ	תְּפַלֵּס	פֶּן־	חַיִּים	אֹרַח	6
[セラ]	知らない	知ら–ない	その–道は	さまよう	平らにしない	–しない	命の	道を	
	H3045	H3808	H4570	H5128	H6424	H6435		H0734	

彼女はいのちの道に心をとめず、その道は人を迷わすが、彼女はそれを知らない。

פִּי׃	מֵאִמְרֵי־	תָסוּרוּ	וְאַל־	לִי	שִׁמְעוּ־	בָנִים	וְעַתָּה	7
口の	わが–口の–言葉から	離れるな	そして–離れるな	わたしに	聞きなさい	子らよ	さて	
H6310	H0561	H5493	H0408		H8085		H6258	

子供らよ、今わたしの言うことを聞け、わたしの口の言葉から、離れ去ってはならない。

בֵּיתָהּ׃	פֶּתַח	אֶל־	תִּקְרַב	וְאַל־	דַּרְכָּהּ	מֵעָלֶיהָ	הַרְחֵק	8
彼女の–家の	入り口に	～に	近づくな	近づくな	道を	彼女から	遠ざけよ	
	H6607	H0413	H7126	H0408	H1870		H7368	

あなたの道を彼女から遠く離し、その家の門に近づいてはならない。

לְאַכְזָרִי׃	שְׁנוֹתֶיךָ	הוֹדֶךָ	לַאֲחֵרִים	תִּתֵּן	פֶּן־	9
残酷な–者に	年月を	誉れを	他人に	与えないため	–ないため	
H0394	H8141	H1935	H0312	H5414	H6435	

おそらくはあなたの誉を他人にわたし、あなたの年を無慈悲な者にわたすに至る。

נָכְרִי׃	בְּבֵית	וַעֲצָבֶיךָ	כֹּחֶךָ	זָרִים	יִשְׂבְּעוּ	פֶּן־	10
異国人の	家に	労苦が	力を	他人が	食いつくさないため	–ないため	
H5237					H7646	H6435	

おそらくは他人があなたの資産によって満たされ、あなたの労苦は他人の家に行く。

וּשְׁאֵרֶךָ׃	בְּשָׂרֶךָ	בִּכְלוֹת	בְּאַחֲרִיתֶךָ	וְנָהַמְתָּ	11
身体が	肉体が	衰える–時に	終わりに	そして–うめくであろう	
H7607	H1320	H3615	H0319	H5098	

そしてあなたの終りが来て、あなたの身と、からだが滅びるとき、泣き悲しんで、

לִבִּי׃	נָאַץ	וְתוֹכַחַת	מוּסָר	שָׂנֵאתִי	אֵיךְ	וְאָמַרְתָּ	12
心が	侮った	戒めを	訓戒を	憎んだ	ああ	そして–言うだろう	
	H5006		H4148	H8130		H0559	

言うであろう、「わたしは教訓をいとい、心に戒めを軽んじ、

13 וְלֹא־ שָׁמַעְתִּי בְקוֹל מוֹרַי וְלִמְלַמְּדַי לֹא־ הִטֵּיתִי אָזְנִי׃
そして-聞かなかった 聞かなかった 声に 教師の 指導者に 傾けなかった 傾け-なかった 耳を
H3808 H8085 H0qol H4148 H3925 H5186 H3808 H0241

教師の声に聞き従わず、わたしを教える者に耳を傾けず、

14 כִּמְעַט הָיָיתִי בְּכָל־ רָע בְּתוֹךְ קָהָל וְעֵדָה׃
危うく なった あらゆる 悪に の-中で 会衆と 集いの
H4592 H1961 H3605 H7451 H8432 H6951 H5712

集まりの中、会衆のうちにあって、わたしは、破滅に陥りかけた」と。

15 שְׁתֵה־ מַיִם מִבּוֹרֶךָ וְנֹזְלִים מִתּוֹךְ בְּאֵרֶךָ׃
飲め 水を 自らの-水溝から 流れを の-中から 自らの-井戸の
H8354 H4325 H4458 H5140 H8432 H0875

あなたは自分の水ためから水を飲み、自分の井戸から、わき出す水を飲むがよい。

16 יָפוּצוּ מַעְיְנֹתֶיךָ חוּצָה פַלְגֵי־ מַיִם׃
あふれるがよい 泉が 外に 広場に 流れが 水の
H4599 H2351 H7339 H6388 H4325

あなたの泉を、外にまきちらし、水の流れを、ちまたに流してよかろうか。

17 יִהְיוּ־ לְךָ לְבַדֶּךָ וְאֵין לְזָרִים אִתָּךְ׃
あるがよい お前-だけの そして-ないがよい 他人の-ために お前と
H1961 H0905 H0369 H2114 H0854

それを自分だけのものとし、他人を共にあずからせてはならない。

18 יְהִי־ מְקוֹרְךָ בָרוּךְ וּשְׂמַח מֵאֵשֶׁת נְעוּרֶיךָ׃
あれ 祝福されよ そして-喜べ 妻を 若き-日の
H1961 H1288 H8055 H0802 H5271

あなたの泉に祝福を受けさせ、あなたの若い時の妻を楽しめ。

19 אַיֶּלֶת אֲהָבִים וְיַעֲלַת־ חֵן דַּדֶּיהָ יְרַוֻּךָ בְכָל־ עֵת בְּאַהֲבָתָהּ׃
鹿の-ような 愛らしい 山羊の-ような 恵みの 胸で 潤わされよ いつも 時も 愛に
H0365 H0158 H3280 H2580 H1717 H7301 H3605 H6256 H0160

תִּשְׁגֶּה תָמִיד׃
酔え 常に
H7686 H8548

彼女は愛らしい雌じか、美しいしかのようだ。いつも、その乳ぶさをもって満足し、その愛をもって常に喜べ。

20 וְלָמָּה תִשְׁגֶּה בְנִי בְזָרָה וּתְחַבֵּק חֵק נָכְרִיָּה׃
なぜ 酔うのか 異国の-女に わが-子よ 抱くのか 胸を 他国の-女の
H4100 H7686 H2114 H2263 H2436 H5237

わが子よ、どうして遊女に迷い、みだらな女の胸をいだくのか。

21 כִּי נֹכַח עֵינֵי יְהוָה דַּרְכֵי־ אִישׁ וְכָל־ מַעְגְּלֹתָיו מְפַלֵּס׃
なぜなら 前に 目の 主の 道が-ある 人の すべての 歩みを 量られる
H3588 H5227 H5869 H3068 H1870 H0376 H3605 H4570 H6424

人の道は主の目の前にあり、主はすべて、その行いを見守られる。

22 עֲוֹנוֹתָיו יִלְכְּדֻנוֹ אֶת־ הָרָשָׁע וּבְחַבְלֵי חַטָּאתוֹ יִתָּמֵךְ׃
咲がある 捕らえる ～を 悪者を 縄で 罪の 縛られる
H5771 H3920 H0853 H7563 H2256 H8551

悪しき者は自分のとがに捕えられ、自分の罪のなわにつながれる。

פ	יִשְׁגֶּה׃	אִוַּלְתּוֹ	וּבְרֹב	מוּסָר	בְּאֵין	יָמוּת	הוּא	23
[セラ]	まどわされる	愚かさに	多くの	訓戒が	ない–ゆえに	死ぬ	彼は	
	H7686	H0200	H7230	H4148	H0369	H4191	H1931	

彼は、教訓がないために死に、その愚かさの大きいことによって滅びる。

Chapter 6

כַּפֶּיךָ׃	לַזָּר	תָּקַעְתָּ	לְרֵעֶךָ	עָרַבְתָּ	אִם־	בְּנִי	1
手を	他人の–ために	手を–打ったなら	隣人の–ために	保証したなら	もし	わが–子よ	
H3709		H8628	H7453	H6148			

わが子よ、あなたがもし隣り人のために保証人となり、他人のために手をうって誓ったならば、

פִּיךָ׃	בְּאִמְרֵי־	נוֹקַשְׁתָּ	פִּיךָ	בְּאִמְרֵי־	נִלְכַּדְתָּ	2
口の	口の–言葉に	捕らえられた	口の	口の–言葉に	縛られた	
H6310	H0561	H3920	H6310	H0561	H3369	

もしあなたのくちびるの言葉によって、わなにかかり、あなたの口の言葉によって捕えられたならば、

לֵךְ	רֵעֶךָ	כְּכַף־	בָּאתָ	כִּי	וְהִנָּצֵל	בְּנִי	וְאֹפוֹא	זֹאת	עֲשֵׂה	3
行け	隣人の	手に	落ちた	なぜなら	自らを–救え	わが–子よ	さあ	こう	行え	
H3212	H7453	H3709	H0935		H5337		H0645	H2063		

הִתְרַפֵּס	וּרְהַב	רֵעֶיךָ׃	
へりくだり	迫れ	隣人に	
H7511	H7292	H7453	

わが子よ、その時はこうして、おのれを救え、あなたは隣り人の手に陥ったのだから。急いで行って、隣り人にひたすら求めよ。

לְעַפְעָפֶיךָ׃	וּתְנוּמָה	לְעֵינֶיךָ	שְׁנָה	תִּתֵּן	אַל־	4
まぶたに	まどろみを	目に	眠りを	与えるな	与えるな	
H6079	H8572		H8142	H5414	H0408	

あなたの目を眠らせず、あなたのまぶたを、まどろませず、

פ	יָקוּשׁ׃	מִיַּד	וּכְצִפּוֹר	מִיַּד	כִּצְבִי	הִנָּצֵל	5
[セラ]	罠師の	手から	鳥の–ように	手から	鹿の–ように	逃れよ	
	H3353	H3027	H6833	H3027		H5337	

かもしかが、かりゅうどの手からのがれるように、鳥が鳥を取る者の手からのがれるように、おのれを救え。

וַחֲכָם׃	דְּרָכֶיהָ	רְאֵה	עָצֵל	נְמָלָה	אֶל־	לֵךְ־	6
そして–賢くなれ	その–行いを	見よ	怠け者よ	蚁の	～の–もとへ	行け	
H2449	H1870	H7200	H6102	H5244	H0413	H3212	

なまけ者よ、ありのところへ行き、そのすることを見て、知恵を得よ。

וּמֹשֵׁל׃	שֹׁטֵר	קָצִין	לָהּ	אֵין־	אֲשֶׁר	7
支配者も	監督も	指導者も	彼女には	ない	～なくても	
H4910	H7860	H7101		H0369		

ありは、かしらなく、つかさなく、王もないが、

מַאֲכָלָהּ׃	בַּקָּצִיר	אָגְרָה	לַחְמָהּ	בַקַּיִץ	תָּכִין	8
食べ物を	収穫時に	集める	食糧を	夏に	備える	
H3978		H0103	H3899	H7019		

夏のうちに食物をそなえ、刈入れの時に、かてを集める。

מִשְּׁנָתֶךָ׃	תָּקוּם	מָתַי	תִּשְׁכָּב	וְעָצֵל	מָתַי	עַד־	9
眠りから	起きるのか	いつ	横たわるのか	怠け者よ	いつまで	いつまで	
H8142		H4970	H7901	H6102	H4970	H5704	

なまけ者よ、いつまで寝ているのか、いつ目をさまして起きるのか。

לִשְׁכָּב׃	יָדַיִם	חַבֶּק	וּמְעַט	תְּנוּמוֹת	מְעַט	שְׁנוֹת	מְעַט	10
横たわる	手を	腕を-組んで	少しの	まどろみ	少しの	眠り	少しの	
H7901	H3027	H2264	H4592	H8572	H4592	H8142	H4592	

しばらく眠り、しばらくまどろみ、手をこまぬいて、またしばらく休む。

מָגֵן׃	כְּאִישׁ	וּמַחְסֹרְךָ	רֵאשֶׁךָ	כְּמְהַלֵּךְ	וּבָא־	פ	11
武装した人のように	武装した-人の-ように	乏しさが	貧しさが	旅人の-ように	来る	[セラ]	
H4043	H0376	H4270		H1980	H0935		

それゆえ、貧しさは盗びとのようにあなたに来り、乏しさは、つわもののようにあなたに来る。

פֶּה׃	עִקְּשׁוּת	הוֹלֵךְ	אָוֶן	אִישׁ	בְּלִיַּעַל	אָדָם	12
口で	曲がった	歩む	悪の	男	よこしまな	人	
H6310	H6143	H1980	H0205	H0376	H1100	H0120	

よこしまな人、悪しき人は偽りの言葉をもって行きめぐり、

בְּאֶצְבְּעֹתָיו׃	מֹרֶה	בְּרַגְלָו	מֹלֵל	בְּעֵינָו	קֹרֵץ	13
指で	指し-示し	足で	足で-合図し	目で	目配りし	
H0676		H7272			H7169	

目でめくばせし、足で踏み鳴らし、指で示し、

יְשַׁלֵּחַ׃	(מְדָנִים)	[מדנים]	עֵת	בְּכָל־	רָע	חֹרֵשׁ	בְּלִבּוֹ	וּתְהַפְכוֹת	14
引き起こす	争いを	[ケティブ]	時も	いつも	悪を	企む	心に-あり	曲がった-ことが	
H7971	H4079	H4090	H6256	H3605				H8419	

よこしまな心をもって悪を計り、絶えず争いをおこす。

מַרְפֵּא׃	וְאֵין	יִשָּׁבֵר	פֶּתַע	אֵידוֹ	יָבוֹא	פִּתְאֹם	כֵּן	עַל־	15
癒しがなく	癒しが-なく	砕かれる	たちまち	災いが	来る	突然	それゆえ	それ-ゆえ	
H4832	H0369	H7665	H6621	H0343	H0935	H6597			

פ
[セラ]

それゆえ、災は、にわかに彼に臨み、たちまちにして打ち敗られ、助かることはない。

נַפְשׁוֹ׃	(תּוֹעֲבַת)	[תועבות]	וְשֶׁבַע	יְהוָה	שָׂנֵא	הֵנָּה	שֵׁשׁ־	16
魂が	忌み-嫌う	[ケティブ]	七つは	主は	憎む	の-ことを	六つ	
H5315	H8441	H8441	H7651	H3068	H8130	H2007	H8337	

主の憎まれるものが六つある、否、その心に、忌みきらわれるものが七つある。

נָקִי׃	דָּם־	שֹׁפְכוֹת	וְיָדַיִם	שֶׁקֶר	לְשׁוֹן	רָמוֹת	עֵינַיִם	17
罪なき-者の	血を	流す	手	偽りの	舌	高ぶる	目	
	H1818	H8210	H3027	H8267	H3956			

すなわち、高ぶる目、偽りを言う舌、罪なき人の血を流す手、

לָרָעָה׃	לָרוּץ	מְמַהֲרוֹת	רַגְלַיִם	אָוֶן	מַחְשְׁבוֹת	חֹרֵשׁ	לֵב	18
悪へ	走るために	急ぐ	足	悪の	計画を	企む	心	
	H7323		H7272	H0205	H4284			

悪しき計りごとをめぐらす心、すみやかに悪に走る足、

פ	אַחִֽים׃	בֵּין	מְדָנִים	וּמְשַׁלֵּחַ	שָׁקֶר	עֵד	כְּזָבִים	יָפִֽיחַ	19
[セラ]	兄弟の	中に	争いを	蒔く	偽りの	証人	偽りを	吾く	
	H0251	H0996	H4090	H7971	H8267	H5707	H3577	H6315	

偽りをのべる証人、また兄弟のうちに争いをおこす人がこれである。

אִמֶּֽךָ׃	תּוֹרַ֥ת	תִּטֹּ֑שׁ	וְאַל־	אָבִ֖יךָ	מִצְוַ֣ת	בְּנִ֭י	נְצֹ֣ר	20
母の	教えを	捨てるな	捨てるな	父の	戒めを	わが–子よ	守れ	
H0517	H8451	H5203	H0408	H0001	H4687		H5341	

わが子よ、あなたの父の戒めを守り、あなたの母の教を捨てるな。

גַּרְגְּרֹתֶֽיךָ׃	עַל־	עָנְדֵ֑ם	תָּמִ֥יד	לִבֶּ֗ךָ	עַל־	קָשְׁרֵֽם	21
首に	～に	掛けよ	いつも	心に	～に	結びつけよ	
H1621		H6029	H8548			H7194	

つねに、これをあなたの心に結び、あなたの首のまわりにつけよ。

תְּשִׂיחֶֽךָ׃	הֵ֭יא	וַהֲקִיצוֹתָ֑	עָלֶ֥יךָ	תִּשְׁמֹ֗ר	בְּשָׁכְבְּךָ֥	אֹתָ֑ךְ	תַּנְחֶ֣ה	וּבְהִתְהַלֶּכְךָ֥	22
語りかける	それが	目覚める–時	お前を	守る	横たわる–時	お前を	導く	歩む–時	
H7878	H1931	H6974		H8104	H7901	H0853	H5148	H1980	

これは、あなたが歩くとき、あなたを導き、あなたが寝るとき、あなたを守り、あなたが目ざめるとき、あなたと語る。

מוּסָֽר׃	תוֹכְחֹ֣ות	חַיִּ֑ים	וְדֶ֖רֶךְ	אֹ֣ור	וְתֹורָ֥ה	מִצְוָ֗ה	נֵ֭ר	כִּֽי	23
訓戒の	戒めは	命の	道は	光	教えは	戒めは	灯である	なぜなら	
H4148			H1870	H0216	H8451	H4687			

戒めはともしびである、教は光である、教訓の懲しめは命の道である。

נָכְרִיָּֽה׃	לָשׁ֑וֹן	מֵ֝חֶלְקַ֗ת	רָ֥ע	מֵאֵ֫שֶׁת	לִשְׁמָרְךָ֥	24
異国の–女の	舌から	滑らかな	悪い	悪い–女から	守るために	
H5237	H3956			H0802	H8104	

これは、あなたを守って、悪い女に近づかせず、みだらな女の、巧みな舌に惑わされぬようにする。

בְּעַפְעַפֶּֽיהָ׃	תִּקָּ֑חֶךָּ	וְאַל־	בִּלְבָבֵ֗ךָ	יָפְיָ֥הּ	תַּחְמֹ֑ד	אַל־	25
まぶたに	捕らわれるな	捕らわれるな	心で	美しさを	欲しがるな	欲しがるな	
H6079	H3947	H0408	H3824	H3308		H0408	

彼女の麗しさを心に慕ってはならない、そのまぶたに捕えられてはならない。

נֶ֭פֶשׁ	אִ֣ישׁ	וְאֵ֖שֶׁת	לֶ֣חֶם	כִּכַּ֑ר	עַד־	זוֹנָ֥ה	אִשָּׁ֗ה	בְּעַד־	כִּֽי	26
命を	人の	他人の–妻は	パンに–まで	一切れの	～まで	遊女の	遊女の	の–ために	なぜなら	
H5315	H0376	H0802	H3899	H3603	H5704	H2181	H0802	H1157		

פ	תָּצֽוּד׃	יִקָּרָֽה׃	
[セラ]	狩る	尊い	
		H3368	

遊女は一塊のパンのために雇われる、しかし、みだらな女は人の尊い命を求める。

תִּשָּׂרַפְנָֽה׃	לֹ֣א	וּבְגָדָ֑יו	בְּחֵיקֹ֣ו	אֵ֭שׁ	אִ֣ישׁ	הֲיַחְתֶּ֣ה	27
燃えないか	燃え–ないか	衣服が	懐に	火を	人が	抱けるか	
H8313	H3808		H2436	H0784	H0376	H2846	

人は火を、そのふところにいだいてその着物が焼かれないであろうか。

28 אִם־ יְהַלֵּךְ אִישׁ עַל־ הַגֶּחָלִים וְרַגְלָיו לֹא תִכְוֶינָה׃
もし 歩くなら 人が ～の–上を 燃える–炭の 足が 焚け–ないか 焚けないか
H1980 H0376 H0413 H1513 H7272 H3808 H3554

また人は、熱い火を踏んで、その足が、焼かれないであろうか。

29 כֵּן הַבָּא אֶל־ אֵשֶׁת רֵעֵהוּ לֹא יִנָּקֶה כָּל־ הַנֹּגֵעַ
同じである 近づく–者は ～に 妻に 隣人の 罰を–免れ–ない いかなる 免れない 触れる–者も
H3808 H0935 H0413 H0802 H7453 H3808 H3605 H5352 H5060

בָּהּ׃
彼女に

その隣の妻と不義を行う者も、それと同じだ。すべて彼女に触れる者は罰を免れることはできない。

30 לֹא־ יָבוּזוּ לַגַּנָּב כִּי יִגְנֹב לְמַלֵּא נַפְשׁוֹ כִּי רָעֵב׃
盗人は 軽蔑されない 盗むのは 満たすため 魂を 盗むが–ために 飢える–からだ 飢えるからだ
H1590 H0936 H1589 H4390 H5315 H3588 H7456

盗びとが飢えたとき、その飢えを満たすために盗むならば、人は彼を軽んじないであろうか。

31 וְנִמְצָא שִׁבְעָתַיִם יְשַׁלֵּם כָּל־ הוֹן בֵּיתוֹ יִתֵּן׃
見つかれば 七倍を 償う すべての 富を 家の 与える
H4672 H7659 H7999 H3605 H1952 H1004 H5414

もし捕えられたなら、その七倍を償い、その家の貨財を、ことごとく出さなければならない。

32 נֹאֵף אִשָּׁה חֲסַר־ לֵב מַשְׁחִית נַפְשׁוֹ הוּא יַעֲשֶׂנָּה׃
姦淫する–者は 女と 乏しい 思慮が 滅ぼす 魂を 彼が 行う
H5003 H0802 H2638 H3820 H7843 H5315 H1931 H6213

女と姦淫を行う者は思慮がない。これを行う者はおのれを滅ぼし、

33 נֶגַע־ וְקָלוֹן יִמְצָא וְחֶרְפָּתוֹ לֹא תִמָּחֶה׃
傷と 恥を 見いだし 汚名は 消え–ない 消えない
H5061 H7036 H4672 H2781 H3808 H4229

傷と、はずかしめとを受けて、その恥をすすぐことができない。

34 כִּי־ קִנְאָה חֲמַת־ גָּבֶר וְלֹא־ יַחְמוֹל בְּיוֹם נָקָם׃
なぜなら 嫉妬は 怒りで–ある 夫の 容赦し–ない 容赦しない 日に 復讐の
H7068 H2534 H1397 H3808 H2550 H3117 H5359

ねたみは、その夫を激しく怒らせるゆえ、恨みを報いるとき、容赦することはない。

35 לֹא־ יִשָּׂא פְּנֵי כָל־ כֹּפֶר וְלֹא־ יֹאבֶה כִּי תַרְבֶּה־ שֹׁחַד׃ פ
受け入れない 顔を いかなる 贖いも そして–応じない 応じない たとえ 増やしても 賄賂を [セラ]
H3808 H6440 H3605 H3724 H3808 H0014 H3588 H7810

どのようなあがない物をも顧みず、多くの贈り物をしても、和らがない。

Chapter 7

1	בְּנִי	שְׁמֹר	אִמָרָי	וּמִצְוֹתַי	תִּצְפֹּן	אִתָּךְ׃
	わが–子よ	守れ	わが–言葉を	わが–戒めを	心に–納めよ	お前の–うちに
		H8104	H0561	H4687	H6845	H0854

わが子よ、わたしの言葉を守り、わたしの戒めをあなたの心にたくわえよ。

2	שְׁמֹר	מִצְוֹתַי	וְחְיֵה	וְתוֹרָתִי	כְּאִישׁוֹן	עֵינֶיךָ׃
	守れ	わが–戒めを	そして–生きよ	わが–教えを	瞳の–ように	目の
	H8104	H4687	H2421	H8451	H0380	

わたしの戒めを守って命を得よ、わたしの教を守ること、ひとみを守るようにせよ。

3	קָשְׁרֵם	עַל־	אֶצְבְּעֹתֶיךָ	כָּתְבֵם	עַל־	לוּחַ	לִבֶּךָ׃
	結びつけよ	～に	指に	書き記せ	～に	板に	心の
	H7194		H0676	H3789		H3871	

これをあなたの指にむすび、これをあなたの心の碑にしるせ。

4	אֱמֹר	לַחָכְמָה	אֲחֹתִי	אָתְּ	וּמוֹדָע	לַבִינָה	תִּקְרָא׃
	言え	知恵に	姉よと	お前は	親しい–友と	英知を	呼べ
	H0559	H2451	H0269		H4129	H0998	H7121

知恵に向かって、「あなたはわが姉妹だ」と言い、悟りに向かっては、あなたの友と呼べ。

5	לְשָׁמְרֵךְ	מֵאִשָּׁה	זָרָה	מִנָּכְרִיָּה	אֲמָרֶיהָ	הֶחֱלִיקָה׃
	守るために	異国の–女から	異国の女	他国の–女	言葉で	へつらう
	H8104	H0802		H5237	H0561	

そうすれば、これはあなたを守って遊女に迷わせず、言葉巧みな、みだらな女に近づかせない。

6	כִּי	בְּחַלּוֹן	בֵּיתִי	בְעַד	אֶשְׁנַבִּי	נִשְׁקָפְתִּי׃
	なぜなら	窓から	家の	～越しに	格子の	見下ろした
		H2474		H1157	H0822	H8259

わたしはわが家の窓により、格子窓から外をのぞいて、

7	וָאֶרְאֶה	בַּפְּתָאִים	אָבִינָה	בַּבָּנִים	נַעַר	חֲסַר־	לֵב׃
	見た	未熟な–者の–中に	見分けた	若者たちの–中に	若者を	思慮の–乏しい	思慮が
	H7200		H0995		H5288	H2638	

思慮のない者のうちに、若い者のうちに、ひとりの知恵のない若者のいるのを見た。

8	עֹבֵר	בַּשּׁוּק	אֶצֶל	פִּנָּה	וְדֶרֶךְ	בֵּיתָהּ	יִצְעָד׃
	通りかかる	通りで	角の–そばで	角の	道を	彼女の–家へ	歩む
		H7784	H0681	H6438	H1870		H6805

彼はちまたを過ぎ、女の家に行く曲りかどに近づき、その家に行く道を、

9	בְּנֶשֶׁף־	בְּעֶרֶב	יוֹם	בְּאִישׁוֹן	לַיְלָה	וַאֲפֵלָה׃	
	たそがれ–時	夕方	日の	闇の	夜と	暗闇の	
	H5399	H6153	H3117	H0380	H3915	H0653	

たそがれに、よいに、また夜中に、また暗やみに歩いていった。

10	וְהִנֵּה	אִשָּׁה	לִקְרָאתוֹ	שִׁית	זוֹנָה	וּנְצַרַת	לֵב׃
	見よ	女が	迎えに–出た	装いは	遊女の	心は–隠され	心は
	H2009	H0802	H7125	H7897	H2181	H5341	

見よ、遊女の装いをした陰険な女が彼に会う。

11 הִמְיָה תֵּיא וְסָרָרֶת בְּבֵיתָהּ לֹא־ יִשְׁכְּנוּ רַגְלֶיהָ׃
騒がしく 彼女は 従わず 家に 留まら–ない 留まらない 足が
H1993 H1931 H5637 H3808 H7931 H7272

この女は、騒がしくて、慎みなく、その足は自分の家にとどまらず、

12 וּפָעַם בַּחוּץ פָּעַם בָּרְחֹבוֹת וְאֵצֶל כָּל־ פִּנָּה תֶּאֱרֹב׃
ある–時は 通りに ある–時は 広場に 角ごとに あらゆる 角ごとに 待ち伏せる
H6471 H2351 H6471 H7339 H0681 H3605 H6438 H0693

ある時はちまたにあり、ある時は市場にあり、すみずみに立って人をうかがう。

13 וְהֶחֱזִיקָה בּוֹ וְנָשְׁקָה־ לּוֹ הֵעֵזָה פָּנֶיהָ וַתֹּאמַר לוֹ׃
捕まえた 彼を 接吐した 彼に 厚かましくした 顔を 言った 彼に
H2388 H0559 H6440 H5810

この女は彼を捕えて口づけし、恥しらぬ顔で彼に言う、

14 זִבְחֵי שְׁלָמִים עָלַי הַיּוֹם שִׁלַּמְתִּי נְדָרָי׃
いけにえ 和解の 私に–あります 今日 果たしました 誓願を
H2077 H8002 H3117 H7999 H5088

「わたしは酬恩祭をささげなければならなかったが、きょう、その誓いを果しました。

15 עַל־ כֵּן יָצָאתִי לִקְרָאתֵךְ לְשַׁחֵר פָּנַיִךְ וָאֶמְצָאֵךְ׃
それゆえ それ–ゆえ 出てきました あなたを–迎えに 尋めに あなたの–顔を 見つけました
H3318 H7125 H7836 H6440 H4672

それでわたしはあなたを迎えようと出て、あなたを尋ね、あなたに会いました。

16 מָרְבַּדִּים רָבַדְתִּי עַרְשִׂי חֲטֻבּוֹת בְּחַבְלֵי מִצְרָיִם׃
敷き物で 整えました 寝台を 彩りの 亜麻布で エジプトの
H4765 H7234 H6210 H2405 H0330 H4714

わたしは床に美しい、しとねと、エジプトのあや布を敷き、

17 נָפַפְתִּי מִשְׁכָּבִי מֹר אֲהָלִים וְקִנָּמוֹן׃
香を–振りました 寝床に 没薬と 沈香と 桂皮を
H5130 H4904 H4753 H0174 H7076

没薬、ろかい、桂皮をもってわたしの床をにおわせました。

18 לְכָה נִתְעַלְסָה דֹדִים עַד־ הַבֹּקֶר נִרְוֶה בָּאֲהָבִים׃
さあ 楽しみましょう 愛を 朝まで 朝まで 飲みましょう 愛撫に
H3212 H5965 H1730 H1242 H5704 H7301 H0159

さあ、わたしたちは夜が明けるまで、情をつくし、愛をかわして楽しみましょう。

19 כִּי אֵין הָאִישׁ בְּבֵיתוֹ הָלַךְ בְּדֶרֶךְ מֵרָחוֹק׃
なぜなら いません 夫は 家に 行きました 旅に 遠くへ
H3588 H0369 H0376 H1980 H1870 H7350

夫は家にいません、遠くへ旅立ち、

20 צְרוֹר־ הַכֶּסֶף לָקַח בְּיָדוֹ לְיוֹם הַכִּסֵּא יָבֹא בֵיתוֹ׃
財布を 銀の 持ちました 手に 日に 満月の 帰る 家に
H6872 H3701 H3947 H3027 H3117 H3677 H0935 H1004

手に金袋を持って出ました。満月になるまでは帰りません」と。

21	הֵטּוּ֥	בְרֹ֑ב	בְּלֶקַח־	שְׂפָתֶ֖יהָ	בְּחֵ֣לֶק	תַּדִּיחֶ֣נּוּ׃
	惑わした	多くの	巧みな–言葉で	唇で	滑らかな	引きずり込んだ
	H5186	H7230	H3948	H8193	H2506	H5080

女が多くの、なまめかしい言葉をもって彼を惑わし、巧みなくちびるをもって、いざなうと、

22	הָלַ֣ךְ	אַחֲרֶ֣יהָ	פִּתְאֹ֑ם	כְּשׁ֥וֹר	אֶל־	טֶ֖בַח	יָב֥וֹא	וְכְעֶכֶס	מוּסָ֣ר
	従った	彼女に	ただちに	牛の–ように	～へ	屠場へ	行く	足かせの–ように	戒めへ
	H1980		H6597	H7794	H0413	H2874	H0935	H5914	H4148

אֱוִ֣יל׃	
愚か者の	
H0191	

若い人は直ちに女に従った、あたかも牛が、ほふり場に行くように、雄じかが、すみやかに捕えられ、

23	עַ֤ד	יְפַלַּ֣ח	חֵ֭ץ	כְּבֵדֽוֹ׃	כְּמַהֵ֣ר	צִפּ֑וֹר	אֶל־	פָּ֥ח	וְלֹא־	יָדַ֥ע
	ついに	射抜く	矢が	肌器を	急ぐ–ように	鳥が	～へ	罠へ	知ら–ない	知らない
	H5704	H6398	H2671	H3516		H6833	H0413		H3808	H3045

פ	הֽוּא׃	בְּנַפְשׁ֥וֹ	כִּֽי־
[セラ]	命に	命に–かかわると	それが
	H1931	H5315	

ついに、矢がその内臓を突き刺すように、鳥がすみやかに網にかかるように、彼は自分が命を失うようになることを知らない。

24	וְעַתָּ֥ה	בָנִ֑ים	שִׁמְעוּ־	לִ֝י	וְהַקְשִׁ֗יבוּ	לְאִמְרֵי־	פִֽי׃
	さて	子らよ	聞きなさい	わたしに	耳を–傾けなさい	わが–口の–言葉に	口の
	H6258		H8085		H7181	H0561	H6310

子供らよ、今わたしの言うことを聞き、わが口の言葉に耳を傾けよ。

25	אַל־	יֵשְׂטְ֣	אֶל־	דְּרָכֶ֣יהָ	לִבֶּ֑ךָ	אַל־	תֵּ֝תַע	בִּנְתִיבוֹתֶ֗יהָ׃
	それるな	それるな	～へ	彼女の–道へ	心を	さまような	その–小道で	―
	H0408	H7847	H0413	H1870		H0408	H8582	

あなたの心を彼女の道に傾けてはならない、またその道に迷ってはならない。

26	כִּֽי־	רַבִּ֥ים	חֲלָלִ֗ים	הִפִּ֫ילָה	וַעֲצוּמִ֥ים	כָּל־	הֲרֻגֶֽיהָ׃
	なぜなら	多くの	傷ついた–者を	倒した	力ある–者も	すべて	殺された
				H5307	H6099	H3605	H2026

彼女は多くの人を傷つけて倒した、まことに、彼女に殺された者は多い。

27	דַּרְכֵ֣י	שְׁא֑וֹל	בֵּיתָ֥הּ	יֹרְד֥וֹת	אֶל־	חַדְרֵי־	מָ֝וֶת׃	פ
	陰府への–道で–ある	陰府への	彼女の–家は	下る	～へ	死の–部屋へ	死の	[セラ]
	H1870	H7585		H3381	H0413	H2315	H4194	

その家は陰府へ行く道であって、死のへやへ下って行く。

Chapter 8

1	הֲלֹא־	תִקְרָ֣א	וּתְבוּנָ֑ה	תִּתֵּ֥ן	קוֹלָֽהּ׃
	まさに	呼ばないか	英知は	上げないか	その–声を
	H3808	H7121	H8394	H5414	

知恵は呼ばわらないのか、悟りは声をあげないのか。

2 בְּרֹאשׁ־ מְרוֹמִים עַל־ דֶּרֶךְ בֵּית נְתִיבוֹת נִצָּבָה׃
頂の 高き–所に 沿う 道に 交わる 小道の 彼女は–立つ
H5324 H1870 H4791

これは道のほとりの高い所の頂、また、ちまたの中に立ち、

3 לְיַד־ שַׁעֲרֵים לְפִי־ קָרֶת מְבוֹא פְּתָחִים תָּרֹנָּה׃
傍らに 門の 入口に 町の 入る–所の 戸口で 彼女は–叫ぶ
H3027 H8179 H6310 H7176 H3996 H6607

町の入口にあるもろもろの門のかたわら、正門の入口で呼ばわって言う、

4 אֲלֵיכֶם אִישִׁים אֶקְרָא וְקוֹלִי אֶל־ בְּנֵי אָדָם׃
あなたがたに 人々よ 私は–呼ぶ 私の–声は 向かう 子らに 人の
H0413 H0376 H7121 H0413 H0120

「人々よ、わたしはあなたがたに呼ばわり、声をあげて人の子らを呼ぶ。

5 הָבִינוּ פְתָאיִם עָרְמָה וּכְסִילִים הָבִינוּ לֵב׃
悟れ 愚か–者よ 賢さを 愚鈍な–者よ 悟れ 心を
H0995 H6195 H3684 H0995

思慮のない者よ、悟りを得よ、愚かな者よ、知恵を得よ。

6 שִׁמְעוּ כִּי־ נְגִידִים אֲדַבֵּר וּמִפְתַּח שְׂפָתַי מֵישָׁרִים׃
聞け なぜなら 尊い–ことを 私は–語る 開くとき 私の–唇を 正しい–ことを
H8085 H5057 H1696 H4669 H8193 H4339

聞け、わたしは高貴な事を語り、わがくちびるは正しい事を語り出す。

7 כִּי־ אֱמֶת יֶהְגֶּה חִכִּי וְתוֹעֲבַת שְׂפָתַי רֶשַׁע׃
なぜなら 真実を 語る 私の–口は 忌み–嫌うもの 私の–唇の 悪である
H0571 H1897 H2441 H8441 H8193 H7562

わが口は真実を述べ、わがくちびるは悪しき事を憎む。

8 בְּצֶדֶק כָּל־ אִמְרֵי־ פִי אֵין בָּהֶם נִפְתָּל וְעִקֵּשׁ׃
正しさの–中に すべての 言葉は 私の–口の ない その–中に ねじ曲がりも 歪みも
H6664 H3605 H0561 H6310 H0369 H6617 H6141

わが口の言葉はみな正しい、そのうちに偽りと、よこしまはない。

9 כֻּלָּם נְכֹחִים לַמֵּבִין וְיְשָׁרִים לְמֹצְאֵי דָּעַת׃
それらは–すべて 正しい 悟る–者には まっすぐである 見出す–者には 知識を
H3605 H5228 H0995 H3477 H4672 H1847

これはみな、さとき者の明らかにするところ、知識を得る者の正しとするところである。

10 קְחוּ־ מוּסָרִי וְאַל־ כֶּסֶף וְדַעַת מֵחָרוּץ נִבְחָר׃
受けよ 私の–訓戒を ではなく 銀を 知識を 精金–よりも 選べ
H3947 H4148 H0408 H3701 H1847 H2742 H0977

あなたがたは銀を受けるよりも、わたしの教を受けよ、精金よりも、むしろ知識を得よ。

11 כִּי־ טוֹבָה חָכְמָה מִפְנִינִים וְכָל־ חֲפָצִים לֹא יִשְׁווּ־ בָהּ׃
なぜなら 優れている 知恵は 真珠–よりも すべての 望む–ものは ない 及ばない それに
H3588 H2896 H2451 H6443 H3605 H2656 H3808 H7737 H0

知恵は宝石にまさり、あなたがたの望むすべての物は、これと比べるにたりない。

12 אֲנִי־ חָכְמָה שָׁכַנְתִּי עָרְמָה וְדַעַת מְזִמּוֹת אֶמְצָא׃
私は 知恵 住んでいる 賢さと-共に 知識を 思慮の 見出す
H0589 H2451 H7931 H6195 H1847 H4209 H4672

知恵であるわたしは悟りをすみかとし、知識と慎みとをもつ。

13 יִרְאַת יְהוָה שִׂנְאַת רָע גְּאָה וְגַאֲוֹן וְדֶרֶךְ רָע וּפִי תַהְפֻּכוֹת שָׂנֵאתִי׃
恐れは 主を 憎むこと 悪を 高慢と 傲慢と 道を 悪の 口を 偽りの 私は-憎む
H3374 H3068 H8130 H7451 H1344 H1347 H1870 H7451 H6310 H8419 H8130

主を恐れるとは悪を憎むことである。わたしは高ぶりと、おごりと、悪しき道と、偽りの言葉とを憎む。

14 לִי־ עֵצָה וְתוּשִׁיָּה אֲנִי בִינָה לִי גְבוּרָה׃
私の-ものである 助言と 知略は 私は 英知 私の-ものである 力は
H6098 H8454 H0589 H0998 H3426 H1369

計りごとと、確かな知恵とは、わたしにある、わたしには悟りがあり、わたしには力がある。

15 בִּי מְלָכִים יִמְלֹכוּ וְרוֹזְנִים יְחֹקְקוּ צֶדֶק׃
私に-よって 王たちは 治め 支配者たちは 制定する 正義を
H4428 H4910 H7336 H2710 H6664

わたしによって、王たる者は世を治め、君たる者は正しい定めを立てる。

16 בִּי שָׂרִים יָשֹׂרוּ וּנְדִיבִים כָּל־ שֹׁפְטֵי צֶדֶק׃
私に-よって 君主たちは 支配し 貴族たちは すべての 裁き人は 正義の
H8269 H8323 H5081 H3605 H8199 H6664

わたしによって、主たる者は支配し、つかさたる者は地を治める。

17 אֲנִי אֹהֲבַי (אהבי) וּמְשַׁחֲרַי יִמְצָאֻנְנִי׃
私は 愛する-者を 私を-愛する-者を — 熱心に-求める-者は 私を-見出す
H0589 H0157 H0157 H0157 H7836 H4672

わたしは、わたしを愛する者を愛する、わたしをせつに求める者は、わたしに出会う。

18 עֹשֶׁר־ וְכָבוֹד אִתִּי הוֹן עָתֵק וּצְדָקָה׃
富と 栄誉は 私と-共にある 揺るがぬ 財産と 義は
H6239 H3519 H0854 H1952 H6276 H6666

富と誉とはわたしにあり、すぐれた宝と繁栄もまたそうである。

19 טוֹב פִּרְיִי מֵחָרוּץ וּמִפָּז מִכֶּסֶף נִבְחָר תְּבוּאָתִי׃
良い 私の-実は 精金-よりも 純金-よりも 銀-よりも 選ばれる
H2896 H6529 H2742 H6337 H3701 H0977 H8393

わたしの実は金よりも精金よりも良く、わたしの産物は精銀にまさる。

20 בְּאֹרַח־ צְדָקָה אֲהַלֵּךְ בְּתוֹךְ נְתִיבוֹת מִשְׁפָּט׃
道を 義の 私は-歩む 中を 小道の 公正の
H0734 H6666 H1980 H8432 H5410 H4941

わたしは正義の道、公正な道筋の中を歩み、

21 לְהַנְחִיל אֹהֲבַי יֵשׁ וְאֹצְרֹתֵיהֶם אֲמַלֵּא׃ פ
与えるため 私を-愛する-者に 財産を 彼らの-宝庫を 満たす —
H5157 H0157 H3426 H0214 H4390

わたしを愛する者に宝を得させ、またその倉を満ちさせる。

22 יְהוָה קָנָנִי רֵאשִׁית דַּרְכּוֹ קֶדֶם מִפְעָלָיו מֵאָז׃
主は 造られた-私を 初めに その-道の 先に その-業の 昔から
H3068 H7069 H7225 H1870

主が昔そのわざをなし始められるとき、そのわざの初めとして、わたしを造られた。

23 מֵעוֹלָם נִסַּכְתִּי מֵרֹאשׁ מִקַּדְמֵי־אָרֶץ׃
永遠-から 私は-立てられた 初め-から 先-から 地の
H5769 H0776

いにしえ、地のなかった時、初めに、わたしは立てられた。

24 בְּאֵין־תְּהֹמוֹת חוֹלָלְתִי בְּאֵין מַעְיָנוֹת נִכְבְּדֵי־מָיִם׃
深淵が 私は-生まれた まだ-ない-時 泉が 豊かな 水の
H8415 H0369 H4599 H3513 H4325

まだ海もなく、また大いなる水の泉もなかった時、わたしはすでに生れ、

25 בְּטֶרֶם הָרִים הָטְבָּעוּ לִפְנֵי גְבָעוֹת חוֹלָלְתִי׃
まだ 山々が 据えられる-前に 前に 丘々の 私は-生まれた
H2962 H2022 H2883 H6440 H1389

山もまだ定められず、丘もまだなかった時、わたしはすでに生れた。

26 עַד־לֹא עָשָׂה אֶרֶץ וְחוּצוֹת וְרֹאשׁ עַפְרוֹת תֵּבֵל׃
まだ なかった 造られて 地も 野も 最初の 塵も 世界の
H5704 H3808 H6213 H0776 H2351 H7218 H6083 H8398

すなわち神がまだ地をも野をも、地のちりのもとをも造られなかった時である。

27 בַּהֲכִינוֹ שָׁמַיִם שָׁם אָנִי בְּחוּקוֹ חוּג עַל־פְּנֵי תְהוֹם׃
備えられた-時 天を そこに 私は-いた 定められた-時 円を 上に 面の 深淵の
H8064 H8033 H0589 H2710 H2329 H6440 H8415

彼が天を造り、海のおもてに、大空を張られたとき、わたしはそこにあった。

28 בְּאַמְּצוֹ שְׁחָקִים מִמָּעַל בַּעֲזוֹז עִינוֹת תְּהוֹם׃
固められた-時 雲を 上に 湧き出た-時 泉が 深淵の
H0553 H7834 H4605 H5810 H8415

彼が上に空を堅く立たせ、淵の泉をつよく定め、

29 בְּשׂוּמוֹ לַיָּם חֻקּוֹ וּמַיִם לֹא־יַעַבְרוּ פִּיו
定められた-時 海に その-限界を ない-ように 水が 越えない-ように その-命令を
H3220 H2706 H3808 H4325 H5674 H6310

בְּחוּקוֹ מוֹסְדֵי אָרֶץ׃
定められた-時 基を 地の
H2710 H4144 H0776

海にその限界をたて、水にその岸を越えないようにし、また地の基を定められたとき、

30 וָאֶהְיֶה אֶצְלוֹ אָמוֹן וָאֶהְיֶה שַׁעֲשֻׁעִים יוֹם יוֹם מְשַׂחֶקֶת
私は-いた その-傍らに 匠として 私は-いた 喜びと-なり 日ごとに 日ごとに 楽しんで
H1961 H0681 H0525 H1961 H8191 H3117 H3117 H7832

לִפְנָיו בְּכָל־עֵת׃
その-前で すべての 時に
H6440 H3605 H6256

わたしは、そのかたわらにあって、名匠となり、日々に喜び、常にその前に楽しみ、

31 מְשַׂחֶקֶת בְּתֵבֵל אַרְצוֹ וְשַׁעֲשֻׁעַי אֶת־בְּנֵי אָדָם׃ פ
楽しんで 世界の–中で その–地の 私の–喜びは 共に 子らと 人の —
H7832 H8398 H0776 H8191 H0854 H0120

その地で楽しみ、また世の人を喜んだ。

32 וְעַתָּה בָנִים שִׁמְעוּ־לִי וְאַשְׁרֵי דְרָכַי יִשְׁמֹרוּ׃
今こそ 子らよ 聞け 私に 幸いな–者は 私の–道を 守る–者は
H6258 H8085 H0835 H1870 H8104

それゆえ、子供らよ、今わたしの言うことを聞け、わたしの道を守る者はさいわいである。

33 שִׁמְעוּ מוּסָר וַחֲכָמוּ וְאַל־תִּפְרָעוּ׃
聞け 訓戒を 賢く–あれ ではなく 怠るな
H8085 H4148 H2449 H0408

教訓を聞いて、知恵を得よ、これを捨ててはならない。

34 אַשְׁרֵי אָדָם שֹׁמֵעַ לִי לִשְׁקֹד עַל־דַּלְתַי יוֹם וְיוֹם לִשְׁמֹר מְזוּזוֹת
幸いだ 人は 聞く 私に 見張り 傍らで 私の–扉の 日ごとに 日ごとに 守り 柱の–傍らで
H0835 H0120 H8085 H8245 H0408 H1817 H3117 H3117 H8104 H4201

פִּתְחִי׃
私の–入口の
H6607

わたしの言うことを聞き、日々わたしの門のかたわらでうかがい、わたしの戸口の柱のわきで待つ人はさいわいである。

35 כִּי מֹצְאִי [מצאי] (מְמָצְאַי) חַיִּים וַיָּפֶק רָצוֹן מֵיְהוָה׃
なぜなら 私を–見出す–者は — 見出す 命を 得る 恵みを 主から
H4672 H4672 H4672 H2416 H7522 H3068

それは、わたしを得る者は命を得、主から恵みを得るからである。

36 וְחֹטְאִי חֹמֵס נַפְשׁוֹ כָּל־מְשַׂנְאַי אָהֲבוּ מָוֶת׃ פ
しかし–逸れる–者は 損なう 自分の–魂を すべて 私を–憎む–者は 愛する 死を —
H2398 H2554 H5315 H3605 H8130 H0157 H4194

わたしを失う者は自分の命をそこなう、すべてわたしを憎む者は死を愛する者である」。

Chapter 9

1 חָכְמוֹת בָּנְתָה בֵיתָהּ חָצְבָה עַמּוּדֶיהָ שִׁבְעָה׃
知恵は 建てた その–家を 切り–出した その–柱を 七本
H2454 H1129 H2672 H5982 H7651

知恵は自分の家を建て、その七つの柱を立て、

2 טָבְחָה טִבְחָהּ מָסְכָה יֵינָהּ אַף עָרְכָה שֻׁלְחָנָהּ׃
屠った その–獲物を 混ぜた その–ぶどう酒を また 整えた その–食卓を
H2873 H2874 H4537 H3196 H0637 H7979

獣をほふり、酒を混ぜ合わせて、ふるまいを備え、

3 שָׁלְחָה נַעֲרֹתֶיהָ תִּקְרָא עַל־גַּפֵּי מְרֹמֵי קָרֶת׃
遣わした その–女たちを 呼ぶ 上から 頂に 高き–所の 町の
H7971 H5291 H7121 H5921 H1610 H4791 H7176

はしためをつかわして、町の高い所で呼ばわり言わせた、

4	מִי־	פֶּתִי	יָסֻר	הֵנָּה	חֲסַר־	לֵב	אָמְרָה	לוֹ׃
	誰か	愚かな–者は	立ち–寄れ	ここに	乏しい	心の	彼女は–言う	彼に
	H4310		H5493	H2008	H2638		H0559	

「思慮のない者よ、ここに来れ」と。また、知恵のない者に言う、

5	לְכוּ	לַחֲמוּ	בְלַחֲמִי	וּשְׁתוּ	בְיַיִן	מָסָכְתִּי׃
	来て	食べよ	私の–パンを	飲め	ぶどう酒を	私が–混ぜた
	H3212		H3899	H8354	H3196	H4537

「来て、わたしのパンを食べ、わたしの混ぜ合わせた酒をのみ、

6	עִזְבוּ	פְתָאִים	וְחְיוּ	וְאִשְׁרוּ	בִּדֶרֶךְ	בִינָה׃
	捨てよ	愚かさを	生きよ	歩め	道を	英知の
			H2421	H0833	H1870	H0998

思慮のないわざを捨てて命を得、悟りの道を歩め」と。

7	וְיֹסֵר	לֵץ	לֹקֵחַ	לוֹ	קָלוֹן	וּמוֹכִיחַ	לְרָשָׁע	מוּמוֹ׃
	戒める–者は	嘲る–者を	受ける	自分に	恥を	責める–者は	悪しき–者を	その–傷を
	H3256	H3887	H3947		H7036	H3198	H7563	

あざける者を戒める者は、自ら恥を得、悪しき者を責める者は自ら傷を受ける。

8	אַל־	תּוֹכַח	לֵץ	פֶּן־	יִשְׂנָאֶךָּ	הוֹכַח	לְחָכָם	וְיֶאֱהָבֶךָּ׃
	戒めるな	責めるな	嘲る–者を	そうすれば	彼は–憎む	責めよ	賢い–者を	彼は–愛する
	H0408	H3198	H3887	H6435	H8130	H3198	H2450	H0157

あざける者を責めるな、おそらく彼はあなたを憎むであろう。知恵ある者を責めよ、彼はあなたを愛する。

9	תֵּן	לְחָכָם	וְיֶחְכַּם־	עוֹד	הוֹדַע	לְצַדִּיק	וְיוֹסֶף	לֶקַח׃	פ
	与えよ	賢い–者に	彼は–更に–賢くなる	更に	教えよ	正しい–者に	彼は–増す	学びを	—
	H5414	H2450	H2449	H5750	H3045	H6662	H3254	H3948	

知恵ある者に教訓を授けよ、彼はますます知恵を得る。正しい者を教えよ、彼は学に進む。

10	תְּחִלַּת	חָכְמָה	יִרְאַת	יְהוָה	וְדַעַת	קְדֹשִׁים	בִּינָה׃
	初めは	知恵の	恐れである	主を	知識は	聖なる–方の	英知である
	H8462	H2451	H3374	H3068	H1847	H6918	H0998

主を恐れることは知恵のもとである、聖なる者を知ることは、悟りである。

11	כִּי־	בִי	יִרְבּוּ	יָמֶיךָ	וְיוֹסִיפוּ	לְךָ	שְׁנוֹת	חַיִּים׃
	なぜなら	私に–よって	増す	あなたの–日は	加えられる	あなたに	年が	命の
				H3117	H3254		H8141	

わたしによって、あなたの日は多くなり、あなたの命の年は増す。

12	אִם־	חָכַמְתָּ	חָכַמְתָּ	לָךְ	וְלָצִתָּ	לְבַדֶּךָ	תִּשָּׂא׃
	もし	賢ければ	賢いのは	あなたの–ため	嘲えば	独りで	負う
		H2449	H2449		H3887	H0905	H5375

もしあなたに知恵があるならば、あなた自身のために知恵があるのである。もしあなたがあざけるならば、あなたひとりがその責めを負うことになる。

13	אֵשֶׁת	כְּסִילוּת	הֲמִיָּה	פְּתַיּוּת	וּבַל־	יָדְעָה	מָּה׃
	女は	愚かさの	騒ぐ	無知で	何も	知らない	何も
	H0802	H3687	H1993	H6615	H1077	H3045	H4100

愚かな女は、騒がしく、みだらで、恥を知らない。

	קָרֶת׃	מְרֹמֵי	כִּסֵּא	עַל־	בֵּיתָהּ	לְפֶתַח	וַתֵּשֶׁב	14
	町の	高き-所の	座に	上に	その-家の	入口に	座っている	
	H7176	H4791	H3678			H6607	H3427	

彼女はその家の戸口に座し、町の高い所にある座にすわり、

אָרְחוֹתָם׃	הַמְיַשְּׁרִים	דַּרְכָּם	לְעָבְרֵי־	לִקְרֹא	15
その-道の	まっすぐに-行く-者を	道を	通る-者を	呼ぶために	
H0734	H3474	H1870		H7121	

道を急ぐ行き来の人を招いて言う、

לוֹ׃	וְאָמְרָה	לֵּב	וַחֲסַר־	הֵנָּה	יָסָר	פֶּתִי	מִי־	16
彼に	彼女は-言う	心の	乏しい	ここに	立ち-寄れ	愚かな-者は	誰か	
	H0559		H2638	H2008	H5493		H4310	

「思慮のない者よ、ここに来れ」と。また知恵のない人に向かってこれに言う、

יִנְעָם׃	סְתָרִים	וְלֶחֶם	יִמְתָּקוּ	גְּנוּבִים	מַיִם־	17
美味い	隠れた	パンは	甘く	盗んだ	水は	
H5276		H3899	H4985	H1589	H4325	

「盗んだ水は甘く、ひそかに食べるパンはうまい」と。

פ	קְרָאֶיהָ׃	שְׁאוֹל	בְּעִמְקֵי	שָׁם	רְפָאִים	כִּי־	יָדַע	וְלֹא־	18
—	彼女の-招かれた-者は	陰府の	深みに	そこに	死者が-いることを	そこに	知らない	しかし	
	H7121	H7585	H6012	H8033	H7496		H3045	H3808	

しかしその人は、死の影がそこにあることを知らず、彼女の客は陰府の深みにおることを知らない。

Chapter 10

אִמּוֹ׃	תּוּגַת	כְּסִיל	וּבֶן	אָב	יְשַׂמַּח־	חָכָם	בֵּן	פ	שְׁלֹמֹה	מִשְׁלֵי	1
母の	悲しみである	愚かな	息子は	父を	喜ばせる	賢い	息子は	—	ソロモンの	箴言	
H0517	H8424	H3684		H0001	H8055	H2450			H8010	H4912	

ソロモンの箴言。知恵ある子は父を喜ばせ、愚かな子は母の悲しみとなる。

מָוֶת׃	תַּצִּיל	וּצְדָקָה	רֶשַׁע	אוֹצְרוֹת	יוֹעִילוּ	לֹא־	2
死から	救う	義は	悪の	宝は	役に-立たない	益さない	
H4194	H5337	H6666	H7562	H0214	H3276	H3808	

不義の宝は益なく、正義は人を救い出して、死を免れさせる。

יְהַדֹּף׃	רְשָׁעִים	וְהַוַּת	צַדִּיק	נֶפֶשׁ	יְהוָה	יַרְעִיב	לֹא־	3
退ける	悪しき-者の	欲望を	正しい-者の	魂を	主は	飢えさせない	ない	
H1920	H7563	H1942	H6662	H5315	H3068	H7456	H3808	

主は正しい人を飢えさせず、悪しき者の欲望をくじかれる。

תַּעֲשִׁיר׃	חָרוּצִים	וְיַד	רְמִיָּה	כַּף־	עֹשֶׂה	רָאשׁ	4
富ませる	勤勉な-者の	手は	怠惰な	手で	作る-者は	貧しくなる	
H6238		H3027		H3709		H7326	

手を動かすことを怠る者は貧しくなり、勤め働く者の手は富を得る。

מֵבִישׁ׃	בֵּן	בַּקָּצִיר	נִרְדָּם	מַשְׂכִּיל	בֵּן	בַּקַּיִץ	אֹגֵר	5
恥の	息子である	収穫に	眠る-者は	賢い	息子である	夏に	集める-者は	
H0954			H7290			H7019	H0103	

夏のうちに集める者は賢い子であり、刈入れの時に眠る者は恥をきたらせる子である。

חָמָס׃	יְכַסֶּה	רְשָׁעִים	וּפִי	צַדִּיק	לְרֹאשׁ	בְּרָכוֹת	6
暴力を	隠す	悪しき-者の	口は	正しい-者の	頭の-上にある	祝福が	
H2555	H3680	H7563	H6310	H6662		H1293	

正しい者のこうべには祝福があり、悪しき者の口は暴虐を隠す。

יִרְקָב׃	רְשָׁעִים	וְשֵׁם	לִבְרָכָה	צַדִּיק	זֵכֶר	7
朝ちる	悪しき-者の	名は	祝福である	正しい-者の	記憶は	
H7537	H7563	H8034	H1293	H6662	H2143	

正しい者の名はほめられ、悪しき者の名は朽ちる。

יִלָּבֵט׃	שִׂפְתַיִם	וֶאֱוִיל	מִצְוֹת	יִקַּח	לֵב	חֲכַם־	8
滑り-落ちる	唇の	愚かな	戒めを	受ける	心の	賢い	
H3832	H8193	H0191	H4687	H3947		H2450	

心のさとき者は戒めを受ける、むだ口をたたく愚かな者は滅ぼされる。

יִוָּדֵעַ׃	דְּרָכָיו	וּמְעַקֵּשׁ	בֶּטַח	יֵלֵךְ	בַּתֹּם	הוֹלֵךְ	9
知られる	その-道を	曲げる-者は	安全に	歩む	誠実に	歩む-者は	
H3045	H1870	H6140	H0983	H3212	H8537	H1980	

まっすぐに歩む者の歩みは安全である、しかし、その道を曲げる者は災にあう。

יִלָּבֵט׃	שִׂפְתַיִם	וֶאֱוִיל	עַצֶּבֶת	יִתֵּן	עַיִן	קֹרֵץ	10
滑り-落ちる	唇の	愚かな	苦痛を	与える	目で	まばたきする-者は	
H3832	H8193	H0191	H6094	H5414		H7169	

目で、めくばせする者は憂いをおこし、あからさまに、戒める者は平和をきたらせる。

חָמָס׃	יְכַסֶּה	רְשָׁעִים	וּפִי	צַדִּיק	פִּי	חַיִּים	מְקוֹר	11
暴力を	隠す	悪しき-者の	口は	正しい-者の	口は	命の	泉である	
H2555	H3680	H7563	H6310	H6662	H6310		H4726	

正しい者の口は命の泉である、悪しき者の口は暴虐を隠す。

אַהֲבָה׃	תְּכַסֶּה	פְּשָׁעִים	כָּל־	וְעַל	מְדָנִים	תְּעוֹרֵר	שִׂנְאָה	12
愛は	覆う	背きを	すべての	しかし	争いを	引き-起こす	憎しみは	
H0160	H3680	H6588	H3605		H4090	H5782	H8135	

憎しみは、争いを起し、愛はすべてのとがをおおう。

לֵב׃	חֲסַר־	לְגֵו	וְשֹׂכֶת	חָכְמָה	תִּמָּצֵא	נָבוֹן	בִּשְׂפָתֵי	13
心の	乏しい	背の-ためにある	革は	知恵が	見出される	悟りある-者の	唇に	
	H2638		H7626	H2451	H4672	H0995	H8193	

さとき者のくちびるには知恵があり、知恵のない者の背にはむちがある。

קִרְבָה׃	מְחִתָּה	אֱוִיל	וּפִי־	דָּעַת	יִצְפְּנוּ־	חֲכָמִים	14
近い	破滅である	愚かな-者の	口は	知識を	蓄える	賢い-者は	
H7138	H4288	H0191	H6310	H1847	H6845	H2450	

知恵ある者は知識をたくわえる、愚かな者のむだ口は、今にも滅びをきたらせる。

רִישָׁם׃	דַּלִּים	מְחִתַּת	עֻזּוֹ	קִרְיַת	עָשִׁיר	הוֹן	15
その-貧しさである	貧しい-者の	破滅は	その-力の	城である	富める-者の	富は	
	H1800	H4288	H5797	H7151	H6223	H1952	

富める者の宝は、その堅き城であり、貧しい者の乏しきは、その滅びである。

לְחַטָּאת׃	רָשָׁע	תְּבוּאַת	לְחַיִּים	צַדִּיק	פְּעֻלַּת	16
罪の–ためにある	悪しき–者の	収穫は	命の–ためにある	正しい–者の	働きは	
	H7563	H8393		H6662	H6468	

正しい者の受ける賃銀は命に導き、悪しき者の利得は罪に至る。

מַתְעֶה׃	תּוֹכַחַת	וְעוֹזֵב	מוּסָר	שׁוֹמֵר	לְחַיִּים	אֹרַח	17
迷わす	戒めを	捨てる–者は	訓戒を	守る–者は	命に–至る	道は	
H8582			H4148	H8104		H0734	

教訓を守る者は命の道にあり、懲しめを捨てる者は道をふみ迷う。

כְּסִיל׃	הֽוּא	דִּבָּה	וּמוֹצֵא	שֶׁקֶר	שִׂפְתֵי־	שִׂנְאָה	מְכַסֶּה	18
愚かである	彼は	中傷を	広める–者は	偽りの	唇である	憎しみを	隠す–者は	
H3684	H1931	H1681	H3318	H8267	H8193	H8135	H3680	

憎しみを隠す者には偽りのくちびるがあり、そしりを口に出す者は愚かな者である。

מַשְׂכִּיל׃	שְׂפָתָיו	וְחשֵׂךְ	פָּשַׁע	יֶחְדַּל־	לֹא	דְּבָרִים	רַב	19
賢い	その–唇を	抑える–者は	背きは	止まない	ない	言葉に	多くの	
	H8193	H2820	H6588	H2308	H3808	H1697	H7230	

言葉が多ければ、とがを免れない、自分のくちびるを制する者は知恵がある。

							20
כְּמְעָט׃	רְשָׁעִים	לֵב	צַדִּיק	לְשׁוֹן	נִבְחָר	כֶּסֶף	
僅かである	悪しき–者の	心は	正しい–者の	舌は	選ばれた	銀である	
H4592	H7563		H6662	H3956	H0977	H3701	

正しい者の舌は精銀である、悪しき者の心は価値が少ない。

								21
יָמוּתוּ׃	לֵב	בַּחֲסַר־	וֱאִוִילִים	רַבִּים	יִרְעוּ	צַדִּיק	שִׂפְתֵי	
死ぬ	心の	乏しさに–より	愚かな–者は	多くの–人を	養う	正しい–者の	唇は	
H4191		H2638	H0191			H6662	H8193	

正しい者のくちびるは多くの人を養い、愚かな者は知恵がなくて死ぬ。

								22
עִמָּהּ׃	עֶצֶב	יוֹסֵף	וְלֹא־	תַּעֲשִׁיר	הִיא	יְהוָה	בִּרְכַּת	
それに	苦しみを	加えない	加えない	富ませる	それが	主の	祝福は	
		H3254	H3808	H6238	H1931	H3068	H1293	

主の祝福は人を富ませる、主はこれになんの悲しみをも加えない。

							23
תְּבוּנָה׃	לְאִישׁ	וְחָכְמָה	זִמָּה	עֲשׂוֹת	לִכְסִיל	כִּשְׂחוֹק	
英知の	人に–ある	知恵は	悪計を	行うことは	愚かな–者には	戯れの–ようである	
H8394	H0376	H2451	H2154		H3684	H7814	

愚かな者は、戯れ事のように悪を行う、さとき人には賢い行いが楽しみである。

							24
יִתָּן׃	צַדִּיקִים	וְתַאֲוַת	תְּבוֹאֶנּוּ	הִיא	רָשָׁע	מְגוֹרַת	
与えられる	正しい–者の	望みは	来る	それが	悪しき–者の	恐れは	
H5414	H6662	H8378	H0935	H1931	H7563	H4034	

悪しき者の恐れることは自分に来り、正しい者の願うことは与えられる。

							25
עוֹלָם׃	יְסוֹד	וְצַדִּיק	רָשָׁע	וְאֵין	סוּפָה	כַּעֲבוֹר	
永遠の	土台である	正しい–者は	悪しき–者は	いない	嵐が	過ぎるとき	
H5769	H3247	H6662	H7563	H0369			

あらしが通りすぎる時、悪しき者は、もはや、いなくなり、正しい者は永久に堅く立てられる。

לְשֹׁלְחָיו׃	הֶעָצֵל	כֵּן	לָעֵינַיִם	וְכָעָשָׁן	לַשִּׁנַּיִם	וְכַחֹמֶץ	26
遣わす–者には	怠惰な–者は	その–ようである	目に	煙の–ようである	歯に	酢の–ようである	
H7971	H6102			H6227	H8127	H2558	

なまけ者は、これをつかわす者にとっては、酢が歯をいため、煙が目を悩ますようなものだ。

תִּקְצֹרְנָה׃	רְשָׁעִים	וּשְׁנוֹת	יָמֶיךָ	תּוֹסִיף	יְהוָה	יִרְאַת	27
縮む	悪しき–者の	年は	日を	加える	主の	恐れは	
	H7563	H8141	H3117	H3254	H3068	H3374	

主を恐れることは人の命の日を多くする、悪しき者の年は縮められる。

תֹּאבֵד׃	רְשָׁעִים	וְתִקְוַת	שִׂמְחָה	צַדִּיקִים	תּוֹחֶלֶת		28
消える	悪しき–者の	望みは	喜びである	正しい–者の	望みは		
H0006	H7563		H8057	H6662	H8431		

正しい者の望みは喜びに終り、悪しき者の望みは絶える。

אָוֶן׃	לְפֹעֲלֵי	וּמְחִתָּה	יְהוָה	דֶּרֶךְ	לַתֹּם	מָעוֹז	29
不正を	行う–者には	破滅である	主の	道は	誠実な–者には	砲台である	
H0205	H6466	H4288	H3068	H1870	H8537	H4581	

主は、まっすぐに歩む者には城であり、悪を行う者には滅びである。

אָרֶץ׃	יִשְׁכְּנוּ־	לֹא	וּרְשָׁעִים	יִמּוֹט	בַּל־	לְעוֹלָם	צַדִּיק	30
地に	住まない	ない	悪しき–者は	動かない	ない	永遠に	正しい–者は	
H0776	H7931	H3808	H7563	H4131	H1077	H5769	H6662	

正しい者はいつまでも動かされることはない、悪しき者は、地に住むことができない。

תִּכָּרֵת׃	תַּהְפֻּכוֹת	וּלְשׁוֹן	חָכְמָה	יָנוּב	צַדִּיק	פִּי־	31
断たれる	偽りの	舌は	知恵を	芽吹かせる	正しい–者の	口は	
H3772	H8419	H3956	H2451	H5107	H6662	H6310	

正しい者の口は知恵をいだし、偽りの舌は抜かれる。

תַּהְפֻּכוֹת׃	רְשָׁעִים	וּפִי	רָצוֹן	יֵדְעוּן	צַדִּיק	שִׂפְתֵי	32
偽りである	悪しき–者の	口は	恵みを	知る	正しい–者の	唇は	
H8419	H7563	H6310	H7522	H3045	H6662	H8193	

正しい者のくちびるは喜ばるべきことをわきまえ、悪しき者の口は偽りを語る。

Chapter 11

רְצוֹנוֹ׃	שְׁלֵמָה	וְאֶבֶן	יְהוָה	תּוֹעֲבַת	מִרְמָה	מֹאזְנֵי	1
その–喜びである	正しい	おもりは	主の	忌み–嫌うもの	偽りの	秤は	
H7522	H8003	H0068	H3068	H8441	H4820	H3976	

偽りのはかりは主に憎まれ、正しいふんどうは彼に喜ばれる。

חָכְמָה׃	צְנוּעִים	וְאֶת־	קָלוֹן	וַיָּבֹא	זָדוֹן	בָּא־	2
知恵が	謙遜な–者には	共に–ある	恥が	来る	高慢が	来るとき	
H2451		H0854	H7036	H0935	H2087	H0935	

高ぶりが来れば、恥もまた来る、へりくだる者には知恵がある。

יְשָׁדֵם׃)	[ושדם	בּוֹגְדִים	וְסֶלֶף	תַּנְחֵם	יְשָׁרִים	תֻּמַּת	3
滅ぼす	—	裏切る–者の	不誠実は	導く	正しい–者の	誠実は	
H7703	H7701	H0898	H5558	H5148	H3477	H8538	

正しい者の誠実はその人を導き、不信実な者のよこしまはその人を滅ぼす。

לֹא־	יוֹעִיל	הוֹן	בְּיוֹם	עֶבְרָה	וּצְדָקָה	תַּצִּיל	מִמָּוֶת׃	4
ない	役に-立たない	富は	日に	怒りの	義は	救う	死から	
H3808	H3276	H1952	H3117	H5678	H6666	H5337	H4194	

宝は怒りの日に益なく、正義は人を救い出して、死を免れさせる。

רָשָׁע׃	יִפֹּל	וּבְרִשְׁעָתוֹ	דַּרְכּוֹ	תְּיַשַּׁר	תָּמִים	צְדָקַת	5
悪しき-者は	倒れる	その-悪に-よって	その-道を	まっすぐにする	全き-者の	義は	
H7563	H5307	H7564	H1870	H3474	H8549	H6666	

誠実な者は、その正義によって、その道をまっすぐにせられ、悪しき者は、その悪によって倒れる。

יִלָּכֵדוּ׃	בֹּגְדִים	וּבְהַוַּת	תַּצִּילֵם	יְשָׁרִים	צְדָקַת	6
捕らえられる	裏切る-者は	欲望に-よって	救う-彼らを	正しい-者の	義は	
H3920	H0898	H1942	H5337	H3477	H6666	

正しい者はその正義によって救われ、不信実な者は自分の欲によって捕えられる。

אָבָדָה׃	אוֹנִים	וְתוֹחֶלֶת	תִּקְוָה	הֹאבַד	רָשָׁע	אָדָם	בְּמוֹת	7
消える	悪しき-者の	期待は	望みは	消える	悪しき	人は	死ぬとき	
H0006	H0205	H8431		H0006	H7563	H0120	H4194	

悪しき者は死ぬとき、その望みは絶え、不信心な者の望みもまた絶える。

תַּחְתָּיו׃	רָשָׁע	וְיָבֹא	נֶחֱלָץ	מִצָּרָה	צַדִּיק	8
その-代わりに	悪しき-者が	来る	救われ	苦難から	正しい-者は	
H8478	H7563	H0935			H6662	

正しい者は、悩みから救われ、悪しき者は代ってそれに陥る。

יֶחֱלָצוּ׃	צַדִּיקִים	וּבְדַעַת	רֵעֵהוּ	יַשְׁחֵת	חָנֵף	בְּפֶה	9
救われる	正しい-者は	知識に-よって	その-隣人を	滅ぼす	不敬虔な-者は	口で	
	H6662	H1847	H7453	H7843	H2611	H6310	

不信心な者はその口をもって隣り人を滅ぼす、正しい者は知識によって救われる。

רִנָּה׃	רְשָׁעִים	וּבַאֲבֹד	קִרְיָה	תַּעֲלֹץ	צַדִּיקִים	בְּטוּב	10
歓声が-あがる	悪しき-者が	滅びるとき	町は	喜ぶ	正しい-者の	繁栄に-よって	
H7440	H7563	H0006	H7151	H5970	H6662	H2898	

正しい者が、しあわせになれば、その町は喜び、悪しき者が滅びると、喜びの声がおこる。

תֵּהָרֵס׃	רְשָׁעִים	וּבְפִי	קָרֶת	תָּרוּם	יְשָׁרִים	בִּבְרַכַת	11
壊される	悪しき-者の	口に-よって	町は	高められる	正しい-者の	祝福に-よって	
H2040	H7563	H6310	H7176		H3477	H1293	

町は正しい者の祝福によって、高くあげられ、悪しき者の口によって、滅ぼされる。

יַחֲרִישׁ׃	תְּבוּנוֹת	וְאִישׁ	לֵב	חֲסַר־	לְרֵעֵהוּ	בָּז־	12
黙る	英知の	人は	心の	乏しい	その-隣人を	見くびる-者は	
	H8394	H0376		H2638	H7453	H0936	

隣り人を侮る者は知恵がない、さとき人は口をつぐむ。

דָּבָר׃	מְכַסֶּה	רוּחַ	וְנֶאֱמַן־	סוֹד	מְגַלֵּה־	רָכִיל	הוֹלֵךְ	13
事を	隠す	魂の	忠実な	秘密を	漏らす	中傷する-者として	歩く-者は	
H1697	H3680	H7307	H0539	H5475	H1540	H7400	H1980	

人のよしあしを言いあるく者は秘密をもらす、心の忠信なる者は事を隠す。

יוֹעֵץ׃	בְּרֹב	וּתְשׁוּעָה	עָם	יִפָּל־	תַּחְבֻּלוֹת	בְּאֵין	14
助言者に–ある	多くの	救いは	民は	倒れる	導きが	ない–ときに	
H3289	H7230	H8668		H5307	H8458	H0369	

指導者がなければ民は倒れ、助言者が多ければ安全である。

בּוֹטֵחַ׃	תִּקְעִים	וְשֹׂנֵא	זָר	עָרַב	כִּי־	יֵרוֹעַ	רַע־	15
安全である	誓約を	憎む–者は	他人の	保証すれば	もし	苦しむ	苦しむ	
H0982	H8628	H8130		H6148				

他人のために保証をする者は苦しみをうけ、保証をきらう者は安全である。

עֹשֶׁר׃	יִתְמְכוּ־	וְעָרִיצִים	כָּבוֹד	תִּתְמֹךְ	חֵן	אֵשֶׁת־	16
富を	得る	横暴な–者は	名誉を	得る	気品のある	女は	
H6239	H8551	H6184	H3519	H8551	H2580	H0802	

しとやかな女は、誉を得、強暴な男は富を得る。

אַכְזָרִי׃	שְׁאֵרוֹ	וְעֹכֵר	חָסֶד	אִישׁ	נַפְשׁוֹ	גֹּמֵל	17
残忍である	自分の–肉体を	苦しめる–者は	恵みの	人は	自分の–魂に	報いる	
H0394	H7607	H5916		H0376	H5315	H1580	

いつくしみある者はおのれ自身に益を得、残忍な者はおのれの身をそこなう。

אֱמֶת׃	שֹׂכֶר	צְדָקָה	וְזֹרֵעַ	שֶׁקֶר	פְּעֻלַּת־	עֹשֶׂה	רָשָׁע	18
真実の	報いを	義を	蒔く–者は	偽りの	報いを	得る	悪しき–者は	
H0571	H7938	H6666	H2232	H8267	H6468		H7563	

悪しき者の得る報いはむなしく、正義を播く者は確かな報いを得る。

לְמוֹתוֹ׃	רָעָה	וּמְרַדֵּף	לְחַיִּים	צְדָקָה	כֵּן־	19
その–死に–至る	悪を	追い–求める–者は	命に–至る	義は	定められた	
H4194		H7291		H6666		

正義を堅く保つ者は命に至り、悪を追い求める者は死を招く。

דַּרְכּוֹ׃	תְּמִימֵי	וְרִצוֹנוֹ	לֵב	עִקְּשֵׁי־	יְהוָה	תּוֹעֲבַת	20
道の	全き	その–喜びである	心の	曲がった	主の	忌み–嫌うもの	
H1870	H8549	H7522		H6141	H3068	H8441	

心のねじけた者は主に憎まれ、まっすぐに道を歩む者は彼に喜ばれる。

נִמְלָט׃	צַדִּיקִים	וְזֶרַע	רָע	יִנָּקֶה	לֹא־	לְיָד	יָד	21
救われる	正しい–者の	子孫は	悪は	免れない	ない	手を–とっても	手に	
H4422	H6662	H2233		H5352	H3808	H3027	H3027	

確かに、悪人は罰を免れない、しかし正しい人は救を得る。

טָעַם׃	וְסָרַת	יָפָה	אִשָּׁה	חֲזִיר	בְּאַף	זָהָב	נֶזֶם	22
分別から	離れた	美しい	女は	豚の	鼻の–中の	金の	環は	
H2940	H5493	H3303	H0802	H2386	H0639	H2091	H5141	

美しい女の慎みがないのは、金の輪の、ぶたの鼻にあるようだ。

עֶבְרָה׃	רְשָׁעִים	תִּקְוַת	טוֹב	אַךְ־	צַדִּיקִים	תַּאֲוַת	23
怒りである	悪しき–者の	望みは	善である	ただ	正しい–者の	望みは	
H5678	H7563			H0389	H6662	H8378	

正しい者の願いは、すべて良い結果を得、悪しき者の望みは怒りに至る。

24 יֵשׁ מְפַזֵּר וְנוֹסָף עוֹד וְחוֹשֵׂךְ מִישֹׁר אַךְ־לְמַחְסוֹר׃
ある 撒き-散らす-者が 増し 更に 惜しむ-者は 正しさ-よりも ただ 乏しさに-至る
H3426 H6340 H3254 H5750 H2820 H3476 H0389 H4270

施し散らして、なお富を増す人があり、与えるべきものを惜しんで、かえって貧しくなる者がある。

25 נֶפֶשׁ־בְּרָכָה תְדֻשָּׁן וּמַרְוֶה גַּם־הוּא יוֹרֵא׃
魂は 祝福の 潤う 潤す-者は もまた 彼も 潤う
H5315 H1293 H1878 H7301 H1571 H1931

物惜しみしない者は富み、人を潤す者は自分も潤される。

26 מַנַּע בָּר יְקֻבֻּהוּ לְאֹום וּבְרָכָה לְרֹאשׁ מַשְׁבִּיר׃
留める-者を 穀物を 呼う 民は 祝福は 頭の-上に-ある 売る-者の
H4513 H1250 H3816 H1293 H7666

穀物を、しまい込んで売らない者は民にのろわれる、それを売る者のこうべには祝福がある。

27 שַׁחַר טוֹב יְבַקֶּשׁ רָצוֹן וְדֹרֵשׁ רָעָה תָבוֹאֶנּוּ׃
求める-者は 善を 求める 恵みを 追い-求める-者には 悪が 来る
H7836 H1245 H7522 H1875 H0935

善を求める者は恵みを得る、悪を求める者には悪が来る。

28 בּוֹטֵחַ בְּעָשְׁרוֹ יִפֹּל הַוּא כְּעָלֶה יִפְרָחוּ צַדִּיקִים׃
頼る-者は その-富に 倒れる 彼は 葉の-ように 栄える 正しい-者は
H0982 H6239 H5307 H1931 H5929 H6662

自分の富を頼む者は衰える、正しい者は木の青葉のように栄える。

29 עוֹכֵר בֵּיתוֹ יִנְחַל־רוּחַ וְעֶבֶד לַחֲכַם־לֵב׃
乱す-者は その-家を 受け-継ぐ 風を 僕となる 賢い-者の 心の
H5916 H1004 H5157 H7307 H5650 H2450

自分の家族を苦しめる者は風を所有とする、愚かな者は心のさとき者のしもべとなる。

30 פְּרִי־צַדִּיק עֵץ חַיִּים וְלֹקֵחַ נְפָשׁוֹת חָכָם׃
実は 正しい-者の 木である 命の 勝ち-得る-者は 魂を 賢い
H6529 H6662 H6086 H2416 H3947 H5315 H2450

正しい者の結ぶ実は命の木である、不法な者は人の命をとる。

31 הֵן צַדִּיק בָּאָרֶץ יְשֻׁלָּם אַף כִּי־רָשָׁע וְחוֹטֵא׃
見よ 正しい-者でさえ 地の-上で 報われる まして なお-さら 悪しき-者と 罪人は
H2005 H6662 H0776 H7999 H0637 H7563 H2398

もし正しい者がこの世で罰せられるならば、悪しき者と罪びととは、なおさらである。

Chapter 12

1 אֹהֵב מוּסָר אֹהֵב דָּעַת וְשֹׂנֵא תוֹכַחַת בָּעַר׃
愛する-者は 訓戒を 愛する 知識を 憎む-者は 戒めを 愚かである
H0157 H4148 H0157 H1847 H8130 H8433 H1198

戒めを愛する人は知識を愛する、懲しめを憎む者は愚かである。

2 טוֹב יָפִיק רָצוֹן מֵיְהוָה וְאִישׁ מְזִמּוֹת יַרְשִׁיעַ׃
善い-者は 得る 恵みを 主から 人は 企みの 罰を-受ける
H2896 H6329 H7522 H3068 H0376 H4209 H7561

善人は主の恵みをうけ、悪い計りごとを設ける人は主に罰せられる。

לֹא־	יִכּוֹן	אָדָם	בְּרֶשַׁע	וְשֹׁרֶשׁ	צַדִּיקִים	בַּל־	יִמּוֹט׃	3
ない	定まらない	人は	悪に–よって	根は	正しい–者の	ない	動かない	
H3808		H0120	H7562	H8328	H6662	H1077	H4131	

人は悪をもって堅く立つことはできない、正しい人の根は動くことはない。

אֵשֶׁת־	חַיִל	עֲטֶרֶת	בַּעְלָהּ	וּכְרָקָב	בְּעַצְמוֹתָיו	מְבִישָׁה׃	4
女は	力ある	冠である	その–夫の	腐れの–ようである	その–骨に	恥を–与える–女は	
H0802	H2428	H5850	H1167	H7538	H6106	H0954	

賢い妻はその夫の冠である、恥をこうむらせる妻は夫の骨に生じた腐れのようなものである。

מַחְשְׁבוֹת	צַדִּיקִים	מִשְׁפָּט	תַּחְבֻּלוֹת	רְשָׁעִים	מִרְמָה׃	5
思いは	正しい–者の	公正である	謀りは	悪しき–者の	偽りである	
H4284	H6662	H4941	H8458	H7563	H4820	

正しい人の考えは公正である、悪しき者の計ることは偽りである。

דִּבְרֵי	רְשָׁעִים	אֶרֶב־	דָּם	וּפִי	יְשָׁרִים	יַצִּילֵם׃	6
言葉は	悪しき–者の	待ち–伏せる	血を	口は	正しい–者の	救う–彼らを	
H1697	H7563	H0693	H1818	H6310	H3477	H5337	

悪しき者の言葉は、人の血を流そうとうかがう、正しい人の口は人を救う。

הָפוֹךְ	רְשָׁעִים	וְאֵינָם	וּבֵית	צַדִּיקִים	יַעֲמֹד׃	7
覆る–とき	悪しき–者は	いなくなる	家は	正しい–者の	立つ	
H2015	H7563	H0369		H6662	H5975	

悪しき者は倒されて、うせ去る、正しい人の家は堅く立つ。

לְפִי־	שִׂכְלוֹ	יְהֻלַּל־	אִישׁ	וְנַעֲוֵה־	לֵב	יִהְיֶה	לָבוּז׃	8
応じて	その–知恵に	讃えられる	人は	曲がった	心の	なる	侮る–べき–者に	
H6310	H7922	H0376				H1961	H0937	

人はその悟りにしたがって、ほめられ、心のねじけた者は、卑しめられる。

טוֹב	נִקְלֶה	וְעֶבֶד	לוֹ	מִמְתַכַּבֵּד	וַחֲסַר־	לָחֶם׃	9
良い	身分が–低くても	僕が–いる–者は	自分に	誇る–者–よりも	乏しい	パンの	
	H7034	H5650		H3513	H2638	H3899	

身分の低い人でも自分で働く者は、みずから高ぶって食に乏しい者にまさる。

יוֹדֵעַ	צַדִּיק	נֶפֶשׁ	בְּהֶמְתּוֹ	וְרַחֲמֵי	רְשָׁעִים	אַכְזָרִי׃	10
知る	正しい–者は	命を	その–家畜の	憐れみは	悪しき–者の	残忍である	
H3045	H6662	H5315	H0929		H7563	H0394	

正しい人はその家畜の命を顧みる、悪しき者は残忍をもって、あわれみとする。

עֹבֵד	אַדְמָתוֹ	יִשְׂבַּע־	לָחֶם	וּמְרַדֵּף	רֵיקִים	חֲסַר־	לֵב׃	11
耕す–者は	その–地を	満たされる	パンで	追い–求める–者は	空しい–ものを	乏しい	心の	
H5647	H0127	H7646	H3899	H7291	H7386	H2638		

自分の田地を耕す者は食糧に飽きる、無益な事に従う者は知恵がない。

חָמַד	רָשָׁע	מְצוֹד	רָעִים	וְשֹׁרֶשׁ	צַדִּיקִים	יִתֵּן׃	12
望んだ	悪しき–者は	署を	悪い–者の	根は	正しい–者の	実を–結ぶ	
	H7563			H8328	H6662	H5414	

悪しき者の堅固なやぐらは崩壊する、正しい人の根は堅く立つ。

צַדִּיק׃	מִצָּרָה	וַיֵּצֵא	רָע	מוֹקֵשׁ	שְׂפָתַיִם	בְּפֶשַׁע	13
正しい–者は	苦難から	出る	悪の	罠である	唇の	背きに–よって	
H6662		H3318		H4170	H8193	H6588	

悪人はくちびるのとがによって、わなに陥る、しかし正しい人は悩みをのがれる。

לוֹ׃	יָשׁוּב)	ישוב]	אָדָם	יְדֵי־	וּגְמוּל	טוֹב	יִשְׂבַּע־	אִישׁ	פִּי־	מִפְרִי	14
彼に	返される	—	人の	手の	報いは	善で	満たされる	人は	口の	実から	
H7725	H7725		H0120	H3027	H1576		H7646	H0376	H6310	H6529	

人はその口の実によって、幸福に満ち足り、人の手のわざは、その人の身に帰る。

חָכָם׃	לְעֹצָה	וְשֹׁמֵעַ	בְּעֵינָיו	יָשָׁר	אֱוִיל	דֶּרֶךְ	15
賢い	助言に	聞く–者は	その–目に	正しい	愚かな–者の	道は	
H2450	H6098	H8085		H3477	H0191	H1870	

愚かな人の道は、自分の目に正しく見える、しかし知恵ある者は勧めをいれる。

עָרוּם׃	קָלָּון	וְכֹסֶה	כַּעְסוֹ	יִוָּדַע	בַּיּוֹם	אֱוִיל	16
賢い	恥を	隠す–者は	その–怒りが	知られる	その–日に	愚かな–者は	
H6175	H7036	H3680		H3045	H3117	H0191	

愚かな人は、すぐに怒りをあらわす、しかし賢い人は、はずかしめをも気にとめない。

מִרְמָה׃	שְׁקָרִים	וְעֵד	צֶדֶק	יַגִּיד	אֱמוּנָה	יָפִיחַ	17
欺きである	偽りの	証人は	正義を	述べる	誠実を	吐く–者は	
H4820	H8267	H5707	H6664	H5046	H0530	H6315	

真実を語る人は正しい証言をなし、偽りの証人は偽りを言う。

מַרְפֵּא׃	חֲכָמִים	וּלְשׁוֹן	חֶרֶב	כְּמַדְקְרוֹת	בּוֹטֶה	יֵשׁ	18
癒しである	賢い–者の	舌は	剣の	刺る–ように	話す–者が	ある	
H4832	H2450	H3956	H2719	H4094	H0981	H3426	

つるぎをもって刺すように、みだりに言葉を出す者がある、しかし知恵ある人の舌は人をいやす。

שָׁקֶר׃	לְשׁוֹן	אַרְגִּיעָה	וְעַד־	לָעַד	תִּכּוֹן	אֱמֶת	שְׂפַת־	19
偽りの	舌は	一瞬の	までだが	永遠に	定まる	真実の	唇は	
H8267	H3956		H5704	H5703		H0571	H8193	

真実を言うくちびるは、いつまでも保つ、偽りを言う舌は、ただ、まばたきの間だけである。

שִׂמְחָה׃	שָׁלוֹם	וְלִיעֲצֵי	רָע	חֹרְשֵׁי	בְּלֵב־	מִרְמָה	20
喜びが–ある	平和を	助言する–者には	悪を	謀る–者の	心に	欺きが–ある	
H8057	H7965	H3289				H4820	

悪をたくらむ者の心には欺きがあり、善をはかる人には喜びがある。

רָע׃	מָלְאוּ	וּרְשָׁעִים	אָוֶן	כָּל־	לַצַּדִּיק	יְאֻנֶּה	לֹא־	21
悪で	満ちる	悪しき–者は	禍いも	何の	正しい–者には	降りかからない	ない	
H4390	H7563		H0205	H3605	H6662	H0579	H3808	

正しい人にはなんの害悪も生じない、しかし悪しき者は災をもって満たされる。

רְצוֹנוֹ׃	אֱמוּנָה	וְעֹשֵׂי	שֶׁקֶר	שִׂפְתֵי־	יְהוָה	תּוֹעֲבַת	22
その–喜びである	誠実を	行う–者は	偽りの	唇である	主の	忌み–嫌うもの	
H7522	H0530		H8267	H8193	H3068	H8441	

偽りを言うくちびるは主に憎まれ、真実を行う者は彼に喜ばれる。

אִוֶּלֶת׃	יִקְרָא	כְּסִילִים	וְלֵב	דָּעַת	כֹּסֶה	עָרוּם	אָדָם	23
愚かさを	叫ぶ	愚かな–者の	心は	知識を	隠す	賢い	人は	
H0200	H7121	H3684		H1847	H3680	H6175	H0120	

さとき人は知識をかくす、しかし愚かな者は自分の愚かなことをあらわす。

לָמַס׃	תִּהְיֶה	וְרִמְיָה	תִּמְשֹׁל	חָרוּצִים	יַד־	24
苦役に	なる	怠惰な–者は	支配する	勤勉な–者の	手は	
H4522	H1961		H4910		H3027	

勤め働く者の手はついに人を治める、怠る者は人に仕えるようになる。

יְשַׂמְּחֶנָּה׃	טוֹב	וְדָבָר	יַשְׁחֶנָּה	אִישׁ	בְּלֵב־	דְּאָגָה	25
喜ばせる–それを	良い	言葉は	沈ませる–それを	人の	心の–中の	心配は	
H8055		H1697	H7812	H0376		H1674	

心に憂いがあればその人をかがませる、しかし親切な言葉はその人を喜ばせる。

תַּתְעֵם׃	רְשָׁעִים	וְדֶרֶךְ	צַדִּיק	מֵרֵעֵהוּ	יָתֶר	26
迷わす–彼らを	悪しき–者の	道は	正しい–者は	その–隣人–よりも	勝る	
H8582	H7563	H1870	H6662	H7453	H8446	

正しい人は悪を離れ去る、しかし悪しき者は自ら道に迷う。

חָרוּץ׃	יֵקַר	אָדָם	וְהוֹן־	צֵידוֹ	רְמִיָּה	יַחֲרֹךְ	לֹא־	27
勤勉な	尊い	人の	富は	その–獲物を	怠惰な–者は	焼かない	ない	
	H3368	H0120	H1952			H2760	H3808	

怠る者は自分の獲物を捕えない、しかし勤め働く人は尊い宝を獲る。

מָוֶת׃	אַל־	נְתִיבָה	וְדֶרֶךְ	חַיִּים	צְדָקָה	בְּאֹרַח־	28
死は	ない	その–小道の	道に	命が–ある	義の	道に	
H4194	H0408		H1870		H6666	H0734	

正義の道には命がある、しかし誤りの道は死に至る。

Chapter 13

גְּעָרָה׃	שֹׁמֵעַ	לֹא־	וְלֵץ	אָב	מוּסַר	חָכָם	בֵּן	1
戒めを	聞かない	ない	嘲る–者は	父の	訓戒を–受ける	賢い	息子は	
H1606	H8085	H3808	H3887	H0001	H4148	H2450		

知恵ある子は父の教訓をきく、あざける者は、懲しめをきかない。

חָמָס׃	בֹּגְדִים	וְנֶפֶשׁ	טוֹב	יֹאכַל	אִישׁ	פִּי־	מִפְרִי	2
暴力である	裏切る–者の	魂は	善を	食べる	人は	口の	実から	
H2555	H0898	H5315		H0398	H0376	H6310	H6529	

善良な人はその口の実によって、幸福を得る、不信実な者の願いは、暴虐である。

לוֹ׃	מְחִתָּה־	שֹׂפָתָיו	פֹּשֵׂק	נַפְשׁוֹ	שֹׁמֵר	פִּיו	נֹצֵר	3
彼に	破滅が–ある	その–唇を	大きく–開く–者は	その–魂を	守る	その–口を	守る–者は	
	H4288	H8193	H6589	H5315	H8104	H6310	H5341	

口を守る者はその命を守る、くちびるを大きく開く者には滅びが来る。

תְּדֻשָּׁן׃	חָרֻצִים	וְנֶפֶשׁ	עָצֵל	נַפְשׁוֹ	וְאַיִן	מִתְאַוָּה	4
潤う	勤勉な–者の	魂は	怠惰な–者の	その–魂は	得ない	欲しがって	
H1878		H5315	H6102	H5315	H0369	H0183	

なまけ者の心は、願い求めても、何も得ない、しかし勤め働く者の心は豊かに満たされる。

דְּבַר־ שֶׁקֶר יִשְׂנָא צַדִּיק וְרָשָׁע יַבְאִישׁ וְיַחְפִּיר׃ 5
言葉を 偽りの 憎む 正しい–者は 悪しき–者は 臭くさせ 辱める
H1697 H8267 H8130 H6662 H7563 H0887 H2659

正しい人は偽りを憎む、しかし悪しき人は恥ずべく、忌まわしくふるまう。

צֶדֶק תִּצַּר תָּם־ דָּרֶךְ וְרִשְׁעָה תְּסַלֵּף חַטָּאת׃ 6
義は 守る 全き 道の 悪は 覆す 罪を
H6666 H5341 H8537 H1870 H7564 H5557

正義は道をまっすぐ歩む者を守り、罪は悪しき者を倒す。

יֵשׁ מִתְעַשֵּׁר וְאֵין כֹּל מִתְרוֹשֵׁשׁ וְיֵשׁ רָב׃ 7
ある 富む–ふりをする–者が ない 何も 貧しい–ふりをする–者が 富が–ある 多くの
H3426 H6238 H0369 H3605 H7326 H1952

富んでいると偽って、何も持たない者がいる、貧しいと偽って、多くの富を持つ者がいる。

כֹּפֶר נֶפֶשׁ־ אִישׁ עָשְׁרוֹ וְרָשׁ לֹא־ שָׁמַע גְּעָרָה׃ 8
身代金である 魂の 人の その–富は 貧しい–者は ない 聞かない 脅しを
H1606 H8085 H3808 H7326 H6239 H0376 H5315

人の富はその命をあがなう、しかし貧しい者にはあがなうべき富がない。

אוֹר־ צַדִּיקִים יִשְׂמָח וְנֵר רְשָׁעִים יִדְעָךְ׃ 9
光は 正しい–者の 喜ぶ 灯火は 悪しき–者の 消える
H0216 H6662 H8055 H5216 H7563 H1846

正しい者の光は輝き、悪しき者のともしびは消される。

רַק־ בְּזָדוֹן יִתֵּן מַצָּה וְאֶת־ נוֹעָצִים חָכְמָה׃ 10
ただ 高慢に–より 生じる 争いが 共に–ある 助言を–受ける–者には 知恵が
H7535 H2087 H5414 H4683 H0854 H3289 H2451

高ぶりはただ争いを生じる、勧告をきく者は知恵がある。

הוֹן מֵהֶבֶל יִמְעָט וְקֹבֵץ עַל־ יָד יַרְבֶּה׃ 11
富は 空しさから 減る 集める–者は 少しずつ 手で 増やす
H1952 H1892 H4591 H6908 H3027

急いで得た富は減る、少しずつたくわえる者はそれを増すことができる。

תּוֹחֶלֶת מְמֻשָׁכָה מַחֲלָה־ לֵב וְעֵץ חַיִּים תַּאֲוָה בָּאָה׃ 12
望みが 延びた 病である 心の 木である 命の 望みが 来た
H8431 H4900 H5034 H3820 H6086 H2416 H8378 H0935

望みを得ることが長びくときは、心を悩ます、願いがかなうときは、命の木を得たようだ。

בָּז לֶדָּבָר יֵחָבֵל לְוֹ וְיֵרֵא מִצְוָה הוּא יְשֻׁלָּם׃ 13
侮る–者は 言葉を 滅ぼされる 自ら 恐れる–者は 戒めを 彼は 報われる
H0936 H1697 H2254 H3373 H4687 H1931

み言葉を軽んじる者は滅ぼされ、戒めを重んじる者は報いを得る。

תּוֹרַת חָכָם מְקוֹר חַיִּים לָסוּר מִמֹּקְשֵׁי מָוֶת׃ 14
教えは 賢い–者の 泉である 命の 避けるため 罠を 死の
H8451 H2450 H4726 H2416 H5493 H4170 H4194

知恵ある人の教は命の泉である、これによって死のわなをのがれることができる。

15

שֵׂכֶל־	טֹוב	יִתֵּן־	חֵן	וְדֶרֶךְ	בֹּגְדִים	אֵיתָן׃
英知は	良い	与える	恵みを	道は	裏切る–者の	固い
H7922		H5414	H2580	H1870	H0898	H0386

善良な賢い者は恵みを得る、しかし、不信実な者の道は滅びである。

16

כָּל־	עָרוּם	יַעֲשֶׂה	בְדָעַת	וְכְסִיל	יִפְרֹשׂ	אִוֶּלֶת׃
すべての	賢い–者は	行う	知識を–もって	愚かな–者は	広げる	愚かさを
H3605	H6175		H1847	H3684	H6566	H0200

おおよそ、さとき者は知識によって事をおこない、愚かな者は自分の愚を見せびらかす。

17

מַלְאָךְ	רָשָׁע	יִפֹּל	בְּרָע	וְצִיר	אֱמוּנִים	מַרְפֵּא׃
使いは	悪しき	落ちる	悪に	使者は	忠実な	癒しである
H4397	H7563	H5307			H0529	H4832

悪しき使者は人を災におとしいれる、しかし忠実な使者は人を救う。

18

רֵישׁ	וְקָלוֹן	פּוֹרֵעַ	מוּסָר	וְשׁוֹמֵר	תּוֹכַחַת	יְכֻבָּד׃
貧しさと	恥が–ある	退ける–者には	訓戒を	守る–者は	戒めを	尊ばれる
	H7036		H4148	H8104		H3513

貧乏と、はずかしめとは教訓を捨てる者に来る、しかし戒めを守る者は尊ばれる。

19

מֵרָע׃	סוּר	כְּסִילִים	וְתוֹעֲבַת	לְנֶפֶשׁ	תַּעֲרַב	נְהִיָה	תַּאֲוָה
悪から	離れることである	愚かな–者の	忌み–嫌うもの	魂に	快い	かなうと	望みが
	H5493	H3684	H8441	H5315	H6149	H1961	H8378

願いがかなえば、心は楽しい、愚かな者は悪を捨てることをきらう。

20

יְרוֹעַ׃	כְּסִילִים	וְרֹעֵה	(יֶחְכָּם)	[וחכם]	חֲכָמִים	אֶת־	(הוֹלֵךְ)	[הלוך]
苦しむ	愚かな–者と	交わる–者は	賢くなる	—	賢い–者と	共に	歩く–者は	—
	H3684		H2449	H2449	H2450	H0854	H1980	H1980

知恵ある者とともに歩む者は知恵を得る。愚かな者の友となる者は害をうける。

21

טוֹב׃	יְשֻׁלַּם־	צַדִּיקִים	וְאֶת־	רָעָה	תְּרַדֵּף	חַטָּאִים
善が	報われる	正しい–者には	共に–ある	悪が	追う	罪人を
		H6662	H0853		H7291	H2400

災は罪びとを追い、正しい者は良い報いを受ける。

22

חוֹטֵא׃	חַיִל	לַצַּדִּיק	וְצָפוּן	בָּנִים	בְּנֵי־	יִנְחִיל	טוֹב
罪人の	富は	正しい–者の–ために	蓄えられている	孫に	孫に	受け–継がせる	善い–者は
H2398	H2428	H6662	H6845			H5157	

善良な人はその嗣業を子孫にのこす、しかし罪びとの富は正しい人のためにたくわえられる。

23

מִשְׁפָּט׃	בְּלֹא	נִסְפֶּה	וְיֵשׁ	רָאשִׁים	נִיר	אֹכֶל	רַב־
公正の	ない–時に	滅びる–者が	ある	貧しい–者の	畑に	食べ物が–ある	多くの
H4941	H3808	H5595	H3426	H7326	H5215	H0400	H7230

貧しい人の新田は多くの食糧を産する、しかし不正によれば押し流される。

24

מוּסָר׃	שְׁחֲרוֹ	וְאֹהֲבוֹ	בְנוֹ	שׂוֹנֵא	שְׁבְטוֹ	חוֹשֵׂךְ
訓戒で	励ます	愛する–者は	その–子を	憎む	その–革を	惜しむ–者は
H4148	H7836	H0157		H8130	H7626	H2820

むちを加えない者はその子を憎むのである、子を愛する者は、つとめてこれを懲らしめる。

פ	תֶּחְסָר׃	רְשָׁעִים	וּבֶטֶן	נַפְשׁוֹ	לְשַׂבַּע	אֹכֵל	צַדִּיק	25
—	乏しい	悪しき–者の	腹は	その–魂の	満足まで	食べる	正しい–者は	
	H2637	H7563	H0990	H5315	H7648	H0398	H6662	

正しい者は食べてその食欲を満たす、しかし悪しき者の腹は満たされない。

Chapter 14

	תֶּהֱרְסֶנּוּ׃	בְיָדֶיהָ	וְאִוֶּלֶת	בֵּיתָהּ	בָּנְתָה	נָשִׁים	חַכְמוֹת	1
	壊す–それを	その–手で	愚かさは	その–家を	建てた	女は	知恵の	
	H2040	H3027	H0200		H1129	H0802	H2454	

知恵はその家を建て、愚かさは自分の手でそれをこわす。

	בּוֹזֵהוּ׃	דְּרָכָיו	וְנִלְוֶז	יְהוָה	יְרֵא	בְּיִשְׁרוֹ	הוֹלֵךְ	2
	侮る–彼を	その–道の	曲がった–者は	主を	恐れる	その–正しさに	歩む–者は	
	H0959	H1870	H3868	H3068	H3373	H3476	H1980	

まっすぐに歩む者は主を恐れる、曲って歩む者は主を侮る。

	תִּשְׁמוּרֵם׃	חֲכָמִים	וְשִׂפְתֵי	גַאֲוָה	חֹטֶר	אֱוִיל	בְּפִי־	3
	守る–彼らを	賢い–者の	唇は	高慢の	棒が–ある	愚かな–者の	口に	
	H8104	H2450	H8193	H1346	H2415	H0191	H6310	

愚かな者の言葉は自分の背にむちを当てる、知恵ある者のくちびるはその身を守る。

שׁוֹר׃	בְּכֹחַ	תְּבוּאוֹת	וְרַב־	בָּר	אֲבוּס	אֲלָפִים	בְּאֵין	4
牛の	力に–よる	収穫は	多い	飼葉桶は	きれいである	牛が	ない–ときに	
H7794		H8393	H7230	H1249	H0018	H0504	H0369	

牛がなければ穀物はない、牛の力によって農作物は多くなる。

שָׁקֶר׃	עֵד	כְּזָבִים	וְיָפִיחַ	יְכַזֵּב	לֹא	אֱמוּנִים	עֵד	5
偽りの	証人である	偽りを	吐く–者は	偽らない	ない	忠実な	証人は	
H8267	H5707	H3577	H6315	H3576	H3808	H0529	H5707	

真実な証人はうそをいわない、偽りの証人はうそをつく。

נָקַל׃	לִנְבוֹן	וְדַעַת	וָאַיִן	חָכְמָה	לֵץ	בִּקְשׁ־		6
容易である	悟る–者には	知識は	得ない	知恵を	嘲る–者は	求める		
H7043	H0995	H1847	H0369	H2451	H3887	H1245		

あざける者は知恵を求めても得られない、さとき者は知識を得ることがたやすい。

דָּעַת׃	שִׂפְתֵי־	יָדַעְתָּ	וּבַל־	כְּסִיל	לְאִישׁ	מִנֶּגֶד	לֵךְ	7
知識の	唇に	知らない	ない	愚かな	人の	前から	行け	
H1847	H8193	H3045	H1077	H3684	H0376	H5048	H3212	

愚かな者の前を離れ去れ、そこには知識の言葉がないからである。

מִרְמָה׃	כְּסִילִים	וְאִוֶּלֶת	דַּרְכּוֹ	הָבִין	עָרוּם	חָכְמַת		8
欺きである	愚かな–者の	愚かさは	その–道を	悟ることである	賢い–者の	知恵は		
H4820	H3684	H0200	H1870	H0995	H6175	H2451		

さとき者の知恵は自分の道をわきまえることにあり、愚かな者の愚かは、欺くことにある。

רָצוֹן׃	יְשָׁרִים	וּבֵין	אָשָׁם	יָלִיץ	אֱוִלִים			9
恵みが	正しい–者の	間に–ある	罪は	嘲る	愚かな–者を			
H7522	H3477	H0996	H0817	H3887	H0191			

神は悪しき者をあざけられる、正しい者は、その恵みを受ける。

10	לֵב	יוֹדֵעַ	מָרַת	נַפְשׁוֹ	וּבְשִׂמְחָתוֹ	לֹא־	יִתְעָרַב	זָר׃
	心は	知る	苦しみを	その–魂の	その–喜びに	ない	加わらない	他人は
		H3045	H4787	H5315	H8057	H3808	H6148	

心の苦しみは心みずからが知る、その喜びには他人はあずからない。

11	בֵּית	רְשָׁעִים	יִשָּׁמֵד	וְאֹהֶל	יְשָׁרִים	יַפְרִיחַ׃
	家は	悪しき–者の	滅ぼされる	天幕は	正しい–者の	栄える
		H7563	H8045	H0168	H3477	

悪しき者の家は滅ぼされ、正しい者の幕屋は栄える。

12	יֵשׁ	דֶּרֶךְ	יָשָׁר	לִפְנֵי־	אִישׁ	וְאַחֲרִיתָהּ	דַּרְכֵי־	מָוֶת׃
	ある	道が	正しく–見える	前に	人の	その–終わりは	道である	死の
	H3426	H1870	H3477	H6440	H0376	H0319	H1870	H4194

人が見て自ら正しいとする道でも、その終りはついに死に至る道となるものがある。

13	גַּם־	בִּשְׂחוֹק	יִכְאַב־	לֵב	וְאַחֲרִיתָהּ	שִׂמְחָה	תוּגָה׃	
	さえ	笑いの–中にも	痛む	心は	その–終わりは	喜びの	悲しみである	
	H1571	H7814	H3510		H0319	H8057	H8424	

笑う時にも心に悲しみがあり、喜びのはてに憂いがある。

14	מִדְּרָכָיו	יִשְׂבַּע	סוֹג	לֵב	וּמֵעָלָיו	אִישׁ	טוֹב׃	
	その–道から	満たされる	引き–下がった	心の	その–上から	人は	善い	
	H1870	H7646	H5472			H0376		

心のもとれる者はそのしわざの実を刈り取り、善良な人もまたその行いの実を刈り取る。

15	פֶּתִי	יַאֲמִין	לְכָל־	דָּבָר	וְעָרוּם	יָבִין	לַאֲשֻׁרוֹ׃
	愚かな–者は	信じる	すべての	言葉を	賢い–者は	悟る	その–歩みを
		H0539	H3605	H1697	H6175	H0995	

思慮のない者はすべてのことを信じる、さとき者は自分の歩みを慎む。

16	חָכָם	יָרֵא	וְסָר	מֵרָע	וּכְסִיל	מִתְעַבֵּר	וּבוֹטֵחַ׃
	賢い–者は	恐れ	離れる	悪から	愚かな–者は	怒り	安心する
	H2450	H3373	H5493		H3684		H0982

知恵ある者は用心ぶかく、悪を離れる、愚かな者は高ぶって用心しない。

17	קְצַר־	אַפַּיִם	יַעֲשֶׂה	אִוֶּלֶת	וְאִישׁ	מְזִמּוֹת	יִשָּׂנֵא׃
	短い	気の	行う	愚かさを	人は	企みの	憎まれる
	H7116	H0639		H0200	H0376	H4209	H8130

怒りやすい者は愚かなことを行い、賢い者は忍耐強い。

18	נָחֲלוּ	פְתָאִים	אִוֶּלֶת	וַעֲרוּמִים	יַכְתִּרוּ	דָּעַת׃
	受け–継ぐ	愚かな–者は	愚かさを	賢い–者は	冠とする	知識を
	H5157		H0200	H6175	H3803	H1847

思慮のない者は愚かなことを自分のものとする、さとき者は知識をもって冠とする。

19	שַׁחוּ	רָעִים	לִפְנֵי	טוֹבִים	וּרְשָׁעִים	עַל־	שַׁעֲרֵי	צַדִּיק׃
	ひれ伏す	悪い–者は	前に	善い–者の	悪しき–者は	傍らに	門の	正しい–者の
	H7817		H6440		H7563		H8179	H6662

悪人は善人の前にひれ伏し、悪しき者は正しい者の門にひれ伏す。

	רַבִּֽים׃	עָשִׁ֥יר	וְאֹהֵ֥ב	רָ֝שׁ	יִשָּׂנֵ֥א	לְרֵעֵ֑הוּ	גַּם־
	多い	富める–者を	愛する–者は	貧しい–者は	憎まれる	その–隣人にも	さえ
		H6223	H0157	H7326	H8130	H7453	H1571

20

貧しい者はその隣にさえも憎まれる、しかし富める者は多くの友をもつ。

אַשְׁרָ֥יו׃	(עֲנִיִּ֗ים)	[עניים]	וּמְחוֹנֵ֥ן	חוֹטֵ֑א	לְרֵעֵ֥הוּ	בָּ֝ז־
幸いである	貧しい–者を	—	恵む–者は	罪を–犯す	その–隣人を	侮る–者は
H0835	H6035	H6041		H2398	H7453	H0936

21

隣り人を卑しめる者は罪びとである、貧しい人をあわれむ者はさいわいである。

טֽוֹב׃	חֹרְשֵׁ֥י	וֶ֝אֱמֶ֗ת	וָחֶ֥סֶד	רָ֑ע	חֹרְשֵׁ֥י	יִתְעוּ֥	הֲלוֹא־
善を	謀る–者には	誠実が–ある	恵みと	悪を	謀る–者は	迷う	まさに
		H0571				H8582	H3808

22

悪を計る者はおのれを誤るではないか、善を計る者にはいつくしみと、まことがある。

לְמַחְסֽוֹר׃	אַךְ־	שִׂפְתַ֥יִם	וּ֝דְבַר־	מוֹתָ֗ר	יִהְיֶ֥ה	עֶ֑צֶב	בְּכָל־
乏しさに–至る	ただ	唇の	言葉は	利益が	ある	労苦には	すべての
H4270	H0389	H8193	H1697	H4195	H1961		H3605

23

すべての勤労には利益がある、しかし口先だけの言葉は貧乏をきたらせるだけだ。

אִוֶּֽלֶת׃	כְּסִילִ֑ים	אִ֝וֶּלֶת	עָשְׁרָ֗ם	חֲכָמִ֥ים	עֲטֶ֥רֶת	
愚かさである	愚かな–者の	愚かさは	その–富は	賢い–者の	冠である	
H0200	H3684	H0200	H6239	H2450	H5850	

24

知恵ある者の冠はその知恵である、愚かな者の花の冠はただ愚かさである。

מִרְמָֽה׃	כְּזָבִ֥ים	וְיָפִ֑חַ	אֱ֝מֶ֗ת	עֵ֥ד	נְפָשׁ֑וֹת	מַצִּ֥יל	
欺きである	偽りを	吐く–者は	真実の	証人は	魂を	救う–者である	
H4820	H3577	H6315	H0571	H5707	H5315	H5337	

25

まことの証人は人の命を救う、偽りを吐く者は裏切者である。

מַחְסֶֽה׃	יִהְיֶ֥ה	לִ֝בָנָ֗יו	עֹ֑ז	מִבְטַ֥ח־	יְהוָ֥ה	בְּיִרְאַ֥ת	
避け–所が	ある	その–子らには	力の	確かな–拠り所が	主の	恐れに–ある	
H4268	H1961		H5797	H4009	H3068	H3374	

26

主を恐れることによって人は安心を得、その子らはのがれ場を得る。

מָֽוֶת׃	מִמֹּקְשֵׁ֥י	לָ֝סוּר	חַיִּ֑ים	מְקוֹר֥	יְהוָ֗ה	יִרְאַ֥ת	
死の	罠を	避けるため	命の	泉である	主の	恐れは	
H4194	H4170	H5493		H4726	H3068	H3374	

27

主を恐れることは命の泉である、人を死のわなからのがれさせる。

רָזֽוֹן׃	מְחִתַּ֣ת	לְאֹ֑ם	וּבְאֶפֶס֮		מֶ֪לֶךְ	הַדְרַת־	עָ֫ם	בְּרָב־
君主の	破滅が	民の	ない–ことに–ある		王の	輝きが	民の	多さに–ある
H7333	H4288	H3816			H4428	H1927		H7230

28

王の栄えは民の多いことにあり、君の滅びは民を失うことにある。

אִוֶּֽלֶת׃	מְרֻמָּ֥ם	רְ֝חַ֗ב	וּקְצַר־	תְּבוּנָ֑ה	רַב־	אַפַּ֥יִם	אֶ֝רֶךְ	
愚かさを	上げる	気の	短い	英知は	大きい	気の	長い	
H0200		H7307	H7116	H8394		H0639	H0750	

29

怒りをおそくする者は大いなる悟りがあり、気の短い者は愚かさをあらわす。

30	חַיֵּי	בְשָׂרִים	לֵב	מַרְפֵּא	וְרִקָּב	עֲצָמוֹת	קִנְאָה׃
	命である	肉体の	心は	穏やかな	腐れである	骨の	嫉妬は
	H2416	H1320	H3820	H4832	H7538	H6106	H7068

穏やかな心は身の命である、しかし興奮は骨を腐らせる。

31	עֹשֵׁק	דָּל	חֵרֵף	עֹשֵׂהוּ	וּמְכַבְּדוֹ	חוֹנֵן	אֶבְיוֹן׃
	虐げる-者は	乏しい-者を	侮る	その-造り主を	尊ぶ-者は	恵む	貧しい-者を
	H6231	H1800	H2778	H6213	H3513	H2603	H0034

貧しい者をしえたげる者はその造り主を侮る、乏しい者をあわれむ者は、主をうやまう。

32	בְּרָעָתוֹ	יִדָּחֶה	רָשָׁע	וְחֹסֶה	בְּמוֹתוֹ	צַדִּיק׃
	その-悪に-よって	追われる	悪しき-者は	信頼する-者は	その-死に-おいて	正しい-者は
	H7451	H1760	H7563	H2620	H4194	H6662

悪しき者はその悪しき行いによって滅ぼされ、正しい者はその正しきによって、のがれ場を得る。

33	בְּלֵב	נָבוֹן	תָּנוּחַ	חָכְמָה	וּבְקֶרֶב	כְּסִילִים	תִּוָּדֵעַ׃
	心に	悟る-者の	憩う	知恵は	中にあっても	愚かな-者の	知られる
	H3820	H0995	H5117	H2451	H7130	H3684	H3045

知恵はさとき者の心にとどまり、愚かな者の心に知られない。

34	צְדָקָה	תְּרוֹמֵם־	גּוֹי	וְחֶסֶד	לְאֻמִּים	חַטָּאת׃
	義は	高める	国を	恵みは	諸国の民の	恥である
	H6666	H7311	H1471	H2617	H3816	H2403

正義は国を高くし、罪は民をはずかしめる。

35	רְצוֹן־	מֶלֶךְ	לְעֶבֶד	מַשְׂכִּיל	וְעֶבְרָתוֹ	תִּהְיֶה	מֵבִישׁ׃
	喜びは	王の	僕に-対する	賢い	その-怒りは	ある	恥を-与える-者に
	H7522	H4428	H5650	H7919	H5678	H1961	H0954

賢いしもべは王の恵みをうけ、恥をきたらす者はその怒りにあう。

Chapter 15

1	מַעֲנֶה־	רַךְ	יָשִׁיב	חֵמָה	וּדְבַר־	עֶצֶב	יַעֲלֶה־	אָף׃
	答えは	柔らかな	退ける	怒りを	言葉は	痛みの	起こす	怒りを
	H4617	H7390	H7725	H2534	H1697	H6094	H5927	H0639

柔かい答は憤りをとどめ、激しい言葉は怒りをひきおこす。

2	לְשׁוֹן	חֲכָמִים	תֵּיטִיב	דָּעַת	וּפִי	כְּסִילִים	יַבִּיעַ	אִוֶּלֶת׃
	舌は	賢い-者の	良くする	知識を	口は	愚かな-者の	溢れさせる	愚かさを
	H3956	H2450	H3190	H1847	H6310	H3684	H5042	H0200

知恵ある者の舌は知識をわかち与え、愚かな者の口は愚かを吐き出す。

3	בְּכָל־	מָקוֹם	עֵינֵי	יְהוָה	צֹפוֹת	רָעִים	וְטוֹבִים׃
	すべての	場所に	目は	主の	見張っている	悪い-者も	善い-者も
	H3605	H4725	H5869	H3068	H6822	H7451	H2896

主の目はどこにでもあって、悪人と善人とを見張っている。

4	מַרְפֵּא	לָשׁוֹן	עֵץ	חַיִּים	וְסֶלֶף	בָּהּ	שֶׁבֶר	בְּרוּחַ׃
	癒しの	舌は	木である	命の	歪みは	その-中の	砕く	魂を
	H4832	H3956	H6086	H2416	H5558	H0	H7667	H7307

優しい舌は命の木である、乱暴な言葉は魂を傷つける。

5	אֱוִיל	נְאַץ	מוּסַר	אָבִיו	וְשֹׁמֵר	תּוֹכַחַת	יַעְרִם׃
	愚かな–者は	侮る	訓戒を	その–父の	守る–者は	戒めを	賢くなる
	H0191	H5006	H4148	H0001	H8104		H6191

愚かな者は父の教訓を軽んじる、戒めを守る者は賢い者である。

6	בֵּית	צַדִּיק	חֹסֶן	רָב	וּבִתְבוּאַת	רָשָׁע	נָעְכָּרֶת׃
	家には	正しい–者の	富が–ある	多くの	収穫に	悪しき–者の	悩みが–ある
		H6662	H2633		H8393	H7563	H5916

正しい者の家には多くの宝がある、悪しき者の所得には煩いがある。

7	שִׂפְתֵי	חֲכָמִים	יְזָרוּ	דָּעַת	וְלֵב	כְּסִילִים	לֹא־	כֵּן׃
	唇は	賢い–者の	散らす	知識を	心は	愚かな–者の	ない	そうでは
	H8193	H2450	H2219	H1847		H3684	H3808	

知恵ある者のくちびるは知識をひろめる、愚かな者の心はそうでない。

8	זֶבַח	רְשָׁעִים	תּוֹעֲבַת	יְהוָה	וּתְפִלַּת	יְשָׁרִים	רְצוֹנוֹ׃
	犠牲は	悪しき–者の	忌み–嫌うもの	主の	祈りは	正しい–者の	その–喜びである
	H2077	H7563	H8441	H3068	H8605	H3477	H7522

悪しき者の供え物は主に憎まれ、正しい者の祈は彼に喜ばれる。

9	תּוֹעֲבַת	יְהוָה	דֶּרֶךְ	רָשָׁע	וּמְרַדֵּף	צְדָקָה	יֶאֱהָב׃
	忌み–嫌うもの	主の	道は	悪しき–者の	追い–求める–者を	義を	愛する
	H8441	H3068	H1870	H7563	H7291	H6666	H0157

悪しき者の道は主に憎まれ、正義を求める者は彼に愛せられる。

10	מוּסָר	רָע	לְעֹזֵב	אֹרַח	שׂוֹנֵא	תּוֹכַחַת	יָמוּת׃
	訓戒は	厳しい	捨てる–者には	道を	憎む–者は	戒めを	死ぬ
	H4148			H0734	H8130		H4191

道を捨てる者には、きびしい懲しめがあり、戒めを憎む者は死に至る。

11	שְׁאוֹל	וַאֲבַדּוֹן	נֶגֶד	יְהוָה	אַף	כִּי־	לִבּוֹת	בְּנֵי־	אָדָם׃
	陰府と	滅びさえ	前に–ある	主の	まして	なお–さら	心は	子らの	人の
	H7585	H0011	H5048	H3068	H0637		H3826		H0120

陰府と滅びとは主の目の前にあり、人の心はなおさらである。

12	לֹא	יֶאֱהַב־	חֲכָמִים	אֶל־	לוֹ	הוֹכֵחַ	לֵץ	יֵלֵךְ׃
	ない	愛さない	賢い–者に	向かう	自分を	戒められることを	嘲る–者は	行かない
	H3808	H0157	H2450	H0413		H3198	H3887	H3212

あざける者は戒められることを好まない、また知恵ある者に近づかない。

13	לֵב	שָׂמֵחַ	יִיטַב	פָּנִים	וּבְעַצְבַּת־	רוּחַ	נִכְאָה׃
	心が	喜ぶと	良くなる	顔は	悲しみに–より	魂が	砕かれる
		H8056	H3190	H6440	H6094	H7307	

心に楽しみがあれば顔色も喜ばしい、心に憂いがあれば気はふさぐ。

14	לֵב	נָבוֹן	יְבַקֶּשׁ־	דָּעַת	ופני[	)פִּי(	כְּסִילִים	יִרְעֶה	אִוֶּלֶת׃
	心は	悟る–者の	求める	知識を	——	口は	愚かな–者の	食らう	愚かさを
		H0995	H1245	H1847	H6440	H6310	H3684		H0200

さとき者の心は知識をたずね、愚かな者の口は愚かさを食物とする。

15 כָּל־ יְמֵי עָנִי רָעִים וְטוֹב־ לֵב מִשְׁתֶּה תָמִיד׃
すべての 日は 苦しむ-者の 悪い 良い 心の 宴である 絶えずの
H3605 H3117 H6041 H7451 H2896 H4960 H8548

悩んでいる者の日々はことごとくつらく、心の楽しい人は常に宴会をもつ。

16 טוֹב־ מְעַט בְּיִרְאַת יְהוָה מֵאוֹצָר רָב וּמְהוּמָה בּוֹ׃
良い 僅かでも 恐れの-中にある 主の 宝-よりも 多くの 悩みの-ある その-中の
H7451 H4592 H3374 H3068 H0214 H7230 H4103 H1931

少しの物を所有して主を恐れるのは、多くの宝をもって苦労するのにまさる。

17 טוֹב אֲרֻחַת יָרָק וְאַהֲבָה־ שָׁם מִשּׁוֹר אָבוּס וְשִׂנְאָה־ בּוֹ׃
良い 食事は 野菜の 愛の-ある そこに 肥えた-牛-よりも 肥えた 憎しみの-ある その-中に
H7451 H0737 H3419 H0160 H8033 H7794 H0075 H8135 H1931

野菜を食べて互に愛するのは、肥えた牛を食べて互に憎むのにまさる。

18 אִישׁ חֵמָה יְגָרֶה מָדוֹן וְאֶרֶךְ אַפַּיִם יַשְׁקִיט רִיב׃
人は 怒りの かき-立てる 争いを 長い 気の 静める 争いを
H0376 H2534 H1624 H4066 H0750 H0639 H8252 H7379

憤りやすい者は争いをおこし、怒りをおそくする者は争いをとどめる。

19 דֶּרֶךְ עָצֵל כִּמְשֻׂכַת חָדֶק וְאֹרַח יְשָׁרִים סְלֻלָה׃
道は 怠惰な-者の 垂根の-ようである 茨の 道は 正しい-者の 平らである
H1870 H6102 H5440 H2312 H0734 H3477 H5549

なまけ者の道には、いばらがはえしげり、正しい者の道は平らかである。

20 בֵּן חָכָם יְשַׂמַּח־ אָב וּכְסִיל אָדָם בּוֹזֶה אִמּוֹ׃
息子は 賢い 喜ばせる 父を 愚かな 人は 侮る その-母を
H1121 H2450 H8055 H1 H3684 H0120 H0959 H0517

知恵ある子は父を喜ばせる、愚かな人はその母を軽んじる。

21 אִוֶּלֶת שִׂמְחָה לַחֲסַר־ לֵב וְאִישׁ תְּבוּנָה יְיַשֶּׁר־ לָכֶת׃
愚かさは 喜びである 乏しい-者には 心の 人は 英知の まっすぐにする その-歩みを
H0200 H8057 H2638 H3820 H0376 H8394 H3474 H3212

無知な者は愚かなことを喜び、さとき者はまっすぐに歩む。

22 הָפֵר מַחֲשָׁבוֹת בְּאֵין סֹוד וּבְרֹב יוֹעֲצִים תָּקוּם׃
殺される 計画は ない-ときに 助言が 多くの 助言者に-よって 成る
H6565 H4284 H0369 H5475 H7230 H3289 H6965

相はかることがなければ、計画は破れる、はかる者が多ければ、それは必ず成る。

23 שִׂמְחָה לְאִישׁ בְּמַעֲנֵה־ פִיו וְדָבָר בְּעִתּוֹ מַה־ טּוֹב׃
喜びが-ある 人には 答えに その-口の 言葉は 時に-かなった なんと 良いことか
H8057 H0376 H4617 H6310 H1697 H6256 H4100 H2896

人は口から出る好ましい答によって喜びを得る、時にかなった言葉は、いかにも良いものだ。

24 אֹרַח חַיִּים לְמַעְלָה לְמַשְׂכִּיל לְמַעַן סוּר מִשְּׁאוֹל מָטָּה׃
道は 命の 上に-向かう 賢い-者には 避けるため 離れるため 陰府を 下の
H0734 H2416 H4605 H7919 H4616 H5493 H7585 H4295

知恵ある人の道は上って命に至る、こうしてその人は下にある陰府を離れる。

25 בֵּ֤ית גֵּאִ֨ים ׀ יְסַ֣ח יְהוָ֗ה וְיַצֵּ֥ב גְּבוּל֮ אַלְמָנָ֪ה׃
家を 高慢な-者の 引き-抜く 主は 定める 境界を やもめの
H1004 H1343 H5255 H3068 H5324 H1366 H0490

主は高ぶる者の家を滅ぼし、やもめの地境を定められる。

26 תּוֹעֲבַ֣ת יְ֭הוָה מַחְשְׁבוֹת֑ רָ֝֗ע וְ֣טְהֹרִ֔ים אִמְרֵי־ נֹֽעַם׃
主の 忌み-嫌うもの 思いは 悪の 清い 言葉は 快い-ものの
H3068 H8441 H4284 H7451 H2889 H0561 H5278

悪人の計りごとは主に憎まれ、潔白な人の言葉は彼に喜ばれる。

27 עֹכֵ֣ר בֵּ֭יתוֹ בּוֹצֵ֣עַ בָּ֑צַע וְשׂוֹנֵ֥א מַ֝תָּנֹ֗ת יִֽחְיֶֽה׃
乱す-者は その-家を 貪る-者は 利得を 憎む-者は 贈り物を 生きる
H5916 H1004 H1214 H1215 H8130 H4979 H2421

不正な利をむさぼる者はその家を煩らわせる、まいないを憎む者は生きながらえる。

28 לֵ֭ב צַדִּ֣יק יֶהְגֶּ֑ה לַ֝עֲנ֗וֹת פִּ֣י רְשָׁעִ֣ים יַבִּ֣יעַ רָעֽוֹת׃
心は 正しい-者の 思い-巡らす 答えるために 口は 悪しき-者の 溢れさせる 悪を
H3820 H6662 H1897 H6030 H6310 H7563 H5042 H7451

正しい者の心は答えるべきことを考える、悪しき者の口は悪を吐き出す。

29 רָח֣וֹק יְ֭הוָה מֵרְשָׁעִ֑ים וּתְפִלַּ֥ת צַ֝דִּיקִ֗ים יִשְׁמָֽע׃
遠い 主は 悪しき-者から 祈りを 正しい-者の 聞く
H7350 H3068 H7563 H8605 H6662 H8085

主は悪しき者に遠ざかり、正しい者の祈を聞かれる。

30 מְאוֹר־ עֵינַ֥יִם יְשַׂמַּח־ לֵ֑ב שְׁ֝מוּעָ֗ה טוֹבָ֥ה תְּדַשֶּׁן־ עָֽצֶם׃
光は 目の 喜ばせる 心を 知らせは 良い 潤す 骨を
H3974 H5869 H8055 H3820 H8052 H2896 H1878 H6106

目の光は心を喜ばせ、よい知らせは骨を潤す。

31 אֹ֣זֶן שֹׁמַ֣עַת תּוֹכַ֣חַת חַיִּ֑ים בְּ֝קֶ֗רֶב חֲכָמִ֥ים תָּלִֽין׃
耳は 聞く 戒めを 命の 中に-宿る 賢い-者の 宿る
H0241 H8085 H8433 H2416 H7130 H2450 H3885

ためになる戒めを聞く耳をもつ者は、知恵ある者の中にとどまる。

32 פּוֹרֵ֣עַ מוּסָ֣ר מוֹאֵ֑ס וְ֝שׁוֹמֵ֗עַ תּוֹכַ֥חַת קוֹנֶ֥ה לֵֽב׃
退ける-者は 訓戒を 侮る その-魂を 聞く-者は 戒めを 得る 心を
H6544 H4148 H3988 H5315 H8085 H8433 H7069 H3820

教訓を捨てる者はおのれの命を軽んじ、戒めを重んじる者は悟りを得る。

33 יִרְאַ֣ת יְ֭הוָה מוּסַ֣ר חָכְמָ֑ה וְלִפְנֵ֖י כָּב֣וֹד עֲנָוָֽה׃
恐れは 主の 訓戒である 知恵の 前に 栄誉の 謙遜が-ある
H3374 H3068 H4148 H2451 H6440 H3519 H6038

主を恐れることは知恵の教訓である、謙遜は、栄誉に先だつ。

Chapter 16

1 לְאָדָ֣ם מַעַרְכֵי־ לֵ֑ב וּ֝מֵיְהוָ֗ה מַעֲנֵ֥ה לָשֽׁוֹן׃
人に-属する 備えは 心の 主から-来る 答えは 舌の
H0120 H4633 H3820 H3068 H4617 H3956

心にはかることは人に属し、舌の答は主から出る。

יְהוָֽה׃	רוּחֹ֣ות	וְתֹכֵ֑ן	בְּעֵינָ֖יו	זַ֣ךְ	אִ֭ישׁ	דַּרְכֵי־	כָּל־	2
主である	魂を	量る-者は	その-目に	清い	人の	道は	すべての	
H3068	H7307	H8505		H2134	H0376	H1870	H3605	

人の道は自分の目にことごとく潔しと見える、しかし主は人の魂をはかられる。

מַחְשְׁבֹתֶֽיךָ׃	וְיִכֹּנ֑וּ	מַעֲשֶׂ֣יךָ	יְהוָ֥ה	אֶל־	גֹּ֝ל	3
あなたの-計画は	定まる	あなたの-業を	主に	主に	委ねよ	
H4284		H4639	H3068	H0413	H1556	

あなたのなすべき事を主にゆだねよ、そうすれば、あなたの計るところは必ず成る。

רָעָֽה׃	לְי֥וֹם	רָשָׁ֗ע	וְגַם־	לְמַעֲנֵ֑הוּ	יְהוָ֥ה	פָּ֝עַל	כֹּ֗ל	4
禍いの	日の-ために	悪しき-者をも	また	その-目的の-ために	主は	造られた	すべてを	
	H3117	H7563	H1571	H4617	H3068	H6466	H3605	

主はすべての物をおのおのその用のために造り、悪しき人をも災の日のために造られた。

יִנָּקֶֽה׃	לֹ֣א	לֹ֭וֶד	יָ֣ד	לֵ֑ב	גְּבַהּ־	כָּל־	יְהוָ֥ה	תּוֹעֲבַ֥ת	5
免れない	ない	手を-とっても	手に	心の	高ぶる	すべての	主の	忌み-嫌うもの	
H5352	H3808	H3027	H3027		H1362	H3605	H3068	H8441	

すべて心に高ぶる者は主に憎まれる、確かに、彼は罰を免れない。

מֵרָֽע׃	סוּר֥	יְהוָ֑ה	וּבְיִרְאַ֥ת	עָ֝וֹן	יְכֻפָּ֗ר	וֶאֱמֶ֥ת	בְּחֶ֣סֶד	6
悪から	離れる	主の	恐れに-よって	罪は	贖われる	誠実に-よって	恵みと	
	H5493	H3068	H3374	H5771		H0571		

いつくしみとまことによって、とがはあがなわれる、主を恐れることによって、人は悪を免れる。

אִתּ֑וֹ׃	יַשְׁלֵ֥ם	אוֹיְבָ֗יו	גַּם־	אִ֭ישׁ	דַּרְכֵי־	יְהוָ֥ה	בִּרְצ֣וֹת	7
彼と	和解させる	その-敵をも	さえ	人の	道を	主が	喜ぶ-とき	
H0854		H0341	H1571	H0376	H1870	H3068	H7521	

人の道が主を喜ばせる時、主はその人の敵をもその人と和らがせられる。

מִשְׁפָּֽט׃	בְּלֹ֣א	תְּבוּא֣וֹת	מֵ֭רֹב	בְּצִדָקָ֑ה	מְעַ֥ט	טֽוֹב־	8
公正の	ない-ときに	収穫は	多くの-よりも	義の-中の	僅かでも	良い	
H4941	H3808	H8393	H7230	H6666	H4592		

正義によって得たわずかなものは、不義によって得た多くの宝にまさる。

צַעֲדֽוֹ׃	יָכִ֥ין	וַיהוָ֑ה	דַּרְכּ֗וֹ	יְחַשֵּׁ֣ב	אָ֭דָם	לֵ֣ב	9
その-歩みを	定める	主が	その-道を	計画する	人の	心は	
H6806		H3068	H1870	H2803	H0120		

人は心に自分の道を考え計る、しかし、その歩みを導く者は主である。

פִּֽיו׃	יִמְעַל־	לֹ֣א	בְּמִשְׁפָּ֑ט	מֶ֝לֶךְ	שִׂפְתֵי־	עַל־	וֶ֭קֶסֶם	10
その-口は	過ちない	ない	裁きに-おいて	王の	唇の	上に	神託が-ある	
H6310	H4603	H3808	H4941	H4428	H8193		H7081	

王のくちびるには神の決定がある、さばきをするとき、その口に誤りがない。

כִּֽיס׃	אַבְנֵי־	כָּל־	מַעֲשֵׂ֑הוּ	לַיהוָ֥ה	מִשְׁפָּ֣ט	וּמֹאזְנֵי	פֶּ֭לֶס	11
袋の	おもりは	すべての	その-業である	主の-ものである	公正の	天秤は	秤と	
H3599	H0068	H3605	H4639	H3068	H4941	H3976	H6425	

正しいはかりと天びんとは主のものである、袋にあるふんどうもすべて彼の造られたものである。

כִּסֵּא׃	יִכּוֹן	בִּצְדָקָה	כִּי	רֶשַׁע	עֲשׂוֹת	מְלָכִים	תּוֹעֲבַת	12
王座は	定まる	義に-よって	なぜなら	悪を	行うことである	王たちの	忌み-嫌うもの	
H3678		H6666		H7562		H4428	H8441	

悪を行うことは王の憎むところである、その位が正義によって堅く立っているからである。

יֵאָהֵב׃	יְשָׁרִים	וְדֹבֵר	צֶדֶק	שִׂפְתֵי־	מְלָכִים	רְצוֹן	13
愛する	正しく	語る-者を	義の	唇である	王たちの	喜びである	
H0157	H3477	H1696	H6664	H8193	H4428	H7522	

正しいくちびるは王に喜ばれる、彼は正しい事を言う者を愛する。

יְכַפְּרֶנָּה׃	חָכָם	וְאִישׁ	מָוֶת	מַלְאֲכֵי־	מֶלֶךְ	חֲמַת־	14
なだめる-それを	賢い	人は	死の	使者である	王の	怒りは	
	H2450	H0376	H4194	H4397	H4428	H2534	

王の怒りは死の使者である、知恵ある人はこれをなだめる。

מַלְקוֹשׁ׃	כְּעָב	וּרְצוֹנוֹ	חַיִּים	מֶלֶךְ	פְּנֵי־	בְּאוֹר־	15
春の-雨の	雲の-ようである	その-恵みは	命が	王の	顔の	光に-ある	
H4456	H5645	H7522		H4428	H6440	H0216	

王の顔の光には命がある、彼の恵みは春雨をもたらす雲のようだ。

מִכָּסֶף׃	נִבְחָר	בִּינָה	וּקְנוֹת	מֵחָרוּץ	טוֹב	מַה־	חָכְמָה	קְנֵה־	16
銀-よりも	選ばれる	英知を	得ることは	金-よりも	良いことか	なんと	知恵を	得ることは	
H3701	H0977	H0998	H7069			H4100	H2451	H7069	

知恵を得るのは金を得るのにまさる、悟りを得るのは銀を得るよりも望ましい。

דַּרְכּוֹ׃	נֹצֵר	נַפְשׁוֹ	שֹׁמֵר	מֵרָע	סוּר	יְשָׁרִים	מְסִלַּת	17
その-道を	保つ-者は	その-魂を	守る-者は	悪から	離れることである	正しい-者の	大道は	
H1870	H5341	H5315	H8104		H5493	H3477	H4546	

悪を離れることは正しい人の道である、自分の道を守る者はその魂を守る。

רוּחַ׃	גְּבַהּ	כִּשָּׁלוֹן	וְלִפְנֵי	גְּאוֹן	שֶׁבֶר	לִפְנֵי־	18
魂が	高ぶる	つまずきの	前に	高慢が-ある	破滅の	前に	
H7307	H1363	H3783	H6440	H1347	H7667	H6440	

高ぶりは滅びにさきだち、誇る心は倒れにさきだつ。

אֶת־	שָׁלָל	מֵחַלֵּק	)עֲנָוִים(	]עניים[	אֶת־	רוּחַ	שְׁפַל־	טוֹב	19
共に	戦利品を	分ける-よりも	謙遊な-者と	—	共に	魂の	低くあることは	良い	
H0854	H7998		H6035	H6041	H0854	H7307	H8217		

גֵּאִים׃
高慢な-者と
H1343

へりくだって貧しい人々と共におるのは、高ぶる者と共にいて、獲物を分けるにまさる。

אַשְׁרָיו׃	בַּיהוָה	וּבוֹטֵחַ	טוֹב	יִמְצָא־	דָּבָר	עַל־	מַשְׂכִּיל	20
幸いである	主に	頼る-者は	善を	見出す	事を	について	悟る-者は	
H0835	H3068	H0982		H4672	H1697			

慎んで、み言葉をおこなう者は栄える、主に寄り頼む者はさいわいである。

לֶקַח׃	יֹסִיף	שְׂפָתַיִם	וּמֶתֶק	נָבוֹן	יִקָּרֵא	לֵב	לַחֲכַם־	21
学びを	加える	唇の	甘さは	悟りある-者と	呼ばれる	心の	賢い	
H3948	H3254	H8193	H4986	H0995	H7121		H2450	

心に知恵ある者はさとき者ととなえられる、くちびるが甘ければ、その教に人を説きつける力を増す。

22	מְקוֹר	חַיִּים	שֵׂכֶל	בְּעָלָיו	וּמוּסַר	אֱוִלִים	אִוֶּלֶת׃
	泉である	命の	英知は	その–主人には	訓戒は	愚かな–者の	愚かさである
	H4726		H7922	H1167	H4148	H0191	H0200

知恵はこれを持つ者に命の泉となる、しかし、愚かさは愚かな者の受ける懲しめである。

23	לֵב	חֲכָם	יַשְׂכִּיל	פִּיהוּ	וְעַל־	שְׂפָתָיו	יֹסִיף	לֶקַח׃
	心は	賢い–者の	賢くする	その–口を	その–上に	唇の	加える	学びを
		H2450		H6310		H8193	H3254	H3948

知恵ある者の心はその言うところを賢くし、またそのくちびるに人を説きつける力を増す。

24	צוּף־	דְּבַשׁ	אִמְרֵי־	נֹעַם	מָתוֹק	לַנֶּפֶשׁ	וּמַרְפֵּא	לְעָצֶם׃
	巣の–ようである	蜜の	言葉は	快い	甘い	魂に	癒しである	骨の
	H6688	H1706	H0561	H5278	H4966	H5315	H4832	H6106

ここちよい言葉は蜂蜜のように、魂に甘く、からだを健やかにする。

25	יֵשׁ	דֶּרֶךְ	יָשָׁר	לִפְנֵי־	אִישׁ	וְאַחֲרִיתָהּ	דַּרְכֵי־	מָוֶת׃
	ある	道が	正しく–見える	前に	人の	その–終わりは	道である	死の
	H3426	H1870	H3477	H6440	H0376	H0319	H1870	H4194

人が見て自分で正しいとする道があり、その終りはついに死にいたる道となるものがある。

26	נֶפֶשׁ	עָמֵל	עָמְלָה	לוֹ	כִּי־	אָכַף	עָלָיו	פִּיהוּ׃
	魂は	働く–者の	働く	彼の–ために	なぜなら	迫る	彼に	その–口が
	H5315		H5998			H0404		H6310

ほねおる者は飲食のためにほねおる、その口が自分に迫るからである。

27	אִישׁ	בְּלִיַּעַל	כֹּרֶה	רָעָה	וְעַל־	]שפתיו[	)שְׂפָתוֹ(	כְּאֵשׁ	צָרֶבֶת׃
	人は	よこしまな	掘る	悪を	その–上に	—	唇には	火の–ような	焦がしが–ある
	H0376	H1100				H8193	H8193	H0784	

よこしまな人は悪を企てる、そのくちびるには激しい火のようなものがある。

28	אִישׁ	תַּהְפֻּכוֹת	יְשַׁלַּח	מָדוֹן	וְנִרְגָּן	מַפְרִיד	אַלּוּף׃
	人は	偽りの	送る	争いを	ささやく–者は	引き–離す	親友を
	H0376	H8419	H7971	H4066	H5372	H6504	

偽る者は争いを起し、つげ口する者は親しい友を離れさせる。

29	אִישׁ	חָמָס	יְפַתֶּה	רֵעֵהוּ	וְהוֹלִיכוֹ	בְּדֶרֶךְ	לֹא־	טוֹב׃
	人は	暴力の	誘う	その–隣人を	導く–彼を	道に	ない	良く
	H0376	H2555		H7453	H3212	H1870	H3808	

しえたげる者はその隣り人をいざない、これを良くない道に導く。

30	עֹצֵה	עֵינָיו	לַחְשֹׁב	תַּהְפֻּכוֹת	קֹרֵץ	שְׂפָתָיו	כִּלָּה	רָעָה׃
	つぶる–者は	その–目を	謀るために	偽りを	つまむ–者は	その–唇を	成し–遂げた	悪を
	H6095		H2803	H8419	H7169	H8193	H3615	

めくばせする者は悪を計り、くちびるを縮める者は悪事をなし遂げる。

31	עֲטֶרֶת	תִּפְאֶרֶת	שֵׂיבָה	בְּדֶרֶךְ	צְדָקָה	תִּמָּצֵא׃
	冠である	輝きの	白髪は	道に	義の	見出される
	H5850	H8597	H7872	H1870	H6666	H4672

しらがは栄えの冠である、正しく生きることによってそれが得られる。

32 טוֹב אֶרֶךְ אַפַּיִם גִּבּוֹר מִמֹּשֵׁל וּמֹשֵׁל רוּחוֹ בְּרוּחֹו מִלֹּכֵד עִיר׃
良い 長い 気の 勇士-よりも 治める-者は その-魂を 攻める-者-よりも 町を
H0750 H0639 H1368 H4910 H7307 H3920

怒りをおそくする者は勇士にまさり、自分の心を治める者は城を攻め取る者にまさる。

33 בַּחֵיק יוּטַל הַגּוֹרָל אֶת־ כָּל־ וּמֵיְהוָה מִשְׁפָּטוֹ׃
懐に 投げられる — すべての 主から-来る その-裁きは
H2436 H2904 H0853 H3605 H3068 H4941

人はくじをひく、しかし事を定めるのは全く主のことである。

Chapter 17

1 טוֹב פַּת חֲרֵבָה וְשַׁלְוָה־ בָּהּ מִבַּיִת מָלֵא זִבְחֵי־ רִיב׃
良い パンが 乾いた 平和の-ある その-中に 家-よりも 満ちた 犠牲と-争いの 争いの
H7962 H2077 H7379

平穏であって、ひとかたまりのかわいたパンのあるのは、争いがあって、食物の豊かな家にまさる。

2 עֶבֶד־ מַשְׂכִּיל יִמְשֹׁל בְּבֵן מֵבִישׁ וּבְתוֹךְ אַחִים יַחֲלֹק נַחֲלָה׃
僕は 賢い 支配する 息子を 恥の 中で 兄弟の 分ける 相続を
H5650 H4910 H0954 H8432 H0251 H2505 H5159

賢いしもべは身持の悪いむすこを治め、かつ、その兄弟たちの中にあって、資産の分け前を獲る。

3 מַצְרֵף לַכֶּסֶף וְכוּר לַזָּהָב וּבֹחֵן לִבּוֹת יְהוָה׃
るつぼである 銀の 炉である 金の 試す-者は 心を 主である
H4715 H3564 H2091 H0974 H3826 H3068

銀を試みるものはるつぼ、金を試みるものは炉、人の心を試みるものは主である。

4 מֵרַע מַקְשִׁיב עַל־ שִׂפַת־ אָוֶן שֶׁקֶר מֵזִין עַל־ לְשׁוֹן הַוּוֹת׃
悪を-行う-者は 耳を-傾ける 上に 舌の 破滅の
H7181 H5921 H3956 H1942

悪を行う者は偽りのくちびるに聞き、偽りをいう者は悪しき舌に耳を傾ける。

5 לְעֵג עֹשֵׂהוּ חֵרֵף לָרָשׁ לְאֵיד שָׂמֵחַ לֹא יִנָּקֶה׃
嘲る-者は その-造り主を 侮る 貧しい-者を 禍いを 喜ぶ-者は ない 免れない
H3932 H7326 H0343 H8056 H3808 H5352

貧しい者をあざける者はその造り主を侮る、人の災を喜ぶ者は罰を免れない。

6 עֲטֶרֶת זְקֵנִים בְּנֵי בָנִים וְתִפְאֶרֶת בָּנִים אֲבוֹתָם׃
冠である 老人の 孫である 孫である 誇りである 子の その-父である
H5850 H2205 H1121 H1121 H8597 H1121 H0001

孫は老人の冠である、父は子の栄えである。

7 לֹא־ נָאוָה לִנְבָל שִׂפַת־ יֶתֶר כִּי־ אַף לְנָדִיב שִׂפַת־ שָׁקֶר׃
ない ふさわしくない 愚かな-者には 唇は 雄弁な なお-さら まして 高貴な-者には 唇は 偽りの
H3808 H5000 H5036 H8193 H3148 H3588 H0637 H5081 H8193 H8267

すぐれた言葉は愚かな者には似合わない、まして偽りを言うくちびるは君たる者には似合わない。

8

יִפְנֶה	אֲשֶׁר	כָּל־	אֶל־	בְּעָלָיו	בְּעֵינֵי	הַשֹּׁחַד	חֵן	אֶבֶן־
向かう	方へ	すべての	向かう	その–主人の	目に	贈り物は	恵みの	石の–ようである
H6437		H3605	H0413	H1167		H7810	H2580	H0068

יַשְׂכִּיל׃
成功する

まいないはこれを贈る人の目には幸運の玉のようだ、その向かう所、どこでも彼は栄える。

9

אַלּוּף׃	מַפְרִיד	בְּרָבָר	וְשֹׁנֶה	אַהֲבָה	מְבַקֵּשׁ	פֶּשַׁע	מְכַסֶּה־	
親友を	引き–離す	事を	繰り–返す–者は	愛を	求める	背きを	覆う–者は	
	H6504	H1697		H0160	H1245	H6588	H3680	

愛を追い求める人は人のあやまちをゆるす、人のことを言いふらす者は友を離れさせる。

10

מֵאָה׃	כְּסִיל	מֵהַכּוֹת	בְּמֵבִין	גְּעָרָה	תַּחַת	
百回	愚かな–者を	打つ–こと–よりも	悟る–者には	戒めは	勝る	
H3967	H3684	H5221	H0995	H1606	H5181	

一度の戒めがさとき人に徹するのは、百度の懲しめが愚かな人に徹するよりも深い。

11

בּוֹ׃	יְשֻׁלַּח־	אַכְזָרִי	וּמַלְאָךְ	רָע	יְבַקֵּשׁ־	מְרִי	אַךְ־	
彼に	遣わされる	残忍な	使者が	悪い–者は	求める	反逆を	ただ	
	H7971	H0394	H4397		H1245	H4805	H0389	

悪しき者はただ、そむく事のみを求める、それゆえ、彼に向かっては残忍な使者がつかわされる。

12

בְּאִוַּלְתּוֹ׃	כְּסִיל	וְאַל־	בְּאִישׁ	שַׁכּוּל	דֹּב	פָּגוֹשׁ	
その–愚かさの–中の	愚かな–者には	だが–ない	人と	子を–失った	熊に	出会え	
H0200	H3684	H0408	H0376	H7909	H1677	H6298	

愚かな者が愚かな事をするのに会うよりは、子をとられた雌ぐまに会うほうがよい。

13

מְבֵיתוֹ׃	רָעָה	)תָּמוּשׁ(	]תמיש[	לֹא־	טוֹבָה	תַּחַת	רָעָה	מֵשִׁיב
その–家から	悪は	離れない	—	ない	善の	代わりに	悪を	返す–者は
		H4185	H4185	H3808		H8478		H7725

悪をもて善に報いる者は、悪がその家を離れることがない。

14

נְטֹשׁ׃	הָרִיב	הִתְנַלַּע	וְלִפְנֵי	מָדוֹן	רֵאשִׁית	מַיִם	פּוֹטֵר	
捨てよ	争いを	暴く–なる–前に	前に	争いの	初めである	水を	開く–者は	
H5203	H7379	H1566	H6440	H4066	H7225	H4325	H6362	

争いの初めは水がもれるのに似ている、それゆえ、けんかの起らないうちにそれをやめよ。

15

שְׁנֵיהֶם׃	גַּם־	יְהוָה	תּוֹעֲבַת	צַדִּיק	וּמַרְשִׁיעַ	רָשָׁע	מַצְדִּיק	
両方とも	どちらも	主の	忌み–嫌うもの	正しい–者を	罪とする–者も	悪しき–者を	義とする–者も	
H8147	H1571	H3068	H8441	H6662	H7561	H7563	H6663	

悪しき者を正しいとする者、正しい者を悪いとする者、この二つの者はともに主に憎まれる。

16

אָיִן׃	וְלֵב־	חָכְמָה	לִקְנוֹת	כְּסִיל	בְּיַד־	מְחִיר	זֶה	לָמָּה־
ないのに	心が–ないのに	知恵を	買うために	愚かな–者の	手に	代価が–ある	これが	なぜ
H0369		H2451	H7069	H3684	H3027	H4242	H2088	H4100

愚かな者はすでに心がないのに、どうして知恵を買おうとして手にその代金を持っているのか。

17

יִוָּלֵד׃	לְצָרָה	וְאָח	רֵעַ	אֹהֵב	עֵת	בְּכָל־	
生まれる	苦難の–ために	兄弟は	友は	愛する	時に	すべての	
H3205		H0251	H7453	H0157	H6256	H3605	

友はいずれの時にも愛する、兄弟はなやみの時のために生れる。

רֵעֵהוּ׃	לִפְנֵי	עֵרְבָּה	עֹרֵב	כָּף	תּוֹקֵעַ	לֵב	חֲסַר־	אָדָם	18
その-隣人の	前で	保証を	保証する	手を-打って	誓う	心の	乏しい	人は	
H7453	H6440	H6161	H6148	H3709	H8628		H2638	H0120	

知恵のない人は手をうって、その隣り人の前で保証をする。

שֶׁבֶר׃	מְבַקֵּשׁ־	פִּתְחוֹ	מַגְבִּיהַּ	מַצָּה	אֹהֵב	פֶּשַׁע	אֹהֵב	19
破滅を	求める	その-入口を	高ぶる-者は	争いを	愛する	背きを	愛する-者は	
H7667	H1245	H6607	H1361	H4683	H0157	H6588	H0157	

争いを好む者は罪を好む、その門を高くする者は滅びを求める。

בְּרָעָה׃	יִפּוֹל	בִּלְשׁוֹנוֹ	וְנֶהְפָּךְ	טוֹב	יִמְצָא־	לֹא	לֵב	עִקֵּשׁ־	20
悪に	落ちる	その-舌で	翻す-者は	善を	見出さない	ない	心の	曲がった	
	H5307	H3956	H2015		H4672	H3808		H6141	

曲った心の者はさいわいを得ない、みだりに舌をもって語る者は災に陥る。

נָבָל׃	אֲבִי	יִשְׂמַח׳	וְלֹא־	לְוֹ	לְתוּגַת	כְּסִיל	יֹלֵד	21
愚かな-者の	父は	喜ばない	ない	自らに	悲しみの-ために	愚かな-者を	生む-者は	
H5036	H0001	H8055	H3808		H8424	H3684	H3205	

愚かな子を生む者は嘆きを得る、愚か者の父は喜びを得ない。

גָּרֶם׃	תְּיַבֶּשׁ־	נִכְאָה	וְרוּחַ	גֵּהָה	יֵיטַב	שָׂמֵחַ	לֵב	22
骨を	乾かす	砕かれると	魂が	癒しは	良くなる	喜ぶと	心が	
H1634	H3001		H7307	H1456	H3190	H8056		

心の楽しみは良い薬である、たましいの憂いは骨を枯らす。

מִשְׁפָּט׃	אָרְחוֹת	לְהַטּוֹת	יִקַּח	רָשָׁע	מֵחֵיק	שֹׁחַד	23
公正の	道を	曲げるために	受ける	悪しき-者は	懐から	贈り物を	
H4941	H0734	H5186	H3947	H7563	H2436	H7810	

悪しき者は人のふところからまいないを受けて、さばきの道をまげる。

אָרֶץ׃	בִּקְצֵה־	כְּסִיל	וְעֵינֵי	חָכְמָה	מֵבִין	פְּנֵי	אֶת־	24
地の	地の-果てに-ある	愚かな-者の	目は	知恵は	悟る-者の	顔の	前に-ある	
H0776		H3684		H2451	H0995	H6440	H0854	

さとき者はその顔を知恵にむける、しかし、愚かな者は目を地の果にそそぐ。

לְיוֹלַדְתּוֹ׃	וּמָמֵר	כְּסִיל	בֵּן	לְאָבִיו	כָּעַס	25
その-母には	苦しみである	愚かな	息子は	その-父には	怒りである	
H3205	H4470	H3684		H0001		

愚かな子はその父の憂いである、またこれを産んだ母の痛みである。

יָשָׁר׃	עַל־	נְדִיבִים	לְהַכּוֹת	טוֹב	לֹא־	לַצַּדִּיק	עֲנוֹשׁ	גַּם	26
正しさの	について	高貴な-者を	打つことは	良く	ない	正しい-者を	罰することは	また	
H3476		H5081	H5221		H3808	H6662	H6064	H1571	

正しい人を罰するのはよくない、尊い人を打つのは悪い。

תְּבוּנָה׃	אִישׁ	רוּחַ׳	)יְקַר־	]וקר־	דַּעַת	יוֹדֵעַ	אִמְרָיו	חוֹשֵׂךְ	27
英知の	人は	魂の	穏やかな	—	知識を	知る	その-言葉を	抑える-者は	
H8394	H0376	H7307	H3368	H7119	H1847	H3045	H0561	H2820	

言葉を少なくする者は知識のある者、心の冷静な人はさとき人である。

נָבוֹן׃	שְׂפָתָיו	אֹטֵם	יֵחָשֵׁב	חָכָם	מַחֲרִישׁ	אֱוִיל	גַּם	28
悟りあると	その–唇を	閉じれば	思われる	賢いと	黙れば	愚かな–者も	さえ	
H0995	H8193	H0331	H2803	H2450		H0191	H1571	

愚かな者も黙っているときは、知恵ある者と思われ、そのくちびるを閉じている時は、さとき者と思われる。

Chapter 18

יִתְגַּלָּע׃	תּוּשִׁיָּה	בְּכָל־	נִפְרָד	יְבַקֵּשׁ	לְתַאֲוָה	1
怒る	知恵に–対して	すべての	離れる–者は	求める	欲望の–ために	
H1566	H8454	H3605	H6504	H1245	H8378	

人と交わりをしない者は口実を捜し、すべてのよい考えに激しく反対する。

לִבּוֹ׃	בְּהִתְגַּלּוֹת	אֶם־	כִּי	בִּתְבוּנָה	כְּסִיל	יַחְפֹּץ	לֹא־	2
その–心を	さらけ–出すことを	だけ	ただ	英知を	愚かな–者は	喜ばない	ない	
	H1540			H8394	H3684		H3808	

愚かな者は悟ることを喜ばず、ただ自分の意見を言い表わすことを喜ぶ。

חֶרְפָּה׃	קָלוֹן	וְעִם־	בּוּז	גַּם־	בָּא	רָשָׁע	בְּבוֹא־	3
辱めが	恥に	共に–ある	侮りが	もまた	来る	悪しき–者が	来るとき	
H2781	H7036		H0937	H1571	H0935	H7563	H0935	

悪しき者が来ると、卑しめもまた来る、不名誉が来ると、はずかしめも共にくる。

חָכְמָה׃	מְקוֹר	נֹבַע	נַחַל	אִישׁ	פִּי־	דִּבְרֵי	עֲמֻקִּים	מַיִם	4
知恵の	泉である	溢れる	川の–ようである	人の	口の	言葉は	深い	水の–ようである	
H2451	H4726	H5042		H0376	H6310	H1697	H6013	H4325	

人の口の言葉は深い水のようだ、知恵の泉は、わいて流れる川である。

בַּמִּשְׁפָּט׃	צַדִּיק	לְהַטּוֹת	טוֹב	לֹא־	רָשָׁע	פְּנֵי־	שְׂאֵת	5
裁きに–おいて	正しい–者を	曲げるために	良く	ない	悪しき–者の	顔を	上げることは	
H4941	H6662	H5186		H3808	H7563	H6440	H5375	

悪しき者をえこひいきすることは良くない、正しい者をさばいて、悪しき者とすることも良くない。

יִקְרָא׃	לְמַהֲלֻמוֹת	וּפִיו	בְּרִיב	יָבֹאוּ	כְסִיל	שְׂפָתָיו	6
呼ぶ	打擲を	その–口は	争いに	入る	愚かな–者の	唇は	
H7121	H4112	H6310	H7379	H0935	H3684	H8193	

愚かな者のくちびるは争いを起し、その口はむち打たれることを招く。

נַפְשׁוֹ׃	מוֹקֵשׁ	וּשְׂפָתָיו	לוֹ	מְחִתָּה־	כְּסִיל	פִּי־	7
その–魂の	罠である	唇は	彼の	破滅である	愚かな–者の	口は	
H5315	H4170	H8193		H4288	H3684	H6310	

愚かな者の口は自分の滅びとなり、そのくちびるは自分を捕えるわなとなる。

בָּטֶן׃	חַדְרֵי־	יָרְדוּ	וְהֵם	כְּמִתְלַהֲמִים	נִרְגָּן	דִּבְרֵי	8
腹の	奥に	下る	それらは	美味の–ようである	ささやく–者の	言葉は	
H0990	H2315	H3381	H1992	H3859	H5372	H1697	

人のよしあしをいう者の言葉はおいしい食物のようで、腹の奥にしみこむ。

מַשְׁחִית׃	לְבַעַל	הוּא	אָח	בְּמַלְאַכְתּוֹ	מִתְרַפֶּה	גַּם	9
破壊の	主人の	彼は	兄弟である	その–仕事に	怠ける–者は	もまた	
H7843	H1167	H1931	H0251	H4399	H7503	H1571	

その仕事を怠る者は、滅ぼす者の兄弟である。

וְנִשְׁגָּב׃	צַדִּיק	יָרוּץ	בּוֹ־	יְהוָה	שֵׁם	עֹז	מִגְדַּל־	10
安全である	正しい–者は	走り–込む	その–中に	主の	名は	力の	塔である	
H7682	H6662	H7323		H3068	H8034	H5797	H4026	

主の名は堅固なやぐらのようだ、正しい者はその中に走りこんで救を得る。

בְּמַשְׂכִּיתוֹ׃	נִשְׂגָּבָה	וּכְחוֹמָה	עֻזּוֹ	קִרְיַת	עָשִׁיר	הָון	11
その–想像の–中の	高い	城壁の–ようである	その–力の	城である	富める–者の	富は	
H4906	H7682	H2346	H5797	H7151	H6223	H1952	

富める者の富はその堅き城である、それは高き城壁のように彼を守る。

עֲנָוָה׃	כָּבוֹד	וְלִפְנֵי	אִישׁ	לֵב־	יִגְבַּהּ	שֶׁבֶר	לִפְנֵי־	12
謙遜が–ある	栄誉の	前に	人の	心は	高ぶる	破滅の	前に	
H6038	H3519	H6440	H0376		H1361	H7667	H6440	

人の心の高ぶりは滅びにさきだち、謙遜は栄誉にさきだつ。

וּכְלִמָּה׃	לּוֹ	הִיא־	אִוֶּלֶת	יִשְׁמַע	בְּטֶרֶם	דָּבָר	מֵשִׁיב	13
恥である	彼には	それは	愚かさである	聞く–前に	聞く–前に	言葉を	返す–者は	
H3639		H1931	H0200	H8085	H2962	H1697	H7725	

事をよく聞かないで答える者は、愚かであって恥をこうむる。

יְשַׂאֶנָּה׃	מִי	נְכֵאָה	וְרוּחַ	מַחֲלֵהוּ	יְכַלְכֵּל	אִישׁ	רוּחַ־	14
耐えられようか	誰が	砕かれたら	魂が	その–病を	支える	人の	魂は	
H5375	H4310		H7307		H3557	H0376	H7307	

人の心は病苦をも忍ぶ、しかし心の痛むときは、だれがそれに耐えようか。

דָּעַת׃	תְּבַקֵּשׁ־	חֲכָמִים	וְאָזֶן	דָּעַת	יִקְנֶה־	נָבוֹן	לֵב	15
知識を	求める	賢い–者の	耳は	知識を	得る	悟る–者の	心は	
H1847	H1245	H2450	H0241	H1847	H7069	H0995		

さとき者の心は知識を得、知恵ある者の耳は知識を求める。

יַנְחֻנּוּ׃	גְּדֹלִים	וְלִפְנֵי	לוֹ	יַרְחִיב	אָדָם	מַתָּן	16
導く–彼を	大いなる–者の	前に	彼の–ために	広げる	人の	贈り物は	
H5148		H6440		H7337	H0120	H4976	

人の贈り物は、その人のために道をひらき、また尊い人の前に彼を導く。

וַחֲקָרוֹ׃	רֵעֵהוּ	)וּבָא־(	]יבא־[	בְּרִיבוֹ	הָרִאשׁוֹן	צַדִּיק	17
調べる–彼を	その–隣人が	来ると	—	その–訴訟の	最初の	正しい–者は	
H2713	H7453	H0935	H0935	H7379	H7223	H6662	

先に訴え出る者は正しいように見える、しかしその訴えられた人が来て、それを調べて、事は明らかになる。

יַפְרִיד׃	עֲצוּמִים	וּבֵין	הַגּוֹרָל	יַשְׁבִּית	מַדְיָנִים	18
分ける	強い–者の	間で	くじは	止める	争いを	
H6504	H6099	H0996	H1486		H4079	

くじは争いをとどめ、かつ強い争い相手の間を決定する。

אַרְמוֹן׃	כְּבְרִיחַ	)מִדְיָנִים(	]ומדונים[	עֹז	מִקְּרִיַת־	נִפְשָׁע	אָח	19
城の	かんぬきの–ようである	争いは	—	力の	城–よりも–固い	背いた	兄弟は	
H0759	H1280	H4066	H4066	H5797	H7151	H6586	H0251	

助けあう兄弟は堅固な城のようだ、しかし争いは、やぐらの貫の木のようだ。

יִשְׂבָּע׃	שְׂפָתָיו	תְּבוּאַת	בִּטְנוֹ	תִּשְׂבַּע	אִישׁ	פִּי־	מִפְּרִי	20
満たされる	その–唇の	収穫に–よって	その–腹は	満たされる	人は	口の	実から	
H7646	H8193	H8393	H0990	H7646	H0376	H6310	H6529	

人は自分の言葉の結ぶ実によって、満ち足り、そのくちびるの産物によって自ら飽きる。

פִּרְיָהּ׃	יֹאכַל	וְאֹהֲבֶיהָ	לָשׁוֹן	בְּיַד־	וְחַיִּים	מָוֶת	21
その–実を	食べる	愛する–者は–それを	舌の	手の–中に–ある	命は	死と	
H6529	H0398	H0157	H3956	H3027		H4194	

死と生とは舌に支配される、これを愛する者はその実を食べる。

מֵיְהוָה׃	רָצוֹן	וַיָּפֶק	טוֹב	מָצָא	אִשָּׁה	מָצָא	22
主から	恵みを	得る	善を	見出した	妻を	見出した–者は	
H3068	H7522	H6329		H4672	H0802	H4672	

妻を得る者は、良き物を得る、かつ主から恵みを与えられる。

עַזּוֹת׃	יַעֲנֶה	וְעָשִׁיר	רָשׁ	יְדַבֵּר־	תַּחֲנוּנִים	23
荒々しく	答える	富める–者は	貧しい–者は	語る	嘆願を	
H5794		H6223	H7326	H1696	H8469	

貧しい者は、あわれみを請い、富める者は、はげしい答をする。

מֵאָח׃	דָּבֵק	אֹהֵב	וְיֵשׁ	לְהִתְרֹעֵעַ	רֵעִים	אִישׁ	24
兄弟–よりも	寄り–添う	友が	ある	壊れる–ために	友が–いる	人には	
H0251	H1695	H0157	H3426		H7453	H0376	

世には友らしい見せかけの友がある、しかし兄弟よりもたのもしい友もある。

Chapter 19

כְּסִיל׃	וְהוּא	שְׂפָתָיו	מֵעִקֵּשׁ	בְּתֻמּוֹ	הוֹלֵךְ	רָשׁ	טוֹב־	1
愚かである	彼は	その–唇の	曲がった–者–よりも	その–誠実に	歩むのは	貧しい–者が	良い	
H3684	H1931	H8193	H6141	H8537	H1980	H7326		

正しく歩む貧しい者は、曲ったことを言う愚かな者にまさる。

חוֹטֵא׃	בְּרַגְלַיִם	וְאָץ	טוֹב	לֹא־	נֶפֶשׁ	דַּעַת	בְּלֹא־	גַּם	2
過つ	足で	急ぐ–者は	良く	ない	魂は	知識の	ない–ときに	また	
H2398	H7272	H0213		H3808	H5315	H1847	H3808	H1571	

人が知識のないのは良くない、足で急ぐ者は道に迷う。

לִבּוֹ׃	יִזְעַף	יְהוָה׃	וְעַל־	דַּרְכּוֹ	תְּסַלֵּף	אָדָם	אִוֶּלֶת	3
その–心は	怒る	主に	対して	その–道を	覆す	人の	愚かさが	
	H2196	H3068		H1870	H5557	H0120	H0200	

人は自分の愚かさによって道につまずき、かえって心のうちに主をうらむ。

יִפָּרֵד׃	מֵרֵעֵהוּ	וְדָל	רַבִּים	רֵעִים	יוֹסִיף	הוֹן	4
引き–離される	その–友から	貧しい–者は	多くの	友を	加える	富は	
H6504	H7453	H1800		H7453	H3254	H1952	

富は多くの新しい友を作る、しかし貧しい人はその友に捨てられる。

יִמָּלֵט׃	לֹא	כְזָבִים	וְיָפִיחַ	יִנָּקֶה	לֹא	שְׁקָרִים	עֵד	5
逃れない	ない	偽りを	吐く–者は	免れない	ない	偽りの	証人は	
H4422	H3808	H3577	H6315	H5352	H3808	H8267	H5707	

偽りの証人は罰を免れない、偽りをいう者はのがれることができない。

6
רַבִּים יְחַלּוּ פְּנֵי־נָדִיב וְכָל־הָרֵעַ לְאִישׁ מַתָּן׃
多くの–者が ねだる 顔を 気前の–良い–者の すべての–者は 友である 人の 贈り物の
H7227 H2470 H6440 H5081 H3605 H7453 H0376 H4976

気前のよい人にこびる者は多い、人はみな贈り物をする人の友となる。

7
כָּל אֲחֵי־רָשׁ שְׂנֵאֻהוּ אַף כִּי מְרֵעֵהוּ רָחֲקוּ מִמֶּנּוּ
すべての 兄弟が 貧しい–者の 憎む–彼を まして なお–さら その–友は 遠ざかる 彼から
H3605 H0251 H7326 H8130 H0637 H3588 H4828 H7368

מְרַדֵּף אֲמָרִים]לֹא־[ )לוֹ־(הֵמָּה׃
追い–求める 言葉を — 彼に 彼らは
H7291 H0561 H3808 H1992

貧しい者はその兄弟すらもみなこれを憎む、ましてその友はこれに遠ざからないであろうか。言葉をかけてこれを呼んでも、去って帰らないのである。

8
קֹנֵה־לֵב אֹהֵב נַפְשׁוֹ שֹׁמֵר תְּבוּנָה לְמָצְאֵי־טוֹב׃
得る–者は 心を 愛する その–魂を 守る–者は 英知を 見出すために 善を
H7069 H3820 H0157 H5315 H8104 H8394 H4672 H2896

知恵を得る者は自分の魂を愛し、悟りを保つ者は幸を得る。

9
עֵד שְׁקָרִים לֹא יִנָּקֶה וְיָפִיחַ כְּזָבִים יֹאבֵד׃ פ
証人は 偽りの ない 免れない 吐く–者は 偽りを 滅びる —
H5707 H8267 H3808 H5352 H6315 H3577 H0006

偽りの証人は罰を免れない、偽りをいう者は滅びる。

10
לֹא־נָאוֶה לִכְסִיל תַּעֲנוּג אַף כִּי־לְעֶבֶד מְשֹׁל שָׂרִים׃
ない ふさわしくない 愚かな–者には 贅沢は まして なお–さら 僕が 支配することは 君主たちを
H3808 H5000 H3684 H8588 H0637 H3588 H5650 H4910 H8269

愚かな者が、ぜいたくな暮しをするのは、ふさわしいことではない、しもべたる者が、君たる者を治めるなどは、なおさらである。

11
שֵׂכֶל אָדָם הֶאֱרִיךְ אַפּוֹ וְתִפְאַרְתּוֹ עֲבֹר עַל־פָּשַׁע׃
英知は 人の 長くする その–怒りを その–誉れである 見過ごすことは について 背きを
H7922 H0120 H0748 H0639 H8597 H5674 H5921 H6588

悟りは人に怒りを忍ばせる、あやまちをゆるすのは人の誉である。

12
כְּכְפִיר נָהַם זַעַף מֶלֶךְ וְכִטַּל עֵשֶׂב עַל־רְצוֹנוֹ׃
若い–獅子の 唸る–ようである 怒りは 王の 露の–ようである 草の 上の その–恵みは
H3715 H5099 H2197 H4428 H2919 H6212 H5921 H7522

王の怒りは、ししのほえるようであり、その恵みは草の上におく露のようである。

13
הַוּוֹת לְאָבִיו בֵּן כְּסִיל וְדֶלֶף מִדְיְנֵי טֹרַד אִשָּׁה׃
禍いである その–父には 息子は 愚かな 雨漏りの–ようである 争いは 絶えない 妻の
H1942 H0001 H1121 H3684 H1812 H4079 H2956 H0802

愚かな子はその父の災である、妻の争うのは、雨漏りの絶えないのとひとしい。

14
בַּיִת וְהוֹן נַחֲלַת אָבוֹת וּמֵיְהוָה אִשָּׁה מַשְׂכֶּלֶת׃
家と 富は 相続である 父からの 主から–来る 妻は 賢い
H1004 H1952 H5159 H1 H3068 H0802 H7919

家と富とは先祖からうけつぐもの、賢い妻は主から賜わるものである。

15 עַצְלָה תַּפִּיל תַּרְדֵּמָה וְנֶפֶשׁ רְמִיָּה תִּרְעָב׃
怠惰は 落とす 深い–眠りに 魂は 怠惰な 飢える
H6103 H5307 H8639 H5315 H7456

怠りは人を熟睡させる、なまけ者は飢える。

16 שֹׁמֵר מִצְוָה שֹׁמֵר נַפְשׁוֹ בּוֹזֵה דְרָכָיו]יומת[ )יָמוּת׃(
守る–者は 戒めを 守る その–魂を 侮る–者は その–道を — 死ぬ
H8104 H4687 H8104 H5315 H0959 H1870 H4191 H4191

戒めを守る者は自分の魂を守る、み言葉を軽んじる者は死ぬ。

17 מַלְוֵה יְהוָה חוֹנֵן דָּל וּגְמֻלוֹ יְשַׁלֶּם־לוֹ׃
貸す–者である 主に 恵む–者は 乏しい–者を その–報いを 返す 彼に
H3068 H1800 H1576

貧しい者をあわれむ者は主に貸すのだ、その施しは主が償われる。

18 יַסַּר בִּנְךָ כִּי־יֵשׁ תִּקְוָה וְאֶל־הֲמִיתוֹ תִּשָּׂא אַל־
戒めよ あなたの–息子を なぜなら ある 望みが しかし–ない 殺すことに ない 向けるな
H3256 H1413 H4191 H5375 H0408

נַפְשֶׁךָ׃
あなたの–魂を
H5315

望みのあるうちに、自分の子を懲らせ、これを滅ぼす心を起してはならない。

19]גרל־[ )גְּדָל־(חֵמָה נֶשֹׂא עֹנֶשׁ כִּי אִם־ תַּצִּיל וְעוֹד תּוֹסֵף׃
— 大きい 怒りの 負う 罰を なぜなら もし 救えば また 繰り–返す
H1486 H1419 H2534 H5375 H6066 H5337 H5750 H3254

怒ることの激しい者は罰をうける、たとい彼を救ってやっても、さらにくり返さねばならない。

20 שְׁמַע עֵצָה וְקַבֵּל מוּסָר לְמַעַן תֶּחְכָּם בְּאַחֲרִיתֶךָ׃
聞け 助言を 受けよ 訓戒を そうすれば 賢くなる あなたの–終わりに
H8085 H6098 H6901 H4148 H4616 H2449 H0319

勧めを聞き、教訓をうけよ、そうすれば、ついには知恵ある者となる。

21 רַבּוֹת מַחֲשָׁבוֹת בְּלֵב־אִישׁ וַעֲצַת יְהוָה הִיא תָקוּם׃
多くの 計画が–ある 心の–中に 人の 計画は 主の それが 立つ
H4284 H0376 H6098 H3068 H1931

人の心には多くの計画がある、しかしただ主の、み旨だけが堅く立つ。

22 תַּאֲוַת אָדָם חַסְדּוֹ וְטוֹב־רָשׁ מֵאִישׁ כָּזָב׃
望みは 人の その–恵みである 良い 貧しい–者が 人–よりも 偽りの
H8378 H0120 H7326 H0376 H3577

人に望ましいのは、いつくしみ深いことである、貧しい人は偽りをいう人にまさる。

23 יִרְאַת יְהוָה לְחַיִּים וְשָׂבֵעַ יָלִין בַּל־ יִפָּקֵד רָע׃
恐れは 主の 命に–至る 満ち足りて 宿る ない 訪れない 悪に
H3374 H3068 H2416 H7649 H3885 H1077 H6485 H7451

主を恐れることは人を命に至らせ、常に飽き足りて、災にあうことはない。

24 טָמַן עָצֵל בַּצַּלָּחַת יָדוֹ גַּם־ אֶל־פִּיהוּ לָא יְשִׁיבֶנָּה׃
埋める 怠惰な–者は その–手を 皿に さえ 向かって その–口に ない 返さない–それを
H2934 H6102 H3027 H6747 H1571 H0413 H6310 H3808 H7725

なまけ者は、手を皿に入れても、それを口に持ってゆくことをしない。

דַּ֥עַת׃	יָבִ֑ין	לְנָב֥וֹן	וְהוֹכִ֖יחַ	יַעְרִ֣ם	וּפֶ֣תִי	תַּכֶּ֣ה	לֵ֭ץ	25
知識を	彼は–悟る	悟る–者を	戒めよ	賢くなる	愚かな–者は	打て	嘲る–者を	
H1847	H0995	H0995	H3198	H6191		H5221	H3887	

あざける者を打て、そうすれば思慮のない者も慎む。さとき者を戒めよ、そうすれば彼は知識を得る。

							26
וּמַחְפִּ֣יר׃	מֵבִ֣ישׁ	בֵּ֑ן	אֵ֖ם	יַבְרִ֣יחַ	אָ֭ב	מְשַׁדֵּ֣ד־	
辱める	恥を–与える	息子である	母を	追い–出す	父を	損なう–者は	
H2659	H0954		H0517	H1272	H0001	H7703	

父に乱暴をはたらき、母を追い出す者は、恥をきたらし、はずかしめをまねく子である。

							27
דָּעַ֥ת׃	מֵאִמְרֵי־	לִשְׁגּ֑וֹת	מוּסָ֖ר	לִשְׁמֹ֣עַ	בְּנִ֭י	חֲדַל־	
知識の	言葉から	迷うために	訓戒を	聞くことを	我が–子よ	やめよ	
H1847	H0561	H7686	H4148	H8085		H2308	

わが子よ、知識の言葉をはなれて人を迷わせる教訓を聞くことをやめよ。

								28
אָ֥וֶן׃	יְבַלַּע־	רְשָׁעִ֑ים	וּפִ֖י	מִשְׁפָּ֣ט	יָלִ֭יץ	בְּלִיַּ֣עַל	עֵ֣ד	
不正を	飲み–込む	悪しき–者の	口は	公正を	嘲る	よこしまな	証人は	
H0205	H1104	H7563	H6310	H4941	H3887	H1100	H5707	

悪い証人はさばきをあざけり、悪しき者の口は悪をむさぼり食う。

						29
כְּסִילִֽים׃	לְגֵ֑ו	וּמַהֲלֻמ֥וֹת	שְׁפָטִ֖ים	לַלְצִ֣ים	נָכ֥וֹנוּ	
愚かな–者の	背の–ために	打擲が	裁きが	嘲る–者の–ために	備えられている	
H3684		H4112	H8201	H3887		

さばきはあざける者のために備えられ、むちは愚かな者の背のために備えられる。

Chapter 20

									1
יֶחְכָּֽם׃	לֹ֣א	בּ֑וֹ	שֹׁגֶ֖ה	וְכָל־	שֵׁכָ֣ר	הֹמֶ֣ה	הַיַּ֭יִן	לֵ֣ץ	
賢くなれ	ない	それに	迷う–者は	そして–すべて	強い–酒は	騒がしく	ぶどう酒は	あざける者	
H2449	H3808		H7686	H3605	H7941	H1993	H3196	H3887	

酒は人をあざける者とし、濃い酒は人をあばれ者とする、これに迷わされる者は無知である。 酒は人をあざける者とし、濃い酒は人をあばれ者とする、これに迷わされる者は無知である。

							2
נַפְשֽׁוֹ׃	חוֹטֵ֥א	מְתְעַבְּרֹ֑ו	מֶ֖לֶךְ	אֵימַ֣ת	כַּכְּפִ֭יר	נַהֲם	
自分の–いのちに	罪を–犯す	怒らせる–者は	王の	恐れは	若い–獅子の–ように	うなり声	
H5315	H2398		H4428	H0367		H5099	

王の怒りは、ししがほえるようだ、彼を怒らせる者は自分の命をそこなう。 王の怒りは、ししがほえるようだ、彼を怒らせる者は自分の命をそこなう。

							3
יִתְגַּלָּֽע׃	אֱוִ֣יל	וְכָל־	מֵרִ֑יב	שֶׁ֖בֶת	לָאִ֣ישׁ	כָּב֥וֹד	
口論を–始める	愚か者は	しかし–すべての	争いから	離れる–こと	人に–とって	誉れ	
H1566	H0191	H3605	H7379	H7674	H0376	H3519	

争いに関係しないことは人の誉である、すべて愚かな者は怒り争う。 争いに関係しないことは人の誉である、すべて愚かな者は怒り争う。

								4
וְאֵ֣ין׃	בַּקָּצִ֑יר	(וְשָׁאַל֖)	[וישאל]	יַחֲרֹ֣שׁ	לֹא־	עָצֵ֣ל	מֵחֹ֭רֶף	
何も–ない	刈り入れ–時に	そして–求める	求める	耕さ	ない	怠け者は	冬の–間に	
H0369		H7592	H7592		H3808	H6102	H2779	

なまけ者は寒いときに耕さない、それゆえ刈入れのときになって、求めても何もない。 なまけ者は寒いときに耕さない、それゆえ刈入れのときになって、求めても何もない。

יִדְלֶנָּה׃	תְּבוּנָה	וְאִישׁ	אִישׁ	בִּלְבַב־	עֵצָה	עֲמֻקִּים	מַיִם	5
くみ出す	英知を	しかし–理解–ある–人は	人の	心の–中の	計り事は	深い	深い–水	
H1802	H8394	H0376	H0376		H6098	H6013	H4325	

人の心にある計りごとは深い井戸の水のようだ、しかし、さとき人はこれをくみ出す。 人の心にある計りごとは深い井戸の水のようだ、しかし、さとき人はこれをくみ出す。

יִמְצָא׃	מִי	אֲמוּנִים	וְאִישׁ	חַסְדּוֹ	אִישׁ	יִקְרָא	אָדָם	רַב־	6
見つけられるか	だれが	人を	しかし–忠実な	忠実さを	各自の	宣言する	人は	多くの	
H4672	H4310	H0529	H0376		H0376	H7121	H0120	H7230	

自分は真実だという人が多い、しかし、だれが忠信な人に会うであろうか。 自分は真実だという人が多い、しかし、だれが忠信な人に会うであろうか。

אַחֲרָיו׃	בָּנָיו	אַשְׁרֵי	צַדִּיק	בְּתֻמּוֹ	מִתְהַלֵּךְ	7
その–後に	その–子供たちは	幸いだ	正しい–人は	誠実さの–中を	歩む	
		H0835	H6662	H8537	H1980	

欠けた所なく、正しく歩む人――その後の子孫はさいわいである。 欠けた所なく、正しく歩む人――その後の子孫はさいわいである。

רָע׃	כָּל־	בְּעֵינָיו	מְזָרֶה	דִּין	כִּסֵּא־	עַל־	יוֹשֵׁב	מֶלֶךְ	8
悪を	すべての	その–目で	ふるい分ける	裁きの	裁きの–座に	上に	座る	王が	
	H3605		H2219	H1779	H3678		H3427	H4428	

さばきの座にすわる王はその目をもって、すべての悪をふるいわける。 さばきの座にすわる王はその目をもって、すべての悪をふるいわける。

מֵחַטָּאתִי׃	טָהַרְתִּי	לִבִּי	זִכִּיתִי	אֹמַר	מִי־	9
自分の–罪から	きよめられた	自分の–心を	清めた	言えるか	だれが	
	H2891		H2135	H0559	H4310	

だれが「わたしは自分の心を清めた、わたしの罪は清められた」ということができようか。 だれが「わたしは自分の心を清めた、わたしの罪は清められた」ということができようか。

שְׁנֵיהֶם׃	גַּם־	יְהוָה	תּוֹעֲבַת	וְאֵיפָה	אֵיפָה	וְאָבֶן	אֶבֶן	10
そのどちらも	また	主が	忌み嫌うもの	異なる–升	異なる–升	異なる–重り	異なる–重り	
H8147	H1571	H3068	H8441	H0374	H0374	H0068	H0068	

互に違った二種のはかり、二種のますは、ひとしく主に憎まれる。 互に違った二種のはかり、二種のますは、ひとしく主に憎まれる。

יָשָׁר	וְאִם־	זַךְ	אִם־	נָעַר	יִתְנַכֵּר־	בְּמַעֲלָלָיו	גַּם	11
正しいか	そして–もし	純粋で	もし	少年でさえ	知られる	その–行いに–よって	また	
H3477		H2134		H5288		H4611	H1571	

פָּעֳלוֹ׃
その–行いが
H6467

幼な子でさえも、その行いによって自らを示し、そのすることの清いか正しいかを現す。 幼な子でさえも、その行いによって自らを示し、そのすることの清いか正しいかを現す。

שְׁנֵיהֶם׃	גַּם־	עֹשָׂה	יְהוָה	רֹאָה	וְעֵין	שֹׁמַעַת	אֹזֶן	12
そのどちらも	また	造られた	主が	見る	そして–見る–目	聞く	聞く–耳	
H8147	H1571		H3068	H7200		H8085	H0241	

聞く耳と、見る目とは、ともに主が造られたものである。 聞く耳と、見る目とは、ともに主が造られたものである。

לֶחֶם׃	שְׂבַע־	עֵינֶיךָ	פְּקַח	תּוּרַשׁ	פֶּן־	שֵׁנָה	תָּאֱהַב	אַל־	13
パンに	満ち足りる	あなたの–目を	開け	貧しくなる	そうすれば	眠りを	愛して	するな	
H3899	H7646		H6491	H3423	H6435	H8142	H0157	H0408	

眠りを愛してはならない、そうすれば貧しくなる、目を開け、そうすればパンに飽くことができる。 眠りを愛してはならない、そうすれば貧しくなる、目を開け、そうすればパンに飽くことができる。

יִתְהַלָּל׃	אָז	לוֹ	וְאָזַל	הַקּוֹנֶה	יֹאמַר	רָע	רַע	14
自慢する	そのとき	自分で	しかし–立ち去り	買い手は	言う	悪い–と	悪い	
			H0235	H7069	H0559			

買う者は、「悪い、悪い」という、しかし去って後、彼は自ら誇る。 買う者は、「悪い、悪い」という、しかし去って後、彼は自ら誇る。

דָּעַת׃	שִׂפְתֵי־	יְקָר	וּכְלִי	פְּנִינִים	וְרָב־	זָהָב	יֵשׁ	15
知識の	知識の–唇こそ	尊い	しかし–器	真珠が	そして–多くの	金が	ある	
H1847	H8193	H3366	H3627	H6443	H7230	H2091	H3426	

金もあり、価の高い宝石も多くあるが、尊い器は知識のくちびるである。 金もあり、価の高い宝石も多くあるが、尊い器は知識のくちびるである。

נָכְרִיָּה)	|נכרים|	וּבְעַד	זָר	עָרַב	כִּי־	בִּגְדוֹ	לְקַח־	16
外国–の–女の	外国–の–女の	そして–ために	他人の–ために	保証–した	なぜなら	その–衣を	取れ	
H5237	H5237	H1157		H6148			H3947	

חַבְּלֵהוּ׃
質を–取れ

人のために保証する者からは、まずその着物を取れ、他人のために保証する者をば抵当に取れ。 人のために保証する者からは、まずその着物を取れ、他人のために保証する者をば抵当に取れ。

חָצָץ׃	פִּיהוּ	יִמָּלֵא־	וְאַחַר	שֶׁקֶר	לֶחֶם	לָאִישׁ	עָרֵב	17
砂利で	その–口は	満たされる	しかし–後に	偽りの	パンは	人に–とって	快い	
H2687	H6310	H4390		H8267	H3899	H0376	H6156	

欺き取ったパンはおいしい、しかし後にはその口は砂利で満たされる。 欺き取ったパンはおいしい、しかし後にはその口は砂利で満たされる。

מִלְחָמָה׃	עֲשֵׂה	וּבְתַחְבֻּלוֹת	תִּכּוֹן	בְּעֵצָה	מַחֲשָׁבוֹת	18
戦いを	行え	そして–巧みな–指導に–よって	確立する	助言に–よって	計画は	
H4421		H8458		H6098	H4284	

計りごとは共に議することによって成る、戦おうとするならば、まずよく議しなければならない。 計りごとは共に議することによって成る、戦おうとするならば、まずよく議しなければならない。

תִתְעָרֵב׃	לֹא	שְׂפָתָיו	וּלְפֹתֶה	רָכִיל	הוֹלֵךְ	סוֹד	גּוֹלֶה־	19
交わるな	ない	その–唇を	そして–開く–者と	陰口を–言う–者は	歩き回る	秘密を	漏らす	
H6148	H3808	H8193		H7400	H1980	H5475	H1540	

歩きまわって人のよしあしをいう者は秘密をもらす、くちびるを開いて歩く者と交わってはならない。 歩きまわって人のよしあしをいう者は秘密をもらす、くちびるを開いて歩く者と交わってはならない。

בְּאֶשׁוּן)	|באישון|	נֵרוֹ	יִדְעַךְ	וְאִמּוֹ	אָבִיו	מְקַלֵּל	20
暗闇の	暗闇の	その–ともしびは	消える	そして–自分の–母を	自分の–父を	呪う–者は	
H0380	H0380		H1846	H0517	H0001	H7043	

חֹשֶׁךְ׃
闇の–中で
H2822

自分の父母をののしる者は、そのともしびは暗やみの中に消える。 自分の父母をののしる者は、そのともしびは暗やみの中に消える。

תְּבֹרָךְ׃	לֹא	וְאַחֲרִיתָהּ	בָּרִאשֹׁנָה	מְבֹהָלֶת)	מבחלת]	נַחֲלָה	21
祝福されない	ない	しかし–その–終わりは	初めに	急いで–得た	急いで	相続財産は	
H1288	H3808	H0319	H7223	H0926		H5159	

初めに急いで得た資産は、その終りがさいわいでない。 初めに急いで得た資産は、その終りがさいわいでない。

לָךְ׃	וְיֹשַׁע	לַיהוָה	קַוֵּה	רָע	אֲשַׁלְּמָה־	תֹּאמַר	אַל־	22
あなたを	そうすれば–救って–くださる	主を	待ち望め	悪に	報復しよう	言って	するな	
	H3467	H3068				H0559	H0408

「わたしが悪に報いる」と言ってはならない、主を待ち望め、主はあなたを助けられる。 「わたしが悪に報いる」と言ってはならない、主を待ち望め、主はあなたを助けられる。

טֽוֹב׃	לֹא־	מִרְמָה	וּמֹאזְנֵי	וָאָבֶן	אֶבֶן	יְהוָה	תּוֹעֲבַת	23
良くない	ない	偽りの	そして–偽りの–天秤は	異なる–重り	異なる–重り	主が	忌み嫌うもの	
	H3808	H4820	H3976	H0068	H0068	H3068	H8441	

互に違った二種のふんどうは主に憎まれる、偽りのはかりは良くない。 互に違った二種のふんどうは主に憎まれる、偽りのはかりは良くない。

דַּרְכּֽוֹ׃	יָבִין	מַה־	וְאָדָם	גֶּבֶר	מִצְעֲדֵי־	מֵיהוָה	24
自分の–道を	理解–できるか	どうして	そして–人は	人の	歩みは	主から	
H1870	H0995	H4100	H0120	H1397	H4703	H3068	

人の歩みは主によって定められる、人はどうして自らその道を、明らかにすることができようか。 人の歩みは主によって定められる、人はどうして自らその道を、明らかにすることができようか。

לְבַקֵּר׃	נְדָרִים	וְאַחַר	קֹדֶשׁ	יָלַע	אָדָם	מוֹקֵשׁ	25
考え直す	誓願を	そして–後で	聖なるものと	軽率に–言う	人に–とって	わなである	
H1239	H5088		H6944	H3216	H0120	H4170	

軽々しく「これは聖なるささげ物だ」と言い、また誓いを立てて後に考えることは、その人のわなとなる。 軽々しく「これは聖なるささげ物だ」と言い、また誓いを立てて後に考えることは、その人のわなとなる。

אוֹפָן׃	עֲלֵיהֶם	וַיָּשֶׁב	חָכָם	מֶלֶךְ	רְשָׁעִים	מְזָרֶה	26
車輪を	彼らの–上に	そして–巡らせる	賢い	賢い–王は	悪者たちを	ふるい分ける	
H0212		H7725	H2450	H4428	H7563	H2219	

知恵ある王は、箕をもってあおぎ分けるように悪人を散らし、車をもって脱穀するように、これを罰する。 知恵ある王は、箕をもってあおぎ分けるように悪人を散らし、車をもって脱穀するように、これを罰する。

בָּטֶן׃	חַדְרֵי־	כָּל־	חֹפֵשׂ	אָדָם	נִשְׁמַת	יְהוָה	נֵר	27
腹の	奥底の–部屋を	すべての	探る	人の	息は	主の	ともしびである	
H0990	H2315	H3605	H2664	H0120	H5397	H3068		

人の魂は主のともしびであり、人の心の奥を探る。 人の魂は主のともしびであり、人の心の奥を探る。

כִּסְאוֹ׃	בְחֶסֶד	וְסָעַד	מֶלֶךְ	יִצְּרוּ־	וֶאֱמֶת	חֶסֶד	28
その–王座を	恵みに–よって	そして–支える	王を	守る	真実とが	恵みと	
H3678		H5582	H4428	H5341	H0571		

いつくしみと、まこととは王を守る、その位もまた正義によって保たれる。 いつくしみと、まこととは王を守る、その位もまた正義によって保たれる。

שֵׂיבָה׃	זְקֵנִים	וַהֲדַר	כֹּחַ	בַּחוּרִים	תִּפְאֶרֶת	29
白髪	老人たちの	そして–飾りは	その–力	若者たちの	栄光は	
H7872	H2205	H1926		H0970	H8597	

若い人の栄えはその力、老人の美しさはそのしらがである。 若い人の栄えはその力、老人の美しさはそのしらがである。

בֶּטֶן׃	חַדְרֵי־	וּמַכּוֹת	בְּרָע	(תַּמְרוּק	[תמריק]	פְּצַע	חַבְרֻת	30
腹の	奥底の–部屋を	そして–打ちたたきは	悪を	きよめる	きよめる	傷の	傷の–打ち傷は	
H0990	H2315	H4347		H8562	H4838	H6482	H2250	

傷つくまでに打てば悪い所は清くなり、むちで打てば心の底までも清まる。 傷つくまでに打てば悪い所は清くなり、むちで打てば心の底までも清まる。

Chapter 21

יַחְפֹּץ	אֲשֶׁר	כֹּל־	עַל־	יְהוָה	בְּיַד־	מֶלֶךְ	לֵב־	מַיִם	פַּלְגֵי־	1
望む	ところに	すべての	すべて	主の	手の–中に–ある	王の	心は	水は	水路の–ように	
	H3605			H3068	H3027	H4428		H4325	H6388	

יַטֶּנּוּ׃	
向ける	
H5186	

王の心は、主の手のうちにあって、水の流れのようだ、主はみこころのままにこれを導かれる。 王の心は、主の手のうちにあって、水の流れのようだ、主はみこころのままにこれを導かれる。

יְהוָה׃	לִבּוֹת	וְתֹכֵן	בְּעֵינָיו	יָשָׁר	אִישׁ	דֶּרֶךְ־	כָּל־	2
主は	心を	しかし–量る	自分の–目に	正しい	人の	道は	すべての	
H3068	H3826	H8505		H3477	H0376	H1870	H3605	

人の道は自分の目には正しく見える、しかし主は人の心をはかられる。 人の道は自分の目には正しく見える、しかし主は人の心をはかられる。

מִזָּבַח׃	לַיהוָה	נִבְחָר	וּמִשְׁפָּט	צְדָקָה	עֲשֹׂה	3
いけにえ–より	主に	好まれる	公正を	義と	行う	
H2077	H3068	H0977	H4941	H6666		

正義と公平を行うことは、犠牲にもまさって主に喜ばれる。 正義と公平を行うことは、犠牲にもまさって主に喜ばれる。

חַטָּאת׃	רְשָׁעִים	נֵר	לֵב	וּרְחַב־	עֵינַיִם	רוּם־	4
罪である	悪者たちの	ともしび	心は	そして–広い	目と	高慢な	
	H7563	H5215		H7342		H7312	

高ぶる目とおごる心とは、悪しき人のともしびであって、罪である。 高ぶる目とおごる心とは、悪しき人のともしびであって、罪である。

לְמַחְסוֹר׃	אַךְ־	אָץ	וְכָל־	לְמוֹתָר	אַךְ־	חָרוּץ	מַחְשְׁבוֹת	5
欠乏に–なる	確かに	急ぐ–者は	しかし–すべての	利益に–なる	確かに	勤勉な–者の	計画は	
H4270	H0389	H0213	H3605	H4195	H0389		H4284	

勤勉な人の計画は、ついにその人を豊かにする、すべて怠るものは貧しくなる。 勤勉な人の計画は、ついにその人を豊かにする、すべて怠るものは貧しくなる。

מָוֶת׃	מְבַקְשֵׁי־	נִדָּף	הֶבֶל	שֶׁקֶר	בִּלְשׁוֹן	אוֹצָרוֹת	פָּעַל	6
死を	求める–者が	吹き散らされる	空しい	偽りの	偽りの–舌で	宝を	得る	
H4194	H1245	H5086	H1892	H8267	H3956	H0214	H6467	

偽りの舌をもって宝を得るのは、吹きはらわれる煙、死のわなである。 偽りの舌をもって宝を得るのは、吹きはらわれる煙、死のわなである。

מִשְׁפָּט׃	לַעֲשׂוֹת	מֵאֲנוּ	כִּי	יְגוֹרֵם	רְשָׁעִים	שֹׁד־	7
公正を	行う–ことを	拒んだ	なぜなら	引きずり–込む	悪者たちの	暴虐が	
H4941		H3985		H1641	H7563	H7701	

悪しき者の暴虐はその身を滅ぼす、彼らは公平を行うことを好まないからである。 悪しき者の暴虐はその身を滅ぼす、彼らは公平を行うことを好まないからである。

	פָּעֳלֽוֹ׃	יָשָׁר	וְזַךְ	וָזֵר	אִישׁ	דֶּרֶךְ	הֲפַכְפַּךְ	8
	その–行い	正しい	しかし–純粋な–者の	罪深い	人の	道は	曲がりくねった	
	H6467	H3477	H2134	H2054	H0376	H1870	H2019	

罪びとの道は曲っている、潔白な人の行いはまっすぐである。 罪びとの道は曲っている、潔白な人の行いはまっすぐである。

	וּבֵית	מִדְיָנִים	מֵאֵשֶׁת	גַּג	פִּנַּת־	עַל־	לָשֶׁבֶת	טוֹב	9
	そして–共同の–家に	争い好きな	争い好きな–妻と	屋根の	屋根の–隅に	上の	住む–ことは	良い	
		H4079	H0802	H1406	H6438		H3427		

חָבֵֽר׃		
いる–より		
H2267		

争いを好む女と一緒に家におるよりは屋根のすみにおるほうがよい。 争いを好む女と一緒に家におるよりは屋根のすみにおるほうがよい。

	רֵעֵהוּ׃	בְּעֵינָיו	יֵחַן	לֹא־	רָע	אַוַּת־	רָשָׁע	נַפְשׁ	10
	その–隣人は	その–目に	あわれまれ	ない	悪を	望む	悪者の	魂は	
	H7453			H3808		H0183	H7563	H5315	

悪しき者の魂は悪を行うことを願う、その隣り人にも好意をもって見られない。 悪しき者の魂は悪を行うことを願う、その隣り人にも好意をもって見られない。

	דָּעַת׃	יִקַּח־	לְחָכָם	וּבְהַשְׂכִּיל	פֶּתִי	יֶחְכַּם־	לֵץ	בַּעְנָשׁ־	11
	知識を	得る	賢い–者に	そして–教える–とき	未熟な–者は	賢くなる	あざける–者を	罰する–とき	
	H1847	H3947	H2450			H2449	H3887	H6064	

あざけるものが罰をうけるならば、思慮のない者は知恵を得る。知恵ある者が教をうけるならば知識を得る。 あざけるものが罰をうけるならば、思慮のない者は知恵を得る。知恵ある者が教をうけるならば知識を得る。

	לָרָֽע׃	רְשָׁעִים	מְסַלֵּף	רָשָׁע	לְבֵית	צַדִּיק	מַשְׂכִּיל	12
	滅びに	悪者たちを	投げ–倒す	悪者の	家を	正しい–者は	悟る	
		H7563	H5557	H7563		H6662		

正しい神は、悪しき者の家をみとめて、悪しき者を滅びに投げいれられる。 正しい神は、悪しき者の家をみとめて、悪しき者を滅びに投げいれられる。

	יֵעָנֶה׃	וְלֹא	יִקְרָא	הוּא	גַּם־	דָּל	מִזַּעֲקַת־	אָזְנוֹ	אֹטֵם	13
	答えられ	しかし–ない	叫ぶ	その–者も	また	貧しい–者の	叫び–から	その–耳を	閉ざす–者は	
		H3808	H7121	H1931	H1571	H1800	H2201	H0241	H0331	

耳を閉じて貧しい者の呼ぶ声を聞かない者は、自分が呼ぶときに、聞かれない。 耳を閉じて貧しい者の呼ぶ声を聞かない者は、自分が呼ぶときに、聞かれない。

	עָזָּה׃	חֵמָה	בַּחֵק	וְשֹׁחַד	אַף	יִכְפֶּה־	בַּסֵּתֶר	מַתָּן	14
	激しい	激しい–憤りを	懐の	そして–賄賂は	怒りを	なだめる	ひそかな	贈り物は	
	H5794	H2534	H2436	H7810	H0639	H3711		H4976	

ひそかな贈り物は憤りをなだめる、ふところのまいないは激しい怒りを和らげる。 ひそかな贈り物は憤りをなだめる、ふところのまいないは激しい怒りを和らげる。

	אָוֶן׃	לְפֹעֲלֵי	וּמְחִתָּה	מִשְׁפָּט	עֲשׂוֹת	לַצַּדִּיק	שִׂמְחָה	15
	不法を	行う–者たちに	しかし–恐怖である	公正を	行う–ことは	正しい–者に–とって	喜びである	
	H0205	H6466	H4288	H4941		H6662	H8057	

公義を行うことは、正しい者には喜びであるが、悪を行う者には滅びである。 公義を行うことは、正しい者には喜びであるが、悪を行う者には滅びである。

16 אָדָם תֹּועֶה מִדֶּרֶךְ הַשְּׂכֶל בִּקְהַל רְפָאִים יָנוּחַ׃
人は さまよう 道から 分別の 集会の-中で 死者たちの 休む
H0120 H8582 H1870 H2451 H6951 H7496 H5117

悟りの道を離れる人は、死人の集会の中におる。 悟りの道を離れる人は、死人の集会の中におる。

17 אִישׁ מַחְסוֹר אֹהֵב שִׂמְחָה אֹהֵב יַיִן וְשֶׁמֶן לֹא יַעֲשִׁיר׃
人は 乏しくなる 愛する-者は 快楽を 愛する 酒と 油を ない 富まない
H0376 H4270 H0157 H8057 H0157 H3196 H8081 H3808 H6238

快楽を好む者は貧しい人となり、酒と油とを好む者は富むことがない。 快楽を好む者は貧しい人となり、酒と油とを好む者は富むことがない。

18 כֹּפֶר לַצַּדִּיק רָשָׁע וְתַחַת יְשָׁרִים בּוֹגֵד׃
身代わりとなる 正しい-者の-ために 悪者は そして-代わりに 正直な-者たちの 裏切る-者は
H0376 H6662 H7563 H8478 H3477 H0898

悪しき者は正しい者のあがないとなり、不信実な者は正しい人に代る。 悪しき者は正しい者のあがないとなり、不信実な者は正しい人に代る。

19 טוֹב שֶׁבֶת בְּאֶרֶץ־ מִדְבָּר מֵאֵשֶׁת [מדונים] (מִדְיָנִים)
良い 住む-ことは 荒野の-地に 荒野の 妻と 争い好きな 争い好きな
H2896 H3427 H0776 H4057 H0802 H4066 H4066

וְכָעַס׃
そして-怒りっぽい-妻-より

争い怒る女と共におるよりは、荒野に住むほうがましだ。 争い怒る女と共におるよりは、荒野に住むほうがましだ。

20 אוֹצָר נֶחְמָד וְשֶׁמֶן בִּנְוֵה חָכָם וְכְסִיל אָדָם יְבַלְּעֶנּוּ׃
宝と 尊い 油が-ある 住まいに 賢い-者の しかし-愚かな 人は 飲み-尽くす
H0214 H2532 H8081 H4999 H2450 H3684 H0120 H1104

知恵ある者の家には尊い宝があり、愚かな人はこれを、のみ尽す。 知恵ある者の家には尊い宝があり、愚かな人はこれを、のみ尽す。

21 רֹדֵף צְדָקָה וָחָסֶד יִמְצָא חַיִּים צְדָקָה וְכָבוֹד׃
追い求める-者は 義と 恵みを 見つける いのちと 義と 栄誉を
H7291 H6666 H2617 H4672 H2416 H6666 H3519

正義といつくしみとを追い求める者は、命と誉とを得る。 正義といつくしみとを追い求める者は、命と誉とを得る。

22 עִיר גִּבֹּרִים עָלָה חָכָם וַיֹּרֶד עֹז מִבְטָחָהּ׃
町に 勇士たちの 攻め上った 賢い-者は そして-打ち倒した 砦の 頼みを
H5892 H1368 H5927 H2450 H3381 H5797 H4009

知恵ある者は強い者の城にのぼって、その頼みとするとりでをくずす。 知恵ある者は強い者の城にのぼって、その頼みとするとりでをくずす。

23 שֹׁמֵר פִּיו וּלְשׁוֹנוֹ שֹׁמֵר מִצָּרוֹת נַפְשׁוֹ׃
守る-者は 自分の-口と 自分の-舌を 守る 苦難から 自分の-魂を
H8104 H6310 H3956 H8104 H6862 H5315

口と舌とを守る者はその魂を守って、悩みにあわせない。 口と舌とを守る者はその魂を守って、悩みにあわせない。

24 זֵד יָהִיר לֵץ שְׁמוֹ עֹשֶׂה בְּעֶבְרַת זָדוֹן׃
高ぶる 傲慢な あざける-者と その-名は 行う 怒りの-溢れる 高慢を
H2086 H3093 H3887 H8034 H6213 H5678 H2087

高ぶりおごる者を「あざける者」となづける、彼は高慢無礼な行いをするものである。 高ぶりおごる者を「あざける者」となづける、彼は高慢無礼な行いをするものである。

25	תַּאֲוַת	עָצֵל	תְּמִיתֶנּוּ	כִּי־	מָאֲנוּ	יָדָיו	לַעֲשׂוֹת׃
	欲望は	怠け者の	殺す	なぜなら	拒む	その–両手は	働く–ことを
	H8378	H6102	H4191		H3985	H3027	

なまけ者の欲望は自分の身を殺す、これはその手を働かせないからである。 なまけ者の欲望は自分の身を殺す、これはその手を働かせないからである。

26	כָּל־	הַיּוֹם	הִתְאַוָּה	תַּאֲוָה	וְצַדִּיק	יִתֵּן	וְלֹא	יַחְשֹׂךְ׃
	一日–中	一日	むさぼり–求める	欲望を	しかし–正しい–者は	与える	そして–ない	惜しま
	H3605	H3117	H0183	H8378	H6662	H5414	H3808	H2820

悪しき者はひねもす人の物をむさぼる、正しい者は与えて惜しまない。 悪しき者はひねもす人の物をむさぼる、正しい者は与えて惜しまない。

27	זֶבַח	רְשָׁעִים	תּוֹעֲבָה	אַף	כִּי־	בְזִמָּה	יְבִיאֶנּוּ׃
	いけにえは	悪者たちの	忌み嫌うもの	まして	なぜなら	悪巧みで	持って–来る
	H2077	H7563	H8441	H0637		H2154	H0935

悪しき者の供え物は憎まれる、悪意をもってささげる時はなおさらである。 悪しき者の供え物は憎まれる、悪意をもってささげる時はなおさらである。

28	עֵד־	כְּזָבִים	יֹאבֵד	וְאִישׁ	שׁוֹמֵעַ	לָנֶצַח	יְדַבֵּר׃
	証人は	偽りの	滅びる	しかし–人は	聞く	永遠に	語る
	H5707	H3577	H0006	H0376	H8085	H5331	H1696

偽りの証人は滅ぼされる、よく聞く人の言葉はすたることがない。 偽りの証人は滅ぼされる、よく聞く人の言葉はすたることがない。

29	הֵעֵז	אִישׁ	רָשָׁע	בְּפָנָיו	יְיַשֶּׁר	וְהוּא	[יכין]	(יָבִין׃)	
	厚かましく–する	人は	悪しき	その–顔を	しかし–正しい–者は	その–者は	整える	悟る	
	H5810	H0376	H7563	H6440	H3477	H1931		H0995	

[דרכיו]	(דַּרְכּוֹ׃)
自分の–道を	自分の–道を
H1870	H1870

悪しき者はあつかましくし、正しい人はその道をつつしむ。 悪しき者はあつかましくし、正しい人はその道をつつしむ。

30	אֵין	חָכְמָה	וְאֵין	תְּבוּנָה	וְאֵין	עֵצָה	לְנֶגֶד	יְהוָה׃	פ
	ない	知恵も	ない	分別も	ない	助言も	対抗–できる	主に	—
	H0369	H2451	H0369	H8394	H0369	H6098	H5048	H3068	

主に向かっては知恵も悟りも、計りごとも、なんの役にも立たない。 主に向かっては知恵も悟りも、計りごとも、なんの役にも立たない。

31	סוּס	מוּכָן	לְיוֹם	מִלְחָמָה	וְלַיהוָה	הַתְּשׁוּעָה׃
	馬は	備えられる	日の–ために	戦いの	しかし–主に–ある	勝利は
			H3117	H4421	H3068	H8668

戦いの日のために馬を備える、しかし勝利は主による。 戦いの日のために馬を備える、しかし勝利は主による。

Chapter 22

1	נִבְחָר	שֵׁם	מֵעֹשֶׁר	רָב	מִכֶּסֶף	וּמִזָּהָב	חֵן	טוֹב׃
	好まれる	名声は	富–より	多くの	銀と	金–よりも	好意は	良い
	H0977	H8034	H6239		H3701	H2091	H2580	

令名は大いなる富にまさり、恩恵は銀や金よりも良い。

2 עָשִׁיר וָרָשׁ נִפְגָּשׁוּ עֹשֵׂה כֻלָּם יְהוָה׃
富む–者と 貧しい–者は 出会う 造られた その–すべてを 主が
H6223 H7326 H6298 H3605 H3068

富める者と貧しい者とは共に世におる、すべてこれを造られたのは主である。

3 וְעָרוּם רָאָה רָעָה וַיִּסְתָּר (ויסתר) וְנִסְתָּר (וְנִסְתָּרוּ) פְּתָיִים עָבְרוּ וְנֶעֱנָשׁוּ׃
賢い–者は 見て 危険を 隠れる 隠れる しかし–未熟な–者は 通り過ぎて 罰を–受ける
H6175 H7200 H7451 H5641 H5641 H6064

賢い者は災を見て自ら避け、思慮のない者は進んでいって、罰をうける。

4 עֵקֶב עֲנָוָה יִרְאַת יְהוָה עֹשֶׁר וְכָבוֹד וְחַיִּים׃
報いは 謙遜と 畏れの 主への 富と 誉れと いのち
H6118 H6038 H3374 H3068 H6239 H3519

謙遜と主を恐れることとの報いは、富と誉と命とである。

5 צִנִּים פַּחִים בְּדֶרֶךְ עִקֵּשׁ שֹׁמֵר נַפְשׁוֹ יִרְחַק מֵהֶם׃
茨と 罠が 道に–ある 曲がった–者の 守る–者は 自分の–魂を 遠ざかる それらから
H6791 H1870 H6141 H8104 H5315 H7368 H1992

よこしまな者の道にはいばらとわながあり、たましいを守る者は遠くこれを離れる。

6 חֲנֹךְ לַנַּעַר עַל־פִּי דַרְכּוֹ גַּם כִּי־יַזְקִין לֹא־יָסוּר מִמֶּנָּה׃
訓練せよ 少年を に–従って 入口に その–道の また たとえ 老いても ない 離れ それから
H2596 H5288 H6310 H1870 H1571 H2204 H3808 H5493

子をその行くべき道に従って教えよ、そうすれば年老いても、それを離れることがない。

7 עָשִׁיר בְּרָשִׁים יִמְשֹׁל וְעֶבֶד לֹוֶה לְאִישׁ מַלְוֶה׃
富む–者は 貧しい–者たちを 支配する そして–僕は 借りる–者は 人の 貸す–者の
H6223 H7326 H4910 H5650 H3867 H0376

富める者は貧しき者を治め、借りる者は貸す人の奴隷となる。

8 זֹרֵעַ עַוְלָה (וקצור־) (יִקְצָר־) אָוֶן וְשֵׁבֶט עֶבְרָתוֹ יִכְלֶה׃
まく–者は 不正を 刈り取る 刈り取る 災いを そして–杖は その–怒りの 尽きる
H2232 H5766 H7114 H7114 H0205 H7626 H5678 H3615

悪をまく者は災を刈り、その怒りのつえはすたれる。

9 טוֹב־עַיִן הַוא יְבֹרָךְ כִּי־נָתַן מִלַּחְמוֹ לַדָּל׃
気前の–良い 目の その–者は 祝福される なぜなら 与えた 自分の–パンから 貧しい–者に
H2896 H5869 H1931 H1288 H5414 H3899 H1800

人を見て恵む者はめぐまれる、自分のパンを貧しい人に与えるからである。

10 גָּרֵשׁ לֵץ וְיֵצֵא מָדוֹן וְיִשְׁבֹּת דִּין וְקָלוֹן׃
追い出せ あざける–者を そうすれば–出て–行く 争いは そして–終わる 訴訟と 恥辱も
H1644 H3887 H3318 H4066 H7673 H1779 H7036

あざける者を追放すれば争いもまた去り、かつ、いさかいも、はずかしめもなくなる。

11 אֹהֵב טְהוֹר־לֵב (טהר־) (חֵן) שְׂפָתָיו רֵעֵהוּ מֶלֶךְ׃
愛する–者は 清い 心を 清い 恵みある その–唇の その–友は 王である
H0157 H2889 H3820 H2889 H2580 H8193 H7453 H4428

令名は大いなる富にまさり、恩恵は銀や金よりも良い。

2 עָשִׁיר וָרָשׁ נִפְגָּשׁוּ עֹשֵׂה כֻלָּם יְהוָה׃
富む–者と 貧しい–者は 出会う 造られた その–すべてを 主が
H6223 H7326 H6298 H3605 H3068

富める者と貧しい者とは共に世におる、すべてこれを造られたのは主である。

3 וְעָרוּם רָאָה רָעָה וַיִּסְתָּר (ויסתר) וְנִסְתָּר (וְנִסְתָּרוּ) פְּתָיִים עָבְרוּ וְנֶעֱנָשׁוּ׃
賢い–者は 見て 危険を 隠れる 隠れる しかし–未熟な–者は 通り過ぎて 罰を–受ける
H6175 H7200 H7451 H5641 H5641 H6064

賢い者は災を見て自ら避け、思慮のない者は進んでいって、罰をうける。

4 עֵקֶב עֲנָוָה יִרְאַת יְהוָה עֹשֶׁר וְכָבוֹד וְחַיִּים׃
報いは 謙遜と 畏れの 主への 富と 誉れと いのち
H6118 H6038 H3374 H3068 H6239 H3519

謙遜と主を恐れることとの報いは、富と誉と命とである。

5 צִנִּים פַּחִים בְּדֶרֶךְ עִקֵּשׁ שֹׁמֵר נַפְשׁוֹ יִרְחַק מֵהֶם׃
茨と 罠が 道に–ある 曲がった–者の 守る–者は 自分の–魂を 遠ざかる それらから
H6791 H1870 H6141 H8104 H5315 H7368 H1992

よこしまな者の道にはいばらとわながあり、たましいを守る者は遠くこれを離れる。

6 חֲנֹךְ לַנַּעַר עַל־פִּי דַרְכּוֹ גַּם כִּי־יַזְקִין לֹא־יָסוּר מִמֶּנָּה׃
訓練せよ 少年を に–従って 入口に その–道の また たとえ 老いても ない 離れ それから
H2596 H5288 H6310 H1870 H1571 H2204 H3808 H5493

子をその行くべき道に従って教えよ、そうすれば年老いても、それを離れることがない。

7 עָשִׁיר בְּרָשִׁים יִמְשֹׁל וְעֶבֶד לֹוֶה לְאִישׁ מַלְוֶה׃
富む–者は 貧しい–者たちを 支配する そして–僕は 借りる–者は 人の 貸す–者の
H6223 H7326 H4910 H5650 H3867 H0376

富める者は貧しき者を治め、借りる者は貸す人の奴隷となる。

8 זֹרֵעַ עַוְלָה (וקצור־) (יִקְצָר־) אָוֶן וְשֵׁבֶט עֶבְרָתוֹ יִכְלֶה׃
まく–者は 不正を 刈り取る 刈り取る 災いを そして–杖は その–怒りの 尽きる
H2232 H5766 H7114 H7114 H0205 H7626 H5678 H3615

悪をまく者は災を刈り、その怒りのつえはすたれる。

9 טוֹב־עַיִן הַוא יְבֹרָךְ כִּי־נָתַן מִלַּחְמוֹ לַדָּל׃
気前の–良い 目の その–者は 祝福される なぜなら 与えた 自分の–パンから 貧しい–者に
H2896 H5869 H1931 H1288 H5414 H3899 H1800

人を見て恵む者はめぐまれる、自分のパンを貧しい人に与えるからである。

10 גָּרֵשׁ לֵץ וְיֵצֵא מָדוֹן וְיִשְׁבֹּת דִּין וְקָלוֹן׃
追い出せ あざける–者を そうすれば–出て–行く 争いは そして–終わる 訴訟と 恥辱も
H1644 H3887 H3318 H4066 H7673 H1779 H7036

あざける者を追放すれば争いもまた去り、かつ、いさかいも、はずかしめもなくなる。

11 אֹהֵב טְהוֹר־לֵב (טהר־) (חֵן) שְׂפָתָיו רֵעֵהוּ מֶלֶךְ׃
愛する–者は 清い 心を 清い 恵みある その–唇の その–友は 王である
H0157 H2889 H3820 H2889 H2580 H8193 H7453 H4428

心の潔白を愛する者、その言葉の上品な者は、王がその友となる。

12 עֵינֵי יְהוָה נָצְרוּ דָעַת וַיְסַלֵּף דִּבְרֵי בֹגֵד׃
目は 主の 守る 知識を しかし-覆す 言葉を 裏切る-者の
H5869 H3068 H5341 H1847 H5557 H1697 H0898

主の目は知識ある者を守る、しかし主は不信実な者の言葉を敗られる。

13 אָמַר עָצֵל אֲרִי בַּחוּץ בְּתוֹךְ רְחֹבוֹת אֵרָצֵחַ׃
言う 怠け者は 獅子が-いる 外に 真ん中で 広場の 殺されると
H0559 H6102 H0738 H2351 H8432 H7339 H7523

なまけ者は言う、「ししがそとにいる、わたしは、ちまたで殺される」と。

14 שׁוּחָה עֲמֻקָּה פִּי זָרוֹת זְעוּם יְהוָה יִפּוֹל־ שָׁם׃ (יִפָּל־)
深い-穴は 深い 口は 異国の-女の 呪われた-者は 主に 落ちる 落ちる そこに
H7745 H6013 H6310 H2114 H2194 H3068 H5307 H5307 H8033

遊女の口は深い落し穴である、主に憎まれる者はその中に陥る。

15 אִוֶּלֶת קְשׁוּרָה בְּלֶב־ נָעַר שֵׁבֶט מוּסָר יַרְחִיקֶנָּה מִמֶּנּוּ׃
愚かさは 結びついている 心の-中に 少年の 杖が 懲らしめの 遠ざける それから
H0200 H7194 H3820 H5288 H7626 H4148 H7368

愚かなことが子供の心の中につながれている、懲しめのむちは、これを遠く追いだす。

16 עֹשֶׁק דַּל מַרְבֶּה לוֹ נֹתֵן לְעָשִׁיר אַךְ־ לַמַּחְסוֹר׃
しいたげる-者は 貧しい-者を 増やす-ために 自分の 与える-者は 富んだ-者に ただ 欠乏に-なる
H6231 H1800 H7235 H0 H5414 H6223 H0389 H4270

貧しい者をしえたげて自分の富を増そうとする者と、富める者に与える者とは、ついに必ず貧しくなる。

17 הַט אָזְנְךָ וּשְׁמַע דִּבְרֵי חֲכָמִים תָּשִׁית לִבְּךָ לְדַעְתִּי׃
傾けよ あなたの-耳を そして-聞け 言葉を 賢い-者たちの 向けよ そして-あなたの-心を 私の-知識に
H5186 H0241 H8085 H1697 H2450 H7896 H3820 H1847

あなたの耳を傾けて知恵ある者の言葉を聞き、かつ、わたしの知識にあなたの心を用いよ。

18 כִּי־ נָעִים תִּשְׁמָרֵם כִּי־ בְבִטְנֶךָ יִכֹּנוּ יַחְדָּו עַל־ שְׂפָתֶיךָ׃
なぜなら 快い 守る-ならば たとえ あなたの-胸の-中に 確かに-なる 共に 上に あなたの-唇の
H3588 H5276 H8104 H3588 H0990 H3559 H3949 H8193

これをあなたのうちに保ち、ことごとく、あなたのくちびるに備えておくなら、楽しいことである。

19 לִהְיוֹת בַּיהוָה מִבְטַחֲךָ הוֹדַעְתִּיךָ הַיּוֹם אַף־ אָתָּה׃
それは-置く-ために 主に あなたの-信頼を 教えた 今日 また あなたにも
H1961 H3068 H4009 H3045 H3117 H0637 H0859

あなたが主に、寄り頼むことのできるように、わたしはきょう、これをあなたにも教える。

20 הֲלֹא כְתַבְתִּי לְךָ שלשום [שִׁלִּשִׁים] (בְּמוֹעֵצֹת) וָדָעַת׃
たしかに 書いた あなたに 三十の 三十の-言葉を 助言と 知識の
H3808 H3789 H0 H8032 H7992 H4156 H1847

わたしは、勧めと知識との三十の言葉をあなたのためにしるしたではないか。

21 לְהוֹדִיעֲךָ֣ קְשֹׁ֑ט אִמְרֵי־אֱמֶת֮ לְהָשִׁ֪יב אֲמָרִ֥ים אֱמֶ֗ת לְשֹׁלְחֶֽיךָ׃
知らせる–ために 確かな 言葉の 真実の 返す–ために 言葉を 真実の あなたを–遣わした–者に
H3045 H0571 H0561 H0571 H7725 H0561 H0571 H7971

פ

それは正しいこと、真実なことをあなたに示し、あなたをつかわした者に真実の答をさせるためであった。

22 אַל־תִּגְזָל־דָּל֮ כִּ֤י דַל־הוּא֮ וְאַל־תְּדַכֵּ֪א עָנִ֥י בַ֝שָּׁ֗עַר׃
奪って 貧しい–者を 貧しい なぜなら その–者は そして–するな 踏みにじるな 苦しむ–者を 門で
H1497 H1800 H1800 H3588 H1931 H0408 H1792 H6041 H8179

貧しい者を、貧しいゆえに、かすめてはならない、悩む者を、町の門でおさえつけてはならない。

23 כִּֽי־יְהוָ֣ה יָרִ֣יב רִיבָ֑ם וְקָבַ֖ע אֶת־נֹ֣פְשׁ קֹבְעֵיהֶֽם׃
主が 弁護する その–訴えを そして–奪う を いのちを 奪う–者たちの
H3068 H7378 H7379 H6906 H0853 H5315 H6906

それは主が彼らの訴えをただし、かつ彼らをそこなう者の命を、そこなわれるからである。

24 אַל־תִּתְרַ֣ע אֶת־בַּ֣עַל אַ֭ף וְאֶת־אִ֣ישׁ חֵמוֹת֮ אַל־תָּבֹֽוא׃
するな 交わって と 持ち主と 怒りの そして–と 人と 激情の ない 行くな
H0408 H0854 H1167 H0639 H0854 H0376 H2534 H3808 H0935

怒る者と交わるな、憤る人と共に行くな。

25 פֶּן־תֶּאֱלַ֣ף אָ֭רְחֹתָיו (אֹרְחֹתָ֑יו) וְלָקַחְתָּ֖ מוֹקֵ֣שׁ לְנַפְשֶֽׁךָ׃
そうすれば 学ぶ その–道を その–道を そして–取る わなを 自分の–魂に
H6435 H0502 H0734 H0734 H3947 H4170 H5315

それはあなたがその道にならって、みずから、わなに陥ることのないためである。

26 אַל־תְּהִי֮ בְּתֹקְעֵ֪י כָ֫ף בַּעֲרְבִ֥ים מַשָּׁאֽוֹת׃
するな なるな 手を–打つ–者に 手を–打つ 保証する–者に 負債の
H0408 H1961 H8628 H3709 H6148 H4859

あなたは人と手を打つ者となってはならない、人の負債の保証をしてはならない。

27 אִם־אֵ֤ין לְ֭ךָ לְשַׁלֵּ֣ם לָ֑מָּה יִקַּ֥ח מִ֝שְׁכָּבְךָ֗ מִתַּחְתֶּֽיךָ׃
もし ない–ならば あなたに 支払う–ものが なぜ 取られるのか あなたの–床が あなたの–下から
H0408 H0369 H0000 H4100 H3947 H4904 H8478

あなたが償うものがないとき、あなたの寝ている寝床までも、人が奪い取ってよかろうか。

28 אַל־תַּסֵּ֣ג גְּבוּל־עוֹלָ֣ם אֲשֶׁ֣ר עָשׂ֑וּ אֲבוֹתֶֽיךָ׃
するな 動かして 境界を 古くからの それは 置いた あなたの–先祖が
H0408 H5253 H1366 H5769 H0834 H6213 H1

あなたの先祖が立てた古い地境を移してはならない。

29 חָזִיתָ אִישׁ מָהִיר בִּמְלַאכְתּוֹ לִפְנֵי־ מְלָכִים יִתְיַצָּב בַּל־ יִתְיַצֵּב לִפְנֵי׃ פ חֲשֻׁכִים׃

前に	立た	ない	立つ	王たちの	前に-立つ	その-仕事に	巧みな	人を	見たか
H6440	H3320	H1077	H3320	H4428	H6440	H4399	H4106	H0376	H2372

—	卑しい-者の
	H2823

あなたはそのわざに巧みな人を見るか、そのような人は王の前に立つが、卑しい人々の前には立たない。

Chapter 23

1 כִּי־ תֵשֵׁב לִלְחֹום אֶת־ מוֹשֵׁל בִּין תָּבִין׀ אֵת־ אֲשֶׁר לְפָנֶיךָ׃

たとえ	座る-ならば	食事する-ために	と	支配者と	よく	見きわめよ	を	ものを
	H3427		H0854	H4910	H0995	H0995	H0853	

	あなたの-前の
	H6440

治める人と共に座して食事するとき、あなたの前にあるものを、よくわきまえ、

2 וְשַׂמְתָּ שַׂכִּין בְּלֹעֶךָ אִם־ בַּעַל נֶפֶשׁ אָתָּה׃

そして-置け	刀を	あなたの-のどに	もし	持ち主なら	食欲の	あなたが
	H7915	H3930		H1167	H5315	

あなたがもし食をたしなむ者であるならば、あなたののどに刀をあてよ。

3 אַל־ תִּתְאָו לְמַטְעַמּוֹתָיו כִּי־ הוּא לֶחֶם כְּזָבִים׃

するな	欲しがって	その-ごちそうを	それは	食べ物である	偽りの	
H0408	H0183	H4303	H1931	H3899	H3577	

そのごちそうをむさぼり食べてはならない、これは人を欺く食物だからである。

4 אַל־ תִּיגַע לְהַעֲשִׁיר מִבִּינָתְךָ חֲדָל׃

するな	労して	富む-ために	自分の-分別から		やめよ
H0408	H3021	H6238	H0998		H2308

富を得ようと苦労してはならない、かしこく思いとどまるがよい。

5 הֲתָעִיף(׀ עֵינֶיךָ בּוֹ וְאֵינֶנּוּ כִּי עָשֹׂה יַעֲשֶׂה־ לּוֹ כְּנָפַיִם כְּנֶשֶׁר תָּעוּף׀ וְעָיף׀ יָעוּף) שָׁמָיִם׃ פ

向けるのか	あなたの-目を	それに	それは-ない	なぜなら	確かに	作る	自分に	翼を	鷲の-ように	飛ぶ	空へ	
			H0369					H3671	H5404		H8064	

あなたの目をそれにとめると、それはない、富はたちまち自ら翼を生じて、わしのように天に飛び去るからだ。

6 אַל־ תִּלְחַם אֶת־ לֶחֶם עַיִן רָע וְאַל־ תִּתְאָו(׀ תִּתְאַוָּיו׀ לְמַטְעַמֹּתָיו׃

するな	食べて	を	パンを	目の	そして-するな	欲しがって	欲しがって	
H0408		H0853	H3899		H0408	H0183	H0183	

	その-ごちそうを
	H4303

物惜しみする人のパンを食べてはならない、そのごちそうをむさぼり願ってはならない。

7 וְכִי כְּמוֹ־ שָׁעַר בְּנַפְשׁוֹ כֵּן־ הוּא אֱכֹל וְשְׁתֵה
なぜなら ちょうど 計算する 自分の–心の–中で その–ように その–者は 食べろ そして–飲めと
H3644 H5315 H8176 H3644 H1931 H0398 H8354

עִמָּךְ׃ לִבּוֹ וְלִבּוֹ בַל־ לָךְ יֹאמַר
あなたと–共に ない しかし–その–心は あなたに 言う
H1077 H0559

彼は心のうちで勘定する人のように、「食え、飲め」とあなたに言うけれども、その心はあなたに真実ではない。

8 פִּתְּךָ־ אָכַלְתָּ תָקִיאֶנָּה וְשִׁחַתָּ דְּבָרֶיךָ הַנְּעִימִים׃
一口を 食べた 吐き出す そして–無駄に–する あなたの–快い–言葉を 快い
H0398 H6958 H7843 H1697

あなたはついにその食べた物を吐き出すようになり、あなたのねんごろな言葉もむだになる。

9 בְּאָזְנֵי כְסִיל אַל־ תְּדַבֵּר כִּי־ יָבוּז לְשֵׂכֶל מִלֶּיךָ׃
耳の–中で 愚か者の するな 話して なぜなら 蔑る 賢明さを あなたの–言葉の
H0241 H3684 H0408 H1696 H0936 H7922 H4405

愚かな者の耳に語ってはならない、彼はあなたの言葉が示す知恵をいやしめるからだ。

10 אַל־ תַּסֵּג גְּבוּל עוֹלָם וּבִשְׂדֵי יְתוֹמִים אַל־ תָּבֹא׃
するな 動かして 境界を 古くからの そして–畑に 孤児たちの するな 入って
H0408 H5253 H1366 H5769 H0408 H3490 H0935

古い地境を移してはならない、みなしごの畑を侵してはならない。

11 כִּי־ גֹאֲלָם חָזָק הוּא־ יָרִיב אֶת־ רִיבָם אִתָּךְ׃
なぜなら その–贖い主は 強い その–方が 弁護する を その–訴えを あなたに–対して
H0854 H7379 H0853 H7378 H1931 H2389

彼らのあがない主は強くいらせられ、あなたに逆らって彼らの訴えを弁護されるからだ。

12 הָבִיאָה לַמּוּסָר לִבֶּךָ וְאָזְנְךָ לְאִמְרֵי־ דָעַת׃
向けよ 訓練に あなたの–心を そして–あなたの–耳を 言葉に 知識の
H0935 H4148 H0854 H0241 H0561 H1847

あなたの心を教訓に用い、あなたの耳を知識の言葉に傾けよ。

13 אַל־ תִּמְנַע מִנַּעַר מוּסָר כִּי־ תַכֶּנּוּ בַשֵּׁבֶט לֹא יָמוּת׃
するな 惜しんで 少年から 懲らしめを たとえ 打っても 杖で ない 死ぬ
H0408 H4513 H5288 H4148 H5221 H7626 H3808 H4191

子を懲らすことを、さし控えてはならない、むちで彼を打っても死ぬことはない。

14 אַתָּה בַשֵּׁבֶט תַּכֶּנּוּ וְנַפְשׁוֹ מִשְׁאוֹל תַּצִּיל׃
あなたが 杖で 打てば そして–その–魂を 陰府から 救う
H0854 H7626 H5221 H5315 H7585 H5337

もし、むちで彼を打つならば、その命を陰府から救うことができる。

15 בְּנִי אִם־ חָכַם לִבְּךָ יִשְׂמַח לִבִּי גַּם־ אָנִי׃
わが–子よ もし 賢くなれば あなたの–心が 喜ぶ 私の–心も また 私も
H0589 H1571 H8055 H2449 H0589 H1571

わが子よ、もしあなたの心が賢くあれば、わたしの心もまた喜び、

16 וְתַעְלֻזוֹת כִּלְיוֹתָי בְּדַבֵּר שְׂפָתֶיךָ מֵישָׁרִים׃
そして–喜ぶ 私の–内臓は 語る–とき あなたの–唇が 正しい–ことを
H5937 H3629 H1696 H8193 H4339

もしあなたのくちびるが正しい事を言うならば、わたしの心も喜ぶ。

יְהוָֹה	בְּיִרְאַת־	אִם־	כִּי	בַּחַטָּאִים	לִבְּךָ	יְקַנֵּא	אַל־	17
主への	畏れの–中に	そうではなく	そうではなく	罪人たちを	あなたの–心が	ねたんで	するな	
H3068	H3374			H2400		H7065	H0408	

הַיּוֹם׃	כָּל־
日を	すべての
H3117	H3605

心に罪びとをうらやんではならない、ただ、ひねもす主を恐れよ。

תִּכָּרֵת׃	לֹא	וְתִקְוָתְךָ	אַחֲרִית	יֵשׁ	אִם־	כִּי	18
断たれ	ない	そして–あなたの–望みは	将来が	ある	確かに	なぜなら	
H3772	H3808		H0319	H3426			

かならず後のよい報いがあって、あなたの望みは、すたらない。

לִבָּךְ׃	בַּדֶּרֶךְ	וְאַשֶּׁר	וַחֲכָם	בְּנִי	אַתָּה	שְׁמַע־	19
あなたの–心を	道に	そして–導け	そして–賢くなれ	わが–子よ	あなたよ	聞け	
	H1870	H0833	H2449			H8085	

わが子よ、よく聞いて、知恵を得よ、かつ、あなたの心を道に向けよ。

לָמוֹ׃	בָּשָׂר	בְּזוֹלְלֵי	יַיִן	בְּסֹבְאֵי־	תִּהְיֶה	אַל־	20
自分の–ために	肉を	むさぼり–食う–者に	ぶどう酒の	飲んだくれる–者に	なるな	するな	
	H1320		H3196		H1961	H0408	

酒にふけり、肉をたしなむ者と交わってはならない。

נוּמָה׃	תַּלְבִּישׁ	וְקָרָעִים	יִוָּרֵשׁ	וְזוֹלֵל	סֹבֵא	כִּי־	21
居眠りは	着せる	そして–ぼろを	貧しくなる	むさぼり–食う–者は	飲んだくれと	なぜなら	
H5124	H3847	H7168	H3423				

酒にふける者と、肉をたしなむ者とは貧しくなり、眠りをむさぼる者は、ぼろを身にまとうようになる。

אִמֶּךָ׃	זָקְנָה	כִּי־	תָבוּז	וְאַל־	יָלָדֶךָ	זֶה	לְאָבִיךָ	שְׁמַע	22
あなたの–母を	老いても	たとえ	蔑って	そして–するな	生んだ	この–者は	あなたの–父に	聞け	
H0517	H2204		H0936	H0408	H3205	H2088	H0001	H8085	

あなたを生んだ父のいうことを聞き、年老いた母を軽んじてはならない。

וּבִינָה׃	וּמוּסָר	חָכְמָה	תִּמְכֹּר	וְאַל־	קְנֵה	אֱמֶת	23
分別を	訓練と	知恵と	売って	そして–するな	買え	真実を	
H0998	H4148	H2451	H4376	H0408	H7069	H0571	

真理を買え、これを売ってはならない、知恵と教訓と悟りをも買え。

חָכָם	(וְיוֹלֵד)	[וְיָלֹד]	צַדִּיק	אֲבִי	(יָגִיל)	[יָגֹל]	(גִּיל)	[גֹּל]	24
賢い–者を	そして–生んだ	生んだ	正しい–者の	父は	大いに–喜ぶ	大いに–喜ぶ	喜ぶ	喜ぶ	
H2450	H3205	H3205	H6662	H0001	H1523	H1523	H1523	H1523	

בּוֹ׃	(יִשְׂמַח־)	[וישמח]
その–者を	喜ぶ	喜ぶ
H8055	H8055	H8055

正しい人の父は大いによろこび、知恵ある子を生む者は子のために楽しむ。

יוֹלַדְתָּךְ׃	וְתָגֶל	וְאִמֶּךָ	אָבִיךָ	יִשְׂמַח־	25
あなたを–生んだ–者は	そして–喜ぶように	あなたの–母は	あなたの–父と	喜ぶように	
H3205	H1523	H0517	H0001	H8055	

あなたの父母を楽しませ、あなたを産んだ母を喜ばせよ。

תִּצֹּרְנָה׃)	[תרצנה]	דְּרָכַי	וְעֵינֶיךָ	לִי	לִבְּךָ	בְנִי	תְּנָה־	26
見守れ	見守れ	私の–道を	そして–あなたの–目は	私に	あなたの–心を	わが–子よ	与えよ	
H5341	H7521	H1870					H5414	

わが子よ、あなたの心をわたしに与え、あなたの目をわたしの道に注げ。

נָכְרִיָּה׃	צָרָה	וּבְאֵר	זוֹנָה	עֲמֻקָּה	שׁוּחָה	כִּי־	27
異国の–女は	狭い	そして–狭い–井戸である	遊女は	深い	深い–穴である	なぜなら	
H5237		H0875	H2181	H6013	H7745		

遊女は深い穴のごとく、みだらな女は狭い井戸のようだ。

תּוֹסִף׃	בָּאָדָם	וּבוֹגְדִים	תֶּאֱרֹב	כְּחֶתֶף	הִיא	אַף־	28
増やす	人の–中に	そして–裏切る–者を	待ち伏せる	強盗の–ように	彼女は	また	
H3254	H0120	H0898	H0693	H2863	H1931	H0637	

彼女は盗びとのように人をうかがい、かつ世の人のうちに、不信実な者を多くする。

לְמִי	מְדְיָנִים()	[מדונים]	לְמִי	אֲבוֹי	לְמִי	אוֹי	לְמִי	29
誰に	争いが	争いが–あるか	誰に	悲しみが–あるか	誰に	わざわいが–あるか	誰に	
H4310	H4066	H4066	H4310	H0017	H4310	H0188	H4310	

עֵינָיִם׃	חַכְלִלוּת	לְמִי	חִנָּם	פְּצָעִים	לְמִי	שִׂיחַ
目が–あるか	濁った	誰に	理由なく	傷が–あるか	誰に	嘆きが–あるか
	H2448	H4310	H2600	H6482	H4310	H7879

災ある者はだれか、憂いある者はだれか、争いをする者はだれか、煩いある者はだれか、ゆえなく傷をうける者はだれか、赤い目をしている者はだれか。

מְמֻסָּךְ׃	לַחְקֹר	לָבָאִים	הַיָּיִן	עַל־	לַמְאַחֲרִים	30
混ぜた–酒を	探し–求める	来る–者に	ぶどう酒の	そばに	長く–居る–者に	
H4469	H2713	H0935	H3196		H0309	

酒に夜をふかす者、行って、混ぜ合わせた酒を味わう者である。

בַּכּוֹס)(	[בכיס]	יִתֵּן	כִּי־	יִתְאַדָּם	כָּיִן	יַיִן	תֵּרֶא	אַל־	31
杯の	杯の–中に	放つ–とき	たとえ	赤くなる–とき	たとえ	ぶどう酒を	見て	するな	
H3563	H3599	H5414		H0119		H3196	H7200	H0408	

בְּמֵישָׁרִים׃	יִתְהַלֵּךְ	עֵינֹו
なめらかに	滑らかに–下る	その–輝きを
H4339	H1980	

酒はあかく、杯の中にあわだち、なめらかにくだる、あなたはこれを見てはならない。

יַפְרֹשׁ׃	וְכִצְפְעֹנִי	יִשָּׁךְ	כְּנָחָשׁ	אַחֲרִיתוֹ	32
刺す	そして–毒蛇の–ように	噛む	蛇の–ように	その–終わりに	
			H5175	H0319	

これはついに、へびのようにかみ、まむしのように刺す。

תַּהְפֻּכוֹת׃	יְדַבֵּר	וְלִבְּךָ	זָרוֹת	יִרְאוּ	עֵינֶיךָ	33
転倒した–ことを	語る	そして–あなたの–心は	奇妙な–ものを	見る	あなたの–目は	
H8419	H1696			H7200		

あなたの目は怪しいものを見、あなたの心は偽りを言う。

חֹבֵל׃	בְּרֹאשׁ	וּכְשֹׁכֵב	יָם	בְּלֵב־	כְּשֹׁכֵב	וְהָיִיתָ	34
帆柱の	頂上に	そして–横たわる–者の–ように	海の	真ん中に	横たわる–者の–ように	そして–なる	
H2260		H7901	H3220		H7901	H1961	

あなたは海の中に寝ている人のように、帆柱の上に寝ている人のようになる。

אוֹסִיף	אֶקִיץ	מָתַי	אֲבַקְשֶׁנּוּ	עוֹד׃					35
また-求める	目覚めるか	いつ	それを	再び					
H3254	H6974	H4970	H1245	H5750					
אוֹסִיף	אֶקִיץ	מָתַי	יָדָעְתִּי	בַּל־	הֻלָּמוּנִי	חָלִיתִי	בַּל־	הִכּוּנִי	
また-求める	目覚めるか	いつ	感じなかった	ない	殴られたが	痛まなかった	ない	打たれたが	
H3254	H6974	H4970	H3045	H1077	H1986		H1077	H5221	

あなたは言う、「人がわたしを撃ったが、わたしは痛くはなかった。わたしを、たたいたが、わたしは何も覚えはない。いつわたしはさめるのか、また酒を求めよう」と。

Chapter 24

אִתָּם׃	לִהְיוֹת	)תְּאַוֵּיו(	]תתאו[	וְאַל־	רָעָה	בְּאַנְשֵׁי	תְקֻנָּא	אַל־	1
彼らと-共に	いる-ことを	欲しがって	欲しがって	そして-するな	悪の	人々を	ねたんで	するな	
H0854	H1961	H0183	H0183	H0408		H0376	H7065	H0408	

悪を行う人をうらやんではならない、また彼らと共におることを願ってはならない。

תְּדַבֵּרְנָה׃	שִׂפְתֵיהֶם	וְעָמָל	לִבָּם	יֶהְגֶּה	שֹׁד	כִּי־	2
語る	その-唇は	そして-苦難を	その-心は	思い巻く	暴力を	なぜなら	
H1696	H8193	H5999		H1897	H7701		

彼らはその心に強奪を計り、そのくちびるに人をそこなうことを語るからである。

יִתְכּוֹנָן׃	וּבִתְבוּנָה	בַּיִת	יִבָּנֶה	בְּחָכְמָה	3
確立する	そして-分別に-よって	家は	建てられる	知恵に-よって	
	H8394		H1129	H2451	

家は知恵によって建てられ、悟りによって堅くせられ、

וְנָעִים׃	יֵקָר	הוֹן	כָּל־	יִמָּלְאוּ	חֲדָרִים	וּבְדַעַת	4
そして-快い	尊い	富で	すべての	満たされる	部屋は	そして-知識に-よって	
	H3368	H1952	H3605	H4390	H2315	H1847	

また、へやは知識によってさまざまの尊く、麗しい宝で満たされる。

כֹּחַ׃	מְאַמֶּץ־	דָּעַת	וְאִישׁ־	בַּעֹז	חָכָם	גְּבַר־	5
力を	強める	知識の	そして-人は	力の-中に-あり	賢い	人は	
	H0553	H1847	H0376	H5797	H2450	H1397	

知恵ある者は強い人よりも強く、知識ある人は力ある人よりも強い。

יוֹעֵץ׃	תַּעֲשֶׂה־	לְךָ	מִלְחָמָה	תְּשׁוּעָה	בְּרֹב	כִּי	בְּתַחְבֻּלוֹת	6
助言者に-よる	行え	あなたの-ために	戦いを	そして-勝利は	多くの	なぜなら	巧みな-指導に-よって	
H3289			H4421	H8668	H7230		H8458	

良い指揮によって戦いをすることができ、勝利は多くの議する者がいるからである。

פִּיהוּ׃	יִפְתַּח־	לֹא	בַּשַּׁעַר	חָכְמוֹת	לֶאֱוִיל	רָאמוֹת	7
その-口を	開か	ない	門で	知恵は	愚か者に-とって	高すぎる	
H6310		H3808	H8179	H2454	H0191		

知恵は高くて愚かな者の及ぶところではない、愚かな者は門で口を開くことができない。

8
מְחַשֵּׁב לְהָרֵעַ לוֹ בָּעַל־ מְזִמּוֹת יִקָּרֵאוּ׃
企む–者は 悪を–行う–ことを その–者は 持ち主と 陰謀の 呼ばれる
H2803 H7451 H1931 H1167 H4209 H7121

悪を行うことを計る者を人はいたずら者ととなえる。

9
זִמַּת אִוֶּלֶת חַטָּאת וְתוֹעֲבַת לְאָדָם לֵץ׃
企みは 愚かさの 罪である そして–忌み嫌うもの 人に–とって あざける–者は
H2154 H0200 H2403 H8441 H0120 H3887

愚かな者の計るところは罪であり、あざける者は人に憎まれる。

10
כֹּחֶכָה׃ צַר צָרָה בְיוֹם הֶתְרַפִּיתָ
あなたの–力は 小さい 苦難の 日に 弱ったならば
H3117 H7503

もしあなたが悩みの日に気をくじくならば、あなたの力は弱い。

11
תַּחְשׂוֹךְ׃ אִם־ לַהֲרֵג וּמְטֵי לָמָוֶת לְקֻחִים הַצֵּל
惜しんでも たとえ 殺しに そして–よろめく–者を 死に 連れて–行かれる–者を 救え
H2820 H2027 H4131 H4194 H3947 H5337

死地にひかれゆく者を助け出せ、滅びによろめきゆく者を救え。

12
וְלִבּוֹת תֹּכֵן הֲלֹא־ זֶה יָדַעְנוּ לֹא־ הֵן תֹּאמַר כִּי־
心を 量る–方が たしかに–ないか これを 知らなかったと ない 見よ 言うなら たとえ
H3826 H8505 H3808 H2088 H3045 H3808 H2005 H0559

לְאָדָם וְהֹשִׁיב יֵדָע הֲוּא נַפְשְׁךָ וְנֹצֵר יָבִין הֲוּא־
人に そして–報いる 知る その–方が あなたの–魂を そして–守る–方が 悟る その–方が
H0120 H7725 H3045 H1931 H5315 H5341 H0995 H1931

כְּפָעֳלוֹ׃
その–行いに–応じて
H6467

あなたが、われわれはこれを知らなかったといっても、心をはかる者はそれを悟らないであろうか。あなたの魂を守る者はそれを知らないであろうか。彼はおのおのの行いにより、人に報いないであろうか。

13
חִכְּךָ׃ עַל־ מָתוֹק וְנֹפֶת טוֹב כִּי־ דְּבַשׁ בְּנִי אֱכָל־
あなたの–口蓋の 上で 甘い そして–巣の–蜜は 良い なぜなら 蜜を わが–子よ 食べよ
H2441 H4966 H5317 H2896 H1706 H1121 H0398

わが子よ、蜜を食べよ、これは良いものである、また、蜂の巣のしたたりはあなたの口に甘い。

14
וְכֵן דַּע חָכְמָה לְנַפְשֶׁךָ אִם־ מָצָאתָ וְיֵשׁ
その–ように 知れ 知恵を あなたの–魂の–ために もし 見つけたならば そうすれば–ある
H3045 H2451 H5315 H4672 H3426

פ תִּכָּרֵת׃ לֹא וְתִקְוָתְךָ אַחֲרִית
— 断たれ ない そして–あなたの–望みは 将来が
H3772 H3808 H0319

知恵もあなたの魂にはそのようであることを知れ。それを得るならば、かならず報いがあって、あなたの望みは、すたらない。

15
רִבְצוֹ׃ תְּשַׁדֵּד אַל־ צַדִּיק לְנָוֵה אַל־ רָשָׁע תֶּאֱרֹב אַל־
その–休み場を 荒らして するな 正しい–者の 住まいに–対して 悪者よ 待ち伏せて するな
H7258 H7703 H0408 H6662 H7563 H0693 H0408

悪しき者がするように、正しい者の家をうかがってはならない、その住む所に乱暴をしてはならない。

16 כִּי שֶׁבַע יִפּוֹל צַדִּיק וָקָם וּרְשָׁעִים יִכָּשְׁלוּ בְרָעָה׃
なぜなら 七-度 倒れても 正しい-者は 起き上がる しかし-悪者たちは つまずく 災いに
H3782 H7563 H6662 H5307 H7651

正しい者は七たび倒れても、また起きあがる、しかし、悪しき者は災によって滅びる。

17 בִּנְפֹל אֹיִבְךָ (אויבך) אַל־תִּשְׂמָח וּבְכָשְׁלוֹ אַל־יָגֶל לִבֶּךָ׃
倒れる-とき あなたの-敵が あなたの-敵が するな 喜んで そして-つまずく-とき するな 小躍りして あなたの-心が
H5307 H0341 H0341 H0408 H8055 H3782 H0408 H1523

あなたのあだが倒れるとき楽しんではならない、彼のつまずくとき心に喜んではならない。

18 פֶּן־יִרְאֶה יְהוָה וְרַע בְּעֵינָיו וְהֵשִׁיב מֵעָלָיו אַפּוֹ׃
そうすれば 見て 主が そして-悪と その-目に そして-向ける その-者から その-怒りを
H6435 H7200 H3068 H7725 H0639

主はそれを見て悪いこととし、その怒りを彼から転じられる。

19 אַל־תִּתְחַר בַּמְרֵעִים אַל־תְּקַנֵּא בָּרְשָׁעִים׃
するな 怒って 悪を-行う-者に するな ねたんで 悪者たちを
H0408 H2734 H0408 H7065 H7563

悪を行う者のゆえに心を悩ましてはならない、よこしまな者をうらやんではならない。

20 כִּי לֹא־תִהְיֶה אַחֲרִית לָרָע נֵר רְשָׁעִים יִדְעָךְ׃
なぜなら ない ある 将来が 悪しき-者に ともしびは 悪者たちの 消える
H3808 H1961 H0319 H7563 H1846

悪しき者には後の良い報いはない、よこしまな者のともしびは消される。

21 יְרָא־אֶת־יְהוָה בְּנִי וָמֶלֶךְ עִם־שׁוֹנִים אַל־תִּתְעָרָב׃
畏れよ を 主を わが-子よ そして-王を と 変わり者たちと するな 交わるな
H3372 H0853 H3068 H4428 H7563 H0408 H6148

わが子よ、主と王とを恐れよ、そのいずれにも不従順であってはならない。

22 כִּי־פִתְאֹם יָקוּם אֵידָם וּפִיד שְׁנֵיהֶם מִי יוֹדֵעַ׃ ס
なぜなら 突然に 起こる その-災いが そして-滅びを その-両方の 誰が 知るか —
H6597 H0343 H6365 H8147 H4310 H3045

その災はたちまち起るからである。この二つの者からくる滅びをだれが知り得ようか。

23 גַּם־אֵלֶּה לַחֲכָמִים הַכֵּר־פָּנִים בְּמִשְׁפָּט לֹא־טוֹב׃
また これらは 賢い-者たちの 偏り見る-ことは 顔を 裁きに-おいて ない 良くない
H1571 H0428 H2450 H6440 H4941 H1077

これらもまた知恵ある者の箴言である。片寄ったさばきをするのは、よくない。

24 וְאֹמֵר לָרָשָׁע צַדִּיק אָתָּה יִקְבֻּהוּ עַמִּים יִזְעָמוּהוּ לְאֻמִּים׃
言う-者は 悪者に 正しいと あなたは 呪う 民々が 怒る 国々が
H0559 H7563 H6662 H0428 H5971 H2194 H3816

悪しき者に向かって、「あなたは正しい」という者を、人々はのろい、諸民は憎む。

25 וְלַמּוֹכִיחִים יִנְעָם וְעֲלֵיהֶם תָּבוֹא בִּרְכַּת־טוֹב׃
しかし-戒める-者には 快い その-上に 来る 祝福が 良い
H3198 H5276 H0935 H1293

悪しき者をせめる者は恵みを得る、また幸福が与えられる。

26 שִׂפְתַיִם יִשָּׁק מֵשִׁיב דְּבָרִים נְכֹחִים׃
唇を 接吐する 返す-者は 言葉を 正しい
H8193 H7725 H1697 H5228

正しい答をする者は、くちびるに、口づけするのである。

27 הָכֵן בַּחוּץ מְלַאכְתֶּךָ וַעֲתָדָהּ בַּשָּׂדֶה לָךְ אַחַר וּבְנִיתָ
整えよ 外で 仕事を あなたの-仕事を そして-準備せよ 畑で あなたの-ために その-後に 建てよ
H2351 H4399 H6257 H1129

פ בְּיתֶךָ׃
— あなたの-家を

外で、あなたの仕事を整え、畑で、すべての物をおのれのために備え、その後あなたの家を建てるがよい。

28 אַל־ תְּהִי עֵד־ חִנָּם בְּרֵעֶךָ וַהֲפִתִּיתָ בִּשְׂפָתֶיךָ׃
するな なるな 証人に 理由なく-の あなたの-隣人に-対して そして-欺くのか あなたの-唇で
H0408 H1961 H5707 H2600 H7453 H8193

ゆえなく隣り人に敵して、証言をしてはならない、くちびるをもって欺いてはならない。

29 אַל־ תֹּאמַר כַּאֲשֶׁר עָשָׂה־ לִי כֵּן אֶעֱשֶׂה־ לּוֹ אָשִׁיב לָאִישׁ
するな 言って 同じ-ように した 私に 同じ-ように しよう その-者に 報いよう 人に
H0408 H0559 H3754 H6213 H0589 H3651 H6213 H0376

כְּפָעֳלוֹ׃
その-行いに-応じて
H6467

「彼がわたしにしたように、わたしも彼にしよう、わたしは人がしたところにしたがって、その人に報いよう」と言ってはならない。

30 עַל־ שְׂדֵה אִישׁ־ עָצֵל עָבַרְתִּי וְעַל־ כֶּרֶם אָדָם חֲסַר־ לֵב׃
そばを-通った 畑の 人の 怠けな 通った そして-そばを ぶどう園の 人の 無分別な 心の
H5921 H7704 H0376 H6102 H5674 H5921 H3754 H0120 H2638 H3820

わたしはなまけ者の畑のそばと、知恵のない人のぶどう畑のそばを通ってみたが、

31 וְהִנֵּה עָלָה כֻלּוֹ קִמְשֹׁנִים כָּסּוּ פָּנָיו חֲרֻלִּים
そして-見よ 生えて-いた その-すべてに いらくさが 覆われて-いた その-表面は 雑草で
H2009 H5927 H3605 H7063 H3680 H6440 H2738

וְגֶדֶר אֲבָנָיו נֶהֱרָסָה׃
そして-石垣は その-石の 崩れて-いた
H1444 H0068 H2040

いばらが一面に生え、あざみがその地面をおおい、その石がきはくずれていた。

32 וָאֶחֱזֶה לִבִּי שַׂמְתִּי רָאִיתִי לָקַחְתִּי מוּסָר׃
そして-見た 向けた 心を 見て 受けた 教訓を
H0589 H7896 H3820 H7200 H3947 H4148

わたしはこれをみて心をとどめ、これを見て教訓を得た。

33 מְעַט שֵׁנוֹת מְעַט תְּנוּמוֹת וּמְעַט חִבֻּק יָדַיִם לִשְׁכָּב׃
少しの 眠りと 少しの まどろみと 少しの 組み 両手を 横たわる-と
H4592 H8142 H4592 H8572 H4592 H2264 H3027 H7901

「しばらく眠り、しばらくまどろみ、手をこまぬいて、またしばらく休む」。

כְּאִישׁ	וּמַחְסֹרֶיךָ	רֵישֶׁךָ	מִתְהַלֵּךְ	וּבָא־	34
武装した–人の–ように	そして–あなたの–欠乏が	あなたの–貧しさが	歩き回って	そうすれば–来る	
H0376	H4270		H1980	H0935	

פ	מָגֵן׃
—	武装した
	H4043

それゆえ、貧しさは盗びとのように、あなたに来、乏しさは、つわもののように、あなたに来る。

Chapter 25

מֶלֶךְ־	חִזְקִיָּה	וְאַנְשֵׁי	הֶעְתִּיקוּ	אֲשֶׁר	שְׁלֹמֹה	מְשָׁלֵי	אֵלֶּה	גַּם־	1
王の	ヒゼキヤの	人々が	書き写した	それを	ソロモンの	箴言である	これらは	これらも–また	
H4428	H2396	H0376	H6275		H8010	H4912	H0428	H1571	

יְהוּדָה׃
ユダの
H3063

これらもまたソロモンの箴言であり、ユダの王ヒゼキヤに属する人々がこれを書き写した。

								2
דָּבָר׃	חֲקַר	מְלָכִים	וּכְבֹד	דָּבָר	הַסְתֵּר	אֱלֹהִים	כְּבֹד	
事を	探り–出す–ことは	王たちが	そして–栄光である	事を	隠す–ことは	神が	栄光である	
H1697	H2713	H4428	H3519	H1697	H5641	H0430	H3519	

事を隠すのは神の誉であり、事を窮めるのは王の誉である。

							3
חֵקֶר׃	אֵין	מְלָכִים	וְלֵב	לָעֹמֶק	וְאֶרֶץ	לָרוּם	שָׁמַיִם	
探り–得ない	ない	王たちの	そして–心は	深く	そして–地は	高く	天は	
H2714	H0369	H4428		H6011	H0776	H7312	H8064	

天の高さと地の深さと、王たる者の心とは測ることができない。

						4
כֶּלִי׃	לַצּוֹרֵף	וְיֵצֵא	מִכֶּסֶף	סִיגִים	הָגֹוּ	
器が	精錬者の–ために	そうすれば–出る	銀から	かすを	取り除け	
H3627	H6884	H3318	H3701	H5509	H1898	

銀から、かなくそを除け、そうすれば、銀細工人が器を造る材料となる。

							5
כִּסְאוֹ׃	בַּצֶּדֶק	וְיִכּוֹן	מֶלֶךְ	לִפְנֵי־	רָשָׁע	הָגֹוּ	
その–王座は	義に–よって	そうすれば–確立する	王の	前から	悪者を	取り除け	
H3678	H6664		H4428	H6440	H7563	H1898	

王の前から悪しき者を除け、そうすれば、その位は正義によって堅く立つ。

								6
תַּעֲמֹד׃	אַל־	גְּדֹלִים	וּבִמְקוֹם	מֶלֶךְ	לִפְנֵי־	תִּתְהַדָּר	אַל־	
立って	するな	偉大な–者の	そして–場所に	王の	前で	自慢して	するな	
H5975	H0408		H4725	H4428	H6440	H1921	H0408	

王の前で自ら高ぶってはならない、偉い人の場に立ってはならない。

								7
נְדִיב	לִפְנֵי	מֵהַשְׁפִּיל־לְךָ	הֵנָּה	עֲלֵה	לְךָ	אָמַר־	טוֹב	כִּי	
貴人の	前で	下げられる–より	ここにと	上がれ	あなたに	言われる–ことが	良い	なぜなら	
H5081	H6440	H8213	H2008	H5927		H0559			

עֵינֶיךָ׃	רָאוּ	אֲשֶׁר
ものの	見た	あなたの–目が
	H7200	

尊い人の前で下にさげられるよりは、「ここに上がれ」といわれるほうがましだ。

בְּהַכְלִֽים	בְּאַחֲרִיתָהּ	תַּעֲשֶׂה	מַּה־	פֶּן	מַהֵר	לָרֹ֣ב	תֵּצֵ֗א	אַל־	8
恥を–かかせた–とき	その–終わりに	するのか	何を	そうすれば	急いで	争いに	出て	するな	
H3637	H0319		H4100	H6435		H7378	H3318	H0408	

רֵעֶ֖ךָ׃	אֹתָ֑ךְ	
あなたの–隣人が	あなたに	
H7453	H0853	

あなたが目に見たことを、軽々しく法廷に出してはならない。あとになり、あなたが隣り人にはずかしめられるとき、あなたはどうしようとするのか。

תִּגָּל׃	אַל־	אַחֵר	וְסֹ֣וד	רֵעֶ֑ךָ	אֶת־	רִ֖יבְךָ	רִיבֶ֣ךָ	9
漏らすな	するな	他の–者の	しかし–秘密を	あなたの–隣人と	と	争え	あなたの–訴えを	
H1540	H0408	H0312	H5475	H7453	H0854	H7378	H7379	

隣り人と争うことがあるならば、ただその人と争え、他人の秘密をもらしてはならない。

תָּשׁ֥וּב׃	לֹ֣א	וְדִבָּתְךָ֖	שֹׁמֵ֥עַ	יְחַסֶּ֑ךָּ	פֶּן־	10
戻ら	ない	そして–あなたの–悪評は	聞く–者が	恥をかかせる	そうすれば	
H7725	H3808	H1681	H8085		H6435	

そうでないと、聞く者があなたをいやしめ、あなたは、いつまでもそしられる。

אָפְנָֽיו׃	עַל־	דָּבֵ֥ר	דְּבָ֖ר	כֶּ֣סֶף	בְּמַשְׂכִּיּ֥וֹת	זָהָ֛ב	תַּפּוּחֵ֥י	11
ふさわしい–時に	その–時に	語られた	言葉である	銀の	器の–中の	金の	りんごは	
H0655		H1696	H1697	H3701	H4906	H2091	H8598	

おりにかなって語る言葉は、銀の彫り物に金のりんごをはめたようだ。

שֹׁמַ֥עַת׃	אֹ֖זֶן	עַל־	חָכָ֑ם	מוֹכִ֣יחַ	כֶּ֭תֶם	וַחֲלִי־	זָהָ֗ב	נֶ֣זֶם	12
聞く	耳に	に–対して	賢い	戒める–者は	純金の	そして–飾りは	金の	耳飾りは	
H8085	H0241		H2450	H3198	H3800	H2481	H2091	H5141	

知恵をもって戒める者は、これをきく者の耳にとって、金の耳輪、精金の飾りのようだ。

וְנֶ֥פֶשׁ	לְשֹׁלְחָ֖יו	נֶאֱמָ֑ן	צִ֣יר	קָצִ֔יר	בְּיֹ֥ום	וְשֶׁ֖לֶג	כְּצִנַּת־	13
そして–魂を	遣わした–者に–とって	忠実な	使者は	刈り入れの	日に	雪の	冷たさの–ように	
H5315	H7971	H0539			H3117	H7950		

פ	יָשִׁ֖יב׃	אֲדֹנָֽיו׃
—	回復させる	その–主人の
	H7725	H0113

忠実な使者はこれをつかわす者にとって、刈入れの日に冷やかな雪があるようだ、よくその主人の心を喜ばせる。

שָׁקֶר׃	בְּמַתַּת־	מִתְהַלֵּ֣ל	אִ֭ישׁ	אַ֣יִן	וְגֶ֥שֶׁם	וְר֗וּחַ	נְשִׂיאִ֑ים	14
偽りの	贈り物で	自慢する	人は	ない	しかし–雨は	風と	雲と	
H8267	H4991		H0376	H0369	H1653	H7307		

贈り物をすると偽って誇る人は、雨のない雲と風のようだ。

גָּרֶם׃	תִּשְׁבָּר־	רַכָּ֑ה	וְלָשׁ֥וֹן	קָצִ֗ין	יְפֻתֶּ֣ה	אֲפִ֭ים	בְּאֹ֣רֶךְ	15
骨を	折る	舌は	そして–柔らかな	支配者を	説得できる	忍耐の	忍耐に–よって	
H1634	H7665	H7390	H3956	H7101		H0639	H0753	

忍耐をもって説けば君も言葉をいれる、柔らかな舌は骨を砕く。

וַהֲקֵאתֽוֹ׃	תִּשְׂבָּעֶ֥נּוּ	פֶּן־	דַּ֭יֶּךָ	אֶכֹ֣ל	מָצָ֑אתָ	דְּבַ֥שׁ	16
吐く	飽きて	そうすれば	十分な–だけ	食べよ	見つけたなら	蜜を	
H6958	H7646	H6435	H1767	H0398	H4672	H1706	

蜜を得たならば、ただ足るほどにこれを食べよ、おそらくは食べすごして、それを吐き出すであろう。

וְשִׂנֵאָךְ׃	יִשְׂבָּעֲךָ	פֶּן־	רֵעֶךָ	מִבֵּית	רַגְלֶךָ	הַקַּר	17
嫌う	飽きて	そうすれば	あなたの–隣人の	家から	あなたの–足を	控えよ	
H8130	H7646	H6435	H7453		H7272	H3365	

隣り人の家に足をしげくしてはならない、おそらくは彼は煩わしくなって、あなたを憎むようになろう。

שָׁקֶר׃	עֵד	בְּרֵעֵהוּ	עֹנֶה	אִישׁ	שָׁנוּן	וְחֵץ	וְחֶרֶב	מֵפִיץ	18
偽りの	証人として	隣人に–対して	証言する	人は	鋭い	鋭い–矢である	剣と	棍棒と	
H8267	H5707	H7453		H0376	H8150	H2671	H2719	H4650	

隣り人に敵して偽りのあかしを立てる人は、こん棒、つるぎ、または鋭い矢のようだ。

צָרָה׃	בְּיוֹם	בּוֹגֵד	מִבְטָח	מוּעָדֶת	וְרֶגֶל	רֹעָה	שֵׁן	19
苦難の	日に	裏切る–者への	信頼は	足の–ように	そして–ぐらつく	折れた	折れた–歯と	
	H3117	H0898	H4009	H4154	H7272	H7465	H8127	

悩みに会うとき不信実な者を頼みにするのは、悪い歯、またはなえた足を頼みとするようなものだ。

שִׁרִים	וְשָׁר	נָתֵר	עַל־	חֹמֶץ	קֶרָה	בְּיוֹם	וּבֶגֶד	מַעֲדֶה	20
歌を	そして–歌う–者は	炒での	上の	酢の–ように	寒い	日に	衣を	脱ぐ–ように	
	H7891	H5427		H2558	H7135	H3117			

פ	רָע׃	לֵב־	עַל
—	苦しんで–いる	心の–上に	の–上に

心の痛める人の前で歌をうたうのは、寒い日に着物を脱ぐようであり、また傷の上に酢をそそぐようだ。

צָמֵא	וְאִם־	לַחֶם	הַאֲכִלֵהוּ	שֹׂנַאֲךָ	רָעֵב	אִם־	21
渇いて–いるなら	そして–もし	パンを	食べさせよ	あなたの–敵が	飢えて–いるなら	もし	
H6771		H3899	H0398	H8130	H7457		

מָיִם׃	הַשְׁקֵהוּ
水を	飲ませよ
H4325	H8248

もしあなたのあだが飢えているならば、パンを与えて食べさせ、もしかわいているならば水を与えて飲ませよ。

לָךְ׃	יְשַׁלֶּם־	וַיהוָה	רֹאשׁוֹ	עַל־	חֹתֶה	אַתָּה	גֶּחָלִים	כִּי	22
あなたに	報いる	そして–主が	その–頭の	上に	積む	あなたが	燃える–炭を	なぜなら	
		H3068			H2846		H1513		

こうするのは、火を彼のこうべに積むのである、主はあなたに報いられる。

סָתֶר׃	לְשׁוֹן	נִזְעָמִים	וּפָנִים	גֶּשֶׁם	תְּחוֹלֵל	צָפוֹן	רוּחַ	23
隠れた	舌である	怒った	そして–顔は	雨を	生み出す	北の	風は	
	H3956	H2194	H6440	H1653		H6828	H7307	

北風は雨を起し、陰言をいう舌は人の顔を怒らす。

מִדְיָנִים)	[מדונים]	מֵאֵשֶׁת	גַּג	פִּנַּת־	עַל־	שֶׁבֶת	טוֹב	24
争い好きな	争い好きな	争い好きな–妻と	屋根の	屋根の–隅に	上の	住む–ことは	良い	
H4066	H4066	H0802	H1406	H6438		H3427		

חָבֵר׃	וּבֵית
いる–より	そして–共同の–家に
H2267	

争いを好む女と一緒に家におるよりは、屋根のすみにおるほうがよい。

מַ֥יִם	קָרִ֗ים	עַל־	נֶ֫פֶשׁ	עֲיֵפָ֥ה	וּשְׁמוּעָ֑ה	טוֹבָ֥ה	מֵ֝אֶ֗רֶץ	מֶרְחָ֥ק׃	25
水は	冷たい	に–対して	魂に	疲れた	そして–知らせは	良い	地からの	遠い	
H4325	H7119		H5315	H5889	H8052		H0776	H4801	

遠い国から来るよい消息は、かわいている人が飲む冷やかな水のようだ。

מַעְיָ֥ן	נִ֝רְפָּ֗שׁ	וּמָקוֹר	מָשְׁחָ֥ת	צַ֝דִּ֗יק	מָ֣ט	לִפְנֵי־	רָשָׁ֑ע׃	26
泉は	濁った	そして–溝は	汚れた	正しい–者が	よろめく	前で	悪者の	
H4599	H7515	H4726	H7843	H6662	H4131	H6440	H7563	

正しい者が悪い者の前に屈服するのは、井戸が濁ったよう、また泉がよごれたようなものだ。

אָכְל	דְּבַשׁ	הַרְבּוֹת	לֹא־	טוֹב	וְחֵקֶר	כְּבֻדָּם	כָּב֥וֹד׃	27
食べる–ことは	蜜を	多く	ない	良くない	そして–探る–ことは	その–栄誉を	栄誉である	
H0398	H1706		H3808		H2714	H3519	H3519	

蜜を多く食べるのはよくない、ほめる言葉は控え目にするがよい。

עִיר	פְּרוּצָה	אֵין	חוֹמָה	אִישׁ	אֲשֶׁר	אֵין	מַעְצָר	לְרוּחוֹ׃	28
町は	崩れた	ない	城壁が	人は	その–者は	ない	制御が	自分の–霊の	
	H6555	H0369	H2346	H0376		H0369	H4623	H7307	

自分の心を制しない人は、城壁のない破れた城のようだ。

Chapter 26

לִכְסִ֑יל	נָאוֶ֥ה	לֹא־	כֵ֝֗ן	בַּקָּצִ֥יר	וְכַמָּטָ֑ר	בַּקַּ֥יִץ	וּכְשֶׁ֝לֶג	1
愚か者には	ふさわしくない	ふさわしく–ない	そのように	収穫に	雨の–ように	夏に	雪の–ように	
H3684	H5000	H3808			H4306	H7019	H7950	

כָּבֽוֹד׃
誉れは
H3519

誉が愚かな者にふさわしくないのは、夏に雪が降り、刈入れの時に雨が降るようなものだ。

)לוֹ(	]לֹא[	חִנָּ֑ם	קְלָלַ֥ת	כֵּ֝֗ן	לָעוּף֮	כִּדְרוֹר֒	לָנ֣וּד	כַּצִּפּ֣וֹר	2
彼には	—	いわれなき	のろい	そのように	飛ぶ	つばめの–ように	さまよい	雀の–ように	
	H3808	H2600	H7045			H1866	H5110	H6833	

תָּבֹֽא׃
来ない
H0935

いわれのないのろいは、飛びまわるすずめや、飛びかけるつばめのようなもので、止まらない。

כְּסִילִ֑ים	לְגֵ֣ו	וְשֵׁ֥בֶט	לַחֲמ֑וֹר	מֶ֝תֶג	לַסּ֗וּס	שׁ֣וֹט	3
愚か者たち	の–背に	そして–杖は	ろばに	くつわは	馬に	革むちは	
H3684		H7626	H2543	H4964		H7752	

馬のためにはむちがあり、ろばのためにはくつわがあり、愚かな者の背のためにはつえがある。

גַּם־	לוֹ	תִּשְׁוֶה־	פֶּן־	כְּאִוַּלְתּ֑וֹ	כְּסִ֣יל	תַּ֭עַן	אַל־	4
さえも	彼と	等しく–なる	さもなくば	その–愚かさに–応じて	愚か者に	答えるな	答える–な	
H1571			H6435	H0200	H3684		H0408	

אָֽתָּה׃
お前も

愚かな者にその愚かさにしたがって答をするな、自分も彼と同じようにならないためだ。

בְּעֵינָיו׃	חָכָם	יִהְיֶה	פֶּן־	כְּאִוַּלְתּוֹ	כְּסִיל	עֲנֵה	5
自分の-目に	知恵ある-者と	なる	さもなくば	その-愚かさに-応じて	愚か者に	答えよ	
	H2450	H1961	H6435	H0200	H3684		

愚かな者にその愚かさにしたがって答をせよ、彼が自分の目に自らを知恵ある者と見ないためだ。

כְּסִיל׃	בְּיַד־	דְּבָרִים	שֹׁלֵחַ	שֹׁתֶה	חָמָס	רַגְלַיִם	מְקַצֶּה	6
愚か者	の-手に-よって	伝言を	送る-者は	飲む	不法を	足を	切り-落とす	
H3684	H3027	H1697	H7971	H8354	H2555	H7272	H7096	

愚かな者に託して事を言い送る者は、自分の足を切り去り、身に害をうける。

כְּסִילִים׃	בְּפִי	וּמָשָׁל	מִפִּסְחַ	שֹׁקִים	דַּלְיוּ	7
愚か者たち	の-口に	そのように-箴言は	足の-不自由な-者から	両足が	垂れ下がる	
H3684	H6310	H4912	H6455	H7785	H1809	

あしなえの足は用がない、愚かな者の口には箴言もそれにひとしい。

כָּבוֹד׃	לִכְסִיל	נוֹתֵן	כֵּן־	בְּמַרְגֵּמָה	אֶבֶן	כִּצְרֹר	8
誉れを	愚か者に	与える-者は	そのように	石投げに	石を	石を-縛る-ように	
H3519	H3684	H5414		H4773	H0068		

誉を愚かな者に与えるのは、石を石投げにつなぐようだ。

כְּסִילִים׃	בְּפִי	וּמָשָׁל	שִׁכּוֹר	בְּיַד־	עָלָה	חוֹחַ	9
愚か者たち	の-口に	そのように-箴言は	酔っぱらい	の-手に	上がる	茨が	
H3684	H6310	H4912	H7910	H3027	H5927	H2336	

愚かな者の口に箴言があるのは、酔った者が、とげのあるつえを手で振り上げるようだ。

עֹבְרִים׃	וְשֹׂכֵר	כְּסִיל	וְשֹׂכֵר	כֹּל	מְחוֹלֵל־	רַב	10
通りがかりを	また-雇う	愚か者を	そして-雇う-者は	すべてを	傷つける	射手が	
		H3684		H3605			

通りがかりの愚か者や、酔った者を雇う者は、すべての人を傷つける射手のようだ。

בְּאִוַּלְתּוֹ׃	שׁוֹנֶה	כְּסִיל	קֵאוֹ	עַל־	שָׁב	כְּכֶלֶב	11
その-愚かさを	繰り返す	愚か者は	その-吐いた-ものに	に	戻る	犬の-ように	
H0200		H3684			H7725	H3611	

犬が帰って来てその吐いた物を食べるように、愚かな者はその愚かさをくり返す。

מִמֶּנּוּ׃	לִכְסִיל	תִּקְוָה	בְּעֵינָיו	חָכָם	אִישׁ	רָאִיתָ	12
彼よりも	愚か者に	望みが-ある	自分の-目に	知恵ある-と	人を	見たか	
	H3684			H2450	H0376	H7200	

自分の目に自らを知恵ある者とする人を、あなたは見るか、彼よりもかえって愚かな人に望みがある。

רְחֹבוֹת׃	בֵּין	אֲרִי	בַּדֶּרֶךְ	שָׁחַל	עָצֵל	אָמַר	13
広場	の-間に	獅子が	道に	獅子が	なまけ者は	言う	
H7339	H0996		H1870	H7826	H6102	H0559	

なまけ者は、「道にししがいる、ちまたにししがいる」という。

מִטָּתוֹ׃	עַל־	וְעָצֵל	צִירָהּ	עַל־	תִּסּוֹב	חֲדֶלֶת	14
その-寝台	の-上で	そして-なまけ者は	その-ちょうつがい	の-上で	回る	戸が	
H4296		H6102			H5437		

戸がちょうつがいによって回るように、なまけ者はその寝床で寝返りをする。

15 טָמַן עָצֵל יָדוֹ בַּצַּלָּחַת נִלְאָה לַהֲשִׁיבָהּ אֶל־פִּיו׃
埋める なまけ者は その–手を 皿に 疲れる 戻す–ことを に その–口に
H2934 H6102 H3027 H6747 H3811 H7725 H0413 H6310

なまけ者は手を皿に入れても、それを口に持ってゆくことをいとう。

16 חָכָם עָצֵל בְּעֵינָיו מִשִּׁבְעָה מְשִׁיבֵי טָעַם׃
知恵が–あると なまけ者は 自分の–目に 七人の 答える–者より 道理ある
H2450 H6102 H7651 H7725 H2940

なまけ者は自分の目に、良く答えることのできる七人の者よりも、自らを知恵ありとする。

17 מַחֲזִיק בְּאָזְנֵי־כֶלֶב עֹבֵר מִתְעַבֵּר עַל־רִיב לֹא־לוֹ׃
つかむ の–耳を 犬 通り–がかりが 怒る に–ついて 争いに 自分の–でない 彼の
H2388 H0241 H3611 H5674 H5921 H7379 H3808

自分に関係のない争いにたずさわる者は、通りすぎる犬の耳をとらえる者のようだ。

18 כְּמִתְלַהְלֵהַּ הַיֹּרֶה זִקִּים חִצִּים וָמָוֶת׃
狂人の–ように 放つ–者は 火花を 矢を そして–死を
H2048 H3384 H2671 H4194

19 כֵּן־אִישׁ רִמָּה אֶת־רֵעֵהוּ וְאָמַר הֲלֹא־מְשַׂחֵק אָנִי׃
そのように 人は 欺いた を その–隣人を そして–言う では–ないか 冒談だと 私は
H3651 H0376 H7411 H0853 H7453 H0559 H3808 H7832 H0589

隣り人を欺いて、「わたしはただ戯れにした」という者は、燃え木または矢、または死を、投げつける気違いのようだ。

20 בְּאֶפֶס עֵצִים תִּכְבֶּה־אֵשׁ וּבְאֵין נִרְגָּן יִשְׁתֹּק מָדוֹן׃
なくなれば 薪が 消える– 火は いなくなれば 陸口が 静まる 争いは
H3615 H6086 H3518 H0784 H0369 H5372 H8367 H4066

たきぎがなければ火は消え、人のよしあしを言う者がなければ争いはやむ。

21 פֶּחָם וְעֵצִים לְאֵשׁ וְאִישׁ [מדונים] (מְדָנִים) לְחַרְחַר־רִיב׃
炭は 薪は 火に そして–人は — 争い好きの あおり–立てる 争いを
H6352 H6086 H0784 H0376 H4066 H4066 H2787 H7379

פ
—

おき火に炭をつぎ、火にたきぎをくべるように、争いを好む人は争いの火をおこす。

22 דִּבְרֵי נִרְגָּן כִּמְתַלַּהֲמִים וְהֵם יָרְדוּ חַדְרֵי־בָטֶן׃
の–言葉は 陸口の 美味な–ものの–ようだ そして–それらは 下る の–奥まで 腹
H1697 H5372 H3859 H1992 H3381 H2315 H0990

人のよしあしをいう者の言葉はおいしい食物のようで、腹の奥にしみこむ。

23 כֶּסֶף סִיגִים מְצֻפֶּה עַל־חֶרֶשׂ שִׂפְתַיִם דֹּלְקִים וְלֵב־רָע׃
銀の かす 上塞ぎした の–上に 土器 の–唇は 燃える と–残念な 心
H3701 H5509 H6823 H5921 H2789 H8193 H1814

くちびるはなめらかであっても、心の悪いのは上ぐすりをかけた土の器のようだ。

24 [בשפתו] (בְּשִׂפְתָיו) יְנַכֵּר שׂוֹנֵא וּבְקִרְבּוֹ יָשִׁית מִרְמָה׃
— その–唇で 偽る 恨む–者は その–内に 企む 欺きを
H8193 H8193 H5234 H8130 H7130 H7896 H4820

憎む者はくちびるをもって自ら飾るけれども、心のうちには偽りをいだく。

תּוֹעֲבֹ֥ות	שֶׁ֝בַע	כִּי	בֹ֗ו	תַּאֲמִ֣ין	אַל־	קֹולֹ֣ו	יְחַנֵּ֑ן	כִּי־	25
忌まわしき-ものが	七つの	なぜなら	彼を	信じるな	信じる-な	その-声を	優しく-する	たとえ	
H8441	H7651			H0539	H0408				

בְּלִבֹּֽו׃
その-心に

彼が声をやわらげて語っても、信じてはならない。その心に七つの憎むべきものがあるからだ。

בַּקָּהָֽל׃	רָעָתֹ֑ו	תִּגָּלֶ֥ה	בְּמִשְׁאֹ֗ון	שִׂנְאָ֫ה	תְּכַסֶּ֥ה	26
会衆の-中で	その-悪は	あらわれる	欺きで	恨しみは	覆われても	
H6951		H1540	H4860	H8135	H3680	

たとい偽りをもってその憎しみをかくしても、彼の悪は会衆の中に現れる。

תָּשׁ֥וּב׃	אֵלָ֑יו	אֶ֥בֶן	וְגֹלֵ֗ל	יִפֹּ֥ל	בָּ֫הּ	שַׁ֣חַת	כֹּרֶ֥ה־	27
戻って-くる	彼に	石を	転がす-者は	落ちる	それに	穴を	掘る-者は	
H7725	H0413	H0068	H1556	H5307		H7845		

穴を掘る者は自らその中に陥る、石をまろばしあげる者の上に、その石はまろびかえる。

מִדְחֶֽה׃	יַעֲשֶׂ֑ה	חֶ֝לֶק	וּפֶ֥ה	דַּכָּיו	יִשְׂנָ֥א	שֶׁ֝קֶר	לָשׁ֥וֹן־	28
滅びを	もたらす	へつらいの	そして-口は	その-傷つけた-者を	恨む	偶りの	の-舌は	
H4072		H2509	H6310	H1790	H8130	H8267	H3956	

偽りの舌は自分が傷つけた者を憎み、へつらう口は滅びをきたらせる。

Chapter 27

יֹּֽום׃	תֵּלֵ֥ד	מַה־	תֵּדַ֑ע	לֹא־	כִּי	מָחָ֗ר	בְּיֹום	תִּתְהַלֵּ֥ל	אַל־	1
日が	生むか	何を	知らない	知ら-ない	なぜなら	明日	の-日を	誇るな	誇る-な	
H3117	H3205	H4100	H3045	H3808		H4279	H3117		H0408	

あすのことを誇ってはならない、一日のうちに何がおこるかを知ることができないからだ。

שְׂפָתֶֽיךָ׃	וְאַל־	נָכְרִ֑י	פִּ֥יךָ	וְלֹא־	זָ֗ר	יְהַלֶּלְךָ֥	2
あなたの-唇が	では-なく	異国人に	あなたの-口が	では-なく	他人に	たたえさせよ	
H8193	H0408	H5237	H6310	H3808			

自分の口をもって自らをほめることなく、他人にほめさせよ。自分のくちびるをもってせず、ほかの人にあなたをほめさせよ。

מִשְּׁנֵיהֶֽם׃	כֹּ֣בֶד	אֱוִ֑יל	וְכַעַס	הַחֹ֥ול	וְנֵטֶל	אֶ֥בֶן	כֹּֽבֶד־	3
両方よりも	重い	愚か者の	しかし-怒りは	砂も	重い	石も	重い	
H8147	H3515	H0191		H2344	H5192	H0068	H3514	

石は重く、砂も軽くはない、しかし愚かな者の怒りはこの二つよりも重い。

קִנְאָֽה׃	לִפְנֵ֣י	יַעֲמֹ֑ד	וּמִי	אָ֗ף	וְשֶׁטֶף	חֵמָ֥ה	אַכְזְרִיּ֥וּת	4
嫉妬	の-前に	耐えられようか	しかし-誰が	激しい-怒りも	あふれる	怒りも	残忍な	
H7068	H6440	H5975	H4310	H0639	H7858	H2534	H0395	

憤りはむごく、怒りははげしい、しかしねたみの前には、だれが立ちえよう。

מְסֻתָּֽרֶת׃	מֵאַהֲבָ֣ה	מְגֻלָּ֑ה	תֹּוכַ֥חַת	טֹובָ֗ה	5
隠された	よりも-愛は	あらわな	戸責は	良い	
H5641	H0160	H1540			

あからさまに戒めるのは、ひそかに愛するのにまさる。

נֶאֱמָנִים	פִּצְעֵי	אוֹהֵב	וְנַעְתָּרוֹת	נְשִׁיקוֹת	שׂוֹנֵא׃
誠実だ	の–傷は	友の	しかし–多すぎる	の–口づけは	敵
H0539	H6482	H0157	H6280	H5390	H8130

6

愛する者が傷つけるのは、まことからであり、あだの口づけするのは偽りからである。

מָתוֹק׃	מֹר	כָּל־	רְעֵבָה	וְנֶפֶשׁ	נֹפֶת	תָּבוּס	שְׂבֵעָה	נֶפֶשׁ
甘い	苦い–ものも	すべての	飢えた	しかし–の–魂には	蜂蜜を	踏みつける	満ちた	の–魂は
H4966	H4751	H3605	H7457	H5315	H5317	H0947	H7649	H5315

7

飽いている者は蜂蜜をも踏みつける、しかし飢えた者には苦い物でさえ、みな甘い。

מִמְּקוֹמוֹ׃	נוֹדֵד	אִישׁ	כֵּן־	קִנָּהּ	מִן־	נוֹדֶדֶת	כְּצִפּוֹר
その–場所から	さまよう	人は	そのように	その–巣	から	さまよう–鳥	の–ように
H4725	H5074	H0376		H7064		H5074	H6833

8

その家を離れてさまよう人は、巣を離れてさまよう鳥のようだ。

נָפֶשׁ׃	מֵעֲצַת־	רֵעֵהוּ	וּמֶתֶק	לֵב	יְשַׂמַּח־	וְקְטֹרֶת	שֶׁמֶן
魂	の–助言よりも	友の	そして–甘さは	心を	喜ばせる	香りは	油と
H5315	H6098	H7453	H4986		H8055	H7004	H8081

9

油と香とは人の心を喜ばせる、しかし魂は悩みによって裂かれる。

תֶּבוֹא	אַל־	אָחִיךָ	וּבֵית	תַּעֲזֹב	אַל־	אָבִיךָ	(וְרֵעַ	[ורעה]	רֵעֲךָ
行くな	行く–な	兄弟	の–家にも	捨てるな	捨てる–な	父の	友と	—	の–友を
H0935	H0408	H0251			H0408	H0001	H7453	H7463	H7453

רָחוֹק׃	מֵאָח	קָרוֹב	שָׁכֵן	טוֹב	אֵידֶךָ	בְּיוֹם
遠くの	よりも–兄弟が	近く	の–隣人が	良い	あなたの–災い	の–日に
H7350	H0251	H7138	H7934		H0343	H3117

10

あなたの友、あなたの父の友を捨てるな、あなたが悩みにあう日には兄弟の家に行くな、近い隣り人は遠くにいる兄弟にまさる。

דָּבָר׃	חֹרְפִּי	וְאָשִׁיבָה	לִבִּי	וְשַׂמַּח	בְּנִי	חֲכָם
言葉を	ののしる–者に	そして–答えよう	私の–心を	そして–喜ばせよ	わが–子よ	賢く–あれ
H1697		H7725		H8055		H2449

11

わが子よ、知恵を得て、わたしの心を喜ばせよ、そうすればわたしをそしる者に答えることができる。

נֶעְנָשׁוּ׃	עָבְרוּ	פְּתָאיִם	נִסְתָּר	רָעָה	רָאָה	עָרוּם
罰を–受ける	通り–過ぎて	経験なき–者は	隠れる	災いを	見て	賢い–者は
H6064			H5641		H7200	H6175

12

賢い者は災を見て自ら避け、思慮のない者は進んでいって、罰をうける。

חַבְלֵהוּ׃	נָכְרִיָּה	וּבְעַד	זָר	עָרַב	כִּי־	בִגְדוֹ	קַח־
質に–取れ	異国の–女の	の–ために	他人の–ために	保証した–のだから	彼が	その–着物を	取れ
	H5237	H1157		H6148			H3947

13

人のために保証する者からは、まずその着物をとれ、他人のために保証をする者をば抵当に取れ。

לוֹ׃	תֵּחָשֵׁב	קְלָלָה	הַשְׁכֵּים	בַּבֹּקֶר	גָּדוֹל	בְּקוֹל	וְרֵעֵהוּ	מְבָרֵךְ
彼に	みなされる	のろいと	早く	朝–早く	大きな	の–声で	その–友を	祝福する–者は
	H2803	H7045	H7925	H1242			H7453	H1288

14

朝はやく起きて大声にその隣り人を祝すれば、かえってのろいと見なされよう。

15 דֶּלֶף טוֹרֵד בְּיוֹם סַגְרִיר וְאֵשֶׁת [מדונים] (מְדְיָנִים) נִשְׁתָּוָה׃
漏れる 絶えず の-日に 雨 と-女は — 争い好きの 同じだ
H1812 H2956 H3117 H5464 H0802 H4066 H4066 H4066

雨の降る日に雨漏りの絶えないのと、争い好きな女とは同じだ。

16 צֹפְנֶיהָ צָפַן רוּחַ וְשֶׁמֶן יְמִינוֹ יִקָּרֵא׃
隠す 隠す-者は 風を その-油も 右手で 呪ばれる
H6845 H6845 H7307 H8081 H3225 H7121

この女を制するのは風を制するのとおなじく、右の手に油をつかむのとおなじだ。

17 בַּרְזֶל בְּבַרְזֶל יָחַד וְאִישׁ יַחַד פְּנֵי־ רֵעֵהוּ׃
鉄は 鉄で 磨く そして-人は 磨かれる の-顔を その-友
H1270 H1270 H2296 H0376 H2296 H6440 H7453

鉄は鉄をとぐ、そのように人はその友の顔をとぐ。

18 נֹצֵר תְּאֵנָה יֹאכַל פְּרִיָהּ וְשֹׁמֵר אֲדֹנָיו יְכֻבָּד׃
守る-者は いちじくの-木を 食べる その-実を 仕える-者は その-主人に 尊ばれる
H5341 H8384 H0398 H6529 H8104 H0113 H3513

いちじくの木を守る者はその実を食べる、主人を尊ぶ者は誉を得る。

19 כַּמַּיִם הַפָּנִים לַפָּנִים כֵּן לֵב־ הָאָדָם לָאָדָם׃
の-ように 顔は 顔に-対して そのように の-心は 人 人に-対して
H4325 H6440 H6440 H3651 H3820 H0120 H0120

水にうつせば顔と顔とが応じるように、人の心はその人をうつす。

20 שְׁאוֹל [ואבדה] (וַאֲבַדּוֹן) לֹא תִשְׂבַּעְנָה עֵינֵי וְנֶפֶשׁ הָאָדָם לֹא׃
陰府も — 滅びも 満たされない の-目も 人 満たさ-れない
H7585 H0011 H0011 H7646 H5869 H0120 H3808

תִשְׂבַּעְנָה׃
満たされない
H7646

陰府と滅びとは飽くことなく、人の目もまた飽くことがない。

21 מַצְרֵף לַכֶּסֶף וְכוּר לַזָּהָב וְאִישׁ לְפִי מְהַלָּלוֹ׃
るつぼは 銀の-ために 炉は 金の-ために そして-人は に-よって その-評判
H4715 H3701 H3564 H2091 H0376 H6310 H4110

るつぼによって銀をためし、炉によって金をためす、人はその称賛によってためされる。

22 אִם תְּכַתֵּוּשׁ־ אֶת־ הָאֱוִיל בְּתוֹךְ הָרִיפוֹת בְּעֵלִי בְמַכְתֶּשׁ לֹא־ תָסוּר מֵעָלָיו אִוַּלְתּוֹ׃ פ
たとえ 砕いても を 愚か者を すり鉢に 粒の 杖で 離れ-ない 離れない 彼から その-愚かさは —
H3806 H0853 H0191 H4388 H7383 H5940 H3808 H5493 H0200

愚かな者をうすに入れ、きねをもって、麦と共にこれをついても、その愚かさは去ることがない。

23 יָדֹעַ תֵּדַע פְּנֵי צֹאנֶךָ שִׁית לִבְּךָ לַעֲדָרִים׃
よく-知れ 知れ の-様子を あなたの-羊 心を-向けよ 心を 群れに
H3045 H3045 H6440 H6629 H7896 H3820 H5739

23

あなたの羊の状態をよく知り、あなたの群れに心をとめよ。

24 כִּי לֹא לְעוֹלָם חֹסֶן וְאִם־נֵזֶר לְדֹר [דור] (וָדֹור׃)
なぜなら ない 永遠には 富は もし-ない 冠も の-代まで — 代
H3808 H5769 H2633 H3808 H5145 H1755 H1755 H1755

富はいつまでも続くものではない、どうして位が末代までも保つであろうか。

25 נִגְלָה חָצִיר וְנִרְאָה־דֶשֶׁא וְנֶאֱסְפוּ עִשְׂבוֹת הָרִים׃
現れる 草が 見え-来る 若草が そして-集められる 草が 山の
H1540 H2022 H7200 H1877 H0622 H6212 H2022

草が刈り取られ、新しい芽がのび、山の牧草も集められると、

26 כְּבָשִׂים לִלְבוּשֶׁךָ וּמְחִיר שָׂדֶה עַתּוּדִים׃
子羊は あなたの-衣の-ために の-代価は 畠の 雄山羊
H3532 H3830 H4242 H7704 H6260

小羊はあなたの衣料を出し、やぎは畑を買う価となり、

27 וְדֵי עִזִּים חֲלֶב לְלַחְמֵךְ לְלֶחֶם בֵּיתֶךָ וְחַיֵּים לְנַעֲרוֹתָיִךְ׃
十分な の-乳が 山羊 あなたの-食物の-ために の-食物 あなたの-家 の-命と 女中たち
H1767 H2461 H5795 H3899 H3899 H1004 H5291

やぎの乳は多くて、あなたと、あなたの家のものの食物となり、おとめらを養うのにじゅうぶんである。

Chapter 28

1 נָס וְאֵין־רֹדֵף וְצַדִּיקִים כְּכְפִיר בָּטֶחַ׃
逃げる 追う-者も-ないのに 追う者の 悪人は しかし-義人は 若き-獅子の-ように 安心する
H5127 H0369 H7291 H7563 H6662 H3715 H0982

悪しき者は追う人もないのに逃げる、正しい人はししのように勇ましい。

2 בְּפֶשַׁע אֶרֶץ רַבִּים שָׂרֶיהָ וּבְאָדָם מֵבִין יֹדֵעַ כֵּן יַאֲרִיךְ׃
の-背きに-より 国 多くなる その-支配者は しかし-人に-より 悟る 知る そのように 長く-続く
H6588 H0776 H7227 H8269 H0120 H0995 H3045 H3651 H0748

国の罪によって、治める者は多くなり、さとく、また知識ある人によって、国はながく保つ。

3 גֶּבֶר רָשׁ וְעֹשֵׁק דַּלִּים מָטָר סֹחֵף וְאֵין לָחֶם׃
人が 貧しい しかし-虐げる-者は 弱き-者を の-雨の-ようだ 押し-流す そして-ない パンも
H1397 H7326 H6231 H1800 H4306 H5502 H0369 H3899

貧しい者をしえたげる貧しい人は、糧食を残さない激しい雨のようだ。

4 עֹזְבֵי תּוֹרָה יְהַלְלוּ רָשָׁע וְשֹׁמְרֵי תּוֹרָה יִתְגָּרוּ בָם׃ פ
捨てる-者は 律法を ほめる 悪人を しかし-守る-者は 律法を 戦う 彼らと —
H8451 H7563 H8104 H8451 H1624

律法を捨てる者は悪しき者をほめる、律法を守る者はこれに敵対する。

5 אַנְשֵׁי־רָע לֹא־יָבִינוּ מִשְׁפָּט וּמְבַקְשֵׁי יְהוָה יָבִינוּ כֹּל׃
の-人々は 悪 理解し-ない わからない 正義を しかし-求める-者は 主を 理解する すべてを
H0376 H7451 H3808 H0995 H4941 H1245 H3068 H0995 H3605

悪人は正しいことを悟らない、主を求める者はこれをことごとく悟る。

טוֹב־	רָשׁ	הוֹלֵךְ	בְּתֻמּוֹ	מֵעִקֵּשׁ	דְּרָכַיִם	וְהוּא	עָשִׁיר׃	6
良い	貧しくても	歩む-者が	誠実に	よりも-曲がった	道を-歩む	彼が	富んでいても	
	H7326	H1980	H8537	H6141	H1870	H1931	H6223	

正しく歩む貧しい者は、曲った道を歩む富める者にまさる。

נוֹצֵר	תּוֹרָה	בֶּן	מֵבִין	וְרֹעֶה	זוֹלְלִים	יַכְלִים	אָבִיו׃	7
守る-者は	律法を	息子は	悟る	しかし-交わる-者は	大食いと	恥ずかしめる	その-父を	
H5341	H8451		H0995			H3637	H0001	

律法を守る者は賢い子である、不品行な者と交わるものは、父をはずかしめる。

מַרְבֶּה	הוֹנוֹ	בְּנֶשֶׁךְ	]ובתרבית[	(וְתַרְבִּית	לְחוֹנֵן	דַּלִּים		8
増やす-者は	その-富を	利子で	—	高利で	の-ために-集める	貧しい-者を-憐れむ		
	H1952	H5392	H8636	H8636		H1800		

יְקַבְּצֶנּוּ׃	
集める	
H6908	

利息と高利とによってその富をます者は、貧しい者を恵む者のために、それをたくわえる。

תּוֹעֵבָה׃	תְּפִלָּתוֹ	גַּם־	תּוֹרָה	מִשְׁמַע	אָזְנוֹ	מֵסִיר		9
忌まわしい	の-祈りさえ	その	律法を	から-聞く-こと	その-耳を	そらす-者は		
H8441	H8605	H1571	H8451	H8085	H0241	H5493		

耳をそむけて律法を聞かない者は、その祈でさえも憎まれる。

יִנְחֲלוּ־	טוֹב׃							10
受け-継ぐ	良い-ものを							
H5157								

וּתְמִימִים	יִפֹּל	הוּא־	בִּשְׁחוּתוֹ	רָע	בְּדֶרֶךְ	וְיִשְׁרִים	מַשְׁגֶּה	10
しかし-全き-者は	落ちる	自分が	その-穴に	悪い	の-道に	正しい-人を	迷わす-者は	
H8549	H5307	H1931	H7816		H1870	H3477	H7686	

正しい者を悪い道に惑わす者は、みずから自分の穴に陥る、しかし誠実な人は幸福を継ぐ。

יַחְקְרֶנּוּ׃	מֵבִין	וְדַל	עָשִׁיר	אִישׁ	בְּעֵינָיו	חָכָם		11
見抜く	悟る-者は	しかし-貧しい	富んだ	人は	自分の-目に	知恵ある-と		
H2713	H0995	H1800	H6223	H0376		H2450		

富める人は自分の目に自らを知恵ある者と見る、しかし悟りのある貧しい者は彼を見やぶる。

בַּעֲלֹץ	צַדִּיקִים	רַבָּה	תִּפְאֶרֶת	וּבְקוּם	רְשָׁעִים	יֵחָפֵשׂ	אָדָם׃	12
に-喜ぶ-とき	義人が	大きい	栄光は	しかし-に-起つ-とき	悪人が	隠れる	人は	
H5970	H6662		H8597		H7563	H2664	H0120	

正しい者が勝つときは、大いなる栄えがある、悪しき者が起るときは、民は身をかくす。

יְרֻחָם׃	וְעֹזֵב	וּמוֹדֶה	יַצְלִיחַ	לֹא	פְּשָׁעָיו	מְכַסֶּה		13
憐れみを-受ける	捨てる-者は	しかし-告白し	成功しない	成功し-ない	その-背きを	隠す-者は		
H7355		H3034		H3808	H6588	H3680		

その罪を隠す者は栄えることがない、言い表わしてこれを離れる者は、あわれみをうける。

בְּרָעָה׃	יִפֹּל	לִבּוֹ	וּמַקְשֶׁה	תָּמִיד	מְפַחֵד	אָדָם	אַשְׁרֵי	14
災いに	落ちる	その-心を	しかし-かたくなに-する-者は	常に	常に-畏れる	の-人は	幸いだ	
	H5307		H7185	H8548	H6342	H0120	H0835	

常に主を恐れる人はさいわいである、心をかたくなにする者は災に陥る。

15
דָּל׃	עַם־	עַל	רָשָׁע	מֹשֵׁל	שׁוֹקֵק	וְדֹב	נֹהֵם	אֲרִי־
弱き	の–民の	の–上に	悪い	悪い–支配者は	うろつく	そして–熊は	うなる	の–獅子は
H1800			H7563	H4910	H8264	H1677	H5098	

貧しい民を治める悪いつかさは、ほえるしし、または飢えたくまのようだ。

16
יַאֲרִיךְ	בֶּצַע	)שֹׂנֵא(	]שנאי[	מַעֲשַׁקּוֹת	וְרַב	תְּבוּנוֹת	חֹסַר	נָגִיד
長く–する	不正な–利得を	憎む–者は	—	圧制も	多いのは	悟りを	欠く	指導者が
H0748	H1215	H8130	H8130	H4642		H8394	H2638	H5057

פ	יָמִים׃
—	日々を
	H3117

悟りのないつかさは残忍な圧制者である、不正の利を憎む者は長命を得る。

17
בּוֹ׃	יִתְמְכוּ־	אַל־	יָנוּס	בּוֹר	עַד־	נֶפֶשׁ	בְּדַם־	עָשֻׁק	אָדָם
彼を	支えるな–彼を	支える–な	逃げる	の–墓へ	まで	魂	の–血を	負う	の–人は
	H8551	H0408	H5127		H5704	H5315	H1818	H6231	H0120

人を殺してその血を身に負う者は死ぬまで、のがれびとである、だれもこれを助けてはならない。

18
בְּאֶחָת׃	יִפּוֹל	דְּרָכַיִם	וְנֶעְקָשׁ	יִוָּשַׁע	תָּמִים	הוֹלֵךְ
一つに	落ちる	二つの–道を	しかし–曲がった	救われる	全き–道を	歩む–者は
H0259	H5307	H1870	H6140	H3467	H8549	H1980

正しく歩む者は救を得、曲った道に歩む者は穴に陥る。

19
יִשְׂבַּע־	רֵקִים	וּמְרַדֵּף	לֶחֶם	יִשְׂבַּע־	אַדְמָתוֹ	עֹבֵד
満たされる	空しい–ものを	しかし–追う–者は	パンで	満たされる	その–土地を	耕す–者は
H7646	H7386	H7291	H3899	H7646	H0127	H5647

רִישׁ׃
貧しさで

自分の田地を耕す者は食糧に飽き、無益な事に従う者は貧乏に飽きる。

20
יִנָּקֶה׃	לֹא	לְהַעֲשִׁיר	וְאָץ	בְּרָכוֹת	רַב־	אֱמוּנוֹת	אִישׁ
免れない	罰を–免れ–ない	富む–ことを	しかし–急ぐ–者は	祝福が	多い	誠実な	の–人は
H5352	H3808	H6238	H0213	H1293		H0530	H0376

忠実な人は多くの祝福を得る、急いで富を得ようとする者は罰を免れない。

21
יִפְשַׁע־	לֶחֶם	פַּת־	וְעַל־	טוֹב	לֹא־	פָּנִים	הַכֵּר־
背く–ことも–ある	パン	の–一片の	の–ために	良くない	良く–ない	顔を	えこひいきする–ことは
H6586	H3899				H3808	H6440	

גָּבֶר׃
男は
H1397

人を片寄り見ることは良くない、人は一切れのパンのために、とがを犯すことがある。

22
יְבֹאֶנּוּ׃	חֶסֶר	כִּי־	יֵדַע	וְלֹא־	עַיִן	רַע	אִישׁ	לְהוֹן	נִבְהָל
来る–ことを	乏しさが	が	知らない	知ら–ない	目の	悪い	の–人は	富を	急ぐ
H0935	H2639		H3045	H3808			H0376	H1952	H0926

欲の深い人は急いで富を得ようとする、かえって欠乏が自分の所に来ることを知らない。

מֹוכִיחַ	אָדָם	אַחֲרֵי	חֵן	יִמְצָא	מִמַּחֲלִיק	לָשׁוֹן׃	23
戒める-者は	人を	後には	好意を	見いだす	へつらう-者よりも	舌で	
H3198	H0120		H2580	H4672		H3956	

人を戒める者は舌をもってへつらう者よりも、大いなる感謝をうける。

מַשְׁחִית׃	לְאִישׁ	הוּא	חֹבֵר	פֶּשַׁע	אֵין־	וְאֹמֵר	וְאֶמּוֹ	אָבִיו	וגֹזֵל	24
滅ぼす-人	の	彼は	仲間だ	罪は	罪では-ないと	言って	母から	父や	奪う-者は	
H7843	H0376	H1931	H2270	H6588	H0369	H0559	H0517	H0001	H1497	

父や母の物を盗んで「これは罪ではない」と言う者は、滅ぼす者の友である。

יְדֻשָּׁן׃	יְהוָה	עַל־	וּבוֹטֵחַ	מָדוֹן	יְגָרֶה	נֶפֶשׁ	רְחַב־	25
満たされる	主に	に	しかし-信頼する-者は	争いを	かき-立てる	魂の	貪欲な-者は	
H1878	H3068		H0982	H4066	H1624	H5315	H7342	

むさぼる者は争いを起し、主に信頼する者は豊かになる。

יְמָלֵט׃	הוּא	בְּחָכְמָה	וְהוֹלֵךְ	כְּסִיל	הוּא	בְּלִבּוֹ	בּוֹטֵחַ	26
救われる	彼は	知恵に	しかし-歩む-者は	愚か者だ	彼は	自分の-心を	信頼する-者は	
H4422	H1931	H2451	H1980	H3684	H1931		H0982	

自分の心を頼む者は愚かである、知恵をもって歩む者は救を得る。

מְאֵרוֹת׃	רַב־	עֵינָיו	וּמַעְלִים	מַחְסוֹר	אֵין	לָרָשׁ	נוֹתֵן	27
のろいが	多い	目を	しかし-隠す-者は	乏しさは	ない	貧しき-者に	与える-者は	
H3994			H5956	H4270	H0369	H7326	H5414	

貧しい者に施す者は物に不足しない、目をおおって見ない人は多くののろいをうける。

צַדִּיקִים׃	יִרְבּוּ	וּבְאָבְדָם	אָדָם	יִסָּתֵר	רְשָׁעִים	בְּקוּם	28
義人は	増える	しかし-滅びる-とき	人は	隠れる	悪人が	に-起つ-とき	
H6662		H0006	H0120	H5641	H7563		

悪しき者が起るときは、民は身をかくす、その滅びるときは、正しい人が増す。

Chapter 29

מַרְפֵּא׃	וְאֵין	יִשָּׁבֵר	פֶּתַע	עֹרֶף	מַקְשֵׁה־	תּוֹכָחוֹת	אִישׁ	1
癒しは	そして-ない	砕かれる	突然	首を	かたくなに-する	戒めを	の-人が	
H4832	H0369	H7665	H6621	H6203	H7185		H0376	

しばしばしかられても、なおかたくなな者は、たちまち打ち敗られて助かることはない。

עָם׃	יֵאָנַח	רָשָׁע	וּבְמִשְׁל	הָעָם	יִשְׂמַח	צַדִּיקִים	בִּרְבוֹת	2
民は	うめく	悪人が	しかし-に-治める-とき	民は	喜ぶ	義人が	に-増す-とき	
	H0584	H7563	H4910		H8055	H6662		

正しい者が権力を得れば民は喜び、悪しき者が治めるとき、民はうめき苦しむ。

הוֹן׃	יְאַבֵּד־	זוֹנוֹת	וְרֹעֶה	אָבִיו	יְשַׂמַּח	חָכְמָה	אֹהֵב	אִישׁ־	3
財産を	失う	遊女と	しかし-交わる-者は	その-父を	喜ばせる	知恵を	愛する	の-人が	
H1952	H0006	H2181		H0001	H8055	H2451	H0157	H0376	

知恵を愛する人はその父を喜ばせ、遊女に交わる者はその資産を浪費する。

יְהֲרְסֶנָּה׃	תְּרוּמוֹת	וְאִישׁ	אֶרֶץ	יַעֲמִיד	בְּמִשְׁפָּט	מֶלֶךְ	4
滅ぼす-それを	貢ぎ物の	しかし-の-人は	国を	立てる	に-より	王は	
H2040	H8641	H0376	H0776	H5975	H4941	H4428	

王は公儀をもって国を堅くする、しかし、重税を取り立てる者はこれを滅ぼす。

פְּעָמָיו׃	עַל־	פּוֹרֵשׂ	רֶשֶׁת	רֵעֵהוּ	עַל־	מַחֲלִיק	גֶּבֶר	5
その–足	の–上に	張る	罔を	その–隣人を	に–対して	へつらう	人が	
H6471		H6566	H7568	H7453			H1397	

その隣り人にへつらう者は、彼の足の前に網を張る。

וְשָׂמֵחַ׃	יָרֹון	וְצַדִּיק	מוֹקֵשׁ	רָע	אִישׁ	בְּפֶשַׁע	6
喜ぶ	歌い	しかし–義人は	わなが–ある	悪い	の–人は	の–背きに	
H8055		H6662	H4170		H0376	H6588	

悪人は自分の罪のわなに陥る、しかし正しい人は喜び楽しむ。

דָּעַת׃	יָבִין	לֹא־	רָשָׁע	דַּלִּים	דִּין	צַדִּיק	יֹדֵעַ	7
知識を	理解しない	理解し–ない	悪人は	弱き–者	の–訴えを	義人は	知る	
H1847	H0995	H3808	H7563	H1800	H1779	H6662	H3045	

正しい人は貧しい者の訴えをかえりみる、悪しき人はそれを知ろうとはしない。

אָף׃	יָשִׁיבוּ	וַחֲכָמִים	קִרְיָה	יָפִיחוּ	לֻצִים	אַנְשֵׁי	8
怒りを	静める	しかし–知恵ある–者は	町を	扇動する	嘲りの	の–人々は	
H0639	H7725	H2450	H7151	H6315	H3944	H0376	

あざける人は町を乱し、知恵ある者は怒りを静める。

נָחַת׃	וְאֵין	וְשָׂחַק	וְרָגַז	אֱוִיל	אִישׁ	אֶת־	נִשְׁפָּט	חָכָם	אִישׁ־	9
休みは	ない	笑っても	怒っても	愚かな	の–人と	と	争う	知恵ある	の–人が	
	H0369	H7832	H7264	H0191	H0376	H0854	H8199	H2450	H0376	

知恵ある人が愚かな人と争うと、愚かな者はただ怒り、あるいは笑って、休むことがない。

נַפְשׁוֹ׃	יְבַקְשׁוּ	וְיֹשְׁרִים	תָּם	יִשְׂנְאוּ־	דָמִים	אַנְשֵׁי	10
その–命を	求める	しかし–正しい–者は	全き–者を	恨む	血の	の–人々は	
H5315	H1245	H3477	H8535	H8130	H1818	H0376	

血に飢えている人は罪のない者を憎む、悪しき者は彼の命を求める。

יְשַׁבְּחֶנָּה׃	בְּאָחֹור	וְחָכָם	כְּסִיל	יוֹצִיא	רוּחוֹ	כָּל־	11
静める–それを	後で	しかし–知恵ある–者は	愚か者は	出す	の–怒りを	すべての	
	H0268	H2450	H3684	H3318	H7307	H3605	

愚かな者は怒りをことごとく表わし、知恵ある者は静かにこれをおさえる。

רְשָׁעִים׃	מְשָׁרְתָיו	כָּל־	שֶׁקֶר	דִּבְרֵי־	עַל־	מַקְשִׁיב	מֹשֵׁל	12
悪い	の–家来は	すべての	偶り	の–言葉に	に	耳を–傾ける	支配者が	
H7563	H8334	H3605	H8267	H1697		H7181	H4910	

もし治める者が偽りの言葉に聞くならば、その役人らはみな悪くなる。

יְהוָה׃	שְׁנֵיהֶם	עֵינֵי	מְאִירַת־	נִפְגָּשׁוּ	תְּכָכִים	וְאִישׁ	רָשׁ	13
主は	両者の	の–目を	照らす–方	出会う	圧制する	の–人と	貧しい–者と	
H3068	H8147		H0215	H6298	H8501	H0376	H7326	

貧しい者と、しえたげる者とは共に世におる、主は彼ら両者の目に光を与えられる。

יְכוֹן׃	לָעַד	כִּסְאֹו	דַּלִּים	בֶּאֱמֶת	שׁוֹפֵט	מֶלֶךְ	14
堅く–立つ	永遠に	その–王座は	弱き–者を	誠実に	裁く	王が	
	H5703	H3678	H1800	H0571	H8199	H4428	

もし王が貧しい者を公平にさばくならば、その位はいつまでも堅く立つ。

אִמּוֹ׃	מֵבִישׁ	מְשֻׁלָּח	וְנַעַר	חָכְמָה	יִתֵּן	וְתוֹכַחַת	שֵׁבֶט	15
その-母を	恥ずかしめる	放任された	しかし-子が	知恵を	与える	戒めは	杖と	
H0517	H0954	H7971	H5288	H2451	H5414		H7626	

むちと戒めとは知恵を与える、わがままにさせた子はその母に恥をもたらす。

יִרְאוּ׃	בְּמַפַּלְתָּם	וְצַדִּיקִים	פָּשַׁע	יִרְבֶּה־	רְשָׁעִים	בִּרְבוֹת	16
見る	その-滅びを	しかし-義人は	背きも	増える	悪人が	に-増す-とき	
H7200	H4658	H6662	H6588		H7563		

悪しき者が権力を得ると罪も増す、正しい者は彼らの倒れるのを見る。

פ	לְנַפְשֶׁךָ׃	מַעֲדַנִּים	וְיִתֵּן	וְיָנַח	בְּנֶךָ	יַסֵּר	17
—	あなたの-魂に	喜びを	そして-与える	休ませる-だろう	あなたの-子を	戒めよ	
	H5315	H4574	H5414	H5117		H3256	

あなたの子を懲しめよ、そうすれば彼はあなたを安らかにし、またあなたの心に喜びを与える。

אַשְׁרֵהוּ׃	תּוֹרָה	וְשֹׁמֵר	עָם	יִפָּרַע	חָזוֹן	בְּאֵין	18
幸いだ	律法を	しかし-守る-者は	民は	乱れる	幻が	ない-ところに	
H0835	H8451	H8104			H2377	H0369	

預言がなければ民はわがままにふるまう、しかし律法を守る者はさいわいである。

מַעֲנֶה׃	וְאֵין	יָבִין	כִּי־	עָבֶד	יִוָּסֵר	לֹא־	בִּדְבָרִים	19
答えは	ない	理解しても	理解しても	しもべは	戒められない	戒められ-ない	の-言葉では	
H4617	H0369	H0995		H5650	H3256	H3808	H1697	

しもべは言葉だけで訓練することはできない、彼は聞いて知っても、心にとめないからである。

מִמֶּנּוּ׃	לִכְסִיל	תִּקְוָה	בִּדְבָרָיו	אָץ	אִישׁ	חָזִיתָ	20
彼よりも	愚か者に	望みが-ある	その-言葉に	急ぐ	人を	見たか	
	H3684		H1697	H0213	H0376	H2372	

言葉の軽率な人を見るか、彼よりもかえって愚かな者のほうに望みがある。

מָנוֹן׃	יִהְיֶה	וְאַחֲרִיתוֹ	עַבְדִּי	מִנְּעַר	מְפַנֵּק		21
恐れ	なる	その-終わりには	その-しもべを	若い-時から	甘やかす-者は		
H4497	H1961	H0319	H5650	H5290	H6445		

しもべをその幼い時からわがままに育てる人は、ついにはそれを自分のあとつぎにする。

פָּשַׁע׃	רַב־	חֵמָה	וּבַעַל	מָדוֹן	יְנָרֶה	אַף	אִישׁ־	22
背きが	多い	憤怒	の-主は	争いを	かき-立てる	怒りの	の-人は	
H6588		H2534	H1167	H4066	H1624	H0639	H0376	

怒る人は争いを起し、憤る人は多くの罪を犯す。

כָּבוֹד׃	יִתְמֹךְ	רוּחַ	וּשְׁפַל־	תַּשְׁפִּילֶנּוּ	אָדָם	גַּאֲוַת	23
誉れを	得る	の-霊は	しかし-低き	低くする-その人を	人	の-高ぶりは	
H3519	H8551	H7307	H8217	H8213	H0120	H1346	

人の高ぶりはその人を低くし、心にへりくだる者は誉を得る。

יַגִּיד׃	וְלֹא	יִשְׁמַע	אָלָה	נַפְשׁוֹ	שׂוֹנֵא	גַּנָּב	עִם־	חוֹלֵק	24
告げない	そして-ない	聞いても	のろいを	自分の-魂を	恨む	盗人と	と	組む-者は	
H5046	H3808	H8085	H0423	H5315	H8130	H1590			

盗びとにくみする者は自分の魂を憎む、彼はのろいを聞いても何事をも口外しない。

25 חֶרְדַּת אָדָם יִתֵּן מוֹקֵשׁ וּבוֹטֵחַ בַּיהוָה יְשֻׂגָּב׃
の-恐れは 人 与える わなを しかし-信頼する-者は 主に 安全だ
H2731 H0120 H5414 H4170 H0982 H3068 H7682

人を恐れると、わなに陥る、主に信頼する者は安らかである。

26 רַבִּים מְבַקְשִׁים פְּנֵי־מוֹשֵׁל וּמֵיְהוָה מִשְׁפַּט־אִישׁ׃
多くの-者が 求める 支配者 の-顔を しかし-主から の-裁きは 人
H1245 H4910 H6440 H3068 H4941 H0376

治める者の歓心を得ようとする人は多い、しかし人の事を定めるのは主による。

27 תּוֹעֲבַת צַדִּיקִים אִישׁ עָוֶל וְתוֹעֲבַת רָשָׁע יְשַׁר־דָּרֶךְ׃
忌まわしい-ものだ 義人には の-人は 不正の また-忌まわしい-ものだ 悪人には 正しい 道の
H8441 H6662 H0376 H5766 H8441 H7563 H3477 H1870

פ
—

正しい人は不正を行う人を憎み、悪しき者は正しく歩む人を憎む。

Chapter 30

1 דִּבְרֵי אָגוּר בֶּן־יָקֶה הַמַּשָּׂא נְאֻם הַגֶּבֶר לְאִיתִיאֵל לְאִיתִיאֵל וְאֻכָל׃
言葉 アグル 息子-の ヤケ 宣告 告げた-言葉 その-人は イティエルに イティエルに そして-ウカルに
H1697 H0094 H1121 H3348 H4853 H5002 H1397 H0384 H0384 H0401

2 כִּי בַעַר אָנֹכִי מֵאִישׁ וְלֹא־בִינַת אָדָם לִי׃
まことに 愚かである 私は 人-よりも そして-ない 分別は 人-の 私に
H1198 H0595 H0376 H3808 H0998 H0120 H0369

3 וְלֹא־לָמַדְתִּי חָכְמָה וְדַעַת קְדֹשִׁים אֵדָע׃
そして-ない 学んだ 知恵を そして-知識を 聖なる-方の 知らない
H3808 H3925 H2451 H1847 H6918 H3045

4 מִי עָלָה־שָׁמַיִם וַיֵּרַד מִי אָסַף־רוּחַ בְּחָפְנָיו מִי צָרַר־מַיִם בַּשִּׂמְלָה מִי הֵקִים כָּל־אַפְסֵי־אָרֶץ מַה־שְּׁמוֹ וּמַה־שֵּׁם בְּנוֹ כִּי תֵדָע׃
誰が 上った 天に 降りた そして-集めた 風を 両手-の-中に 誰が 包んだ 水を 誰が 衣-の-中に 定めた 果て-の 地を その-名は 何と そして-何と 名は その-子の もし 知っているなら
H4310 H5927 H8064 H3381 H4310 H0622 H7307 H2651 H4310 H6872 H4325 H4310 H8071 H3605 H0776 H8034 H4100 H8034 H4100 H8034 H1121 H3588 H3045

5 כָּל־אִמְרַת אֱלוֹהַּ צְרוּפָה מָגֵן הוּא לַחֹסִים בּוֹ׃
すべての 言葉は 神-の 精錬されている 盾-である 彼は 身を-避ける-者に 彼に
H3605 H0433 H6884 H4043 H1931 H2620

6 אַל־ תּוֹסֵף עַל־ דְּבָרָיו פֶּן־ יוֹכִיחֲךָ בְּךָ וְנִכְזָבְתָּ׃
するな 付け加えて に その-言葉に さもなければ 責める あなたを そして-偽り者と-なる
H0408 H3254 H6435 H1697 H3198 H3576

פ
—

7 שְׁתַּיִם שָׁאַלְתִּי מֵאִתָּךְ אַל־ תִּמְנַע מִמֶּנִּי שָׁוְא וּדְבַר־ כָּזָב הַרְחֵק מִמֶּנִּי רֵאשׁ וָעֹשֶׁר אַל־ תִּתֶּן־ לִי הַטְרִיפֵנִי לֶחֶם חֻקִּי׃
二つの-ことを 願った あなたから するな 拒まないで 私から 虚偽と 偽り-の 言葉を 遠ざけて 貧しさも そして-富も 与えないで 私に 食べさせて パンを 定められた
H8147 H7592 H0854 H0408 H4513 H4191 H7723 H1697 H3577 H7368 H7414 H6239 H5414 H3899 H2706

8 פֶּן־ אִשְׂבַּע וְכִחַשְׁתִּי וְאָמַרְתִּי מִי יְהוָה וּפֶן־ אִוָּרֵשׁ וְתָפַשְׂתִּי שֵׁם אֱלֹהָי׃
さもなければ 満ち足りて そして-否認して そして-言う 誰だ 主は あるいは 貧しくなり そして-盗んで 名を 私の-神の
H6435 H7646 H3584 H0559 H4310 H3068 H6435 H3423 H1589 H8034 H0430

פ
—

10 אַל־ תַּלְשֵׁן עֶבֶד אֶל־ אֲדֹנָיו (אדנו) פֶּן־ יְקַלֶּלְךָ וְאָשַׁמְתָּ׃
するな 中傷して しもべを に その-主人 その-主人 さもなければ 呪う そして-罪を-負う
H0408 H3960 H5650 H0413 H0113 H0113 H6435 H7043 H0816

11 דּוֹר אָבִיו יְקַלֵּל וְאֶת־ אִמּוֹ לֹא יְבָרֵךְ׃
世代-がある その-父を 呪い そして その-母を ない 祝福しない
H1755 H0001 H7043 H0853 H0517 H3808 H1288

12 דּוֹר טָהוֹר בְּעֵינָיו וְלֹא רָחַץ מִצֹּאָתָם׃
世代-がある 清い 自分の-目に しかし-その-汚れから ない 洗われていない
H1755 H2889 H5869 H3808 H6675 H7364

13 דּוֹר מָה־ רָמוּ עֵינָיו וְעַפְעַפָּיו יִנָּשֵׂאוּ׃
世代-がある 何と 高い その-目は そして-まぶたは 上げられる
H1755 H4100 H7311 H5869 H6079 H5375

14 דּוֹר וְ חֲרָבוֹת שִׁנָּיו וּמַאֲכָלוֹת מְתַלְעֹתָיו לֶאֱכֹל עֲנִיִּים מֵאָרֶץ וְאֶבְיוֹנִים מֵאָדָם׃
世代-がある 剣-のような その-歯は そして-刃-のような その-あごは 食い尽くす 貧しい-者を 地から そして-乏しい-者を 人々の-中から
H1755 H2719 H8127 H3979 H4973 H0398 H6041 H0776 H0034 H0120

פ
—

15 לָעֲלוּקָה שְׁתֵּי בָנוֹת הָב הָב וְלֹא תִשְׂבַּעְנָה אַרְבַּע לֹא־ תֹאמְרוּ הוֹן׃
蛭には 二人の 娘がいる くれ くれ 三つの ものは ない 満足しない 四つの ない 十分だと 言わない
H5936 H8147 H1323 H1945 H3051 H3051 H7969 H2007 H3808 H7646 H0702 H3808 H1952 H0559

16 שְׁאוֹל וְעֹצֶר רֶחֶם אֶרֶץ לֹא־ שָׂבְעָה מַיִם וְאֵשׁ לֹא־ אָמְרָה
陰府と そして-閉ざされた 胎と 地は ない 満足しない 水で そして-火は ない 言わない
H7585 H6115 H7356 H0776 H3808 H7646 H4325 H0784 H3808 H0559

הֹוֹן׃
十分だと
H1952

17 וְעַיִן תִּלְעַג לְאָב וְתָבוּז לְיִקְהַת־ אֵם יִקְּרוּהָ עׇרְבֵי־ נָחַל
目は あざ笑う 父を そして-軽蔑する 従順を 母-への えぐり出す 烏が 谷-の
H5869 H3932 H0001 H0936 H3349 H0517 H5365 H6158 H5158

וְיֹאכְלוּהָ בְּנֵי־ נָשֶׁר׃ פ
そして-食べる 子が 鷲-の 一
H0398 H1121 H5404

18 שְׁלֹשָׁה הֵמָּה נִפְלְאוּ מִמֶּנִּי [וארבע] (וְאַרְבָּעָה) לֹא יְדַעְתִּים׃
三つの ものは 不思議で 私には そして-四つの ものは ない 知らない
H7969 H1992 H6381 H4480 H0702 H0702 H3808 H3045

19 דֶּרֶךְ הַנֶּשֶׁר בַּשָּׁמַיִם דֶּרֶךְ נָחָשׁ עַל־ צוּר דֶּרֶךְ־ אֳנִיָּה בְּלֶב־ יָם
道を 鷲-の 空-の-中を 道を 蛇-の 上の 岩の 道を 船-の 中を 海-の
H1870 H5404 H8064 H1870 H5175 H5921 H6697 H1870 H0591 H0990 H3220

וְדֶרֶךְ גֶּבֶר בְּעַלְמָה׃
そして-道を 男-の おとめの-中の
H1870 H1397 H5959

20 כֵּן אִשָּׁה דֶּרֶךְ מְנָאֲפַת אָכְלָה וּמָחֲתָה פִּיהָ וְאָמְרָה לֹא־
このように 女-の 道は 姦淫する 食べて そして-拭う その-口を そして-言う ない
H3651 H0802 H1870 H5003 H0398 H4229 H6310 H0559 H3808

פָּעַלְתִּי אָוֶן׃ פ
行わなかった 悪を 一
H6466 H0205

21 תַּחַת תֵּרֹשׁ שָׁלוֹשׁ רָגְזָה אֶרֶץ וְתַחַת אַרְבַּע לֹא־ תוּכָל
のもとで 三つの-ことで 震える 地は そして-のもとで 四つの-ことで ない 耐えられない
H8478 H7969 H7264 H0776 H8478 H0702 H3808 H3201

שְׂאֵת׃
支える-ことが
H5375

22 תַּחַת־ עֶבֶד כִּי יִמְלֹךְ נָבָל כִּי יִשְׂבַּע־ לָחֶם׃
のもとで 奴隷が ときに 王と-なり 愚か者が そして-ときに 満腹する パンで
H8478 H5650 H3588 H4427 H5036 H3588 H7646 H3899

23 תַּחַת שְׂנוּאָה כִּי תִבָּעֵל וְשִׁפְחָה כִּי־ תִירַשׁ גְּבִרְתָּהּ׃ פ
のもとで 嫌われた-女が ときに 嫁ぎ そして-女奴隷が ときに 相続する その-女主人を 一
H8478 H8130 H3588 H1166 H8198 H3588 H3423 H1404

24 אַרְבָּעָה הֵם קְטַנֵּי־ אָרֶץ וְהֵמָּה חַכָמִים מְחֻכָּמִים׃
四つの ものは 小さい 地-の しかし-それらは 知恵-ある 非常に-賢い
H0702 H1992 H6996 H0776 H1992 H2450 H2449

25 עַם לֹא־ עָז הַנְמָלִים וַיָּכִינוּ בַקַּיִץ לַחְמָם׃
民 ない 強くない 蟻は しかし-備える 夏-に その-食物を
H5971 H3808 H5794 H6194 H1992 H3589 H7019 H3899

26 שְׁפַנִּים עַם לֹא־ עָצֻום וַיָּשִׂימוּ בַסֶּלַע בֵּיתָם׃
岩だぬきは 民 ない 強くない しかし–置く 岩–に その–家を
H6099 H3808 H5553

27 מֶלֶךְ אֵין לָאַרְבֶּה וַיֵּצֵא חֹצֵץ כֻּלֹּו׃
王は いない いなごには しかし–出て行く 整然と すべて
H4428 H0369 H0697 H3318 H3605

28 פ שְׁמָמִית בְּיָדַיִם תִּתָּפֵשׂ וְהִיא בְּהֵיכְלֵי מֶלֶךְ׃
やもりは 手で つかまえられる しかし–それは 宮殿–に 王–の —
H8079 H3027 H8610 H1931 H1964 H4428

29 שְׁלֹשָׁה הֵמָּה מֵיטִיבֵי צָעַד וְאַרְבָּעָה לָכֶת׃
三つの ものは 堂々と–歩む 歩み そして–四つの 歩く
H7969 H1992 H3190 H6806 H0702 H3212

30 לָיִשׁ גִּבּוֹר בַּבְּהֵמָה וְלֹא־ יָשׁוּב מִפְּנֵי־ כֹל׃
獅子は 力–ある 獣–の–中で そして–ない 退かない 何ものの–前でも すべて
H3918 H1368 H0929 H3808 H7725 H6440 H3605

31 זַרְזִיר מָתְנַיִם אֹו־ תָּיִשׁ וּמֶלֶךְ אַלְקוּם עִמֹּו׃
雄鶏は 腰–が–引き締まり あるいは 雄やぎと そして–王は 立ち上がる その–民–と–ともに
H2223 H4975 H0518 H8495 H4428 H0510

32 אִם־ נָבַלְתָּ בְהִתְנַשֵּׂא וְאִם־ זַמֹּותָ יָד לְפֶה׃
もし 愚かにも 高ぶって そして–もし たくらんだなら 手を 口に
H5375 H2161 H3027 H6310

33 כִּי מֵיץ חָלָב יֹוצִיא חֶמְאָה וּמְיץ־ אַף יֹוצִיא דָם
なぜなら 搾ると 乳を 出てくる バターが そして–搾ると 鼻を 出てくる 血が
H4330 H2461 H3318 H4330 H0639 H3318 H1818

פ אַפַּיִם מְיץ יֹוצִיא רִיב׃
— 怒りを そして–搾ると 出てくる 争いが
H0639 H4330 H3318 H7379

Chapter 31

1 דִּבְרֵי לְמוּאֵל מֶלֶךְ מַשָּׂא אֲשֶׁר־ יִסְרַתּוּ אִמֹּו׃
言葉 レムエル 王–の 宣告 それは 教えた その–母が
H1697 H3927 H4428 H4853 H0834 H3256 H0517

2 מַה־ בְרִי וּמַה־ בַר־ בִטְנִי וּמַה־ בַר־ נִדָרָי׃
何と 我が–子よ そして–何と 子よ 私の–胎の そして–何と 子よ 私の–誓いの
H4100 H1248 H4100 H1248 H0990 H4100 H1248 H5088

3 אַל־ תִּתֶּן לַנָּשִׁים חֵילֶךְ וְדַרְכֶיךָ לְמַחֹות מְלָכִין׃
するな 与えて 女たちに あなたの–力を そして–あなたの–道を 滅ぼす–者に 王たちを
H0408 H5414 H0802 H2428 H1870 H4229 H4428

4 אַל לְמוּאֵל לַמְּלָכִים לַמְּלָכִים אַל שְׁתוֹ־ יַיִן וְלִרוֹזְנִים אֹו
ない レムエルよ 王たちには 王たちには ない 飲む–ことは 酒を そして–支配者には どこに
H0408 H3927 H4428 H4428 H0408 H8354 H3196 H7336 [אוֹ]

שֵׁכָר׃ אַיֵּ(
強い–酒は あるのか
H7941 H0335

5 פֶּן־ יִשְׁתֶּה וְיִשְׁכַּח מִחֻקָּק וְיַשֵּׁנֶּה דִּין כָּל־ בְּנֵי־
さもなければ 飲んで そして-忘れる 定められた-ことを そして-曲げる 裁きを すべての 子ら-の
H6435 H8354 H7911 H2710 H7911 H1779 H3605

עֹנִי׃
苦しみの
H6040

6 תְּנוּ־ שֵׁכָר לְאוֹבֵד וְיַיִן לְמָרֵי נָפֶשׁ׃
与えよ 強い-酒を 滅びようとする-者に そして-酒を 苦しむ-者に 魂-の
H5414 H7941 H0006 H3196 H4751 H5315

7 יִשְׁתֶּה וְיִשְׁכַּח רִישׁוֹ וַעֲמָלוֹ לֹא יִזְכָּר־ עוֹד׃
飲んで そして-忘れる その-貧しさを そして-その-苦しみを ない 思い出さない もはや
H8354 H7911 H7999 H3808 H2142 H5750

8 פְּתַח־ פִּיךָ לְאִלֵּם בְּנֵי כָּל־ דִּין אֱל־ חֲלוֹף׃
開け あなたの-口を 声なき-者のために 子ら-の すべての 裁きを に 過ぎ行く-者の
H6310 H0483 H2475 H3605 H1779 H0413

9 פ פְּתַח־ פִּיךָ שְׁפָט־ צֶדֶק וְדִין עָנִי וְאֶבְיוֹן׃
— 開け あなたの-口を 裁け 義を そして-弁護せよ 貧しい-者と そして-乏しい-者を
H6310 H8199 H6664 H1777 H6041 H0034

10 אֵשֶׁת־ חַיִל מִי יִמְצָא וְרָחֹק מִפְנִינִים מְכֻרָהּ׃
賢い 女を 誰が 見つけるか そして-遠く 真珠よりも その-価値は
H0802 H2428 H4310 H4672 H7350 H6443 H4377

11 בָּטַח בָּהּ לֵב בַּעְלָהּ וְשָׁלָל לֹא יֶחְסָר׃
信頼する 彼女を 心は その-夫の そして-利益は ない 欠けない
H0982 H1167 H7998 H3808 H2637

12 גְּמָלַתְהוּ טוֹב וְלֹא־ רָע כֹּל יְמֵי חַיֶּיהָ׃
報いる 善を そして-ない 悪を すべての 日々 その-生涯の
H1580 H3808 H7451 H3605 H3117

13 דָּרְשָׁה צֶמֶר וּפִשְׁתִּים וַתַּעַשׂ בְּחֵפֶץ כַּפֶּיהָ׃
求める 羊毛と そして-亜麻を そして-働く 喜び-をもって その-手で
H1875 H6785 H6593 H6213 H2656 H3709

14 הָיְתָה כָּאֳנִיּוֹת סוֹחֵר מִמֶּרְחָק תָּבִיא לַחְמָהּ׃
なる 商人の-船のように 商いの 遠くから 運んで-くる その-食物を
H1961 H0591 H5503 H4801 H0935 H3899

15 וַתָּקָם בְּעוֹד לַיְלָה וַתִּתֶּן טֶרֶף לְבֵיתָהּ וְחֹק
そして-起きる まだ 夜-の-うちに そして-与える 食物を その-家に そして-分け前を
H6965 H5750 H3915 H5414 H2964 H1004 H2706

לְנַעֲרֹתֶיהָ׃
その-女中たちに
H5291

16 זָמְמָה שָׂדֶה וַתִּקָּחֵהוּ מִפְּרִי כַּפֶּיהָ נָטְעָה כָּרֶם׃
考えて 畠を そして-買う 実りから その-手の 植えた ぶどう-番を
H2161 H7704 H3947 H6529 H3709 H5193 H3754

17 חָגְרָה בְעוֹז מָתְנֶיהָ וַתְּאַמֵּץ זְרוֹעוֹתֶיהָ׃
帯を-締める 力-をもって その-腰を そして-強くする その-腕を
H2296 H5797 H4975 H0553 H2220

18 טָעֲמָה כִּי־ טוֹב סַחְרָהּ לֹא־ יִכְבֶּה [בלילן] (בַּלַּיְלָה) נֵרָהּ׃
味わう よいと よいと その–商いを ない 消えない 夜も 夜も その–灯は
H2938 H3588 H2896 H5504 H3808 H3518 H3915 H3915 H5216

19 יָדֶיהָ שִׁלְּחָה בַּכִּישׁוֹר וְכַפֶּיהָ תָּמְכוּ פָּלֶךְ׃
その–手を 伸ばす 糸巻き–棒に そして–その–掌は つかむ 紡錘を
H3027 H7971 H3601 H3709 H8551 H6418

20 כַּפָּהּ פָּרְשָׂה לֶעָנִי וְיָדֶיהָ שִׁלְּחָה לָאֶבְיוֹן׃
その–掌を 広げる 貧しい–者に そして–その–手を 差し伸べる 乏しい–者に
H3709 H6566 H6041 H3027 H7971 H0034

21 לֹא־ תִירָא לְבֵיתָהּ מִשָּׁלֶג כִּי כָל־ בֵּיתָהּ לָבֻשׁ שָׁנִים׃
ない 恐れない その–家のために 雪を なぜなら すべての その–家の–者は 着ている 紅の–衣を
H3808 H3372 H0001 H7950 H3588 H3605 H0001 H3847 H8144

22 מַרְבַדִּים עָשְׂתָה־ לָּהּ שֵׁשׁ וְאַרְגָּמָן לְבוּשָׁהּ׃
敷物を 作る 彼女のために 細布と そして–紫は その–衣服
H4765 H6213 H0001 H8336 H0713 H3830

23 נוֹדָע בַּשְּׁעָרִים בְּשִׁבְתּוֹ בַּעְלָהּ עִם־ זִקְנֵי־ אָרֶץ׃
知られている 門–の–ところで 座る–とき その–夫は ともに 長老たち–と 地–の
H3045 H8179 H3427 H1167 H5973 H2205 H0776

24 סָדִין עָשְׂתָה וַתִּמְכֹּר וַחֲגוֹר נָתְנָה לַכְּנַעֲנִי׃
亜麻–の–下着を 作って そして–売る そして–帯を 与える 商人に
H5466 H6213 H4376 H2289 H5414

25 עֹז־ וְהָדָר לְבוּשָׁהּ וַתִּשְׂחַק לְיוֹם אַחֲרוֹן׃
力と そして–尊厳は その–衣服 そして–笑う 後の–日に 後の
H5797 H1926 H3830 H7832 H3117 H0314

26 פִּיהָ פָּתְחָה בְחָכְמָה וְתוֹרַת־ חֶסֶד עַל־ לְשׁוֹנָהּ׃
その–口を 開く 知恵–をもって そして–教えは 慈しみ–の 上に その–舌に
H6310 H6605 H2451 H8451 H2617 H5921 H3956

27 צוֹפִיָּה הֲלִיכוֹת בֵּיתָהּ וְלֶחֶם עַצְלוּת לֹא תֹאכֵל׃
見守る 動きを その–家の パンを 怠惰の ない 食べない
H6822 H1979 H1004 H3899 H6104 H3808 H0398

28 קָמוּ בָנֶיהָ וַיְאַשְּׁרוּהָ בַּעְלָהּ וַיְהַלְלָהּ׃
立ち上がる その–子らが そして–幸いと–呼ぶ その–夫も そして–讃える
H6965 H1121 H0833 H1167 H1984

29 רַבּוֹת בָּנוֹת עָשׂוּ חָיִל וְאַתְּ עָלִית עַל־ כֻּלָּנָה׃
多くの 娘たちが 行った 力ある–わざを しかし–あなたは 超える 上に すべての–上に
H7227 H1323 H6213 H2428 H0859 H5927 H5921 H3605

30 שֶׁקֶר הַחֵן וְהֶבֶל הַיֹּפִי אִשָּׁה יִרְאַת־ יְהוָה הִיא תִּתְהַלָּל׃
偽りである 魅力は そして–空しい 美しさは 女は 畏れる 主を 彼女こそ 讃えられる
H8267 H2580 H1892 H3308 H0802 H3373 H3068 H1931 H8416

31 תְּנוּ־ לָהּ מִפְּרִי יָדֶיהָ וְיַהַלְלוּהָ בַשְּׁעָרִים מַעֲשֶׂיהָ׃
与えよ 彼女に 実りから その–手の そして–讃えよ 門–の–ところで その–わざを
H5414 H0001 H6529 H3027 H1984 H8179 H4639

Ecclesiastes

Chapter 1

1 דִּבְרֵי֙ קֹהֶ֣לֶת בֶּן־דָּוִ֔ד מֶ֖לֶךְ בִּירוּשָׁלָֽם׃

言葉 H1697 / 伝道者の H6953 / 息子–の / ダビデの H1732 / 王 H4428 / エルサレム–における H3389

ダビデの子、エルサレムの王である伝道者の言葉。

2 הֲבֵל֙ הֲבָלִ֔ים אָמַ֖ר קֹהֶ֑לֶת הֲבֵל֙ הֲבָלִ֔ים הַכֹּ֖ל הָֽבֶל׃

空しさ–の H1892 / 空しさよ H1892 / 言った H0559 / 伝道者は H6953 / 空しさ–の H1892 / 空しさよ H1892 / すべて–は H3605 / 空しい H1892

伝道者は言う、空の空、空の空、いっさいは空である。

3 מַה־יִּתְר֥וֹן לָֽאָדָ֖ם בְּכָל־עֲמָל֑וֹ שֶׁיַּעֲמֹ֖ל תַּ֥חַת הַשָּֽׁמֶשׁ׃

何–の H4100 / 益–が H3504 / 人–に–あろうか H0120 / すべて–の H3605 / その–労苦–において H5999 / 彼–が–労する H5998 / 下–で H8478 / 太陽–の H8121

日の下で人が労するすべての労苦は、その身になんの益があるか。

4 דּ֣וֹר הֹלֵ֔ךְ וְדוֹר־בָּ֖א וְהָאָ֥רֶץ לְעוֹלָ֖ם עֹמָֽדֶת׃

一つ–の–世代–が H1755 / 去り H1980 / また–一つ–の–世代–が H1755 / 来る H0935 / しかし–地–は H0776 / 永遠–に H5769 / 立ち続ける H5975

世は去り、世はきたる。しかし地は永遠に変らない。

5 וְזָרַ֥ח הַשֶּׁ֖מֶשׁ וּבָ֣א הַשֶּׁ֑מֶשׁ וְאֶל־מְקוֹמ֥וֹ שׁוֹאֵ֖ף זוֹרֵ֥חַ הֽוּא׃ שָֽׁם׃

そして–昇り H2224 / 太陽–は H8121 / そして–沈む H0935 / 太陽–は H8121 / その–場所 H4725 / 急ぎ / 昇る H2224 / それ–は H1931

そこ–で H8033

日はいで、日は没し、その出た所に急ぎ行く。

6 הוֹלֵ֣ךְ אֶל־דָּר֗וֹם וְסוֹבֵב֙ צָפ֔וֹן סֹבֵ֥ב סֹבֵ֖ב הוֹלֵ֣ךְ הָר֑וּחַ וְעַל־סְבִיבֹתָ֖יו שָׁ֥ב הָרֽוּחַ׃

行き H1980 / へ H0413 / 南 H1864 / そして–巡り H5437 / 北 H6828 / 巡り H5437 / 巡り H5437 / 行く H1980 / 風–は H7307 / そして–へ

風–は H7307 / 戻る H7725 / その–巡り道 H5439

風は南に吹き、また転じて、北に向かい、めぐりにめぐって、またそのめぐる所に帰る。

7

אֶל־ | מָלֵא | אֵינֶנּוּ | וְהַיָּם | הַיָּם | אֶל־ | הֹלְכִים | הַנְּחָלִים | כֹּל־
へ | 満ちた–ものに | ならない | しかし–海–は | 海 | へ | 流れて–行く | 川–は | すべて–の
H0413 | H4392 | H0369 | H3220 | H3220 | H0413 | H1980 | H1980 | H3605

לָלֶכֶת׃ | שָׁבִים | הֵם | שָׁם | הֹלְכִים | שָׁהַנְּחָלִים | מָקוֹם
流れる–ために | 再び–戻る | それら–は | そこ–へ | 流れて–行く | そこ–へ–川–が | 場所
H3212 | H7725 | H1992 | H8033 | H1980 | H1980 | H4725

川はみな、海に流れ入る、しかし海は満ちることがない。川はその出てきた所にまた帰って行く。

8

לֹא־ | לְדַבֵּר | אִישׁ | יוּכַל | לֹא־ | יְגֵעִים | הַדְּבָרִים | כֹּל־
満たされない | 語り–尽くす–ことが | 人–は | できない | できない | 疲れさせる | 物事–は | すべて–の
H3808 | H1696 | H0376 | H3201 | H3808 | H3023 | H1697 | H3605

מִשְׁמֹעַ׃ | אֹזֶן | תִּמָּלֵא | וְלֹא־ | לִרְאוֹת | עַיִן | תִּשְׂבָּע
聞く–ことに | 耳–は | 満たされない | そして–満たされない | 見る–ことに | 目–は | 満たされない
H8085 | H0241 | H4390 | H3808 | H7200 | H5869 | H7646

すべての事は人をうみ疲れさせる、人はこれを言いつくすことができない。目は見ることに飽きることがなく、耳は聞くことに満足することがない。

9

שֶׁנַּעֲשָׂה | וּמַה־ | שֶׁיִּהְיֶה | הֽוּא | שֶׁהָיָה | מַה־
かつて–なされた–ことは | そして–何–が | これから–ある–こと | それ–が | かつて–あった–ことは | 何–が
H4100 | H4100 | H1961 | H1931 | H1961 | H4100

הַשָּׁמֶשׁ׃ | תָּחַת | חָדָשׁ | כֹּל־ | וְאֵין | שֶׁיֵּעָשֶׂה | הֽוּא
太陽–の | 下–に | 新しい–ものは | 一つ–も | そして–何–も | これから–なされる–こと | それ–が
H8121 | H8478 | H2319 | H3605 | H0369 | H1931

先にあったことは、また後にもある、先になされた事は、また後にもなされる。日の下には新しいものはない。

10

לְעֹלָמִים | הָיָה | כְּבָר | הֽוּא | חָדָשׁ | זֶה | רְאֵה־ | שֶׁיֹּאמַר | דָּבָר | יֵשׁ
遠い–昔–から | あった | すでに | と | 新しい | これ–は | 見よ | それについて–言う | もの–が | ある
H5769 | H1961 | H3528 | H1931 | H2319 | H2088 | H7200 | H0559 | H1697 | H3426

מִלְּפָנֵנוּ׃ | הָיָה | אֲשֶׁר
私たち–の–前–に | あった | それ–は
H6440 | H1961

「見よ、これは新しいものだ」と言われるものがあるか、それはわれわれの前にあった世々に、すでにあったものである。

11

לֹא־ | שֶׁיִּהְיוּ | לָאַחֲרֹנִים | וְגַם | לָרִאשֹׁנִים | זִכָּרוֹן | אֵין
ないだろう | やがて–来る | 後–の–者たち–にも | そして–また | 先–の–者たち–には | 記憶–が | ない
H3808 | H1961 | H0314 | H1571 | H7223 | H2146 | H0369

פ | לָאַחֲרֹנָה׃ | שֶׁיִּהְיוּ | עִם | זִכָּרוֹן | לָהֶם | יִהְיֶה
段落 | 後–の–者たち–の | やがて–来る | と–ともに | 記憶–が | 彼ら–に | ないだろう
H0314 | H1961 | H2146 | H1992 | H1961

前の者のことは覚えられることがない、また、きたるべき後の者のことも、後に起る者はこれを覚えることがない。

12

בִּירוּשָׁלִָם׃ | יִשְׂרָאֵל | עַל־ | מֶלֶךְ | הָיִיתִי | קֹהֶלֶת | אֲנִי
エルサレム–において | イスラエル | の–上–に | 王 | であった | 伝道者–であり | 私–は
H3389 | H3478 | H4428 | H1961 | H6953 | H0589

伝道者であるわたしはエルサレムで、イスラエルの王であった。

13 וְנָתַתִּי֙ לִבִּ֔י לִדְרוֹשׁ֙ וְלָת֔וּר בְּחָכְמָ֖ה עַל־כָּל־
そして-向けた 私-の-心 探求し そして-究明する-ために 知恵-をもって について すべて
H5414 H1875 H8446 H2451 H3605

נַעֲשָׂ֣ה תַּחַת֮ הַשָּׁמַ֣יִם הִוא֒ עִנְיַן֙ רָ֔ע נָתַ֥ן אֱלֹהִ֖ים לִבְנֵ֣י הָאָדָ֑ם
なされた 下-で 天-の それ-は 務め 苦しい 与えた 神-が 子ら-に 人-の
H5414 H0430 H0120

לַעֲנ֖וֹת בּֽוֹ׃
従事させる-ために それ-に

わたしは心をつくし、知恵を用いて、天が下に行われるすべてのことを尋ね、また調べた。これは神が、人の子らに与えて、ほねおらせられる苦しい仕事である。

14 רָאִ֙יתִי֙ אֶת־כָּל־ הַמַּעֲשִׂ֔ים שֶׁנַּעֲשׂ֖וּ תַּחַ֣ת הַשָּׁ֑מֶשׁ וְהִנֵּ֥ה הַכֹּ֖ל הָ֥בֶל
私-は-見た を すべて-の 業 なされた 下-で 太陽-の そして-見よ すべて-は 空しさ
H7200 H0853 H3605 H4639 H8478 H8121 H2009 H3605 H1892

וּרְעוּת֥ רֽוּחַ׃
そして-風-を 追うこと
H7469 H7307

わたしは日の下で人が行うすべてのわざを見たが、みな空であって風を捕えるようである。

15 מְעֻוָּ֥ת לֹא־ יוּכַ֖ל לִתְקֹ֑ן וְחֶסְרוֹן֙ לֹא־ יוּכָ֔ל לִמְנ֖וֹת׃
曲がった-ものは できない まっすぐに-する-ことが そして-欠けた-ものは できない 数える-ことが
H5791 H3808 H8626 H2642 H3808 H3201 H4487

曲ったものは、まっすぐにすることができない、欠けたものは数えることができない。

16 דִּבַּ֣רְתִּי אֲנִ֣י עִם־ לִבִּ֗י לֵאמֹר֙ הִנֵּ֣ה אֲנִ֔י הִגְדַּ֖לְתִּי וְהוֹסַ֣פְתִּי
語った 私-は と 心-の-私 言って 見よ 私-は 大いに-増し加えた そして-増し加えた
H1696 H0589 H0589 H0559 H2009 H1431 H3254

חָכְמָ֑ה עַל־ כָּל־ אֲשֶׁר־ הָיָ֥ה לְפָנַ֖י עַל־ יְרוּשָׁלָ֔ם
知恵-を すべて-の すべて-の 者-に いた 私-の-前-に 上-に エルサレム-の
H2451 H3605 H1961 H6440 H3389

וְלִבִּ֣י רָאָ֗ה הַרְבֵּה֙ חָכְמָ֣ה וָדָ֔עַת׃
そして-私-の-心-は 見た 多く-の 知恵-と 知識-を
H7200 H2451 H1847

わたしは心の中に語って言った、「わたしは、わたしより先にエルサレムを治めたすべての者にまさって、多くの知恵を得た。わたしの心は知恵と知識を多く得た」。

17 וָאֶתְּנָ֣ה לִבִּ֗י לָדַ֙עַת֙ חָכְמָ֣ה וְדַ֔עַת הוֹלֵל֖וֹת וְשִׂכְלֻ֑ת יָדַ֙עְתִּי֙
そして-向けた 私-の-心-を 知る-ことに 知恵-と また-知る-ことに 狂気-と 愚かさ-を 知った
H5414 H3045 H2451 H3045 H1947 H3045

שֶׁגַּם־ זֶ֥ה הוּא֙ רַעְי֣וֹן רֽוּחַ׃
これ-も-また これ-は それ-が 風-を 追うこと
H1571 H2088 H1931 H7475 H7307

わたしは心をつくして知恵を知り、また狂気と愚痴とを知ろうとしたが、これもまた風を捕えるようなものであると悟った。

מַכְאֹוב׃	יוֹסִיף	דָּעַת	וְיוֹסֵיף	כָּעַס	רָב־	חָכְמָה	בְּרֹב	כִּי	18
痛み–が	増す	知識–が	そして–増す–ほど	悩み–が–あり	多く–の	知恵–には	多く–の	なぜなら	
H4341	H3254	H1847	H3254			H2451	H7230		

それは知恵が多ければ悩みが多く、知識を増す者は憂いを増すからである。

Chapter 2

וּרְאֵה	בְּשִׂמְחָה	אֲנַסְּכָה	נָּא	לְכָה־	בְלִבִּי	אֲנִי	אָמַרְתִּי		1
そして–見よ	喜び–で	試して–みよう	どうか	さあ	私–の–心–の–中–で	私–は	言った		
H7200	H8057	H5254	H4994	H3212		H0589	H0559		

הָבֶל׃	הִוא	גַּם־	וְהִנֵּה	בְּטוֹב
空しい	それ–も	また	しかし–見よ	良い–もの–を
H1892	H1931	H1571	H2009	

わたしは自分の心に言った、「さあ、快楽をもって、おまえを試みよう。おまえは愉快に過ごすがよい」と。しかし、これもまた空であった。

עֹשָׂה׃	זֶה	מַה־	וּלְשִׂמְחָה	מְהוֹלָל	אָמַרְתִּי	לִשְׂחוֹק	2
もたらす–のか	これ–は	何–を	そして–喜び–に–ついて	狂っている–と	私–は–言った	笑い–に–ついて	
	H2090	H4100	H8057		H0559	H7814	

わたしは笑いについて言った、「これは狂気である」と。また快楽について言った、「これは何をするのか」と。

בְּשָׂרִי	אֶת־	בַּיַּיִן	לִמְשׁוֹךְ	בְלִבִּי	תַּרְתִּי	3
私–の–肉体	を	ぶどう酒–で	引き寄せる–ため–に	私–の–心–の–中–で	探り–求めた	
H1320	H0853	H3196	H4900		H8446	

אֲשֶׁר־	עַד	בְּסִכְלוּת	וְלֶאֱחֹז	בָּחָכְמָה׀	נֹהֵג	וְלִבִּי
の–こと	まで	愚かさ–を	そして–つかむ–ため–に	知恵–で	導いて–いた	しかし–私–の–心–は
	H5704		H0270	H2451		

תַּחַת	יַעֲשׂוּ	אֲשֶׁר	הָאָדָם׀	לִבְנֵי	טוֹב	זֶה	אֵי־	אֶרְאֶה
下–で	行う–べき	彼ら–が	人–の	子ら–に–とって	良い–もの–が	この	どこ–に	私–が–見る
H8478			H0120			H2088	H0335	H7200

חַיֵּיהֶם׃	יְמֵי	מִסְפַּר	הַשָּׁמָיִם
彼ら–の–生涯–の	日々–の	数–の	天–の
	H3117	H4557	H8064

わたしの心は知恵をもってわたしを導いているが、わたしは酒をもって自分の肉体を元気づけようと試みた。また、人の子は天が下でその短い一生の間、どんな事をしたら良いかを、見きわめるまでは、愚かな事をしようと試みた。

כְּרָמִים׃	לִי	נָטַעְתִּי	בָּתִּים	לִי׀	בָּנִיתִי	מַעֲשָׂי	הִגְדַּלְתִּי		4
ぶどう園–を	私–の–ために	植えた	家々–を	私–の–ために	建てた	私–の–業–を	大きく–した		
H3754		H5193			H1129	H4639	H1431		

わたしは大きな事業をした。わたしは自分のために家を建て、ぶどう畑を設け、

כָּל־	עֵץ	בָּהֶם	וְנָטַעְתִּי	וּפַרְדֵּסִים	וְגַנּוֹת	לִי	עָשִׂיתִי	5
あらゆる	木–を	その–中–に	そして–植えた	そして–果樹園–を	庭園–と	私–の–ために	造った	
H3605	H6086		H5193	H6508	H1593			

פֶּרִי׃
果実–の
H6529

園と庭をつくり、またすべて実のなる木をそこに植え、

6 עָשִׂיתִי לִי בְּרֵכוֹת לְהַשְׁקוֹת מֵהֶם יַעַר צוֹמֵחַ עֵצִים׃
造った 私-の-ために 池-を 潤す-ため-に それら-から 森-を 育つ 木々-の
H6086 H6779 H1992 H8248 H4325 H1295

池をつくって、木のおい茂る林に、そこから水を注がせた。

7 קָנִיתִי עֲבָדִים וּשְׁפָחוֹת וּבְנֵי־בַיִת גַּם הָיָה לִי
買い-得た 男-の-僕-と そして-女-の-僕-を そして-家-で 生まれた-者-が また 私-に いた
H7069 H5650 H8198 H1571 H1961

מִקְנֶה בָקָר וְצֹאן הַרְבֵּה מִכֹּל שֶׁהָיוּ לְפָנַי
家畜-を 牛-の そして-羊-の 多く いた 私-に すべて-の-者-より かつて-いた 私-の-前-に
H4735 H1241 H6629 H1961 H3605 H6440

בִּירוּשָׁלָם׃
エルサレム-において
H3389

わたしは男女の奴隷を買った。またわたしの家で生れた奴隷を持っていた。わたしはまた、わたしより先にエルサレムにいただれよりも多くの牛や羊の財産を持っていた。

8 כָּנַסְתִּי לִי גַּם־כֶּסֶף וְזָהָב וְסְגֻלַּת מְלָכִים וְהַמְּדִינוֹת
集めた 私-の-ために また-銀-と そして-金-を そして-宝-を 王たち-の そして-諸州-の
H3664 H1571 H3701 H2091 H5459 H4428 H4082

עָשִׂיתִי לִי שָׁרִים וְשָׁרוֹת וְתַעֲנוּגֹת בְּנֵי הָאָדָם
得た 私-の-ために 歌い手-の-男-と そして-歌い手-の-女-を そして-楽しみ-を 子ら-の 人-の
H7705 H7891 H7891 H8588 H1121 H0120

שִׁדָּה וְשִׁדּוֹת׃
側女-と そして-側女-たち-を
H7705 H7705

わたしはまた銀と金を集め、王たちと国々の財宝を集めた。またわたしは歌うたう男、歌うたう女を得た。また人の子の楽しみとするそばめを多く得た。

9 וְגָדַלְתִּי וְהוֹסַפְתִּי מִכֹּל שֶׁהָיָה לְפָנַי
そして-大きく-なり そして-増し-加わった すべて-の-者-より かつて-いた 私-の-前-に
H1431 H3254 H3605 H1961 H6440

אַף חָכְמָתִי עָמְדָה לִי׃ בִּירוּשָׁלָם
なお-も 私-の-知恵-は 留まった 私-に エルサレム-において
H0637 H2451 H5975 H3389

こうして、わたしは大いなる者となり、わたしより先にエルサレムにいたすべての者よりも、大いなる者となった。わたしの知恵もまた、わたしを離れなかった。

10 וְכֹל אֲשֶׁר שָׁאֲלוּ עֵינַי לֹא אָצַלְתִּי מֵהֶם לֹא מָנַעְתִּי
そして-すべて の-こと 求めた 私-の-目-が ない 退けなかった それら-から ない 禁じなかった
H3605 H7592 H3808 H0680 H1992 H3808 H4513

אֶת־לִבִּי מִכָּל־שִׂמְחָה כִּי לִבִּי שָׂמֵחַ מִכָּל־עֲמָלִי
を 私-の-心-に いかなる 喜び-も なぜなら 私-の-心-は 喜んで-いた すべて-の
H0853 H3605 H8057 H3605 H8056 H3605

וְזֶה־הָיָה חֶלְקִי מִכָּל־עֲמָלִי׃
そして-これ-が であった 私-の-分け前 すべて-の 私-の-労苦-からの
H2088 H1961 H2506 H3605 H5999

なんでもわたしの目の好むものは遠慮せず、わたしの心の喜ぶものは拒まなかった。わたしの心がわたしのすべての労苦によって、快楽を得たからである。そしてこれはわたしのすべての労苦によって得た報いであった。

וּבֵעָמָל 11
そして-労苦-に
H5999
יָדַי
私-の-手-が
H3027
שָׁעָשׂוּ
行った
H4639
מַעֲשֵׂי
私-の-業-に
H3605
בְכָל־
すべて-の
H0589
אֲנִי
私-は
H6437
וּפָנִיתִי
そして-振り返った

וְאֵין
そして-何-も
H0369
רְוּחַ
追うこと
H7307
וּרְעוּת
そして-風-を
H7469
הֶבֶל
空しさ
H1892
הַכֹּל
すべて-は
H3605
וְהִנֵּה
そして-見よ
H2009
לַעֲשׂוֹת
成す-ため-に
H5998
שֶׁעָמַלְתִּי

תָּחַת
下-に
H8478
הַשָּׁמֶשׁ׃
太陽-の
H8121
יִתְרוֹן
益-は
H3504

そこで、わたしはわが手のなしたすべての事、およびそれをなすに要した労苦を顧みたとき、見よ、皆、空であって、風を捕えるようなものであった。日の下には益となるものはないのである。

וְכִי 12
なぜなら
וְסִכְלוּת
そして-愚かさ-を
וְהוֹלֵלוֹת
そして-狂気-と
H1947
חָכְמָה
知恵-と
H2451
לִרְאוֹת
見る-ため-に
H7200
אֲנִי
私-は
H0589
וּפָנִיתִי
そして-向き直った
H6437

עָשׂוּהוּ׃
なした-のか
כְּבָר
すでに
H3528
אֲשֶׁר־
すでに
אֵת
を
H0853
הַמֶּלֶךְ
王-の
H4428
אַחֲרֵי
後-に
שָׁיָּבוֹא
やって来る-者-が
H0935
הָאָדָם
人-は
H0120
מָה
何-を
H4100

わたしはまた、身をめぐらして、知恵と、狂気と、愚痴とを見た。そもそも、王の後に来る人は何をなし得ようか。すでに彼がなした事にすぎないのだ。

הָאוֹר 13
光-に
H0216
כְּיִתְרוֹן
ちょうど-益-が
H3504
הַסִּכְלוּת
愚かさ-より
מִן־
より
לַחָכְמָה
知恵-に-は
H2451
יִתְרוֹן
益-が
H3504
שֶׁיֵּשׁ
確かに-ある
H3426
אֲנִי
私-は
H0589
וְרָאֵיתִי
そして-見た
H7200

הַחֹשֶׁךְ׃
闇-より
מִן־
より
H2822

光が暗きにまさるように、知恵が愚痴にまさるのを、わたしは見た。

וְיָדַעְתִּי 14
しかし-知った
H3045
הוֹלֵךְ
歩く
H1980
בַּחֹשֶׁךְ
闇-の-中-を
H2822
וְהַכְּסִיל
しかし-愚か-な-者-は
H3684
בְּרֹאשׁוֹ
頭-に-ある
עֵינָיו
その-目-が
הֶחָכָם
賢い-者-は
H2450

כֻּלָּם׃
すべて-の-者-に
H3605
אֵת־
を
H0853
יִקֶּרֶה
起こる
אֶחָד
一つ-の
H0259
שֶׁמִּקְרֶה
同じ-出来事-が
H4745
אֲנִי
私-も
H0589
גַּם־
また
H1571

知者の目は、その頭にある。しかし愚者は暗やみを歩む。けれどもわたしはなお同一の運命が彼らのすべてに臨むことを知っている。

וְאָמַרְתִּי 15
そして-言った
H0559
אֲנִי
私-は
H0589
בְלִבִּי
私-の-心-の-中-で
כְּמִקְרֶה
と-同じ-出来事-が
H4745
הַכְּסִיל
愚か-な-者
H3684
גַּם־
また
H1571
יִקְרֵנִי
起こる
אֲנִי
私-にも
H0589

וְלָמָּה
では-なぜ
H4100
חָכַמְתִּי
賢く-なった-のか
H2449
אֲנִי
私-は
H0589
אָז
それなら
יוֹתֵר
より-多く
H3148
וְדִבַּרְתִּי
そして-語った
H1696
בְלִבִּי
私-の-心-の-中-で

שֶׁגַּם־
これ-も-また
H1571
זֶה
これ-は
H2088
הֶבֶל׃
空しい
H1892

わたしは心に言った、「愚者に臨む事はわたしにも臨むのだ。それでどうしてわたしは賢いことがあろう」。わたしはまた心に言った、「これもまた空である」と。

16

כִּי אֵין זִכָּרוֹן לֶחָכָם עִם־לְכְסִיל
日々-が すでに-やがて 永遠-に 愚か-な-者 と-ともに 賢い-者-にも 記憶-が ない なぜなら
H3117 H3528 H5769 H3684 H2450 H2146 H0369

לְעוֹלָם בְּשִׁכְבָּר הַיָּמִים כְּבָר נִשְׁכָּח וְאֵיךְ יָמוּת חָכָם כַּכְּסִיל׃
愚か-な-者 と-ともに 賢い-者-は 死ぬ-のか そして-どうして 忘れ去られる すべて-は 来る-とき
H3684 H2450 H4191 H7911 H3605 H0935

そもそも、知者も愚者も同様に長く覚えられるものではない。きたるべき日には皆忘れられてしまうのである。知者が愚者と同じように死ぬのは、どうしたことであろう。

17

וְשָׂנֵאתִי אֶת־הַחַיִּים כִּי רַע עָלַי הַמַּעֲשֶׂה שֶׁנַּעֲשָׂה תָּחַת
下-で なされた 業-は 私-に-とって 悪い なぜなら 生きること-を を そして-憎んだ
H8478 H4639 H0853 H8130

כִּי־הַכֹּל הֶבֶל וּרְעוּת רוּחַ׃ הַשָּׁמֶשׁ
追うこと そして-風-を 空しさ すべて-は なぜなら 太陽-の
H7307 H7469 H1892 H3605 H8121

そこで、わたしは生きることをいとった。日の下に行われるわざは、わたしに悪しく見えたからである。皆空であって、風を捕えるようである。

18

וְשָׂנֵאתִי אֲנִי אֶת־כָּל עֲמָלִי שֶׁאֲנִי עָמֵל תָּחַת הַשָּׁמֶשׁ
太陽-の 下-で 労した 私-が 私-の-労苦 すべて-の を 私-は そして-憎んだ
H8121 H8478 H0589 H5999 H3605 H0853 H0589 H8130

שֶׁיִּהְיֶה לָאָדָם אַחֲרָי׃ שֶׁאַנִּיחֶנּוּ
私-の-後-に やがて-なる 人-に 私-が-残す-ことに-なる
H1961 H0120 H3240

わたしは日の下で労したすべての労苦を憎んだ。わたしの後に来る人にこれを残さなければならないからである。

19

וְיִשְׁלַט בְּכָל עֲמָלִי שֶׁעָמַלְתִּי וְשֶׁחָכַמְתִּי תַּחַת הַשָּׁמֶשׁ גַּם־זֶה הֶבֶל׃
そして-支配する 愚か-な-者-に あるいは なる-か 賢い-者-に 知ろう-か そして-誰-が
H7980 H5530 H0176 H1961 H2450 H3045 H4310

これ-も-また 太陽-の 下-で そして-知恵-を-もって 私-が-労した 私-の-労苦-を すべて-の
H1571 H8121 H8478 H2449 H5998 H5999 H3605

וּמִי יוֹדֵעַ חָכָם יִהְיֶה אוֹ סָכָל וְיִשְׁלַט בְּכָל עֲמָלִי שֶׁעָמַלְתִּי וְשֶׁחָכַמְתִּי תַּחַת הַשָּׁמֶשׁ גַּם־זֶה הֶבֶל׃
空しい これ-は
H1892 H2088

そして、その人が知者であるか、または愚者であるかは、だれが知り得よう。そうであるのに、その人が、日の下でわたしが労し、かつ知恵を働かしてなしたすべての労苦をつかさどることになるのだ。これもまた空である。

20

וְסַבּוֹתִי אֲנִי לְיַאֵשׁ אֶת־לִבִּי עַל כָּל־הֶעָמָל שֶׁעָמַלְתִּי תַּחַת הַשָּׁמֶשׁ׃
そして-向き直った 私-は 絶望する-ため-に 私-の-心-に について すべて-の 労苦
H5437 H0589 H2976 H0853 H5999 H3605

太陽-の 下-で 私-が-労した
H8121 H8478 H5998

それでわたしはふり返ってみて、日の下でわたしが労したすべての労苦について、望みを失った。

21 כִּי־ יֵ֣שׁ אָדָ֗ם שֶׁעֲמָלוֹ֙ בְּחָכְמָ֣ה וּבְדַ֔עַת וּבְכִשְׁר֑וֹן
כִּי־ なぜなら | יֵ֣שׁ ある | אָדָ֗ם 人–が | שֶׁעֲמָלוֹ֙ その–労苦–が | בְּחָכְמָ֣ה 知恵–と | וּבְדַ֔עַת そして–知識–と | וּבְכִשְׁר֑וֹן そして–熟練–で–ある–のに
H3426 | H0120 | H5999 | H2451 | H1847 | H3788

וְלְאָדָ֗ם שֶׁלֹּא־ עָמַ֤ל בּוֹ֙ יִתְּנֶ֣נּוּ חֶלְקּ֔וֹ גַּם־ זֶ֥ה הֶ֖בֶל וְרָעָ֥ה רַבָּֽה׃
וְלְאָדָ֗ם しかし–人–に | שֶׁלֹּא־ まだ–労して–いない | עָמַ֤ל 労して–いない | בּוֹ֙ その–中–で | יִתְּנֶ֣נּוּ 与える | חֶלְקּ֔וֹ その–分け前–を | גַּם־ これ–も–また | זֶ֥ה これ–は | הֶ֖בֶל 空しさ | וְרָעָ֥ה そして–大きな | רַבָּֽה׃ 災い
H0120 | H3808 | H5998 | H5414 | H1571 | H2088 | H1892

今ここに人があって、知恵と知識と才能をもって労しても、これがために労しない人に、すべてを残して、その所有とさせなければならないのだ。これもまた空であって、大いに悪い。

22 כִּ֣י מֶ֤ה הָֽיָה־ לָאָדָם֙ בְּכָל־ עֲמָל֔וֹ וּבְרַעְי֖וֹן לִבּ֑וֹ
כִּ֣י なぜなら | מֶ֤ה 何–が | הָֽיָה־ ある–のか | לָאָדָם֙ 人–に | בְּכָל־ すべて–の | עֲמָל֔וֹ その–労苦–と | וּבְרַעְי֖וֹן そして–思い煩い–と | לִבּ֑וֹ その–心–の
H4100 | H3605 | H0120 | H5999 | H7475

שֶׁהֽוּא־ עָמֵ֥ל תָּחַ֖ת הַשָּֽׁמֶשׁ׃
שֶׁהֽוּא־ 彼–が | עָמֵ֥ל 労する | תָּחַ֖ת 下–で | הַשָּֽׁמֶשׁ׃ 太陽–の
H1931 | H8478 | H8121

そもそも、人は日の下で労するすべての労苦と、その心づかいによってなんの得るところがあるか。

23 כִּ֣י כָל־ יָמָ֣יו מַכְאֹבִ֔ים וְכַעַס֙ עִנְיָנ֔וֹ גַּם־ בַּלַּ֖יְלָה לֹא־
כִּ֣י なぜなら | כָל־ すべて–の | יָמָ֣יו その–日々–は | מַכְאֹבִ֔ים 痛み | וְכַעַס֙ そして–悩み–が | עִנְיָנ֔וֹ その–務め | גַּם־ また | בַּלַּ֖יְלָה 夜–に–も | לֹא־ ない
H3605 | H3117 | H4341 | H6045 | H1571 | H3915 | H3808

שָׁכַ֣ב לִבּ֑וֹ גַּם־ זֶ֥ה הֶ֖בֶל הֽוּא׃
שָׁכַ֣ב 休まない | לִבּ֑וֹ その–心–は | גַּם־ これ–も–また | זֶ֥ה これ–は | הֶ֖בֶל 空しさ | הֽוּא׃ である
H7901 | H1571 | H2088 | H1892 | H1931

そのすべての日はただ憂いのみであって、そのわざは苦しく、その心は夜の間も休まることがない。これもまた空である。

24 אֵין־ טוֹב בָּאָדָם֙ שֶׁיֹּאכַ֣ל וְשָׁתָ֔ה וְהֶרְאָ֥ה אֶת־
אֵין־ ない | טוֹב 良い–こと–は | בָּאָדָם֙ 人–に–とって | שֶׁיֹּאכַ֣ל 食べ | וְשָׁתָ֔ה そして–飲み | וְהֶרְאָ֥ה そして–味わわせる–こと–より | אֶת־ を
H0369 | H0398 | H0120 | H8354 | H7200 | H0853

נַפְשׁ֖וֹ טוֹב֙ בַּעֲמָל֔וֹ גַּם־ זֹ֥את רָאִ֖יתִי אָ֑נִי כִּ֣י
נַפְשׁ֖וֹ その–魂–に | טוֹב֙ 良い–もの–を | בַּעֲמָל֔וֹ その–労苦–の–中–で | גַּם־ これ–も–また | זֹ֥את それ–は | רָאִ֖יתִי 見た | אָ֑נִי 私–は | כִּ֣י まことに
H5315 | H2090 | H1571 | H5999 | H7200 | H0589

מִיַּד֙ הָאֱלֹהִ֔ים הִ֖יא׃
מִיַּד֙ 手–から | הָאֱלֹהִ֔ים 神–の | הִ֖יא׃ それ–は
H3027 | H0430 | H1931

人は食い飲みし、その労苦によって得たもので心を楽しませるより良い事はない。これもまた神の手から出ることを、わたしは見た。

25 כִּ֣י מִ֤י יֹאכַל֙ וּמִ֣י יָח֔וּשׁ חֻ֖ץ מִמֶּֽנִּי׃
כִּ֣י なぜなら | מִ֤י 誰–が | יֹאכַל֙ 食べ | וּמִ֣י そして–誰–が | יָח֔וּשׁ 楽しむ–のか | חֻ֖ץ のほか | מִמֶּֽנִּי׃ 私–より
H4310 | H0398 | H4310 | H2351

だれが神を離れて、食い、かつ楽しむことのできる者があろう。

26 כִּי לְאָדָם שֶׁטּוֹב לְפָנָיו נָתַן חָכְמָה וְדַעַת וְשִׂמְחָה
なぜなら 人–に 良い–と–される その–前–に 与えた 知恵–と そして–知識–と そして–喜び–を
H0120 H2896 H6440 H5414 H2451 H1847 H8057

וְלַחוֹטֶא נָתַן עִנְיָן לָתֵת וְלִכְנוֹס לֶאֱסוֹף לָתֵת לְטוֹב
しかし–罪人–には 与えた 務め–を 与える–ため–に そして–蓄える–ことを 集める–ことと 与える–ため–に 良い–者–に
H2398 H5414 H6045 H5414 H3664 H0622 H5414 H2896

גַּם־זֶה הֶבֶל וּרְעוּת רוּחַ׃
これ–も–また これ–は 空しさ そして–風–を 追うこと
H1571 H2088 H1892 H7469 H7307

神は、その心にかなう人に、知恵と知識と喜びとをくださる。しかし罪びとには仕事を与えて集めることと、積むことをさせられる。これは神の心にかなう者にそれを賜わるためである。これもまた空であって、風を捕えるようである。

Chapter 3

1 ס לַכֹּל זְמָן וְעֵת לְכָל־חֵפֶץ תַּחַת הַשָּׁמָיִם׃
段落 すべて–に 時–が–あり そして–定められた–時–が すべて–の 事柄–に 下–に 天–の
H3605 H2165 H6256 H3605 H2656 H8478 H8064

天が下のすべての事には季節があり、すべてのわざには時がある。

2 עֵת לָלֶדֶת וְעֵת לָמוּת עֵת לָטַעַת וְעֵת לַעֲקוֹר נָטוּעַ׃
時–が–ある 生まれる そして–時–が–ある 死ぬ 時–が–ある 植える そして–時–が–ある 引き–抜く 植えられた–もの–を
H6256 H3205 H6256 H4191 H6256 H5193 H6256 H5193

生るるに時があり、死ぬるに時があり、植えるに時があり、植えたものを抜くに時があり、

3 עֵת לַהֲרוֹג וְעֵת לִרְפּוֹא עֵת לִפְרוֹץ וְעֵת לִבְנוֹת׃
時–が–ある 殺す そして–時–が–ある 癒す 時–が–ある 壊す そして–時–が–ある 建てる
H6256 H2026 H6256 H7495 H6256 H6555 H6256 H1129

殺すに時があり、いやすに時があり、こわすに時があり、建てるに時があり、

4 עֵת לִבְכּוֹת וְעֵת לִשְׂחוֹק עֵת סְפוֹד וְעֵת רְקוֹד׃
時–が–ある 泣く そして–時–が–ある 笑う 時–が–ある 嘆く そして–時–が–ある 踊る
H6256 H1058 H6256 H7832 H6256 H5594 H6256 H7540

泣くに時があり、笑うに時があり、悲しむに時があり、踊るに時があり、

5 עֵת לְהַשְׁלִיךְ אֲבָנִים וְעֵת כְּנוֹס אֲבָנִים עֵת לַחֲבוֹק וְעֵת לִרְחֹק מֵחַבֵּק׃
時–が–ある 投げる 石–を そして–時–が–ある 集める 石–を 時–が–ある 抱く そして–時–が–ある 遠ざかる 抱く–こと–から
H6256 H7993 H0068 H6256 H3664 H0068 H6256 H2263 H6256 H7368 H2263

石を投げるに時があり、石を集めるに時があり、抱くに時があり、抱くことをやめるに時があり、

6

וְעֵת	לִשְׁמוֹר	עֵת	לְאַבֵּד	וְעֵת	לְבַקֵּשׁ	עֵת
そして–時–が–ある	保つ	時–が–ある	失う	そして–時–が–ある	求める	時–が–ある
H6256	H8104	H6256	H0006	H6256	H1245	H6256

לְהַשְׁלִיךְ׃
投げ–捨てる
H7993

捜すに時があり、失うに時があり、保つに時があり、捨てるに時があり、

7

וְעֵת	לַחֲשׁוֹת	עֵת	לִתְפּוֹר	וְעֵת	לִקְרוֹעַ	עֵת
そして–時–が–ある	黙る	時–が–ある	縫う	そして–時–が–ある	引き–裂く	時–が–ある
H6256	H2814	H6256	H8609	H6256	H7167	H6256

לְדַבֵּר׃
語る
H1696

裂くに時があり、縫うに時があり、黙るに時があり、語るに時があり、

8

שָׁלוֹם׃	וְעֵת	מִלְחָמָה	עֵת	לְשִׂנֹּא	וְעֵת	לֶאֱהֹב	עֵת
平和–の	そして–時–が–ある	戦争–の	時–が–ある	憎む	そして–時–が–ある	愛する	時–が–ある
H7965	H6256	H4421	H6256	H8130	H6256	H0157	H6256

ס
段落

愛するに時があり、憎むに時があり、戦うに時があり、和らぐに時がある。

9

עָמֵל׃	הוּא	בַּאֲשֶׁר	הָעוֹשֶׂה	יִתְרוֹן	מַה־
労する	彼–が	において	働く–者–に	益–が	何–の
	H1931			H3504	H4100

働く者はその労することにより、なんの益を得るか。

10

לַעֲנוֹת	הָאָדָם	לִבְנֵי	אֱלֹהִים	נָתַן	אֲשֶׁר	הָעִנְיָן	אֶת־	רָאֵיתִי
従事させる–ため–に	人–の	子ら–に	神–が	与えた	この	務め–を	を	私–は–見た
	H0120		H0430	H5414		H6045	H0853	H7200

בּוֹ׃
それ–に

わたしは神が人の子らに与えて、ほねおらせられる仕事を見た。

11

בְּלִבָּם	נָתַן	הָעֹלָם	אֶת־	גַּם	בְּעִתּוֹ	יָפָה	עָשָׂה	הַכֹּל	אֶת־
彼ら–の–心–に	置いた	永遠–を	を	また	その–時–に	美しく	造った	すべて–を	を
	H5414	H5769	H0853	H1571	H6256	H3303		H3605	H0853

הָאֱלֹהִים	עָשָׂה	אֲשֶׁר־	הַמַּעֲשֶׂה	אֶת־	הָאָדָם	יִמְצָא	לֹא־	אֲשֶׁר	מִבְּלִי
神–が	行った	の–こと	業–を	を	人–は	見出す–こと–が	ない	の–こと	けれども
H0430			H4639	H0853	H0120	H4672	H3808		H1097

סוֹף׃	וְעַד־	מֵרֹאשׁ
終わり	そして–まで	初め–から
H5490	H5704	

神のなされることは皆その時にかなって美しい。神はまた人の心に永遠を思う思いを授けられた。それでもなお、人は神のなされるわざを初めから終りまで見きわめることはできない。

לְשִׂמְחָה	אִם־	כִּי	בָם	טוֹב	אֵין	כִּי	יָדַעְתִּי	12
喜ぶ–こと	のほか	ただ	彼ら–に–とって	良い–もの–は	ない	まことに	知った	
H8055					H0369		H3045	

בְּחַיָּיו׃	טוֹב	וְלַעֲשׂוֹת
その–生涯–において	良い–こと–を	そして–行う–こと

わたしは知っている。人にはその生きながらえている間、楽しく愉快に過ごすよりほかに良い事はない。

בְּכָל־	טוֹב	וְרָאָה	וְשָׁתָה	שֶׁיֹּאכַל	הָאָדָם	כָּל־	וְגַם	13
すべて–の	良い–もの–を	そして–味わう–こと	そして–飲み	食べ	人–が	すべて–の	そして–また	
H3605		H7200	H8354	H0398	H0120	H3605	H1571	

הִיא׃	אֱלֹהִים	מַתַּת	עֲמָלוֹ
それ–は	神–の	贈り物	その–労苦–の–中–で
H1931	H0430	H4991	H5999

またすべての人が食い飲みし、そのすべての労苦によって楽しみを得ることは神の賜物である。

עָלָיו	לְעוֹלָם	יִהְיֶה	הוּא	הָאֱלֹהִים	יַעֲשֶׂה	אֲשֶׁר	כָּל־	כִּי	יָדַעְתִּי	14
それ–に	永遠–に	永遠–に	それ–は	神–が	なさる	の–こと	すべて	まことに	知った	
	H5769	H1961	H1931	H0430			H3605		H3045	

עָשָׂה	וְהָאֱלֹהִים	לִגְרֹעַ	אֵין	וּמִמֶּנּוּ	לְהוֹסִיף	אֵין	
なさった	そして–神–は	減らす–こと–が	できない	そして–それ–から	加える–こと–が	できない	
	H0430	H1639	H0369		H3254	H0369	

מִלְּפָנָיו׃	שִׁירְאוּ
御前–において	人々–が–疑れる–ように
H6440	H3372

わたしは知っている。すべて神がなさる事は永遠に変ることがなく、これに加えることも、これから取ることもできない。神がこのようにされるのは、人々が神の前に恐れをもつようになるためである。

הָיָה	כְּבָר	לִהְיוֹת	וַאֲשֶׁר	הֽוּא	כְּבָר	שֶׁהָיָה	מַה־		15
あった	すでに	これから–ある	そして–の–こと	それ–で–あり	すでに	かつて–あった–ことは	何–が		
H1961	H3528	H1961		H1931	H3528	H1961	H4100		

נִרְדָּף׃	אֶת־	יְבַקֵּשׁ	וְהָאֱלֹהִים
追われた–もの–を	を	求める	そして–神–は
H7291	H0853	H1245	H0430

今あるものは、すでにあったものである。後にあるものも、すでにあったものである。神は追いやられたものを尋ね求められる。

וּמְקוֹם	הָרֶשַׁע	שָׁמָּה	הַמִּשְׁפָּט	מְקוֹם	הַשֶּׁמֶשׁ	תַּחַת	רָאִיתִי	וְעוֹד	16
そして–場所–に	悪–が–あり	そこ–に	裁き–の	場所–に	太陽–の	下–で	私–は–見た	そして–また	
H4725	H7562	H8033	H4941	H4725	H8121	H8478	H7200	H5750	

הָרֶשַׁע׃	שָׁמָּה	הַצֶּדֶק
悪–が–ある	そこ–に	義–の
H7562	H8033	H6664

わたしはまた、日の下を見たが、さばきを行う所にも不正があり、公義を行う所にも不正がある。

17 אָמַ֣רְתִּי אֲנִ֔י בְּלִבִּ֖י אֶת־הַצַּדִּ֣יק וְאֶת־הָרָשָׁ֑ע יִשְׁפֹּ֣ט הָאֱלֹהִ֔ים
言った 私-は 私-の-心-の-中-で を 正しい-者-も そして-を 悪い-者-も 裁く 神-が
H0559 H0589 H0853 H6662 H0853 H0853 H7563 H8199 H0430

כִּי־עֵ֥ת לְכָל־חֵ֖פֶץ וְעַ֣ל כָּל־הַמַּעֲשֶׂ֑ה שָֽׁם׃
なぜなら 時-が-ある すべて-の 事柄-に そして-について すべて-の 業-の そこ-に
H6256 H3605 H2656 H3605 H4639 H8033

わたしは心に言った、「神は正しい者と悪い者とをさばかれる。神はすべての事と、すべてのわざに、時を定められたからである」と。

18 אָמַ֣רְתִּי אֲנִ֔י בְּלִבִּ֖י עַל־דִּבְרַ֣ת בְּנֵי־הָאָדָ֑ם לְבָרָ֣ם הָאֱלֹהִ֔ים
言った 私-は 私-の-心-の-中-で に-ついて 事柄-の 子ら-の 人-の 試す-ため-に 神-が
H0559 H0589 H0929 H1700 H0120 H1305 H0430

וְלִרְא֖וֹת שֶׁהֵ֣מָּה בְהֵמָ֥ה הֵ֖מָּה לָהֶֽם׃
そして-見る-ため-に 彼ら-が 獣-で 彼ら-は 彼ら-自身-に-とって
H7200 H1992 H0929 H1992 H1992

わたしはまた、人の子らについて心に言った、「神は彼らをためして、彼らに自分たちが獣にすぎないことを悟らせられるのである」と。

19 כִּ֣י מִקְרֶ֤ה בְנֵי־הָאָדָם֙ וּמִקְרֶ֣ה הַבְּהֵמָ֔ה וּמִקְרֶ֥ה אֶחָ֖ד לָהֶ֑ם
なぜなら 出来事-は 人-の 子ら-の そして-出来事-は 獣-の そして-出来事-は 一つ
H4745 H0120 H4745 H0929 H4745 H0259

כְּמ֥וֹת זֶ֖ה כֵּ֣ן מ֔וֹת וְר֥וּחַ אֶחָ֖ד לַכֹּ֑ל וּמוֹתַ֥ר הָאָדָ֖ם מִן־הַבְּהֵמָ֥ה אָ֛יִן כִּ֥י הַכֹּ֖ל הָבֶֽל׃
ちょうど-死-が これ-の その-ように 死-が それ-の 息-は そして- 一つ すべて-に 優位-は 人-に より 獣-より ない なぜなら すべて-は 空しい
H4194 H2088 H4194 H2088 H7307 H0259 H3605 H4195 H0120 H0929 H0369 H3605 H1892

人の子らに臨むところは獣にも臨むからである。すなわち一様に彼らに臨み、これの死ぬように、彼も死ぬのである。彼らはみな同様の息をもっている。人は獣にまさるところがない。すべてのものは空だからである。

20 הַכֹּ֣ל הוֹלֵ֣ךְ אֶל־מָק֣וֹם אֶחָ֔ד הַכֹּ֖ל הָיָ֣ה מִן־הֶעָפָ֑ר וְהַכֹּ֖ל שָׁ֥ב אֶל־הֶעָפָֽר׃
すべて-は 行く 場所 一つ-の すべて-は あった から 塵-から そして-すべて-は 戻る へ 塵-へ
H3605 H1980 H4725 H0259 H3605 H1961 H4310 H6083 H3605 H7725 H0413 H6083

みな一つ所に行く。皆ちりから出て、皆ちりに帰る。

21 מִ֣י יוֹדֵ֗עַ רוּחַ֙ בְּנֵי־הָאָדָ֔ם הָעֹלָ֖ה הִ֣יא לְמָ֑עְלָה וְר֣וּחַ הַבְּהֵמָ֔ה הַיֹּרֶ֖דֶת הִ֥יא לְמַ֖טָּה לָאָֽרֶץ׃
誰-が 知ろう-か 霊-が 人-の 子ら-の 上へ-行く-のか それ-は 上-へ そして-霊-が 獣-の 下へ-行く-のか それ-は 下-へ 地-へ
H4310 H3045 H7307 H0120 H5927 H1931 H4605 H7307 H0929 H3381 H1931 H4295 H0776

だれが知るか、人の子らの霊は上にのぼり、獣の霊は地にくだるかを。

22 וְרָאִ֗יתִי כִּ֣י אֵ֤ין טוֹב֙ מֵאֲשֶׁ֣ר יִשְׂמַ֣ח הָאָדָ֔ם בְּמַעֲשָׂ֖יו
そして–見た ない –こと より 良い–こと–は 喜ぶ–こと 人–が その–業–の–中–で
H7200 H0369 H8055 H0120 H4639

כִּ֣י־ הִ֤וא חֶלְקּוֹ֙ כִּ֣י מִ֣י יְבִיאֶ֔נּוּ לִרְאוֹת֙ בְּמֶ֣ה שֶּׁיִּהְיֶ֔ה
なぜなら それ–が その–分け前 なぜなら 誰–が 導く–のか 見る–ため–に 何–が やがて–ある–のか
H1931 H2506 H3588 H4310 H0935 H7200 H4100 H1961

אַחֲרָֽיו׃
その–後–に

それで、わたしは見た、人はその働きによって楽しむにこした事はない。これが彼の分だからである。だれが彼をつれていって、その後の、どうなるかを見させることができようか。

Chapter 4

1 וְשַׁ֣בְתִּי אֲנִ֗י וְאֶרְאֶה֙ אֶת־ כָּל־ הָעֲשֻׁקִ֔ים אֲשֶׁ֖ר
そして–振り返った 私–は そして–見た を すべて–の 虐げられた–者たち–を の–こと
H7725 H0589 H7200 H0853 H3605 H6217

נַעֲשִׂ֣ים תַּ֣חַת הַשָּׁ֑מֶשׁ וְהִנֵּ֣ה דִמְעַ֤ת הָֽעֲשֻׁקִים֙ וְאֵ֣ין לָהֶ֔ם
なされて–いる 下–で 太陽–の そして–見よ 涙–を 虐げられた–者たち–の そして–いない 彼ら–に
H6478 H8121 H2009 H1832 H6217 H0369

וּמִיַּד֙ עֹשְׁקֵיהֶ֣ם כֹּ֔חַ וְאֵ֥ין לָהֶ֖ם מְנַחֵֽם׃
そして–手–には 虐げる–者たち–の 力–が–あり そして–いない 彼ら–に 慰める–者–が
H3027 H6231 H3581 H0369 H5162

わたしはまた、日の下に行われるすべてのしえたげを見た。見よ、しえたげられる者の涙を。彼らを慰める者はない。しえたげる者の手には権力がある。しかし彼らを慰める者はいない。

2 וְשִׁבַּ֣חְתִּי אֲנִ֗י אֶת־ הַמֵּתִ֛ים שֶׁכְּבָ֖ר מֵתוּ֑ מִן־ הַחַיִּ֥ים
そして–称えた 私–は を 死んだ–者たち–を すでに 死んだ より 生きて–いる–者たち–より
H7623 H0589 H0853 H4191 H3528 H4191 H3605 H2416

אֲשֶׁ֥ר הֵ֖מָּה חַיִּ֣ים עֲדֶ֔נָה׃
まだ 彼ら–が 生きて–いる 今–なお
H0834 H1992 H2416 H5728

それで、わたしはなお生きている生存者よりも、すでに死んだ死者を、さいわいな者と思った。

3 וְטוֹב֙ מִשְּׁנֵיהֶ֔ם אֶת֙ אֲשֶׁר־ עֲדֶ֣ן לֹֽא־ הָיָ֔ה אֲשֶׁ֥ר לֹא־
そして–良い 両者–より を まだ ない 生まれて–いない–者–は まだ ない
H7960 H8147 H0853 H5728 H3808 H1961 H0834 H3808

רָאָ֗ה אֶת־ הַמַּעֲשֶׂ֛ה הָרָ֥ע אֲשֶׁ֖ר נַעֲשָׂ֑ה תַּ֣חַת הַשָּׁ֔מֶשׁ׃
見た–こと–が を 業–を 悪い の–こと なされた 下–で 太陽–の
H7200 H0853 H4639 H7451 H0834 H6213 H8478 H8121

しかし、この両者よりもさいわいなのは、まだ生れない者で、日の下に行われる悪しきわざを見ない者である。

4 וְרָאִ֣יתִי אֲנִ֗י אֶת־כָּל־עָמָ֤ל וְאֶת־כָּל־כִּשְׁרוֹן֙ הַֽמַּעֲשֶׂ֔ה כִּ֥י
そして-見た 私-は を すべて-の 労苦-と そして-を すべて-の 熟練-の 業-を まことに
H7200 H0589 H0853 H3605 H5999 H0853 H3605 H3788 H4639

הִ֥יא קִנְאַת־אִ֖ישׁ מֵרֵעֵ֑הוּ גַּם־זֶ֥ה הֶ֖בֶל וּרְעוּת֥ רֽוּחַ׃
それ-は 嫉妬-で-ある 人-の その-隣人-に-対する これ-も-また これ-は 空しさ そして-風-を 追うこと
H1931 H7068 H0376 H7453 H1571 H2088 H1892 H7469 H7307

また、わたしはすべての労苦と、すべての巧みなわざを見たが、これは人が互にねたみあってなすものである。これもまた空であって、風を捕えるようである。

5 הַכְּסִ֣יל חֹבֵ֔ק אֶת־יָדָ֖יו וְאֹכֵ֥ל אֶת־בְּשָׂרֽוֹ׃
愚か-な-者-は 組んで-いる を その-手-を そして-食べる を その-肉体-を
H3684 H2263 H0853 H3027 H0398 H0853 H1320

愚かなる者は手をつかねて、自分の肉を食う。

6 טּ֣וֹב מְלֹא־חֹ֔פֶן נָ֖חַת מִמְלֹא־חָפְנַ֑יִם וּרְעוּת֥ רֽוּחַ׃
良い 一-杯-の 手-の 安らぎ-は 両-手-一-杯-の-より そして-風-を 追うこと-より
H4393 H3709 H5117 H4393 H2651 H7469 H7307

片手に物を満たして平穏であるのは、両手に物を満たして労苦し、風を捕えるのにまさる。

7 וְשַׁ֣בְתִּי אֲנִ֔י וָאֶרְאֶ֖ה הֶ֑בֶל תַּ֖חַת הַשָּֽׁמֶשׁ׃
そして-振り返った 私-は そして-見た 空しさ-を 下-に 太陽-の
H7725 H0589 H7200 H1892 H8478 H8121

わたしはまた、日の下に空なる事のあるのを見た。

8 יֵ֣שׁ אֶחָ֗ד וְאֵין֙ שֵׁנִ֔י גַּ֥ם בֵּ֖ן וְגַ֣ם אָ֑חִ֗ לֽוֹ׃
ある 一人-が 二人-目-は そして-いない また 息子-も そして-兄弟-も いない 彼-には
H3426 H0259 H8145 H0369 H1571 H0251 H0369 H0376

לֹא־תִשְׂבַּ֥ע עֵינ֖וֹ)עֵינִ֣יו[וּלְמִ֥י אֲנִ֛י עָמֵ֖ל וּמְחַסֵּ֣ר אֶת־נַפְשִׁ֑י
満たされない 富-に 誰-の-ために そして-私-は 労して-いる-のか そして-奪わせて-いる-のか を
H7646 H6239 H4310 H0589 H5999 H2637 H0853 H5315

גַּם־זֶ֥ה הֶ֖בֶל וְעִנְיַ֥ן רָ֛ע הֽוּא׃ מִטּוֹבָ֖ה
これ-も-また 空しさ そして-務め 苦しい それ-は 良い-もの-から
H1571 H1892 H6045 H7451 H1931 H2896

ここに人がある。ひとりであって、仲間もなく、子もなく、兄弟もない。それでも彼の労苦は窮まりなく、その目は富に飽くことがない。また彼は言わない、「わたしはだれのために労するのか、どうして自分を楽しませないのか」と。これもまた空であって、苦しいわざである。

9 טוֹבִים הַשְּׁנַיִם מִן־הָאֶחָד אֲשֶׁר יֵשׁ־לָהֶם שָׂכָר טוֹב בַּעֲמָלָם׃
良い 二人-は より 一人-より ある 彼ら-に 報い-が 良い その-労苦-において
H8147 H0259 H3426 H1992 H7939 H5999

ふたりはひとりにまさる。彼らはその労苦によって良い報いを得るからである。

10 כִּי אִם־יִפֹּלוּ הָאֶחָד יָקִים אֶת־חֲבֵרוֹ וְאַיְלוֹ הָאֶחָד שֶׁיִּפּוֹל וְאֵין שֵׁנִי לַהֲקִימוֹ׃
なぜなら もし 倒れたら 一人-が 起こす を その-仲間-を しかし-哀れなるかな 一人-が 倒れて そして-いない 二人-目-が 起こす-ため-に
H0259 H5307 H0853 H2270 H0337 H0259 H5307 H0369 H8145

すなわち彼らが倒れる時には、そのひとりがその友を助け起す。しかしひとりであって、その倒れる時、これを助け起す者のない者はわざわいである。

11 גַּם אִם־יִשְׁכְּבוּ שְׁנַיִם וְחַם לָהֶם וּלְאֶחָד אֵיךְ יֵחָם׃
また もし 寝れば 二人-が そして-暖かく-なる 彼ら-に しかし-一人-では どうして 暖かく-なれよう-か
H1571 H7901 H8147 H2552 H0259 H3179

またふたりが一緒に寝れば暖かである。ひとりだけで、どうして暖かになり得ようか。

12 וְאִם־יִתְקְפוֹ הָאֶחָד הַשְּׁנַיִם יַעַמְדוּ נֶגְדּוֹ וְהַחוּט הַמְשֻׁלָּשׁ לֹא בִמְהֵרָה יִנָּתֵק׃
そして-もし 襲いかかれば 一人-が 二人-が 立ち向かう それ-に-対して そして-紐-は 三つ-より-の ない すぐ-には 断ち-切れない
H8630 H0259 H8147 H5975 H5048 H2339 H8027 H3808 H4120 H5423

人がもし、そのひとりを攻め撃ったなら、ふたりで、それに当るであろう。三つよりの綱はたやすくは切れない。

13 טוֹב יֶלֶד מִסְכֵּן וְחָכָם מִמֶּלֶךְ זָקֵן וּכְסִיל אֲשֶׁר לֹא־יָדַע עוֹד לְהִזָּהֵר׃
良い 若者-が 貧しい そして-賢い 王-より 老いた そして-愚か-な まだ ない 知らない もはや 警告-を-受ける-こと-を
H3206 H4542 H2450 H4428 H2205 H3684 H3808 H3045 H5750

貧しくて賢いわらべは、老いて愚かで、もはや、いさめをいれることを知らない王にまさる。

14 כִּי־מִבֵּית הַסּוּרִים יָצָא לְמָלְךָ גַּם כִּי בְמַלְכוּתוֹ נוֹלַד רָשׁ׃
なぜなら 牢獄-から 囚人たち-の 出た 王-となる-ために また なぜなら その-王国-の-中-で 生まれた 貧しく
H3318 H0631 H4438 H1571 H3205 H7326

たとい、その王が獄屋から出て、王位についた者であっても、また自分の国に貧しく生れて王位についた者であっても、そうである。

15 רָאִ֙יתִי֙ אֶת־ כָּל־ הַחַיִּ֔ים הַמְהַלְכִ֖ים תַּ֣חַת הַשֶּׁ֑מֶשׁ עִם֙ הַיֶּ֣לֶד הַשֵּׁנִ֔י אֲשֶׁ֥ר יַעֲמֹ֖ד תַּחְתָּֽיו׃

私-は-見た を 生きて-いる-者たち-が すべて-の 歩いて-いる 下-で 太陽-の と-ともに 若者-の 第二-の 彼-が 立つ その-代わり-に

H7200 H0853 H2416 H3605 H1980 H8478 H8121 H3206 H8145 H834 H5975 H8478

わたしは日の下に歩むすべての民が、かのわらべのように王に代って立つのを見た。

16 אֵ֣ין קֵ֔ץ לְכָל־ הָעָ֖ם לְכָל־ אֲשֶׁ֣ר הָיָ֣ה לִפְנֵיהֶ֑ם גַּ֣ם הָאַחֲרוֹנִ֗ים לֹֽא־ יִשְׂמְחוּ־ בּ֔וֹ כִּי־ גַם־ זֶ֥ה הֶ֖בֶל וְרַעְיֽוֹן׃ ס

ない 終わり-が 民-に すべて-の 彼ら-の-前-に いた の-前-に すべて-の また 後-の-者たち-も 彼-を なぜなら これ-も-また これ-は 空しさ そして-風-を

H0369 H7093 H3605 H3605 H6440 H1961 H834 H3605 H1571 H0314 H0310 H3808 H8055 H3588 H1571 H2088 H1892 H7475

追うこと

H7307

すべての民は果てしがない。彼はそのすべての民を導いた。しかし後に来る者は彼を喜ばない。たしかに、これもまた空であって、風を捕えるようである。

Chapter 5

1 וְקָרוֹב֙ הָאֱלֹהִ֔ים בֵּ֖ית אֶל־ תֵּלֵ֑ךְ כַּאֲשֶׁ֣ר)רַגְלֶ֔ךָ( ]רגליך[שְׁמֹ֣ר

そして-近づいて 神-の 家 ～へ 行く ～する-時 あなたの-足を あなたの-足を 守れ

H7138 H0430 H1004 H0413 H3212 H3588 H7272 H7272 H8104

יוֹדְעִ֖ים אֵינָ֑ם כִּי־ זֶ֣בַח הַכְּסִילִ֔ים מִתֵּ֥ת לִשְׁמֹ֖עַ רָֽע׃

知っている 彼らは-ない なぜなら いけにえ-を 愚か者-たちが 捧げる-ことより 聞く-ことは 悪-を

H3045 H0369 H3588 H2077 H3684 H5414 H8085 H7451

神の宮に行く時には、その足を慎むがよい。近よって聞くのは愚かな者の犠牲をささげるのにまさる。彼らは悪を行っていることを知らないからである。

2 אַל־ תְּבַהֵ֣ל עַל־ פִּ֗יךָ וְלִבְּךָ֙ אַל־ יְמַהֵ֔ר לְהוֹצִ֥יא דָבָ֖ר לִפְנֵ֣י הָאֱלֹהִ֑ים כִּ֣י הָאֱלֹהִ֤ים בַּשָּׁמַ֙יִם֙ וְאַתָּ֣ה עַל־ הָאָ֔רֶץ עַל־ כֵּ֥ן יִהְי֛וּ דְּבָרֶ֥יךָ מְעַטִּֽים׃

～するな ～について あなたの-口-で あなたの-心-も ～するな 急いで-はならない 出す-ことを ～の-前-で 言葉-を なぜなら 神-は 天-に ～の-上-に あなた-は 地-に それゆえ それゆえ あるべき あなたの-言葉-は 少なく

H0408 H6310 H3820 H0408 H0926 H3318 H6440 H1697 H3588 H0430 H8064 H5921 H0859 H0776 H5921 H3651 H1961 H1697 H4592

神の前で軽々しく口をひらき、また言葉を出そうと、心にあせってはならない。神は天にいまし、あなたは地におるからである。それゆえ、あなたは言葉を少なくせよ。

3

כִּי	בָּא	הַחֲלוֹם	בְּרֹב	עִנְיָן	וְקוֹל	כְּסִיל	בְּרֹב	דְּבָרִים׃
なぜなら	来る	夢-は	多くの	仕事-から	そして-声-は	愚か者-の	多くの	言葉-から
	H0935	H2472	H7230	H6045		H3684	H7230	H1697

夢は仕事の多いことによってきたり、愚かなる者の声は言葉の多いことによって知られる。

4

כַּאֲשֶׁר	תִּדֹּר	נֶדֶר	לֵאלֹהִים	אַל־	תְּאַחֵר	לְשַׁלְּמוֹ	כִּי	אֵין
～する-時	誓う	誓い-を	神-に	～するな	遅らせるな	果たす-ことを	なぜなら	ない
	H5087	H5088	H0430	H0408	H0309			H0369

שַׁלָּם׃	תִּדֹּר	אֲשֶׁר־	אֶת	בַּכְּסִילִים	חֵפֶץ
果たせ	誓った-ことを	あなたが	（を）	愚か者-たちに	喜び-が
	H5087		H0853	H3684	H2656

あなたは神に誓いをなすとき、それを果すことを延ばしてはならない。神は愚かな者を喜ばれないからである。あなたの誓ったことを必ず果せ。

5

תְּשַׁלָּם׃	וְלֹא	מְשַׁתְּדֹּר	תִּדֹּר	לֹא־	אֲשֶׁר	טוֹב
果たさない-より	そして-～しない	誓って-おいて	誓わない	～しない	こと-は	良い
	H3808	H5087	H5087	H3808		

あなたが誓いをして、それを果さないよりは、むしろ誓いをしないほうがよい。

6

בְּשָׂרֶךָ	אֶת־	לַחֲטִיא	פִּיךָ	אֶת־	תִּתֵּן	אַל־		
あなたの-肉体-を	（を）	罪-を-犯させるな	あなたの-口-に	（を）	させるな	～するな		
H1320	H0853	H2398	H6310	H0853	H5414	H0408		

יִקְצֹף	לָמָּה	הָיָא	שְׁגָגָה	כִּי	הַמַּלְאָךְ	לִפְנֵי	תֹּאמַר	וְאַל־
怒る-べきか	なぜ	であった」と	過ち	「それは	御使い-の	～の-前-で	言うな	そして-～するな
H7107	H4100	H1931	H7684		H4397	H6440	H0559	H0408

יָדֶיךָ׃	מַעֲשֵׂה	אֶת־	וְחִבֵּל	קוֹלֶךָ	עַל־	הָאֱלֹהִים
あなたの-手-の	業-を	（を）	そして-滅ぼす	あなたの-声-に	～に-対して	神-が
H3027	H4639	H0853				H0430

あなたの口が、あなたに罪を犯させないようにせよ。また使者の前にそれは誤りであったと言ってはならない。どうして、神があなたの言葉を怒り、あなたの手のわざを滅ぼしてよかろうか。

7

יְרֵא׃	הָאֱלֹהִים	אֶת־	כִּי	הַרְבֵּה	וּדְבָרִים	וַהֲבָלִים	חֲלֹמוֹת	בְּרֹב
畏れよ	神-を	（を）	ただ	多い-時には	言葉-が	空しさ-と	夢-と	多くの
H3372	H0430	H0853			H1697	H1892	H2472	H7230

כִּי	
なぜなら	

夢が多ければ空なる言葉も多い。しかし、あなたは神を恐れよ。

8

אַל־	בְּמְדִינָה	תִּרְאֶה	וְצֶדֶק	מִשְׁפָּט	וְגֵזֶל	רָשׁ	עֹשֶׁק	אִם־
～するな	州-の-中-で	見る-なら	正義-の	公正-と	奪い取り-と	貧しい-者-への	虐げ-と	もし
H0408	H4082	H7200	H6664	H4941	H1499	H7326	H6233	

שֹׁמֵר	גָּבֹהַּ	מֵעַל	גָּבֹהַּ	כִּי	הַחֵפֶץ	עַל־	תִּתְמַהּ
見張っており	高い-者-が	上-に	高い-者-の	なぜなら	そのこと-に	～について	驚くな
H8104	H1364		H1364		H2656		H8539

עֲלֵיהֶם׃	וּגְבֹהִים
彼ら-の-上-に	さらに-高い-者-たちが
	H1364

あなたは国のうちに貧しい者をしえたげ、公道と正義を曲げることのあるのを見ても、その事を怪しんではならない。それは位の高い人よりも、さらに高い者があって、その人をうかがうからである。そしてそれらよりもなお高い者がある。

9

וְיִתְרוֹן אֶרֶץ בַּכֹּל]הִיא[ )הִוא(מֶלֶךְ לִשָּׂדֶה :נֶעֱבָד
そして-利益-は 地-の すべて-に それ-は これ-である 王-が 畑-の-ために 仕える
H3504 H0776 H3605 H1931 H1931 H4428 H7704 H5647

しかし、要するに耕作した田畑をもつ国には王は利益である。

10

אֹהֵב כֶּסֶף לֹא־ יִשְׂבַּע כֶּסֶף וּמִי־ אֹהֵב בָּהָמוֹן לֹא תְבוּאָה
愛する-者-は 銀-を ～しない 満足しない 銀-に そして-誰-が 愛して 富-を ない 収入-が
H0157 H3701 H3808 H7646 H3701 H4310 H0157 H1892 H3808 H8393

גַּם־ זֶה הָבֶל :
これ-も-また これ-は 空しい
H1571 H2088 H1892

金銭を好む者は金銭をもって満足しない。富を好む者は富を得て満足しない。これもまた空である。

11

בִּרְבוֹת הַטּוֹבָה רַבּוּ אוֹכְלֶיהָ וּמַה־ כִּשְׁרוֹן לִבְעָלֶיהָ כִּי אִם־
増える 財産-が 増える-と 食べる-者-たちも 増える 何-の 益-が その-持ち主-に ただ ただ
H1892 H2896 H7235 H0398 H7235 H4100 H3788 H1167 H3588 H0518

עֵינָיו :בִּ)רְאוֹת( ]רְאִית[
その-目-で 眺める-こと 眺める
H5869 H7200 H7200

財産が増せば、これを食う者も増す。その持ち主は目にそれを見るだけで、なんの益があるか。

12

וְהַשָּׂבָע מְתוּקָה שְׁנַת הָעֹבֵד אִם־ מְעַט וְאִם־ הַרְבֵּה יֹאכֵל
しかし-満腹-は 甘い 眠り-は 働く-者-の たとえ 少なく たとえ 多く 食べても
H7647 H4966 H8142 H5647 H0518 H4592 H0518 H7235 H0398

לִישֹׁן :לוֹ מַנִּיחַ אֵינֶנּוּ לֶעָשִׁיר
眠る-ことを 彼-に 許さない させない 富む-者-に
H3462 H3240 H0369 H6223

働く者は食べることが少なくても多くても、快く眠る。しかし飽き足りるほどの富は、彼に眠ることをゆるさない。

13

יֶשׁ רָעָה חוֹלָה רָאִיתִי תַּחַת הַשָּׁמֶשׁ עֹשֶׁר שָׁמוּר לִבְעָלָיו
ある 痛ましい 災い-が 私-は-見た 下-で 太陽-の 富-が 蓄えられて その-持ち主-に
H3426 H7451 H2483 H7200 H8478 H8121 H6239 H8104 H1167

לְרָעָתוֹ :
災い-と-なる

わたしは日の下に悲しむべき悪のあるのを見た。すなわち、富はこれをたくわえるその持ち主に害を及ぼすことである。

14

וְאָבַד הָעֹשֶׁר הַהוּא בְּעִנְיַן רָע וְהוֹלִיד בֵּן וְאֵין
そして-失われる その-富-は その 不幸-な 出来事-で 息子-が しかし-何-も
H6.2 H6239 H1931 H6045 H7451 H3205 H1121 H3972

מְאוּמָה :בְּיָדוֹ
ない その-手-に
H3972 H3027

またその富は不幸な出来事によってうせ行くことである。それで、その人が子をもうけても、彼の手には何も残らない。

15
כְּשֶׁבָּא　לָלֶכֶת　יָשׁוּב　עָרֹום　אִמּוֹ　מִבֶּטֶן　יָצָא　כַּאֲשֶׁר
来た–時–の–ように　行く–ために　帰る　裸–で　母–の　～から–胎　出て–きた–ように　ちょうど
H0935　H3212　H7725　H6174　H0517　H0990　H3318

בְּיָדוֹ׃　שֶׁיֵּלֵךְ　בַּעֲמָלוֹ　יִשָּׂא　לֹא־　וּמְאוּמָה
その–手–に　携えて–行ける–ものを　その–労苦–から　持って–いけない　～しない　そして–何–も
H3027　H3212　H5999　H5375　H3808　H3972

彼は母の胎から出てきたように、すなわち裸で出てきたように帰って行く。彼はその労苦によって得た何物をもその手に携え行くことができない。

16
כֵּן　שֶׁבָּא　עֻמַּת　כָּל־　חוֹלָה　רָעָה　זֶה　וְגַם־
その–ように　来た–時　～と–同じように　すべて　災い–である　痛ましい　これ–は　これ–も–また
H0935　H5980　H3605　H2090　H1571

לָרוּחַ׃　שֶׁיַּעֲמֹל　לוֹ　יִתְרוֹן　וּמַה־　יֵּלֵךְ
風–の–ために　労する–者–に　彼–に　益–が　そして–何–の　去る
H7307　H5998　H3504　H4100　H3212

人は全くその来たように、また去って行かなければならない。これもまた悲しむべき悪である。風のために労する者になんの益があるか。

17
וְחָלְיוֹ　הַרְבֵּה　וְכָעַס　יֹאכֵל　בַּחֲשֶׁךְ　יָמָיו　כָּל־　גַּם
病い–と　多く　そして–大いに–苛立ち　食べ　暗闇–の–中–で　その–日々–を　すべて–の　また
H2483　H3707　H0398　H2822　H3117　H3605　H1571

וְקֶצֶף׃
怒り–がある

人は一生、暗やみと、悲しみと、多くの悩みと、病と、憤りの中にある。

18
הִנֵּה　אֲשֶׁר־　רָאִיתִי　אֲנִי　טוֹב　אֲשֶׁר־　יָפֶה　לֶאֱכוֹל־　וְלִשְׁתּוֹת
見よ　私–が　見た–こと–は　私–は　良い　こと–で　ふさわしい–こと　食べ　そして–飲み
H2009　H7200　H0589　H3303　H0398　H8354

וְרְאוֹת　טוֹבָה　בְּכָל־　עָמָלוֹ　שֶׁיַּעֲמָל　תָּחַת־　הַשָּׁמֶשׁ
そして–喜び–を–見ること　幸い–を　すべて–の　その–労苦–の–中–で　労する　下–で　太陽–の
H7200　H5999　H3605　H8478　H5998　H8121

כִּי־　הָאֱלֹהִים　לוֹ　נָתַן־　אֲשֶׁר־　)חַיָּיו(　]חיו[　יְמֵי־　מִסְפָּר
なぜなら　神–が　彼–に　与えた　（それを）　その–命–の　その–命–の　日々–の　数えられた
H0430　H5414　H3117　H4557

חֶלְקוֹ׃　הוּא
その–分け前–である　それ–が
H1931

見よ、わたしが見たところの善かつ美なる事は、神から賜わった短い一生の間、食い、飲み、かつ日の下で労するすべての労苦によって、楽しみを得る事である。これがその分だからである。

19

וּנְכָסִים עֹשֶׁר הָאֱלֹהִים לוֹ נָתַן־ אֲשֶׁר הָאָדָם כָּל־ גַּם
財産–を 富–と 神–が 彼–に 与えた （それに） 人–に すべて–の また
H5233 H6239 H0430 H5414 H0120 H3605 H1571

וְלִשְׂמֹחַ חֶלְקוֹ אֶת־ וְלָשֵׂאת מִמֶּנּוּ לֶאֱכֹל וְהִשְׁלִיטוֹ
そして–喜ぶ–ことを その–分け前–を （を） そして–受け取り それ–から 食べ そして–力–を–与えた
H8055 H0853 H5375 H0398 H7980

הִיא׃ אֱלֹהִים מַתַּת זֶה בַּעֲמָלוֹ
である 神–の 賜物 これ–は その–労苦–の–中–で
H1931 H0430 H4991 H2090 H5999

また神はすべての人に富と宝と、それを楽しむ力を与え、またその分を取らせ、その労苦によって楽しみを得させられる。これが神の賜物である。

20

הָאֱלֹהִים כִּי חַיָּיו יְמֵי אֶת־ יִזְכֹּר הַרְבֵּה לֹא כִּי
神–が なぜなら その–命–の 日々–を （を） 思い返さない 多く ～しない なぜなら
H0430 H3117 H0853 H2142 H3808

לִבּוֹ׃ בְּשִׂמְחַת מַעֲנֶה
その–心–の 喜び–で 応えて–おられる
H8057

このような人は自分の生きる日のことを多く思わない。神は喜びをもって彼の心を満たされるからである。

Chapter 6

1

עַל־ הִיא וְרַבָּה הַשָּׁמֶשׁ תָּחַת רָאִיתִי אֲשֶׁר רָעָה יֶשׁ
～の–上–に それ–は そして–大きい 太陽–の 下–で 私–は–見た （それを） 悪い–こと–が ある
H1931 H8121 H8478 H7200 H3426

הָאָדָם׃
人–に
H0120

わたしは日の下に一つの悪のあるのを見た。これは人々の上に重い。

2

וְכָבוֹד וּנְכָסִים עֹשֶׁר הָאֱלֹהִים לוֹ יִתֶּן־ אֲשֶׁר אִישׁ
そして–栄誉–を 財産–と 富–と 神–が 彼–に 与える （それに） 人–が
H3519 H5233 H6239 H0430 H5414 H0376

יִתְאַוֶּה אֲשֶׁר־ מִכֹּל וְלִנַפְשׁוֹ חָסֵר וְאֵינֶנּוּ
望む （それを） すべて–から その–魂–に 欠けている しかし–足りない–もの–は–ない
H0183 H3605 H5315 H2638 H0369

נָכְרִי אִישׁ כִּי מִמֶּנּוּ לֶאֱכֹל הָאֱלֹהִים יַשְׁלִיטֶנּוּ וְלֹא־
見知らぬ 人–が なぜなら それ–から 食べる–ことを 神–が 力–を–与えない しかし–～しない
H5237 H0376 H0398 H0430 H7980 H3808

הוּא׃ רָע וְחֳלִי הֶבֶל זֶה יֹאכְלֶנּוּ
である 悪い そして–病い 空しさ これ–は 食べる
H1931 H2483 H1892 H2088 H0398

すなわち神は富と、財産と、誉とを人に与えて、その心に慕うものを、一つも欠けることのないようにされる。しかし神は、その人にこれを持つことを許されないで、他人がこれを持つようになる。これは空である。悪しき病である。

3 אִם־ יוֹלִיד אִישׁ מֵאָה וְשָׁנִים יִחְיֶה רַבּוֹת וְרַב שִׁיהְיֻנּוּ יְמֵי־
もし 生む 人–が 百–人 そして–年 生きても 多くの そして–多く （それが）–ある 日々–が
H0376 H3205 H3967 H8141 H2421 H7646 H1961 H3117

וְגַם־ קְבוּרָה לֹא־ הַטּוֹבָה מִן־ תִּשְׂבַּע לֹא־ וְנַפְשׁוֹ שָׁנָיו
そして–また 埋葬–も ～ない 幸い–に ～から 満足しない ～しない しかし–その–魂–が その–年–の
H1571 H6900 H3808 H7646 H3808 H5315 H8141

הַנָּפֶל׃ מִמֶּנּוּ טוֹב אָמַרְתִּי אֲנִי לוֹ הָיְתָה לֹא
死産–の–子–は 彼–より 良い 私–は–言う 彼–に なかった
H5309 H0559 H1961

たとい人は百人の子をもうけ、また命長く、そのよわいの日が多くても、その心が幸福に満足せず、また葬られることがなければ、わたしは言う、流産の子はその人にまさると。

4 כִּי־ בַהֶבֶל בָּא וּבַחֹשֶׁךְ יֵלֵךְ וּבַחֹשֶׁךְ שְׁמוֹ
なぜなら 空しさ–の–中–に 来て 去り そして–暗闇–で その–名–は
H1892 H0935 H3212 H2822 H2822 H8034

יְכֻסֶּה׃
覆われる
H3680

これはむなしく来て、暗やみの中に去って行き、その名は暗やみにおおわれる。

5 גַּם־ שֶׁמֶשׁ לֹא־ רָאָה וְלֹא יָדָע נַחַת זֶה לָזֶה מִזֶּה׃
また 太陽–を ～しない 見ず そして–～しない 知らない 安らぎ–が これ–に–は あれ–より
H1571 H8121 H7200 H3808 H3808 H3045 H2088 H2088

またこれは日を見ず、物を知らない。けれどもこれは彼よりも安らかである。

6 וְאִלּוּ חָיָה אֶלֶף שָׁנִים פַּעֲמַיִם וְטוֹבָה לֹא רָאָה
たとえ 生きた–として 千 年–を 二–度 しかし–幸い–を ～しない 見なかった
H0432 H2421 H0505 H8141 H6471 H3808 H7200

הוֹלֵךְ׃ הַכֹּל אֶחָד מָקוֹם אֶל־ הֲלֹא
行く すべて–が 一つ–の 場所 ～へ （ではないか）
H1980 H3605 H0259 H4725 H0413 H3808

たとい彼は千年に倍するほど生きても幸福を見ない。みな一つ所に行くのではないか。

7 כָּל־ עֲמַל הָאָדָם לְפִיהוּ וְגַם־ הַנֶּפֶשׁ לֹא תִמָּלֵא׃
すべて–の 労苦–は 人–の その–口–の–ため しかし–また 魂–は ～しない 満たされない
H3605 H5999 H0120 H6310 H1571 H5315 H3808 H4390

人の労苦は皆、その口のためである。しかしその食欲は満たされない。

8 כִּי מַה־ יּוֹתֵר לֶחָכָם מִן־ הַכְּסִיל מַה־ לֶּעָנִי יוֹדֵעַ לַהֲלֹךְ נֶגֶד הַחַיִּים׃
なぜなら 何–の 優れた–もの–が 知恵–ある–者–に ～より 愚か者–より 何–が 貧しい–者–に 知っている 歩む–ことが ～の–前–で 生きている–者–の
H4100 H3148 H2450 H4100 H3684 H6041 H3045 H1980 H5048

賢い者は愚かな者になんのまさるところがあるか。また生ける者の前に歩むことを知る貧しい者もなんのまさるところがあるか。

9
טֹ֣וב — מַרְאֵ֣ה — עֵינַ֔יִם — מֵֽהַלָּ֖ךְ־ — נָ֑פֶשׁ — גַּם־ — זֶ֥ה — הֶ֛בֶל
良い — 見る-こと-は — 目-で — さまよう-こと-より — 魂-が — これ-も-また — これ-は — 空しさ
H1892 H2088 H1571 H5315 H1980 H4758

וּרְעוּת — רֽוּחַ׃
そして-風-を — 追うこと
H7469 H7307

目に見る事は欲望のさまよい歩くにまさる。これもまた空であって、風を捕えるようなものである。

10
מַה־ — שֶּׁהָיָ֖ה — כְּבָ֣ר — נִקְרָ֑א — שְׁמ֔וֹ — וְנוֹדָ֣ע — אֲשֶׁר־ — הֽוּא
何-で — あった-もの-は — すでに — 呼ばれた — その-名-で — そして-知られている — （それが） — 彼-は
H4100 H1961 H3528 H7121 H8034 H3045 H1931

מִמֶּ֖נּוּ׃ — שֶׁתַּקִּ֥יף — שהתקיף — עִם — לָדִ֔ין — יוּכַ֖ל — וְלֹא־ — אָדָ֥ם
彼-より — 強い-者-と — 強い-者-と — ～と — 争う-ことが — できない — そして-～できない — 人-である
H8623 H8630 H1777 H3201 H3808 H0120

今あるものは、すでにその名がつけられた。そして人はいかなる者であるかは知られた。それで人は自分よりも力強い者と争うことはできない。

11
לָֽאָדָם׃ — יִתֵּ֣ר — מַה־ — הֶ֔בֶל — מַרְבִּ֖ים — הַרְבֵּ֑ה — דְּבָרִ֔ים — יֵ֣שׁ־ — כִּ֥י
人-に — 益-が — 何-の — 空しさ-を — 増やす — 多く — 言葉-が — ある — なぜなら
H0120 H3148 H4100 H1892 H1697 H3426

12
יְמֵי־ — מִסְפָּ֑ר — בְּחַיִּ֖ים — לָֽאָדָ֔ם — טֹ֣וב — מַה־ — יוֹדֵ֤עַ — מִי־ — כִּ֥י
日々-の — 数えられた — 人生-の-中-で — 人-に-とって — 良い-か — 何-が — 知るだろうか — 誰-が — なぜなら
H3117 H4557 H0120 H4100 H3045 H4310

לָֽאָדָם֙ — יַגִּ֣יד — מִי־ — אֲשֶׁר֙ — כַּצֵּ֔ל — וְיַעֲשֵׂ֖ם — הֶבְלֹ֑ו — חַיֵּ֣י
人-に — 告げる-だろうか — 誰-が — （それを） — 影-の-ように — そして-過ごす — 空しい-日々-を — 命-の
H0120 H5046 H4310 H6738 H1892

הַשָּׁמֶֽשׁ׃ — תָּחַ֖ת — אַחֲרָ֑יו — יִהְיֶ֔ה — מַה־ — הֶ֥בֶל
太陽-の — 下-で — その-後-に — あるか — 何-が
H8121 H8478 H1961 H4100

人はその短く、むなしい命の日を影のように送るのに、何が人のために善であるかを知ることができよう。だれがその身の後に、日の下に何があるであろうかを人に告げることができるか。

Chapter 7

1
הַיֹּלְדֹֽו׃ — מִיּ֣וֹם — הַמָּ֔וֶת — וְיֹ֖ום — טֹ֑וב — מִשֶּׁ֣מֶן — שֵׁ֔ם — טֹ֖וב
生まれた-日-より — 日-より — 死-の — そして-日-は — 良い — 油-より — 名声-は — 良い
H3205 H3117 H4194 H3117 H8081 H8034

良き名は良き油にまさり、死ぬる日は生るる日にまさる。

2
בַּאֲשֶׁ֣ר — מִשְׁתֵּ֔ה — בֵּ֖ית — אֶל־ — מִלֶּ֑כֶת — אֵ֖בֶל — בֵּית־ — אֶל־ — לָלֶ֣כֶת — טֹ֔וב
なぜなら — 宴会-の — 家-へ — ～へ — 行く-こと-より — 喪-の — 家-へ — ～へ — 行く-ことは — 良い
H4960 H0413 H3212 H0060 H0413 H3212

לִבֹּֽו׃ — אֶל־ — יִתֵּ֖ן — וְהַחַ֑י — הָאָדָ֔ם — כָּל־ — סֹ֣וף — הֽוּא
その-心-に — ～へ — 心-に-留める — そして-生きている-者-は — 人-の — すべて-の — 終わり-である — それ-が
H0413 H5414 H0120 H3605 H5490 H1931

悲しみの家にはいるのは、宴会の家にはいるのにまさる。死はすべての人の終りだからである。生きている者は、これを心にとめる。

טוֹב כָּעַס מִשְּׂחָק כִּי־ בְּרַע פָּנִים יִיטַב לֵב׃ 3
良い 悲しみ-は 笑い-より なぜなら 悲しい-顔-に 良くなる 心-は
H7814 H6440 H7455 H3190

悲しみは笑いにまさる。顔に憂いをもつことによって、心は良くなるからである。

לֵב בְּבֵית חֲכָמִים אֶבֶל וּבְבֵית כְּסִילִים בְּבֵית שִׂמְחָה׃ 4
心-は 知恵-ある-者-の 喪-の 家-に-あり そして-心-は 愚か者-の 家-に-ある 喜び-の
H2450 H0060 H3684 H8057

賢い者の心は悲しみの家にあり、愚かな者の心は楽しみの家にある。

טוֹב לִשְׁמֹעַ גַּעֲרַת חָכָם מֵאִישׁ שִׁיר כְּסִילִים שֹׁמֵעַ׃ 5
良い 聞く-ことは 叱責-を 知恵-ある-者-の 人-が-より 歌-を 愚か者-の
H8085 H1606 H2450 H0376 H8085 H3684

賢い者の戒めを聞くのは、愚かな者の歌を聞くのにまさる。

כִּי כְקוֹל הַסִּירִים תַּחַת הַסִּיר כֵּן שְׂחֹק הַכְּסִיל וְגַם־ 6
なぜなら 音-の-ように 茨-の 下-の 釜-の その-ように 笑い-は 愚か者-の これ-も-また
H8478 H2088 H7814 H3684 H1571

זֶה הָבֶל׃
これ-は 空しい
H2088 H1892

愚かな者の笑いはかまの下に燃えるいばらの音のようである。これもまた空である。

כִּי הָעֹשֶׁק יְהוֹלֵל חָכָם לֵב מַתָּנָה׃ 7
なぜなら 虐げ-は 狂わせる 知恵-ある-者-を 心-を 贈り物-は
H6233 H2088 H0853 H4979

וְיאַבֵּד אֶת־ (を) そして-滅ぼす
H0006 H0853

たしかに、しえたげは賢い人を愚かにし、まいないは人の心をそこなう。

טוֹב אֲרֶךְ־ רוּחַ מִגְּבַהּ־ רוּחַ׃ 8
良い 忍耐-は 心-の 高慢-より 心-の
H7307 H0750 H7307 H1362

טוֹב אַחֲרִית דָּבָר מֵרֵאשִׁיתוֹ
良い 終わり-は 物事-の その-初め-より
H0319 H1697 H7225

事の終りはその初めよりも良い。耐え忍ぶ心は、おごり高ぶる心にまさる。

אַל־ תְּבַהֵל בְּרוּחֲךָ לִכְעוֹס כִּי כַּעַס בְּחֵיק כְּסִילִים יָנוּחַ׃ 9
〜するな 急ぐな あなたの-心-で 怒る-ことを なぜなら 怒り-は 懐-に 愚か者-の 宿る
H0408 H0926 H7307 H3707 H3708 H2436 H3684 H5117

気をせきたてて怒るな。怒りは愚かな者の胸に宿るからである。

אַל־ תֹּאמַר מָה הָיָה שֶׁהַיָּמִים הָרִאשֹׁנִים הָיוּ טוֹבִים 10
〜するな 言うな 何-だったのか であった 以前-の-日々-が 昔-の であった 良い
H0408 H0559 H4100 H1961 H3117 H7223 H1961

כִּי לֹא מֵחָכְמָה שְׁאֵלְתָּ עַל־ זֶה׃
なぜなら 〜ではない 知恵-から 尋ねた-のではない 〜について これ-について
H3808 H2451 H7592 H0428 H2088

「昔が今よりもよかったのはなぜか」と言うな。あなたがこれを問うのは知恵から出るのではない。

טוֹבָה חָכְמָה עִם־ נַחֲלָה וְיֹתֶר לְרֹאֵי הַשָּׁמֶשׁ׃ 11
良い 知恵-は 〜と-共に 相続財産-と そして-益-がある 見る-者-に 太陽-を
H2451 H5159 H3148 H7200 H8121

知恵に財産が伴うのは良い。それは日を見る者どもに益がある。

12

הַחָכְמָה	דַּ֣עַת	וְיִתְרוֹן	הַכֶּ֖סֶף	בְּצֵ֣ל	הַחָכְמָ֑ה	בְּצֵ֣ל	כִּי
知恵–が	知識–は	そして–優れている	銀–の	影–の–中–に	知恵–の	影–の–中–に	なぜなら
H2451	H1847	H3504	H3701	H6738	H2451	H6738	

בְּעָלֶ֥יהָ׃	תְּחַיֶּ֖ה
その–持ち主–を	生かす
H1167	H2421

知恵が身を守るのは、金銭が身を守るようである。しかし、知恵はこれを持つ者に生命を保たせる。これが知識のすぐれた所である。

13

אֵת	לְתַקֵּן	יוּכַל֙	מִֽי	כִּ֣י	הָאֱלֹהִ֔ים	מַעֲשֵׂ֖ה	אֶת־	רְאֵ֕ה
（を）	真っ直ぐに–する–ことが	できるだろうか	誰–が	なぜなら	神–の	業–を	（を）	見よ
H0853	H8626	H3201	H4310		H0430	H4639	H0853	H7200

עִוְּת֥וֹ׃	אֲשֶׁ֖ר
曲げた–もの–を	それ–を
H5791	

神のみわざを考えみよ。神の曲げられたものを、だれがまっすぐにすることができるか。

14

זֶה	אֶת־	גַּם	רְאֵה	רָעָ֔ה	וּבְי֣וֹם	בְּטוֹב֙	הֱיֵ֣ה	טוֹבָ֔ה
これ–を	（を）	また	考えよ	災い–の	そして–日–には	幸い–の–中–に	いよ	幸い–の
H2088	H0853	H1571	H7200		H3117		H1961	

בְּי֣וֹם	לְעֻמַּת־	זֶ֔ה	עָשָׂ֥ה	הָאֱלֹהִ֖ים	עַל־	דִּבְרַ֣ת	שֶׁלֹּ֑א	יִמְצָ֥א
日–には	～と–並べて	あれ–を	造った	神–が	～の–ために	こと–の	見いださない–ように	見いださない
H3117	H5980	H2088		H0430		H1700	H3808	H4672

הָאָדָ֖ם	אַחֲרָ֥יו	מְאוּמָֽה׃
人–が	その–後–に	何–も
H0120		H3972

順境の日には楽しめ、逆境の日には考えよ。神は人に将来どういう事があるかを、知らせないために、彼とこれとを等しく造られたのである。

15

אֹבֵד֙	צַדִּ֔יק	יֵ֣שׁ	הֶבְלִ֑י	בִּימֵ֣י	רָאִ֔יתִי	הַכֹּ֖ל	אֶת־	
滅びる	正しい–者–が	ある	私の–空しい–日々–の	日々–の–中–で	私–は–見た	すべて–を	（を）	
H0006	H6662	H3426	H1892	H3117	H7200	H3605	H0853	

בְּרָעָתֽוֹ׃	מַאֲרִ֥יךְ	רָשָׁ֖ע	וְיֵ֣שׁ	בְּצִדְקָת֔וֹ
その–悪–の–中–で	長生きする	悪人–が	そして–ある	その–正しさ–の–中–で
	H0748	H7563	H3426	H6664

わたしはこのむなしい人生において、もろもろの事を見た。そこには義人がその義によって滅びることがあり、悪人がその悪によって長生きすることがある。

16

לָ֣מָּה	יוֹתֵ֔ר	תִּתְחַכָּ֖ם	וְאַל־	הַרְבֵּ֣ה	צַדִּ֑יק	תְּהִ֣י	אַל־	
なぜ	過度–に	知恵–ある–と–思うな	そして–～するな	過度–に	正しい–者–に	なるな	～するな	
H4100	H3148	H2449	H0408		H6662	H1961	H0408	

תְּשׁוֹמֵֽם׃
滅ぼす–のか
H8074

あなたは義に過ぎてはならない。また賢きに過ぎてはならない。あなたはどうして自分を滅ぼしてよかろうか。

17 אַל־ תִּרְשָׁע הַרְבֵּה וְאַל־ תְּהִי סָכָל לָמָּה תָמוּת בִּלֹּא
～するな 悪く-あるな 過度-に そして-～するな なるな 愚か者-に なぜ 死ぬ-のか ～ではない
H0408 H7561 H2088 H0408 H1961 H5530 H4100 H4191 H3808

עִתֶּךָ׃
あなたの-時-に
H6256

悪に過ぎてはならない。また愚かであってはならない。あなたはどうして、自分の時のこないのに、死んでよかろうか。

18 טוֹב אֲשֶׁר תֶּאֱחֹז בָּזֶה גַּם־ מִזֶּה אַל־ תַּנַּח אֶת־
良い こと-は 掴む これ-を そして-また あれ-から-も ～するな 放す な （を）
H2088 H0270 H2088 H1571 H2088 H0408 H3240 H0853

כֻּלָּם׃ אֶת־ יֵצֵא אֱלֹהִים יְרֵא כִּי־ יָדֶךָ
すべて-を （を） 成し遂げる 神-を 畏れる-者-は なぜなら あなたの-手-を
H3605 H0853 H3318 H0430 H3373 H3027

あなたがこれを執るのはよい、また彼から手を引いてはならない。神をかしこむ者は、このすべてからのがれ出るのである。

19 הַחָכְמָה תָּעֹז לֶחָכָם שַׂלִּיטִים מֵעֲשָׂרָה בָּעִיר׃ הָיוּ אֲשֶׁר
知恵-は 強める 知恵-ある-者-を 支配者-より 十-人-の 町-に いた （それらが）
H2451 H5810 H2450 H7989 H6235 H1961 H0834

20 כִּי אָדָם אֵין בָּאָרֶץ צַדִּיק אֲשֶׁר יַעֲשֶׂה־ טוֹב וְלֹא
なぜなら 人-は いない 地-に 正しい-者-は （それが） 行う 善-を そして-～しない
H0120 H0369 H0776 H6662 H0834 H6213 H2896 H3808

יֶחֱטָא׃
罪-を-犯さない
H2398

善を行い、罪を犯さない正しい人は世にいない。

21 גַּם לְכָל־ הַדְּבָרִים אֲשֶׁר יְדַבְּרוּ אַל־ תִּתֵּן לִבֶּךָ
また すべて-の 言葉-に （それを） 人々が-話す ～するな 留めるな あなたの-心-を
H1571 H3605 H1697 H0834 H1696 H0408 H5414 H3820

מְקַלֶּלֶךָּ׃ עַבְדְּךָ אֶת־ תִּשְׁמַע לֹא־ אֲשֶׁר
呪う-の-を あなたの-僕-が （を） 聞かなくて-すむだろう ～しない そうすれば
H7043 H5650 H0853 H8085 H3808 H0834

人の語るすべての事に心をとめてはならない。これはあなたが、自分のしもべのあなたをのろう言葉を聞かないためである。

22 כִּי גַּם־ פְּעָמִים רַבּוֹת יָדַע לִבֶּךָ אֲשֶׁר גַּם־ אַתָּה(
なぜなら また 何-度-も 多くの 知っている あなたの-心-は （それを） また あなた-自身-も
H3045 H6471 H1571 H0834 H1571 H0853

אֲחֵרִים׃ קִלַּלְתָּ
他人-を 呪った-ことがある
H0312 H7043

あなたもまた、しばしば他人をのろったのを自分の心に知っているからである。

23 כָּל־ זֶה נִסִּיתִי בֶחָכְמָה אָמַרְתִּי אֶחְכָּמָה וְהִיא
すべて これ-を 私-は-試した 知恵-で 私-は-言った 知恵-ある-者-に-なろう-と しかし-それ-は
H3605 H2090 H5254 H2451 H0559 H2449 H1931

רְחוֹקָה מִמֶּנִּי׃
遠い 私-から
H7350

わたしは知恵をもってこのすべての事を試みて、「わたしは知者となろう」と言ったが、遠く及ばなかった。

24 רָחוֹק מַה־ שֶּׁהָיָה וְעָמֹק עָמֹק מִי יִמְצָאֶנּוּ׃
遠い 何-が あった-のか そして-深い 深い 誰-が 見つける-だろうか
H7350 H4100 H1961 H6013 H6013 H4310 H4672

物事の理は遠く、また、はなはだ深い。だれがこれを見いだすことができよう。

25 סַבּוֹתִי אֲנִי וְלִבִּי לָדַעַת וְלָתוּר וּבַקֵּשׁ
私-は-向き直った 私-は そして-私の-心-で 知る-ために そして-探る-ために そして-求める
H5437 H0589 H3045 H8446 H1245

וְחֶשְׁבּוֹן וְלָדַעַת רֶשַׁע כֶּסֶל וְהַסְכְלוּת הוֹלֵלוֹת׃
そして-理由-を そして-知る-ために 悪-は 愚かさ-であり そして-愚かさ-は 狂気-である
H2808 H3045 H7562 H3689 H0803 H1947

わたしは、心を転じて、物を知り、事を探り、知恵と道理を求めようとし、また悪の愚かなこと、愚痴の狂気であることを知ろうとした。

26 וּמוֹצֵא אֲנִי מַר מִמָּוֶת אֶת־ הָאִשָּׁה אֲשֶׁר־ הִיא מְצוֹדִים
そして-見いだす 私-は 苦い 死-より-も (を) 女-を その-女-は 彼女-は 罠-であり
H4672 H0589 H4751 H4194 H0853 H0802 H0834 H1931

לִבָּהּ חֲרָמִים אֲסוּרִים יָדֶיהָ טוֹב לִפְנֵי הָאֱלֹהִים יִמָּלֵט
その-心-は そして-網-であり 束縛-であり その-手-は 良い ～の-前-に 神-の 免れる
H3820 H2764 H0631 H3027 H2896 H6440 H0430 H4422

בָּהּ׃ יִלָּכֵד וְחוֹטֶא מִמֶּנָּה
彼女-に 捕らわれる しかし-罪人-は 彼女-から
H3920 H2398

わたしは、その心が、わなと網のような女、その手が、かせのような女は、死よりも苦い者であることを見いだした。神を喜ばす者は彼女からのがれる。しかし罪びとは彼女に捕えられる。

27 רְאֵה זֶה מָצָאתִי אָמְרָה קֹהֶלֶת אַחַת לְאַחַת לְמְצֹא
見よ これ-を 私-は-見いだした 言った 伝道者-は 一つ-ずつ 一つ-ずつ 見いだす-ために
H7200 H2088 H4672 H0559 H6953 H0259 H0259 H4672

חֶשְׁבּוֹן׃
理由-を
H2808

伝道者は言う、見よ、その数を知ろうとして、いちいち数えて、わたしが得たものはこれである。

28 אֲשֶׁר עוֹד־ בִּקְשָׁה נַפְשִׁי וְלֹא מָצָאתִי אָדָם אֶחָד
(それを) なお 求めた 私の-魂-は しかし-～しない 見いださなかった 人-は 一-人
H5750 H1245 H5315 H3808 H4672 H0120 H0259

מֵאֶלֶף מָצָאתִי בְכָל־ אֵלֶּה לֹא וְאִשָּׁה מָצָאתִי׃
千-人-の-中-から 見いだした しかし-女-は すべて-の-中-から これら-の ～しない
H0505 H4672 H0802 H3605 H0428 H3808

見いださなかった
H4672

わたしはなおこれを求めたけれども、得なかった。わたしは千人のうちにひとりの男子を得たけれども、そのすべてのうちに、ひとりの女子をも得なかった。

יָשָׁר 正しく H3477	הָאָדָם 人–を H0120	אֶת־ （を） H0853	הָאֱלֹהִים 神–が H0430	עָשָׂה 造った	אֲשֶׁר （それは）	מָצָאתִי 私–は–見いだした H4672	זֶה これ–を H2088	רְאֵה־ 見よ H7200	לְבַד ただ H0905	29

רַבִּים׃ 多く–の	חִשְׁבֹּנוֹת 計略–を H2810	בִּקְשׁוּ 求めた H1245	וְהֵמָּה しかし–彼ら–は H1992	

見よ、わたしが得た事は、ただこれだけである。すなわち、神は人を正しい者に造られたけれども、人は多くの計略を考え出した事である。

Chapter 8

אָדָם 人–の H0120	חָכְמַת 知恵–は H2451	דָּבָר 物事–の H1697	פֶּשֶׁר 解釈–を H6592	יוֹדֵעַ 知る–だろうか H3045	וּמִי そして–誰–が H4310	כְּהֶחָכָם 知恵–ある–者–の–ように H2450	מִי 誰–が H4310		1

יְשֻׁנֶּא׃ 変えられる H8132	פָּנָיו その–顔–の H6440	וְעֹז そして–強さ–は H5797	פָּנָיו その–顔–を H6440	תְּאִיר 輝かせる H0215

だれが知者のようになり得よう。だれが事の意義を知り得よう。人の知恵はその人の顔を輝かせ、またその粗暴な顔を変える。

אֱלֹהִים׃ 神–の H0430	שְׁבוּעַת 誓い–の H7621	דִּבְרַת こと–の H1700	וְעַל そして–〜の–ために	שְׁמֹור 守れ H8104	מֶלֶךְ 王–の H4428	פִּי־ 口–を H6310	אֲנִי 私–は H0589	2

王の命を守れ。すでに神をさして誓ったことゆえ、驚くな。

כִּי なぜなら	רָע 悪い	בִּדְבָר 事柄–に H1697	תַּעֲמֹד 留まるな H5975	אַל־ 〜するな H0408	תֵּלֵךְ 去れ H3212	מִפָּנָיו その–前–から–去る–ことを H6440	תִּבָּהֵל 急ぐな H0926	אַל־ 〜するな H0408		3

יַעֲשֶׂה׃ 行う	יַחְפֹּץ 望む–ことを	אֲשֶׁר （それを）	כָּל־ すべて H3605

事が悪い時は、王の前を去れ、ためらうな。彼はすべてその好むところをなすからである。

תַּעֲשֶׂה׃ するのか–と	מָה־ 何–を H4100	לוֹ 彼–に	יֹאמַר־ 言う–だろうか H0559	וּמִי そして–誰–が H4310	שִׁלְטֹון 権威–である H7983	מֶלֶךְ 王–の H4428	דְּבַר־ 言葉–は H1697	בַּאֲשֶׁר なぜなら	4

王の言葉は決定的である。だれが彼に「あなたは何をするのか」と言うことができようか。

יֵדַע 知る H3045	וּמִשְׁפָּט そして–裁き–を H4941	וְעֵת そして–時–と H6256	רָע 悪い	דָּבָר 事柄–を H1697	יֵדַע 知らない H3045	לֹא 〜しない H3808	מִצְוָה 御命令–を H4687	שׁוֹמֵר 守る–者–は H8104		5

חָכָם׃ 知恵–ある–者–の H2450	לֵב 心–は

命令を守る者は災にあわない。知者の心は時と方法をわきまえている。

רַבָּה	הָאָדָם	רָעַת	כִּי־	וּמִשְׁפָּט	עֵת	יֵשׁ	חֵפֶץ	לְכֹל־	כִּי	6
大きい	人-の	悪-は	なぜなら	そして-裁き-が	時-と	ある	事柄-に	すべて-の	なぜなら	
	H0120			H4941	H6256	H3426	H2656	H3605		

עָלָיו׃
彼-の-上-に

人の悪が彼の上に重くても、すべてのわざには時と方法がある。

מִי	יִהְיֶה	כַּאֲשֶׁר	כִּי	שֶׁיִּהְיֶה	מַה־	יֹדֵעַ	אֵינֶנּוּ	כִּי־	7
誰-が	起こる-か-を	～する-時	なぜなら	起こる-か-を	何-が	知らない	知らない	なぜなら	
H4310	H1961			H1961	H4100	H3045	H0369		

לוֹ׃ יַגִּיד
彼-に 告げる-だろうか
H5046

後に起る事を知る者はない。どんな事が起るかをだれが彼に告げ得よう。

שִׁלְטוֹן	וְאֵין	הָרוּחַ	אֶת־	לִכְלוֹא	בְּרוּחַ	שַׁלִּיט	אָדָם	אֵין	8
支配-は	そして-ない	息-を	(を)	引き止める-ことが	息-を	支配する-者-は	人-は	ない	
H7983	H0369	H7307	H0853	H3607	H7307	H7989	H0120	H0369	

אֶת־	רֶשַׁע	יְמַלֵּט	וְלֹא־	בַּמִּלְחָמָה	מְשֻׁלַּחַת	וְאֵין	הַמָּוֶת	בְּיוֹם
(を)	悪-は	救わない	そして-～しない	戦い-に	解放-は	そして-ない	死-の	日-には
H0853	H7562	H4422	H3808	H4421	H4917	H0369	H4194	H3117

בְּעָלָיו׃
その-持ち主-を
H1167

風をとどめる力をもつ人はない。また死の日をつかさどるものはない。戦いには免除はない。また悪はこれを行う者を救うことができない。

מַעֲשֶׂה	לְכָל־	לִבִּי	אֶת־	וְנָתוֹן	רָאִיתִי	זֶה	כָּל־	אֶת־	9
業-に	すべて-の	私の-心-を	(を)	そして-心-を-向けた	私-は-見た	これ-を	すべて	(を)	
H4639	H3605		H0853	H5414	H7200	H2088	H3605	H0853	

לְרַע	בְּאָדָם	הָאָדָם	שָׁלַט	אֲשֶׁר	עֵת	הַשָּׁמֶשׁ	תַּחַת	נַעֲשָׂה	אֲשֶׁר
悪-と-なる	人-を	人-が	支配する	(それは)	時-が-ある	太陽-の	下-で	行われる	(それは)
	H0120	H0120	H7980		H6256	H8121	H8478		

לוֹ׃
彼-に

わたしはこのすべての事を見た。また日の下に行われるもろもろのわざに心を用いた。時としてはこの人が、かの人を治めて、これに害をこうむらせることがある。

יְהַלֵּכוּ	קָדוֹשׁ	וּמִמְּקוֹם	וָבָאוּ	קְבֻרִים	רְשָׁעִים	רָאִיתִי	וּבְכֵן	10
歩いた	聖なる	そして-場所-から	そして-入った	埋葬され	悪人-たち-が	私-は-見た	そうして	
H1980	H6918	H4725	H0935	H6912	H7563	H7200		

הָבֶל׃	זֶה	גַּם־	עָשׂוּ	כֵּן־	אֲשֶׁר	בָּעִיר	וְיִשְׁתַּכְּחוּ
空しい	これ-は	これ-も-また	行った	その-ように	(そこで)	町-で	そして-忘れられた
H1892	H2088	H1571					H7911

またわたしは悪人の葬られるのを見た。彼らはいつも聖所に出入りし、それを行ったその町でほめられた。これもまた空である。

11

כֵּן עַל־ מְהֵרָה הָרָעָה מַעֲשֶׂה פִּתְגָּם נַעֲשָׂה אֵין־ אֲשֶׁר׀
それゆえ それゆえ 速やか–に 悪い 業–に–対する 判決–が 行われない ない （それは）
H4120 H4639 H6599 H0369

רָֽע׃ לַעֲשׂוֹת בָּהֶם הָאָדָם בְּנֵי־ לֵב מָלֵא
悪–を 行う–こと–を 彼ら–の–中–に 人–の 子ら–の 心–は 満ちている
H0120 H4390

悪しきわざに対する判決がすみやかに行われないために、人の子らの心はもっぱら悪を行うことに傾いている。

12

גַּם־ כִּי לוֹ וּמַאֲרִיךְ מֵאָה רָע עֹשֶׂה חֹטֶא אֲשֶׁר
また しかし 彼–に そして–長生きして–も 百–度 悪–を 行い 罪人–が （それは）
H1571 H0748 H3967 H2398

יִרְאוּ אֲשֶׁר הָאֱלֹהִים לִירֵאָי טוֹב יְהִיֶה־ אֲשֶׁר אֲנִי יוֹדֵעַ
畏れる （それは） 神–を 畏れる–者–に 良く 良く–なる （それは） 私–は 知っている
H3372 H0430 H3372 H1961 H0589 H3045

מִלְּפָנָֽיו׃
その–前–で
H6440

罪びとで百度悪をなして、なお長生きするものがあるけれども、神をかしこみ、み前に恐れをいだく者には幸福があることを、わたしは知っている。

13

יָמִים יַאֲרִיךְ וְלֹא־ לָרָשָׁע יִהְיֶה לֹא־ וְטוֹב
日々–を 長く–しない そして–〜しない 悪人–に ない 〜しない そして–良い–ことは
H3117 H0748 H3808 H7563 H1961 H3808

אֱלֹהִֽים׃ מִלְּפָנֵי יָרֵא אֵינֶנּוּ אֲשֶׁר כַּצֵּל
神–の 〜の–前–で 畏れない 彼–は–〜しない （それは） 影–の–ように
H0430 H6440 H3373 H0369 H6738

しかし悪人には幸福がない。またその命は影のようであって長くは続かない。彼は神の前に恐れをいだかないからである。

14

צַדִּיקִים יֵשׁ־ וְאֲשֶׁר הָאָרֶץ עַל־ נַעֲשָׂה אֲשֶׁר הֶבֶל׀ יֵשׁ־
正しい–者–たち–が ある （それは） 地–の 〜の–上–で 行われる （それは） 空しさ–が ある
H6662 H3426 H0776 H1892 H3426

רְשָׁעִים כְּמַעֲשֵׂה הָרְשָׁעִים וְיֵשׁ אֲלֵהֶם מַגִּיעַ אֲשֶׁר
悪人–たち–に そして–ある 悪人–たち–の 業–の–ように 彼ら–に 報い–が–来る （それに）
H7563 H3426 H7563 H4639 H0413 H5060

זֶה שֶׁגַּם־ אָמַרְתִּי הַצַּדִּיקִים כְּמַעֲשֵׂה אֲלֵהֶם שֶׁמַּגִּיעַ
これ–は これ–も–また 私–は–言った 正しい–者–たち–の 業–の–ように 彼ら–に 報い–が–来る
H2088 H1571 H0559 H6662 H4639 H0413 H5060

הָֽבֶל׃
空しい
H1892

地の上に空な事が行われている。すなわち、義人であって、悪人に臨むべき事が、その身に臨む者がある。また、悪人であって、義人に臨むべき事が、その身に臨む者がある。わたしは言った、これもまた空であると。

15 וְשִׁבַּחְתִּי אֲנִי֙ אֶת־הַשִּׂמְחָ֔ה אֲשֶׁ֥ר אֵֽין־טֽוֹב לָאָדָ֖ם תַּחַ֣ת
そこで–私–は–讃えた 私–は （を） 喜び–を なぜなら ない–こと–が 人–に 下–で
H0589 H0853 H8057 H0369 H0120 H8478

הַשֶּׁ֑מֶשׁ כִּ֣י אִם־לֶֽאֱכֹ֤ל וְלִשְׁתּוֹת֙ וְלִשְׂמ֣וֹחַ וְה֔וּא יִלְוֶ֥נּוּ
太陽–の ただ ただ 食べ そして–飲み そして–喜ぶ–こと そして–それ–が 伴う
H8121 H0398 H8354 H8055 H1931

בַּעֲמָלוֹ֙ יְמֵ֣י חַיָּ֔יו אֲשֶׁר־נָתַ֥ן לוֹ֙ הָאֱלֹהִ֔ים תַּחַ֖ת הַשָּׁ֑מֶשׁ׃
その–労苦–の–中–で 日々–の その–命–の （それを） 与えた 彼–に 神–が 下–で 太陽–の
H5999 H3117 H2416 H5414 H0430 H8478 H8121

そこで、わたしは歓楽をたたえる。それは日の下では、人にとって、食い、飲み、楽しむよりほかに良い事はないからである。これこそは日の下で、神が賜わった命の日の間、その勤労によってその身に伴うものである。

16 כַּאֲשֶׁ֨ר נָתַ֜תִּי לִבִּ֗י לָדַ֙עַת֙ חָכְמָ֔ה וְלִרְא֖וֹת אֶת־
～する–時 私–は–向けた 私の–心–を 知る–ために 知恵–を そして–見る–ために （を）
H5414 H3045 H2451 H7200 H0853

הָעִנְיָ֑ן שֶׁגַּ֤ם בַּיּוֹם֙ וּבַלַּ֔יְלָה עֵינָ֖יו בְּעֵינָ֥יו אֵינֶ֛נּוּ רֹאֶ֥ה׃
仕事–を それは） 行われる ～の–上–で 地–の また なぜなら 昼–も そして–夜–も 眠り–を
H6045 H0834 H6213 H5921 H0776 H1571 H3117 H3915 H8142

見ている 得ない その–目–に
H7200 H0369

わたしは心をつくして知恵を知ろうとし、また地上に行われるわざを昼も夜も眠らずに窮めようとしたとき、

17 וְרָאִיתִי֙ אֶת־כָּל־מַעֲשֵׂ֣ה הָאֱלֹהִ֔ים כִּ֚י לֹא֙ יוּכַ֣ל הָאָדָ֔ם
そして–私–は–見た （を） すべて–の 業–を 神–の なぜなら ～できない できない 人–は
H7200 H0853 H3605 H4639 H0430 H3808 H3201 H0120

לִמְצוֹא֙ אֶת־הַמַּעֲשֶׂ֔ה אֲשֶׁ֥ר נַעֲשָׂ֖ה תַּ֣חַת־הַשֶּׁ֑מֶשׁ בְּשֶׁל֙ אֲשֶׁ֣ר
見いだす–ことが （を） 業–を （それは） 行われる 下–で 太陽–の それ–は （それは）
H4672 H0853 H4639 H3605 H8478 H8121 H7945 H0834

יֹאמַ֣ר אִם־וְגַ֣ם יִמְצָ֔א וְלֹ֣א לְבַקֵּ֔שׁ וְגַ֣ם יַעֲמָ֔ל הָאָדָ֖ם
言う もし そして–たとえ 見いだせない そして–～できない 求めて–も 人–が 労する
H0559 H0518 H1571 H4672 H3808 H1245 H0120 H5998

לִמְצֹ֑א יוּכַ֣ל לֹ֔א וְלֹ֣א לָדַ֔עַת חֲכָ֖ם הֶחָכָ֥ם׃
見いだす–ことが できない ～できない 知っている–と 知恵–ある–者–が
H4672 H3201 H3808 H3045 H2450

わたしは神のもろもろのわざを見たが、人は日の下に行われるわざを窮めることはできない。人はこれを尋ねようと労しても、これを窮めることはできない。また、たとい知者があって、これを知ろうと思っても、これを窮めることはできないのである。

Chapter 9

1

וְלָבֹור
そして-明らかに-する-ために
H0952

לִבִּי
私の-心-に

אֶל־
～に
H0413

נָתַתִּי
私-は-納めた
H5414

זֶה
これ-を
H2088

כָּל־
すべて
H3605

אֶת־
（を）
H0853

כִּי
なぜなら

וְהַחֲכָמִים
そして-知恵-ある-者-たち-と
H2450

הַצַּדִּיקִים
正しい-者-たち-と
H6662

אֲשֶׁר
（それは）

זֶה
これ-を
H2088

כָּל־
すべて
H3605

אֶת־
（を）
H0853

הָאָדָם
人-は
H0120

יוֹדֵעַ
知らない
H3045

אֵין
ない
H0369

שִׂנְאָה
憎しみ-も
H8135

גַּם־
また
H1571

אַהֲבָה
愛-も
H0160

גַּם־
また
H1571

הָאֱלֹהִים
神-の

בְּיַד
手-の-中-に
H3027

וַעֲבָדֵיהֶם
そして-その-業-は
H5652

לִפְנֵיהֶם׃
その-前-に-ある
H6440

הַכֹּל
すべて-が
H3605

わたしはこのすべての事に心を用いて、このすべての事を明らかにしようとした。すなわち正しい者と賢い者、および彼らのわざが、神の手にあることを明らかにしようとした。愛するか憎むかは人にはわからない。彼らの前にあるすべてのことは空である。

2

וְלָרָשָׁע
そして-悪人-に-も
H7563

לַצַּדִּיק
正しい-者-に-も
H6662

אֶחָד
一つ-の
H0259

מִקְרֶה
運命-が
H4745

לַכֹּל
すべて-に
H3605

כַּאֲשֶׁר
同じ-である

הַכֹּל
すべて-は
H3605

וְלַזֹּבֵחַ
そして-いけにえを-捧げる-者-に-も
H2076

וְלַטָּמֵא
そして-汚れた-者-に-も
H2931

וְלַטָּהוֹר
そして-清い-者-に-も
H2889

לַטּוֹב
善い-者-に-も

הַנִּשְׁבָּע
誓う-者-も
H7650

כְּחֹטֶא
罪人-の-ように
H2398

כַּטּוֹב
善い-者-の-ように

זֹבֵחַ
捧げない-者-に-も
H2076

אֵינֶנּוּ
～しない
H0369

וְלַאֲשֶׁר
そして-（それを）

יָרֵא׃
恐れる-者-も
H3372

שְׁבוּעָה
誓い-を
H7621

כַּאֲשֶׁר
同じ-である

すべての人に臨むところは、みな同様である。正しい者にも正しくない者にも、善良な者にも悪い者にも、清い者にも汚れた者にも、犠牲をささげる者にも、犠牲をささげない者にも、その臨むところは同様である。善良な人も罪びとも異なることはない。誓いをなす者も、誓いをなすことを恐れる者も異なることはない。

3

כִּי־
なぜなら

הַשֶּׁמֶשׁ
太陽-の
H8121

תַּחַת
下-で
H8478

נַעֲשָׂה
行われる

אֲשֶׁר־
（それは）

בְּכָל
すべて-の-中-で
H3605

רָע
悪い-こと-である

זֶה
これ-が
H2088

רָע
悪-で

מָלֵא־
満ちている
H4390

הָאָדָם
人-の
H0120

בְּנֵי־
子ら-の

לֵב
心-は

וְגַם
そして-また
H1571

לַכֹּל
すべて-に
H3605

אֶחָד
一つ-の
H0259

מִקְרֶה
運命-が
H4745

הַמֵּתִים׃
死者-たち-へ
H4191

אֶל־
～へ
H0413

וְאַחֲרָיו
そして-その-後-に

בְּחַיֵּיהֶם
その-生涯-の-間

בִּלְבָבָם
その-心-の-中-に
H3824

וְהוֹלֵלוֹת
そして-狂気-が
H1947

すべての人に同一に臨むのは、日の下に行われるすべての事のうちの悪事である。また人の心は悪に満ち、その生きている間は、狂気がその心のうちにあり、その後は死者のもとに行くのである。

4

יֵשׁ
ある
H3426

הַחַיִּים
生きている-者-に

כָּל־
すべて-の
H3605

אֶל
～に
H0413

יְחֻבַּר)
結ばれる
H2266

יבחרן]
選ぶ-だろうか
H0977

אֲשֶׁר
（それを）

מִי
誰-が
H4310

כִּי־
なぜなら

הַמֵּת׃
死んだ
H4191

הָאַרְיֵה
獅子-より

מִן־
～より

טוֹב
良い

הוּא
それ-は
H1931

חַי
生きている

לְכֶלֶב
犬-に
H3611

כִּי־
なぜなら

בִּטָּחוֹן
希望-が
H0986

すべて生ける者に連なる者には望みがある。生ける犬は、死せるししにまさるからである。

5 כִּ֣י הַֽחַיִּ֗ים יוֹדְעִים֙ שֶׁיָּמֻ֔תוּ וְהַמֵּתִ֖ים אֵינָ֣ם יוֹדְעִ֑ים וְאֵין־ לָהֶ֤ם עוֹד֙ שָׂכָ֔ר כִּֽי־ נִשְׁכַּ֖ח זִכְרָֽם׃

כִּ֣י	הַֽחַיִּ֗ים	יוֹדְעִים֙	שֶׁיָּמֻ֔תוּ	וְהַמֵּתִ֖ים	אֵינָ֣ם	יוֹדְעִ֑ים	וְאֵין־	לָהֶ֤ם	עוֹד֙	שָׂכָ֔ר	כִּֽי־	נִשְׁכַּ֖ח	זִכְרָֽם׃
なぜなら	生きている-者-は	知っている	死ぬ-こと-を	しかし-死んだ-者-は	知らない	知らない	そして-ない	彼ら-に	もはや	報い-は	なぜなら	忘れられた	その-記憶-は
H3045			H4191		H0369				H5750	H7939		H7911	H2143

何-も H3972

生きている者は死ぬべき事を知っている。しかし死者は何事をも知らない、また、もはや報いを受けることもない。その記憶に残る事がらさえも、ついに忘れられる。

6 גַּ֣ם אַהֲבָתָ֣ם גַּם־ שִׂנְאָתָ֣ם גַּם־ קִנְאָתָ֣ם כְּבָ֔ר אָבְדָ֑ה וְחֵ֤לֶק לְעוֹלָם֙ עוֹד֙ לָהֶ֔ם אֵין־ בְּכָל֙ הַנַּעֲשָׂ֔ה תַּ֖חַת הַשָּׁ֥מֶשׁ׃

גַּ֣ם	אַהֲבָתָ֣ם	גַּם־	שִׂנְאָתָ֣ם	גַּם־	קִנְאָתָ֣ם	כְּבָ֔ר	אָבְדָ֑ה	וְחֵ֤לֶק	לְעוֹלָם֙	עוֹד֙	לָהֶ֔ם	אֵין־	בְּכָל֙	הַנַּעֲשָׂ֔ה	תַּ֖חַת	הַשָּׁ֥מֶשׁ׃
また	その-愛-も	また	その-憎しみ-も	また	その-嫉妬-も	すでに	滅びた	そして-分け前-は	永遠-に	もはや	彼ら-に	ない	すべて-の-中-で	行われる	(それは)	下-で	太陽-の
H1571		H1571		H1571			H0006					H0369					
	H0160		H8135		H7068	H3528			H5769	H5750	H1992		H3605		H8478	H8121	

その愛も、憎しみも、ねたみも、すでに消えうせて、彼らはもはや日の下に行われるすべての事に、永久にかかわることがない。

7 לֵ֣ךְ אֱכָל֤ בְּשִׂמְחָה֙ לַחְמֶ֔ךָ וּשְׁתֵ֥ה בְלֵב־ טוֹב֖ יֵינֶ֑ךָ כִּ֚י כְּבָ֣ר רָצָ֔ה הָאֱלֹהִ֖ים אֶת־ מַעֲשֶֽׂיךָ׃

לֵ֣ךְ	אֱכָל֤	בְּשִׂמְחָה֙	לַחְמֶ֔ךָ	וּשְׁתֵ֥ה	בְלֵב־	טוֹב֖	יֵינֶ֑ךָ	כִּ֚י	כְּבָ֣ר	רָצָ֔ה	הָאֱלֹהִ֖ים	אֶת־	מַעֲשֶֽׂיךָ׃
行け	食べよ	喜び-を-もって	あなたの-パン-を	そして-飲め	良い-心-で	良い	あなたの-ぶどう酒-を	なぜなら	すでに	喜んだ	神-は	(を)	あなたの-業-を
H3212	H0398	H8057		H8354			H3196		H3528	H7521	H0430	H0853	H4639

あなたは行って、喜びをもってあなたのパンを食べ、楽しい心をもってあなたの酒を飲むがよい。神はすでに、あなたのわざをよみせられたからである。

8 בְּכָל־ עֵ֣ת יִהְי֤וּ בְגָדֶ֙יךָ֙ לְבָנִ֔ים וְשֶׁ֥מֶן עַל־ רֹאשְׁךָ֖ אַל־ יֶחְסָֽר׃

בְּכָל־	עֵ֣ת	יִהְי֤וּ	בְגָדֶ֙יךָ֙	לְבָנִ֔ים	וְשֶׁ֥מֶן	עַל־	רֹאשְׁךָ֖	אַל־	יֶחְסָֽר׃
すべて-の	時-に	あるように	あなたの-衣-が	白く	そして-油-が	～の-上-に	あなたの-頭-の	～するな	欠けるな
H3605	H6256	H1961		H3836	H8081			H0408	H2637

あなたの衣を常に白くせよ。あなたの頭に油を絶やすな。

9 רְאֵ֣ה חַיִּ֗ים עִם־ אִשָּׁ֙ה אֲשֶׁר־ אָהַ֣בְתָּ֔ כָּל־ יְמֵ֥י חַיֵּ֖י הֲבָלֶ֑ךָ כִּ֣י הִ֤וא חֶלְקְךָ֙ בְּחַיִּ֔ים וּבַעֲמָלְךָ֖ אֲשֶׁר־ אַתָּ֥ה עָמֵ֛ל תַּ֥חַת הַשָּׁ֖מֶשׁ׃

רְאֵ֣ה	חַיִּ֗ים	עִם־	אִשָּׁ֙ה	אֲשֶׁר־	אָהַ֣בְתָּ֔	כָּל־	יְמֵ֥י	חַיֵּ֖י	הֲבָלֶ֑ךָ	כִּ֣י	הִ֤וא	חֶלְקְךָ֙	בְּחַיִּ֔ים	וּבַעֲמָלְךָ֖	אֲשֶׁר־	אַתָּ֥ה	עָמֵ֛ל	תַּ֥חַת	הַשָּׁ֖מֶשׁ׃
楽しめ	人生-を	～と-共に	妻-と	(それを)	あなた-が-愛する	すべて-の	日々-の	命-の	あなたの-空しい-日々-の	なぜなら	それ-が	あなたの-分け前-である	人生-の-中-で	そして-あなたの-労苦-の-中-で	(それを)	あなた-が	労する	下-で	太陽-の
H7200			H0802		H0157	H3605	H3117		H1892		H1931			H5999				H8478	H8121

יְמֵי	כָּל	הַשֶּׁמֶשׁ	תַּחַת	לְךָ	נָתַן	אֲשֶׁר	הֶבְלֶךָ		
日々-の	すべて-の	太陽-の	下-で	あなた-に	与えた	(それを)	あなたの-空しい-日々-の		
H3117	H3605	H8121	H8478		H5414		H1892		

בְּחַיִּים	חֶלְקְךָ	הִוא	כִּי	הֶבְלֶךָ					
人生-の-中-で	あなたの-分け前-である	それ-が	なぜなら	あなたの-空しい-日々-の					
		H1931		H1892					

הַשָּׁמֶשׁ׃	תַּחַת	עָמֵל	אַתָּה	אֲשֶׁר־	וּבַעֲמָלְךָ				
太陽-の	下-で	労する	あなた-が	(それを)	そして-あなたの-労苦-の-中-で				
H8121	H8478				H5999				

日の下で神から賜わったあなたの空なる命の日の間、あなたはその愛する妻と共に楽しく暮すがよい。これはあなたが世にあってうける分、あなたが日の下で労する労苦によって得るものだからである。

10

כִּי֩ (なぜなら) H3588
עֲשֵׂה (行え) H6213
בְכֹחֲךָ (あなたの-力-で)
לַעֲשׂוֹת (行う-こと-を) H6213
יָדְךָ֨ (あなたの-手-が) H3027
תִּמְצָא (見いだす) H4672
אֲשֶׁר (それを)
כֹּ֣ל (すべて) H3605

אַתָּה (あなた-が)
אֲשֶׁר (そこに)
בִּשְׁאוֹל (陰府-に-は) H7585
וְחָכְמָ֥ה (そして-知恵-も) H2451
וְדַ֛עַת (そして-知識-も) H1847
וְחֶשְׁבּ֖וֹן (そして-計画-も) H2808
מַעֲשֶׂ֑ה (業-も) H4639
אֵ֣ין (ない) H0369

ס (—)
שָׁ֖מָּה׃ (そこ-に-は) H8033
הֹלֵ֥ךְ (行く) H1980

すべてあなたの手のなしうる事は、力をつくしてなせ。あなたの行く陰府には、わざも、計略も、知識も、知恵もないからである。

11

לֹא֩ (～ではない) H3808
כִּ֨י (なぜなら)
הַשֶּׁ֜מֶשׁ (太陽-の) H8121
תַּ֣חַת׀ (下-で) H8478
וְרָאָ֗ה (そして-見た) H7200
שַׁבְתִּי֙ (私-は-再び-見た) H7725

הַמִּלְחָמָה֙ (戦い-は) H4421
לַגִּבּוֹרִ֔ים (勇士-たち-の-もの-ではない) H1368
וְלֹ֣א (そして-～ではない) H3808
הַמֵּר֔וֹץ (競走-は) H4793
לַקַּלִּ֖ים (足-の-速い-者-の-もの-ではない) H7031

לֹ֣א (～ではない) H3808
וְגַ֣ם (そして-また) H1571
לֶ֔חֶם (パン-は) H3899
לַחֲכָמִ֖ים (知恵-ある-者-の-もの-ではない) H2450
לֹ֣א (～ではない) H3808
וְגַ֣ם (そして-また) H1571

לַיֹּדְעִ֑ים (知っている-者-の-もの-ではない) H3045
לֹ֣א (～ではない) H3808
וְגַ֣ם (そして-また) H1571
עֹ֔שֶׁר (富-は) H6239
לַנְּבֹנִ֖ים (聡明-な-者-の-もの-ではない) H0995

כֻּלָּ֑ם׃ (すべて-に) H3605
אֶת־ (を) H0853
יִקְרֶ֥ה (降りかかる)
וָפֶ֖גַע (そして-偶然-が) H6294
עֵ֥ת (時-と) H6256
כִּי־ (なぜなら)
חֵ֔ן (好意-は) H2580

わたしはまた日の下を見たが、必ずしも速い者が競走に勝つのではなく、強い者が戦いに勝つのでもない。また賢い者がパンを得るのでもなく、さとき者が富を得るのでもない。また知識ある者が恵みを得るのでもない。しかし時と災難はすべての人に臨む。

12

כִּ֣י (なぜなら)
גַם־ (また) H1571
לֹא־ (～しない) H3808
יֵדַ֣ע (知らない) H3045
הָאָדָ֗ם (人-は) H0120
אֶת־ (を) H0853
עִתּ֔וֹ (その-時-を) H6256
שֶׁנֶּאֱחָזִ֖ים (捕らえられる) H0270
כַּדָּגִ֑ים (魚-の-ように) H1709

בְּמִצּוֹדָ֣ה (網-に) H4685
רָעָ֔ה (悪い) H7451
וְכַצִּפֳּרִ֖ים (そして-鳥-の-ように) H6833
הָאֲחֻזִ֣ות (捕らえられる) H0270
בַּפָּ֑ח (罠-に) H6341
כָּהֵ֗ם (彼ら-の-ように) H1992
יוּקָשִׁ֣ים (罠にかけられる) H3369

בְּנֵ֣י (子ら-は) H1121
הָאָדָ֔ם (人-の) H0120
לְעֵ֥ת (時-に) H6256
רָעָ֖ה (悪い) H7451
כְּשֶׁתִּפֹּ֣ול (降りかかる-時) H5307
עֲלֵיהֶ֑ם (彼ら-の-上-に) H5921
פִּתְאֹ֖ם׃ (突然-に) H6597

人はその時を知らない。魚がわざわいの網にかかり、鳥がわなにかかるように、人の子らもわざわいの時が突然彼らに臨む時、それにかかるのである。

13

גַּם־ (また) H1571
זֶ֣ה (これ-を) H2090
רָאִ֤יתִי (私-は-見た) H7200
חָכְמָה֙ (知恵-を) H2451
תַּ֣חַת (下-で) H8478
הַשֶּׁ֔מֶשׁ (太陽-の) H8121
וּגְדוֹלָ֖ה (そして-大きい)
הִ֥יא (それ-は) H1931
אֵלָֽי׃ (私-に-とって) H0413

またわたしは日の下にこのような知恵の例を見た。これはわたしにとって大きな事である。

14 עִיר קְטַנָּה וַאֲנָשִׁים בָּהּ מְעַט וַיָּבֹא־אֵלֶיהָ מֶלֶךְ גָּדוֹל וְסָבַב אֹתָהּ וּבָנָה עָלֶיהָ מְצוֹדִים גְּדֹלִים׃

町–が–あった 小さな そして–人々–が そこ–に 少なく そして–来た そこ–に 王–が 大きな
H5892 H0376 H0413 H4592 H0935 H0413 H4428 H1419
そして–囲んだ それ–を そして–築いた それ–に–対して 塒塁–を 大きな
H5437 H0853 H1129 H5921 H4686 H1419

ここに一つの小さい町があって、そこに住む人は少なかったが、大いなる王が攻めて来て、これを囲み、これに向かって大きな雲梯を建てた。

15 וּמָצָא בָהּ אִישׁ מִסְכֵּן חָכָם וּמִלַּט־הוּא הָעִיר בְּחָכְמָתוֹ וְאָדָם לֹא זָכַר הָאִישׁ הַמִּסְכֵּן הַהֽוּא׃

そして–見いだした そこ–に 人–を 貧しい 知恵–ある そして–救った 彼–が 町–を
H4672 H0376 H2450 H4542 H4422 H1931 H5892
しかし–人–は ～しない 記憶しなかった （を） その–人–を 貧しい その–人–を
H0120 H3808 H2142 H0853 H0376 H4542 H1931
その–知恵–で
H2451

しかし、町のうちにひとりの貧しい知恵のある人がいて、その知恵をもって町を救った。ところがだれひとり、その貧しい人を記憶する者がなかった。

16 וְאָמַרְתִּי אֲנִי טוֹבָה חָכְמָה מִגְּבוּרָה וְחָכְמַת הַמִּסְכֵּן בְּזוּיָה וְדִבְרָיו אֵינָם נִשְׁמָעִים׃

そこで–私–は–言った 私–は 良い 知恵–は 力–より しかし–知恵–は 貧しい–者–の 侮られ
H0559 H0589 H2896 H2451 H1369 H2451 H4542 H0959
そして–その–言葉–は 聞かれない 聞かれない
H1697 H0369 H8085

そこでわたしは言う、「知恵は力にまさる。しかしかの貧しい人の知恵は軽んぜられ、その言葉は聞かれなかった」。

17 דִּבְרֵי חֲכָמִים בְּנַחַת נִשְׁמָעִים מִזַּעֲקַת מוֹשֵׁל בְּכְסִילִים׃

言葉–は 知恵–ある–者–の 静か–に 聞かれる 叫び–より 支配者–の 愚か者–の–中–の
H1697 H2450 H8085 H2201 H4910 H3684

静かに聞かれる知者の言葉は、愚かな者の中のつかさたる者の叫びにまさる。

18 טוֹבָה חָכְמָה מִכְּלֵי קְרָב וְחוֹטֵא אֶחָד יְאַבֵּד הַרְבֵּה טוֹבָה׃

良い 知恵–は 武器–より 戦い–の 一–人–の しかし–罪人–は 滅ぼす 多く–の 幸い–を
H2896 H2451 H3627 H7128 H0259 H2398 H0006 H7227 H2896

知恵は戦いの武器にまさる。しかし、ひとりの罪びとは多くの良きわざを滅ぼす。

Chapter 10

1 זְבוּבֵי מָוֶת יַבִּיעַ יַבְאִישׁ שֶׁמֶן רוֹקֵחַ יִקַּר מֵחָכְמָה מִכָּבוֹד סִכְלוּת מְעָט׃

死んだ–蝿は 死–の 臭くさせ 腐らせる 香油–を 調合する–者–の 重い 知恵–よりも 栄誉–よりも
H2070 H4194 H0887 H5042 H8081 H7543 H3368 H2451 H3519
愚かさ–は 少しの
H5039 H4592

死んだはえは、香料を造る者のあぶらを臭くし、少しの愚痴は知恵と誉よりも重い。

2 לֵ֚ב חָכָ֣ם לִֽימִינ֔וֹ וְלֵ֥ב כְּסִ֖יל לִשְׂמֹאלֽוֹ׃
心–は 賢い–者–の その–右–に しかし–心–は 愚か–な–者–の その–左–に
H3225 H2450 H8040 H3684

知者の心は彼を右に向けさせ、愚者の心は左に向けさせる。

3 וְגַם־ בַּדֶּ֣רֶךְ כְּשֶׁסָּכָ֗ל]כשהסכל[לִבּ֤וֹ חָסֵר֙ הַלֵּ֣ךְ הָאִ֔ישׁ סָכָ֥ל הֽוּא׃
そして–また 道–で 愚か–な–者–が 愚か–な–者–が その–心–は 欠けている 歩く–とき 愚か–な–者–だと 彼–は
H1571 H1870 H5530 H5530 H2638 H1980 H5530 H1931

וְאָמַ֖ר לַכֹּ֑ל סָכָ֣ל
そして–言う すべて–の–者–に 愚か–な–者–だと
H0559 H3605 H5530

愚者は道を行く時、思慮が足りない、自分の愚かなことをすべての人に告げる。

4 אִם־ רֽוּחַ֙ הַמּוֹשֵׁ֣ל תַּעֲלֶ֔ה עָלֶ֖יךָ מְקוֹמְךָ֑ אַל־ תַּנַּ֣ח
もし 怒り–が 支配者–の あなた–に–向かって–起こっても あなた–に–対して あなた–の–場所–を
H7307 H4910 H5927 H5927 H4725

לְ֠מַרְפֵּא יַנִּ֨יחַ חֲטָאִ֥ים גְּדוֹלִֽים׃
穏やかさ–は 鎮める 過ち–を 大きな
H4832 H3240 H2399

決して 離れる–な なぜなら 穏やかさ–は 鎮める 過ち–を 大きな
H0408 H3240 H3588 H4832 H3240 H2399

つかさたる者があなたに向かって立腹しても、あなたの所を離れてはならない。温順は大いなるとがを和らげるからである。

5 יֵ֣שׁ רָעָ֗ה רָאִ֙יתִי֙ תַּ֣חַת הַשָּׁ֔מֶשׁ כִּשְׁגָגָ֖ה שֶׁיֹּצֵ֣א מִלִּפְנֵ֑י
ある 悪い–こと–が 私–は–見た 下–で 太陽–の 過失–のように （それは）–出る 前–から
H3426 H7451 H7200 H8478 H8121 H7684 H3318 H6440

הַשַּׁלִּֽיט׃
支配者–の
H7989

わたしは日の下に一つの悪のあるのを見た。それはつかさたる者から出るあやまちに似ている。

6 נָתַ֣ן הַסָּכָ֣ל בַּמְּרוֹמִ֣ים רַבִּ֔ים וַעֲשִׁירִ֖ים בַּשָּׁפֵ֣ל יֵשֵׁ֑בוּ׃
置かれる 愚かさ–が 高い–地位–に 多く そして–富める–者–たちは 低い–所–に 座る
H5414 H5529 H4791 H7227 H6223 H8216 H3427

すなわち愚かなる者が高い地位に置かれ、富める者が卑しい所に座している。

7 רָאִ֙יתִי֙ עֲבָדִ֣ים עַל־ סוּסִ֔ים וְשָׂרִ֖ים כַּעֲבָדִ֑ים הֹלְכִ֖ים עַל־ הָאָֽרֶץ׃
私–は–見た 奴隷–たちが （乗っている） 馬–に そして–君主–たちが 奴隷–のように 歩いている （歩いている） 地–の–上–を
H7200 H5650 H5922 H5483 H8269 H5650 H1980 H5922 H0776

わたしはしもべたる者が馬に乗り、君たる者が奴隷のように徒歩であるくのを見た。

8 חֹפֵ֣ר גּוּמָ֗ץ בּ֤וֹ יִפֹּ֙ל֙ וּפֹרֵ֣ץ גָּדֵ֔ר יִשְׁכֶּ֖נּוּ נָחָ֥שׁ׃
掘る–者–は 穴–を その–中–に 落ちる そして–壊す–者–は 石垣–を （彼–を）–噛む 蛇–が
H2658 H1475 H1004 H5307 H6555 H1447 H5391 H5175

穴を掘る者はみずからこれに陥り、石がきをこわす者は、へびにかまれる。

9

בָּם׃	יִסָּכֵן	עֵצִים	בּוֹקֵעַ	בָּהֶם	יֵעָצֵב	אֲבָנִים	מַסִּיעַ
それ–により	危険–になる	木–を	割る–者–は	それ–により	傷つく	石–を	動かす–者–は
		H6086	H1234			H0068	H5265

石を切り出す者はそれがために傷をうけ、木を割る者はそれがために危険にさらされる。

10

וַחֲיָלִים	קִלְקַל	פָּנִים	לֹא־	וְהוּא	הַבַּרְזֶל	קֵהָה	אִם־
そして–力–を	研がなかった	刃–を	（ない）	そして–それ–は	鉄–が	鈍くなった	もし
H2428	H7043	H6440	H3808	H1931	H1270	H6949	

חָכְמָה׃	הַכְשֵׁר(הכשיר*הַכְשֵׁר)	וְיִתְרוֹן	יְגַבֵּר
知恵–である	成功–させること–の	しかし–利点–は	増さなければならない
H2451	H3787	H3504	H1396

鉄が鈍くなったとき、人がその刃をみがかなければ、力を多くこれに用いねばならない。しかし、知恵は人を助けてなし遂げさせる。

11

הַלָּשׁוֹן׃	לְבַעַל	יִתְרוֹן	וְאֵין	לָחַשׁ	בְּלוֹא־	הַנָּחָשׁ	יִשֹּׁךְ	אִם־
舌–の	持ち主–に	利点–は	そして–ない	呪文	まじない–なし–に	蛇–が	噛んだら	もし
H3956	H1167	H3504	H0369	H3908	H3808	H5175		

へびがもし呪文をかけられる前に、かみつけば、へび使は益がない。

12

תְּבַלְּעֶנּוּ׃	כְּסִיל	וְשִׂפְתוֹת	חֵן	חָכָם	פִּי־	דִּבְרֵי	
彼–を–飲み込む	愚か–な–者–の	しかし–唇–は	恵み–である	賢い–者–の	口–の	言葉–は	
H1104	H3684	H8193	H2580	H2450	H6310	H1697	

知者の口の言葉は恵みがある、しかし愚者のくちびるはその身を滅ぼす。

13

רָעָה׃	הוֹלֱלוֹת	פִּיהוּ	וְאַחֲרִית	סִכְלוּת	פִּיהוּ	דִּבְרֵי־	תְּחִלַּת	
悪い	狂気–の	その–口–の	そして–終わり–は	愚かさ–であり	その–口–の	言葉–の	初め–は	
	H1948	H6310	H0319		H6310	H1697	H8462	

愚者の口の言葉の初めは愚痴である、またその言葉の終りは悪い狂気である。

14

שֶׁיִּהְיֶה	מַּה־	הָאָדָם	יֵדַע	לֹא־	דְּבָרִים	יַרְבֶּה	וְהַסָּכָל
（あるか）–起こる	何–が	人–は	知らない	（ない）	言葉–を	増やす	そして–愚か–な–者–は
H1961	H4100	H0120	H3045	H3808	H1697		H5530

לוֹ׃	יַגִּיד	מִי	מֵאַחֲרָיו	יִהְיֶה	וַאֲשֶׁר
彼–に	告げる–だろうか	誰–が	彼–の–後–に	起こるか	そして–（何–が）
	H5046	H4310		H1961	

愚者は言葉を多くする、しかし人はだれも後に起ることを知らない。だれがその身の後に起る事を告げることができようか。

15

לָלֶכֶת	יָדַע	לֹא־	אֲשֶׁר	תְּיַגְּעֶנּוּ	הַכְּסִילִים	עֲמַל	
行く–ことを	知らない	（ない）	（なぜなら）	彼–を–疲れさせる	愚か–な–者–たちの	労苦–は	
H3212	H3045	H3808		H3021	H3684	H5999	

עִיר׃	אֶל־
町	（へ）
	H0413

愚者の労苦はその身を疲れさせる、彼は町にはいる道をさえ知らない。

16 אֲי־ לָךְ אֶרֶץ שֶׁמַּלְכֵּךְ נָעַר וְשָׂרַיִךְ בַּבֹּקֶר
ああ–災い–だ あなた–に 国–よ その–王–が 若者–であり そして–その–君主–たちが 朝–から
H0337 H0776 H4428 H5288 H8269 H1242

יֹאכֵלוּ׃
宴会–する
H0398

あなたの王はわらべであって、その君たちが朝から、ごちそうを食べる国よ、あなたはわざわいだ。

17 אַשְׁרַיִךְ אֶרֶץ שֶׁמַּלְכֵּךְ בֶּן־ חוֹרִים וְשָׂרַיִךְ בָּעֵת
幸い–だ 国–よ その–王–が 子–である 高貴–な–者–の そして–その–君主–たちが ふさわしい–時–に
H0835 H0776 H4428 H1121 H2715 H8269 H6256

יֹאכֵלוּ בִּגְבוּרָה וְלֹא בַשְּׁתִי׃
食べる 力–をもって そして–ない 酔い–をもって
H0398 H1369 H3808 H8358

あなたの王は自主の子であって、その君たちが酔うためでなく、力を得るために、適当な時にごちそうを食べる国よ、あなたはさいわいだ。

18 בַּעַצְלָתַיִם יָמַךְ הַמְּקֶרֶה וּבְשִׁפְלוּת יָדַיִם יִדְלֹף הַבָּיִת׃
怠惰–によって たるむ 梁–が そして–手–の 怠り–によって 雨漏り–する 家–は
H6103 H4355 H4746 H8220 H3027 H1811

怠惰によって屋根は落ち、無精によって家は漏る。

19 לִשְׂחוֹק עֹשִׂים לֶחֶם וְיַיִן יְשַׂמַּח חַיִּים וְהַכֶּסֶף יַעֲנֶה
笑い–のために 用意する パン–を そして–ぶどう酒–は 喜ばせる 命–を そして–銀–は 応じさせる
H7814 H6213 H3899 H3196 H8055 H2416 H6030

אֶת־ הַכֹּל׃
（を） すべて–に
H0853 H3605

食事は笑いのためになされ、酒は命を楽しませる。金銭はすべての事に応じる。

20 גַּם בְּמַדָּעֲךָ אַל־ תְּקַלֵּל מֶלֶךְ וּבְחַדְרֵי מִשְׁכָּבְךָ
たとえ あなた–の–思い–の中–でも 決して 王–を そして–寝室–の あなた–の–寝床–でも
H1571 H4093 H0408 H4428 H2315 H4904

אַל־ תְּקַלֵּל עָשִׁיר כִּי עוֹף הַשָּׁמַיִם יוֹלִיךְ אֶת־ הַקּוֹל
決して のろう–な 富む–者–を なぜなら 鳥–が 天–の 運ぶ （を） その–声–を
H0408 H7043 H6223 H3588 H5775 H8064 H3212 H0853

דָּבָר׃ יַגִּיד כְּנָפַיִם בַּעַל הכנפים
言葉–を 告げる 翼–の 翼–の そして–持ち主–が
H1697 H5046 H3671 H3671 H1167

あなたは心のうちでも王をのろってはならない、また寝室でも富める者をのろってはならない。空の鳥はあなたの声を伝え、翼のあるものは事を告げるからである。

Chapter 11

1 שַׁלַּח לַחְמְךָ עַל־ פְּנֵי הַמָּיִם כִּי־ בְרֹב הַיָּמִים
放て あなた–の–パン–を （浮かべて） 面–の–上–に なぜなら 多く–の 日–の–後–に
H7971 H3899 H6440 H4325 H3588 H7230 H3117

תִּמְצָאֶנּוּ׃
あなた–は–それ–を–見つける
H4672

あなたのパンを水の上に投げよ、多くの日の後、あなたはそれを得るからである。

2 תֵּן־מָנָה וְגַם לִשְׁמוֹנָה כִּי לֹא תֵדַע מַה־יִּהְיֶה רָעָה עַל־הָאָרֶץ׃
与えよ 分け前-を 七人-に そして-また 八人-にも なぜなら （ない） 知らない 何-の
H5414 H2506 H7651 H1571 H8083 H3808 H3045 H4100
わざわい-が-起こるか 悪い （起こるか） 地-の-上-に
H1961 H7451 H5921 H0776

あなたは一つの分を七つまた八つに分けよ、あなたは、どんな災が地に起るかを知らないからだ。

3 אִם־יִמָּלְאוּ הֶעָבִים גֶּשֶׁם עַל־הָאָרֶץ יָרִיקוּ וְאִם־יִפֹּל עֵץ בַּדָּרוֹם וְאִם בַּצָּפוֹן מְקוֹם שֶׁיִּפֹּל עֵץ שָׁם יִהְיֶה׃
もし 満ちれば 雲-が 雨-で （降らせる） 地-の-上-に 注ぎ出す そして-もし 倒れれば
H0518 H4390 H5645 H1653 H5921 H0776 H7324 H0518 H5307
木-が 南-に 場所-に 北-に あるいは-もし （その）-倒れた 木-が そこ-に ある
H6086 H1864 H4725 H6828 H0518 H5307 H6086 H8033 H1961

雲がもし雨で満ちるならば、地にそれを注ぐ、また木がもし南か北に倒れるならば、その木は倒れた所に横たわる。

4 שֹׁמֵר רוּחַ לֹא יִזְרָע וְרֹאֶה בֶּעָבִים לֹא יִקְצוֹר׃
見守る-者-は 風-を （ない） 種-を-まかない そして-見る-者-は 雲-を （ない） 刈り入れない
H8104 H7307 H3808 H2232 H7200 H5645 H3808 H7114

風を警戒する者は種をまかない、雲を観測する者は刈ることをしない。

5 כַּאֲשֶׁר אֵינְךָ יוֹדֵעַ מַה־דֶּרֶךְ הָרוּחַ כַּעֲצָמִים בְּבֶטֶן הַמְלֵאָה כָּכָה לֹא תֵדַע אֶת־מַעֲשֵׂה הָאֱלֹהִים אֲשֶׁר יַעֲשֶׂה אֶת־הַכֹּל׃
ちょうど あなた-は-知らない 知ること-が 何-であるか 道-が 風-の 骨-のように 胎-の-中-で
H3606 H0369 H3045 H4100 H1870 H7307 H6106 H0990
満ちた そのように （ない） 知らない （を） わざ-を 神-の （そのお方）-は なさる （を） すべて-を
H4392 H3602 H3808 H3045 H0853 H4639 H0430 H0834 H6213 H0853 H3605

あなたは、身ごもった女の胎の中で、どうして霊が骨にはいるかを知らない。そのようにあなたは、すべての事をなされる神のわざを知らない。

6 בַּבֹּקֶר זְרַע אֶת־זַרְעֶךָ וְלָעֶרֶב אַל־תַּנַּח יָדֶךָ כִּי אֵינְךָ יוֹדֵעַ אֵי זֶה יִכְשָׁר הֲזֶה אוֹ־זֶה וְאִם־שְׁנֵיהֶם כְּאֶחָד טוֹבִים׃
朝-に まけ （を） あなた-の-種-を そして-夕-にも 決して 休める-な あなた-の-手-を
H1242 H2232 H0853 H2233 H6153 H0408 H3240 H3027
なぜなら 知ること-が あなた-は-知らない どちら-が これ-が 実るか これ-か それとも これ-か
H3588 H3045 H0369 H0335 H2088 H3787 H2088 H0176 H2088
あるいは-もし 両方-が 等しく 良い
H0518 H8147 H0259 H2896

朝のうちに種をまけ、夕まで手を休めてはならない。実るのは、これであるか、あれであるか、あるいは二つともに良いのであるか、あなたは知らないからである。

7 וּמָתוֹק הָאוֹר וְטוֹב לָעֵינַיִם לִרְאוֹת אֶת־הַשָּׁמֶשׁ׃
そして-甘い 光-は そして-良い 目-にとって 見ること-は （を） 太陽-を
H4966 H0216 H2896 H5869 H7200 H0853 H8121

光は快いものである。目に太陽を見るのは楽しいことである。

8

כִּי אִם־שָׁנִים הַרְבֵּה יִחְיֶה הָאָדָם בְּכֻלָּם יִשְׂמָח
たとえ (たとえ)-を 年 多く 生きても 人-が その-すべて-において 喜ぶ-ように
H3588 H518 H8141 H7227 H2421 H120 H3605 H8055

וְיִזְכֹּר אֶת־יְמֵי הַחֹשֶׁךְ כִּי־הַרְבֵּה יִהְיוּ כָּל־שֶׁבָּא הָבֶל׃
しかし-思い出せ 日々-を 闇-の なぜなら 多く ある すべて-の 来る-もの-は 空しさ-である
H2142 H3117 H2822 H3588 H7227 H1961 H3605 H0935 H1892

人が多くの年、生きながらえ、そのすべてにおいて自分を楽しませても、暗い日の多くあるべきことを忘れてはならない。すべて、きたらんとする事は皆空である。

9

שְׂמַח בָּחוּר בְּיַלְדוּתֶיךָ וְיִיטַב־לְבָבְךָ בִּימֵי
喜べ 若者-よ あなた-の-若い-時-に そして-楽しませよ あなた-の-心-を 日々-に
H8055 H970 H3208 H3190 H3824 H3117

חֻלְּכִי בִּדְרָכֵי לִבֶּךָ וּבְמַרְאֵי עֵינֶיךָ וְהוֹלֵךְ בְּחוּרוֹתֶיךָ
道-に あなた-の-心-の そして-見るまま-に あなた-の-目-の そして-歩め あなた-の-若さ-の
H1870 H3824 H4758 H5869 H1980 H970

וְדָע כִּי עַל־כָּל אֵלֶּה יְבִיאֲךָ הָאֱלֹהִים בַּמִּשְׁפָּט׃
しかし-知れ (それは) (について) すべて-の これら-のこと-に 導く-を-あなた 神-が 裁き-に
H3045 H3588 H5921 H3605 H0428 H935 H0430 H4941

若い者よ、あなたの若い時に楽しめ。あなたの若い日にあなたの心を喜ばせよ。あなたの心の道に歩み、あなたの目の見るところに歩め。ただし、そのすべての事のために、神はあなたをさばかれることを知れ。

10

וְהָסֵר כַּעַס מִלִּבֶּךָ וְהַעֲבֵר רָעָה מִבְּשָׂרֶךָ
そして-取り除け 怒り-を あなた-の-心-から そして-遠ざけよ 悪い-こと-を あなた-の-肉体-から
H5493 H3708 H3824 H5674 H7451 H1320

כִּי־הַיַלְדוּת וְהַשַּׁחֲרוּת הָבֶל׃
なぜなら 若さ-も そして-黒髪-の-時-も 空しさ-である
H3588 H3208 H7839 H1892

あなたの心から悩みを去り、あなたのからだから痛みを除け。若い時と盛んな時はともに空だからである。

Chapter 12

1

וּזְכֹר אֶת־בּוֹרְאֶיךָ בִּימֵי בְחוּרֹתֶיךָ עַד לֹא־יָבֹאוּ יְמֵי הָרָעָה וְהִגִּיעוּ שָׁנִים אֲשֶׁר תֹּאמַר לִי אֵין־חֵפֶץ בָּהֶם׃
そして-覚えよ (を) あなたの-造り主を その-日々に あなたの-若い-時に まだ その まだ
H2142 H853 H1254 H3117 H970 H5704 H834 H3808

日々が 来ない-うちに 苦しみの そして-近づく 年々が その-時 何の 私には 喜びもない それらに
H3117 H935 H7451 H5060 H8141 H834 H369 H3808 H2656

あなたの若い日に、あなたの造り主を覚えよ。悪しき日がきたり、年が寄って、「わたしにはなんの楽しみもない」と言うようにならない前に、

2

עַד	אֲשֶׁר־	לֹא	תֶחְשַׁךְ	הַשֶּׁמֶשׁ	וְהָאוֹר	וְהַיָּרֵחַ	וְהַכּוֹכָבִים
まだ	その	まだ	暗くならない–うちに	太陽と	そして–光と	そして–月と	そして–星々が
H5704		H3808	H2821	H8121	H0216	H3394	H3556

וְשָׁבוּ	הֶעָבִים	אַחַר	הַגָּשֶׁם׃
そして–戻る	雲が	後に	雨の
H7725	H5645		H1653

また日や光や、月や星の暗くならない前に、雨の後にまた雲が帰らないうちに、そのようにせよ。

3

בְּיוֹם	שָׁיָזֻעוּ	שֹׁמְרֵי	הַבַּיִת	וְהִתְעַוְּתוּ	אַנְשֵׁי	הֶחָיִל	וּבָטְלוּ
その–日に	震える	守る–者たちが	家の	そして–身をかがめる	人々が	力の	そして–休む
H3117	H2111	H8104		H5791	H0376	H2428	H0988

בָּאֲרֻבּוֹת׃	הָרֹאוֹת	וְחָשְׁכוּ	מִעֵּטוּ	כִּי	הַטֹּחֲנוֹת
窓越しに	窓から–見る–者たちが	そして–暗くなる	少なくなり	なぜなら	臼を–ひく–女たちが
H0699	H7200	H2821	H4591		H2912

その日になると、家を守る者は震え、力ある人はかがみ、ひきこなす女は少ないために休み、窓からのぞく者の目はかすみ、

4

הַצִּפּוֹר	לְקוֹל	וְיָקוּמוּ	הַטַּחֲנָה	קוֹל	בִּשְׁפָל	בַּשּׁוּק	דְּלָתַיִם	וְסָגְרוּ
鳥の	声に	そして–起きる	臼ひきの	音が	低くなる–時	通りの	扉が	そして–閉ざされる
H6833			H2913		H8217	H7784		H5462

הַשִּׁיר׃	בְּנוֹת	כָּל־	וְיִשְׁחוּ
歌の	娘たちが	すべての	そして–衰える
	H1323	H3605	H7817

町の門は閉ざされる。その時ひきこなす音は低くなり、人は鳥の声によって起きあがり、歌の娘たちは皆、低くされる。

5

וְיִסְתַּבֵּל	הַשָּׁקֵד	וְיָנֵאץ	בַּדֶּרֶךְ	וְחַתְחַתִּים	יִרְאוּ	מִגָּבֹהַּ	גַּם	
そして–重く–歩む	アーモンドが	そして–花咲く	道に–ある	そして–恐怖が	恐れ	高い–所を	また	
H5445	H8247	H5006	H1870	H2849	H3372	H1364	H1571	

וְסָבְבוּ	עוֹלָמוֹ	בֵּית	אֶל־	הָאָדָם	הֹלֵךְ	כִּי־	הָאֶבְיוֹנָה	וְתָפֵר	הֶחָגָב
そして–巡る	永遠の	家へ	その	人は	行く	なぜなら	欲望が	そして–失われる	いなごが
H5437	H5769		H0413	H0120	H1980		H0035		H2284

הַסֹּפְדִים׃	בָּשׁוּק
嘆く–者たちが	通りを
H5594	H7784

彼らはまた高いものを恐れる。恐ろしいものが道にあり、あめんどうは花咲き、いなごはその身をひきずり歩き、その欲望は衰え、人が永遠の家に行こうとするので、泣く人が、ちまたを歩きまわる。

6

הַזָּהָב	גֻּלַּת	וְתָרֻץ	הַכֶּסֶף	חֶבֶל	)יֵרָתֵק(	]ירחק[	לֹא־	אֲשֶׁר	עַד
金の	鉢が	そして–砕ける	銀の	綱が	切れない–うちに	[切れない]	まだ	その	まだ
H2091	H1543	H7533	H3701		H7576	H7368	H3808		H5704

הַבּוֹר׃	אֶל־	הַנַּלְגַּל	וְנָרַץ	הַמַּבּוּעַ	עַל־	כַּד	וְתִשָּׁבֵר
井戸の	そばの	車が	そして–砕ける	泉の	そばの	水がめが	そして–壊れる
	H0413	H1534	H7533	H4002		H3537	H7665

その後、銀のひもは切れ、金の皿は砕け、水がめは泉のかたわらで破れ、車は井戸のかたわらで砕ける。

7 וְיָשָׁב הֶעָפָר עַל־הָאָרֶץ כְּשֶׁהָיָה וְהָרוּחַ תָּשׁוּב אֶל־הָאֱלֹהִים אֲשֶׁר נְתָנָהּ׃
וְיָשָׁב (そして-帰る) H7725 הֶעָפָר (塵が) H6083 עַל־ (その) H0776 הָאָרֶץ (地に) H0776 כְּשֶׁהָיָה (元の-ように) H1961 וְהָרוּחַ (そして-霊が) H7307 תָּשׁוּב (帰る) H7725 אֶל־ (その) H0413 הָאֱלֹהִים (神の-もとへ) H0430
אֲשֶׁר (その-方が)
נְתָנָהּ׃ (与えた) H5414

ちりは、もとのように土に帰り、霊はこれを授けた神に帰る。

8 הֲבֵל הֲבָלִים אָמַר הַקֹּהֶלֶת הַכֹּל הָבֶל׃
הֲבֵל (空の-空) H1892 הֲבָלִים (空の-空と) H1892 אָמַר (言った) H0559 הַקֹּהֶלֶת (伝道者は) H6953 הַכֹּל (すべては) H3605 הָבֶל׃ (空である) H1892

伝道者は言う、「空の空、いっさいは空である」と。

9 וְיוֹתֵר שֶׁהָיָה קֹהֶלֶת חָכָם עוֹד לִמַּד־דַּעַת אֶת־הָעָם וְאִזֵּן וְחִקֵּר תִּקֵּן מְשָׁלִים הַרְבֵּה׃
וְיוֹתֵר (そして-さらに) H3148 שֶׁהָיָה (であった) H1961 קֹהֶלֶת (伝道者は) H6953 חָכָם (知恵-ある-者) H2450 עוֹד (なおも) H5750 לִמַּד־ (教えた) H3925 דַּעַת (知識を) H1847 אֶת־ ((を)) H0853 הָעָם (民に)
וְאִזֵּן (そして-吟味し) H0239 וְחִקֵּר (そして-探り) H2713 תִּקֵּן (整えた) H8626 מְשָׁלִים (格言を) H4912 הַרְבֵּה׃ (多くの)

さらに伝道者は知恵があるゆえに、知識を民に教えた。彼はよく考え、尋ねきわめ、あまたの箴言をまとめた。

10 בִּקֵּשׁ קֹהֶלֶת לִמְצֹא דִבְרֵי־חֵפֶץ וְכָתוּב יָשָׁר דִּבְרֵי אֱמֶת׃
בִּקֵּשׁ (求めた) H1245 קֹהֶלֶת (伝道者は) H6953 לִמְצֹא (見つけることを) H4672 דִּבְרֵי־ (言葉を) H1697 חֵפֶץ (喜ばしい) H2656 וְכָתוּב (そして-書かれた) H3789 יָשָׁר (正しく) H3476 דִּבְרֵי (言葉を) H1697 אֱמֶת׃ (真実の) H0571

伝道者は麗しい言葉を得ようとつとめた。また彼は真実の言葉を正しく書きしるした。

11 דִּבְרֵי חֲכָמִים כַּדָּרְבֹנוֹת וּכְמַשְׂמְרוֹת נְטוּעִים בַּעֲלֵי אֲסִפּוֹת נִתְּנוּ מֵרֹעֶה אֶחָד׃
דִּבְרֵי (言葉は) H1697 חֲכָמִים (知恵-ある-者の) H2450 כַּדָּרְבֹנוֹת (突き棒の-ように) וּכְמַשְׂמְרוֹת (そして-打ち-込まれた-釘の-ように) נְטוּעִים (植えられた) H5193 בַּעֲלֵי (主人たちの) H1167
אֲסִפּוֹת (集まりの) H0627 נִתְּנוּ (与えられた) H5414 מֵרֹעֶה (一人の) אֶחָד׃ (牧者から) H0259

知者の言葉は突き棒のようであり、またよく打った釘のようなものであって、ひとりの牧者から出た言葉が集められたものである。

12 וְיוֹתֵר מֵהֵמָּה בְּנִי הִזָּהֵר עֲשׂוֹת סְפָרִים הַרְבֵּה אֵין קֵץ וְלַהַג הַרְבֵּה יְגִעַת בָּשָׂר׃
וְיוֹתֵר (そして-さらに) H3148 מֵהֵמָּה (これらを-超えて) H1992 בְּנִי (わが-子よ) הִזָּהֵר (気をつけよ) עֲשׂוֹת (作ること) סְפָרִים (書物を) הַרְבֵּה (多くの) אֵין (終わりが-ない) H0369
וְלַהַג (そして-多くの-学びは) H3854 הַרְבֵּה (多くの) יְגִעַת (疲れである) H3024 בָּשָׂר׃ (肉体の) H1320 קֵץ (限りが-ない) H7093

わが子よ、これら以外の事にも心を用いよ。多くの書を作れば際限がない。多く学べばからだが疲れる。

13 סוֹף דָּבָר הַכֹּל נִשְׁמָע אֶת־הָאֱלֹהִים יְרָא וְאֶת־מִצְוֹתָיו שְׁמוֹר כִּי־זֶה כָּל־הָאָדָם׃
סוֹף (結論は) H5490 דָּבָר (事の) H1697 הַכֹּל (すべてを) H3605 נִשְׁמָע (聞いた) H8085 אֶת־ ((を)) H0853 הָאֱלֹהִים (神を) H0430 יְרָא (畏れよ) H3372 וְאֶת־ (そして) H0853 מִצְוֹתָיו (その-戒めを) H4687 שְׁמוֹר (守れ) H8104 כִּי־ (なぜなら)
כָּל־ (すべての) H3605 זֶה (これが) H2088 הָאָדָם׃ (人の-務めである) H0120

事の帰する所は、すべて言われた。すなわち、神を恐れ、その命令を守れ。これはすべての人の本分である。

14

כִּי אֶת־ כָּל־ מַעֲשֶׂה הָאֱלֹהִים יָבִא בְּמִשְׁפָּט עַל כָּל־
なぜなら (を) H0853 すべての H3605 行いを H4639 神は H0430 もたらす H0935 裁きに H4941 すべての H3605

נֶעְלָם אִם־ טוֹב וְאִם־ רָע׃
隠れた–ことに–対して H5956 もし 善であっても そして–もし 悪であっても

神はすべてのわざ、ならびにすべての隠れた事を善悪ともにさばかれるからである。

Song of Solomon

Chapter 1

1 שִׁיר הַשִּׁירִים אֲשֶׁר לִשְׁלֹמֹה׃
歌 歌の中の-歌 それは ソロモン-の
H8010

ソロモンの雅歌

2 יִשָּׁקֵנִי מִנְּשִׁיקוֹת פִּיהוּ כִּי־ טוֹבִים דֹּדֶיךָ
彼が-口づけて-くれる-ように 口づけ-で 彼の-口-の なぜなら 良い あなたの-愛-は
H5390 H6310 H1730

מִיָּיִן׃
ぶどう酒-より-も
H3196

どうか、あなたの口の口づけをもって、わたしに口づけしてください。あなたの愛はぶどう酒にまさり、

3 לְרֵיחַ שְׁמָנֶיךָ טוֹבִים שֶׁמֶן תּוּרַק שְׁמֶךָ עַל־
香り-は あなたの-油-の 良く 油-は 注ぎ-出された あなたの-名-の-ように それ-ゆえに
H7381 H8081 H8081 H7324 H8034 H5921

כֵּן עֲלָמוֹת אֲהֵבוּךָ׃
それゆえに おとめたち-は あなた-を-愛する
H5959 H0157

あなたのにおい油はかんばしく、あなたの名は注がれたにおい油のようです。それゆえ、おとめたちはあなたを愛するのです。

4 מָשְׁכֵנִי אַחֲרֶיךָ נָּרוּצָה הֱבִיאַנִי הַמֶּלֶךְ חֲדָרָיו
引いて-ください あなたの-後-に 私たちは-走りましょう 連れて-行った 王-は 彼の-奥の-部屋-に
H4900 H7323 H0935 H4428 H2315

נָגִילָה וְנִשְׂמְחָה בָּךְ נַזְכִּירָה דֹדֶיךָ
喜びましょう そして-楽しみましょう あなた-の中に 思い-出しましょう あなたの-愛-を
H1523 H8055 H2142 H1730

מֵישָׁרִים אֲהֵבוּךָ׃ ס מִיַּיִן
まっすぐに あなた-を-愛する [区切り] ぶどう酒-より-も
H4339 H0157 H3196

あなたのあとについて、行かせてください。わたしたちは急いでまいりましょう。王はわたしをそのへやに連れて行かれた。わたしたちは、あなたによって喜び楽しみ、ぶどう酒にまさって、あなたの愛をほめたたえます。おとめたちは真心をもってあなたを愛します。

5

כִּירִיעוֹת	קֵדָר	כְּאָהֳלֵי	יְרוּשָׁלָ͏ִם	בְּנוֹת	וְנָאוָה	אֲנִי	שְׁחוֹרָה
幕-の-ように	ケダル-の	天幕-の-ように	エルサレム-の	娘たち-よ	けれど-美しい	私は	黒い
H3407	H6938	H0168	H3389	H1323	H5000	H0589	H7838

שְׁלֹמֹֽה׃
ソロモン-の
H8010

エルサレムの娘たちよ、わたしは黒いけれども美しい。ケダルの天幕のように、ソロモンのとばりのように。

6

בְּנֵי	הַשָּׁמֶשׁ	שְׁשָׁזָפַתְנִי	שְׁחַרְחֹרֶת	שֶׁאֲנִי	תִּרְאוּנִי	אַל־			
息子たち-は	太陽-が	焦がした	黒ずんで-いる-こと-を	私が	見ないで-ください	～ないで			
	H8121	H7805	H7840	H0589	H7200	H0408			
שְׁלִי	כַּרְמִי	הַכְּרָמִים	אֶת־	נטֵרָה	שָׂמֻנִי	בִּי	נָחֲרוּ־	אִמִּי	
私自身-の	私の-ぶどう畑-を	ぶどう畑-の	(を)	番人-として	置いた	私-に	怒った	私の-母-の	
	H3754	H3754	H0853	H5201			H2787	H0517	

נָטַרְתִּי׃	לֹא
守らなかった	ない
H5201	H3808

わたしが日に焼けているがために、日がわたしを焼いたがために、わたしを見つめてはならない。わが母の子らは怒って、わたしにぶどう園を守らせた。しかし、わたしは自分のぶどう園を守らなかった。

7

תַּרְבִּיץ	אֵיכָה	תִּרְעֶה	אֵיכָה	נַפְשִׁי	שֶׁאָהֲבָה	לִי	הַגִּידָה
休ませるのか	どこ-で	羊-を-飼うのか	どこ-で	私の-魂-が	愛する-人-よ	私-に	教えて-ください
H7257				H5315	H0157		H5046

חֲבֵרֶיךָ׃	עֶדְרֵי	עַל	כְּעֹטִיָּה	אֶהְיֶה	שַׁלָּמָה	בְּצָהֳרָיִם
あなたの-仲間たち-の	群れ-の	～の-働で	さまよう-者-の-ように	私は-なるのか	なぜ	真昼-に
	H5739			H1961	H4100	

わが魂の愛する者よ、あなたはどこで、あなたの群れを養い、昼の時にどこで、それを休ませるのか、わたしに告げてください。どうして、わたしはさまよう者のように、あなたの仲間の群れのかたわらに、いなければならないのですか。

8

צְאִי־	בַנָּשִׁים	הַיָּפָה	לָךְ	תֵּדְעִי	לֹא	אִם־	
出て-行きなさい	女たちの中-で	最も-美しい-者-よ	あなた-が	知らない-なら	ない	もし	
H3318	H0802	H3303		H3045	H3808		
עַל	גְּדִיֹתַיִךְ	אֶת־	וּרְעִי	הַצֹּאן	בְּעִקְּבֵי	לָךְ	
～の-働で	あなたの-子山羊-を	(を)	そして-飼いなさい	羊の-群れ-の	足跡-に	あなた-は	
	H1429	H0853		H6629	H6119		

ס	הָרֹעִים׃	מִשְׁכְּנוֹת
[区切り]	羊飼いたち-の	住まい-の
		H4908

女のうちの最も美しい者よ、あなたが知らないなら、群れの足跡に従っていって、羊飼たちの天幕のかたわらで、あなたの子やぎを飼いなさい。

9

רַעְיָתִי׃	דִּמִּיתִיךְ	פַּרְעֹה	בִּרְכְבֵי	לְסֻסָתִי	
私の-愛する-人-よ	たとえた	ファラオ-の	戦車-の-中の	雌馬-に	
H7474	H1819	H6547	H7393	H5484	

わが愛する者よ、わたしはあなたをパロの車の雌馬になぞらえる。

10

בַּחֲרוּזִים׃	צַוָּארֵךְ	בַּתֹּרִים	לְחָיַיִךְ	נָאוּ	
首飾り-の中に	あなたの-首-は	飾り-の中に	あなたの-頬-は	美しい	
H2737		H8447	H3895	H4998	

あなたのほおは美しく飾られ、あなたの首は宝石をつらねた首飾で美しい。

11	תּוֹרֵי	זָהָב	נַעֲשֶׂה־	לָךְ	עִם	נְקֻדּוֹת	הַכָּסֶף׃
	飾り–を	金–の	作りましょう	あなた–に	～と–共に	点–の	銀–の
	H8447	H2091				H5351	H3701

われわれは銀を散らした金の飾り物を、あなたのために造ろう。

12	עַד־	שֶׁהַמֶּלֶךְ	בִּמְסִבּוֹ	נִרְדִּי	נָתַן	רֵיחוֹ׃
	～の–間	王–が	寒ぎ–に–いる–時	私の–ナルド–は	放った	その–香り–を
	H5704	H4428	H4524	H5373	H5414	H7381

王がその席に着かれたとき、わたしのナルドはそのかおりを放った。

13	צְרוֹר	הַמֹּר	דּוֹדִי	לִי	בֵּין	שָׁדַי	יָלִין׃
	包み	没薬–の	私の–愛する–人–は	私–にとって	～の–間–に	私の–胸–の	過ごす
		H4753	H1730		H0996		

わが愛する者は、わたしにとっては、わたしの乳ぶさの間にある没薬の袋のようです。

14	אֶשְׁכֹּל	הַכֹּפֶר	דּוֹדִי	לִי	בִּכַרְמֵי	עֵין
	房	ヘンナ–の	私の–愛する–人–は	私–にとって	ぶどう畑–の中の	エン–ゲディ–の
	H0811		H1730		H3754	H5872

ס	גֶּדִי׃
[区切り]	エン–ゲディ–の
	H5872

わが愛する者は、わたしにとっては、エンゲデのぶどう園にあるヘンナ樹の花ぶさのようです。

15	הִנָּךְ	יָפָה	רַעְיָתִי	הִנָּךְ	יָפָה	עֵינַיִךְ	יוֹנִים׃
	見よ	美しい	私の–愛する–人–よ	見よ	美しい	あなたの–目–は	鳩–の–よう
	H2009	H3303	H7474	H2009	H3303		H3123

わが愛する者よ、見よ、あなたは美しい、見よ、あなたは美しい、あなたの目ははとのようだ。

16	הִנָּךְ	יָפֶה	דּוֹדִי	אַף	נָעִים	אַף־	עַרְשֵׂנוּ	רַעֲנָנָה׃
	見よ	美しい	私の–愛する–人–よ	まことに	快い	まことに	私たちの–寝台–は	緑–で–ある
	H2009	H3303	H1730	H0637		H0637	H6210	

わが愛する者よ、見よ、あなたは美しく、まことにりっぱです。わたしたちの床は緑、

17	קֹרוֹת	בָּתֵּינוּ	אֲרָזִים	]רחיטנו[	)רַהִיטֵנוּ(	בְּרוֹתִים׃
	梁–は	私たちの–家–の	杉–であり	[垂木は]	(私たちの–垂木–は)	糸杉–である
	H6982		H0730	H7351	H7351	H1266

わたしたちの家の梁は香柏、そのたるきはいとすぎです。

Chapter 2

1	אֲנִי	חֲבַצֶּלֶת	הַשָּׁרוֹן	שׁוֹשַׁנַּת	הָעֲמָקִים׃
	私は	サフラン–の–花	シャロン–の	ゆり–の–花	谷–の
	H0589	H2261	H8289	H7799	H6010

わたしはシャロンのばら、谷のゆりです。

2	כְּשׁוֹשַׁנָּה	בֵּין	הַחוֹחִים	כֵּן	רַעְיָתִי	בֵּין	הַבָּנוֹת׃
	ゆり–の–ように	～の–間–の	茨–の	その–ように	私の–愛する–人–は	～の–間–に	娘たち–の
	H7799	H0996	H2336		H7474	H0996	H1323

おとめたちのうちにわが愛する者のあるのは、いばらの中にゆりの花があるようだ。

3

בֵּין	דּוֹדִי	כֵּן	הַתַּפּוּחַ	בַּעֲצֵי	כְּתַפּוּחַ
～の–間–の	私の–愛する–人–は	その–ように	森–の	木々–の–間の	りんごの–木–の–ように
H0996	H1730		H8598	H6086	H8598

לְחִכִּי׃	מָתוֹק	וּפִרְיוֹ	וְיָשַׁבְתִּי	חְמַדְתִּי	בְּצִלּוֹ	הַבָּנִים
私の–口–に	甘く	そして–彼の–実–は	そして–座った	慕って	彼の–陰–に	息子たち–の
H2441	H4966	H6529	H3427		H6738	

わが愛する者の若人たちの中にあるのは、林の木の中にりんごの木があるようです。わたしは大きな喜びをもって、彼の陰にすわった。彼の与える実はわたしの口に甘かった。

4

אַהֲבָה׃	עָלַי	וְדִגְלוֹ	הַיָּיִן	בֵּית	אֶל־	הֱבִיאַנִי
愛–であった	私の–上–に	そして–彼の–旗–は	ぶどう酒–の	家–に	～へ	連れて–行った
H0160		H1714	H3196		H0413	H0935

彼はわたしを酒宴の家に連れて行った。わたしの上にひるがえる彼の旗は愛であった。

5

אֲנִי׃	אַהֲבָה	חוֹלַת	כִּי־	בַּתַּפּוּחִים	רַפְּדוּנִי	בָּאֲשִׁישׁוֹת	סַמְּכוּנִי
私は	愛–に	病んで–いる	なぜなら	りんご–で	敷いて–ください	干しぶどう–で	支えて–ください
H0589	H0160			H8598	H7502	H0809	H5564

干ぶどうをもって、わたしに力をつけ、りんごをもって、わたしに元気をつけてください。わたしは愛のために病みわずらっているのです。

6

תְּחַבְּקֵנִי׃	וִימִינוֹ	לְרֹאשִׁי	תָּחַת	שְׂמֹאלוֹ
抱いて–くれる	そして–彼の–右–の–手–は	私の–頭–の	～の–下–に	彼の–左–の–手–は
H2263	H3225		H8478	H8040

どうか、彼の左の手がわたしの頭の下にあり、右の手がわたしを抱いてくれるように。

7

בְּאַיְלוֹת	אוֹ	בִּצְבָאוֹת	יְרוּשָׁלִַם	בְּנוֹת	אֶתְכֶם	הִשְׁבַּעְתִּי
雌鹿–に–かけて	または	ガゼル–に–かけて	エルサレム–の	娘たち–よ	あなたたち–に	誓わせる
H0355			H3389	H1323	H0853	H7650

עַד	תָּאַהֲבָה	אֶת־	תְּעוֹרְרוּ	וְאִם־	וְתָעִירוּ	אִם־	הַשָּׂדֶה
～まで	愛–を	(を)	呂り立たせないで	そして–～ないで	目覚めせないで	～ないで	野–の
H5704	H0160	H0853	H5782		H5782		

ס	שֶׁתֶּחְפָּץ׃
[区切り]	它が–望む–時–まで

エルサレムの娘たちよ、わたしは、かもしかと野の雌じかをさして、あなたがたに誓い、お願いする、愛のおのずから起るときまでは、ことさらに呼び起すことも、さますこともしないように。

8

מְקַפֵּץ	הֶהָרִים	עַל־	מְדַלֵּג	בָּא	זֶה	הִנֵּה־	דּוֹדִי	קוֹל
飛び越えて	山々–の	～の–上–を	跳ねて	来る	この–人が	見よ	私の–愛する–人–の	声–が
H7092	H2022		H1801	H0935	H2088	H2009	H1730	

הַגְּבָעוֹת׃	עַל־
丘々–の	～の–上–を
H1389	

わが愛する者の声が聞える。見よ、彼は山をとび、丘をおどり越えて来る。

9

זֶה	הִנֵּה־	הָאַיָּלִים	לְעֹפֶר	אוֹ	לִצְבִי	דוֹדִי
この–人が	見よ	鹿–の	小鹿–に	または	ガゼル–に	私の–愛する–人–は
H2088	H2009	H0354	H6082			H1730

הוֹמֶה	עוֹמֵד	אַחַר	כָּתְלֵנוּ	מַשְׁגִּיחַ	מִן־	הַחַלֹּנוֹת	מֵצִיץ	מִן־
似て–いる	立って–いる	後ろ–に	私たちの–壁–の	のぞいて–いる	～から	窓–から	のぞいて–いる	～から
H1819	H5975		H3796	H7688		H2474		

הַחֲרַכִּים׃
格子–から
H2762

わが愛する者はかもしかのごとく、若い雄じかのようです。見よ、彼はわたしたちの壁のうしろに立ち、窓からのぞき、格子からうかがっている。

10

רַעְיָתִי	לְךָ	קוּמִי	לִי	וְאָמַר	דוֹדִי	עָנָה
私の–愛する–人–よ	さあ	起きなさい	私–に	そして–言った	私の–愛する–人–は	答えた
H7474				H0559	H1730	

וּלְכִי־	לָךְ׃	יָפָתִי
そして–行きなさい	さあ	私の–美しい–人–よ
H3212		H3303

わが愛する者はわたしに語って言う、「わが愛する者よ、わが麗しき者よ、立って、出てきなさい。

11

כִּי־	הִנֵּה	הַסְּתָיו[הסתו]	(הָסְתָיו)	עָבָר	הַגֶּשֶׁם	חָלַף	הָלַךְ	לוֹ׃
なぜなら	見よ	[冬は]	(冬–は)	過ぎた	雨–は	やんだ	去った	それ–は
	H2009	H5638	H5638		H1653	H2498	H1980	

見よ、冬は過ぎ、雨もやんで、すでに去り、

12

הַנְּצָנִים	נִרְאוּ	בָּאָרֶץ	עֵת	הַזָּמִיר	הִגִּיעַ	וְקוֹל	הַתּוֹר	נִשְׁמַע	בְּאַרְצֵנוּ׃
花々–が	現れた	地–に	季節–は	歌–の	来た	そして–声–が	山鳩–の	聞こえる	私たちの–地–に
H5339	H7200	H0776	H6256	H2159	H5060		H8449	H8085	H0776

もろもろの花は地にあらわれ、鳥のさえずる時がきた。山ばとの声がわれわれの地に聞える。

13

הַתְּאֵנָה	חָנְטָה	פַּגֶּיהָ	וְהַגְּפָנִים	סְמָדַר	נָתְנוּ	רֵיחַ	
いちじくの木–は	実らせた	その–青い–実–を	そして–ぶどうの木–は	花–を	放った	香り–を	
H8384		H6291	H1612	H5563	H5414	H7381	

קוּמִי	[לכי]	(לָךְ)	רַעְיָתִי	יָפָתִי	וּלְכִי־	לָךְ׃
起きなさい	[行きなさい]	(さあ)	私の–愛する–人–よ	私の–美しい–人–よ	そして–行きなさい	さあ
	H3212		H7474	H3303	H3212	

ס
[区切り]

いちじくの木はその実を結び、ぶどうの木は花咲いて、かんばしいにおいを放つ。わが愛する者よ、わが麗しき者よ、立って、出てきなさい。

14

אֶת־	הַרְאִינִי	הַמִּדְרֵגָה	בְּסֵתֶר	הַסֶּלַע	בְּחַגְוֵי	יוֹנָתִי	
(を)	見せて–ください	崖–の	隠れ場所–に–いる	岩–の	岩–の–裂け目–に–いる	私の–鳩–よ	
H0853	H7200	H4095		H5553	H2288	H3123	

עָרֵב	קוֹלֵךְ	כִּי־	קוֹלֵךְ	אֶת־	הַשְׁמִיעִינִי	מַרְאַיִךְ	
快い	あなたの–声–は	なぜなら	あなたの–声–を	(を)	聞かせて–ください	あなたの–姿–を	
H6156				H0853	H8085	H4758	

ס	נָאוֶה׃	וּמַרְאַיִךְ
[区切り]	美しい	そして–あなたの–姿–は
	H5000	H4758

岩の裂け目、がけの隠れ場におるわがはとよ、あなたの顔を見せなさい。あなたの声を聞かせなさい。あなたの声は愛らしく、あなたの顔は美しい。

15

כְּרָמִים	מְחַבְּלִים	קְטַנִּים	שׁוּעָלִים	שֻׁעָלִים	לָנוּ	אֶחֱזוּ־
ぶどう畑–を	荒らす–もの	小さな	狐–を	狐–を	私たち–の–ために	捕らえて–ください
H3754			H7776	H7776		H0270

סְמָדַר׃	וּכְרָמֵינוּ
花盛り–である	そして–私たちの–ぶどう畑–は
H5563	H3754

われわれのためにきつねを捕えよ、ぶどう園を荒す小ぎつねを捕えよ、われわれのぶどう園は花盛りだから」と。

16

בַּשּׁוֹשַׁנִּים׃	הָרֹעֶה	לּוֹ	וַאֲנִי	לִי	דּוֹדִי
ゆり–の–中–で	飼う–者	彼–の–もの	そして–私–は	私–の–もの	私の–愛する–人–は
H7799			H0589		H1730

わが愛する者はわたしのもの、わたしは彼のもの。彼はゆりの花の中で、その群れを養っている。

17

לְךָ	דְּמֵה־	סֹב	הַצְּלָלִים	וְנָס	הַיּוֹם	שֶׁיָּפוּחַ	עַד	
さあ	似て–ください	戻って–きて	影–が	そして–逃げる–まで	日–が	吹く–まで	～まで	
	H1819	H5437	H6752	H5127	H3117	H6315	H5704	

ס	בָּתֶר׃	הָרֵי	עַל־	הָאַיָּלִים	לְעֹפֶר	אוֹ	לִצְבִי	דּוֹדִי
[区切り]	ベテル–の	山々–の	～の–上–で	鹿–の	小鹿–に	または	ガゼル–に	私の–愛する–人–よ
	H1336	H2022		H0354	H6082			H1730

わが愛する者よ、日の涼しくなるまで、影の消えるまで、身をかえして出ていって、険しい山々の上で、かもしかのように、若い雄じかのようになってください。

Chapter 3

1

בְּקַשְׁתִּיו	נַפְשִׁי	שֶׁאָהֲבָה	אֶת	בִּקַּשְׁתִּי	בַּלֵּילוֹת	מִשְׁכָּבִי	עַל־	
求めた–が	私の–魂–が	愛する–人–を	(を)	求めた	夜々	私の–寝台–に	～の–上–で	
H1245	H5315	H0157	H0853	H1245	H3915	H4904		

מְצָאתִיו׃	וְלֹא
見つけられなかった	しかし–ない
H4672	H3808

わたしは夜、床の上で、わが魂の愛する者をたずねた。わたしは彼をたずねたが、見つからなかった。わたしは彼を呼んだが、答がなかった。

2

אֶת	אֲבַקְשָׁה	וּבָרְחֹבוֹת	בַּשְּׁוָקִים	בָּעִיר	וַאֲסוֹבְבָה	נָּא	אָקוּמָה	
(を)	求めよう	そして–広場–を	通り–や	町–を	そして–巡ろう	さあ	起き上がろう	
H0853	H1245	H7339	H7784		H5437	H4994		

מְצָאתִיו׃	וְלֹא	בִּקַּשְׁתִּיו	נַפְשִׁי	שֶׁאָהֲבָה
見つけられなかった	しかし–ない	求めた–が	私の–魂–が	愛する–人–を
H4672	H3808	H1245	H5315	H0157

「わたしは今起きて、町をまわり歩き、街路や広場で、わが魂の愛する者をたずねよう」と、彼をたずねたが、見つからなかった。

3

רְאִיתֶם׃	נַפְשִׁי	שֶׁאָהֲבָה	אֶת	בָּעִיר	הַסֹּבְבִים	הַשֹּׁמְרִים	מְצָאוּנִי	
見ました–か	私の–魂–が	愛する–人–を	(を)	町–を	巡回する	番人たち–が	見つけた	
H7200	H5315	H0157	H0853		H5437	H8104	H4672	

町をまわり歩く夜回りたちに出会ったので、「あなたがたは、わが魂の愛する者を見ましたか」と尋ねた。

4

נַפְשִׁי 私の–魂–が H5315
שֶׁאָהֲבָה 愛する–人–を H0157
אֵת (を) H0853
שֶׁמָּצָאתִי 見つけた–まで H4672
עַד ～まで H5704
מֵהֶם 彼ら–から H1992
שֶׁעָבַרְתִּי 通り–過ぎた–とき H5592
כִּמְעַט 少し–だけ H4592

אִמִּי 私の–母–の H0517
בֵּית 家–に H0413
אֶל־ ～へ H0935
שֶׁהֲבֵיאתִיהוּ 連れて–行った–まで H5704
עַד־ ～まで H7503
אַרְפֶּנּוּ 放さなかった H3808
וְלֹא そして–ない H0270
אֶאֱחָזְתִּיהוּ つかまえた

הוֹרָתִי׃ 私を–身ごもった–人–の H2029
חֶדֶר 部屋–に H2315
וְאֶל־ そして–～へ H0413

わたしが彼らと別れて行くとすぐ、わが魂の愛する者に出会った。わたしは彼を引き留めて行かせず、ついにわが母の家につれて行き、わたしを産んだ者のへやにはいった。

5

הִשְׁבַּעְתִּי 誓わせる H7650
אֶתְכֶם あなたたち–に H0853
בְּנוֹת 娘たち–よ H1323
יְרוּשָׁלִַם エルサレム–の H3389
בִּצְבָאוֹת ガゼル–に–かけて H6643
אוֹ または H0176
בְּאַיְלוֹת 雌鹿–に–かけて H0355

הַשָּׂדֶה 野–の H7704
אִם־ ～ないで H3808
וְאִם־ そして–～ないで H5782
תָּעִירוּ 目覚めさせないで H5782
תְּעוֹרְרוּ 呼び起こさないで H5782
אֵת־ (を) H0853
הָאַהֲבָה 愛–を H0160
עַד ～まで H5704

שֶׁתֶּחְפָּץ׃ 它が–望む–時–まで
ס [区切り]

エルサレムの娘たちよ、わたしは、かもしかと野の雌じかをさして、あなたがたに誓い、お願いする、愛のおのずから起るときまでは、ことさらに呼び起すことも、さますこともしないように。

6

זֹאת これ–は H2063
עֹלָה 上って–くる H5927
מִן־ ～から H4480
הַמִּדְבָּר 荒野–から H4057
כִּתִימְרוֹת 柱–の–ように H8490
עָשָׁן 煙–の H6227
מְקֻטֶּרֶת 薫られた H6999
מֹר 没薬–と H4753
וּלְבוֹנָה そして–乳香–で H3828
מִכֹּל あらゆる–もの–から H3605
אַבְקַת 粉–の H0081
רוֹכֵל׃ 商人–の H7402

没薬、乳香など、商人のもろもろの香料をもって、かおりを放ち、煙の柱のように、荒野から上って来るものは何か。

7

הִנֵּה 見よ H2009
מִטָּתוֹ 寝台–は H4296
שְׁלֹשִׁלֹּמֹה ソロモン–の–もの H8010
שִׁשִּׁים 六十–人の H8346
גִּבֹּרִים 勇士たち–が H1368
סָבִיב 囲んで H5439
גִּבֹּרֵי 勇士たち–の–中の H1368
לָהּ それ–を H1931

יִשְׂרָאֵל׃ イスラエル–の H3478

見よ、あれはソロモンの乗物で、六十人の勇士がそのまわりにいる。イスラエルの勇士で、

8

כֻּלָּם 全員–が H3605
אֹחֲזֵי 握って–いる H0270
חֶרֶב 剣–を H2719
מִלְחָמָה 戦い–に H4421
מְלֻמְּדֵי 訓練された H3925
אִישׁ 各人–の H0376
חַרְבּוֹ 剣–は H2719
עַל־ ～の–上–に H5921
יְרֵכוֹ 腰–の H3409

מִפַּחַד 恐れ–の–ために H6343
בַּלֵּילוֹת׃ 夜々–の H3915
ס [区切り]

皆、つるぎをとり、戦いをよくし、おのおの腰に剣を帯びて、夜の危険に備えている。

הַלְּבָנוֹן׃	מֵעֲצֵי	שְׁלֹמֹה	הַמֶּלֶךְ	לוֹ	עָשָׂה	אַפִּרְיוֹן	9
レバノン-の	木-から	ソロモン-は	王-は	彼の-ために	作った	輿-を	
H3844	H6086	H8010	H4428			H0668	

ソロモン王はレバノンの木をもって、自分のために輿をつくった。

תּוֹכוֹ	אַרְגָּמָן	מֻרְכָּבוֹ	זָהָב	רְפִידָתוֹ	כֶּסֶף	עָשָׂה	עַמּוּדָיו	10
その-内部-は	紫-で	その-座席-は	金-で	その-台-は	銀-で	作った	その-柱-を	
H8432	H0713	H4817	H2091	H7507	H3701		H5982	

יְרוּשָׁלִָם׃	מִבְּנוֹת	אַהֲבָה	רָצוּף
エルサレム-の	娘たち-から-の	愛-で	敷き詰められた
H3389	H1323	H0160	H7528

その柱は銀、そのうしろは金、その座は紫の布でつくった。その内部にはエルサレムの娘たちが、愛情をこめてつくった物を張りつけた。

בָּעֲטָרָה	שְׁלֹמֹה	בַּמֶּלֶךְ	צִיּוֹן	בְּנוֹת	וְרְאֶינָה	וְצֵאֶינָה	11
冠-を-かぶった	ソロモン-を	王-を	シオン-の	娘たち-よ	そして-見なさい	出て-きなさい	
H5850	H8010	H4428	H6726	H1323	H7200	H3318	

ס	לִבּוֹ׃	שִׂמְחַת	וּבְיוֹם	חֲתֻנָּתוֹ	בְיוֹם	אִמּוֹ	לוֹ	שֶׁעִטְּרָה־
[区切り]	彼の-心-の	喜び-の	そして-日-に	彼の-婚礼-の	日-に	彼の-母-が	彼-に	かぶせた
		H8057	H3117	H2861	H3117	H0517		

シオンの娘たちよ、出てきてソロモン王を見よ。彼は婚姻の日、心の喜びの日に、その母の彼にかぶらせた冠をいただいている。

Chapter 4

מִבָּעַד	יוֹנִים	עֵינַיִךְ	יָפָה	הִנָּךְ	רַעְיָתִי	יָפָה	הִנָּךְ	1
向こう-に	鳩-の-よう	あなたの-目-は	美しい	見よ	私の-愛する-人-よ	美しい	見よ	
H1157	H3123		H3303	H2009	H7474	H3303	H2009	

גִּלְעָד׃	מֵהַר	שֶׁגָּלְשׁוּ	הָעִזִּים	כְּעֵדֶר	שַׂעְרֵךְ	לְצַמָּתֵךְ
ギレアデ-の	山-から	下りて-くる	山羊-の	群れ-の-よう	あなたの-髪-は	あなたの-ベール-の
H1568	H2022	H1570	H5795	H5739	H8181	H6777

わが愛する者よ、見よ、あなたは美しい、見よ、あなたは美しい。あなたの目は、顔おおいのうしろにあって、はとのようだ。あなたの髪はギレアデの山を下るやぎの群れのようだ。

הָרַחְצָה	מִן־	שֶׁעָלוּ	הַקְּצוּבוֹת	כְּעֵדֶר	שִׁנַּיִךְ	2
水浴び-から	～から	上がって-きた	刈られた-羊-の	群れ-の-よう	あなたの-歯-は	
H7367		H5927	H7094	H5739	H8127	

בָּהֶם׃	אֵין	וְשַׁכְלָה	מַתְאִימוֹת	שֶׁכֻּלָּם	
それらの-中-に	ない	そして-子を-失った-ものは	双子-を-産み	それら-は-すべて	
	H0369	H7909	H8382	H3605	

あなたの歯は洗い場から上ってきた毛を切られた雌羊の群れのようだ。みな二子を産んで、一匹も子のないものはない。

הָרִמּוֹן	כְּפֶלַח	נָאוָה	וּמִדְבָּרֵיךְ	שְׂפָתוֹתַיִךְ	הַשָּׁנִי	כְּחוּט	3
ざくろ-の	片-の-ように	美しい	そして-あなたの-口-は	あなたの-唇-は	紅-の	糸-の-ように	
H7416	H6400	H5000		H8193	H8144	H2339	

לְצַמָּתֵךְ׃	מִבָּעַד	רַקָּתֵךְ	
あなたの-ベール-の	向こう-に	あなたの-こめかみ-は	
H6777	H1157	H7541	

あなたのくちびるは紅の糸のようで、その口は愛らしい。あなたのほおは顔おおいのうしろにあって、ざくろの片われのようだ。

4
כְּמִגְדַּל דָּוִיד צַוָּארֵךְ בָּנוּי לְתַלְפִּיּוֹת אֶלֶף הַמָּגֵן
塔-の-ように ダビデ-の あなたの-首-は 建てられた 石垣-の-ために 千-の 盾-が
H4026 H1732 H6677 H1129 H8530 H0505 H4043
תָּלוּי עָלָיו כֹּל שִׁלְטֵי הַגִּבּוֹרִים׃
掛けられて-いる その-上に すべて-の 小盾-は 勇士たち-の
H8518 H3605 H7982 H1368

あなたの首は武器倉のために建てたダビデのやぐらのようだ。その上には一千の盾を掛けつらね、みな勇士の大盾である。

5
שְׁנֵי שָׁדַיִךְ כִּשְׁנֵי עֳפָרִים תְּאוֹמֵי צְבִיָּה הָרוֹעִים בַּשּׁוֹשַׁנִּים׃
二つ-の あなたの-胸-は 小鹿-の 双子-の ガゼル-の 食む-者たち ゆり-の-中-で
H8147 H7699 H6082 H8380 H6646 H7462 H7799

あなたの両乳ぶさは、かもしかの二子である二匹の子じかが、ゆりの花の中に草を食べているようだ。

6
עַד שֶׁיָּפוּחַ הַיּוֹם וְנָסוּ הַצְּלָלִים אֵלֵךְ לִי אֶל־הַר הַמּוֹר וְאֶל־גִּבְעַת הַלְּבוֹנָה׃
～まで 吹く-まで 日-が そして-逃げる-まで 影-が 行こう 私は ～へ 山-へ 没薬-の そして-～へ 乳香-の 丘-へ
H5704 H6315 H3117 H5704 H6752 H3212 H3808 H0413 H2022 H4753 H0413 H3828 H1389

日の涼しくなるまで、影の消えるまで、わたしは没薬の山および乳香の丘へ急ぎ行こう。

7
כֻּלָּךְ יָפָה רַעְיָתִי וּמוּם אֵין בָּךְ׃ ס
すべて-が 美しい 私の-愛する-人-よ そして-傷-は ない あなた-に [区切り]
H3605 H3303 H7474 H3808 H0369

わが愛する者よ、あなたはことごとく美しく、少しのきずもない。

8
אִתִּי מִלְּבָנוֹן כַּלָּה אִתִּי מִלְּבָנוֹן תָּבוֹאִי תְּשׁוּרִי מֵרֹאשׁ אֲמָנָה מֵרֹאשׁ שְׂנִיר וְחֶרְמוֹן מִמְעֹנוֹת אֲרָיוֹת מֵהָרְרֵי נְמֵרִים׃
私-と-共に レバノン-から 花嫁-よ 私-と-共に レバノン-から 来なさい 見おろしなさい 頂-から アマナ-の 頂-から セニル-と ヘルモン-の 住まい-から 獅子-の 山々-から 豹-の
H0854 H3844 H3618 H0854 H3844 H0935 H7789 H0549 H7218 H8149 H2768 H4585 H0738 H2042 H5246

わが花嫁よ、レバノンからわたしと一緒にきなさい、レバノンからわたしと一緒にきなさい。アマナの頂を去り、セニルおよびヘルモンの頂を去り、ししの穴、ひょうの山を去りなさい。

9
לִבַּבְתִּנִי אֲחֹתִי כַּלָּה לִבַּבְתִּנִי בְּאַחַד מֵעֵינַיִךְ בְּאַחַת (בְּאַחַת) מִצַּוְרֹנֵיךְ׃ עָנָק
心-を-奪った 私の-妹-よ 花嫁-よ 心-を-奪った [一つの] 目-の (一つ-の) あなたの-首-の 首飾り-の
H3823 H0269 H3618 H3823 [H0259] H5869 (H0259) H6060 H6060

わが妹、わが花嫁よ、あなたはわたしの心を奪った。あなたはただひと目で、あなたの首飾のひと玉で、わたしの心を奪った。

10

דֹּדַיִךְ	טֹבוּ	מַה־	כַלָּה	אֲחֹתִי	דֹּדַיִךְ	יָפוּ	מַה־
あなたの–愛–は	良い	何と	花嫁–よ	私の–妹–よ	あなたの–愛–は	美しい	何と
H1730	H2895	H4100	H3618	H0269	H1730	H3302	H4100

בְּשָׂמִים׃	מִכָּל־	שְׁמָנַיִךְ	וְרֵיחַ	מִיַּיִן
香料–より–も	あらゆる–もの–より–も	あなたの–油–の	そして–香り–は	ぶどう酒–より–も
H1314	H3605	H8081	H7381	H3196

わが妹、わが花嫁よ、あなたの愛は、なんと麗しいことであろう。あなたの愛はぶどう酒よりも、あなたの香油のかおりはすべての香料よりも、いかにすぐれていることであろう。

11

לְשׁוֹנֵךְ	תַּחַת	וְחָלָב	דְּבַשׁ	כַּלָּה	שִׂפְתוֹתַיִךְ	תִּטֹּפְנָה	נֹפֶת
あなたの–舌–の	～の–下–に	そして–乳–が	蜜–と	花嫁–よ	あなたの–唇–から	したたる	蜜–が
H3956	H8478	H2461	H1706	H3618	H8193	H5197	H5317

ס	לְבָנוֹן׃	כְּרֵיחַ	שַׂלְמֹתַיִךְ	וְרֵיחַ
[区切り]	レバノン–の	香り–の–ように	あなたの–衣–の	そして–香り–は
	H3844	H7381	H8008	H7381

わが花嫁よ、あなたのくちびるは甘露をしたたらせ、あなたの舌の下には、蜜と乳とがある。あなたの衣のかおりはレバノンのかおりのようだ。

12

חָתוּם׃	מַעְיָן	נָעוּל	גַּל	כַּלָּה	אֲחֹתִי	נָעוּל	גַּן
封じられた	涸き–である	閉ざされた	泉–である	花嫁–よ	私の–妹–よ	閉ざされた	園–である
H2856	H4599		H1530	H3618	H0269		H1588

わが妹、わが花嫁は閉じた園、閉じた園、封じた泉のようだ。

13

עִם־	כְּפָרִים	מְגָדִים	פְּרִי	עִם	רִמּוֹנִים	פַּרְדֵּס	שְׁלָחַיִךְ
～と–共に	ヘンナ–と	選ばれた–もの–の	実–の	～と–共に	ざくろ–の	園–である	あなたの–芽–は
		H4022	H6529		H7416	H6508	H7973

נְרָדִים׃
ナルド–と
H5373

あなたの産み出す物は、もろもろの良き実をもつざくろの園、ヘンナおよびナルド、

14

לְבוֹנָה	עֵצֵי	כָּל־	עִם	וְקִנָּמוֹן	קָנֶה	וְכַרְכֹּם	וְנֵרְדְּ
乳香–の	木々–の	あらゆる	～と–共に	そして–肉桂–と	菖蒲–と	そして–サフラン–と	ナルド–と
H3828	H6086	H3605		H7076	H7070	H3750	H5373

בְּשָׂמִים׃	רָאשֵׁי	כָּל־	עִם	וַאֲהָלוֹת	מֹר
香料–の	上等–の	あらゆる	～と–共に	そして–沈香–と	没薬–と
H1314		H3605		H0174	H4753

ナルド、さふらん、しょうぶ、肉桂、さまざまの乳香の木、没薬、ろかい、およびすべての尊い香料である。

15

לְבָנוֹן׃	מִן־	וְנֹזְלִים	חַיִּים	מַיִם	בְּאֵר	גַּנִּים	מַעְיָן
レバノン–から	～から	そして–流れ–が	生きた	水–の	井戸–である	園々–の	泉–である
H3844		H5140		H4325	H0875	H1588	H4599

あなたは園の泉、生ける水の井、またレバノンから流れ出る川である。

16

יִזְלְוּ	נְגָנִי	הָפִיחִי	תֵּימָן	וּבוֹאִי	צָפוֹן	עוּרִי
流れる–ように	私の–園–に	吹いて–ください	南風–よ	そして–来い	北風–よ	目覚めよ
H5140	H1588	H6315	H8486	H0935	H6828	H5782

פְּרִי	וְיֹאכַל	לְגַנּוֹ	דּוֹדִי	יָבֹא	בְּשָׂמָיו
実–を	そして–食べて–ください	彼の–園–に	私の–愛する–人–が	来て–ください	その–香料–が
H6529	H0398	H1588	H1730	H0935	H1314

מְגָדָיו׃
選ばれた–もの–の
H4022

北風よ、起れ、南風よ、きたれ。わが園を吹いて、そのかおりを広く散らせ。わが愛する者がその園にはいってきて、その良い実を食べるように。

Chapter 5

1

אָכַלְתִּי	בָּשְׂמִי	עִם־	מוֹרִי	אָרִיתִי	כַלָּה	אֲחֹתִי	לְגַנִּי	בָּאתִי
食べた	私の–香料–と	～と–共に	私の–没薬–を	摘んだ	花嫁–よ	私の–妹–よ	私の–園–に	来た
H0398	H1313		H4753	H0717	H3618	H0269	H1588	H0935

אִכְלוּ	חַלָּבִי	עִם־	יֵינִי	שָׁתִיתִי	דִבְשִׁי	עִם־	יַעְרִי
食べなさい	私の–乳–と	～と–共に	私の–ぶどう酒–を	飲んだ	私の–蜜–と	～と–共に	私の–巣の蜜–を
H0398	H2461		H3196	H8354	H1706		

ס	דּוֹדִים׃	וְשִׁכְרוּ	שְׁתוּ	רֵעִים
[区切り]	愛する–者たち–よ	そして–酔いなさい	飲みなさい	友よ
	H1730	H7937	H8354	H7453

わが妹、わが花嫁よ、わたしはわが園にはいって、わが没薬と香料とを集め、わが蜜蜂の巣と、蜜とを食べ、わがぶどう酒と乳とを飲む。友らよ、食らえ、飲め、愛する人々よ、大いに飲め。

2

דוֹפֵק	דּוֹדִי	וְקוֹל	עֵר	וְלִבִּי	יְשֵׁנָה	אֲנִי
叩いて–いる	私の–愛する–人–の	声–が	覚めて–いた	けれど–私の–心–は	眠って–いた	私は
H1849	H1730		H5782		H3463	H0589

שְׁרֹאשִׁי	תַּמָּתִי	יוֹנָתִי	רַעְיָתִי	אֲחֹתִי	לִי	פִּתְחִי־
私の–頭–が	私の–完全な–人–よ	私の–鳩–よ	私の–愛する–人–よ	私の–妹–よ	私–に	開けて–ください
	H8535	H3123	H7474	H0269		

לָיְלָה׃	רְסִיסֵי	קְוֻצּוֹתַי	טָל	נִמְלָא־
夜–の	雫–で	私の–巻き毛–は	露–で	満ちて–いる
H3915		H6977	H2919	H4390

わたしは眠っていたが、心はさめていた。聞きなさい、わが愛する者が戸をたたいている。「わが妹、わが愛する者、わがはと、わが全き者よ、あけてください。わたしの頭は露でぬれ、わたしの髪の毛は夜露でぬれている」と言う。

3

אֲטַנְּפֵם׃	אֵיכָכָה	רַגְלַי	אֶת־	רָחַצְתִּי	אֶלְבְּשֶׁנָּה	אֵיכָכָה	כֻּתָּנְתִּי	אֶת־	פָּשַׁטְתִּי
汚すのか	どうして	私の–足–を	(を)	洗った	着るのか	どうして	私の–上着–を	(を)	脱いだ
H2936		H7272	H0853	H7364	H3847		H3801	H0853	H6584

わたしはすでに着物を脱いだ、どうしてまた着られようか。すでに足を洗った、どうしてまた、よごせようか。

4

הָמוּ	וּמֵעַי	הַחֹר	מִן־	יָדוֹ	שָׁלַח	דּוֹדִי
高鳴った	そして–私の–内臓–は	穴–から	～から	彼の–手–を	差し–入れた	私の–愛する–人–は
H1993	H4578	H2356		H3027	H7971	H1730

עָלָיו׃
彼–の–ために

わが愛する者が掛けがねに手をかけたので、わが心は内におどった。

מֹור	נָטְפוּ־	וְיָדַי	לְדוֹדִי	לְפִתְחַ	אֲנִי	קַמְתִּי	5
没薬-が	したたった	そして-私の-手-から	私の-愛する-人-に	開ける-ために	私-は	起き上がった	
H4753	H5197	H3027	H1730		H0589		

הַמַּנְעוּל׃	כַּפּוֹת	עַל	עֹבֵר	מֹור	וְאֶצְבְּעֹתַי
錠-の	取っ手-の	～の-上-に	流れる	没薬-が	そして-私の-指-から
H4514	H3709			H4753	H0676

わたしが起きて、わが愛する者のためにあけようとしたとき、わたしの手から没薬がしたたり、わたしの指から没薬の液が流れて、貫の木の取手の上に落ちた。

נַפְשִׁי	עָבָר	חָמַק	וְדוֹדִי	לְדוֹדִי	אֲנִי	פָּתַחְתִּי	6
私の-魂-は	去った	身-を-ひいた	けれど-私の-愛する-人-は	私の-愛する-人-に	私-は	開けた	
H5315		H2559	H1730	H1730	H0589		

וְלֹא	קְרָאתִיו	מְצָאתִיהוּ	וְלֹא	בִקַּשְׁתִּיהוּ	בְּדַבְּרוֹ	יָצָאָה
しかし-ない	呼んだ-が	見つけられなかった	しかし-ない	求めた-が	彼が-話した-時	出た
H3808	H7121	H4672	H3808	H1245	H1696	H3318

עָנָנִי׃
答えなかった

わたしはわが愛する者のために開いたが、わが愛する者はすでに帰り去った。彼が帰り去ったとき、わが心は力を失った。わたしは尋ねたけれども見つからず、呼んだけれども答がなかった。

רְדִידִי	אֶת־	נָשְׂאוּ	פְּצָעוּנִי	הִכּוּנִי	בָּעִיר	הַסֹּבְבִים	הַשֹּׁמְרִים	מְצָאֻנִי	7
私の-ベール-を	(を)	取り-上げた	傷つけた	打った	町-を	巡回する	番人たち-が	見つけた	
H7289	H0853	H5375	H6481	H5221		H5437	H8104	H4672	

הַחֹמֹות׃	שֹׁמְרֵי	מֵעָלַי
城壁-の	番人たち-が	私-から
H2346	H8104	

町をまわり歩く夜回りらはわたしを見ると、撃って傷つけ、城壁を守る者らは、わたしの上着をはぎ取った。

דּוֹדִי	אֶת־	תִּמְצְאוּ	אִם־	יְרוּשָׁלִָם	בְּנוֹת	אֶתְכֶם	הִשְׁבַּעְתִּי	8
私の-愛する-人-を	(を)	見つけたら	もし	エルサレム-の	娘たち-よ	あなたたち-に	誓わせる	
H1730	H0853	H4672		H3389	H1323	H0853	H7650	

אֲנִי׃	אַהֲבָה	שְׁחוֹלַת	לוֹ	תַּגִּידוּ	מַה־	
私は	愛-に	病んで-いる-と	彼-に	伝えて-ください	何-を	
H0589	H0160			H5046	H4100	

エルサレムの娘たちよ、わたしはあなたがたに誓って、お願いする。もしわが愛する者を見たなら、わたしが愛のために病みわずらっていると、彼に告げてください。

מַה־	בַּנָּשִׁים	הַיָּפָה	מִדּוֹד	דּוֹדֵךְ	מַה־	9
何-が	女たちの中-で	最も-美しい-者-よ	他の-愛する-人-より	あなたの-愛する-人-は	何-が	
H4100	H0802	H3303	H1730	H1730	H4100	

הִשְׁבַּעְתָּנוּ׃	שֶׁכָּכָה	מִדּוֹד	דּוֹדֵךְ
誓わせたのか	それほど-までに	他の-愛する-人-より	あなたの-愛する-人-は
H7650	H3602	H1730	H1730

女のうちの最も美しい者よ、あなたの愛する者は、ほかの人の愛する者に、なんのまさるところがあるか。あなたの愛する者は、ほかの人の愛する者に、なんのまさるところがあって、そのように、わたしたちに誓い、願うのか。

מֵרְבָבָה׃	דָּגוּל	וְאָדֹום	צַח	דּוֹדִי	10
万人-の-中-で	際立つ	そして-赤く	輝き	私の-愛する-人-は	
H7233			H6703	H1730	

わが愛する者は白く輝き、かつ赤く、万人にぬきんで、

11 רֹאשׁוֹ 彼の–頭–は H7218 כֶּתֶם 純金–の–よう H3800 פָּז 純金–の H6337 קְוֻצּוֹתָיו 彼の–巻き毛–は H6977 תַּלְתַּלִּים 波打ち H8534 שְׁחֹרוֹת 黒く H7838 כָּעוֹרֵב׃ 烏–の–ように H6158

その頭は純金のように、その髪の毛はうねっていて、からすのように黒い。

12 עֵינָיו 彼の–目–は H5869 כְּיוֹנִים 鳩–の–よう H3123 עַל־ 〜の–働で H5921 אֲפִיקֵי 小川–の H0650 מָיִם 水–の H4325 רְחֻצוֹת 洗われて H7364 בֶּחָלָב 乳–で H2461 יֹשְׁבוֹת 座って–いる H3427 עַל־ 〜の–上–に H5921

מְלֵאֹת׃ 満ち–所–に H4393

その目は泉のほとりのはとのように、乳で洗われて、良く落ち着いている。

13 לְחָיָו 彼の–頬–は H3895 כַּעֲרוּגַת 花壇–の–よう H6170 הַבֹּשֶׂם 香料–の H1314 מִגְדְּלוֹת 盛り–上がる H4026 מֶרְקָחִים 香料–の H4842 שִׂפְתוֹתָיו 彼の–唇–は H8193 שׁוֹשַׁנִּים ゆり–の–よう H7799 נֹטְפוֹת したたる H5197

עֹבֵר׃ 流れる H5197 מֹר 没薬–が H4753

そのほおは、かんばしい花の床のように、かおりを放ち、そのくちびるは、ゆりの花のようで、没薬の液をしたたらす。

14 יָדָיו 彼の–手–は H3027 גְּלִילֵי 円筒–の–よう H1552 זָהָב 金–の H2091 מְמֻלָּאִים はめ込まれた H4390 בְּתַרְשִׁישׁ 緑柱石–で H8658 מֵעָיו 彼の–体–は H4578 עֶשֶׁת 板–の–よう H6220 שֵׁן 象牙–の H8127

מְעֻלֶּפֶת׃ 覆われた H5968 סַפִּירִים׃ サファイア–で H5601

その手は宝石をはめた金の円筒のごとく、そのからだはサファイヤをもっておおった象牙の細工のごとく、

15 שׁוֹקָיו 彼の–足–は H7785 עַמּוּדֵי 柱–の–よう H5982 שֵׁשׁ 大理石–の H8336 מְיֻסָּדִים 置かれた H3245 עַל־ 〜の–上–に H5921 אַדְנֵי־ 台座–の H0134 פָּז 純金–の H6337 מַרְאֵהוּ 彼の–姿–は H4758

כַּלְּבָנוֹן レバノン–の–よう H3844 בָּחוּר 選ばれた H0977 כָּאֲרָזִים׃ 杉–の–ように H0730

その足のすねは金の台の上にすえた大理石の柱のごとく、その姿はレバノンのごとく、香柏のようで、美しい。

16 חִכּוֹ 彼の–口–は H2441 מַמְתַקִּים 甘く H4477 וְכֻלּוֹ そして–彼の–すべて–は H3605 מַחֲמַדִּים 慕わしい H4261 זֶה これ–が H2088 דּוֹדִי 私の–愛する–人 H1730 וְזֶה そして–これ–が H2088

רֵעִי 私の–友 H7453 בְּנוֹת 娘たち–よ H1323 יְרוּשָׁלִָם׃ エルサレム–の H3389

その言葉は、はなはだ美しく、彼はことごとく麗しい。エルサレムの娘たちよ、これがわが愛する者、これがわが友なのです。

Chapter 6

1

אָנָה	בַּנָּשִׁים	הַיָּפָה	דּוֹדֵךְ	הָלַךְ	אָנָה
どこ–に	女たちの中–で	最も–美しい–者–よ	あなたの–愛する–人–は	行ったのか	どこ–へ
H0575	H0802	H3303	H1730	H1980	H0575

עִמָּךְ׃	וּנְבַקְשֶׁנּוּ	דּוֹדֵךְ	פָּנָה
あなた–と	そして–共に–求めましょう	あなたの–愛する–人–は	向かったのか
	H1245	H1730	H6437

女のうちの最も美しい者よ、あなたの愛する者はどこへ行ったか。あなたの愛する者はどこへおもむいたか。わたしたちはあなたと一緒にたずねよう。

2

בַּגַּנִּים	לִרְעוֹת	הַבֹּשֶׂם	לַעֲרוּגוֹת	לְגַנּוֹ	יָרַד	דּוֹדִי
園々–で	飼う–ために	香料–の	花壇–へ	彼の–園–に	下った	私の–愛する–人–は
		H1314	H6170	H1588	H3381	H1730

שׁוֹשַׁנִּים׃	וְלִלְקֹט
ゆり–を	そして–摘む–ために
H7799	H3950

わが愛する者は園の中で、群れを飼い、またゆりの花を取るために自分の園に下り、かんばしい花の床へ行きました。

3

בַּשּׁוֹשַׁנִּים׃	הָרֹעֶה	לִּי	וְדוֹדִי	לְדוֹדִי	אֲנִי
ゆり–の–中–で	飼う–者	私–の–もの	そして–私の–愛する–人–は	私の–愛する–人–の–もの	私は
H7799			H1730	H1730	H0589

ס
[区切り]

わたしはわが愛する人のもの、わが愛する者はわたしのものです。彼はゆりの花の中で、その群れを飼っています。

4

כִּירוּשָׁלִָם	נָאוָה	כְּתִרְצָה	רַעְיָתִי	אַתְּ	יָפָה
エルサレム–の–ように	愛らしい	ティルツァ–の–ように	私の–愛する–人–よ	あなた–は	美しい
H3389	H5000	H8656	H7474		H3303

כַּנִּדְגָּלוֹת׃	אֲיֻמָּה
旗–の–ように	畑怨すべき
	H0366

わが愛する者よ、あなたは美しいことテルザのごとく、麗しいことエルサレムのごとく、恐るべきこと旗を立てた軍勢のようだ。

5

שַׂעְרֵךְ	הִרְהִיבֻנִי	שֶׁהֵם	מִנֶּגְדִּי	עֵינַיִךְ	הָסֵבִי
あなたの–髪–は	私を–圧倒する	それら–が	私–から	あなたの–目–を	そらして–ください
H8181	H7292	H1992	H5048		H5437

הַגִּלְעָד׃	מִן־	שֶׁגִּלְּשׁוּ	הָעִזִּים	כְּעֵדֶר
ギレアデ–から	～から	下りて–くる	山羊–の	群れ–の–よう
H1568		H1570	H5795	H5739

あなたの目はわたしを恐れさせるゆえ、わたしからそむけてください。あなたの髪はギレアデの山を下るやぎの群れのようだ。

6

שִׁנַּיִךְ	כְּעֵדֶר	הָרְחֵלִּים	שֶׁעָלוּ	מִן־	הָרַחְצָה	שֶׁכֻּלָּם
あなたの-歯-は	群れ-の-よう	雌羊-の	上がって-きた	～から	水浴び-から	それら-は-すべて
H8127	H5739	H7353	H5927		H7367	H3605

מַתְאִימוֹת	וְשַׁכְּלָה	אֵין	בָּהֶם׃	
双子-を-産み	そして-子を-失った-ものは	ない	それらの-中-に	
H8382	H7909	H0369		

あなたの歯は洗い場から上ってきた雌羊の群れのようだ。みな二子を産んで、一匹も子のないものはない。

7

כְּפֶלַח	הָרִמּוֹן	רַקָּתֵךְ	מִבָּעַד	לְצַמָּתֵךְ׃
片-の-ように	ざくろ-の	あなたの-こめかみ-は	向こう-に	あなたの-ベール-の
H6400	H7416	H7541	H1157	H6777

あなたのほおは顔おおいのうしろにあって、ざくろの片われのようだ。

8

שִׁשִּׁים	הֵמָּה	מְלָכוֹת	וּשְׁמֹנִים	פִּילַגְשִׁים	וַעֲלָמוֹת	אֵין
六十-人の	彼女ら-は	王妃たち-で	そして-八十-人の	そばめたち-で	そして-おとめたち-は	ない
H8346	H1992	H4436	H8084	H6370	H5959	H0369

מִסְפָּר׃
数えきれない
H4557

王妃は六十人、そばめは八十人、また数しれぬおとめがいる。

9

לְאִמָּהּ	הִיא	אַחַת	תַּמָּתִי	יוֹנָתִי	הִיא	אַחַת	
彼女の-母-に-とって	彼女-は	ただ-一人	私の-完全な-人-よ	私の-鳩-よ	彼女-は	ただ-一人	
H0517	H1931	H0259	H8535	H3123	H1931	H0259	

מְלָכוֹת	וַיְאַשְּׁרוּהָ	בָּנוֹת	רָאוּהָ	לְיוֹלַדְתָּהּ	הִיא	בָּרָה	
王妃たち-も	そして-幸い-と-呼んだ	娘たち-が	見た	彼女を-産んだ-人-に-とって	彼女-は	清い	
H4436	H0833	H1323	H7200	H3205	H1931	H1249	

ס	וַיְהַלְלוּהָ׃	וּפִילַגְשִׁים	
[区切り]	そして-讃えた	そして-そばめたち-も	
		H6370	

わがはと、わが全き者はただひとり、彼女は母のひとり子、彼女を産んだ者の最愛の者だ。おとめたちは彼女を見て、さいわいな者ととなえ、王妃たち、そばめたちもまた、彼女を見て、ほめた。

10

כְּחַמָּה	בָּרָה	כַּלְבָנָה	יָפָה	שָׁחַר	כְּמוֹ־	הַנִּשְׁקָפָה	זֹאת	מִי־
太陽-の-ように	輝く	月-の-ように	美しい	曙-の	～の-ように	見おろす	これ-は	誰-が
H2535	H1249	H3842	H3303	H7837	H3644	H8259	H2063	H4310

ס	כַּנִּדְגָּלוֹת׃	אֲיֻמָּה
[区切り]	旗-の-ように	畑怨すべき
		H0366

「このしののめのように見え、月のように美しく、太陽のように輝き、恐るべき事、旗を立てた軍勢のような者はだれか」。

11

הַפָּרְחָה	לִרְאוֹת	הַנָּחַל	בִּאְבִי	לִרְאוֹת	יָרַדְתִּי	אֱגוֹז	גִּנַּת	אֶל־
花-が-咲いたか	見る-ために	谷川-の	芽生え-を	見る-ために	下った	くるみ-の	園-に	～へ
	H7200		H0003	H7200	H3381	H0093	H1594	H0413

הָרִמֹּנִים׃	הֵנֵצוּ	הַגֶּפֶן	
ざくろ-が	芽吹いたか	ぶどうの木-が	
H7416		H1612	

わたしは谷の花を見、ぶどうが芽ざしたか、ざくろの花が咲いたかを見ようと、くるみの園へ下っていった。

נָדִיב׃	עַמִּי־	מַרְכְּבוֹת	שָׂמַתְנִי	נַפְשִׁי	יָדַעְתִּי	לֹא	12
高貴な–者–の	私の–民–の	戦車–の–上に	置いた	私の–魂–は	知らなかった	ない	
H5081		H4818		H5315	H3045	H3808	

わたしの知らないうちに、わたしの思いは、わたしを車の中のわが君のかたわらにおらせた。

מַה־	בָּךְ	וְנֶחֱזֶה־	שׁוּבִי	שׁוּבִי	הַשּׁוּלַמִּית	שׁוּבִי	שׁוּבִי	13
なぜ	あなた–を	そして–見たい	戻りなさい	戻りなさい	シュラムの–女–よ	戻りなさい	戻りなさい	
H4100		H2372	H7725	H7725	H7759	H7725	H7725	

הַמְּחֹלָת׃	כִּמְחֹלַת	בַּשּׁוּלַמִּית	תֶּחֱזֶוּ
二つの–陣営–の	踊り–の–ように	シュラムの–女–を	見るのか
H4264	H4246	H7759	H2372

帰れ、帰れ、シュラムの女よ、帰れ、帰れ、わたしたちはあなたを見たいものだ。あなたがたはどうしてマハナイムの踊りを見るようにシュラムの女を見たいのか。

Chapter 7

יְרֵכַיִךְ	חֲמוּקֵי	נָדִיב	בַּת־	בַּנְּעָלִים	פְּעָמַיִךְ	יָפוּ	מַה־	1
あなたの–腰–の	曲線–は	高貴な–者–の	娘–よ	サンダル–の中–で	あなたの–足–は	美しい	何と	
H3409	H2542	H5081	H1323	H5275	H6471	H3303	H4100	

אָמָּן׃	יְדֵי	מַעֲשֵׂה	חֲלָאִים	כְּמוֹ
名工–の	手–の	作品–である	宝石–の	～の–ように
H0542	H3027	H4639	H2481	H3644

女王のような娘よ、あなたの足は、くつの中にあって、なんと麗しいことであろう。あなたのももは、まろやかで、玉のごとく、名人の手のわざのようだ。

בִּטְנֵךְ	הַמָּזֶג	יֶחְסַר	אַל־	הַסַּהַר	אַגַּן	שָׁרְרֵךְ		2
あなたの–腹–は	混ぜた–酒–が	欠く–こと–ない	～ないで	丸い	杯–である	あなたの–へそ–は		
H0990	H4197	H2637	H0408	H5469	H0101	H8326		

בַּשּׁוֹשַׁנִּים׃	סוּגָה	חִטִּים	עֲרֵמַת
ゆり–で	囲まれた	小麦–の	山–の–よう
H7799	H5473	H2406	H6194

あなたのほぞは、混ぜたぶどう酒を欠くことのない丸い杯のごとく、あなたの腹は、ゆりの花で囲まれた山盛りの麦のようだ。

צְבִיָּה׃	תָּאֳמֵי	עֳפָרִים	כִּשְׁנֵי	שָׁדַיִךְ	שְׁנֵי	3
ガゼル–の	双子–の	小鹿–の	二匹–の–よう	あなたの–胸–は	二つ–の	
H6646	H8380	H6082	H8147		H8147	

あなたの両乳ぶさは、かもしかの二子である二匹の子じかのようだ。

שַׁעַר	עַל־	בְּחֶשְׁבּוֹן	בְּרֵכוֹת	עֵינַיִךְ	הַשֶּׁן	כְּמִגְדַּל	צַוָּארֵךְ	4
門–の	～の–傍で	ヘシュボン–の	池–の–よう	あなたの–目–は	象牙–の	塔–の–よう	あなたの–首–は	
H8179		H2809	H1295		H8127	H4026		

דַּמָּשֶׂק׃	פְּנֵי	צוֹפֶה	הַלְּבָנוֹן	כְּמִגְדַּל	אַפֵּךְ	בַּת־רַבִּים
ダマスコ–の	方向–を	見おろす	レバノン–の	塔–の–よう	あなたの–鼻–は	バト–ラビム–の
H1834	H6440	H6822	H3844	H4026	H0639	H1337

あなたの首は象牙のやぐらのごとく、あなたの目は、バテラビムの門のほとりにあるヘシボンの池のごとく、あなたの鼻は、ダマスコを見おろすレバノンのやぐらのようだ。

כְּאַרְגָּמָן	רֹאשֵׁךְ	וְדַלַּת	כַּכַּרְמֶל	עָלַיִךְ	רֹאשֵׁךְ	5
紫-の-よう	あなたの-頭-の	そして-髪-は	カルメル-の-よう	あなたの-上-に	あなたの-頭-は	
H0713			H3760			

בָּרְהָטִים׃	אָסוּר	מֶלֶךְ
その-巻き毛-に	捕らわれた	王-は
	H0631	H4428

あなたの頭は、カルメルのようにあなたを飾り、髪の毛は紫色のようで、王はそのたれ髪に捕われた。

בַּתַּעֲנוּגִים׃	אַהֲבָה	נָעַמְתְּ	וּמַה־	יָפִית	מַה־	6
喜び-の-中-の	愛-よ	快い	そして-何と	美しく	何と	
H8588	H0160	H5276	H4100	H3302	H4100	

愛する者よ、快活なおとめよ、あなたはなんと美しく愛すべき者であろう。

לְאַשְׁכְּלוֹת׃	וְשָׁדַיִךְ	לְתָמָר	דָּמְתָה	קוֹמָתֵךְ	זֹאת	7
房-に	そして-あなたの-胸-は	なつめの木-に	似て-いる	あなたの-背丈-は	この	
H0811		H8558	H1819	H6967	H2063	

あなたはなつめやしの木のように威厳があり、あなたの乳ぶさはそのふさのようだ。

נָּא	וְיֶהִי־	בְסַנְסִנָּיו	אֹחֲזָה	בְתָמָר	אֶעֱלֶה	אָמַרְתִּי	8
さあ	そして-なる-ように	その-枝-を	つかまえよう	なつめの木-に	登ろう	言った	
H4994	H1961	H5577	H0270	H8558	H5927	H0559	

כַּתַּפּוּחִים׃	אַפֵּךְ	וְרֵיחַ	הַגֶּפֶן	כְּאֶשְׁכְּלוֹת	שָׁדַיִךְ
りんご-の-ように	あなたの-鼻-の	そして-香り-が	ぶどうの木-の	房-の-ように	あなたの-胸-が
H8598	H0639	H7381	H1612	H0811	

わたしは言う、「このなつめやしの木にのぼり、その枝に取りつこう。どうか、あなたの乳ぶさが、ぶどうのふさのごとく、あなたの息のにおいがりんごのごとく、

דּוֹבֵב	לְמֵישָׁרִים	לְדוֹדִי	הוֹלֵךְ	הַטּוֹב	כְּיֵין	וְחִכֵּךְ	9
動かす	滑らかに	私の-愛する-人-に	流れる	良い	ぶどう酒-の-よう	そして-あなたの-口-は	
H1680	H4339	H1730	H1980		H3196	H2441	

יְשֵׁנִים׃	שִׂפְתֵי
眠る-者-の	唇-を
H3462	H8193

あなたの口づけが、なめらかに流れ下る良きぶどう酒のごとく、くちびると歯の上をすべるように」と。

ס	תְּשׁוּקָתוֹ׃	וְעָלַי	לְדוֹדִי	אֲנִי	10
[区切り]	彼の-慕い-は	そして-私-に	私の-愛する-人-の-もの	私は	
	H8669		H1730	H0589	

わたしはわが愛する人のもの、彼はわたしを恋い慕う。

בַּכְּפָרִים׃	נָלִינָה	הַשָּׂדֶה	נֵצֵא	דּוֹדִי	לְכָה	11
村々-に	泊まりましょう	野-へ	出かけましょう	私の-愛する-人-よ	行きましょう	
H3723			H3318	H1730	H3212	

わが愛する者よ、さあ、わたしたちはいなかへ出ていって、村里に宿りましょう。

12

פִּתַּח	הַגֶּפֶן	פָּרְחָה	אִם	נִרְאֶה	לַכְּרָמִים	נַשְׁכִּימָה
開いたか	ぶどうの木–が	花–が–咲いたか	～かどうか	見ましょう	ぶどう畑–へ	早起きしましょう
	H1612			H7200	H3754	H7925

לָךְ׃	דֹּדַי	אֶת־	אֶתֵּן	שָׁם	הָרִמּוֹנִים	הֵנֵצוּ	הַסְּמָדַר
あなた–に	私の–愛–を	(を)	与えましょう	そこ–で	ざくろ–が	芽吹いたか	花–が
	H1730	H0853	H5414	H8033	H7416		H5563

わたしたちは早く起き、ぶどう園へ行って、ぶどうの木が芽ざしたか、ぶどうの花が咲いたか、ざくろが花咲いたかを見ましょう。その所で、わたしはわが愛をあなたに与えます。

13

מְנֻדָּדִים	כֹּל־	פְּתָחֵינוּ	וְעַל־	רֵיחַ	נָתְנוּ־	הַדּוּדָאִים
選ばれた–実–が	あらゆる	私たちの–戸口–に	そして–～の–上に	香り–を	放った	恋なす–花–は
H4022	H3605	H6607		H7381	H5414	H1736

לָךְ׃	צָפַנְתִּי	דּוֹדִי	יְשָׁנִים	גַּם־	חֲדָשִׁים
あなた–の–ために	蓄えた	私の–愛する–人–よ	古い–もの–も	また	新しい–もの–も
	H6845	H1730	H3465	H1571	H2319

恋なすは、かおりを放ち、もろもろの良きくだものは、新しいのも古いのも共にわたしたちの戸の上にある。わが愛する者よ、わたしはこれをあなたのためにたくわえました。

Chapter 8

1

אִמִּי	שָׁדַי	יוֹנֵק	לִי	כְּאָח	יִתֶּנְךָ	מִי
私の–母–の	胸–の	乳–を–飲む	私–に	兄弟–の–ように	あなた–を–与えて–くれるのか	誰–が
H0517		H3243		H0251	H5414	H4310

לִי׃	יָבוּזוּ	לֹא־	גַם	אֶשָּׁקְךָ	בַחוּץ	אֶמְצָאֲךָ
私–を	蔑む–ことはない	ない	それでも	口づける–のに	外–で	見つけたら
	H0936	H3808	H1571		H2351	H4672

どうか、あなたは、わが母の乳ぶさを吸ったわが兄弟のようになってください。わたしがそとであなたに会うとき、あなたに口づけしても、だれもわたしをいやしめないでしょう。

2

מְיַיִן	אַשְׁקְךָ	תְּלַמְּדֵנִי	אִמִּי	בֵּית	אֶל־	אֲבִיאֲךָ	אֲנַהֲגֶךָּ
ぶどう酒–から	飲ませよう	教えて–ください	私の–母–の	家–に	～へ	連れて–行こう	導いて
H3196	H8248	H3925	H0517		H0413	H0935	

רִמֹּנִי׃	מֵעֲסִיס	הָרֶקַח
私の–ざくろ–の	果汁–から	香料入り–の
H7416	H6071	H7544

わたしはあなたを導いて、わが母の家に行き、わたしを産んだ者のへやにはいり、香料のはいったぶどう酒、ざくろの液を、あなたに飲ませましょう。

3

תְּחַבְּקֵנִי׃	וִימִינוֹ	רֹאשִׁי	תַּחַת	שְׂמֹאלוֹ
抱いて–くれる	そして–彼の–右–の–手–は	私の–頭–の	～の–下–に	彼の–左–の–手–は
H2263	H3225		H8478	H8040

どうか、彼の左の手がわたしの頭の下にあり、右の手がわたしを抱いてくれるように。

4

וּמַה־	תָּעִירוּ	מַה־	יְרוּשָׁלִָם	בְּנוֹת	אֶתְכֶם	הִשְׁבַּעְתִּי
そして–なぜ	目覚めすのか	なぜ	エルサレム–の	娘たち–よ	あなたたち–に	誓わせる
H4100	H5782	H4100	H3389	H1323	H0853	H7650

ס	שֶׁתֵּחְפָּץ׃	עַד	הָאַהֲבָה	אֶת־	תְּעֹרְרוּ
[区切り]	它が–望む–時–まで	～まで	愛–を	(を)	呂り立たせるのか
		H5704	H0160	H0853	H5782

エルサレムの娘たちよ、わたしはあなたがたに誓い、お願いする、愛のおのずから起るときまでは、ことさらに呼び起すことも、さますこともしないように。

									5
הָרֹדָה	עַל־	מִתְרַפֶּקֶת	הַמִּדְבָּר	מִן־	עֹלָה׀	זֹאת	מִי		
彼女の–愛する–人–に	～の–上–に	寄り–かかって	荒野–から	～から	上って–くる	これ–は	誰–が		
H1730		H7514			H5927	H2063	H4310		

שָׁמָּה	אִמֶּךָ	חִבְּלָתֶךָ	שָׁמָּה	עוֹרַרְתִּיךָ	הַתַּפּוּחַ	תָּחַת		
そこ–で	あなたの–母–が	産みの–苦しみ–を–した	そこ–で	目覚めた	りんごの木–の	～の–下–で		
H8033	H0517		H8033	H5782	H8598	H8478		

יְלָדַתְךָ׃	חִבְּלָה
あなたを–産んだ–人–が	産みの–苦しみ–を–した
H3205	

自分の愛する者によりかかって、荒野から上って来る者はだれですか。りんごの木の下で、わたしはあなたを呼びさました。あなたの母上は、かしこで、あなたのために産みの苦しみをなし、あなたの産んだ者が、かしこで産みの苦しみをした。

							6
עַל־	כַּחוֹתָם	לִבֶּךָ	עַל־	כַּחוֹתָם	שִׂימֵנִי		
～の–上–に	印–の–ように	あなたの–心–の	～の–上–に	印–の–ように	置いて–ください		
	H2368			H2368			

קְנָאָה	כִשְׁאוֹל	קָשָׁה	אַהֲבָה	כַּמָּוֶת	עַזָּה	כִּי־	זְרוֹעֶךָ	
嫉妬–は	陰府–の–ように	激しい	愛–は	死–の–ように	強い	なぜなら	あなたの–腕–の	
H7068	H7585	H7186	H0160	H4194	H5794		H2220	

שַׁלְהֶבֶתְיָה׃	אֵשׁ	רִשְׁפֵּי	רִשְׁפֶּיהָ
主の–炎–の–よう	火–の	火花–の–よう	その–火花–は
H7957	H0784	H7565	H7565

わたしをあなたの心に置いて印のようにし、あなたの腕に置いて印のようにしてください。愛は死のように強く、ねたみは墓のように残酷だからです。そのきらめきは火のきらめき、最もはげしい炎です。

									7
לֹא	וּנְהָרוֹת	הָאַהֲבָה	אֶת־	לְכַבּוֹת	יוּכְלוּ	לֹא	רַבִּים	מַיִם	
ない	そして–川–も	愛–を	(を)	消す–ことは	できない	ない	大水–も	水–も	
H3808	H5104	H0160	H0853	H3518	H3201	H3808		H4325	

בּוֹז	בְּאַהֲבָה	בֵּיתוֹ	הוֹן	כָּל־	אֶת־	אִישׁ	יִתֵּן	אִם־	יִשְׁטְפוּהָ	
蔑み–を	愛–の–ために	彼の–家–の	富–を	すべて–の	(を)	人–が	与えても	もし	押し–流せない	
H0936	H0160		H1952	H3605	H0853	H0376	H5414		H7857	

ס	לוֹ׃	יָבוּזוּ
[区切り]	彼–は	蔑まれるだろう
		H0936

愛は大水も消すことができない、洪水もおぼれさせることができない。もし人がその家の財産をことごとく与えて、愛に換えようとするならば、いたくいやしめられるでしょう。

									8
לַאֲחֹתֵנוּ	נַעֲשֶׂה׀	מָה־	לָהּ	אֵין	וְשָׁדַיִם	קְטַנָּה	לָנוּ׀	אָחוֹת	
私たちの–妹–の–ために	しようか	何–を	彼女–に	ない	そして–胸–が	小さな	私たち–に	妹–が	
H0269		H4100		H0369				H0269	

בָּהּ׃	שֶׁיְּדֻבַּר־	בַּיּוֹם
彼女–に–ついて	話される–時に	日–に
	H1696	H3117

わたしたちに小さい妹がある、まだ乳ぶさがない。わたしたちの妹に縁談のある日には、彼女のために何をしてやろうか。

9

הִיא	דֶלֶת	וְאִם־	כֶּסֶף	טִירַת	עָלֶיהָ	נִבְנֶה	הִיא	חוֹמָה	אִם־
彼女-が	扉-で	そして-もし	銀-の	胸壁-を	その-上-に	建てよう	彼女-が	城壁-で	もし
H1931			H3701	H2918		H1129	H1931	H2346	

אֶרֶז׃	לוּחַ	עָלֶיהָ	נָצוּר
杉-の	板-で	その-上-を	囲もう
H0730	H3871		

彼女が城壁であるなら、その上に銀の塔を建てよう。彼女が戸であるなら、香柏の板でそれを囲もう。

10

בְּעֵינָיו	הָיִיתִי	אָז	כְּמִגְדָּלוֹת	וְשָׁדַי	חוֹמָה	אֲנִי
彼の-目-に	なった	その-時	塔-の-よう	そして-私の-胸-は	城壁-である	私は
	H1961		H4026		H2346	H0589

פ	שָׁלוֹם׃	כְּמוֹצְאֵת
[段落]	平和-を	見つける-者-の-ように
	H7965	H4672

わたしは城壁、わたしの乳ぶさは、やぐらのようでありました。それでわたしは彼の目には、平和をもたらす者のようでありました。

11

לַנֹּטְרִים	הַכֶּרֶם	אֶת־	נָתַן	הָמוֹן־בַּעַל	לִשְׁלֹמֹה	הָיָה	כֶּרֶם	
番人たち-に	ぶどう畑-を	(を)	与えた	バアル-ハモン-に	ソロモン-に	あった	ぶどう畑-が	
H5201	H3754	H0853	H5414	H1174	H8010	H1961	H3754	

כָּסֶף׃	אֶלֶף	בִּפְרִיוֹ	יָבֵא	אִישׁ
銀-を	千-の	その-実-の-ために	持って-くる	各人-が
H3701	H0505	H6529	H0935	H0376

ソロモンはバアルハモンにぶどう園をもっていた。彼はぶどう園を、守る者どもにあずけて、おのおのその実のために銀一千を納めさせた。

12

וּמָאתַיִם	שְׁלֹמֹה	לְךָ	הָאֶלֶף	לְפָנַי	שֶׁלִּי	כַּרְמִי	
そして-二百-は	ソロモン-よ	あなた-の-もの	千-は	私の-前-に	私自身-の	私の-ぶどう畑-は	
H3967	H8010		H0505	H6440		H3754	

פִּרְיוֹ׃	אֶת־	לְנֹטְרִים
その-実-の	(を)	番人たち-の-もの
H6529	H0853	H5201

わたしのものであるぶどう園は、わたしの前にある。ソロモンよ、あなたは一千を獲るでしょう、その実を守る者どもは二百を獲るでしょう。

13

הַשְׁמִיעִנִי׃	לְקוֹלֵךְ	מַקְשִׁיבִים	חַבֵּרִים	בַּגַּנִּים	הַיּוֹשֶׁבֶת
聞かせて-ください	あなたの-声-に	耳-を-傾けて-いる	仲間たち-が	園々-に	座って-いる-人-よ
H8085		H7181	H2270	H1588	H3427

園の中に住む者よ、わたしの友だちはあなたの声に耳を傾けます、どうぞ、それをわたしに聞かせてください。

14

לְעֹפֶר	אוֹ	לִצְבִי	לְךָ	וּדְמֵה־	דּוֹדִי	וּבְרַח	
小鹿-に	または	ガゼル-に	さあ	そして-似て-ください	私の-愛する-人-よ	急いで-ください	
H6082				H1819	H1730	H1272	

בְּשָׂמִים׃	הָרֵי	עַל	הָאַיָּלִים	
香料-の	山々-の	～の-上-で	鹿-の	
H1314	H2022		H0354	

わが愛する者よ、急いでください。かんばしい山々の上で、かもしかのように、また若い雄じかのようになってください。

Isaiah

Chapter 1

1 חֲזוֹן (H2377) יְשַׁעְיָהוּ (H3470) בֶּן־ (H1121) אָמוֹץ (H0531) אֲשֶׁר (H0834) חָזָה (H2372) עַל־ (H5921) יְהוּדָה (H3063) וִירוּשָׁלָ͏ִם (H3389)
יְהוּדָה׃ (H3063) מַלְכֵי (H4428) יְחִזְקִיָּהוּ (H2396) אָחָז (H0271) יוֹתָם (H3147) עֻזִּיָּהוּ (H5818) בִּימֵי (H3117)

アモツの子イザヤがユダの王ウジヤ、ヨタム、アハズ、ヒゼキヤの世にユダとエルサレムについて見た幻。

2 שִׁמְעוּ (H8085) שָׁמַיִם (H8064) וְהַאֲזִינִי (H0238) אֶרֶץ (H0776) כִּי (H3588) יְהוָה (H3068) דִּבֶּר (H1696) בָּנִים (H1121) גִּדַּלְתִּי (H1431) וְרוֹמַמְתִּי (H7311) וְהֵם (H1992)
בִי׃ (H0) פָּשְׁעוּ (H6586)

天よ、聞け、地よ、耳を傾けよ、主が次のように語られたから、「わたしは子を養い育てた、しかし彼らはわたしにそむいた。

3 יָדַע (H3045) שׁוֹר (H7794) קֹנֵהוּ (H7069) וַחֲמוֹר (H2543) אֵבוּס (H0075) בְּעָלָיו (H1167) יִשְׂרָאֵל (H3478) לֹא (H3808) יָדַע (H3045)
הִתְבּוֹנָן׃ (H0995) לֹא (H3808) עַמִּי (H5971)

牛はその飼主を知り、ろばはその主人のまぐさおけを知る。しかしイスラエルは知らず、わが民は悟らない」。

4 הוֹי (H1945) גּוֹי (H1471) חֹטֵא (H2398) עַם (H5971) כֶּבֶד (H3515) עָוֹן (H5771) זֶרַע (H2233) מְרֵעִים (H7489) בָּנִים (H1121) מַשְׁחִיתִים (H7843)
אָחוֹר׃ (H0268) נָזֹרוּ (H2114) יִשְׂרָאֵל (H3478) קְדוֹשׁ (H6918) אֶת־ (H853) נִאֲצוּ (H5006) יְהוָה (H3068) אֶת־ (H853) עָזְבוּ (H5800)

ああ、罪深い国びと、不義を負う民、悪をなす者のすえ、堕落せる子らよ。彼らは主を捨て、イスラエルの聖者をあなどり、これをうとんじ遠ざかった。

5

לָחֳלִי	רֹאשׁ	כָּל־	סָרָה	תּוֹסִיפוּ	עוֹד	תֻּכּוּ	מֶּה	עַל
病み	頭は	すべての–	反逆を	背き–続けるのか	なおも	打たれるのか	さらに	なぜ
H2483		H3605	H5627	H3254	H5750	H5221	H4100	

דָּוָי׃	לֵבָב	וְכָל־
弱り–果てている	心は	すべての–
H1742	H3824	H3605

あなたがたは、どうして重ね重ねそむいて、なおも打たれようとするのか。その頭はことごとく病み、その心は全く弱りはてている。

6

וּמַכָּה	וְחַבּוּרָה	פֶּצַע	מְתֹם	בּוֹ	אֵין־	רֹאשׁ	וְעַד־	רֶגֶל	מִכַּף־
生傷	打ち傷と	傷と	健やかな–ところは	そこには	ない–	頭の	頭–まで	足の	足の–裏から
H4347	H2250	H6482	H4974		H0369		H5704	H7272	H3709

בַּשָּׁמֶן׃	רֻכְּכָה	וְלֹא	חֻבָּשׁוּ	וְלָא	זֹרוּ	לֹא־	טְרִיָּה
しない	和らげられも	油で–	されず	包帯も–	(ない)	絞り–出されず	ばかりだ
H8081	H7401	H3808	H2280	H3808	H2115	H3808	H2961

足のうらから頭まで、完全なところがなく、傷と打ち傷と生傷ばかりだ。これを絞り出すものなく、包むものなく、油をもってやわらげるものもない。

7

לְנֶגְדְּכֶם	אַדְמַתְכֶם	אֵשׁ	שְׂרֻפוֹת	עָרֵיכֶם	שְׁמָמָה	אַרְצְכֶם	
目の–前で	あなたがたの–畑は	火で	焼かれ	あなたがたの–町々は	荒れ果て	あなたがたの–地は	
H5048	H0127	H0784	H8313			H0776	

זָרִים׃	כְּמַהְפֵּכַת	וּשְׁמָמָה	אֹתָהּ	אֹכְלִים	זָרִים
他国人に	覆されたように	荒廃し	それを	食い–荒らしている	他国人が
	H4114		H0853	H0398	

あなたがたの国は荒れすたれ、町々は火で焼かれ、田畑のものはあなたがたの前で外国人に食われ、滅ぼされたソドムのように荒れすたれた。

8

בְּמִקְשָׁה	כִּמְלוּנָה	בְּכָרֶם	כְּסֻכָּה	צִיּוֹן	בַּת־	וְנוֹתְרָה	
きゅうり畑の	番小屋の–ように	ぶどう畑の	仮小屋の–ように	シオンは	娘–	残された	
H4750	H4412	H3754	H5521	H6726	H1323	H3498	

נָצוּרָה׃	כְּעִיר	
包囲された	町の–ように	
H5341		

シオンの娘はぶどう畑の仮小屋のように、きゅうり畑の番小屋のように、包囲された町のように、ただひとり残った。

9

כִּסְדֹם	כִּמְעַט	שָׂרִיד	לָנוּ	הוֹתִיר	צְבָאוֹת	יְהוָה	לוּלֵי	
ソドムの–ように	わずかな	生き残りを	私たちに	残して–くださらなければ	万軍の	主が	もし	
H5467	H4592	H8300		H3498		H3068	H3884	

ס	דָּמִינוּ׃	לַעֲמֹרָה	הָיִינוּ	
—	同じに–なっていた	ゴモラと	なっていた	
	H1819	H6017	H1961	

もし万軍の主が、われわれに少しの生存者を残されなかったなら、われわれはソドムのようになり、またゴモラと同じようになったであろう。

10

עַם	אֱלֹהֵינוּ	תּוֹרַת	הַאֲזִינוּ	סְדֹם	קְצִינֵי	יְהוָה	דְּבַר־	שִׁמְעוּ	
民よ	私たちの–神の	律法に	耳を–傾けよ	ソドムの	指導者たちよ	主の	言葉を–	聞け	
	H0430	H8451	H0238	H5467	H7101	H3068	H1697	H8085	

עֲמֹרָה׃	
ゴモラの	
H6017	

あなたがたソドムのつかさたちよ、主の言葉を聞け。あなたがたゴモラの民よ、われわれの神の教に耳を傾けよ。

11 לָמָּה־ לִי רֹב־ זִבְחֵיכֶם יֹאמַר יְהוָה שָׂבַעְתִּי עֹלוֹת
なぜ– わたしに 多くの– いけにえが–あるのか 言われる 主は 飽きた 全焼の–ささげ物と
H4100 H7230 H2077 H0559 H3068 H7646

אֵילִים וְחֵלֶב מְרִיאִים וְדַם פָּרִים וּכְבָשִׂים וְעַתּוּדִים לֹא חָפָצְתִּי׃
雄羊と 脂肪に 肥えた–獣の 血を 雄牛と 子羊と 雄やぎの 喜ば– ない
H1818 H2459 H4806 H6499 H3532 H6260 H3808

主は言われる、「あなたがたがささげる多くの犠牲は、わたしになんの益があるか。わたしは雄羊の燔祭と、肥えた獣の脂肪とに飽いている。わたしは雄牛あるいは小羊、あるいは雄やぎの血を喜ばない。

12 כִּי תָּבֹאוּ לֵרָאוֹת פָּנַי מִי־ בִקֵּשׁ זֹאת מִיֶּדְכֶם
まことに 来るとき わたしの–顔を–見に (来る) 誰が– 求めたか これを あなたがたの–手から
H0935 H7200 H6440 H4310 H1245 H2063 H3027

רְמֹס חֲצֵרָי׃
踏み–荒らすことを わたしの–庭を
H7429

あなたがたは、わたしにまみえようとして来るが、だれが、わたしの庭を踏み荒すことを求めたか。

13 לֹא תוֹסִיפוּ הָבִיא מִנְחַת־ שָׁוְא קְטֹרֶת תּוֹעֵבָה הִיא
もう– 続けて 持って–来るな ささげ物を– 空しい 香は 忌まわしい–ものだ それは
H3808 H3254 H0935 H4503 H7723 H7004 H8441 H1931

אָוֶן וְעֲצָרָה׃ לֹא־ אוּכַל מִקְרָא קְרֹא וְשַׁבָּת חֹדֶשׁ לִי
不義と 祭りには ない 耐えられ– 聖なる–集いを 集会を–開くこと 安息日と 新月の–祭りと わたしにとって
H0205 H6116 H3201 H3808 H4744 H7121 H7676 H2320

14 חָדְשֵׁיכֶם וּמוֹעֲדֵיכֶם שָׂנְאָה נַפְשִׁי הָיוּ עָלַי לָטֹרַח
あなたがたの–新月の–祭りと 定めの–祭りを 憎む わたしの–心は なった わたしにとって 重荷に
H2320 H4150 H8130 H5315 H1961 H2960

נִלְאֵיתִי נְשֹׂא׃
疲れ–果てた 負うことに
H3811 H5375

あなたがたの新月と定めの祭とは、わが魂の憎むもの、それはわたしの重荷となり、わたしは、それを負うのに疲れた。

15 וּבְפָרִשְׂכֶם כַּפֵּיכֶם אַעְלִים עֵינַי מִכֶּם גַּם כִּי־
あなたがたが–手を–広げるとき 手を 隠す 目を あなたがたから たとえ どんなに–
H6566 H3709 H5956

תַּרְבּוּ תְפִלָּה אֵינֶנִּי שֹׁמֵעַ יְדֵיכֶם דָּמִים מָלֵאוּ׃
祈りを–増しても 祈りを 聞かない わたしは– あなたがたの–手は 血で 満ちている
H8605 H8605 H8085 H0369 H3027 H1818 H4390

あなたがたが手を伸べるとき、わたしは目をおおって、あなたがたを見ない。たとい多くの祈をささげても、わたしは聞かない。あなたがたの手は血まみれである。

16 רַחֲצוּ הִזַּכּוּ הָסִירוּ רָעַ מַעַלְלֵיכֶם מִנֶּגֶד עֵינָי חִדְלוּ
洗い–清め 身を–清くせよ 取り除け 悪を あなたがたの–行いの から– わたしの–目の–前 やめよ
H7364 H2135 H5493 H7455 H4611 H5048 H2308

הָרֵעַ׃
悪を–行うことを

あなたがたは身を洗って、清くなり、わたしの目の前からあなたがたの悪い行いを除き、悪を行うことをやめ、

17 לִמְדוּ הֵיטֵב דִּרְשׁוּ מִשְׁפָּט אַשְּׁרוּ חָמוֹץ שִׁפְטוּ יָתוֹם
学べ 善を–行うことを 求めよ 公正を 助けよ 虐げられた–者を 弁護せよ みなしごを
H3925 H3190 H1875 H4941 H0833 H2541 H8199 H3490

ס רִיבוּ אַלְמָנָה׃
— 訴えを–取り上げよ やもめの
H7378 H0490

善を行うことをならい、公平を求め、しえたげる者を戒め、みなしごを正しく守り、寡婦の訴えを弁護せよ。

18 לְכוּ־ נָא נִוָּכְחָה יֹאמַר יְהוָה אִם־ יִהְיוּ חֲטָאֵיכֶם
さあ– (来なさい) 論じ–合おう 言われる 主は たとえ– あっても あなたがたの–罪が
H3212 H4994 H3198 H0559 H3068 H0518 H1961 H2399

יִהְיוּ׃ כַּצֶּמֶר כַּתּוֹלָע כַּאדִימוּ אִם־ יַלְבִּינוּ כַּשָּׁלֶג כַּשָּׁנִים
なる 羊毛の–ように 紅の–ように 赤くても たとえ– 白くなる 雪の–ように 緋の–ように
H1961 H6785 H8144 H0119 H7950 H8144

主は言われる、さあ、われわれは互に論じよう。たといあなたがたの罪は緋のようであっても、雪のように白くなるのだ。紅のように赤くても、羊の毛のようになるのだ。

19 אִם־ תֹּאבוּ וּשְׁמַעְתֶּם טוּב הָאָרֶץ תֹּאכֵלוּ׃
もし– 喜んで–従うなら 聞くなら 良い–ものを 地の 食べる
H0014 H8085 H2898 H0776 H0398

もし、あなたがたが快く従うなら、地の良き物を食べることができる。

20 וְאִם־ תְּמָאֲנוּ וּמְרִיתֶם חֶרֶב תֹּאכְלוּ כִּי פִּי יְהוָה דִּבֶּר׃ ס
しかし–もし– 拒み 逆らうなら 剣に 食い–尽くされる まことに 口が 主の 語られた —
H3985 H4784 H2719 H0398 H3588 H6310 H3068 H1696

しかし、あなたがたが拒みそむくならば、つるぎで滅ぼされる」。これは主がその口で語られたことである。

21 אֵיכָה הָיְתָה לְזוֹנָה קִרְיָה נֶאֱמָנָה מְלֵאתִי מִשְׁפָּט צֶדֶק יָלִין בָּהּ
どうして なったのか 遊女に 町よ 忠実な 満ちていた 公正に 義が 宿っていた そこに
H1961 H2181 H7151 H0539 H4390 H4941 H6664 H3885 H1931

וְעַתָּה מְרַצְּחִים׃
しかし–今は 殺す–者たちだ
H6258 H7523

かつては忠信であった町、どうして遊女となったのか。昔は公平で満ち、正義がそのうちにやどっていたのに、今は人を殺す者ばかりとなってしまった。

22 כַּסְפֵּךְ הָיָה לְסִיגִים סָבְאֵךְ מָהוּל בַּמָּיִם׃
あなたの–銀は なった かなかすに あなたの–酒は 薄められた 水で
H3701 H1961 H5509 H5435 H4107 H4325

あなたの銀はかすとなり、あなたのぶどう酒は水をまじえ、

23 שָׂרַיִךְ סוֹרְרִים וְחַבְרֵי גַּנָּבִים כֻּלּוֹ אֹהֵב שֹׁחַד וְרֹדֵף שַׁלְמֹנִים
あなたの-指導者たちは 反逆者で 仲間だ 盗人の 皆が 愛し 賄賂を 追い-求める 報酬を
H8269 H5637 H2270 H1590 H3605 H0157 H7810 H7291 H8021

פ יָתוֹם לֹא יִשְׁפֹּטוּ וְרִיב אַלְמָנָה לֹא־יָבוֹא אֲלֵיהֶם׃
— みなしごを 弁護- しない 訴えも やもめの 届か- ない 彼らには
H3490 H3808 H8199 H7379 H0490 H3808 H0935 H0413

あなたのつかさたちはそむいて、盗びとの仲間となり、みな、まいないを好み、贈り物を追い求め、みなしごを正しく守らず、寡婦の訴えは彼らに届かない。

24 לָכֵן נְאֻם הָאָדוֹן יְהוָה צְבָאוֹת אֲבִיר יִשְׂרָאֵל הוֹי אָנַחֲם
それゆえ 宣言する 主なる 主の 万軍の 力ある-方 イスラエルの ああ 晴らす
H5002 H0113 H3068 H0046 H3478 H1945 H5162

מִצָּרָי׃ וְאִנָּקְמָה מֵאוֹיְבָי
わたしの-敵から 報いる わたしの-仇に
H0341 H5358

このゆえに、主、万軍の主、イスラエルの全能者は言われる、「ああ、わたしはわが敵にむかって憤りをもらし、わがあだにむかって恨みをはらす。

25 וְאָשִׁיבָה יָדִי עָלַיִךְ וְאֶצְרֹף כַּבֹּר סִיגַיִךְ וְאָסִירָה
戻す わたしの-手を あなたに 精錬する 灰汁の-ように あなたの-かなかすを 取り除く
H7725 H3027 H6884 H1253 H5509 H5493

כָּל־בְּדִילָיִךְ׃
すべての- 不純物を
H3605 H0913

わたしはまた、わが手をあなたに向け、あなたのかすを灰汁で溶かすように溶かし去り、あなたの混ざり物をすべて取り除く。

26 וְאָשִׁיבָה שֹׁפְטַיִךְ כְּבָרִאשֹׁנָה וְיֹעֲצַיִךְ כְּתְחִלָּה אַחֲרֵי־כֵן
回復する あなたの-裁き人を 初めの-ように あなたの-助言者を 最初の-ように その-後- (に)
H7725 H8199 H7223 H3289 H8462

יִקָּרֵא לָךְ עִיר הַצֶּדֶק קִרְיָה נֶאֱמָנָה׃
呼ばれる あなたは 義の- 町 都よ 忠実な
H7121 H6664 H7151 H0539

こうして、あなたのさばきびとをもとのとおりに、あなたの議官を初めのとおりに回復する。その後あなたは正義の都、忠信の町ととなえられる」。

27 צִיּוֹן בְּמִשְׁפָּט תִּפָּדֶה וְשָׁבֶיהָ בִּצְדָקָה׃
シオンは 公正に-よって 贖われ 帰る-者たちは 義に-よって
H6726 H4941 H6299 H7725 H6666

シオンは公平をもってあがなわれ、そのうちの悔い改める者は、正義をもってあがなわれる。

28 וְשֶׁבֶר פֹּשְׁעִים וְחַטָּאִים יַחְדָּו וְעֹזְבֵי יְהוָה יִכְלוּ׃
しかし 背く-者たちと 罪人たちは 共に 主を-捨てる-者たちは 主を 滅びる
H7667 H6586 H2400 H3068 H3615

しかし、そむく者と罪びとは共に滅ぼされ、主を捨てる者は滅びうせる。

29 כִּי יֵבֹשׁוּ מֵאֵילִים אֲשֶׁר חֲמַדְתֶּם וְתַחְפְּרוּ מֵהַגַּנּוֹת אֲשֶׁר בְּחַרְתֶּם׃
まことに 恥じる 樫の-木を (それは) 慕った 園を 恥を-受ける (それは) 選んだ
H0954 H3605 H2659 H1593 H0977

あなたがたは、みずから喜んだかしの木によって、はずかしめを受け、みずから選んだ園によって、恥じ赤らむ。

30 כִּי תִהְיוּ כְּאֵלָה נֹבֶלֶת עָלֶהָ וְכִגַּנָּה אֲשֶׁר־מַיִם אֵין׃
なる まことに 樫の-木の-ように 葉が-枯れた その 園の-ように (それには)- 水が ない
H1961 H0424 H5929 H1593 H4325 H0369

לָהּ׃
(園)

あなたがたは葉の枯れるかしの木のように、水のない園のようになり、

31 וְהָיָה הֶחָסֹן לְנְעֹרֶת וּפֹעֲלוֹ לְנִיצוֹץ וּבָעֲרוּ שְׁנֵיהֶם יַחְדָּו וְאֵין מְכַבֶּה׃
なる 強い-者は 麻くずに その-業は 火花に 燃える 二つ-共に 共に 消す-者は- いない
H1961 H2634 H5296 H6467 H5213 H0369 H8147 H3518

ס
—

強い者も麻くずのように、そのわざは火花のようになり、その二つのものは共に燃えて、それを消す者はない。

Chapter 2

1 הַדָּבָר אֲשֶׁר חָזָה יְשַׁעְיָהוּ בֶן־אָמוֹץ עַל־יְהוּדָה וִירוּשָׁלָם׃
言葉 それは 見た イェシャヤフが 息子- アモツの について- ユダと エルサレムを
H1697 H2372 H3389 H0531 H3063 H3389

アモツの子イザヤがユダとエルサレムについて示された言葉。

2 וְהָיָה בְּאַחֲרִית הַיָּמִים נָכוֹן יִהְיֶה הַר בֵּית־יְהוָה בְּרֹאשׁ הֶהָרִים וְנִשָּׂא מִגְבָּעוֹת וְנָהֲרוּ אֵלָיו כָּל־הַגּוֹיִם׃
なる 終わりの- 日々に 堅く 立つ 山が 家の- 主の 頂に 山々の 高められ 丘々より 流れ-来る そこへ すべての- 国々が
H1961 H0319 H3117 H3559 H1961 H2022 H1961 H3068 H0413 H3605

終りの日に次のことが起る。主の家の山は、もろもろの山のかしらとして堅く立ち、もろもろの峰よりも高くそびえ、すべて国はこれに流れてき、

3 וְהָלְכוּ עַמִּים רַבִּים וְאָמְרוּ לְכוּ וְנַעֲלֶה אֶל־הַר יְהוָה אֶל־בֵּית אֱלֹהֵי יַעֲקֹב וְיֹרֵנוּ מִדְּרָכָיו וְנֵלְכָה בְּאֹרְחֹתָיו כִּי מִצִּיּוֹן תֵּצֵא תוֹרָה וּדְבַר־יְהוָה מִירוּשָׁלִָם׃
行く 民が 多くの 言う さあ 上ろう (へ)- 山- (へ)- 家へ 神の 教えてくださる その-道を 歩もう その-小道を なぜなら シオンから 出る 律法が 主の 言葉が- エルサレムから
H1980 H5971 H3212 H0559 H0413 H2022 H0413 H3068 H0430 H3290 H1870 H3212 H0734 H3588 H6726 H3318 H8451 H3068 H1697 H3389

多くの民は来て言う、「さあ、われわれは主の山に登り、ヤコブの神の家へ行こう。彼はその道をわれわれに教えられる、われわれはその道に歩もう」と。律法はシオンから出、主の言葉はエルサレムから出るからである。

4 וְשָׁפַט בֵּין הַגּוֹיִם וְהוֹכִיחַ לְעַמִּים רַבִּים וְכִתְּתוּ חַרְבוֹתָם לְאִתִּים וַחֲנִיתוֹתֵיהֶם
裁く 間で 国々の 仲裁する 民に 多くの 打ち-直す 剣を 鋤に 槍を
H8199 H0996 H3807 H3198 H2719 H0855 H2595

לְמַזְמֵרוֹת לֹא־יִשָּׂא גּוֹי אֶל־גּוֹי חֶרֶב וְלֹא־יִלְמְדוּ עוֹד מִלְחָמָה׃
鎌に もはや- 上げない 国が (に)- 剣を 国に もはや- 学ばない もう 戦いを
H4211 H3808 H5375 H1471 H0413 H2719 H3925 H5750 H4421

פ
—

彼はもろもろの国のあいだにさばきを行い、多くの民のために仲裁に立たれる。こうして彼らはそのつるぎを打ちかえて、すきとし、そのやりを打ちかえて、かまとし、国は国にむかって、つるぎをあげず、彼らはもはや戦いのことを学ばない。

5 בֵּית יַעֲקֹב לְכוּ וְנֵלְכָה בְּאוֹר יְהוָה׃
家よ ヤコブの さあ 歩もう 光の-中を 主の
H3290 H3212 H3212 H0216 H3068

ヤコブの家よ、さあ、われわれは主の光に歩もう。

6 כִּי נָטַשְׁתָּה עַמְּךָ בֵּית יַעֲקֹב כִּי מָלְאוּ מִקֶּדֶם וְעֹנְנִים כַּפְּלִשְׁתִּים וּבְיַלְדֵי נָכְרִים יַשְׂפִּיקוּ׃
まことに 見捨てた あなたの-民を 家を ヤコブの なぜなら 満ちている 東方の-ものに 占い師で ペリシテ人の-ように 子どもたちと- 異国人の 手を-打つ
H3588 H5203 H5971 H1004 H3290 H3588 H4390 H6924 H6049 H3206 H5237 H5606

あなたはあなたの民ヤコブの家を捨てられた。これは彼らが東の国からの占い師をもって満たし、ペリシテびとのように占い者となり、外国人と同盟を結んだからである。

7 וַתִּמָּלֵא אַרְצוֹ כֶּסֶף וְזָהָב וְאֵין קֵצֶה לְאֹצְרֹתֶיהָ וַתִּמָּלֵא אַרְצוֹ סוּסִים וְאֵין קֵצֶה לְמַרְכְּבֹתֶיהָ׃
満ちた その-地は 銀と 金に 果て- なく その-宝に 満ちた その-地は 馬に 果て- なく その-戦車に
H4390 H0776 H3701 H2091 H0369 H0369 H0214 H4390 H0776 H5483 H0369 H0369 H4818

彼らの国には金銀が満ち、その財宝は限りない。また彼らの国には馬が満ち、その戦車も限りない。

8 וַתִּמָּלֵא אַרְצוֹ אֱלִילִים לְמַעֲשֵׂה יָדָיו יִשְׁתַּחֲוּוּ לַאֲשֶׁר עָשׂוּ אֶצְבְּעֹתָיו׃
満ちた その-地は 偶像に 造った-もの 手の (それは) 拝む 造った 指で
H4390 H0776 H0457 H4639 H3027 H7812 H0834 H6213 H0676

また彼らの国には偶像が満ち、彼らはその手のわざを拝み、その指で作ったものを拝む。

9 וַיִּשַּׁח אָדָם וַיִּשְׁפַּל־אִישׁ וְאַל־תִּשָּׂא לָהֶם׃
低くされた 人は 卑しめられた- 者は 決して- 赦すな 彼らを
H7817 H0120 H8213 H0376 H0408 H5375

こうして人はかがめられ、人々は低くされる。どうか彼らをおゆるしにならぬように。

10 בֹּא בַצּוּר וְהִטָּמֵן בֶּעָפָר מִפְּנֵי פַּחַד יְהוָה וּמֵהֲדַר גְּאוֹנוֹ׃
入れ 岩に 隠れよ 塵の-中に からの- 恐れ 主の からの-輝き 威光の
H0935 H6697 H2934 H6083 H6440 H6343 H3068 H1926 H1347

あなたは岩の間にはいり、ちりの中にかくれて、主の恐るべきみ前と、その威光の輝きとを避けよ。

11
עֵינֵי גַּבְהֻת אָדָם שְׁפַל וְשָׁח רוּם אֲנָשִׁים וְנִשְׂגָּב יְהוָה לְבַדּוֹ
目は 高ぶった 人の 低くされ かがめられる 高慢は 人々の あがめられる 主だけが ただ
H5869 H1365 H0120 H8213 H7817 H7312 H0376 H7682 H3068 H0905

בַּיּוֹם׃ הַהוּא׃ ס
その–日に その — H3117 H1931

その日には目をあげて高ぶる者は低くせられ、おごる人はかがめられ、主のみ高くあげられる。

12
כִּי יוֹם׳ לַיהוָה צְבָאוֹת עַל כָּל־ גֵּאֶה וָרָם וְעַל
まことに 日が–ある 主の 万軍の に–対して すべての– 誇り高い 高ぶる–者 に–対して
H3588 H3117 H3068 H6635 H5921 H3605 H1343 H7311 H5921

וְשָׁפֵל׃ נִשָּׂא כָּל־
低くされる 高められた すべての– H8213 H5375 H3605

これは、万軍の主の一日があって、すべて誇る者と高ぶる者、すべておのれを高くする者と得意な者とに臨むからである。

13
וְעַל כָּל־ אַרְזֵי הַלְּבָנוֹן הָרָמִים וְהַנִּשָּׂאִים עַל כָּל־ אַלּוֹנֵי
に–対して すべての– 杉に レバノンの 高い そびえ立つ に–対して すべての– 樫に
H5921 H3605 H0730 H3844 H7311 H5375 H5921 H3605 H0437

הַבָּשָׁן׃
バシャンの H1316

またレバノンの高くそびえるすべての香柏、バシャンのすべてのかしの木、

14
וְעַל כָּל־ הֶהָרִים הָרָמִים וְעַל כָּל־ הַגְּבָעוֹת הַנִּשָּׂאוֹת׃
に–対して すべての– 山に 高い に–対して すべての– 丘に そびえ立つ
H5921 H3605 H2022 H7311 H5921 H3605 H1389 H5375

またすべての高い山々、すべてのそびえ立つ峰々、

15
וְעַל כָּל־ מִגְדָּל גָּבֹהַ וְעַל כָּל־ חוֹמָה בְצוּרָה׃
に–対して すべての– 塔に 高い に–対して すべての– 城壁に 堅固な
H5921 H3605 H4026 H1364 H5921 H3605 H2346 H1219

すべての高きやぐら、すべての堅固な城壁、

16
וְעַל כָּל־ אֳנִיּוֹת תַּרְשִׁישׁ וְעַל כָּל־ שְׂכִיּוֹת הַחֶמְדָּה׃
に–対して すべての– 船に タルシシュの に–対して すべての– 美術品に 美しい
H5921 H3605 H0591 H8659 H5921 H3605 H7914 H2532

タルシシのすべての船、すべての麗しい船舶に臨む。

17
וְשַׁח גַּבְהֻת הָאָדָם וְשָׁפֵל רוּם אֲנָשִׁים וְנִשְׂגָּב יְהוָה לְבַדּוֹ
かがめられる 高ぶりは 人の 低くされる 高慢は 人々の あがめられる 主だけが ただ
H7817 H1365 H0120 H8213 H7312 H0376 H7682 H3068 H0905

בַּיּוֹם׃ הַהוּא׃
その–日に その H3117 H1931

その日には高ぶる者はかがめられ、おごる人は低くせられ、主のみ高くあげられる。

18 וְהָאֱלִילִים כָּלִיל יַחֲלֹף׃
偶像は 完全に 消え-去る
H0457 H3632 H2498

こうして偶像はことごとく滅びうせる。

19 וּבָאוּ בִּמְעָרוֹת צֻרִים וּבִמְחִלּוֹת עָפָר מִפְּנֵי פַּחַד יְהוָה וּמֵהֲדַר גְּאוֹנוֹ בְּקוּמוֹ לַעֲרֹץ הָאָרֶץ׃
入る 洞穴に 岩の 穴に 地の からの- 恐れ 主の からの-輝き 威光の 立ち-上がる-とき 震え-おののかせる 地を
H0935 H4631 H6697 H4247 H6083 H6440 H6343 H3068 H1926 H1347 H6965 H6206 H0776

主が立って地を脅かされるとき、人々は岩のほら穴にはいり、また地の穴にはいって、主の恐るべきみ前と、その威光の輝きとを避ける。

20 בַּיּוֹם הַהוּא יַשְׁלִיךְ הָאָדָם אֶת אֱלִילֵי כַסְפּוֹ וְאֶת אֱלִילֵי זְהָבוֹ אֲשֶׁר עָשׂוּ־לוֹ לְהִשְׁתַּחֲוֹת לַחְפֹּר פֵּרוֹת וְלָעֲטַלֵּפִים׃
その日に 投げ-捨てる 人は 偶像を (を) 銀の 偶像を 金の (それは) 自分の-ために 拝む-ために もぐらに (投げる) 蝙蝠に
H3117 H7993 H0120 H0457 H0853 H3701 H0457 H2091 H0834 H6213 H7812 H2661 H6512 H5847

その日、人々は拝むためにみずから造ったしろがねの偶像と、こがねの偶像とを、もぐらもちと、こうもりに投げ与え、

21 לָבוֹא בִּנְקָרוֹת הַצֻּרִים וּבִסְעִפֵּי הַסְּלָעִים מִפְּנֵי פַּחַד יְהוָה וּמֵהֲדַר גְּאוֹנוֹ בְּקוּמוֹ לַעֲרֹץ הָאָרֶץ׃
入る-ために 裂け目に 岩の 頂に 岸壁の からの- 恐れ 主の からの-輝き 威光の 立ち-上がる-とき 震え-おののかせる 地を
H0935 H5366 H6697 H5585 H5553 H6440 H6343 H3068 H1926 H1347 H6965 H6206 H0776

岩のほら穴や、がけの裂け目にはいり、主が立って地を脅かされるとき、主の恐るべきみ前と、その威光の輝きとを避ける。

22 חִדְלוּ לָכֶם מִן־הָאָדָם אֲשֶׁר נְשָׁמָה בְאַפּוֹ כִּי־בַמָּה נֶחְשָׁב הוּא׃ פ
やめよ あなたがたは (から)- 人を-頼ることを (その) 息は 鼻に-ある 何の- なぜなら- 値打ちが-あるか 彼は —
H2308 H3808 H0120 H0834 H5397 H0639 H4100 H2803 H1931

あなたがたは鼻から息の出入りする人に、たよることをやめよ、このような者はなんの価値があろうか。

Chapter 3

1 כִּי הִנֵּה הָאָדוֹן יְהוָה צְבָאוֹת מֵסִיר מִירוּשָׁלַם וּמִיהוּדָה מַשְׁעֵן וְכָל־מִשְׁעַן לֶחֶם וְכָל־מִשְׁעַן מָיִם׃
まことに 見よ 主なる 主の 万軍の 取り-去る エルサレムから ユダから 支えを すべての 支え- パンの 支え- すべての 水の
H3068 H2009 H0113 H3068 H6635 H5493 H3389 H3063 H4938 H3605 H4938 H3899 H4938 H3605 H4325

見よ、主、万軍の主はエルサレムとユダからささえとなり、頼みとなるもの――すべてささえとなるパン、すべてささえとなる水――を取り去られる。

2 גִּבּוֹר וְאִישׁ מִלְחָמָה שׁוֹפֵט וְנָבִיא וְקֹסֵם וְזָקֵן׃
勇士と 人- 戦いの 裁き人と 預言者と 占い師と 長老と
H1368 H0376 H4421 H8199 H5030 H7080 H2205

すなわち勇士と軍人、裁判官と預言者、占い師と長老、

3 שַׂר־חֲמִשִּׁים וּנְשׂוּא פָנִים וְיוֹעֵץ וְחַכַם חֲרָשִׁים וּנְבוֹן לָחַשׁ׃
五十人の-隊長と 五十人の 高貴な- 人と 助言者と 巧みな 職人と 巧みな まじない師を
H8269 H2572 H5375 H6440 H3289 H2450 H0995 H3908

五十人の長と身分の高い人、議官と巧みな魔術師、老練なまじない師を取り去られる。

4 וְנָתַתִּי נְעָרִים שָׂרֵיהֶם וְתַעֲלוּלִים יִמְשְׁלוּ־בָם׃
立てる 若者を 彼らの-指導者に 気まぐれな-者が 治める- 彼らを
H5414 H5288 H8269 H8586 H4910

わたしはわらべを立てて彼らの君とし、みどりごに彼らを治めさせる。

5 וְנִגַּשׂ הָעָם אִישׁ וּבְאִישׁ וְאִישׁ בִּרְעֵהוּ יִרְהֲבוּ הַנַּעַר בַּזָּקֵן וְהַנִּקְלֶה בַּנִּכְבָּד׃
虐げる 民は 人が 人を 人が 隣人を 傲慢に-振る舞う 若者が 老人に 卑しい-者が 高貴な-者に
H5065 H5971 H0376 H0376 H0376 H7453 H7292 H5288 H2205 H7034 H3513

民は互に相しえたげ、人はおのおのその隣をしえたげ、若い者は老いたる者にむかって高ぶり、卑しい者は尊い者にむかって高ぶる。

6 כִּי־יִתְפֹּשׂ אִישׁ בְּאָחִיהוּ בֵּית אָבִיו שִׂמְלָה לְכָה תְהִיֶה־קָצִין וְהַמַּכְשֵׁלָה הַזֹּאת תַּחַת יָדֶךָ׃
つかまえる 人が その-兄弟を 家の 父の 着物が-ある さあ なれ- 指導者に この 下に この-廃墟を 私たちの
H8610 H0376 H0251 H1004 H0001 H8071 H1980 H1961 H7101 H2063 H8478 H4384

その時、人はその父の家で、兄弟をつかまえて言う、「あなたは外套を持っている、わたしたちのつかさびとになって、この荒れ跡をあなたの手で治めてください」と。

7 יִשָּׂא בַיּוֹם הַהוּא לֵאמֹר לֹא־אֶהְיֶה חֹבֵשׁ וּבְבֵיתִי אֵין לֶחֶם וְאֵין שִׂמְלָה לֹא תְשִׂימֻנִי קָצִין עָם׃
声を-上げる その-日に 言って 私は- 癒す-者には わが-家には ない パンも ない 着物も するな- わたしを 指導者に 民の
H5375 H3117 H1931 H0559 H3808 H2280 H1004 H0369 H3899 H0369 H8071 H3808 H7101

その日、彼は声をあげて言う、「わたしはいやす者となることはできません、わたしの家にはパンもなく、外套もありません、わたしを立てて、民のつかさびとにしないでください」。

8 כִּי כָשְׁלָה יְרוּשָׁלַם וְיהוּדָה נָפָל לְשׁוֹנָם וּמַעַלְלֵיהֶם כִּי לְמָרוֹת עֵינֵי כְבוֹדוֹ׃
まことに つまずいた エルサレムは ユダは 倒れた その-言葉と その-行いは なぜなら- 主に に-対して 目に 逆らう-ための その-栄光の
H3782 H3389 H3063 H5307 H3956 H4611 H0413 H3068 H5869 H4784 H3519

これは彼らの言葉と行いとが主にそむき、その栄光の目をおかしたので、エルサレムはつまずき、ユダは倒れたからである。

9 הַכָּרַת פְּנֵיהֶמוֹ עָנְתָה בָּם וְחַטָּאתָם כִּסְדֹם הִגִּידוּ לֹא
表情が 彼らの-顔の 証言している 彼らに-対して 罪を ソドムの-ように 誇示し 隠さ-
H1971 H6440 H6030 H5046 H5467

כִּחֵדוּ׃ אַוֵי לְנַפְשָׁם כִּי־ גָמְלוּ לָהֶם רָעָה׃
ない わざわいだ 彼らの-魂に なぜなら- もたらした 自分たちに 禅いを
H3582 H0188 H5315 H1580 H1992

彼らの不公平は彼らにむかって不利なあかしをし、ソドムのようにその罪をあらわして隠さない。わざわいなるかな、彼らはみずから悪の報いをうけた。

10 אִמְרוּ צַדִּיק כִּי־ טוֹב כִּי־ מַעַלְלֵיהֶם יֹאכֵלוּ׃
言え 義人に まことに- 幸いだと なぜなら- その-行いの 食べる
H0559 H6662 H3588 H6529 H4611 H0398

正しい人に言え、彼らはさいわいであると。彼らはその行いの実を食べるからである。

11 אוֹי לְרָשָׁע רָע כִּי־ גְמוּל יָדָיו יֵעָשֶׂה לוֹ׃
わざわいだ 悪人には 禅いだ なぜなら- 報いが その-手の なされる 彼に
H0188 H7563 H7451 H1576 H3027 H6213

悪しき者はわざわいだ、彼は災をうける。その手のなした事が彼に報いられるからである。

12 עַמִּי נֹגְשָׂיו מְעוֹלֵל וְנָשִׁים מָשְׁלוּ בּוֹ עַמִּי
わが-民は その-虐げる-者は 子どもであり 女たちが 治めている そこを わが-民よ
H5971 H5065 H5768 H0802 H4910 H0000 H5971

מְאַשְּׁרֵיךְ מַתְעִים וְדֶרֶךְ אָרְחֹתֶיךָ בִּלָּעוּ׃ ס
あなたの-導き手たちは 惑わし 道を あなたの-小道の 飲み-込んだ —
H0833 H8582 H1870 H0734 H1104

わが民は幼な子にしえたげられ、女たちに治められる。ああ、わが民よ、あなたを導く者はかえって、あなたを迷わせ、あなたの行くべき道を混乱させる。

13 נִצָּב לָרִיב יְהוָה וְעֹמֵד לָדִין עַמִּים׃
立ち-上がる 訴えに 主が 立つ 裁く-ために 諸国の-民を
H5324 H7378 H3068 H5975 H1777 H5971

主は言い争うために立ちあがり、その民をさばくために立たれる。

14 יְהוָה יָבוֹא בְמִשְׁפָּט עִם־ זִקְנֵי עַמּוֹ וְשָׂרָיו וְאַתֶּם בִּעַרְתֶּם
主が 来る 裁きに (と)- 長老たちと その-民の 指導者たちと あなたがたは 食い-荒らした
H3068 H0935 H4941 H5973 H2205 H5971 H8269 H0859 H1197

הַכֶּרֶם גְּזֵלַת הָעָנִי בָּתֵּיכֶם׃
ぶどう畑を 奪った-物が 貧しい-者の あなたがたの-家に-ある
H3754 H1500 H6041 H1004

主はその民の長老と君たちとをさばいて、「あなたがたは、ぶどう畑を食い荒した。貧しい者からかすめとった物は、あなたがたの家にある。

15 מַה־(לָכֶם)(מלכם) עַמִּי תְדַכְּאוּ וּפְנֵי עֲנִיִּים
[王よ] 何の-権利が- あなたがたに-あるか 踏み-にじる わが-民を 顔を 貧しい-者の
H4428 H4100 H1792 H5971 H6440 H6041

נְאֻם־ אֲדֹנָי יְהוִה צְבָאוֹת׃ תִּטְחָנוּ ס
宣言する- 主なる 主 万軍の — 磨き-つぶす
H5002 H0136 H3069 H6635 H2912

なぜ、あなたがたはわが民を踏みにじり、貧しい者の顔をすり砕くのか」と万軍の神、主は言われる。

16 וַיֹּאמֶר יְהוָה יַעַן כִּי גָּבְהוּ בְּנוֹת צִיּוֹן וַתֵּלַכְנָה נטוות[ ]
言われた 主は なぜなら (それは) 高ぶっている 娘たちが シオンの 歩いている [伸ばして]
H0559 H3068 H3282 H3361 H1323 H6726 H3212 H5186

וּמְשַׂקְּרוֹת עֵינַיִם הָלוֹךְ וְטָפֹף תֵּלַכְנָה וּבְרַגְלֵיהֶם)נְטוּיוֹת(גָּרוֹן
流し-目を-して 目を 歩き- 小足で-歩き 進み 足に-つけた-飾りを 首を 伸ばした
H8265 H5869 H1980 H2952 H3212 H7272 H1627 H5186

תְּעַכַּסְנָה׃
鳴らしている
H5913

主は言われた、シオンの娘らは高ぶり、首をのばしてあるき、目でこびをおくり、その行くとき気どって歩き、その足でりんりんと鳴り響かす。

17 וְשִׁפַּח אֲדֹנָי קָדְקֹד בְּנוֹת צִיּוֹן וַיהוָה פָּתְהֶן יְעָרֶה׃
かさぶたで-覆う 主は 頭頂を 娘たちの シオンの 主が その-隠れた-ところを あらわにする
H8217 H0136 H6936 H1323 H6726 H3068 H6596 H6168

ס

それゆえ、主はシオンの娘らの頭を撃って、かさぶたでおおい、彼らの隠れた所をあらわされる。

18 בַּיּוֹם הַהוּא יָסִיר אֲדֹנָי אֶת תִּפְאֶרֶת הָעֲכָסִים וְהַשְּׁבִיסִים וְהַשַּׂהֲרֹנִים׃
その-日に その 取り-除く 主は (を) 飾りを 足首飾りの 額飾りと 三日月型の-飾りと
H3117 H1931 H5493 H0136 H0853 H8597 H5914 H7636 H7720

その日、主は彼らの美しい装身具と服装すなわち、くるぶし輪、髪ひも、月形の飾り、

19 הַנְּטִיפוֹת וְהַשֵּׁרוֹת וְהָרְעָלוֹת׃
耳飾りと 腕輪と ベールと
H5188 H8285 H7479

耳輪、腕輪、顔おおい、

20 הַפְּאֵרִים וְהַצְּעָדוֹת וְהַקְּשָׁרִים וּבָתֵּי הַנֶּפֶשׁ וְהַלְּחָשִׁים׃
かぶり物と 足鎖と 帯と 香水-入れと 精神の お守りと
H6287 H6807 H7196 H1004 H5315 H3908

頭飾り、すね飾り、飾り帯、香箱、守り袋、

21 הַטַּבָּעוֹת וְנִזְמֵי הָאָף׃
指輪と 鼻-輪と 鼻の
H2885 H5141 H0639

指輪、鼻輪、

22 הַמַּחֲלָצוֹת וְהַמַּעֲטָפוֹת וְהַמִּטְפָּחוֹת וְהֶחֲרִיטִם׃
晩着と 外套と スカーフと 財布と
H4254 H4595 H4304 H2754

礼服、外套、肩掛、手さげ袋、

23 וְהַגִּלְיֹנִים וְהַסְּדִינִים וְהַצְּנִיפוֹת וְהָרְדִידִים׃
鏡と 下着と ターバンと マントを
H1549 H5466 H6797 H7289

薄織の上着、亜麻布の着物、帽子、被衣などを取り除かれる。

מִקְשֶׁה	מַעֲשֶׂה	וְתַחַת	נְקֻפָּה	חֲגוֹרָה	וְתַחַת	יִהְיֶה	מַק	בֹּשֶׂם	תַּחַת	וְהָיָה	24
髪の	結った-	代わりに	縄に	帯の	代わりに	なる	腐敗に	香料の	代わりに	なる	
H4748	H4639	H8478	H5364		H8478	H1961	H4716	H1314	H8478	H1961	

יֹ֑פִי	תַּחַת	כִּי־	שָׂק	מַחֲגֹרֶת	פְּתִיגִיל	וְתַחַת	קָרְחָה
美しさの	代わりに	まことに-	粗布で	纏うのは	美しい-衣の	代わりに	はげ頭に
H3308	H8478	H3587	H8242	H4228	H6614	H8478	H7144

芳香はかわって、悪臭となり、帯はかわって、なわとなり、よく編んだ髪はかわって、かぶろとなり、はなやかな衣はかわって、荒布の衣となり、美しい顔はかわって、焼き印された顔となる。

בַּמִּלְחָמָֽה׃	וּגְבוּרָתֵךְ	יִפֹּלוּ	בַּחֶרֶב	מְתָיִךְ	25
戦いに	あなたの-勇士たちは	倒れ	剣に	あなたの-男たちは	
H4421	H1369	H5307	H2719	H4962	

あなたの男たちはつるぎに倒れ、あなたの勇士たちは戦いに倒れる。

תֵּשֵׁב׃	לָאָרֶץ	וְנִקְּתָה	פְּתָחֶיהָ	וְאָבְלוּ	וְאָנוּ	26
座る	地に	空に-なり	その-門は	悲しむ	嘆き	
H3427	H0776	H5352	H6607	H0056	H0578	

シオンの門は嘆き悲しみ、シオンは荒れすたれて、地に座する。

Chapter 4

לַחְמֵנוּ	לֵאמֹר	הַהוּא	בַּיּוֹם	אֶחָד	בְּאִישׁ	שֶׁבַע	נָשִׁים	וְהֶחֱזִיקוּ		1
自分たちの-パンを	言って	その	その-日に	一人の	一人の-男に	七人の	女が	つかまえる		
H3899	H0559	H1931	H3117	H0259	H0376	H7651	H0802	H2388		

אָסְפָה	עָלֵינוּ	שִׁמְךָ	יִקָּרֵא	רַק	נִלְבָּשׁ	וְשִׂמְלָתֵנוּ	נֹאכֵל
取り-除いて	私たちの-上に	あなたの-名で	呼ばれたい	ただ	着る	自分たちの-着物を	食べ
H0622		H8034	H7121	H7535	H3847	H8071	H0398

	ס	חֶרְפָּתֵנוּ׃
	—	私たちの-恥を
		H2781

その日、七人の女がひとりの男にすがって、「わたしたちは自分のパンをたべ、自分の着物を着ます。ただ、あなたの名によって呼ばれることを許して、わたしたちの恥を取り除いてください」と言う。

וּלְתִפְאֶרֶת	לְגָאוֹן	הָאָרֶץ	וּפְרִי	וּלְכָבוֹד	לִצְבִי	יְהוָה	צֶמַח	יִהְיֶה	הַהוּא	בַּיּוֹם	2
輝きに	誇りと	地の	実は	栄光に	輝きと	主の	芽は	なる	その	その-日に	
H8597	H1347	H0776	H6529	H3519		H3068	H6780	H1961	H1931	H3117	

יִשְׂרָאֵֽל׃	לִפְלֵיטַת
イスラエルの	生き-残った-者の-ために
H3478	H6413

その日、主の枝は麗しく栄え、地の産物はイスラエルの生き残った者の誇、また光栄となる。

כָּל־	לוֹ	יֵאָמֵר	קָדוֹשׁ	בִּירוּשָׁלִַם	וְהַנּוֹתָר	בְּצִיּוֹן	הַנִּשְׁאָר	וְהָיָה		3
すべて-	彼は	呼ばれる	聖と	エルサレムに	留まった-者は	シオンに	残った-者は	なる		
H3605		H0559	H6918	H3389	H3498	H6726	H7604	H1961		

בִּירוּשָׁלִָם׃	לַחַיִּים	הַכָּתוּב
エルサレムに	命の-ために	書かれた-者
H3389		H3789

4 וְאִם רָחַץ אֲדֹנָי אֶת צֹאַת בְּנוֹת־צִיּוֹן וְאֶת־דְּמֵי יְרוּשָׁלַ֙ם
その–とき 洗う 主が (を) 汚れを 娘たちの– シオンの (を)– 血を エルサレムの
H7364 H0136 H0853 H6675 H1323 H6726 H0853 H1818 H3389

מִקִּרְבָּהּ יָדִיחַ בְּרוּחַ מִשְׁפָּט וּבְרוּחַ בָּעֵר׃
その–中から 洗い–流す 霊に–よって 裁きの 霊に–よって 焚き–尽くす
H7130 H1740 H7307 H4941 H7307

そして主が審判の霊と滅亡の霊とをもって、シオンの娘らの汚れを洗い、エルサレムの血をその中から除き去られるとき、シオンに残る者、エルサレムにとどまる者、すべてエルサレムにあって、生命の書にしるされた者は聖なる者ととなえられる。

5 וּבָרָא יְהוָה עַל כָּל־מְכוֹן הַר־צִיּוֹן וְעַל־מִקְרָאֶהָ עָנָן
創り–出す 主が 上に すべての– 場所の 山– シオンの と–その–上に 集会の 雲を
H3068 H3605 H4349 H2022 H6726 H4744 H6051

וְעָשָׁן וְנֹגַהּ אֵשׁ לְהָבָה לָיְלָה כִּי עַל־כָּל־כָּבוֹד חֻפָּה׃
煙と 輝きを 火の 炎の 夜には なぜなら 上に– すべての– 栄光の 覆いが–ある
H6227 H5051 H0784 H3852 H3915 H3588 H5921 H3605 H3519 H2646

וְיוֹמָם תִּהְיֶה וְסֻכָּה לְצֵל־יוֹמָם מֵחֹרֶב וּלְמַחְסֶה וּלְמִסְתּוֹר מִזֶּרֶם וּמִמָּטָר׃ פ
ある 仮小屋が 日陰の–ために 昼の 暑さから 避け所と 隠れ場として 嵐から 雨から —
H1961 H5521 H6738 H3119 H2721 H4268 H4563 H2230 H4306

昼は暑さをふせぐ陰となり、また暴風と雨を避けて隠れる所となる。

Chapter 5

1 לְכַרְמוֹ שִׁירַת דּוֹדִי לִידִידִי אָשִׁירָה נָּא
その–ぶどう畑–について 歌を わが–愛する–者の わが–愛する–者の–ために さあ わたしは–歌おう
H3754 H7891 H1730 H7891 H4994 H7891

שָׁמֶן׃ בֶּן־ בְּקֶרֶן לִידִידִי הָיָה כֶּרֶם
上に 丘の 肥沃な わが–愛する–者に あった ぶどう畑が
H8081 H1121 H7161 H3039 H1961 H3754

わたしはわが愛する者のために、そのぶどう畑についてのわが愛の歌をうたおう。わが愛する者は土肥えた小山の上に、一つのぶどう畑をもっていた。

2 וַיְבָנֵהוּ וַיְסַקְּלֵהוּ וַיִּטָּעֵהוּ שֹׂרֵק וַיִּבֶן
そして–彼は–耕し 石を–取り除き それに–良い–ぶどうを–植え 選りすぐりの–種を そして–建てた
H5823 H5619 H8321 H7796 H1129

מִגְדָּל בְּתוֹכוֹ וְגַם־ יִקֶב חָצַב בְּתוֹכוֹ וַיְקַו לַעֲשׂוֹת
見張り台を その–中に また 酒ぶねを 掘った その–中に そして–期待した 実らせることを
H4026 H8432 H1571 H3342 H2672 H8432 H6960 H6213

בְּאֻשִׁים׃ וַיַּעַשׂ עֲנָבִים
酸い–ぶどうを しかし–実らせた 良い–ぶどうを
H0891 H6213 H6025

彼はそれを掘りおこし、石を除き、それに良いぶどうを植え、その中に物見やぐらを建て、またその中に酒ぶねを掘り、良いぶどうの結ぶのを待ち望んだ。ところが結んだものは野ぶどうであった。

3 וְעַתָּה יוֹשֵׁב יְרוּשָׁלַ֙͏ִם וְאִ֣ישׁ יְהוּדָ֔ה שִׁפְטוּ־נָ֥א בֵינִ֖י
そして–今 住む–者よ エルサレムの そして–人々よ ユダの 裁いて–ください どうか わたしと
H6258 H3427 H3389 H0376 H3063 H8199 H4994 H0996

וּבֵ֥ין כַּרְמִֽי׃
の–間で わが–ぶどう畑を
H0996 H3754

それで、エルサレムに住む者とユダの人々よ、どうか、わたしとぶどう畑との間をさばけ。

4 מַה־לַּעֲשׂ֗וֹת עוֹד֙ לְכַרְמִ֔י וְלֹ֣א עָשִׂ֔יתִי בּ֑וֹ מַדּ֣וּעַ
何を すべきことが なお わが–ぶどう畑の–ために しかし わたしが–しなかった その–中で なぜ
H4100 H5750 H3754 H3808 H4069

קִוֵּ֣יתִי לַעֲשׂ֥וֹת עֲנָבִ֖ים וַיַּ֥עַשׂ בְּאֻשִֽׁים׃
わたしが–期待した 実らせることを 良い–ぶどうを しかし–実った 酸い–ぶどうが
H6025 H0891

わたしが、ぶどう畑になした事のほかに、何かなすべきことがあるか。わたしは良いぶどうの結ぶのを待ち望んだのに、どうして野ぶどうを結んだのか。

5 וְעַתָּה֙ אוֹדִֽיעָה־נָּ֣א אֶתְכֶ֔ם אֵ֥ת אֲשֶׁר־אֲנִ֖י עֹשֶׂ֑ה
そして–今 わたしは–知らせよう どうか あなたがたに ～を ～の–こと わたしが しようと–する
H6258 H3045 H4994 H0853 H0853 H0589

הָסֵ֥ר מְשׂוּכָתֹ֖ו וְהָיָ֣ה לְבָעֵ֑ר פָּרֹ֥ץ גְּדֵרֹ֖ו וְהָיָ֥ה לְמִרְמָֽס׃
取り除く その–垣を そうすれば–なる 焼き尽くされる–ものに 壊す その–石垣を そうすれば–なる 踏み–にじられる–ものに
H5493 H4823 H1961 H1961 H6555 H1447

それで、わたしが、ぶどう畑になそうとすることを、あなたがたに告げる。わたしはそのまがきを取り去って、食い荒されるにまかせ、そのかきをとりこわして、踏み荒されるにまかせる。

6 וְאֲשִׁיתֶ֖הָ לְבָטָ֑ה לֹ֣א יִזָּמֵ֔ר וְלֹ֥א יֵעָדֵ֖ר וְעָלָ֥ה שָׁמִ֖יר וָשָׁ֑ית וְעַל֙ הֶעָבִ֣ים אֲצַוֶּ֔ה מֵהַמְטִ֥יר עָלָ֖יו מָטָֽר׃
そして–荒れ地と–する 荒廃を 刈り込まれず 手入れされず また 耕されない そして–生い茂る いばらと おどろが そして 雲に わたしは–命じる 雨を–降らすなと その–上に 雨を
H7896 H1326 H3808 H2168 H3808 H3754 H5927 H8068 H7898 H5645 H6680 H4305 H4306

わたしはこれを荒して、刈り込むことも、耕すこともせず、おどろと、いばらとを生えさせ、また雲に命じて、その上に雨を降らさない。

7 כִּ֣י כֶ֤רֶם יְהוָה֙ צְבָא֣וֹת בֵּ֔ית יִשְׂרָאֵ֖ל וְאִ֣ישׁ יְהוּדָ֑ה נְטַ֥ע שַֽׁעֲשׁוּעָ֖יו וַיְקַ֥ו לְמִשְׁפָּ֖ט וְהִנֵּ֥ה מִשְׂפָּ֑ח לִצְדָקָ֖ה וְהִנֵּ֥ה צְעָקָֽה׃ ס
まことに ぶどう畑は 主の 万軍の 家–である イスラエルの そして–人々は ユダの 苗木–である 喜びの そして–期待した 公正を しかし–見よ 流血を 義を しかし–見よ 叫びを
H8191 H6960 H7200 H1004 H6635 H3063 H0376 H3478 H1004 H6635 H3068 H3754 H5194 H8191 H6960 H7200 H1004 H6635 H3068 H6818

万軍の主のぶどう畑はイスラエルの家であり、主が喜んでそこに植えられた物は、ユダの人々である。主はこれに公平を望まれたのに、見よ、流血。正義を望まれたのに、見よ、叫び。

8

עַד	יַקְרִיבוּ	בִּשְׂדֶה	שָׂדֶה	בְּבַיִת	בַּיִת	מַגִּיעֵי	הוֹי
～まで	近づける–者たち	畑に	畑を	家に	家を	家を–つなぎ合わせる–者たち	ああ
H5704	H7126					H5060	H1945

הָאָרֶץ׃	בְּקֶרֶב	לְבַדְּכֶם	וְהוּשַׁבְתֶּם	מָקוֹם	אֶפֶס
この–地の	の–真ん中に	ただ–独りで	あなたがたは–住む	場所の	余地–なき
H0776	H7130	H0905	H3427	H4725	

わざわいなるかな、彼らは家に家を建て連ね、田畑に田畑をまし加えて、余地をあまさず、自分ひとり、国のうちに住まおうとする。

9

גְּדֹלִים	יִהְיוּ	לְשַׁמָּה	רַבִּים	בָּתִּים	לֹא	אִם־	צְבָאוֹת	יְהוָה	בְּאָזְנָי
大きく	なる	荒廃と	大いなるものも	多くの–家は	実に	まことに	万軍の	主は	わが–耳に
	H1961	H8047			H3808			H3068	H0241

יוֹשֵׁב׃	מֵאֵין	וְטוֹבִים
なる	住む–者–なく	美しいものも
H3427	H0369	

万軍の主はわたしの耳に誓って言われた、「必ずや多くの家は荒れすたれ、大きな麗しい家も住む者がないようになる。

10

חֹמֶר	וְזֶרַע	אֶחָת	בַּת	יַעֲשׂוּ	כֶּרֶם	צֶמֶד־	עֲשָׂרֶת	כִּי
ーホメルの	そして–種	バテを	わずか–一	産み出す	ぶどう畑は	くびきの	十	まことに
	H2233	H0259	H1324		H3754	H6776	H6235	

פ	אֵיפָה׃	יַעֲשֶׂה
פ	ーエパを	産み出す
	H0374	

十反のぶどう畑もわずかに一バテの実を結び、一ホメルの種もわずかに一エパの実を結ぶ」。

11

יַיִן	בַּנֶּשֶׁף	מֵאַחֲרֵי	יְרַדְּפוּ	שֵׁכָר	בַּבֹּקֶר	מַשְׁכִּימֵי	הוֹי
ぶどう酒が	留まり	夜–遅くまで	追い求める–者たち	強い–酒を	起きて	朝–早くから	ああ
H3196	H5399	H0309	H7291	H7941	H1242	H7925	H1945

יְדַלְּיֵקֵם׃
彼らを–燃え立たせる
H1814

わざわいなるかな、彼らは朝早く起きて、濃き酒をおい求め、夜のふけるまで飲みつづけて、酒にその身を焼かれている。

12

יְהוָה	פֹּעַל	וְאֶת	מִשְׁתֵּיהֶם	וָיַיִן	וְחָלִיל	תֹּף	וָנֶבֶל	כִּנּוֹר	וְהָיָה
主の	わざを	しかし	彼らの–宴に	ぶどう酒が	笛と	太鼓と	竪琴	琴と	そして–ある
H3068	H6467	H0853	H4960	H3196	H2485	H8596		H3658	H1961

רָאוּ׃	לֹא	יָדָיו	וּמַעֲשֵׂה	יַבִּיטוּ	לֹא
いない	見て	業を	そして–御手の	見ない	顧みず
H7200	H3808	H3027	H4639	H5027	H3808

彼らの酒宴には琴あり、立琴あり、鼓あり笛あり、ぶどう酒がある。しかし彼らは主のみわざを顧みず、み手のなされる事に目をとめない。

13

וּכְבוֹדוֹ	דַּעַת	מִבְּלִי־	עַמִּי	גָּלָה	לָכֵן
そして–その–栄えある–者たちは	知識の	知識–なきゆえに	わが–民は	捕らえ–移された	それゆえ
H3519	H1847	H1097		H1540	

צָמְאָ׃	צִחָּה	וַהֲמוֹנוֹ	רָעָב	מְתֵי
苦しむ	渇きに	そして–その–群衆は	人–となり	飢えの
H6772	H6704		H7458	H4962

それゆえ、わが民は無知のために、とりこにせられ、その尊き者は飢えて死に、そのもろもろの民は、かわきによって衰えはてる。

14 לָכֵן הִרְחִיבָה שְׁאוֹל וּפָעֲרָה פִּיהָ לִבְלִי־חֹק
それゆえ 広げた よみは その–のどを そして–開いた その–口を 限り–なく 大きく
H7337 H7585 H5315 H6473 H6310 H1097 H2706

וְיָרַד הֲדָרָהּ וַהֲמוֹנָהּ וּשְׁאוֹנָהּ וְעָלֵז בָּהּ׃
そして–下る その–威光も その–群衆も その–騒ぎも そして–喜び–騒ぐ–者も その–中に
H3381 H1926 H1995 H7588 H5938

また陰府はその欲望を大きくし、その口を限りなく開き、エルサレムの貴族、そのもろもろの民、その群集およびそのうちの喜びたのしめる者はみなその中に落ちこむ。

15 וַיִּשַּׁח אָדָם וַיִּשְׁפַּל־אִישׁ וְעֵינֵי גְבֹהִים תִּשְׁפָּלְנָה׃
そして–かがめられ 人は 低くされる 人は そして–目は 高ぶる–者たちの 低くされる
H7817 H0120 H8213 H0376 H5869 H1364 H8213

人はかがめられ、人々は低くせられ、高ぶる者の目は低くされる。

16 וַיִּגְבַּהּ יְהוָה צְבָאוֹת בַּמִּשְׁפָּט וְהָאֵל הַקָּדוֹשׁ נִקְדַּשׁ בִּצְדָקָה׃
そして–高められる 主は 万軍の さばきに–おいて そして–神は 聖なる 聖なる–方と–示される 義に–おいて
H1361 H3068 H6635 H4941 H0410 H6918 H6942 H6666

しかし万軍の主は公平によってあがめられ、聖なる神は正義によって、おのれを聖なる者として示される。

17 וְרָעוּ כְבָשִׂים כִּדְבָרָם וְחָרְבוֹת מֵחֵים גָּרִים יֹאכֵלוּ׃
そして–草を–食べる 小羊たちが その–牧場の–ように そして–廃墟で 肥えた–者たちの 寄留者たちが 食べる
H7462 H3532 H1699 H2723 H4220 H1616 H0398

こうして小羊は自分の牧場におるように草をはみ、肥えた家畜および子やぎは荒れ跡の中で食を得る。

18 הוֹי מֹשְׁכֵי הָעָוֹן בְּחַבְלֵי הַשָּׁוְא וְכַעֲבוֹת הָעֲגָלָה חַטָּאָה׃
ああ 引く–者たち 不義を 虚偽の 綱で そして–荷車の 綱の–ように 罪を
H1945 H4900 H5771 H2524 H7723 H5688 H5699 H2403

わざわいなるかな、彼らは偽りのなわをもって悪を引きよせ、車の綱をもってするように罪を引きよせる。

19 הָאֹמְרִים יָחִישָׁה מְהֵרָה מַעֲשֵׂהוּ לְמַעַן נִרְאֶה וְתָבוֹאָה וְתִקְרַב עֲצַת קְדוֹשׁ יִשְׂרָאֵל וְנֵדָעָה׃ ס ס
言う–者たち 速めよ 急がせよ その–わざを われらが 見る–ために 来たらせよ そして–近づけ 計画を 聖なる イスラエルの われらが–知る–ために
H0559 H2363 H4118 H4639 H4616 H7200 H0935 H7126 H6098 H6918 H3478 H3045

彼らは言う、「彼を急がせ、そのわざをすみやかにさせよ、それを見せてもらおう。イスラエルの聖者の定める事を近づききたらせよ、それを見せてもらおう」と。

20 הַוֹי הָאֹמְרִים לָרַע טוֹב וְלַטּוֹב רָע שָׂמִים חֹשֶׁךְ לְאוֹר וְאוֹר לְחֹשֶׁךְ
ああ 言う-者たち 悪を 善と 善を 悪と 置く-者たち 闇を 光と 光を 闇と
H1945 H0559 H7451 H2896 H2822 H0216 H0216 H2822

שָׂמִים מַר לְמָתוֹק וּמָתוֹק לְמָר׃ ס
置く-者たち 苦いものを 甘いと 甘いものを 苦いと ס
H7760 H4751 H4966 H4966 H4751

わざわいなるかな、彼らは悪を呼んで善といい、善を呼んで悪といい、暗きを光とし、光を暗しとし、苦きを甘しとし、甘きを苦しとする。

21 הַוֹי חֲכָמִים בְּעֵינֵיהֶם וְנֶגֶד פְּנֵיהֶם נְבֹנִים׃
ああ 知恵-ある-者たち 自分の-目に そして 自分の-顔の-前に 賢い-者たち
H1945 H2450 H5048 H6440 H0995

わざわいなるかな、彼らはおのれを見て、賢しとし、みずから顧みて、さとしとする。

22 הַוֹי גִּבּוֹרִים לִשְׁתּוֹת יָיִן וְאַנְשֵׁי־חַיִל לִמְסֹךְ
ああ 勇士たち 飲む-ことに-おいて ぶどう酒を 力-ある 人々 混ぜ合わせる-ことに-おいて
H1945 H1368 H8354 H3196 H0376 H2428 H4537

שֵׁכָר׃
強い-酒を
H7941

わざわいなるかな、彼らはぶどう酒を飲むことの英雄であり、濃き酒をまぜ合わせることの勇士である。

23 מַצְדִּיקֵי רָשָׁע בְּעֵקֶב שֹׁחַד וְצִדְקַת צַדִּיקִים
義と-する-者たち 悪しき-者を わいろの-ゆえに わいろの 義を そして-正しい-者たちの
H6663 H7563 H6118 H7810 H6666 H6662

מִמֶּנּוּ׃ ס יָסִירוּ
彼から ס 取り去る
H5493

彼らはまいないによって悪しき者を義とし、義人からその義を奪う。

24 לָכֵן כְּאֵכֶל קַשׁ לְשׁוֹן אֵשׁ וַחֲשַׁשׁ לֶהָבָה יִרְפֶּה
それゆえ 火の-舌が わらを 食い尽くす-ように 火の 炎に しぼむ-ように
H3651 H3857 H7179 H3956 H0784 H2842 H3852 H7503

כַּמַּק יֶהֱלֶה וּפִרְחָם כָּאָבָק תַּעֲלֶה כִּי מָאֲסוּ אֶת
腐り-果て なる その-花は ちりの-ように 舞い上がる なぜなら 退けた-からだ ～を
H4716 H1961 H0803 H0080 H5927 H3588 H4544 H0853

שְׁרָשָׁם׃ תּוֹרַת יְהוָה צְבָאוֹת וְאֶת אִמְרַת קְדוֹשׁ־יִשְׂרָאֵל נִאֵצוּ׃
その-根は 律法を 主の 万軍の そして 言葉を 聖なる イスラエルの 侮った
H8328 H8451 H3068 H6635 H0853 H0565 H6918 H3478 H5006

それゆえ、火の舌が刈り株を食い尽すように、枯れ草が炎の中に消えうせるように、彼らの根は朽ちたものとなり、彼らの花はちりのように飛び去る。彼らは万軍の主の律法を捨て、イスラエルの聖者の言葉を侮ったからである。

25

יָדֹו	וַיֵּט	בְּעַמֹּו	יְהוָה	אַף־	חָרָה	כֵּן	עַל־
その–手を	そして–伸べた	その–民に–対して	主の	怒りが	燃えた	こうして	それ–ゆえに
H3027	H5186		H3068	H0639	H2734		

כַּסֹּוחָה	נִבְלָתָם	וַתְּהִי	הֶהָרִים	וַיִּרְגְּזוּ	וַיַּכֻּהוּ	עָלָיו	
ごみの–ように	その–死体は	そして–なった	山々は	そして–震えた	そして–打った	彼らの–上に	
H5478	H5038	H1961	H2022	H7264	H5221		

אַפֹּו	שָׁב	לֹא־	זֹאת	בְּכָל־	חוּצֹות	בְּקִרְבָּ	
その–怒りは	退かなかった	引かなかった	なお	この–すべてに–よっても	ちまたの	の–真ん中に	
H0639	H7725	H3808	H2063	H3605	H2351	H7130	

נְטוּיָה׃	יָדֹו	וְעֹוד	
伸べられている	その–手は	さらに	
H5186	H3027	H5750	

それゆえ、主はその民にむかって怒りを発し、み手を伸べて彼らを撃たれた。山は震い動き、彼らのしかばねは、ちまたの中で、あくたのようになった。それにもかかわらず、み怒りはやまず、なお、み手を伸ばされる。

26

הָאָרֶץ	מִקְצֵה	לֹו	וְשָׁרַק	מֵרָחֹוק	לַגֹּויִם	נֵס	וְנָשָׂא־
地の	果てから	彼に–向けて	そして–口笛を–吹く	遠くから	国々に–向けて	旗を	そして–掲げる
H0776			H8319	H7350		H5251	H5375

יָבֹוא׃	קַל	מְהֵרָה	וְהִנֵּה	
来る	軽やかに	速やかに	そして–見よ	
H0935	H7031	H4120	H2009	

主は旗をあげて遠くから一つの国民を招き、地の果から彼らを呼ばれる。見よ、彼らは走って、すみやかに来る。

27

יָנוּם	לֹא	בֹּו	כֹּושֵׁל	וְאֵין־	עָיֵף	אֵין־	
まどろまない	まどろまず	その–中に	つまずかない	つまずく–者–なく	疲れず	疲れた–者–なく	
H5123	H3808		H3782	H0369	H5889	H0369	

נְעָלָיו׃	שְׂרֹוךְ	נִתָּק	וְלֹא	חֲלָצָיו	אֵזֹור	נִפְתַּח	וְלֹא	יְיָשָׁן	וְלֹא
靴の	その–靴の	ひもも	切れない	腰の	その–腰の	帯が	解かれない	眠らない	眠らない
H5275	H8288	H5423	H3808	H2504	H0232		H3808	H3462	H3808

その中には疲れる者も、つまずく者もなく、まどろむ者も、眠る者もない。その腰の帯はとけず、そのくつのひもは切れていない。

28

סוּסָיו	פַּרְסֹות	דְּרֻכֹות	קַשְׁתָּם	וְכָל־	שְׁנוּנִים	חִצָּיו	אֲשֶׁר	
その–馬の	馬の–ひづめは	張られている	弓は	すべての	鋭く	矢は	その	
	H6541	H1869	H7198	H3605	H8150	H2671		

כַּסּוּפָה׃	וְגַלְגָּלָיו	נֶחְשָׁבוּ	כַּצֹּר
つむじ風の–ように	その–車輪は	見なされる	火打ち石の–ように
	H1534	H2803	

その矢は鋭く、その弓はことごとく張り、その馬のひずめは火打石のように、その車の輪はつむじ風のように思われる。

29

וְיִנְהֲמוּ	כַּכְּפִירִים	)יִשְׁאַג(	]ושאג[	כַּלָּבִיא	לֹו	שְׁאָגָה	
うなり	若い–獅子の–ように	ほえる	[ケティーブ]	雌獅子の–ように	彼の	その–ほえる–声は	
H5098		H7580	H7580			H7581	

מַצִּיל׃	וְאֵין	וַיַּפְלִיט	טֶרֶף	וְיֹאחֵז	
いない	救う–者は	運び去り	獲物を	獲物を–つかみ	
H5337	H0369	H6403	H2964	H0270	

そのほえることは、ししのように、若いししのようにほえ、うなって獲物を捕え、かすめ去っても救う者がない。

30 וְיִנְהֹם עָלָיו בַּיּוֹם הַהוּא כִּנְהַמַּת־יָם וְנִבַּט לָאָרֶץ
וְיִנְהֹם — うなる — H5098
עָלָיו — その-上に — H5921
בַּיּוֹם — その-日に — H3117
הַהוּא — その — H1931
כִּנְהַמַּת־ — 海の-とどろきの-ように
יָם — 海の — H3220
וְנִבַּט — そして-見渡すと — H5027
לָאָרֶץ — 地に — H0776

וְהִנֵּה־ — 見よ — H2009
חֹשֶׁךְ — 闇と — H2822
צַר — 苦悩と
וָאוֹר — 光は — H0216
חָשַׁךְ — 暗くなる — H2821
בַּעֲרִיפֶיהָ׃ — その-雲の-中で — H6183
פ
פ

その日、その鳴りどよめくことは、海の鳴りどよめくようだ。もし地をのぞむならば、見よ、暗きと悩みとがあり、光は雲によって暗くなる。

Chapter 6

1 בִּשְׁנַת־ מוֹת הַמֶּלֶךְ עֻזִּיָּהוּ וָאֶרְאֶה אֶת־ אֲדֹנָי יֹשֵׁב עַל־ כִּסֵּא
בִּשְׁנַת־ — の-年に — H8141
מוֹת — 死んだ — H4194
הַמֶּלֶךְ — 王 — H4428
עֻזִּיָּהוּ — ウジヤの — H5818
וָאֶרְאֶה — わたしは-見た — H7200
אֶת־ — ～を — H0853
אֲדֹנָי — 主が — H0136
יֹשֵׁב — 座して-おられる — H3427
עַל־ — の-上に
כִּסֵּא — 御座に — H3678

הַהֵיכָל׃ אֶת־ מְלֵאִים וְשׁוּלָיו וְנִשָּׂא רָם
הַהֵיכָל׃ — 神殿を — H1964
אֶת־ — ～を — H0853
מְלֵאִים — 満たしていた — H4390
וְשׁוּלָיו — その-すそは — H7757
וְנִשָּׂא — 上げられて — H5375
רָם — 高く

ウジヤ王の死んだ年、わたしは主が高くあげられたみくらに座し、その衣のすそが神殿に満ちているのを見た。

2 שְׁרָפִים עֹמְדִים מִמַּעַל לוֹ שֵׁשׁ כְּנָפַיִם שֵׁשׁ כְּנָפַיִם לְאֶחָד וּבִשְׁתַּיִם
שְׁרָפִים — セラフィムが
עֹמְדִים — 立っていた — H5975
מִמַּעַל — その-上に — H4605
לוֹ — 主の
שֵׁשׁ — 六つの — H8337
כְּנָפַיִם — 翼 — H3671
שֵׁשׁ — 六つの — H8337
כְּנָפַיִם — 翼 — H3671
לְאֶחָד — それぞれに — H0259
וּבִשְׁתַּיִם — 二つで — H8147

יְכַסֶּה וּבִשְׁתַּיִם יְכַסֶּה רַגְלָיו וּבִשְׁתַּיִם יְעוֹפֵף׃
יְכַסֶּה — 覆い — H3680
וּבִשְׁתַּיִם — 二つで — H8147
פָּנָיו — 顔を — H6440
יְכַסֶּה — 覆い — H3680
רַגְלָיו — 足を — H7272
וּבִשְׁתַּיִם — 二つで — H8147
יְעוֹפֵף׃ — 飛んでいた

その上にセラピムが立ち、おのおの六つの翼をもっていた。その二つをもって顔をおおい、二つをもって足をおおい、二つをもって飛びかけり、

3 וְקָרָא זֶה אֶל־ זֶה וְאָמַר קָדוֹשׁ קָדוֹשׁ קָדוֹשׁ יְהוָה
וְקָרָא — そして-呼びかけた — H7121
זֶה — 一つが
אֶל־ — ～に — H0413
זֶה — もう一つに — H2088
וְאָמַר — そして-言った — H0559
קָדוֹשׁ — 聖なり — H6918
קָדוֹשׁ — 聖なり — H6918
קָדוֹשׁ — 聖なり — H6918
יְהוָה — 主は — H3068

צְבָאוֹת׃ כְּבוֹדוֹ מְלֹא כָל־ הָאָרֶץ
צְבָאוֹת׃ — 万軍の
כְּבוֹדוֹ — その-栄光は — H3519
מְלֹא — 満ちている — H4393
כָל־ — すべての — H3605
הָאָרֶץ — 地に — H0776

互に呼びかわして言った。「聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、万軍の主、その栄光は全地に満つ」。

4 וַיָּנֻעוּ אַמּוֹת הַסִּפִּים מִקּוֹל הַקּוֹרֵא וְהַבַּיִת יִמָּלֵא עָשָׁן׃
וַיָּנֻעוּ — そして-震えた — H5128
אַמּוֹת — 敷居の — H0520
הַסִּפִּים — 土台は — H5592
מִקּוֹל — ～の-声で
הַקּוֹרֵא — 叫ぶ-者の — H7121
וְהַבַּיִת — そして-宮は
יִמָּלֵא — 満ちた — H4390
עָשָׁן׃ — 煙で — H6227

その呼ばわっている者の声によって敷居の基が震い動き、神殿の中に煙が満ちた。

5 וָאֹמַר אוֹי־לִי כִּי־נִדְמֵיתִי כִּי אִישׁ טְמֵא־שְׂפָתַיִם
そして–言った ああ わたしは なぜなら わたしは–滅びる なぜなら 人 汚れた 唇の
H0559 H0188 H0376 H1820 H0376 H2931 H8193

וּבְתוֹךְ עַם־טְמֵא שְׂפָתַיִם אָנֹכִי יוֹשֵׁב כִּי אֶת־הַמֶּלֶךְ
そして–の–中に 民の 汚れた 唇の わたしは 住んでいる なぜなら ～を 王を
H8432 H5971 H2931 H8193 H0595 H3427 H3588 H0853 H4428

יְהוָה צְבָאוֹת רָאוּ עֵינָי׃
主 万軍の 見た わが–目が
H3068 H6635 H7200 H5869

その時わたしは言った、「わざわいなるかな、わたしは滅びるばかりだ。わたしは汚れたくちびるの者で、汚れたくちびるの民の中に住む者であるのに、わたしの目が万軍の主なる王を見たのだから」。

6 וַיָּעָף אֵלַי אֶחָד מִן־הַשְּׂרָפִים וּבְיָדוֹ רִצְפָּה
すると–飛んできた わたしの–もとに 一つの ～の–中から セラフィムの その–手に 燃える–炭が
H5774 H0413 H0259 H4480 H8314 H3027 H7531

בְּמֶלְקָחַיִם לָקַח מֵעַל הַמִּזְבֵּחַ׃
火ばさみで 取った ～の–上から 祭壇の
H4457 H3947 H5921 H4196

この時セラピムのひとりが火ばしをもって、祭壇の上から取った燃えている炭を手に携え、わたしのところに飛んできて、

7 וַיִּגַּע עַל־פִּי וַיֹּאמֶר הִנֵּה נָגַע זֶה עַל־שְׂפָתֶיךָ
そして–触れた ～に わが–口に そして–言った 見よ 触れた これが ～に あなたの–唇に
H5060 H5921 H6310 H0559 H2009 H5060 H2088 H5921 H8193

וְסָר עֲוֹנֶךָ וְחַטָּאתְךָ תְכֻפָּר׃
そして–去った あなたの–咎は あなたの–罪は 赦された
H5493 H5771 H2403 H3722

わたしの口に触れて言った、「見よ、これがあなたのくちびるに触れたので、あなたの悪は除かれ、あなたの罪はゆるされた」。

8 וָאֶשְׁמַע אֶת־קוֹל אֲדֹנָי אֹמֵר אֵת־מִי אֶשְׁלַח וּמִי
そして–聞いた ～を 声を 主の 言われる ～を だれを わたしは–遣わそうか だれが
H8085 H0853 H6963 H0136 H0559 H0853 H4310 H7971 H4310

יֵלֵךְ־לָנוּ וָאֹמַר הִנֵּנִי שְׁלָחֵנִי׃
行くだろうか われらの–ために わたしは–言った ここに–います わたしを–遣わしてください
H3212 H0559 H2009 H7971

わたしはまた主の言われる声を聞いた、「わたしはだれをつかわそうか。だれがわれわれのために行くだろうか」。その時わたしは言った、「ここにわたしがおります。わたしをおつかわしください」。

9 וַיֹּאמֶר לֵךְ וְאָמַרְתָּ לָעָם הַזֶּה שִׁמְעוּ שָׁמוֹעַ וְאַל־תָּבִינוּ
そして–言われた 行け そして–言え この 民に 聞いて 聞け しかし 悟るな
H0559 H3212 H0559 H2088 H5971 H8085 H8085 H0408 H0995

וּרְאוּ רָאוֹ וְאַל־תֵּדָעוּ׃
見よ しかし 知るな
H7200 H0408 H3045

主は言われた、「あなたは行って、この民にこう言いなさい、『あなたがたはくりかえし聞くがよい、しかし悟ってはならない。あなたがたはくりかえし見るがよい、しかしわかってはならない』と。

10

יִרְאֶה	פֶּן־	הָשַׁע	וְעֵינָיו	הַכְבֵּד	וְאָזְנָיו	הַוֵּה	הָעָם	לֵב־	הַשְׁמֵן
見る	～しないように	閉じよ	その-目を	重くし	その-耳を	この	この-民の	心を	鈍くせよ
H7200	H6435			H3513	H0241	H2088			H8080

לוֹ׃	וְרָפָא	וָשָׁב	וְיָבִין	וּלְבָבוֹ	יִשְׁמָע	וּבְאָזְנָיו	בְעֵינָיו
ことが	癒される	立ち返り	悟り	その-心で	聞き	その-耳で	その-目で
	H7495	H7725	H0995	H3824	H8085	H0241	

あなたはこの民の心を鈍くし、その耳を聞えにくくし、その目を閉ざしなさい。これは彼らがその目で見、その耳で聞き、その心で悟り、悔い改めていやされることのないためである」。

11

שָׁאוֹ	אִם־	אֲשֶׁר־	עַד	וַיֹּאמַר	אֲדֹנָי	מָתַי	עַד־	וָאֹמַר
荒れ果てる	もし	～の-こと	～まで	すると-言われた	主よ	ですか	いつ-まで	そして-言った
H7582			H5704	H0559	H0136	H4970	H5704	H0559

תִּשְׁאֶה	וְהָאֲדָמָה	אָדָם	מֵאֵין	וּבָתִּים	יוֹשֵׁב	מֵאֵין	עָרִים
荒れ果てて	そして-土地が	人の	人-なく	家々が	住む-者が	住む-者-なく	町々が
H7582	H0127	H0120	H0369		H3427	H0369	

שְׁמָמָה׃
荒廃と-なるまで

そこで、わたしは言った、「主よ、いつまでですか」。主は言われた、「町々は荒れすたれて、住む者もなく、家には人かげもなく、国は全く荒れ地となり、

12

הָאָרֶץ׃	בְּקֶרֶב	הָעֲזוּבָה	וְרַבָּה	הָאָדָם	אֶת־	יְהוָה	וְרָחַק
この-地の	の-中に	見捨てられた-所が	大いに-なる	人を	～を	主が	遠ざけられる
H0776	H7130	H5805		H0120	H0853	H3068	H7368

人々は主によって遠くへ移され、荒れはてた所が国の中に多くなる時まで、こうなっている。

13

לְבָעֵר	וְהָיְתָה	וְשָׁבָה	עֲשִׂרִיָּה	בָּהּ	וְעוֹד
焼き尽くされる-ものに	それも-なる	残り	十分の一が	そこに	たとえ-まだ
	H1961	H7725	H6224		H5750

זֶרַע	בָּם	מַצֶּבֶת	בְּשַׁלֶּכֶת	אֲשֶׁר	וְכָאלוֹן	כְּאֵלָה
聖なる-種が	残る	切り株が	倒される-時	～の-こと	樫の-木の-ように	テレビンの-木の-ように
H2233		H4678	H7995		H0437	H0424

פ	מַצַּבְתָּהּ׃	קֹדֶשׁ
פ	その-切り株-である	聖なる
	H4678	H6944

その中に十分の一の残る者があっても、これもまた焼き滅ぼされる。テレビンの木またはかしの木が切り倒されるとき、その切り株が残るように」。聖なる種族はその切り株である。

Chapter 7

1

עָלָה	יְהוּדָה	מֶלֶךְ	עֻזִּיָּהוּ	בֶּן־	יוֹתָם	בֶּן־	אָחָז	בִּימֵי	וַיְהִי
上ってきた	ユダの	王	ウジヤの	子の	ヨタム	子の	アハズ	の-時代に	そして-あった
H5927	H3063	H4428	H5818		H3147		H0271	H3117	H1961

יְרוּשָׁלַ͏ִם	יִשְׂרָאֵל	מֶלֶךְ־	רְמַלְיָהוּ	בֶּן־	וּפֶקַח	אֲרָם	מֶלֶךְ־	רְצִין
エルサレムに	イスラエルの	王が	レマルヤの	子の	と-ペカ	アラムの	王が	レツィン
H3389	H3478	H4428	H7425		H6492	H0758	H4428	H7526

עָלֶיהָ׃	לְהִלָּחֶם	יָכֹל	וְלֹא	עָלֶיהָ	לַמִּלְחָמָה
それに-対して	戦う-ことが	できなかった	しかし	それに-対して	戦いの-ために
		H3201	H3808		H4421

ユダの王、ウジヤの子ヨタム、その子アハズの時、スリヤの王レヂンとレマリヤの子であるイスラエルの王ペカとが上ってきて、エルサレムを攻めたが勝つことができなかった。

2 וַיֻּגַּד לְבֵית דָּוִד לֵאמֹר נָחָה אֲרָם עַל־אֶפְרָיִם וַיָּנַע לִבָּבוֹ וְלֵב עַמּוֹ כְּנֹעַ עֲצֵי־יָעַר מִפְּנֵי־רוּחַ׃

וַיֻּגַּד	לְבֵית	דָּוִד	לֵאמֹר	נָחָה	אֲרָם	עַל־	אֶפְרָיִם	
そして–報告された	の–家に	ダビデの	言って	同盟した	アラムが	～の–上に	エフライムの	
H5046		H1732	H0559	H5117	H0758		H0669	

וַיָּנַע	לִבָּבוֹ	לֵב	עַמּוֹ	כְּנֹעַ	עֲצֵי־	יָעַר	מִפְּנֵי־	רוּחַ׃
すると–震えた	その–心が	そして–心が	その–民の	揺れる–ように	木々が	森の	～の–前で	風の
H5128	H3824	H3824		H5128	H6086		H6440	H7307

時に「スリヤがエフライムと同盟している」とダビデの家に告げる者があったので、王の心と民の心とは風に動かされる林の木のように動揺した。

3 וַיֹּאמֶר יְהוָה לִישַׁעְיָהוּ צֵא־נָא לִקְרַאת אָחָז אַתָּה וּשְׁאָר בִּנְךָ אֶל־קְצֵה תְּעָלַת הַבְּרֵכָה הָעֶלְיוֹנָה אֶל־מְסִלַּת שְׂדֵה כוֹבֵס׃

וַיֹּאמֶר	יְהוָה	לִישַׁעְיָהוּ	צֵא־	נָא	לִקְרַאת	אָחָז	אַתָּה	
そして–言われた	主は	イザヤに	～に	どうか	迎えに	アハズを	あなたと	
H0559	H3068		H0413	H4994	H7125	H0271		

וּשְׁאָר	בִּנְךָ	אֶל־	קְצֵה	תְּעָלַת	הַבְּרֵכָה	הָעֶלְיוֹנָה	אֶל־	מְסִלַּת	שְׂדֵה כוֹבֵס׃
シェアル・ヤシュブ	あなたの–息子	～へ	端に	水路の	池の	上の	～の	大通りに	畑の 布さらしの
H7610		H0413			H1295		H0413	H4546	H3526

その時、主はイザヤに言われた、「今、あなたとあなたの子シャル・ヤシュブと共に出て行って、布さらしの野へ行く大路に沿う上の池の水道の端でアハズに会い、

4 וְאָמַרְתָּ אֵלָיו הִשָּׁמֶר וְהַשְׁקֵט אַל־תִּירָא וְלִבָּבְךָ אַל־יֵרַךְ מִשְּׁנֵי זַנְבוֹת הָאוּדִים הָעֲשֵׁנִים הָאֵלֶּה בְּחֳרִי־אַף רְצִין וַאֲרָם וּבֶן־רַמַלְיָהוּ׃

וְאָמַרְתָּ	אֵלָיו	הִשָּׁמֶר	וְהַשְׁקֵט	אַל־	תִּירָא	וְלִבָּבְךָ	אַל־	יֵרַךְ
そして–言え	彼に	気をつけて	静かに–いよ	恐れるな	恐れるな	あなたの–心を	弱らせるな	
H0559	H0413	H8104	H8252	H0408	H3372	H3824	H0408	

מִשְּׁנֵי	זַנְבוֹת	הָאוּדִים	הָעֲשֵׁנִים	הָאֵלֶּה	בְּחֳרִי־	אַף	רְצִין	וַאֲרָם	וּבֶן־רַמַלְיָהוּ׃
二つの	尾の	燃えがらの	くすぶる	これらの	激しい	怒りの	レツィンと	アラムと	そして–子の レマルヤの
H8147	H2180	H0181	H6226	H0428	H2750	H0639	H7526	H0758	H7425

彼に言いなさい、『気をつけて、静かにし、恐れてはならない。レヂンとスリヤおよびレマリヤの子が激しく怒っても、これら二つの燃え残りのくすぶっている切り株のゆえに心を弱くしてはならない。

5 יַעַן כִּי־יָעַץ עָלֶיךָ אֲרָם רָעָה אֶפְרַיִם וּבֶן־לֵאמֹר׃ רַמַלְיָהוּ

יַעַן	כִּי־	יָעַץ	עָלֶיךָ	אֲרָם	רָעָה	אֶפְרַיִם	וּבֶן־	
～のゆえに	～のゆえに	謀った	あなたに–対して	アラムが	悪い–ことを	エフライムと	そして–子の	
H3282		H3289		H0758		H0669		

לֵאמֹר׃	רַמַלְיָהוּ		
言って	レマルヤの		
H0559	H7425		

スリヤはエフライムおよびレマリヤの子と共にあなたにむかって悪い事を企てて言う、

6 נַעֲלֶה בִיהוּדָה וְנַמְלִיכֵהוּ וְנַבְקִיעֶנָּה וְנִקִּיצֶנָּה אֵלֵינוּ וְנַמְלִךְ מֶלֶךְ בְּתוֹכָהּ אֵת בֶּן־טַבְאַל׃ ס ס

נַעֲלֶה	בִיהוּדָה	וְנַמְלִיכֵהוּ	וְנַבְקִיעֶנָּה	וְנִקִּיצֶנָּה	אֵלֵינוּ	וְנַמְלִךְ	מֶלֶךְ	בְּתוֹכָהּ	אֵת	בֶּן־	טַבְאַל׃	ס ס
上ろう	ユダに	そして–立てよう	そして–突き破ろう	そして–恐れさせよう	われらに–向けて	そして–立てよう	王を	その–中に	～を	子を	タブアルの	
H5927	H3063		H1234	H6973	H0413		H4428	H8432	H0853			

「われわれはユダに攻め上って、これを脅し、われわれのためにこれを破り取り、タビエルの子をそこの王にしよう」と。

תִּהְיֶֽה׃	וְלֹ֥א	תָקֽוּם	לֹ֖א	יְהוִ֣ה	אֲדֹנָ֑י	אָמַ֔ר	כֹּ֚ה	7
ならない	そして	立ちがるない	実現しない	神は	主なる	言われた	こう	
H1961	H3808		H3808	H3069	H0136	H0559	H3541	

主なる神はこう言われる、この事は決して行われない、また起ることはない。

וּבְעֽוֹד	רְצִ֣ין	דַּמֶּ֔שֶׂק	וְרֹ֣אשׁ	דַּמֶּ֔שֶׂק	אֲרָ֖ם	רֹ֣אשׁ	כִּ֤י	8
そして–あと	レツィンである	ダマスコの	かしらは	ダマスコであり	アラムの	かしらは	なぜなら	
H1157	H7526	H1834		H1834	H0758			

מֵעָ֑ם׃	אֶפְרַ֣יִם	יֵחַ֔ת	שָׁנָ֖ה	וְחָמֵ֣שׁ	שִׁשִּׁ֔ים
民から	エフライムは	打ち–砕かれる	年の–うちに	五	六十
	H0669		H8141	H2568	H8346

スリヤのかしらはダマスコ、ダマスコのかしらはレヂンである。（六十五年のうちにエフライムは敗れて、国をなさないようになる。）

אִם	רְמַלְיָ֖הוּ	בֶּן־	שֹׁמְר֑וֹן	וְרֹ֣אשׁ	שֹׁמְר֔וֹן	אֶפְרַ֙יִם֙	וְרֹ֣אשׁ	9
もし	レマルヤのである	子の	サマリアの	かしらは	サマリアであり	エフライムの	かしらは	
	H7425		H8111		H8111	H0669		

ס	תַּאֲמִֽינוּ׃	לֹ֥א	כִּ֛י	תַּאֲמִ֖ינוּ	לֹ֥א
ס	確かでない	確かでない	まことに	信じないならば	信じないならば
	H0539	H3808		H0539	H3808

エフライムのかしらはサマリヤ、サマリヤのかしらはレマリヤの子である。もしあなたがたが信じないならば、立つことはできない』」。

לֵאמֹֽר׃	אָחָ֔ז	אֶל־	דִּבֶּ֥ר	יְהוָ֖ה	וַיֹּ֣סֶף	10
言って	アハズに	～に	語った	主は	そして–続けて	
H0559	H0271	H0413	H1696	H3068	H3254	

主は再びアハズに告げて言われた、

אוֹ	שְׁאָלָ֤ה	הַעְמֵק֙	אֵ֣לֶיךָ	יְהוָ֔ה	מֵעִ֖ם	אוֹת֙	לְךָ֔	שְׁאַל־	11
あるいは	求めよ	深く	あなたの–神から	主	～から	しるしを	あなたの–ために	求めよ	
	H7585	H6009	H0430	H3068		H0226		H7592	

לְמָֽעְלָה׃	הַגְבֵּהַ֖
上に	高く
H4605	H1361

「あなたの神、主に一つのしるしを求めよ、陰府のように深い所に、あるいは天のように高い所に求めよ」。

יְהוָֽה׃	אֶת־	אֲנַסֶּ֔ה	וְלֹא־	אֶשְׁאָ֖ל	לֹא־	אָחָ֣ז	וַיֹּ֣אמֶר	12
主を	～を	試みない	試みない	求めない	求めない	アハズは	しかし–言った	
H3068	H0853	H5254	H3808	H7592	H3808	H0271	H0559	

しかしアハズは言った、「わたしはそれを求めて、主を試みることをいたしません」。

מִכֶּם֙	הַמְעַט	דָּוִ֔ד	בָּ֥יִת	נָ֖א	שִׁמְעוּ־	וַיֹּ֣אמֶר		13
あなたがたにとって	小さい–ことか	ダビデの	家よ	どうか	聞け	すると–言った		
	H4592	H1732		H4994	H8085	H0559		

אֱלֹהָֽי׃	אֶת־	גַּם	תַּלְאוּ֙	כִּ֣י	אֲנָשִׁ֔ים	הַלְאוֹת֙
わが–神をも	～をも	また	疲れさせる	ことを	人々を	疲れさせることは
H0430	H0853	H1571	H3811		H0376	H3811

そこでイザヤは言った、「ダビデの家よ、聞け。あなたがたは人を煩わすことを小さい事とし、またわが神をも煩わそうとするのか。

14 לָכֵן יִתֵּן אֲדֹנָי הוּא לָכֶם אוֹת הִנֵּה הָעַלְמָה הָרָה וְיֹלֶדֶת
それゆえ 与えられる 主が 御自ら あなたがたに しるしを 見よ 乙女が 身ごもり 生み
H3205 H5959 H2009 H0226 H1931 H0136 H5414 H3205

וְקָרְאת שְׁמוֹ עִמָּנוּ אֵל׃
名づける その-名を インマヌ エル
H7121 H8034 H6005 H6005

それゆえ、主はみずから一つのしるしをあなたがたに与えられる。見よ、おとめがみごもって男の子を産む。その名はインマヌエルととなえられる。

15 חֶמְאָה וּדְבַשׁ יֹאכֵל לְדַעְתּוֹ מָאֹס בָּרָע וּבְחֹור בַּטּוב׃
凝乳と 蜂蜜を 食べる 知る-ように-なるまで 退ける-ことを 悪を 選ぶ-ことを 善を
H2529 H1706 H0398 H3045 H3988 H7451 H0977 H2896

その子が悪を捨て、善を選ぶことを知るころになって、凝乳と、蜂蜜とを食べる。

16 כִּי בְטֶרֶם יֵדַע הַנַּעַר מָאֹס בָּרָע וּבְחַר בַּטּוב תֵּעָזֵב
なぜなら ～の-前に 知る その-少年が 退ける-ことを 悪を 選ぶ-ことを 善を 見捨てられる
H3588 H2962 H3045 H5288 H3988 H7451 H0977 H2896 H5800

אַדְמַת אֲשֶׁר אַתָּה קָץ מִפְּנֵי שְׁנֵי מַלְכֶיהָ׃
土地は ～の-こと あなたが 恐れる ～の-前で 二人の その-王の
H0127 H0834 H0859 H6973 H6440 H8147 H4428

それはこの子が悪を捨て、善を選ぶことを知る前に、あなたが恐れているふたりの王の地は捨てられるからである。

17 יָבִיא יְהוָה עָלֶיךָ וְעַל עַמְּךָ וְעַל בֵּית אָבִיךָ
もたらす 主は あなたの-上に そして あなたの-民の-上に そして の-家の-上に あなたの-父の
H0935 H3068 H5921 H3605 H5921 H1004 H5921 H1

יְמִים לֹא בָאוּ מִיּום סוּר אֶפְרַיִם מֵעַל יְהוּדָה אֶת מֶלֶךְ אַשּׁוּר׃ פ פ
日々を ～の-こと 来なかった 来なかった その-日-から 離れた エフライムが ～から ユダから 王を アッシリアの
H3117 H0834 H0935 H3808 H3117 H5493 H0669 H5921 H3063 H4428 H0804

主はエフライムがユダから分れた時からこのかた、臨んだことのないような日をあなたと、あなたの民と、あなたの父の家とに臨ませられる。それはアッスリヤの王である」。

18 וְהָיָה בַיּום הַהוּא יִשְׁרֹק יְהוָה לַזְּבוּב אֲשֶׁר בְּקֵצֵה יְאֹרֵי
その-日に その-日に 口笛を-吹く 主は の-はえに ～の-こと の-果てに-いる 川々の
H1961 H3117 H1931 H8319 H3068 H2070 H0834 H7097 H2975

מִצְרָיִם וְלַדְּבוֹרָה אֲשֶׁר בְּאֶרֶץ אַשּׁוּר׃
エジプトの そして-の-はちに ～の-こと の-地に-いる アッシリアの
H4714 H1682 H0834 H0776 H0804

その日、主はエジプトの川々の源にいる、はえを招き、アッスリヤの地にいる蜂を呼ばれる。

19 וּבָאוּ וְנָחוּ כֻלָּם בְּנַחֲלֵי הַבְּתוּת וּבִנְקִיקֵי הַסְּלָעִים
そして-来て 休む すべてが の-谷々に 怪しい-岩の そして-の-裂け目に 岩々の
H0935 H5117 H3605 H1327 H5158 H5357 H5553

וּבְכָל הַנַּעֲצוּצִים וּבְכָל הַנַּהֲלֹלִים׃
そして-すべての 茨の-藪に そして-すべての 牧草地に
H3605 H5285 H3605 H5097

彼らはみな来て、険しい谷、岩の裂け目、すべてのいばら、すべての牧場の上にとどまる。

בְּמֶלֶךְ	נָהָר	בְּעֵבְרֵי	הַשְּׂכִירָה	בְּתַעַר	אֲדֹנָי	יִנַּלַּח	הַהוּא	בַּיּוֹם	20
～すなわち-王で	川の	向こう-側の	雇われた	剃刀で	主は	そる	その	の-日に	
H4428	H5104	H5676	H7917	H8593	H0136	H1548	H1931	H3117	

ס	:תִּסְפָּה	הַזָּקָן	אֶת־	וְגַם	הָרַגְלָיִם	וְשֵׂעָר	הָרֹאשׁ	אֶת־	אַשּׁוּר
ס	削り落とす	ひげも	～を	また	足の	毛と	頭と	～を	アッシリアの
	H5595	H2206	H0853	H1571	H7272	H8181		H0853	H0804

その日、主は大川の向こうから雇ったかみそり、すなわちアッスリヤの王をもって、頭と足の毛とをそり、また、ひげをも除き去られる。

:צֹאן	וּשְׁתֵּי־	בָקָר	עֶגְלַת	אִישׁ	יְחַיֶּה־	הַהוּא	בַּיּוֹם	וְהָיָה	21
羊を	二匹の	雌牛の	若い-雌牛と	人は	飼う	その	の-日に	その-日に	
H6629	H8147	H1241		H0376	H2421	H1931	H3117	H1961	

その日、人は若い雌牛一頭と羊二頭を飼い、

יֹאכַל	וּדְבַשׁ	חֶמְאָה	כִּי־	חֶמְאָה	יֹאכַל	חָלָב	עֲשׂוֹת	מֵרֹב	וְהָיָה	22
食べる	蜂蜜を	凝乳と	なぜなら	凝乳を	食べる	凝乳を	出す-ゆえに	多くの-乳を	そして-なる	
H0398	H1706				H0398	H2461		H7230	H1961	

הָאָרֶץ:	בְּקֶרֶב	הַנּוֹתָר	כֹּל־
この-地の	の-中に	残された-者は	すべての
H0776	H7130	H3498	H3605

それから出る乳が多いので、凝乳を食べることができ、すべて国のうちに残された者は凝乳と、蜂蜜とを食べることができる。

אֶלֶף	שָׁם	יִהְיֶה־	אֲשֶׁר	מָקוֹם	כֹּל־	יִהְיֶה	הַהוּא	בַּיּוֹם	וְהָיָה	23
千の	そこに	あった	～の-こと	場所は	すべての	なる	その	の-日に	その-日に	
H0505	H8033	H1961		H4725	H3605	H1961	H1931	H3117	H1961	

:יִהְיֶה	וְלַשְּׁמִיר	לַשָּׁמִיר	כֶּסֶף	בְּאֶלֶף	גֶּפֶן
場所と-なる	おどろの	いばらと	銀に-値する	千の	ぶどうの-木が
H1961	H7898	H8068	H3701	H0505	H1612

その日、銀一千シケルの価ある千株のぶどうの木のあった所も、ことごとくいばらと、おどろの生える所となり、

הָאָרֶץ:	כֹּל־	תִּהְיֶה	וְשִׁית	שָׁמִיר	כִּי־	שָׁמָּה	יָבוֹא	וּבַקֶּשֶׁת	בַּחִצִּים	24
地は	すべての	なる	おどろとが	いばらと	なぜなら	そこに	入る	弓とで	矢と	
H0776	H3605	H1961	H7898	H8068		H8033	H0935	H7198	H2678	

いばらと、おどろとが地にはびこるために、人々は弓と矢をもってそこへ行く。

שָׁמִיר	יִרְאַת	שָׁמָּה	תָּבוֹא	לֹא־	יֵעָדֵרְנָה	בַּמַּעְדֵּר	אֲשֶׁר	הֶהָרִים	וְכָל	25
いばらと	恐れが	そこに	来ない	来ない	耕されていた	くわで	～の-こと	山々は	すべての	
H8068	H3374	H8033	H0935	H3808		H4576		H2022	H3605	

פ	:שֶׂה	וּלְמִרְמַס	שׁוֹר	לְמִשְׁלַח	וְהָיָה	וְשִׁית
פ	羊の	踏み-場所に	牛の	放つ-場所に	そして-なる	おどろの
	H7716	H4823	H7794		H1961	H7898

くわをもって掘り耕したすべての山々にも、あなたは、いばらと、おどろとを恐れて、そこへ行くことができない。その地はただ牛を放ち、羊の踏むところとなる。

Chapter 8

1

וּכְתָב　גָּדוֹל　גִּלָּיוֹן　לְךָ　קַח־　אֵלַי　יְהוָה　וַיֹּאמֶר
そして-書け　大きな　大きな-巻物を　あなたの-ために　取れ　わたしに　主は　そして-言われた
H3789　H1549　H3947　H0413　H3068　H0559

בְּחֶרֶט　אֱנוֹשׁ　עָלָיו
人の-書体で　普通の　その-上に
H2747　H0582

בָּז׃חָשׁ שָׁלָל לְמַהֵר
マヘル・シャラル・ハシュ・バズと
H4122

主はわたしに言われた、「一枚の大きな札を取って、その上に普通の文字で、『マヘル・シャラル・ハシ・バズ』と書きなさい」。

2

וְאָעִידָה　לִי　עֵדִים　נֶאֱמָנִים　אֶת　אוּרִיָּה　הַכֹּהֵן　וְאֶת־　זְכַרְיָהוּ
そして-立てよう　わたしの-ために　証人を　確かな　～を　ウリヤ　祭司と　そして　ゼカリヤ
H5707　H0539　H0853　H3548　H0853

יְבֶרֶכְיָהוּ׃　בֶּן
エベレキヤの　子の
H3000

そこで、わたしは確かな証人として、祭司ウリヤおよびエベレキヤの子ゼカリヤを立てた。

3

וַיֹּאמֶר　בֶּן　וַתַּלֶד　וַתַּהַר　הַנְּבִיאָה　אֶל־　וָאֶקְרַב
すると-言われた　男の-子を　そして-産んだ　すると-身ごもり　女預言者に　～に　そして-近づいた
H0559　H3205　H2029　H5031　H0413　H7126

בָּז׃חָשׁ שָׁלָל מַהֵר　שְׁמוֹ　קְרָא　אֵלַי　יְהוָה
マヘル・シャラル・ハシュ・バズと　その-名を　名づけよ　わたしに　主は
H4122　H8034　H7121　H0413　H3068

わたしが預言者の妻に近づくと、彼女はみごもって男の子を産んだ。その時、主はわたしに言われた、「その名をマヘル・シャラル・ハシ・バズと呼びなさい。

4

חֵיל　אֶת־　וּשְׁלַל　וְאִמִּי　אָבִי　קְרֹא　הַנַּעַר　יֵדַע　בְּטֶרֶם　כִּי
富を　～を　運び去られる　母よと　父よと　呼ぶ-ことを　その-少年が　知る　～の-前に　なぜなら
H2428　H0853　H5375　H0517　H0001　H7121　H5288　H3045　H2962

ס　אַשּׁוּר׃　מֶלֶךְ　לִפְנֵי　שֹׁמְרוֹן　שְׁלַל　וְאֶת　דַּמֶּשֶׂק
ס　アッシリアの　王の　～の-前に　サマリアの　戦利品を　そして　ダマスコの
H0804　H4428　H6440　H8111　H7998　H0853　H1834

それはこの子がまだ『おとうさん、おかあさん』と呼ぶことを知らないうちに、ダマスコの富と、サマリヤのぶんどり品とが、アッスリヤ王の前に奪い去られるからである」。

5

לֵאמֹר׃　עוֹד　אֵלָי　דִּבֶּר　יְהוָה　וַיֹּסֶף
言って　さらに　わたしに　語った　主は　そして-続けて
H0559　H5750　H0413　H1696　H3068　H3254

主はまた重ねてわたしに言われた、

6

לְאַט　הַהֹלְכִים　הַשִּׁלֹּחַ　מֵי　אֶת　הָעָם　מָאַס　כִּי　יַעַן
静かに　静かに-流れる　シロアの　水を　～を　この　この-民が　退けた　～のゆえに　～のゆえに
H1980　H4325　H0853　H2088　H3282

רְמַלְיָהוּ׃　וּבֶן־　רְצִין　אֶת־　וּמְשׂוֹשׂ
レマルヤの　そして-子を　レツィンと　～を　そして-喜んだ
H7425　H7526　H0854　H4885

「この民はゆるやかに流れるシロアの水を捨てて、レヂンとレマリヤの子の前に恐れくじける。

7

אֶת־	וְרַבִּים	הָעֲצוּמִים	הַנָּהָר	מֵי	אֶת־	עֲלֵיהֶם	מַעֲלֶה	אֲדֹנָי	הִנֵּה	וְלָכֵן
～を	多くの	力強く	大河の	水を	～を	彼らの–上に	上らせる	主が	見よ	それゆえ
H0853		H6099	H5104	H4325	H0853		H5927	H0136	H2009	

כָּל־	עַל־	וְעָלָה	כְּבוֹדוֹ	כָּל־	וְאֶת־	אַשּׁוּר	מֶלֶךְ
すべての	その–すべての	そして–上る	栄光を	すべての	そして–その	アッシリアの	王を
H3605		H5927	H3519	H3605	H0853	H0804	H4428

גְּדוֹתָיו׃	כָּל־	עַל־	וְהָלַךְ	אֲפִיקָיו
岸の–上に	すべての	その–すべての	そして–溢れる	水路の–上に
H1415	H3605		H1980	H0650

それゆえ見よ、主は勢いたけく、みなぎりわたる大川の水を彼らにむかってせき入れられる。これはアッスリヤの王と、そのもろもろの威勢とであって、そのすべての支流にはびこり、すべての岸を越え、

8

מְמֹתוֹת	וְהָיָה	יַגִּיעַ	צַוָּאר	עַד־	וְעָבַר	שָׁטַף	בִּיהוּדָה	וְחָלַף	
広げた	そして–なる	達する	首に	～まで	通り過ぎる	溢れ–流れ	ユダを	そして–通り過ぎる	
H4298	H1961	H5060		H5704		H7857	H3063	H2498	

ס					
ס	אֵל׃	עִמָּנוּ	אַרְצְךָ	רְחַב־	מְלֹא	כַּנְפָּיו
	エル	インマヌ	あなたの–地の	幅を	満たす	その–翼は
	H6005	H6005	H0776	H7341	H4393	H3671

ユダに流れ入り、あふれみなぎって、首にまで及ぶ。インマヌエルよ、その広げた翼はあまねく、あなたの国に満ちわたる」。

9

הִתְאַזְּרוּ	אֶרֶץ	מֶרְחַקֵּי־	כֹּל	וְהַאֲזִינוּ	וְחֹתּוּ	עַמִּים	רֵעוּ
武装せよ	地の	遠くの	すべての	耳を–傾けよ	打ち–砕かれるがよい	諸国の–民よ	知れ
H0247	H0776	H4801	H3605	H0238	H2865		

וְחֹתּוּ׃	הִתְאַזְּרוּ	וְחֹתּוּ
打ち–砕かれるがよい	武装せよ	打ち–砕かれるがよい
H2865	H0247	H2865

もろもろの民よ、打ち破られて、驚きあわてよ。遠き国々のものよ、耳を傾けよ。腰に帯して、驚きあわてよ。腰に帯して、驚きあわてよ。

10

ס	אֵל׃	עִמָּנוּ	כִּי	יָקוּם	וְלֹא	דָבָר	דַּבְּרוּ	וְתֵפֵר	עֵצָה	עֲצוּ
ס	神が	われらと–共に	なぜなら	立たない	しかし	言葉を	語れ	破れる	謀りを	謀れ
	H0410				H3808	H1697	H1696		H6098	H5779

ともに計れ、しかし、成らない。言葉を出せ、しかし、行われない。神がわれわれと共におられるからである。

11

בְּדֶרֶךְ	מִלֶּכֶת	וְיִסְּרֵנִי	הַיָּד	כְּחֶזְקַת	אֵלַי	יְהוָה	אָמַר	כֹּה	כִּי	
の–道を	歩むなと	そして–戒めた	手の	強い–手で	わたしに	主は	言われた	こう	なぜなら	
H1870	H3212	H3256	H3027	H2393	H0413	H3068	H0559	H3541		

לֵאמֹר׃	הַזֶּה	הָעָם־	
言って	この	この–民の	
H0559	H2088		

主は強いみ手をもって、わたしを捕え、わたしに語り、この民の道に歩まないように、さとして言われた、

12

וְאֶת־	קֶשֶׁר	הַזֶּה	הָעָם	יֹאמַר	אֲשֶׁר־	לְכֹל	קֶשֶׁר	תֹּאמְרוּן	לֹא־
そして	陰謀と	この	この–民が	呼ぶ	～の–こと	すべてを	陰謀と	呼ぶな	呼ぶな
H0853	H7195	H2088		H0559		H3605	H7195	H0559	H3808

תַּעֲרִיצוּ׃	וְלֹא	תִּירְאוּ	לֹא־	מוֹרָאוֹ
おののくな	おののくな	恐れるな	恐れるな	彼らの–恐れを
H6206	H3808	H3372	H3808	

「この民がすべて陰謀ととなえるものを陰謀ととなえてはならない。彼らの恐れるものを恐れてはならない。またおののいてはならない。

13 אֶת־ יְהוָה צְבָאוֹת אֹתוֹ תַקְדִּישׁוּ וְהוּא מוֹרַאֲכֶם וְהוּא
～を 主を 万軍の この–方を 聖と–せよ この–方こそ あなたがたの–恐れ この–方こそ
H0853 H3068 H6942 H0853 H6942 H1931 H1931

מַעֲרִיצְכֶם׃
あなたがたの–おののき
H6206

あなたがたは、ただ万軍の主を聖として、彼をかしこみ、彼を恐れなければならない。

14 וְהָיָה לְמִקְדָּשׁ וְלֶאֶבֶן נֶגֶף וּלְצוּר מִכְשׁוֹל לִשְׁנֵי בָתָּי
そして–なる 聖所と しかし–石と–なる つまずきの 岩と–なる つまずきの 二つの 家に
H1961 H4720 H0068 H5063 H6697 H4383 H8147

לְפַח וּלְמוֹקֵשׁ לְיוֹשֵׁב יְרוּשָׁלָם׃
わなと 罠と–なる 住む–者に エルサレムの
H3478 H4170 H3427 H3389

イスラエルの

主はイスラエルの二つの家には聖所となり、またさまたげの石、つまずきの岩となり、エルサレムの住民には網となり、わなとなる。

15 וְכֻשְׁלוּ רַבִּים בָּם וְנָפְלוּ וְנִשְׁבְּרוּ וְנוֹקְשׁוּ וְנִלְכָּדוּ׃ ס
そして–つまずく それに 多くの–者が そして–倒れ 砕かれ 罠にかかり 捕らえられる ס
H3782 H5307 H7665 H3369 H3920

多くの者はこれにつまずき、かつ倒れ、破られ、わなにかけられ、捕えられる」。

16 צוֹר תְּעוּדָה חֲתוֹם תּוֹרָה בְּלִמֻּדָי׃
結べ 証しを 封じよ 律法を わが–弟子の–中に
H8584 H2856 H8451 H3928

わたしは、あかしを一つにまとめ、教をわが弟子たちのうちに封じておこう。

17 וְחִכִּיתִי לַיהוָה הַמַּסְתִּיר פָּנָיו מִבֵּית יַעֲקֹב וְקִוֵּיתִי־ לוֹ׃
そして–待つ 主を 隠しておられる その–顔を ～から ヤコブの–家から そして–望む 主を
H2442 H3068 H5641 H6440 H3290 H6960

主はいま、ヤコブの家に、み顔をかくしておられるとはいえ、わたしはその主を待ち、主を望みまつる。

18 הִנֵּה אָנֹכִי וְהַיְלָדִים אֲשֶׁר־ נָתַן לִי יְהוָה לְאוֹתוֹת וּלְמוֹפְתִים
見よ わたしと 子どもたちと ～の–こと 与えた わたしに 主が しるしと 不思議と–して
H2009 H0595 H3206 H0834 H5414 H0589 H3068 H0226 H4159

בְּיִשְׂרָאֵל מֵעִם יְהוָה צְבָאוֹת הַשֹּׁכֵן בְּהַר צִיּוֹן׃ ס
イスラエルの–中に ～から 主 万軍の 住まわれる の–山に シオンの ס
H3478 H5973 H3068 H6726 H2022 H7931 H6726

見よ、わたしと、主のわたしに賜わった子たちとは、シオンの山にいます万軍の主から与えられたイスラエルのしるしであり、前ぶれである。

19

הַמְצַפְצְפִים	הַיִּדְּעֹנִים	וְאֶל־	הָאֹבוֹת	אֶל־	דִּרְשׁוּ	אֲלֵיכֶם	יֹאמְרוּ	וְכִי־
ささやく	占い師に	～に	口寄せに	～に	尋ねよ	あなたがたに	言う	そして-もし
H6850	H3049	H0413	H0178	H0413	H1875	H0413	H0559	

בְּעַד	יִדְרֹשׁ	אֱלֹהָיו	אֶל־	עַם	הֲלוֹא־	וְהַמַּהְגִּים	
～の-ために	尋ねるべきではないか	その-神に	～に	民は	のではないか	うめく	
H1157	H1875	H0430	H0413		H3808	H1897	

הַמֵּתִים׃	אֶל־	הַחַיִּים	
死んだ-者に	～に	生きている-者の	
H4191	H0413		

人々があなたがたにむかって「さえずるように、ささやくように語る巫子および魔術者に求めよ」という時、民は自分たちの神に求むべきではないか。生ける者のために死んだ者に求めるであろうか。

20

אֲשֶׁר	הַזֶּה	כַּדָּבָר	יֹאמְרוּ	לֹא	אִם־	וְלִתְעוּדָה	לְתוֹרָה	
～の-こと	この	この-言葉の-とおりに	言わないならば	しないならば	もし	証しへと	律法へと	
	H2088	H1697	H0559	H3808		H8584	H8451	

שָׁחַר׃	לוֹ	אֵין־
曙光が	彼らに	ない
H7837		H0369

ただ教とあかしとに求めよ。まことに彼らはこの言葉によって語るが、そこには夜明けがない。

21

וְקִלֶּל	וְהִתְקַצַּף	יִרְעַב	כִּי־	וְהָיָה	וְרָעֵב	נִקְשָׁה	בָּהּ	וְעָבַר	
のろう	怒り	飢える	～の-時	そして-なる	飢えて	苦しみ-ながら	そこを	そして-通り過ぎる	
H7043	H7107	H7456		H1961	H7457	H7185			

לְמַעְלָה׃	וּפָנָה	וּבֵאלֹהָיו	בְּמַלְכּוֹ
上を	そして-仰ぎ-見る	その-神とを	その-王と
H4605	H6437	H0430	H4428

彼らはしえたげられ、飢えて国の中を経あるく。その飢えるとき怒りを放ち、自分たちの王、自分たちの神をのろい、かつその顔を天に向ける。

22

מְנֻדָּח׃	וַאֲפֵלָה	צוּקָה	מְעוּף	וַחֲשֵׁכָה	צָרָה	וְהִנֵּה	יַבִּיט	אֶרֶץ	וְאֶל־
追い-やられる	暗黒と	苦しみと	曇りと	闇と	苦悩と	見よ	見ると	地を	そして
H5080	H0653		H4588	H2825		H2009	H5027	H0776	H0413

また地を見ると、見よ、悩みと暗きと、苦しみのやみとがあり、彼らは暗黒に追いやられる。

Chapter 9

1

אַרְצָה	הֵקַל	הָרִאשׁוֹן	כָּעֵת	לָהּ	מוּצָק	לַאֲשֶׁר	מוּעָף	לֹא	כִּי
地を	軽く-した	初めの	かつての-時に	彼女に	苦しみが	～にとって	曇りが	ない	しかし
H0776	H7043	H7223	H6256		H4164		H4155	H3808	

עֵבֶר	הַיָּם	דֶּרֶךְ	הִכְבִּיד	וְהָאַחֲרוֹן	נַפְתָּלִי	וְאַרְצָה	זְבֻלוּן	
向こう-側	海の	道	重く-した	しかし-後の-時には	ナフタリの	そして-地を	ゼブルンの	
H5676	H3220	H1870	H3513	H0314	H5321	H0776	H2074	

הַגּוֹיִם׃	גְּלִיל	הַיַּרְדֵּן	
異邦人の	ガリラヤを	ヨルダンの	
	H1551	H3383	

しかし、苦しみにあった地にも、やみがなくなる。さきにはゼブルンの地、ナフタリの地にはずかしめを与えられたが、後には海に至る道、ヨルダンの向こうの地、異邦人のガリラヤに光栄を与えられる。

צַלְמָוֶת	בְּאֶרֶץ	יֹשְׁבֵי	גָּדוֹל	אוֹר	רָאוּ	בַּחֹשֶׁךְ	הַהֹלְכִים	הָעָם	2
死の–陰の	の–地に	住んでいた–者たち	大いなる	光を	見た	闇の–中を	歩んでいた	民は	
H6757	H0776	H3427		H0216	H7200	H2822	H1980		

עֲלֵיהֶם׃	נָגַהּ	אוֹר
彼らの–上に	輝いた	光が
	H5050	H0216

暗やみの中に歩んでいた民は大いなる光を見た。暗黒の地に住んでいた人々の上に光が照った。

לְפָנֶיךָ	שָׂמְחוּ	הַשִּׂמְחָה	הִגְדַּלְתָּ	(לוֹ)	[לא]	הַגּוֹי	הִרְבֵּיתָ	3
あなたの–前で	喜ぶ	喜びを	大きく–した	彼らに	[ケティーブ]	その–国民を	増した	
H6440	H8055	H8057	H1431	H3808	H3808			

שָׁלָל׃	בְּחַלְּקָם	יָגִילוּ	כַּאֲשֶׁר	בַּקָּצִיר	כְּשִׂמְחַת
戦利品を	分け合う–時に	喜ぶ	～の–ように	収穫の–時の	喜びの–ように
H7998		H1523			H8057

あなたが国民を増し、その喜びを大きくされたので、彼らは刈入れ時に喜ぶように、獲物を分かつ時に楽しむように、あなたの前に喜んだ。

בּוֹ	הַנֹּגֵשׂ	שֵׁבֶט	שִׁכְמוֹ	מַטֵּה	וְאֵת	סֻבָּלוֹ	עֹל	אֶת־	כִּי	4
彼を	褐める–者の	杖を	その–肩の	むちを	そして	その–重荷の	くびきを	～を	なぜなら	
	H5065	H7626	H7926	H4294	H0853	H5448	H5923	H0853		

מִדְיָן׃	כְּיוֹם	הַחִתָּ֫תָ
ミディアンの	の–日の–ように	打ち–砕いた
H4080	H3117	H2865

これはあなたが彼らの負っているくびきと、その肩のつえと、しえたげる者のむちとを、ミデアンの日になされたように折られたからだ。

בְּדָמִים	מְגוֹלָלָה	וּשְׂמְלָה	בְּרַעַשׁ	סֹאֵן	סְאוֹן	כָּל־	כִּי	5
血に	血に–まみれた	そして–衣服は	響き–渡る	戦士の	武具は	すべての	なぜなら	
H1818	H1556	H8071	H7494	H5431	H5430	H3605		

אֵשׁ׃	מַאֲכֶלֶת	לִשְׂרֵפָה	וְהָיְתָה
火の	食べ–物と	焼き–尽くされる–ものに	そして–なる
H0784	H3980	H8316	H1961

すべて戦場で、歩兵のはいたくつと、血にまみれた衣とは、火の燃えくさとなって焼かれる。

הַמִּשְׂרָה	וַתְּהִי	לָּנוּ	נִתַּן־	בֵּן	לָּנוּ	יֻלַּד־	יֶ֫לֶד	כִּי־	6
主権が	そして–置かれる	われらに	与えられた	男の–子が	われらに	生まれた	子が	なぜなら	
H4951	H1961		H5414			H3205	H3206		

אֲבִיעַד	גִּבּוֹר	אֵל	יוֹעֵץ	פֶּ֫לֶא	שְׁמוֹ	וַיִּקְרָא	שִׁכְמוֹ	עַל־
永遠の–父	神	力ある	助言者	驚くべき	その–名は	そして–呼ばれる	その–肩の	の–上に
H5703	H1368	H0410	H3289	H6382	H8034	H7121	H7926	

שָׁלוֹם׃	שַׂר־
君	平和の
H7965	H8269

ひとりのみどりごがわれわれのために生れた、ひとりの男の子がわれわれに与えられた。まつりごとはその肩にあり、その名は、「霊妙なる議士、大能の神、とこしえの父、平和の君」ととなえられる。

7 רבה||לם (לְמַרְבֵּה) הַמִּשְׂרָה וּלְשָׁלוֹם אֵין־ קֵץ עַל־ כִּסֵּא דָוִד
[ケティーブ] 増し-加わる 主権は 平和に 終わり-なく の-上に 御座の ダビデの
H7227 H4766 H4951 H7965 H0369 H7093 H0853 H3678 H1732

וְעַל־ מַמְלַכְתּוֹ לְהָכִין אֹתָהּ וּלְסַעֲדָהּ בְּמִשְׁפָּט וּבִצְדָקָה מֵעַתָּה
そして その-王国の-上に 堅く-する-ために それを 支える-ために 公正と 義とを-もって 今から
H5704 H4467 H0853 H5582 H4941 H6666 H6258

וְעַד־ עוֹלָם קִנְאַת יְהוָה צְבָאוֹת תַּעֲשֶׂה־ זֹּאת׃ ס
とわに 永遠に 熱心が 主の 万軍の これを-成し-遂げる これを ס
H5704 H5769 H7068 H3068 H6635 H2063

そのまつりごとと平和とは、増し加わって限りなく、ダビデの位に座して、その国を治め、今より後、とこしえに公平と正義とをもってこれを立て、これを保たれる。万軍の主の熱心がこれをなされるのである。

8 דָּבָר שָׁלַח אֲדֹנָי בְּיַעֲקֹב וְנָפַל בְּיִשְׂרָאֵל׃
言葉を 送った 主が ヤコブに そして-落ちた イスラエルに
H1697 H7971 H0136 H3290 H5307 H3478

主はひと言をヤコブにおくり、これをイスラエルの上にくだされる。

9 וְיֵדְעוּ כָּל־ הָעָם אֶפְרַיִם וְיוֹשֵׁב שֹׁמְרוֹן בְּגַאֲוָה וּבְגֹדֶל לֵבָב
そして-知る 民は すべての エフライムと 住む-者たち サマリアの 高慢と 心の 心の
H3045 H3605 H0669 H3427 H8111 H1346 H1433 H3824

לֵאמֹר׃
言って
H0559

すべてこの民、エフライムとサマリヤに住む者とは知るであろう。彼らは高ぶり、心おごって言う、

10 לְבֵנִים נָפָלוּ וְגָזִית נִבְנֶה שִׁקְמִים גֻּדָּעוּ וְאַרָזִים נַחֲלִיף׃
れんがが 崩れた しかし-切り-石で 建てよう 桑の-木が 切り-倒された しかし-杉の-木で 取り-換えよう
H3843 H5307 H1496 H1129 H8256 H1438 H0730 H2498

「かわらがくずれても、われわれは切り石をもって建てよう。くわの木が切り倒されても、われわれは香柏をもってこれにかえよう」と。

11 וַיְשַׂגֵּב יְהוָה צָרֵי־ אֶת־ עָלָיו וְאֶת־ אוֹיְבָיו יְסַכְסֵךְ׃
しかし-高く-した 主が 敵を ～を 彼に-対して そして その-敵を かき立てる
H7682 H3068 H6887 H0853 H5921 H0853 H0341 H5548

それゆえ、主は敵を起して彼らを攻めさせ、そのあだを奮い立たせられる。

12 אֲרָם מִקֶּדֶם וּפְלִשְׁתִּים מֵאָחוֹר וַיֹּאכְלוּ אֶת־ יִשְׂרָאֵל בְּכָל־ פֶּה
アラムが 東から ペリシテ人が 西から 食い尽くす ～を イスラエルを 大きく-開けた 口で
H0758 H6924 H6430 H0268 H0398 H0853 H3478 H3605 H6310

בְּכָל־ זֹאת לֹא־ שָׁב אַפּוֹ וְעוֹד יָדוֹ נְטוּיָה׃
この-すべてに-よっても なお 引かなかった 退かなかった その-怒りは さらに その-手は 伸べられている
H3605 H2063 H3808 H7725 H0639 H5750 H3027 H5186

東にスリヤびとあり、西にペリシテびとあり、彼らは大口をあけてイスラエルを食い尽す。それでも主の怒りはやまず、なおも、そのみ手を伸ばされる。

13 וְהָעָם לֹא־ שָׁב עַד־ הַמַּכֵּהוּ וְאֶת־ יְהוָה צְבָאוֹת
しかし–民は 立ち返らなかった ～に 打つ–方に そして 主を 万軍の
H3808 H7725 H5704 H5221 H0853 H3068

לֹא דָרָשׁוּ׃ ס
求めなかった
H3808 H1875

しかもなお、この民は自分たちを撃った者に帰らず、万軍の主を求めない。

14 וַיִּכְרֹת יְהוָה מִיִּשְׂרָאֵל רֹאשׁ וְזָנָב כִּפָּה וַאֲגְמוֹן יוֹם
そこで–断ち–切った 主が イスラエルから 頭と 尾を また–棕櫚の–枝と 葮とを 一–日で
H3772 H3068 H3478 H7218 H2180 H3712 H0100 H3117

אֶחָד׃
一
H0259

それゆえ、主はイスラエルから頭と尾と、しゅろの枝と葦とを一日のうちに断ち切られる。

15 זָקֵן וְנִשֵּׂא־ הוּא רֹאשׁ וְהָרֹאשׁ נָבִיא הוּא מוֹרֵה־ שָׁקֶר הוּא הַזָּנָב׃
長老と 尊ばれる 彼が 頭であり 預言者で 偽りの 彼が 偶りを–教える 尾である
H2205 H5375 H1931 H6440 H1931 H5030 H8267 H1931 H2180

その頭とは、長老と尊き人、その尾とは、偽りを教える預言者である。

16 וַיְהִי מְאַשְּׁרֵי הָעָם־ הַזֶּה מַתְעִים וּמְאֻשָּׁרָיו מִבְלָעִים׃
そして–なった 導く–者たちが この–民の 惑わす–者と この そして–導かれる–者は 飲み込まれる
H1961 H0833 H2088 H8582 H0833 H1104

この民を導く者は、これを迷わせ、彼らに導かれる者は、のみ尽される。

17 עַל־ כֵּן עַל־ בַּחוּרָיו לֹא־ יִשְׂמַח וְאֶת־ יְתֹמָיו לֹא יְרַחֵם
それ–ゆえに 若者たちの–上に その–若者を こうして 喜ばない 喜ばない その 孤児を
H3808 H0970 H5921 H3651 H3808 H0853 H3490

כִּי כֻלּוֹ חָנֵף וּמֵרַע וְכָל־ פֶּה דֹּבֵר נְבָלָה בְּכָל־ זֹאת לֹא שָׁב אַפּוֹ
なぜなら すべての 不敬虔で 悪を–行い すべての 口は 愚かさを 語る すべてに–よっても なお 引かなかった 退かなかった その–怒りは
H3605 H2611 H7451 H3605 H6310 H5039 H1696 H3605 H2063 H3808 H7725 H0639

נְטוּיָה׃ וְעוֹד יָדוֹ
伸べられている その–手は さらに
H5186 H3027 H5750

それゆえ、主はその若き人々を喜ばれず、そのみなしごと寡婦とをあわれまれない。彼らはみな、不信仰であって、悪を行う者、すべての口は愚かな事を語るからである。それでも主の怒りはやまず、なおも、そのみ手を伸ばされる。

18 כִּי־ בָעֲרָה כָּאֵשׁ רִשְׁעָה שָׁמִיר וָשַׁיִת תֹּאכֵל וַתִּצַּת בְּסִבְכֵי
なぜなら 燃えた 火の–ように 悪は いばらと おどろを 食い尽くす そして–燃え上がった 森の の–茂みの–中で
H3588 H1197 H0784 H7564 H8068 H7898 H0398 H3341 H3293 H5442

עָשָׁן׃ גְּאוּת וַיִּתְאַבְכוּ
煙の 煎の–柱の–ように 渦巻き–上った
H6227 H1348 H0005

悪は火のように燃え、いばらと、おどろとを食い尽し、茂りあう林を焼き、煙の柱となって巻きあがる。

19 בְּעֶבְרַת יְהוָה צְבָאוֹת נֶעְתָּם אֶרֶץ וַיְהִי הָעָם כְּמַאֲכֶלֶת אֵשׁ
の-怒りで 万軍の 焼き-尽くされた 地は そして-なった 民は 燃料の-ように 火の
H3068 H5678 H6272 H0776 H1961 H3980 H0784

אִישׁ אֶל־ אָחִיו לֹא יַחְמֹלוּ׃
人は ～に その-兄弟に 惜しまない 惜しまない
H0376 H0413 H0251 H3808 H2550

万軍の主の怒りによって地は焼け、その民は火の燃えくさのようになり、だれもその兄弟をあわれむ者がない。

20 וַיִּגְזֹר עַל־ יָמִין וְרָעֵב וַיֹּאכַל עַל־ שְׂמֹאול וְלֹא
そして-切り-取る 右に 飢えて そして-食べる 左に 左に 満たされない
H1504 H3225 H7456 H0398 H8040 H3808

זְרֹעוֹ יֹאכֵלוּ׃ בְּשַׂר־ אִישׁ שָׂבֵעוּ
自分の-腕の 食べる 肉を 人は 満たされない
H2220 H0398 H1320 H0376 H7646

彼らは右手につかんでも、なお飢え、左手で食べても飽くことがない。おのおのその隣り人の肉を食う。

21 עַל־ הֵמָּה יַחְדָּו מְנַשֶּׁה אֶת־ וְאֶפְרַיִם אֶפְרַיִם אֶת־ מְנַשֶּׁה
～に-対して 彼らは 共に マナセを ～を エフライムが エフライムを ～を マナセが
H1992 H4519 H0853 H0669 H0669 H0853 H4519

יָדוֹ וְעוֹד אַפּוֹ שָׁב לֹא־ זֹאת בְּכָל־ יְהוּדָה
その-手は さらに その-怒りは 退かなかった 引かなかった なお この-すべてに-よっても ユダに
H3027 H5750 H0639 H7725 H3808 H2063 H3605 H3063

נְטוּיָה׃ ס
伸べられている ס
H5186

マナセはエフライムを、エフライムはマナセを食い、彼らは共にユダを攻める。それでも主の怒りはやまず、なおも、そのみ手を伸ばされる。

Chapter 10

1 כְּתָבוּ׃ עָמֶל וּמְכַתְּבִים אָוֶן חֹקְקֵי־ הַחֹקְקִים הוֹי
書いた 苦難を そして-書き記す-者たち 不義の 掟を 定める-者たちよ ああ
H3789 H5999 H3789 H0205 H2711 H2710 H1945

わざわいなるかな、不義の判決を下す者、暴虐の宣告を書きしるす者。

2 עַמִּי דַּלִּים עֲנִיֵּי מִשְׁפָּט וְלִגְזֹל עֲנִיֵּי לְהַטּוֹת מִדִּין
わが-民の 弱い-者たちの 貧しい-者たちの 正義を そして-奪うために 訴えから 退けるために
H1800 H6041 H4941 H1497 H1779 H5186

יָבֹזּוּ׃ יְתוֹמִים וְאֶת־ שְׁלָלָם אַלְמָנוֹת לִהְיוֹת
略奪した 孤児たちを そして 彼らの-獲物と やもめたちが なるために
H0962 H3490 H0853 H7998 H0490 H1961

彼らは乏しい者の訴えを引き受けず、わが民のうちの貧しい者の権利をはぎ、寡婦の資産を奪い、みなしごのものをかすめる。

3

תָּבוֹא	מִמֶּרְחָק	וּלְשׁוֹאָה	פְּקֻדָּה	לְיוֹם	תַּעֲשׂוּ	וּמָה־
来る	遠くから	そして–滅びに	刑罰の	刑罰の–日に	あなたがたは–するのか	そして–何を
H0935	H4801		H6486	H3117		H4100

כְּבוֹדְכֶם׃	תַּעַזְבוּ	וְאָנָה	לְעֶזְרָה	תָּנוּסוּ	מִי	עַל־	
あなたがたの–栄光を	残すのか	そして–どこに	助けを–求めて	逃げるのか	誰の	誰の–もとに	
H3519		H0575	H5833	H5127	H4310		

あなたがたは刑罰の日がきたなら、何をしようとするのか。大風が遠くから来るとき、何をしようとするのか。あなたがたはのがれていって、だれに助けを求めようとするのか。また、どこにあなたがたの富を残そうとするのか。

4

יִפְּלוּ	הֲרוּגִים	וְתַחַת	אַסִּיר	תָּחַת	כָּרַע	בִּלְתִּי	
倒れる	殺された–者たちの	そして–もとに	囚人の	もとに	身をかがめる	ただ	
H5307	H2026	H8478	H0616	H8478	H3766	H1115	

יָדוֹ	וְעוֹד	אַפּוֹ	שָׁב	לֹא־	זֹאת	בְּכָל־
その–手は	そして–なおも	その–怒りは	退かない	退かない	これらの	すべての–ことにおいて
H3027	H5750	H0639	H7725	H3808	H2063	H3605

	ס	נְטוּיָה׃
	—	伸ばされている
		H5186

ただ捕われた者の中にかがみ、殺された者の中に伏し倒れるのみだ。それでも主の怒りはやまず、なおも、そのみ手を伸ばされる。

5

זַעְמִי׃	בְיָדָם	הִוא	וּמַטֵּה־	אַפִּי	שֵׁבֶט	אַשּׁוּר	הוֹי
わが–憤りの	彼らの–手に–ある	それは	そして–鞭が	わが–怒りの	杖よ	アッシリヤよ	ああ
H2195	H3027	H1931	H4294	H0639	H7626	H0804	H1945

ああ、アッスリヤはわが怒りのつえ、わが憤りのむちだ。

6

עֶבְרָתִי	עַם	וְעַל־	אֲשַׁלְּחֶנּוּ	חָנֵף	בְּגוֹי	
わが–激怒の	民に	そして–民に–対して	わたしは–彼を–遣わす	不敬虔な	不敬虔な–民に–対して	
H5678			H7971	H2611		

]ולשימו[	בַּז	וְלָבַז	שָׁלָל	לִשְׁלָל	אֲצַוֶּנּוּ	
—	獲物を	そして–略奪するために	略奪物を	奪い取るために	わたしは–彼に–命じる	
	H0957	H0962	H7998		H6680	

חוּצוֹת׃	כְּחֹמֶר	מִרְמָס	)וּלְשׂוּמוֹ(
ちまたの	泥のように	踏みつけと–する	そして–彼を–置くために
H2351		H4823	

わたしは彼をつかわして不信の国を攻め、彼に命じてわが怒りの民を攻め、かすめ奪わせ、彼らをちまたの泥のように踏みにじらせる。

7

כֵּן	לֹא־	וְלִבָּבוֹ	יְדַמֶּה	כֵּן	לֹא־	וְהוּא	
そのように	そのように	そして–その–心は	思わない	そのように	そのように	しかし–彼は	
H3808		H3824	H1819		H3808	H1931	

לֹא	גּוֹיִם	וּלְהַכְרִית	בִּלְבָבוֹ	לְהַשְׁמִיד	כִּי	יַחְשֹׁב	
少なくなく	国々を	そして–断ち滅ぼすことが	その–心に–ある	滅ぼすことが	なぜなら	考えない	
H3808		H3772	H3824	H8045		H2803	

מְעָט׃
少なくなく
H4592

しかし彼はそのようには思わず、その心もそのようには考えず、かえってその心は滅ぼすことを思い、あまたの国々を倒そうとする。

8 כִּי יֹאמַר הֲלֹא יַחְדָּו שָׂרָי מְלָכִים׃
なぜなら 彼は–言う ではないか 共に わが–君たちは 王たちではないか
H3588 H0559 H3808 H3162 H8269 H4428

彼は言う、「わが諸侯はみな王ではないか。

9 הֲלֹא כַּרְכְּמִישׁ כַּלְנוֹ אִם־לֹא חֲמָת כְּאַרְפַּד
カルケミシュのようではないか カルノは もし–ないなら ハマテは アルパデのように
H3808 H3751 H3808 H3808 H2574 H0774

שֹׁמְרוֹן׃ כִּדַמֶּשֶׂק לֹא אִם־לֹא
サマリヤは ダマスコのように ないなら もし–ないなら
H8111 H1834 H3808 H3808

カルノはカルケミシのようではないか。ハマテはアルパデのようではないか。サマリヤはダマスコのようではないか。

10 כַּאֲשֶׁר מָצְאָה יָדִי לְמַמְלְכֹת הָאֱלִיל וּפְסִילֵיהֶם
わが–手が–見出したように 見出した わが–手は 偶像の–国々を 偶像の 偶像の–そして
H3588 H4672 H3027 H4467 H0457 H6456

מִירוּשָׁלַם וּמִשֹּׁמְרוֹן׃
エルサレムのものより そして–サマリヤの–ものより
H3389 H8111

わが手は偶像に仕える国々に伸びた。その彫った像はエルサレムおよびサマリヤのものにまさっていた。

11 הֲלֹא כַּאֲשֶׁר עָשִׂיתִי לְשֹׁמְרוֹן וְלֶאֱלִילֶיהָ כֵּן
ではないか わたしが–したように わたしが–した サマリヤと そして–その–偶像たちに そのように
H3808 H3588 H6213 H8111 H0457 H3651

אֶעֱשֶׂה לִירוּשָׁלַם וְלַעֲצַבֶּיהָ׃ ס
わたしは–する エルサレムと そして–その–偶像たちに —
H6213 H3389 H6091

わたしはサマリヤとその偶像に行ったように、エルサレムとその偶像に行わぬであろうか」。

12 וְהָיָה כִּי־יִבְצַע אֲדֹנָי אֶת־כָּל־מַעֲשֵׂהוּ בְּהַר
そして–なる 主が 成し遂げるとき 主が すべての その–わざを シオンの–山と
H1961 H3588 H1214 H0136 H0853 H3605 H4639 H2022

צִיּוֹן וּבִירוּשָׁלָם אֶפְקֹד עַל־פְּרִי גֹדֶל לְבַב מֶלֶךְ־
シオンの そして–エルサレムにおいて わたしは–罰する に–対して 実を 傲慢の 心の 王の
H6726 H3389 H6485 H5921 H6529 H1433 H3824 H4428

אַשּׁוּר עֵינָיו׃ רוּם תִּפְאֶרֶת וְעַל־
アッシリヤの その–目の 高慢な 誇りを そして–に–対して
H0804 H5869 H7312 H8597 H5921

主がシオンの山とエルサレムとになそうとすることを、ことごとくなし遂げられた時、主はアッスリヤ王の無礼な言葉と、その高ぶりとを罰せられる。

כִּי וּבְחָכְמָתִי עָשִׂיתִי יָדִי בְכֹחַ אָמַר כִּי 13
なぜなら そして–わが–知恵で わたしは–行った わが–手の わが–手の–力で 彼は–言った なぜなら
H2451 H3027 H0559

(וַעֲתוּדוֹתֵיהֶם) [ועתידתיהם] עַמִּים גְּבוּלֹת וְאָסִיר נְבֹנֹתִי
そして–彼らの–蓄えを — 民たちの 境を そして–わたしは–取り除いた わたしは–賢い
H6259 H6264 H1367 H5493 H0995

יוֹשְׁבִים׃ כַּאבִּיר וְאוֹרִיד שָׁוֹשֵׁתִי
住む–者たちを 力ある–者のように そして–わたしは–引き降ろした わたしは–略奪した
H3427 H0047 H3381 H8154

彼は言う、「わが手の力により、またわが知恵によって、わたしはこれをなした。わたしは賢いからである。わたしはもろもろの民の境を除き、その財宝を奪った。またわたしは雄牛のように、位に座する者を引きおろした。

עֲזֻבוֹת בֵּיצִים וְכֶאֱסֹף הָעַמִּים לְחַיִל יָדִי וְכַקֵּן וַתִּמְצָא 14
捨てられた 卵を そして–集めるように 民たちの 富を わが–手は 巣のように そして–見出した
H1000 H0622 H2428 H3027 H7064 H4672

כָּנָף נֹדֵד וְלֹא הָיָה וְאֶפְסֹתִי אֲנִי הָאָרֶץ כָּל־
翼を 翼を–動かす–者も いなかった そして–いなかった 集めた わたしは 全地を 全地を
H3671 H5074 H1961 H3808 H0622 H0589 H0776 H3605

וּמְצַפְצֵף׃ פֶּה וּפֹצֶה
そして–鳴く–者も 口を くちばしを–開く–者も
H6850 H6310 H6475

わが手は巣を取るように、もろもろの民の富を得た。またわたしは人々が捨てられた卵を集めるように、全地を取り集めた。あるいは翼を動かし、あるいは口を開き、あるいはぺちゃくちゃ言う者もなかった」。

עַל־ הַמַּשּׂוֹר יִתְנַדַּל אִם־ בּוֹ הַחֹצֵב עַל הַנַּרְזֶן הֲיִתְפָּאֵר 15
に–対して 鋸が 高ぶるのか もし それで 切る–者に に–対して 斧が 誇るのか
H4883 H1431 H2672 H1631

לֹא־ מַטֶּה כְּהָרִים מְרִימָיו וְאֶת־ שֵׁבֶט כְּהָנִיף מְנִיפוֹ
ない 鞭が 持ち上げるかのように 持ち上げる–者たちを を 杖が 振るうかのように 振るう–者に
H3808 H4294 H0853 H7626

עֵץ׃
木を
H6086

おのは、それを用いて切る者にむかって、自分を誇ることができようか。のこぎりは、それを動かす者にむかって、みずから高ぶることができようか。これはあたかも、むちが自分をあげる者を動かし、つえが木でない者をあげようとするのに等しい。

רָזוֹן בְּמִשְׁמַנָּיו צְבָאוֹת יְהוָה הָאָדוֹן יִשַׁלַּח לָכֵן 16
やせ衰えを その–太った–者たちの–間に 万軍の–主が 主 主なる 送る それゆえ
H7332 H3068 H0113 H7971

אֵשׁ׃ כִּיקוֹד יֵקַד יֵקַד כְּבֹדוֹ וְתַחַת
火の 燃える–ものとして 燃える 燃える その–栄光の そして–その–栄光の–もとに
H0784 H3350 H3350 H3344 H3519 H8478

それゆえ、主、万軍の主は、その肥えた勇士の中に病気を送って衰えさせ、その栄光の下に火の燃えるような炎を燃やされる。

17 וְהָיָה אוֹר־יִשְׂרָאֵל לְאֵשׁ וּקְדוֹשׁוֹ לְלֶהָבָה
そして–なる 光は–イスラエルの 火と 聖なる–その–者は 炎と
H1961 H0216 H3478 H0784 H6918 H3852

וּבָעֲרָה וְאָכְלָה שִׁיתּוֹ וּשְׁמִירוֹ בְּיוֹם אֶחָד׃
そして–燃え上がり そして–食い尽くす その–いばらと その–あざみを 一日のうちに 一日の
H1961 H0398 H7898 H8068 H3117 H0259

イスラエルの光は火となり、その聖者は炎となり、そのいばらと、おどろとを一日のうちに焼き滅ぼす。

18 וּכְבוֹד יַעְרוֹ וְכַרְמְלוֹ מִנֶּפֶשׁ וְעַד־בָּשָׂר יְכַלֶּה
そして–栄光を その–森の そして–その–果樹園の たましいから そして–まで 肉体まで 滅ぼし尽くす
H3519 H3293 H3759 H5315 H5704 H1320 H3615

וְהָיָה כְּמֹסֵס נֹסֵס׃
そして–なる 衰え行く–者のように 衰え行く
H1961 H4549 H5263

また、その林と土肥えた田畑の栄えを、魂も、からだも二つながら滅ぼし、病める者のやせ衰える時のようにされる。

19 וּשְׁאָר עֵץ יַעְרוֹ מִסְפָּר יִהְיוּ וְנַעַר יִכְתְּבֵם׃ פ
そして–残り 木々は その–森の 数えるほどに なる 子供でも 書き記せる —
H7605 H6086 H3293 H4557 H1961 H5288 H3789

その林の木の残りのものはわずかであって、わらべもそれを書きとめることができる。

20 וְהָיָה בַיּוֹם הַהוּא לֹא־יוֹסִיף עוֹד שְׁאָר יִשְׂרָאֵל
そして–なる その–日に もはや–しない もはや 残りの–者は イスラエルの
H1961 H3117 H1931 H3808 H3254 H5750 H7605 H3478

וּפְלֵיטַת בֵּית־יַעֲקֹב לְהִשָּׁעֵן עַל־מַכֵּהוּ וְנִשְׁעַן עַל־יְהוָה
そして–逃れた–者たちは 家の ヤコブの 頼ることを に 打つ–者に そして–頼る に 主に
H6413 H1004 H3290 H8172 H5921 H4938 H8172 H5921 H3068

בֶּאֱמֶת׃ יִשְׂרָאֵל קְדוֹשׁ
真実に イスラエルの 聖なる–者
H0571 H3478 H6918

その日にはイスラエルの残りの者と、ヤコブの家の生き残った者とは、もはや自分たちを撃った者にたよらず、真心をもってイスラエルの聖者、主にたより、

21 שְׁאָר יָשׁוּב שְׁאָר יַעֲקֹב אֶל־אֵל גִּבּוֹר׃
残りの–者は 帰る 残りの–者は ヤコブの に 神 力ある–神に
H7605 H7725 H7605 H3290 H0413 H0410 H1368

残りの者、すなわちヤコブの残りの者は大能の神に帰る。

22 כִּי אִם־יִהְיֶה עַמְּךָ יִשְׂרָאֵל כְּחוֹל הַיָּם שְׁאָר יָשׁוּב
たとえ たとえ あなたの–民 イスラエルが 砂のように 海の 残りの–者だけが 帰る
H3588 H0518 H5971 H3478 H2344 H3220 H7605 H7725

בּוֹ כִלָּיוֹן חָרוּץ שׁוֹטֵף צְדָקָה׃
そこから 滅びが 定められた あふれる 義の
H1931 H3631 H2782 H7857 H6666

あなたの民イスラエルは海の砂のようであっても、そのうちの残りの者だけが帰って来る。滅びはすでに定まり、義であふれている。

23 כִּי כָלָה וְנֶחֱרָצָה אֲדֹנָי יְהוִה צְבָאוֹת עֹשָׂה בְּקֶרֶב
なぜなら 終わりと 定められたことを 主なる 万軍の–主 行う ただ中で
H3617 H2782 H0136 H3069 H6635 H7130

כָּל־ הָאָרֶץ׃ ס
すべての 全地の —
H3605 H0776

主、万軍の主は定められた滅びを全地に行われる。

24 לָכֵן כֹּה־ אָמַר אֲדֹנָי יְהוִה צְבָאוֹת אַל־ תִּירְאִי עַמִּי
それゆえ このように 言われる 主なる 万軍の–主は 恐れるな 恐れるな わが–民よ
H3541 H0559 H0136 H3069 H6635 H0408 H3372 H5971

יֹשֶׁבֶת צִיּוֹן מֵאַשּׁוּר בַּשֵּׁבֶט יַכֶּכָּה וּמַטֵּהוּ עָלַיִךְ יִשָּׂא־
住む–者よ シオンに アッシリヤを 杖で 彼は–あなたを–打ち そして–その–鞭を あなたに–対して 振り上げる
H3427 H6726 H0804 H7626 H5221 H4294 H5375

בְּדֶרֶךְ מִצְרָיִם׃
道で エジプトの
H1870 H4714

それゆえ、主、万軍の主はこう言われる、「シオンに住むわが民よ、アッスリヤびとが、エジプトびとがしたように、むちをもってあなたを打ち、つえをあげてあなたをせめても、彼らを恐れてはならない。

25 כִּי־ עוֹד מְעַט מִזְעָר וְכָלָה זַעַם וְאַפִּי בְּתָבְלִיתָם׃ עַל־
なぜなら もう しばらくの–間 ごくわずかの そして–終わる 憤りは そして–わが–怒りは 彼らの–滅びに 向けられる
H5750 H4592 H4213 H3615 H2195 H0639 H8399 H5921

ただしばらくして、わが憤りはやみ、わが怒りは彼らを滅ぼすからである。

26 וְעוֹרֵר עָלָיו יְהוָה צְבָאוֹת שׁוֹט כְּמַכַּת מִדְיָן בְּצוּר
そして–振るう 彼に–対して 主は 万軍の–主は 鞭を 打ったときのように ミデヤンを 岩で
H5782 H3068 H6635 H7752 H4347 H4080 H6697

עוֹרֵב וּמַטֵּהוּ עַל־ הַיָּם וְנָשָׂאוֹ בְּדֶרֶךְ מִצְרָיִם׃
オレブの そして–その–杖を に–向けて 海に 掲げる 道で エジプトの
H6159 H4294 H5921 H3220 H5375 H1870 H4714

万軍の主は、むかしミデアンびとをオレブの岩で撃たれた時のように、彼らにむかって、むちをふるわれる。またそのつえを海の上にのばし、エジプトでなされたように、それをあげられる。

27 וְהָיָה בַיּוֹם הַהוּא יָסוּר סֻבְלוֹ מֵעַל שִׁכְמֶךָ
そして–なる その–日に その 取り除かれる その–荷が から あなたの–肩から
H1961 H3117 H1931 H5493 H5448 H5921 H7926

וְעֻלּוֹ עַל מִפְּנֵי־ שֶׁמֶן׃ וְחָבַל צַוָּארֶךָ מֵעַל עַל
そして–その–くびきが くびきは ゆえに 油の そして–砕かれる あなたの–首から から
H5923 H5923 H6440 H8081 H2254 H6677 H5921

その日には、彼の重荷はあなたの肩からおり、彼のくびきはあなたの首から離れる」。彼はリンモンから上り、

28 בָּא עַל־ עַיָּת עָבַר בְּמִגְרוֹן לְמִכְמָשׂ יַפְקִיד כֵּלָיו׃
彼は–来た に アヤテに 通り過ぎた ミグロンを ミクマシュに 彼は–置いた その–荷物を
H0935 H5857 H5674 H4051 H4363 H6485 H3627

アイアテにきたり、ミグロンを過ぎ、ミクマシでその行李をとどめ、

גִּבְעַת	הָרָמָה	חָרְדָה	לָנוּ	מָלוֹן	גֶּבַע	מַעְבָּרָה	עָבְרוּ	29
ギブアは	ラマは	おののいた	わたしたちの	宿営地であった	ゲバは	渡し場を	彼らは–渡った	
H1390	H7414	H2729		H4411	H1387			

נָסָה׃	שָׁאוּל
逃げた	サウルの
H5127	H7586

渡しを過ぎて、ゲバに宿る。ラマはおののき、サウルのギベアは逃げ去った。

							30
עֲנָתוֹת׃	עֲנִיָּה	לַיְשָׁה	הַקְשִׁיבִי	גַּלִּים	בַּת־	קוֹלֵךְ	צַהֲלִי	
アナトテよ	哀れな	ライシャよ	聞け	ガリムの	娘よ	声を–あげよ	叫べ	
H6068	H6041		H7181	H1554	H1323			

ガリムの娘よ、声をあげて叫べ。ライシよ、耳を傾けよ。アナトテよ、彼に答えよ。

						31
הֵעִיזוּ׃	הַגֵּבִים	יֹשְׁבֵי	מַדְמֵנָה	נָדְדָה		
身を–隠した	ゲビムの	住民たちは	マデメナは	逃げ去った		
H5756	H1374	H3427	H4088	H5074		

マデメナは逃げ去り、ゲビムの民は隠れ場を求めた。

									32
צִיּוֹן	)בַּת־(	]בית־[	הַר	יָדוֹ	יְנִפָּף	לַעֲמֹד	בְּנֹב	הַיּוֹם	עוֹד	
シオンの	娘の	—	山に	その–手を	振り上げる	立ち止まり	ノブに	今日	今日なお	
H6726	H1323		H2022	H3027		H5975	H5011	H3117	H5750	

ס	יְרוּשָׁלִָם׃	גִּבְעַת
—	エルサレムの	丘に
	H3389	H1389

この日彼はノブに立ちとどまり、シオンの娘の山、エルサレムの丘にむかって、その手を振る。

									33
הַקּוֹמָה	וְרָמֵי	בְמַעֲרָצָה	פֹּארָה	מְסָעֵף	צְבָאוֹת	יְהוָה	הָאָדוֹן	הִנֵּה	
背丈の–ものは	そして–高い	恐ろしい–力で	枝を	切り落とす	万軍の–主は	主	主なる	見よ	
H6967		H4637		H5586		H3068	H0113	H2009	

יִשְׁפָּלוּ׃	וְהַגְּבֹהִים	גְּדוּעִים
低くされる	そして–高ぶる–者たちは	切り倒され
H8213	H1364	H1438

見よ、主、万軍の主は、恐ろしい力をもって枝を切りおろされる。たけの高いものも切り落され、そびえ立つものは低くされる。

								34
ס	יִפּוֹל׃	בְּאַדִּיר	וְהַלְּבָנוֹן	בַּבַּרְזֶל	הַיַּעַר	סְבְכֵי	וְנִקַּף	
—	倒れる	力ある–者によって	そして–レバノンは	鉄で	森の	茂みは	そして–切り倒される	
	H5307	H0117	H3844	H1270		H5442		

主はおのをもって茂りあう林を切られる。みごとな木の茂るレバノンも倒される。

Chapter 11

							1
יִפְרֶה׃	מִשָּׁרָשָׁיו	וְנֵצֶר	יִשָׁי	מִגֵּזַע	חֹטֶר	וְיָצָא	
実を–結ぶ	その–根から	そして–新芽が	エッサイの	切り株から	若枝が	そして–出る	
H6509	H8328	H5342	H3448	H1503	H2415	H3318	

エッサイの株から一つの芽が出、その根から一つの若枝が生えて実を結び、

2 וְנָחָה עָלָיו רוּחַ יְהוָה רוּחַ חָכְמָה וּבִינָה רוּחַ עֵצָה וּגְבוּרָה רוּחַ דַּעַת וְיִרְאַת יְהוָה׃
そして-留まる 彼の-上に 霊が 主の 霊 悟りの 助言と 力の 霊 知恵と 主への 畏れの 知識と
H5117 H7307 H3068 H7307 H0998 H6098 H1369 H7307 H2451 H3068 H3374 H1847

その上に主の霊がとどまる。これは知恵と悟りの霊、深慮と才能の霊、主を知る知識と主を恐れる霊である。

3 וְהַרִיחוֹ בְּיִרְאַת יְהוָה וְלֹא־לְמַרְאֵה עֵינָיו יִשְׁפּוֹט וְלֹא לְמִשְׁמַע אָזְנָיו יוֹכִיחַ׃
そして-彼の-喜びは 主への 畏れに-ある そして-ない 目に-見える-ものに-よって 彼の-目の 裁かず そして-ない 耳に-聞こえる-ものに-よって 彼の-耳の 判断しない
H7306 H3068 H3374 H3808 H4758 H8199 H3808 H4926 H0241 H3198

彼は主を恐れることを楽しみとし、その目の見るところによって、さばきをなさず、その耳の聞くところによって、定めをなさず、

4 וְשָׁפַט בְּצֶדֶק דַּלִּים וְהוֹכִיחַ בְּמִישׁוֹר לְעַנְוֵי־אָרֶץ וְהָכָה־אֶרֶץ בְּשֵׁבֶט פִּיו וּבְרוּחַ שְׂפָתָיו יָמִית רָשָׁע׃
そして-裁く 貧しい-者を そして-判決を-下す 公正-をもって 地の 打つ そして-息で その-口の 杖で 地を 柔和な-者の-ために 殺す その-唇の 悪者を
H8199 H1800 H3198 H6664 H0776 H5221 H7307 H6310 H7626 H0776 H0776 H4191 H8193 H7563

正義をもって貧しい者をさばき、公平をもって国のうちの柔和な者のために定めをなし、その口のむちをもって国を撃ち、そのくちびるの息をもって悪しき者を殺す。

5 וְהָיָה צֶדֶק אֵזוֹר מָתְנָיו וְהָאֱמוּנָה אֵזוֹר חֲלָצָיו׃
そして-なる 正義が 帯と その-腰の 帯と 真実が その-腿の
H1961 H6664 H0232 H4975 H0232 H0530 H2504

正義はその腰の帯となり、忠信はその身の帯となる。

6 וְגָר זְאֵב עִם־כֶּבֶשׂ וְנָמֵר עִם־גְּדִי יִרְבָּץ וְעֵגֶל וְכְפִיר וּמְרִיא יַחְדָּו וְנַעַר קָטֹן נֹהֵג בָּם׃
そして-住む 狼が 共に 子羊と そして-豹が 共に 子やぎと 横たわる そして-子牛と 若い-獅子と 肥えた-家畜が 共に そして-小さな 子どもが 導く 彼らを
H1961 H2061 H5973 H3532 H5246 H5973 H1423 H7257 H5695 H3715 H4806 H3162 H5288 H7200 H1980 H0870

おおかみは小羊と共にやどり、ひょうは子やぎと共に伏し、子牛、若じし、肥えたる家畜は共にいて、小さいわらべに導かれ、

7 וּפָרָה וָדֹב תִּרְעֶינָה יַחְדָּו יִרְבְּצוּ יַלְדֵיהֶן וְאַרְיֵה כַּבָּקָר יֹאכַל־תֶּבֶן׃
そして-雌牛と 熊が 共に-草を-食べ 共に 横たわる その-子どもたちは そして-獅子が 牛の-ように 食べる 藁を
H6510 H1677 H7462 H3162 H7257 H3206 H0738 H1241 H0398 H8401

雌牛と熊とは食い物を共にし、牛の子と熊の子と共に伏し、ししは牛のようにわらを食い、

8 וְשִׁעֲשַׁע יוֹנֵק עַל־חֻר פָּתֶן וְעַל מְאוּרַת צִפְעוֹנִי גָּמוּל

そして–遊ぶ 乳児が 上で 穴の コブラの そして–上に 巣穴の 毒蛇の 乳離れした–子が
H1580 H3975 H6620 H2352 H3243

יָדָהּ׃ יָדוֹ

その–手を 伸ばす
H3027 H1911

乳のみ子は毒蛇のほらに戯れ、乳離れの子は手をまむしの穴に入れる。

9 לֹא־ יָרֵעוּ וְלֹא יַשְׁחִיתוּ בְּכָל־ הַר קָדְשִׁי כִּי־

ない 害を–与えず そして–ない 滅ぼさない すべての 山で わたしの–聖なる なぜなら
H3808 H3808 H7843 H3605 H2022 H6944

פ מְכַסִּים׃ לַיָּם כַּמַּיִם יְהוָה אֶת־ דֵּעָה הָאָרֶץ מָלְאָה

段落 覆う–ように 海を 水が 主の (対格) 知識で 地が 満ちている
H3680 H3220 H4325 H3068 H0853 H1844 H0776 H4390

彼らはわが聖なる山のどこにおいても、そこなうことなく、やぶることがない。水が海をおおっているように、主を知る知識が地に満ちるからである。

10 וְהָיָה בַּיּוֹם הַהוּא שֹׁרֶשׁ יִשַׁי אֲשֶׁר עֹמֵד נֵס עַמִּים אֵלָיו

そして–なる その–日に その 根が エッサイの それは 立つ 旗として 諸国の–民の 彼に
H1961 H3117 H1931 H8328 H3448 H0834 H5975 H5251 H3816 H0413

פ כָּבוֹד׃ מְנֻחָתוֹ וְהָיְתָה יִדְרְשׁוּ גּוֹיִם

段落 栄光と その–安息は そして–なる 尋ね–求める 諸国が
H3519 H4496 H1961 H1875

その日、エッサイの根が立って、もろもろの民の旗となり、もろもろの国びとはこれに尋ね求め、その置かれる所に栄光がある。

11 וְהָיָה בַּיּוֹם הַהוּא יוֹסִיף אֲדֹנָי שֵׁנִית יָדוֹ לִקְנוֹת אֶת־

そして–なる その–日に その 再び 主が 二度目に その–手を–伸ばし 贖い–取る (対格)
H1961 H3117 H1931 H3254 H0136 H8145 H3027 H7069 H0853

שְׁאָר עַמּוֹ אֲשֶׁר יִשָּׁאֵר מֵאַשּׁוּר וּמִמִּצְרַיִם וּמִפַּתְרוֹס

残りの–民を その–民の それは 残される アッシリアから そして–エジプトから そして–パテロスから
H7605 H5971 H0834 H7604 H0804 H4714 H6624

וּמִכּוּשׁ וּמֵעֵילָם וּמִשִּׁנְעָר וּמֵחֲמָת וּמֵאִיֵּי הַיָּם׃

そして–クシュから そして–エラムから そして–シヌアルから そして–ハマテから そして–島々から 海の
H3568 H5867 H8152 H2574 H0339 H3220

その日、主は再び手を伸べて、その民の残れる者をアッスリヤ、エジプト、パテロス、エチオピヤ、エラム、シナル、ハマテおよび海沿いの国々からあがなわれる。

12 וְנָשָׂא נֵס לַגּוֹיִם וְאָסַף נִדְחֵי יִשְׂרָאֵל

そして–掲げる 旗を 諸国に–向けて そして–集める 追い–散らされた–者を イスラエルの
H5375 H5251 H0622 H5080 H3478

וּנְפֻצוֹת יְהוּדָה יְקַבֵּץ מֵאַרְבַּע כַּנְפוֹת הָאָרֶץ׃

そして–散らされた–者を ユダの 集める 四方の 隅から 地の
H3063 H6908 H0702 H3671 H0776

主は国々のために旗をあげて、イスラエルの追いやられた者を集め、ユダの散らされた者を地の四方から集められる。

13 וְסָרָה֙ קִנְאַ֣ת אֶפְרַ֔יִם וְצֹרְרֵ֖י יְהוּדָ֑ה אֶפְרַ֞יִם לֹֽא־יְקַנֵּ֣א אֶת־יְהוּדָ֗ה וִֽיהוּדָה֙ לֹֽא־יָצַ֣ר אֶת־אֶפְרָֽיִם׃

そして–去る そして–敵対する–者は エフライムの 妬みが エフライムは ない
H5493 H6887 H0669 H7068 H0669 H3808

そして–ユダは ない 敵対しない (対格) エフライムに
H3063 H3808 H6887 H0853 H0669

14 וְעָפ֞וּ בְּכֶתֶף־פְּלִשְׁתִּ֣ים יָ֗מָּה יַחְדָּו֙ יְבֹזְז֔וּ אֶת־בְּנֵי־קֶ֖דֶם אֱד֥וֹם וּמוֹאָ֖ב מִשְׁלַ֣ח יָדָ֑ם וּבְנֵ֥י עַמּ֖וֹן מִשְׁמַעְתָּֽם׃

そして–飛びかかる 肩に ペリシテ人の 西へ 共に 略奪する (対格) 東の
H5774 H3802 H6430 H3220 H3162 H0962 H0853 H6924

エドムと モアブに そして–手を 手を–伸ばし その–手を 入り江を (対格) 主が そして–干上がらせる
H0123 H4124 H3027 H4917 H3027 H3956 H0853 H3068 H2763

15 וְהֶחֱרִ֣ים יְהוָ֗ה אֵת֙ לְשׁ֣וֹן יָם־מִצְרַ֔יִם וְהֵנִ֥יף יָד֖וֹ עַל־הַנָּהָ֑ר בַּנְּעָלִֽים׃

そして–渡らせる そして–振る エジプトの 海の 入り江を (対格) 主が そして–干上がらせる
H2763 H5130 H4714 H3220 H3956 H0853 H3068 H2763

靴の–ままで 七つの 流れに そして–打つ その–風で 激しい 大河の
H5275 H7651 H5158 H5221 H7307 H5868 H5104

16 וְהָיְתָ֣ה מְסִלָּ֗ה לִשְׁאָר֙ עַמּ֔וֹ אֲשֶׁ֥ר יִשָּׁאֵ֖ר מֵאַשּׁ֑וּר כַּאֲשֶׁ֤ר הָיְתָה֙ לְיִשְׂרָאֵ֔ל בְּי֖וֹם עֲלֹתֽוֹ׃ מֵאֶ֥רֶץ מִצְרָֽיִם׃

そして–なる 大路が 残りの–民の–ために それは 残される その–民の アッシリアから
H1961 H4546 H7605 H5971 H834 H7604 H5971 H804

ちょうど–あった–ように イスラエルに–とって あった 日に 上って–来た 地から エジプトの
H1961 H3478 H3117 H5927 H776 H4714

Chapter 12

1 וְאָמַרְתָּ֣ בַּיּ֣וֹם הַה֗וּא יְהוָה֙ אוֹדְךָ֣ כִּ֤י אָנַ֨פְתָּ֙ בִּ֔י יָשָׁ֥ב אַפְּךָ֖ וּתְנַחֲמֵֽנִי׃

そして–あなたは–言う その–日に 主よ 感謝します なぜなら お怒りに–なりました 私に
H0559 H3117 H1931 H3034 H3068 H3588 H0599 H0595

そして–慰めて–くださる あなたの–怒りが 戻った
H5162 H0639 H7725

その日あなたは言う、「主よ、わたしはあなたに感謝します。あなたは、さきにわたしにむかって怒られたが、その怒りはやんで、わたしを慰められたからです。

2 הִנֵּה אֵל יְשׁוּעָתִי אֶבְטַח וְלֹא אֶפְחָד כִּי־עָזִּי וְזִמְרָת יָהּ וַיְהִי־לִי לִישׁוּעָה׃
見よ 神は 私の–救い 信頼します そして–ない 恐れない なぜなら 私の–力と 歌は ヤー 主であり 私に–とって 救いと
H2009 H0410 H3444 H0982 H3808 H6342 H3588 H5797 H2176 H3050 H1961 H3068 H3444

見よ、神はわが救である。わたしは信頼して恐れることはない。主なる神はわが力、わが歌であり、わが救となられたからである」。

3 וּשְׁאַבְתֶּם־מַיִם בְּשָׂשׂוֹן מִמַּעַיְנֵי הַיְשׁוּעָה׃
そして–くみ–上げる 水を 喜び–をもって 泉から 救いの
H7579 H4325 H8342 H4599 H3444

あなたがたは喜びをもって、救の井戸から水をくむ。

4 וַאֲמַרְתֶּם בַּיּוֹם הַהוּא הוֹדוּ לַיהוָה קִרְאוּ בִשְׁמוֹ הוֹדִיעוּ בָעַמִּים עֲלִילֹתָיו הַזְכִּירוּ כִּי נִשְׂגָּב שְׁמוֹ׃
そして–あなたがたは–言う その–日に その 感謝せよ 主に 呼べ その–名を 知らせよ 諸国の–民に その–みわざを 覚えさせよ ことを 高く–あげられたと その–名が
H0559 H3117 H1931 H3034 H3068 H7121 H8034 H3045 H5949 H2142 H3588 H7682 H8034

その日、あなたがたは言う、「主に感謝せよ。そのみ名を呼べ。そのみわざをもろもろの民の中につたえよ。そのみ名のあがむべきことを語りつげよ。

5 זַמְּרוּ יְהוָה כִּי גְאוּת עָשָׂה מוּדַעַת זֹאת בְּכָל־הָאָרֶץ׃
ほめたたえよ 主を なぜなら 威光ある–ことを 行われた 知らせよ (知らせよ) これを すべての 地に
H2167 H3068 H3588 H1348 H6213 H3045 H2063 H3605 H0776

主をほめうたえ。主はそのみわざを、みごとになし遂げられたから。これを全地に宣べ伝えよ。

6 צַהֲלִי וְרָנִּי יוֹשֶׁבֶת צִיּוֹן כִּי־גָדוֹל בְּקִרְבֵּךְ קְדוֹשׁ יִשְׂרָאֵל׃ פ
叫べ そして–歌え 住む–者よ シオンの なぜなら 大いなる あなたの–中に 聖なる–方が イスラエルの 段落
H6670 H7442 H3427 H6726 H3588 H1419 H7130 H6918 H3478

シオンに住む者よ、声をあげて、喜びうたえ。イスラエルの聖者はあなたがたのうちで大いなる者だから」。

Chapter 13

1 מַשָּׂא בָּבֶל אֲשֶׁר חָזָה יְשַׁעְיָהוּ בֶן־אָמוֹץ׃
宣告 バビロンに–対する それを 幻見した イザヤが 息子の アモツの
H4853 H0894 H0834 H2372 H3470 H1121 H0531

アモツの子イザヤに示されたバビロンについての託宣。

2 עַל הַר־ נְשָׂפָה שְׂאוּ־ נֵס הָרִימוּ קוֹל לָהֶם הָנִיפוּ יָד וְיָבֹאוּ פִּתְחֵי
山の 上に はげた 掲げよ 旗を 上げよ 声を 彼らに 振れ 手を そして-入れ 門に
H2022 H8192 H5375 H5251 H7311 H6963 H3027 H0935 H6607

נְדִיבִים׃
高貴な-者の
H5081

あなたがたは木のない山に旗を立て、声をあげて彼らを招き、手を振って彼らを貴族の門に、はいらせよ。

3 אֲנִי צִוִּיתִי לִמְקֻדָּשָׁי גַּם קָרָאתִי גִבּוֹרַי לְאַפִּי
わたしが 命じた 聖別された-者に また 呼んだ わたしの-勇士を わたしの-怒りの-ために
H0589 H6680 H6942 H1571 H7121 H1368 H0639

עַלִּיזֵי גַּאֲוָתִי׃
得意に-誇る-者を わたしの-威光の
H5947 H1346

わたしはわが怒りのさばきを行うために聖別した者どもに命じ、わが勇士、わが勝ち誇る者どもを招いた。

4 קוֹל הָמוֹן בָּהָרִים דְּמוּת עַם־ רַב שְׁאוֹן מַמְלְכוֹת גּוֹיִם
群衆の 山々の-上の さまの-ような 民の 大いなる 騒ぎの 王国々の 諸国の
H1995 H2022 H1823 H5971 H7588 H4467 H1471

נֶאֱסָפִים יְהוָה צְבָאוֹת מְפַקֵּד צָבָא מִלְחָמָה׃
集まった 主が 万軍の 召集する 軍勢を 戦いの
H0622 H3068 H6635 H6635 H4421

聞け、多くの民のような騒ぎ声が山々に聞える。聞け、もろもろの国々、寄りつどえるもろもろの国民のざわめく声が聞える。これは万軍の主が戦いのために軍勢を集められるのだ。

5 בָּאִים מֵאֶרֶץ מֵרָחָק מִקְצֵה הַשָּׁמָיִם יְהוָה וּכְלֵי זַעְמוֹ לְחַבֵּל
来る 地から 遠くの 果てから 天の 主と その-武器が その-怒りの 滅ぼす-ために
H0935 H0776 H4801 H7097 H8064 H3068 H3627 H2195 H2254

כָּל־ הָאָרֶץ׃
すべての 地を
H3605 H0776

彼らは遠い国から、天の果から来る。これは、主とその憤りの器で、全地を滅ぼすために来るのだ。

6 הֵילִילוּ כִּי קָרוֹב יוֹם יְהוָה כְּשֹׁד מִשַּׁדַּי יָבוֹא׃
泣き-叫べ なぜなら 近い 日が 主の 破壊の-ように 全能者から 来る
H3213 H3588 H7138 H3117 H3068 H7701 H7706 H0935

あなたがたは泣き叫べ。主の日が近づき、滅びが全能者から来るからだ。

7 עַל־ כֵּן כָּל־ יָדַיִם תִּרְפֶּינָה וְכָל־ לֵבָב אֱנוֹשׁ יִמָּס׃
それゆえ すべての 手が 垂れ-下がる そして-すべての 心が 人の 溶ける
H3588 H3605 H3027 H7503 H3605 H3824 H0582 H4549

それゆえ、すべての手は弱り、すべての人の心は溶け去る。

8 וְנִבְהָלוּ צִירִים וַחֲבָלִים יֹאחֵזוּן כַּיּוֹלֵדָה תָּחִיל אִישׁ
そして-恐れおののく 苦痛と 産みの-苦しみが 捕らえる 産婦の-ように もだえ-苦しむ 人は
H0926 H6735 H2256 H3205 H2342 H0376

פְּנֵיהֶם׃ לְהָבִים כְּפְנֵי יִתְמָהוּ רֵעֵהוּ אֶל־
彼らの-顔は 炎の-ように 顔が 見つめ-驚く 隣人を その
H6440 H3851 H6440 H8539 H7453 H0413

彼らは恐れおののき、苦しみと悩みに捕えられ、子を産まんとする女のようにもだえ苦しみ、互に驚き、顔を見あわせ、その顔は炎のようになる。

9 הִנֵּה יוֹם־יְהוָה בָּא אַכְזָרִי וְעֶבְרָה וַחֲרוֹן אָף לָשׂוּם הָאָרֶץ לְשַׁמָּה וְחַטָּאֶיהָ יַשְׁמִיד מִמֶּנָּה׃

見よ	日が	主の	来る	残忍な	怒りと	燃える	憤りの	する–ために	地を	荒れ地に
H2009	H3117	H3068	H0935	H0394	H5678	H2740	H0639	H0776	H0776	H8047

そこから	滅ぼす	そして–その–罪人を
	H8045	H2400

見よ、主の日が来る。残忍で、憤りと激しい怒りとをもってこの地を荒し、その中から罪びとを断ち滅ぼすために来る。

10 כִּי־כוֹכְבֵי הַשָּׁמַיִם וּכְסִילֵיהֶם לֹא יָהֵלּוּ אוֹרָם חָשַׁךְ הַשֶּׁמֶשׁ בְּצֵאתוֹ וְיָרֵחַ לֹא־יַגִּיהַ אוֹרוֹ׃

なぜなら	星々が	天の	ない	そして–その–星座が	ない	輝かせない	その–光を	暗く–なる	太陽が
	H3556	H8064	H3808	H3685	H3808	H0216	H0216	H2821	H8121

その–昇る–時に	そして–月は	ない	照らさない	その–光を
H3318	H3394	H3808	H5050	H0216

天の星とその星座とはその光を放たず、太陽は出ても暗く、月はその光を輝かさない。

11 וּפָקַדְתִּי עַל־תֵּבֵל רָעָה וְעַל־רְשָׁעִים עֲוֹנָם וְהִשְׁבַּתִּי גְּאוֹן זֵדִים וְגַאֲוַת עָרִיצִים אַשְׁפִּיל׃

そして–罰する	上に	世界を	悪の–ために	そして–上に	悪者を	その–咎の–ために	
	H5921	H8398	H7451	H5921	H7563	H5771	

そして–終わらせる	高慢を	傲慢な–者の	そして–誇りを	横暴な–者の	低くする
H7673	H1347	H2086	H1346	H6184	H8213

わたしはその悪のために世を罰し、その不義のために悪い者を罰し、高ぶる者の誇をとどめ、あらぶる者の高慢を低くする。

12 אָקֵר אֱנוֹשׁ מִפָּז וְאָדָם מִכֶּתֶם אוֹפִיר׃

希少に–する	人を	純金よりも	そして–人間を	金よりも	オフィルの
H3365	H0582	H6337	H0120	H3800	H0211

わたしは人を精金よりも、オフルのこがねよりも少なくする。

13 עַל־כֵּן שָׁמַיִם אַרְגִּיז וְתִרְעַשׁ הָאָרֶץ מִמְּקוֹמָהּ בְּעֶבְרַת יְהוָה צְבָאוֹת וּבְיוֹם חֲרוֹן אַפּוֹ׃

それ–ゆえ	それゆえ	天を	震わせる	そして–揺れる	地が	その–場所から	怒りに–より	主の	
		H8064	H7264	H7493	H0776	H4725	H5678	H3068	

その–怒りの	燃える	そして–日に	万軍の
H0639	H2740	H3117	

それゆえ、万軍の主の憤りにより、その激しい怒りの日に、天は震い、地は揺り動いて、その所をはなれる。

14 וְהָיָה כִּצְבִי מֻדָּח וּכְצֹאן אֵין מְקַבֵּץ אִישׁ אֶל־עַמּוֹ יִפְנוּ וְאִישׁ אֶל־אַרְצוֹ יָנוּסוּ׃

そして–なる	追われた	ガゼルの–ように	そして–羊の–ように	いない	集める–者が	人は	その		
H1961	H5080		H6629	H0369	H6908	H0376	H0413		

民の–もとへ	向き	そして–人は	その	国へ	逃げる
	H6437	H0376	H0413	H0776	H5127

彼らは追われた、かもしかのように、あるいは集める者のない羊のようになって、おのおの自分の民に帰り、自分の国に逃げて行く。

15
כָּל־ הַנִּמְצָא יִדָּקֵר וְכָל־ הַנִּסְפֶּה יִפּוֹל בֶּחָרֶב׃
すべての 見つかる-者は 刺し-貫かれる そして-すべての 捕まる-者は 倒れる 剣に-より
H3605 H4672 H1856 H3605 H5595 H5307 H2719

すべて見いだされる者は刺され、すべて捕えられる者はつるぎによって倒され、

16
וְעֹלְלֵיהֶם יְרֻטָּשׁוּ לְעֵינֵיהֶם יְשֻׁסּוּ בָּתֵּיהֶם וְנָשֵׁיהֶם תִּשָּׁכַבְנָה׃ (תשגלנה)
そして-その-幼子は 打ち-砕かれる その-目の-前で 略奪される その-家は そして-その-妻は (犯される) [輓められる]
H5768 H7376 H8155 H1004 H0802 H7901 H7693

彼らのみどりごはその目の前で投げ砕かれ、その家はかすめ奪われ、その妻は汚される。

17
הִנְנִי מֵעִיר עֲלֵיהֶם אֶת־ מָדַי אֲשֶׁר־ כֶּסֶף לֹא יַחְשֹׁבוּ וְזָהָב לֹא יַחְפְּצוּ־ בּוֹ׃
見よ-わたしは 導き-起こす 彼らに-対して (対格) メディア人を それは 銀を ない 重んじず そして-金を ない 喜ばない それを
H2009 H5782 H5921 H0853 H4074 H0834 H3701 H3808 H2803 H2091 H3808 H2654 H0999

見よ、わたしは、しろがねをも顧みず、こがねをも喜ばないメデアびとを起して、彼らにむかわせる。

18
וְקַשָּׁתוֹת נְעָרִים תְּרַטַּשְׁנָה וּפְרִי־ בֶטֶן לֹא יְרַחֵמוּ עַל־ בָּנִים לֹא תָחוֹס עֵינָם׃
そして-弓が 若者を 打ち-砕く そして-胎の 実を ない 憐れまず 上に 子どもに ない 容赦しない その-目は
H7198 H5288 H7376 H6529 H0990 H3808 H7355 H5921 H1121 H3808 H2347 H5869

彼らの弓は若い者を射殺し、腹の実をあわれむことなく、幼な子を見て、惜しむことがない。

19
וְהָיְתָה צְבִי מַמְלָכוֹת תִּפְאֶרֶת גְּאוֹן כַּשְׂדִּים כְּמַהְפֵּכַת אֱלֹהִים אֶת־ סְדֹם וְאֶת־ עֲמֹרָה׃
そして-なる 輝き 王国々の 栄光 誇りの カルデア人の 覆しの-ように 神の (対格) ソドム と (対格) ゴモラを
H1961 H6643 H4467 H8597 H1347 H3778 H4114 H0430 H5467 H0853 H6017

国々の誉であり、カルデヤびとの誇である麗しいバビロンは、神に滅ぼされたソドム、ゴモラのようになる。

20
לֹא־ תֵשֵׁב עַד־ נְצַח לָנֶצַח תִּשְׁכֹּן וְלֹא־ דֹר עַד־ דֹּר וְלֹא־ יֶהֱלַל שָׁם עֲרָבִי וְרֹעִים לֹא־ יַרְבְּצוּ שָׁם׃
ない 住まない 永遠に 住まない そして-ない 代から まで 代まで 張らない そこに アラビア人が-天幕を そして-羊飼いが ない 伏させない そこに
H3808 H3427 H5331 H7931 H3808 H1755 H5704 H1755 H0167 H8033 H6440 H7462 H3808 H7257 H8033

ここにはながく住む者が絶え、世々にいたるまで住みつく者がなく、アラビヤびともそこに天幕を張らず、羊飼もそこに群れを伏させることがない。

21 וְרָבְצוּ־ שָׁם צִיִּים וּמָלְאוּ בָתֵּיהֶם אֹחִים וְשָׁכְנוּ שָׁם בְּנוֹת יַעֲנָה וּשְׂעִירִים יְרַקְּדוּ־ שָׁם׃

そして-伏す そこに 荒野の-獣が そして-満ちる その-家は ふくろうで そして-住む そこに 娘らが 駝鳥の そして-雄山羊が 跳ね-回る そこで

H7257 H8033 H6728 H4390 H0255 H7931 H8033 H1323 H3284 H7540 H8033

ただ、野の獣がそこに伏し、ほえる獣がその家に満ち、だちょうがそこに住み、鬼神がそこに踊る。

22 וְעָנָה אִיִּים בְּאַלְמְנוֹתָיו וְתַנִּים בְּהֵיכְלֵי עֹנֶג קָרוֹב לָבוֹא וְלֹא תִמָּשֵׁכְנָה יָמֶיהָ׃

そして-鳴く ジャッカルが その-宮殿に そして-山犬が 快楽の 宮殿に 近い そして-来る 来る-ことが ない そして-その-日々は 延びない

H6256 H3117 H3808 H4900 H1323 H6027 H7138 H0935

ハイエナはその城の中で鳴き、山犬は楽しい宮殿でほえる。その時の来るのは近い、その日は延びることがない。

Chapter 14

1 כִּי יְרַחֵם יְהוָה אֶת־ יַעֲקֹב וּבָחַר עוֹד בְּיִשְׂרָאֵל וְהִנִּיחָם עַל־ אַדְמָתָם וְנִלְוָה הַגֵּר עֲלֵיהֶם וְנִסְפְּחוּ עַל־ בֵּית יַעֲקֹב׃

なぜなら 憐れむ 主が (対格) ヤコブを そして-再び-選ぶ 再び イスラエルを そして-休ませる 上に その-土地の そして-加わる 寄留者が 彼らに そして-加えられる 上に 家に ヤコブの

H3588 H7355 H3068 H0853 H3290 H0977 H5750 H3478 H3240 H0127 H3867 H1616 H5921 H3290 H1004 H5921 H1

主はヤコブをあわれみ、イスラエルを再び選んで、これをおのれの地に置かれる。異邦人はこれに加わって、ヤコブの家に結びつらなり、

2 וְלָקְחוּם עַמִּים וְהֵבִיאוּם אֶל־ מְקוֹמָם וְהִתְנַחֲלוּם בֵּית־ יְהוָה עַל אַדְמַת עָלֶיהָ לַעֲבָדִים וְלִשְׁפָחוֹת וְהָיוּ שֹׁבֵיהֶם וְרָדוּ בְנֹגְשֵׂיהֶם׃ ס

そして-取る 諸国の-民が-彼らを そして-連れて-来る その 場所へ そして-受け-継ぐ 家が 主の 土地の 上に しもべとして そして-はしためとして そして-なる 捕らえる-者に そして-支配する 圧迫者を 区切り

H3947 H5971 H0935 H0413 H4725 H5157 H1004 H3068 H0127 H5921 H5650 H8198 H1961 H7617 H7287 H5065 H5

主はヤコブをあわれみ、イスラエルを再び選んで、これをおのれの地に置かれる。異邦人はこれに加わって、ヤコブの家に結びつらなり、

3 וְהָיָה בְּיוֹם הָנִיחַ יְהוָה לְךָ מֵעָצְבְּךָ וּמֵרַגְזֶךָ וּמִן־ הָעֲבֹדָה הַקָּשָׁה אֲשֶׁר עֻבַּד־ בָּךְ׃

そして-なる 日に 休ませる 主が あなたを あなたの-悲しみから そして-あなたの-恐れから そして-から 労働の 過酷な それは 強いられた あなたに

H1961 H3117 H5117 H3068 H7667 H6093 H7267 H4480 H5656 H7186 H834 H5647 H7667

もろもろの民は彼らを連れてその所に導いて来る。そしてイスラエルの家は、主の地で彼らを男女の奴隷とし、さきに自分たちを捕虜にした者を捕虜にし、自分たちをしえたげた者を治める。

主があなたの苦労と不安とを除き、またあなたが服した苦役を除いて、安息をお与えになるとき、

אֵיךְ	וְאָמַרְתָּ	בָּבֶל	מֶלֶךְ	עַל־	הַזֶּה	הַמָּשָׁל	וְנָשָׂאתָ	4
どうして	そして-言う	バビロンの	王に	対して	この	嘲りの-歌を	そして-あなたは-唱える	
	H0559	H0894	H4428		H2088	H4912	H5375	

מַדְהֵבָה׃	שָׁבְתָה	נֹגֵשׂ	שָׁבַת
横暴が	終わった	圧迫者が	終わったのか
H4062		H5065	

あなたはこのあざけりの歌をとなえ、バビロンの王をののしって言う、「あの、しえたげる者は全く絶えてしまった。あの、おごる者は全く絶えてしまった。

מֹשְׁלִים׃	שֵׁבֶט	רְשָׁעִים	מַטֵּה	יְהוָה	שָׁבַר	5
支配者の	笛を	悪者の	杖を	主が	折った	
H4910	H7626	H7563	H4294	H3068	H7665	

主は悪い者のつえと、つかさびとの笏を折られた。

גּוֹיִם	בְּאַף	רֹדֶה	סָרָה	בִּלְתִּי	מַכַּת	בְּעֶבְרָה	עַמִּים	מַכֵּה	6
諸国を	怒りで	支配する-者が	やまぬ	絶えず	打撃で	怒りで	諸国の-民を	打つ-者が	
	H0639		H5627	H1115	H4347	H5678		H5221	

חָשָׂךְ׃	בְּלִי	מֻרְדָּף
容赦なく	なく	迫害される
H2820	H1097	H4783

彼らは憤りをもってもろもろの民を絶えず撃っては打ち、怒りをもってもろもろの国を治めても、そのしえたげをとどめる者がなかった。

רִנָּה׃	פָּצְחוּ	הָאָרֶץ	כָּל־	שָׁקְטָה	נָחָה	7
喜びの-歌を	歓声を-上げる	地が	すべての	静かに-なる	休む	
H7440	H6476	H0776	H3605	H8252	H5117	

全地はやすみを得、穏やかになり、ことごとく声をあげて歌う。

שָׁכַבְתָּ	מֵאָז	לְבָנוֹן	אַרְזֵי	לָךְ	שָׂמְחוּ	בְּרוֹשִׁים	גַּם־	8
あなたが-倒れて	以来	レバノンの	レバノンの-杉も	あなたに-ついて	喜ぶ	糸杉も	また	
H7901		H3844	H0730		H8055	H1265	H1571	

עָלֵינוּ׃	הַכֹּרֵת	יַעֲלֶה	לֹא־
われらに-対して	伐り-手が	上って-来ない	ない
	H3772	H5927	H3808

いとすぎおよびレバノンの香柏でさえもあなたのゆえに喜んで言う、『あなたはすでに倒れたので、もはや、きこりが上ってきて、われわれを攻めることはない』。

עוֹרֵר	בּוֹאֶךָ	לִקְרָאת	לָךְ	רָגְזָה	מִתָּחַת	שְׁאוֹל	9
導き-起こす	あなたの-来るのを	迎える-ために	あなたの-ために	震えた	下から	陰府が	
H5782	H0935	H7125		H7264	H8478	H7585	

מַלְכֵי	כֹּל	מִכִּסְאוֹתָם	הֵקִים	אֶרֶץ	עַתּוּדֵי	כָּל־	רְפָאִים	לָךְ
王を	すべての	その-玉座から	立たせた	地の	指導者を	すべての	死者の-霊を	あなたの-ために
H4428	H3605	H3678		H0776	H6260	H3605	H7496	

גּוֹיִם׃
諸国の

下の陰府はあなたのために動いて、あなたの来るのを迎え、地のもろもろの指導者たちの亡霊をあなたのために起し、国々のもろもろの王をその王座から立ちあがらせる。

10
כֻּלָּם יַעֲנוּ וְיֹאמְרוּ אֵלֶיךָ גַּם־אַתָּה חֳלֵיתָ כָמֹונוּ אֵלֵינוּ
皆が 答える そして–言う あなたに また あなたも 弱く–なったのか われらの–ように われらに
H3605 H0413 H0559 H0413 H1571 H0413 H3644 H0413

נִמְשָׁלְתָּ׃
似た–者と–なったのか

彼らは皆あなたに告げて言う、『あなたもまたわれわれのように弱くなった、あなたもわれわれと同じようになった』。

11
הוּרַד שְׁאוֹל גְּאוֹנֶךָ הֱמִיַּת נְבָלֶיךָ תַּחְתֶּיךָ יֻצַּע רִמָּה
下された 陰府に あなたの–誇りが 響きが あなたの–琴の あなたの–下に 敷かれる 蛆が
H3381 H7585 H1347 H1998 H8478 H3331 H7415

וּמְכַסֶּיךָ תּוֹלֵעָה׃
そして–あなたの–覆いは 蛆である
H4374

あなたの栄華とあなたの琴の音は陰府に落ちてしまった。うじはあなたの下に敷かれ、みみずはあなたをおおっている。

12
אֵיךְ נָפַלְתָּ מִשָּׁמַיִם הֵילֵל בֶּן־שָׁחַר נִגְדַּעְתָּ לָאָרֶץ חוֹלֵשׁ
どうして 落ちたのか 天から 明けの–明星よ 息子よ 曙の 切り–倒された 地に 弱くする–者が
H0335 H5307 H8064 H1966 H1121 H7837 H1438 H0776 H2522

עַל־גּוֹיִם׃
上に 諸国を

黎明の子、明けの明星よ、あなたは天から落ちてしまった。もろもろの国を倒した者よ、あなたは切られて地に倒れてしまった。

13
וְאַתָּה אָמַרְתָּ בְלִבָּבְךָ הַשָּׁמַיִם אֶעֱלֶה מִמַּעַל לְכֹוכְבֵי־אֵל אָרִים
そして–あなたは 言った あなたの–心の–中で 天に 上る 上に 星々の 神の 上げる
H0559 H3824 H8064 H5927 H4605 H3556 H0410 H7311

כִּסְאִי אָשֵׁב וְאֵשְׁבָ בְּהַר־מֹועֵד בְּיַרְכְּתֵי צָפֹון׃
わたしの–玉座を そして–座る 山に 会合の 奥に 北の
H3678 H3427 H2022 H4150 H3411 H6828

あなたはさきに心のうちに言った、『わたしは天にのぼり、わたしの王座を高く神の星の上におき、北の果なる集会の山に座し、

14
אֶעֱלֶה עַל־בָּמֳתֵי עָב אֲדַמֶּה לְעֶלְיֹון׃
上る 上に 高き–所の 雲の 等しく–なる いと–高き–方に
H5927 H5945 H1116 H1819

雲のいただきにのぼり、いと高き者のようになろう』。

15
אַךְ אֶל־שְׁאוֹל תּוּרָד אֶל־יַרְכְּתֵי בֹור׃
しかし その 陰府に 下される その 奥底に 穴の
H0389 H0413 H7585 H3381 H0413 H3411

しかしあなたは陰府に落され、穴の奥底に入れられる。

16

הָאָרֶץ	מַרְגִּיז	הָאִישׁ	הַזֶּה	יִתְבּוֹנָנוּ	אֵלֶיךָ	יַשְׁגִּיחוּ	אֵלֶיךָ	רֹאֶיךָ
地を	震わせた	その–人か	これが	よく–見る	あなたを	見つめる	あなたを	あなたを–見る–者が
H0776	H7264	H0376	H2088	H0995	H0413	H7688	H0413	H7200

מַמְלָכוֹת׃	מַרְעִישׁ
王国を	揺るがせた
H4467	H7493

あなたを見る者はつくづくあなたを見、あなたに目をとめて言う、『この人は地を震わせ、国々を動かし、

17

פָּתַח	לֹא־	אֲסִירָיו	הָרַס	וְעָרָיו	כַּמִּדְבָּר	תֵּבֵל	שָׂם
開かなかった	ない	その–捕虜を	破壊した	そして–その–町を	荒野の–ように	世界を	した
	H3808	H0615	H2040			H8398	

בָּיְתָה׃
家へ

世界を荒野のようにし、その都市をこわし、捕えた者をその家に解き帰さなかった者であるのか』。

18

בְּבֵיתוֹ׃	אִישׁ	בְּכָבוֹד	שָׁכְבוּ	כֹּלָם	גּוֹיִם	מַלְכֵי	כֹּל־	
その–墓に	各々	栄光の–中に	横たわる	皆が	諸国の	王らが	すべての	
	H0376	H3519	H7901	H3605		H4428	H3605	

もろもろの国の王たちは皆尊いさまで、自分の墓に眠る。

19

לְבוּשׁ	נִתְעָב	כְּנֵצֶר	מִקִּבְרְךָ	הָשְׁלַכְתָּ	וְאַתָּה			
衣を–まとう	忌み–嫌われた	若枝の–ように	あなたの–墓から	投げ–捨てられた	そして–あなたは			
H3830	H8581	H5342	H6913	H7993				

כְּפֶגֶר	בּוּר	אַבְנֵי־	אֶל־	יוֹרְדֵי	חֶרֶב	מְטֹעֲנֵי	הֲרֻגִים	
死体の–ように	穴の	石へ	その	下る–者が	剣で	刺し–貫かれた–者の	殺された–者の	
H6297		H0068	H0413	H3381	H2719	H2944	H2026	

מוּבָס׃
踏み–つけられた
H0947

しかしあなたは忌みきらわれる月足らぬ子のように墓のそとに捨てられ、つるぎで刺し殺された者でおおわれ、踏みつけられる死体のように穴の石に下る。

20

עַמְּךָ	שִׁחַתָּ	אַרְצְךָ	כִּי־	בְקִבוּרָה	אִתָּם	תֵּחַד	לֹא־	
あなたの–民を	滅ぼした	あなたの–地を	なぜなら	埋葬に–おいて	彼らと	合流しない	ない	
	H7843	H0776		H6900	H0854	H3161	H3808	

מְרֵעִים׃	זֶרַע	לְעוֹלָם	יִקָּרֵא	לֹא־	הָרַגְתָּ	
悪を–行う–者の	子孫と	永遠に	呼ばれない	ない	殺した	
	H2233	H5769	H7121	H3808	H2026	

あなたは自分の国を滅ぼし、自分の民を殺したために、彼らと共に葬られることはない。どうか、悪を行う者の子孫はとこしえに名を呼ばれることのないように。

21

יָקֻמוּ	בַל־	אֲבוֹתָם	בַּעֲוֹן	מַטְבֵּחַ	לְבָנָיו	הָכִינוּ	
起ち–上がらず	決して–ない	その–父の	咎の–ために	虐殺の–場を	その–子らの–ために	準備せよ	
	H1077	H0001	H5771	H4293			

עָרִים׃	תֵּבֵל	פְּנֵי־	וּמָלְאוּ	אָרֶץ	וְיִרְשׁוּ		
町々で	世界の	面を	そして–満たさない	地を	そして–受け–継がない		
	H8398	H6440	H4390	H0776	H3423		

先祖のよこしまのゆえに、その子孫のためにほふり場を備えよ。これは彼らが起って地を取り、世界のおもてに町々を満たすことのないためである」。

22 וְקַמְתִּי עֲלֵיהֶם נְאֻם יְהוָה צְבָאוֹת וְהִכְרַתִּי לְבָבֶל שֵׁם
そして-立ち-上がる 彼らに-対して 宣言する 主が 万軍の そして-断ち-切る バビロンから 名を
H5975 H5921 H5002 H3068 H6635 H3772 H0894 H8034

וְנִין וְנֶכֶד נְאֻם־יְהוָה׃ וּשְׁאָר
そして-子を そして-孫を 宣言する 主が そして-残りを
H5209 H5220 H5002 H3068 H7605

万軍の主は言われる、「わたしは立って彼らを攻め、バビロンからその名と、残れる者、その子と孫とを断ち滅ぼす、と主は言う。

23 וְשַׂמְתִּיהָ לְמוֹרַשׁ קִפֹּד וַאֲגַמֵּי־מָיִם וְטֵאטֵאתִיהָ בְּמַטְאֲטֵא הַשְׁמֵד
所有と ハリネズミの そして-池と 水の そして-掃き-清める 箒で 滅びの
H4180 H7090 H0098 H4325 H2894 H4292 H8045

פ צְבָאוֹת׃ יְהוָה נְאֻם
段落 万軍の 主が 宣言する
H3068 H5002

わたしはこれをはりねずみのすみかとし、水の池とし、滅びのほうきをもって、これを払い除く、と万軍の主は言う」。

24 נִשְׁבַּע יְהוָה צְבָאוֹת לֵאמֹר אִם־לֹא כַּאֲשֶׁר דִּמִּיתִי
誓った 主が 万軍の 言って 必ず ない-ことは-ない ちょうど 思った-とおりに
H7650 H3068 H6635 H0559 H0518 H3808 H0834 H1819

כֵּן הָיְתָה וְכַאֲשֶׁר יָעַצְתִּי הִיא תָקוּם׃
その-とおりに なった そして-ちょうど 計画した-とおりに それが 成る
H1961 H3289 H1931

万軍の主は誓って言われる、「わたしが思ったように必ず成り、わたしが定めたように必ず立つ。

25 לִשְׁבֹּר אַשּׁוּר בְּאַרְצִי וְעַל־הָרַי אֲבוּסֶנּוּ וְסָר
砕く-ために アッシリアを わたしの-地で そして-上で わたしの-山で 踏み-つける そして-去る
H7665 H0804 H0776 H5921 H2022 H0947 H5493

מֵעֲלֵיהֶם עֻלּוֹ וְסֻבָּלוֹ מֵעַל שִׁכְמוֹ יָסוּר׃
彼らから その-軒が そして-その-重荷が 上から その-肩から 去る
H5923 H5448 H5921 H7926 H5493

わたしはアッスリヤびとをわが地で打ち破り、わが山々で彼を踏みにじる。こうして彼が置いたくびきはイスラエルびとから離れ、彼が負わせた重荷はイスラエルびとの肩から離れる」。

26 זֹאת הָעֵצָה הָעֻצָה עַל־כָּל־הָאָרֶץ וְזֹאת הַיָּד הַנְּטוּיָה
これが 計画である 計画された 対して すべての 地に そして-これが 手である 伸ばされた
H2063 H6098 H3289 H5921 H3605 H0776 H2063 H3027 H5186

עַל־כָּל־הַגּוֹיִם׃
対して すべての 諸国に
H5921 H3605

これは全地について定められた計画である。これは国々の上に伸ばされた手である。

27 כִּי־יְהוָה צְבָאוֹת יָעָץ וּמִי יָפֵר וְיָדוֹ הַנְּטוּיָה
なぜなら 主が 万軍の 計画した そして-誰が 崩すのか そして-その-手は 伸ばされて-いる
H3588 H3068 H6635 H3289 H4310 H6565 H3027 H5186

פ יְשִׁיבֶנָּה׃ וּמִי
段落 引き-戻すのか そして-誰が
H7725 H4310

万軍の主が定められるとき、だれがそれを取り消すことができるのか。その手を伸ばされるとき、だれがそれを引きもどすことができるのか。

28 בִּשְׁנַת־ מֵוֹת הַמֶּלֶךְ אָחָז הָיָה הַמַּשָּׂא הַזֶּה׃
年に 死の 王の アハズの あった 宣告が この
H8141 H4194 H4428 H0271 H1961 H2088

アハズ王の死んだ年にこの託宣があった、

29 אַל־ תִּשְׂמְחִי כָּל־ פְּלֶשֶׁת כִּי נִשְׁבַּר שֵׁבֶט מַכֵּךְ
するな 喜ぶな ペリシテよ すべての–あなたよ なぜなら 折れた 杖が あなたを–打つ–者の
H0408 H8055 H6429 H3605 H7665 H7626 H5221

כִּי מִשֹּׁרֶשׁ יֵצֵא נָחָשׁ וּפִרְיוֹ שָׂרָף מְעוֹפֵף׃
なぜなら 根から 出る 蛇の そして–その–実は 燃える–蛇 飛ぶ
H8328 H3318 H5175 H6529 H8314

「ペリシテの全地よ、あなたを打ったむちが折られたことを喜んではならない。へびの根からまむしが出、その実は飛びかけるへびとなるからだ。

30 וְרָעוּ בְכוֹרֵי דַלִּים וְאֶבְיוֹנִים לָבֶטַח יִרְבָּצוּ וְהֵמַתִּי בָרָעָב
そして–食べる 初子が 貧しい–者の そして–乏しい–者が 安全に 伏す そして–殺す 飢饉で
H7462 H1060 H1800 H0034 H0983 H7257 H4191 H7458

שָׁרְשֵׁךְ וּשְׁאֵרִיתֵךְ אֲהָרֹג׃
あなたの–根を そして–あなたの–残りを 殺す
H8328 H7611 H2026

いと貧しい者は食を得、乏しい者は安らかに伏す。しかし、わたしはききんをもってあなたの子孫を殺し、あなたの残れる者を滅ぼす。

31 הֵילִילִי שַׁעַר זְעָקִי־ נָמוֹג עִיר כָּל־ פְּלֶשֶׁת כִּי מִצָּפוֹן עָשָׁן
泣き–叫べ 門よ 叫べ 溶ける 町よ すべての–あなたよ ペリシテよ なぜなら 北から 煙が
H3213 H8179 H2199 H4127 H5892 H3605 H6429 H6828 H6227

וְאֵין בּוֹדֵד בְּמוֹעָדָיו׃
そして–いない 落伍者が その–隊列に
H0369 H0909 H4151

門よ、泣きわめけ。町よ、叫べ。ペリシテの全地よ、恐れのあまり消えうせよ、北から煙が来るからだ。その隊列からは、ひとりも脱落する者はない」。

32 וּמַה־ יַּעֲנֶה מַלְאֲכֵי־ גוֹי כִּי יְהוָה יָסַד צִיּוֹן וּבָהּ
そして–何を 答えるか 使いに 国の それは 主が 基づいた シオンを そして–そこに
H4100 H4397 H1471 H3068 H3245 H6726

סׄ עַמּוֹ׃ עֲנִיֵּי יֶחֱסוּ
区切り その–民の 苦しむ–者が 身を–寄せる
H6041 H2620

その国の使者たちになんと答えようか。「主はシオンの基をおかれた、その民の苦しむ者はこの中に避け所を得る」と答えよ。

Chapter 15

1

נִדְמָה	מוֹאָב	עָר	שֻׁדַּד	בְּלֵיל	כִּי	מַשָּׂא
滅ぼされた	モアブの	アルが	破壊された	夜の-うちに	なぜなら	宣告
H1820	H4124	H6144	H7703	H3915		

נִדְמָה׃	מוֹאָב	קִיר־	שֻׁדַּד	בְּלֵיל	כִּי
滅ぼされた	モアブの	キル	破壊された	夜の-うちに	なぜなら
H1820	H4124		H7703	H3915	

モアブについての託宣。アルは一夜のうちに荒されて、モアブは滅びうせ、キルは一夜のうちに荒されて、モアブは滅びうせた。

2

מֵידְבָא	וְעַל	נְבוֹ	עַל־	לִבְכִי	הַבָּמוֹת	וְדִיבֹן	הַבַּיִת	עָלָה
メデバで	そして-上に	ネボと	上に	泣く-ために	高き-所へ	ディボンが	家が-そして	上った
H4311				H1065	H1116	H1769	H1006	H5927

גְּרוּעָה׃	זָקָן	כָּל־	קָרְחָה	רֹאשׁ	בְּכָל־	יְיֵלִיל	מוֹאָב
剃り-落とされた	ひげが	すべての	禅髪が-あり	その-頭に	すべての	泣き-叫ぶ	モアブは
H1639	H2206	H3605	H7144		H3605	H3213	H4124

デボンの娘は高き所にのぼって泣き、モアブはネボとメデバの上で嘆き叫ぶ。おのおのその頭をかぶろにし、そのひげをことごとくそった。

3

יְיֵלִיל	כֻּלֹּה	וּבִרְחֹבֹתֶיהָ	גַּגּוֹתֶיהָ	עַל	שָׂק	חָגְרוּ	בְּחוּצֹתָיו
泣き-叫ぶ	皆が	そして-その-広場で	その-屋上で	上に	荒布を	まとった	その-通りで
H3213	H3605	H7339	H1406		H8242	H2296	H2351

בַּבֶּכִי׃	יֵרֵד
涙の-中で	下り-行く
H1065	H3381

彼らはそのちまたで荒布をまとい、その屋根または広場で、みな泣き叫び、涙に浸る。

4

כֵּן	עַל־	קוֹלָם	נִשְׁמַע	יַהַץ	עַד־	וְאֶלְעָלֵה	חֶשְׁבּוֹן	וַתִּזְעָק
それゆえ	それ-ゆえ	その-声が	聞こえる	ヤハツまで	まで	エルアレが	ヘシボンと	そして-叫ぶ
			H8085	H3096	H5704	H0500	H2809	H2199

לוֹ׃	יָרֵעָה	נַפְשׁוֹ	יָרִיעוּ	מוֹאָב	חֲלָצָיו
彼の-中で	震える	その-魂が	叫ぶ	モアブの	武装した-者が
	H3415	H5315	H7321	H4124	

ヘシボンとエレアレとは叫び、その声はヤハズまで聞える。それゆえ、モアブの兵士は声をあげ、その魂はおののく。

5

שְׁלִשִׁיָּה	עֶגְלַת	צֹעַר	עַד־	בְּרִיחֶהָ	יְזַעֲק	לְמוֹאָב	לִבִּי	
雌牛の-ように	三歳の	ツォアルまで	まで	その-逃亡者は	叫ぶ	モアブの-ために	わたしの-心が	
H7992		H6820	H5704	H1280	H2199	H4124		

זַעֲקַת־	חוֹרֹנַיִם	דֶּרֶךְ	כִּי	בּוֹ	יַעֲלֶה־	בִּבְכִי	הַלּוּחִית	מַעֲלֵה
叫びを	ホロナイムの	道で	なぜなら	そこを	上る	泣きながら	ルヒトの	上り-坂を
H2201	H2773	H1870			H5927	H1065	H3872	H4608

יְעוֹרֵרוּ׃	שֶׁבֶר	וְכִי
上げる	滅びの	なぜなら
H5782	H7667	

わが心はモアブのために叫び呼ばわる。その落人はゾアルおよびエグラテ・シリシヤにのがれ、泣きながらルヒテの坂をのぼり、ホロナイムの道で滅びの叫びをあげる。

יֶרֶק	דֶּשֶׁא	כָּלָה	חָצִיר	יָבֵשׁ	כִּי־	יִהְיוּ	מְשַׁמּוֹת	נִמְרִים	מֵי	כִּי־	6
緑が	青草が	尽きた	草が	枯れた	なぜなら	なる	荒れ-果てる	ニムリムの	水が	なぜなら	
H3418	H1877	H3615		H3001		H1961	H4923	H5249	H4325		

לֹא	הָיָה׃
ない	
H3808	H1961

ニムリムの水はかわき、草は枯れ、苗は消えて、青い物はない。

עַל־	כֵּן	יִתְרָה	עָשָׂה	וּפִקְדָתָם	עַל	נַחַל	הָעֲרָבִים	יִשָּׂאוּם׃	7
それ-ゆえ	それゆえ	余剰を	積んだ	そして-その-蓄えを	上で	川の	柳の	運ぶ	
		H3502		H6486			H6155	H5375	

それゆえ、彼らはその得た富と、そのたくわえた物とを携えて、柳の川をわたる。

יְלָלָתָה׃	אֵילִים	בְּאֵר	עַד־	מוֹאָב	גְּבוּל	אֶת־	הַזְעָקָה	הִקִּיפָה	כִּי־	8
その-叫びが	エグライムまで		まで	モアブの	境を	(対格)	叫びが	巻き-囲んだ	なぜなら	
H3215	H0097		H5704	H4124	H1366	H0853	H2201			

יְלָלָתָהּ׃	אֵילִים
その-叫びが	そして-ベエル-エリムまで
H3215	H0879

その叫びの声はモアブの境をめぐり、その嘆きの声はエグライムにいたり、またその嘆きの声はベエル・エリムにいたる。

נוֹסָפוֹת	דִּימוֹן	עַל־	אָשִׁית	כִּי־	דָּם	מָלְאוּ	דִימוֹן	מֵי	כִּי	9
さらなる-ものを	ディモンに	上に	加える	なぜなら	血で	満ちた	ディモンの	水が	なぜなら	
H3254	H1775		H7896		H1818	H4390	H1775	H4325		

אַדְמָה׃	וְלִשְׁאֵרִית	אַרְיֵה	מוֹאָב	לִפְלֵיטַת
地の	そして-残りの-者に-対して	獅子を	モアブの	逃れた-者に-対して
H0127	H7611		H4124	H6413

デボンの水は血で満ちる。わたしはデボンの上にさらに災を加え、モアブののがれた者とこの地の残った者とに、ししを送る。

Chapter 16

צִיּוֹן׃	בַּת־	הַר	אֶל־	מִדְבָּרָה	מִסֶּלַע	אֶרֶץ	מֹשֵׁל־	כֶּר	שִׁלְחוּ־	1
シオンの	娘の	山へ	その	荒野を-通って	セラから	地の	支配者に	小羊を	送れ	
H6726	H1323	H2022	H0413		H5554	H0776	H4910		H7971	

彼らはセラから荒野の道によって小羊をシオンの娘の山に送り、国のつかさに納めた。

מַעְבָּרֹת	מוֹאָב	בְּנוֹת	תִּהְיֶינָה	מְשֻׁלָּח	קֵן	נוֹדֵד	כְּעוֹף־	וְהָיָה	2
渡し-場で	モアブの	娘らが	なる	追い-出された	巣から	さまよう	鳥の-ように	そして-なる	
	H4124	H1323	H1961	H7971	H7064	H5074	H5775	H1961	

לְאַרְנֹן׃
アルノンの
H0769

モアブの娘らはアルノンの渡しで、さまよう鳥のように、巣を追われたひなのようである。

3

בְּתוֹךְ	צִלֵּךְ	כַּלָּיְלָה	שִׁיתִי	פְּלִילָה	עֲשׂוּ	עֵצָה	(הָבִיאוּ)	[הביאו]
中に	あなたの-影を	夜の-ように	置け	裁きを	行え	助言を	(持ち-来い)	[持ち-来い]
H8432	H6738	H3915	H7896	H6415		H6098	H0935	H0935

תְּנַלִּי׃	אַל־	נֹדֵד	נִדָּחִים	סַתְּרִי	צָהֳרָיִם
裏切るな	するな	さまよう-者を	追い-散らされた-者を	隠せ	真昼の
H1540	H0408	H5074	H5080	H5641	

「相はかって、事を定めよ。真昼の中でも、あなたの陰を夜のようにし、さすらい人を隠し、のがれて来た者をわたさず、

4

סֵתֶר	הֱוִי־	מוֹאָב	נִדָּחַי	בָּךְ	יָגוּרוּ	
隠れ-場と	なれ	モアブの	わたしの-追い-散らされた-者を	あなたの-中に	宿らせよ	
		H4124	H5080			

תָּמּוּ	שֹׁד	כָּלָה	הַמֵּיץ	אָפֵס	כִּי־	שׁוֹדֵד	מִפְּנֵי	לָמוֹ
消えた	破壊が	終わった	圧迫者が	終わった	なぜなら	略奪者の	前から	彼らの-ために
H8552	H7701	H3615	H4160	H0656		H7703	H6440	

רֹמֵס׃	מִן־	הָאָרֶץ׃	
踏み-つける-者が	から	地から	
H7429		H0776	

モアブのさすらい人を、あなたのうちにやどらせ、彼らの避け所となって、滅ぼす者からのがれさせよ。しえたげる者がなくなり、滅ぼす者が絶え、踏みにじる者が地から断たれたとき、

5

דָּוִד	בְּאֹהֶל	בֶּאֱמֶת	עָלָיו	וְיָשַׁב	כִּסֵּא	בַּחֶסֶד	וְהוּכַן
ダビデの	天幕の-中に	真実を-もって	その-上に	そして-座る	玉座が	憐みで	そして-立てられる
H1732	H0168	H0571		H3427	H3678		

צֶדֶק׃	וּמְהֵר	מִשְׁפָּט	וְדֹרֵשׁ	שֹׁפֵט
正義の	そして-速やかな	公正を	そして-求める	裁く-者が
H6664	H4106	H4941	H1875	H8199

一つの玉座がいつくしみによって堅く立てられ、ダビデの幕屋にあって、さばきをなし、公平を求め、正義を行うに、すみやかなる者が真実をもってその上に座する」。

6

לֹא־	וְעֶבְרָתוֹ	וּגְאוֹנוֹ	גַּאֲוָתָו	מְאֹד	גֵּא	מוֹאָב	גְּאוֹן־	שָׁמַעְנוּ	
ない	その-怒りは	その-誇りと	その-高慢と	非常に	誇り高い	モアブの	高慢を	聞いた	
H3808	H5678	H1347	H1346	H3966	H1341	H4124	H1347	H8085	

ס	בַּדָּיו׃	כֵּן	
区切り	その-おしゃべりは	正しく-ない	
	H0907		

われわれはモアブの高ぶりのことを聞いた、その高ぶることは、はなはだしい。われわれはその誇と、高ぶりと、そのおごりとのことを聞いた、その自慢は偽りである。

7

לָאֲשִׁישֵׁי	יְיֵלִיל	כֻּלָּה	לְמוֹאָב	מוֹאָב	יְיֵלִיל	לָכֵן	
干し-ぶどうの-菓子の-ために	泣き-叫ぶ	皆が	モアブの-ために	モアブが	泣き-叫ぶ	それ-ゆえ	
H0808	H3213	H3605	H4124	H4124	H3213		

נֶהְגֶּה׃	אַךְ־	תֶּהְגּוּ	חֲרֶשֶׁת	קִיר־
打ち-砕かれた	まことに	嘆く	ハレセトの	キル
	H0389	H1897	H7025	H7025

それゆえ、モアブは泣き叫べ、民はみなモアブのために泣き叫べ。全く撃ちのめされて、キルハレセテの干ぶどうのために嘆け。

8
כִּי שְׁדְמוֹת חֶשְׁבּוֹן אֻמְלָל גֶּפֶן שִׂבְמָה בַּעֲלֵי גּוֹיִם הָלָמוּ
なぜなら 畠が ヘシボンの 衰えた ぶどうの-木が シブマの 主人らが 諸国の 打ち-倒した
H7709 H2809 H0535 H1612 H7643 H1167 H1986

שֹׂרֵקֶיהָ שָׁלְחוּ נָטְשׁוּ עָבְרוּ
その-良い-枝を まで ヤズエルまで 届いて-いた さまよった 荒野に その-枝は 広がった 越えた
H8291 H5704 H3270 H5060 H8582 H4057 H7976 H5203

יָם׃
海を
H3220

ヘシボンの畑と、シブマのぶどうの木とは、しぼみ衰えた。国々のもろもろの主が、その枝を打ち落したからである。その枝はさきにはヤゼルまでいたり、荒野にまではびこり、そのつるは広がって海を越えた。

9
עַל־כֵּן אֶבְכֶּה בְּכִי יַעְזֵר גֶּפֶן שִׂבְמָה אַרְוֶיךָ דִמְעָתִי
それゆえ 泣く 涙で ヤズエルの ぶどうの-木を 潤す わたしの-涙で
H1058 H1065 H3270 H1612 H7643 H7301 H1832

וְעַל־ קֵיצֵךְ וְעַל־ קְצִירֵךְ הָרִיעַ נָפָל׃ הֵידָד
落ちた 叫びが
H5307 H1959

それゆえ、わたしはヤゼルと共に、シブマのぶどうの木のために泣く。ヘシボンよ、エレアレよ、わたしは涙をもってあなたを浸す。ときの声が、あなたの果実と、あなたの収穫の上にふりかかってきたからである。

10
וְנֶאֱסַף מִן־ כַּרְמֶל הַכַּרְמֶל וּבַכְּרָמִים לֹא־ יְרֻנָּן
喜びと そして-取り-去られた から 果樹園から そして-ぶどう-畑で 歌わず
H8057 H0622 H4057 H3759 H3754 H3808

הַשְׁבָּתִי׃ הֵידָד הַדֹּרֵךְ יִדְרֹךְ לֹא־ בַיְקָבִים יַיִן יָרִיעַ לֹא
終わらせた 叫びを 踏む-者が 踏まない ない 酒船で ぶどう-酒を 叫ばず ない
H7673 H1959 H1869 H1869 H3808 H3342 H3196 H7321 H3808

11
וְהֻמּוּ כַכִּנּוֹר לְמוֹאָב מֵעַי כֵּן עַל־
うなる 琴の-ように モアブの-ために わたしの-はらわたが それゆえ それ-ゆえ
H1993 H3658 H4124 H4578 H4057 H5921

וְקִרְבִּי לְקִיר חָרֶשׂ׃
そして-わたしの-内は キル-ハレセトの-ために
H7130 H7025

それゆえ、わが魂はモアブのために、わが心はキルハレスのために、琴のように鳴りひびく。

12
וְהָיָה כִּי־ נִרְאָה כִּי־ נִלְאָה מוֹאָב עַל־ הַבָּמָה וּבָא אֶל־
そして-なる ときに 現れる ときに 疲れた モアブが 上で 高き-所で そして-来る その
H1961 H7200 H3811 H4124 H5921 H1116 H0935 H0413

וְלֹא יוּכָל׃ לְהִתְפַּלֵּל מִקְדָּשׁוֹ
そして-ない できない 祈る-ために 聖所へ
H3808 H3201 H6419 H4720

モアブが高き所に出て、おのれを疲れさせ、またその聖所にきて祈っても、効果はない。

13 これが H2088 / 言葉である H1697 / それを / 語った H1696 / 主が H3068 / 対して H0413 / モアブに H4124 / 以前から

これは主がさきにモアブについて語られたみ言葉である。

14 そして–今 H6258 / 語る H1696 / 主が H3068 / 言って H0559 / 三年の–内に H7969 / 年の H8141 / 年の–ように H8141 / 雇い–人の H7916 / そして–卓しめられる H7034

栄光が H3519 / モアブの H4124 / すべての H3605 / その–大きな / 群衆と–共に / そして–残りは H7605 / 少なく H4592 / わずかで H4213 / ない H3808

区切り / 大きく–ない H3524

しかし今、主は語って言われる、「モアブの栄えはその大いなる群衆にもかかわらず、雇人の年期とひとしく三年のうちに、はずかしめを受け、残れる者はまことに少なく、力がない」。

Chapter 17

1 宣告 / ダマスコに–対する H1834 / 見よ H2009 / ダマスコは H1834 / 取り–除かれる H5493 / 町から / 廃墟の–山と H4596

崩れ–落ちた

ダマスコについての託宣。見よ、ダマスコは町の姿を失って、荒塚となる。

2 捨てられた / 町々が / アロエルの H6177 / 群れの–ための H5739 / ものと–なる H1961 / そして–伏す H7257 / そして–いない H0369

おびえさせる–者が H2729

その町々はとこしえに捨てられ、家畜の群れの住む所となって、伏しやすむが、これを脅かす者はない。

3 そして–終わる / 要塞が H4013 / エフライムから / 王国が H4467 / ダマスコから H1834 / そして–残りの–者は H7605 / アラムの H0758

区切り / 万軍の / 主が H3068 / 宣言する H5002 / なる H1961 / イスラエルの H3478 / 子らの / 栄光の–ように H3519

エフライムのとりではすたり、ダマスコの主権はやみ、スリヤの残れる者は、イスラエルの子らの栄光のように消えうせると万軍の主は言われる。

4 そして–なる H1961 / その–日に H3117 / その H1931 / 乏しく–なる H1809 / 栄光が H3519 / ヤコブの H3290 / そして–肥満が / その–肉の H1320 / 痩せる H7329

その日、ヤコブの栄えは衰え、その肥えたる肉はやせ、

וְהָיָה יִקְצֹר שִׁבֳּלִים וּזְרֹעוֹ קָמָה קָצִיר כְּאֹסֵף וְהָיָה 5
そして-なる 刈り-取る 穂を そして-その-腕が 穂を 収穫の 集める-ように そして-なる
H1961 H7054 H0622 H1961

רְפָאִים׃ בְּעֵמֶק שִׁבֳּלִים כִּמְלַקֵּט
レファイムの 谷で 穂を 拾い-集める-ように
H6010 H3950

あたかも刈入れ人がまだ刈らない麦を集め、かいなをもって穂を刈り取ったあとのように、レパイムの谷で穂を拾い集めたあとのようになる。

בְּרֹאשׁ גַּרְגְּרִים שְׁלֹשָׁה שְׁנַיִם זַיִת כְּנֹקֵף עֹלְלֹת בּוֹ וְנִשְׁאַר־ 6
頂に 実が 三つの 二つ-三つの オリーブを 叩く-ように 落ち-穂が そこに そして-残る
H1620 H7969 H8147 H2132 H5363 H5955 H7604

ס יִשְׂרָאֵל׃ אֱלֹהֵי יְהוָה נְאֻם־ פְּרִיָּהּ בְּסָעִפֶּיהָ חֲמִשָּׁה אַרְבָּעָה אָמִיר
区切り イスラエルの 神が 主が 宣言する 実り-豊かな その-枝に 五つの 四つ-五つの 枝の
H3478 H0430 H3068 H5002 H6509 H5585 H2568 H0702 H0534

オリブの木を打つとき、二つ三つの実をこずえに残し、あるいは四つ五つをみのり多き木の枝に残すように、とり残されるものがあるとイスラエルの神、主は言われる。

קְדוֹשׁ אֶל־ וְעֵינָיו עֹשֵׂהוּ עַל־ הָאָדָם יִשְׁעֶה הַהוּא בַּיּוֹם 7
聖なる-方を その そして-その-目が 造り-主を その 人が 仰ぎ-見る その その-日に
H6918 H0413 H0120 H8159 H1931 H3117

יִשְׂרָאֵל׃ תִּרְאֶינָה
見る イスラエルの
H7200 H3478

その日、人々はその造り主を仰ぎのぞみ、イスラエルの聖者に目をとめ、

אֶצְבְּעֹתָיו עָשׂוּ וַאֲשֶׁר יָדָיו מַעֲשֵׂה הַמִּזְבְּחוֹת אֶל־ יִשְׁעֶה וְלֹא 8
その-指が 作った そして-それを その-手の 仕事を 祭壇を その 仰ぎ-見ない そして-ない
H0676 H3027 H4639 H4196 H0413 H8159 H3808

וְהַחַמָּנִים׃ וְהָאֲשֵׁרִים יִרְאֶה לֹא
香の-台も アシェラも 見ない ない
H2553 H0842 H7200 H3808

おのれの手のわざである祭壇を仰ぎのぞまず、おのれの指が造ったアシラ像と香の祭壇とに目をとめない。

אֲשֶׁר וְהָאָמִיר הַחֹרֶשׁ כַּעֲזוּבַת מָעֻזּוֹ עָרֵי וְהָיוּ הַהוּא בַּיּוֹם 9
それを そして-枝の 森の 捨てられた-ように その-砲市の 町々が なる その その-日に
H0534 H2793 H4581 H1961 H1931 H3117

שְׁמָמָה׃ וְהָיְתָה יִשְׂרָאֵל בְּנֵי מִפְּנֵי עָזְבוּ
荒れ地と そして-なる イスラエルの 子らの 前から 捨てた
H1961 H3478 H6440

その日、彼らの堅固な町々は昔イスラエルの子らのゆえに捨て去られたヒビびとおよびアモリびとの荒れ跡のように荒れ地になる。

זָכָרְתְּ לֹא מָעֻזֵּךְ וְצוּר יִשְׁעֵךְ אֱלֹהֵי שָׁכַחַתְּ כִּי 10
思い-出さなかった ない あなたの-砲市の そして-岩を あなたの-救いの 神を 忘れた なぜなら
H2142 H3808 H4581 H6697 H3468 H0430 H7911

תִּזְרָעֶנּוּ׃ זָר וּזְמֹרַת נַעֲמָנִים נְטָעֵי תִּטָּעִי כֵּן עַל־
耕く 異国の そして-枝を 快い-ものの 苗を 植える それゆえ それ-ゆえ
H2232 H2156 H5282 H5194 H5193

これはあなたがたが自分の救の神を忘れ、自分の避け所なる岩を心にとめなかったからだ。それゆえ、あなたがたは美しい植物を植え、異なる神の切り枝をさし、

בְּיוֹם	קָצִיר	נֶד	תַּפְרִיחִי	זַרְעֵךְ	וּבַבֹּקֶר	תְּשַׁגְשְׁגִי	נְטִעֵךְ	בְּיוֹם	11
日に	収穫が	去る	花-咲かせる	あなたの-種を	そして-朝に	生い-茂らせ	植えた-日に	日に	
H3117		H5067		H2233	H1242	H7735	H5194	H3117	

ס	:אָנוּשׁ	וְכְאֵב	נַחֲלָה
区切り	癒し-がたい	そして-痛みの	病の
	H0605	H3511	

その植えた日にこれを成長させ、そのまいた朝にこれを花咲かせても、その収穫は悲しみと、いやしがたい苦しみの日にとび去る。

לְאֻמִּים	וּשְׁאוֹן	יֶהֱמָיוּן	יַמִּים	כַּהֲמוֹת	רַבִּים	עַמִּים	הֲמוֹן	הוֹי	12
国々の	そして-騒ぎよ	とどろく	海の	とどろきの-ように	多くの	諸国の-民の	群衆よ	ああ	
H3816	H7588	H1993	H3220	H1993				H1945	

:יִשְׁאֽוֹן	כַּבִּירִים	מַיִם	כִּשְׁאוֹן
騒ぐ	大いなる	水の	騒ぎの-ように
H7582	H3524	H4325	H7588

ああ、多くの民はなりどよめく、海のなりどよめくように、彼らはなりどよめく。ああ、もろもろの国はなりとどろく、大水のなりとどろくように、彼らはなりとどろく。

מִמֶּרְחָק	וְנָס	בּוֹ	וְגָעַר	יִשְׁאוֹן	רַבִּים	מַיִם	כִּשְׁאוֹן	לְאֻמִּים	13
遠くへ	そして-逃げる	彼を	そして-叱る	騒ぐ	多くの	水の	騒ぎの-ように	国々は	
H4801	H5127		H1605	H7582		H4325	H7588	H3816	

סוּפָה׃	לִפְנֵי	וְכִגַלְגַּל	רוּחַ	לִפְנֵי־	הָרִים	כְּמָץ	וְרֻדַּף
嵐の	前の	そして-回る-草の-ように	風の	前の	山の	籾の-ように	そして-追われる
	H6440	H1534	H7307	H6440	H2022	H4671	H7291

もろもろの国は多くの水のなりとどろくように、なりとどろく。しかし、神は彼らを懲しめられる。彼らは遠くのがれて、風に吹き去られる山の上のもみがらのように、また暴風にうず巻くちりのように追いやられる。

חֵלֶק	זֶה	אֵינֶנּוּ	בֹּקֶר	בְּטֶרֶם	בַּלָּהָה	וְהִנֵּה	עֶרֶב	לְעֵת	14
分け前である	これが	いない	朝の	前に	恐怖が	そして-見よ	夕べの	時に	
H2088		H0369	H1242	H2962	H1091	H2009	H6153	H6256	

ס	:לְבֹזְזֵינוּ	וְגוֹרָל	שׁוֹסֵינוּ
区切り	我らを-奪う-者の	そして-運命である	我らを-略奪する-者の
	H0962	H1486	H8154

夕暮には、見よ、恐れがある。まだ夜の明けないうちに彼らはうせた。これはわれわれをかすめる者の受くべき分、われわれを奪う者の引くべきくじである。

Chapter 18

כּוּשׁ׃	לְנַהֲרֵי־	מֵעֵבֶר	אֲשֶׁר	כְּנַפַּיִם	צִלְצַל	אֶרֶץ	הוֹי	1
クシュの	川々の	向こうに-ある	それは	羽の	羽音の	地よ	ああ	
	H5104	H5676		H3671		H0776	H1945	

ああ、エチオピヤの川々のかなたなるぶんぶんと羽音のする国、

2 הַשֹּׁלֵחַ בַּיָּם צִירִים וּבִכְלֵי־גֹמֶא עַל־פְּנֵי מַיִם לְכוּ מַלְאָכִים
送る-者が 海に 使者を そして-器で パピルスの 上を 面の 水の 行け 使者よ
H7971 H3220 H6525 H3627 H1573 H5921 H6440 H4325 H3212 H4397

קַלִּים אֶל־גּוֹי מְמֻשָּׁךְ וּמוֹרָט אֶל־עַם נוֹרָא מִן־הוּא
足-早き その 国へ 引き-伸ばされた そして-磨かれた 民へ 恐れられる から その
H7031 H0413 H1471 H4900 H4178 H5971 H3372 H4480 H1931

אַרְצוֹ׃ נְהָרִים בָּזְאוּ אֲשֶׁר־קָו וּמְבוּסָה קָו־וָקָו גּוֹי וָהָלְאָה
その-地を 川が 分かつ それは そして-踏み-つける 力の 力と 国へ 向こうまで
H0776 H5104 H0958 H0834 H4001 H6978 H6978 H1471 H1973

この国は葦の船を水にうかべ、ナイル川によって使者をつかわす。とく走る使者よ、行け。川々の分れる国の、たけ高く、膚のなめらかな民、遠近に恐れられる民、力強く、戦いに勝つ民へ行け。

3 כָּל־יֹשְׁבֵי תֵבֵל וְשֹׁכְנֵי אֶרֶץ כִּנְשֹׂא־נֵס הָרִים תִּרְאוּ וּכְתָקְעַ
すべての 住む-者よ 世界の そして-住む-者よ 地の 掲げる-時に 旗を 山々に 見よ そして-吹く-時に 角笛を 聞け 区切り
H3605 H3427 H8398 H7931 H0776 H5375 H5251 H2022 H7200 H8628 H7782 H8085 ס

שִׁמְעוּ׃ שׁוֹפָר

すべて世におるもの、地に住むものよ、山の上に旗の立つときは見よ、ラッパの鳴りひびくときは聞け。

4 כִּי כֹה אָמַר יְהוָה אֵלַי אשקוטה] [אֶשְׁקְטָה(וְאַבִּיטָה
なぜなら こう 言った 主が わたしに [静かに-する] (静かに-する) そして-見る
H3588 H3541 H0559 H3068 H0413 H8252 H8252 H5027

בְּחֹם עַל־אוֹר צָחַח כְּחֹם בִּמְכוֹנִי
暴さの-中の 露の 雲の-ように 光の 上の 澄んだ 暖かさの-ように わたしの-住まいから
H2527 H2919 H5645 H0216 H6703 H2527 H4349

קָצִיר׃
収穫の

主はわたしにこう言われた、「晴れわたった日光の熱のように、刈入れの熱むして露の多い雲のように、わたしは静かにわたしのすまいから、ながめよう」。

5 כִּי־לִפְנֵי קָצִיר כְּתֻם־פֶּרַח וּבֹסֶר גֹּמֵל יִהְיֶה נִצָּה
なぜなら 前に 収穫の 完成する-時に 花が そして-未熟の-ぶどうが 熟す なる 実と
H3588 H6440 H7105 H8552 H6525 H1155 H1580 H1961 H5328

הַתֵּז׃ הֵסִיר הַנְּטִישׁוֹת וְאֶת־בַּמַּזְמֵרוֹת הַזַּלְזַלִּים וְכָרַת
切り-落とす 取り-除く のびた-つるを そして(対格) 剃り-刃で のびた-枝を そして-切る
H8456 H5493 H5189 H0853 H4211 H2150 H3772

刈入れの前、花は過ぎてその花がぶどうとなって熟すとき、彼はかまをもって、つるを刈り、枝を切り去る。

6 יֵעָזְבוּ יַחְדָּו לְעֵיט הָרִים וְלִבְהֵמַת הָאָרֶץ וְקַץ עָלָיו הָעַיִט
捨てられる 共に 猛禽に 山の そして-獣に 地の そして-過ごす その-上で 猛禽が-夏を
H5800 H3162 H5861 H2022 H0929 H0776 H6972 H5921 H5861

וְכָל־בְּהֵמַת הָאָרֶץ עָלָיו תָּחֳרֶף׃
そして-すべての 獣が 地の その-上で 冬を-過ごす
H3605 H0929 H0776 H5921 H2778

彼らはみな山の猛禽と、地の獣とに捨て置かれる。猛禽はその上で夏を過ごし、地の獣はみなその上で冬を過ごす。

וּמוֹרָט	מְמֻשָּׁךְ	עָם	צְבָאוֹת	לַיהוָה	שַׁי	יוּבַל־	הַהִיא	בָּעֵת׃	7
そして-磨かれた	引き-伸ばされた	民から	万軍の	主に	貢ぎ物が	運ばれる	その	時に	
H4178	H4900			H3068	H7862	H2986	H1931	H6256	

וּמְבוּסָה	קָו	קַו־	וְגוֹי	וָהָלְאָה	הַוּא	מִן־	נוֹרָא	וּמֵעָם
そして-踏み-つける	力の	力と	国から	向こうまで	その	から	恐れられる	そして-民から
H4001	H6978	H6978		H1973	H1931		H3372	

ס	צִיּוֹן׃	הַר־	צְבָאוֹת	יְהוָה	שֵׁם־	מְקוֹם	אֶל־	אַרְצוֹ	נְהָרִים	בָּזְאוּ	אֲשֶׁר
区切り	シオンの	山へ	万軍の	主の	名の	場所へ	その	その-地を	川が	分かつ	それは
	H6726	H2022		H3068	H8034	H4725	H0413	H0776	H5104	H0958	

その時、川々の分れる国のたけ高く、膚のなめらかな民、遠くの者にも近くの者にも恐れられる民、力強く、戦いに勝つ民から万軍の主にささげる贈り物を携えて、万軍の主のみ名のある所、シオンの山に来る。

Chapter 19

מִצְרָיִם	וּבָא	קַל	עָב	עַל־	רֹכֵב	יְהוָה	הִנֵּה	מִצְרַיִם	מַשָּׂא	1
エジプトに	そして-来る	速い	雲の	上に	乗る	主が	見よ	エジプトに-対する	宣告	
H4714	H0935	H7031	H5645		H7392	H3068	H2009	H4714		

בְּקִרְבּוֹ׃	יִמַּס	מִצְרַיִם	וְלִבַּב	מִפָּנָיו	מִצְרַיִם	אֱלִילֵי	וְנָעוּ	
その-中で	溶ける	エジプトの	そして-心が	その-前で	エジプトの	偶像が	そして-震える	
H7130	H4549	H4714	H3824	H6440	H4714	H0457	H5128	

エジプトについての託宣。見よ、主は速い雲に乗って、エジプトに来られる。エジプトのもろもろの偶像は、み前に震えおののき、エジプトびとの心は彼らのうちに溶け去る。

בְּאָחִיו	אִישׁ־	וְנִלְחֲמוּ	בְּמִצְרַיִם	מִצְרַיִם	וְסִכְסַכְתִּי		2
その-兄弟に-対して	人が	そして-戦う	エジプトに-対して	エジプトを	そして-そそのかす		
H0251	H0376		H4714	H4714			

בְּמַמְלָכָה׃	מַמְלָכָה	בְּעִיר	עִיר	בְּרֵעֵהוּ	וְאִישׁ	
国に-対して	国が	町に-対して	町が	その-友に-対して	そして-人が	
H4467	H4467			H7453	H0376	

わたしはエジプトびとを奮いたたせて、エジプトびとに逆らわせる。彼らはおのおのその兄弟に敵して戦い、おのおのその隣に敵し、町は町を攻め、国は国を攻める。

וְדָרְשׁוּ	אֲבַלַּע	וַעֲצָתוֹ	בְּקִרְבּוֹ	מִצְרַיִם	רוּחַ־	וְנִבְקָה		3
そして-尋ねる	混乱させる	そして-その-計画を	その-中で	エジプトの	霊が	そして-空に-なる		
H1875	H1104	H6098	H7130	H4714	H7307			

הַיִּדְּעֹנִים׃	וְאֶל־	הָאֹבוֹת	וְאֶל־	הָאֱלִילִם	וְאֶל־	אֶל־	
占い師を	そして(その)	口寄せを	そして(その)	亡霊を	そして(その)	偶像を	その
H3049	H0413	H0178	H0413		H0413	H0457	H0413

エジプトびとの魂は、彼らのうちにうせて、むなしくなる。わたしはその計りごとを破る。彼らは偶像および魔術師、巫子および魔法使に尋ね求める。

יִמְשָׁל־	עַז	וּמֶלֶךְ	קָשֶׁה	אֲדֹנִים	בְּיַד	מִצְרַיִם	אֶת־	וְסִכַּרְתִּי	4
支配する	強い	そして-王が	厳しい	主人の	手に	エジプトを	(対格)	そして-引き-渡す	
H4910	H5794	H4428	H7186	H0113	H3027	H4714	H0853	H5534	

צְבָאוֹת׃	יְהוָה	הָאָדוֹן	נְאֻם	בָּם
万軍の	主が	主なる	宣言する	彼らを
	H3068	H0113	H5002	

わたしはエジプトびとをきびしい主人の手に渡す、荒々しい王が彼らを治めると、主、万軍の主は言われる。

וְיָבֵֽשׁ׃ וְיֶחֱרַב וְנָהָר מֵהַיָּם מַיִם וְנִשְׁתּוֹ־ 5
そして-乾く 枯れる そして-川が 海から 水が そして-干上がる
H5405 H5104 H3220 H4325 H3001

ナイルの水はつき、川はかれてかわく。

וְסוּף קָנֶה מָצוֹר יְאֹרֵי וְחָרְבוּ דָּלְלוּ נְהָרוֹת וְהָאֱזִנִיחוּ 6
そして-蕨が 葦が エジプトの 水路が そして-枯れる 減り 川が そして-悪臭を-放つ
H5488 H7070 H4693 H2975 H1809 H5104

קָמְלוּ׃
しおれる
H7060

またその運河は臭いにおいを放ち、エジプトのナイルの支流はやや に減ってかわき、葦とよしとは枯れはてる。

יִיבַשׁ יְאוֹר מִזְרַע וְכֹל יְאֹר פִּי עַל־ יְאוֹר עַל־ עָרוֹת 7
枯れる ナイルの 種まきが そして-すべての ナイルの 口の 上に ナイルの 上に 裸地が
H3001 H2975 H4218 H3605 H2975 H6310 H2975 H6169

וְאֵינֶנּוּ׃ נִדָּף
そして-なくなる 飛び-散り
H0369 H5086

ナイルのほとり、ナイルの岸には裸の所があり、ナイルのほとりにまいた物はことごとく枯れ、散らされて、うせ去る。

חַכָּה בַיְאוֹר מַשְׁלִיכֵי כָּל־ וְאָבְלוּ הַדַּיָּגִים וְאָנוּ׃ 8
釣り-針を ナイルに 投げる-者が すべての そして-悲しむ 漁師が そして-嘆く
H2443 H2975 H7993 H3605 H0056 H1771 H0578

אֻמְלָלוּ׃ מַיִם פְּנֵי־ עַל־ מְכְמֶרֶת וּפֹרְשֵׂי
衰える 水の 面の 上に 網を そして-広げる-者が
H0535 H4325 H6440 H6566

漁夫は嘆き、すべてナイルにつりをたれる者は悲しみ、網を水のおもてにうつ者は衰える。

חוֹרֵי׃ וְאֹרְגִים שְׂרִיקוֹת פְּשָׁתִים עֹבְדֵי וּבֹשׁוּ 9
白い-布を そして-織る-者が 梳いた 亜麻の 働く-者が そして-恥じる
H2355 H0707 H8305 H6593 H5647 H0954

練った麻で物を造る者と、白布を織る者は恥じる。

נָפֶשׁ׃ אַגְמֵי־ שֹׂכֶר עֹשֵׂי כָּל־ מְדֻכָּאִים שָׁתֶיהָ וְהָיוּ 10
魂の 池の 報酬の-ための 作る-者が すべての 砕かれた その-土台が そして-なる
H5315 H0099 H7938 H3605 H1792 H8356 H1961

国の柱たる者は砕かれ、すべて雇われて働く者は嘆き悲しむ。

נִבְעָרָה עֵצָה פַּרְעֹה יֹעֲצֵי חַכְמֵי צֹעַן שָׂרֵי אִוְלִים אַךְ־ 11
愚かである 助言は ファラオの 助言者が 賢い-者よ ツォアンの 首長が 愚かである まことに
H6098 H6547 H6098 H2450 H6814 H8269 H0191 H0389

קֶדֶם׃ מַלְכֵי־ בֶּן־ אֲנִי חֲכָמִים בֶּן־ פַּרְעֹה אֶל־ תֹּאמְרוּ אֵיךְ
古の 王々の 息子だと 私は 賢者の 息子だと ファラオに その どうして
H4428 H0589 H2450 H6547 H0413 H0559

ゾアンの君たちは全く愚かであり、パロの賢い議官らは愚かな計りごとをなす。あなたがたはどうしてパロにむかって「わたしは賢い者の子、いにしえの王の子です」と言うことができようか。

12

מַה־	וְיֵדְעוּ	לָךְ	נָא	וְיַגִּידוּ	חֲכָמֶיךָ	אֶפוֹא	אָיְּכֹה
何を	そして–知れ	あなたに	どうか	そして–告げよ	あなたの–賢者は	いったい	どこに–いるのか
H4100	H3045		H4994	H5046	H2450	H0645	H0335

מִצְרָיִם׃	עַל־	צְבָאוֹת	יְהוָה	יָעַץ
エジプトに	対して	万軍の	主が	計画したか
H4714		H6635	H3068	H3289

あなたの賢い者はどこにおるか。彼らをして、万軍の主がエジプトについて定められたことをあなたに告げ知らしめよ。

13

מִצְרַיִם	אֶת־	הִתְעוּ	גָּף	שָׂרֵי	נִשְׁאוּ	צֹעַן	שָׂרֵי	נוֹאָלוּ
エジプトを	(対格)	迷わせた	ノフの	首長が	欺かれた	ツォアンの	首長が	愚かに–なった
H4714	H0853	H8582	H5297	H8269	H5377	H6814	H8269	H2973

שִׁבְטֶיהָ׃	פִּנַּת	
その–部族の	隅石が	
H7626	H6438	

ゾアンの君たちは愚かとなり、メンピスの君たちは欺かれ、エジプトのもろもろの部族の隅の石たる彼らは、かえってエジプトを迷わせた。

14

בְּכָל־	מִצְרַיִם	אֶת־	וְהִתְעוּ	עִוְעִים	רוּחַ	בְּקִרְבָּהּ	מָסַךְ	יְהוָה	
すべての	エジプトを	(対格)	そして–迷わせた	眩暈の	霊を	その–中に	混ぜた	主が	
H3605	H4714	H0853	H8582	H5773	H7307	H7130	H4537	H3068	

בְּקִיאוֹ׃	שִׁכּוֹר	כְּהִתָּעוֹת	מַעֲשֵׂהוּ
その–吐瀉の–中で	酔っぱらいが	よろめく–ように	その–行いに–おいて
	H7910	H8582	H4639

主は曲った心を彼らのうちに混ぜられた。彼らはエジプトをして、すべてその行うことに迷わせ、あたかも酔った人の物吐くときによろめくようにさせた。

15

כִּפָּה	וְזָנָב	רֹאשׁ	יַעֲשֶׂה	אֲשֶׁר	מַעֲשֶׂה	לְמִצְרַיִם	יִהְיֶה	וְלֹא־	
棕櫚の–枝が	そして–尾が	頭が	行う	それを	行いが	エジプトに–とって	ない	そして–ない	
H3712	H2180				H4639	H4714	H1961	H3808	

ס	וַאֲגַמּוֹן׃	
区切り	そして–葦が	
	H0100	

エジプトに対しては、頭あるいは尾、しゅろの枝あるいは葦が共になしうるわざはない。

16

מִפְּנֵי	וּפָחַד	וְחָרַד	כַּנָּשִׁים	מִצְרַיִם	יִהְיֶה	הַהֽוּא	בַּיּוֹם	
前に	そして–恐れる	そして–震える	女の–ように	エジプトが	なる	その	その–日に	
H6440	H6342	H2729	H0802	H4714	H1961	H1931	H3117	

עָלָיו׃	מֵנִיף	הוּא	אֲשֶׁר־	צְבָאוֹת	יְהוָה	יַד־	תְּנוּפַת
彼らに–対して	振るう	それが	それを	万軍の	主の	手の	振りかざしの
		H1931		H6635	H3068	H3027	H8573

その日、エジプトびとは女のようになり、万軍の主の彼らの上に振り動かされるみ手の前に恐れおののく。

17

אֹתָהּ	יַזְכִּיר	אֲשֶׁר	כֹּל	לְחָגָּא	לְמִצְרַיִם	יְהוּדָה	אַדְמַת	וְהָיְתָה	
それを	思い–出す–者が	それを	すべての	恐怖と	エジプトに–とって	ユダの	土地が	そして–なる	
H0853	H2142		H3605	H2283	H4714	H3063	H0127	H1961	

ס	עָלָיו׃	יוֹעֵץ	הוּא	אֲשֶׁר־	צְבָאוֹת	יְהוָה	עֲצַת	מִפְּנֵי	יִפְחָד	אֵלָיו
区切り	彼に–対して	計画する	それが	それを	万軍の	主の	計画の	前に	恐れる	彼に–対して
		H3289	H1931			H3068	H6098	H6440	H6342	H0413

ユダの地は、エジプトびとに恐れられ、ユダについて語り告げることを聞くエジプトびとはみな、万軍の主がエジプトびとにむかって定められた計りごとのゆえに恐れる。

18 בַּיּוֹם הַהוּא יִהְיוּ חָמֵשׁ עָרִים בְּאֶרֶץ מִצְרַיִם מְדַבְּרוֹת שְׂפַת כְּנַעַן
その–日に その なる 五つの 町が 地に–ある エジプトの 話す 言葉を
H3117 H1931 H1961 H2568 H0776 H4714 H1696 H8193

וְנִשְׁבָּעוֹת לַיהוָה צְבָאוֹת עִיר הַהֶרֶס יֵאָמֵר לְאֶחָת׃ ס
そして–誓う 主に 万軍の 町と 破壊の 呼ばれる その–一つは 区切り
H7650 H3068 H6635 H5892 H2041 H0559 H0259

その日、エジプトの地にカナンの国ことばを語り、また万軍の主に誓いを立てる五つの町があり、その中の一つは太陽の町ととなえられる。

19 בַּיּוֹם הַהוּא יִהְיֶה מִזְבֵּחַ לַיהוָה בְּתוֹךְ אֶרֶץ מִצְרַיִם וּמַצֵּבָה אֵצֶל־
その–日に なる 祭壇が 主の–ための 中に 地の エジプトの そして–石柱が そばの
H3117 H1931 H1961 H4196 H3068 H8432 H0776 H4714 H4676 H0681

גְּבוּלָהּ לַיהוָה׃
その–境の 主の–ための
H1366 H3068

その日、エジプトの国の中に主をまつる一つの祭壇があり、その境に主をまつる一つの柱がある。

20 וְהָיָה לְאוֹת וּלְעֵד לַיהוָה צְבָאוֹת בְּאֶרֶץ מִצְרָיִם כִּי־
そして–なる しるしとして そして–証として 主の–ための 万軍の 地に–ある エジプトの なぜなら
H1961 H0226 H5707 H3068 H6635 H0776 H4714 H3588

וְרָב מוֹשִׁיעַ לָהֶם וְיִשְׁלַח לְחֹצִים מִפְּנֵי יְהוָה אֶל־ יִצְעֲקוּ
そして–弁護者を 救い–主を 彼らに そして–遣わす 圧迫者の 前に 主に その 叫ぶ
H7227 H3467 H0376 H7971 H3905 H6440 H3068 H0413 H6817

וְהִצִּילָם׃
そして–救う
H5337

これはエジプトの国で万軍の主に、しるしとなり、あかしとなる。彼らがしえたげる者のゆえに、主に叫び求めるとき、主は救う者をつかわして、彼らを守り助けられる。

21 וְנוֹדַע יְהוָה לְמִצְרַיִם וְיָדְעוּ מִצְרַיִם אֶת־ יְהוָה בַּיּוֹם הַהוּא
そして–知られる 主が エジプトに そして–知る エジプトが (対格) 主を その–日に その
H3045 H3068 H4714 H3045 H4714 H0853 H3068 H3117 H1931

וְעָבְדוּ זֶבַח וּמִנְחָה וְנָדְרוּ־ נֶדֶר לַיהוָה וְשִׁלְּמוּ׃
そして–仕える いけにえと そして–供え物で そして–誓う 誓いを 主に そして–果たす
H5647 H2077 H4503 H5087 H5088 H3068 H7999

主はご自分をエジプトびとに知らせられる。その日、エジプトびとは主を知り、犠牲と供え物とをもって主に仕え、主に誓願をたててこれを果す。

22 וְנָגַף יְהוָה אֶת־ מִצְרַיִם נָגֹף וְרָפֹא וְשָׁבוּ עַד־ יְהוָה
そして–打つ 主が (対格) エジプトを 打ち そして–癒す そして–立ち–返る その 主に
H5062 H3068 H0853 H4714 H5062 H7495 H7725 H5704 H3068

וְנֶעְתַּר לָהֶם וּרְפָאָם׃
そして–応える 彼らに そして–癒す
H6279 H3588 H7495

主はエジプトを撃たれる。主はこれを撃たれるが、またいやされる。それゆえ彼らは主に帰る。主は彼らの願いをいれて、彼らをいやされる。

23 בַּיּוֹם הַהוּא תִּהְיֶה מְסִלָּה מִמִּצְרַיִם וּבָא־ אַשּׁוּרָה אַשּׁוּרָה וּמִצְרַיִם בְּמִצְרַיִם וְעָבְדוּ מִצְרַיִם אֶת־ אַשּׁוּר׃ ס

その–日に 大路が エジプトから アッシリアへ そして–来る アッシリアが
H3117 H4546 H4714 H0804 H0935 H0804

なる その エジプトに エジプトが アッシリアと 区切り
H1961 H1931 H4714 H4714 H0854 H0804

そして–エジプトが そして–仕える アッシリアに
H4714 H5647 H0804

その日、エジプトからアッスリヤに通う大路があって、アッスリヤびとはエジプトに、エジプトびとはアッスリヤに行き、エジプトびとはアッスリヤびとと共に主に仕える。

24 בַּיּוֹם הַהוּא יִהְיֶה שְׁלִישִׁיָּה לְמִצְרַיִם וּלְאַשּׁוּר בְּרָכָה בְּקֶרֶב הָאָרֶץ׃

その–日に その エジプトと アッシリアと 祈福と
H3117 H1931 H4714 H0804 H1293

なる 第三の–者と イスラエルが
H1961 H7992 H3478

中に 地の
H7130 H0776

その日、イスラエルはエジプトとアッスリヤと共に三つ相並び、全地のうちで祝福をうけるものとなる。

25 אֲשֶׁר בֵּרְכוֹ יְהוָה צְבָאוֹת לֵאמֹר בָּרוּךְ עַמִּי מִצְרַיִם וּמַעֲשֵׂה יָדַי אַשּׁוּר וְנַחֲלָתִי יִשְׂרָאֵל׃

それを 祈福した 主が 万軍の 言って 祈福あれ わたしの–民よ エジプトよ
H1288 H3068 H0559 H1288 H5159 H0804 H3027 H4639 H3478

そして–わたしの–手の–わざよ そして–わたしの–受け–継ぎよ アッシリアよ わたしの–手の そして–わたしの–手の–わざよ イスラエルよ

ס
区切り

万軍の主は、これを祝福して言われる、「さいわいなるかな、わが民なるエジプト、わが手のわざなるアッスリヤ、わが嗣業なるイスラエル」と。

Chapter 20

1 בִּשְׁנַת בָּא תַּרְתָּן אַשְׁדּוֹדָה בִּשְׁלֹחַ אֹתוֹ סַרְגֹּון מֶלֶךְ אַשּׁוּר וַיִּלָּחֶם בְּאַשְׁדּוֹד וַיִּלְכְּדָהּ׃

年に 来た タルタンが アシュドドに 遣わした–時に 彼を サルゴンが 王が アッシリアの
H8141 H0935 H8661 H0795 H7971 H0853 H5623 H4428 H0804

そして–戦った アシュドドに–対して そして–占領した
H3920 H0795

בְּעֵת הַהִיא דִּבֶּר יְהוָה בְּיַד יְשַׁעְיָהוּ בֶּן־אָמוֹץ לֵאמֹר לֵךְ 2
時に その 語った 主が 手を-通して イザヤの 息子の アモツの 言って 行け
H6256 H1931 H1696 H3068 H3027 H3212 H0559 H0531

וּפְתַחְתָּ שַׂק מֵעַל מָתְנֶיךָ וְנַעֲלְךָ תַּחֲלֹץ מֵעַל רַגְלֶיךָ
そして-解け 荒布を 上から あなたの-腰の そして-あなたの-履を 脱げ 上から あなたの-足の
H8242 H4975 H5275 H7272

וַיַּעַשׂ כֵּן הָלַךְ עָרֹום וְיָחֵף׃ ס
そして-行った その-とおりに 歩き 裸で そして-裸足で 区切り
H3182 H1980 H6174

その時に主はアモツの子イザヤによって語って言われた、「さあ、あなたの腰から荒布を解き、足からくつを脱ぎなさい」。そこでイザヤはそのようにし、裸、はだしで歩いた。——

וַיֹּאמֶר יְהוָה כַּאֲשֶׁר הָלַךְ עַבְדִּי יְשַׁעְיָהוּ עָרֹום וְיָחֵף 3
そして-言った 主が ちょうど 歩いた-ように わたしの-僕が イザヤが 裸で そして-裸足で
H0559 H3068 H1980 H5650 H3182

שָׁלֹשׁ שָׁנִים אֹות וּמוֹפֵת עַל־מִצְרַיִם וְעַל־כּוּשׁ׃
三年間 年間 しるしとして そして-前兆として 対して エジプトに そして-対して クシュに
H7969 H8141 H0226 H4159 H4714

主は言われた、「わがしもべイザヤは三年の間、裸、はだしで歩き、エジプトとエチオピヤに対するしるしとなり、前ぶれとなったが、

כֵּן יִנְהַג מֶלֶךְ־אַשּׁוּר אֶת־שְׁבִי מִצְרַיִם וְאֶת־גָּלוּת 4
その-ように 連れて-行く 王が アッシリアの (対格) 捕虜を エジプトの そして(対格) 流人を
H4428 H0804 H0853 H4714 H0853 H1546

כּוּשׁ נְעָרִים וְזִקֵנִים עָרֹום וְיָחֵף וַחֲשׂוּפֵי שֵׁת עֶרְוַת מִצְרָיִם׃
クシュの 若者も そして-老人も 裸で そして-裸足で そして-尻を-あらわにし 尻の 恥として エジプトの
H5288 H2205 H6174 H3182 H2834 H8357 H6172 H4714

このようにエジプトびとのとりことエチオピヤびとの捕われ人とは、アッスリヤの王に引き行かれて、その若い者も老いた者もみな裸、はだしで、しりをあらわし、エジプトの恥を示す。

וְחַתּוּ וּבֹשׁוּ מִכּוּשׁ מַבָּטָם וּמִן־מִצְרַיִם תִּפְאַרְתָּם׃ 5
そして-恐れおののく そして-恥じる クシュから その-期待の から エジプトから その-誇りの
H2865 H0954 H4007 H4714 H8597

彼らはその頼みとしたエチオピヤのゆえに、その誇としたエジプトのゆえに恐れ、かつ恥じる。

וְאָמַר יֹשֵׁב הָאִי הַזֶּה בַּיֹּום הַהוּא הִנֵּה־כֹה מַבָּטֵנוּ אֲשֶׁר־ 6
そして-言う 住む-者が 島の この 日に その 見よ この-ように 我らの-期待は そこに
H0559 H3427 H0339 H2088 H3117 H1931 H2009 H3541 H4007

נַסְנוּ שָׁם לְעֶזְרָה לְהִנָּצֵל מִפְּנֵי מֶלֶךְ אַשּׁוּר וְאֵיךְ נִמָּלֵט׃ ס אֲנָחְנוּ׃
逃げた そこへ 助けの-ために 救われる-ために 前から 王の アッシリアの そして-どうして 区切り 我らは 逃れるのか
H5127 H8033 H5833 H5337 H6440 H4428 H0804 H0587 H4422

その日には、この海べに住む民は言う、『見よ、われわれが頼みとした国、すなわちわれわれがのがれて行って助けを求め、アッスリヤ王から救い出されようとした国はすでにこのとおりである。われわれはどうしてのがれることができようか』と。」

Chapter 21

נוֹרָאָֽה׃	מֵאֶ֖רֶץ	בָּ֑א	מִמִּדְבָּ֥ר	לַחֲלֹ֛ף	בַּנֶּ֥גֶב	כְּסוּפ֖וֹת	יָ֣ם	מִדְבַּר־	מַשָּׂ֔א	1
恐ろしい	地から	来る	荒野から	通り-過ぎる	ネゲブで	嵐の-ように	海の	荒野の	宣告	
H3372	H0776	H0935		H2498	H5045		H3220			

海の荒野についての託宣。つむじ風がネゲブを吹き過ぎるように、荒野から、恐るべき地から、来るものがある。

עֲלִ֣י	שׁוֹדֵ֔ד	וְהַשּׁוֹדֵ֖ד	בּוֹגֵ֑ד	וְהַבּוֹגֵ֣ד	לִ֔י	הֻגַּ֖ד	קָשָׁ֣ה	חָז֑וּת		2
上れ	略奪する	そして-略奪する-者が	裏切り	裏切る-者が	わたしに	告げられた	厳しい	幻見が		
H5927	H7703	H7703	H0898	H0898		H5046	H7186	H2380		
הִשְׁבָּתִֽי׃	אַנְחָתָ֖הּ	כָּל־	מָדַ֣י	צוּרִ֑י	עֵילָ֔ם					
終わらせた	嘆きを	すべての	メディアよ	包囲せよ	エラムよ					
	H0585	H3605	H4074							

わたしは一つのきびしい幻を示された。かすめ奪う者はかすめ奪い、滅ぼす者は滅ぼす。エラムよ、のぼれ、メデアよ、囲め。わたしはすべての嘆きをやめさせる。

אָחֲזוּנִי	צִירִ֔ים	חַלְחָלָ֖ה	מָתְנַ֑י	מָלְא֣וּ	כֵּ֔ן	עַל־				3
捕らえた	産みの-苦しみが	苦痛で	わたしの-腰が	満ちた	それゆえ	それ-ゆえ				
H0270		H2479	H4975	H4390						
מֵרְא֖וֹת׃	נִבְהַלְתִּי	מִשְּׁמֹ֣עַ	נַעֵ֑יתִי	יוֹלֵדָ֔ה	כִּצְירֵֽי					
見る-ことから	恐れおののいた	聞く-ことから	身を-よじった	産婦の	産みの-苦しみの-ように					
H7200	H0926	H8085		H3205						

それゆえ、わが腰は激しい痛みに満たされ、出産に臨む女の苦しみのような苦しみがわたしを捕えた。わたしは、かがんで聞くことができず、恐れおののいて見ることができない。

שָׂ֔ם	חִשְׁקִ֖י	נֶ֣שֶׁף	אֶת	בִּעֲתָ֑תְנִי	פַּלָּצ֥וּת	לִבְּכִ֛י	תָּעָ֥ה			4
変えた	わたしの-喜びの	黄昏を	(対格)	おびえさせた	恐怖が	わたしの-心が	さまよった			
	H2837	H5399	H0853	H1204	H6427	H3824	H8582			
לַחֲרָדָֽה׃	לִ֖י									
恐怖と	わたしに-とって									
H2731										

わが心はみだれ惑い、わななき恐れること、はなはだしく、わたしのあこがれたたそがれは変っておののきとなった。

פ	מָגֵֽן׃	מִשְׁח֖וּ	הַשָּׂרִ֑ים	קוּמ֣וּ	שְׁתֹ֔ה	אָכ֣וֹל	הַצָּפִ֔ית	צָפֶ֖ה	הַשֻּׁלְחָ֑ן	עָרֹ֥ךְ	5
段落	盾に	油を-塗れ	将軍らよ	立て	飲め	食べよ	敷物を	布け	食卓を	整えよ	
	H4043	H4886	H8269		H8354	H0398	H6844	H6823	H7979		

彼らは食卓を設け、じゅうたんを敷いて食い飲みする。もろもろの君よ、立って、盾に油をぬれ。

יַגִּֽיד׃	יִרְאֶ֖ה	אֲשֶׁ֣ר	הַמְצַפֶּ֑ה	הַעֲמֵ֣ד	לֵ֔ךְ	אֲדֹנָ֣י	אֵלַ֔י	אָמַ֖ר	כֹּ֥ה	כִּֽי	6
告げよ	見るなら	それが	見張りを	立てよ	行け	主が	わたしに	言った	こう	なぜなら	
H5046	H7200		H6822	H5975	H3212	H0136	H0413	H0559	H3541		

主はわたしにこう言われた、「行って、見張びとをおき、その見るところを告げさせよ。

7

וְהִקְשִׁיב	גָּמָל	רֶכֶב	חֲמוֹר	רֶכֶב	פָּרָשִׁים	צֶמֶד	רֶכֶב	וְרָאָה
そして-耳を-澄ませた	らくだの	戦車を	ろばの	戦車を	騎兵の	一対の	戦車を	そして-見た
H7181	H1581	H7393	H2543	H7393		H6776	H7393	H7200

קֶשֶׁב׃	רַב־	קֶשֶׁב
耳を-澄ませた	大いに	耳を-澄ませて
H7182		H7182

馬に乗って二列に並んだ者と、ろばに乗った者と、らくだに乗った者とを彼が見るならば、耳を傾けてつまびらかに聞かせよ」。

8

יוֹמָם	תָּמִיד׀	עֹמֵד	אָנֹכִי	אֲדֹנָי	וּמִצְפָּה	עַל־	אַרְיֵה	וַיִּקְרָא	
昼も	常に	立って-いる	私が	主よ	見張りの-台に	上に	獅子の-ように	そして-叫んだ	
H3119	H8548	H5975	H0595	H0136	H4707			H7121	

הַלֵּילוֹת׃	כָּל־	נִצָּב	אָנֹכִי	מִשְׁמַרְתִּי	וְעַל־
夜も	すべての	立って-いる	私が	わたしの-立ち-場に	そして-上に
H3915	H3605	H5324	H0595	H4931	

その時、見張びとは呼ばわって言った、「主よ、わたしがひねもすやぐらに立ち、夜もすがらわが見張所に立っていると、

9

נָפְלָה	וַיֹּאמֶר	וַיַּעַן	פָּרָשִׁים	צֶמֶד	אִישׁ	רֶכֶב	בָּא	זֶה	וְהִנֵּה־
倒れた	そして-言った	そして-答えた	騎兵の	一対の	人の	戦車が	来た	これが	そして-見よ
H5307	H0559			H6776	H0376	H7393	H0935	H2088	H2009

לָאָרֶץ׃	שִׁבַּר	אֱלֹהֶיהָ	פְּסִילֵי	וְכָל־	בָּבֶל	נָפְלָה׀
地に	砕いた	その-神々の	偶像が	そして-すべての	バビロンが	倒れた
H0776	H7665	H0430	H6456	H3605	H0894	H5307

見よ、馬に乗って二列に並んだ者がここに来ます」。彼は答えて言った、「倒れた、バビロンは倒れた、その神々の像はことごとく打ち砕かれて地に伏した」。

10

יְהוָה	מֵאֵת	שָׁמַעְתִּי	אֲשֶׁר	גָּרְנִי	וּבֶן־	מְדֻשָּׁתִי	
主から	から	聞いた	それを	わたしの-打ち-場の	そして-子よ	わたしの-打ち-ひろげられた-者よ	
H3068	H0854	H8085		H1637		H4098	

ס	לָכֶם׃	הִגַּדְתִּי	יִשְׂרָאֵל	אֱלֹהֵי	צְבָאוֹת
区切り	あなたがたに	告げた	イスラエルの	神から	万軍の
		H5046	H3478	H0430	

ああ、踏みにじられたわが民、わが打ち場の子よ、イスラエルの神、万軍の主からわたしが聞いたところのものをあなたがたに告げる。

11

מַה־	שֹׁמֵר	מִלֵּילָה	מַה־	שֹׁמֵר׀	מִשְּׂעִיר	קֹרֵא	אֵלַי	דּוּמָה	מַשָּׂא
何が	番人よ	夜から	何が	番人よ	セイルから	呼ぶ-者が	わたしに	ドゥマに-対する	宣告
H4100	H8104	H3915	H4100	H8104		H7121	H0413	H1746	

מִלֵּיל׃
夜から
H3915

ドマについての託宣。セイルからわたしに呼ばわる者がある、「夜回りよ、今は夜のなんどきですか、夜回りよ、今は夜のなんどきですか」。

12

אֱתָיוּ׃	שֻׁבוּ	בְּעָיוּ	תִּבְעָיוּן	אִם־	לָיְלָה	וְגַם־	בֹּקֶר	אָתָה	שֹׁמֵר	אָמַר
来い	立ち-戻れ	尋ねよ	尋ねるなら	もし	夜も	そして-また	朝が	来た	番人が	言った
H0857	H7725	H1158	H1158		H3915	H1571	H1242	H0857	H8104	H0559

ס
区切り

夜回りは言う、「朝がきます、夜もまたきます。もしあなたがたが聞こうと思うならば聞きなさい、また来なさい」。

13 מַשָּׂא בַּעְרַב בַּיַּעַר בַּעְרָבָה תָּלִינוּ אֹרְחוֹת דְּדָנִים׃
宣告 アラビアに-対する 森の-中で アラビアの 宿る 隊商よ デダンの
H4853 H6150 H3293 H6160 H3885 H0736 H1720

アラビヤについての託宣。デダンびとの隊商よ、あなたがたはアラビヤの林にやどる。

14 לִקְרַאת צָמֵא הֵתָיוּ מַיִם יֹשְׁבֵי אֶרֶץ תֵּימָא בְּלַחְמוֹ קִדְּמוּ
迎えて 渇いた-者に 持って-来い 水を 住む-者よ 地の テマの パンで 迎えよ
H7125 H6771 H0857 H4325 H3427 H0776 H8485 H3899 H6923

נֹדֵד׃
さまよう-者を
H5074

テマの地に住む民よ、水を携えて、かわいた者を迎え、パンをもって、逃げのがれた者を迎えよ。

15 כִּי־ מִפְּנֵי נָדְדוּ חֶרֶב מִפְּנֵי חֶרֶב נְטוּשָׁה וּמִפְּנֵי קֶשֶׁת דְּרוּכָה
なぜなら 前から 逃げた 剣の 前から 抜かれた そして-前から 弓の 張られた
H6440 H2719 H5074 H2719 H6440 H5203 H6440 H7198 H1869

ס כֹּבֶד מִלְחָמָה׃ וּמִפְּנֵי
区切り 重さの 戦いの そして-前から
H3514 H4421 H6440

彼らはつるぎを避け、抜いたつるぎを避け、張った弓を避け、また激しい戦いを避けて、逃げてきたからである。

16 כִּי־ כֹה אָמַר אֲדֹנָי אֵלַי כְּעוֹד שָׁנָה כִּשְׁנֵי שָׂכִיר
なぜなら こう 言った 主が わたしに あと 一年の-うちに 年の-ように 雇い-人の
H3541 H0559 H0136 H0413 H5750 H8141 H8141 H7916

וְכָלָה כָּל־ כְּבוֹד קֵדָר׃
そして-尽きる すべての 栄光が ケダルの
H3615 H3605 H3519 H6938

主はわたしにこう言われた、「雇人の年期のように一年以内にケダルのすべての栄華はつきはてる。

17 וּשְׁאָר מִסְפַּר־ גִּבּוֹרֵי קֶשֶׁת בְּנֵי־ קֵדָר יִמְעָטוּ כִּי יְהוָה אֱלֹהֵי־
そして-残りの 数の 勇士の 弓の 子らの ケダルの 少なく-なる なぜなら 主が 神が
H7605 H4557 H1368 H7198 H1121 H6938 H4591 H3588 H3068 H0430

ס דִּבֶּר׃ יִשְׂרָאֵל
区切り 語った イスラエルの
H1696 H3478

ケダルの子らの勇士で、射手の残る者は少ない」。これはイスラエルの神、主が語られたのである。

Chapter 22

1 מַשָּׂא גֵּיא חִזָּיוֹן מַה־ לָּךְ אֲפוֹא עָלִית כִּי־ כֻלָּךְ לַגַּגּוֹת׃
宣告 谷の 幻見の 何が あなたに いったい 上ったのか なぜなら 皆が 屋上に
H1516 H2384 H4100 H0645 H5927 H3588 H3605 H1406

幻の谷についての託宣。あなたがたはなぜ、みな屋根にのぼったのか。

2 וְתִשְׁאוֹת מְלֵאָה עִיר הוֹמִיָּה קִרְיָה עֲלִיזָה חֲלָלַיִךְ לֹא חַלְלֵי־
叫びで 満ちた 町よ 騒がしい 都よ 浮かれた あなたの–倒れた–者は ない 剣の
H8663 H4395 H5892 H1993 H7151 H5947 H2491 H3808 H2719

חֶרֶב וְלֹא מֵתֵי מִלְחָמָה׃
倒れた–者では そして–ない 死んだ–者では 戦いの
H2719 H3808 H4191 H4421

叫び声で満ちている者、騒がしい都、喜びに酔っている町よ。あなたのうちの殺された者はつるぎで殺されたのではなく、また戦いに倒れたのでもない。

3 כָּל־ קְצִינַיִךְ נָדְדוּ יַחַד מִקֶּשֶׁת אֲסָרוּ כָּל־ נִמְצָאַיִךְ
すべての あなたの–指導者が 逃げた 共に 弓なしに 縛られた すべての 見つかった–者が
H3605 H7101 H5074 H3605 H7198 H0631 H3605 H4672

יַחְדָּו מֵרָחוֹק בָּרֵחוּ׃ אֲסָרוּ
共に 遠くへ 逃げて–いた 縛られた
H3605 H7350 H1272 H0631

あなたのつかさたちは皆共にのがれて行ったが、弓を捨てて捕えられた。彼らは遠く逃げて行ったが、あなたのうちの見つかった者はみな捕えられた。

4 עַל־ כֵּן אָמַרְתִּי שְׁעוּ מִנִּי אֲמָרֵר בַּבֶּכִי אַל־
それゆえ 言った 目を–そらして–くれ わたしから 苦しく–泣く 涙で するな
H3605 H0559 H8159 H3605 H4843 H1065 H0408

תָּאִיצוּ לְנַחֲמֵנִי עַל־ שֹׁד בַּת־ עַמִּי׃
急いでは–ならない 慰める–のを 上に 破壊の 娘の わたしの–民の
H0213 H5162 H3605 H7701 H1323 H3605

それゆえ、わたしは言った、「わたしを顧みてくれるな、わたしはいたく泣き悲しむ。わが民の娘の滅びのために、わたしを慰めようと努めてはならない」。

5 כִּי יוֹם מְהוּמָה וּמְבוּסָה וּמְבוֹכָה לַאדֹנָי יְהוִה צְבָאוֹת בְּגֵיא
なぜなら 日が 騒ぎの 踏み–つけの そして–混乱の 主なる 主の 万軍の 谷に–ある
H3605 H3117 H4103 H4001 H3998 H0136 H3069 H6635 H1516

קִר וְשׁוֹעַ אֶל־ הָהָר׃ מְקֹרְקַר חִזָּיוֹן
壁を そして–叫ぶ その 山へ 打ち–砕く 幻見の
H7023 H3605 H0413 H2022 H3605 H2384

万軍の神、主は幻の谷に騒ぎと、踏みにじりと、混乱の日をこさせられる。城壁はくずれ落ち、叫び声は山に聞える。

6 וְעֵילָם נָשָׂא אַשְׁפָּה בְּרֶכֶב פָּרָשִׁים אָדָם עָרָה מָגֵן׃
そして–エラムが 担いだ 矢筒を 戦車で 人の 騎兵を そして–キルが あらわに–した 盾を
H3605 H5375 H0827 H7393 H0120 H6571 H7161 H6168 H4043

エラムは箙を負い、戦車と騎兵とをもってきたり、キルは盾をあらわした。

7 וַיְהִי מִבְחַר־ עֲמָקַיִךְ מָלְאוּ רֶכֶב וְהַפָּרָשִׁים שֹׁת שָׁתוּ הַשָּׁעָרָה׃
そして–なった 良き–谷が あなたの 満ちた 戦車で そして–騎兵が 確かに 構えた 門に–向けて
H1961 H4005 H6010 H4390 H7393 H3605 H7896 H7896 H8179

あなたの最も美しい谷は戦車で満ち、騎兵はもろもろの門にむかって立った。

8 וַיָּגַל אֶת מָסַךְ יְהוּדָה וַתַּבֵּט בַּיּוֹם הַהוּא אֶל־ נֶשֶׁק בֵּית
そして–取り–除いた (対格) 覆いを ユダの そして–見た その日に その その 武器を 家の
H1540 H0853 H4539 H3063 H5027 H3117 H1931 H0413 H5402 H1004

הַיָּעַר׃
森の

ユダを守るおおいは取り除かれた。その日あなたは林の家の武具を仰ぎ望んだ。

9 וְאֶת־ (対格) H0853 וַתִּקְבְּצוּ そして-集めた H6908 רַבּוּ 多かった כִּי־ なぜなら רְאִיתֶם 見た H7200 דָּוִד ダビデの H1732 עִיר־ 町の בְּקִיעֵי 裂け-目を H1233 וְאֶת そして(対格) H0853

הַתַּחְתּוֹנָה׃ 下の H8481 הַבְּרֵכָה 池の H1295 מֵי 水を H4325

またあなたがたはダビデの町の破れの多いのを見、下の池の水を集め、

10 הַחוֹמָה׃ 城壁を H2346 לְבַצֵּר 強める-ために H1219 הַבָּתִּים 家々を וַתִּתְּצוּ そして-壊した H5422 סְפַרְתֶּם 数えた יְרוּשָׁלִַם エルサレムの H3389 בָּתֵּי 家々を וְאֶת־ そして(対格) H0853

エルサレムの家を数え、またその家をこわして城壁を築き、

11 וְלֹא そして-ない H3808 הַיְשָׁנָה 古い H3465 הַבְּרֵכָה 池の H1295 לְמֵי 水の-ために H4325 הַחֹמֹתַיִם 二つの-城壁の H2346 בֵּין 間に H0996 עֲשִׂיתֶם 作った וּמִקְוָה そして-貯水池を H4724

רְאִיתֶם׃ 見なかった H7200 לֹא ない H3808 מֵרָחוֹק 遠くから וְיֹצְרָהּ そして-それを-形づくった-方を H3335 עֹשֶׂיהָ 造り-主を אֶל־ その H0413 הִבַּטְתֶּם 仰ぎ-見なかった H5027

一つの貯水池を二つの城壁の間に造って古池の水をひいた。しかしあなたがたはこの事をなされた者を仰ぎ望まず、この事を昔から計画された者を顧みなかった。

12 וּלְקָרְחָה そして-禅髪に H7144 וּלְמִסְפֵּד そして-嘆きに H4553 לִבְכִי 泣きに H1065 הַהוּא その H1931 בַּיּוֹם その-日に H3117 צְבָאוֹת 万軍の H3069 יְהוִה 主が H0136 אֲדֹנָי 主なる וַיִּקְרָא そして-呼んだ H7121

׃שָׂק 荒布を H8242 וְלַחֲגֹר そして-まとう-ことに H2296

その日、万軍の神、主は泣き悲しみ、頭をかぶろにし、荒布をまとうことを命じられたが、

13 וְשָׂתוֹת そして-飲む H8354 בָּשָׂר 肉を H1320 אָכֹל 食べる H0398 צֹאן 羊を H6629 וְשָׁחֹט そして-屠る בָּקָר 牛を H1241 וְהָרֹג 屠る H2026 וְשִׂמְחָה そして-楽しみ H8057 שָׂשׂוֹן 喜びと H8342 וְהִנֵּה そして-見よ H2009

׃נָמוּת 死ぬのだから H4191 מָחָר 明日 H4279 כִּי なぜなら וְשָׁתוֹ そして-飲め H8354 אָכוֹל 食べよ H0398 יַיִן 酒を H3196

見よ、あなたがたは喜び楽しみ、牛をほふり、羊を殺し、肉を食い、酒を飲んで言う、「われわれは食い、かつ飲もう、明日は死ぬのだから」。

14 הַזֶּה この H2088 הֶעָוֹן 咎が H5771 יְכֻפַּר 贖われない אִם־ 必ず צְבָאוֹת 万軍の H3068 יְהוָה 主が H0241 בְּאָזְנָי わたしの-耳に H1540 וְנִגְלָה そして-明かされた

פ 段落 צְבָאוֹת׃ 万軍の H3069 יְהוִה 主が H0136 אֲדֹנָי 主なる H0559 אָמַר 言った H4191 תְּמֻתוּן 死ぬまで H5704 עַד־ まで H3068 לָכֶם あなたがたに-とって

万軍の主はみずからわたしの耳に示された、「まことに、この不義はあなたがたが死ぬまで、ゆるされることはない」と万軍の神、主は言われる。

15

עַל־	הַזֶּה	הַסֹּכֵן	אֶל־	בֹּא	לֵךְ־	צְבָאוֹת	יְהוִה	אֲדֹנָי	אָמַר	כֹּה
その	この	家令の-もとへ	その	来い	行け	万軍の	主が	主なる	言った	こう
	H2088	H5532	H0413	H0935	H3212		H3069	H0136	H0559	H3541

הַבָּיִת׃	עַל־	אֲשֶׁר	שֶׁבְנָא
家の	上に-ある	それは	シェブナの-もとへ
			H7644

万軍の神、主はこう言われる、「さあ、王の家をつかさどるこの執事セブナに行って言いなさい、

16

חֲצַבְתָּ	כִּי־	פֹּה	לְךָ	וּמִי	פֹּה	לְךָ	מַה־		
切り-開いた	なぜなら	ここに	あなたに-あるのか	そして-誰が	ここに	あなたに-あるのか	何が		
H2672		H6311		H4310	H6311		H4100		

מִשְׁכָּן	בַּסֶּלַע	חֹקְקִי	קִבְרוֹ	מָרוֹם	חֹצְבֵי	קֶבֶר	פֹּה	לְךָ
住まいを	岩に	刻む-者よ	その-墓を	高き-所に	切り-開く-者よ	墓を	ここに	あなたの-ために
H4908	H5553	H2710	H6913	H4791	H2672	H6913	H6311	

לוֹ׃
その-ための

『あなたはここになんの係わりがありますか。あなたはだれの縁故でここに自分のために墓を掘ったのですか。あなたは高い所に墓を掘り、岩をうがって自分のためにすみかを造った。

17

עָטֹה׃	וְעָטְךָ	גֶּבֶר	טַלְטֵלָה	מְטַלְטֶלְךָ	יְהוָה	הִנֵּה	
包み-込みで	そして-包み-込む	男よ	投げ-飛ばしで	投げ-飛ばす	主が	見よ	
		H1397	H2925	H2904	H3068	H2009	

強い人よ、見よ、主はあなたを激しくなげ倒される。主はあなたを堅くつかまえ、

18

תָּמוּת	שָׁמָּה	יָדָיִם	רַחֲבַת	אֶרֶץ	אֶל־	כַּדּוּר	צְנֻפָה	יִצְנָפְךָ	צָנוֹף
死ぬ	そこで	両側の	広い	地へ	その	球の-ように	巻き-上げで	巻き-上げる	巻いて
H4191	H8033	H3027	H7342	H0776	H0413		H6802	H6801	H6801

אֲדֹנֶיךָ׃	בֵּית	קְלוֹן	כְּבוֹדֶךָ	מַרְכְּבוֹת	וְשָׁמָּה	
あなたの-主人の	家の	恥となる	あなたの-栄光の	戦車が	そして-そこに	
H0113		H7036	H3519	H4818	H8033	

ぐるぐるまわして、まりのように広々した地に投げられる。主人の家の恥となる者よ、あなたはそこで死に、あなたの華麗な車はそこに残る。

19

יֶהֱרָסֶךָּ׃	וּמִמַּעֲמָדְךָ	מִמַּצָּבֶךָ	וַהֲדַפְתִּיךָ	
引き-おろす	そして-あなたの-立ち-場から	あなたの-地位から	そして-押し-出す	
H2040	H4612	H4673	H1920	

わたしは、あなたをその職から追い、その地位から引きおろす。

20

חִלְקִיָּהוּ׃	בֶּן־	לְאֶלְיָקִים	לְעַבְדִּי	וְקָרָאתִי	הַהוּא	בַּיּוֹם	וְהָיָה	
ヒルキヤの	息子の	エルヤキムを	わたしの-僕を	そして-呼ぶ	その	その-日に	そして-なる	
H2518		H0471	H5650	H7121	H1931	H3117	H1961	

その日、わたしは、わがしもべヒルキヤの子エリアキムを呼んで、

21

אֶתֵּן	וּמֶמְשַׁלְתְּךָ	אַחַזְקֶנּוּ	וַאֲבַנְטְךָ	כָּתֳנְתֶּךָ	וְהִלְבַּשְׁתִּיו			
与える	そして-あなたの-権威を	結ぶ	そして-あなたの-帯で	あなたの-上着を	そして-着せる			
H5414	H4475	H2388	H0073	H3801	H3847			

יְהוּדָה׃	וּלְבֵית	יְרוּשָׁלִַם	לְיוֹשֵׁב	לְאָב	וְהָיָה	בְּיָדוֹ	
ユダの	そして-家の-ために	エルサレムの	住む-者の-ために	父と	そして-なる	その-手に	
H3063		H3389	H3427	H0001	H1961	H3027	

あなたの衣を着せ、あなたの帯をしめさせ、あなたの権力を彼の手にゆだねる。彼はエルサレムの民とユダの家との父となる。

22 וְנָתַתִּי מַפְתֵּחַ בֵּית־דָּוִד עַל־שִׁכְמוֹ וּפָתַח וְאֵין וְסָגַר וְאֵין סֹגֵר׃
そして-置く 鍵を 家の ダビデの 上に その-肩に そして-開ける そして-いない そして-閉じる そして-いない 閉じる-者が 開ける-者が
H5414 H4668 H1004 H1732 H5921 H7926 H6605 H0369 H5462 H0369 H5462 H6605

わたしはまたダビデの家のかぎを彼の肩に置く。彼が開けば閉じる者なく、彼が閉じれば開く者はない。

23 וְתָקַעְתִּיו יָתֵד בְּמָקוֹם נֶאֱמָן וְהָיָה לְכִסֵּא כָבוֹד לְבֵית אָבִיו׃
そして-打ち-込む 釘として 場所に 確かな そして-なる 玉座として 栄光の 家の-ために その-父の
H8628 H3489 H4725 H0539 H1961 H3678 H3519 H1004 H0001

わたしは彼を堅い所に打ったくぎのようにする。そして彼はその父の家の誉の座となり、

24 וְתָלוּ עָלָיו כָּל־כְּבוֹד בֵּית־אָבִיו הַצֶּאֱצָאִים וְהַצְּפִעוֹת כֹּל כְּלֵי־הַקָּטָן מִכְּלֵי הָאֲגַנּוֹת וְעַד כָּל־כְּלֵי הַנְּבָלִים׃
そして-掛ける 彼の-上に すべての 栄光を 家の その-父の 子孫を そして-若枝を すべての 器を 小さい-ものの 器から 鉢の まで そして- すべての 器の 瓶の
H8518 H5921 H3605 H3519 H1004 H1 H6631 H6849 H3605 H3627 H7 H3627 H1 H5704 H3605 H3627 H5035

その父の家のすべての重さは彼の上にかかる。すなわちその子、その孫およびすべての小さい器、鉢からすべてのびんにいたるまでみな、彼の上にかかる』」。

25 בַּיּוֹם הַהוּא נְאֻם יְהוָה צְבָאוֹת תָּמוּשׁ הַיָּתֵד הַתְּקוּעָה בְּמָקוֹם נֶאֱמָן וְנִגְדְּעָה וְנָפְלָה וְנִכְרַת הַמַּשָּׂא אֲשֶׁר־עָלֶיהָ כִּי יְהוָה דִּבֶּר׃
その-日に その 宣言する 主が 万軍の 動く 釘が 打ち-込まれた 場所に 確かな そして-切り-落とされ そして-落ち そして-断たれる 荷が それの 上の なぜなら 主が 語った
H3117 H1931 H5002 H3068 H6635 H3489 H8628 H4725 H0539 H1438 H5307 H3772 H4853 H834 H5921 H3588 H3068 H1696

ס
区切り

万軍の主は言われる、「その日、堅い所に打ったくぎは抜け、切られて落ちる。その上にかかっている荷もまた取り去られる」と主は語られた。

Chapter 23

1 מַשָּׂא צֹר הֵילִילוּ אֳנִיּוֹת תַּרְשִׁישׁ כִּי־שֻׁדַּד מִבַּיִת מִבֹּוא כִּתִּים נִגְלָה־לָמוֹ׃
宣告 ツロ-の 泣き叫べ 船-よ タルシシュ-の なぜなら 荒らされた 家-から 入り口-から 地-から キッテム-の 知らされた 彼ら-に
H4853 H6865 H3213 H591 H8659 H3588 H7703 H1004 H0935 H3794 H1540 H0776

ツロについての託宣。タルシシのもろもろの船よ、泣き叫べ、ツロは荒れすたれて、家なく、船泊まりする港もないからだ。この事はクプロの地から彼らに告げ知らせられる。

2 דֹּמּוּ יֹשְׁבֵי אִי סֹחֵר צִידוֹן עֹבְרֵ֖י יָ֑ם מִלְאֽוּךְ׃
黙れ 住民-よ 島-の 商人-よ シドン-の 渡る-者 海-を あなた-を-満たした
H1747 H3427 H0339 H5503 H6721 H5722 H3220 H4390

海べに住む民よ、シドンの商人よ、もだせ、あなたがたの使者は海を渡り、大いなる水の上にあった。

3 וּבְמַ֣יִם רַבִּ֔ים זֶ֖רַע שִׁח֑וֹר קְצִ֣יר יְא֔וֹר תְּבוּאָתָ֖הּ וַתְּהִ֣י סְחַ֔ר
大-水-の-上で 多く-の 種 シホル-の 収穫 ナイル-の その-収入 そして-なった 交易
H4325 H7227 H2233 H7883 H7105 H2975 H8393 H1961 H5505

גּוֹיִֽם׃
諸国民-の

ツロの収入はシホルの穀物、ナイル川の収穫であった。ツロはもろもろの国びとの商人であった。

4 בּ֣וֹשִׁי צִיד֗וֹן כִּֽי־אָמַ֤ר יָם֙ מָע֣וֹז הַיָּ֔ם לֵאמֹ֔ר לֹא־חַלְתִּי
恥じよ シドン-よ なぜなら 言った 海-が とりで 海-の 言って ない 産みの苦しみ-を-した
H0954 H6721 H3588 H0559 H3220 H4581 H3220 H0559 H3808 H2342

וְלֹא־יָלַ֣דְתִּי וְלֹ֤א גִדַּ֙לְתִּי֙ בַּח֣וּרִ֔ים רוֹמַ֖מְתִּי בְּתוּלֽוֹת׃
なく 生んだ-ことも なく 育てた-ことも 若者-を 育て上げた-ことも おとめ-を
H3808 H3205 H3808 H1431 H0970 H7311 H1330

シドンよ、恥じよ、海は言った、海の城は言う、「わたしは苦しまず、また産まなかった。わたしは若い男子を養わず、また処女を育てなかった」。

5 כְּאֲשֶׁר־יִשָּׁמַע֙ לְמִצְרַ֔יִם יָחִ֖ילוּ כִּשְׁמַ֥ע צ�ֹֽר׃
時-に 知らせ-が 聞くと エジプト-に-届くと 苦しむ 知らせ-を-聞いて ツロ-の
H3588 H8052 H4714 H2342 H8085 H6865

この報道がエジプトに達するとき、彼らはツロについての報道によって、いたく苦しむ。

6 עִבְר֣וּ תַרְשִׁישָׁ֔ה הֵילִ֖ילוּ יֹשְׁבֵ֥י אִֽי׃
渡れ タルシシュ-へ 泣き叫べ 住民-よ 島-の
H5674 H8659 H3213 H3427 H0339

タルシシに渡れ、海べに住む民よ、泣き叫べ。

7 הֲזֹ֣את לָכֶ֗ם עַלִּיזָה֙ מִימֵי־קֶ֔דֶם קַדְמָתָ֖הּ יְבִלוּהָ֑ רַגְלֶ֣יהָ
これ-が あなたがた-の 喜び-の-町か 昔-から 古く-から その-起源 連れて行った その-足-が
H2088 H3588 H5947 H4480 H3117 H6927 H3212 H7272

מֵרָחֹ֖וק לָג֥וּר׃
遠く-へ 寄留する-ために
H7350

これがその起源も古い町、自分の足で移り、遠くにまで移住した町、あなたがたの喜び誇る町なのか。

8 מִי־יָעַ֗ץ זֹּאת֙ עַל־צֹ֔ר הַמַּעֲטִירָ֖ה אֲשֶׁ֣ר סֹחֲרֶ֑יהָ שָׂרִ֣ים
だれ-が 計画した これ-を 対して ツロ-に 冠-を-与える-者 その 商人-たちは 君主-であり
H4310 H3289 H2088 H5921 H6865 H5844 H3588 H5503 H8269

כְּנַעֲנֶ֖יהָ נִכְבְּדֵ֥י־אָֽרֶץ׃
その-貿易商-は 高貴-な-者 地-の
H3669 H3513 H0776

ツロにむかってこれを定めたのはだれか。ツロは冠を授けた町、その商人は君たち、その貿易業者は地の尊い人々であった。

כָּל־	לְהָקֵל	צְבִי	כָּל־	גְּאוֹן	לְחַלֵּל	יְעָצָהּ	צְבָאוֹת	יְהוָה	9
すべて–の	軽くする–ために	栄光–を	すべて–の	誇り–を	汚す–ために	計画された	万軍–の	主	
H3605	H7043		H3605	H1347		H3289		H3068	

נִכְבְּדֵי־	אָרֶץ׃
高貴–な–者–を	地–の
H3513	H0776

万軍の主はすべての栄光の誇を汚し、地のすべての尊い者をはずかしめるためにこれを定められたのだ。

עֹוד׃	מֵזַח	אֵין	תַּרְשִׁישׁ	בַּת־	כַּיְאֹר	אַרְצֵךְ	עִבְרִי		10
ない	帯–は	もはや	タルシシュ–の	娘–よ	ナイル–の–ように	あなた–の–地–を	流れよ		
H5750		H0369	H8659	H1323	H2975	H0776			

タルシシの娘よ、ナイル川のようにおのが地にあふれよ。もはや束縛するものはない。

אֶל־	צִוָּה	יְהוָה	מַמְלָכוֹת	הִרְגִּיז	הַיָּם	עַל־	נָטָה	יָדוֹ	11
に–対して	命じた	主–は	王国–を	震え上がらせた	海–の	上–に	伸ばした	その–手–を	
H0413	H6680	H3068	H4467	H7264	H3220		H5186	H3027	

מָעֻזֶּיהָ׃	לַשְׁמֵד	כְּנַעַן
その–とりで–を	滅ぼす–ために	カナン–に
H4581	H8045	

主はその手を海の上に伸べて国々を震い動かされた。主はカナンについて詔を出し、そのとりでをこわされた。

צִידוֹן	בַּת־	בְּתוּלַת	הַמְעֻשָּׁקָה	לַעֲלוֹז	עוֹד	תוֹסִיפִי	לֹא־	וַיֹּאמֶר		12
シドン–の	娘–よ	おとめ–よ	しいたげられた	喜び–を	もう	続ける–な	もはや	そして–言った		
H6721	H1323	H1330	H6231	H5937	H5750	H3254	H3808	H0559		

לָךְ׃	יָנוּחַ	לֹא־	שָׁם	גַּם־	עֲבֹרִי	קוּמִי	כִּתִּים׃(	]כתיים[
あなた–に	安らぎ–は	ない	そこ–でも	しかし	渡れ	立って	キッテム–へ	—
	H5117	H3808	H8033	H1571			H3794	H3794

主は言われた、「しえたげられた処女シドンの娘よ、あなたはもはや喜ぶことはない。立って、クプロに渡れ、そこでもあなたは安息を得ることはない」。

יְסָדָהּ	אַשּׁוּר	הָיָה	לֹא	הָעָם׃	זֶה	כַּשְׂדִּים	אֶרֶץ	וְהֵן		13
建てた	アッシリヤ–が	存在して–いなかった	なかった	民–は	この	カルデヤ人–の	地–を	見よ		
H3245	H0804	H1961	H3808		H2088	H3778	H0776	H2005		

לְמַפֵּלָה׃	שָׂמָהּ	אַרְמְנוֹתֶיהָ	עוֹרְרוּ׃	בַּחוּנָיו׃(	]בחיניו[	הֵקִימוּ	לְצִיִּים
廃墟–に	した	その–宮殿–を	引き倒した	その–望楼–を	—	建てた	荒野の–獣–の–ために
		H0759	H6209	H0975	H0975		H6728

カルデヤびとの国を見よ、アッスリヤではなく、この民がツロを野の獣のすみかに定めた。彼らはやぐらを建て、もろもろの宮殿をこわして荒塚とした。

ס	מָעֻזֵּכֶן׃	שֻׁדַּד	כִּי	תַּרְשִׁישׁ	אֳנִיּוֹת	הֵילִילוּ	14
—	あなたがた–の–とりで–は	荒らされた	なぜなら	タルシシュ–の	船–よ	泣き叫べ	
	H4581	H7703		H8659	H0591	H3213	

タルシシのもろもろの船よ、泣き叫べ、あなたがたのとりでは荒れすたれたから。

15 וְהָיָה֙ בַּיּ֣וֹם הַה֔וּא תִּשָּׁכַ֥ח צ֖וֹר שִׁבְעִ֣ים שָׁנָ֑ה כִּימֵ֥י מֶ֖לֶךְ אֶחָ֑ד מִקְצֵ֤ה שִׁבְעִים֙ שָׁנָ֔ה יִהְיֶ֥ה לְצ֖וֹר כְּשִׁירַ֥ת הַזּוֹנָֽה׃

そして-なる 日-に その 忘れられる ツロ-は 七十 年 日数-の-ように ひとり-の
H1961 H3117 H1931 H7911 H6865 H7657 H8141 H3117 H4428 H0259

終わり-に 七十 年-の なる 終わり-に ツロ-に 歌-の-ように 遊女-の
H7093 H7657 H8141 H1961 H7093 H6865 H7911 H2181

その日、ツロはひとりの王のながらえる日と同じく七十年の間忘れられ、七十年終って後、ツロは遊女の歌のようになる、

16 קְחִ֤י כִנּוֹר֙ סֹ֣בִּי עִ֔יר זוֹנָ֖ה נִשְׁכָּחָ֑ה הֵיטִ֤יבִי נַגֵּן֙ הַרְבִּי־שִׁ֔יר לְמַ֥עַן תִּזָּכֵֽרִי׃

取れ 琴-を 巡れ 町-を 遊女-よ 忘れられた 巧み-に 奏でよ 多く 歌-を ために
H3947 H3658 H5437 H5892 H2181 H7911 H3190 H5059 H7892 H8282 H4616

思い出される-ように
H2142

「忘れられた遊女よ、琴を執って町を経めぐり、巧みに弾じ、多くの歌をうたって、人に思い出されよ」。

17 וְהָיָ֣ה מִקְצֵ֣ה שִׁבְעִ֗ים שָׁנָה֙ יִפְקֹ֣ד יְהוָ֔ה אֶת־צ֖וֹר וְשָׁבָ֑ה וְזָנְתָ֗ה אֶת־כָּל־מַמְלְכ֛וֹת הָאָ֥רֶץ עַל־פְּנֵ֖י הָאֲדָמָֽה׃

そして-なる 終わり-に 七十 年-の 顧みる 主-が を ツロ-を そして-戻る その-報酬-に
H1961 H7093 H7657 H8141 H6485 H3068 H0853 H6865 H7725 H0868

そして-姦淫する と すべて-の 王国-と 地-の 上-の 面 大地-の
H2181 H0853 H3605 H4467 H0776 H5921 H6440 H0127

七十年終って後、主はツロを顧みられる。ツロは再び淫行の価を得て、地のおもてにある世のすべての国々と姦淫を行い、

18 וְהָיָ֤ה סַחְרָהּ֙ וְאֶתְנַנָּ֔הּ קֹ֖דֶשׁ לַיהוָ֑ה לֹ֣א יֵאָצֵ֔ר וְלֹ֥א יֵחָסֵ֖ן כִּ֣י לַיֹּשְׁבִ֔ים לִפְנֵ֥י יְהוָ֖ה לְאָכְלָ֥ה סַחְרָ֛הּ לְשָׂבְעָ֥ה וְלִמְכַסֶּ֖ה עָתִֽיק׃ פ

そして-なる その-交易-は その-報酬-は 聖なるもの 主-に ない 蓄えられず なく
H1961 H5504 H0868 H6944 H3068 H3808 H0686 H3808

なる 主-の 前-に 住む-者-の-ために なぜなら 貯められない 食べる-ために その-交易-は 十分-に 良い-衣服-の-ために 上質-の —
H1961 H3068 H6440 H3427 H3588 H2630 H0398 H5504 H7654 H4374 H6266

その商品とその価とは主にささげられる。これはたくわえられることなく、積まれることなく、その商品は主の前に住む者のために豊かな食物となり、みごとな衣服となる。

Chapter 24

1 הִנֵּ֤ה יְהוָה֙ בּוֹקֵ֣ק הָאָ֔רֶץ וּבוֹלְקָ֖הּ וְעִוָּ֣ה פָנֶ֑יהָ וְהֵפִ֖יץ יֹשְׁבֶֽיהָ׃

見よ 主-が 荒らす 地-を 荒廃させる そして-ゆがめる その-面-を そして-散らす
H2009 H3068 H1238 H0776 H1110 H6440 H5791

その-住民-を
H3427

見よ、主はこの地をむなしくし、これを荒れすたれさせ、これをくつがえして、その民を散らされる。

2 וְהָיָה כָּעָם כַּכֹּהֵן כָּעֶבֶד כַּאדֹנָיו כַּשִּׁפְחָה
そして-なる 民-の-ように 祢司-の-ように 僕-の-ように その-主人-の-ように 女僕-の-ように
H1961 H3548 H5650 H0113 H8198

כַּלֹּוֶה כַּמַּלְוֶה כַּמּוֹכֵר כַּקֹּונֶה כַּגֹּבְרָתָהּ
借りる-者-の-ように 貸す-者-の-ように 売る-者-の-ように 買う-者-の-ように その-女主人-の-ように
H4376 H7069 H1404

כַּנֹּשֶׂה כַּאֲשֶׁר נֹשֶׂא בּוֹ׃
取り立てる-者-の-ように 同じく 負う-者-の-ように それ-を
H5383 H5378

そして、その民も祭司もひとしく、しもべも主人もひとしく、はしためも主婦もひとしく、買う者も売る者もひとしく、貸す者も借りる者もひとしく、債権者も債務者もひとしく、この事にあう。

3 וְהִבּוֹק תִּבּוֹק הָאָרֶץ וְהִבּוֹז תִּבּוֹז כִּי יְהוָה דִּבֶּר אֶת־הַדָּבָר הַזֶּה׃
完全に 荒らされる 地-は 完全に 略奪される なぜなら 主-が 語った この 言葉-を この
H0962 H0776 H0962 H0962 H3068 H1696 H0853 H1697 H2088

地は全くむなしくされ、全くかすめられる。主がこの言葉を告げられたからである。

4 אָבְלָה נָבְלָה הָאָרֶץ אֻמְלְלָה תֵבֵל נָבְלָה אֻמְלְלָה מְרוֹם עַם־הָאָרֶץ׃
悲しむ 衰える 地-は しおれる 衰える 世界-は しおれる 高き-者 民-の 地-の
H0056 H0776 H0535 H0535 H8398 H0535 H4791 H0776

地は悲しみ、衰え、世はしおれ、衰え、天も地と共にしおれはてる。

5 וְהָאָרֶץ חָנְפָה תַּחַת יֹשְׁבֶיהָ כִּי־עָבְרוּ חָקִים הֵפֵרוּ חָלְפוּ תוֹרֹת בְּרִית עוֹלָם׃
そして-地-は 汚された 下-で その-住民-の なぜなら 犯した 掟-を 破った 契約-を 永遠-の
H0776 H2610 H8478 H3427 H0816 H2706 H2498 H8451 H1285 H5769

地はその住む民の下に汚された。これは彼らが律法にそむき、定めを犯し、とこしえの契約を破ったからだ。

6 עַל־כֵּן אָלָה אָכְלָה אֶרֶץ וַיֶּאְשְׁמוּ יֹשְׁבֶיהָ בָּהּ
それ-ゆえ に のろい-が 食い尽くした 地-を そして-罪ある-とされた 住民-は その-中-の
H0423 H0398 H0776 H0816 H3427

עַל־כֵּן חָרוּ יֹשְׁבֵי אֶרֶץ וְנִשְׁאַר אֱנוֹשׁ מִזְעָר׃
それ-ゆえ に 減少した 住民-は 地-の そして-残った 人-は わずか
H2787 H3427 H0776 H7604 H0582 H4213

それゆえ、のろいは地をのみつくし、そこに住む者はその罪に苦しみ、また地の民は焼かれて、わずかの者が残される。

7 אָבַל תִּירוֹשׁ אֻמְלְלָה־גֶּפֶן נֶאֶנְחוּ כָּל־שִׂמְחֵי לֵב׃
悲しむ 新しい-ぶどう酒-は しおれた ぶどう-の-木-は 嘆いた すべて-の 喜ぶ-者 心-の
H0056 H8492 H0535 H1612 H0584 H3605 H8056

新しいぶどう酒は悲しみ、ぶどうはしおれ、心の楽しい者もみな嘆く。

8 שָׁבַת מְשׂוֹשׂ תֻּפִּים שָׁאוֹן עַלִּיזִים שָׁבַת כִּנּוֹר׃
止んだ 喜び-は 太鼓-の 騒ぎ-は 喜ぶ-者-の 止んだ 琴-の
H8596 H4885 H7588 H5947 H7673 H3658

鼓の音は静まり、喜ぶ者の騒ぎはやみ、琴の音もまた静まった。

9 בַּשִּׁיר לֹא יִשְׁתּוּ־יָיִן יֵמַר שֵׁכָר לִשְׁתָּיו׃
歌-で ない 飲む-ことは ぶどう酒-を 苦い 濃い-酒-は 飲む-者-に
H7892 H3808 H8354 H3196 H4843 H7941 H8354

彼らはもはや歌をうたって酒を飲まず、濃き酒はこれを飲む者に苦くなる。

10 נִשְׁבְּרָה קִרְיַת־תֹּהוּ סָגֻר כָּל־בַּיִת מִבְוֹא׃
砕かれた 町-は 混沌-の 閉ざされた すべて-の 家-は 入れない-ように
H7665 H7151 H8414 H5462 H3605 H1004 H0935

混乱せる町は破られ、すべての家は閉ざされて、はいることができない。

11 צְוָחָה עַל־הַיַּיִן בַּחוּצוֹת עֻרְבָה כָּל־שִׂמְחָה גָּלָה מָשׂוֹשׂ
叫び-が ある ぶどう酒-の-ために 通り-で 暮れた すべて-の 喜び-は 去った 楽しみ-は
H6682 H5921 H3196 H2351 H6150 H3605 H8057 H1540 H4885

הָאָרֶץ׃
地-の
H0776

ちまたには酒の不足のために叫ぶ声があり、すべての喜びは暗くなり、地の楽しみは追いやられた。

12 נִשְׁאַר בָּעִיר וְשַׁאיָה שַׁמָּה יֻכַּת־שָׁעַר׃
残った 町-に-は そして-破壊-に 荒廃-が 打ち壊された 門-は
H7604 H1004 H7591 H8047 H3807 H8179

町には荒れすたれた所のみ残り、その門もこわされて破れた。

13 כִּי כֹה יִהְיֶה בְּקֶרֶב בְּתוֹךְ הָאָרֶץ בְּעַמִּים כְּנֹקֵף זַיִת
なぜなら この-ように なる 中-に 地-の 中-に 諸国民-の 打つ-ように オリーブ-を
H3588 H3541 H1961 H7130 H8432 H0776 H5971 H5363 H2132

כְּעוֹלְלֹת אִם־כָּלָה בָּצִיר׃
落穂拾い-の-ように もし 終わった-とき 収穫-が
H5955 H0518 H3615 H1210

地のうちで、もろもろの民のなかで残るものは、オリブの木の打たれた後の実のように、ぶどうの収穫の終った後にその採り残りを集めるときのようになる。

14 הֵמָּה יִשְׂאוּ קוֹלָם יָרֹנּוּ בִּגְאוֹן יְהוָה צָהֲלוּ מִיָּם׃
彼ら-が 上げる 声-を 喜び-叫ぶ 威光-で 主-の 叫ぶ 海-から
H1992 H5375 H7032 H3068 H1347 H3068 H6670 H3220

彼らは声をあげて喜び歌う。主の威光のゆえに、西から喜び呼ばわる。

15 עַל־כֵּן בָּאֻרִים כַּבְּדוּ יְהוָה בְּאִיֵּי הַיָּם שֵׁם יְהוָה אֱלֹהֵי׃
それ-ゆえ に 光-の-中で 崇めよ 主-を 島々-で 海-の 御名-を 主-の 神-の
H3651 H3588 H0216 H3513 H3068 H0339 H3220 H8034 H3068 H0430

ס יִשְׂרָאֵל׃
— イスラエル-の
H5471 H3478

それゆえ、東で主をあがめ、海沿いの国々でイスラエルの神、主の名をあがめよ。

16 מִכְנַף הָאָרֶץ זְמִרֹת שָׁמַעְנוּ צְבִי לַצַּדִּיק וָאֹמַר רָזִי־לִי
地-の 果て-から 讃美-を 聞いた 栄光-は 正しき-者-に しかし-私は-言った 秘密-が 私-に
H0776 H3671 H2158 H8085 H6643 H6662 H0559 H7328 H3807

בֹּגְדִים בָּגָדוּ וּבֶגֶד בֹּגְדִים בָּגָדוּ בָּגְדוּ׃
裏切り-者が 裏切った そして-裏切り-で 裏切り-者が 裏切った
H0898 H0898 H0898 H0898 H0898 H0898

אוֹי לִי רָזִי־לִי׃
わざわい-が 私-に 秘密-が
H0188 H3807 H7328

われわれは地の果から、さんびの歌を聞いた、「栄光は正しい者にある」と。しかし、わたしは言う、「わたしはやせ衰える、わたしはやせ衰える、わたしはわざわいだ。欺く者はあざむき、欺く者は、はなはだしくあざむく」。

17

פַּחַד	וָפַחַת	וָפָח	עָלֶיךָ	יוֹשֵׁב	הָאָרֶץ׃
恐怖–と	落とし–穴–と	罠–が	あなた–の–上に	住民–よ	地–の
H6343	H6354			H3427	H0776

地に住む者よ、恐れと、落し穴と、わなとはあなたの上にある。

18

מִתּוֹךְ	וְהָעוֹלֶה	הַפַּחַת	אֶל־	יִפֹּל	הַפַּחַד	מִקּוֹל	הַנָּס	וְהָיָה
中–から	そして–登る–者	落とし–穴–の	中–に	落ちる	恐怖–の	声–から	逃げる–者	そして–なる
H8432	H5927	H6354	H0413	H5307	H6343		H5127	H1961

מוֹסְדֵי	וַיִּרְעֲשׁוּ	נִפְתָּחוּ	מִמָּרוֹם	אֲרֻבּוֹת	כִּי־	בַפַּח	יִלָּכֵד	הַפַּחַת
基–が	そして–揺れた	開かれた	高き–所から	窓–が	なぜなら	罠–に	捕らえられる	落とし–穴–の
H4146	H7493		H4791	H0699			H3920	H6354

אָרֶץ׃
地–の
H0776

恐れの声をのがれる者は落し穴に陥り、落し穴から出る者はわなに捕えられる。天の窓は開け、地の基が震い動くからである。

19

אֶרֶץ׃	הִתְמוֹטְטָה	מוֹט	אֶרֶץ	הֻתְפּוֹרְרָה	פּוֹר	הָאָרֶץ	הִתְרֹעֲעָה	רֹעַ
地–は	揺らいだ	激しく	地–は	粉々に–なった	完全に	地–は	砕けた	完全に
H0776	H4131	H4131	H0776			H0776		

地は全く砕け、地は裂け、地は激しく震い、

20

וְכָבֵד	כַּמְלוּנָה	וְהֻתְנוֹדְדָה	כַּשִּׁכּוֹר	אֶרֶץ	תָּנוּעַ	נוֹעַ
そして–重い	小屋–の–ように	そして–揺れる	酔った–者–の–ように	地–は	よろめく	大きく
H3513	H4412	H5110	H7910	H0776	H5128	H5128

ס	קוּם׃	תֹּסִיף	וְלֹא־	וְנָפְלָה	פִּשְׁעָהּ	עָלֶיהָ
—	起き上がる–ことは	再び	そして–ない	そして–倒れる	その–背き–は	その–上–に
		H3254	H3808	H5307	H6588	

地は酔いどれのようによろめき、仮小屋のようにゆり動く。そのとがはその上に重く、ついに倒れて再び起きあがることはない。

21

בַּמָּרוֹם	הַמָּרוֹם	צְבָא	עַל־	יְהוָה	יִפְקֹד	הַהוּא	בַּיּוֹם	וְהָיָה
高き–所–で	高き–所–の	軍勢–を	に–対して	主–が	罰する	その	日–に	そして–なる
H4791	H4791			H3068		H1931	H3117	H1961

הָאֲדָמָה׃	עַל־	הָאֲדָמָה	מַלְכֵי	וְעַל־	
地–の	上–の	地–の	王–たち–を	そして–に–対して	
H0127		H0127	H4428		

その日、主は天において、天の軍勢を罰し、地の上で、地のもろもろの王を罰せられる。

22

עַל־	וְסֻגְּרוּ	בּוֹר	עַל־	אַסִּיר	אֲסֻפָּה	וְאֹסְפוּ
の–中に	そして–閉じ込められる	穴–の	の–上に	囚人–として	集合–として	そして–集められる
	H5462			H0616	H0626	H0622

יִפָּקְדוּ׃	יָמִים	וּמֵרֹב	מַסְגֵּר
顧みられる	日–の–後	そして–多く–の	牢獄–の
	H3117	H7230	H4525

彼らは囚人が土ろうの中に集められるように集められて、獄屋の中に閉ざされ、多くの日を経て後、罰せられる。

23 וְחָפְרָה֙ הַלְבָנָ֔ה וּבוֹשָׁ֖ה הַחַמָּ֑ה כִּֽי־ מָלַ֤ךְ יְהוָה֙ צְבָאוֹת֙
そして-恥じる 月-は そして-恥じる 太陽-は なぜなら 王-として-治める 主-が 万軍-の
H2659 H3842 H0954 H2535 H3068

פ בְּהַ֣ר צִיּ֔וֹן וּבִירוּשָׁלַ֖͏ִם וְנֶגֶד֙ זְקֵנָ֣יו כָּבֽוֹד׃
— 山-に シオン-の そして-エルサレム-に そして-前-に その-長老-の 栄光-が
H2022 H6726 H3389 H5048 H2205 H3519

こうして万軍の主がシオンの山およびエルサレムで統べ治め、かつその長老たちの前にその栄光をあらわされるので、月はあわて、日は恥じる。

Chapter 25

1 יְהוָ֥ה אֱלֹהַ֖͏ִי אַתָּ֑ה אֲרוֹמִמְךָ֙ אוֹדֶ֣ה שִׁמְךָ֔ כִּֽי
主-よ 我が-神-よ あなた-です あなた-を-あがめます 感謝する あなたの-御名-を なぜなら
H3068 H0430 H8034 H3034

אֱמוּנָ֥ה אֹמֶֽן׃ מֵרָח֖וֹק עֵצ֣וֹת פֶּ֑לֶא עָשִׂ֥יתָ
真実-で 誠実-な 遠く-から-の 計画-を 不思議-を 行われた
H0530 H0544 H7350 H6098 H6382 H6382

主よ、あなたはわが神、わたしはあなたをあがめ、み名をほめたたえる。あなたはさきに驚くべきみわざを行い、いにしえから定めた計画を真実をもって行われたから。

2 כִּ֚י שַׂ֣מְתָּ מֵעִ֔יר לַגָּ֖ל קִרְיָ֑ה בְּצ֣וּרָה֙ לְמַפֵּלָ֔ה אַרְמ֖וֹן
なぜなら あなた-は-した 町-を-から 石の-山-に 町-を 城壁-の-ある 廃墟-に 宮殿-を
H7151 H1530 H1219 H4654 H0759

זָרִ֔ים מֵעִ֖יר לְעוֹלָ֣ם לֹ֥א יִבָּנֶֽה׃
異国人-の 町-から 永遠-に ない 建てられる-ことは
H1129 H3808 H5769

あなたは町を石塚とし、堅固な町を荒塚とされた。外国人のやかたは、もはや町ではなく、とこしえに建てられることはない。

3 עַל־ כֵּ֚ן יְכַבְּדֽוּךָ֔ קִרְיַ֖ת עַ֣ז גּוֹיִ֑ם עָרִיצִ֥ים יִירָאֽוּךָ׃
それ-ゆえ に 崇める 町-を 強い 民-は 諸国民-の 横暴-な-者は おそれる
H5769 H3513 H7151 H5794 H3372 H6184

それゆえ、強い民はあなたを尊び、あらぶる国々の町はあなたを恐れる。

4 כִּֽי־ הָיִ֥יתָ מָעוֹז֙ לַדָּ֔ל מָעוֹז֙ לָאֶבְי֔וֹן בַּצַּר־ לֹ֑ו
なぜなら あなた-は-であった とりで 弱き-者-に とりで 貧しき-者-に 苦難-の-中-の 彼-に
H1961 H4581 H1800 H4581 H0034

מַחְסֶ֤ה מִזֶּ֙רֶם֙ צֵ֣ל מֵחֹ֔רֶב רוּחַ֙ עָרִיצִ֔ים כְּזֶ֖רֶם קִֽיר׃
避け-所 嵐-から-の 陰 暑さ-から-の 息-は 横暴-な-者-の 嵐-の-ように 壁-に-当たる
H4268 H2230 H6738 H2721 H7307 H6184 H2230 H7023

あなたは貧しい者のとりでとなり、乏しい者の悩みのときのとりでとなり、あらしをさける避け所となり、熱さをさける陰となられた。あらぶる者の及ぼす害は、石がきを打つあらしのごとく、

5

זְמִיר — 歌–は — H2158
עָב — 雲–の — H5645
בְּצַל — 陰–の — H6738
חֹרֶב — 暑さ–を — H2724
תַּכְנִיעַ — 従えさせる — H3665
זָרִים — 異国人–の — H2114
שְׁאוֹן — 騒ぎ–を — H7588
בְּצִיּוֹן — 乾いた–地–で–の — H6724
כְּחֹרֶב — 暑さ–の–ように — H2724
עָרִיצִים — 横暴–な–者–の — H6184
יַעֲנֶה׃ — 静められる
פ — —

かわいた地の熱さのようだからである。あなたは外国人の騒ぎをおさえ、雲が陰をもって熱をとどめるようにあらぶる者の歌をとどめられる。

6

וְעָשָׂה — そして–催す — H6213
יְהוָה — 主–が — H3068
צְבָאוֹת — 万軍–の — H6635
לְכָל־ — すべて–の — H3605
הָעַמִּים — 民–の–ために — H5971
הַזֶּה — この — H2088
בָּהָר — この–山–で — H2022
מִשְׁתֶּה — 宴–を — H4960
שְׁמָנִים — 艶–な–もの–の — H8081
מִשְׁתֶּה — 宴–を — H4960
שְׁמָרִים — 熟成した–酒–の — H8105
שְׁמָנִים — 艶やか–な–もの — H8081
מְמֻחָיִם — 髄髄–つき–の — H4221
שְׁמָרִים — 熟成した–酒 — H8105
מְזֻקָּקִים׃ — 漉された — H2212

万軍の主はこの山で、すべての民のために肥えたものをもって祝宴を設け、久しくたくわえたぶどう酒をもって祝宴を設けられる。すなわち髄の多い肥えたものと、よく澄んだ長くたくわえたぶどう酒をもって祝宴を設けられる。

7

וּבִלַּע — そして–飲み込む — H1104
הַזֶּה — この — H2088
פְּנֵי־ — 面–を — H6440
הַלּוּט — 覆う — H3874
וְהַלּוּט — 覆い–を — H3875
עַל־ — の–上に–ある
כָּל־ — すべて–の — H3605
הָעַמִּים — 民–の
וְהַמַּסֵּכָה — そして–織物–を
הַנְּסוּכָה — 織られた — H5259
עַל־ — の–上に–ある
כָּל־ — すべて–の — H3605
הַגּוֹיִם׃ — 国々–の

また主はこの山で、すべての民のかぶっている顔おおいと、すべての国のおおっているおおい物とを破られる。

8

בִּלַּע — 飲み込む — H1104
הַמָּוֶת — 死–を — H4194
לָנֶצַח — 永遠–に — H5331
וּמָחָה — そして–拭う
אֲדֹנָי — 主–なる — H0136
יְהוִה — 主–が — H3069
דִּמְעָה — 涙–を — H1832
מֵעַל — から
כָּל־ — すべて–の — H3605
פָּנִים — 顔–の — H6440
וְחֶרְפַּת — そして–そしり–を — H2781
עַמּוֹ — その–民–の
יָסִיר — 取り除く — H5493
מֵעַל — から
כָּל־ — すべて–の — H3605
הָאָרֶץ — 地–の — H0776
כִּי — なぜなら
יְהוָה — 主–が — H3068
דִּבֶּר׃ — 語った — H1696
פ — —

主はとこしえに死を滅ぼし、主なる神はすべての顔から涙をぬぐい、その民のはずかしめを全地の上から除かれる。これは主の語られたことである。

9

וְאָמַר — そして–言う — H0559
בַּיּוֹם — 日–に — H3117
הַהוּא — その — H1931
הִנֵּה — 見よ — H2009
אֱלֹהֵינוּ — 我ら–の–神–だ — H0430
זֶה — これ–が — H2088
קִוִּינוּ — 待ち望んだ
לוֹ — 彼–を
וְנָגִילָה — 喜ぼう — H1523
וְנִשְׂמְחָה — そして–楽しもう — H8055
בִּישׁוּעָתוֹ׃ — その–救い–を — H3444

וְיָשַׁע — そして–救ってくださる — H3467
זֶה — これ–が — H2088
יְהוָה — 主–だ — H3068
קִוִּינוּ — 待ち望んだ
לוֹ — 彼–を
נָגִילָה — 喜ぼう — H1523
וְנִשְׂמְחָה — そして–楽しもう — H8055
בִּישׁוּעָתוֹ׃ — その–救い–を — H3444

その日、人は言う、「見よ、これはわれわれの神である。わたしたちは彼を待ち望んだ。彼はわたしたちを救われる。これは主である。わたしたちは彼を待ち望んだ。わたしたちはその救を喜び楽しもう」と。

10

כִּי־ — なぜなら
תָנוּחַ — 休む — H5117
יַד־ — 手–は — H3027
יְהוָה — 主–の — H3068
בָּהָר — この–山–に — H2022
הַזֶּה — この — H2088
תָּנוּחַ — その–下–で — H8478
מוֹאָב — モアブ–は — H4124
וְנָדוֹשׁ — そして–踏みにじられる — H1758
כְּהִדּוּשׁ — 踏みにじる–ように — H1758
מַתְבֵּן — わら–を — H4963
בְּמוֹ(בְמִן) — 中–の — H1119
מַדְמֵנָה׃ — 肥溜め–の — H4087

主の手はこの山にとどまり、モアブは肥だめの中に踏まれるわらのように、おのれの所で踏みにじられる。

לִשְׂחוֹת	הַשֹּׂחֶה	יִפְרֹשׂ	כַּאֲשֶׁר	בְּקִרְבּוֹ	יָדָיו	וּפֵרַשׂ	11
泳ぐ–ために	泳ぐ–者–が	広げる–ように	ちょうど	その–中–で	その–手–を	そして–広げる	
H7811	H7811	H6566		H7130	H3027	H6566	

יָדָיו׃	אָרְבּוֹת	עִם	גְּאוָתוֹ	וְהִשְׁפִּיל	
その–手–の	巧み–な–動き	ともに	その–高慢–を	そして–低くする	
H3027	H0698		H1346	H8213	

彼はその中で泳ぐ物が泳ごうとして手を伸ばすように、その手を伸ばす。しかし主はその高ぶりを、その手の巧みなわざと共に低くされる。

עַד־	לָאָרֶץ	הִנִּיעַ	הִשְׁפִּיל	הֵשַׁח	חוֹמֹתֵיךָ	מִשְׂגַּב	וּמִבְצַר	12
まで	地–に	届かせた	低くした	低くした	あなたの–城壁–の	高き–とりで–の	そして–城壁–を	
H5704	H0776	H5060	H8213	H7817	H2346		H4013	

עָפָר׃	ס	
塵–に	—	
H6083		

その石がきの高い城郭を主は傾け倒し、地に投げうって、ちりにかえされる。

Chapter 26

יְשׁוּעָה	לָנוּ	עֹז־	עִיר	יְהוּדָה	בְּאֶרֶץ	הַזֹּה	הַשִּׁיר־	יוּשַׁר	הַהוּא	בַּיּוֹם	1
救い–を	我ら–に	強い	町–が	ユダ–の	地–で	この	この–歌–が	歌われる	その	日–に	
H3444		H5794		H3063	H0776	H2088		H7891	H1931	H3117	

וָחֵל׃	חוֹמָוֹת	יָשָׁית	
堰–に	城壁–と	置く	
H2426	H2346	H7896	

その日ユダの国で、この歌をうたう、「われわれは堅固な町をもつ。主は救をその石がきとし、またとりでとされる。

אֱמֻנִים׃	שֹׁמֵר	צַדִּיק	גּוֹי־	וְיָבֹא	שַׁעֲרִים	פִּתְחוּ	2
誠実–を	守る	正しき	国民–が	そして–入る	門–を	開けよ	
H0529	H8104	H6662		H0935	H8179		

門を開いて、信仰を守る正しい国民を入れよ。

בָּטוּחַ׃	בְּךָ	כִּי	שָׁלוֹם	וְשָׁלוֹם	תִּצֹּר	סְמוּךְ	יֵצֶר	3
信頼する	あなた–に	なぜなら	平安–を	平安	守る	支えられた	心	
H0982			H7965	H7965	H5341	H5564	H3336	

あなたは全き平安をもってこころざしの堅固なものを守られる。彼はあなたに信頼しているからである。

עוֹלָמִים׃	צוּר	יְהוָה	בְיָהּ	כִּי	עַד	עֲדֵי־	בַיהוָה	בִּטְחוּ	4
永遠–の	岩	主–は	主–に	なぜなら	永久–に	永遠–に	主–に	信頼せよ	
H5769	H6697	H3068	H3050		H5703	H5704	H3068	H0982	

とこしえに主に信頼せよ、主なる神はとこしえの岩だからである。

אֶרֶץ	עַד־	יַשְׁפִּילָהּ	יַשְׁפִּילֶנָּה	נִשְׂגָּבָה	קִרְיָה	מָרוֹם	יֹשְׁבֵי	הֵשַׁח	כִּי	5
地–に	まで	引き下げる	引き下げる	高き	町–を	高き–所–の	住民–を	低くした	なぜなら	
H0776	H5704	H8213	H8213	H7682	H7151	H4791	H3427	H7817		

עָפָר׃	עַד־	הִגִּיעֶנָּה	
塵–に	まで	届かせる	
H6083	H5704	H5060	

主は高き所、そびえたつ町に住む者をひきおろし、これを伏させ、これを地に伏させて、ちりにかえされる。

6 תִּרְמְסֶנָּה רֶגֶל רַגְלֵי עָנִי פַּעֲמֵי דַלִּים׃
踏みにじる 足–が 足–が 貧しき–者–の 歩み–が 弱き–者–の
H7429 H7272 H7272 H6041 H6471 H1800

こうして足で踏まれ、貧しい者の足で踏まれ、乏しい者はその上を歩む」。

7 אֹרַח לַצַּדִּיק מֵישָׁרִים פָּלַס צַדִּיק מַעְגַּל יָשָׁר׃
道 正しき–者–の 真っすぐ 平らにする 正しき–者–の 転–を 正しき–者よ
H0734 H6662 H4339 H6424 H6662 H4570 H3477

正しい者の道は平らである。あなたは正しい者の道をなめらかにされる。

8 אַף אֹרַח מִשְׁפָּטֶיךָ יְהוָה קִוִּינוּךָ לְשֵׁם וּלְזִכְרְךָ תַּאֲוַת־
まことに 道–を 主–よ あなたの–裁き–の 待ち望む あなたの–御名–と あなたの–記憶–を 渇望–が
H0637 H0734 H3068 H4941 H6960 H8034 H2143 H8378

נָפֶשׁ׃
魂–の
H5315

主よ、あなたがさばきをなさる道で、われわれはあなたを待ち望む。われわれの魂の慕うものは、あなたの記念の名である。

9 נַפְשִׁי אִוִּיתִיךָ בַלַּיְלָה אַף־ רוּחִי בְקִרְבִּי אֲשַׁחֲרֶךָּ כִּי
我が–魂–が 慕い求める 夜–に まことに 我が–霊–は 我が–内–で あなた–を–求める なぜなら
H5315 H0183 H3915 H0637 H7307 H7130 H7836

תֵּבֵל׃ יֹשְׁבֵי לָמְדוּ צֶדֶק לָאָרֶץ מִשְׁפָּטֶיךָ כַּאֲשֶׁר
世界–の 住民–は 学ぶ 義–を 地–に–ある あなたの–裁き–が 時–に
H8398 H3427 H3925 H6664 H0776 H4941

10 יֻחַן רָשָׁע בַּל־ לָמַד צֶדֶק בְּאֶרֶץ נְכֹחוֹת יַעֲוֹל וּבַל־
恵まれても 悪しき–者–は ない 学ば 義–を 地–で 正しき 不正–を–行う そして–ない
H2603 H7563 H1077 H3925 H6664 H0776 H5229 H5765 H1077

יִרְאֶה גְּאוּת יְהוָה׃ ס
見る–ことも 威光–を 主–の —
H7200 H1348 H3068

悪しき者は恵まれても、なお正義を学ばず、正しい地にあっても不義を行い、主の威光を仰ぐことをしない。

11 יְהוָה רָמָה יָדְךָ בַל־ יֶחֱזוּן וְיֵבֹשׁוּ קִנְאַת־
主–よ 高い あなたの–手–は ない 彼ら–は–見ない 見る–だろう そして–恥じる 熱心–を
H3068 H7311 H3027 H1077 H2372 H2372 H0954 H7068

עָם אַף־ אֵשׁ צָרֶיךָ תֹּאכְלֵם׃ ס
民–の–ため–の まことに 火–が あなたの–敵–を 食い尽くす —
H0637 H0784 H6862 H0398

主よ、あなたのみ手が高くあがるけれども、彼らはそれを顧みない。どうか、あなたの、おのが民を救われる熱心を彼らに見させて、大いに恥じさせ、火をもってあなたの敵を焼き滅ぼしてください。

12 יְהוָה֙ תִּשְׁפֹּ֣ת שָׁלֹ֔ום לָ֖נוּ כִּ֣י גַם־כָּל־מַעֲשֵׂ֑ינוּ פָּעַ֥לְתָּ לָּֽנוּ׃

יְהוָה֙	תִּשְׁפֹּ֣ת	שָׁלֹ֔ום	לָ֖נוּ	כִּ֣י	גַם	כָּל־	מַעֲשֵׂ֑ינוּ	פָּעַ֥לְתָּ
主–よ	定める	平安–を	我ら–に	なぜなら	まことに	すべて–の	我らの–わざ–も	あなた–が–なした
H3068	H8239	H7965	H3605	H1571	H3605	H3605	H4639	H6466

לָּֽנוּ׃
我ら–の–ために

主よ、あなたはわれわれのために平和を設けられる。あなたはわれわれのためにわれわれのすべてのわざをなし遂げられた。

13 יְהוָ֣ה אֱלֹהֵ֣ינוּ בְעָלُונוּ֮ אֲדֹנִים֒ זוּלָתֶ֣ךָ לְבַד־בְּךָ֣ נַזְכִּ֔יר שְׁמֶֽךָ׃

יְהוָ֣ה	אֱלֹהֵ֣ינוּ	בְעָלُונוּ֮	אֲדֹנִים֒	זוּלָתֶ֣ךָ	לְבַד־	בְּךָ֣	נַזְכִּ֔יר
主–よ	我ら–の–神–よ	支配した	主人–が	あなた–の–他–に	ただ	あなた–に–よって	記念する
H3068	H0430	H1166	H0113	H2108	H0905		H2142

שְׁמֶֽךָ׃
あなたの–御名–を
H8034

われわれの神、主よ、あなた以外のもろもろの主がわれわれを治めた。しかし、われわれはただ、あなたの名のみをあがめる。

14 מֵתִים֙ בַּל־יִחְיוּ֔ רְפָאִ֖ים בַּל־יָקֻ֑מוּ לָכֵ֣ן פָּקַ֔דְתָּ וַתְּאַבְּדֵ֖ם וַתַּשְׁמֵ֥ד כָּל־זֵ֖כֶר לָֽמוֹ׃

מֵתִים֙	בַּל־	יִחְיוּ֔	רְפָאִ֖ים	בַּל־	יָקֻ֑מוּ	לָכֵ֣ן	פָּקַ֔דְתָּ	וַתְּאַבְּדֵ֖ם	וַתַּשְׁמֵ֥ד	כָּל־	זֵ֖כֶר	לָֽמוֹ׃
死者–は	ない	生きる–ことは	幽霊–は	ない	起き上がる–ことは	それ–ゆえ	罰した	そして–滅ぼした	そして–消した	すべて–の	記憶–を	彼ら–の
H4191	H1077	H2421	H7496	H1077					H0006	H3605	H2143	

死んだ者はまた生きない。亡霊は生き返らない。それで、あなたは彼らを罰して滅ぼし、彼らの思い出をことごとく消し去られた。

15 יָסַ֥פְתָּ לַגּ֖וֹי יְהוָ֑ה יָסַ֥פְתָּ לַגּ֖וֹי נִכְבָּ֣דְתָּ רִחַ֔קְתָּ כָּל־קַצְוֵי־אָֽרֶץ׃

יָסַ֥פְתָּ	לַגּ֖וֹי	יְהוָ֑ה	יָסַ֥פְתָּ	לַגּ֖וֹי	נִכְבָּ֣דְתָּ	רִחַ֔קְתָּ	כָּל־	קַצְוֵי־	אָֽרֶץ׃
増やした	国民–を	主–よ	増やした	国民–を	栄光–を–受けた	広げた	すべて–の	境–を	地–の
H3254		H3068	H3254		H3513	H7368	H3605	H7099	H0776

主よ、あなたはこの国民を増し加えられた。あなたはこの国民を増し加えられた。あなたは栄光をあらわされた。あなたは地の境を四方に広げられた。

16 יְהוָה֙ בַּצַּ֣ר פְּקָדُוךָ֔ צָ֥קוֹן לַ֖חַשׁ מוּסָרְךָ֣ לָֽמוֹ׃

יְהוָה֙	בַּצַּ֣ר	פְּקָדُוךָ֔	צָ֥קוֹן	לַ֖חַשׁ	מוּסָרְךָ֣	לָֽמוֹ׃
主–よ	苦難–の–中で	求めた	注ぎ出した	ささやき–の–祈り–を	あなたの–懲らしめ–が	彼ら–に
H3068			H6694	H3908	H4148	

主よ、彼らは悩みのとき、あなたに求めた。彼らがあなたの懲しめにあったとき、祈をささげた。

17 כְּמוֹ֙ הָרָ֣ה תַּקְרִ֔יב לָלֶ֖דֶת תָּח֑יל תִּזְעַ֣ק בַּחֲבָלֶ֔יהָ כֵּ֥ן הָיִ֖ינוּ מִפָּנֶ֣יךָ יְהוָֽה׃

כְּמוֹ֙	הָרָ֣ה	תַּקְרִ֔יב	לָלֶ֖דֶת	תָּח֑יל	תִּזְעַ֣ק	בַּחֲבָלֶ֔יהָ	כֵּ֥ן	הָיִ֖ינוּ	מִפָּנֶ֣יךָ	יְהוָֽה׃
ちょうど	身ごもった–女–が	近づく	生む–ことに	もだえ苦しむ	叫ぶ	その–陣痛–の–中で	その–ように	であった	あなたの–前–で	主–よ
H3644		H7126			H2199			H1961	H6440	H3068

主よ、はらめる女の産むときが近づいて苦しみ、その痛みによって叫ぶように、われわれはあなたのゆえに、そのようであった。

18 הָרִינוּ חַלְנוּ כְּמוֹ יָלַדְנוּ רוּחַ יְשׁוּעֹת בַּל־ נַעֲשֶׂה אֶרֶץ
身ごもった 苦しんだ ちょうど 生んだ–が 風–を 救い–を ない もたらす–ことが 地–に
H2029 H2644 H3644 H3205 H7307 H3444 H1077 H6213 H0776

וּבַל־ יִפְלוּ יֹשְׁבֵי תֵּבֵל׃
そして–ない 生まれる–ことも 住民–は 世界–の
H1077 H5307 H3427 H8398

われわれは、はらみ、苦しんだ。しかしわれわれの産んだものは風にすぎなかった。われわれは救を地に施すこともせず、また世に住む者を滅ぼすこともしなかった。

19 יְחְיוּ מֵתֶיךָ נִבְלָתִי יְקוּמוּן יָקִיצוּ וְרַנְּנוּ שֹׁכְנֵי עָפָר
生きる あなたの–死者–は 我が–体–は よみがえる 目覚めよ そして–喜び–歌え 住む–者–よ 塵–の
H2421 H4191 H5038 H6965 H6974 H7442 H7931 H6083

כִּי טַל אוֹרֹת טַלֶּךָ וְאֶרֶץ רְפָאִים תַּפִּיל׃ ס
なぜなら 露 光–の あなたの–露–は そして–地–は 幽霊–を 産み出す —
H2919 H0216 H2919 H0776 H7496 H5307

あなたの死者は生き、彼らのなきがらは起きる。ちりに伏す者よ、さめて喜びうたえ。あなたの露は光の露であって、それを亡霊の国の上に降らされるからである。

20 לֵךְ עַמִּי בֹּא בַחֲדָרֶיךָ וְסְגֹר [דלתיך] (דַּלְתְּךָ)
行け 我が–民–よ 入れ あなたの–小部屋–に そして–閉じよ — あなたの–戸–を
H3212 H5971 H0935 H2315 H5462 H1817 H6607

חֲבִי כִמְעַט־ רֶגַע עַד־ [יעבור־] (יַעֲבָר־) זָעַם׃
隠れよ しばらく–の 間 まで — 過ぎ去る–まで 怒り–が
H2247 H4592 H7281 H5704 H1817 H5674 H2195

さあ、わが民よ、あなたのへやにはいり、あなたのうしろの戸を閉じて、憤りの過ぎ去るまで、しばらく隠れよ。

21 כִּי־ הִנֵּה יְהוָה יֹצֵא מִמְּקוֹמוֹ לִפְקֹד עֲוֹן יֹשֵׁב־ הָאָרֶץ
なぜなら 見よ 主–が 出て–来る その–場所–から 罰する–ために 不義–を 住民–の 地–の
H3588 H2009 H3068 H3318 H4725 H6485 H5771 H3427 H0776

וְגִלְתָה הָאָרֶץ אֶת־ דָּמֶיהָ וְלֹא־ תְכַסֶּה עוֹד עַל־ עֲלֶיהָ הֲרוּגֶיהָ׃ ס
そして–あらわにする その 地–は その 血–を そして–ない 覆い隠す–ことは もはや その 殺された–者–を —
H1540 H0853 H0776 H1818 H3808 H3680 H5750 H5921 H2026

見よ、主はそのおられる所を出て、地に住む者の不義を罰せられる。地はその上に流された血をあらわして、殺された者を、もはやおおうことがない。

Chapter 27

1 בַּיּוֹם הַהוּא יִפְקֹד יְהוָה בְּחַרְבּוֹ הַקָּשָׁה וְהַגְּדוֹלָה וְהַחֲזָקָה עַל
その–日に その 罰せられる 主は その–剣で 厳しい そして–大きな そして–強い ～に–対して
H3117 H1931 H6485 H3068 H2719 H7186 H1419 H2389 H5921

לִוְיָתָן נָחָשׁ בָּרִחַ וְעַל לִוְיָתָן נָחָשׁ עֲקַלָּתוֹן וְהָרַג
レビヤタンを 蛇 逃げる そして～に–対して レビヤタンを 蛇 曲がりくねった そして–殺す
H3882 H5175 H1281 H5921 H3882 H5175 H6129 H2026

אֶת־ הַתַּנִּין אֲשֶׁר בַּיָּם׃ ס
～を それは 竜を 海に–いる —
H0853 H0834 H8577 H3220

その日、主は堅く大いなる強いつるぎで逃げるへびレビヤタン、曲りくねるへびレビヤタンを罰し、また海におる龍を殺される。

2

בַּיּוֹם	הַהוּא	כֶּרֶם	חֶמֶד	עֱנוּ־	לָהּ׃
その–日に	その	ぶどう園	麗しい	歌え	それに–ついて
H3117	H1931	H3754	H2531		

その日「麗しきぶどう畑よ、このことを歌え。

3

אֲנִי	יְהוָה	נֹצְרָהּ	לִרְגָעִים	אַשְׁקֶנָּה	פֶּן	יִפְקֹד	עָלֶיהָ	לַיְלָה
わたしは	主が	それを–守る	絶えず	水を–やる	だれも〜ないように	害する者が	それに	夜も
H0589	H3068	H5341	H7281	H8248	H6435			H3915

אֶצֳּרֶנָּה׃	יוֹם
守り続ける	昼も
H5341	H3117

主なるわたしはこれを守り、常に水をそそぎ、夜も昼も守って、そこなう者のないようにする。

4

בַּמִּלְחָמָה	שַׁי֥ת	שָׁמִיר	יִתְּנֵנִי	מִי־	לִ֛י	אֵין	חֵמָה	
戦いに–おいて	おどろを	いばらと	わたしに–与えるか	だれが	わたしには	ない	怒りは	
H4421	H7898	H8068	H5414	H4310		H0369	H2534	

יָחַד׃	אֲצִיתֶנָּה	בָּהּ	אֶפְשְׁעָה
共に	焼き–尽くす	それを	進み–出て
	H6702		H6585

わたしは憤らない。いばら、おどろがわたしと戦うなら、わたしは進んでこれを攻め、皆もろともに焼きつくす。

5

לִי׃	יַעֲשֶׂה־	שָׁלוֹם	לִי	שָׁלוֹם	יַעֲשֶׂה	בְּמָעוּזִּי	יַחֲזֵק	אוֹ
わたしと	結べ	平和を	わたしと	平和を	結べ	わたしの–砦に	頼れ	あるいは
		H7965		H7965		H4581	H2388	

それを望まないなら、わたしの保護にたよって、わたしと和らぎをなせ、わたしと和らぎをなせ」。

6

וּמָלְאוּ	יִשְׂרָאֵל	וּפָרַח	יָצִיץ	יַעֲקֹב	יַשְׁרֵשׁ	הַבָּאִים	
そして–満たす	イスラエルは	そして–実を–結ぶ	花を–咲かせ	ヤコブは	根を–張り	来たるべき–日に	
H4390	H3478			H3290	H8327	H0935	

ס	תְּנוּבָה׃	תֵּבֵל	פְּנֵי־
—	果実で	世界の	〜の–表面を
	H8570	H8398	H6440

後になれば、ヤコブは根をはり、イスラエルは芽を出して花咲き、その実を全世界に満たす。

7

הֲרֵגָיו	כְּהֶרֶג	אִם־	הֻכָּהוּ	מַכֵּהוּ	הַכְּמַכַּת	
殺された–者たちが	殺された–者の–ように	あるいは	打たれたか	打った–者を	〜のように	
H2026	H2027		H5221	H5221	H4347	

הֹרָג׃
殺されたか
H2026

主は彼らを撃った者を撃たれたように彼らを撃たれたか。あるいは彼らを殺した者が殺されたように彼らは殺されたか。

8

קָדִים׃	בְּיוֹם	הַקָּשָׁה	בְּרוּחוֹ	הָגָה	תִּרִיבֶנָּה	בְּשַׁלְחָהּ	בְּסַאסְאָה	
東風の	〜の–日に	厳しい	その–激しい–風で	吹き払った	争った	追い出す–とき	量って	
H6921	H3117	H7186	H7307	H1898	H7378	H7971	H5432	

あなたは彼らと争って、彼らを追放された。主は東風の日に、その激しい風をもって彼らを移しやられた。

פְּרִי	כָּל־	וְזֶה	יַעֲקֹב	עֲוֹן־	יְכֻפָּר	בְּזֹאת	לָכֵן	9
実である	すべての	そして-これが	ヤコブの	～の-咎は	贖われる	これによって	それゆえ	
H6529	H3605	H2088	H3290	H5771		H2063		

מְנֻפָּצוֹת	גִּר	כְּאַבְנֵי־	מִזְבַּח	אַבְנֵי	כָּל־	וּבְשׂוּמוֹ	חַטָּאתוֹ	הָסַר
砕かれた	石灰の	石灰石の-ように	祭壇の	石を	すべての	彼が-する-とき	その-罪を	取り除く
	H1615	H0068	H4196	H0068	H3605			H5493

וְחַמָּנִים׃	אֲשֵׁרִים	יָקֻמוּ	לֹא־
香壇も	アシェラ像も	もはや	立たない
H2553	H0842		H3808

それゆえ、ヤコブの不義はこれによって、あがなわれる。これによって結ぶ実は彼の罪を除く。すなわち彼が祭壇のすべての石を砕けた白堊のようにし、アシラ像と香の祭壇とを再び建てないことである。

וְנֶעֱזָב	מְשֻׁלָּח	נָוֶה	בָּדָד	בְּצוּרָה׃	עִיר	כִּי	10
そして-放棄された	見捨てられ	住まいは	孤独で	城壁のある	堅固な-町は	なぜなら	
	H7971		H0910	H1219			

סְעִפֶּיהָ׃	וְכִלָּה	יִרְבָּץ	וְשָׁם	עֶגֶל	יִרְעֶה	שָׁם	כַּמִּדְבָּר
その-枝を	そして-食い尽くす	伏す	そして-そこで	子牛が	草を-食む	そこで	荒野の-ように
H5585	H3615	H7257	H8033	H5695		H8033	

堅固な町は荒れてさびしく、捨て去られたすまいは荒野のようだ。子牛はそこに草を食い、そこに伏して、その木の枝を裸にする。

לֹא	כִּי	אוֹתָהּ	מְאִירוֹת	בָּאוֹת	נָשִׁים	תִּשָּׁבַרְנָה	קְצִירָהּ	בִּיבֵשׁ	11
これは	なぜなら	それに	火を-つける	来て	女たちが	折られる	その-枝は	枯れた-とき	
H3808		H0853	H0215	H0935	H0802	H7665		H3001	

עֹשֵׂהוּ	יְרַחֲמֶנּוּ	לֹא־	כֵּן	עַל־	הוּא	בִינוֹת	עַם־	
造り-主は	彼を	あわれまない	～だから	それゆえ	この-民は	ではない	悟りの-ある-民	
	H7355	H3808			H1931	H0998		

ס	יְחֻנֵּנוּ׃	לֹא	וְיֹצְרוֹ
—	彼に	恵みを-施さない	そして-形づくった-方は
		H3808	H3335

その枝が枯れると、折り取られ、女が来てそれを燃やす。これは無知の民だからである。それゆえ、彼らを造られた主は彼らをあわれまれない。彼らを形造られた主は、彼らを恵まれない。

מִצְרָיִם	נָהָל	עַד־	הַנָּהָר	מִשְׁכֻּלֶת	יְהוָה	יַחְבָּט	הַהוּא	בַּיּוֹם	וְהָיָה	12
エジプトの	川まで	～から	大河の	穂を	主は	打ち落とす	その	その-日に	そして-なる	
H4714		H5704	H5104		H3068	H2251	H1931	H3117	H1961	

ס	יִשְׂרָאֵל׃	בְּנֵי	אֶחָד	לְאֶחָד	תְּלֻקְּטוּ	וְאַתֶּם
—	イスラエルの	～の-子らよ	ずつ	一人	拾い-集められる	そして-あなたがたは
	H3478		H0259	H0259	H3950	

イスラエルの人々よ、その日、主はユフラテ川からエジプトの川にいたるまで穀物の穂を打ち落される。そしてあなたがたは、ひとりびとり集められる。

13

וְהָיָה	בַיּוֹם	הַהוּא	יִתָּקַע	בְּשׁוֹפָר	גָּדוֹל	וּבָאוּ
そして–なる	その–日に	その	吹き–鳴らされる	角笛が	大きな	そして–来る
H1961	H3117	H1931	H8628	H7782	H1419	H0935

הָאֹבְדִים	בְּאֶרֶץ	אַשּׁוּר	וְהַנִּדָּחִים	בְּאֶרֶץ	מִצְרָיִם	וְהִשְׁתַּחֲוּוּ
迷い出た–者たちは	～の–地から	アッシリヤの	そして–追い散らされた–者たちは	～の–地から	エジプトの	そして–礼拝する
H0006	H0776	H0804	H5080	H0776	H4714	H7812

לַיהוָה	בְּהַר	הַקֹּדֶשׁ	בִּירוּשָׁלִָם׃	
主を	～の–山で	聖なる	エルサレムで	
H3068	H2022	H6944	H3389	

その日大いなるラッパが鳴りひびき、アッスリヤの地にある失われた者と、エジプトの地に追いやられた者とがきて、エルサレムの聖山で主を拝む。

Chapter 28

1

הוֹי	עֲטֶרֶת	גְּאוּת	שִׁכֹּרֵי	אֶפְרַיִם	וְצִיץ	נֹבֶל	צְבִי
ああ	冠は	誇りの	酒に–酔う–者たちの	エフライムの	そして–しおれる–花は	衰える	栄光の
H1945	H5850	H1348	H7910	H0669			

תִּפְאַרְתּוֹ	אֲשֶׁר	עַל־	רֹאשׁ	גֵּיא־	שְׁמָנִים	הֲלוּמֵי	יָיִן׃
その–輝きの	それは	～の–上に	頭の	谷の	肥えた	打ち–倒された–者たちの	酒に
H8597				H1516	H8081	H1986	H3196

エフライムの酔いどれの誇る冠と、酒におぼれた者の肥えた谷のかしらにあるしぼみゆく花の美しい飾りは、わざわいだ。

2

הִנֵּה	חָזָק	וְאַמִּיץ	לַאדֹנָי	כְּזֶרֶם	בָּרָד	שַׂעַר	קֶטֶב
見よ	強い	そして–力ある–者が	主には	雹の–嵐の–ように	雹の	暴風の	滅ぼす
H2009	H2389	H0533	H0136	H2230	H1259		H6986

מַיִם	כַּבִּירִים	שְׁטֹפִים	הִנִּיחַ	לָאָרֶץ	בְּיָד׃	
水の	激しい	あふれる	投げ–倒す	地に	手で	
H4325	H3524	H7857	H3240	H0776	H3027	

見よ、主はひとりの力ある強い者を持っておられる。これはひょうをまじえた暴風のように、破り、そこなう暴風雨のように、大水のあふれみなぎる暴風のように、それを激しく地に投げうつ。

3

בְּרַגְלַיִם	תָּרָמַסְנָה	עֲטֶרֶת	גְּאוּת	שִׁכּוֹרֵי	אֶפְרַיִם׃
足で	踏み–にじられる	冠は	誇りの	酒に–酔う–者たちの	エフライムの
H7272	H7429	H5850	H1348	H7910	H0669

エフライムの酔いどれの誇る冠は足で踏みにじられる。

4

וְהָיְתָה	צִיצַת	נֹבֶל	צְבִי	תִּפְאַרְתּוֹ	אֲשֶׁר	עַל־	רֹאשׁ	גֵּיא	
そして–なる	しおれる–花は	衰える	栄光の	その–輝きの	それは	～の–上に	頭の	谷の	
H1961	H6733			H8597				H1516	

שְׁמָנִים	כְּבִכּוּרָה	בְּטֶרֶם	קַיִץ	אֲשֶׁר	יִרְאֶה	הָרֹאֶה	אוֹתָהּ	
肥えた	初なりの–いちじくの–ように	まだ～の–前に	夏の	それを	見る	見る–者が	それを	
H8081	H1061	H2962	H7019		H7200	H7200	H0853	

בְּעוֹדָהּ	בְּכַפּוֹ	יִבְלָעֶנָּה׃	ס	
まだ～の–うちに	手の	飲み–込む	—	
H5750	H3709	H1104		

肥えた谷のかしらにあるしぼみゆく花の美しい飾りは、夏前に熟した初なりのいちじくのようだ。人がこれを見ると、取るやいなや、食べてしまう。

5

וְלִצְפִירַת	צְבִי	לַעֲטֶרֶת	צְבָאוֹת	יְהוָה	יִהְיֶה	הַהוּא	בַּיּוֹם
そして–輝かしい–花輪と	栄光の	栄光の–冠と	万軍の	万軍の–主は	なる	その	その–日に
H6843		H5850		H3068	H1961	H1931	H3117

עַמּוֹ׃	לִשְׁאָר	תִּפְאָרָה
その–民の	残りの–民の–ために	美の
	H7605	H8597

その日、万軍の主はその民の残った者のために、栄えの冠となり、麗しい冠となられる。

6

וְלִגְבוּרָה	הַמֹּשְׁבָ֖ט	עַל־	לַיּוֹשֵׁב	מִשְׁפָּט	וּלְרוּחַ	
そして–力となる	裁きの	～の–上に	座に–座す–者の–ために	公正の	そして–霊となる	
H1369	H4941		H3427	H4941	H7307	

ס	שָׁעָרָה׃	מִלְחָמָה	מְשִׁיבֵי	
—	門まで	戦いを	追い–返す–者たちの–ために	
	H8179	H4421	H7725	

また、さばきの席に座する者にはさばきの霊となり、戦いを門まで追い返す者には力となられる。

7

וְנָבִיא	כֹּהֵן	תָּעוּ	וּבַשֵּׁכָר	שָׁגוּ	בַּיַּיִן	אֵלֶּה	וְגַם־		
そして–預言者も	祭司も	さまよう	そして–濃い–酒で	よろめき	酒で	これらの–者も	そして–また		
H5030	H3548	H8582	H7941	H7686	H3196	H0428	H1571		

שָׁגוּ	הַשֵּׁכָר	מִן־	תָּעוּ	הַיַּיִן	מִן־	נִבְלְעוּ	בַּשֵּׁכָר	שָׁגוּ
よろめき	濃い–酒に	～によって	さまよい	酒に	～によって	飲み–込まれ	濃い–酒で	よろめき
H7686	H7941		H8582	H3196		H1104	H7941	H7686

פְּלִילִיָּה׃	פָּקוּ	בָּרְאֵה
裁きに–おいて	よろめき	幻を–見る–ときに
H6417	H6328	

しかし、これらもまた酒のゆえによろめき、濃き酒のゆえによろける。祭司と預言者とは濃き酒のゆえによろめき、酒のゆえに心みだれ、濃き酒のゆえによろける。彼らは幻を見るときに誤り、さばきを行うときにつまづく。

8

ס	מָקוֹם׃	בְּלִי	צֹאָה	קִיא	מָלְאוּ	שֻׁלְחָנוֹת	כָּל־	כִּי
—	場所が	ない	汚物で	吐物で	満ちている	食卓は	すべての	なぜなら
	H4725	H1097	H6675		H4390	H7979	H3605	

すべての食卓は吐いた物で満ち、清い所はない。

9

גְּמוּלֵי	שְׁמוּעָה	יָבִין	מִי	וְאֶת־	דֵּעָה	יוֹרֶה	מִי	אֶת־
乳離れした–者にか	知らせを	惟らせるのか	誰に	そして～を	知識を	教えるのか	誰に	～を
H1580	H8052	H0995	H4310	H0853	H1844		H4310	H0853

מִשָּׁדָיִם׃	עַתִּיקֵי	מֵחָלָב
胸から	引き離された–者にか	乳から
	H6267	H2461

「彼はだれに知識を教えようとするのか。だれにおとずれを説きあかそうとするのか。乳をやめ、乳ぶさを離れた者にするのだろうか。

10

זְעֵיר	שָׁם	זְעֵיר	לָקָו	קָו	לָקָו	קָו	לָצֹו	צַו	לָצֹו	צַו	כִּי
少し	ここに	少し	規則	規則に	規則	規則に	命令	命令に	命令	命令に	なぜなら
H2191	H8033	H2191					H6673	H6673	H6673	H6673	

שָׁם׃
そこに
H8033

それは教訓に教訓、教訓に教訓、規則に規則、規則に規則。ここにも少し、そこにも少し教えるのだ」。

הַזֹּֽה׃	הָעָם	אֶל־	יְדֻבָּר	אַחֵרֶת	וּבְלָשׁוֹן	שְׂפָה	בִּלַעֲגֵי	כִּי	11
この	この–民に	～に	語られる	他の	そして–異なる–言葉で	言葉の	もつれた–唇で	なぜなら	
H2088		H0413	H1696	H0312	H3956	H8193	H3934		

否、むしろ主は異国のくちびると、異国の舌とをもってこの民に語られる。

הַמַּרְגֵּעָה	וְזֹאת	לֶעָיֵף	הָנִיחוּ	הַמְנוּחָה	זֹאת	אֲלֵיהֶם	אָמַר	וְאֲשֶׁר	12
憩いである	そして–これが	疲れた–者を	休ませよ	安息である	これが	彼らに	言った	彼が	
H4774	H2063	H5889	H5117	H4496	H2063	H0413	H0559		

שְׁמֽוֹעַ׃	אָבֽוּא	וְלֹא
聞くことを	耳を–傾けなかった	しかし–それでも
H8085	H0014	H3808

主はさきに彼らに言われた、「これが安息だ、疲れた者に安息を与えよ。これが休息だ」と。しかし彼らは聞こうとはしなかった。

לָקֽוֹ	קָו	לָצֽוֹ	צַו	לָצָּו	צַו	יְהוָה	דְּבַר־	לָהֶם	וְהָיָה	13
規則	規則に	命令	命令に	命令	命令に	主の	～の–言葉が	彼らに–とって	そして–なった	
		H6673	H6673	H6673	H6673	H3068	H1697	H1992	H1961	

אָחוֹר	וְכָשְׁלוּ	יֵלְכוּ	לְמַעַן	שָׁם	זְעֵיר	שָׁם	זְעֵיר	לָקֽוֹ	קָו
後ろに	そして–つまずき	行って	それは～ために	そこに	少し	ここに	少し	規則	規則に
H0268	H3782	H3212	H4616	H8033	H2191	H8033	H2191		

פ	וְנִלְכָּדוּ׃	וְנוֹקְשׁוּ	וְנִשְׁבָּרוּ
—	そして–捕えられる	そして–罠に–かかり	そして–砕かれ
	H3920	H3369	H7665

それゆえ、主の言葉は彼らに、教訓に教訓、教訓に教訓、規則に規則、規則に規則、ここにも少し、そこにも少しとなる。これは彼らが行って、うしろに倒れ、破られ、わなにかけられ、捕えられるためである。

הַזֹּֽה	הָעָם	מֹשְׁלֵי	לָצוֹן	אַנְשֵׁי	יְהוָה	דְּבַר־	שִׁמְעוּ	לָכֵן	14
この	この–民の	治める–者よ	嘲りの	嘲りの–人々よ	主の	～の–言葉を	聞け	それゆえ	
H2088		H4910	H3944	H0376	H3068	H1697	H8085		

בִּירוּשָׁלִָֽם׃	אֲשֶׁר
エルサレムに	～に–いる
H3389	

それゆえ、エルサレムにあるこの民を治めるあざける人々よ、主の言葉を聞け。

חֹזֶה	עָשִׂינוּ	שְׁאוֹל	וְעִם־	מָוֶת	אֶת־	בְּרִית	כָּרַתְנוּ	אֲמַרְתֶּם	כִּי	15
協定を	作った	よみと	そして～と	死と	～と	契約を	結んだ	あなたがたは–言った	なぜなら	
H2374		H7585		H4194	H0854	H1285	H3772	H0559		

כָּזָב	שַׂמְנוּ	כִּי	יְבוֹאֵנוּ	לֹא	(יַעֲבֹר)	[עבר]	כִּי־	שׁוֹטֵף	(שׁוֹט)	[שיט]
偽りを	置いた	なぜなら	来ない	～ない	通り–過ぎても	—	たとえ	押し–流す	洪水の	—
H3577			H0935	H3808				H7857	H7752	H7885

ס	נִסְתָּרְנוּ׃	וּבַשֶּׁקֶר	מַחְסֵנוּ
—	隠れた	そして–偶りの–中に	われらの–避け所と
	H5641	H8267	H4268

あなたがたは言った、「われわれは死と契約をなし、陰府と協定を結んだ。みなぎりあふれる災の過ぎる時にも、それはわれわれに来ない。われわれはうそを避け所となし、偽りをもって身をかくしたからである」。

16

אֶבֶן	אֶבֶן	בְּצִיּוֹן	יסד	הִנְנִי	יְהוִה	אֲדֹנָי	אָמַר	כֹּה	לָכֵן
石を	石を	シオンに	基を–置く	見よ–わたしは	主は	主なる	言われる	このように	それゆえ
H0068	H0068	H6726	H3245	H2009	H3069	H0136	H0559	H3541	

יָחִישׁ׃	לֹא	הַמַּאֲמִין	מוּסָּד	מוּסָד	יְקָרַת	פִּנַּת	בֹּחַן
—	急がない	信じる–者は	固く–基が	置かれた	尊い	隅の	試された
	H3808	H0539	H3245	H4143	H3368	H6438	H0976

それゆえ、主なる神はこう言われる、「見よ、わたしはシオンに一つの石をすえて基とした。これは試みを経た石、堅くすえた尊い隅の石である。『信ずる者はあわてることはない』。

17

מַחְסֵה	בָּרָד	וְיָעָה	לְמִשְׁקֶלֶת	וּצְדָקָה	לְקָו	מִשְׁפָּט	וְשַׂמְתִּי
偽りの–避け所を	雹が	そして–流す	おもりとする	そして–義を	測り–縄とし	公正を	そして–置く
H4268	H1259	H3261	H4949	H6666		H4941	

יְשֹׁטְפוּ׃	מַיִם	וְסֵתֶר	כָּזָב
押し–流す	水が	そして–隠れ家を	偽りの
H7857	H4325		H3577

わたしは公平を、測りなわとし、正義を、下げ振りとする。ひょうは偽りの避け所を滅ぼし、水は隠れ場を押し倒す」。

18

אֶת־	וְחָזוּתְכֶם	מָוֶת	אֶת־	בְּרִיתְכֶם	וְכֻפַּר
～との	そして–あなたがたの–協定は	死との	～との	あなたがたの–契約は	そして–破棄される
H0854	H2380	H4194	H0854	H1285	

וְהָיִיתֶם	יַעֲבֹר	כִּי	שׁוֹטֵף	שׁוֹט	תָּקוּם	לֹא	שְׁאוֹל
そして–あなたがたは–なる	通り–過ぎる–とき	それが	押し–流す	洪水の	立たない	立たない	よみとの
H1961			H7857	H7752		H3808	H7585

לְמִרְמָס׃	לוֹ
踏み–つけられる–者に	それに
H4823	

その時あなたがたが死とたてた契約は取り消され、陰府と結んだ協定は行われない。みなぎりあふれる災の過ぎるとき、あなたがたはこれによって打ち倒される。

19

בַּבֹּקֶר	בַּבֹּקֶר	כִּי־	אֶתְכֶם	יִקַּח	עָבְרוֹ	מִדֵּי
朝ごとに	朝ごとに	なぜなら	あなたがたを	捕らえる	それが–通り–過ぎる–とき	通り–過ぎる–たびに
H1242	H1242		H0853	H3947		H1767

שְׁמוּעָה׃	הָבִין	זִוָּעָה	רַק־	וְהָיָה	וּבַלַּיְלָה	בַּיּוֹם	יַעֲבֹר
知らせを	悟ることが	恐怖と	ただ	そして–なる	そして–夜も	昼も	通り–過ぎる
H8052	H0995	H2113	H7535	H1961	H3915	H3117	

それが過ぎるごとに、あなたがたを捕える。それは朝な朝な過ぎ、昼も夜も過ぎるからだ。このおとずれを聞きわきまえることは、全くの恐れである。

20

כְּהִתְכַּנֵּס׃	צָרָה	וְהַמַּסֵּכָה	מֵהִשְׁתָּרֵעַ	הַמַּצָּע	קָצַר	כִּי־
くるまるには	狭すぎる	そして–毛布は	伸びるには	床は	短すぎる	なぜなら
H3664			H8311	H4702		

床が短くて身を伸べることができず、かける夜具が狭くて身をおおうことができないからだ。

21 כִּי הַר־פְּרָצִים יָקוּם יְהוָה כְּעֵמֶק בְּגִבְעוֹן יִרְגָּז לַעֲשׂוֹת מַעֲשֵׂהוּ זָר מַעֲשֵׂהוּ וְלַעֲבֹד עֲבֹדָתוֹ נָכְרִיָּה׃ עֲבֹדָתוֹ

なぜなら ペラツィムの ペラツィムの-山の-ように 立ち-上がる 主は ギベオンの-谷の-ように
H2022 H6559 H6965 H3068 H6010

ギベオンの 怒りを-発する 行う-ために その-わざを 異常な その-わざを そして-なす-ために
H1391 H7264 H6213 H4639 H2114 H4639 H5647

その-働きを 奇妙な その-働きを
H5656 H5237 H5656

主はペラジム山で立たれたように立ちあがり、ギベオンの谷で憤られたように憤られて、その行いをなされる。その行いは類のないものである。またそのわざをなされる。そのわざは異なったものである。

22 וְעַתָּה אַל־תִּתְלוֹצָצוּ פֶּן־יֶחְזְקוּ מוֹסְרֵיכֶם כִּי־כָלָה וְנֶחֳרָצָה שָׁמַעְתִּי מֵאֵת אֲדֹנָי יְהוִה צְבָאוֹת עַל־כָּל־הָאָרֶץ׃

そして-今 なるな 嘲っては さもなくば 強く-なる あなたがたの-繋ぎが なぜなら 終わりと
H6258 H0408 H6435 H2388 H4147 H3617

聞いた ～から 主なる 主から 万軍の ～に-ついて 全 地の
H8085 H0854 H0136 H3069 H6635 H0776 H3605 H0776

そして-定められた-ことを
H2782

それゆえ、あなたがたはあざけってはならない。さもないと、あなたがたのなわめは、きびしくなる。わたしは主なる万軍の神から全地の上に臨む滅びの宣言を聞いたからである。

23 הַאֲזִינוּ וְשִׁמְעוּ קוֹלִי הַקְשִׁיבוּ וְשִׁמְעוּ אִמְרָתִי׃

耳を-傾けよ そして-聞け わたしの-声を 注意せよ そして-聞け わたしの-言葉を
H0238 H8085 H6963 H7181 H8085 H0565

あなたがたは耳を傾けて、わが声を聞くがよい。心してわが言葉を聞くがよい。

24 הֲכָל הַיּוֹם יַחֲרֹשׁ הַחֹרֵשׁ לִזְרֹעַ יִפְתָּח וְיִשַּׁד אַדְמָתוֹ׃

絶えず 一日中 耕すのか 耕す-者は 種を-まく-ために 開き そして-ならす その-土を
H3605 H3117 H2790 H2790 H2232 H6605 H7702 H0127

種をまくために耕す者は絶えず耕すだろうか。彼は絶えずその地をひらき、まぐわをもって土をならすだろうか。

25 הֲלוֹא אִם־שִׁוָּה פָּנֶיהָ וְהֵפִיץ כַּמֹּן וְזָרַק קֶצַח וְשָׂם חִטָּה שׂוֹרָה וּשְׂעֹרָה נִסְמָן וְכֻסֶּמֶת גְּבֻלָתוֹ׃

～ではないか それが 平らに-したとき その-表面を そして-まく クミンを そして-植える イノンドを
H3808 H0518 H7737 H6440 H6327 H3646 H7993 H7100

散らす 植える 小麦を 列に そして-大麦を 定められた-場所に そして-裸麦を その-境界に
H2236 H7760 H2406 H8453 H8184 H5567 H3698 H1366

地のおもてを平らにしたならば、いのんどをまき、クミンをまき、小麦をうねに植え、大麦を定めた所に植え、スペルト麦をその境に植えないだろうか。

26 וְיִסְרֵהוּ לַמִּשְׁפָּט אֱלֹהָיו יוֹרֶנּוּ׃

そして-教える 正しく その-神が 導かれる
H3256 H4941 H0430 H3384

これは彼の神が正しく、彼を導き教えられるからである。

27 כִּי לֹא בֶחָרוּץ יוּדַשׁ קֶצַח עַל־אוֹפַן עֲגָלָה וְאוֹפַן כַּמֹּן יוּסָב כִּי בַמַּטֶּה יֶחָבָט קֶצַח וְכַמֹּן בַּשָּׁבֶט׃

なぜなら 脱穀-機では 打ち-脱穀されない 打ち-穀の イノンドは 打ち-脱穀される 車の ～の-上を
H3808 H2742 H1758 H2742 H7100 H2251 H5699 H5699

そして-車輪で そして-クミンは 棒で なぜなら 回されない イノンドは クミンの 杖で
H0212 H3646 H4294 H3651 H5437 H7100 H3646 H7626

いのんどは麦こき板でこかない、クミンはその上に車輪をころがさない。いのんどを打つには棒を用い、クミンを打つにはさおを用いる。

28

וְהָמַם
そして–駆り–立てても
H2000
יְדוֹשֶׁנּוּ
脱穀しない
H1758
אָדֹושׁ
脱穀する
H0156
לָנֶצַח
永久に
H5331
לֹא
永遠に
H3808
כִּי
しかし
H1854
יוּדָק
砕かれる
H3899
לֶחֶם
パンの–穀物は
יְדִקֶנּוּ׃
砕かない
H1854
לֹא־
砕かない
H3808
וּפָרָשָׁיו
そして–その–馬で
עֻגְלָתֹו
車の
H5699
גִּלְגָּל
車輪を
H1536

人はパン用の麦を打つとき砕くだろうか、否、それが砕けるまでいつまでも打つことをしない。馬をもってその上に車輪を引かせるとき、それを砕くことをしない。

29

הִגְדִּיל
大いなる
H1431
עֵצָה
助を–与え
H6098
הִפְלִיא
驚くべき
H6381
יָצָאָה
出た
H3318
צְבָאוֹת
万軍の
H3068
יְהוָה
万軍の–主から
מֵעִם
〜から–出た
זֹּאת
これは
H2063
גַּם־
これも–また
H1571
ס
—
תּוּשִׁיָּה׃
知恵を
H8454

これもまた万軍の主から出ることである。その計りごとは驚くべく、その知恵はすぐれている。

Chapter 29

1

שְׁנָה
年を
H8141
עַל־
〜の–上に
שָׁנָה
年に
H8141
סְפוּ
加えよ
H5595
דָּוִד
ダビデが
H1732
חָנָה
宿営した
H2583
קִרְיַת
都よ
H7151
אֲרִיאֵל
アリエルよ
H0740
אֲרִיאֵל
アリエルよ
H0740
הוֹי
ああ
H1945
יִנְקְפוּ׃
巡らせよ
חַגִּים
祭りを
H2282

ああ、アリエルよ、アリエルよ、ダビデが営をかまえた町よ、年に年を加え、祭をめぐりこさせよ。

2

לִי
わたしに–とって
וְהָיְתָה
そして–なる
H1961
וַאֲנִיָּה
そして–悲しみと
H0592
תַּאֲנִיָּה
嘆きと
H8386
וְהָיְתָה
そして–なる
H1961
לַאֲרִיאֵל
アリエルを
H0740
וַהֲצִיקֹותִי
そして–苦しめる
H6693
כַּאֲרִיאֵל׃
アリエルの–ように
H0740

その時わたしはアリエルを悩ます。そこには悲しみと嘆きとがあって、アリエルのようなものとなる。

3

וַהֲקִימֹתִי
そして–築く
מָצֹב
砦を
H4674
עָלַיִךְ
お前に–対して
וְצַרְתִּי
そして–包囲する
עָלַיִךְ
お前に–対して
כַּדּוּר
囲んで
וְחָנִיתִי
そして–宿営する
H2583
מְצֹרֹת׃
塔を
H4694
עָלַיִךְ
お前に–対して

わたしはあなたのまわりに営を構え、やぐらをもってあなたを囲み、塁を築いてあなたを攻める。

וְשָׁפַלְתְּ מֵאֶרֶץ תְּדַבֵּרִי וּמֵעָפָר תִּשַּׁח אִמְרָתֵךְ וְהָיָה 4
そして-低くされ 地から 語る 低くなる お前の-言葉は そして-なる
H8213 H0776 H1696 H7817 H6083 H1961

כְּאוֹב מֵאֶרֶץ קוֹלֵךְ וּמֵעָפָר אִמְרָתֵךְ תְּצַפְצֵף׃
亡霊の-ように 地から お前の-声は そして-ちりから お前の-言葉は ささやく
H0178 H0776 H6083 H6850

その時あなたは深い地の中から物言い、低いちりの中から言葉を出す。あなたの声は亡霊の声のように地から出、あなたの言葉はちりの中から、さえずるようである。

וְהָיָה כְּאָבָק דַּק הֲמוֹן זָרֶיךָ וּכְמֹץ עֹבֵר 5
そして-なる 細かい-ちりの-ように 細かい 群れは お前の-敵の そして-もみ殻の-ように 過ぎ-去る
H1961 H0080 H1851 H2000 H7641 H4671

וְהָיָה לְפֶתַע פִּתְאֹם׃ עָרִיצִים הֲמוֹן
そして-なる 突然に たちまちに 暴君たちの 群れは
H1961 H6621 H6597 H6184 H2000

しかしあなたのあだの群れは細かなちりのようになり、あらぶる者の群れは吹き去られるもみがらのようになる。また、にわかに、またたくまに、この事がある。

מֵעִם יְהוָה צְבָאוֹת תִּפָּקֵד בְּרַעַם וּבְרַעַשׁ וְקוֹל גָּדוֹל סוּפָה 6
〜から 万軍の-主から 万軍の 罰せられる 雷と そして-地震と そして-声と 大きな 嵐と
H3068 H6485 H7482 H7494

וְלַהַב אֵשׁ אוֹכֵלָה׃ וְסַעֲרָה
そして-炎と 火の 煙い-尽くす そして-暴風と
H3851 H0784 H0398

すなわち万軍の主は雷、地震、大いなる叫び、つむじ風、暴風および焼きつくす火の炎をもって臨まれる。

וְהָיָה כַּחֲלוֹם חֲזוֹן לַיְלָה הֲמוֹן כָּל־הַגּוֹיִם הַצֹּבְאִים עַל־ 7
そして-なる 夢の-ように 幻の 夜の 群れは すべての 国々の 戦う-者たちの 〜に-対して
H1961 H2472 H2377 H3915 H2000 H3605 H1471 H6633

וְכָל־אֲרִיאֵל וְהַמְצִיקִים לָהּ׃ וּמְצָדָתָהּ צֹבֶיהָ
そして-すべての アリエルに それを そして-苦しめる-者たちの そして-その-砦の 攻める-者たちの
H3605 H0740 H6693 H4686 H6633

そしてアリエルを攻めて戦う国々の群れ、すなわちアリエルとその城を攻めて戦い、これを悩ます者はみな夢のように、夜の幻のようになる。

וְהָיָה כַּאֲשֶׁר יַחֲלֹם הָרָעֵב וְהִנֵּה אוֹכֵל וְהֵקִיץ 8
そして-なる ちょうど〜のように 夢-見る 飢えた-者が そして-見よ 食べている そして-目覚めると
H1961 H3644 H7457 H2009 H0398 H6974

וְהִנֵּה הַצָּמֵא יַחֲלֹם וְכַאֲשֶׁר נַפְשׁוֹ וְרֵיקָה
そして-見よ 渇いた-者が 夢-見る そして-ちょうど〜のように その-魂は そして-空である
H2009 H6771 H3644 H5315 H7386

כֵּן שׁוֹקֵקָה וְנַפְשׁוֹ עָיֵף וְהִנֵּה וְהֵקִיץ שֹׁתָה
そのように 渇いている そして-その-魂は 疲れている そして-見よ そして-目覚めると 飲んでいる
H8264 H5315 H5889 H2009 H6974 H8354

ס צִיּוֹן׃ הַר עַל־ הַצֹּבְאִים הַגּוֹיִם כָּל־ הֲמוֹן יְהוָה
— シオンの 〜の-山に 〜に-対して 戦う-者たちの 国々の すべての 群れは なる
H6726 H2022 H6633 H1471 H3605 H2000 H3068

飢えた者が食べることを夢みても、さめると、その飢えがいえないように、あるいは、かわいた者が飲むことを夢みても、さめると、疲れてそのかわきがとまらないように、シオンの山を攻めて戦う国々の群れもそのようになる。

9

הִתְמַהְמְהוּ	וּתְמָהוּ	הִשְׁתַּעֲשְׁעוּ	וְשִׁכְרוּ	לֹא־	יַיִן	נָּעוּ	
ためらえ	そして–驚け	楽しめ	酔え	しかし〜ではなく	酒ではなく	よろめけ	
H4102	H8539		H7937	H3808	H3196	H5128	

וְלֹא	שֵׁכָר׃
しかし〜ではなく	濃い–酒ではなく
H3808	H7941

あなたがたは知覚を失って気が遠くなれ、目がくらんで盲となれ。あなたがたは酔っていよ、しかし酒のゆえではない、よろめけ、しかし濃き酒のゆえではない。

10

כִּי־	נָסַךְ	עֲלֵיכֶם	יְהוָה	רוּחַ	תַּרְדֵּמָה	וַיַּעַצֵּם	אֶת־
なぜなら	注ぎ–かけた	あなたがたの–上に	主は	霊を	深い–眠りの	そして–閉ざした	〜を
			H3068	H7307	H8639		H0853

כִּסָּה׃	הַחֹזִים	רָאשֵׁיכֶם	וְאֶת־	הַנְּבִיאִים	אֶת־	עֵינֵיכֶם
覆った	幻視者たちを	あなたがたの–頭たちを	そして〜を	預言者たちを	〜を	あなたがたの–目を
H3680	H2374		H0853	H5030	H0853	

主が深い眠りの霊をあなたがたの上にそそぎ、あなたがたの目である預言者を閉じこめ、あなたがたの頭である先見者をおおわれたからである。

11

הֶחָתוּם	הַסֵּפֶר	כִּדְבְרֵי	הַכֹּל	חָזוּת	לָכֶם	וַתְּהִי
封印された	書物の	〜の–言葉の–ように	すべての	幻は	あなたがたに–とって	そして–なった
H2856		H1697	H3605	H2380		H1961

נָא־	קְרָא	לֵאמֹר	)סֵּפֶר(	]הספר[	יוֹדֵעַ	אֶל־	אֹתוֹ	אֲשֶׁר־
どうか	読んでくれ	言って	書物を	—	知っている–者に	〜に	それを	それを
H4994	H7121	H0559			H3045	H0413	H0853	H5414

הוּא׃	חָתוּם	כִּי	אוּכַל	לֹא	וְאָמַר	זֶה
それは	封印されている	なぜなら	できない	できない	そして–言う	これを
H1931	H2856		H3201	H3808	H0559	H2088

それゆえ、このすべての幻は、あなたがたには封じた書物の言葉のようになり、人々はこれを読むことのできる者にわたして、「これを読んでください」と言えば、「これは封じてあるから読むことができない」と彼は言う。

12

נָא־	קְרָא	לֵאמֹר	סֵּפֶר	יָדַע	לֹא־	אֲשֶׁר	עַל־	הַסֵּפֶר
どうか	読んでくれ	言って	書物を	知らない	知らない	〜に	〜に	書物が
H4994	H7121	H0559		H3045	H3808			

וְנִתַּן	ס	סֵּפֶר׃	יָדַעְתִּי	לֹא	וְאָמַר	זֶה
そして–渡される	—	書物を	知らない	知らない	そして–言う	これを
H5414			H3045	H3808	H0559	H2088

またその書物を読むことのできない者にわたして、「これを読んでください」と言えば、「読むことはできない」と彼は言う。

13

בְּפִיו	הַזֶּה	הָעָם	נִגַּשׁ	כִּי	יַעַן	אֲדֹנָי	וַיֹּאמֶר
その–口で	この	この–民は	近づく	なぜなら	〜だから	主は	そして–言われた
H6310	H2088		H5066		H3282	H0136	H0559

יִרְאָתָם	וַתְּהִי	מִמֶּנִּי	רָחַק	וְלִבּוֹ	כִּבְּדוּנִי	וּבִשְׂפָתָיו	
彼らの–畏れは	そして–なった	わたしから	遠く	そして–その–心は	敬う	そして–その–唇で	
H3373	H1961		H7368		H3513	H8193	

מְלֻמָּדָה׃	אֲנָשִׁים	מִצְוַת	אֹתִי	
学んだ	人の	人の–戒めに	わたしへの	
H3925	H0376	H4687	H0853	

主は言われた、「この民は口をもってわたしに近づき、くちびるをもってわたしを敬うけれども、その心はわたしから遠く離れ、彼らのわたしをかしこみ恐れるのは、そらで覚えた人の戒めによるのである。

14 לָכֵן הִנֵּנִי יוֹסֵף לְהַפְלִיא הַפְלֵא וְאָבְדָה חָכְמַת חֲכָמָיו וּבִינַת נְבוֹנָיו תִּסְתַּתָּר׃ ס

לָכֵן
それゆえ
H3651

הִנֵּנִי
見よ-わたしは
H2009

יוֹסֵף
続ける
H3254

לְהַפְלִיא
驚くべき-ことを-行う
H6381

הַפְלֵא
驚くべき-ことと
H6381

וְאָבְדָה
そして-消える
H0006

חָכְמַת
知恵は
H2451

חֲכָמָיו
その-賢い-者たちの
H2450

וּבִינַת
そして-悟りは
H0998

נְבוֹנָיו
その-聡明な-者たちの
H0995

תִּסְתַּתָּר׃
隠れる
H5641

ס
—

それゆえ、見よ、わたしはこの民に、再び驚くべきわざを行う、それは不思議な驚くべきわざである。彼らのうちの賢い人の知恵は滅び、さとい人の知識は隠される」。

15 הוֹי הַמַּעֲמִיקִים מֵיְהוָה לַסְתֵּר עֵצָה וְהָיָה בְמַחְשָׁךְ מַעֲשֵׂיהֶם וְאֹמְרוּ מִי רֹאֵנוּ וּמִי יוֹדְעֵנוּ׃

הוֹי
ああ
H1945

הַמַּעֲמִיקִים
深く-隠す-者たちよ
H6009

מֵיְהוָה
主から
H3068

לַסְתֵּר
隠す
H5641

עֵצָה
計画を
H6098

וְהָיָה
そして-なる
H1961

בְמַחְשָׁךְ
闇の-中で
H4285

מַעֲשֵׂיהֶם
彼らの-行いは
H4639

וְאֹמְרוּ
そして-言う
H0559

מִי
誰が
H4310

רֹאֵנוּ
見ているのか
H7200

וּמִי
そして-誰が
H4310

יוֹדְעֵנוּ׃
知っているのか
H3045

わざわいなるかな、おのが計りごとを主に深く隠す者。彼らは暗い中でわざを行い、「だれがわれわれを見るか、だれがわれわれのことを知るか」と言う。

16 הַפְכְּכֶם אִם כְּחֹמֶר הַיֹּצֵר יֵחָשֵׁב כִּי יֹאמַר מַעֲשֶׂה לֹא עָשָׂנִי וְיֵצֶר לֹא הֵבִין׃

הַפְכְּכֶם
逆さまよ
H2017

אִם
もし
H0518

כְּחֹמֶר
粘土の-ように
H2563

הַיֹּצֵר
陶器師が
H3335

יֵחָשֵׁב
みなされるか
H2803

כִּי
なぜなら
H3588

יֹאמַר
言うのか
H0559

מַעֲשֶׂה
造られた-物が
H4639

לֹא
造らなかった
H3808

עָשָׂנִי
私を
H6213

וְיֵצֶר
そして-形づくられた-物が
H3336

לְיוֹצְרוֹ
形づくった-者に
H3335

לֹא
悟らない
H3808

הֵבִין׃
悟らないと
H0995

あなたがたは転倒して考えている。陶器師は粘土と同じものに思われるだろうか。造られた物はそれを造った者について、「彼はわたしを造らなかった」と言い、形造られた物は形造った者について、「彼は知恵がない」と言うことができようか。

17 הֲלוֹא עוֹד מְעַט מְזָעָר וְשָׁב לְבָנוֹן לַכַּרְמֶל וְהַכַּרְמֶל לַיָּעַר יֵחָשֵׁב׃

הֲלוֹא
～ではないか
H3808

עוֹד
もう
H5750

מְעַט
少しの
H4592

מְזָעָר
わずかの-間に
H4213

לְבָנוֹן
レバノンは
H3844

וְשָׁב
そして-変わる
H7725

לַכַּרְמֶל
果樹園に
H3759

וְהַכַּרְמֶל
そして-果樹園は
H3759

לַיָּעַר
森と

יֵחָשֵׁב׃
みなされる
H2803

しばらくしてレバノンは変って肥えた畑となり、肥えた畑は林のように思われる時が来るではないか。

18 וְשָׁמְעוּ בַיּוֹם הַהוּא חֵרְשִׁים דִּבְרֵי סֵפֶר וּמֵאֹפֶל וּמֵחֹשֶׁךְ עֵינֵי עִוְרִים תִּרְאֶינָה׃

וְשָׁמְעוּ
そして-聞く
H8085

בַיּוֹם
その-日に
H3117

הַהוּא
その
H1931

חֵרְשִׁים
耳の-聞こえない-者たちが
H2795

דִּבְרֵי
～の-言葉を
H1697

סֵפֶר
書物の

וּמֵאֹפֶל
そして-暗闇から
H0652

וּמֵחֹשֶׁךְ
そして-闇から
H2822

עֵינֵי
目が

עִוְרִים
盲人の
H5787

תִּרְאֶינָה׃
見えるように-なる
H7200

その日、耳しいは書物の言葉を聞き、目しいの目はその暗やみから、見ることができる。

19 וְיָסְפ֥וּ עֲנָוִ֖ים בַּיהוָ֑ה שִׂמְחָ֕ה וְאֶבְיוֹנֵ֥י אָדָ֖ם בִּקְד֥וֹשׁ יִשְׂרָאֵ֖ל יָגִֽילוּ׃

そして–増す H3254 / へりくだる–者たちは H6035 / 主に–あって H3068 / 喜びを H8057 / そして–貧しい–者たちは H0034 / 人の–中の H0120 / 聖なる–方に–あって H6918 / イスラエルの H3478 / 喜ぶ H1523

柔和な者は主によって新たなる喜びを得、人のなかの貧しい者はイスラエルの聖者によって楽しみを得る。

20 כִּי־ אָפֵ֣ס עָרִ֔יץ וְכָלָ֖ה לֵ֑ץ וְנִכְרְת֖וּ כָּל־ שֹׁקְדֵ֥י אָֽוֶן׃

なぜなら H3588 / 絶えた H0656 / 暴君は H6184 / そして–尽きた H3615 / 嘲る–者は H3887 / そして–断たれた H3772 / すべての H3605 / 企む–者たちは H8245 / 悪を H0205

あらぶる者は絶え、あざける者はうせ、悪を行おうと、おりをうかがう者は、ことごとく断ち滅ぼされるからである。

21 מַחֲטִיאֵ֤י אָדָם֙ בִּדְבָ֔ר וְלַמּוֹכִ֥יחַ בַּשָּׁעַ֖ר יְקֹשֵׁ֑ון וַיַּטּ֥וּ בַתֹּ֖הוּ צַדִּֽיק׃ ס

人を–罪に–陥れる–者たちは H2398 / 言葉で H1697 / 人を H0120 / そして–戒める–者に H3198 / 門で H8179 / 罠を–仕掛け H6983 / そして–曲げた H5186 / 空しい–ことで H8414 / 正しい–者を H6662 / — ס

彼らは言葉によって人を罪に定め、町の門でいさめる者をわなにおとしいれ、むなしい言葉をかまえて正しい者をしりぞける。

22 לָכֵ֗ן כֹּ֤ה אָמַר֙ יְהוָ֔ה אֶל־ בֵּ֖ית יַעֲקֹ֑ב אֲשֶׁ֥ר פָּדָ֖ה אֶת־ אַבְרָהָ֑ם לֹֽא־ עַתָּ֤ה יֵבוֹשׁ֙ יַעֲקֹ֔ב וְלֹ֥א עַתָּ֖ה פָּנָ֥יו יֶחֱוָֽרוּ׃

それゆえ H3588 / このように H3541 / 言われる H0559 / 主は H3068 / ～に H0413 / ヤコブの H3290 / 家に H1004 / それは H0834 / 贖った H6299 / ～を H0853 / アブラハムを H0085 / もはや～ない H3808 / 今 H6258 / 恥じない H0954 / ヤコブは H3290 / そして–もはや～ない H3808 / 今 H6258 / その–顔は H6440 / 青ざめない H2357

それゆえ、昔アブラハムをあがなわれた主は、ヤコブの家についてこう言われる、「ヤコブは、もはやはずかしめを受けず、その顔は、もはや色を失うことはない。

23 כִּ֣י בְרֹאתֹ֗ו יְלָדָיו֙ מַעֲשֵׂ֣ה יָדַ֔י בְּקִרְבּ֖וֹ שִׁמְמִ֑י וְהִקְדִּ֣ישׁוּ אֶת־ קְדֹ֤ושׁ יַעֲקֹב֙ וְאֶת־ אֱלֹהֵ֣י יִשְׂרָאֵ֔ל יַעֲרִֽיצוּ׃

なぜなら H3588 / 見る–とき H7200 / その–子らを H3206 / わざを H4639 / わたしの–手の H3027 / その–中で H7130 / 聖とする H6942 / わたしの–名を H8034 / そして–聖とする H6942 / ～を H0853 / 聖なる–方を H6918 / ヤコブの H3290 / そして～を H0853 / 神を H0430 / イスラエルの H3478 / 畏れる H6206

彼の子孫が、その中にわが手のわざを見るとき、彼らはわが名を聖とし、ヤコブの聖者を聖として、イスラエルの神を恐れる。

24 וְיָדְע֣וּ תֹעֵי־ ר֔וּחַ בִּינָ֖ה וְרוֹגְנִ֣ים יִלְמְד֑וּ לֶ֖קַח׃

そして–知る H3045 / 迷った–者たちは H8582 / 霊の H7307 / 悟りを H0998 / そして–つぶやく–者たちは H7279 / 学ぶ H3925 / 教えを H3948

心のあやまれる者も、悟りを得、つぶやく者も教をうける」。

Chapter 30

מִנִּי	וְלֹא	עֵצָה	לַעֲשׂוֹת	יְהוָה	נְאֻם־	סוֹרְרִים	בָּנִים	הוֹי	1
わたしからの	しかし〜ではなく	計画を	行う	主の	〜の−宣言	背く−者たちよ	子らよ	ああ	
	H3808	H6098		H3068	H5002	H5637		H1945	

עַל־	חַטָּאת	סְפוֹת	לְמַעַן	רוּחִי	וְלֹא	מַסֵּכָה	וְלִנְסֹךְ	
〜の−上に	罪を	加える	それは〜ために	わたしの−霊の	しかし〜ではなく	供え物を	そして−注ぐ	
		H5595	H4616	H7307	H3808			

חַטָּאת׃
罪の

主は言われる、「そむける子らはわざわいだ、彼らは計りごとを行うけれども、わたしによってではない。彼らは同盟を結ぶけれども、わが霊によってではない、罪に罪を加えるためだ。

שְׁאֲלוּ	לֹא	וּפִי	מִצְרַיִם	לָרֶדֶת	הַהֹלְכִים		2
尋ねなかった	尋ねなかった	そして−わたしの−口に	エジプトへ	下る−ために	行く−者たちよ		
H7592	H3808	H6310	H4714	H3381	H1980		

מִצְרָיִם׃	בְּצֵל	וְלַחְסוֹת	פַּרְעֹה	בְּמָעוֹז	לָעוּז
エジプトの	エジプトの−影に	そして−隠れる−ために	ファラオの	ファラオの−要塞に	身を−寄せる−ために
H4714	H6738	H2620	H6547	H4581	H5810

彼らはわが言葉を求めず、エジプトへ下っていって、パロの保護にたより、エジプトの陰に隠れようとする。

וְהָיָה	לָכֶם	מָעוֹז	פַּרְעֹה	לְבֹשֶׁת	וְהֶחָסוּת	3
そして−なる	あなたがたに−とって	ファラオの−要塞は	ファラオの	恥と	そして−隠れる−ことは	
H1961		H4581	H6547	H1322	H2622	

לִכְלִמָּה׃	מִצְרַיִם	בְּצֵל־
屈辱と	エジプトの	エジプトの−影に
H3639	H4714	H6738

それゆえ、パロの保護はかえってあなたがたの恥となり、エジプトの陰に隠れることはあなたがたのはずかしめとなる。

יַגִּיעוּ׃	חָנֵס	וּמַלְאָכָיו	שָׂרָיו	בְּצֹעַן	הָיוּ	כִּי־	4
着いた	ハネスに	そして−その−使者たちは	その−諸侯たちは	ツォアンに	いた	なぜなら	
H5060	H2609	H4397	H8269	H6814	H1961		

たとい、彼の君たちがゾアンにあり、彼の使者たちがハネスに来ても、

לָמוֹ	יוֹעִילוּ	לֹא־	עַם	עַל־	הֹבִישׁ)	]הבאיש[	כֹּל		5
彼らには	役に−立たない	役に−立たない	民の	〜の−ゆえに	恥じた	—	すべての−者が		
	H3276	H3808			H0954	H0887	H3605		

וְגַם־	לְבֹשֶׁת	כִּי	לְהוֹעִיל	וְלֹא	לְעֵזֶר	לֹא	
そして−また	恥と	かえって	益にも	そして−益にも−ならない	助けには	助けには−ならない	
H1571	H1322		H3276	H3808	H5828	H3808	

ס	לְחֶרְפָּה׃
—	そしりと
	H2781

彼らは皆おのれを益することのできない民により、すなわち助けとならず、益とならず、かえって恥となり、はずかしめとなる民によって、恥をかくからである」。

6 מַשָּׂא בְּהֵמוֹת נֶגֶב בְּאֶרֶץ צָרָה וְצוּקָה לָבִיא וְלַיִשׁ
宣告 獣たちの ネゲブの 地を-通って 苦難と そして-苦悩の 雌獅子と そして-雄獅子と
H3918 H0776 H5045 H0929

חֵילֵהֶם עֲרֹרִים כֶּתֶף עַל יִשְׂאוּ מְעוּפָף וְשָׂרָף אֶפְעֶה מֵהֶם
彼らの-富を ろばの 肩の ～の-上に 運ぶ 飛ぶ そして-飛ぶ-蛇と まむしと それらの-中から
H2428 H5895 H3802 H5375 H0660 H1992

יוֹעִילוּ׃ לֹא עַם עַל אוֹצְרֹתָם גְּמַלִּים דַּבֶּשֶׁת וְעַל
役に-立たない 役に-立たない 民へと ～へと 彼らの-宝を らくだの こぶの そして～の-上に
H3276 H3808 H0214 H1581 H1707

ネゲブの獣についての託宣。彼らはその富を若いろばの背に負わせ、その宝をらくだの背に負わせて、雌じし、雄じし、まむしおよび飛びかけるへびの出る悩みと苦しみの国を通って、おのれを益することのできない民に行く。

7 וּמִצְרַיִם הֶבֶל וְרִיק יַעְזֹרוּ לָכֵן קָרָאתִי זֹאת לָהֶם רָהַב
そして-エジプトは 空しく そして-空虚に 助ける それゆえ 呼んだ これを ラハブよ 彼らは
H4714 H1892 H7385 H5826 H7121 H2063 H7293 H1992

שָׁבֶת׃
休む
H7674

そのエジプトの助けは無益であって、むなしい。それゆえ、わたしはこれを「休んでいるラハブ」と呼んだ。

8 עַתָּה בֹּוא כָתְבָה עַל לוּחַ עַל אִתָּם וְעַל סֵפֶר חֻקָּה
今 行って 書け ～の-上に 板に ～の-上に 彼らと-共に そして～の-上に 巻物に 刻め
H6258 H0935 H3789 H3871 H0854 H5704 H7710

וְתִהְיֶה לְיוֹם אַחֲרוֹן לָעַד עַד עוֹלָם׃
そして-それが-あるように ～の-日の-ために 後の 永遠に いつまでも 永久に
H1961 H3117 H0314 H5707 H5704 H5769

いま行って、これを彼らの前で札にしるし、書物に載せ、後の世に伝えて、とこしえにあかしとせよ。

9 כִּי עַם מְרִי הוּא בָּנִים כְּחָשִׁים בָּנִים לֹא לֹא אָבוּ
なぜなら 民は 反逆の これは 子らである 偽りの 子らである 望まない 望まない
H3588 H5971 H4805 H1931 H1121 H3584 H1121 H3808 H3808 H0014

יְהוָה׃ תּוֹרַת שְׁמֹועַ
主の 律法を 聞くことを
H3068 H8451 H8085

彼らはそむける民、偽りを言う子ら、主の教を聞こうとしない子らだ。

10 אֲשֶׁר אָמְרוּ לָרֹאִים לֹא תִרְאוּ וְלַחֹזִים לֹא לָנוּ חֲזוּ לֹא תֶחֱזוּ־
彼らは 言った ～者たちに 見る 見るな そして-幻視者たちに 幻を-見るな 見るな
H0559 H7200 H3808 H2374 H3808 H2372

מַהֲתַלּוֹת׃ חֲזוּ חֲלָקוֹת לָנוּ דַּבְּרוּ־ נְכֹחוֹת לָנוּ
幻想を 見よ 快い-ことを われらに 語れ 正しい-ことを われらに
H4123 H2372 H2509 H0559 H5229

彼らは先見者にむかって「見るな」と言い、預言者にむかっては「正しい事をわれわれに預言するな、耳に聞きよいことを語れ、迷わしごとを預言せよ。

11 סוּרוּ מִנִּי־דֶרֶךְ הַטּוּ מִנִּי־אֹרַח הַשְׁבִּיתוּ מִפָּנֵינוּ אֶת־קְדוֹשׁ
それよ 〜から 道から 曲がれ 〜から 小道から 絶たせよ われらの-前から 〜を 聖なる-方を
H5493 H4480 H1870 H5186 H4480 H0734 H7673 H6440 H0853 H6918

ס יִשְׂרָאֵל׃
— イスラエルの
H3478

大路を去り、小路をはなれ、イスラエルの聖者について語り聞かすな」と言う。

12 לָכֵן כֹּה אָמַר קְדוֹשׁ יִשְׂרָאֵל יַעַן מְאָסְכֶם הַדָּזֶה בַּדְּבָר
それゆえ このように 言われる 聖なる-方は イスラエルの 〜だから 退けた この この-言葉を
H3651 H3541 H0559 H6918 H3478 H3282 H3988 H2088 H1697

וַתִּבְטְחוּ בְעֹשֶׁק וְנָלוֹז וַתִּשָּׁעֲנוּ עָלָיו׃
そして-信頼した 圧迫と そして-曲がった-ことに そして-寄り-かかった それに
H0982 H6233 H3868 H8172

それゆえ、イスラエルの聖者はこう言われる、「あなたがたはこの言葉を侮り、しえたげと、よこしまとを頼み、これにたよるがゆえに、

13 לָכֵן יִהְיֶה לָכֶם הֶעָוֹן הַזֶּה כְּפֶרֶץ נֹפֵל נִבְעֶה
それゆえ なる あなたがたに-とって この-咎は この 裂け目の-ように 崩れる 膨らんだ
H3651 H1961 H0853 H5771 H2088 H6556 H5307 H1158

שִׁבְרָהּ׃ פִּתְאֹם יָבוֹא לְפֶתַע אֲשֶׁר־גְּשֻׁגָּבָה בְּחוֹמָה
その-崩壊が 来る たちまちに 突然 それが 高い 高い-壁の
H7667 H0935 H6621 H6597 H0834 H7682 H2346

この不義はあなたがたには突き出て、くずれ落ちようとする高い石がきの破れのようであって、その倒壊はにわかに、またたくまに来る。

14 וְשִׁבְרָהּ כְּשֶׁבֶר נֵבֶל יוֹצְרִים כְּתוּת לֹא יַחְמֹל
そして-砕かれる 砕ける-ように 壺が 陶器師の 打ち-砕かれる 惜しまない 惜しまない
H7665 H7667 H5035 H3335 H3807 H3808 H2550

וְלֹא־יִמָּצֵא בִּמְכִתָּתוֹ חֶרֶשׂ לַחְתּוֹת אֵשׁ מִיָּקוּד
そして-見つからない 見つからない その-破片の-中に かけらを すくう-ための 火を 炉から
H3808 H4672 H4365 H2789 H2856 H0784 H3344

פ מִגֻּבָא׃ מַיִם וְלַחְשֹׂף
— 水ためから 水を そして-くむ-ための
H1360 H4325 H2834

その破れることは陶器師の器を破るように惜しむことなく打ち砕き、その砕けのなかには、炉から火を取り、池から水をくめるほどの、ひとかけらさえ見いだされない」。

15 כִּי כֹה־אָמַר אֲדֹנָי יְהוִה קְדוֹשׁ יִשְׂרָאֵל בְּשׁוּבָה וָנַחַת תִּוָּשֵׁעוּן בְּהַשְׁקֵט וּבְבִטְחָה תִּהְיֶה גְּבוּרַתְכֶם
なぜなら このように 言われた 主なる 主は 聖なる-方は イスラエルの 立ち-帰りと 静けさと 救われる そして-安息によって あなたがたの-力は ある そして-信頼によって
H3588 H3541 H0559 H0136 H3069 H6918 H3478 H7729 H8252 H3467 H5183 H1369 H1961 H0985

וְלֹא אֲבִיתֶם׃
しかし〜なかった 望まなかった
H3808 H0014

主なる神、イスラエルの聖者はこう言われた、「あなたがたは立ち返って、落ち着いているならば救われ、穏やかにして信頼しているならば力を得る」。しかし、あなたがたはこの事を好まなかった。

16 וַתֹּאמְרוּ לֹא כִּי עַל־סוּס נָנוּס עַל־כֵּן תְּנוּסוֹן
そして-言った いいえ そうではなく ～の-上に 馬の 逃げる それゆえ 逃げるであろう
H0559 H3808 H5127

וְעַל־קַל נִרְכָּב עַל־כֵּן יִקְלוּ רֹדְפֵיכֶם׃
そして～の-上に 速い-馬に 乗る ～の-上に 速い それゆえ 追う-者たちは
H7031 H7392 H7043 H7291

かえって、あなたがたは言った、「否、われわれは馬に乗って、とんで行こう」と。それゆえ、あなたがたはとんで帰る。また言った、「われらは速い馬に乗ろう」と。それゆえ、あなたがたを追う者は速い。

17 אֶלֶף מִפְּנֵי אֶחָד מִפְּנֵי גַּעֲרַת חֲמִשָּׁה גַּעֲרַת תָּנֻסוּ עַד אִם־
千人が 前から 一人の 叱りで 五人の 叱りで 逃げる ～まで もし
H0505 H6440 H0259 H1606 H2568 H1606 H5127 H5704

נוֹתַרְתֶּם כַּתֹּרֶן עַל־רֹאשׁ הָהָר וְכַנֵּס עַל־גִּבְעָה׃
残されるなら 旗ざおの-ように 頭の-上の 山の そして-旗の-ように ～の-上の 丘の
H3498 H8650 H2022 H5251 H1389

ひとりの威嚇によって千人は逃げ、五人の威嚇によってあなたがたは逃げて、その残る者はわずかに山の頂にある旗ざおのように、丘の上にある旗のようになる。

18 וְלָכֵן יָחַכֶּה יְהוָה לַחַנֹּתְכֶם וְלָכֵן יָרוּם
それゆえ 待たれる 主は あなたがたに-恵みを-施す-ために それゆえ 立ち-上がる
H2442 H3068 H5414 H3068

כִּי־אֱלֹהֵי מִשְׁפָּט יְהוָה אַשְׁרֵי כָּל־
なぜなら 公正の-神は 公正の 主である 幸いなるかな すべての
H0430 H4941 H3068 H0835 H3605

חוֹכֵי לוֹ׃ ס לְרַחֲמְכֶם
待ち-望む-者たちは 主を ― あなたがたを-あわれむ-ために
H2442 H7355

それゆえ、主は待っていて、あなたがたに恵を施される。それゆえ、主は立ちあがって、あなたがたをあわれまれる。主は公平の神でいらせられる。すべて主を待ち望む者はさいわいである。

19 כִּי־עַם בְּצִיּוֹן יֵשֶׁב בִּירוּשָׁלִַם לֹא תִבְכֶּה בָכוֹ לֹא תֵחָנֵן
なぜなら 民よ シオンに 住む エルサレムに 泣くことは 泣かない 泣かない 恵み深く
H3427 H6726 H3389 H1058 H3808 H1058

כְּשָׁמְעָתוֹ עָנָךְ׃ לְקוֹל זַעֲקֶךָ
聞いた-とき 答えてくださる ～の-声に 叫びの
H8085 H2201

シオンにおり、エルサレムに住む民よ、あなたはもはや泣くことはない。主はあなたの呼ばわる声に応じて、必ずあなたに恵みを施される。主がそれを聞かれるとき、直ちに答えられる。

20 וְנָתַן לָכֶם אֲדֹנָי לֶחֶם צָר וּמַיִם לָחַץ וְלֹא־יִכָּנֵף
そして-与える 主は パンを 苦難の そして-水を 患難の 隠れない
H5414 H0136 H3899 H6862 H4325 H3906 H3808 H3670

עוֹד וְהָיוּ עֵינֶיךָ רֹאוֹת אֶת־ מוֹרֶיךָ׃
もはや そして-なる あなたの-目が 見る ～を あなたの-教師たちを
H5750 H1961 H7200 H0853 H4396

たとい主はあなたがたに悩みのパンと苦しみの水を与えられても、あなたの師は再び隠れることはなく、あなたの目はあなたの師を見る。

21 וְאָזְנֶיךָ תִּשְׁמַעְנָה דָּבָר מֵאַחֲרֶיךָ לֵאמֹר זֶה הַדֶּרֶךְ לְכוּ בּוֹ
そして-あなたの-耳が 聞く 言葉を 後ろから 言って これが 道である 歩め それに
H0241 H8085 H1697 H0559 H2088 H1870 H3212

כִּי תַאֲמִינוּ וְכִי תַשְׂמְאִילוּ׃
右に 曲がっても そして-左に 曲がっても
H0541 H8041

また、あなたが右に行き、あるいは左に行く時、そのうしろで「これは道だ、これに歩め」と言う言葉を耳に聞く。

22 וְטִמֵּאתֶם אֶת צִפּוּי פְּסִילֵי כַסְפֶּךָ וְאֶת הֲדַר מַסֵּכַת זְהָבֶךָ תְּזָרֵם
そして-汚す ～を 覆いを 偶像の 銀の 装飾を そして～を 鋳像の 金の 投げ-捨てる
H0853 H6826 H6456 H3701 H0853 H0642 H4541 H2091 H2219

כְּמוֹ דָוָה תֹּאמַר לוֹ צֵא׃
～の-ように 汚れた-物の 言う それに 出て-行け
H3644 H1739 H0559 H3318

その時、あなたがたはしろがねをおおった刻んだ像と、こがねを張った鋳た像とを汚し、これをきたない物のようにまき散らして、これに「去れ」と言う。

23 וְנָתַן מְטַר זַרְעֲךָ אֲשֶׁר תִּזְרַע אֶת הָאֲדָמָה וְלֶחֶם תְּבוּאַת
そして-与える 雨を あなたの-種に それを まく ～に 土に そして-食糧は 収穫の
H5414 H4306 H2233 H0834 H2232 H0853 H0127 H3899 H8393

הָאֲדָמָה וְהָיָה דָשֵׁן וְשָׁמֵן וְרָעֲתָה מִקְנֶיךָ בַּיּוֹם הַהוּא
土の そして-なる 豊かで そして-滴る 食べる あなたの-家畜は その-日に その
H0127 H1961 H1879 H8082 H7462 H4735 H3117 H1931

כָּר נִרְחָב׃
広い-牧草地で 広い
H7337

主はあなたが地にまく種に雨を与え、地の産物なる穀物をくださる。それはおびただしく、かつ豊かである。その日あなたの家畜は広い牧場で草を食べ、

24 וְהָאֲלָפִים וְהָעָיִרִים עֹבְדֵי הָאֲדָמָה בְּלִיל חָמִיץ יֵאָכֵלוּ אֲשֶׁר
そして-牛と そして-ろばは 耕す-者たちの 土の 味つけた-飼葉を 味つける 食べる それを
H0504 H5895 H5647 H0127 H1098 H2548 H0398 H0834

זֹרֶה בָּרַחַת וּבַמִּזְרֶה׃
ふるいに-かけた 箕と そして-篩で
H2219 H7371 H4214

地を耕す牛と、ろばは、シャベルと、くまででより分けて塩を加えた飼料を食べる。

25 וְהָיָה עַל כָּל הַר גָּבֹהַ וְעַל כָּל גִּבְעָה נִשָּׂאָה פְּלָגִים
そして-なる ～の-上に すべての 山の 高い そして～の-上に すべての 丘の 高い 流れが
H1961 H5921 H3605 H2022 H1364 H5921 H3605 H1389 H5375 H6388

בְּיוֹם הֶרֶג רָב בִּנְפֹל מִגְדָּלִים׃
大虐殺の-日に 殺戮の 大きな 倒れる-ときに 塔が
H3117 H2027 H7227 H5307 H4026

יִבְלֵי מָיִם
水の-小川が 水の
H2988 H4325

大いなる虐殺の日、やぐらの倒れる時、すべてのそびえたつ山と、すべての高い丘に水の流れる川がある。

26

יִהְיֶה	הַחַמָּה	וְאוֹר	הַחַמָּה	כְּאוֹר	הַלְּבָנָה	אוֹר־	וְהָיָה
なる	太陽の	そして–太陽の–光は	太陽の	太陽の–光の–ように	月の	月の–光は	そして–なる
H1961	H2535	H0216	H2535	H0216	H3842	H0216	H1961

שֶׁבֶר	אֶת־	יְהוָה	חֲבָשׁ	בְּיוֹם	הַיָּמִים	שִׁבְעַת	כְּאוֹר	שִׁבְעָתַיִם
傷を	～を	主が	包み–上げる	～の–日に	日の	七日間の	七日間の–光の–ように	七倍に
H7667	H0853	H3068	H2280	H3117	H3117	H7651	H0216	H7659

ס	יִרְפָּא׃	מַכָּתוֹ	וּמַחַץ	עַמּוֹ
—	癒す	打ち傷の	そして–傷を	その–民の
	H7495	H4347	H4273	

さらに主がその民の傷を包み、その打たれた傷をいやされる日には、月の光は日の光のようになり、日の光は七倍となり、七つの日の光のようになる。

27

מַשָּׂאָה	וְכֹבֶד	אַפּוֹ	בֹּעֵר	מִמֶּרְחָק	בָּא	יְהוָה	שֵׁם־	הִנֵּה
荷を–負う	そして–重い	その–怒りが	燃えている	遠くから	来る	主の	～の–名が	見よ
H4858	H3514	H0639		H4801	H0935	H3068	H8034	H2009

אֹכְלָת׃	כְּאֵשׁ	וּלְשׁוֹנוֹ	זַעַם	מָלְאוּ	שְׂפָתָיו
焼き–尽くす	火の–ように	そして–その–舌は	怒りで	満ちている	その–唇は
H0398	H0784	H3956	H2195	H4390	H8193

見よ、主の名は遠い所から燃える怒りと、立ちあがる濃い煙をもって来る。そのくちびるは憤りで満ち、その舌は焼きつくす火のごとく、

28

לַהֲנָפָה	יֵחָצֶה	צַוָּאר	עַד־	שׁוֹטֵף	כְּנַחַל	וְרוּחוֹ
ふるいに–かける–ために	分ける	首まで	～まで	あふれる	川の–ように	そして–その–息は
	H2673		H5704	H7857		H7307

עַמִּים׃	לְחָיֵי	עַל	מַתְעֶה	וְרֶסֶן	שָׁוְא	בְּנָפַת	גּוֹיִם
諸国民の	顎の	～の–上に	迷わす	そして–手綱を	滅びの	滅びの–ふるいで	諸国民を
	H3895		H8582	H7448	H7723		

その息はあふれて首にまで達する流れのようであって、滅びのふるいをもってもろもろの国をふるい、また惑わす手綱をもろもろの民のあごにつけるために来る。

29

לֵבָב	וְשִׂמְחַת	חָג	הִתְקַדֵּשׁ־	כְּלֵיל	לָכֶם	יִהְיֶה	הַשִּׁיר
心の	そして–心の–喜びが	祭りの	聖別された	祭りの–夜の–ように	あなたがたに	ある	歌が
H3824	H8057	H2282	H6942	H3915		H1961	

יִשְׂרָאֵל׃	צוּר	אֶל־	יְהוָה	בְּהַר־	לָבוֹא	בָּחָלִיל	כָּהוֹלֵךְ
イスラエルの	岩へ	～へ	主の	～の–山に	来る–ために	笛を–吹いて	行く–者の–ように
H3478	H6697	H0413	H3068	H2022	H0935	H2485	H1980

あなたがたは、聖なる祭を守る夜のように歌をうたう。また笛をならして主の山にきたり、イスラエルの岩なる主にまみえる時のように心に喜ぶ。

30

יַרְאֶה	זְרוֹעוֹ	וְנַחַת	קוֹלוֹ	הוֹד	אֶת־	יְהוָה	וְהִשְׁמִיעַ
見せる	その–腕を	そして–打ち–下ろす–さまを	その–声の	威光を	～を	主は	そして–聞かせる
H7200	H2220			H1935	H0853	H3068	H8085

וְזֶרֶם	נֶפֶץ	אוֹכְלָה	אֵשׁ	וְלַהַב	אַף	בְּזַעַף
そして–豪雨と	打ち–砕きと	焼き–尽くす	火の	そして–炎と	怒りの	激しい–怒りと
H2230	H5311	H0398	H0784	H3851	H0639	H2197

בָּרָד׃	וְאֶבֶן	
雹の	そして–雹の–石と	
H1259	H0068	

主はその威厳ある声を聞かせ、激しい怒りと、焼きつくす火の炎と、豪雨と、暴風と、ひょうとをもってその腕の下ることを示される。

31 כִּי־ מִקּוֹל יְהוָה יֵחַת אַשּׁוּר בַּשֵּׁבֶט יַכָּה׃
なぜなら ～の–声で 主の 恐れおののく アッシリヤは 杖で 打たれる
H3588 H6963 H3068 H2865 H0804 H7626 H5221

主がそのむちをもって打たれる時、アッスリヤの人々は主の声によって恐れおののく。

32 וְהָיָה כָּל־ מַעֲבַר מַטֵּה מוּסָדָה אֲשֶׁר יָנִיחַ יְהוָה עָלָיו בְּתֻפִּים
そして–なる すべての 一打ちの 杖の 定められた それを 下す 主が その–上に 太鼓と
H1961 H3605 H4294 H4145 H0834 H5117 H3068 H5921 H8596

וּבְכִנֹּרוֹת וּבְמִלְחֲמוֹת תְּנוּפָה נִלְחַם־]בה[ )בָּם׃(
そして–琴で そして–戦いの 振り–上げる–手の 戦った ― 彼らと
H3658 H4421 H8573 H3898 H1931 H1992

主が懲しめのつえを彼らの上に加えられるごとに鼓を鳴らし、琴をひく。主は腕を振りかざして、彼らと戦われる。

33 כִּי־ עֲרוּךְ מֵאֶתְמוֹל תָּפְתֶּה גַּם־]הוא[ )הֵיא(לַמֶּלֶךְ
なぜなら 備えられている 昔から トフェトが それも–また ― それは 王の–ために
H3588 H6186 H0865 H8613 H1571 H1931 H1931 H4428

הֻכְשָׁה הַרְחִיב מְדוּרָתָהּ אֵשׁ וְעֵצִים הַרְבֵּה נִשְׁמַת יְהוָה
深くし 準備された 広くした その–薪は 火と そして–薪が 多くある 息が 主の
H6009 H3559 H7337 H4071 H0784 H6086 H7235 H5397 H3068

כְּנַחַל גָּפְרִית בְּעֵרָהּ יִבְעָרֶנָּה׃ ס בָּהּ׃
硫黄の–川の–ように 硫黄の 燃える その–中で ―
H5158 H1614 H1197 H8313 H1931

焼き場はすでに設けられた。しかも王のために深く広く備えられ、火と多くのたきぎが積まれてある。主の息はこれを硫黄の流れのように燃やす。

Chapter 31

1 הַוֹי הַיֹּרְדִים מִצְרַיִם לְעֶזְרָה עַל־ סוּסִים וַיִּבְטְחוּ
ああ 下る–者たちよ エジプトへ 助けを–求める ～の–上に 馬に 頼る そして–信頼する
H1945 H3381 H4714 H5833 H5921 H5483 H8172 H0982

עָצְמָם כִּי־ פָרָשִׁים וְעַל רֹכֶב כִּי רַב מְאֹד
強い なぜなら 騎兵に そして～の–上に 戦車に 多い なぜなら 非常に
H6105 H3588 H6571 H5921 H7393 H3588 H7227 H3966

וְלֹא שָׁעוּ עַל־ קְדוֹשׁ יִשְׂרָאֵל וְאֶת־ יְהוָה לֹא יְבַקֵּשׁוּ׃ דָּרָשׁוּ׃
しかし～ない 仰がない ～を 聖なる–方を イスラエルの そして～を 主を 求めない 求めない
H3808 H8159 H5921 H6918 H3478 H0853 H3068 H3808 H1875

助けを得るためにエジプトに下り、馬にたよる者はわざわいだ。彼らは戦車が多いので、これに信頼し、騎兵がはなはだ強いので、これに信頼する。しかしイスラエルの聖者を仰がず、また主にはかることをしない。

2

לֹא	דְבָרָיו	וְאֶת־	רָע	וַיָּבֵא	חָכָם	הוּא	וְגַם־
撤回しない	その–言葉を	そして〜を	禍いを	そして–もたらす	知恵が–ある	彼も	そして–また
H3808	H1697	H0853		H0935	H2450	H1931	H1571

עֶזְרַת	וְעַל־	מְרֵעִים	בֵּית	עַל־	וְקָם	הֵסִיר
助けに	そして〜に–対して	悪を–行う–者の	〜の–家に	〜に–対して	そして–立ち–上がる	撤回しない
H5833						H5493

אָוֶן׃	פֹּעֲלֵי
悪を	行う–者たちの
H0205	H6466

それにもかかわらず、主もまた賢くいらせられ、必ず災をくだし、その言葉を取り消すことなく、立って悪をなす者の家を攻め、また不義を行う者を助ける者を攻められる。

3

בָּשָׂר	וְסוּסֵיהֶם	אֵל	וְלֹא־	אָדָם	וּמִצְרַיִם	
肉であり	そして–その–馬は	神ではない	そして〜ではない	人であり	そして–エジプト人は	
H1320		H0410	H3808	H0120	H4714	

עוֹזֵר	וְכָשַׁל	יָדוֹ	יַטֶּה	וַיהוָה	רוּחַ	וְלֹא־	
助ける–者は	そして–つまずく	その–手を	伸べる	そして–主が	霊ではない	そして〜ではない	
H5826	H3782	H3027	H5186	H3068	H7307	H3808	

ס	יִכְלָיוּן׃	כֻּלָּם	וַיַּחְדָּו	עָזֻר	וְנָפַל	
—	滅びる	彼ら–皆	そして–共に	助けられる–者は	そして–倒れる	
	H3615	H3605		H5826	H5307	

かのエジプトびとは人であって、神ではない。その馬は肉であって、霊ではない。主がみ手を伸ばされるとき、助ける者はつまずき、助けられる者も倒れて、皆ともに滅びる。

4

הָאַרְיֵה	יֶהְגֶּה׀	כַּאֲשֶׁר	אֵלַי	וְיהוָה	אָמַר־	כֹּה	כִּי
獅子が	うなる	ちょうど〜のように	わたしに	主は	言われた	このように	なぜなら
	H1897		H0413	H3068	H0559	H3541	

מְלֵא	עָלָיו	יִקָּרֵא	אֲשֶׁר	טַרְפּוֹ	עַל־	וְהַכְּפִיר
大勢の	それに–対して	呼び–集められる	それに–対して	その–獲物の	〜の–上で	そして–若い–獅子が
H4393		H7121		H2964		

כֵּן	יַעֲנֶה	לֹא	וּמֵהֲמוֹנָם	יֵחַת	לֹא	מִקּוֹלָם	רֹעִים
そのように	屈しない	屈しない	そして–その–騒ぎに	おびえない	おびえない	その–声に	羊飼いたちが
		H3808		H2865	H3808		

וְעַל־	צִיּוֹן	הַר־	עַל־	לִצְבֹּא	צְבָאוֹת	יְהוָה	יֵרֵד
そして〜の–上で	シオンの	〜の–山で	〜の–上で	戦う–ために	万軍の	万軍の–主が	下って–来る
	H6726	H2022		H6633		H3068	H3381

גִּבְעָתָהּ׃
その–丘の
H1389

主はわたしにこう言われた、「ししまたは若いししが獲物をつかんで、ほえたけるとき、あまたの羊飼が呼び出されて、これにむかっても、その声によって驚かず、その叫びによって恐れないように、万軍の主は下ってきて、シオンの山およびその丘で戦われる。

5

גָּנוֹן	יְרוּשָׁלִָם	עַל־	צְבָאוֹת	יְהוָה	יָגֵן	כֵּן	עָפוֹת	כְּצִפֳּרִים
守り	エルサレムを	〜を	万軍の	万軍の–主は	守る	そのように	羽ばたく	鳥の–ように
H1598	H3389			H3068	H1598			H6833

וְהִמְלִיט׃	פָּסֹחַ	וְהִצִּיל
そして–助ける	過ぎ–越して	そして–救い
H4422		H5337

鳥がひなを守るように、万軍の主はエルサレムを守り、これを守って救い、これを惜しんで助けられる」。

6
שׁוּבוּ לַאֲשֶׁר הֶעְמִיקוּ סָרָה בְּנֵי יִשְׂרָאֵל׃
立ち-帰れ ～の-もとに 深く 背いた ～の-子らよ イスラエルの
H7725 H6009 H5627 H1931 H3478

イスラエルの人々よ、主に帰れ。あなたがたは、はなはだしく主にそむいた。

7
כִּי בַיּוֹם הַהוּא יִמְאָסוּן אִישׁ אֱלִילֵי כַסְפּוֹ וֵאלִילֵי זְהָבוֹ אֲשֶׁר
なぜなら その-日に その 退ける 各自が 偶像を 銀の そして-偶像を 金の それを
H3117 H1931 H0376 H0457 H3701 H0457 H2091

עָשׂוּ לָכֶם יְדֵיכֶם חֵטְא׃
作った あなたがたの-ために あなたがたの-手が 罪として
H3027 H2399

その日、あなたがたは自分の手で造って罪を犯したしろがねの偶像と、こがねの偶像をめいめい投げすてる。

8
וְנָפַל אַשּׁוּר לֹא בְחֶרֶב לֹא אִישׁ וְחֶרֶב לֹא אָדָם
そして-倒れる アッシリヤは 剣で ～ない 人の 剣が ～ない 人間の
H5307 H0804 H2719 H3808 H0376 H2719 H3808 H0120

וְנָס לוֹ וּבַחוּרָיו לְמַס יִהְיוּ׃ מִפְּנֵי חֶרֶב תֹּאכְלֶנּוּ
そして-逃げる 彼は ～の-前から 剣の そして-その-若者たちは 労役に なる
H5127 H6440 H2719 H0970 H4522 H1961

「アッスリヤびとはつるぎによって倒れる、人のつるぎではない。つるぎが彼らを滅ぼす、人のつるぎではない。彼らはつるぎの前から逃げ去り、その若い者は奴隷の働きをしいられる。

9
וְסַלְעוֹ מִמָּגוֹר יַעֲבֹר וְחַתּוּ שָׂרָיו מִנֵּס נְאֻם
そして-その-岩は 恐怖の-ゆえに 過ぎ-去る そして-おびえる 旗の-前に その-将たちは ～の-宣言
H5553 H4032 H5251 H2865 H8269 H5002

יְהוָה אֲשֶׁר אוּר לוֹ בְּצִיּוֹן וְתַנּוּר לוֹ וְלָהֵמָּה בִּירוּשָׁלִָם׃ ס
主の それは 火が 彼に シオンに-ある そして-炉が 彼に エルサレムに-ある —
H3068 H8574 H6726 H3389

彼らの岩は恐れによって過ぎ去り、その君たちはあわて、旗をすてて逃げ去る」。これは主の言葉である。主の火はシオンにあり、その炉はエルサレムにある。

Chapter 32

1
הֵן לְצֶדֶק יִמְלָךְ־מֶלֶךְ וְלְשָׂרִים לְמִשְׁפָּט יָשֹׂרוּ׃
見よ 義によって 治める 王が そして-宰相たちは 公正に 治める
H2005 H6664 H4428 H8269 H4941 H8323

見よ、ひとりの王が正義をもって統べ治め、君たちは公平をもってつかさどり、

2
וְהָיָה־אִישׁ כְּמַחֲבֵא־רוּחַ וְסֵתֶר זָרֶם כְּפַלְגֵי־מַיִם בְּצִיּוֹן בְּאֶרֶץ
そして-なる 各自が 風からの-避け所の-ように 風の そして-隠れ家の-ように 嵐からの 水の-流れの-ように 乾いた-地に 水の 大きな-岩の-影の-ように 岩の 大きな 疲れた-地で
H1961 H0376 H7307 H2230 H6388 H6724 H4325 H6738 H5553 H3515 H0776

עֵיפָה׃
疲れた
H5889

おのおの風をさける所、暴風雨をのがれる所のようになり、かわいた所にある水の流れのように、疲れた地にある大きな岩の陰のようになる。

3

וְלֹא	תִּשְׁעֶינָה	עֵינֵי	רֹאִים	וְאָזְנֵי	שֹׁמְעִים	תִּקְשַׁבְנָה׃
そして–もはや〜ない	ふさがれない	目が	見る–者の	そして–耳が	聞く–者の	注意深く–聞く
H3808	H8159		H7200	H0241	H8085	H7181

こうして、見る者の目は開かれ、聞く者の耳はよく聞き、

4

וּלְבַב	נִמְהָרִים	יָבִין	לָדָעַת	וּלְשׁוֹן	עִלְּגִים	תְּמַהֵר	לְדַבֵּר	צָחוֹת׃
そして–心は	性急な–者の	悟る	知識を	そして–舌は	どもる–者の	急いで	語る	明瞭に
H3824		H0995	H3045	H3956	H5926		H1696	H6703

気短な者の心は悟る知識を得、どもりの舌はたやすく、あざやかに語ることができる。

5

לֹא־	יִקָּרֵא	עוֹד	לִנָבָל	נָדִיב	וּלְכִילַי	לֹא	יֵאָמֵר
もはや〜ない	呼ばれない	もはや	愚か者が	高貴と	そして–危い–者が	もはや〜と	言われない
H3808	H7121	H5750	H5036	H5081	H3596	H3808	H0559

שׁוֹעַ׃
気前が–よいと

愚かな者は、もはや尊い人と呼ばれることなく、悪人はもはや、りっぱな人と言われることはない。

6

חֹנֶף	לַעֲשׂוֹת	אָוֶן	יַעֲשֶׂה־	וְלִבּוֹ	יְדַבֵּר	נְבָלָה	נָבָל	כִּי
不敬を	行う–ために	悪を	行う	そして–その–心は	語り	愚かな–ことを	愚か者は	なぜなら
H2612		H0205			H1696	H5039	H5036	

וּמַשְׁקֵה	רָעֵב	נֶפֶשׁ	לְהָרִיק	תּוֹעָה	יְהוָה	אֶל־	וּלְדַבֵּר
そして–飲み物を	飢えた–者の	魂を	空にする–ために	迷いを	主に–対して	〜に–対して	そして–語る
	H7457	H5315	H7324	H8442	H3068	H0413	H1696

יַחְסִיר׃	צָמֵא
奪わる	渇いた–者の
H2637	H6771

それは愚かな者は愚かなことを語り、その心は不義をたくらみ、よこしまを行い、主について誤ったことを語り、飢えた者の望みを満たさず、かわいた者の飲み物を奪い取るからである。

7

]ענוים[	לְחַבֵּל	יָעַץ	זִמּוֹת	הוּא	רָעִים	כְּלָיו	וְכֵלַי
—	滅ぼす–ために	企む	悪巧な–計画を	彼は	悪い	手段は	そして–危い–者の
H6035		H3289	H2154	H1931		H3627	H3596

מִשְׁפָּט׃	אֶבְיוֹן	וּבְדַבֵּר	שֶׁקֶר	בְּאִמְרֵי־	(עֲנִיִּים)
公正を	乏しい–者が	そして–語る–とき	偽りの	偽りの–言葉で	貧しい–者たちを
H4941	H0034	H1696	H8267	H0561	H6041

悪人の行いは悪い。彼は悪い計りごとをめぐらし、偽りの言葉をもって貧しい者をおとしいれ、乏しい者が正しいことを語っても、なお、これをおとしいれる。

8

פ	יָקוּם׃	נְדִיבוֹת	עַל־	וְהוּא	יָעַץ	נְדִיבוֹת	וְנָדִיב
—	立つ	高貴な–ことの	〜の–上に	そして–彼は	計画する	高貴な–ことを	そして–高貴な–者は
		H5081		H1931	H3289	H5081	H5081

しかし尊い人は尊いことを語り、つねに尊いことを行う。

9 נָשִׁים שַׁאֲנַנּוֹת קֻמְנָה שִׁמַּעְנָה קוֹלִי בָּנוֹת בְּטֻחוֹת הַאֲזֵנָה
女たちよ 安楽な 立て 聞け わたしの-声を 娘たちよ 安心した 耳を-傾けよ
H0802 H7600 H8085 H0982 H1323 H0238

אִמְרָתִי׃
わたしの-言葉に

安んじている女たちよ、起きて、わが声を聞け。思い煩いなき娘たちよ、わが言葉に耳を傾けよ。

10 יָמִים עַל־ שְׁנָה תִּרְגַּזְנָה בְּטֻחוֹת כִּי כָלָה בָּצִיר אָסִף
日が ～の-上に 年の おののく 安心した-者たちは なぜなら 終わる ぶどうの-収穫は 収穫は
H3117 H8141 H7264 H0982 H3615 H1210 H0625

בָּלִי יָבוֹא׃
来ない 来ない
H1097 H0935

思い煩いなき女たちよ、一年あまりの日をすぎて、あなたがたは震えおののく。ぶどうの収穫がむなしく、実を取り入れる時が来ないからだ。

11 חֹרְדוּ שַׁאֲנַנּוֹת רְגָזָה בְּטֻחוֹת פְּשַׁטָּה וְעֹרָה
おののけ 安楽な-者たちよ ふるえよ 安心した-者たちよ 脱げ そして-裸に-なれ
H2729 H7600 H7264 H0982 H6584 H6509

וַחֲגֹרָה עַל־ חֲלָצָיִם׃
そして-素褐を-巻け ～の-上に 腰の
H2296 H2504

安んじている女たちよ、震え恐れよ。思い煩いなき女たちよ、震えおののけ。衣を脱ぎ、裸になって腰に荒布をまとえ。

12 עַל־ שָׁדַיִם סֹפְדִים עַל־ שְׂדֵי־ חֶמֶד עַל־ גֶּפֶן פֹּרִיָּה׃
～の-上で 胸を 嘆け ～の-ために 畑を 麗しい ～の-ために ぶどうの-木を 実り-多い
H6509 H1612 H0 H2531 H5594 H0

良き畑のため、実り豊かなぶどうの木のために胸を打て。

13 עַל אַדְמַת עַמִּי עֹלֶה שָׁמִיר תָּעֳלֶה כִּי עַל־ כָּל
～の-上に 土地に わたしの-民の いばらと 生える なぜなら ～の-上に すべての
H0127 H6975 H8068 H5927 H3605

בָּתֵּי מָשׂוֹשׂ קִרְיָה עַלִּיזָה׃
家々の 喜びの 都の 楽しむ
H4885 H7151 H5947

いばら、おどろの生えているわが民の地のため、喜びに満ちている町にあるすべての喜びの家のために胸を打て。

14 כִּי־ אַרְמוֹן נָטֹשׁ הֲמוֹן עִיר עֹזֶב עָפֶל וְבַחַן הָיָה
なぜなら 宮殿は 見捨てられ 騒がしい 町は 捨てられた 山と 見張り-台は なった
H3605 H0759 H5203 H1995 H5892 H6076 H1961

עַד־ מְעָרוֹת בְּעַד עוֹלָם מְשׂוֹשׂ פְּרָאִים מִרְעֵה עֲדָרִים׃
～に 洞窟の ～の-ために 永遠に 喜びと 野ろばの 牧草地と 群れの
H5704 H4631 H1157 H5769 H4885 H6501 H4829 H5739

宮殿は捨てられ、にぎわった町は荒れすたれ、丘と、やぐらとは、とこしえにほら穴となり、野のろばの楽しむ所、羊の群れの牧場となるからである。

15 עַד־ 〜まで H5704 יֵעָרֶה 注がれる H6168 עָלֵינוּ われらの–上に רוּחַ 霊が H7307 מִמָּרוֹם 高き–所から H4791 וְהָיָה そして–なる H1961 מִדְבָּר 荒野が H3759 לַכַּרְמֶל 果樹園に H3759 [וכרמל] — H3759

(וְהַכַּרְמֶל) そして–果樹園が H3759 לַיָּעַר 森と יֵחָשֵׁב׃ みなされる H2803

しかし、ついには霊が上からわれわれの上にそそがれて、荒野は良き畑となり、良き畑は林のごとく見られるようになる。

16 וְשָׁכַן そして–住む H7931 בַּמִּדְבָּר 荒野に מִשְׁפָּט 公正が H4941 וּצְדָקָה そして–義が H6666 בַּכַּרְמֶל 果樹園に H3759 תֵּשֵׁב׃ 実る H3427

その時、公平は荒野に住み、正義は良き畑にやどる。

17 וְהָיָה そして–なる H1961 מַעֲשֵׂה わざは H4639 הַצְּדָקָה 義の H6666 וַעֲבֹדַת そして–働きは H5656 הַצְּדָקָה 義の H6666 שָׁלוֹם 平和と H7965 וָבֶטַח そして–安心と H0983 עַד־ 永遠に H5704

הַשְׁקֵט 静けさと H8252 עוֹלָם׃ 永遠に H5769

正義は平和を生じ、正義の結ぶ実はとこしえの平安と信頼である。

18 וְיָשַׁב そして–住む H3427 עַמִּי わたしの–民は בְּנֵוַה 平和の–住まいに שָׁלוֹם 平和の H7965 וּבְמִשְׁכְּנוֹת そして–安全な–天幕に H4908 מִבְטַחִים 安全な H4009

וּבְמְנוּחֹת そして–安らかな–憩いの–場に H4496 שַׁאֲנַנוֹת׃ 安らかな H7600

わが民は平和の家におり、安らかなすみかにおり、静かな休み所におる。

19 וּבָרַד そして–雹が H1258 בְּרֶדֶת 降る–ときに H3381 הַיָּעַר 森に וּבַשְּׁפָלָה そして–低く–される H8218 תִּשְׁפַּל 低く–される H8213 הָעִיר׃ 町は

しかし林はことごとく切り倒され、町もことごとく倒される。

20 אַשְׁרֵיכֶם 幸いなるかな H0835 זֹרְעֵי 種を–まく–者たちは H2232 עַל־ 〜の–そばに כָּל־ すべての H3605 מַיִם 水の H4325 מְשַׁלְּחֵי 放つ–者たちは H7971 רֶגֶל־ 足を H7272 הַשּׁוֹר 牛と H7794

ס — וְהַחֲמוֹר׃ そして–ろばの H2543

すべての水のほとりに種をまき、牛およびろばを自由に放ちおくあなたがたは、さいわいである。

Chapter 33

1

וּבוֹגֵד	שָׁדוֹד	לֹא	וְאַתָּה	שׁוֹדֵד	הוֹי
そして–裏切る–者よ	滅ぼされた	滅ぼされた–ことが–ない	そして–お前は	滅ぼす–者よ	ああ
H0898	H7703	H3808		H7703	H1945

תּוּשַׁד	שׁוֹדֵד	כַּהַתְמֵךְ	בּוֹ	בָּגְדוּ	וְלֹא־	
滅ぼされる	滅ぼす–ことを	お前が–終える–とき	お前に	裏切られた–ことが	そして〜しない	
H7703	H7703	H8552		H0898	H3808	

ס	בָּךְ׃	יִבְגְּדוּ־	לִבְגֹּד	כַּנִּלְאֹתְךָ
—	お前が	裏切られる	裏切る–ことを	お前が–終える–とき
		H0898	H0898	H5239

わざわいなるかな、おのれ自ら滅ぼされないのに、人を滅ぼし、だれも欺かないのに人を欺く者よ。あなたが滅ぼすことをやめたとき、あなたは滅ぼされ、あなたが欺くことを終えたとき、あなたは欺かれる。

2

אַף־	לַבְּקָרִים	זְרֹעָם	הֱיֵה	קִוִּינוּ	לְךָ	חָנֵנוּ	יְהוָה
また	毎朝	彼らの–腕と	あってください	待ち–望んだ	あなたを	恵んでください	主よ
H0637	H1242	H2220	H1961				H3068

צָרָה׃	בְּעֵת	יְשׁוּעָתֵנוּ	
苦難の	〜の–時に	われらの–救いと	
	H6256	H3444	

主よ、われわれをお恵みください、われわれはあなたを待ち望む。朝ごとに、われわれの腕となり、悩みの時に、救となってください。

3

גּוֹיִם׃	נָפְצוּ	מֵרוֹמְמוּתְךָ	עַמִּים	נָדְדוּ	הָמוֹן	מִקּוֹל
国々は	散った	あなたの–威光から	諸国民は	逃げた	騒ぎの	〜の–声で
		H7427		H5074		

鳴りとどろく声によって、もろもろの民は逃げ去り、あなたが立ちあがられると、もろもろの国は散らされる。

4

כְּמַשַּׁק	הֶחָסִיל	אֹסֵף	שְׁלָלְכֶם	וְאֻסַּף	
いなごの–群れの–ように	いなごが	集める–ように	あなたがたの–戦利品は	そして–集められる	
H4944	H2625	H0625	H7998	H0622	

בּוֹ׃	שׁוֹקֵק	גֵּבִים
その–上に	跋ね–回る	いなごの
	H8264	H1357

青虫が物を集めるようにぶんどり品は集められ、いなごのとびつどうように、人々はその上にとびつどう。

5

וּצְדָקָה׃	מִשְׁפָּט	צִיּוֹן	מָלְאָ	מָרוֹם	שֹׁכֵן	כִּי	יְהוָה	נִשְׂגָּב
そして–義で	公正と	シオンを	満たす	高き–所に	住む	なぜなら	主は	崇められる
H6666	H4941	H6726	H4390	H4791	H7931		H3068	H7682

主は高くいらせられ、高い所に住まわれる。主はシオンに公平と正義とを満たされる。

6

יְהוָה	יִרְאַת	וְדַעַת	חָכְמַת	יְשׁוּעֹת	חֹסֶן	עִתֶּיךָ	אֱמוּנַת	וְהָיָה
主への	畏れは	そして–知識と	知恵と	救いの	宝と	お前の–時代の	信実は	そして–なる
H3068	H3374	H1847	H2451	H3444	H2633	H6256	H0530	H1961

ס	אוֹצָרוֹ׃	הִיא	
—	その–宝である	それが	
	H0214	H1931	

また主は救と知恵と知識を豊かにして、あなたの代を堅く立てられる。主を恐れることはその宝である。

7

יִבְכָיוּן׃	מַר	שָׁלוֹם	מַלְאֲכֵי	חֻצָה	צָעֲקוּ	אֶרְאֵלָּם	הֵן
泣く	激しく	平和の	平和の–使者たちが	外で	叫ぶ	勇士たちが	見よ
H1058	H4751	H7965	H4397	H2351	H6817	H0691	H2005

見よ、勇士たちは外にあって叫び、平和の使者はいたく嘆く。

לֹא	עָרִים	מָאַס	בְּרִית	הֵפֵר	אֹרַח	עֹבֵר	שָׁבַת	מְסִלּוֹת	נָשַׁמּוּ	8
重んじない	町を	退けた	契約を	破った	道の	通る-者は	絶えた	大路は	荒れた	
H3808			H1285		H0734			H4546	H8074	

אֱנוֹשׁ׃	חָשָׁב
人を	重んじない
H0582	H2803

大路は荒れすたれて、旅びとは絶え、契約は破られ、証人は軽んぜられ、人を顧みることがない。

כָּעֲרָבָה	הַשָּׁרוֹן	הָיָה	קָמַל	לְבָנוֹן	הֶחְפִּיר	אָרֶץ	אֻמְלְלָה	אָבֵל		9
荒野の-ように	シャロンは	なった	枯れた	レバノンは	恥じた	地は	衰えた	嘆き		
H6160	H8289	H1961	H7060	H3844	H2659	H0776	H0535	H0056		

וְכַרְמֶל׃	בָּשָׁן	וְנֹעַר
そして-カルメルは	バシャンと	そして-葉を-落とす
H3760	H1316	H5287

地は嘆き衰え、レバノンは恥じて枯れ、シャロンは荒野のようになり、バシャンとカルメルはその葉を落す。

אֲנַשֵּׂא׃	עַתָּה	אֵרוֹמָם	עַתָּה	יְהוָה	יֹאמַר	אָקוּם	עַתָּה	10
上げられる	今	高められる	今	主は	言われる	立ち-上がる	今	
H5375	H6258		H6258	H3068	H0559		H6258	

主は言われる、「今わたしは起きよう、いま立ちあがろう、いま自らを高くしよう。

תֹּאכַלְכֶם׃	אֵשׁ	רוּחֲכֶם	קַשׁ	תַּלְדוּ	חֶשֶׁשׁ	תַּהֲרוּ	11
あなたがたを-焼き-尽くす	火となり	あなたがたの-息は	切り-株を	産む	わらを	はらむ	
H0398	H0784	H7307	H7179	H3205	H2842	H2029	

あなたがたは、もみがらをはらみ、わらを産む。あなたがたの息は火となって、あなたがたを食いつくす。

יִצָּתוּ׃	בָּאֵשׁ	כְּסוּחִים	קוֹצִים	שִׂיד	מִשְׂרְפוֹת	עַמִּים	וְהָיוּ	12
燃える	火で	切り-倒された	いばらの-ように	石灰の	焼かれる-火と	諸国民は	そして-なる	
H3341	H0784	H3683	H6975	H7875	H4955		H1961	

ס
—

もろもろの民は焼かれて石灰のようになり、いばらが切られて火に燃やされたようになる」。

גְּבֻרָתִי׃	קְרוֹבִים	וּדְעוּ	עָשִׂיתִי	אֲשֶׁר	רְחוֹקִים	שִׁמְעוּ	13
わたしの-力を	近くの-者よ	そして-知れ	行った-ことを	わたしが	遠くの-者よ	聞け	
H1369	H7138	H3045			H7350	H8085	

あなたがた遠くにいる者よ、わたしがおこなったことを聞け。あなたがた近くにいる者よ、わが大能を知れ。

יָגוּר	וּמִי	חַנְפֵי	רָעָדָה	אָחֲזָה	חַטָּאִים	בְּצִיּוֹן	פָּחֲדוּ	14
住めるのか	誰が	不敬な-者たちを	おののきが	捕らえた	罪人たちは	シオンで	恐れた	
	H4310	H2611		H0270	H2400	H6726	H6342	

עוֹלָם׃	מוֹקְדֵי	לָנוּ	יָגוּר	מִי־	אוֹכְלָה	אֵשׁ	לָנוּ
永遠の	永遠の-燃える-火の	われらの-うちに	住めるのか	誰が	焼き-尽くす	火の	われらの-うちに
H5769	H4168			H4310	H0398	H0784	

シオンの罪びとは恐れに満たされ、おののきは神を恐れない者を捕えた。「われわれのうち、だれが焼きつくす火の中におることができよう。われわれのうち、だれがとこしえの燃える火の中におることができよう」。

15 הַלֵּךְ צְדָקוֹת וְדֹבֵר מֵישָׁרִים מֹאֵס בְּבֶצַע מַעֲשַׁקּוֹת
歩む–者は 義に そして–語る–者は 正しく 退ける–者は 不正な–利得を 圧迫の
H1980 H6666 H1696 H4339 H3513 H1215 H4642

נֹעֵר כַּפָּיו מִתְמֹךְ בַּשֹּׁחַד אָטֵם אָזְנוֹ מִשְׁמַע דָּמִים
振り–払う–者は その–手を 握る–ことから 賄賂を ふさぐ–者は その–耳を 聞く–ことから 血を
H5287 H3709 H8551 H7810 H0331 H0241 H8085 H1818

וְעֹצֵם עֵינָיו מֵרְאוֹת בְּרָע׃
そして–閉じる–者は その–目を 見る–ことから 悪を
H7200

正しく歩む者、正直に語る者、しえたげて得た利をいやしめる者、手を振って、まいないを取らない者、耳をふさいで血を流す謀略を聞かない者、目を閉じて悪を見ない者、

16 הוּא מְרוֹמִים יִשְׁכֹּן מְצָדוֹת סְלָעִים מִשְׂגַּבּוֹ לַחְמוֹ נִתָּן מֵימָיו
彼は 高き–所に 住む 岩の–砦が 岩の 砦である その–パンは 与えられる その–水は
H1931 H4791 H7931 H4679 H5553 H4869 H3899 H5414 H4325

נֶאֱמָנִים׃
確かである
H0539

このような人は高い所に住み、堅い岩はそのとりでとなり、そのパンは与えられ、その水は絶えることがない。

17 מֶלֶךְ בְּיָפְיוֹ תֶּחֱזֶינָה עֵינֶיךָ תִּרְאֶינָה אֶרֶץ מַרְחַקִּים׃
王を その–麗しさの–中に 見る あなたの–目は 見る 遠い–地を 遠い
H4428 H3308 H2372 H5869 H7200 H0776 H4801

あなたの目は麗しく飾った王を見、遠く広い国を見る。

18 לִבְּךָ תֶּהְגֶּה אֵימָה אַיֵּה סֹפֵר אַיֵּה שֹׁקֵל אַיֵּה סֹפֵר
あなたの–心は 思い–起こす 恐怖を どこに 数える–者は どこに 量る–者は どこに 数える–者は
H3820 H1897 H0367 H0346 H5608 H0346 H8254 H0346 H5608

אֶת־ הַמִּגְדָּלִים׃
〜を 塔を
H0853 H4026

あなたの心はかの恐ろしかった事を思い出す。「数を調べた者はどこにいるか。みつぎを量った者はどこにいるか。やぐらを数えた者はどこにいるか」。

19 אֶת־ עַם נוֹעָז מֵעַם עַמְקֵי שָׂפָה לֹא תִרְאֶה עַם נִלְעַג מִשְׁמוֹעַ לָשׁוֹן
〜を 横柄な–民を 横柄な 深い 言葉の 見ない 見ない 聞き–取れない どもる 舌の
H0853 H5971 H6012 H8193 H7200 H3808 H3267 H5971 H8085 H3956

אֵין בִּינָה׃
悟れない 悟れない
H0369 H0998

あなたはもはや高慢な民を見ない。かの民の言葉はあいまいで、聞きとりがたく、その舌はどもって、悟りがたい。

20 חֲזֵה צִיּוֹן קִרְיַת מוֹעֲדֵנוּ עֵינֶיךָ תִּרְאֶינָה יְרוּשָׁלַם נָוֶה
見よ シオンを 都を われらの–祭りの あなたの–目が 見る エルサレムを 住まいを
H2372 H6726 H7151 H4150 H5869 H7200 H3389 H5115

שַׁאֲנָן אֹהֶל בַּל־ יִצָּעֵן לְבַל־ יִסַּע יְתֵדֹתָיו לָנֶצַח וְכָל־
安らかな 天幕を 動かない 拝かれない 拝かれない その–杭は 永久に そして–すべての
H7600 H0168 H3808 H5265 H1077 H3489 H5331 H3605

חֲבָלָיו בַּל־ יִנָּתֵקוּ׃
その–綱は 切れない 切れない
H2256 H1077 H5423

定めの祭の町シオンを見よ。あなたの目は平和なすまい、移されることのない幕屋エルサレムを見る。その杭はとこしえに抜かれず、その綱は、ひとすじも断たれることはない。

21 כִּי־ אִם־ שָׁם יְהוָה אַדִּיר לָנוּ מְקוֹם־ נְהָרִים
そこで そこで なぜなら 主は 威光の-方である われらに-とって 場所となる 川の
H8033 H0117 H3068 H0117 H4725 H5104

יְאֹרִים רַחֲבֵי יָדָיִם בַּל־ תֵּלֶךְ בּוֹ לֹא שַׁיִט וְצִי אַדִּיר
運河の 広い 幅の そこを〜ない 行かない そこを 櫂の 船は 威光の
H2975 H7342 H3027 H1077 H3212 H0590 H7885 H6716 H0117

יַעַבְרֶנּוּ׃ לֹא
渡らない 渡らない
H3808

主は威厳をもってかしこにいまし、われわれのために広い川と流れのある所となり、その中には、こぐ舟も入らず、大きな船も過ぎることはない。

22 כִּי יְהוָה שֹׁפְטֵנוּ יְהוָה מְחֹקְקֵנוּ יְהוָה מַלְכֵּנוּ
なぜなら 主は われらの-裁き-主である 主は われらの-立法者である 主は われらの-王である
H3068 H8199 H3068 H2710 H3068 H4428

יוֹשִׁיעֵנוּ׃ הוּא
われらを-救う 主が
H3467 H1931

主はわれわれのさばき主、主はわれわれのつかさ、主はわれわれの王であって、われわれを救われる。

23 נִטְּשׁוּ חַבָּלַיִךְ בַּל־ יְחַזְּקוּ כֵּן־ תָּרְנָם
緩んだ お前の-綱は 支えられない 支えられない その-帆柱の-土台を その-帆柱を
H5203 H2388 H1077 H8650

בַּל־ פָּרְשׂוּ נֵס אָז חֻלַּק עַד־ שָׁלָל מְרֻבָּה
帆を-張れなかった 張れなかった 旗を その-とき 分けられた 多くの 戦利品が 多くの
H1077 H6566 H5251 H5706 H7998 H4766

בָּז׃ בָּזְזוּ פִּסְחִים
奪い-取った 奪い-取った 足の-不自由な-者も
H0957 H0962 H6455

あなたの船綱は解けて、帆柱のもとを結びかためることができず、帆を張ることもできない。その時多くの獲物とぶんどり品は分けられ、足なえまでも獲物を取る。

24 וּבַל־ יֹאמַר שָׁכֵן חָלִיתִי הָעָם הַיּוֹשֵׁב בָּהּ נִשָּׂא עָוֹן׃
そして〜ない 言わない 住む-者は 病んだと 民は 住む そこに 赦された 咎を
H1077 H0559 H7934 H2470 H5971 H3427 H8033 H5375 H5771

そこに住む者のうちには、「わたしは病気だ」と言う者はなく、そこに住む民はその罪がゆるされる。

Chapter 34

1 קִרְבוּ גּוֹיִם לִשְׁמֹעַ וּלְאֻמִּים הַקְשִׁיבוּ תִּשְׁמַע הָאָרֶץ
近づけ 諸国民よ 聞く-ために そして-もろもろの-民よ 耳を-傾けよ 聞け 地よ
H7126 H1471 H8085 H3816 H7181 H8085 H0776

וּמְלֹאָהּ תֵּבֵל וְכָל־ צֶאֱצָאֶיהָ׃
そして-その-満ちてる-ものよ 世界よ そして-すべての その-産み-出す-ものよ
H4393 H8398 H3605 H6631

もろもろの国よ、近づいて聞け。もろもろの民よ、耳を傾けよ。地とそれに満ちるもの、世界とそれから出るすべてのものよ、聞け。

2 כִּי קֶצֶף לַיהוָה עַל־כָּל־הַגּוֹיִם וְחֵמָה עַל־כָּל־צְבָאָם הֶחֱרִימָם נָתַן לַטֶּבַח׃
なぜなら 怒りが 主には-ある ～に-対して すべての 国々に そして-怒りが ～に-対して
H3068 H2534 H3605 H2874 H5414 H3605

主はすべての国にむかって怒り、そのすべての軍勢にむかって憤り、彼らをことごとく滅ぼし、彼らをわたして、ほふらせられた。

3 וְחַלְלֵיהֶם יֻשְׁלָכוּ וּפִגְרֵיהֶם יַעֲלֶה בָאְשָׁם וְנָמַסּוּ הָרִים מִדָּמָם׃
そして-その-殺された-者は 投げ-捨てられる そして-その-死体から 立ち-上る その-悪臭が その-血で 山々は そして-溶ける
H7993 H6297 H5927 H0889 H1818 H2022 H4549

彼らは殺されて投げすてられ、その死体の悪臭は立ちのぼり、山々はその血で溶けて流れる。

4 וְנָמַקּוּ כָּל־צְבָא הַשָּׁמַיִם וְנָגְלוּ כַסֵּפֶר הַשָּׁמָיִם וְכָל־צְבָאָם יִבּוֹל כִּנְבָל עָלֶה וְכִנֹּבֶלֶת מִגֶּפֶן וְכִנֹּבֶלֶת מִתְאֵנָה׃
そして-溶ける そして-すべての 軍勢は 天の 巻物の-ように そして-巻かれる 天は そして-すべての 散る 葉が ぶどうの-木から そして-散る-ように いちじくの-木から
H4743 H3605 H6635 H8064 H1556 H8064 H8064

天の万象は衰え、もろもろの天は巻物のように巻かれ、その万象はぶどうの木から葉の落ちるように、いちじくの木から葉の落ちるように落ちる。

5 כִּי־רָוְתָה בַשָּׁמַיִם חַרְבִּי הִנֵּה עַל־אֱדוֹם תֵּרֵד וְעַל־עַם חֶרְמִי לְמִשְׁפָּט׃
なぜなら 満たされた 天で わたしの-剣が 見よ ～の-上に 下る そして～の-上に 民の-上に 裁きの-ために
H7301 H8064 H2719 H2009 H0123 H3381 H4941

わたしのつるぎは天において憤りをもって酔った。見よ、これはエドムの上にくだり、わたしが滅びに定めた民の上にくだって、これをさばく。

6 חֶרֶב לַיהוָה מָלְאָה דָם הִדַּשְׁנָה מֵחֶלֶב מִדַּם כָּרִים וְעַתּוּדִים מֵחֶלְיַת כִּלְיוֹת אֵילִים כִּי זֶבַח לַיהוָה בָּבְצְרָה וָטֶבַח גְּדוֹל בְּאֶרֶץ אֱדוֹם׃
剣が 主の 満たされた 血で 滞っている 脂肪で 小羊の-血で 小羊の そして-山羊の 雄羊の 腎臓の 脂肪で 雄羊の-脂肪で いけにえが 主に ボツラで そして-大虐殺が 大きな エドムの-地で
H2719 H3068 H4390 H1818 H1878 H2459 H1818 H3733 H6260 H0352 H3629 H2459 H2077 H3068 H1224 H2874 H1419 H0123 H0776

主のつるぎは血で満ち、脂肪で肥え、小羊とやぎの血、雄羊の腎臓の脂肪で肥えている。主がボズラで犠牲の獣をほふり、エドムの地で大いに殺されたからである。

7 וְיָרְדוּ רְאֵמִים עִמָּם וּפָרִים עִם־אַבִּירִים וְרָוְתָה
そして-倒れる 野牛が 彼らと-共に そして-若い-牛が 強い-牛と そして-満たされる
H3381 H7214 H6083 H6499 H0047 H7301

אַרְצָם מִדָּם וַעֲפָרָם מֵחֶלֶב יִדֶּשֶׁן׃
その-地は 血で そして-その-土は 脂肪で 滞る
H0776 H1818 H6083 H2459 H1878

野牛は彼らと共にほふり場にくだり、子牛は力ある雄牛と共にくだる。その国は血で酔い、その土は脂肪で肥やされる。

8 כִּי יוֹם נָקָם לַיהוָה שְׁנַת שִׁלּוּמִים לְרִיב צִיּוֹן׃
なぜなら 復讐の-日である 復讐の 主の 年である 報復の ～の-ための シオンの
H3117 H5359 H3068 H8141 H7966 H7379 H6726

主はあだをかえす日をもち、シオンの訴えのために報いられる年をもたれるからである。

9 וְנֶהְפְּכוּ נְחָלֶיהָ לְזֶפֶת וַעֲפָרָהּ לִגְפְרִית וְהָיְתָה אַרְצָהּ
その-川は 濃青に そして-その-土は 硫黄に なる その-地は
H2203 H6083 H1614 H1961 H0776

לְזֶפֶת בֹּעֵרָה׃
燃える 燃える-濃青と
H2203

エドムのもろもろの川は変って樹脂となり、その土は変って硫黄となり、その地は変って燃える樹脂となって、

10 לַיְלָה וְיוֹמָם לְעוֹלָם תִּכְבֶּה לָא תִכְבֶּה עַשְׁנָהּ מִדֹּור לְדֹור תֶּחֱרָב
夜も 昼も そして-昼も 消えない 消えない 永遠に 立ち-上る その-煙は 代から 代へと 荒れる
H3915 H3119 H3808 H3518 H5769 H5927 H6227 H1755 H1755 H2717

לָנֶצַח נְצָחִים אֵין עֹבֵר בָּהּ׃
永久に 永久に いない 通る-者は そこを
H5331 H5331 H0369

夜も昼も消えず、その煙は、とこしえに立ちのぼる。これは世々荒れすたれて、とこしえまでもそこを通る者はない。

11 וְיָרְשׁוּהָ קָאַת וְקִפֹּוד וְיַנְשׁוֹף וְעֹרֵב יִשְׁכְּנוּ־בָהּ
そして-受け-継ぐ ペリカンと そして-はりねずみと そして-ふくろうと そして-からすが 住む そこに
H3423 H6893 H7090 H3244 H6158 H7931 H1931

וְנָטָה עָלֶיהָ קַו־תֹּהוּ וְאַבְנֵי־בֹהוּ׃
そして-張られる その-上に 測り-縄が 混沌の そして-おもりが 空虚の
H5186 H5921 H6957 H8414 H0068 H0922

たかと、やまあらしとがそこをすみかとし、ふくろうと、からすがそこに住む。主はその上に荒廃をきたらせる測りなわを張り、尊い人々の上に混乱を起す下げ振りをさげられる。

12 שָׂרֶיהָ וְכָל־קָרָאוּ מְלוּכָה שָׁם וְאֵין־חֹרֶיהָ
その-宰相たちは そして-すべての 呼ぶべき 王国が そこには そして-いない その-貴族たちよ
H8269 H3605 H7121 H4410 H8033 H0369 H2715

אָפֶס׃ יִהְיוּ
無に なる
H1961

人々はこれを名づけて「国なき所」といい、その君たちは皆うせてなくなる。

13 וְהָיְתָה֙ בְּמִבְצָרֶ֔יהָ וָחוֹחַ֙ קִמּ֣וֹשׂ סִירִ֔ים אַרְמְנוֹתֶ֖יהָ וְעָלְתָ֑ה
そして–なる その–砦に そして–野ばらが あざみと いばらが その–宮殿に そして–生える
H1961 H4013 H2336 H7057 H0759 H5927

יַעֲנָֽה׃ לִבְנ֥וֹת חָצִ֖יר תַּנִּ֥ים נָוֶֽה׃
だちょうの 娘たちの–ための 草地と ジャッカルの 住まいと
H3284 H1323 H2681

そのとりでの上には、いばらが生え、その城には、いらくさと、あざみとが生え、山犬のすみか、だちょうのおる所となる。

14 וּפָגְשׁ֣וּ צִיִּ֔ים אֶת־אִיִּ֖ים וְשָׂעִ֣יר עַל־רֵעֵ֑הוּ אַ֥ךְ שָׁ֙מָּה֙ יִקְרָ֔א
呼ぶ その–仲間に ～の–上で そして–雄山羊が 海の–獣と ～と 荒野の–獣が そして–出会う
H7121 H7453 H0338 H0853 H6728 H6298

מָנ֖וֹחַ׃ לָ֑הּ וּמָצְאָ֥ה לִילִ֛ית הִרְגִּ֥יעָה שָּׁ֖מָּה אַךְ־
憩いの–場を 自分に そして–見つける リリトは 休む そこに ただそこに
H4494 H4672 H3917 H8033 H0389

野の獣はハイエナと出会い、鬼神はその友を呼び、夜の魔女もそこに降りてきて、休み所を得る。

15 בִּצְלָ֔הּ וְדָגְרָ֣ה וּבָקְעָ֔ה וַתְּמַלֵּ֖ט קִפּ֣וֹז קִנָּ֑הּ שָׁ֖מָּה
その–影の–中で そして–抱く そして–卵を–かえし そして–産み 矢蛇が 巣を–作る そこに
H6738 H1716 H1234 H4422 H7091 H7077 H8033

רֵעוּתָֽהּ׃ אִשָּׁ֥ה דַיּ֛וֹת נִקְבְּצ֥וּ שָׁ֖ם אַךְ־
その–仲間と それぞれ 鶏が 集まる そこに ただそこに
H7468 H0802 H1772 H6908 H8033 H0389

ふくろうはそこに巣をつくって卵を産み、それをかえして、そのひなを翼の陰に集める。とびもまた、おのおのその連れ合いと共に、そこに集まる。

16 דִּרְשׁ֣וּ מֵעַ֣ל־סֵ֔פֶר יְהוָ֖ה וְקִרְא֑וּ אַחַ֥ת מֵהֵ֙נָּה֙ לֹ֣א
探せ ～の–中から 書物の 主の そして–読め 一つも それらの–中から 欠けていない
H1875 H3068 H7121 H0259 H2007 H3808

נֶעְדָּ֣רָה אִשָּׁ֔ה רֵעוּתָ֖הּ פָּקְד֑וּ לֹ֣א כִּי־ פִ֥יהוּא֙ צִוָּ֔ה
欠けていない それぞれ その–仲間を 欠かない 欠かない なぜなら わたしの–口が それが 命じた
H0802 H7468 H3808 H6908 H6310 H1931 H6680

קִבְּצָֽן׃ הִ֖וא וְרוּח֥וֹ
集めた それが そして–その–霊が
H6908 H1931 H7307

あなたがたは主の書をつまびらかにたずねて、これを読め。これらのものは一つも欠けることなく、また一つもその連れ合いを欠くものはない。これは主の口がこれを命じ、その霊が彼らを集められたからである。

17 לָהֶ֔ם חִלְּקָ֥ה יָד֛וֹ נוֹרָ֖ל לָהֶ֑ן הִפִּ֣יל וְה֥וּא־
それらに 分けた そして–その–手が くじを それらの–ために 投げた そして–その–方が
H1992 H3027 H1486 H1992 H5307 H1931

ס בָּ֔הּ׃ יִשְׁכְּנ֣וּ־ וָדֹ֖ור לְדֹ֑ור יִֽירְשׁ֥וּהָ עוֹלָ֛ם עַד־ בַּקָּ֥ו
— そこに 住む そして–代へと 代から 受け–継ぐ 永遠に 永遠に 測り–縄で
H7931 H1755 H1755 H3423 H5769 H5704 H6957

主は彼らのためにくじを引き、手ずから測りなわをもって、この地を分け与え、長く彼らに所有させ、世々ここに住まわせられる。

Chapter 35

1 יִשְׂשׂוֹם מִדְבָּר וְתָגֵל עֲרָבָה וְצִיָּה וְתִפְרַח כַּחֲבַצָּלֶת׃
喜ぶ 荒野は そして–喜び踊る 砂漠は そして–花を–咲かせる ゆりの–ように
H7797 H6723 H1523 H6160 H6723 H2261

荒野と、かわいた地とは楽しみ、さばくは喜びて花咲き、さふらんのように、

2 פָּרֹחַ תִּפְרַח וְתָגֵל אַף גִּילַת וְרַנֵּן כְּבוֹד הַלְּבָנוֹן
豊かに 花を–咲かせ そして–喜び まことに 喜びと 歌声を–もって 栄光が レバノンの
H6524 H6524 H1523 H0637 H1525 H7442 H3519 H3844

נִתַּן־ לָהּ הֲדַר כַּרְמֶל וְהַשָּׁרוֹן הֵמָּה יִרְאוּ כְּבוֹד־ יְהוָה הֲדַר
与えられた それに 威厳が カルメルと シャロンの 彼らは 見る 栄光を 主の 威厳を
H5414 H0 H1926 H3760 H8289 H1992 H7200 H3519 H3068 H1926

ס אֱלֹהֵינוּ׃
— 私たちの–神の
H0430

さかんに花咲き、かつ喜び楽しみ、かつ歌う。これにレバノンの栄えが与えられ、カルメルおよびシャロンの麗しさが与えられる。彼らは主の栄光を見、われわれの神の麗しさを見る。

3 חַזְּקוּ יָדַיִם רָפוֹת וּבִרְכַּיִם כֹּשְׁלוֹת אַמְּצוּ׃
強くせよ 手を 弱い そして–膝を よろめく 堅くせよ
H2388 H3027 H7504 H1290 H3782 H0553

あなたがたは弱った手を強くし、よろめくひざを健やかにせよ。

4 אִמְרוּ לִנְמְהַרֵי־ לֵב חִזְקוּ אַל־ תִּירָאוּ הִנֵּה אֱלֹהֵיכֶם נָקָם
言え 心の–急ぐ 者たちに 強くなれ するな 恐れては 見よ あなたがたの–神が 復讐を–もって
H0559 H4116 H3820 H2388 H0408 H3372 H2009 H0430 H5359

יָבוֹא הוּא אֱלֹהִים גְּמוּל יָבוֹא וְיֹשִׁעֲכֶם׃
来られる その方が 神の 報い–をもって 来て あなたがたを–救う
H0935 H1931 H0430 H1576 H0935 H3467

心おののく者に言え、「強くあれ、恐れてはならない。見よ、あなたがたの神は報復をもって臨み、神の報いをもってこられる。神は来て、あなたがたを救われる」と。

5 אָז תִּפָּקַחְנָה עֵינֵי עִוְרִים וְאָזְנֵי חֵרְשִׁים תִּפָּתַחְנָה׃
その–時 開かれる 目が 盲人の そして–耳が 聞こえない–者の 開かれる
H6491 H5787 H0241 H2795

その時、目しいの目は開かれ、耳しいの耳はあけられる。

6 אָז יְדַלֶּג כָּאַיָּל פִּסֵּחַ וְתָרֹן לְשׁוֹן אִלֵּם
その–時 跳ぶ 鹿の–ように 足の–不自由な–者は そして–喜び歌う 舌が 口の–きけない–者の
H1801 H0354 H6455 H7442 H3956 H0483

כִּי־ נִבְקְעוּ בַמִּדְבָּר מַיִם וְנַחֲלִים בָּעֲרָבָה׃
なぜなら 湧き出る 荒野に 水が そして–川が 砂漠に
H1234 H0 H4325 H5158 H6160

その時、足なえは、しかのように飛び走り、おしの舌は喜び歌う。それは荒野に水がわきいで、さばくに川が流れるからである。

7

תַּנִּים	בִּנְוֵה	מָיִם	לְמַבּוּעֵי	וְצִמָּאוֹן	לַאֲגַם	הַשָּׁרָב	וְהָיָה
ジャッカルの	住みかに	なる	水の-泉と	乾いた-地は	池と	蜃気楼は	そして-なる
		H4325	H4002	H6774	H0098	H8273	H1961

וָגֹמֶא׃	לְקָנֶה	חָצִיר	רִבְצָהּ
パピルスが-生える	葦と	草と	その-休む-所に
H1573	H7070		H7258

焼けた砂は池となり、かわいた地は水の源となり、山犬の伏したすみかは、葦、よしの茂りあう所となる。

8

יַעַבְרֻנּוּ	לֹא־	לָהּ	יִקָּרֵא	הַקֹּדֶשׁ	וְדֶרֶךְ	וָדֶרֶךְ	מִסְלוּל	שָׁם	וְהָיָה־
通らない	ない	それは	呼ばれる	聖なる-道と	その-道は	道が	大路と	そこに	そして-ある
	H3808		H7121	H6944	H1870	H1870	H4547	H8033	H1961

יִתְעוּ׃	לֹא	וֱאִוִלִים	דָּרְךְ	הֹלֵךְ	לָמוֹ	וְהוּא־	טָמֵא
迷わない	ない	愚か者も	その-道を	歩く-者が	彼らの-ためである	それは	汚れた-者は
H8582	H3808	H0191	H1870	H1980		H1931	H2931

そこに大路があり、その道は聖なる道ととなえられる。汚れた者はこれを通り過ぎることはできない、愚かなる者はそこに迷い入ることはない。

9

תִּמָּצֵא	לֹא	יַעֲלֶנָּה	בָּל־	חַיּוֹת	וּפֶרֶץ	אַרְיֵה	שָׁם	יִהְיֶה	לֹא־
見つからない	ない	上って-来ない	ない	獣は	そして-猛獣も	獅子は	そこに	いない	ない
H4672	H3808	H5927	H1077		H6530		H8033	H1961	H3808

גְּאוּלִים׃	וְהָלְכוּ	שָׁם
贖われた-者たちが	そして-歩む	そこには
	H1980	H8033

そこには、ししはおらず、飢えた獣も、その道にのぼることはなく、その所でこれに会うことはない。ただ、あがなわれた者のみ、そこを歩む。

10

בְּרִנָּה	צִיּוֹן	וּבָאוּ	יְשֻׁבוּן	יְהוָה	וּפְדוּיֵי	
喜びの-歌と-ともに	シオンに	そして-来る	帰って-来る	主に	そして-贖われた-者たちは	
H7440	H6726	H0935	H7725	H3068	H6299	

יָגוֹן	וְנָסוּ	יַשִּׂיגוּ	וְשִׂמְחָה	שָׂשׂוֹן	רֹאשָׁם	עַל־	עוֹלָם	וְשִׂמְחַת
嘆きと	そして-逃げ去る	得る	喜びを	楽しみと	頭の-上に	その	永遠の	とこしえの-喜びが
H3015	H5127	H5381	H8057	H8342			H5769	H8057

וַאֲנָחָה׃	פ
悲しみは	—
H0585	

主にあがなわれた者は帰ってきて、その頭に、とこしえの喜びをいただき、歌うたいつつ、シオンに来る。彼らは楽しみと喜びとを得、悲しみと嘆きとは逃げ去る。

Chapter 36

1

סַנְחֵרִיב	עָלָה	חִזְקִיָּהוּ	לַמֶּלֶךְ	שְׁנַת	עֶשְׂרֵה	בְּאַרְבַּע	וַיְהִי	
センナケリブが	上って-来た	ヒゼキヤの	王	年に	の	第十四	そして-あった	
H5576	H5927	H2396	H4428	H8141	H6240	H0702	H1961	

הַבְּצֻרוֹת	יְהוּדָה	עָרֵי	כָּל־	עַל	אַשּׁוּר	מֶלֶךְ־
城壁の-ある	ユダの	町々を	すべての	に-向かって	アッシリヤの	王-すなわち
H1219	H3063		H3605		H0804	H4428

וַיִּתְפְּשֵׂם׃	
そして-それらを-取った	
H8610	

ヒゼキヤ王の第十四年に、アッスリヤの王セナケリブが上ってきて、ユダのすべての堅固な町々を攻め取った。

2 וַיִּשְׁלַח מֶלֶךְ־אַשּׁוּר אֶת־רַב שָׁקֵה מִלָּכִישׁ יְרוּשָׁלַ͏ִם
そして-遣わした 王-すなわち アッシリヤが を ラブ・ シャケを ラキシュから エルサレムへ
H7971 H4428 H0804 H0853 H7262 H7262 H3923 H3389

אֶל־הַמֶּלֶךְ חִזְקִיָּהוּ בְּחַיִל כָּבֵד וַיַּעֲמֹד בִּתְעָלַת
に-向かって 王 ヒゼキヤの-もとに 大いなる 軍勢を-率いて そして-彼は-立った 水路の-そばに
H0413 H4428 H2396 H2426 H3515 H5975 H8

הַבְּרֵכָה הָעֶלְיוֹנָה בִּמְסִלַּת שְׂדֵה כוֹבֵס׃
池の 上の 大路に 布さらし場の 野の
H1295 H4546 H7704 H3526

アッスリヤの王はラキシからラブシャケをエルサレムにつかわし、大軍を率いてヒゼキヤ王のもとへ行かせた。ラブシャケは布さらしの野へ行く大路に沿う、上の池の水道のかたわらに立った。

3 וַיֵּצֵא אֲלֵיהֶם אֶלְיָקִים בֶּן־חִלְקִיָּהוּ אֲשֶׁר עַל־הַבָּיִת וְשֶׁבְנָא הַסֹּפֵר וְיוֹאָח בֶּן־אָסָף הַמַּזְכִּיר׃
そして-出て-来た 彼に-向かって エルヤキムと 子-すなわち ヒルキヤの 彼は を-管理する 宮殿 そして-シェブナ 書記官と そして-ヨアフ 子-すなわち アサフの 記録官が
H3318 H0413 H0471 H1121 H2518 H0834 H5921 H1004 H7644 H5608 H3098 H1121 H0623 H2142

この時ヒルキヤの子である宮内卿エリアキム、書記官セブナおよびアサフの子である史官ヨアが彼の所に出てきた。

4 וַיֹּאמֶר לָהֶם רַב־שָׁקֵה אִמְרוּ־נָא אֶל־חִזְקִיָּהוּ כֹּה־אָמַר הַמֶּלֶךְ הַגָּדוֹל מֶלֶךְ אַשּׁוּר מָה הַבִּטָּחוֹן הַזֶּה אֲשֶׁר בָּטָחְתָּ׃
そして-言った 彼らに ラブ・ シャケは 言え どうか に ヒゼキヤに このように 言う
H0559 H0413 H7262 H7262 H4994 H0413 H2396 H3541 H0559

王-すなわち 大いなる 王 アッシリヤの 何が 頼みの-綱 この であるか おまえが-頼む
H4428 H1419 H4428 H804 H4100 H0986 H2088 H0834 H0982

ラブシャケは彼らに言った、「ヒゼキヤに言いなさい、『大王アッスリヤの王はこう仰せられる、あなたが頼みとする者は何か。

5 אָמַרְתִּי אַךְ־דְּבַר שִׂפְתַיִם עֵצָה וּגְבוּרָה לַמִּלְחָמָה עַתָּה עַל־מִי בָטָחְתָּ כִּי מָרַדְתָּ בִּי׃
私は-言う ただの 言葉だけの 策略と 力は 戦いの-ためか 今 に 誰 私に それで 頼っている-のか 反逆した-のか
H0559 H0389 H1697 H8193 H6098 H1369 H4421 H6258 H5921 H4310 H0982 H4775

口先だけの言葉が戦争をする計略と力だと考えるのか。あなたは今だれを頼んで、わたしにそむいたのか。

6 הִנֵּה בָטַחְתָּ לְךָ עַל־מִשְׁעֶנֶת הַקָּנֶה הָרָצוּץ הַזֶּה עַל־מִצְרַיִם אֲשֶׁר
見よ 頼んだ おまえは-頼んだ に 杖-すなわち 葦の 砕けた この すなわち エジプトに それは
H2009 H0982 H5921 H4938 H7070 H7533 H2088 H5921 H4714 H834

יִסְמַךְ אִישׁ וּבָא עָלָיו וְנִקְּבָה כֵּן פַּרְעֹה וּבְכַפּוֹ עַל־כָּל־הַבֹּטְחִים עָלָיו׃
寄り-かかる 人が そして-入る それに そして-突き-刺す そのように ファラオは その-手に 頼る-者に-とって 彼に すべての エジプトの 王-すなわち
H5564 H376 H935 H5921 H5344 H3651 H6547 H3709 H5921 H3605 H4714 H4428

見よ、あなたはかの折れかけている葦のつえエジプトを頼みとしているが、それは人が寄りかかるとき、その人の手を刺し通す。エジプトの王パロはすべて寄り頼む者にそのようにするのだ。

7	וְכִי־	תֹאמַר	אֵלַי	אֶל־	יְהוָה	אֱלֹהֵינוּ	בָּטָחְנוּ	הֲלוֹא־
	もし	おまえが–言うなら	私に	に	主	私たちの–神に	頼みます–と	それは–ないか
		H0559	H0413	H0413	H3068	H0430	H0982	H3808

וַיֹּאמֶר	מִזְבְּחֹתָיו	וְאֶת־	בָּמֹתָיו	אֶת־	חִזְקִיָּהוּ	הֵסִיר	אֲשֶׁר	הוּא
そして–言った	祭壇を	の	高き所と	の	ヒゼキヤが	取り–除いた	その	その–方は
H0559	H4196	H0853	H1116	H0853	H2396	H5493		H1931

תִּשְׁתַּחֲווּ׃	הַזֶּה	הַמִּזְבֵּחַ	לִפְנֵי	וְלִירוּשָׁלִַם	לִיהוּדָה׀
礼拝せよ–と	この	祭壇の	前で	エルサレムに	ユダと
H7812	H2088	H4196	H6440	H3389	H3063

しかし、あなたがもし「われわれはわれわれの神、主を頼む」とわたしに言うならば、ヒゼキヤがユダとエルサレムに告げて、「あなたがたはこの祭壇の前で礼拝しなければならない」と言って除いたのは、その神の高き所と祭壇ではなかったのか。

8	וְעַתָּה	הִתְעָרֵב	נָא	אֶת־	אֲדֹנִי	הַמֶּלֶךְ	אַשּׁוּר	וְאֶתְּנָה
	さあ–今	賭けを–せよ	どうか	と	わが主人	王–すなわち	アッシリヤの	そうすれば–与えよう
	H6258	H6148	H4994	H0854	H0113	H4428	H0804	H5414

לְךָ	אַלְפַּיִם	סוּסִים	אִם־	תּוּכַל	לָתֶת	לְךָ	רֹכְבִים	עֲלֵיהֶם׃
おまえに	二千の	馬を	もし	できるなら	つける–ことが	おまえが	騎手を	それらに
	H0505			H3201	H5414		H7392	

さあ、今わたしの主君アッスリヤの王とかけをせよ。もしあなたの方に乗る人があるならば、わたしは馬二千頭を与えよう。

9	וְאֵיךְ	תָּשִׁיב	אֶת	פְּנֵי	פַּחַת	אַחַד	עַבְדֵי
	それなのに–どうして	退ける–ことが–できるか	を	顔を	総督の	一人の	しもべたちの
		H7725	H0853	H6440	H6346	H0259	H5650

וּלְפָרָשִׁים׃	לְרֶכֶב	מִצְרַיִם	עַל־	לְךָ	וַתִּבְטַח	הַקְּטַנִּים	אֲדֹנִי
騎兵を–求めて	戦車と	エジプトに	に	おまえは	そして–頼む–のか	最も–小さい	わが主人の
	H7393	H4714			H0982		H0113

あなたはエジプトを頼み、戦車と騎兵を請い求めているが、わたしの主君の家来のうちの最も小さい一隊長でさえ、どうして撃退することができようか。

10	וְעַתָּה	הֲמִבַּלְעֲדֵי	יְהוָה	עָלִיתִי	עַל־	הָאָרֶץ	הַזֹּאת	לְהַשְׁחִיתָהּ
	さあ–今	主なしに	主	上って–来た–のか	に–向かって	地の	この	それを–滅ぼすために
	H6258	H1107	H3068	H5927		H0776	H2063	H7843

וְהַשְׁחִיתָהּ׃	הַזֹּאת	הָאָרֶץ	אֶל־	עֲלֵה	אֵלַי	אָמַר	יְהוָה׀
そして–滅ぼせ–と	この	地の	に–向かって	上れ	私に	言われた	主が
H7843	H2063	H0776	H0413	H5927	H0413	H0559	H3068

わたしがこの国を滅ぼすために上ってきたのは、主の許しなしでしたことであろうか。主はわたしに、この国へ攻め上って、これを滅ぼせと言われたのだ』」。

11

דַּבֶּר־	שָׁקֹה	רַב־	אֶל־	וְיוֹאָח	וְשֶׁבְנָא	אֶלְיָקִים	וַיֹּאמֶר
話して–ください	シャケに	ラブ・	に	ヨアフは	シェブナと	エルヤキムと	そして–言った
H1696	H7262	H7262	H0413	H3098	H7644	H0471	H0559

תְּדַבֵּר	וְאַל־	אֲנַחְנוּ	שֹׁמְעִים	כִּי	אֲרָמִית	עַבְדֶּיךָ	אֶל־	נָא
話さ	しないで–ください	私たちは	理解します	なぜなら	アラム語で	しもべたちに	に	どうか
H1696	H0408	H0587	H8085		H0762	H5650	H0413	H4994

הַחוֹמָה׃	עַל־	אֲשֶׁר	הָעָם	בְּאָזְנֵי	יְהוּדִית	אֵלֵינוּ
城壁	の–上の	その	民の	耳に–入るように	ユダの–言葉で	私たちに
H2346				H0241	H3066	H0413

その時、エリアキム、セブナおよびヨアはラブシャケに言った、「どうぞ、アラム語でしもべたちに話してください。わたしたちはそれがわかるからです。城壁の上にいる民の聞いているところで、わたしたちにユダヤの言葉で話さないでください」。

12

אֲדֹנָי	שְׁלָחַנִי	וְאֵלֶיךָ	אֲדֹנֶיךָ	הַאֶל	שָׁקֹה	רַב־	וַיֹּאמֶר
わが主人は	遣わした–のか	おまえに	おまえの–主人と	に	シャケは	ラブ・	そして–言った
H0113	H7971	H0413	H0113	H0413	H7262	H7262	H0559

עַל־	הַיֹּשְׁבִים	הָאֲנָשִׁים	עַל־	הֲלֹא	הָאֵלֶּה	הַדְּבָרִים	אֶת־	לְדַבֵּר
の–上に	座っている	人々に	に–向かって	ではない	これらの	言葉を	の	語る–ために
	H3427	H0376		H3808	H0428	H1697	H0853	H1696

שיניהם]	אֶת־	וְלִשְׁתּוֹת	צוֹאָתָם)	חראיהם]	אֶת־	לֶאֱכֹל	הַחוֹמָה
彼らの–小水を	を	そして–飲む–ため	彼らの–糞を	彼らの–汚物を	を	食べる–ため	城壁
H7890	H0853	H8354	H6675	H2716	H0853	H0398	H2346

עִמָּכֶם׃	רַגְלֵיהֶם)	מֵימֵי)
おまえたちと–共に	水を	彼らの–足の
	H7272	H4325

しかしラブシャケは言った、「わたしの主君は、あなたの主君とあなたにだけでなく、城壁の上に座している人々にも、この言葉を告げるために、わたしをつかわされたのではないか。彼らをも、あなたがたと共に自分の糞尿を食い飲みするに至らせるためではないか」。

13

וַיֹּאמֶר	יְהוּדִית	גָּדוֹל	בְּקוֹל־	וַיִּקְרָא	שָׁקֹה	רַב־	וַיַּעֲמֹד
そして–言った	ユダの–言葉で	声で	大きな	そして–叫んだ	シャケは	ラブ・	そして–立った
H0559	H3066			H7121	H7262	H7262	H5975

אַשּׁוּר׃	מֶלֶךְ	הַגָּדוֹל	הַמֶּלֶךְ	דִּבְרֵי	אֶת־	שִׁמְעוּ
アッシリヤの	王–すなわち	大いなる	王の	言葉を	を	聞け
H0804	H4428		H4428	H1697	H0853	H8085

そしてラブシャケは立ちあがり、ユダヤの言葉で大声に呼ばわって言った、「大王、アッスリヤの王の言葉を聞け。

14

לֹא־	כִּי	חִזְקִיָּהוּ	לָכֶם	יַשֵּׁא	אַל־	הַמֶּלֶךְ	אָמַר	כֹּה
ない	なぜなら	ヒゼキヤに	おまえたちを	欺かれては	するな	王は	言う	このように
H3808		H2396		H5377	H0408	H4428	H0559	H3541

אֶתְכֶם׃	לְהַצִּיל	יוּכַל
おまえたちを	救い–出す–ことは	できない
H0853	H5337	H3201

王はこう仰せられる、『あなたがたはヒゼキヤに欺かれてはならない。彼はあなたがたを救い出すことはできない。

15

יַצִּילֵנוּ	הַצֹּל	לֵאמֹר	יְהוָה	אֶל־	חִזְקִיָּהוּ	אֶתְכֶם	יַבְטַח	וְאַל־
救って–くださる	必ず	言って	主	に–向かって	ヒゼキヤが	おまえたちに	信頼	させるな
H5337	H5337	H0559	H3068	H0413	H2396	H0853	H0982	H0408

אַשּׁוּר׃	מֶלֶךְ	בְּיַד	הַזֹּאת	הָעִיר	תִּנָּתֵן	לֹא	יְהוָה
アッシリヤの	王の	手に	この	町は	渡されない	ない	主が
H0804	H4428	H3027	H2063		H5414	H3808	H3068

ヒゼキヤが、主は必ずわれわれを救い出される。この町はアッスリヤの王の手に陥ることはない、と言っても、あなたがたは主を頼みとしてはならない』。

16

הַמֶּלֶךְ	אָמַר	כֹּה	כִּי	ס	חִזְקִיָּהוּ	אֶל־	תִּשְׁמְעוּ	אַל־
王–すなわち	言う	このように	なぜなら	—	ヒゼキヤの–言葉を	に	聞いては	するな
H4428	H0559	H3541			H2396	H0413	H8085	H0408

אִישׁ־	וְאִכְלוּ	אֵלַי	וּצְאוּ	בְּרָכָה	אִתִּי	עֲשׂוּ־	אַשּׁוּר
各自の	そして–食べよ	私の–もとに	そして–出て–来い	祝福を	私と	和を–結べ	アッシリヤの
H0376	H0398	H0413	H3318	H1293	H0854		H0804

בּוֹרוֹ׃	מֵי־	אִישׁ	וּשְׁתוּ	תְּאֵנָתוֹ	וְאִישׁ	גַּפְנוֹ
井戸の	水を	各自の	そして–飲め	いちじくの–木を	そして–各自の	ぶどうの–木を
	H4325	H0376	H8354	H8384	H0376	H1612

あなたがたはヒゼキヤの言葉を聞いてはならない。アッスリヤの王はこう仰せられる、『あなたがたは、わたしと和ぼくして、わたしに降服せよ。そうすれば、あなたがたはめいめい自分のぶどうの実を食べ、めいめい自分のいちじくの実を食べ、めいめい自分の井戸の水を飲むことができる。

17

כְּאַרְצְכֶם	אֶרֶץ	אֶל־	אֶתְכֶם	וְלָקַחְתִּי	בֹּאִי	עַד־
おまえたちの–地の–ような	地–に	に	おまえたちを	そして–連れて–行く	私が–来る	まで
H0776	H0776	H0413	H0853	H3947	H0935	H5704

וּכְרָמִים׃	לֶחֶם	אֶרֶץ	וְתִירוֹשׁ	דָּגָן	אֶרֶץ
ぶどう畑の	パンと	地–すなわち	新しい–ぶどう酒の	穀物と	地–すなわち
H3754	H3899	H0776	H8492	H1715	H0776

やがて、わたしが来て、あなたがたを一つの国へ連れて行く。それは、あなたがたの国のように穀物とぶどう酒の多い地、パンとぶどう畑の多い地だ。

18

יַצִּילֵנוּ	יְהוָה	לֵאמֹר	חִזְקִיָּהוּ	אֶתְכֶם	יַסִּית	פֶּן־
救って–くださる–と	主が	言って	ヒゼキヤに	おまえたちを	惑わされるな	そそのかされるな
H5337	H3068	H0559	H2396	H0853	H5496	H6435

אַשּׁוּר׃	מֶלֶךְ	מִיַּד	אַרְצוֹ	אֶת־	אִישׁ	הַגּוֹיִם	אֱלֹהֵי	הַהִצִּילוּ
アッシリヤの	王の	手から	地を	の	各自の	国々の	神々は	救った–のか
H0804	H4428	H3027	H0776	H0853	H0376		H0430	H5337

ヒゼキヤが、主はわれわれを救われる、と言って、あなたがたを惑わすことのないように気をつけよ。もろもろの国の神々のうち、どの神がその国をアッスリヤの王の手から救ったか。

19

וְכִי־	סְפַרְוַיִם	אֱלֹהֵי	אַיֵּה	וְאַרְפָּד	חֲמָת	אֱלֹהֵי	אַיֵּה
そして	セファルワイムの	神々は	どこに–いるのか	アルパデの	ハマテと	神々は	どこに–いるのか
	H5617	H0430	H0346	H0774	H2574	H0430	H0346

מִיָּדִי׃	שֹׁמְרוֹן	אֶת־	הִצִּילוּ
私の–手から	サマリヤを	を	救った–のか
H3027	H8111	H0853	H5337

ハマテやアルパデの神々はどこにいるか。セパルワイムの神々はどこにいるか。彼らはサマリヤをわたしの手から救い出したか。

מִיָּדִי
私の–手から
H3027

אַרְצָם
その–地を
H0776

אֶת־
を
H0853

הִצִּילוּ
救った–のか
H5337

אֲשֶׁר־
中で
H0428

הָאֵלֶּה
これらの
H0428

הָאֲרָצוֹת
地の
H0776

אֱלֹהֵי
神々の
H0430

כָּל־
すべての
H3605

מִי
誰が
H4310

20

מִיָּדִי׃
私の–手から
H3027

יְרוּשָׁלִַם
エルサレムを
H3389

אֶת־
を
H0853

יְהוָה
主が
H3068

יַצִּיל
救える–のか
H5337

כִּי־
それなのに

これらの国々のすべての神々のうちに、だれかその国をわたしの手から救い出した者があるか。主がどうしてエルサレムをわたしの手から救い出すことができよう』」。

לֵאמֹר
言って
H0559

הֱיֵה
であった
H1931

הַמֶּלֶךְ
王の
H4428

מִצְוַת
命令が
H4687

כִּי־
なぜなら

דָבָר
言葉を
H1697

אֹתוֹ
彼に
H0853

עֲנוּ
答え

וְלֹא־
そして–ない
H3808

וַיַּחֲרִישׁוּ
そして–黙った

21

תַּעֲנֻהוּ׃
答えては

לֹא
するな
H3808

しかし民は黙ってひと言も答えなかった。王が命じて、「彼に答えてはならない」と言っておいたからである。

וְשֶׁבְנָא
そして–シェブナ
H7644

הַבַּיִת
宮殿

עַל־
を–管理する

אֲשֶׁר־
彼は

חִלְקִיָּהוּ
ヒルキヤの
H2518

בֶּן־
子–すなわち

אֶלְיָקִים
エルヤキムは
H0471

וַיֵּצֵא
そして–来た
H0935

22

בְּגָדִים
服の

קְרוּעֵי
衣を–裂いて
H7167

חִזְקִיָּהוּ
ヒゼキヤ
H2396

אֶל־
の–もとに
H0413

הַמַּזְכִּיר
記録官が
H2142

אָסָף
アサフの
H0623

בֶּן־
子–すなわち

וְיוֹאָח
そして–ヨアフ
H3098

הַסּוֹפֵר
書記官と

ס
—

שָׁקֵה׃
シャケの
H7262

רַב־
ラブ・
H7262

דִּבְרֵי
言葉を
H1697

אֶת
を
H0853

לוֹ
彼に

וַיַּגִּידוּ
そして–告げた
H5046

その時ヒルキヤの子である宮内卿エリアキム、書記官セブナおよびアサフの子である史官ヨアは衣を裂き、ヒゼキヤのもとに来て、ラブシャケの言葉を彼に告げた。

Chapter 37

בְּגָדָיו
衣を

אֶת־
の
H0853

וַיִּקְרַע
引き–裂いた
H7167

חִזְקִיָּהוּ
ヒゼキヤは
H2396

הַמֶּלֶךְ
王–すなわち
H4428

כִּשְׁמֹעַ
聞いた–時
H8085

וַיְהִי
そして–あった
H1961

1

יְהוָה׃
主の
H3068

בֵּית
宮に

וַיָּבֹא
そして–入った
H0935

שָׂק
荒布を
H8242

וַיִּתְכַּס
そして–身に–まとった
H3680

ヒゼキヤ王はこれを聞いて、衣を裂き、荒布を身にまとって主の宮に入り、

הַסּוֹפֵר
書記官と

שֶׁבְנָא
シェブナ
H7644

וְאֶת
そして
H0853

הַבַּיִת
宮殿

עַל־
を–管理する

אֲשֶׁר־
彼は

אֶלְיָקִים
エルヤキムと
H0471

אֶת־
を
H0853

וְיִשְׁלַח
そして–遣わした
H7971

2

בֶּן־
子–すなわち

יְשַׁעְיָהוּ
イザヤ

אֶל־
の–もとに
H0413

בַּשָּׂקִים
荒布を–身に
H8242

מִתְכַּסִּים
荒布を–まとって
H3680

הַכֹּהֲנִים
祭司の
H3548

זִקְנֵי
長老たちを
H2205

וְאֶת
そして
H0853

הַנָּבִיא׃
預言者

אָמוֹץ
アモツの
H0531

宮内卿エリアキムと書記官セブナおよび祭司のうちの年長者たちに荒布をまとわせて、アモツの子預言者イザヤのもとへつかわした。

3 וַיֹּאמְרוּ אֵלָיו כֹּה אָמַר חִזְקִיָּהוּ יוֹם־ צָרָה וְתוֹכֵחָה וְנִאָצָה
そして–言った 彼に このように 言う ヒゼキヤは 日–すなわち 苦難と 叱責と 侮辱の
H0559 H0413 H3541 H0559 H2396 H3117

הַיּוֹם הַזֶּה כִּי בָאוּ בָנִים עַד־ מַשְׁבֵּר וְכֹחַ אֵין
この日である なぜなら 近づいた 子どもたちは までに 産みの–口に しかし–力が ない
H2088 H3117 H0935 H0413 H5704 H4866 H0369

לְלֵדָה׃
産む–ための
H3205

彼らはイザヤに言った、「ヒゼキヤはこう言います、『きょうは悩みと責めと、はずかしめの日です。胎児がまさに生れようとして、これを産み出す力がないのです。

4 אוּלַי יִשְׁמַע יְהוָה אֱלֹהֶיךָ אֶת־ דִּבְרֵי רַב־ שָׁקֵה אֲשֶׁר שְׁלָחוֹ
たぶん 聞いて–くださる 主が あなたの–神が を 言葉を ラブ・ シャケの その 遣わした
H0194 H8085 H3068 H0430 H0853 H1697 H7262 H7262 H7971

אֲדֹנָיו מֶלֶךְ־ אַשּׁוּר וְהוֹכִיחַ חַי אֱלֹהִים לְחָרֵף
彼の–主人が 王–すなわち アッシリヤの そして–戒める 生きておられる 神を あざける–ために
H0113 H4428 H0804 H3198 H2416 H0430 H2778

וְנָשָׂאתָ תְפִלָּה בְּעַד שָׁמַע יְהוָה אֱלֹהֶיךָ אֲשֶׁר בְּדִבְרֵי
そして–ささげて–ください 祈りを ために 聞かれた 主 あなたの–神が その 言葉に–よって
H5375 H8605 H1157 H8085 H3068 H0430 H0834 H1697

הַנִּמְצָאָה׃ הַשְּׁאֵרִית
見いだされた 残りの–者たちの
H4672 H7611

あなたの神、主は、あるいはラブシャケのもろもろの言葉を聞かれたかもしれません。彼はその主君アッスリヤの王につかわされて、生ける神をそしりました。あなたの神、主はその言葉を聞いて、あるいは責められるかもしれません。それゆえ、この残っている者のために祈をささげてください』」。

5 וַיָּבֹאוּ עַבְדֵי הַמֶּלֶךְ חִזְקִיָּהוּ אֶל־ יְשַׁעְיָהוּ׃
そして–来た しもべたちは 王の ヒゼキヤの の–もとに イザヤ
H0935 H5650 H4428 H2396 H0413

ヒゼキヤ王の家来たちがイザヤのもとに来たとき、

6 וַיֹּאמֶר אֲלֵיהֶם יְשַׁעְיָהוּ כֹּה תֹאמְרוּן אֶל־ אֲדֹנֵיכֶם כֹּה
そして–言った 彼らに イザヤは このように 言え に あなたがたの–主人に このように
H0559 H0413 H3541 H0559 H0413 H0113 H3541

אָמַר יְהוָה אַל־ תִּירָא מִפְּנֵי שָׁמַעְתָּ אֲשֶׁר הַדְּבָרִים אֲשֶׁר גִּדְּפוּ
言う 主は するな 恐れては の–前に おまえが–聞いた その 言葉の その そしった
H0559 H3068 H0408 H3372 H6440 H8085 H0834 H1697 H0834 H1442

נַעֲרֵי מֶלֶךְ־ אַשּׁוּר אוֹתִי׃
家来たちが 王の アッシリヤの わたしを
H5288 H4428 H0804 H0853

イザヤは彼らに言った、「あなたがたの主君にこう言いなさい、『主はこう仰せられる、アッスリヤの王のしもべらが、わたしをそしった言葉を聞いて恐れるには及ばない。

7

וְהִפַּלְתִּיו	אַרְצוֹ	אֶל־	וְשָׁב	שְׁמוּעָה	וְשָׁמַע	רוּחַ	בּוֹ	נוֹתֵן	הִנֵּנִי
そして-倒す	彼の-地に	に	そして-帰る	知らせを	そして-聞く	霊を	彼に	与える	見よ
H5307	H0776	H0413	H7725	H8052	H8085	H7307		H5414	H2009

בְּאַרְצוֹ׃	בַּחֶרֶב
彼の-地で	剣で
H0776	H2719

見よ、わたしは一つの霊を彼のうちに送って、一つのうわさを聞かせ、彼を自分の国へ帰らせて、その国でつるぎに倒れさせる』」。

8

נִלְחָם	אַשּׁוּר	מֶלֶךְ	אֶת־	וַיִּמְצָא	שָׁקָּה	רַב־	וַיָּשָׁב	
戦っているのを	アッシリヤの	王が	を	そして-見つけた	シャケは	ラブ・	そして-帰った	
	H0804	H4428	H0853	H4672	H7262	H7262	H7725	

מִלָּכִישׁ׃	נָסַע	כִּי	שָׁמַע	כִּי	לִבְנָה	עַל־
ラキシュから	移った-ことを	ことを	聞いた	なぜなら	リブナを	に-対して
H3923	H5265		H8085		H3841	

ラブシャケは引き返して、アッスリヤの王がリブナを攻めているところへ行った。彼は王がラキシを去ったことを聞いたからである。

9

לְהִלָּחֵם	יָצָא	לֵאמֹר	כּוּשׁ	מֶלֶךְ־	תִּרְהָקָה	עַל־	וַיִּשְׁמַע	
戦う-ために	出て-来た	言う	クシュの	王-すなわち	ティルハカ	に-ついて	そして-聞いた	
	H3318	H0559		H4428	H8640		H8085	

לֵאמֹר׃	חִזְקִיָּהוּ	אֶל־	מַלְאָכִים	וַיִּשְׁלַח	וַיִּשְׁמַע	אַתָּה
言って	ヒゼキヤの-もとに	に	使者を	そして-遣わした	そして-聞いて	おまえと
H0559	H2396	H0413	H4397	H7971	H8085	H0854

この時、アッスリヤの王はエチオピヤの王テルハカについて、「彼はあなたと戦うために出てきた」と人々が言うのを聞いた。彼はこのことを聞いて、使者をヒゼキヤにつかわそうとして言った、

10

יַשִּׁאֲךָ	אַל־	לֵאמֹר	יְהוּדָה	מֶלֶךְ־	חִזְקִיָּהוּ	אֶל־	תֹּאמְרוּן	כֹּה	
欺かれては	するな	言って	ユダの	王-すなわち	ヒゼキヤに	に	言え	このように	
H5377	H0408	H0559	H3063	H4428	H2396	H0413	H0559	H3541	

יְרוּשָׁלַם	תִּנָּתֵן	לֹא	לֵאמֹר	בּוֹ	בּוֹטֵחַ	אַתָּה	אֲשֶׁר	אֱלֹהֶיךָ
エルサレムは	渡されない	ない	言って	それに	信頼している	おまえが	その	おまえの-神に
H3389	H5414	H3808	H0559		H0982			H0430

אַשּׁוּר׃	מֶלֶךְ	בְּיַד
アッシリヤの	王の	手に
H0804	H4428	H3027

「ユダの王ヒゼキヤにこう言いなさい、『あなたは、エルサレムはアッスリヤの王の手に陥ることはない、と言うあなたの信頼する神に欺かれてはならない。

11

הָאֲרָצוֹת	לְכָל־	אַשּׁוּר	מַלְכֵי	עָשׂוּ	אֲשֶׁר	שָׁמַעְתָּ	אַתָּה	הִנֵּה
地に	すべての	アッシリヤの	王たちが	した	ことを	聞いている	おまえは	見よ
H0776	H3605	H0804	H4428			H8085		H2009

תִּנָּצֵל׃	וְאַתָּה	לְהַחֲרִימָם
救われる-のか	それなのに-おまえが	滅ぼした-ことを
H5337		

あなたはアッスリヤの王たちが、国々にしたこと、彼らを全く滅ぼしたことを聞いている。どうしてあなたは救われることができようか。

12

וְאֶת־ を H0853 גּוֹזָן ゴザンと H1470 אֶת־ を H0853 אֲבוֹתַי 私の-父たちが H0001 הִשְׁחִיתוּ 滅ぼした H7843 אֲשֶׁר その H0834 הַגּוֹיִם 国々の H1471 אֱלֹהֵי 神々は H0430 אוֹתָם 彼らを H0853 הַהִצִּילוּ 救った-のか H5337

בִּתְלַשָּׂר׃ テラサルに-いる H8515 אֲשֶׁר その H0834 עֵדֶן エデンの H5729 וּבְנֵי־ 子ら-すなわち H1121 רֶצֶף レツェフと H7530 חָרָן ハランと H2771

わたしの先祖たちはゴザン、ハラン、レゼフおよびテラサルにいたエデンの人々を滅ぼしたが、その国々の神々は彼らを救ったか。

13

סְפַרְוַיִם セファルワイムの H5617 לָעִיר 町の H5892 וּמֶלֶךְ そして-王は H4428 אַרְפָּד アルパデの H0774 וּמֶלֶךְ そして-王は H4428 חֲמָת ハマテの H2574 מֶלֶךְ־ 王は H4428 אַיֵּה どこに-いるのか H0346

וְעִוָּה׃ イワの H5755 הֵנַע ヘナと H2012

ハマテの王、アルパデの王、セパルワイムの町の王、ヘナの王およびイワの王はどこにいるか』」。

14

וַיַּעַל そして-上った H5927 וַיִּקְרָאֵהוּ そして-読んだ H7121 הַמַּלְאָכִים 使者たちの H4397 מִיַּד 手から H3027 הַסְּפָרִים 書簡を H5612 אֶת־ を H0853 חִזְקִיָּהוּ ヒゼキヤは H2396 וַיִּקַּח そして-受け-取った H3947

יְהוָה׃ 主の H3068 לִפְנֵי 前に H6440 חִזְקִיָּהוּ ヒゼキヤは H2396 וַיִּפְרְשֵׂהוּ そして-広げた H6566 בֵּית יְהוָה 主の 宮に H3068

ヒゼキヤは使者の手から手紙を受け取ってそれを読み、主の宮にのぼっていって、主の前にそれをひろげ、

15

לֵאמֹר׃ 言って H0559 יְהוָה 主に H3068 אֶל־ に H0413 חִזְקִיָּהוּ ヒゼキヤは H2396 וַיִּתְפַּלֵּל そして-祈った H6419

主に祈って言った、

16

הָאֱלֹהִים 神である H0430 הִוא その H1931 אַתָּה־ あなたこそ H0859 הַכְּרוּבִים ケルビムの-上に H3742 יֹשֵׁב 座しておられる H3427 יִשְׂרָאֵל イスラエルの H3478 אֱלֹהֵי 神よ H0430 צְבָאוֹת 万軍の H6635 יְהוָה 主よ H3068

וְאֶת־ を H0853 הָאָרֶץ׃ 地を H0776 הַשָּׁמַיִם 天と H8064 אֶת־ を H0853 עָשִׂיתָ 造られた H6213 אַתָּה あなたが H0859 הָאָרֶץ 地の H0776 מַמְלָכוֹת 王国の H4467 לְכָל すべての H3605 לְבַדְּךָ ただ-あなた-だけが H0905

「ケルビムの上に座しておられるイスラエルの神、万軍の主よ、地のすべての国のうちで、ただあなただけが神でいらせられます。あなたは天と地を造られました。

17

עֵינֶךָ 目を H5869 יְהוָה 主よ H3068 פְּקַח 開いて-ください H6491 וּשְׁמָע そして-聞いて-ください H8085 אָזְנֶךָ 耳を H0241 וְיהוָה 主よ H3068 הַטֵּה 傾けて-ください H5186

אֲשֶׁר その H0834 סַנְחֵרִיב センナケリブの H5576 דִּבְרֵי 言葉を H1697 כָּל־ すべての H3605 אֶת を H0853 וּשְׁמַע そして-聞いて-ください H8085 וּרְאֵה そして-見て-ください H7200

חָי׃ 生きておられる H2416 אֱלֹהִים 神を H0430 לְחָרֵף あざける-ために H2778 שָׁלַח 遣わした H7971

主よ、耳を傾けて聞いてください。主よ、目を開いて見てください。セナケリブが生ける神をそしるために書き送った言葉を聞いてください。

אֱמֶ֔ת 18
まことに
H0551

יְהוָ֖ה
主よ
H3068

הֶחֱרִ֣יבוּ
荒らした
H4428

מַלְכֵ֣י
王たちは
H0804

אַשּׁ֑וּר
アッシリヤの
H0853

אֶת־
を
H0776

כָּל־
すべての
H3605

הָאֲרָצ֥וֹת
地と
H0776

וְאֶת־
の
H0853

אַרְצָֽם׃
その–地を
H0776

וַיִּתֵּ֖ן 19
そして–投げ–入れた
H5414

אֶת־
を
H0853

אֱלֹהֵיהֶ֥ם
彼らの–神々を
H0430

בָּאֵ֑שׁ
火に
H0784

כִּ֣י
なぜなら
H3808

לֹ֤א
ない
H0430

אֱלֹהִים֙
神では
H1992

הֵ֔מָּה
それらは
H3588

כִּ֥י
そうではなく

וַיְאַבְּדֽוּם׃
そして–滅ぼした
H0006

וָאֶ֔בֶן
石である
H0068

עֵ֖ץ
木と
H6086

אָדָ֣ם
人の
H0120

יְדֵ֑י
手の
H3027

מַעֲשֵׂ֥ה
作り–物である
H4639

אֵ֖ם־
ただの

またその神々を火に投げ入れました。それらは神ではなく、人の手の造ったもので、木や石だから滅ぼされたのです。

וְעַתָּ֗ה 20
さあ–今
H6258

יְהוָה֙
主よ
H3068

אֱלֹהֵ֣ינוּ
私たちの–神よ
H0430

הוֹשִׁיעֵ֣נוּ
救って–ください
H3467

נָ֔א
H4994

מִיָּדֹ֖ו
彼の–手から
H3027

וְיֵדְע֣וּ
そして–知る–ように
H3045

כָּל־
すべての
H3605

מַמְלְכ֣וֹת
王国が
H4467

הָאָ֑רֶץ
地の
H0776

כִּֽי־
ことを

אַתָּ֥ה
あなたが

יְהוָ֖ה
主
H3068

לְבַדֶּֽךָ׃
ただ–おひとりである–ことを
H0905

今われわれの神、主よ、どうぞ、われわれを彼の手から救い出してください。そうすれば地の国々は皆あなただけが主でいらせられることを知るようになるでしょう」。

וַיִּשְׁלַ֗ח 21
そして–遣わした
H7971

יְשַׁעְיָ֛הוּ
イザヤは

בֶּן־
子–すなわち

אָמֹ֥וץ
アモツの
H0531

אֶל־
の–もとに
H0413

חִזְקִיָּ֖הוּ
ヒゼキヤ
H2396

לֵאמֹ֑ר
言って
H0559

כֹּ֣ה
このように
H3541

אָמַ֔ר
言う
H0559

אֱלֹהֵ֣י
神–すなわち
H0430

יִשְׂרָאֵ֗ל
イスラエルの
H3478

אֲשֶׁ֤ר
その

הִתְפַּלָּ֙לְתָּ֙
祈った
H6419

אֵלַ֔י
私に
H0413

אֶל־
について
H0413

סַנְחֵרִ֖יב
センナケリブ
H5576

מֶ֣לֶךְ
王–すなわち
H4428

יְהוָ֖ה
主は
H3068

אַשּֽׁוּר׃
アッシリヤの
H0804

その時アモツの子イザヤは人をつかわしてヒゼキヤに言った、「イスラエルの神、主はこう言われる、あなたはアッスリヤの王セナケリブについてわたしに祈ったゆえ、

זֶ֣ה 22
これが
H2088

הַדָּבָ֗ר
言葉である
H1697

אֲשֶׁר־
その

דִּבֶּ֤ר
語った
H1696

יְהוָה֙
主が
H3068

עָלָ֔יו
彼に–ついて

בָּזָ֥ה
蔑んだ
H0959

לְךָ֖
おまえを

לָעֲגָ֣ה
嘲った
H3932

לְךָ֑
おまえを

הֵנִ֣יעָה
振った
H5128

רֹ֔אשׁ
頭を

בַּת־
娘–すなわち
H1323

צִיּ֖וֹן
シオンの
H6726

אַחֲרֶ֣יךָ
おまえの–後ろで

בַּת־
娘–すなわち
H1330

יְרוּשָׁלִָֽם׃
エルサレムの
H3389

主が彼について語られた言葉はこうである、『処女であるシオンの娘はあなたを侮り、あなたをあざける。エルサレムの娘は、あなたのうしろで頭を振る。

23

הֲרִימוֹתָה	מִי	וְעַל־	וְגִדַּפְתָּ	חֵרַפְתָּ	מִי	אֶת־
上げた–のか	誰に	そして–誰に–対して	そして–そしった–のか	あざけった–のか	誰を	を
H4310			H1442		H4310	H0853

יִשְׂרָאֵל׃	קְדוֹשׁ	אֶל־	עֵינֶיךָ	מָרוֹם	וַתִּשָּׂא	קוֹל
イスラエルの	聖なる–方に	に–対して	目を	高く	そして–上げた	声を
H3478	H6918	H0413		H4791	H5375	

あなたはだれをそしり、だれをののしったのか。あなたはだれにむかって声をあげ、目を高くあげたのか。イスラエルの聖者にむかってだ。

24

עָלִיתִי	אֲנִי	רִכְבֵי	בְּרֹב	וַתֹּאמֶר	אֲדֹנָי	וְחֵרַפְתָּ	עֲבָדֶיךָ	בְּיַד
上った	私は	戦車で	多くの	そして–言った	主を	あざけった	しもべたちを–通して	に–よって
H5927	H0589	H7393	H7230	H0559	H0136		H5650	H3027

בְּרֹשָׁיו	מִבְחַר	אֶרְזָיו	קוֹמַת	וְאֶכְרֹת	לְבָנוֹן	יַרְכְתֵי	הָרִים	מְרוֹם
その–糸松を	最良の	その–杉を	高さの	そして–切り–倒す	レバノンの	奥に	山の	頂に
H1265	H4005	H0730	H6967	H3772	H3844	H3411	H2022	H4791

כַּרְמְלוֹ׃	יַעַר	קְצֹו	מְרוֹם	וְאָבוֹא
その–果樹園に	森の	果てに	極みの	そして–入る
H3759		H7093	H4791	H0935

あなたは、そのしもべらによって主をそしって言った、「わたしは多くの戦車を率いて山々の頂にのぼり、レバノンの奥へ行き、たけの高い香柏と、最も良いいとすぎを切り倒し、またその果の高地へ行き、その密林にはいった。

25

יְאֹרֵי	כָּל	פְּעָמַי	בְּכַף־	וְאַחְרִב	מַיִם	וָאֶשְׁתֶּה	קָרְתִּי	אֲנִי
川を	すべての	歩みの	足の–裏で	そして–干上がらせる	水を	そして–飲んだ	掘った	私は
H2975	H3605	H6471	H3709		H4325	H8354		H0589

מָצוֹר׃
エジプトの
H4693

わたしは井戸を掘って水を飲んだ。わたしは足の裏でエジプトのすべての川を踏みからした」。

26

קֶדֶם	מִימֵי	עָשִׂיתִי	אוֹתָהּ	לְמֶרָחוֹק	שָׁמַעְתָּ	הֲלוֹא־		
いにしえの	昔の–日から	行った–のは	それを	遠くから	聞いた–であろう	聞かなかった–のか		
	H3117		H0853	H7350	H8085	H3808		

נִצִּים	גַּלִּים	לְהַשְׁאוֹת	וּתְהִי	הֲבִאֹתִיהָ	עַתָּה	וַיְצַרְתִּיהָ		
築かれた	崩れた–山を	荒廃に–する–ために	そして–なる	実現させた	今	そして–形づくった		
	H1530	H7582	H1961	H0935	H6258	H3335		

בְּצֻרוֹת׃	עָרִים
城壁の–ある	町々を
H1219	

あなたは聞かなかったか、昔わたしがそれを定めたことを。堅固な町々を、あなたがこわして荒塚とすることも、いにしえの日から、わたしが計画して今それをきたらせたのだ。

27

שָׁדֶה	עֵשֶׂב	וַיִּהְיוּ	וָבֹשׁוּ	חֲתוּ	יָד	קִצְרֵי־	וְיוֹשְׁבֵיהֶן	
野の	草の–ように	なった	そして–恥じた	恐れおののき	手の	力の–乏しい	そして–その–住民は	
	H6212	H1961	H0954	H2865	H3027	H7116	H3427	

קָמָה׃	לִפְנֵי	וּשְׁדֵמָה	גַּגּוֹת	חָצִיר	דֶּשֶׁא	יֶרֶק	
育つ–前の	前の	そして–畑の–ように	屋根の	草の–ように	若草の	そして–青葉の–ように	
H7054	H6440	H7709	H1406		H1877	H3419	

そのうちに住む民は力弱く、おののき恥をいだいて、野の草のように、青菜のようになり、育たずに枯れる屋根の草のようになった。

28

וְאֶת	יָדַעְתִּי	וּבוֹאֲךָ	וְצֵאתְךָ	וְשִׁבְתְּךָ	
そして	私は-知っている	おまえの-入る-ことも	おまえの-出る-ことも	おまえの-座る-ことも	
H0853	H3045	H0935	H3318	H3427	

אֵלָי׃	הָרְתַּגְזְךָ
私に-対して	おまえの-怒りを
H0413	H7264

わたしは、あなたの座すること、出入りすること、また、わたしにむかって怒り叫んだことをも知っている。

29

חַחִי	וְשַׂמְתִּי	בְאָזְנָי	עָלָה	וְשַׁאֲנַנְךָ	אֵלַי	הִתְרַגְזְךָ	יַעַן	
かぎを	そこで-つける	私の-耳に	上った	おまえの-傲慢が	私に-対して	おまえの-怒りが	ゆえに	
H2397		H0241	H5927	H7600	H0413	H7264	H3282	

בָּהּ׃	בָּאתָ	אֲשֶׁר־	בְּדֶרֶךְ	וַהֲשִׁבֹתִיךְ	בְּשִׂפְתֶיךָ	וּמִתְנִי	בְּאַפֶּךָ
それで	来た	その	道を	そして-帰らせる	おまえの-唇に	そして-くつわを	おまえの-鼻に
	H0935		H1870	H7725	H8193	H4964	H0639

あなたが、わたしにむかって怒り叫んだことと、あなたの高慢な言葉とがわたしの耳にはいったゆえ、わたしは、あなたの鼻に輪をつけ、あなたの口にくつわをはめて、あなたを、もと来た道へ引きもどす』。

30

וּבַשָּׁנָה	סָפִיחַ	הַשָּׁנָה	אִכְלוּ	הָאוֹת	לְךָ	וְזֶה־
そして-年に	自然に-生えたものを	この-年は	食べよ	しるしである	おまえに-とって	そして-これが
H8141		H8141	H0398	H0226		H2088

וְקִצְרוּ	זִרְעוּ	הַשְּׁלִשִׁית	וּבַשָּׁנָה	שָׁחִיס	הַשֵּׁנִית	
そして-刈り-入れ	種を-まけ	第三の	そして-年には	ひとりでに-生えたものを	第二の	
	H2232	H7992	H8141	H7823	H8145	

פִּרְיָם׃	וְאִכְלוּ)	[ואכול	כְּרָמִים	וְנִטְעוּ
その-実を	そして-食べよ	そして-食べよ	ぶどう畑を	そして-植えよ
H6529	H0398	H0398	H3754	H5193

あなたに与えるしるしはこれである。すなわち、ことしは落ち穂から生えた物を食べ、二年目には、またその落ち穂から生えた物を食べ、三年目には種をまき、刈り入れ、ぶどう畑を作ってその実を食べる。

31

פְּרִי	וְעָשָׂה	לְמָטָּה	שֹׁרֶשׁ	הַנִּשְׁאָרָה	יְהוּדָה	בֵּית־	פְּלֵיטַת	וְיָסְפָה	
結ぶ	そして-実を	下に-張り	根を	残った	ユダの	家の	残りの-者は	そして-再び	
H6529		H4295	H8328	H7604	H3063		H6413	H3254	

לְמָעְלָה׃
上に
H4605

ユダの家の、のがれて残る者は再び下に根を張り、上に実を結ぶ。

32

קִנְאַת	צִיּוֹן	מֵהָר	וּפְלֵיטָה	שְׁאֵרִית	תֵּצֵא	מִירוּשָׁלַם	כִּי	
熱心が	シオンの	山から	そして-免れた-者が	残りの-者が	出る	エルサレムから	なぜなら	
H7068	H6726	H2022	H6413	H7611	H3318	H3389		

ס	זֹאת׃	תַּעֲשֶׂה־	צְבָאוֹת	יְהוָה	
—	これを	行う	万軍の	主の	
	H2063			H3068	

すなわち残る者はエルサレムから出、のがれる物はシオンの山から出る。万軍の主の熱心がこれをなし遂げられる。

33 לָכֵן כֹּה־ אָמַר יְהוָה אֶל־ מֶלֶךְ אַשּׁוּר לֹא יָבוֹא אֶל־
それゆえ 言う 主は に–ついて 王の アッシリヤの ない 入らない に
H3541 H0559 H3068 H0413 H4428 H0804 H3808 H0935 H0413

הָעִיר הַזֹּאת וְלֹא־ יוֹרֶה שָׁם חֵץ וְלֹא־ יְקַדְּמֶנָּה מָגֵן
町の この そして–ない 放たない そこに 矢を そして–ない 迫らない 盾を–もって
H2063 H3808 H3808 H8033 H2671 H3808 H6923 H4043

וְלֹא־ יִשְׁפֹּךְ עָלֶיהָ סֹלְלָה׃
そして–ない 積み–上げない それに–対して 塞塁を
H3808 H8210 H5550

それゆえ、主はアッスリヤの王について、こう仰せられる、『彼はこの町にこない。またここに矢を放たない。また盾をもって、その前にこない。また塁を築いて、これを攻めることはない。

34 בַּדֶּרֶךְ אֲשֶׁר־ בָּא יָשׁוּב בָּהּ וְאֶל־ הָעִיר הַזֹּאת לֹא יָבוֹא נְאֻם־
道を その 来た それで 帰る に–そして 町の この ない 入らない 宣言–すなわち
H1870 H0935 H7725 H0413 H2063 H3808 H0935 H5002

יְהוָה׃
主の
H3068

彼は来た道から帰って、この町に、はいることはない、と主は言う。

35 וְנַנּוֹתִי עַל־ הָעִיר הַזֹּאת לְהוֹשִׁיעָהּ לְמַעֲנִי וּלְמַעַן דָּוִד
そして–守る を 町を この 救う–ために わたしの–ために そして–ために ダビデ
H1598 H5921 H5892 H2063 H3467 H4616 H4616 H1732

ס עַבְדִּי׃
— わが–しもべの
H5650

わたしは自分のため、また、わたしのしもべダビデのために町を守って、これを救おう』」。

36 וַיֵּצֵא מַלְאַךְ יְהוָה וַיַּךְ בְּמַחֲנֵה אַשּׁוּר מֵאָה וּשְׁמֹנִים
そして–出た 御使いが 主の そして–打ち–倒した 陣営で アッシリヤの 十万 八万
H3318 H4397 H3068 H5221 H4264 H0804 H3967 H8084

אֶלֶף וַיַּשְׁכִּימוּ בַבֹּקֶר וְהִנֵּה כֻלָּם פְּגָרִים מֵתִים׃
人を そして–朝–早く–起きた 朝に すると–見よ 皆 屍であった 死んだ
H0505 H7925 H1242 H2009 H3605 H6297 H4191

主の使が出て、アッスリヤびとの陣営で十八万五千人を撃ち殺した。人々が朝早く起きて見ると、彼らは皆死体となっていた。

37 וַיִּסַּע וַיֵּלֶךְ וַיָּשָׁב סַנְחֵרִיב מֶלֶךְ־ אַשּׁוּר וַיֵּשֶׁב בְּנִינְוֵה׃
そして–出発し そして–行き そして–帰った センナケリブは 王–すなわち アッシリヤの そして–住んだ ニネベに
H5265 H3212 H7725 H5572 H4428 H0804 H3427 H5210

アッスリヤの王セナケリブは立ち去り、帰っていってニネベにいたが、

38 וַיְהִי הוּא מִשְׁתַּחֲוֶה בֵּית נִסְרָךְ אֱלֹהָיו וְאַדְרַמֶּלֶךְ
そして–あった 彼が 礼拝していた–時 宮で ニスロクの 彼の–神の そして–アドラメレクと
H1961 H1931 H7812 H1004 H5268 H0430 H0152

וְשַׂרְאֶצֶר בָּנָיו הִכֻּהוּ בַּחֶרֶב וְהֵמָּה נִמְלְטוּ אֶרֶץ אֲרָרָט
シャレツェルが 彼の–息子たちが 彼を–撃り–殺した 剣で そして–彼らは 逃れた 地に アララトの
H8272 H1121 H5221 H2719 H1992 H4422 H0776 H0780

וַיִּמְלֹךְ אֵסַר־חַדֹּן בְּנוֹ תַּחְתָּיו׃ ס
そして–王となった エサル・ハドンが 彼の–息子が 彼に–代わって —
H0634 H0634 H1121 H8478

その神ニスロクの神殿で礼拝していた時、その子らのアデラン・メレクとシャレゼルがつるぎをもって彼を殺し、ともにアララテの地へ逃げていった。それで、その子エサルハドンが代って王となった。

Chapter 38

1 בַּיָּמִים הָהֵם חָלָה חִזְקִיָּהוּ לָמוּת וַיָּבוֹא אֵלָיו יְשַׁעְיָהוּ
その–日々に それらの 病んだ ヒゼキヤは 死ぬほどに そして–来た 彼の–もとに イザヤが
H3117 H1992 H2470 H2396 H4191 H0935 H0413 H3470

בֶּן־אָמוֹץ הַנָּבִיא וַיֹּאמֶר אֵלָיו כֹּה־אָמַר יְהוָה צַו לְבֵיתֶךָ
子–すなわち アモツの 預言者が そして–言った 彼に このように 言う 主は 整えよ
H1121 H0531 H5030 H0559 H0413 H3541 H0559 H3068 H6680

כִּי מֵת אַתָּה וְלֹא תִחְיֶה׃
なぜなら 死ぬ おまえは そして–ない 生きない
H4191 H0859 H3808 H2421

そのころヒゼキヤは病気になって死にかかっていた。アモツの子預言者イザヤは彼のところに来て言った、「主はこう仰せられます、あなたの家を整えておきなさい。あなたは死にます、生きながらえることはできません」。

2 וַיִּסֹּב חִזְקִיָּהוּ פָּנָיו אֶל־הַקִּיר וַיִּתְפַּלֵּל אֶל־יְהוָה׃
そして–向けた ヒゼキヤは 顔を に 壁の–方に そして–祈った に 主に
H5437 H2396 H6440 H0413 H7023 H6419 H0413 H3068

そこでヒゼキヤは顔を壁に向けて主に祈って言った、

3 וַיֹּאמַר אָנָּה יְהוָה זְכָר־נָא אֵת אֲשֶׁר הִתְהַלַּכְתִּי לְפָנֶיךָ
そして–言った どうか 主よ 覚えて–ください を ことを 歩みました あなたの–前に
H0559 H0577 H3068 H2142 H0853 H0834 H1980 H6440

וּבְלֵב שָׁלֵם וְהַטּוֹב בְּעֵינֶיךָ עָשִׂיתִי וַיֵּבְךְּ חִזְקִיָּהוּ
全き–心で 心の そして–良い–ことを あなたの–目に 行いました そして–泣いた ヒゼキヤは
H0571 H8003 H2896 H5869 H6213 H1058 H2396

בְּכִי גָּדוֹל׃ ס
泣き–方で 大きな —
H1058 H1419

「ああ主よ、願わくは、わたしが真実と真心とをもって、み前に歩み、あなたの目にかなう事を行ったのを覚えてください」。そしてヒゼキヤはひどく泣いた。

4 וַיְהִי דְבַר־יְהוָה אֶל־יְשַׁעְיָהוּ לֵאמֹר׃
そして–あった 言葉が 主の に イザヤに 言って
H1961 H1697 H3068 H0413 H3470 H0559

その時主の言葉がイザヤに臨んで言った、

5 הָלוֹךְ וְאָמַרְתָּ אֶל־חִזְקִיָּהוּ כֹּה־אָמַר יְהוָה אֱלֹהֵי דָוִד
行け そして-言え に ヒゼキヤに このように 言う 主は 神-すなわち ダビデ
H1980 H0559 H0413 H2396 H3541 H0559 H3068 H0430 H1732

עַל־יוֹסֶף הִנְנִי דִמְעָתֶךָ אֶת־רָאִיתִי תְּפִלָּתֶךָ אֶת־שָׁמַעְתִּי אָבִיךָ
に 加える 見よ おまえの-涙を を 見た おまえの-祈りを を 聞いた おまえの-父の
H3254 H2009 H1832 H0853 H7200 H8605 H0853 H8085 H0001

שָׁנָה׃ עֶשְׂרֵה חֲמֵשׁ יָמֶיךָ
年を の 十五 おまえの-日々に
H8141 H6240 H2568 H3117

「行って、ヒゼキヤに言いなさい、『あなたの父ダビデの神、主はこう仰せられます、「わたしはあなたの祈を聞いた。あなたの涙を見た。見よ、わたしはあなたのよわいを十五年増そう。

6 וּמִכַּף עַל־מֶלֶךְ אַשּׁוּר אַצִּילְךָ וְאֶת הָעִיר וְנָנוֹתִי עַל־
そして-手から 王の アッシリヤの 救い-出す そして 町を 守る を
H3709 H4428 H0804 H5337 H0853 H6440 H1598

הָעֶיר הַזֹּאת׃
町を この
H2063 H2063

わたしはあなたと、この町とをアッスリヤの王の手から救い、この町を守ろう」。

7 וְזֶה־לְּךָ מֵאֵת יְהוָה אֲשֶׁר יַעֲשֶׂה יְהוָה אֶת־הַדָּבָר הַזֶּה אֲשֶׁר דִּבֶּר׃
そして-これが おまえに-とって からの 主 その 行う 主が を 言葉を この その 語った
H2088 H0226 H0854 H3068 H0834 H6213 H3068 H0853 H1697 H2088 H0834 H1696

主が約束されたことを行われることについては、あなたは主からこのしるしを得る。

8 הִנְנִי מֵשִׁיב אֶת־הַצֵּל הַמַּעֲלוֹת אֲשֶׁר יָרְדָה בְּמַעֲלוֹת אָחָז בַּשֶּׁמֶשׁ אֲחֹרַנִּית
見よ 戻す を 影を 日時計の その 下った 階段の アハズの 太陽で 後ろに
H2009 H7725 H0853 H6738 H4609 H0834 H3381 H4609 H0271 H8121 H0322

עֶשֶׂר מַעֲלוֹת וַתָּשָׁב הַשֶּׁמֶשׁ עֶשֶׂר מַעֲלוֹת בַּמַּעֲלוֹת אֲשֶׁר יָרְדָה׃ ס
十 段階を そして-戻った 太陽は 十 段階を 階段の その 下っていた —
H6235 H7725 H8121 H6235 H4609 H0834 H3381

見よ、わたしはアハズの日時計の上に進んだ日影を十度退かせよう』」。すると日時計の上に進んだ日影が十度退いた。

9 מִכְתָּב לְחִזְקִיָּהוּ מֶלֶךְ־יְהוּדָה בְּחָלְתּוֹ וַיֶּחִי מֵחָלְיוֹ׃
書き物-すなわち ヒゼキヤの 王-すなわち ユダの 彼が-病んだ-時の そして-回復した 彼の-病から
H4385 H2396 H4428 H3063 H2483 H2421 H2483

次の言葉はユダの王ヒゼキヤが病気になって、その病気が直った後、書きしるしたものである。

10 אֲנִי אָמַרְתִּי בִּדְמִי יָמַי אֵלְכָה בְּשַׁעֲרֵי שְׁאוֹל פֻּקַּדְתִּי יֶתֶר
私は 言った 生涯の-半ばに 私の-日々の 行く 門へ よみの-国の 奪われた 残りの
H0589 H0559 H1824 H3117 H3212 H8179 H7585 H6485 H3499

שָׁנוֹתָי׃
私の-年を
H8141

わたしは言った、わたしはわが一生のまっ盛りに、去らなければならない。わたしは陰府の門に閉ざされて、わが残りの年を失わなければならない。

11 אָמַ֕רְתִּי לֹא־ אֶרְאֶ֥ה יָּהּ֙ יָּהּ֙ בְּאֶ֣רֶץ הַחַיִּ֔ים לֹא־ אַבִּ֥יט עֽוֹד אָדָ֖ם עִם־ יוֹשְׁבֵ֥י חָֽדֶל׃

私は–言った / ない / 見ない / 主を / 主を / 地で / 生きている–者の / 人を / もはや / 住む–者の / この–世の

H0559 / H3808 / H7200 / H3050 / H3050 / H0776 / H2309 / H3427 / H5027 / H0120 / H5750

わたしは言った、わたしは生ける者の地で、主を見ることなく、世における人々のうちに、再び人を見ることがない。

12 דּוֹרִ֣י נָסַ֔ע וְנִגְלָ֥ה מִנִּ֖י כְּאֹ֣הֶל רֹעִ֑י קִפַּ֥דְתִּי כָאֳרֵ֖ג חַיַּ֑י מִדַּלָּ֣ה יְבַצְּעֵ֔נִי מִיּ֥וֹם עַד־ לַ֖יְלָה תַּשְׁלִימֵֽנִי׃

私の–住まいは / 拒き–上げられ / そして–移された / 私から / 天幕の–ように / 羊飼いの / 巻き–取った / 織り–手の–ように / 私の–命を / 糸から / 断ち–切る / 日から / まで / 夜 / 終わらせる

H1755 / H5265 / H1540 / H4480 / H0168 / H7473 / H7088 / H0707 / H2416 / H1803 / H1214 / H3117 / H5704 / H3915 / H8552

わがすまいは抜き去られて羊飼の天幕のようにわたしを離れる。わたしは、わが命を機織りのように巻いた。彼はわたしを機から切り離す。あなたは朝から夕までの間に、わたしを滅ぼされる。

13 שִׁוִּ֣יתִי עַד־ לַ֖יְלָה תַּשְׁלִימֵֽנִי׃ בַּבֹּ֑קֶר עַד־ כָּאֲרִ֣י כֵ֔ן יְשַׁבֵּ֥ר כָּל־ עַצְמוֹתָ֖י מִיּ֥וֹם עַד־

耐えた / まで / 夜 / 終わらせる / 朝 / 獅子の–ように / そのように / 砕く / すべての / 私の–骨を / 日から / まで

H7737 / H5704 / H3915 / H8552 / H1242 / H0738 / H3651 / H7665 / H3605 / H6106 / H3117 / H5704

わたしは朝まで叫んだ。主はししのようにわが骨をことごとく砕かれる。あなたは朝から夕までの間に、わたしを滅ぼされる。

14 כְּסוּס֙ עָג֣וּר כֵּ֔ן אֲצַפְצֵ֖ף אֶהְגֶּ֑ה כְּיוֹנָ֣ה דַלּ֔וּ עֵינַ֖י לַמָּר֑וֹם עָשְׁקָ֖ה לִ֥י עֳרֻבֵֽנִי׃ אֲדֹנָ֕י

燕の–ように / 鶴の–ように / そのように / 鳴き / うめく / 鳩の–ように / 衰えた / 私の–目は / 高き–へ / 苦しめられています / 私は / 保証して–ください / 主よ

H5693 / H6850 / H3651 / H1897 / H3123 / H1809 / H5869 / H4791 / H6231 / H3807 / H6148 / H0136

わたしは、つばめのように、つるのように鳴き、はとのようにうめき、わが目は上を見て衰える。主よ、わたしは、しえたげられています。どうか、わたしの保証人となってください。

15 מָֽה־ אֲדַבֵּ֖ר וְאָמַ֣ר לִ֑י וְהוּא֙ עָשָׂ֔ה כָּל־ שְׁנוֹתַ֖י עַל־ מַ֥ר נַפְשִֽׁי׃ אֶדַּ֥דָה בְּ

何を / 言おう / そして–言った / 私に / そして–その方が / 行われた / すべての / 静かに–歩む / 私の–年を / の–上に / 苦しみの / 私の–魂の

H4100 / H1696 / H0559 / H3807 / H1931 / H6213 / H3605 / H0738 / H8141 / H5921 / H4751 / H5315

しかし、わたしは何を言うことができましょう。主はわたしに言われ、かつ、自らそれをなされたからである。わが魂の苦しみによって、わが眠りはことごとく逃げ去った。

16 אֲדֹנָי עֲלֵיהֶם יִחְיוּ וּלְכָל־בָּהֶן חַיֵּי רוּחִי
主よ それらによって 生きる そして-すべての それらの-中に 命が-ある 私の-霊の
H0136 H2421 H3605 H7307

וְתַחֲלִימֵנִי וְהַחֲיֵנִי׃
そして-癒して-ください そして-生かして-ください
H2421

主よ、これらの事によって人は生きる。わが霊の命もすべてこれらの事による。どうか、わたしをいやし、わたしを生かしてください。

17 הִנֵּה לְשָׁלוֹם מַר־לִי וְאַתָּה חָשַׁקְתָּ נַפְשִׁי
見よ 平安の-ために 苦しみが 私には しかし-あなたは 愛して-くださった 私の-魂を
H2009 H7965 H4751 H4843 H7307 H5315

מִשַּׁחַת בְּלִי כִּי הִשְׁלַכְתָּ אַחֲרֶי גֵוֶךָ כָּל־חַטָּאָי׃
穴から 滅びの なぜなら 投げ-捨てた あなたの-後ろに あなたの-背の すべての 私の-罪を
H7845 H1097 H3588 H7993 H0310 H1458 H3605 H2399

見よ、わたしが大いなる苦しみにあったのは、わが幸福のためであった。あなたはわが命を引きとめて、滅びの穴をまぬかれさせられた。これは、あなたがわが罪をことごとく、あなたの後に捨てられたからである。

18 כִּי לֹא שְׁאוֹל תּוֹדֶךָּ מָוֶת יְהַלְלֶךָּ לֹא־יְשַׂבְּרוּ יוֹרְדֵי־בוֹר
なぜなら ない よみは 感謝しない 死は 賛美しない ない 望まない 下る-者は 穴に
H3588 H3808 H7585 H3034 H4194 H1984 H3808 H3381

אֶל־אֲמִתֶּךָ׃
に あなたの-真実を
H0413 H0571

陰府は、あなたに感謝することはできない。死はあなたをさんびすることはできない。墓にくだる者は、あなたのまことを望むことはできない。

19 חַי חַי הוּא יוֹדֶךָּ כָּמוֹנִי הַיּוֹם אָב לִבָנִים
生きている-者が 生きている-者が その-者が 感謝する 私の-ように 今日 父が 子どもたちに
H1931 H3034 H3644 H3117 H0001

יוֹדִיעַ אֶל־אֲמִתֶּךָ׃
知らせる に-ついて あなたの-真実を
H3045 H0413 H0571

ただ生ける者、生ける者のみ、きょう、わたしがするように、あなたに感謝する。父はあなたのまことを、その子らに知らせる。

20 יְהוָה לְהוֹשִׁיעֵנִי וּנְגִנוֹתַי נְנַגֵּן כָּל־יְמֵי חַיֵּינוּ
主よ 救って-ください そして-私たちの-歌を 奏でよう すべての 日々を 私たちの-生涯の
H3068 H3467 H5058 H5059 H3605 H3117

עַל־בֵּית יְהוָה׃
に-おいて 宮で 主の
H3068 H1004

主はわたしを救われる。われわれは世にあるかぎり、主の家で琴にあわせて、歌をうたおう。

21 וַיֹּאמֶר יְשַׁעְיָהוּ יִשְׂאוּ דְּבֶלֶת תְּאֵנִים וְיִמְרְחוּ עַל־הַשְּׁחִין
そして-言った イザヤは 取れ いちじくの-塔を の そして-塗れ に はれ物に
H0559 H5375 H1690 H8384 H4799 H5921 H7822

וְיֶחִי׃
そうすれば-生きる
H2421

イザヤは言った、「干いちじくのひとかたまりを持ってこさせ、それを腫物につけなさい。そうすれば直るでしょう」。

ס	יְהוָה׃	בֵּית	אֶעֱלֶה	כִּי	אוֹת	מָה	חִזְקִיָּהוּ	וַיֹּאמֶר	22
—	主の	宮に	上る	ことを	しるしか	何の	ヒゼキヤは	そして–言った	
	H3068		H5927		H0226	H4100	H2396	H0559	

ヒゼキヤはまた言った、「わたしが主の家に上ることについて、どんなしるしがありましょうか」。

Chapter 39

מֶלֶךְ־	בַּלְאֲדָן	בֶּן־	מְרֹדַךְ בַּלְאֲדָן	שָׁלַח	הַהוּא	בָּעֵת			1
王–すなわち	バラダンの	子–すなわち	メロダク・バラダンが	遣わした	その	その–時に			
H4428	H1081		H4757	H7971	H1931	H6256			
חָלָה	כִּי	וַיִּשְׁמַע	חִזְקִיָּהוּ	אֶל־	וּמִנְחָה	סְפָרִים	בָּבֶל		
病んだ–ことを	ことを	そして–聞いた	ヒゼキヤの–もとに	に	贈り物を	書簡と	バビロンの		
		H8085	H2396	H0413	H4503		H0894		
וַיְחִזַק׃									
そして–回復した–ことを									
H2388									

そのころ、バラダンの子であるバビロンの王メロダク・バラダンは手紙と贈り物を持たせて使節をヒゼキヤにつかわした。これはヒゼキヤが病気であったが、直ったことを聞いたからである。

(נְכֹתוֹ	נכתהן	בֵּית	אֶת־	וַיַּרְאֵם	חִזְקִיָּהוּ	עֲלֵיהֶם	וַיִּשְׂמַח		2
彼の–宝物の	宝物の	家を	を	そして–見せた	ヒゼキヤは	彼らの–ことを	そして–喜んだ		
H5238	H5238		H0853	H7200	H2396		H8055		
בַּיִת	כָּל־	וְאֵת	הַטּוֹב	הַשֶּׁמֶן	וְאֵת	הַבְּשָׂמִים	וְאֶת־	הַזָּהָב	וְאֶת־	הַכֶּסֶף	אֶת־
家を	すべての	そして	良い	油を	を	香料と	を	金と	を	銀と	を
	H3605	H0853		H8081	H0853	H1314	H0853	H2091	H0853	H3701	H0853
לֹא־	אֲשֶׁר	דָּבָר	הָיָה	לֹא־	בְּאֹצְרֹתָיו	נִמְצָא	אֲשֶׁר	כָּל־	וְאֵת	כֵּלָיו
ない	その	物は	ない	なかった	宝庫に	見つかる	の	すべて	そして	武器の
H3808		H1697	H1961	H3808	H0214	H4672		H3605	H0853	H3627
מֶמְשַׁלְתּוֹ׃	וּבְכָל־	בְּבֵיתוֹ	חִזְקִיָּהוּ	הֶרְאָם					
彼の–領土に	そして–すべての	彼の–家と	ヒゼキヤが	見せなかった					
H4475	H3605		H2396	H7200					

ヒゼキヤは彼らを喜び迎えて、宝物の蔵、金銀、香料、貴重な油および武器倉、ならびにその倉庫にあるすべての物を彼らに見せた。家にある物も、国にある物も、ヒゼキヤが彼らに見せない物は一つもなかった。

מָה	אֵלָיו	וַיֹּאמֶר	חִזְקִיָּהוּ	הַמֶּלֶךְ	אֶל־	הַנָּבִיא	יְשַׁעְיָהוּ	וַיָּבֹא	3
何を	彼に	そして–言った	ヒゼキヤの	王	の–もとに	預言者が	イザヤは	そして–来た	
H4100	H0413	H0559	H2396	H4428	H0413	H5030		H0935	
וַיֹּאמֶר	אֵלֶיךָ	בָּאוּ	וּמֵאַיִן	הָאֵלֶּה	הָאֲנָשִׁים	וְאָמְרוּ			
そして–言った	おまえの–もとに	来た–のか	そして–どこから	これらの	人々は	言った–のか			
H0559	H0413	H0935	H0370	H0428	H0376	H0559			
מִבָּבֶל׃	אֵלַי	בָּאוּ	רְחוֹקָה	מֵאֶרֶץ	חִזְקִיָּהוּ				
バビロンから	私の–もとに	来た	遠い	地から	ヒゼキヤは				
H0894	H0413	H0935	H7350	H0776	H2396				

時に預言者イザヤはヒゼキヤ王のもとに来て言った、「あの人々は何を言いましたか。どこから来たのですか」。ヒゼキヤは言った、「彼らは遠い国から、すなわちバビロンから来たのです」。

אֲשֶׁר	כָּל־	אֵת	חִזְקִיָּהוּ	וַיֹּאמֶר	בְּבֵיתֶךָ	רָאוּ	מָה	וַיֹּאמֶר	4
の	すべて	を	ヒゼキヤは	そして–言った	おまえの–家で	見た–のか	何を	そして–言った	
	H3605	H0853	H2396	H0559		H7200	H4100	H0559	

בְּאוֹצְרֹתָי׃	הִרְאִיתִים	לֹא־	אֲשֶׁר	דָּבָר	הָיָה	לֹא־	רָאוּ	בְּבֵיתִי
私の–宝庫に–ある	見せなかった	ない	その	物は	ない	なかった	見た	私の–家に–ある
H0214	H7200	H3808		H1697	H1961	H3808	H7200	

イザヤは言った、「彼らは、あなたの家で何を見ましたか」。ヒゼキヤは答えて言った、「彼らは、わたしの家にある物を皆見ました。倉庫のうちには、彼らに見せなかった物は一つもありません」。

צְבָאוֹת׃	יְהוָה	דְּבַר־	שְׁמַע	חִזְקִיָּהוּ	אֶל־	יְשַׁעְיָהוּ	וַיֹּאמֶר	5
万軍の	主の	言葉を	聞け	ヒゼキヤに	に	イザヤは	そして–言った	
	H3068	H1697	H8085	H2396	H0413		H0559	

そこでイザヤはヒゼキヤに言った、「万軍の主の言葉を聞きなさい。

אָצְרָוּ	וַאֲשֶׁר	בְּבֵיתְךָ	אֲשֶׁר	כָּל־	וְנִשָּׂא	בָּאִים	יָמִים	הִנֵּה	6
蓄えた	そして	おまえの–家に–ある	の	すべて	そして–運び–去られる	来る	日が	見よ	
H0686				H3605	H5375	H0935	H3117	H2009	

יְהוָה׃	אָמַר	דָּבָר	יִוָּתֵר	לֹא־	בָּבֶל	הַזֶּה	הַיּוֹם	עַד־	אֲבֹתֶיךָ
主は	言う	物は	残らない	ない	バビロンに	この	日の	までの	おまえの–父たちが
H3068	H0559	H1697	H3498	H3808	H0894	H2088	H3117	H5704	H0001

見よ、すべてあなたの家にある物およびあなたの先祖たちが今日までに積みたくわえた物がバビロンに運び去られる日が来る。何も残るものはない、と主が言われます。

יִקָּחוּ	תּוֹלִיד	אֲשֶׁר	מִמְּךָ	יֵצְאוּ	אֲשֶׁר	וּמִבָּנֶיךָ	7
取られる	おまえが–もうける	その	おまえから	出る	その	そして–おまえの–息子たちの	
H3947	H3205			H3318			

בָּבֶל׃	מֶלֶךְ	בְּהֵיכַל	סָרִיסִים	וְהָיוּ	
バビロンの	王の	宮殿で	宮官と	そして–なる	
H0894	H4428	H1964	H5631	H1961	

また、あなたの身から出るあなたの子たちも連れ去られて、バビロンの王の宮殿において宦官となるでしょう」。

דִּבַּרְתָּ	אֲשֶׁר	יְהוָה	דְּבַר־	טוֹב	יְשַׁעְיָהוּ	אֶל־	חִזְקִיָּהוּ	וַיֹּאמֶר	8
語られた	その	主の	言葉である	良い	イザヤに	に	ヒゼキヤは	そして–言った	
H1696		H3068	H1697			H0413	H2396	H0559	

פ	בְּיָמָי׃	וֶאֱמֶת	שָׁלוֹם	יִהְיֶה	כִּי	וַיֹּאמֶר	
—	私の–日々には	真実が	平安と	ある	なぜなら	そして–言った	
	H3117	H0571	H7965	H1961		H0559	

ヒゼキヤはイザヤに言った、「あなたが言われた主の言葉は結構です」。彼は「少なくとも自分が世にある間は太平と安全があるだろう」と思ったからである。

Chapter 40

אֱלֹהֵיכֶם׃	יֹאמַר	עַמִּי	נַחֲמוּ	נַחֲמוּ	1
あなたがたの–神は	言う	わが–民を	慰めよ	慰めよ	
H0430	H0559		H5162	H5162	

あなたがたの神は言われる、「慰めよ、わが民を慰めよ、

2 דַּבְּרוּ֙ עַל־לֵ֣ב יְרוּשָׁלַ֔͏ִם וְקִרְאוּ־אֵ֖לֶיהָ כִּ֣י מָלְאָ֣ה צְבָאָ֑הּ
語れ の-心に 心に エルサレムの そして-告げよ 彼女に ことを 満ちた-ことを その-勤めは
H1696 H0413 H7121 H3389 H4390

כִּ֣י נִרְצָ֔ה עֲוֹנָ֑הּ כִּ֣י לָקְחָ֤ה מִיַּד־יְהוָה֙ כִּפְלַ֔יִם בְּכָל־חַטֹּאתֶ֖יהָ׃ ס
ことを 赦された-ことを その-罪は ことを 受けた-ことを 主の 手から 倍の-ものを すべての その-罪の-ために
H7521 H5771 H3947 H3068 H3027 H3718 H3605 —

ねんごろにエルサレムに語り、これに呼ばわれ、その服役の期は終り、そのとがはすでにゆるされ、そのもろもろの罪のために二倍の刑罰を主の手から受けた」。

3 קוֹל֙ קוֹרֵ֔א בַּמִּדְבָּ֖ר פַּנּ֣וּ דֶ֣רֶךְ יְהוָ֑ה יַשְּׁרוּ֙ בָּעֲרָבָ֣ה מְסִלָּ֔ה לֵאלֹהֵ֖ינוּ׃
声が-ある 叫ぶ-者の 荒野で 備えよ 道を 主の まっすぐに-せよ 砂漠に 大路を 私たちの-神の-ために
H7121 H6437 H1870 H3068 H3474 H6160 H4546 H0430

呼ばわる者の声がする、「荒野に主の道を備え、さばくに、われわれの神のために、大路をまっすぐにせよ。

4 כָּל־גַּ֣יְא֔ יִנָּשֵׂ֖א וְכָל־הַ֣ר וְגִבְעָ֑ה יִשְׁפָּ֗לוּ וְהָיָ֤ה הֶֽעָקֹב֙ לְמִישׁ֔וֹר וְהָרְכָסִ֖ים לְבִקְעָֽה׃
すべての 谷は 高く-なり すべての そして-山と 丘は 低く-なる そして-なる 曲がった-所は 平らに そして-でこぼこの-所は 平地に
H3605 H1516 H5375 H3605 H2022 H1389 H8213 H1961 H4334 H7406 H1237

もろもろの谷は高くせられ、もろもろの山と丘とは低くせられ、高底のある地は平らになり、険しい所は平地となる。

5 וְנִגְלָ֣ה כְּב֣וֹד יְהוָ֔ה וְרָא֥וּ כָל־בָּשָׂ֖ר יַחְדָּ֑ו כִּ֣י פִ֤י יְהוָה֙ דִּבֶּ֔ר׃ ס
そして-現れる 栄光が 主の そして-見る すべての 肉なる-者が 共に なぜなら 口が 主の 語った —
H1540 H3519 H3068 H7200 H3605 H1320 H3068 H6310 H1696

こうして主の栄光があらわれ、人は皆ともにこれを見る。これは主の口が語られたのである」。

6 קוֹל֙ אֹמֵ֔ר קְרָ֖א וְאָמַ֑ר מָ֣ה אֶקְרָ֔א כָּל־הַבָּשָׂ֖ר חָצִ֑יר וְכָל־חַסְדּ֖וֹ כְּצִ֥יץ הַשָּׂדֶֽה׃
声が-ある 言う 叫べ そして-言う 何を 叫ぼうか すべての 肉なる-者は 草である その-恵みは 花の-ように 野の
H7121 H0559 H7121 H0559 H4100 H7121 H3605 H1320 H2617 H6731 H7704

声が聞える、「呼ばわれ」。わたしは言った、「なんと呼ばわりましょうか」。「人はみな草だ。その麗しさは、すべて野の花のようだ。

7 יָבֵשׁ חָצִיר נָבֵל צִיץ כִּי רוּחַ יְהוָה נָשְׁבָה בּוֹ אָכֵן חָצִיר הָעָם׃
枯れる 草は しぼむ 花は なぜなら 息が 主の 吹く それに まことに 草である 民は
H3001 H2682 H5034 H6731 H3588 H7307 H3068 H5380 H0403

主の息がその上に吹けば、草は枯れ、花はしぼむ。たしかに人は草だ。

8 יָבֵשׁ חָצִיר נָבֵל צִיץ וּדְבַר־ אֱלֹהֵינוּ יָקוּם לְעוֹלָם׃ ס
枯れる 草は しぼむ 花は しかし-言葉は 私たちの-神の 立つ 永遠に ―
H3001 H2682 H5034 H6731 H1697 H0430 H6965 H5769

草は枯れ、花はしぼむ。しかし、われわれの神の言葉はとこしえに変ることはない」。

9 עַל הַר־ גָּבֹהַ עֲלִי־ לָךְ מְבַשֶּׂרֶת צִיּוֹן הָרִימִי בְכֹחַ
に 山の 高い 上れ おまえは 良き-知らせを-告げる-者よ シオンの 上げよ 力を-もって
H5921 H2022 H1364 H5927 H3808 H1319 H6726 H7311 H3581

קוֹלֵךְ מְבַשֶּׂרֶת יְרוּשָׁלִַם הָרִימִי אַל־ תִּירָאִי אִמְרִי לְעָרֵי יְהוּדָה הִנֵּה
声を 良き-知らせを-告げる-者よ エルサレムの 上げよ するな 恐れては 言え 町々に ユダの 見よ
H3808 H1319 H3389 H7311 H0408 H3372 H0559 H5892 H3063 H2009

אֱלֹהֵיכֶם׃
あなたがたの-神を
H0430

よきおとずれをシオンに伝える者よ、高い山にのぼれ。よきおとずれをエルサレムに伝える者よ、強く声をあげよ、声をあげて恐れるな。ユダのもろもろの町に言え、「あなたがたの神を見よ」と。

10 הִנֵּה אֲדֹנָי יְהוִה בְּחָזָק יָבוֹא וּזְרֹעוֹ מֹשְׁלָה לוֹ הִנֵּה
見よ 主なる 主が 力を-もって 来られる そして-その-腕が 治める その-ために 見よ
H2009 H0136 H3069 H2389 H0935 H2220 H4910 H0 H2009

שְׂכָרוֹ אִתּוֹ וּפְעֻלָּתוֹ לְפָנָיו׃
その-報いが 共に-ある そして-その-業が その-前に
H7939 H0854 H6468 H6440

見よ、主なる神は大能をもってこられ、その腕は世を治める。見よ、その報いは主と共にあり、そのはたらきの報いは、そのみ前にある。

11 כְּרֹעֵה עֶדְרוֹ יִרְעֶה בִּזְרֹעוֹ יְקַבֵּץ טְלָאִים וּבְחֵיקוֹ יִשָּׂא
羊飼いの-ように その-群れを 養う その-腕で 集める 小羊を そして-その-懐に 抱く
H7462 H5739 H7462 H2220 H6908 H2922 H2436 H5375

עָלוֹת יְנַהֵל׃ ס
乳を-飲ませる-者を 導く ―
H5763 H5095

主は牧者のようにその群れを養い、そのかいなに小羊をいだき、そのふところに入れて携えゆき、乳を飲ませているものをやさしく導かれる。

12 מִי־ מָדַד בְּשָׁעֲלוֹ מַיִם וְשָׁמַיִם בְּזֶרֶת תִּכֵּן וְכֶל בַּשְּׁלִשׁ
誰が 量った-のか たなごころで 水を そして-天を 一拳で 測った そして-包んだ 升で
H4310 H4058 H8168 H4325 H8064 H2239 H8505 H3557 H7991

עֲפַר הָאָרֶץ בְּפֶלֶס וְשָׁקַל בִּמְאֹזְנַיִם וּגְבָעוֹת הָרִים׃
塵を 地の 秤で そして-量った 天秤で そして-丘を 山々を
H6083 H0776 H6425 H8254 H3976 H1389 H2022

だれが、たなごころをもって海をはかり、指を伸ばして天をはかり、地のちりを枡に盛り、てんびんをもって、もろもろの山をはかり、はかりをもって、もろもろの丘をはかったか。

13

יוֹדִיעֵֽנוּ׃	עֲצָתוֹ	וְאִישׁ	יְהוָה	רוּחַ	אֶת־	תִּכֶן	מִי־
知らせた–のか	その–助言者として	そして–人が	主の	霊を	を	測った–のか	誰が
H3045	H6098	H0376	H3068	H7307	H0853	H8505	H4310

だれが、主の霊を導き、その相談役となって主を教えたか。

14

וַיְלַמְּדֶֽהוּ	מִשְׁפָּט	בְּאֹרַח	וַיְלַמְּדֵהוּ	וַיְבִינֵֽהוּ	נוֹעָץ	מִי	אֶת־		
そして–教えた	正義の	道を	そして–教えた	そして–理解させた	相談した–のか	誰と	を		
H3925	H4941	H0734	H3925	H0995	H3289	H4310	H0854		
				יוֹדִיעֵֽנוּ׃	תְּבוּנוֹת	וְדֶרֶךְ	דַּעַת		
				知らせた–のか	英知の	そして–道を	知識を		
				H3045	H8394	H1870	H1847		

主はだれと相談して悟りを得たか。だれが主に公義の道を教え、知識を教え、悟りの道を示したか。

15

הֵן	נֶחְשָׁבוּ	מֹאזְנַיִם	וּכְשַׁחַק	מִדְּלִי	כְּמַר	גּוֹיִם	הֵן
見よ	みなされる	天秤の	そして–ちりの–ように	桶からの	しずくの–ように	国々は	見よ
H2005	H2803	H3976	H7834	H1805	H4752		H2005
				יִטּוֹל׃	כַּדָּק	אִיִּים	
				持ち–上げる	塵の–ように	島々を	
				H5190	H1851	H0339	

見よ、もろもろの国民は、おけの一しずくのように、はかりの上のちりのように思われる。見よ、主は島々を、ほこりのようにあげられる。

16

דֵּי	אֵין	וְחַיָּתוֹ	בָּעֵר	דֵּי	אֵין	וּלְבָנוֹן
十分では	ない	そして–その–獣も	燃やす–ために	十分では	ない	そして–レバノンも
H1767	H0369			H1767	H0369	H3844
				ס	עוֹלָֽה׃	
				—	チ焼げ物の–ために	

レバノンは、たきぎに足りない、またその獣は、燔祭に足りない。

17

לוֹ׃	נֶחְשְׁבוּ־	וָתֹהוּ	מֵאָפֵס	נֶגְדּוֹ	כְּאַיִן	הַגּוֹיִם	כָּל־
その方には	みなされる	混沌と–して	空と	その–前に	無に–等しい	国々は	すべての
	H2803	H8414		H5048	H0369		H3605

主のみ前には、もろもろの国民は無きにひとしい。彼らは主によって、無きもののように、むなしいもののように思われる。

18

לוֹ׃	תַּעַרְכוּ	דְּמוּת	וּמַה־	אֵל	תְּדַמְיוֹן	מִי	וְאֶל־	
その方に	当てはめる–のか	形を	そして–何の	神を	たとえる–のか	誰に	そして–に	
		H1823	H4100	H0410	H1819	H4310	H0413	

それで、あなたがたは神をだれとくらべ、どんな像と比較しようとするのか。

19

צוֹרֵף׃	כֶּסֶף	וּרְתָקוֹת	יְרַקְּעֵנּוּ	בַּזָּהָב	וְצֹרֵף	חָרָשׁ	נָסַךְ	הַפֶּסֶל
作る	銀の	そして–鎖を	縄う	金で	そして–金細工師が	職人が	鋳つ	像を
H6884	H3701	H7577	H7554	H2091	H6884	H2796		H6459

偶像は細工人が鋳て造り、鍛冶が、金をもって、それをおおい、また、これがために銀の鎖を造る。

20 הַמְסֻכָּן תְּרוּמָה עֵץ לֹא־ יִרְקַב יִבְחַר חָרָשׁ חָכְם יְבַקֶּשׁ־ לוֹ
貧しくて 供え物の 木を ない 腐らない 選ぶ 職人を 巧みな 探す それに
H8641 H6086 H3808 H7537 H0977 H2796 H2450 H1245

לְהָכִין פֶּסֶל לֹא יְמוֹט׃
立てる–ために 像を ない 動かない
H6459 H3808 H4131

貧しい者は、ささげ物として朽ちることのない木を選び、巧みな細工人を求めて、動くことのない像を立たせる。

21 הֲלוֹא תֵדְעוּ הֲלוֹא תִשְׁמְעוּ הֲלוֹא הֻגַּד מֵרֹאשׁ לָכֶם
ないのか 知らない ないのか 聞かない ないのか 告げられた 初めから おまえたちに
H3808 H3045 H3808 H8085 H3808 H5046 H7218 H3808

הֲבִינֹתֶם מוֹסְדוֹת הָאָרֶץ׃
理解しない 基を 地の
H0995 H4146 H0776

あなたがたは知らなかったか。あなたがたは聞かなかったか。初めから、あなたがたに伝えられなかったか。地の基をおいた時から、あなたがたは悟らなかったか。

22 הַנּוֹטֶה כַּחֲנָבִים וְיֹשְׁבֶיהָ הָאָרֶץ חוּג עַל־ הַיֹּשֵׁב
広げる–方 いなごの–ようである そして–その–住民は 地の 丸い–形の の–上に 座しておられる–方
H5186 H2284 H3427 H0776 H2329 H3427

כְּדֹק שָׁמַיִם וַיִּמְתָּחֵם כְּאֹהֶל לָשָׁבֶת׃
薄布の–ように 天を そして–張る 天幕の–ように 住む–ための
H1852 H8064 H4969 H0168 H3427

主は地球のはるか上に座して、地に住む者をいなごのように見られる。主は天を幕のようにひろげ、これを住むべき天幕のように張り、

23 הַנּוֹתֵן רוֹזְנִים לְאַיִן שֹׁפְטֵי אֶרֶץ כְּתֹהוּ עָשָׂה׃
する–方 君主たちを 無に さばきたちを 地の 空の–ように する
H5414 H7336 H0369 H8199 H0776 H8414

また、もろもろの君を無きものとせられ、地のつかさたちを、むなしくされる。

24 אַף בַּל־ נִטָּעוּ אַף אַל־ זֹרְעוּ אַף אַל־ שֹׁרֶשׁ
まことに ない 植えられても–いない まことに ない まかれても–いない まことに 根が
H0637 H1077 H5193 H0637 H1077 H2232 H0637 H8327

בָּאָרֶץ גִּזְעָם וְגַם־ נָשַׁף בָּהֶם וַיִּבָּשׁוּ וְסַעֲרָה כַקַּשׁ
地に 彼らの–幹は そして–もまた 吹く 彼らに そして–枯れる そして–嵐が わらの–ように
H0776 H1503 H1571 H5398 H3001 H7179

תִּשָּׂאֵם׃ ס
吹き–飛ばす —
H5375

彼らは、かろうじて植えられ、かろうじてまかれ、その幹がかろうじて地に根をおろしたとき、神がその上を吹かれると、彼らは枯れて、わらのように、つむじ風にまき去られる。

25 וְאֶל־ מִי תְדַמְּיוּנִי וְאֶשְׁוֶה יֹאמַר קְדוֹשׁ׃
そして–に 誰に たとえる–のか そして–等しい–というのか 言う 聖なる–方は
H0413 H4310 H1819 H7737 H0559 H6918

聖者は言われる、「それで、あなたがたは、わたしをだれにくらべ、わたしは、だれにひとしいというのか」。

26 שְׂאוּ־ מָרוֹם עֵינֵיכֶם וּרְאוּ מִי־ בָרָא אֵלֶּה הַמּוֹצִיא בְמִסְפָּר
上げよ 高く 目を そして-見よ 誰が 創造した-のか これらを 導き-出す-方 数を-もって
H7311 H4791 H5869 H7200 H4310 H1254 H0428 H3318 H4557

לְכֻלָּם בִּשֵּׁם יִקְרָא מֵרֹב אוֹנִים וְאַמִּיץ כֹּחַ אִישׁ לֹא
すべてを 名で 呼ぶ 多くの 力と そして-強き 力の-ゆえに ひとりも ない
H3605 H8034 H7121 H7230 H0202 H0533 H3581 H0376 H3808

צְבָאָם נֶעְדָּר׃ ס
その-軍勢を 欠けない
H6635 H6485 H5

目を高くあげて、だれが、これらのものを創造したかを見よ。主は数をしらべて万軍をひきいだし、おのおのをその名で呼ばれる。その勢いの大いなるにより、またその力の強きがゆえに、一つも欠けることはない。

27 לָמָּה תֹאמַר יַעֲקֹב וְתְדַבֵּר יִשְׂרָאֵל נִסְתְּרָה דַרְכִּי מֵיְהוָה
なぜ 言う-のか ヤコブよ そして-語る-のか イスラエルよ 隠れている 私の-道は 主から
H4100 H0559 H3290 H1696 H3478 H5641 H1870 H3068

וּמֵאֱלֹהַי מִשְׁפָּטִי יַעֲבוֹר׃
そして-私の-神から 私の-正義は 見過ごされる-と
H0430 H4941 H5674

ヤコブよ、何ゆえあなたは、「わが道は主に隠れている」と言うか。イスラエルよ、何ゆえあなたは、「わが訴えはわが神に顧みられない」と言うか。

28 הֲלוֹא יָדַעְתָּ אִם־ לֹא שָׁמַעְתָּ אֱלֹהֵי עוֹלָם יְהוָה בּוֹרֵא
ない-のか 知っている もし ない 聞いた-のか 神-すなわち 永遠の 主は 創造者である
H3808 H3045 H0518 H3808 H8085 H0430 H5769 H3068 H1254

קְצוֹת הָאָרֶץ לֹא יִיעַף וְלֹא יִיגָע אֵין חֵקֶר לִתְבוּנָתוֹ׃
果ての 地の ない 絆れない そして-ない 疲れない ない 究めが-ない その-英知は
H7098 H0776 H3808 H3286 H3808 H3021 H0369 H2714 H8394

あなたは知らなかったか、あなたは聞かなかったか。主はとこしえの神、地の果の創造者であって、弱ることなく、また疲れることなく、その知恵ははかりがたい。

29 נֹתֵן לַיָּעֵף כֹּחַ וְלָאֵין אוֹנִים עָצְמָה יַרְבֶּה׃
与える 疲れた-者に 力を そして-気力の-ない-者に 力のない-者に 力を 増す
H5414 H3287 H3581 H0369 H0202 H6109 H7235

弱った者には力を与え、勢いのない者には強さを増し加えられる。

30 וְיֵעָפוּ נְעָרִים וְיִגָעוּ וּבַחוּרִים כָּשׁוֹל יִכָּשֵׁלוּ׃
そして-疲れる 若者も そして-給う そして-壮年の-者も つまずき つまずく
H3286 H5288 H3021 H0970 H3782 H3782

年若い者も弱り、かつ疲れ、壮年の者も疲れはてて倒れる。

31 וְקוֵי יְהוָה יַחֲלִיפוּ כֹחַ יַעֲלוּ אֵבֶר כַּנְּשָׁרִים יָרוּצוּ
しかし-待ち-望む-者は 主を 新たに-する 力を 上る 翼を-もって 鷲の-ように 走っても
H6960 H3068 H2498 H3581 H5927 H0083 H5404 H7323

וְלֹא יִיגָעוּ יֵלְכוּ וְלֹא יִיעָפוּ׃ פ
そして-ない 疲れない 歩いても そして-ない 弱らない ―
H3808 H3021 H3212 H3808 H3286 H6

しかし主を待ち望む者は新たなる力を得、わしのように翼をはって、のぼることができる。走っても疲れることなく、歩いても弱ることはない。

Chapter 41

1 הַחֲרִישׁוּ אֵלַי אִיִּים וּלְאֻמִּים יַחֲלִיפוּ כֹחַ יִגְּשׁוּ אָז
静まれ わたしの-前に 島々よ そして-もろもろの-民は 新たにせよ 力を 近づけ
H2413 H0413 H0339 H3816 H2498 H3581 H5066

יְדַבֵּרוּ יַחְדָּו לַמִּשְׁפָּט נִקְרָבָה׃
語れ 共に さばきの-座に 近づこう
H1696 H3162 H4941 H7126

海沿いの国々よ、静かにして、わたしに聞け。もろもろの民よ、力を新たにし、近づいて語れ。われわれは共にさばきの座に近づこう。

2 מִי הֵעִיר מִמִּזְרָח צֶדֶק יִקְרָאֵהוּ לְרַגְלוֹ יִתֵּן לְפָנָיו גּוֹיִם
誰が 起こしたのか 東から 義を 呼んだのか その-足もとに 渡す その-前に 国々を
H4310 H5782 H4217 H6664 H7121 H7272 H5414 H6440

וּמְלָכִים יֹרִד יִתֵּן כֶּעָפָר חַרְבּוֹ כְּקַשׁ נִדָּף
そして-王たちを 踏みにじらせ 与える ちりのように その-剣に もみがらのように 吹き散らされる
H4428 H3212 H5414 H6083 H2719 H7179 H5086

קַשְׁתּוֹ׃
その-弓に
H7198

だれが東から人を起したか。彼はその行く所で勝利をもって迎えられ、もろもろの国を征服し、もろもろの王を足の下に踏みつけ、そのつるぎをもって彼らをちりのようにし、その弓をもって吹き去られる、わらのようにする。

3 יִרְדְּפֵם יַעֲבֹר שָׁלוֹם אֹרַח בִּרַגְלָיו לֹא יָבוֹא׃
追い 通り過ぎる 安全に 道を その-足で 踏まない 踏まない
H7291 H5674 H7965 H0734 H7272 H3808 H0935

彼はこれらの者を追ってその足のまだ踏んだことのない道を、安らかに過ぎて行く。

4 מִי־ פָּעַל וְעָשָׂה קֹרֵא הַדֹּרוֹת מֵרֹאשׁ אֲנִי יְהוָה רִאשׁוֹן
誰が 行い そして-成し遂げたのか 呼ぶ-者 代々を 初めから わたしは 主であり 最初であり
H4310 H6466 H6213 H7121 H1755 H7218 H0589 H3068 H7223

וְאֶת־ אַחֲרֹנִים אֲנִי־ הוּא׃
そして 最後の-者と-共に わたしが それである
H0854 H0314 H0589 H1931

だれがこの事を行ったか、なしたか。だれが初めから世々の人々を呼び出したか。主なるわたしは初めであって、また終りと共にあり、わたしがそれだ。

5 רָאוּ אִיִּים וַיִּירָאוּ קְצוֹת הָאָרֶץ יֶחֱרָדוּ קָרְבוּ וַיֵּאָתָיוּן׃
見た 島々は そして-恐れた 地の-果ては 地の おののいた 近づき そして-来た
H7200 H0339 H3372 H7098 H0776 H2729 H7126 H0857

海沿いの国々は見て恐れ、地の果は、おののき、近づいて来た。

6 אִישׁ אֶת־ רֵעֵהוּ יַעְזֹרוּ וּלְאָחִיו יֹאמַר חֲזָק׃
人は その 隣人を 助ける そして-その-兄弟に 言う 強くあれと
H0376 H0853 H7453 H5826 H0251 H0559 H2388

彼らはおのおのその隣を助け、その兄弟たちに言う、「勇気を出せよ」と。

7

הֹולֵם	אֶת־	פַּטִּישׁ	מַחֲלִיק	צֹרֵף	אֶת־	חָרָשׁ	וַיְחַזֵּק
打つ–者を	を	槌で–打つ–者を	滑らかにする–者は	金細工師を	を	木工は	そして–励ました
H1986	H0853	H6360		H6884	H0853	H2796	H2388

לְאׇ	בְּמַסְמְרִים	וַיְחַזְּקֵהוּ	הׇוּא	טֹוב	לַדֶּבֶק	אֹמֵר	פָּעַם
動かないように	釘で	そして–釘で–固めた	良いと	良い	接ぎ合わせは	言って	金床で
H3808	H4548	H2388	H1931		H1694	H0559	H6471

ס	יְמֹוט׃
—	動かないように
	H4131

細工人は鍛冶を励まし、鎚をもって平らかにする者は金敷きを打つ者に、はんだづけについて言う、「それは良い」と。また、くぎをもってそれを堅くし、動くことのないようにする。

8

זֶרַע	בְּחַרְתִּיךְ	אֲשֶׁר	יַעֲקֹב	עַבְדִּי	יִשְׂרָאֵל	וְאַתָּה
子孫よ	選んだ–者よ	わたしが	ヤコブよ	わが–しもべよ	イスラエルよ	しかし–あなたは
H2233	H0977		H3290	H5650	H3478	

אֹהֲבִי׃	אַבְרָהָם
わが–愛する–者の	アブラハムの
H0157	H0085

しかし、わがしもべイスラエルよ、わたしの選んだヤコブ、わが友アブラハムの子孫よ、

9

קְרָאתִיךְ	וּמֵאֲצִילֶיהָ	הָאָרֶץ	מִקְצוֹת	הֶחֱזַקְתִּיךָ	אֲשֶׁר	
呼んだ–者よ	そして–その–端から	地の	地の–果てから	とらえた–者よ	わたしが	
H7121	H0678	H0776	H7098	H2388		

בְּחַרְתִּיךָ	אַתָּה	עַבְדִּי־	לְךָ	וָאֹמַר	
わたしは–あなたを–選んだ	あなたは	わが–しもべ	あなたに	そして–わたしは–言った	
H0977		H5650		H0559	

מְאַסְתִּיךָ׃	וְלֹא
退けなかった	そして–退けなかった
	H3808

わたしは地の果から、あなたを連れてき、地のすみずみから、あなたを召して、あなたに言った、「あなたは、わたしのしもべ、わたしは、あなたを選んで捨てなかった」と。

10

כִּי־	תִּשְׁתָּע	אַל־	אָנִי	עִמְּךָ־	כִּי	תִירָא	אַל־
なぜなら	おののくな	おののくな	わたしは–いる	あなたと–共に	なぜなら	恐れるな	恐れるな
	H8159	H0408	H0589			H3372	H0408

תְּמַכְתִּיךְ	אַף־	עֲזַרְתִּיךְ	אַף־	אִמַּצְתִּיךָ	אֱלֹהֶיךָ	אֲנִי
支えた	まことに	助けた	まことに	わたしは–あなたを–強めた	あなたの–神である	わたしは
H8551	H0637	H5826	H0637	H0553	H0430	H0589

צִדְקִי׃	בִּימִין
右の–手で	わが–義の
H6664	H3225

恐れてはならない、わたしはあなたと共にいる。驚いてはならない、わたしはあなたの神である。わたしはあなたを強くし、あなたを助け、わが勝利の右の手をもって、あなたをささえる。

11

יִהְיוּ	בָּךְ	הַנֶּחֱרִים	כֹּל	וְיִכָּלְמוּ	יֵבֹשׁוּ	הֵן	
なる	あなたに	あなたに–敵対する–者は	すべての	そして–辱められる	恥を受ける	見よ	
H1961		H2734	H3605	H3637	H0954	H2005	

רִיבֵךְ׃	אַנְשֵׁי	וְיֹאבְדוּ	כְּאַיִן
あなたと–争う	あなたと–争う–者たちは	そして–滅びる	無のように
H7379	H0376	H0006	H0369

見よ、あなたにむかって怒る者はみな、はじて、あわてふためき、あなたと争う者は滅びて無に帰する。

יִהְיוּ	מַצֻּתֶךָ	אַנְשֵׁי	תִמְצָאֵם	וְלֹא	תְבַקְשֵׁם	12
なる	あなたと-争う	あなたと-争う-者たちは	見つからない	しかし-見つからない	あなたが-捜しても	
H1961	H4695	H0376	H4672	H3808	H1245	

מִלְחַמְתֶּךָ׃	אַנְשֵׁי	וּכְאֶפֶס	כְּאָיִן
あなたと-戦う	あなたと-戦う-者たちは	そして-消え失せるように	無のように
H4421	H0376		H0369

あなたは、あなたと争う者を尋ねても見いださず、あなたと戦う者は全く消えうせる。

לְךָ	הָאֹמֵר	יְמִינֶךָ	מַחֲזִיק	אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה	אֲנִי	כִּי	13
あなたに	言う-者	あなたの-右の-手を	握る-者	あなたの-神	主であり	わたしは	なぜなら	
	H0559	H3225	H2388	H0430	H3068	H0589		

ס	עֶזְרְתִּיךָ׃	אֲנִי	תִּירָא	אַל־
—	あなたを-助ける	わたしが	恐れるな	恐れるな
	H5826	H0589	H3372	H0408

あなたの神、主なるわたしはあなたの右の手をとってあなたに言う、「恐れてはならない、わたしはあなたを助ける」。

עֶזְרְתִּיךָ	אֲנִי	יִשְׂרָאֵל	מְתֵי	יַעֲקֹב	תּוֹלַעַת	תִּירְאִי	אַל־	14
あなたを-助ける	わたしが	イスラエルよ	少ない-者たちよ	ヤコブよ	虫けらの	恐れるな	恐れるな	
H5826	H0589	H3478	H4962	H3290		H3372	H0408	

יִשְׂרָאֵל׃	קְדוֹשׁ	וְגֹאֲלֵךְ	יְהוָה	נְאֻם־
イスラエルの	聖なる-者	そして-あなたの-贖い主	主の	主の-告げる-ことば
H3478	H6918		H3068	H5002

主は言われる、「虫にひとしいヤコブよ、イスラエルの人々よ、恐れてはならない。わたしはあなたを助ける。あなたをあがなう者はイスラエルの聖者である。

							15
פִּיפִיּוֹת	בָּעַל	חָדָשׁ	חָרוּץ	לְמוֹרַג	שַׂמְתִּיךְ	הִנֵּה	
二つの-刃を	持つ-者と	新しい	鋭い	脱穀機と	わたしは-あなたを-定めた	見よ	
H6374	H1167	H2319		H4173		H2009	

תָּשִׂים׃	כַּמֹּץ	וּגְבָעוֹת	וְתָדֹק	הָרִים	תָּדוֹשׁ
する	もみがらのように	そして-丘々を	そして-粉々にする	山々を	あなたは-踏み砕く
	H4671	H1389	H1854	H2022	H1758

見よ、わたしはあなたを鋭い歯のある新しい打穀機とする。あなたは山を打って、これを粉々にし、丘をもみがらのようにする。

						16
אוֹתָם	תְּפִיץ	וְסַעֲרָה	תִּשָּׂאֵם	וְרוּחַ	תִּזְרֵם	
それらを	散らす	そして-嵐が	それらを-運び去り	そして-風が	あなたは-あおぎ分ける	
H0853			H5375	H7307	H2219	

פ	תִּתְהַלָּל׃	יִשְׂרָאֵל	בִּקְדוֹשׁ	בַּיהוָה	תָּגִיל	וְאַתָּה
—	誇る	イスラエルの	聖なる-者に-あって	主に-あって	喜ぶ	そして-あなたは
		H3478	H6918	H3068	H1523	

あなたがあおげば風はこれを巻き去り、つむじ風がこれを吹き散らす。あなたは主によって喜びイスラエルの聖者によって誇る。

17

בַּצָּמָא	לְשׁוֹנָם	וָאַיִן	מַיִם	מְבַקְּשִׁים	וְהָאֶבְיוֹנִים	הָעֲנִיִּים
渇きで	その-舌は	しかし-ない	水を	求める	そして-乏しい-者たちは	貧しい-者たちと
H6772	H3956	H0369	H4325	H1245	H0034	H6041

לֹא	יִשְׂרָאֵל	אֱלֹהֵי	אֶעֱנֵם	יְהוָה	אֲנִי	נָשָׂתָה
見捨てない	イスラエルの	イスラエルの-神は	彼らに-答える	主であり	わたしは	干からびた
H3808	H3478	H0430		H3068	H0589	H5405

אֶעֱזְבֵם׃
見捨てない

貧しい者と乏しい者とは水を求めても、水がなく、その舌がかわいて焼けているとき、主なるわたしは彼らに答える、イスラエルの神なるわたしは彼らを捨てることがない。

18

אֶשָּׂים	מַעְיָנוֹת	בְּקָעוֹת	וּבְתוֹךְ	נְהָרוֹת	שְׁפָיִם	עַל־	אֶפְתָּח
わたしは-変える	泉を	谷の	そして-谷の-中に	川を	裸の-丘に	裸の-丘に	わたしは-開く
	H4599	H1237	H8432	H5104	H8205		

מָיִם׃	לְמוֹצָאֵי	צִיָּה	וְאֶרֶץ	מַיִם	לַאֲגַם־	מִדְבָּר
水の	水の-出る-所と	乾いた	そして-乾いた-地を	水の	水の-池に	荒れ野を
H4325	H4161	H6723	H0776	H4325	H0098	

わたしは裸の山に川を開き、谷の中に泉をいだし、荒野を池となし、かわいた地を水の源とする。

19

שֶׁמֶן	וְעֵץ	וַהֲדַס	שִׁטָּה	אֶרֶז	בַּמִּדְבָּר	אֶתֵּן
木を	そして-オリーブの	そして-ミルトスを	アカシアを	杉を	荒れ野に	わたしは-植える
H8081	H6086	H1918	H7848	H0730		H5414

יַחְדָּו׃	וּתְאַשּׁוּר	תִּדְהָר	בְּרוֹשׁ	בָּעֲרָבָה	אָשִׂים
共に	そして-檜を	にれの木を	糸杉を	荒れ地に	わたしは-置く
	H8391	H8410	H1265	H6160	

わたしは荒野に香柏、アカシヤ、ミルトスおよびオリブの木を植え、さばくに、いとすぎ、すずかけ、からまつをともに置く。

20

יַד־	כִּי	יַחְדָּו	וְיַשְׂכִּילוּ	וְיָשִׂימוּ	וְיֵדְעוּ	יִרְאוּ	לְמַעַן
主の-手が	すなわち	共に	そして-悟る-ためである	そして-心に-留め	そして-知り	見て	それは
H3027					H3045	H7200	H4616

פ	בְּרָאָהּ׃	יִשְׂרָאֵל	וּקְדוֹשׁ	זֹאת	עָשְׂתָה	יְהוָה
—	これを-創造した	イスラエルの	そして-聖なる-者が	これを	これを-行った	主の
		H3478	H6918	H2063		H3068

人々はこれを見て、主のみ手がこれをなし、イスラエルの聖者がこれを創造されたことを知り、かつ、よく考えて共に悟る」。

21

מֶלֶךְ	יֹאמַר	עֲצֻמוֹתֵיכֶם	הַגִּישׁוּ	יְהוָה	יֹאמַר	רִיבְכֶם	קָרְבוּ
王は	言われる	あなたがたの-証拠を	持ち出せ	主は	言われる	あなたがたの-訴えを	差し出せ
H4428	H0559	H6110	H5066	H3068	H0559	H7379	H7126

יַעֲקֹב׃
ヤコブの
H3290

主は言われる、「あなたがたの訴えを出せ」と。ヤコブの王は言われる、「あなたがたの証拠を持ってこい。

22 יַגִּישׁוּ֙ וְיַגִּ֣ידוּ לָ֔נוּ אֵ֥ת אֲשֶׁ֖ר תִּקְרֶ֑ינָה הָרִאשֹׁנ֣וֹת
持ち出せ そして–告げよ わたしたちに を これから 起こることを 初めの–ことを
H5066 H5046 H0853 H7223

מָ֚ה הֻגַּ֣דוּ לְבֵּ֔נוּ וְנָשִׂ֖ימָה
それは–何で–あったか 告げよ 何で わたしたちの–心に そして–わたしたちは–心に–留め
H4100 H5046 H2007

וְנֵדְעָ֣ה אַחֲרִיתָ֔ן אוֹ֙ הַבָּא֣וֹת הַשְׁמִיעֵ֖נוּ׃
そして–その–結末を–知る その–結末を あるいは 来る–ことを 聞かせよ
H3045 H0319 H0935 H8085

それを持ってきて、起るべき事をわれわれに告げよ。さきの事どもの何であるかを告げよ。われわれはよく考えて、その結末を知ろう。あるいはきたるべき事をわれわれに聞かせよ。

23 אַתֶּ֣ם אֱלֹהִ֔ים כִּ֚י וְנֵדְעָ֣ה לְאָח֔וֹר הָאֹתִיּ֖וֹת הַגִּ֑ידוּ
あなたがたが 神で–ある–ことを まことに そして–わたしたちは–知る この–あと しるしを 告げよ
H0430 H3045 H0268 H0857 H5046

וְנִרְאֶה(וְנִרְאֶה֙) [ונרא] וְנִשְׁתָּעָ֔ה וְתֵֽיטִ֖יבוּ וְתָרֵ֑עוּ אַף־ יַחְדָּֽו׃
そして–見る — そして–わたしたちは–驚き あるいは–悪を–行え 善を–行い まことに 共に
H7200 H7200 H8159 H3190 H0637

この後きたるべき事をわれわれに告げよ。われわれはあなたがたが神であることを知るであろう。幸をくだし、あるいは災をくだせ。われわれは驚いて肝をつぶすであろう。

24 הֵ֣ן אַתֶּ֗ם מֵאָ֙יִן֙ וּפָעֳלְכֶ֣ם מֵאָ֔פַע תּוֹעֵבָ֖ה
見よ あなたがたは 無から–の–者 そして–あなたがたの–わざは 無から–の–もの 忌むべき–者が
H2005 H0369 H6467 H0659 H8441

יִבְחַ֥ר בָּכֶֽם׃
選ぶ あなたがたを
H0977

見よ、あなたがたは無きものである。あなたがたのわざはむなしい。あなたがたを選ぶ者は憎むべき者である」。

25 הַעִירוֹתִי֙ מִצָּפ֣וֹן וַיָּבֹ֔א מִמִּזְרַח־ שֶׁ֖מֶשׁ יִקְרָ֣א
わたしは–起こした 北から そして–彼は–来た 日の–出る–ところから 日の 呼ぶ–者は
H5782 H6828 H0857 H4217 H8121 H7121

בִּשְׁמִ֑י וְיָבֹ֤א סְגָנִים֙ כְּמוֹ־ כְּמ֣וֹ חֹ֔מֶר וּכְמ֥וֹ יוֹצֵ֖ר
わが–名によって そして–彼は–来る 総督たちを 泥のように 泥のように そして–ちょうど 陶器師が
H8034 H0935 H5461 H3644 H2563 H3644 H3335

יִרְמָֽס־ טִֽיט׃
踏みつける–ように 粘土を
H7429 H2916

わたしはひとりを起して北からこさせ、わが名を呼ぶ者を東からこさせる。彼はもろもろのつかさを踏みつけてしっくいのようにし、陶器師が粘土を踏むようにする。

26 מִ֣י הִגִּ֔יד מֵרֹאשׁ֙ וְנֵדָ֔עָה וּמִלְּפָנִ֖ים
誰が 告げたか 初めから そして–わたしたちが–知る–ように そして–以前から
H4310 H5046 H7225 H3045 H6440

וְנֹאמַ֑ר אֵ֣ין מַגִּ֔יד אַ֚ף אֵ֣ין שֹׁמֵ֔עַ אַ֚ף אֵ֣ין אֹמְרֵיכֶֽם׃
そして–わたしたちが–言う–ように いない 告げる–者は まことに いない 聞く–者は まことに いない あなたがたの–ことばを
H0559 H6662 H0637 H0369 H0637 H0369 H0561

だれか、初めからこの事をわれわれに告げ知らせたか。だれか、あらかじめわれわれに告げて、「彼は正しい」と言わせたか。ひとりもこの事を告げた者はない。ひとりも聞かせた者はない。ひとりもあなたがたの言葉を聞いた者はない。

מְבַשֵּׂר 喜びの–知らせを–伝える–者を H1319	וְלִירוּשָׁלַ֫ם そして–エルサレムに H3389	הִנָּם 見よ–彼らがいる H2009	הִנֵּה 見よ H2009	לְצִיּוֹן シオンに H6726	רִאשׁוֹן 最初に H7223		27
						אֶתֵּן׃ わたしは–与える H5414	

わたしははじめてこれをシオンに告げた。わたしは、よきおとずれを伝える者をエルサレムに与える。

יוֹעֵץ 助言する–者が H3289	וְאֵין しかし–いない H0369	וּמֵאֵלֶּה そして–これらの–中に H0428	אִישׁ 人が H0376	וְאֵין しかし–いない H0369	וְאֶרְאֶ֫ そして–わたしが–見ても H7200		28
						דָּבָר׃ ことばを H1697	וְיָשִׁיבוּ そして–答える–者は H7725	וְאֶשְׁאָלֵ֫ם そして–わたしが–問うても H7592

しかし、わたしが見ると、ひとりもない。彼らのなかには、わたしが尋ねても答えうる助言者はひとりもない。

וָתֹהוּ そして–混沌である H8414	רוּחַ 風であり H7307	מַעֲשֵׂיהֶם その–わざは H4639	אֶפֶס むなしい	אָוֶן 偽りであり H0205	כֻּלָּם 彼ら–すべては H3605	הֶן 見よ H2005	29
						פ —	נְסִכֵיהֶם׃ その–鋳造の–像は H5262

見よ、彼らはみな人を惑わす者であって、そのわざは無きもの、その鋳た像はむなしき風である。

Chapter 42

נָתַתִּי わたしは–与えた H5414	נַפְשִׁי わが–魂が H5315	רָצְתָה 喜んだ H7521	בְּחִירִי わが–選んだ–者 H0972	בּוֹ 彼を	אֶתְמָךְ־ わたしが–支える H8551	עַבְדִּי わが–しもべ H5650	הֶן 見よ H2005	1
							יוֹצִיא׃ もたらす H3318	לַגּוֹיִם 諸国の–民に	מִשְׁפָּט 公正を H4941	עָלָיו 彼の–上に	רוּחִי わが–霊を H7307

わたしの支持するわがしもべ、わたしの喜ぶわが選び人を見よ。わたしはわが霊を彼に与えた。彼はもろもろの国びとに道をしめす。

בַּחוּץ ちまたで H2351	יַשְׁמִיעַ 聞かせない H8085	וְלֹא־ そして–聞かせない H3808	יִשָּׂא 声を–上げない H5375	וְלֹא そして–声を–上げない H3808	יִצְעַק 叫ばない H6817	לֹא 叫ばない H3808	2
						קוֹלוֹ׃ その–声を	

彼は叫ぶことなく、声をあげることなく、その声をちまたに聞えさせず、

3 קָנֶה רָצוּץ לֹא יִשְׁבֹּור וּפִשְׁתָּה כֵהָה לֹא יְכַבֶּנָּה
蓄んだ-蓋を 強いられた 折らない 折らない そして-くすぶる-灯心を くすぶる 消さない 消さない
H7070 H7533 H3808 H7665 H6594 H3544 H3808 H3518

לֶאֱמֶת יוֹצִיא מִשְׁפָּט׃
誠実に もたらす 公正を
H0571 H3318 H4941

また傷ついた葦を折ることなく、ほのぐらい灯心を消すことなく、真実をもって道をしめす。

4 לֹא יִכְהֶה וְלֹא יָרוּץ עַד־ יָשִׂים בָּאָרֶץ מִשְׁפָּט
弱らない 弱らない そして-くじけない くじけない まで 立てるまで 地に 公正を
H3808 H3808 H3808 H7533 H5704 H0776 H4941

וּלְתוֹרָתוֹ אִיִּים יְיַחֵלוּ׃ פ
そして-その-教えを 島々が 待ち望む —
H8451 H0339 H3176

彼は衰えず、落胆せず、ついに道を地に確立する。海沿いの国々はその教を待ち望む。

5 כֹּה־ אָמַר יְהוָה הָאֵל בּוֹרֵא הַשָּׁמַיִם וְנוֹטֵיהֶם
このように 言われる 主は まことの-神 創造した-者 天を そして-それを-広げた-者
H3541 H0559 H3068 H0410 H1980 H8064 H5186

רֹקַע הָאָרֶץ וְצֶאֱצָאֶיהָ נֹתֵן נְשָׁמָה לָעָם עָלֶיהָ וְרוּחַ
敷いた-者 地を そして-その-産物を 与える-者 息吹きを その-上の-民に その-上の そして-霊を
H7554 H0776 H6631 H5414 H5397 H1980 H5307

לַהֹלְכִים בָּהּ׃
その-上を その-上を-歩む-者たちに
H1980

天を創造してこれをのべ、地とそれに生ずるものをひらき、その上の民に息を与え、その中を歩む者に霊を与えられる主なる神はこう言われる、

6 אֲנִי יְהוָה קְרָאתִיךָ בְצֶדֶק וְאַחֲזִק בְּיָדֶךָ
わたしは 主であり 呼んだ-あなたを 義を-もって そして-あなたの-手を-握り あなたの-手を
H0589 H3068 H7121 H6664 H2388 H3027

וְאֶצָּרְךָ וְאֶתְּנְךָ לִבְרִית עָם לְאוֹר גּוֹיִם׃
そして-あなたを-守り そして-あなたを-立てる 民の 契約と 諸国の-民の-光と 諸国の-民の
H5341 H5414 H1285 H5971 H0216

「主なるわたしは正義をもってあなたを召した。わたしはあなたの手をとり、あなたを守った。わたしはあなたを民の契約とし、もろもろの国びとの光として与え、

7 לִפְקֹחַ עֵינַיִם עִוְרוֹת לְהוֹצִיא מִמַּסְגֵּר אַסִּיר מִבֵּית כֶּלֶא
開くために 目を 盲いた-目を 導き出すために 牢獄から 囚人を 獄の-家から 獄の
H6491 H5787 H3318 H4525 H0616 H1004 H3608

יֹשְׁבֵי חֹשֶׁךְ׃
座る-者たちを 闇の-中に
H3427 H2822

盲人の目を開き、囚人を地下の獄屋から出し、暗きに座する者を獄屋から出させる。

8 אֲנִי יְהוָה הוּא שְׁמִי וּכְבוֹדִי לְאַחֵר לֹא־ אֶתֵּן
わたしは 主である それが わが-名である わが-栄光を 他の-者に 与えない 与えない
H0589 H3068 H1931 H8034 H3519 H0312 H3808 H5414

וְתִהִלָּתִי לַפְּסִילִים׃
そして-わが-賛美を 偶像たちにも
H8416 H6456

わたしは主である、これがわたしの名である。わたしはわが栄光をほかの者に与えない。また、わが誉を刻んだ像に与えない。

תִּצְמַחְנָה	בְּטֶרֶם	מַגִּיד	אֲנִי	וַחֲדָשׁוֹת	בָּאוּ	הִנֵּה־	הָרִאשֹׁנוֹת	9
芽生える	芽生える-前に	告げる	わたしは	そして-新しい-ことを	成就した	見よ	初めの-ことは	
H6779	H2962	H5046	H0589	H2319	H0935	H2009	H7223	

פ	אֶתְכֶם׃	אַשְׁמִיע	
—	あなたがたに	聞かせる	
	H0853	H8085	

見よ、さきに預言した事は起った。わたしは新しい事を告げよう。その事がまだ起らない前に、わたしはまず、あなたがたに知らせよう」。

הַיָּם	יוֹרְדֵי	הָאָרֶץ	מִקְצֵה	תְּהִלָּתוֹ	חָדָשׁ	שִׁיר	לַיהוָה	שִׁירוּ	10
海に	海に-降りる-者たちよ	地の	地の-果てから	その-賛美を	新しい	歌を	主に	歌え	
H3220	H3381	H0776		H8416	H2319		H3068	H7891	

וְיֹשְׁבֵיהֶם׃	אִיִּים	וּמְלֹאוֹ	
そして-その-住民たちよ	島々よ	そして-その-満ちる-ものよ	
H3427	H0339	H4393	

主にむかって新しき歌をうたえ。地の果から主をほめたたえよ。海とその中に満ちるもの、海沿いの国々とそれに住む者とは鳴りどよめ。

סֶּלַע	יֹשְׁבֵי	רָנְנוּ	קֵדָר	תֵּשֵׁב	חֲצֵרִים	וְעָרָיו	מִדְבָּר	יִשְׂאוּ	11
岩山の	住む-者たちよ	歌え	ケダルの	住む	宿営地よ	そして-その-町々よ	荒れ野と	山あげよ	
H5554	H3427		H6938	H3427				H5375	

יְצֹוָחוּ׃	הָרִים	מֵרֹאשׁ	
叫べ	山々の	山々の-頂から	
H6681	H2022		

荒野とその中のもろもろの町と、ケダルびとの住むもろもろの村里は声をあげよ。セラの民は喜びうたえ。山の頂から呼ばわり叫べ。

יַגִּידוּ׃	בָּאִיִּים	וּתְהִלָּתוֹ	כָּבוֹד	לַיהוָה	יָשִׂימוּ	12
告げよ	島々で	そして-その-賛美を	栄光を	主に	帰せよ	
H5046	H0339	H8416	H3519	H3068		

栄光を主に帰し、その誉を海沿いの国々で語り告げよ。

יָרִיעַ	קַנְאָה	יָעִיר	מִלְחָמוֹת	כְּאִישׁ	יֵצֵא	כַּגִּבּוֹר	יְהוָה		13
雄叫びを-あげる	熱情を	奴い立たせる	戦人のように	戦人のように	出て行く	勇士のように	主は		
H7321	H7068	H5782	H4421	H0376	H3318	H1368	H3068		

ס	יִתְגַּבָּר׃	אֹיְבָיו	עַל־	יַצְרִיחַ	אַף־
—	打ち勝つ	その-敵に	に-対して	響かせる	まことに
	H1396	H0341		H6873	H0637

主は勇士のように出て行き、いくさ人のように熱心を起し、ときの声をあげて呼ばわり、その敵にむかって大能をあらわされる。

אֶשֹּׁם	אֶפְעֶה	כַּיּוֹלֵדָה	אֶתְאַפָּק	אַחֲרִישׁ	מֵעוֹלָם	הֶחֱשֵׁיתִי		14
あえぎ	おえぎ	産婦のように	忍びていた	黙っていた	永く-から	わたしは-沈黙した		
H5395	H6463	H3205	H0662		H5769	H2814		

יָחַד׃	וְאֶשְׁאַף
共に	そして-深く-息を-する

わたしは久しく声を出さず、黙して、おのれをおさえていた。今わたしは子を産もうとする女のように叫ぶ。わたしの息は切れ、かつあえぐ。

15 אַחֲרִיב הָרִים וּגְבָעוֹת אוֹבִישׁ וְכָל־עֲשְׂבָם
わたしは-荒らす 山々と そして-丘々を 枯らす すべての-草を
H2022 H1389 H3001 H6212

וְשַׂמְתִּי נְהָרוֹת לָאִיִּים וַאֲגַמִּים אוֹבִישׁ׃
そして-わたしは-変える 川を 島々と そして-池を 渇かす
H5104 H0339 H0098 H3001

わたしは山と丘とを荒し、すべての草を枯らし、もろもろの川を島とし、もろもろの池をからす。

16 וְהוֹלַכְתִּי עִוְרִים בְּדֶרֶךְ לֹא יָדָעוּ בִּנְתִיבוֹת לֹא־יָדָעוּ
そして-わたしは-導く 盲人たちを 知らない-道で 知らない 知らない-小道で 知らない
H3212 H5787 H1870 H3808 H3045 H3808

אָשִׂים מַחְשָׁךְ לִפְנֵיהֶם לָאוֹר וּמַעֲקַשִּׁים לְמִישׁוֹר אַדְרִיכֵם אֵלֶּה הַדְּבָרִים עָשִׂיתִם וְלֹא עֲזַבְתִּים׃
わたしは-変える 闇を 彼らの-前で 光に そして-曲がった-道を わたしは-導く これらの ことを わたしは-行い そして-見捨てない 見捨てない
H7760 H4285 H6440 H0216 H4625 H1869 H0428 H1697 H6213 H3808

わたしは目しいを彼らのまだ知らない大路に行かせ、まだ知らない道に導き、暗きをその前に光とし、高低のある所を平らにする。わたしはこれらの事をおこなって彼らを捨てない。

17 נָסֹגוּ אָחוֹר יֵבֹשׁוּ בֹּשֶׁת הַבֹּטְחִים בַּפֶּסֶל הָאֹמְרִים לְמַסֵּכָה
退く 後ろに 恥じる 恥を 信頼する-者たちは 偶像に 言う-者たちは 鋳造の-像に
H5472 H0268 H0954 H1322 H0982 H6459 H0559

אַתֶּם אֱלֹהֵינוּ׃ ס
あなたがたが わたしたちの-神であると —
H0430

刻んだ偶像に頼み、鋳た偶像にむかって「あなたがたは、われわれの神である」と言う者は退けられて、大いに恥をかく。

18 הַחֵרְשִׁים שִׁמְעוּ וְהָעִוְרִים הַבִּיטוּ לִרְאוֹת׃
耳の-聞こえない-者たちよ 聞け そして-目の-見えない-者たちよ 見よ 見るために
H2795 H8085 H5787 H5027 H7200

耳しいよ、聞け。目しいよ、目を注いで見よ。

19 מִי עִוֵּר כִּי אִם־עַבְדִּי וְחֵרֵשׁ
誰が 盲いのか ただ わが-しもべでないなら そして-耳の-聞こえない-者は
H4310 H5787 H3588 H5650 H2795

כְּמַלְאָכִי אֶשְׁלָח מִי עִוֵּר כְּמְשֻׁלָּם וְעִוֵּר כְּעַבֶד יְהוָה׃
わが-使者のように わたしが-遣わす-者のように 誰が 盲いのか 忠実な-者のように そして-盲い 主の 主の-しもべのように
H4397 H7971 H4310 H5787 H8003 H5787 H3068 H5650

だれか、わがしもべのほかに目しいがあるか。だれか、わがつかわす使者のような耳しいがあるか。だれか、わが献身者のような目しいがあるか。だれか、主のしもべのような目しいがあるか。

20 [ראית] — H7200 (רָאוֹת) 見ることは H7200 רַבּוֹת 多い H3808 וְלֹא しかし–心に–留めない H8104 תִּשְׁמֹר 心に–留めない H6491 פָּקוֹחַ 耳は–開かれているが H0241 אָזְנַיִם 耳は

יִשְׁמָע׃ 聞かない H8085 וְלֹא しかし–聞かない H3808

彼は多くの事を見ても認めず、耳を開いても聞かない。

21 יְהוָה 主は H3068 חָפֵץ 喜んだ H4616 לְמַעַן その–義の–ために H6664 צִדְקוֹ その–義の H1431 יַגְדִּיל 大いにする H8451 תּוֹרָה 律法を H0142 וְיַאְדִּיר׃ そして–輝かす

主はおのれの義のために、その教を大いなるものとし、かつ光栄あるものとすることを喜ばれた。

22 וְהוּא しかし–これは H1931 עַם־ 奪われた–民 H0962 בָּזוּז 奪われた H8154 וְשָׁסוּי そして–踏みにじられた H6351 הָפֵחַ 罠に–かけられた H2352 בְּחוּרִים 穴の–中に H3605 כֻּלָּם 彼ら–皆

וּבְבָתֵּי そして–牢獄の–家に H3608 כְלָאִים 牢獄の H2244 הָחְבָּאוּ 隠された H1961 הָיוּ なった H0957 לָבַז 略奪物に H0369 וְאֵין しかし–いない H5337 מַצִּיל 救う–者が H4933 מִשִּׁסָּה 分捨て物に

וְאֵין־ そして–いない H0369 אֹמֵר 言う–者が H0559 הָשֵׁב׃ 返せと H7725

ところが、この民はかすめられ、奪われて、みな穴の中に捕われ、獄屋の中に閉じこめられた。彼らはかすめられても助ける者がなく、物を奪われても「もどせ」と言う者もない。

23 מִי 誰が H4310 בָכֶם あなたがたの–中に H0238 יַאֲזִין 耳を–傾けるのか H2063 זֹאת これに H7181 יַקְשֵׁב 注意して H8085 וְיִשְׁמַע そして–聞いて H0268 לָאָחוֹר׃ 後の–ことを

あなたがたのうち、だれがこの事に耳を傾けるだろうか、だれが心をもちいて後のためにこれを聞くだろうか。

24 מִי־ 誰が H4310 נָתַן 渡したのか H5414 [למשוסה] — H4933 (לְמִשֹּׁסָה) 略奪に H4933 יַעֲקֹב ヤコブを H3290 וְיִשְׂרָאֵל そして–イスラエルを H3478 לְבֹזְזִים 奪う–者たちに H0962

הֲלוֹא ではないか H3808 יְהוָה 主である H3068 זוּ この–方に–対して H2098 חָטָאנוּ わたしたちは–罪を–犯した H2398 לוֹ この–方に

וְלֹא־ そして–彼らは–歩まなかった H3808 אָבוּ 歩まなかった H0014 בִּדְרָכָיו その–道を H1870 הָלוֹךְ 歩むことを H1980 וְלֹא そして–聞かなかった H3808 שָׁמְעוּ 聞かなかった H8085

בְּתוֹרָתוֹ׃ その–律法に H8451

ヤコブを奪わせた者はだれか。かすめる者にイスラエルをわたした者はだれか。これは主ではないか。われわれは主にむかって罪を犯し、その道に歩むことを好まず、またその教に従うことを好まなかった。

25 וַיִּשְׁפֹּךְ עָלָיו חֲמָה אַפּוֹ וְעֻזּוּז מִלְחָמָה
そこで–注いだ 彼らの–上に 怒りを その–怒りと そして–戦いの–猛威を 戦いの
H8210 H2534 H0639 H5807 H4421

וַתְּלַהֲטֵהוּ מִסָּבִיב וְלֹא יָדָע וַתִּבְעַר־בּוֹ
そして–それは–彼を–焦がした 四方から しかし–気づかなかった 気づかなかった そして–それは–燃えた
H3857 H5439 H3808 H3045

פ לֵב׃ עַל־לֵב יָשִׂים וְלֹא־
— 心に 心に 心に–留めなかった しかし–心に 彼の–中で
H3808

それゆえ、主は激しい怒りと、猛烈な戦いを彼らに臨ませられた。それが火のように周囲に燃えても、彼らは悟らず、彼らを焼いても、心にとめなかった。

Chapter 43

1 וְעַתָּה כֹּה־אָמַר יְהוָה בֹּרַאֲךָ יַעֲקֹב
そして–今 このように 言われる 主は あなたを–創造した–者 ヤコブよ
H6258 H3541 H0559 H3068 H3290

וְיֹצֶרְךָ יִשְׂרָאֵל אַל־תִּירָא כִּי גְאַלְתִּיךָ
そして–あなたを–形造った–者 イスラエルよ 恐れるな なぜなら わたしは–あなたを–贖った
H3335 H3478 H0408 H3372

קָרָאתִי בְשִׁמְךָ לִי־אָתָּה׃
呼んだ あなたの–名で わたしの–もの あなたは
H7121 H8034

ヤコブよ、あなたを創造された主はこう言われる。イスラエルよ、あなたを造られた主はいまこう言われる、「恐れるな、わたしはあなたをあがなった。わたしはあなたの名を呼んだ、あなたはわたしのものだ。

2 כִּי־תַעֲבֹר בַּמַּיִם אִתְּךָ אָנִי וּבַנְּהָרוֹת לֹא יִשְׁטְפוּךָ
たとえ 渡るとき 水の–中を あなたと–共に わたしは–いる そして–川の–中でも 押し流さない
H3808 H7857 H4325 H0854 H0589 H5104

כִּי־תֵלֵךְ בְּמוֹ־אֵשׁ לֹא תִכָּוֶה וְלֶהָבָה לֹא תִבְעַר־בָּךְ׃
たとえ 歩むとき 火の–中を 火の 焦けない そして–炎も 燃えない
H3212 H1119 H0784 H3808 H3554 H3852 H3808

あなたが水の中を過ぎるとき、わたしはあなたと共におる。川の中を過ぎるとき、水はあなたの上にあふれることがない。あなたが火の中を行くとき、焼かれることもなく、炎もあなたに燃えつくことがない。

3 כִּי אֲנִי יְהוָה אֱלֹהֶיךָ קְדוֹשׁ יִשְׂרָאֵל מוֹשִׁיעֶךָ
なぜなら わたしは 主であり あなたの–神 聖なる–者 イスラエルの あなたの–救い–主
H3467 H3478 H6918 H0430 H3068 H0589

נָתַתִּי כָפְרְךָ מִצְרַיִם כּוּשׁ וּסְבָא תַּחְתֶּיךָ׃
わたしは–与えた あなたの–贖いとして エジプトを クシュと そして–セバを あなたの–代わりに
H5414 H4714 H5434 H8478

わたしはあなたの神、主である、イスラエルの聖者、あなたの救主である。わたしはエジプトを与えてあなたのあがないしろとし、エチオピヤとセバとをあなたの代りとする。

4

וְאֶתֵּן	אֲהַבְתִּיךָ	וַאֲנִי	נִכְבַּדְתָּ	בְעֵינַי	יָקָרְתָּ	מֵאֲשֶׁר
そこで–わたしは–与える	あなたを–愛する	そして–わたしは	貴いから	わが–目に	尊いから	あなたが
H5414	H0157	H0589	H3513		H3365	

נַפְשֶׁךָ׃	תַּחַת	וּלְאֻמִּים	תַּחְתֶּיךָ	אָדָם	
あなたの–いのちの	代わりに	そして–諸国の–民を	あなたの–代わりに	人々を	
H5315	H8478	H3816	H8478	H0120	

あなたはわが目に尊く、重んぜられるもの、わたしはあなたを愛するがゆえに、あなたの代りに人を与え、あなたの命の代りに民を与える。

5

אָבִיא	מִמִּזְרָח	אֲנִי	אִתְּךָ־	כִּי	תִירָא	אַל־
わたしは–連れ来る	東から	わたしは–いる	あなたと–共に	なぜなら	恐れるな	恐れるな
H0935	H4217	H0589	H0854		H3372	H0408

אֲקַבְּצֶךָּ׃	וּמִמַּעֲרָב	זַרְעֶךָ
集める	そして–西から	あなたの–子孫を
H6908	H4628	H2233

恐れるな、わたしはあなたと共におる。わたしは、あなたの子孫を東からこさせ、西からあなたを集める。

6

בָּנַי	הָבִיאִי	תִּכְלָאִי	אַל־	וּלְתֵימָן	תְּנִי	לַצָּפוֹן	אֹמַר
わが–息子たちを	連れ来い	引き止めるな	引き止めるな	そして–南に	渡せと	北に	わたしは–言う
	H0935	H3607	H0408	H8486	H5414	H6828	H0559

הָאָרֶץ׃	מִקְצֵה	וּבְנוֹתַי	מֵרָחוֹק
地の	地の–果てから	そして–わが–娘たちを	わが–息子たちを
H0776		H1323	H7350

わたしは北にむかって『ゆるせ』と言い、南にむかって『留めるな』と言う。わが子らを遠くからこさせ、わが娘らを地の果からこさせよ。

7

בְּרָאתִיו	וְלִכְבוֹדִי	בִּשְׁמִי	הַנִּקְרָא	כֹּל	
わたしが–創造した–者を	そして–わが–栄光の–ために	わが–名で	わが–名で–呼ばれる–者を	すべての	
	H3519	H8034	H7121	H3605	

עֲשִׂיתִיו׃	אַף־	יְצַרְתִּיו	
わたしが–造った–者を	まことに	わたしが–形造った–者を	
	H0637	H3335	

すべてわが名をもってとなえられる者をこさせよ。わたしは彼らをわが栄光のために創造し、これを造り、これを仕立てた」。

8

וְאָזְנַיִם	וְחֵרְשִׁים	יֵשׁ	וְעֵינַיִם	עִוֵּר	עַם־	הוֹצִיא	
そして–耳が	そして–耳の–聞こえない–者を	目が–ある	しかし–目が–あり	盲い	盲い–民を	連れ出せ	
H0241	H2795	H3426		H5787		H3318	

לָמוֹ׃
彼らには–ある

目があっても目しいのような民、耳があっても耳しいのような民を連れ出せ。

9

מִי	לְאֻמִּים	וַיֵּאָסְפוּ	יַחְדָּו	נִקְבְּצוּ	הַגּוֹיִם	כָּל־
誰が	もろもろの-民が	そして-もろもろの-民が-集まれ	共に	集まれ	国々が	すべての
H4310	H3816	H0622		H6908		H3605

עֵדֵיהֶם	וְיִתְּנוּ	וְיִשְׁמְעוּ	וְרִאשֹׁנוֹת	זֹאת	יַגִּיד	בָּהֶם
証人を	彼らに-出させるがよい	聞かせるのか	そして-初めの-ことを	これを	告げるのか	彼らの-中で
H5707	H5414	H8085	H7223	H2063	H5046	

וְיֹאמְרוּ	וְיִשְׁמְעוּ	וְיִצְדָּקוּ	אֱמֶת׃
そして-言わせるがよい	そして-聞かせるがよい	そして-義と-されるがよい	真実であると
H0559	H8085	H6663	H0571

国々はみな相つどい、もろもろの民は集まれ。彼らのうち、だれがこの事を告げ、さきの事どもを、われわれに聞かせることができるか。その証人を出して、おのれの正しい事を証明させ、それを聞いて「これは真実だ」と言わせよ。

10

אֲשֶׁר	וְעַבְדִּי	יְהוָה	נְאֻם־	עֵדַי	אַתֶּם	
わたしが	そして-わが-しもべである	主の	主の-告げる-ことば	わが-証人である	あなたがたは	
	H5650	H3068	H5002	H5707		

כִּי־	וְתָבִינוּ	לִי	וְתַאֲמִינוּ	תֵּדְעוּ	לְמַעַן	בָּחַרְתִּי
すなわち	そして-悟るためである	わたしを	そして-信じるためであり	知るためであり	それは	選んだ
	H0995		H0539	H3045	H4616	H0977

אֵל	נוֹצַר	לֹא־	לְפָנַי	הוּא	אֲנִי
神は	形造られなかった	形造られなかった	わたしの-前に	それであることを	わたしが
H0410	H3335	H3808	H6440	H1931	H0589

ס	יִהְיֶה׃	לֹא	וְאַחֲרָי
—	あり得ない	ない	そして-わたしの-後にも
	H1961	H3808	

主は言われる、「あなたがたはわが証人、わたしが選んだわがしもべである。それゆえ、あなたがたは知って、わたしを信じ、わたしが主であることを悟ることができる。わたしより前に造られた神はなく、わたしより後にもない。

11

מוֹשִׁיעַ׃	מִבַּלְעָדָי	וְאֵין	יְהוָה	אָנֹכִי	אָנֹכִי
救う-者は	わたしの-ほかに	そして-いない	主である	わたしが	わたしが
H3467	H1107	H0369	H3068	H0595	H0595

ただわたしのみ主である。わたしのほかに救う者はいない。

12

זָר	בָּכֶם	וְאֵין	וְהַשְׁמַעְתִּי	וְהוֹשַׁעְתִּי	הִגַּדְתִּי	אָנֹכִי
異なる-神は	あなたがたの-中に	そして-いなかった	そして-聞かせた	そして-救い	告げ	わたしが
		H0369	H8085	H3467	H5046	H0595

אֵל׃	וַאֲנִי־	יְהוָה	נְאֻם־	עֵדַי	וְאַתֶּם
神である	そして-わたしが	主の	主の-告げる-ことば	わが-証人である	そして-あなたがたが
H0410	H0589	H3068	H5002	H5707	

わたしはさきに告げ、かつ救い、かつ聞かせた。あなたがたのうちには、ほかの神はなかった。あなたがたはわが証人である」と主は言われる。

13

מַצִּיל	מִיָּדִי	וְאֵין	הוּא	אֲנִי	מִיּוֹם	גַּם־
救い-出す-者は	わが-手から	そして-いない	それである	わたしが	その-日から	まことに
H5337	H3027	H0369	H1931	H0589	H3117	H1571

ס	יְשִׁיבֶנָּה׃	וּמִי	אֶפְעָל	
—	妨げるのか	そして-誰が	わたしが-行う	
	H7725	H4310	H6466	

「わたしは神である、今より後もわたしは主である。わが手から救い出しうる者はない。わたしがおこなえば、だれが、これをとどめることができよう」。

14 כֹּה־ אָמַר יְהוָה גֹּאַלְכֶם קְדוֹשׁ יִשְׂרָאֵל לְמַעַנְכֶם
このように 言われる 主は あなたがたの-贖い-主 聖なる-者 イスラエルの あなたがたの-ために
H3541 H0559 H3068 H6918 H3478 H4616

שִׁלַּחְתִּי בָבֶלָה וְהוֹרַדְתִּי בָרִיחִם וְכַשְׂדִּים כֻּלָּם
わたしは-遣わした バビロンに そして-引き降ろした かんぬきを そして-カルデア人を 彼ら-皆を
H7971 H0894 H3381 H1281 H3778 H3605

בָּאֳנִיּוֹת רִנָּתָם׃
船の-中に 彼らの-叫び声は
H0591 H7440

あなたがたをあがなう者、イスラエルの聖者、主はこう言われる、「あなたがたのために、わたしは人をバビロンにつかわし、すべての貫の木をこわし、カルデヤびとの喜びの声を嘆きに変らせる。

15 אֲנִי יְהוָה קְדוֹשְׁכֶם בּוֹרֵא יִשְׂרָאֵל מַלְכְּכֶם׃ ס
わたしは 主であり あなたがたの-聖なる-者 創造した-者 イスラエルの あなたがたの-王 ー
H0589 H3068 H6918 H1254 H3478 H4428

わたしは主、あなたがたの聖者、イスラエルの創造者、あなたがたの王である」。

16 כֹּה אָמַר יְהוָה הַנּוֹתֵן בַּיָּם דֶּרֶךְ וּבְמַיִם עַזִּים
このように 言われる 主は 道を-与える-者 海の 海の-中に そして-激しい-水の-中に 激しい
H3541 H0559 H3068 H5414 H1870 H3220 H4325 H5794

נְתִיבָה׃
小道を

海のなかに大路を設け、大いなる水の中に道をつくり、

17 הַמּוֹצִיא רֶכֶב־ וְסוּס חַיִל יַחְדָּו יִשְׁכְּבוּ בַל־
連れ出す-者 戦車と そして-馬を 軍勢と 共に 倒れ 二度と-起きあがらない
H3318 H7393 H5808 H2428 H3518 H1077

יָקוּמוּ דָעֲכוּ כַּפִּשְׁתָּה כָבוּ׃
起きあがらない 消えた 灯心のように 消えた
H1846 H6594 H3518

戦車および馬、軍勢および兵士を出てこさせ、これを倒して起きることができないようにし、絶え滅ぼして、灯心の消えうせるようにされる主はこう言われる、

18 אַל־ תִּזְכְּרוּ רִאשֹׁנוֹת וְקַדְמֹנִיּוֹת אַל־ תִּתְבֹּנָנוּ׃
思い出すな 思い出すな 初めの-ことを そして-昔の-ことを 留めるな 留めるな
H0408 H7223 H6931 H0408 H1067

「あなたがたは、さきの事を思い出してはならない、また、いにしえのことを考えてはならない。

19 הִנְנִי עֹשֶׂה חֲדָשָׁה עַתָּה תִּצְמָח הֲלוֹא תֵדָעוּהָ אַף
見よ-わたしは 行う 新しい-ことを 今 芽生える ではないか 知るではないか まことに
H2009 H6213 H2319 H6258 H6779 H3808 H3045 H0637

אָשִׂים בַּמִּדְבָּר דֶּרֶךְ בִּישִׁמֹן נְהָרוֹת׃
わたしは-設ける 荒れ野に 道を 沙漠に 川を
H7760 H4057 H1870 H3452 H5104

見よ、わたしは新しい事をなす。やがてそれは起る、あなたがたはそれを知らないのか。わたしは荒野に道を設け、さばくに川を流れさせる。

כִּי־	יַעֲנָה	וּבְנוֹת	תַּנִּים	הַשָּׂדֶה	חַיַּת	תְּכַבְּדֵנִי	20
なぜなら	駝鳥の	そして–娘たち	ジャッカルと	野の	野の–獣たちが	わたしを–崇める	
	H3284	H1323				H3513	

בְּחִירִי׃	עַמִּי	לְהַשְׁקוֹת	בִּישִׁימֹן	נְהָרוֹת	מַיִם	בַּמִּדְבָּר	נָתַתִּי
わが–選んだ–民に	わが–民に	飲ませるために	沙漠に	川を	水を	荒れ野に	わたしは–与えた
H0972		H8248	H3452	H5104	H4325		H5414

野の獣はわたしをあがめ、山犬および、だちょうもわたしをあがめる。わたしが荒野に水をいだし、さばくに川を流れさせて、わたしの選んだ民に飲ませるからだ。

ס	יְסַפֵּרוּ׃	תְּהִלָּתִי	לִי	יָצַרְתִּי	זוּ	עַם־	21
—	語る	わが–賛美を	わたしの–ために	わたしが–形造った	この	この–民を	
		H8416		H3335	H2098		

この民は、わが誉を述べさせるためにわたしが自分のために造ったものである。

יִשְׂרָאֵל׃	בִּי	יָגַעְתָּ	כִּי־	יַעֲקֹב	קָרָאתָ	אֹתִי	וְלֹא־	22
イスラエルよ	わたしを	疲れた	なぜなら	ヤコブよ	呼ばなかった	わたしを	しかし–わたしを	
H3478		H3021		H3290	H7121	H0853	H3808	

ところがヤコブよ、あなたはわたしを呼ばなかった。イスラエルよ、あなたはわたしをうとんじた。

וּזְבָחֶיךָ	עֹלֹתֶיךָ	שֶׂה	לִי	הֵבֵיאתָ	לֹא־	23
そして–あなたの–犠牲で	あなたの–燔祈の	小羊を	わたしに	持って–来なかった	持って–来なかった	
H2077		H7716		H0935	H3808	

בְּמִנְחָה	הֶעֱבַדְתִּיךָ	לֹא	כִבַּדְתָּנִי	לֹא	
供え物で	わたしは–強いなかった	わたしは–強いなかった	崇めなかった	わたしを–崇めなかった	
H4503	H5647	H3808	H3513	H3808	

בִּלְבוֹנָה׃	הוֹגַעְתִּיךָ	וְלֹא
乳香で	疲れさせなかった	そして–疲れさせなかった
H3828	H3021	H3808

あなたは燔祭の羊をわたしに持ってこなかった。また犠牲をもってわたしをあがめなかった。わたしは供え物の重荷をあなたに負わせなかった。また乳香をもってあなたを煩わさなかった。

זְבָחֶיךָ	וְחֶלְבֶּ	קָנֶה	בַכֶּסֶף	לִי	קָנִיתָ	לֹא־	24
あなたの–犠牲の	そして–脂肪で	菖蒲を	銀で	わたしに	買わなかった	買わなかった	
H2077	H2459	H7070	H3701		H7069	H3808	

בְּחַטֹּאותֶיךָ	הֶעֱבַדְתַּנִי	אַךְ	הִרְוִיתָנִי	לֹא	
あなたの–罪で	あなたは–わたしに–仕えた	かえって	わたしを–満たさなかった	わたしを–満たさなかった	
	H5647	H0389	H7301	H3808	

ס	בַּעֲוֹנֹתֶיךָ׃	הוֹגַעְתָּנִי	
—	あなたの–咲で	疲れさせた	
	H5771	H3021	

あなたは金を出して、わたしのために菖蒲を買わず、犠牲の脂肪を供えて、わたしを飽かせず、かえって、あなたの罪の重荷をわたしに負わせ、あなたの不義をもって、わたしを煩わせた。

לְמַעֲנִי	פְּשָׁעֶיךָ	מֹחֶה	הוּא	אָנֹכִי	אָנֹכִי	25
わが–自身の–ために	あなたの–背きを	拭い去る–者	それである	わたしが	わたしが	
H4616	H6588		H1931	H0595	H0595	

אֶזְכֹּר׃	לֹא	וְחַטֹּאתֶיךָ
思い出さない	思い出さない	そして–あなたの–罪を
H2142	H3808	

わたしこそ、わたし自身のためにあなたのとがを消す者である。わたしは、あなたの罪を心にとめない。

26	הַזְכִּירֵ֑נִי	נִשְׁפְּטָה	יָ֣חַד	סַפֵּ֔ר	אַתָּ֖ה	לְמַ֥עַן	תִּצְדָּֽק׃
	思い出させよ	共に–さばこう	共に	語れ	あなたが	義と–される–ために	義と–される
	H2142	H8199				H4616	H6663

あなたは、自分の正しいことを証明するために自分のことを述べて、わたしに思い出させよ。われわれは共に論じよう。

27	אָבִ֖יךָ	הָרִאשׁ֑וֹן	חָטָ֣א	וּמְלִיצֶ֔יךָ	פָּשְׁע֖וּ	בִֽי׃	
	あなたの–最初の–父は	最初の	罪を–犯した	そして–あなたの–仲保たちは	背いた	わたしに	
	H0001	H7223	H2398	H3887	H6586		

あなたの遠い先祖は罪を犯し、あなたの仲保者らはわたしにそむいた。

28	וַאֲחַלֵּ֖ל	שָׂרֵ֣י	קֹ֑דֶשׁ	וְאֶתְּנָ֤ה	לַחֵרֶם֙	יַעֲקֹ֔ב
	そこで–わたしは–汚した	聖なる–君たちを	聖なる	そして–わたしは–渡した	滅びに	ヤコブを
		H8269	H6944	H5414		H3290

ס	לְגִדּוּפִֽים׃	וְיִשְׂרָאֵ֥ל
—	そしりに	そして–イスラエルを
	H1421	H3478

それゆえ、わたしは聖所の君たちを汚し、ヤコブを全き滅びにわたし、イスラエルをののしらしめた。

Chapter 44

1	בֽוֹ׃	בָּחַ֖רְתִּי	וְיִשְׂרָאֵ֑ל	עַבְדִּ֔י	יַעֲקֹ֖ב	שְׁמַ֣ע	וְעַתָּ֞ה
	選んだ	わたしが–選んだ	そして–イスラエルよ	わが–しもべよ	ヤコブよ	聞け	そして–今
		H0977	H3478	H5650	H3290	H8085	H6258

しかし、わがしもべヤコブよ、わたしが選んだイスラエルよ、いま聞け。

2	מִבֶּ֔טֶן	וְיֹצֶרְךָ֖	עֹשֶׂ֣ךָ	יְהוָ֤ה	אָמַר֙	כֹּה־	
	母の–胎から	そして–あなたを–形造った–者	あなたを–造った–者	主は	言われる	このように	
	H0990	H3335		H3068	H0559	H3541	

בָּחַ֖רְתִּי	וְיִשְׁרוּן֙	יַעֲקֹ֣ב	עַבְדִּ֔י	תִּירָ֣א	אַל־	יַעְזֻרֶֽךָּ׃
わたしが–選んだ	そして–イェシュルンよ	ヤコブよ	わが–しもべよ	恐れるな	恐れるな	助ける–者
H0977	H3484	H3290	H5650	H3372	H0408	H5826

בֽוֹ׃
選んだ

あなたを造り、あなたを胎内に形造り、あなたを助ける主はこう言われる、『わがしもべヤコブよ、わたしが選んだエシュルンよ、恐れるな。

3	יָבֵשָׁה֙	עַל־	וְנוֹזְלִ֔ים	צָמְא֖	עַל־	מַ֣יִם	אֶצֹּ֤ק־	כִּֽי
	乾いた	乾いた–地の–上に	そして–流れを	渇いた	渇いた–者の–上に	水を	わたしは–注ぐ	なぜなら
	H3004		H5140	H6771		H4325	H3332	

וּבִרְכָתִ֖י	זַרְעֶ֑ךָ	עַל־	רוּחִ֣י	אֶצֹּ֔ק	
そして–わが–祝福を	あなたの–子孫の	あなたの–子孫の–上に	わが–霊を	わたしは–注ぐ	
H1293	H2233		H7307	H3332	

צֱאֶצָאֶֽיךָ׃	עַל־
あなたの–末裔の	あなたの–末裔の–上に
H6631	

わたしは、かわいた地に水を注ぎ、干からびた地に流れをそそぎ、わが霊をあなたの子らにそそぎ、わが恵みをあなたの子孫に与えるからである。

4

וְצָמְחוּ	בְּבֵין	חָצִיר	כַּעֲרָבִים	עַל־	יִבְלֵי־	מָיִם׃
そして–彼らは–芽生える	草の–中に	草の	柳のように	水の–流れの–そばに	水の–流れの	水の
H6779	H0996		H6155		H2988	H4325

こうして、彼らは水の中の草のように、流れのほとりの柳のように、生え育つ。

5

בְּשֵׁם־	יִקְרָא	וְזֶה	אֲנִי	לַיהוָה	יֹאמַר	זֶה
ヤコブの–名を	名乗る	そして–この–者は	わたしはと	主の–ものであると	言う	この–者は
H8034	H7121	H2088	H0589	H3068	H0559	H2088

יְכֻנֶּה׃	יִשְׂרָאֵל	וּבְשֵׁם	לַיהוָה	יָדוֹ	יִכְתֹּב	וְזֶה	יַעֲקֹב
呼ばれる	イスラエルの	そして–名で	主の–ものと	その–手に	書く	そして–この–者は	ヤコブの
H3655	H3478	H8034	H3068	H3027	H3789	H2088	H3290

פ
—

ある人は「わたしは主のものである」と言い、ある人はヤコブの名をもって自分を呼び、またある人は「主のものである」と手にしるして、イスラエルの名をもって自分を呼ぶ』」。

6

צְבָאוֹת	יְהוָה	וְגֹאֲלוֹ	יִשְׂרָאֵל	מֶלֶךְ־	יְהוָה	אָמַר	כֹּה־
万軍の–主	主は	そして–その–贖い–主	イスラエルの	イスラエルの–王	主は	言われる	このように
	H3068		H3478	H4428	H3068	H0559	H3541

אֱלֹהִים׃	אֵין	וּמִבַּלְעָדָי	אַחֲרוֹן	וַאֲנִי	רִאשׁוֹן	אֲנִי
神は	いない	そして–わたしの–ほかに	最後である	そして–わたしは	最初であり	わたしは
H0430	H0369	H1107	H0314	H0589	H7223	H0589

主、イスラエルの王、イスラエルをあがなう者、万軍の主はこう言われる、「わたしは初めであり、わたしは終りである。わたしのほかに神はない。

7

וְיַעַרְכֶהָ	וְיַגִּידֶהָ	יִקְרָא	כָּמוֹנִי	וּמִי־		
そして–それを–整えるのか	そして–それを–告げ	呼ぶのか	わたしのように	そして–誰が		
	H5046	H7121	H3644	H4310		

וַאֲשֶׁר	וְאֹתִיּוֹת	עוֹלָם	עַם־	מְשׂוּמִי	לִי
そして–来る–ことを	そして–しるしと	永遠の	永遠の–民を	わたしが–立てた–時から	わたしの–ために
	H0857	H5769			

לָמוֹ׃	יַגִּידוּ	תָּבֹאנָה
彼らに	告げよ	来る
	H5046	H0935

だれかわたしに等しい者があるか。その者はそれを示し、またそれを告げ、わが前に言いつらねよ。だれが、昔から、きたるべき事を聞かせたか。その者はやがて成るべき事をわれわれに告げよ。

8

הַשְׁמַעְתִּיךְ	מֵאָז	הֲלֹא	תֵרֹהּוּ	וְאַל־	תִּפְחֲדוּ	אַל־
わたしは–聞かせた	昔から	ではないか	おぞくな	そして–おぞくな	恐れるな	恐れるな
H8085		H3808	H7297	H0408	H6342	H0408

מִבַּלְעָדָי	אֱלוֹהַּ	הֵיֵשׁ	עֵדָי	וְאַתֶּם	וְהִגַּדְתִּי
わたしの–ほかに	神が	あるのか	わが–証人である	そして–あなたがたが	そして–告げた
H1107	H0433	H3426	H5707		H5046

יָדָעְתִּי׃	בַּל־	צוּר	וְאֵין
知らない	知らない	岩は	そして–いない
H3045	H1077	H6697	H0369

恐れてはならない、またおののいてはならない。わたしはこの事を昔から、あなたがたに聞かせなかったか、また告げなかったか。あなたがたはわが証人である。わたしのほかに神があるか。わたしのほかに岩はない。わたしはそのあることを知らない」。

9

בַּל־	וַחֲמוּדֵיהֶם	תֹּהוּ	כֻּלָּם	פֶּסֶל	יְצָרֵי־	
役に–立たない	そして–彼らの–宝物は	むなしい	皆	偶像を	偶像を–形造る–者たちは	
H1077		H8414	H3605	H6459	H3335	

יֵדְעוּ	וּבַל־	יִרְאוּ	בַּל־	הֵמָּה	וְעֵדֵיהֶם	יוֹעִילוּ
知らない	そして–知らない	見ない	見ない	彼ら自身	そして–その–証人たちは	役に–立たない
H3045	H1077	H7200	H1077	H1992	H5707	H3276

יֵבֹשׁוּ׃	לְמַעַן
恥を–受ける	恥を–受ける–ために
H0954	H4616

偶像を造る者は皆むなしく、彼らの喜ぶところのものは、なんの役にも立たない。その信者は見ることもなく、また知ることもない。ゆえに彼らは恥を受ける。

10

הוֹעִיל׃	לְבִלְתִּי	נָסַךְ	וּפֶסֶל	אֵל	יָצַר	מִי־
役にも–立たない	何の–役にも–立たない	鋳造したのか	そして–偶像を	神を	形造ったのか	誰が
H3276	H1115		H6459	H0410	H3335	H4310

だれが神を造り、またなんの役にも立たない偶像を鋳たか。

11

הֵמָּה	וְחָרָשִׁים	יֵבֹשׁוּ	חֲבֵרָיו	כָּל־	הֵן	
彼らも	そして–職人たちは	恥を–受ける	その–仲間たちは	その–すべての–仲間たちは	見よ	
H1992	H2796	H0954	H2270	H3605	H2005	

יָחַד׃	יֵבֹשׁוּ	יִפְחֲדוּ	יַעֲמֹדוּ	כֻּלָּם	יִתְקַבְּצוּ	מֵאָדָם
共に	恥を–受けるがよい	恐れよ	立て	皆	集まれ	人に–過ぎない
	H0954	H6342	H5975	H3605	H6908	H0120

見よ、その仲間は皆恥を受ける。その細工人らは人間にすぎない。彼らが皆集まって立つとき、恐れて共に恥じる。

12

וַיִּפְעָלֵהוּ	יְצָרֵהוּ	וּבַמַּקָּבוֹת	בַּפֶּחָם	וּפָעַל	מַעֲצָד	בַּרְזֶל	חָרַשׁ
そして–それを–作る	形造る	そして–槌で	炭火で	そして–働く	刀で	鉄を	鉄を–打つ–者は
H6466	H3335	H4717	H6352	H6466	H4621	H1270	H2796

שָׁתָה	לֹא־	כֹּחַ	וְאֵין	רָעֵב	גַּם־	כֹּחוֹ	בִּזְרוֹעַ
水も–飲まなければ	水も–飲まなければ	力が	そして–力が–なく	飢えても	また	強い	強い–腕で
H8354	H3808		H0369	H7456	H1571		H2220

וַיִּיעָף׃	מַיִם
そして–衰える	水も
H3286	H4325

鉄の細工人はこれを造るのに炭の火をもって細工し、鎚をもってこれを造り、強い腕をもってこれを鍛える。彼が飢えれば力は衰え、水を飲まなければ疲れはてる。

13

בַּמַּקְצֻעוֹת	יַעֲשֵׂהוּ	בַּשֶּׂרֶד	יְתָאֲרֵהוּ	קָו	נָטָה	עֵצִים	חָרָשׁ
彫刻刀で	作る	赤鉛筆で	印を–つける	縄を	縄を–張り	木を	木を–刻む–者は
H4741		H8279			H5186	H6086	H2796

אָדָם	כְּתִפְאֶרֶת	אִישׁ	כְּתַבְנִית	וַיַּעֲשֵׂהוּ	יְתָאֲרֵהוּ	וּבַמְחוּגָה
人の	人の–美しさに	人の	人の–形に	そして–それを–作る	印を–つける	そして–コンパスで
H0120	H8597	H0376	H8403			H4230

בָּיִת׃	לָשֶׁבֶת
家の	家の–中に–置くために
	H3427

木の細工人は線を引き、鉛筆でえがき、かんなで削り、コンパスでえがき、それを人の美しい姿にしたがって人の形に造り、家の中に安置する。

14 לְכָרֶת־ 切り倒すために H3772 | לוֹ 自分の–ために | אֲרָזִים 杉を H0730 | וַיִּקַּח そして–取る H3947 | תִּרְזָה 樫を H8645 | וְאַלּוֹן そして–横を H0437 | וַיְאַמֵּץ־ そして–強くする H0553

יְגַדֵּל׃ 育てる H1431 | וְגֶשֶׁם そして–雨が H1653 | אֹרֶן 月桂樹を H0766 | נָטַע 植える H5193 | יַעַר 森の–木々の | בַּעֲצֵי־ 森の–木々の–中で H6086 | לוֹ 自分の–ために

彼は香柏を切り倒し、あるいはかしの木、あるいはかしわの木を選んで、それを林の木の中で強く育てる。あるいは香柏を植え、雨にそれを育てさせる。

15 אַף־ また H0637 | וַיִּחַם そして–暖まる H2552 | מֵהֶם それらから H1992 | וַיִּקַּח そして–取る H3947 | לְבָעֵר 燃やす–ために | לְאָדָם 人の–ために H0120 | וְהָיָה そして–それは–なる H1961

פֶּסֶל 偶像を H6459 | עָשָׂהוּ 作る | וַיִּשְׁתָּחוּ そして–拝む H7812 | אֵל 神を H0410 | יִפְעַל־ 作る H6466 | אַף־ また H0637 | לֶחֶם パンを H3899 | וְאָפָה そして–パンを–焦く H0644 | יַשֵּׁק 火を–つけ H5400

לָמוֹ׃ それに | וַיִּסְגָּד־ そして–ひれ伏す H5456

こうして人はその一部をとって、たきぎとし、これをもって身を暖め、またこれを燃やしてパンを焼き、また他の一部を神に造って拝み、刻んだ像に造ってその前にひれ伏す。

16 צָלִי 焼いた–肉を H6748 | יִצְלֶה 焼く H6740 | יֹאכַל 食べる H0398 | בָּשָׂר 肉を H1320 | חֶצְיוֹ その–半分で H2677 | עַל־ その–半分で | אֵשׁ 火で H0784 | בְּמוֹ־ 火で H1119 | שָׂרַף 燃やす H8313 | חֶצְיוֹ その–半分を H2677

אוּר׃ 火を | רָאִיתִי 見た H7200 | חַמּוֹתִי 暖かくなった H2552 | הֶאָח ああ H1889 | וַיֹּאמַר そして–言う H0559 | יָחַם 暖まり H2552 | אַף־ また H0637 | וַיִּשְׂבָּע そして–満足する H7646

その半ばは火に燃やし、その半ばで肉を煮て食べ、あるいは肉をあぶって食べ飽き、また身を暖めて言う、「ああ、暖まった、熱くなった」と。

17 וְיִשְׁתַּחוּ そして–拝み H7812 | לוֹ それに H5456 | (יִסְגָּד־ ひれ伏す H5456 | [יסגוד־ — H5456 | לְפִסְלוֹ その–偶像に H6459 | עָשָׂה 作る | לְאֵל 神に H0410 | וּשְׁאֵרִיתוֹ そして–その–残りを H7611

אָתָּה׃ あなたは–であると | אֵלִי わが–神 H0410 | כִּי なぜなら | הַצִּילֵנִי 救ってくれ H5337 | וַיֹּאמַר そして–言う H0559 | אֵלָיו それに H0413 | וַיִּתְפַּלֵּל そして–祈る H6419

そしてその余りをもって神を造って偶像とし、その前にひれ伏して拝み、これに祈って、「あなたはわが神だ、わたしを救え」と言う。

18 עֵינֵיהֶם その–目が | מֵרְאוֹת 見えないように H7200 | טָח 塗られた | כִּי なぜなら | בָּבִינוּ 悟らない H0995 | וְלֹא そして–悟らない H3808 | יָדְעוּ 知らない H3045 | לֹא 知らない H3808

לִבָּם׃ その–心が | מֵהַשְׂכִּיל 悟らないように

これらの人は知ることがなく、また悟ることがない。その目はふさがれて見ることができず、その心は鈍くなって悟ることができない。

19

וְלֹא־	דַעַת	וְלֹא	לִבּוֹ	אֶל־	יָשִׁיב	וְלֹא־
そして–分別も	知識も	そして–知識も	その–心に	その–心に	思わない	そして–心に–思わない
H3808	H1847	H3808		H0413	H7725	H3808

אָפָיתִי	וְאַף	אֵשׁ	בְּמוֹ־	שָׂרַפְתִּי	חֶצְיוֹ	לֵאמֹר	תְּבוּנָה׃
焦いた	そして–また	火で	火で	わたしは–燃やした	その–半分を	言うべきことを	分別も–ない
H0644	H0637	H0784	H1119	H8313	H2677	H0559	H8394

וְיִתְרוֹ	וְאֹכֵל	בָּשָׂר	אֶצְלֶה	לֶחֶם	גֶּחָלָיו	עַל־	
そして–その–残りを	そして–食べる	肉を	焼く	パンを	その–炭火の	その–炭火の–上で	
	H0398	H1320	H6740	H3899	H1513		

אֶסְגּוֹד׃	עֵץ	לְבִיל	אֶעֱשֶׂה	לְתוֹעֲבָה
ひれ伏すのかと	木の	木の–切れ端に	わたしは–するのか	忌むべき–ものに
H5456	H6086	H0944		H8441

その心のうちに思うことをせず、また知識がなく、悟りがないために、「わたしはその半ばを火に燃やし、またその炭火の上でパンを焼き、肉をあぶって食べ、その残りの木をもって憎むべきものを造るのか。木のはしくれの前にひれ伏すのか」と言う者もない。

20

נַפְשׁוֹ	אֶת־	יַצִּיל	וְלֹא־	הִטָּהוּ	הוּתַל	לֵב	אֶפֶר	רֹעֶה
魂を	自分の	救えない	そして–救えない	惑わされた	惑わされた	心は	灰を	飢い食う
H5315	H0853	H5337	H3808	H5186			H0665	

ס	בִּימִינִי׃	שֶׁקֶר	הֲלוֹא	יֹאמַר	וְלֹא
—	わが–右の–手に	偽りが	ではないか	言わない	そして–言わない
	H3225	H8267	H3808	H0559	H3808

彼は灰を食い、迷った心に惑わされて、おのれを救うことができず、また「わが右の手に偽りがあるではないか」と言わない。

21

אַתָּה	עַבְדִּי־	כִּי	וְיִשְׂרָאֵל	יַעֲקֹב	אֵלֶּה	זְכָר־
あなたは	わが–しもべ	なぜなら	そして–イスラエルよ	ヤコブよ	これらの–ことを	思い出せ
	H5650		H3478	H3290	H0428	H2142

לֹא	יִשְׂרָאֵל	אַתָּה	לִי	עֶבֶד־	יְצַרְתִּיךָ
忘れない	イスラエルよ	あなたは	わたしの–ために	わが–しもべ	わたしが–あなたを–形造った
H3808	H3478			H5650	H3335

תְּנַשֵּׁנִי׃
わたしを
H5382

ヤコブよ、イスラエルよ、これらの事を心にとめよ。あなたはわがしもべだから。わたしはあなたを造った、あなたはわがしもべだ。イスラエルよ、わたしはあなたを忘れない。

22

שׁוּבָה	חַטֹּאותֶיךָ	וְכֶעָנָן	פְּשָׁעֶיךָ	כָּעָב	מָחִיתִי	
帰れ	あなたの–罪を	そして–霧のように	あなたの–背きを	雲のように	わたしは–拭い去った	
H7725		H6051	H6588	H5645		

גְּאַלְתִּיךָ׃	כִּי	אֵלַי
わたしは–あなたを–贖った	なぜなら	わたしに
		H0413

わたしはあなたのとがを雲のように吹き払い、あなたの罪を霧のように消した。わたしに立ち返れ、わたしはあなたをあがなったから。

רָנּוּ שָׁמַיִם כִּי־ עָשָׂה יְהוָה הָרִיעוּ תַּחְתִּיּוֹת אֶרֶץ פִּצְחוּ הָרִים 23
歌え 天よ なぜなら 行った 主が 喋び声を–あげよ 地の 声を–あげよ 山々よ
H7440 H8064 H3068 H7321 H8482 H0776 H6476 H2022

רִנָּה יַעַר וְכָל־ עֵץ בּוֹ כִּי־ גָאַל יְהוָה
歌え 森と そして–その–すべての–木よ その–中の なぜなら 贖った 主が
H7440 H3605 H6086 H3068

פ יִתְפָּאָר׃ וּבְיִשְׂרָאֵל יַעֲקֹב
— 輝く そして–イスラエルに–おいて ヤコブを
H3478 H3290

天よ、歌え、主がこの事をなされたから。地の深き所よ、呼ばわれ。もろもろの山よ、林およびその中のもろもろの木よ、声を放って歌え。主はヤコブをあがない、イスラエルのうちに栄光をあらわされたから。

כֹּה־ אָמַר יְהוָה גֹּאֲלֶךָ וְיֹצֶרְךָ מִבָּטֶן אֲנֹכִי 24
このように 言われる 主は あなたの–贖い–主 そして–あなたを–形造った–者 母の–胎から わたしが
H3541 H0559 H3068 H1350 H3335 H0990 H0595

יְהוָה עֹשֶׂה כֹּל נֹטֶה שָׁמַיִם לְבַדִּי רֹקַע הָאָרֶץ [מי] [אתי]
主であり 造る–者 すべてを 広げる–者 天を 独りで 敷く–者 地を — —
H3068 H6213 H3605 H5186 H8064 H0905 H7554 H0776 H4325 H0854

מֵאִתִּי׃ (
わたし–自らの–力で
H0854

あなたをあがない、あなたを胎内に造られた主はこう言われる、「わたしは主である。わたしはよろずの物を造り、ただわたしだけが天をのべ、地をひらき、――だれがわたしと共にいたか――

מֵפֵר אֹתוֹת בַּדִּים וְקֹסְמִים יְהוֹלֵל מֵשִׁיב חֲכָמִים אָחוֹר 25
破る–者 しるしを 偽り–者たちの そして–占い師たちを 狂わせる–者 退かせる–者 賢者たちを 後ろに
H6565 H0226 H0907 H7080 H3887 H7725 H2450 H0268

וְדַעְתָּם יְשַׁכֵּל׃
そして–その–知識を 愚かにする
H1847 H5528

偽る物のしるしをむなしくし、占う者を狂わせ、賢い者をうしろに退けて、その知識を愚かにする。

מֵקִים דְּבַר עַבְדּוֹ וַעֲצַת מַלְאָכָיו יַשְׁלִים הָאֹמֵר 26
立てる–者 ことばを その–しもべの そして–計画を その–使者たちの 成し遂げる–者 言う–者
H6965 H1697 H5650 H6098 H4397 H3190 H0559

לִירוּשָׁלַ͏ִם תּוּשָׁב וְלָעָרֵי יְהוּדָה תִּבָּנֶינָה וְחָרְבוֹתֶיהָ
エルサレムに 住まれると そして–ユダの–町々に ユダの 建てられると そして–その–廃墟を
H3389 H3427 H3063 H1129 H2723

אֲקוֹמֵם׃
わたしは–建て直すと
H6965

わたしは、わがしもべの言葉を遂げさせ、わが使の計りごとを成らせ、エルサレムについては、『これは民の住む所となる』と言い、ユダのもろもろの町については、『ふたたび建てられる、わたしはその荒れ跡を興そう』と言い、

הָאֹמֵר לַצּוּלָה חָרְבִי וְנַהֲרֹתַיִךְ אוֹבִישׁ׃ 27
言う–者 深みに 渇けと そして–あなたの–川を 渇かすと
H0559 H6683 H2717 H5104 H3001

また淵については、『かわけ、わたしはあなたのもろもろの川を干す』と言い、

יַשְׁלֵם	חֶפְצִי	וְכָל־	רֹעִי	לְכוֹרֶשׁ	הָאֹמֵר	28
成し遂げると	すべての–望みを	そして–わが–すべての–望みを	わが–牧者と	クロスに	言う–者	
H2656		H3605	H7473	H3566	H0559	

ס	:תִּוָּסֵד	וְהֵיכָל	תִּבָּנֶה	לִירוּשָׁלַ͏ִם	וְלֵאמֹר
—	基が–置かれると	そして–神殿は	建てられると	エルサレムに	そして–言う–者
	H3245	H1964	H1129	H3389	H0559

またクロスについては、『彼はわが牧者、わが目的をことごとくなし遂げる』と言い、エルサレムについては、『ふたたび建てられる』と言い、神殿については、『あなたの基がすえられる』と言う」。

Chapter 45

בִּימִינוֹ	הֶחֱזַקְתִּי	אֲשֶׁר־	לְכוֹרֶשׁ	לִמְשִׁיחוֹ	יְהוָה	אָמַר	כֹּה־	1
その–右の–手を	握った	わたしが	クロスに	その–油注がれた–者に	主は	言われる	このように	
H3225	H2388		H3566	H4899	H3068	H0559	H3541	

לְפָנָיו	לְפְתֹחַ	אֲפַתֵּחַ	מְלָכִים	וּמָתְנֵי	גּוֹיִם	לְפָנָיו	לְרַד־
その–前に	開くために	解くために	王たちの	そして–腰を	国々を	その–前に	従えさせるために
H6440			H4428	H4975		H6440	H7286

:יִסָּגֵרוּ	לֹא	וּשְׁעָרִים	דְּלָתַיִם
閉じられない	閉じられない	そして–門は	扉を
H5462	H3808	H8179	

わたしはわが受膏者クロスの右の手をとって、もろもろの国をその前に従わせ、もろもろの王の腰を解き、とびらをその前に開かせて、門を閉じさせない、と言われる主はその受膏者クロスにこう言われる、

נְחוּשָׁה	דַּלְתוֹת	)אֲיַשֵּׁר(	]אושר[	וְהֲדוּרִים	אֵלֵךְ	לְפָנֶיךָ	אֲנִי	2
青銅の	青銅の–扉を	平らにする	—	そして–起伏ある–地を	行く	あなたの–前に	わたしが	
H5154		H3474	H3474	H1921	H3212	H6440	H0589	

:אֲגַדֵּעַ	בַּרְזֶל	וּבְרִיחֵי	אֲשַׁבֵּר
断ち切る	鉄の	そして–鉄の–かんぬきを	打ち砕く
H1438	H1270	H1280	H7665

「わたしはあなたの前に行って、もろもろの山を平らにし、青銅のとびらをこわし、鉄の貫の木を断ち切り、

לְמַעַן	מִסְתָּרִים	וּמַטְמֻנֵי	חֹשֶׁךְ	אוֹצְרוֹת	לְךָ	וְנָתַתִּי		3
それは	隠された	そして–隠された–富を	闇の	宝を	あなたに	そして–わたしは–与える		
H4616	H4565	H4301	H2822	H0214		H5414		

:יִשְׂרָאֵל	אֱלֹהֵי	בְּשִׁמְךָ	הַקּוֹרֵא	יְהוָה	אֲנִי	כִּי־	תֵדַע
イスラエルの	イスラエルの–神	あなたの–名で	呼ぶ–者	主であり	わたしが	すなわち	知るためである
H3478	H0430	H8034	H7121	H3068	H0589		H3045

あなたに、暗い所にある財宝と、ひそかな所に隠した宝物とを与えて、わたしは主、あなたの名を呼んだイスラエルの神であることをあなたに知らせよう。

4

בְּחִירִי	וְיִשְׂרָאֵל	יַעֲקֹב	עַבְדִּי	לְמַעַן
わが–選んだ–者の	そして–イスラエルの	ヤコブの	わが–しもべ	わが–しもべの–ために
H0972	H3478	H3290	H5650	H4616

וְלֹא	אֲכַנְּךָ	בִּשְׁמֶךָ	לְךָ	וָאֶקְרָא
しかし–あなたは	称号を–与えた	あなたの–名で	あなたを	そこで–わたしは–呼んだ
H3808	H3655	H8034		H7121

יְדַעְתָּנִי׃
わたしを–知らなかった
H3045

わがしもべヤコブのために、わたしの選んだイスラエルのために、わたしはあなたの名を呼んだ。あなたがわたしを知らなくても、わたしはあなたに名を与えた。

5

אֱלֹהִים	אֵין	זוּלָתִי	עוֹד	וְאֵין	יְהוָה	אֲנִי
神は	いない	わたしの–ほかに	ほかに	そして–いない	主であり	わたしは
H0430	H0369	H2108	H5750	H0369	H3068	H0589

יְדַעְתָּנִי׃	וְלֹא	אַאַזֶּרְךָ
わたしを–知らなかった	しかし–あなたは	わたしは–あなたを–武装させる
H3045	H3808	H0247

わたしは主である。わたしのほかに神はない、ひとりもない。あなたがわたしを知らなくても、わたしはあなたを強くする。

6

כִּי־	וּמִמַּעֲרָבָה	שֶׁמֶשׁ	מִמִּזְרַח־	יֵדְעוּ	לְמַעַן	
すなわち	そして–沈む–ところから	日の	日の–出る–ところから	知るためである	それは	
	H4628	H8121	H4217	H3045	H4616	

עוֹד׃	וְאֵין	יְהוָה	אֲנִי	בִּלְעָדָי	אֶפֶס
ほかに	そして–いない	主であり	わたしは	わたしの–ほかに	いないことを
H5750	H0369	H3068	H0589	H1107	

これは日の出る方から、また西の方から、人々がわたしのほかに神のないことを知るようになるためである。わたしは主である、わたしのほかに神はない。

7

רָע	וּבוֹרֵא	שָׁלוֹם	עֹשֶׂה	חֹשֶׁךְ	וּבוֹרֵא	אוֹר	יוֹצֵר
禍いを	そして–創造する–者	平和を	造る–者	闇を	そして–創造する–者	光を	形造る–者
		H7965		H2822		H0216	H3335

ס	אֵלֶּה׃	כָּל־	עֹשֶׂה	יְהוָה	אֲנִי
—	これらの	これら–すべての	造る–者	主であり	わたしは
	H0428	H3605		H3068	H0589

わたしは光をつくり、また暗きを創造し、繁栄をつくり、またわざわいを創造する。わたしは主である、すべてこれらの事をなす者である。

8

יִשַּׁע	וְיִפְרוּ־	אֶרֶץ	תִּפְתַּח־	צֶדֶק	יִזְלוּ־	וְשִׁחָקִים	מִמַּעַל	שָׁמַיִם	הַרְעִיפוּ
救いを	そして–芽生えよ	地よ	開け	義を	流せ	そして–雲よ	上から	天よ	滴らせよ
H3468	H6509	H0776		H6664	H5140	H7834	H4605	H8064	H7491

ס	בְּרָאתִיו׃	יְהוָה	אֲנִי	יַחַד	תַּצְמִיחַ	וּצְדָקָה
—	これを–創造した	主であり	わたしは	共に	共に–芽生えさせよ	そして–義も
		H3068	H0589		H6779	H6666

天よ、上より水を注げ、雲は義を降らせよ。地は開けて救を生じ、また義をも、生えさせよ。主なるわたしはこれを創造した。

9

אֲדָמָה	חַרְשֵׁי	אֶת־	חֶרֶשׂ	יֹצְרוֹ	אֶת־	רָב	הֹוי
地の	土器の-破片の-中の	を	土器の-破片よ	形造った-者と	を	争う-者よ	ああ
H0127	H2789	H0854	H2789	H3335	H0854	H7378	H1945

לוֹ׃	יָדַיִם	אֵין־	וּפֹעָלְךָ	תַּעֲשֶׂה	מַה־	לְיֹצְרוֹ	חֹמֶר	הַיֹּאמַר
それにはと	手が	ない	そして-あなたの-わざは	作るのかと	何を	形造る-者に	粘土が	言うのか
	H3027	H0369	H6467		H4100	H3335		H0559

ס
—

陶器が陶器師と争うように、おのれを造った者と争う者はわざわいだ。粘土は陶器師にむかって『あなたは何を造るか』と言い、あるいは『あなたの造った物には手がない』と言うだろうか。

10

ס	תְּחִילִין׃	מַה־	וּלְאִשָּׁה	תּוֹלִיד	מַה־	לְאָב	אֹמֵר	הֹוי
—	産むのかと	何を	そして-女に	生むのかと	何を	父に	言う-者よ	ああ
		H4100	H0802	H3205	H4100	H0001	H0559	H1945

父にむかって『あなたは、なぜ子をもうけるのか』と言い、あるいは女にむかって『あなたは、なぜ産みの苦しみをするのか』と言う者はわざわいだ」。

11

שְׁאֲלוּנִי	הָאֹתִיוֹת	וְיֹצְרוֹ	יִשְׂרָאֵל	קְדוֹשׁ	יְהוָה	אָמַר	כֹּה־	
求めよ	しるしを	そして-その-形造った-者	イスラエルの	聖なる-者	主は	言われる	このように	
H7592	H0857	H3335	H3478	H6918	H3068	H0559	H3541	

תְּצַוֻּנִי׃	יָדַי	פֹּעַל	וְעַל־	בָּנָי	עַל־	
命じるのか	わが-手の	わざに-ついて	そして-わが-手の	わが-子らに	わが-子らに-ついて	
H6680	H3027	H6467				

イスラエルの聖者、イスラエルを造られた主はこう言われる、「あなたがたは、わが子らについてわたしに問い、またわが手のわざについてわたしに命ずるのか。

12

שָׁמַיִם	נָטוּ	יָדִי	אֲנִי	בָּרָאתִי	עָלֶיהָ	וְאָדָם	אֶרֶץ	עָשִׂיתִי	אָנֹכִי
天を	広げた	手が	わたしの	創造した	その-上に	そして-人を	地を	造った	わたしが
H8064	H5186	H3027	H0589			H0120	H0776		H0595

צִוִּיתִי׃	צְבָאָם	וְכָל־	
命じた	すべての-軍勢に	そして-その-すべての-軍勢に	
H6680		H3605	

わたしは地を造って、その上に人を創造した。わたしは手をもって天をのべ、その万軍を指揮した。

13

אֲיַשֵּׁר	דְּרָכָיו	וְכָל־	בְּצֶדֶק	הַעִירֹתָהוּ	אָנֹכִי			
まっすぐにする	すべての-道を	そして-その-すべての-道を	義を-もって	彼を-起こした	わたしが			
H3474	H1870	H3605	H6664	H5782	H0595			

וְלֹא	בִמְחִיר	לֹא	יְשַׁלַּח	וְגָלוּתִי	עִירִי	יִבְנֶה	הוּא־	
そして-賄賂なく	代価なく	代価なく	解き放つ	そして-わが-捕囚を	わが-都を	建てる	彼が	
H3808	H4242	H3808	H7971	H1546		H1129	H1931	

פ	צְבָאוֹת׃	יְהוָה	אָמַר	בְּשֹׁחַד
—	万軍の-主	主は	言われる	賄賂なく
		H3068	H0559	H7810

わたしは義をもってクロスを起した。わたしは彼のすべての道をまっすぐにしよう。彼はわが町を建て、わが捕囚を価のためでなく、また報いのためでもなく解き放つ」と万軍の主は言われる。

14 וְכֹ֣ה | אָמַ֔ר | יְהוָ֔ה | יְגִיעַ֙ | מִצְרַ֔יִם | וְסְחַר־ | כּ֖וּשׁ | וְסְבָאִ֑ים
そして–セバの–民 クシュの そして–商いは エジプトの 労苦の–実りは 主は 言われる このように
H5436 H3541 H0559 H3068 H3018 H4714 H5505 H3478

אַחֲרֶ֣יךָ | יִהְי֔וּ | וְלָ֖ךְ | יַעֲבֹ֑רוּ | עָלַ֣יִךְ | מְדָרֵ֔ה | אֲנָשֵׁ֖י
あなたの–後に なる そして–あなたの–ものと 渡って–来る あなたの–もとに 背の–高い ㊐の–民
H1961 H0376

אַ֚ךְ | יִתְפַּלְּל֣וּ | אֵלַ֔יִךְ | יִשְׁתַּחֲוּ֖וּ | וְאֵלַ֣יִךְ | יַעֲבֹ֑רוּ | בְּזִקִ֖ים | יֵלֵ֣כוּ
まことに 祈る あなたに ひれ伏し そして–あなたに 渡って–来る 鎖に–つながれて 従う
H0389 H6419 H0413 H7812 H0413 H3212

אֱלֹהִ֥ים׃ | אֶ֖פֶס | עֹ֣וד | וְאֵ֔ין | אֵ֖ל | בָּ֑ךְ
神は いない ほかに そして–いない 神は–おられる あなたの–中にのみ
H0430 H5750 H0369 H0410

主はこう言われる、「エジプトの富と、エチオピヤの商品と、たけの高いセバびととはあなたに来て、あなたのものとなり、あなたに従い、彼らは鎖につながれて来て、あなたの前にひれ伏し、あなたに願って言う、『神はただあなたと共にいまし、このほかに神はなく、ひとりもない』」。

15 מוֹשִׁ֥יעַ׃ | יִשְׂרָאֵ֖ל | אֱלֹהֵ֣י | מִסְתַּתֵּ֔ר | אֵ֣ל | אַתָּ֑ה | אָכֵ֖ן
救う–者 イスラエルの イスラエルの–神 身を–隠す 身を–隠す–神 あなたは まことに
H3467 H3478 H0430 H5641 H0410 H0403

イスラエルの神、救主よ、まことに、あなたはご自分を隠しておられる神である。

16 חָרָשֵׁ֥י | בַכְּלִמָּ֖ה | הָלְכ֣וּ | יַחְדָּ֑ו | כֻּלָּ֖ם | נִכְלְמ֥וּ | וְגַם־ | בֹּ֔שׁוּ
偶像を–作る–者たちは 恥の–中を 行った 共に 皆 辱められた そして–また 恥じた
H2796 H3639 H1980 H3605 H3637 H1571 H0954

צִירִֽים׃
偶像を–作る
H6736

偶像を造る者は皆恥を負い、はずかしめを受け、ともに、あわてふためいて退く。

17 תִּבָּשְׁ֥ו | לֹא־ | עוֹלָמִ֖ים | תִּוָּשַׁ֣עַת | בַּיהוָ֔ה | נוֹשַׁ֖ע | יִשְׂרָאֵ֑ל
恥じない 恥じない 永遠の 永遠の–救いで 主に–よって 救われる イスラエルは
H0954 H3808 H5769 H8668 H3068 H3467 H3478

פ | עַ֖ד׃ | עוֹלְמֵ֥י | עַד־ | תִּכָּלְמ֥וּ | וְלֹא־
— 永遠に 永遠の 永遠の–世々まで 辱められない そして–辱められない
H5703 H5769 H5704 H3637 H3808

しかし、イスラエルは主に救われて、とこしえの救を得る。あなたがたは世々かぎりなく、恥を負わず、はずかしめを受けない。

18 הָאֱלֹהִ֔ים | הַה֣וּא | הַשָּׁמַ֗יִם | בּוֹרֵ֤א | יְהוָה֙ | אָמַ֣ר־ | כֹּ֔ה | כִּ֥י
まことの–神であり その–方は 天を 創造した–者 主は 言われる このように なぜなら
H0430 H1931 H8064 H3068 H0559 H3541

תֹ֖הוּ | לֹא־ | כּוֹנְנָ֑הּ | הַה֣וּא | וְעָשָׂ֔הּ | הָאָ֖רֶץ | יֹצֵ֥ר
徒に 徒に–創造したのではない 堅く–定めた その–方が そして–それを–造った–者 地を 形造った–者
H8414 H3808 H1931 H0776 H3335

עֽוֹד׃ | וְאָ֥ין | יְהוָ֖ה | אֲנִ֑י | יְצָרָ֔הּ | לָשֶׁ֖בֶת | בְּרָאָ֥הּ
ほかに そして–いない 主であり わたしは 形造った 住む–ために 創造した
H5750 H0369 H3068 H0589 H3335 H3427

天を創造された主、すなわち神であってまた地をも造り成し、これを堅くし、いたずらにこれを創造されず、これを人のすみかに造られた主はこう言われる、「わたしは主である、わたしのほかに神はない。

19

חֹשֶׁךְ	אֶרֶץ	בִּמְקוֹם	דִּבַּרְתִּי	בַסֵּתֶר	לֹא
闇の	闇の-地の	闇の-地の-場所で	語らなかった	隠れた-ところで	わたしは-語らなかった
H2822	H0776	H4725	H1696		H3808

בַּקְּשׁוּנִי	תֹהוּ	יַעֲקֹב	לְזֶרַע	אָמָרְתִּי	לֹא
わたしを-求めよと	むなしく	ヤコブの	ヤコブの-子孫に	言わなかった	わたしは-言わなかった
H1245	H8414	H3290	H2233	H0559	H3808

מֵישָׁרִים׃	מַגִּיד	צֶדֶק	דֹּבֵר	יְהוָה	אֲנִי
正しい-ことを	告げる-者	義を	語る-者	主であり	わたしは
H4339	H5046	H6664	H1696	H3068	H0589

わたしは隠れたところ、地の暗い所で語らず、ヤコブの子孫に『わたしを尋ねるのはむだだ』と言わなかった。主なるわたしは正しい事を語り、まっすぐな事を告げる。

20

יָדְעוּ	לֹא	הַגּוֹיִם	פְּלִיטֵי	יַחְדָּו	הֵתְנַגְּשׁוּ	וָבֹאוּ	הִקָּבְצוּ
知らない	知らない	諸国の-民の	逃れた-者たちよ	共に	近づけ	そして-来い	集まれ
H3045	H3808				H5066	H0935	H6908

יוֹשִׁיעַ׃	לֹא	אֵל	אֶל־	וּמִתְפַּלְלִים	פֶּסֶל	עֵץ	אֶת־	הַנֹּשְׂאִים
救えない	救えない	神に	に	そして-祈る	偶像を	木の	を	運ぶ-者たちは
H3467	H3808	H0410	H0413	H6419	H6459	H6086	H0853	H5375

もろもろの国からのがれてきた者よ、集まってきて、共に近寄れ。木像をにない、救うことのできない神に祈る者は無知である。

21

מִקֶּדֶם	זֹאת	הִשְׁמִיעַ	מִי	יַחְדָּו	יִוָּעֲצוּ	אַף	וְהַגִּישׁוּ	הַגִּידוּ
昔から	これを	聞かせたのか	誰が	共に	共に-議りあえ	まことに	そして-持ち出せ	告げよ
H2063	H8085		H4310		H3289	H0637	H5066	H5046

אֱלֹהִים	עוֹד	וְאֵין־	יְהוָה	אֲנִי	הֲלֹוא	הִגִּידָהּ	מֵאָז
神は	ほかに	そして-いない	主であり	わたしは	ではないか	告げたのか	以前から
H0430	H5750	H0369	H3068	H0589	H3808	H5046	

זוּלָתִי׃	אֵין	וּמוֹשִׁיעַ	צַדִּיק	אֵל־	מִבַּלְעָדָי
わたしの-ほかに	いない	そして-救う-者は	義なる	義なる-神	わたしの-ほかに
H2108	H0369	H3467	H6662	H0410	H1107

あなたがたの言い分を持ってきて述べよ。また共に相談せよ。この事をだれがいにしえから示したか。だれが昔から告げたか。わたし、すなわち主ではなかったか。わたしのほかに神はない。わたしは義なる神、救主であって、わたしのほかに神はない。

22

אֵל	אֲנִי־	כִּי	אֶרֶץ	אַפְסֵי־	כָּל־	וְהִוָּשְׁעוּ	אֵלַי	פְּנוּ־
神であり	わたしが	なぜなら	地の	地の-果てよ	すべての	そして-救われよ	わたしに	振り向け
H0410	H0589		H0776		H3605	H3467	H0413	H6437

עוֹד׃	וְאֵין	
ほかに	そして-いない	
H5750	H0369	

地の果なるもろもろの人よ、わたしを仰ぎのぞめ、そうすれば救われる。わたしは神であって、ほかに神はないからだ。

23

יָשׁוּב	וְלֹא	דָּבָר	צְדָקָה	מִפִּי	יָצָא	נִשְׁבַּעְתִּי	בִי
帰らない	そして–帰らない	ことばが	義の	わが–口から	出た	誓った	わたしに–かけて
H7725	H3808	H1697	H6666	H6310	H3318	H7650	

לָשׁוֹן׃	כָּל־	תִּשָּׁבַע	בֶּרֶךְ	כָּל־	תִּכְרַע	לִי	כִּי־
舌が	すべての	誓う	ひざが	すべての	ひざまずく	わたしに	すなわち
H3956	H3605	H7650	H1290	H3605	H3766		

わたしは自分をさして誓った、わたしの口から出た正しい言葉は帰ることがない、『すべてのひざはわが前にかがみ、すべての舌は誓いをたてる』。

24

יָבוֹא	עָדָיו	וְעָז	צְדָקוֹת	אָמַר	לִי	בַיהוָה	אַךְ
来る	その–もとに	そして–力が	義と	彼は–言った	わたしには–あると	主に–おいてのみ	ただ
H0935	H5704	H5797	H6666	H0559		H3068	H0389

בּוֹ׃	הַנֶּחֱרִים	כֹּל	וְיֵבֹשׁוּ	
その–方に	その–方に–敵対する–者は	すべての	そして–恥じる	
	H2734	H3605	H0954	

人はわたしについて言う、『正義と力とは主にのみある』と。人々は主にきたり、主にむかって怒る者は皆恥を受ける。

25

יִשְׂרָאֵל׃	זֶרַע	כָּל־	וְיִתְהַלְלוּ	יִצְדְּקוּ	בַיהוָה
イスラエルの	子孫は	すべての	そして–誇る	義と–され	主に–おいて
H3478	H2233	H3605		H6663	H3068

しかしイスラエルの子孫は皆主によって勝ち誇ることができる」。

Chapter 46

1

וְלַבְהֵמָה	לַחַיָּה	עֲצַבֵּיהֶם	הָיוּ	נְבוֹ	קֹרֵס	בֵּל	כָּרַע
そして–家畜の–ものと	獣の–ものと	彼らの–偶像は	なった	ネボは	崩れた	ベルは	かがんだ
H0929		H6091	H1961		H7164	H1078	H3766

לַעֲיֵפָה׃	מַשָּׂא	עֲמוּסוֹת	נְשֹׂאתֵיכֶם
疲れた–獣に	重荷に	荷となり	あなたがたの–運んだ–ものは
H5889		H6006	H5385

ベルは伏し、ネボはかがみ、彼らの像は獣と家畜との上にある。あなたがたが持ち歩いたものは荷となり、疲れた獣の重荷となった。

2

וְנַפְשָׁם	מַשָּׂא	מַלָּט	יָכְלוּ	לֹא	יַחְדָּו	כָּרְעוּ	קָרְסוּ
そして–彼ら自身の–魂は	荷を	救うことが	救えなかった	救えなかった	共に	かがんだ	崩れ
H5315		H4422	H3201	H3808		H3766	H7164

ס	הָלָכָה׃	בַּשִּׁבְיָ	
—	行った	捕囚となって	
	H1980		

彼らはかがみ、彼らは共に伏し、重荷となった者を救うことができずかえって、自分は捕われて行く。

3

בֵּית	שְׁאֵרִית	וְכָל־	יַעֲקֹב	בֵּית	אֵלַי	שִׁמְעוּ
家よ	すべての–残りの	そして–すべての–残りの–者よ	ヤコブの	家よ	わたしに	聞け
	H7611	H3605	H3290		H0413	H8085

מִנֵּי־	הַנְּשֻׂאִים	בֶּטֶן	מִנֵּי־	הֶעָמְסִים	יִשְׂרָאֵל
母の–胎内から	運ばれた–者たちよ	母の–胎から	母の–胎から	担われた–者たちよ	イスラエルの
	H5375	H0990		H6006	H3478

רָחַם׃
母の–胎内から

「ヤコブの家よ、イスラエルの家の残ったすべての者よ、生れ出た時から、わたしに負われ、胎を出た時から、わたしに持ち運ばれた者よ、わたしに聞け。

4

אֶסְבֹּל	אֲנִי	שֵׂיבָה	וְעַד־	הוּא	אֲנִי	זִקְנָה	וְעַד־
担う	わたしが	白髪まで	そして–白髪まで	それである	わたしが	老年まで	そして–老年まで
H5445	H0589	H7872	H5704	H1931	H0589	H2209	H5704

ס	וַאֲמַלֵּט׃	אֶסְבֹּל	וַאֲנִי	אֶשָּׂא	וַאֲנִי	עָשִׂיתִי	אֲנִי
—	そして–救う	担い	そして–わたしが	担う	そして–わたしが	造った	わたしが
	H4422	H5445	H0589	H5375	H0589		H0589

わたしはあなたがたの年老いるまで変らず、白髪となるまで、あなたがたを持ち運ぶ。わたしは造ったゆえ、必ず負い、持ち運び、かつ救う。

5

וְנִדְמֶה׃	וְתַמְשִׁלֻנִי	וְתַשְׁוּ	תְּדַמְּיוּנִי	לְמִי
そして–似せるのか	そして–なぞらえるのか	そして–等しいとするのか	わたしを–たとえるのか	誰に
H1819			H1819	H4310

あなたがたは、わたしをだれにたぐい、だれと等しくし、だれにくらべ、かつなぞらえようとするのか。

6

צוֹרֵף	יִשְׂכְּרוּ	יִשְׁקְלוּ	בַּקְנֶה	וְכֶסֶף	מִכִּיס	זָהָב	הַזָּלִים
金細工師を	雇う	量る	秤で	そして–銀を	財布から	金を	賃沢に–注ぎ出す–者たちは
H6884		H8254	H7070	H3701	H3599	H2091	H2107

יִשְׁתַּחֲוּוּ׃	אַף־	יִסְגְּדוּ	אֵל	וְיַעֲשֻׂהוּ	
拝む	また	ひれ伏す	神と	そして–それを–作る	
H7812	H0637	H5456	H0410		

彼らは袋からこがねを注ぎ出し、はかりをもって、しろがねをはかり、金細工人を雇って、それを神に造らせ、これにひれ伏して拝む。

7

וְיַעֲמֹד	תַּחְתָּיו	וְיָנִיחֵהוּ	יִסְבְּלֻהוּ	כָּתֵף	עַל־	יִשָּׂאֻהוּ
そして–それは–立つ	その–場所に	そして–下に–置く	運ぶ	肩に	肩の–上に	担ぐ
H5975	H8478	H3240	H5445	H3802		H5375

יַעֲנֶה	וְלֹא	אֵלָיו	יְצַעֵק	אַף־	יָמִישׁ	לֹא	מִמְּקוֹמוֹ
答えない	そして–答えない	それに	叫んでも	たとえ	動かない	動かない	その–場所から
	H3808	H0413	H6817	H0637	H4185	H3808	H4725

ס	יוֹשִׁיעֻנּוּ׃	לֹא	מִצָּרָתוֹ	
—	救わない	救わない	その–苦しみから	
	H3467	H3808		

彼らはこれをもたげて肩に載せ、持って行って、その所に置き、そこに立たせる。これはその所から動くことができない。人がこれに呼ばわっても答えることができない。また彼をその悩みから救うことができない。

8

לֵב׃	עַל־	פּוֹשְׁעִים	הָשִׁיבוּ	וְהִתְאַשָּׁשׁוּ	זֹאת	זִכְרוּ־
心に	心に	背いた–者たちよ	帰らせよ	そして–強くあれ	これを	思い出せ
		H6586	H7725	H0377	H2063	H2142

あなたがたはこの事をおぼえ、よく考えよ。そむける者よ、この事を心にとめよ、

9 זִכְרוּ זֹּאת וְהִתְאַשָּׁשׁוּ פֹּשְׁעִים הָשִׁיבוּ עַל־לֵב׃

זִכְרוּ	זֹּאת	וְהִתְאַשָּׁשׁוּ	פֹּשְׁעִים	הָשִׁיבוּ	עַל־	לֵב׃		
思い出せ	これを	そして–強くなれ	背く–者たち	戻せ	―に	心		
H2142	H2063	H0553	H6586	H7725	H5921	H3820		

זִכְרוּ רִאשֹׁנוֹת מֵעוֹלָם כִּי אָנֹכִי אֵל וְאֵין עוֹד אֱלֹהִים וְאֶפֶס כָּמוֹנִי׃

זִכְרוּ	רִאשֹׁנוֹת	מֵעוֹלָם	כִּי	אָנֹכִי	אֵל	וְאֵין	עוֹד	אֱלֹהִים
思い出せ	初めの–ことを	昔からの	なぜなら	わたしが	神であり	そして–いない	ほかに	神は
H2142	H7223	H5769	H0595	H0410	H0369	H5750	H0430	

וְאֶפֶס כָּמוֹנִי׃

וְאֶפֶס	כָּמוֹנִי׃
そして–いない	わたしのような–者は
	H3644

いにしえよりこのかたの事をおぼえよ。わたしは神である、わたしのほかに神はない。わたしは神である、わたしと等しい者はない。

10 מַגִּיד מֵרֵאשִׁית אַחֲרִית וּמִקֶּדֶם אֲשֶׁר לֹא־נֶעֱשׂוּ אֹמֵר עֲצָתִי תָקוּם וְכָל־חֶפְצִי אֶעֱשֶׂה׃

מַגִּיד	מֵרֵאשִׁית	אַחֲרִית	וּמִקֶּדֶם	אֲשֶׁר	לֹא־	נֶעֱשׂוּ	אֹמֵר	עֲצָתִי	תָקוּם
告げる–者	初めから	終わりを	そして–昔から	まだ	なされていない	なされていない	言う–者	わが–計画は	立つ
H5046	H7225	H0319			H3808		H0559	H6098	

וְכָל־	חֶפְצִי	אֶעֱשֶׂה׃	
そして–わが–すべての–望みを	すべての–望みを	行う	
H3605	H2656		

わたしは終りの事を初めから告げ、まだなされない事を昔から告げて言う、『わたしの計りごとは必ず成り、わが目的をことごとくなし遂げる』と。

11 קֹרֵא מִמִּזְרָח עַיִט מֵאֶרֶץ מֶרְחָק אִישׁ עֲצָתִי (עצתו) אַף־דִּבַּרְתִּי אַף־אֲבִיאֶנָּה יָצַרְתִּי אַף־אֶעֱשֶׂנָּה׃

קֹרֵא	מִמִּזְרָח	עַיִט	מֵאֶרֶץ	מֶרְחָק	אִישׁ	עֲצָתִי	(עצתו)	אַף־	דִּבַּרְתִּי	אַף־	אֲבִיאֶנָּה	יָצַרְתִּי	אַף־	אֶעֱשֶׂנָּה׃
呼ぶ–者	東から	猛鳥を	遠い–地から	遠い	人を	わが–計画の	―	まことに	わたしは–語った	まことに	わたしは–それを–もたらす	わたしは–形造った	まことに	わたしは–それを–行う
H7121	H4217	H5861	H0776	H4801	H0376	H6098	H6098	H0637	H1696	H0637	H0935	H3335	H0637	

わたしは東から猛禽を招き、遠い国からわが計りごとを行う人を招く。わたしはこの事を語ったゆえ、必ずこさせる。わたしはこの事をはかったゆえ、必ず行う。

12 שִׁמְעוּ אֵלַי אַבִּירֵי לֵב הָרְחוֹקִים מִצְּדָקָה׃

שִׁמְעוּ	אֵלַי	אַבִּירֵי	לֵב	הָרְחוֹקִים	מִצְּדָקָה׃
聞け	わたしに	強情な–心の–者たちよ	強情な–心の	義から–遠い–者たちよ	義から
H8085	H0413	H0047		H7350	H6666

心をかたくなにして、救に遠い者よ、わたしに聞け。

13 קָרַבְתִּי צִדְקָתִי לֹא תְרָחָק וּתְשׁוּעָתִי לֹא תְאַחֵר וְנָתַתִּי בְצִיּוֹן תְּשׁוּעָה לְיִשְׂרָאֵל תִּפְאַרְתִּי׃ ס

קָרַבְתִּי	צִדְקָתִי	לֹא	תְרָחָק	וּתְשׁוּעָתִי	לֹא	תְאַחֵר	וְנָתַתִּי	בְצִיּוֹן	תְּשׁוּעָה	לְיִשְׂרָאֵל	תִּפְאַרְתִּי׃	ס
わたしは–近づけた	わが–義を	遠くない	遠くない	そして–わが–救いは	遅れない	遅れない	そして–わたしは–置く	シオンに	救いを	イスラエルに	わが–栄光を	―
H7126	H6666	H3808	H7368	H8668	H3808	H0309	H5414	H6726	H8668	H3478	H8597	

わたしはわが救を近づかせるゆえ、その来ることは遠くない。わが救はおそくない。わたしは救をシオンに与え、わが栄光をイスラエルに与える」。

Chapter 47

1

אֵין־	לָאָרֶץ	שְׁבִי־	בָבֶל	בַּת־	בְּתוּלַת	עָפָר	עַל־	וּשְׁבִי	וְרְדִי
王座なく	地の–上に	座れ	バビロンの	娘よ	乙女よ	ちりの	ちりの–上に	そして–座れ	降りよ
H0369	H0776	H3427	H0894	H1323	H1330	H6083		H3427	H3381

לָךְ	יִקָּרְאוּ־	תוֹסִיפִי	לָא	כִּי	כַּשְׂדִּים	בַּת־	כִּסֵּא	
あなたと	呼ばれない	もはや–呼ばれない	もはや–呼ばれない	なぜなら	カルデア人の	娘よ	王座なく	
	H7121	H3254	H3808		H3778	H1323	H3678	

וַעֲנֻגָּה׃	רַכָּה
そして–優美な–者と	柔らかな–者と
H6028	H7390

処女なるバビロンの娘よ、下って、ちりの中にすわれ。カルデヤびとの娘よ、王座のない地にすわれ。あなたはもはや、やさしく、たおやかな女ととなえられることはない。

2

גַּלִּי־	שָׁבֶל	חֶשְׁפִּי־	צַמָּתֵךְ	גַּלִּי	קֶמַח	וְטַחֲנִי	רֵחַיִם	קְחִי	
はぎ取れ	裾を	はぎ取れ	あなたの–ベールを	取れ	粉を	そして–粉を–ひけ	ひき臼を	取れ	
H1540	H7640	H2834	H6777	H1540	H7058	H2912	H7347	H3947	

נְהָרוֹת׃	עִבְרִי	שׁוֹק	
川を	渡れ	すねを	
H5104		H7785	

石うすをとって粉をひけ、顔おおいを取り去り、うちぎを脱ぎ、すねをあらわして川を渡れ。

3

אֶקַּח	נָקָם	חֶרְפָּתֵךְ	תֵּרָאֶה	גַּם	עֶרְוָתֵךְ	תִּגָּל	
取る	復讐を	あなたの–恥が	見られる	また	あなたの–裸が	あらわになる	
H3947	H5359	H2781	H7200	H1571	H6172	H1540	

ס	אָדָם׃	אֶפְגָּע	וְלֹא
—	人にも	情けを–かけない	そして–情けを–かけない
	H0120	H6293	H3808

あなたの裸はあらわれ、あなたの恥は見られる。わたしはあだを報いて、何人とをも助けない。

4

יִשְׂרָאֵל׃	קְדוֹשׁ	שְׁמוֹ	צְבָאוֹת	יְהוָה	גֹּאֲלֵנוּ
イスラエルの	聖なる–者	その–名は	万軍の–主	主	わたしたちの–贖い–主は
H3478	H6918	H8034		H3068	

われわれをあがなう者はその名を万軍の主といい、イスラエルの聖者である。

5

לָא	כִּי	כַּשְׂדִּים	בַּת־	בַּחֲשֶׁךְ	וּבְאִי	דוּמָם	שְׁבִי	
もはや–呼ばれない	なぜなら	カルデア人の	娘よ	闇の–中に	そして–入れ	黙って	黙って–座れ	
H3808		H3778	H1323	H2822	H0935	H1748	H3427	

מַמְלָכוֹת׃	גְּבֶרֶת	לָךְ	יִקָּרְאוּ־	תוֹסִיפִי
王国々の	女王と	あなたと	呼ばれない	もはや–呼ばれない
H4467	H1404		H7121	H3254

カルデヤびとの娘よ、黙してすわれ、また暗い所にはいれ。あなたはもはや、もろもろの国の女王ととなえられることはない。

6

בְּיָדֵךְ	וָאֶתֵּנֵם	נָחַלְתִּי	חִלַּלְתִּי	עַמִּי	עַל־	קָצַפְתִּי		
あなたの–手に	そして–渡した	わが–宝を	汚した	わが–民に	わが–民に–対して	わたしは–怒った		
H3027	H5414	H5159				H7107		

הִכְבַּדְתְּ	זָקֵן	עַל־	רַחֲמִים	לָהֶם׀	שַׂמְתְּ	לְא־
重くした	老人の	老人の–上に	あわれみを	彼らに	示さなかった	あなたは–示さなかった
H3513	H2205			H1992		H3808

מְאֹד׃	עֻלֵּךְ
大いに	あなたの–くびきを
H3966	H5923

わたしはわが民を憤り、わが嗣業を汚して、これをあなたの手に渡した。あなたはこれに、あわれみを施さず、年老いた者の上に、はなはだ重いくびきを負わせた。

לֹא־	עַד	גְּבֶרֶת	אֶהְיֶה	לְעוֹלָם	וַתֹּאמְרִי	7
心に–留めなかった	ついに	女王として	わたしは–ある	永遠に	そして–あなたは–言った	
H3808	H5704	H1404	H1961	H5769	H0559	

זָכַרְתְּ	לֹא	לִבֵּךְ	עַל־	אֵלֶּה	שָׂמְתְּ
思い出さなかった	思い出さなかった	心の–上に	心に	これらの–ことを	心に–留めなかった
H2142	H3808			H0428	

ס	אַחֲרִיתָהּ׃	
—	その–終わりを	
	H0319	

あなたは言った、「わたしは、とこしえに女王となる」と。そして、あなたはこれらの事を心にとめず、またその終りを思わなかった。

הָאֹמְרָה	לָבֶטַח	הַיּוֹשֶׁבֶת	עֲדִינָה	זֹּאת	שִׁמְעִי־	וְעַתָּה	8
心の–中で–言う–者よ	安心して	安心して–座る–者よ	快楽を–求める–者よ	これを	聞け	そして–今	
H0559	H0983	H3427	H5719	H2063	H8085	H6258	

אֹשֵׁב	לֹא	עוֹד	וְאֶפְסִי	אֲנִי	בִלְבָבָהּ	
わたしは–座らない	わたしは–座らない	はないと	そして–わたしの–ほかに	わたしだけであり	心の–中で	
H3427	H3808	H5750		H0589	H3824	

שְׁכֹל׃	אֵדַע	וְלֹא	אַלְמָנָה	
子を–失うことを	知らない	そして–知らない	やもめとして	
H7908	H3045	H3808	H0490	

楽しみにふけり、安らかにおり、心のうちに「ただわたしだけで、わたしのほかにだれもなく、わたしは寡婦となることはない、また子を失うことはない」と言う者よ、今この事を聞け。

אֶחָד	בְּיוֹם	רֶגַע	אֵלֶּה	שְׁתֵּי־	לָךְ	וְתָבֹאנָה	9
一日の	一日の–うちに	たちまちに	この–二つの	この–二つの–ものが	あなたに	そして–来る	
H0259	H3117	H7281	H0428	H8147		H0935	

בְּרֹב	עָלָיִךְ	בָּאוּ	כְּתֻמָּם	וְאַלְמֹן	שְׁכֹל
多くの	あなたの–上に	来る	満ちに	そして–やもめに–なることが	子を–失うことと
H7230		H0935	H8537	H0489	H7908

מְאֹד׃	חֲבָרַיִךְ	בְּעָצְמַת	כְּשָׁפַיִךְ
大いに	あなたの–呪文にも–かかわらず	あなたの–強い	あなたの–魔術にも–かかわらず
H3966	H2267	H6109	H3785

これらの二つの事は一日のうちに、またたくまにあなたに臨む。すなわち子を失い、寡婦となる事はたといあなたが多くの魔術を行い、魔法の大いなる力をもってしてもことごとくあなたに臨む。

חָכְמָתֵךְ	רְאָנִי	אַיִן	אָמַרְתְּ	בְרָעָתֵךְ	וַתִּבְטְחִי	10
あなたの–知恵と	見る–者は	いない	あなたは–言った	あなたの–悪に	そして–あなたは–信頼した	
H2451	H7200	H0369	H0559		H0982	

בְלִבֵּךְ	וַתֹּאמְרִי	שׁוּבְבָתֶךְ	הִיא	וְדַעְתֵּךְ	
あなたの–心の–中で	そして–あなたは–言った	あなたを–惑わした	それが	そして–あなたの–知識が	
	H0559	H7725	H1931	H1847	

עוֹד׃	וְאֶפְסִי	אֲנִי	
はないと	そして–わたしの–ほかに	わたしだけであり	
H5750		H0589	

あなたは自分の悪に寄り頼んで言う、「わたしを見る者はない」と。あなたの知恵と、あなたの知識とはあなたを惑わした。あなたは心のうちに言った、「ただわたしだけで、わたしのほかにだれもない」と。

11

וְתִפֹּל	שַׁחְרָהּ	תֵּדְעִי	לֹא	רָעָה	עָלָיִךְ	וּבָא
そして–降りかかる	その–曙を	知らない	知らない	禍いが	あなたの–上に	そして–来る
H5307	H7837	H3045	H3808			H0935

וְתָבֹא	כֻּפָּרָהּ	תוּכְלִי	לֹא	הוֹוָה	עָלָיִךְ	
そして–来る	贖うことが	防ぐことが–できない	防ぐことが–できない	災いが	あなたの–上に	
H0935		H3201	H3808	H1943		

תֵּדָעִי׃	לֹא	שׁוֹאָה	פִּתְאֹם	עָלָיִךְ	
知らない	知らない	滅びが	突然	あなたの–上に	
H3045	H3808		H6597		

しかし、わざわいが、あなたに臨む、あなたは、それをあがなうことができない。なやみが、あなたを襲う、あなたは、それをつぐなうことができない。滅びが、にわかにあなたに臨む、あなたは、それについて何も知らない。

12

בַּאֲשֶׁר	כְּשָׁפַיִךְ	וּבְרֹב	בַּחֲבָרַיִךְ	נָא	עִמְדִי־	
その–中で	あなたの–魔術と–共に	そして–多くの	あなたの–呪文と–共に	さあ	立ちなさい	
	H3785	H7230	H2267	H4994	H5975	

אוּלַי	הוֹעִיל	תּוּכְלִי	אוּלַי	מִנְּעוּרָיִךְ	יָגַעַתְּ	
あるいは	勝つことが	勝つことが–できるか	あるいは	若い–時から	労してきた	
H0194	H3276	H3201	H0194		H3021	

תַּעֲרוֹצִי׃
恐れさせることが–できるか
H6206

あなたが若い時から勤め行ったあなたの魔法と、多くの魔術とをもって立ちむかってみよ、あるいは成功するかもしれない、あるいは敵を恐れさせるかもしれない。

13

(הַבְּרֵי	הברון[	וְיוֹשִׁיעֻךְ	נָא	יַעַמְדוּ־	עֲצָתָיִךְ	בְּרֹב	נִלְאֵית
天を–分ける–者たちよ	—	そして–救わせよ	さあ	立て	あなたの–助言に	多くの	疲れた
H1895	H1895	H3467	H4994	H5975	H6098	H7230	H3811

עָלָיִךְ׃	יָבֹאוּ	מֵאֲשֶׁר	לֶחֳדָשִׁים	מוֹדִיעַם	בַּכּוֹכָבִים	הַחֹזִים	שָׁמָיִם
あなたの–上に	来るのか	何が	毎月に	知らせる–者たちよ	星々によって	見る–者たちよ	天を
	H0935		H2320	H3045	H3556	H2374	H8064

あなたは多くの計りごとによってうみ疲れた。かの天を分かつ者、星を見る者、新月によって、あなたに臨む事を告げる者を立ちあがらせて、あなたを救わせてみよ。

14

נַפְשָׁם	אֶת־	יַצִּילוּ	לֹא־	שְׂרָפָתַם	אֵשׁ	כְּקַשׁ	הָיוּ	הִנֵּה
魂を	自分の	救えない	救えない	燃やした	火が	わらのように	彼らは–なった	見よ
H5315	H0853	H5337	H3808	H8313	H0784	H7179	H1961	H2009

נֶגְדּוֹ׃	לָשֶׁבֶת	אוּר	לַחֲמָם	גַּחֶלֶת	אֵין־	לֶהָבָה	מִיַּד
その–前に	その–前に–座るための	火も	暖まるための	炭火も	ない	炎の	炎の–手から
H5048	H3427		H2552	H1513	H0369	H3852	H3027

見よ、彼らはわらのようになって、火に焼き滅ぼされ、自分の身を炎の勢いから、救い出すことができない。その火は身を暖める炭火ではない、またその前にすわるべき火でもない。

15

מִנְּעוּרַיִךְ	סֹחֲרַיִךְ	יָגְעָתְּ	אֲשֶׁר	לָךְ	הָיוּ־	כֵּן
若い–時からの	あなたの–商人たちは	労してきた	それは	あなたに–とって	なった	このように
	H5503	H3021			H1961	

ס	מוֹשִׁיעֵךְ׃	אֵין	תָּעוּ	לְעִבְרוֹ	אִישׁ
—	救う–者は	いない	さまよった	自分の–方へ	それぞれ
	H3467	H0369	H8582	H5676	H0376

あなたが勤めて行ったものと、あなたの若い時からあなたと売り買いした者とは、ついにこのようになる。彼らはめいめい自分の方向にさすらいゆき、ひとりもあなたを救う者はない。

Chapter 48

1 שִׁמְעוּ־זֹאת בֵּית־יַעֲקֹב הַנִּקְרָאִים בְּשֵׁם יִשְׂרָאֵל וּמִמֵּי יְהוּדָה

聞け これを 家よ ヤコブの 呼ばれる-者たちよ 名で イスラエルの そして-水から ユダの
H8085 H2063 H1004 H3290 H7121 H8034 H3478 H4325 H3063

הַנִּשְׁבָּעִים בְּשֵׁם יְהוָה וּבֵאלֹהֵי יִשְׂרָאֵל יַזְכִּירוּ לֹא

誓う-者たちよ 名に-よって 主の そして-神に イスラエルの 言及する しかし-ない
H7650 H8034 H3068 H0430 H3478 H2142 H3808

בֶּאֱמֶת וְלֹא בִצְדָקָה׃ יִתְּנוּ

真実に そして-ない 義に
H0571 H3808 H6666

ヤコブの家よ、これを聞け。あなたがたはイスラエルの名をもってとなえられ、ユダの腰から出、主の名によって誓い、イスラエルの神をとなえるけれども、真実をもってせず、正義をもってしない。

2 כִּי־מֵעִיר הַקֹּדֶשׁ נִקְרָאוּ וְעַל־אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל נִסְמָכוּ יְהוָה צְבָאוֹת

なぜなら 都から 聖なる 呼ばれ そして-上に 神に イスラエルの 頼る 主 万軍の
H3068 H6944 H7121 H5564 H3478 H0430

שְׁמוֹ׃ ס

その-名 [セラ]
H8034

彼らはみずから聖なる都のものととなえ、イスラエルの神に寄り頼む。その名は万軍の主という。

3 הָרִאשֹׁנוֹת מֵאָז הִגַּדְתִּי מִפִּי וְאַשְׁמִיעֵם פִּתְאֹם עָשִׂיתִי וַתָּבֹאנָה׃

先の-ことを 昔から わたしは-告げた わたしの-口から そして-聞かせた 突然に わたしは-行い そして-起こった
H7223 H4480 H5046 H6310 H8085 H6597 H6213 H0935

「わたしはさきに成った事を、いにしえから告げた。わたしは口から出して彼らに知らせた。わたしは、にわかにこの事を行い、そして成った。

4 מִדַּעְתִּי כִּי אַתָּה קָשֶׁה וְגִיד בַּרְזֶל עָרְפֶּךָ וּמִצְחֲךָ נְחוּשָׁה׃

わたしが-知っていたので あなたが 頑なで-ある-と あなたは 鉄の そして-筋は あなたの-首 そして-額は 青銅
H1847 H3588 H7186 H0859 H1270 H1517 H6203 H4696 H5154

わたしはあなたが、かたくなで、その首は鉄の筋、その額は青銅であることを知るゆえに、

5 וָאַגִּיד לְךָ מֵאָז בְּטֶרֶם תָּבוֹא הִשְׁמַעְתִּיךָ פֶּן־תֹּאמַר עָצְבִּי עָשָׂם וּפִסְלִי וְנִסְכִּי צִוָּם׃

そして-わたしは-告げた あなたに 昔から まだ 来ない-うちに 聞かせた あなたが 言わない-ように わたしの-偶像が それを-なした わたしの-刻像と わたしの-鋳像が 命じた-と
H5046 H0859 H4480 H2962 H0935 H8085 H6435 H0559 H6213 H6459 H5262 H6680

いにしえから、かの事をあなたに告げ、その成らないさきに、これをあなたに聞かせた。そうでなければ、あなたは言うだろう、『わが偶像がこれをしたのだ、わが刻んだ像と、鋳た像がこれを命じたのだ』と。

6

הִשְׁמַעְתִּיךָ	תַּגִּידוּ	הֲלוֹא	וְאַתֶּם	כֻּלָּהּ	חָזֶה	שָׁמַעְתָּ
わたしは-聞かせた	告げない-のか	それなのに	あなたがたは	すべてを	見よ	あなたは-聞いた
H8085	H5046	H3808		H3605	H2372	H8085

יְדַעְתָּם׃	וְלֹא	וּנְצֻרוֹת	מֵעַתָּה	חֲדָשׁוֹת
知らなかった-ことを	あなたが	隠された-ことを	今から	新しい-ことを
H3045	H3808	H5341	H6258	H2319

あなたはすでに聞いた、すべてこれが成ったことを見よ。あなたがたはこれを宣べ伝えないのか。わたしは今から新しい事、あなたがまだ知らない隠れた事をあなたに聞かせよう。

7

שְׁמַעְתָּם	וְלֹא	יוֹם	וְלִפְנֵי־	מֵאָז	וְלֹא	נִבְרְאוּ	עַתָּה	
聞いた-ことが	あなたは-なかった	日の	そして-以前	昔から-では	しかし-ない	創られた	今	
H8085	H3808	H3117	H6440		H3808		H6258	

יְדַעְתִּין׃	הִנֵּה	תֹּאמַר	פֶּן־
知っていた-と	見よ	言わない-ように	あなたが
H3045	H2009	H0559	H6435

これらの事はいま創造されたので、いにしえからあったのではない。この日以前には、あなたはこれを聞かなかった。そうでなければ、あなたは言うだろう、『見よ、わたしはこれを知っていた』と。

8

פִּתְחָה	לֹא־	מֵאָז	גַּם	יָדַעְתָּ	לָא	גַם	שָׁמַעְתָּ	לֹא־	גַּם
開かれなかった	ない	昔から	実に	知らなかった	ない	実に	聞かなかった	ない	実に
	H3808		H1571	H3045	H3808	H1571	H8085	H3808	H1571

מִבֶּטֶן	וּפֹשֵׁעַ	תִּבְגֹּוד	בָּגֹוד	יָדַעְתִּי	כִּי	אָזְנֶךָ	
胎から	そして-背く-者と	裏切る-と	裏切りに	わたしは-知っていた	なぜなら	あなたの-耳は	
H0990	H6586	H0898	H0898	H3045		H0241	

לָךְ׃	קָרָא
あなたは	呼ばれた
	H7121

あなたはこれを聞くこともなく、知ることもなく、あなたの耳は、いにしえから開かれなかった。わたしはあなたが全く不信実で、生れながら反逆者ととなえられたことを知っていたからである。

9

אַפִּי	אַאֲרִיךְ	שְׁמִי	לְמַעַן
わたしの-怒りを	わたしは-遅くする	わたしの-名の	わたしの-名の-ために
H0639	H0748	H8034	H4616

הַכְרִיתֶךָ׃	לְבִלְתִּי	לָךְ	אֶחֱטָם־	וּתְהִלָּתִי
あなたを	断ち滅ぼさない-ために	あなたに-対して	抑える	そして-わたしの-誉れの-ために
H3772	H1115		H2413	H8416

わが名のために、わたしは怒りをおそくする。わが誉のために、わたしはこれをおさえて、あなたを断ち滅ぼすことをしない。

10

עֹנִי׃	בְּכוּר	בְּחַרְתִּיךָ	בְּכֶסֶף	וְלֹא	צְרַפְתִּיךָ	הִנֵּה
苦しみの	炉の-中で	わたしは-選んだ	銀の-ように	しかし-ない	わたしは-精錬した	見よ
H6040	H3564	H0977	H3701	H3808	H6884	H2009

見よ、わたしはあなたを練った。しかし銀のようにではなくて、苦しみの炉をもってあなたを試みた。

11

יֵחָֽלֵ֑ל כִּ֣י אֵ֤יךְ אֶֽעֱשֶׂה֙ לְמַעֲנִ֔י לְמַעֲנִ֖י
汚される–だろうか どうして なぜなら わたしは–行う わたしの–ために わたしの–ために
H4616 H4616

וְכְבוֹדִ֥י לְאַחֵ֖ר לֹֽא־ אֶתֵּ֥ן׃ ס
そして–わたしの–栄光を 他の–者に ない 与える [セラ]
H3519 H0312 H3808 H5414

わたしは自分のために、自分のためにこれを行う。どうしてわが名を汚させることができよう。わたしはわが栄光をほかの者に与えることをしない。

12

שִׁמְעָ֤ה אֵלַי֙ יַעֲקֹ֔ב וְיִשְׂרָאֵ֖ל מְקֹרָאִ֑י אֲנִי־ ה֥וּא אֲנִ֖י
聞け わたしに ヤコブよ そして–イスラエルよ わたしが–呼んだ–者よ わたし こそ わたしは
H8085 H0413 H3290 H3478 H7121 H0589 H1931 H0589

רִאשׁ֔וֹן אַ֥ף אֲנִ֖י אַחֲרֽוֹן׃
最初で–あり また わたしは 最後で–ある
H7223 H0637 H0589 H0314

ヤコブよ、わたしの召したイスラエルよ、わたしに聞け。わたしはそれだ、わたしは初めであり、わたしはまた終りである。

13

אֲנִ֖י קָרָ֣א שָׁמַ֑יִם טִפְּחָ֣ה וִֽימִינִ֔י אֶ֥רֶץ יָסְדָ֖ה יָדִ֥י אַף־
わたしが 呼ぶと 天を 広げた そして–わたしの–右の–手が 地を 据えた わたしの–手が 実に
H0589 H7121 H8064 H2946 H3225 H0776 H3245 H3027 H0637

יַחְדָּֽו׃ יַעֲמֹ֑דוּ אֲלֵיהֶ֖ם
共に 立ち上がる それらに
H5975 H0413

わが手は地の基をすえ、わが右の手は天をのべた。わたしが呼ぶと、彼らはもろともに立つ。

14

יְהוָ֣ה אֵלֶּ֔ה אֶת־ הִגִּ֖יד בָּהֶ֑ם מִי֙ וְשִׁמְעוּ֙ כֻּלְכֶ֔ם הִקָּבְצ֖וּ
主が これらを [アット] 告げた–のか 彼らの–中で だれが そして–聞け あなたがた–皆 集まれ
H3068 H0428 H0853 H5046 H4310 H8085 H3605 H6908

כַּשְׂדִּֽים׃ וּזְרֹעֽוֹ בְּבָבֶל֙ חֶפְצ֔וֹ יַעֲשֶׂ֖ה אֲהֵבֽוֹ
カルデヤ人に そして–その–腕 バビロンに–対して その–望みを 行う 愛する–者
H3778 H2220 H0894 H2656 H0157

あなたがたは皆集まって聞け。彼らのうち、だれがこれらの事を告げたか。主の愛せられる彼は主のみこころをバビロンに行い、その腕はカルデヤびとの上に臨む。

15

דַּרְכּֽוֹ׃ וְהִצְלִֽיחַ הֲבִיאֹתִ֔יו קְרָאתִ֖יו אַף־ דִּבַּ֥רְתִּי אֲנִ֖י אֲנִ֑י
その–道を そして–栄えさせる 連れて来た 呼んだ また 語った わたしが わたし
H1870 H0935 H7121 H0637 H1696 H0589 H0589

語ったのは、ただわたしであって、わたしは彼を召した。わたしは彼をこさせた。彼はその道に栄える。

16

מֵעֵ֣ת דִּבַּ֔רְתִּי בַּסֵּ֖תֶר מֵרֹאשׁ֑ לֹ֣א זֹ֔את שִׁמְעוּ־ אֵלַ֖י קִרְבֽוּ
起こった–時から 語った–ことは ひそかに 初めから ない これを 聞け わたしに 近づけ
H6256 H1696 H3808 H2063 H8085 H0413 H7126

וְרוּחֽוֹ׃ שְׁלָחַ֔נִי יְהוִ֖ה אֲדֹנָ֑י וְעַתָּ֖ה אֲנִ֥י שָׁ֛ם הָיֽוֹתָה֙
わたしを–そして–その–霊を 遣わされた 神が 主なる そして–今 わたしは–いた そこに それが
H7307 H7971 H3069 H0136 H6258 H0589 H8033 H1961

פ
[ペー]

あなたがたはわたしに近寄って、これを聞け。わたしは初めから、ひそかに語らなかった。それが成った時から、わたしはそこにいたのだ」。いま主なる神は、わたしとその霊とをつかわされた。

17 כֹּה־ אָמַר יְהוָה גֹּאֲלֵךְ קְדוֹשׁ יִשְׂרָאֵל אֲנִי יְהוָה אֱלֹהֶיךָ מְלַמֶּדְךָ לְהוֹעִיל מַדְרִיכְךָ בְּדֶרֶךְ תֵּלֵךְ׃

יְהוָה	אֲנִי	יִשְׂרָאֵל	קְדוֹשׁ	גֹּאֲלֵךְ	יְהוָה	אָמַר	כֹּה־	17
主	わたしは	イスラエルの	聖なる-方	あなたの-贖い主	主は	言われる	このように	
H3068	H0589	H3478	H6918		H3068	H0559	H3541	
תֵּלֵךְ׃	בְּדֶרֶךְ	מַדְרִיכְךָ	לְהוֹעִיל	מְלַמֶּדְךָ	אֱלֹהֶיךָ			
あなたが-行くべき	道に	導く-者	益となる-ことを	教える-者	あなたの-神			
H3212	H1870	H1869	H3276	H3925	H0430			

あなたのあがない主、イスラエルの聖者、主はこう言われる、「わたしはあなたの神、主である。わたしは、あなたの利益のために、あなたを教え、あなたを導いて、その行くべき道に行かせる。

18 לוּ הִקְשַׁבְתָּ לְמִצְוֹתָי וַיְהִי כַנָּהָר שְׁלוֹמֶךָ וְצִדְקָתְךָ כְּגַלֵּי הַיָּם׃

לוּ	הִקְשַׁבְתָּ	לְמִצְוֹתָי	וַיְהִי	כַנָּהָר	שְׁלוֹמֶךָ	18
もし	聞いていたなら	わしの-命令に	なっていた-だろう	川の-ように	あなたの-平和は	
H3863	H7181	H4687	H1961	H5104	H7965	
			וְצִדְקָתְךָ	כְּגַלֵּי	הַיָּם׃	
			あなたの-義は	波の-ように	海の	
			H6666	H1530	H3220	

どうか、あなたはわたしの戒めに聞き従うように。そうすれば、あなたの平安は川のように、あなたの義は海の波のようになり、

19 וַיְהִי כַחוֹל זַרְעֶךָ וְצֶאֱצָאֵי מֵעֶיךָ כְּמֹעֹתָיו לֹא־ יִכָּרֵת וְלֹא־ יִשָּׁמֵד שְׁמוֹ מִלְּפָנָי׃

מֵעֶיךָ	וְצֶאֱצָאֵי	זַרְעֶךָ	כַחוֹל	וַיְהִי	19				
あなたの-内から	そして-あなたの-子らは	あなたの-子孫は	砂の-ように	なっていた-だろう					
H4578	H6631	H2233	H2344	H1961					
שְׁמוֹ	יִשָּׁמֵד	וְלֹא־	יִכָּרֵת	לֹא־	כְּמֹעֹתָיו				
その-名は	滅ぼされる-ことは	そして-ない	断たれる-ことは	ない	その-粒の-ように				
H8034	H8045	H3808	H3772	H3808	H4579				
					מִלְּפָנָי׃				
					わたしの-前から				
					H6440				

あなたのすえは砂のように、あなたの子孫は砂粒のようになって、その名はわが前から断たれることなく、滅ぼされることはない」。

20 צְאוּ מִבָּבֶל בִּרְחוּ מִכַּשְׂדִּים בְּקוֹל רִנָּה הַגִּידוּ הַשְׁמִיעוּ זֹאת הוֹצִיאוּהָ עַד־ קְצֵה הָאָרֶץ אִמְרוּ גָּאַל יְהוָה עַבְדּוֹ יַעֲקֹב׃

צְאוּ	מִבָּבֶל	בִּרְחוּ	מִכַּשְׂדִּים	בְּקוֹל	רִנָּה	הַגִּידוּ	הַשְׁמִיעוּ	זֹאת	הוֹצִיאוּהָ	20
出よ	バビロンから	逃れよ	カルデヤから	喜びの	声で	告げよ	聞かせよ	これを	届けよ	
H3318	H0894	H1272	H3778		H7440	H5046	H8085	H2063	H3318	
עַד־	קְצֵה	הָאָרֶץ	אִמְרוּ	גָּאַל	יְהוָה	עַבְדּוֹ	יַעֲקֹב׃			
まで	果てに	地の	言え	贖われた	主は	その-しもべ	ヤコブを			
H5704		H0776	H0559		H3068	H5650	H3290			

あなたがたはバビロンから出、カルデヤからのがれよ。喜びの声をもってこれをのべ聞かせ、地の果にまで語り伝え、「主はそのしもべヤコブをあがなわれた」と言え。

21 וְלֹא צָמְאוּ בְּחֳרָבוֹת הוֹלִיכָם מַיִם מִצּוּר הִזִּיל לָמוֹ וַיְבַקַּע־ צוּר וַיָּזוּבוּ מָיִם׃

וְלֹא	צָמְאוּ	בְּחֳרָבוֹת	הוֹלִיכָם	מַיִם	מִצּוּר	הִזִּיל	לָמוֹ	21	
そして-ない	渇いた	荒れ地を	導いた-時も	水を	岩から	流れ出させた	彼らの-ために		
H3808	H6770	H2723	H3212	H4325	H6697	H5140			
וַיְבַקַּע־	צוּר	וַיָּזוּבוּ	מָיִם׃						
そして-割った	岩を	そして-あふれ出た	水が						
H1234	H6697	H2100	H4325						

主が彼らを導いて、さばくを通らせられたとき、彼らは、かわいたことがなかった。主は彼らのために岩から水を流れさせ、また岩を裂かれると、水がほとばしり出た。

22 אֵ֣ין שָׁלֹ֔ום אָמַ֖ר יְהוָ֑ה לָֽרְשָׁעִֽים׃ ס
ない 平和は 言われる 主は 悪しき-者たちに [セラ]
H0369 H7965 H0559 H3068 H7563

主は言われた、「悪い者には平安がない」と。

Chapter 49

1 שִׁמְעוּ֙ אִיִּ֣ים אֵלַ֔י וְהַקְשִׁ֖יבוּ לְאֻמִּ֣ים מֵרָחֹ֑וק יְהוָ֤ה מִבֶּ֙טֶן֙ קָרָ֣אַנִי
聞け 島々よ わたしに そして-耳を-傾けよ 諸国の-民よ 遠くから 主は 胎から 呼んだ
H8085 H0339 H0413 H7181 H3816 H7350 H3068 H0990 H7121

מֵרֶ֥חֶם אִמִּ֖י הִזְכִּ֣יר שְׁמִֽי׃
母の-胎内から 母の 呼んだ わたしの-名を
H4578 H0517 H2142 H8034

海沿いの国々よ、わたしに聞け。遠いところのもろもろの民よ、耳を傾けよ。主はわたしを生れ出た時から召し、母の胎を出た時からわが名を語り告げられた。

2 וַיָּ֣שֶׂם פִּ֣י כְחֶ֣רֶב חַדָּ֑ה בְּצֵ֥ל יָדֹ֖ו הֶחְבִּיאָ֣נִי וַיְשִׂימֵ֔נִי
そして-された わたしの-口を 鋭い-剣の-ように 鋭い 影に その-手の 隠された そして-された
H6310 H2719 H2299 H6738 H3027 H2244 H7760

לְחֵ֥ץ מְר֖וּר בְּאַשְׁפָּתֹ֥ו הִסְתִּירָֽנִי׃
磨かれた-矢の-ように 磨かれた その-矢筒に 隠された
H2671 H1305 H0827 H5641

主はわが口を鋭利なつるぎとなし、わたしをみ手の陰にかくし、とぎすました矢となして、箙にわたしを隠された。

3 וַיֹּ֣אמֶר לִ֔י עַבְדִּי־ אָ֖תָּה יִשְׂרָאֵ֑ל אֲשֶׁר־ בְּךָ֖ אֶתְפָּאָֽר׃
そして-言われた わたしに わたしの-しもべよ あなたは イスラエルよ あなたに-よって 誇りとする あなたに-おいて
H0559 H5650 H3478 H0834

また、わたしに言われた、「あなたはわがしもべ、わが栄光をあらわすべきイスラエルである」と。

4 וַאֲנִ֣י אָמַ֔רְתִּי לָרִ֥יק יָגַ֖עְתִּי כְּלִיתִ֣י וְהֶ֑בֶל לְתֹ֥הוּ כֹחִ֖י
しかし-わたしは 言った 空しく 労した 使い果たした むなしく むなしく-そして わたしの-力を
H0589 H0559 H7385 H3021 H3615 H1892 H8414 H3581

אֵ֤ת׀ מִשְׁפָּטִי֙ יְהוָ֔ה וּפְעֻלָּתִ֖י אֵ֣ת אֱלֹהָֽי׃
けれども わたしの-正義は 主の-もとに [アット] そして-わたしの-報いは [アット]
H0403 H4941 H3068 H0854 H6468 H0854

わたしの-神の-もとに
H0430

しかし、わたしは言った、「わたしはいたずらに働き、益なく、むなしく力を費した。しかもなお、まことにわが正しきは主と共にあり、わが報いはわが神と共にある」と。

5

לְשׁוֹבֵב	לוֹ	לְעֶבֶד	מִבֶּטֶן	יֹצְרִי	יְהוָה	אָמַר	וְעַתָּה	
立ち帰らせる–ために	その–方の	しもべと–して	胎から	形造られた–方	主は	言われる	そして–今	
H7725		H5650	H0990	H3335	H3068	H0559	H6258	

וְאֶכָּבֵד	יֵאָסֵף	(לוֹ)	[לא]	וְיִשְׂרָאֵל	אֵלָיו	יַעֲקֹב	
そして–尊ばれる	集める–ために	その–方に	[ケリー]	そして–イスラエルを	その–方に	ヤコブを	
H3513	H0622		H3808	H3478	H0413	H3290	

עֻזִּי׃	הָיָה	וֵאלֹהַי	יְהוָה	בְּעֵינֵי	
わたしの–力として	あられた	そして–わたしの–神が	主の	主の–目に	
H5797	H1961	H0430	H3068		

ヤコブをおのれに帰らせ、イスラエルをおのれのもとに集めるために、わたしを腹の中からつくってそのしもべとされた主は言われる。（わたしは主の前に尊ばれ、わが神はわが力となられた）

6

עֶבֶד	לִי	מֶהְיוֹתְךָ	נָקֵל	וַיֹּאמֶר		
しもべとして	わたしに–とって	あなたが–ある–ことは	軽い–ことだ	そして–言われた		
H5650		H1961	H7043	H0559		

יִשְׂרָאֵל	(וּנְצוּרֵי)	[ונצירי]	יַעֲקֹב	שִׁבְטֵי	אֶת־	לְהָקִים	
イスラエルの	そして–守られた–者を	[ケリー]	ヤコブの	部族を	[アット]	立て–直す–ために	
H3478	H5341	H5341	H3290	H7626	H0853		

עַד־	יְשׁוּעָתִי	לִהְיוֹת	גּוֹיִם	לְאוֹר	וּנְתַתִּיךָ	לְהָשִׁיב	
まで	わたしの–救いが	ある–ために	諸国の–民の	光として	わたしは–立てる	立ち帰らせる–ために	
H5704	H3444	H1961		H0216	H5414	H7725	

ס	הָאָרֶץ׃	קְצֵה	
[セラ]	地の	果てに	
	H0776		

主は言われる、「あなたがわがしもべとなって、ヤコブのもろもろの部族をおこし、イスラエルのうちの残った者を帰らせることは、いとも軽い事である。わたしはあなたを、もろもろの国びとの光となして、わが救を地の果にまでいたらせよう」と。

7

נֶפֶשׁ	לִבְזֹה־	קְדוֹשׁוֹ	יִשְׂרָאֵל	גֹּאֵל	יְהוָה	אָמַר־	כֹּה	
魂に–対して	軽んじられた	その–聖なる–方は	イスラエルの	贖い主	主は	言われる	このように	
H5315	H0960	H6918	H3478		H3068	H0559	H3541	

שָׂרִים	וָקָמוּ	יִרְאוּ	מְלָכִים	מֹשְׁלִים	לְעֶבֶד	גּוֹי	לִמְתָעֵב	
君主たちが	そして–立ち上がり	見て	王たちが	支配者たちの	しもべとして	国の–民に	嫌われた	
H8269		H7200	H4428	H4910	H5650		H8581	

יִשְׂרָאֵל	קָדֹשׁ	נֶאֱמָן	אֲשֶׁר	יְהוָה	לְמַעַן	וְיִשְׁתַּחֲוּוּ
イスラエルの	聖なる–方の	真実なる–方の	あるがゆえに	主の	主の–ゆえに	そして–ひれ伏す
H3478	H6918	H0539		H3068	H4616	H7812

וַיִּבְחָרֶךָּ׃
そして–選んだ
H0977

イスラエルのあがない主、イスラエルの聖者なる主は、人に侮られる者、民に忌みきらわれる者、つかさたちのしもべにむかってこう言われる、「もろもろの王は見て、立ちあがり、もろもろの君は立って、拝する。これは真実なる主、イスラエルの聖者が、あなたを選ばれたゆえである」。

8 כֹּה֙ אָמַ֣ר יְהוָ֔ה בְּעֵ֥ת רָצ֖וֹן עֲנִיתִ֑יךָ וּבְי֣וֹם יְשׁוּעָ֔ה עֲזַרְתִּיךָ֙ וְאֶצָּרְךָ֔ וְאֶתְּנְךָ֖ לִבְרִ֣ית עָ֑ם לְהָקִ֤ים אֶ֙רֶץ֙ לְהַנְחִ֣יל נְחָלֹ֔ות שֹׁמְמֹ֖ות׃

主はこう言われる、「わたしは恵みの時に、あなたに答え、救の日にあなたを助けた。わたしはあなたを守り、あなたを与えて民の契約とし、国を興し、荒れすたれた地を嗣業として継がせる。

9 לֵאמֹ֣ר לָאֲסוּרִ֗ים צֵ֚אוּ לַאֲשֶׁ֣ר בַּחֹ֔שֶׁךְ הִגָּל֖וּ עַל־דְּרָכִ֣ים יִרְעֽוּ׃ וּבְכָל־

言って 囚われた-者たちに 出よ 闇の-中に 姿を-現せ 道の-働らに 食べ

מִרְעֵיתָ֖ם׃ שְׁפָיִ֥ים

その-牧草となる 裸の-丘で そして-すべての

わたしは捕えられた人に『出よ』と言い、暗きにおる者に『あらわれよ』と言う。彼らは道すがら食べることができ、すべての裸の山にも牧草を得る。

10 לֹ֣א יִרְעֲבוּ֩ וְלֹא־יִצְמָ֨אוּ וְלֹא־יַכֵּ֜ם שָׁרָ֣ב וְשָׁמֶ֗שׁ כִּ֣י מְרַחֲמָ֔ם וְעַל־מַבּ֥וּעֵי מַ֖יִם יְנַהֲלֵֽם׃

ない 飢える-ことは そして-ない 渇く-ことも そして-ない 打つ-ことは 焙熱が また-太陽が

伴われる 水の 水の-泉きに そして 導き 憐れむ-方が なぜなら

彼らは飢えることがなく、かわくこともない。また熱い風も、太陽も彼らを撃つことはない。彼らをあわれむ者が彼らを導き、泉のほとりに彼らを導かれるからだ。

11 וְשַׂמְתִּ֥י כָל־הָרַ֖י לְדֶ֑רֶךְ וּמְסִלֹּתַ֖י יְרֻמֽוּן׃

そして-する わたしの-山を 道として そして-わたしの-大路は 高められる

わたしは、わがもろもろの山を道とし、わが大路を高くする。

12 הִנֵּה־אֵ֙לֶּה֙ מֵרָחֹ֣וק יָבֹ֔אוּ וְהִנֵּה־אֵ֖לֶּה מִצָּפֹ֣ון וּמִיָּ֑ם וְאֵ֖לֶּה מֵאֶ֥רֶץ סִינִֽים׃

見よ これらの-者が 遠くから 来る 見よ これらの-者が 北から そして-西から

そして-これらの-者が シニムの-地から シニムの

見よ、人々は遠くから来る。見よ、人々は北から西から、またスエネの地から来る」。

13 רָנּ֤וּ שָׁמַ֙יִם֙ וְגִ֣ילִי אֶ֔רֶץ וּפִצְחִ֖ו הָרִ֑ים כִּֽי־נִחַ֤ם יְהוָה֙ עַמֹּ֔ו וַעֲנִיָּ֖יו יְרַחֵֽם׃ ס

歌え 天よ そして-喜べ 地よ [ケリー] 声を-あげよ 山々よ なぜなら 慰められた

主は その-民を 苦しむ-者たちを 憐れまれる [セラ]

天よ、歌え、地よ、喜べ。もろもろの山よ、声を放って歌え。主はその民を慰め、その苦しむ者をあわれまれるからだ。

14 וַתֹּאמֶר צִיּוֹן עֲזָבַנִי יְהוָה וַאדֹנָי שְׁכֵחָנִי׃
しかしシオンは言った 見捨てられた 主に そして-主は 忘れられた
H6726 H0559 H5800 H0136 H7911

しかしシオンは言った、「主はわたしを捨て、主はわたしを忘れられた」と。

15 הֲתִשְׁכַּח אִשָּׁה עוּלָהּ מֵרַחֵם בֶּן־בִּטְנָהּ גַּם־
忘れる-だろうか 女が その-乳児を 憐れまない-だろうか その-胎の 子を たとえ
H7911 H0802 H5764 H7355 H0990 H1571

אֵלֶּה תִּשְׁכַּחְנָה וְאָנֹכִי לֹא אֶשְׁכָּחֵךְ׃
これらの-者が 忘れても しかし-わたしは ない 忘れない
H0428 H7911 H0595 H3808 H7911

「女がその乳のみ子を忘れて、その腹の子を、あわれまないようなことがあろうか。たとい彼らが忘れるようなことがあっても、わたしは、あなたを忘れることはない。

16 הֵן עַל־כַּפַּיִם חַקּוֹתִיךְ חוֹמֹתַיִךְ נֶגְדִּי תָּמִיד׃
見よ その-上に 手の-ひらに 刻んだ あなたの-城壁は わたしの-前に 常に
H2005 H3709 H2710 H2346 H5048 H8548

見よ、わたしは、たなごころにあなたを彫り刻んだ。あなたの石がきは常にわが前にある。

17 מִהֲרוּ בָנָיִךְ מְהָרְסַיִךְ וּמַחֲרֵבַיִךְ מִמֵּךְ יֵצֵאוּ׃
急いだ あなたの-子らは 破壊した-者と 荒らした-者は あなたから 出て-行く
H4116 H1129 H2040 H2717 H4480 H3318

あなたを建てる者は、あなたをこわす者を追い越し、あなたを荒した者は、あなたから出て行く。

18 שְׂאִי־סָבִיב עֵינַיִךְ וּרְאִי כֻּלָּם נִקְבְּצוּ בָּאוּ־לָךְ
上げよ 周りを あなたの-目を そして-見よ 皆が 集まった 来た あなたの-もとに
H5375 H5439 H5869 H7200 H3605 H6908 H0935 H3605

חַי־אָנִי נְאֻם־יְהוָה כִּי כֻלָּם כָּעֲדִי תִלְבָּשִׁי
わたしは-生きている わたしは 宣言する 主は 実に 皆を 飾りの-ように 身に-まとい
H2416 H0589 H5002 H3068 H3605 H5716 H3847

וְתִקְשְׁרִים כַּכַּלָּה׃
そして-帯びる 花嫁の-ように
H7194 H3618

あなたの目をあげて見まわせ。彼らは皆集まって、あなたのもとに来る。主は言われる、わたしは生きている、あなたは彼らを皆、飾りとして身につけ、花嫁の帯のようにこれを結ぶ。

19 כִּי חָרְבֹתַיִךְ וְשִׁמְמֹתַיִךְ וְאֶרֶץ הֲרִסְתֵּיךְ עַתָּה תֵּצְרִי
実に あなたの-廃墟と あなたの-荒れ地と そして-地と あなたの-破壊の 今や 狭くなる
H3588 H2723 H8074 H0776 H2040 H6258 H3334

מִיּוֹשֵׁב וְרָחֲקוּ מְבַלְּעָיִךְ׃
住む-者には そして-遠ざかる 飲み込んだ-者たちは
H3427 H7368 H1104

あなたの荒れ、かつすたれた所、こわされた地は、住む人の多いために狭くなり、あなたを、のみつくした者は、はるかに離れ去る。

20

עוֹד	יֹאמְרוּ	בְאָזְנֶיךָ	בְּנֵי	שְׁכֻלֶיךָ	צַר־	לִי	הַמָּקוֹם
なお	言う	あなたの–耳に	子らは	あなたの–失われた–子の	狭い	わたしには	この–場所は
H5750	H0559	H0241		H7923			H4725

גְּשָׁה־	לִי	וְאֵשְׁבָה׃
寄れ	わたしに	そして–住ませよ
H5066		H3427

あなたが子を失った後に生れた子らは、なおあなたの耳に言う、『この所はわたしには狭すぎる、わたしのために住むべき所を得させよ』と。

21

וְאָמַרְתְּ	בִּלְבָבֵךְ	מִי	יָלַד־	לִי	אֶת־	אֵלֶּה	וַאֲנִי
そして–言う	あなたの–心に	だれが	産んだ	わたしに	[アット]	これらの–者を	わたしは
H0559	H3824	H4310	H3205		H0853	H0428	H0589

שְׁכוּלָה	וְגַלְמוּדָה	וּגְלָה	וְסוּרָה	וְאֵלֶּה׀	מִי
子を–失い	そして–子の–ない–者	捕らわれ	そして–追いやられた	そして–これらの–者を	だれが
	H1565	H1540	H5493	H0428	H4310

גִּדֵּל	הֵן	אֲנִי׀	נִשְׁאַרְתִּי	לְבַדִּי	אֵלֶּה	אַיֵּפֹה	הֵם׃	פ
育てたのか	見よ	わたしは	残された	ひとりで	これらの–者は	どこに	いたのか	[ペー]
H1431	H2005	H0589	H7604	H0905	H0428	H0375	H1992	

その時あなたは心のうちに言う、『だれがわたしのためにこれらの者を産んだのか。わたしは子を失って、子をもたない。わたしは捕われ、かつ追いやられた。だれがこれらの者を育てたのか。見よ、わたしはひとり残された。これらの者はどこから来たのか』と」。

22

יָדִי	גּוֹיִם	אֶל־	אֶשָּׂא	הִנֵּה	יְהוִה	אֲדֹנָי	אָמַר	כֹּה־
わたしの–手を	諸国の–民に	向かって	上げる	見よ	神は	主なる	言われる	このように
H3027		H0413	H5375	H2009	H3069	H0136	H0559	H3541

בָּנַיִךְ	וְהֵבִיאוּ	נִסִּי	אָרִים	עַמִּים	וְאֶל־
あなたの–息子たちを	そして–連れて–来る	わたしの–旗を	掲げる	もろもろの–民に	そして–向かって
	H0935	H5251			H0413

תְּנַשֶּׂאנָה׃	כָּתֵף	עַל־	וּבְנֹתַיִךְ	בְּחֹצֶן
担がれる	肩の	肩の–上に	そして–あなたの–娘たちを	懐に–抱いて
H5375	H3802		H1323	H2684

主なる神はこう言われる、「見よ、わたしは手をもろもろの国にむかってあげ、旗をもろもろの民にむかって立てる。彼らはそのふところにあなたの子らを携え、その肩にあなたの娘たちを載せて来る。

23

מֵינִיקֹתַיִךְ	וְשָׂרוֹתֵיהֶם	אֹמְנַיִךְ	מְלָכִים	וְהָיוּ	
あなたの–乳母となる	そして–その–王女たちが	あなたの–養父となり	王たちが	そして–ある	
H3243	H8282	H0539	H4428	H1961	

וְיָדַעַתְּ	יְלַחֲכוּ	רַגְלַיִךְ	וְעָפָר	לָךְ	יִשְׁתַּחֲווּ	אֶרֶץ	אַפַּיִם
そして–知る	なめる	あなたの–足の	そして–ちりを	あなたに	ひれ伏す	地に	顔を–地に–伏せて
H3045	H3897	H7272	H6083		H7812	H0776	H0639

קֹוָי׃		יֵבֹשׁוּ	לֹא־	אֲשֶׁר	יְהוָה	אֲנִי	כִּי־	ס
わたしに–望みを–置く–者は		恥を–見ない	ない	待つ	主で–ある–ことを	わたしは	わたしが	[セラ]
		H0954	H3808		H3068	H0589		

もろもろの王は、あなたの養父となり、その王妃たちは、あなたの乳母となり、彼らはその顔を地につけて、あなたにひれ伏し、あなたの足のちりをなめる。こうして、あなたはわたしが主であることを知る。わたしを待ち望む者は恥をこうむることがない」。

24

צַדִּיק שִׁבְי וְאִם־ מַלְקוֹחַ מִגִּבּוֹר הֲיֻקָּח
義なる–者の 捕られた–者が あるいは 捕獲物が 勇士から 取り上げられる–だろうか
H6662 H1368 H3947

יִמָּלֵט׃
救われる–だろうか
H4422

勇士が奪った獲物をどうして取り返すことができようか。暴君がかすめた捕虜をどうして救い出すことができようか。

25

כִּי־ כֹה אָמַר יְהוָה גַּם־ שְׁבִי גִבּוֹר יֻקָּח
なぜなら このように 言われる 主は たとえ 捕られた–者も 勇士の 取り戻され
H3541 H0559 H3068 H1571 H1368 H3947

וּמַלְקוֹחַ עָרִיץ יִמָּלֵט וְאֶת־ בָּנַיִךְ אוֹשִׁיעַ׃ אָנֹכִי וְאֶת־ יְרִיבֵךְ אָנֹכִי אָרִיב וְאֶת־
そして–捕獲物も 暴君の 救われる そして–あなたと 争う–者と わたしが 争う そして
H6184 H4422 H0854 H3401 H0595 H7378 H0853

אָנֹכִי אוֹשִׁיעַ׃ בָּנַיִךְ
わたしが 救う あなたの–子らを
H0595 H3467

しかし主はこう言われる、「勇士がかすめた捕虜も取り返され、暴君が奪った獲物も救い出される。わたしはあなたと争う者と争い、あなたの子らを救うからである。

26

וְהַאֲכַלְתִּי אֶת־ מוֹנַיִךְ אֶת־ בְּשָׂרָם וְכֶעָסִיס דָּמָם יִשְׁכָּרוּן כְּכָל־ וְיָדְעוּ כָּל־ בָּשָׂר כִּי
そして–食べさせる [アット] あなたを–虐げる–者に [アット] 彼らの–肉を そして–甘い–葡萄酒の–ように 彼らの–血に 酔う すべての そして–知る 肉なる–者は わたしが
H0398 H0853 H3238 H0853 H1320 H6071 H1818 H7937 H3605 H3045 H1320

וְגֹאֲלֵךְ אֲבִיר יַעֲקֹב׃ מוֹשִׁיעֵךְ יְהוָה אֲנִי ס
そして–あなたの–贖い主 力ある–方 ヤコブの あなたの–救い主で–あり 主で–あり わたしは [セラ]
H1320 H0046 H3290 H3467 H3068 H0589

わたしはあなたをしえたげる者にその肉を食わせ、その血を新しい酒のように飲ませて酔わせる。こうして、すべての人はわたしが主であって、あなたの救主、またあなたのあがない主、ヤコブの全能者であることを知るようになる」。

Chapter 50

1

כֹּה אָמַר יְהוָה אַי זֶה סֵפֶר כְּרִיתוּת אִמְּכֶם
このように 言われる 主は どこに あるのか 離縁状は 離縁の あなたがたの–母の
H3541 H0559 H3068 H0335 H2088 H3748 H0517

אֲשֶׁר־ מָכַרְתִּי מִי מִנּוֹשַׁי אֲשֶׁר־ לְמִי אוֹ שִׁלַּחְתִּיהָ אֲשֶׁר
それに–よって 追い–出した あるいは だれに わたしの–債権者の–中で 誰に 売ったのか
H0834 H7971 H0176 H4310 H5383 H0834 H4376

בַּעֲוֹנֹתֵיכֶם נִמְכַּרְתֶּם הֵן לוֹ אִתְּכֶם׃ שֻׁלְּחָה אִמְּכֶם׃ וּבְפִשְׁעֵיכֶם
あなたがたの–罪に–よって 売られた 見よ その–者に あなたがたを 追い–出された あなたがたの–母は そして–あなたがたの–背きに–よって
H5771 H4376 H2005 H0176 H0853 H7971 H0517 H6588

主はこう言われる、「わたしがあなたがたの母を去らせたその離縁状は、どこにあるか。わたしはどの債主にあなたがたを売りわたしたか。見よ、あなたがたは、その不義のために売られ、あなたがたの母は、あなたがたのとがのために出されたのだ。

2

קְצָרָה	הַקָּצוֹר	עֹנֶה	וְאֵין	קָרָאתִי	אִישׁ	וְאֵין	בָּאתִי	מַדּוּעַ	
短いのか	短いのか	答える–者が	いない	呼んだのに	人が	いない	わたしが–来たのに	なぜ	
			H0369	H7121	H0376	H0369	H0935	H4069	

בִּגְעָרָתִי	הֵן	לְהַצִּיל	כֹּחַ	בִּי	אֵין־	וְאִם־	מְפֻדּוֹת	יָדִי	
わたしの–叱責で	見よ	救う–ための	力が	わたしに	ないのか	あるいは	贖いから	わたしの–手は	
H1606	H2005	H5337			H0369		H6304	H3027	

וְתָמֹת	מַּיִם	מֵאֵין	דְּגָתָם	תִּבְאַשׁ	מִדְבָּר	נְהָרוֹת	אָשִׂים	יָם	אַחֲרִיב
そして–死ぬ	水が	ない–がゆえに	その–魚は	腐る	荒れ地に	川を	する	海を	干上がらせる
H4191	H4325	H0369	H1710	H0887		H5104		H3220	

בַּצָּמָא׃
渇きで
H6772

わたしが来たとき、なぜひとりもいなかったか。わたしが呼んだとき、なぜひとりも答える者がなかったか。わたしの手が短くて、あがなうことができないのか。わたしは救う力を持たないのか。見よ、わたしが、しかると海はかれ、川は荒野となり、その中の魚は水がないために、かわき死んで悪臭を放つ。

3

ס	כְּסוּתָם׃	אָשִׂים	וְשָׂק	קַדְרוּת	שָׁמַיִם	אַלְבִּישׁ
[セラ]	その–覆いとして	する	そして–荒布を	闇を	天に	着せる
	H3682		H8242	H6940	H8064	H3847

わたしは黒い衣を天に着せ、荒布をもってそのおおいとする」。

4

אֵת־	לָעוּת	לָדַעַת	לְמוּדִים	לְשׁוֹן	לִי׀	נָתַן	יְהוִה	אֲדֹנָי	
[アット]	支える–ことを	知る–ために	学ぶ–者の	舌を	わたしに	与えられた	神は	主なる	
H0853	H5790	H3045	H3928	H3956		H5414	H3069	H0136	

לִשְׁמֹעַ	אֹזֶן	לִי׀	יָעִיר	בַּבֹּקֶר	בַּבֹּקֶר	וְיָעֵר	דָּבָר	יָעֵף
聞く–ために	耳を	わたしに	目覚めさせる	朝ごとに	朝ごとに	目覚めさせる	言葉で	疲れた–者を
H8085	H0241		H5782	H1242	H1242	H5782	H1697	H3287

כַּלְמוּדִים׃
学ぶ–者の–ように
H3928

主なる神は教をうけた者の舌をわたしに与えて、疲れた者を言葉をもって助けることを知らせ、また朝ごとにさまし、わたしの耳をさまして、教をうけた者のように聞かせられる。

5

לֹא	אָחוֹר	מָרִיתִי	לֹא	וְאָנֹכִי	אֹזֶן	לִי	פָּתַח־	יְהוִה	אֲדֹנָי
ない	後ろに	背かなかった	ない	そして–わたしは	耳を	わたしに	開いた	神は	主なる
H3808	H0268	H4784	H3808	H0595	H0241			H3069	H0136

נָסוֹגְתִּי׃
退かなかった
H5472

主なる神はわたしの耳を開かれた。わたしは、そむくことをせず、退くことをしなかった。

6

לֹא	פָנַי	לְמַרְטִים	וּלְחָיַי	לְמַכִּים	נָתַתִּי	גֵּוִי
ない	わたしの–顔を	ひげを–抜く–者に	そして–わたしの–頬を	打つ–者に	与えた	背を
H3808	H6440	H4803	H3895	H5221	H5414	

וָרֹק׃	מִכְלִמּוֹת	הִסְתַּרְתִּי	
唾から	恥と	隠さなかった	
H7536	H3639	H5641	

わたしを打つ者に、わたしの背をまかせ、わたしのひげを抜く者に、わたしのほおをまかせ、恥とつばきとを避けるために、顔をかくさなかった。

7 וַאדֹנָי יְהוִה יַעֲזָר־לִי עַל־כֵּן לֹא נִכְלָמְתִּי עַל־כֵּן שַׂמְתִּי פָנַי כַּחַלָּמִישׁ וָאֵדַע כִּי־לֹא אֵבוֹשׁ׃

וַאדֹנָי	יְהוִה	יַעֲזָר־	לִי	עַל־	כֵּן	לֹא	נִכְלָמְתִּי	עַל־	
そして–主なる	神が	助けられる	わたしを	それゆえ	それゆえに	ない	恥じなかった	それゆえ	
H0136	H3069	H5826				H3808	H3637		

כֵּן	שַׂמְתִּי	פָנַי	כַּחַלָּמִישׁ	וָאֵדַע	כִּי־	לֹא	אֵבוֹשׁ׃		
それゆえに	した	わたしの–顔を	火打ち–石の–ように	そして–知った	ない	ない	恥じない–と		
		H6440	H2496	H3045		H3808	H0954		

しかし主なる神はわたしを助けられる。それゆえ、わたしは恥じることがなかった。それゆえ、わたしは顔を火打石のようにした。わたしは決してはずかしめられないことを知る。

8 קָרוֹב מַצְדִּיקִי מִי־יָרִיב אִתִּי נַעַמְדָה יָחַד מִי־בַעַל אֵלָי׃ יִגַּשׁ מִשְׁפָּטִי

קָרוֹב	מַצְדִּיקִי	מִי־	יָרִיב	אִתִּי	נַעַמְדָה	יָחַד	מִי־	בַעַל	
近い	義と–する–方が	だれが	争うのか	わたしと	共に–立とう	共に	だれが	敵	
H7138	H6663	H4310	H7378	H0854	H5975		H4310	H1167	

אֵלָי׃	יִגַּשׁ	מִשְׁפָּטִי	
わたしに	近づけ	わたしの–裁きの	
H0413	H5066	H4941	

わたしを義とする者が近くおられる。だれがわたしと争うだろうか、われわれは共に立とう。わたしのあだはだれか、わたしの所へ近くこさせよ。

9 הֵן כֻּלָּם יַרְשִׁיעֵנִי מִי־הוּא עָלַי מִי־יְעָזַר־לִי יְהוִה אֲדֹנָי הֵן כַּבֶּגֶד יֹאכְלֵם׃ עָשׁ יִבְלּוּ

כֻּלָּם	הֵן	יַרְשִׁיעֵנִי	הוּא	מִי־	לִי	יְעָזַר־	יְהוִה	אֲדֹנָי	הֵן
皆	見よ	罪に–定めるのか	その–者が	だれが	わたしを	助けられる	神が	主なる	見よ
H3605	H2005	H7561	H1931	H4310		H5826	H3069	H0136	H2005

יֹאכְלֵם׃	עָשׁ	יִבְלּוּ	כַּבֶּגֶד
食い尽くす	虻が	擦り切れる	衣の–ように
H0398		H1086	

見よ、主なる神はわたしを助けられる。だれがわたしを罪に定めるだろうか。見よ、彼らは皆衣のようにふるび、しみのために食いつくされる。

10 מִי בָכֶם יָרֵא יְהוָה שֹׁמֵעַ בְּקוֹל עַבְדּוֹ אֲשֶׁר הָלַךְ חֲשֵׁכִים וְאֵין נֹגַהּ לוֹ יִבְטַח בְּשֵׁם יְהוָה וְיִשָּׁעֵן בֵּאלֹהָיו׃

מִי	בָכֶם	יָרֵא	יְהוָה	שֹׁמֵעַ	בְּקוֹל	עַבְדּוֹ	אֲשֶׁר	הָלַךְ	
だれが	あなたがたの–中で	畏れる–者は	主を	聞いて	声に	その–しもべの	歩んだ–者は	歩んだ	
H4310		H3373	H3068	H8085		H5650		H1980	

חֲשֵׁכִים	וְאֵין	נֹגַהּ	לוֹ	יִבְטַח	בְּשֵׁם	יְהוָה	וְיִשָּׁעֵן		
闇の–中を	そして–ない	光が	その–者に	信頼せよ	名に	主の	そして–よりかかれ		
H2825	H0369	H5051		H0982	H8034	H3068	H8172		

בֵּאלֹהָיו׃			
その–神に			
H0430			

あなたがたのうち主を恐れ、そのしもべの声に聞き従い、暗い中を歩いて光を得なくても、なお主の名を頼み、おのれの神にたよる者はだれか。

11 הֵן כֻּלְּכֶם קֹדְחֵי אֵשׁ מְאַזְּרֵי זִיקוֹת לְכוּ בְּאוּר בְּעַרְתֶּם בָּעַרְתֶּם מִיָּדִי זֹאת לָכֶם לְמַעֲצֵבָה תִּשְׁכָּבוּן׃ פ

הֵן	כֻּלְּכֶם	קֹדְחֵי	אֵשׁ	מְאַזְּרֵי	זִיקוֹת	לְכוּ	בְּאוּר		
見よ	あなたがた–皆	火を–つける–者	火を	火花を–帯びる–者	火花を	歩め	光の–中を		
H2005	H3605	H6919	H0784	H0247		H3212			

בְּעַרְתֶּם	בָּעַרְתֶּם	מִיָּדִי	זֹאת	הָיְתָה־	לָכֶם	לְמַעֲצֵבָה	תִּשְׁכָּבוּן׃	פ	
燃やした	そして–火花の–中を	わたしの–手から	これが	あった	あなたがたに	苦痛の–地に	横たわる	[ペー]	
		H3027	H2063	H1961		H4620	H7901		

見よ、火を燃やし、たいまつをともす者よ、皆その火の炎の中を歩め、またその燃やした、たいまつの中を歩め。あなたがたは、これをわたしの手から受けて、苦しみのうちに伏し倒れる。

Chapter 51

אֶל־	הַבִּיטוּ	יְהוָה	מְבַקְשֵׁי	צֶדֶק	רֹדְפֵי	אֵלַי	שִׁמְעוּ	1
～へ	目を-向けよ	主を	尋ね求める-者たちよ	義を	追い求める-者たちよ	わたしに	聞け	
H0413	H5027	H3068	H1245	H6664	H7291	H0413	H8085	

נִקַּרְתֶּם׃	בּוֹר	מַקֵּבֶת	וְאֶל־	חֻצַּבְתֶּם	צוּר
掘り出された	井戸を	掘り穴の	そして-～へ	切り出された	岩に
H5365			H0413	H2672	H6697

「義を追い求め、主を尋ね求める者よ、わたしに聞け。あなたがたの切り出された岩と、あなたがたの掘り出された穴とを思いみよ。

תְּחוֹלֲלְכֶם	שָׂרָה	וְאֶל־	אֲבִיכֶם	אַבְרָהָם	אֶל־	הַבִּיטוּ	2
あなたがたを-産んだ	サラに	そして-～へ	あなたがたの-父に	アブラハム	～へ	目を-向けよ	
H8283	H0413	H0001	H0085	H0413	H5027		

ס	וַאֲבָרְכֵהוּ׃	וַאֲבָרְכֵהוּ	קְרָאתִיו	אֶחָד	כִּי־
[区切り]	そして-彼を-増やした	そして-彼を-祝福し	わたしは-彼を-呼んだ	ひとり	なぜなら
		H1288	H7121	H0259	

あなたがたの父アブラハムと、あなたがたを産んだサラとを思いみよ。わたしは彼をただひとりであったときに召し、彼を祝福して、その子孫を増し加えた。

מִדְבָּרָהּ	וַיָּשֶׂם	חָרְבֹתֶיהָ	כָּל־	נִחַם	צִיּוֹן	יְהוָה	נִחַם	כִּי־	3
その-荒野を	そして-変えた	その-荒れ地を	すべての	慰めた	シオンを	主は	慰めた	なぜなら	
		H2723	H3605	H5162	H6726	H3068	H5162		

יִמָּצֵא	וְשִׂמְחָה	שָׂשׂוֹן	יְהוָה	כְּגַן־	וְעַרְבָתָהּ	כְּעֵדֶן
見いだされる	そして-楽しみが	喜びと	主の	園の-ように	そして-その-砂漠を	エデンの-ように
H4672	H8057	H8342	H3068	H1588	H6160	

ס	זִמְרָה׃	וְקוֹל	תּוֹדָה	בָּהּ	
[区切り]	賛美の	そして-歌の-声が	感謝と	その-中に	
	H2172		H8426		

主はシオンを慰め、またそのすべて荒れた所を慰めて、その荒野をエデンのように、そのさばくを主の園のようにされる。こうして、その中に喜びと楽しみとがあり、感謝と歌の声とがある。

תּוֹרָה	כִּי	הַאֲזִינוּ	אֵלַי	וּלְאוּמִּי	עַמִּי	אֵלַי	הַקְשִׁיבוּ	4
律法が	なぜなら	聞け	わたしに	そして-わが-国民よ	わが-民よ	わたしに	耳を-傾けよ	
H8451		H0238	H0413	H3816		H0413	H7181	

אַרְגִּיעַ׃	עַמִּים	לְאוֹר	וּמִשְׁפָּטִי	תֵּצֵא	מֵאִתִּי
定める	諸国の-民の	光の-ために	そして-わが-裁きを	出る	わたしから
		H0216	H4941	H3318	H0854

わが民よ、わたしに聞け、わが国びとよ、わたしに耳を傾けよ。律法はわたしから出、わが道はもろもろの民の光となる。

אִיִּים	אֵלַי	יִשְׁפְּטוּ	עַמִּים	וּזְרֹעַי	יִשְׁעִי	יָצָא	צִדְקִי	קָרוֹב	5
島々は	わたしに	裁く	諸国の-民を	そして-わが-腕が	わが-救いは	出た	わが-義は	近い	
H0339	H0413	H8199		H2220	H3468	H3318	H6664	H7138	

יְיַחֵלוּן׃	זְרֹעַי	וְאֶל־	יְקַוּוּ	
待ち望む	わが-腕に	そして-～に	望みを-置く	
H3176	H2220	H0413		

わが義はすみやかに近づき、わが救は出て行った。わが腕はもろもろの民を治める。海沿いの国々はわたしを待ち望み、わが腕に寄り頼む。

שָׁמַיִם	כִּי־	מִתַּחַת	הָאָרֶץ	אֶל־	וְהַבִּיטוּ	עֵינֵיכֶם	לַשָּׁמַיִם	שְׂאוּ		6
天は	なぜなら	下に	地を	～を	そして–見よ	あなたがたの–目を	天に	上げよ		
H8064		H8478	H0776	H0413	H5027		H8064	H5375		

כְּמוֹ־	וְיֹשְׁבֶיהָ	תִּבְלֶה	כַּבֶּגֶד	וְהָאָרֶץ	נִמְלָחוּ	כֶּעָשָׁן	
同じ–ように	そして–その–住民は	古びる	衣の–ように	そして–地は	消え去り	煙の–ように	
H3644	H3427	H1086		H0776		H6227	

תֵּחָת׃	לֹא	וְצִדְקָתִי	תִּהְיֶה	לְעוֹלָם	וִישׁוּעָתִי	יְמוּתָון	כֵּן	
砕かれることは	ない	そして–わが–義は	ある	永遠に	しかし–わが–救いは	死ぬ	そのように	
H2865	H3808	H6666	H1961	H5769	H3444	H4191	H3654	

ס
[区切り]

目をあげて天を見、また下なる地を見よ。天は煙のように消え、地は衣のようにふるび、その中に住む者は、ぶよのように死ぬ。しかし、わが救はとこしえにながらえ、わが義はくじけることがない。

תִּירְאוּ	אַל־	בִּלְבָּם	תּוֹרָתִי	עַם	צֶּדֶק	יֹדְעֵי	אֵלַי	שִׁמְעוּ		7
恐れるな	恐れるな	その–心に–ある	わが–律法が	民よ	義を	知る–者たちよ	わたしに	聞け		
H3372	H0408		H8451		H6664	H3045	H0413	H8085		

תֵּחָתּוּ׃	אַל־	וּמִגִּדֻּפָתָם	אֱנוֹשׁ	חֶרְפַּת	
おびえるな	おびえるな	そして–彼らの–ののしりを	人の	そしりを	
H2865	H0408	H1421	H0582	H2781	

義を知る者よ、心のうちにわが律法をたもつ者よ、わたしに聞け。人のそしりを恐れてはならない、彼らののののしりに驚いてはならない。

סָס	יֹאכְלֵם	וְכַצֶּמֶר	עָשׁ	יֹאכְלֵם	כַּבֶּגֶד	כִּי				8
虫が	彼らを–食い尽くす	そして–羊毛の–ように	しみが	彼らを–食い尽くす	衣の–ように	なぜなら				
H5580	H0398	H6785		H0398						

ס	דּוֹרִים׃	לְדוֹר	וִישׁוּעָתִי	תִּהְיֶה	לְעוֹלָם	וְצִדְקָתִי	
[区切り]	限りなく	代々に	そして–わが–救いは	ある	永遠に	しかし–わが–義は	
	H1755	H1755	H3444	H1961	H5769	H6666	

彼らは衣のように、しみに食われ、羊の毛のように虫に食われるからだ。しかし、わが義はとこしえにながらえ、わが救はよろず代に及ぶ」。

קֶדֶם	כִּימֵי	עוּרִי	יְהוָה	זְרוֹעַ	עֹז	לִבְשִׁי־	עוּרִי	עוּרִי		9
昔の	昔の–日の–ように	目覚めよ	主の	主の–腕よ	力を	身に–まとえ	目覚めよ	目覚めよ		
	H3117	H5782	H3068	H2220	H5797	H3847	H5782	H5782		

תַּנִּין׃	מְחוֹלֶלֶת	רַהַב	הַמְּחֹלֶלֶת	הֵיא	אַתְּ־	הֲלוֹא	עוֹלָמִים	דֹּרוֹת
竜を	貫いた–者	ラハブを	打ち砕いた–者	それ	あなたこそ	ではないか	永遠の	代々の
		H7294	H2672	H1931		H3808	H5769	H1755

主のかいなよ、さめよ、さめよ、力を着よ。さめて、いにしえの日、昔の代にあったようになれ。ラハブを切り殺し、龍を刺し貫いたのは、あなたではなかったか。

רַבָּה	תְּהוֹם	מֵי	יָם	הַמְיַבֶּשֶׁת	הִיא	אַתְּ־	הֲלוֹא			10
大いなる	大いなる–深淵の	水を	海を	干上がらせた–者	それ	あなたこそ	ではないか			
	H8415	H4325	H3220		H1931		H3808			

גְּאוּלִים׃	לַעֲבֹר	דֶּרֶךְ	יָם	מַעֲמַקֵּי־	הַשָּׂמָה	
贖われた–者たちが	渡る–ための	道と–した	海の	海の–底を	造った–者	
		H1870	H3220	H4615		

海をかわかし、大いなる淵の水をかわかし、また海の深き所を、あがなわれた者の過ぎる道とされたのは、あなたではなかったか。

11

וּפְדוּיֵ֣י יְהוָ֔ה וְשָׁבוּן֙ וּבָ֣אוּ צִיּ֔וֹן בְּרִנָּ֑ה
そして-贖われた-者たちは 主の 帰って-来る そして-来る シオンに 喜びの-歌と-ともに
H6299 H3068 H7725 H0935 H6726 H7440

וְשִׂמְחַ֥ת עוֹלָ֖ם עַל־ רֹאשָׁ֑ם שָׂשׂ֤וֹן וְשִׂמְחָה֙ יַשִּׂ֣יגוּ וְנָ֖סוּ יָג֥וֹן וַאֲנָחָֽה׃ ס
そして-永遠の-喜びが 永遠の 彼らの-頭の 喜びと 得る 逃げ去った 嘆きと そして-ため息は [区切り]
H8057 H5769 H7218 H8342 H5381 H5127 H3015 H0585

主にあがなわれた者は、歌うたいつつ、シオンに帰ってきて、そのこうべに、とこしえの喜びをいただき、彼らは喜びと楽しみとを得、悲しみと嘆きとは逃げ去る。

12

אָנֹכִ֥י אָנֹכִ֖י הוּא֙ מְנַחֲמְכֶ֔ם מִי־ אֱנ֣וֹשׁ תָּמ֔וּת וּמִבֶּן־ אָדָ֖ם חָצִ֣יר יִנָּתֵֽן׃
わたしこそ わたしこそ その方 あなたがたを-慰める-者 誰か 人間を 死ぬべき そして-人の-子を 草の-ように される
H0595 H0595 H1931 H4310 H5162 H0582 H4191 H0120 H2682 H5414

וַתִּשְׁכַּ֣ח יְהוָ֔ה עֹשֶׂ֑ךָ נוֹטֵ֥ה שָׁמַ֖יִם וְיֹסֵ֣ד אָ֔רֶץ וַתְּפַחֵ֤ד תָּמִיד֙ כָּל־ הַיּ֔וֹם מִפְּנֵ֖י חֲמַ֣ת הַמֵּצִ֑יק כַּאֲשֶׁ֤ר כּוֹנֵן֙ לְהַשְׁחִ֔ית וְאַיֵּ֖ה חֲמַ֥ת הַמֵּצִֽיק׃
そして-忘れた 主を 広げる-方 天を 据える-方 そして-地の-基を 恐れた そして-絶えず 日 すべての ～の-前に 怒りを しいたげる-者の ～するとき 備えた 滅ぼすことを しかし-どこに-あるのか 怒りは しいたげる-者の
H7911 H3068 H5186 H8064 H3245 H0776 H2729 H8548 H3117 H3605 H6440 H2534 H6693 H3559 H6440 H2534 H6693

天をのべ、地の基をすえられたあなたの造り主、主を忘れて、なぜ、しえたげる者が滅ぼそうと備えをするとき、その憤りのゆえに常にひねもす恐れるのか。しえたげる者の憤りはどこにあるか。

14

וְלֹ֣א יָמ֔וּת לַשַּׁ֖חַת וְלֹא־ יֶחְסַ֥ר לַחְמֽוֹ׃
そして-ない 死なない 穴の-中で そして-ない 乏しくならない その-パンは
H3808 H4191 H7845 H3808 H2637 H3899

מְהֵ֣ר צֹעֶ֔ה לְהִפָּתֵ֖חַ וְלֹא־

速やかに かがむ-者は 解き放たれる そして-ない

H6808

身をかがめている捕われ人は、すみやかに解かれて、死ぬことなく、穴にくだることなく、その食物はつきることがない。

15

וַאֲנֹכִ֣י יְהוָ֔ה אֱלֹהֶ֖יךָ רֹגַ֣ע הַיָּ֑ם וַיֶּהֱמ֖וּ גַּלָּ֥יו יְהוָ֥ה צְבָאֽוֹת׃ שְׁמֽוֹ׃
そして-わたしは 主 あなたの-神 かき立てる-者 海を そして-荒れ立つ その-波は 万軍の その-名 主
H0595 H3068 H0430 H7288 H3220 H1993 H1530 H3068 H8034

わたしは海をふるわせ、その波をなりどよめかすあなたの神、主である。その名を万軍の主という。

16

כְּסִיתִיךָ	יָדִי	וּבְצֵל	בְּפִיךָ	דִּבְרִי	וָאָשִׂים
あなたを-覆った	わが-手の	そして-陰の-中に	あなたの-口に	わが-言葉を	そして-わたしは-置いた
H3680	H3027	H6738	H6310	H1697	

עַמִּי־	לְצִיּוֹן	וְלֵאמֹר	אָרֶץ	וְלִיסֵּד	שָׁמַיִם	לִנְטֹעַ
わが-民	シオンに	そして-言う-ために	地の-基を	そして-据える-ために	天を	植える-ために
	H6726	H0559	H0776	H3245	H8064	H5193

ס	אָתָּה׃
[区切り]	あなたは

わたしはわが言葉をあなたの口におき、わが手の陰にあなたを隠した。こうして、わたしは天をのべ、地の基をすえ、シオンにむかって、あなたはわが民であると言う」。

17

אֶת־	יְהוָה	מִיַּד	שָׁתִית	אֲשֶׁר	יְרוּשָׁלִַם	קוּמִי	הִתְעוֹרְרִי	הִתְעוֹרְרִי
～を	主の	主の-手から	飲んだ	～した-者よ	エルサレムよ	立ち上がれ	目覚めよ	目覚めよ
H0853	H3068	H3027	H8354		H3389		H5782	H5782

מָצִית׃	שָׁתִית	הַתַּרְעֵלָה	כּוֹס	קְבַעַת	אֶת־	חֲמָתוֹ	כּוֹס
飲み干した	飲んだ	よろめきの	杯の	大杯を	～を	その-怒りの	杯を
H4680	H8354	H8653		H6907	H0853	H2534	

エルサレムよ、起きよ、起きよ、立て。あなたはさきに主の手から憤りの杯をうけて飲み、よろめかす大杯を、滓までも飲みほした。

18

בְּיָדָהּ	מַחֲזִיק	וְאֵין	יָלְדָה	בָּנִים	מִכָּל־	לָהּ	מְנַהֵל	אֵין־
その-手を	手を-取る-者が	そして-ない	産んだ	子らの-中に	すべての	彼女に	導く-者が	ない
H3027	H2388	H0369	H3205		H3605		H5095	H0369

גִּדָּלָה׃	בָּנִים	מִכָּל־
育てた	子らの-中に	すべての
H1431		H3605

その産んだもろもろの子のなかに、自分を導く者なく、その育てたもろもろの子のなかに、自分の手をとる者がない。

19

הַשֹּׁד	לָךְ	יָנוּד	מִי	קָרְאֹתַיִךְ	הֵנָּה	שְׁתָּיִם	
荒廃と	あなたの-ために	嘆くのか	誰が	あなたに-降りかかった	これらが	二つの-ことが	
H7701		H5110	H4310	H7122	H2007	H8147	

אֲנַחֲמֵךְ׃	מִי	וְהַחֶרֶב	וְהָרָעָב	וְהַשֶּׁבֶר	
あなたを-慰めるのか	誰が	そして-剣	そして-飢饉と	そして-破壊	
H5162	H4310	H2719	H7458	H7667	

これら二つの事があなたに臨んだ――だれがあなたと共に嘆くだろうか――荒廃と滅亡、ききんとつるぎ。だれがあなたを慰めるだろうか。

20

חוּצוֹת	כָּל־	בְּרֹאשׁ	שָׁכְבוּ	עָלְפוּ	בָּנַיִךְ
通りの	すべての	～の-先に	横たわった	気を-失い	あなたの-子らは
H2351	H3605		H7901	H5968	

אֱלֹהָיִךְ׃	נַעֲרַת	יְהוָה	חֲמַת־	הַמְלֵאִים	מִכְמָר	כְּתוֹא
あなたの-神の	叱責で	主の	怒りで	満たされて	網に-かかった	網に-かかった-かもしかの-ように
H0430	H1606	H3068	H2534	H4392		H8377

あなたの子らは息絶えだえになり、網にかかった、かもしかのように、すべてのちまたのすみに横たわり、主の憤りと、あなたの神の責めとは、彼らに満ちている。

21 לָכֵן שִׁמְעִי־נָא זֹאת עֲנִיָּה וּשְׁכֹרַת וְלֹא
それゆえ 聞け どうか これを 苦しむ–者よ 酔った そして–しかし–ない
H8085 H4994 H2063 H6041 H7937 H3808

מָיִן׃ ס
ぶどう酒に–よるので–は [区切り]
H3196

それゆえ、苦しめる者、酒にではなく酔っている者よ、これを聞け。

22 כֹּה־ אָמַר אֲדֹנַיִךְ יְהוָה וֵאלֹהַיִךְ יָרִיב עַמּוֹ הִנֵּה
こう 言われる 主は あなたの–主 弁護する その–民を 見よ
H3541 H0559 H0113 H3068 H0430 H7378 H2009

לָקַחְתִּי מִיָּדֵךְ אֶת־ כּוֹס הַתַּרְעֵלָה אֶת־ קְבַעַת כּוֹס חֲמָתִי
わたしは–取った あなたの–手から ～を 杯を よろめきの ～を 大杯を 杯の わが–怒りの
H3947 H3027 H0853 H8653 H0853 H6907 H3254 H2534

לֹא־ תוֹסִיפִי עוֹד׃ לִשְׁתּוֹתָהּ
もはや–ない 二度と 飲むことは もう
H3808 H3254 H8354 H5750

あなたの主、おのが民の訴えを弁護されるあなたの神、主はこう言われる、「見よ、わたしはよろめかす杯をあなたの手から取り除き、わが憤りの大杯を取り除いた。あなたは再びこれを飲むことはない。

23 וְשַׂמְתִּיהָ בְיַד־ מוֹגַיִךְ אֲשֶׁר־ אָמְרוּ לְנַפְשֵׁךְ
そして–わたしは–それを–渡す 手に あなたを–苦しめる–者たちの ～した 言った あなたの–魂に
H5315 H0559 H3013 H3027

וְנַעֲבָרָה וַתָּשָׂימִי כָאָרֶץ גֵּוֵךְ
そして–われらは–通る–と そして–あなたは–した 地の–ように あなたの–背を
H5782 H7812 H0776

וְכַחוּץ לַעֹבְרִים׃ ס
そして–通りの–ように 通る–者たちの–ために [区切り]
H2351

わたしはこれをあなたを悩ます者の手におく。彼らはさきにあなたにむかって言った、『身をかがめよ、われわれは越えていこう』と。そしてあなたはその背を地のようにし、ちまたのようにして、彼らの越えていくにまかせた」。

Chapter 52

1 תִּפְאַרְתֵּךְ בִּגְדֵי וּלְבָשִׁי צִיּוֹן עֻזֵּךְ לִבְשִׁי עוּרִי עוּרִי
あなたの–栄光の 衣を 身に–まとえ シオンよ あなたの–力を 身に–まとえ 目覚めよ 目覚めよ
H8597 H3847 H6726 H5797 H3847 H5782 H5782

עוֹד בָּךְ יָבֹא־ יוֹסִיף לֹא כִּי הַקֹּדֶשׁ עִיר יְרוּשָׁלַם
もう あなたの–中に 入らない 二度と もはや–ない なぜなら 聖なる 聖なる–都よ エルサレムよ
H5750 H0935 H3254 H3808 H6944 エルサレムよ

וְטָמֵא׃ עָרֵל
そして–汚れた–者は 割礼なき–者は
H2931 H6189

シオンよ、さめよ、さめよ、力を着よ。聖なる都エルサレムよ、美しい衣を着よ。割礼を受けない者および汚れた者は、もはやあなたのところに、はいることがないからだ。

2

הִתְנַעֲרִי	מֵעָפָר	קוּמִי	שְׁבִי	יְרוּשָׁלָ͏ִם	]התפתחו[	(הִתְפַּתְּחִי	מוֹסְרֵי	צַוָּארֵךְ
振り-払え	塵を	立ち上がれ	座れ	エルサレムよ	[異読]	解け	縄を	あなたの-首の
H5287	H6083		H3427	H3389			H4147	

שִׁבְיָה	בַּת־	צִיּוֹן׃	ס
捕らわれた-者よ	娘よ	シオンの	[区切り]
	H1323	H6726	

捕われたエルサレムよ、あなたの身からちりを振り落せ、起きよ。捕われたシオンの娘よ、あなたの首のなわを解きすてよ。

3

כִּי־	כֹה	אָמַר	יְהוָה	חִנָּם	נִמְכַּרְתֶּם	וְלֹא	בְכֶסֶף	תִּגָּאֲלוּ׃
なぜなら	こう	言われる	主は	ただで	売られた	そして-ない	金で	贖われる
	H3541	H0559	H3068	H2600	H4376	H3808	H3701	

主はこう言われる、「あなたがたは、ただで売られた。金を出さずにあがなわれる」。

4

כִּי	כֹה	אָמַר	אֲדֹנָי	יְהוִה	מִצְרַיִם	יָרַד־	עַמִּי	בָּרִאשֹׁנָה
なぜなら	こう	言われる	主なる	主は	エジプトに	下った	わが-民は	初めに
	H3541	H0559	H0136	H3069	H4714	H3381		H7223

לָגוּר	שָׁם	וְאַשּׁוּר	בְּאֶפֶס	עֲשָׁקוֹ׃
寄留する-ために	そこに	そして-アッシリアが	理由なく	圧迫した
	H8033	H0804		H6231

主なる神はこう言われる、「わが民はさきにエジプトへ下って行って、かしこに寄留した。またアッスリヤびとはゆえなく彼らをしえたげた。

5

כִּי־	יְהוָה	נְאֻם־	פֹּה	(לִי־	(מַה־	]לי־[	]מי־[	וְעַתָּה
なぜなら	主は	宣言する	ここに-あるのか	わたしに	何が	[異読]	[異読]	そして-今
	H3068	H5002	H6311		H4100		H4100	H6258

וְתָמִיד	יְהוָה	נְאֻם־	יְהֵילִילוּ	(מֹשְׁלָיו	]משלו[	חִנָּם	עַמִּי	לֻקַּח
そして-絶えず	主は	宣言する	泣き叫ぶ	支配者たちは	[異読]	ただで	わが-民は	連れ去られた
H8548	H3068	H5002	H3213	H4910	H4910	H2600		H3947

מְנֻאָץ׃	שְׁמִי	הַיּוֹם	כָּל־
侮るられている	わが-名は	日	すべての
H5006	H8034	H3117	H3605

それゆえ、今わたしはここに何をしようか。わが民はゆえなく捕われた」と主は言われる。主は言われる、「彼らをつかさどる者はわめき、わが名は常にひねもす侮られる。

6

הִוא	אֲנִי־	כִּי־	הַהֹוא	בַּיּוֹם	לָכֵן	שְׁמִי	עַמִּי	יֵדַע	לָכֵן
その方	わたしが	なぜなら	その	その-日に	それゆえ	わが-名を	わが-民は	知る	それゆえ
H1931	H0589		H1931	H3117		H8034		H3045	

הִנֵּנִי׃	הַמְדַבֵּר
見よ-わたしだ	語る-者
H2009	H1696

それゆえ、わが民はわが名を知るにいたる。その日には彼らはこの言葉を語る者がわたしであることを知る。わたしはここにおる」。

7 מַה־נָּאוּ עַל־הֶהָרִים רַגְלֵי מְבַשֵּׂר
なんと 麗しい ～の-上に 山々の 足は 良き-知らせを-伝える-者の
H4100 H4998 H5921 H2022 H7272 H1319

מַשְׁמִיעַ שָׁלוֹם מְבַשֵּׂר טוֹב מַשְׁמִיעַ יְשׁוּעָה אֹמֵר לְצִיּוֹן מָלַךְ
告げる-者 平和を 良き-知らせを-伝える-者の 善き-ことを 告げる-者 救いを 言う-者 シオンに 王となられた
H8085 H7965 H1319 H2896 H8085 H3444 H0559 H6726 H4427

אֱלֹהָיִךְ׃
あなたの-神が
H0430

よきおとずれを伝え、平和を告げ、よきおとずれを伝え、救を告げ、シオンにむかって「あなたの神は王となられた」と言う者の足は山の上にあって、なんと麗しいことだろう。

8 קוֹל צֹפַיִךְ נָשְׂאוּ קוֹל יַחְדָּו יְרַנֵּנוּ כִּי עַיִן בְּעַיִן
声を あなたの-見張りたちは 上げた 声を 共に 歌い-喜ぶ なぜなら 目と 目を-合わせて
H6822 H5375 H6963 H3162 H7442 H5869 H5869

יִרְאוּ׃ בְּשׁוּב יְהוָה צִיּוֹן׃
見る 帰られる-時に 主が シオンに
H7200 H7725 H3068 H6726

聞けよ、あなたの見張びとは声をあげて、共に喜び歌っている。彼らは目と目と相合わせて、主がシオンに帰られるのを見るからだ。

9 פִּצְחוּ רַנְּנוּ יַחְדָּו חָרְבוֹת יְרוּשָׁלָ͏ִם כִּי־נִחַם יְהוָה עַמּוֹ
声を-上げよ 歌い-喜べ 共に 廃墟よ エルサレムの なぜなら 慰められた 主は その-民を
H6476 H7442 H3162 H2723 H3389 H3588 H5162 H3068 H5971

גָּאַל יְרוּשָׁלָ͏ִם׃
贖われた エルサレムを
H3389

エルサレムの荒れすたれた所よ、声を放って共に歌え。主はその民を慰め、エルサレムをあがなわれたからだ。

10 וְרָאוּ כָּל־הַגּוֹיִם לְעֵינֵי קֹדֶשׁוֹ זְרוֹעַ אֶת־יְהוָה חָשַׂף
そして-見た 諸国の-民の すべての 目の-前に その-聖なる 腕を ～を 主は あらわに-された
H7200 H1471 H3605 H5869 H6944 H2220 H0853 H3068 H2834

וְרָאוּ כֹּל אַפְסֵי־אָרֶץ אֶת יְשׁוּעַת אֱלֹהֵינוּ׃ ס
そして-見た すべての 地の-果てが ～を 救いを われらの-神の [区切り]
H7200 H3605 H0776 H0853 H3444 H0430

主はその聖なるかいなを、もろもろの国びとの前にあらわされた。地のすべての果は、われわれの神の救を見る。

11 סוּרוּ סוּרוּ צְאוּ מִשָּׁם טָמֵא אַל־תִּגָּעוּ צְאוּ מִתּוֹכָהּ הִבָּרוּ
去れ 去れ 出よ そこから 汚れた-ものに するな 触れるな 出よ その-中から 清く-あれ
H5493 H5493 H3318 H4480 H2931 H0408 H5060 H3318 H8432 H1305

נֹשְׂאֵי כְּלֵי יְהוָה׃
運ぶ-者たちよ 器を 主の
H5375 H3627 H3068

去れよ、去れよ、そこを出て、汚れた物にさわるな。その中を出よ、主の器をになう者よ、おのれを清く保て。

12 כִּי לֹא בְחִפָּזוֹן תֵּצֵאוּ וּבִמְנוּסָה לֹא תֵלֵכוּן כִּי־הֹלֵךְ
なぜなら ない 急いで 出るのでは そして-逃げて ない 行くのでは なぜなら 行かれる
H3588 H3808 H2649 H3318 H4499 H3808 H3212 H3588 H1980

לִפְנֵיכֶם יְהוָה וּמְאַסִּפְכֶם אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל׃ ס
あなたがたの-前に 主が そして-あなたがたを-守る 神が イスラエルの [区切り]
H6440 H3068 H0622 H0430 H3478

あなたがたは急いで出るに及ばない、また、とんで行くにも及ばない。主はあなたがたの前に行き、イスラエルの神はあなたがたのしんがりとなられるからだ。

13

מְאֹֽד׃	וְגָבַהּ	וְנִשָּׂא	יָרוּם	עַבְדִּי	יַשְׂכִּיל	הִנֵּה
非常に	そして–非常に–崇められる	そして–上げられ	高く–なり	わが–僕は	栄える	見よ
H3966	H1361	H5375		H5650		H2009

見よ、わがしもべは栄える。彼は高められ、あげられ、ひじょうに高くなる。

14

מַרְאֵהוּ	מֵאִישׁ	מִשְׁחָת	כֵּן־	רַבִּים	עָלֶיךָ	שָׁמְמוּ	כַּאֲשֶׁר
その–容貌は	人よりも	損なわれた	それほどに	多くの–者が	彼に–ついて	驚いた	～した–ように
H4758	H0376					H8074	

אָדָם׃	מִבְּנֵי	וְתֹאֲרוֹ
人の	人の–子らよりも	そして–その–姿は
H0120		H8389

多くの人が彼に驚いたように――彼の顔だちは、そこなわれて人と異なり、その姿は人の子と異なっていたからである――

15

כִּי	פִּיהֶם	מְלָכִים	יִקְפְּצוּ	עָלָיו	רַבִּים	גּוֹיִם	יַזֶּה	כֵּן	
なぜなら	その–口を	王たちは	口を–つぐむ	彼の–前で	多くの	諸国の–民を	驚かせる	そのように	
	H6310	H4428	H7092						

הִתְבּוֹנָנוּ׃	שָׁמְעוּ	לֹא־	וַאֲשֶׁר	רָאוּ	לָהֶם	סֻפָּר	לֹא־	אֲשֶׁר
惟った	聞いたことの	ない	そして–～を	見た	彼らに	語られたことの	ない	～を
H0995	H8085	H3808		H7200			H3808	

彼は多くの国民を驚かす。王たちは彼のゆえに口をつむぐ。それは彼らがまだ伝えられなかったことを見、まだ聞かなかったことを悟るからだ。

Chapter 53

1

נִגְלָתָה׃	מִי	עַל־	יְהוָה	וּזְרוֹעַ	לִשְׁמֻעָתֵנוּ	הֶאֱמִין	מִי
現れたのか	誰に	～の–上に	主の	そして–腕は	われらの–知らせを	信じたのか	誰が
H1540	H4310		H3068	H2220	H8052	H0539	H4310

だれがわれわれの聞いたことを信じ得たか。主の腕は、だれにあらわれたか。

2

תֹּאַר	לֹא־	צִיָּה	מֵאֶרֶץ	וְכַשֹּׁרֶשׁ	לְפָנָיו	כַּיּוֹנֵק	וַיַּעַל	
姿が	ない	乾いた	乾いた–地からの	そして–根の–ように	その–前に	芽の–ように	そして–育った	
H8389	H3808	H6723	H0776	H8328	H6440	H3126	H5927	

וְנֶחְמְדֵהוּ׃	מַרְאֶה	וְלֹא־	וְנִרְאֵהוּ	הָדָר	וְלֹא	לוֹ
そして–慕うべき	見目が	そして–ない	そして–見ても	輝きが	そして–ない	彼には
	H4758	H3808	H7200	H1926	H3808	

彼は主の前に若木のように、かわいた土から出る根のように育った。彼にはわれわれの見るべき姿がなく、威厳もなく、われわれの慕うべき美しさもない。

3

וּכְמַסְתָּר	חֳלִי	וְיֹדֻעַ	מַכְאֹבוֹת	אִישׁ	אִישִׁים	וַחֲדַל	נִבְזֶה		
そして–隠す–ように	病を	そして–知る–者	痛みの	人	人々に	そして–見捨てられた	蔑まれ		
H4564	H2483	H3045	H4341	H0376	H0376	H2310	H0959		

חֲשַׁבְנֵהוּ׃	וְלֹא	נִבְזֶה	מִמֶּנּוּ	פָּנִים
われらは–尊んだ	そして–ない	蔑まれ	彼から	顔を
H2803	H3808	H0959		H6440

彼は侮られて人に捨てられ、悲しみの人で、病を知っていた。また顔をおおって忌みきらわれる者のように、彼は侮られた。われわれも彼を尊ばなかった。

4

חֲשַׁבְנֻהוּ וַאֲנַחְנוּ סְבָלָם וּמַכְאֹבֵינוּ נָשָׂא הוּא חֳלָיֵנוּ אָכֵן
思った しかし-われらは 担った そして-われらの-痛みを 負った 彼が われらの-病を まことに
H2803 H0587 H5445 H4341 H5375 H1931 H2483 H0403

וּמְעֻנֶּה׃ אֱלֹהִים מֻכֶּה נְגוּעַ
そして-苦しめられた-と 神に 撃たれた-と 打たれた-と
H0430 H5221 H5060

まことに彼はわれわれの病を負い、われわれの悲しみをになった。しかるに、われわれは思った、彼は打たれ、神にたたかれ、苦しめられたのだと。

5

מוּסַר מְעֹנֹתֵינוּ מְדֻכָּא מִפְּשָׁעֵנוּ מְחֹלָל וְהוּא
懲らしめが われらの-呟の-ために 砕かれた われらの-背きの-ために 貫かれた しかし-彼は
H4148 H5771 H1792 H6588 H1931

לָנוּ׃ נִרְפָּא־ וּבַחֲבֻרָתוֹ עָלָיו שְׁלוֹמֵנוּ
われらは 癒された そして-彼の-打ち傷に-よって 彼の-上に-あった われらの-平和の-ための
H7495 H2250

しかし彼はわれわれのとがのために傷つけられ、われわれの不義のために砕かれたのだ。彼はみずから懲しめをうけて、われわれに平安を与え、その打たれた傷によって、われわれはいやされたのだ。

6

בּוֹ הִפְגִּיעַ וַיהוָה פָּגַעְנוּ לְדַרְכּוֹ אִישׁ תָּעִינוּ כַּצֹּאן כָּלָנוּ
彼に 負わせた しかし-主は 向かった 自分の-道に 各自 さまよった 羊の-ように われら-皆
H6293 H3068 H6437 H1870 H0376 H8582 H6629 H3605

כָּלָנוּ׃ עֲוֹן אֵת
われら-皆の 呟を ～を
H3605 H5771 H0853

われわれはみな羊のように迷って、おのおの自分の道に向かって行った。主はわれわれすべての者の不義を、彼の上におかれた。

7

לַטֶּבַח כַּשֶּׂה פִּיו יִפְתַּח־ וְלֹא נֶעֱנֶה וְהוּא נִגַּשׂ
屠場に 小羊の-ように 口を 開かなかった そして-ない 忍んだ しかし-彼は 虐げられた
H2874 H7716 H6310 H3808 H1931 H5065

יִפְתָּח וְלֹא נֶאֱלָמָה גֹּזְזֶיהָ לִפְנֵי וּכְרָחֵל יוּבָל
開かなかった そして-ない 黙っていた 毛を-刈る-者の 前で そして-雌羊の-ように 引かれて-行く
H3808 H0481 H1494 H6440 H7353 H2986

פִּיו׃
口を
H6310

彼はしえたげられ、苦しめられたけれども、口を開かなかった。ほふり場にひかれて行く小羊のように、また毛を切る者の前に黙っている羊のように、口を開かなかった。

8

כִּי יְשׂוֹחֵחַ מִי דּוֹרוֹ וְאֶת־ לֶקַּח וּמִמִּשְׁפָּט מֵעֹצֶר
なぜなら 語るのか 誰が その-世代を そして-～の 取られた そして-裁きに-より 抑圧と
H7878 H4310 H1755 H0853 H3947 H4941 H6115

לָמוֹ׃ נֶגַע עַמִּי מִפֶּשַׁע חַיִּים מֵאֶרֶץ נִגְזַר
彼らの-ために 打たれた わが-民の 背きの-ために 生ける-者の 生ける-者の-地から 断たれた
H5061 H6588 H0776 H1504

彼は暴虐なさばきによって取り去られた。その代の人のうち、だれが思ったであろうか、彼はわが民のとがのために打たれて、生けるものの地から断たれたのだと。

9

בְּמֹתָיו	עָשִׁיר	וְאֶת־	קִבְרֹו	רְשָׁעִים	אֶת־	וַיִּתֵּן	
その-死に-おいて	富める-者と	そして-〜と	その-墓を	悪人と	〜と	そして-与えられた	
H4194	H6223	H0854	H6913	H7563	H0854	H5414	

בְּפִיו׃	מִרְמָה	וְלֹא	עָשָׂה	חָמָס	לֹא־	עַל
その-口に	偵りが	そして-ない	行った	暴力を	ない	〜に-もかかわらず
H6310	H4820	H3808		H2555	H3808	

彼は暴虐を行わず、その口には偽りがなかったけれども、その墓は悪しき者と共に設けられ、その塚は悪をなす者と共にあった。

10

אָשָׁם	תָּשִׂים	אִם־	הֶחֱלִי	דַכְּאוֹ	חָפֵץ	וַיהוָה	
償いの-供え物と-して	置くならば	もし	病ませた	彼を-砕くことを	望まれた	しかし-主は	
H0817				H1792		H3068	

בְּיָדוֹ	יְהוָה	וְחֵפֶץ	יָמִים	יַאֲרִיךְ	זֶרַע	יִרְאֶה	נַפְשׁוֹ
その-手に-よって	主の	そして-望みは	日々を	長く-する	子孫を	見る	その-魂を
H3027	H3068	H2656	H3117	H0748	H2233	H7200	H5315

יִצְלָח׃
成し-遂げられる

しかも彼を砕くことは主のみ旨であり、主は彼を悩まされた。彼が自分を、とがの供え物となすとき、その子孫を見ることができ、その命をながくすることができる。かつ主のみ旨が彼の手によって栄える。

11

עַבְדִּי	צַדִּיק	יַצְדִּיק	בְּדַעְתּוֹ	יִשְׂבָּע	יִרְאֶה	נַפְשׁוֹ	מֵעֲמַל
わが-僕は	義なる-者	義と-する	その-知識に-よって	満足する	見る	その-魂の	苦しみから
H5650	H6662	H6663	H1847	H7646	H7200	H5315	H5999

יִסְבֹּל׃	הוּא	וַעֲוֹנֹתָם	לָרַבִּים
担う	彼が	そして-彼らの-咎を	多くの-者を
H5445	H1931	H5771	

彼は自分の魂の苦しみにより光を見て満足する。義なるわがしもべはその知識によって、多くの人を義とし、また彼らの不義を負う。

12

יְחַלֵּק	עֲצוּמִים	וְאֶת־	רַבִּים	לוֹ	אַחַלֶּק־	לָכֵן	
分ける	強い-者たちと	そして-〜と	多くの-者と-共に	彼に	わたしは-分け-与える	それゆえ	
	H6099	H0854					

וְאֶת־	נַפְשׁוֹ	לַמָּוֶת	הֶעֱרָה	אֲשֶׁר	תַּחַת	שָׁלָל	
そして-〜と	その-魂を	死に-至るまで	注ぎ-出した	〜した-ことの	〜の-報いとして	戦利品を	
H0854	H5315	H4194	H6168		H8478	H7998	

וְלַפֹּשְׁעִים	נָשָׂא	רַבִּים	חֵטְא־	וְהוּא	נִמְנָה	פֹּשְׁעִים	
そして-背く-者たちの-ために	負った	多くの-者の	罪を	しかし-彼は	数えられた	背く-者たちと	
H6586	H5375		H2399	H1931	H4487	H6586	

	ס	יַפְגִּיעַ׃
	[区切り]	とりなした
		H6293

それゆえ、わたしは彼に大いなる者と共に物を分かち取らせる。彼は強い者と共に獲物を分かち取る。これは彼が死にいたるまで、自分の魂をそそぎだし、とがある者と共に数えられたからである。しかも彼は多くの人の罪を負い、とがある者のためにとりなしをした。

Chapter 54

1 רָנִּי עֲקָרָה לֹא יָלָדָה פִּצְחִי רִנָּה וְצַהֲלִי לֹא־
歌え 不姉の–女よ ない 産まなかった 声を–上げよ 喜びの–歌を そして–叫べ ない
H6135 H3808 H3205 H6476 H7440 H0559

חָלָה כִּי־ רַבִּים בְּנֵי־ שׁוֹמֵמָה מִבְּנֵי
産みの–苦しみを–知らぬ–者よ なぜなら 多い 子らは 捨てられた–女の ～よりも
H8074

בְּעוּלָה אָמַר יְהוָה׃
婚いだ–女の–子らよりも 言われる 主は
H1166 H0559 H3068

「子を産まなかったうまずめよ、歌え。産みの苦しみをしなかった者よ、声を放って歌いよばわれ。夫のない者の子は、とついだ者の子よりも多い」と主は言われる。

2 וְהַרְחֵיבִי מְקוֹם יְרִיעֹתֵיךְ אָהֳלֵךְ וִירִיעוֹת מִשְׁכְּנוֹתַיִךְ יַטִּוּ אַל־ תַּחְשָׂכִי
広げよ 場所を 幕屋の–あなたの そして–幕を あなたの–住まいの 張り–広げよ するな 惜しむな
H7337 H4725 H0168 H3407 H4908 H5186 H0408 H2820

הַאֲרִיכִי מֵיתָרַיִךְ וְיִתֵּדֹתַיִךְ חַזָּקִי׃
伸ばせ あなたの–綱を そして–あなたの–杭を 強く–せよ
H0748 H4340 H3489 H2388

「あなたの天幕の場所を広くし、あなたのすまいの幕を張りひろげ、惜しむことなく、あなたの綱を長くし、あなたの杭を強固にせよ。

3 כִּי־ יָמִין וּשְׂמֹאול תִּפְרֹצִי וְזַרְעֵךְ גּוֹיִם יִירָשׁ
なぜなら 右に そして–左に 広がる そして–あなたの–子孫は 諸国の–民を 受け–継ぐ
H3225 H8040 H6555 H2233 H1471 H3423

וְעָרִים נְשַׁמּוֹת יוֹשִׁיבוּ׃
そして–荒れた–町々を 荒れた 住まわせる
H3427 H8074

あなたは右に左にひろがり、あなたの子孫はもろもろの国を獲、荒れすたれた町々をも住民で満たすからだ。

4 אַל־ תִּירְאִי כִּי־ לֹא תֵבוֹשִׁי וְאַל־ תִּכָּלְמִי כִּי לֹא תַחְפִּירִי כִּי
するな 恐れるな なぜなら ない 恥じない そして–するな 恥じ入るな なぜなら ない
H0408 H3372 H3808 H0954 H0408 H3637 H3808

בֹשֶׁת וְחֶרְפַּת עַלוּמַיִךְ תִּשְׁכָּחִי וְאַלְמְנוּתַיִךְ לֹא תִזְכְּרִי־ עוֹד׃
恥を そして–そしりを 若き–日の 忘れる やもめの–日の ない
H1322 H2781 H5934 H7911 H0491 H3808 H5750

恐れてはならない。あなたは恥じることがない。あわてふためいてはならない。あなたは、はずかしめられることがない。あなたは若い時の恥を忘れ、寡婦であった時のはずかしめを、再び思い出すことがない。

5 כִּי בֹעֲלַיִךְ עֹשַׂיִךְ יְהוָה צְבָאוֹת שְׁמוֹ וְגֹאֲלֵךְ
なぜなら あなたの–夫は あなたの–造り主 万軍の 主 その–名 そして–あなたの–贖い主は
H1166 H6213 H3068 H6635 H8034 H1350

קְדוֹשׁ יִשְׂרָאֵל אֱלֹהֵי כָל־ הָאָרֶץ יִקָּרֵא׃
聖なる–方 イスラエルの 神と すべての 地の 呼ばれる
H6918 H3478 H0430 H3605 H0776 H7121

あなたを造られた者はあなたの夫であって、その名は万軍の主。あなたをあがなわれる者は、イスラエルの聖者であって、全地の神ととなえられる。

וְאֵשֶׁת	יְהוָה	קְרָאֲךָ	רוּחַ	וַעֲצוּבַת	עֲזוּבָה	כְּאִשָּׁה	כִּי־	6
そして–妻と–して	主は	呼んだ	霊の	そして–悲しむ	捨てられた	女の–ように	なぜなら	
H0802	H3068	H7121	H7307			H0802		

אֱלֹהָיִךְ׃	אָמַר	תִּמָּאֵס	כִּי	נְעוּרִים
あなたの–神は	言われる	取り–戻されるのか	なぜなら	若き–時の
H0430	H0559			

捨てられて心悲しむ妻、また若い時にとついで出された妻を招くように主はあなたを招かれた」とあなたの神は言われる。

אֲקַבְּצֵךְ׃	גְּדֹלִים	וּבְרַחֲמִים	עֲזַבְתִּיךְ	קֶטֶן	בְּרֶגַע	7
集める	大きな	しかし–大きな–あわれみを–もって	わたしは–あなたを–捨てた	少しの	短い–間	
H6908					H7281	

「わたしはしばしばあなたを捨てたけれども、大いなるあわれみをもってあなたを集める。

וּבְחֶסֶד	מִמֵּךְ	רֶגַע	פָּנַי	הִסְתַּרְתִּי	קֶצֶף	בְּשֶׁצֶף	8
しかし–永遠の–慈しみを–もって	あなたから	一瞬	わが–顔を	隠した	怒りの	怒りの–激流の–中で	
		H7281	H6440	H5641		H8241	

ס	יְהוָה׃	גֹּאֲלֵךְ	אָמַר	רַחֲמָתְיִךְ	עוֹלָם	
[区切り]	主は	あなたの–贖い主	言われる	あわれんだ	永遠の	
	H3068		H0559	H7355	H5769	

あふれる憤りをもって、しばしわが顔を隠したけれども、とこしえのいつくしみをもって、あなたをあわれむ」とあなたをあがなわれる主は言われる。

נִשְׁבַּעְתִּי	אֲשֶׁר	לִי	זֹאת	נֹחַ	מֵי	כִּי־	9
誓った	～した–ときのように	わたしに–とって	これは	ノアの	水の–ように	なぜなら	
H7650			H2063	H5146	H4325		

עָלָיִךְ	מִקְצֹף	נִשְׁבַּעְתִּי	כֵּן	הָאָרֶץ	עַל־	עוֹד	נָחַ	מֵי־	מֵעֲבֹר
あなたに	怒らない–と	誓った	そのように	地の	～の–上を	再び	ノアの	水が	渡らない–と
	H7107	H7650		H0776		H5750	H5146	H4325	

בָּךְ׃	וּמִגְעָר־
あなたを	そして–叱らない–と
	H1605

「このことはわたしにはノアの時のようだ。わたしはノアの洪水を、再び地にあふれさせないと誓ったが、そのように、わたしは再びあなたを怒らない、再びあなたを責めないと誓った。

לֹא־	מֵאִתָּךְ	וְחַסְדִּי	תְּמוּטֶנָה	וְהַגְּבָעוֹת	יָמוּשׁוּ	הֶהָרִים	כִּי	10
ない	あなたから	しかし–わが–慈しみは	揺れる	そして–丘は	動く	山々は	なぜなら	
H3808	H0854		H4131	H1389	H4185	H2022		

יְהוָה׃	מְרַחֲמֵךְ	אָמַר	תָּמוּט	לֹא	שְׁלוֹמִי	וּבְרִית	יָמוֹשׁ	
主は	あなたを–あわれむ–方	言われる	揺れない	ない	わが–平和の	そして–契約は	動かない	
H3068	H7355	H0559	H4131	H3808	H7965	H1285	H4185	

ס
[区切り]

山は移り、丘は動いても、わがいつくしみはあなたから移ることなく、平安を与えるわが契約は動くことがない」とあなたをあわれまれる主は言われる。

11 עֲנִיָּה סֹעֲרָה לֹא נֻחָמָה הִנֵּה אָנֹכִי מַרְבִּיץ בַּפּוּךְ
苦しむ–者よ 嵐に–翻弄された–者よ ない 慰められた 見よ わたしが 敷き–詰める 美しい–石で
H6041 H5590 H3808 H5162 H2009 H0595 H7257 H6320

אֲבַנַּיִךְ וִיסַדְתִּיךְ בַּסַּפִּירִים׃
あなたの–石を そして–基を–据える サファイアで
H0068 H3245 H5601

「苦しみをうけ、あらしにもてあそばれ、慰めを得ない者よ、見よ、わたしはアンチモニーであなたの石をすえ、サファイヤであなたの基をおき、

12 וְשַׂמְתִּי כַדְכֹד שִׁמְשֹׁתַיִךְ וּשְׁעָרַיִךְ לְאַבְנֵי אֶקְדָּח וְכָל־
そして–造る ルビーで あなたの–窓を そして–あなたの–門を 石で 輝く そして–すべての
H7760 H3539 H8121 H8179 H0068 H0688 H3605

גְּבוּלֵךְ לְאַבְנֵי־חֵפֶץ׃
あなたの–境界を 石で 麗しい
H1366 H0068 H2656

めのうであなたの尖塔を造り、紅玉であなたの門を造り、あなたの城壁をことごとく宝石で造る。

13 וְכָל־ לִמּוּדֵי יְהוָה וְרַב שְׁלוֹם
そして–すべての 教えられた–者 主の そして–大いなる 平和が–ある
H3605 H3928 H3068 H7227 H7965

בָּנָיִךְ׃
あなたの–子らに

あなたの子らはみな主に教をうけ、あなたの子らは大いに栄える。

14 בִּצְדָקָה תִּכּוֹנָנִי רַחֲקִי מֵעֹשֶׁק כִּי־ לֹא תִירָאִי וּמִמְּחִתָּה
義に–よって 建てられる 遠ざかれ 圧制から なぜなら ない 恐れない そして–恐怖からも
H6666 H8551 H7368 H6233 H3588 H3808 H3372 H4288

כִּי לֹא־ תִקְרַב אֵלָיִךְ׃
なぜなら ない 近づかない あなたに
H3588 H3808 H7126 H0413

あなたは義をもって堅く立ち、しえたげから遠ざかって恐れることはない。また恐怖から遠ざかる、それはあなたに近づくことがないからである。

15 הֵן גּוֹר לֹא מֵאִתִּי מִי־ גָר אִתָּךְ עָלַיִךְ יִפּוֹל׃
見よ もし ない わたしからの–ものでは 誰であれ 敵と–なる–者は あなたの–前に 倒れる
H2005 H1481 H0369 H0854 H4310 H1481 H5307

たとい争いを起す者があってもわたしによるのではない。すべてあなたと争う者は、あなたのゆえに倒れる。

16 הֵן־ הֵנָּה(ה) אָנֹכִי בָּרָאתִי חָרָשׁ נֹפֵחַ בָּאֵשׁ פֶּחָם וּמוֹצִיא
[異読] 見よ わたしが 創造した 鍛冶師を 吹く–者 火の–中に 炭火を そして–生み–出す
H2005 H2009 H0595 H1254 H2796 H5301 H0784 H6352 H3318

כְלִי לְמַעֲשֵׂהוּ וְאָנֹכִי בָּרָאתִי מַשְׁחִית לְחַבֵּל׃
器を その–業の–ために そして–わたしが 創造した 破壊者を 滅ぼす–ために
H3627 H4639 H0595 H1254 H7843 H2254

見よ、炭火を吹きおこして、その目的にかなう武器を造り出す鍛冶は、わたしが創造した者、また荒し滅ぼす者も、わたしが創造した者である。

17

לָשׁוֹן	וְכָל־	יִצְלָח	לֹא	עָלַיִךְ	יוּצַר	כְּלִי	כָּל־
舌は	そして–すべての	成功しない	ない	あなたに–対して	造られた	武器は	すべての
H3956	H3605		H3808		H3335	H3627	H3605

נַחֲלַת	זֹאת	תַּרְשִׁיעִי	לַמִּשְׁפָּט	אִתָּךְ	תָּקוּם־	
受け–継ぐ–もの	これが	あなたが–罪ありと–する	裁きに–おいて	あなたに–対して	立ち–上がる	
H5159	H2063	H7561	H4941	H0854		

ס	יְהוָה׃	נְאֻם־	מֵאִתִּי	וְצִדְקָתָם	יְהוָה	עַבְדֵי
[区切り]	主は	宣言する	わたしからの–もの	そして–彼らの–義は	主の	僕たちの
	H3068	H5002	H0854	H6666	H3068	H5650

すべてあなたを攻めるために造られる武器は、その目的を達しない。すべてあなたに逆らい立って、争い訴える舌は、あなたに説き破られる。これが主のしもべらの受ける嗣業であり、また彼らがわたしから受ける義である」と主は言われる。

Chapter 55

1

לְכוּ	כֶּסֶף	לוֹ	אֵין־	וַאֲשֶׁר	לַמַּיִם	לְכוּ	צָמֵא	כָּל־	הוֹי
来い	銀を	持た–ない	ない	そして–〜する–者	水の–もとへ	来い	渇く–者よ	すべての	ああ
H3212	H3701		H0369		H4325	H3212	H6771	H3605	H1945

יַיִן	מְחִיר	וּבְלוֹא	כֶּסֶף	בְּלוֹא־	שִׁבְרוּ	וְלִכְנוּ	וֶאֱכֹלוּ	שִׁבְרוּ
ぶどう酒を	代価	そして–なしに	銀	なしに	買え	そして–来い	そして–食べよ	買え
H3196	H4242	H3808	H3701	H3808	H7666	H3212	H0398	H7666

וְחָלָב׃
そして–乳を
H2461

「さあ、かわいている者はみな水にきたれ。金のない者もきたれ。来て買い求めて食べよ。あなたがたは来て、金を出さずに、ただでぶどう酒と乳とを買い求めよ。

2

לְשָׂבְעָה	בְּלוֹא	וִיגִיעֲכֶם	לֶחֶם	בְּלוֹא־	כֶּסֶף	תִּשְׁקְלוּ־	לָמָּה		
満足の–ために	ない	そして–あなたがたの–労苦を	パンの–ために	ない	銀を	量る–のか	なぜ		
H7654	H3808	H3018	H3899	H3808	H3701	H8254	H4100		

בַּדָּשֶׁן	וְתִתְעַנַּג	טוֹב	וְאִכְלוּ־	אֵלַי	שִׁמְעוֹ	שִׁמְעוּ	
豊かな–ものに	そして–喜べ	良き–ものを	そして–食べよ	わたしに	よく–聞け	聞け	
H1880	H6026		H0398	H0413	H8085	H8085	

נַפְשְׁכֶם׃
あなたがたの–魂は
H5315

なぜ、あなたがたは、かてにもならぬもののために金を費し、飽きることもできぬもののために労するのか。わたしによく聞き従え。そうすれば、良い物を食べることができ、最も豊かな食物で、自分を楽しませることができる。

3

נַפְשְׁכֶם	וּתְחִי	שִׁמְעוּ	אֵלַי	וְלִכְנוּ	אָזְנְכֶם	הַטּוּ		
あなたがたの–魂は	そして–生きる	聞け	わたしに	そして–来い	あなたがたの–耳を	傾けよ		
H5315	H2421	H8085	H0413	H3212	H0241	H5186		

הַנֶּאֱמָנִים׃	דָּוִד	חַסְדֵי	עוֹלָם	בְּרִית	לָכֶם	וְאֶכְרְתָה	
確かなる	ダビデの	慈しみを	永遠の	契約を	あなたがたと	そして–わたしは–結ぶ	
H0539	H1732		H5769	H1285		H3772	

耳を傾け、わたしにきて聞け。そうすれば、あなたがたは生きることができる。わたしは、あなたがたと、とこしえの契約を立てて、ダビデに約束した変らない確かな恵みを与える。

4

הֵן	עֵד	לְאֻמִּים	נְתַתִּיו	נָגִיד	וּמְצַוֵּה
見よ	証人と-して	諸国の-民に	わたしは-彼を-立てた	指導者と	そして-命じる-者と-して
H2005	H5707	H3816	H5414	H5057	H6680

לְאֻמִּים׃
諸国の-民に
H3816

見よ、わたしは彼を立てて、もろもろの民への証人とし、また、もろもろの民の君とし、命令する者とした。

5

הֵן	גּוֹי	לֹא־	תֵּדַע	תִּקְרָא	וְגוֹי	לֹא־	יְדָעוּךָ	אֵלֶיךָ
見よ	国を	ない	知ら-ない	呼ぶ	そして-国が	ない	あなたを-知ら-ない	あなたに
H2005	H3808	H3045	H7121	H3808	H3478	H6918	H0430	H0413

כִּי	יְהוָה	לְמַעַן	יְהוָה	אֱלֹהֶיךָ	וְלִקְדוֹשׁ	יִשְׂרָאֵל
なぜなら	主	～の-ために	主	あなたの-神の	そして-聖なる-方の-ために	イスラエルの
H3478	H3068	H4616	H7323	H0430	H6918	H3478

פֵּאֲרֶךָ׃	ס
あなたを-輝かせた	[区切り]

見よ、あなたは知らない国民を招く、あなたを知らない国民はあなたのもとに走ってくる。これはあなたの神、主、イスラエルの聖者のゆえであり、主があなたに光栄を与えられたからである。

6

דִּרְשׁוּ	יְהוָה	בְּהִמָּצְאוֹ	קְרָאֻהוּ	בְּהִיוֹתוֹ	קָרוֹב׃
尋ねよ	主を	見いだせる-うちに	呼べ	おられる-うちに	近くに
H1875	H3068	H4672	H7121	H1961	H7138

あなたがたは主にお会いすることのできるうちに、主を尋ねよ。近くおられるうちに呼び求めよ。

7

יַעֲזֹב	רָשָׁע	דַּרְכּוֹ	וְאִישׁ	אָוֶן	מַחְשְׁבֹתָיו	וְיָשָׁב	אֶל־	
捨てよ	悪しき-者は	その-道を	そして-不義の-人は	不義の	その-思いを	そして-立ち-帰れ	～に	
H5800	H7563	H1870	H0376	H0205	H4284	H7725	H0413	

יְהוָה	וְיִרַחֲמֵהוּ	וְאֶל־	אֱלֹהֵינוּ	כִּי־	יַרְבֶּה	לִסְלוֹחַ׃
主に	そして-あわれんで-くださる	そして-～に	われらの-神に	なぜなら	豊かに	赦して-くださる
H3068	H7355	H0413	H0430	H3588	H7235	H5545

悪しき者はその道を捨て、正らぬ人はその思いを捨てて、主に帰れ。そうすれば、主は彼にあわれみを施される。われわれの神に帰れ、主は豊かにゆるしを与えられる。

8

כִּי	לֹא	מַחְשְׁבֹתַי	מַחְשְׁבוֹתֵיכֶם	וְלֹא	דַרְכֵיכֶם	דְּרָכָי
なぜなら	ない	わが-思いは	あなたがたの-思いでは	そして-ない	あなたがたの-道は	わが-道では
H3588	H3808	H4284	H4284	H3808	H1870	H1870

נְאֻם	יְהוָה׃
宣言する	主は
H5002	H3068

わが思いは、あなたがたの思いとは異なり、わが道は、あなたがたの道とは異なっていると主は言われる。

9

כִּי־	גָבְהוּ	שָׁמַיִם	מֵאָרֶץ	כֵּן	גָּבְהוּ	דְרָכַי	מִדַּרְכֵיכֶם	
なぜなら	高い	天は	地よりも	そのように	高い	わが-道は	あなたがたの-道よりも	
H3588	H1361	H8064	H0776	H3651	H1361	H1870	H1870	

וּמַחְשְׁבֹתַי	מִמַּחְשְׁבֹתֵיכֶם׃
そして-わが-思いは	あなたがたの-思いよりも
H4284	H4284

天が地よりも高いように、わが道は、あなたがたの道よりも高く、わが思いは、あなたがたの思いよりも高い。

כִּי 10
なぜなら

כַּאֲשֶׁר
～する-ように
H3381

יֵרֵד
降る

הַגֶּשֶׁם
雨が
H1653

וְהַשֶּׁלֶג
そして-雪が
H7950

מִן־
～から

הַשָּׁמַיִם
天から
H8064

וְשָׁמָּה
そして-そこに
H8033

לֹא
ない
H3808

וְהוֹלִידָהּ
そして-芽を-出させ

הָאָרֶץ
地を
H0776

אֶת־
～を
H0853

הִרְוָתָה
潤した
H7301

אִם־
～しない-限り

כִּי
～しない-限り

יָשׁוּב
戻らない
H7725

וְהִצְמִיחָהּ
そして-実を-結ばせ

וְנָתַן
そして-与える
H5414

זֶרַע
種を
H2233

לַזּוֹרֵעַ
蒔く-者に
H2232

וְלֶחֶם
そして-パンを
H3899

לָאֹכֵל׃
食べる-者に
H0398

天から雨が降り、雪が落ちてまた帰らず、地を潤して物を生えさせ、芽を出させて、種まく者に種を与え、食べる者にかてを与える。

כֵּן 11
そのように

תִּהְיֶה
なる
H1961

דְּבָרִי
わが-言葉は
H1697

אֲשֶׁר
～した

יֵצֵא
出た
H3318

מִפִּי
わが-口から
H6310

לֹא־
ない
H3808

יָשׁוּב
戻らない
H7725

אֵלַי
わたしに
H0413

רֵיקָם
空しく
H7387

כִּי
～しない-限り

אִם־
～しない-限り

עָשָׂה
成し-遂げた

אֶת־
～を
H0853

אֲשֶׁר
～した-ことを

חָפַצְתִּי
わたしが-望んだ

וְהִצְלִיחַ
そして-成功した

שְׁלַחְתִּיו׃
わたしが-遣わした
H7971

אֲשֶׁר
～した-ことを

このように、わが口から出る言葉も、むなしくわたしに帰らない。わたしの喜ぶところのことをなし、わたしが命じ送った事を果す。

כִּי־ 12
なぜなら

תֵצְאוּ
出て-行く
H3318

בְשִׂמְחָה
喜びを-もって
H8057

וּבְשָׁלוֹם
そして-平和を-もって
H7965

תּוּבָלוּן
導かれる
H2986

הֶהָרִים
山々は
H2022

וְהַגְּבָעוֹת
そして-丘は
H1389

פָּצְחוּ
声を-上げる
H6476

לִפְנֵיכֶם
あなたがたの-前で

רִנָּה
喜びの-歌を
H7440

וְכָל־
そして-すべての
H3605

עֲצֵי
木々は
H6086

הַשָּׂדֶה
野の

יִמְחֲאוּ־
手を-打つ
H4222

כָּף׃
手を
H3709

あなたがたは喜びをもって出てきて、安らかに導かれて行く。山と丘とはあなたの前に声を放って喜び歌い、野にある木はみな手を打つ。

תָּחַת 13
～の-代わりに

בְּרוֹשׁ
糸杉が
H1265

יַעֲלֶה
生える
H5927

הַנַּעֲצוּץ
いばらの
H5285

תָּחַת
～の-代わりに
H8478

[תחת]
[異読]
H8478

)וְתַחַת(
そして-～の-代わりに
H8478

הַסִּרְפָּד
おどろの
H5636

יַעֲלֶה
生える
H5927

הַדַּס
ミルトスが
H1918

וְהָיָה
そして-なる
H1961

לַיהוָה
主に-とって
H3068

לְשֵׁם
名と-して
H8034

לְאוֹת
しるしと-して
H0226

עוֹלָם
永遠の
H5769

לֹא
ない
H3808

יִכָּרֵת׃
絶たれる-ことは
H3772

ס
[区切り]

いとすぎは、いばらに代って生え、ミルトスの木は、おどろに代って生える。これは主の記念となり、また、とこしえのしるしとなって、絶えることはない」。

Chapter 56

1 כֹּה אָמַר יְהוָה שִׁמְרוּ מִשְׁפָּט וַעֲשׂוּ צְדָקָה כִּי־קְרוֹבָה יְשׁוּעָתִי לָבוֹא וְצִדְקָתִי לְהִגָּלוֹת׃

こう	言われる	主は	守れ	公義を	そして-行え	義を	なぜなら	近い	わが-救いは
H3541	H0559	H3068	H8104	H4941	H6666	H6666		H7138	H3444
								来る-ことに	現れる-ことに
								H0935	H1540

主はこう言われる、「あなたがたは公平を守って正義を行え。わが救の来るのは近く、わが助けのあらわれるのが近いからだ。

2 אַשְׁרֵי אֱנוֹשׁ יַעֲשֶׂה־זֹּאת וּבֶן־אָדָם יַחֲזִיק בָּהּ שֹׁמֵר שַׁבָּת מֵחַלְלוֹ וְשֹׁמֵר יָדוֹ מֵעֲשׂוֹת כָּל־רָע׃ ס

幸いなる	人は	行う-者	これを	そして-人の-子は	保つ-者	それを	守る-者	安息日を	
H0835	H0582		H2063		H2388		H8104	H7676	
汚さない-ように	そして-守る-者	その-手を		行わない-ように	すべての		悪を	[区切り]	
	H8104	H3027			H3605				

安息日を守って、これを汚さず、その手をおさえて、悪しき事をせず、このように行う人、これを堅く守る人の子はさいわいである」。

3 וְאַל־יֹאמַר בֶּן־הַנֵּכָר הַנִּלְוָה אֶל־יְהוָה לֵאמֹר הַבְדֵּל יַבְדִּילַנִי יְהוָה מֵעַל עַמּוֹ וְאַל־יֹאמַר הַסָּרִיס הֵן אֲנִי עֵץ יָבֵשׁ׃ ס

そして-するな	言うな	子は	異邦人の	結び-ついた-者	～に	主に	言って	必ず					
H0408	H0559		H5236		H0413	H3068	H0559	H0914					
									そして-するな	言うな	宦官は	見よ	わたしは	木で-ある
									H0408	H0559	H5631	H2005	H0589	H6086
									その-民から	～から	主は	分けられる		
											H3068	H0914		
													[区切り]	枯れた
														H3002

主に連なっている異邦人は言ってはならない、「主は必ずわたしをその民から分かたれる」と。宦官もまた言ってはならない、「見よ、わたしは枯れ木だ」と。

4 כִּי־כֹה אָמַר יְהוָה לַסָּרִיסִים אֲשֶׁר יִשְׁמְרוּ אֶת־שַׁבְּתוֹתָי וּבָחֲרוּ בַּאֲשֶׁר חָפָצְתִּי וּמַחֲזִיקִים בִּבְרִיתִי׃

なぜなら	こう	言われる	主は	宦官たちに	守る	～する-者	～を	わが-安息日を	
	H3541	H0559	H3068	H5631	H8104		H0853	H7676	
						わたしが-喜ぶ-ものを	～を	そして-選ぶ	わが-契約を
								H0977	H1285

主はこう言われる、「わが安息日を守り、わが喜ぶことを選んで、わが契約を堅く守る宦官には、

5 וְנָתַתִּי לָהֶם בְּבֵיתִי וּבְחוֹמֹתַי יָד וָשֵׁם טוֹב מִבָּנִים וּמִבָּנוֹת שֵׁם עוֹלָם אֶתֵּן־לוֹ אֲשֶׁר לֹא יִכָּרֵת׃ ס

そして-わたしは-与える		そして-わが-城壁の-内に		わが-家に	彼らに		そして-名を	記念を		彼に	わたしは-与える	永遠の	名を	そして-娘よりも	息子よりも	良き-ものを	～する-ものを	
H5414		H2346					H8034	H3027			H5414	H5769		H1323				
																	[区切り]	絶たれない	ない
																		H3772	H3808

わが家のうちで、わが垣のうちで、むすこにも娘にもまさる記念のしるしと名を与え、絶えることのない、とこしえの名を与える。

6 וּבְנֵי הַנֵּכָר הַנִּלְוִים עַל־יְהוָה לְשָׁרְתוֹ וּלְאַהֲבָה
そして-子らは 異邦人の 結び-つく-者たち ～に 主に 仕える-ために そして-愛する-ために
H1121 H5236 H3867 H5921 H3068 H8334 H0157

אֶת־שֵׁם יְהוָה לִהְיוֹת לוֹ לַעֲבָדִים כָּל־שֹׁמֵר שַׁבָּת מֵחַלְלוֹ וּמַחֲזִיקִים בִּבְרִיתִי׃
～を 名を 主の なる-ために 主に-とって 僕と すべての 守る-者 安息日を 汚さない-ように そして-保つ-者 わが-契約を
H853 H8034 H3068 H1961 H3867 H5650 H3605 H8104 H7676 H2490 H2388 H1285

また主に連なり、主に仕え、主の名を愛し、そのしもべとなり、すべて安息日を守って、これを汚さず、わが契約を堅く守る異邦人は――

7 וַהֲבִיאוֹתִים אֶל־הַר קָדְשִׁי וְשִׂמַּחְתִּים בְּבֵית תְּפִלָּתִי עוֹלֹתֵיהֶם
そして-導く ～へ 山に わが-聖なる そして-喜ばせる 家に-おいて わが-祈りの 彼らの-燔祭と
H0935 H0413 H2022 H6944 H8055 H1004 H8605 H5930

וְזִבְחֵיהֶם לְרָצוֹן עַל־מִזְבְּחִי כִּי בֵיתִי בֵּית־תְּפִלָּה יִקָּרֵא לְכָל־הָעַמִּים׃
そして-彼らの-いけにえは 喜ばれる ～の-上に わが-祭壇に なぜなら わが-家は 家と 祈りの 呼ばれる すべての-ために 諸国の-民の
H2077 H7522 H5921 H4196 H3588 H1004 H1004 H8605 H7121 H3605 H5971

わたしはこれをわが聖なる山にこさせ、わが祈の家のうちで楽しませる、彼らの燔祭と犠牲とは、わが祭壇の上に受けいれられる。わが家はすべての民の祈の家ととなえられるからである」。

8 נְאֻם אֲדֹנָי יְהוִה מְקַבֵּץ נִדְחֵי יִשְׂרָאֵל עוֹד אֲקַבֵּץ עָלָיו לְנִקְבָּצָיו׃
宣言する 主なる 主は 集める-方 追われた-者たちを イスラエルの なお 集める 彼に その-集められた-者たちに-加えて
H5002 H0136 H3069 H6908 H5080 H3478 H5750 H6908 H5921 H6908

イスラエルの追いやられた者を集められる主なる神はこう言われる、「わたしはさらに人を集めて、すでに集められた者に加えよう」と。

9 כָּל חַיְתוֹ כָּל־לֶאֱכֹל אֹתָיוּ שָׂדָי חַיְתוֹ בַּיָּעַר׃ ס
すべての 獣よ すべての 食べる-ために 来い 野の 獣よ 森の [区切り]
H3605 H2416 H3605 H0398 H0857 H7704 H2416 H3293 H5472

野のすべての獣よ、林におるすべての獣よ、来て食らえ。

10 צֹפָיו(צפו) עִוְרִים כֻּלָּם לֹא יָדְעוּ כֻּלָּם כְּלָבִים אִלְּמִים
その-見張りたちは 盲目で-ある 皆 ない 知らない 皆 犬の-ように 唄の-物言わぬ
H6822 H5787 H3605 H3808 H3045 H3605 H3611 H0483

שֹׁכְבִים אֹהֲבֵי לָנוּם׃ הַזֹּיִם לִנְבֹּחַ יוּכָלוּ לֹא
横たわる-者たち 愛する-者たち 眠りを 夢見る-者たち 吠えることが できない ない
H7901 H157 H5123 H2492 H5024 H3201 H3808

見張人らはみな目しいで、知ることがなく、みな、おしの犬で、ほえることができない。みな夢みる者、伏している者、まどろむことを好む者だ。

לֹא	רֹעִים	וְהַמָּה	שָׂבְעָה	יָדְעוּ	לֹא	נֶפֶשׁ	עַזֵּי־	וְהַכְלָבִים	11
ない	牧者で–ある	そして–彼らは	満足を	知らない	ない	欲の	貪欲な	そして–犬たちは	
H3808		H1992	H7654	H3045	H3808	H5315	H5794	H3611	

מִקְצֵהוּ׃	לְבִצְעוֹ	אִישׁ	פָּנוּ	לְדַרְכָּם	כֻּלּוֹ	הָבִין	יָדָעוּ
その–端から–端まで	自分の–利得に	各自	向かった	自分の–道に	皆	悟ることを	知らない
	H1215	H0376	H6437	H1870	H3605	H0995	H3045

この犬どもは強欲で、飽くことを知らない。彼らはまた悟ることのできない牧者で、皆おのが道にむかいゆき、おのおのみな、おのれの利を求める。

יוֹם	כָּזֶה	וְהָיָה	שֵׁכָר	וְנִסְבְּאָה	יַיִן	אֶקָּחָה־	אֵתְיוּ	12
日は	この–ように	そして–なる	強い–酒に	そして–浸ろう	ぶどう酒を	わたしが–取る	来い	
H3117	H2088	H1961	H7941		H3196	H3947	H0857	

מְאֹד׃	יֶתֶר	גָּדוֹל	מָחָר
非常に	もっと	大いに	明日も
H3966			H4279

彼らは互に言う、「さあ、われわれは酒を手に入れ、濃い酒をあびるほど飲もう。あすも、きょうのようであるだろう、すばらしい日だ」と。

Chapter 57

חֶסֶד	וְאַנְשֵׁי־	לֵב	עַל־	שָׂם	אִישׁ	וְאֵין	אָבַד	הַצַּדִּיק	1
慈しみの	そして–人々は	心の	～の–上に	置く	人が	そして–ない	滅びる	義人は	
	H0376				H0376	H0369	H0006	H6662	

הַצַּדִּיק׃	נֶאֱסָף	הָרָעָה	מִפְּנֵי	כִּי־	מֵבִין	בְּאֵין	נֶאֱסָפִים
義人は	取り–去られる	悪の	～の–前に	なぜなら	悟る–者が–ある	ない	取り–去られる
H6662	H0622		H6440		H0995	H0369	H0622

正しい者が滅びても、心にとめる人がなく、神を敬う人々が取り去られても、悟る者はない。正しい者は災の前に取り去られて、

נְכֹחוֹ׃	הֹלֵךְ	מִשְׁכְּבוֹתָם	עַל־	יָנוּחוּ	שָׁלוֹם	יָבוֹא	2
まっすぐに	歩む–者	床の	～の–上に	休む	平和に	入る	
H5228	H1980	H4904		H5117	H7965	H0935	

平安に入るからである。すべて正直に歩む者は、その床に休むことができる。

וַתְּזֻנֶה׃	מְנָאָף	זֶרַע	עֹנֵנָה	בְּנֵי	הֵנָּה	קִרְבוּ־	וְאַתֶּם	3
そして–売春の	姦淫する–者の	子孫よ	占い師の	子らよ	ここに	近づけ	しかし–あなたがたは	
H2181	H5003	H2233			H2008	H7126		

しかし、あなたがた女魔法使の子よ、姦夫と遊女のすえよ、こちらへ近寄れ。

לָשׁוֹן	תַּאֲרִיכוּ	פֶּה	תַּרְחִיבוּ	מֶי	עַל־	תִּתְעַנָּגוּ	מִי	עַל־	4
舌を	突き–出すのか	口を	広げるのか	誰に	～に–対して	嘲るのか	誰を	～に–対して	
H3956	H0748	H6310	H7337	H4310		H6026	H4310		

שָׁקֶר׃	זֶרַע	פֶּשַׁע	יִלְדֵי־	אַתֶּם	הֲלוֹא־
偽りの	子孫	背きの	子ら	あなたがたは	ではないか
H8267	H2233	H6588	H3206		H3808

あなたがたは、だれにむかって戯れをなすのか。だれにむかって口を開き、舌を出すのか。あなたがたは背信の子ら、偽りのすえではないか。

5

הַיְלָדִים שֹׁחֲטֵי רַעֲנָן עֵץ כָּל־ תָּחַת בָּאֵלִּים הַנָּחָמִים
子どもを 屠る-者たち 青々と-した 木の すべての ～の-下で 樫の-木々の-中で 燃える-者たち
H3206 H6086 H3605 H8478 H0410 H2552

הַסְּלָעִים׃ סְעִפֵי תָּחַת בַּנְּחָלִים
岩の 裂け目の ～の-下で 谷で
H5553 H5585 H8478

あなたがたは、かしの木の間、すべての青木の下で心をこがし、谷の中、岩のはざまで子どもを殺した。

6

גַּם־ גּוֹרָלֵךְ הֵם הֵם חֶלְקֵךְ נַחַל בְּחַלְקֵי־
さらに あなたの-分で-ある それらが それらが あなたの-分が-ある 谷の 滑らかな-石の-中に
H1571 H1486 H1992 H1992 H2511

אֵלֶּה הָעַל מִנְחָה הֶעֱלֵית נָסֶךְ שָׁפַכְתְּ לָהֶם
これらの ～の-上に 穀物の-供え物を ささげた 注ぎの-供え物を 注いだ それらに
H0428 H4503 H5927 H5262 H8210 H1992

אֶנָּחֵם׃
わたしが-慰められようか
H5162

あなたは谷のなめらかな石を自分の嗣業とし、これを自分の分け前とし、これに灌祭をそそぎ、供え物をささげた。わたしはこれらの物によってなだめられようか。

7

עָלִית עָלִית שָׁם גַּם־ מִשְׁכָּבֵךְ שַׂמְתְּ וְנִשָּׂא גָּבֹהַּ הַר־ עַל
上った そこに さらに あなたの-床を 置いた そして-そびえた 高く 山の ～の-上に
H5927 H8033 H1571 H4904 H5375 H1364 H2022

זָבַח׃ לִזְבֹּחַ
いけにえを いけにえを-ささげる-ために
H2077 H2076

あなたは高くそびえた山の上に自分の床を設け、またそこに登って行って犠牲をささげた。

8

מֵאִתִּי כִּי זִכְרוֹנֵךְ שַׂמְתְּ וְהַמְּזוּזָה הַדֶּלֶת וְאַחַר
わたしから-離れて なぜなら あなたの-記念を 置いた そして-柱の 扉の そして-後ろに
H0854 H2146 H4201

מֵהֶם לָךְ וַתִּכְרֶת־ מִשְׁכָּבֵךְ הִרְחַבְתְּ וַתַּעֲלִי גִּלִּית
彼らと あなたの-ために そして-契約を-結んだ あなたの-床を 広げた そして-上った あらわに-した
H1992 H3772 H4904 H7337 H5927 H1540

חָזִית׃ יָד מִשְׁכָּבָם אָהַבְתְּ
見た 手を 彼らの-床を 愛した
H2372 H3027 H4904 H0157

また戸および柱のうしろに、あなたのしるしを置いた。あなたはわたしを離れて自分の床をあらわし、それにのぼって、その床をひろくした。また彼らと契約をなし、彼らの床を愛し、その裸を見た。

9

וַתְּשַׁלְּחִי רְקָחֲיִךְ וַתַּרְבִּי בַּשֶּׁמֶן לַמֶּלֶךְ וַתָּשָׂרִי
そして-遣わした あなたの-香料を そして-増やした 油を-持って 王の-もとへ そして-行った
H7971 H7547 H8081 H4428 H7788

שְׁאוֹל׃ עַד־ וַתַּשְׁפִּילִי מֵרָחֹק עַד־ צִרַיִךְ
陰府まで ～まで そして-低めた 遠くまで ～まで あなたの-使者を
H7585 H5704 H8213 H7350 H5704

あなたは、におい油を携えてモレクに行き、多くのかおり物をささげた。またあなたの使者を遠くにつかわし、陰府の深い所にまでつかわした。

10

יָדֵךְ	חַיָּת	נוֹאָשׁ	אָמַרְתְּ	לֹא	יָנַעְתְּ	דַּרְכֵךְ	בִּרְכַב	
あなたの–手の	命を	望みが–ない–と	言わなかった	ない	疲れた	あなたの–道の	多くの–中で	
H3027		H2976	H0559	H3808	H3021	H1870	H7230	

חָלֶית׃	לֹא	כֵן	עַל־	מָצָאת
弱らなかった	ない	それゆえ	～の–ために	見い–だした
	H3808			H4672

あなたは道の長いのに疲れても、なお「望みがない」とは言わなかった。あなたはおのが力の回復を得たので、衰えることがなかった。

11

לֹא	וְאוֹתִי	תִּכְאֲבִי	כִּי	וַתִּירְאִי	דָּאַגְתְּ	מִי	וְאֶת־	
ない	そして–わたしを	傷る	～した–から	そして–おびえたのか	恐れたのか	誰を	そして–～を	
H3808	H0853	H3576		H3372	H1672	H4310	H0853	

מַחְשֶׁהּ	אֲנִי	הֲלֹא	לִבֵּךְ	עַל־	שָׂמְתְּ	לֹא־	זָכַרְתְּ
沈黙した–から	わたしが	ではないか	心の	～の–上に	置かなかった	ない	覚えなかった
H2814	H0589	H3808				H3808	H2142

תִּירָאִי׃	לֹא	וְאוֹתִי	וּמֵעוֹלָם	
恐れなかった	ない	そして–わたしを	そして–長い–間	
H3372	H3808	H0853	H5769	

あなたはだれをおじ恐れて、偽りを言い、わたしを覚えず、また心におかなかったのか。わたしが久しく黙っていたために、あなたはわたしを恐れなかったのではなかったか。

12

יוֹעִילוּךְ׃	וְלֹא	מַעֲשָׂיִךְ	וְאֶת־	צִדְקָתֵךְ	אַגִּיד	אֲנִי	
役に–立たない	そして–ない	あなたの–わざを	そして–～を	あなたの–義を	告げる	わたしは	
H3276	H3808	H4639	H0853	H6666	H5046	H0589	

わたしはあなたの義と、あなたのわざを告げ示そう、しかしこれらはあなたを益しない。

13

רוּחַ	יִשָּׂא־	כֻּלָּם	וְאֶת־	קִבּוּצַיִךְ	יַצִּילֵךְ	בְּזַעֲקֵךְ	
風が	運び–去る	それら–皆を	そして–～を	あなたの–偶像の–群れが	救うが–よい	叫ぶ–とき	
H7307	H5375	H3605	H0853	H6899	H5337	H2199	

הַר־	וְיֵרַשׁ	אֶרֶץ	יִנְחַל־	בִּי	וְהַחוֹסֶה	הֶבֶל	יִקַּח־
山を	そして–所有する	地を	受け–継ぐ	わたしに	しかし–身を–寄せる–者は	息が	取り–去る
H2022	H3423	H0776	H5157		H2620	H1892	H3947

קָדְשִׁי׃
わが–聖なる
H6944

あなたが呼ばわる時、あなたが集めておいた偶像にあなたを救わせよ。風は彼らを運び去り、息は彼らを取り去る。しかしわたしに寄り頼む者は地を継ぎ、わが聖なる山をまもる。

14

ס	עַמִּי׃	מִדֶּרֶךְ	מִכְשׁוֹל	הָרִימוּ	דָּרֶךְ	פַּנּוּ־	סֹלּוּ	סֹלּוּ־	וְאָמַר
[区切り]	わが–民の	道から	つまずきを	取り–除け	道を	整えよ	築け	築け	そして–言われる
		H1870	H4383		H1870	H6437	H5549	H5549	H0559

主は言われる、「土を盛り、土を盛って道を備えよ、わが民の道から、つまずく物を取り去れ」と。

15

שְׁמוֹ	וְקָדוֹשׁ	עַד	שֹׁכֵן	וְנִשָּׂא	רָם	אָמַר	כֹּה	כִּי	
その-名	そして-聖が	永遠に	住む-方	そして-あがめられた-方	高く	言われる	こう	なぜなら	
H8034	H6918	H5703	H7931	H5375		H0559	H3541		

רוּחַ	וּשְׁפַל־	דַכָּא	וְאֶת־	אֶשְׁכֹּן	וְקָדוֹשׁ	מָרוֹם
霊の	そして-低き	砕かれた-者と	そして-〜と-共に	わたしは-住む	そして-聖なる-所に	高く
H7307	H8217		H0854	H7931	H6918	H4791

נִדְכָּאִים׃	לֵב	וּלְהַחֲיוֹת	שְׁפָלִים	רוּחַ	לְהַחֲיוֹת
砕かれた-者の	心を	そして-生かす-ために	低き-者の	霊を	生かす-ために
H1792		H2421	H8217	H7307	H2421

いと高く、いと上なる者、とこしえに住む者、その名を聖ととなえられる者がこう言われる、「わたしは高く、聖なる所に住み、また心砕けて、へりくだる者と共に住み、へりくだる者の霊をいかし、砕ける者の心をいかす。

16

רוּחַ	כִּי־	אֶקְצֹף	לָנֶצַח	וְלֹא	אָרִיב	לְעוֹלָם	לֹא	כִּי
霊が	なぜなら	怒らない	いつまでも	そして-ない	争わない	永遠に	ない	なぜなら
H7307		H7107	H5331	H3808	H7378	H5769	H3808	

עָשִׂיתִי׃	אֲנִי	וּנְשָׁמוֹת	יַעֲטֹף	מִלְפָנַי
造った	わたしが	そして-魂を	衰える	わたしの-前から
	H0589	H5397		H6440

わたしはかぎりなく争わない、また絶えず怒らない。霊はわたしから出、いのちの息はわたしがつくったからだ。

17

וְאֶקְצֹף	הַסְתֵּר	וָאַכֵּהוּ	קָצַפְתִּי	בְּצַעֲוֹ	בַּעֲוֹן	
そして-怒った	隠して	そして-彼を-打った	わたしは-怒った	その-貪欲の	咎の-ために	
H7107	H5641	H5221	H7107	H1215	H5771	

לִבּוֹ׃	בִּדְרֶךְ	שׁוֹבֵב	וַיֵּלֶךְ
その-心の	道を	背いて	しかし-彼は-行った
	H1870	H7726	H3212

彼のむさぼりの罪のゆえに、わたしは怒って彼を打ち、わが顔をかくして怒った。しかし彼はなおそむいて、おのが心の道へ行った。

18

לוֹ	נְחֻמִים	וַאֲשַׁלֵּם	וְאַנְחֵהוּ	וְאֶרְפָּאֵהוּ	רָאִיתִי	דְּרָכָיו	
彼に	慰めを	そして-報いる	そして-彼を-導く	そして-彼を-癒す	わたしは-見た	その-道を	
	H5150		H5148	H7495	H7200	H1870	

וְלַאֲבֵלָיו׃	
そして-その-嘆く-者たちに	
H0057	

わたしは彼の道を見た。わたしは彼をいやし、また彼を導き、慰めをもって彼に報い、悲しめる者のために、くちびるの実を造ろう。

19

אֹמֵר	וְלַקָּרוֹב	לָרָחוֹק	שָׁלוֹם	וְשָׁלוֹם	שִׂפְתָיִם	)נִיב(	]נוב[	בּוֹרֵא	
言われる	そして-近くの-者に	遠くの-者に	平和を	平和	唇の	実を	[異読]	創造する-者	
H0559	H7138	H7350	H7965	H7965	H8193	H5108	H5108		

וְרְפָאתִיו׃	יְהוָה	
そして-彼を-癒す	主は	
H7495	H3068	

遠い者にも近い者にも平安あれ、平安あれ、わたしは彼をいやそう」と主は言われる。

וְיִגְרְשׁוּ יוּכַל לֹא הַשְׁקֵט כִּי נִגְרָשׁ כַּיָּם וְהָרְשָׁעִים 20
そして–吐き–出す できない ない 静かに なぜなら 荒れた 海の–ように しかし–悪しき–者は
H1644 H3201 H3808 H8252 H1644 H3220 H7563

וָטִיט׃ רֶפֶשׁ מֵימָיו
そして–汚物を 泥と その–水は
H2916 H7516 H4325

しかし悪しき者は波の荒い海のようだ。静まることができないで、その水はついに泥と汚物とを出す。

ס לָרְשָׁעִים׃ אֱלֹהָי אָמַר שָׁלוֹם אֵין 21
[区切り] 悪しき–者には わが–神は 言われる 平和が ない
H7965 H0369 H0559 H0430 H7965 H0369

わが神は言われる、「よこしまな者には平安がない」と。

Chapter 58

וְהַגֶּד קוֹלֶךָ הָרֵם כַּשּׁוֹפָר תַּחְשֹׂךְ אַל־ בְּגָרוֹן קְרָא 1
そして–告げよ あなたの–声を 上げよ 角笛の–ように 控えるな するな のどの–限りに 叫べ
H5046 H7782 H2820 H0408 H1627 H7121

חַטֹּאתָם׃ יַעֲקֹב וּלְבֵית פִּשְׁעָם לְעַמִּי
その–罪を ヤコブの そして–家に その–背きを わが–民に
H3290 H6588

「大いに呼ばわって声を惜しむな。あなたの声をラッパのようにあげ、わが民にそのとがを告げ、ヤコブの家にその罪を告げ示せ。

כְּגוֹי יֶחְפָּצוּן דְּרָכַי וְדַעַת יִדְרְשׁוּן יוֹם יוֹם וְאוֹתִי 2
国の–ように 喜ぶ わが–道を そして–知る–ことを 尋ねる 日ごとに 日ごとに そして–わたしを
H1870 H1847 H1875 H3117 H3117 H0853

צֶדֶק מִשְׁפְּטֵי־ יִשְׁאָלוּנִי עָזָב לֹא אֱלֹהָיו וּמִשְׁפָּט עָשָׂה צְדָקָה אֲשֶׁר־
義の 裁きを 尋ねる 捨てなかった ない その–神の そして–裁きを 行った 義を ～した
H6664 H4941 H7592 H3808 H0430 H4941 H6666

קִרְבַת אֱלֹהִים יֶחְפָּצוּן׃
近づく–ことを 神に 喜ぶ
H7132 H0430

彼らは日々わたしを尋ね求め、義を行い、神のおきてを捨てない国民のように、わが道を知ることを喜ぶ。彼らは正しいさばきをわたしに求め、神に近づくことを喜ぶ。

וְלָא נַפְשֵׁנוּ עִנִּינוּ רָאִיתָ וְלֹא צַמְנוּ לָמָּה 3
そして–ない われらの–魂を 苦しめた 見なかったのか そして–ない 断食したのに なぜ
H3808 H5315 H7200 H3808 H6684 H4100

וְכָל־ חֵפֶץ תִּמְצְאוּ־ צֹמְכֶם בְּיוֹם תֵּן תֵּדָע
そして–すべての 快楽を 見い–だす あなたがたの–断食の ～の–日に 見よ 知らなかったのか
H3605 H2656 H4672 H6685 H3117 H2005 H3045

תִּנְגֹּשׂוּ׃ עַצְּבֵיכֶם
強制する あなたがたの–労働者を
H5065 H6092

彼らは言う、『われわれが断食したのに、なぜ、ごらんにならないのか。われわれがおのれを苦しめたのに、なぜ、ごぞんじないのか』と。見よ、あなたがたの断食の日には、おのが楽しみを求め、その働き人をことごとくしえたげる。

לֹא־	רֶשַׁע	בְּאֶגְרָף	וּלְהַכּוֹת	תָּצוּמוּ	וּמַצָּה	לְרִיב	הֵן		4
ない	悪の	こぶしで	そして–打つ–ために	断食する	そして–口論の–ために	争いと	見よ		
H3808	H7562	H0106	H5221	H6684	H4683	H7379	H2005		

קוֹלְכֶם׃	בַּמָּרוֹם	לְהַשְׁמִיעַ	כַּיּוֹם	תָּצוּמוּ
あなたがたの–声を	高き–所に	聞かせる–ために	今日の–ように	断食するな
	H4791	H8085	H3117	H6684

見よ、あなたがたの断食するのは、ただ争いと、いさかいのため、また悪のこぶしをもって人を打つためだ。きょう、あなたがたのなす断食は、その声を上に聞えさせるものではない。

נַפְשׁוֹ	אָדָם	עַנּוֹת	יוֹם	אֶבְחָרֵהוּ	צוֹם	יִהְיֶה	הֲכָזֶה		5
その–魂を	人が	苦しめる	日で–あるのか	わたしが–選ぶ	断食が	で–あるのか	この–ような		
H5315	H0120		H3117	H0977	H6685	H1961	H2088		

הֲלָזֶה	יַצִּיעַ	וָאֵפֶר	וְשָׁק	רֹאשׁוֹ	כְּאַגְמֹן	הֲלָכֹף	
これを	敷く–ことか	そして–灰を	そして–荒布と	その–頭を–垂れる–ことか	葭の	～の–ように	
H2088	H3331	H0665	H8242		H0100	H3721	

לַיהוָה׃	רָצוֹן	וְיוֹם	צוֹם	תִּקְרָא־
主に	喜ばれる	そして–日と	断食と	呼ぶのか
H3068	H7522	H3117	H6685	H7121

このようなものは、わたしの選ぶ断食であろうか。人がおのれを苦しめる日であろうか。そのこうべを葦のように伏せ、荒布と灰とをその下に敷くことであろうか。あなたは、これを断食ととなえ、主に受けいれられる日と、となえるであろうか。

הַתָּר	רֶשַׁע	חַרְצֻבּוֹת	פַּתֵּחַ	אֶבְחָרֵהוּ	צוֹם	זֶה	הֲלֹוא	6
ほどく–こと	悪の	繋ぎを	解く–こと	わたしが–選ぶ	断食で–ある	これこそ	ではないか	
	H7562	H2784		H0977	H6685	H2088	H3808	

תְּנַתָּקוּ׃	מוֹטָה	וְכָל־	חָפְשִׁים	רְצוּצִים	וְשַׁלַּח	מוֹטָה	אֲגֻדּוֹת
折る–こと	軛を	そして–すべての	自由に	虐げられた–者を	そして–解き–放つ–こと	軛の	束縛を
H5423	H4133	H3605	H2670	H7533	H7971	H4133	H0092

わたしが選ぶところの断食は、悪のなわをほどき、くびきのひもを解き、しえたげられる者を放ち去らせ、すべてのくびきを折るなどの事ではないか。

מְרוּדִים	וַעֲנִיִּים	לַחְמֶךָ	לָרָעֵב	פָּרַס	הֲלֹוא			7
さまよう–者たちを	そして–貧しい–者たちを	あなたの–パンを	飢えた–者に	分ける–こと	ではないか			
H4788	H6041	H3899	H7457	H6536	H3808			

וּמִבְּשָׂרְךָ	וְכִסִּיתוֹ	עָרֹם	תִּרְאֶה	כִּי־	בַיִת	תָּבִיא	
そして–あなたの–肉親から	そして–覆う–こと	裸の–者を	見たなら	～する–とき	家に	導く–こと	
H1320	H3680	H6174	H7200			H0935	

תִּתְעַלָּם׃	לֹא	
隠れない–こと	ない	
H5956	H3808	

また飢えた者に、あなたのパンを分け与え、さすらえる貧しい者を、あなたの家に入れ、裸の者を見て、これを着せ、自分の骨肉に身を隠さないなどの事ではないか。

8

תִּצְמָח	מְהֵרָה	וַאֲרֻכָתְךָ	אוֹרְךָ	כַּשַּׁחַר	יִבָּקַע	אָז
芽生える	速やかに	そして–あなたの–癒しは	あなたの–光は	曙の–ように	射し–出る	その–時
H6779	H4120	H0724	H0216	H7837	H1234	

:יַאַסְפֶּךָ	יְהוָה	כְּבוֹד	צִדְקֶךָ	לְפָנֶיךָ	וְהָלַךְ	
あなたの–しんがりと–なる	主の	栄光が	あなたの–義が	あなたの–前に	そして–行く	
H0622	H3068	H3519	H6664	H6440	H1980	

そうすれば、あなたの光が暁のようにあらわれ出て、あなたは、すみやかにいやされ、あなたの義はあなたの前に行き、主の栄光はあなたのしんがりとなる。

9

אִם־	הִנֵּנִי	וְיֹאמַר	תִּשְׁוַע	יַעֲנֶה	וַיהוָה	תִּקְרָא	אָז
もし	わたしは–ここに–いる	そして–言われる	叫ぶと	答える	そして–主は	呼ぶと	その–時
	H2009	H0559	H7768		H3068	H7121	

:אָוֶן	וְדַבֶּר־	אֶצְבַּע	שְׁלַח	מוֹטָה	מִתּוֹכְךָ	תָּסִיר
悪を	そして–語る–ことを	指を	指を–突き–つける–ことを	軛を	あなたの–中から	取り–除くなら
H0205	H1696	H0676	H7971	H4133	H8432	H5493

また、あなたが呼ぶとき、主は答えられ、あなたが叫ぶとき、『わたしはここにおる』と言われる。もし、あなたの中からくびきを除き、指をさすこと、悪い事を語ることを除き、

10

תַּשְׂבִּיעַ	נַעֲנָה	וְנֶפֶשׁ	נַפְשֶׁךָ	לָרָעֵב	וְתָפֵק	
満たすなら	苦しむ–者の	そして–魂を	あなたの–魂を	飢えた–者に	そして–注ぎ–出すなら	
H7646		H5315	H5315	H7457	H6329	

:כַּצָּהֳרָיִם	וַאֲפֵלָתְךָ	אוֹרְךָ	בַּחֹשֶׁךְ	וְזָרַח	
真昼の–ように–なる	そして–あなたの–暗さは	あなたの–光は	闇の–中に	そして–輝く	
	H0653	H0216	H2822	H2224	

飢えた者にあなたのパンを施し、苦しむ者の願いを満ち足らせるならば、あなたの光は暗きに輝き、あなたのやみは真昼のようになる。

11

וְעַצְמוֹתֶיךָ	נַפְשֶׁךָ	בְּצַחֲצָחוֹת	וְהַשְׂבִּיעַ	תָּמִיד	יְהוָה	וְנָחֲךָ	
そして–あなたの–骨を	あなたの–魂を	輝く–所で	そして–満たす	絶えず	主は	そして–導く	
H6106	H5315	H6710	H7646	H8548	H3068	H5148	

יְכַזְּבוּ	לֹא־	אֲשֶׁר	מַיִם	וּכְמוֹצָא	רָוֶה	כְּגַן	וְהָיִיתָ	יַחֲלִיץ
尽きない	ない	～する–もの	水の	そして–泉の–ように	潤う	園の–ように	そして–なる	強く–する
H3576	H3808		H4325	H4161	H7302	H1588	H1961	

:מֵימָיו
その–水は
H4325

主は常にあなたを導き、良き物をもってあなたの願いを満ち足らせ、あなたの骨を強くされる。あなたは潤った園のように、水の絶えない泉のようになる。

12

וְדוֹר	דּוֹר־	מוֹסְדֵי	עוֹלָם	חָרְבוֹת	מִמְּךָ	וּבָנוּ
代々の	代々の	基を	昔からの	廃墟を	あなたからの–者たちが	そして–建てる
H1755	H1755	H4146	H5769	H2723		H1129

נְתִיבוֹת	מְשׁוֹבֵב	פֶּרֶץ	גֹּדֵר	לְךָ	וְקֹרָא	תְקוֹמֵם
小道を	回復する–者と	破れを	修復する–者と	あなたは	そして–呼ばれる	あなたは–立て–直す
	H7725	H6556	H1443		H7121	

:לָשָׁבֶת
住む–ための
H3427

あなたの子らは久しく荒れすたれたる所を興し、あなたは代々やぶれた基を立て、人はあなたを『破れを繕う者』と呼び、『市街を繕って住むべき所となす者』と呼ぶようになる。

13 אִם־ תָּשִׁיב מִשַּׁבָּת רַגְלֶךָ עֲשׂוֹת חֲפָצֶיךָ בְּיוֹם
もし 引き-戻すなら 安息日から あなたの-足を 行う-ことを あなたの-快楽を ～の-日に
H3513 H7725 H7676 H7272 H6213 H2656 H3117

וְכִבַּדְתּוֹ מִכְּבֹד וְקָרָאתָ לַשַּׁבָּת עֹנֶג לִקְדוֹשׁ יְהוָה
そして-尊ぶなら 尊ぶべき-日と 呼ぶなら 安息日を 喜びと 聖なる-方の 主の
H3513 H3513 H7121 H7676 H6027 H6918 H3068

וְדַבֶּר מֵעֲשׂוֹת דְּרָכֶיךָ מִמְצוֹא חֶפְצְךָ וְכִבַּדְתּוֹ
そして-語らない-ことで 行わない-ことで あなたの-道を 求めない-ことで あなたの-快楽を そして-尊ぶなら
H1696 H6213 H1870 H4672 H2656 H3513

דָּבֶר׃
空しき-言葉を
H1697

もし安息日にあなたの足をとどめ、わが聖日にあなたの楽しみをなさず、安息日を喜びの日と呼び、主の聖日を尊ぶべき日ととなえ、これを尊んで、おのが道を行わず、おのが楽しみを求めず、むなしい言葉を語らないならば、

14 אָז תִּתְעַנַּג עַל־ יְהוָה וְהִרְכַּבְתִּיךָ עַל־ בָּמֳתֵי אָרֶץ וְהַאֲכַלְתִּיךָ
その-時 喜ぶ ～の-上に 主の そして-乗せる ～の-上に 高き-所の 地の そして-食べさせる
H6026 H5921 H3068 H7392 H5921 H1116 H0776 H0398

נַחֲלַת יַעֲקֹב אָבִיךָ כִּי פִּי יְהוָה דִּבֶּר׃ ס
受け-継ぎの-ものを ヤコブの あなたの-父の なぜなら 口が 主の 語った [区切り]
H5159 H3290 H1 H3588 H6310 H3068 H1696

その時あなたは主によって喜びを得、わたしは、あなたに地の高い所を乗り通らせ、あなたの先祖ヤコブの嗣業をもって、あなたを養う」。これは主の口から語られたものである。

Chapter 59

1 הֵן לֹא־ קָצְרָה יַד־ יְהוָה מֵהוֹשִׁיעַ וְלֹא־ כָבְדָה אָזְנוֹ מִשְּׁמוֹעַ׃
見よ ない 短く-ない 手は 主の 救う-には そして-ない 重く-ない その-耳は 聞く-には
H2005 H3808 H7114 H3027 H3068 H3467 H3808 H3513 H0241 H8085

見よ、主の手が短くて、救い得ないのではない。その耳が鈍くて聞き得ないのでもない。

2 כִּי אִם־ עֲוֹנֹתֵיכֶם הָיוּ מַבְדִּלִים בֵּינֵיכֶם וּבֵין אֱלֹהֵיכֶם וְחַטֹּאותֵיכֶם הִסְתִּירוּ פָּנִים מִכֶּם מִשְּׁמוֹעַ׃
むしろ ～こそが あなたがたの-咎が なって-いる 隔てる-ものと あなたがたと ～との-間に 聞かない-ほどに
H3588 H0518 H5771 H1961 H4055 H0996 H0996 H0996 H8085

あなたがたの不義があなたがたと、あなたがたの神との間を隔てたのだ。またあなたがたの罪が主の顔をおおったために、お聞きにならないのだ。

3 כִּי כַפֵּיכֶם נְגֹאֲלוּ בְדָם וְאֶצְבְּעוֹתֵיכֶם בָּעָוֹן שִׂפְתוֹתֵיכֶם דִּבְּרוּ שָׁקֶר לְשׁוֹנְכֶם עַוְלָה תֶהְגֶּה׃
なぜなら あなたがたの-手は 汚れて-いる 血で そして-あなたがたの-指は 咎で あなたがたの-唇は 語った 偽りを あなたがたの-舌は 不義を つぶやく
H3588 H3709 H1351 H1818 H0676 H5771 H8193 H1696 H8267 H3956 H5766 H1897

あなたがたの手は血で汚れ、あなたがたの指は不義で汚れ、あなたがたのくちびるは偽りを語り、あなたがたの舌は悪をささやき、

תֹּהוּ	עַל־	בָּטָוחַ	בֶּאֱמוּנָה	נִשְׁפָּט	וְאֵין	בְּצֶדֶק	קֹרֵא	אֵין־	4
空しさを	～の–上に	頼る	真実を–もって	裁く–者が	そして–ない	義を–もって	呼ぶ–者が	ない	
H8414		H0982	H0530	H8199	H0369	H6664	H7121	H0369	

אָוֶן׃	וְהוֹלִיד	עָמָל	הָרוֹ	שָׁוְא	וְדַבֵּר־	
不義を	そして–産む	悪を	孕む	虚偽を	そして–語る	
H0205	H3205	H5999	H2029	H7723	H1696	

ひとりも正義をもって訴え、真実をもって論争する者がない。彼らはむなしきことを頼み、偽りを語り、害悪をはらみ、不義を産む。

יָמוּת	מִבֵּיצֵיהֶם	הָאֹכֵל	יֶאֱרֹגוּ	עַכָּבִישׁ	וְקוּרֵי	בִּקְּעוּ	צִפְעוֹנִי	בֵּיצֵי	5
死ぬ	その–卵を	食べる–者は	織る	くもの	そして–巣を	孵す	毒蛇の	卵を	
H4191	H1000	H0398	H0707	H5908	H6980	H1234		H1000	

אֶפְעֶה׃	תִּבָּקַע	וְהַזּוּרֶה
まむしが	飛び–出る	そして–割られた–ものからは
H0660	H1234	H2116

彼らはまむしの卵をかえし、くもの巣を織る。その卵を食べる者は死ぬ。卵が踏まれると破れて毒蛇を出す。

מַעֲשֵׂי־	מַעֲשֵׂיהֶם	בְּמַעֲשֵׂיהֶם	יִתְכַּסּוּ	וְלֹא	לְבֶגֶד	יִהְיוּ	לֹא־	קוּרֵיהֶם	6
わざで–ある	その–わざは	その–わざで	覆えない	そして–ない	衣に	ならない	ない	その–巣は	
H4639	H4639	H4639	H3680	H3808		H1961	H3808	H6980	

בְּכַפֵּיהֶם׃	חָמָס	וּפֹעַל	אָוֶן
その–手に	暴力の	そして–行いは	悪の
H3709	H2555	H6467	H0205

その織る物は着物とならない。その造る物をもって身をおおうことができない。彼のわざは不義のわざであり、彼らの手には暴虐の行いがある。

מַחְשְׁבוֹת	מַחְשְׁבוֹתֵיהֶם	נָקִי	דָּם	לִשְׁפֹּךְ	וּמִהֲרוּ	יָרֻצוּ	לָרָע	רַגְלֵיהֶם	7
思いで–ある	その–思いは	罪なき–者の	血を	流す–ために	そして–急ぐ	走る	悪に	その–足は	
H4284	H4284		H1818	H8210		H7323		H7272	

בִּמְסִלוֹתָם׃	וְשֹׁבֶר	שֹׁד	אָוֶן
その–道に–ある	そして–荒廃が	破壊と	悪の
H4546	H7667	H7701	H0205

彼らの足は悪に走り、罪のない血を流すことに速い。彼らの思いは不義の思いであり、荒廃と滅亡とがその道にある。

עִקְּשׁוּ	נְתִיבוֹתֵיהֶם	בְּמַעְגְּלוֹתָם	מִשְׁפָּט	וְאֵין	יָדְעוּ	לֹא	שָׁלוֹם	דֶּרֶךְ	8
曲げた	その–道を	その–小道に	公義が	そして–ない	知らない	ない	平和の	道を	
H6140		H4570	H4941	H0369	H3045	H3808	H7965	H1870	

שָׁלוֹם׃	יָדַע	לֹא	בָּהּ	דֹּרֵךְ	כָּל	לָהֶם
平和を	知らない	ない	そこを	踏む–者は	すべての	自分たちの–ために
H7965	H3045	H3808		H1869	H3605	H1992

彼らは平和の道を知らず、その行く道には公平がない。彼らはその道を曲げた。すべてこれを歩む者は平和を知らない。

9 עַל־ כֵּן רָחַק מִשְׁפָּט מִמֶּנּוּ וְלֹא תַשִּׂיגֵנוּ צְדָקָה נְקַוֵּה
～の–ために それゆえ 遠い 公義は われらから そして–ない 追い–つかない 義は 望む
H5921 H3651 H7368 H4941 H4480 H3808 H5381 H6666 H6960

לָאוֹר הִנֵּה־ חֹשֶׁךְ לִנְגֹהוֹת בָּאֲפֵלוֹת נְהַלֵּךְ׃
光を しかし–見よ 闇が–ある 輝きを 暗闇の–中を 歩く
H0216 H2009 H2822 H5051 H0653 H1980

それゆえ、公平は遠くわれわれを離れ、正義はわれわれに追いつかない。われわれは光を望んでも、暗きを見、輝きを望んでも、やみを行く。

10 נְגַשְּׁשָׁה כָעִוְרִים קִיר וּכְאֵין עֵינַיִם כָּשָׁלְנוּ
手探りする 盲人の–ように 壁を そして–ない–かの–ように 目が つまずいた
H5381 H5787 H7023 H0369 H5869 H3782

בָּצָהֳרַיִם כַּנֶּשֶׁף בָּאַשְׁמַנִּים כְּמֵתִים׃
真昧に 夕暮れの–ように 健やかな–者の–中で 死人の–ように
H6672 H5399 H0820 H4191

われわれは盲人のように、かきを手さぐりゆき、目のない者のように手さぐりゆき、真昼でも、たそがれのようにつまずき、強壮な者の中にあっても死人のようだ。

11 נֶהֱמֶה כְּדֻבִּים כֻּלָּנוּ וְכַיּוֹנִים נֶהְגֶּה נֶהְגֶּה נְקַוֵּה לַמִּשְׁפָּט וָאַיִן
うなる 熊の–ように われら–皆 そして–鳩の–ように うめき うめく 望む 公義を しかし–ない
H1993 H1677 H3605 H3123 H1897 H1897 H6960 H4941 H0369

מִמֶּנּוּ׃ רָחֲקָה לִישׁוּעָה
われらから 遠い 救いを
H4480 H7368 H3444

われわれは皆くまのようにほえ、はとのようにいたくうめき、公平を望んでも、きたらず、救を望んでも、遠くわれわれを離れ去る。

12 כִּי־ רַבּוּ פְשָׁעֵינוּ נֶגְדֶּךָ וְחַטֹּאותֵינוּ עָנְתָה בָּנוּ
なぜなら 多い われらの–背きは あなたの–前に そして–われらの–罪が 証言する われらに–対して
H3588 H7227 H6588 H5048 H2403 H6030 H0776

כִּי־ פְשָׁעֵינוּ אִתָּנוּ וַעֲוֹנֹתֵינוּ יְדַעֲנוּם׃
なぜなら われらの–背きは われらと–共に–ある そして–われらの–咎を われらは–知って–いる
H3588 H6588 H0854 H5771 H3045

われわれのとがは、あなたの前に多く、罪は、われわれを訴えて、あかしをなし、とがは、われわれと共にあり、不義は、われわれがこれを知る。

13 פָּשֹׁעַ וְכַחֵשׁ וְנָסוֹג מֵאַחַר אֱלֹהֵינוּ דַּבֵּר־ עֹשֶׁק
背き そして–否認した そして–退いた ～の–後から われらの–神の 語った 圧制と
H6586 H3584 H5253 H0310 H0430 H1696 H6233

וְהָגוּ מִלֵּב דִּבְרֵי־ שָׁקֶר׃ וְסָרָה הָרָוּ
そして–かたった 心から 言葉を 偽りの そして–反逆を 孕んだ
H1897 H3824 H1697 H8267 H5627 H2029

われわれは、そむいて主をいなみ、退いて、われわれの神に従わず、しえたげと、そむきとを語り、偽りの言葉を心にはらんで、それを言いあらわす。

14 וְהֻסַּג אָחוֹר וּמִשְׁפָּט מֵרָחוֹק וּצְדָקָה תַּעֲמֹד כִּי־ כָשְׁלָה בָרְחוֹב
そして–退けられた 後ろに 公義は 遠くに そして–義は 立つ なぜなら つまずいた 広場で
H5253 H0268 H4941 H7350 H6666 H5975 H3588 H3782 H7339

לָבוֹא׃ תוּכַל לֹא־ וּנְכֹחָה אֱמֶת
入る–ことが できない ない そして–正直は 真実は
H0935 H3201 H3808 H5229 H0571

公平はうしろに退けられ、正義ははるかに立つ。それは、真実は広場に倒れ、正直は、はいることができないからである。

15

וַיַּ֣רְא	מִשְׁתּוֹלֵ֔ל	מֵרָ֖ע	וְסָ֑ר	נֶעְדְּתָ֣ה	הָאֱמֶ֗ת	וַתְּהִי
そして–見た	略奪される	悪から	そして–退く–者は	欠けて–いる–ものに	真実は	そして–なった
H7200			H5493		H0571	H1961

מִשְׁפָּֽט׃	אֵ֥ין	כִּֽי־	בְּעֵינָ֖יו	וַיֵּ֣רַע	יְהוָ֔ה
公義が	ない	なぜなら	その–目に	そして–悪かった	主は
H4941	H0369				H3068

真実は欠けてなく、悪を離れる者はかすめ奪われる。主はこれを見て、公平がなかったことを喜ばれなかった。

16

וַתּוֹשַׁ֣ע	מַפְגִּ֑יעַ	אֵ֥ין	כִּֽי	וַיִּשְׁתּוֹמֵ֖ם	אִ֥ישׁ	אֵ֛ין	כִּֽי־	וַיַּ֧רְא	
そして–救った	とりなす–者が	ない	なぜなら	そして–驚いた	人が	ない	なぜなら	そして–見た	
H3467	H6293	H0369		H8074	H0376	H0369		H7200	

סְמָכָ֥תְהוּ׃	הִ֛יא	וְצִדְקָת֥וֹ	זְרֹע֖וֹ	לֽוֹ
支えた	それ	そして–その–義が	その–腕が	彼の–ために
H5564	H1931	H6666	H2220	

主は人のないのを見られ、仲に立つ者のないのをあやしまれた。それゆえ、ご自分のかいなをもって、勝利を得、その義をもって、おのれをささえられた。

17

בִּגְדֵי	וַיִּלְבַּ֣שׁ	בְּרֹאשׁ֔וֹ	יְשׁוּעָ֖ה	וְכוֹבַ֣ע	כַּשִּׁרְיָ֑ן	צְדָקָ֗ה	וַיִּלְבָּ֣שׁ	
衣を	そして–着た	その–頭に	救いの	そして–かぶとを	胸当ての–ように	義を	そして–着た	
	H3847		H3444	H3553		H6666	H3847	

קִנְאָֽה׃	כַּמְעִ֔יל	וַיַּ֖עַט	תִּלְבֹּ֣שֶׁת	נָקָ֑ם
熱意を	外套の–ように	そして–纏った	衣と–して	復讐の
H7068	H4598		H8516	H5359

主は義を胸当としてまとい、救のかぶとをその頭にいただき、報復の衣をまとって着物とし、熱心を外套として身を包まれた。

18

גְּמ֔וּל	לָאִיִּ֖ים	לְאֹיְבָ֑יו	גְּמ֔וּל	לְצָרָ֖יו	חֵמָ֣ה	יְשַׁלֵּ֔ם	כְּעַ֖ל	גְּמֻל֥וֹת	כְּעַ֛ל
報いを	島々に	その–敵に	報いを	その–敵に	怒りを	報いる	～に–応じて	行いに	～に–応じて
H1576	H0339	H0341	H1576		H2534			H1578	

יְשַׁלֵּֽם׃
報いる

主は彼らの行いにしたがって報いをなし、あだにむかって怒り、敵にむかって報いをなし、海沿いの国々にむかって報いをされる。

19

כְּבוֹדֹ֑ו	אֶת־	שֶׁ֣מֶשׁ	וּמִמִּזְרַח־	יְהוָ֔ה	שֵׁ֖ם	אֶת־	מִמַּעֲרָ֣ב	וְיִרְא֖וּ	
その–栄光を	～を	太陽の	そして–日の–昇る–方から	主の	名を	～を	西から	そして–恐れる	
H3519	H0853	H8121	H4217	H3068	H8034	H0853	H4628	H3372	

בֹּ֑ו	נֹסָ֣ה	יְהוָ֔ה	רֽוּחַ	צָ֥ר	כַּנָּהָ֖ר	יָבֹ֥וא	כִּֽי־	
彼を	駆り–立てる	主の	霊が	迫る	川の–ように	来る	なぜなら	
	H5127	H3068	H7307		H5104	H0935		

こうして、人々は西の方から主の名を恐れ、日の出る方からその栄光を恐れる。主は、せき止めた川を、そのいぶきで押し流すように、こられるからである。

20

יְהוָֽה׃	נְאֻם	בְּיַעֲקֹ֔ב	פֶּ֖שַׁע	וְלַשָּׁבֵ֣י	גֹּואֵ֑ל	לְצִיּ֗וֹן	וּבָ֣א	
主は	宣言する	ヤコブの–中の	背きから	そして–立ち–帰る–者に	贖い主が	シオンに	そして–来る	
H3068	H5002	H3290	H6588	H7725		H6726	H0935	

主は言われる、「主は、あがなう者としてシオンにきたり、ヤコブのうちの、とがを離れる者に至る」と。

21 וַאֲנִי זֹאת אוֹתָם בְּרִיתִי רוּחִי יְהוָה אָמַר
そして–わたしは これが 彼らとの わが–契約で–ある わが–霊は 主は 言われる
H0589 H2063 H0853 H1285 H7307 H3068 H0559

עָלֶיךָ אֲשֶׁר־ דְּבָרַי וְשַׂמְתִּי בְּפִיךָ לֹא־ יָמוּשׁוּ
あなたの–上に–ある そして–わが–言葉は 〜した–もの 置いた あなたの–口に ない 離れない
H1697 H6310 H3808 H4185

מִפִּיךָ וּמִפִּי זַרְעֲךָ וּמִפִּי זֶרַע זַרְעֲךָ
あなたの–口からも そして–口からも あなたの–子孫の 子孫の そして–口からも あなたの–子孫の
H6310 H6310 H2233 H2233 H6310 H2233

אָמַר יְהוָה מֵעַתָּה וְעַד־ עוֹלָם׃ ס
言われる 主は 今から そして–〜まで 永遠に [区切り]
H0559 H3068 H6258 H5704 H5769

主は言われる、「わたしが彼らと立てる契約はこれである。あなたの上にあるわが霊、あなたの口においたわが言葉は、今から後とこしえに、あなたの口から、あなたの子らの口から、あなたの子らの子の口から離れることはない」と。

Chapter 60

1 קוּמִי אוֹרִי כִּי־ בָא אוֹרֵךְ וּכְבוֹד יְהוָה עָלַיִךְ זָרָח׃
立ち–上がれ 輝け なぜなら 来た あなたの–光が そして–栄光が 主の あなたの–上に 昇った
H0559 H0215 H3588 H0935 H0216 H3519 H3068 H0776 H2224

起きよ、光を放て。あなたの光が臨み、主の栄光があなたの上にのぼったから。

2 כִּי־ הִנֵּה הַחֹשֶׁךְ יְכַסֶּה־ אֶרֶץ וַעֲרָפֶל לְאֻמִּים וְעָלַיִךְ יִזְרַח יְהוָה וּכְבוֹדוֹ עָלַיִךְ יֵרָאֶה׃
なぜなら 見よ 闇が 覆う 地を そして–濃い–闇が 諸国の–民を しかし–あなたの–上に 昇る 主が そして–その–栄光が あなたの–上に 現れる
H3588 H2009 H2822 H3680 H0776 H6205 H3816 H2224 H3068 H3519 H5921 H7200

見よ、暗きは地をおおい、やみはもろもろの民をおおう。しかし、あなたの上には主が朝日のごとくのぼられ、主の栄光があなたの上にあらわれる。

3 וְהָלְכוּ גוֹיִם לְאוֹרֵךְ וּמְלָכִים לְנֹגַהּ זַרְחֵךְ׃
そして–歩む 諸国の–民が あなたの–光に そして–王たちが 輝きに あなたの–曙の
H1980 H1471 H0216 H4428 H5051 H2225

もろもろの国は、あなたの光に来、もろもろの王は、のぼるあなたの輝きに来る。

4 שְׂאִי־ סָבִיב וְרְאִי כֻלָּם נִקְבְּצוּ בָאוּ־ לָךְ
上げよ 周りに そして–見よ 皆 集まった 来た あなたに
H5375 H5439 H7200 H3605 H6908 H0935

בָּנַיִךְ מֵרָחוֹק יָבֹאוּ וּבְנוֹתַיִךְ עַל־ צַד תֵּאָמַנָה׃
あなたの–息子たちは 遠くから 来る そして–あなたの–娘たちは 〜の–上で 腕の 養われる
H1121 H7350 H0935 H1323 H5921 H6654 H0539

あなたの目をあげて見まわせ、彼らはみな集まってあなたに来る。あなたの子らは遠くから来、あなたの娘らは、かいなにいだかれて来る。

5

אָז תִּרְאִי וְנָהַרְתְּ וּפָחַד וְרָחַב לְבָבֵךְ כִּי־יֶהָפֵךְ
その–時 見る そして–輝く そして–恐れ そして–広がる あなたの–心は なぜなら 向きを–変える
H7200 H6342 H7337 H3824 H2015

עָלַיִךְ הֲמוֹן יָם חֵיל גּוֹיִם יָבֹאוּ לָךְ׃
あなたに 富が 海の 財が 諸国の–民の 来る あなたに
H0935 H2428 H3220

その時あなたは見て、喜びに輝き、あなたの心はどよめき、かつ喜ぶ。海の富が移ってあなたに来、もろもろの国の宝が、あなたに来るからである。

6

שִׁפְעַת גְּמַלִּים תְּכַסֵּךְ בִּכְרֵי מִדְיָן וְעֵיפָה כֻּלָּם מִשְּׁבָא יָבֹאוּ
群れが らくだの 覆う 若い–らくだが ミディアンの そして–エファの 皆 シェバから 来る
H8229 H1581 H3680 H1070 H4080 H5891 H3605 H7614 H0935

זָהָב וּלְבוֹנָה תִּשֶּׂאנָה וְתְהִלֹּת יְהוָה יְבַשֵּׂרוּ׃
金と そして–乳香を 運ぶ そして–賛美を 主の 告げる
H2091 H3828 H5375 H8416 H3068 H1319

多くのらくだ、ミデアンおよびエパの若きらくだはあなたをおおい、シバの人々はみな黄金、乳香を携えてきて、主の誉を宣べ伝える。

7

כָּל־צֹאן קֵדָר יִקָּבְצוּ לָךְ אֵילֵי נְבָיוֹת יְשָׁרְתוּנֵךְ יַעֲלוּ עַל־
すべての 羊は ケダルの 集まる あなたに 雄羊は ネバヨトの 仕える 上る ～の–上に
H3605 H6629 H6938 H6908 H0000 H0352 H5032 H8334 H5927 H5921

רָצוֹן מִזְבְּחִי וּבֵית תִּפְאַרְתִּי אַפְאִר׃
喜びを–もって わが–祭壇の そして–家を わが–栄光の 輝かせる
H7522 H4196 H1004 H8597 H6286

ケダルの羊の群れはみなあなたに集まって来、ネバヨテの雄羊はあなたに仕え、わが祭壇の上にのぼって受けいれられる。こうして、わたしはわが栄光の家を輝かす。

8

מִי־אֵלֶּה כָּעָב תָּעוּפֶינָה וְכַיּוֹנִים אֶל־אֲרֻבֹּתֵיהֶם׃
誰か これらは 雲の–ように 飛ぶ そして–鳩の–ように ～へ その–巣穴に
H4310 H0428 H5645 H6686 H3123 H0413 H0699

雲のように飛び、はとがその小屋に飛び帰るようにして来る者はだれか。

9

כִּי־לִי אִיִּים וְאָנִיּוֹת תַּרְשִׁישׁ בָּרִאשֹׁנָה לְהָבִיא
なぜなら わたしに 島々は 望みを–置く そして–船は タルシシの 初めに 運ぶ–ために
H0000 H0000 H0339 H6960 H0000 H8659 H7223 H0935

בְּנֵיהֶם אִתָּם וְזָהָבָם לְשֵׁם יְהוָה אֱלֹהֶיךָ וְלִקְדוֹשׁ
あなたの–息子たちを 遠くから その–銀と そして–その–金を 共に 名の–ために 主の
H1121 H7350 H3701 H2091 H0854 H8034 H3068 H0430 H6918

יִשְׂרָאֵל כִּי פֵאֲרֶךָ׃
イスラエルの なぜなら あなたを–輝かせた
H3478 H3588 H6286

海沿いの国々はわたしを待ち望み、タルシシの船はいや先にあなたの子らを遠くから載せて来、また彼らの金銀を共に載せて来て、あなたの神、主の名にささげ、イスラエルの聖者にささげる。主があなたを輝かされたからである。

10

וּבָנוּ בְנֵי־נֵכָר וּמַלְכֵיהֶם יְשָׁרְתוּנֵךְ כִּי בְקִצְפִּי הִכִּיתִיךְ
そして–建てる 子らが 異邦人の あなたの–城壁を そして–その–王たちが 仕える なぜなら
H1129 H1121 H5236 H2346 H4428 H8334 H3588

וּבְרְצוֹנִי רִחַמְתִּיךְ׃
しかし–恩寵の–中で 打った 怒りの–中で
H7522 H7355 H5221

異邦人はあなたの城壁を築き、彼らの王たちはあなたに仕える。わたしは怒りをもってあなたを打ったけれども、また恵みをもってあなたをあわれんだからである。

11

לְהָבִיא	יִסָּגְרוּ	לֹא	וְלַיְלָה	יוֹמָם	תָּמִיד	שְׁעָרָיִךְ	וּפְתֻחוּ
運ぶ–ために	閉じられない	ない	そして–夜も	昼も	絶えず	あなたの–門は	そして–開かれる
H0935	H5462	H3808	H3915	H3119	H8548	H8179	

נְהוּגִים׃	וּמַלְכֵיהֶם	גּוֹיִם	חֵיל	אֵלַיִךְ
導かれて	そして–その–王たちが	諸国の–民の	財を	あなたに
	H4428		H2428	H0413

あなたの門は常に開いて、昼も夜も閉ざすことはない。これは人々が国々の宝をあなたに携えて来、その王たちを率いて来るためである。

12

וְהַגּוֹיִם	יֹאבֵדוּ	יַעַבְדוּךְ	לֹא־	אֲשֶׁר	וְהַמַּמְלָכָה	הַגּוֹי	כִּי־
そして–諸国の–民は	滅びる	仕えない–ものは	ない	～する–もの	そして–王国は	国と	なぜなら
	H0006	H5647	H3808		H4467		

יֶחֱרָבוּ׃	חָרֹב
荒れ–果てる	全く

あなたに仕えない国と民とは滅び、その国々は全く荒れすたれる。

13

מְקוֹם	לְפָאֵר	יַחְדָּו	וּתְאַשּׁוּר	תִּדְהָר	בְּרוֹשׁ	יָבוֹא	אֵלַיִךְ	הַלְּבָנוֹן	כְּבוֹד
場所を	輝かす–ために	共に	そして–柏が	檜と	糸杉と	来る	あなたに	レバノンの	栄光が
H4725				H8410	H1265	H0935	H0413	H3844	H3519

אֲכַבֵּד׃	רַגְלַי	וּמְקוֹם	מִקְדָּשִׁי
尊く–する	わが–足の	そして–場所を	わが–聖所の
H3513	H7272	H4725	H4720

レバノンの栄えはあなたに来、いとすぎ、すずかけ、まつは皆共に来て、わが聖所をかざる。またわたしはわが足をおく所を尊くする。

14

עַל־	וְהִשְׁתַּחֲווּ	מְעַנַּיִךְ	בְּנֵי	שְׁחוֹחַ	אֵלַיִךְ	וְהָלְכוּ	
～の–上に	そして–ひれ伏す	あなたを–苦しめた–者の	子らが	身を–かがめて	あなたに	そして–来る	
	H7812			H7817	H0413	H1980	

יְהוָה	עִיר	לָךְ	וְקָרְאוּ	מְנַאֲצַיִךְ	כֹּל־	רַגְלַיִךְ	כַּפּוֹת	
主の	都と	あなたを	そして–呼ぶ	あなたを–侮った–者は	すべての	あなたの–足の	足の–裏に	
H3068			H7121	H5006	H3605	H7272	H3709	

יִשְׂרָאֵל׃	קְדוֹשׁ	צִיּוֹן
イスラエルの	聖なる–方の	シオンと
H3478	H6918	H6726

あなたを苦しめた者の子らは、かがんで、あなたのもとに来、あなたをさげすんだ者は、ことごとくあなたの足もとに伏し、あなたを主の都、イスラエルの聖者のシオンととなえる。

15

עוֹבֵר	וְאֵין	וּשְׂנוּאָה	עֲזוּבָה	הָיוֹתֵךְ	תָּחַת	
通る–者が–あった	そして–ない	そして–憎まれ	捨てられ	あなたが–であった	～の–代わりに	
	H0369	H8130		H1961	H8478	

וָדוֹר׃	דּוֹר	מָשׂוֹשׂ	עוֹלָם	לְגָאוֹן	וְשַׂמְתִּיךְ
代々の	代々の	喜びと	永遠の	誇りと	そして–わたしは–する
H1755	H1755	H4885	H5769	H1347	

あなたは捨てられ、憎まれて、その中を過ぎる者もなかったが、わたしはあなたを、とこしえの誇、世々の喜びとする。

16

וְיָנַקְתְּ	חֲלֶב	גּוֹיִם	וְשַׁד	מְלָכִים	תִּינָקִי	וְיָדַעַתְּ	כִּי	אֲנִי
そして–吸う	乳を	諸国の–民の	そして–胸を	王たちの	吸う	そして–知る	なぜなら	わたしが
H3243	H2461			H4428	H3243	H3045		H0589

יְהוָה	מוֹשִׁיעֵךְ	וְגֹאֲלֵךְ	אֲבִיר	יַעֲקֹב׃
主で–ある	あなたの–救い主	そして–あなたの–贖い主	力ある–方	ヤコブの
H3068	H3467		H0046	H3290

あなたはまた、もろもろの国の乳を吸い、王たちの乳ぶさを吸い、そして主なるわたしが、あなたの救主、また、あなたのあがない主、ヤコブの全能者であることを知るにいたる。

17

כֶּסֶף	אָבִיא	הַבַּרְזֶל	וְתַחַת	זָהָב	אָבִיא	הַנְּחֹשֶׁת	תַּחַת
銀を	もたらす	鉄の	そして–〜の–代わりに	金を	もたらす	青銅の	〜の–代わりに
H3701	H0935	H1270	H8478	H2091	H0935		H8478

וְשַׂמְתִּי	בַרְזֶל	הָאֲבָנִים	וְתַחַת	נְחֹשֶׁת	הָעֵצִים	וְתַחַת	
そして–置く	鉄を	石の	そして–〜の–代わりに	青銅を	木の	そして–〜の–代わりに	
	H1270	H0068	H8478		H6086	H8478	

צְדָקָה׃	וְנֹגְשַׂיִךְ	שָׁלוֹם	פְּקֻדָתֵךְ	
義を	そして–あなたの–納める–者と–して	平和を	あなたの–監督と–して	
H6666	H5065	H7965	H6486	

わたしは青銅の代りに黄金を携え、くろがねの代りにしろがねを携え、木の代りに青銅を、石の代りに鉄を携えてきて、あなたのまつりごとを平和にし、あなたのつかさびとを正しくする。

18

בִּגְבוּלֵךְ	וָשֶׁבֶר	שֹׁד	בְּאַרְצֵךְ	חָמָס	עוֹד	יִשָּׁמַע	לֹא־
あなたの–境界に	そして–荒廃も	破壊も	あなたの–地に	暴力は	もはや	聞かれない	ない
H1366	H7667	H7701	H0776	H2555	H5750	H8085	H3808

תְּהִלָּה׃	וּשְׁעָרַיִךְ	חוֹמֹתַיִךְ	יְשׁוּעָה	וְקָרָאת
賛美と	そして–あなたの–門を	あなたの–城壁を	救いと	そして–呼ぶ
H8416	H8179	H2346	H3444	H7121

暴虐は、もはやあなたの地に聞かれず、荒廃と滅亡は、もはやあなたの境のうちに聞かれず、あなたはその城壁を「救」ととなえ、その門を「誉」ととなえる。

19

הַיָּרֵחַ	וּלְנֹגַהּ	יוֹמָם	לְאוֹר	הַשֶּׁמֶשׁ	עוֹד	לָךְ	יְהִיֶה־	לֹא־
月が	そして–輝きの–ために	昼の	光の–ための	太陽が	もはや	あなたに	ある–ことは	ない
H3394	H5051	H3119	H0216	H8121	H5750		H1961	H3808

וֵאלֹהַיִךְ	עוֹלָם	לְאוֹר	יְהוָה	לָךְ	וְהָיָה־	לָךְ	יָאִיר	לֹא־
そして–あなたの–神が	永遠の	光に	主が	あなたに	そして–なる	あなたに	照らさない	ない
H0430	H5769	H0216	H3068		H1961		H0215	H3808

לְתִפְאַרְתֵּךְ׃
あなたの–輝きに
H8597

昼は、もはや太陽があなたの光とならず、夜も月が輝いてあなたを照さず、主はとこしえにあなたの光となり、あなたの神はあなたの栄えとなられる。

20

יְהוָה	כִּי	יֵאָסֵף	לֹא	וִירֵחֵךְ	שִׁמְשֵׁךְ	עוֹד	יָבוֹא	לֹא־
主が	なぜなら	隠れない	ない	そして–あなたの–月は	あなたの–太陽は	もはや	沈まない	ない
H3068		H0622	H3808	H3391	H8121	H5750	H0935	H3808

אֶבְלֵךְ׃	יְמֵי	וְשָׁלְמוּ	עוֹלָם	לְאוֹר	לָךְ	יְהִיֶה־	
あなたの–嘆きの	日々は	そして–終わる	永遠の	光に	あなたに	なる	
H0060	H3117		H5769	H0216		H1961	

あなたの太陽は再び没せず、あなたの月はかけることがない。主がとこしえにあなたの光となり、あなたの悲しみの日が終るからである。

21	וְעַמֵּךְ	כֻּלָּם	צַדִּיקִים	לְעוֹלָם	יִירְשׁוּ	אֶרֶץ	נֵצֶר	]מטעו[
	そして–あなたの–民は	皆	義人で–ある	永遠に	受け–継ぐ	地を	若枝で–ある	[異読]
	H5971	H3605	H6662	H5769	H3423	H0776	H5342	H4302

מַטָּעַי(	מַעֲשֵׂה	יָדַי	לְהִתְפָּאֵר׃	
わが–植えた–もの	わざで–ある	わが–手の	輝かす–ための	
H4302	H4639	H3027		

あなたの民はことごとく正しい者となって、とこしえに地を所有する。彼らはわたしの植えた若枝、わが手のわざ、わが栄光をあらわすものとなる。

22	הַקָּטֹן	לָאֶלֶף	וְהַצָּעִיר	לְגוֹי	עָצוּם	אֲנִי	יְהוָה	בְּעִתָּהּ
	小さき–者が	千と	そして–若き–者が	国と	強き	わたしは	主で–ある	その–時に
	H1961	H0505	H6810		H6099	H0589	H3068	H6256

אֲחִישֶׁנָּה׃	ס	
急がせる	[区切り]	

その最も小さい者は氏族となり、その最も弱い者は強い国となる。わたしは主である。その時がくるならば、すみやかにこの事をなす。

Chapter 61

1	רוּחַ	אֲדֹנָי	יְהוִה	עָלָי	יַעַן	מָשַׁח	יְהוָה	אֹתִי	לְבַשֵּׂר
	霊が	主なる	主の	わが–上に–ある	なぜなら	油–注いだ	主が	わたしに	告げる–ために
	H7307	H0136	H3069		H3282	H4886	H3068	H0853	H1319

לְקָרֹא	לִּב	לְנִשְׁבְּרֵי־	לַחֲבֹשׁ	שְׁלָחַנִי	עֲנָוִים	
宣言する–ために	心	心–砕けた–者を	繋ぐ–ために	遣わした	買しき–者に–良き–知らせを	
H7121		H7665	H2280	H7971	H6035	

קוֹחַ׃	פְּקַח־	וְלַאֲסוּרִים	דְּרוֹר	לִשְׁבוּיִם
解放を	開く–ことを	そして–縛られた–者に	解放を	捕われた–者に
H6495	H6495	H0631	H1865	H7617

主なる神の霊がわたしに臨んだ。これは主がわたしに油を注いで、貧しい者に福音を宣べ伝えることをゆだね、わたしをつかわして心のいためる者をいやし、捕われ人に放免を告げ、縛られている者に解放を告げ、

2	לִקְרָא	שְׁנַת־	רָצוֹן	לַיהוָה	וְיוֹם	נָקָם	לֵאלֹהֵינוּ	לְנַחֵם
	宣言する–ために	年を	恩寵の	主の	そして–日を	復讐の	われらの–神の	慰める–ために
	H7121	H8141	H7522	H3068	H3117	H5359	H0430	H5162

אֲבֵלִים׃	כָּל־	
嘆く–者を	すべての	
H0057	H3605	

主の恵みの年とわれわれの神の報復の日とを告げさせ、また、すべての悲しむ者を慰め、

3

שֶׁמֶן	אֵפֶר	תַּחַת	פְּאֵר	לָהֶם	לָתֵת	צִיּוֹן	לַאֲבֵלֵי	וְלָשׂוּם
油を	灰の	～の-代わりに	飾りを	彼らに	与える-ために	シオンの	嘆く-者に	置く-ために
H8081	H0665	H8478	H6287		H5414	H6726	H0057	

וְקָרָא	כֵּהָה	רוּחַ	תָּחַת	תְּהִלָּה	מַעֲטֵה	אֵבֶל	תַּחַת	שָׂשׂוֹן
そして-呼ばれる	衰えた	霊の	～の-代わりに	賛美の	衣を	嘆きの	～の-代わりに	喜びの
H7121	H3544	H7307	H8478	H8416	H4594	H0060	H8478	H8342

לְהִתְפָּאֵר׃	יְהוָה	מַטַּע	הַצֶּדֶק	אֵילֵי	לָהֶם
輝かす-ための	主の	植えた-もの	義の	樫と	彼らは
	H3068	H4302	H6664		

シオンの中の悲しむ者に喜びを与え、灰にかえて冠を与え、悲しみにかえて喜びの油を与え、憂いの心にかえて、さんびの衣を与えさせるためである。こうして、彼らは義のかしの木ととなえられ、主がその栄光をあらわすために植えられた者ととなえられる。

4

עָרֵי	וְחִדְּשׁוּ	יְקוֹמֲמוּ	רִאשֹׁנִים	שִׁמְמוֹת	עוֹלָם	חָרְבוֹת	וּבָנוּ
町々を	そして-新しく-する	復興する	古きの	荒れ地を	昔からの	廃墟を	そして-建てる
	H2318		H7223	H8074	H5769	H2723	H1129

וָדוֹר׃	דּוֹר	שִׁמְמוֹת	חָרֵב
代々の	代々の	荒れ地を	荒れた
H1755	H1755	H8074	

彼らはいにしえの荒れた所を建てなおし、さきに荒れすたれた所を興し、荒れた町々を新たにし、世々すたれた所を再び建てる。

5

נֵכָר	וּבְנֵי	צֹאנְכֶם	וְרָעוּ	זָרִים	וְעָמְדוּ
異邦人の	そして-子らが	あなたがたの-羊を	そして-飼う	異邦人が	そして-立つ
H5236		H6629			H5975

וְכֹרְמֵיכֶם׃	אִכָּרֵיכֶם
そして-あなたがたの-ぶどう-作りと-なる	あなたがたの-農夫と
H3755	H0406

外国人は立ってあなたがたの群れを飼い、異邦人はあなたがたの畑を耕す者となり、ぶどうを作る者となる。

6

לָכֶם	יֵאָמֵר	אֱלֹהֵינוּ	מְשָׁרְתֵי	תִקָּרְאוּ	יְהוָה	כֹּהֲנֵי	וְאַתֶּם	
あなたがたに	言われる	われらの-神の	仕える-者と	呼ばれる	主の	祈司と	そして-あなたがたは	
	H0559	H0430	H8334	H7121	H3068	H3548		

תִּתְיַמָּרוּ׃	וּבִכְבוֹדָם	תֹּאכֵלוּ	גּוֹיִם	חֵיל
誇る	そして-その-栄光の-中で	食べる	諸国の-民の	財を
H3235	H3519	H0398		H2428

しかし、あなたがたは主の祭司ととなえられ、われわれの神の役者と呼ばれ、もろもろの国の富を食べ、彼らの宝を得て喜ぶ。

7

חֶלְקָם	יָרֹנּוּ	וּכְלִמָּה	מִשְׁנֶה	בָּשְׁתְּכֶם	תָּחַת			
その-分を	歌う	そして-侮辱の-代わりに	二倍の-ものが-ある	あなたがたの-恥の	～の-代わりに			
		H3639	H4932	H1322	H8478			

לָהֶם׃	תִּהְיֶה	עוֹלָם	שִׂמְחַת	יִירָשׁוּ	מִשְׁנֶה	בְּאַרְצָם	לָכֵן
彼らに	ある	永遠の	喜びが	受け-継ぐ	二倍の-ものを	その-地に-おいて	それゆえ
	H1961	H5769	H8057	H3423	H4932	H0776	

あなたがたは、さきに受けた恥にかえて、二倍の賜物を受け、はずかしめにかえて、その嗣業を得て楽しむ。それゆえ、あなたがたはその地にあって、二倍の賜物を獲、とこしえの喜びを得る。

8

וְנָתַתִּי	בְּעוֹלָה	גָזֵל	שֹׂנֵא	מִשְׁפָּט	אֹהֵב	יְהוָה	אֲנִי	כִּי
そして–与える	不正に–よる	略奪を	憎む–者	公義を	愛する–者	主で–ある	わたしは	なぜなら
H5414		H1498	H8130	H4941	H0157	H3068	H0589	

לָהֶם׃	אֶכְרֹות	עוֹלָם	וּבְרִית	בֶּאֱמֶת	פְּעֻלָתָם	
彼らと	結ぶ	永遠の	そして–契約を	真実に	その–報いを	
	H3772	H5769	H1285	H0571	H6468	

主なるわたしは公平を愛し、強奪と邪悪を憎み、真実をもって彼らに報いを与え、彼らと、とこしえの契約を結ぶからである。

9

הָעַמִּים	בְּתוֹךְ	וְצֶאֱצָאֵיהֶם	זַרְעָם	בַּגּוֹיִם	וְנוֹדַע			
諸国の–民の	～の–中で	そして–その–子らの–子らは	その–子孫は	諸国の–民の–中で	そして–知られる			
	H8432	H6631	H2233		H3045			

ס	יְהוָה׃	בֵּרַךְ	זֶרַע	הֵם	כִּי	יַכִּירוּם	רֹאֵיהֶם	כָּל־
[区切り]	主が	祝福した–もの	子孫で–ある	彼らは	なぜなら	認める	見る–者は	すべての
	H3068	H1288	H2233	H1992			H7200	H3605

彼らの子孫は、もろもろの国の中で知られ、彼らの子らは、もろもろの民の中に知られる。すべてこれを見る者はこれが主の祝福された民であることを認める。

10

בִּגְדֵי־	הִלְבִּישַׁנִי	כִּי	בֵאלֹהַי	נַפְשִׁי	תָּגֵל	בַּיהוָה	אָשׂושׂ	שׂושׂ	
衣を	着せた	なぜなら	わが–神に–あって	わが–魂は	踊る	主に–あって	喜ぶ	大いに	
	H3847		H0430	H5315	H1523	H3068	H7797	H7797	

תַּעְדֶּה	וְכַכַלָּה	פְּאֵר	יְכַהֵן	כֶּחָתָן	יְעָטֵנִי	צְדָקָה	מְעִיל	יְשׁוּעָה	
装う	そして–花嫁の–ように	飾りを	飾る	花婿の–ように	纏った	義の	外套を	救いの	
	H3618	H6287	H3547	H2860	H3271	H6666	H4598	H3468	

כֵּלֶיהָ׃
その–宝石を
H3627

わたしは主を大いに喜び、わが魂はわが神を楽しむ。主がわたしに救の衣を着せ、義の上衣をまとわせて、花婿が冠をいただき、花嫁が宝玉をもって飾るようにされたからである。

11

תַצְמִיחַ	זֶרוּעֶיהָ	וּכְגִנָּה	צִמְחָהּ	תּוֹצִיא	כָּאָרֶץ	כִּי		
芽生え–させる	その–種を	そして–園の–ように	その–芽を	生み–出す	地の–ように	なぜなら		
H6779	H2221	H1593	H6780	H3318	H0776			

הַגּוֹיִם׃	כָּל־	נֶגֶד	וּתְהִלָּה	וְצֶדָקָה	יַצְמִיחַ	יְהוִה	אֲדֹנָי	כֵּן
諸国の–民の	すべての	前で	そして–賛美を	義と	芽生え–させる	主は	主なる	そのように
	H3605	H5048	H8416	H6666	H6779	H3069	H0136	

地が芽をいだし、園がまいたものを生やすように、主なる神は義と誉とを、もろもろの国の前に、生やされる。

Chapter 62

1

עַד־	אֶשְׁקוֹט	לֹא	יְרוּשָׁלַם	וּלְמַעַן	אֶחֱשֶׁה	לֹא	צִיּוֹן	לְמַעַן	
～まで	休む	しない	エルサレム	そして–～の–ために	黙る	しない	シオン	～の–ために	
H5704	H8252	H3808	H3389	H4616	H2814	H3808	H6726	H4616	

יִבְעָר׃	כְּלַפִּיד	וִישׁוּעָתָהּ	צִדְקָהּ	כַּנֹגַהּ	יֵצֵא	
燃える	たいまつ–の–ように	そして–その–救い	その–義が	輝き–の–ように	出る	
	H3940	H3444	H6664	H5051	H3318	

シオンの義が朝日の輝きのようにあらわれいで、エルサレムの救が燃えるたいまつの様になるまで、わたしはシオンのために黙せず、エルサレムのために休まない。

2 וְרָאוּ גוֹיִם צִדְקֶךָ וְכָל־מְלָכִים כְּבוֹדֶךָ
そして–見る 諸国の–民は あなたの–義を そして–すべての 王たちは あなたの–栄光を
H7200 H1471 H6664 H3605 H4428 H3519

וְקָרָא לְךָ שֵׁם חָדָשׁ אֲשֶׁר פִּי יְהוָה יִקְּבֶנּוּ׃
そして–呼ばれる あなたに 名が 新しい それは 口が 主の 名づける
H7121 H0000 H8034 H2319 H0834 H6310 H3068 H5344

もろもろの国はあなたの義を見、もろもろの王は皆あなたの栄えを見る。そして、あなたは主の口が定められる新しい名をもってとなえられる。

3 וְהָיִית עֲטֶרֶת תִּפְאֶרֶת בְּיַד־יְהוָה וְצָנִיף]וצנוף[מְלוּכָה)וצניף(
そして–なる 冠 栄え–の 手–に 主の そして–頭巾 （そして–頭飾り） 王の
H1961 H5850 H8597 H3027 H3068 H6801 H6797 H4410

בְּכַף־אֱלֹהָיִךְ׃
手のひら–に あなたの–神の
H3709 H0430

また、あなたは主の手にある麗しい冠となり、あなたの神の手にある王の冠となる。

4 לֹא־יֵאָמֵר לָךְ עוֹד עֲזוּבָה וּלְאַרְצֵךְ לֹא־יֵאָמֵר עוֹד שְׁמָמָה כִּי לָךְ יִקָּרֵא חֶפְצִי־בָהּ וּלְאַרְצֵךְ בְּעוּלָה כִּי־חָפֵץ יְהוָה בָּךְ וְאַרְצֵךְ תִּבָּעֵל׃
もはや 言われない 言われない もはや 呼ばれない
H3808 H0559 H0559 H3808

もうあなたに 見捨てられた–者と そして–あなたの–地は
H5750 H0776

なぜなら 荒れ地と もう
H3588 H8077 H5750

あなたは 呼ばれる 主が–喜び–の ある–者と そして–あなたの–地は
H0859 H7121 H2657 H2657 H1961 H0776

なぜなら 嫁いだ–者と 主は 喜ぶ なぜなら あなたを そして–あなたの–地は めとられる
H3588 H1166 H3068 H2654 H3588 H0859 H0776 H1166

あなたはもはや「捨てられた者」と言われず、あなたの地はもはや「荒れた者」と言われず、あなたは「わが喜びは彼女にある」ととなえられ、あなたの地は「配偶ある者」ととなえられる。主はあなたを喜ばれ、あなたの地は配偶を得るからである。

5 כִּי־יִבְעַל בָּחוּר בְּתוּלָה יִבְעָלוּךְ בָּנָיִךְ וּמְשׂוֹשׂ חָתָן עַל־כַּלָּה יָשִׂישׂ עָלַיִךְ אֱלֹהָיִךְ׃
なぜなら めとる 若者が おとめを めとる あなたの–子らが そして–喜び 花婿の ～の–上に 花嫁を 喜ぶ あなたの–上に あなたの–神は
H3588 H1166 H0970 H1330 H1166 H1121 H4885 H2860 H5921 H3618 H7797 H5921 H0430

若い者が処女をめとるようにあなたの子らはあなたをめとり、花婿が花嫁を喜ぶようにあなたの神はあなたを喜ばれる。

6 עַל־חוֹמֹתַיִךְ יְרוּשָׁלַ͏ִם הִפְקַדְתִּי שֹׁמְרִים כָּל־הַיּוֹם וְכָל־הַלָּיְלָה תָּמִיד לֹא יֶחֱשׁוּ הַמַּזְכִּרִים יְהוָה אַל־דֳּמִי לָכֶם׃
～の–上に あなたの–城壁に エルサレムよ わたしは–立てた 見張りの–者たちを すべての 昼も
H5921 H2346 H3389 H6485 H8104 H3605 H3117

そして–すべての 夜も 絶えず 決して 黙らない 主を–思い起こす–者たちよ 主を （対象）
H3605 H3915 H8548 H3808 H2814 H2142 H3068 H0853

あなたがたに 沈黙を してはならない
H3588 H1824 H0408

エルサレムよ、わたしはあなたの城壁の上に見張人をおいて、昼も夜もたえず、もだすことのないようにしよう。主に思い出されることを求める者よ、みずから休んではならない。

יָשִׂים	וְעַד־	יְכוֹנֵן	עַד־	לָ֙ו	דֳּמִי	תִתְּנוּ	וְאַל־	7
置く	そして-〜まで	堅く-立てる	〜まで	主に	沈黙を	与えるな	そして-してはならない	
	H5704		H5704		H1824	H5414	H0408	

בָּאָרֶץ׃	תְּהִלָּה	יְרוּשָׁלַ֙͏ִם	אֶת־
地に-おいて	賛美と	エルサレムを	（対象）
H0776	H8416	H3389	H0853

主がエルサレムを堅く立てて、全地に誉を得させられるまで、お休みにならぬようにせよ。

אֶתֵּן	אִם־	עֵ֚וז	וּבִזְרוֹעַ	בִּימִינ֔וֹ	יְהוָה	נִשְׁבַּ֥ע		8
わたしが-与えるなら	もし	力-の	そして-腕に-かけて	ご自分の-右手に-かけて	主は	誓った		
H5414		H5797	H2220	H3225	H3068	H7650		

בְּנֵי־	יִשְׁתּ֖וּ	וְאִם־	לְאֹיְבַ֑יִךְ	מַאֲכָלֵ֙	עוֹד	דְּגָנֵ֔ךְ	אֶת־	
〜の-子ら	飲むなら	そして-もし	あなたの-敵に	食物-として	再び	あなたの-穀物を	（対象）	
H8354			H0341	H3978	H5750	H1715	H0853	

בּֽוֹ׃	יָגַעַתְּ	אֲשֶׁר	תִּירוֹשֵׁ֖ךְ	נֵכָ֥ר
それの-ために	あなたが-労した	それは	あなたの-新しい-ぶどう酒を	異国-の
	H3021		H8492	H5236

主はその右の手をさし、大能のかいなをさして誓われた、「わたしは再びあなたの穀物をあなたの敵に与えて食べさせない。また、あなたが労して得たぶどう酒を異邦人に与えて飲ませない。

יְהוָה	אֶת־	וְהַלְלָ֖יו	יֹאכְלֶ֑הוּ	מְאַסְפָ֣יו	כִּי		9
主を	（対象）	そして-賛美する	それを-食べ	それを-集めた-者たちが	なぜなら		
H3068	H0853		H0398	H0622			

ס	קָדְשִׁ֔י׃	בְּחַצְרוֹת	יִשְׁתֻּ֖הוּ	וּמְקַבְּצָ֑יו	
—	わが-聖所の	〜の-庭-で	それを-飲む	そして-それを-集めた-者たちが	
	H6944		H8354	H6908	

しかし、穀物を刈り入れた者はこれを食べて主をほめたたえ、ぶどうを集めた者はわが聖所の庭でこれを飲む」。

הָרִ֖ימוּ	מֵאֶ֣בֶן	סַקְל֑וּ	הַמְסִלָּ֙ה֙	סֹ֚לּוּ	סֹ֔לּוּ	הָעָ֖ם	דֶּ֣רֶךְ	פַּנּ֔וּ	בַּשְּׁעָרִ֖ים	עִבְר֣וּ	עִבְר֔וּ	10
掲げよ	石を	取り除け	大路を	築け	築け	民-の	道を	備えよ	門を	通れ	通れ	
	H0068	H5619	H4546	H5549	H5549		H1870	H6437	H8179			

הָעַמִּֽים׃	עַל־	נֵ֖ס	
もろもろの-民の	〜の-上に	旗を	
		H5251	

門を通って行け、通って行け。民の道を備えよ。土を盛り、土を盛って大路を設けよ。石を取りのけ。もろもろの民の上に旗をあげよ。

הִנֵּ֣ה	צִיּ֑וֹן	לְבַת־	אִמְר֣וּ	הָאָ֔רֶץ	קְצֵ֖ה	אֶל־	הִשְׁמִ֣יעַ	יְהוָ֔ה	הִנֵּ֖ה	11
見よ	シオンの	〜の-娘-に	言え	地の	果て-の	〜に	告げた	主は	見よ	
H2009	H6726	H1323	H0559	H0776		H0413	H8085	H3068	H2009	

לִפְנָֽיו׃	וּפְעֻלָּתֹ֖ו	אִתּ֑וֹ	שְׂכָרֹ֔ו	הִנֵּ֖ה	בָּ֣א	יִשְׁעֶֽךָ
主の-前に	そして-その-報酬は	主と-共に	その-報いは	見よ	来る	あなたの-救いが
H6440	H6468	H0854	H7939	H2009	H0935	H3468

見よ、主は地の果にまで告げて言われた、「シオンの娘に言え、『見よ、あなたの救は来る。見よ、その報いは主と共にあり、その働きの報いは、その前にある』と。

12 וְקָרְאוּ לָהֶם עַם־הַקֹּדֶשׁ גְּאוּלֵי יְהוָה וְלָךְ יִקָּרֵא דְּרוּשָׁה עִיר לֹא נֶעֱזָבָה׃ ס

そして–呼ばれる 彼らは 聖なる ～の–民 贖われた–者たち 主の そして–あなたは 呼ばれる
H7121 H1992 H6944 H3068

慕い–求められる–者 町 決して 見捨てられない —
H1875 H3808

彼らは『聖なる民、主にあがなわれた者』ととなえられ、あなたは『人に尋ね求められる者、捨てられない町』ととなえられる」。

Chapter 63

1 מִי־זֶה בָּא מֵאֱדוֹם חֲמוּץ בְּגָדִים מִבָּצְרָה זֶה הֲדוּר לִבּוּשׁוֹ צֹעֶה בְּרֹב כֹּחוֹ אֲנִי מְדַבֵּר צְדָקָה רַב לְהוֹשִׁיעַ׃

誰が この–者は 来る エドムから 赤く–染まった 衣で ボツラから この–者は 威厳–ある
H4310 H2088 H0935 H0123 H0589 H1696 H6666 H3467

その–装いに 進む ～の–大きな 力–で わたしは 語る–者 義–を–もって 大いなる 救う–ために
H3830 H6808 H7230 H0589 H1696 H6666 H3467

「このエドムから来る者、深紅の衣を着て、ボズラから来る者はだれか。その装いは、はなやかに、大いなる力をもって進み来る者はだれか」。「義をもって語り、救を施す力あるわたしがそれだ」。

2 מַדּוּעַ אָדֹם לִלְבוּשֶׁךָ וּבְגָדֶיךָ כְּדֹרֵךְ בְּגַת׃

なぜ 赤い あなたの–衣は そして–あなたの–着物は 踏む–者–の–ように 酒ぶね–で
H4069 H0120 H3830 H1869 H1660

「何ゆえあなたの装いは赤く、あなたの衣は酒ぶねを踏む者のように赤いのか」。

3 פּוּרָה דָּרַכְתִּי לְבַדִּי וּמֵעַמִּים אֵין־אִישׁ אִתִּי וָאֶדְרְכֵם בְּאַפִּי וָאֶרְמְסֵם בַּחֲמָתִי וָאַזֶּה נִצְחָם עַל־בְּגָדַי וְכָל־מַלְבּוּשַׁי אֶגְאָלְתִּי׃

酒ぶねを ひとりで わたしは–踏んだ そして–もろもろの–民から いない 人は わたしと–共に
H6333 H0905 H1869 H3816 H0369 H0376 H0854

わたしの–憤り–で そして–彼らを–踏みにじった わたしの–怒り–で そして–彼らを–踏みつけた
H2534 H7429 H0639 H1869

わたしの–着物を そして–すべての わたしの–衣に ～の–上に 彼らの–血しぶきが そして–飛び散った
H4403 H3605 H0899 H5332 H5137

汚した
H1351

「わたしはひとりで酒ぶねを踏んだ。もろもろの民のなかに、わたしと事を共にする者はなかった。わたしは怒りによって彼らを踏み、憤りによって彼らを踏みにじったので、彼らの血がわが衣にふりかかり、わが装いをことごとく汚した。

4 כִּי יוֹם נָקָם בְּלִבִּי וּשְׁנַת גְּאוּלַי בָּאָה׃

なぜなら 日が 復讐–の そして–年が わたしの–心–に わたしの–贖い–の 来た
H3117 H5359 H8141 H3820 H1350 H0935

報復の日がわが心のうちにあり、わがあがないの年が来たからである。

5

סוֹמֵךְ	וְאֵין	וְאֶשְׁתּוֹמֵם	עֹזֵר	וְאֵין	וְאַבִּיטָה
支える–者が	しかし–いない	そして–驚いた	助ける–者が	しかし–いない	そして–見回した
H5564	H0369	H8074	H5826	H0369	H5027

סְמָכָתְנִי׃	הִיא	וַתַּחֲמָתִי	זְרֹעִי	לִי	וַתּוֹשַׁע
わたしを–支えた	それが	そして–わたしの–憤りが	わたしの–腕が	わたしを	そこで–救った
H5564	H1931	H2534	H2220		H3467

わたしは見たけれども、助ける者はなく、怪しんだけれども、ささえる者はなかった。それゆえ、わがかいながわたしを勝たせ、わが憤りがわたしをささえた。

6

בַּחֲמָתִי	וַאֲשַׁכְּרֵם	בְּאַפִּי	עַמִּים	וְאָבוּס
わたしの–憤り–で	そして–酔わせた	わたしの–怒り–で	もろもろの–民を	そして–踏みにじった
H2534	H7937	H0639		H0947

ס	נִצְחָם׃	לָאָרֶץ	וְאוֹרִיד
—	彼らの–血–を	地–に	そして–注ぎ–出した
	H5332	H0776	H3381

わたしは怒りによって、もろもろの民を踏みにじり、憤りによって彼らを酔わせ、彼らの血を、地に流れさせた」。

7

אֲשֶׁר־	כֹּל	כְּעַל	יְהוָה	תְּהִלֹּת	אַזְכִּיר	חַסְדֵי יְהוָה
～の	すべて	～に–応じて	主–の	賛美–を	わたしは–思い起こす	主–の　恵み–を
	H3605		H3068	H8416	H2142	H3068

גְּמָלָם	אֲשֶׁר־	יִשְׂרָאֵל	לְבֵית	טוּב	וְרַב־	יְהוָה	גְּמָלָנוּ
施された	～の	イスラエル–の	～の–家–に	善–を	そして–豊かな	主が	施してくださった
H1580		H3478		H2898		H3068	H1580

חֲסָדָיו׃	וּכְרֹב	כְּרַחֲמָיו
恵み–に–よって	そして–豊かな	その–あわれみ–に–よって
	H7230	

わたしは主がわれわれになされたすべてのことによって、主のいつくしみと、主の誉とを語り告げ、また、そのあわれみにより、その多くのいつくしみによって、イスラエルの家に施されたその大いなる恵みを語り告げよう。

8

וַיְהִי	יְשַׁקֶּרוּ	לֹא	בָּנִים	הֵמָּה	עַמִּי	אַךְ־	וַיֹּאמֶר
そして–なられた	偽らない	決して	子ら	彼らは	わたしの–民	まことに	そして–言われた
H1961	H8266	H3808		H1992		H0389	H0559

לְמוֹשִׁיעַ׃	לָהֶם
救い主–と	彼ら–の
H3467	H1992

主は言われた、「まことに彼らはわが民、偽りのない子らである」と。そして主は彼らの救主となられた。

9

פָּנָיו	וּמַלְאַךְ	צָר	(לוֹ)	[לא]	וְצָרָתָם	בְּכָל־
その–御顔–の	そして–御使いが	苦しまれた	（主も）	（ケティブ）	彼らの–苦しみ–に	すべての
H6440	H4397			H3808		H3605

גְּאָלָם	הוּא	וּבְחֶמְלָתוֹ	בְּאַהֲבָתוֹ	הוֹשִׁיעָם
彼らを–贖った	主–ご自身が	そして–その–あわれみ–に–よって	その–愛–と	彼らを–救った
	H1931	H2551	H0160	H3467

עוֹלָם׃	יְמֵי	כָּל־	וַיְנַשְּׂאֵם	וַיְנַטְּלֵם
昔–の	日々	すべての	そして–彼らを–背負った	そして–彼らを–抱き上げた
H5769	H3117	H3605	H5375	H5190

彼らのすべての悩みのとき、主も悩まれて、そのみ前の使をもって彼らを救い、その愛とあわれみとによって彼らをあがない、いにしえの日、つねに彼らをもたげ、彼らを携えられた。

10 וְהֵמָּה מָרוּ וְעִצְּבוּ אֶת־רוּחַ קָדְשׁוֹ וַיֵּהָפֵךְ
וְהֵמָּה しかし–彼らは
H1992
מָרוּ 逆らい
H4784
וְעִצְּבוּ そして–悲しませた
אֶת־ （対象）
H0853
רוּחַ 霊–を
H7307
קָדְשׁוֹ その–聖なる
H6944
וַיֵּהָפֵךְ そこで–変わられた
H2015

לָהֶם לְאוֹיֵב הוּא נִלְחַם־בָּם׃
לָהֶם 彼ら–に–とって
לְאוֹיֵב 敵–と
H0341
הוּא 主–ご自身が
H1931
נִלְחַם־ 戦われた
בָּם׃ 彼ら–と

ところが彼らはそむいてその聖なる霊を憂えさせたので、主はひるがえって彼らの敵となり、みずから彼らと戦われた。

11 וַיִּזְכֹּר יְמֵי־עוֹלָם מֹשֶׁה עַמּוֹ אַיֵּה הַמַּעֲלֵם
וַיִּזְכֹּר そして–思い起こした
H2142
יְמֵי־ 日々–を
H3117
עוֹלָם 昔–の
H5769
מֹשֶׁה モーセ–と
H4872
עַמּוֹ その–民–の
אַיֵּה どこに–おられるのか
H0346
הַמַּעֲלֵם 導き上った–方
H5927

בְּקִרְבּוֹ הַשָּׂם אַיֵּה צֹאנוֹ רֹעֵי אֶת מִיָּם
בְּקִרְבּוֹ 彼ら–の–うち–に
H7130
הַשָּׂם 置かれた–方
אַיֵּה どこに–おられるのか
H0346
צֹאנוֹ その–群れ–の
H6629
רֹעֵי 羊飼い–を
אֶת （対象）
H0854
מִיָּם 海–から
H3220

אֶת־רוּחַ קָדְשׁוֹ׃
אֶת־ （対象）
H0853
רוּחַ 霊–を
H7307
קָדְשׁוֹ׃ その–聖なる
H6944

その時、民はいにしえのモーセの日を思い出して言った、「その群れの牧者を、海から携えあげた者はどこにいるか。彼らの中に聖なる霊をおいた者はどこにいるか。

12 מוֹלִיךְ לִימִין מֹשֶׁה זְרוֹעַ תִּפְאַרְתּוֹ בּוֹקֵעַ מַיִם לַעֲשׂוֹת
מוֹלִיךְ 導かれた
H3212
לִימִין ～の–右–に
H3225
מֹשֶׁה モーセ–の
H4872
זְרוֹעַ 腕–で
H2220
תִּפְאַרְתּוֹ その–輝き–の
H8597
בּוֹקֵעַ 分けた
H1234
מַיִם 水–を
H4325
לַעֲשׂוֹת 造る–ため
H6440

לוֹ שֵׁם עוֹלָם׃
לוֹ ご自分–に
שֵׁם 名–を
H8034
עוֹלָם׃ 永遠–の
H5769

栄光のかいなをモーセの右に行かせ、彼らの前に水を二つに分けて、みずから、とこしえの名をつくり、

13 מוֹלִיכָם בַּתְּהֹמוֹת כַּסּוּס בַּמִּדְבָּר לֹא יִכָּשֵׁלוּ׃
מוֹלִיכָם 導かれた
H3212
בַּתְּהֹמוֹת 深み–の–中–を
H8415
כַּסּוּס 馬–の–ように
בַּמִּדְבָּר 荒野–で
לֹא 決して
H3808
יִכָּשֵׁלוּ׃ つまずかない
H3782

彼らを導いて、馬が野を走るように、つまずくことなく淵を通らせた者はどこにいるか。

14 כַּבְּהֵמָה בַּבִּקְעָה תֵּרֵד רוּחַ יְהוָה תְּנִיחֶנּוּ כֵּן נָהַגְתָּ
כַּבְּהֵמָה 家畜–が
H0929
בַּבִּקְעָה 谷–を
H1237
תֵּרֵד 下る–ように
H3381
רוּחַ 霊–が
H7307
יְהוָה 主–の
H3068
תְּנִיחֶנּוּ 彼らを–休ませた
H5117
כֵּן そのように
נָהַגְתָּ 導かれた

לַעֲשׂוֹת לְךָ שֵׁם תִּפְאָרֶת׃
עַמְּךָ あなたの–民–を
לַעֲשׂוֹת 造る–ため
לְךָ ご自分–に
שֵׁם 名–を
H8034
תִּפְאָרֶת׃ 輝かしい
H8597

谷にくだる家畜のように、主の霊は彼らをいこわせられた。このように、あなたはおのれの民を導いてみずから栄光の名をつくられた」。

15

קָדְשְׁךָ
あなたの–聖なる
H6944

מִזְּבֶל
〜の–住まい–から
H2073

וּרְאֵה
そして–ご覧ください
H7200

מִשָּׁמַיִם
天–から
H8064

הַבֶּט
見おろしてください
H5027

הֲמוֹן
揺れ動き

וּגְבוּרֹתֶיךָ
そして–あなたの–力–は
H1369

קִנְאָתְךָ
あなたの–熱情–は
H7068

אַיֵּה
どこに–ありますか
H0346

וְתִפְאַרְתֶּךָ
そして–輝かしい
H8597

הִתְאַפָּקוּ׃
抑えられている
H0662

אֵלַי
わたし–に
H0413

וְרַחֲמֶיךָ
そして–あなたの–あわれみ–は

מֵעֶיךָ
あなたの–はらわた–の
H4578

どうか、天から見おろし、その聖なる栄光あるすみかからごらんください。あなたの熱心と、大能とはどこにありますか。あなたのせつなる同情とあわれみとはおさえられて、わたしにあらわれません。

16

יְדָעֲנוּ
わたしたちを
H3045

לֹא
知らず
H3808

אַבְרָהָם
アブラハムが
H0085

כִּי
たとえ

אָבִינוּ
わたしたちの–父
H0001

אַתָּה
あなたは

כִּי־
まことに

אָבִינוּ
わたしたちの–父
H0001

יְהוָה
主よ
H3068

אַתָּה
あなたは

יַכִּירָנוּ
わたしたちを

לֹא
知らなくても
H3808

וְיִשְׂרָאֵל
そして–イスラエルが
H3478

שְׁמֶךָ׃
あなたの–名–は
H8034

מֵעוֹלָם
昔–から
H5769

גֹּאֲלֵנוּ
わたしたちの–贖い主

たといアブラハムがわれわれを知らず、イスラエルがわれわれを認めなくても、あなたはわれわれの父です。主よ、あなたはわれわれの父、いにしえからあなたの名はわれわれのあながい主です。

17

לִבֵּנוּ
わたしたちの–心–を

תַּקְשִׁיחַ
かたくなに–される
H7188

מִדְּרָכֶיךָ
あなたの–道–から
H1870

יְהוָה
主よ
H3068

תַּתְעֵנוּ
迷わせるのですか
H8582

לָמָּה
なぜ
H4100

שִׁבְטֵי
部族–を
H7626

עֲבָדֶיךָ
あなたの–しもべたち–の
H5650

לְמַעַן
〜の–ために
H4616

שׁוּב
立ち帰ってください
H7725

מִירָאָתֶךָ
あなたを–畏れること–から
H3374

נַחֲלָתֶךָ׃
あなたの–嗣業–の
H5159

主よ、なぜ、われわれをあなたの道から離れ迷わせ、われわれの心をかたくなにして、あなたを恐れないようにされるのですか。どうぞ、あなたのしもべらのために、あなたの嗣業である部族らのために、お帰りください。

18

בּוֹסְסוּ
踏みにじった
H0947

צָרֵינוּ
わたしたちの–敵が

קָדְשֶׁךָ
あなたの–聖なる
H6944

עַם־
〜の–民が

יָרְשׁוּ
所有した
H3423

לִמְצַעַר
わずかの間
H4705

מִקְדָּשֶׁךָ׃
あなたの–聖所–を
H4720

あなたの聖なる民が、あなたの聖所を獲て間もないのに、われわれのあだは、それを踏みにじりました。

19

נִקְרָא
呼ばれなかった
H7121

לֹא־
決して
H3808

בָּם
彼ら–を

מָשַׁלְתָּ
治められなかった
H4910

לֹא־
決して
H3808

מֵעוֹלָם
昔–から
H5769

הָיִינוּ
わたしたちは–なった
H1961

שִׁמְךָ
あなたの–名–は
H8034

われわれはあなたによって、いにしえから治められない者のようになり、あなたの名をもって、となえられない者のようになりました。

Chapter 64

1 עֲלֵיהֶם לוּא־ קָרַעְתָּ שָׁמַיִם יָרַדְתָּ מִפָּנֶיךָ הָרִים
彼らの–上に どうか 引き裂いてください 天–を 降ってください あなたの–御前–で 山々が
H5921 H3863 H7167 H8064 H3381 H6440 H2022

נָזֹלּוּ׃
溶ける–ように

どうか、あなたが天を裂いて下り、あなたの前に山々が震い動くように。

2 כְּקָדַח אֵשׁ אֵשׁ תְּבַעֶרֶה־ מַיִם יַהֲמֹסִים אֵשׁ שִׁמְךָ
火が–燃やす–ように 火が 水–を 沸かす–ように 火が 知らせる–ために あなたの–名–を
H6919 H0784 H4325 H1158 H2003 H0784 H3045 H8034

לְצָרֶיךָ מִפָּנֶיךָ גּוֹיִם יִרְגָּזוּ׃
あなたの–敵–に あなたの–御前–で 諸国の–民が 震える–ように
H6440 H7264

火が柴木を燃やし、火が水を沸かすときのごとく下られるように。そして、み名をあなたのあだにあらわし、もろもろの国をあなたの前に震えおののかせられるように。

3 בַּעֲשׂוֹתְךָ נוֹרָאוֹת לֹא נְקַוֶּה יָרַדְתָּ
あなたが–行われた–とき 恐るべき–ことを わたしたちが 期待しなかった 降ってこられた
H6213 H3372 H3808 H6960 H3381

מִפָּנֶיךָ הָרִים נָזֹלּוּ׃
あなたの–御前–で 山々が 溶けた
H6440 H2022

あなたは、われわれが期待しなかった恐るべき事をなされた時に下られたので、山々は震い動いた。

4 וּמֵעוֹלָם לֹא־ שָׁמְעוּ לֹא הֶאֱזִינוּ
そして–昔–から 耳に–したことがない 聞いたことがない 聞いたことがない 耳を–傾けたことがない
H5769 H3808 H8085 H3808 H0238

עַיִן לֹא־ רָאָתָה אֱלֹהִים זוּלָתְךָ יַעֲשֶׂה לִמְחַכֵּה־
目が 見たことがない 神–よ あなた–の–ほかに 行う 待ち–望む–者–の–ために
H5869 H3808 H7200 H0430 H2108 H6213 H2442

לוֹ׃
主を

いにしえからこのかた、あなたのほか神を待ち望む者に、このような事を行われた神を聞いたことはなく、耳に入れたこともなく、目に見たこともない。

5

בִּדְרָכֶיךָ	צֶדֶק	וְעֹשֵׂה	שָׂשׂ	אֶת־	פָּגַעְתָּ
あなたの–道–に–おいて	義–を	そして–行う–者を	喜んで	（対象）	迎えてくださった
H1870	H6664		H7797	H0853	H6293

בָּהֶם	וַנֶּחֱטָא		קָצַפְתָּ	אַתָּה	הֵן־	יִזְכְּרֵוךָ
それらの–中–に	そして–わたしたちは–罪を–犯した		怒られた	あなたは	見よ	あなたを–思い出す
	H2398		H7107		H2005	H2142

וְנִוָּשֵׁעַ׃	עוֹלָם
そして–救われるだろうか	永く
H3467	H5769

あなたは喜んで義を行い、あなたの道にあって、あなたを記念する者を迎えられる。見よ、あなたは怒られた、われわれは罪を犯した。われわれは久しく罪のうちにあった。われわれは救われるであろうか。

6

כָּל־	עֲדִים	וּכְבֶגֶד	כֻּלָּנוּ	כַּטָּמֵא	וַנְּהִי	
すべて–の	汚れた	そして–汚れた–衣–の–ように	わたしたち–皆	汚れた–者–の–ように	そして–なった	
H3605	H5708		H3605	H2931	H1961	

וַעֲוֹנֵנוּ	כֻּלָּנוּ	כֶּעָלֶה	וַנִּבֹל	צִדְקֹתֵינוּ
そして–わたしたちの–罪が	わたしたち–皆	木の葉–の–ように	そして–枯れた	わたしたちの–義–は
H5771	H3605	H5929		H6666

יִשָּׂאֻנוּ׃	כָּרוּחַ
わたしたちを–吹き–飛ばす	風–の–ように
H5375	H7307

われわれはみな汚れた人のようになり、われわれの正しい行いは、ことごとく汚れた衣のようである。われわれはみな木の葉のように枯れ、われわれの不義は風のようにわれわれを吹き去る。

7

כִּי־	בָךְ	לְהַחֲזִיק	מִתְעוֹרֵר	בִּשְׁמֶךָ	קוֹרֵא	וְאֵין־
なぜなら	あなた–に	すがる–ために	奴り立つ–者が	あなたの–名–を	呼ぶ–者が	そして–いない
		H2388	H5782	H8034	H7121	H0369

בְּיַד־	וַתְּמוגְגֵנוּ	מִמֶּנּוּ	פָּנֶיךָ	הִסְתָּרְתָּ
～の–手–に–よって	そして–溶かされた	わたしたち–から	あなたの–御顔–を	隠された
H3027	H4127		H6440	H5641

עֲוֹנֵנוּ׃	
わたしたちの–罪–の	
H5771	

あなたの名を呼ぶ者はなく、みずから励んで、あなたによりすがる者はない。あなたはみ顔を隠して、われわれを顧みられず、われわれをおのれの不義の手に渡された。

8

וְאַתָּה	הַחֹמֶר	אֲנַחְנוּ	אָתָּה	אָבִינוּ	יְהוָה	וְעַתָּה	
そして–あなたは	粘土	わたしたちは	あなたは	わたしたちの–父よ	主よ	しかし–今	
		H0587		H0001	H3068	H6258	

כֻּלָּנוּ׃	יָדֶךָ	וּמַעֲשֵׂה	יֹצְרֵנוּ
わたしたち–皆	あなたの–手–の	そして–手–の–わざ	わたしたちの–陶器師
H3605	H3027	H4639	H3335

されど主よ、あなたはわれわれの父です。われわれは粘土であって、あなたは陶器師です。われわれはみな、み手のわざです。

9

לָעַד	וְאַל־	מְאֹד	עַד־	יְהוָה	תִּקְצֹף	אַל־
いつまでも	そして–してはならない	ひどく	～まで	主よ	怒る–ことを	してはならない
H5703	H0408	H3966	H5704	H3068	H7107	H0408

כֻּלָּנוּ׃	עַמְּךָ	נָא	הַבֵּט־	הֵן	עָוֹן	תִּזְכֹּר
わたしたち–皆を	あなたの–民を	どうか	見おろしてください	見てください	罪–を	思い出す–ことを
H3605		H4994	H5027	H2005	H5771	H2142

主よ、ひどくお怒りにならぬように、いつまでも不義をみこころにとめられぬように。どうぞ、われわれを顧みてください。われわれはみな、あなたの民です。

10

שְׁמָמָה׃	יְרוּשָׁלִַם	הָיְתָה	מִדְבָּר	צִיּוֹן	מִדְבָּר	הָיוּ	קָדְשְׁךָ	עָרֵי
荒れ地–に	エルサレムは	なった	荒野–に	シオンが	荒野–に	なった	あなたの–聖なる	町々が
	H3389	H1961		H6726		H1961	H6944	

あなたの聖なる町々は荒野となり、シオンは荒野となり、エルサレムは荒れすたれた。

11

הָיָה	אֲבֹתֵינוּ	הֻלְלוּךָ	אֲשֶׁר	וַתְּפַאַרְתֵּנוּ	קָדְשֵׁנוּ	בֵּית	
なった	わたしたちの–先祖が	賛美した	そこで	そして–輝かしい	わたしたちの–聖なる	家–が	
H1961	H0001			H8597	H6944		

לְחָרְבָה׃	הָיָה	מַחֲמַדֵּינוּ	וְכָל־	אֵשׁ	לִשְׂרֵפַת
廃墟–に	なった	わたしたちの–宝–は	そして–すべての	火の	火–に–よる–焚焼–に
H2723	H1961	H4261	H3605	H0784	H8316

われわれの先祖があなたをほめたたえた聖なる麗しいわれわれの宮は火で焼かれ、われわれが慕った所はことごとく荒れはてた。

12

תֶּחֱשֶׁה	יְהוָה	תִּתְאַפַּק	אֵלֶּה	הַעַל־	
沈黙して	主よ	耐えられますか	これらの–ことに	（接頭）–これらの–ことに	
H2814	H3068	H0662	H0428		

ס	מְאֹד׃	עַד־	וּתְעַנֵּנוּ	
—	非常に	～まで	そして–苦しめるのですか	
	H3966	H5704		

主よ、これらの事があってもなお、あなたはみずからをおさえ、黙して、われわれをいたく苦しめられるのですか。

Chapter 65

1

בִּקְשֻׁנִי	לְלֹא	נִמְצֵאתִי	שָׁאֲלוּ	לְלֹוא	נִדְרַשְׁתִּי	
尋ねなかった	探さなかった–者–に	見いだされた	尋ねなかった	求めなかった–者–に	求められた	
H1245	H3808	H4672	H7592	H3808	H1875	

קֹרָא	לֹא־	גּוֹי	אֶל־	הִנֵּנִי	הִנֵּנִי	אָמַרְתִּי
呼ばなかった	呼ばなかった	国民–に	～に	わたしは–ここに–いると	わたしは–ここに–いる	言った
H7121	H3808		H0413	H2009	H2009	H0559

בִּשְׁמִי׃
わたしの–名–を
H8034

わたしはわたしを求めなかった者に問われることを喜び、わたしを尋ねなかった者に見いだされることを喜んだ。わたしはわが名を呼ばなかった国民に言った、「わたしはここにいる、わたしはここにいる」と。

2 פֵּרַשְׂתִּי יָדַי כָּל־הַיּוֹם אֶל־עַם סוֹרֵר הַהֹלְכִים
広げた わたしの–手–を 日–の–間 すべての ～に–向かって 民–に 反逆する 歩む–者たちが
H6566 H3027 H3605 H0413 H5637 H1980

דַּרְכָּם לֹא־טוֹב אַחַר מַחְשְׁבֹתֵיהֶם׃
道–を 良くない 従って 自分たちの–思い–に
H1870 H3808 H4284

よからぬ道に歩み、自分の思いに従うそむける民に、わたしはひねもす手を伸べて招いた。

3 הָעָם הַמַּכְעִיסִים אוֹתִי עַל־ פָּנַי תָּמִיד זֹבְחִים
民–が 怒らせる–者たちが わたし–を ～の–上に わたしの–顔–の 絶えず いけにえを–ささげ
H3707 H0853 H6440 H8548 H2076

לַבֵּנִים׃ עַל־ וּמְקַטְּרִים בַּגַּנּוֹת
れんが–の ～の–上に そして–香–を–たく 庭–で
H3843 H1593

この民はまのあたり常にわたしを怒らせ、園の中で犠牲をささげ、かわらの上で香をたき、

4 הַיֹּשְׁבִים בַּקְּבָרִים וּבַנְּצוּרִים יָלִינוּ הָאֹכְלִים בְּשַׂר הַחֲזִיר
座る–者たちが 墳–の–中に そして–隠れた–所に 過ごす 食べる–者たちが 肉–を 豚–の
H3427 H6913 H5341 H3885 H0398 H1320 H2386

כְּלֵיהֶם׃ פִּגֻּלִים)וּמְרַק( ]ופרק[
彼らの–器–に 汚れた–もの–の （そして–汁） （ケティブ）
H3627 H6292 H4839 H6564

墓場にすわり、ひそかな所にやどり、豚の肉を食らい、憎むべき物の、あつものをその器に盛って、

5 הָאֹמְרִים קָרַב אֵלֶיךָ אַל־ תִּגַּשׁ בִּי כִּי
言う–者たちが 近づけ あなたの–方に してはならない 近づく–な わたし–に なぜなら
H0559 H7126 H0413 H0408 H5066

כָּל־ אֵלֶּה עָשָׁן בְּאַפִּי אֵשׁ יֹקֶדֶת כָּל־
すべての これらの–者は 煙–である わたしの–鼻–に 火–が 燃える すべての
H3605 H0428 H6227 H0639 H0784 H3344 H3605

הַיּוֹם׃ קְדַשְׁתִּיךָ
日–の–間 わたしは–あなたを–聖める
H3117 H6942

言う、「あなたはそこに立って、わたしに近づいてはならない。わたしはあなたと区別されたものだから」と。これらはわが鼻の煙、ひねもす燃える火である。

6 הִנֵּה כְתוּבָה לְפָנַי לֹא אֶחֱשֶׁה לֹא אִם־ כִּי שִׁלַּמְתִּי
見よ 書かれている わたしの–前に 黙らない 黙らない きっと そうではなく 報いる
H2009 H3789 H6440 H2814 H3808 H0518 H3588 H7999

חֵיקָם׃ עַל־ וְשִׁלַּמְתִּי
彼らの–懐–に ～の–上に そして–報いる
H2436

見よ、この事はわが前にしるされた、「わたしは黙っていないで報い返す。そうだ、わたしは彼らのふところに、

7

אֲשֶׁר	יְהוָה	אָמַר	יַחְדָּו׀	אֲבוֹתֵיכֶם	וַעֲוֹנֹת	עֲוֹנֹתֵיכֶם
彼らは	主は	言われた	共に	あなたがたの-先祖の	そして-罪-を	あなたがたの-罪-と
	H3068	H0559		H0001	H5771	H5771

וּמַדֹּתָי	חֵרְפוּנִי	הַגְּבָעוֹת	וְעַל־	הֶהָרִים	עַל־	קִטְּרוּ׀
そこで-量り-返す	わたしを-侵辱した	丘々-の	そして-〜の-上に	山々-の	〜の-上に	香-を-たいた
H4058		H1389		H2022		

ס	חֵיקָם׃	)אֶל־(	]על־[	רִאשֹׁנָה	פְּעֻלָּתָם
—	彼らの-懐-に	（〜の-上に）	（ケティブ）	最初-に	彼らの-行い-を
	H2436	H0413		H7223	H6468

彼らの不義と、彼らの先祖たちの不義とを共に報い返す。彼らが山の上で香をたき、丘の上でわたしをそしったゆえ、わたしは彼らのさきのわざを量って、そのふところに返す」と主は言われる。

8

בְּאֶשְׁכּוֹל	הַתִּירוֹשׁ	יִמָּצֵא	כַּאֲשֶׁר	יְהוָה	אָמַר	כֹּה
房-の-中に	新しい-ぶどう酒が	見いだされる	ちょうど-〜の-ように	主は	言われた	こう
H0811	H8492	H4672		H3068	H0559	H3541

כֵּן	בּוֹ	בְּרָכָה	כִּי	תַשְׁחִיתֻהוּ	אַל־	וְאָמַר׀
そのように	その-中に-ある	祝福が	なぜなら	それを-滅ぼす-ことを	してはならない	そして-言われる
		H1293		H7843	H0408	H0559

הַכֹּל׃	הַשְׁחִית	לְבִלְתִּי	עֲבָדַי	לְמַעַן	אֶעֱשֶׂה׀
すべて-を	滅ぼす-ことを	滅ぼさない-ために	わたしの-しもべたち-の	〜の-ために	わたしは-行う
H3605	H7843	H1115	H5650	H4616	

主はこう言われる、「人がぶどうのふさの中に、ぶどうのしるのあるのを見るならば、『それを破るな、その中に祝福があるから』と言う。そのようにわたしは、わがしもべらのために行って、ことごとくは滅ぼさない。

9

הָרָי	יוֹרֵשׁ	וּמִיהוּדָה	זֶרַע	מִיַּעֲקֹב	וְהוֹצֵאתִי
わたしの-山々-の	受け継ぐ-者-を	そして-ユダから	子孫-を	ヤコブ-から	そして-出す
H2022	H3423	H3063	H2233	H3290	H3318

שָׁמָּה׃	יִשְׁכְּנוּ־	וַעֲבָדַי	בְּחִירַי	וִירֵשָׁהּ
そこに	住む	そして-わたしの-しもべたちが	わたしの-選ばれた-者たちが	そして-それを-受け継ぐ
H8033	H7931	H5650	H0972	H3423

わたしはヤコブから子孫をいだし、ユダからわが山々を受けつぐべき者をいだす。わたしが選んだ者はこれを受けつぎ、わがしもべらはそこに住む。

10

בָּקָר	לְרֵבֶץ	עָכוֹר	וְעֵמֶק	צֹאן	לִנְוֵה־	הַשָּׁרוֹן	וְהָיָה
牛-の	牛-の-伏す-所-に	アコルの	そして-谷は	羊-の	羊-の-牧草地-に	シャロンは	そして-なる
H1241	H7258	H5911	H6010	H6629		H8289	H1961

דְּרָשׁוּנִי׃	אֲשֶׁר	לְעַמִּי
尋ねた-者たちの	その	わたしの-民-の-ために
H1875		

シャロンは羊の群れの牧場となり、アコルの谷は牛の群れの伏す所となって、わたしを尋ね求めたわが民のものとなる。

11

קָדְשִׁי	הָר־	אֶת־	הַשְּׁכֵחִים	יְהוָה	עֹזְבֵי	וְאַתֶּם׀
わたしの-聖なる	山-を	（対象）	忘れる-者たちよ	主-を	見捨てる-者たちよ	しかし-あなたがたは
H6944	H2022	H0853	H7913	H3068		

מִמְסָךְ׃	לַמְנִי	וְהַמְמַלְאִים	שֻׁלְחָן	לַגַּד׀	הָעֹרְכִים
混ぜた-酒-を	メニ-の-ために	そして-満たす-者たちよ	食卓-を	ガド-の-ために	整える-者たちよ
H4469	H4507	H4390	H7979	H1408	

しかし主を捨て、わが聖なる山を忘れ、机を禍福の神に供え、混ぜ合わせた酒を盛って運命の神にささげるあなたがたよ、

12 וּמָנִיתִי אֶתְכֶם לַחָרֶב וְכֻלְּכֶם לַטֶּבַח תִּכְרָעוּ
そこで-定める あなたがた-を 剣-に そして-あなたがた-皆は 屠殺-の-ために ひざまずく
H4487 H0853 H2719 H3605 H2874 H3766

יַעַן קָרָאתִי וְלֹא שְׁמַעְתֶּם דִּבַּרְתִּי וְלֹא עֲנִיתֶם
なぜなら 呼んだ しかし-しなかった 聞く-ことを 語った しかし-しなかった 答える-ことを
H3282 H7121 H3808 H8085 H1696 H3808 H6030

וַתַּעֲשׂוּ הָרַע בְּעֵינָי וּבַאֲשֶׁר לֹא־חָפַצְתִּי בָּחָרְתָּם׃
そして-行った 悪-を わたしの-目-に そして-それ-の-中に 喜ばなかった 選んだ
H6213 H7451 H5869 H1004 H2654 H0977

פ
—

わたしは、あなたがたをつるぎに渡すことに定めた。あなたがたは皆かがんでほふられる。あなたがたはわたしが呼んだときに答えず、わたしが語ったときに聞かず、わたしの目に悪い事をおこない、わたしの好まなかった事を選んだからだ」。

13 לָכֵן כֹּה־אָמַר אֲדֹנָי יְהוִה הִנֵּה עֲבָדַי יֹאכֵלוּ
それゆえ こう 言われた 主 主は 見よ わたしの-しもべたちは 食べる
H3651 H3541 H0559 H0136 H3069 H2009 H5650 H0398

וְאַתֶּם תִּרְעָבוּ הִנֵּה עֲבָדַי יִשְׁתּוּ וְאַתֶּם תִּצְמָאוּ
しかし-あなたがたは 飢える 見よ わたしの-しもべたちは 飲む しかし-あなたがたは 渇く
H0389 H7456 H2009 H5650 H8354 H0859 H6770

הִנֵּה עֲבָדַי יִשְׂמָחוּ וְאַתֶּם תֵּבֹשׁוּ׃
見よ わたしの-しもべたちは 喜ぶ しかし-あなたがたは 恥じる
H2009 H5650 H8055 H0859 H0954

それゆえ、主なる神はこう言われる、「見よ、わがしもべたちは食べる、しかし、あなたがたは飢える。見よ、わがしもべたちは飲む、しかし、あなたがたはかわく。見よ、わがしもべたちは喜ぶ、しかし、あなたがたは恥じる。

14 הִנֵּה עֲבָדַי יָרֹנּוּ מִטּוּב לֵב וְאַתֶּם תִּצְעֲקוּ
見よ わたしの-しもべたちは 歓ぶ 良い-の-ゆえに 心-の しかし-あなたがたは 叫ぶ
H2009 H5650 H7442 H2898 H3824 H0859 H6817

וּמִשֶּׁבֶר רוּחַ תְּיֵלִילוּ׃ מִכְאַב לֵב
そして-砕かれた 霊-の 泣き叫ぶ 痛み-の-ゆえに 心-の
H7667 H7307 H3213 H3511 H3824

見よ、わがしもべたちは心の楽しみによって歌う、しかし、あなたがたは心の苦しみによって叫び、たましいの悩みによって泣き叫ぶ。

15 וְהִנַּחְתֶּם שִׁמְכֶם לִשְׁבוּעָה לִבְחִירַי וְהֶמִיתְךָ אֲדֹנָי
そして-残す あなたがたの-名-を 呼い-の-ために わたしの-選ばれた-者-に そして-殺す 主
H3240 H8034 H7621 H0972 H4191 H0136

וְלַעֲבָדָיו יִקְרָא שֵׁם אַחֵר׃ יְהוִה
そして-その-しもべたちに 呼ぶ 名-を 別の 主は
H5650 H7121 H8034 H0312 H3069

あなたがたの残す名はわが選んだ者には、のろいの文句となり、主なる神はあなたがたを殺される。しかし、おのれのしもべたちを、ほかの名をもって呼ばれる。

16

אָמֵן	בֵּאלֹהֵי	יִתְבָּרַךְ	בָּאָרֶץ	הַמִּתְבָּרֵךְ	אֲשֶׁר
アーメン-の	まことの-神-に-よって	祝福-を-受ける	地-に-おいて	祝福-を-受ける-者が	それは
H0543	H0430	H1288	H0776	H1288	

נִשְׁכְּחוּ	כִּי	אָמֵן	בֵּאלֹהֵי	יִשָּׁבַע	בָּאָרֶץ	וְהַנִּשְׁבָּע
忘れられた	なぜなら	アーメン-の	まことの-神-に-かけて	誓う	地-に-おいて	そして-誓う-者が
H7911		H0543	H0430	H7650	H0776	H7650

מֵעֵינָי׃	נִסְתְּרוּ	וְכִי	הָרִאשֹׁנוֹת	הַצָּרוֹת
わたしの-目-から	隠された	そして-なぜなら	以前-の	苦しみ-は
	H5641		H7223	

それゆえ、地にあっておのれのために祝福を求める者は、真実の神によっておのれの祝福を求め、地にあって誓う者は、真実の神をさして誓う。さきの悩みは忘れられて、わが目から隠れうせるからである。

17

וְלֹא	חֲדָשָׁה	וָאֶרֶץ	חֲדָשִׁים	שָׁמַיִם	בּוֹרֵא	הִנְנִי	כִּי־
そして-しない	新しい	そして-地-を	新しい	天-を	創造する	見よ-わたしは	なぜなら
H3808	H2319	H0776	H2319	H8064		H2009	

לֵב׃	עַל־	תַּעֲלֶינָה	וְלֹא	הָרִאשֹׁנוֹת	תִּזָּכַרְנָה
心-に	～の-上に	思い浮かぶ-ことを	そして-しない	以前-の-ことを	思い出す-ことを
		H5927	H3808	H7223	H2142

見よ、わたしは新しい天と、新しい地とを創造する。さきの事はおぼえられることなく、心に思い起すことはない。

18

כִּי	בּוֹרֵא	אֲנִי	אֲשֶׁר	עַד	עֲדֵי־	וְגִילוּ	שִׂישׂוּ	אִם־	כִּי־
なぜなら	創造する	わたしが	それは	永遠に	永遠に	そして-楽しめ	喜べ	ただ	そうではなく
	H0589			H5703	H5704	H1523	H7797		

מָשׂוֹשׂ׃	וְעַמָּהּ	גִּילָה	יְרוּשָׁלַ͏ִם	אֶת־	בּוֹרֵא	הִנְנִי
楽しみ-と	そして-その-民-を	喜び-と	エルサレム-を	（対象）	創造する	見よ-わたしは
H4885		H1525	H3389	H0853		H2009

しかし、あなたがたはわたしの創造するものにより、とこしえに楽しみ、喜びを得よ。見よ、わたしはエルサレムを造って喜びとし、その民を楽しみとする。

19

בָּהּ	יִשָּׁמַע	וְלֹא־	בְּעַמִּי	וְשַׂשְׂתִּי	בִּירוּשָׁלַ͏ִם	וְגַלְתִּי	
その-中に	聞こえない	そして-もはや	わたしの-民-を	そして-楽しむ	エルサレム-を	そして-喜ぶ	
H8085		H3808		H7797	H3389	H1523	

זְעָקָה׃	וְקוֹל	בְּכִי	קוֹל	עוֹד
叫び-の	そして-声-が	泣き-の	声-が	もう
H2201		H1065		H5750

わたしはエルサレムを喜び、わが民を楽しむ。泣く声と叫ぶ声は再びその中に聞えることはない。

20

לֹא־	אֲשֶׁר	וְזָקֵן	יָמִים	עוֹלֵל	עוֹד	מִשָּׁם	יִהְיֶה	לֹא־
満たさない	その	そして-老人が	日-の-少ない	乳児が	もう	そこから	いない	もはや-いない
H3808		H2205	H3117	H5764	H5750	H8033	H1961	H3808

וְהַחוֹטֶא	יָמוּת	שָׁנָה	מֵאָה	בֶּן־	הַנַּעַר	כִּי	יָמָיו	אֶת־	יְמַלֵּא
そして-罪人は	死ぬ	歳-で	百	百-の	若者は	なぜなら	その-日々-を	（対象）	満たさない
H2398	H4191	H8141	H3967		H5288		H3117	H0853	H4390

יְקֻלָּל׃	שָׁנָה	מֵאָה	בֶּן־
呼われる	歳-で	百	百-の
H7043	H8141	H3967	

わずか数日で死ぬみどりごと、おのが命の日を満たさない老人とは、もはやその中にいない。百歳で死ぬ者も、なお若い者とせられ、百歳で死ぬ者は、のろわれた罪びととされる。

21

וּבָנוּ	בָתִּים	וְיָשָׁבוּ	וְנָטְעוּ	כְּרָמִים	וְאָכְלוּ	פִּרְיָם׃
そして–建てる	家–を	そして–住む	そして–植える	ぶどう畑–を	そして–食べる	その–実–を
H1129	H0398	H3427	H5193	H3754	H0398	H6529

彼らは家を建てて、それに住み、ぶどう畑を作って、その実を食べる。

22

לֹא	יִבְנוּ	וְאַחֵר	יֵשֵׁב	לֹא	יִטְּעוּ	וְאַחֵר	יֹאכֵל
しない	建てて	そして–他の–者が	住む–ことを	しない	植えて	そして–他の–者が	食べる–ことを
H3808	H1129	H0312	H3427	H3808	H5193	H0312	H0398

כִּי־	כִּימֵי	הָעֵץ	יְמֵי	עַמִּי	וּמַעֲשֵׂה	יְדֵיהֶם
なぜなら	～の–日々–の–ように	木–の	日々–は	わたしの–民–の	そして–手–の–わざ–を	彼らの–手–の
	H3117	H6086	H3117		H4639	H3027

יְבַלּוּ	בְחִירָי׃
楽しむ	わたしの–選ばれた–者たちは
H1086	H0972

彼らが建てる所に、ほかの人は住まず、彼らが植えるものは、ほかの人が食べない。わが民の命は、木の命のようになり、わが選んだ者は、その手のわざをながく楽しむからである。

23

לֹא	יִגְעוּ	לָרִיק	לֹא	וְלֹא	יֵלְדוּ	לַבֶּהָלָה	כִּי	זֶרַע
しない	労する–ことを	空しく	しない	そして–しない	産む–ことを	恐れ–の–ために	なぜなら	子孫
H3808	H3021	H7385	H3808		H3205	H0928		H2233

בְרוּכֵי	יְהוָה	הֵמָּה	וְצֶאֱצָאֵיהֶם	אִתָּם׃
祝福された–者たち	主–の	彼らは	そして–彼らの–子孫–も	彼らと–共に
H1288	H3068	H1992	H6631	H0854

彼らの勤労はむだでなく、その生むところの子らは災にかからない。彼らは主に祝福された者のすえであって、その子らも彼らと共におるからである。

24

מְדַבְּרִים	הֵם	עוֹד	אֶעֱנֶה	וַאֲנִי	יִקְרָאוּ	טֶרֶם־	וְהָיָה
語って–いる–うちに	彼らが	まだ	答える	そして–わたしが	呼ぶ	呼ぶ–前–に	そして–なる
H1696	H1992	H5750		H0589	H7121	H2962	H1961

וַאֲנִי	אֶשְׁמָע׃
そして–わたしが	聞く
H0589	H8085

彼らが呼ばないさきに、わたしは答え、彼らがなお語っているときに、わたしは聞く。

25

זְאֵב	וְטָלֶה	יִרְעוּ	כְּאֶחָד	וְאַרְיֵה	כַּבָּקָר	יֹאכַל־	תֶּבֶן
狼–と	そして–小羊–が	共に–草を–食べる	一緒に	そして–獅子–が	牛–の–ように	食べる	わら–を
H2061	H2924		H0259		H1241	H0398	H8401

וְנָחָשׁ	עָפָר	לַחְמוֹ	לֹא־	יָרֵעוּ	וְלֹא־	יַשְׁחִיתוּ
そして–蛇は	ちり–を	その–食べ物–とする	しない	害を–加える–ことを	そして–しない	滅ぼす–ことを
H5175	H6083	H3899	H3808		H3808	H7843

בְּכָל־	הַר	קָדְשִׁי	אָמַר	יְהוָה׃	ס
すべての	山–に–おいて	わたしの–聖なる	言われた	主は	—
H3605	H2022	H6944	H0559	H3068	

おおかみと小羊とは共に食らい、ししは牛のようにわらを食らい、へびはちりを食物とする。彼らはわが聖なる山のどこでもそこなうことなく、やぶることはない」と主は言われる。

Chapter 66

1 כֹּה אָמַר יְהוָה הַשָּׁמַיִם כִּסְאִי וְהָאָרֶץ הֲדֹם רַגְלָי אֵי־
こう 言われた 主は 天は わたしの-王座 そして-地は 足台 わたしの-足-の どこに
H3541 H0559 H3068 H8064 H3678 H0776 H1916 H7272 H0335

זֶה בַּיִת אֲשֶׁר תִּבְנוּ־לִי וְאֵי־זֶה מָקוֹם מְנוּחָתִי׃
これが 家-なのか それは あなたがたが-建てる わたし-に そして-どこに これが 場所-なのか わたしの-憩い-の
H2088 H1129 H3068 H0335 H2088 H4725 H4496

主はこう言われる、「天はわが位、地はわが足台である。あなたがたはわたしのためにどんな家を建てようとするのか。またどんな所がわが休み所となるのか」。

2 וְאֶת־כָּל־אֵלֶּה יָדִי עָשְׂתָה וַיִּהְיוּ כָּל־אֵלֶּה נְאֻם־יְהוָה וְאֶל־זֶה אַבִּיט עָנִי וּנְכֵה־רוּחַ וְחָרֵד עַל־דְּבָרִי׃
そして-（対象） これら-を すべての 手が 造った そして-存在する これら-は 主の 主の-御告げ そして-～に わたしは-見る 貧しい-者 そして-砕かれた 霊-の ～の-上に わたしの-言葉-を
H0853 H0428 H3605 H3027 H6213 H1961 H3605 H0428 H3068 H5002 H0413 H5027 H6041 H5223 H7307 H5921 H2730 H1697

主は言われる、「わが手はすべてこれらの物を造った。これらの物はことごとくわたしのものである。しかし、わたしが顧みる人はこれである。すなわち、へりくだって心悔い、わが言葉に恐れおののく者である。

3 שׁוֹחֵט הַשּׁוֹר מַכֵּה־אִישׁ זוֹבֵחַ הַשֶּׂה עֹרֵף כֶּלֶב מַעֲלֵה מִנְחָה דַּם־חֲזִיר מַזְכִּיר לְבֹנָה מְבָרֵךְ אָוֶן גַּם־הֵמָּה בָּחֲרוּ בִּדְרָכֵיהֶם וּבְשִׁקּוּצֵיהֶם נַפְשָׁם חָפֵצָה׃
屠る-者が 牛-を 打つ-ように 人-を ささげる-者が 羊-を 折る-ように 犬-の-首-を ささげる-者が 供え物-を 豚-の-血-の-ように 豚-の 香-を-たく-者が 乳香-を 祝福する-ように 偽り-を また 彼らは 選んだ 自分たちの-道-を そして-彼らの-忌まわしい-もの-を 彼らの-魂が 喜ぶ
H7794 H2076 H7716 H6202 H3611 H376 H5221 H4503 H2386 H1818 H5927 H1288 H205 H1571 H1992 H977 H1870 H8251 H5315 H2654

牛をほふる者は、また人を殺す者、小羊を犠牲とする者は、また犬をくびり殺す者、供え物をささげる者は、また豚の血をささげる者、乳香を記念としてささげる者は、また偶像をほめる者である。これはおのが道を選び、その心は憎むべきものを楽しむ。

4

יַעַן	לָהֶם	אָבִיא	וּמְגוּרֹתָם	בְּתַעֲלֻלֵיהֶם	אֶבְחַר	אֲנִי	גַּם־	
なぜなら	彼ら–に	もたらす	そして–彼らの–恐れ–を	彼らの–罰–を	選ぶ	わたしも	また	
H3282	H1992	H0935	H4035	H8586	H0977	H0589	H1571	

הָרַע	וַיַּעֲשׂוּ	שָׁמֵעוּ	וְלֹא	דִּבַּרְתִּי	עוֹנֶה	וְאֵין	קָרָאתִי	
悪–を	そして–行った	聞く–ことを	しかし–しなかった	語った	答える–者が	しかし–いない	呼んだ	
		H8085	H3808	H1696		H0369	H7121	

ס	בָּחָרוּ׃	חָפַצְתִּי	לֹא־	וּבַאֲשֶׁר	בְּעֵינַי
—	選んだ	喜ばなかった	喜ばなかった	そして–それの–中に	わたしの–目–に
	H0977		H3808		

わたしもまた彼らのために悩みを選び、彼らの恐れるところのものを彼らに臨ませる。これは、わたしが呼んだときに答える者なく、わたしが語ったときに聞くことをせず、わたしの目に悪い事を行い、わたしの好まなかった事を選んだからである」。

5

אָמְרוּ׃	דְּבָרוֹ	אֶל־	הַחֲרֵדִים	יְהוָה	דְּבַר־	שִׁמְעוּ	
言った	その–言葉–を	～に–向かって	おそれる–者たちよ	主–の	言葉–を	聞け	
H0559	H1697	H0413	H2730	H3068	H1697	H8085	

לְמַעַן	מְנַדֵּיכֶם	שֹׂנְאֵיכֶם	אֲחֵיכֶם
～の–ために	あなたがたを–追い出す–者たちが	あなたがたを–憐む–者たちが	あなたがたの–兄弟が
H4616		H8130	H0251

בְּשִׂמְחַתְכֶם	וְנִרְאֶה	יְהוָה	יִכְבַּד	שְׁמִי	
あなたがたの–喜び–の–中に	そして–現れる–ように	主は	栄光を–受ける–ように	わたしの–名–の	
H8057	H7200	H3068	H3513	H8034	

יֵבֹשׁוּ׃	וְהֵם
恥じる	しかし–彼らは
H0954	H1992

あなたがた、主の言葉に恐れおののく者よ、主の言葉を聞け、「あなたがたの兄弟たちはあなたがたを憎み、あなたがたをわが名のために追い出して言った、『願わくは主がその栄光をあらわしてわれわれにあなたがたの喜びを見させよ』と。しかし彼らは恥を受ける。

6

לְאֹיְבָיו׃	גְּמוּל	מְשַׁלֵּם	יְהוָה	קוֹל	מֵהֵיכָל	קוֹל	מֵעִיר	שָׁאוֹן	קוֹל
その–敵–に	報復–を	報いる	主–の	声が	神殿–から	声が	町–から	騒ぎ–の	声が
H0341	H1576		H3068		H1964			H7588	

聞けよ、町から起る騒ぎを。宮から聞える声を。主がその敵に報復される声を。

7

לָהּ	חֵבֶל	יָבוֹא	בְּטֶרֶם	יָלְדָה	תָּחִיל	בְּטֶרֶם	
彼女に	痛みが	来る	まだ–～の–前に	産んだ	産みの–苦しみが–来る	まだ–～の–前に	
		H0935	H2962	H3205		H2962	

זָכָר׃	וְהִמְלִיטָה
男の–子–を	そして–産み–出した
H2145	H4422

シオンは産みの苦しみをなす前に産み、その苦しみの来ない前に男子を産んだ。

8

כָּאֵלֶּה	רָאָה	מִי	כְּזֹאת	שָׁמַע	מִי־	
このような-こと-を	見たことがあるか	誰が	このような-こと-を	聞いたことがあるか	誰が	
H0428	H7200	H4310	H2063	H8085	H4310	

אֶחָת	פָּעַם	גּוֹי	יִוָּלֵד	אִם־	אֶחָד	בְּיוֹם	אֶרֶץ	הֲיִוחַל
一度	一度-に	国民が	産まれるだろうか	あるいは	一	一-日-で	地が	産まれるだろうか
H0259	H6471		H3205		H0259	H3117	H0776	

בָּנֶיהָ׃	אֶת־	צִיּוֹן	יָלְדָה	גַּם־	חָלָה	כִּי־	
その-子ら-を	（対象）	シオンが	産んだ	そして-また	産みの-苦しみが-来た	まことに	
	H0853	H6726	H3205	H1571			

だれがこのような事を聞いたか、だれがこのような事どもを見たか。一つの国は一日の苦しみで生れるだろうか。一つの国民はひと時に生れるだろうか。しかし、シオンは産みの苦しみをするやいなやその子らを産んだ。

9

אֲנִי	אִם־	יְהוָה	יֹאמַר	אוֹלִיד	וְלֹא	אַשְׁבִּיר	הַאֲנִי	
わたしが	もし	主は	言われた	産ませる-ことを	そして-しない	産ませるのに	わたしが	
H0589		H3068	H0559	H3205	H3808	H7665	H0589	

ס	אֱלֹהָיִךְ׃	אָמַר	וְעָצַרְתִּי	הַמּוֹלִיד	
—	あなたの-神は	言われた	そして-閉じるだろうか	産ませる-者-でありながら	
	H0430	H0559	H6113	H3205	

わたしが出産に臨ませて産ませないことがあろうか」と主は言われる。「わたしは産ませる者なのに胎をとざすであろうか」とあなたの神は言われる。

10

שִׂישׂוּ	אֹהֲבֶיהָ	כָּל־	בָּהּ	וְגִילוּ	יְרוּשָׁלִַם	אֶת־	שִׂמְחוּ	
喜べ	彼女を-愛する-者たちよ	すべての	彼女-を	そして-楽しめ	エルサレム-を	（対象）	喜べ	
H7797	H0157	H3605		H1523	H3389	H0854	H8055	

עָלֶיהָ׃	הַמִּתְאַבְּלִים	כָּל־	מָשׂוֹשׂ	אִתָּהּ	
彼女の-上に	彼女の-ために-嘆く-者たちよ	すべての	喜び-を	彼女と-共に	
	H0056	H3605	H4885	H0854	

「すべてエルサレムを愛する者よ、彼女と共に喜べ、彼女のゆえに楽しめ。すべて彼女のために悲しむ者よ、彼女と共に喜び楽しめ。

11

לְמַעַן	תַּנְחֻמֶיהָ	מִשֹּׁד	וּשְׂבַעְתֶּם	תִּינְקוּ	לְמַעַן		
～の-ために	彼女の-慰め-の	～から	そして-満たされる-ように	乳を-飲み	～の-ために		
H4616	H8575		H7646	H3243	H4616		

ס	כְּבוֹדָהּ׃	מִזִּיז	וְהִתְעַנַּגְתֶּם	תָּמְצוּ	
—	彼女の-栄光-の	～から	そして-喜ぶ-ように	受ける-ように	
	H3519		H6026	H4711	

あなたがたは慰めを与えるエルサレムの乳ぶさから乳を吸って飽くことができ、またその豊かな栄えから飲んで楽しむことができるからだ」。

12

שָׁלוֹם	כַּנָּהָר	אֵלֶיהָ	נֹטֶה־	הִנְנִי	יְהוָה	אָמַר	וְכֹה	כִּי־	
平和-を	川-の-ように	彼女-に	広げる	見よ-わたしは	主は	言われた	こう	なぜなら	
H7965	H5104	H0413	H5186	H2009	H3068	H0559	H3541		

צַד	עַל־	וְינַקְתֶּם	גּוֹיִם	כְּבוֹד	שׁוֹטֵף	וּכְנַחַל	
脇-の	～の-上に	そして-乳を-飲む	諸国の-民-の	栄光-を	あふれる	そして-流れ-の-ように	
H6654		H3243		H3519	H7857		

תְּנַשֹּׂאוּ׃	וְעַל־	בִּרְכַּיִם	תְּשָׁעֲשָׁעוּ׃	
抱かれる	そして-～の-上に	膝-の	あやされる	
H5375		H1290		

主はこう言われる、「見よ、わたしは川のように彼女に繁栄を与え、みなぎる流れのように、もろもろの国の富を与える。あなたがたは乳を飲み、腰に負われ、ひざの上であやされる。

13

כְּאִישׁ	אֲשֶׁר	אִמּוֹ	תְּנַחֲמֶנּוּ	כֵּן	אָנֹכִי	אֲנַחֲמְכֶם
人-の-ように	その	母が	慰める	そのように	わたしが	あなたがたを-慰める
H0376		H0517	H5162		H0595	H5162

וּבִירוּשָׁלִַם	תְּנֻחָמוּ׃
そして-エルサレム-で	慰められる
H3389	H5162

母のその子を慰めるように、わたしもあなたがたを慰める。あなたがたはエルサレムで慰めを得る。

14

תִּפְרַחְנָה	כַּדֶּשֶׁא	וְעַצְמוֹתֵיכֶם	לִבְכֶם	וְשַׂשׂ	וּרְאִיתֶם	
花開く	若草-の-ように	そして-あなたがたの-骨が	あなたがたの-心が	そして-喜ぶ	そして-見る	
	H1877	H6106		H7797	H7200	

אֶת־	וְזַעַם	עֲבָדָיו	אֶת־	יְהוָה	יַד־	וְנוֹדְעָה	
（対象）	そして-憤りが	その-しもべたち-に	（対象）	主-の	主の-手が	そして-知られる	
H0853	H2194	H5650	H0854	H3068	H3027	H3045	

אֹיְבָיו׃
その-敵-に
H0341

あなたがたは見て、心喜び、あなたがたの骨は若草のように栄える。主の手はそのしもべらと共にあり、その憤りはその敵にむかっていることを知る。

15

לְהָשִׁיב	מַרְכְּבֹתָיו	וְכַסּוּפָה	בָּאֵשׁ	יָבוֹא	יְהוָה	הִנֵּה	כִּי־
報いる-ために	その-戦車-は	そして-嵐-の-ように	火-を-もって	来られる	主は	見よ	なぜなら
H7725	H4818		H0784	H0935	H3068	H2009	

אָף	בְּחֵמָה	וְנַעֲרָתוֹ	בְּלַהֲבֵי־	אֵשׁ׃
その-怒り-を	怒り-を-もって	そして-その-叱責-を	火-の-炒-で	火-の
H0639	H2534	H1606	H3851	H0784

見よ、主は火の中にあらわれて来られる。その車はつむじ風のようだ。激しい怒りをもってその憤りをもらし、火の炎をもって責められる。

16

בָּשָׂר	כָּל־	אֶת־	וּבְחַרְבּוֹ	נִשְׁפַּט	יְהוָה	בָּאֵשׁ	כִּי
肉-を	すべての	（対象）	そして-その-剣-を-もって	裁かれる	主は	火-を-もって	なぜなら
H1320	H3605	H0854	H2719	H8199	H3068	H0784	

יְהוָה׃	חַלְלֵי	וְרַבּוּ
主-の	主に-倒された-者は	そして-多い
H3068		H7231

主は火をもって、またつるぎをもって、すべての人にさばきを行われる。主に殺される者は多い」。

17

׀אחד׀	אַחַר	הַגַּנּוֹת	אֶל־	וְהַמְטַהֲרִים	הַמִּתְקַדְּשִׁים
（ケティブ）	後を-追って	庭-に	～に-向かって	そして-清める-者たちが	聖める-者たちと
H0259		H1593	H0413	H2891	H6942

וְהָעַכְבָּר	וְהַשֶּׁקֶץ	הַחֲזִיר	בָּשָׂר	אֹכְלֵי	בְּתוֹךְ	(אַחַת׀
そして-ねずみ-を	そして-忌まわしい-もの-を	豚-の	肉-を	食べる-者たちが	真ん中-に	（一人-の）
H5909	H8263	H2386	H1320	H0398	H8432	H0259

יְהוָה׃	נְאֻם־	יָסֻפוּ	יַחְדָּו	
主-の	主の-御告げ	滅びる	共に	
H3068	H5002	H5486		

「みずからを聖別し、みずからを清めて園に行き、その中にあるものに従い、豚の肉、憎むべき物およびねずみを食う者はみな共に絶えうせる」と主は言われる。

18 וְאָנֹכִי מַעֲשֵׂיהֶם וּמַחְשְׁבֹתֵיהֶם בָּאָה לְקַבֵּץ אֶת־כָּל־
そして–わたしは 彼らの–行い–と 彼らの–思い–を 来る 集める–ために （対象） すべての
H0595 H4639 H4284 H0935 H6908 H0853 H3605

הַגּוֹיִם וְהַלְּשֹׁנוֹת וּבָאוּ וְרָאוּ אֶת־כְּבוֹדִי׃
諸国の–民–を そして–言葉–を そして–来る そして–見る （対象） わたしの–栄光–を
H3956 H0935 H7200 H0853 H3519

「わたしは彼らのわざと、彼らの思いとを知っている。わたしは来て、すべての国民と、もろもろのやからとを集める。彼らは来て、わが栄光を見る。

19 וְשַׂמְתִּי בָהֶם אוֹת וְשָׁלַחְתִּי מֵהֶם פְּלִיטִים אֶל־
そして–置く しるし–を 彼らの–中–に そして–遣わす 彼らの–中–から 逃れた–者たち–を ～に
H0413 H1992 H7971 H0226 H3519

הַגּוֹיִם תַּרְשִׁישׁ פּוּל וְלוּד מֹשְׁכֵי קֶשֶׁת תֻּבַל וְיָוָן
諸国の–民–に タルシシと プルと そして–ルデと 弓–を–引く 弓–の トバルと そして–ヤワンと
H8659 H6322 H3865 H4900 H7198 H8422 H3120

הָאִיִּים הָרְחֹקִים אֲשֶׁר לֹא־שָׁמְעוּ אֶת־שִׁמְעִי
島々–に 遠い それらは 聞いて–いない （対象） わたしの–評判–を
H0339 H7350 H3808 H8085 H0853

וְלֹא־רָאוּ אֶת־כְּבוֹדִי וְהִגִּידוּ אֶת־
そして–見て–いない 見て–いない （対象） わたしの–栄光–を そして–告げる （対象）
H3808 H7200 H0853 H3519 H5046 H0853

כְּבוֹדִי בַּגּוֹיִם׃
わたしの–栄光–を 諸国の–民–の–中に
H3519

わたしは彼らの中に一つのしるしを立てて、のがれた者をもろもろの国、すなわちタルシシ、よく弓をひくプトおよびルデ、トバル、ヤワン、またわが名声を聞かず、わが栄光を見ない遠くの海沿いの国々につかわす。彼らはわが栄光をもろもろの国民の中に伝える。

20 וְהֵבִיאוּ אֶת־כָּל־אֲחֵיכֶם מִכָּל־הַגּוֹיִם
そして–連れて–来る （対象） すべての あなたがたの–兄弟–を すべての–～から 諸国の–民–から
H0935 H0853 H3605 H0251 H3605

וּבַכִּרְכָּרוֹת וּבַפָּרָדִים וּבַצַּבִּים וּבָרֶכֶב לַיהוָה מִנְחָה בַּסּוּסִים
そして–らくだ–で そして–騾馬–で そして–かご–で そして–戦車–で 馬–で 主–に 供え物–として
H3753 H6505 H7393 H3068 H4503

כַּאֲשֶׁר יְהוָה אָמַר אֶל־יְרוּשָׁלַם קָדְשִׁי הַר עַל
ちょうど–～の–ように 主は 言われた エルサレム–へと わたしの–聖なる 山–の ～の–上に
H3068 H0559 H3389 H6944 H2022

טָהוֹר בִּכְלִי הַמִּנְחָה אֶת־ יִשְׂרָאֵל בְּנֵי יָבִיאוּ
清い 清い–器–で 供え物–を （対象） イスラエル–の イスラエルの–子らが 持って–来る
H2889 H3627 H4503 H0853 H3478 H0935

בֵּית יְהוָה׃
主の–家–に
H3068

彼らはイスラエルの子らが清い器に供え物を盛って主の宮に携えて来るように、あなたがたの兄弟をことごとくもろもろの国の中から馬、車、かご、騾馬、らくだに乗せて、わが聖なる山エルサレムにこさせ、主の供え物とする」と主は言われる。

21 וְגַם־ מֵהֶם אֶקַּח לַכֹּהֲנִים לַלְוִיִּם אָמַר יְהוָה׃
そして-また 彼らの-中から 取る 祭司-として レビ人-として 言われた 主は
H1571 H1992 H3947 H3548 H3881 H0559 H3068

「わたしはまた彼らの中から人を選んで祭司とし、レビびととする」と主は言われる。

22 כִּי כַּאֲשֶׁר הַשָּׁמַיִם הַחֲדָשִׁים וְהָאָרֶץ הַחֲדָשָׁה אֲשֶׁר אֲנִי
ちょうど-〜の-ように 天が 新しい そして-地が 新しい それは わたしが
H8064 H2319 H0776 H2319 H0589

עֹשֶׂה עֹמְדִים לְפָנַי נְאֻם־ יְהוָה כֵּן יַעֲמֹד זַרְעֲכֶם
造る 立つ わたしの-前-に 主の-御告げ 主-の そのように 立つ あなたがたの-子孫-も
H6440 H5975 H5002 H3068 H5975 H2233

וְשִׁמְכֶם׃
そして-あなたがたの-名-も
H8034

「わたしが造ろうとする新しい天と、新しい地がわたしの前にながくとどまるように、あなたの子孫と、あなたの名はながくとどまる」と主は言われる。

23 וְהָיָה מִדֵּי־ חֹדֶשׁ בְּחָדְשׁוֹ וּמִדֵּי שַׁבָּת בְּשַׁבַּתּוֹ
そして-なる 毎-〜の-ごとに 月-の その-月-に そして-毎-〜の-ごとに 安息日-の その-安息日-に
H1961 H1767 H2320 H2320 H1767 H7676 H7676

כָּל־ בָּשָׂר יָבוֹא לְהִשְׁתַּחֲוֹת לְפָנַי אָמַר יְהוָה׃
すべての 肉なる-者が 来る ひとしく-拝む-ために わたしの-前-に 言われた 主は
H3605 H1320 H0935 H7812 H6440 H0559 H3068

「新月ごとに、安息日ごとに、すべての人はわが前に来て礼拝する」と主は言われる。

24 וְיָצְאוּ וְרָאוּ בְּפִגְרֵי הָאֲנָשִׁים הַפֹּשְׁעִים בִּי כִּי
そして-出て-行く そして-見る 〜の-屍-を 人々-の 背いた-者たち わたし-に なぜなら
H3318 H7200 H6297 H0376 H6586 H0589 H3588

תוֹלַעָתָם לֹא תָמוּת וְאִשָּׁם לֹא תִכְבֶּה וְהָיוּ דֵרָאוֹן
彼らの-蟻は 死なない 死なない そして-彼らの-火は 消えない 消えない そして-なる 忌み-と
H3808 H4191 H0784 H3808 H3518 H1961 H1860

לְכָל־ בָּשָׂר׃
すべての-〜に-とって 肉なる-者-に
H3605 H1320

「彼らは出て、わたしにそむいた人々のしかばねを見る。そのうじは死なず、その火は消えることがない。彼らはすべての人に忌みきらわれる」。

Jeremiah

Chapter 1

1 דִּבְרֵי יִרְמְיָהוּ בֶּן־חִלְקִיָּהוּ מִן־הַכֹּהֲנִים אֲשֶׁר בַּעֲנָתוֹת בְּאֶרֶץ בִּנְיָמִן׃

ベニヤミンの地アナトテの祭司のひとりである、ヒルキヤの子エレミヤの言葉。

2 אֲשֶׁר הָיָה דְבַר־יְהוָה אֵלָיו בִּימֵי יֹאשִׁיָּהוּ בֶן־אָמוֹן מֶלֶךְ יְהוּדָה בִּשְׁלֹשׁ־עֶשְׂרֵה שָׁנָה לְמָלְכוֹ׃

アモンの子、ユダの王ヨシヤの時、すなわちその治世の十三年に、主の言葉がエレミヤに臨んだ。

3 וַיְהִי בִּימֵי יְהוֹיָקִים בֶּן־יֹאשִׁיָּהוּ מֶלֶךְ יְהוּדָה עַד־תֹּם עַשְׁתֵּי עֶשְׂרֵה שָׁנָה לִצִדְקִיָּהוּ בֶּן־יֹאשִׁיָּהוּ מֶלֶךְ יְהוּדָה עַד־גְּלוֹת יְרוּשָׁלַם בַּחֹדֶשׁ הַחֲמִישִׁי׃ ס

その言葉はまたヨシヤの子、ユダの王エホヤキムの時にも臨んで、ヨシヤの子、ユダの王ゼデキヤの十一年の終り、すなわちその年の五月にエルサレムの民が捕え移された時にまで及んだ。

4 וַיְהִי דְבַר־יְהוָה אֵלַי לֵאמֹר׃

主の言葉がわたしに臨んで言う、

5 בְּטֶרֶם אֶצָּרְךָ(אצורך) בַּבֶּטֶן יְדַעְתִּיךָ וּבְטֶרֶם תֵּצֵא מֵרֶחֶם הִקְדַּשְׁתִּיךָ נָבִיא לַגּוֹיִם נְתַתִּיךָ׃

「わたしはあなたをまだ母の胎につくらないさきに、あなたを知り、あなたがまだ生れないさきに、あなたを聖別し、あなたを立てて万国の預言者とした」。

6

נָעַר	כִּי־	דַבֶּר	יָדַעְתִּי	לֹא־	הִנֵּה	יְהוִה	אֲדֹנָי	אֲהָהּ	וָאֹמַר
若者–に	なぜなら	語る–ことを	知りません	ない	見よ	神–よ	主–よ	ああ	すると–私は言った
H5288		H1696	H3045	H3808	H2009	H3069	H0136	H0162	H0559

פ	אָנֹכִי׃
[区切り]	私は–すぎません
	H0595

その時わたしは言った、「ああ、主なる神よ、わたしはただ若者にすぎず、どのように語ってよいか知りません」。

7

כִּי	אָנֹכִי	נַעַר	תֹּאמַר	אַל־	אֵלַי	יְהוָה	וַיֹּאמֶר	
なぜなら	私は	若者–だと	言っては–ならない	言っては–ならない	私に	主は	すると–言われた	
	H0595	H5288	H0559	H0408	H0413	H3068	H0559	

אֲשֶׁר	כָּל־	וְאֵת	תֵּלֵךְ	אֶשְׁלָחֲךָ	אֲשֶׁר	כָּל־	עַל־
ことを	すべて–の	そして–すべて	行き	遣わす–あなたを	ところ–に	すべて–の	すべて–の
	H3605	H0853	H3212	H7971		H3605	

תְּדַבֵּר׃	אֲצַוֶּךָּ
語りなさい	命じる–あなたに
H1696	H6680

しかし主はわたしに言われた、「あなたはただ若者にすぎないと言ってはならない。だれにでも、すべてわたしがつかわす人へ行き、あなたに命じることをみな語らなければならない。

8

אֲנִי	אִתְּךָ	כִּי־	מִפְּנֵיהֶם	תִּירָא	אַל־	
わたしが	共に–いる–あなたと	なぜなら	彼ら–の–前で	恐れては–ならない	恐れては–ならない	
H0589	H0854		H6440	H3372	H0408	

יְהוָה׃	נְאֻם־	לְהַצִּלֶךָּ
主は	宣言–する	救い出す–あなたを
H3068	H5002	H5337

彼らを恐れてはならない、わたしがあなたと共にいて、あなたを救うからである」と主は仰せられる。

9

יְהוָה	וַיֹּאמֶר	פִּי	עַל־	וַיִּגַּע	יָדוֹ	אֶת־	יְהוָה	וַיִּשְׁלַח
主は	そして–言われた	口–の–私の	上–に	そして–触れた	手を	その	主が	すると–伸ばされた
H3068	H0559	H6310		H5060	H3027	H0853	H3068	H7971

בְּפִיךָ׃	דְּבָרַי	נָתַתִּי	הִנֵּה	אֵלַי
口–に–あなたの	わたしの–言葉を	置いた	見よ	私に
H6310	H1697	H5414	H2009	H0413

そして主はみ手を伸べて、わたしの口につけ、主はわたしに言われた、「見よ、わたしの言葉をあなたの口に入れた。

10

לִנְתוֹשׁ	הַמַּמְלָכוֹת	וְעַל־	הַגּוֹיִם	עַל־	הַזֶּה	הַיּוֹם	וְהִפְקַדְתִּיךָ	רְאֵה
引き抜き	王国–の	そして–上–に	諸国民の	上–に	この	今日	任命した–あなたを	見よ
H5428	H4467				H2088	H3117		H7200

פ	וְלִנְטוֹעַ׃	לִבְנוֹת	וְלַהֲרוֹס	וּלְהַאֲבִיד	וְלִנְתוֹץ
[区切り]	そして–植える–ために	建て	そして–倒し	そして–滅ぼし	そして–壊し
	H5193	H1129	H2040	H0006	H5422

見よ、わたしはきょう、あなたを万民の上と、万国の上に立て、あなたに、あるいは抜き、あるいはこわし、あるいは滅ぼし、あるいは倒し、あるいは建て、あるいは植えさせる」。

11

יִרְמְיָהוּ	רֹאֶה	אַתָּה	מָה־	לֵאמֹר	אֵלַי	יְהוָה	דְּבַר־	וַיְהִי
エレミヤよ	見ているのか	あなたは	何–を	言って	私に	主の	ことば–が	そして–あった
H3414	H7200		H4100	H0559	H0413	H3068	H1697	H1961

רֹאֶה׃	אֲנִי	שֹׁקֵד	מַקֵּל	וָאֹמַר
見ています	私は	花咲く	アーモンド–の–枝を	すると–私は言った
H7200	H0589	H8247	H4731	H0559

主の言葉がまたわたしに臨んで言う、「エレミヤよ、あなたは何を見るか」。わたしは答えた、「あめんどうの枝を見ます」。

12

עַל־	אֲנִי	שֹׁקֵד	כִּי־	לִרְאוֹת	הֵיטַבְתָּ	אֵלַי	יְהוָה	וַיֹּאמֶר
わたしの	わたしは	見張っている	なぜなら	見た	よく	私に	主は	すると–言われた
	H0589	H8245		H7200	H3190	H0413	H3068	H0559

פ	לַעֲשֹׂתוֹ׃	דְּבָרִי
[区切り]	行う–ために	ことば–を
		H1697

主はわたしに言われた、「あなたの見たとおりだ。わたしは自分の言葉を行おうとして見張っているのだ」。

13

רֹאֶה	אַתָּה	מָה	לֵאמֹר	שֵׁנִית	אֵלַי	יְהוָה	דְּבַר־	וַיְהִי
見ているのか	あなたは	何–を	言って	二度目–に	私に	主の	ことば–が	そして–あった
H7200		H4100	H0559	H8145	H0413	H3068	H1697	H1961

צָפוֹנָה׃	מִפְּנֵי	וּפָנָיו	רֹאֶה	אֲנִי	סִיר	נָפוּחַ	וָאֹמַר
北の	側–から	その–面–は	見ています	私は	鍋–を	煮えたぎる	すると–私は言った
H6828	H6440	H6440	H7200	H0589	H5301		H0559

主の言葉がふたたびわたしに臨んで言う、「あなたは何を見るか」。わたしは答えた、「煮え立っているなべを見ます。北からこちらに向かっています」。

14

הָאָרֶץ׃	יֹשְׁבֵי	כָּל־	עַל	הָרָעָה	תִּפָּתַח	מִצָּפוֹן	אֵלַי	יְהוָה	וַיֹּאמֶר
地の	住む者–の	すべて–の	上–に	災い–が	開かれる	北–から	私に	主は	すると–言われた
H0776	H3427	H3605				H6828	H0413	H3068	H0559

主はわたしに言われた、「災が北から起って、この地に住むすべての者の上に臨む」。

15

יְהוָה	נְאֻם־	צָפוֹנָה	מַמְלְכוֹת	מִשְׁפְּחוֹת	לְכָל־	קֹרֵא	הִנֵּנִי	וְכִי
主は	宣言–する	北の	王国–の	氏族を	すべて–の	呼び寄せる	見よ–わたしは	まことに
H3068	H5002	H6828	H4467	H4940	H3605	H7121	H2009	

וְעַל	יְרוּשָׁלַם	שַׁעֲרֵי	וּפֶתַח	כִּסְאוֹ	אִישׁ	וְנָתְנוּ	וּבָאוּ	
そして–面して	エルサレムの	門–の	入口–に	その–王座–を	各々	そして–置く	そして–来て	
	H3389	H8179	H6607	H3678	H0376	H5414	H0935	

יְהוּדָה׃	עָרֵי	כָּל־	וְעַל	סָבִיב	חוֹמֹתֶיהָ	כָּל־
ユダの	町々–の	すべて–の	そして–面して	周囲–の	城壁–に	すべて–の
H3063		H3605		H5439	H2346	H3605

主は言われる、「見よ、わたしは北の国々のすべての民を呼ぶ。彼らは来て、エルサレムの門の入口と、周囲のすべての城壁、およびユダのすべての町々に向かって、おのおのその座を設ける。

16

עֲזָבוּנִי	אֲשֶׁר	רָעָתָם	כָּל־	עַל	אוֹתָם	מִשְׁפָּטַי	וְדִבַּרְתִּי	
捨てた–わたしを	すなわち	悪–の–彼らの	すべて–の	について	彼ら–に	裁き–を	そして–告げる	
			H3605		H0853	H4941	H1696	

יְדֵיהֶם׃	לְמַעֲשֵׂי	וַיִּשְׁתַּחֲווּ	אֲחֵרִים	לֵאלֹהִים	וַיְקַטְּרוּ
手–の–彼らの	作品–の–前に	そして–ひれ伏した	他の	他の–神々–に	そして–香を–焚いた
H3027	H4639	H7812	H0312	H0430	

わたしは、彼らがわたしを捨てて、すべての悪事を行ったゆえに、わたしのさばきを彼らに告げる。彼らは他の神々に香をたき、自分の手で作った物を拝したのである。

17 וְאַתָּה֙ תֶּאְזֹ֣ר מָתְנֶ֔יךָ וְקַמְתָּ֖ וְדִבַּרְתָּ֣ אֲלֵיהֶ֑ם אֵ֚ת כָּל־אֲשֶׁ֣ר אָנֹכִ֣י אֲצַוֶּ֔ךָּ אַל־תֵּחַ֖ת מִפְּנֵיהֶ֑ם פֶּן־אֲחִתֶּ֖ךָ לִפְנֵיהֶֽם׃

וְאַתָּה֙	תֶּאְזֹ֣ר	מָתְנֶ֔יךָ	וְקַמְתָּ֖	וְדִבַּרְתָּ֣	אֲלֵיהֶ֑ם	אֵ֚ת	כָּל־	אֲשֶׁ֣ר	אָנֹכִ֣י	אֲצַוֶּ֔ךָּ	אַל־	תֵּחַ֖ת	מִפְּנֵיהֶ֑ם	פֶּן־	אֲחִתֶּ֖ךָ	לִפְנֵיהֶֽם׃
しかし–あなたは	帯び–なさい	腰–を	そして–立ち上がり	そして–語りなさい	彼ら–に	すべて	すべて–の	ことを	わたしが	命じる–あなたに	おじける–な	おじける–な	彼ら–の–前で	さもないと	くじく–あなたを	彼ら–の–前で	
H0859	H0247	H4975	H0877	H1696	H0413	H0853	H3605	H0834	H0595	H6680	H2865	H0408	H6440	H6435	H2865	H6440	

しかしあなたは腰に帯して立ち、わたしが命じるすべての事を彼らに告げよ。彼らを恐れてはならない。さもないと、わたしは彼らの前であなたをあわてさせる。

18 וַאֲנִ֗י הִנֵּ֤ה נְתַתִּ֙יךָ֙ הַיּ֔וֹם לְעִ֥יר מִבְצָ֖ר וּלְעַמּ֣וּד בַּרְזֶ֑ל וְלַחֹמ֣וֹת נְחֹ֔שֶׁת עַל־כָּל־הָאָ֖רֶץ לְמַלְכֵ֣י יְהוּדָ֔ה לְשָׂרֶ֖יהָ לְכֹהֲנֶ֥יהָ וְלַעַ֖ם הָאָֽרֶץ׃

וַאֲנִ֗י	הִנֵּ֤ה	נְתַתִּ֙יךָ֙	הַיּ֔וֹם	לְעִ֥יר	מִבְצָ֖ר	וּלְעַמּ֣וּד	בַּרְזֶ֑ל	וְלַחֹמ֣וֹת	נְחֹ֔שֶׁת	עַל־	כָּל־	הָאָ֖רֶץ	לְמַלְכֵ֣י	יְהוּדָ֔ה	לְשָׂרֶ֖יהָ	לְכֹהֲנֶ֥יהָ	וְלַעַ֖ם	הָאָֽרֶץ׃
そして–わたしは	見よ	した–あなたを	今日	堅固な–城–に	堅固な	そして–鉄の–柱–に	鉄の	そして–青銅の–壁–に	青銅の	対して	全	地–に	王たち–に	ユダの	その–首長たち–に	その–祭司たち–に	そして–民–に	地の		
H0589	H2009	H5414	H3117	H4013		H5982	H1270	H2346	H5178	H0413	H3605	H0776	H4428	H3063	H8269	H3548	H5971	H0776		

見よ、わたしはきょう、この全国と、ユダの王と、そのつかさと、その祭司と、その地の民の前に、あなたを堅き城、鉄の柱、青銅の城壁とする。

19 וְנִלְחֲמ֣וּ אֵלֶ֔יךָ וְלֹא־יְכְלוּ֙ לָ֔ךְ כִּ֥י אִתְּךָ֖ אֲנִ֑י נְאֻם־יְהוָ֖ה לְהַצִּילֶֽךָ׃ פ

וְנִלְחֲמ֣וּ	אֵלֶ֔יךָ	וְלֹא־	יְכְלוּ֙	לָ֔ךְ	כִּ֥י	אִתְּךָ֖	אֲנִ֑י	נְאֻם־	יְהוָ֖ה	לְהַצִּילֶֽךָ׃	פ									
そして–戦う	あなた–に	しかし–ない	勝てない	あなた–に	なぜなら	共に–いる–あなたと	わたしが	宣言–する	主は	救い出す–あなたを	[区切り]									
H3898	H0413	H3808	H3201	H0413	H3588	H0854	H0589	H5002	H3068	H5337										

彼らはあなたと戦うが、あなたに勝つことはできない。わたしがあなたと共にいて、あなたを救うからである」と主は言われる。

Chapter 2

1 וַיְהִ֥י דְבַר־יְהוָ֖ה אֵלַ֥י לֵאמֹֽר׃

וַיְהִ֥י	דְבַר־	יְהוָ֖ה	אֵלַ֥י	לֵאמֹֽר׃	
そして–あった	ことば–が	主の	私に	言って	
H1961	H1697	H3068	H0413	H0559	

主の言葉がわたしに臨んで言う、

2 הָלַכְתָּ וְקָרָאתָ בְּאָזְנֵי יְרוּשָׁלִַם לֵאמֹר כֹּה אָמַר יְהוָה זָכַרְתִּי לָךְ
行き そして-呼ばわれ 耳-に エルサレムの 言って こう 言う 主は 覚えている あなたを
H1980 H7121 H0241 H3389 H0559 H3541 H0559 H3068 H2142

חֶסֶד נְעוּרַיִךְ אַהֲבַת כְּלוּלֹתָיִךְ לֶכְתֵּךְ אַחֲרַי בַּמִּדְבָּר
真実の-愛-を 若い-時の-あなたの 愛-を 婚約-時の-あなたの 従った-こと わたし-に 荒野-で
H2617 H5271 H0160 H3623 H3212 H0310 H4057

בְּאֶרֶץ לֹא זְרוּעָה׃
地-に ない 蒔かれた
H0776 H3808 H2232

「行って、エルサレムに住む者の耳に告げよ、主はこう言われる、わたしはあなたの若い時の純情、花嫁の時の愛、荒野なる、種まかぬ地でわたしに従ったことを覚えている。

3 קֹדֶשׁ יִשְׂרָאֵל לַיהוָה רֵאשִׁית תְּבוּאָתָהּ כָּל־ אֹכְלָיו יֶאְשָׁמוּ
聖なる-もの イスラエルは 主-に 初穂 その-収穫-の すべて-の 食べる-者は 罪-に-問われる
H6944 H3478 H3068 H7225 H8393 H3605 H0398 H0816

רָעָה תָּבֹא אֲלֵיהֶם נְאֻם־ יְהוָה׃ פ
災い-が 来る 彼ら-に 宣言-する 主は [区切り]
H7451 H0935 H0413 H5002 H3068

イスラエルは主のために聖別されたもの、その刈入れの初穂である。すべてこれを食べる者は罪せられ、災にあう」と主は言われる。

4 שִׁמְעוּ דְבַר־ יְהוָה בֵּית יַעֲקֹב וְכֹל־ מִשְׁפְּחוֹת בֵּית יִשְׂרָאֵל׃
聞け ことば-を 主の 家-よ ヤコブの そして-すべて-の 氏族-よ 家の イスラエルの
H8085 H1697 H3068 H1004 H3290 H3605 H4940 H1004 H3478

ヤコブの家とイスラエルの家のすべてのやからよ、主の言葉を聞け。

5 כֹּה אָמַר יְהוָה מַה־ מָּצְאוּ אֲבוֹתֵיכֶם בִּי עָוֶל כִּי
こう 言う 主は 何-の 見いだした 先祖たち-は-あなたがたの わたし-に 不正-を それで
H3541 H0559 H3068 H4100 H4672 H0001 H0413 H5766 H3588

וַיֶּהְבָּלוּ׃ הַהֶבֶל אַחֲרֵי וַיֵּלְכוּ מֵעָלָי רָחֲקוּ
そして-空しく-なった 空しいもの-の 後-を そして-歩んだ わたし-から 遠ざかった
H1891 H1892 H0310 H3212 H4480 H7368

主はこう言われる、「あなたがたの先祖は、わたしになんの悪い事があるのを見て、わたしから遠ざかり、むなしいものに従って、むなしくなったのか。

6 מִצְרַיִם מֵאֶרֶץ אֹתָנוּ הַמַּעֲלֶה יְהוָה אַיֵּה וְלֹא אָמְרוּ
エジプトの 地-から 私たちを 導き上った-方は 主は どこ-に-いるのか 言った そして-ない
H4714 H0776 H0853 H5927 H3068 H0346 H0559 H3808

צִיָּה בְּאֶרֶץ וְשׁוּחָה עֲרָבָה בְּאֶרֶץ בַּמִּדְבָּר אֹתָנוּ הַמּוֹלִיךְ
乾き-の 地-の そして-穴-の 荒れ地-の 地-の 荒野-を-通って 私たちを 導いた-方は
H6723 H0776 H7745 H6160 H0776 H4057 H0853 H3212

שָׁם׃ אָדָם יָשָׁב וְלֹא־ אִישׁ בָּהּ עָבַר לֹא־ בְּאֶרֶץ וְצַלְמָוֶת
そこに 人-が 住んだ そして-ない 人-が そこを 通った ない 地-の そして-死の-陰の
H8033 H0120 H3427 H3808 H0376 H5674 H3808 H0776 H6757

彼らは言わなかった、『われわれをエジプトの地より導き出し、荒野なる、穴の多い荒れた地、かわいた濃い暗黒の地、人の通らない、人の住まない地を通らせた主はどこにおられるか』と。

7 וָאָבִיא אֶתְכֶם אֶל־אֶרֶץ הַכַּרְמֶל לֶאֱכֹל פִּרְיָהּ
そして–連れて来た あなたがた–を へ 地–に カルメルの 食べる–ため 実–を–その
H0935 H0853 H0413 H0776 H3759 H0398 H6529

וְטוּבָהּ וַתָּבֹאוּ וַתְּטַמְּאוּ אֶת־אַרְצִי וְנַחֲלָתִי שַׂמְתֶּם׃
そして–良い物–を–その しかし–来て そして–汚した わたしの 地–を そして–わたしの–嗣業–を した
H2898 H0935 H0853 H0776 H5159 H8441

わたしはあなたがたを導いて豊かな地に入れ、その実と良い物を食べさせた。しかしあなたがたはここにはいって、わたしの地を汚し、わたしの嗣業を憎むべきものとした。

8 הַכֹּהֲנִים לֹא אָמְרוּ אַיֵּה יְהוָה וְתֹפְשֵׂי הַתּוֹרָה לֹא יְדָעֻנִי
祭司たち–は ない 言った どこ–に–いるのか 主は–と そして–律法を–扱う–者は 律法–を ない 知らなかった–わたしを
H3548 H3808 H0559 H0346 H3068 H8610 H8451 H3808 H3045

וְהָרֹעִים פָּשְׁעוּ בִי וְהַנְּבִיאִים נִבְּאוּ בַּבַּעַל וְאַחֲרֵי לֹא־יוֹעִלוּ הָלָכוּ׃
そして–牧者たち–は 背いた わたし–に そして–預言者たち–は 預言した バアル–によって そして–後–を ない 益ある–もの–の 歩んだ
H6586 H0776 H5030 H5012 H1980 H3276 H3808

祭司たちは、『主はどこにおられるか』と言わなかった。律法を扱う者たちはわたしを知らず、つかさたちはわたしにそむき、預言者たちはバアルによって預言し、益なき者に従って行った。

9 לָכֵן עֹד אָרִיב אִתְּכֶם נְאֻם־יְהוָה וְאֶת־בְּנֵי בְנֵיכֶם אָרִיבוּ׃
それゆえ なお 争う あなたがた–と 宣言–する 主は そして 子–の 子たち–と–あなたがたの 争う
H3068 H0854 H5002 H3068 H0854 H1121 H7378 H5750

それゆえ、わたしはなお、あなたがたと争う、またあなたがたの子孫と争う」と主は言われる。

10 כִּי עִבְרוּ אִיֵּי כִתִּיִּים וּרְאוּ וְקֵדָר שִׁלְחוּ וְהָתְבוֹנְנוּ מְאֹד וּרְאוּ הֶן הָיְתָה כָּזֹאת׃
まことに 渡れ 島々–を キティム–の そして–見よ そして–ケダル–に 遣わせ そして–よく–考えよ 非常に そして–見よ 果たして あった–か このような–ことが
H3966 H7200 H3794 H0339 H6938 H7971 H0995 H7200 H2005 H1961 H2063

「あなたがたはクプロの島々に渡ってみよ、また人をケダルにつかわして、このようなことがかつてあったかをつまびらかに、しらべてみよ。

11 הֲהֵימִיר גּוֹי אֱלֹהִים וְהֵמָּה לֹא אֱלֹהִים וְעַמִּי הֵמִיר כְּבוֹדוֹ בְּלוֹא יוֹעִיל׃
替えた 国–が 神々–を しかし–彼ら–は ない 神々–で しかし–わたしの–民–は 替えた その–栄光–を 益–ない–もの–に 益–ない
H4171 H0430 H1992 H3808 H0430 H4171 H3519 H3808 H3276

その神を神ではない者に取り替えた国があろうか。ところが、わたしの民はその栄光を益なきものと取り替えた。

12
נְאֻם־ 宣言-する H5002
מְאֹד 甚だしく H3966
חָרְבוּ 干からびよ
וְשֹׁעֲרוּ そして-震え-おののけ
זֹאת この-こと-に H2063
עַל־ この-こと-に
שָׁמַיִם 天-よ H8064
שֹׁמּוּ 驚け H8074
יְהוָה׃ 主は H3068

天よ、この事を知って驚け、おののけ、いたく恐れよ」と主は言われる。

13
חַיִּים 命-の
מַיִם 水-の H4325
וּמְקוֹר 泉-を H4726
עָזְבוּ 捨てた
אֹתִי わたし-を H0853
עַמִּי わたしの-民-は
עָשָׂה 行った
רָעוֹת 悪-を
שְׁתָּיִם 二つ-の H8147
כִּי־ なぜなら
הַמָּיִם׃ 水-を H4325
יָכָלוּ 保てない H3557
לֹא־ ない H3808
אֲשֶׁר ところの
נִשְׁבָּרִים 壊れた H7665
בֹּארֹת 水溜め-を H0877
בֹּארֹת 水溜め-を H0877
לָהֶם 自分たち-に
לַחְצֹב 掘る-ため H2672

「それは、わたしの民が二つの悪しき事を行ったからである。すなわち生ける水の源であるわたしを捨てて、自分で水ためを掘った。それは、こわれた水ためで、水を入れておくことのできないものだ。

14
לָבֵז׃ 獲物-に H0957
הָיָה なった H1961
מַדּוּעַ なぜ H4069
הוּא 者-なのか H1931
בַּיִת 家-の
יְלִיד 家で-生まれた H3211
אִם־ もし
יִשְׂרָאֵל イスラエルは H3478
הַעֶבֶד 奴隷-なのか H5650

イスラエルは奴隷であるか、家に生れたしもべであるか。それならなぜ捕われの身となったのか。

15
לְשַׁמָּה 荒廃-に H8047
אַרְצוֹ その-地-を H0776
וַיֶּשְׁתּוּ そして-した H7896
קוֹלָם 声-を-その
נָתְנוּ 上げた H5414
כְּפִירִים 若い-獅子たち-は
יְשַׁאֲגוּ 吠える H7580
עָלָיו 彼に-対して
יֹשֵׁב׃ 住む-者-なく H3427
מִבְלִי 住む-者-なく H1097
נִצְּתוּ(נצתה) 焼かれた [ケティブ] H3341 H3341
עָרָיו その-町々-は

ししは彼に向かってほえ、その声を高くあげて、彼の地を荒した。その町々は滅びて住む人もない。

16
קָדְקֹד׃ 頭頂-を-あなたの H6936
יִרְעוּךְ 打ち-砕く
וְתַחְפַּנְחֵס(ותחפנס) タフパヌヘス-の H8471 [ケティブ] H8471
נֹף ノフ-の H5297
בְּנֵי־ 子ら-は
גַּם־ また H1571

メンピスとタパネスの人々もまた、あなたのかしらの冠を砕いた。

17
אֱלֹהַיִךְ あなたの-神-を H0430
יְהוָה 主-を H3068
אֶת־ あなたの H0853
עָזְבֵךְ 捨てた-こと
לָךְ あなた-に
תַּעֲשֶׂה־ もたらした
זֹאת これ-を H2063
הֲלוֹא־ ではない-か H3808
בְּעֵת 時-に H6256
מוֹלִיכֵךְ 導いていた-あなたを H3212
בַּדָּרֶךְ׃ 道-を H1870

あなたの神、主があなたを道に導かれた時、あなたは主を捨てたので、この事があなたに及んだのではないか。

18
שִׁחוֹר シホル-の H7883
מֵי 水-を H4325
לִשְׁתּוֹת 飲む-ため H8354
מִצְרַיִם エジプト-の H4714
לְדֶרֶךְ 道-に-つくのか H1870
לָךְ あなた-に
מַה־ 何-の H4100
וְעַתָּה そして-今 H6258
נָהָר׃ 川-の H5104
מֵי 水-を H4325
לִשְׁתּוֹת 飲む-ため H8354
אַשּׁוּר アッシリア-の H0804
לְדֶרֶךְ 道-に-つくのか H1870
לָךְ׀ あなた-に
וּמַה־ そして-何-の H4100

あなたがナイルの水を飲もうとして、エジプトへ行くのは何のためか。またユフラテの水を飲もうとして、アッスリヤへ行くのは何のためか。

19

וּדְעֵי	תּוֹכַחְתֵּךְ	וּמְשֻׁבוֹתַיִךְ	רָעָתֵךְ	תְּיַסְּרֵךְ
そして-知れ	責める-あなたを	そして-あなたの-背き-が	あなたの-悪-が-あなたを	懲らしめる
H3045	H3198	H4878		H3256

יְהוָה	אֶת־	עָזְבֵךְ	וָמָר	רַע	כִּי־	וּרְאִי
主-を	あなたの	捨てた-こと	そして-苦い-ことだ	悪い-ことで	まことに	そして-見よ
H3068	H0853		H4751			H7200

צְבָאוֹת׃	יְהוִה	אֲדֹנָי	נְאֻם־	אֵלַיִךְ	פַּחְדָתִי	וְלֹא	אֱלֹהָיִךְ
万軍-の	神	主-なる	宣言-する	あなた-に	畏れ-が-わたしへの	そして-ない	あなたの-神-を
	H3069	H0136	H5002	H0413	H6345	H3808	H0430

あなたの悪事はあなたを懲しめ、あなたの背信はあなたを責める。あなたが、あなたの神、主を捨てることの悪しくかつ苦いことであるのを見て知るがよい。わたしを恐れることがあなたのうちにないのだ」と万軍の神、主は言われる。

20

מוֹסְרֹתַיִךְ	נִתַּקְתִּי	עֻלֵּךְ	שָׁבַרְתִּי	מֵעוֹלָם	כִּי
あなたの-縄目-を	引きちぎった	あなたの-軛-を	砕いた	昔-から	まことに
H4147	H5423	H5923	H7665	H5769	

גִּבְעָה	כָּל־	עַל־	כִּי	)אֶעֱבֹור[אעבד]	לֹא	וַתֹּאמְרִי
丘-の	すべて-の	すべて-の	まことに	従わない-と	[ケティブ]	ない	そして-言った-あなたは
H1389	H3605			H5674	H5647	H3808	H0559

זֹנָה׃	צֹעָה	אַתְּ	רַעֲנָן	עֵץ	כָּל־	וְתַחַת	גְּבֹהָה
遊女-として	身を-横たえ	あなたは	緑-の	木-の	すべて-の	そして-下-に	高い
H2181	H6808			H6086	H3605	H8478	H1364

「あなたは久しい以前に自分のくびきを折り、自分のなわめを断ち切って、『わたしは仕えることをしない』と言った。そして、すべての高い丘の上と、すべての青木の下で、遊女のように身をかがめた。

21

וְאֵיךְ	אֱמֶת	זֶרַע	כֻּלָּהּ	שֹׂרֵק	נְטַעְתִּיךְ	וְאָנֹכִי
しかし-どうして	真実-の	種-は	すべて	良い-ぶどう-として	植えた-あなたを	しかし-わたし-は
	H0571	H2233	H3605		H5193	H0595

נָכְרִיָּה׃	הַגֶּפֶן	סוּרֵי	לִי	נֶהְפָּכְתְּ
見知らぬ	ぶどう-の	枝-に	わたし-にとって	変わった
H5237	H1612	H5494		H2015

わたしはあなたを、まったく良い種のすぐれたぶどうの木として植えたのに、どうしてあなたは変って、悪い野ぶどうの木となったのか。

22

נִכְתָּם	בֹּרִית	לָךְ	וְתַרְבִּי־	בְּנֹתֶר	תִּכַבְּסִי	אִם־	כִּי
染み-ついている	石鹸-を	自分-に	そして-増やし-ても	灰汁-で	洗っても	たとえ	まことに
H3799	H1287			H5427	H3526		

יְהוִה׃	אֲדֹנָי	נְאֻם	לְפָנַי	עֲוֹנֵךְ
神は	主-なる	宣言-する	わたし-の前に	あなたの-咎-は
H3069	H0136	H5002	H6440	H5771

たといソーダをもって自ら洗い、また多くの灰汁を用いても、あなたの悪の汚れは、なおわたしの前にある」と主なる神は言われる。

23 אֵיךְ תֹּאמְרִי לֹא נִטְמֵאתִי אַחֲרֵי הַבְּעָלִים לֹא הָלַכְתִּי רְאִי
どうして 言える–のか ない 汚れて–いない–と 後–を バアル–の ない 歩いた–と 見よ
H0559 H3808 H7200

דַּרְכֵּךְ בַּגַּיְא דְּעִי מָה עָשִׂית בִּכְרָה קַלָּה מְשָׁרֶכֶת
あなたの–道–を 谷–の–中の 知れ 何–を した–か–あなたが 若い–雌–らくだよ 軽い 駆け回る
H1870 H1516 H3045 H4100 H1072 H7031 H8308

דְּרָכֶיהָ׃
その–道–を
H1870

「どうしてあなたは、『わたしは汚れていない、バアルに従わなかった』と言うことができようか。谷の中でのあなたの行いを見るがよい。あなたのしたことを知るがよい。あなたは御しがたい若いらくだであって、その道を行きつもどりつする。

24 פֶּרֶה לִמְדָּבָר בְּאַוַּת [נפשן] (נַפְשָׁהּ) שָׁאֲפָה רוּחַ תַּאֲנָתָהּ
野–ろば 慣れた 荒野–に 欲望–の–中で [ケティブ] その–魂–の 喘ぐ 風–を その–発情–を
H6501 H3928 H0185 H5315 H5315 H7307

יְמֹצְאוּנָהּ׃ בְּחָדְשָׁהּ יִיעָפוּ לֹא מְבַקְשֶׁיהָ כָּל־ יְשִׁיבֶנָּה מִי
見つける–であろう–彼女を その–月–に 疲れない ない 求める–者は すべて–の 止められよう 誰–が
H4672 H2320 H3286 H3808 H1245 H3605 H7725 H4310

あなたは荒野に慣れた野の雌ろばである、その欲情のために風にあえぐ。その欲情をだれがとどめることができようか。すべてこれを尋ねる者は苦労するにおよばない、その月であればこれに会うことができる。

25 מִנְעִי [וגורנך] (וּגְרוֹנֵךְ) מִצִּמְאָה וַתֹּאמְרִי
止めよ あなたの–足–を 裸足–から [ケティブ] あなたの–喉–を 渇き–から しかし–言った–あなたは
H4513 H7272 H3182 H1637 H1627 H6773 H0559

אֵלֵךְ׃ וְאַחֲרֵיהֶם זָרִים אָהַבְתִּי כִּי־ לֹּוא נוֹאָשׁ
行く そして–その–後–を 他の–者–を 愛した まことに いいえ 絶望–だ
H3212 H0157 H3808 H2976

あなたの足が、はだしにならないように、のどが、かわかないようにせよ。ところが、あなたは言った、『それはだめだ、わたしは異なる国の者を愛して、それに従って行こう』と。

26 כְּבֹשֶׁת נִגְנַב כִּי יִמָּצֵא כֵּן הֹבִישׁוּ בֵּית יִשְׂרָאֵל הֵמָּה
恥–のように 盗人–の もし 見つかれば こう 恥じた 家–は イスラエルの 彼ら–は
H1322 H1590 H4672 H3478 H1992

וּנְבִיאֵיהֶם׃ וְכֹהֲנֵיהֶם שָׂרֵיהֶם מַלְכֵיהֶם
そして–その–預言者たち–は そして–その–祭司たち–は その–首長たち–は その–王たち–は
H5030 H3548 H8269 H4428

盗びとが捕えられて、はずかしめを受けるように、イスラエルの家は、はずかしめを受ける。彼らはその王も、そのつかさも、その祭司も、その預言者もみなそのとおりである。

27 אֹמְרִים לָעֵץ אָבִי אַתָּה וְלָאֶבֶן אַתְּ יְלִדְתָּנוּ) [ילדתני]
言う 木–に わたしの–父–よ あなた–は そして–石–に あなた–が [ケティブ] 生んだ–私たちを
H0559 H6086 H0001 H0068 H0859 H3205 H3205

וְלֹא פָּנִים עֹרֶף אֵלַי פָּנוּ כִּי־ וּבְעֵת רָעָתָם יֹאמְרוּ
そして–ない 顔–を 背–を わたし–に 向けた まことに しかし–時–に 災い–の–彼らの 言う
H3808 H6440 H6203 H0413 H6437 H6256 H7451 H0559

וְהוֹשִׁיעֵנוּ׃ קוּמָה
そして–救って–ください 立ち上がって
H3467

彼らは木に向かって、『あなたはわたしの父です』と言い、また石に向かって、『あなたはわたしを生んでくださった』と言う。彼らは背をわたしに向けて、その顔をわたしに向けない。しかし彼らが災にあう時は、『立って、われわれを救いたまえ』と言う。

28

אִם־	יָקֻמוּ	לָךְ	עָשִׂיתָ	אֲשֶׁר	אֱלֹהֶיךָ	וְאַיֵּה
もし	立ち上がれ	あなた–に	造った	ところの	あなたの–神々–は	そして–どこ–に–いるのか
					H0430	H0346

הָיוּ	עָרֶיךָ	מִסְפַּר	כִּי	רָעָתֶךָ	בְּעֵת	יוֹשִׁיעוּךָ
あった	あなたの–町々–の	数–ほどに	まことに	災い–の–あなたの	時–に	救えるなら–あなたを
H1961		H4557			H6256	H3467

ס	יְהוּדָה׃	אֱלֹהֶיךָ
[区切り]	ユダ–よ	あなたの–神々–は
	H3063	H0430

あなたが自分のために造った神々はどこにいるのか。あなたが災にあう時、もし彼らがあなたを救えるなら、立ってもらうがよい。ユダよ、あなたの神々は、あなたの町の数ほど多いからである。

29

יְהוָה׃	נְאֻם־	בִּי	פְּשַׁעְתֶּם	כֻּלְּכֶם	אֵלָי	תָּרִיבוּ	לָמָּה
主は	宣言–する	わたし–に	背いた	あなたがた–すべて	わたし–と	争う–のか	なぜ
H3068	H5002		H6586	H3605	H0413	H7378	H4100

あなたがたは、なぜわたしと争うのか。あなたがたは皆わたしにそむいている」と主は言われる。

30

אָכְלָה	לָקֶחוּ	לֹא	מוּסָר	בְּנֵיכֶם	אֶת־	הִכֵּיתִי	לַשָּׁוְא
食い尽くした	受け入れた	ない	懲らし–を	子ら–を	あなたがたの	打った	無駄–に
H0398	H3947	H3808	H4148		H0853	H5221	H7723

מַשְׁחֵית׃	כְּאַרְיֵה	נְבִיאֵיכֶם	חַרְבְּכֶם
滅ぼす	獅子–のように	あなたがたの–預言者たち–を	あなたがたの–剣–が
H7843		H5030	H2719

「わたしがあなたがたの子どもたちを打ったのはむだであった。彼らは戒めを受けず、あなたがたのつるぎは、たけりたつししのように、預言者たちを滅ぼした。

31

הָיִיתִי	הַמִּדְבָּר	יְהוָה	דְּבַר־	רְאוּ	אַתֶּם	הַדּוֹר	
わたし–は	荒野–で–あった–か	主の	ことば–を	見よ	あなたがた–は	この–代–よ	
H1961		H3068	H1697	H7200		H1755	

לוֹא־	רָדְנוּ	עַמִּי	אָמְרוּ	מַדּוּעַ	מַאפֵלָיָה	אֶרֶץ	אִם	לְיִשְׂרָאֵל
もう	さまよう	わたしの–民–は	言う	なぜ	暗闇–の	地	あるいは	イスラエル–に–とって
H3808	H7300		H0559	H4069	H3991	H0776		H3478

אֵלֶיךָ׃	עוֹד	נָבוֹא
あなた–の–もとに	二度–と	来ない
H0413	H5750	H0935

あなたがたこの世代の人よ、主の言葉を聞け。わたしはイスラエルにとって、荒野であったであろうか。暗黒の地であったであろうか。それならなぜ、わたしの民は『われわれは自由だ、もはやあなたのところへは行かない』と言うのか。

32

שְׁכֵחוּנִי	וְעַמִּי	קִשְׁרֶיהָ	כַּלָּה	עֶדְיָהּ	בְּתוּלָה	הֲתִשְׁכַּח	
忘れた–わたしを	しかし–わたしの–民–は	その–帯–を	花嫁–が	その–飾り–を	乙女–が	忘れる–か	
H7911		H7196	H3618	H5716	H1330	H7911	

מִסְפָּר׃	אֵין	יָמִים	
数え–切れぬ	ない	日々	
H4557	H0369	H3117	

おとめはその飾り物を忘れることができようか。花嫁はその帯を忘れることができようか。ところが、わたしの民の、わたしを忘れた日は数えがたい。

33

הָרָעוֹת	אֶת־	גַּם	לָכֵן	אֲהַבְתְּ	לְבַקֵּשׁ	דַּרְכֵּךְ	תֵּיטִבִי	מַה־
悪–さえも	(意味なし)	また	それゆえ	愛–を	求める–ため	あなたの–道–を	巧みに–する	何–と
	H0853	H1571		H0160	H1245	H1870	H3190	H4100

דְּרָכָיִךְ׃	אֶת־	לִמַּדְתִּי(ן)	]למדתין[
道–に–あなたの	あなたの	教えた	[ケティブ]
H1870	H0853	H3925	H3925

あなたは恋人を尋ねて、いかにも巧みにその方に足を向ける。それゆえ悪い女さえ、あなたの道を学んだ。

34

לֹא־	נְקִיִּם	אֶבְיוֹנִים	נַפְשׁוֹת	דָּם	נִמְצְאוּ	בִכְנָפַיִךְ	גַּם	
ない	無実–の	貧しい–者たち–の	命–の	血–が	見つかった	あなたの–衣の–裾–に	また	
H3808		H0034	H5315	H1818	H4672	H3671	H1571	

אֵלֶּה׃	כֹּל־	עַל־	כִּי	מְצָאתִים	בַּמַּחְתֶּרֶת	
これら–の	すべて–の–上に	すべて–の–上に	むしろ	見つけた–彼らを	忍び込み–で	
H0428	H3605			H4672	H4290	

また、あなたの着物のすそには罪のない貧しい人の命の血がついている。あなたは彼らが押し入るのを見たのではない。しかも、すべてこれらの事にもかかわらず、

35

מִמֶּנִּי	אַפּוֹ	שָׁב	אַךְ	נְקִיתִי	כִּי	וַתֹּאמְרִי	
わたし–から	その–怒り–は	去った	確かに	無罪–だ–と	まことに	しかし–言った–あなたは	
	H0639	H7725	H0389	H5352		H0559	

חָטָאתִי׃	לֹא	אָמְרֵךְ	עַל־	אוֹתָךְ	נִשְׁפָּט	הִנְנִי	
罪を犯した–と	ない	言った–こと–あなたの	について	あなた–を	裁く	見よ–わたしは	
H2398	H3808	H0559		H0853	H8199	H2009	

あなたは言う、『わたしは罪がない。彼の怒りは、決してわたしに臨むことがない』と。あなたが『わたしは罪を犯さなかった』と言うことによって、わたしはあなたをさばく。

36

תֵּבוֹשִׁי	מִמִּצְרַיִם	גַּם	דַּרְכֵּךְ	אֶת־	לְשַׁנּוֹת	מְאֹד	תָּזְלִי	מַה־
恥じる–であろう	エジプト–にも	また	道–を	あなたの	変える–のか	甚だしく	軽々しく	何–と
H0954	H4714	H1571	H1870	H0853		H3966	H0235	H4100

מֵאַשּׁוּר׃	בֹּשְׁתְּ	כַּאֲשֶׁר־
アッシリア–を	恥じた–ように	ちょうど
H0804	H0954	

あなたはなぜ軽々しくさまよって、その道を変えようとするのか。あなたはアッスリヤに、はずかしめを受けたように、エジプトにもまた、はずかしめを受ける。

37

רֹאשֵׁךְ	עַל־	וְיָדַיִךְ	תֵּצְאִי	זֶה	מֵאֵת	גַּם		
あなたの–頭–の	上–に	そして–あなたの–両手–は	出て行く	ここ–から–も	ここ–から–も	また		
		H3027	H3318	H2088	H0854	H1571		

לָהֶם׃	תַּצְלִיחִי	וְלֹא	בְּמִבְטַחַיִךְ	יְהוָה	מָאַס	כִּי־
それら–によって	繁栄しない	そして–ない	あなたの–頼みとする–もの–を	主は	退けた	まことに
		H3808	H4009	H3068		

あなたはまた両手を頭に置いて、そこから出て来る。主があなたの頼みとする者どもを捨てられたので、あなたは彼らによって栄えることがないからだ。

Chapter 3

1 לֵאמֹר֙ הֵן֙ יְשַׁלַּ֣ח אִ֔ישׁ אֶת־ אִשְׁתּ֖וֹ וְהָלְכָ֣ה מֵאִתּ֑וֹ וְהָיְתָ֖ה
言う 見よ 送り出す 男–が (目的語) その–妻–を そして–去り 彼–の–もとから そして–なる
H0559 H2005 H7971 H0376 H0853 H0802 H1980 H0854 H1961

לְאִ֣ישׁ־ אַחֵ֔ר הֲיָשׁ֥וּב אֵלֶ֖יהָ עֹ֑וד הֲלֹוא֙ הָאָ֣רֶץ הַהִ֤יא
他の–男–の 他の 戻れる–か 彼女–の–もとに 再び ではない–か 地–は その
H0376 H0312 H7725 H0413 H5750 H3808 H0776 H1931

חָנֹ֣וף חֻנָּ֔פָה תֵּחָנֵ֖ף וְאַתְּ֣ רַבִּ֔ים רֵעִ֖ים זָנִ֑ית וְאַתְּ֣
汚され 汚される 汚れる しかし–あなたは 多く–の 情人–が 姫遊びした しかし–あなたは
H2610 H2610 H3808 H7453 H2181

אֵלַ֖י וְשׁ֥וּבִי נְאֻם־ יְהוָֽה׃
わたし–の–もとに しかし–帰れ 宣言–する 主は
H0413 H7725 H5002 H3068

もし人がその妻を離婚し、女が彼のもとを去って、他人の妻となるなら、その人はふたたび彼女に帰るであろうか。その地は大いに汚れないであろうか。あなたは多くの恋人と姦淫を行った。しかもわたしに帰ろうというのか」と主は言われる。

2 שְׂאִי־ עֵינַיִךְ֙ עַל־ שְׁפָיִ֔ם וּרְאִי֙ אֵיפֹ֣ה לֹ֤א שגלת֙ שָׁכַ֔בְתְּ(עַל־
上げよ 目–を–あなたの 上–へ 裸の–丘–を そして–見よ どこ–に ない [ケティブ] 寓ねた
H5375 H5869 H5921 H8205 H7200 H0375 H0369 H7693 H7901

דְּרָכִ֖ים כָּֽעֲרָבִ֣י בַּמִּדְבָּ֑ר וַתְּחַנְפִּ֥י אֶת־ הָאָ֖רֶץ בְּזִנּוּתַ֥יִךְ וּבְרָעָתֵֽךְ׃
道–の–働で 座っていた 彼ら–の–ために アラビア人–のように 荒野–の そして–汚した 地–を あなたの–姫遊び–と そして–あなたの–悪–で
H1870 H3427 H3605 H6160 H4057 H2610

「目をあげてもろもろの裸の山を見よ、姦淫を行わなかった所がどこにあるか。荒野にいるアラビヤびとがするように、あなたは道のかたわらに座して恋人を待った。あなたは姦淫の悪事をもって、この地を汚した。

3 וּמַלְקֹ֖וש לֹ֣א הָיָ֑ה וּמַ֥צַּח אִשָּׁ֖ה זֹנָ֥ה הִ֛יא לָ֥ךְ מֵאָ֖נְתְּ הַכְלֵֽם׃
そして–春の–雨–は ない あった しかし–額–が 女–の 遊女–の 拒んだ あなた–に 恥じる–ことを
H4456 H3808 H1961 H4696 H0802 H2181 H3985 H3637

רַבִּ֔ים וַיִּמָּנְע֖וּ
大雨–が そして–止められた
H7241 H4513

それゆえ雨はとどめられ、春の雨は降らなかった。しかもあなたには遊女の額があり、少しも恥じようとはしない。

4 הֲלֹוא֙ מֵעַ֣תָּה קָרָ֔את(אָבִ֖י לִ֑י אַלּ֥וּף נְעוּרַ֖י אָֽתָּה׃
ではない–か 今–から [ケティブ] 呼んだ わたし–を わたしの–父–よ 導き手–よ あなた–よ 若い–時–の–わたしの
H3808 H6258 H7121 H7121 H7121 H0001 H0441 H0859

今あなたは、わたしを呼んで言ったではないか、『わが父よ、あなたはわたしの若い時の友です。

5 הֵ֣ן דִּבַּ֔רְתְּ(הָרָעֹ֖ות וַתּוּכָֽל׃ פ וַתַּעֲשִׂ֑י לְעֹולָ֖ם יִטֹּ֥ר אִם־ לָנֶ֖צַח הִנֵּ֥ה דברתי֙ הַיִנָּטֵֽר׃
そして–行った 語った 悪–を–この そして–やり遍した [区切り] 保つ もし いつまでも 見よ [ケティブ] 語った 永遠に 永遠に–保つ–か
H6213 H1696 H7451 H3201 H8104 H0518 H5331 H2009 H1696 H5769 H5201

永久に怒られるのですか、終りまで憤られるのですか』と。見よ、あなたはこう言ったけれども、なしうるかぎりのもろもろの悪を行った」。

6

מְשֻׁבָּה	עָשְׂתָה	אֲשֶׁר	הֲרָאִיתָ	הַמֻּלֶךְ	יֹאשִׁיָּהוּ	בִּימֵי	אֵלַי	יְהוָה	וַיֹּאמֶר
背き-の	行った	ところの	見た-か	王-の	ヨシヤフ-の	時代-に	私に	主が	そして-言われた
H4878			H7200	H4428	H2977	H3117	H0413	H3068	H0559

תָּחַת	וְאֶל־	גְּבֹהַ	הַר	כָּל־	עַל־	הִיא	הָלְכָה	יִשְׂרָאֵל	
下-に	そして-下-に	高い	山-の	すべて-の-上に	すべて-の-上に	彼女-は	行って	イスラエル-が	
H8478	H0413	H1364	H2022	H3605		H1931	H1980	H3478	

שָׁם׃	וַתִּזֶן־	רַעֲנָן	עֵץ	כָּל־
そこで	そして-姫遊びした	緑-の	木-の	すべて-の
H8033	H2181		H6086	H3605

ヨシヤ王の時、主はまたわたしに言われた、「あなたは、かの背信のイスラエルがしたことを見たか。彼女はすべての高い丘にのぼり、すべての青木の下に行って、そこで姦淫を行った。

7

אֵלַי	אֵלֶּה	כָּל־	אֶת־	עֲשׂוֹתָהּ	אַחֲרֵי	וָאֹמַר	
わたし-の-もとに	これら-を	すべて-の	これら	行った-こと-彼女が	後-に	そして-私は言った	
H0413	H0428	H3605	H0853			H0559	

יְהוּדָה׃	אֲחוֹתָהּ	בָּגוֹדָה	(וַתֵּרֶא	[ותראה]	שָׁבָה	וְלֹא־	תָּשׁוּב
ユダ-が	姉妹-の-彼女の	裏切り-の	そして-見た	[ケティブ]	帰った	しかし-ない	帰る-だろう-と
H3063	H0269	H0901	H7200	H7200	H7725	H3808	H7725

わたしは、彼女がこのすべてを行った後、わたしの所に帰るであろうと思ったが、帰ってこなかった。その不信の姉妹ユダはこれを見た。

8

מְשֻׁבָּה	נָאֲפָה	אֲשֶׁר	אֹדוֹת	כָּל־	עַל־	כִּי	וָאֵרֶא	
背き-の	姦淫した	ところの	因る-の	すべて-の-事柄に	すべて-の-事柄に	まことに	そして-見た	
H4878	H5003		H0182	H3605			H7200	

אֵלֶיהָ	כְּרִיתֻתֶיהָ	סֵפֶר	אֶת־	וָאֶתֵּן	שִׁלַּחְתִּיהָ	יִשְׂרָאֵל	
彼女-に	離縁-の-彼女の	書状-を	彼女に	そして-与えた	送り出した-彼女を	イスラエル-が	
H0413	H3748		H0853	H5414	H7971	H3478	

גַּם־	וַתִּזֶן	וַתֵּלֶךְ	אֲחוֹתָהּ	יְהוּדָה	בְּגֹדָה	יָרְאָה	וְלֹא
また	そして-姫遊びした	そして-行って	姉妹-の-彼女の	ユダ-が	裏切り-の	恐れた	しかし-ない
H1571	H2181	H3212	H0269	H3063	H0898	H3372	H3808

הִיא׃
彼女-も
H1931

わたしが背信のイスラエルを、そのすべての姦淫のゆえに、離縁状を与えて出したのをユダは見た。しかもその不信の姉妹ユダは恐れず、自分も行って姦淫を行った。

9

וַתְּנָאֵף	הָאָרֶץ	אֶת־	וַתֶּחֱנַף	זְנוּתָהּ	מִקֹּל	וְהָיָה	
そして-姦淫した	地-を	(目的語)	そして-汚した	その-姫遊び-の	軽さ-から	そして-なった	
H5003	H0776	H0853	H2610	H2184		H1961	

הָעֵץ׃	וְאֶת־	הָאֶבֶן	אֶת־	
木-と	そして	石-と	(目的語)	
H6086	H0853	H0068	H0853	

彼女にとって姦淫は軽いことであったので、石と木とに姦淫を行って、この地を汚した。

10 וְגַם־ בְּכָל־ זֹאת לֹא־ שָׁבָה אֵלַי בְּגוֹדָה
そして–また すべて–の–中で これ–にもかかわらず 帰った ない わたし–の–もとに 裏切り–の
H1571 H3605 H2063 H7725 H3808 H0413 H0901

אֲחוֹתָהּ יְהוּדָה בְּכָל־ לִבָּהּ כִּי אִם־ בְּשֶׁקֶר נְאֻם־ יְהוָה׃ פ
姉妹–の–彼女の ユダ–は 全–の 心–で ただ 偶り–の 偶り–で 宣言–する 主は [区切り]
H0269 H3063 H3605 H3820 H3588 H0518 H8267 H5002 H3068

このすべての事があっても、なおその不信の姉妹ユダは真心をもってわたしに帰らない、ただ偽っているだけだ」と主は言われる。

11 וַיֹּאמֶר יְהוָה אֵלַי צָדְקָה נַפְשָׁהּ מְשֻׁבָה מִבֹּגְדָה
そして–言われた 主が 私に 正しい–とした その–魂–を 背き–の 裏切り–よりも
H0559 H3068 H0413 H6663 H5315 H4878 H0898

יִשְׂרָאֵל יְהוּדָה׃
イスラエル–は ユダ–よりも
H3478 H3063

主はまたわたしに言われた、「背信のイスラエルは不信のユダよりも自分の罪の少ないことを示した。

12 הָלֹךְ וְקָרָאתָ אֶת־ הַדְּבָרִים הָאֵלֶּה צָפוֹנָה וְאָמַרְתָּ שׁוּבָה
行き そして–呼びかけよ (目的語) 言葉–を–この これら–の 北–に向かって そして–言え 帰れ
H1980 H7121 H0853 H1697 H0428 H6828 H0559 H7725

מְשֻׁבָה יִשְׂרָאֵל נְאֻם־ יְהוָה לֹוא־ אַפִּיל פָּנַי בָּכֶם כִּי־
背き–の イスラエル–よ 宣言–する 主は ない 伏せない 顔–を–わたしの あなたがた–に なぜなら
H4878 H3478 H5002 H3068 H3808 H5307 H6440 H3588

חָסִיד אֲנִי נְאֻם־ יְהוָה לֹא אֶטּוֹר לְעוֹלָם׃
憐れみ–深い わたしは 宣言–する 主は ない 怒り続けない 永遠に
H2623 H0589 H5002 H3068 H3808 H5201 H5769

あなたは行って北にむかい、この言葉をのべて言うがよい、『主は言われる、背信のイスラエルよ、帰れ。わたしは怒りの顔をあなたがたに向けない、わたしはいつくしみ深い者である。いつまでも怒ることはしないと、主は言われる。

13 אַךְ דְּעִי אֶת־ עֲוֹנֵךְ כִּי בַיהוָה אֱלֹהַיִךְ פָּשַׁעַתְּ וַתְּפַזְּרִי
ただ 知れ あなたの–咎–を まことに 主–に対して あなたの–神–に対して 背いた そして–播いた
H0389 H3045 H5771 H3588 H3068 H0430 H6586 H6340

דְּרָכַיִךְ לַזָּרִים תַּחַת כָּל־ עֵץ רַעֲנָן וּבְקוֹלִי לֹא־
道–を 他国人–に 下–に すべて–の 木–の 緑–の そして–わたしの–声–に ない
H1870 H2114 H8478 H3605 H6086 H7488 H8085 H3808

שְׁמַעְתֶּם נְאֻם־ יְהוָה׃
聞いた 宣言–する 主は
H8085 H5002 H3068

ただあなたは自分の罪を認め、あなたの神、主にそむいてすべての青木の下で異なる神々にあなたの愛を惜しまず与えたこと、わたしの声に聞き従わなかったことを言いあらわせと、主は言われる。

14 שׁוּבוּ בָנִים שׁוֹבָבִים נְאֻם־ יְהוָה כִּי אָנֹכִי בָּעַלְתִּי בָּכֶם
帰れ 子ら–よ 背き–の 宣言–する 主は なぜなら わたしが 嫁いだ–から あなたがた–を
H7725 H1121 H7726 H5002 H3068 H3588 H0595 H1166 H0853

וְלָקַחְתִּי אֶתְכֶם אֶחָד מֵעִיר וּשְׁנַיִם מִמִּשְׁפָּחָה וְהֵבֵאתִי
そして–取る あなたがた–を 一人–を 町–から そして–二人–を 氏族–から そして–連れて来る
H3947 H0853 H0259 H5892 H8147 H4940 H0935

אֶתְכֶם צִיּוֹן׃
あなたがた–を シオン–に
H0853 H6726

主は言われる、背信の子らよ、帰れ。わたしはあなたがたの夫だからである。町からひとり、氏族からふたりを取って、あなたがたをシオンへ連れて行こう。

15 וְנָתַתִּי לָכֶם רֹעִים כִּלְבָבִי וְרָעוּ אֶתְכֶם
そして-与える 牧者たち-を わたしの-心-にかなう そして-養う あなたがた-を
H5414 H0853

וְהַשְׂכִּיל׃ דֵּעָה
そして-分別-をもって 知識-をもって
H1844

わたしは自分の心にかなう牧者たちをあなたがたに与える。彼らは知識と悟りとをもってあなたがたを養う。

16 וְהָיָה כִּי תִרְבּוּ וּפְרִיתֶם בָּאָרֶץ בַּיָּמִים הָהֵמָּה נְאֻם־יְהוָה
そして-なる まことに 増えて そして-実り-あるとき 地-に 日々-に その 宣言-する 主は
H1961 H0776 H3117 H1992 H5002 H3068

לֹא יֹאמְרוּ עוֹד אֲרוֹן בְּרִית־יְהוָה וְלֹא תַעֲלֶה עַל־לֵב וְלֹא יִזָּכְרוּ־בוֹ וְלֹא יִפָּקֵד וְלֹא יֵעָשֶׂה עוֹד׃
ない 言う もはや 箱-と 契約-の 主の そして-ない 心-に-上る 心-に 上-に そして-ない それ-を 思い出し そして-ない 求め 作られる もはや
H3808 H0559 H5750 H0727 H1285 H3068 H3808 H5927 H3808 H2142 H3808 H6485 H3808 H5750

主は言われる、あなたがたが地に増して多くなるとき、その日には、人々はかさねて「主の契約の箱」と言わず、これを思い出さず、これを覚えず、これを尋ねず、これを作らない。

17 בָּעֵת הַהִוא יִקְרְאוּ לִירוּשָׁלַם כִּסֵּא יְהוָה וְנִקְוּוּ אֵלֶיהָ כָּל־הַגּוֹיִם
時-に その 呼ぶ エルサレム-を 王座-と 主の そして-集う そこ-に すべて-の 国民-が
H6256 H1931 H7121 H3678 H3389 H3068 H0413 H3605

לִשְׁם יְהוָה לִירוּשָׁלַם וְלֹא־יֵלְכוּ עוֹד אַחֲרֵי שְׁרִרוּת לִבָּם הָרָע׃ ס
名-の-ために 主の エルサレム-に そして-ない 歩く もはや 後-を かたくなな-さ 心-の-彼らの 悪い [区切り]
H8034 H3068 H3389 H3808 H3212 H5750 H0310 H8307 H3824

そのときエルサレムは主のみ位ととなえられ、万国の民はここに集まる。すなわち主の名のもとにエルサレムに集まり、かさねて、かたくなに自分の悪い心に従うことはしない。

18 בַּיָּמִים הָהֵמָּה תֵּלַכְנָה בֵית־יְהוּדָה עַל־בֵּית יִשְׂרָאֵל וְיָבְאוּ יַחְדָּו
日々-に その 行く 家-は ユダの 共-に 家 イスラエルの そして-来る 一緒に
H1992 H3212 H3063 H0413 H1004 H3478 H0935 H3162

מִן־הָאָרֶץ הַצָּפוֹן עַל־הָאָרֶץ אֲשֶׁר הִנְחַלְתִּי אֶת־אֲבוֹתֵיכֶם׃
地-から 北の へ 地-に ところの (目的語) 受け継がせた 先祖たち-に-あなたがたの
H0776 H6828 H0413 H0776 H0834 H5157 H0853 H0001

その日には、ユダの家はイスラエルの家と一緒になり、北の地から出て、わたしがあなたがたの先祖たちに嗣業として与えた地に共に来る。

19 וְאָנֹכִי אָמַרְתִּי אֵיךְ אֲשִׂיתֵךְ בַּבָּנִים וְאֶתֶּן־לָךְ
しかし–わたし–は 思った どうして 置こう–あなたを 子ら–の–中に そして–与えよう あなた–に
H0595 H0559 H0413 H7896 H1121 H5414

אֶרֶץ חֶמְדָּה נַחֲלַת צְבִי צִבְאוֹת גּוֹיִם וָאֹמַר אָבִי תְקָרֵאִי[
地–を 麗しい 嗣業–を 美しい 軍勢–の 国民–の そして–私は思った わたしの–父–よ–と [ケティブ]
H0776 H6643 H5159 H6643 H6635 H1471 H0559 H0001 H7121

וְלֹא תָשׁוּבִי׃) מֵאַחֲרָי לִי תִקְרְאִי־(
ない そして–後–を わたし–を 呼ぶ–あなたは
H3808 H0310 H7121 H7121

[ケティブ] 離れない–と
H7725 H7725

どのようにして、あなたをわたしの子どもたちのうちに置き、万国のうちで最も美しい嗣業である良い地をあなたに与えようかと、わたしは思っていた。わたしはまた、あなたがわたしを「わが父」と呼び、わたしに従って離れることはないと思っていた。

20 אָכֵן בָּגְדָה אִשָּׁה מֵרֵעָהּ כֵּן בְּגַדְתֶּם בִּי בֵּית יִשְׂרָאֵל
たしかに 裏切った 女–が その–伴侶–を そのように 裏切った わたし–に 家–よ イスラエルの
H0403 H0898 H0802 H7453 H3651 H0898 H0413 H1004 H3478

נְאֻם־יְהוָה׃
宣言–する 主は
H5002 H3068

イスラエルの家よ、背信の妻が夫のもとを去るように、たしかに、あなたがたはわたしにそむいた』と主は言われる」。

21 קוֹל עַל־שְׁפָיִם נִשְׁמָע בְּכִי תַחֲנוּנֵי בְּנֵי יִשְׂרָאֵל כִּי הֶעֱוּוּ
声–が 上–の 裸の–丘–の 聞こえる 泣き–と 嘆願–と 子ら–の まことに 曲げた
H6963 H5921 H8205 H8085 H1065 H8469 H1121 H3478 H3588 H5753

אֶת־יְהוָה אֱלֹהֵיהֶם׃ שָׁכְחוּ אֶת־דַּרְכָּם אֶת־יְהוָה
(目的語) 主–を その–神–を 忘れた (目的語) その–道–を (目的語) 主–を
H0853 H3068 H0430 H7911 H0853 H1870 H0853 H3068

裸の山の上に声が聞える、イスラエルの民が悲しみ祈るのである。彼らが曲った道に歩み、その神、主を忘れたからだ。

22 שׁוּבוּ בָנִים שׁוֹבָבִים אֶרְפָּה מְשׁוּבֹתֵיכֶם הִנֵּנוּ בָאנוּ אֵלֶיךָ
帰れ 子ら–よ 背き–の 癒す あなたがたの–背き–を 見よ–私たちは 来た あなた–の–もとに
H7725 H1121 H7726 H7495 H4878 H2009 H0935 H0413

כִּי אַתָּה יְהוָה אֱלֹהֵינוּ׃
なぜなら あなた–が 主 私たちの–神–です
H3588 H0859 H3068 H0430

「背信の子どもたちよ、帰れ。わたしはあなたがたの背信をいやす」。「見よ、われわれはあなたのもとに帰ります。あなたはわれわれの神、主であらせられます。

23 אָכֵן לַשֶּׁקֶר מִגְּבָעוֹת הָמוֹן הָרִים אָכֵן בַּיהוָה אֱלֹהֵינוּ
たしかに 偶り–である 丘々–から–の 騒ぎ–は 山々–の たしかに 主–にこそ 私たちの–神–にこそ
H0403 H8267 H1389 H1995 H2022 H0403 H3068 H0430

תְּשׁוּעַת יִשְׂרָאֵל׃
救い–は–ある イスラエルの
H8668 H3478

まことに、もろもろの丘は迷いであり、山の上の騒ぎも同じです。まことに、イスラエルの救はわれわれの神、主にあるのです。

24

וְהַבֹּשֶׁת	אָכְלָה	אֶת־	יְגִיעַ	אֲבוֹתֵינוּ	
そして–恥ぶべきもの–が	食い尽くした	(目的語)	労苦–を	先祖たち–の–私たちの	
H1322	H0398	H0853	H3018	H0001	

מִנְּעוּרֵינוּ	אֶת־	צֹאנָם	וְאֶת־	בְּקָרָם	אֶת־	בְּנֵיהֶם
若い–時–から–私たちの	(目的語)	羊–を–彼らの	そして	牛–を–彼らの	(目的語)	息子たち–を–彼らの
	H0853	H6629	H0853	H1241	H0853	

וְאֶת־	בְּנוֹתֵיהֶם׃	
そして	娘たち–を–彼らの	
H0853	H1323	

しかし、われわれの幼少の時から、恥ずべきことが、われわれの先祖のほねおって得たもの、すなわちその羊、その牛、およびそのむすこ、娘たちをことごとくのみ尽しました。

25

נִשְׁכְּבָה	בְּבָשְׁתֵּנוּ	וְתְכַסֵּנוּ	כְּלִמָּתֵנוּ	כִּי	לַיהוָה	
横たわろう	私たちの–恥–の–中に	そして–覆え	私たちの–不名誉–が–私たちを	まことに	主–に–対して	
H7901	H1322	H3680	H3639		H3068	

מִנְּעוּרֵינוּ	וַאֲבוֹתֵינוּ	אֲנַחְנוּ	חָטָאנוּ	אֱלֹהֵינוּ
若い–時–から–私たちの	そして–先祖たち–が–私たちの	私たち–が	罪を犯した	私たちの–神–に–対して
	H0001	H0587	H2398	H0430

ס	אֱלֹהֵינוּ׃	יְהוָה	בְּקוֹל	שָׁמַעְנוּ	וְלֹא	הַזֶּה	הַיּוֹם	וְעַד־
[区切り]	私たちの–神–の	主–の	声–に	聞いた	そして–ない	この	今日–の	そして–まで
	H0430	H3068		H8085	H3808	H2088	H3117	H5704

われわれは恥の中に伏し、はずかしめにおおわれています。それはわれわれと先祖とが、われわれの幼少の時から今日まで、われわれの神、主に罪を犯し、われわれの神、主の声に従わなかったからです」。

Chapter 4

1

וְאִם־	תָּשׁוּב	אֵלַי	יְהוָה	נְאֻם־	וְיִשְׂרָאֵל	תָּשׁוּב	אִם־	
そして–もし	立ち返れ	わたしに	主の	御告げ–である	イスラエルよ	立ち返るなら	もし	
	H7725	H0413	H3068	H5002	H3478	H7725		

תָּנוּד׃	וְלֹא	מִפָּנַי	שִׁקּוּצֶיךָ	תָּסִיר
さまようなら	そして–ない	わたしの–前から	忌むべきものを	取り除くなら
H5110	H3808	H6440	H8251	H5493

主は言われる、「イスラエルよ、もし、あなたが帰るならば、わたしのもとに帰らなければならない。もし、あなたが憎むべき者をわたしの前から取り除いて、ためらうことなく、

2

וּבְצִדָקָה	בְּמִשְׁפָּט	בֶּאֱמֶת	יְהוָה	חַי־	וְנִשְׁבַּעְתָּ	
そして–義に–おいて	公正に	真実に	主に–かけてと	生きておられる	そして–誓うなら	
H6666	H4941	H0571	H3068		H7650	

ס	יִתְהַלָּלוּ׃	וּבוֹ	גּוֹיִם	בּוֹ	וְהִתְבָּרְכוּ	
—	誇る	そして–彼に–よって	諸国民は	彼に–よって	そして–祝福を–受ける	
					H1288	

また真実と正義と正直とをもって、『主は生きておられる』と誓うならば、万国の民は彼によって祝福を受け、彼によって誇る」。

3

כִּי־	כֹה	אָמַר	יְהוָה	לְאִישׁ	יְהוּדָה	וְלִירוּשָׁלִַם	נִירוּ	לָכֶם
なぜなら	こう	言われた	主は	人々に	ユダの	そして–エルサレムに	耕せ	あなたがたの–ために
H3541	H0559	H3068	H0376	H3063		H3389	H5214	

נִיר	וְאַל־	תִּזְרְעוּ	אֶל־	קוֹצִים׃	
新しい–地を	そして–ない	蒔くな	中に	茨の	
H5215	H0408	H2232	H0413	H6975	

主はユダの人々とエルサレムに住む人々にこう言われる、「あなたがたの新田を耕せ、いばらの中に種をまくな。

4

יְהוּדָה	אִישׁ	לְבַבְכֶם	עָרְלוֹת	וְהָסִרוּ	לַיהוָה	הִמֹּלוּ		
ユダの	人々よ	あなたがたの–心の	包皮を	そして–取り除け	主に–対して	割礼を–受けよ		
H3063	H0376	H3824	H6190	H5493	H3068			

וּבָעֲרָה	חֲמָתִי	כָּאֵשׁ	תֵּצֵא	פֶּן־	יְרוּשָׁלִַם	וְיֹשְׁבֵי		
そして–燃え上がる	わたしの–怒りが	火の–ように	出る	さもなければ	エルサレムの	そして–住民よ		
	H2534	H0784	H3318	H6435	H3389	H3427		

מַעַלְלֵיכֶם׃	רַע	מִפְּנֵי	מְכַבֶּה	וְאֵין	
あなたがたの–行いの	悪の	ゆえに	消す–者が	そして–ない	
H4611	H7455	H6440	H3518	H0369	

ユダの人々とエルサレムに住む人々よ、あなたがたは自ら割礼を行って、主に属するものとなり、自分の心の前の皮を取り去れ。さもないと、あなたがたの悪しき行いのためにわたしの怒りが火のように発して燃え、これを消す者はない」。

5

(תִּקְעוּ	]ותקעו[	וְאִמְרוּ	הַשְׁמִיעוּ	וּבִירוּשָׁלִַם	בִּיהוּדָה	הַגִּידוּ		
吹き鳴らせ	そして–吹き鳴らせ	そして–言え	聞かせよ	そして–エルサレムに	ユダに	告げよ		
H8628	H8628	H0559	H8085	H3389	H3063	H5046		

הַמִּבְצָר׃	עָרֵי	אֶל־	וְנָבוֹאָה	הֵאָסְפוּ	וְאִמְרוּ	מַלְאוּ	קִרְאוּ	בָּאָרֶץ	שׁוֹפָר
要塞の	町々の	中へ	そして–入ろう	集まれ	そして–言え	声を–あげて	叫べ	地に	角笛を
H4013		H0413	H0935	H0622	H0559	H4390	H7121	H0776	H7782

ユダに告げ、エルサレムに示して言え、「国中にラッパを吹き、大声に呼ばわって言え、『集まれ、われわれは堅固な町々へ行こう』と。

6

אָנֹכִי	רָעָה	כִּי	תַעֲמֹדוּ	אַל־	הָעִיזוּ	צִיּוֹנָה	נֵס	שְׂאוּ־
わたしが	わざわいを	なぜなら	立ち止まるな	ない	避難せよ	シオンに–向けて	旗を	掲げよ
H0595			H5975	H0408	H5756	H6726	H5251	H5375

גָּדוֹל׃	וְשֶׁבֶר	מִצָּפוֹן	מֵבִיא	
大きな	そして–破滅を	北から	もたらす	
	H7667	H6828	H0935	

シオンの方を示す旗を立てよ。避難せよ、とどまってはならない、わたしが北から災と大いなる破滅をこさせるからだ。

7

יָצָא	נָסַע	גּוֹיִם	וּמַשְׁחִית	מִסְבְּכוֹ	אַרְיֵה	עָלָה		
出て–来た	出発した	諸国の	そして–滅ぼす–者が	その–茂みから	獅子が	上って–来た		
H3318	H5265		H7843	H5441		H5927		

יוֹשֵׁב׃	מֵאֵין	תְּצִינָה	עָרַיִךְ	לְשַׁמָּה	אַרְצֵךְ	לָשׂוּם	מִמְּקֹמוֹ	
住む–者が	ない	廃墟と–なる	あなたの–町々は	荒廃と	あなたの–地を	するために	その–場所から	
H3427	H0369			H8047	H0776		H4725	

ししはその森から出てのぼり、国々を滅ぼす者は進んできた。彼はあなたの国を荒そうとして、すでにその所から出てきた。あなたの町々は滅ぼされて、住む者もなくなる。

8

שָׁב	לֹא־	כִּי	וְהֵילִילוּ	סִפְדָ֔ו	שַׂקִּים	חִגְרוּ	זֹאת	עַל־
去っていない	ない	なぜなら	そして–泣き叫べ	嘆け	粗布を	身に–まとえ	これ	この–ゆえに
H7725	H3808		H3213	H5594	H8242	H2296	H2063	

פ	מִמֶּ֑נּוּ׃	יְהוָ֖ה	אַף־	חֲרוֹן
—	私たちから	主の	怒りが	激しい
		H3068	H0639	H2740

このために、あなたがたは荒布を身にまとって、悲しみ嘆け。主の激しい怒りが、まだわれわれを離れないからだ」。

9

וְלֵ֣ב	הַמֶּ֔לֶךְ	לֵב־	יֹאבֵ֖ד	יְהוָ֑ה	נְאֻם־	הַה֣וּא	בַּיּ֤וֹם־	וְהָיָה
そして–心が	王の	心が	失われる	主の	御告げ–である	その	その–日に	そして–なる
	H4428		H0006	H3068	H5002	H1931	H3117	H1961

יִתְמָהוּ׃	וְהַנְּבִיאִ֖ים	הַכֹּהֲנִ֥ים	וְנָשַׁמּ֛וּ	הַשָּׂרִ֑ים
呆然と–する	そして–預言者たちは	祭司たちは	そして–驚く	高官たちの
H8539	H5030	H3548	H8074	H8269

主は言われる、「その日、王と君たちとはその心を失い、祭司は驚き、預言者は怪しむ」。

10

הַזֶּ֔ה	לָעָ֣ם	הִשֵּׁ֤את	הַשֵּׁא֙	אָכֵ֔ן	יְהוִ֖ה	אֲדֹנָ֑י	אֲהָהּ	וָאֹמַ֕ר
この	民を	欺かれた	欺いて	まことに	神よ	主なる	ああ	そして–私は–言った
H2088		H5377	H5377	H0403	H3069	H0136	H0162	H0559

הַנָּ֥פֶשׁ׃	עַד־	חֶ֖רֶב	וְנָגְעָ֥ה	לָכֶ֛ם	יִהְיֶ֥ה	שָׁלֹ֖ום	לֵאמֹ֑ר	וְלִירוּשָׁלִָ֔ם
命に	まで	剣が	しかし–届いた	あなたがたに	あると	平和が	言って	そして–エルサレムを
H5315	H5704	H2719	H5060		H1961	H7965	H0559	H3389

そこでわたしは言った、「ああ主なる神よ、まことにあなたはこの民とエルサレムとをまったく欺かれました。『あなたがたは安らかになる』と言われましたが、つるぎが命にまでも及びました」。

11

שְׁפָיִ֔ים	צַ֖ח	רֽוּחַ	וְלִירוּשָׁלִָ֑ם	הַזֶּ֔ה	לָעָ֣ם־	יֵאָמֵ֖ר	הַה֥וּא	בָּעֵ֛ת
裸の–丘の	焼けつく	風が	そして–エルサレムに	この	民に	言われる	その	その–時に
H8205	H6703	H7307	H3389	H2088		H0559	H1931	H6256

וְלֹ֥וא	לִזְרֹ֖ות	לֹ֣וא	עַמִּ֑י	בַּת־	דֶּ֥רֶךְ	בַּמִּדְבָּ֛ר
そして–ない	ふるい分けるためでも	ない	わが–民の	娘の	道を–通って	荒野の
H3808	H2219	H3808		H1323	H1870	

לְטַהֵֽר׃
清めるためでもなく
H1305

その時この民とエルサレムとはこう告げられる、「熱い風が荒野の裸の山からわたしの民の娘のほうに吹いてくる。これはあおぎ分けるためではなく、清めるためでもない。

12

אוֹתָֽם׃	מִשְׁפָּטִ֖ים	אֲדַבֵּ֥ר	אֲנִ֛י	גַּם־	עַתָּ֑ה	לִ֣י	יָבֹ֥וא	מֵאֵ֖לֶּה	מָלֵ֥א	רֽוּחַ
彼らに	さばきを	語る	わたしは	また	今	わたしに	来る	これらより	激しい	風が
H0853	H4941	H1696	H0589	H1571	H6258		H0935	H0428	H4392	H7307

これよりもなお激しい風がわたしのために吹く。いまわたしは彼らにさばきを告げる」。

13

סוּסָ֔יו	מִנְּשָׁרִ֖ים	קַלּ֣וּ	מַרְכְּבֹתָ֑יו	וְכַסּוּפָ֔ה	יַעֲלֶ֖ה	כֶּעָנָ֥נִים	וְהִנֵּ֛ה
その–馬は	鷲よりも	速い	その–戦車は	そして–嵐の–ように	上って–来る	雲の–ように	見よ
	H5404	H7043	H4818		H5927	H6051	H2009

שֻׁדַּדְנוּ׃	כִּי	לָ֖נוּ	אֹ֥וי	
滅ぼされた	なぜなら	私たちは	ああ	
H7703			H0188	

見よ、彼は雲のように上ってくる。その戦車はつむじ風のよう、その馬はわしの飛ぶよりも速い。ああ、われわれはわざわいだ、われわれは滅ぼされる。

תָּלִין	מָתַי	עַד־	תּוֹשִׁיעִי	לְמַעַן	יְרוּשָׁלִַם	לִבֵּךְ	מֵרָעָה	כַּבְּסִי	14
宿る	いつ	まで	救われるように	ために	エルサレムよ	あなたの–心を	悪から	洗え	
	H4970	H5704	H3467	H4616	H3389			H3526	

אוֹנֶךְ׃	מַחְשְׁבוֹת	בְּקִרְבֶּךְ
あなたの–罪の	悪い–思いが	あなたの–内に
H0205	H4284	H7130

エルサレムよ、あなたの心の悪を洗い清めよ、そうするならば救われる。悪しき思いはいつまであなたのうちにとどまるのか。

אֶפְרָיִם׃	מֵהַר	אָוֶן	וּמַשְׁמִיעַ	מִדָּן	מַגִּיד	קוֹל	כִּי	15
エフライムの	山から	わざわいを	そして–知らせている	ダンから	告げている	声が	なぜなら	
H0669	H2022	H0205	H8085	H1835	H5046			

ダンから告げる声がある、エフライムの山から災を知らせている。

מֵאֶרֶץ	בָּאִים	נֹצְרִים	יְרוּשָׁלִַם	עַל־	הַשְׁמִיעוּ	הִנֵּה	לַגּוֹיִם	הַזְכִּירוּ	16
地から	来る	包囲する–者たちが	エルサレムを	について	聞かせよ	見よ	諸国に	告げよ	
H0776	H0935	H5341	H3389		H8085	H2009		H2142	

קוֹלָם׃	יְהוּדָה	עָרֵי	עַל־	וַיִּתְּנוּ	הַמֶּרְחָק
その–声を	ユダの	町々に	に–向けて	そして–あげる	遠い
	H3063			H5414	H4801

国々の民に彼の来ることを告げ、またエルサレムに知らせよ。「攻めかこむ者が遠くの国から来て、ユダの町々にむかってその声をあげる。

מָרָתָה	אֹתִי	כִּי־	מִסָּבִיב	עָלֶיהָ	הָיוּ	שָׂדַי	כְּשֹׁמְרֵי	17
逆らったからだ	わたしに	なぜなら	四方から	その–周りに	なった	畑の	野の–番人の–ように	
H4784	H0853		H5439		H1961		H8104	

יְהוָה׃	נְאֻם־
主の	御告げ–である
H3068	H5002

彼らは畑を守る者のようにこれを攻めかこむ。それはわたしにそむいたからだと、主は言われる。

רָעָתֵךְ	זֹאת	לָךְ	אֵלֶּה	עָשׂוּ	וּמַעֲלָלַיִךְ	דַּרְכֵּךְ		18
あなたの–災いだ	これが	あなたに	これらを	もたらした	そして–あなたの–行いが	あなたの–道と		
	H2063		H0428		H4611	H1870		

ס	לִבֵּךְ׃	עַד־	נָגַע	כִּי	מָר	כִּי	
—	あなたの–心に	まで	達した	なぜなら	苦い	なぜなら	
		H5704	H5060		H4751		

あなたの道とその行いとが、あなたの身にこれを招いたのだ。これはあなたの悪の結果で、まことに苦く、あなたの心をつらぬく」。

הֻמֶּה־	לִבִּי	קִירוֹת	(אוֹחִילָה)	[אחולה]	מֵעַי		מֵעַי		19
騒いでいる	わが–心の	壁が	苦しむ	—	わが–はらわたよ		わが–はらわたよ		
H1993		H7023	H3176		H4578		H4578		

(שָׁמַעַתְּ)	[שמעתי]	שׁוֹפָר	קוֹל	כִּי	אַחֲרִישׁ	לֹא	לִבִּי	לִי	
聞いた	聞いた	角笛の	音を	なぜなら	黙っていられない	ない	わが–心よ	わたしの–中で	
H8085	H8085	H7782				H3808			

מִלְחָמָה׃	תְּרוּעַת	נַפְשִׁי
戦いの	ときの–声を	わが–魂よ
H4421	H8643	H5315

ああ、わがはらわたよ、わがはらわたよ、わたしは苦しみにもだえる。ああ、わが心臓の壁よ、わたしの心臓は、はげしく鼓動する。わたしは沈黙を守ることができない、ラッパの声と、戦いの叫びを聞くからである。

שֻׁדַּד	פִּתְאֹם	הָאָרֶץ	כָּל־	שֻׁדְּדָה	כִּי	נִקְרָא	שֹׁבֶר	עַל־	שֶׁבֶר	20
荒らされた	突然に	地が	すべての	荒らされた	なぜなら	告げられた	破壊が	次ぐ	破壊に	
H7703	H6597	H0776	H3605	H7703		H7121	H7667		H7667	

יְרִיעֹתָי׃	רֶגַע	אָהֳלָי
わが–幕が	一瞬に	わが–天幕が
H3407	H7281	H0168

破壊に次ぐに破壊があり、全地は荒され、わたしの天幕はにわかに破られ、わたしの幕はたちまち破られた。

ס	שׁוֹפָר׃	קוֹל	אֶשְׁמְעָה	נֵס	אֶרְאֶה־	מָתַי	עַד־	21
—	角笛の	音を	聞かなければならないのか	旗を	見なければならないのか	いつまで	いつまで	
	H7782		H8085	H5251	H7200	H4970	H5704	

いつまでわたしは旗を見、またラッパの声を聞かなければならないのか。

וְלֹא	הֵמָּה	סְכָלִים	בָּנִים	יָדָעוּ	לֹא	אוֹתִי	עַמִּי	אֱוִיל	כִּי	22
そして–ない	彼らは	愚鈍で	子らは	知らない	ない	わたしを	わが–民は	愚かだ	まことに	
H3808	H1992	H5530		H3045	H3808	H0853		H0191		

יָדָעוּ׃	לֹא	וּלְהֵיטִיב	לְהָרַע	הֵמָּה	חַכְמִים	הֵמָּה	נְבוֹנִים
知らない	ない	しかし–善を–行うことを	悪を–行うことに	彼らは	賢い	彼らは	悟りが–ない
H3045	H3808	H3190		H1992	H2450	H1992	H0995

「わたしの民は愚かであって、わたしを知らない。彼らは愚鈍な子どもらで、悟ることがない。彼らは悪を行うのにさといけれども、善を行うことを知らない」。

אוֹרָם׃	וְאֵין	הַשָּׁמַיִם	וְאֶל־	וָבֹהוּ	תֹהוּ	וְהִנֵּה־	הָאָרֶץ	אֶת־	רָאִיתִי	23
その–光が	そして–ない	天を	そして	空虚	混沌と	すると–見よ	地を	を	私は–見た	
H0216	H0369	H8064	H0413	H0922	H8414	H2009	H0776	H0853	H7200	

わたしは地を見たが、それは形がなく、またむなしかった。天をあおいだが、そこには光がなかった。

הִתְקַלְקָלוּ׃	הַגְּבָעוֹת	וְכָל־	רֹעֲשִׁים	וְהִנֵּה	הֶהָרִים	רָאִיתִי	24
揺れ動いていた	丘は	そして–すべての	震えていた	すると–見よ	山々を	私は–見た	
H7043	H1389	H3605	H7493	H2009	H2022	H7200	

わたしは山を見たが、みな震え、もろもろの丘は動いていた。

נָדְדוּ׃	הַשָּׁמַיִם	עוֹף	וְכָל־	הָאָדָם	אֵין	וְהִנֵּה	רָאִיתִי	25
逃げ去っていた	天の	鳥は	そして–すべての	人が	いなかった	すると–見よ	私は–見た	
H5074	H8064	H5775	H3605	H0120	H0369	H2009	H7200	

わたしは見たが、人はひとりもおらず、空の鳥はみな飛び去っていた。

נִתְּצוּ	עָרָיו	וְכָל־	הַמִּדְבָּר	הַכַּרְמֶל	וְהִנֵּה	רָאִיתִי	26
打ち壊されていた	その–町々は	そして–すべての	荒野と–なり	果樹園は	すると–見よ	私は–見た	
H5422		H3605		H3759	H2009	H7200	

ס	אַפּוֹ׃	חֲרוֹן	מִפְּנֵי	יְהוָה	מִפְּנֵי
—	怒りの	激しい	前に	主の	前に
	H0639	H2740	H6440	H3068	H6440

わたしは見たが、豊かな地は荒れ地となり、そのすべての町は、主の前に、その激しい怒りの前に、破壊されていた。

27 כִּי־ כֹה֙ אָמַ֣ר יְהוָ֔ה שְׁמָמָ֥ה תִֽהְיֶ֖ה הָאָ֣רֶץ כֹּ֑ל וְכָלָ֖ה לֹ֥א אֶֽעֱשֶֽׂה׃

まことに こう 言われた 主は 荒廃と なる 地は すべての しかし–滅ぼし尽くすことは ない しない

H3541 H0559 H3068 H1961 H0776 H3605 H3617 H3808

それは主がこう言われたからだ、「全地は荒れ地となる。しかしわたしはことごとくはこれを滅ぼさない。

28 עַל־ זֹ֣את תֶּאֱבַ֤ל הָאָ֙רֶץ֙ וְקָדְר֣וּ הַשָּׁמַ֔יִם מִמָּ֑עַל כִּֽי־ דִבַּ֣רְתִּי זָמָ֔תִּי וְלֹ֥א נִחַ֖מְתִּי וְלֹא־ אָשׁ֥וּב מִמֶּֽנָּה׃

この–ゆえに これ 嘆く 地は 暗くなる そして–暗くなる 天は 上で わたしが ゆえに 語り 定めた そして–ない 悔いない そして–ない 翻さない それから

H2063 H0056 H0776 H6937 H8064 H4605 H3588 H1696 H2161 H3808 H5162 H3808 H7725

このために地は悲しみ、上なる天は暗くなる。わたしがすでにこれを言い、これを定めたからだ。わたしは悔いない、またそれをする事をやめない」。

29 מִקּ֣וֹל פָּרָ֤שׁ וְרַמֵּה־ קֶ֙שֶׁת֙ בֹּרַ֣חַת כָּל־ הָעִ֔יר בָּ֖אוּ בָּעֲבִ֑ים

騎兵と 音に そして–弓を–射る–者の 弓の 逃げた すべての 町は 入った 茂みに

H6571 H7198 H1272 H3605 H5892 H0935 H5645

וּבַכְּפִ֖ים עָל֥וּ כָל־ הָעִ֛יר עֲזוּבָ֥ה וְאֵין־ יוֹשֵׁ֖ב בָּהֶ֥ן אִֽישׁ׃

そして–岩に 登った すべての 町は 見捨てられた そして–ない 住む–者は その–中に 一人も

H3710 H5927 H3605 H5892 H0369 H3427 H2004 H0376

どの町の人も、騎兵と射手の叫びのために逃げて森に入り、岩に上る。町はみな捨てられ、そこに住む人はない。

30 וְאַתְּ֙ שָׁדּ֔וּד מַה־ תַּעֲשִׂ֖י כִּֽי־ תִלְבְּשִׁ֣י שָׁנִ֑י כִּֽי־ תַעְדִּ֤י עֲדִי־ זָהָב֙ כִּֽי־ תִקְרְעִ֤י בַפּוּךְ֙ עֵינַ֔יִךְ לַשָּׁ֖וְא תִּתְיַפִּ֑י מְאָסוּ־ בָ֙ךְ֙ עֹגְבַ֔יִךְ נַפְשֵׁ֖ךְ יְבַקֵּשׁ֥וּ׃

そして–あなたは 荒らされた–者よ 何を するのか たとえ 着ても 紅の–衣を 退けた あなたを 慕う–者たちは あなたの–命を 求めている たとえ 塗っても 紅で あなたの–目を むだに 美しく–しても たとえ 飾っても 飾りで 金の

H0859 H7703 H4100 H6213 H3847 H8144 H3988 H1245 H5315 H5689 H7167 H6320 H5869 H7723 H3302 H3588 H5716 H2091 H3588

כִּֽי־ כְמַבְכִּירָ֙ה֙ צָרָ֣ה שָׁמַ֔עְתִּי כְּח֥וֹלָ֖ה קוֹל֙ כִּֽי־ בַ֣ת־ צִיּ֔וֹן תִּתְיַפַּ֖ח תִּפְרֹ֣שׂ כַּפֶּ֑יהָ אֽוֹי־ נָ֙א֙ לִ֔י כִּֽי־ נָפְשִׁ֖י לְהֹרְגִֽים׃ פ

なぜなら 娘の シオンの あえいでいる 広げている その–手を ああ どうか わたしに なぜなら 産みの–苦しみの–ような 声を まことに 初産の–女の–ような 苦しみを 私は–聞いた 声を

H3588 H1323 H6726 H3306 H6566 H3709 H0188 H4994 H3588 H2342 H6735 H7754 H8085 H6963 H3588

31 עָיְפָ֖ה נַפְשִׁ֑י הוֹי־ נָ֙א֙ כִּֽי־ הוֹגְע֣וּ לְהֹרְגִֽים׃

疲れ果てた わが–魂は 殺す–者たちの–前に

H5888 H5315 H2026

わたしは子を産む女のような声、ういごを産む女の苦しむような声を聞いた。シオンの娘のあえぐ叫びである。両手を伸べて彼女は言う、「わたしはわざわいだ、わたしを殺す者らの前にわたしは気が遠くなる」と。

Chapter 5

1 שׁוֹטְטוּ בִּרְחֹבוֹת יְרוּשָׁלִַם וּרְאוּ־נָא וְדָעוּ וּבַקְשׁוּ בִּרְחֹבוֹתֶיהָ
走り回れ 通りを エルサレムの 見よ そして–知れ どうか そして–探せ その–広場で
H7339 H1245 H2351 H3389 H7200 H3045 H4994 H1245 H7339

אִם־תִּמְצְאוּ אִישׁ אִם־יֵשׁ עֹשֶׂה מִשְׁפָּט מְבַקֶּשׁ אֱמוּנָה וְאֶסְלַח לָהּ׃
もし 見つけるなら 一人でも もし いるなら 行う–者が 公正を 求める–者が 真実を そして–赦そう その–町を
H4672 H0376 H3426 H6213 H4941 H1245 H0530 H5545 H3389

エルサレムのちまたを行きめぐり、見て、知るがよい。その広場を尋ねて、公平を行い、真実を求める者が、ひとりでもあるか捜してみよ。あれば、わたしはエルサレムをゆるす。

2 וְאִם חַי־יְהוָה לָכֵן לַשֶּׁקֶר יִשָּׁבֵעוּ׃
そして–もし 生きておられる 主に–かけてと それゆえ 偽りの–ために 誓う
H3808 H2416 H3068 H3651 H3651 H7650

彼らは、「主は生きておられる」と言うけれども、実は、偽って誓うのだ。

3 יְהוָה֙ הֲלֹ֣וא עֵינֶ֔יךָ לֶאֱמוּנָ֖ה הִכִּיתָ֣ה אֹתָ֑ם וְלֹא־חָלוּ֙ כִּלִּיתָ֔ם מֵאֲנ֖וּ מוּסָ֑ר חִזְּק֤וּ פְנֵיהֶם֙ מִסֶּ֔לַע מֵאֲנ֖וּ לָשֽׁוּב׃
主よ あなたの–目は ではないのか 真実に–向けて あなたは–打った 彼らを しかし–ない 痛まなかった 滅ぼした 拒んだ 受けることを 懲らしめを 硬くした その–顔を 岩よりも 拒んだ 立ち返ることを
H3068 H5869 H0530 H5221 H0853 H3808 H2342 H3615 H3985 H3947 H4148 H2388 H6440 H5553 H3985 H7725

主よ、あなたの目は、真実を顧みられるではありませんか。あなたが彼らを打たれても、痛みを覚えず、彼らを滅ぼされても、懲しめを受けることを拒み、その顔を岩よりも堅くして、悔い改めることを拒みました。

4 וַאֲנִי֙ אָמַ֣רְתִּי אַךְ־דַּלִּ֣ים הֵ֔ם נוֹאֲל֖וּ כִּ֣י לֹ֣א יָדְע֑וּ דֶּ֚רֶךְ יְהוָה֙ מִשְׁפַּ֣ט אֱלֹהֵיהֶ֔ם׃
そして–私は 思った ただ 貧しい–者たちだ 彼らは 愚かに–なった なぜなら ない 知らない 主の 道を 定めを その–神の
H0589 H0559 H0389 H1800 H1992 H2973 H3588 H3808 H3045 H3068 H1870 H4941 H0430

それで、わたしは言った、「これらはただ貧しい愚かな人々で、主の道と、神のおきてを知りません。

5 אֵלְכָה־לִּי אֶל־הַגְּדֹלִים וַאֲדַבְּרָה אוֹתָם כִּי הֵמָּה יָדְעוּ
行こう 私は のもとへ 大いなる-者たちの そして-語ろう 彼らに なぜなら 彼らは 知っている
H3212 H0413 H1696 H0853 H1992 H3045

דֶּרֶךְ יְהוָה מִשְׁפַּט אֱלֹהֵיהֶם אַךְ הֵמָּה יַחְדָּו שָׁבְרוּ עֹל נִתְקוּ׃
道を 主の 定めを その-神の しかし 彼らも 共に 砕いていた 軛を 断ち切っていた
H1870 H3068 H4941 H0430 H0389 H1992 H7665 H5923 H5423

מוֹסֵרוֹת׃
縄を
H4147

わたしは偉い人たちの所へ行って、彼らに語ります。彼らは主の道を知り、神のおきてを知っています」。ところが、彼らも皆おなじように、くびきを折り、なわめを断っていた。

6 עַל־כֵּן הִכָּם אַרְיֵה מִיַּעַר זְאֵב יְשָׁדְדֵם עֲרָבוֹת נָמֵר שֹׁקֵד
この-ゆえに それゆえ 打つ 獅子が 森から-の 狼が 荒らす 荒野の 豹が 見張っている
H5921 H3588 H5221 H0738 H3293 H2061 H7703 H6160 H5246 H8245

עַל־עָרֵיהֶם כָּל־הַיּוֹצֵא מֵהֵנָּה יִטָּרֵף כִּי רַבּוּ פִּשְׁעֵיהֶם
に-向けて その-町々を すべての 出る-者は そこから 引き裂かれる なぜなら 多い その-背きが
H5921 H5892 H3605 H3318 H2007 H2963 H3588 H7231 H6588

עָצְמוּ מְשׁוּבוֹתֵיהֶם׃ (משבותיהם) (מְשׁוּבוֹתֵיהֶם׃)
強い — その-背信が
H6105 H4878 H4878

それゆえ林から、ししが出てきて彼らを殺し、荒野から、おおかみが出てきて彼らを滅ぼす。ひょうは彼らの町々をねらっている。そこから出る者はみな裂かれる。彼らの罪が多く、その背信がはなはだしいからである。

7 אֵי לָזֹאת בָּנַיִךְ עֲזָבُונִי (אֶסְלַח־) [אסלוח־] לָךְ בָּנֶיךָ
どうして これに-対して — 赦せようか あなたを あなたの-子らは わたしを-捨てた
H0335 H2063 H5545 H5545 H5545 H1121 H5800

וּבֵית וַיְנָאֲפוּ אוֹתָם וָאַשְׂבָּע אֱלֹהִים בְּלֹא וַיִּשָּׁבְעוּ
そして-家に そして-姦淫した 彼らを わたしが-満たしたのに 神 でない-ものに そして-誓った
H1004 H5003 H0853 H7646 H0430 H3808 H7650

זוֹנָה יִתְגֹּדָדוּ׃
遊女の 群がった
H2181 H1413

「わたしはどうしてあなたを、ゆるすことができようか。あなたの子どもらは、わたしを捨てさり、神でもないものをさして誓った。わたしが彼らを満ち足らせた時、彼らは姦淫を行い、遊女の家に群れ集まった。

8 סוּסִים מְיֻזָּנִים הָיוּ מַשְׁכִּים אִישׁ אֶל־אֵשֶׁת רֵעֵהוּ
馬のように 肥え太った さかりの-ついた おのおの に-向かって 妻に 隣人の
H5483 H4828 H1961 H7925 H0376 H0413 H0802 H7453

יִצְהָלוּ׃
いなないた

彼らは肥え太った丈夫な雄馬のように、おのおの、いなないて隣の妻を慕う。

9 הַעַל־אֵלֶּה לוֹא־אֶפְקֹד נְאֻם־יְהוָה וְאִם בְּגוֹי
に-対して これらの-ことに ない 罰しないでいようか 御告げ-である 主の あるいは 国に
H5921 H0428 H3808 H6485 H5002 H3068 H0518 H1471

כָּזֹּה אֲשֶׁר־לֹא תִתְנַקֵּם נַפְשִׁי׃ ס
このような この-ような ない 報復しないでいようか わが-魂は —
H2088 H834 H3808 H5358 H5315

わたしはこれらの事のために彼らを罰しないでいられようか。このような国民にあだを返さないであろうか」と主は言われる。

10 עֲלִ֣ו בְשָׁרוֹתֶ֗יהָ וְשַׁחֲתוּ֙ וְכָלָ֣ה אַל־ תַּעֲשׂ֔וּ הָסִ֖ירוּ נְטִישׁוֹתֶ֑יהָ
上れ その–段丘に そして–滅ぼせ しかし–滅ぼし尽くすことは ない するな 取り除け その–枝を
H5927 H8284 H7843 H3617 H0408 H5493 H5189

כִּ֥י לֹ֖א לַיהוָ֥ה הֵֽמָּה׃
なぜなら ない 主の–ものでは 彼らは
H3808 H3068 H1992

「あなたがたはユダのぶどうの並み木の間を、のぼって行って、滅ぼせ、ただ、ことごとく滅ぼしてはならない。その枝を切り除け、主のものではないからである。

11 כִּֽי־ בָגְד֨וּ בִ֤י בֵית־ יִשְׂרָאֵל֙ וּבֵ֣ית יְהוּדָ֔ה
まことに 裏切りに–裏切りを 重ねた わたしに 家は イスラエルの そして–家は ユダの
H0898 H0898 H1004 H3478 H1004 H3063

נְאֻם־ יְהוָֽה׃
御告げ–である 主の
H5002 H3068

イスラエルの家とユダの家とはわたしにまったく不信であった」と主は言われる。

12 כִּחֲשׁ֣וּ בַֽיהוָ֗ה וַיֹּאמְר֣וּ לֹא־ ה֔וּא וְלֹא־ תָבֹ֥וא עָלֵ֖ינוּ רָעָ֑ה
わざわいは 我々に 来ない そして–ない そうでは ない そして–言った 主に–対して 偽った
H7451 H5921 H0935 H3808 H1931 H3808 H0559 H3068 H3584

וְחֶ֖רֶב וְרָעָ֥ב לֹ֣א נִרְאֶֽה׃
そして–剣も そして–飢饉も ない 見ない
H2719 H7458 H3808 H7200

「彼らは主について偽り語って言った、『主は何事もなされない、災はわれわれに来ない、またつるぎや、ききんを見ることはない。

13 וְהַנְּבִיאִ֣ים יִהְי֣וּ לְר֔וּחַ וְהַדָּבָ֖ר אֵ֣ין בָּהֶ֑ם כֹּ֥ה יֵעָשֶׂ֖ה לָהֶֽם׃ ס
そして–預言者たちは なる 風に そして–御言葉は ない 彼らに こう なされる 彼らに —
H5030 H1961 H7307 H1697 H0369 H1931 H3541

預言者らは風となり、彼らのうちに言葉はない。彼らはこのようになる』と」。

14 לָכֵ֗ן כֹּ֤ה ׀ אָמַ֣ר יְהוָ֣ה אֱלֹהֵ֣י צְבָאוֹת֮ יַ֣עַן דַּבֶּרְכֶם֒ אֶת־ הַדָּבָ֣ר הַזֶּ֔ה
それゆえ こう 言われた 主は 神 万軍の ゆえに あなたがたが–語った を 言葉を この
H3541 H0559 H3068 H0430 H6635 H3282 H1696 H0853 H1697 H2088

הִנְנִ֥י נֹתֵ֛ן דְּבָרַ֥י בְּפִ֖יךָ לְאֵ֑שׁ וְהָעָ֥ם הַזֶּ֖ה עֵצִ֥ים וַאֲכָלָֽתַם׃
見よ–わたしは する わが–言葉を あなたの–口に 火と そして–民を この 薪と そして–焼き尽くす
H2009 H5414 H1697 H6310 H0784 H5971 H2088 H6086 H0398

それゆえ万軍の神、主はこう言われる、「彼らがこの言葉を語ったので、見よ、わたしはあなたの口にあるわたしの言葉を火とし、この民をたきぎとする。火は彼らを焼き尽す」。

15

נְאֻם־	יְשָׂרָאֵל	בֵּית	מֵמֶרְחָק	גּוֹי	עֲלֵיכֶם	מֵבִיא	הִנְנִי	
御告げ–である	イスラエルの	家よ	遠くから	国を	あなたがたに	もたらす	見よ–わたしは	
H5002	H3478		H4801			H0935	H2009	

לְשֹׁנוֹ	תֵּדַע	לֹא־	גּוֹי	הוּא	מֵעוֹלָם	גּוֹי	הוּא	אֵיתָן	גּוֹי	יְהוָה
その–言葉を	知らない	ない	国	それは	太古からの	国	それは	強い	国	主の
H3956	H3045	H3808		H1931	H5769		H1931	H0386		H3068

יְדַבֵּר׃	מַה־	תִּשְׁמַע	וְלֹא
語るか	何を	聞き取れない	そして–ない
H1696	H4100	H8085	H3808

主は言われる、「イスラエルの家よ、見よ、わたしは遠い国の民をあなたがたのところに攻めこさせる。その国は長く続く国、古い国で、あなたがたはその国の言葉を知らず、人々の語るのを悟ることもできない。

16

גִּבּוֹרִים׃	כֻּלָּם	פְּתוּחַ	כְּקֶבֶר	אַשְׁפָּתָו
勇士だ	彼ら–すべては	開いた	墓の–ように	その–矢筒は
H1368	H3605		H6913	H0827

その箙は開いた墓のようであり、彼らはみな勇士である。

17

בָּנֶיךָ	יֹאכְלוּ	וְלַחְמֶךָ	קְצִירְךָ	וְאָכַל	
あなたの–息子たちと	食い尽くす	そして–あなたの–食物を	あなたの–収穫を	そして–食い尽くす	
	H0398	H3899		H0398	

יֹאכַל	וּבְקָרֶךָ	צֹאנְךָ	יֹאכַל	וּבְנוֹתֶיךָ				
食い尽くす	そして–あなたの–牛を	あなたの–羊を	食い尽くす	そして–あなたの–娘たちを				
H0398	H1241	H6629	H0398	H1323				
אֲשֶׁר	מִבְצָרֶיךָ	עָרֵי	יְרֹשָּׁשׁ	וּתְאֵנָתֶךָ			גַּפְנְךָ	
そこに	あなたの–要塞の	町々を	打ち破る	そして–あなたの–いちじくの木を			あなたの–ぶどうの木を	
	H4013		H7567	H8384			H1612	

בֶּחָרֶב׃	בָּהֵנָּה	בּוֹטֵחַ	אַתָּה
剣で	それらを	頼っている	あなたが
H2719	H2007	H0982	

彼らはあなたが刈り入れた物と、あなたの糧食とを食い尽し、あなたのむすこ娘を食い尽し、あなたの羊と牛を食い尽し、あなたのぶどうの木といちじくの木を食い尽し、またつるぎをもって、あなたが頼みとする堅固な町々を滅ぼす」。

18

אִתְּכֶם	אֶעֱשֶׂה	לֹא־	יְהוָה	נְאֻם־	הָהֵמָּה	בַּיָּמִים	וְגַם	
あなたがたに	しない	ない	主の	御告げ–である	その	その–日々に	しかし–また	
H0854		H3808	H3068	H5002	H1992	H3117	H1571	

כָּלָה׃
滅ぼし尽くすことは
H3617

主は言われる、「しかしその時でも、わたしはことごとくはあなたを滅ぼさない。

19 וְהָיָה כִּי־תֹאמְרוּ מַּדּוּעַ עָשָׂה יְהוָה אֱלֹהֵינוּ לָנוּ אֶת־
そして–なる 時に 言うなら なぜ なされた 主は 我々の–神は 我々に を
H1961 H0559 H8478 H4100 H3068 H0430 H0853

כָּל־ אֵלֶּה וְאָמַרְתָּ אֲלֵיהֶם כַּאֲשֶׁר עֲזַבְתֶּם אוֹתִי וַתַּעַבְדוּ
すべての これらを そして–言え 彼らに ように あなたがたが–捨てた わたしを そして–仕えた
H3605 H0428 H0559 H0413 H0834 H5800 H0853 H5647

אֱלֹהֵי נֵכָר בְּאַרְצְכֶם כֵּן תַּעַבְדוּ זָרִים בְּאֶרֶץ לֹא
神々に 異国の あなたがたの–地で そのように 仕える 異国人に 地で ない
H0430 H5236 H0776 H3651 H5647 H2114 H0776 H3808

לָכֶם׃ ס
あなたがたの–ものでは
—

あなたの民が、『どうしてわれわれの神、主はこれらのすべての事をわれわれになされたのか』と言うならば、あなたは彼らに答えなければならない、『あなたがたがわたしを捨てて、自分の地で異なる神々に仕えたように、あなたがたは自分のものでない地で異邦の人に仕えるようになる』と」。

20 הַגִּידוּ זֹאת בְּבֵית יַעֲקֹב וְהַשְׁמִיעוּהָ בִּיהוּדָה לֵאמֹר׃
告げよ これを 家に ヤコブの そして–聞かせよ ユダに 言って
H5046 H2063 H1004 H3290 H8085 H3063 H0559

これをヤコブの家にのべ、またユダに示して言え、

21 שִׁמְעוּ־נָא זֹאת עַם סָכָל וְאֵין לֵב עֵינַיִם לָהֶם וְלֹא
聞け どうか これを 民よ 愚かで そして–ない 心の 目が 彼らに–あるが そして–ない
H8085 H4994 H2063 H5971 H5530 H0369 H3820 H5869 H3808

יִרְאוּ אָזְנַיִם לָהֶם וְלֹא יִשְׁמָעוּ׃
見ない 耳が 彼らに–あるが そして–ない 聞かない
H7200 H0241 H3808 H8085

「愚かで、悟りもなく、目があっても見えず、耳があっても聞えない民よ、これを聞け。

22 הַאוֹתִי לֹא־תִירָאוּ נְאֻם־יְהוָה אִם מִפָּנַי לֹא תָחִילוּ
わたしを ない 恐れないのか 御告げ–である 主の あるいは わたしの–前に ない
H0853 H3808 H3372 H5002 H3068 H0518 H6440 H3808

אֲשֶׁר־ שַׂמְתִּי חוֹל גְּבוּל לַיָּם חָק־ עוֹלָם וְלֹא
が 置いた 砂を 境として 海の 定め–として 永遠の そして–ない
H0834 H7760 H2344 H1366 H1366 H3220 H2706 H5769 H3808

יוּכָלוּ וְלֹא יִתְגָּעֲשׁוּ וְלֹא גַלָּיו וְהָמוּ וְלֹא
できない そして–ない そして–波立っても その–波は そして–うなっても そして–ない
H3201 H3808 H1607 H1530 H1993 H3808

יַעַבְרֻנָהוּ׃ יַעַבְרֻנָהוּ׃
越えられない 越えられない

主は言われる、あなたがたはわたしを恐れないのか、わたしの前におののかないのか。わたしは砂を置いて海の境とし、これを永遠の限界として、越えることができないようにした。波はさかまいても、勝つことはできない、鳴りわたっても、これを越えることはできない。

23 וְלָעָם הַזֶּה הָיָה לֵב סוֹרֵר וּמוֹרֶה סָרוּ וַיֵּלֵכוּ׃
しかし–民は この 持っていた 心を 頑なで そして–逆らう 離れた そして–去った
H2088 H1961 H3820 H5637 H4784 H5493 H3212

ところが、この民には強情な、そむく心があり、彼らはわき道にそれて、去ってしまった。

24 וְלֹא־ (そして–ない) H3808 אָמְרוּ (言わなかった) H0559 בִלְבָבָם (その–心の–中で) H3824 נִירָא (恐れよう) H3372 נָא (どうか) H4994 אֶת־ (を) H0853 יְהוָה (主を) H3068 אֱלֹהֵינוּ (我々の–神を) H0430

הַנֹּתֵן (与えてくださる) H5414 גֶּשֶׁם (雨を) H1653 [וירה] (—) H3138 (יוֹרֶה (秋の–雨と) H3138 וּמַלְקוֹשׁ (そして–春の–雨を) H4456 בְּעִתּוֹ (その–時に) H6256 שְׁבֻעוֹת (週を) H7620 חֻקּוֹת (定められた) H2708

קְצִיר (刈り入れの) יִשְׁמָר־ (守ってくださる) H8104 לָנוּ׃ (我々の–ために)

彼らは『われわれに雨を与え、秋の雨と春の雨を時にしたがって降らせ、われわれのために刈入れの時を定められたわれわれの神、主を恐れよう』とその心のうちに言わないのだ。

25 עֲוֹנוֹתֵיכֶם (あなたがたの–咎が) H5771 הִטּוּ־ (退けた) H5186 אֵלֶּה (これらを) H0428 וְחַטֹּאותֵיכֶם (そして–あなたがたの–罪が) H2403 מָנְעוּ (妨げた) H4513 הַטּוֹב (良い–ものを)

מִכֶּם׃ (あなたがたから)

あなたがたのとがは、これらの事をしりぞけ、あなたがたの罪は、良い物があなたがたに来るのをさまたげた。

26 כִּי־ (なぜなら) נִמְצְאוּ (見つかった) H4672 בְעַמִּי (わが–民の–中に) H5971 רְשָׁעִים (悪人が) H7563 יָשׁוּר (身を–かがめる) H7789 כְּשֹׁךְ (鳥を–捕る者の–ように) H7918

יְקוֹשְׁשִׁים (罠を–しかける–者は) H3353 הִצִּיבוּ (仕掛けた) H5324 מַשְׁחִית (滅びの) H4889 אֲנָשִׁים (人を) H0376 יִלְכֹּדוּ׃ (捕らえる) H3920

わが民のうちには悪い者があって、鳥をとる人のように身をかがめてうかがい、わなを置いて人を捕える。

27 כִּכְלוּב (籠の–ように) H3619 מָלֵא (満ちた) H4392 עוֹף (鳥で) H5775 כֵּן (そのように) בָּתֵּיהֶם (その–家々は) מְלֵאִים (満ちている) H4392 מִרְמָה (欺きで) H4820 עַל־ (この–ゆえに) כֵּן (それゆえ)

וַיַּעֲשִׁירוּ׃ (そして–富んだ) H6238 גָּדְלוּ (大きく–なり) H1431

かごに鳥が満ちているように、彼らの家は不義の宝で満ちている。それゆえ、彼らは大いなる者、裕福な者となり、

28 שָׁמְנוּ (肥え太り) H8080 עָשְׁתּוּ (つやつや–した) עָבְרוּ (越えた) דִּבְרֵי־ (ことを) H1697 רָע (悪の) דִּין (訴えを) H1779 לֹא־ (ない) H3808 דָּנוּ (弁じなかった) H1777 דִּין (訴えを) H1779

יָתוֹם (孤児の) וַיַּצְלִיחוּ (そして–栄えた) וּמִשְׁפַּט (そして–権利を) H4941 אֶבְיוֹנִים (貧しい者の) H0034 לֹא (ない) H3808 שָׁפָטוּ׃ (裁かなかった) H8199

肥えて、つやがあり、その悪しき行いには際限がない。彼らは公正に、みなしごの訴えをさばいて、それを助けようとはせず、また貧しい人の訴えをさばかない。

29 הֲעַל־לֹא אֶלֶּה אֶפְקֹד נְאֻם־יְהוָה אִם בְּגוֹי
に–対して に–ことに これらの ない 罰しないでいようか 御告げ–である 主の あるいは 国に
H5002 H3068

כָּזֶּה אֲשֶׁר־לֹא תִתְנַקֵּם נַפְשִׁי׃ ס
このような この–ような ない 報復しないでいようか わが–魂は —
H2088 H3808 H5358 H5315

主は言われる、わたしはこのような事のために、彼らを罰しないであろうか。わたしはこのような民に、あだを返さないであろうか」。

30 שַׁמָּה וְשַׁעֲרוּרָה נִהְיְתָה בָּאָרֶץ׃
驚くべきことと そして–恐ろしいことが 起こった この–地に
H8047 H1961 H0776

驚くべきこと、恐るべきことがこの地に起っている。

31 הַנְּבִיאִים נִבְּאוּ־בַשֶּׁקֶר וְהַכֹּהֲנִים יִרְדּוּ עַל־יְדֵיהֶם
預言者たちは 預言した 偽りによって そして–祭司たちは 支配する に–よって その–手
H5030 H5012 H8267 H3548 H3027

וְעַמִּי אָהֲבוּ כֵן וּמַה־תַּעֲשׂוּ לְאַחֲרִיתָהּ׃
そして–わが–民は 愛した そうすることを そして–何を するのか その–終わりに
H0157 H4100 H0319

預言者は偽って預言し、祭司は自分の手によって治め、わが民はこのようにすることを愛している。しかしあなたがたはその終りにはどうするつもりか。

Chapter 6

1 שׂוֹפָר תִּקְעוּ בְתְקוֹעַ וּבְתִרוּעָה יְרוּשָׁלִַם בִּנְיָמִן מִקֶּרֶב בְּנֵי וְהָעֻזּוּ
角笛を 吹き鳴らせ そして–テコアで エルサレムの 中から ベニヤミンの 子らよ 避難せよ
H7782 H8628 H8620 H3389 H7130 H1144 H5756

מִצָּפוֹן נִשְׁקָפָה רָעָה כִּי מַשְּׂאֵת שְׂאוּ הַכֶּרֶם בֵּית וְעַל־
北から 迫って–来る わざわいが なぜなら 合図の–火を 掲げよ ベト–ハケレムに そして
H6828 H8259 H4864 H5375 H1021

וְשֶׁבֶר גָּדוֹל׃
そして–破滅が 大きな
H7667

ベニヤミンの人々よ、エルサレムの中から避難せよ。テコアでラッパを吹き、ベテハケレムに合図の火をあげよ。北から災が臨み、大いなる滅びが来るからである。

2 הַנָּוָה וְהַמְעֻנָּגָה דִּמִּיתִי בַּת־צִיּוֹן׃
麗しい そして–優雅な 滅ぼした 娘を シオンの
H5000 H6026 H1820 H1323 H6726

わたしは美しい、たおやかなシオンの娘を滅ぼす。

3 אֵלֶיהָ בָּאוּ רֹעִים וְעָדְרֵיהֶם תָּקְעוּ עָלֶיהָ סָבִיב אֹהָלִים
その–もとに 来る 羊飼いたちが そして–その–群れを–率いて 張った その–周りに 四方に 天幕を
H0413 H0935 H6629 H8628 H5439 H0168

רָעוּ אִישׁ אֶת־יָדוֹ׃
草を–食べ尽くした 各自 を その–側で
H0376 H0853 H3027

牧者たちは、その群れをひきいて来て、彼女を攻め、彼女の周囲に天幕を張る。群れはおのおのその所で草を食う。

כִּי־	לָנוּ	אֹוי	בַּצָּהֳרָיִם	וְנַעֲלֶה	קוּמוּ	מִלְחָמָה	עָלֶיהָ	קַדְּשׁוּ	4
なぜなら	我々に	ああ	真昼に	そして-攻め上ろう	立て	戦いを	それに-対して	準備せよ	
		H0188		H5927		H4421		H6942	

עֶרֶב׃	צִלְלֵי־	יָנְטוּ	כִּי	הַיּוֹם	פָּנָה
夕暮れの	影が	伸びていく	なぜなら	日が	傾いた
H6153	H6752	H5186		H3117	H6437

「戦いを始め、彼女を攻めよ。立て、われわれは真昼に攻撃しよう」。「わざわいなるかな、日ははや傾き、夕日の影は長くなった」。

ס	אַרְמְנוֹתֶיהָ׃	וְנַשְׁחִיתָה	בַּלָּיְלָה	וְנַעֲלֶה	קוּמוּ	5
—	その-宮殿を	そして-滅ぼそう	夜に	そして-攻め上ろう	立て	
	H0759	H7843	H3915	H5927		

「立て、われわれは夜の間に攻撃しよう、そして彼女のもろもろの宮殿を破壊しよう」。

יְרוּשָׁלִַם	עַל־	וְשִׁפְכוּ	עֵצָהּ	כָּרְתוּ	צְבָאוֹת	יְהוָה	אָמַר	כֹּה	כִּי	6
エルサレムに	に-向けて	そして-築け	木を	切り倒せ	万軍の	主は	言われた	こう	まことに	
H3389		H8210	H6097	H3772		H3068	H0559	H3541		

בְּקִרְבָּהּ׃	עָשֻׁק	כֻּלָּהּ	הָפְקֹד	הָעִיר	הִיא	סַלָּה
その-中に	虐げだ	その-すべては	罰せられるべき	町だ	それは	塔を
H7130	H6233	H3605			H1931	H5550

万軍の主はこう言われる、「あなたがたは彼女の木を切り倒し、エルサレムにむかって塁を築け。これは罰すべき町である、そのうちにはただ圧制だけがある。

חָמָס	רָעָתָהּ	הַקָּרָה	כֵּן	מֵימֶיהָ	בֹּור](בֵּירָהּ(	כְּהָקִיר	7
暴力と	その-悪を	湧き出した	そのように	その-水を	井戸が	湧き出す-ように	
H2555				H4325	H0953		

וּמַכָּה׃	חֳלִי	תָּמִיד	פָּנַי	עַל־	בָּהּ	יִשָּׁמַע	וָשֹׁד
そして-傷が	病と	常に	わたしの-前に	に-向けて	その-中に	聞こえる	そして-破壊が
H4347	H2483	H8548	H6440			H8085	H7701

井戸に新しい水がわくように彼女はその悪を常にあらたに流す。そのうちには暴虐と破滅とが聞える。わたしの前に病と傷とが絶えない。

אֲשִׁימֵךְ	פֶּן־	מִמֵּךְ	נַפְשִׁי	תֵּקַע	פֶּן־	יְרוּשָׁלִַם	הִוָּסְרִי	8
する	さもなければ	あなたから	わが-魂が	離れる	さもなければ	エルサレムよ	戒めを-受けよ	
	H6435		H5315	H3363	H6435	H3389	H3256	

פ	נוֹשָׁבָה׃	לְוֹא	אֶרֶץ	שְׁמָמָה
—	住む-者の	ない	地と	荒廃と
	H3427	H3808	H0776	

エルサレムよ、戒めを受けいれよ。さもないと、わたしはあなたから離れ、あなたを荒れ地とし、住む人のない地とする」。

שְׁאֵרִית	כַּגֶּפֶן	יְעוֹלְלוּ	עוֹלֵל	צְבָאוֹת	יְהוָה	אָמַר	כֹּה	9
残りの-者を	ぶどうの-木の-ように	摘み取れ	念入りに-念入りに	万軍の	主は	言われた	こう	
H7611	H1612				H3068	H0559	H3541	

סַלְסְלוֹת׃	עַל־	כְּבוֹצֵר	יָדֵךְ	הָשֵׁב	יִשְׂרָאֵל
枝々に	に-向けて	ぶどうを-摘む-者の-ように	あなたの-手を	戻せ	イスラエルの
H5552		H1219	H3027	H7725	H3478

万軍の主はこう言われる、「ぶどうの残りを摘みとるように、イスラエルの残りの民をのこらず摘み取れ。ぶどうを摘みとる人のように、あなたの手をふたたびその枝に伸ばせ」。

עֲרֵלָה	הִנֵּה	וְיִשְׁמָעוּ	וְאָעִידָה	אֲדַבֵּרָה	מִי	עַל־		10
割礼を–受けていない	見よ	そして–聞くだろうか	そして–警告しようか	語ろうか	誰に	に–対して		
H6189	H2009	H8085		H1696	H4310			

לָהֶם	הָיָה	יְהוָה	דְּבַר־	הִנֵּה	לְהַקְשִׁיב	יוּכְלוּ	וְלֹא	אָזְנָם
彼らにとって	なった	主の	言葉は	見よ	耳を–傾けることが	できない	そして–ない	その–耳は
	H1961	H3068	H1697	H2009	H7181	H3201	H3808	H0241

בּוֹ׃	יַחְפְּצוּ־	לֹא	לְחֶרְפָּה
それを	喜ばない	ない	そしりと
		H3808	H2781

わたしはだれに語り、だれを戒めて、聞かせようか。見よ、彼らの耳は閉ざされて、聞くことができない。見よ、彼らは主の言葉をあざけり、それを喜ばない。

בַּחוּץ	עוֹלָל	עַל־	שְׁפֹךְ	הָכִיל	נִלְאֵיתִי	מָלֵאתִי	וְיהוָה	חֲמַת	וְאֶת	11
外で	幼子に	に–向けて	注げ	押さえることに	疲れた	満ちた	主の	怒りで	だから	
H2351	H5768		H8210	H3557	H3811	H4392	H3068	H2534	H0853	

יִלָּכֵדוּ	אִשָּׁה	עִם־	אִישׁ	גַּם־	כִּי־	יַחְדָּו	בַּחוּרִים	סוֹד	וְעַל
捕らえられる	女も	と–共に	男も	また	まことに	共に	若者たちの	集まりに	そして–に
H3920	H0802		H0376	H1571			H0970	H5475	

יָמִים׃	מְלֵא	עִם־	זָקֵן
日々の	年を–重ねた–者も	と–共に	老人も
H3117	H4390		H2205

それゆえ、わたしの身には主の怒りが満ち、それを忍ぶのに、うみつかれている。「それをちまたにいる子供らと、集まっている若い人々とに漏らせ。夫も妻も、老いた人も、年のひじょうに進んだ人も捕えられ、

אֶת־	אַטָּה	כִּי־	יַחְדָּו	וְנָשִׁים	שָׂדוֹת	לַאֲחֵרִים	בָּתֵּיהֶם	וְנָסַבּוּ	12
を	伸ばす	なぜなら	共に	そして–妻も	畑も	他人に	その–家々は	そして–移る	
H0853	H5186			H0802		H0312		H5437	

יְהוָה׃	נְאֻם־	הָאָרֶץ	יֹשְׁבֵי	עַל־	יָדִי
主の	御告げ–である	その–地の	住民に	に–向けて	わたしの–手を
H3068	H5002	H0776	H3427		H3027

彼らの家と畑と妻とは共に他人に渡る。わたしが手を伸ばして、この地に住む者を撃つからである」と主は言われる。

בָּצַע	בּוֹצֵעַ	כֻּלּוֹ	גְּדוֹלָם	וְעַד־	מִקְּטַנָּם	כִּי		13
利得を	むさぼっている	すべてが	大きな–者まで	そして–まで	小さい–者から	まことに		
H1215	H1214	H3605		H5704				

שָׁקֶר׃	עֹשֶׂה	כֻּלּוֹ	כֹּהֵן	וְעַד־	וּמִנָּבִיא
偽りを	行っている	すべてが	祭司まで	そして–まで	そして–預言者から
H8267		H3605	H3548	H5704	H5030

「それは彼らが、小さい者から大きい者まで、みな不正な利をむさぼり、また預言者から祭司にいたるまで、みな偽りを行っているからだ。

וְאֵין	שָׁלוֹם	וְשָׁלוֹם	לֵאמֹר	נְקַלָּה	עַל־	עַמִּי	שֶׁבֶר	אֶת־	וַיְרַפְּאוּ	14
しかし–ない	平和と	平和	言って	軽く	で	わが–民の	傷を	を	そして–癒した	
H0369	H7965	H7965	H0559	H7043			H7667	H0853	H7495	

שָׁלוֹם׃
平和は
H7965

彼らは、手軽にわたしの民の傷をいやし、平安がないのに『平安、平安』と言っている。

15 הֹבִישׁוּ כִּי תוֹעֵבָה עָשׂוּ גַּם־ בֹּושׁ לֹא־ יֵבֹושׁוּ גַּם־
H3001 なぜなら H8441 忌まわしいことを H1571 しかし H0954 行った H3808 ない H0954 恥じることを H1571 また H0954 恥じない

הַכְּלִמֹּ֔ת לֹא֙ יָדָ֣עוּ יָפְל֔וּ לָכֵ֕ן בַּנֹּפְלִ֖ים בְּעֵת־ אֶפְקְדֵ֑תִים
H3637 赤面することを H3808 ない H3045 知らない H5307 倒れる H5307 それゆえ H5307 倒れる-者と-共に H6256 時に H6485 わたしが-罰する

ס יְהוָֽה׃ אָמַ֖ר יִכָּשְׁלֽוּ׃
— H3068 主は H0559 言われた H3782 つまずく

彼らは憎むべきことをして、恥じたであろうか。すこしも恥ずかしいとは思わず、また恥じることを知らなかった。それゆえ彼らは倒れる者と共に倒れる。わたしが彼らを罰するとき、彼らは倒れる」と主は言われる。

16 כֹּ֚ה אָמַ֣ר יְהוָ֔ה עִמְד֖וּ עַל־ דְּרָכִ֑ים וּרְא֗וּ וְשַׁאֲל֤וּ לִנְתִיבוֹת֙ עוֹלָ֔ם
H3541 こう H0559 言われた H3068 主は H5975 立て H1870 道に H7200 そして-見よ H7592 そして-尋ねよ H5769 小道を H5769 昔の

אֵי־ זֶ֣ה דֶּ֔רֶךְ הַטּ֖וֹב וְלֻכ֣וּ בָ֑הּ וּמְצָ֥אוּ מַרְגּ֖וֹעַ לְנַפְשְׁכֶ֑ם וַיֹּאמְר֖וּ לֹ֥א נֵלֵֽךְ׃
H0335 どこに H1870 道を H2088 あるか H3212 良い H3212 そして-歩め H4672 そして-見いだせ H4771 安らぎを H5315 あなたがたの-魂の-ための H0559 しかし-言った H3808 ない H3212 歩かないと

主はこう言われる、「あなたがたはわかれ道に立って、よく見、いにしえの道につき、良い道がどれかを尋ねて、その道に歩み、そしてあなたがたの魂のために、安息を得よ。しかし彼らは答えて、『われわれはその道に歩まない』と言った。

17 וָאַקְמְתִּי֙ עֲלֵיכֶ֔ם צֹפִ֖ים הַקְשִׁ֣יבוּ לְקֹ֣ול שֹׁופָ֑ר וַיֹּאמְר֖וּ לֹ֥א
H6822 見張りを H7181 耳を-傾けよ H7782 角笛の H0559 しかし-言った H3808 ない H5975 あなたがたの-上に H7181 そして-立てた

נַקְשִֽׁיב׃
H7181 耳を-傾けないと

わたしはあなたがたの上に見張びとを立て、『ラッパの音に気をつけよ』と言った。しかし彼らは答えて、『われわれは気をつけることはしない』と言った。

18 לָכֵ֣ן שִׁמְעוּ֙ הַגֹּויִ֔ם וּדְעִ֖י עֵדָ֑ה אֲשֶׁר־ אֶת־ בָּֽם׃
H8085 聞け H3045 そして-知れ H5712 会衆よ H0853 を H0834 何が H1471 彼らの-中に-あるか

それゆえ国々の民よ、聞け。会衆よ、彼らにどのようなことが起るかを知れ。

19 שִׁמְעִ֤י הָאָ֙רֶץ֙ הִנֵּ֣ה אָנֹכִ֔י מֵבִ֥יא רָעָ֖ה אֶל־ הָעָ֣ם הַזֶּ֑ה פְּרִ֣י
H8085 聞け H0776 地よ H2009 見よ H0595 わたしは H0935 もたらす H7451 わざわいを H0413 に-向けて H5971 民に H2088 この H6529 実りを

מַחְשְׁבוֹתָ֔ם כִּ֣י עַל־ דְּבָרַ֔י הִקְשִׁ֖יבוּ לֹ֣א וְתוֹרָתִ֑י
H4284 その-思いの H3588 なぜなら H5921 に H1697 わが-言葉に H3808 ない H7181 耳を-傾けなかった H8451 そして-わが-律法を

וַיִּמְאָֽסוּ־ בָֽהּ׃
H3988 そして-退けた H1931 それを

地よ、聞け。見よ、わたしはこの民に災をくだす。それは彼らのたくらみの実である。彼らがわたしの言葉に気をつけず、わたしのおきてを捨てたからである。

מֵרָחָק	מֵאֶרֶץ	הַטּוֹב	וְקָנֶה	תָּבוֹא	מִשְּׁבָא	לְבוֹנָה	לִי	זֶה	לָמָּה־
遠い	地から	良い	そして-菖蒲が	来ても	シェバから	乳香が	わたしに	これが	なぜ-これが
H4801	H0776		H7070	H0935	H7614	H3828		H2088	H4100

20

לִי׃	עָרְבוּ	לֹא־	וְזִבְחֵיכֶם	לְרָצוֹן	לָא	עֹלוֹתֵיכֶם
わたしに	快く-ない	ない	そして-あなたがたの-いけにえは	喜ばれない	ない	あなたがたの-燔祈は
	H6149	H3808	H2077	H7522	H3808	

ס
—

シバから、わたしの所に乳香が来、遠い国から、菖蒲が来るのはなんのためか。あなたがたの燔祭はわたしには喜ばしくなく、あなたがたの犠牲もうれしくはない。

מִכְשֹׁלִים	הַזֶּה	הָעָם	אֶל־	נֹתֵן	הִנְנִי	יְהוָה	אָמַר	כֹּה	לָכֵן
つまずきの-石を	この	民に	に-対して	置く	見よ-わたしは	主は	言われた	こう	それゆえ
H4383	H2088		H0413	H5414	H2009	H3068	H0559	H3541	

21

]יאבדון[	וְרֵעֵהוּ	שָׁכֵן	יַחְדָּו	וּבֵנִים	אָבוֹת	בָּם	וְכָשְׁלוּ
—	そして-その-友も	隣人も	共に	そして-子も	父も	それに	そして-つまずく
H0006	H7453	H7934			H0001		H3782

פ	)וְאָבֵדוּ׃(
—	そして-滅びる
	H0006

それゆえ主はこう言われる、『見よ、わたしはこの民の前につまずく石を置く、人々は父も子も共にそれにつまずき、隣り人もその友も滅びる』」。

יֵעוֹר	גָּדוֹל	וְגוֹי	צָפוֹן	מֵאֶרֶץ	בָּא	עַם	הִנֵּה	יְהוָה	אָמַר	כֹּה
奏り立つ	大きな	そして-国が	北の	地から	来る	民が	見よ	主は	言われた	こう
H5782			H6828	H0776	H0935		H2009	H3068	H0559	H3541

22

מִיַּרְכְּתֵי־	אָרֶץ׃
果てから	地の
H3411	H0776

主はこう言われる、「見よ、民が北の国から来る、大いなる国民が地の果から興る。

כַּיָּם	קוֹלָם	יִרְהֹמוּ	וְלֹא	הוּא	אַכְזָרִי	יַחֲזִיקוּ	וְכִידֹון	קֶשֶׁת	
海の-ように	その-声は	憐れまない	そして-ない	それは	残忍で	握る	そして-槍を	弓と	
H3220		H7355	H3808	H1931	H0394	H2388	H3591	H7198	

23

בַּת־	עָלַיִךְ	לַמִּלְחָמָה	כְּאִישׁ	עָרוּךְ	יִרְכָּבוּ	סוּסִים	וְעַל־	יֶהֱמָּה
娘よ	あなたに-向かって	戦いの-ために	戦士の-ように	整えた	乗る	馬に	そして	轟く
H1323		H4421	H0376		H7392			H1993

צִיּוֹן׃
シオンの
H6726

彼らは弓とやりをとる。彼らは残忍で、あわれみがなく、海のような響きを立てる。シオンの娘よ、彼らは馬に乗り、いくさ人のように身をよろって、あなたを攻める」。

כַּיּוֹלֵדָה׃	חִיל	הֶחֱזִיקַתְנוּ	צָרָה	יָדֵינוּ	רָפוּ	שָׁמְעוֹ	אֶת־	שָׁמַעְנוּ
産む-女の-ように	苦痛が	捕らえた	苦しみが	我々の-手は	垂れた	その-噂を	を	聞いた
H3205		H2388		H3027	H7503	H8089	H0853	H8085

24

われわれはそのうわさを聞いて、手は弱り、子を産む女に臨むような悩みと苦しみとに捕えられた。

כִּי	(תֵּלֵכוּ)	[תלכין]	אַל־	וּבַדֶּרֶךְ	הַשָּׂדֶה	(תָּצְאוּ)	[תצאין]	אַל־	25
なぜなら	歩いては–ならない	—	ない	そして–道を	野に	出ては–ならない	—	ない	
	H1980	H3212	H0408	H1870		H3318	H3318	H0408	

מִסָּבִיב׃	מָגוֹר	לְאוֹיֵב	חֶרֶב
四方に	恐怖が	敵の	剣が
H5439	H4032	H0341	H2719

畑に出てはならない、また道を歩いてはならない。敵はつるぎを持ち、恐れが四方にあるからだ。

עֲשִׂי	יָחִיד	אֵבֶל	בָּאֵפֶר	וְהִתְפַּלְשִׁי	שָׂק	חֲגָרִי־	עַמִּי	בַּת־	26
して	独り子の	喪を	灰の–中に	そして–轢れ	粗布を	身に–まとえ	わが–民の	娘よ	
	H3173	H0060	H0665	H6428	H8242	H2296		H1323	

עָלֵינוּ׃	הַשֹּׁדֵד	יָבֹא	פִּתְאֹם	כִּי	תַמְרוּרִים	מִסְפֵּד	לָךְ
我々に	荒らす–者が	来る	突然に	なぜなら	苦い	嘆きを	あなたの–ために
	H7703	H0935	H6597		H8563	H4553	

わが民の娘よ、荒布を身にまとい、灰の中にまろび、ひとり子を失った時のように、悲しみ、いたく嘆け。滅ぼす者が、にわかにわれわれを襲うからだ。

דַּרְכָּם׃	אֶת־	וּבְחַנְתָּ	וְתֵדָּע	מִבְצָר	בְּעַמִּי	נְתַתִּיךָ	בָּחוֹן	27
その–道を	を	そして–試せ	そして–知れ	砲台と	わが–民の–中に	わたしは–立てた	試す–者と	
H1870	H0853	H0974	H3045	H4013		H5414	H0969	

「わたしはあなたを民のうちに立てて、ためす者、試みる者とした。あなたが彼らの道を知り、それをためすことができるようにするためである。

כֻּלָּם	וּבַרְזֶל	נְחֹשֶׁת	רָכִיל	הֹלְכֵי	סוֹרְרִים	סָרֵי	כֻּלָּם	28
彼ら–すべては	そして–鉄だ	銅と	中傷を	歩いている	反逆者だ	最も–頑なな	彼ら–すべては	
H3605	H1270		H7400	H1980	H5637	H5493	H3605	

הֵמָּה׃	מַשְׁחִיתִים
彼らは	滅ぼす–者だ
H1992	H7843

彼らはみな、強情な反逆者であって、歩きまわって人をそしる。彼らは青銅や鉄であって、みな卑しいことを行う。

צָרוֹף	צָרַף	לַשָּׁוְא	עֹפֶרֶת	(תָּם)	(מֵאֵשׁ)	[מאשתם]	מַפֻּחַ	נָתַךְ	29
精錬に–精錬したが	精錬した	空しく	鉛は	消えた	火に–よって	—	ふいごは	焦げた	
H6884	H6884	H7723	H5777	H8552	H0784	H0800	H4647	H2787	

נִתָּקוּ׃	לֹא	וְרָעִים
取り–除かれない	ない	そして–悪い–者は
H5423	H3808	

ふいごは激しく吹き、鉛は火にとけて尽き、精錬はいたずらに進む。悪しき者がまだ除かれないからである。

פ	בָּהֶם׃	יְהוָה	מָאַס	כִּי־	לָהֶם	קָרְאוּ	נִמְאָס	כֶּסֶף	30
—	彼らを	主が	退けた	なぜなら	彼らは	呼ばれた	退けられた	捨てられた–銀と	
		H3068				H7121		H3701	

主が彼らを捨てられたので、彼らは捨てられた銀と呼ばれる」。

Chapter 7

לֵאמֹר׃	יְהוָה	מֵאֵת	יִרְמְיָהוּ	אֶל־	הָיָה	אֲשֶׁר	הַדָּבָר	1
言って	主の	から	エレミヤに	に	あった	その	言葉が	
H0559	H3068	H0854	H3414	H0413	H1961		H1697	

主からエレミヤに臨んだ言葉はこうである。

שִׁמְעוּ	וְאָמַרְתָּ֗	הַזֶּה	הַדָּבָר	אֶת־	שָׁם	וְקָרָאתָ	יְהוָה	בֵּית	בִּשַׁעַר	עֲמֹד	2
聞け	そして-言え	この	言葉を	を	そこで	そして-叫べ	主の	家の	門に	立て	
H8085	H0559	H2088	H1697	H0853	H8033	H7121	H3068		H8179	H5975	

ס	לַיהוָה׃	לְהִשְׁתַּחֲוֹת	הָאֵ֔לֶּה	בַּשְּׁעָרִים	הַבָּאִים	יְהוּדָה	כָּל־	יְהוָה	דְּבַר־
—	主に	ひれ伏す-ために	これらの	門を-通って	入る-者よ	ユダよ	すべての	主の	言葉を
	H3068	H7812	H0428	H8179	H0935	H3063	H3605	H3068	H1697

「主の家の門に立ち、その所で、この言葉をのべて言え、主を拝むために、この門をはいるユダのすべての人よ、主の言葉を聞け。

דַּרְכֵיכֶם	הֵיטִיבוּ	יִשְׂרָאֵל	אֱלֹהֵי	צְבָאוֹת	יְהוָה	אָמַר	כֹּה־	3
あなたがたの-道を	改めよ	イスラエルの	神	万軍の	主は	言われた	こう	
H1870	H3190	H3478	H0430		H3068	H0559	H3541	

וּמַעַלְלֵיכֶם	וַאֲשַׁכְּנָה	אֶתְכֶם	בַּמָּקוֹם	הַזֶּה׃
そして-あなたがたの-行いを	そして-住まわせよう	あなたがたを	場所に	この
H4611	H7931	H0853	H4725	H2088

万軍の主、イスラエルの神はこう言われる、あなたがたの道とあなたがたの行いを改めるならば、わたしはあなたがたをこの所に住まわせる。

יְהוָה	הֵיכַל	יְהוָה	הֵיכַל	לֵאמֹר	הַשֶּׁקֶר	דִּבְרֵי	אֶל־	לָכֶם	תִּבְטְחוּ	אַל־	4
主の	神殿だ	主の	神殿だ	言って	偽りの	言葉に	に	あなたがたは	頼るな	ない	
H3068	H1964	H3068	H1964	H0559	H8267	H1697	H0413		H0982	H0408	

הֵמָּה׃	יְהוָה	הֵיכַל
これはと	主の	神殿だ
H1992	H3068	H1964

あなたがたは、『これは主の神殿だ、主の神殿だ、主の神殿だ』という偽りの言葉を頼みとしてはならない。

מַעַלְלֵיכֶם	וְאֶת־	דַּרְכֵיכֶם	אֶת־	תֵּיטִיבוּ	הֵיטֵיב	אִם־	כִּי	5
あなたがたの-行いを	そして	あなたがたの-道を	を	改めるなら	改めて	まことに	もし	
H4611	H0853	H1870	H0853	H3190	H3190			

רֵעֵהוּ׃	וּבֵין	אִישׁ	בֵּין	מִשְׁפָּט	תַּעֲשׂוּ	עָשׂוֹ	אִם־
その-隣人の	そして-間で	人と	間で	公正を	行うなら	まことに	もし
H7453	H0996	H0376	H0996	H4941			

もしあなたがたが、まことに、その道と行いを改めて、互に公正を行い、

בַּמָּקוֹם	תִּשְׁפְּכוּ	אַל־	נָקִי	וְדָם	תַּעֲשֹׁקוּ	לָא	וְאַלְמָנָה	יָתוֹם	גֵּר	6
場所で	流すな	ない	無実の	そして-血を	虐げるな	ない	そして-やもめを	孤児と	寄留者と	
H4725	H8210	H0408		H1818	H6231	H3808	H0490	H3490	H1616	

לָכֶם׃	לְרַע	תֵּלְכוּ	לְבִלְתִּי	אֲחֵרִים	אֱלֹהִים	וְאַחֲרֵי	הַזֶּה
あなたがたにとって	害と-なるように	従うな	ない	他の	神々の	そして-後を	この
		H3212	H3808	H0312	H0430		H2088

寄留の他国人と、みなしごと、やもめをしえたげることなく、罪のない人の血をこの所に流すことなく、また、ほかの神々に従って自ら害をまねくことをしないならば、

לַאֲבוֹתֵיכֶם	נָתַתִּי	אֲשֶׁר	בָּאָרֶץ	הַזֶּה	בַּמָּקוֹם	אִתְּכֶם	וְשִׁכַּנְתִּי	7
あなたがたの-先祖に	与えた	その	地に	この	場所に	あなたがたを	そして-住まわせる	
H0001	H5414		H0776	H2088	H4725	H0853	H7931	

עוֹלָם׃	וְעַד־	עוֹלָם	לְמִן־
永遠に	そして-まで	永遠に	から
H5769	H5704	H5769	

わたしはあなたがたを、わたしが昔あなたがたの先祖に与えたこの地に永遠に住まわせる。

8 הִנֵּה אַתֶּם בֹּטְחִים לָכֶם עַל־ דִּבְרֵי הַשֶּׁקֶר לְבִלְתִּי הוֹעִיל׃
見よ あなたがたは 頼っている 自ら に 言葉に 偽りの 益なく 益なしに
H2009 H0982 H3276 H1115 H8267 H1697

見よ、あなたがたは偽りの言葉を頼みとしているが、それはむだである。

9 וְהַגְנֹב רָצֹחַ וְנָאֹף וְהִשָּׁבֵעַ לַשֶּׁקֶר וְקַטֵּר לַבָּעַל
盗み 殺し そして-姦淫し そして-偽って-誓い 偽りの-ために そして-香を-たいて バアルに
H1589 H7523 H5003 H7650 H8267

וְהָלֹךְ אַחֲרֵי אֱלֹהִים אֲחֵרִים אֲשֶׁר לֹא־ יְדַעְתֶּם׃
そして-従い 後に 神々の 他の その ない 知らなかった
H1980 H0430 H0312 H3808 H3045

あなたがたは盗み、殺し、姦淫し、偽って誓い、バアルに香をたき、あなたがたが以前には知らなかった他の神々に従いながら、

10 וּבָאתֶם וַעֲמַדְתֶּם לְפָנַי בַּבַּיִת הַזֶּה אֲשֶׁר נִקְרָא־ שְׁמִי
そして-来て そして-立って 私の-前に 家に この その 呼ばれている わが-名が
H0935 H5975 H6440 H1004 H2088 H7121 H8034

עָלָיו וְאָמַרְתֶּם נִצַּלְנוּ לְמַעַן עֲשׂוֹת אֶת־ כָּל־ הַתּוֹעֵבוֹת הָאֵלֶּה׃
その-上に そして-言った 救われたと ために 行う を すべての 忌まわしい-ことを これらの
H5921 H0559 H5337 H4616 H6213 H0853 H3605 H8441 H0428

わたしの名をもって、となえられるこの家に来てわたしの前に立ち、『われわれは救われた』と言い、しかもすべてこれら憎むべきことを行うのは、どうしたことか。

11 הֲמְעָרַת פָּרִצִים הַבַּיִת הַזֶּה אֲשֶׁר־ נִקְרָא שְׁמִי עָלָיו
強盗の-巣に 強盗の 家は この その 呼ばれている わが-名が その-上に
H4631 H6530 H1961 H2088 H0834 H7121 H8034 H5921

גַּם אָנֹכִי הִנֵּה רָאִיתִי נְאֻם־ יְהוָה׃ ס
まことに わたしも 見よ 見た 御告げ-である 主の —
H1571 H0595 H2009 H7200 H5002 H3068

בְּעֵינֵיכֶם
あなたがたの-目に

わたしの名をもって、となえられるこの家が、あなたがたの目には盗賊の巣と見えるのか。わたし自身、そう見たと主は言われる。

12 כִּי לְכוּ־ נָא אֶל־ מְקוֹמִי אֲשֶׁר בְּשִׁילוֹ אֲשֶׁר שִׁכַּנְתִּי שְׁמִי
なぜなら 行け どうか に-向けて わが-場所へ その シロに-ある そこに 住まわせた わが-名を
H3212 H4994 H0413 H4725 H0834 H7887 H0834 H7931 H8034

בָּרִאשֹׁנָה וּרְאוּ אֵת אֲשֶׁר־ עָשִׂיתִי לוֹ לְמִפְנֵי רָעַת עַמִּי יִשְׂרָאֵל׃
初めに そして-見よ を 何を わたしが-したか それに ゆえに 悪の わが-民の イスラエルの
H7223 H7200 H0853 H0834 H6213 H3808 H6440 H7451 H5971 H3478

わたしが初めにわたしの名を置いた場所シロへ行き、わが民イスラエルの悪のために、わたしがその場所に対して行ったことを見よ。

13 וְעַתָּה יַעַן עֲשׂוֹתְכֶם אֶת־כָּל־הַמַּעֲשִׂים הָאֵלֶּה נְאֻם־יְהוָה
そして–今 ゆえに あなたがたが–行った を すべての 行いを これらの 御告げ–である 主の
H6258 H3282 H0853 H3605 H4639 H0428 H5002 H3068

וָאֲקַרֵּא וְלֹא שְׁמַעְתֶּם וְלֹא וָאֲדַבֵּר הַשְׁכֵּם וְאֵלֵיכֶם וָאֲדַבֵּר
そして–呼んだ 聞かなかった しかし–ない そして–語り 朝早くから あなたがたに そして–語った
H7121 H8085 H3808 H1696 H7925 H0413 H1696

עֲנִיתֶם׃ וְלֹא אֶתְכֶם
答えなかった しかし–ない あなたがたを
H3808 H0853

主は言われる、今あなたがたはこれらのすべてのことを行っている。またわたしはあなたがたに、しきりに語ったけれども、あなたがたは聞かず、あなたがたを呼んだけれども答えなかった。

14 וְעָשִׂיתִי לַבַּיִת אֲשֶׁר נִקְרָא־שְׁמִי עָלָיו אֲשֶׁר אַתֶּם בֹּטְחִים
そして–する 家に その 呼ばれている わが–名が その–上に その あなたがたが 頼っている
H6213 H1004 H0834 H7121 H8034 H5921 H0834 H0859 H0982

וְלַמָּקוֹם אֲשֶׁר־נָתַתִּי לָכֶם וְלַאֲבוֹתֵיכֶם כַּאֲשֶׁר עָשִׂיתִי
そして–場所に その 与えた あなたがたに そして–あなたがたの–先祖に ように した
H4725 H0834 H5414 H0853 H1 H0834 H6213

לְשִׁלוֹ׃ בּוֹ
シロに それに
H7887 H0853

それゆえわたしはシロに対して行ったように、わたしの名をもって、となえられるこの家にも行う。すなわちあなたがたが頼みとする所、わたしがあなたがたと、あなたがたの先祖に与えたこの所に行う。

15 וְהִשְׁלַכְתִּי אֶתְכֶם מֵעַל פָּנָי כַּאֲשֶׁר הִשְׁלַכְתִּי אֶת־כָּל־
そして–投げ捨てる あなたがたを から わたしの–前 ように 投げ捨てた を すべての
H7993 H0853 H5921 H6440 H0834 H7993 H0853 H3605

ס אֶחֵיכֶם אֶת כָּל־זֶרַע אֶפְרָיִם׃
— あなたがたの–兄弟を を すべての 子孫を エフライムの
H0251 H0853 H3605 H2233 H0669

そしてわたしは、あなたがたのすべての兄弟、すなわちエフライムのすべての子孫を捨てたように、わたしの前からあなたがたをも捨てる。

16 וְאַתָּה אַל־תִּתְפַּלֵּל בְּעַד־הָעָם הַזֶּה וְאַל־תִּשָּׂא בַּעֲדָם
そして–あなたは ない 祈るな ために この 民の そして–ない 上げるな 彼らの–ために
H6419 H0408 H1157 H2088 H5375 H1157

וְאַל־תִּפְגַּע בִּי כִּי־אֵינֶנִּי שֹׁמֵעַ אֹתָךְ׃
そして–ない とりなすな わたしに なぜなら ない 聞かない あなたに
H8605 H6293 H0408 H7440 H0369 H8085 H0853

そして–祈りも 叫びも

あなたはこの民のために祈ってはならない。彼らのために嘆き、祈ってはならない。またわたしに、とりなしをしてはならない。わたしはあなたの求めを聞かない。

17 הֲאֵינְךָ רֹאֶה מָה הֵמָּה עֹשִׂים בְּעָרֵי יְהוּדָה וּבְחֻצוֹת יְרוּשָׁלִָם׃
ないのか 見ているのか 何を 彼らが しているか 町々で ユダの そして–通りで エルサレムの
H3389 H2351 H3063 H6213 H1992 H4100 H7200 H0369

あなたは彼らがユダの町々と、エルサレムのちまたでしていることを見ないのか。

18 הַבָּנִים מְלַקְּטִים עֵצִים וְהָאָבוֹת מְבַעֲרִים אֵת־הָאֵשׁ וְהַנָּשִׁים
子らは 拾っている 薪を そして-父たちは 燃やしている を 火を そして-女たちは
H1121 H3950 H6086 H0001 H1197 H0853 H0784 H0802

לָשׁוֹת בָּצֵק לַעֲשׂוֹת כַּוָּנִים לִמְלֶכֶת הַשָּׁמַיִם וְהַסֵּךְ נְסָכִים לֵאלֹהִים
こねている 粉を 作る-ために 菓子を 女王の-ために 天の そして-注ぐ 供え物を 神々に
H3888 H1217 H6213 H3561 H4446 H8064 H5258 H5262 H0430

אֲחֵרִים לְמַעַן הַכְעִסֵנִי׃
他の ために わたしを-怒らせる
H0312 H4616 H3707

子どもらは、たきぎを集め、父たちは火をたき、女は粉をこね、パンを造ってこれを天后に供える。また彼らは他の神々の前に酒を注いで、わたしを怒らせる。

19 הַאֹתִי הֵם יַכְעִסוּ נְאֻם־יְהוָה הֲלוֹא אוֹתָם לְמַעַן בֹּשֶׁת
わたしを 彼らは 怒らせているのか 御告げ-である 主の ではないのか 自らを ために 恥の
H0853 H1992 H3707 H5002 H3068 H3808 H0853 H4616 H1322

פְּנֵיהֶם׃ ס
その-顔の —
H6440

主は言われる、彼らが怒らせるのはわたしなのか。自分たち自身ではないのか。そして自らうろたえている。

20 לָכֵן כֹּה־אָמַר אֲדֹנָי יְהוִה הִנֵּה אַפִּי וַחֲמָתִי נִתֶּכֶת
それゆえ こう 言われた 主なる 神は 見よ わが-怒りと そして-憤りが 注ぎ-出される
H3541 H0559 H0136 H3069 H2009 H0639 H2534 H5413

עַל־הָאָדָם וְעַל־הַבְּהֵמָה וְעַל־עֵץ הַשָּׂדֶה וְעַל־פְּרִי הָאֲדָמָה וּבָעֲרָה
人にも に-向けて この 場所に に-向けて 家畜にも そして-に 木にも 野の そして-に 地の 実りにも そして-に 燃え上がり そして-ない 消えない ない
H0120 H5921 H2088 H4725 H0413 H0929 H5921 H6086 H7704 H3808 H3518 H3808 H1197 H0127 H6529 H5921

וְלֹא תִכְבֶּה׃ ס
H3518 H3808 H1197

それゆえ主なる神はこう言われる、見よ、わたしの怒りと憤りを、この所と、人と獣と、畑の木と、地の産物とに注ぐ。怒りは燃えて消えることがない」。

21 כֹּה אָמַר יְהוָה צְבָאוֹת אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל עֹלוֹתֵיכֶם סְפוּ עַל־
こう 言われた 主は 万軍の 神 イスラエルの あなたがたの-燔祈を 加えよ に-向けて
H3541 H0559 H3068 H6635 H0430 H3478 H5927 H5595 H5921

זִבְחֵיכֶם וְאִכְלוּ בָשָׂר׃
あなたがたの-いけにえに そして-食べよ 肉を
H2077 H0398 H1320

万軍の主、イスラエルの神はこう言われる、「あなたがたの犠牲に燔祭の物を合わせて肉を食べるがよい。

22 כִּי לֹא־דִבַּרְתִּי אֶת־אֲבוֹתֵיכֶם וְלֹא צִוִּיתִים בְּיוֹם
まことに ない に-対して 語らなかった あなたがたの-先祖に そして-ない 命じなかった 日に
H3588 H3808 H1696 H0854 H1 H3808 H6680 H3117

הוֹצִיאִי[אוֹתָם מֵאֶרֶץ מִצְרָיִם עַל־דִּבְרֵי עוֹלָה
— わたしが-導き-出した 彼らを 地から エジプトの について ことを 燔祈と
H3318 H3318 H0776 H4714 H5921 H1697 H5930

וְזָבַח׃
そして-いけにえの
H2077

それはあなたがたの先祖をエジプトの地から導き出した日に、わたしは燔祭と犠牲とについて彼らに語ったこともなく、また命じたこともないからである。

23 כִּי־ אִם־ אֶת־ הַדָּבָר הַזֶּה צִוִּיתִי אוֹתָם לֵאמֹר שִׁמְעוּ בְקוֹלִי וְהָיִיתִי
ただ この を 言葉を この 命じた 彼らに 言って 聞け わが–声に そして–なる
H1961 H8085 H0559 H0853 H6680 H2088 H1697 H0853

לָכֶם לֵאלֹהִים וְאַתֶּם תִּהְיוּ־ לִי לְעָם וַהֲלַכְתֶּם
あなたがたにとって 神と そして–あなたがたは なる わたしにとって 民と そして–歩め
H0430 H1961 H1980

בְּכָל־ הַדֶּרֶךְ אֲשֶׁר אֲצַוֶּה אֶתְכֶם לְמַעַן יִיטַב לָכֶם׃
すべての 道を その 命じる わたしが–命じる あなたがたに ために 幸いで–あるように あなたがたに
H3605 H1870 H0834 H6680 H0853 H4616 H3190

ただわたしはこの戒めを彼らに与えて言った、『わたしの声に聞きしたがいなさい。そうすれば、わたしはあなたがたの神となり、あなたがたはわたしの民となる。わたしがあなたがたに命じるすべての道を歩んで幸を得なさい』と。

24 וְלֹא שָׁמְעוּ וְלֹא הִטּוּ אֶת־ אָזְנָם וַיֵּלְכוּ בְּמֹעֲצוֹת
しかし–ない 聞かなかった そして–ない 傾けなかった を その–耳を そして–歩んだ 謀りごとに
H3808 H8085 H3808 H5186 H0853 H0241 H3212 H4156

הַרַע לִבָּם וַיִּהְיוּ לָאָחוֹר וְלֹא לְפָנִים׃
悪い その–心の そして–なった 後ろに そして–ない 前に
H7451 H3824 H1961 H0268 H3808 H6440

しかし彼らは聞き従わず、耳を傾けず、自分の悪い心の計りごとと強情にしたがって歩み、悪くなるばかりで、よくはならなかった。

25 לְמִן־ הַיּוֹם אֲשֶׁר יָצְאוּ אֲבוֹתֵיכֶם מֵאֶרֶץ מִצְרַיִם עַד הַיּוֹם הַזֶּה
から 日より その 出た あなたがたの–先祖が 地から エジプトの まで 日まで この
H3318 H3117 H0776 H4714 H5704 H3117 H2088

וָאֶשְׁלַח אֲלֵיכֶם אֶת־ כָּל־ עַבְדַי הַנְּבִיאִים יוֹם הַשְׁכֵּם
そして–遣わした あなたがたに を すべての わが–僕らを 預言者たちを 日々 朝早くから
H7971 H0413 H0853 H3605 H5650 H5030 H3117 H7925

וְשָׁלֹחַ׃
そして–遣わした
H7971

あなたがたの先祖がエジプトの地を出た日から今日まで、わたしはわたしのしもべである預言者たちを日々彼らにつかわした。

26 וְלֹא שָׁמְעוּ אֵלַי וְלֹא הִטּוּ אֶת־ אָזְנָם וַיַּקְשׁוּ
しかし–ない わたしに 聞かなかった しかし–ない を その–耳を そして–硬くした
H3808 H0413 H8085 H3808 H0853 H0241 H7185

הֵרֵעוּ מֵאֲבוֹתָם׃ עָרְפָּם אֶת־
悪く–した その–先祖よりも その–うなじを を
H7489 H0001 H6203 H0853

しかし彼らはわたしに聞かず、耳を傾けないで強情になり、先祖たちにもまさって悪を行った。

27 וְדִבַּרְתָּ אֲלֵיהֶם אֶת־ כָּל־ הַדְּבָרִים הָאֵלֶּה וְלֹא יִשְׁמְעוּ אֵלֶיךָ
そして–語れ 彼らに を すべての 言葉を これらの しかし–ない 聞かない あなたに
H1696 H0413 H0853 H3605 H1697 H0428 H3808 H8085 H0413

וְקָרָאתָ אֲלֵיהֶם וְלֹא יַעֲנוּכָה׃
そして–呼べ 彼らに しかし–ない 答えない
H7121 H0413 H3808

たといあなたが彼らにこのすべての言葉を語っても彼らは聞かない。また彼らを呼んでもあなたに答えない。

28 וְאָמַרְתָּ אֲלֵיהֶם אֶת־הַגּוֹי אֲשֶׁר לֹא־שָׁמְעוּ בְּקוֹל יְהוָה אֱלֹהָיו וְלֹא לָקְחוּ מוּסָר אָבְדָה הָאֱמוּנָה וְנִכְרְתָה מִפִּיהֶם׃ ס

そして-言え / 彼らに / これが / 国だ / その / ない / 聞かなかった / 声に / 主の / その-神の
H0559 / H0413 / H2088 / H0430 / H0806 / H3808 / H8085 / H0430 / H3068 / H0430

— / その-口から / そして-断たれた / 真実は / 滅びた / 懲らしめを / 受けなかった / そして-ない
— / H6310 / H3772 / H0530 / H0006 / H4148 / H3947 / H3808

それゆえ、あなたはこう彼らに言わなければならない、『これはその神、主の声に聞き従わず、その戒めを受けいれなかった国民である。真実はうせ、彼らの口から絶えた。

29 קִינָה שְׂפִים עַל־ וּשְׂאִי וְהַשְׁלִיכִי נִזְרֵךְ גָּזִי

哀歌を / 裸の-丘で / に-向けて / そして-上げよ / そして-投げ捨てよ / あなたの-髪を / 切り落とせ
H7015 / H8205 / H5375 / H7993 / H5145 / H1494

כִּי מָאַס יְהוָה וַיִּטֹּשׁ אֶת־ דּוֹר עֶבְרָתוֹ׃

なぜなら / 退けた / 主が / そして-捨てた / を / 世代を / その-怒りの
H3068 / H0853 / H5203 / H5678

あなたの髪の毛を切って捨てよ、裸の山の上に嘆きの声をあげよ。主が、お怒りになっている世の人を退け捨てられたからだ』。

30 כִּי־ עָשׂוּ בְנֵי־ יְהוּדָה הָרַע בְּעֵינַי נְאֻם־ יְהוָה שָׂמוּ

なぜなら / 行った / 子らが / ユダの / 悪を / わたしの-目に / 御告げ-である / 主の / 置いた
H3063 / H5002 / H3068

שִׁקּוּצֵיהֶם אֲשֶׁר־ נִקְרָא שְׁמִי עָלָיו לְטַמְּאוֹ׃

その-忌むべきものを / その / 呼ばれている / わが-名が / その-上に / 汚す-ために
H8251 / H7121 / H8034

主は言われる、ユダの民はわたしの前に悪を行い、わたしの名をもってとなえられる家に、憎むべき者を置いてそこを汚した。

31 וּבָנוּ אֶת־ בָּמוֹת הַתֹּפֶת אֲשֶׁר בְּגֵיא בֶן־ הִנֹּם לִשְׂרֹף אֶת־

そして-築いた / 高き所を / トフェトの / その / 谷に-ある / 子の / ヒンノムの / 焼く-ために / を
H1129 / H1116 / H8612 / H0834 / H1516 / H1121 / H2011 / H8313 / H0853

בְּנֵיהֶם וְאֶת־ בְּנֹתֵיהֶם בָּאֵשׁ אֲשֶׁר לֹא צִוִּיתִי וְלֹא עָלְתָה עַל־ לִבִּי׃ ס

その-息子たちを / そして / その-娘たちを / 火で / それは / ない / 命じなかった / そして-ない / に / わが-心に / —
H1323 / H0853 / H1323 / H0784 / H0834 / H3808 / H6680 / H3808 / H5927 / H3820 / H0

またベンヒンノムの谷にあるトペテの高き所を築いて、むすこ娘を火に焼いた。わたしはそれを命じたことはなく、またそのようなことを考えたこともなかった。

32 לָכֵן הִנֵּה־ יָמִים בָּאִים נְאֻם־ יְהוָה וְלֹא־ יֵאָמֵר עוֹד

それゆえ / 見よ / 日々が / 来る / 御告げ-である / 主の / そして-ない / 呼ばれない / もはや
H3651 / H2009 / H3117 / H0935 / H5002 / H3068 / H3808 / H0559 / H5750

הַתֹּפֶת וְגֵיא בֶן־ הִנֹּם כִּי אִם־ גֵּיא הַהֲרֵגָה וְקָבְרוּ

トフェトとも / そして-谷とも / 子の / ヒンノムの / ただ / ただ / 谷と / 殺戮の / そして-葬る
H8612 / H1516 / H1121 / H2011 / H3588 / H0518 / H1516 / H2028 / H6912

בְתֹפֶת מֵאֵין מָקוֹם׃

トフェトに / ない / 場所が
H8612 / H0369 / H4725

主は言われる、それゆえに見よ、その所をトペテ、またはベンヒンノムの谷と呼ばないで、ほふりの谷と呼ぶ日が来る。それはほかに場所がないので、トペテに葬るからである。

וְאֵין 33
そして-ない
H0369
הָאָרֶץ
地の
H0776
וּלְבֶהֱמַת
そして-獣の
H0929
הַשָּׁמַיִם
天の
H8064
לְעוֹף
鳥の
H5775
לְמַאֲכָל
食物と
H3978
הַזֶּה
この
H2088
הָעָם
民の
נִבְלַת
死体が
H5038
וְהָיְתָה
そして-なる
H1961
מַחֲרִיד׃
追い払う-者が
H2729

この民の死体は空の鳥と地の獣の食物となり、これを追い払う者もない。

וְקוֹל 34
そして-声を
שָׂשׂוֹן
喜びの
H8342
קוֹל
声を
יְרוּשָׁלַם
エルサレムの
H3389
וּמֵחֻצוֹת
そして-通りから
H2351
יְהוּדָה
ユダの
H3063
מֵעָרֵי
町々から
וְהִשְׁבַּתִּי
そして-絶やす
שִׂמְחָה
楽しみの
H8057
קוֹל
声を
חָתָן
花婿の
H2860
וְקוֹל
そして-声を
כַּלָּה
花嫁の
H3618
כִּי
なぜなら
לְחָרְבָּה
廃墟と
H2723
תִּהְיֶה
なる
H1961
הָאָרֶץ׃
その-地は
H0776

そのときわたしはユダの町々とエルサレムのちまたに、喜びの声、楽しみの声、花婿の声、花嫁の声を絶やす。この地は荒れ果てるからである。

Chapter 8

בָּעֵת 1
その-時に
H6256
הַהִיא
その
H1931
נְאֻם־
御告げ-である
H5002
יְהוָה
主の
H3068
[ויציאון]
—
H3318
(יוֹצִיאוּ)
取り-出す
H3318
אֶת־
を
H0853
עַצְמוֹת
骨を
H6106
מַלְכֵי־
王たちの
H4428
יְהוּדָה
ユダの
H3063
וְאֶת
そして
H0853
הַנְּבִיאִים
預言者たちの
H5030
עַצְמוֹת
骨を
H6106
וְאֶת
そして
H0853
הַכֹּהֲנִים
祭司たちの
H3548
עַצְמוֹת
骨を
H6106
וְאֶת־
そして
H0853
שָׂרָיו
その-高官の
H8269
עַצְמוֹת־
骨を
H6106
וְאֶת־
そして
H0853
מִקִּבְרֵיהֶם׃
その-墓から
H6913
יְרוּשָׁלָם
エルサレムの
H3389
יוֹשְׁבֵי־
住民の
H3427
עַצְמוֹת
骨を
H6106

主は言われる、その時ユダの王たちの骨と、そのつかさたちの骨と、祭司たちの骨と、預言者たちの骨と、エルサレムに住む人々の骨は墓より掘り出されて、

וְשִׁטָּחוּם 2
そして-広げる
H7849
לַשֶּׁמֶשׁ
太陽の-前に
H8121
וְלַיָּרֵחַ
そして-月の-前に
H3394
וּלְכֹל
そして-すべての-前に
H3605
צְבָא
軍勢の
הַשָּׁמַיִם
天の
H8064
אֲשֶׁר
その
אָהֲבוּם
愛したものを
H0157
וַאֲשֶׁר
そして-その
עֲבָדוּם
仕えたものを
H5647
וַאֲשֶׁר
そして-その
הָלְכוּ
従った
H1980
וַאֲשֶׁר
そして-その
אַחֲרֵיהֶם
その-後に
דָּרְשׁוּם
尋ねたものを
H1875
וַאֲשֶׁר
そして-その
הִשְׁתַּחֲוּוּ
ひれ伏した
H7812
לָהֶם
それらに
לֹא
ない
H3808
יֵאָסְפוּ
集められない
H0622
וְלֹא
そして-ない
H3808
יִקָּבֵרוּ
葬られない
H6912
לְדֶמֶן
肥やしと
H1828
עַל־
に-向けて
פְּנֵי
面に
H6440
הָאֲדָמָה
地の
H0127
יִהְיוּ׃
なる
H1961

彼らの愛し、仕え、従い、求め、また拝んだ、日と月と天の衆群の前にさらされる。その骨は集める者も葬る者もなく、地のおもてに糞土のようになる。

3

הָרָעָה	הַמִּשְׁפָּחָה	מִן־	הַנִּשְׁאָרִים	הַשְּׁאֵרִית	לְכֹל	מֻחַיִּים	מָוֶת	וְנִבְחַר
悪い	氏族の	から	残された-者で	残りの-者は	すべての	命よりも	死を	そして-選ぶ
	H4940		H7604	H7611	H3605		H4194	H0977

נְאֻם	שָׁם	הַדַּחְתִּים	אֲשֶׁר	הַנִּשְׁאָרִים	הַמְּקֹמוֹת	בְּכֹל־	הַזֹּאת
御告げ-である	そこで	わたしが-追い散らした	そこに	残っている	場所で	すべての-中で	この
H5002	H8033	H5080		H7604	H4725	H3605	H2063

יְהוָה	צְבָאוֹת׃	ס	
主の	万軍の	—	
H3068			

この悪しき民のうちの残っている残りの者はみな、わたしが追いやった場所で、生きることよりも死ぬことを願うようになると、万軍の主は言われる。

4

אִם־	יָקוּמוּ	וְלֹא	הַיִּפְּלוּ	יְהוָה	אָמַר	כֹּה	אֲלֵיהֶם	וְאָמַרְתָּ
もし	起き上がらないのか	そして-ない	倒れて	主は	言われた	こう	彼らに	そして-言え
		H3808	H5307	H3068	H0559	H3541	H0413	H0559

יָשׁוּב׃	וְלֹא	יָשׁוּב
戻らないのか	そして-ない	背いて
H7725	H3808	H7725

あなたは彼らに言わなければならない。主はこう仰せられる、人は倒れたならば、また起きあがらないであろうか。離れていったならば、帰ってこないであろうか。

5

מֵאֲנוּ	בַּתַּרְמִית	הֶחֱזִיקוּ	נִצְחַת	מְשֻׁבָה	יְרוּשָׁלַ͏ִם	הַזֶּה	הָעָם	שׁוֹבְבָה	מַדּוּעַ
拒んだ	欺きに	固執した	絶えず	背信で	エルサレムは	この	民は	背いたのか	なぜ
H3985		H2388	H5329	H4878	H3389	H2088		H7725	H4069

לָשׁוּב׃
立ち返ることを
H7725

それにどうしてこの民は、常にそむいて離れていくのか。彼らは偽りを固くとらえて、帰ってくることを拒んでいる。

6

עַל־	נָחָם	אִישׁ	אַיִן	יְדַבֵּרוּ	כֵּן	לוֹא־	וָאֶשְׁמָע	הִקְשַׁבְתִּי
に-ついて	悔いる-者が	人が	ない	語らない	正しく	ない	そして-聞いた	耳を-傾けた
	H5162	H0376	H0369	H1696		H3808	H8085	H7181

כְּסוּס	)בִּמְרוּצָתָם(	]במרצותם[	שָׁב	כֻּלֹּה	עָשִׂיתִי	מֶה	לֵאמֹר	רָעָתוֹ
馬の-ように	その-走りに	—	立ち-戻る	すべてが	したのかと	何を	言って	その-悪を
	H4794	H4794	H7725	H3605		H4100	H0559	

שׁוֹטֵף	בַּמִּלְחָמָה׃
突進する	戦いに
H7857	H4421

わたしは気をつけて聞いたが、彼らは正しくは語らなかった。その悪を悔いて、『わたしのした事は何か』という者はひとりもない。彼らはみな戦場に、はせ入る馬のように、自分のすきな道に向かう。

7

)וְסִיס(	]וסוס[	וְתֹר	מֹועֲדֵיהָ	יָדְעָה	בַשָּׁמַיִם	חֲסִידָה
そして–つばめも	—	そして–山鳩も	その–時を	知っている	天に–いる	こうのとりでさえ
H5483		H8449	H4150	H3045	H8064	H2624

גַּם־	מִשְׁפַּט	אֶת	יָדְעוּ	לֹא	וְעַמִּי	בֹּאָנָה	עֵת	אֶת־	שָׁמְרוּ	וְעָגוּר
また	定めを	を	知らない	ない	しかし–わが–民は	その–来る	時を	を	守っている	そして–鶴も
H1571	H4941	H0853	H3045	H3808		H0935	H6256	H0853	H8104	H5693

יְהוָה׃
主の
H3068

空のこうのとりでもその時を知り、山ばとと、つばめと、つるはその来る時を守る。しかしわが民は主のおきてを知らない。

8

אָכֵן	אִתָּנוּ	יְהוָה	וְתוֹרַת	אֲנַחְנוּ	חֲכָמִים	תֹּאמְרוּ	אֵיכָה
まことに	我々と–共に–あると	主の	そして–律法が	我々はと	賢い	言えるのか	どうして
H0403	H0854	H3068	H8451	H0587	H2450	H0559	

סֹפְרִים׃	שֶׁקֶר	עֵט	עָשָׂה	לַשֶּׁקֶר	הִנֵּה	
書記たちの	偽りの	筆が	作った	偽りの–ために	見よ	
	H8267	H5842		H8267	H2009	

どうしてあなたがたは、『われわれには知恵がある、主のおきてがある』と言うことができようか。見よ、まことに書記の偽りの筆がこれを偽りにしたのだ。

9

מָאֲסוּ	יְהוָה	בִּדְבַר־	הִנֵּה	וַיִּלָּכֵדוּ	חַתּוּ	חֲכָמִים	הֹבִישׁוּ	
退けた	主の	言葉を	見よ	そして–捕らえられた	恐れおののいた	賢い–者たちは	恥を–受けた	
	H3068	H1697	H2009	H3920	H2865	H2450	H0954	

ס	לָהֶם׃	מֶה	וְחָכְמַת־
—	彼らにとって	何の	そして–知恵は
		H4100	H2451

知恵ある者は、はずかしめられ、あわてふためき、捕えられる。見よ、彼らは主の言葉を捨てた、彼らになんの知恵があろうか。

10

מִקְּטַנָּם	כִּי	לְיוֹרְשִׁים	שְׂדוֹתֵיהֶם	לַאֲחֵרִים	נְשֵׁיהֶם	אֶת־	אֶתֵּן	לָכֵן	
小さい–者から	なぜなら	奪う–者に	その–畑を	他人に	その–妻たちを	を	与える	それゆえ	
		H3423		H0312	H0802	H0853	H5414		

כֹּהֵן	וְעַד־	מִנָּבִיא	בָּצַע	בֹּצֵעַ	כֻּלֹּה	גָּדוֹל	וְעַד־	
祭司まで	そして–まで	預言者から	利得を	むさぼっている	すべてが	大きな–者まで	そして–まで	
H3548	H5704	H5030	H1215	H1214	H3605		H5704	

שָׁקֶר׃	עֹשֶׂה	כֻּלֹּה
偽りを	行っている	すべてが
H8267		H3605

それゆえ、わたしは彼らの妻を他人に与え、その畑を征服者に与える。それは彼らが小さい者から大きい者にいたるまで、みな不正な利をむさぼり、預言者から祭司にいたるまで、みな偽りを行っているからである。

11

שָׁלוֹם	וְשָׁלוֹם	לֵאמֹר	נְקֵלָה	עַל־	עַמִּי	בַּת־	שֶׁבֶר	אֶת־	וַיְרַפּוּ	
平和と	平和	言って	軽く	で	わが–民の	娘の	傷を	を	そして–癒した	
H7965	H7965	H0559	H7043			H1323	H7667	H0853	H7495	

וְאֵין	שָׁלוֹם׃
しかし–ない	平和は
H0369	H7965

彼らは手軽に、わたしの民の傷をいやし、平安がないのに、『平安、平安』と言っている。

12 הֹבִ֣ישׁוּ כִּ֤י תוֹעֵבָה֙ עָשׂ֔וּ גַּם־בֹּ֥שׁ לֹֽא־יֵבֹ֖שׁוּ וְהַכְלֵ֣ם לֹ֣א יָדָ֑עוּ לָכֵ֗ן יִפְּל֤וּ בַנֹּפְלִים֙ בְּעֵ֣ת פְּקֻדָּתָ֔ם יִכָּשְׁל֖וּ אָמַ֥ר יְהוָֽה׃ ס

הֹבִישׁוּ כִּי תוֹעֵבָה עָשׂוּ גַּם־בֹּשׁ לֹא־יֵבֹשׁוּ וְהַכְלֵם לֹא יָדָעוּ לָכֵן יִפְּלוּ בַנֹּפְלִים בְּעֵת פְּקֻדָּתָם יִכָּשְׁלוּ אָמַר יְהוָה׃ ס

12	הֹבִישׁוּ	כִּי	תוֹעֵבָה	עָשׂוּ	גַּם־	בֹּשׁ	לֹא־	יֵבֹשׁוּ	וְהַכְלֵם	לֹא	יָדָעוּ
	恥じたか	なぜなら	忌まわしいことを	行った	しかし	恥じることを	ない	恥じない	そして–赤面することを	ない	知らない
	H3001	H3588	H8441	H6213	H1571	H0954	H3808	H0954	H3637	H3808	H3045

לָכֵן	יִפְּלוּ	בַנֹּפְלִים	בְּעֵת	פְּקֻדָּתָם	יִכָּשְׁלוּ	אָמַר	יְהוָה׃	ס
それゆえ	倒れる	倒れる–者と–共に	時に	その–罰の	つまずく	言われた	主は	—
H3651	H5307	H5307	H6256	H6486	H3782	H0559	H3068	

彼らは憎むべきことをして、恥じたであろうか。すこしも恥ずかしいとは思わず、また恥じることを知らなかった。それゆえ彼らは倒れる者と共に倒れる。わたしが彼らを罰するとき、彼らは倒れると、主は言われる。

13 אָסֹ֤ף אֹסִיפֵם֙ נְאֻם־יְהוָ֔ה אֵ֥ין עֲנָבִ֖ים בַּגֶּ֑פֶן וְאֵ֣ין תְּאֵנִ֔ים וְהֶעָלֶ֖ה נָבֵ֑ל וָאֶתֵּ֣ן לָהֶ֔ם יַעַבְרוּם׃

אָסֹף אֹסִיפֵם נְאֻם־יְהוָה אֵין עֲנָבִים בַּגֶּפֶן וְאֵין תְּאֵנִים וְהֶעָלֶה נָבֵל וָאֶתֵּן לָהֶם יַעַבְרוּם׃

13	אָסֹף	אֹסִיפֵם	נְאֻם־	יְהוָה	אֵין	עֲנָבִים	בַּגֶּפֶן	וְאֵין	תְּאֵנִים	וְהֶעָלֶה	נָבֵל
	念入りに	集める	御告げ–である	主の	ない	ぶどうが	ぶどうの–木に	そして–ない	いちじくが	そして–葉は	枯れた
	H0622	H5486	H5002	H3068	H0369	H6025	H1612	H0369	H8384	H5929	H5034

וָאֶתֵּן	לָהֶם	יַעַבְרוּם׃		
そして–与えた	彼らに	過ぎ–去る		
H5414	H1992			

主は言われる、わたしが集めようと思うとき、ぶどうの木にぶどうはなく、いちじくの木に、いちじくはなく、葉さえ、しぼんでいる。わたしが彼らに与えたものも、彼らを離れて、うせ去った」。

14 עַל־מָ֤ה אֲנַ֙חְנוּ֙ יֹשְׁבִ֔ים הֵאָסְפ֕וּ וְנָבֹ֖וא אֶל־עָרֵ֣י הַמִּבְצָ֑ר וְנִדְמָ֣ה שָּׁ֔ם כִּ֣י יְהוָ֤ה אֱלֹהֵ֙ינוּ֙ הִדְמָ֔נוּ וַיַּשְׁקֵ֖נוּ מֵ֣י רֹ֑אשׁ כִּ֥י לַיהוָ֖ה חָטָֽאנוּ׃

עַל־מָה אֲנַחְנוּ יֹשְׁבִים הֵאָסְפוּ וְנָבוֹא אֶל־עָרֵי הַמִּבְצָר וְנִדְמָה שָּׁם כִּי יְהוָה אֱלֹהֵינוּ הִדְמָנוּ וַיַּשְׁקֵנוּ מֵי־רֹאשׁ כִּי לַיהוָה חָטָאנוּ׃

14	עַל־	מָה	אֲנַחְנוּ	יֹשְׁבִים	הֵאָסְפוּ	וְנָבוֹא	אֶל־	עָרֵי	הַמִּבְצָר	וְנִדְמָה־	שָּׁם	כִּי	יְהוָה
	に–対して	なぜ	我々は	座っているのか	集まれ	そして–入ろう	中へ	町々の	要塞の	そして–滅びよう	そこで	なぜなら	主が
	H5921	H4100	H0587	H3427	H0622	H0935	H0413	H5892	H4013	H1820	H8033	H3588	H3068

אֱלֹהֵינוּ	הִדְמָנוּ	וַיַּשְׁקֵנוּ	מֵי־	רֹאשׁ	כִּי	לַיהוָה	חָטָאנוּ׃				
我々の–神が	滅ぼした	そして–飲ませた	水を	毒の	なぜなら	主に–対して	罪を–犯した				
H0430	H1820	H8248	H4325	H7219	H3588	H3068	H2398				

どうしてわれわれはなす事もなく座しているのか。集まって、堅固な町にはいり、そこでわれわれは滅びよう。われわれが主に罪を犯したので、われわれの神、主がわれわれを滅ぼそうとして、毒の水を飲ませられるのだ。

15 קִוֵּ֤ינוּ לְשָׁלוֹם֙ וְאֵ֣ין ט֔וֹב לְעֵ֥ת מַרְפֵּ֖ה וְהִנֵּ֥ה בְעָתָֽה׃

קִוֵּינוּ לְשָׁלוֹם וְאֵין טוֹב לְעֵת מַרְפֵּה וְהִנֵּה בְעָתָה׃

15	קִוֵּינוּ	לְשָׁלוֹם	וְאֵין	טוֹב	לְעֵת	מַרְפֵּה	וְהִנֵּה	בְעָתָה׃
	望んだ	平和を	しかし–ない	良い–ことは	時を	癒しの	しかし–見よ	恐怖だ
	H6960	H7965	H0369	H2896	H6256	H4832	H2009	H1205

われわれは平安を望んだが、良い事はこなかった。いやされる時を望んだが、かえって恐怖が来た。

16 מִדָּ֣ן נִשְׁמַ֔ע מִקּ֖וֹל סוּסָ֑יו נַחֲרַ֣ת אַבִּירָ֔יו רָעֲשָׁ֖ה כָּל־הָאָ֑רֶץ וַיָּבֹ֣אוּ וַיֹּאכְל֗וּ אֶ֚רֶץ וּמְלוֹאָ֔הּ עִ֖יר וְיֹשְׁבֵ֥י בָֽהּ׃ ס

מִדָּן נִשְׁמַע מִקּוֹל סוּסָיו נַחֲרַת אַבִּירָיו רָעֲשָׁה כָּל־הָאָרֶץ וַיָּבֹאוּ וַיֹּאכְלוּ אֶרֶץ וּמְלוֹאָהּ עִיר וְיֹשְׁבֵי בָהּ׃ ס

16	מִדָּן	נִשְׁמַע	מִקּוֹל	סוּסָיו	נַחֲרַת	אַבִּירָיו	רָעֲשָׁה	כָּל־	הָאָרֶץ	וַיָּבֹאוּ	וַיֹּאכְלוּ	אֶרֶץ	וּמְלוֹאָהּ	עִיר
	ダンから	聞こえた	音に	その–馬の	いななきが	その–軍馬の	震えた	すべての	地が	そして–来た	そして–食い尽くした	地を	そして–その–満ちたるものを	町を
	H1835	H8085	H6963	H5483	H5262	H0047	H7493	H3605	H0776	H0935	H0398	H0776	H4393	H5892

וְיֹשְׁבֵי	בָהּ׃	ס	
そして–その–住民を	その–中の	—	
H3427			

「彼らの馬のいななきはダンから聞えてくる。彼らの強い馬の声によって全地は震う。彼らは来て、この地と、ここにあるすべてのもの、町と、そのうちに住む者とを食い滅ぼす。

17 כִּי֩ הִנְנִי֙ מְשַׁלֵּ֣חַ בָּכֶ֔ם נְחָשִׁ֖ים צִפְעֹנִ֑ים אֲשֶׁ֥ר אֵין־לָהֶ֖ם לֶ֥חַשׁ וְנִשְּׁכ֥וּ אֶתְכֶ֛ם נְאֻם־יְהוָֽה׃ ס

כִּי֩	הִנְנִי֙	מְשַׁלֵּ֣חַ	בָּכֶ֔ם	נְחָשִׁ֖ים	צִפְעֹנִ֑ים	אֲשֶׁ֥ר	אֵין־	לָהֶ֖ם	לֶ֥חַשׁ	וְנִשְּׁכ֥וּ	אֶתְכֶ֛ם	נְאֻם־	יְהוָֽה׃	ס
まことに	見よ–わたしは	送る	あなたがたの–中に	蛇を	毒蛇を	それには	ない	それには	まじないが–きかない	そして–噛む	あなたがたを	御告げ–である	主の	—
	H2009	H7971		H5175			H0369				H0853	H5002	H3068	

見よ、魔法をもってならすことのできない、へびや、まむしをあなたがたのうちにつかわす。それはあなたがたをかむ」と主は言われる。

18 עָלַ֥י יָגוֹן֙ עָלַ֣י לִבִּ֔י דַּוָּֽי׃

מַבְלִיגִיתִ֥י	עָלַ֖י	יָגוֹן֙	עָלַ֣י	לִבִּ֔י	דַּוָּֽי׃
わが–慷めよ	に–対して	悲しみに	わたしの–上に	わが–心は	病んでいる
H4010		H3015			H1742

わが嘆きはいやしがたく、わが心はうちに悩む。

19 הִנֵּה־ קוֹל֙ שַׁוְעַ֣ת בַּת־ עַמִּ֔י מֵאֶ֖רֶץ מַרְחַקִּ֑ים הַיהוָ֗ה אֵ֚ין בְּצִיּ֔וֹן אִם־ מַלְכָּ֖הּ אֵ֣ין בָּ֑הּ מַדּ֣וּעַ הִכְעִסֻ֗נִי בִּפְסִלֵיהֶם֙ בְּהַבְלֵ֣י נֵכָ֔ר׃

הִנֵּה־	קוֹל֙	שַׁוְעַ֣ת	בַּת־	עַמִּ֔י	מֵאֶ֖רֶץ	מַרְחַקִּ֑ים	הַיהוָ֗ה	אֵ֚ין	בְּצִיּ֔וֹן	אִם־	מַלְכָּ֖הּ	אֵ֣ין	בָּ֑הּ	מַדּ֣וּעַ	הִכְעִסֻ֗נִי	בִּפְסִלֵיהֶם֙	בְּהַבְלֵ֣י	נֵכָ֔ר׃
見よ	声が	叫びの	娘の	わが–民の	地から	遠い	主は	いないのか	シオンに	あるいは	その–王は	いないのか	その–中に	なぜ	怒らせたのか	その–偶像で	空しい–もので	異国の
H2009		H7775	H1323		H0776	H4801	H3068	H0369	H6726		H4428	H0369		H4069	H3707	H6456	H1892	H5236

聞け、地の全面から、わが民の娘の声があがるのを。「主はシオンにおられないのか、シオンの王はそのうちにおられないのか」。「なぜ彼らはその彫像と、異邦の偶像とをもって、わたしを怒らせたのか」。

20 עָבַ֤ר קָצִיר֙ כָּלָ֣ה קָ֔יִץ וַאֲנַ֖חְנוּ לֹ֣א נוֹשָׁ֑עְנוּ׃

עָבַ֤ר	קָצִיר֙	כָּלָ֣ה	קָ֔יִץ	וַאֲנַ֖חְנוּ	לֹ֣א	נוֹשָׁ֑עְנוּ׃
過ぎた	刈り入れは	終わった	夏は	しかし–我々は	ない	救われていない
	H7105	H3615	H7019	H0587	H3808	H3467

「刈入れの時は過ぎ、夏もはや終った、しかしわれわれはまだ救われない」。

21 עַל־ שֶׁבֶר֙ בַּת־ עַמִּ֔י הָשְׁבָּרְתִּ֖י קָדָ֣רְתִּי שַׁמָּ֑ה הֶחֱזָקָתְנִֽי׃

עַל־	שֶׁבֶר֙	בַּת־	עַמִּ֔י	הָשְׁבָּרְתִּ֖י	קָדָ֣רְתִּי	שַׁמָּ֑ה	הֶחֱזָקָתְנִֽי׃
に–ついて	傷の	娘の	わが–民の	砕かれた	暗く–なった	驚きが	捕らえた
	H7667	H1323		H7665	H6937	H8047	H2388

わが民の娘の傷によって、わが心は痛む。わたしは嘆き、うろたえる。

22 הֲצֳרִי֙ אֵ֣ין בְּגִלְעָ֔ד אִם־ רֹפֵ֖א אֵ֣ין שָׁ֑ם כִּ֣י מַדּ֗וּעַ לֹ֚א עָלְתָ֣ה אֲרֻכַ֔ת בַּת־ עַמִּֽי׃

הֲצֳרִי֙	אֵ֣ין	בְּגִלְעָ֔ד	אִם־	רֹפֵ֖א	אֵ֣ין	שָׁ֑ם	כִּ֣י	מַדּ֗וּעַ	לֹ֚א	עָלְתָ֣ה	אֲרֻכַ֔ת	בַּת־	עַמִּֽי׃
乳香は	ないのか	ギレアデに	あるいは	医者は	いないのか	そこに	なぜなら	なぜ	ない	上って–来ないのか	癒しが	娘の	わが–民の
H6875	H0369	H1568		H7495	H0369	H8033		H4069	H3808	H5927	H0724	H1323	

ギレアデに乳香があるではないか。その所に医者がいるではないか。それにどうしてわが民の娘はいやされることがないのか。

Chapter 9

1	מִי־	יִתֵּן	רֹאשִׁי	מַיִם	וְעֵינִי	מְקוֹר	דִּמְעָה
	だれが	与えてくれるだろうか	私の–頭に	水を	また–私の–目に	泉となる	涙を
	H4310	H5414	H7218	H4325	H5869	H4726	H1832

בַּת־	חַלְלֵי	אֶת	וְלַיְלָה	יוֹמָם	וְאֶבְכֶּה	
娘なる	倒れた–者たちの–ために	—	夜も	昼も	そうすれば–私は–泣くことができるのに	
H1323		H0853	H3915	H3119	H1058	

עַמִּי׃
私の–民の

ああ、わたしの頭が水となり、わたしの目が涙の泉となればよいのに。そうすれば、わたしは民の娘の殺された者のために昼も夜も嘆くことができる。

2	מִי־	יִתְּנֵנִי	בַּמִּדְבָּר	מָלוֹן	אֹרְחִים	וְאֶעֶזְבָה	אֶת־
	だれが	私に–与えてくれるだろうか	荒野に	旅人の–宿を	旅人の	そうすれば–私は–捨てて	—
	H4310	H5414	H4057	H4411	H0732		H0853

עַמִּי	וְאֵלְכָה	מֵאִתָּם	כִּי	כֻלָּם	מְנָאֲפִים	
私の–民を	去ることができるのに	彼らの–もとから	なぜなら	彼らは–皆	姦淫する–者であり	
	H3212	H0854		H3605	H5003	

עֲצֶרֶת	בֹּגְדִים׃
群れをなす	裏切り者だから
H6116	H0898

ああ、わたしが荒野に、隊商の宿を得ることができればよいのに。そうすれば、わたしは民を離れて去って行くことができる。彼らはみな姦淫する者、不信のともがらだからである。

3	לֶאֱמוּנָה	וְלֹא	שֶׁקֶר	קַשְׁתָּם	לְשׁוֹנָם	אֶת־	וַיִּדְרְכוּ
	真実の–ために	しかし–ない	偽りで	弓のように	その–舌を	—	彼らは–曲げた
	H0530	H3808	H8267	H7198	H3956	H0853	H1869

לֹא־	וְאֹתִי	יָצָאוּ	וְרָעָה	אֶל־	מֵרָעָה	כִּי	בָאָרֶץ	גָּבְרוּ
ない	しかし–私を	彼らは–進み	悪へと	さらに	悪から	なぜなら	この–地で	彼らは–強くなった
H3808	H0853	H3318		H0413			H0776	H1396

ס	יְהוָה׃	נְאֻם־	יָדָעוּ
—	主の	と–主は–言われる	彼らは–知らない
	H3068	H5002	H3045

彼らは弓をひくように、その舌を曲げる。真実ではなく、偽りがこの地に強くなった。彼らは悪より悪に進み、またわたしを知らないと、主は言われる。

4	אִישׁ	מֵרֵעֵהוּ	הִשָּׁמְרוּ	וְעַל־	כָּל־	אָח	אַל־	תִּבְטָחוּ	כִּי	כָּל־
	人は	隣人を	警戒せよ	そして	どの	兄弟をも	するな	信用しては	なぜなら	どの
	H0376	H7453	H8104		H3605	H0251	H0408	H0982		H3605

אָח	יַעְקֹב	יַעְקֵב	וְכָל־	רֵעַ	רָכִיל
兄弟も	欺き	必ず	そして–どの	隣人も	陰口を–言い
H0251	H6117	H6117	H3605	H7453	H7400

יַהֲלֹךְ׃
歩き回る
H1980

あなたがたはおのおの隣り人に気をつけよ。どの兄弟をも信じてはならない。兄弟はみな、押しのける者であり、隣り人はみな、ののしって歩く者だからである。

5

לְשׁוֹנָם	לִמְּדוּ	יְדַבֵּרוּ	לֹא	וֶאֱמֶת	יְהַתֵּלּוּ	בְּרֵעֵהוּ	וְאִישׁ
その-舌を	彼らは-訓練した	彼らは-語る	ない	しかし-真実を	あざむく	隣人を	そして-人は
H3956	H3925	H1696	H3808	H0571		H7453	H0376

נִלְאוּ׃	הַעֲוֹת	שֶׁקֶר	דַּבֵּר־
彼らは-疲れた	不正を-行うことに	偽りを	語ることに
H3811		H8267	H1696

人はみな、その隣り人を欺き、真実を言う者はない。彼らは自分の舌に偽りを言うことを教え、悪を行い、疲れて悔い改めるいとまもなく、

6

אוֹתִי	דַּעַת־	מֵאֲנוּ	בְּמִרְמָה	מִרְמָה	בְּתוֹךְ	שִׁבְתְּךָ	
私を	知ることを	彼らは-拒んだ	欺きの-ゆえに	欺きの	の-中に	あなたの-住まいは	
H0853	H3045	H3985	H4820	H4820	H8432	H3427	

ס	יְהוָה׃	נְאֻם־	
—	主の	と-主は-言われる	
	H3068	H5002	

しえたげに、しえたげを積み重ね、偽りに偽りを積み重ね、わたしを知ることを拒んでいると、主は言われる。

7

וּבְחַנְתִּים	צוֹרְפָם	הִנְנִי	צְבָאוֹת	יְהוָה	אָמַר	כֹּה	לָכֵן	
そして-彼らを-試す	彼らを-精錬し	見よ-私は	万軍の	主	言われる	このように	それゆえ	
H0974	H6884	H2009		H3068	H0559	H3541		

עַמִּי׃	בַּת־	מִפְּנֵי	אֶעֱשֶׂה	אֵיךְ	כִּי־
私の-民の	娘なる	の-前で	なすべきか	どうして	なぜなら
	H1323	H6440			

それゆえ万軍の主はこう言われる、「見よ、わたしは彼らを溶かし、試みる。このほか、わが民をどうすることができよう。

8

יְדַבֵּר	רֵעֵהוּ	אֶת־	שָׁלוֹם	בְּפִיו	דֹּבֵר	מִרְמָה	לְשׁוֹנָם	(שְׁחוּטָה)	[שחוטה]	חֵץ	
語りながら	隣人に	—	平和を	口では	語る	欺きを	彼らの-舌は	射る	—	矢は	
H1696	H7453	H0854	H7965	H6310	H1696	H4820	H3956	H7819		H2671	

אָרְבּוֹ׃	יָשִׂים	וּבְקִרְבּוֹ
待ち伏せを	仕掛ける	しかし-心の-中では
H0696		H7130

彼らの舌は殺す矢のようだ、それは偽りを言う。その口ではおのおの隣り人におだやかに語るが、その心では彼を待ち伏せる計りごとを立てる。

9

יְהוָה	נְאֻם־	בָּם	אֶפָּקֵד־	לֹא־	אֵלֶּה	הַעַל־	
主の	と-主は-言われる	彼らを	私は-罰しないだろうか	ない	これらの	これらの-ことの-ゆえに	
H3068	H5002			H3808	H0428		

ס	נַפְשִׁי׃	תִּתְנַקֵּם	לֹא	כָּזֹה	אֲשֶׁר־	בְּגוֹי	אִם
—	私自身が	復讐しないだろうか	ない	このような	対して	このような-国に	あるいは
	H5315	H5358	H3808	H2088			

主は言われる、これらのことのために、わたしが彼らを罰しないだろうか。わたしがこのような民にあだを返さないだろうか。

10

קִינָה	מִדְבָּר׀	נְאוֹת	וְעַל־	נָהִי	בְכִי	אֶשָּׂא	הֶהָרִים	עַל־
哀歌を	荒野の	牧場の	そして-について	嘆きを	泣き声と	私は-上げる	山々を	について
H7015		H4999		H5092	H1065	H5375	H2022	

מִקְנֵה	קוֹל	שָׁמְעוּ	וְלֹא	עֹבֵר	אִישׁ	מִבְּלִי־	נִצְּתוּ׀	כִּי
家畜の	声は	聞こえる	そして-ない	通る	人が	いない-ので	焼き尽くされた	なぜなら
H4735		H8085	H3808		H0376	H1097	H3341	

הָלָכוּ׃	נָדְדוּ	בְּהֵמָה	וְעַד־	הַשָּׁמַיִם׀	מֵעוֹף
行ってしまった	逃げ去り	家畜まで	そして-に-至るまで	天の	空の-鳥から
H1980	H5074	H0929	H5704	H8064	H5775

山のために泣き叫び、野の牧場のために悲しめ。これらは荒れすたれて、通り過ぎる人もない。ここには牛、羊の鳴く声も聞えず、空の鳥も獣も皆逃げ去った。

11

עָרֶי	וְאֶת־	תַּנִּים	מָעוֹן	לְגַלִּים	יְרוּשָׁלִַם	אֶת־	וְנָתַתִּי	
町々を	そして	ジャッカルの	住みかとする	瓦礫の-山とし	エルサレムを	—	そして-私は-する	
	H0853		H4583	H1530	H3389	H0853	H5414	

ס	יוֹשֵׁב׃	מִבְּלִי	שְׁמָמָה	אֶתֵּן	יְהוּדָה
—	住む-者が	いない-ので	荒れ地と	する	ユダの
	H3427	H1097		H5414	H3063

わたしはエルサレムを荒塚とし、山犬の巣とする。またユダの町々を荒して、住む人もない所とする」。

12

יְהוָה	פִּי־	דִּבֶּר	וַאֲשֶׁר	זֹאת	אֶת־	וְיָבֶן	הֶחָכָם	הָאִישׁ	מִי־
主の	口が	語った	そして	これを	—	理解できるだろうか	知恵ある	その-人は	だれが
H3068	H6310	H1696		H2063	H0853	H0995	H2450	H0376	H4310

כַּמִּדְבָּר	נִצְּתָה	הָאָרֶץ	אָבְדָה	מָה׀	עַל־	וְיִגְּדָהּ	אֵלָיו
荒野のように	焼け野原となった	この-地は	滅びたのか	なぜ	について	告げるだろうか	彼に
	H3341	H0776	H0006	H4100		H5046	H0413

ס	עֹבֵר׃	מִבְּלִי
—	通る-者が	いない-ので
		H1097

知恵があって、これを悟ることのできる人はだれか。主の口の言葉をうけて、それを示す人はだれか。この地が滅ぼされて荒野のようになり、通り過ぎる人もなくなったのはどういうわけか。

13

נָתַתִּי	אֲשֶׁר	תּוֹרָתִי	אֶת־	עָזְבָם׀	עַל־	יְהוָה	וַיֹּאמֶר	
私が-与えた	それは	私の-律法を	—	彼らが-捨てたこと	について	主が	そして-主は-言われた	
H5414		H8451	H0853			H3068	H0559	

בָּהּ׃	הָלְכוּ	וְלֹא־	בְקוֹלִי	שָׁמְעוּ	וְלֹא־	לִפְנֵיהֶם
それに	歩まなかった	そして-ない	私の-声に	聞き従わなかった	そして-ない	彼らの-前に
	H1980	H3808		H8085	H3808	H6440

主は言われる、「それは彼らの前にわたしが立てたおきてを彼らが捨てて、わたしの声に聞き従わず、そのとおりに歩かなかったからである。

14

לִמְּדוּם	אֲשֶׁר	הַבְּעָלִים	וְאַחֲרֵי׀	לִבָּם	שְׁרִרוּת	אַחֲרֵי	וַיֵּלְכוּ	
教えた	それは	バアルたちに	そして-に-従って	その-心の	頑なさに	に-従って	そして-歩んだ	
H3925					H8307		H3212	

ס	אֲבוֹתָם׃	
—	先祖たちが	
	H0001	

彼らは強情に自分の心に従い、また先祖の教えたようにバアルに従った。

15 לָכֵן כֹּה־ אָמַר יְהוָה צְבָאוֹת אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל הִנְנִי מַאֲכִילָם
それゆえ このように 言われる 主 万軍の 神 イスラエルの 見よ–私は 食べさせる
H3541 H0559 H3068 H6635 H0430 H3478 H2009 H0398

רֹאשׁ׃ מֵי־ וְהַשְׁקִיתִים לַעֲנָה הַזֶּה הָעָם אֶת־
毒の の–水を そして–飲ませる 苦よもぎを この この–民に —
H7219 H4325 H8248 H3939 H2088 H5971 H0853

それゆえ万軍の主、イスラエルの神はこう言われる、見よ、わたしはこの民に、にがよもぎを食べさせ、毒の水を飲ませ、

16 וְשִׁלַּחְתִּי וַאֲבוֹתָם הֵמָּה יָדְעוּ לֹא אֲשֶׁר בַּגּוֹיִם וַהֲפִצוֹתִים
そして–送る また–先祖たちも 彼らも 知らなかった ない それは 諸国民の–中に そして–散らす
H7971 H0001 H1992 H3045 H3808 H0834 H1471 H6327

פ׃ אוֹתָם כִּלּוֹתִי עַד הַחֶרֶב אֶת־ אַחֲרֵיהֶם
— 彼らを 滅ぼし尽くすまで まで 剣を — 彼らの–後に
H0853 H3615 H5704 H2719 H0853 H0310

彼らも、その先祖たちも知らなかった国びとのうちに彼らを散らし、また彼らを滅ぼし尽すまで、そのうしろに、つるぎをつかわす」。

17 כֹּה אָמַר יְהוָה צְבָאוֹת הִתְבּוֹנְנוּ וְקִרְאוּ לַמְקוֹנְנוֹת
このように 言われる 主 万軍の よく–考えよ そして–呼べ 泣き女たちを
H3541 H0559 H3068 H6635 H0995 H7121 H6969

וְתָבוֹאנָה׃ שִׁלְחוּ הַחֲכָמוֹת וְאֶל־ וּתְבוֹאֶינָה
彼女たちが–来るように 遣わせ 巧みな–女たちに そして 彼女たちが–来るように
H0935 H7971 H2450 H0413 H0935

万軍の主はこう言われる、「よく考えて、泣き女を呼べ。また人をつかわして巧みな女を招け。

18 וְתִשֶּׂנָה וּתְמַהֵרְנָה עָלֵינוּ נֶהִי וְתֵרַדְנָה עֵינֵינוּ דִּמְעָה
上げよ 彼女たちは–急いで 私たちの–ために 嘆きを 流れ出るように 私たちの–目から 涙が
H5375 H4116 H5092 H3381 H5869 H1832

מָיִם׃ יְזֹלוּ־ וְעַפְעַפֵּינוּ
水が 流れ出るように そして–私たちの–まぶたから
H4325 H5140 H6079

彼らに急いでこさせ、われわれのために泣き悲しませて、われわれの目に涙をこぼさせ、まぶたから水をあふれさせよ。

19 כִּי קוֹל נִשְׁמַע מִצִּיּוֹן אֵיךְ שֻׁדָּדְנוּ בֹשְׁנוּ מְאֹד
なぜなら 嘆きの–声が 聞こえる シオンから ああ 私たちは–荒らされた 恥じた 非常に
H3588 H6963 H8085 H6726 H0368 H7703 H0954 H3966

ס מִשְׁכְּנוֹתֵינוּ׃ הִשְׁלִיכוּ כִּי הָאָרֶץ עָזָבוּנוּ כִּי־
— 私たちの–住まいを 投げ捨てられた なぜなら 土地を 私たちは–捨てた なぜなら
H4908 H7993 H3588 H0776 H5800 H3588

シオンから悲しみの声が聞える。それは言う、『ああ、われわれは滅ぼされ、いたく、はずかしめられている。われわれはその地を去り、彼らがわれわれのすみかをこわしたからだ』」。

20 כִּי־ שִׁמַּעְנָה נְשִׁים דְּבַר־ יְהוָה וְתִקַּח אָזְנְכֶם דְּבַר־
まことに 聞きなさい 女たちよ 言葉を 主の そして–受け入れよ あなたがたの–耳に 言葉を
H3588 H8085 H0802 H1697 H3068 H3947 H0241 H1697

קִינָה׃ רֵעוּתָהּ וְאִשָּׁה נֶהִי בְּנוֹתֵיכֶם וְלַמֶּדְנָה פִּיו
哀歌を 隣の–女に そして–女は 嘆きを あなたがたの–娘たちに そして–教えよ その–口の
H7015 H7468 H0802 H5092 H1323 H3925 H6310

女たちよ、主の言葉を聞け。あなたがたの耳に、その口の言葉をいれよ。あなたがたの娘に悲しみの歌を教え、おのおのその隣り人に哀悼の歌を教えよ。

21 כִּי־ עָלָה מָוֶת בְּחַלּוֹנֵינוּ בָּא בְּאַרְמְנוֹתֵינוּ לְהַכְרִית עוֹלֶל מִחוּץ בַּחוּרִים מֵרְחֹבוֹת׃

なぜなら	上ってきた	死が	私たちの–窓から	入ってきた	私たちの–宮殿に	断ち切るために	幼子を	
H3588	H5927	H4194	H0996	H0935	H0759	H3772	H5768	
外から	若者を	広場から						
H2351	H0970	H7339						

死がわれわれの窓に上って来、われわれの邸宅の中にはいり、ちまたにいる子どもらを絶やし、広場にいる若い人たちを殺そうとしているからだ。

22 דַּבֵּר כֹּה נְאֻם־ יְהוָה וְנָפְלָה נִבְלַת הָאָדָם כְּדֹמֶן עַל־ פְּנֵי הַשָּׂדֶה וְכֶעָמִיר מֵאַחֲרֵי הַקֹּצֵר וְאֵין מְאַסֵּף׃ ס

語れ	このように	と–主は–言われる	主の	そして–倒れる	死体は	人の	肥やしのように					
H1696	H3541	H5002	H3068	H5307	H5038	H0120	H1828					
の–上に	面に	野の	そして–刈り取る–者の–後ろに		の–後に	刈り取る–者の	しかし–いない					
H5921	H6440	H7704	H5995		H0310	H7114	H0369					
集める–者が												
H0622												

あなたはこう言いなさい、「主は言われる、『人の死体が糞土のように、野に倒れているようになり、また刈入れする人のうしろに残って、だれも集めることをしない束のようになる』」。

23 כֹּה אָמַר יְהוָה אַל־ יִתְהַלֵּל חָכָם בְּחָכְמָתוֹ וְאַל־ יִתְהַלֵּל הַגִּבּוֹר בִּגְבוּרָתוֹ אַל־ יִתְהַלֵּל עָשִׁיר בְּעָשְׁרוֹ׃

このように	言われる	主は	するな	誇っては	知恵ある–者は	その–知恵を	そして–するな							
H3541	H0559	H3068	H0408	H2450	H2451	H0408								
誇っては	力ある–者は	その–力を	するな	誇っては	富む–者は	その–富を								
H1984	H1368	H1369	H0408	H2450	H6223	H6239								

主はこう言われる、「知恵ある人はその知恵を誇ってはならない。力ある人はその力を誇ってはならない。富める者はその富を誇ってはならない。

24 כִּי אִם־ בְּזֹאת יִתְהַלָּל הַמִּתְהַלֵּל הַשְׂכֵּל וְיָדֹעַ אוֹתִי כִּי אֲנִי יְהוָה עֹשֶׂה חֶסֶד מִשְׁפָּט וּצְדָקָה בָּאָרֶץ כִּי־ בְאֵלֶּה חָפָצְתִּי נְאֻם־ יְהוָה׃ ס

ただ	—	これを	誇れ	誇る–者は	悟ること	そして–知ること	私を	すなわち	私が							
H3588	H0518	H2063	H1984	H1984	H7919	H3045	H0853	H3588	H0589							
主であり	行う–者であること	慈しみと	公正と	正義を	地の–上に	まことに	これらの–ことを									
H3068	H6213	H2617	H4941	H6666	H0776	H3588	H0428									
私は–喜ぶ	と–主は–言われる	主の	—													
H2654	H5002	H3068														

誇る者はこれを誇とせよ。すなわち、さとくあって、わたしを知っていること、わたしが主であって、地に、いつくしみと公平と正義を行っている者であることを知ることがそれである。わたしはこれらの事を喜ぶと、主は言われる」。

25 הִנֵּה יָמִים בָּאִים נְאֻם־ יְהוָה וּפָקַדְתִּי עַל־ כָּל־ מוּל בְּעָרְלָה׃

見よ	日々が	来る	と–主は–言われる	主の	そして–私は–罰する	—	すべての				
H2009	H3117	H0935	H5002	H3068	H6485	H5921	H3605				
割礼を–受けた–者で	無割礼の–者を										
H4135	H6190										

主は言われる、「見よ、このような日が来る。その日には、割礼をうけても、心に割礼をうけていないすべての人をわたしは罰する。

וְעַל־	עַמּוֹן	בְּנֵי	וְעַל־	אֱדוֹם	וְעַל־	יְהוּדָה	וְעַל־	מִצְרַיִם	עַל־	26
そして	アンモンの	子らの	そして	エドムと	そして	ユダと	そして	エジプトと	—	
	H5983			H0123		H3063		H4714		

כָּל־	כִּי	בַּמִּדְבָּר	הַיֹּשְׁבִים	פְּאָה	קְצוּצֵי	כָּל־	וְעַל	מוֹאָב
すべての	なぜなら	荒野に	住む–者たち	者たちと	こめかみを–剃った	すべての	そして	モアブと
H3605			H3427	H6285	H7112	H3605		H4124

ס	לֵב׃	עָרְלֵי־	יִשְׂרָאֵל	בֵּית	וְכָל־	עֲרֵלִים	הַגּוֹיִם
—	心の	無割礼の	イスラエルの	家は	そして–すべての	無割礼であり	国々は
		H6189	H3478		H3605	H6189	

エジプト、ユダ、エドム、アンモンの人々、モアブ、および野にいて、髪の毛のすみずみをそる人々はそれである。これらの国びとはみな割礼をうけていない者であり、イスラエルの全家もみな心に割礼をうけていない者である」。

Chapter 10

יִשְׂרָאֵל׃	בֵּית	עֲלֵיכֶם	יְהוָה	דִּבֶּר	אֲשֶׁר	הַדָּבָר	אֶת־	שִׁמְעוּ	1
イスラエルの	家よ	あなたがたに–対して	主が	語られた	それは	言葉を	—	聞け	
H3478			H3068	H1696		H1697	H0853	H8085	

イスラエルの家よ、主のあなたがたに語られる言葉を聞け。

הַשָּׁמָיִם	וּמֵאֹתוֹת	תִּלָּמְדוּ	אַל־	הַגּוֹיִם	דֶּרֶךְ	אֶל־	יְהוָה	אָמַר	וְכֹה	2
天の	そして–しるしに	学んでは	するな	諸国民の	道に	—	主は	言われる	このように	
H8064	H0226	H3925	H0408		H1870	H0413	H3068	H0559	H3541	

מֵהֵמָּה׃	הַגּוֹיִם	יֵחַתּוּ	כִּי־	תֵחַתּוּ	אַל־
それらに–対して	諸国民が	おそれるのは	なぜなら	おそれては	するな
H1992		H2865		H2865	H0408

主はこう言われる、「異邦の人の道に習ってはならない。また異邦の人が天に現れるしるしを恐れても、あなたがたはそれを恐れてはならない。

יְדֵי־	מַעֲשֵׂה	כְּרָתוֹ	מִיַּעַר	עֵץ	כִּי־	הֶבֶל	הֵמָּה	חֻקּוֹת	כִּי־	3
手で	技の	切り出し	森から	木を	なぜなら	空しい	諸国の民の	律法は	なぜなら	
H3027	H4639	H3772		H6086		H1892		H2708		

בְּמַעֲצָד׃	חָרָשׁ
のみで–彫る	職人の
H4621	H2796

異邦の民のならわしはむなしいからだ。彼らの崇拝するものは、林から切りだした木で、木工の手で、おのをもって造ったものだ。

יָפִיק׃	וְלוֹא	יְחַזְּקוּם	וּבְמַקָּבוֹת	בְּמַסְמְרוֹת	יְיֻפֶּה	וּבְזָהָב	בְּכֶסֶף	4
動くことは	しかし–ない	固定する	槌で	釘と	飾り立てる	金で	銀と	
H6328	H3808	H2388	H4717	H4548	H3302	H2091	H3701	

人々は銀や金をもって、それを飾り、くぎと鎚をもって動かないようにそれをとめる。

5

יִנָּשֹׂוא	נָשֹׂוא	יְדַבֵּרוּ	וְלֹא	הֵמָּה	מִקְשָׁה	כְּתֹמֶר
運ばれねばならない	必ず	語ることは	しかし–ない	それらは	打ち物である	かかしのように
H5375	H5375	H1696	H3808	H1992	H4749	H8560

יָרֵעוּ	לֹא	כִּי־	מֵהֶם	תִּירְאוּ	אַל־	יְצַעֲדוּ	לֹא	כִּי
害を–加えることは	ない	なぜなら	それらを	恐れては	するな	歩くことは	ない	なぜなら
	H3808		H1992	H3372	H0408	H6805	H3808	

ס	אוֹתָם׃	אֵין	הֵיטִיב	וְגַם־
—	それらには	ない	善を–行うことも	そして–また
	H0853	H0369	H3190	H1571

その偶像は、きゅうり畑のかかしのようで、ものを言うことができない。歩くこともできないから、人に運んでもらわなければならない。それを恐れるに及ばない。それは災をくだすことができず、また幸をくだす力もないからだ」。

6

שִׁמְךָ	וְגָדוֹל	אַתָּה	גָּדוֹל	יְהוָה	כָּמוֹךָ	מֵאֵין
あなたの–御名は	そして–大いなる	あなたは	大いなる	主よ	あなたのような–者は	いない
H8034				H3068	H3644	H0369

בִּגְבוּרָה׃
力に–おいて
H1369

主よ、あなたに並びうる者はありません。あなたは大いなる者であり、あなたの名もその力のために大いなるものであります。

7

יָרָאֲךָ	לְךָ	כִּי	הַגּוֹיִם	מֶלֶךְ	יִרָאֲךָ	לֹא	מִי
ふさわしい	あなたにこそ	なぜなら	諸国民の	王よ	あなたを–畏れないだろうか	ない	だれが
H2969				H4428	H3372	H3808	H4310

מֵאֵין	מַלְכוּתָם	וּבְכָל־	הַגּוֹיִם	חַכְמֵי	בְּכָל־	כִּי
いない	その–王国の–中でも	そして–すべての	諸国民の	知恵ある–者の–中で	すべての	なぜなら
H0369	H4438	H3605		H2450	H3605	

כָּמוֹךָ׃
あなたのような–者は
H3644

万国の王であるあなたを、恐れない者がありましょうか。あなたを恐れるのは当然のことであります。万国のすべての知恵ある者のうちにも、その国々のうちにも、あなたに並びうる者はありません。

8

הִוא׃	עֵץ	הַבָּלִים	מוּסַר	וְיִכְסָלוּ	יִבְעֲרוּ	וּבְאַחַת	
それは	木に–すぎない	空しい–ものの	教えは	愚かである	愚かであり	しかし–等しく	
H1931	H6086	H1892	H4148	H3688		H0259	

彼らは皆、愚かで鈍く、偶像の教は、ただ木にすぎない。

9

חָרָשׁ	מַעֲשֵׂה	מֻפָּז	וְזָהָב	יוּבָא	מְתַרְשִׁישׁ	מְרֻקָּע	כֶּסֶף
職人の	技の	ウファズから	そして–金は	運ばれる	タルシシュから	打ち延ばされ	銀は
H2796	H4639	H0210	H2091	H0935	H8659	H7554	H3701

כֻּלָּם׃	חַכְמִים	מַעֲשֵׂה	לְבוּשָׁם	וְאַרְגָּמָן	תְּכֵלֶת	צוֹרֵף	וִידֵי
すべては	巧みな–者たちの	技の	その–衣である	紫色が	青色と	精錬人の	そして–手の
H3605	H2450	H4639	H3830	H0713	H8504	H6884	H3027

銀ぱくはタルシシから渡来し、金はウパズから携えてくる。これらは工人と金細工人の工作である。彼らの着物はすみれ色と紫色である。これらはみな巧みな細工人の作った物である。

10 וַיהוָה אֱלֹהִים אֱמֶת הוּא־ אֱלֹהִים חַיִּים וּמֶלֶךְ עוֹלָם
しかし–主は 神であり 真実の この–方は 神であり 生ける そして–王である 永遠の
H3068 H0430 H0571 H1931 H0430 H2416 H4428 H5769

מִקְצְפּוֹ תִּרְעַשׁ הָאָרֶץ וְלֹא־ יָכְלוּ גּוֹיִם זַעְמוֹ׃ ס
その–怒りによって 震える 地は そして–ない 耐えられない 諸国民は その–怒りに —
H7493 H0776 H3808 H3557 H1471 H2195

しかし主はまことの神である。生きた神であり、永遠の王である。その怒りによって地は震いうごき、万国はその憤りに当ることができない。

11 כָּזֹאת תֹּאמְרוּן לָהֶם אֱלָהַיָּא דִּי־ שְׁמַיָּא וְאַרְקָא לָא עֲבַדוּ
このように 言え 彼らに 神々は それは 天を そして–地を ない 造らなかった
H1836 H0560 H0426 H1768 H8065 H0778 H3809 H5648

יֶאבַדוּ מֵאַרְעָא וּמִן־ תְּחוֹת שְׁמַיָּא אִלֵּה׃ ס
滅びるがよい 地から そして の–下から 天の それらは —
H0007 H0772 H4481 H8460 H8065 H0429

あなたがたは彼らに、こう言わなければならない、「天地を造らなかった神々は地の上、天の下から滅び去る」と。

12 עָשָׂה אֶרֶץ בְּכֹחוֹ מֵכִין תֵּבֵל בְּחָכְמָתוֹ וּבִתְבוּנָתוֹ
造られた–方は 地を その–力で 定められた–方は 世界を その–知恵で そして–その–英知で
H6213 H0776 H3581 H8398 H2451 H8394

נָטָה שָׁמָיִם׃
張られた 天を
H5186 H8064

主はその力をもって地を造り、その知恵をもって世界を建て、その悟りをもって天をのべられた。

13 לְקוֹלוֹ תִּתּוֹ הֲמוֹן מַיִם בַּשָּׁמַיִם וַיַּעֲלֶה נְשִׂאִים מִקְצֵה [אֶרֶץ]
その–声によって 与えられる 豊かな 水が 天に そして–上らせる 雲を の–果てから —
H5414 H1995 H4325 H8064 H5927 H5375 H7097 H0776

מֵאֹצְרֹתָיו׃ רוּחַ וַיּוֹצֵא עָשָׂה לַמָּטָר בְּרָקִים (הָאָרֶץ
その–倉から 風を そして–出される 造り 雨の–ために 稲光を 地の
H0214 H7307 H3318 H6213 H4306 H1300 H0776

彼が声を出されると、天に多くの水のざわめきがあり、また地の果から霧を立ちあがらせられる。彼は雨のために、いなびかりをおこし、その倉から風を取り出される。

14 נִבְעַר כָּל־ אָדָם מִדַּעַת הֹבִישׁ כָּל־ צוֹרֵף מִפֶּסֶל
愚かになる すべての 人は 知識を–失い 恥を–受ける すべての 金細工師は 偶像の–ゆえに
H1197 H3605 H0120 H1847 H3001 H3605 H6884 H6459

כִּי שֶׁקֶר נִסְכּוֹ וְלֹא־ רוּחַ בָּם׃
なぜなら 偽りである その–鋳物は そして–ない 息は それらの–中には
H3588 H8267 H5262 H3808 H7307 H1992

すべての人は愚かで知恵がなく、すべての金細工人はその造った偶像のために恥をこうむる。その偶像は偽り物で、そのうちに息がないからだ。

15 הֵמָּה הֶבֶל מַעֲשֵׂה תַּעְתֻּעִים בְּעֵת פְּקֻדָּתָם יֹאבֵדוּ׃
それらは 空しい 技の まやかしの の–時に その–罰の それらは–滅びる
H1992 H1892 H4639 H8595 H6256 H6486 H0006

これらは、むなしいもので、迷いのわざである。罰せられる時に滅びるものである。

16

הוּא	הַכֹּל	יוֹצֵר	כִּי־	יַעֲקֹב	חֵלֶק	כְּאֵלֶּה	לֹא־
その–方は	すべての–ものの	造り主である	なぜなら	ヤコブの	受け分は	これらのようでは	ない
H1931	H3605	H3335		H3290		H0428	H3808

ס	:שְׁמוֹ	צְבָאוֹת	יְהוָה	נַחֲלָתוֹ	שֵׁבֶט	וְיִשְׂרָאֵל
—	その–名である	万軍の	主	その–受け継ぎの	部族である	そして–イスラエルは
	H8034		H3068	H5159	H7626	H3478

ヤコブの分である彼はこのようなものではない。彼は万物の造り主だからである。イスラエルは彼の嗣業としての部族である。彼の名を万軍の主という。

17

ס	:בַּמָּצוֹר	)יֹשֶׁבֶת(	[ישבתי]	כִּנְעָתֵךְ	מֵאֶרֶץ	אִסְפִי
—	包囲の–中に	住む–者よ	—	あなたの–荷物を	地から	集めよ
	H4692	H3427	H3427	H3666	H0776	H0622

囲みの中におる者よ、あなたの包を地から取り上げよ。

18

הָאָרֶץ	יוֹשְׁבֵי	אֶת־	קוֹלֵעַ	הִנְנִי	יְהוָה	אָמַר	כֹּה	כִּי־
この–地の	住む–者たちを	—	投げ出す	見よ–私は	主は	言われる	このように	なぜなら
H0776	H3427	H0853		H2009	H3068	H0559	H3541	

ס	:יִמְצָאוּ	לְמַעַן	לָהֶם	וַהֲצֵרוֹתִי	הַזֹּאת	בַּפָּעַם
—	思い知るために	それは	彼らを	そして–苦しめる	この	この–度
	H4672	H4616	H1992		H2063	H6471

主がこう言われるからだ、「見よ、わたしはこのたび、この地に住む者を投げ捨てる。かつ彼らをせめなやまして、思い知らせる」。

19

זֶה	אַךְ	אָמַרְתִּי	וַאֲנִי	מַכָּתִי	נַחְלָה	שִׁבְרִי	עַל־	לִי	אוֹי
これは	ただ	言った	しかし–私は	私の–打ち傷は	痛ましい	私の–傷を	について	私は	ああ
H2088	H0389	H0559	H0589	H4347		H7667			H0188

וְאֶשָּׂאֵנוּ׃	חֳלִי
私は–耐えねばならない	病であり
H5375	H2483

わたしはいたでをうけた、ああ、わざわいなるかな、わたしの傷は重い。しかしわたしは言った、「まことに、これは悩みである。わたしはこれを忍ばなければならない」と。

20

יְצָאֻנִי	בָנַי	נִתָּקוּ	מֵיתָרַי	וְכָל־	שְׁדֻּד	אָהֳלִי
私から–去り	私の–子らは	断たれた	私の–綱は	そして–すべての	荒らされ	私の–天幕は
H3318		H5423	H4340	H3605	H7703	H0168

:יְרִיעוֹתָי	וּמֵקִים	אָהֳלִי	עוֹד	נֹטֶה	אֵין־	וְאֵינָם
私の–幕を	また–立てる–者が	私の–天幕を	もはや	張る–者が	いない	もはや–いない
H3407		H0168	H5750	H5186	H0369	H0369

わたしの天幕は破れ、綱はことごとく切れ、子どもたちはわたしを捨てて行って、いなくなった。もはやわたしの天幕を張る者はなく、幕を掛ける者もない。

21

כֵּן	עַל־	דָּרְשׁוּ	לֹא	יְהוָה	וְאֶת־	הָרֹעִים	נִבְעֲרוּ	כִּי	
それゆえ	それゆえ	尋けなかった	ない	主を	そして	牧者たちは	愚かになった	なぜなら	
		H1875	H3808	H3068	H0853				

ס	:נָפוֹצָה	מַרְעִיתָם	וְכָל־	הִשְׂכִּילוּ	לֹא
—	散らされた	その–群れは	そして–すべての	栄えなかった	ない
		H4830	H3605		H3808

牧者は愚かであって、主に問うことをしないからである。それゆえ彼らは栄えることもなく、その群れはみな散り去っている。

22 קוֹל שְׁמוּעָה הִנֵּה בָּאָה וְרַעַשׁ גָּדוֹל מֵאֶרֶץ צָפוֹן לָשׂוּם
知らせの–声が 知らせの 見よ 来る そして–地震が 大きな の–地から 北の するために
H0853 H8052 H2009 H0935 H7494 H1419 H0776 H6828

אֶת־ עָרֵי יְהוּדָה שְׁמָמָה מְעוֹן תַּנִּים׃ ס
— 町々を ユダの 荒れ地とし 住みかとする ジャッカルの —
H0853 H3063 H8077 H4583

聞けよ、うわさのあるのを。見よ、北の国から大いなる騒ぎが来る。これはユダの町々を荒して山犬の巣とする。

23 יָדַעְתִּי יְהוָה דַּרְכּוֹ לְאָדָם לֹא כִי לֹא לְאִישׁ הֹלֵךְ וְהָכִין
私は–知っている 主よ ことを ない 人には その–道は ない 人には 歩む 導くことは
H3045 H3068 H3808 H3808 H0120 H1870 H3808 H0376 H1980

אֶת־ צַעֲדוֹ׃
— その–歩みを
H0853 H6806

主よ、わたしは知っています、人の道は自身によるのではなく、歩む人が、その歩みを自分で決めることのできないことを。

24 יְהוָה יַסְּרֵנִי אַךְ־ בְּמִשְׁפָּט אַל־ בְּאַפְּךָ פֶּן־
正してください 主よ ただ 公正を–もって するな あなたの–怒りで さもなくば
H3256 H3068 H0389 H4941 H0408 H0639 H6435

תַּמְעִטֵנִי׃
私を–無に–してしまうから
H4591

主よ、わたしを懲らしてください。正しい道にしたがって、怒らずに懲らしてください。さもないと、わたしは無に帰してしまうでしょう。

25 שְׁפָךְ חֲמָתְךָ עַל־ הַגּוֹיִם אֲשֶׁר לֹא־ יְדָעוּךָ
注ぎなさい あなたの–怒りを に–対して 諸国民に それは ない あなたを–知らない
H8210 H2534 H5921 H1471 H3808 H3045

וְעַל מִשְׁפָּחוֹת אֲשֶׁר בְּשִׁמְךָ לֹא קָרָאוּ כִּי־
そして–に–対して 氏族たちに それは あなたの–名を ない 呼び求めない なぜなら
H5921 H4940 H0834 H8034 H3808 H7121 H3588

וַיְכַלֻּהוּ וַאֲכָלֻהוּ יַעֲקֹב אֶת־ אָכְלוּ נָוֵהוּ
滅ぼし尽くし 彼らは–食い尽くし ヤコブを — 彼らは–食い尽くした その–住まいを
H3615 H0398 H3290 H0853 H0398

הֵשַׁמּוּ׃ פ
荒らした —
H8074

あなたを知らない国民と、あなたの名をとなえない人々にあなたの怒りを注いでください。彼らはヤコブを食い尽しこれを食い尽して滅ぼし、そのすみかを荒したからです。

Chapter 11

1 הַדָּבָר אֲשֶׁר הָיָה אֶל־ יִרְמְיָהוּ מֵאֵת יְהוָה לֵאמֹר׃
御言葉は それは あった ～に エレミヤフに ～から 主の 言って
H1697 H1961 H0413 H3414 H0854 H3068 H0559

主からエレミヤに臨んだ言葉は言う、

2 שִׁמְעוּ֙ אֶת־דִּבְרֵ֣י הַבְּרִ֣ית הַזֹּ֔את וְדִבַּרְתֶּ֖ם אֶל־אִ֣ישׁ יְהוּדָ֑ה וְעַל־
聞け ～を 言葉–を 契約–の この そして–語れ 人–々に ～に ユダの そして–～に
H8085 H0853 H1697 H1285 H2063 H1696 H0376 H0413 H3063

יֹשְׁבֵ֖י יְרוּשָׁלִָֽם׃
住民–に エルサレムの
H3427 H3389

「この契約の言葉を聞き、ユダの人々とエルサレムに住む者に告げよ。

3 וְאָמַרְתָּ֣ אֲלֵיהֶ֗ם כֹּֽה־אָמַ֤ר יְהוָה֙ אֱלֹהֵ֣י יִשְׂרָאֵ֔ל אָר֥וּר הָאִ֖ישׁ אֲשֶׁ֣ר
そして–言え 彼ら–に こう 言われる 主は 神は イスラエルの 呪われよ その–人は ところの
H0559 H0413 H3541 H0559 H3068 H0430 H3478 H0779 H0376 H0834

לֹֽא־יִשְׁמַ֣ע אֶת־דִּבְרֵ֔י הַבְּרִ֥ית הַזֹּֽאת׃
～ない 聞かない ～を 言葉–を 契約–の この
H3808 H8085 H0853 H1697 H1285 H2063

彼らに言え、イスラエルの神、主はこう仰せられる、この契約の言葉に従わない人は、のろわれる。

4 אֲשֶׁ֣ר צִוִּיתִי֮ אֶת־אֲבוֹתֵיכֶם֒ בְּי֣וֹם הוֹצִיאִ֣י אוֹתָ֗ם מֵאֶ֤רֶץ מִצְרַיִם֙
それは わたしが–命じた ～を あなたがたの–先祖–に 日–に わたしが–導き出した 彼ら–を 地–から エジプトの 炉–から 鉄–の 言って 聞け わたしの–声–に そして–行え それら–を
H0834 H6680 H0853 H0001 H3117 H3318 H0853 H4714 H3564 H1270 H0559 H8085 H0853 H6213 H0853

מִכּ֣וּר הַבַּרְזֶ֔ל לֵאמֹ֖ר שִׁמְעוּ֙ בְּקוֹלִ֔י וַעֲשִׂיתֶ֖ם אוֹתָ֑ם
民–と わたし–に そうすれば–なる あなたがた–に わたしが–命じる ところの すべて–の
H5971 H0853 H6680 H0834 H3605

וְהִיִּיתֶ֥ם לִ֖י לְעָ֑ם וְאֶתְכֶם֙ אֲצַוֶּ֔ה אֵ֖ת כָּל־אֲשֶׁ֣ר אֲצַוֶּ֑ה
神–と あなたがた–に なろう そして–わたしは
H1961 H0430 H1961 H0595

לָכֶ֖ם לֵאלֹהִֽים׃

この契約は、わたしがあなたがたの先祖をエジプトの地、鉄のかまどの中から導き出した時に、彼らに命じたところのものである。すなわち、その時わたしは彼らに言った、わたしの声を聞き、あなたがたに命じるすべてのことを行うならば、あなたがたはわたしの民となり、わたしはあなたがたの神となる。

5 לְמַעַן֙ הָקִ֣ים אֶת־הַשְּׁבוּעָ֔ה אֲשֶׁ֥ר נִשְׁבַּ֖עְתִּי לַאֲבוֹתֵיכֶ֑ם
そのために 果たす–ため ～を 誓い–を ところの わたしが–誓った あなたがたの–先祖–に
H4616 H0853 H7621 H0834 H7650 H0001

לָתֶ֤ת לָהֶם֙ אֶ֣רֶץ זָבַ֣ת חָלָ֔ב וּדְבָ֖שׁ כַּיּ֣וֹם הַזֶּ֑ה וָאַעַ֖ן
与える–ために 彼ら–に 地–を 流れる 乳–と 蜜–の 今日–の–ように この わたしは–答え
H5414 H1992 H0776 H2100 H2461 H1706 H3117 H2088

וָאֹמַ֥ר אָמֵ֖ן יְהוָֽה׃ ס
そして–言った アーメン 主–よ ס
H0559 H0543 H3068

そして、わたしがあなたがたの先祖に、乳と蜜との流れる地を与えると誓ったことを、なし遂げると。すなわち今日のとおりである」。その時わたしは、「主よ、仰せのとおりです」と答えた。

6

יְהוּדָה	בְּעָרֵי	הָאֵלֶּה	הַדְּבָרִים	כָּל־	אֶת־	קְרָא	אֵלַי	יְהוָה	וַיֹּאמֶר
ユダの	町々-で	これら-の	言葉-を	すべて-の	～を	叫べ	わたし-に	主は	そして-言われた
H3063		H0428	H1697	H3605	H0853	H7121	H0413	H3068	H0559

וַעֲשִׂיתֶם	הַזֹּאת	הַבְּרִית	דִּבְרֵי	אֶת־	שִׁמְעוּ	לֵאמֹר	יְרוּשָׁלִַם	וּבְחֻצוֹת
そして-行え	この	契約-の	言葉-を	～を	聞け	言って	エルサレムの	そして-通り-で
	H2063	H1285	H1697	H0853	H8085	H0559	H3389	H2351

אוֹתָם׃
それら-を
H0853

主はわたしに言われた、「このすべての言葉を、ユダの町々と、エルサレムのちまたに告げ示し、この契約の言葉を聞き、これを行え、と言いなさい。

7

אוֹתָם	הַעֲלוֹתִי	בְיוֹם	בַּאֲבוֹתֵיכֶם	הַעִדֹּתִי	הָעֵד	כִּי
彼ら-を	わたしが-導き-上った	日-に	あなたがたの-先祖-に	わたしは-警告-した	厳しく	なぜなら
H0853	H5927	H3117	H0001			

שִׁמְעוּ	לֵאמֹר	וְהָעֵד	הַשְׁכֵּם	הַזֶּה	הַיּוֹם	וְעַד־	מִצְרַיִם	מֵאֶרֶץ
聞け	言って	そして-警告-して	早く-起きて	この	日-の	そして-～まで	エジプトの	地-から
H8085	H0559		H7925	H2088	H3117	H5704	H4714	H0776

בְּקוֹלִי׃
わたしの-声-に

わたしは、あなたがたの先祖をエジプトの地から導き出した時から今日にいたるまで、おごそかに彼らを戒め、絶えず戒めて、わたしの声に聞き従うようにと言った。

8

אִישׁ	וַיֵּלְכוּ	אָזְנָם	אֶת־	הִטּוּ	וְלֹא־	שָׁמְעוּ	וְלֹא	
各自-が	そして-歩んだ	耳-を	～を	傾けなかった	そして-～ない	聞かなかった	しかし-～ない	
H0376	H3212	H0241	H0853	H5186	H3808	H8085	H3808	

הַבְּרִית־	דִּבְרֵי	כָּל־	אֶת־	עֲלֵיהֶם	וָאָבִיא	הָרָע	לִבָּם	בִּשְׁרִירוּת
契約-の	言葉-を	すべて-の	～を	彼ら-の-上-に	わたしは-もたらした	悪い	心-の	頑な-さ-に
H1285	H1697	H3605	H0853		H0935			H8307

ס	עָשׂוּ׃	וְלֹא	לַעֲשׂוֹת	צִוִּיתִי	אֲשֶׁר־	הַזֹּאת	
ס	行わなかった	しかし-～ない	行う-ように	わたしが-命じた	ところの	この	
		H3808		H6680		H2063	

しかし彼らは従わず、その耳を傾けず、おのおの自分の悪い強情な心に従って歩んだ。それゆえ、わたしはこの契約の言葉をもって彼らを責めた。これはわたしが彼らに行えと命じたが、行わなかったものである」。

9

יְהוּדָה	בְּאֵישׁ	קֶשֶׁר	נִמְצָא־	אֵלָי	יְהוָה	וַיֹּאמֶר
ユダの	人-々の-中-に	謀反-が	見つかった	わたし-に	主は	そして-言われた
H3063	H0376	H7195	H4672	H0413	H3068	H0559

יְרוּשָׁלִָם׃	וּבִישְׁבֵי	
エルサレムの	そして-住民-の-中-に	
H3389	H3427	

主はまたわたしに言われた、「ユダの人々とエルサレムに住む者のうちに反逆の事がある。

10 שָׁבוּ עַל־ עֲוֹנֹת אֲבוֹתָם הָרִאשֹׁנִים אֲשֶׁר מֵאֲנוּ לִשְׁמוֹעַ אֶת־
立ち返った ～に 咎–に 先祖–の 初め–の ところの 拒んだ 聞く–こと–を ～を
H7725 H5771 H0001 H7223 H3985 H8085 H0853

דְּבָרַי וְהֵמָּה הָלְכוּ אַחֲרֵי אֱלֹהִים אֲחֵרִים לְעָבְדָם הֵפֵרוּ
わたしの–言葉–を そして–彼ら–は 歩んだ ～の–後–に 神々–の 他–の 仕える–ために 破った
H1697 H1992 H1980 אַחֲרֵי H0430 H0312 H5647

בֵּית־ יִשְׂרָאֵל וּבֵית יְהוּדָה אֶת־ בְּרִיתִי הֵפֵר אֲשֶׁר כָּרַתִּי
家–は イスラエルの そして–家–は ユダの ～を わたしの–契約–を ところの わたしが–結んだ
H3478 H1004 H3063 H0853 H1285 H0834 H3772

אֲבוֹתָם׃ ס ס אֶת־
彼らの–先祖–と ～と
H0001 H0854

彼らは、わたしの言葉を聞くことを拒んだその先祖たちの罪に立ち返り、またほかの神々に従ってそれに仕えた。イスラエルの家とユダの家とは、わたしがその先祖たちと結んだ契約を破った。

11 לָכֵן כֹּה אָמַר יְהוָה הִנְנִי מֵבִיא אֲלֵיהֶם רָעָה אֲשֶׁר
それゆえ こう 言われる 主は 見よ–わたしは もたらす 彼ら–に 災い–を それから ～ない
H3541 H0559 H3068 H2009 H0935 H0413 H7451 H0834 H3808

וְלֹא אֵלַי וְזָעֲקוּ מִמֶּנָּה לָצֵאת יוּכְלוּ
しかし–～ない わたし–に そして–叫ぶ–だろう それ–から 出る–こと–が 逃れる–こと–が–できない
H3808 H0413 H2199 H3318 H3201

אֵלֵיהֶם׃ אֶשְׁמַע
彼ら–に 聞かない
H0413 H8085

それゆえ主はこう言われる、見よ、わたしは災を彼らの上に下す。彼らはそれを免れることはできない。彼らがわたしを呼んでも、わたしは聞かない。

12 וְהָלְכוּ עָרֵי יְהוּדָה וְיֹשְׁבֵי יְרוּשָׁלַ͏ִם וְזָעֲקוּ אֶל־
そして–行く–だろう そして–住民–は エルサレムの そして–叫ぶ–だろう ～に
H1980 H3063 H3427 H3389 H2199 H0413

אֲשֶׁר הֵם מְקַטְּרִים לָהֶם וְהוֹשֵׁעַ לֹא־ יוֹשִׁיעוּ
ところの 彼ら–が 香–を–焚いて–いる それら–に しかし–救う–こと–は 決して 救えない
H0834 H1992 H6999 H3467 H3808 H3467

בְּעֵת רָעָתָם׃ לָהֶם הָאֱלֹהִים
時–に 災い–の 彼ら–を 神々–に
H6256 H7451 H0430

ユダの町々とエルサレムに住む者は、行って、自分たちがそれに香をたいている神々に呼び求めるが、これらは、彼らの災の時にも決して彼らを救うことはできない。

13 כִּי מִסְפַּר עָרֶיךָ הָיוּ אֱלֹהֶיךָ יְהוּדָה וּמִסְפַּר חֲצוֹת
なぜなら 数–ほど あなたの–町々–の あった あなたの–神々–は ユダ–よ そして–数–ほど 通り–の
H3588 H4557 H5892 H0430 H3063 H4557 H2351

יְרוּשָׁלַ͏ִם שַׂמְתֶּם מִזְבְּחוֹת מִזְבְּחוֹת לַבֹּשֶׁת מִזְבְּחוֹת לְקַטֵּר לַבָּעַל׃
エルサレムの あなたがたは–設けた 祭壇–を 恥–の–ため–に 祭壇–を 香–を–焚く–ため–に バアル–に
H3389 H7760 H4196 H1322 H4196 H6999 H1168

ס ס

ユダよ、あなたの神々は、あなたの町の数ほど多くなった。またあなたがたはエルサレムのちまたの数ほどの祭壇を恥ずべき者のために立てた。すなわちバアルに香をたくための祭壇である。

14 וְאַתָּה אַל־ תִּתְפַּלֵּל בְּעַד־ הָעָם הַזֶּה וְאַל־ תִּשָּׂא
そして–あなた–は ～するな 祈る–な ～の–ため–に 民–の この そして–～するな 上げる–な
H0408 H6419 H1157 H2088 H0408 H5375

בַּעֲדָם רִנָּה וּתְפִלָּה וְאַל־ תִּפְגַּע בִּי כִּי אֵינֶנִּי שֹׁמֵעַ בְּעֵת קָרְאָם
彼ら–の–ため–に 叫び–を そして–祈り–を なぜなら わたしは–～ない 聞かない 時–に 彼らが–叫ぶ
H1157 H7440 H8605 H0369 H8085 H6256 H7121

ס אֵלָי בְּעַד רָעָתָם׃ ס
わたし–に ～の–ため–に 彼らの–災い–の
H0413 H1157

それゆえ、この民のために祈ってはならない。また彼らのために泣き、あるいは祈り求めてはならない。彼らがその災の時に、わたしに呼ばわっても、わたしは彼らに聞くことをしないからだ。

15 מָה לִּידִידִי בְּבֵיתִי עֲשׂוֹתָהּ הַמְזִמָּתָהּ הָרַבִּים
何–が わたしの–愛する–者–に わたしの–家–で 行う–こと–が 企み–を 多く–の
H4100 H3039 H1004 H6213 H4209

וּבְשַׂר־ קֹדֶשׁ יַעַבְרוּ מֵעָלַיִךְ כִּי רָעָתֵךְ אָז תַּעֲלֹזִי׃
そして–聖なる–肉–は 過ぎ去る あなた–から なぜなら あなたの–悪–で その–時 喜ぶ–のか
H1320 H6944 H5674 H4605 H3588 H7451 H227 H5937

わが愛する者は、わたしの家で何をするのか。すでにこれは悪事を行った。誓願と犠牲の肉とがあなたに災を免れさせることができるであろうか。それであなたは喜ぶことができるであろうか。

16 זַיִת רַעֲנָן יְפֵה פְרִי־ תֹאַר קָרָא יְהוָה שְׁמֵךְ וְלִקּוֹל
オリーブの–木 緑–の 美しい 実–と 姿–の 呼んだ 主は あなたの–名–を 音–と–ともに
H2132 H7488 H3303 H6529 H8389 H7121 H3068 H8034

הֲמוּלָּה גְדֹלָה הִצִּית אֵשׁ עָלֶיהָ וְרָעוּ דָּלִיּוֹתֶיהָ׃
騒ぎ–の 大きな 燃やした 火–を その–上–に そして–折れた その–枝–は
H1999 H1419 H3341 H0784 H5921 H7489 H1808

主はあなたを、かつては『良い実のなる美しい青々としたオリブの木』と呼ばれたが、激しい暴風のとどろきと共に、主はそれに火をかけ、その枝を焼き払われるのである。

17 וַיהוָה צְבָאוֹת הַנּוֹטֵעַ אוֹתָךְ דִּבֶּר עָלַיִךְ רָעָה בְּנוֹעַל
そして–主は 万軍–の 植えた–方–は あなた–を 告げた あなた–に–ついて 災い–を ～の–ゆえ–に
H3068 H6635 H5193 H0853 H1696 H5921 H7451 H1558

בֵּית־ יִשְׂרָאֵל וּבֵית יְהוּדָה אֲשֶׁר עָשׂוּ לָהֶם הָרַע
家–の イスラエルの そして–家–の ユダの ところの 行った 彼ら–が 悪–の
H1004 H3478 H1004 H3063 H834 H6213 H1992 H7451

ס לְהַכְעִסֵנִי לְקַטֵּר לַבָּעַל׃ ס
わたしを–怒らせる–ため–に 香–を–焚いて バアル–に
H3707 H6999 H1168

あなたを植えた万軍の主は、あなたに向かって災を言い渡された。これはイスラエルの家とユダの家とが悪を行い、バアルに香をたいて、わたしを怒らせたからである」。

18 וַיהוָה הוֹדִיעֵנִי וָאֵדָעָה אָז הִרְאִיתַנִי
そして–主は 知らせて–くださった そして–わたしは–知った その–時 見せて–くださった
H3068 H3045 H3045 H0227 H7200

מַעַלְלֵיהֶם׃
彼らの–行い–を
H4611

主が知らせてくださったので、わたしはそれを知った。その時、あなたは彼らの悪しきわざをわたしに示された。

19 וְאֲנִי כְּכֶבֶשׂ אַלּוּף יוּבַל לִטְבוֹחַ וְלֹא־יָדַעְתִּי
そして-わたし-は 子羊-の-ように おとなしい 引かれて-いく 屠り-に そして-〜ない 知らなかった
H0589 H3532 H0441 H2986 H2873 H3808 H3045

עֵץ בְּלַחְמוֹ נִשְׁחֲיתָה מַחֲשָׁבוֹת חָשְׁבוּ וְעָלַי כִּי־
木-を その-実-と-ともに 滅ぼそう たくらみ-を 企てた わたし-に-対して 〜ということ-を
H6086 H3899 H7843 H4284 H2803 H5921 H3588

וְנִכְרְתֶנּוּ מֵאֶרֶץ חַיִּים וּשְׁמוֹ לֹא־יִזָּכֵר עוֹד׃
そして-断ち切ろう 地-から 生ける-者-の そして-その-名-が もはや 覚えられない-ように もう
H3772 H0776 H2416 H8034 H3808 H2142 H5750

しかしわたしは、ほふられに行く、おとなしい小羊のようで、彼らがわたしを害しようと、計りごとをめぐらしているのを知らなかった。彼らは言う、「さあ、木とその実を共に滅ぼそう。生ける者の地から彼を絶って、その名を人に忘れさせよう」。

20 וַיהוָה צְבָאוֹת שֹׁפֵט צֶדֶק בֹּחֵן כְּלָיוֹת וָלֵב אֶרְאֶה
見させて-ください 心-を 腎臓-と 試みる-方 正しく 裁く-方 万軍-の そして-主は
H7200 H3629 H0974 H6664 H8199 H6635 H3068

רִיבִי׃ אֵת־ גָּלִיתִי אֵלֶיךָ כִּי מֵהֶם נְקָמָתְךָ
わたしの-訴え-を 〜を わたしは-明かした あなた-に なぜなら 彼ら-に-対する あなたの-復讐-を
H7379 H0853 H1540 H0413 H3588 H1992 H5360

ס
ס

正しいさばきをし、人の心と思いを探られる万軍の主よ、わたしは自分の訴えをあなたにお任せしました。あなたが彼らにあだをかえされるのを見させてください。

21 לָכֵן כֹּה־ אָמַר יְהוָה עַל־ אַנְשֵׁי עֲנָתוֹת הַמְבַקְשִׁים אֶת־
それゆえ こう 言われる 主は 人-々に 〜に-ついて アナトトの 求めている-者-たち 〜を
H3651 H3541 H0559 H3068 H0376 H6068 H1245 H0853

נַפְשֶׁךָ לֵאמֹר לֹא תָמוּת וְלֹא בְיָדֵנוּ׃ ס
あなたの-命-を 言って 〜するな 預言する-な 名-に-よって 主の さもなければ 死ぬ-ぞ
H5315 H0559 H3808 H5012 H8034 H3068 H3808 H4191

我々の-手-で ס
H3027

それゆえ主はアナトテの人々についてこう言われる、彼らはあなたの命を取ろうと求めて言う、「主の名によって預言してはならない。それをするならば、あなたはわれわれの手にかかって死ぬであろう」。

22 לָכֵן כֹּה אָמַר יְהוָה צְבָאוֹת הִנְנִי פֹקֵד עֲלֵיהֶם הַבָּחוּרִים יָמֻתוּ
それゆえ こう 言われる 主は 万軍-の 見よ-わたしは 罰する 彼ら-を 若者-たち-は 死ぬ
H3651 H3541 H0559 H3068 H6635 H2009 H6485 H5921 H0970 H4191

בַּחֶרֶב בְּנֵיהֶם וּבְנוֹתֵיהֶם יָמֻתוּ בָּרָעָב׃
剣-で 彼らの-息子-たち-と 彼らの-娘-たち-は 死ぬ 飢饉-で
H2719 H1121 H1323 H4191 H7458

それで万軍の主はこう言われる、「見よ、わたしは彼らを罰する。若い人はつるぎで死に、彼らのむすこ娘は、ききんで死に、

אֶל־ רָעָה אָבִיא כִּי־ לָהֶם תִּהְיֶה לֹא וּשְׁאֵרִית 23
～に 災い–を わたしは–もたらす なぜなら 彼ら–には いない ～ない そして–残り–の者–は
H0413 H0935 H1961 H3808 H7611

ס פְּקֻדָּתָם׃ שְׁנַת עֲנָתוֹת אַנְשֵׁי
ס 彼らの–罰–の 年–に アナトトの 人–々–に
H6486 H8141 H6068 H0376

だれも残る者はない。わたしがアナトテの人々に災を下し、彼らを罰する年をこさせるからである」。

Chapter 12

אַדַּבֵּר מִשְׁפָּטִים אַךְ אֵלֶיךָ אָרִיב כִּי יְהוָה אַתָּה צַדִּיק 1
語りたい 裁き–について ただ あなた–に 訴える それでも 主–よ あなた–は 正しい
H1696 H4941 H0389 H0413 H7378 H3068 H6662

בֹּגְדֵי כֹּל־ שָׁלְוָ צָלְחָה רְשָׁעִים דֶּרֶךְ מַדּוּעַ אוֹתָךְ
裏切る–者–たち–は すべて–の 安らかに–いる 栄えるのか 悪者–の 道–は なぜ あなた–と
H0898 H3605 H7951 H7563 H1870 H4069 H0853

בָּגֽוֹד׃
裏切り–の

主よ、わたしがあなたと論じ争う時、あなたは常に正しい。しかしなお、わたしはあなたの前に、さばきのことを論じてみたい。悪人の道がさかえ、不信実な者がみな繁栄するのはなにゆえですか。

אַתָּה קָרוֹב פֶּרִי עָשׂוּ גַּם־ יָלְכוּ שָׁרָשׁוּ גַּם־ נָטַעְתָּם 2
あなた–は 近い 実–を 結ぶ また 彼らは–育つ 根を–張った また あなたが–植えた
H7138 H6529 H1571 H3212 H8327 H1571 H5193

מִכִּלְיוֹתֵיהֶם׃ וְרָחוֹק בְּפִיהֶם
彼らの–心–からは しかし–遠い 彼らの–口–には
H3629 H7350 H6310

あなたが彼らを植えられたので、彼らは根づき、育って、実を結びます。彼らは口ではあなたに近づきますが、心はあなたから遠ざかっています。

לִבִּי וּבָחַנְתָּ תִּרְאֵנִי יְדַעְתָּנִי יְהוָה וְאַתָּה 3
わたしの–心–を そして–試して–おられる 見て–おられる 知って–おられる 主–よ しかし–あなた–は
H0974 H7200 H3045 H3068

וְהַקְדִּשֵׁם לְטִבְחָה כְּצֹאן הַתְקֵם אִתָּךְ
そして–聖別して–ください 屠り–に 羊–の–ように 引き出して–ください あなた–と–ともに
H6942 H2878 H6629 H5423 H0854

ס הֲרֵגָה׃ לְיוֹם
ס 殺す–日–の 日–の–ために
H2028 H3117

主よ、あなたはわたしを知り、わたしを見、わたしの心があなたに対していかにあるかを試みられます。ほふるために羊を引き出すように、彼らを引き出し、殺す日にそなえて、彼らを残しておいてください。

4

יִיבַשׁ	הַשָּׂדֶה	כָּל־	וְעֵשֶׂב	הָאָרֶץ	תֶּאֱבַל	מָתַי	עַד־
枯れるのか	野–の	すべて–の	そして–草–は	地–は	嘆く–のか	いつ–まで	いつ–まで
H3001		H3605	H6212	H0776	H0056	H4970	H5704

לְאׇ	אָמְרוּ	כִּי	וָעוֹף	בְּהֵמוֹת	סָפְתָה	בָּהּ	יֹשְׁבֵי־	מֵרָעַת
~ない	彼らは–言った	なぜなら	鳥–も	家畜–も	滅びた	その–中–の	住む–者–の	悪–の–ゆえに
H3808	H0559		H5775	H0929	H5595		H3427	

אַחֲרִיתֵנוּ׃	אֶת־	יִרְאֶה
我々の–末–を	~を	見ない
H0319	H0853	H7200

いつまで、この地は嘆き、どの畑の野菜も枯れていてよいでしょうか。この地に住む者の悪によって、獣と鳥は滅びうせます。人々は言いました、「彼はわれわれの終りを見ることはない」と。

5

אֶת־	תִּתְחָרֶה	וְאֵיךְ	וַיַּלְאוּךָ	רַצְתָּה	וְרַגְלִים	אֶת־	כִּי
~と	競おう–と–する–のか	どうして	疲れた–のに	競って	徒歩–の–者–と	~と	なぜなら
H0854	H8474		H3811	H7323	H7273	H0854	

הַיַּרְדֵּן׃	בְּגְאוֹן	תַּעֲשֶׂה	וְאֵיךְ	בּוֹטֵחַ	אַתָּה	שָׁלוֹם	וּבְאֶרֶץ	הַסּוּסִים
ヨルダン–の	茂み–で	する–のか	どうして	頼って–いる	あなた–は	平和–の	そして–地–に	馬–と
H3383	H1347			H0982		H7965	H0776	

「もしあなたが、徒歩の人と競争して疲れるなら、どうして騎馬の人と競うことができようか。もし安全な地で、あなたが倒れるなら、ヨルダンの密林では、どうするつもりか。

6

בָּגְדוּ	הֵמָּה׀	גַּם־	אָבִיךָ	וּבֵית־	אַחֶיךָ	גַּם־	כִּי
裏切った	彼ら–も	また	あなたの–父–の	そして–家–も	あなたの–兄弟–も	また	なぜなら
H0898	H1992	H1571	H0001		H0251	H1571	

בָּם	תַּאֲמֵן	אַל־	מְלֵא	אַחֲרֶיךָ	קָרְאוּ	הֵמָּה	גַּם־	בָּךְ
彼ら–を	信じる–な	~するな	大声–で	あなた–の–後ろ–から	叫んだ	彼ら–も	また	あなた–を
	H0539	H0408	H4392		H7121	H1992	H1571	

ס	טוֹבוֹת׃	אֵלֶיךָ	יְדַבְּרוּ	כִּי־
ס	良い–こと–を	あなた–に	語っても	たとい
		H0413	H1696	

あなたの兄弟たち、あなたの父の家のものさえ、あなたを欺き、大声をあげて、あなたを追っている。彼らが親しげにあなたに語ることがあっても、彼らを信じてはならない」。

7

נַחֲלָתִי	אֶת־	נָטַשְׁתִּי	בֵּיתִי	אֶת־	עָזַבְתִּי
わたしの–嗣業–を	~を	わたしは–見捨てた	わたしの–家–を	~を	わたしは–捨てた
H5159	H0853	H5203		H0853	

אֹיְבֶיהָ׃	בְּכַף	נַפְשִׁי	יְדִדוּת	אֶת־	נָתַתִּי
敵–の	掌–に	魂–の	わたしの–愛する	~を	わたしは–渡した
H0341	H3709	H5315	H3033	H0853	H5414

「わたしはわが家を離れ、わが嗣業を捨て、わが魂の愛する者を敵の手に渡した。

8

נָתְנָה	בַיַּעַר	כְּאַרְיֵה	נַחֲלָתִי	לִי	הָיְתָה־
上げた	林–の–中–の	獅子–の–ように	わたしの–嗣業–は	わたし–にとって	なった
H5414			H5159		H1961

שְׂנֵאתִיהָ׃	כֵּן	עַל־	בְּקוֹלָהּ	עָלַי
わたしは–それを–憎んだ	そう	それ–ゆえ	その–声–を	わたし–に–向かって
H8130				

わたしの嗣業は、わたしにとって林の中のししのようになった。これはわたしに向かってその声をあげる。それゆえわたしはこれを憎む。

אִסְפוּ	לְכוּ	עָלֶיהָ	סָבִיב	הַעִיט	לִי	נַחֲלָתִי	צָבוּעַ	הַעִיט	9
集めよ	行け	その–上–に	取り囲む	猛禽–たちが	わたし–に	わたしの–嗣業–は	猛禽–は	斑–の	
H0622	H3212		H5439	H5861		H5159	H6641	H5861	

לֶאֱכֹלָה׃	הֵתָיוּ	הַשָּׂדֶה	חַיַּת	כָּל־
食い–尽くす–ために	来させよ	野–の	獣–を	すべて–の
H0402	H0857			H3605

わたしの嗣業は、わたしにとって、斑点のある猛禽のようではないか。他の猛禽がこれを囲んでいるではないか。行って、野の獣をみな集め、連れてきてこれを食べさせよ。

חֶלְקָתִי	אֶת־	בֹּסְסוּ	כַּרְמִי	שִׁחֲתוּ	רַבִּים	רֹעִים	10
わたしの–地所–を	~を	踏みにじった	わたしの–ぶどう園–を	荒らした	牧者–たちが	多く–の	
	H0853	H0947	H3754	H7843			

שְׁמָמָה׃	לִמְדְבָּר	חֶמְדָּתִי	חֶלְקַת	אֶת־	נָתְנוּ
荒れ地–に	荒野–に	わたしの–喜び–の	わたしの–慕わしい–地所–を	~を	変えた
				H0853	H5414

多くの牧者たちはわたしのぶどう畑を滅ぼし、わたしの地を踏み荒した。わたしの麗しい地を荒れた野にした。

הָאָרֶץ	כָּל־	נְשַׁמָּה	שְׁמָמָה	עָלַי	אָבְלָה	לִשְׁמָמָה	שָׁמָה	11
地–は	すべて–の	荒れ果てた	荒廃–を	わたし–に–向かって	嘆いている	荒れ地–に	荒らし	
H0776	H3605	H8074	H8076		H0056			

לֵב׃	עַל־	שָׂם	אִישׁ	אֵין	כִּי
留める–者–が	~を	心–に	人–が	ない	なぜなら
			H0376	H0369	

彼らはこれを荒れ地としてしまった。その荒れ地がわたしに向かって嘆くのだ。全地は荒れ地にされた。しかし、ひとりもこれを心に留める者はない。

יְהוָה	חֶרֶב	כִּי	שֹׁדְדִים	בָּאוּ	בַּמִּדְבָּר	שְׂפָיִם	כָּל־	עַל־	12
主–の	剣–は	なぜなら	略奪者–たちが	来た	荒野–の	裸の–丘–に	すべて–の	~の–上–に	
H3068	H2719		H7703	H0935		H8205	H3605		

ס	בָּשָׂר׃	לְכָל־	שָׁלוֹם	אֵין	הָאָרֶץ	קְצֵה	וְעַד־	אֶרֶץ	מִקְצֵה־	אָכְלָה
ס	肉–に	すべて–の	平和–は	ない	地–の	端–まで	そして–~まで	地–の	端–から	食い尽くす
	H1320	H3605	H7965	H0369	H0776		H5704	H0776		H0398

滅ぼす者どもが荒野のすべての、はげ山の上にきた。主のつるぎが、地の、この果から、かの果までを滅ぼすのだ。命あるものは安らかであることができない。

וּבֹשׁוּ	יוֹעֲלוּ	לֹא	נָחֲלוּ	קָצָרוּ	וְקֹצִים	חִטִּים	זָרְעוּ	13
そして–恥じよ	益が–ない	~ない	苦しんだ	刈り取った	しかし–茨–を	小麦–を	蒔いた	
H0954	H3276	H3808			H6975	H2406	H2232	

ס	יְהוָה׃	אַף־	מֵחֲרוֹן	מִתְבוּאֹתֵיכֶם
ס	主–の	怒り–の	燃える–怒り–の–ゆえ–に	あなたがたの–収穫–を
	H3068	H0639	H2740	H8393

彼らは麦をまいて、いばらを刈り取る。苦労してもなんの利益もない。彼らはその収穫を恥じるようになる。主の激しい怒りによってである」。

14 כֹּה֙ אָמַ֣ר יְהוָ֔ה עַל־כָּל־שְׁכֵנַ֖י הָרָעִ֑ים הַנֹּגְעִ֣ים בַּנַּחֲלָ֗ה אֲשֶׁר־הִנְחַ֙לְתִּי֙ אֶת־עַמִּ֣י אֶת־יִשְׂרָאֵ֔ל הִנְנִ֥י נֹתְשָׁ֖ם מֵעַ֣ל אַדְמָתָ֑ם וְאֶת־בֵּ֣ית יְהוּדָ֔ה אֶתּ֖וֹשׁ מִתּוֹכָֽם׃

こう 言われる 主は ~について すべての わたしの隣人たち 悪い 触れている者たち
H3541 H0559 H3068 H3605 H7934 H7934 H5060
ところの 嗣業として 与えた わたしが 嗣業として ~を わたしの民に ~を イスラエルに
H0834 H5157 H0853 H5971 H0853 H3478
嗣業に 見よ わたしは 引き抜く 彼らの土地から そして ~を 家を ユダの 引き抜く
H5159 H2009 H5428 H0127 H0853 H1004 H3063 H5428
彼らの中から
H8432

わたしがわが民イスラエルにつがせた嗣業に手を触れるすべての悪い隣り人について、主はこう言われる、「見よ、わたしは彼らをその地から抜き出し、ユダの家を彼らのうちから抜き出す。

15 וְהָיָ֗ה אַחֲרֵי֙ נָתְשִׁ֣י אוֹתָ֔ם אָשׁ֥וּב וְרִחַמְתִּ֖ים וַהֲשִׁבֹתִ֑ים אִ֚ישׁ לְנַחֲלָת֔וֹ וְאִ֖ישׁ לְאַרְצֽוֹ׃

そして なる ~の後に わたしが引き抜いた 彼らを 再び そして あわれむ そして 帰らせる
H1961 H0310 H5428 H0853 H7725 H7355 H7725
各自を 彼の嗣業に 各自を 彼の地に
H0376 H5159 H0376 H0776

わたしは、彼らを抜き出したのちに、また彼らをあわれんで、それぞれその嗣業に導き返し、おのおのを、その地に帰らせる。

16 וְהָיָ֗ה אִם־לָמֹ֤ד יִלְמְדוּ֙ אֶת־דַּרְכֵּ֣י עַמִּ֔י לְהִשָּׁבֵ֖עַ בִּשְׁמִ֑י חַי־יְהוָ֕ה כַּאֲשֶׁ֥ר לִמְּד֖וּ אֶת־עַמִּ֑י וְנִבְנ֖וּ בְּת֥וֹךְ עַמִּֽי׃

そして なる もし よく 学ぶなら 彼らが ~を 道を わたしの民の 誓うために
H1961 H0518 H3925 H3925 H0853 H1870 H5971 H7650
わたしの名に よって 誓う 主は ちょうど 教えた ように ~を
H8034 H7650 H3068 H3651 H3925 H0853
わたしの民に 誓うことを バアルに よって そうすれば 建てられる ~の中に わたしの民の
H5971 H7650 H1168 H1129 H8432 H5971

もし彼らがわたしの民の道を学び、わたしの名によって、『主は生きておられる』と言って誓うことが、かつて彼らがわたしの民に教えてバアルをさして誓わせたようになるならば、彼らはわたしの民のうちに建てられる。

17 וְאִם־לֹ֣א יִשְׁמָע֔וּ וְנָתַשְׁתִּ֖י אֶת־הַגּ֣וֹי הַה֑וּא נָת֥וֹשׁ וְאָבֵ֖ד נְאֻם־יְהוָֽה׃ ס

しかし 聞かない なら ~ない
H0518 H8085 H3808
そうすれば 引き抜く ~を その国を その 引き抜いて そして 滅ぼす ~と 言われる 主は
H5428 H0853 H1471 H1931 H5428 H0006 H5002 H3068 ס

しかし耳をかさない民があるときは、わたしはその民を抜き出して滅ぼすと、主は言われる」。

Chapter 13

1 כֹּה־ אָמַר יְהוָה אֵלַי הָלוֹךְ וְקָנִיתָ לְךָ אֵזוֹר פִּשְׁתִּים
こう 言われた 主は わたし-に 行け そして-買え あなたの-ために 帯-を 亜麻-の
H3541 H0559 H3068 H0413 H1980 H7069 H0232 H6593

וְשַׂמְתּוֹ עַל־ מָתְנֶיךָ וּבַמַּיִם לֹא תְבִאֵהוּ׃
そして-巻け ~に あなたの-腰-に そして-水-に ~ない 浸ける-な
H4975 H4325 H3808 H0935

主はわたしにこう言われた、「行って、亜麻布の帯を買い、腰に結べ。水につけてはならない」。

2 וָאֶקֶן אֶת־ הָאֵזוֹר כִּדְבַר יְהוָה וָאָשֶׂם עַל־ מָתְנָי׃
わたしは-買った ~を 帯-を 言葉-の-とおり 主の そして-巻いた ~に わたしの-腰-に
H7069 H0853 H0232 H1697 H3068 H8053 H4975

ס
ס

そこで、わたしは主の言葉に従い、帯を買って腰に結んだ。

3 וַיְהִי דְבַר־ יְהוָה אֵלַי שֵׁנִית לֵאמֹר׃
そして-あった 言葉-が 主の わたし-に 二度-目 言って
H1961 H1697 H3068 H0413 H8145 H0559

主の言葉は、再びわたしに臨んで言った、

4 קַח אֶת־ הָאֵזוֹר אֲשֶׁר קָנִיתָ אֲשֶׁר עַל־ מָתְנֶיךָ
取れ ~を 帯-を ところの あなたが-買った ところの ~の-上-に-ある あなたの-腰-の
H3947 H0853 H0232 H7069 H0834 H5921 H4975

וְקוּם לֵךְ פְּרָתָה וְטָמְנֵהוּ שָׁם בִּנְקִיק הַסָּלַע׃
そして-起て 行け ユフラテス-に そして-隠せ そこ-に 岩-の-裂け目-に 岩-の
H6965 H3212 H6578 H2934 H8033 H5357 H5553

「あなたが買って腰に結んでいる帯を手に取り、立ってユフラテの川へ行き、その所の岩の裂け目にこれを隠せ」。

5 וָאֵלֵךְ וָאֶטְמְנֵהוּ כַּאֲשֶׁר צִוָּה יְהוָה אוֹתִי׃
わたしは-行った そして-隠した ちょうど 命じられた-とおり 主が わたし-に
H3212 H2934 H6680 H3068 H0853

わたしは主が命じられたように、行って、これをユフラテの川のほとりに隠した。

6 וַיְהִי מִקֵּץ יָמִים רַבִּים וַיֹּאמֶר יְהוָה אֵלַי קוּם לֵךְ
そして-あった 終わり-に 日々-の 多く-の そして-言われた 主は わたし-に 起て 行け
H1961 H7093 H3117 H7227 H0559 H3068 H0413 H6965 H3212

פְּרָתָה וְקַח מִשָּׁם אֶת־ הָאֵזוֹר אֲשֶׁר צִוִּיתִיךָ לְטָמְנוֹ־
ユフラテス-に そして-取れ そこ-から ~を 帯-を ところの 命じた-わたしが 隠す-ように
H6578 H3947 H8033 H0853 H0232 H0834 H6680 H2934

שָׁם׃
そこ-に
H8033

多くの日を経てのち、主はわたしに言われた、「立って、ユフラテの川へ行き、あなたに命じて、そこに隠させた帯をその所から取ってきなさい」。

7 וָאֵלֵךְ פְּרָתָה וָאֶחְפֹּר וָאֶקַּח אֶת־הָאֵזוֹר מִן־הַמָּקוֹם
わたしは-行った そして-掘った ユフラテス-に そして-取った ~を 帯-を ~から 場所-から
H3212 H2658 H6578 H3947 H0853 H0232 H4725

וְהִנֵּה נִשְׁחֲתָה הָאֵזוֹר לֹא יִצְלַח לַכֹּל׃ פ
そして-見よ 腐って-いた 帯-は ~ない 役に-立たない 何にも
H2009 H7843 H0232 H3808 H3605

אֲשֶׁר־ טָמַנְתִּיו שָׁמָּה וָאֶהְיֶה כְּפ

そこでわたしはユフラテの川へ行き、地を掘って、隠した所から帯を取り出したが、その帯はそこなわれて、役に立たなくなっていた。

8 וַיְהִי דְבַר־ יְהוָה אֵלַי לֵאמֹר׃
そして-あった 言葉-が 主の わたし-に 言って
H1961 H1697 H3068 H0413 H0559

その時、主の言葉がわたしに臨んだ、

9 כֹּה אָמַר יְהוָה כָּכָה אַשְׁחִית אֶת־ גְּאוֹן יְהוּדָה וְאֶת־ גְּאוֹן הָרָב׃ יְרוּשָׁלִָם
こう 言われる 主は この-ように 滅ぼす ~を 高慢-を ユダの そして-~を 高慢-を 大いなる エルサレムの
H3541 H0559 H3068 H3602 H7843 H0853 H1347 H3063 H0853 H1347 H3389

「主はこう仰せられる、これと同じように、わたしはユダの高ぶりとエルサレムの大いなる高ぶりを、破るのである。

10 הָעָם הַזֶּה הָרָע מְאֲנִים הַהֹלְכִים לִשְׁמוֹעַ אֶת־ דְּבָרַי
民-は この 悪い 拒む-者たち 聞く-こと-を ~を わたしの-言葉-を 歩む-者たち
H5971 H2088 H7451 H3987 H8085 H0853 H1697 H1980

וַיֵּלְכוּ אַחֲרֵי אֱלֹהִים אֲחֵרִים לְעָבְדָם וְהָיוּ כָּאֵזוֹר הַזֶּה לֹא יִצְלַח׃
そして-行った ~の-後-に 神々-の 他-の 仕える-ために そして-なる 帯-の-ように この ~ない 役に-立たない
H3212 H0310 H0430 H0312 H5647 H1961 H0232 H2088 H3808 H3605

בִּשְׁרִרוּת לִבָּם וַיֵּלְכוּ אַחֲרֵי אֱלֹהִים אֲחֵרִים לְעָבְדָם וְהָיוּ כָּאֵזוֹר הַזֶּה לֹא יִצְלַח׃
頑な-さ-に 心-の そして-行った ~の-後-に 神々-の 他-の 仕える-ために そして-なる 帯-の-ように この ~ない 役に-立たない
H8307 H3212 H0310 H0430 H0312 H5647 H1961 H0232 H2088 H3808 H3605

וּלְהִשְׁתַּחֲוֹת לָהֶם אֲשֶׁר יִהְיוּ כָּאֵזוֹר הַזֶּה לֹא יִצְלַח לַכֹּל׃
そして-ひれ伏す-ために それら-に そして-なる 帯-の-ように この ~ない 役に-立たない 何にも
H7812 H1992 H1961 H0232 H2088 H3808 H3605

この悪しき民はわたしの言葉を聞くことを拒み、自分の心を強情にして歩み、また他の神々に従ってこれに仕え、これを拝んでいる。彼らはこの帯のように、なんの役にも立たなくなる」。

11 כִּי כַּאֲשֶׁר יִדְבַּק הָאֵזוֹר אֶל־ מָתְנֵי אִישׁ כֵּן הִדְבַּקְתִּי
なぜなら ちょうど 貼りつく 帯-が ~に 腰-に 人-の その-ように わたしは-貼り-つけた
H3588 H3588 H1692 H0232 H0413 H4975 H0376 H3651 H1692

אֵלַי אֶת־ בֵּית יִשְׂרָאֵל וְאֶת־ כָּל־ בֵּית יְהוּדָה נְאֻם־ יְהוָה לִהְיוֹת לִי לְעָם וְלִשֵׁם וְלִתְהִלָּה וְלִתְפְאֶרֶת
わたし-に ~を 家-を すべて-の そして-~を イスラエルの 家-を すべて-の ~を 家-を わたし-に ~と-言われる 主-は なる-ために わたし-に 民-と そして-名-と そして-賛美-と そして-輝き-と
H0413 H0853 H1004 H3605 H0853 H3478 H1004 H3605 H0853 H1004 H0413 H5002 H3068 H1961 H0834 H5971 H8034 H8416 H8597

וְלֹא שָׁמֵעוּ׃
しかし-~ない 聞かなかった
H3808 H8085

主は言われる、「帯が人の腰に着くように、イスラエルのすべての家とユダのすべての家とをわたしに着かせ、これをわたしの民とし、名とし、誉とし、栄えとしようとした。しかし彼らは聞き従おうともしなかった」。

12 וְאָמַרְתָּ֣ אֲלֵיהֶ֗ם כֹּֽה־ אָמַ֤ר יְהוָה֙ אֱלֹהֵ֣י יִשְׂרָאֵ֔ל ס הַדָּבָ֥ר הַזֶּ֖ה הַדָּבָ֣ר אֶת־ כָּל־ הַנֵּ֣בֶל יִמָּלֵ֑א וְאָמְרוּ֩ אֵלֶ֨יךָ֜ הֲלֹ֣א נֵדַ֗ע כִּ֚י כָּל־ הַנֵּ֣בֶל יִמָּלֵ֔א יַ֖יִן׃

そして–言え そして–彼ら–に ~を 言葉–を この 言われる こう ス 主は 神は イスラエルの
H0559 H0413 H0853 H1697 H2088 H0559 H3541 ス H0430 H3068 H0559 H3478

すべて–の 瓶–は 満たされる 葡萄酒–で そして–言う–だろう あなた–に 知って–いる ~ない
H3605 H0559 H0413 H3045 H3808

我々は–知って–いる ということ–を すべて–の 瓶–が 満たされる 葡萄酒–で
H3045 H3605 H4390 H3196

「あなたはこの言葉を彼らに語らなければならない、『イスラエルの神はこう言われる、酒つぼには、みな酒が満ちる』と。彼らはあなたに言うであろう、『酒つぼに、みな酒が満ちることをわれわれが知らないことがあろうか』と。

13 וְאָמַרְתָּ֣ אֲלֵיהֶ֗ם כֹּֽה־ אָמַ֤ר יְהוָה֙ הִנְנִ֣י מְמַלֵּ֔א אֶת־ כָּל־ יֹשְׁבֵ֥י הָאָ֖רֶץ הַזֹּ֑את וְהַמְּלָכִ֣ים הַיֹּשְׁבִ֣ים לְדָוִ֗ד עַל־ כִּסְאוֹ֙ וְהַכֹּהֲנִ֣ים וְהַנְּבִיאִ֔ים וְכָל־ יֹשְׁבֵ֥י יְרוּשָׁלִָ֖ם שִׁכָּרֽוֹן׃

そして–言え 彼ら–に こう 言われる 主は 見よ–わたしは 満たす ~を すべて–の 住民–を
H0559 H0413 H3541 H3068 H2009 H4390 H0853 H3605 H3427

この 地–の そして–~を 座って–いる 王–たち–を ~の–上–に 王座–の
H2063 H0776 H0853 H4428 H3427 H1732 H3678

そして–~を 祭司–たち–を そして–~を 預言者–たち–を そして–~を すべて–の 住民–を エルサレムの
H0853 H3548 H0853 H5030 H0853 H3605 H3427 H3389

酔い–で
H7943

その時、あなたは彼らに言わなければならない、『主はこう言われる、見よ、わたしはこの地に住むすべての者と、ダビデの位に座す王たちと、祭司と預言者およびエルサレムに住むすべての者に酔いを満たし、

14 וְנִפַּצְתִּ֤ים אִישׁ֙ אֶל־ אָחִ֔יו וְהָאָבוֹת֙ וְהַבָּנִ֔ים יַחְדָּ֑ו לֹ֤א אֶחְמֹל֙ וְלֹ֣א אָח֔וֹס וְלֹ֥א אֲרַחֵ֖ם מֵהַשְׁחִיתָ֑ם ס נְאֻם־ יְהוָֽה׃

そして–打ち–砕く 人–を ~に 兄弟–に そして–父–たち–と そして–子–たち–を 共–に
H0853 H0376 H0413 H0251 H0001 H1121 H3162

容赦–しない ~ない 主–は ~と–言われる そして–~ない 惜しまない そして–~ない あわれまない
H2550 H3808 H3068 H5002 H3808 H2347 H3808 H7355

滅ぼす–こと–から ス
H7843 ス

彼らを互に打ち当てて砕く。父と子をもそのようにすると、主は言われる。わたしは彼らをあわれまず、惜しまず、かわいそうとも思わずに滅ぼす』と」。

15 שִׁמְעוּ֙ וְהַאֲזִ֔ינוּ אַל־ תִּגְבָּהוּ֙ כִּ֣י יְהוָ֔ה דִּבֶּ֖ר׃

聞け そして–耳–を–傾けよ ~するな 高ぶる–な なぜなら 主–が 語った
H8085 H0238 H0408 H1361 H3068 H1696

耳を傾けて聞け、高ぶってはならない、主がお語りになるからである。

16

יִתְּנַגְּפוּ	וּבְטֶרֶם	יַחְשִׁיךְ	בְּטֶרֶם	כָּבוֹד֙	אֱלֹהֵיכֶ֔ם	לַיהוָ֖ה	תְּנ֣וּ
つまずく	そして-~する-前-に	暗く-なる	~する-前-に	栄光-を	あなたがたの-神-に	主-に	帰せ
H5062	H2962	H2821	H2962	H3519	H0430	H3068	H5414

וְשָׂמָ֣ה	לְאוֹר֮	וְקִוִּיתֶם֒	נָגֶשׁ֙	הָרֵ֣י	עַל־	רַגְלֵיכֶם֮	
そして-変える	光-を	そして-待ち望んでも	薄暮れ-の	山々-の	~の-上-で	あなたがたの-足-が	
H0216			H5399	H2022		H7272	

לַֽעֲרָפֶל׃	וְשָׁ֥ת(ישית)	[ישית]	לְצַלְמָ֖וֶת
濃い-闇-に	そして-変える	?	死の-陰-に
H6205	H7896	H7896	H6757

主がまだやみを起されないうちに、またあなたがたの足が薄暗がりの山につまずかないうちに、あなたがたの神、主に栄光を帰せよ。さもないと、あなたがたが光を望んでいる間に、主はそれを暗黒に変え、それを暗やみとされるからである。

17

גֵּוָ֑ה	מִפְּנֵי	נַפְשִׁי	תִּבְכֶּה־	בְמִסְתָּרִים	תִּשְׁמַ֣עְוֹהָ	לֹ֣א	וְאִם֩
高慢-の	~の-前-に	わたしの-魂-は	泣く	隠れた-所-で	聞かない-なら	~ない	しかし-もし
H1466	H6440	H5315	H1058	H4565	H8085	H3808	

עֵ֣דֶר	נִשְׁבָּה	כִּי	דִמְעָ֔ה	עֵינִ֖י	וְתֵרַ֣ד	תִּדְמַ֤ע	וְדָמֹ֙עַ֙
群れ-が	捕らわれた	なぜなら	涙-が	わたしの-目-から	そして-流れる	流す	そして-涙-を
H5739	H7617		H1832		H3381	H1830	H1830

	ס	
יְהוָֽה׃	ס	
主の		
H3068		

もしあなたがたが聞かないならば、わたしの魂はひそかな所で、あなたがたの高ぶりのために悲しむ。また主の群れが、かすめられたために、わたしの目はいたく泣いて、涙を流すのである。

18

עֲטֶ֣רֶת	מֵרֹאשֹׁתֵיכֶ֔ם	יָרַד֙	כִּ֣י	שְׁב֔וּ	הַשְׁפִּ֖ילוּ	וְלִגְבִירָ֑ה	לַמֶּ֣לֶךְ	אִמְר֗וּ
冠-が	あなたがたの-頭-から	落ちた	なぜなら	座れ	低く-して	そして-母后-に	王-に	言え
H5850	H4761	H3381		H3427	H8213	H1377	H4428	H0559

תִּפְאַרְתְּכֶֽם׃
輝き-の
H8597

王と太后とに告げよ、「あなたがたは低い座にすわりなさい。麗しい冠はすでにあなたがたの頭から落ちてしまったからです」。

19

כֻּלָּ֑הּ	יְהוּדָ֖ה	הָגְלָ֣ת	פֹּתֵ֔חַ	וְאֵ֖ין	סָגְר֣וּ	הַנֶּ֔גֶב	עָרֵ֖י	
すべて-が	ユダ-は	捕らわれた	開ける-者-が	そして-ない	閉ざされた	ネゲブの	町々-は	
H3605	H3063	H1540		H0369	H5462	H5045		

	ס	
שְׁלֽוֹמִים׃	ס	
完全-に		
H7965		

הָגְלָ֥ת	
捕らわれた	
H1540	

ネゲブの町々は閉ざされて、これを開く人がない。ユダはみな捕え移される、ことごとく捕え移される。

20

אַיֵּ֖ה	מִצָּפ֑וֹן	הַבָּאִ֔ים	וּרְא֣וֹ(ראו)	[ראו]	עֵינֵיכֶ֗ם	שְׂאִ֣י(שאו)	[שאו]	
どこ-に	北-から	来る-者-たち-を	そして-見よ	?	あなたがたの-目-を	上げよ	?	
H0346	H6828	H0935	H7200	H7200		H5375	H5375	

תִּפְאַרְתֶּֽךָ׃	צֹ֔אן	לָ֣ךְ	נִתַּ֖ן־	הָעֵ֥דֶר
輝き-の	羊-は	あなた-に	与えられた	群れ-は
H8597	H6629		H5414	H5739

「目をあげて、北の方からくる者を見よ、あなたに賜わった群れ、あなたの麗しい群れはどこにいるのか。

21 מַה־ תֹּאמְרִי֙ כִּי־ יִפְקֹ֣ד עָלַ֔יִךְ וְאַתְּ֛ לִמַּ֥דְתְּ אֹתָ֖ם

何–を 言う–のか とき–に 罰する あなた–の–上–に そして–あなた–は 教えた 彼ら–を

H4100 H0559 H3644 H0270 H3808 H7218 H3925 H0853

כְּמוֹ֙ יֹאחֲזוּךְ֙ חֲבָלִ֔ים הֲלֹ֥א לְרֹ֖אשׁ אַלֻּפִ֑ים עָלָ֣יִךְ

ちょうど 捕らえる 産み–の–苦しみ–が では–ない–のか 頭–に 指導者–として あなた–の–上–に

H3644 H0270 H3808 H7218 H0802

אֵ֥שֶׁת לֵדָֽה׃

女–の 産む–とき–の–ように

H0802 H3205

彼らがあなたの親しみ慣れた人たちを、あなたの上に立ててかしらとするとき、あなたは何を言おうとするのか。あなたの苦しみは、子を産む女の苦しみのようでないであろうか。

22 וְכִ֤י תֹאמְרִי֙ בִּלְבָבֵ֔ךְ מַדּ֖וּעַ קָרָ֣אֻנִי אֵ֑לֶּה בְּרֹ֥ב עֲוֹנֵ֛ךְ

そして–もし 言う–なら あなたの–心–の–中–で なぜ 降りかかった–のか これら–が 多く–の–ゆえに

H5559 H3824 H4069 H7122 H0428 H7230

נֶחְמְס֥וּ שׁוֹלַ֖יִךְ נִגְל֥וּ עֲקֵבָֽיִךְ׃

あなたの–裾–が 露わに–なった あなたの–かかと–が

H7757 H1540 H5771 H6119

あなたが心のうちに、『どうしてこのようなことがわたしに起ったのか』というならば、あなたの罪が重いゆえに、あなたの着物のすそはあげられ、はずかしめを受けるのだ。

23 הֲיַחֲלֹ֤ף כּוּשִׁי֙ עוֹר֔וֹ וְנָמֵ֖ר חַבַּרְבֻּרֹתָ֑יו גַּם־ אַתֶּ֛ם

あなたがたも また その–斑点–を そして–豹–が その–肌–を クシュ人–が 変える–だろうか

H5246 H2272 H1571 H5785 H3569 H2015

תוּכְל֥וּ לְהֵיטִ֖יב לָמֻ֣דֵי הָרֵֽעַ׃

悪–に 慣れた–者–が 善–を–行う–こと–が できる–のか

H3928 H3190 H3201

エチオピヤびとはその皮膚を変えることができようか。ひょうはその斑点を変えることができようか。もしそれができるならば、悪に慣れたあなたがたも、善を行うことができる。

24 וַאֲפִיצֵ֕ם כְּקַ֖שׁ עוֹבֵ֣ר לְר֑וּחַ מִדְבָּֽר׃

そして–散らす 籾–の–ように 過ぎ去る 風–に 荒野–の

H7179 H7307

わたしはあなたがたを散らし、野の風に吹き散らされるもみがらのようにする。

25 זֶ֚ה גּוֹרָלֵ֔ךְ מְנָת־ מִדָּ֖יִךְ מֵאִתִּ֑י נְאֻם־ יְהוָ֔ה

これ–が あなたの–運命–である 分–である あなたの–量–の わたし–から ~と–言われる 主–は

H2088 H1486 H4490 H4055 H0854 H5002 H3068

כִּ֥י שָׁכַ֖חַתְּ אוֹתִ֑י וַתִּבְטְחִי֙ בַּשָּׁ֔קֶר׃

ところの 忘れた わたし–を そして–頼った 偽り–に

H0834 H7911 H0853 H0982 H8267

主は言われる、これがあなたに授けられた定め、わたしが量ってあなたに与える分である。あなたがわたしを忘れて、偽りを頼みとしたからだ。

26 וְגַם־ אֲנִ֥י עַל־ פָּנַ֖יִךְ שׁוֹלַ֑יִךְ וְנִרְאָ֖ה קְלוֹנֵֽךְ׃

そして–また わたし–も はぎ取った あなたの–裾–を ~の–上–に そして–見られた

H1571 H0589 H2834 H7757 H6440 H7200

あなたの–恥–が

H7036

わたしはまたあなたの着物のすそを顔まであげて、あなたの恥をあらわす。

27 נַאֲפֶיךְ וּמִצְהֲלוֹתַיִךְ זְנוּתֵךְ עַל־ גִּבְעוֹת בַּשָּׂדֶה
あなたの–姦淫–と あなたの–なみき–と 汚れ–と ~の–上–で 丘–の 野–の
H5004 H4684 H2154 H2184 H1389

רָאִיתִי שִׁקּוּצַיִךְ אוֹי לָךְ יְרוּשָׁלַ͏ִם לֹא תִטְהָרִי
見た あなたの–忌まわしい–もの–を ああ あなた–に エルサレム–よ ~ない 清く–ならない
H7200 H8251 H0188 H3389 H3808 H2891

אַחֲרֵי מָתַי עֹד׃ פ
~の–後–で いつ–まで なお
H4970 H5750

わたしはあなたの憎むべき行い、あなたの姦淫と、いななき、野の丘の上で行ったあなたのみだらな行いを見た。エルサレムよ、あなたはわざわいだ、あなたの清められるのはいつのことであろうか」。

Chapter 14

1 אֲשֶׁר הָיָה דְבַר־ יְהוָה אֶל־ יִרְמְיָהוּ עַל־ דִּבְרֵי הַבַּצָּרוֹת׃
それは あった 言葉–が 主の ~に エレミヤフ–に ~に–ついて 事–の 日照り–の
H1961 H1697 H3068 H0413 H3414 H1697 H1226

ひでりの事についてエレミヤに臨んだ主の言葉。

2 אָבְלָה יְהוּדָה וּשְׁעָרֶיהָ אֻמְלְלוּ קָדְרוּ לָאָרֶץ וְצִוְחַת
嘆いて–いる ユダ–は そして–その–門–は 衰えた 暗く–なった 地–に そして–叫び–が
H0056 H3063 H8179 H0535 H6937 H0776 H6682

יְרוּשָׁלָ͏ִם עָלָתָה׃
エルサレムの 上った
H3389 H5927

「ユダは悲しみ、その町々の門は傾き、民は地に座して嘆き、エルサレムの叫びはあがる。

3 וְאַדַּרֵיהֶם שָׁלְחוּ צעוריהם (צְעִירֵיהֶם) לַמָּיִם בָּאוּ עַל־ גֻּבִּים
そして–貴人–たち–は 遣わした 若者–たち–を 水–のために 来た ~に 水–ため–に
H0117 H7971 H6810 H6810 H4325 H0935 H1389

לֹא־ מָצְאוּ מַיִם שָׁבוּ כֵלֵיהֶם עָרוּם בֹּשׁוּ וְהָכְלְמוּ
~ない 見つからなかった 水–を 帰った 彼らの–器–は 空–の–まま 恥じた そして–辱められた
H3808 H4672 H4325 H7725 H3627 H7387 H0954 H3637

וְחָפְּוּ רֹאשָׁם׃
そして–覆った 彼らの–頭–を
H2645

その君たちは、しもべをつかわして水をくませる。彼らが井戸の所にきても、水は見つからず、むなしい器をもって帰り、恥じ、かつ当惑して、その頭をおおう。

4 אִכָּרִים בֹּשׁוּ בָּאָרֶץ גֶּשֶׁם הָיָה לֹא־ כִי חַתָּה הָאֲדָמָה בַּעֲבוּר
農夫–たち–は 恥じた 地–に 雨–が あった ~ない なぜなら 干割れた 地面–が ~の–ゆえに
H0406 H0954 H0776 H1653 H1961 H3808 H2865 H0127 H5668

חָפְּוּ רֹאשָׁם׃
覆った 彼らの–頭–を
H2645

地に雨が降らず、土が、かわいて割れたため、農夫は恥じて、その頭をおおう。

דָּשֵׁא׃	הָיָה	לֹא־	כִּי	וְעָזֻב	יָלְדָה	בַּשָּׂדֶה	אַיֶּלֶת	גַּם־	כִּי	5
草–が	なかった	~ない	なぜなら	そして–捨てた	産んだ	野–で	雌鹿–さえも	また	なぜなら	
H1877	H1961	H3808			H3205		H0365	H1571		

野にいる雌じかでさえも子を産んで、これを捨てる。草がないからである。

									6
כָּלוּ	כַּתַּנִּים	רוּחַ	שָׁאֲפוּ	שְׁפָיִם	עַל־	עָמְדוּ	וּפְרָאִים		
衰えた	山犬–の–ように	空気–を	吸った	裸の–丘–の	~の–上–に	立った	そして–野の–ろば–は		
H3615		H7307		H8205		H5975	H6501		

עֵינֵיהֶם	כִּי־	אֵין	עֵשֶׂב׃
彼らの–目–は	なぜなら	ない	草–が
		H0369	H6212

野ろばは、はげ山の上に立って、山犬のようにあえぎ、草のないために、その目はくらむ。

							7
לְמַעַן	עֲשֵׂה	יְהוָה	בָּנוּ	עָנוּ	עֲוֹנֵינוּ	אִם־	
~の–ため–に	行って–ください	主–よ	我々–に–対して	証言する	我々の–咎–が	もし	
H4616		H3068			H5771		

חָטָאנוּ׃	לְךָ	מְשׁוּבֹתֵינוּ	רַבּוּ	כִּי־	שִׁמֶךָ
罪–を–犯した	あなた–に	我々の–背き–は	多い	なぜなら	あなたの–名–の
H2398		H4878	H7231		H8034

主よ、われわれの罪がわれわれを訴えて不利な証言をしても、あなたの名のために、事をなしてください。われわれの背信の数は多く、あなたに向かって罪を犯しました。

								8
בָּאָרֶץ	כְּגֵר	תִּהְיֶה	לָּמָּה	צָרָה	בְּעֵת	מוֹשִׁיעוֹ	יִשְׂרָאֵל	מִקְוֵהּ
地–の	寻ね人–の–ように	なる–のか	なぜ	苦難–の	時–に	救い–主–よ	イスラエルの	望み–よ
H0776	H1616	H1961	H4100		H6256	H3467	H3478	

לָלוּן׃	נָטָה	וּכְאֹרֵחַ
泊まる–ために	立ち寄った	そして–旅人–の–ように
	H5186	H0732

イスラエルの望みなる主よ、悩みの時の救主よ、なぜ、あなたはこの地に住む異邦の人のようにし、また一夜の宿りのために立ち寄る旅びとのようになさらねばならないのですか。

									9
לְהוֹשִׁיעַ	יוּכַל	לֹא־	כְּגִבּוֹר	נִדְהָם	כְּאִישׁ	תִּהְיֶה	לָּמָּה		
救う–こと–が	できない	~できない	勇士–の–ように	うろたえた	人–の–ように	なる–のか	なぜ		
H3467	H3201	H3808	H1368	H1724	H0376	H1961	H4100		

נִקְרָא	עָלֵינוּ	וְשִׁמְךָ	יְהוָה	בְּקִרְבֵּנוּ	וְאַתָּה
呼ばれて–いる	我々–の–上–に	そして–あなたの–名–が	主–よ	我々の–中–に–いる	しかし–あなた–は
H7121		H8034	H3068	H7130	

ס	תַּנִּחֵנוּ׃	אַל־	
ס	見捨てる–な	~するな	
	H3240	H0408	

なぜ、あなたは、うろたえている人のようにし、また人を救いえない勇士のようになさらねばならないのですか。主よ、あなたはわれわれのうちにいらせられます。われわれは、み名によって呼ばれている者です。われわれを見捨てないでください」。

10

רַגְלֵיהֶם	לָנוּעַ	אָהֲבוּ	כֵּן	הַזֶּה	לָעָם	יְהוָה	אָמַר	כֹּה־
彼らの–足–を	さまよう–こと–を	愛した	この–ように	この	民–に	主は	言われる	こう
H7272	H5128	H0157		H2088		H3068	H0559	H3541

וְיִפְקֹד	עֲוֹנָם	יִזְכֹּר	עַתָּה	רָצָם	לֹא	וַיהוָה	חָשָׂכוּ	לֹא
そして–罰する	彼らの–咎–を	覚える	今	喜ばない	~ない	そして–主は	抑えなかった	~ない
	H5771	H2142	H6258	H7521	H3808	H3068	H2820	H3808

ס	חַטֹּאתָם׃
ס	彼らの–罪–を

この民について主はこう言われる、「彼らはこのように好んで、さまよい、その足をとどめることをしなかったので、主は彼らを喜ばず、いまそのとがを覚え、その罪を罰するのだ」。

11

לְטוֹבָה׃	הַזֶּה	הָעָם	בְּעַד־	תִּתְפַּלֵּל	אַל־	אֵלַי	יְהוָה	וַיֹּאמֶר
幸い–の–ため–に	この	民–の	~の–ため–に	祈る–な	~するな	わたし–に	主は	そして–言われた
	H2088		H1157	H6419	H0408	H0413	H3068	H0559

主はわたしに言われた、「この民のために恵みを祈ってはならない。

12

וְכִי	רִנָּתָם	אֶל־	שֹׁמֵעַ	אֵינֶנִּי	יָצֻמוּ	כִּי	
そして–たとい	彼らの–叫び–に	~に	聞かない	わたしは–~ない	断食しても	なぜなら	
	H7440	H0413	H8085	H0369	H6684		

בַּחֶרֶב	כִּי	רָצָם	אֵינֶנִּי	וּמִנְחָה	עֹלָה	יַעֲלוּ		
剣–で	なぜなら	喜ばない	わたしは–~ない	そして–穀物の–供え物–を	燔げ–物–と	お供えしても		
H2719		H7521	H0369	H4503		H5927		

ס	אוֹתָם׃	מְכַלֶּה	אָנֹכִי	וּבַדֶּבֶר	וּבָרָעָב	
ס	彼ら–を	滅ぼす	わたしは	そして–疫病–で	そして–飢饉–で	
	H0853	H3615	H0595	H1698	H7458	

彼らが断食しても、わたしは彼らの呼ぶのを聞かない。燔祭と素祭をささげても、わたしはそれを受けない。かえって、つるぎと、ききん、および疫病をもって、彼らを滅ぼしてしまう」。

13

לֹא־	לָהֶם	אֹמְרִים	הַנְּבִאִים	הִנֵּה	יְהוִה	אֲדֹנָי	אֲהָהּ	וָאֹמַר
~ない	彼ら–に	言って–いる	預言者–たち–が	見よ	主–よ	主–よ	ああ	わたしは–言った
H3808		H0559	H5030	H2009	H3069	H0136	H0162	H0559

אֱמֶת	שָׁלוֹם	כִּי־	לָכֶם	יִהְיֶה	לֹא־	וְרָעָב	חֶרֶב	תִּרְאוּ
まことの	平和–を	なぜなら	あなたがた–に–は	ない	~ない	そして–飢饉–は	剣–を	見ない
H0571	H7965			H1961	H3808	H7458	H2719	H7200

ס	הַזֶּה׃	בַּמָּקוֹם	לָכֶם	אֶתֵּן
ס	この	場所–に	あなたがた–に	与える
	H2088	H4725		H5414

わたしは言った、「ああ、主なる神よ、預言者たちはこの民に向かい、『あなたがたは、つるぎを見ることはない。ききんもこない。わたしはこの所に確かな平安をあなたがたに与える』と言っています」。

14

בִּשְׁמִי
わたしの–名–に–よって
H8034

נִבְּאִים
預言して–いる
H5012

הַנִּבְּאִים
預言者–たち–が
H5030

שֶׁקֶר
偽り–を
H8267

אֵלַי
わたし–に
H0413

יְהוָה
主は
H3068

וַיֹּאמֶר
そして–言われた
H0559

אֲלֵיהֶם
彼ら–に
H0413

דִּבַּרְתִּי
語らなかった
H1696

וְלֹא
そして–~ない
H3808

צִוִּיתִים
命じなかった
H6680

וְלֹא
そして–~ない
H3808

שְׁלַחְתִּים
わたしは–遣わさなかった
H7971

לֹא
~ない
H3808

וְתַרְמִית)
そして–欺き–と–の
H8649

ותרמות]
□

וְאֶלִיל)
そして–空しさ–と
H0457

ואלול]
□
H0434

וְקֶסֶם
そして–占い–と
H7081

שֶׁקֶר
偽り–と
H8267

חֲזוֹן
幻–の
H2377

ס
ס

לָכֶם׃
あなたがた–に

מִתְנַבְּאִים
預言して–いる
H5012

הֵמָּה
彼ら–が
H1992

לִבָּם
彼らの–心–の

主はわたしに言われた、「預言者らはわたしの名によって偽りの預言をしている。わたしは彼らをつかわさなかった。また彼らに命じたこともなく、話したこともない。彼らは偽りの黙示と、役に立たない占い、および自分の心でつくりあげた欺きをあなたがたに預言しているのだ。

15

הַנִּבְּאִים
預言して–いる
H5012

הַנִּבְּאִים
預言者–たち–に
H5030

עַל־
~に–ついて

יְהוָה
主は
H3068

אָמַר
言われる
H0559

כֹּה־
こう
H3541

לָכֵן
それゆえ

חֶרֶב
剣–と
H2719

אֹמְרִים
言って–いる
H0559

וְהֵמָּה
そして–彼ら–が
H1992

שְׁלַחְתִּים
遣わさなかった
H7971

לֹא־
~ない
H3808

וַאֲנִי
そして–わたし–は
H0589

בִּשְׁמִי
わたしの–名–に–よって
H8034

הַנִּבְּאִים
預言者–たち–は
H5030

יִתַּמּוּ
終わる
H8552

וּבָרָעָב
そして–飢饉–で
H7458

בַּחֶרֶב
剣–で
H2719

הַזֹּאת
この
H2063

בָּאָרֶץ
地–に
H0776

יִהְיֶה
ない
H1961

לֹא
~ない
H3808

וְרָעָב
そして–飢饉–は
H7458

הָהֵמָּה׃
その
H1992

それゆえ、わたしがつかわさないのに、わたしの名によって預言して、『つるぎとききんは、この地にこない』と言っているあの預言者について、主はこう仰せられる、この預言者らは、つるぎとききんに滅ぼされる。

16

בְּחֻצוֹת
通り–に
H2351

מֻשְׁלָכִים
投げ捨て–られる
H7993

יִהְיוּ
なる
H1961

לָהֶם
それら–に
H1992

נִבְּאִים
預言して–いる
H5012

הֵמָּה
彼ら–が
H1992

אֲשֶׁר־
ところの

וְהָעָם
そして–民–は

הֵמָּה
彼ら–と
H1992

לָהֶמָּה
彼ら–を
H1992

מְקַבֵּר
埋葬る–者–が
H6912

וְאֵין
そして–ない
H0369

וְהַחֶרֶב
そして–剣–の
H2719

הָרָעָב
飢饉–と
H7458

וּמִפְּנֵי
~の–前–に
H6440

יְרוּשָׁלִַם
エルサレムの
H3389

אֶת־
~を
H0853

עֲלֵיהֶם
彼ら–の–上–に

וְשָׁפַכְתִּי
そして–注ぎ出す
H8210

וּבְנֹתֵיהֶם
そして–娘–たち–を
H1323

וּבְנֵיהֶם
そして–息子–たち–と

נְשֵׁיהֶם
女たち–と
H0802

רָעָתָם׃
彼らの–悪–を

また彼らの預言を聞く民は、ききんとつるぎとによって、エルサレムのちまたに投げ捨てられる。だれもこれを葬る者はない。彼らとその妻、およびそのむすこ娘も同様である。わたしが彼らの悪をその上に注ぐからである。

17

לַיְלָה	דִּמְעָה	עֵינִי	תֵּרַדְנָה	הַזֹּה	הַדָּבָר	אֶת־	אֲלֵיהֶם	וְאָמַרְתָּ
夜–も	涙–が	わたしの–目–から	流れ下る	この	言葉–を	~を	彼ら–に	そして–言え
H3915	H1832		H3381	H2088	H1697	H0853	H0413	H0559

בַּת־	בְּתוּלַת	נִשְׁבְּרָה	גְדוֹל	שֶׁבֶר	כִּי	תִּדְמֶינָה	וְאַל־	וְיוֹמָם
娘–は	娘–は	砕かれた	大きな	砕かれた	なぜなら	止まない	そして–~ない	そして–昼–も
H1323	H1330	H7665		H7667		H1820	H0408	H3119

מְאֹד׃	נַחְלָה	מַכָּה	עַמִּי
非常–に	痛い	打ち–傷	わたしの–民–の
H3966		H4347	

この言葉を彼らに語れ、『わたしの目は夜も昼も絶えず涙を流す。わが民の娘であるおとめが大きな傷と重い打撃によって滅ぼされるからである。

18

בָּאתִי	וְאִם	חֶרֶב	חַלְלֵי־	וְהִנֵּה	הַשָּׂדֶה	יָצָאתִי	אִם־	
入る–なら	そして–もし	剣–の	剣–の–傷ついた–者–を	そして–見よ	野–に	出る–なら	もし	
H0935		H2719		H2009		H3318		

סָחֲרוּ	כֹּהֵן	גַּם־	נָבִיא	גַּם־	כִּי־	רָעָב	תַּחֲלוּאֵי	וְהִנֵּה	הָעִיר
さまよう	祭司–も	また	預言者–も	また	なぜなら	飢饉–の	飢饉–の–病–を	そして–見よ	町–に
H5503	H3548	H1571	H5030	H1571		H7458	H8463	H2009	

ס	יָדָעוּ׃	וְלֹא	אֶרֶץ	אֶל־
ס	知らない	そして–~ない	地–に	~に
	H3045	H3808	H0776	H0413

わたしが出て畑に行くと、つるぎで殺された者がある。町にはいると、ききんで病んでいる者がある。預言者も祭司も共にその地にさまよって、知るところがない』」。

19

מַדּוּעַ	נַפְשֶׁךָ	נָגְעָלָה	בְּצִיּוֹן	אִם־	יְהוּדָה	אֶת־	מָאַסְתָּ	הֲמָאֹס
なぜ	あなたの–魂–は	嫁んだ–のか	シオン–を	それとも	ユダ–を	~を	退けた–のか	まことに
H4069	H5315	H1602	H6726		H3063	H0853		

טוֹב	וְאֵין	לִשְׁלוֹם	קִוָּה	מַרְפֵּא	לָנוּ	וְאֵין	הִכִּיתָנוּ
良い–もの–が	そして–ない	平和–を	待った	癒し–が	我々–に–は	そして–ない	打った–のか
	H0369	H7965		H4832		H0369	H5221

בְעָתָה׃	וְהִנֵּה	מַרְפֵּא	וְלִעֵת	
恐れ–が	そして–見よ	癒し–の	そして–時–に	
H1205	H2009	H4832	H6256	

あなたはまったくユダを捨てられたのですか。あなたの心はシオンをきらわれるのですか。あなたはわれわれを撃ったのに、どうしていやしてはくださらないのですか。われわれは平安を望んだが、良い事はこなかった。いやされる時を望んだが、かえって恐怖が来た。

20

לָךְ׃	חָטָאנוּ	כִּי	אֲבוֹתֵינוּ	עֲוֹן	רִשְׁעֵנוּ	יְהוָה	יָדַעְנוּ
あなた–に	罪–を–犯した	なぜなら	我々の–先祖–の	咎–を	我々の–悪–を	主–よ	知って–いる
	H2398		H0001	H5771	H7562	H3068	H3045

主よ、われわれは自分の悪と、先祖のとがとを認めています。われわれはあなたに罪を犯しました。

21

כְּבוֹדֶךָ	כִּסֵּא	תְנַבֵּל	אַל־	שִׁמְךָ	לְמַעַן	תְּנַאֵץ	אַל־
あなたの–栄光–の	王座–を	辱める–な	~するな	あなたの–名–の	~の–ため–に	侵す–な	~するな
H3519	H3678		H0408	H8034	H4616	H5006	H0408

אִתָּנוּ׃	בְּרִיתְךָ	תָּפֵר	אַל־	זְכֹר
我々–と–の	あなたの–契約–を	破る–な	~するな	覚えて–ください
H0854	H1285		H0408	H2142

み名のために、われわれを捨てないでください。あなたの栄えあるみ位をはずかしめないでください。あなたがわれわれにお立てになった契約を覚えて、それを破らないでください。

22

יִתְּנוּ	הַשָּׁמַיִם	וְאִם־	מַגְשִׁמִּים	הַגּוֹיִם	בְּהַבְלֵי	הֲיֵשׁ
天–が	それとも	雨–を–降らせる–者–が	国々–の	空しい–もの–の	~の–中–に	いる–のか
H5414	H8064		H1652		H1892	H3426

וְנִקְוֶה־	אֱלֹהֵינוּ	יְהוָה	הֲלוֹא	אַתָּה־	הַלֹּא	רְבָבִים
我々の–神–よ	主–よ	それ–である	あなた–こそ	では–ない–のか	大雨–を	与える–のか
	H0430	H3068	H1931		H3808	H7241

פ	אֱלֹהֵי׃	כָּל־	אֵת־	עָשִׂיתָ	אַתָּה	כִּי־	לְךָ
פ	すべて–の–これら–を	~を	作られた	あなた–が	なぜなら	あなた–に	そして–待ち–望む
	H0428	H3605	H0853				

異邦の偽りの神々のうちに、雨を降らせうる者があるであろうか。天が自分で夕立ちを降らすことができようか。われわれの神、主よ、あなたこそ、これをなさる方ではありませんか。われわれの待ち望むのはあなたです。あなたがこれらすべてのことをなさるからです。

Chapter 15

1

וּשְׁמוּאֵל	מֹשֶׁה	יַעֲמֹד	אִם־	אֵלַי	יְהוָה	וַיֹּאמֶר	
そして–サムエル–が	モーセ–と	立った–としても	たとい	わたし–に	主は	そして–言われた	
H8050	H4872	H5975		H0413	H3068	H0559	

פָּנַי	מֵעַל־	שַׁלַּח	הַזֶּה	הָעָם	אֶל־	נַפְשִׁי	אֵין	לְפָנַי
顔–から	わたしの–~から	送り出せ	この	民–に	~に	わたしの–心–は	ない	わたしの–前–に
H6440		H7971	H2088		H0413	H5315	H0369	H6440

וְיֵצֵאוּ׃
そして–出て–行け
H3318

主はわたしに言われた、「たといモーセとサムエルとがわたしの前に立っても、わたしの心はこの民を顧みない。彼らをわたしの前から追い出し、ここを去らせよ。

2

כֹּה־	אֲלֵיהֶם	וְאָמַרְתָּ	נֵצֵא	אָנָה	אֵלֶיךָ	יֹאמְרוּ	כִּי־	וְהָיָה
こう	彼ら–に	そして–言え	出る–のか	どこ–に	あなた–に	言う–なら	もし	そして–なる
H3541	H0413	H0559	H3318	H0575	H0413	H0559		H1961

לַחֶרֶב	וַאֲשֶׁר	לַמָּוֶת	לַמָּוֶת	אֲשֶׁר	יְהוָה	אָמַר	
剣–に–定められた–者は	そして–ところの	死–に	死–に–定められた–者は	ところの	主は	言われる	
H2719		H4194	H4194		H3068	H0559	

לַשֶּׁבִי	וַאֲשֶׁר	לָרָעָב	לָרָעָב	וַאֲשֶׁר	לַחֶרֶב
捕囚–に–定められた–者は	そして–ところの	飢饉–に	飢饉–に–定められた–者は	そして–ところの	剣–に
		H7458	H7458		H2719

לַשֶּׁבִי׃
捕囚–に

もし彼らが、『われわれはどこに行けばよいのか』とあなたに尋ねるならば、彼らに言いなさい、『主はこう仰せられる、疫病に定められた者は疫病に、つるぎに定められた者はつるぎに、ききんに定められた者はききんに、とりこに定められた者はとりこに行く』。

3

לַהֲרֹג	הַחֶרֶב	אֶת־	יְהוָה	נְאֻם־	מִשְׁפָּחוֹת	אַרְבַּע	עֲלֵיהֶם	וּפָקַדְתִּי
殺す–ために	剣–を	~を	主–は	~と–言われる	種類–を	四つ–の	彼ら–の–上–に	そして–定める
H2026	H2719	H0853	H3068	H5002	H4940	H0702		

הָאָרֶץ	בְּהֵמֹת	וְאֶת־	הַשָּׁמַיִם	עוֹף	וְאֶת־	לִסְחֹב	הַכְּלָבִים	וְאֶת־
地–の	獣–を	そして–~を	空–の	鳥–を	そして–~を	引きずる–ために	犬–を	そして–~を
H0776	H0929	H0853	H8064	H5775	H0853	H5498	H3611	H0853

וְלְהַשְׁחִית׃	לֶאֱכֹל
そして–滅ぼす–ために	食う–ために
H7843	H0398

主は仰せられる、わたしは四つの物をもって彼らを罰する。すなわち、つるぎをもって殺し、犬をもってかませ、空の鳥と地の獣をもって食い滅ぼさせる。

4

מְנַשֶּׁה	בְּגִלַּל	הָאָרֶץ	מַמְלְכוֹת	לְכֹל	)לְזַעֲוָה(	]לזועה[	וּנְתַתָּים
マナセ–の	~の–ゆえ–に	地–の	王国–の	すべて–の	恐れ–の–的–と	□	そして–渡す
H4519	H1558	H0776	H4467	H3605	H2189	H2113	H5414

בִּירוּשָׁלָ‍ִם׃	עָשָׂה	אֲשֶׁר־	עַל	יְהוּדָה	מֶלֶךְ	יְחִזְקִיָּהוּ	בֶּן־
エルサレム–で	行った	ところの	~の–ゆえに	ユダの	王–の	ヒゼキヤフの	息子–の
H3389				H3063	H4428	H2396	

またユダの王ヒゼキヤの子マナセが、エルサレムでした行いのゆえに、わたしは彼らを地のすべての国が見て恐れおののくものとする。

5

יָנוּד	וּמִי	יְרוּשָׁלַ‍ִם	עָלַיִךְ	יַחְמָל	מִי־	כִּי
嘆く–のか	そして–誰–が	エルサレム–よ	あなた–に	あわれむ–のか	誰–が	なぜなら
H5110	H4310	H3389		H2550	H4310	

לָךְ׃	לִשְׁאָל	לִשְׁלֹם	יָסוּר	וּמִי	לָךְ
あなた–に	平安–を	尋ねる–ために	立ち寄る–のか	そして–誰–が	あなた–の–ために
	H7965	H7592	H5493	H4310	

エルサレムよ、だれがあなたをあわれむであろうか。だれがあなたのために嘆くであろうか。だれがふり返って、あなたの安否を問うであろうか。

6

וָאַט	תֵּלֵכִי	אָחוֹר	יְהוָה	נְאֻם־	אֹתִי	נָטַשְׁתְּ	אַתְּ
そこで–わたしは–伸ばした	歩んだ	後ろ–に	主–は	~と–言われる	わたし–を	捨てた	あなた–が
H5186	H3212	H0268	H3068	H5002	H0853	H5203	

הַנָּחֵם׃	נִלְאֵיתִי	וָאַשְׁחִיתֵךְ	עָלַיִךְ	יָדִי	אֶת־
悔やむ–こと–に	疲れた	そして–滅ぼした	あなた–の–上–に	わたしの–手–を	~を
H5162	H3811	H7843		H3027	H0853

主は言われる、あなたはわたしを捨てた。そしてますます退いて行く。それゆえ、わたしは手を伸べてあなたを滅ぼした。わたしはあわれむことには飽きた。

7

עַמִּי	אֶת־	אִבַּדְתִּי	שִׁכַּלְתִּי	הָאָרֶץ	בִּשַׁעֲרֵי	בְּמִזֵּרָה	וָאֲזָרֵם
わたしの–民–を	~を	滅ぼした	子–を–失わせた	地–の	門–で	篩–で	そして–篩った
	H0853	H0006		H0776	H8179	H4214	H2219

שָׁבוּ׃	לוֹא־	מִדַּרְכֵיהֶם
立ち返らなかった	~ない	彼らの–道–から
H7725	H3808	H1870

わたしはこの地の門で、箕で彼らをあおぎ分けた。彼らがその道を離れなかったので、わたしは彼らの子を奪い、わが民を滅ぼした。

עָצְמוּ־ 増えた
לִי わたし–にとって
אַלְמְנֹתָו その–未亡人–は
מֵחֹול 海–の–砂–よりも
יַמִּים 海–の
הֵבֵאתִי もたらした
לָהֶם 彼ら–に
עַל־ ~の–上–に
8

וּבֶהָלוֹת: そして–恐怖–を
עִיר 町–と
פִּתְאֹם 突然
עָלֶיהָ 彼女–の–上–に
הִפַּלְתִּי 落とした
בָּצָהֳרַיִם 真昼–に
שֹׁדֵד 略奪者–を
בָּחוּר 若者–の
אֵם 母–の

わたしは彼らの寡婦の数を浜べの砂よりも多くした。わたしは真昼に、滅ぼす者を連れてきて、若者らの母たちをせめ、驚きと恐れを、にわかに母たちにおこした。

שִׁמְשָׁהּ 彼女の–太陽–は
בָּא(沈んだ
]באה[
נַפְשָׁהּ 彼女の–息–は
נָפְחָה 尽きた
הַשִּׁבְעָה 七–人–の
יֹלֶדֶת 産んだ–者–は
אֻמְלְלָה 衰えた
9

לִפְנֵי ~の–前–に
אֶתֵּן 渡す
לַחֶרֶב 剣–に
וּשְׁאֵרִיתָם そして–その–残り–を
וְחָפְרָה そして–汗–が–出た
בּוֹשָׁה 恥じた
יוֹמָם 昼–の
בְּעַד ~の–うち–に

סּ
יְהוָה: 主–は
נְאֻם־ ~と–言われる
אֹיְבֵיהֶם 彼らの–敵–の

七人の子を産んだ女は、弱り衰えて、息絶え、まだ昼であったが、彼女の日は没した。彼女は恥じ、うろたえた。その残りの者は、これを敵のつるぎに渡すと主は言われる」。

וְאִישׁ そして–人–として
רִיב 争い–の
אִישׁ 人–として
יְלִדְתַּנִי 産んだ–のか
כִּי なぜなら
אִמִּי わたしの–母–よ
לִי わたし–に
אֹוי־ ああ
10

בִּי わたし–に
נָשֹׁוּ־ 借りた–ことも–ない
וְלֹא־ そして–~ない
נָשִׁיתִי 貸した–ことは–ない
לֹא־ ~ない
הָאָרֶץ 地–に
לְכָל־ すべて–の
מָדֹון 口論–の

סּ
מְקַלְלַנִי: 呪う
כֻּלֹּה 皆–が

ああ、わたしはわざわいだ。わが母よ、あなたは、なぜ、わたしを産んだのか。全国の人はわたしと争い、わたしを攻める。わたしは人に貸したこともなく、人に借りたこともないのに、皆わたしをのろう。

וְלֹוא ~ない
אִם־ たしかに
לְטֹוב 幸い–の–ため–に
שֵׁרִיתִיךָ(解放した
]שרותך[
לֹא ~ない
אִם־ たしかに
יְהוָה 主は
אָמַר 言われた
11

הָאֹיֵב: 敵–と–の
אֶת־ ~と
צָרָה 苦難–の
וּבְעֵת そして–時–に
רָעָה 災い–の
בְּעֵת־ 時–に
בְּךָ あなた–の–ために
הִפְגַּעְתִּי とりなした

主よ、もしわたしが彼らの幸福をあなたに祈り求めず、また敵のため、その悩みのときと、災のときに、わたしがあなたにとりなしをしなかったのであれば、彼らののろいも、やむをえないでしょう。

וּנְחֹשֶׁת: そして–青銅–を
מִצָּפֹון 北–から–の
בַּרְזֶל 鉄–を
וּבַרְזֶל 鉄–が
הֲיֻרַע 砕ける–のか
12

人は鉄を、北からくる鉄や青銅を砕くことができましょうか。

13

וּבְכָל־	בְּמְחִיר	לֹא	אֶתֵּן	לָבֵז	וְאוֹצָרוֹתֶיךָ	חֵילֶךָ
そして–すべて–の	代価–なしに	~ない	渡す	略奪–に	そして–あなたの–宝–を	あなたの–財産–と
H3605	H4242	H3808	H5414	H0957	H0214	H2428

גְּבוּלֶיךָ׃	וּבְכָל־	חַטֹּאותֶיךָ
あなたの–境–に–ある	そして–すべて–の	あなたの–罪–の–ゆえに
H1366	H3605	

「わたしはあなたの富と宝を、ぶんどり物として他に与える。代価を受けることはできない。それはあなたのすべての罪によるので、領域内のいたる所にこのことが起る。

14

קָדְחָה	אֵשׁ	כִּי־	יָדַעְתָּ	לֹא	בְּאֶרֶץ	אֹיְבֶיךָ	אֶת־	וְהַעֲבַרְתִּי
燃えた	火–が	なぜなら	知らない	~ない	地–に	あなたの–敵–と–共に	~を	そして–渡らせる
H6919	H0784		H3045	H3808	H0776	H0341	H0853	

ס	תּוּקָד׃	עֲלֵיכֶם	בְּאַפִּי
ס	燃える	あなたがた–の–上–に	わたしの–怒り–に–よって
	H3344		H0639

わたしはあなたの知らない地で、あなたの敵に仕えさせる。わたしの怒りによって火は点じられ、いつまでも燃え続けるからである」。

15

וּפָקְדֵנִי	זָכְרֵנִי	יְהוָה	יָדַעְתָּ	אַתָּה
そして–顧みて–ください	覚えて–ください	主–よ	知って–おられる	あなた–は
	H2142	H3068	H3045	

אַפְּךָ	לְאֶרֶךְ	אַל־	מֵרֹדְפַי	לִי	וְהִנָּקֵם
あなたの–怒り–の	気長に	~するな	わたしの–追う–者–に	わたし–の–ために	そして–復讐して–ください
H0639	H0750	H0408	H7291		H5358

חֶרְפָּה׃	עָלֶיךָ	שָׂאֵתִי	דַּע	תִּקָּחֵנִי
辱め–を	あなたの–ために	わたしが–負った	知って–ください	取り去る–な
H2781		H5375	H3045	H3947

主よ、あなたは知っておられます。わたしを覚え、わたしを顧みてください。わたしを迫害する者に、あだを返し、あなたの寛容によって、わたしを取り去らないでください。わたしがあなたのために、はずかしめを受けるのを知ってください。

16

לִי	דְּבָרְךָ)	דברין]	וַיְהִי	וָאֹכְלֵם	דְּבָרֶיךָ	נִמְצְאוּ
わたし–に	あなたの–言葉–は	□	そして–なった	そして–食べた	あなたの–言葉–が	見つかった
	H1697	H1697	H1961	H0398	H1697	H4672

יְהוָה	עָלַי	שִׁמְךָ	נִקְרָא	כִּי־	לִבִּי	וּלְשִׂמְחַת	לְשָׂשׂוֹן
主–よ	わたし–の–上–に	あなたの–名–が	呼ばれて–いる	なぜなら	心–の	そして–楽しみ–と	喜び–と
H3068		H8034	H7121		H3824	H8057	H8342

ס	צְבָאוֹת׃	אֱלֹהֵי	
ס	万軍–の	神–よ	
		H0430	

わたしはみ言葉を与えられて、それを食べました。み言葉は、わたしに喜びとなり、心の楽しみとなりました。万軍の神、主よ、わたしは、あなたの名をもってとなえられている者です。

17

יָדֶךָ	מִפָּנֶיךָ	וָאֶעְלֹז	מְשַׂחֲקִים	בְּסוֹד־	יָשָׁבְתִּי	לֹא־	
あなたの–手–の	~の–前–に	そして–喜ばなかった	笑う–者–たち–の	集い–に	座らなかった	~ない	
H3027	H6440	H5937	H7832	H5475	H3427	H3808	

ס	מִלֵּאתָנִי׃	זַעַם	כִּי־	יָשַׁבְתִּי	בָּדָד	
ס	満たした	怒り–で	なぜなら	座った	ひとり–で	
	H4390	H2195		H3427	H0910	

わたしは笑いさざめく人のつどいにすわることなく、また喜ぶことをせず、ただひとりですわっていました。あなたの手がわたしの上にあり、あなたが憤りをもってわたしを満たされたからです。

מֻאָנָה֙	אֲנוּשָׁ֔ה	וּמַכָּתִ֖י	נֶצַח֙	כְּאֵבִ֔י	הָיָ֥ה	לָּמָּ֛ה		18
拒んだ	癒えない	そして–わたしの–傷–は	永遠–に	わたしの–痛み–が	なった–のか	なぜ		
H3985	H0605	H4347	H5331	H3511	H1961	H4100		

מַ֔יִם	אַכְזָ֖ב	כְּמ֥וֹ	לִ֛י	תִּהְיֶ֥ה	הָיוֹ֙	הֵרָפֵ֣א	
水–の	当てにならない–川–の–ように	ちょうど	わたし–に	なる–のか	まことに	癒される–こと–を	
H4325	H0391	H3644		H1961	H1961	H7495	

ס	נֶאֱמָנֽוּ׃	לֹ֥א
ס	信頼できない	~ない
	H0539	H3808

どうしてわたしの痛みは止まらず、傷は重くて、なおらないのですか。あなたはわたしにとって、水がなくて人を欺く谷川のようになられるのですか。

לְפָנַ֔י	וַאֲשִׁיבֶ֑ךָּ	תָּשׁ֖וּב	אִם־	יְהוָ֥ה	אָמַ֛ר	כֹּה־	לָכֵ֗ן	19
わたしの–前–に	わたしは–立ち返らせる	立ち返る–なら	もし	主は	言われる	こう	それゆえ	
H6440	H7725	H7725		H3068	H0559	H3541		

כְּפִ֔י	מִזּוֹלֵ֖ל	יָקָ֥ר	תּוֹצִ֛יא	וְאִם־	תַּעֲמֹ֑ד	
わたしの–口–の–ように	卓しい–もの–から	尊い–もの–を	取り出す–なら	そして–もし	立つ–だろう	
H6310		H3368	H3318		H5975	

אֲלֵיהֶ֖ם׃	תָּשׁ֥וּב	לֹא־	וְאַתָּ֛ה	אֵלֶ֔יךָ	הֵ֣מָּה	יָשֻׁ֗בוּ	תִּהְיֶֽה׃	
彼ら–に	立ち返らない	~ない	しかし–あなた–は	あなた–に	彼ら–が	立ち返る–だろう	なる–だろう	
H0413	H7725	H3808		H0413	H1992	H7725	H1961	

それゆえ主はこう仰せられる、「もしあなたが帰ってくるならば、もとのようにして、わたしの前に立たせよう。もしあなたが、つまらないことを言うのをやめて、貴重なことを言うならば、わたしの口のようになる。彼らはあなたの所に帰ってくる。しかしあなたが彼らの所に帰るのではない。

וְנִלְחֲמ֥וּ	בְצוּרָ֛ה	נְחֹ֥שֶׁת	לְחוֹמַ֖ת	הַזֶּ֑ה	לָעָ֣ם	וּנְתַתִּ֔יךָ		20
そして–戦う–だろう	堅固な	青銅–の	城壁–と	この	民–に–対して	そして–わたしは–する		
	H1219		H2346	H2088		H5414		

אֲנִ֖י	אִתְּךָ֑	כִּי־	לָ֣ךְ	יִוכְל֔וּ	וְלֹא־	אֵלֶ֖יךָ	
わたし–が–いる	あなた–と–共に	なぜなら	あなた–には	勝てない	しかし–~ない	あなた–に–対して	
H0589	H0854			H3201	H3808	H0413	

יְהוָֽה׃	נְאֻם־	וּלְהַצִּילֶ֖ךָ	לְהוֹשִׁיעֲךָ֥	
主–は	~と–言われる	そして–助ける–ために	救う–ために	
H3068	H5002	H5337	H3467	

わたしはあなたをこの民の前に、堅固な青銅の城壁にする。彼らがあなたを攻めても、あなたに勝つことはできない。わたしがあなたと共にいて、あなたを助け、あなたを救うからであると、主は言われる。

פ	עָרִצִֽים׃	מִכַּ֖ף	וּפְדִתִ֑יךָ	רָעִ֔ים	מִיַּ֣ד	וְהִצַּלְתִּ֖יךָ		21
פ	暴君–の	掌–から	そして–贖う	悪しき–者–の	手–から	そして–助ける		
	H6184	H3709	H6299		H3027	H5337		

わたしはあなたを悪人の手から救い、無慈悲な人の手からあがなう」。

Chapter 16

לֵאמֹֽר׃	אֵלַ֖י	יְהוָ֥ה	דְּבַר־	וַיְהִ֥י	1
言って	わたし–に	主の	言葉–が	そして–あった	
H0559	H0413	H3068	H1697	H1961	

主の言葉はまたわたしに臨んだ、

2
לְךָ֙ יִהְיוּ֙ וְלֹא־ אִשָּׁה֙ לְךָ֔ תִּקַּ֖ח לֹא־
あなた–に あっては–ならない そして–~ない 妻–を あなたの–ために めとる–な ~するな
H1961 H3808 H0802 H3947 H3808

הַזֶּ֑ה׃ בַּמָּקוֹם֙ וּבָנ֣וֹת בָּנִ֔ים
この 場所–に そして–娘–たち–も 息子–たち–も
H2088 H4725 H1323

「あなたはこの所で妻をめとってはならない。またむすこ娘を持ってはならない。

3
הַבָּנוֹת֙ וְעַל־ הַבָּנִ֔ים עַל־ יְהוָ֖ה אָמַ֣ר וְכֹ֤ה כִּי־
娘–たち–に そして–~に–ついて 息子–たち–に ~に–ついて 主は 言われる こう なぜなら
H1323 H3068 H0559 H3541

אוֹתָ֑ם הַיֹּלְדוֹת֙ אִמּוֹתָ֔ם וְעַל־ הַזֶּ֔ה בַּמָּקוֹם֙ הַיֹּלְדִ֣ים
彼ら–を 産んだ 彼らの–母–たち–に そして–~に–ついて この 場所–に 生まれた
H0853 H3205 H0517 H2088 H4725 H3205

הַזֹּ֔את׃ בָּאָ֣רֶץ אוֹתָ֑ם הַמּוֹלִדִ֣ים אֲבוֹתָ֔ם וְעַל־
この 地–に 彼ら–を 生ませた 彼らの–父–たち–に そして–~に–ついて
H2063 H0776 H0853 H3205 H0001

この所で生れるむすこ娘と、この地でこれを産む母たちと、これを生む父たちとについて主はこう言われる、

4
עַל־ לְדֹמֶן֙ יִקָּבְר֣וּ וְלֹ֣א יִסָּפְד֗וּ לֹ֤א יָמֻ֙תוּ֙ תַּחֲלֻאִ֔ים מְמוֹתֵ֖י
~の–上–に 糞–の–ように 埋葉られない そして–~ない 嘆かれない ~ない 死ぬ 病–の 死–で
H1828 H6912 H3808 H5594 H3808 H4191 H8463 H4463

לְמַאֲכָ֔ל נִבְלָתָם֙ וְהָיְתָ֣ה יִכְלֽוּ׃ וּבְרָעָ֑ב וּבַחֶ֖רֶב יִהְיֽוּ֙ הָאֲדָמָ֣ה פְּנֵי־
食物–と 彼らの–死体–が そして–なる 終わる そして–飢饉–で そして–剣–で なる 地–の 面–の
H3978 H5038 H1961 H3615 H7458 H2719 H1961 H0127 H6440

ס ס
הָאָ֔רֶץ׃ וּלְבֶהֱמַ֣ת לְעֹ֤וף הַשָּׁמַ֙יִם֙
地–の そして–獣–の–ために 空–の 鳥–の–ため–に
H0776 H0929 H8064 H5775

彼らは死の病にかかって死に、哀悼する者もなく、埋葬する者もなく、地のおもてに、糞土のようになる。またつるぎと、ききんに滅ぼされて、その死体は空の鳥と地の獣の食い物となる。

5
כִּי־ כֹ֤ה אָמַ֙ר֙ יְהוָ֔ה אֶל־ תָּבוֹא֙ בֵּ֣ית וְאַל־
なぜなら こう 言われる 主は ~するな 入る–な 家–に そして–~するな
H3541 H0559 H3068 H0935 H0408 H1065 H0408

אֶת־ אָסַ֤פְתִּי כִּי־ לָהֶם֙ תָּנֻ֣ד תֵּלֵ֔ךְ וְאַל־ לִסְפּ֖וֹד
~を 取り去った なぜなら 彼ら–の–ために 悲しむ–な そして–~するな 嘆く–ために 行く–な
H0853 H0622 H5110 H0408 H5594 H3212

וְאֶת־ הַחֶ֣סֶד אֶת־ יְהוָ֔ה נְאֻם־ הַזֶּ֔ה הָעָ֖ם מֵאֶ֣ת שְׁלוֹמִ֑י
そして–~を 恵み–を ~を 主–は ~と–言われる この 民–から ~から わたしの–平和–を
H0853 H0853 H3068 H5002 H2088 H0854 H7965

הָרַחֲמִֽים׃
あわれみ–を

主はこう言われる、喪のある家に、はいってはならない。また行って、それを悲しみ嘆いてはならない。わたしがこの民からわたしの平安と、いつくしみと、あわれみとを取り去ったからであると、主は言われる。

6

וְלֹא־ そして–~ない H3808
יִקָּבְרוּ 埋葬られない H6912
לָא ~ない H3808
הַזֹּאת この H2063
בָּאָרֶץ 地–に H0776
וּקְטַנִּים そして–小さい–者–も
גְּדֹלִים 大きい–者–も
וּמֵתוּ そして–死ぬ H4191

יִקָּרֵחַ 剃り–上げない H7139
וְלֹא そして–~ない H3808
יִתְגֹּדַד 切り–傷を–つけない H1413
וְלֹא そして–~ない H3808
לָהֶם 彼ら–の–ために H1992
יִסְפְּדוּ 嘆かれない H5594

לָהֶם׃ 彼ら–の–ために H1992

大いなる者も小さき者も、この地に死ぬ。彼らは葬られず、また彼らのために悲しむ者もなく、自分の身を傷つける者もなく、髪をそる者もない。

7

לְנַחֲמוֹ 慰める–ために H5162
אֵבֶל 喪–に–ついて H0060
עַל־ ~に–ついて
לָהֶם 彼ら–の–ために
יִפְרְסוּ 分かち–合わない H6536
וְלֹא־ そして–~ない H3808

אָבִיו 彼の–父–に H0001
עַל־ ~に–ついて
תַּנְחוּמִים 慰め–の H8575
כּוֹס 杯–を
אוֹתָם 彼ら–に H0853
יַשְׁקוּ 飲ませない H8248
וְלֹא־ そして–~ない H3808
מֵת 死者–に H4191
עַל־ ~に–ついて

אִמּוֹ׃ 彼の–母–に H0517
וְעַל־ そして–~に–ついて

悲しむ者のためにパンをさいて、死者のためにこれを慰める者はなく、また父あるいは母のために慰めの杯をこれに与えて飲ませる者もない。

8

וְלִשְׁתּוֹת׃ そして–飲む–ために H8354
לֶאֱכֹל 食べる–ために H0398
אוֹתָם 彼ら–と H0853
לָשֶׁבֶת 座る–ために H3427
תָּבוֹא 入る–な H0935
לֹא־ ~ない H3808
מִשְׁתֶּה 宴–の H4960
וּבֵית־ そして–家–に

ס
ס

またあなたは宴会をする家にはいって、人々と共にすわって食い飲みしてはならない。

9

מִן־ ~から
מַשְׁבִּית 絶つ
הִנְנִי 見よ–わたしは H2009
יִשְׂרָאֵל イスラエルの H3478
אֱלֹהֵי 神は H0430
צְבָאוֹת 万軍–の H6635
יְהוָה 主は H3068
אָמַר 言われる H0559
כֹּה こう H3541
כִּי־ なぜなら

וְקוֹל そして–声–を
שָׂשׂוֹן 喜び–の H8342
קוֹל 声–を
וּבְימֵיכֶם そして–あなたがたの–日–に H3117
לְעֵינֵיכֶם あなたがたの–目–の–前–で
הַזֶּה この H2088
הַמָּקוֹם 場所–から H4725

כַּלָּה׃ 花嫁–の H3618
וְקוֹל そして–声–を
חָתָן 花婿–の H2860
קוֹל 声–を
שִׂמְחָה 楽しみ–の H8057

万軍の主、イスラエルの神はこう言われる、見よ、あなたの目の前で、あなたのなおこの世にいる間に、わたしは喜びの声と楽しみの声、花婿の声と花嫁の声とをこの所に絶やしてしまう。

10

הָאֵלֶּה	הַדְּבָרִים	כָּל־	אֶת	הַזֶּה	לָעָם	תַּגִּיד	כִּי	וְהָיָה	
これら–の	言葉–を	すべて–の	~を	この	民–に	告げる–なら	とき	そして–なる	
H0428	H1697	H3605	H0853	H2088		H5046		H1961	

אֵת	עָלֵינוּ	יְהוָה	דִּבֶּר	מֶה	עַל־	אֵלֶיךָ	וְאָמְרוּ	
~を	我々–に–対して	主は	語った–のか	何–ゆえに	~に–ついて	あなた–に	そして–言う–だろう	
H0853		H3068	H1696	H4100		H0413	H0559	

חַטָּאתֵנוּ	וּמֶה	עֲוֹנֵנוּ	וּמֶה	הַזֹּאת	הַגְּדוֹלָה	הָרָעָה	כָּל־	
我々の–罪–なのか	そして–何–が	我々の–咎–なのか	そして–何–が	この	大きな	災い–を	すべて–の	
	H4100	H5771	H4100	H2063			H3605	

אֱלֹהֵינוּ׃	לַיהוָה	חָטָאנוּ	אֲשֶׁר
我々の–神–に	主–に	罪–を–犯した	ところの
H0430	H3068	H2398	

あなたがこのすべての言葉をこの民に告げるとき、彼らがあなたに尋ねて、『主がわれわれにこの大きな災を宣告されるのはどうしてですか。われわれにどんな悪い所があるのですか。われわれの神、主にそむいて、われわれが犯した罪とはなんですか』と言うならば、

11

אוֹתִי	אֲבוֹתֵיכֶם	עָזְבוּ	אֲשֶׁר־	עַל־	אֲלֵיהֶם	וְאָמַרְתָּ		
わたし–を	あなたがたの–先祖–が	捨てた	ところの	~の–ゆえに	彼ら–に	そして–言え		
H0853	H0001				H0413	H0559		

וַיִּשְׁתַּחֲווּ	וַיַּעַבְדוּם	אֲחֵרִים	אֱלֹהִים	אַחֲרֵי	וַיֵּלְכוּ	יְהוָה	נְאֻם־	
そして–ひれ伏した	そして–仕えた	他–の	神々–の	~の–後–に	そして–行った	主–は	~と–言われる	
H7812	H5647	H0312	H0430		H3212	H3068	H5002	

שָׁמָרוּ׃	לֹא	תּוֹרָתִי	וְאֶת־	עָזָבוּ	וְאֹתִי	לָהֶם	
守らなかった	~ない	わたしの–律法–を	そして–~を	捨てた	そして–わたし–を	それら–に	
H8104	H3808	H8451	H0853		H0853		

あなたは彼らに答えなければならない、『主は仰せられる、それはあなたがたの先祖がわたしを捨てて他の神々に従い、これに仕え、これを拝し、またわたしを捨て、わたしの律法を守らなかったからである。

12

מֵאֲבוֹתֵיכֶם	לַעֲשׂוֹת	הֲרֵעֹתֶם	וְאַתֶּם	
先祖–たち–よりも	行う–こと–に–おいて	いっそう–悪く–行った	そして–あなたがた–は	
H0001				

הָרָע	לִבּוֹ־	שְׁרִרוּת	אַחֲרֵי	אִישׁ	הֹלְכִים	וְהִנֵּכֶם
悪い	心–の	頑な–さ–の	~の–後–に	各自–が	歩いて–いる	そして–見よ–あなたがた–は
		H8307		H0376	H1980	H2009

אֵלָי׃	שְׁמֹעַ	לִבְלְתִּי
わたし–に	聞く–こと–を	聞かない–ように
H0413	H8085	H1115

あなたがたは、あなたがたの先祖よりも、いっそう悪いことをした。見よ、あなたがたはおのおの自分の悪い強情な心に従い、わたしに聞き従うことはしない。

13

לֹא	אֲשֶׁר	הָאָרֶץ	עַל־	הַזֹּאת	הָאָרֶץ	מֵעַל	אֶתְכֶם	וְהִטַלְתִּי	
~ない	ところの	地–の	~の–上–に	この	地–から	~の–上–から	あなたがた–を	そして–投げ出す	
H3808		H0776		H2063	H0776		H0853	H2904	

אֱלֹהִים	אֶת־	שָׁם	וַעֲבַדְתֶּם־	וַאֲבוֹתֵיכֶם	אַתֶּם	יְדַעְתֶּם
神々–に	~を	そこ–で	そして–仕える–だろう	そして–あなたがたの–先祖–も	あなたがた–も	知らない
H0430	H0853	H8033	H5647	H0001		H3045

ס	חֲנִינָה׃	לָכֶם	אֶתֵּן	לֹא־	אֲשֶׁר	וְלַיְלָה	יוֹמָם	אֲחֵרִים
ס	恵み–を	あなたがた–に	与えない	~ない	ところの	そして–夜–も	昼–も	他–の
	H2594		H5414	H3808		H3915	H3119	H0312

それゆえ、わたしはあなたがたをこの地より追い出し、あなたがたも、あなたがたの先祖も知らない地に行かせる。その所であなたがたは昼夜、ほかの神々に仕えるようになる。これはわたしがあなたがたにあわれみを示さないからである』と。

14

לָכֵן	הִנֵּה־	יָמִים	בָּאִים	נְאֻם־	יְהוָה	וְלֹא־	יֵאָמֵר	עוֹד
それゆえ	見よ	日々-が	来る	~と-言われる	主-は	そして-~ない	言われなく-なる	もはや
	H2009	H3117	H0935	H5002	H3068	H3808	H0559	H5750

חַי־	יְהוָה	אֲשֶׁר	הֶעֱלָה	אֶת־	בְּנֵי	יִשְׂרָאֵל	מֵאֶרֶץ
主-は-生きて-おられる	主-は	ところの	導き-上った	~を	子ら-を	イスラエルの	地-から
	H3068		H5927	H0853		H3478	H0776

מִצְרָיִם׃
エジプトの
H4714

主は言われる、それゆえ、見よ、こののち『イスラエルの民をエジプトの地から導き出した主は生きておられる』とは言わないで、

15

כִּי	אִם־	חַי־	יְהוָה	אֲשֶׁר	הֶעֱלָה	אֶת־	בְּנֵי
そうではなく	そうではなく	主-は-生きて-おられる	主-は	ところの	導き-上った	~を	子ら-を
			H3068		H5927	H0853	

יִשְׂרָאֵל	מֵאֶרֶץ	צָפוֹן	וּמִכֹּל	הָאֲרָצוֹת	אֲשֶׁר	הִדִּיחָם	שָׁמָּה
イスラエルの	地-から	北-の	そして-すべて-から	地々-から	ところの	追い散らした	そこ-に
H3478	H0776	H6828	H3605	H0776		H5080	H8033

וַהֲשִׁבֹתִים	עַל־	אַדְמָתָם	אֲשֶׁר	נָתַתִּי	לַאֲבוֹתָם׃	ס	ס
そして-帰らせる	~の-上-に	彼らの-土地-の	ところの	わたしが-与えた	彼らの-先祖-に		
H7725		H0127		H5414	H0001		

『イスラエルの民を北の国と、そのすべて追いやられた国々から導き出した主は生きておられる』という日がくる。わたしが彼らを、その先祖に与えた彼らの地に導きかえすからである。

16

וְדָיְגוּם	יְהוָה	נְאֻם־	רַבִּים	לְדַיָּגִים(	]לדוגים[	שִׁלֵּחַ	הִנְנִי
そして-漁る	主-は	~と-言われる	多く-の	漁師-たち-を)		遣わす	見よ-わたしは
H1770	H3068	H5002		H1771	H1728	H7971	H2009

כָּל־	מֵעַל	וְצָדּُום	צַיָּדִים	לְרַבִּים	אֶשְׁלַחְ	כֵּן	וְאַחֲרֵי־
すべて-の	~の-上-から	そして-狩る	猟師-たち-を	多く-の	遣わす	そう	そして-~の-後-に
H3605			H6719		H7971		

הַסְּלָעִים׃	וּמִנְּקִיקֵי	גִּבְעָה	כָּל־	וּמֵעַל	הַר
岩-の	そして-岩-の-裂け目-から	丘-の	すべて-の	そして-~の-上-から	山-の
H5553	H5357	H1389	H3605		H2022

主は言われる、見よ、わたしは多くの漁夫を呼んできて、彼らをすなどらせ、また、そののち多くの猟師を呼んできて、もろもろの山、もろもろの丘、および岩の裂け目から彼らをかり出させる。

17

נִסְתָּרוּ	לֹא	דַרְכֵיהֶם	כָּל־	עַל־	עֵינַי	כִּי
隠れて-いない	~ない	彼らの-道-の	すべて-の	~の-上-に	わたしの-目-は	なぜなら
H5641	H3808	H1870	H3605			

עֵינָי׃	מִנֶּגֶד	עָוֹנָם	נִצְפָּן	וְלֹא־	מִלְּפָנַי
わたしの-目-の	~の-前-から	彼らの-咎-は	隠れて-いない	そして-~ない	わたしの-前-から
	H5048	H5771	H6845	H3808	H6440

わたしの目は彼らのすべての道を見ているからである。みなわたしに隠れてはいない。またその悪はわたしの目に隠れることはない。

18 וְשִׁלַּמְתִּי רִאשֹׁנָה מִשְׁנֶה עֲוֹנָם וְחַטָּאתָם עַל חַלְלָם
そして–報いる 最初–に 倍–の 彼らの–咎–を そして–彼らの–罪–を ~の–ゆえに 汚した–こと–の
H7223 H4932 H5771

בְּנִבְלַת שִׁקּוּצַיהֶם וְתוֹעֲבוֹתֵיהֶם מָלְאוּ אֶת־אַרְצִי
~の–死体–で 彼らの–忌まわしい–もの–の そして–彼らの–忌むべき–もの–の わたしの–地–を
H5038 H8251 H8441 H0776

נַחֲלָתִי׃ ס אֶת־ נָתְנוּ
わたしの–嗣業–を ~を 満たした
H5159 H0853 H4390

わたしはその悪とその罪の報いを二倍にする。彼らがその忌むべき偶像の死体をもって、わたしの地を汚し、その憎むべきものをもって、わたしの嗣業を満たしたからである」。

19 יְהוָה עֻזִּי וּמְעֻזִּי וּמְנוּסִי בְּיוֹם צָרָה
主–よ わたしの–力–よ そして–わたしの–砦–よ そして–わたしの–逃れ場–よ 日–に 苦難–の
H3068 H5797 H4581 H4498 H3117

אֵלֶיךָ גּוֹיִם יָבֹאוּ מֵאַפְסֵי־ אָרֶץ וְיֹאמְרוּ אַךְ־ שֶׁקֶר
あなた–に 国々–が 来る–だろう ~から 地–の–果て–から そして–言う–だろう ただ 偽り–を
H0413 H0935 H0430 H0776 H0559 H0389 H8267

נָחֲלוּ אֲבוֹתֵינוּ הֶבֶל וְאֵין־ בָּם מוֹעִיל׃
受け継いだ 我々の–先祖–は 空しさ–を そして–ない それら–に–は 益–が
H5157 H0001 H1892 H0369 H3276

主、わが力、わが城、悩みの時の、のがれ場よ、万国の民は地の果からあなたのもとにきて申します、「われわれの先祖が受け嗣いだのは、ただ偽りと、役に立たないつまらない事ばかりです。

20 הֲיַעֲשֶׂה־ לּוֹ אָדָם אֱלֹהִים וְהֵמָּה לֹא אֱלֹהִים׃
作る–のか 自分–の–ために 人–が 神々–を しかし–それら–は ~ない 神–では–ない
H6213 H0120 H0430 H1992 H3808 H0430

人が自分で神々を造ることができましょうか。そういうものは神ではありません」。

21 לָכֵן הִנְנִי מוֹדִיעָם הַפַּעַם אֹתָם אוֹדִיעֵם יָדִי וְאֶת־
それゆえ 見よ–わたしは 知らせる この–回 知らせる この 手–を ~を そして–~を
H3651 H2009 H3045 H6471 H3045 H2063 H3027 H0853 H0853

וְיָדְעוּ כִּי־ שְׁמִי יְהוָה׃ ס
そして–知る–だろう ということ–を わたしの–名–が 主–である–と ס
H3045 H3588 H8034 H3068

גְּבוּרָתִי
わたしの–力–を
H1369

「それゆえ、見よ、わたしは彼らに知らせよう。すなわち、この際わたしの力と、わたしの勢いとを知らせよう。彼らはわたしの名が、主であることを知るようになる」。

Chapter 17

1 חַטַּאת יְהוּדָה כְּתוּבָה בְּעֵט בַּרְזֶל בְּצִפָּרֶן שָׁמִיר חֲרוּשָׁה עַל־ לוּחַ
罪–は ユダの 記されている 筆–で 鉄の 先端–で 金剛石の 刻まれている 上–に 板
H2403 H3063 H3789 H5842 H1270 H6856 H8068 H2747 H5921 H3871

לִבָּם וּלְקַרְנוֹת מִזְבְּחוֹתֵיכֶם׃
彼らの–心の 角–にも あなたがたの–祭壇の
H4196

「ユダの罪は、鉄の筆、金剛石のとがりをもってしるされ、彼らの心の碑と、祭壇の角に彫りつけられている。

2

רַעֲנָן	עֵץ	עַל־	וַאֲשֵׁרֵיהֶם	מִזְבְּחוֹתָם	בְּנֵיהֶם	כְּזָכְרָ
青々とした	木	かたわらの	彼らの–アシェラ像–を	彼らの–祭壇–を	彼らの–子らは	覚えるように
	H6086		H0842	H4196		H2142

הַגְּבֹהוֹת׃	גְּבָעוֹת	עַל
高い	丘々	上の
H1364	H1389	

彼らの子供たちは青木の下と、高い丘の上、野の山の上にある祭壇とアシラのことを覚えている。

3

אֶתֵּן	לָבַז	אוֹצָרוֹתֶיךָ	כָּל־	חֵילֵךְ	בַּשָּׂדֶה	הָרָרִי	
わたしは–与える	略奪–に	あなたの–宝–を	すべての	あなたの–富–を	野–にある	わたしの–山よ	
H5414	H0957	H0214	H3605	H2428		H2042	

גְּבוּלֵיךְ׃	בְּכָל־	בְּחַטָּאת	בָּמוֹתֵיךָ
あなたの–地域–で	すべての	罪–のゆえに	あなたの–高き所–を
H1366	H3605		H1116

わたしはあなたの富とすべての宝とを、あなたの全領域の内で犯した罪の代価として、ぶんどり物とならせる。

4

לָךְ	נָתַתִּי	אֲשֶׁר	מִנַּחֲלָתְךָ	וּבְךָ	וְשָׁמַטְתָּה	
あなたに	わたしが–与えた	ところの	あなたの–嗣業–を	あなた自身–から	あなたは–手放す	
	H5414		H5159		H8058	

כִּי־	יָדָעְתָּ	לֹא־	אֲשֶׁר	בָּאָרֶץ	אֹיְבֶיךָ	אֶת־	וְהַעֲבַדְתִּיךָ
なぜなら	׀	あなたが–知らない	ところの	地–で	あなたの–敵–に	׀	わたしは–仕えさせる
	H3045	H3808		H0776	H0341	H0853	H5647

ס	תּוּקָד׃	עוֹלָם	עַד־	בְּאַפִּי	קַדְחְתֶּם	אֵשׁ
ס	燃え続ける	׀	永遠–に	わたしの–怒り–で	あなたがたは–燃やした	火–を
	H3344	H5769	H5704	H0639	H6919	H0784

わたしがあなたに与えた嗣業からあなたは手をはなすようになる。またわたしは、あなたの知らない地で、あなたの敵に仕えさせる。わたしの怒りによって、火は点じられ、いつまでも燃え続けるからである」。

5

בָּשָׂר	וְשָׂם	בָּאָדָם	יִבְטַח	אֲשֶׁר	הַגֶּבֶר	אָרוּר	יְהוָה	אָמַר	וְכֹה
肉–を	定める	人間–に	信頼する	ところの	その–人は	呪われよ	主は	言われた	このように
H1320		H0120	H0982		H1397	H0779	H3068	H0559	H3541

לִבּוֹ׃	יָסוּר	יְהוָה	וּמִן־	זְרֹעוֹ
その–心–が	離れる	׀	主–から	その–腕–と
	H5493	H3068		H2220

主はこう言われる、「およそ人を頼みとし肉なる者を自分の腕とし、その心が主を離れている人は、のろわれる。

6

וְשָׁכַן	טוֹב	יָבוֹא	כִּי־	יִרְאֶה	וְלֹא	בָּעֲרָבָה	כְּעַרְעָר	וְהָיָה	
住む	良い–ことが	来る–か	いつ	׀	見ない	荒野–に	裸の–低木–のように	彼は–なる	
H7931		H0935		H7200	H3808	H6160	H6176	H1961	

ס	תֵּשֵׁב׃	וְלֹא	מְלֵחָה	אֶרֶץ	בַּמִּדְבָּר	חֲרֵרִים
ס	住まない–地	人–の	׀	塩–の	荒野–の	焼けた–地–に
	H3427	H3808	H4420	H0776		H2788

彼は荒野に育つ小さい木のように、何も良いことの来るのを見ない。荒野の、干上がった所に住み、人の住まない塩地にいる。

7

מִבְטַחוֹ׃	יְהוָה	וְהָיָה	בַּיהוָה	יִבְטַח	אֲשֶׁר	הַגֶּבֶר	בָּרוּךְ
その–信頼–と	主–が	なる	主–に	信頼する	ところの	その–人は	祝福されよ
H4009	H3068	H1961	H3068	H0982		H1397	H1288

おおよそ主にたより、主を頼みとする人はさいわいである。

8 וְהָיָה֙ כְּעֵ֣ץ שָׁת֔וּל עַל־מַ֖יִם וְעַל־יוּבַ֣ל יְשַׁלַּ֑ח שָׁרָשָׁ֖יו
彼は-なる 木-のように 植えられた のほとりに 水-の のほとりに 流れ-の 伸ばす その-根-を
H1961 H6086 H8362 H4325 H3105 H7971 H8328

וְלֹ֣א יִרְאֶ֔ה (יִרְאֶ֖ה) כִּֽי־יָבֹ֣א חֹ֑ם וְהָיָ֥ה עָלֵ֖הוּ רַֽעֲנָ֣ן
恐れない [ ] いつ 来る-か 暑さ-が なる その-葉は 緑-に
H3808 [H3372] H3372 H0935 H2527 H1961 H5929 H7488

וּבִשְׁנַ֥ת בַּצֹּ֖רֶת לֹ֣א יִדְאָ֑ג וְלֹ֥א יָמִ֖ישׁ מֵעֲשׂ֥וֹת פֶּֽרִי׃
年-にも 干ばつの やめない 実-を 結ぶこと-を
H8141 H1226 H3808 H4185 H1672 H3808 H6529

彼は水のほとりに植えた木のようで、その根を川にのばし、暑さにあっても恐れることはない。その葉は常に青く、ひでりの年にも憂えることなく、絶えず実を結ぶ」。

9 עָקֹ֥ב הַלֵּ֛ב מִכֹּ֖ל וְאָנֻ֣שׁ הֽוּא מִֽי־יֵדָעֶֽנּוּ׃
偽りに-満ちている 心-は 何よりも 癒しがたく ある だれ-が 知りえよう-か
H6121 H3820 H3605 H0605 H1931 H4310 H3045

心はよろずの物よりも偽るもので、はなはだしく悪に染まっている。だれがこれを、よく知ることができようか。

10 אֲנִ֣י יְהוָ֗ה חֹקֵר֙ לֵ֔ב בֹּחֵ֖ן כְּלָי֑וֹת וְלָתֵ֣ת לְאִ֔ישׁ [כדרכו] (כִּדְרָכָ֖יו)
わたし 主は 探る 心-を 調べる はらわた-を 報いるため 人-に [ ] その-行い-に
H0589 H3068 H2713 H3820 H0974 H3629 H5414 H0376 [H1870] H1870

כִּפְרִ֥י מַעַלְלָֽיו׃ ס
応じて その-わざの-実-に ס
H6529 H4611

「主であるわたしは心を探り、思いを試みる。おのおのに、その道にしたがい、その行いの実によって報いをするためである」。

11 קֹרֵ֣א דָגַ֔ר וְלֹ֥א יָלָ֖ד עֹשֶׂ֣ה עֹשֶׁ֑ר בַּחֲצִ֤י יָמָיו֙ (יְמֻ֔ו) [ ]
鶉-が 集め-て 自ら 産まなかった 得る者は 富-を 半ば-で その-生涯の [ ]
H7124 H1716 H3808 H3205 H6239 H2677 H3117 H3117

וּבְאַחֲרִיתֹ֖ו יִהְיֶ֣ה נָבָ֑ל יַעַזְבֻ֔נוּ
それは-去る その-終わり-に なる 愚か者-に
H5800 H0319 H1961 H5036

しゃこが自分が産んだのではない卵を抱くように、不正な財産を得る者がある。その人は一生の半ばにそれから離れて、その終りには愚かな者となる。

12 כִּסֵּ֣א כָב֔וֹד מָר֖וֹם מֵרִאשׁ֑וֹן מְקֹ֥ום מִקְדָּשֵׁ֖נוּ׃
御座-は 栄光の 高く 初め-から 場所-は わたしたちの-聖所の
H3678 H3519 H4791 H7223 H4725 H6944

初めから高くあげられた栄えあるみ座は、われわれの聖所のある所である。

13 מִקְוֵ֣ה יִשְׂרָאֵ֔ל יְהוָ֖ה כָּל־עֹזְבֶ֑יךָ יֵבֹ֣שׁוּ [יסורי] (וְסוּרַ֖י)
望み-よ イスラエルの 主よ すべて あなたを-捨てる者は 恥じる [ ] あなたから-離れる者は
H4723 H3478 H3068 H3605 H5800 H0954 [H3249] H5493

בָּאָ֣רֶץ יִכָּתֵ֔בוּ כִּ֥י עָזְב֖וּ מְקֹ֣ור מַ֑יִם חַיִּ֖ים אֶת־יְהוָ֥ה מִקְוֵה׃ ס
地-に 書き記される なぜなら 彼らは-捨てた 泉-を 水-の いのち-の [ ] 主-を ס
H0776 H3789 H3588 H5800 H4726 H4325 H2416 H0853 H3068

またイスラエルの望みである主よ、あなたを捨てる者はみな恥をかき、あなたを離れる者は土に名をしるされます。それは生ける水の源である主を捨てたからです。

14 רְפָאֵנִי יְהוָה וְאֵרָפֵא הוֹשִׁיעֵנִי וְאִוָּשֵׁעָה
癒してください 主よ そうすれば–わたしは–癒される 救ってください そうすれば–わたしは–救われる
H7495 H3068 H7495 H3467 H3467

כִּי תְהִלָּתִי אָתָּה׃
なぜなら わたしの–賛美–は あなた
H8416

主よ、わたしをいやしてください、そうすれば、わたしはいえます。わたしをお救いください、そうすれば、わたしは救われます。あなたはわたしのほめたたえる者だからです。

15 הִנֵּה־ הֵמָּה אֹמְרִים אֵלָי אַיֵּה דְבַר־ יְהוָה יָבוֹא נָא׃
見よ 彼ら–は 言っている わたしに どこ–に 主の 言葉–は 来る–がよい さあ
H2009 H1992 H0559 H0413 H0346 H3068 H1697 H0935 H4994

彼らはわたしに言います、「主の言葉はどこにあるのか。今、それを出して見せよ」と。

16 וַאֲנִי לֹא־ אַחַרְתִּי מֵרֹעֶה אָסוֹן לֹא אָנַשְׁתִּי
わたしは 急いでいない 牧者–であること–から あなたに–従う 災い–の 日–を
H0589 H3808 H0213 H4161 H0605 H3117 H3808

הָיָה׃ פָּנֶיךָ נֹכַח שְׂפָתַי מוֹצָא יָדָעְתָּ אַתָּה הִתְאַוִּיתִי
あった あなたの 御前–に わたしの–唇–の 出る–もの–は 知っておられる あなた–は 望んでいない
H1961 H6440 H5227 H8193 H4161 H3045 H0183

悪をつかわされるようにとは、わたしはたって求めませんでした。また災の日を願わなかったのを、あなたはごぞんじです。わたしのくちびるから出たことは、み前にあります。

17 אַל־ תִּהְיֶה־ לִּי לְמַחְתָּה אַתָּה מַחְסִי בְּיוֹם רָעָה׃
ならないでください わたし–にとって 恐怖–と あなた わたしの–避け所–は 日–に 災いの
H0408 H1961 H4288 H4268 H3117

どうか、わたしを恐れさせないでください。災のときに、あなたはわたしののがれ場です。

18 יֵבֹשׁוּ רֹדְפָי וְאַל־ אֵבֹשָׁה אֲנִי יֵחַתּוּ הֵמָּה
恥じよ わたしの–迫害者–は 恥じないように–してください 恥じない わたしは おののけ 彼ら–を
H0954 H7291 H0408 H0954 H0589 H2865 H1992

וְאַל־ אֵחַתָּה אֲנִי הָבֵא עֲלֵיהֶם יוֹם רָעָה
おののかないように–してください わたしは もたらしてください 彼らの–上–に 日–を 災いの
H0408 H2865 H0589 H0935 H3117

שְׁבָרֵם׃ ס שִׁבְרוֹן וּמִשְׁנֶה
彼らを–砕いてください 砕き–で 二重–の
H7665 H7670 H4932 ס

わたしを攻め悩ます者をはずかしめてください。しかしわたしをはずかしめないでください。彼らを恐れさせてください。しかしわたしを恐れさせないでください。災の日を彼らにきたらせ、滅びを倍にして彼らを滅ぼしてください。

19 כֹּה־ אָמַר יְהוָה אֵלַי הָלֹךְ וְעָמַדְתָּ בְּשַׁעַר בְּנֵי־ [עַם] (הָעָם) אֲשֶׁר
このように 言われた 主は わたしに 行け 立て 門–に 民–の 所
H3541 H0559 H3068 H0413 H1980 H5975 H8179 H5971

יְרוּשָׁלִָם׃ שַׁעֲרֵי וּבְכָל בּוֹ יֵצְאוּ וַאֲשֶׁר יְהוּדָה מַלְכֵי בּוֹ יָבְאוּ
エルサレムの 門々–にも すべての そこから 出る そして ユダの 王たち–が そこから 入る
H3389 H8179 H3605 H3318 H3063 H4428 H0935

主はわたしにこう言われた、「行って、ユダの王たちの出入りするベニヤミンの門、およびエルサレムのすべての門に立って、

וְכֹל	יְהוּדָה	וְכֹל־	יְהוּדָה׀	מַלְכֵי	יְהוָה	דְּבַר־	שִׁמְעוּ	אֲלֵיהֶם	וְאָמַרְתָּ
すべての	ユダ-よ	すべての	ユダの	王たち-よ	主の	言葉-を	聞け	彼ら-に	言え
H3605	H3063	H3605	H3063	H4428	H3068	H1697	H8085	H0413	H0559

20

ס	הָאֵלֶּה׃	בַּשְּׁעָרִים	הַבָּאִים	יְרוּשָׁלָ֫ם	יֹשְׁבֵי
ס	これらの	門々-から	入る者-よ	エルサレムの	住民-よ
	H0428	H8179	H0935	H3389	H3427

言いなさい、『これらの門からはいるユダの王たち、およびユダのすべての民とエルサレムに住むすべての者よ、主の言葉を聞きなさい。

מַשָּׂא	תִּשְׂאוּ	וְאַל־	בְּנַפְשׁוֹתֵיכֶם	הִשָּׁמְרוּ	יְהוָה	אָמַר	כֹּה
荷物-を		運んでは-ならない	あなたがたの-命-に	気をつけよ	主は	言われた	このように
	H5375	H0408	H5315	H8104	H3068	H0559	H3541

21

יְרוּשָׁלִָ֫ם׃	בִּשְׁעֲרֵי	וְהֲבֵאתֶם	הַשַּׁבָּת	בְּיוֹם
エルサレムの	門-から	持ち込んでは-ならない	安息日の	日-に
H3389	H8179	H0935	H7676	H3117

主はこう言われる、命が惜しいならば気をつけるがよい。安息日に荷をたずさえ、またはそれを持ってエルサレムの門にはいってはならない。

מְלָאכָה	וְכָל־	הַשַּׁבָּת	בְּיוֹם	מִבָּתֵּיכֶם׀	מַשָּׂא	תוֹצִיאוּ	וְלֹא־		
仕事-も	どんな	安息日の	日-に	あなたがたの-家-から	荷物-を		持ち出しては-ならない		
H4399	H3605	H7676	H3117			H3318	H3808		

22

אֲבוֹתֵיכֶם׃		אֶת־	צִוִּיתִי	כַּאֲשֶׁר	הַשַּׁבָּת	יוֹם	אֶת־	וְקִדַּשְׁתֶּם׀	תַּעֲשׂוּ	לֹא
あなたがたの-先祖-に			わたしが-命じたように		安息日の	日-を		聖別せよ		してはならない
H0001		H0853	H6680		H7676	H3117	H0853	H6942		H3808

וְלֹא	שָׁמְעוּ	הִטּוּ	אֶת־	אָזְנָם	וַיַּקְשׁוּ	אֶת־			
しかし-聞かなかった		傾けなかった		彼らの-耳-を	硬くした				
H3808	H8085	H5186	H0853	H0241	H7185	H0853			

23

מוּסָר׃	קָחַת	וּלְבִלְתִּי	(שְׁמוֹעַ)	[שומע]	לְבִלְתִּי	עָרְפָּם		
懲らしめ-を		受け入れない-ために			聞かない-ために	彼らの-うなじ-を		
H4148	H3947	H1115	H8085	H8085	H1115	H6203		

しかし彼らは従わず耳を傾けず、聞くことも、戒めをうけることをも強情に拒んだ。

הָבִיא	וּלְבִלְתִּי	יְהוָה	נְאֻם־	אֵלַי	תִּשְׁמְעוּן	שָׁמֹעַ	אִם־	וְהָיָה	
	運ばない-ために	主の	御告げ	わたしに	聞く-ならば	聞いて	もし	しかし-なる	
H0935	H1115	H3068	H5002	H0413	H8085	H8085		H1961	

24

מַשָּׂא	בְּשַׁעֲרֵי	הָעִיר	הַזֹּאת	בְּיוֹם	הַשַּׁבָּת	וּלְקַדֵּשׁ	אֶת־	יוֹם	הַשַּׁבָּת
荷物-を	門々-から	この-町の		日-に	安息日の	聖別して		日-を	安息日の
	H8179		H2063	H3117	H7676	H6942	H0853	H3117	H7676

מְלָאכָה׃	כָּל־	(בּוֹ)	[בה]	עֲשׂוֹת־	לְבִלְתִּי
仕事-も	どんな			する-ことを	しない-ために
H4399	H3605				H1115

主は言われる、もしあなたがたがわたしに聞き従い、安息日に荷をたずさえてこの町の門にはいらず、安息日を聖別して、なんのわざをもしないならば、

כִּסֵּא	עַל־	יֹשְׁבִים	וְשָׂרִים	וּמְלָכִים	הַזֹּאת	הָעִיר	בְּשַׁעֲרֵי	וּבָאוּ	25
王座-の	上-に	座っている	高官たち-が	王たち-と		この-町の	門々-から	入ってくる	
H3678		H3427	H8269	H4428	H2063		H8179	H0935	

וְיֹשְׁבֵי	יְהוּדָה	אִישׁ	וְשָׂרֵיהֶם	הֵמָּה	וּבַסּוּסִים	בָּרֶכֶב	וְרֹכְבִים	דָּוִד
住民-は	ユダの	人々-は	その-高官たち-と	彼ら-と	馬-に	戦車-に	乗って	ダビデの
H3427	H3063	H0376	H8269	H1992		H7393	H7392	H1732

לְעוֹלָם׃	הַזֹּאת	הָעִיר־	וְיָשְׁבָה	יְרוּשָׁלִַם
永遠-に-立つ			この-町は	エルサレムの
H5769	H2063		H3427	H3389

ダビデの位に座する王たち、つかさたち、ユダの人々、エルサレムに住む者は、車と馬に乗ってこの町の門からはいることができる。そしてこの町には長く人が住むようになる。

הַשְּׁפֵלָה	וּמִן־	בִּנְיָמִן	וּמֵאֶרֶץ	יְרוּשָׁלִַם	וּמִסְּבִיבוֹת	יְהוּדָה	מֵעָרֵי־	וּבָאוּ	26
低地-から	から	ビニヤミンの	地-から	エルサレムの	周り-から	ユダの	町々-から	来る	
H8219		H1144	H0776	H3389	H5439	H3063		H0935	

וְזֶבַח	עוֹלָה	מְבִאִים	הַנֶּגֶב	וּמִן־	הָהָר	וּמִן־	
いけにえ-と	全焼-の-ささげ物-と	携えて	ネゲブ-から	から	山地-から	から	
H2077		H0935	H5045		H2022		

יְהוָה׃	בֵּית	תּוֹדָה	וּמְבִאֵי	וּלְבוֹנָה	וּמִנְחָה
主の	家-に	感謝-を	携えて	乳香-を	穀物-の-ささげ物-と
H3068		H8426	H0935	H3828	H4503

また人々はユダの町々やエルサレムの周囲、ベニヤミンの地、平地と山地およびネゲブから来て燔祭、犠牲、素祭、乳香、感謝祭をたずさえて主の家にはいる。

הַשַּׁבָּת	יוֹם	אֶת־	לְקַדֵּשׁ	אֵלַי	תִּשְׁמְעוּ	לֹא	וְאִם־		27
安息日の	日-を		聖別する-こと-を	わたし-に		聞かない-なら	しかし-もし		
H7676	H3117	H0853	H6942	H0413	H8085	H3808			

הַשַּׁבָּת	בְּיוֹם	יְרוּשָׁלִַם	בְּשַׁעֲרֵי	וּבְא	מַשָּׂא	שְׂאֵת	וּלְבִלְתִּי	
安息日の	日-に	エルサレムの	門々-から	入る-とき	荷物-を		運ばない-こと-を	
H7676	H3117	H3389	H8179	H0935		H5375	H1115	

פ	תִּכְבֶּה׃	וְלֹא	יְרוּשָׁלִַם	אַרְמְנוֹת	וְאָכְלָה	בִּשְׁעָרֶיהָ	אֵשׁ	וְהִצַּתִּי	
פ		消えない	エルサレムの	宮殿-を	焼き尽くす	その-門々-に	火-を	わたしは-放つ	
	H3518	H3808	H3389	H0759	H0398	H8179	H0784	H3341	

しかし、もしあなたがたがわたしに聞き従わないで、安息日を聖別して守ることをせず、安息日に荷をたずさえてエルサレムの門にはいるならば、わたしは火をその門の中に燃やして、エルサレムのもろもろの宮殿を焼き滅ぼす。その火は消えることがない』」。

Chapter 18

לֵאמֹר׃	יְהוָה	מֵאֵת	יִרְמְיָהוּ	אֶל־	הָיָה	אֲשֶׁר	הַדָּבָר	1
言って	主の	から	エレミヤフ-に		あった	ところの	言葉-は	
H0559	H3068	H0854	H3414	H0413	H1961		H1697	

主からエレミヤに臨んだ言葉。

דְּבָרָי׃	אֶת־	אַשְׁמִיעֲךָ	וְשָׁמָּה	הַיּוֹצֵר	בֵּית	וְיָרַדְתָּ	קוּם	2
わたしの-言葉-を		わたしは-聞かせる	そこ-で	陶工の	家-に	下りて-行け	立て	
H1697	H0853	H8085	H8033	H3335		H3381		

「立って、陶器師の家に下って行きなさい。その所でわたしはあなたにわたしの言葉を聞かせよう」。

3 וְאֵרֵד הַיּוֹצֵר בֵּית וְהִנֵּה־(וְהִנֵּהוּ) (הֵוּא) עֹשֶׂה מְלָאכָה עַל־
わたしは-下った 陶工の 家-に 見よ 彼は 作っていた 仕事-を 上-で
H3381 H3335 H2009 H2009 H1931 H4399

הָאֲבָנִֽים׃
ろくろの
H0070

わたしは陶器師の家へ下って行った。見ると彼は、ろくろで仕事をしていたが、

4 וְנִשְׁחַת הַכְּלִי אֲשֶׁר הוּא עֹשֶׂה בַּחֹמֶר בְּיַד הַיּוֹצֵר וְשָׁב וַיַּעֲשֵׂהוּ
器-が 壊れた ところの 彼-が 作っていた 粘土-で 手-で 陶工の 彼は-やり直した 作り直した
H3627 H7843 H1931 H3335 H3027 H7725

פ כַּאֲשֶׁר יָשָׁר בְּעֵינֵי הַיּוֹצֵר לַעֲשׂוֹת׃
פ 良いと-思うように 正 目-に 陶工の 作る-のに
H3474 H3335

粘土で造っていた器が、その人の手の中で仕損じたので、彼は自分の意のままに、それをもってほかの器を造った。

5 וַיְהִי דְבַר־יְהוָה אֵלַי לֵאמֹר׃
あった 言葉-が 主の わたし-に 言って
H1961 H1697 H3068 H0413 H0559

その時、主の言葉がわたしに臨んだ、

6 הַכַּיּוֹצֵר הַזֶּה לֹא־אוּכַל לַעֲשׂוֹת לָכֶם בֵּית יִשְׂרָאֵל
この-陶工-のように できない-のか 正 すること-が お前たち-に 家-よ イスラエルの
H3335 H2088 H3808 H3201 H3478

כַּחֹמֶר בְּיַד הַיּוֹצֵר כֵּן אַתֶּם
粘土-のように 手-のなかの 陶工の そのよう-に お前たち-は
H3335 H3027 H2009 H3068 H5002

ס הִנֵּה כַחֹמֶר בְּיָדִי בֵּית יִשְׂרָאֵל׃
ס 見よ 粘土-のように 手-のなかの 家-よ イスラエルの
H3478 H3027

「主は仰せられる、イスラエルの家よ、この陶器師がしたように、わたしもあなたがたにできないのだろうか。イスラエルの家よ、陶器師の手に粘土があるように、あなたがたはわたしの手のうちにある。

7 רֶגַע אֲדַבֵּר עַל־גּוֹי וְעַל־מַמְלָכָה לִנְתוֹשׁ וְלִנְתוֹץ וּלְהַאֲבִיד׃
ある-時 わたしが-言う について 国-に について 王国-に 引き抜き 壊し 滅ぼす-と
H7281 H1696 H5428 H5422 H0006

ある時には、わたしが民または国を抜く、破る、滅ぼすということがあるが、

8 וְשָׁב הַגּוֹי הַהוּא מֵרָעָתוֹ אֲשֶׁר דִּבַּרְתִּי עָלָיו
立ち帰る-なら その-国-が 正 その-悪-から ところの わたしが-言った それに-ついて
H7725 H1931 H1696

ס וְנִחַמְתִּי עַל־הָרָעָה אֲשֶׁר חָשַׁבְתִּי לַעֲשׂוֹת לוֹ׃
ס わたしは-思い直す について その-災い-を ところの わたしが-考えた する-こと-を それに
H5162 H2803

もしわたしの言った国がその悪を離れるならば、わたしはこれに災を下そうとしたことを思いかえす。

9 וְרֶגַע אֲדַבֵּר עַל־גּוֹי וְעַל־מַמְלָכָה לִבְנוֹת וְלִנְטֹעַ׃
ある-時 わたしが-言う について 国-に について 王国-に 建て 植える-と
H7281 H1696 H1129 H5193

またある時には、わたしが民または国を建てる、植えるということがあるが、

10

וְעָשָׂה | [הרעה] | (הָרַע֙ | בְּעֵינַ֔י | לְבִלְתִּ֖י | שָׁמַ֣ע | בְּקוֹלִ֑י
わたしの-目-に | 聞かない-こと-により | 聞かない-こと-により | わたしの-目-に | 悪-を | | 行う-なら
H8085 | H1115 | H7451

ס | אוֹתוֹ׃ | לְהֵיטִ֥יב | אָמַ֖רְתִּי | אֲשֶׁ֥ר | הַטּוֹבָ֛ה | עַל־ | וְנִחַמְתִּי֙
ס | それに | 与える-と | わたしが-言った | ところの | その-善-を | について | わたしは-思い直す
H0853 | H3190 | H0559 | H5162

もしその国がわたしの目に悪と見えることを行い、わたしの声に聞き従わないなら、わたしはこれに幸を与えようとしたことを思いかえす。

11

וְעַתָּה֩ | אֱמָר־ | נָ֨א | אֶל־ | אִישׁ־ | יְהוּדָ֜ה | וְעַל־ | יוֹשְׁבֵ֣י | יְרוּשָׁלַ֗ם | לֵאמֹר֮
さあ-今 | 言え | どうか | | 人々-に | ユダの | について | 住民-に | エルサレムの | 言って
H6258 | H0559 | H4994 | H0413 | H0376 | H3063 | | H3427 | H3389 | H0559

רָעָ֔ה | עֲלֵיכֶם֙ | יוֹצֵ֤ר | אָנֹכִי֙ | הִנֵּ֣ה | יְהוָ֔ה | אָמַ֖ר | כֹּ֑ה
災い-を | あなたがたに-対して | 形作っている | わたしは | 見よ | 主は | 言われた | このように
H3335 | H0595 | H2009 | H3068 | H0559 | H3541

הָרָעָ֔ה | מִדַּרְכּ֖וֹ | אִ֣ישׁ | נָ֔א | שׁ֣וּבוּ | מַחְשֶׁ֥בֶת | עֲלֵיכֶ֖ם | וְחֹשֵׁ֑ב
| その-悪い-道-から | 各自 | どうか | 立ち帰れ | 計画-を | あなたがたに-対して | 考えている
| H1870 | H0376 | H4994 | H7725 | H4284 | | H2803

וּמַעַלְלֵיכֶֽם׃ | דַּרְכֵיכֶ֖ם | וְהֵיטִ֥יבוּ
あなたがたの-わざ-を | あなたがたの-道-を | 良くせよ
H4611 | H1870 | H3190

それゆえ、ユダの人々とエルサレムに住む者に言いなさい、『主はこう仰せられる、見よ、わたしはあなたがたに災を下そうと工夫し、あなたがたを攻める計りごとを立てている。あなたがたはおのおのその悪しき道を離れ、その道と行いを改めなさい』と。

12

שְׁרִרוּת֙ | וְאִ֣ישׁ | נַלֵּ֔ךְ | מַחְשְׁבוֹתֵ֖ינוּ | אַחֲרֵ֣י | כִּי־ | נוֹאָ֔שׁ | וְאָמְר֖וּ
頑固-な | 各自 | 従う | わたしたちの-考え-に | 後-に | なぜなら | 無駄だ | 彼らは-言った
H8307 | H0376 | H3212 | H4284 | | | H2976 | H0559

ס | נַעֲשֶֽׂה׃ | הָרָ֑ע | לִבֹּ֖ו־
ס | 行う | | その-悪い-心-の
| | |

しかし彼らは言う、『それはむだです。われわれは自分の図るところに従い、おのおのその悪い強情な心にしたがって行動します』と。

13

שָׁמַ֣ע | מִי | בַּגּוֹיִם֙ | נָ֔א | שַׁאֲלוּ־ | יְהוָ֔ה | אָמַ֖ר | כֹּ֑ה | לָכֵ֕ן
聞いた-か | だれ-が | 諸国民-の中-で | どうか | 尋ねてみよ | 主は | 言われた | このように | それゆえ
H8085 | H4310 | | H4994 | H7592 | H3068 | H0559 | H3541 |

יִשְׂרָאֵֽל׃ | בְּתוּלַ֖ת | מְאֹ֥ד | עָשְׂתָ֛ה | שַׁעֲרֻרֹ֥ת | כָּאֵ֖לֶּה
イスラエルの | 娘-である | 非常に | 行った | 恐ろしいこと-を | このようなこと-を
H3478 | H1330 | H3966 | | | H0428

それゆえ主はこう言われる、異邦の民のうちのある者に尋ねてみよ、このような事を聞いた者があろうか。おとめイスラエルは恐ろしい事をした。

14

קָרִ֔ים | זָרִ֖ים | מַ֣יִם | יִנָּתְשׁ֑וּ | אִם־ | לְבָנ֔וֹן | שֶׁ֖לֶג | שָׂדִ֑י | מִצּ֖וּר | הֲיַעֲזֹ֥ב
冷たい | 外国の | 水-が | | 浸される-のか | レバノンの | 雪-が | 野の | 岩-から | 消える-のか
H7119 | | H4325 | H5428 | | H3844 | H7950 | | H6697 |

נוֹזְלִֽים׃
流れる
H5140

レバノンの雪が、どうしてシリオンの岩を離れようか。山の水、冷たい川の流れが、どうしてかわいてしまおうか。

15 כִּי־ שְׁכֵחָנִי עַמִּי לַשָּׁוְא יְקַטֵּרוּ וַיַּכְשְׁלוּם בְּדַרְכֵיהֶם שְׁבִילֵי
なぜなら 忘れた わたしの–民は 空しいもの–に 香を–たいた つまづかせた 彼らの–道–で 小道–を
H3588 H7911 H5971 H7723 H6999 H3782 H1870 H7635

עוֹלָם נְתִיבוֹת דֶּרֶךְ לֹא סְלוּלָה׃
昔の わき道–を 道–の 整えられていない
H5769 H5410 H1870 H3808 H5549

それなのにわが民はわたしを忘れて、偽りの神々に香をたいている。彼らはその道、古い道につまずき、また小道に入り、大路からはなれた。

16 לָשׂוּם אַרְצָם לְשַׁמָּה [שרוקת] (שְׁרִיקוֹת) עוֹלָם כֹּל עוֹבֵר
する–ために 彼らの–地–を 荒廃–に 永遠の すべて 通り過ぎる者–が
H7760 H0776 H8047 H8292 H5769 H3605 H5674

יָנִיד בְּרֹאשׁוֹ׃ יִשֹּׁם עָלֶיהָ
その 首–を–振る 恐れおののく それの–上–を
H7218 H5110 H8074 H5921

自分の地を荒れすたれさせて、いつまでも人に舌打ちされるものとした。そこを通る人はみな身震いして、首を振る。

17 כְּרוּחַ קָדִים אֲפִיצֵם לִפְנֵי אוֹיֵב עֹרֶף וְלֹא־ פָנִים אַרְאֵם
風–のように 東の わたしは–散らす 前–で 敵の 背–を 顔–ではなく わたしは–見せる
H7307 H6921 H6440 H0341 H6203 H3808 H6440 H7200

ס בְּיוֹם אֵידָם׃
ס 彼らの–災いの 日–に
H0343 H3117

わたしは東風のように、彼らをその敵の前に散らす。その滅びの日には、わたしは彼らに背を向け、顔を向けない」。

18 וַיֹּאמְרוּ לְכוּ וְנַחֲשְׁבָה עַל־ יִרְמְיָהוּ מַחֲשָׁבוֹת כִּי לֹא־ תֹאבַד
彼らは–言った 来い 企てよう に–対して エレミヤフ–に 計画–を なぜなら 滅びない
H0559 H3212 H2803 H5921 H3414 H4284 H3588 H3808 H0006

תּוֹרָה מִכֹּהֵן וְעֵצָה מֵחָכָם וְדָבָר מִנָּבִיא וְנַכֶּהוּ לְכוּ בַלָּשׁוֹן
律法–が 祭司–から 勧告–も 知恵ある者–から 言葉–も 預言者–から 来い 打とう 舌–で
H8451 H3548 H6098 H2450 H1697 H5030 H3212 H5221 H3956

וְאַל־ נַקְשִׁיבָה אֶל־ כָּל־ דְּבָרָיו׃
耳を–傾けるな に–対して すべての 彼の–言葉–に
H0408 H0413 H3605 H1697

彼らは言った、「さあ、計略をめぐらして、エレミヤを倒そう。祭司には律法があり、知恵ある者には計りごとがあり、預言者には言葉があって、これらのものが滅びてしまうことはない。さあ、われわれは舌をもって彼を撃とう。彼のすべての言葉に、心を留めないことにしよう」。

19 הַקְשִׁיבָה יְהוָה אֵלָי וּשְׁמַע לְקוֹל רִיבִי׃
耳を–傾けてください 主よ わたし–に 聞いてください 声–を
H7181 H3068 H0413 H8085 H7379

主よ、どうぞわたしにみ心を留め、わたしの訴えをお聞きください。

20 הֲיְשֻׁלַּם רָעָה תַּחַת־טוֹבָה כִּי־כָרוּ שׁוּחָה לְנַפְשִׁי
善–に–対して 悪–で 彼らは–掘った 穴–を わたしの–魂–に
H8478 H7451 H3738 H7745 H5315

זְכֹר עָמְדִי לְפָנֶיךָ לְדַבֵּר עֲלֵיהֶם טוֹבָה
覚えてください わたしが–立ったこと–を あなたの–前–に 語る–ために 彼らの–ために 善–を
H2142 H5975 H6440 H1696 H5921 H2896

לְהָשִׁיב חֲמָתְךָ מֵהֶם׃ אֶת־
戻す–ために あなたの–怒り–を 彼らから
H7725 H2534 H1992 H0853

悪をもって善に報いるべきでしょうか。しかもなお彼らはわたしの命を取ろうとして穴を掘りました。わたしがあなたの前に立って、彼らのことを良く言い、あなたの憤りを止めようとしたのを覚えてください。

21 לָכֵן תֵּן אֶת־בְּנֵיהֶם לָרָעָב וְהַגִּרֵם עַל־יְדֵי־
それゆえ 与えてください 彼らの–子ら–を 飢饉–に 渡してください 剣の–手–に
H3651 H5414 H853 H1121 H7458 H5064 H5921 H3027

חֶרֶב תִּהְיֶנָה נְשֵׁיהֶם וְאַלְמָנוֹת שַׁכְלוֹת וְאַנְשֵׁיהֶם יִהְיוּ
なる–ように 彼らの–妻たち–が 子を–失い やもめ–に 彼らの–男たち–は なる–ように
H1961 H802 H7921 H490 H376 H1961 H2719

מַכֵּי־חֶרֶב בַּמִּלְחָמָה׃ בַּחוּרֵיהֶם לַמָּוֶת הֲרֻגֵי
打たれた者–に 剣–で 戦い–で 若者たち–は 死の 殺された者–に
H5221 H2719 H4421 H970 H4194 H2026

それゆえ、彼らの子どもたちをききんに渡し、彼らをつるぎの刃に渡してください。彼らの妻は子を失い、また寡婦となり、男は疫病にかかって死に、若い者は、戦争でつるぎに殺されますように。

22 גְּדוּד עֲלֵיהֶם תָּבִיא כִּי־מִבָּתֵּיהֶם זְעָקָה תִּשָּׁמַע
軍勢–を 彼らの–上–に あなたが–もたらす いつ 彼らの–家々–から 叫び–が 聞こえる–ように
H1416 H5921 H935 H3588 H1004 H2201 H8085

לִרְגָלַי׃ טָמְנוּ פַּחִים לִלְכָדֵנִי שׁוּחָה׀ שִׂיחוּ׀ כָּרוּ כִּי־פִתְאֹם
わたしの–足–に 隠した 罠–を 捕える–ために 穴–を 彼らは–掘った なぜなら 突然
H7272 H2934 H6341 H3920 H7745 H7882 H3738 H3588 H6597

あなたが敵をにわかに彼らに臨ませられるとき、彼らの家から叫び声が聞えますように。彼らは穴を掘って、わたしを捕えようとし、わなをつくって、わたしの足を捕えようとしたからです。

23 לָמָוֶת עָלַי עֲצָתָם כָּל־אֶת־יָדַעְתָּ יְהוָה וְאַתָּה
死–のための わたしに–対する 彼らの–謀–を すべての 知っておられる 主よ あなたは
H4194 H5921 H6098 H3605 H853 H3045 H3068 H859

מִלְּפָנֶיךָ וְחַטָּאתָם עֲוֹנָם עַל־תְּכַפֵּר אַל־
あなたの–前–から 彼らの–罪–を 彼らの–罪–を に–ついて 赦してくださるな
H6440 H2403 H5771 H5921 H3722 H0408

אַפֶּךָ בְּעֵת לְפָנֶיךָ מְכֻשָּׁלִים וְיִהְיוּ׀ וּתְמָחֵי׀ אַל־
あなたの–怒りの 時–に あなたの–前–で つまづき–と なる–ように 消さないでください
H0639 H6256 H6440 H3782 H1961 H1961 H0408

עֲשֵׂה בָּהֶם׃ ס
行ってください 彼らに
ס

主よ、あなたは彼らがわたしを殺すためにめぐらしている計略を皆ごぞんじです。その悪をゆるすことなく、その罪をあなたの前から消し去らないでください。彼らをあなたの前に倒れさせてください。あなたのお怒りになる時に彼らを罰してください。

Chapter 19

1 כֹּה אָמַר יְהוָה הָלוֹךְ וְקָנִיתָ בַקְבֻק יוֹצֵר חֶרֶשׂ וּמִזִּקְנֵי
主は 言われた このように 行って 買え 瓶-を 陶工の 土器の 幾人か-の-長老-を-連れて
H3068 H0559 H3541 H1980 H7069 H1228 H3335 H2789 H2205

הָעָם וּמִזִּקְנֵי הַכֹּהֲנִים׃
民の 幾人か-の-長老-を 祭司たちの
H3548 H2205

主はこう言われる、「行って、陶器師のびんを買い、民の長老と年長の祭司のうちの数人を伴って、

2 וְיָצָאתָ֙ אֶל־ גֵּיא בֶן־ הִנֹּם אֲשֶׁר פֶּתַח שַׁעַר]החרסות[
 谷-に 息子-の ヒンノムの ところの 入口-にある 門-の
H0413 H1516 H3318 H2777 H8179 H6607

וְקָרָאתָ שָּׁם אֶת־ הַדְּבָרִים אֲשֶׁר אֲדַבֶּר אֵלֶיךָ׃)הַחַרְסִית
告げよ そこ-で 言葉-を ところの わたしが-語る お前に 土器の
H7121 H8033 H0853 H1697 H0413 H1696 H2777

瀬戸かけの門の入口にあるベンヒンノムの谷へ行き、その所で、わたしがあなたに語る言葉をのべて、

3 וְאָמַרְתָּ֙ שִׁמְעוּ דְבַר־ יְהוָה מַלְכֵי יְהוּדָה וְיֹשְׁבֵי יְרוּשָׁלָ֔ם כֹּה־ אָמַר
聞け 言葉-を 主の 王たち-よ ユダの 住民-よ エルサレムの このように 言われた
H8085 H1697 H3068 H4428 H3063 H3427 H3389 H3541 H0559

יְהוָה צְבָאוֹת אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל הִנְנִי מֵבִיא רָעָה֙ עַל־ הַמָּקוֹם הַזֶּ֔ה
主 万軍の 神-は イスラエルの 見よ-わたしは もたらす 災い-を 上-に この-場所の
H3068 H0430 H3478 H2009 H0935 H7451 H5921 H4725 H2088

אֲשֶׁר כָּל־ שֹׁמְעָהּ תִּצַּלְנָה אָזְנָיו׃
ところの すべて 聞く者-の 鳴る その-耳-が
H3605 H8085 H6750 H0241

言いなさい、『ユダの王たち、およびエルサレムに住む者よ、主の言葉を聞きなさい。万軍の主、イスラエルの神はこう仰せられる、見よ、わたしは災をこの所に下す。おおよそ、その災のことを聞くものの耳は両方とも鳴る。

4 וְעַן֩ אֲשֶׁר עֲזָבֻ֨נִי וַיְנַכְּרוּ֙ אֶת־ הַמָּקוֹם הַזֶּ֔ה וַיְקַטְּרוּ־ בּ֖וֹ
ゆえに 彼らが-捨てた 嘔した 場所-を この-場所の そこ-で 香を-たいた
H3282 H5800 H0853 H4725 H2088 H6999

לֵאלֹהִים אֲחֵרִים אֲשֶׁר לֹא־ יָדְעוּם הֵמָּה וַאֲבוֹתֵיהֶם וּמַלְכֵי יְהוּדָה
他の ところの 知らなかった 彼ら-も 彼らの-先祖-も 王たち-も ユダの
H0312 H0834 H3808 H3045 H1992 H0001 H4428 H3063

וּמָלְאוּ אֶת־ הַמָּקוֹם הַזֶּה דַּם נְקִיִּם׃
満たした 場所-を この-場所の 血-で 罪なき者の
H4390 H0853 H4725 H2088 H1818 H5355

彼らがわたしを捨て、この所を汚し、この所で、自分も先祖たちもユダの王たちも知らなかった他の神々に香をたき、かつ罪のない者の血を、この所に満たしたからである。

	בָּאֵשׁ	בְּנֵיהֶם	אֶת־	לִשְׂרָף	הַבַּעַל	בָּמוֹת	אֶת־	וּבָנוּ	5
	火-で	彼らの-息子-を		焚く-ために	バアルの	高き所-を		建てた	
	H0784		H0853	H8313		H1116	H0853	H1129	

דִּבַּרְתִּי	וְלֹא	צִוִּיתִי	לֹא־	אֲשֶׁר	לַבָּעַל	עֹלוֹת	
	語らなかった		わたしは-命じなかった	ところの	バアルに	全焼-の-ささげ物-として	
H1696	H3808	H6680	H3808				

פ		לִבִּי׃	עַל־	עָלְתָה	וְלֹא
פ			のぼらなかった		思い-に
				H5927	H3808

また彼らはバアルのために高き所を築き、火をもって自分の子どもたちを焼き、燔祭としてバアルにささげた。これはわたしの命じたことではなく、定めたことでもなく、また思いもしなかったことである。

עוֹד	הַזֶּה	לַמָּקוֹם	יִקָּרֵא	וְלֹא־	יְהוָה	נְאֻם־	בָּאִים	יָמִים	הִנֵּה־	לָכֵן	6
もはや		この-場所-は		呼ばれない	主の	御告げ	来る	日々-が	見よ	それゆえ	
H5750	H2088	H4725	H7121	H3808	H3068	H5002	H0935	H3117	H2009		

הַהֲרֵגָה׃	גֵּיא	אִם־	כִּי	הִנֹּם	בֶּן־	וְגֵיא	הַתֹּפֶת
殺戴の	谷-と		むしろ	ヒンノムの	息子-の	谷-と	トフェト-と
H2028	H1516			H2011		H1516	H8612

主は言われる、それゆえ、見よ、この所をトペテまたはベンヒンノムの谷と呼ばないで、虐殺の谷と呼ぶ日がくる。

בַּחֶרֶב	וְהִפַּלְתִּים	הַזֶּה	בַּמָּקוֹם	וִירוּשָׁלִַם	יְהוּדָה	עֲצַת	אֶת־	וּבַקֹּתִי		7
剣-で	倒す		この-場所-で	エルサレムの	ユダの	計画-を		わたしは-くじく		
H2719	H5307	H2088	H4725	H3389	H3063	H6098	H0853			

לְעוֹף	לְמַאֲכָל	נִבְלָתָם	אֶת־	וְנָתַתִּי	נַפְשָׁם	מְבַקְשֵׁי	וּבְיַד	אֹיְבֵיהֶם	לִפְנֵי
空-の	食物-に	彼らの-亡骸-を		与える		彼らの-命-を	手-で	彼らの-敵の	前-で
H5775	H3978	H5038	H0853	H5414	H5315	H1245	H3027	H0341	H6440

הָאָרֶץ׃	וּלְבֶהֱמַת	הַשָּׁמַיִם
	地-の	
H0776	H0929	H8064

またわたしはこの所でユダとエルサレムの計りごとを打ち破り、つるぎをもって、彼らをその敵の前と、そのいのちを求める者の手に倒れさせ、またその死体を空の鳥と地の獣の食い物とし、

									8
עָלֶיהָ	עֹבֵר	כֹּל	וְלִשְׁרֵקָה	לְשַׁמָּה	הַזֹּאת	הָעִיר	אֶת־	וְשַׂמְתִּי	
それの-上-を	通り過ぎる者-が	すべて	崩え-に	荒廃-に		この-町-を		する	
	H3605	H8322	H8047	H2063		H0853			

מַכֹּתֶהָ׃	כָּל־	עַל־	וְיִשְׁרֹק	יִשֹּׁם
その-打撃-を	すべての	に-ついて	嘻く	恐れおののく
H4347	H3605		H8319	H8074

かつ、この町を荒れすたれさせて、人に舌打ちされるものとする。そこを通る人は皆そのもろもろの災を見て身震いし、舌打ちする。

										9
רֵעֵהוּ	בְּשַׂר־	וְאִישׁ	בְּנֹתֵיהֶם	בְּשַׂר	וְאֶת	בְּנֵיהֶם	בְּשַׂר	אֶת־	וְהַאֲכַלְתִּים	
その-友の	肉-を	各自	彼らの-娘の	肉-を		彼らの-息子の	肉-を		食べさせる	
H7453	H1320	H0376	H1323	H1320	H0853		H1320	H0853	H0398	

וּמְבַקְשֵׁי	אֹיְבֵיהֶם	לָהֶם	יָצֻיקוּ	אֲשֶׁר	וּבְמָצוֹק	בְּמָצוֹר	יֹאכְלוּ
彼らの-命を-求める者-が	彼らの-敵-が	彼ら-に	迫る	ところの		包囲-の中で	食べる
H1245	H0341		H6693		H4689	H4692	H0398

נַפְשָׁם׃
H5315

また彼らがその敵とその命を求める者とに囲まれて苦しみ悩む時、わたしは彼らに自分のむすこの肉、娘の肉を食べさせる。彼らはまた互にその友の肉を食べるようになる』。

10 וְשָׁבַרְתָּ֙ הַבַּקְבֻּ֔ק לְעֵינֵ֖י הָאֲנָשִׁ֣ים הַהֹלְכִ֑ים אִתָּֽךְ׃
וְשָׁבַרְתָּ
砕け
H7665
הַבַּקְבֻּק
その-瓶-を
H1228
לְעֵינֵי
目-の前で
H0376
הָאֲנָשִׁים
人々の
H1980
הַהֹלְכִים
行く
H0853
אִתָּךְ׃
お前と-共に

そこで、あなたは、一緒に行く人々の目の前で、そのびんを砕き、

11 וְאָמַרְתָּ֣ אֲלֵיהֶ֗ם כֹּֽה־אָמַ֤ר יְהוָה֙ צְבָא֣וֹת כָּכָ֔ה אֲשֶׁבֵּ֛ר אֶת־
וְאָמַרְתָּ
言え
H0559
אֲלֵיהֶם
彼ら-に
H0413
כֹּה־
このように
H3541
אָמַר
言われた
H0559
יְהוָה
主
H3068
צְבָאוֹת
万軍の
H6635
כָּכָה
このように
H3602
אֲשֶׁבֵּר
わたしは-砕く
H7665
אֶת־
H0853

אֲשֶׁר
ところの
הַיּוֹצֵר
陶工の
H3335
כְּלִי
器-を
H3627
אֶת־
H0853
יִשָּׁבֵר
H7665
כַּאֲשֶׁר
砕く-ように
H6913
הַזֹּאת
H2063
הָעִיר
この-町-を
וְאֶת־
H0853
הָזֶה
H2088
הָעָם
この-民-を

מָקוֹם
H4725
מֵאֵין
場所-がない-ほどに
H0369
יִקְבְּרוּ
埋葬る
H6912
וּבְתָפֶת
トフェト-で
H8612
עוֹד
もはや
H5750
לְהֵרָפֵה
修復する-ことが
H7495
יוּכָל
H3201
לֹא־
できない
H3808

לִקְבּוֹר׃
埋葬る-ための
H6912

そして彼らに言いなさい、『万軍の主はこう仰せられる、陶器師の器をひとたび砕くならば、もはやもとのようにすることはできない。このようにわたしはこの民とこの町とを砕く。人々はほかに葬るべき場所がないために、トペテに葬るであろう。

12 כֵּ֣ן אֶֽעֱשֶׂ֣ה לַמָּקוֹם֮ הַזֶּה֒ נְאֻם־יְהוָה֙ וְלִיוֹשְׁבָ֔יו וְלָתֵ֥ת
כֵּן־
このように
אֶעֱשֶׂה
わたしは-する
לַמָּקוֹם
この-場所-に
H4725
הַזֶּה
H2088
נְאֻם־
御告げ
H5002
יְהוָה
主の
H3068
וְלִיוֹשְׁבָיו
その-住民-にも
H3427
וְלָתֵת
する-ために
H5414

כְּתֹפֶת׃
トフェト-のように
H8612
הַזֹּאת
H2063
הָעִיר
この-町-を
אֶת־
H0853

主は仰せられる、わたしはこの所と、ここに住む者とにこのようにし、この町をトペテのようにする。

13 וְהָי֣וּ הַבָּתִּ֗ים יְרוּשָׁלַ֙͏ִם֙ וּבָתֵּ֣י מַלְכֵ֣י יְהוּדָ֔ה כַּמְּקוֹם֙ הַתֹּ֣פֶת הַטְּמֵאִ֔ים
וְהָיוּ
なる
H1961
הַבָּתִּים
家々-は
H1004
יְרוּשָׁלַ͏ִם
エルサレムの
H3389
וּבָתֵּי
家々-も
H1004
מַלְכֵי
王たちの
H4428
יְהוּדָה
ユダの
H3063
כַּמְּקוֹם
場所-のように
H4725
הַתֹּפֶת
トフェトの
H8612
הַטְּמֵאִים
汚れた
H2931

לְכֹל֙ צְבָ֣א הַשָּׁמַ֔יִם עַל־גַּגֹּתֵיהֶ֖ם קִטְּרוּ֙ אֲשֶׁ֣ר הַבָּתִּ֔ים לְכָל־
לְכֹל
すべての
H3605
צְבָא
軍勢-に
H6635
הַשָּׁמַיִם
天の
H8064
גַּגֹּתֵיהֶם
それらの-屋上の
H1406
עַל־
上-で
קִטְּרוּ
香を-たいた
אֲשֶׁר
ところの
הַבָּתִּים
家々-のこと
לְכָל־
すべての
H3605

וְהַסֵּךְ׃ נְסָכִ֖ים לֵאלֹהִ֥ים אֲחֵרִֽים׃ פ
וְהַסֵּךְ
注いだ
נְסָכִים
契酒-を
H5262
לֵאלֹהִים
神々-に
H0430
אֲחֵרִים׃
他の
H0312
פ
פ

エルサレムの家とユダの王たちの家、すなわち彼らがその屋上で天の衆群に香をたき、ほかの神々に酒を注いだ家は、皆トペテの所のように汚される』」。

14 וַיָּבֹ֣א יִרְמְיָ֗הוּ מֵהִתֹּ֙פֶת֙ אֲשֶׁ֣ר שְׁלָח֣וֹ יְהוָ֔ה לְהִנָּבֵ֑א וַיַּעֲמֹ֣ד בַּחֲצַ֖ר בֵּ֣ית־
וַיָּבֹא
帰って-来た
H0935
יִרְמְיָהוּ
エレミヤフは
H3414
מֵהִתֹּפֶת
トフェト-から
H8612
אֲשֶׁר
ところの
שְׁלָחוֹ
遣わした
H7971
יְהוָה
主-が
H3068
לְהִנָּבֵא
預言する-ために
H5012

וַיֹּ֥אמֶר אֶל־כָּל־הָעָֽם׃ ס
וַיֹּאמֶר
言った
H0559
אֶל־
H0413
כָּל־
すべての
H3605
הָעָם׃
民-に
ס
ס

בֵּית־
家-の
יְהוָה
主の
H3068
בַּחֲצַר
庭-に
וַיַּעֲמֹד
立った
H5975

エレミヤは主が彼をつかわして預言させられたトペテから帰ってきて、主の家の庭に立ち、すべての民に言った、

15 כֹּה־ אָמַר יְהוָה צְבָאוֹת אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל הִנְנִי [מבין] (מֵבִיא) אֶל־
H3541 このように H0559 言われた H3068 主 H0430 神-は H3478 イスラエルの H2009 見よ-わたしは H0935 [] H0935 もたらす H0413 []

עַל־ וְעַל־ הָעִיר הַזֹּאת אֶת־ כָּל־ עָרֶיהָ כָּל־ אֲשֶׁר הָרָעָה
H3605 すべての H0853 [] H2063 []
その-町々-にも H3605 すべての その-災い-を ところの

לְבִלְתִּי עָרְפָּם אֶת־ הִקְשׁוּ כִּי עָלֶיהָ דִּבַּרְתִּי
H1115 聞かない-ために H6203 彼らの-うなじ-を H0853 [] H7185 彼らは-硬くした なぜなら それに-ついて H1696 わたしが-語った

שְׁמֹעַ אֶת־ דְּבָרָי׃
H8085 [] H0853 わたしの-言葉-を H1697

「万軍の主、イスラエルの神はこう仰せられる、見よ、わたしは、この町とそのすべての村々に、わたしの言ったもろもろの災を下す。彼らが強情で、わたしの言葉に聞き従おうとしないからである」。

Chapter 20

1 וַיִּשְׁמַע פַּשְׁחוּר בֶּן־ אִמֵּר הַכֹּהֵן וְהוּא־ פָקִיד נָגִיד
H8085 聞いた H6583 パシュフル-は H0564 イメルの H3548 祭司-であり H1931 彼は H6496 監督-で H5057 指導者-であった

בְּבֵית יְהוָה אֶת־ יִרְמְיָהוּ הִנָּבְא נְבָא אֶת־ הַדְּבָרִים הָאֵלֶּה׃
H3414 エレミヤフ-が H0853 [] H3068 主の H0853 [] H5012 預言した H1697 言葉-を H0428 これらの

さて祭司インメルの子で、主の宮のつかさの長であったパシュルは、エレミヤがこれらの事を預言するのを聞いた。

2 וַיַּכֶּה פַּשְׁחוּר אֶת־ יִרְמְיָהוּ הַנָּבִיא וַיִּתֵּן אֹתוֹ עַל־ הַמַּהְפֶּכֶת
H5221 打った H6583 パシュフルは H0853 [] H3414 エレミヤフ-を H5030 預言者-を H5414 入れた H0853 [] 彼-を H4115 足かせ-に

אֲשֶׁר בְּשַׁעַר בִּנְיָמִן הָעֶלְיוֹן בְּבֵית יְהוָה׃
ところの H8179 門-にある H1144 ビニヤミンの 上の H3414 家-にある 主の H3068

そしてパシュルは預言者エレミヤを打ち、主の宮にある上のベニヤミンの門の足かせにつないだ。

3 וַיְהִי מִמָּחֳרָת וַיֹּצֵא פַּשְׁחוּר אֶת־ יִרְמְיָהוּ מִן־ הַמַּהְפֶּכֶת וַיֹּאמֶר
H1961 翌日-になった H4283 [] H3318 出した H6583 パシュフルは H0853 [] H3414 エレミヤフ-を H4115 足かせ-から H0559 言った

אֵלָיו יִרְמְיָהוּ לֹא פַשְׁחוּר קָרָא יְהוָה שְׁמֶךָ כִּי אִם־
H0413 彼-に H3414 エレミヤフは H3808 ではない H6583 パシュフル-と H7121 呼んだ H3068 主は H8034 お前の-名-を H3588 そうではなく H0518 []

פ מָגוֹר מִסָּבִיב׃
פ H4036 [] H4036 四方-からの-恐怖

その翌日パシュルがエレミヤを足かせから解き放した時、エレミヤは彼に言った、「主はあなたの名をパシュルとは呼ばないで、『恐れが周囲にある』と呼ばれる。

4 כִּי כֹה אָמַר יְהוָה הִנְנִי נֹתֶנְךָ לְמָגוֹר לְךָ
なぜなら このように 言われた 主は 見よ-わたしは する 恐怖-と お前-にとって
H3541 H0559 H3068 H2009 H5414 H4032

וּלְכָל־ אֹהֲבֶיךָ וְנָפְלוּ בְּחֶרֶב אֹיְבֵיהֶם וְעֵינֶיךָ רֹאוֹת וְאֶת־
すべての-お前の-友-にとって-も 倒れる 剣-で 彼らの-敵の お前の-目-が 見ている
H3605 H0157 H5307 H2719 H0341 H7200 H0853

כָּל־ יְהוּדָה אֶתֵּן בְּיַד מֶלֶךְ־ בָּבֶל וְהִגְלָם בָּבֶל וְהִכָּם
すべての ユダ-を わたしは-渡す 手-に 王-の バビロンの 捕らえ-置き バビロン-に 打つ
H3605 H3063 H5414 H3027 H4428 H0894 H1540 H0894 H5221

בָּחָרֶב׃
剣-で
H2719

主はこう仰せられる、見よ、わたしはあなたを、あなた自身とあなたのすべての友だちに恐れを起させる者とする。彼らはあなたが見ている目の前で敵のつるぎに倒れる。わたしはまたユダのすべての民をバビロン王の手に渡す。彼は彼らを捕えてバビロンに移し、つるぎをもって殺す。

5 וְנָתַתִּי אֶת־ כָּל־ הָעִיר הַזֹּאת וְאֶת־ כָּל־ יְגִיעָהּ
わたしは-与える 全-を この-町の 全-の 全-の その-労苦の-実-を
H5414 H0853 H3605 H2633 H2063 H0853 H3605 H3018

וְאֶת־ כָּל־ יְקָרָהּ וְאֵת מַלְכֵי יְהוּדָה בְּיַד אֶתֵּן אוֹצְרוֹת כָּל־ וְאֵת
全-を その-宝-を 全-の ユダの 王たちの 手-に わたしは-与える 宝物-を 全-の 全-を
H0853 H3366 H3605 H4428 H3027 H5414 H0214 H3605 H0853

וְהֵבִיאוּם וּבְזָזוּם וּלְקָחוּם בָּבֶלָה׃ אֹיְבֵיהֶם
運ぶ 奪い 取り バビロン-に 彼らの-敵の
H0935 H0962 H3947 H0894 H0341

わたしはまたこの町のすべての富と、その獲たすべての物と、そのすべての貴重な物と、ユダの王たちのすべての宝物をその敵の手に渡す。彼らはこれをかすめ、民を捕えてバビロンに移す。

6 וְאַתָּה פַּשְׁחוּר וְכֹל יֹשְׁבֵי בֵּיתֶךָ תֵּלְכוּ בַּשֶּׁבִי וּבָבֶל תָּבוֹא
お前は パシュフル-よ 全-の 住民-は お前の-家の 行く 捕囚-に バビロン-に
H0935 H6583 H3605 H3427 H3212 H0894

וְשָׁם תָּמוּת וְשָׁם תִּקָּבֵר אַתָּה וְכָל־ אֹהֲבֶיךָ אֲשֶׁר־ נִבָּאתָ
そこ-で 死ぬ そこ-で 埋葬られる お前-は 全-の お前の-友-も ところの お前が-預言した
H8033 H4191 H8033 H6912 H0859 H3605 H0157 H5012

לָהֶם בַּשָּׁקֶר׃ ס
彼ら-に 偽り-で
H1992 H8267

パシュルよ、あなたと、あなたの家に住む者とはみな捕え移される。あなたはバビロンに行って、その所で死に、その所に葬られる。あなたも、あなたが偽って預言した言葉に聞き従った友もみなそのようになる」。

7 פִּתִּיתַנִי יְהוָה וָאֶפָּת חֲזַקְתַּנִי וַתּוּכָל וָאֶהְיֶה לִשְׂחוֹק כָּל־
わたしは-惑わされた 主よ 惑わされた 強かった あなたは-勝った なった 笑いもの-に 一日-中
H3605 H7814 H1961 H3201 H2388 H3068 H6601

הַיּוֹם כֻּלֹּה לְעֵג לִי׃
すべて-が 嘲る わたし-を
H3117 H3605 H3932

主よ、あなたがわたしを欺かれたので、わたしはその欺きに従いました。あなたはわたしよりも強いので、わたしを説き伏せられたのです。わたしは一日中、物笑いとなり、人はみなわたしをあざけります。

8	הָיָה	כִּי־	אֶקְרָא	וָשֹׁד	חָמָס	אֶזְעָק	אֲדַבֵּר	מִדֵּי	כִּי־
	なった	なぜなら	叫ぶ	破壊–と	暴力–と	叫ぶ	わたしが–語れば	そのたびに	なぜなら
	H1961		H7121	H7701	H2555	H2199	H1696	H1767	

הַיּוֹם׃	כָּל־	וּלְקֶלֶס	לְחֶרְפָּה	לִי	יְהוָה	דְּבַר־	
―	一日–中	嘲り–に	そしり–に	わたし–にとって	主の	言葉–が	
H3117	H3605	H7047	H2781		H3068	H1697	

それは、わたしが語り、呼ばわるごとに、「暴虐、滅亡」と叫ぶからです。主の言葉が一日中、わが身のはずかしめと、あざけりになるからです。

9	וְהָיָה	בִשְׁמוֹ	עוֹד	אַדַבְּר	וְלֹא־	אֶזְכְּרֶנּוּ	לֹא־	וְאָמַרְתִּי	
	しかし–なった	その–名–で	もはや	―	語るまい	―	思い–出すまい	わたしは–言った	
	H1961	H8034	H5750	H1696	H3808	H2142	H3808	H0559	

וְנִלְאֵיתִי	בְּעַצְמֹתָי	עָצֵר	בְּעֶרֶת	כְּאֵשׁ	בְּלִבִּי
わたしは–疲れた	わたしの–骨–の中–に	閉じ込められた	燃える	火–のように	わたしの–心–の中–に
H3811	H6106	H6113		H0784	

אוּכָל׃	וְלֹא	כַּלְכֵּל
―	できない	堅える–ことに
H3201	H3808	H3557

もしわたしが、「主のことは、重ねて言わない、このうえその名によって語る事はしない」と言えば、主の言葉がわたしの心にあって、燃える火のわが骨のうちに閉じこめられているようで、それを押えるのに疲れはてて、耐えることができません。

10	וְנַגִּידֻהוּ	הַגִּידוּ	מְסָבִיב׃	מָגוֹר	רַבִּים׀	דִּבַּת	שָׁמַעְתִּי	כִּי	
	知らせよう	知らせよ	―	四方–からの–恐怖	多くの者の	ささやき–を	聞いた	なぜなら	
	H5046	H5046	H5439	H4032		H1681	H8085		

יְפֻתֶּה	אוּלַי	צַלְעִי	שֹׁמְרֵי	שְׁלוֹמִי	אֱנוֹשׁ	כָּל	
惑わされる–か	あるいは	わたしの–つまづき–を	見張っている	わたしと–親しい	人–が	すべて	
	H0194	H6761	H8104	H7965	H0582	H3605	

מִמֶּנּוּ׃	נִקְמָתֵנוּ	וְנִקְחָה	לוֹ	וְנוּכְלָה	
彼から	わたしたちの–復讐–を	取ろう	彼–に	勝てよう	
	H5360	H3947		H3201	

多くの人のささやくのを聞くからです。恐れが四方にあります。「告発せよ。さあ、彼を告発しよう」と言って、わが親しい友は皆わたしのつまずくのを、うかがっています。また、「彼は欺かれるだろう。そのとき、われわれは彼に勝って、あだを返すことができる」と言います。

11	רֹדְפַי	כֵּן	עַל־	עָרִיץ	כְּגִבּוֹר	אוֹתִי	וַיהוָה		
	わたしの–迫害者–は	―	それゆえ	恐ろしい	勇士–のように	わたし–共に	しかし–主は		
	H7291			H6184	H1368	H0853	H3068		

עוֹלָם	כְּלִמַּת	הִשָּׂכִילוּ	לֹא	כִּי־	מְאֹד	בֹּשׁוּ	יִכָּלְמוּ	וְלֹא	יִכָּשְׁלוּ
永遠の	辱め–は	―	成功しなかった	なぜなら	大いに	恥じる	―	勝てない	つまづく
H5769	H3639		H3808		H3966	H0954	H3201	H3808	H3782

תִּשָּׁכֵחַ׃	לֹא
―	忘れられない
H7911	H3808

しかし主は強い勇士のようにわたしと共におられる。それゆえ、わたしに迫りくる者はつまずき、わたしに打ち勝つことはできない。彼らは、なし遂げることができなくて、大いに恥をかく。その恥は、いつまでも忘れられることはない。

אֶרְאֵה	וָלֵב	כִּלְיוֹת	רֹאֵה	צַדִּיק	בֹּחֵן	צְבָאוֹת	יְהוָה		12
見せてください	心-を	はらわた-と	見る者-よ	義人-を	調べる者-よ	万軍の	主よ		
H7200		H3629	H7200	H6662	H0974		H3068		

ס	רִיבִי׃	אֵת־	גָּלִיתִי	אֵלֶיךָ	כִּי	מֵהֶם	נְקָמָתְךָ	
ס	わたしの-訴え-を	𐤀𐤕	わたしは-委ねた	あなた-に	なぜなら	彼らからの	あなたの-復讐-を	
	H7379	H0853	H1540	H0413		H1992	H5360	

正しき者を試み、人の心と思いを見られる万軍の主よ、あなたが彼らに、あだを返されるのを見せてください。わたしはあなたに、わたしの訴えをお任せしたからです。

מִיַּד	אֶבְיוֹן	נֶפֶשׁ	אֵת־	הִצִּיל	כִּי	יְהוָה	אֵת־	הַלְלוּ	לַיהוָה	שִׁירוּ	13
手-から	貧しい者の	魂-を	𐤀𐤕	救った	なぜなら	主-を	𐤀𐤕	賛美せよ	主-に	歌え	
H3027	H0034	H5315	H0853	H5337		H3068	H0853		H3068	H7891	

ס	מְרֵעִים׃	
ס	悪を-行う者の	

主に向かって歌い、主をほめたたえよ。主は貧しい者の命を、悪人の手から救われたからである。

יְלָדַתְנִי	אֲשֶׁר־	יוֹם	בּוֹ	יְלָדַתְנִי	אֲשֶׁר	הַיּוֹם	אָרוּר	14
わたしの-母が-産んだ	ところの	日-は	そこに	わたしが-生まれた	ところの	その-日-は	呪われよ	
H3205		H3117		H3205		H3117	H0779	

בָּרוּךְ׃	יְהִי	אַל־	אִמִּי
𐤁𐤓𐤊	なるな	祝福されるな	𐤀𐤌
H1288	H1961	H0408	H0517

わたしの生れた日はのろわれよ。母がわたしを産んだ日は祝福を受けるな。

לְךָ	יֻלַּד־	לֵאמֹר	אָבִי	אֵת־	בְּשַׂר	אֲשֶׁר	הָאִישׁ	אָרוּר	15
お前-に	生まれた	言って	わたしの-父-に	𐤀𐤕	知らせた	ところの	その-人-は	呪われよ	
	H3205	H0559	H0001	H0853	H1319		H0376	H0779	

שַׂמֵּחַ	זָכָר	בֵּן	שִׂמְּחָהוּ׃
大いに-喜ばせた	男の	息子-が	𐤔𐤌𐤇𐤄𐤅
H8055	H2145		H8055

わたしの父に「男の子が、生れました」と告げて、彼を大いに喜ばせた人は、のろわれよ。

נִחָם	וְלֹא	יְהוָה	הָפַךְ	אֲשֶׁר־	כֶּעָרִים	הַהֹוא	הָאִישׁ	וְהָיָה	16
𐤍𐤇𐤌	惜しまず	主-が	覆した	ところの	町々-のように	𐤄𐤄𐤅𐤀	その-人-は	なる-ように	
H5162	H3808	H3068	H2015			H1931	H0376	H1961	

צָהֳרָיִם׃	בְּעֵת	וּתְרוּעָה	בַּבֹּקֶר	זְעָקָה	וְשָׁמַע
正午の	時-に	雄たけび-を	朝-に	叫び-を	聞く-ように
	H6256	H8643	H1242	H2201	H8085

その人は、主のあわれみを受けることなく、滅ぼされた町のようになれ。朝には、彼に叫びを聞かせ、昼には戦いの声を聞かせよ。

אִמִּי	לִי	וַתְּהִי־	מֵרֶחֶם	מוֹתְתַנִי	לֹא־	אֲשֶׁר			17
わたしの-母-が	わたし-にとって	なった-であろうに	胎-から	𐤌𐤅𐤕𐤕𐤍𐤉	殺さなかった	ところの			
H0517		H1961	H7358	H4191	H3808				

עוֹלָם׃	הֲרַת	וְרַחְמָהּ	קִבְרִי	
永遠-に	孕んだ	その-胎-が	わたしの-墓-に	
H5769		H7358	H6913	

彼がわたしを胎内で殺さず、わが母をわたしの墓場となさず、その胎をいつまでも大きくしなかったからである。

בְּבֹ֥שֶׁת	וַיִּכְל֖וּ	וְיָגוֹן֙	עָמָ֔ל	לִרְא֥וֹת	יָצָ֣אתִי	מֵרֶ֑חֶם	זֶ֚ה	לָּמָּה	18
恥–の中–で	終わる	悲しみ–を	労苦–と	見る–ために	わたしは–出たのか	胎–から	これ–は	なぜ	
H1322	H3615	H3015	H5999	H7200	H3318	H7358	H2088	H4100	

פ	יָמָֽי׃	
פ	わたしの–日々–が	
	H3117	

なにゆえにわたしは胎内を出てきて、悩みと悲しみに会い、恥を受けて一生を過ごすのか。

Chapter 21

הַמֶּ֣לֶךְ	אֵלָ֗יו	בִּשְׁלֹ֤חַ	יְהוָה֙	מֵאֵ֣ת	יִרְמְיָ֔הוּ	אֶל־	הָיָ֖ה	אֲשֶׁר־	הַדָּבָ֑ר	1
王–が	彼–に	遣わした–とき	主の	から	エレミヤフ–に		あった	ところの	言葉–は	
H4428	H0413	H7971	H3068	H0854	H3414	H0413	H1961		H1697	

בֶּן־	צְפַנְיָ֣ה	וְאֶת־	מַלְכִּיָּ֔ה	בֶּן־	פַּשְׁח֖וּר	אֶת־	צִדְקִיָּ֥הוּ	
息子–の	ツェファニヤ–を		マルキヤの	息子–の	パシュフル–を		ツィデキヤフ–が	
	H6846	H0853	H4441		H6583	H0853	H6667	

לֵאמֹֽר׃	הַכֹּהֵ֣ן	מַעֲשֵׂיָ֔ה
言って	祭司–を	マアセヤの
H0559	H3548	H4641

ゼデキヤ王は、マルキヤの子パシュルと祭司マアセヤの子ゼパニヤを、エレミヤのもとにつかわし、

מֶ֣לֶךְ־	נְבוּכַדְרֶאצַּ֗ר	כִּ֤י	יְהוָה֙	אֶת־	בַּעֲדֵ֔נוּ	נָ֣א	דְרָשׁ־	2
王–が	ネブカドネツァル	なぜなら	主–に		わたしたちの–ために	どうか	尋ねてくれ	
H4428	H5019		H3068	H0853	H1157	H4994	H1875	

אוֹתָ֑נוּ	יְהוָה֙	יַעֲשֶׂ֣ה	אוּלַ֔י	עָלֵ֖ינוּ	נִלְחָ֥ם	בָּבֶֽל
わたしたち–のために	主–が	行ってくださる	あるいは	わたしたちに–対して	戦っている	バビロンの
H0854	H3068		H0194			H0894

ס	מֵעָלֵֽינוּ׃	וְיַעֲלֶ֔ה	נִפְלְאֹתָ֖יו	כְּכָל־
ס	わたしたちから	上って–行く–ように		すべての–その–奇蹟–によって
		H5927	H6381	H3605

「バビロンの王ネブカデレザルがわれわれを攻めようとしているゆえ、われわれのために主に尋ねてほしい。主はそのもろもろの不思議なわざをもって、われわれを助け、バビロンの王をわれわれから退かせられるかも知れない」と言わせた。その時、主の言葉がエレミヤに臨んだ。

צִדְקִיָּֽהוּ׃	אֶל־	תֹּאמְר֥וּן	כֹּ֛ה	אֲלֵיהֶ֖ם	יִרְמְיָ֑הוּ	וַיֹּ֥אמֶר	3
ツィデキヤフ–に		言え	このように	彼ら–に	エレミヤフは	言った	
H6667	H0413	H0559	H3541	H0413	H3414	H0559	

エレミヤは彼らに答えて言った、「あなたがたはゼデキヤにこのように言いなさい、

כְּלֵי־ 武器–を H3627 אֶת־ 〜 H0853 מֹסֵב 向きを–変える H5437 הִנֵּנִי 見よ–わたしは H2009 יִשְׂרָאֵל イスラエルの H3478 אֱלֹהֵי 神–は H0430 יְהוָה 主 H3068 אָמַר 言われた H0559 כֹּה־ このように H3541 4

אֶת־ 〜 H0854 בָּם それら–で נִלְחָמִים 戦っている אַתֶּם あなたがた–が אֲשֶׁר ところの בְּיֶדְכֶם あなたがたの–手–にある H3027 אֲשֶׁר ところの הַמִּלְחָמָה 戦いの H4421

וְאָסַפְתִּי 集める H0622 לַחוֹמָה 城壁の H2346 מִחוּץ 外–から H2351 עֲלֵיכֶם あなたがたに–対して הַצָּרִים 囲んでいる הַכַּשְׂדִּים カルデア人–と H3778 וְאֶת־ 〜 H0854 בָּבֶל バビロンの H0894 מֶלֶךְ 王–と H4428

הַזֹּאת׃ 〜 H2063 הָעִיר この–町の תּוֹךְ 中–に H8432 אֶל־ 〜 H0413 אוֹתָם それら–を H0853

『イスラエルの神、主はこう仰せられる、見よ、あなたがたが、この城壁の外にあって、あなたがたを攻め囲むバビロンの王およびカルデヤびとと戦うとき、わたしはあなたがたの手に持っている武器をとりあげ、これを町の中に集めさせる。

וְנִלְחַמְתִּי 戦う אֲנִי わたし自身–が H0589 אִתְּכֶם あなたがた–と H0854 בְּיָד 手–で H3027 נְטוּיָה 伸ばした H5186 וּבִזְרוֹעַ 腕–で H2220 חֲזָקָה 強い H2389 וּבְאַף 怒り–で H0639 וּבְחֵמָה 激しい–怒り–で H2534 5

גְּדוֹל׃ 大きな וּבְקֶצֶף 憤り–で

わたしは手を伸べ、強い腕をもって、怒り、憤り、激しく怒って、あなたがたを攻める。

וְהִכִּיתִי 打つ H5221 אֶת־ 〜 H0853 יוֹשְׁבֵי 住民–を H3427 הָעִיר この–町の הַזֹּאת 〜 H2063 וְאֶת־ 〜 H0853 הָאָדָם 人–も H0120 וְאֶת־ 〜 H0853 הַבְּהֵמָה 家畜–も H0929 בְּדֶבֶר 疫病–で H1698 גְּדוֹל 大きな 6

יָמֻתוּ׃ 死ぬ H4191

わたしはまたこの町に住む人と獣とを撃つ。彼らはみな重い疫病にかかって死ぬ。

וְאַחֲרֵי־ その–後 כֵן 〜 נְאֻם־ 御告げ H5002 יְהוָה 主の H3068 אֶתֵּן わたしは–渡す H5414 אֶת־ 〜 H0853 צִדְקִיָּהוּ ツィデキヤフ–を H6667 מֶלֶךְ־ 王–を H4428 יְהוּדָה ユダの H3063 וְאֶת־ 〜 H0853 7

מִן־ から וְהַדֶּבֶר 疫病–から H1698 מִן־ から הַזֹּאת 〜 H2063 בָּעִיר この–町–に הַנִּשְׁאָרִים 残った者–を H7604 וְאֶת־ 〜 H0853 הָעָם 民–を וְאֶת־ 〜 H0853 וְעַבָדָיו その–家臣–を H5650

אֹיְבֵיהֶם 彼らの–敵の H0341 וּבְיַד 手–に H3027 בָּבֶל バビロンの H0894 מֶלֶךְ־ 王–の H4428 נְבוּכַדְרֶאצַּר ネブカドネツァルの H5019 בְּיַד 手–に H3027 הָרָעָב 飢饉–から H7458 וּמִן־ から הַחֶרֶב 剣–から H2719

עֲלֵיהֶם 彼ら–に יָחוֹס 〜 H2347 לֹא־ 惜しまない H3808 חֶרֶב 〜 H2719 לְפִי־ 剣の–刃–で H6310 וְהִכָּם 打つ H5221 נַפְשָׁם 〜 H5315 מְבַקְשֵׁי 彼らの–命を–求める者の H1245 וּבְיַד 手–に H3027

יְרַחֵם׃ 〜 H7355 וְלֹא 容赦しない H3808 יַחְמֹל 〜 H2550 וְלֹא 哀れまない H3808

主は言われる、この後、わたしはユダの王ゼデキヤとその家来たち、および疫病と、つるぎと、ききんを免れて、この町に残っている民を、バビロンの王ネブカデレザルの手と、その敵の手、およびその命を求める者の手に渡す。バビロンの王はつるぎの刃にかけて彼らを撃ち、彼らを惜しまず、顧みず、またあわれむこともしない』。

נֹתֵן	הִנְנִי	יְהוָה	אָמַר	כֹּה	תֹּאמַר	הַזֶּה	הָעָם	וְאֶל־	8
置く	見よ–わたしは	主は	言われた	このように	言え	☐	この–民–に	☐	
H5414	H2009	H3068	H0559	H3541	H0559	H2088		H0413	

הַמָּוֶת׃	דֶּרֶךְ	וְאֶת־	הַחַיִּים	דֶּרֶךְ	אֶת־	לִפְנֵיכֶם	
死の	道–を	☐	いのちの	道–を	☐	あなたがたの–前–に	
H4194	H1870	H0853		H1870	H0853	H6440	

あなたはまたこの民に言いなさい、『主はこう仰せられる、見よ、わたしは命の道と死の道とをあなたがたの前に置く。

וְנָפַל	וְהַיּוֹצֵא	וּבַדֶּבֶר	וּבָרָעָב	בַּחֶרֶב	יָמוּת	הַזֹּאת	בָּעִיר	הַיֹּשֵׁב	9
降伏して	しかし–出る者は	疫病–で	飢饉–で	剣–で	死ぬ	☐	この–町–に	留まる者は	
H5307	H3318	H1698	H7458	H2719	H4191	H2063		H3427	

לוֹ	וְהָיְתָה־	(וְחָיָה	[יחיה]	עֲלֵיכֶם	הַצָּרִים	הַכַּשְׂדִּים	עַל־	
彼–にとって	なる	生きる	☐	あなたがたに–対して	囲んでいる	カルデア人–に	☐	
	H1961	H2421	H2421			H3778		

לְשָׁלָל׃	נַפְשׁוֹ
戦利品–と	その–命–が
H7998	H5315

この町にとどまる者は、つるぎと、ききんと、疫病とで死ぬ。しかし、出て行って、あなたがたを攻め囲んでいるカルデヤびとに降伏する者は死を免れ、その命は自分のぶんどり物となる。

וְלֹא	לְרָעָה	הַזֹּאת	בָּעִיר	פָּנַי	שַׂמְתִּי	כִּי			10
善–のために–ではなく	災い–のために	☐	この–町–に	わたしの–顔–を	わたしは–向けた	なぜなら			
H3808		H2063		H6440					

ס	בָּאֵשׁ׃	וּשְׂרָפָהּ	תִּנָּתֵן	בָּבֶל	מֶלֶךְ	בְּיַד־	יְהוָה	נְאֻם־	לְטוֹבָה
ס	火–で	焼く	渡される	バビロンの	王–の	手–に	主の	御告げ	☐
	H0784	H8313	H5414	H0894	H4428	H3027	H3068	H5002	

主は言われる、わたしがこの町に顔を向けたのは幸を与えるためではなく、災を与えるためである。この町はバビロンの王の手に渡される。彼は火をもって、これを焼き払う』。

יְהוָה׃	דְּבַר־	שִׁמְעוּ	יְהוּדָה	מֶלֶךְ	וּלְבֵית	11
主の	言葉–を	聞け	ユダの	王の	家–に	
H3068	H1697	H8085	H3063	H4428		

またユダの王の家に言いなさい、『主の言葉を聞きなさい。

גָּזוּל	וְהַצִּילוּ	מִשְׁפָּט	לַבֹּקֶר	דִּינוּ	יְהוָה	אָמַר	כֹּה	דָּוִד	בֵּית	12
奪われた者–を	救え	正義–を	朝–に	裁け	主は	言われた	このように	ダビデの	家–よ	
H1497	H5337	H4941	H1242	H1777	H3068	H0559	H3541	H1732		

וְאֵין	וּבָעֲרָה	חֲמָתִי	כָּאֵשׁ	תֵּצֵא	פֶּן־	עוֹשֵׁק	מִיַּד	
消す者–がない	燃える	わたしの–怒り–が	火–のように	出る	さもないと	虐げる者の	手–から	
H0369		H2534	H0784	H3318	H6435	H6231	H3027	

מַעַלְלֵיכֶם׃)	[מעלליהם]	רַע	מִפְּנֵי	מִכַּבֶּה
あなたがたの–わざの	☐	悪–の	の–ゆえに	☐
H4611	H4611	H7455	H6440	H3518

ダビデの家よ、主はこう仰せられる、朝ごとに、正しいさばきを行い、物を奪われた人をしえたげる者の手から救え。そうしないと、あなたがたの悪い行いのために、わたしの怒りは火のように燃えて、それを消すことはできない』」。

הָאֹמְרִים	יְהוָה	נְאֻם־	הַמִּישֹׁר	צוּר	הָעֵמֶק	יֹשֶׁבֶת	אֵלַיִךְ	הִנְנִי		13
言う者-よ	主の	御告げ	平地の	岩-よ	谷の	住む者-よ	お前-に向かう	見よ-わたしは		
H0559	H3068	H5002	H4334	H6697	H6010	H3427	H0413	H2009		

בִּמְעוֹנוֹתֵינוּ׃	יָבוֹא	וּמִי	עָלֵינוּ	יֵחָת	מִי־
わたしたちの-住まい-に	入る-のか	だれ-が	わたしたちに-対して	下って-来る-のか	だれ-が
H4585	H0935	H4310		H5181	H4310

「主は言われる、谷に住む者よ、平原の岩よ、見よ、わたしはあなたに敵する。あなたがたは言う、『だれが下ってきて、われわれを攻めるものか、だれがわれわれのいる所に、はいるものか』と。

אֵשׁ	וְהִצַּתִּי	יְהוָה	נְאֻם־	מַעַלְלֵיכֶם	כְּפִרְיֵ	עֲלֵיכֶם	וּפָקַדְתִּי		14
火-を	放つ	主の	御告げ	あなたがたの-わざの-実-に	応じて	あなたがた-に	わしは-罰する		
H0784	H3341	H3068	H5002	H4611	H6529				

ס	סְבִיבֶיהָ׃	כָּל־	וְאָכְלָה	בְיִעְרָהּ
ס	その-周り-を	すべての	焼き尽くす	その-森-に
	H5439	H3605	H0398	

わたしはあなたがたを、その行いの実によって罰する。またその林に火をつけて、その周囲のものをみな焼き尽すと、主は言われる」。

Chapter 22

אֶת־	שָׁם	וְדַבַּרְתָּ	יְהוּדָה	מֶלֶךְ	בֵּית־	רֵד	יְהוָה	אָמַר	כֹּה	1
	そこ-で	語れ	ユダの	王の	家-に	下って-行け	主は	言われた	このように	
H0853	H8033	H1696	H3063	H4428		H3381	H3068	H0559	H3541	

הַזֶּה׃	הַדָּבָר
	この-言葉-を
H2088	H1697

主はこう言われる、「ユダの王の家に下り、その所にこの言葉をのべて、

דָּוִד	כִּסֵּא	עַל־	הַיֹּשֵׁב	יְהוּדָה	מֶלֶךְ	יְהוָה	דְּבַר־	שְׁמַע	וְאָמַרְתָּ	2
ダビデの	王座-の	上-に	座っている者-よ	ユダの	王-よ	主の	言葉-を	聞け	言え	
H1732	H3678		H3427	H3063	H4428	H3068	H1697	H8085	H0559	

ס	הָאֵלֶּה׃	בַּשְּׁעָרִים	הַבָּאִים	וְעַמֶּךָ	וַעֲבָדֶיךָ	אַתָּה
ס	これらの	門々-から	入る者-よ	お前の-民-よ	お前の-家臣-よ	お前-よ
	H0428	H8179	H0935		H5650	

言いなさい、『ダビデの位にすわるユダの王よ、あなたと、あなたの家臣、および、この門からはいるあなたの民は主の言葉を聞きなさい。

מִיַּד	גָּזוּל	וְהַצִּילוּ	וּצְדָקָה	מִשְׁפָּט	עֲשׂוּ	יְהוָה	אָמַר	כֹּה		3
手-から	奪われた者-を	救え	公正-を	正義-を	行え	主は	言われた	このように		
H3027	H1497	H5337	H6666	H4941		H3068	H0559	H3541		

וְדָם	תַּחְמְסוּ	אַל־	תֹּנוּ	אַל־	וְאַלְמָנָה	יָתוֹם	וְגֵר	עָשׁוֹק	
血-を		暴力-を-振るうな		虐げるな	寡婦-を	孤児-を	在留者-を	虐げる者の	
H1818	H2554	H0408	H3238	H0408	H0490	H3490	H1616	H6216	

הַזֶּה׃	בַּמָּקוֹם	תִּשְׁפְּכוּ	אַל־	נָקִי	
	この-場所-で		流すな	罪なき者の	
H2088	H4725	H8210	H0408		

主はこう言われる、公平と正義を行い、物を奪われた人を、しえたげる者の手から救い、異邦の人、孤児、寡婦を悩まし、しえたげてはならない。またこの所に、罪なき者の血を流してはならない。

4

בִּשְׁעָרֵי	וּבָאוּ	הַזֶּה	הַדָּבָר	אֶת־	תָּעֲשׂוּ	עָשׂוֹ	אִם־	כִּי
門々-から	入ってくる		この-言葉-を		行う-なら	実行して	もし	なぜなら
H8179	H0935	H2088	H1697	H0853				

בָּרֶכֶב	וְרֹכְבִים	כִּסְאוֹ	עַל־	לְדָוִד	יֹשְׁבִים	מְלָכִים	הַזֶּה	הַבַּיִת
戦車-に	乗って	その-王座の	上-に	ダビデ-のために	座っている	王たち-が		この-家の
H7393	H7392	H3678		H1732	H3427	H4428	H2088	

וְעַמּוֹ׃	)וַעֲבָדָיו(	]ועבדו[	הוּא	וּבַסּוּסִים
その-民-と	その-家臣-と		彼-と	馬-に
	H5650	H5650	H1931	

もしあなたがたがこの言葉を真実に行うならば、ダビデの位にすわる王とその家臣、およびその民は、車と馬に乗って、この家の門にはいることができる。

5

נִשְׁבַּעְתִּי	בִּי	הָאֵלֶּה	הַדְּבָרִים	אֶת־	תִּשְׁמְעוּ	לֹא	וְאִם	
誓った	わたし-にかけて		これらの-言葉-を			聞かない-なら	しかし-もし	
H7650		H0428	H1697	H0853	H8085	H3808		

ס	הַזֶּה׃	הַבַּיִת	יִהְיֶה	לְחָרְבָּה	כִּי־	יְהוָה	נְאֻם־	
ס		この-家-は	なる	廃墟-に	なぜなら	主の	御告げ	
	H2088		H1961	H2723		H3068	H5002	

しかしあなたがたがこの言葉を聞かないならば、わたしは自身をさして誓うが、この家は荒れ地となると、主は言われる。

6

אַתָּה	גִּלְעָד	יְהוּדָה	מֶלֶךְ	בֵּית	עַל־	יְהוָה	אָמַר	כֹּה	כִּי־
お前は	ギレアデ-である	ユダの	王の	家-の	に-ついて	主は	言われた	このように	なぜなら
	H1568	H3063	H4428			H3068	H0559	H3541	

לֹא	עָרִים	מִדְבָּר	אֲשִׁיתֶךָּ	לֹא	אִם־	הַלְּבָנוֹן	רֹאשׁ	לִי
住まれない	町々-と	荒野-と		しない-なら	もし	レバノンの	頂-である	わたし-にとって
H3808			H7896	H3808		H3844		

)נוֹשָׁבוּ׃(	]נושבה[	
H3427	H3427	

主はユダの王の家についてこう言われる、あなたはわたしに対してギレアデのようであり、レバノンの頂のようである。しかし、わたしは必ずあなたを荒れ地にし、人の住まない町にする。

7

אַרְזֶיךָ	מִבְחַר	וְכָרְתוּ	וְכֵלָיו	אִישׁ	מַשְׁחִתִים	עָלֶיךָ	וְקִדַּשְׁתִּי	
お前の-杉-を	選ばれた	切り倒す	その-武器-を持つ	各自	滅ぼす者-を	お前に-対して	尋ねる	
H0730	H4005	H3772	H3627	H0376	H7843		H6942	

הָאֵשׁ׃	עַל־	וְהִפִּילוּ
火の	上-に	落とす
H0784		H5307

わたしは滅ぼす者を設けて、あなたを攻めさせる、彼らはおのおのその武器をとり、あなたの麗しい香柏を切り倒し、火に投げ入れる。

8

רֵעֵהוּ	אֶל־	אִישׁ	וְאָמְרוּ	הַזֹּאת	הָעִיר	עַל	רַבִּים	גּוֹיִם	וְעָבְרוּ
その-友-に		人-が	言う		この-町-の	に-ついて	多くの	国々-が	通り過ぎる
H7453	H0413	H0376	H0559	H2063					

הַזֹּאת׃	הַגְּדוֹלָה	לָעִיר	כָּכָה	יְהוָה	עָשָׂה	מֶה	עַל־
	大きな	この-町-に	このように	主は	した-のか		なぜ
H2063			H3602	H3068		H4100	

多くの国の人はこの町を過ぎ、互に語って、「なぜ主はこの大いなる町をこのようにされたのか」と言うとき、

9

וַיִּשְׁתַּחֲווּ אֱלֹהֵיהֶם יְהוָה בְּרִית אֶת־ עָזְבוּ אֲשֶׁר עַל וְאָמְרוּ
ひと伏した 彼らの–神の 主の 契約–を 彼らが–捨てた に–ついて 彼らは–答える
H7812 H0430 H3068 H1285 H0853 H0559

ס וַיַּעַבְדוּם׃ אֲחֵרִים לֵאלֹהִים
ס 仕えた 他の 神々–に
H5647 H0312 H0430

人は答えて、「これは彼らがその神、主の契約を捨てて他の神々を拝し、これに仕えたからである」と言うであろう』」。

10

לַהֹלֵךְ בָּכוֹ בְּכוּ לוֹ תָּנֻדוּ וְאַל־ לְמֵת תִּבְכּוּ אַל־
去り–行く者の–ために 激しく 泣け 彼–のために 悲しむな 死人–のために 泣くな
H1980 H1058 H1058 H5110 H0408 H4191 H1058 H0408

ס מוֹלַדְתּוֹ׃ אֶרֶץ אֶת־ וְרָאָה עוֹד יָשׁוּב לֹא כִּי
ס 生まれ–故郷の 地–を 見ない もはや 帰らない なぜなら
H4138 H0776 H0853 H7200 H5750 H7725 H3808

死んだ者のために泣くことなく、またそのために嘆いてはならない。捕え移されてゆく者のために、激しく泣け。彼はふたたび帰ってきて、その故郷を見ることがないからである。

11

מֶלֶךְ יאֹשִׁיָּהוּ בֶּן־ שַׁלֻּם אֶל־ יְהוָה אָמַר־ כֹּה כִּי
王–の ヨシヤフの 息子–の シャルム–について 主は 言われた このように なぜなら
H4428 H2977 H7967 H0413 H3068 H0559 H3541

מִן־ יָצָא אֲשֶׁר אָבִיו יאֹשִׁיָּהוּ תַּחַת הַמֹּלֵךְ יְהוּדָה
から 出た ところの 彼の–父の ヨシヤフの 代わり–に 王となった者–である ユダの
H3318 H0001 H2977 H8478 H3063

עוֹד׃ שָׁם יָשׁוּב לֹא־ הַזֶּה הַמָּקוֹם
もはや そこ–に 帰らない この–場所–から
H5750 H8033 H7725 H3808 H2088 H4725

ユダの王ヨシヤの子シャルムは父ヨシヤについで王となったが、ついにこの所から出て行った。主は彼についてこう言われる、「彼は再びここに帰らない。

12

הַזֹּאת הָאָרֶץ וְאֶת־ יָמוּת שָׁם אֹתוֹ הִגְלוּ אֲשֶׁר־ בִּמְקוֹם כִּי
この–地–を 死ぬ そこ–で 彼–を 捕らえ–置いた ところの 場所–で なぜなら
H2063 H0776 H0853 H4191 H8033 H0853 H1540 H4725

ס עוֹד׃ יִרְאֶה לֹא־
ס もはや 見ない
H5750 H7200 H3808

彼はその捕え行かれた所で死に、再びこの地を見ない」。

13

מִשְׁפָּט בְּלֹא וַעֲלִיּוֹתָיו צֶדֶק בְּלֹא־ בֵּיתוֹ בֹּנֶה הוֹי
不公正–で その–階上–を 不正–で その–家–を 建てる者は わざわい–だ
H4941 H3808 H5944 H6664 H3808 H1129 H1945

לוֹ׃ יִתֵּן־ לֹא וּפָעֳלוֹ חִנָּם יַעֲבֹד בְּרֵעֵהוּ
彼に 与えない その–賃金–を ただ–で 働かせる その–隣人–を
H5414 H3808 H6467 H2600 H5647 H7453

「不義をもってその家を建て、不法をもってその高殿を造り、隣り人を雇って何をも与えず、その賃金を払わない者はわざわいである。

14

חַלּוֹנָי	לוֹ	וְקֹרַע	מְרֻוָּחִים	וַעֲלִיּוֹת	מִדּוֹת	בַּיִת	לִי	אֶבְנֶה־	הָאֹמֵר
窓-を	自分-に	切り開く	広々とした	階上-を	広い	家-を	自分-に	建てよう	言う者-は
H2474		H7167	H7304	H5944				H1129	H0559

בַּשָּׁשַׁר׃	וּמָשׁוֹחַ	בָּאָרֶז	וְסָפוּן
朱色-で	塗る	杉-で	張る
H8350	H4886	H0730	H5603

彼は言う、『わたしは自分のために大きな家を建て、広い高殿を造ろう』と。そしてこれがために窓を造り、香柏の鏡板でおおい、それを朱で塗る。

15

וְעָשָׂה	וְשָׁתָה	אָכַל	הֲלֹוא	אָבִיךָ	בָּאָרֶז	מִתְחָרֶה	אַתָּה	כִּי	הֲתִמְלֹךְ
―	飲み	―	食べ	お前の-父-は	杉-で	競う	お前-は	なぜなら	王となる-のか
	H8354	H0398	H3808	H0001	H0730	H8474			

לוֹ׃	טוֹב	אָז	וּצְדָקָה	מִשְׁפָּט
良かった	その時	公正-を	正義-を	行った
			H6666	H4941

あなたは競って香柏を用いることによって、王であると思うのか。あなたの父は食い飲みし、公平と正義を行って、幸を得たのではないか。

16

הַדַּעַת	הֵיא	הֲלוֹא־	טוֹב	אָז	וְאֶבְיוֹן	עָנִי	דִּין־	דָּן
知ること-は	―	これではないか	良かった	その時	乏しい者の	貧しい者-と	訴え-を	裁いた
H1847	H1931	H3808			H0034	H6041	H1779	H1777

יְהוָה׃	נְאֻם־	אֹתִי
主の	御告げ	わたし-を
H3068	H5002	H0853

彼は貧しい人と乏しい人の訴えをただして、さいわいを得た。こうすることがわたしを知ることではないかと主は言われる。

17

וְעַל	בִּצְעֶךָ	עַל־	אִם־	כִּי	וְלִבְּךָ	עֵינֶיךָ	אֵין	כִּי	
―	お前の-利得-が	―	―	ただ	お前の-心-に	お前の-目-に	ない	なぜなら	
	H1215						H0369		

ס	לַעֲשׂוֹת׃	הַמְּרוּצָה	וְעַל־	הָעֹשֶׁק	וְעַל־	לִשְׁפּוֹךְ	הַנָּקִי	דָּם־
ס	行う-こと	暴力-と	―	虐げ-と	―	流す-ことと	罪なき者の	血-を
		H4835		H6233		H8210		H1818

しかし、あなたは目も心も、不正な利益のためにのみ用い、罪なき者の血を流そうとし、圧制と暴虐を行おうとする」。

18

מֶלֶךְ	יֹאשִׁיָּהוּ	בֶּן־	יְהוֹיָקִים	אֶל־	יְהוָה	אָמַר	כֹּה־	לָכֵן	
王-の	ヨシヤフの	息子-の	ヨホヤキム-について	―	主は	言われた	このように	それゆえ	
H4428	H2977		H3079	H0413	H3068	H0559	H3541		

יִסְפְּדוּ	לֹא־	אָחוֹת	וְהוֹי	אָחִי	הוֹי	לוֹ	יִסְפְּדוּ	לֹא־	יְהוּדָה
―	嘆かない	姉妹-よ	ああ	わが-兄弟-よ	ああ	彼-のために	―	嘆かない	ユダの
H5594	H3808	H0269	H1945	H0251	H1945		H5594	H3808	H3063

הֲדָרֹה׃	וְהוֹי	אָדוֹן	הוֹי	לוֹ
その-威光-よ	ああ	主人-よ	ああ	彼-のために
H1935	H1945	H0113	H1945	

それゆえ、主はユダの王ヨシヤの子エホヤキムについてこう言われる、「人々は『悲しいかな、わが兄』、『悲しいかな、わが姉』と言って、彼のために嘆かない。また『悲しいかな、主君よ』、『悲しいかな、陛下よ』と言って嘆かない。

ס ס	יְרוּשָׁלָ֑ם׃ エルサレムの H3389	לִשְׁעֲרֵ֣י 門々-の H8179	מֵהָלְאָ֔ה 向こう-に H1973	וְהַשְׁלֻ֖ךְ 投げ捨てられる H7993	סָח֥וֹב 引きずられ H5498	יִקְבְּר֛וּ 埋葬られる H6912	חֲמ֥וֹר ろばの H2543	קְבוּרַ֖ת 埋葬-で H6900	19

ろばが埋められるように、彼は葬られる。引かれて行って、エルサレムの門の外に投げ捨てられる」。

כִּ֚י なぜなら	מֵֽעֲבָרִ֔ים アバリム-から H5682	וְצַעֲקִ֖י 叫べ H6817	קוֹלֵ֑ךְ お前の-声-を	תְּנִ֣י あげよ H5414	וּבַבָּשָׁ֔ן バシャン-で H1316	וְצַעֲקִ֖י 叫べ H6817	הַלְּבָנ֑וֹן レバノン-に H3844	עֲלִ֣י 上れ H5927	20

מְאַהֲבָ֖יִךְ׃ お前の-愛人たち-が H0157	כָּל־ すべての H3605	נִשְׁבְּר֥וּ 砕かれた H7665

「レバノンに登って呼ばわり、バシャンにあなたの声をあげ、アバリムから呼ばわれ。あなたの愛する者がみな滅ぼされるからだ。

זֶ֚ה これ-が H2088	אִשְׁמָ֔ע □ H8085	לָ֣א 聞かない H3808	אָמַ֔רְתְּ お前は-言った H0559	בְּשַׁלְוֹתַ֑יִךְ お前の-安らぎ-の時に H7962	אֵלַ֣יִךְ お前-に H0413	דִּבַּ֔רְתִּי 語った H1696			21

בְּקוֹלִ֑י׃ わたしの-声-に	שָׁמַ֣עַתְּ □ H8085	לֹא־ 聞かなかった H3808	כִּ֚י なぜなら	מִנְּעוּרַ֔יִךְ 若い時-から	דַּרְכֵּ֖ךְ お前の-道-である H1870

あなたの栄えていた時、わたしはあなたに語ったが『聞きたくはない』と言った。あなたがわたしの声に聞き従わないことは、あなたの幼い時からの、ならわしであった。

אָ֚ז □	כִּ֣י その時	יֵֽלְכ֔וּ 行く H3212	בַּשְּׁבִ֖י 捕囚-に H7628	וְאֹהֲבַ֑יִךְ お前の-愛人たち-は H0157	רוּחַ֙ 風-が H7307	תִּרְעֶ֣ה־ 食い尽くす H7462	רֹעַ֔יִךְ お前の-牧者-を H7462	כָּל־ すべての H3605	22

רָעָתֵֽךְ׃ お前の-悪-のゆえに	מִכֹּ֖ל すべての H3605	וְנִכְלַמְתְּ 辱められる H3637	תֵּבֹ֥שִׁי 恥じる H0954

あなたの牧者はみな、風に追い立てられ、あなたの愛する者は捕え移される。その時、あなたは自分のもろもろの悪のために、恥じ、うろたえる。

נֹחַ֥תְּ 嘆く-のか H5183	מַה־ どれほど H4100	בָּאֲרָזִ֖ים 杉-の中に H0730	מְקֻנֶּ֣נֶת) 巣づくりしている者-よ H7077	[מקננתי □ H7077	בַּלְּבָנ֑וֹן レバノン-に H3844	יֹשֶׁ֣בֶת) 住む者-よ H3427	[ישבתי □ H3427		23

כַּיּוֹלֵדָ֔ה׃ 産む女-のような H3205	חִ֖יל 苦しみ-が	חֲבָלִ֥ים 産みの-苦しみ-が	לָ֛ךְ お前-に	בְּבֹא־ 来る-とき H0935	

レバノンに住み、香柏の中に巣をつくっている者よ、子を産む女に臨む苦しみのような苦痛があなたに臨むとき、あなたはどんなに嘆くことであろうか」。

כְּנָיָ֣הוּ コニヤフ-が H3659	יְהֹיָ֔ה であったとしても H1961	אִם־ □	כִּ֚י たとえ	יְהוָ֣ה׀ 主の H3068	נְאֻם־ 御告げ H5002	אֲנִ֣י わたしは H0589	חַי־ 生きている-かぎり		24

מִשָּׁ֗ם そこから H8033	כִּ֚י それでも	יְמִינִ֣י 右の H3225	יָ֔ד 手-の H3027	עַל־ 上-の	חוֹתָ֖ם 印章-が H2368	יְהוּדָ֑ה ユダの H3063	מֶ֣לֶךְ 王-の H4428	יְהוֹיָקִ֔ים ヨホヤキムの H3079	בֶּן־ 息子-の

אֶתְּקֵֽנְךָּ׃ わたしは-引き抜く H5423

「主は言われる、わたしは生きている。ユダの王エホヤキムの子コニヤが、わたしの右手の指輪であっても、わたしはあなたを抜き取る。

מִפְּנֵיהֶם	יָגוֹר	אַתָּה	אֲשֶׁר־	וּבְיַד	נַפְשֶׁךָ	מְבַקְשֵׁי	בְּיַד	וּנְתַתִּיךָ	25
その–前–を	恐れている	お前–が	ところの	手–に		お前の–命を–求める者の	手–に	渡す	
H6440	H3016			H3027	H5315	H1245	H3027	H5414	

הַכַּשְׂדִּים׃	וּבְיַד	בָּבֶל	מֶלֶךְ־	נְבוּכַדְרֶאצַּר	וּבְיַד
カルデア人の	手–に	バビロンの	王–の	ネブカドネツァルの	手–に
H3778	H3027	H0894	H4428	H5019	H3027

あなたの命を求める者の手、あなたがその顔を恐れる者の手、すなわちバビロンの王ネブカデレザルの手と、カルデヤびとの手にあなたを渡す。

אַחֶרֶת	הָאָרֶץ	עַל	יְלַדְתְּךָ	אֲשֶׁר	אִמְּךָ	וְאֶת־	אֹתְךָ	וְהֶטַלְתִּי	26
他の	地–の	上–に	お前を–産んだ	ところの	お前の–母–を		お前–を	投げ出す	
H0312	H0776		H3205		H0517	H0853	H0853	H2904	

תָּמוּתוּ׃	וְשָׁם	שָׁם	יְלָדַתְּכֶם	לֹא־	אֲשֶׁר
死ぬ	そこ–で	そこ–で		生まれなかった	ところの
H4191	H8033	H8033	H3205	H3808	

わたしは、あなたと、あなたを産んだ母を、あなたがたの生れた国でない他の国に追いやる。あなたがたはそこで死ぬ。

שָׁם	לָשׁוּב	נַפְשָׁם	אֶת־	מְנַשְּׂאִים	הֵם	אֲשֶׁר־	הָאָרֶץ	וְעַל־	27
そこ–に	帰る–こと–を	その–魂–を		望んでいる	彼ら–が	ところの	その–地–に	に–ついて	
H8033	H7725	H5315	H0853	H5375	H1992		H0776		

ס				
ס	יָשׁוּבוּ׃	לֹא	שָׁמָּה	
		帰らない	そこ–に	
	H7725	H3808	H8033	

彼らが帰りたいとせつに願う国に、彼らは再び帰ることができない」。

אֵין	כְּלִי־	אִם־	כָּנְיָהוּ	הַזֶּה	הָאִישׁ	נָפוּץ	נִבְזֶה	הַעֶצֶב	28
だれも–が	器–のように	もし	コニヤフ–は		この–人–は	打ち砕かれた	偶れた	像–は	
H0369	H3627		H3659	H2088	H0376		H0959		

הָאָרֶץ	עַל־	וְהָשְׁלְכוּ	וְזַרְעוֹ	הוּא	הָטוּלוּ	מַדּוּעַ	בּוֹ	חֵפֶץ
地–の	上–に	投げ据えられた	その–子孫–が	彼–と	投げ出された–のか	なぜ		望まない
H0776		H7993	H2233	H1931	H2904	H4069		H2656

יָדָעוּ׃	לֹא־	אֲשֶׁר	
	知らない	ところの	
H3045	H3808		

この人コニヤは卑しむべき、こわれたつぼであろうか、だれも心に留めない器であろうか。なぜ彼とその子孫は追いやられて、知らない地に投げやられるのか。

ס							29
ס	יְהוָה׃	דְּבַר־	שִׁמְעִי	אֶרֶץ	אֶרֶץ	אֶרֶץ	
	主の	言葉–を	聞け	地–よ	地–よ	地–よ	
	H3068	H1697	H8085	H0776	H0776	H0776	

ああ、地よ、地よ、地よ、主の言葉を聞けよ。

30

לֹא־	גֶּבֶר	עֲרִירִי	הַזֶּה׀	הָאִישׁ	אֶת־	כִּתְבוּ־	יְהוָה	אָמַר	וְכָה	
栄えない	人–として	子なし–と		この–人–を		記せ	主は	言われた	このように	
H3808	H1397	H6185	H2088	H0376	H0853	H3789	H3068	H0559	H3541	

עַל־	יֹשֵׁב	אִישׁ	מִזַּרְעוֹ	יִצְלַח׀	לֹא	כִּי־	בְיָמָיו	יִצְלַח׀	
上–に	座る	人–が	その–子孫–の中から		栄えない	なぜなら	その–生涯–に		
	H3427	H0376	H2233		H3808		H3117		

בִּיהוּדָה׃	עוֹד	וּמֹשֵׁל	דָּוִד	כִּסֵּא
ユダ–で	もはや	治める–者が	ダビデの	王座–の
H3063	H5750	H4910	H1732	H3678

主はこう言われる、「この人を、子なき人として、またその一生のうち、栄えることのない人として記録せよ。その子孫のうち、ひとりも栄えて、ダビデの位にすわり、ユダを治めるものが再び起らないからである」。

Chapter 23

1

יְהוָה׃	נְאֻם־	מַרְעִיתִי	צֹאן	אֶת־	וּמְפִצִּים	מְאַבְּדִים	רֹעִים	הוֹי
主の	御告げ–である	わが–牧場–の	羊–を		散らす–者	滅ぼす–者	牧者–たちよ	ああ
H3068	H5002	H4830	H6629	H0853		H0006		H1945

主は言われる、「わが牧場の羊を滅ぼし散らす牧者はわざわいである」。

2

הָרֹעִים׀	עַל־	יִשְׂרָאֵל	אֱלֹהֵי	יְהוָה	אָמַר	כֹּה־	לָכֵן	
牧者–たち	～について	イスラエルの	神は	主は	言われた	このように	それゆえ	
		H3478	H0430	H3068	H0559	H3541		

וַתַּדִּחוּם	צֹאנִי	אֶת־	הֲפִצֹתֶם	אַתֶּם	עַמִּי׀	אֶת־	הָרֹעִים
追い–散らし	わが–羊–を		散らした	あなたがたは	わが–民–を		牧している–者–たち
H5080	H6629	H0853				H0853	

רַע	אֶת־	עֲלֵיכֶם	פֹּקֵד	הִנְנִי	אֹתָם	פְּקַדְתֶּם	וְלֹא
悪–を		あなたがた–に	罰する	見よ–わたしは	彼ら–を	顧みなかった	そして–ない
H7455	H0853			H2009	H0853		H3808

יְהוָה׃	נְאֻם־	מַעַלְלֵיכֶם	
主の	御告げ–である	あなたがた–の行い–の	
H3068	H5002	H4611	

それゆえイスラエルの神、主はわが民を養う牧者についてこう言われる、「あなたがたはわたしの群れを散らし、これを追いやって顧みなかった。見よ、わたしはあなたがたの悪しき行いによってあなたがたに報いると、主は言われる。

3

אֲשֶׁר־	הָאֲרָצוֹת	מִכֹּל׀	צֹאנִי	שְׁאֵרִית	אֶת־	אֲקַבֵּץ׀	וַאֲנִי	
そこ–に	国々–から	すべて–の	わが–羊–の	残り–の者–を		集める	そして–わたしは	
	H0776	H3605	H6629	H7611	H0853	H6908	H0589	

וְרָבוּ׃	וּפָרוּ	נְוֵהֶן	עַל־	אֹתָן	וַהֲשִׁבֹתִי	שָׁם	אֹתָם	הִדַּחְתִּי
多くなる	そして–増え	彼ら–の牧場–に	～に	彼ら–を	帰らせ		彼ら–を	追いやった
	H6509			H0853	H7725	H8033	H0853	H5080

わたしの群れの残った者を、追いやったすべての地から集め、再びこれをそのおりに帰らせよう。彼らは子を産んでその数が多くなる。

4

וְלֹא־	עוֹד	יֵרֹאוּ	וְלֹא־	וְרָעוּם	רֹעִים	עֲלֵיהֶם	וַהֲקִמֹתִי	
そして–ない	もはや	恐れる	そして–ない	そして–養う	牧者–たち–を	彼ら–の上–に	立てる	
H3808	H5750	H3372	H3808					

ס	יְהוָה׃	נְאֻם־	יִפָּקְדוּ	וְלֹא	יֵחַתּוּ	
	主の	御告げ–である	失われる	そして–ない	おびえる	
	H3068	H5002		H3808	H2865	

わたしはこれを養う牧者をその上に立てる、彼らは再び恐れることなく、またおののくことなく、いなくなることもないと、主は言われる。

וּמָלַךְ	צַדִּיק	צֶמַח	לְדָוִד	וַהֲקִמֹתִי	יְהוָה	נְאֻם־	בָּאִים	יָמִים	הִנֵּה	5
治める	正しい	若枝-を	ダビデ-に	わたしは-起こす	主の	御告げ-である	来る	日々-が	見よ	
H6662		H6780	H1732		H3068	H5002	H0935	H3117	H2009	

בָּאָרֶץ׃	וּצְדָקָה	מִשְׁפָּט	וְעָשָׂה	וְהִשְׂכִּיל	מֶלֶךְ
地-の上-で	義-を	公正-と	行う	知恵-をもって-行い	王-として
H0776	H6666	H4941			H4428

主は仰せられる、見よ、わたしがダビデのために一つの正しい枝を起す日がくる。彼は王となって世を治め、栄えて、公平と正義を世に行う。

שְׁמוֹ	וְזֶה־	לָבֶטַח	יִשְׁכֹּן	וְיִשְׂרָאֵל	יְהוּדָה	תִּוָּשַׁע	בְּיָמָיו		6
その-名-で	そして-これ-が	安らか-に	住む	イスラエルは	ユダは	救われる	その-日々-に		
H8034	H2088	H0983	H7931	H3478	H3063	H3467	H3117		

ס	צִדְקֵנוּ׃	וְיהוָה	יִקְרְאוֹ	אֲשֶׁר־
	われら-の義	主は	呼ばれる	
	H6664	H3068	H7121	

その日ユダは救を得、イスラエルは安らかにおる。その名は『主はわれわれの正義』ととなえられる。

חַי־	עוֹד	יֹאמְרוּ	וְלֹא־	יְהוָה	נְאֻם־	בָּאִים	יָמִים	הִנֵּה־	לָכֵן	7
生きている	もはや	言わない	もはや-ない	主の	御告げ-である	来る	日々-が	見よ	それゆえ	
H5750		H0559	H3808	H3068	H5002	H0935	H3117	H2009		

מִצְרָיִם׃	מֵאֶרֶץ	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי	אֶת־	הֶעֱלָה	אֲשֶׁר	יְהוָה
エジプト-の	地-から	イスラエル-の	子ら-を		導き-上った		主-は
H4714	H0776	H3478		H0853	H5927		H3068

主は言われる、それゆえ見よ、人々は『イスラエルの民をエジプトの地から導き出された主は生きておられる』とまた言わないで、

זֶרַע	אֶת־	הֵבִיא	וַאֲשֶׁר	הֶעֱלָה	אֲשֶׁר	יְהוָה	חַי־	אִם־	כִּי	8
子孫-を		連れ-戻した	そして	導き-上り		主-は	生きている		そうではなく	
H2233	H0853	H0935		H5927		H3068				

שָׁם	הִדַּחְתִּים	אֲשֶׁר	הָאֲרָצוֹת	וּמִכֹּל	צָפוֹנָה	מֵאֶרֶץ	יִשְׂרָאֵל	בֵּית
	追いやった	そこ-に	国々-から	そして-すべて-の	北-の	地-から	イスラエル-の	家-の
H8033	H5080		H0776	H3605	H6828	H0776	H3478	

ס	אַדְמָתָם׃	עַל־	וְיָשְׁבוּ	
	自分-の地-に	～の上-に	住む	
	H0127		H3427	

『イスラエルの家の子孫を北の地と、そのすべて追いやられた地から導き出された神は生きておられる』という日がくる。その時、彼らは自分の地に住んでいる」。

עַצְמוֹתַי	כָּל־	רָחֲפוּ	בְקִרְבִּי	לִבִּי	נִשְׁבָּר	לַנְּבִאִים			9
わが-骨-は	すべて-の	震える	内-で	わが-心-は	砕かれた	預言者-たちについて			
H6106	H3605		H7130		H7665	H5030			

יַיִן	עֲבָרוֹ	וּכְגֶבֶר	שִׁכּוֹר	כְּאִישׁ	הָיִיתִי	
ぶどう酒-に	圧倒-された	そして-人-の-ように		酔った-者-の-ように	わたしは-なった	
H3196		H1397	H7910	H0376	H1961	

קָדְשׁוֹ׃	דִּבְרֵי	וּמִפְּנֵי	יְהוָה	מִפְּנֵי	
聖なる	言葉-の	～の前-で	主-の	～の前-で	
H6944	H1697	H6440	H3068	H6440	

預言者たちについて。わが心はわたしのうちに破れ、わが骨はみな震う。主とその聖なる言葉のために、わたしは酔っている人のよう、酒に打ち負かされた人のようである。

10

הָאָ֔רֶץ	אָבְלָ֖ה	אָלָ֑ה	מִפְּנֵי	כִּי־	הָאָ֔רֶץ	מָלְאָ֖ה	מְנָאֲפִ֑ים	כִּי	
地–は	嘆いている	呪い–の	～のゆえ–に	なぜなら	地–は	満ちている	姦淫–する者–で	なぜなら	
H0776	H0056	H0423	H6440		H0776	H4390	H5003		

כֵּֽן׃	לֹא־	וּגְבוּרָתָ֖ם	רָעָ֑ה	מְרוּצָתָ֖ם	וַתְּהִ֥י	מִדְבָּ֛ר	נְאוֹת֙	יָבְשׁ֔וּ
	正しく–ない	彼ら–の力–は	悪–で	彼ら–の走り–は	そして–なった	荒野–の	牧場–は	枯れた
	H3808	H1369		H4794	H1961		H4999	H3001

この地に姦淫を行うものが満ちているからだ。のろいによって地は嘆き、荒野の牧場はかわく。彼らの道は悪く、その力は正しくない。

11

מָצָ֥אתִי	בְּבֵיתִ֖י	גַּם־	חָנְפ֑וּ	כֹּהֵ֥ן	גַּם־	נָבִ֛יא	גַּם־	כִּי־	
見つけた	わが–家–の中–に	さえも	汚れている	祭司–も	また	預言者–も	また	なぜなら	
H4672		H1571	H2610	H3548	H1571	H5030	H1571		

יְהוָֽה׃	נְאֻם־	רָעָתָ֖ם
主の	御告げ–である	彼ら–の悪–を
H3068	H5002	

「預言者と祭司とは共に神を汚す者である。わたしの家においてすら彼らの悪を見たと、主は言われる。

12

יִדְחוּ֙	בָּאֲפֵלָ֔ה	כַּחֲלַקְלַקּוֹת֙	לָהֶ֔ם	דַּרְכָּ֖ם	יְהִ֣י	לָכֵ֑ן		
押しやられ	闇–の中–で	滑りやすい–所–のように	彼ら–にとって	彼ら–の道–は	なる	それゆえ		
	H0653	H2519	H1992	H1870	H1961			

נְאֻם־	פְּקֻדָּתָ֖ם	שְׁנַ֣ת	רָעָ֑ה	עֲלֵיהֶ֔ם	אָבִ֥יא	כִּי־	בָּהּ֙	וְנָפְל֔וּ
御告げ–である	刑罰–の	年–の	災い–を	彼ら–の上–に	もたらす	なぜなら	その中–で	倒れる
H5002	H6486	H8141			H0935			H5307

יְהוָֽה׃
主の
H3068

それゆえ、彼らの道は、おのずから暗黒の中にあるなめらかな道のようになり、彼らは押されてその道に倒れる。わたしが彼らの罰せられる年に、災をその上に臨ませるからであると、主は言われる。

13

הִנְבְּאוּ	תִּפְלָה֙	רָאִ֣יתִי	שֹׁמְר֔וֹן	וּבִנְבִיאֵ֖י		
預言–した	忌まわしい–こと–を	わたしは–見た	サマリヤ–の	そして–預言者–たちの中–に		
H5012	H8604	H7200	H8111	H5030		

ס	יִשְׂרָאֵ֑ל׃	אֶת־	עַמִּ֖י	אֶת־	וַיַּתְעוּ֙	בַּבַּ֔עַל
	イスラエル–を		わが–民–を		迷わせた	バアル–によって
	H3478	H0853		H0853	H8582	

わたしはサマリヤの預言者のうちに不快な事のあるのを見た。彼らはバアルによって預言し、わが民イスラエルを惑わした。

14

וְהָלְכָ֣ה	נָּאֹ֔וף	שַׁעֲרוּרָ֖ה	רָאִ֑יתִי	יְרוּשָׁלִָ֔ם	וּבִנְבִיאֵ֖י			
歩み	姦淫–し	恐ろしい–こと–を	わたしは–見た	エルサレム–の	そして–預言者–たちの中–に			
H1980	H5003		H7200	H3389	H5030			

מֵרָעָתֹ֑ו	אִ֣ישׁ	שָׁ֔בוּ	לְבִלְתִּי־	מְרֵעִ֖ים	יְדֵ֣י	וְחִזְּק֔וּ	בַּשֶּׁ֖קֶר	
その–悪–から	各々–が	立ち–帰らない		悪を–行う者–の	手–を	強めた	偽り–の中–で	
	H0376	H7725	H1115		H3027	H2388	H8267	

ס	כַּעֲמֹרָֽה׃	וְיֹשְׁבֶ֖יהָ	כִּסְדֹּ֑ם	כֻּלָּ֔ם	לִ֙י֙	הָיוּ־	
	ゴモラ–のように	その–住民–は	ソドム–のように	彼ら–すべて–は	わたしに–とって	なった	
	H6017	H3427	H5467	H3605		H1961	

しかしエルサレムの預言者のうちには、恐ろしい事のあるのを見た。彼らは姦淫を行い、偽りに歩み、悪人の手を強くし、人をその悪から離れさせない。彼らはみなわたしにはソドムのようであり、その民はゴモラのようである」。

15

הִנְנִי	הַנְּבִאִים	עַל־	צְבָאוֹת	יְהוָה	אָמַר	כֹּה־	לָכֵן	
見よ–わたしは	預言者–たちを	～について	万軍–の	主は	言われた	このように	それゆえ	
H2009	H5030			H3068	H0559	H3541		

נְבִיאֵי	מֵאֵת	כִּי	רֹאשׁ	מֵי־	וְהַשְׁקִתִים	לַעֲנָה	אוֹתָם	מַאֲכִיל
預言者–たち	～から	なぜなら	水–を	毒–の	飲ませる	苦よもぎ–を	彼ら–に	食べさせる
H5030	H0854		H7219	H4325	H8248	H3939	H0853	H0398

פ	הָאָרֶץ׃	לְכָל־	חֲנֻפָה	יָצְאָה	יְרוּשָׁלִַם
	地–に	すべて–の	汚れ–が	出た	エルサレム–の
	H0776	H3605	H2613	H3318	H3389

それゆえ万軍の主は預言者についてこう言われる、「見よ、わたしは彼らに、にがよもぎを食べさせ、毒の水を飲ませる。神を汚すことがエルサレムの預言者から出て、全地に及んでいるからである」。

16

הַנְּבִאִים	דִּבְרֵי	עַל־	תִּשְׁמְעוּ	אֶל־	צְבָאוֹת	יְהוָה	אָמַר	כֹּה־
預言者–たち–の	言葉–を	～に対する		聞く–な	万軍–の	主は	言われた	このように
H5030	H1697		H8085	H0408		H3068	H0559	H3541

יַדְבְּרוּ	לִבָּם	חֲזוֹן	אִתְּכֶם	הֵמָּה	מַהְבִלִים	לָכֶם	הַנִּבְּאִים	
語る	自分–の心–の	幻–を	あなたがた–を	彼ら–は	惑わす–者–たちだ	あなたがた–に	預言–する	
H1696		H2377	H0853	H1992	H1891		H5012	

יְהוָה׃	מִפִּי	לֹא
主–の	口–から	ではなく
H3068	H6310	H3808

万軍の主はこう言われる、「あなたがたに預言する預言者の言葉を聞いてはならない。彼らはあなたがたに、むなしい望みをいだかせ、主の口から出たのでない、自分の心の黙示を語るのである。

17

לָכֶם	יִהְיֶה	שָׁלוֹם	יְהוָה	דִּבֶּר	לְמְנַאֲצַי	אָמוֹר	אֹמְרִים	
あなたがた–に	ある	平安–が	主は	語った	わたし–を侮る者–に	言い続けて	言っている	
H1961	H7965	H3068	H1696	H5006		H0559	H0559	

עֲלֵיכֶם	תָּבוֹא	לֹא־	אָמְרוּ	לִבּוֹ	בִּשְׁרִרוּת	הֹלֵךְ	וְכֹל	
あなたがた–の上–に		来ない	言った	自分–の心–の	頑な–さ–の中–で	歩む–者	すべて–の	
	H0935	H3808	H0559		H8307	H1980	H3605	

רָעָה׃
災い–は

彼らは主の言葉を軽んじる者に向かって絶えず、『あなたがたは平安を得る』と言い、また自分の強情な心にしたがって歩むすべての人に向かって、『あなたがたに災はこない』と言う」。

18

הִקְשִׁיב	מִי־	דְּבָרוֹ	אֶת־	וַיִּשְׁמַע	וַיֵּרֶא	יְהוָה	בְּסוֹד	עָמַד	מִי	כִּי
耳を–傾けた	誰–が	その–言葉–を		聞いた	見て	主–の	会議–に	立った	誰–が	なぜなら
H7181	H4310	H1697	H0853	H8085	H7200	H3068	H5475	H5975	H4310	

ס	וַיִּשְׁמָע׃	(דְּבָרוֹ׃)	[דברין]
	聞いた	その–言葉–に	
	H8085	H1697	H1697

彼らのうちだれか主の議会に立って、その言葉を見聞きした者があろうか。だれか耳を傾けてその言葉を聞いた者があろうか。

רְשָׁעִים	רֹאשׁ	עַל	מִתְחוֹלֵל	וְסַעַר	יֵצֵאָה	חֲמָה	יְהוָה	סַעֲרַת	וְהִנֵּה	19
悪人-たちの	頭-の	～の上-に	渦巻く	激しい-嵐-が	起こった	怒り-で	主-の	嵐-が	見よ	
H7563					H3318	H2534	H3068		H2009	

יָחוּל׃
襲う

見よ、主の暴風がくる。憤りと、つむじ風が出て、悪人のこうべをうつ。

מְזִמּוֹת	הֲקִימוֹ	וְעַד־	עֲשׂתוֹ	עַד־	יְהוָה	אַף־	יָשׁוּב	לֹא	20
計画-を		果たす-まで		成し-遂げる-まで	主-の	怒り-は		戻らない	
H4209		H5704		H5704	H3068	H0639	H7725	H3808	

בִּינָה׃	בָּהּ	תִּתְבּוֹנְנוּ	הַיָּמִים	בְּאַחֲרִית	לִבּוֹ
明らか-に	それ-を	悟る	日々-に	終わり-の	その-心-の
H0998		H0995	H3117	H0319	

主の怒りは、み心に思い定められたことをなし遂げられるまで退くことはない。末の日にあなたがたはそれを明らかに悟る。

דִּבַּרְתִּי	לֹא־	רָצוּ	וְהֵם	הַנְּבִאִים	אֶת־	שָׁלַחְתִּי	לֹא־	21
	語らなかった	走った	しかし-彼ら-は	預言者-たち-を			送らなかった	
H1696	H3808	H7323	H1992	H5030	H0853	H7971	H3808	

נִבָּאוּ׃	וְהֵם	אֲלֵיהֶם
預言-した	しかし-彼ら-は	彼ら-に
H5012	H1992	H0413

預言者たちはわたしがつかわさなかったのに、彼らは走った。わたしが、彼らに告げなかったのに、彼らは預言した。

עַמִּי	אֶת־	דְּבָרַי	וְיַשְׁמִעוּ	בְּסוֹדִי	עָמְדוּ	וְאִם־	22
わが-民-に		わが-言葉-を	聞かせた-だろう	わが-会議-に	立っていた-なら	もし	
	H0853	H1697	H8085	H5475	H5975		

ס	מַעַלְלֵיהֶם׃	וּמֵרָע	הָרָע	מִדַּרְכָּם	וְיָשִׁבוּם
		その-悪い-行い-から	悪い	その-道-から	立ち-帰らせた-だろう
	H4611	H7455		H1870	H7725

もし彼らがわたしの議会に立ったのであれば、わたしの民にわが言葉を告げ示して、その悪い道と悪い行いから、離れさせたであろうに。

מֵרָחֹק׃	אֱלֹהֵי	וְלֹא	יְהוָה	נְאֻם־	אֲנִי	מִקָּרֹב	הַאֱלֹהֵי	23
遠く-の	神-で	そうでなく	主の	御告げ-である	わたしは	近く-の	神-だろうか	
H7350	H0430	H3808	H3068	H5002	H0589	H7138	H0430	

「主は言われる、わたしはただ近くの神であって、遠くの神ではないのであるか。

יְהוָה	נְאֻם־	אֶרְאֶנּוּ	לֹא־	וַאֲנִי	בַּמִּסְתָּרִים	אִישׁ	יִסָּתֵר	אִם־	24
主の	御告げ-である		見えない	わたし-が	隠れ-場所-に	人-が	身を-隠せる	もし	
H3068	H5002	H7200	H3808	H0589	H4565	H0376	H5641		

יְהוָה׃	נְאֻם־	מָלֵא	אֲנִי	הָאָרֶץ	וְאֶת־	הַשָּׁמַיִם	אֶת־	הֲלוֹא
主の	御告げ-である	満たしている	わたし-は	地-を	そして	天-を		まさに
H3068	H5002	H4390	H0589	H0776	H0853	H8064	H0853	H3808

主は言われる、人は、ひそかな所に身を隠して、わたしに見られないようにすることができようか。主は言われる、わたしは天と地とに満ちているではないか。

25 שָׁמַעְתִּי אֵת אֲשֶׁר־ אָמְרוּ הַנִּבְאִים הַנִּבְאִים בִּשְׁמִי שָׁקֶר
聞いた | 𐤀𐤕 | 𐤀𐤔𐤓 | 言った-こと-を | 預言者-たち-が | 預言-する | わが-名-によって | 偽り-を
H8085 | H0853 | | H0559 | H5030 | H5012 | H8034 | H8267

לֵאמֹר חָלַמְתִּי חָלַמְתִּי׃
言って | 夢-を見た | 夢-を見た-と
H0559

わが名によって偽りを預言する預言者たちが、『わたしは夢を見た、わたしは夢を見た』と言うのを聞いた。

26 עַד־ מָתַי הֵיֵשׁ בְּלֵב הַנִּבְאִים נִבְּאֵי הַשֶּׁקֶר וְנִבִּיאֵי
いつ-まで | 𐤌𐤕𐤉 | ある-のか | 心-の中-に | 預言者-たち-の | 預言-する | 偽り-を | 預言者-たち
H5704 | H4970 | H3426 | | H5030 | H5012 | H8267 | H5030

תַּרְמִּת לִבָּם׃
欺き-の | 自分-の心-の

偽りを預言する預言者たちの心に、いつまで偽りがあるのであるか。彼らはその心の欺きを預言する。

27 הַחֹשְׁבִים לְהַשְׁכִּיחַ אֶת־ עַמִּי שְׁמִי בַּחֲלוֹמֹתָם אֲשֶׁר יְסַפְּרוּ
企んでいる | 忘れ-させようと | 𐤀𐤕 | わが-民-に | わが-名-を | 夢-によって | 𐤀𐤔𐤓 | 語り-合う
H2803 | H7911 | H0853 | | H8034 | H2472 | | |

אִישׁ לְרֵעֵהוּ כַּאֲשֶׁר שָׁכְחוּ אֲבוֹתָם אֶת־ שְׁמִי
各々-が | その-隣人-に | ちょうど | 忘れた-ように | 彼ら-の先祖-が | 𐤀𐤕 | わが-名-を
H0376 | H7453 | | H7911 | H0001 | H0853 | H8034

בַּבָּעַל׃
バアル-のゆえ-に

彼らはその先祖がバアルに従ってわが名を忘れたように、互に夢を語って、わたしの民にわが名を忘れさせようとする。

28 הַנָּבִיא אֲשֶׁר־ אִתּוֹ חֲלוֹם יְסַפֵּר חֲלוֹם וַאֲשֶׁר דְּבָרִי אִתּוֹ דַּבֵּר
預言者-で | 𐤀𐤔𐤓 | 持っている | 夢-を | 語れ | 夢-を | そして | わが-言葉-を | 持っている-者-は
H5030 | | H0854 | H2472 | | H2472 | | H1697 | H0854

בֶּאֱמֶת מַה־ לַּתֶּבֶן אֶת־ הַבָּר נְאֻם־ יְהוָה׃
真実-に | 何-の | 藁-に | 𐤀𐤕 | 麦-が | 御告げ-である | 主の
H0571 | H4100 | H8401 | H0854 | H5002 | H3068

דְּבָרִי כַּאֵשׁ נְאֻם־ יְהוָה וּכְפַטִּישׁ יְפֹצֵץ סָלַע׃
わが-言葉-を | 火-のよう | 御告げ-である | 主の | また-槌-のよう | 砕く | 岩-を
H1697 | H0784 | H5002 | H3068 | H6360 | H6327 | H5553

29 הֲלוֹא כֹה דְבָרִי
まさに | このように | わが-言葉-は
H3808 | H3541

ס

主は仰せられる、わたしの言葉は火のようではないか。また岩を打ち砕く鎚のようではないか。

30 לָכֵן הִנְנִי עַל־ הַנְּבִאִים נְאֻם־ יְהוָה מְנַנְּבֵי
それゆえ 見よ–わたしは ～に対して 預言者–たちに 御告げ–である 主の 盗む–者–たち
H1589 H3068 H5002 H5030 H2009

מֵאֵת אִישׁ דְּבָרַי רֵעֵהוּ׃
～から 各々–が わが–言葉–を その–隣人–から
H0854 H0376 H1697 H7453

それゆえ見よ、わたしはわたしの言葉を互に盗む預言者の敵となると、主は言われる。

31 הִנְנִי עַל־ הַנְּבִיאִם נְאֻם־ יְהוָה הַלֹּקְחִים לְשׁוֹנָם
見よ–わたしは ～に対して 預言者–たちに 御告げ–である 主の 用いる–者–たち 自分–の舌–を
H2009 H5030 H5002 H3068 H3947 H3956

נְאֻם׃ וַיִּנְאֲמוּ
御告げ–と 語る
H5002 H5001

見よ、わたしは、『主は言いたもう』と舌をもって語る預言者の敵となると、主は言われる。

32 הִנְנִי עַל־ נִבְּאֵי חַלֹּמוֹת שֶׁקֶר וַיְסַפְּרוּם
見よ–わたしは ～に対して 預言–する者–たち 夢–の 偽り–の 語り
H2009 H5012 H2472 H8267 H3068

וַיַּתְעוּ עַמִּי בְּשִׁקְרֵיהֶם וּבְפַחֲזוּתָם וְאָנֹכִי לֹא־ שְׁלַחְתִּים
迷わせた わが–民–を 偽り–で 軽率–さで わたし–は 送らなかった
H8582 H5971 H8267 H2472 H0595 H3808

וְלֹא צִוִּיתִים וְהוֹעֵיל לֹא־ יוֹעִילוּ לָעָם־ הַזֶּה נְאֻם־ יְהוָה׃
命じなかった 益する–こと–は 全く–ない この–民–に 御告げ–である 主の
H3808 H6680 H3276 H3808 H3276 H2088 H5002 H3068

主は仰せられる、見よ、わたしは偽りの夢を預言する者の敵となる。彼らはそれを語り、またその偽りと大言をもってわたしの民を惑わす。わたしが彼らをつかわしたのではなく、また彼らに命じたのでもない。それで彼らはこの民にすこしも益にならないと、主は言われる。

33 וְכִי־ יִשְׁאָלְךָ֨ הָעָם הַזֶּה אוֹ־ הַנָּבִיא אוֹ־ כֹהֵן לֵאמֹר מַה־
そして–もし 尋ねる–なら この 民–が あるいは 預言者–が あるいは 祭司–が 言って 何–が
H7592 H2088 H5971 H3276 H5030 H3548 H0559 H4100

מַּשָּׂא יְהוָה וְאָמַרְתָּ֣ אֲלֵיהֶם֮ אֵת־ מַה־ אֶטֹּשׁ וְנָטַשְׁתִּי אֶתְכֶם
重荷–なのか 主–の 言え 彼ら–に 何–の 捨てる わたしは–捨てる あなたがた–を
H3068 H0559 H0413 H0853 H4100 H5203 H0853

נְאֻם־ יְהוָה׃
御告げ–である 主の
H5002 H3068

この民のひとり、または預言者、または祭司があなたに、『主の重荷はなんですか』と問うならば、彼らに答えなさい、『あなたがたがその重荷です。そして主は、あなたがたを捨てると言っておられます』と。

34 וְהַנָּבִיא וְהַכֹּהֵן וְהָעָם אֲשֶׁר יֹאמַר מַּשָּׂא יְהוָה וּפָקַדְתִּי עַל־
そして–預言者 そして–祭司 そして–民–が 言う–なら 重荷–と 主–の 罰する ～を
H5030 H3548 H0559 H3068 H5971

הָאִישׁ הַהוּא וְעַל־ בֵּיתוֹ׃
その 人–を そして その–家–を
H0376 H1931

そして、『主の重荷』と言うその預言者、祭司、または民のひとりを、その家族と共にわたしは罰する。

35 כֹּה תֹאמְרוּ אִישׁ אֶל־רֵעֵהוּ וְאִישׁ אֶל־אָחִיו מֶה־
H3541 H0559 H0376 H0413 H0376 H7453 H0376 H0251 H4100
עָנָה יְהוָה וּמַה־דִּבֶּר יְהוָה׃
H6030 H3068 H4100 H1696 H3068

あなたがたは、みな互に、隣り人に、また兄弟に、こう言わなければならない、『主はなんと答えられましたか』、『主はなんと言われましたか』と。

36 וּמַשָּׂא יְהוָה לֹא תִזְכְּרוּ־עוֹד כִּי הַמַּשָּׂא לְאִישׁ
H3808 H3068 H1697 H2142 H5750 H3588 H4853 H1961 H0376
דְּבָרוֹ כִּי הֲפַכְתֶּם אֶת־דִּבְרֵי אֱלֹהֵינוּ חַיִּים יְהוָה צְבָאוֹת אֱלֹהֵינוּ׃
H1697 H3588 H2015 H0853 H1697 H0430 H2416 H3068 H6635 H0430 H3068

しかし重ねて『主の重荷』と言ってはならない。重荷は人おのおのの自分の言葉だからである。あなたがたは生ける神、万軍の主なるわれわれの神の言葉を曲げる者である。

37 כֹּה תֹאמַר אֶל־הַנָּבִיא מֶה־עָנְךָ יְהוָה וּמַה־דִּבֶּר יְהוָה׃
H3541 H0559 H0413 H5030 H4100 H6030 H3068 H4100 H1696 H3068

あなたは預言者にこう言わなければならない、『主はあなたになんと答えられましたか』、『主はなんと言われましたか』と。

38 וְאִם־מַשָּׂא יְהוָה תֹּאמְרוּ לָכֵן כֹּה אָמַר יְהוָה יַעַן
H3282 H3068 H0559 H3541 H3588 H0559 H3068 H4853 H3588
אֲמָרְכֶם לֹא תֹאמְרוּ אֲלֵיכֶם כִּי־שָׁלַח וְאֶשְׁלַח יְהוָה מַשָּׂא׃
H3808 H0559 H0413 H7971 H3068 H4853 H3588 H0559

もしあなたがたが『主の重荷』と言うならば、主はこう仰せられる、『わたしが人をあなたがたにつかわして、あなたがたは「主の重荷」と言ってはならないと言わせたのに、あなたがたは「主の重荷」という言葉を言ったので、

39 לָכֵן הִנְנִי נָשֹׂא נָשִׂיתִי וְנָטַשְׁתִּי אֶתְכֶם וְאֶת־
H3808 H0559 H0413 H7971 H3068 H4853 H3588 H0559
הָעִיר אֲשֶׁר נָתַתִּי לָכֶם וְלַאֲבוֹתֵיכֶם מֵעַל פָּנָי׃
H5414 H3588 H0001 H6440

わたしは必ずあなたがたを捕え移させ、あなたがたとあなたがたの先祖とに与えたこの町と、あなたがたとを、わたしの前から捨て去る。

תִּשָּׁכֵֽחַ׃	לֹ֥א	אֲשֶׁ֖ר	עוֹלָ֑ם	וּכְלִמּ֥וֹת	עוֹלָ֖ם	חֶרְפַּ֥ת	עֲלֵיכֶ֛ם	וְנָתַ֥תִּי	40
	忘れられない		永遠-の	辱め-と	永遠-の	恥辱-を	あなたがた-の上-に	与える	
H7911	H3808		H5769	H3640	H5769	H2781		H5414	

ס

そして、忘れられることのない永遠のはずかしめと永遠の恥を、あなたがたにこうむらせる』」。

Chapter 24

יְהוָ֔ה	הֵיכַ֣ל	לִפְנֵ֔י	מוּעָדִ֖ים	תְּאֵנִ֑ים	דּוּדָאֵ֣י	שְׁנֵ֤י	וְהִנֵּה֙	יְהוָ֔ה	הֶרְאַ֣נִי	1
主-の	神殿-の	前-に	置かれていた	いちじく-の	籠-が	二つ-の	見よ	主-が	見せられた	
H3068	H1964	H6440	H3259	H8384	H1736	H8147	H2009	H3068	H7200	

בֶּן־	יְכָנְיָ֥הוּ	אֶת־	בָּבֶ֖ל	מֶ֣לֶךְ־	נְבוּכַדְרֶאצַּ֞ר	הַגֹּלֻ֗ת	אַחֲרֵי֙	
息子-の	エコニヤ		バビロン-の	王	ネブカドネツァル-が	捕囚-にした	後-に	
	H3204	H0853	H0894	H4428	H5019	H1540		

הַמַּסְגֵּ֑ר	וְאֶת־	הֶחָרָ֣שׁ	וְאֶת־	יְהוּדָ֗ה	שָׂרֵ֤י	וְאֶת־	יְהוּדָה֙	מֶ֣לֶךְ־	יְהוֹיָקִ֔ים
鍛冶師-を	そして	職人-と	そして	ユダ-の	貢-たち-を	そして	ユダ-の	王	エホヤキム-の
H4525	H0853	H2796	H0853	H3063	H8269	H0853	H3063	H4428	H3079

בָּבֶֽלָה׃	וַיְבִיאָ֖ם	מִירוּשָׁלִַ֥ם
バビロン-へ	連れて-行った	エルサレム-から
H0894	H0935	H3389

バビロンの王ネブカデレザルがユダの王エホヤキムの子エコニヤおよびユダの君たちと工匠と鍛冶をエルサレムからバビロンに移して後、主はわたしにこの幻をお示しになった。見よ、主の宮の前に置かれているいちじくを盛った二つのかごがあった。

הַבִּכּוּרֹ֑ת	כִּתְאֵנֵ֣י	מְאֹ֔ד	טֹבוֹת֙	תְּאֵנִ֣ים	אֶחָ֔ד	הַדּוּדִ֖ים		2
	初なり-のいちじくの-ように	非常-に	良い	いちじく-が		一つ-の籠-には		
H1073	H8384	H3966		H8384	H0259	H1731		

תֵּאָכַ֖לְנָה	לֹ֣א־	אֲשֶׁ֥ר	מְאֹ֛ד	רָעוֹת֙	תְּאֵנִ֣ים	אֶחָ֔ד	וְהַדּוּדִ֖ים
	食べられない		非常-に	悪い	いちじく-が		もう一つ-の籠-には
H0398	H3808		H3966		H8384	H0259	H1731

ס	מֵרֹֽעַ׃	
	悪さ-のゆえ-に	
	H7455	

その一つのかごには、はじめて熟したような非常に良いいちじくがあり、ほかのかごには非常に悪くて食べられないほどの悪いいちじくが入れてあった。

תְּאֵנִ֑ים	וָאֹמַ֖ר	יִרְמְיָ֣הוּ	רֹאֶ֔ה	אַתָּ֣ה	מָּה־	אֵלַ֔י	יְהוָ֔ה	וַיֹּ֥אמֶר	3
いちじく-です	答えた	エレミヤよ	見ている	あなたは	何-を	わたし-に	主は	言われた	
H8384	H0559	H3414	H7200		H4100	H0413	H3068	H0559	

לֹ֣א־	אֲשֶׁ֥ר	מְאֹ֛ד	רָעוֹת֙	וְהָרָעוֹת֙	מְאֹ֛ד	טֹבוֹת֙	הַטֹּבוֹת֙	הַתְּאֵנִ֔ים	
食べられない		非常-に	悪い	悪い-もの-は	非常-に		良い	良い-いちじく-は	
H3808		H3966			H3966			H8384	

פ	מֵרֹ֑עַ	תֵּאָכַ֖לְנָה	
	悪さ-のゆえ-に		
	H7455	H0398	

主はわたしに、「エレミヤよ、何を見るか」と言われた。わたしは、「いちじくです。その良いいちじくは非常によく、悪いほうのいちじくは非常に悪くて、食べられません」と答えた。

4

וַיְהִי	דְבַר־	יְהוָה	אֵלַי	לֵאמֹר׃
あった	言葉–が	主–の	わたし–に	言って
H1961	H1697	H3068	H0413	H0559

主の言葉がまたわたしに臨んだ、

5

כֹּה־	אָמַר	יְהוָה	אֱלֹהֵי	יִשְׂרָאֵל	כַּתְּאֵנִים	הַטֹּבוֹת	הָאֵלֶּה
このように	言われた	主は	神は	イスラエル–の	良い–いちじくの–ように	־	これら–の
H3541	H0559	H3068	H0430	H3478	H8384		H0428

כֵּן־	אַכִּיר	אֶת־	גָּלוּת	יְהוּדָה	אֲשֶׁר	שִׁלַּחְתִּי	מִן־	הַמָּקוֹם	הַזֶּה
そのように	見なす	־	捕囚–の民–を	ユダ–の	־	遣わした	～から	この–場所–から	־
	H0853		H1546	H3063		H7971		H4725	H2088

לְטוֹבָה׃	כַּשְׂדִּים	אֶרֶץ
幸い–のため–に	カルデヤ–の	地–へ
	H3778	H0776

「イスラエルの神、主はこう仰せられる、この所からカルデヤびとの地に追いやったユダの捕われ人を、わたしはこの良いいちじくのように顧みて恵もう。

6

הַזֹּאת	הָאָרֶץ	עַל־	וַהֲשִׁבֹתִים	לְטוֹבָה	עֲלֵיהֶם	עֵינַי	וְשַׂמְתִּי
־	この–地–に	～の上–に	帰らせる	幸い–のため–に	彼ら–の上–に	わが–目–を	置く
H2063	H0776		H7725				

אֶתּוֹשׁ׃	וְלֹא	וּנְטַעְתִּים	אֶהֱרֹס	וְלֹא	וּבְנִיתִים
־	引き–抜かない	植える	־	壊さない	建てる
H5428	H3808	H5193	H2040	H3808	H1129

わたしは彼らに目をかけてこれを恵み、彼らをこの地に返し、彼らを建てて倒さず、植えて抜かない。

7

וְהָיוּ־	יְהוָה	אֲנִי	כִּי	אֹתִי	לָדַעַת	לֵב	לָהֶם	וְנָתַתִּי
彼らは–なる	主–である	わたし–が	なぜなら	わたし–を	知る–ため–に	心–を	彼ら–に	与える
H1961	H3068	H0589		H0853	H3045			H5414

אֵלַי	יָשֻׁבוּ	כִּי־	לֵאלֹהִים	לָהֶם	אֶהְיֶה	וְאָנֹכִי	לְעָם	לִי
わたし–に	立ち–帰る	なぜなら	神–と	彼ら–にとって	なる	わたし–は	民–と	わたし–にとって
H0413	H7725		H0430		H1961	H0595		

ס	לִבָּם׃	בְּכָל־	
־	心–をもって	すべて–の	
		H3605	

わたしは彼らにわたしが主であることを知る心を与えよう。彼らはわたしの民となり、わたしは彼らの神となる。彼らは一心にわたしのもとに帰ってくる。

כִּי־ まこと-に H7455 מֵרָעַ 悪さ-のゆえ-に H0398 תֵאָכֵלְנָה H3808 לֹא־ 食べられない H0834 אֲשֶׁר H2063 הָהָרָעוֹת 悪い-いちじくの-ように H8384 וְכַתְּאֵנִים 8

וְאֶת־ そして H0853 יְהוּדָה ユダ-の H3063 מֶלֶךְ־ 王 H4428 צִדְקִיָּהוּ ツィデキヤ-を H6667 אֶת־ H0853 אֶתֵּן 渡す H5414 כֵּן そのように H3541 יְהוָה 主は H3068 אָמַר 言われた H0559 וְכֹה このように

הַזֹּאת H2063 בָּאָרֶץ この-地-に H0776 הַנִּשְׁאָרִים 残っている-者 H7604 יְרוּשָׁלַם エルサレム-の H3389 שְׁאֵרִית 残り-の者-を H7611 וְאֶת そして H0853 שָׂרָיו その-貢-たち-を H8269

מִצְרָיִם׃ エジプト-の H4714 בְּאֶרֶץ 地-に H0776 וְהַיֹּשְׁבִים 住んでいる-者-を H3427

主はこう仰せられる、わたしはユダの王ゼデキヤとそのつかさたち、およびエルサレムの人の残ってこの地にいる者、ならびにエジプトの地に住んでいる者を、この悪くて食べられない悪いいちじくのようにしよう。

לְחֶרְפָּה そしり-と H2781 הָאָרֶץ 地-の H0776 מַמְלְכוֹת 王国-に H4467 לְכֹל すべて-の H3605 לְרָעָה 災い-のため-に H7451 לְזַעֲוָה(恐怖-の対象-として H2189]לְזוּעָה[H2113 וּנְתַתִּים 渡す H5414 9

שָׁם׃ そこ-に H8033 אַדִּיחֵם 追い-やる H5080 אֲשֶׁר־ H0834 הַמְּקֹמוֹת 場所-に H4725 בְּכָל־ すべて-の H3605 וְלִקְלָלָה 呪い-と H7045 לִשְׁנִינָה 嘲り-と H8148 וּלְמָשָׁל ことわざ-と H4912

わたしは彼らを地のもろもろの国で、忌みきらわれるものとし、またわたしの追いやるすべての所で、はずかしめに会わせ、ことわざとなり、あざけりと、のろいに会わせる。

תֻּמָּם H8552 עַד־ 滅ぼす-まで H5704 הַדֶּבֶר 疫病-を H1698 וְאֶת־ そして H0853 הָרָעָב 飢饉-と H7458 אֶת־ H0853 הַחֶרֶב 剣-を H2719 אֶת־ H0853 בָּם 彼ら-の中-に H8314 וְשִׁלַּחְתִּי 遣わす H7971 10

פ H6605 וְלַאֲבוֹתֵיהֶם׃ 彼ら-の先祖-に H0001 לָהֶם 彼ら-に H1992 נָתַתִּי 与えた H5414 אֲשֶׁר־ H0834 הָאֲדָמָה 地-の上-から H0127 מֵעַל ～から

わたしはつるぎと、ききんと、疫病を彼らのうちに送って、ついに彼らをわたしが彼らとその先祖とに与えた地から絶えさせる」。

Chapter 25

בַּשָּׁנָה 年-に H8141 יְהוּדָה ユダ-の H3063 עַם 民-の כָּל־ すべて-の H3605 עַל־ ～について יִרְמְיָהוּ エレミヤ-に H3414 עַל־ ～について הָיָה あった H1961 אֲשֶׁר־ H0834 הַדָּבָר 言葉-が H1697 1

הָרְבִעִית 第四-の H7243 לִיהוֹיָקִים エホヤキム-の H3079 בֶּן־ 息子-の יֹאשִׁיָּהוּ ヨシヤ-の H2977 מֶלֶךְ 王-の H4428 יְהוּדָה ユダ-の H3063 הִיא それは H1931 הַשָּׁנָה 年-の H8141 הָרִאשׁוֹנִית 第一-の H7224

בָּבֶל׃ バビロン-の H0894 מֶלֶךְ 王-の H4428 לִנְבוּכַדְרֶאצַּר ネブカドネツァル-の H5019

ユダの王ヨシヤの子エホヤキムの四年（バビロンの王ネブカデレザルの元年）にユダのすべての民についての言葉がエレミヤに臨んだ。

2 אֲשֶׁר דִּבֶּר יִרְמְיָהוּ הַנָּבִיא עַל־ כָּל־ וְאֶל יְהוּדָה עַם כָּל־
語った エレミヤは 預言者-が ～に対して すべて-の そして ユダ-の 民-に すべて-の
H1696 H3414 H5030 H3605 H0413 H3063 H3605

יֹשְׁבֵי יְרוּשָׁלִַם לֵאמֹר׃
住民-に エルサレム-の 言って
H3427 H3389 H0559

預言者エレミヤはこの言葉をユダのすべての民とエルサレムに住むすべての人に告げて言った、

3 מִן־ שְׁלֹשׁ עֶשְׂרֵה שְׁלֹשׁ שָׁנָה לְיֹאשִׁיָּהוּ בֶן־ אָמוֹן מֶלֶךְ יְהוּדָה וְעַד
～から 十三-の 年-から ヨシヤ-の 息子-の 王-の ユダ-の 今-の
H4480 H7969 H8141 H2977 H1121 H0526 H4428 H3063 H5704

הַיּוֹם הַזֶּה שָׁנָה שְׁלֹשׁ וְעֶשְׂרִים זֶה הָיָה דְבַר־ יְהוָה אֵלַי
日-まで この 年-である 二十三-の これ-は あった 言葉-が 主-の わたし-に
H3117 H2088 H8141 H7969 H2088 H1961 H1697 H3068 H0413

וָאֲדַבֵּר אֲלֵיכֶם אַשְׁכִּים וְדַבֵּר וְלֹא שְׁמַעְתֶּם׃
語って-きた 語って-に 早く-から 語って しかし-ない 聞かなかった
H1696 H0413 H7925 H1696 H3808 H8085

「ユダの王アモンの子ヨシヤの十三年から今日にいたるまで二十三年の間、主の言葉がわたしに臨んだ。わたしはたゆまずにそれをあなたがたに語ってきたが、あなたがたは聞かなかった。

4 וְשָׁלַח יְהוָה אֵלֵיכֶם אֶת־ כָּל־ עַבְדָּיו הַנְּבִיאִים הַשְׁכֵּם וְשָׁלֹחַ
遣わした 主は あなたがた-に を すべて-の 僕-たち-を 預言者-たち 早く-から 遣わして
H7971 H3068 H0413 H0853 H3605 H5650 H5030 H7925 H7971

לִשְׁמֹעַ׃ אָזְנֵכֶם אֶת־ הִטִּיתֶם וְלֹא־ שְׁמַעְתֶּם וְלֹא
聞く-ため-に 耳-を を 傾けなかった 聞かなかった しかし-ない
H8085 H0241 H0853 H5186 H3808 H8085 H3808

主はたゆまず、そのしもべである預言者を、あなたがたにつかわされたが、あなたがたは聞かずまた耳を傾けて聞こうともしなかった。

5 לֵאמֹר שׁוּבוּ־ נָא אִישׁ מִדַּרְכּוֹ הָרָעָה וּמֵרָעַ מַעַלְלֵיכֶם וּשְׁבוּ
言って 立ち-帰れ どうか 各々-が その-道-から 悪い その-悪い-行い-から 住め
H0559 H7725 H4994 H0376 H1870 H7451 H4611 H3427

עַל־ וְעַל אַדְמָה אֲשֶׁר נָתַן יְהוָה לָכֶם וְלַאֲבוֹתֵיכֶם מִן־ עוֹלָם
～の上-に 地-に 与えた 主-が あなたがた-に あなたがた-の先祖-に 昔-から
H5921 H0127 H0834 H5414 H3068 H0001 H4480 H5769

וְעַד־ עוֹלָם׃
永遠-まで
H5704 H5769

彼らは言った、『あなたがたはおのおの今その悪の道と悪い行いを捨てなさい。そうすれば主が昔からあなたがたと先祖たちとに与えられた地に永遠に住むことができる。

6 וְאַל־ תֵּלְכוּ אַחֲרֵי אֱלֹהִים אֲחֵרִים לְעָבְדָם וּלְהִשְׁתַּחֲוֹת לָהֶם וְלֹא־
行く-な 後-に 神々-の 他-の 仕える-ため-に ひれ伏す-ため-に 彼ら-に 怒らせる-な
H0408 H3212 H0430 H0312 H5647 H7812 H3808

תַכְעִיסוּ אוֹתִי בְּמַעֲשֵׂה יְדֵיכֶם וְלֹא אָרַע לָכֶם׃
行い-で わたし-を 災い-を与える あなたがた-の手-の そうすれば-ない あなたがた-に
H3707 H0853 H4639 H3027 H3808 H7451

あなたがたは、ほかの神に従って、それに仕え、それを拝んではならない。あなたがたの手で作ったものをもって、わたしを怒らせてはならない。このようなことをしないなら、わたしはあなたがたをそこなうことはない』と。

7 וְלֹא־ שְׁמַעְתֶּם אֵלַי נְאֻם־ יְהוָה לְמַעַן הכעסוני [הַכְעִיסֵנִי]
しかし–ない 聞かなかった わたし–に 御告げ–である 主の ～のために
H3808 H8085 H0413 H5002 H3068 H4616 H3707 H3707

בְּמַעֲשֵׂה יְדֵיכֶם לְרַע לָכֶם׃ ס
行い–で あなたがた–の手–の 災い–のため–に あなたがた–に
H4639 H3027

しかしあなたがたはわたしに聞き従わず、あなたがたの手で作った物をもって、わたしを怒らせて自ら害を招いたと、主は言われる。

8 לָכֵן כֹּה אָמַר יְהוָה צְבָאוֹת יַעַן אֲשֶׁר לֹא־ שְׁמַעְתֶּם
それゆえ このように 言われた 主は 万軍–の ～のゆえ–に 聞かなかった
H3541 H0559 H3068 H6635 H3282 H3808 H8085

אֶת־ דְּבָרָי׃
わが–言葉–を
H0853 H1697

それゆえ万軍の主はこう仰せられる、あなたがたがわたしの言葉に聞き従わないゆえ、

9 הִנְנִי שֹׁלֵחַ וְלָקַחְתִּי אֶת־ כָּל־ מִשְׁפְּחוֹת צָפוֹן נְאֻם־ יְהוָה וְאֶל־
見よ–わたしは 遣わし 取る すべて–の 氏族–を 北–の 御告げ–である 主の そして
H2009 H7971 H3947 H0853 H3605 H4940 H6828 H5002 H3068 H0413

נְבוּכַדְרֶאצַּר מֶלֶךְ־ בָּבֶל עַבְדִּי וְהֵבֵאתִים עַל־ הָאָרֶץ הַזֹּאת
ネブカドネツァル–を 王 バビロン–の わが–僕–を 連れて–来る ～の上–に この–地–に
H5019 H4428 H0894 H5650 H0935 H0776 H2063

וְעַל־ כָּל־ הַגּוֹיִם סָבִיב וְהַחֲרַמְתִּים וְעָלֶיהָ וְעַל־ כָּל־ הָאֵלֶּה
そして～の上–に その–住民–に そして～の上–に すべて–の 国々–に 周囲–の 滅ぼし
H3427 H3605 H1471 H5439

וְשַׂמְתִּים לְשַׁמָּה וְלִשְׁרֵקָה וּלְחָרְבוֹת עוֹלָם׃
変える 荒廃–と 嘲り–と 廃墟–と 永遠–の
H8047 H8322 H2723 H5769

見よ、わたしは北の方のすべての種族と、わたしのしもべであるバビロンの王ネブカデレザルを呼び寄せて、この地とその民と、そのまわりの国々を攻め滅ぼさせ、これを忌みきらわれるものとし、人の笑いものとし、永遠のはずかしめとすると、主は言われる。

10 וְהַאֲבַדְתִּי מֵהֶם קוֹל שָׂשׂוֹן וְקוֹל שִׂמְחָה קוֹל חָתָן וְקוֹל כַּלָּה
絶やす 彼ら–から 声–を 喜び–の 声–と 楽しみ–の 声–を 花婿–の 声–と 花嫁–の
H0006 H1992 H6963 H8342 H6963 H8057 H6963 H2860 H6963 H3618

קוֹל רֵחַיִם וְאוֹר נֵר׃
声–を ひき臼–の 光–と 灯–の
H6963 H7347 H0216 H5216

またわたしは喜びの声、楽しみの声、花婿の声、花嫁の声、ひきうすの音、ともしびの光を彼らの中に絶えさせる。

11 וְהָיְתָה כָּל־ הָאָרֶץ הַזֹּאת לְחָרְבָּה לְשַׁמָּה וְעָבְדוּ הַגּוֹיִם הָאֵלֶּה אֶת־
なる すべて–の この–地–は 廃墟–と 荒廃–に 仕える 国々–は これら–の
H1961 H3605 H0776 H2063 H2723 H8047 H5647 H1471 H0428 H0853

מֶלֶךְ בָּבֶל שִׁבְעִים שָׁנָה׃
王–に バビロン–の 七十–の 年
H4428 H0894 H7657 H8141

この地はみな滅ぼされて荒れ地となる。そしてその国々は七十年の間バビロンの王に仕える。

12 וְהָיָה כִּמְלֹאת שִׁבְעִים שָׁנָה אֶפְקֹד עַל־מֶלֶךְ בָּבֶל וְעַל־הַגּוֹי
その–国民–を そして ～を 罰する 年–が 七十–の 満ちた–とき なる
H0894 H4428 H8141 H7657 H4390 H1961

הַהוּא נְאֻם־יְהוָה עֲוֹנָם עַל־אַרְצָם וְשַׂמְתִּי כַשְׂדִּים אֹתוֹ
それ–を 変える カルデヤ–の 地–を そして 咲–を 主の 御告げ–である
H0853 H3778 H0776 H5771 H0853 H3068 H5002 H1931

לְשִׁמְמוֹת עוֹלָם׃
永遠–の荒廃–と
H5769

主は言われる、七十年の終った後に、わたしはバビロンの王と、その民と、カルデヤびとの地を、その罪のために罰し、永遠の荒れ地とする。

13 וְהֵבֵאתִי עַל־הָאָרֶץ הַהִיא אֶת־כָּל־דְּבָרַי אֲשֶׁר־
もたらす その–地–に ～の上–に すべて–の わが–言葉–を
H0935 H0776 H1931 H0853 H3605 H1697

נִבָּא יִרְמְיָהוּ עַל־כָּל־הַגּוֹיִם׃ אֲשֶׁר הַזֶּה בַּסֵּפֶר הַכָּתוּב עָלֶיהָ אֵת כָּל־
預言–した エレミヤ–が ～に対して すべて–の 国々–に
H5012 H3414 H3605

דִּבַּרְתִּי
語った
H1696

わたしはあの地について、わたしが語ったすべての言葉をその上に臨ませる。これはエレミヤが、万国のことについて預言したものであって、みなこの書にしるされている。

14 כִּי עָבְדוּ־בָם גַּם־הֵמָּה גּוֹיִם רַבִּים וּמְלָכִים גְּדוֹלִים וְשִׁלַּמְתִּי
なぜなら 仕えた 彼ら–に また 彼ら–も 国々–が 多く–の 王–たち–と 報いる 大いなる
H5647 H1571 H1992 H4428

לָהֶם כְּפָעֳלָם וּכְמַעֲשֵׂה יְדֵיהֶם׃ ס
彼ら–に 行い–に応じて 業–に応じて 彼ら–の手–の
H6467 H4639 H3027

多くの国々と偉大な王たちとは、彼らをさえ奴隷として仕えさせる。わたしは彼らの行いと、その手のわざに従って報いる」。

15 כִּי כֹה אָמַר יְהוָה אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל אֶל־כְּלִי קַח אֶת־כּוֹס
なぜなら このように 言われた 主は 神は イスラエル–の わたし–に 取れ 杯–を
H3541 H0559 H3068 H0430 H3478 H0413 H3947 H0853

הַיַּיִן הַחֵמָה הַזֹּאת מִיָּדִי וְהִשְׁקִיתָה אֹתוֹ אֶת־כָּל־הַגּוֹיִם אֲשֶׁר
ぶどう酒–の 怒り–の この わが–手–から 飲ませよ それ–を すべて–の 国々–に
H3196 H2534 H2063 H3027 H8248 H0853 H3605

אָנֹכִי שֹׁלֵחַ אוֹתְךָ אֲלֵיהֶם׃
わたしは 遣わす あなた–を 彼ら–に
H0595 H7971 H0853 H0413

イスラエルの神、主はわたしにこう仰せられた、「わたしの手から、この怒りの杯を受けて、わたしがあなたをつかわす国々の民に飲ませなさい。

16 וְשָׁתּוּ וְהִתְגֹּעֲשׁוּ וְהִתְהוֹלָלוּ מִפְּנֵי הַחֶרֶב אֲשֶׁר אָנֹכִי שֹׁלֵחַ בֵּינָתָם׃
飲め よろめき 狂え ～の前–で 剣–の わたしは 遣わす 彼ら–の間–に
H8354 H1607 H2719 H6440 H0595 H7971 H0996

彼らは飲んで、よろめき狂う。これはわたしが彼らのうちに、つるぎをつかわそうとしているからである」。

17 וָאֶקַּח֙ אֶת־הַכּ֣וֹס מִיַּד־יְהוָ֔ה וָאַשְׁקֶ֖ה אֶת־כָּל־הַגּוֹיִ֑ם אֲשֶׁר־שְׁלָחַ֥נִי

取った H3947 | を H0853 | 杯 H3027 | から 手 H3068 | の 主 H8248 | 飲ませた H0853 | を H3605 | すべて の H1471 | に 国々 H7971 | た 遣わされ

יְהוָ֖ה אֲלֵיהֶֽם׃

が 主 H3068 | に 彼ら H0413

こうしてわたしは主の手から杯を受け、主がわたしをつかわされた国々の民に飲ませた。

18 אֶת־יְרוּשָׁלַ֙͏ִם֙ וְאֶת־עָרֵ֣י יְהוּדָ֔ה אֶת־מְלָכֶ֖יהָ וְאֶת־שָׂרֶ֑יהָ

と エルサレム H3389 | を H0853 | そして H3063 | の ユダ H0853 | を 町々 H4428 | と 王 H0853 | を そして H8269 | と 貢 H0853 | を

לָתֵ֤ת אוֹתָם֙ לְחָרְבָּ֣ה לְשַׁמָּ֔ה לִשְׁרֵקָ֖ה וְלִקְלָלָ֑ה כַּיּ֖וֹם הַזֶּֽה׃

に 変える ため に H5414 | を 彼ら H0853 | に 廃墟 H2723 | と 荒廃 H8047 | と 嘲り H8322 | と 呪い H7045 | と 今日 の ように H3117 | この H2088

すなわちエルサレムとユダのすべての町と、その王たちおよびそのつかさたちに飲ませて、それらを滅ぼし、荒れ地とし、人の笑いものとし、のろわれるものとした。今日のとおりである。

19 אֶת־פַּרְעֹ֣ה מֶֽלֶךְ־מִצְרַ֗יִם וְאֶת־עֲבָדָ֤יו וְאֶת־שָׂרָיו֙ וְאֶת־כָּל־עַמּ֔וֹ

を ファラオ H6547 | と 王 H4428 | の エジプト H4714 | と を そして H5650 | と 僕 H8269 | と 貢 H0853 | を そして H3605 | すべて の H5971 | に その 民 H0853 | を そして

׃

またエジプトの王パロとその家来たち、その君たち、そのすべての民と、

20 וְאֵת֙ כָּל־הָעֶ֣רֶב וְאֶת־כָּל־מַלְכֵ֣י הָעוּץ֒ וְאֶת־כָּל־מַלְכֵ֣י אֶ֔רֶץ

そして H3605 | すべて の H0853 | そして H6154 | の 混合 民 H3605 | すべて の H4428 | に 王 H5780 | の ウツ H0776 | の 地 H0853 | を そして

וְאֵת֙ כָּל־מַלְכֵ֣י פְלִשְׁתִּ֔ים וְאֶת־עַזָּ֖ה וְאֶת־אַשְׁקְל֑וֹן וְאֶת־שְׁאֵרִ֖ית

の 残り H7611 | に 民 H0853 | と を そして H0831 | と アシュケロン H0853 | と を そして H5804 | と ガザ H0853 | と を そして H6430 | の ペリシテ H0776 | の 地 H4428 | に 王 H3605 | すべて の H0853 | と を そして

אַשְׁדּ֖וֹד׃ עֶקְר֥וֹן וְאֶת־

と エクロン H6138 | と 残り H0853 | と を そして H0795 | の アシュドド

もろもろの寄留の異邦人、およびウズの地のすべての王たち、およびペリシテびとの地のすべての王たち、（アシケロン、ガザ、エクロン、アシドドの残りの者）、

21 אֶת־אֱד֣וֹם וְאֶת־מוֹאָ֔ב וּבְנֵ֖י עַמּ֑וֹן׃

を エドム H0123 | と を そして H4124 | と モアブ H0853 | を そして H5983 | の アンモン H1121 | の 子ら

エドム、モアブ、アンモンの子孫、

22 וְאֵת֙ כָּל־מַלְכֵ֣י צֹ֔ר וְאֵת֙ כָּל־מַלְכֵ֣י צִיד֔וֹן וְאֵת֙ מַלְכֵ֣י הָאִ֔י

の 島 H0339 | の 王 H4428 | に 向こう H5676 | の 海 H3220 | の

אֲשֶׁ֖ר בְּעֵ֣בֶר הַיָּֽם׃

と を そして H0853 | の シドン H6721 | の 王 H4428 | に すべて H3605 | の ツロ H6865 | の 王 H4428 | に すべて H3605 | の

ツロのすべての王たち、シドンのすべての王たち、海のかなたの海沿いの地の王たち、

23 וְאֶת־ דְּדָן וְאֶת־ תֵּימָא וְאֶת־ בּוּז וְאֶת־ כָּל־ קְצוּצֵי
そして デダン-と そして テマ-と そして ブズ-と そして すべて-の 切り-落とした者-に
H0853 H1724 H0853 H8485 H0853 H0938 H0853 H3605 H7112

פְּאָה׃
もみあげ-の
H6285

デダン、テマ、ブズおよびすべて髪の毛のすみずみをそる者、

24 וְאֶת כָּל־ מַלְכֵי עֲרָב וְאֶת כָּל־ מַלְכֵי הָעֶרֶב
そして すべて-の 王-たち-に アラビア-の そして すべて-の 王-たち-に 混合-の民-の
H0853 H3605 H4428 H6152 H0853 H3605 H4428 H6154

הַשֹּׁכְנִים בַּמִּדְבָּר׃
住んでいる 荒野-に
H7931 H4057

アラビヤのすべての王たち、荒野の雑種の民のすべての王たち、

25 וְאֵת כָּל־ מַלְכֵי זִמְרִי וְאֵת כָּל־ מַלְכֵי עֵילָם וְאֵת
そして すべて-の 王-たち-に ジムリ-の そして すべて-の 王-たち-に エラム-の そして
H0853 H3605 H4428 H2174 H0853 H3605 H4428 H5867 H0853

כָּל־ מַלְכֵי מָדָי׃
すべて-の 王-たち-に メディア-の
H3605 H4428 H4074

ジムリのすべての王たち、エラムのすべての王たち、メデアのすべての王たち、

26 וְאֵת כָּל־ מַלְכֵי הַצָּפוֹן הַקְּרֹבִים וְהָרְחֹקִים אִישׁ אֶל־ אָחִיו
そして すべて-の 王-たち-に 北-の 近い-者も 遠い-者も 各々-が ～に その-兄弟-に
H0853 H3605 H4428 H6828 H7138 H7350 H0376 H0413 H0251

וּמֶלֶךְ שֵׁשַׁךְ יִשְׁתּוּ אַחֲרֵיהֶם׃
王-は シェシャク-の 飲む 彼ら-の後-に
H4428 H8347 H8354

וְאֶת כָּל־ מַמְלְכוֹת הָאָרֶץ אֲשֶׁר עַל־ פְּנֵי הָאֲדָמָה הַגְּדוֹלָה
そして すべて-の 王国-に 地-の 〜 〜の上-に 面-の 大地-の
H0853 H3605 H4467 H0776 H0834 H5921 H6440 H0127

北のすべての王たちの遠き者、近き者もつぎつぎに、またすべて地のおもてにある世の国々の王たちもこの杯を飲む。そして彼らの次にバビロンの王もこれを飲む。

27 וְאָמַרְתָּ אֲלֵיהֶם כֹּה־ אָמַר יְהוָה צְבָאוֹת אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל שְׁתוּ
言え 彼ら-に このように 言われた 主は 万軍-の 神は イスラエル-の 飲め
H0559 H0413 H3541 H0559 H3068 H6635 H0430 H3478 H8354

וְשִׁכְרוּ וְקִיאוּ וְנִפְלוּ וְלֹא תָקוּמוּ מִפְּנֵי הַחֶרֶב אֲשֶׁר אֲנֹכִי שֹׁלֵחַ
酔え 吐け 倒れよ 起き上がれない 〜の前-で 剣-の わたしは 遣わす
H7937 H7006 H5307 H3808 H6440 H2719 H0834 H0595 H7971

בֵּינֵיכֶם׃
あなたがた-の間-に
H0996

「それであなたは彼らに言いなさい、『万軍の主、イスラエルの神はこう仰せられる、飲め、酔って吐け、倒れて再び立つな、わたしがあなたがたのうちに、つるぎをつかわすからである』」。

28 וְהָיָה כִּי־יְמָאֲנוּ לָקַחַת־הַכּוֹס מִיָּדְךָ לִשְׁתּוֹת וְאָמַרְתָּ אֲלֵיהֶם
なる もし 拒む–なら 取る–こと–を 杯–を あなた–の手–から 飲む–ため–に 言え 彼ら–に
H1961 H3588 H3985 H3947 H3027 H8354 H0559 H0413

כֹּה אָמַר יְהוָה צְבָאוֹת שָׁתוֹ תִשְׁתּוּ׃
このように 言われた 主は 万軍–の 必ず–飲む 飲む
H3541 H0559 H3068 H6635 H8354 H8354

「もし彼らがあなたの手から杯を受けて飲むことをしないならば、あなたは彼らに言いなさい、『万軍の主はこう仰せられる、あなたがたは必ず飲まなければならない。

29 כִּי הִנֵּה בָּעִיר אֲשֶׁר נִקְרָא־שְׁמִי עָלֶיהָ אָנֹכִי מָחֵל
なぜなら 見よ 都–に ∅ 呼ばれている わが–名–が その上–に わたしは 始める
H3588 H2009 H5892 H7121 H8034 H5921 H0595 H2490

לְהָרַע כִּי אַתֶּם הִנָּקֵה לֹא תִנָּקוּ כִּי חֶרֶב
災い–をもたらす–こと–を あなたがた–は 罰–を免れる 免れない ∅ なぜなら 剣–を
H7451 H3588 H0859 H5352 H3808 H5352 H3588 H2719

צְבָאוֹת׃ יְהוָה נְאֻם הָאָרֶץ יֹשְׁבֵי כָּל־ עַל אֲנִי קֹרֵא
万軍–の 主–の 御告げ–である 地–の 住民–に すべて–の ～の上–に 呼ぶ わたしは
H6635 H3068 H5002 H0776 H3427 H3605 H5921 H7121 H0589

見よ、わたしの名をもって呼ばれるこの町にさえ災を下すのだ。どうしてあなたがたが罰を免れることができようか。あなたがたは罰を免れることはできない。わたしがつるぎを呼び寄せて、地に住むすべての者を攻めるからであると、万軍の主は仰せられる』。

30 וְאַתָּה תִּנָּבֵא אֲלֵיהֶם אֵת כָּל־ הַדְּבָרִים הָאֵלֶּה וְאָמַרְתָּ אֲלֵיהֶם יְהוָה
あなたは 預言–せよ 彼ら–に ∅ すべて–の 言葉–を これら–の 言え 彼ら–に 主は
H5012 H0413 H0853 H3605 H1697 H0428 H0559 H0413 H3068

יִשְׁאָג מִמְּרוֹם וּמִמְּעוֹן קָדְשׁוֹ יִתֵּן קוֹלוֹ שָׁאֹג שָׁאָג עַל־
高み–から 吼える ∅ 聖なる–住まい–から ∅ 放つ その–声–を 激しく–吼える ∅ ～の上–に
H4791 H7580 H6944 H4583 H7580 H5414 H7754 H7580 H5921

נָוֵהוּ יָהִידְדוּ כְּדֹרְכִים יַעֲנֶה אֶל כָּל־ יֹשְׁבֵי הָאָרֶץ׃
その–牧場–に 叫び–を 踏む–者–のように 応える ～に すべて–の 住民–に 地–の
H5116 H3034 H1869 H6030 H0413 H3605 H3427 H0776

それゆえ、あなたは彼らにこのすべての言葉を預言して言いなさい、『主は高い所から呼ばわり、その聖なるすまいから声を出し、自分のすみかに向かって大いに呼ばわり、地に住むすべての者に向かってぶどうを踏む者のように叫ばれる。

31 בָּא שָׁאוֹן עַד־ קְצֵה הָאָרֶץ כִּי רִיב לַיהוָה בַּגּוֹיִם נִשְׁפָּט
届く 響き–が 果て–まで ∅ 地–の なぜなら 訴え–が 主–には 国々–に対する 裁く
H0935 H7588 H5704 H7097 H0776 H3588 H7379 H3068 H1471 H8199

לְכָל־ הָרְשָׁעִים נָתַן לַחֶרֶב נְאֻם־ יְהוָה׃ ס
すべて–の 悪人–たち–を 渡す 剣–に 御告げ–である 主の ∅
H1931 H3605 H7563 H5414 H2719 H5002 H3068 H5750

הוּא בָשָׂר לַחֶרֶב נָתַן הָרְשָׁעִים
∅ 肉–を 剣–に 渡す 悪人–たち–を
H1931 H1320 H2719 H5414 H7563

叫びは地の果にまで響きわたる。主が国々と争い、すべての肉なる者をさばき、悪人をつるぎに渡すからであると、主は言われる』。

32 כֹּה אָמַר יְהוָה צְבָאוֹת הִנֵּה רָעָה יֹצֵאת מִגּוֹי אֶל־גּוֹי וְסַעַר גְּדוֹלָה תָּעוֹר מִיַּרְכְּתֵי־אָרֶץ׃

גּוֹי	אֶל־	מִגּוֹי	יֹצֵאת	רָעָה	הִנֵּה	צְבָאוֹת	יְהוָה	אָמַר	כֹּה
国–へ	～へ	国–から	出て–行く	災い–が	見よ	万軍–の	主は	言われた	このように
	H0413		H3318		H2009		H3068	H0559	H3541

אָרֶץ׃	מִיַּרְכְּתֵי־	תָּעוֹר	גְּדוֹלָה	וְסַעַר
地–の	果て–から	起こされる	𐤂	大きな–嵐–が
H0776	H3411	H5782		

万軍の主はこう仰せられる、見よ、国から国へ災が出て行く。大きなあらしが地の果からおこる。

33 וְהָיוּ חַלְלֵי יְהוָה בַּיּוֹם הַהוּא מִקְצֵה הָאָרֶץ וְעַד־קְצֵה הָאָרֶץ לֹא יִסָּפְדוּ וְלֹא יֵאָסְפוּ וְלֹא יִקָּבֵרוּ לְדֹמֶן עַל־פְּנֵי

וְהָיוּ	חַלְלֵי	יְהוָה	בַּיּוֹם	הַהוּא	מִקְצֵה	הָאָרֶץ	וְעַד־	קְצֵה	הָאָרֶץ	לֹא	יִסָּפְדוּ	וְלֹא
なる	倒れた–者–は	主–の	その–日–に	𐤂	果て–から	地–の	果て–まで	𐤂	地–の	嘆かれない	𐤂	集められない
H1961		H3068		H1931		H0776	H5704		H0776	H3808	H5594	H3808

יֵאָסְפוּ	וְלֹא	יִקָּבֵרוּ	לְדֹמֶן	עַל־	פְּנֵי	הָאֲדָמָה׃
𐤂	葬られずに	𐤂	肥やし–となる	～の上–に	面–の	大地–の
H0622	H3808	H6912	H1828		H6440	H0127

その日、主に殺される人々は、地のこの果から、かの果に及ぶ。彼らは悲しまれず、集められず、また葬られずに、地のおもてに糞土となる。

34 הֵילִילוּ רֹעִים וְזַעֲקוּ וְהִתְפַּלָּשׁוּ אַדִּירֵי הַצֹּאן כִּי־מָלְאוּ יְמֵיכֶם לְטִבְחוֹת וּנְפַלְתֶּם כִּכְלִי חֶמְדָּה׃

הֵילִילוּ	רֹעִים	וְזַעֲקוּ	וְהִתְפַּלָּשׁוּ	אַדִּירֵי	הַצֹּאן	כִּי־	מָלְאוּ	יְמֵיכֶם	לְטִבְחוֹת	וּנְפַלְתֶּם	כִּכְלִי	חֶמְדָּה׃
泣き–叫べ	牧者–たちよ	叫べ	身もだえせよ	指導者–たちよ	羊–の群れ–の	なぜなら	満ちた	あなたがた–の日々–が	ほふられる–ため–に	倒れる	美しい–器–のように	𐤂
H3213		H2199	H6428	H0117	H6629		H4390	H3117	H2873	H5307	H3627	

牧者よ、嘆き叫べ、群れのかしらたちよ、灰の中にまろべ。あなたがたのほふられる日、散らされる日が来たからだ。あなたがたは選び分けられた雄羊のように倒れる。

35 וְאָבַד מָנוֹס מֵרֹעִים וּפְלִיטָה מֵאַדִּירֵי הַצֹּאן׃

וְאָבַד	מָנוֹס	מִן־	רֹעִים	וּפְלִיטָה	מֵאַדִּירֵי	הַצֹּאן׃
失われる	逃げ–場は	～から	牧者–たち–から	逃れる–すべ–は	指導者–たち–から	羊–の群れ–の
H0006	H4498		H7462	H6413	H0117	H6629

牧者には、のがれ場なく、群れのかしらたちは逃げる所がない。

36 קוֹל צַעֲקַת רֹעִים וִילֵלַת אַדִּירֵי הַצֹּאן כִּי־שֹׁדֵד יְהוָה אֶת־מִרְעִיתָם׃

קוֹל	צַעֲקַת	רֹעִים	וִילֵלַת	אַדִּירֵי	הַצֹּאן	כִּי־	שֹׁדֵד	יְהוָה	אֶת־
声–が	叫び–の	牧者–たち–の	泣き–声–が	指導者–たち–の	羊–の群れ–の	なぜなら	滅ぼす	主–が	𐤂
	H6818		H3215	H0117	H6629		H7703	H3068	

מִרְעִיתָם׃
彼ら–の牧場–を
H4830

牧者の叫び声と、群れのかしらたちの嘆きの声が聞える。主が彼らの牧場を滅ぼしておられるからだ。

37 וְנָדְמוּ נְאוֹת הַשְּׁלוֹם מִפְּנֵי חֲרוֹן אַף־יְהוָה׃

וְנָדְמוּ	נְאוֹת	הַשְּׁלוֹם	מִפְּנֵי	חֲרוֹן	אַף־	יְהוָה׃
静まり–返る	牧場–は	平安–の	～の前–で	燃える–怒り–の	𐤂	主–の
	H4999	H7965	H6440	H2740	H0639	H3068

主の激しい怒りによって、平和な牧場は荒れていく。

מִפְּנֵי	לְשַׁמָּה	אַרְצָם	הָיְתָה	כִּי־	סֻכּוֹ	כַּכְּפִיר	עָזָב	38
～の前–で	荒廃–に	彼ら–の地–は	なった	なぜなら	その–隠れ家–を	若獅子–のように	捨てた	
H6440	H8047	H0776	H1961		H5520			

פ	אַפּוֹ׃	חֲרוֹן	וּמִפְּנֵי	הַיּוֹנָה	חֲרוֹן
	その	燃える–怒り–の	～の前–で	圧制者–の	燃える–怒り–の
	H0639	H2740	H6440	H3238	H2740

ししのように彼はその巣を出た。主のつるぎと、その激しい怒りによって、彼らの地は荒れ地となった」。

Chapter 26

הַזֶּה	הַדָּבָר	הָיָה	יְהוּדָה	מֶלֶךְ	יֹאשִׁיָּהוּ	בֶּן־	יְהוֹיָקִים	מַמְלָכוּת	בְּרֵאשִׁית	1
この	ことば–が	あった	ユダの	王	ヨシヤフの	息子–の	エホヤキムの	王国–の	初め–に	
H2088	H1697	H1961	H3063	H4428	H2977		H3079	H4468	H7225	

לֵאמֹר׃	יְהוָה	מֵאֵת
言って	主の	から
H0559	H3068	H0854

ユダの王ヨシヤの子エホヤキムが世を治めた初めのころ、主からこの言葉があった、

											2
כָּל־	עַל־	וְדַבֵּרְתָּ	יְהוָה	בֵּית־	בַּחֲצַר	עֲמֹד	יְהוָה	אָמַר	וְכֹה		
すべて–の	に–向かって	そして–語れ	主の	宮–の	庭–に	立て	主は	言われた	このように		
H3605		H1696	H3068			H5975	H3068	H0559	H3541		

הַדְּבָרִים	כָּל־	אֵת	יְהוָה	בֵּית־	לְהִשְׁתַּחֲוֹת	הַבָּאִים	יְהוּדָה	עָרֵי	
ことば–を	すべて–の	[を]	主の	宮–で	礼拝する–ために	来る–者たちに	ユダの	町々–の	
H1697	H3605	H0853	H3068		H7812	H0935	H3063		

דָּבָר׃	תִּגְרַע	אַל־	אֲלֵיהֶם	לְדַבֵּר	צִוִּיתִיךָ	אֲשֶׁר
ことば–を	省く–こと	ない–ように	彼ら–に	語る–ように	わたし–が–命じた	ところの
H1697	H1639	H0408	H0413	H1696	H6680	

「主はこう仰せられる、主の宮の庭に立ち、わたしがあなたに命じて言わせるすべての言葉を、主の宮で礼拝するために来ているユダの町々の人々に告げなさい。ひと言をも言い残しておいてはならない。

							3
הָרָעָה	מִדַּרְכּוֹ	אִישׁ	וְיָשֻׁבוּ	יִשְׁמְעוּ	אוּלַי		
悪い	道–から	各人–が	そして–立ち返る–だろう	聞く–だろう	もしかしたら		
	H1870	H0376	H7725	H8085	H0194		

חֹשֵׁב	אָנֹכִי	אֲשֶׁר	הָרָעָה	אֶל־	וְנִחַמְתִּי	
計画している	わたし–が	ところの	わざわい–を	に–ついて	そして–わたし–は–悔いる–だろう	
H2803	H0595			H0413	H5162	

מַעַלְלֵיהֶם׃	רַע	מִפְּנֵי	לָהֶם	לַעֲשׂוֹת
行い–の	悪–の	ゆえ–に	彼ら–に	行う–ことを
H4611	H7455	H6440		

彼らが聞いて、おのおのその悪い道を離れることがあるかも知れない。そのとき、わたしは彼らの行いの悪いために、災を彼らに下そうとしたのを思いなおす。

									4
אֵלַי	תִּשְׁמְעוּ	לְבִלְתִּי	אִם־	יְהוָה	אָמַר	כֹּה	אֲלֵיהֶם	וְאָמַרְתָּ	
わたし–に	聞く–なら	ない	もし	主は	言われた	このように	彼ら–に	そして–言え	
H0413	H8085	H3808		H3068	H0559	H3541	H0413	H0559	

לִפְנֵיכֶם׃	נָתַתִּי	אֲשֶׁר	בְּתוֹרָתִי	לָלֶכֶת
あなたがた–の–前–に	わたし–が–与えた	ところの	わたし–の–律法–に	歩む–ために
H6440	H5414		H8451	H3212

あなたは彼らに言いなさい、『主はこう仰せられる、もしあなたがたがわたしに聞き従わず、わたしがあなたがたの前に定めおいた律法を行わず、

5

אֲנֹכִי אֲשֶׁר הַנְּבִאִים עַבָדַי דִּבְרֵי עַל־ לִשְׁמֹעַ
わたし–が ところの 預言者たち–の しもべたち–の ことば–を に–ついて 聞く–ために
H0595 H5030 H5650 H1697 H8085

שְׁמַעְתֶּם׃ וְלֹא וְשָׁלֹחַ וְהַשְׁכֵּם אֲלֵיכֶם שֹׁלֵחַ
聞か–なかった しかし–ない 送って–いるが 早く–起きて あなたがた–に 遣わしている
H8085 H3808 H7971 H7925 H0413 H7971

わたしがあなたがたに、しきりにつかわすわたしのしもべである預言者の言葉に聞き従わないならば、（あなたがたは聞き従わなかったが、）

6

הזאתה] הָעִיר וְאֶת־ כְּשִׁלֹה הַזֶּה הַבַּיִת אֶת־ וְנָתַתִּי
[K] この–町–を そして[を] シロ–の–ように この この–宮–を [を] そして–わたし–は–する
H2063 H0853 H7887 H2088 H0853 H5414

ס׃ הָאָרֶץ גּוֹיֵי לְכֹל לִקְלָלָה אֶתֵּן הַזֹּאת)
[S] 地–の 国々–の すべて–の–ために のろい–と わたし–は–する (この)
H0776 H3605 H7045 H5414 H2063

わたしはこの宮をシロのようにし、またこの町を地の万国にのろわれるものとする』」。

7

מְדַבֵּר יִרְמְיָהוּ אֶת־ הָעָם וְכָל־ הַנְּבִאִים הַכֹּהֲנִים וַיִּשְׁמְעוּ
語って–いる エレミヤ–が [を] 民–が すべて–の 預言者たち–と 祭司たち–と そして–聞いた
H1696 H3414 H0853 H3605 H5030 H3548 H8085

יְהוָה׃ בְּבֵית הָאֵלֶּה הַדְּבָרִים אֶת־
主の 宮–で これら–の ことば–を [を]
H3068 H0428 H1697 H0853

祭司と預言者およびすべての民は、エレミヤが主の宮でこれらの言葉を語るのを聞いた。

8

יְהוָה צִוָּה אֲשֶׁר־ כָּל־ אֵת לְדַבֵּר יִרְמְיָהוּ כְּכַלּוֹת וַיְהִי
主–が 命じた ところの すべて [を] 語る–ことを エレミヤ–が 終えた–とき そして–あった
H3068 H6680 H0853 H1696 H3414 H3615 H1961

וְהַנְּבִאִים הַכֹּהֲנִים אֹתוֹ וַיִּתְפְּשׂוּ הָעָם כָּל־ אֶל־ לְדַבֵּר
預言者たち–と 祭司たち–と 彼–を そして–捕らえた 民–に すべて–の に–向かって 語る–ように
H5030 H3548 H0853 H8610 H3605 H0413 H1696

תָּמוּת׃ מוֹת לֵאמֹר הָעָם וְכָל־
死ぬ–だろう 必ず 言って 民–が すべて–の
H4191 H4191 H0559 H3605

エレミヤが主に命じられたすべての言葉を民に告げ終った時、祭司と預言者および民はみな彼を捕えて言った、「あなたは死ななければならない。

9

הַזֶּה הַבַּיִת יִהְיֶה כְּשִׁלוֹ לֵאמֹר יְהוָה בְּשֵׁם נִבֵּיתָ מַדּוּעַ
この この–宮–は なる–だろう シロ–の–ように 言って 主の 名–によって 預言した–のか なぜ
H2088 H1961 H7887 H0559 H3068 H8034 H5012 H4069

הָעָם כָּל־ וַיִּקָּהֲלוּ יוֹשֵׁב מֵאֵין תֵּחָרֵב הַזֹּאת וְהָעִיר
民–が すべて–の そして–集まった 住む–者–が ない 荒れ果てる–だろう この そして–この–町–は
H3427 H0369 H2063

יְהוָה׃ בְּבֵית יִרְמְיָהוּ אֶל־
主の 宮–で エレミヤ–に に–向かって
H3068 H3414 H0413

なぜあなたは主の名によって預言し、この宮はシロのようになり、この町は荒されて住む人もなくなるであろうと言ったのか」と。民はみな主の宮に集まってエレミヤを取り囲んだ。

10 וַיִּשְׁמְעוּ שָׂרֵי יְהוּדָה אֶת הַדְּבָרִים הָאֵלֶּה וַיַּעֲלוּ מִבֵּית־
そして-聞いた 首長たち-は ユダの [を] ことば-を これら-の そして-上った 宮殿-から
H8085 H8269 H3063 H0853 H1697 H0428 H5927

הַמֶּלֶךְ בֵּית יְהוָה וַיָּשְׁבוּ בְּפֶתַח שַׁעַר־ יְהוָה הֶחָדָשׁ׃ ס
王の 宮-に 主の そして-座った 入り口-に 門-の 主の 新しい [S]
H4428 H1004 H3068 H3427 H6607 H8179 H3068 H2319

ユダのつかさたちはこの事を聞いて王の宮殿を出て主の宮に上り、主の宮の「新しい門」の入口に座した。

11 וַיֹּאמְרוּ הַכֹּהֲנִים וְהַנְּבִאִים אֶל־ הַשָּׂרִים וְאֶל־
そして-言った 祭司たち-と 預言者たち-が に-向かって 首長たち-に そして-に-向かって
H0559 H3548 H5030 H0413 H8269 H0413

כָּל־ הָעָם לֵאמֹר מִשְׁפַּט־ מָוֶת לָאִישׁ הַזֶּה כִּי נִבָּא אֶל־
すべて-の 民-に 言って 裁き-を 死-の この-人-に なぜなら 預言した に-ついて
H3605 H5971 H4941 H0559 H0376 H2088 H5012 H0413

בְּאָזְנֵיכֶם׃ שְׁמַעְתֶּם כַּאֲשֶׁר הַזֹּאת הָעִיר
耳-で あなたがた-が-聞いた ように この この-町-に
H0241 H8085 H2063

祭司と預言者らは、つかさたちとすべての民に訴えて言った、「この人は死刑に処すべき者です。あなたがたが自分の耳で聞かれたように、この町に逆らう預言をしたのです」。

12 וַיֹּאמֶר יִרְמְיָהוּ אֶל־ כָּל־ הַשָּׂרִים וְאֶל־ כָּל־ כָּל־
そして-言った エレミヤ-は に-向かって すべて-の 首長たち-に そして-に-向かって すべて-の
H0559 H3414 H0413 H3605 H8269 H0413 H3605

הָעָם לֵאמֹר יְהוָה שְׁלָחַנִי לְהִנָּבֵא עַל־ הַבַּיִת הַזֶּה
民-に 言って 主-が わたし-を-遣わされた 預言する-ために に-ついて この-宮-に この
H0559 H3068 H7971 H5012 H0413 H1004 H2088

אֲשֶׁר שְׁמַעְתֶּם׃ כָּל־ הַדְּבָרִים אֵת הַזֹּאת הָעִיר וְאֶל־
ところの あなたがた-が-聞いた すべて-の ことば-を [を] この この-町-に そして-に-ついて
H8085 H3605 H1697 H0853 H2063 H0413

その時エレミヤは、つかさたちとすべての民に言った、「主はわたしをつかわし、この宮とこの町にむかって、預言をさせられたので、そのすべての言葉をあなたがたは聞いた。

13 וְעַתָּה הֵיטִיבוּ דַרְכֵיכֶם וּמַעַלְלֵיכֶם וְשִׁמְעוּ בְּקוֹל יְהוָה
そして-今 良くせよ あなたがた-の-道-を そして-行い-を そして-聞け 声-に 主の
H6258 H3190 H1870 H4611 H8085 H0430 H3068

אֱלֹהֵיכֶם וְיִנָּחֶם יְהוָה אֶל־ הָרָעָה אֲשֶׁר דִּבֶּר
あなたがた-の-神 そして-悔いる-だろう 主-は に-ついて わざわい-を ところの 語った
H0430 H5162 H3068 H0413 H7451 H0834 H1696

עֲלֵיכֶם׃
あなたがた-に-ついて

それで、あなたがたは今、あなたがたの道と行いを改め、あなたがたの神、主の声に聞き従いなさい。そうするならば主はあなたがたに災を下そうとしたことを思いなおされる。

14

כַּטּוֹב	לִי	עֲשׂוּ־	בְיֶדְכֶם	הִנֵּנִי	וַאֲנִי	
良い–ように	わたし–に	行え	あなたがた–の–手–に	見よ	そして–わたし–は	
			H3027	H2009	H0589	

בְּעֵינֵיכֶם׃	וְכַיָּשָׁר
あなたがた–の–目–に	そして–正しい–ように
	H3477

見よ、わたしはあなたがたの手の中にある。あなたがたの目に、良いと見え、正しいと思うことをわたしに行うがよい。

15

דָּם	כִּי־	אֹתִי	אַתֶּם	מְמִתִים	אִם־	כִּי	תֵּדְעוּ	יָדֹעַ	וְאַךְ
血–を	なぜなら	わたし–を	あなたがた–が	殺す–なら	もし	なぜなら	知れ	確かに	しかし
H1818		H0853		H4191			H3045	H3045	H0389

הַזֹּאת	הָעִיר	וְאֶל־	עֲלֵיכֶם	נֹתְנִים	אַתֶּם	נָקִי
この	この–町–の	そして–の–上–に	あなたがた–の–上–に	置く–ことになる	あなたがた–は	罪なき
H2063		H0413		H5414		

לְדַבֵּר	עֲלֵיכֶם	יְהוָה	שְׁלָחַנִי	בֶּאֱמֶת	כִּי	יֹשְׁבֶיהָ	וְאֶל־
語る–ために	あなたがた–に	主–が	遣わされた	まことに	なぜなら	住民–の	そして–の–上–に
H1696		H3068	H7971	H0571		H3427	H0413

ס	הָאֵלֶּה׃	הַדְּבָרִים	כָּל־	אֶת	בְּאָזְנֵיכֶם	
[S]	これら–の	ことば–を	すべて–の	[を]	あなたがた–の–耳–に	
	H0428	H1697	H3605	H0853	H0241	

ただ明らかにこのことを知っておきなさい。もしあなたがたがわたしを殺すならば、罪なき者の血はあなたがたの身と、この町と、その住民とに帰する。まことに主がわたしをつかわして、このすべての言葉をあなたがたの耳に、告げさせられたからである」。

16

וְאֶל־	הַכֹּהֲנִים	אֶל־	הָעָם	וְכָל־	הַשָּׂרִים	וַיֹּאמְרוּ	
そして–に–向かって	祭司たち–に	に–向かって	民–が	すべて–の	首長たち–と	そして–言った	
H0413	H3548	H0413		H3605	H8269	H0559	

יְהוָה	בְּשֵׁם	כִּי	מָוֶת	מִשְׁפַּט־	הַזֶּה	לָאִישׁ	אֵין־	הַנְּבִיאִים
主の	名–によって	なぜなら	裁き–は	死–の	この	この–人–に	ない	預言者たち–に
H3068	H8034		H4194	H4941	H2088	H0376	H0369	H5030

אֵלֵינוּ׃	דִּבֶּר	אֱלֹהֵינוּ	
わたしたち–に	語った	わたしたち–の–神	
H0413	H1696	H0430	

つかさたちと、すべての民とは、祭司と預言者に言った、「この人は死刑に処すべき者ではない。われわれの神、主の名によってわれわれに語ったのである」。

17

כָּל־	אֶל־	וַיֹּאמְרוּ	הָאָרֶץ	מִזִּקְנֵי	אֲנָשִׁים	וַיָּקֻמוּ
すべて–の	に–向かって	そして–言った	地–の	長老たち–から	人々–が	そして–立ち上がった
H3605	H0413	H0559	H0776	H2205	H0376	

לֵאמֹר׃	הָעָם	קְהַל
言って	民–に	会衆–の
H0559		H6951

その時この地の長老たち数人が立って、そこに集まっているすべての者に告げて言った、

18 יְהוּדָה מֶלֶךְ־ חִזְקִיָּהוּ בִּימֵי נִבָּא הָיָה הַמּוֹרַשְׁתִּי (מִיכָה) [מִיכָיְהוּ]
ユダの 王-の ヒゼキヤの 時代-に 預言して-いた あった モレシェテ-の-人 (ミカ) [K]
H3063 H4428 H2396 H3117 H5012 H1961 H4183 H4320 H4320

יְהוָה וַיֹּאמֶר כֹּה־ יְהוּדָה לֵאמֹר עַם־ כָּל־ אֶל־ וַיֹּאמֶר
主は 言われた このように 言って ユダの 民-の すべて-の に-向かって そして-言った
H3068 H0559 H3541 H0559 H3063 H3605 H0413 H0559

תִּהְיֶה עִיִּים וִירוּשָׁלַ͏ִם תֵּחָרֵשׁ שָׂדֶה צִיּוֹן צְבָאוֹת
なる-だろう 廃墟-と そして-エルサレム-は 耕される-だろう 畑-の-ように シオン-は 万軍-の
H1961 H5856 H3389 H6726

יָעַר׃ לִבְמוֹת הַבַּיִת וְהַר
林-の 高き所-の-ように 宮-の そして-山-は
H1116 H2022

「ユダの王ヒゼキヤの世に、モレシテびとミカはユダのすべての民に預言して言った、『万軍の主はこう仰せられる、シオンは畑のように耕され、エルサレムは石塚となり、宮の山は木のおい茂る高い所となる』。

19 יָרֵא הֲלֹא יְהוּדָה וְכָל־ יְהוּדָה מֶלֶךְ־ חִזְקִיָּהוּ הֱמִתְהוּ הֲמָתַת
恐れて そうではなく ユダ-が そして-すべて-の ユダの 王-が ヒゼキヤ 彼-を 殺した-か
H3373 H3808 H3063 H3605 H3063 H4428 H2396 H4191 H4191

אֶל־ יְהוָה וַיְחַל פְּנֵי יְהוָה וַיִּנָּחֶם יְהוָה אֶת־ וַיְחַל יְהוָה אֶת־
に-ついて 主-は そして-悔いられた 主の 顔-を [を] そして-懇願した 主-を [を]
H0413 H3068 H5162 H3068 H6440 H0853 H2470 H3068 H0853

רָעָה עֹשִׂים וַאֲנַחְנוּ עֲלֵיהֶם דִּבֶּר אֲשֶׁר־ הָרָעָה
悪-を 行おう-としている そして-わたしたち-は 彼ら-に-ついて 語った ところの わざわい-を
H0587 H1696

נַפְשׁוֹתֵינוּ׃ עַל־ גְּדוֹלָה
わたしたち-の-命-に に-対して 大きな
H5315

ユダの王ヒゼキヤと、すべてのユダの人は彼を殺そうとしたことがあろうか。ヒゼキヤは主を恐れ、主の恵みを求めたので、主は彼らに災を下すとお告げになったのを思いなおされたではないか。しかし、われわれは、自分の身に大きな災を招こうとしている」。

20 שְׁמַעְיָהוּ בֶּן־ אוּרִיָּהוּ יְהוָה בְּשֵׁם מִתְנַבֵּא הָיָה אִישׁ וְגַם־
シェマヤフの 息子-の ウリヤフ 主の 名-によって 預言して-いた いた 人-が また
H8098 H0221 H3068 H8034 H5012 H1961 H0376 H1571

וְעַל־ הַזֹּאת הָעִיר עַל־ וַיִּנָּבֵא הַיְעָרִים מִקִּרְיַת
そして-に-ついて この この-町-に に-ついて そして-預言した キリヤテ-ハイェアリム-から
H2063 H5012 H7157

יִרְמְיָהוּ׃ דִּבְרֵי כְּכֹל הַזֹּאת הָאָרֶץ
エレミヤの ことば-の すべて-の-ように この この-地-に
H3414 H1697 H3605 H2063 H0776

主の名によって預言した人がほかにもあった。すなわちキリアテ・ヤリムのシマヤの子ウリヤである。彼はエレミヤとおなじような言葉をもって、この町とこの地にむかって預言した。

21 וַיִּשְׁמַע הַמֶּלֶךְ־יְהוֹיָקִים וְכָל־גִּבּוֹרָיו וְכָל־הַשָּׂרִים אֶת־
そして–聞いた 王–は エホヤキム–と すべて–の 勇士たち–と すべて–の 首長たち–が [を]
H8085 H4428 H3079 H3605 H1368 H3605 H8269 H0853

דְּבָרָיו וַיְבַקֵּשׁ הַמֶּלֶךְ לַהֲמִיתוֹ וַיִּשְׁמַע אוּרִיָּהוּ
彼–の–ことば–を そして–求めた 王–は 彼–を–殺す–ことを そして–聞いた ウリヤフ–は
H1697 H1245 H4428 H4191 H8085

וַיִּירָא וַיִּבְרַח וַיָּבֹא מִצְרָיִם׃
そして–恐れた そして–逃げた そして–行った エジプト–に
H3372 H1272 H0935 H4714

エホヤキム王と、そのすべての勇士と、すべてのつかさたちはその言葉を聞いた。そして王は彼を殺そうと思ったが、ウリヤはこれを聞いて恐れ、エジプトに逃げて行ったので、

22 וַיְשַׁלַּח הַמֶּלֶךְ יְהוֹיָקִים אֲנָשִׁים מִצְרָיִם אֶת אֶלְנָתָן בֶּן־
そして–送った 王–は エホヤキム–が 人々–を エジプト–に [を] エルナタン 息子–の
H7971 H4428 H3079 H0376 H4714 H0853 H0494

עַכְבּוֹר וַאֲנָשִׁים אִתּוֹ אֶל־מִצְרָיִם׃
アクボルの そして–人々–を 彼–と–共に へ エジプト–に
H5907 H0376 H0854 H0413 H4714

エホヤキム王は人をエジプトにつかわした。すなわちアクボルの子エルナタンと他の数名の人を、エジプトにつかわした。

23 וַיּוֹצִיאוּ אֶת־אוּרִיָּהוּ מִמִּצְרַיִם וַיְבִאֻהוּ אֶל־הַמֶּלֶךְ
そして–連れ出した [を] ウリヤフ–を エジプト–から そして–連れて来た に–向かって 王–の
H3318 H0853 H4714 H0935 H0413 H4428

יְהוֹיָקִים וַיַּכֵּהוּ בֶּחָרֶב וַיַּשְׁלֵךְ אֶת־נִבְלָתוֹ אֶל־קִבְרֵי
エホヤキム–に そして–打った 剣–で そして–投げた [を] 彼–の–死体–を に 墓–に
H3079 H5221 H2719 H7993 H0853 H5038 H0413 H6913

בְּנֵי הָעָם׃
民–の 子ら–の
H1121

彼らはウリヤをエジプトから引き出し、エホヤキム王のもとに連れてきたので、王はつるぎをもって彼を殺し、その死体を共同墓地に捨てさせた。

24 אַךְ יַד אֲחִיקָם בֶּן־שָׁפָן הָיְתָה אֶת־יִרְמְיָהוּ לְבִלְתִּי
しかし 手–が アヒカムの 息子–の シャファンの あった と–共に エレミヤ–と ない–ように
H0389 H3027 H0296 H1121 H2971 H0854 H3414 H1115

פ בְּיַד־הָעָם לַהֲמִיתוֹ׃ תֵּת־אֹתוֹ
[P] 手–に 民–の 殺す–ために 渡す–ことが 彼–を
H3027 H5971 H4191 H5414 H0853

しかしシャパンの子アヒカムはエレミヤを助け、民の手に渡されて殺されることのないようにした。

Chapter 27

1 בְּרֵאשִׁית מַמְלֶכֶת יְהוֹיָקִם בֶּן־יֹאשִׁיָּהוּ מֶלֶךְ יְהוּדָה הָיָה
初め–に 王国–の エホヤキムの 息子–の ヨシヤフの 王 ユダの あった
H7225 H4467 H3079 H1121 H2977 H4428 H3063 H1961

הַדָּבָר הַזֶּה אֶל־יִרְמְיָהוּ מֵאֵת יְהוָה לֵאמֹר׃
ことば–が この に–向かって エレミヤ–に から 主の 言って
H1697 H2088 H0413 H3414 H0854 H3068 H0559

ユダの王ヨシヤの子ゼデキヤが世を治め始めたころ、この言葉が主からエレミヤに臨んだ。

2 כֹּה־ אָמַר יְהוָה אֵלַי עֲשֵׂה לְךָ מוֹסֵרוֹת וּמֹטוֹת וְנָתַתָּם
このように 言われた 主-は わたし-に 作れ お前-の-ために 綱-と 軒木-を そして-置け
H3541 H0559 H3068 H0413 H6213 H4147 H4133 H5414

עַל־ צַוָּארֶךָ׃
の-上-に お前-の-首-に

すなわち主はこうわたしに仰せられた、「綱と、くびきとを作って、それをあなたの首につけ、

3 וְשִׁלַּחְתָּם אֶל־ מֶלֶךְ אֱדוֹם מֶלֶךְ מוֹאָב
そして-送れ に-向かって 王-の エドムの 王-の モアブの
H7971 H0413 H4428 H0123 H4428 H4124

וְאֶל־ מֶלֶךְ בְּנֵי עַמּוֹן וְאֶל־ מֶלֶךְ צֹר
そして-に-向かって 王-の 子ら-の アンモンの そして-に-向かって 王-の ツロの
H0413 H4428 H1121 H5983 H0413 H4428 H6865

וְאֶל־ מֶלֶךְ צִידוֹן בְּיַד מַלְאָכִים הַבָּאִים יְרוּשָׁלַ͏ִם אֶל־
そして-に-向かって 王-の シドンの 手-によって 使者たち-の 来る エルサレム-に に-向かって
H0413 H4428 H6721 H3027 H4397 H0935 H3389 H0413

וְאֶל־ מֶלֶךְ צִדְקִיָּהוּ יְהוּדָה׃
そして-に-向かって 王 ツィデキヤの ユダの
H0413 H4428 H6667 H3063

エルサレムにいるユダの王ゼデキヤの所に来た使者たちによって、エドムの王、モアブの王、アンモンびとの王、ツロの王、シドンの王に言いおくりなさい。

4 וְצַוֵּיתָ אֹתָם אֶל־ אֲדֹנֵיהֶם לֵאמֹר כֹּה־ אָמַר יְהוָה צְבָאוֹת
そして-命じよ 彼ら-に に-向かって 主人たち-に 言って このように 言われた 主は 万軍-の
H6680 H0853 H0413 H0113 H0559 H3541 H0559 H3068 H6635

אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל כֹּה תֹאמְרוּ אֶל־ אֲדֹנֵיכֶם׃
神-の イスラエルの このように 言え に-向かって 主人たち-に
H0430 H3478 H3541 H0559 H0413 H0113

彼らの主君にこの命を伝えさせなさい、『万軍の主、イスラエルの神はこう仰せられる、あなたがたは主君にこのように告げなければならない。

5 אָנֹכִי עָשִׂיתִי אֶת־ הָאָרֶץ אֶת־ הָאָדָם וְאֶת־ הַבְּהֵמָה אֲשֶׁר־
わたし-が 造った [を] 地-を [を] 人-を そして[を] 家畜-を ところの
H0595 H6213 H0853 H0776 H0853 H0120 H0853 H0929 H0834

עַל־ פְּנֵי כָל־ הָאָרֶץ בְּכֹחִי הַגָּדוֹל וּבִזְרוֹעִי הַנְטוּיָה וְנָתַתִּיהָ
の-上-に 面-の 地-の 力-によって 大きな そして-腕-によって 伸べた そして-与えた
H5921 H6440 H0776 H3581 H1419 H2220 H5186 H5414

לַאֲשֶׁר יָשָׁר בְּעֵינָי׃
ところの-者に 正しい-と わたし-の-目-に
H0834 H3474

わたしは大いなる力と伸べた腕とをもって、地と地の上にいる人と獣とをつくった者である。そして心のままに地を人に与える。

6

נְבוּכַדְנֶאצַּר	בְּיַד	הָאֵלֶּה	הָאֲרָצוֹת	כָּל־	אֶת־	נָתַתִּי	אָנֹכִי	וְעַתָּה
ネブカドネツァルの	手–に	これら–の	地々–を	すべて–の	[を]	与えた	わたし–は	そして–今
H5019	H3027	H0428	H0776	H3605	H0853	H5414	H0595	H6258

לוֹ	נָתַתִּי	הַשָּׂדֶה	חַיַּת	אֶת־	וְגַם	עַבְדִּי	בָּבֶל	מֶלֶךְ־
彼–に	与えた	野–の	獣–を	[を]	そして–また	わたし–の–しもべ	バビロンの	王–の
	H5414			H0853	H1571	H5650	H0894	H4428

לְעָבְדוֹ׃
仕える–ために
H5647

いまわたしはこのすべての国を、わたしのしもべであるバビロンの王ネブカデネザルの手に与え、また野の獣をも彼に与えて彼に仕えさせた。

7

בֶּן־	וְאֶת־	בְּנוֹ	וְאֶת־	הַגּוֹיִם	כָּל־	אֹתוֹ	וְעָבְדוּ	
息子–の	そして[を]	彼–の–息子–に	そして[を]	国々–が	すべて–の	彼–に	そして–仕える–だろう	
	H0853		H0853		H3605	H0853	H5647	

בּוֹ	וְעָבְדוּ	הוּא	גַּם־	אַרְצוֹ	עֵת	בֹּא־	עַד	בְּנוֹ
彼–に	そして–仕える–だろう	彼–も	また	彼–の–地–に–も	時–が	来る	まで	彼–の–息子–に
	H5647	H1931	H1571	H0776	H6256	H0935	H5704	

גְּדֹלִים׃	וּמְלָכִים	רַבִּים	גּוֹיִם
大きな	そして–王たち–が	多く–の	国々–が
	H4428		

彼の地に時がくるまで、万国民は彼とその子とその孫に仕える。その時がくるならば、多くの国と大いなる王たちとが彼を自分の奴隷にする。

8

אֶת־	אֹתוֹ	יַעַבְדוּ	לֹא־	אֲשֶׁר	וְהַמַּמְלָכָה	הַגּוֹי	וְהָיָה	
[を]	彼–に	仕える–なら	ない	ところの	そして–王国–が	国–が	そして–ある–だろう	
H0853	H0853	H5647	H3808		H4467		H1961	

צַוָּארוֹ	אֶת־	יִתֵּן	לֹא־	אֲשֶׁר	וְאֶת	בָּבֶל	מֶלֶךְ־	נְבוּכַדְנֶאצַּר
首–を	[を]	置く–なら	ない	ところの	そして[を]	バビロンの	王–の	ネブカドネツァル–に
	H0853	H5414	H3808		H0853	H0894	H4428	H5019

עַל־	אֶפְקֹד	וּבַדֶּבֶר	וּבָרָעָב	בַּחֶרֶב	בָּבֶל	מֶלֶךְ	בְּעֹל	
の–上–に	罰する–だろう	そして–疫病–で	そして–飢饉–で	剣–で	バビロンの	王–の	軒木–の–中–に	
		H1698	H7458	H2719	H0894	H4428	H5923	

בְּיָדוֹ׃	אֹתָם	תֻּמִּי	עַד־	יְהוָה	נְאֻם־	הַהוּא	הַגּוֹי	
彼–の–手–によって	彼ら–を	滅ぼす–ことを	まで	主–が	宣言–する	その	その–国–を	
H3027	H0853	H8552	H5704	H3068	H5002	H1931		

バビロンの王ネブカデネザルに仕えず、バビロンの王のくびきを自分の首に負わない民と国とは、わたしがつるぎと、ききんと、疫病をもって罰し、ついには彼の手によってことごとく滅ぼすと主は言われる。

9

וְאַתֶּם אַל־תִּשְׁמְעוּ אֶל־נְבִיאֵיכֶם וְאֶל־קֹסְמֵיכֶם וְאֶל־עֹנְנֵיכֶם וְאֶל־חֲלֹמֹתֵיכֶם וְאֶל־כַּשָּׁפֵיכֶם אֲשֶׁר־הֵם אֹמְרִים אֲלֵיכֶם לֵאמֹר לֹא תַעַבְדוּ אֶת־מֶלֶךְ בָּבֶל׃

そして–あなたがたは ない–ように に–向かって 聞く–こと に–向かって 預言者たち–に
H0408 H8085 H0413 H5030

そして–に–向かって 占い師たち–に そして–に–向かって 夢–に そして–に–向かって 雲–読み–に そして–に–向かって
H0413 H7080 H0413 H2472 H0413 H6049 H0413

魔術師たち–に ところの 彼ら–が 言って–いる あなたがた–に 言って ない 仕える–こと [を]
H3786 H0834 H1992 H0559 H0413 H0559 H3808 H5647 H0853

バビロンの 王–に
H0894 H4428

それで、あなたがたの預言者、占い師、夢みる者、法術師、魔法使が、「あなたがたはバビロンの王に仕えることはない」と言っても、聞いてはならない。

10

כִּי־שֶׁקֶר הֵם נִבְּאִים לָכֶם לְמַעַן הַרְחִיק אֶתְכֶם וְהִדַּחְתִּי אֶתְכֶם וַאֲבַדְתֶּם׃

なぜなら 僞り–を 彼ら–は 預言して–いる あなたがた–に その–ために 遠ざける–ことを
H3588 H8267 H1992 H5012 H0853 H4616 H7368

そして–滅びる–だろう あなたがた–を そして–追い払う–だろう 地–から から あなたがた–を
H0006 H0853 H5080 H0127 H4480 H0853

彼らはあなたがたに偽りを預言して、あなたがたを自分の国から遠く離れさせ、わたしに、あなたがたを追い出してあなたがたを滅ぼさせるのである。

11

וְהַגּוֹי אֲשֶׁר יָבִיא אֶת־צַוָּארוֹ בְּעֹל מֶלֶךְ־בָּבֶל וַעֲבָדוֹ וְהִנַּחְתִּיו עַל־אַדְמָתוֹ נְאֻם־יְהוָה וַעֲבָדָהּ וְיָשַׁב בָּהּ׃

そして–国–は ところの 入れる–なら [を] 軒木–の–中–に 首–を バビロンの 王–の
H0834 H0935 H0853 H5923 H6677 H0894 H4428

そして–仕える–なら そして–休ませる–だろう の–上–に その–地–に 宣言–する 主–が そして–耕し
H5647 H5117 H5921 H0127 H5002 H3068 H5647

そして–住む–だろう そこ–に
H3427

しかしバビロンの王のくびきを首に負って、彼に仕える国民を、わたしはその故国に残らせ、それを耕して、そこに住まわせると主は言われる』」。

12

וְאֶל־צִדְקִיָּהוּ מֶלֶךְ־יְהוּדָה דִּבַּרְתִּי כְּכָל־הַדְּבָרִים הָאֵלֶּה לֵאמֹר הָבִיאוּ אֶת־צַוְּארֵיכֶם בְּעֹל מֶלֶךְ־בָּבֶל וְעִבְדֻהוּ אֹתוֹ וְעַמּוֹ וִחְיוּ׃

そして–に–向かって ツィデキヤの 王–の ユダの 語った すべて–の–ように これら–の ことば–を
H0413 H6667 H4428 H3063 H1696 H3605 H0428 H1697

そして–仕えよ 彼–に 軒木–の–中–に 王–の バビロンの 首–を [を] 入れよ 言って
H5647 H0853 H5923 H4428 H0894 H6677 H0853 H0935 H0559

そして–民–に そして–生きよ
H5971 H2421

わたしはユダの王ゼデキヤにも同じように言った、「あなたがたは、バビロンの王のくびきを自分の首に負って、彼とその民とに仕え、そして生きなさい。

13 לָמָּה תָמוּתוּ אַתָּה וְעַמְּךָ בַּחֶרֶב בָּרָעָב וּבַדֶּבֶר כַּאֲשֶׁר דִּבֶּר יְהוָה
なぜ 死ぬ-のか お前-と そして-民-は 剣-で 飢饉-で そして-疫病-で ように 語った 主-が
H4100 H4191 H0853 H2719 H7458 H1698 H0834 H1696 H3068

עַל הַגּוֹי אֲשֶׁר לֹא עֲבָדוֹ אֶת מֶלֶךְ בָּבֶל׃
に-対して 国-に ところの ない 仕える [を] 王-に バビロンの
H0413 H1471 H3808 H5647 H0853 H4428 H0894

どうしてあなたと、あなたの民とが、主がバビロンの王に仕えない国民について言われたように、つるぎと、ききんと、疫病に死んでよかろうか。

14 וְאַל תִּשְׁמְעוּ אֶל דִּבְרֵי הַנְּבִאִים הָאֹמְרִים אֲלֵיכֶם
そして-ない-ように 聞く-こと に-向かって ことば-に 預言者たち-の 言って-いる あなたがた-に
H0408 H8085 H0413 H1697 H5030 H0559 H0413

לֵאמֹר לֹא תַעַבְדוּ אֶת מֶלֶךְ בָּבֶל כִּי שֶׁקֶר הֵם נִבְּאִים לָכֶם׃
言って ない 仕える-こと [を] 王-に バビロンの なぜなら 偽り-を 彼ら-は 預言して-いる あなたがた-に
H0559 H3808 H5647 H0853 H4428 H0894 H0834 H8267 H1992 H5012 H0413

あなたがたはバビロンの王に仕えることはないとあなたがたに告げる預言者の言葉を聞いてはならない。彼らがあなたがたに預言していることは偽りであるからだ。

15 כִּי לֹא שְׁלַחְתִּים נְאֻם יְהוָה וְהֵם נִבְּאִים
なぜなら ない 遣わした 宣言-する 主-が そして-彼ら-は 預言して-いる
H0834 H3808 H7971 H5002 H3068 H1992 H5012

בִּשְׁמִי לַשָּׁקֶר לְמַעַן הַדִּיחִי אֶתְכֶם וְאַבַּדְתֶּם אַתֶּם וְהַנְּבִאִים הַנִּבְּאִים לָכֶם׃
わたし-の-名-によって 偽り-の-ために その-ために 追い払う-ために あなたがた-を そして-滅びる-だろう あなたがた-は そして-預言者たち-は 預言して-いる あなたがた-に
H8034 H8267 H4616 H5080 H0853 H0006 H1992 H0859 H5030 H5012 H0413

主は言われる、わたしが彼らをつかわしたのではないのに、彼らはわたしの名によって偽って預言している。そのために、わたしはあなたがたを追い払い、あなたがたと、あなたがたに預言する預言者たちを滅ぼすようになるのだ」。

16 וְאֶל כָּל הָעָם הַזֶּה דִּבַּרְתִּי לֵאמֹר
そして-に-向かって すべて-の 民-に この 語った 言って
H0413 H3605 H5971 H2088 H1696 H0559

כֹּה אָמַר יְהוָה אַל תִּשְׁמְעוּ אֶל דִּבְרֵי נְבִיאֵיכֶם הַנִּבְּאִים לָכֶם
このように 言われた 主は ない-ように に-向かって ことば-に 預言者たち-の 預言して-いる あなたがた-に
H3541 H0559 H3068 H0408 H8085 H0413 H1697 H5030 H5012 H0413

מְהֵרָה מִבָּבֶל הֵמָּה שֶׁקֶר לָהֶם כִּי לֹא שְׁלַחְתִּים נְאֻם יְהוָה
すぐ-に バビロン-から 彼ら-は 偽り-を なぜなら ない 遣わした 宣言-する 主-が
H4120 H0894 H1992 H8267 H0834 H3808 H7971 H5002 H3068

וְהֵם נִבְּאִים לָכֶם עַל שֵׁם כִּי לֹא שְׁלַחְתִּים נְאֻם יְהוָה׃
そして-彼ら-は 預言して-いる あなたがた-に 名-に なぜなら ない 遣わした 宣言-する 主-が
H1992 H5012 H0413 H8034 H0834 H3808 H7971 H5002 H3068

わたしはまた祭司とこのすべての民とに語って言った、「主はこう仰せられる、『見よ、主の宮の器は今、すみやかに、バビロンから返されてくる』とあなたがたに預言する預言者の言葉を聞いてはならない。それは、彼らがあなたがたに預言していることは偽りであるからだ。

17

לָמָּה	וְחְיוּ	בָּבֶל	מֶלֶךְ־	אֶת־	עִבְדוּ	אֲלֵיהֶם	תִּשְׁמְעוּ	אַל־
なぜ	そして-生きよ	バビロンの	王-に	[を]	仕えよ	彼ら-に	聞く-こと	ない-ように
H4100	H2421	H0894	H4428	H0853	H5647	H0413	H8085	H0408

חָרְבָּה׃	הַזֹּאת	הָעִיר	תִּהְיֶה
廃墟-に	この	この-町-が	なる-のか
H2723	H2063		H1961

彼らのいうことを聞いてはならない。バビロンの王に仕え、そして生きなさい。どうしてこの町が荒れ地となってよかろうか。

18

אִתָּם	יְהוָה	דְּבַר־	יֵשׁ	וְאִם־	הֵם	נְבִאִים	וְאִם־	
彼ら-と-共に	主の	ことば-が	ある-なら	そして-もし	彼ら-が	預言者たち-なら	そして-もし	
H0854	H3068	H1697	H3426		H1992	H5030		

הַנּוֹתָרִים	וְהַכֵּלִים	בֹּאוּ	לְבִלְתִּי־	צְבָאוֹת	בְּיהוָה	נָא	יִפְגְּעוּ־
残って-いる	器-が	来る-ことが	ない-ように	万軍-の	主-に	どうか	とりなして-ほしい
H3498	H3627	H0935	H1115		H3068	H4994	H6293

פ	בָּבֶלָה׃	וּבִירוּשָׁלִַם	יְהוּדָה	מֶלֶךְ	וּבֵית	יְהוָה	בְּבֵית־	
[P]	バビロン-へ	そして-エルサレム-の	ユダの	王-の	そして-宮殿-の	主の	宮-の	
	H0894	H3389	H3063	H4428		H3068		

もし彼らが預言者であって、主の言葉が彼らのうちにあるのであれば、主の宮とユダの王の宮殿とエルサレムとに残されている器が、バビロンに移されないように、万軍の主に、とりなしを願うべきだ。

19

הַיָּם	וְעַל־	הָעַמֻּדִים	אֶל־	צְבָאוֹת	יְהוָה	אָמַר	כֹּה	כִּי
海-に	そして-に-ついて	柱-に	に-ついて	万軍-の	主は	言われた	このように	なぜなら
H3220		H5982	H0413		H3068	H0559	H3541	

הַזֹּאת׃	בָּעִיר	הַנּוֹתָרִים	הַכֵּלִים	יֶתֶר	וְעַל	הַמְּכֹנוֹת	וְעַל־	
この	町-の-中-に	残って-いる	器-に	残り-の	そして-に-ついて	台車-に	そして-に-ついて	
H2063		H3498	H3627			H4350		

万軍の主は柱と海と台、その他この町に残っている器について、こう仰せられる。

20

אֶת־	בַּגְלוֹתוֹ	בָּבֶל	מֶלֶךְ	נְבוּכַדְנֶאצַּר	לְקָחָם	לֹא־	אֲשֶׁר	
[を]	捕囚-に-した-とき	バビロンの	王-の	ネブカドネツァル-が	取った	ない	ところの	
H0853	H1540	H0894	H4428	H5019	H3947	H3808		

וְאֶת	בָּבֶלָה	מִירוּשָׁלִַם	יְהוּדָה	מֶלֶךְ־	יְהוֹיָקִים	בֶּן־	יְכׇנְיָה	
そして[を]	バビロン-へ	エルサレム-から	ユダの	王-の	エホヤキムの	息子-の	エコニヤ	
H0853	H0894	H3389	H3063	H4428	H3079		H3204	

ס	וִירוּשָׁלִָם׃	יְהוּדָה	חֹרֵי	כָּל־	
[S]	そして-エルサレムの	ユダの	貴人たち-の	すべて-の	
	H3389	H3063	H2715	H3605	

これはバビロンの王ネブカデネザルが、ユダの王エホヤキムの子エコニヤ、およびユダとエルサレムのすべての身分の尊い人々を捕えてエルサレムからバビロンに移したときに、持ち去らなかった器である。——

21

הַכֵּלִים	עַל־	יִשְׂרָאֵל	אֱלֹהֵי	צְבָאוֹת	יְהוָה	אָמַר	כֹּה	כִּי
器-に	に-ついて	イスラエルの	神-の	万軍-の	主は	言われた	このように	なぜなら
H3627		H3478	H0430		H3068	H0559	H3541	

וִירוּשָׁלִָם׃	יְהוּדָה	מֶלֶךְ־	וּבֵית	יְהוָה	בֵּית	הַנּוֹתָרִים	
そして-エルサレムの	ユダの	王-の	そして-宮殿-の	主の	宮-の	残って-いる	
H3389	H3063	H4428		H3068		H3498	

すなわち万軍の主、イスラエルの神は、主の宮とユダの王の宮殿とエルサレムとに残されている器について、こう仰せられる。

אֹתָם	פָּקְדִי	יוֹם	עַד	יִהְיוּ	וְשָׁמָּה	יוּבָאוּ	בָּבֶלָה	22
彼ら-を	訪れる-だろう	日-の	まで	ある-だろう	そして-そこ-に	運ばれる-だろう	バビロン-へ	
H0853		H3117	H5704	H1961	H8033	H0935	H0894	

פ	:הַזֶּה	הַמָּקוֹם	אֶל־	וַהֲשִׁיבֹתִים	וְהַעֲלִיתִים	יְהוָה	נְאֻם־
[P]	この	この-場所-に	に-向かって	そして-戻す-だろう	そして-上らせ	主-が	宣言-する
	H2088	H4725	H0413	H7725	H5927	H3068	H5002

これらはバビロンに携え行かれ、わたしが顧みる日までそこにおかれている。その後、わたしはこれらのものを、この所に携え帰らせると主は言われる」。

Chapter 28

(בַּשָּׁנָה)	[בשנת]	יְהוּדָה	מֶלֶךְ־	צִדְקִיָּה	מַמְלֶכֶת	בְּרֵאשִׁית	הַהִיא	בַּשָּׁנָה	וַיְהִי	1
(年-に)	[K]	ユダの	王-の	ツィデキヤの	王国-の	初め-に	その	年-に	そして-あった	
H8141	H8141	H3063	H4428	H6667	H4467	H7225	H1931	H8141	H1961	

אֲשֶׁר	הַנָּבִיא	עַזּוּר	בֶּן־	חֲנַנְיָה	אֵלַי	אָמַר	הַחֲמִישִׁי	בַּחֹדֶשׁ	הָרְבִעִית
ところの	預言者-が	アズルの	息子-の	ハナニヤ	わたし-に	言った	第-五-の	月-に	第-四
	H5030	H5809			H0413	H0559	H2549	H2320	H7243

לֵאמֹר׃	הָעָם	וְכָל־	הַכֹּהֲנִים	לְעֵינֵי	יְהוָה	בְּבֵית	מִגִּבְעוֹן
言って	民-の	すべて-の	祭司たち-の	目-の-前-で	主の	宮-で	ギブオン-から
H0559		H3605	H3548		H3068		H1391

その年、すなわちユダの王ゼデキヤの治世の初め、その第四年の五月、ギベオン出身の預言者であって、アズルの子であるハナニヤは、主の宮で祭司とすべての民の前でわたしに語って言った、

מֶלֶךְ	עֹל	אֶת־	שָׁבַרְתִּי	לֵאמֹר	יִשְׂרָאֵל	אֱלֹהֵי	צְבָאוֹת	יְהוָה	אָמַר	כֹּה־	2
王-の	軛-を	[を]	砕いた	言って	イスラエルの	神-の	万軍-の	主は	言われた	このように	
H4428	H5923	H0853	H7665	H0559	H3478	H0430		H3068	H0559	H3541	

בָּבֶל׃
バビロンの
H0894

「万軍の主、イスラエルの神はこう仰せられる、わたしはバビロンの王のくびきを砕いた。

כָּל־	אֶת־	הַזֶּה	הַמָּקוֹם	אֶל־	מֵשִׁיב	אֲנִי	יָמִים	שְׁנָתַיִם	וּבְעוֹד	3
すべて-の	[を]	この	この-場所-に	に-向かって	戻す	わたし-は	日-で	二-年	あと	
H3605	H0853	H2088	H4725	H0413	H7725	H0589	H3117	H8141	H5750	

מִן־	בָּבֶל	מֶלֶךְ־	נְבוּכַדְנֶאצַּר	לָקַח	אֲשֶׁר	יְהוָה	בֵּית	כְּלֵי
から	バビロンの	王-の	ネブカドネツァル-が	取った	ところの	主の	宮-の	器-を
	H0894	H4428	H5019	H3947		H3068		H3627

בָּבֶל׃	וַיְבִיאֵם	הַזֶּה	הַמָּקוֹם
バビロン-へ	そして-持って行った	この	この-場所-から
H0894	H0935	H2088	H4725

二年の内に、バビロンの王ネブカデネザルが、この所から取ってバビロンに携えて行った主の宮の器を、皆この所に帰らせる。

4 וְאֶת־ כָּל־ גָּלוּת
そして[を] すべて-の 捕囚-を
H0853 H3605 H1546

יְכָנְיָה בֶן־ יְהוֹיָקִים מֶלֶךְ־ יְהוּדָה
エコニヤ 息子-の エホヤキムの 王-の ユダの
H3204 H3079 H4428 H3063

וְאֶת־ כָּל־ יְהוּדָה הַבָּאִים בָּבֶלָה אֲנִי מֵשִׁיב אֶל־ הַמָּקוֹם הַזֶּה נְאֻם־ יְהוָה
そして[を] ユダの 来る バビロン-へ わたし-は 戻す に-向かって この 宣言-する 主-が
H0853 H3063 H0935 H0894 H0589 H7725 H0413 H2088 H5002 H3068

כִּי אֶשְׁבֹּר אֶת־ עֹל מֶלֶךְ בָּבֶל׃
なぜなら 砕く-だろう [を] 軛-を 王-の バビロンの
H7665 H0853 H5923 H4428 H0894

わたしはまたユダの王エホヤキムの子エコニヤと、バビロンに行ったユダのすべての捕われ人をこの所に帰らせる。それは、わたしがバビロンの王のくびきを、砕くからであると主は言われる」。

5 וַיֹּאמֶר יִרְמְיָה הַנָּבִיא אֶל־ הַנָּבִיא חֲנַנְיָה לְעֵינֵי
そして-言った エレミヤ-は 預言者-は に-向かって ハナニヤ-に 預言者-に 目-の-前-で
H0559 H3414 H5030 H0413 H5030 H2605

הַכֹּהֲנִים וּלְעֵינֵי כָּל־ הָעָם הָעֹמְדִים בְּבֵית יְהוָה׃
祭司たち-の そして-目-の-前-で すべて-の 民-の 立って-いる 宮-で 主の
H3548 H3605 H5975 H1004 H3068

そこで預言者エレミヤは主の宮のうちに立っている祭司とすべての民の前で、預言者ハナニヤに言った。

6 וַיֹּאמֶר יִרְמְיָה הַנָּבִיא אָמֵן כֵּן יַעֲשֶׂה יְהוָה
そして-言った エレミヤ-は 預言者-は アーメン そのように 行われる-ように 主-が
H0559 H3414 H5030 H0543 H3651 H6213 H3068

יָקֵם יְהוָה אֶת־ דְּבָרֶיךָ אֲשֶׁר נִבָּאתָ לְהָשִׁיב כְּלֵי בֵית־ הַגּוֹלָה וְכָל־ מִמְּקוֹם הַזֶּה׃
立てて-ください 主-が [を] あなた-の-ことば-を ところの 預言した 戻す-ために 器-を 宮-の 捕囚-を そして-すべて-の この 場所-に
H6965 H3068 H0853 H1697 H0834 H5012 H7725 H3627 H1004 H1473 H3605 H2088 H4725

に-向かって バビロン-から 主の
H0413 H0894 H3068

すなわち預言者エレミヤは言った、「アァメン。どうか主がこのようにしてくださるように。どうかあなたの預言した言葉が成就して、バビロンに携えて行った主の宮の器とすべての捕われ人を、主がバビロンから再びこの所に帰らせてくださるように。

7 אַךְ־ שְׁמַע נָא הַדָּבָר הַזֶּה אֲשֶׁר אָנֹכִי דֹּבֵר בְּאָזְנֶיךָ וּבְאָזְנֵי כָּל־ הָעָם׃
しかし 聞け どうか ことば-を この ところの わたし-が 語って-いる あなた-の-耳-に そして-耳-に すべて-の 民-の
H0389 H8085 H4994 H1697 H2088 H0834 H0595 H1696 H0241 H0241 H3605 H5971

ただし、今わたしがあなたとすべての民の聞いている所で語るこの言葉を聞きなさい。

8 הַנְּבִיאִים אֲשֶׁר הָיוּ לְפָנַי וְלִפָנֶיךָ מִן־ הָעוֹלָם
預言者たち-は ところの いた わたし-の-前-に そして-あなた-の-前-に から 昔-から
H5030 H0834 H1961 H6440 H6440 H4480 H5769

וַיִּנָּבְאוּ אֶל־ אֲרָצוֹת רַבּוֹת וְעַל־ מַמְלָכוֹת גְּדֹלוֹת לְמִלְחָמָה
そして-預言した に-向かって 地々-に 多く-の そして-に-ついて 王国-に 大きな 戦い-について
H5012 H0413 H0776 H7227 H5921 H4467 H1419 H4421

וְלִרְעָה וְלִדֶבֶר׃
そして-わざわい-について そして-疫病-について
H7463 H1698

わたしと、あなたの先に出た預言者は、むかしから、多くの地と大きな国について、戦いと、ききんと、疫病の事を預言した。

9

הַנָּבִיא אֲשֶׁר יְנַבֵּא לְשָׁלוֹם בְּבֹא דְבַר הַנָּבִיא יִוָּדֵעַ
預言者–は ところの 預言する 平和–を 来る–ときに ことば–が 預言者–の 知られる–だろう
H5030 H5012 H7965 H0935 H1697 H5030 H3045

בֶּאֱמֶת׃ יְהוָה שְׁלָחוֹ אֲשֶׁר־ הַנָּבִיא
まことに 主–が 遣わした ところの 預言者–として
H0571 H3068 H7971 H5030

平和を預言する預言者は、その預言者の言葉が成就するとき、真実に主がその預言者をつかわされたのであることが知られるのだ」。

10

הַנָּבִיא יִרְמְיָה צַוָּאר מֵעַל הַמּוֹטָה אֶת־ הַנָּבִיא חֲנַנְיָה וַיִּקַּח
預言者–の エレミヤの 首–の から 軛–を [を] 預言者–は ハナニヤ–は そして–取った
H5030 H3414 H4133 H0853 H5030 H3947

וַיִּשְׁבְּרֵהוּ׃
そして–折った
H7665

そこで預言者ハナニヤは預言者エレミヤの首から、くびきを取って、それを砕いた。

11

יְהוָה אָמַר כֹּה לֵאמֹר הָעָם כָּל־ לְעֵינֵי חֲנַנְיָה וַיֹּאמֶר
主は 言われた このように 言って 民–の すべて–の 目–の–前–で ハナニヤ–は そして–言った
H3068 H0559 H3541 H0559 H3605 H0559

שְׁנָתַיִם בְּעוֹד בָּבֶל מֶלֶךְ־ נְבֻכַדְנֶאצַּר וְעַל אֶת־ אֶשְׁבֹּר כָּכָה
二–年 あと バビロンの 王–の ネブカドネツァルの 軛–を [を] 砕く–だろう このように
H8141 H5750 H0894 H4428 H5019 H5923 H0853 H7665 H3602

לְדַרְכּוֹ׃ הַנָּבִיא יִרְמְיָה וַיֵּלֶךְ הַגּוֹיִם כָּל־ צַוָּאר מֵעַל יָמִים
自分–の–道–に 預言者–は エレミヤ–は そして–行った 国々–の すべて–の 首–の から 日–で
H1870 H5030 H3414 H3212 H3605 H3117

פ
[P]

そしてハナニヤは、すべての民の前で語り、「主はこう仰せられる、『わたしは二年のうちに、このように、万国民の首からバビロンの王ネブカデネザルのくびきを離して砕く』」と言った。預言者エレミヤは去って行った。

12

חֲנַנְיָה שִׁבֵּר אַחֲרֵי יִרְמְיָה אֶל־ יְהוָה דְבַר־ וַיְהִי
ハナニヤ–が 折った 後–に エレミヤ–に に–向かって 主の ことば–が そして–あった
H7665 H3414 H0413 H3068 H1697 H1961

לֵאמֹר׃ הַנָּבִיא יִרְמְיָה צַוָּאר מֵעַל הַמּוֹטָה אֶת־ הַנָּבִיא
言って 預言者–の エレミヤの 首–の から 軛–を [を] 預言者–が
H0559 H5030 H3414 H4133 H0853 H5030

預言者ハナニヤが預言者エレミヤの首から、くびきを離して砕いた後、しばらくして主の言葉がエレミヤに臨んだ、

13

עֵץ מוֹטֹת יְהוָה אָמַר כֹּה לֵאמֹר חֲנַנְיָה אֶל־ וְאָמַרְתָּ הָלוֹךְ
木–の 軛–を 主は 言われた このように 言って ハナニヤ–に に–向かって そして–言え 行け
H6086 H4133 H3068 H0559 H3541 H0559 H0413 H0559 H1980

בַּרְזֶל׃ מוֹטוֹת תַּחְתֵּיהֶן וְעָשִׂיתָ שָׁבַרְתָּ
鉄–の 軛–を その–代わり–に そして–作る–だろう 折った
H1270 H4133 H8478 H7665

「行って、ハナニヤに告げなさい、『主はこう仰せられる、あなたは木のくびきを砕いたが、わたしはそれに替えて鉄のくびきを作ろう。

14 כִּי כֹה־ אָמַר יְהוָה צְבָאוֹת אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל עֹל בַּרְזֶל נָתַתִּי
なぜなら このように 言われた 主は 万軍-の 神-の イスラエルの 軛-を 鉄-の 置いた
H3541 H0559 H3068 H0430 H3478 H5923 H1270 H5414

עַל־ עַל כָּל־ הַגּוֹיִם הָאֵלֶּה לַעֲבֹד אֶת־ נְבֻכַדְנֶאצַּר מֶלֶךְ־
の-上-に 首-の すべて-の 国々-の これら-の 仕える-ために [を] ネブカドネツァル-に 王-の
H5923 H7218 H3605 H1471 H0428 H5647 H0853 H5019 H4428

בָּבֶל וְעַבָדֻהוּ וְגַם אֶת־ חַיַּת הַשָּׂדֶה נָתַתִּי לוֹ׃
バビロンの そして-仕える-だろう そして-また [を] 獣-を 野-の 与えた 彼-に
H0894 H5647 H1571 H0853 H2416 H5414 H3807

万軍の主、イスラエルの神はこう仰せられる、わたしは鉄のくびきをこの万国民の首に置いて、バビロンの王ネブカデネザルに仕えさせる。彼らはこれに仕える。わたしは野の獣をも彼に与えた』」。

15 וַיֹּאמֶר יִרְמְיָהוּ הַנָּבִיא אֶל־ חֲנַנְיָה הַנָּבִיא שְׁמַע־ נָא
そして-言った エレミヤ-は 預言者-は に-向かって ハナニヤ-に 預言者-に 聞け どうか
H0559 H3414 H5030 H0413 H2608 H5030 H8085 H4994

חֲנַנְיָהוּ לֹא־ שְׁלָחֲךָ יְהוָה וְאַתָּה הִבְטַחְתָּ אֶת־ הָעָם הַזֶּה
ハナニヤよ ない 遣わした 主-は そして-あなた-は 信頼させた [を] この-民-を この
H2608 H3808 H7971 H3068 H0859 H0982 H0853 H5971 H2088

לְשָׁקֶר׃ עַל־
偽り-に の-上-に
H8267 H5921

預言者エレミヤはまた預言者ハナニヤに言った、「ハナニヤよ、聞きなさい。主があなたをつかわされたのではない。あなたはこの民に偽りを信じさせた。

16 לָכֵן כֹּה אָמַר יְהוָה הִנְנִי מְשַׁלֶּחֲךָ מֵעַל פְּנֵי הָאֲדָמָה הַשָּׁנָה
それゆえ このように 言われた 主は 見よ 追い払う-だろう から 面-の 地-の この-年
H3651 H3541 H0559 H3068 H2009 H7971 H5921 H6440 H0127 H8141

מֵת תָּמוּת כִּי־ סָרָה דִבַּרְתָּ אֶל־ יְהוָה׃
死ぬ あなた-は なぜなら 背き-を 語った に-対して 主-に
H4191 H0859 H3588 H5627 H1696 H0413 H3068

それゆえ主は仰せられる、『わたしはあなたを地のおもてから除く。あなたは主に対する反逆を語ったので、今年のうちに死ぬのだ』と」。

17 פ וַיָּמָת חֲנַנְיָה הַנָּבִיא בַּשָּׁנָה הַהִוא בַּחֹדֶשׁ הַשְּׁבִיעִי׃
[P] そして-死んだ ハナニヤ-は 預言者-は その 年-に 月-に 第-七-の
H6298 H2608 H5030 H1931 H8141 H2320 H7637

預言者ハナニヤはその年の七月に死んだ。

Chapter 29

1

מִירוּשָׁלִָם	הַנָּבִיא	יִרְמְיָה	שָׁלַח	אֲשֶׁר	הַסֵּפֶר	דִּבְרֵי	וְאֵלֶּה
エルサレム-から	預言者-が	エレミヤ-が	送った	ところの	書物-の	ことば-の	そして-これら-は
H3389	H5030	H3414	H7971			H1697	H0428

וְאֶל־	הַכֹּהֲנִים	וְאֶל־	הַגּוֹלָה	זִקְנֵי	יֶתֶר	אֶל־		
そして-に-向かって	祭司たち-に	そして-に-向かって	捕囚-の	長老たち-の	残り-の	に-向かって		
H0413	H3548	H0413	H1473	H2205		H0413		
נְבוּכַדְנֶאצַּר	הֶגְלָה	אֲשֶׁר	הָעָם	כָּל־	וְאֶל־	הַנְּבִיאִים		
ネブカドネツァル-が	捕囚-に-した	ところの	民-に	すべて-の	そして-に-向かって	預言者たち-に		
H5019	H1540			H3605	H0413	H5030		

בָּבֶלָה׃	מִירוּשָׁלִָם
バビロン-へ	エルサレム-から
H0894	H3389

これは預言者エレミヤがエルサレムから、かの捕え移された長老たち、およびネブカデネザルによってエルサレムからバビロンに捕え移された祭司と預言者ならびにすべての民に送った手紙に書きしるした言葉である。

2

יְהוּדָה	שָׂרֵי	וְהַסָּרִיסִים	וְהַגְּבִירָה	הַמֶּלֶךְ	יְכָנְיָה־	צֵאת	אַחֲרֵי	
ユダの	首長たち-の	そして-宮官たち-と	そして-王母-と	王-と	エコニヤ-が	出た	後-に	
H3063	H8269	H5631	H1377	H4428	H3204	H3318		

מִירוּשָׁלִָם׃	וְהַמַּסְגֵּר	וְהֶחָרָשׁ	וִירוּשָׁלִָם
エルサレム-から	そして-鍛冶師たち-が	そして-職人たち-と	そして-エルサレムの
H3389	H4525	H2796	H3389

それはエコニヤ王と太后と宦官およびユダとエルサレムのつかさたち、および工匠と鍛冶とがエルサレムを去ってのちに書かれたものであって、

3

אֲשֶׁר	חִלְקִיָּה	בֶּן־	וּגְמַרְיָה	שָׁפָן	בֶּן־	אֶלְעָשָׂה	בְּיַד־	
ところの	ヒルキヤの	息子-の	そして-ゲマルヤの	シャファンの	息子-の	エルアサの	手-によって	
	H2518		H1587			H0501	H3027	

בָּבֶל	מֶלֶךְ	נְבוּכַדְנֶאצַּר	אֶל־	יְהוּדָה	מֶלֶךְ־	צִדְקִיָּה	שָׁלַח	
バビロンの	王	ネブカドネツァル-に	に-向かって	ユダの	王-の	ツィデキヤ-が	送った	
H0894	H4428	H5019	H0413	H3063	H4428	H6667	H7971	

ס	לֵאמֹר׃	בָּבֶלָה
[S]	言って	バビロン-へ
	H0559	H0894

エレミヤはその手紙をシャパンの子エラサおよびヒルキヤの子ゲマリヤの手によって送った。この人々はユダの王ゼデキヤがバビロンに行かせ、バビロンの王ネブカデネザルのもとにつかわしたものであった。その手紙には次のように書いてあった。

4

אֲשֶׁר־	הַגּוֹלָה	לְכָל־	יִשְׂרָאֵל	אֱלֹהֵי	צְבָאוֹת	יְהוָה	אָמַר	כֹּה
ところの	捕囚-に	すべて-の-ために	イスラエルの	神-の	万軍-の	主は	言われた	このように
	H1473	H3605	H3478	H0430		H3068	H0559	H3541

בָּבֶלָה׃	מִירוּשָׁלִַם	הִגְלֵיתִי	
バビロン-へ	エルサレム-から	捕囚-に-した	
H0894	H3389	H1540	

「万軍の主、イスラエルの神は、すべて捕え移された者、すなわち、わたしがエルサレムから、バビロンに捕え移させた者に、こう言う、

5

פִּרְיָן׃	אֶת־	וְאִכְלוּ	נַּנּוֹת	וְנִטְעוּ	וְשָׁבוּ	בָּתִּים	בְּנוּ	
実-を	[を]	そして-食べよ	園-を	そして-植えよ	そして-住め	家-を	建てよ	
H6529	H0853	H0398	H1593	H5193	H3427		H1129	

あなたがたは家を建てて、それに住み、畑を作ってその産物を食べよ。

נָשִׁים	לִבְנֵיכֶם	וּקְחוּ	וּבְנוֹתֵיהֶן	בָּנִים	וְהוֹלִידוּ	נָשִׁים	קְחוּ	6
妻-を	息子たち-の-ために	そして-娶れ	そして-娘たち-を	息子たち-を	そして-産め	妻-を	娶れ	
H0802		H3947	H1323		H3205	H0802	H3947	

וּבְנוֹת	בָּנִים	וְתֵלַדְנָה	לַאֲנָשִׁים	תְּנוּ	בְּנֹתֵיכֶם	וְאֶת־	
そして-娘たち-を	息子たち-を	そして-産む-ように	男たち-に	与えよ	娘たち-を	そして[を]	
H1323		H3205	H0376	H5414	H1323	H0853	

תִּמְעָטוּ׃	וְאַל־	שָׁם	וּרְבוּ־
減る-こと	そして-ない-ように	そこ-で	そして-増えよ
H4591	H0408	H8033	

妻をめとって、むすこ娘を産み、また、そのむすこに嫁をめとり、娘をとつがせて、むすこ娘を産むようにせよ。その所であなたがたの数を増し、減ってはならない。

שָׁמָּה	אֶתְכֶם	הִגְלֵיתִי	אֲשֶׁר	הָעִיר	שְׁלוֹם	אֶת־	וְדִרְשׁוּ	7
そこ-へ	あなたがた-を	捕囚-に-した	ところの	町-の	平和-を	[を]	そして-求めよ	
H8033	H0853	H1540			H7965	H0853	H1875	

יִהְיֶה	בִּשְׁלוֹמָהּ	כִּי	יְהוָה	אֶל־	בַּעֲדָהּ	וְהִתְפַּלְלוּ	
ある-だろう	その-平和-の-中に	なぜなら	主-に	に-向かって	その-ために	そして-祈れ	
H1961	H7965		H3068	H0413	H1157	H6419	

פ	שָׁלוֹם׃	לָכֶם
[P]	平和-が	あなたがた-に
	H7965	

わたしがあなたがたを捕え移させたところの町の平安を求め、そのために主に祈るがよい。その町が平安であれば、あなたがたも平安を得るからである。

יַשִּׁיאוּ	אַל־	יִשְׂרָאֵל	אֱלֹהֵי	צְבָאוֹת	יְהוָה	אָמַר	כֹּה	כִּי	8
欺す-こと	ない-ように	イスラエルの	神-の	万軍-の	主は	言われた	このように	なぜなら	
H5377	H0408	H3478	H0430		H3068	H0559	H3541		

וְקֹסְמֵיכֶם	בְּקִרְבְּכֶם	אֲשֶׁר־	נְבִיאֵיכֶם	לָכֶם	
そして-占い師たち-は	あなたがた-の-中-に-いる	ところの	預言者たち-は	あなたがた-を	
H7080	H7130		H5030		

מַחְלְמִים׃	אַתֶּם	אֲשֶׁר	חֲלֹמֹתֵיכֶם	אֶל־	תִּשְׁמְעוּ	וְאַל־
見せて-いる	あなたがた-が	ところの	夢-に	に-向かって	聞く-こと	そして-ない-ように
			H2472	H0413	H8085	H0408

万軍の主、イスラエルの神はこう言われる、あなたがたのうちにいる預言者と占い師に惑わされてはならない。また彼らの見る夢に聞き従ってはならない。

שִׁלַּחְתִּים	לֹא	בִּשְׁמִי	לָכֶם	נִבְּאִים	הֵם	בְּשֶׁקֶר	כִּי	9
遣わした	ない	わたし-の-名-によって	あなたがた-に	預言して-いる	彼ら-は	偽り-で	なぜなら	
H7971	H3808	H8034		H5012	H1992	H8267		

ס	יְהוָה׃	נְאֻם־	
[S]	主-が	宣言-する	
	H3068	H5002	

それは、彼らがわたしの名によってあなたがたに偽りを預言しているからである。わたしが彼らをつかわしたのではないと主は言われる。

10 כִּי־ כֹה֙ אָמַ֣ר יְהוָ֔ה כְּ֥י לְפִי֙ מְלֹ֣את לְבָבֶ֔ל שִׁבְעִ֖ים
なぜなら このように 言われた 主は なぜなら 満ちる–とき に–従って バビロン–に 七十
H3541 H0559 H3068 H6310 H4390 H0894 H7657

אֶתְכֶ֑ם וַהֲקִמֹתִ֤י עֲלֵיכֶם֙ אֶת־ דְּבָרִ֣י הַטּ֔וֹב לְהָשִׁ֥יב
あなたがた–を 訪れる–だろう そして–立てる–だろう あなたがた–の–上–に [を] ことば–を 良い 戻す–ために
H0853 H6485 H0853 H5921 H0853 H1697 H7725

אֶתְכֶ֖ם אֶל־ הַמָּקוֹם֙ הַזֶּ֔ה׃
あなたがた–を に–向かって この–場所–に この
H0853 H0413 H4725 H2088

主はこう言われる、バビロンで七十年が満ちるならば、わたしはあなたがたを顧み、わたしの約束を果し、あなたがたをこの所に導き帰る。

11 כִּ֣י אָנֹכִ֗י יָדַ֙עְתִּי֙ אֶת־ הַמַּחֲשָׁבֹ֔ת אֲשֶׁ֥ר אָנֹכִ֖י חֹשֵׁ֣ב
なぜなら わたし–が 知って–いる [を] 計画–を ところの わたし–が 思って–いる
H0595 H3045 H0853 H4284 H0595 H2803

עֲלֵיכֶם֙ נְאֻם־ יְהוָ֔ה מַחְשְׁבוֹת֙ שָׁלוֹם֙ וְלֹ֣א לְרָעָ֔ה
あなたがた–に–ついて 宣言–する 主–が 計画–を 平和–の そして–ない わざわい–の–ために
H5002 H3068 H4284 H7965 H3808

לָתֵ֥ת לָכֶ֖ם אַחֲרִ֣ית וְתִקְוָֽה׃
与える–ために あなたがた–に 将来–と 希望–を
H5414 H0319

主は言われる、わたしがあなたがたに対していだいている計画はわたしが知っている。それは災を与えようというのではなく、平安を与えようとするものであり、あなたがたに将来を与え、希望を与えようとするものである。

12 וּקְרָאתֶ֣ם אֹתִ֔י וְהָלַכְתֶּ֖ם וְהִתְפַּלַּלְתֶּ֣ם אֵלָ֑י
そして–呼ぶ–だろう わたし–を そして–歩く–だろう そして–祈る–だろう わたし–に
H7121 H0853 H1980 H6419 H0413

וְשָׁמַעְתִּ֖י אֲלֵיכֶֽם׃
そして–聞く–だろう あなたがた–に
H8085 H0413

その時、あなたがたはわたしに呼ばわり、来て、わたしに祈る。わたしはあなたがたの祈を聞く。

13 וּבִקַּשְׁתֶּ֣ם וּמְצָאתֶ֔ם אֹתִ֖י כִּ֣י תִדְרְשֻׁ֑נִי בְּכָל־
そして–尋ねる–だろう そして–見つける–だろう わたし–を なぜなら 求める–なら すべて–の
H1245 H4672 H0853 H3605 H1875

לְבַבְכֶֽם׃
心–で
H3824

あなたがたはわたしを尋ね求めて、わたしに会う。もしあなたがたが一心にわたしを尋ね求めるならば、

14

אֶת־	וְשַׁבְתִּי	יְהוָה	נְאֻם־	לָכֶם׃	וְנִמְצֵאתִי	
[を]	そして-回復させる-だろう	主-が	宣言-する	あなたがた-に	そして-見つかる-だろう	
H0853	H7725	H3068	H5002		H4672	

הַגּוֹיִם	מִכָּל־	אֶתְכֶם	וְקִבַּצְתִּי	שְׁבוּתְכֶם)	שביתכם׀	
国々-から	すべて-の-から	あなたがた-を	そして-集める-だろう	(捕囚-を)	[K]	
	H3605	H0853	H6908	H7622	H7622	

יְהוָה	נְאֻם־	שָׁם	אֶתְכֶם	הִדַּחְתִּי	אֲשֶׁר	הַמְּקוֹמוֹת	וּמִכָּל־
主-が	宣言-する	そこ-へ	あなたがた-を	追い払った	ところの	場所々-から	そして-すべて-の-から
H3068	H5002	H8033	H0853	H5080		H4725	H3605

אֶתְכֶם	הִגְלֵיתִי	אֲשֶׁר־	הַמָּקוֹם	אֶל־	אֶתְכֶם	וַהֲשִׁבֹתִי
あなたがた-を	捕囚-に-した	ところの	場所-に	に-向かって	あなたがた-を	そして-戻す-だろう
H0853	H1540		H4725	H0413	H0853	H7725

מִשָּׁם׃
そこ-から
H8033

わたしはあなたがたに会うと主は言われる。わたしはあなたがたの繁栄を回復し、あなたがたを万国から、すべてわたしがあなたがたを追いやった所から集め、かつ、わたしがあなたがたを捕われ離れさせたそのもとの所に、あなたがたを導き帰ろうと主は言われる。

15

ס	בָּבֶלָה׃	נְבִאִים	יְהוָה	לָנוּ	הֵקִים	אֲמַרְתֶּם	כִּי
[S]	バビロン-に	預言者たち-を	主-が	わたしたち-に	立てた	言った	なぜなら
	H0894	H5030	H3068			H0559	

あなたがたは、『主はバビロンでわれわれのために預言者たちを起された』と言ったが、――

16

כִּסֵּא	אֶל־	הַיּוֹשֵׁב	הַמֶּלֶךְ	אֶל־	יְהוָה	אָמַר	וְכֹה	כִּי־
王座-に	に-向かって	座って-いる	王-に	に-向かって	主は	言われた	このように	なぜなら
H3678	H0413	H3427	H4428	H0413	H3068	H0559	H3541	

אֲשֶׁר	אַחֵיכֶם	הַזֹּאת	בָּעִיר	הַיּוֹשֵׁב	הָעָם	כָּל־	וְאֶל־	דָּוִד
ところの	兄弟たち-の	この	町-に	住んで-いる	民-に	すべて-の	そして-に-向かって	ダビデの
	H0251	H2063		H3427		H3605	H0413	H1732

בַּגּוֹלָה׃	אִתְּכֶם	יָצְאוּ	לֹא־	
捕囚-に	あなたがた-と-共に	出た	ない	
H1473	H0854	H3318	H3808	

主はダビデの位に座している王と、この町に住むすべての民で、あなたがたと共に捕え移されなかった兄弟たちについて、こう言われる、

17

הָרָעָב	אֶת־	הַחֶרֶב	אֶת־	בָּם	מְשַׁלֵּחַ	הִנְנִי	צְבָאוֹת	יְהוָה	אָמַר	כֹּה
飢饉-を	[を]	剣-を	[を]	彼ら-に	送る-だろう	見よ	万軍-の	主は	言われた	このように
H7458	H0853	H2719	H0853		H7971	H2009		H3068	H0559	H3541

לֹא־	אֲשֶׁר	הַשְּׁעָרִים	כַּתְּאֵנִים	אוֹתָם	וְנָתַתִּי	הַדֶּבֶר	וְאֶת־
ない	ところの	悪い	いちじく-の-ように	彼ら-を	そして-する-だろう	疫病-を	そして[を]
H3808		H8182	H8384	H0853	H5414	H1698	H0853

מֵרֹעַ׃	תֵּאָכֵלְנָה
悪さ-の-ために	食べられる
H7455	H0398

『万軍の主はこう言われる、見よ、わたしは、つるぎと、ききんと、疫病を彼らに送り、彼らを悪くて食べられない腐ったいちじくのようにしてしまう。

18 וְרָדַפְתִּי אַחֲרֵיהֶם בְּחֶרֶב בָּרָעָב וּבַדֶּבֶר וְנִתַּתִּים [לְזוּעָה]
そして–追う–だろう 彼ら–の–後–を 剣–で 飢饉–で そして–疫病–で そして–する–だろう [K]
H7291 H2719 H7458 H1698 H5414 H2113

(לְזַעֲוָה) לְכֹל מַמְלְכוֹת הָאָרֶץ לְאָלָה וּלְשַׁמָּה וְלִשְׁרֵקָה
(恐怖–と) すべて–の–ために 王国–の のろい–と そして–荒れ地–と そして–嘲り–と
H2189 H3605 H4467 H0776 H0423 H8047 H8322

וּלְחֶרְפָּה בְּכָל־הַגּוֹיִם אֲשֶׁר־הִדַּחְתִּים שָׁם׃
そして–恥辱–と すべて–の–中–で ところの 追い払った そこ–へ
H2781 H3605 H1471 H5080 H8033

わたしはつるぎと、ききんと、疫病をもって彼らのあとを追い、また彼らを地の万国に忌みきらわれるものとなし、わたしが彼らを追いやる国々で、のろいとなり、恐れとなり、物笑いとなり、はずかしめとならせる。

19 אֲשֶׁר יְהוָה נְאֻם־דִּבְרֵי אֶל־שָׁמְעוּ לֹא־אֲשֶׁר תָּחַת
ところの 主–が 宣言–する ことば–に に–向かって 聞いた ない ところの 代わり–に
H3068 H5002 H1697 H0413 H8085 H3808 H1471 H8478

וְלֹא וְשָׁלֹחַ הַשְׁכֵּם הַנְּבִאִים עֲבָדַי אֶת־אֲלֵיהֶם שָׁלַחְתִּי
しかし–ない そして–送って 早く–起きて 預言者たち–を しもべたち–を [を] 彼ら–に 遣わした
H3808 H7971 H7925 H5030 H5650 H0853 H0413 H7971

יְהוָה׃ נְאֻם־שְׁמַעְתֶּם
主–が 宣言–する 聞か–なかった
H3068 H5002 H8085

それは彼らがわたしの言葉に聞き従わなかったからであると主は言われる。わたしはこの言葉を、わたしのしもべである預言者たちによって、しきりに送ったが、あなたがたは聞こうともしなかったと主は言われる』。――

20 וְאַתֶּם שִׁמְעוּ דְּבַר־יְהוָה כָּל־הַגּוֹלָה אֲשֶׁר־שִׁלַּחְתִּי
そして–あなたがた–は 聞け ことば–を 主の すべて–の 捕囚–よ ところの 遣わした
H7971 H8085 H1697 H3068 H3605 H1473 H0834 H7971

ס בָּבֶלָה׃ מִירוּשָׁלִַם
[S] バビロン–へ エルサレム–から
H0894 H3389

わたしがエルサレムからバビロンに送ったあなたがたすべての捕われ人よ、主の言葉を聞きなさい、

21 כֹּה־אָמַר יְהוָה צְבָאוֹת אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל אֶל־אַחְאָב בֶּן־
このように 言われた 主は 万軍–の 神–の イスラエルの に–向かって アハブ–に 息子–の
H3541 H0559 H3068 H6635 H0430 H3478 H0413 H0256 H1121

קוֹלָיָהוּ וְאֶל־צִדְקִיָּהוּ בֶן־מַעֲשֵׂיָהוּ הַנִּבְּאִים לָכֶם
コラヤの そして–に–向かって ツィデキヤフ–に 息子–の マアセヤの 預言して–いる あなたがた–に
H6964 H0413 H6667 H1121 H4641 H5012 H0376

מֶלֶךְ־בָּבֶל נְבוּכַדְרֶאצַּר בְּיַד אֹתָם נֹתֵן הִנְנִי שֶׁקֶר בִּשְׁמִי
王–の ネブカドレツァルの 手–に 彼ら–を 与える 見よ 偽り–を わたし–の–名–によって
H4428 H5019 H3027 H0853 H5414 H2009 H8267 H8034

לְעֵינֵיכֶם׃ וְהִכָּם בָּבֶל
あなたがた–の–目–の–前–で そして–打つ–だろう バビロンの
H5221 H0894

『わたしの名によって、あなたがたに偽りを預言しているコラヤの子アハブと、マアセヤの子ゼデキヤについて万軍の主、イスラエルの神はこう仰せられる、見よ、わたしは彼らをバビロンの王ネブカデレザルの手に渡す。王はあなたがたの目の前で彼らを殺す。

22

אֲשֶׁר	יְהוּדָה	גָּלוּת	לְכֹל	קְלָלָה	מֵהֶם	וְלֻקַּח
ところの	ユダの	捕囚-の	すべて-の-ために	のろい-が	彼ら-から	そして-取られる-だろう
H3063		H1546	H3605	H7045	H1992	H3947

וּכְאָחָב	כִּצִדְקִיָּהוּ	יְהוָה	יְשָׂמְךָ	לֵאמֹר	בְּבָבֶל
そして-アハブ-の-ように	ツィデキヤフ-の-ように	主-が	する-ように	言って	バビロン-に-いる
H0256	H6667	H3068		H0559	H0894

בָּאֵשׁ׃	בָּבֶל	מֶלֶךְ־	קָלָם	אֲשֶׁר־
火-で	バビロンの	王-が	焚いた	ところの
H0784	H0894	H4428	H7033	

バビロンにいるユダの捕われ人は皆、彼らの名を、のろいの言葉に用いて、「主があなたをバビロンの王が火で焼いたゼデキヤとアハブのようにされるように」という。

23

נָשָׁי	אֶת־	וַיְנָאֲפוּ	בְיִשְׂרָאֵל	נְבָלָה	עָשׂוּ	אֲשֶׁר־	יַעַן
妻たち-を	[を]	そして-姦淫した	イスラエル-に-おいて	恥辱-を	行った	ところの	ゆえ-に
H0802	H0853	H5003	H3478	H5039			H3282

צִוִּיתִם	לֹוא	אֲשֶׁר	שֶׁקֶר	בִּשְׁמִי	דָּבָר	וַיְדַבְּרוּ	רֵעֵיהֶם
命じた	ない	ところの	偽り-を	わたし-の-名-によって	ことば-を	そして-語った	隣人たち-の
H6680	H3808		H8267	H8034	H1697	H1696	H7453

ס	יְהוָה׃	נְאֻם־	וָעֵד	הַיּוֹדֵעַ)	הוידע]	וְאָנֹכִי
[S]	主-が	宣言-する	そして-証人-である	(知る-者)	[K]	そして-わたし-は
	H3068	H5002	H5707	H3045	H3045	H0595

それは、彼らがイスラエルのうちで愚かな事をし、隣の妻と不義を行い、わたしが命じたのでない偽りの言葉を、わたしの名によって語ったことによるのである。わたしはそれを知っており、またその証人であると主は言われる』」。

24

לֵאמֹר׃	תֹּאמַר	הַנֶּחֱלָמִי	שְׁמַעְיָהוּ	וְאֶל־	
言って	言え	ネヘラム-の-人	シェマヤフ-に	そして-に-向かって	
H0559	H0559	H5161	H8098	H0413	

ネヘラムびとシマヤにあなたは言いなさい、

25

אַתָּה	אֲשֶׁר	לָעָם	לֵאמֹר	יִשְׂרָאֵל	אֱלֹהֵי	צְבָאוֹת	יְהוָה	אָמַר	כֹּה־
あなた-が	ところの	ゆえ-に	言って	イスラエルの	神-の	万軍-の	主は	言われた	このように
		H3282	H0559	H3478	H0430		H3068	H0559	H3541

בִּירוּשָׁלִַם	אֲשֶׁר	הָעָם	כָּל־	אֶל־	סְפָרִים	בִּשְׁמֶךָ	שָׁלַחְתָּ
エルサレム-に-いる	ところの	民-に	すべて-の	に-向かって	書物-を	お前-の-名-によって	送った
H3389			H3605	H0413		H8034	H7971

כָּל־	וְאֶל	הַכֹּהֵן	מַעַשֵׂיָהּ	בֶּן־	צְפַנְיָה	וְאֶל־	
すべて-の	そして-に-向かって	祭司-に	マアセヤの	息子-の	ツェファニヤ-に	そして-に-向かって	
H3605	H0413	H3548	H4641		H6846	H0413	

לֵאמֹר׃	הַכֹּהֲנִים	
言って	祭司たち-に	
H0559	H3548	

「万軍の主、イスラエルの神はこう仰せられる、あなたは自分の名でエルサレムにいるすべての民と、マアセヤの子祭司ゼパニヤおよびすべての祭司に手紙を送って言う、

26 יְהוָ֗ה נְתָנְךָ֙ כֹּהֵ֔ן תַּ֖חַת יְהוֹיָדָ֣ע הַכֹּהֵ֑ן לִֽהְיוֹת֙ פְּקִדִ֔ים
主–が 置いた 祭司–として 代わり–に エホヤダの 祭司–の なる–ために 監督者たち–として
H3068 H5414 H3548 H8478 H3077 H3548 H1961 H6496

בְּבֵ֣ית יְהוָ֔ה לְכָל־אִ֥ישׁ מְשֻׁגָּ֖ע וּמִתְנַבֵּ֑א וְנָתַתָּ֥ה אֹת֖וֹ
宮–の 主の 人–の 狂った そして–預言する そして–置く–ために 彼–を
H1004 H3068 H0376 H7696 H5012 H5414 H0853

אֶל־הַמַּהְפֶּ֖כֶת וְאֶל־הַצִּינָֽק׃
に–向かって 足かせ–に そして–に–向かって 首かせ–に
H0413 H4115 H0413 H6729

『主は祭司エホヤダに代ってあなたを祭司とし、主の宮をつかさどらせ、すべて狂い、かつ預言する者を足かせと首かせにつながせられる。

27 וְעַתָּ֕ה לָ֥מָּה לֹֽא־גָעַ֖רְתָּ בִּירְמְיָ֣הוּ הָעֲנָתֹתִ֑י הַמִּתְנַבֵּ֖א לָכֶֽם׃
今 なぜ ない 叱った エレミヤ–を アナトト–の–人–を 預言して–いる あなたがた–に
H6258 H4100 H3808 H1605 H3414 H6069 H5012

そうであるのに、どうしてあなたは、あなたがたに預言しているアナトテのエレミヤを戒めないのか。

28 כִּ֣י עַל־כֵּ֗ן שָׁלַ֤ח אֵלֵ֙ינוּ֙ בָּבֶ֔ל לֵאמֹ֖ר אֶ֣רֶךְ הִ֑יא
なぜなら の–上–に それゆえ 送った わたしたち–に バビロン–に 言って 長い それ–は
H3588 H5921 H3651 H7971 H0413 H0894 H0559 H0752 H1931

בְּנ֣וּ בָתִּ֔ים וְשֵׁ֖בוּ וְנִטְעוּ֙ גַּנּ֔וֹת וְאִכְל֖וּ אֶת־פְּרִיהֶֽן׃
建てよ 家–を そして–住め そして–植えよ 園–を そして–食べよ [を] 実–を
H1129 H0853 H0398 H1593 H5193 H3427 H0853 H6529

彼はバビロンにいるわれわれの所に手紙を送って、捕われの時はなお長いゆえ、あなたがたは家を建ててそこに住み、畑を作ってその産物を食べよと言ってきた』」。

29 וַיִּקְרָ֣א צְפַנְיָ֣ה הַכֹּהֵ֗ן אֶת־הַסֵּ֤פֶר הַזֶּה֙ בְּאָזְנֵ֣י יִרְמְיָ֣הוּ הַנָּבִ֔יא׃
そして–読んだ ツェファニヤ–は 祭司–は [を] 書物–を この 耳–に エレミヤの 預言者–の
H7121 H6846 H3548 H0853 H2088 H0241 H3414 H5030

פ
[P]

祭司ゼパニヤはこの手紙を預言者エレミヤに読み聞かせた。

30 וַיְהִ֖י דְּבַר־יְהוָ֥ה אֶל־יִרְמְיָ֖הוּ לֵאמֹֽר׃
そして–あった ことば–が 主の に–向かって エレミヤ–に 言って
H1961 H1697 H3068 H0413 H3414 H0559

その時、主の言葉がエレミヤに臨んだ、

31 שְׁלַ֣ח לְכָל־הַגּוֹלָה֮ לֵאמֹר֒ כֹּ֣ה אָמַ֗ר יְהוָה֙ אֶל־שְׁמַעְיָ֣ה
送れ に–対して すべて–の 捕囚–に 言って このように 言われた 主は に–ついて シェマヤ–が
H7971 H5921 H3605 H1473 H0559 H3541 H0559 H3068 H0413 H8098

הַנֶּחֱלָמִ֔י יַ֖עַן אֲשֶׁ֣ר נִבָּ֣א לָכֶ֑ם וְאָנֹכִ֖י לֹ֣א שְׁלַחְתִּ֔יו וַיַּבְטַ֥ח אֶתְכֶ֖ם עַל־שָֽׁקֶר׃
ネヘラム–の–人 ゆえ–に ところの 預言した あなたがた–に シェマヤ–に 遣わした ない そして–わたし–は そして–信頼させた あなたがた–を の–上–に 偽り–に
H5161 H3282 H0834 H5012 H0853 H8098 H7971 H3808 H0589 H0982 H0853 H5921 H8267

「すべての捕われ人に書き送って言いなさい、ネヘラムびとシマヤの事について主はこう仰せられる、わたしはシマヤをつかわさなかったのに、彼があなたがたに預言して偽りを信じさせたので、

32 לָכֵן כֹּה־ אָמַר יְהוָה הִנְנִי פֹקֵד עַל־ שְׁמַעְיָה
それゆえ このように 言われた 主は 見よ 罰する-だろう の-上-に シェマヤ-を
H3541 H0559 H3068 H2009 H8098

הַנֶּחֱלָמִי וְעַל־ זַרְעוֹ לֹא־ יִהְיֶה לּוֹ אִישׁ וְיוֹשֵׁב בְּתוֹךְ־
ネヘラム-の-人-を そして-の-上-に 子孫-を ない ある-だろう 彼-に 人-が 住む 中-に
H5161 H2233 H3808 H1961 H0376 H3427 H8432

הָעָם הַזֶּה וְלֹא־ יִרְאֶה בַּטּוֹב אֲשֶׁר־ אֲנִי עֹשֶׂה־ לְעַמִּי
民-の この そして-ない 見る-だろう 良い-もの-を ところの わたし-が 行う 民-に
H2088 H3808 H7200 H0589

נְאֻם־ יְהוָה כִּי־ סָרָה דִבֶּר עַל־ יְהוָה׃ ס
宣言-する 主-が なぜなら 背き-を 語った に-対して 主-に [S]
H5002 H3068 H5627 H1696 H3068

主はこう仰せられる、見よ、わたしはネヘラムびとシマヤとその子孫を罰する。彼は主に対する反逆を語ったゆえ、彼に属する者で、この民のうちに住み、わたしが自分の民に行おうとしている良い事を見るものはひとりもいない」。

Chapter 30

1 הַדָּבָר אֲשֶׁר הָיָה אֶל־ יִרְמְיָהוּ מֵאֵת יְהוָה לֵאמֹר׃
ことば-が ところの あった に-向かって エレミヤ-に から 主の 言って
H1697 H0834 H1961 H0413 H3414 H0854 H3068 H0559

主からエレミヤに臨んだ言葉。

2 כֹּה־ אָמַר יְהוָה אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל לֵאמֹר כְּתָב־ לְךָ אֵת
[を] おまえ-の-ために 書け 言って イスラエルの 神-の 主は 言われた このように
H0853 H3789 H0559 H3478 H0430 H3068 H0559 H3541

כָּל־ הַדְּבָרִים אֲשֶׁר דִּבַּרְתִּי אֵלֶיךָ אֶל־ סֵפֶר׃
すべて-の ことば-を ところの 語った おまえ-に に-向かって 書物-に
H3605 H1697 H0834 H1696 H0413 H0413 H5612

「イスラエルの神、主はこう仰せられる、わたしがあなたに語った言葉を、ことごとく書物にしるしなさい。

3 כִּי הִנֵּה יָמִים בָּאִים נְאֻם־ יְהוָה וְשַׁבְתִּי אֶת־ שְׁבוּת
なぜなら 見よ 日々-が 来る 宣言-する 主-が そして-回復させる-だろう [を] 捕囚-を
H3588 H2009 H3117 H0935 H5002 H3068 H7725 H0853 H7622

עַמִּי יִשְׂרָאֵל וִיהוּדָה אָמַר יְהוָה וַהֲשִׁבֹתִים אֶל־ הָאָרֶץ
民-の イスラエルの そして-ユダの 言われた 主-が そして-戻す-だろう に-向かって 地-に
H5971 H3478 H3063 H0559 H3068 H7725 H0413 H0776

אֲשֶׁר נָתַתִּי לַאֲבוֹתָם וְיָרְשׁוּהָ׃ פ
ところの 与えた 先祖たち-に そして-受け継ぐ-だろう [P]
H0834 H5414 H0001 H3423

主は言われる、見よ、わたしがわが民イスラエルとユダの繁栄を回復する日が来る。主がこれを言われる。わたしは彼らを、その先祖に与えた地に帰らせ、彼らにこれを保たせる」。

4

וְאֵלֶּה הַדְּבָרִים אֲשֶׁר דִּבֶּר יְהוָה אֶל־יִשְׂרָאֵל
そして-これら-は ことば-の ところの 語った 主-が に-向かって イスラエル-に
H0428 H1697 H1696 H3068 H0413 H3478

וְאֶל־יְהוּדָה׃
そして-に-向かって ユダ-に
H0413 H3063

これは主がイスラエルとユダについて言われた言葉である。

5

כֹּה־אָמַר יְהוָה שָׁמַעְנוּ קוֹל חֲרָדָה פָּחַד וְאֵין שָׁלוֹם׃
このように 言われた 主は 聞いた 声-を 恐れ-の 恐怖-を そして-ない 平和-が
H3541 H0559 H3068 H8085 H6343 H2731 H0369 H7965

「主はこう仰せられる、われわれはおののきの声を聞いた。恐れがあり、平安はない。

6

שַׁאֲלוּ־נָא וּרְאוּ אִם־יֹלֵד זָכָר מַדּוּעַ רָאִיתִי כָל־גֶּבֶר יָדָיו
尋ねよ どうか そして-見よ もし 産む 男-が なぜ 見た すべて-の 男-が 手-を
H7592 H4994 H7200 H3205 H2145 H4069 H7200 H3605 H1397 H3027

כַּיּוֹלֵדָה וְנֶהֶפְכוּ כָל־פָּנִים לִירָקוֹן׃ עַל־חֲלָצָיו
産む-女-の-ように そして-変わった すべて-の 顔-が 青ざめ-に 腰-に の-上-に
H3205 H2015 H3605 H6440 H3420 H2504

子を産む男があるか、尋ねてみよ。どうして男がみな子を産む女のように手を腰におくのをわたしは見るのか。なぜ、どの人の顔色も青く変っているのか。

7

הוֹי כִּי־גָדוֹל הַיּוֹם הַהוּא מֵאַיִן כָּמֹהוּ וְעֵת־צָרָה
ああ なぜなら 大きい その日-は その ない それ-の-ような そして-時-は 苦難-の
H1945 H3588 H1419 H3117 H1931 H0369 H3644 H6256

וּמִמֶּנָּה יִוָּשֵׁעַ׃ לְיַעֲקֹב הִיא
そして-そこ-から 救われる-だろう ヤコブ-に-とって それ-は
H3467 H3290 H1931

悲しいかな、その日は大いなる日であって、それに比べるべき日はない。それはヤコブの悩みの時である。しかし彼はそれから救い出される。

8

וְהָיָה ׀ בַּיּוֹם הַהוּא נְאֻם יְהוָה צְבָאוֹת אֶשְׁבֹּר עֻלּוֹ מֵעָל
そして-ある-だろう 日-に その 宣言-する 主-が 万軍-の 砕く-だろう 彼-の-軛-を から
H1961 H3117 H1931 H5002 H3068 H6635 H7665 H5923 H4480

וּמוֹסְרוֹתֶיךָ אֲנַתֵּק וְלֹא־יַעַבְדוּ עוֹד בּוֹ זָרִים׃ צַוָּארֶךָ
そして-綱-を 引きちぎる-だろう そして-ない 仕える-だろう もはや 彼-に 異国-の-者たち-が おまえ-の-首-から
H4147 H5423 H3808 H5647 H5750 H1992 H2199

万軍の主は仰せられる、その日わたしは彼らの首からそのくびきを砕き離し、彼らの束縛を解く。異邦の人はもはや、彼らを使役することをしない。

9

וְעָבְדוּ אֵת יְהוָה אֱלֹהֵיהֶם וְאֵת דָּוִד מַלְכָּם אֲשֶׁר
そして-仕える-だろう [を] 主-に 彼ら-の-神 そして[を] ダビデ-に 彼ら-の-王 ところの
H5647 H0853 H3068 H0430 H0853 H1732 H4428

סּ אָקִים לָהֶם׃
[S] 立てる-だろう 彼ら-に
H1992

彼らはその神、主と、わたしが彼らのために立てるその王ダビデに仕える。

10 וְאַתָּה אַל־תִּירָא עַבְדִּי יַעֲקֹב נְאֻם־יְהוָה
そして–おまえ–は ない–ように 恐れる–こと しもべ–よ ヤコブよ 宣言–する 主–が
H3068 H5002 H3290 H5650 H3372 H0408

וְאַל־תֵּחַת מִשֹּׂרָאֵל כִּי הִנְנִי מוֹשִׁיעֲךָ מֵרָחוֹק וְאֶת־
そして–ない–ように おののく–こと イスラエルよ なぜなら 見よ 救う–だろう 遠く–から そして[を]
H0408 H2865 H3478 H3467 H2009 H7350 H0853

זַרְעֲךָ מֵאֶרֶץ שִׁבְיָם וְשָׁב יַעֲקֹב וְשָׁקַט וְשַׁאֲנַן
子孫–を 地–から 捕囚–の そして–帰る–だろう ヤコブ–は そして–安らぐ–だろう そして–平穏–で
H2233 H0776 H7725 H3290 H8252 H7599

וְאֵין מַחֲרִיד׃
そして–ない 恐れさせる–者–が
H0369 H2729

主は仰せられる、わがしもべヤコブよ、恐れることはない、イスラエルよ、驚くことはない。見よ、わたしがあなたを救って、遠くからかえし、あなたの子孫を救って、その捕え移された地からかえすからだ。ヤコブは帰ってきて、穏やかに安らかにおり、彼を恐れさせる者はない。

11 כִּי־אִתְּךָ אֲנִי נְאֻם־יְהוָה לְהוֹשִׁיעֶךָ כִּי אֶעֱשֶׂה
なぜなら わたし–が おまえ–と–共に 宣言–する 主–が 救う–ために なぜなら 行う–だろう
H0589 H0854 H5002 H3068 H3467 H3615

בְּכָל־הַגּוֹיִם אֲשֶׁר הֲפִצוֹתִיךָ שָׁם אַךְ לֹא־אֶעֱשֶׂה אֹתְךָ
すべて–の–中で 国々–の ところの 散らした そこ–に しかし ない 行う おまえ–を
H3605 H1471 H0834 H6327 H8033 H0389 H3808 H0853

כָלָה וְנַקֵּה לֹא אַנַּקֶּךָּ׃
滅ぼし–を そして–罰せず–には ない おかない–だろう
H3617 H5352 H3808 H5352

כָלָה וְיִסַּרְתִּיךָ לַמִּשְׁפָּט וְנַקֵּה לֹא אַנַּקֶּךָּ׃
滅ぼし–を そして–懲らしめる–だろう 正義–に–よって 罰せず–には ない おかない–だろう
H3617 H3256 H4941 H5352 H3808 H5352

פ
[P]

主は言われる、わたしはあなたと共にいて、あなたを救う。わたしはあなたを散らした国々をことごとく滅ぼし尽す。しかし、あなたを滅ぼし尽すことはしない。わたしは正しい道に従ってあなたを懲らしめる。決して罰しないではおかない。

12 כִּי כֹה אָמַר יְהוָה אָנוּשׁ נַחְלָה לְשִׁבְרֵךְ נַחְלָה מַכָּתֵךְ׃
なぜなら このように 言われた 主は 癒えない 痛ましい おまえ–の–傷–は 痛ましい おまえ–の–打ち傷–は
H3588 H3541 H0559 H3068 H0605 H5997 H7667 H5997 H4347

主はこう仰せられる、あなたの痛みはいえず、あなたの傷は重い。

13 אֵין־דָּן לְמָזּוֹר רְפֻאוֹת תְּעָלָה אֵין לָךְ׃
ない–者–が 訴える–者–が 回復–の–ために 薬–も 癒し–も ない おまえ–に
H0369 H1777 H4205 H7499 H5927 H0369

あなたの訴えを支持する者はなく、あなたの傷をつつむ薬はなく、あなたをいやすものもない。

14 כָּל־מְאַהֲבַיִךְ שְׁכֻחוּךְ לֹא יִדְרְשׁוּ כִּי מַכַּת אוֹיֵב הִכִּיתִיךְ
すべて–の 愛する–者たち–は 忘れた ない 尋ねる なぜなら 打ち傷–で 敵–の 打った
H3605 H0157 H7911 H3808 H1875 H3588 H4347 H0341 H5221

מוּסַר אַכְזָרִי עַל רֹב עֲוֹנֵךְ עָצְמוּ חַטֹּאתָיִךְ׃
懲らしめ–で 残酷な の–上–に 多さ–の 罪–の 増えた 罪–が
H4148 H0394 H5921 H7230 H5771 H6105 H2403

あなたの愛する者は皆あなたを忘れてあなたの事を心に留めない。それは、あなたのとがが多く、あなたの罪がはなはだしいので、わたしがあだを撃つようにあなたを撃ち、残忍な敵のように懲らしたからだ。

15 מַה־ תִּזְעַק֙ עַל־ שִׁבְרֵ֔ךְ אָנ֥וּשׁ מַכְאֹבֵ֖ךְ עַל֙ רֹ֣ב עֲוֹנֵ֔ךְ עָצְמ֖וּ חַטֹּאתָֽיִךְ׃
なぜ 叫ぶ-のか 傷-に 癒えない 痛み-は 多さ-の 罪-の 増えた 罪-が
H4100 H2199 H7667 H0605 H4341 H7230 H5771 H0428
の-上-に の-上-に おまえ-に これら-を 行った

なぜ、あなたの傷のために叫ぶのか、あなたの悩みはいえることはない。あなたのとがが多く、あなたの罪がはなはだしいので、これらの事をわたしはあなたにしたのである。

16 לָכֵ֗ן כָּל־ אֹכְלַ֙יִךְ֙ יֵאָכֵ֔לוּ וְכָל־ צָרַ֖יִךְ כֻּלָּ֣ם בַּשִּׁבְי֣ יֵלֵ֔כוּ וְהָי֥וּ שֹׁאסַ֖יִךְ לִמְשִׁסָּ֑ה וְכָל־ בֹּזְזַ֖יִךְ אֶתֵּֽן׃ לָבָֽז׃
それゆえ すべて-の 食い尽くす-者たち-は 食い尽くされる-だろう そして-すべて-の 敵たち-は
H3605 H0398 H0398 H3605
捕囚-に 行く-だろう そして-なる-だろう 略奪する-者たち-は 略奪-に そして-すべて-の
H3605 H3212 H1961 H7601 H4933 H3605
奪う-者たち-を わたし-は-する 奪い-に
H0962 H5414 H0957

しかし、すべてあなたを食い滅ぼす者は食い滅ぼされ、あなたをしえたげる者は、ひとり残らず、捕え移され、あなたをかすめる者は、かすめられ、すべてあなたの物を奪う者は奪われる者となる。

17 כִּי֩ אַעֲלֶ֨ה אַרְכָ֜ה לָ֗ךְ וּמִמַּכּוֹתַ֙יִךְ֙ אֶרְפָּאֵ֔ךְ נְאֻם־ יְהוָ֑ה כִּ֣י נִדָּחָ֤ה קָרְאוּ־ לָךְ֙ צִיּ֔וֹן הִ֖יא דֹּרֵ֥שׁ אֵֽין־ לָ֖הּ׃ ס
なぜなら 上らせる-だろう 癒し-を おまえ-に そして-傷-から 癒す-だろう 宣言-する 主-が
H5927 H0724 H4347 H7495 H5002 H3068
なぜなら 追放された-者 呼んだ おまえ-を シオン それ-は 尋ねる-者-が ない 彼女-に [S]
H1931 H6726 H7121 H5080 H1875 H0369

主は言われる、わたしはあなたの健康を回復させ、あなたの傷をいやす。それは、人があなたを捨てられた者とよび、『だれも心に留めないシオン』というからである。

18 כֹּ֣ה אָמַ֣ר יְהוָ֗ה הִנְנִי֙ שָׁ֣ב שֹׁבֵ֔ת אָהֳלֵ֖י יַעֲקֹ֑ב וּמִשְׁכְּנֹתָ֣יו אֲרַחֵ֔ם וְנִבְנְתָ֥ה עִ֖יר עַל־ תִּלָּ֑הּ וְאַרְמ֖וֹן עַל־ מִשְׁפָּטֽוֹ׃ יֵשֵֽׁב׃
このように 言われた 主は 見よ 回復させる 捕囚-を 天幕-の ヤコブの 住まい-を そして-
H3541 H0559 H3068 H2009 H7725 H7622 H0168 H3290 H4908
あわれむ-だろう そして-建てられる-だろう 町-が の-上-に 丘-の の-上-に そして-宮殿-が
H7355 H1129 H5892 H8510 H5921 H0759
定められた-所-に 座る-だろう
H4941 H3427

主はこう仰せられる、見よ、わたしはヤコブの天幕を再び栄えさせ、そのすまいにあわれみを施す。町は、その丘に建てなおされ、宮殿はもと立っていた所に立つ。

19 וְהִרְבֵּיתִ֔ים וְלֹ֥א יִמְעָ֖טוּ וְהִכְבַּדְתִּ֑ים וְלֹ֥א יִצְעָֽרוּ׃
そして-増やす-だろう 笑う-者たち-の そして-声-が 感謝-が 彼ら-から そして-出る-だろう
H7832 H6963 H8426 H1992 H3318
小さくなる-だろう そして-ない そして-重くする-だろう 減る-だろう そして-ない
H6819 H3808 H3513 H4591 H3808

感謝の歌と喜ぶ者の声とが、その中から出る。わたしが彼らを増すゆえ、彼らは少なくはなく、また彼らを尊ばれしめるゆえ、卑しめられることはない。

20 וְהָיוּ בָנָיו כְּקֶדֶם וַעֲדָתוֹ לְפָנַי תִּכּוֹן
そして–なる–だろう 息子たち–が 昔–の–ように そして–会衆–は わたし–の–前–に 堅く–立つ–だろう
H1961 H6440 H5712 H6440

וּפָקַדְתִּי עַל כָּל לֹחֲצָיו׃
そして–罰する–だろう の–上–に すべて–の 虐げる–者たち–を
H3605 H3905

その子らは、いにしえのようになり、その会衆はわたしの前に堅く立つ。すべて彼らをしえたげる者をわたしは罰する。

21 וְהָיָה אַדִּירוֹ מִמֶּנּוּ וּמֹשְׁלוֹ מִקִּרְבּוֹ יֵצֵא
そして–なる–だろう 尊い–者–が 彼–から そして–治める–者–が 彼–の–内–から 出る–だろう
H1961 H0117 H4910 H7130 H3318

וְהִקְרַבְתִּיו וְנִגַּשׁ אֵלָי כִּי מִי זֶה עָרַב לִבּוֹ לָגֶשֶׁת אֵלַי נְאֻם יְהוָה׃
そして–近づける–だろう そして–近づく–だろう わたし–に なぜなら 誰–が この 担保–とした 心–を 近づく–ために わたし–に 宣言–する 主–が
H7126 H5066 H0413 H4310 H2088 H6148 H0853 H5066 H0413 H5002 H3068

その君は彼ら自身のうちのひとりであり、そのつかさは、そのうちから出る。わたしは彼をわたしに近づけ、彼はわたしに近づく。だれか自分の命をかけてわたしに近づく者があろうかと主は言われる。

22 וְהְיִיתֶם לִי לְעָם וְאָנֹכִי אֶהְיֶה לָכֶם לֵאלֹהִים׃
そして–なる–だろう わたし–の 民–と そして–わたし–は なる–だろう あなたがた–の 神–と
H1961 H0595 H1961

ס
[S]

あなたがたは、わたしの民となり、わたしはあなたがたの神となる」。

23 וְהִנֵּה סַעֲרַת יְהוָה חֲמָה יָצְאָה סַעַר מִתְגּוֹרֵר עַל רֹאשׁ רְשָׁעִים יָחוּל׃
見よ 嵐–が 主の 怒り–が 出た 嵐–が 渦巻く 頭–の 悪しき–者たち–の 降りかかる–だろう
H2009 H5591 H3068 H2534 H3318 H5591 H1641 H7218 H7563 H2342

見よ、主の暴風がくる。憤りと、つむじ風が出て、悪人のこうべをうつ。

24 לֹא יָשׁוּב חֲרוֹן אַף יְהוָה עַד עֲשֹׂתוֹ וְעַד הֲקִימוֹ מְזִמּוֹת לִבּוֹ בְּאַחֲרִית הַיָּמִים תִּתְבּוֹנְנוּ בָהּ׃
ない 戻る 怒り–は 主の 鼻–の まで 行う–こと–を そして–まで 立てる–こと–を 計画–を 心–の 終わり–の 日々–に 悟る–だろう それ–を
H3808 H7725 H2740 H3068 H0639 H5704 H6213 H5704 H6213 H4209 H3820 H0319 H3117 H0995 H0995

主の激しい怒りは、み心に思い定められたことを行って、これを遂げるまで、退くことはない。末の日にあなたがたはこれを悟るのである。

Chapter 31

בָּעֵת֙ הַהִ֣יא נְאֻם־יְהוָ֔ה אֶֽהְיֶ֥ה לֵֽאלֹהִ֖ים לְכֹ֣ל מִשְׁפְּח֑וֹת יִשְׂרָאֵ֖ל
時-に その 宣言-する 主-が なる-だろう 神-と すべて-の-ために 部族-の イスラエルの
H6256 H1931 H5002 H3068 H1961 H0430 H3605 H4940 H3478

וְהֵ֖מָּה יִֽהְיוּ־לִ֥י לְעָ֖ם ס׃
そして-彼ら-は なる-だろう わたし-の 民-と [S]
H1992 H1961

1 「主は言われる、その時わたしはイスラエルの全部族の神となり、彼らはわたしの民となる」。

כֹּ֣ה אָמַ֣ר יְהוָ֗ה מָצָ֤א חֵן֙ בַּמִּדְבָּ֔ר עַ֖ם שְׂרִידֵ֣י חָ֑רֶב הָלֹ֥וךְ לְהַרְגִּיעֹ֖ו יִשְׂרָאֵֽל׃
このように 言われた 主は 見いだした 恵み-を 荒野-で 民-が 生き残った-者たち-の 剣-の 行った 休ませる-ために イスラエル-を
H3541 H0559 H3068 H4672 H2580 H0413 H8300 H2719 H1980 H3478

2 主はこう言われる、「つるぎをのがれて生き残った民は、荒野で恵みを得た。イスラエルが安息を求めた時、

מֵרָחֹ֣וק יְהוָ֤ה נִרְאָה֙ לִ֔י וְאַהֲבַ֥ת עֹולָ֖ם אֲהַבְתִּ֑יךְ עַל־כֵּ֥ן מָשַׁ֖כְתִּי חָֽסֶד׃
遠く-から 主-が 現れた わたし-に そして-愛-で 永遠-の 愛した それ-ゆえに それ-ゆえに 引いた 恵み-で
H7350 H3068 H7200 H0160 H5769 H0157 H4900 H2617

3 主は遠くから彼に現れた。わたしは限りなき愛をもってあなたを愛している。それゆえ、わたしは絶えずあなたに真実をつくしてきた。

עֹ֥וד אֶבְנֵ֖ךְ וְנִבְנִ֣ית בְּתוּלַ֣ת יִשְׂרָאֵ֑ל עֹ֥וד תַּעְדִּ֖י וְיָצָ֥את בִּמְחֹ֖ול מְשַׂחֲקִֽים׃
再び 建てる-だろう そして-建てられる-だろう おとめよ イスラエルの 再び 飾る-だろう そして-出る-だろう 踊り-の-中-に 笑う-者たち-の
H5750 H1129 H1129 H1330 H3478 H5750 H3318 H4234 H7832

4 イスラエルのおとめよ、再びわたしはあなたを建てる、あなたは建てられる。あなたは再び鼓をもって身を飾り、出て行って、喜び楽しむ者と共に踊る。

עֹ֚וד תִּטְּעִ֣י כְרָמִ֔ים בְּהָרֵ֖י שֹׁמְר֑וֹן נָטְע֣וּ נֹטְעִ֔ים וְחִלְּלֽוּ׃
再び 植える-だろう ぶどう園-を 山々-に サマリアの 植えた 植える-者たち-が そして-楽しむ-だろう
H5750 H5193 H3754 H2022 H8111 H5193 H5193

5 またあなたはぶどうの木をサマリヤの山に植える。植える者は、植えてその実を食べることができる。

כִּ֣י יֵ֔שׁ יֹ֥ום קָרְא֖וּ נֹצְרִ֑ים בְּהַ֣ר אֶפְרָ֔יִם קֻ֚ומוּ וְנַעֲלֶ֣ה צִיֹּ֔ון אֶל־יְהוָ֖ה אֱלֹהֵֽינוּ׃ פ
なぜなら ある 日-が 呼ぶ-だろう 見張りたち-が 山-で エフライムの 立て そして-上ろう シオン-へ に-向かって 主-に わたしたち-の-神 [P]
H3426 H3117 H7121 H5341 H2022 H0669 H6965 H5927 H0413 H3068 H0430

6

見守る者がエフライムの山の上に立って呼ばわる日が来る。『立って、シオンに上り、われわれの神、主に、もうでよう』と」。

7 כִּי־ כֹה אָמַר יְהוָה רָנּוּ | לְיַעֲקֹב שִׂמְחָה | וְצַהֲלוּ
なぜなら このように 言われた 主は 歌え | ヤコブ-の-ために 喜び-を | そして-叫べ
H3541 H0559 H3068 H7442 | H3290 H8057

בְּרֹאשׁ הַגּוֹיִם הַשְׁמִיעוּ הַלְלוּ וְאִמְרוּ הוֹשַׁע יְהוָה אֶת־ עַמְּךָ אֶת
頭-の-中-で 国々-の 聞かせよ 讃えよ | そして-言え 救ってください 主よ [を] 民-を [を]
H7218 H1471 H8085 H1984 | H0559 H3467 H3068 H0853 H5971 H0853

שְׁאֵרִית יִשְׂרָאֵל׃
残り-を イスラエルの
H7611 H3478

主はこう仰せられる、「ヤコブのために喜んで声高く歌い、万国のかしらのために叫び声をあげよ。告げ示し、ほめたたえて言え、『主はその民イスラエルの残りの者を救われた』と。

8 הִנְנִי מְבִיאִם מֵאֶרֶץ צָפוֹן וְקִבַּצְתִּים מִיַּרְכְּתֵי־ אָרֶץ
見よ 連れて-来る 彼ら-を 地-から 北-の | そして-集める-だろう 果て-から 地-の
H2009 H0935 H0853 H0776 H6828 | H6908 H3411 H0776

בָּם עִוֵּר וּפִסֵּחַ הָרָה וְיֹלֶדֶת יַחְדָּו
彼ら-の-中-に 盲人-と | そして-足の-不自由-な-者-と 孕んだ-女-と | そして-産む-女-と 共に
H1992 H5787 | H6455 | H2030 H3205 H3162

קָהָל גָּדוֹל יָשׁוּבוּ הֵנָּה׃
会衆-が 大きな 帰る-だろう ここ-に
H6951 H1419 H7725 H2008

見よ、わたしは彼らを北の国から連れ帰り、彼らを地の果から集める。彼らのうちには、盲人やあしなえ、妊婦、産婦も共にいる。彼らは大きな群れとなって、ここに帰ってくる。

9 בִּבְכִי יָבֹאוּ וּבְתַחֲנוּנִים אוֹבִילֵם אוֹלִיכֵם אֶל־ נַחֲלֵי
泣き-の-中-で 来る-だろう | そして-嘆願-の-中-で 導く-だろう 導く-だろう | に-向かって 小川-の
H1065 H0935 | H8469 H2986 H3212 H0413

מַיִם בְּדֶרֶךְ לֹא יִכָּשְׁלוּ בָהּ כִּי־ הָיִיתִי לְאָב לְיִשְׂרָאֵל וְאֶפְרַיִם בְּכֹרִי הוּא׃ ס
水-の 道-によって ない つまずく-だろう そこ-で なぜなら なった | 長子-である 彼-は [S]
H4325 H1870 H3808 H3782 H1931 H1961 | H1060 H1931

彼らは泣き悲しんで帰ってくる。わたしは慰めながら彼らを導き帰る。彼らがつまずかないように、まっすぐな道により、水の流れのそばを通らせる。それは、わたしがイスラエルの父であり、エフライムはわたしの長子だからである。

10 שִׁמְעוּ דְבַר־ יְהוָה גּוֹיִם וְהַגִּידוּ בָאִיִּים מִמֶּרְחָק וְאִמְרוּ מְזָרֶה
聞け ことば-を 主の 国々よ | そして-告げよ 島々-に 遠く-から | そして-言え 散らした-者-が
H8085 H1697 H3068 H1471 | H5046 H0339 H4801 | H0559 H2219

יִשְׂרָאֵל וְיִקְבְּצֶנּוּ וְשָׁמְרוֹ כְּרֹעֵה עֶדְרוֹ׃
イスラエル-を 集める-だろう | そして-守る-だろう 羊飼い-の-ように 群れ-を
H3478 H6908 | H8104 H7462 H5739

万国の民よ、あなたがたは主の言葉を聞き、これを遠い、海沿いの地に示して言いなさい、『イスラエルを散らした者がこれを集められる。牧者がその群れを守るようにこれを守られる』と。

11 כִּי־ פָדָה יְהוָה אֶת־ יַעֲקֹב וּגְאָלוֹ מִיַּד חָזָק מִמֶּנּוּ׃
なぜなら 贖った 主-が [を] ヤコブ-を | そして-贖い戻した 手-から 強い-者-の 彼-よりも
H6299 H3068 H0853 H3290 | H1350 H3027 H2389

すなわち主はヤコブをあがない、彼らよりも強い者の手から彼を救いだされた。

12 וּבָאוּ֙ וְרָנְנ֣וּ בִמְר֣וֹם־ צִיּ֔וֹן וְנָהֲר֖וּ אֶל־
そして–来る–だろう そして–歌う–だろう 高き–所–で シオンの そして–輝く–だろう に–向かって
H0935 H7442 H4791 H6726 H0413

טּ֣וּב יְהוָ֗ה עַל־ דָּגָן֙ וְעַל־ תִּיר֣וֹשׁ וְעַל־ יִצְהָ֔ר
良き–もの–に 主の の–上–に 穀物–の そして–の–上–に 葡萄酒–の そして–の–上–に 油–の
H2898 H3068 H5921 H1715 H5921 H8492 H5921 H3323

וְלִבְנֵ֥י צֹ֖אן בָּקָ֑ר וְהָיְתָ֤ה נַפְשָׁם֙ כְּגַ֣ן רָוֶ֔ה
そして–の–上–に 子ら–の 羊–の そして–牛–の そして–なる–だろう 魂–が 園–の–ように 潤った
H5921 H1121 H6629 H1241 H1961 H5315 H1588 H7302

וְלֹא־ יוֹסִ֥יפוּ לְדַאֲבָ֖ה עֽוֹד׃
そして–ない 続ける–だろう 悲しむ–こと–を もはや
H3808 H3254 H1669 H5750

彼らは来てシオンの山で声高く歌い、主から賜わった良い物のために、穀物と酒と油および若き羊と牛のために、喜びに輝く。その魂は潤う園のようになり、彼らは重ねて憂えることがない。

13 אָ֚ז תִּשְׂמַ֣ח בְּתוּלָ֔ה בְּמָח֖וֹל וּבַחֻרִ֣ים וְזִקְנִ֑ים יַחְדָּ֔ו
その時 喜ぶ–だろう おとめ–が 踊り–の–中–で そして–若者たち–と そして–老人たち–が 共に
H0227 H8055 H1330 H4234 H0970 H2205 H3162

וְנַחַמְתִּ֣ים וְשִׂמַּחְתִּ֔ים לְשָׂשׂ֖וֹן מִיגוֹנָֽם׃
そして–慰める–だろう そして–喜ばせる–だろう 喜び–に 悲しみ–から
H5162 H8055 H8342 H3015

וְהָפַכְתִּ֤י אֵבְלָם֙ וְנִחַמְתִּ֔ים וְשִׂמַּחְתִּ֖ים מִיגוֹנָֽם׃
そして–変える–だろう 嘆き–を そして–慰める–だろう そして–喜ばせる–だろう 悲しみ–から
H2015 H0060 H5162 H8055 H3015

その時おとめたちは舞って楽しみ、若い者も老いた者も共に楽しむ。わたしは彼らの悲しみを喜びにかえ、彼らを慰め、憂いの代りに喜びを与える。

14 וְרִוִּיתִ֤י נֶ֙פֶשׁ֙ הַכֹּהֲנִ֣ים דָּ֔שֶׁן וְעַמִּ֖י אֶת־ טּוּבִ֑י
そして–満たす–だろう 魂–を 祭司たち–の 豊かさ–で そして–民–は [を] 良き–もの–で
H7301 H5315 H3548 H1880 H5971 H0853 H2898

נְאֻם־ יְהוָֽה׃ ס יִשְׂבָּֽעוּ׃
宣言–する 主–が [S] 満たされる–だろう
H5002 H3068 H7646

わたしは多くのささげ物で、祭司の心を飽かせ、わたしの良き物で、わたしの民を満ち足らせると主は言われる」。

15 כֹּ֣ה אָמַ֣ר יְהוָ֗ה ק֚וֹל בְּרָמָ֣ה נִשְׁמָ֔ע נְהִ֥י בְכִ֖י תַּמְרוּרִ֑ים רָחֵ֕ל
このように 言われた 主は 声–が ラマ–で 聞こえる 泣き–が 泣き–が ラケル–が
H3541 H0559 H3068 H6963 H7414 H8085 H1065 H5092 H7354

מְבַכָּ֥ה עַל־ בָּנֶ֖יהָ מֵאֲנָ֣ה לְהִנָּחֵ֑ם עַל־ בָּנֶ֖יהָ כִּ֥י
泣いて–いる の–上–に 息子たち–の 拒んだ 慰められる–こと–を の–上–に 息子たち–の なぜなら
H1058 H5921 H1121 H3985 H5162 H5921 H1121 H3588

אֵינֶֽנּוּ׃ ס
いない [S]
H0369

主はこう仰せられる、「嘆き悲しみ、いたく泣く声がラマで聞える。ラケルがその子らのために嘆くのである。子らがもはやいないので、彼女はその子らのことで慰められるのを願わない」。

16 וְכֹה אָמַר יְהוָה מְנָעִי קוֹלֵךְ מִבֶּכִי וְעֵינַיִךְ מִדִּמְעָה כִּי יֵשׁ
このように 言われた 主は やめよ 声–を 泣き–から そして–目–を 涙–から ある
H3541 H0559 H3068 H4513 H6468 H1065 H7939 H1832 H3426

שָׂכָר נְאֻם־יְהוָה וְשָׁבוּ מֵאֶרֶץ אוֹיֵב׃
報い–が 主–が 宣言–する 働き–の–ために そして–帰る–だろう 地–から 敵–の
H7939 H3068 H5002 H6468 H7725 H0776 H0341

主はこう仰せられる、「あなたは泣く声をとどめ、目から涙をながすことをやめよ。あなたのわざに報いがある。彼らは敵の地から帰ってくると主は言われる。

17 וְיֵשׁ־תִּקְוָה לְאַחֲרִיתֵךְ נְאֻם־יְהוָה וְשָׁבוּ בָנִים
そして–ある 希望–が 将来–の–ために 宣言–する 主–が そして–帰る–だろう 息子たち–が
H3426 H8615 H0319 H5002 H3068 H7725 H1121

לִגְבוּלָם׃ ס
境–に [S]
H1366

あなたの将来には希望があり、あなたの子供たちは自分の国に帰ってくると主は言われる。

18 שָׁמוֹעַ שָׁמַעְתִּי אֶפְרַיִם מִתְנוֹדֵד יִסַּרְתַּנִי וָאִוָּסֵר כְּעֵגֶל
確かに 聞いた エフライム–が 嘆いて–いる 懲らしめた そして–懲らしめられた 子牛–の–ように
H8085 H8085 H0669 H5110 H3256 H3256 H5695

לֶמֶד לֹא אַתָּה כִּי הֲשִׁיבֵנִי וְאָשׁוּבָה יְהוָה
訓練された ない 立ち返らせて–ください なぜなら あなた–が 主–である
H3925 H3808 H7725 H7725 H3068

אֱלֹהָי׃
わたし–の–神
H0430

わたしは確かに、エフライムがこう言って嘆くの聞いた、『あなたはわたしを懲しめられた、わたしはくびきに慣れない子牛のように懲しめをうけた。主よ、あなたはわたしの神、主でいらせられる、わたしを連れ帰って、もとにかえしてください。

19 כִּי־אַחֲרֵי שׁוּבִי נִחַמְתִּי וְאַחֲרֵי הִוָּדְעִי סָפַקְתִּי עַל־יָרֵךְ בֹּשְׁתִּי
なぜなら 後–に 立ち返り–を 悔いた そして–後–に 知り–を 打った の–上–に ももを 恥じた
H3588 H0310 H7725 H5162 H0310 H3045 H5606 H5921 H3409 H0954

וְגַם־נִכְלַמְתִּי כִּי נָשָׂאתִי חֶרְפַּת נְעוּרָי׃
そして–また 辱められた なぜなら 負った 恥辱–を 若き–日–の
H1571 H3637 H3588 H5375 H2781 H5271

わたしはそむき去った後、悔い、教をうけた後、ももを打った。若い時のはずかしめが身にあるので、わたしは恥じ、 うろたえた』。

20 הֲבֵן יָקִיר לִי אֶפְרַיִם אִם יֶלֶד שַׁעֲשֻׁעִים כִּי־מִדֵּי
[?]息子–が 尊い わたし–に–とって エフライム–は もし 子–である 喜び–の なぜなら いつも
H1121 H3357 H0369 H0669 H0518 H3206 H8191 H3588 H1767

דַּבְּרִי בּוֹ זָכֹר אֶזְכְּרֶנּוּ עוֹד עַל־כֵּן הָמוּ מֵעַי
語る–たびに 彼–に–ついて 必ず 覚えて–いる まだ それ–ゆえに それ–ゆえに 鳴る はらわた–が
H1696 H2142 H2142 H5750 H3651 H1993 H4578

רַחֵם אֲרַחֲמֶנּוּ נְאֻם־יְהוָה׃ ס
必ず あわれむ–だろう 宣言–する 主–が [S]
H7355 H7355 H5002 H3068

主は言われる、エフライムはわたしの愛する子、わたしの喜ぶ子であろうか。わたしは彼について語るごとに、なお彼を忘れることができない。それゆえ、わたしの心は彼をしたっている。わたしは必ず彼をあわれむ。

21

לַמְסִלָּה	לִבֵּךְ	שָׁתִי	תַּמְרוּרִים	לָךְ	שִׂמִי	צִיֻּנִים	לָךְ	הַצִּיבִי
大路-に	心-を	向けよ	道しるべ-を	おまえ-の-ために	置け	標-を	おまえ-の-ために	立てよ
H4546		H7896	H8564			H6725		H5324

:אֵלֶּה	עָרַיִךְ	אֶל־	שׁוּבִי	יִשְׂרָאֵל	בְּתוּלַת	שׁוּבִי	(הָלָכְתְּ)	[הלכתין]	דֶּרֶךְ
これら-の	町々-に	に-向かって	帰れ	イスラエルの	おとめよ	帰れ	(歩いた)	[K]	道-に
H0428		H0413	H7725	H3478	H1330	H7725	H1980	H1980	H1870

みずからのために道しるべを置き、みずからのために標柱を立てよ。大路に、あなたの通って行った道に心を留めよ。イスラエルのおとめよ、帰れ、これらの、あなたの町々に帰れ。

22

חֲדָשָׁה	יְהוָה	בָּרָא	כִּי־	הַשּׁוֹבֵבָה	הַבַּת	תִּתְחַמָּקִין	מָתַי	עַד־
新しい-もの-を	主-が	創造した	なぜなら	背く-者よ	娘よ	うろつく-のか	ためらい	いつ-まで
H2319	H3068			H7728	H1323	H2559	H4970	H5704

ס	:גָּבֶר	תְּסוֹבֵב	נְקֵבָה	בָּאָרֶץ	
[S]	男-を	囲む-だろう	女-が	地-に	
	H1397	H5437	H5347	H0776	

不信の娘よ、いつまでさまようのか。主は地の上に新しい事を創造されたのだ、女が男を保護する事である」。

23

הַדָּבָר	אֶת־	יֹאמְרוּ	עוֹד	יִשְׂרָאֵל	אֱלֹהֵי	צְבָאוֹת	יְהוָה	אָמַר	כֹּה־
ことば-を	[を]	言う-だろう	再び	イスラエルの	神-の	万軍-の	主は	言われた	このように
H1697	H0853	H0559	H5750	H3478	H0430		H3068	H0559	H3541

יְהוָה	יְבָרֶכְךָ	שְׁבוּתָם	אֶת־	בְּשׁוּבִי	וּבְעָרָיו	יְהוּדָה	בְּאֶרֶץ	הַזֹּה
主-が	祝福する-ように	捕囚-を	[を]	回復させる-ときに	そして-町々-に	ユダの	地-に	この
H3068	H1288	H7622	H0853	H7725		H3063	H0776	H2088

:הַקֹּדֶשׁ	הַר	צֶדֶק	נְוֵה־
聖-の	山-よ	義-の	住まい-よ
H6944	H2022	H6664	

万軍の主、イスラエルの神はこう言われる、「わたしが彼らを再び栄えさせる時、人々はまたユダの地とその町々でこの言葉を言う、『正義のすみかよ、聖なる山よ、どうか主がおまえを祝福してくださるように』。

24

אִכָּרִים	יַחְדָּו	עָרָיו	וְכָל־	יְהוּדָה	בָּהּ	וְיָשְׁבוּ	
農夫たち-と	共に	町々-が	そして-すべて-の	ユダ-が	そこ-に	そして-住む-だろう	
H0406			H3605	H3063		H3427	

בַּעֲדֵר׃	וְנָסְעוּ
群れ-と-共に	そして-移る-者たち-が
H5739	H5265

ユダとそのすべての町の人、および農夫と群れを飼って歩き回る者は共にそこに住む。

25

:מְלֵאתִי	דָּאֲבָה	נֶפֶשׁ	וְכָל־	עֲיֵפָה	נֶפֶשׁ	הִרְוֵיתִי	כִּי
満たした	衰えた	魂-を	そして-すべて-の	疲れた	魂-を	潤たした	なぜなら
H4390	H1669	H5315	H3605	H5889	H5315	H7301	

わたしが疲れた魂を飽き足らせ、すべて悩んでいる魂を慰めるからである」。

26

ס	:לִי	עָרְבָה	וּשְׁנָתִי	וָאֵרָאֶה	הֵקִיצֹתִי	זֹאת	עַל־
[S]	わたし-に-とって	快かった	そして-眠り-は	そして-見た	目覚めた	これ-の	の-上-に
		H6149	H8142	H7200	H6974	H2063	

ここでわたしは目をさましたが、わたしの眠りは、ここちよかった。

27 הִנֵּה יָמִים בָּאִים נְאֻם־יְהוָה וְזָרַעְתִּי אֶת־בֵּית יִשְׂרָאֵל
見よ 日々-が 来る 宣言-する 主-が そして-蒔く-だろう [を] 家-を イスラエルの
H2009 H3117 H0935 H3068 H5002 H2232 H0853 H1004 H3478

וְאֶת־בֵּית יְהוּדָה זֶרַע אָדָם וְזֶרַע בְּהֵמָה׃
そして[を] 家-を ユダの 種-で 人-の そして-種-で 家畜-の
H0853 H1004 H3063 H2233 H0120 H2233 H0929

「主は言われる、見よ、わたしが人の種と獣の種とをイスラエルの家とユダの家とにまく日が来る。

28 וְהָיָה כַּאֲשֶׁר שָׁקַדְתִּי עֲלֵיהֶם לִנְתוֹשׁ וְלִנְתֹּוץ
そして-ある-だろう ように 見張った 彼ら-の-上-に 引き抜く-ために そして-打ち壊す-ために
H1961 H5002 H8245 H5922 H5428 H5422

וְלַהֲרֹס וּלְהַאֲבִיד וּלְהָרֵעַ כֵּן אֶשְׁקֹד
そして-壊す-ために そして-滅ぼす-ために そして-悪くする-ために そのように 見張る-だろう
H2040 H0006 H8245

עֲלֵיהֶם לִבְנוֹת וְלִנְטֹעַ נְאֻם־יְהוָה׃
彼ら-の-上-に 建てる-ために そして-植える-ために 宣言-する 主-が
H1129 H5193 H5002 H3068

わたしは彼らを抜き、砕き、倒し、滅ぼし、悩まそうと待ちかまえていたように、また彼らを建て、植えようと待ちかまえていると主は言われる。

29 בַּיָּמִים הָהֵם לֹא־יֹאמְרוּ עוֹד אָבוֹת אָכְלוּ בֹסֶר וְשִׁנֵּי
日々-に その ない 言う-だろう もはや 父たち-が 食べた 酸い-葡萄-を そして-歯-が
H3117 H1992 H3808 H0559 H5750 H0001 H0398 H1155 H8127

בָּנִים תִּקְהֶינָה׃
息子たち-の 浮く-だろう
H1121 H6949

その時、彼らはもはや、『父がすっぱいぶどうを食べたので、子どもの歯がうく』とは言わない。

30 כִּי אִם־אִישׁ בַּעֲוֹנוֹ יָמוּת כָּל־הָאָדָם הָאֹכֵל בֹּסֶר תִּקְהֶינָה שִׁנָּיו׃ ס
だが ただ 人-が 罪-の-ために 死ぬ-だろう すべて-の 人-の 食べる-者-が 酸い-葡萄-を 浮く-だろう 歯-が [S]
H3588 H0389 H0376 H5771 H4191 H3605 H0120 H0398 H1155 H6949 H8127

人はめいめい自分の罪によって死ぬ。すっぱいぶどうを食べる人はみな、その歯がうく。

31 הִנֵּה יָמִים בָּאִים נְאֻם־יְהוָה וְכָרַתִּי אֶת־בֵּית יִשְׂרָאֵל
見よ 日々-が 来る 宣言-する 主-が そして-結ぶ-だろう [を] 家-と イスラエルの
H2009 H3117 H0935 H3068 H5002 H3772 H0854 H1004 H3478

וְאֶת־בֵּית יְהוּדָה בְּרִית חֲדָשָׁה׃
そして[を] 家-と ユダの 契約-を 新しい
H0854 H1004 H3063 H1285 H2319

主は言われる、見よ、わたしがイスラエルの家とユダの家とに新しい契約を立てる日が来る。

32 לֹא כַבְּרִית אֲשֶׁר כָּרַתִּי אֶת־אֲבוֹתָם בְּיוֹם הֶחֱזִיקִי בְיָדָם
ない 契約-の-ように ところの 結んだ [を] 先祖たち-と 日-に 握った 手-を
H3808 H1285 H3772 H0854 H0001 H3117 H2388 H3027

לְהוֹצִיאָם מֵאֶרֶץ מִצְרָיִם אֲשֶׁר־הֵמָּה הֵפֵרוּ אֶת־בְּרִיתִי וְאָנֹכִי
導き出す-ために 地-から エジプトの ところの 彼ら-が 破った [を] 契約-を そして-わたし-は
H3318 H0776 H4714 H1992 H0853 H1285 H0595

בָּעַלְתִּי בָם נְאֻם־יְהוָה׃
主人-であった 彼ら-の 宣言-する 主-が
H1166 H5002 H3068

この契約はわたしが彼らの先祖をその手をとってエジプトの地から導き出した日に立てたようなものではない。わたしは彼らの夫であったのだが、彼らはそのわたしの契約を破ったと主は言われる。

33 כִּי זֹאת הַבְּרִית אֲשֶׁר אִכְרֹת אֶת־בֵּית יִשְׂרָאֵל אַחֲרֵי
なぜなら これ-が 契約-である ところの 結ぶ-だろう [を] 家-と イスラエルの 後-に
H3478 H0854 H3772 H2063 H1285

הַיָּמִים הָהֵם נְאֻם־יְהוָה נָתַתִּי אֶת־תּוֹרָתִי בְּקִרְבָּם וְעַל־לִבָּם
日々-の その 宣言-する 主-が 置いた [を] 律法-を 彼ら-の-内-に そして-の-上-に 心-の
H3117 H1992 H5002 H3068 H5414 H8451 H7130 H5704

וְהָיִיתִי לָהֶם לֵאלֹהִים וְהֵמָּה יִהְיוּ־לִי לְעָם׃
そして-なる-だろう 彼ら-に-とって 神-と そして-彼ら-は なる-だろう わたし-の 民-と
H1961 H0430 H1992 H1961

しかし、それらの日の後にわたしがイスラエルの家に立てる契約はこれである。すなわちわたしは、わたしの律法を彼らのうちに置き、その心にしるす。わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となると主は言われる。

34 וְלֹא יְלַמְּדוּ עוֹד אִישׁ אֶת־אָחִיו וְאִישׁ אֶת־רֵעֵהוּ לֵאמֹר
そして-ない もはや 人-が [を] 兄弟-を そして-人-が [を] 隣人-を 言って
H3808 H5750 H0376 H0853 H0251 H0376 H0853 H7453 H0559

דְּעוּ אֶת־יְהוָה כִּי־כוּלָּם יֵדְעוּ אוֹתִי לְמִקְטַנָּם וְעַד־
知れ [を] 主-を なぜなら すべて-が 知る-だろう わたし-を 小さき-者-から そして-まで
H3045 H0853 H3068 H3605 H3045 H0853 H4704

גְּדוֹלָם נְאֻם־יְהוָה כִּי אֶסְלַח לַעֲוֹנָם וּלְחַטָּאתָם לֹא
大きき-者-まで 宣言-する 主-が なぜなら 赦す-だろう 罪-を そして-罪-を ない
H5002 H3068 H5545 H5771 H2142 H3808

אֶזְכָּר־עוֹד׃ ס
覚える-だろう もはや [S]
H2142 H5750

人はもはや、おのおのその隣とその兄弟に教えて、『あなたは主を知りなさい』とは言わない。それは、彼らが小より大に至るまで皆、わたしを知るようになるからであると主は言われる。わたしは彼らの不義をゆるし、もはやその罪を思わない」。

35

יָרֵחַ	חֻקֹּת	יוֹמָם	לְאוֹר	שֶׁמֶשׁ	נֹתֵן	יְהוָה	אָמַר	כֹּה
月-の	定め-を	昼-の	光-の-ために	太陽-を	与える-者	主は	言われた	このように
H3394	H2708	H3119	H0216	H8121	H5414	H3068	H0559	H3541

צְבָאוֹת	יְהוָה	נַלָּיו	וַיֵּהֻמּוּ	הַיָּם	רֹגַע	לָיְלָה	לְאוֹר	וְכוֹכָבִים
万軍-の	主-は	波-が	そして-鳴る	海-を	かき立てる-者	夜-の	光-の-ために	そして-星々-を
H3068	H1530	H1993		H3220		H3915	H0216	H3556

שְׁמוֹ׃
名-である
H8034

主はこう言われる、すなわち太陽を与えて昼の光とし、月と星とを定めて夜の光とし、海をかき立てて、その波を鳴りとどろかせる者――その名は万軍の主という。

36

זֶרַע	גַּם	יְהוָה	נְאֻם־	מִלְּפָנַי	הָאֵלֶּה	הַחֻקִּים	יָמֻשׁוּ	אִם־
子孫-が	また	主-が	宣言-する	わたし-の-前-から	これら-の	定め-が	去る-なら	もし
H2233	H1571	H3068	H5002	H6440	H0428	H2706	H4185	

ס	הַיָּמִים׃	כָּל־	לְפָנַי	גּוֹי	מִהְיוֹת	יִשְׁבְּתוּ	יִשְׂרָאֵל
[S]	日々-に	すべて-の	わたし-の-前-に	国-で	である-こと-から	やめる-だろう	イスラエルの
	H3117	H3605	H6440		H1961		H3478

主は言われる、「もしこの定めがわたしの前ですたれてしまうなら、イスラエルの子孫もすたって、永久にわたしの前で民であることはできない」。

37

וְיֶחְקְרוּ	מִלְמַעְלָה	שָׁמַיִם	יִמָּדוּ	אִם־	יְהוָה	אָמַר	כֹּה
そして-探られる-なら	上-から	天-が	測られる-なら	もし	主は	言われた	このように
H2713	H4605	H8064	H4058		H3068	H0559	H3541

יִשְׂרָאֵל	זֶרַע	בְּכָל־	אֶמְאַס	אֲנִי	גַּם־	לְמָטָּה	אֶרֶץ	מוֹסְדֵי־
イスラエルの	子孫-を	すべて-の-中-で	退ける-だろう	わたし-も	また	下-へ	地-の	基-が
H3478	H2233	H3605		H0589	H1571	H4295	H0776	H4146

ס	יְהוָה׃	נְאֻם־	עָשׂוּ	אֲשֶׁר	כָּל־	עַל־
[S]	主-が	宣言-する	行った	ところの	すべて-の	の-上-に
	H3068	H5002			H3605	

主はこう言われる、「もし上の天を量ることができ、下の地の基を探ることができるなら、そのとき、わたしはイスラエルのすべての子孫をそのもろもろの行いのために捨て去ると主は言われる」。

38

לַיהוָה	הָעִיר	וְנִבְנְתָה	יְהוָה	נְאֻם־	(בָּאִים)	יָמִים	הִנֵּה
主-の-ために	町-が	そして-建てられる-だろう	主-が	宣言-する	(来る)	日々-が	見よ
H3068		H1129	H3068	H5002	H0935	H3117	H2009

הַפִּנָּה׃	שַׁעַר	חֲנַנְאֵל	מִמִּגְדַּל
角-の	門-まで	ハナネルの	塔-から
H6438	H8179	H2606	H4026

主は言われる、「見よ、この町が、ハナネルの塔から隅の門まで、主のために再建される時が来る。

39

גָּרֵב	גִּבְעַת	עַל	נֶגְדּוֹ	הַמִּדָּה	(קָו)	[קוה]	עוֹד	וְיָצָא
ガレブの	丘-の	の-上-に	まっすぐ-に	測り-の	(測り-縄-が)	[K]	さらに	そして-出る-だろう
H1619	H1389		H5048		H6957	H6961	H5750	H3318

גֹּעָה׃	וְנָסַב
ゴアタ-へ	そして-廻る-だろう
H1601	H5437

測りなわはそれよりも遠くまっすぐに延びて、ガレブの丘に達し、ゴアのほうに向かう。

עַד־	(הַשְּׁדֵמוֹת)	[השרמות]	וְכָל־	וְהַדֶּשֶׁן	וְהַפְּגָרִים	הָעֵמֶק	וְכָל־		40
まで	(畑–の)	[K]	そして–すべて–の	そして–灰–と	死体–と	谷–の	そして–すべて–の		
H5704	H7709	H8309	H3605	H1880	H6297	H6010	H3605		

לֹא־	לַיהוָה	קֹדֶשׁ	מִזְרָחָה	הַסּוּסִים	שַׁעַר	פִּנַּת	עַד־	קִדְרוֹן	נַחַל
ない	主–の–ために	聖–である	東–に	馬–の	門–の	角–の	まで	キドロンの	川–の
H3808	H3068	H6944	H4217		H8179	H6438	H5704	H6939	

ס	לְעוֹלָם׃	עוֹד	יֵהָרֵס	וְלֹא־	יִנָּתֵשׁ
[S]	永遠–に	もはや	壊される–だろう	そして–ない	引き抜かれる–だろう
	H5769	H5750	H2040	H3808	H5428

死体と灰との谷の全部、またキデロンの谷に行くまでと、東のほうの馬の門のすみに行くまでとのすべての畑はみな主の聖なる所となり、永遠にわたって、ふたたび抜かれ、また倒されることはない」。

Chapter 32

(בַּשָּׁנָה)	[בשנת]	יְהוָה	מֵאֵת	יִרְמְיָהוּ	אֶל־	הָיָה	אֲשֶׁר־	הַדָּבָר	1
年–に	[K]	主の	主から	エレミヤフに	エレミヤに	あった	ところの	そのことば	
H8141	H8141	H3068	H0854	H3414	H0413	H1961		H1697	

לִנְבוּכַדְרֶאצַּר׃	שָׁנָה	עֶשְׂרֵה	שְׁמֹנֶה־	הַשָּׁנָה	הִיא	יְהוּדָה	מֶלֶךְ	לְצִדְקִיָּהוּ	הָעֲשִׂרִית
ネブカドレツァルの	年	年目の	十–八	年	それは	ユダの	王	ツィドキヤフの	第十の
H5019	H8141	H6240	H8083	H8141	H1931	H3063	H4428	H6667	H6224

ユダの王ゼデキヤの十年、すなわちネブカデレザルの十八年に、主の言葉がエレミヤに臨んだ。

יְרוּשָׁלַ͏ִם	עַל־	צָרִים	בָּבֶל	מֶלֶךְ	חֵיל	וְאָז		2
エルサレムを	エルサレム–を	包囲していた	バビロンの	王–の	軍勢–が	そして–その時		
H3389			H0894	H4428	H2428			

מֶלֶךְ	בֵּית־	אֲשֶׁר	הַמַּטָּרָה	בַּחֲצַר	כָּלוּא	הָיָה	הַנָּבִיא	וְיִרְמְיָהוּ
王–の	家–の	ところの	監視の	庭–に	閉じ込められて	いた	預言者	そして–エレミヤフは
H4428			H4307		H3607	H1961	H5030	H3414

יְהוּדָה׃
ユダの
H3063

その時、バビロンの王の軍勢がエルサレムを攻め囲んでいて、預言者エレミヤはユダの王の宮殿にある監視の庭のうちに監禁されていた。

לֵאמֹר	נִבָּא	אַתָּה	מַדּוּעַ	לֵאמֹר	יְהוּדָה	מֶלֶךְ־	צִדְקִיָּהוּ	כְּלָאוֹ	אֲשֶׁר	3
言って	預言する	あなたは	なぜ	言って	ユダの	王–が	ツィドキヤフが	閉じ込めた	ところの	
H0559	H5012		H4069	H0559	H3063	H4428	H6667	H3607		

בָּבֶל	מֶלֶךְ־	בְּיַד	הַזֹּאת	הָעִיר	אֶת־	נֹתֵן	הִנְנִי	יְהוָה	אָמַר	כֹּה
バビロンの	王–の	手–に	この	町–を	この	与える	見よ–私は	主は	言った	こう
H0894	H4428	H3027	H2063		H0853	H5414	H2009	H3068	H0559	H3541

וּלְכָדָהּ׃
そして–彼は–攻め取る
H3920

ユダの王ゼデキヤが彼を閉じ込めたのであるが、王は言った、「なぜあなたは預言して言うのか、『主はこう仰せられる、見よ、わたしはこの町をバビロンの王の手に渡し、彼はこれを取る。

4

וְצִדְקִיָּהוּ מֶלֶךְ יְהוּדָה לֹא יִמָּלֵט מִיַּד הַכַּשְׂדִּים כִּי הִנָּתֹן יִנָּתֵן
そして-ツィドキヤフは 王 ユダの ない 逃れる 手-から カルデヤ人の なぜなら 必ず
H6667 H4428 H3063 H3808 H4422 H3027 H3778 H3783 H5414

בְּיַד מֶלֶךְ בָּבֶל וְדִבֶּר פִּיו עִם פִּיו וְעֵינָיו עֵינָיו אֶת
手-に 王-の バビロンの そして-語る 口が 口-と 口-が そして-目-が 目-を 彼の
H3027 H4428 H0894 H1696 H6310 H5973 H6310 H5869 H0853

תִּרְאֶינָה׃
見る
H7200

またユダの王ゼデキヤはカルデヤびとの手をのがれることなく、かならずバビロンの王の手に渡され、顔と顔を合わせて彼と語り、目と目は相まみえる。

5

וּבָבֶל יוֹלֵךְ אֶת צִדְקִיָּהוּ וְשָׁם יִהְיֶה עַד פָּקְדִי אֹתוֹ נְאֻם יְהוָה כִּי תִלָּחֲמוּ אֶת כַּשְׂדִּים לֹא תַצְלִיחוּ׃
そして-バビロンへ 連れて行く ツィドキヤフ-を ツィドキヤフを そして-そこに いる まで 私が-顧みる 彼を 告げる 主は たとえ 戦っても カルデヤ人-と カルデヤ人と ない 成功する
H0894 H3212 H0853 H6667 H7969 H1961 H5704 H6485 H0853 H5002 H3068 H3588 H3898 H0854 H3778 H3808 H6743

פ
[P]

そして彼はゼデキヤをバビロンに引いていき、ゼデキヤは、わたしが彼を顧みる時まで、そこにいると主は言われる。あなたがたは、カルデヤびとと戦っても勝つことはできない』と」。

6

וַיֹּאמֶר יִרְמְיָהוּ הָיָה דְבַר יְהוָה אֵלַי לֵאמֹר׃
そして-言った エレミヤフは あった ことば-が 主の 私に 言って
H0559 H3414 H1961 H1697 H3068 H0413 H0559

エレミヤは言った、「主の言葉がわたしに臨んで言われる、

7

הִנֵּה חֲנַמְאֵל בֶּן דֹּדְךָ שַׁלֻּם בָּא אֵלֶיךָ לֵאמֹר קְנֵה לְךָ
見よ ハナムエル 息子-の おじ-の シャルムの 来る あなたに 言って 買え あなたのために
H2009 H2601 H1121 H1730 H7967 H0935 H0413 H0559 H7069 H0853

כִּי לְךָ מִשְׁפַּט הַגְּאֻלָּה לִקְנוֹת׃
なぜなら あなたに 権利-が 買い戻しの 買うための
H3588 H0853 H4941 H1353 H7069

בַּעֲנָתוֹת אֲשֶׁר שָׂדִי אֶת
アナトトにある ところの 畑-を 私の
H6068 H0834 H7704 H0853

『見よ、あなたのおじシャルムの子ハナメルがあなたの所に来て言う、「アナトテにあるわたしの畑を買いなさい。それは、これを買い取り、あがなう権利があなたにあるから」と』。

8

וַיָּבֹא חֲנַמְאֵל בֶּן דֹּדִי אֵלַי כִּדְבַר יְהוָה אֶל חֲצַר
そして-来た ハナムエルが 息子-の おじ-の 私に 主の ことば-の通りに 庭-の 庭-へ
H0935 H0413 H2601 H1121 H1730 H0413 H3068 H1697 H0853

וַיֹּאמֶר אֵלַי קְנֵה נָא אֶת שָׂדִי אֲשֶׁר בַּעֲנָתוֹת וְאֲשֶׁר
そして-言った 私に 買って ください 私の 畑-を ところの アナトトにある ところの
H0559 H0413 H7069 H4994 H0853 H7704 H0834 H6068 H0834

לְךָ הַגְּאֻלָּה מִשְׁפַּט הַיְרֻשָּׁה כִּי לְךָ הִוא קְנֵה בְּנְיָמִן בְּאֶרֶץ
あなたに 買い戻し-が 権利-が 相続の なぜなら あなたに 買え ビニヤミンの 地-の
H0853 H1353 H4941 H3425 H3588 H0853 H7069 H1144 H0776

כִּי דְבַר יְהוָה הִוא׃ וָאֵדַע כִּי הִוא דְּבַר יְהוָה אֵלָי לֵאמֹר
これは ことば-で 主の あると そして-私は-知った これは ことば-で 主の 私に 言って
H3588 H1697 H3068 H1931 H3045 H3588 H1697 H3068 H0413 H0559

はたして主の言葉のように、わたしのいとこであるハナメルが監視の庭のうちにいるわたしの所に来て言った、『ベニヤミンの地のアナトテにあるわたしの畑を買ってください。所有するのも、あがなうのも、あなたの権利なのです。買い取ってあなたの物にしてください。これが主の言葉であるのをわたしは知っていました』。

9 וָאֶקְנֶה֙ אֶת־ הַשָּׂדֶ֔ה מֵאֵ֖ת חֲנַמְאֵ֣ל בֶּן־ דֹּדִ֑י אֲשֶׁ֣ר
そして–私は–買った その 畑–を ハナムエルから 息子–の おじ–の ところの
H7069 H0853 H0854 H2601 H1730

וַֽיְאשְׁקְלָה־ לּ֗וֹ אֶת־ הַכֶּ֙סֶף֙ שִׁבְעָ֣ה שְׁקָלִ֔ים וַעֲשָׂרָ֖ה הַכָּֽסֶף׃
そして–量った 彼に その 銀–を 七 シェケル そして–十 銀の
H8254 H0853 H3701 H7651 H8255 H6235 H3701

בַּעֲנָתוֹת
アナトトにいる
H6068

そこでわたしは、いとこのハナメルからアナトテにある畑を買い取り、銀十七シケルを量って彼に支払った。

10 וָאֶכְתֹּ֤ב בַּסֵּ֙פֶר֙ וָאֶחְתֹּ֔ם וָאָעֵ֖ד עֵדִ֑ים וָאֶשְׁקֹ֖ל
そして–書き記した 証書–に そして–封印した そして–証人を–立てた 証人たちを そして–量った
H3789 H2856 H5707 H8254

בְּמֹאזְנָֽיִם׃ הַכָּֽסֶף
秤–で 銀–を
H3976 H3701

すなわち、わたしはその証書をつくって、これに記名し、それを封印し、証人を立て、はかりをもって銀を量って与えた。

11 וָאֶקַּ֞ח אֶת־ סֵ֣פֶר הַמִּקְנָ֗ה אֶת־ הֶחָתוּם֙ וְהַחֻקִּ֣ים וְהַמִּצְוָ֔ה וְאֵ֖ת
そして–取った その 証書–を 買い取りの その 封印された 定め–と 命令–と そして
H3947 H0853 H0853 H4736 H0853 H2706 H4687 H0853

הַגָּלֽוּי׃
開かれた–ものを
H1540

そしてわたしはその約定をしるして封印した買収証書と、封印のない写しとを取り、

12 וָאֶתֵּ֞ן אֶת־ סֵ֣פֶר הַמִּקְנָ֗ה אֶל־ בָּר֤וּךְ בֶּן־ נֵרִיָּה֙ בֶּן־ מַחְסֵיָ֔ה לְעֵינֵ֖י
そして–渡した その 証書–を 買い取りの バルク–に バルクに 息子–の ネリヤの 息子–の 目–の前で
H5414 H0853 H4736 H0413 H1263 H5374 H1540

הַיְהוּדִ֔ים הַיֹּשְׁבִ֖ים בַּחֲצַ֣ר הַמַּטָּרָ֑ה׃ כָּל־ לְעֵינֵ֣י חֲנַמְאֵ֣ל דֹּדִ֗י וּלְעֵינֵי֙ הָעֵדִ֔ים הַכֹּתְבִ֖ים בְּסֵ֣פֶר
すべて–の 目–の前で ハナムエルの おじ–の そして–目–の前で 証人たちの 署名した 証書–に
H3605 H5869 H2601 H1730 H5707 H3789

ユダの人々の 座っていた 庭–に 監視の
H3064 H3427 H2691 H4307

いとこのハナメルと、買収証書に記名した証人たち、および監視の庭にすわっているすべてのユダヤ人の前で、その証書をマアセヤの子であるネリヤの子バルクに与え、

13 וָאֲצַוֶּ֤ה אֶת־ בָּרוּךְ֙ לְעֵינֵיהֶ֔ם לֵאמֹֽר׃
そして–命じた バルク–に バルクに 彼らの–目–の前で 言って
H6680 H0853 H1263 H5869 H0559

彼らの前で、わたしはバルクに命じて言った、

14 כֹּה־ אָמַר יְהוָה צְבָאוֹת אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל קַח אֶת־ אֵלֶּה הַסְּפָרִים אֵת הַזֹּאת הַנִּגְלוֹ וְאֵת סֵפֶר הַמִּקְנָה הַזֶּה וְאֵת סֵפֶר הַחָתוּם וְאֵת הַפְּתוּחָה הַזֹּאת וְנָתַתָּם בִּכְלִי־ חֶרֶשׂ לְמַעַן יַעַמְדוּ יָמִים רַבִּים׃ ס

こう H3541 言った H0559 主は H3068 万軍の H0430 神 H0430 イスラエルの H3478 取れ H3947 これら-の H0853 証書-を H0428 これらの H0428 この H0853
この H2088 開かれた H1540 証書 H0853 そして H0853 封印されたもの-と H2856 そして H0853 この H2088 買い取りの H4736 証書 H0853
[S] 多くの H3117 日々-が H5975 保たれる H4616 ために H2789 土の H3627 器-の中に H5414 そして-入れよ

『万軍の主、イスラエルの神はこう仰せられる、これらの証書すなわち、この買収証書の封印したものと、封印のない写しとを取り、これらを土の器に入れて、長く保存せよ。

15 כִּי כֹה אָמַר יְהוָה צְבָאוֹת אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל עוֹד יִקְנוּ בָתִּים וְשָׂדוֹת

なぜなら H3541 こう H3068 言った H0559 主は H3068 万軍の H0430 神 H0430 イスラエルの H3478 再び H5750 買われる H7069 家々-と H1004 畑-と H7704

פ הַזֹּאת׃ בָּאָרֶץ וּכְרָמִים

[P] この H2063 この-地-で H0776 ぶどう園-が H3754

万軍の主、イスラエルの神がこう言われるからである、「この地で人々はまた家と畑とぶどう畑を買うようになる」と』。

16 וָאֶתְפַּלְלָה אֶל־ יְהוָה אֶל־ בָּרוּךְ בֶּן־ נֵרִיָּה לֵאמֹר׃

そして-祈った H6419 主に H3068 主-に H0413 バルク-に H0413 ネリヤの H5374 息子-の H1263 言って H0559

わたしは買収証書をネリヤの子バルクに渡したあとで主に祈って言った、

17 אֲהָהּ אֲדֹנָי יְהוִה הִנֵּה אַתָּה עָשִׂיתָ אֶת־ הַשָּׁמַיִם וְאֶת־ הָאָרֶץ בִּכֹחֶךָ

ああ H0162 主よ H0136 主よ H3069 見よ H2009 あなたは H0859 造られた H6213 天-を H0853 天を H8064 そして H0853 地-を H0776 大いなる-力-で H3581

כָּל־ מִמְּךָ יִפָּלֵא לֹא־ הַנְּטוּיָה וּבִזְרֹעֲךָ הַנְּטוּיָה הַגָּדוֹל

すべて-の H3605 あなたには H4480 不可能な-ことは H6381 ない H3808 伸ばされた H5186 そして-伸ばされた-腕-で H2220 大いなる H1419

דָּבָר׃

ことは H1697

『ああ主なる神よ、あなたは大いなる力と、伸べた腕をもって天と地をお造りになったのです。あなたのできないことは、ひとつもありません。

18 עֹשֶׂה חֶסֶד לָאֲלָפִים וּמְשַׁלֵּם עֲוֹן אָבוֹת אֶל־ חֵיק בְּנֵיהֶם

行う H6213 恵み-を H2617 千の-代まで H0505 そして-報いる H7999 罪-を H5771 父たちの H1 ふところに H2436 ふところ-に H0413 子ら-の H1121

אַחֲרֵיהֶם הָאֵל הַגָּדוֹל הַגִּבּוֹר יְהוָה צְבָאוֹת שְׁמוֹ׃

彼らの-後の H0310 神は H0410 大いなる H1419 力ある H1368 主 H3068 万軍の H6635 その-名は H8034

あなたはいつくしみを千万人に施し、また父の罪をそののちの子孫に報いられるのです。あなたは大いなる全能の神でいらせられ、その名は万軍の主と申されます。

19 גְּדֹל֙ הָעֵצָ֔ה וְרַ֖ב הָעֲלִילִ֑יָה אֲשֶׁר־ עֵינֶ֤יךָ פְקֻחוֹת֙ עַל־ כָּל־

大いなる 計画–と そして–力ある 業–を あなたの 目–が 開かれ すべて–の すべての
H1419 H6098 H7227 H5949 H0834 H5869 H6491 H5921 H3605

דַּרְכֵ֣י בְנֵי־ אָדָ֔ם לָתֵ֖ת לְאִ֣ישׁ כִּדְרָכָ֑יו וְכִפְרִ֖י מַעֲלָלָֽיו׃

道–の上に 人–の 子らの 報いる 各人–に その–道–に従い そして–実–に従い 行い–の
H1870 H0120 H0376 H5414 H1870 H6529 H4611

あなたの計りごとは大きく、また、事を行うのに力があり、あなたの目は人々の歩むすべての道を見て、おのおのの道にしたがい、その行いの実によってこれに報いられます。

20 אֲשֶׁר־ שַׂמְתָּ֣ אֹתוֹת֮ וּמוֹפְתִים֒ בְּאֶ֣רֶץ־ מִצְרַ֗יִם עַד־ הַיּ֙וֹם֙

あなたは 行った しるし–と 奇跡–を 地–で–の–エジプト エジプトの 今日–まで この–日–まで
H0834 H7760 H0226 H4159 H0776 H4714 H5704 H3117

וּבְיִשְׂרָאֵ֔ל וּבָאָדָ֑ם וַתַּעֲשֶׂה־ לְּךָ֖ שֵׁ֥ם כַּיּ֖וֹם הַזֶּֽה׃

そして–イスラエルで そして–人々–の間で そして–得た あなたは 名–を 今日–の–ように この
H3478 H0120 H6213 H0859 H8034 H3117 H2088

あなたは、しるしと、不思議なわざとをエジプトの地に行い、また今日に至るまでイスラエルと全人類のうちに行い、そして今日のように名をあげられました。

21 וַתּוֹצֵ֣א אֶת־ עַמְּךָ֣ אֶת־ יִשְׂרָאֵ֗ל מֵאֶ֣רֶץ

そして–導き出した あなたの 民–を イスラエル–を エジプト–の–地–から
H3318 H0853 H5971 H0853 H3478 H0776

מִצְרַ֔יִם בְּאֹתוֹת֙ וּבְמוֹפְתִ֔ים וּבְיָ֥ד חֲזָקָ֖ה וּבִזְרוֹעַ֣ נְטוּיָ֑ה

エジプトから しるし–と 奇跡–と そして–強い–手–と そして–伸ばされた–腕–と 伸ばされた
H4714 H0226 H4159 H3027 H2389 H0248 H5186

וּבְמוֹרָ֖א גְּדֹלֽ׃

そして–大いなる–恐れ–で 大いなる
H4172 H1419

あなたは、しるしと、不思議なわざと、強い手と、伸べた腕と、大いなる恐るべき事をもって、あなたの民イスラエルをエジプトの地から導き出し、

22 וַתִּתֶּן־ לָהֶ֔ם אֶת־ הָאָ֥רֶץ הַזֹּ֖את אֲשֶׁר־ נִשְׁבַּ֣עְתָּ לַאֲבוֹתָ֑ם לָתֵ֥ת לָהֶ֖ם

そして–与えた この 地–を この 彼らに 誓った あなたが 先祖たちに 与えると 彼らに
H5414 H0776 H2063 H0853 H7650 H0834 H0001 H5414 H0853

אֶ֥רֶץ זָבַ֖ת חָלָ֥ב וּדְבָֽשׁ׃

地 流れる 乳–と 蜜の
H0776 H2100 H2461 H1706

この地を彼らに賜わりました。これはあなたが彼らの先祖たちに与えようと誓われた乳と蜜の流れる地です。

23 וַיָּבֹ֣אוּ וַיִּרְשׁ֣וּ אֹתָ֗הּ וְלֹא־ שָׁמְע֤וּ בְקוֹלֶךָ֙ וּבְתוֹרָתְךָ֣]וּבתרותך[

そして–入った そして–受け継いだ それを しかし–ない 聞かなかった あなたの–声–に [K]
H0935 H3423 H0853 H3808 H8085 H8451

לֹ֣א הָלָ֔כוּ אֵ֥ת כָּל־ אֲשֶׁ֖ר צִוִּיתָ֑ה לָהֶ֖ם וַיַּקְרֵ֥א אֹתָ֛ם כָּל־ הָרָעָ֥ה הַזֹּֽאת׃

ない 歩まなかった すべて すべて–の あなたが 命じた 彼らに そして–起こした 彼らに すべての わざわい–を この
H3808 H1980 H0853 H3605 H0834 H6680 H7122 H0853 H3605 H7451 H2063

עָשׂ֖וּ לֹ֣א לַעֲשׂ֑וֹת

行った ない 行うように
H6213 H3808

こうして彼らは、はいってこれを獲たのですが、あなたの声に聞き従わず、あなたの律法を行わず、すべてあなたがせよと命じられたことをしなかったので、あなたはこの災を彼らの上にお下しになりました。

24 הִנֵּה הַסֹּלְלוֹת בָּאוּ הָעִיר לְלָכְדָהּ וְהָעִיר נִתְּנָה בְיַד
見よ 攻撃用の-土塁-が 迫った 町-に 攻め取るために そして-町-は 渡された 手-に
H2009 H5550 H0935 H5551 H3920 H5414 H3027

הַכַּשְׂדִּים הַנִּלְחָמִים עָלֶיהָ מִפְּנֵי חֶרֶב וְרָעָב וְדֶבֶר
カルデヤ人の 戦っている それに-対して 剣-と 剣と そして-飢饉-と そして-疫病-のゆえに
H3778 H3898 H5921 H6440 H2719 H7458 H1698

וְאֲשֶׁר דִּבַּרְתָּ הָיָה וְהִנְּךָ רֹאֶה׃
そして-あなたが 語ったことは 成就した そして-見よ-あなたは 見ておられる
H0834 H1696 H1961 H2009 H7200

見よ、塁が築きあげられたのは、この町を取るためです。つるぎと、ききんと、疫病のために、町はこれを攻めているカルデヤびとの手に渡されます。あなたの言われたようになりましたのは、ごらんのとおりであります。

25 וְאַתָּה אֲדֹנָי יְהוִה אֱלַי קְנֵה־לְךָ בַכֶּסֶף הַשָּׂדֶה
しかし-あなたは 言われた 私に 主よ 主よ 買え あなたのために 銀-で 畑-を
H0559 H0413 H0136 H3069 H7069 H3701

וְהָעֵד עֵדִים וְהָעִיר נִתְּנָה בְיַד הַכַּשְׂדִּים׃
そして-立てよ 証人たちを しかし-町-は 渡された 手-に カルデヤ人の
H5749 H5707 H3778 H5414 H3027 H3778

主なる神よ、あなたはわたしに言われました、「銀をもって畑を買い、証人を立てよ」と。そうであるのに、町はカルデヤびとの手に渡されています』」。

26 וַיְהִי דְבַר־יְהוָה אֶל־יִרְמְיָהוּ לֵאמֹר׃
そして-あった 主の ことば-が エレミヤフ-に エレミヤフに 言って
H1961 H3068 H1697 H0413 H3414 H0559

主の言葉がエレミヤに臨んだ、

27 הִנֵּה אֲנִי יְהוָה אֱלֹהֵי כָּל־בָּשָׂר הֲמִמֶּנִּי יִפָּלֵא כָּל־דָּבָר׃
見よ 私は 主 神 すべて-の 肉なる-ものの あるだろうか 不可能な-ことが 何か ことが
H2009 H0589 H3068 H0430 H3605 H1320 H4480 H6381 H3605 H1697

「見よ、わたしは主である、すべて命ある者の神である。わたしにできない事があろうか。

28 לָכֵן כֹּה אָמַר יְהוָה הִנְנִי נֹתֵן אֶת־הָעִיר הַזֹּאת בְּיַד הַכַּשְׂדִּים
それゆえ こう 言った 主は 見よ-私は 与える この 町-を この 手-に カルデヤ人の
H3651 H3541 H0559 H3068 H2009 H5414 H0853 H2063 H3027 H3778

וּבְיַד נְבוּכַדְרֶאצַּר מֶלֶךְ־בָּבֶל וְלָכְדָהּ׃
そして-手-に ネブカドレツァルの 王-の バビロンの そして-攻め取る
H3027 H5019 H4428 H0894 H3920

それゆえ、主はこう言われる、見よ、わたしはこの町をカルデヤびとと、バビロンの王ネブカデレザルの手に渡す。彼はこれを取る。

29 וּבָאוּ הַכַּשְׂדִּים הַנִּלְחָמִים עַל־ הָעִיר הַזֹּאת וְהִצִּיתוּ אֶת־
そして-来る カルデヤ人が 戦っている この 町-に対して この そして-火-を-つける この
H0935 H3778 H2063 H0853 H3341 H2063

הַבָּתִּים וְאֵת אֲשֶׁר עַל־ גַּגּוֹתֵיהֶם קִטְּרוּ
家々-を そして ところの 屋上-で 香-を-焚いた
H0853 H0784 H8313 H1406

לֵאלֹהִים אֲחֵרִים לְמַעַן הַכְעִסֵנִי: וְהִסְכוּ נְסָכִים לְאֵל לַבַּעַל
他-の 神々に ために 私を-怒らせた そして-注いだ 注ぎの-供え物-を バアルに
H0430 H0312 H4616 H3707 H5262

この町を攻めているカルデヤびとがきて、この町に火をつけて焼き払う。屋根の上で人々が、バアルに香をたき、ほかの神々に酒をそそいで、わたしを怒らせたその家をも彼らは焼く。

30 כִּי־ הָיוּ בְנֵי־ יִשְׂרָאֵל וּבְנֵי יְהוּדָה אַךְ עֹשִׂים הָרַע
なぜなら いた イスラエル-の 子らは そして-ユダ-の 子らは ただ 行っていた 悪-を
H1961 H3478 H3063 H0389

בְּעֵינָי נְאֻם־ יְהוָה: יְדֵיהֶם מִנְּעוּרֹתֵיהֶם כִּי בְנֵי־ יִשְׂרָאֵל אַךְ מַכְעִסִים אֹתִי בְּמַעֲשֵׂה
私の-目-に 告げる 主は 彼らの-手の 若い時-から なぜなら イスラエル-の ただ 怒らせていた 私を 手-の-業-で
H3027 H5002 H3068 H4639 H0853 H3707 H0389 H3478

それは、イスラエルの人々とユダの人々とは、その若い時から、わたしの前に悪いことのみを行い、またイスラエルの民はその手のわざをもって、わたしを怒らせることばかりをしたからであると主は言われる。

31 כִּי עַל־ אַפִּי וְעַל־ חֲמָתִי הָיְתָה לִּי הָעִיר הַזֹּאת
なぜなら 私の-怒り-と 怒りと そして 憤り-の-ために あった 私に この-町-は この
H2534 H0639 H1961

לְמִן־ הַיּוֹם אֲשֶׁר בָּנוּ אוֹתָהּ וְעַד הַיּוֹם הַזֶּה
その-日-から 日から 彼らが 建てた それを そして-今日-まで この-日-まで
H3117 H1129 H0853 H5704 H3117 H2088

לַהֲסִירָהּ מֵעַל פָּנָי:
取り除くために 私の-前-から 顔から
H5493 H6440

この町はそれが建った日からきょうまで、わたしの怒りと憤りとをひき起してきたので、わたしの前からこれを除き去るのである。

32 כִּי עַל כָּל רָעַת בְּנֵי־ יִשְׂרָאֵל וּבְנֵי יְהוּדָה אֲשֶׁר
なぜなら すべての 悪-のゆえに イスラエル-の 子らの そして-ユダ-の ところの
H3605 H3478 H3063

עָשׂוּ לְהַכְעִסֵנִי הֵמָּה מַלְכֵיהֶם שָׂרֵיהֶם כֹּהֲנֵיהֶם וּנְבִיאֵיהֶם וְאִישׁ
行った 私を-怒らせるために 彼ら 王たち 役人たち 祭司たち そして-預言者たち そして-ユダ-の
H6213 H3707 H1992 H4428 H8269 H3548 H5030 H0376

יְהוּדָה וְיוֹשְׁבֵי יְרוּשָׁלִָם:
人々と そして-エルサレム-の 住民
H3063 H3427 H3389

それは、イスラエルの民とユダの民とが、もろもろの悪を行って、わたしを怒らせたことによるのである。――彼らの王たちと、そのつかさたち、祭司たち、預言者たち、またユダの人々とエルサレムの住民たちが皆そうである。

33 וַיִּפְנוּ אֵלַי עֹרֶף וְלֹא פָנִים וְאֹתָם וְלַמֵּד הַשְׁכֵּם
そして-向けた 私に 背-を そして-ない 顔-を 彼らを そして-教えた 朝早く-から
H6437 H0413 H6203 H3808 H6440 H0853 H3925 H7925

וְלַמֵּד וְאֵינָם שֹׁמְעִים לָקַחַת מוּסָר׃
そして-教えたが しかし-いない 聞いて 受け入れる 戒め-を
H3925 H0369 H8085 H3947 H4148

彼らはその背中をわたしに向けて顔をわたしに向けず、わたしがたゆまず教えたにもかかわらず、彼らは教を聞かず、またうけないのである。

34 וַיָּשִׂימוּ שִׁקּוּצֵיהֶם בַּבַּיִת אֲשֶׁר־נִקְרָא שְׁמִי עָלָיו לְטַמְּאוֹ׃
そして-置いた 忌まわしいもの-を 家-に ところの 呼ばれた 私の-名-が その上-に 汚すために
H8251 H1004 H7121 H8034

彼らは憎むべき物を、わが名をもって呼ばれている家にすえつけて、そこを汚し、

35 וַיִּבְנוּ אֶת־בָּמוֹת הַבַּעַל אֲשֶׁר בְּגֵיא בֶן־הִנֹּם
そして-建てた 高き所-を バアル-の ところの ベン-ヒンノム-の 谷-にある ヒンノムの
H1129 H1116 H0853 H1168 H0834 H1516 H1121 H2011

לְהַעֲבִיר אֶת־בְּנֵיהֶם וְאֶת־בְּנוֹתֵיהֶם לַמֹּלֶךְ אֲשֶׁר לֹא
通らせるために 彼ら-の 息子たち-と そして 娘たち-を モレクに ところの ない
H5674 H0853 H1121 H0853 H1323 H4432 H0834 H3808

צִוִּיתִים וְלֹא עָלְתָה עַל־לִבִּי לַעֲשׂוֹת הַתּוֹעֵבָה
私は-命じなかった そして-ない 思いもしなかった 私の-心-に 行うことを 忌まわしいこと-を
H6680 H3808 H5927 H5921 H3820 H6213 H8441

סׄ יְהוּדָה׃ אֶת־ (הַחֲטִיא) [החטין] לְמַעַן הַזֹּאת
[S] ユダに ユダ-に 罪-を-犯させた [K] ために この
H3063 H0853 H2398 H2398 H4616 H2063

またベンヒンノムの谷にバアルの高き所を築いて、むすこ娘をモレクにささげた。わたしは彼らにこのようなことを命じたことはなく、また彼らがこの憎むべきことを行って、ユダに罪を犯させようとは考えもしなかった。

36 וְעַתָּה לָכֵן כֹּה־אָמַר יְהוָה אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל אֶל־הָעִיר הַזֹּאת
そして-今 それゆえ こう 言った 主は 神 イスラエルの この 町-について この
H6258 H3651 H3541 H0559 H3068 H0430 H3478 H0413 H5892 H2063

אֲשֶׁר אַתֶּם אֹמְרִים נִתְּנָה בְיַד־מֶלֶךְ בָּבֶל בַּחֶרֶב וּבָרָעָב וּבַדָּבֶר׃
ところの あなたがたは 言っている 渡されたと 手-に 王-の バビロンの 剣-と そして-飢饉-と そして-疫病-によって
H0834 H0859 H0559 H5414 H3027 H4428 H0894 H2719 H7458 H1698

それゆえ今イスラエルの神、主は、この町、すなわちあなたがたが、『つるぎと、ききんと、疫病のためにバビロンの王の手に渡される』といっている町についてこう仰せられる、

37 הִנְנִי מְקַבְּצָם אֶת־כָּל־הָאֲרָצוֹת אֲשֶׁר הִדַּחְתִּים שָׁם בְּאַפִּי
見よ-私は 集める すべて-の 国々-から ところの 追い散らした そこに 私の-怒り-と
H2009 H6908 H3605 H0776 H0834 H5080 H8033 H0639

וּבַחֲמָתִי וּבְקֶצֶף גָּדוֹל וַהֲשִׁבֹתִים אֶל־הַמָּקוֹם הַזֶּה וְהוֹשַׁבְתִּים לָבֶטַח׃
そして-憤り-と そして-大いなる 怒り-で そして-帰らせる この 場所-に そして-住まわせる 安全に
H2534 H7110 H7725 H0413 H4725 H2088 H3427 H0983

見よ、わたしは、わたしの怒りと憤りと大いなる怒りをもって、彼らを追いやったもろもろの国から彼らを集め、この所へ導きかえって、安らかに住まわせる。

38	וְהָיוּ	לִי	לְעָם	וְאָנֹכִי	אֶהְיֶה	לָהֶם	לֵאלֹהִים׃
	そして-なる	私の	民-と	そして-私は	なる	彼ら-の	神と
	H1961			H0589	H1961		H0430

そして彼らはわたしの民となり、わたしは彼らの神となる。

39	וְנָתַתִּי	לָהֶם	לֵב	אֶחָד	וְדֶרֶךְ	אֶחָד	לְיִרְאָה	אוֹתִי	כָּל־
	そして-与える	彼ら-に	一つ-の	心-と	そして-一つ-の	道-を	畏れるために	私を	すべて-の
	H5414			H0259	H1870	H0259	H3372	H0853	H3605

הַיָּמִים	לְטוֹב	לָהֶם	וְלִבְנֵיהֶם	אַחֲרֵיהֶם׃
日々	良いこと-の-ために	彼ら-と	そして-子ら-の-ために	彼らの-後の
H3117				

わたしは彼らに一つの心と一つの道を与えて常にわたしを恐れさせる。これは彼らが彼ら自身とその後の子孫の幸を得るためである。

40	וְכָרַתִּי	לָהֶם	בְּרִית	עוֹלָם	אֲשֶׁר	לֹא־	אָשׁוּב	מֵאַחֲרֵיהֶם
	そして-結ぶ	彼ら-と	契約-を	永遠の	ところの	ない	私は-離れない	彼ら-の-後ろから
	H3772		H1285	H5769		H3808	H7725	

מֵעָלָי׃	סוּר	לְהֵיטִיבִי	בִּלְבָבָם	אֶתֵּן	יִרְאָתִי	וְאֶת־	אוֹתָם	לְהֵיטִיב
私から	離れない	ために	彼ら-の-心-に	置く	私への-畏れ-を	そして	彼らを	良くする-ために
	H5493	H1115	H3824	H5414	H3374	H0853	H0853	H3190

わたしは彼らと永遠の契約を立てて、彼らを見捨てずに恵みを施すことを誓い、またわたしを恐れる恐れを彼らの心に置いて、わたしを離れることのないようにしよう。

41	וְשָׂשְׂתִי	עֲלֵיהֶם	לְהֵיטִיב	אוֹתָם	וְנִטַּעְתִּים	בָּאֱמֶת	הַזֹּאת	בָּאָרֶץ
	そして-喜ぶ	彼ら-に-ついて	良くする-ために	彼らを	そして-植える	真実-に	この	この-地-に
	H7797		H2895	H0853	H5193	H0571	H2063	H0776

בְּכָל־	לִבִּי	וּבְכָל־	נַפְשִׁי׃	ס	
すべて-の	心-と	そして-すべて-の	魂-で	[S]	
H3605		H3605	H5315		

わたしは彼らに恵みを施すことを喜びとし、心をつくし、精神をつくし、真実をもって彼らをこの地に植える。

42	כִּי־	אָמַר	יְהוָה	כַּאֲשֶׁר	הֵבֵאתִי	אֶל־	הָעָם	הַזֶּה
	なぜなら	言った	主は	私が-もたらしたように	もたらした	この	民-に	この
	H3541	H0559	H3068		H0935	H0413		H2088

אֵת־	כָּל־	אֵת	הָרָעָה	הַגְּדוֹלָה	הַזֹּאת	כֵּן	אֲנֹכִי	מֵבִיא	עֲלֵיהֶם
すべて-の	すべての	すべて-の	わざわい-を	大いなる	この	そのように	私は	もたらす	彼ら-に
H0853	H3605	H0853			H2063		H0595	H0935	

עֲלֵיהֶם׃	דֹּבֵר	אֲנֹכִי	אֲשֶׁר	הַטּוֹבָה	כָּל־
彼ら-について	語っている	私が	ところの	恵み-を	すべての
	H1696	H0595			H3605

主はこう仰せられる、わたしがこのもろもろの大きな災をこの民に下したように、わたしが彼らに約束するもろもろの幸を彼らの上に下す。

43	וְנִקְנָה	הַשָּׂדֶה	בָּאָרֶץ	הַזֹּאת	וַאֲשֶׁר	אַתֶּם	אֹמְרִים	שְׁמָמָה	הִיא׳
	そして-買われる	畑-が	この-地-で	この	ところの	あなたがたは	言っている	荒廃	それは
	H7069		H0776	H2063			H0559		H1931

הַכַּשְׂדִּים׃	בְּיַד	נִתְּנָה	וּבְהֵמָה	אָדָם	מֵאֵין	
カルデヤ人の	手-に	渡された	そして-獣-もなく	人もなく	人-もなく	
H3778	H3027	H5414	H0929	H0120	H0369	

人々はこの地に畑を買うようになる。あなたがたが、『それは荒れて人も獣もいなくなり、カルデヤびとの手に渡されてしまう』といっている地である。

44

עֵדִים	וְהָעֵד	וְחָתוֹם	וּבַסֵּפֶר	וְכָתוֹב	יִקְנוּ	בַּכֶּסֶף	שָׂדוֹת
証人たちを	そして–立てる	そして–封印し	証書–に	そして–書き記し	買い	銀–で	畑–を
H5707		H2856		H3789	H7069	H3701	

וּבְעָרֵי	יְהוּדָה	וּבְעָרֵי	יְרוּשָׁלַ͏ִם	וּבִסְבִיבֵי	בִּנְיָמִן	בְּאֶרֶץ	
そして–山地–の	町々–と	そして–ユダ–の	周り–と	そして–エルサレム–の	地で	ビニヤミン–の	
	H3063		H3389	H5439	H1144	H0776	

אֶת־	אֲשִׁיב	כִּי־	הַנֶּגֶב	וּבְעָרֵי	הַשְּׁפֵלָה	וּבְעָרֵי	הָהָר
彼ら–の	回復させる	なぜなら	町々–で	そして–ネゲブ–の	町々–と	そして–低地–の	町々–と
H0853	H7725		H5045		H8219		H2022

פ	יְהוָה׃	נְאֻם־	שְׁבוּתָם
[P]	主は	告げる	捕囚–を
	H3068	H5002	H7622

人々はベニヤミンの地と、エルサレムの周囲と、ユダの町々と、山地の町々と、平地の町々と、ネゲブの町々で、銀をもって畑を買い、証書をつくって、これに記名し封印し、また証人を立てる。それは、わたしが彼らを再び栄えさせるからであると主は言われる」。

Chapter 33

1

עוֹדֶנּוּ	וְהוּא	שֵׁנִית	יִרְמְיָהוּ	אֶל־	יְהוָה	דְּבַר־	וַיְהִי
まだ	そして–彼は	二度目	エレミヤフに	エレミヤフ–に	主の	ことば–が	そして–あった
H5750	H1931	H8145	H3414	H0413	H3068	H1697	H1961

לֵאמֹר׃	הַמַּטָּרָה	בַּחֲצַר	עָצוּר
言って	監視の	庭–に	閉じ込められていた
H0559	H4307		H6113

エレミヤがなお監視の庭に閉じ込められている時、主の言葉はふたたび彼に臨んだ、

2

שְׁמוֹ׃	יְהוָה	לְהָכִינָהּ	אוֹתָהּ	יוֹצֵר	יְהוָה	עֹשֶׂהָ	יְהוָה	אָמַר	כֹּה־
その–名は	主	確立するために	それを	形作るお方	主は	造るお方	主は	言った	こう
H8034	H3068		H0853	H3335	H3068		H3068	H0559	H3541

「地を造られた主、それを形造って堅く立たせられた主、その名を主と名のっておられる者がこう仰せられる、

3

וּבְצֻרוֹת	גְּדֹלוֹת	לְךָ	וְאַגִּידָה	וְאֶעֱנֶךָּ	אֵלַי	קְרָא	
そして–隠された–こと–を	大いなる–こと–と	あなたに	そして–告げる	そして–答える	私に	呼べ	
H1219			H5046		H0413	H7121	

ס	יְדַעְתָּם׃		לֹא
[S]	あなたは–知らない		ない
	H3045		H3808

わたしに呼び求めよ、そうすれば、わたしはあなたに答える。そしてあなたの知らない大きな隠されている事を、あなたに示す。

4 כִּי֙ כֹּה֙ אָמַ֣ר יְהוָ֔ה אֱלֹהֵ֖י יִשְׂרָאֵ֑ל עַל־ בָּתֵּי֙ הָעִ֣יר הַזֹּ֔את
なぜなら こう 言った 主は 神 イスラエルの この 町–の 家々–について この
H3541 H0559 H3068 H0430 H3478 H2063

וְאֶל־ הַסֹּלְלוֹת֙ אֶל־ הַנִּתָּצִ֔ים יְהוּדָ֖ה מַלְכֵ֥י בָֽתֵּי֙ וְעַל־
そして 土塁と 土塁–のために 取り壊された ユダの 王たち–の 家々の そして–家々–について
H0413 H5550 H0413 H5422 H3063 H4428

הַֽחָרֶֽב׃
剣–のために
H2719

イスラエルの神、主は塁と、つるぎとを防ぐために破壊されたこの町の家と、ユダの王の家についてこう言われる、

5 בָּאִ֗ים לְהִלָּחֵם֙ אֶת־ הַכַּשְׂדִּ֔ים וּלְמַלְאָ֖ם אֶת־ פִּגְרֵ֣י
来る者たちが 戦うために カルデヤ人と そして–満たすために カルデヤ人–と 死体–で
H0935 H0853 H3778 H4390 H0854 H6297

הָאָדָ֑ם אֲשֶׁר־ הִכֵּיתִי֙ בְּאַפִּ֣י וּבַחֲמָתִ֔י וַאֲשֶׁ֥ר הִסְתַּרְתִּי֙
人の ところの 私が–打った 私の–怒り–で そして–憤り–で ところの 私が–隠した
H0120 H5221 H0639 H2534 H0834 H5641

רָעָתָֽם׃ כָּל־ עַל֙ הַזֹּ֔את מֵהָעִ֣יר פָּנָ֖י
悪–のゆえに すべての すべて–の この この–町–から 私の–顔–を
H3605 H2063 H6440

カルデヤびとは来て戦い、わたしが怒りと憤りをもって殺す人々の死体を、それに満たす。わたしは人々のもろもろの悪のために、この町にわたしの顔をおおい隠した。

6 הִנֵּ֣ה אָנֹכִ֔י מַעֲלֶ֥ה לָ֖הּ אֲרֻכָ֣ה וּמַרְפֵּ֑א וְרִפָּאתִ֣ים וְגִלֵּ֤יתִי לָהֶם֙
見よ–私は もたらす 癒し–と それに 康復–を そして–癒す そして–明かす 彼らに
H2009 H5927 H0724 H4832 H7495 H1540 H1992

וֶאֱמֶֽת׃ שָׁלֽוֹם עָתֶ֥רֶת
そして–真実–を 平和–と 豊かなる
H0571 H7965 H6283

見よ、わたしは健康と、いやしとを、ここにもたらして人々をいやし、豊かな繁栄と安全とを彼らに示す。

7 וְהֵשַׁבְתִּי֙ אֶת־ שְׁבוּת֙ יְהוּדָ֣ה וְאֶת־ שְׁבוּת֙ יִשְׂרָאֵ֔ל וּבְנִתִּ֖ים
そして–回復させる ユダ–の 捕囚–を そして ユダの 捕囚–を イスラエルの そして–建て直す
H7725 H0853 H7622 H3063 H0853 H7622 H3478 H1129

כְּבָרִאשֹׁנָֽה׃
初め–のように
H7223

わたしはユダとイスラエルを再び栄えさせ、彼らを建てて、もとのようにする。

8 וְטִהַרְתִּים֙ מִכָּל־ עֲוֹנָ֔ם אֲשֶׁ֥ר חָטְאוּ־ לִ֖י וְסָלַחְתִּי֙ לְכֹל־[K]
そして–清める すべて–の 罪–から ところの 罪–を–犯した 私に–対して そして–赦す [K]
H2891 H3605 H5771 H0834 H2398 H5545 H3605

בִּֽי׃ פָּשְׁעוּ֙ וַאֲשֶׁ֥ר לִ֖י חָטְאוּ־ אֲשֶׁ֥ר עֲוֹנֹתָ֔ם לְכָל־( )
私に 背いた そして–ところの 私に–対して 罪–を–犯した ところの 罪–を すべて–の
H6586 H0834 H2398 H0834 H5771 H3605

わたしは彼らがわたしに向かって犯した罪のすべてのとがを清め、彼らがわたしに向かって犯した罪と反逆のすべてのとがをゆるす。

9 וְהָיְתָה לִּי לְשֵׁם שָׂשׂוֹן לִתְהִלָּה וּלְתִפְאֶרֶת לְכֹל גּוֹיֵי הָאָרֶץ
そして-なる 私に 喜び-の 名-と 賛美-と そして-栄光-と すべて-の 国々-の 地の
H1961 H8342 H8034 H8416 H8597 H3605 H0776

אֲשֶׁר יִשְׁמְעוּ אֶת־כָּל הַטּוֹבָה אֲשֶׁר אֲנֹכִי עֹשֶׂה אוֹתָם וּפָחֲדוּ
ところの 聞く すべて-の すべての 恵み-を ところの 私が 行う 彼らに そして-恐れる
H8085 H0853 H3605 H2896 H0834 H0595 H6213 H0853 H6342

וְרָגְזוּ עַל כָּל הַטּוֹבָה וְעַל כָּל הַשָּׁלוֹם אֲשֶׁר
そして-震える すべて-の すべての 恵み-のゆえに そして すべて-の 平和-のゆえに ところの
H7264 H3605 H2896 H3605 H7965 H0834

אֲנֹכִי עֹשֶׂה לָהּ׃ ס
私が 行う それに [S]
H0595 H6213 H0853

この町は地のもろもろの民の前に、わたしのために喜びの名となり、誉となり、栄えとなる。彼らはわたしがわたしの民に施すもろもろの恵みのことを聞く。そして、わたしがこの町に施すもろもろの恵みと、もろもろの繁栄のために恐れて身をふるわす。

10 וְכֹה אָמַר יְהוָה עוֹד יִשָּׁמַע בַּמָּקוֹם־הַזֶּה אֲשֶׁר אַתֶּם אֹמְרִים
こう 言った 主は 再び 聞かれる この-場所-で ところの あなたがたは 言っている
H3541 H0559 H3068 H5750 H8085 H2088 H4725 H0834 H0559

חָרֵב הוּא מֵאֵין אָדָם וּמִבְּלִי אִישׁ וּמִבְּלִי בְהֵמָה בְּעָרֵי יְהוּדָה
荒れたと それは 人-もなく 人もなく 獣もない 町々-で ユダ-の
H2717 H1931 H0369 H0120 H0369 H0929 H5892 H3063

וּבְחֻצוֹת יְרוּשָׁלִַם הַנְּשַׁמּוֹת מֵאֵין אָדָם וּמֵאֵין יוֹשֵׁב
そして-エルサレム-の 通り-で 荒れ果てた 人-もなく 人もなく 住人もなく
H2351 H3389 H8074 H0369 H0120 H0369 H3427

וּמֵאֵין בְּהֵמָה׃
そして-獣-もない 獣もない
H0369 H0929

主はこう言われる、あなたがたが、『それは荒れて、人もおらず獣もいない』というこの所、すなわち、荒れて、人もおらず住む者もなく、獣もいないユダの町とエルサレムのちまたに、

11 קוֹל שָׂשׂוֹן וְקוֹל שִׂמְחָה קוֹל חָתָן וְקוֹל כַּלָּה קוֹל אֹמְרִים
声-が 喜びの そして-声-が 楽しみの 声-が 花婿の そして-声-が 花嫁の 声-が 言う者たちの
H0876 H8342 H0876 H8057 H0876 H2860 H0876 H3618 H0876 H0559

הוֹדוּ אֶת־יְהוָה צְבָאוֹת כִּי־טוֹב יְהוָה כִּי לְעוֹלָם חַסְדּוֹ
感謝せよ 主-に 万軍の なぜなら 良い 主は なぜなら 永遠に
H3034 H0853 H6635 H3588 H2896 H3068 H3588 H5769

מְבִאִים תּוֹדָה בֵּית יְהוָה כִּי־אָשִׁיב אֶת־שְׁבוּת
持って来る 感謝-の-供え物-を 家-に 主の なぜなら 回復させる この 捕囚-を
H0935 H8426 H1004 H3068 H3588 H7725 H0853 H7622

הָאָרֶץ כְּבָרִאשֹׁנָה אָמַר יְהוָה׃ ס
地の ように-初め-の 言った 主は [S]
H0776 H7223 H0559 H3068

再び喜びの声、楽しみの声、花婿の声、花嫁の声、および『万軍の主に感謝せよ、主は恵みふかく、そのいつくしみは、いつまでも絶えることがない』といって、感謝の供え物を主の宮に携えてくる者の声が聞える。それは、わたしがこの地を再び栄えさせて初めのようにするからであると主は言われる。

12 כֹּה־ אָמַר יְהוָה צְבָאוֹת עוֹד וְהָיְתָה בַּמָּקוֹם הַזֶּה הֶחָרֵב מֵאֵין־ אָדָם וְעַד־ בְּהֵמָה בְּכָל־ עָרָיו נְוֵה רֹעִים מַרְבְּצִים צֹאן׃

こう H3541 言った H0559 主は H3068 万軍の H6635 再び H5750 ある H1961 この–場所–に H4725 この H2088 荒れた H2717 人–もなく H0369 人もなく H0120 そして–獣–もなく H5704 獣もない H0929 そして–すべて–の H3605 町々–に H5892 牧場–が H5116 羊飼い–の H7462 伏させる H7257 羊–を H6629

万軍の主はこう言われる、荒れて、人もおらず獣もいないこの所と、そのすべての町々に再びその群れを伏させる牧者のすまいがあるようになる。

13 בְּעָרֵי הָהָר בְּעָרֵי הַשְּׁפֵלָה וּבְעָרֵי הַנֶּגֶב וּבְאֶרֶץ בִּנְיָמִן וּסְבִיבוֹת יְרוּשָׁלַ͏ִם וּבְעָרֵי יְהוּדָה עוֹד תַּעֲבֹרְנָה הַצֹּאן עַל־ יְדֵי סֹפֵר׃ {S}

町々–で H2022 山地–の 町々–で H8219 低地–の そして–エルサレム–の H5439 そして–ユダ–の H3063 町々–で H5892 再び H5750 通る H5674 羊–が H6629 数える者–の 手–の下を H3027 数える H4487 言った H0559 主は H3068

山地の町々と、平地の町々と、ネゲブの町々と、ベニヤミンの地、エルサレムの周囲と、ユダの町々で、群れは再びそれを数える者の手の下を通りすぎると主は言われる。

14 הִנֵּה יָמִים בָּאִים נְאֻם־ יְהוָה וַהֲקִמֹתִי אֶת־ הַדָּבָר הַטּוֹב אֲשֶׁר דִּבַּרְתִּי׃ אֶל־ בֵּית יִשְׂרָאֵל וְעַל־ בֵּית יְהוּדָה׃

見よ H2009 日々–が H3117 来る H0935 告げる H5002 主は H3068 そして–立てる H6965 その H0853 ことば–を H1697 良い H2896 ところの H834 語った H1696 家–に H0413 イスラエルの H3478 そして H5921 家–に H0413 ユダの H3063

主は言われる、見よ、わたしがイスラエルの家とユダの家に約束したことをなし遂げる日が来る。

15 בַּיָּמִים הָהֵם וּבָעֵת הַהִיא אַצְמִיחַ לְדָוִד צֶמַח צְדָקָה וְעָשָׂה מִשְׁפָּט וּצְדָקָה בָּאָרֶץ׃

その–日々–に H3117 その H1992 そして–その–時–に H6256 その H1931 芽生えさせる H6779 ダビデに H1732 芽–を H6780 義の H6666 行う H6213 公正–と H4941 そして–義–を H6666 地–に H0776

その日、その時になるならば、わたしはダビデのために一つの正しい枝を生じさせよう。彼は公平と正義を地に行う。

16 בַּיָּמִים הָהֵם תִּוָּשַׁע יְהוּדָה וְיְרוּשָׁלַ͏ִם תִּשְׁכֹּן לָבֶטַח וְזֶה אֲשֶׁר־ יִקְרָא־ לָהּ יְהוָה צִדְקֵנוּ׃ {S}

その–日々–に H3117 その H1992 救われる H3467 ユダは H3063 そして–エルサレムは H3389 住む H7931 安全に H0983 これが H2088 ところの H834 呼ばれる H7121 それに H0 主は H3068 私たちの–義 H6664

その日、ユダは救を得、エルサレムは安らかにおる。その名は『主はわれわれの正義』ととなえられる。

כִּי־ כֹה אָמַר יְהוָה לֹא־ יִכָּרֵת לְדָוִד אִישׁ יֹשֵׁב עַל־ כִּסֵּא 17
なぜなら こう 言った 主は ない 絶たれる ダビデに 人–が 座る 王座–に 王座に
H3541 H0559 H3068 H3808 H3772 H1732 H0376 H3427 H3678

בֵּית־ יִשְׂרָאֵל׃
家–の イスラエルの
H3478

主はこう仰せられる、イスラエルの家の位に座する人がダビデの子孫のうちに欠けることはない。

וְלַכֹּהֲנִים הַלְוִיִּם לֹא־ יִכָּרֵת אִישׁ מִלְּפָנַי מַעֲלֶה עוֹלָה 18
そして–祭司たち–に レビ人の ない 絶たれる 人–が 私の–前–から おさめる 燔祈–を
H3548 H3881 H3808 H3772 H0376 H6440 H5927

וּמַקְטִיר וְעֹשֶׂה־ מִנְחָה זֶבַח כָּל־ הַיָּמִים׃ ס
そして–煙–を–上げる そして–行う 穀物–の–供え物–を いけにえ–を すべて–の 日々 [S]
H4503 H2077 H3605 H3117

またわたしの前に燔祭をささげ、素祭を焼き、つねに犠牲をささげる人が、レビびとである祭司のうちに絶えることはない」。

וַיְהִי דְבַר־ יְהוָה אֶל־ יִרְמְיָהוּ לֵאמֹר׃ 19
そして–あった ことば–が 主の エレミヤフ–に エレミヤフに 言って
H1961 H1697 H3068 H0413 H3414 H0559

主の言葉はエレミヤに臨んだ、

כֹּה אָמַר יְהוָה אִם־ תָּפֵרוּ אֶת־ בְּרִיתִי הַיּוֹם וְאֶת־ בְּרִיתִי הַלָּיְלָה 20
こう 言った 主は もし 破るなら 私の 契約–を 昼–の そして 契約–を 夜の
H3541 H0559 H3068 אִם־ H0853 H3117 H0853 H1285 H3915

וְלִבְלְתִּי הֱיוֹת יוֹמָם־ וְלַיְלָה בְּעִתָּם׃
そして–ために ない 昼–と そして–夜–が その–時–に
H1115 H1961 H3119 H3915 H6256

「主はこう仰せられる、もしあなたがたが、昼と結んだわたしの契約を破り、また夜と結んだわたしの契約を破り、昼と夜が定められた時に来ないようにすることができるならば、

גַּם־ בְּרִיתִי תֵּפַר אֶת־ דָּוִד עַבְדִּי מִהְיוֹת־ לוֹ בֵן 21
また 私の–契約–も 破られる ダビデ–との ダビデとの 私の–僕の ないように 彼に 息子–が
H1571 H1285 H6555 H0854 H1732 H5650 H1961 H0518

מִמְשָׁרְתָי׃ הַכֹּהֲנִים הַלְוִיִּם וְאֶת־ כִּסְאוֹ עַל־ מֹלֵךְ
仕える者たちの 祭司たちの レビ人–の そして 彼の 王座–に 治める
H8334 H3548 H3881 H0854 H3678

しもべダビデとわたしが結んだ契約もまた破れ、彼はその位に座して王となる子を与えられない。またわたしがわたしに仕えるレビびとである祭司に立てた契約も破れる。

כֵּן צְבָא הַשָּׁמַיִם לֹא־ יִסָּפֵר וְלֹא יִמַּד חוֹל הַיָּם אֲשֶׁר 22
そのように 軍勢–が 天の 数えられる そして–ない 量られる 砂–が 海の ところの
H3651 H6635 H8064 H3808 H4058 H2344 H3220 H0834

כֵּן אַרְבֶּה אֶת־ זֶרַע דָּוִד עַבְדִּי וְאֶת־ הַלְוִיִּם מְשָׁרְתַי׃ ס
そのように 増やす 子孫–を 子孫–を ダビデの 私の–僕の そして レビ人–の 仕える者たちを 私の [S]
H3651 H0853 H2233 H1732 H5650 H0853 H3881 H8334 H0853

天の星は数えることができず、浜の砂は量ることができない。そのようにわたしは、しもべダビデの子孫と、わたしに仕えるレビびとである祭司の数を増そう」。

23 וַיְהִי דְּבַר־יְהוָה אֶל־יִרְמְיָהוּ לֵאמֹר׃
そして–あった ことば–が 主の エレミヤフ–に エレミヤフに 言って
H1961 H1697 H3068 H0413 H3414 H0559

主の言葉はエレミヤに臨んだ、

24 הֲלָוֹא רָאִיתָ מָה־הָעָם הַזֶּה דִּבְּרוּ לֵאמֹר שְׁתֵּי הַמִּשְׁפָּחוֹת
見なかったか 何–を この–民–が 語った 言って 二つ–の 氏族–を
H3808 H4100 H2088 H1696 H0559 H8147 H4940

אֲשֶׁר בָּחַר יְהוָה בָּהֶם וַיִּמְאָסֵם וְאֶת־עַמִּי יִנְאָצוּן מִהְיוֹת עוֹד לִפְנֵיהֶם׃ ס
ところの 選んだ 主が 彼らを そして–退けたと 私の–民–を 蔑る もはや–ない もはや 彼らの–前に [S]
H0977 H3068 H3808 H0853 H5006 H1961 H5750 H6440

「あなたはこの民が、『主は自ら選んだ二つのやからを捨てた』といっているのを聞かないか。彼らはこのようにわたしの民を侮って、これを国とみなさないのである。

25 כֹּה אָמַר יְהוָה אִם־לֹא בְרִיתִי יוֹמָם וָלָיְלָה חֻקּוֹת שָׁמַיִם וָאָרֶץ לֹא שָׂמְתִּי׃
こう 言った 主は もし ない 私の–契約–が 昼–と 夜–の 定め–を 天–と そして–地–との 私が–置かなかったなら
H3541 H0559 H3068 H0518 H3808 H1285 H3119 H3915 H2708 H8064 H0776 H3808

主はこう言われる、もしわたしが昼と夜とに契約を立てず、また天地のおきてを定めなかったのであれば、

26 גַּם־זֶרַע יַעֲקוֹב וְדָוִד עַבְדִּי אֶמְאַס מִקַּחַת מִזַּרְעוֹ לָקַחַת
また 子孫–を ヤコブの そして–ダビデの 私の–僕の 退ける 取ること–から 彼の–子孫–から
H1571 H2233 H3290 H1732 H5650 H0518 H3947 H2233

מֹשְׁלִים מִזַּרְעוֹ אֶל־זֶרַע אַבְרָהָם יִשְׁחָק וְיַעֲקֹב כִּי־אשוב[ ]
治める者たち–を 子孫–の 子孫を アブラハムの イサクの そして–ヤコブの なぜなら [K]
H4910 H0413 H2233 H0085 H3446 H3290 H7725

אֶת־שְׁבוּתָם וְרִחַמְתִּים׃ ס (אָשִׁיב)
彼ら–の 捕囚–を そして–あわれむ [S] 回復させる
H0853 H7622 H7355 H7725

わたしは、ヤコブとわたしのしもべダビデとの子孫を捨てて、再び彼の子孫のうちからアブラハム、イサク、ヤコブの子孫を治める者を選ばない。わたしは彼らを再び栄えさせ、彼らにあわれみをたれよう」。

Chapter 34

1

יְהוָה	מֵאֵת	יִרְמְיָהוּ	אֶל־	הָיָה	אֲשֶׁר־	הַדָּבָר
主の	主から	エレミヤフに	エレミヤフ-に	あった	ところの	そのことば
H3068	H0854	H3414	H0413	H1961		H1697

מַמְלְכוֹת	וְכָל־	חֵילוֹ	וְכָל־	וּבָבֶל	מֶלֶךְ־	וּנְבוּכַדְרֶאצַּר
王国-と	そして-すべて-の	軍勢-と	そして-すべて-の	バビロンの	王-の	そして-ネブカドレツァルが
H4467	H3605	H2428	H3605	H0894	H4428	H5019

יְרוּשָׁלִַם	עַל־	נִלְחָמִים	הָעַמִּים	וְכָל־	יָדוֹ	מֶמְשֶׁלֶת	אֶרֶץ
エルサレムに	エルサレム-に	戦っていた	民々-が	そして-すべて-の	彼の-手の	支配-の	地-の
H3389				H3605	H3027	H4475	H0776

לֵאמֹר׃	עָרֶיהָ	כָּל־	וְעַל־
言って	町々-に-対して	すべての	そして-すべて-の
H0559		H3605	

バビロンの王ネブカデレザルがその全軍と、彼に従っている地のすべての国の人々、およびもろもろの民を率いて、エルサレムとその町々を攻めて戦っていた時に、主からエレミヤに臨んだ言葉、

2

צִדְקִיָּהוּ	אֶל־	וְאָמַרְתָּ	הָלוֹךְ	יִשְׂרָאֵל	אֱלֹהֵי	יְהוָה	אָמַר	כֹּה־
ツィドキヤフに	ツィドキヤフ-に	そして-言え	行って	イスラエルの	神	主は	言った	こう
H6667	H0413	H0559	H1980	H3478	H0430	H3068	H0559	H3541

הַזֹּאת	הָעִיר	אֶת־	נֹתֵן	הִנְנִי	יְהוָה	אָמַר	כֹּה	אֵלָיו	וְאָמַרְתָּ	יְהוּדָה	מֶלֶךְ
この	町-を	この	与える	見よ-私は	主は	言った	こう	彼に	そして-言え	ユダの	王
H2063		H0853	H5414	H2009	H3068	H0559	H3541	H0413	H0559	H3063	H4428

בָּאֵשׁ׃	וּשְׂרָפָהּ	בָּבֶל	מֶלֶךְ־	בְּיַד
火-で	そして-焼く	バビロンの	王-の	手-に
H0784	H8313	H0894	H4428	H3027

「イスラエルの神、主はこう言われる、行ってユダの王ゼデキヤに告げて言いなさい、『主はこう言われる、見よ、わたしはこの町をバビロンの王の手に渡す。彼は火でこれを焼く。

3

וּבְיָדוֹ	תִּתָּפֵשׂ	תָּפֹשׂ	כִּי	מִיָּדוֹ	תִּמָּלֵט	לֹא	וְאַתָּה		
そして-彼の-手-に	捕らえられる	必ず	なぜなら	彼の-手-から	逃れる	ない	そして-あなたは		
H3027	H8610	H8610		H3027	H4422	H3808			

וּפִיהוּ	תִּרְאֶינָה	בָּבֶל	מֶלֶךְ־	עֵינֵי	אֶת־	וְעֵינֶיךָ		תִּנָּתֵן
そして-彼の-口-が	見る	バビロンの	王-の	目を	目-を	そして-あなたの-目-が		渡される
H6310	H7200	H0894	H4428		H0853			H5414

תָּבוֹא׃	וּבָבֶל	יְדַבֵּר	פִּיךָ	אֶת־	
行く	そして-バビロンに	語る	口-と	あなたの	
H0935	H0894	H1696	H6310	H0854	

あなたはその手をのがれることはできない、必ず捕えられてその手に渡される。あなたはまのあたりバビロンの王を見、顔と顔を合わせて彼と語る。それからバビロンへ行く』。

4

יְהוָה	אָמַר	כֹּה־	יְהוּדָה	מֶלֶךְ	צִדְקִיָּהוּ	יְהוָה	דְּבַר־	שְׁמַע	אַךְ	
主は	言った	こう	ユダの	王	ツィドキヤフよ	主の	ことば-を	聞け	しかし	
H3068	H0559	H3541	H3063	H4428	H6667	H3068	H1697	H8085	H0389	

בְּחֶרֶב׃	תָּמוּת	לֹא	עָלֶיךָ
剣-で	死ぬ	ない	あなたに-ついて
H2719	H4191	H3808	

しかしユダの王ゼデキヤよ、主の言葉を聞きなさい。主はあなたの事についてこう言われる、『あなたはつるぎで死ぬことはない。

5 בְּשָׁלוֹם תָּמוּת וּכְמִשְׂרְפוֹת אֲבוֹתֶיךָ הַמְּלָכִים הָרִאשֹׁנִים אֲשֶׁר־
平安-に 死ぬ そして-焚く-ように 先祖たち-の 王たち-の 先の ところの
H7965 H4191 H4955 H0001 H4428 H7223 H3605

הָיוּ לְפָנֶיךָ כֵּן יִשְׂרְפוּ־ לְךָ וְהוֹי אָדוֹן יִסְפְּדוּ־ לָךְ
あなたの-前に そのように 焚く あなたのために そして-ああ 主よ 嘆く あなたのために
H6440 H8313 H1945 H0113 H5594

כִּי־ דָבָר אֲנִי־ דִבַּרְתִּי נְאֻם־ יְהוָה׃ ס
ことば-を 私が 語った 告げる 主は [S]
H1697 H0589 H1696 H5002 H3068

あなたは安らかに死ぬ。民はあなたの先祖であるあなたの先の王たちのために香をたいたように、あなたのためにも香をたき、またあなたのために嘆いて「ああ、主君よ」と言う』。わたしがこの言葉をいうのであると主は言われる」。

6 אֶת יְהוּדָה מֶלֶךְ צִדְקִיָּהוּ אֶל־ צִדְקִיָּהוּ הַנָּבִיא יִרְמְיָהוּ וַיְדַבֵּר
すべて-の ユダの 王 ツィドキヤフに ツィドキヤフ-に 預言者 エレミヤフは そして-語った
H0853 H3063 H4428 H6667 H0413 H5030 H3414 H1696

כָּל־ הַדְּבָרִים הָאֵלֶּה בִּירוּשָׁלִָם׃
すべての ことば-を これらの エルサレム-で
H3605 H1697 H0428 H3389

そこで預言者エレミヤはこの言葉をことごとくエルサレムでユダの王ゼデキヤに告げた。

7 וְעַל כָּל־ עַל־ יְרוּשָׁלִַם נִלְחָמִים בָּבֶל מֶלֶךְ־ וְחֵיל
そして-すべて-の エルサレムに エルサレム-に 戦っていた バビロンの 王-の そして-軍勢-が
H3389 H0894 H4428 H2428

הַנָּה כִּי עֲזֵקָה וְאֶל־ לָכִישׁ אֶל־ הַנּוֹתָרוֹת יְהוּדָה עָרֵי כָּל־
これら なぜなら アゼカに そして ラキシュに ラキシュ-に 残っていた ユダの 町々-に すべての
H2007 H5825 H0413 H3923 H0413 H3498 H3063 H3605

פ מִבְצָר׃ עָרֵי יְהוּדָה בְּעָרֵי נִשְׁאֲרוּ
[P] 要塞の 町々-の 町々の ユダ-の 残っていた
H4013 H3063 H7604

その時バビロンの王の軍勢はエルサレム、および残っているユダのすべての町、すなわちラキシとアゼカを攻めて戦っていた。それはユダの町々のうちに、これらの堅固な町がなお残っていたからである。

8 הַמֶּלֶךְ כָּרַת אַחֲרֵי יְהוָה מֵאֵת יִרְמְיָהוּ אֶל־ הָיָה אֲשֶׁר־ הַדָּבָר
王-が 結んだ 後-に 主の 主から エレミヤフに エレミヤフ-に あった ところの そのことば
H4428 H3772 H0310 H3068 H0854 H3414 H0413 H1961 H1697

לִקְרֹא בִּירוּשָׁלִַם אֲשֶׁר הָעָם כָּל־ אֶת־ בְּרִית צִדְקִיָּהוּ
宣言するために エルサレムにいた ところの 民-と すべての すべて-の 契約-を ツィドキヤフが
H7121 H3389 H0834 H5971 H3605 H0854 H1285 H6667

דְּרוֹר׃ לָהֶם
重放-を 彼らに
H1865 H1992

ゼデキヤ王がエルサレムにいるすべての民と契約を立てて、彼らに釈放のことを告げ示した後に、主からエレミヤに臨んだ言葉。

9 הָעִבְרִי שִׁפְחָתוֹ אֶת־ וְאִישׁ עַבְדּוֹ אֶת־ אִישׁ לְשַׁלַּח
ヘブル人の 女僕-を 彼の そして-各人-が 僕-を 彼の 各人-が 解放するために
H5680 H8198 H0853 H0376 H5650 H0853 H0376 H7971

אִישׁ׃ אָחִיהוּ בִּיהוּדִי בָּם עֲבֹד־ לְבִלְתִּי חָפְשִׁים וְהָעִבְרִיָּה
誰も 兄弟-を ユダの 彼らに 仕えさせない ために 自由-に そして-ヘブル人の
H0376 H0251 H3064 H5647 H1115 H2670 H5680

その契約はすなわち人がおのおのそのヘブルびとである男女の奴隷を解放し、その兄弟であるユダヤ人を奴隷としないことを定めたものであった。

10 וַיִּשְׁמְעוּ כָּל־הַשָּׂרִים וְכָל־הָעָם אֲשֶׁר־בָּאוּ בַּבְּרִית
そして-聞いた すべて-の 役人たち-と そして-すべて-の ところの 入った 契約-に
H8085 H3605 H8269 H3605 H0834 H0935 H1285

לְשַׁלַּח אִישׁ אֶת־עַבְדּוֹ וְאִישׁ אֶת־שִׁפְחָתוֹ חָפְשִׁים לְבִלְתִּי
解放するために 各人-が 彼の 僕-を そして-各人-が 彼の 女僕-を 自由-に ために
H7971 H0376 H0853 H5650 H0376 H0853 H8198 H2670 H1115

עֲבָד־בָּם עוֹד וַיִּשְׁמְעוּ וַיְשַׁלְּחוּ׃
仕えさせない 彼らに もはや そして-聞いて そして-解放した
H5647 H5750 H8085 H7971

この契約をしたつかさたちと、すべての民は人がおのおのその男女の奴隷を解放し、再びこれを奴隷としないということに聞き従って、これを解放したが、

11 וַיָּשׁוּבוּ אַחֲרֵי־כֵן וַיָּשִׁבוּ אֶת־הָעֲבָדִים וְאֶת־הַשְּׁפָחוֹת
しかし-引き返した その 後-に そして-連れ戻した 僕たち-を 女僕たち-を
H7725 H3651 H0310 H7725 H0853 H5650 H0853 H8198

אֲשֶׁר שִׁלְּחוּ חָפְשִׁים בְּנַפְשָׁם וַיִּכְבְּשׁוּם (ויכבישום) לַעֲבָדִים וְלִשְׁפָחוֹת׃ ס
ところの 解放した 自由-に [K] そして-従えさせた 僕-として そして-女僕-として [S]
H7971 H2670 H3533 H3533 H5650 H8198

後に心を翻し、解放した男女の奴隷をひきかえさせ、再びこれを従わせて奴隷とした。

12 וַיְהִי דְבַר־יְהוָה אֶל־יִרְמְיָהוּ מֵאֵת יְהוָה לֵאמֹר׃
そして-あった ことば-が 主の エレミヤフ-に 主から 言って
H1961 H1697 H3068 H0413 H3414 H0854 H0559

そこで主の言葉が主からエレミヤに臨んだ、

13 כֹּה־אָמַר יְהוָה אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל אָנֹכִי כָּרַתִּי בְרִית אֶת־אֲבוֹתֵיכֶם
こう 言った 主は 神 イスラエルの 私は 結んだ 契約-を あなたがたの 先祖たち-と
H3541 H0559 H3068 H0430 H3478 H0595 H3772 H1285 H0854 H0001

בְּיוֹם הוֹצִאִי אוֹתָם מֵאֶרֶץ מִצְרַיִם מִבֵּית עֲבָדִים לֵאמֹר׃
日-に 導き出した 彼らを 地-から エジプト-の 家-から 奴隷の 言って
H3117 H3318 H0853 H0776 H4714 H1004 H5650 H0559

「イスラエルの神、主はこう言われる、わたしはあなたがたの先祖をエジプトの地、その奴隷であった家から導き出した時、彼らと契約を立てて言った、

14 מִקֵּץ שֶׁבַע שָׁנִים תְּשַׁלְּחוּ אִישׁ אֶת־אָחִיו הָעִבְרִי אֲשֶׁר־יִמָּכֵר
終わり-に 七 年-の 解放せよ 各人-が 彼の 兄弟-を ヘブル人の ところの 売られた
H7093 H7651 H8141 H7971 H0376 H0853 H0251 H5680 H0834 H4376

לָךְ וְעָבַדְךָ שֵׁשׁ שָׁנִים וְשִׁלַּחְתּוֹ חָפְשִׁי מֵעִמָּךְ וְלֹא־
あなたに そして-仕えた 六 年 そして-解放せよ 自由-に あなた-のもとから しかし-ない
H3808 H5647 H8337 H8141 H7971 H2670 H5973 H3808

שָׁמְעוּ אֲבוֹתֵיכֶם אֵלַי וְלֹא הִטּוּ אֶת־אָזְנָם׃
聞かなかった 先祖たちは 私に そして-ない 傾けなかった 彼らの 耳-を
H8085 H0001 H0413 H3808 H5186 H0853 H0241

『あなたがたの兄弟であるヘブルびとで、あなたがたに身を売り、六年の間あなたがたに仕えた者は、六年の終りに、あなたがたおのおのがこれを解放しなければならない。あなたがたは彼を解放して、あなたがたに仕えることをやめさせなければならない』。ところがあなたがたの先祖たちはわたしに聞き従わず、またその耳を傾けなかった。

15

בְּעֵינַי	הַיָּשָׁר	אֶת־	וַתַּעֲשׂוּ	הַיּוֹם	אַתֶּם	וַתָּשֻׁבוּ
私の–目–に	正しいことを	正しいこと–を	そして–行った	今日	あなたがたは	そして–立ち帰った
	H3477	H0853		H3117		H7725

אֲשֶׁר־	בַּבַּיִת	לְפָנַי	בְּרִית	וַתִּכְרְתוּ	לְרֵעֵהוּ	אִישׁ	דְּרוֹר	לִקְרֹא
ところの	家–で	私の–前–で	契約–を	そして–結んだ	隣人–に	各人–が	重放–を	宣言して
		H6440	H1285	H3772	H7453	H0376	H1865	H7121

עָלָיו׃	שְׁמִי	נִקְרָא
その上に	私の–名–が	呼ばれた
	H8034	H7121

しかしあなたがたは今日、心を改め、おのおのその隣り人に釈放のことを告げ示して、わたしの見て正しいとすることを行い、かつわたしの名をもってとなえられる家で、わたしの前に契約を立てた。

16

עַבְדּוֹ	אֶת־	אִישׁ	וַתָּשֻׁבוּ	שְׁמִי	אֶת־	וַתְּחַלְּלוּ	וַתָּשֻׁבוּ
僕–を	彼の	各人–が	そして–連れ戻した	名–を	私の	そして–汚した	しかし–引き返した
H5650	H0853	H0376	H7725	H8034	H0853		H7725

לְנַפְשָׁם	חָפְשִׁים	שִׁלַּחְתֶּם	אֲשֶׁר־	שִׁפְחָתוֹ	אֶת־	וְאִישׁ
彼らの–望み–のままに	自由–に	解放した	ところの	女僕–を	彼の	そして–各人–が
H5315	H2670	H7971		H8198	H0853	H0376

ס	וְלִשְׁפָחוֹת׃	לַעֲבָדִים	לָכֶם	לִהְיוֹת	אֹתָם	וַתִּכְבְּשׁוּ
[S]	そして–女僕–に	僕–と	あなたがたに	なるために	彼らを	そして–従えさせた
	H8198	H5650		H1961	H0853	H3533

ところがあなたがたは再び心を翻して、わたしの名を汚し、おのおの男女の奴隷をその願いのままに解放したのをひきかえさせ、再びこれを従わせて、あなたがたの奴隷とした。

17

לִקְרֹא	אֵלַי	שְׁמַעְתֶּם	לֹא־	אַתֶּם	יְהוָה	אָמַר	כֹּה־	לָכֵן
宣言するために	私に	聞かなかった	ない	あなたがたは	主は	言った	こう	それゆえ
H7121	H0413	H8085	H3808		H3068	H0559	H3541	

דְּרוֹר	לָכֶם	קֹרֵא	הִנְנִי	לְרֵעֵהוּ	וְאִישׁ	לְאָחִיו	אִישׁ	דְּרוֹר
重放–を	あなたがたに	宣言する	見よ–私は	隣人–に	そして–各人–が	兄弟–に	各人–が	重放–を
H1865		H7121	H2009	H7453	H0376	H0251	H0376	H1865

וְנָתַתִּי	הָרָעָב	וְאֶל־	הַדֶּבֶר	אֶל־	הַחֶרֶב	אֶל־	יְהוָה	נְאֻם־
そして–する	飢饉への	そして–飢饉–への	疫病への	疫病–への	剣への	剣–への	主は	告げる
H5414	H7458	H0413	H1698	H0413	H2719	H0413	H3068	H5002

הָאָרֶץ׃	מַמְלְכוֹת	לְכֹל	לְזַעֲוָה(	]לזועה[	אֶתְכֶם
地の	王国–にとって	すべて–の	恐怖–と	[K]	あなたがたを
H0776	H4467	H3605	H2189	H2113	H0853

それゆえに、主はこう仰せられる、あなたがたがわたしに聞き従わず、おのおのその兄弟とその隣に釈放のことを告げ示さなかったので、見よ、わたしはあなたがたのために釈放を告げ示して、あなたがたをつるぎと、疫病と、ききんとに渡すと主は言われる。わたしはあなたがたを地のもろもろの国に忌みきらわれるものとする。

18

הַקִּימוּ	לֹא־	אֲשֶׁר	בְּרִתִּי	אֶת־	הָעֹבְרִים	הָאֲנָשִׁים	אֶת־	וְנָתַתִּי
守らなかった	ない	ところの	契約–を	私の	破った	人々を	人々–を	そして–する
	H3808		H1285	H0853		H0376	H0853	H5414

לִשְׁנַיִם	כָּרְתוּ	אֲשֶׁר	הָעֵגֶל	לְפָנַי	כָּרְתוּ	אֲשֶׁר	הַבְּרִית	דִּבְרֵי	אֶת־
二つ–に	切った	ところの	子牛–を	私の–前–で	結んだ	ところの	契約の	ことばを	ことば–を
H8147	H3772		H5695	H6440	H3772		H1285	H1697	H0853

בְּתָרָיו׃	בֵּין	וַיַּעַבְרוּ
部分の間を	部分–の–間–を	そして–通った
H1335	H0996	

わたしの契約を破り、わたしの前に立てた契約の定めに従わない人々を、わたしは彼らが二つに裂いて、その二つの間を通った子牛のようにする。――

19

וְהַכֹּהֲנִים	הַסָּרִיסִ֔ים	יְרוּשָׁלִַ֖ם	וְשָׂרֵ֣י	יְהוּדָ֑ה	שָׂרֵ֣י
そして-祭司たち-と	宮官たち-と	役人たち-と	そして-エルサレム-の	役人たち-と	ユダ-の
H3548	H5631	H3389	H8269	H3063	H8269

הָעֵגֶֽל׃	בִּתְרֵ֥י	בֵּ֖ין	הָעֹבְרִ֥ים	הָאָ֛רֶץ	עַ֥ם	וְכָל
子牛の	部分-の	間-を	通った	地の	民-が	そして-すべて-の
H5695	H1335	H0996		H0776		H3605

すなわち二つに分けた子牛の間を通ったユダのつかさたち、エルサレムのつかさたちと宦官と祭司と、この地のすべての民を、

20

נַפְשָׁ֑ם	מְבַקְּשֵׁ֣י	וּבְיַ֣ד	אֹיְבֵיהֶ֔ם	בְּיַ֖ד	אֹתָ֛ם	וְנָתַתִּ֥י
命を求める者の	命-を-求める者-の	そして-手-に	敵-の	手-に	彼らを	そして-渡す
H5315	H1245	H3027	H0341	H3027	H0853	H5414

הָאָֽרֶץ׃	וּלְבֶהֱמַ֥ת	הַשָּׁמַ֖יִם	לְעֹ֣וף	לְמַאֲכָ֑ל	נִבְלָתָ֛ם	וְהָיְתָ֥ה
地の	そして-獣-の	天の	鳥-の	餌-と	屍-が	そして-なる
H0776	H0929	H8064	H5775	H3978	H5038	H1961

わたしはその敵の手と、その命を求める者の手に渡す。その死体は空の鳥と野の獣の食物となる。

21

אֹיְבֵיהֶ֔ם	בְּיַ֖ד	אֶתֵּ֑ן	שָׂרָ֣יו	וְאֶת־	יְהוּדָ֗ה	מֶ֣לֶךְ־	צִדְקִיָּ֤הוּ	וְאֶת־
敵-の	手-に	渡す	彼の-役人たち-を	そして	ユダの	王-の	ツィドキヤフ-を	そして
H0341	H3027	H5414	H8269	H0853	H3063	H4428	H6667	H0853

בָּבֶ֔ל	מֶ֣לֶךְ	חֵ֔יל	וּבְיַ֖ד	נַפְשָׁ֑ם	מְבַקְּשֵׁ֣י	וּבְיַ֣ד	
バビロンの	王-の	軍勢-の	そして-手-に	命を求める者の	命-を-求める者-の	そして-手-に	
H0894	H4428	H2428	H3027	H5315	H1245	H3027	

מֵעֲלֵיכֶֽם׃	הָעֹלִ֖ים
あなたがた-から	上って行った
	H5927

わたしはまたユダの王ゼデキヤと、そのつかさたちをその敵の手、その命を求める者の手、あなたがたを離れて去ったバビロンの王の軍勢の手に渡す。

22

עָלֶ֔יהָ	וְנִלְחֲמ֥וּ	הַזֹּ֖את	הָעִ֣יר	אֶל־	וְהַשִּׁבֹתִ֤ים	יְהוָה֙	נְאֻם־	מְצַוֶּ֔ה	הִנְנִי֙
それに-対して	そして-戦う	この	町-に	この	そして-戻す	主は	告げる	命じる	見よ-私は
		H2063		H0413	H7725	H3068	H5002	H6680	H2009

מֵאֵ֑ין	שְׁמָמָ֖ה	אֶתֵּ֛ן	יְהוּדָ֥ה	עָרֵ֖י	וְאֶת־	בָּאֵ֣שׁ	וּשְׂרָפָ֔הּ	וּלְכָדָ֖הּ
住人-のない	荒廃-と	する	町々-を	ユダ-の	そして	火-で	そして-焼く	そして-攻め取る
H0369		H5414	H3063		H0853	H0784	H8313	H3920

יֹשֵֽׁב׃	פ	
住人のない	[P]	
H3427		

主は言われる、見よ、わたしは彼らに命じて、この町に引きかえしてこさせる。彼らはこの町を攻めて戦い、これを取り、火を放って焼き払う。わたしはユダの町々を住む人のない荒れ地とする」。

Chapter 35

1 הַדָּבָר אֲשֶׁר־ הָיָה אֶל־ יִרְמְיָהוּ מֵאֵת יְהוָה בִּימֵי יְהוֹיָקִים
そのことば ところの あった エレミヤフ-に エレミヤフに 主から 日々-に ヨヤキムの
H1697 H0834 H1961 H0413 H3414 H0854 H3068 H3117 H3079

בֶּן־ יֹאשִׁיָּהוּ מֶלֶךְ יְהוּדָה לֵאמֹר׃
息子-の ヨシヤフの 王 ユダの 言って
H1121 H2977 H4428 H3063 H0559

ユダの王ヨシヤの子エホヤキムの時、主からエレミヤに臨んだ言葉。

2 הָלוֹךְ וְדַבֵּרְתָּ אוֹתָם וַהֲבֵאוֹתָם אֶל־ בֵּית יְהוָה
行って そして-語れ 彼らに そして-連れて来い 家-に 主の
H1980 H1696 H0853 H0935 H0413 H1004 H3068

אֶל־ אַחַת הַלְשָׁכוֹת וְהַשְׁקִיתָ אוֹתָם יָיִן׃
一つ-の 部屋-に そして-飲ませよ 彼らに 酒-を
H0413 H0259 H3957 H8248 H0853 H3196

「レカブびとの家に行って、彼らと語り、彼らを主の宮の一室に連れてきて、酒を飲ませなさい」。

3 וָאֶקַּח אֶת־ יַאֲזַנְיָה בֶּן־ יִרְמְיָהוּ בֶּן־ חֲבַצִּנְיָה
そして-取った ヤアザニヤ-を エレミヤフの 息子-の ハバツィニヤの
H3947 H0853 H3414 H1121 H2262

וְאֶת־ כָּל־ בָּנָיו וְאֶת כָּל־ בֵּית הָרֵכָבִים׃
そして 彼の-兄弟たち-と すべて-の そして 息子たち-と すべて-の レカブ人の
H0853 H0251 H3605 H0853 H1121 H3605 H1004 H7394

そこでわたしはハバジニヤの子エレミヤの子であるヤザニヤと、その兄弟と、そのむすこたち、およびレカブびとの全家を連れ、

4 וָאָבֵא אֹתָם בֵּית יְהוָה אֶל־ לִשְׁכַּת בְּנֵי חָנָן בֶּן־
そして-連れてきた 彼らを 家-に 主の 部屋-に 息子たち-の ハナンの 息子-の
H0935 H0853 H1004 H3068 H0413 H3957 H1121 H2605

אִישׁ אֱלֹהִים אֲשֶׁר־ אֵצֶל לִשְׁכַּת הַשָּׂרִים אֲשֶׁר מִמַּעַל
人-の 神の ところの 隣-にある 部屋-の 役人たちの ところの 上-にある
H0376 H0430 H0834 H0681 H3957 H8269 H0834 H4605

לְלִשְׁכַּת מַעֲשֵׂיָהוּ בֶּן־ שַׁלֻּם שֹׁמֵר הַסָּף׃
部屋-の マアセヤフの 息子-の シャルムの 番人-の 敷居の
H3957 H4641 H1121 H7967 H8104 H5592

これを主の宮にあるハナンの子たちの室に連れてきた。ハナンはイグダリヤの子であって神の人であった。その室は、つかさたちの室の次にあって、門を守るシャルムの子マアセヤの室の上にあった。

5 וָאֶתֵּן לִפְנֵי בְּנֵי בֵית־ הָרֵכָבִים גְּבִעִים מְלֵאִים יַיִן וְכוֹסוֹת
そして-置いた 前-に 息子たち-の 家-の レカブ人の 杯-を 満ちた 酒-で そして-杯を
H5414 H6440 H1121 H1004 H7394 H1375 H4392 H3196 H3563

וָאֹמַר אֲלֵיהֶם שְׁתוּ־ יָיִן׃
そして-言った 彼らに 飲め 酒-を
H0559 H0413 H8354 H3196

わたしはレカブびとの前に酒を満たしたつぼと杯を置き、彼らに、「酒を飲みなさい」と言ったが、

אֲבִינוּ	רֵכָב	בֶּן־	יוֹנָדָב	כִּי	יַיִן	נִשְׁתֶּה־	לֹא	וַיֹּאמְרוּ	6
私たちの–父が	レカブの	息子–の	ヨナダブが	なぜなら	酒–を	飲まない	ない	そして–言った	
H0001	H7394		H3122		H3196	H8354	H3808	H0559	

וּבְנֵיכֶם	אַתֶּם	יַיִן	תִּשְׁתּוּ־	לֹא	לֵאמֹר	עָלֵינוּ	צִוָּה
そして–子らも	あなたがたも	酒–を	飲んではならない	ない	言って	私たちに	命じた
		H3196	H8354	H3808	H0559		H6680

עוֹלָם׃	עַד־
永遠に	永遠–に–まで
H5769	H5704

彼らは答えた、「われわれは酒を飲みません。それは、レカブの子であるわれわれの先祖ヨナダブがわれわれに命じて、『あなたがたとあなたがたの子孫はいつまでも酒を飲んではならない。

וְכֶרֶם	תִּזָּרְעוּ	לֹא־	וְזֶרַע	תִּבְנוּ	לֹא־	וּבַיִת	7
そして–ぶどう園–を	まいてはならない	ない	そして–種–を	建ててはならない	ない	そして–家–を	
H3754	H2232	H3808	H2233	H1129	H3808		

כָּל־	תֵּשְׁבוּ	בָּאֳהָלִים	כִּי	לָכֶם	וְהָיָה	וְלֹא	תִטָּעוּ	לֹא־	
すべて–の	住め	天幕–に	なぜなら	あなたがたに	ある	そして–ない	植えてはならない	ない	
H3605	H3427	H0168			H1961	H3808	H5193	H3808	

אַתֶּם	אֲשֶׁר	הָאֲדָמָה	פְּנֵי	עַל־	רַבִּים	יָמִים	תְּחִיוּ	לְמַעַן	יְמֵיכֶם
あなたがたは	ところの	地の	面の上で	面–の上–で	日々–を	多く–の	生きる	ために	日々
		H0127	H6440			H3117	H2421	H4616	H3117

שָׁם׃	גָּרִים
そこに	住んでいる
H8033	

また家を建てず、種をまかず、またぶどう畑を植えてはならない。またこれを所有してはならない。あなたがたは生きながらえる間は幕屋に住んでいなさい。そうするならば、あなたがたはその宿っている地に長く生きることができると言ったからです』。

צִוָּנוּ	אֲשֶׁר	לְכָל	אֲבִינוּ	רֵכָב	בֶּן־	יְהוֹנָדָב	בְּקוֹל	וַנִּשְׁמַע	8
命じた	ところの	すべて–に	私たちの–父の	レカブの	息子–の	ヨナダブの	声–に	そして–従った	
H6680		H3605	H0001	H7394		H3082		H8085	

וּבְנֹתֵינוּ׃	בָּנֵינוּ	נָשֵׁינוּ	אֲנַחְנוּ	יָמֵינוּ	כָּל־	יַיִן	שְׁתוֹת־	לִבְלְתִּי
そして–娘たちも	息子たちも	妻たちも	私たちは	日々	すべて–の	酒–を	飲まない	ために
H1323		H0802	H0587	H3117	H3605	H3196	H8354	H1115

こうしてわれわれは、レカブの子であるわれわれの先祖ヨナダブがすべて命じた言葉に従って、われわれも、妻も、むすこ娘も生きながらえる間、酒を飲まず、

וְזֶרַע	וְשָׂדֶה	וְכֶרֶם	לְשָׁבְתֵּנוּ	בָּתִּים	בְּנוֹת	וּלְבִלְתִּי	9
そして–種–は	そして–畑–と	そして–ぶどう園–と	住むための	家–を	建てない	そして–ために	
H2233		H3754	H3427		H1129	H1115	

לָנוּ׃	יִהְיֶה־	לֹא	
私たちに	ない	ない	
	H1961	H3808	

住む家を建てず、ぶどう畑も畑も種も持たないで、

10 וַיֵּשֶׁב בָּאָהֳלִים וַיִּשְׁמַע וַיַּעַשׂ כְּכֹל אֲשֶׁר־צִוָּנוּ יוֹנָדָב
そして-住んだ 天幕-に そして-従った そして-行った すべて-に ところの 命じた ヨナダブが
H3427 H0168 H8085 H6680 H3605 H6680 H3122

אָבִינוּ׃
私たちの-父が
H0001

幕屋に住み、すべてわれわれの先祖ヨナダブがわれわれに命じたところに従い、そのように行いました。

11 וַיְהִי בַּעֲלוֹת נְבוּכַדְרֶאצַּר מֶלֶךְ־בָּבֶל אֶל־הָאָרֶץ
そして-あった 上って来た-時に ネブカドレツァルが 王-の バビロンの この 地-に
H1961 H5927 H5019 H4428 H0894 H0413 H0776

וַנֹּאמֶר בֹּאוּ וְנָבוֹא יְרוּשָׁלַ͏ִם מִפְּנֵי חֵיל כַּשְׂדִּים
そして-言った 来い そして-入ろう エルサレム-に 軍勢-の-前から 軍勢の カルデヤ人の
H0559 H0935 H0935 H3389 H6440 H2428 H3778

וַנֵּשֶׁב בִּירוּשָׁלַ͏ִם׃ פ
そして-住んだ エルサレム-に [P]
H3427 H3389

וּמִפְּנֵי חֵיל אֲרָם
そして-軍勢-の-前から アラムの 軍勢の
H6440 H0758 H2428

しかしバビロンの王ネブカデレザルがこの地に上ってきた時、われわれは言いました、『さあ、われわれはエルサレムへ行こう。カルデヤびとの軍勢とスリヤびとの軍勢が恐ろしい』と。こうしてわれわれはエルサレムに住んでいるのです」。

12 וַיְהִי דְבַר־יְהוָה אֶל־יִרְמְיָהוּ לֵאמֹר׃
そして-あった ことば-が 主の エレミヤフ-に エレミヤフに 言って
H1961 H1697 H3068 H0413 H3414 H0559

その時、主の言葉がエレミヤに臨んだ、

13 כֹּה־אָמַר יְהוָה צְבָאוֹת אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל הָלוֹךְ וְאָמַרְתָּ לְאִישׁ יְהוּדָה
こう 言った 主は 万軍の 神 イスラエルの 行って そして-言え ユダ-の 人々に
H3541 H0559 H3068 H6635 H0430 H3478 H1980 H0559 H0376 H3063

וְלִיוֹשְׁבֵי יְרוּשָׁלַ͏ִם לֵאמֹר כֹּה אָמַר יְהוָה הֲלוֹא תִקְּחוּ מוּסָר לִשְׁמֹעַ אֶל־דְּבָרָי נְאֻם־יְהוָה׃
そして-エルサレム-の 住民に 受け入れないのか 受け入れないのか 戒め-を 聞くために 私の ことば-に 主は 告げる
H3427 H3389 H3808 H3947 H4148 H8085 H0413 H1697 H3068 H5002

「万軍の主、イスラエルの神はこう言われる、行って、ユダの人々とエルサレムに住む者とに告げよ。主は仰せられる、あなたがたはわたしの言葉を聞いて教を受けないのか。

14 הוּקַם אֵת דִּבְרֵי יְהוֹנָדָב בֶּן־רֵכָב אֲשֶׁר־צִוָּה אֶת־בָּנָיו לְבִלְתִּי שְׁתוֹת־יַיִן
守られた ことば-が ことばが ヨナダブの 息子-の レカブの ところの 命じた 彼の 息子たち-に ために 飲まない 酒-を そして-ない 飲まなかった 今日-まで この-日-まで この
H0853 H1697 H3082 H7394 H6680 H0853 H1115 H8354 H3196 H3808 H8354 H5704 H3117 H2088

וְאָנֹכִי דִּבַּרְתִּי אֲלֵיכֶם הַשְׁכֵּם וְדַבֵּר וְלֹא שְׁמַעְתֶּם אֵלָי׃
しかし-私は 語った あなたがたに 朝早く-から そして-語ったが そして-ない 聞かなかった 私に
H0595 H1696 H0413 H7925 H1696 H3808 H8085 H0413

אֲבִיהֶם מִצְוַת אֵת קוֹל שָׁמְעוּ כִּי
彼らの父の 命令-に 父-の 従った なぜなら
H0001 H4687 H0853 H8085

レカブの子ヨナダブがその子孫に酒を飲むなと命じた言葉は守られてきた。彼らは今日に至るまで酒を飲まず、その先祖の命に従ってきた。ところがあなたがたはわたしがしきりに語ったけれども、わたしに聞き従わなかった。

15 וָאֶשְׁלַח אֲלֵיכֶם אֶת־כָּל־עֲבָדַי הַנְּבִאִים הַשְׁכֵּים
そして–遣わした あなたがたに すべて–の すべての 僕たち–を 預言者たちを 朝早く–から
H7971 H0413 H0853 H3605 H5650 H5030 H7925

וְהֵיטֵיבוּ הָרָעָה מִדַּרְכּוֹ אִישׁ נָא שׁוּבוּ־ לֵאמֹר וְשָׁלַחַ
そして–良くせよ 悪い 悪い–道–から 各人–が どうか 立ち帰れ 言って そして–遣わして
H3190 H1870 H0376 H4994 H7725 H0559 H7971

וּשְׁבוּ לְעָבְדָם אֱלֹהִים אֲחֵרִים אַחֲרֵי תֵּלְכוּ וְאַל־ מַעַלְלֵיכֶם
そして–住め 仕えるために 神々の 他–の 後–に 行ってはならない そして–行くな 行い–を
H3427 H5647 H0312 H0430 H3212 H0408 H4611

הִטִּיתֶם וְלֹא וְלַאֲבֹתֵיכֶם לָכֶם נָתַתִּי אֲשֶׁר־ הָאֲדָמָה אֶל־
傾けなかった そして–ない そして–先祖たちに あなたがたに 与えた ところの 地–に この
H5186 H3808 H0001 H5414 H0127 H0413

אֵלָי: שְׁמַעְתֶּם וְלֹא אָזְנְכֶם אֶת־
私に 聞かなかった そして–ない 耳–を あなたがたの
H0413 H8085 H3808 H0241 H0853

わたしはまた、わたしのしもべである預言者たちを、しきりにあなたがたにつかわして言わせた、『あなたがたは今おのおのその悪い道を離れ、その行いを改めなさい。ほかの神々に従い仕えてはならない。そうすれば、あなたがたはわたしがあなたがたと、あなたがたの先祖に与えたこの地に住むことができる』と。しかしあなたがたは耳を傾けず、わたしに聞かなかった。

16 כִּי הֵקִימוּ בְּנֵי יְהוֹנָדָב בֶּן־ רֵכָב אֶת־ מִצְוַת אֲבִיהֶם
なぜなら 守った 息子たち–は ヨナダブの 息子–の レカブの 命令–を 彼らの父の
H0001 H4687 H0853 H7394 H3082 H0413 H0853 H1121

אֲשֶׁר צִוָּם וְהָעָם הַזֶּה לֹא שָׁמְעוּ אֵלָי: ס
ところの 命じた しかし–この–民–は この ない 聞かなかった 私に [S]
H6680 H2088 H3808 H8085 H0413

レカブの子ヨナダブの子孫は、その先祖が彼らに命じた命令を守っているのである。しかしこの民はわたしに従わなかった。

17 לָכֵן כֹּה־ אָמַר יְהוָה אֱלֹהֵי צְבָאוֹת אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל הִנְנִי מֵבִיא
それゆえ こう 言った 主は 神 万軍の 神 イスラエルの 見よ–私は もたらす
H3541 H0559 H3068 H0430 H6635 H0430 H3478 H2009 H0935

אֶת־ כָּל־ הָרָעָה אֲשֶׁר־ דִּבַּרְתִּי עֲלֵיהֶם וְאֶל־ כָּל־ יְהוּדָה אֶל־ יוֹשְׁבֵי יְרוּשָׁלַם וְאֶת־ כָּל־
すべての すべて–の ところの 語った 彼らに–ついて そして–すべて–の ユダに ユダ–に 住民に エルサレム–の すべての
H3605 H0853 H1696 H5921 H0413 H3063 H0413 H3389 H3427 H3605

עַל־ כִּי דִבַּרְתִּי אֲלֵיהֶם וְלֹא שָׁמָעוּ וָאֶקְרָא לָהֶם וְלֹא עָנוּ:
なぜなら 語った 彼らに そして–ない 聞かなかった そして–呼んだ 彼らを そして–ない 答えなかった
H3282 H1696 H0413 H3808 H8085 H7121 H3808

それゆえ万軍の神、主、イスラエルの神はこう仰せられる、見よ、わたしはユダとエルサレムに住む者とに、わたしが彼らの上に宣告した災を下す。わたしが彼らに語っても聞かず、彼らを呼んでも答えなかったからである」。

18

אֱלֹהֵי	צְבָאוֹת	יְהוָה	אָמַר	כֹּה־	יִרְמְיָהוּ	אָמַר	הָרֵכָבִים	וּלְבֵית
神	万軍の	主は	言った	こう	エレミヤフは	言った	レカブ人の	そして-家-に
H0430		H3068	H0559	H3541	H3414	H0559		

וַתִּשְׁמְרוּ	אֲבִיכֶם	יְהוֹנָדָב	מִצְוֹת	עַל־	שְׁמַעְתֶּם	אֲשֶׁר	יַעַן	יִשְׂרָאֵל
そして-守った	先祖の	ヨナダブの	命令-に	父-の	従った	ところの	なぜなら	イスラエルの
H8104	H0001	H3082	H4687		H8085		H3282	H3478

ס	אֶתְכֶם׃	צִוָּה	אֲשֶׁר־	כְּכֹל	וַתַּעֲשׂוּ	מִצְוֹתָיו	כָּל־	אֶת־
[S]	あなたがたに	命じた	ところの	すべて-に	そして-行った	命令-を	すべての	すべて-の
	H0853	H6680		H3605		H4687	H3605	H0853

ところでエレミヤはレカブびとの家の人々に言った、「万軍の主、イスラエルの神はこう仰せられる、あなたがたは先祖ヨナダブの命に従い、そのすべての戒めを守り、彼があなたがたに命じた事を行った。

19

לְיוֹנָדָב	אִישׁ	יִכָּרֵת	לֹא־	יִשְׂרָאֵל	אֱלֹהֵי	צְבָאוֹת	יְהוָה	אָמַר	כֹּה	לָכֵן
ヨナダブに	人-が	絶たれる	ない	イスラエルの	神	万軍の	主は	言った	こう	それゆえ
H3122	H0376	H3772	H3808	H3478	H0430		H3068	H0559	H3541	

פ	הַיָּמִים׃	כָּל־	לְפָנַי	עֹמֵד	רֵכָב	בֶּן־
[P]	日々	すべて-の	私の-前-に	立つ	レカブの	息子-の
	H3117	H3605	H6440	H5975	H7394	

それゆえ、万軍の主、イスラエルの神はこう言われる、レカブの子ヨナダブには、わたしの前に立つ人がいつまでも欠けることはない」。

Chapter 36

1

הָיָה	יְהוּדָה	מֶלֶךְ	יֹאשִׁיָּהוּ	בֶּן־	לִיהוֹיָקִים	הָרְבִיעִת	בַּשָּׁנָה	וַיְהִי	
あった	ユダの	王	ヨシヤフの	息子-の	ヨヤキムの	第四の	年-に	そして-あった	
H1961	H3063	H4428	H2977		H3079	H7243	H8141	H1961	

לֵאמֹר׃	יְהוָה	מֵאֵת	יִרְמְיָהוּ	אֶל־	הַזֶּה	הַדָּבָר
言って	主の	主から	エレミヤフに	エレミヤフ-に	この	ことば-が
H0559	H3068	H0854	H3414	H0413	H2088	H1697

ユダの王ヨシヤの子エホヤキムの四年に主からこの言葉がエレミヤに臨んだ、

2

הַדְּבָרִים	כָּל־	אֵת	אֵלֶיהָ	וְכָתַבְתָּ	סֵפֶר	מְגִלַּת־	לְךָ	קַח־	
ことば-を	すべての	すべて-の	その上に	そして-書け	書物の	巻物-を	あなたのために	取れ	
H1697	H3605	H0853	H0413	H3789		H4039		H3947	

וְעַל־	יִשְׂרָאֵל	עַל־	אֵלֶיךָ	דִּבַּרְתִּי	אֲשֶׁר־
そして-ユダ-について	イスラエルについて	イスラエル-について	あなたに	語った	ところの
	H3478		H0413	H1696	

מִימֵי	אֵלֶיךָ	דִּבַּרְתִּי	מִן־	הַגּוֹיִם	כָּל־	וְעַל־	יְהוּדָה
日々-から	あなたに	語った	日-から	国々-について	すべての	そして-すべて-の	ユダについて
H3117	H0413	H1696	H3117		H3605		H3063

הַזֶּה׃	הַיּוֹם	וְעַד	יֹאשִׁיָּהוּ
この	この-日-まで	そして-今日-まで	ヨシヤフの
H2088	H3117	H5704	H2977

「あなたは巻物を取り、わたしがあなたに語った日、すなわちヨシヤの日から今日に至るまで、イスラエルとユダと万国とに関してあなたに語ったすべての言葉を、それにしるしなさい。

3 אוּלַי יִשְׁמְעוּ בֵּית יְהוּדָה אֵת כָּל־ הָרָעָה אֲשֶׁר
おそらく 聞くだろう 家-は ユダの すべて-の すべての わざわい-を ところの
H0194 H8085 H0853 H3063 H3605 H0595

אֲנֹכִי חֹשֵׁב לַעֲשׂוֹת לָהֶם לְמַעַן יָשׁוּבוּ אִישׁ מִדַּרְכּוֹ הָרָעָה וְסָלַחְתִּי
私が 考えている 行うことを 彼らに ために 立ち帰る 各人-が 悪い-道-から 悪い そして-赦す
H2803 H6213 H4616 H7725 H0376 H1870 H7451 H5545

לַעֲוֹנָם וּלְחַטָּאתָם׃ ס
罪-を そして-罪-を [S]
H5771

ユダの家がわたしの下そうとしているすべての災を聞いて、おのおのその悪い道を離れて帰ることもあろう。そうすれば、わたしはそのとがとその罪をゆるすかも知れない」。

4 וַיִּקְרָא יִרְמְיָהוּ אֶת־ בָּרוּךְ בֶּן־ נֵרִיָּה וַיִּכְתֹּב בָּרוּךְ
そして-呼んだ エレミヤフは バルク-を バルクを 息子-の ネリヤの そして-書いた バルクは
H7121 H3414 H0853 H1263 H1121 H5374 H3789 H1263

מִפִּי יִרְמְיָהוּ אֵת כָּל־ דִּבְרֵי יְהוָה אֲשֶׁר־ דִּבֶּר אֵלָיו בְּסֵפֶר׃
口-から エレミヤフの すべて-の すべての ことば-を 主の ところの 語った 彼に 書物の
H6310 H3414 H0853 H3605 H1697 H3068 H0834 H1696 H0413 H5612

עַל־ מְגִלַּת־
巻物の上に 巻物-の上-に
H4039

そこでエレミヤはネリヤの子バルクを呼んだ。バルクはエレミヤの口述にしたがって、主が彼にお告げになった言葉をことごとく巻物に書きしるした。

5 וַיְצַו יִרְמְיָהוּ אֶת־ בָּרוּךְ לֵאמֹר אֲנִי עָצוּר לֹא אוּכַל
そして-命じた エレミヤフは バルク-に バルクに 言って 私は 閉じ込められて ない できる
H6680 H3414 H0853 H1263 H0559 H0589 H6113 H3808 H3201

לָבוֹא בֵּית יְהוָה׃
入ること-が 家-に 主の
H0935 H1004 H3068

そしてエレミヤはバルクに命じて言った、「わたしは主の宮に行くことを妨げられている。

6 וּבָאתָ וְקָרָאתָ בַּמְּגִלָּה אֲשֶׁר־ כָּתַבְתָּ מִפִּי אֵת־
そして-行け そして-読め 巻物-から ところの 書いた 私の-口-から ことば-を
H0935 H7121 H4039 H0834 H3789 H6310 H0853

אֲשֶׁר בְּאָזְנֵי הָעָם בְּבֵית יְהוָה בְּיוֹם צוֹם וְגַם בְּאָזְנֵי כָּל־
ところの 耳-に 民の 家-で 主の 日-に 断食の そして-また 耳-に すべて-の
H0834 H0241 H5971 H1004 H3068 H3117 H6685 H1571 H0241 H3605

דִּבְרֵי יְהוָה בְּאָזְנֵיהֶם תִּקְרָאֵם׃ מֵעָרֵי הַבָּאִים יְהוּדָה
ことばを 主の 耳-に 読め 町々-から 来る ユダの
H1697 H3068 H0241 H7121 H5892 H0935 H3063

それで、あなたが行って、断食の日に主の宮で、すべての民が聞いているところで、あなたがわたしの口述にしたがって、巻物に筆記した主の言葉を読みなさい。またユダの人々がその町々から来て聞いているところで、それを読みなさい。

7 אוּלַי תִּפֹּל תְּחִנָּתָם לִפְנֵי יְהוָה וְיָשֻׁבוּ אִישׁ מִדַּרְכּוֹ
おそらく 落ちるだろう 嘆願-が 主-の-前-に 主の前に そして-立ち帰る 各人-が 悪い-道-から
H0194 H6440 H8467 H5307 H3068 H7725 H0376 H1870

הָרָעָה כִּי־ גָדוֹל הָאַף וְהַחֵמָה אֲשֶׁר־ דִּבֶּר יְהוָה אֶל־ הָעָם
悪い なぜなら 大きい 怒り-と そして-憤り-が ところの 語った 主が この 民-に-対して
H1696 H3068 H0413 H2534 H0639 H1697 H3068 H1870

הַזֶּה׃
この
H2088

彼らは主の前に祈願をささげ、おのおのその悪い道を離れて帰ることもあろう。主がこの民に対して宣告された怒りと憤りは大きいからである」。

8 וַיַּעַשׂ בָּרוּךְ בֶּן־ נֵרִיָּה כֹּל אֲשֶׁר־ צִוָּהוּ יִרְמְיָהוּ הַנָּבִיא
そして-行った バルクは 息子-の ネリヤの すべて-に ところの 命じた エレミヤフが 預言者
H1263 H5374 H3605 H6680 H3414 H5030

לִקְרֹא מִן־ הַסֵּפֶר אֶת־ דִּבְרֵי יְהוָה בְּבֵית יְהוָה׃ ס
読むために 書物-から ことば-を 主の 家-で 主の [S]
H7121 H1697 H3068 H1004 H3068

こうしてネリヤの子バルクはすべて預言者エレミヤが自分に命じたように、主の宮で、その巻物に書かれた主の言葉を読んだ。

9 וַיְהִי בַּשָּׁנָה הַחֲמִשִּׁית לִיהוֹיָקִים בֶּן־ יֹאשִׁיָּהוּ מֶלֶךְ־ יְהוּדָה בַּחֹדֶשׁ הַתְּשִׁעִי
そして-あった 年-に 第五の ヨヤキムの 息子-の ヨシヤフの 王-の ユダの 月-に 第九の
H1961 H8141 H2549 H3079 H1121 H4428 H3063 H2320 H8671

צוֹם קָרְאוּ לִפְנֵי יְהוָה לְכָל־ הָעָם בִּירוּשָׁלִַם וְכָל־
断食-を 宣言した 主の前で すべて-の 民-が エルサレム-で そして-すべて-の
H6685 H7121 H6440 H3068 H3605 H5971 H3389 H3605

הַבָּאִים מֵעָרֵי יְהוּדָה בִּירוּשָׁלִַם׃
来た 町々から ユダ-の エルサレム-に
H0935 H3063 H3389

ユダの王ヨシヤの子エホヤキムの五年九月、エルサレムのすべての民と、ユダの町々からエルサレムに来たすべての民とは、主の前に断食を行うべきことを告げ示された。

10 וַיִּקְרָא בָּרוּךְ בַּסֵּפֶר אֶת־ דִּבְרֵי יִרְמְיָהוּ בְּבֵית יְהוָה בִּלְשְׁכַּת
そして-読んだ バルクは 書物-から ことばを ことば-を エレミヤフの 家-で 主の 部屋-で
H7121 H1263 H5612 H0853 H1697 H3414 H1004 H3068 H3957

גְּמַרְיָהוּ בֶן־ שָׁפָן הַסֹּפֵר בֶּחָצֵר הָעֶלְיוֹן פֶּתַח שַׁעַר בֵּית־ יְהוָה
ゲマルヤフの 息子-の シャファンの 書記の 庭-で 上の 入口-にある 門-の 家-の 主の
H1587 H1121 H8227 H5612 H2788 H6607 H8179 H1004 H3068

הֶחָדָשׁ בְּאָזְנֵי כָּל־ הָעָם׃
新しい 耳-に すべて-の 民の
H2319 H0241 H3605

バルクは主の宮の上の庭で、主の宮の新しい門の入口のかたわらにある書記シャパンの子であるゲマリヤのへやで、巻物に書かれたエレミヤの言葉をすべての民に読み聞かせた。

11 וַיִּשְׁמַע מִכָיְהוּ בֶן־ גְּמַרְיָהוּ בֶּן־ שָׁפָן אֶת־ כָּל־
そして-聞いた ミカヤフが 息子-の ゲマルヤフの 息子-の シャファンの すべて-の すべての
H8085 H4321 H1587 H0853 H3605

דִּבְרֵי יְהוָה מֵעַל הַסֵּפֶר׃
ことば-を 主の 書物-から 書物から
H1697 H3068 H0853 H5612

シャパンの子であるゲマリヤの子ミカヤはその巻物にある主の言葉をことごとく聞いて、

12 וַיֵּרֶד בֵּית־ הַמֶּלֶךְ לִשְׁכַּת הַסֹּפֵר וְהִנֵּה־ כָל־
そして-下った 王の 部屋-に 書記の 部屋に そして-見よ すべて-の
H3381 H4428 H3957 H5608 H2009 H3605

שָׂרִים יוֹשְׁבִים שָׁם אֱלִישָׁמָע הַסֹּפֵר וּדְלָיָהוּ בֶן־ שְׁמַעְיָהוּ
役人たち-が 座っていた エリシャマ 書記-と そして-デラヤフ 息子-の シェマヤフの
H8269 H3427 H0476 H5608 H1806 H1121 H8098

וְאֶלְנָתָן בֶּן־ עַכְבּוֹר וּגְמַרְיָהוּ בֶן־ שָׁפָן וְצִדְקִיָּהוּ בֶן־ חֲנַנְיָהוּ וְכָל־ שָׂרִים׃
そして-エルナタン 息子-の アクボルの そして-ゲマルヤフ 息子-の シャファンの そして-ツィドキヤフ 息子-の ハナニヤフの そして-すべて-の 役人たち
H0494 H1121 H5907 H1587 H1121 H8269 H3605 H8269

王の家にある書記のへやに下って行くと、もろもろのつかさたち、すなわち書記エリシャマ、シマヤの子デラヤ、アカボルの子エルナタン、シャパンの子ゲマリヤ、ハナニヤの子ゼデキヤおよびすべてのつかさたちがそこに座していた。

13 בְּקָרְאָ שָׁמַע אֲשֶׁר הַדְּבָרִים כָּל־ אֶת מִכָיְהוּ לָהֶם וַיַּגֶּד
読んだ-時に 聞いた ところの ことば-を すべての すべて-の ミカヤフは 彼らに そして-告げた
H7121 H8085 H0834 H1697 H3605 H0853 H4321 H0259 H5046

בָּרוּךְ בַּסֵּפֶר בְּאָזְנֵי הָעָם׃
バルクが 書物-から 耳-に 民の
H1263 H5612 H0241 H5971

ミカヤはバルクが民に巻物を読んで聞かせたとき、自分の聞いたすべての言葉を彼らに告げたので、

14 וַיִּשְׁלַח כָּל־ הַשָּׂרִים אֶל־ בָּרוּךְ אֶת־ יְהוּדִי בֶן־
そして-遣わした すべて-の 役人たちは バルク-に バルクに エフディ-を エフディを 息子-の
H7971 H3605 H8269 H0413 H1263 H0853 H3065 H1121

נְתַנְיָהוּ בֶן־ שֶׁלֶמְיָהוּ בֶן־ כּוּשִׁי לֵאמֹר ׀ הַמְּגִלָּה אֲשֶׁר קָרָאתָ
ネタニヤフの 息子-の シェレミヤフの 息子-の クシの 言って 巻物-を ところの 読んだ
H5418 H1121 H8018 H1121 H3570 H0559 H4039 H0834 H7121

בְּאָזְנֵי הָעָם וַיִּקַּח בָּרוּךְ בֶּן־ נֵרִיָּהוּ וַיָּבֹא בְיָדוֹ וַיֵּלֶךְ בְּיָדְךָ קַח הָעָם
それから 耳-に 民の 取れ 手-に そして-来い バルクは 息子-の ネリヤフの そして-取った
H1931 H0241 H3947 H3027 H3212 H3947 H5971

אֲלֵיהֶם׃ וַיָּבֹא בְיָדוֹ הַמְּגִלָּה אֶת־
彼らのもとに そして-来た 手-に 巻物を 巻物-を
H0413 H0935 H3027 H4039 H0853

つかさたちはクシの子セレミヤの子であるネタニヤの子エホデをバルクのもとにつかわして言わせた、「あなたが民に読み聞かせたその巻物を手に取って、来てください」。そこでネリヤの子バルクは巻物を手に取って、彼らのもとに来たので、

15 וַיֹּאמְרוּ אֵלָיו בְּרוּךְ וַיִּקְרָא בְּאָזְנֵינוּ וּקְרָאנָה נָּא שֶׁב אֵלָיו וַיֹּאמְרוּ
そして-言った 彼に 座れ どうか そして-読め 私たちの-耳-に そして-読んだ バルクは
H0559 H0413 H3427 H4994 H7121 H0241 H7121 H1263

בְּאָזְנֵיהֶם׃
彼らの-耳-に
H0241

彼らはバルクに言った、「座してそれを読んでください」。バルクはそれを彼らに読みきかせた。

16 וַיְהִי כְּשָׁמְעָם אֶת־כָּל־הַדְּבָרִים פָּחֲדוּ אִישׁ אֶל־רֵעֵהוּ וַיֹּאמְרוּ אֶל־בָּרוּךְ
そして-あった 聞いた-時に すべての-の 恐れた 各人-が 互い-に 隣人に そして-言った バルク-に
H1961 H8085 H3605 H0853 H6342 H0376 H0413 H7453 H0559 H1263

נַגֵּיד נַגִּיד לַמֶּלֶךְ אֶת כָּל־הַדְּבָרִים
必ず 告げる 王-に すべての 事柄-を
H5046 H5046 H4428 H0853 H3605 H1697

הָאֵלֶּה׃
これらの
H0428

彼らはそのすべての言葉を聞き、恐れて互に見かわし、バルクに言った、「われわれはこのすべての言葉を、王に報告しなければならない」。

17 וְאֶת־כָּל־הַדְּבָרִים הָאֵלֶּה מִפִּיו׃ כְּתַבְתָּ אֵיךְ אֵת־כָּל־הַדְּבָרִים אֵת אֵלֵינוּ נָּא הַגֶּד־נָא לֵאמֹר שָׁאַל בָּרוּךְ וְאֶת־
すべての-を これらの 彼の-口-から 書いたのか どのように すべて-の 私たちに どうか 告げよ 言って 尋ねた バルク-に そして
H3605 H1697 H0428 H6310 H3789 H0853 H0853 H5046 H0559 H7592 H1263 H0853

כְּתַבְתָּ אֵיךְ אֵת־כָּל־הַדְּבָרִים הָאֵלֶּה מִפִּיו׃
書いたのか どのように すべて-の すべての-を これらの 彼の-口-から
H3789 H0853 H3605 H1697 H0428 H6310

そしてバルクに尋ねて言った、「このすべての言葉を、あなたがどのようにして書いたのか話してください。彼の口述によるのですか」。

18 וַיֹּאמֶר אֲלֵיהֶם בָּרוּךְ מִפִּיו יִקְרָא אֵלַי אֶת־כָּל־הַדְּבָרִים
そして-言った 彼らに バルクは 彼の-口-から 読んだ 私に すべて-の すべての-を
H0559 H0413 H1263 H6310 H7121 H0413 H0853 H3605 H1697

הָאֵלֶּה וַאֲנִי כֹתֵב עַל־הַסֵּפֶר בַּדְיוֹ׃ פ
これらの そして-私は 書いた 書物の上に 墨-で [P]
H0428 H0589 H3789 H0413 H1773

バルクは彼らに答えた、「彼がわたしにこのすべての言葉を口述したので、わたしはそれを墨汁で巻物に書いたのです」。

19 וַיֹּאמְרוּ הַשָּׂרִים אֶל־בָּרוּךְ לֵךְ הִסָּתֵר אַתָּה וְיִרְמְיָהוּ אַל־יִוָּדַע אִישׁ וְאַל־
そして-言った 役人たちは バルク-に 行け 隠れよ あなたも そして-エレミヤフも 知るな 誰も そして-ない
H0559 H8269 H0413 H1263 H3212 H5641 H0408 H3045 H0376 H0408

אַתָּם׃ אֵיפֹה
あなたがたが どこに
H0375 H3045

つかさたちはバルクに言った、「行って、エレミヤと一緒に身を隠しなさい。人に所在を知られてはなりません」。

20 וַיָּבֹאוּ אֶל־הַמֶּלֶךְ֙ הֶחָצֵרָה וְאֶת־הַמְּגִלָּה הִפְקִדוּ בְּלִשְׁכַת אֱלִישָׁמָע
そして-行った 王のもとに 庭-に そして 巻物-を 預けた 部屋-に エリシャマの
H0935 H4428 H2691 H0853 H4039 H3957 H0476

וַיַּגִּידוּ בְּאָזְנֵי הַמֶּלֶךְ֙ אֵת כָּל־הַדְּבָרִים׃
そして-告げた 耳-に 王の すべて-の すべての ことば-を
H5046 H0241 H4428 H0853 H3605 H1697

書記の

そこで彼らは巻物を書記エリシャマのへやに置いて庭にはいり、王のもとへ行って、このすべての言葉を王に告げたので、

21 וַיִּשְׁלַח הַמֶּלֶךְ֙ אֶת־יְהוּדִי֙ לָקַחַת֙ אֶת־הַמְּגִלָּה וַיִּקָּחֶהָ
そして-遣わした 王は エフディ-を エフディを 取りに 巻物-を 巻物を そして-取った
H7971 H4428 H0853 H3065 H3947 H0853 H4039 H3947

מִלִּשְׁכַת אֱלִישָׁמָע הַסֹּפֵר֙ וַיִּקְרָאֶהָ יְהוּדִי֙ בְּאָזְנֵי הַמֶּלֶךְ֙ וּבְאָזְנֵי֙ כָּל־
部屋-から エリシャマの 書記の そして-読んだ エフディは 耳-に 王の そして-耳-に すべて-の
H3957 H0476 H5612 H3065 H0241 H4428 H0241 H3605

הַשָּׂרִים֙ הָעֹמְדִ֣ים מֵעַ֔ל לַמֶּלֶךְ׃
役人たちの 立っていた 王-の-そば-に 王のそばに
H8269 H5975 H5921 H4428

王はその巻物を持ってこさせるためにエホデをつかわした。エホデは書記エリシャマのへやから巻物を取ってきて、それを王と王のかたわらに立っているすべてのつかさたちに読みきかせた。

22 וְהַמֶּלֶךְ֙ יוֹשֵׁב֙ בֵּ֣ית הַחֹ֔רֶף בַּחֹ֖דֶשׁ הַתְּשִׁיעִ֑י וְאֵ֣שׁ֙ הָאָ֔ח לְפָנָ֖יו
そして-王は 座っていた 家-に 冬の 月-に 第九の そして 火鉢-が 彼の-前に
H4428 H3427 H1004 H2779 H2320 H8671 H0853 H0254 H6440

מְבֹעֶרֶת׃
燃えていた

時は九月であって、王は冬の家に座していた。その前に炉があって火が燃えていた。

23 וַיְהִי֙ כִּקְרֹ֣א יְהוּדִ֔י שְׁלֹ֥שׁ דְּלָתוֹת֖ וְאַרְבָּעָ֑ה יִקְרָעֵ֣הוּ֙ בְּתַעַ֣ר הַסּוֹפֵ֔ר
そして-あった 読んだ-時に エフディが 三 欄-を そして-四 切った 小刀-で 書記の
H1961 H7121 H3065 H7969 H1817 H0702 H7167 H8593 H5612

וְהַשְׁלֵךְ֙ אֶל־הָאֵ֣שׁ אֲשֶׁ֔ר עַל־הָאֵ֖שׁ עַד־תֹּ֣ם
そして-投げ込んだ 火-の中-に 火の中に ところの 火鉢-の 火鉢の 尽きる-まで 尽きるまで
H7993 H0413 H0784 H0834 H0413 H0254 H5704 H8552

כָּל־הַמְּגִלָּה֙ אֲשֶׁ֣ר עַל־הָאֵ֔שׁ עַל־פְּנֵ֖י הָאָ֑ח׃
すべて-の 巻物-が 火の上で 火-の上-で ところの 火鉢-の上-の 火鉢の上の
H3605 H4039 H0784 H0834 H5921 H0413 H5921 H0254

エホデが三段か四段を読むと、王は小刀をもってそれを切り取り、炉の火に投げいれ、ついに巻物全部を炉の火で焼きつくした。

24 וְלֹ֣א פָחֲד֗וּ וְלֹא֙ קָרְע֣וּ בִגְדֵיהֶ֔ם הַמֶּלֶךְ֙ וְכָל־עֲבָדָ֔יו הַשֹּׁמְעִ֖ים אֵ֣ת כָּל־הַדְּבָרִ֣ים הָאֵ֑לֶּה׃
そして-ない 恐れなかった そして-ない 引き裂かなかった 彼らの 衣-を 王も そして-すべて-の 僕たちも 聞いた すべて-の すべての ことば-を これらの
H3808 H6342 H3808 H7167 H0853 H0899 H4428 H3605 H5650 H8085 H0853 H3605 H1697 H0428

王とその家来たちはこのすべての言葉を聞いても恐れず、またその着物を裂くこともしなかった。

25 וְגַם אֶלְנָתָן וּדְלָיָהוּ וּגְמַרְיָהוּ אֶל־הַמֶּלֶךְ הִפְגִּעוּ לְבִלְתִּי
そして−また エルナタン−と そして−デラヤフ−と そして−ゲマルヤフが 王−に ために
H1571 H0494 H1806 H1587 H4428 H1115

שְׂרֹף אֶת־הַמְּגִלָּה וְלֹא שָׁמַע אֲלֵיהֶם׃
焼かない 巻物−を 巻物を しかし−ない 聞かなかった 彼らに
H8313 H0853 H4039 H3808 H8085 H0413

エルナタン、デラヤおよびゲマリヤが王にその巻物を焼かないようにと願ったときにも彼は聞きいれなかった。

26 וַיְצַו הַמֶּלֶךְ אֶת־יְרַחְמְאֵל בֶּן־הַמֶּלֶךְ וְאֶת־שְׂרָיָהוּ
そして−命じた 王は エラフメエル−に エラフメエルに 息子−の 王の そして−セラヤフ
H6680 H4428 H0853 H3396 H1121 H4429 H0853

בֶּן־עַבְדְּאֵל וְאֶת־שֶׁלֶמְיָהוּ בֶּן־עֲזִרִיאֵל וְאֶת־בָּרוּךְ
息子−の アブデエルの そして−シェレミヤフに シェレミヤフ 息子−の アズリエルの
H1121 H5655 H0853 H8018 H1121 H5837

בֶּן־נְתַנְיָהוּ לָקַחַת אֶת־בָּרוּךְ הַסֹּפֵר וְאֶת־יִרְמְיָהוּ הַנָּבִיא וַיַּסְתֵּרֵם
セラヤフに 息子−の バルク−を 捕らえるために バルク−を 書記−と そして エレミヤフ−を 預言者を しかし−隠した
H8304 H1121 H0853 H3947 H0853 H1263 H0853 H3414 H5030 H5641

יְהוָה׃ ס
主が [S]
H3068

そして王は王子エラメルとアゾリエルの子セラヤとアブデルの子セレミヤに、書記バルクと預言者エレミヤを捕えるようにと命じたが、主は彼らを隠された。

27 וַיְהִי דְבַר־יְהוָה אֶל־יִרְמְיָהוּ אַחֲרֵי שְׂרֹף הַמֶּלֶךְ אֶת־
そして−あった ことば−が 主の エレミヤフ−に エレミヤフに 後−に 焼いた 王が 巻物−を
H1961 H1697 H3068 H0413 H3414 H0310 H8313 H4428 H0853

הַמְּגִלָּה וְאֶת־הַדְּבָרִים אֲשֶׁר כָּתַב בָּרוּךְ מִפִּי יִרְמְיָהוּ לֵאמֹר׃
巻物を そして ことば−を ところの 書いた バルクが 口−から エレミヤフの 言って
H4039 H0853 H1697 H0310 H3789 H1263 H6310 H3414 H0559

バルクがエレミヤの口述にしたがって筆記した言葉を載せた巻物を王が焼いた後、主の言葉がエレミヤに臨んだ、

28 שׁוּב קַח־לְךָ מְגִלָּה אַחֶרֶת וּכְתֹב עָלֶיהָ אֵת כָּל־
再び 取れ あなたのために 巻物−を 別の そして−書け その上に すべての−の すべての
H7725 H3947 H0310 H0312 H3789 H5921 H0853 H3605

הַדְּבָרִים הָרִאשֹׁנִים אֲשֶׁר הָיוּ עַל־הַמְּגִלָּה הָרִאשֹׁנָה אֲשֶׁר שָׂרָף
ことば−を 初めの ところの あった 巻物の上−に 巻物の上に 初めの ところの 焼いた
H1697 H7223 H0834 H1961 H5921 H4039 H7223 H0834 H8313

יְהוֹיָקִים מֶלֶךְ־יְהוּדָה׃
ヨヤキムが 王−の ユダの
H3079 H4428 H3063

「他の巻物を取り、ユダの王エホヤキムが焼いた、前の巻物のうちにある言葉を皆それに書きしるしなさい。

29

וְעַל־ יְהוֹיָקִים מֶלֶךְ־ יְהוּדָה תֹּאמַר כֹּה אָמַר יְהוָה אַתָּה
ヨヤキムに 王-の ユダの 言え こう 言った 主は あなたは
H3079 H4428 H3063 H0559 H3541 H0559 H3068

כִּי־ בֹא־ יָבוֹא מֶלֶךְ־ בָּבֶל וְהַשְׁחֵת אֶת־ הָאָרֶץ הַזֹּאת וְהִשְׁבִּית מִמֶּנָּה אָדָם וּבְהֵמָה׃
必ず 来る 王-が バビロンの そして-滅ぼす この 地-を そして-絶やす そこから 人-を そして-獣-を
H0935 H0935 H4428 H0894 H7843 H2063 H0776 H0853 H7843 H0120 H0929

כָּתַבְתָּ עָלֶיהָ לֵאמֹר מַדּוּעַ לֵאמֹר הַזֹּאת הַמְּגִלָּה אֶת־ שָׂרַפְתָּ
書いたのか その上に 言って なぜ 言って この 巻物-を この 焼いた
H3789 H0559 H4069 H0559 H2063 H4039 H0853 H8313

ס
[S]

またユダの王エホヤキムについて言いなさい、『主はこう仰せられる、あなたはこの巻物を焼いて言った、「どうしてあなたはこの巻物に、バビロンの王が必ず来てこの地を滅ぼし、ここから人と獣とを絶やす、と書いたのか」と。

30

לָכֵן כֹּה־ אָמַר יְהוָה עַל־ יְהוֹיָקִים מֶלֶךְ יְהוּדָה לֹא־ יִהְיֶה־
それゆえ こう 言った 主は ヨヤキムに 王 ユダの ない ある
H3541 H0559 H3068 H3079 H4428 H3063 H3808 H1961

לַחֹרֶב תְּהֻיֶה וְנִבְלָתוֹ מֻשְׁלֶכֶת לַקֶּרַח בַּיּוֹם וְלַשָּׁלֶג בַּלָּיְלָה׃
暑さ-に 投げ出される そして-屍-は 捨てられて 昼-に そして-寒さ-に 夜に
H2527 H1961 H5038 H7993 H3117 H7140 H3915

עַל־ כִּסֵּא דָוִד וְגוּפָתוֹ תִּהְיֶה מֻשְׁלֶכֶת לַחֹרֶב בַּיּוֹם וְלַקֶּרַח בַּלָּיְלָה׃
王座に ダビデの 死体は 投げ出される 昼-に そして-寒さ-に 夜に
H3678 H1732 H5038 H7993 H3117 H7140 H3915

それゆえ主はユダの王エホヤキムについてこう言われる、彼の子孫にはダビデの位にすわる者がなくなる。また彼の死体は捨てられて昼は暑さにあい、夜は霜にあう。

31

וּפָקַדְתִּי עָלָיו וְעַל־ זַרְעוֹ וְעַל־ עֲבָדָיו אֶת־ עֲוֹנָם
そして-罰する 彼-と 子孫と そして-子孫-と 僕たちに 彼らの 罪-を
H6485 H5921 H2233 H5921 H5650 H0853 H5771

וְהֵבֵאתִי עֲלֵיהֶם וְעַל־ יוֹשְׁבֵי יְרוּשָׁלַם וְעַל־ אִישׁ וְאֶל־ יְהוּדָה׃
そして-もたらす 彼ら-に そして-エルサレム-の 住民-に エルサレムの 人々に そして-ユダ-の
H0935 H5921 H3427 H3389 H0376 H0413

אֲשֶׁר־ דִּבַּרְתִּי אֲלֵיהֶם וְלֹא שָׁמֵעוּ׃
ところの 語った 彼らに そして-ない 聞かなかった
H1696 H0413 H3808 H8085

כָּל־ הָרָעָה אֲשֶׁר־ אֵת כָּל־ מִשְׁפָּחוֹת יְהוּדָה
すべての わざわい-を ところの すべて-の ユダの
H3605 H7451 H0853 H3063

ס
[S]

わたしはまた彼とその子孫とその家来たちをその罪のために罰する。また彼らとエルサレムの民とユダの人々には災を下す。この災のことについては、すでに語ったけれども、彼らは聞くことをしなかった』」。

32 וַיִּקַּח יִרְמְיָהוּ וַיִּתֵּן אֶל־בָּרוּךְ בֶּן־נֵרִיָּהוּ הַסֹּפֵר וַיִּכְתֹּב עָלָיו מִפִּי יִרְמְיָהוּ אֵת כָּל־דִּבְרֵי הַסֵּפֶר אֲשֶׁר שָׂרַף יְהוֹיָקִים מֶלֶךְ־יְהוּדָה בָּאֵשׁ וְעוֹד נוֹסָף עֲלֵיהֶם כִּדְבָרִים רַבִּים׃ ס

32 そしてエレミヤは巻物を取り、ネリヤの子書記バルクに渡した。そしてエレミヤの口から語られたユダの王ヨヤキムが火で焼いた書物のすべてのことばを、バルクはその書に書き記した。それらに加えられた同じような多くのことばがあった。

そこでエレミヤは他の巻物を取り、ネリヤの子書記バルクに与えたので、バルクはユダの王エホヤキムが火にくべて焼いた巻物のすべての言葉を、エレミヤの口述にしたがってそれに書きしるし、また同じような言葉を多くそれに加えた。

Chapter 37

1 וַיִּמְלֹךְ מֶלֶךְ־יְהוּדָה תַּחַת כָּנְיָהוּ בֶן־יְהוֹיָקִים צִדְקִיָּהוּ בֶן־יֹאשִׁיָּהוּ אֲשֶׁר הִמְלִיךְ נְבוּכַדְרֶאצַּר מֶלֶךְ־בָּבֶל בְּאֶרֶץ יְהוּדָה׃

1 ヨシヤの子ゼデキヤはエホヤキムの子コニヤに代って王となった。バビロンの王ネブカデレザルが彼をユダの地の王としたのである。

2 וְלֹא שָׁמַע הוּא וְעַבָדָיו וְעַם הָאָרֶץ אֶל־דִּבְרֵי יְהוָה אֲשֶׁר דִּבֶּר בְּיַד יִרְמְיָהוּ הַנָּבִיא׃

2 彼もその家来たちも、その地の人々も、主が預言者エレミヤによって語られた言葉に聞き従わなかった。

3 וַיִּשְׁלַח צִדְקִיָּהוּ הַמֶּלֶךְ וְאֶת־יְהוּכַל בֶּן־שֶׁלֶמְיָה וְאֶת־צְפַנְיָהוּ בֶן־מַעֲשֵׂיָהוּ הַכֹּהֵן אֶל־יִרְמְיָהוּ הַנָּבִיא לֵאמֹר הִתְפַּלֶל־נָא בַעֲדֵנוּ אֶל־יְהוָה אֱלֹהֵינוּ׃

3 ゼデキヤ王はセレミヤの子ユカルと、マアセヤの子祭司ゼパニヤを預言者エレミヤにつかわして、「われわれのために、われわれの神、主に祈ってください」と言わせた。

4 וְיִרְמְיָ֗הוּ בָּ֚א וְיֹצֵ֣א בְּתוֹךְ־הָעָ֔ם וְלֹא־נָתְנ֥וּ אֹת֖וֹ בְּבֵ֣ית הַכְּלֽוֹא׃ (הַכְּלִיא׀)
そして-エレミヤは 入り 出て-いた 中-で 民の まだ-なかった 入れられて 彼を 家-に
H3414 H0935 H3318 H8432 H3778 H5414 H0853 H0413
[ケティブ] H3628
牢獄の H3628

エレミヤは民の中に出入りしていた。まだ獄屋に入れられなかったからである。

5 וְחֵ֣יל פַּרְעֹ֗ה יָצָ֣א מִמִּצְרָ֔יִם וַיִּשְׁמְעוּ֙ הַכַּשְׂדִּ֔ים הַצָּרִ֖ים עַל־יְרוּשָׁלַ֑͏ִם וַיַּעֲל֥וּ מֵעַ֖ל יְרוּשָׁלָֽ͏ִם׃ פ
そして-軍勢-が ファラオの 出て-来た エジプトから 聞いた そして-カルデヤ人は
H2428 H6547 H3318 H4714 H8085 H3778
包囲していた者たちが 対して-に の 知らせを その-聞いた そして-撤退した から
H0413 H0853 H3389 H5927
[P]
エルサレムの H3389

パロの軍勢がエジプトから出て来たので、エルサレムを攻め囲んでいたカルデヤびとはその情報を聞いてエルサレムを退いた。

6 וַיְהִי֙ דְּבַר־יְהוָ֔ה אֶל־יִרְמְיָ֖הוּ הַנָּבִ֑יא לֵאמֹֽר׃
そして-あった ことば-が 主の に エレミヤの 預言者の 言って
H1961 H1697 H3068 H0413 H3414 H5030 H0559

その時、主の言葉は預言者エレミヤに臨んだ、

7 כֹּה־אָמַ֣ר יְהוָ֔ה אֱלֹהֵ֖י יִשְׂרָאֵ֑ל כֹּ֤ה תֹאמְרוּ֙ אֶל־מֶ֣לֶךְ יְהוּדָ֔ה הַשֹּׁלֵ֖חַ אֶתְכֶ֥ם אֵלַ֛י לִדְרֹשֵׁ֖נִי הִנֵּ֣ה חֵ֤יל פַּרְעֹה֙ הַיֹּצֵ֣א לָכֶ֔ם שָׁ֥ב לְאַרְצ֖וֹ מִצְרָֽיִם׃
こう こう 言え に 王-に ユダの 遣わした あなたがたを 私に 尋ねる-ために 見よ 軍勢-は ファラオの 出て-来た あなたがたの-ために 戻る その-地-へ エジプトの
H3541 H3541 H0559 H0413 H4428 H3063 H7971 H0853 H0413 H1875 H2009 H2428 H6547 H3318 H0776 H7725
助け-として
H5833

「イスラエルの神、主はこう言われる、あなたがたをつかわしてわたしに求めたユダの王にこう言いなさい、『あなたがたを救うために出てきたパロの軍勢はその国エジプトに帰ろうとしている。

8 וְשָׁבוּ֙ הַכַּשְׂדִּ֔ים וְנִלְחֲמ֖וּ עַל־הָעִ֣יר הַזֹּ֑את וְלָכְדָ֖הּ וּשְׂרָפֻ֥הָ בָאֵ֛שׁ׃ ס
そして-戻って-来る カルデヤ人は そして-戦う に-対して この-町を そして-これを-占領し
H7725 H3778 H5782 H5921 H2063 H3920
そして-これを-焼く 火-で
H8313 H0784
[S]

カルデヤびとが再び来てこの町を攻めて戦い、これを取って火で焼き滅ぼす。

9 כֹּ֣ה ׀ אָמַ֣ר יְהוָ֗ה אַל־תַּשִּׁ֤יאוּ לָכֶם֙ נַפְשֹׁתֵיכֶ֔ם לֵאמֹ֖ר הָלֹ֣ךְ יֵלֵ֑כוּ כִּ֣י לֹ֤א יָסִ֙ירוּ֙ מֵעָלֵ֔ינוּ הַכַּשְׂדִּ֖ים כִּ֥י לֹ֖א יֵלֵֽכוּ׃
こう 言った 主は 欺いて-は-ならない あなたがた-自身を 言って 必ず
H3541 H0559 H3068 H0408 H5377 H5315 H0559 H1980
去って-行く 私たちから カルデヤ人は なぜなら ない 去って-行か
H3212 H4480 H3778 H3588 H3808 H3212

主はこう言われる、あなたがたは、「カルデヤびとはきっとわれわれを離れ去る」といって自分を欺いてはならない。彼らは去ることはない。

10

אִתְּכֶם	הַנִּלְחָמִים	כַּשְׂדִּים	חֵיל	כָּל־	הִכִּיתֶם	אִם־	כִּי
あなたがたと	戦っている	カルデヤの	軍勢–を	すべて–の	打ち破った–としても	もし	たとえ
H0854		H3778	H2428	H3605	H5221		

יָקוּמוּ	בְּאָהֳלוֹ	אִישׁ	מְדֻקָּרִים	אֲנָשִׁים	בָּם	וְנִשְׂאֲרוּ
立ち–上がって	その–天幕の–中で	各々–が	刺し–貫かれた	者たちが	彼らの–中に	そして–残された
	H0168	H0376	H1856	H0376		H7604

בָּאֵשׁ׃	הַזֹּאת	הָעִיר	אֶת־	וְשָׂרְפוּ
火–で	この	この–町を	を	焼く–であろう
H0784	H2063		H0853	H8313

たといあなたがたが自分を攻めて戦うカルデヤびとの全軍を撃ち破って、その天幕のうちに負傷者のみを残しても、彼らは立ち上がって火でこの町を焼き滅ぼす』」。

11

חֵיל	מִפְּנֵי	יְרוּשָׁלַ͏ִם	מֵעַל	הַכַּשְׂדִּים	חֵיל	בְּהֵעָלוֹת	וְהָיָה
軍勢–の	の–ゆえに	エルサレムの	から	カルデヤの	軍勢–が	撤退した–時に	そして–なった
H2428	H6440	H3389		H3778	H2428	H5927	H1961

ס	פַּרְעֹה׃	
[S]	ファラオの	
	H6547	

さてカルデヤびとの軍勢がパロの軍勢の来るのを聞いてエルサレムを退いたとき、

12

לַחֲלֹק	בִּנְיָמִן	אֶרֶץ	לָלֶכֶת	מִירוּשָׁלַ͏ִם	יִרְמְיָהוּ	וַיֵּצֵא	
受け取る–ために	ビニヤミンの	地–へ	行く–ために	エルサレムから	エレミヤは	そして–出て–行った	
	H1144	H0776	H3212	H3389	H3414	H3318	

הָעָם׃	בְּתוֹךְ	מִשָּׁם	
民の	中–で	そこから	
	H8432	H8033	

エレミヤは、ベニヤミンの地で民のうちに自分の分け前を受け取るため、エルサレムを立ってその地へ行こうと、

13

וּשְׁמוֹ	פְּקֻדֹת	בַּעַל	וְשָׁם	בִּנְיָמִן	בְּשַׁעַר	הוּא	וַיְהִי־	
その–名は	見張りの	責任者–が	そして–そこに	ビニヤミンの	門–に–いた–時	彼が	そして–なった	
H8034	H6488	H1167	H8033	H1144	H8179	H1931	H1961	

יִרְמְיָהוּ	אֶת־	וַיִּתְפֹּשׂ	חֲנַנְיָה	בֶּן־	שֶׁלֶמְיָה	בֶּן־	יִרְאִיָּה
エレミヤを	を	そして–捕らえた	ハナニヤの	息子–の	シェレミヤの	息子–の	イルイヤで
H3414	H0853	H8610			H8018		H3376

נֹפֵל׃	אַתָּה	הַכַּשְׂדִּים	אֶל־	לֵאמֹר	הַנָּבִיא
逃げよう–として–いる	あなたは	カルデヤ人の–ところへ	へ	言って	預言者を
H5307		H3778	H0413	H0559	H5030

ベニヤミンの門に着いたとき、そこにハナニヤの子セレミヤの子でイリヤという名の番兵がいて、預言者エレミヤを捕え、「あなたはカルデヤびとの側に脱走しようとしている」と言った。

14 וַיֹּאמֶר יִרְמְיָהוּ שֶׁקֶר אֵינֶנִּי נֹפֵל עַל־ הַכַּשְׂדִּים
そして–言った エレミヤは 偽りだ 私は–ない 逃げよう–として へ カルデヤ人の–ところへ
H0559 H3414 H8267 H0369 H5307 H5307 H3778

וְלֹא שָׁמַע אֵלָיו וַיִּתְפֹּשׂ יִרְאִיָּה בִּירְמְיָהוּ וַיָּבֵא וַיְבִאֵהוּ אֶל־
しかし–なかった 聞か 彼に そして–捕らえた イルイヤは エレミヤを そして–連れて–行った へ
H3808 H8085 H0413 H8610 H3376 H3414 H0935 H0413

הַשָּׂרִים׃
役人たちの–もとへ
H8269

エレミヤは言った、「それはまちがいだ。わたしはカルデヤびとの側に脱走しようとしていない」。しかしイリヤは聞かず、エレミヤを捕えて、つかさたちのもとへ引いて行った。

15 וַיִּקְצְפוּ הַשָּׂרִים עַל־ יִרְמְיָהוּ וַיַּכּוּ אֹתוֹ וַיִּתְּנוּ אֹתוֹ בֵּית הָאֲסוּר בֵּית יְהוֹנָתָן הַסֹּפֵר כִּי־ אֹתוֹ עָשׂוּ לְבֵית הַכֶּלֶא׃
そして–怒った 役人たちは に–対して エレミヤに そして–打った 彼を そして–入れた 彼を 牢獄の 家–に エホナタンの 書記官の なぜなら それを した 牢獄–の 家–と
H7107 H8269 H5921 H3414 H5221 H0853 H5414 H0853 H0612 H0413 H3083 H5608 H3588 H0853 H6213 H3608

つかさたちは怒って、エレミヤを打ちたたき、書記ヨナタンの家の獄屋にいれた。この家が獄屋になっていたからである。

16 כִּי בָּא יִרְמְיָהוּ אֶל־ בֵּית הַבּוֹר וְאֶל־ הַחֲנִיּוֹת שָׁם וַיָּשֶׁב־ יִרְמְיָהוּ יָמִים רַבִּים׃ פ
なぜなら 入った エレミヤは に 穴蔵の そして 房–に そこに そして–とどまった エレミヤは 日々 多くの [P]
H3588 H0935 H3414 H0413 H1004 H2588 H8033 H3427 H3414 H3117 H7227 H6

エレミヤが地下の獄屋にはいって、そこに多くの日を送ってのち、

17 וַיִּשְׁלַח הַמֶּלֶךְ צִדְקִיָּהוּ וַיִּקָּחֵהוּ וַיִּשְׁאָלֵהוּ הַמֶּלֶךְ בְּבֵיתוֹ וַיֹּאמֶר יִרְמְיָהוּ יֵשׁ וַיֹּאמֶר יְהוָה מֵאֵת דָּבָר הֲיֵשׁ וַיֹּאמֶר בַּסֵּתֶר
そして–遣わした 王は ツィデキヤフが そして–連れて–来た そして–尋ねた 王は その–家–で エレミヤは あります そして–言った 主の から–の ことば–が ある–か そして–言った ひそかに
H7971 H4428 H6667 H3947 H7592 H4428 H1004 H3426 H0559 H3068 H0854 H1697 H3426 H0559 H5643

וַיֹּאמֶר בְּיַד מֶלֶךְ־ בָּבֶל תִּנָּתֵן׃ ס
そして–言った 手–に 王–の バビロンの 渡される [S]
H0559 H3027 H4428 H0894 H5414

ゼデキヤ王は人をつかわし、彼を連れてこさせた。王は自分の家でひそかに彼に尋ねて言った、「主から何かお言葉があったか」。エレミヤはあったと答えた。そして言った、「あなたはバビロンの王の手に引き渡されます」。

18 וַיֹּאמֶר יִרְמְיָהוּ אֶל־ הַמֶּלֶךְ צִדְקִיָּהוּ מָה חָטָאתִי לְךָ כִּי־ נְתַתֶּם אֹתִי אֶל־ בֵּית הַכֶּלֶא׃
そして–言った エレミヤは に 王 ツィデキヤフに 何–を 罪を–犯しました–か あなたに なぜ 入れたの–ですか 私を に 家–に 牢獄の
H0559 H3414 H0413 H4428 H6667 H4100 H2398 H3588 H5414 H0853 H0413 H1004 H3608

וְלָעָם הַזֶּה כִּי־ אֶל־ אֹתִי נְתַתֶּם וְלַעֲבָדֶיךָ׃
そして–この–民に なぜ 入れたの–ですか 私を に あなたの–家来たちに
H3588 H2088 H3588 H0413 H0853 H5414 H5650

エレミヤはまたゼデキヤ王に言った、「わたしが獄屋にいれられたのは、あなたに、またはあなたの家来に、あるいはこの民に、どのような罪を犯したからなのですか。

19

לֵאמֹר	לָכֶם	נִבְאוּ	אֲשֶׁר־	נְבִיאֵיכֶם	(וְאַיֵּה)	[ואין]
言って	あなたがたに	預言した	ところの	あなたがたの–預言者たちは	どこに–いますか	[ケティブ]
H0559		H5012		H5030	H0346	H0335

הַזֹּאת׃	הָאָרֶץ	וְעַל	עֲלֵיכֶם	בָּבֶל׀	מֶלֶךְ־	בָּא	לֹא־
この	この–地の	そして–に	あなたがたの–上に	バビロンの	王–は	来る	ない
H2063	H0776			H0894	H4428	H0935	H3808

あなたがたに預言して、『バビロンの王はあなたがたをも、この地をも攻めにこない』と言っていたあなたがたの預言者は今どこにいるのですか。

20

תְּחִנָּתִי׀	נָא	תִּפֹּל־	הַמֶּלֶךְ	אֲדֹנִי	נָא	שְׁמַע־	וְעַתָּה	
私の–嘆願–が	どうか	届いて–ください	王よ	わが–主よ	どうか	聞いて–ください	そして–今	
H8467	H4994	H5307	H4428	H0113	H4994	H8085	H6258	

הַסֹּפֵר	יְהוֹנָתָן	בֵּית	תְּשִׁבֵנִי	וְאַל־	לְפָנֶיךָ	
書記官の	エホナタンの	家–に	送り–返さないで–ください	どうか–ない–ように	御前–に	
	H3083		H7725	H0408	H6440	

שָׁם׃	אָמוּת	וְלֹא	
そこで	死な	そして–ない–ように	
H8033	H4191	H3808	

王なるわが君よ、どうぞ今お聞きください。わたしの願いをお聞きとどけください。わたしを書記ヨナタンの家へ帰らせないでください。そうでないと、わたしはそこで殺されるでしょう」。

21

הַמַּטָּרָה׀	בַּחֲצַר	יִרְמְיָהוּ	אֶת־	וַיַּפְקִדוּ	צִדְקִיָּהוּ	הַמֶּלֶךְ	וַיְצַוֶּה
監視の	庭–に	エレミヤを	を	そして–置いた	ツィデキヤフが	王は	そして–命じた
H4307		H3414	H0853		H6667	H4428	H6680

תֹּם	עַד־	הָאֹפִים	מִחָוץ	לַיּוֹם׀	לֶחֶם	כִּכַּר־	לוֹ	וְנָתֹן׀
尽きる	まで	パン–屋の	通り–から	日ごとに	パンの	丸い–パン–を	彼に	そして–与えた
H8552	H5704	H0644	H2351	H3117	H3899	H3603		H5414

הַמַּטָּרָה׃	בַּחֲצַר	יִרְמְיָהוּ	וַיֵּשֶׁב	הָעִיר	מִן־	הַלֶּחֶם	כָּל־
監視の	庭–に	エレミヤは	そして–とどまった	町の	から	パン–が	すべて–の
H4307		H3414	H3427			H3899	H3605

そこでゼデキヤ王は命を下し、エレミヤを監視の庭に入れさせ、かつ、パンを造る者の町から毎日パン一個を彼に与えさせた。これは町にパンがなくなるまで続いた。こうしてエレミヤは監視の庭にいた。

Chapter 38

1

פַּשְׁחוּר	בֶּן־	וּגְדַלְיָהוּ	מַתָּן	בֶּן־	שְׁפַטְיָה	וַיִּשְׁמַע	
パシュフルの	息子–の	そして–ゲダリヤフは	マッタンの	息子–の	シェファティヤは	そして–聞いた	
H6583			H4977		H8203	H8085	

אֶת־	מַלְכִּיָּה	בֶּן־	וּפַשְׁחוּר	שֶׁלֶמְיָהוּ	בֶּן־	וְיוּכַל׀	
を	マルキヤの	息子–の	そして–パシュフルは	シェレミヤフの	息子–の	そして–ユカルは	
H0853	H4441		H6583	H8018		H3116	

ס	לֵאמֹר׃	הָעָם	כָּל־	אֶל־	מְדַבֵּר	יִרְמְיָהוּ	אֲשֶׁר	הַדְּבָרִים
[S]	言って	民に	すべて–の	に	語っていた	エレミヤが	ところの	ことば–を
	H0559		H3605	H0413	H1696	H3414		H1697

マッタンの子シパテヤ、パシュルの子ゲダリヤ、セレミヤの子ユカル、マルキヤの子パシュルはエレミヤがすべての民に告げていたその言葉を聞いた。

בָּרָעָב	בַּחֶרֶב	וּבַמָּוֶת	הַזֹּאת	בָּעִיר	הַיֹּשֵׁב	יְהוָה	אָמַר	כֹּה	2
飢饉-によって	剣-によって	死ぬ	この	この-町-に	とどまる-者は	主は	言った	こう	
H7458	H2719	H4191	H2063		H3427	H3068	H0559	H3541	

(וְחָיָה)	[יחיה]	הַכַּשְׂדִּים	אֶל־	וְהַיֹּצֵא	וּבַדֶּבֶר	
生きる	[ケティブ]	カルデヤ人の-もとへ	へ	しかし-出て-行く-者は	そして-疫病-によって	
H2421	H2421	H3778	H0413	H3318	H1698	

ס	וָחָי׃	לְשָׁלָל	נַפְשׁוֹ	לוֹ	וְהָיְתָה־
[S]	そして-生きる	戦利品-と	その-命-が	彼にとって	そして-なる
	H2421	H7998	H5315		H1961

彼は言った、「主はこう言われる、この町にとどまる者は、つるぎや、ききんや、疫病で死ぬ。しかし出てカルデヤびとにくだる者は死を免れる。すなわちその命を自分のぶんどり物として生きることができる。

בָּבֶל	מֶלֶךְ־	חֵיל	בְּיַד	הַזֹּאת	הָעִיר	תִּנָּתֵן	הִנָּתֵן	יְהוָה	אָמַר	כֹּה	3
バビロンの	王-の	軍勢-の	手-に	この	この-町は	渡される	必ず	主は	言った	こう	
H0894	H4428	H2428	H3027	H2063		H5414	H5414	H3068	H0559	H3541	

וּלְכָדָהּ׃
そして-占領する
H3920

主はこう言われる、この町は必ずバビロンの王の軍勢の手に渡される。彼はこれを取る」。

הַזֶּה	הָאִישׁ	אֶת־	נָא	יוּמַת	הַמֶּלֶךְ	אֶל־	הַשָּׂרִים	וַיֹּאמְרוּ		4
この	この-人-は	を	どうか	殺されるべき-です	王に	に	役人たちは	そして-言った		
H2088	H0376	H0853	H4994	H4191	H4428	H0413	H8269	H0559		

וְהַנִּשְׁאָרִים	הַמִּלְחָמָה	אַנְשֵׁי	יְדֵי	אֶת־	מְרַפֶּא	הוּא־	כֵּן	עַל־	כִּי־
残っている	戦い-の	人々-の	手-を	を	弱めている	彼は	そのように	に-おいて	なぜなら
H7604	H4421	H0376	H3027	H0853	H7503	H1931			

כַּדִּבְרֵים	אֲלֵיהֶם	לְדַבֵּר	הָעָם	כָּל־	יְדֵי	וְאֶת	הַזֹּאת	בָּעִיר	
ことば-の-ように	彼らに	語る-ことで	民の	すべて-の	手-を	そして	この	この-町-に	
H1697	H0413	H1696		H3605	H3027	H0853	H2063		

אִם־	כִּי	הַזֶּה	לָעָם	לְשָׁלוֹם	דֹּרֵשׁ	אֵינֶנּוּ	הַזֶּה	הָאִישׁ	כִּי	הָאֱלֹה	
ただ	むしろ	この	民-の	平安-を	求めて	ない	この	この-人は	なぜなら	これらの	
		H2088		H7965	H1875	H0369	H2088	H0376		H0428	

לְרָעָה׃
わざわい-を

すると、つかさたちは王に言った、「この人を殺してください。このような言葉をのべて、この町に残っている兵士の手と、すべての民の手を弱くしているからです。この人は民の安泰を求めないで、その災を求めているのです」。

אֵין	כִּי־	בְיֶדְכֶם	הִוא	הִנֵּה־	צִדְקִיָּהוּ	הַמֶּלֶךְ	וַיֹּאמֶר		5
ない	なぜなら	あなたがたの-手-に-ある	彼は	見よ	ツィデキヤフが	王は	そして-言った		
H0369		H3027	H1931	H2009	H6667	H4428	H0559		

דָּבָר׃	אֶתְכֶם	יוּכַל	הַמֶּלֶךְ
何-も	あなたがたに-対して	できる	王は
H1697	H0853	H3201	H4428

ゼデキヤ王は言った、「見よ、彼はあなたがたの手にある。王はあなたがたに逆らって何事をもなし得ない」。

6 וַיִּקְחוּ֙ אֶת־יִרְמְיָ֔הוּ וַיַּשְׁלִכוּ֙ אֹת֔וֹ אֶל־הַבּ֖וֹר מַלְכִּיָּ֣הוּ
そして-取った を エレミヤを そして-投げ込んだ に 穴-の-中に マルキヤフの
H3947 H0853 H3414 H7993 H0853 H0413 H4441

בֶּן־הַמֶּ֣לֶךְ אֲשֶׁ֣ר בַּחֲצַ֣ר הַמַּטָּרָ֗ה וַיִּשְׁלְח֤וּ אֶת־יִרְמְיָהוּ֙ בַּחֲבָלִ֔ים
息子-の 王の ところの 庭-に-ある 監視の そして-降ろした を エレミヤを 綱-で
H4429 H0834 H4307 H7971 H0853 H3414 H2916

וַיִּטְבַּ֥ע יִרְמְיָ֖הוּ בַּבּ֑וֹר וּבַבּ֕וֹר אֵין־מַ֖יִם כִּ֥י אִם־טִ֖יט
そして-沈んだ エレミヤは そして-穴の-中には なかった 水は ただ のみ 泥が-あった
H2883 H3414 H0369 H4325 H0834 H0834 H2916

בַּטִּֽיט׃ ס
泥の-中に [S]
H2916

そこで彼らはエレミヤを捕え、監視の庭にある王子マルキヤの穴に投げ入れた。すなわち、綱をもってエレミヤをつり降ろしたが、その穴には水がなく、泥だけであったので、エレミヤは泥の中に沈んだ。

7 וַיִּשְׁמַ֣ע עֶבֶד־מֶ֠לֶךְ הַכּוּשִׁ֨י סָרִ֜יס אִ֣ישׁ הַכּוּשִׁ֗י וְהוּא֙ בְּבֵ֣ית
そして-聞いた エベデ-メレクは クシュ人で 王-の 宦官で 人で 彼は 家-に-いた
H8085 H5663 H5663 H3569 H0376 H5631 H1931 H1004

הַמֶּ֔לֶךְ בְּשִׁבְתּ֥וֹ הַמֶּ֖לֶךְ בְּשַׁ֣עַר בִּנְיָמִ֑ן
王の 座っていた そして-王は 門-に ビニヤミンの
H4428 H3427 H4428 H8179 H1144

וְהַמֶּ֗לֶךְ הַבּ֤וֹר אֶל־יִרְמְיָהוּ֙ אֶת־נָתְנ֣וּ כִּֽי־
そして-王は 穴-の-中に に エレミヤを を 入れた のことを
H4428 H0413 H3414 H0853 H5414

בְנְיָמִֽן׃
ビニヤミンの
H1144

王の家の宦官エチオピヤびとエベデメレクは、彼らがエレミヤを穴に投げ入れたことを聞いた。その時、王はベニヤミンの門に座していたので、

8 וַיֵּצֵ֥א עֶבֶד־מֶ֖לֶךְ מִבֵּ֣ית הַמֶּ֑לֶךְ וַיְדַבֵּ֖ר אֶל־הַמֶּֽלֶךְ׃
そして-出て-行った エベデ-メレクは 王-の から 王の-家の 語った に 王に
H3318 H5663 H4428 H1696 H0413 H4428

לֵאמֹֽר׃
言って
H0559

エベデメレクは王の家から出て行って王に言った、

9 אֲדֹנָ֣י הַמֶּ֔לֶךְ הֵרֵ֣עוּ הָאֲנָשִׁ֤ים הָאֵ֙לֶּה֙ אֵ֚ת כָּל־אֲשֶׁ֣ר עָשׂ֔וּ
わが-主よ 王よ 悪いこと-を-した この-人たちは これらの の すべて-の ことを 行った
H0113 H4428 H7489 H0376 H0428 H0853 H3605 H0834 H6213

אֶת־יִרְמְיָ֖הוּ הַנָּבִ֑יא אֲשֶׁ֥ר הִשְׁלִ֛יכוּ אֶל־הַבּ֖וֹר וַיָּ֣מָת
エレミヤに 預言者に すなわち の-ことを 投げ込んだ に 穴-の-中に そして-彼は-死ぬ
H3414 H5030 H0853 H0834 H7993 H0413 H1004 H4191

בַּמָּקֹ֥ם אֲשֶׁר־שָׁ֖ם כִּ֣י אֵ֣ין לֶ֔חֶם עוֹד֙ בָּעִ֔יר׃
その-場所-で の-ゆえに 飢えの なぜなら ない パン-が もう 町-に
H8478 H6440 H7458 H3899 H0369 H5750

「王なるわが君よ、この人々が預言者エレミヤにしたことはみな良いことではありません。彼を穴に投げ入れました。町に食物がなくなりましたから、彼はそこで餓死するでしょう」。

10

קַח	לֵאמֹר	הַכּוּשִׁי	מֶלֶךְ	עֶבֶד־	אֶת	הַמֶּלֶךְ	וַיְצַוּ	
連れて–行け	言って	クシュ人に	王–の	エベデ–メレクに	に	王は	そして–命じた	
H3947	H0559	H3569	H5663	H5663	H0853	H4428	H6680	

הַנָּבִיא	יִרְמְיָהוּ	אֶת־	וְהַעֲלִיתָ	אֲנָשִׁים	שְׁלֹשִׁים	מִזֶּה	בְּיָדֶךָ	
預言者を	エレミヤを	を	そして–引き上げよ	者たちを	三十–人の	ここから	あなたの–手–で	
H5030	H3414	H0853	H5927	H0376	H7970	H2088	H3027	

מָוֶת׃	בְּטֶרֶם	הַבּוֹר	מִן־
死ぬ	前に	穴の	から
H4191	H2962		

王はエチオピヤびとエベデメレクに命じて言った、「ここから三人のひとを連れて行って、預言者エレミヤを、死なないうちに穴から引き上げなさい」。

11

הַמֶּלֶךְ	בֵּית־	וַיָּבֹא	בְּיָדוֹ	הָאֲנָשִׁים	אֶת־	מֶלֶךְ	עֶבֶד־	וַיִּקַּח
王の	家–の	そして–来た	その–手–で	人たちを	を	王–の	エベデ–メレクは	そして–連れた
H4428		H0935	H3027	H0376	H0853	H5663	H5663	H3947

וּבְלוֹיֵ	(סְחָבוֹת	]הסחבות[	בְּלוֹיֵ	מִשָּׁם	וַיִּקַּח	הָאוֹצָר	תַּחַת	אֶל־
そして–古い	ぼろ布–と	[ケティブ]	古い	そこから	そして–取った	宝物庫の	下–の	の
H1094	H5499	H5499	H1094	H8033	H3947	H0214	H8478	H0413

בַּחֲבָלִים׃	הַבּוֹר	אֶל־	יִרְמְיָהוּ	אֶל־	וַיְשַׁלְּחֵם	מְלָחִים
綱–で	穴–の–中に	に	エレミヤへ	へ	そして–降ろした	ぼろ切れ–を
		H0413	H3414	H0413	H7971	H4418

そこでエベデメレクはその人々を連れて王の家の倉の衣服室に行き、そこから古い布切れや、着ふるした着物を取り、これを穴の中にいるエレミヤのところへ、綱をもってつり降ろした。

12

נָא	שִׂים	יִרְמְיָהוּ	אֶל־	הַכּוּשִׁי	מֶלֶךְ	עֶבֶד־	וַיֹּאמֶר	
どうか	置いて–ください	エレミヤに	に	クシュ人は	王–の	エベデ–メレクは	そして–言った	
H4994		H3414	H0413	H3569	H5663	H5663	H0559	

וַיַּעַשׂ	לַחֲבָלִים	מִתָּחַת	יָדֶיךָ	אֲצִלוֹת	תַּחַת	וְהַמְּלָחִים	הַסְּחָבוֹת	בְּלוֹאֵי
そして–した	綱の	下–に	あなたの–腕の	脇の–下に	下–の	ぼろ切れ–を	ぼろ布–と	古い
		H8478	H3027	H0679	H8478	H4418	H5499	H1094

כֵּן׃	יִרְמְיָהוּ	
そのように	エレミヤは	
	H3414	

そしてエチオピヤびとエベデメレクは、「この布切れや着物を、あなたのわきの下にはさんで、綱に当てなさい」とエレミヤに言った。エレミヤはそのようにした。

13

הַבּוֹר	מִן־	אֹתוֹ	וַיַּעֲלוּ	בֶּחַבָּלִים	יִרְמְיָהוּ	אֶת־	וַיִּמְשְׁכוּ	
穴の	から	彼を	そして–上げた	綱–で	エレミヤを	を	そして–引き上げた	
		H0853	H5927		H3414	H0853	H4900	

ס	הַמַּטָּרָה׃	בַּחֲצַר	יִרְמְיָהוּ	וַיֵּשֶׁב	
[S]	監視の	庭–に	エレミヤは	そして–とどまった	
	H4307		H3414	H3427	

すると彼らは綱をもってエレミヤを穴から引き上げた。そしてエレミヤは監視の庭にとどまった。

14 וַיִּשְׁלַ֣ח הַמֶּ֣לֶךְ צִדְקִיָּ֗הוּ וַיִּקַּ֤ח אֶת־ יִרְמְיָ֙הוּ֙ הַנָּבִ֔יא
そして–遣わした 王は ツィデキヤフが そして–連れて–来た を エレミヤを 預言者を
H7971 H4428 H6667 H3947 H0853 H3414 H5030

אֵלָ֔יו אֶל־ אֶל־ הַשְּׁלִישִׁ֖י בַּבַּ֣יִת יְהוָ֑ה וַיֹּ֣אמֶר הַמֶּ֔לֶךְ אֵ֖לָיו
彼の–もとへ に 第三の ところの にある 主の–家の そして–言った 王は に
H0413 H0413 H7992 אֲשֶׁר H1004 H3068 H0559 H4428 H0413

דָּבָ֑ר׃ מִמֶּ֖נִּי תְּכַחֵ֥ד אַל־ דָּבָ֛ר אֹתְךָ֥ אֲנִ֖י שֹׁאֵ֥ל יִרְמְיָ֔הוּ
こと–を 私から 隠しては–ならない ない–ように こと–を あなたに 私は 尋ねる エレミヤに
H1697 H3582 H0408 H1697 H0853 H0589 H7592 H3414

ゼデキヤ王は人をつかわして預言者エレミヤを主の宮の第三の門に連れてこさせ、王はエレミヤに言った、「あなたに尋ねたいことがある。何事もわたしに隠してはならない」。

15 הֲמוֹת֙ תָּמ֔וּת הֲלוֹא֙ אִם־ לְךָ֣ אַגִּ֔יד כִּ֥י צִדְקִיָּ֖הוּ אֶל־ יִרְמְיָ֑הוּ וַיֹּ֣אמֶר
必ず では–ないか あなたに 告げたら もし ツィデキヤフに に エレミヤは そして–言った
H4191 H3808 H5046 H6667 H0413 H3414 H0559

אֵלָ֖י׃ תִּשְׁמַ֥ע לֹ֛א אִיעָצְךָ֥ וְכִי֙ תְמִיתֵ֔נִי
私に 聞か ない 助言しても そして–もし 殺す–でしょう
H0413 H8085 H3808 H3289 H4191

エレミヤはゼデキヤに言った、「もしわたしがお話するなら、あなたは必ずわたしを殺されるではありませんか。たといわたしが忠告をしても、あなたはお聞きにならないでしょう」。

16 יְהוָ֔ה חַי־ לֵאמֹ֣ר בַּסֵּ֑תֶר יִרְמְיָ֖הוּ אֶל־ צִדְקִיָּ֥הוּ הַמֶּ֛לֶךְ וַיִּשָּׁבַ֥ע
主は 生きておられる 言って ひそかに エレミヤに に ツィデキヤフが 王は そして–誓った
H3068 H0559 H3414 H0413 H6667 H4428 H7650

וְאִם־ אֲמִיתֶ֔ךָּ אִם־ הַזֹּ֣את הַנֶּ֔פֶשׁ אֶת־ לָ֑נוּ עָשָׂ֥ה אֲשֶׁר֙ [אֵת]
そして–もし 殺す–なら もし この 命–を を 私たちに 造った ところの [ケティブ]
H4191 H2063 H5315 H0853 H0853

ס נַפְשֶׁ֖ךָ׃ מְבַקְשִׁ֥ים אֶת־ אֲשֶׁר֙ הָאֵ֣לֶּה הָאֲנָשִׁ֔ים בְּיַד֙ אֶתְּנְךָ֖
[S] あなたの–命を を 求めている ところの これらの 人たち–の 手–に 渡す–なら
H5315 H0853 H1245 H0428 H0376 H3027 H5414

その時ゼデキヤ王は、ひそかにエレミヤに誓って言った、「われわれの魂を造られた主は生きておられる。わたしはあなたを殺さない、またあなたの命を求める者の手に、あなたを渡すこともしない」。

17 אֱלֹהֵ֣י צְבָאוֹת֮ אֱלֹהֵי֒ יְהוָה֙ אָמַ֣ר כֹּ֔ה צִדְקִיָּ֖הוּ אֶל־ יִרְמְיָ֑הוּ וַיֹּ֣אמֶר
神–の 万軍の 神–の 主は 言った こう ツィデキヤフに に エレミヤは そして–言った
H0430 H0430 H3068 H0559 H3541 H6667 H0413 H3414 H0559

וָחָיְתָ֔ה בָּבֶ֑ל מַלְכֵ֣י שָׂרֵ֖י אֶל־ תֵּצֵ֥א אִם־ יָצֹ֛א יִשְׂרָאֵ֥ל
生きる バビロンの 王–の 将軍たち–の–もとへ に 出て–行く–なら 必ず もし イスラエルの
H2421 H0894 H4428 H8269 H0413 H3318 H3318 H3478

אַתָּ֖ה וְחָיְתָ֑ה בָּאֵ֣שׁ תִּשָּׂרֵ֔ף לֹ֣א הַזֹּ֣את וְהָעִ֔יר נַפְשֶׁ֖ךָ
あなたは そして–生きる 火–で 焼かれ ない この そして–この–町は あなたの–命は
H2421 H0784 H8313 H3808 H2063 H5315

וּבֵיתֶֽךָ׃
あなたの–家–も

そこでエレミヤはゼデキヤに言った、「万軍の神、イスラエルの神、主はこう仰せられる、もしあなたがバビロンの王のつかさたちに降伏するならば、あなたの命は助かり、またこの町は火で焼かれることなく、あなたも、あなたの家の者も生きながらえることができる。

18

וְאִם־ לֹא־ תֵצֵא אֶל־ שָׂרֵי֙ מֶ֣לֶךְ בָּבֶ֔ל וְנִתְּנָ֥ה
しかし–もし ない に 将軍たち–の–もとへ 王–の バビロンの 渡される
H3808 H3318 H0413 H8269 H4428 H0894 H5414

הָעִ֣יר הַזֹּ֔את בָּאֵ֖שׁ וּשְׂרָפ֣וּהָ הַכַּשְׂדִּ֑ים בְּיָדָ֥ם תִּמָּלֵ֖ט לֹא־ וְאַתָּ֥ה
この–町は この 火–で そして–焼く カルデヤ人の 手–に 逃れ ない そして–あなたは
H2063 H0784 H8313 H3778 H3027 H4422 H3808

מִיָּדָֽם׃ ס
彼らの–手から [S]
H3027

しかし、もしあなたが出てバビロンの王のつかさたちに降伏しないならば、この町はカルデヤびとの手に渡される。彼らは火でこれを焼く。あなたはその手をのがれることができない」。

19

וַיֹּ֤אמֶר הַמֶּ֙לֶךְ֙ צִדְקִיָּ֣הוּ אֶל־ יִרְמְיָ֔הוּ אֲנִ֣י דֹאֵ֔ג אֶת־
そして–言った 王は ツィデキヤフが に 私は 恐れている を
H0559 H4428 H6667 H0413 H3414 H0589 H1672 H0853

הַיְהוּדִ֗ים אֲשֶׁ֤ר נָפְלוּ֙ אֶל־ הַכַּשְׂדִּ֔ים פֶּן־ יִתְּנ֥וּנִי בְיָדָ֖ם וְהִתְעַלְּל֥וּ בִֽי׃ פ
ユダヤ人たちを ところの 逃げ–去った に カルデヤ人の–もとに ない–ように 渡す 私を 虐待する 私を [P]
H3064 H0834 H5307 H0413 H3778 H6435 H5414 H0853 H1697 H0589

ゼデキヤ王はエレミヤに言った、「わたしはカルデヤびとに脱走したユダヤ人を恐れている。カルデヤびとはわたしを彼らの手に渡し、彼らはわたしをはずかしめる」。

20

וַיֹּ֣אמֶר יִרְמְיָ֗הוּ לֹ֤א יִתֵּנוּ֙ שְׁמַע־ נָ֣א בְקֹ֤ול יְהוָה֙ אֲשֶׁ֣ר אֲנִ֣י
そして–言った エレミヤは ない 渡さ 聞いて–ください どうか 声–に 主の ところの 私が
H0559 H3414 H3808 H5414 H8085 H4994 H0559 H3068 H0834 H0589

מְדַבֵּ֣ר אֵלֶ֔יךָ וְיִיטַ֥ב לְךָ֖ וּתְחִ֣י נַפְשֶֽׁךָ׃
語る あなたに そうすれば–良くなる あなたに そして–生きる あなたの–命は
H1696 H0413 H3190 H0413 H2421 H5315

エレミヤは言った、「彼らはあなたを渡さないでしょう。どうか、わたしがあなたに告げた主の声に聞き従ってください。そうすれば幸を得、また命が助かります。

21

וְאִם־ מָאֵ֣ן אַתָּ֔ה לָצֵ֖את זֶ֣ה הַדָּבָ֑ר אֲשֶׁ֥ר הִרְאַ֖נִי
しかし–もし 拒む–なら あなたが 出て–行く–ことを これが ことば–で–ある ところの 示された
H3808 H3986 H0859 H3318 H2088 H1697 H0834 H7200

יְהוָֽה׃
主が
H3068

しかし降伏することを拒むならば、主がわたしに示された幻を申しましょう。

22 וְהִנֵּה כָּל־הַנָּשִׁים אֲשֶׁר נִשְׁאַרוּ בְּבֵית מֶלֶךְ־יְהוּדָה מוּצָאוֹת
そして-見よ すべて-の 女たち-が ところの 残っている 家-に 王-の ユダの 連れ-出される
H2009 H3605 H0802 H0428 H7604 H1004 H4428 H3063 H3318

אֶל־מֶלֶךְ בָּבֶל וְהֵנָּה אֹמְרוֹת הִסִּיתוּךְ
に 王-の バビロンの そして-彼女たちは 言う そそのかした
H0413 H4428 H0894 H2007 H0559 H5496

שָׂרֶיךָ טָבְעוּ בַּבִּיץ רַגְלֶךָ נָסֹגוּ
将軍たち-の-もとに 沈めた 泥-の-中に あなたの-足-を 退いた
H8269 H2883 H1206 H7272 H5472

וְיָכְלוּ לְךָ אַנְשֵׁי שְׁלֻמֶּיךָ הַסָּתוּמִים אָחוֹר׃
そして-打ち勝った あなたに 人々-が あなたの-親しい 後ろ-に
H3201 H0376 H7965 H2883 H0268

すなわち、ユダの王の家に残っている女たちは、みなバビロンの王のつかさたちの所へ引いて行かれます。その女たちは言うのです、『あなたの親しい友だちがあなたを欺いた、そしてあなたに勝った。今あなたの足は泥に沈んでいるので、彼らはあなたを捨てて去る』。

23 וְאֶת־כָּל־נָשֶׁיךָ וְאֶת־בָּנֶיךָ מוֹצִאִים אֶל־הַכַּשְׂדִּים
そして 全て-の あなたの-妻たち-と そして あなたの-子どもたち-を 連れ-出す に
H0853 H3605 H0802 H0853 H3318 H0413

וְאַתָּה לֹא־תִמָּלֵט מִיַּד כִּי בְיַד־מֶלֶךְ בָּבֶל תִּלָּכֵד
そして-あなたは ない 逃れ 彼らの-手から なぜなら 手-に 王-の バビロンの 捕らえられる
H3778 H3808 H4422 H3027 H3027 H4428 H0894 H3920

וְאֶת־הָעִיר הַזֹּאת תִּשְׂרֹף בָּאֵשׁ׃ פ
そして この-町-を この 焼く 火-で [P]
H0853 H2063 H8313 H0784

あなたの妻たちと子供たちは皆カルデヤびとの所へひき出される。あなた自身もその手をのがれることができず、バビロンの王に捕えられる。そしてこの町は火で焼かれるでしょう」。

24 וַיֹּאמֶר צִדְקִיָּהוּ אֶל־יִרְמְיָהוּ אִישׁ אַל־יֵדַע
そして-言った ツィデキヤフは に エレミヤに だれ-にも ない-ように 知られ
H0559 H6667 H0413 H3414 H0376 H0408 H3045

וְלֹא תָמוּת׃ הָאֵלֶּה בַּדְּבָרִים־
そうすれば-ない 死な これらの これらの-ことば-を
H3808 H4191 H0428 H1697

ゼデキヤはエレミヤに言った、「これらの言葉を人に知らせてはならない。そうすればあなたは殺されることはない。

25 וְכִי־יִשְׁמְעוּ הַשָּׂרִים כִּי־דִבַּרְתִּי אֹתָךְ וּבָאוּ אֵלֶיךָ
そして-もし 聞いたら 役人たちが のことを 話した あなたと そして-来て あなたの-もとに
H0413 H0935 H0854 H1696 H3588 H8269 H8085

וְאָמְרוּ אֵלֶיךָ הַגִּידָה־נָּא לָנוּ מַה־דִּבַּרְתָּ אֶל־הַמֶּלֶךְ אַל־
そして-言う あなたに どうか 告げよ 私たちに 何-を 話した-か に 王に ない-ように
H0559 H0413 H4994 H5046 H0413 H4100 H1696 H0413 H4428 H0408

וְגַם לֹא־תִמָּנֵנוּ מִמֶּנּוּ תַּכְחֵד וְלֹא נְמִיתֶךָּ וּמַה־דִּבֶּר אֵלֶיךָ הַמֶּלֶךְ׃
そうすれば-ない 殺さ そして-何-を 語った-か あなたに 王は
H3808 H4191 H4100 H1696 H0413 H4428

私たちから 隠すな
H3582

わたしがあなたと話をしたことを、つかさたちが聞いて、彼らがあなたの所に来て、『あなたが王に話したこと、王があなたに話したことをわれわれに告げなさい。何事も隠してはならない。われわれはあなたを殺しはしない』と言うならば、

26 וְאָמַרְתָּ אֲלֵיהֶם מַפִּיל־ אֲנִי תְּחִנָּתִי לִפְנֵי הַמֶּלֶךְ לְבִלְתִּי
そして–言いなさい 彼らに 願い出ている 私は 嘆願–を 前–に 王の ない–ように
H0559 H0413 H5307 H0589 H8467 H6440 H4428 H1115

פ יְהוֹנָתָן לָמוּת שָׁם׃ בֵּית הֲשִׁיבֵנִי
[P] エホナタンの 死ぬ–ために そこで 家–に 送り–返さない–ように
H3083 H4191 H8033 H7725

あなたは彼らに、『わたしは王に願って、わたしをヨナタンの家に送り返さず、そこで死ぬことのないようにしてくださいと言った』と答えなさい」。

27 וַיָּבֹאוּ כָּל־ הַשָּׂרִים אֶל־ יִרְמְיָהוּ וַיִּשְׁאֲלוּ אֹתוֹ וַיַּגֶּד
そして–来た すべて–の 役人たちが の–もとに エレミヤの そして–尋ねた 彼に そして–告げた
H0935 H3605 H8269 H0413 H3414 H7592 H0853 H5046

מִמֶּנּוּ וַיֶּחֱרַשׁ הַמֶּלֶךְ צִוָּה אֲשֶׁר הָאֵלֶּה הַדְּבָרִים כְּכָל־ לָהֶם
彼から そして–黙った 王が 命じた ところの これらの ことば–の–とおりに すべて–の 彼らに
H1992 H3605 H1697 H0428 H4307 H6680 H3605 H4428

פ הַדָּבָר׃ נִשְׁמַע לֹא־ כִּי
[P] そのことは 聞かれ なかった なぜなら
H1697 H8085 H3808

さて、つかさたちは皆エレミヤのところへ来て尋ねたが、王が彼に教えたように彼らに答えたので、彼らは彼と話すことをやめた。その会話を聞いた者がなかったからである。

28 וַיֵּשֶׁב יִרְמְיָהוּ בַּחֲצַר הַמַּטָּרָה עַד־ יוֹם אֲשֶׁר־ נִלְכְּדָה
そして–とどまった エレミヤは 庭–に 監視の まで–の 日 ところの 占領された
H3427 H3414 H2691 H4307 H5704 H3117 H3920

פ יְרוּשָׁלִָם׃ נִלְכְּדָה כַּאֲשֶׁר וְהָיָה ס יְרוּשָׁלִָם
[P] エルサレムは 占領された 時に そして–なった [S] エルサレムが
H3389 H3920 H1961 H3389

エレミヤはエルサレムの取られる日まで監視の庭にとどまっていた。

Chapter 39

1 בַּשָּׁנָה הַתְּשִׁעִית לְצִדְקִיָּהוּ מֶלֶךְ־ יְהוּדָה בַּחֹדֶשׁ הָעֲשִׂירִי בָּא נְבוּכַדְרֶאצַּר
その–年に 第–九の ツィデキヤの 王 ユダの その–月に 第–十の 来た ネブカドレツァル
H8141 H8671 H6667 H4428 H3063 H2320 H6224 H0935 H5019

עָלֶיהָ׃ וַיָּצֻרוּ יְרוּשָׁלִָם אֶל־ חֵילוֹ וְכָל־ בָּבֶל מֶלֶךְ־
それを そして–包囲した エルサレム に その–軍勢は そして–全ての バビロンの 王
H3389 H0413 H2428 H3605 H0894 H4428

ס
(段落記号)

ユダの王ゼデキヤの九年十月、バビロンの王ネブカデレザルはその全軍を率い、エルサレムに来てこれを攻め囲んだが、

2 בִּעַשְׂתֵּי־ עֶשְׂרֵה שָׁנָה לְצִדְקִיָּהוּ בַּחֹדֶשׁ הָרְבִיעִי בְּתִשְׁעָה לַחֹדֶשׁ הָבְקְעָה הָעִיר׃
一の 第–十– 年に ツィデキヤの その–月に 第–四の 第–九の 日に 破られた その–町は
H6240 H6249 H8141 H6667 H2320 H7243 H8672 H2320 H1234

ゼデキヤの十一年四月九日になって町の一角が破れた。

3

הַתָּוֶךְ	בְּשַׁעַר	וַיֵּשְׁבוּ	בָּבֶל	מֶלֶךְ־	שָׂרֵי	כֹּל	וַיָּבֹאוּ	
中央の	門に	そして–座った	バビロンの	王の	首長たちは	全ての	そして–入って来た	
H8432	H8179	H3427	H0894	H4428	H8269	H3605	H0935	

שַׂר־	נְרְגַל	סַרְיס	רַב־	סְכִים	שַׂר־	נְבוֹ	סַמְגַר־	אֶצֶר	שַׂר־	נְרְגַל
長官	ネルガル	サリス	ラブ–	セキム	長官	ネブ	サムガル–	エツェル	長官	ネルガル
H5371	H5371	H7249	H7249	H8310	H8310	H5562	H5562	H5371	H5371	H5371

בָּבֶל׃	מֶלֶךְ	שָׂרֵי	שְׁאֵרִית	וְכָל־	מָג	רַב־	אֶצֶר
バビロンの	王の	首長たちは	残りの	そして–全ての	マグ	ラブ–	エツェル
H0894	H4428	H8269	H7611	H3605	H7248	H7248	H5371

エルサレムが取られたので、バビロンの王のつかさたち、すなわちネルガル・シャレゼル、サムガル・ネボ、ラブサリスのサルセキム、ラブマグのネルガル・シャレゼルおよびバビロンの王のその他のつかさたちは皆ともに来て中の門に座した。

4

הַמִּלְחָמָה	אַנְשֵׁי	וְכֹל	יְהוּדָה	מֶלֶךְ־	צִדְקִיָּהוּ	רָאָם	כַּאֲשֶׁר	וַיְהִי
戦いの	人々は	そして–全ての	ユダの	王	ツィデキヤは	見た	時に	そして–あった
H4421	H0376	H3605	H3063	H4428	H6667	H7200		H1961

בְּשַׁעַר	הַמֶּלֶךְ	גַּן	דֶּרֶךְ	הָעִיר	מִן־	לַיְלָה	וַיֵּצְאוּ	וַיִּבְרְחוּ
門から	王の	園の	道を–通って	その–町を	から	夜に	そして–出て行った	そして–逃げた
H8179	H4428	H1588	H1870			H3915	H3318	H1272

הָעֲרָבָה׃	דֶּרֶךְ	וַיֵּצֵא	הַחֹמֹתָיִם	בֵּין
アラバへ	道を	そして–出て行った	二つの–城壁の	間の
H6160	H1870	H3318	H2346	H0996

ユダの王ゼデキヤとすべての兵士たちはこれを見て逃げ、夜のうちに、王の庭園の道を通って、二つの城壁の間の門から町を出て、アラバの方へ行ったが、

5

צִדְקִיָּהוּ	אֶת־	וַיַּשִּׂגוּ	אַחֲרֵיהֶם	כַּשְׂדִּים	חֵיל־	וַיִּרְדְּפוּ	
ツィデキヤに	(目的格)	そして–追いついた	彼らの–後を	カルデヤの	軍勢は	そして–追いかけた	
H6667	H0853	H5381		H3778	H2428	H7291	

נְבוּכַדְרֶאצַּר	אֶל־	וַיַּעֲלֻהוּ	אֹתוֹ	וַיִּקְחוּ	יְרֵחוֹ	בְּעַרְבוֹת
ネブカドレツァルの–もとへ	に	そして–連れ上った	彼を	そして–捕らえた	エリコの	平地で
H5019	H0413	H5927	H0853	H3947	H3405	H6160

מִשְׁפָּטִים׃	אִתּוֹ	וַיְדַבֵּר	חֲמָת	בְּאֶרֶץ	רִבְלָתָה	בָּבֶל	מֶלֶךְ־
さばきを	彼に	そして–語った	ハマト	の–地の	リブラへ	バビロンの	王
H4941	H0854	H1696	H2574	H0776	H7247	H0894	H4428

カルデヤびとの軍勢はこれを追って、エリコの平地でゼデキヤに追いつき、これを捕えて、ハマテの地リブラにいるバビロンの王ネブカデレザルのもとに引いて行ったので、王はそこで彼の罪をさだめた。

6

לְעֵינָיו	בְּרִבְלָה	צִדְקִיָּהוּ	בְּנֵי	אֶת־	בָּבֶל	מֶלֶךְ	וַיִּשְׁחַט
その–目の前で	リブラで	ツィデキヤの	息子たちを	(目的格)	バビロンの	王は	そして–殺した
	H7247	H6667		H0853	H0894	H4428	

בָּבֶל׃	מֶלֶךְ	שָׁחַט	יְהוּדָה	חֹרֵי	כֹּל־	וְאֵת
バビロンの	王は	殺した	ユダの	貴族たちを	全ての	そして
H0894	H4428		H3063	H2715	H3605	H0853

バビロンの王はリブラで、ゼデキヤの子たちを彼の目の前で殺した。バビロンの王はまたユダのすべての貴族たちを殺した。

7 וְאֶת־ そして H0853 / עֵינֵי 両−目を / צִדְקִיָּהוּ ツィデキヤの H6667 / עִוֵּר つぶした H5786 / וַיַּאַסְרֵהוּ そして−縛った H0631 / בַּנְחֻשְׁתַּיִם 青銅の−鎖で / לְבִיא 連れて行くため H0935 / אֹתוֹ 彼を H0853

בָּבֶלָה׃ バビロンへ H0894

王はまたゼデキヤの目をつぶさせ、彼をバビロンに引いて行くために、鎖につないだ。

8 וְאֶת־ そして H0853 / בֵּית 家を / הַמֶּלֶךְ 王の H4428 / וְאֶת־ そして H0853 / בָּתִּים 家を / וְאֶת־ そして H0853 / הָעָם 民の / שָׂרְפוּ 焼いた H8313 / הַכַּשְׂדִּים カルデヤ人は H3778 / בָּאֵשׁ 火で H0784 / וְאֶת־ そして H0853 / חוֹמוֹת 城壁を H2346

נָתָצוּ׃ 壊した H5422 / יְרוּשָׁלִָם エルサレムの H3389

またカルデヤびとは王宮と民家を火で焼き、エルサレムの城壁を破壊した。

9 וְאֶת־ そして H0853 / יֶתֶר 残りの / הָעָם 民を / הַנִּשְׁאָרִים 残っていた H7604 / בָּעִיר 町に / וְאֶת־ そして H0853 / הַנֹּפְלִים 投降した者たちを H5307 / אֲשֶׁר (関係詞) / נָפְלוּ 投降した H5307 / עָלָיו 彼に

רַב־ ラブ− / אֲדָן (人名) H5018 / נְבוּזַרְ־ ネブザルアダンは H5018 / הָגְלָה 捕囚として−連れ去った H1540 / הַנִּשְׁאָרִים 残っていた H7604 / הָעָם 民を / יֶתֶר 残りの / וְאֶת そして H0853

בָּבֶל׃ バビロンへ H0894 / טַבָּחִים 親衛隊の−長 H2876

そして侍衛の長ネブザラダンは町のうちに残っている民と、自分に降伏した者、およびその他の残っている民をバビロンに捕え移した。

10 וּמִן־ そして−から / הָעָם 民の / הַדַּלִּים 貧しい者たちを H1800 / אֲשֶׁר (関係詞) / אֵין־ 何も− H0369 / לָהֶם 持っていなかった / מֵאוּמָה もの H3972 / הִשְׁאִיר 残した H7604

וְיֻגְבִים 畑を H3010 / כְּרָמִים ぶどう畑と H3754 / לָהֶם 彼らに / וַיִּתֵּן そして−与えた H5414 / יְהוּדָה ユダ H3063 / בְּאֶרֶץ の−地に H0776 / טַבָּחִים 親衛隊の−長 H2876 / רַב־ ラブ− / נְבוּזַרְאֲדָן ネブザルアダンは H5018

הַהוּא׃ その H1931 / בַּיּוֹם その−日に H3117

しかし侍衛の長ネブザラダンは、民の貧しい無産者をユダの地に残し、同時にぶどう畑と田地をこれに与えた。

11 וַיְצַו そして−命じた H6680 / נְבוּכַדְרֶאצַּר ネブカドレツァルは H5019 / מֶלֶךְ־ 王 H4428 / בָּבֶל バビロンの H0894 / עַל־ について / יִרְמְיָהוּ エレミヤ H3414 / בְּיַד を−通して H3027

לֵאמֹר׃ 言って H0559 / טַבָּחִים 親衛隊の−長 H2876 / רַב־ ラブ− / נְבוּזַרְאֲדָן ネブザルアダン H5018

さてバビロンの王ネブカデレザルはエレミヤの事について侍衛の長ネブザラダンに命じて言った、

12 קָחֵ֣הוּ וְעֵינֶ֣יךָ עָלָ֗יו שִׂ֚ים וְאַל־ תַּ֣עַשׂ לֹ֔ו מְאוּמָ֑ה
彼を-取れ そして-あなたの-目を 彼の-上に 置け そして-ない 彼に 何も
H3947 H5869 H0408 H3972

כִּ֥י אִם־ רָ֛ע אֶל־ כָּל־ אֲשֶׁ֥ר יְדַבֶּר־ אֵלֶ֖יךָ כֵּ֥ן עֲשֵׂ֖ה עִמּֽוֹ׃
悪い-ことを むしろ (ケレ) のように 語る あなたに そのように せよ 彼に
H7451 H3588 H1696 H0413 H3651 H6213 H5973

「彼をとり、よく世話をせよ。害を加えることなく、彼があなたに言うようにしてやりなさい」。

13 וַיִּשְׁלַ֞ח נְבוּזַרְאֲדָ֣ן רַב־ טַבָּחִ֗ים וּנְבוּשַׁזְבָּן֙ רַב־ סָרִ֔יס
そして-遣わした ネブザルアダンは ラブ- 親衛隊の-長 そして-ネブシャズバン ラブ- サリス
H7971 H5018 H7227 H2876 H5021 H7227 H5631

וְכָל־ רַבֵּ֖י מֶ֣לֶךְ־ בָּבֶֽל׃ רַב־ מָ֥ג וְנֵרְגַ֖ל שַׂר־ אֶצֶ֑ר
バビロンの 王の 高官たちは そして-全ての ラブ・マグ そして-ネルガル・サル・エツェル
H0894 H4428 H7227 H3605 H7248 H5371

そこで侍衛の長ネブザラダン、ラブサリスのネブシャズバン、ラブマグのネルガル・シャレゼル、およびバビロンの王のつかさたちは、

14 וַיִּשְׁלְח֗וּ וַיִּקְח֞וּ וַיִּתְּנ֣וּ יִרְמְיָ֣הוּ אֶת־ הַמַּטָּרָ֔ה מִחֲצַ֖ר
そして-彼らは-遣わして そして-取った そして-渡した エレミヤを (目的格) 監視の-庭 から
H7971 H3947 H5414 H3414 H0853 H4307 H4480

אֶל־ גְּדַלְיָ֥הוּ בֶן־ אֲחִיקָ֖ם בֶּן־ שָׁפָ֑ן לְהוֹצִיאֵ֣הוּ הַבָּ֔יִת
へ ゲダルヤ の-子 アヒカム の-子 シャファン 連れ出すため 家
H0413 H1436 H0296 H1121 H8227 H3318 H1004

וַיֵּ֥שֶׁב בְּתוֹךְ־ הָעָֽם׃ ס
そして-住んだ の-中に 民 (段落記号)
H3427 H8432 H5971

人をつかわして、エレミヤを監視の庭から連れてこさせ、シャパンの子アヒカムの子であるゲダリヤに託して、家につれて行かせた。こうして彼は民のうちにいた。

15 וְאֶל־ יִרְמְיָ֣הוּ הָיָ֣ה דְבַר־ יְהוָ֗ה בְּהִיּ֤וֹתוֹ עָצ֙וּר֙ בַּחֲצַ֣ר הַמַּטָּרָ֔ה
そして-へ エレミヤ あった 言葉が 主の 彼が-いた-時 閉じ込められて 庭に 監視の
H0413 H3414 H1961 H1697 H3068 H1961 H6113 H2691 H4307

לֵאמֹֽר׃
言って
H0559

エレミヤが監視の庭に閉じこめられていた時、主の言葉が彼に臨んだ、

16 הָלוֹךְ֙ וְאָמַרְתָּ֣ לְעֶבֶד־ מֶ֔לֶךְ הַכּוּשִׁ֖י לֵאמֹ֑ר כֹּ֣ה אָמַ֗ר יְהוָה֙ צְבָאוֹת֙
行って そして-言え クシュ人の エベデ・メレクに 言って このように 言われる 主 万軍の
H1980 H0559 H3569 H5663 H0559 H3541 H0559 H3068 H6635

אֱלֹהֵ֣י יִשְׂרָאֵ֔ל הִנְנִי֙ (מֵבִיא֙) [מבין] אֶת־ דְּבָרַ֖י אֶל־ הָעִ֣יר הַזֹּ֑את
イスラエルの 神 見よ-わたしは (ケティブ) もたらす (目的格) わたしの-言葉を に 町
H3478 H0430 H2009 H0935 H0853 H1697 H0413 H2063

וְהָיוּ֙ לְפָנֶ֣יךָ בַיּ֣וֹם הַה֔וּא לְטוֹבָ֖ה וְלֹ֣א לְרָעָ֑ה
そして-それらは-なる あなたの-前で その-日に 幸いのためでは そして-ない 災いのために この
H1961 H6440 H3117 H2896 H3808 H7451 H2063

その
H1931

「行って、エチオピヤびとエベデメレクに告げなさい、『万軍の主、イスラエルの神はこう言われる、わたしの言った災をわたしはこの町に下す、幸をこれに下すのではない。その日、この事があなたの目の前で成就する。

								17
תִּנָּתֵן	וְלֹא	יְהוָה	נְאֻם־	הַהוּא	בַּיּוֹם־	וְהִצַּלְתִּיךָ		
渡されない	そして–ない	(名)	主の–御告げ	その	その–日に	そして–わたしは–あなたを–救う		
H5414	H3808	H3068	H5002	H1931	H3117	H5337		

מִפְּנֵיהֶם׃	יָגֹור	אַתָּה	אֲשֶׁר־	הָאֲנָשִׁים	בְּיַד
その–前を	恐れている	あなたが	(関係詞)	人々の	手に
H6440	H3016			H0376	H3027

主は言われる、その日わたしはあなたを救う。あなたは自分の恐れている人々の手に渡されることはない。

									18
לְךָ	וְהָיְתָה	תִּפֹּל	לֹא	וּבַחֶרֶב	אֲמַלְטְךָ		מָלֵט	כִּי	
あなたに	そして–なる	倒れない	ない	そして–剣で	わたしは–あなたを–助ける		必ず	なぜなら	
	H1961	H5307	H3808	H2719	H4422		H4422		

ס	יְהוָה׃	נְאֻם־	בִּי	בָּטַחְתָּ	כִּי־	לְשָׁלָל	נַפְשֶׁךָ	
(段落記号)	(名)	主の–御告げ	わたしに	信頼した	なぜなら	戦利品として	あなたの–いのちは	
	H3068	H5002		H0982		H7998	H5315	

わたしが必ずあなたを救い、つるぎに倒れることのないようにするからである。あなたの命はあなたのぶんどり物となる。あなたがわたしに寄り頼んだからであると主は言われる』」。

Chapter 40

									1
אֹתוֹ	שִׁלַּח	וְאַחַר	יְהוָה	מֵאֵת	יִרְמְיָהוּ	אֶל־	הָיָה	אֲשֶׁר־	הַדָּבָר
彼を	解放した	後に	主	から	エレミヤ	へ	あった	(関係詞)	その–言葉は
H0853	H7971		H3068	H0854	H3414	H0413	H1961		H1697

וְהוּא־	אֹתוֹ	בְּקַחְתּוֹ	הָרָמָה	מִן־	טַבָּחִים	רַב־	נְבוּזַרְאֲדָן
そして–彼は	彼を	彼を–取った–時	ラマ	から	親衛隊の–長	ラブ–	ネブザルアダンが
H1931	H0853	H3947	H7414		H2876		H5018

הַמֻּגְלִים	וִיהוּדָה	יְרוּשָׁלַ͏ִם	גָּלוּת	כָּל־	בְּתוֹךְ	בָּאזִקִים	אָסוּר
捕囚として–連れ去られた	そして–ユダの	エルサレム	捕囚の	全ての	の–中で	鎖で	縛られていた
H1540	H3063	H3389	H1546	H3605	H8432	H0246	H0631

בָּבֶלָה׃
バビロンへ
H0894

侍衛の長ネブザラダンは、バビロンに移されるエルサレムとユダの人々のうちにエレミヤを鎖につないでおいて、これを捕えて行ったが、ついにラマで彼を釈放した。その後、主の言葉がエレミヤに臨んだ。

									2
אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה	אֵלָיו	וַיֹּאמֶר	לְיִרְמְיָהוּ	טַבָּחִים	רַב־	וַיִּקַּח		
あなたの–神は	主	彼に	そして–言った	エレミヤを	親衛隊の–長は	ラブ–	そして–取った		
H0430	H3068	H0413	H0559	H3414	H2876		H3947		

הַזֹּאת׃	הַמָּקוֹם	אֶל־	הַזֹּאת	הָרָעָה	אֶת־	דִּבֶּר
この	この–場所	に	この	この–災いを	(目的格)	語られた
H2088	H4725	H0413	H2063		H0853	H1696

侍衛の長はエレミヤを召して彼に言った、「あなたの神、主はこの所にこの災を下すと告げ示された。

3

כִּי־ דִבֶּר כַּאֲשֶׁר יְהוָה וַיַּעַשׂ וַיָּבֵא
なぜなら (関係詞) 語られた–とおりに 主は そして–行った そして–もたらした
H1696 H3068 H0935

וְהָיָה בְקוֹלוֹ שְׁמַעְתֶּם וְלֹא־ לַיהוָה חֲטָאתֶם
そして–なった その–声に 聞かなかった そして–なかった 主に–対して あなたがたが–罪を–犯した
H1961 H8085 H3808 H3068 H2398

הַזֶּה׃ הַדָּבָר( )הדבר[לָכֶם
この この–こと (ケティブ) あなたがたに
H2088 H1697 H1697

主はこれを下し、自ら言われたとおりに行われた。あなたがたが主に対して罪を犯し、み声に従わなかったから、この事があなたがたの上に臨んだのだ。

4

עַל־ אֲשֶׁר הָאזִקִים מִן־ הַיּוֹם פִּתַּחְתִּיךָ הִנֵּה וְעַתָּה
の–上の (関係詞) 鎖を から 今日 わたしは–あなたを–解いた 見よ そして–今
H0246 H3117 H2009 H6258

בֹּא בָּבֶל אִתִּי לָבוֹא בְּעֵינֶיךָ טוֹב אִם־ יָדֶךָ
来なさい バビロンに わたしと–共に 来ることが あなたの–目に 良い もし あなたの–手
H0935 H0894 H0854 H0935 H3027

בְּעֵינֶיךָ רַע וְאִם־ עָלֶיךָ עֵינִי אֶת־ וְאָשִׁים
あなたの–目に 悪い そして–もし あなたの–上に わたしの–目を (目的格) そして–わたしは–置く
H0853

טוֹב אֶל־ לְפָנֶיךָ הָאָרֶץ כָּל־ רְאֵה חֲדָל בָּבֶל אִתִּי לָבוֹא־
良い へ あなたの–前に 地は 全ての 見よ やめよ バビロンに わたしと–共に 来ることが
H0413 H6440 H0776 H3605 H7200 H2308 H0894 H0854 H0935

לֵךְ׃ שָׁמָּה לָלֶכֶת בְּעֵינֶיךָ הַיָּשָׁר וְאֶל־
行け そこへ 行くことの あなたの–目に 正しい そして–へ
H3212 H8033 H3212 H3477 H0413

見よ、わたしはきょう、あなたの手の鎖を解いてあなたを釈放する。もしあなたがわたしと一緒にバビロンへ行くのが良いと思われるなら、おいでなさい。わたしは、じゅうぶんあなたの世話をします。もしあなたがわたしと一緒にバビロンには行きたくないなら、行かなくてもよろしい。見よ、この地はみなあなたの前にあります、あなたが良いと思い、正しいと思う所に行きなさい。

5

בֶּן־ אֲחִיקָם בֶּן־ גְּדַלְיָה אֶל־ וְשָׁבָה יָשׁוּב לֹא־ וְעוֹדֶנּוּ
の–子 アヒカム の–子 ゲダルヤ へ そして–帰れ 帰らなかった–時 ない そして–まだ
H0296 H0413 H7725 H7725 H3808 H5750

אִתּוֹ וְשָׁב יְהוּדָה בְּעָרֵי בָּבֶל מֶלֶךְ־ הִפְקִיד אֲשֶׁר שָׁפָן
彼と–共に そして–住め ユダ の–町々を バビロンの 王が 任命した (関係詞) シャファン
H0854 H3427 H3063 H0894 H4428

וַיִּתֶּן־ לֵךְ לָלֶכֶת בְּעֵינֶיךָ הַיָּשָׁר כָּל־ אֶל־ אוֹ הָעָם בְּתוֹךְ
そして–与えた 行け 行くことの あなたの–目に 正しい 全ての へ あるいは 民 の–中に
H5414 H3212 H3212 H3477 H3605 H0413 H8432

וַיְשַׁלְּחֵהוּ׃ וּמַשְׂאֵת אֲרֻחָה טַבָּחִים רַב־ לוֹ
そして–送り出した 贈り物を 食料と 親衛隊の–長は ラブ– 彼に
H7971 H4864 H0737 H2876

あなたがとどまるならば、バビロンの王がユダの町々の総督として立てたシャパンの子アヒカムの子であるゲダリヤの所へ帰り、彼と共に民のうちに住みなさい。あるいはまたあなたが正しいと思う所へ行きなさい」。こうして侍衛の長は彼に糧食と贈り物を与えて去らせた。

6

וַיָּבֹא	יִרְמְיָהוּ	אֶל־	גְּדַלְיָה	בֶּן־	אֲחִיקָם	הַמִּצְפָּתָה	וַיֵּשֶׁב	אִתּוֹ
そして-来た	エレミヤは	へ	ゲダルヤ	の-子	アヒカム	ミツパへ	そして-住んだ	彼と-共に
H0935	H3414	H0413	H1436	H1121	H0296	H4708	H3427	H0854

בְּתוֹךְ	הָעָם	הַנִּשְׁאָרִים	בָּאָרֶץ׃	ס
の-中に	民	残っていた	地に	(段落記号)
H8432		H7604	H0776	

そこでエレミヤはミヅパへ行き、アヒカムの子ゲダリヤの所へ行って、彼と共にその地に残っている民のうちに住んだ。

7

וְאַנְשֵׁיהֶם	הֵמָּה	בַּשָּׂדֶה	אֲשֶׁר	הַחֲיָלִים	שָׂרֵי	כָּל־	וַיִּשְׁמְעוּ	
そして-その-人々は	彼ら	野に-いた	(関係詞)	軍勢の	長たちは	全ての	そして-聞いた	
H0376	H1992			H2428	H8269	H3605	H8085	

בָּאָרֶץ	אֲחִיקָם	בֶּן־	גְּדַלְיָהוּ	אֶת־	בָּבֶל	מֶלֶךְ־	הִפְקִיד	כִּי־
地に	アヒカム	の-子	ゲダルヤを	(目的格)	バビロンの	王が	任命した	(接続詞)
H0776	H0296			H0853	H0894	H4428		

וְטַף	וְנָשִׁים	אֲנָשִׁים	אִתּוֹ	הִפְקִיד	וְכִי
そして-子どもたち	そして-女たちと	男たちと	彼と-共に	任命した	そして(接続詞)
H2945	H0802	H0376	H0854		

בָּבֶלָה׃	הָגְלוּ	לֹא־	מֵאֲשֶׁר	הָאָרֶץ	וּמִדַּלַּת
バビロンへ	捕囚として-連れて行かれなかった	ない	から	地の	そして-貧しい-者たちの
H0894	H1540	H3808		H0776	

さて野外にいた軍勢の長たちと、その配下の人々は、バビロンの王がアヒカムの子ゲダリヤを立てて、その地の総督とし、男、女、子供、および国のうちのバビロンに移されない貧しい者を彼に委託した事を聞いたので、

8

וְיוֹחָנָן	נְתַנְיָהוּ	בֶּן־	וְיִשְׁמָעֵאל	הַמִּצְפָּתָה	גְּדַלְיָה	אֶל־	וַיָּבֹאוּ	
そして-ヨハナン	ネタヌヤ	の-子	そして-イシュマエル	ミツパへ	ゲダルヤ	へ	そして-来た	
H3110	H5418		H3458	H4708		H0413	H0935	

[עופין]	וּבְנֵי	תַנְחֻמֶת	בֶּן־	וּשְׂרָיָה	קָרֵחַ	בְּנֵי־	וְיוֹנָתָן	
(ケティブ)	そして-子たち	タヌフメテ	の-子	そして-セラヤ	カレアハ	の-子たち	そして-ヨナタン	
H5778		H8576		H8304	H7143		H3129	

וְאַנְשֵׁיהֶם׃	הֵמָּה	הַמַּעֲכָתִי	בֶּן־	וְיֵזַנְיָהוּ	הַנְּטֹפָתִי	עֵיפַי)	
そして-その-人々は	彼ら	マアカ人の	の-子	そして-エザヌヤ	ネトファ人の	エファイ	
H0376	H1992	H4602		H3153	H5200	H5778	

ネタニヤの子イシマエルと、カレヤの子ヨハナンおよびタンホメテの子セラヤと、ネトパびとであるエパイの子たちと、マアカびとの子ヤザニヤおよびその配下の人々は、ミヅパにいるゲダリヤのもとへ行った。

9

וּלְאַנְשֵׁיהֶם	שָׁפָן	בֶּן־	אֲחִיקָם	בֶּן־	גְּדַלְיָהוּ	לָהֶם	וַיִּשָּׁבַע	
そして-その-人々に	シャファン	の-子	アヒカム	の-子	ゲダルヤは	彼らに	そして-誓った	
H0376			H0296				H7650	

מֶלֶךְ־	אֶת־	וְעִבְדוּ	בָּאָרֶץ	שְׁבוּ	הַכַּשְׂדִּים	מֵעֲבוֹד	תִּירְאוּ	אַל־	לֵאמֹר
王に	(目的格)	そして-仕えよ	地に	住め	カルデヤ人に	仕える-ことを	恐れるな	ない	言って
H4428	H0853	H5647	H0776	H3427	H3778	H5647	H3372	H0408	H0559

לָכֶם׃	וְיִיטַב	בָּבֶל		
あなたがたに	そして-よくなる	バビロンの		
	H3190	H0894		

シャパンの子であるアヒカムの子ゲダリヤは、彼らとその配下の人々に誓って言った、「カルデヤびとに仕えることを恐れるに及ばない。この地に住んでバビロンの王に仕えるならば、あなたがたは幸福になる。

10

אֲשֶׁר	הַכַּשְׂדִּים	לְפָנַי	לַעֲמֹד	בַּמִּצְפָּה	יֹשֵׁב	הִנֵּנִי	וַאֲנִי	
(関係詞)	カルデヤ人	の–前に	立つ–ために	ミツパに	住む	見よ–わたしは	そして–わたしは	
	H3778	H6440	H5975	H4709	H3427	H2009	H0589	

וְשֶׁמֶן	וְקַיִץ	יַיִן	אִסְפוּ	וְאַתֶּם	אֲלֵינוּ	יָבֹאוּ	
そして–油を	そして–夏の–果物と	ぶどう酒と	集めよ	そして–あなたがたは	わたしたちの–もとへ	来る	
H8081	H7019	H3196	H0622		H0413	H0935	

תְּפַשְׂתֶּם׃	אֲשֶׁר־	בְּעָרֵיכֶם	וּשְׁבוּ	בִּכְלֵיכֶם	וְשִׂמוּ
占領した	(関係詞)	あなたがたの–町々に	そして–住め	あなたがたの–器に	そして–入れよ
H8610			H3427	H3627	

わたしはミツパにいて、われわれの所に来るカルデヤびとの前に、あなたがたのために立ちましょう。あなたがたは、ぶどう酒や夏のくだもの、油を集めて、それを器にたくわえ、あなたがたの獲た町々に住みなさい」。

11

עַמּוֹן	וּבִבְנֵי־		וּבְמוֹאָב	אֲשֶׁר־	הַיְהוּדִים	כָּל־	וְגַם	
アンモン	そして–の–子たちの–中に		モアブに	(関係詞)	ユダヤ人たちは	全ての	そして–また	
H5983			H4124		H3064	H3605	H1571	

בָּבֶל	מֶלֶךְ־	נָתַן	כִּי־	שָׁמְעוּ	הָאֲרָצוֹת	בְּכָל־	וַאֲשֶׁר	וּבֶאֱדוֹם
バビロンの	王が	与えた	(接続詞)	聞いた	国々に–いた	全ての	そして(関係詞)	そして–エドムに
H0894	H4428	H5414		H8085	H0776	H3605		H0123

אֲחִיקָם	בֶּן־	גְּדַלְיָהוּ	אֶת־	עֲלֵיהֶם	הִפְקִיד	וְכִי	לִיהוּדָה	שְׁאֵרִית
アヒカム	の–子	ゲダルヤを	(目的格)	彼らの–上に	任命した	そして(接続詞)	ユダに	残りの–者を
H0296			H0853				H3063	H7611

בֶּן־	שָׁפָן׃
の–子	シャファン

同じように、モアブとアンモンびとのうち、またエドムおよび他の国々にいるユダヤ人は、バビロンの王がユダに人を残したことと、シャパンの子であるアヒカムの子ゲダリヤを立ててその総督としたこととを聞いた。

12

שָׁם	נִדְּחוּ־	אֲשֶׁר	הַמְּקֹמוֹת	מִכָּל־	הַיְהוּדִים	כָּל־	וַיָּשֻׁבוּ	
そこに	散らされて–いた	(関係詞)	場所から	全ての	ユダヤ人たちは	全ての	そして–帰って来た	
H8033	H5080		H4725	H3605	H3064	H3605	H7725	

יַיִן	וַיַּאַסְפוּ	הַמִּצְפָּתָה	גְּדַלְיָהוּ	אֶל־	יְהוּדָה	אֶרֶץ־	וַיָּבֹאוּ	
ぶどう酒と	そして–集めた	ミツパへ	ゲダルヤ	へ	ユダ	の–地へ	そして–来た	
H3196	H0622	H4708		H0413	H3063	H0776	H0935	

פ	מְאֹד׃	הַרְבֵּה	וְקַיִץ	
(段落記号)	多く	非常に	そして–夏の–果物を	
	H3966		H7019	

そこでそのユダヤ人らはみなその追いやられたもろもろの所から帰ってきて、ユダの地のミツパにいるゲダリヤのもとにきた。そして多くのぶどう酒と夏のくだものを集めた。

13

בָּאוּ	בַּשָּׂדֶה	אֲשֶׁר	הַחֲיָלִים	שָׂרֵי	וְכָל־	קָרֵחַ	בֶּן־	וְיוֹחָנָן
来た	野に–いた	(関係詞)	軍勢の	長たちは	そして–全ての	カレアハ	の–子	そして–ヨハナンは
H0935			H2428	H8269	H3605	H7143		H3110

הַמִּצְפָּתָה׃	גְּדַלְיָהוּ	אֶל־	
ミツパへ	ゲダルヤ	へ	
H4708		H0413	

またカレヤの子ヨハナンと、野外にいた軍勢の長たちはみなミツパにいるゲダリヤのもとにきて、

14 וַיֹּאמְרוּ אֵלָיו הֲיָדֹעַ תֵּדַע כִּי בַּעֲלִיס מֶלֶךְ בְּנֵי־עַמּוֹן
そして-言った 彼に 確かに 知っていますか (接続詞) バアリス 王が の-子たちの アンモン
H0559 H0413 H3045 H3045 H1185 H4428 H5315 H5983

שָׁלַח אֶת־יִשְׁמָעֵאל בֶּן־נְתַנְיָה לְהַכֹּתְךָ נָפֶשׁ
遣わした (目的格) イシュマエルを の-子 ネタヌヤ あなたを-殺す-ために いのちを
H7971 H0853 H3458 H5418 H5221 H5315

וְלֹא־הֶאֱמִין לָהֶם גְּדַלְיָהוּ בֶן־אֲחִיקָם׃
そして-なかった 信じなかった 彼らを ゲダルヤは の-子 アヒカム
H3808 H0539

彼に言った、「アンモンびとの王バアリスがあなたを殺すためにネタニヤの子イシマエルをつかわしたことを知っていますか」。しかしアヒカムの子ゲダリヤは彼らの言うことを信じなかったので、

15 וְיוֹחָנָן בֶּן־קָרֵחַ אָמַר אֶל־גְּדַלְיָהוּ בַּמִּצְפָּה בַסֵּתֶר לֵאמֹר
そして-ヨハナンは の-子 カレアハ 言った へ ゲダルヤ ミツパで 密かに 言って
H3110 H7143 H0559 H0413 H4709 H0559

אֵלְכָה נָּא וְאַכֶּה אֶת־יִשְׁמָעֵאל בֶּן־נְתַנְיָה
行かせて-ください どうか そして-打たせて-ください (目的格) イシュマエルを の-子 ネタヌヤ
H3212 H4994 H5221 H3458 H0853 H5418

וְאִישׁ לֹא יֵדָע לָמָּה יַכֶּכָּה וְנָפֹצוּ כָּל־יְהוּדָה הַנִּקְבָּצִים אֵלֶיךָ
そして-人は ない 知らない なぜ 打つ-のか いのちを そして-散らされる 全ての ユダが 集まっている あなたの-もとに
H0376 H3808 H3045 H4100 H5221 H5315 H6908 H0413 H3605 H3063

וְאָבְדָה שְׁאֵרִית יְהוּדָה׃
そして-滅びる 残りの-者が ユダの
H0006 H7611 H3063

カレヤの子ヨハナンはミヅパでひそかにゲダリヤに言った、「わたしが行って、人に知れないように、ネタニヤの子イシマエルを殺しましょう。どうして彼があなたを殺して、あなたの周囲に集まっているユダヤ人を散らし、ユダの残った者を滅ぼしてよいでしょう」。

16 וַיֹּאמֶר גְּדַלְיָהוּ בֶן־אֲחִיקָם אֶל־יוֹחָנָן בֶּן־קָרֵחַ אֶל־תעש[
そして-言った ゲダルヤは の-子 アヒカム へ ヨハナン の-子 カレアハ ない
H0559 H3110 H0413 H0296 H7143 H0408

(תַּעֲשֶׂה אֶת־הַדָּבָר הַזֶּה כִּי שֶׁקֶר אַתָּה דֹּבֵר אֶל־
してはならない (目的格) この-ことを この 偽り あなたは 語っている について
H6213 H1697 H2088 H8267 H0853 H1696 H0413

ס יִשְׁמָעֵאל׃
(段落記号) イシュマエル
H3458

しかしアヒカムの子ゲダリヤはカレヤの子ヨハナンに言った、「この事をしてはならない。あなたはイシマエルについて偽りを言っているのです」。

Chapter 41

וַיְהִי בַּחֹדֶשׁ הַשְּׁבִיעִי בָּא יִשְׁמָעֵאל בֶּן־נְתַנְיָה בֶּן־אֱלִישָׁמָע
そして-あった その-月に 第-七の 来た イシュマエルは の-子 ネタヌヤ の-子 エリシャマ
H1961 H2320 H7637 H0935 H3458 H5418 H0476

מִזֶּרַע הַמְּלוּכָה וְרַבֵּי הַמֶּלֶךְ וַעֲשָׂרָה אֲנָשִׁים אִתּוֹ אֶל־גְּדַלְיָהוּ
の-子孫から 王族の そして-高官たちと 王の そして-十 人の-人が 彼と-共に へ ゲダルヤ
H2233 H4410 H4428 H6235 H0376 H0854 H0413

בַּמִּצְפָּה׃ יַחְדָּו לֶחֶם שָׁם וַיֹּאכְלוּ הַמִּצְפָּתָה אֲחִיקָם בֶּן־
ミツパで 共に パンを そこで そして-食べた ミツパへ アヒカム の-子
H4709 H3899 H8033 H0398 H4709 H0296

七月のころ、王家のもので、エリシャマの子ネタニヤの子であり、また王の高官のひとりであるイシマエルは、王の十人のつかさたちと共にミヅパにいたアヒカムの子ゲダリヤのもとにきて、ミヅパで食を共にしたが、

וַיָּקָם יִשְׁמָעֵאל בֶּן־נְתַנְיָה וַעֲשֶׂרֶת הָאֲנָשִׁים אֲשֶׁר־הָיוּ אִתּוֹ וַיַּכּוּ
そして-立ち上がった イシュマエルは の-子 ネタヌヤ そして-十 人の-人は (関係詞) いた 彼と-共に そして-打った
H1961 H3458 H5418 H6235 H0376 H0834 H1961 H0854 H5221

אֶת־גְּדַלְיָהוּ בֶּן־אֲחִיקָם בֶּן־שָׁפָן בַּחֶרֶב וַיָּמֶת אֹתוֹ אֲשֶׁר־הִפְקִיד
(目的格) ゲダルヤを の-子 アヒカム の-子 シャファン 剣で そして-殺した 彼を (関係詞) 任命した
H0853 H1961 H0854 H5221 H0296 H0853 H2719 H4191 H0853 H0834 H6485

מֶלֶךְ־בָּבֶל בָּאָרֶץ׃
王が バビロンの 地に
H4428 H0894 H0776

ネタニヤの子イシマエルおよび共にいた十人の者は立ち上がって、バビロンの王がこの地の総督としたシャパンの子アヒカムの子であるゲダリヤを刀で殺し、

וְאֶת כָּל־הַיְּהוּדִים אֲשֶׁר־הָיוּ אִתּוֹ אֶת־גְּדַלְיָהוּ בַּמִּצְפָּה וְאֶת
そして 全ての ユダヤ人たちを (関係詞) いた 彼と-共に (目的格) ゲダルヤと ミツパで
H0853 H3605 H3064 H0834 H1961 H0854 H0854 H1961 H4709

הַכַּשְׂדִּים אֲשֶׁר נִמְצְאוּ־שָׁם אֶת אַנְשֵׁי הַמִּלְחָמָה הִכָּה וְאֶת־
カルデヤ人たちを (関係詞) 見つけられた そこで (目的格) 人々を 戦いの 打った そして
H3778 H0834 H4672 H8033 H0854 H0376 H4421 H5221 H0853

יִשְׁמָעֵאל׃
イシュマエルは
H3458

イシマエルはまたミヅパでゲダリヤと共にいたすべてのユダヤ人と、たまたまそこにいたカルデヤびとの兵士たちを殺した。

וַיְהִי בַּיּוֹם הַשֵּׁנִי לְהָמִית אֶת־גְּדַלְיָהוּ וְאִישׁ לֹא
そして-あった その-日に 第-二の 殺した-後 (目的格) ゲダルヤを そして-人は ない
H1961 H3117 H8145 H4191 H0853 H0376 H3808

יָדָע׃
知らなかった
H3045

ゲダリヤが殺された次の日、まだだれもその事を知らないうちに、

5

מְגֻלְּחֵי	אִישׁ	שְׁמֹנִים	וּמִשֹּׁמְרוֹן	מִשִּׁלוֹ	מִשְּׁכֶם	אֲנָשִׁים	וַיָּבֹאוּ
ひげを-剃り	人の-人が	八十	そして-サマリヤから	シロから	シェケムから	人々が	そして-来た
H1548	H0376	H8084	H8111	H7887	H7927	H0376	H0935

בְּיָדָם	וּלְבוֹנָה	וּמִנְחָה	וּמִתְגֹּדְדִים	בְּגָדִים	וּקְרֵעֵי	זֵקֶן
手に	そして-乳香を	そして-穀物の-供え物と	そして-身を-傷つけ	(名詞)	そして-衣を-裂き	(名詞)
H3027	H3828	H4503	H1413		H7167	H2206

יְהוָה׃	בֵּית	לְהָבִיא
主の	家へ	持って来る-ために
H3068		H0935

八十人の人々がそのひげをそり、衣服をさき、身に傷をつけ、手には素祭のささげ物と香を携え、シケム、シロ、サマリヤからきて、主の宮にささげようとした。

6

הַמִּצְפָּה	מִן־	לִקְרָאתָם	נְתַנְיָה	בֶּן־	יִשְׁמָעֵאל	וַיֵּצֵא	
ミツパ	から	彼らに-会う-ために	ネタヌヤ	の-子	イシュマエルは	そして-出て行った	
H4709		H7125	H5418		H3458	H3318	

אֲלֵיהֶם	וַיֹּאמֶר	אִתָּם	כְּפִגְּשׁ	וַיְהִי	וּבֹכֶה	הָלֹךְ	הֹלֵךְ
彼らに	そして-言った	彼らに	会った-時	そして-あった	そして-泣きながら	歩いて	歩きながら
H0413	H0559	H0853	H6298	H1961	H1058	H1980	H1980

ס	אֲחִיקָם׃	בֶּן־	גְּדַלְיָהוּ	אֶל־	בֹּאוּ
(段落記号)	アヒカム	の-子	ゲダルヤ	へ	来なさい
	H0296			H0413	H0935

ネタニヤの子イシマエルはミヅパから泣きながら出てきて彼らを迎え、彼らに会って、「アヒカムの子ゲダリヤのもとにおいでなさい」と言った。

7

בֶּן־	יִשְׁמָעֵאל	וַיִּשְׁחָטֵם	הָעִיר	תּוֹךְ	אֶל־	כְּבוֹאָם	וַיְהִי
の-子	イシュマエルは	そして-殺した	町の	中	へ	彼らが-来た-時	そして-あった
	H3458			H8432	H0413	H0935	H1961

אִתּוֹ׃	אֲשֶׁר־	וְהָאֲנָשִׁים	הוּא	הַבּוֹר	תּוֹךְ	אֶל־	נְתַנְיָהוּ
彼と-共に-いた	(関係詞)	そして-人々は	彼と	穴の	中	へ	ネタヌヤ
H0854		H0376	H1931		H8432	H0413	H5418

そして彼らが町の中にはいったとき、ネタニヤの子イシマエルは自分と一緒にいた人々と共に彼らを殺して、その死体を穴に投げ入れた。

8

אַל־	יִשְׁמָעֵאל	אֶל־	וַיֹּאמְרוּ	בָּם	נִמְצְאוּ־	אֲנָשִׁים	וַעֲשָׂרָה
ない	イシュマエル	へ	そして-言った	彼らの-中に	見つけられた	人の-人が	そして-十
H0408	H3458	H0413	H0559		H4672	H0376	H6235

וּשְׂעֹרִים	חִטִּים	בַּשָּׂדֶה	מַטְמֹנִים	לָנוּ	יֶשׁ־	כִּי־	תְמִתֵנוּ
そして-大麦と	小麦と	野に	隠した-宝が	私たちに	ある	なぜなら	殺すな-私たちを
H8184	H2406		H4301		H3426		H4191

אֲחֵיהֶם׃	בְּתוֹךְ	הֱמִיתָם	וְלֹא	וַיֶּחְדַּל	וּדְבַשׁ	וְשֶׁמֶן	
彼らの-兄弟たち	の-中で	殺さなかった	そして-ない	そして-やめた	そして-蜂蜜が	そして-油と	
H0251	H8432	H4191	H3808	H2308	H1706	H8081	

しかしそのうちの十人はイシマエルに向かい、「わたしたちは畑に小麦、大麦、油、および蜜を隠しています、わたしたちを殺さないでください」と言ったので、彼らをその仲間と共に殺さないでしまった。

9 וְהַבּוֹר אֲשֶׁר־ הִשְׁלִיךְ שָׁם יִשְׁמָעֵאל אֵת ׀ כָּל־ פִּגְרֵי הָאֲנָשִׁים
そして–穴は (関係詞) 投げ込んだ そこに イシュマエルが (目的格) 全ての 死体を 人々の
H0376 H6297 H3605 H0853 H3458 H8033 H7993

אֲשֶׁר הִכָּה גְּדַלְיָהוּ הוּא אֲשֶׁר עָשָׂה הַמֶּלֶךְ אָסָא מִפְּנֵי
(関係詞) 打った ゲダルヤ それは (関係詞) 造った 王 アサが の–前に
H5221 H1931 H3027 H4428 H0609 H6440

מָלְאָה יִשְׁמָעֵאל בֶּן־ נְתַנְיָהוּ אֹתָם בַּעְשָׁא מֶלֶךְ־ יִשְׂרָאֵל אֹתוֹ
満たした イシュマエルは の–子 ネタヌヤ それを バアシャ 王 イスラエルの それを
H4390 H3458 H5418 H0853 H1201 H4428 H3478 H0853

חֲלָלִים׃
殺された–者たちで

イシマエルが自分の殺した人々の死体を投げ入れた穴は、アサ王がイスラエルの王バアシャを恐れて掘った穴であった。ネタニヤの子イシマエルは殺した人々をこれに満たした。

10 וַיִּשְׁבְּ יִשְׁמָעֵאל אֶת־ כָּל־ שְׁאֵרִית הָעָם אֲשֶׁר בַּמִּצְפָּה
そして–捕虜にした イシュマエルは (目的格) 全ての 残りの–者を 民の (関係詞) ミツパに–いた
H7617 H3458 H0853 H3605 H7611 H5971 H4709

אֲשֶׁר הִפְקִיד נְבוּזַרְאֲדָן רַב־ טַבָּחִים אֶת־ גְּדַלְיָהוּ בֶּן־ אֲחִיקָם
(関係詞) 任命した ネブザルアダンが ラブ– 親衛隊の–長 (目的格) ゲダルヤを の–子 アヒカム
H4709 H7604 H1323 H4428 H0853 H3605 H5971 H0853

הַמֶּלֶךְ בְּנוֹת וְאֶת־ כָּל־ הָעָם הַנִּשְׁאָרִים בַּמִּצְפָּה אֲשֶׁר
王の 娘たちを (目的格) 全ての 民を 残っていた ミツパに (関係詞)
H4428 H1323 H0853 H3605 H5971 H7604 H4709

וַיִּשְׁבֵּם עַמּוֹן׃ בְּנֵי אֶל־ לַעֲבֹר וַיֵּלֶךְ נְתַנְיָה בֶּן־ יִשְׁמָעֵאל
そして–捕虜にした アンモン の–子たち へ 渡る–ために そして–行った ネタヌヤ の–子 イシュマエルは
H7617 H5983 H1121 H0413 H5674 H3212 H5418 H1121 H3458

ס
(段落記号)

次いでイシマエルはミヅパに残っているすべての民、すなわち王の娘たちと侍衛の長ネブザラダンがアヒカムの子ゲダリヤに託したミヅパに残っているすべての民とを捕虜とした。ネタニヤの子イシマエルは彼らを捕虜とし、アンモンびとのもとに渡り行こうとして立ち去った。

11 וַיִּשְׁמַע יוֹחָנָן בֶּן־ קָרֵחַ וְכָל־ שָׂרֵי הַחֲיָלִים אֲשֶׁר
そして–聞いた ヨハナンは の–子 カレアハ そして–全ての 長たちは 軍勢の (関係詞)
H8085 H3110 H1121 H7143 H3605 H8269 H2428

אִתּוֹ אֵת כָּל־ הָרָעָה אֲשֶׁר עָשָׂה יִשְׁמָעֵאל בֶּן־ נְתַנְיָה׃
彼と–共に–いた (目的格) 全ての 悪を (関係詞) 行った イシュマエルが の–子 ネタヌヤ
H0854 H0853 H3605 H7451 H0834 H6213 H3458 H1121 H5418

カレヤの子ヨハナンおよび彼と共にいる軍勢の長たちはネタニヤの子イシマエルの行った悪事をみな聞き、

12 וַיִּקְחוּ אֵת־ כָּל־ הָאֲנָשִׁים וַיֵּלְכוּ לְהִלָּחֵם עִם־ יִשְׁמָעֵאל
そして–取った (目的格) 全ての 人々を そして–行った 戦う–ために と イシュマエル
H3947 H0853 H3605 H0376 H3212 H4421 H5973 H3458

וַיִּמְצְאוּ אֹתוֹ אֶל־ מַיִם רַבִּים אֲשֶׁר בְּגִבְעוֹן׃
そして–見つけた 彼を の–そばの 多くの–水 (関係詞) ギブオンに–ある
H4672 H0853 H0413 H4325 H7227 H1391

בֶּן־ נְתַנְיָה
の–子 ネタヌヤ
H1121 H5418

その兵士たちを率いて、ネタニヤの子イシマエルと戦うために出て行き、ギベオンの大池のほとりで彼に会った。

13 וַיְהִי כִּרְאוֹת כָּל־הָעָם אֲשֶׁר אֶת־יִשְׁמָעֵאל
そして–あった 見た–時 全ての 民は (関係詞) (目的格) イシュマエルと–いた (目的格)
H1961 H7200 H3605 H0854 H3458 H0853

יוֹחָנָן בֶּן־קָרֵחַ וְאֶת כָּל־שָׂרֵי הַחֲיָלִים אֲשֶׁר אִתּוֹ
ヨハナンを の–子 カレアハ そして (目的格) 全ての 長たちを 軍勢の (関係詞) 彼と–共に–いた
H3110 H7143 H0853 H3605 H8269 H2428 H0854

וַיִּשְׂמָחוּ׃
そして–喜んだ
H8055

イシマエルと共にいる人々は、カレヤの子ヨハナンおよび彼と共にいる軍勢の長たちを見て喜んだ。

14 וַיָּסֹבּוּ כָּל־הָעָם אֲשֶׁר־שָׁבָה יִשְׁמָעֵאל מִן־הַמִּצְפָּה
そして–向きを変えた 全ての 民は (関係詞) 捕虜にした イシュマエルが から ミツパ
H5437 H3605 H0834 H7617 H3458 H0853 H4709

וַיֵּלְכוּ וַיָּשֻׁבוּ אֶל־יוֹחָנָן בֶּן־קָרֵחַ׃
そして–行った そして–帰って へ ヨハナン の–子 カレアハ
H3212 H7725 H0413 H3110 H7143

そしてイシマエルがミヅパから捕虜にしてきた人々は身をめぐらしてカレヤの子ヨハナンのもとへ行った。

15 וְיִשְׁמָעֵאל בֶּן־נְתַנְיָה נִמְלַט בִּשְׁמֹנָה אֲנָשִׁים מִפְּנֵי יוֹחָנָן
そして–イシュマエルは の–子 ネタヌヤ 逃れた 八 人の–人と–共に の–前から ヨハナン
H3458 H5418 H4422 H8083 H0376 H6440 H3110

וַיֵּלֶךְ אֶל־בְּנֵי עַמּוֹן׃ ס
そして–行った へ の–子たち アンモン (段落記号)
H3212 H0413 H5983

ネタニヤの子イシマエルは八人の者と共にヨハナンを避けて逃げ、アンモンびとの所へ行った。

16 וַיִּקַּח יוֹחָנָן בֶּן־קָרֵחַ וְכָל־שָׂרֵי הַחֲיָלִים אֲשֶׁר־אִתּוֹ
そして–取った ヨハナンは の–子 カレアハ そして–全ての 長たちは 軍勢の (関係詞)
H3947 H3110 H7143 H3605 H8269 H2428 H0834

אֵת כָּל־שְׁאֵרִית הָעָם אֲשֶׁר הֵשִׁיב מֵאֵת יִשְׁמָעֵאל
彼と–共に–いた (目的格) 全ての 残りの–者を 民の (関係詞) 取り戻した から イシュマエル
H0854 H0853 H3605 H7611 H0834 H7725 H0854 H3458

מִגִּבְעוֹן׃ וַיַּכֵּה אֶת־גְּדַלְיָה בֶּן־אֲחִיקָם גִּבֹּרִים
ギブオンから 打った (目的格) ゲダルヤを の–子 アヒカム 勇士たち
H1391 H5221 H0853 H1397 H0296

אַחַר הַכֹּתוֹ אֶת־נְתַנְיָה מִן־הַמִּצְפָּה וְאֶת־הָאֲנָשִׁים וְאֶת־הַנָּשִׁים וְאֶת־הַטַּף
後に 打った (目的格) ネタヌヤ から ミツパ そして–女たちと そして–子どもたちと
H0310 H5221 H0853 H5418 H4709 H0802 H2945

וְאֶת־הַסָּרִיסִים אֲשֶׁר הֵשִׁיב מִגִּבְעוֹן׃
そして–宦官たちを (関係詞) 取り戻した
H5631 H0834 H7725

そこでカレヤの子ヨハナンおよび彼と共にいる軍勢の長たちはネタニヤの子イシマエルがアヒカムの子ゲダリヤを殺して、ミヅパから捕虜として連れてきた、あの残っていた民、すなわち兵士や女、子供、宦官をギベオンから連れ帰ったが、

17

וַיֵּלְכוּ	וַיָּשְׁבוּ	בְּגֵרוּת	[כמוהם]	(כִּמְהָם	אֲשֶׁר־	אֵצֶל	לַחֲמֵבִית
そして–行った	そして–泊まった	に	(ケティブ)	キムハム	(関係詞)	の–そばの	ベツレヘム
H3212	H3427	H1628	H3643	H3643		H0681	H1035

לָלֶכֶת	לָבוֹא	מִצְרָיִם׃
行く–ために	入る–ために	エジプトへ
H3212	H0935	H4714

彼らはエジプトへ行こうとしてベツレヘムの近くにあるゲルテ・キムハムへ行って、そこにとどまった。

18

מִפְּנֵי	כַּשְׂדִּים	מִפְּנֵיהֶם	כִּי	יָרְאוּ	כִּי־	הֻכָּה	יִשְׁמָעֵאל	בֶּן־	
の–前から	カルデヤ人	彼らの–前を	なぜなら	恐れた	なぜなら	打った	イシュマエルが	の–子	
H6440	H3778	H6440		H3372		H5221	H3458		

נְתַנְיָה	אֶת־	גְּדַלְיָהוּ	בֶּן־	אֲחִיקָם	אֲשֶׁר־	הִפְקִיד	מֶלֶךְ־	בָּבֶל	בָּאָרֶץ׃
ネタヌヤ	(目的格)	ゲダルヤを	の–子	アヒカム	(関係詞)	任命した	王が	バビロンの	地に
H5418	H0853			H0296			H4428	H0894	H0776

ס
(段落記号)

これは、ネタニヤの子イシマエルが、バビロンの王によってこの地の総督に任じられたアヒカムの子ゲダリヤを殺したことにより、カルデヤびとを恐れたからである。

Chapter 42

1

וַיִּגְּשׁוּ	כָּל־	שָׂרֵי	הַחֲיָלִים	וְיוֹחָנָן	בֶּן־	קָרֵחַ	וְיַזַנְיָה	
そして–近づいた	全ての	長たち	軍勢の	そして–ヨハナン	息子	カレアハの	そして–ヤザヌヤ	
H5066	H3605	H8269	H2428	H3110		H7143	H3153	

גָּדוֹל׃	וְעַד־	מִקָּטֹן	הָעָם	וְכָל־	הוֹשַׁעְיָה	בֶּן־	
大きい–者	そして–まで	小さい–者から	民は	そして–全ての	ホシャヤの	息子	
	H5704			H3605	H1955		

そのとき軍勢の長たち、およびカレヤの子ヨハナンと、ホシャヤの子アザリヤ、ならびに民の最も小さい者から最も大いなる者にいたるまで、

2

לְפָנֶיךָ	תְּחִנָּתֵנוּ	נָא	תִּפָּל־	הַנָּבִיא	יִרְמְיָהוּ	אֶל־	וַיֹּאמְרוּ	
あなたの–前に	私たちの–嘆願が	どうか	落ちるように	預言者に	エレミヤ	に	そして–言った	
H6440	H8467	H4994	H5307	H5030	H3414	H0413	H0559	

הַשְּׁאֵרִית	כָּל־	בְּעַד	אֱלֹהֶיךָ	יְהוָה	אֶל־	בַּעֲדֵנוּ	וְהִתְפַּלֵּל	
残りの–者	全ての	のために	あなたの–神に	主	に	私たちの–ために	そして–祈ってください	
H7611	H3605	H1157	H0430	H3068	H0413	H5704	H6419	

הַזֹּאת	כִּי־	נִשְׁאַרְנוּ	מְעַט	מֵהַרְבֵּה	כַּאֲשֶׁר	עֵינֶיךָ	רֹאוֹת	
この	なぜなら	私たちは–残された	わずかに	多くから	あなたの	目が	見ている–ように	
H2063		H7604	H4592				H7200	

אֹתָנוּ׃
私たちを
H0853

みな預言者エレミヤの所に来て言った、「どうかあなたの前にわれわれの求めが受けいれられますように。われわれのため、この残っている者すべてのために、あなたの神、主に祈ってください、（今ごらんのとおり、われわれは多くのうち、わずかに残っている者です）

3 וְיַגֶּד־ לָנוּ יְהוָה אֱלֹהֶיךָ אֶת־ הַדֶּרֶךְ אֲשֶׁר
そして–告げてください 私たちに 主が あなたの–神が (目的格) 道を (関係詞)
H5046 H3068 H0430 H0853 H1870

נֵלֵךְ־ בָּהּ וְאֶת־ הַדָּבָר אֲשֶׁר נַעֲשֶׂה׃
私たちが–歩むべき その–中を そして(目的格) ことばを (関係詞) 私たちが–行うべき
H3212 H0853 H1697

そうすれば、あなたの神、主は、われわれの行くべき道と、なすべき事をお示しになるでしょう」。

4 וַיֹּאמֶר יִרְמְיָהוּ הַנָּבִיא שָׁמַעְתִּי הִנְנִי מִתְפַּלֵּל אֶל־ יְהוָה
そして–言った 彼らに エレミヤ 預言者は 聞いた 見よ–私は 祈る に 主
H0559 H0413 H3414 H5030 H8085 H2009 H6419 H0413 H3068

אֱלֹהֵיכֶם כִּדְבְרֵיכֶם וְהָיָה כָּל־ הַדָּבָר אֲשֶׁר יַעֲנֶה
あなたがたの–神に あなたがたの–言葉の–通りに そして–なる 全ての ことば (関係詞) 答えられる
H0430 H1697 H1961 H3605 H1697

אֶתְכֶם אַגִּיד לָכֶם לֹא־ אֶמְנַע מִכֶּם דָּבָר׃
あなたがたに 告げる あなたがたに ない 隠さない あなたがたから ことばを
H0853 H5046 H3808 H4513

預言者エレミヤは彼らに言った、「よくわかりました。あなたがたの求めにしたがって、あなたがたの神、主に祈りましょう。主があなたがたに答えられることを、何事も隠さないであなたがたに言いましょう」。

5 וְהֵמָּה אָמְרוּ יִרְמְיָהוּ יְהִי יְהוָה בָּנוּ לְעֵד אֱמֶת
そして–彼らは 言った に なるように 主が 私たちの–間で 証人と 真実で
H1992 H0559 H0413 H1961 H3068 H5707 H0571

וְנֶאֱמָן אִם־ לֹא כְכָל־ הַדָּבָר אֲשֶׁר יְשַׁלַּחֲךָ יְהוָה אֱלֹהֶיךָ
忠実な もし ない 全ての ことばの–通りに (関係詞) あなたを–遣わす 主が あなたの–神が
H0539 H0518 H3808 H3605 H1697 H7971 H3068 H0430

אֵלֵינוּ כֵּן נַעֲשֶׂה׃
私たちに そのように 行う
H0413

彼らはエレミヤに言った、「もし、あなたの神、主があなたをつかわしてお告げになるすべての言葉を、われわれが行わないときは、どうか主がわれわれに対してまことの真実な証人となられるように。

6 אִם־ טוֹב וְאִם־ רָע בְּקוֹל יְהוָה אֱלֹהֵינוּ אֲשֶׁר [אנו] (אֲנַחְנוּ)
もし 良くても もし 悪くても 声に 主 私たちの–神の (関係詞) (ケティブ) 私たちが
H0518 H3068 H0430 H0834 H0587

שֹׁלֵחַ אֹתְךָ אֵלֵינוּ נִשְׁמַע לְמַעַן אֲשֶׁר יִיטַב־ לָנוּ כִּי
遣わす あなたを その方に 聞き従う ために (関係詞) 良くなるように 私たちに なぜなら
H7971 H0853 H0413 H8085 H4616 H0834 H3190

נִשְׁמַע בְּקוֹל יְהוָה אֱלֹהֵינוּ׃ ס
聞き従う 声に 主 私たちの–神の (段落記号)
H8085 H0430

われわれは良くても悪くても、われわれがあなたをつかわそうとするわれわれの神、主の声に従います。われわれの神、主の声に従うとき、われわれは幸を得るでしょう」。

7 וַיְהִי מִקֵּץ עֲשֶׂרֶת יָמִים וַיְהִי דְבַר־ יְהוָה אֶל־ יִרְמְיָהוּ׃
そして–なった 終わりに 十の 日の そして–あった ことばが 主の に エレミヤに
H1961 H7093 H6235 H3117 H1961 H1697 H3068 H0413 H3414

十日の後、主の言葉がエレミヤに臨んだ。

8 וַיִּקְרָ֡א אֶל־ יוֹחָנָן֩ בֶּן־ קָרֵ֨חַ וְאֶל כָּל־ שָׂרֵ֜י הַחֲיָלִ֗ים
そして–呼んだ に ヨハナンを 息子 カレアハの そして(に) 全ての 長たち 軍勢の
H7121 H0413 H3110 H7143 H0413 H3605 H8269 H2428

וְעַד־ גָּד֛וֹל׃ לְמִקְטָ֖ן הָעָ֑ם וּלְכָל־ אֲשֶׁ֥ר אִתּ֖וֹ
そして–まで 大きい–者 小さい–者から 民に そして–全ての 彼と–共にいた (関係詞)
H5704 H3605 H0854

エレミヤはカレヤの子ヨハナンおよび彼と共にいる軍勢の長たち、ならびに民の最も小さい者から最も大いなる者までことごとく招いて、

9 וַיֹּ֣אמֶר אֲלֵיהֶ֗ם כֹּה־ אָמַ֤ר יְהוָה֙ אֱלֹהֵ֣י יִשְׂרָאֵ֔ל אֲשֶׁ֥ר
そして–言った 彼らに このように 言われる 主 神 イスラエルの (関係詞)
H0559 H0413 H3541 H0559 H3068 H0430 H3478

תְּחִנָּתְכֶ֖ם לִ֣פְנֵיהֶֽם׃ לְהַפִּ֥יל אֹתִ֛י אֲלֵיהֶ֥ם שְׁלַחְתֶּ֑ם
あなたがたの–嘆願を 落とすため 私を その方に あなたがたは–遣わした
H8467 H5307 H0853 H0413 H7971
その方の–前に
H6440

彼らに言った、「あなたがたがわたしをつかわして、あなたの祈願をその前にのべさせたイスラエルの神、主はこう言われます、

10 אִם־ תָּשֹׁ֣בוּ וְשָׁכַנְתֶּ֣ם בָּאָ֣רֶץ הַזֹּ֔את וּבָנִיתִ֥י אֶתְכֶ֖ם וְלֹ֣א אֶהֱרֹ֑ס
もし 帰って 住むなら この–地に この 建てる そして–ない 壊さない
H7725 H3427 H0776 H2063 H1129 H0853 H3808 H2040

וְנָטַעְתִּ֖י אֶתְכֶ֑ם כִּ֣י נִחַ֔מְתִּי אֶל־ הָרָעָ֖ה אֲשֶׁ֥ר עָשִׂ֖יתִי לָכֶֽם׃
そして–植える あなたがたを なぜなら 悔いた に その–わざわいを (関係詞) 私が–行った あなたがたに
H5193 H0853 H3808 H5428 H5162 H0413

もしあなたがたがこの地にとどまるならば、わたしはあなたがたを建てて倒すことなく、あなたがたを植えて抜くことはしない。わたしはあなたがたに災を下したことを悔いているからである。

11 אַל־ תִּירְאוּ֙ מִפְּנֵ֣י מֶֽלֶךְ־ בָּבֶ֔ל אֲשֶׁ֥ר אַתֶּ֖ם יְרֵאִ֣ים מִפָּנָ֑יו אַל־ תִּירְא֣וּ מִפָּנָ֔יו נְאֻם־ יְהוָ֖ה כִּ֥י אִתְּכֶ֛ם אֲנִ֖י לְהוֹשִׁיעַ֥ אֶתְכֶֽם׃
ない 彼の–前を 恐れている あなたがたが (関係詞) バビロンの 王 の–前を 恐れるな ない あなたがたを 救うために 私は(いる) あなたがたと–共に なぜなら 主の 宣言
H0408 H6440 H3373 H0853 H3372 H4428 H6440 H3372 H0408 H0853 H3467 H0589 H0854 H3068 H5002

וְהֵשִׁ֥יב אֶתְכֶ֖ם וְרִחַ֣ם לָכֶ֑ם וְנָתַ֥ן אֶתְכֶ֛ם וְהִצִּ֥יל מִיָּדֽוֹ׃
そして–帰す あなたがたを そして–あわれむ あわれみを あなたがたに そして–与える 彼の–手から あなたがたを そして–助け出すために
H7725 H0853 H7355 H7356 H0853 H5414 H3027 H0853 H5337

主は言われる、あなたが恐れているバビロンの王を恐れてはならない。彼を恐れてはならない、わたしが共にいて、あなたがたを救い、彼の手から助け出すからである。

12 אֶתְכֶ֖ם וְהֵשִׁ֥יב אֶתְכֶ֛ם וְרִחַ֥ם לָכֶ֑ם וְנָתַ֥ן אֶתְכֶ֛ם אֶל־ אַדְמַתְכֶֽם׃
あなたがたを そして–帰す あなたがたを そして–あわれむ あわれみを あなたがたに そして–与える に あなたがたの–土地に
H0853 H7725 H0853 H7355 H7356 H5414 H0413 H0127

わたしはあなたがたをあわれみ、また彼にあなたがたをあわれませ、あなたがたを自分の地にとどまらせる。

13 וְאִם־ אֹמְרִים לֹא אַתֶּם לֹא נֵשֶׁב בָּאָרֶץ הַזֹּאת לְבִלְתִּי שְׁמֹעַ
しかし–もし 言う あなたがたが ない 住まない この–地に この ないように 聞くことを
H0559 H0559 H0559 H3808 H3427 H0776 H2063 H1115 H8085

בְּקוֹל יְהוָה אֱלֹהֵיכֶם׃
声に 主 あなたがたの–神の
H0430 H3068 H0430

しかし、もしあなたがたが、『われわれはこの地にとどまらない』といって、あなたがたの神、主の声にしたがわず、

14 לֵאמֹר לֹא נִי כִּי אֶרֶץ מִצְרַיִם נָבוֹא אֲשֶׁר לֹא נִרְאֶה מִלְחָמָה וְקוֹל
言って いいえ むしろ 地 エジプトに 行く (関係詞) ない 見ない 戦争を そして–声
H0559 H3808 H3808 H0776 H4714 H0935 H3808 H7200 H4421 H0559

נֵשֵׁב׃ וְשָׁם לֹא רָעֵב נִרְעָב וְלַלֶּחֶם לֹא נִשְׁמָע שׁוֹפָר לֹא
住む そして–そこに 飢えない ない そして–パンに 聞かない ない 角笛の
H3427 H8033 H7456 H3808 H3899 H8085 H3808 H7782

また、『いいえ、われわれはあの戦争を見ず、ラッパの声を聞かず、食物も乏しくないエジプトの地へ行って、あそこに住まおう』と言うならば、

15 יְהוָה אָמַר כֹּה יְהוּדָה שְׁאֵרִית יְהוָה דְּבַר שִׁמְעוּ לָכֵן וְעַתָּה
主 言われる このように ユダの 残りの–者よ 主の ことばを 聞け それゆえ そして–今
H3068 H0559 H3541 H3063 H7611 H3068 H1697 H8085 H6258

פְּנֵיכֶם תְּשִׂמְנוּן שׁוֹם אַתֶּם אִם־ יִשְׂרָאֵל אֱלֹהֵי צְבָאוֹת
あなたがたの–顔を 向けるなら 確かに あなたがたが もし イスラエルの 神 万軍の
H6440 H7760 H0859 H0518 H3478 H0430 H6635

שָׁם׃ לָגוּר וּבְאַתֶּם מִצְרַיִם לָבֹא
そこに 寄留するなら そして–入って エジプトに 入るために
H8033 H1481 H0935 H4714 H0935

あなたがた、ユダの残っている者たちよ、主の言葉を聞きなさい。万軍の主、イスラエルの神はこう言われる、もしあなたがたがむりにエジプトへ行ってそこに住むならば、

16 אֶתְכֶם תַּשִּׂיג שָׁם מִמֶּנָּה יִרְאִים אַתֶּם אֲשֶׁר הַחֶרֶב וְהָיְתָה
あなたがたに 追いつく そこで それを 恐れている あなたがたが (関係詞) 剣は そして–なる
H0853 H5381 H8033 H4480 H3372 H0859 H0834 H2719 H1961

יִדְבַּק שָׁם מִמֶּנּוּ דֹּאֲגִים אַתֶּם וְאֲשֶׁר־ וְהָרָעָב מִצְרַיִם בְּאֶרֶץ
つきまとう そこで それを 心配している あなたがたが (関係詞) そして–飢饉が エジプトの 地で
H1692 H8033 H4480 H1672 H0859 H0834 H7458 H4714 H0776

תָּמֻתוּ׃ וְשָׁם מִצְרַיִם אַחֲרֵיכֶם
死ぬ そして–そこで エジプトで あなたがたの–後を
H4191 H8033 H4714

あなたがたの恐れているつるぎはエジプトの地であなたがたに追いつき、あなたがたの恐れているききんは、すぐあとを追ってエジプトまで行き、その所であなたがたは死ぬ。

17 וְיִהְיוּ כָּל־הָאֲנָשִׁים אֲשֶׁר־שָׂמוּ אֶת־פְּנֵיהֶם לָבוֹא מִצְרַיִם
そして–なる 全ての 人々は (関係詞) 向けた (目的格) 顔を 入るために エジプトに
H1961 H3605 H0376 H0853 H6440 H0935 H4714

לָגוּר שָׁם וָמֻתוּ בַּחֶרֶב וּבָרָעָב וּבַדֶּבֶר וְלֹא־יִהְיֶה לָהֶם
寄留するため そこに 死ぬ 剣で 飢饉で そして–疫病で そして–ない いない 彼らに
H1961 H8033 H4191 H2719 H7458 H1698 H3808 H1961 H3808

שָׂרִיד וּפָלִיט מִפְּנֵי הָרָעָה אֲשֶׁר אֲנִי מֵבִיא עֲלֵיהֶם׃ ס
生き残りも 逃れる–者も の–前に その–わざわい (関係詞) 私が もたらす 彼らの–上に (段落記号)
H8300 H6440 H0589 H0935

すべてむりにエジプトへ行ってそこに住む者は、つるぎと、ききんと、疫病で死ぬ。わたしが彼らに下そうとしている災をのがれて残る者はそのうちにない。

18 כִּי כֹה אָמַר יְהוָה צְבָאוֹת אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל כַּאֲשֶׁר נִתַּךְ
なぜなら このように 言われる 主 万軍の 神 イスラエルの ちょうど 注がれた
H3541 H0559 H3068 H6635 H0430 H3478 H5413

חֲמָתִי וְאַפִּי עַל־יוֹשְׁבֵי יְרוּשָׁלַם כֵּן תִּתָּךְ חֲמָתִי עֲלֵיכֶם בְּבֹאֲכֶם
私の–憤りが 私の–怒りと の–上に 住む–者たち エルサレムの そのように 注がれる 私の–憤りが
H2534 H0639 H5921 H3427 H3389 H3651 H5413 H2534

מִצְרַיִם וְהְיִיתֶם לְאָלָה וְלִשַׁמָּה וְלִקְלָלָה וְלַחֲרָפָה וְלֹא־תִרְאוּ עוֹד
エジプトに そして–なる のろいと 恐怖と ののしりと そしりに そして–ない 見ない もう
H4714 H1961 H0423 H8047 H7045 H2781 H3808 H7200 H5750

אֶת־הַמָּקוֹם הַזֶּה׃
(目的格) この–場所を この
H0853 H4725 H2088

万軍の主、イスラエルの神はこう言われる、わたしの怒りと憤りとをエルサレムの住民の上に注いだように、わたしの憤りは、あなたがたがエジプトへ行くとき、あなたがたの上に注ぐ。あなたがたは、のろいとなり、恐怖となり、ののしりとなり、はずかしめとなる。あなたがたは再びこの所を見ることができない。

19 יְדֹעַ תֵּדְעוּן מִצְרַיִם כִּי־הָעִידֹתִי בָכֶם הַיּוֹם׃ כִּי־דִבֶּר יְהוָה עֲלֵיכֶם שְׁאֵרִית יְהוּדָה אַל־תָּבֹאוּ מִצְרָיִם
確かに エジプトに (接続詞) 警告した あなたがたに 今日 (接続詞) 語られた 主が あなたがたに–ついて 残りの–者よ ユダの ない 行くな エジプトに
H3045 H4714 H3045 H5749 H3117 H1696 H3068 H0408 H0935 H4714

כִּי־אַתֶּם הִתְעֵיתֶם בְּנַפְשֹׁתֵיכֶם [התעתים] (הִתְעֵיתֶם) כִּי אַתֶּם׃
(接続詞) あなたがたが あなたがたの–いのちにおいて (ケティブ) あなたがたは–迷った (接続詞) あなたがたが
H8582 H5315 H8582 H3588 H0859

ユダの残っている者たちよ、『エジプトへ行ってはならない』と主はあなたがたに言われた。わたしがきょう警告したことを、あなたがたは確かに知らなければならない。

20 כִּי־אַתֶּם הִתְעֵיתֶם בְּנַפְשֹׁתֵיכֶם שְׁלַחְתֶּם אֹתִי אֶל־יְהוָה אֱלֹהֵיכֶם לֵאמֹר
なぜなら あなたがたが (接続詞) あなたがたの–いのちにおいて あなたがたは–迷った 遣わした 私を に 主 あなたがたの–神に 言って
H3588 H0859 H8582 H7971 H0853 H0413 H3068 H0430 H0559

הִתְפַּלֵּל בַּעֲדֵנוּ אֶל־יְהוָה אֱלֹהֵינוּ וְכֹל אֲשֶׁר יֹאמַר יְהוָה אֱלֹהֵינוּ כֵּן
祈ってください 私たちの–ために に 主 私たちの–神に そして–全ての (関係詞) 言われる 主 私たちの–神が その–通りに
H6419 H5704 H0413 H3068 H0430 H3605 H0834 H0559 H3068 H0430 H3651

וְעָשִׂינוּ׃ לָנוּ הַגֶּד־
そして–行います(と) 私たちに 告げてください
H6213 H0853 H5046

あなたがたはみずからそむき去って、命を失った。なぜなら、あなたがたがわたしをあなたがたの神、主につかわし、『われわれの神、主に祈り、われわれの神、主の言われることをことごとく示してください。われわれはそれを行います』と言ったので、

אֱלֹהֵיכֶם	יְהוָה	בְּקוֹל	שְׁמַעְתֶּם	וְלֹא	הַיּוֹם	לָכֶם	וָאַגֵּד		21
あなたがたの–神の	主	声に	聞かなかった	しかし–ない	今日	あなたがたに	そして–告げた		
H0430	H3068		H8085	H3808	H3117		H5046		
				אֲלֵיכֶם׃	שְׁלָחַנִי	אֲשֶׁר־	וּלְכֹל		
				あなたがたに	遣わされた–私を	(関係詞)	そして–全ての		
				H0413	H7971		H3605		

わたしはきょうそれを示したが、あなたがたはあなたがたの神、主の声を聞かず、主がわたしをつかわして命じさせられた事には、すこしも従わなかったからである。

אֲשֶׁר	בַּמָּקוֹם	תָּמוּתוּ	וּבַדֶּבֶר	בָּרָעָב	בַּחֶרֶב	כִּי	תֵּדְעוּ	יָדֹעַ	וְעַתָּה		22
(関係詞)	その–場所で	死ぬ	そして–疫病で	飢饉で	剣で	(接続詞)	知れ	確かに	そして–今		
	H4725	H4191	H1698	H7458	H2719		H3045	H3045	H6258		
							ס	שָׁם׃	לָגוּר	לָבוֹא	חֲפַצְתֶּם
							(段落記号)	そこに	寄留するため	行くことを	望んだ
								H8033		H0935	

それゆえ、あなたがたが行って住まうことを願っているその所で、あなたがたはつるぎと、ききんと、疫病で死ぬことを確かに知らなければならない」。

Chapter 43

כָּל־	אֶת־	הָעָם	כָּל־	אֶל־	לְדַבֵּר	יִרְמְיָהוּ	כְּכַלּוֹת	וַיְהִי	1
全ての	(目的格)	民に	全ての	に	語ることを	エレミヤが	終えた–時	そして–なった	
H3605	H0853		H3605	H0413	H1696	H3414	H3615	H1961	
כָּל־	אֵת	אֲלֵיהֶם	אֱלֹהֵיהֶם	יְהוָה	שְׁלָחוֹ	אֲשֶׁר	אֱלֹהֵיהֶם	יְהוָה	דִּבְרֵי
全ての	(目的格)	彼らに	彼らの–神が	主が	遣わされた	(関係詞)	彼らの–神の	主	ことばを
H3605	H0853	H0413	H0430	H3068	H7971		H0430	H3068	H1697
						ס	הָאֵלֶּה׃	הַדְּבָרִים	
						(段落記号)	これらの	ことばを	
							H0428	H1697	

エレミヤがすべての民にむかって、彼らの神、主の言葉をことごとく語り、彼らの神、主が自分をつかわして言わせられるその言葉をみな告げ終った時、

וְכָל־	קָרֵחַ	בֶּן־	וְיוֹחָנָן	הוֹשַׁעְיָהוּ	בֶּן־	עֲזַרְיָה	וַיֹּאמֶר		2
そして–全ての	カレアハの	息子	そして–ヨハナン	ホシャヤの	息子	アザルヤ	そして–言った		
H3605	H7143		H3110	H1955		H5838	H0559		
שְׁלָחָהּ	לֹא	מְדַבֵּר	אַתָּה	שֶׁקֶר	יִרְמְיָהוּ	אֶל־	אֹמְרִים	הַזֵּדִים	הָאֲנָשִׁים
遣わさなかった	ない	語っている	あなたは	偽りを	エレミヤに	に	言って	高慢な	人々
H7971	H3808	H1696		H8267	H3414	H0413	H0559	H2086	H0376
			שָׁם׃	לָגוּר	מִצְרַיִם	תָּבֹאוּ	לֹא־	לֵאמֹר	אֱלֹהֵינוּ	יְהוָה
			そこに	寄留する–ため	エジプトに	行くな	ない	言って	私たちの–神は	主は
			H8033		H4714	H0935	H3808	H0559	H0430	H3068

ホシャヤの子アザリヤと、カレヤの子ヨハナンおよび高慢な人々はみなエレミヤに言った、「あなたは偽りを言っている。われわれの神、主が、『エジプトへ行ってそこに住むな』と言わせるためにあなたをつかわされたのではない。

3 כִּי בָרוּךְ בֶּן־נֵרִיָּה מַסִּית אֹתְךָ לְמַעַן תֵּת אֹתָנוּ בְּיַד־הַכַּשְׂדִּים לַהֲמִית אֹתָנוּ וְלַהֲגָלוֹת אֹתָנוּ בָּבֶל׃

כִּי	בָרוּךְ	בֶּן־	נֵרִיָּה	מַסִּית	אֹתְךָ	לְמַעַן	תֵּת	
なぜなら	バルク	息子	ネリヤの	そそのかしている	あなたを	ために	渡す	
H3588	H1263	H1121	H5374	H5496	H0853	H4616	H5414	
אֹתָנוּ	וְלַהֲגָלוֹת	אֹתָנוּ	לַהֲמִית	הַכַּשְׂדִּים	בְּיַד־	אֹתָנוּ		
私たちを	そして–捕囚として–連れ去るため	私たちを	殺すため	カルデヤ人の	の–手に	私たちを		
H0853	H1540	H0853	H4191	H3778	H3027	H0853		
בָּבֶל׃								
バビロンへ								
H0894								

ネリヤの子バルクがあなたをそそのかして、われわれに逆らわせ、われわれをカルデヤびとの手に渡して殺すか、あるいはバビロンに捕え移させるのだ」。

4 וְלֹא־שָׁמַע יוֹחָנָן בֶּן־קָרֵחַ וְכָל־שָׂרֵי הַחֲיָלִים וְכָל־הָעָם לְשֶׁבֶת בְּאֶרֶץ יְהוּדָה׃

וְלֹא־	שָׁמַע	יוֹחָנָן	בֶּן־	קָרֵחַ	וְכָל־	שָׂרֵי	הַחֲיָלִים	
そして–ない	聞かなかった	ヨハナン	息子	カレアハの	そして–全ての	長たち	軍勢の	
H3808	H8085	H3110	H1121	H7143	H3605	H8269	H2428	
וְכָל־	הָעָם	בְּקוֹל	יְהוָה	לְשֶׁבֶת	בְּאֶרֶץ	יְהוּדָה׃		
そして–全ての	民は	声に	主の	留まることを	地に	ユダの		
H3605	H5971	H6963	H3068	H3427	H0776	H3063		

こうしてカレヤの子ヨハナンと軍勢の長たちおよび民らは皆、主の声にしたがわず、ユダの地にとどまろうとしなかった。

5 וַיִּקַּח יוֹחָנָן בֶּן־קָרֵחַ וְכָל־שָׂרֵי הַחֲיָלִים אֵת כָּל־שְׁאֵרִית יְהוּדָה אֲשֶׁר־שָׁבוּ מִכָּל־הַגּוֹיִם אֲשֶׁר־נִדְּחוּ שָׁם לָגוּר בְּאֶרֶץ יְהוּדָה׃

וַיִּקַּח	יוֹחָנָן	בֶּן־	קָרֵחַ	וְכָל־	שָׂרֵי	הַחֲיָלִים	אֵת	כָּל־
そして–取った	ヨハナン	息子	カレアハの	そして–全ての	長たち	軍勢の	(目的格)	全ての
H3947	H3110	H1121	H7143	H3605	H8269	H2428	H0853	H3605
שְׁאֵרִית	יְהוּדָה	אֲשֶׁר־	שָׁבוּ	מִכָּל־	הַגּוֹיִם	אֲשֶׁר־	נִדְּחוּ־	שָׁם
残りの–者	ユダの	(関係詞)	帰って–来た	全ての	国々から	(関係詞)	散らされていた	そこに
H7611	H3063	H0834	H7725	H3605	H1471	H0834	H5080	H8033
לָגוּר	בְּאֶרֶץ	יְהוּדָה׃						
寄留する–ため	地に	ユダの						
H1481	H0776	H3063						

そしてカレヤの子ヨハナンと軍勢の長たちは、ユダに残っている者すなわち追いやられた国々からユダの地に住むために帰ってきた者、――

6 אֶת־הַגְּבָרִים וְאֶת־הַנָּשִׁים וְאֶת־הַטָּף וְאֶת־בְּנוֹת הַמֶּלֶךְ וְאֶת־כָּל־הַנֶּפֶשׁ אֲשֶׁר הִנִּיחַ נְבוּזַרְאֲדָן רַב־טַבָּחִים אִתּוֹ אֶת־גְּדַלְיָהוּ בֶּן־אֲחִיקָם בֶּן־שָׁפָן וְאֶת־יִרְמְיָהוּ וְאֶת־הַנָּבִיא וְאֶת־בָּרוּךְ בֶּן־נֵרִיָּהוּ׃

אֶת־	הַגְּבָרִים	וְאֶת־	הַנָּשִׁים	וְאֶת־	הַטָּף	וְאֶת־	בְּנוֹת	
(目的格)	男たちと	そして(目的格)	女たちと	そして(目的格)	子どもたちと	そして(目的格)	娘たち	
H0853	H1397	H0853	H0802	H0853	H2945	H0853	H1323	
הַמֶּלֶךְ	וְאֶת־	כָּל־	הַנֶּפֶשׁ	אֲשֶׁר	הִנִּיחַ	נְבוּזַרְאֲדָן	רַב־	טַבָּחִים
王の	そして(目的格)	全ての	人々	(関係詞)	残した	ネブザルアダン	ラブ	親衛隊の–長が
H4428	H0853	H3605	H5315	H0834	H3240	H5018	H7227	H2876
אֶת־	גְּדַלְיָהוּ	בֶּן־	אֲחִיקָם	בֶּן־	שָׁפָן	וְאֶת־	יִרְמְיָהוּ	
(目的格)	ゲダルヤ	息子	アヒカム	息子	シャファンの–と共に	そして(目的格)	エレミヤ	
H0854	H1436	H1121	H0296	H1121	H8227	H0853	H3414	
הַנָּבִיא	וְאֶת־	בָּרוּךְ	בֶּן־	נֵרִיָּהוּ׃				
預言者と	そして(目的格)	バルク	息子	ネリヤの				
H5030	H0853	H1263	H1121	H5374				

男、女、子供、王の娘たち、およびすべて侍衛の長ネブザラダンがシャパンの子であるアヒカムの子ゲダリヤに渡しておいた者、ならびに預言者エレミヤとネリヤの子バルクをつれて、

וַיָּבֹאוּ יְהוָה בְּקוֹל שָׁמְעוּ לֹא כִּי מִצְרַיִם אֶרֶץ וַיָּבֹאוּ 7
そして-来た 主の 声に 聞かなかった ない なぜなら エジプトの 地に そして-入った
H0935 H3068 H8085 H3808 H4714 H0776 H0935

עַד־ ס תַּחְפַּנְחֵס׃
まで (段落記号) タフパヌヘスに
H5704 H8471

エジプトの地へ行った。彼らは主の声にしたがわなかったのである。そして彼らはついにタパネスに行った。

לֵאמֹר׃ בְּתַחְפַּנְחֵס יִרְמְיָהוּ אֶל־ יְהוָה דְּבַר־ וַיְהִי 8
言って タフパヌヘスで エレミヤに に 主の ことばが そして-あった
H0559 H8471 H3414 H0413 H3068 H1697 H1961

主の言葉はタパネスでエレミヤに臨んだ、

אֲשֶׁר בַּמַּלְבֵּן בַּמֶּלֶט וּטְמַנְתָּם גְּדֹלוֹת אֲבָנִים בְּיָדֶךָ קַח 9
(関係詞) 煉瓦の-敷地に しっくいの-中に そして-隠せ 大きな 石を あなたの-手に 取れ
H4404 H4423 H2934 H0068 H3027 H3947

יְהוּדִים׃ אֲנָשִׁים לְעֵינֵי בְּתַחְפַּנְחֵס פַּרְעֹה בֵּית־ בְּפֶתַח
ユダの 人々の 目の-前で タフパヌヘスで パロの 家の 入口に
H3064 H0376 H8471 H6547 H6607

「大きな石を手に取り、ユダの人々の目の前で、これをタパネスにあるパロの宮殿の入口の敷石のしっくいの中に隠して、

הִנְנִי יִשְׂרָאֵל אֱלֹהֵי צְבָאוֹת יְהוָה אָמַר כֹּה־ אֲלֵיהֶם וְאָמַרְתָּ 10
見よ-私は イスラエルの 神 万軍の 主 言われる このように 彼らに そして-言え
H2009 H3478 H0430 H3068 H0559 H3541 H0413 H0559

וְשַׂמְתִּי עַבְדִּי בָּבֶל מֶלֶךְ־ נְבוּכַדְרֶאצַּר אֶת־ וְלָקַחְתִּי שֹׁלֵחַ
そして-置く わが-しもべを バビロンの 王 ネブカドレツァル (目的格) そして-取る 遣わす
H5650 H0894 H4428 H5019 H0853 H3947 H7971

]שפרורו[אֶת־ וְנָטָה טָמַנְתִּי אֲשֶׁר הָאֵלֶּה לָאֲבָנִים מִמָּעַל כִּסְאוֹ
(ケティブ) (目的格) そして-広げる 私が-隠した (関係詞) これらの 石の の-上に 彼の-王座を
H8237 H0853 H5186 H2934 H0428 H0068 H4605 H3678

עֲלֵיהֶם׃)שַׁפְרִירוֹ(
その-上に 彼の-天蓋を
H8237

彼らに言いなさい、『万軍の主、イスラエルの神はこう言われる、見よ、わたしは使者をつかわして、わたしのしもべであるバビロンの王ネブカデレザルを招く。彼はその位をこの隠した石の上にすえ、その上に王の天蓋を張る。

לַמָּוֶת אֲשֶׁר מִצְרַיִם אֶרֶץ אֶת־ וְהִכָּה)וּבָא( ]ובאה[11
死に-定められた者は (関係詞) エジプトの 地を (目的格) そして-打つ そして-来る (ケティブ)
H4194 H4714 H0776 H0853 H5221 H0935 H0935

לַחֶרֶב׃ לַחֶרֶב לַשֶּׁבִי לַשֶּׁבִי וַאֲשֶׁר לַמָּוֶת
剣に 剣に-定められた者は そして(関係詞) 捕囚に 捕囚に-定められた者は そして(関係詞) 死に
H2719 H2719 H4194

彼は来てエジプトの地を撃ち、疫病に定まっている者を疫病に渡し、とりこに定まっている者をとりこにし、つるぎに定まっている者をつるぎにかける。

12

אֶת־	וְעָטָה֙	וְשָׁבָ֣ם	וּשְׂרָפָ֔ם	מִצְרַ֖יִם	אֱלֹהֵ֣י	בְּבָתֵּ֑י	אֵ֚שׁ	וְהִצַּ֣תִּי	
(目的格)	そして-包む	そして-捕える	そして-焼く	エジプトの	神々の	家々に	火を	そして-放つ	
H0853		H7617	H8313	H4714	H0430		H0784	H3341	

מִשָּׁ֗ם	וְיָצָא֙	בִּגְדּ֔וֹ	אֶת־	הָרֹעֶ֖ה	יַעְטֶ֣ה	כַּאֲשֶׁר־	מִצְרַ֔יִם	אֶ֣רֶץ
そこから	そして-出て-行く	衣を	(目的格)	羊飼いが	包む-ように	ちょうど	エジプトの	地を
H8033	H3318		H0853				H4714	H0776

בְּשָׁלֹ֑ום׃
平和に
H7965

彼はエジプトの神々の宮に火をつけてこれを焼き、彼らをとりこにする。そして羊を飼う者が着物の虫をはらいきよめるように、エジプトの地をきよめる。彼は安らかにそこを去る。

13

וְאֶת־	מִצְרָ֔יִם	בְּאֶ֣רֶץ	אֲשֶׁ֔ר	שֶׁ֖מֶשׁ	מַצְּבֹ֣ות	אֶת־	וְשִׁבַּ֗ר	
そして(目的格)	エジプトの	地にある	(関係詞)	ベテ-シェメシュの	石柱を	(目的格)	そして-砕く	
H0853	H4714	H0776		H1053	H4676	H0853	H7665	

ס	בָּאֵ֑שׁ׃	יִשְׂרֹ֖ף	מִצְרַ֔יִם	אֱלֹהֵי־	בָּתֵּ֥י	
(段落記号)	火で	焼く	エジプトの	神々の	家々を	
	H0784	H8313	H4714	H0430		

彼はエジプトの地にあるヘリオポリスのオベリスクをこわし、エジプトの神々の宮を火で焼く』」。

Chapter 44

1

בְּאֶ֣רֶץ	הַיֹּשְׁבִ֗ים	הַיְּהוּדִים֙	כָּל־	אֶל	יִרְמְיָ֔הוּ	אֶל־	הָיָה֙	אֲשֶׁ֣ר	הַדָּבָ֔ר
地に	住んでいる	ユダヤ人に	全ての	に	エレミヤに	に	あった	(関係詞)	ことば
H0776	H3427	H3064	H3605	H0413	H3414	H0413	H1961		H1697

פַּתְרֹ֖וס	וּבְאֶ֣רֶץ	וּבְנֹ֑ף	וּבְתַחְפַּנְחֵ֛ס	בְּמִגְדֹּ֥ל	הַיֹּשְׁבִ֖ים	מִצְרָ֥יִם
パトロスの	そして-地に	そして-ノフと	そして-タフパヌヘスと	ミグドルと	住んでいる	エジプトの
H6624	H0776	H5297	H8471		H3427	H4714

לֵאמֹֽר׃	ס
言って	(段落記号)
H0559	

エジプトの地に住んでいるユダヤ人すなわちミグドル、タパネス、メンピス、パテロスの地に住む者の事についてエレミヤに臨んだ言葉、

2

אֵת	רְאִיתֶ֗ם	אַתֶּם֙	יִשְׂרָאֵ֔ל	אֱלֹהֵ֣י	צְבָאֹ֔ות	יְהוָ֖ה	אָמַ֣ר	כֹּה־
(目的格)	見た	あなたがたは	イスラエルの	神	万軍の	主	言われる	このように
H0853	H7200		H3478	H0430		H3068	H0559	H3541

כָּל־	וְעַל֙	יְרוּשָׁלַ֔ם	עַל־	הֵבֵ֣אתִי	אֲשֶׁ֤ר	הָרָעָה֙	כָּל־	
全ての	そして-の-上に	エルサレムの	の-上に	私が-もたらした	(関係詞)	わざわいを	全ての	
H3605		H3389		H0935			H3605	

יֹושֵׁ֑ב׃	בָּהֶ֖ם	וְאֵ֥ין	הַזֶּ֛ה	הַיֹּ֥ום	חָרְבָּה֙	וְהִנָּ֔ם	יְהוּדָ֖ה	עָרֵ֣י
住む-者は	その-中に	そして-いない	この	今日	廃墟となっている	そして-見よ	ユダの	町々
H3427		H0369	H2088	H3117	H2723	H2009	H3063	

「万軍の主、イスラエルの神はこう言われる、あなたがたはわたしがエルサレムとユダの町々に下した災を見た。見よ、これらは今日、すでに荒れ地となって住む人もない。

לַעֲבֹד
仕えるために
H5647
לְקַטֵּר
香を–たくために
לָלֶכֶת
行って
H3212
לְהַכְעִסֵנִי
私を–怒らせるために
H3707
עָשׂוּ
行った
אֲשֶׁר
(関係詞)
רָעָתָם
彼らの–悪
מִפְּנָי
の–前に
H6440
3

וַאֲבֹתֵיכֶם׃
あなたがたの–先祖たちも
H0001
אַתֶּם
あなたがたも
הֵמָּה
彼らも
H1992
יָדָעוּם
知らなかった
H3045
לֹא
ない
H3808
אֲשֶׁר
(関係詞)
אֲחֵרִים
他の
H0312
לֵאלֹהִים
神々に
H0430

これは彼らが悪を行って、わたしを怒らせたことによるのである。すなわち彼らは自分も、あなたがたも、あなたがたの先祖たちも知らなかった、ほかの神々に行って、香をたき、これに仕えた。

הַשְׁכֵּים
朝早く
H7925
הַנְּבִיאִים
預言者たちを
H5030
עַבָדַי
私の–しもべたち
H5650
כָּל־
全ての
H3605
אֶת־
(目的格)
H0853
אֲלֵיכֶם
あなたがたに
H0413
וָאֶשְׁלַח
そして–遣わした
H7971
4

הַזֹּאת
この
H2063
הַתּוֹעֵבָה
忌まわしい–ことの
H8441
דְּבַר־
ことを
H1697
אֶת
(目的格)
H0853
תַּעֲשׂוּ
行うな
נָא
どうか
H4994
אַל־
ない
H0408
לֵאמֹר
言って
H0559
וְשָׁלֹחַ
そして–遣わして
H7971

שָׂנֵאתִי׃
私が–憎む
H8130
אֲשֶׁר
(関係詞)

わたしは自分のしもべであるすべての預言者たちを、しきりにあなたがたにつかわして、『どうか、わたしの忌みきらうこの憎むべき事をしないように』と言わせたけれども、

מֵרָעָתָם
悪から
לָשׁוּב
立ち帰るために
H7725
אָזְנָם
耳を
H0241
אֶת־
(目的格)
H0853
הִטּוּ
傾けなかった
H5186
וְלֹא־
そして–ない
H3808
שָׁמְעוּ
聞かなかった
H8085
וְלֹא
しかし–ない
H3808
5

אֲחֵרִים׃
他の
H0312
לֵאלֹהִים
神々に
H0430
קַטֵּר
香を–たくことを
לִבְלְתִּי
ないように
H1115

彼らは聞かず、耳を傾けず、ほかの神々に香をたいて、その悪を離れなかった。

וּבְחֻצוֹת
そして–通りで
H2351
יְהוּדָה
ユダの
H3063
בְּעָרֵי
町々で
וַתִּבְעַר
そして–燃えた
וְאַפִּי
そして–私の–怒りが
H0639
חֲמָתִי
私の–憤りが
H2534
וַתִּתָּךְ
そして–注がれた
H5413
6

ס
(段落記号)
הַזֶּה׃
この
H2088
כַּיּוֹם
今日の–ように
H3117
לְשִׁמָּמָה
荒れ地と
לְחָרְבָּה
廃墟と
H2723
וַתִּהְיֶינָה
そして–なった
H1961
יְרוּשָׁלִָם
エルサレムの
H3389

それゆえ、わたしは怒りと憤りをユダの町々とエルサレムのちまたに注ぎ、それを焼いたので、それらは今日のように荒れ、滅びてしまった。

אַתֶּם
あなたがたは
לָמָּה
なぜ
H4100
יִשְׂרָאֵל
イスラエルの
H3478
אֱלֹהֵי
神
H0430
צְבָאוֹת
万軍の
אֱלֹהֵי
神
H0430
יְהוָה
主
H3068
אָמַר
言われる
H0559
כֹּה־
このように
H3541
וְעַתָּה
そして–今
H6258
7

לָכֶם
あなたがたから
לְהַכְרִית
断ち–切るために
H3772
נַפְשֹׁתֵיכֶם
あなたがたの–いのちに
H5315
אֶל־
に–対して
H0413
גְּדוֹלָה
大きな
רָעָה
悪を
עֹשִׂים
行っているのか

לָכֶם
あなたがたに
הוֹתִיר
残すことを
H3498
לְבִלְתִּי
ないように
H1115
יְהוּדָה
ユダの
H3063
מִתּוֹךְ
の–中から
H8432
וְיוֹנֵק
乳飲み子も
H3243
עוֹלֵל
幼子も
H5768
וְאִשָּׁה
女も
H0802
אִישׁ־
男も
H0376

שְׁאֵרִית׃
残りの–者を
H7611

万軍の神、イスラエルの神、主は今こう言われる、あなたがたはなぜ大いなる悪を行って自分自身を害し、ユダのうちから、あなたがたの男と女と、子供と乳のみ子を断って、ひとりも残らないようにしようとするのか。

8

בְּאֶרֶץ 地で H0776 אֲחֵרִים 他の H0312 לֵאלֹהִים 神々に H0430 לְקַטֵּר 香を–たくために H3027 יְדֵיכֶם あなたがたの H4639 בְּמַעֲשֵׂי 手の–わざで H3707 לְהַכְעִסֵנִי 私を–怒らせるために

הַכְרֵת 断ち–切るために H3772 לְמַעַן ために H4616 שָׁם そこに H8033 לָגוּר 寄留する–ため H0935 בָּאִים 来ている H0935 אַתֶּם あなたがたが H0834 אֲשֶׁר- (関係詞) H4714 מִצְרַיִם エジプトの

גּוֹיֵי 国々の H3605 בְּכֹל 全ての–中で H2781 וּלְחֶרְפָּה そしりと H7045 לִקְלָלָה ののしりと H1961 הֱיוֹתְכֶם あなたがたが–なるために H4616 וּלְמַעַן そして–ために H3605 לָכֶם あなたがたを

הָאָרֶץ׃ 地の H0776

なぜあなたがたはその手のわざをもってわたしを怒らせ、あなたがたが行って住まうエジプトの地で、ほかの神々に香をたいて自分の身を滅ぼし、地の万国のうちに、のろいとなり、はずかしめとなろうとするのか。

9

יְהוּדָה ユダの H3063 מַלְכֵי 王たちの H4428 וְרָעוֹת 悪を H0853 וְאֶת- そして(目的格) H0001 אֲבוֹתֵיכֶם あなたがたの–先祖たちの H7451 רָעַת 悪を H0853 אֶת- (目的格) H7911 הַשְׁכַחְתֶּם׃ 忘れたのか

רָעַת 悪を H0853 וְאֶת そして(目的格) H7451 רָעַתְכֶם あなたがたの–悪を H0853 וְאֶת そして(目的格) H5387 נְשֵׁיהֶם 彼の–妻たちの H7451 רָעוֹת 悪を H0853 וְאֶת そして(目的格)

יְרוּשָׁלִָם׃ エルサレムの H3389 וּבְחֻצוֹת そして–通りで H2351 יְהוּדָה ユダの H3063 בְּאֶרֶץ 地で H0776 עָשׂוּ 行った H6213 אֲשֶׁר (関係詞) H0834 נְשֵׁיכֶם あなたがたの–妻たちの H5387

ユダの地とエルサレムのちまたで行ったあなたがたの先祖たちの悪、ユダの王たちの悪、その妻たちの悪、およびあなたがた自身の悪、あなたがたの妻たちの悪をあなたがたは忘れたのか。

10

הָלְכוּ 歩まなかった H1980 וְלֹא- そして–ない H3808 יָרְאוּ 恐れなかった H3372 וְלֹא そして–ない H3808 הַזֶּה この H2088 הַיּוֹם 今日 H3117 עַד まで H5704 דְּכְאוּ 砕かれていない H1792 לֹא ない H3808

וְלִפְנֵי そして–の–前に H6440 לִפְנֵיכֶם あなたがたの–前に H6440 נָתַתִּי 置いた H5414 אֲשֶׁר- (関係詞) H2708 וּבְחֻקַּתַי そして–私の–定めに H8451 בְּתוֹרָתִי 私の–律法に

ס (段落記号) אֲבוֹתֵיכֶם׃ あなたがたの–先祖たちの H0001

彼らは今日に至るまで悔いず、また恐れず、あなたがたとあなたがたの先祖たちの前に立てた、わたしの律法とわたしの定めとに従って歩まないのである。

11

שָׁם 向ける H3559 הִנְנִי 見よ–私は H2009 יִשְׂרָאֵל イスラエルの H3478 אֱלֹהֵי 神 H0430 צְבָאוֹת 万軍の H3068 יְהוָה 主 H0559 אָמַר 言われる H3541 כֹּה- このように H3651 לָכֵן それゆえ

יְהוּדָה׃ ユダを H3063 כָּל- 全ての H3605 אֶת- (目的格) H0853 וּלְהַכְרִית そして–断ち–切るために H3772 לְרָעָה わざわいの–ために H7451 בָּכֶם あなたがたに H6440 פָּנַי 私の–顔を

それゆえ万軍の主、イスラエルの神はこう言われる、見よ、わたしは顔をあなたがたに向けて災を下し、ユダの人々をことごとく断つ。

12 וְלָקַחְתִּי אֶת־שְׁאֵרִית יְהוּדָה אֲשֶׁר־שָׂמוּ פְנֵיהֶם לָבוֹא אֶרֶץ־
そして-取る (目的格) 残りの-者を ユダの (関係詞) 向けた 顔を 入るために 地に
H3947 H0853 H7611 H3063 H0853 H6440 H0935 H0776

מִצְרַיִם לָגוּר שָׁם וְתַמּוּ כָּל בְּאֶרֶץ מִצְרַיִם יִפְּלוּ בַּחֶרֶב
エジプトの 寄留する-ため そこに そして-尽きる 皆 地で エジプトの 倒れる 剣で
H4714 H1481 H8033 H8552 H3605 H0776 H4714 H5307 H2719

וְהָיוּ מִקָּטֹן וְעַד־גָּדוֹל בַּחֶרֶב וּבָרָעָב יָמֻתוּ וְהָיוּ לְאָלָה
そして-なる 小さい-者から そして-まで 大きい-者 剣で そして-飢饉で 死ぬ そして-なる 恐怖と
H1961 H4591 H5704 H1419 H2719 H7458 H4191 H1961 H0423

וְלִקְלָלָה וְלִחֲרָפָה׃
そして-ののしりと そしりと
H7045 H2781

恐怖と のろいと

またわたしは、エジプトの地に住むために、むりに行ったあのユダの残りの者を取り除く。彼らはみな滅ぼされてエジプトの地に倒れる。彼らは、つるぎとききんに滅ぼされ、最も小さい者から最も大いなる者まで、つるぎとききんによって死ぬ。そして、のろいとなり、恐怖となり、ののしりとなり、はずかしめとなる。

13 וּפָקַדְתִּי עַל־ יוֹשְׁבֵי בְּאֶרֶץ מִצְרַיִם כַּאֲשֶׁר פָּקַדְתִּי עַל־
の-上に 罰した-ように ちょうど エジプトの 地に 住む-者たちを の-上に そして-罰する
H6485 H5892 H4714 H0776 H3427 H5921 H6485

יְרוּשָׁלִָם בַּחֶרֶב בָּרָעָב וּבַדָּבֶר׃
エルサレムを 剣で 飢饉で そして-疫病で
H3389 H2719 H7458 H1698

わたしはエルサレムを罰したように、つるぎと、ききんと、疫病をもってエジプトに住んでいる者を罰する。

14 וְלֹא יִהְיֶה פָּלִיט וְשָׂרִיד לִשְׁאֵרִית יְהוּדָה הַבָּאִים לָגוּר־
いない 逃れる-者も 生き残る-者も 残りの-者に ユダの 来た-者 寄留するために
H1961 H6412 H8300 H7611 H3063 H0935 H1481

שָׁם בְּאֶרֶץ מִצְרַיִם וְלָשׁוּב אֶרֶץ יְהוּדָה אֲשֶׁר־ הֵמָּה מְנַשְּׂאִים אֶת־
そこに 地に エジプトの そして-帰るために 地に ユダの (関係詞) 彼らは 望んでいる (目的格)
H8033 H0776 H4714 H7725 H0776 H3063 H0834 H1992 H5375 H0853

נַפְשָׁם לָשׁוּב לָשֶׁבֶת שָׁם כִּי לֹא־ יָשׁוּבוּ אִם־ כִּי פְלֵטִים׃ ס
彼らの-いのちを 帰ることを 住むために そこに なぜなら ない 帰らない 除いては ただ 逃れた-者たち (段落記号)
H5315 H7725 H3427 H8033 H3588 H3808 H7725 H3588 H6412

それゆえ、エジプトの地へ行ってそこに住んでいるユダの残りの者のうち、のがれ、または残って、帰り住まおうと願うユダの地へ帰る者はひとりもない。少数ののがれる者のほかには、帰ってくる者はない」。

15 וַיַּעֲנוּ יִרְמְיָהוּ אֶת־ כָּל־ הָאֲנָשִׁים הַיֹּדְעִים כִּי־ מְקַטְּרוֹת
そして-答えた エレミヤに (目的格) 全ての 人々は 知っている (接続詞) 香を-たいていた
H6030 H3414 H0853 H3605 H0376 H3045 H3588 H7004

נְשֵׁיהֶם וְלֵאלֹהִים אֲחֵרִים לְכָל־ וְכָל־ הַנָּשִׁים הָעֹמְדוֹת קָהָל גָּדוֹל וְכָל־
彼らの-妻たちが 神々に 他の 全ての そして-全ての 女たち 立っている 会衆 大きな そして-全ての
H0802 H0430 H0312 H3605 H3605 H0802 H5975 H6951 H1419 H3605

הָעָם הַיֹּשְׁבִים בְּאֶרֶץ־ מִצְרַיִם בְּפַתְרוֹס לֵאמֹר׃
民 住んでいる 地に エジプトの パトロスで 言って
H5971 H3427 H0776 H4714 H6624 H0559

その時、自分の妻がほかの神々に香をたいたことを知っている人々、およびその所に立っている女たちの大いなる群衆、ならびにエジプトの地のパテロスに住んでいる民はエレミヤに答えて言った、

16

אֵלֶיךָ׃	שֹׁמְעִים	אֵינֶנּוּ	יְהוָה	בְּשֵׁם	אֵלֵינוּ	דִּבַּרְתָּ	אֲשֶׁר־	הַדָּבָר
あなたに	聞かない	ない	主の	名で	私たちに	あなたが–語った	(関係詞)	ことばに–ついて
H0413	H8085	H0369	H3068	H8034	H0413	H1696		H1697

「あなたが主の名によってわたしたちに述べられた言葉は、わたしたちは聞くことができません。

17

מִפִּינוּ	יָצָא	אֲשֶׁר־	וְהַדָּבָר	כָּל־	אֶת־	נַעֲשֶׂה	עָשֹׂה	כִּי
私たちの–口から	出た	(関係詞)	ことばを	全ての	(目的格)	行う	確かに	なぜなら
H6310	H3318		H1697	H3605	H0853			

כַּאֲשֶׁר	נְסָכִים	לָהּ	וְהַסֵּךְ־	הַשָּׁמַיִם	לִמְלֶכֶת	לְקַטֵּר
ちょうど	奠祭を	彼女に	そして–注ぐために	天の	の–女王に	香を–たくために
	H5262			H8064	H4446	

וְשָׂרֵינוּ	מְלָכֵינוּ	וַאֲבֹתֵינוּ	אֲנַחְנוּ	עָשִׂינוּ
私たちの–首領たちも	私たちの–王たちも	私たちの–先祖たちも	私たちも	私たちが–行った–ように
H8269	H4428	H0001	H0587	

טוֹבִים	וַנִּהְיֶה	לֶחֶם	וַנִּשְׂבָּע־	יְרוּשָׁלִָם	וּבְחֻצוֹת	יְהוּדָה	בְּעָרֵי
良く	そして–いた	パンに	そして–満足した	エルサレムの	そして–通りで	ユダの	町々で
	H1961	H3899	H7646	H3389	H2351	H3063	

רָאִינוּ׃	לֹא	וְרָעָה
見なかった	ない	そして–わざわいを
H7200	H3808	

わたしたちは誓ったことをみな行い、わたしたちが、もと行っていたように香を天后にたき、また酒をその前に注ぎます。すなわち、ユダの町々とエルサレムのちまたで、わたしたちとわたしたちの先祖たちおよびわたしたちの王たちと、わたしたちのつかさたちが行ったようにいたします。その時には、わたしたちは糧食には飽き、しあわせで、災に会いませんでした。

18

לָהּ	וְהַסֵּךְ־	הַשָּׁמַיִם	לִמְלֶכֶת	לְקַטֵּר	חָדַלְנוּ	אָז	וּמִן־	
彼女に	そして–注ぐことを	天の	の–女王に	香を–たくことを	止めた	その–時	そして–から	
		H8064	H4446		H2308			

תָּמְנוּ׃	וּבָרָעָב	וּבַחֶרֶב	כֹּל	חָסַרְנוּ	נְסָכִים
尽きた	そして–飢饉で	そして–剣で	全てを	欠いた	奠祭を
H8552	H7458	H2719	H3605	H2637	H5262

ところが、わたしたちが、天后に香をたくことをやめ、酒をその前に注がなくなった時から、すべての物に乏しくなり、つるぎとききんに滅ぼされました」。

19

נְסָכִים	לָהּ	וּלְהַסֵּךְ	הַשָּׁמַיִם	לִמְלֶכֶת	מְקַטְּרִים	אֲנַחְנוּ	וְכִי־	
奠祭を	彼女に	そして–注ぐために	天の	の–女王に	香を–たいていた	私たちが	そして–の時	
H5262			H8064	H4446		H0587		

וְהַסֵּךְ	לְהַעֲצִבָהּ	כַּוָּנִים	לָהּ	עָשִׂינוּ	אֲנָשֵׁינוּ	הַמְכַלְעֲדֵי	
そして–注ぐため	彼女を–かたどるために	菓子を	彼女に	私たちが–作った	私たちの–夫たち	別に	
		H3561			H0376	H1107	

פ	נְסָכִים׃	לָהּ
(段落記号)	奠祭を	彼女に
	H5262	

また女たちは言った、「わたしたちが天后に香をたき、酒をその前に注ぐに当って、これにかたどってパンを造り、酒を注いだのは、わたしたちの夫が許したことではありませんか」。

20 וַיֹּ֤אמֶר יִרְמְיָהוּ֙ אֶל־כָּל־הָעָ֔ם וְעַל־כָּל־הַנְּבִרִ֖ים עַל־הָעָ֑ם וְעַל־כָּל־הַנָּשִׁ֣ים
そして-言った エレミヤは に 全ての 民に に-対して 男たちと そして-に-対して 女たちと
H0559 H3414 H0413 H3605 H5971 H1397 H5921 H0802

לֵאמֹֽר׃ דָּבָ֣ר אֹתָ֔וֹ הָעֹנִ֖ים הָעָ֑ם כָּל־וְעַל־
言って ことばで 彼に 答えた 民に 全ての そして-に-対して
H0559 H1697 H0853 H6030 H5971 H3605 H5921

そこでエレミヤは男女のすべての人、およびこの答をしたすべての民に言った、

21 הַלֹּ֣וא יְרוּשָׁלִַ֗ם וּבְחֻצ֣וֹת יְהוּדָה֮ בְּעָרֵי֒ קִטַּרְתֶּ֣ם אֲשֶׁ֣ר הַקְּטֹ֗רֶת אֶת־
ではないか エルサレムの そして-通りで ユダの 町々で たいた (関係詞) 香を (目的格)
H3808 H3389 H2351 H3063 H5892 H7002 H0853

וְעַ֣ם וְשָׂרֵיכֶ֗ם מַלְכֵיכֶם֮ וַאֲבֹֽתֵיכֶם֒ אַתֶּ֣ם
そして-民 あなたがたの-首領たちも あなたがたの-王たちも あなたがたの-先祖たちも あなたがたも
H5971 H8269 H4428 H0001 H0859

לִבּ֑וֹ׃ עַל־ וַתַּ֣עַל יְהוָ֗ה זָכַ֤ר אֹתָם֙ הָאָ֔רֶץ
彼の-心に の-上に そして-上った 主が 覚えた それを 地の
H3820 H5921 H5927 H3068 H2142 H0853 H0776

「ユダの町々とエルサレムのちまたで、あなたがたとあなたがたの先祖たち、およびあなたがたの王たちとあなたがたのつかさたち、およびその地の民が香をたいたことは、主がこれを忘れず、また、心にとどめておられることではないか。

22 מַעַלְלֵיכֶ֑ם רַ֣ע מִפְּנֵי֙ לָשֵׂ֣את עֹ֔וד יְהוָ֖ה יוּכַל֙ וְלֹא־
あなたがたの-行いの 悪しき の-前に 耐えることが もはや 主は できなかった そして-ない
H4611 H7455 H6440 H5375 H5750 H3068 H3201 H3808

לְחָרְבָּ֔ה אַרְצְכֶם֙ וַתְּהִ֣י עֲשִׂיתֶ֗ם אֲשֶׁ֣ר הַתּוֹעֵבֹ֤ת מִפְּנֵי֙
廃墟と あなたがたの-地は そして-なった あなたがたが-行った (関係詞) 忌まわしいこと の-前に
H2723 H0776 H1961 H6213 H8441 H6440

הַזֶּֽה׃ כְּהַיּ֣וֹם יוֹשֵׁ֔ב מֵאֵ֖ין וְלִקְלָלָ֑ה וְלִשַּׁמָּ֣ה
この 今日の-ように 住む-者なく 住む-者なく そして-ののしりと そして-荒れ地と
H2088 H3117 H3427 H0369 H7045 H8047

主はあなたがたの悪しきわざのため、あなたがたの憎むべき行いのために、もはや忍ぶことができなくなられた。それゆえ、あなたがたの地は今日のごとく荒れ地となり、驚きとなり、のろいとなり、住む人のない地となった。

23 וְלֹ֣א לַיהוָ֗ה חֲטָאתֶם֙ וַאֲשֶׁ֣ר קִטַּרְתֶּ֔ם אֲשֶׁ֖ר מִפְּנֵי֙
そして-ない 主に-対して 罪を-犯した そして(関係詞) 香を-たいた (関係詞) の-ために
H3808 H3068 H2398 H6213 H7200 H6440

לֹ֣א וּבְעֵדוֹתָ֖יו וּבְחֻקֹּתָ֑יו וּבְתֹרָתֹ֣ו יְהוָה֮ בְּקֹל֒ שְׁמַעְתֶּ֣ם
ない そして-彼の-あかしに そして-彼の-定めに そして-彼の-律法に 主の 声に 聞かなかった
H3808 H5715 H2708 H8451 H3068 H6963 H8085

כַּיּ֣וֹם הַזֹּ֔את הָרָעָ֖ה אֶתְכֶ֑ם קָרְאָ֣ת כֵּ֔ן עַל־ הַלַּכְתֶּ֖ם
今日の-ように この わざわいが あなたがたに 降りかかった それゆえ の-上に 歩まなかった
H3117 H2063 H7451 H0853 H7122 H3651 H5921 H1980

ס הַזֶּֽה׃
(段落記号) この
H2088

あなたがたが香をたき、主に罪を犯し、主の声に聞き従わず、その律法と、定めと、あかしに従って歩まなかったので、今日のようにこの災があなたがたに臨んだのである」。

24

דְּבַר־	שִׁמְעוּ	הַנָּשִׁים	כָּל־	וְאֶל	הָעָם	כָּל־	אֶל־	יִרְמְיָהוּ	וַיֹּאמֶר	
ことばを	聞け	女たちに	全ての	そして-に	民に	全ての	に	エレミヤは	そして-言った	
H1697	H8085	H0802	H3605	H0413		H3605	H0413	H3414	H0559	

ס	מִצְרָיִם׃	בְּאֶרֶץ	אֲשֶׁר	יְהוּדָה	כָּל־	יְהוָה
(段落記号)	エジプトの	地にいる	(関係詞)	ユダよ	全ての	主の
	H4714	H0776		H3063	H3605	H3068

エレミヤはまたすべての民と女たちに言った、「あなたがたすべてエジプトの地にいるユダの人々よ、主の言葉を聞きなさい。

25

אַתֶּם	לֵאמֹר	יִשְׂרָאֵל	אֱלֹהֵי	צְבָאוֹת	יְהוָה־	אָמַר	כֹּה־	
あなたがたと	言って	イスラエルの	神	万軍の	主	言われる	このように	
	H0559	H3478	H0430		H3068	H0559	H3541	

אֶת־	נַעֲשֹׂה	עָשֹׂה	לֵאמֹר	וּמִלֵּאתֶם	וּבִידֵיכֶם	בְּפִיכֶם	וַתְּדַבֵּרְנָה	וּנְשֵׁיכֶם
(目的格)	行う	確かに	言って	満たした	そして-手で	口で	語った	あなたがたの-妻たちは
H0853			H0559	H4390	H3027	H6310	H1696	H0802

וּלְהַסֵּךְ	הַשָּׁמַיִם	לִמְלֶכֶת	לְקַטֵּר	נָדַרְנוּ	אֲשֶׁר	נְדָרֵינוּ
そして-注ぐために	天の	の-女王に	香を-たくために	私たちが-誓った	(関係詞)	私たちの-誓いを
	H8064	H4446		H5087		H5088

אֶת־	תַּעֲשֶׂינָה	וְעָשֹׂה	נִדְרֵיכֶם	אֶת־	תָּקִימְנָה	הָקֵם	נְסָכִים	לָהּ
(目的格)	行え	そして-確かに	あなたがたの-誓いを	(目的格)	果たせ	確かに	奠祭を	彼女に
H0853			H5088	H0853			H5262	

פ	נִדְרֵיכֶם׃
(段落記号)	あなたがたの-誓いを
	H5088

万軍の主、イスラエルの神はこう言われる、あなたがたとあなたがたの妻たちは口で言い、手で行い、『わたしたちは天后に香をたき、酒を注いで立てた誓いを必ずなし遂げる』と言う。それならば、あなたがたの誓いをかため、あなたがたの誓いをなし遂げなさい。

26

הִנְנִי	מִצְרַיִם	בְּאֶרֶץ	הַיֹּשְׁבִים	יְהוּדָה	כָּל־	יְהוָה	דְּבַר־	שִׁמְעוּ	לָכֵן	
見よ-私は	エジプトの	地に	住む-者	ユダよ	全ての	主の	ことばを	聞け	それゆえ	
H2009	H4714	H0776	H3427	H3063	H3605	H3068	H1697	H8085		

שְׁמִי	עוֹד	יִהְיֶה	אִם־	יְהוָה	אָמַר	הַגָּדוֹל	בִּשְׁמִי	נִשְׁבַּעְתִּי
私の-名が	もはや	あるなら	もし	主	言われる	大いなる	私の-名によって	誓った
H8034	H5750	H1961		H3068	H0559		H8034	H7650

בְּכָל־	יְהוָה	אֲדֹנָי	חַי־	אֹמֵר	יְהוּדָה	אִישׁ	כָּל־	וּבְפִי	וְנִקְרָא
全ての	神にかけて	主なる	生きておられる	言って	ユダの	人の	全ての	口に	呼ばれるなら
H3605	H3069	H0136		H0559	H3063	H0376	H3605	H6310	H7121

מִצְרָיִם׃	אֶרֶץ
エジプトの	地に
H4714	H0776

それゆえ、あなたがたすべてエジプトの地にいるユダの人々よ、主の言葉を聞きなさい。主は言われる、わたしは自分の大いなる名をさして誓う、すなわちエジプトの全地に、ユダの人々で、その口に、『主なる神は生きておられる』と言って、わたしの名をとなえるものは、もはやひとりもないようになる。

27

לְטוֹבָה
幸いの–ために

וְלֹא
そして–ない
H3808

לְרָעָה
わざわいの–ために

עֲלֵיהֶם
彼らの–上に

שֹׁקֵד
見張っている
H8245

הִנְנִי
見よ–私は
H2009

עַד־
まで
H5704

וּבָרָעָב
そして–飢饉で
H7458

בַּחֶרֶב
剣で
H2719

מִצְרַיִם
エジプトの
H4714

בְּאֶרֶץ־
地に
H0776

אֲשֶׁר
(関係詞)

יְהוּדָה
ユダの
H3063

אִישׁ
人
H0376

כָּל־
全ての
H3605

וְתַמּוּ
そして–尽きる
H8552

כְּלוֹתָם׃
彼らが–尽きる
H3615

見よ、わたしは彼らを見守っている、それは幸を与えるためではなく、災を下すためである。エジプトの地にいるユダの人々は、つるぎとききんによって滅び絶える。

28

מִסְפָּר
数の
H4557

מְתֵי
わずかな
H4962

יְהוּדָה
ユダの
H3063

אֶרֶץ
地に
H0776

מִצְרַיִם
エジプトの
H4714

אֶרֶץ
地
H0776

מִן־
から

יְשֻׁבוּן
帰る
H7725

חֶרֶב
剣の
H2719

וּפְלִיטֵי
そして–逃れた–者

שָׁם
そこに
H8033

לָגוּר
寄留する–ため

מִצְרַיִם
エジプトの
H4714

לְאֶרֶץ־
地に
H0776

הַבָּאִים
来た–者
H0935

יְהוּדָה
ユダの
H3063

שְׁאֵרִית
残りの–者
H7611

כָּל־
全ての
H3605

וְיֵדְעוּ
そして–知る
H3045

וּמֶהֶם׃
彼らのか
H1992

מִמֶּנִּי
私のか

יָקוּם
立つか

מִי
誰の
H4310

דְּבַר־
ことばが
H1697

しかし、つるぎをのがれるわずかの者はエジプトの地を出てユダの地に帰る。そしてユダの残っている民でエジプトに来て住んだ者は、わたしの言葉が立つか、彼らの言葉が立つか、いずれであるかを知るようになる。

29

עֲלֵיכֶם
あなたがたを

אֲנִי
私が
H0589

פֹּקֵד
罰する

כִּי־
(接続詞)

יְהוָה
主の
H3068

נְאֻם־
宣言
H5002

הָאוֹת
しるし
H0226

לָכֶם
あなたがたに

וְזֹאת־
そして–これが
H2063

דְּבָרָי
私の–ことばが
H1697

יָקוּמוּ
立つ

קוֹם
確かに

כִּי
(接続詞)

תֵּדְעוּ
知るように
H3045

לְמַעַן
ために
H4616

הַזֶּה
この
H2088

בַּמָּקוֹם
この–場所で
H4725

ס
(段落記号)

לְרָעָה׃
わざわいの–ために

עֲלֵיכֶם
あなたがたに–対して

主は言われる、わたしがこの所であなたがたを罰するしるしはこれである。わたしはこのようにしてわたしがあなたがたに災を下そうと言った事の必ず立つことを知らせよう。

30

מִצְרַיִם
エジプトのを
H4714

מֶלֶךְ־
王
H4428

חָפְרַע
ホフラ
H6548

פַּרְעֹה
パロ
H6548

אֶת־
(目的格)
H0853

נֹתֵן
渡す
H5414

הִנְנִי
見よ–私は
H2009

יְהוָה
主
H3068

אֲמַר
言われる
H0559

וְכֹה
このように
H3541

אֶת־
(目的格)
H0853

נָתַתִּי
渡した–ように
H5414

כַּאֲשֶׁר
ちょうど

נַפְשׁוֹ
彼の–いのちを
H5315

מְבַקְּשֵׁי
求める–者の
H1245

וּבְיַד
そして–の–手に
H3027

אֹיְבָיו
彼の–敵の
H0341

בְּיַד
の–手に
H3027

אֹיְבוֹ
彼の–敵の
H0341

בָּבֶל
バビロンの
H0894

מֶלֶךְ־
王
H4428

נְבוּכַדְרֶאצַּר
ネブカドレツァル
H5019

בְּיַד
の–手に
H3027

יְהוּדָה
ユダのを
H3063

מֶלֶךְ־
王
H4428

צִדְקִיָּהוּ
ツィデキヤを
H6667

ס
(段落記号)

נַפְשׁוֹ׃
彼の–いのちを
H5315

וּמְבַקֵּשׁ
そして–求める–者
H1245

すなわち主はこう言われる、見よ、わたしはユダの王ゼデキヤを、その命を求める敵であるバビロンの王ネブカデレザルの手に渡したように、エジプトの王パロ・ホフラをその敵の手、その命を求める者の手に渡す」。

Chapter 45

1

נֵרִיָּה	בֶּן־	בָּרוּךְ	אֶל־	הַנָּבִיא	יִרְמְיָהוּ	דִּבֶּר	אֲשֶׁר	הַדָּבָר
ネリヤの	息子-	バルクに	～に	預言者	エレミヤが	語った	(関係詞)	その-言葉
H5374		H1263	H0413	H5030	H3414	H1696		H1697

בַּשָּׁנָה	יִרְמְיָהוּ	מִפִּי	סֵפֶר	עַל־	הָאֵלֶּה	הַדְּבָרִים	אֶת־	בְּכָתְבוֹ
年に	エレミヤの	口から	巻物に	～の-上に	これらの	言葉を	(目的格)	彼が-書いた-時に
H8141	H3414	H6310			H0428	H1697	H0853	H3789

ס	לֵאמֹר׃	יְהוּדָה	מֶלֶךְ	יֹאשִׁיָּהוּ	בֶּן־	יְהוֹיָקִים	הָרְבִעִית
(段落記号)	言って	ユダの	王	ヨシヤの	息子-	ヨヤキムの	第四の
	H0559	H3063	H4428	H2977		H3079	H7243

ユダの王ヨシヤの子エホヤキムの四年に、ネリヤの子バルクがこれらの言葉をエレミヤの口述にしたがって書にしるした時、預言者エレミヤが彼に語った言葉、

2

בָּרוּךְ׃	עָלָיִךְ	יִשְׂרָאֵל	אֱלֹהֵי	יְהוָה	אָמַר	כֹּה־
バルクよ	あなたに-ついて	イスラエルの	神	主は	言われた	このように-
H1263		H3478	H0430	H3068	H0559	H3541

「バルクよ、イスラエルの神、主はあなたについてこう言われる、

3

עַל־	יָגוֹן	יְהוָה	יָסַף	כִּי־	לִי	נָא	אוֹי־	אָמַרְתָּ
～の-上に	悲しみを	主は	加えられた	なぜなら-	私に	どうか	ああ-	あなたは-言った
H3015		H3068	H3254			H4994	H0188	H0559

ס	מָצָאתִי׃	לֹא	וּמְנוּחָה	בְּאַנְחָתִי	יָגַעְתִּי	מַכְאֹבִי
(段落記号)	見つけなかった	ない	そして-安息を	私の-嘆きの-中で	疲れ果てた	私の-痛みに
	H4672	H3808	H4496	H0585	H3021	H4341

あなたはかつて、『ああ、わたしはわざわいだ、主がわたしの苦しみに悲しみをお加えになった。わたしは嘆き疲れて、安息が得られない』と言った。

4

אֲשֶׁר־	הִנֵּה	יְהוָה	אָמַר	כֹּה	אֵלָיו	תֹּאמַר	וְכֹה
(関係詞)-	見よ	主は	言われた	このように	彼に	あなたは-言え	このように
	H2009	H3068	H0559	H3541	H0413	H0559	H3541

אֲנִי	נָטַעְתִּי	אֲשֶׁר־	וְאֶת	הֹרֵס	אֲנִי	בָּנִיתִי
わたしは	わたしが-植えた-ものを	(関係詞)-	そして(目的格)	壊す	わたしは	わたしが-建てた-ものを
H0589	H5193		H0853	H2040	H0589	H1129

הַזֶּה׃	הָאָרֶץ	כָּל־	וְאֶת־	נִתֵּשׁ
それを	地を	全ての-	すなわち(目的格)-	引き抜く
H1931	H0776	H3605	H0853	H5428

あなたはこう彼に言いなさい、主はこう言われる、見よ、わたしは自分で建てたものをこわし、自分で植えたものを抜いている――それは、この全地である。

כִּי תְבַקֶּשׁ אַל־ גְּדֹלוֹת לְךָ תְּבַקֵּשׁ־ וְאַתָּה 5
なぜなら 求めて–は するな– 大きな–ことを 自分–のために 求める–のか そして–あなたは
H1245 H0408 H1245

יְהוָה נְאֻם־ בָּשָׂר כָּל־ עַל־ רָעָה מֵבִיא הִנְנִי׀
主の 告げる– 肉なる–者に 全ての– ～の–上に 災いを もたらす 見よ–わたしは
H3068 H5002 H1320 H3605 H0935 H2009

כָּל־ עַל לְשָׁלָל נַפְשְׁךָ אֶת־ לְךָ וְנָתַתִּי
全ての– ～の–上で 戦利品–として あなたの–命を (目的格)– あなたに そして–わたしは–与える
H3605 H7998 H5315 H0853 H5414

ס שָׁם׃ תֵּלֵךְ־ אֲשֶׁר הַמְּקֹמוֹת
(段落記号) そこへ あなたが–行く– (関係詞) 場所で
H8033 H3212 H4725

あなたは自分のために大いなる事を求めるのか、これを求めてはならない。見よ、わたしはすべての人に災を下そうとしている。しかしあなたの命はあなたの行くすべての所で、ぶんどり物としてあなたに与えると主は言われる」。

Chapter 46

הַגּוֹיִם׃ עַל־ הַנָּבִיא יִרְמְיָהוּ אֶל־ יְהוָה דְּבַר־ הָיָה אֲשֶׁר 1
諸国民に–ついて ～に–ついて 預言者 エレミヤに ～に 主の 言葉が– あった (関係詞)
H5030 H3414 H0413 H3068 H1697 H1961

もろもろの国の事について預言者エレミヤに臨んだ主の言葉。

הָיָה אֲשֶׁר־ מִצְרַיִם מֶלֶךְ נְכוֹ פַּרְעֹה חֵיל עַל־ לְמִצְרַיִם 2
いた (関係詞)– エジプトの 王 ネコの ファラオ– 軍勢に ～に–ついて エジプトに–ついて
H1961 H4714 H4428 H6549 H6549 H2428 H4714

נְבוּכַדְרֶאצַּר הִכָּה אֲשֶׁר בְּכַרְכְּמִשׁ פְּרָת נְהַר־ עַל־
ネブカドレツァルが 打ち破った (関係詞) カルケミシュで ユーフラテスの 川– ～の–ほとりに
H5019 H5221 H3751 H6578 H5104

יְהוּדָה׃ מֶלֶךְ יֹאשִׁיָּהוּ בֶן־ לִיהוֹיָקִים הָרְבִיעִית בִּשְׁנַת בָּבֶל מֶלֶךְ
ユダの 王 ヨシヤの 息子– ヨヤキムの 第四の 年に バビロンの 王
H3063 H4428 H2977 H3079 H7243 H8141 H0894 H4428

エジプトの事、すなわちユフラテ川のほとりにあるカルケミシの近くにいるエジプトの王パロ・ネコの軍勢の事について。これはユダの王ヨシヤの子エホヤキムの四年に、バビロンの王ネブカデレザルが撃ち破ったものである。その言葉は次のとおりである、

לַמִּלְחָמָה׃ וּגְשׁוּ וְצִנָּה מָגֵן וְעִרְכוּ 3
戦いに そして–進め 大盾を 小盾と 整えよ
H4421 H5066 H4043

「大盾と小盾とを備え、進んで戦え。

לִבְשׁוּ הָרְמָחִים מִרְקוּ בַּכּוֹבָעִים וְהִתְיַצְּבוּ הַפָּרָשִׁים וַעֲלוּ הַסּוּסִים אִסְרוּ 4
着よ 槍を 磨け 兵よで そして–立て 騎兵たちよ そして–乗れ 馬を つなげ
H3847 H7420 H4838 H3553 H3320 H5927 H0631

הַסְּרִיֹנֹת׃
鈎を
H5630

騎兵よ、馬を戦車につなぎ、馬に乗れ。かぶとをかぶって立て。ほこをみがき、よろいを着よ。

יְכֻתּוּ	וְגִבּוֹרֵיהֶם	אָחוֹר	נִסֹּגִים	חַתִּים	הֵמָּה	רָאִיתִי	מַדּוּעַ	5
打ち砕かれ	そして–彼らの–勇士たちは	後ろへ	退いて	おびえて	彼らが	わたしは–見た	なぜ	
H3807	H1368	H0268	H5472		H1992	H7200	H4069	

יְהוָה׃	נְאֻם־	מִסָּבִיב	מָגוֹר	הִפְנוּ	וְלֹא	נָסוּ	וּמָנוֹס
主の	告げる–	四方から	恐怖が	振り返らなかった	そして–ない	逃げた	そして–逃走を
H3068	H5002	H5439	H4032	H6437	H3808	H5127	H4498

わたしは見たが、何ゆえか彼らは恐れて退き、その勇士たちは打ち敗られ、あわてて逃げて、うしろをふり向くこともしない、――恐れが彼らの周囲にあると主は言われる。

עַל־	צָפוֹנָה	הַגִּבּוֹר	יִמָּלֵט	וְאַל־	הַקַּל	נָנוּס	אַל־	6
～の–ほとりで	北方で	勇士も	免れては	そして–するな–	足の–速い–者も	逃げては	するな–	
	H6828	H1368	H4422	H0408	H7031	H5127	H0408	

וְנָפָלוּ׃	כָּשְׁלוּ	פְּרָת	נְהַר־	יַד	
そして–倒れた	つまづいて	ユーフラテスの	川–	岸に	
H5307	H3782	H6578	H5104	H3027	

足早き者も逃げることができず、勇士ものがれることができない。北の方、ユフラテ川のほとりで彼らはつまずき倒れた。

מִימָיו׃	יִתְגַּעֲשׁוּ	כַּנְּהָרוֹת	יַעֲלֶה	כַּיְאֹר	זֶה	מִי־	7
その–水は	波立つ	川の–ように	上るのか	ナイルの–ように	これは	誰が–	
H4325	H1607	H5104	H5927	H2975	H2088	H4310	

あのナイル川のようにわきあがり、川々のように、その水のさかまく者はだれか。

וַיֹּאמֶר	מָיִם	יִתְגַּעֲשׁוּ	וְכַנְּהָרוֹת	יַעֲלֶה	כַּיְאֹר	מִצְרַיִם		8
そして–言った	水が	波立つ	そして–川の–ように	上る	ナイルの–ように	エジプトは		
H0559	H4325	H1607	H5104	H5927	H2975	H4714		

בָּהּ׃	וְיֹשְׁבֵי	עִיר	אֹבִידָה	אֶרֶץ	אַכַּסֶּה־	אַעֲלֶה	
その–中の	そこに–住む–者を	町と	滅ぼそう	地を	覆い–尽くそう	上って–行こう	
	H3427		H0006	H0776	H3680	H5927	

エジプトはナイル川のようにわきあがり、その水は川々のようにさかまく。そしてこれは言う、わたしは上って、地をおおい、町々とそのうちに住む者を滅ぼそう。

תֹּפְשֵׂי	וּפוּט	כּוּשׁ	הַגִּבּוֹרִים	וְיֵצְאוּ	הָרֶכֶב	וְהִתְהֹלְלוּ	הַסּוּסִים	עֲלוּ	9
握る–者たち	プトは	クシュと	勇士たちよ	そして–出よ	戦車よ	そして–狂え	馬よ	上れ	
H8610	H6316		H1368	H3318	H7393			H5927	

קָשֶׁת׃	דֹּרְכֵי	תֹּפְשֵׂי	וְלוּדִים	מָגֵן	
弓を	引く–者たち	握る–者たち	そして–ルディムは	盾を	
H7198	H1869	H8610	H3866	H4043	

馬よ、進め、車よ、激しく走れ。勇士よ、盾を取るエチオピヤびとと、プテびとよ、弓を巧みに引くルデびとよ、進み出よ。

מִצָּרָיו	לְהִנָּקֵם	נְקָמָה	יוֹם	צְבָאוֹת	יְהוִה	לַאדֹנָי	הַהוּא	וְהַיּוֹם	10
敵たちに	復讐する–ための	復讐の	日	万軍の	主	主なる	その	そして–その–日は	
	H5358	H5360	H3117		H3069	H0136	H1931	H3117	

לַאדֹנָי	זֶבַח	כִּי	מִדָּמָם	וְרָוְתָה	וְשָׂבְעָה	חֶרֶב	וְאָכְלָה	
主なる	いけにえが	なぜなら	彼らの–血で	そして–潤う	そして–満たされ	剣が	そして–食らう	
H0136	H2077		H1818	H7301	H7646	H2719	H0398	

פְּרָת׃	נְהַר־	אֶל־	צָפוֹן	בְּאֶרֶץ	צְבָאוֹת	יְהוָה
ユーフラテスの	川–	～の–ほとりに	北の	地に–ある	万軍の	主
H6578	H5104	H0413	H6828	H0776		H3069

その日は万軍の神、主の日であって、主があだを報いられる日、その敵にあだをかえされる日だ。つるぎは食べて飽き、彼らの血に酔う。万軍の神、主が、北の地で、ユフラテ川のほとりで、ほふることをなされるからだ。

11	עֲלִי	גִלְעָד	וְקְחִי	צֳרִי	בְתוּלַת	בַּת־	מִצְרָיִם	לַשָׁוְא	]הרביתין
	上れ	ギレアドへ	そして–取れ	乳香を	おとめなる	娘よ–	エジプトの	徒らに	(ケティブ)
	H5927	H1568	H3947	H6875	H1330	H1323	H4714	H7723	

)הִרְבֵּית	רְפֻאוֹת	תְּעָלֶה	אֵין	לָךְ׃	
あなたは–増やした	薬を	癒しは	ない	あなたに	
H7235	H7499		H0369		

おとめなるエジプトの娘よ、ギレアデに上って乳香を取れ。あなたは多くの薬を用いても、むだだ。あなたは、いやされることはない。

12	גְּבוֹר	כִּי־	הָאָרֶץ	מָלְאָה	וְצִוְחָתֵךְ	קְלוֹנֵךְ	גּוֹיִם	שָׁמְעוּ	
	勇士が	なぜなら–	地を	満たした	そして–あなたの–叫びは	あなたの–恥を	諸国民は	聞いた	
	H1368		H0776	H4390	H6682	H7036		H8085	

פ	שְׁנֵיהֶם׃	נָפְלוּ	יַחְדָּיו	כָּשְׁלוּ	בְּגִבּוֹר	
(段落記号)	二人–とも	倒れた	共に	つまづいた	勇士に	
	H8147	H5307		H3782	H1368	

あなたの恥は国々に聞えている、あなたの叫びは地に満ちている。勇士が勇士につまずいて、共に倒れたからである」。

13	לָבוֹא	הַנָּבִיא	יִרְמְיָהוּ	אֶל־	יְהוָה	דִּבֶּר	אֲשֶׁר	הַדָּבָר	
	来る–ことに–ついて	預言者	エレミヤに	～に	主が	語った	(関係詞)	言葉	
	H0935	H5030	H3414	H0413	H3068	H1696		H1697	

מִצְרָיִם׃	אֶרֶץ	אֶת־	לְהַכּוֹת	בָּבֶל	מֶלֶךְ	נְבוּכַדְרֶאצַּר
エジプトの	地を	(目的格)	打つ–ために	バビロンの	王	ネブカドレツァルが
H4714	H0776	H0853	H5221	H0894	H4428	H5019

バビロンの王ネブカデレザルが来て、エジプトの地を撃とうとする事について、主が預言者エレミヤにお告げになった言葉、

14	בְּנֹף	וְהַשְׁמִיעוּ	בְּמִגְדּוֹל	וְהַשְׁמִיעוּ	בְּמִצְרַיִם	הַגִּידוּ			
	メンフィスに	そして–聞かせよ	ミグドルに	そして–聞かせよ	エジプトに	告げよ			
	H5297	H8085		H8085	H4714	H5046			

חֶרֶב	אָכְלָה	כִּי־	לָךְ	וְהָכֵן	הִתְיַצֵּב	אִמְרוּ	וּבְתַחְפַּנְחֵס	
剣が	食らった	なぜなら–	自分の–ために	そして–備えよ	立て	言え	そして–タフパンヘスに	
H2719	H0398				H3320	H0559	H8471	

סְבִיבֶיךְ׃
あなたの–周りを
H5439

「エジプトで宣べ、ミグドルで告げ示し、またメンピスとタパネスに告げ示して言え、『堅く立って、備えせよ、つるぎがあなたの周囲を、滅ぼし尽すからだ』。

15	מַדּוּעַ	נִסְחַף	אַבִּירֶיךָ	לֹא	עָמַד	כִּי	יְהוָה	הִדָּפוֹ׃	
	なぜ	流されたのか	あなたの–勇士たちは	ない	立って	なぜなら	主が	押し–倒した	
	H4069	H5502	H0047	H3808	H5975		H3068	H1920	

なぜ、アピスはのがれたのか。あなたの雄牛は、なぜ立たなかったのか。それは主がこれを倒されたからだ。

16

וְקוּמָה	וַיֹּאמְרוּ	רֵעֵהוּ	אֶל־	אִישׁ	נָפַל	גַּם־	כּוֹשֵׁל	הִרְבָּה
起て–	そして–言った	仲間の	～の–上に	人が	倒れた	また–	つまづく–者が	増えた
	H0559	H7453	H0413	H0376	H5307	H1571	H3782	

חֶרֶב	מִפְּנֵי	מוֹלַדְתֵּנוּ	אֶרֶץ	וְאֶל־	עַמֵּנוּ	אֶל־	וְנָשׁוּבָה
剣の	～の–前から	我らの–生まれの	地へ	そして–～へ	我らの–民へ	～へ	そして–帰ろう
H2719	H6440	H4138	H0776	H0413		H0413	H7725

הַיּוֹנָה׃
圧制する–者の
H3238

あなたに属する多くの兵は、つまずいて倒れた。そして互に言った、『立てよ、われわれは、しえたげる者のつるぎを避けて、われわれの民に帰り、故郷の地へ行こう』と。

17

הַמּוֹעֵד׃	הֶעֱבִיר	שָׁאוֹן	מִצְרַיִם	מֶלֶךְ־	פַּרְעֹה	שָׁם	קָרְאוּ
定めの–時を	過ぎ去らせた	騒ぎ–の–者	エジプトの	王–	ファラオを	そこで	呼んだ
H4150		H7588	H4714	H4428	H6547	H8033	H7121

エジプトの王パロの名を、『好機を逸する騒がしい者』と呼べ。

18

כְּתָבוֹר	כִּי	שְׁמוֹ	צְבָאוֹת	יְהוָה	הַמֶּלֶךְ	נְאֻם־	אֲנִי	חַי־
タボルの–ように	必ず	その–名は	万軍の	主	王の	告げる–	わたし	生きて–いる–
H8396		H8034		H3068	H4428	H5002	H0589	

יָבוֹא׃	בַּיָּם	וּכְכַרְמֶל	בָּהָרִים
来る	海の–ほとりの	そして–カルメルの–ように	山々の–中に
H0935	H3220	H3760	H2022

万軍の主という名の王は言われる、わたしは生きている、彼は山々のうちのタボルのように、海のほとりのカルメルのように来り臨む。

19

כִּי־	מִצְרָיִם	בַּת־	יוֹשֶׁבֶת	לָךְ	עֲשִׂי	גּוֹלָה	כְּלִי	
なぜなら–	エジプトの	娘よ–	住む–者よ	自分の–ために	作れ	流亡の	捕囚の–荷物を	
	H4714	H1323	H3427			H1473	H3627	

ס	יוֹשֵׁב׃	מֵאֵין	וְנִצְתָּה	תִּהְיֶה	לְשַׁמָּה	נֹף	
(段落記号)	者となる	住む–者なき	そして–焦がされ	なる	荒廃に	メンフィスは	
	H3427	H0369	H3341	H1961	H8047	H5297	

エジプトに住む民よ、捕われのために荷物を備えよ。メンピスは荒れ地となり、廃虚となって住む人もなくなる。

20

בָּא׃	בָּא	מִצָּפוֹן	קֶרֶץ	מִצְרַיִם	פִּיָּה	יְפֵה־	עֶגְלָה	
来た	来た	北から	アブが	エジプトは	姿の	美しい–	雌牛の–ように	
H0935	H0935	H6828	H7171	H4714	H3304	H3304		

エジプトは美しい雌の子牛だ、しかし北から、牛ばえが来て、それにとまった。

21

הֵמָּה	גַּם־	כִּי־	מְרֻבָּק	כְּעֶגְלֵי	בְּקִרְבָּהּ	שְׂכִירֶיהָ	גַּם־	
彼らも	また–	なぜなら–	飼い葉桶の	肥えた–牛の–ように	その–中に	傭兵たちも	また–	
H1992	H1571		H4770	H5695	H7130	H7916	H1571	

בָּא	אֵידָם	יוֹם	כִּי	עָמְדוּ	לֹא	יַחְדָּיו	נָסוּ	הִפְנוּ
来た	彼らの–破滅の	日が	なぜなら	立たなかった	ない	共に	逃げた	向きを–変え
H0935	H0343	H3117		H5975	H3808		H5127	H6437

פְּקֻדָּתָם׃	עֵת	עֲלֵיהֶם
彼らの–罰の	時	彼らの–上に
H6486	H6256	

そのうちにいる雇兵でさえ、肥えた子牛のようだ。彼らはふり返って共に逃げ、立つことをしなかった。彼らの災難の日、その罰せられる時が来たからだ。

22	קוֹלָהּ	כַּנָּחָשׁ	יֵלֵךְ	כִּי־	בְחַיִל	יֵלֵכוּ	וּבְקַרְדֻּמוֹת	בָּאוּ	לָהּ
	その–声は	蛇の–ように	行く	なぜなら–	力を–もって	行く	そして–斧で	来た	彼女に
		H5175	H3212		H2428	H3212	H7134	H0935	

כְּחֹטְבֵי	עֵצִים׃	
木を–切る–者の–ように	木々を	
H2404	H6086	

彼は逃げ去るへびのような音をたてる。その敵が軍勢を率いて彼に臨み、きこりのように、おのをもって来るからだ。

23	כָּרְתוּ	יַעְרָהּ	נְאֻם־	יְהוָה	כִּי	לֹא	יֶחְקָר	כִּי	רַבּוּ
	切り–倒した	その–森を	告げる–	主の	たとえ	ない	探り–得なくても	なぜなら	増えた
	H3772		H5002	H3068		H3808	H2713		H7231

מֵאַרְבֶּה	וְאֵין	לָהֶם	מִסְפָּר׃
いなごよりも	そして–ない	彼らに	数が
H0697	H0369	H1992	H4557

彼らは彼の林がいかに入り込みがたくとも、それを切り倒す。彼らはいなごよりも多く、数えがたいからであると、主は言われる。

24	הֹבִישָׁה	בַּת־	מִצְרָיִם	נִתְּנָה	בְּיַד	עַם־	צָפוֹן׃
	辱められた	娘よ–	エジプトの	渡された	手に	民の–	北の
	H3001	H1323	H4714	H5414	H3027		H6828

エジプトの娘ははずかしめを受け、北からくる民の手に渡される」。

25	אָמַר	יְהוָה	צְבָאוֹת	אֱלֹהֵי	יִשְׂרָאֵל	הִנְנִי	פוֹקֵד	אֶל־	אָמוֹן
	言われた	主	万軍の	神	イスラエルの	見よ–わたしは	罰する	～に	アモンに
	H0559	H3068		H0430	H3478	H2009		H0413	H0528

וְעַל־	פַּרְעֹה	וְעַל־	מִצְרַיִם	וְעַל־	אֱלֹהֶיהָ	וְעַל־	נֹא
そして–～に	ファラオに	そして–～に	エジプトに	そして–～に	その–神々に	そして–～に	ノーの
	H6547		H4714		H0430		H4996

וְעַל־	מַלְכֶיהָ	וְעַל־	פַּרְעֹה	וְעַל	הַבֹּטְחִים	בּוֹ׃
そして–～に	その–王たちに	そして–～に	ファラオに	そして–～に	信頼する–者たちに	彼を
	H4428		H6547		H0982	

万軍の主、イスラエルの神は言われた、「見よ、わたしはテーベのアモンと、パロと、エジプトとその神々とその王たち、すなわちパロと彼を頼む者とを罰する。

26	וּנְתַתִּים	בְּיַד	מְבַקְשֵׁי	נַפְשָׁם	וּבְיַד	
	そして–わたしは–彼らを–渡す	手に	命を–求める–者たちの	彼らの–命を	そして–手に	
	H5414	H3027	H1245	H5315	H3027	

כֵּן	וְאַחֲרֵי־	עַבְדָּיו	וּבְיַד־	בָּבֶל	מֶלֶךְ־	נְבוּכַדְרֶאצַּר	
それ	そして–その–後–	彼の–僕たちの	そして–手に–	バビロンの	王–	ネブカドレツァルの	
		H5650	H3027	H0894	H4428	H5019	

ס	יְהוָה׃	נְאֻם־	קֶדֶם	כִּימֵי־	תִּשְׁכֹּן	
(段落記号)	主の	告げる–	昔の	日々の–ように–	住まれる	
	H3068	H5002		H3117	H7931	

わたしは彼らを、その命を求める者の手と、バビロンの王ネブカデレザルの手と、その家来たちの手に渡す。その後、エジプトは昔のように人の住む所となると、主は言われる。

27 וְאַתָּה אַל־תִּירָא עַבְדִּי יַעֲקֹב וְאַל־תֵּחַת יִשְׂרָאֵל
そして–あなたは 恐れては わが–僕 ヤコブよ そして–するな– おののいては イスラエルよ
H0408 H3372 H5650 H3290 H0408 H2865 H3478

כִּי הִנְנִי מוֹשִׁעֲךָ מֵרָחוֹק וְאֶת־זַרְעֲךָ מֵאֶרֶץ שִׁבְיָם וְשָׁב
なぜなら 見よ–わたしは 救う 遠くから そして– あなたの–子孫を 地から 捕囚の そして–帰る
H3588 H2009 H3467 H7350 H0853 H2233 H0776 H7725

יַעֲקֹב וְשָׁקַט וְשַׁאֲנַן וְאֵין מַחֲרִיד׃ ס
ヤコブは そして–安らいで そして–平穏で そして–ない おびえさせる–者が (段落記号)
H3290 H8252 H7599 H0369 H2729

わたしのしもべヤコブよ、恐れることはない、イスラエルよ、驚くことはない。見よ、わたしがあなたを遠くから救い、あなたの子孫をその捕え移された地から救うからだ。ヤコブは帰ってきて、おだやかに、安らかになり、彼を恐れさせる者はない。

28 אַתָּה אַל־תִּירָא עַבְדִּי יַעֲקֹב נְאֻם־יְהוָה כִּי אִתְּךָ
あなたは 恐れては わが–僕 ヤコブよ 告げる– 主の なぜなら あなたと–共に
H0408 H3372 H5650 H3290 H5002 H3068 H3588 H0854

אַשֶּׁר הִדַּחְתִּיךָ שָּׁמָּה וְאֹתְךָ לֹא־אֶעֱשֶׂה כָלָה וְהַגּוֹיִם
(関係詞) わたしが–追い–散らした そこに しかし–あなたには ない– わたしは–行わない 終わりを 国々に–対して
H0834 H5080 H8033 H0853 H3808 H6213 H3617 H1471

אֲשֶׁר אֲנִי כִּי אֶעֱשֶׂה כָלָה בְּכָל־ כָּל אֲנַקֶּךָּ וְנַקֵּה לֹא
わたしが–いる なぜなら わたしは–行う 終わりを 全ての– 国々に–対して (関係詞) わたしは–罰しないでおかない そして–罰しないでおくことは ない
H0589 H3588 H6213 H3617 H3605 H1471 H0834 H5352 H5352 H3808

וְיִסַּרְתִּיךָ לַמִּשְׁפָּט׃
そして–わたしは–慨らしめる 公正に
H3256 H4941

ס
(段落記号)

主は言われる、わたしのしもべヤコブよ、恐れることはない、わたしが共にいるからだ。わたしはあなたを追いやった国々をことごとく滅ぼし尽す。しかしあなたを滅ぼし尽すことはしない。わたしは正しい道に従って、あなたを懲らしめる、決して罰しないではおかない」。

Chapter 47

1 אֲשֶׁר הָיָה דְבַר־יְהוָה אֶל־יִרְמְיָהוּ הַנָּבִיא אֶל־פְּלִשְׁתִּים
(関係詞) あった 言葉が– 主の ～に エレミヤに 預言者 ～に–ついて ペリシテ人に–ついて
H0834 H1961 H1697 H3068 H0413 H3414 H5030 H0413 H6430

בְּטֶרֶם יַכֶּה פַרְעֹה אֶת־עַזָּה׃ ס
～の–前に 打つ ファラオが (目的格) ガザを (段落記号)
H2962 H5221 H6547 H0853 H5804

パロがまだガザを撃たなかったころ、ペリシテびとの事について預言者エレミヤに臨んだ主の言葉。

כֹּה 2
このように
H3541

אָמַר יְהוָה
言われた 主は
H0559 H3068

הִנֵּה־ מַיִם עֹלִים מִצָּפוֹן וְהָיוּ לְנַחַל שׁוֹטֵף
見よ- 水が 上る 北から そして-なる 流れに 満ち-あふれる
H2009 H4325 H5927 H6828 H1961 H7857

וְיִשְׁטְפוּ אֶרֶץ וּמְלוֹאָהּ עִיר וְיֹשְׁבֵי בָהּ וְזָעֲקוּ הָאָדָם
そして-溢れる 地と その-満ちる-ものを 町と そこに-住む-者を その-中の そして-叫ぶ 人は
H7857 H0776 H4393 H3427 H2199 H0120

וְהֵילֵל כָּל יוֹשֵׁב הָאָרֶץ׃
そして-泣き叫ぶ 全ての 住む-者は 地の
H3213 H3605 H3427 H0776

「主はこう言われる、見よ、水は北から起り、あふれ流れて、この地と、そこにあるすべての物、その町と、その中に住む者とにあふれかかる。その時、人々は叫び、この地に住む者はみな嘆く。

מִקּוֹל 3
音から

שַׁעֲטַת פַּרְסוֹת אֲבִירָיו מֵרַעַשׁ לִרְכֹּבוֹ מֵהֲמוֹן גַּלְגִּלָּיו
ひづめの-踏みなりの 蹄の その-軍馬の 響きから その-戦車の とどろきの その-輪の
H8161 H6541 H0047 H7494 H7393 H1995 H1534

לֹא־ פָנוּ אָבוֹת אֶל־ בָּנִים רִפְיוֹן יָדָיִם׃
ない- 振り返らなかった 父たちは ～の-方を 子らの 衰えの-ために 手の
H3808 H6437 H0001 H0413 H1121 H7510 H3027

そのたくましい馬のひずめの踏み鳴らす音のため、その戦車の響きのため、その車輪のとどろきのために、父はその手が弱くなって、自分の子をも顧みない。

עַל־ 4
～の-ために

הַיּוֹם הַבָּא לְשַׁדּוֹד אֶת־ כָּל־ פְּלִשְׁתִּים לְהַכְרִית לְצֹר
日の 来る 滅ぼす-ために (目的格) 全ての- ペリシテ人を 断つ-ために ツロと
H3117 H0935 H7703 H0853 H3605 H6430 H3772 H6865

וְלִצִידוֹן כָּל שָׂרִיד עֹזֵר כִּי־ שֹׁדֵד יְהוָה אֶת־ פְּלִשְׁתִּים
そしてシドンに 全ての 生き残りの 助ける-者を なぜなら- 滅ぼす 主は (目的格) ペリシテ人を
H6721 H3605 H8300 H5826 H3588 H7703 H3068 H0853 H6430

שְׁאֵרִית אִי כַּפְתּוֹר׃
残りの-者を 島の カフトルの
H7611 H0339 H3731

これは、ペリシテびとを滅ぼし尽し、ツロとシドンに残って助けをなす者をことごとく絶やす日が来るからである。主はカフトルの海岸に残っているペリシテびとを滅ぼされる。

בָּאָה 5
来た
H0935

קָרְחָה גָּזָּה עַל־ עַזָּה נִדְמְתָה אַשְׁקְלוֹן שְׁאֵרִית עִמְקָם
剛髪が ガザに ～の-上に 滅ぼされた アシュケロンは 残りの-者よ 彼らの-谷の
H7144 H5804 H0413 H1820 H0831 H7611 H6010

עַד־ מָתַי תִּתְגּוֹדָדִי׃ ס
いつ-まで いつまで 自らを-傷つけるのか (段落記号)
H5704 H4970 H1413

ガザには髪をそることが始まっている。アシケロンは滅びた。アナクびとの残りの民よ、いつまで自分の身に傷つけるのか。

הוֹי 6
ああ
H1945

חֶרֶב לַיהוָה עַד־ אָנָה לֹא תִשְׁקֹטִי הֵאָסְפִי אֶל־ תַּעְרֵךְ
剣よ 主の いつまで ない 静まるのか 収まれ ～の-中に あなたの-さやに
H2719 H3068 H5704 H0575 H3808 H8252 H0622 H0413 H8593

דֳּמִי׃ הֶרָגְעִי
そして-静まれ 休め
H1826 H7280

主のつるぎよ、おまえはいつになれば静かになるのか。おまえのさやに帰り、休んで静かにしておれ。

אַשְׁקְלוֹן	אֶל־	לָהּ	צִוָּה־	וַיהוָה	תִּשְׁקֹטִי	אֵיךְ	7
アシュケロンに	～に–対して	それに	命じた–	そして–主が	静まるだろうか	どうして	
H0831	H0413		H6680	H3068	H8252		

ס	יְעָדָהּ׃	שָׁם	הַיָּם	חוֹף	וְאֶל־
(段落記号)	定めた	そこで	海の	海岸に	そして–～に–対して
	H3259	H8033	H3220	H2348	H0413

主がこれに命を下されたのだ、どうして静かにしておれようか。アシケロンと海岸の地を攻めることを定められたのだ」。

Chapter 48

אֶל־	הֲוֹי	יִשְׂרָאֵל	אֱלֹהֵי	צְבָאוֹת	יְהוָה	אָמַר	כֹּה־	לְמוֹאָב	1
～の–上に	ああ	イスラエルの	神	万軍の	主	言われた	このように–	モアブに–ついて	
H0413	H1945	H3478	H0430		H3068	H0559	H3541	H4124	

הַמִּשְׂגָּב	הֹבִישָׁה	קִרְיָתַיִם	נִלְכְּדָה	הֹבִישָׁה	שֻׁדְּדָה	כִּי	נְבוֹ
要塞は	辱められた	キルヤタイムは	占領された	辱められた	滅ぼされた	なぜなら	ネボに
	H3001	H7156	H3920	H3001	H7703		

וָחֻתָּה׃
そして–打ち砕かれた
H2865

モアブの事について、万軍の主、イスラエルの神はこう言われる、「ああ、ネボはわざわいだ、これは滅ぼされた。キリヤタイムははずかしめられて取られ、とりでは、はずかしめられてこわされた。

לְכוּ	רָעָה	עָלֶיהָ	חָשְׁבוּ	בְּחֶשְׁבּוֹן	מוֹאָב	תְּהִלַּת	עוֹד	אֵין	2
さあ–行こう	悪を	それに–対して	企てた	ヘシュボンで	モアブの	讃誉は	もはや	ない	
H3212			H2803	H2809	H4124	H8416	H5750	H0369	

חָרֶב׃	תֵּלֵךְ	אַחֲרַיִךְ	תִּדֹּמִי	מַדְמֵן	גַּם־	מִגּוֹי	וְנִכְרִיתֶנָּה
剣が	行く	あなたの–後を	黙らせられる	マドメンも	また–	国民から	そして–断ち–絶とう
H2719	H3212			H4086	H1571		H3772

モアブの誉は、消え去った。ヘシボンで人々はモアブの害を図り、『さあ、この国を断ち滅ぼそう』という。マデメンよ、おまえもまた滅ぼされる、つるぎがおまえを追う。

גָּדוֹל׃	וָשֶׁבֶר	שֹׁד	מֵחֹרוֹנָיִם	צְעָקָה	קוֹל	3
大きな	そして–滅びが	破壊と	ホロナイムから	叫びの	声が	
	H7667	H7701	H2773	H6818		

ホロナイムから叫び声が聞える、『荒廃と大いなる滅亡だ』という。

)צְעִירֶיהָ׃(	]צעוריה[	זְעָקָה	הִשְׁמִיעוּ	מוֹאָב	נְשִׁבְּרָה	4
その–小さき–者たちは	(ケティブ)	叫びを	聞かせた	モアブは	砕かれた	
H6810	H6810	H2201	H8085	H4124	H7665	

モアブは滅ぼされ、叫びはゾアルにまで聞える。

בְּמוֹרַד	כִּי	בֶּכִי	יַעֲלֶה־	בִּבְכִי	)הַלּוּחִית(	]הלחות[	מַעֲלֵה	כִּי	5
下り–坂で	なぜなら	泣きながら	上る–	泣きながら	ルヒトの	(ケティブ)	上り–坂の	なぜなら	
H4174		H1065	H5927	H1065	H3872	H3872	H4608		

שָׁמְעוּ׃	שֶׁבֶר	צְעָקַת־	צָרֵי	חוֹרֹנָיִם
聞いた	破壊の	叫びを–	敵が	ホロナイムの
H8085	H7667	H6818		H2773

彼らは泣きながらルヒテの坂を登る。彼らはホロナイムの下り坂で、『滅亡』の叫びを聞いたからだ。

6	נְסוּ	מַלְּטוּ	נַפְשְׁכֶם	וּתְהִיֶּינָה	כַּעֲרוֹעֵר	בַּמִּדְבָּר׃
	逃げよ	救え	自分の-命を	そして-なれ	野の-ロバの-ように	荒野の
	H5127	H4422	H5315	H1961	H6176	

逃げて、自分の身を救え、荒野の野ろばのようになれ。

7	כִּי	יַעַן	בְּטְחֵךְ	בְּמַעֲשַׂיִךְ	וּבְאוֹצְרוֹתַיִךְ	גַּם־	אַתְּ	
	なぜなら	の-ゆえに	あなたの-信頼の	あなたの-わざに	そして-あなたの-宝に	また-	あなたも	
	H3282	H0982	H4639	H0214	H1571			

תִּלָּכְדִי	וְיָצָא	]כמיש[	)כְמוֹשׁ(	בַּגּוֹלָה	כֹּהֲנָיו
捕らえられる	そして-出て-行く	(ケティブ)	ケモシュは	流亡に	その-祢司たちと
H3920	H3318	H3645	H3645	H1473	H3548

וְשָׂרֶיו	]יחד[	)יַחְדָּיו׃(
そして-その-首長たちは	(ケティブ)	共に
H8269		H3162

おまえが、とりでと財宝とを頼みにしたので、おまえも捕えられるからだ。またケモシは、その祭司とつかさたちと共に、捕えられて行く。

8	וְיָבֹא	שֹׁדֵד	אֶל־	כָּל־	עִיר	וְעִיר	לֹא	תִמָּלֵט	וְאָבַד
	そして-来る	破壊者が	～に	全ての-	町に	そして-町は	ない	免れない	そして-滅びる
	H0935	H7703	H0413	H3605			H3808	H4422	H0006

הָעֵמֶק	וְנִשְׁמַד	הַמִּישֹׁר	אֲשֶׁר	אָמַר	יְהוָה׃
谷は	そして-滅ぼされる	平原は	(関係詞)	言われた	主が
H6010	H8045	H4334		H0559	H3068

滅ぼす者はすべての町に来る、一つの町ものがれることができない。谷は滅び、平地は荒される、主の言われたとおりである。

9	תְּנוּ־	צִיץ	לְמוֹאָב	כִּי	נָצָא	תֵּצֵא	וְעָרֶיהָ	לְשַׁמָּה	תִּהְיֶינָה
	与えよ-	翼を	モアブに	なぜなら	飛び-去って	出て-行く	そして-その-町々は	荒廃に	なる
	H5414		H4124		H5323	H3318		H8047	H1961

מֵאֵין	יוֹשֵׁב	בָּהֶן׃
住む-者なき	者となる	その-中に
H0369	H3427	H2004

モアブに翼を与えて、飛び去らせよ。その町々は荒れて、住む者はなくなる。

10	אָרוּר	עֹשֵׂה	מְלֶאכֶת	יְהוָה	רְמִיָּה	וְאָרוּר	מֹנֵעַ	חַרְבּוֹ	מִדָּם׃
	呪われよ	行う-者は	わざを	主の	怠けて	そして-呪われよ	控える-者は	その-剣を	血から
	H0779		H4399	H3068		H0779	H4513	H2719	H1818

主のわざを行うことを怠る者はのろわれる。またそのつるぎを押えて血を流さない者はのろわれる。

11

שַׁאֲנַן	מוֹאָב	מִנְּעוּרָיו	וְשֹׁקֵט	הוּא	אֶל־
安らかで–あった	モアブは	その–若き–時から	そして–静かで–あった	それは	～の–上に
H7599	H4124		H8252	H1931	H0413

שְׁמָרָיו	וְלֹא־	הוּרַק	מִכְּלִי	אֶל־	כֶּלִי	וּבַגּוֹלָה	לֹא	הָלָךְ
その–澄みの–上に	そして–ない–	移し–替えられた	器から	～へ	器へ	そして–流亡に	ない	行った
H8105	H3808	H7324	H3627	H0413	H3627	H1473	H3808	H1980

עַל־	כֵּן	עָמַד	טַעְמוֹ	בּוֹ	וְרֵיחוֹ	לֹא	נָמָר׃
それ–ゆえに	それだから	留まった	その–味は	その–中に	そして–その–香りは	ない	変わらなかった
		H5975	H2940		H7381	H3808	H4171

ס
(段落記号)

モアブはその幼い時から安らかで、酒が、沈んだおりの上にとどまって、器から器に、くみ移されなかったように、捕え移されなかったので、その味はなお存し、その香気も変ることがない。

12

צֹעֲים	לוֹ	וְשִׁלַּחְתִּי־	יְהוָה	נְאֻם־	בָּאִים	יָמִים	הִנֵּה־	לָכֵן
傾ける–者を	彼に	そして–わたしは–遣わす–	主の	告げる–	来る	日々が	見よ–	それゆえ
H6808		H7971	H3068	H5002	H0935	H3117	H2009	

וְצֵעֻהוּ	וְכֵלָיו	יָרִיקוּ	וְנִבְלֵיהֶם	יְנַפֵּצוּ׃	
そして–彼を–傾ける	そして–その–器を	空にする	そして–その–瓶を	砕く	
H6808	H3627	H7324			

主は言われる、それゆえ見よ、わたしがこれを傾ける者どもをつかわす日が来る。彼らはこれを傾け、その器をあけ、そのかめを砕く。

13

יִשְׂרָאֵל	בֵּית	בֹּשׁוּ	כַּאֲשֶׁר־	מִכְמֹוֹשׁ	מוֹאָב	וּבֹשׁ	
イスラエルの	家が	恥じた–ように	ちょうど–	ケモシュの–ゆえに	モアブは	そして–恥じる	
H3478		H0954		H3645	H4124	H0954	

מִבְטַחָם׃	אֶלְמִבֶּית
彼らの–頼みの	ベテルの–ゆえに
H4009	H1008

その時モアブはケモシのために恥をかく。ちょうどイスラエルの家がその頼みとしたベテルのために恥をかいたようになる。

14

לַמִּלְחָמָה׃	חַיִל	וְאַנְשֵׁי־	אֲנַחְנוּ	גִּבּוֹרִים	תֹּאמְרוּ	אֵיךְ	
戦いの–ための	力の	そして–戦の–人は	我らは	勇士だ	言うのか	どうして	
H4421	H2428	H0376	H0587	H1368	H0559		

あなたがたはどうして『われわれは勇士だ。強い戦士だ』というのか。

15

יָרְדוּ	בָּחוּרָיו	וּמִבְחַר	עָלָה	וְעָרֶיהָ	מוֹאָב	שָׁדַד	
下った	その–若者たちは	そして–最良の	上った	そして–その–町々から	モアブは	略奪された	
H3381	H0970	H4005	H5927		H4124	H7703	

שְׁמוֹ׃	צְבָאוֹת	יְהוָה	הַמֶּלֶךְ	נְאֻם־	לַטָּבַח	
その–名は	万軍の	主	王の	告げる–	屠殺に	
H8034		H3068	H4428	H5002	H2874	

モアブとその町々を滅ぼす者は上って来、モアブのえり抜きの若者たちは下って殺されたと万軍の主と名のる王が言われる。

16

מְאֹד׃	מְהֵרָה	וְרָעָתוֹ	לָבוֹא	מוֹאָב	אֵיד־	קָרוֹב
非常に	急ぐ	そして–その–災いは	来る–のが	モアブの	破滅が–	近い
H3966			H0935	H4124	H0343	H7138

モアブの災難は近づいている、その苦難はすみやかに来る。

17 נֻדוּ־לוֹ כָּל־סְבִיבָיו וְכָל־יֹדְעֵי שְׁמוֹ אִמְרוּ אֵיכָה
嘆け 彼の-ために 全ての- 周りの-者よ そして-全ての 知る-者よ その-名を 言え どうして
H5110 H3605 H3605 H5439 H3605 H3045 H8034 H0559

נִשְׁבַּר מַטֵּה־עֹז מַקֵּל תִּפְאָרָה׃
折れたのか 杖が- 力の 組が- 栄光の
H7665 H4294 H5797 H4731 H8597

すべてその周囲にある者よ、またその名を知る者よ、彼のために嘆いて、『ああ、強き笏、麗しきつえは、ついに折れた』と言え。

18 רְדִי מִכָּבוֹד וְשִׁבִי (ישבי) בַּצָּמָא יֹשֶׁבֶת בַּת־דִּיבוֹן כִּי־
下れ 栄光から (ケティブ) そして-座れ 渇きの-中に 住む-者よ 娘よ- ディボンの なぜなら-
H3381 H3519 H3427 H3427 H6772 H3427 H1323 H1769

מִבְצָרֶיךָ׃ שִׁחֵת בָּךְ עָלָה מוֹאָב שֹׁדֵד
あなたの-要塞を 滅ぼした あなたに-対して 上って-来た モアブの 破壊者が
H4013 H7843 H5927 H4124 H7703

デボンに住む者よ、あなたの栄えを離れて下り、かわいた地に座せよ。モアブを滅ぼす者があなたに攻めのぼって来て、あなたの城を滅ぼしたからだ。

19 נָס שֹׁאֲלִי־ עֲרוֹעֵר יוֹשֶׁבֶת וְצִפִּי עִמְדִי דָּרֶךְ אֶל־
逃げる-者と 尋ねよ- アロエルの 住む-者よ そして-見張れ 立て 道の ～の-ほとりに
H5127 H7592 H6177 H3427 H6822 H5975 H1870 H0413

נִמְלָטָה וְנִמְלָטָה אִמְרִי מַה־ נִהְיָתָה׃
免れた-者に 言え 何が- 起こったのか
H4422 H0559 H4100 H1961

アロエルに住む者よ、道のかたわらに立って見張りし、逃げてくる男、のがれてくる女に尋ねて、『何が起ったのか』と言え。

20 הֹבִישׁ מוֹאָב כִּי־ חַתָּה הֵילִילִי (הילילו) וְזַעֲקוּ (וזעקו)
辱められた モアブは なぜなら- 打ち砕かれた (ケティブ) 泣き-叫べ (ケティブ) そして-叫べ
H3001 H4124 H3213 H2865 H3213 H2199 H2199

הַגִּידוּ בְאַרְנוֹן כִּי שֻׁדַּד מוֹאָב׃
告げよ アルノンで それを 略奪された モアブは
H5046 H0769 H3588 H7703 H4124

モアブは敗れて、恥をこうむっている。嘆き呼ばわれ。アルノン川のほとりで、モアブは滅ぼされたと告げよ。

21 וּמִשְׁפָּט בָּא אֶל־ אֶרֶץ הַמִּישׁוֹר אֶל־ חֹלוֹן וְאֶל־ יַהְצָה
そして-裁きが 来た ～の-上に 地に 平原の ～の-上に ホロンに そして-～の-上に ヤハツに
H4941 H0935 H0413 H0776 H4334 H0413 H2473 H0413 H3096

וְעַל־ (מופעת) מֵיפָעַת׃
そして-～の-上に (ケティブ) メファアトに
H4158 H4158

さばきは高原の地に臨み、ホロン、ヤハズ、メパアテ、

22 וְעַל־ דִּיבָון וְעַל־ נְבוֹ וְעַל־ בֵּית דִּבְלָתָיִם׃
そして-～の-上に ディボンに そして-～の-上に ネボに そして-～の-上に ベト-ディブラタイムに
H1769 H0413 H5015 H0413 H1015

デボン、ネボ、ベテ・デブラタイム、

23 וְעַל קִרְיָתַיִם וְעַל־בֵּית גָּמוּל וְעַל־בֵּית מְעוֹן׃
そして–〜の–上に キルヤタイムに そして–〜の–上に ベト–ガムルに そして–〜の–上に ベト–メオンに
H7156 H1014 H1010

キリヤタイム、ベテ・ガムル、ベテ・メオン、

24 וְעַל־קְרִיּוֹת וְעַל־בָּצְרָה וְעַל כָּל־עָרֵי
そして–〜の–上に ケリヨトに そして–〜の–上に ボツラに そして–〜の–上に 全ての– 町々に
H7152 H1224 H3605

אֶרֶץ מוֹאָב הָרְחֹקוֹת וְהַקְּרֹבוֹת׃
地の モアブの 遠きも そして–近きも
H0776 H4124 H7350 H7138

ケリオテ、ボズラなどモアブの地のすべての町の、遠いものにも近いものにも、臨んだ。

25 נִגְדְּעָה קֶרֶן מוֹאָב וּזְרֹעוֹ נִשְׁבָּרָה נְאֻם יְהוָה׃
断たれた 角は モアブの そして–その–腕は 折られた 告げる 主の
H1438 H7161 H4124 H2220 H7665 H5002 H3068

モアブの角は砕け、その腕は折れたと主は言われる。

26 הַשְׁכִּירֻהוּ כִּי עַל־יְהוָה הִגְדִּיל מוֹאָב וְסָפַק בְּקִיאוֹ
酔わせよ なぜなら 〜に–対して 主に–対して 大きく–した モアブは そして–打つ 吐瀉物の–中で
H7937 H3588 H5921 H3068 H1431 H4124 H5606 H1961

וְהָיָה גַּם־הוּא׃ לִשְׂחֹק
そして–なる 彼も また– 嘲りに
H1961 H1931 H1571 H7814

モアブを酔わせよ、彼が主に敵して自ら高ぶったからである。モアブは自分の吐いた物の中にころがって、笑い草となる。

27 וְאִם לְךָ הָיָה הַשְּׂחֹק לוֹא אִם־יִשְׂרָאֵל
そして–もし あなたに–とって あったのか 嘲りとは なかったのか もし– イスラエルは
H3808 H7814 H1961 H3478

נִמְצָא(נמצאה) בְּגַנָּבִים כִּי־מִדֵּי דַבֶּרְךָ בּוֹ
見つかったのか (ケティブ) 盗人の–中に なぜなら– その–たびに あなたの–言葉において 彼に–ついて
H4672 H4672 H1590 H3588 H1767 H1697 H0

תִּתְנוֹדָד׃
あなたは–首を–振る
H5110

イスラエルはあなたの笑い草ではなかったか。あなたが、彼のことを語るごとに首を振ったのは、彼が盗賊の中にいたとでもいうのか。

28 עִזְבוּ עָרִים וְשִׁכְנוּ בַסֶּלַע יֹשְׁבֵי מוֹאָב וִהְיוּ כְּיוֹנָה תְּקַנֵּן
捨てよ 町々を そして–住め 岩に 住む–者よ モアブの そして–なれ 鳩の–ように 巣を–作る
H5800 H5892 H7931 H5553 H3427 H4124 H1961 H3123 H7077

בְּעֶבְרֵי פִּי־פָחַת׃
向こう–側に 口の– 穴の
H5676 H6310 H6354

モアブに住む者よ、町を去って岩の間に住め。谷の入口のかたわらに巣を作る山ばとのようにせよ。

29 שָׁמַעְנוּ גְּאוֹן־מוֹאָב גֵּאֶה מְאֹד גְּבְהָהּ וּגְאוֹנָהּ
聞いた 誇りを– モアブの 誇り–高き 非常に その–高ぶりと そして–その–誇りと
H8085 H1347 H4124 H1343 H3966 H1363 H1347

וְרֻם לִבּוֹ׃ וְגַאֲוָתוֹ
そして–高ぶり その–心の そして–その–傲慢と
H7312 H1346

われわれはモアブの高慢な事を聞いた、その高慢は、はなはだしい。すなわち、その尊大、高慢、横柄、およびその心の高ぶりのことを聞いた。

30 אֲנִי יָדַעְתִּי נְאֻם־יְהוָה עֶבְרָתוֹ וְלֹא־כֵן בַּדָּיו לֹא־
わたしは 知っている 告げる– 主の その–傲慢を そして–ない– その–とおり その–嘘は ない–
H0589 H3045 H5002 H3068 H5678 H3808 H3651 H0907 H3808

עָשׂוּ׃ כֵּן
行わなかった その–とおりに

主は言われる、わたしは彼の横着なのを知る、彼の自慢は偽りで、その行いも偽りである。

31 עַל־כֵּן עַל־מוֹאָב אֵילִיל וּלְמוֹאָב
それだから ～の–ために モアブの–ために わたしは–泣き–叫ぶ そして–モアブの–ために
H3651 H5921 H4124 H3213 H4124

יֶהֱגֶה׃ חֶרֶשׂ קִיר־ אַנְשֵׁי אֶל־ אֶזְעָק כֻּלֹּה
うめく ヘレスの キル– 人々に ～に わたしは–叫ぶ 全ての
H1897 H7025 H7025 H0376 H0413 H2199 H3605

それゆえ、わたしはモアブのために嘆き、モアブの全地のために呼ばわる。キルヘレスの人々のためにわたしは悲しむ。

32 מִבְכֵּי יַעְזֵר אֶבְכֶּה־ לָךְ עַל־ גֶּפֶן שִׂבְמָה נְטִישֹׁתַיִךְ
泣きよりも ヤゼルの わたしは–泣く– あなたの–ために ～の–上に ぶどうの–木よ シブマの あなたの–枝は
H1065 H3270 H1058 H3651 H5921 H1612 H7643 H5189

עָבְרוּ יָם עַד יָם יַעְזֵר נָגְעוּ עַל־ קַיִץ וְעַל־
渡った 海を 海の ～まで ヤゼルに 届いた ～の–上に あなたの–夏の–果物に そして–～の–上に
H5674 H3220 H3220 H5704 H3270 H5060 H5921 H7019 H5921

בְּצִירֵךְ שֹׁדֵד נָפָל׃
あなたの–収穫に 略奪者が 襲った
H1210 H7703 H5307

シブマのぶどうの木よ、わたしはヤゼルのために泣くのにまさっておまえのために泣く。おまえのつるは延びて海を越え、ヤゼルに及んだ。おまえの夏の実と、その収穫を滅ぼす者が襲ってきた。

33 וְנֶאֱסַף מִכַּרְמֶל וְגִיל שִׂמְחָה מִמּוֹאָב וּמֵאֶרֶץ
そして–取り–去られた 喜びと そして–楽しみが カルメルから そして–地から モアブの
H0622 H8057 H1961 H3759 H4124 H0776

וְיַיִן הִשְׁבַּתִּי מִיקְבִים יְדֵרֵךְ הֵידָד לֹא הֵידָד לֹא
そして–ぶどう–酒を わたしは–絶やした 酒–ぶねから 踏む–者は 叫びを ない 叫びを ない
H3196 H7673 H3342 H1869 H1959 H3808 H1959 H3808

הֵידָד׃
叫びではない
H1959

喜びと楽しみは、実り多いモアブの地を去った。わたしは、ぶどうをしぼる所にも酒をなくした。楽しく呼ばわって、ぶどうを踏む者もなくなった。呼ばわっても、喜んで呼ばわる声ではない。

מִצֹּעַר	קוֹלָם	נָתְנוּ	יַהַץ	עַד־	אֶלְעָלֵה	עַד־	חֶשְׁבּוֹן	מִזַּעֲקַת	34
ツォアルから	声を	上げた	ヤハツまで	～まで	エルアレまで	～まで	ヘシュボンの	叫びから	
H6820		H5414	H3096	H5704	H0500	H5704	H2809	H2201	

יִהְיוּ׃	לִמְשַׁמּוֹת	נִמְרִים	מֵי	גַּם־	כִּי	שְׁלִשִׁיָּה	עֶגְלַת	חֹרֹנַיִם	עַד־
なる	荒廃に	ニムリムの	水も	また–	なぜなら	三歳の	雌牛よ	ホロナイムまで	～まで
H1961	H4923	H5249	H4325	H1571		H7992		H2773	H5704

ヘシボンとエレアレは叫ぶ。ヤハヅに至るまで、ゾアルからホロナイムとエグラテ・シリシヤに至るまで、彼らはその声をあげる。ニムリムの水も絶えたからである。

בָּמָה	מַעֲלֶה	יְהוָה	נְאֻם־	לְמוֹאָב	וְהִשְׁבַּתִּי	35
高き–所に	上る–者を	主の	告げる–	モアブに–おいて	そして–わたしは–絶やす	
H1116	H5927	H3068	H5002	H4124		

לֵאלֹהָיו׃	וּמַקְטִיר
その–神々に	そして–香を–焚く–者を
H0430	

主は言われる、わたしは犠牲を高き所にささげ、香をその神にたく者をモアブのうちに滅ぼす。

וְלִבִּי	יֶהֱמֶה	כַּחֲלִלִים	לְמוֹאָב	לִבִּי	כֵּן	עַל־		36
そして–わが–心は	鳴る	笛の–ように	モアブの–ために	わが–心は	それだから	それ–ゆえに		
	H1993	H2485	H4124					

כֵּן	עַל־	יֶהֱמֶה	כַּחֲלִילִים	חֶרֶשׁ	קִיר־	אַנְשֵׁי	אֶל־	
それだから	それ–ゆえに	鳴る	笛の–ように	ヘレスの	キル–	人々に–対して	～に–対して	
		H1993	H2485	H7025	H7025	H0376	H0413	

אָבָדוּ׃	עָשָׂה	יִתְרַת
滅びた	蓄えた	余剰の–ものは
H0006		H3502

それゆえ、わたしの心はモアブのために笛のように嘆き、わたしの心はキルヘレスの人々のために笛のように嘆く。彼らの獲た富が消えうせたからである。

יָדַיִם	כָּל־	עַל	גְּרֻעָה	זָקָן	וְכָל־	קָרְחָה	רֹאשׁ	כָּל־	כִּי	37
手に	全ての–	～の–上に	切られた	ひげは	そして–全ての–	剃られ	頭は	全ての–	なぜなら	
H3027	H3605		H1639	H2206	H3605	H7144		H3605		

שָׂק׃	מָתְנַיִם	וְעַל־	גְּדֻדָּה
荒布が	腰に	そして–～の–上に	傷があり
H8242	H4975		H1417

人はみな髪をそり、皆ひげをそり、みな手に傷をつけ、腰に荒布を着ける。

כִּי־	מִסְפֵּד	כֻּלָּה	וּבְרְחֹבֹתֶיהָ	מוֹאָב	גַּגּוֹת	כָּל־	עַל		38
なぜなら–	嗆き	全ての–ものは	そして–その–広場に	モアブの	屋上に	全ての–	～の–上に		
	H4553	H3605	H7339	H4124	H1406	H3605			

יְהוָה׃	נְאֻם־	בּוֹ	חֵפֶץ	אֵין־	כִּכְלִי	מוֹאָב	אֶת־	שָׁבַרְתִּי
主の	告げる–	それに	喜びの	ない–	器の–ように	モアブを	(目的格)	わたしは–砕いた
H3068	H5002		H2656	H0369	H3627	H4124	H0853	H7665

モアブではどこの屋根の上も、広場も、ただ悲しみに包まれている。これは、わたしが、だれもほしがらない器のようにモアブを砕いたからであると主は言われる。

39 אֵיךְ חַתָּה הֵילִילוּ אֵיךְ עֹרֶף מוֹאָב בֹּוּשׁ
どうして 打ち砕かれたのか 泣き-叫べ どうして 背を モアブは 恥じて
H0954 H4124 H6203 H6437 どうして H3213 H2865

וְהָיָה מוֹאָב לִשְׂחֹק וְלִמְחִתָּה לְכֹל סְבִיבָיו׃ ס
そして-なった モアブは 嘲りに そして-恐怖に 全ての- 周りの-者に-とって (段落記号)
H1961 H4124 H7814 H4288 H3605 H5439

ああ、モアブはついに滅びた。人々は嘆く。ああ、モアブは恥じて顔をそむけた。モアブはその周囲のすべての者の笑い草となり恐れとなった」。

40 כִּי־ כֹה אָמַר יְהוָה הִנֵּה כַנֶּשֶׁר יִדְאֶה וּפֹרֵשׂ כְּנָפָיו
なぜなら- このように 言われた 主は 見よ 鷲の-ように 舒う そして-広げる その-翼を
H3541 H0559 H3068 H2009 H5404 H1675 H6566 H3671

אֶל־ מוֹאָב׃
～に-対して モアブに
H0413 H4124

主はこう言われる、「見よ、敵はわしのように速く飛んできて、モアブに向かって翼をのべる。

41 נִלְכְּדָה הַתְּקֻיֹּות וְהַמְּצָדוֹת נִתְפָּשָׂה וְהָיָה לֵב גִּבּוֹרֵי מוֹאָב בַּיּוֹם
占領された 町々は そして-要塞は 奪われた そして-なる 心は 勇士たちの モアブの 日に
H3920 H7152 H4679 H8610 H1961 H1368 H4124 H3117

הַהוּא כְּלֵב אִשָּׁה מְצֵרָה׃
その 心の-ように 女の 産みの-苦しみの
H1931 H0802

町々は取られ、城は奪われる。その日モアブの勇士の心は子を産む女の心のようになる。

42 וְנִשְׁמַד מוֹאָב מֵעָם כִּי עַל־ יְהוָה הִגְדִּיל׃
そして-滅ぼされる モアブは 民から なぜなら ～に-対して 主に-対して 大きく-した
H8045 H4124 H5971 H3588 H5921 H3068 H1431

モアブは滅ぼされて、国を成さないようになる。主に敵して自ら誇ったからである。

43 פַּחַד וָפַחַת וָפָח עָלַיִךְ יוֹשֵׁב מוֹאָב נְאֻם־ יְהוָה׃
恐れと そして-落とし-穴と そして-罠が あなたの-上に 住む-者よ モアブの 告げる- 主の
H6343 H6354 H6341 H5921 H3427 H4124 H5002 H3068

主は言われる、モアブに住む者よ、恐れと、穴と、わなとがあなたに臨んでいる。

44 הַנָּס(ה) מִפְּנֵי הַפַּחַד יִפֹּל אֶל־ הַפַּחַת וְהָעֹלֶה
逃げる-者は ～の-前から 恐れの 落ちる ～の-中に 落とし-穴に そして-上る-者は
H5127 H6440 H6343 H5307 H0413 H6354 H5927

מִן־ הַפַּחַת יִלָּכֵד בַּפָּח כִּי־ אָבִיא אֵלֶיהָ אֶל־ שְׁנַת פְּקֻדָּתָם נְאֻם־ יְהוָה׃
～から 落とし-穴から 捕らえられる 罠に なぜなら- わたしは-もたらす それに ～の-上に 年を 彼らの-罰の 告げる- 主の
H4480 H6354 H3920 H6341 H3588 H0935 H0413 H0413 H8141 H6486 H5002 H3068

恐れをさけて逃げる者は穴におちいり、穴をよじ上って出る者は、わなに捕えられる。わたしがモアブに、その罰せられる年に、これらのものを臨ませるからであると主は言われる。

45 בְּצֵ֣ל חֶשְׁבּ֗וֹן עָמְד֛וּ מִכֹּ֥חַ נָסִ֖ים חֶשְׁבּ֑וֹן כִּֽי־אֵ֤שׁ יָצְאָה֙ מֵֽחֶשְׁבּ֔וֹן וְלֶ֥הָבָ֖ה מִבֵּ֣ין סִיחֹ֑ון וַתֹּאכַל֙ פְּאַ֣ת מוֹאָ֔ב וְקִדְקֹ֖ד בְּנֵ֥י שָׁאֹֽון׃

בְּצֵל	חֶשְׁבּוֹן	עָמְדוּ	מִכֹּחַ	נָסִים	חֶשְׁבּוֹן	יָצְאָה	אֵשׁ	כִּי־
影に	ヘシュボンの	立った	力–尽きた	逃げる–者たちは	ヘシュボンの	出た	火が	なぜなら–
H6738	H2809	H5975	H3581	H5127	H2809	H3318	H0784	

וְלֶהָבָה	מִבֵּין	סִיחֹון	וַתֹּאכַל	פְּאַת	מוֹאָב	וְקִדְקֹד	בְּנֵי	
そして–炎が	～の–中から	シホンの	そして–食らった	額を	モアブの	そして–頭頂を	息子たちの	
H3852	H0996	H5511	H0398	H6285	H4124	H6936		

שָׁאֹון׃	
騒ぎの	
H7588	

逃げた者はヘシボンの陰に、力なく立ちどまる。ヘシボンから火が出、シホンの家から炎が出て、モアブの額、騒ぐ人々の頭の頂を焼いたからだ。

46 אוֹי־ לְךָ֣ מוֹאָ֔ב אָבַ֖ד עַם־ כְּמֹ֑וש כִּֽי־ לֻקְּחוּ֙ בָנֶ֣יךָ בַשִּׁבְיָ֔ה וּבְנֹתֶ֖יךָ בַּשִּׁבְיָֽה׃

אוֹי־	לְךָ	מוֹאָב	אָבַד	עַם־	כְּמוֹשׁ	כִּי־	לֻקְּחוּ	
ああ–	あなたに	モアブよ	滅びた	民は–	ケモシュの	なぜなら–	連れて–行かれた	
H0188		H4124	H0006		H3645		H3947	

בָּנֶיךָ	בַּשִּׁבְי	וּבְנֹתֶיךָ	בַשִּׁבְיָה׃
あなたの–息子たちは	捕囚に	そして–あなたの–娘たちも	捕囚に
	H7633	H1323	

モアブよ、おまえはわざわいだ。ケモシの民は滅びた。おまえのむすこらは捕え移され、おまえの娘らも捕え行かれたからである。

47 עַד־ הֵ֥נָּה מִשְׁפַּ֖ט מוֹאָ֑ב וְשַׁבְתִּי֙ שְׁבוּת־ מוֹאָ֔ב בְּאַחֲרִ֖ית הַיָּמִ֑ים נְאֻם־ יְהוָֽה׃ ס

עַד־	יְהוָה	נְאֻם־	הַיָּמִים	בְּאַחֲרִית	מוֹאָב	שְׁבוּת־	וְשַׁבְתִּי	
ここ–まで	主の	告げる–	その–日々の	終わりの–日に	モアブの	繁栄を–	そして–わたしは–復す	
H5704	H3068	H5002	H3117	H0319	H4124	H7622	H7725	

ס	מוֹאָב׃	מִשְׁפָּט	הֵנָּה	
(段落記号)	モアブの	裁き	ここまでが	
	H4124	H4941	H2008	

しかし末の日にわたしは再びモアブを栄えさせると主は言われる」。ここまではモアブのさばきの事をいったのである。

Chapter 49

1 לִבְנֵ֣י עַמֹּ֔ון כֹּ֥ה אָמַ֖ר יְהוָ֑ה הֲבָנִ֣ים אֵֽין־ לְ֠ישְׂרָאֵל אִם־ יוֹרֵ֨שׁ אֵ֤ין לֹו֙ מַדּ֣וּעַ יָרַ֤שׁ מַלְכָּם֙ אֶת־ גָּ֔ד וְעַמֹּ֖ו בְּעָרָ֥יו יָשָֽׁב׃

לִבְנֵי	עַמּוֹן	כֹּה	אָמַר	יְהוָה	הֲבָנִים	אֵין	לְיִשְׂרָאֵל	אִם־	יוֹרֵשׁ	אֵין
息子たちに–ついて	アンモンの	このように	言われた	主は	(疑問)–息子たちは	いないのか	イスラエルに	もし–	相続人は	いないのか
	H5983	H3541	H0559	H3068		H0369	H3478		H3423	H0369

לוֹ	מַדּוּעַ	יָרַשׁ	מַלְכָּם	אֶת־	גָּד	וְעַמּוֹ	בְּעָרָיו	יָשָׁב׃
彼に	なぜ	相続したのか	その–王は	(目的格)	ガドを	そして–その–民は	その–町々に	住んだ
	H4069	H3423	H4428	H0853	H1410			H3427

アンモンびとについて、主はこう言われる、「イスラエルには子がないのか、世継ぎがないのか。どうしてミルコムがガドを追い出して、その民がその町々に住んでいるのか。

2

רַבַּת	אֶל־	וְהִשְׁמַעְתִּי	יְהוָה	נְאֻם־	בָּאִים	יָמִים	הִנֵּה־	לָכֵן
ラバに	～に–対して	そして–わたしは–聞かせる	主の	告げる–	来る	日々が	見よ	それゆえ
H7237	H0413	H8085	H3068	H5002	H0935	H3117	H2009	

בָּאֵשׁ	וּבְנֹתֶיהָ	שְׁמָמָה	לְתֵל	וְהָיְתָה	מִלְחָמָה	תְּרוּעַת	עַמּוֹן	בְּנֵי־
火で	そして–その–娘町は	荒廃の	塞に	そして–なる	戦いの	雄叫びを	アンモンの	息子たちの–
H0784	H1323		H8510	H1961	H4421	H8643	H5983	

יְהוָה׃	אָמַר	יְרָשָׁיו	אֶת־	יִשְׂרָאֵל	וְיָרַשׁ	תִּצְּתֶנָה
主は	言われた	彼の–相続人たちを	(目的格)	イスラエルが	そして–相続する	焦かれる
H3068	H0559	H3423	H0853	H3478	H3423	H3341

主は言われる、それゆえ、見よ、アンモンびとのラバを攻める戦いの叫びを、わたしが聞えさせる日が来る。ラバは荒塚となり、その村々は火で焼かれる。そのときイスラエルは自分を追い出した者どもを追い出すと主は言われる。

3

חֲנַרְנָה	רַבָּה׀	בְּנוֹת	צְעַקְנָה׀	עַי	שֻׁדְּדָה־	כִּי	חֶשְׁבּוֹן	הֵילִילִי
纏え	ラバの	娘たちよ	叫べ	アイは	略奪された–	なぜなら	ヘシュボンよ	泣き–叫べ
H2296	H7237	H1323	H6817	H5857	H7703		H2809	H3213

כֹּהֲנָיו	יֵלֵךְ	בַּגּוֹלָה	מַלְכָּם	כִּי	בַּגְּדֵרוֹת	וְהִתְשׁוֹטַטְנָה	סְפֹדְנָה	שַׂקִּים
その–祢司たちと	行く	流亡に	その–王は	なぜなら	垣の–中で	そして–さまよえ	嗆け	荒布を
H3548	H3212	H1473	H4428		H1448		H5594	H8242

יַחְדָּיו׃	וְשָׂרָיו
共に	そして–その–首長たちは
	H8269

ヘシボンよ嘆け、アイは滅ぼされた。ラバの娘たちよ呼ばわれ。荒布を身にまとい、悲しんで、まがきのうちを走りまわれ。ミルコムとその祭司およびつかさが共に捕え移されるからだ。

4

בְּאֹצְרֹתֶיהָ	הַבֹּטֵחָה	הַשּׁוֹבֵבָה	הַבַּת	עִמְקֵךְ	זָב	בָּעֲמָקִים	תִּתְהַלָּלִי	מַה־
その–宝に	信頼する–者よ	背く–者よ	娘よ	あなたの–谷は	溢れる	谷を	誇るのか	なぜ–
H0214	H0982	H7728	H1323	H6010	H2100	H6010		H4100

אֵלָי׃	יָבוֹא	מִי
わたしに	来るだろうか	誰が
H0413	H0935	H4310

不信の娘よ、あなたはなぜ自分の谷の事を誇るのか。あなたは自分の富に寄り頼んで、『だれがわたしに攻めてくるものか』と言う。

5

מִכָּל־	צְבָאוֹת	יְהוָה	אֲדֹנָי	נְאֻם־	פַּחַד	עָלַיִךְ	מֵבִיא	הִנְנִי
全ての–	万軍の	主	主なる	告げる–	恐れを	あなたの–上に	もたらす	見よ–わたしは
H3605		H3069	H0136	H5002	H6343		H0935	H2009

מְקַבֵּץ	וְאֵין	לְפָנָיו	אִישׁ	וְנִדַּחְתֶּם׀	סְבִיבֶיךָ	
集める–者が	そして–ない	それぞれの–前へ	人は	そして–追い–散らされる	周りの–者から	
H6908	H0369	H6440	H0376	H5080	H5439	

לַנֹּדֵד׃
さまよう–者の–ために
H5074

主なる万軍の神は言われる、見よ、わたしはあなたの上に恐れを臨ませる、それはあなたの周囲の者から来る。あなたは追われて、おのおの直ちに他人に続き、逃げる者を集める人もない。

6

נְאֻם־	עַמּוֹן	בְּנֵי־	שְׁבוּת	אֶת־	אָשִׁיב	כֵּן	וְאַחֲרֵי־	
告げる–	アンモンの	息子たちの–	繁栄を	(目的格)	わたしは–復す	それ	そして–その–後–	
H5002	H5983		H7622	H0853	H7725			

ס	יְהוָה׃	
(段落記号)	主の	
	H3068	

しかし、のちになって、わたしはアンモンびとを再び栄えさせると、主は言われる」。

7

בִּתֵּימָן	חָכְמָה	עוֹד	הַאֵין	צְבָאוֹת	יְהוָה	אָמַר	כֹּה	לֶאֱדוֹם
テマンに	知恵が	もはや	(疑問)–ないのか	万軍の	主	言われた	このように	エドムに–ついて
H8487	H2451	H5750	H0369		H3068	H0559	H3541	H0123

חָכְמָתָם׃	נִסְרְחָה	מִבָּנִים	עֵצָה	אָבְדָה
彼らの–知恵は	古くなったのか	息子たちから	勧めが	絶えたのか
H2451	H5628	H0995	H6098	H0006

エドムの事について、万軍の主はこう言われる、「テマンには、もはや知恵がないのか。さとい者には計りごとがなくなったのか。その知恵は消えうせたのか。

8

עֵשָׂו	אֵיד	כִּי	דְדָן	יֹשְׁבֵי	לָשֶׁבֶת	הֶעְמִיקוּ	הָפְנוּ	נָסוּ
エサウの	破滅を	なぜなら	デダンの	住む–者よ	住まいを	深く–せよ	向きを–変えよ	逃げよ
H6215	H0343			H3427	H3427	H6009	H6437	H5127

פָּקַדְתִּיו׃	עֵת	עָלָיו	הֵבֵאתִי
わたしが–罰した	時を	彼の–上に	わたしは–もたらした
	H6256		H0935

デダンに住む者よ、逃げよ、のがれよ、深い所に隠れよ。わたしがエサウの災難を彼の上に臨ませ、彼を罰する時をこさせるからだ。

9

גַּנָּבִים	אִם־	עוֹלֲלוֹת	יַשְׁאִירוּ	לֹא	לָךְ	בָּאוּ	בְצִרִים	אִם־
盗人が	もし–	落ち–穂を	残さないだろうか	ない	あなたに	来たなら	ぶどう–摘みが	もし–
H1590		H5955	H7604	H3808		H0935	H1219	

דַּיָּם׃	הִשְׁחִיתוּ	בַּלַּיְלָה
十分な–だけ	破壊する	夜に
H1767	H7843	H3915

ぶどうを集める者があなたの所に来たならば、すこしの実をも残さないであろうか。夜、盗びとが来たならば、自分たちの満足するだけ滅ぼさないであろうか。

10

מִסְתָּרָיו	אֶת־	גִּלֵּיתִי	עֵשָׂו	אֶת־	חָשַׂפְתִּי	אֲנִי	כִּי־	
その–隠れ–場を	(目的格)	あらわに–した	エサウを	(目的格)	裸に–した	わたしは	なぜなら–	
H4565	H0853	H1540	H6215	H0853	H2834	H0589		

וְאֶחָיו	זַרְעוֹ	שָׁדַד	יוּכַל	לֹא	וְנֶחְבָּה	
そして–その–兄弟と	その–子孫と	略奪された	できない	ない	そして–隠れることが	
H0251	H2233	H7703	H3201	H3808	H2247	

וְאֵינֶנּוּ׃	וּשְׁכֵנָיו	
そして–彼は–いない	そして–その–隣人と	
H0369	H7934	

しかしわたしはエサウを裸にし、その隠れる所を現したので、彼はその身を隠すことができない。その子どもたちも、兄弟も、隣り人も滅ぼされる。そして彼は、いなくなる。

11

עָלָי	וְאַלְמְנֹתֶיךָ	אֲחַיֵּה	אֲנִי	יְתֹמֶיךָ	עֲזֹבָה
わたしに	そして–あなたの–未亡人たちは	生かす	わたしが	あなたの–孤児を	残して–おけ
	H0490	H2421	H0589	H3490	

ס	תִּבְטָחוּ׃
(段落記号)	信頼するがよい
	H0982

あなたのみなしごを残せ、わたしがそれを生きながらえさせる。あなたのやもめには、わたしに寄り頼ませよ」。

12

לִשְׁתּוֹת	מִשְׁפָּטָם	אֵין	אֲשֶׁר־	הִנֵּה	יְהוָה	אָמַר	וְכֹה	כִּי־
飲む	その–きまりではない–者が	ない	(関係詞)–	見よ	主は	言われた	このように	なぜなら–
H8354	H4941	H0369		H2009	H3068	H0559	H3541	

לֹא	תִנָּקֶה	נָקֹה	הוּא	וְאַתָּה	יִשְׁתּוּ	שָׁתוֹ	הַכּוֹס
ない	免れるのか	免れて	彼は	そして–あなたは	飲んだ	飲まねばならなかったのに	杯を
H3808	H5352	H5352	H1931		H8354	H8354	

תִּשְׁתֶּה׃	שָׁתֹה	כִּי	תִנָּקֶה
飲まねばならない	飲んで	なぜなら	免れない
H8354	H8354		H5352

主はこう言われる、「もし、杯を飲むべきでない者もそれを飲まなければならなかったとすれば、あなたは罰を免れることができようか。あなたは罰を免れない。それを飲まなければならない。

13

לְחֶרְפָּה	לְשַׁמָּה	כִּי־	יְהוָה	נְאֻם־	נִשְׁבַּעְתִּי	בִּי	כִּי
そして–そしりに	荒廃に	必ず–	主の	告げる–	誓った	わたしに–かけて	なぜなら
H2781	H8047		H3068	H5002	H7650		

לְחָרָבוֹת	תִּהְיֶינָה	עָרֶיהָ	וְכָל־	בָּצְרָה	תִּהְיֶה	וְלִקְלָלָה	לְחֹרֶב
廃墟に	なる	その–町々は	そして–全ての–	ボツラは	なる	そして–呪いに	そして–廃墟に
H2723	H1961		H3605	H1224	H1961	H7045	

עוֹלָם׃
永遠の
H5769

主は言われる、わたしは自分をさして誓った、ボズラは驚きとなり、ののしりとなり、荒れ地となり、のろいとなる。その町々は長く荒れ地となる」。

14

הֵאָסְפוּ	שְׁלוּחַ	בַּגּוֹיִם	וְצִיר	יְהוָה	מֵאֵת	שָׁמַעְתִּי	שִׁמוּעָה
集まれ	遣わされた	国々に	そして–使者が	主から	～から	わたしは–聞いた	知らせを
H6908	H7971			H3068	H0854	H8085	H8052

לַמִּלְחָמָה׃	וְקוּמוּ	עָלֶיהָ	וּבֹאוּ
戦いに	そして–起て	それに–対して	そして–来い
H4421			H0935

わたしは主からのおとずれを聞いた。ひとりの使者がつかわされて万国に行き、そして言った、「あなたがたは集まり、行って彼を攻め、立って戦え。

15

בָּאָדָם׃	בָּזוּי	בַּגּוֹיִם	נְתַתִּיךָ	קָטֹן	הִנֵּה	כִּי־
人の–中で	蔑まれた–者	国々の–中で	わたしは–あなたを–した	小さく	見よ	なぜなら–
H0120	H0959		H5414		H2009	

見よ、わたしはあなたを万国のうちに小さい者とし、人々のうちに卑しめられる者とする。

16

הַסֶּלַע	בְּחַגְוֵי	שֹׁכְנִי	לִבֶּךָ	זְדוֹן	אִתָּךְ	הִשִּׁיא	תִּפְלַצְתֶּךָ
岩の	岩の–裂け–目に	住む–者よ	あなたの–心の	傲慢が	あなたを	欺いた	あなたの–恐ろしさが
H5553	H2288	H7931		H2087	H0853	H5377	H8606

מִשָּׁם	קִנֶּךָ	כַּנֶּשֶׁר	תַּגְבִּיהַּ	כִּי־	גִּבְעָה	מָרוֹם	תֹּפְשֵׂי
そこから	あなたの–巣を	鷲の–ように	高く–しても	たとえ–	丘の	高き–所を	掴む–者よ
H8033	H7064	H5404	H1361		H1389	H4791	H8610

יְהוָה׃	נְאֻם־	אוֹרִידְךָ	
主の	告げる–	わたしは–引き–下ろす	
H3068	H5002	H3381	

岩の割れ目に住み、山の高みを占める者よ、あなたの恐ろしい事と、あなたの心の高ぶりが、あなたを欺いた。あなたは、わたしのように巣を高い所に作っているが、わたしはその所からあなたを取りおろすと主は言われる。

17

יִשָּׁם	עָלֶיהָ	עֹבֵר	כֹּל	לְשַׁמָּה	אֱדוֹם	וְהָיְתָה	
おののき	それの–上を	通り–過ぎる–者は	全ての	荒廃に	エドムは	そして–なる	
H8074			H3605	H8047	H0123	H1961	

מַכּוֹתֶיהָ׃	כָּל־	עַל־	וְיִשְׁרֹק	
その–打ち傷に	全ての–	～に–ついて	そして–口笛を–吹く	
H4347	H3605		H8319	

エドムは恐れとなる。そのかたわらを通り過ぎる者はみな恐れ、その災のために、舌打ちする。

18

שָׁם	יֵשֵׁב	לֹא־	יְהוָה	אָמַר	וּשְׁכֵנֶיהָ	וַעֲמֹרָה	סְדֹם	כְּמַהְפֵּכַת
そこに	住まない	ない–	主は	言われた	そして–その–隣人の	ゴモラと	ソドムと	覆しの–ように
H8033	H3427	H3808	H3068	H0559	H7934	H6017	H5467	H4114

אָדָם׃	בֶּן־	בָּהּ	יָגוּר	וְלֹא־	אִישׁ
人の	人の–子は	そこに	宿らない	そして–ない–	人は
H0120				H3808	H0376

主は言われる、ソドムとゴモラとその隣の町々がくつがえされた時のように、そこに住む人はなく、そこに宿る人もなくなる。

19

כִּי־	אֵיתָן	נָוֶה	אֶל־	הַיַּרְדֵּן	מִגְאוֹן	יַעֲלֶה	כְּאַרְיֵה	הִנֵּה
なぜなら–	常の	牧草地へ	～へ	ヨルダンの	誇りから	上る	獅子の–ように	見よ
	H0386		H0413	H3383	H1347	H5927		H2009

אֵלֶיהָ	בָּחוּר	וּמִי	מֶעֱלֶיהָ	אֲרִיצֶנּוּ	אַרְגָּעָה	
それの–上に	選ばれた–者を	そして–誰が	それの–上から	追い–払う	一瞬に–わたしは	
H0413	H0977	H4310		H7323		

וּמִי־	יוֹעִידֶנִּי	וּמִי	כָּמוֹנִי	מִי	כִּי	אֶפְקָד	
そして–誰が–	わたしを–訴えるのか	そして–誰が	わたしの–ような	誰が	なぜなら	わたしは–任命する	
H4310	H3259	H4310	H3644	H4310			

ס	לְפָנָי׃	יַעֲמֹד	אֲשֶׁר	רֹעֶה	זֶה	
(段落記号)	わたしの–前に	立つことが–できる	(関係詞)	羊飼いで	これは	
	H6440	H5975			H2088	

見よ、ししがヨルダンの密林から上ってきて、じょうぶな羊のおりを襲うように、わたしは、たちまち彼らをそこから逃げ走らせ、わたしの選ぶ者をその上に立てる。だれかわたしのような者があるであろうか。だれがわたしを呼びつけることができようか。どの牧者がわたしの前に立つことができようか。

20 לָכֵן שִׁמְעוּ עֲצַת־יְהוָה אֲשֶׁר יָעַץ אֶל־אֱדוֹם וּמַחְשְׁבוֹתָיו
それゆえ 聞け 計画を- 主の (関係詞) 計画した ～に-対して エドムに そして-その-思いを
H8085 H6098 H3068 (関係詞) H3289 ～に-対して H0413 エドムに H0123 そして-その-思いを H4284

אֲשֶׁר חָשַׁב אֶל־יוֹשְׁבֵי תֵימָן אִם־לֹא יִסְחָבוּם
(関係詞) 思い-巡らした ～に-対して 住む-者たちに テマンの 必ず- ないか 引き-ずるだろう
(関係詞) H2803 ～に-対して H0413 住む-者たちに H3427 テマンの H8487 必ず- ないか H3808 引き-ずるだろう H5498

אִם־לֹא יְשִׁמֵּם עֲלֵיהֶם נְוֵהֶם׃
必ず- ないか 荒らすだろう 彼らの-上に 彼らの-牧草地を
必ず- H3808 荒らすだろう H8074 彼らの-上に 彼らの-牧草地を

それゆえ、エドムに対して主が立てた計りごとと、テマンに住む者に対してしようとする事を聞くがよい。彼らの群れのうちの小さいものまでも皆、引かれて行く。彼らのおりのものもその終りを見て恐れる。

21 מִקּוֹל נָפְלָם רָעֲשָׁה הָאָרֶץ צְעָקָה בְיַם־סוּף נִשְׁמַע קוֹלָהּ׃
音から 彼らの-倒れる 震えた 地は 叫びが 海で- スフの 聞こえた その-声が
音から H7493 震えた H0776 叫びが H6818 海で- H3220 スフの H5488 聞こえた H8085 その-声が

その倒れる音を聞いて、地は震い、彼らの叫び声は紅海にも聞える。

22 הִנֵּה כַנֶּשֶׁר יַעֲלֶה וְיִדְאֶה וְיִפְרֹשׂ כְּנָפָיו עַל־בָּצְרָה וְהָיָה לֵב גִּבּוֹרֵי אֱדוֹם בַּיּוֹם הַהוּא כְּלֵב אִשָּׁה מְצֵרָה׃
見よ 鵰の-ように 上り そして-舞い-降り そして-広げる その-翼を ～の-上に ボツラの-上に
H2009 鵰の-ように H5404 上り H5927 そして-舞い-降り H1675 そして-広げる H6566 その-翼を H3671 ～の-上に H0413 ボツラの-上に H1224

そして-なる 心は 勇士たちの エドムの 日に その 心の-ように 女の 産みの-苦しみの
H1961 心は H3824 勇士たちの H0123 エドムの H3117 日に H1931 その H1931 心の-ように H3824 女の H0802 産みの-苦しみの

ס
(段落記号)

見よ、敵はわしのように上り、すみやかに飛びかけり、その翼をボズラの上に張り広げる。その日エドムの勇士の心は子を産む女の心のようになる」。

23 לְדַמֶּשֶׂק חָמַת וְאַרְפָּד שָׁמְעָה כִּי־שְׁמוּעָה רָעָה נָמֹגוּ
ダマスコに-ついて 恥じた ハマトと アルパデは なぜなら- 知らせを 悪い 聞いた おののいた
ダマスコに-ついて H1834 恥じた H0954 ハマトと H2574 アルパデは H0774 なぜなら- H3588 知らせを H8052 悪い H7451 聞いた H8085 おののいた H4127

דְאָגָה בַיָּם הַשְּׁקֵט לֹא יוּכָל׃
不安が-あり 海に 静まることが ない できない
不安が-あり H1674 海に H3220 静まることが H8252 ない H3808 できない H3201

ダマスコの事について、「ハマテとアルパデは、うろたえている、彼らは悪いおとずれを聞いたからだ。彼らは勇気を失い、穏やかになることのできない海のように悩む。

24 רָפְתָה דַּמֶּשֶׂק הָפְנְתָה לָנוּס וְרֶטֶט הֶחֱזִיקָה צָרָה
弱った ダマスコは 向きを-変えた 逃げる-ために そして-恐れが 捕らえた 苦しみと
弱った H7503 ダマスコは H1834 向きを-変えた H6437 逃げる-ために H5127 そして-恐れが H7374 捕らえた H2388 苦しみと

וְחַבָלִים אֲחָזָתָה כַּיּוֹלֵדָה׃
そして-痛みが 掴んだ 産婦の-ように
そして-痛みが H0270 掴んだ H0270 産婦の-ように H3205

ダマスコは弱り、身をめぐらして逃げた、恐怖に襲われている。子を産む女に臨むように痛みと悲しみと彼に臨む。

25 אֵיךְ לֹא־עֻזְּבָה עִיר תְּהִלָּת(תהלה) קִרְיַת מְשׂוֹשִׂי׃
どうして ない- 捨てられなかったのか 町は (ケティブ) 讃誉の 町よ わが-喜びの
どうして H0349 ない- H3808 捨てられなかったのか H5800 町は H5892 (ケティブ) H8416 讃誉の H8416 町よ H7151 わが-喜びの H4885

ああ、名ある町、楽しい町は捨てられる。

26 לָכֵן יִפְלוּ בַּחוּרֶיהָ בִּרְחֹבֹתֶיהָ וְכָל־אַנְשֵׁי הַמִּלְחָמָה יִדַּמּוּ
それゆえ 倒れる その-若者たちは その-広場で そして-全ての- 人々は 戦いの 滅ぼされる
H5307 H0970 H7339 H3605 H0376 H4421 H1931

בַּיּוֹם הַהוּא נְאֻם יְהוָה צְבָאוֹת׃
日に その 告げる 主 万軍の
H3117 H5002 H3068

それゆえ、その日に、若い者は、広場に倒れ、兵士はことごとく滅ぼされると万軍の主は言われる。

27 וְהִצֹּתִי אֵשׁ בְּחוֹמַת דַּמֶּשֶׂק וְאָכְלָה אַרְמְנוֹת בֶּן־הֲדָד׃
そして-わたしは-放つ 火を 城壁に ダマスコの そして-食らう 宮殿を ベン-ハダドの
H3341 H0784 H2346 H1834 H0398 H0759 H1130

ס
(段落記号)

わたしはダマスコの城壁の上に火を燃やし、ベネハダデの宮殿を焼き尽す」。

28 לְקֵדָר וְלִמַמְלְכוֹת חָצוֹר אֲשֶׁר הִכָּה נְבוּכַדְרֶאצַּר [נבוכדראצור]
ケダルと そして-王国に-ついて ハツォルの (関係詞) 打ち破った (ケティブ)
H6938 H4467 H2674 H5221 H5019

מֶלֶךְ־בָּבֶל כֹּה אָמַר יְהוָה קוּמוּ וְעֲלוּ אֶל־קֵדָר וְשָׁדְדוּ אֶת־בְּנֵי קֶדֶם׃
王- バビロンの このように 言われた 主は 起て 上れ ～に-対して 東の 息子たちを- (目的格) そして-略奪せよ ケダルに
H4428 H0894 H3541 H0559 H3068 H5927 H0413 H6938 H7703

バビロンの王ネブカデレザルが攻め撃ったケダルとハゾルの諸国の事について、主はこう言われる、「立って、ケダルに向かって進み、東の人々を滅ぼせ。

29 אָהֳלֵיהֶם וְצֹאנָם יִקָּחוּ יְרִיעוֹתֵיהֶם וְכָל־כְּלֵיהֶם
その-天幕と そして-その-群れを 奪う その-幕と そして-全ての- その-器と
H0168 H6629 H3947 H3407 H3605 H3627

וְגִמַלֵּיהֶם יִשְׂאוּ לָהֶם וְקָרְאוּ עֲלֵיהֶם מָגוֹר מִסָּבִיב׃
そして-その-らくだを 運ばれる 彼らの-ために そして-呼ばれる 彼らに-対して 恐怖が 四方から
H1581 H5375 H1992 H7121 H4032 H5439

彼らの天幕と、その羊の群れとは取られ、その垂幕とそのもろもろの器と、らくだとは彼らの所から運び去られ、人々は彼らに向かって叫ぶ、『恐ろしいことが四方にある』と。

30 נֻסוּ נְדוּ מְאֹד הֶעְמִיקוּ לָשֶׁבֶת יֹשְׁבֵי חָצוֹר נְאֻם־יְהוָה כִּי־
逃げよ さまよえ 大いに 深く-せよ 住まいを 住む-者よ ハツォルの 告げる- 主の なぜなら-
H5127 H5110 H3966 H6009 H3427 H3427 H2674 H5002 H3068

עָצָה עָלֵיכֶם נְבוּכַדְרֶאצַּר מֶלֶךְ־בָּבֶל עָצָה וְחָשַׁב׃
計画を あなたがたに-対して ネブカドレツァルは 王- バビロンの 計画を そして-思い-巡らした
H3289 H5019 H4428 H0894 H6098 H2803

[עליהם] (עֲלֵיכֶם) מַחֲשָׁבָה׃
(ケティブ) あなたがたに-対して 思いを
H5921 H4284

主は言われる、ハゾルに住む者よ、逃げよ、遠くさまよい行き、深い所に隠れよ。バビロンの王ネブカデレザルがあなたがたを攻める計りごとをめぐらし、あなたがたを攻める、てだてを設けたからだ。

קוּמוּ עֲלוּ אֶל־גּוֹי שַׁלֵּיו יוֹשֵׁב לָבֶטַח נְאֻם־יְהוָה לֹא־ 31
起て 上れ 〜に−対して 国民に 安らかな 住む−者に 安心して 告げる− 主の ない−
H5927 H0413 H7961 H3427 H0983 H5002 H3068 H3808

יִשְׁכֻּנוּ׃ בָּדָד לוֹ בְּרִיחַ וְלֹא־ דְלָתַיִם
住む 独りで 彼に かんぬきも そして−ない− 扉も
H7931 H0910 H1280 H3808

主は言われる、立って進み、安全な所に住むきらくな民を攻めよ、彼らは門もなく、貫の木もなく、ひとり離れて住む。

וְהָיוּ גְמַלֵּיהֶם לָבַז וַהֲמוֹן מִקְנֵיהֶם לְשָׁלָל 32
そして−なる 分捕り物に その−らくだは そして−群れは その−家畜の 戦利品に
H1961 H0957 H1581 H0957 H4735 H7998

וְזֵרִתִּים לְכָל־ רוּחַ קְצוּצֵי פֵּאָה וּמִכָּל־ עֲבָרָיו
そして−わたしは−散らす 全ての− 風に 髪の−端を−切る−者を 惣の 側から
H2219 H3605 H7307 H7112 H6285 H3605 H5676

יְהוָה׃ נְאֻם־ אֵידָם אֶת־ אָבִיא
主の 告げる− 彼らの−破滅を (目的格) わたしは−もたらす
H3068 H5002 H0343 H0853 H0935

彼らのらくだは、ぶんどり物となり、家畜の群れは奪われる。わたしは、かの髪の毛のすみずみを切る者を四方に散らし、その災難を八方からこさせると主は言われる。

וְהָיְתָה חָצוֹר לְמְעוֹן תַּנִּים שְׁמָמָה עַד־ עוֹלָם לֹא־ יֵשֵׁב שָׁם 33
そして−なる ハツォルは 住みかに 山犬の 荒廃に 〜まで 永遠に ない− 住まない そこに
H1961 H2674 H4583 H8033 H5704 H5769 H3808 H3427 H8033

ס אָדָם׃ בֶּן־ בָּהּ יָגוּר וְלֹא־ אִישׁ
(段落記号) 人の 人の−子は そこに 宿らない そして−ない− 人は
H0120 H3808 H0376

ハゾルは山犬のすまいとなり、いつまでも荒れ地となっている。だれもそこに住む人はなく、そこに宿る人もない」。

אֲשֶׁר הָיָה דְּבַר־ יְהוָה אֶל־ יִרְמְיָהוּ הַנָּבִיא אֶל־ עֵילָם 34
(関係詞) あった 言葉が− 主の 〜に エレミヤに 預言者 〜に−ついて エラムに−ついて
H1961 H1697 H3068 H0413 H3414 H5030 H0413

לֵאמֹר׃ יְהוּדָה מֶלֶךְ־ צִדְקִיָּה מַלְכוּת בְּרֵאשִׁית
言って ユダの 王− ツィデキヤの 統治の 初めに
H0559 H3063 H4428 H6667 H4438 H7225

ユダの王ゼデキヤの治世の初めのころに、エラムの事について預言者エレミヤに臨んだ主の言葉。

כֹּה אָמַר יְהוָה צְבָאוֹת הִנְנִי שֹׁבֵר אֶת־ קֶשֶׁת עֵילָם 35
このように 言われた 主 万軍の 見よ−わたしは 折る (目的格) 弓を エラムの
H3541 H0559 H3068 H6635 H2009 H7665 H0853 H7198

רֵאשִׁית גְּבוּרָתָם׃
第一の−ものを 彼らの−力の
H7225 H1369

万軍の主はこう言われる、「見よ、わたしはエラムが力として頼んでいる弓を折る。

36 וְהֵבֵאתִי אֶל־ עֵילָם אַרְבַּע רוּחוֹת מֵאַרְבַּע קְצוֹת הַשָּׁמָיִם
そして–わたしは–もたらす ～の–上に エラムの–上に 四つの 風を 四つの– 果てから 天の
H0935 H0413 H0702 H7307 H0702 H7098 H8064

וְזֵרִתִּים לְכָל הָרוּחוֹת הָאֵלֶּה וְלֹא־ יִהְיֶה הַגּוֹי אֲשֶׁר לֹא־
そして–散らす 全ての 風に これらの そして–ない– あるだろう 国民が (関係詞) ない–
H2219 H3605 H7307 H0428 H3808 H1961 H1961 H3808

יָבוֹא שָׁם נִדָּחֵי [עולם] (עֵילָם׃)
来ない そこに 散らされた–者が (ケティブ) エラムの
H0935 H8033 H5080 H5867

わたしは天の四方から、四方の風をエラムにこさせ、彼らを四方の風に散らす。エラムから追い出される者の行かない国はない。

37 וְהַחִתִּתִי אֶת־ עֵילָם לִפְנֵי אֹיְבֵיהֶם וְלִפְנֵי מְבַקְשֵׁי
そして–わたしは–恐れさせる (目的格) エラムを 前に その–敵の 前に 命を–求める–者の
H2865 H0853 H6440 H0341 H6440 H1245

נַפְשָׁם וְהֵבֵאתִי עֲלֵיהֶם רָעָה אֶת־ חֲרוֹן אַפִּי
彼らの–命を そして–わたしは–もたらす 彼らの–上に 災いを (目的格) 燃える–怒りを わが–怒りの
H5315 H0935 H7451 H0853 H2740 H0639

וְשִׁלַּחְתִּי אַחֲרֵיהֶם אֶת־ הַחֶרֶב עַד כַּלּוֹתִי אוֹתָם׃
そして–わたしは–遣わす 彼らの–後に (目的格) 剣を ～まで わたしが–滅ぼし–尽くすまで 彼らを
H7971 H0310 H0853 H2719 H5704 H3615 H0853

主は言われる、わたしはエラムをしてその敵の前、またその命を求める者の前に恐れさせる。わたしは災をくだし、激しい怒りをその上にくだす。彼らのうしろに、つるぎを送って滅ぼし尽す。

38 וְשַׂמְתִּי כִסְאִי בְּעֵילָם וְהַאֲבַדְתִּי מִשָּׁם מֶלֶךְ וְשָׂרִים
そして–わたしは–置く わが–王座を エラムに そして–滅ぼす そこから 王と そして–首長を
H7760 H3678 H5892 H0006 H8033 H4428 H8269

נְאֻם־ יְהוָה׃
告げる– 主の
H5002 H3068

そしてわたしの位をエラムにすえ、王とつかさたちとを滅ぼすと主は言われる。

39 וְהָיָה בְּאַחֲרִית הַיָּמִים אָשִׁיב (שְׁבוּת) [שבית] אֶת־ (עֵילָם)
そして–なる 終わりの–日に その–日々の わたしは–復す (ケティブ) (目的格) エラム
H1961 H0319 H3117 H7725 H7725 H0853 H5892

נְאֻם־ יְהוָה׃ ס
告げる– 主の (段落記号)
H5002 H3068

しかし末の日に、わたしはエラムを再び栄えさせると、主は言われる」。

Chapter 50

1

כַּשְׂדִּים	אֶרֶץ	אֶל־	בָּבֶל	אֶל־	יְהוָה	דִּבֶּר	אֲשֶׁר	הַדָּבָר
カルデヤ人の	その–地	に–ついて	バビロン	に–ついて	主が	語られた	それは	その–言葉は
H3778	H0776	H0413	H0894	H0413	H3068	H1696		H1697

הַנָּבִיא׃	יִרְמְיָהוּ	בְּיַד
その–預言者の	エレミヤ	その–手–によって
H5030	H3414	H3027

主が預言者エレミヤによって語られたバビロンとカルデヤびとの地の事についての言葉。

2

אִמְרוּ׀	תְכַחֵדוּ	אַל־	הַשְׁמִיעוּ	נֵס	וְשָׂאוּ־	וְהַשְׁמִיעוּ	בַגּוֹיִם	הַגִּידוּ
言え	隠すな	ない	聞かせよ	旗を	そして–掲げよ	そして–聞かせよ	諸国の–民に	告げよ
H0559	H3582	H0408	H8085	H5251	H5375	H8085		H5046

עֲצַבֶּיהָ	הֹבִישׁוּ	מְרֹדָךְ	חַת	בֵּל	הֹבִישׁ	בָּבֶל	נִלְכְּדָה
その–偶像は	辱められた	メロダクは	打ち砕かれた	ベルは	辱められた	バビロンは	陥落した
H6091	H3001	H4781	H2865	H1078	H3001	H0894	H3920

גִּלּוּלֶיהָ׃	חַתּוּ
その–汚らわしい–像は	打ち砕かれた
H1544	H2865

「国々のうちに告げ、また触れ示せよ、旗を立てて、隠すことなく触れ示して言え、『バビロンは取られ、ベルははずかしめられ、メロダクは砕かれ、その像ははずかしめられ、その偶像は砕かれる』と。

3

אַרְצָהּ	אֶת־	יָשִׂית	הִוא־	מִצָּפוֹן	גּוֹי	עָלֶיהָ	עָלָה׀	כִּי
その–地を	(目的格)	する	それは	北から	一つの–国が	それに–対して	上って–来た	なぜなら
H0776	H0853	H7896	H1931	H6828			H5927	

הָלְכוּ׃	נָדְדוּ	בְּהֵמָה	וְעַד־	מֵאָדָם	בָּהּ	יוֹשֵׁב	יִהְיֶה	וְלֹא־	לְשַׁמָּה
去った	逃げ去り	家畜も	そして–まで	人から	その–中に	住む–者は	なる	そして–ない	荒れ地に
H1980	H5110	H0929	H5704	H0120		H3427	H1961	H3808	H8047

それは、北の方から一つの国民がきて、これを攻め、その地を荒して、住む人もないようにするからである。人も獣もみな逃げ去ってしまう。

4

יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי־	יָבֹאוּ	יְהוָה	נְאֻם־	הַהִיא׀	וּבָעֵת	הַהֵמָּה	בַּיָּמִים
イスラエルの	息子たちは	来る	主は	言われる	その	そして–その–時に	その	その–日に
H3478		H0935	H3068	H5002	H1931	H6256	H1992	H3117

יְהוָה	וְאֶת־	יֵלֵכוּ	וּבָכוֹ	הָלוֹךְ	יַחְדָּו	יְהוּדָה	וּבְנֵי־	הֵמָּה
主を	そして–(目的格)	行く	そして–泣きつつ	歩きつつ	共に	ユダの	そして–息子たちは	彼らは
H3068	H0853	H3212	H1058	H1980		H3063		H1992

יְבַקֵּשׁוּ׃	אֱלֹהֵיהֶם
尋ね–求める	彼らの–神
H1245	H0430

主は言われる、その日その時、イスラエルの民とユダの民は共に帰ってくる。彼らは嘆きながら帰ってくる。そしてその神、主を求める。

5

יְהוָה	אֶל־	וְנִלְוָו	בָּאוּ	פְּנֵיהֶם	הֵנָּה	דֶּרֶךְ	יִשְׁאֲלוּ	צִיּוֹן
主に	に	そして–結びつく	来て	顔を–向けて	こちらへ	道を	尋ねる	シオンを
H3068	H0413		H0935	H6440	H2008	H1870	H7592	H6726

ס	תִּשָּׁכֵחַ׃	לֹא	עוֹלָם	בְּרִית
(段落記号)	忘れられない	ない	永遠の	永遠の–契約で
	H7911	H3808	H5769	H1285

彼らは顔をシオンに向けて、その道を問い、『さあ、われわれは、永遠に忘れられることのない契約を結んで主に連なろう』と言う。

6

צֹאן אֲבֻדוֹת ׀ (היה) (הָיוּ) עַמִּי רֹעֵיהֶם הִתְעוּם הָרִים
迷った–羊 失われた (ケティブ) であった わが–民は その–牧者たちが 迷わせた 山々へ
H6629 H0006 H1961 H1961 H8582 H2022

רִבְצָם׃ שָׁכְחוּ הָלְכוּ גִּבְעָה אֶל־ מֵהָר שׁוֹבְבוּם (שובבים) ׀
その–伏す–所を 忘れた 行き 丘へと へ 山から 惑わした (ケティブ)
H7258 H7911 H1980 H1389 H0413 H2022 H7725 H7726

わたしの民は迷える羊の群れである、その牧者がこれをいざなって、山に踏み迷わせたので、山から丘へと行きめぐり、その休む所を忘れた。

7

לֹא אָמְרוּ וְצָרֵיהֶם אֲכָלוּם מוֹצְאֵיהֶם כָּל־
ない 言った そして–その–敵たちは 食い–尽くした 見つけた–者たちは すべて
H3808 H0559 H0398 H4672 H3605

וּמִקְוָה צֶדֶק נְוֵה־ לַיהוָה חָטָאנוּ אֲשֶׁר תַּחַת נֶאְשָׁם
そして–希望 義の 住まい 主に–対して 罪を–犯した 彼らが なぜなら われわれは–罪を–犯さない
H6664 H3068 H2398 H8478 H0816

ס יְהוָה׃ אֲבוֹתֵיהֶם
(段落記号) 主は 彼らの–先祖たちの
H3068 H0001

これに会う者はみなこれを食べた。その敵は言った、『われわれに罪はない。彼らがそのまことのすみかである主、先祖たちの希望であった主に対して罪を犯したのだ』と。

8

(צְאוּ) ׀ (יצאו) כַּשְׂדִּים וּמֵאֶרֶץ בָּבֶל מִתּוֹךְ נֻדוּ
出よ (ケティブ) カルデヤ人の そして–その–地から バビロンの その–中から 逃げよ
H3318 H3318 H3778 H0776 H0894 H8432 H5110

צֹאן׃ לִפְנֵי־ כִּעַתּוּדִים וְהִיוּ
羊の 前に 雄やぎの–ように そして–なれ
H6629 H6440 H6260 H1961

バビロンのうちから逃げよ。カルデヤびとの地から出よ。群れの前に行く雄やぎのようにせよ。

9

גּוֹיִם קְהַל־ בָּבֶל עַל־ וּמַעֲלֶה מֵעִיר אָנֹכִי הִנֵּה כִּי
諸国の 集団を バビロン に–対して そして–上らせる 奮い立たせ わたしは 見よ なぜなら
H6951 H0894 H5927 H5782 H0595 H2009

חִצָּיו תְּלַכֵּד מִשָּׁם לָהּ וְעָרְכוּ צָפוֹן מֵאֶרֶץ גְּדֹלִים
その–矢は 陥落する そこから それに–対して そして–陣を–敷く 北の その–地–から 大いなる
H2671 H3920 H8033 H6828 H0776

רֵיקָם׃ יָשׁוּב לֹא מַשְׂכִּיל כִּגְבוֹר
空しくは 帰る ない 巧みな 勇士の–ように
H7387 H7725 H3808 H1368

見よ、わたしは大きい国々を起し集めて、北の地からバビロンに攻めこさせる。彼らはこれに向かって勢ぞろいをし、これをその所から取る。彼らの矢はむなしく帰らない老練な勇士のようである。

10

יְהוָה׃ נְאֻם־ יִשְׂבְּעוּ שֹׁלְלֶיהָ כָּל־ לְשָׁלָל כַּשְׂדִּים וְהָיְתָה
主は 言われる 満ち足りる 略奪する–者は すべて 略奪の–地と カルデヤは そして–なる
H3068 H5002 H7646 H3605 H7998 H3778 H1961

カルデヤは人にかすめられる。これをかすめる者はみな飽くことができると、主は言われる。

11
נַחֲלָתִי　שֹׁסֵי　(תָּעֲלֹזְוּ)　[תעלזי]　כִּי　(תִּשְׂמְחוּ)　[תשמחי]　כִּי
わが-嗣業の　略奪する-者たちよ　はしゃぐ　(ケティブ)　なぜなら　喜ぶ　(ケティブ)　なぜなら
H5159　H8154　H5937　H5937　H8055　H8055

כָּאֲבִרִים׃　(וְתִצְהֲלוּ)　[ותצהלין]　דָּשָׁה　כְּעֶגְלָה　(תָּפוֹשׁוּ)　[תפושין]　כִּי
雄馬の-ように　そして-いななく　(ケティブ)　脱穀する　雌牛の-ように　跳ね-回る　(ケティブ)　なぜなら
H0047　H6670　H1877　H6335

わたしの嗣業をかすめる者どもよ、あなたがたは喜び楽しみ、雌の子牛のように草に戯れ、雄馬のように、いなないているが、

12
אַחֲרִית　הִנֵּה　יְוֹלַדְתְּכֶם　חָפְרָה　מְאֹד　אִמְּכֶם　בֹּוּשָׁה
終わり　見よ　あなたがたを-産んだ-者は　辱められた　非常に　あなたがたの-母は　恥を-受けた
H0319　H2009　H3205　H2659　H3966　H0517　H0954

וַעֲרָבָה׃　צִיָּה　מִדְבָּר　גּוֹיִם
そして-荒れ地　乾いた-地　荒野　諸国の
H6160　H6723

あなたがたの母はいたくはずかしめられ、あなたがたを産んだ者は恥をこうむる。見よ、彼女は国々のうちの最もあとなるものとなり、かわいた砂原の荒野となる。

13
כֹּל　כָּל־　שְׁמָמָה　וְהָיְתָה　תֵּשֵׁב　לֹא　יְהוָה　מִקֶּצֶף
すべて　すべてが　荒れ地に　そして-なる　住まわれない　ない　主の　主の-怒りの-ゆえに
H3605　H3605　H1961　H3427　H3808　H3068

מַכּוֹתֶיהָ׃　כָּל־　עַל־　וְיִשְׁרֹק　יִשֹּׁם　בָּבֶל　עַל־　עֹבֵר
その-傷を　すべての　に-ついて　そして-嘲笑する　驚き　バビロン　に-ついて　通り過ぎる-者は
H4347　H3605　H8319　H8074　H0894　H0894

主の怒りによって、ここに住む者はなく、完全に荒れ地となる。バビロンのかたわらを通る者は、みなその傷を見て驚き、かつあざ笑う。

14
תַּחְמְלוּ　אַל־　אֵלֶיהָ　יְרוּ　קֶשֶׁת　דֵּרְכִי　כָּל־　סָבִיב　וּבָבֶל　עַל־　עִרְכוּ
惜しむな　ない　それに　射よ　弓の　弓を-引く　すべて　周囲に　バビロン　に-対して　陣を-敷け
H2550　H0408　H0413　H3034　H7198　H1869　H3605　H5439　H0894

חָטָאָה׃　לַיהוָה　כִּי　חֵץ　אֶל־
罪を-犯した　主に-対して　なぜなら　矢を　に-対して
H2398　H3068　H2671　H0413

あなたがたすべて弓を張る者よ、バビロンの周囲に勢ぞろいして、これを攻め、矢を惜しまずに、これを射よ、彼女が主に罪を犯したからだ。

15
נָהֲרְסוּ　(אֻשְׁיוֹתֶיהָ)　[אשויתיה]　נָפְלוּ　יָדָהּ　נָתְנָה　סָבִיב　עָלֶיהָ　הָרִיעוּ
壊された　その-土台は　(ケティブ)　倒れた　その-手を　差し出した　周囲に　それに-対して　叫べ
H2040　H0803　H0803　H5307　H3027　H5414　H5439　H7321

עָשְׂתָה　כַּאֲשֶׁר　בָּהּ　הִנְקִמוּ　הִיא　יְהוָה　נִקְמַת　כִּי　חוֹמוֹתֶיהָ
行ったように　それが-したように　それに　復讐せよ　これは　主の　復讐　なぜなら　その-城壁は
H5358　H1931　H3068　H5360　H2346

עֲשׂוּ־　לָהּ׃
それに　行え

その周囲に叫び声をあげよ、彼女は降伏した。そのとりでは倒れ、その城壁はくずれた、主があだをかえされたからだ。彼女に報復せよ、彼女がおこなったように、これに行え。

מִפְּנֵי	קָצִיר	בְּעֵת	מַגָּל	וְתֹפֵשׂ	מִבָּבֶל	זוֹרֵעַ	כָּרְתוּ		16
の–前に	刈り入れの	その–時に	鎌の	そして–握る–者を	バビロンから	種–蒔く–者を	断て		
H6440		H6256	H4038	H8610	H0894	H2232	H3772		

ס	יָנֻסוּ׃	לְאַרְצוֹ	וְאִישׁ	יִפְנוּ	עַמּוֹ	אֶל־	אִישׁ	הַיּוֹנָה	חֶרֶב
(段落記号)	逃げる	自分の–地へ	そして–各自	向かう	自分の–民へ	に	各自	圧迫する	剣
	H5127	H0776	H0376	H6437		H0413	H0376	H3238	H2719

種まく者と、刈入れどきに、かまを取る者をバビロンに絶やせ。滅ぼす者のつるぎを恐れて、人はおのおの自分の民の所に帰り、そのふるさとに逃げて行く。

מֶלֶךְ	אֲכָלוֹ	הָרִאשׁוֹן	הֲרִיחוּ	אֲרָיוֹת	יִשְׂרָאֵל	פְּזוּרָה	שֶׂה	17
王	食い–尽くしたのは	最初の	追い散らした	獅子たちが	イスラエルは	迷った	散らされた–羊	
H4428	H0398	H7223	H5080		H3478	H6340	H7716	

בָּבֶל׃	מֶלֶךְ	נְבוּכַדְרֶאצַּר	עִצְּמוֹ	הָאַחֲרוֹן	וְזֶה	אַשּׁוּר	
バビロンの	王	ネブカドレツァル	骨を–砕いたのは	最後の	そして–この	アッシリヤの	
H0894	H4428	H5019		H0314	H2088	H0804	

ס
(段落記号)

イスラエルは、ししに追われて散った羊である。初めにアッスリヤの王がこれを食い、そして今はついにバビロンの王ネブカデレザルがその骨をかじった。

פֹּקֵד	הִנְנִי	יִשְׂרָאֵל	אֱלֹהֵי	צְבָאוֹת	יְהוָה	אָמַר	כֹּה־	לָכֵן	18
罰する	見よ–わたしは	イスラエルの	神	万軍の	主	言われた	このように	それゆえ	
	H2009	H3478	H0430		H3068	H0559	H3541		

מֶלֶךְ	אֶל־	פָּקַדְתִּי	כַּאֲשֶׁר	אַרְצוֹ	וְאֶל־	בָּבֶל	מֶלֶךְ	אֶל־	
王を	に	罰したように	わたしが–したように	その–地を	そして–に	バビロンの	王を	に	
H4428	H0413			H0776	H0413	H0894	H4428	H0413	

אַשּׁוּר׃
アッシリヤの
H0804

それゆえ万軍の主、イスラエルの神は、こう言われる、見よ、わたしはアッスリヤの王を罰したように、バビロンの王とその国に罰を下す。

הַכַּרְמֶל	וְרָעָה	נָוֵהוּ	אֶל־	יִשְׂרָאֵל	אֶת־	וְשַׁבְתִּי		19
カルメルと	そして–牧する	その–牧場に	に	イスラエルを	(目的格)	そして–帰らせる		
H3760			H0413	H3478	H0853	H7725		

נַפְשׁוֹ׃	תִּשְׂבַּע	וְהַגִּלְעָד	אֶפְרַיִם	וּבְהַר	וְהַבָּשָׁן	
その–魂は	満ち足りる	そして–ギレアデで	エフライムの	そして–山で	そして–バシャンで	
H5315	H7646	H1568	H0669	H2022	H1316	

わたしはイスラエルを再びその牧場に帰らせる。彼はカルメルとバシャンで草を食べる。またエフライムの山とギレアデでその望みが満たされる。

20 בַּיָּמִים הָהֵמָּה וּבָעֵת הַהִוא נְאֻם־יְהוָה יְבֻקַּשׁ אֶת־עֲוֹן
その その日に その時に そして–その–時に その 言われる 主は 探し–求められる (目的格) 咎を
H3117 H1992 H6256 H1931 H5002 H3068 H1245 H0853 H5771

יִשְׂרָאֵל וְאֵינֶנּוּ וְאֶת־חַטַּאת יְהוּדָה וְלֹא תִמָּצֶאינָה כִּי
イスラエルの しかし–ない そして–(目的格) 罪を ユダの しかし–ない 見つからない なぜなら
H3478 H0369 H0853 H2403 H3063 H3808 H4672

אַסְלַח אֲשֶׁר לַאֲשֶׁר אַשְׁאִיר׃
わたしは–赦す わたしが–残す 者たちを
H5545 H7604

主は言われる、その日その時には、イスラエルのとがを探しても見当らず、ユダの罪を探してもない。それはわたしが残しておく人々を、ゆるすからである。

21 עַל־הָאָרֶץ מְרָתַיִם עֲלֵה וְאֶל־עָלֶיהָ יוֹשְׁבֵי פְקֹוד
に–対して その–地 メラタイム 上れ それに–対して 住む–者たちの ペコド
H0776 H4850 H5927 H0413 H3427 H6489

וְהַחֲרֵם אַחֲרֵיהֶם נְאֻם־יְהוָה וַעֲשֵׂה כְּכֹל אֲשֶׁר צִוִּיתִיךָ׃ ס
そして–聖絶せよ 彼らの–あとを 言われる 主は そして–行え すべて–に–従って わたしが (段落記号) 命じたことを
H2763 H0310 H5002 H3068 H6213 H3605 H0834 H6680

主は言われる、上って行って、メラタイムの地を攻め、ペコデの民を攻め、彼らを殺して全く滅ぼし、わたしがあなたがたに命じたことを皆、行いなさい。

22 קוֹל מִלְחָמָה בָּאָרֶץ וְשֶׁבֶר גָּדוֹל׃
声 戦いの その–地に そして–崩壊 大きな
H6963 H4421 H0776 H7667

その地に、いくさの叫びと、大いなる滅びがある。

23 אֵיךְ נִגְדַּע וַיִּשָּׁבֵר פַּטִּישׁ כָּל־הָאָרֶץ הָיְתָה אֵיךְ
どのようにして 切り倒され そして–砕かれた 槌は 全 地の なった どのようにして
H0349 H1438 H7665 H6360 H3605 H0776 H1961 H0349

לְשַׁמָּה בָּבֶל בַּגּוֹיִם׃
荒れ地に バビロンは 諸国の–中で
H8047 H0894

ああ、全地を砕いた鎚はついに折れ砕ける。ああ、バビロンはついに国々のうちの恐るべき見ものとなる。

24 וְגַם־נִלְכַּדְתְּ בָּבֶל וְאַתְּ לֹא יָדַעַתְּ נִמְצֵאת וְגַם־נִתְפַּשְׂתְּ כִּי בַּיהוָה הִתְגָּרִית׃
そして–また 捕らえられた バビロンよ そして–あなたは ない 知らなかった 見つけ出され そして–また 捕らえられた なぜなら 主に–対して 争ったから
H3045 H4672 H1571 H8610 H3068 H1624

バビロンよ、わたしは、おまえを捕えるためにわなをかけたが、おまえはそれにかかった。そしておまえはそれを知らなかった。おまえは主に敵したので、尋ね出され、捕えられた。

25 פָּתַח יְהוָה וַיּוֹצֵא אֶת־אֲוֹצָרוֹ כְּלֵי זַעְמוֹ
開かれた 主は (目的格) その−宝庫を (目的格) そして−取り出された 道具を その−怒りの
H3068 H0853 H0214 H0853 H3318 H3627 H2195

כִּי־ זֹאת הִיא לַאדֹנָי יְהוִה צְבָאוֹת בְּאֶרֶץ כַּשְׂדִּים׃
なぜなら−わざ それは これは 主なる 神 万軍の その−地で カルデヤ人の
H3778 H0776 H3069 H0136 H1931 H4399

主は武器の倉を開いてその怒りの武器を取り出された。主なる万軍の神が、カルデヤびとの地に事を行われるからである。

26 בֹּאוּ־ לָהּ מִקֵּץ פִּתְחוּ מַאֲבֻסֶיהָ סָלُוהָ כְמוֹ־ עֲרֵמִים וְהַחֲרִימוּהָ
来よ それに 果てから 開け その−倉を 積み上げよ のように 山のように そして−聖絶せよ
H0935 H7093 H3965 H5549 H3644 H6194

אַל־ תְּהִי־ לָהּ שְׁאֵרִית׃
ない なくなれ それに 残り物は
H0408 H1961 H7611

あらゆる方面からきて、これを攻め、その穀倉を開き、これを穀物の山のように積み上げ、完全に滅ぼし尽し、そこに残る者のないようにせよ。

27 חִרְבוּ כָּל־ פָּרֶיהָ יֵרְדוּ לַטֶּבַח הַוֹי עֲלֵיהֶם בָּא יוֹמָם עֵת
殺せ すべての その−雄牛を 下れ 屠殺場へ ああ 彼らに なぜなら 来た その−日が 時
H2719 H3605 H6499 H3381 H2874 H1945 H5921 H0935 H3117 H6256

ס פְּקֻדָּתָם׃
(段落記号) その−罰の
H6486

その雄牛をことごとく殺せ、それを、ほふり場に下らせよ。それらのものはわざわいだ、その日、その罰を受ける時がきたからだ。

28 קוֹל נָסִים וּפְלֵטִים מֵאֶרֶץ בָּבֶל לְהַגִּיד בְּצִיּוֹן
声 逃げる−者たちの そして−逃れる−者たちの その−地から バビロンの 告げるために シオンに
H6963 H5127 H6412 H0776 H0894 H5046 H6726

נְקַם יְהוָה נְקַם הֵיכָלוֹ׃ אֱלֹהֵינוּ
(目的格) 復讐を 主の 復讐を その−神殿の われらの−神の
H0853 H5360 H3068 H5360 H1964 H0430

聞けよ、バビロンの地から逃げ、のがれてきた者の声がする。われわれの神、主の報復、その宮の報復の事をシオンに告げ示す。

29 הַשְׁמִיעוּ אֶל־ בָּבֶל וְלַרַּבִּים כָּל־ דֹּרְכֵי קֶשֶׁת חֲנוּ עָלֶיהָ
召集せよ に−対して バビロン 多くの−者を すべて 弓を−引く 弓の 陣を−敷け それに−対して
H7121 H0413 H0894 H7227 H3605 H1869 H7198 H2583

סָבִיב אַל־ יְהִי־ לָהּ (לָהּ) פָּלֵטָה שַׁלְּמוּ־ לָהּ כְּפָעֳלָהּ כְּכֹל
周囲に ない なくなれ それに 逃れる−者は 報いよ それに その−行いに−従って すべて−に−従って
H5439 H0408 H1961 H6413 H7999 H6467 H3605

אֲשֶׁר עָשְׂתָה עֲשׂוּ־ לָהּ כִּי אֶל־ יְהוָה זָדָה אֶל־
それが 行ったように 行え それに なぜなら に−対して 主に 高慢に−振る舞った に−対して
H3605 H6213 H6466 H3588 H0413 H3068 H2102 H0413

קְדוֹשׁ יִשְׂרָאֵל׃
聖なる−者 イスラエルの
H6918 H3478

弓を張る射手をことごとく呼び集めて、バビロンを攻めよ。その周囲に陣を敷け。ひとりも逃がすな。そのしわざにしたがってバビロンに報い、これがおこなった所にしたがってこれに行え。彼がイスラエルの聖者である主に向かって高慢にふるまったからだ。

30 לָכֵן יִפְּלוּ בַחוּרֶיהָ בִּרְחֹבֹתֶיהָ וְכָל־אַנְשֵׁי מִלְחַמְתָּהּ
それゆえ 倒れる その-若者たちは その-広場に そして-すべての 戦いの その-戦士たちは
H7307 H0970 H7339 H3605 H0376 H4421

יִדָּמּוּ בַּיּוֹם הַהוּא נְאֻם־יְהוָה׃ ס
滅ぼされる その-日に その 言われる 主は (段落記号)
H1931 H3117 H5002 H3068

それゆえ、その日、若い者は、広場に倒れ、兵士はみな絶やされると主は言われる。

31 הִנְנִי אֵלַיִךְ זָדוֹן נְאֻם־אֲדֹנָי יְהוִה צְבָאוֹת כִּי בָּא
見よ-わたしは あなたに-対する 高慢な-者よ 言われる 主なる 神 万軍の なぜなら 来た
H2009 H0413 H2087 H5002 H0136 H3069 H6635 H0935

יוֹמֵךְ עֵת פְּקַדְתִּיךְ׃
あなたの-日が 時 わたしが-罰する
H3117 H6256

主なる万軍の神は言われる、高ぶる者よ、見よ、わたしはおまえの敵となる、あなたの日、わたしがおまえを罰する時が来た。

32 וְכָשַׁל זָדוֹן וְנָפַל וְאֵין לוֹ מֵקִים וְהִצַּתִּי אֵשׁ
そして-つまずく 高慢は そして-倒れる そして-ない それを 起こす-者は そして-放つ 火を
H3782 H2087 H5307 H0369 H3341 H0784

בְּעָרֶיהָ וְאָכְלָה כָל־סְבִיבֹתֶיהָ׃ ס
その-町々に そして-焼き尽くす すべての その-周囲を (段落記号)
H0398 H3605 H5439

高ぶる者はつまずき倒れる、これを助け起すものはない。わたしはその町々に火を燃やして、その周囲の者をことごとく焼き尽す。

33 כֹּה אָמַר יְהוָה צְבָאוֹת עֲשׁוּקִים בְּנֵי־וּבְנֵי־
このように 言われた 主 万軍の 虐げられている 息子たちは そして-息子たちは
H3541 H0559 H3068 H6231 H1121 H3478

יִשְׂרָאֵל וְיַחְדָּו יְהוּדָה וְכָל־שֹׁבֵיהֶם הֶחֱזִיקוּ בָּם מֵאֲנוּ שַׁלְּחָם׃
イスラエルの 共に ユダの そして-すべて 捕らえた-者たちは 固く-捕らえている 彼らを 拒んだ 去らせることを
H7971 H3985 H2388 H7617 H3605 H3063

万軍の主はこう言われる、イスラエルの民とユダの民は共にしえたげられている。彼らをとりこにした者はみな彼らを固く守って釈放することを拒む。

34 גֹּאֲלָם חָזָק יְהוָה צְבָאוֹת שְׁמוֹ רִיב יָרִיב רִיבָם אֶת־
彼らの-贖い主は 強い 主 万軍の その-名は 訴えを 必ず-訴える その-訴えを (目的格)
H3068 H6635 H3068 H6635 H8034 H7378 H7379 H0853

לְמַעַן הָרְגִּיעַ לָאָרֶץ וְהִרְגִּיז לְיוֹשְׁבֵי בָבֶל׃
ために 安息を-与える その-地に (目的格) そして-震わせる 住む-者たちを バビロンの
H4616 H7264 H0776 H0853 H3427 H0894

彼らをあがなう者は強く、その名は万軍の主といわれる。彼は必ず彼らの訴えをただし、この地に安きを与えるが、バビロンに住む者には不安を与えられる。

35 חֶ֣רֶב עַל־ כַּשְׂדִּ֗ים נְאֻם־ יְהוָה֙ וְאֶל־ יֹשְׁבֵ֣י בָבֶ֔ל
剣が に–対して カルデヤ人 言われる 主は そして–に–対して 住む–者たち バビロンの
H2719 H5921 H3778 H5002 H3068 H0413 H3427 H0894

וְאֶל־ שָׂרֶ֖יהָ וְאֶל־ חֲכָמֶ֥יהָ׃
そして–に–対して その–首長たちと そして–に–対して その–知恵ある–者たち
H0413 H8269 H0413 H2450

主は言われる、カルデヤびとの上とバビロンに住む者の上、そのつかさたち、その知者たちの上につるぎが臨む。

36 חֶ֣רֶב אֶל־ הַבַּדִּ֔ים וְנֹאָל֑וּ חֶ֣רֶב אֶל־ גִּבּוֹרֶ֖יהָ
剣が に–対して 偽り–預言者たちに そして–愚かに–なる 剣が に–対して その–勇士たちに
H2719 H0413 H0907 H2973 H2719 H0413 H1368

וְחַתּ֥וּ׃
そして–恐れおののく
H2865

占い師の上につるぎが臨み、彼らは愚か者となる。その勇士の上につるぎが臨み、彼らは滅ぼされる。

37 חֶ֣רֶב אֶל־ סוּסָ֔יו וְאֶל־ רִכְבּ֑וֹ וְאֶל־ כָּל־ הָעֶ֖רֶב
剣が に–対して その–馬に そして–に–対して その–戦車に そして–に–対して すべての 混成–軍に
H2719 H0413 H5483 H0413 H7393 H0413 H3605 H6154

אֲשֶׁ֥ר בְּתוֹכָ֖הּ וְהָי֣וּ לְנָשִׁ֑ים וְאֹצְרֹתֶ֖יהָ אֶל־ חֶ֣רֶב וּבְזֻ֥ז׃
それは その–中にいる そして–なる 女の–ように 剣が に–対して その–宝物に そして–略奪される
H0834 H8432 H1961 H0802 H2719 H0413 H0214 H0962

その馬の上と、その車の上につるぎが臨み、またそのうちにあるすべての雇兵の上に臨み、彼らは女のようになる。その財宝の上につるぎが臨み、それはかすめられる。

38 חֹ֣רֶב אֶל־ מֵימֶ֖יהָ וְיָבֵ֑שׁוּ כִּ֣י אֶ֤רֶץ פְּסִלִים֙ הִ֔יא
干ばつが に–対して その–水に そして–干上がる なぜなら 地 偶像の それは
H2721 H0413 H4325 H3001 H3588 H0776 H6456 H1931

וּבְאֵימֵ֖ים יִתְהֹלָֽלוּ׃
そして–恐ろしい–像に 狂う
H0367

その水の上に、ひでりが来て、それはかわく。それは、この地が偶像の地であって、人々が偶像に心が狂っているからだ。

39 לָכֵ֗ן יֵשְׁב֤וּ צִיִּים֙ אֶת־ אִיִּ֔ים וְיָשְׁב֥וּ בָ֖הּ בְּנ֣וֹת יַעֲנָ֑ה
それゆえ 住む 荒野の–獣が (目的格) 山犬と–共に そして–住む その–中に 娘たちは だちょうの
H3651 H3427 H6728 H0854 H0338 H3427 H0413 H1323 H3284

וְלֹא־ תִשָּׁכֵ֥ן עַד־ נֶ֖צַח וְלֹ֣א עוֹד֙ תֵּשֵׁ֔ב דּ֥וֹר וָדֹֽר׃
そして–ない 住まわれない もはや 永遠に そして–ない 住まれない まで 代々 限りなく
H3808 H3427 H5750 H5331 H3808 H7931 H5704 H1755 H1755

それゆえ、野の獣と山犬とは共にバビロンにおり、だちょうもそこに住む。しかし、いつまでもその地に住む人はなく、世々ここに住む人はない。

40 כְּמַהְפֵּכַת אֱלֹהִים אֶת־ סְדֹם וְאֶת־ עֲמֹרָה וְאֶת־
そして–(目的格) ゴモラと そして–(目的格) ソドムと (目的格) 神が 神が–覆した–ように
H0853 H6017 H0853 H5467 H0853 H0430 H4114

שְׁכֶנֶיהָ נְאֻם־ יְהוָה לֹא־ יֵשֵׁב שָׁם אִישׁ וְלֹא־ יָגוּר בָּהּ
その–隣の–町を 言われる 主は ない 住む そこに 人は そして–ない 寄留する その–中に
H7934 H5002 H3068 H3808 H3427 H8033 H0376 H3808 H1481 H0929

בֶּן־ אָדָם׃
人の 子は
H0120

主は言われる、神がソドムとゴモラと、その隣の町々を滅ぼされたように、そこに住む人はなく、そこに宿る人の子はない。

41 הִנֵּה עַם מִצָּפוֹן בָּא וְגוֹי גָּדוֹל וּמְלָכִים רַבִּים יֵעֹרוּ
見よ 民が 北から 来る そして–国が 大きな そして–王たちが 多くの 奮い–立つ
H2009 H5971 H6828 H0935 H1471 H1419 H4428 H7227 H5782

מִיַּרְכְּתֵי־ אָרֶץ׃
地の 地の–果てから
H0776 H3411

見よ、一つの民が北の方から来る。大いなる国と多くの王が地の果から立ち上がっている。

42 קֶשֶׁת וְכִידֹן יַחֲזִיקוּ אַכְזָרִי הֵמָּה וְלֹא יְרַחֵמוּ קוֹלָם כַּיָּם
弓と そして–槍を つかむ 残酷な 彼らは そして–ない あわれまない その–声は 海の–ように
H7198 H3591 H2388 H0394 H1992 H3808 H7355 H6963 H3220

יֶהֱמָּה וְעַל־ סוּסִים יִרְכָּבוּ עָרוּךְ כְּאִישׁ לַמִּלְחָמָה עָלַיִךְ בַּת־
とどろく そして 馬に 乗る 整列した 人の–ように 戦いの–ために あなたに–対して 娘よ
H1993 H5483 H7392 H6186 H0376 H4421 H5921 H1323

בָּבֶל׃
バビロンの
H0894

彼らは弓と、やりを取る。残忍で、あわれみがなく、その響きは海の鳴りとどろくようである。バビロンの娘よ、彼らは馬に乗り、いくさびとのように身をよろって、あなたを攻める。

43 שָׁמַע מֶלֶךְ־ בָּבֶל אֶת־ שִׁמְעָם וְרָפוּ יָדָיו צָרָה הֶחֱזִיקַתְהוּ חִיל כַּיּוֹלֵדָה׃
聞いた 王は バビロンの (目的格) その–知らせを そして–弱った その–手は 苦悩が 彼を–捕らえた 産みの–苦しみ 産む–女の–ように
H8085 H4428 H0894 H0853 H8052 H7503 H3027 H6869 H2342 H3205

バビロンの王はそのうわさを聞いて、その手は弱り、子を産む女に臨むような痛みと苦しみに迫られた。

44 הִנֵּה כְּאַרְיֵה יַעֲלֶה מִגְאוֹן הַיַּרְדֵּן אֶל־נְוֵה אֵיתָן כִּי־
見よ 獅子の–ように 上って–来る 誇りから ヨルダンの へ 牧場 堅固な なぜなら
H2009 H0413 H5927 H1347 H3383 H0413 H0386

אַרְגִּעָה אֲרוּצֵם [ארוצם] (אֲרִיצֵם) מֵעָלֶיהָ וּמִי בָּחוּר אֵלֶיהָ
わたしは–一瞬で (ケティブ) 追い–出す そこから そして–だれ 選ばれた–者を それに
H7323 H7323 H4310 H0970 H0413

אֶפְקָד מִי כִּי כָמֹנִי וּמִי יוֹעִדֵנִי
わたしは–任命する だれが なぜなら わたしの–ようか そして–だれが わたしに–挑むのか
H4310 H3644 H4310 H3259

וּמִי־ זֶה רֹעֶה אֲשֶׁר יַעֲמֹד לְפָנָי׃
そして–だれが この 牧者が わたしの 立ち向かう 前に
H4310 H2088 H6440 H5975

見よ、ししがヨルダンの密林から上ってきて、じょうぶな羊のおりを襲うように、わたしは、たちまち彼らをそこから逃げ去らせる。そしてわたしの選ぶ者をその上に立てる。だれかわたしのような者があるであろうか。だれがわたしを呼びつけることができようか。どの牧者がわたしの前に立つことができようか。

45 לָכֵן שִׁמְעוּ עֲצַת־ יְהוָה אֲשֶׁר יָעַץ עַל־ בָּבֶל וּמַחְשְׁבוֹתָיו אֲשֶׁר
それゆえ 聞け 計画を 主の それは に–対して バビロン そして–その–思いを それは
H8085 H6098 H3068 H3289 H0413 H0894 H4284 H0834

חָשַׁב אֶל־ אֶרֶץ כַּשְׂדִּים עָלֶיהָ אִם־ לֹא יִסְחֲבוּם צְעִירֵי הַצֹּאן אִם־
考えた に–対して 地 カルデヤ人の 彼らの–上に もし ない 引きずられる 小さい–者たちの 羊の もし
H2803 H0413 H0776 H3778 H0413 H3808 H5498 H6810 H6629 H0518

לֹא יַשִּׁים עֲלֵיהֶם נָוֵה׃
ない 荒らされる 彼らの–上に 牧場は
H3808 H8074

それゆえ、バビロンに対して主が立てた計りごとと、カルデヤびとの地に対してしようとする事を聞くがよい。彼らの群れのうちの小さい者は、かならず引かれて行く。彼らのおりのものも必ずその終りを見て恐れる。

46 מִקּוֹל נִתְפְּשָׂה בָבֶל נִרְעֲשָׁה הָאָרֶץ וְזַעֲקָה בַגּוֹיִם נִשְׁמָע׃
その–声から 捕らえられた バビロンは 震えた その–地は そして–叫びが 諸国の–民に 聞こえた
H8085 H8610 H0894 H7493 H0776 H2201 H1471

ס
(段落記号)

バビロンが取られたとの声によって地は震い、その叫びは国々のうちに聞える」。

Chapter 51

1 כֹּה אָמַר יְהוָה הִנְנִי מֵעִיר עַל־ בָּבֶל וְאֶל־ יוֹשְׁבֵי קָמַי לֵב רוּחַ מַשְׁחִית׃
このように 言われた 主は 見よ–わたしは 奮い立たせる に–対して バビロン そして–に–対して
H3541 H0559 H3068 H2009 H5782 H0413 H0894 H0413

住む–者たち レブカマイの 霊を 滅ぼす
H3427 H7307 H7843

主はこう言われる、「見よ、わたしは、滅ぼす者の心を奮い起して、バビロンを攻め、カルデヤに住む者を攻めさせる。

2 וְשִׁלַּחְתִּי זָרִים וְלִבְבֶל וְזֵרוּהָ וְיִבֹּקְקוּ אֶת־אַרְצָהּ
そして–遣わす 異国人を バビロンに そして–篩い–分ける そして–空に–する (目的格) その–地を
H7971 H2219 H0894 H0853 H0776

כִּי־הָיוּ עָלֶיהָ מִסָּבִיב בְּיוֹם רָעָה׃
なぜなら いた それに–対して 周囲から その–日に わざわいの
H1961 H5439 H3117

わたしはバビロンに、あおぎ分ける者をつかわす。彼らは、その災の日に、四方からこれを攻め、それをあおぎ分けて、その地をむなしくする。

3 אֶל־ יִדְרָךְ [ידרך] הַדֹּרֵךְ קַשְׁתּוֹ וְאֶל־ יִתְעַל
に–対して 引くな (ケティブ) 引く–者は その–弓を そして–に–対して 立ち上がるな
H0413 H1869 H1869 H7198 H0408 H5927

בְּסִרְיֹנוֹ וְאַל־ תַּחְמְלוּ אֶל־ בַּחוּרֶיהָ הַחֲרִימוּ כָּל־ צְבָאָהּ׃
その–よろいに そして–ない 惜しむな に–対して その–若者たちを 聖絶せよ すべての その–軍勢を
H5630 H0413 H2550 H0413 H0970 H2763 H3605

射手にはその弓を張らせることなく、よろいを着て立ち上がらせるな。その若き者をあわれむことなく、その軍勢をことごとく滅ぼせ。

4 וְנָפְלוּ חֲלָלִים בְּאֶרֶץ כַּשְׂדִּים וּמְדֻקָּרִים בְּחוּצוֹתֶיהָ׃
そして–倒れる 剰られた–者たちは カルデヤ人の その–地に 刺された–者たちは その–通りに
H5307 H2491 H3778 H0776 H1856 H2351

彼らはカルデヤびとの地に殺されて倒れ、そのちまたに傷ついて倒れる。

5 כִּי־ לֹא־ אַלְמָן יִשְׂרָאֵל וְיהוּדָה מֵאֱלֹהָיו מֵיְהוָה צְבָאוֹת
なぜなら ない 見捨てられて–いない イスラエルと そして–ユダは その–神から 主から 万軍の
H3808 H0488 H3478 H3063 H0430 H3068 H6635

כִּי אַרְצָם מָלְאָה אָשָׁם מִקְּדוֹשׁ יִשְׂרָאֵל׃
たとえ その–地が 満ちていても 罪で 聖なる–者に–対して イスラエルの
H0776 H4390 H0817 H6918 H3478

イスラエルとユダはその神、万軍の主に捨てられてはいないが、しかしカルデヤびとの地にはイスラエルの聖者に向かって犯した罪が満ちている。

6 וְנָסוּ מִתּוֹךְ בָּבֶל וּמַלְּטוּ אִישׁ נַפְשׁוֹ אַל־ תִּדַּמּוּ
逃げよ その–中から バビロンの そして–救え 各自 自分の–命を ない 滅ぼされるな
H5127 H8432 H0894 H4422 H0376 H5315 H0408 H1826

בַּעֲוֹנָהּ כִּי־ עֵת נְקָמָה הִיא לַיהוָה גְּמוּל מְשַׁלֵּם הוּא לָהּ׃
その–咎の–中で なぜなら 時 復讐の これは 主の 報いを 報いる 彼は それに
H5771 H6256 H5360 H1931 H3068 H1576 H7999 H1931 H0776

バビロンのうちからのがれ出て、おのおのその命を救え。その罰にまきこまれて断ち滅ぼされてはならない。今は主があだを返される時だから、それに報復をされるのである。

7 כּוֹס־ זָהָב בָּבֶל בְּיַד־ יְהוָה מְשַׁכֶּרֶת כָּל־ הָאָרֶץ מִיֵּינָהּ
金の–杯 金の バビロンは 主の 酔わせる 全 地を その–ぶどう酒から
H3196 H0776 H3605 H7937 H3068 H3027 H0894 H2091

עַל־ כֵּן יִתְהֹלְלוּ גּוֹיִם׃ גּוֹיִם שָׁתָיוּ
飲んだ 諸国の–民は 狂う この それ–ゆえに 諸国の–民は
H8354 H1984 H3651 H5971

バビロンは主の手のうちにある金の杯であって、すべての地を酔わせた。国々はその酒を飲んだので、国々は狂った。

8 פִּתְאֹם נָפְלָה בָבֶל וְתִשָּׁבֵר הֵילִילוּ עָלֶיהָ קְחוּ צֳרִי לְמַכְאוֹבָהּ אוּלַי תֵּרָפֵא׃

突然 H6597 / 倒れた H5307 / バビロンは H0894 / そして-砕かれた H7665 / 泣き叫べ H3213 / それの-ために / 取れ H3947 / 乳香を H6875 / その-痛みの-ために H4341 / あるいは H0194 / 癒されるかも H7495

バビロンはたちまち倒れて破れた。これがために嘆け。その傷のために乳香を取れ。あるいは、いえるかも知れない。

9 רִפִּינוּ(רִפְאנוּ) בָבֶל וְלֹא נִרְפְּתָה עִזְבוּהָ וְנֵלֵךְ אִישׁ לְאַרְצוֹ כִּי נָגַע אֶל־הַשָּׁמַיִם מִשְׁפָּטָהּ וְנִשָּׂא עַד־שְׁחָקִים׃

(ケティブ) H7495 / 癒そうとした H7495 / バビロンを H0894 / しかし-ない H3808 / 癒されない H7495 / 捨てよ / そして-行こう H3212 / 各自 H0376 / 自分の-地へ H0776 / なぜなら H3588 / 届いた H5060 / に H0413 / 天に H8064 / その-裁きは H4941 / そして-上げられた H5375 / まで H5704 / 雲に H7834

われわれはバビロンをいやそうとしたが、これはいえなかった。われわれはこれを捨てて、おのおの自分の国に帰ろう。その罰が天に達し、雲にまで及んでいるからだ。

10 הוֹצִיא יְהוָה אֶת־צִדְקֹתֵינוּ בָּאוּ וְנִסַפְּרָה בְצִיּוֹן אֶת־מַעֲשֵׂה יְהוָה אֱלֹהֵינוּ׃

取り出された H3318 / 主は H3068 / (目的格) H0853 / われらの-義を H6666 / 来て H0935 / そして-物語ろう / シオンにて H6726 / (目的格) H0853 / 業いを H4639 / 主の H3068 / われらの-神の H0430

主はわれわれの正しいことを明らかにされた。さあ、われわれはシオンで、われわれの神、主のみわざを告げ示そう。

11 הָבְרוּ הַחִצִּים מִלְאוּ הַשְּׁלָטִים הֵעִיר יְהוָה אֶת־רוּחַ מַלְכֵי מָדַי עַל־כִּי מְזִמָּתוֹ לְהַשְׁחִיתָהּ כִּי נְקַמַת יְהוָה הִיא נְקַמַת הֵיכָלוֹ׃

磨け H1305 / 矢を H2671 / 満たせ H4390 / 矢筒を H7982 / 奮い立たせた H5782 / 主は H3068 / (目的格) H0853 / 霊を H7307 / 王たちの H4428 / メディアの H4074 / なぜなら H3588 / に-対して H5921 / バビロン H0894 / その-計画は H4209 / 滅ぼす-こと H7843 / これは H1931 / 復讐 H5360 / 主の H3068 / 復讐 H5360 / その-神殿の H1964

矢をとぎ、盾を取れ。主はメデアびとの王たちの心を引き立てられる。主のバビロンに思い図ることは、これを滅ぼすことであり、主があだを返し、その宮のあだを返されるのである。

12 אֶל־ חוֹמֹ֣ת בָּבֶ֔ל שְׂא֖וּ נֵ֑ס הַחֲזִ֣יקוּ֙ הַמִּשְׁמָ֔ר הָקִ֥ימוּ שֹׁמְרִ֖ים הָכִ֣ינוּ
に-対して 城壁の バビロンの 掲げよ 旗を 強めよ 見張りを 立てよ 番人を 備えよ
H0413 H2346 H0894 H5375 H5251 H2388 H4929 H8104

הָאֹרְבִ֔ים כִּ֣י גַם־ זָמַ֤ם יְהוָה֙ גַּם־ עָשָׂ֔ה אֵ֥ת אֲשֶׁר־ דִּבֶּ֖ר
伏兵を なぜなら また 計画した 主は また 行った (目的格) それを 語られたことを
H0693 H3588 H1571 H2161 H3068 H1571 H6213 H0853 H0834 H1696

אֶל־ יֹשְׁבֵ֥י בָבֶֽל׃
に-対して 住む-者たち バビロンの
H0413 H3427 H0894

バビロンの城壁に向かって旗を立て、見張りを強固にし、番兵を置き、伏兵を備えよ。主がバビロンに住む者を攻めようと図り、その言われたことを、いま行われるからだ。

13 שֹׁכְנִ֣תִי(ן) עַל־ מַ֔יִם רַבִּ֖ים רַבַּ֣ת אֹצָרֹ֑ת בָּ֥א קִצֵּ֖ךְ
(ケティブ) 住む-者よ の-ほとりに 水 大いなる 豊かなる 宝の 来た あなたの-終わりが
H7931 H7931 H5921 H4325 H7227 H7235 H0214 H0935 H7093

אַמַּ֥ת בִּצְעֵֽךְ׃
尺度 あなたの-貪欲の
H0520 H1215

多くの水のほとりに住み、多くの財宝を持つ者よ、あなたの終りが来て、その命の糸は断たれる。

14 נִשְׁבַּ֤ע יְהוָה֙ צְבָא֣וֹת בְּנַפְשׁ֔וֹ כִּ֥י אִם־ מִלֵּאתִ֖יךָ אָדָ֣ם כַּיֶּ֑לֶק
誓われた 主は 万軍の その-魂を-かけて 必ず もし 満たさない 人で いなごの-ように
H7650 H3068 H6635 H5315 H3588 H0518 H4390 H0120 H3218

וְעָנ֔וּ עָלַ֖יִךְ הֵרֵ֥עַ׃ ס
そして-あげる あなたに-対して 勝どきを (段落記号)
H6030 H5921 H1959

万軍の主はみずからをさして誓い、言われる、わたしは必ずあなたのうちに、人をいなごのように満たす。彼らはあなたに向かって、かちどきの声をあげる。

15 עֹשֶׂ֤ה אֶ֙רֶץ֙ בְּכֹח֔וֹ מֵכִ֖ין תֵּבֵ֣ל בְּחָכְמָת֑וֹ וּבִתְבוּנָת֖וֹ נָטָ֥ה
造られた 地を その-力で 定められた 世界を その-知恵で そして-その-英知で 広げられた
H6213 H0776 H3581 H8398 H2451 H8394 H5186

שָׁמָֽיִם׃
天を
H8064

主はその力をもって地を造り、その知恵をもって世界を建て、その悟りをもって天をのべられた。

16 לְק֣וֹל תִּתּ֔וֹ הֲמ֥וֹן מַ֖יִם בַּשָּׁמַ֑יִם וַיַּעַל֙ נְשָׂאִ֔ים מִקְצֵה־ אֶ֖רֶץ בְּרָקִ֣ים
その-声に 与える 大量の 水を 天に そして-上らせる 雲を 地の-果てから 稲妻を
H6963 H5414 H1995 H4325 H8064 H5927 H5375 H7097 H0776 H1300

לַמָּטָ֔ר עָשָׂ֖ה מֵאֹצְרֹתָ֥יו רֽוּחַ׃ וַיֹּצֵֽא
雨の-ために 造られた その-倉から 風を そして-出される
H4306 H6213 H0214 H7307 H3318

彼が声を出されると、天に多くの水のざわめきがあり、また地の果から霧を立ちあがらせられる。彼は雨のためにいなびかりをおこし、その倉から風を取り出される。

17 נִבְעַר כָּל־ אָדָם מִדַּעַת הֹבִישׁ כָּל־ צֹרֵף מִפֶּסֶל כִּי
愚かに-なる すべての 人は 知識から 辱められる すべての 金細工師は 偶像に-よって なぜなら
H1197 H3605 H0120 H1847 H3001 H3605 H6884 H6459

שֶׁקֶר נִסְכּוֹ וְלֹא־ רוּחַ בָּם׃
偽り その-鋳像は そして-ない 息は その-中に
H8267 H5262 H3808 H7307

すべての人は愚かで知恵がなく、すべての金細工人はその造った偶像のために恥をこうむる。その偶像は偽り物で、そのうちに息がないからだ。

18 הֶבֶל הֵמָּה מַעֲשֶׂה תַּעְתֻּעִים בְּעֵת פָּקְדָתָם יֹאבֵדוּ׃
空しい それらは わざ 欺きの その-時に その-罰の 滅びる
H1892 H1992 H4639 H8595 H6256 H6486 H0006

それらは、むなしいもの、迷いのわざである。罰せられる時になれば滅びるものである。

19 לֹא־ כְאֵלֶּה חֵלֶק יַעֲקֹב יוֹצֵר הַכֹּל הוּא
ない これらの-ようではない 分け-前は ヤコブの 造り-主 すべての 彼である
H3808 H0428 H2506 H3290 H3335 H3605 H1931

וְשֵׁבֶט נַחֲלָתוֹ יְהוָה צְבָאוֹת שְׁמוֹ׃ ס
そして-杖 その-嗣業の 主 万軍の その-名は (段落記号)
H7626 H5159 H3068 H6635 H8034

ヤコブの分である彼はこのようなものではない、彼は万物の造り主だからである。イスラエルは彼の嗣業としての部族である。彼の名は万軍の主という。

20 מַפֵּץ־ אַתָּה לִּי כְלֵי מִלְחָמָה וְנִפַּצְתִּי בְךָ
打ち-砕く-槌よ あなたは わたしにとって 戦いの-道具 戦いの そして-打ち-砕く あなたで
H4661 H0859 H3627 H4421 H5310 H1215

וְהִשְׁחַתִּי בְךָ גּוֹיִם וְאַשְׁחִית בְּךָ מַמְלָכוֹת׃
そして-滅ぼす あなたで 諸国を 王国を
H7843 H1471 H1471 H4467

おまえはわたしの鎚であり、戦いの武器である。わたしはおまえをもってすべての国を砕き、おまえをもって万国を滅ぼす。

21 וְנִפַּצְתִּי בְךָ סוּס וְרֹכְבוֹ וְנִפַּצְתִּי בְךָ רֶכֶב וְרֹכְבוֹ׃
そして-打ち-砕く あなたで 馬と その-騎手を そして-打ち-砕く あなたで 戦車と その-御者を
H5310 H1471 H5483 H7392 H5310 H1471 H7393 H7392

おまえをもってわたしは馬と、その騎手とを砕き、おまえをもって戦車とそれに乗る者とを砕く。

22 וְנִפַּצְתִּי בְךָ אִישׁ וְאִשָּׁה וְנִפַּצְתִּי בְךָ זָקֵן וְנָעַר
そして-打ち-砕く あなたで 男と そして-女を そして-打ち-砕く あなたで 老人と そして-若者を
H5310 H1471 H0376 H0802 H5310 H1471 H2205 H5288

וּבְתוּלָה׃ בָּחוּר וְנִפַּצְתִּי בְךָ
そして-若い-女を 若い-男と そして-打ち-砕く あなたで
H1330 H0970 H5310 H1471

わたしはおまえをもって男と女とを砕き、おまえをもって老いた者と幼い者とを砕き、おまえをもって若い者と、おとめとを砕く。

23

אִכָּר	בְּךָ	וְנִפַּצְתִּי	וְעֶדְרוֹ	רֹעֶה	בְּךָ	וְנִפַּצְתִּי
農夫と	あなたで	そして-打ち-砕く	その-群れを	牧者と	あなたで	そして-打ち-砕く
H0406			H5739			

וּסְגָנָיו׃	פַּחוֹת	בְּךָ	וְנִפַּצְתִּי	וְצִמְדּוֹ
そして-太守を	総督と	あなたで	そして-打ち-砕く	その-くびきを
H5461	H6346			H6776

わたしはおまえをもって、羊飼と、その群れとを砕き、おまえをもって農夫と、くびきを負う家畜とを砕き、おまえをもっておさたちと、つかさたちとを砕く。

24

כָּל־	אֶת	כַּשְׂדִּים	יוֹשְׁבֵי	וּלְכָל	לְבָבֶל	וְשִׁלַּמְתִּי
すべての	(目的格)	カルデヤの	住む-者たちに	そして-すべての	バビロンに	そして-報いる
H3605	H0853	H3778	H3427	H3605	H0894	

ס	יְהוָה׃	נְאֻם	לְעֵינֵיכֶם	בְּצִיּוֹן	עָשׂוּ	אֲשֶׁר־	רָעָתָם
(段落記号)	主は	言われる	あなたがたの-目の-前で	シオンにて	行った	それらが	その-悪を
	H3068	H5002		H6726			

わたしはバビロンとカルデヤに住むすべての者とに、彼らがシオンで行ったもろもろの悪しき事のために、あなたがたの目の前で報いをすると、主は言われる。

25

כָּל־	אֶת־	הַמַּשְׁחִית	יְהוָה	נְאֻם־	הַמַּשְׁחִית	הָר	אֵלֶיךָ	הִנְנִי
全	(目的格)	滅ぼす	主は	言われる	滅ぼす	山よ	あなたに-対する	見よ-わたしは
H3605	H0853	H7843	H3068	H5002	H4889	H2022	H0413	H2009

מִן־	וְגִלַּלְתִּיךָ	עָלֶיךָ	יָדִי	אֶת־	וְנָטִיתִי	הָאָרֶץ
から	そして-転がし-落とす	あなたの-上に	わたしの-手を	(目的格)	そして-伸べる	地を
	H1556		H3027	H0853	H5186	H0776

שְׂרֵפָה׃	לְהַר	וּנְתַתִּיךָ	הַסְּלָעִים
焼けた	焚けた-山と	そして-する	岩々から
H8316	H2022	H5414	H5553

主は言われる、全地を滅ぼし尽す滅ぼしの山よ、見よ、わたしはおまえの敵となる、わたしは手をおまえの上に伸べて、おまえを岩からころばし、おまえを焼け山にする。

26

כִּי־	לְמוֹסָדוֹת	וְאֶבֶן	לְפִנָּה	אֶבֶן	מִמְּךָ	יִקָּחוּ	וְלֹא־
なぜなら	土台の-ための	そして-石を	隅の-ための	石を	あなたから	取る	そして-ない
	H4146	H0068	H6438	H0068		H3947	H3808

יְהוָה׃	נְאֻם־	תִּהְיֶה	עוֹלָם	שְׁמָמוֹת
主は	言われる	なる	永遠の	永遠の-荒れ地と
H3068	H5002	H1961	H5769	

主は言われる、人がおまえから石を取って、隅の石とすることなく、また礎とすることもない。おまえはいつまでも荒れ地となっている。

27

הַשְׁמִיעוּ	גּוֹיִם	עָלֶיהָ	קַדְּשׁוּ	בַּגּוֹיִם	שׁוֹפָר	תִּקְעוּ	בָּאָרֶץ	נֵס	שְׂאוּ־
聞かせよ	諸国を	それに-対して	聖別せよ	諸国の-民に	角笛を	吹け	地に	旗を	掲げよ
H8085			H6942		H7782	H8628	H0776	H5251	H5375

טִפְסָר	עָלֶיהָ	פִּקְדוּ	וְאַשְׁכְּנַז	מִנִּי	אֲרָרַט	מַמְלְכוֹת	עָלֶיהָ
将軍を	それに-対して	任命せよ	そして-アシュケナズ	ミニ	アララト	王国を	それに-対して
H2951			H0813	H4508	H0780	H4467	

סָמָר׃	כְּיֶלֶק	סוּס	הַעֲלוּ־
逆立つ	いなごの-ように	馬を	上らせよ
H5569	H3218		H5927

地に旗を立て、国々のうちにラッパを吹き、国々の民を集めてそれを攻め、アララテ、ミンニ、アシケナズの国々をまねいてそれを攻め、軍の長を立ててそれを攻め、群がるいなごのように馬を上り行かせよ。

פַּחוֹתֶיהָ	אֶת־	מָדַי	מַלְכֵי	אֶת־	גּוֹיִם	עָלֶיהָ	קַדְּשׁוּ
その–総督を	(目的格)	メディアの	王たちを	(目的格)	諸国を	それに–対して	聖別せよ
H6346	H0853	H4074	H4428	H0853			H6942

מֶמְשַׁלְתּוֹ׃	אֶרֶץ	כָּל־	וְאֵת	סְגָנֶיהָ	כָּל־	וְאֶת־
その–支配の	地を	すべての	そして–(目的格)	その–太守を	すべての	そして–(目的格)
H4475	H0776	H3605	H0853	H5461	H3605	H0853

国々の民を集めてそれを攻め、メデアびとの王たちと、そのおさたち、つかさたち、およびすべての領地の人々を集めてこれを攻めよ。

יְהוָה	מַחְשְׁבוֹת	בָּבֶל	עַל־	קָמָה	כִּי	וַתָּחֹל	הָאָרֶץ	וַתִּרְעַשׁ
主の	計画が	バビロン	に–対して	起きた	なぜなら	そして–もだえた	地は	そして–震えた
H3068	H4284	H0894					H0776	H7493

יוֹשֵׁב׃	מֵאֵין	לְשַׁמָּה	בָּבֶל	אֶרֶץ	אֶת־	לָשׂוּם
地と	住む–者の–ない	荒れ地に	バビロンの	地を	(目的格)	する–ために
H3427	H0369	H8047	H0894	H0776	H0853	

その地は震い、かつもだえ苦しむ、主がその思い図ることをバビロンにおこない、バビロンの地を、住む人なき荒れ地とされるからだ。

הָיוּ	גִּבּוֹרָתָם	נָשְׁתָּה	בַּמְּצָדּוֹת	יָשְׁבוּ	לְהִלָּחֵם	בָּבֶל	גִּבּוֹרֵי	חָדְלוּ
なった	その–勇気は	消えた	要塞に	座っている	戦う–ことを	バビロンの	勇士たちは	やめた
H1961	H1369	H5405	H4679	H3427		H0894	H1368	H2308

בְּרִיחֶיהָ׃	נִשְׁבְּרוּ	מִשְׁכְּנֹתֶיהָ	הִצִּיתוּ	לְנָשִׁים
その–かんぬきは	折られた	その–住まいに	火を–つけた	女の–ように
H1280	H7665	H4908	H3341	H0802

バビロンの勇士たちは戦いをやめて、その城にこもり、力はうせて、女のようになる。その家は焼け、その貫の木は砕かれる。

מַגִּיד	לִקְרַאת	וּמַגִּיד	יָרוּץ	רָץ	לִקְרַאת־	רָץ
知らせる–者を	迎えに	そして–知らせる–者が	走る	走る–者を	迎えに	走る–者が
H5046	H7125	H5046	H7323	H7323	H7125	H7323

מִקָּצֶה׃	עִירוֹ	נִלְכְּדָה	כִּי־	בָּבֶל	לְמֶלֶךְ	לְהַגִּיד
すべての–端から	その–町は	陥落した	なぜなら	バビロンの	王に	告げる–ために
		H3920		H0894	H4428	H5046

飛脚は走って飛脚に会い、使者は走って使者に会い、バビロンの王に告げて、町はことごとく取られ、

וְאַנְשֵׁי	בָּאֵשׁ	שָׂרְפוּ	הָאֲגַמִּים	וְאֶת־	נִתְפָּשׂוּ	וְהַמַּעְבָרוֹת	
そして–戦士たちは	火で	火で–焼かれた	池は	そして–(目的格)	占領された	そして–渡り場は	
H0376	H0784	H8313	H0098	H0853	H8610		

ס	נִבְהָלוּ׃	הַמִּלְחָמָה
(段落記号)	恐れおののいた	戦いの
	H0926	H4421

渡し場は奪われ、とりでは火で焼かれ、兵士はおびえていると言う。

בָּבֶל	בַּת־	יִשְׂרָאֵל	אֱלֹהֵי	צְבָאוֹת	יְהוָה	אָמַר	כֹּה	כִּי
バビロンの	娘は	イスラエルの	神	万軍の	主	言われた	このように	なぜなら
H0894	H1323	H3478	H0430		H3068	H0559	H3541	

לָהּ׃	הַקָּצִיר	עֵת־	וּבָאָה	מְעַט	עוֹד	הֻדְרִיכָה	עֵת	כְּגֹרֶן
それに	刈り入れの	時が	そして–来る	少し	もう–少しで	踏み–つけられる	時	脱穀場の–ように
		H6256	H0935	H4592	H5750	H1869	H6256	H1637

万軍の主、イスラエルの神はこう言われる、バビロンの娘は、打ち場のようだ、その踏まれる時が来たのだ。しばらくしてその刈り取られる時が来る」。

34

בָּבֶל׃	מֶלֶךְ	נְבוּכַדְרֶאצַּר	(הֲמָמַנִי)	[הממנו]	(אֲכָלַנִי)	[אכלנו]	
バビロンの	王	ネブカドレツァルが	混乱させた	(ケティブ)	食い-尽くした	(ケティブ)	
H0894	H4428	H5019	H2000	H2000	H0398	H0398	

מִלְּא	כַּתַּנִּין	(בִּלְּעַנִי)	[בלענו]	רִיק	כְּלִי	(הִצִּיגַנִי)	[הציגנו]	
満たした	竜の-ように	呑み-込んだ	(ケティブ)	空の	空の-器の-ように	置いた	(ケティブ)	
H4390		H1104	H1104	H7385	H3627	H3322	H3322	

(הֱדִיחָנִי׃)	[הדיחנו]	מֵעֲדָנָי	כְּרִשּׂוֹ
追い-出した	(ケティブ)	わたしの-美味で	その-腹を
H1740	H1740		H3770

「バビロンの王ネブカデレザルはわたしを食い尽し、わたしを滅ぼし、わたしを、からの器のようにし、龍のようにわたしを飲み、わたしのうまい物でその腹を満たし、わたしを洗いざらいにした。

35

צִיּוֹן	יֹשֶׁבֶת	תֹּאמַר	בָּבֶל	עַל־	וּשְׁאֵרִי	חֲמָסִי	
シオンの	住む-者は	言う	バビロン	に-対して	そして-わたしの-肉を	わたしへの-暴力と	
H6726	H3427	H0559	H0894		H7607	H2555	

ס	יְרוּשָׁלִָם׃	תֹּאמַר	כַּשְׂדִּים	יֹשְׁבֵי	אֶל־	וְדָמִי	
(段落記号)	エルサレムは	言う	カルデヤの	住む-者たち	に-対して	そして-わたしの-血を	
	H3389	H0559	H3778	H3427	H0413	H1818	

わたしとわたしの肉親におこなった暴虐は、バビロンにふりかかる」とシオンに住む者は言わなければならない。「わたしの血はカルデヤに住む者にふりかかる」とエルサレムは言わなければならない。

36

רִיבֵךְ	אֶת־	רָב	הִנְנִי־	יְהוָה	אָמַר	כֹּה	לָכֵן	
あなたの-訴えを	(目的格)	争う	見よ-わたしは	主は	言われた	このように	それゆえ	
H7379	H0853	H7378	H2009	H3068	H0559	H3541		

וְהֹבַשְׁתִּי	יַמָּהּ	אֶת־	וְהַחֲרַבְתִּי	נְקָמָתֵךְ	אֶת־	וְנָקַמְתִּי	
そして-枯らす	その-海を	(目的格)	そして-干上がらせる	あなたの-復讐を	(目的格)	そして-復讐する	
H3001	H3220	H0853		H5360	H0853	H5358	

מְקוֹרָהּ׃	אֶת־
その-泉を	(目的格)
H4726	H0853

それゆえ主はこう言われる、「見よ、わたしはあなたの訴えをただし、あなたのためにあだを返す。わたしはバビロンの海をかわかし、その泉をかわかす。

37

מֵאֵין	וּשְׁרֵקָה	שַׁמָּה	תַּנִּים	מְעוֹן־	וְלִגְלָיִם	וּבָבֶל	וְהָיְתָה׀	
住む-者の-ない	そして-嘲笑	荒れ地と	山犬の	住まい	石の-山に	バビロンは	そして-なる	
H0369	H8322	H8047		H4583	H1530	H0894	H1961	

יוֹשֵׁב׃
地と
H3427

バビロンは荒塚となり、山犬のすまいとなり、驚きとなり、笑いとなり、住む人のない所となる。

38

אֲרָיוֹת׃	כִּגּוּרֵי	נָעֲרוּ	יִשְׁאֲגוּ	כַּכְּפִרִים	יַחְדָּו	
獅子の	獅子の-子の-ように	うなる	ほえる	若獅子の-ように	共に	
	H1484	H5286	H7580			

彼らはししのように共にほえ、若いししのようにほえる。

39 בְּחֻמָּם אָשִׁית מִשְׁתֵּיהֶם וְהִשְׁכַּרְתִּים לְמַעַן יַעֲלֹזוּ
その–熱気の–中で わたしは–備える その–宴を そして–酔わせる それは 喜ぶ–ために
H2527 H7896 H4960 H7937 H4616 H5937
וְיָשְׁנוּ שְׁנַת־עוֹלָם וְלֹא יָקִיצוּ נְאֻם יְהוָה׃
そして–眠り 永遠の–眠りを 永遠の そして–ない 目覚めない 言われる 主は
H3462 H8142 H5769 H3808 H6974 H5002 H3068

彼らの欲の燃えている時、わたしは宴を設けて彼らを酔わせ、彼らがついに気を失って、ながい眠りにいり、もはや目をさますことのないようにしようと主は言われる。

40 אוֹרִידֵם כְּכָרִים לַטִּבְחָה כְּאֵילִים עִם־עַתּוּדִים׃
下らせる 羊の–ように 屠殺場へ 雄羊の–ように 共に 雄やぎと
H3381 H3733 H2873 H352 H5973 H6260

わたしは彼らを小羊のように、また雄羊や雄やぎのように、ほふり場に下らせよう。

41 אֵיךְ נִלְכְּדָה שֵׁשַׁךְ וַתִּתָּפֵשׂ תְּהִלַּת כָּל־הָאָרֶץ
どのようにして 陥落した シェシャクは そして–捕らえられた 賛美 全 地の
H0376 H3920 H8347 H8610 H8416 H3605 H0776
אֵיךְ הָיְתָה לְשַׁמָּה בָּבֶל בַּגּוֹיִם׃
どのようにして なった 荒れ地に バビロンは 諸国の–中で
H0376 H1961 H8047 H0894 H1471

ああ、バビロンはついに取られた、全地の人の、ほめたたえた者は捕えられた。ああ、バビロンはついに国々のうちに驚きとなった。

42 עָלָה עַל־בָּבֶל הַיָּם בַּהֲמוֹן גַּלָּיו נִכְסְתָה׃
上った に–対して バビロン 海が 大量の その–波で 覆われた
H5927 H5921 H0894 H3220 H1995 H1530 H3680

海はバビロンにあふれかかり、どよめく波におおわれた。

43 הָיְוּ עָרֶיהָ לְשַׁמָּה אֶרֶץ צִיָּה וַעֲרָבָה אֶרֶץ לֹא־יֵשֵׁב בָּהֶן
なった その–町々は 荒れ地に 地 乾いた そして–荒野の 地 ない 住む その–中に
H1961 H5892 H8047 H0776 H6723 H6160 H0776 H3808 H3427 H1931
וְלֹא־יַעֲבֹר בָּהֶן בֶּן־אָדָם׃
そして–ない 通り–過ぎない その–中を 子は 人の
H3808 H5674 H1992 H1121 H0120

その町々は荒れて、かわいた地となり、砂原となり、住む人のない地となる。人の子はひとりとしてそこを過ぎることはない。

44 וּפָקַדְתִּי עַל־בֵּל בְּבָבֶל וְהוֹצֵאתִי אֶת־בִּלְעוֹ מִפִּיו
そして–罰する に–対して ベルを バビロンで そして–取り–出す (目的格) その–飲み–込んだ–ものを その–口から
H6485 H5921 H1078 H0894 H3318 H0853 H1104 H6310
וְלֹא־יִנְהֲרוּ אֵלָיו עוֹד גּוֹיִם חוֹמַת בָּבֶל גַּם־נָפָלָה׃
そして–ない 流れ–来ない それに もはや 諸国の–民は 城壁は バビロンの また 倒れた
H3808 H5102 H0413 H5750 H1471 H2346 H0894 H1571 H5307

わたしはバビロンでベルを罰し、そののみこんだものを口から取り出す。国々が川のように彼に流れ入ることはなくなる。バビロンの城壁は倒れた。

אַף־	מֵחֲרוֹן	נַפְשׁוֹ	אֶת־	אִישׁ	וּמַלְּטוּ	עַמִּי	מִתּוֹכָהּ	צְאוּ	45
怒り	燃える-怒りから	自分の-命を	(目的格)	各自	そして-救え	わが-民よ	その-中から	出よ	
H0639	H2740	H5315	H0853	H0376	H4422		H8432	H3318	

יְהוָה׃
主の
H3068

わが民よ、あなたがたはその中から出て、おのおの主の激しい怒りを免れ、その命を救え。

בָּאָרֶץ	הַנִּשְׁמַעַת	בִּשְׁמוּעָה	וְתִירְאוּ	לְבַבְכֶם	יֵרַךְ	וּפֶן־	46
地に	聞こえる	その-知らせを	そして-恐れるな	あなたがたの-心が	弱くなる	そして-ない-ように	
H0776	H8085	H8052	H3372	H3824	H7401	H6435	

בָּאָרֶץ	וְחָמָס	הַשְּׁמוּעָה	בַּשָּׁנָה	וְאַחֲרֵיו	הַשְּׁמוּעָה	בַּשָּׁנָה	וּבָא
地に	そして-暴力が	知らせが	その-年に	そして-その-後に	知らせが	その-年に	そして-来る
H0776	H2555	H8052	H8141		H8052	H8141	H0935

מֹשֵׁל׃	עַל־	וּמֹשֵׁל
支配者に	に-対して	そして-支配者が
H4910		H4910

心を弱くしてはならない、この地で聞くうわさを恐れてはならない。うわさはこの年にもくれば、また次の年にもくる。この地に暴虐があり、つかさとつかさとが攻めあうことがある。

וְכָל־	בָּבֶל	פְּסִילֵי	עַל־	וּפָקַדְתִּי	בָּאִים	יָמִים	הִנֵּה	לָכֵן	47
そして-全	バビロンの	偶像を	に-対して	そして-罰する	来る	日々が	見よ	それゆえ	
H3605	H0894	H6456			H0935	H3117	H2009		

בְּתוֹכָהּ׃	יִפְלוּ	חֲלָלֶיהָ	וְכָל־	תֵּבוֹשׁ	אַרְצָהּ
その-中に	倒れる	その-剰られた-者たちは	そして-全ての	恥じる	その-地は
H8432	H5307		H3605	H0954	H0776

それゆえ見よ、わたしがバビロンの偶像を罰する日が来る。その全地ははずかしめられ、その殺される者はみなその中に倒れる。

אֲשֶׁר	וְכֹל	וָאָרֶץ	שָׁמַיִם	בָּבֶל	עַל־	וְרִנְּנוּ		48
それは	そして-すべて	そして-地は	天と	バビロン	に-対して	そして-歓声を-あげる		
	H3605	H0776	H8064	H0894				

יְהוָה׃	נְאֻם־	הַשּׁוֹדְדִים	לָהּ	יָבוֹא־	מִצָּפוֹן	כִּי	בָּהֶם
主は	言われる	略奪者たちが	それに	来る	北から	なぜなら	その-中にある
H3068	H5002	H7703		H0935	H6828		

天と地とそのうちにあるすべてのものはバビロンの事で喜び歌う。滅ぼす者が北の方からここに来るからであると主は言われる。

גַּם־	יִשְׂרָאֵל	חַלְלֵי	לִנְפֹּל	בָּבֶל	גַּם־		49
また	イスラエルの	刺し-殺された-者たちよ	倒れなければならない	バビロンは	また		
H1571	H3478		H5307	H0894	H1571		

הָאָרֶץ׃	כָּל־	חַלְלֵי	נָפְלוּ	לְבָבֶל
地の	すべての	刺し-殺された-者たちよ	倒れた	バビロンのために
H0776	H3605		H5307	H0894

イスラエルの殺された者たちのために、バビロンは倒れなければならない、バビロンのために全地の殺された者は倒れたのだ。

50 פְּלֵטֶ֖ים מֵחֶ֑רֶב הִלְכ֣וּ אַל־תַּעֲמֹ֔דוּ זִכְר֥וּ מֵרָחֹ֖וק אֶת־יְהוָ֑ה וִירוּשָׁלִַ֖ם תַּעֲלֶ֥ה עַל־לִבְּכֶֽם׃

逃れた–者たちよ 剣から 行け 立ち止まるな 立ち止まるな 思い出せ 遠くから (目的格) 主を
H6412 H2719 H1980 H5975 H0408 H2142 H7350 H0853 H3068
H3824 H5927 H3389

あなたがたの–心に の–上に 上って–来るように そして–エルサレムが

つるぎをのがれてきたあなたがたは、行け、立ちとどまってはならない。遠くから主を覚え、エルサレムを心にとめよ。

51 זָרִ֗ים בָּ֤אוּ כִי֙ פָּנֵ֔ינוּ כְּלִמָּ֖ה כִּסְּתָ֣ה חֶרְפָּ֑ה שָׁמַ֣עְנוּ כִּֽי־ בֹ֔שְׁנוּ

異国人が 来た なぜなら 私たちの–顔を 恥が 覆った 恥辱を 聞いた なぜなら 恥じている
H2114 H0935 H3588 H6440 H3639 H3680 H2781 H8085 H3588 H0954

ס יְהוָ֔ה בֵּ֖ית מִקְדְּשֵׁ֥י עַל־

(段落記号) 主の 家の 聖所に の–上に
H3068 H4720

『われわれはののしりを聞いたので、恥じている。異邦人が主の宮の聖所にはいったので、恥がわれわれの顔をおおった』。

52 לָכֵ֗ן הִנֵּ֤ה יָמִים֙ בָּאִ֔ים נְאֻם־ יְהוָ֑ה וּפָקַדְתִּ֣י עַל־ פְּסִילֶ֔יהָ וּבְכָל־ חֲלָלִ֖ל תֶּאֱנַ֥ק אַרְצָֽהּ׃

それゆえ 見よ 日々が 来ている 言われる 主は そして–裁く の–上に その–偶像を
H3651 H2009 H3117 H0935 H5002 H3068 H6485 H5921 H6456
H0776 H0602 H3605 H2491

その–地で うめく そして–すべての 刺し–殺された–者が

主は言われる、それゆえ見よ、わたしがその偶像を罰する日が来る、傷つけられた者が、その全国にうめくようになる。

53 כִּֽי־ תַעֲלֶ֤ה בָבֶל֙ הַשָּׁמַ֔יִם וְכִי֙ תְּבַצֵּ֣ר מְר֔וֹם עֻזָּ֑הּ

たとえ 上ったとしても バビロンが 天に そして–たとえ 要塞化しても 高みを その–力の
H3588 H5927 H0894 H8064 H3588 H1219 H4791 H5797

ס יְהוָ֔ה נְאֻם־ מֵאִתִּ֖י בָּ֣אוּ שׁוֹדְדִ֑ים לָ֣הּ

(段落記号) 主は 言われる わたしから 来る 略奪者たちが 彼女に
H3068 H5002 H0854 H0935 H7703

たといバビロンが天に上っても、その城を高くして固めても、滅ぼす者はわたしから出て、これに臨むと主は言われる。

54 כַּשְׂדִּ֑ים מֵאֶ֣רֶץ גְּד֔וֹל וְשֶׁ֖בֶר מִבָּבֶ֥ל זְעָקָ֛ה קֹ֖ול

カルデアの の–地から 大きな そして–崩壊が バビロンから 叫びの 声が
H3778 H0776 H1419 H7667 H0894 H2201 H6963

聞け、バビロンの叫びを、カルデヤびとの地に起る大いなる滅びの騒ぎ声を。

55 גָּד֔וֹל קֹ֖ול מִמֶּ֣נָּה וְאִבֵּ֑ד בָּבֶ֥ל אֶת־ יְהוָ֖ה שֹׁדֵ֥ד כִּֽי־

大きな 声を そこから そして–失わせた バビロンを (目的格) 主は 滅ぼしている なぜなら
H1419 H6963 H4480 H0006 H0894 H0853 H3068 H7703 H3588

קוֹלָ֑ם שְׁא֣וֹן נִתָּ֔ן רַבִּ֖ים כְּמַ֣יִם גַּלֵּיהֶ֥ם וְהָמָֽמּוּ׃

その–声の 騒音が 響き渡った 多くの 大水の–ように その–波は そして–うなった
H6963 H7588 H5414 H7227 H4325 H1530 H1993

主がバビロンを滅ぼし、その大いなる声を絶やされるのだ。その波は大水のように鳴りとどろき、その声はひびき渡る。

56 כִּי־ בָּא עָלֶיהָ עָלֶיהָ בָּבֶל שׁוֹדֵד וְנִלְכְּדוּ גִּבּוֹרֶיהָ
なぜなら 来た 彼女の–上に の–上に バビロンに 略奪者が そして–捕らえられた その–勇士たちは
H0935 H7703 H0894 H3920 H1368

חִתְּתָה קַשְׁתוֹתָם כִּי אֵל יְהוָה גְּמֻלוֹת שַׁלֵּם יְשַׁלֵּם׃
砕かれた その–弓は なぜなら 神は 主は 報いの 必ず 報いられる
H2865 H7198 H0410 H3068 H1578 H7999

滅ぼす者がこれに臨み、バビロンに来た。その勇士たちは捕えられ、その弓は折られる。主は報いをする神であるから必ず報いられるのだ。

57 וְהַשְׁכַּרְתִּי שָׂרֶיהָ וַחֲכָמֶיהָ פַּחוֹתֶיהָ
そして–酔わせる その–大臣たちを そして–その–知者たちを その–総督たちを
H7937 H8269 H2450 H6346

וְלֹא עוֹלָם שְׁנַת־ וְיָשְׁנוּ וְגִבּוֹרֶיהָ וְסִגְנֶיהָ
そして–ない 永遠の 永遠の–眠りを そして–眠る そして–その–勇士たちを そして–その–副総督たちを
H3808 H5769 H8142 H3462 H1368 H5461

ס שְׁמוֹ׃ צְבָאוֹת יְהוָה הַמֶּלֶךְ נְאֻם־ יָקִיצוּ
(段落記号) その–名は 万軍の 主 王の 言われる 目覚めることは
H8034 H3068 H4428 H5002 H6974

わたしはその君たちと知者たち、おさたち、つかさたち、および勇士たちを酔わせる。彼らは、ながい眠りにいり、目をさますことはない。万軍の主と呼ばれる王がこれを言わせる。

58 כֹּה־ אָמַר יְהוָה צְבָאוֹת חֹמוֹת בָּבֶל הָרְחָבָה עֲרֹעֵר תִּתְעָרְעָר
こう 言われた 主は 万軍の 城壁は バビロンの 広い 徹底的に 壊される
H3541 H0559 H3068 H6209 H0894 H7342 H6209 H6209

וּשְׁעָרֶיהָ הַגְּבֹהִים בָּאֵשׁ יִצָּתּוּ וְיָגְעוּ עַמִּים בְּדֵי־ רִיק
そして–その–門は 高い 火で 然やされる そして–労した 諸国の–民は 無駄の–ために 空しく
H8179 H1364 H0784 H3341 H3021 H1767 H7385

ס וְיָעֵפוּ׃ אֵשׁ בְּדֵי־ וּלְאֻמִּים
(段落記号) そして–疲れ果てる 火の 火の–ために そして–諸国の–民は
H3286 H0784 H1767 H3816

万軍の主はこう言われる、バビロンの広い城壁は地にくずされ、その高い門は火に焼かれる。こうして民の労苦はむなしくなり、国民はただ火のために疲れる」。

59 הַדָּבָר אֲשֶׁר־ צִוָּה יִרְמְיָהוּ הַנָּבִיא אֶת־ שְׂרָיָה בֶן־ נֵרִיָּהוּ בֶן־ מַחְסֵיָהוּ
言葉である それは 命じた エレミヤが 預言者の (目的格) セラヤに 息子の ネリヤの 息子の マヒセヤの
H1697 H0834 H6680 H3414 H5030 H0853 H8304 H5374 H4271

בִּשְׁנַת הָרְבִעִית צִדְקִיָּהוּ מֶלֶךְ־ יְהוּדָה בָּבֶל בְּלֶכְתּוֹ אֶת־ עִם
その–年に 第四の ツィデキヤと 王の ユダの バビロンに 行った–時に と共に
H8141 H7243 H6667 H4428 H3063 H0894 H3212 H0854

מְנוּחָה׃ שַׂר וּשְׂרָיָה לְמָלְכּוֹ
宿泊の 宴会の–長であった そして–セラヤは その–治世の
H4496 H8269 H8304

マアセヤの子であるネリヤの子セラヤが、ユダの王ゼデキヤと共に、その治世の四年にバビロンへ行くとき、預言者エレミヤがセラヤに命じた言葉。セラヤは宿営の長であった。

60

בָּבֶל	אֶל־	תָּבוֹא	אֲשֶׁר־	הָרָעָה	כָּל־	אֵת	יִרְמְיָהוּ	וַיִּכְתֹּב
バビロンに	の–上に	来る	それは	わざわいを	すべての	(目的格)	エレミヤは	そして–書いた
H0894	H0413	H0935			H3605	H0853	H3414	H3789

בָּבֶל׃	אֶל־	הַכְּתֻבִים	הָאֵלֶּה	הַדְּבָרִים	כָּל־	אֵת	אֶחָד	סֵפֶר	אֶל־
バビロンに	に–対して	書かれた	これらの	言葉を	すべての	(目的格)	一つの	巻物に	の–上に
H0894	H0413	H3789	H0428	H1697	H3605	H0853	H0259		H0413

エレミヤはバビロンに臨もうとするすべての災を巻物にしるした。これはすなわちバビロンの事についてしるしたすべての言葉である。

61

וְרָאִית	בָּבֶל	כְּבֹאֲךָ	שְׂרָיָה	אֶל־	יִרְמְיָהוּ	וַיֹּאמֶר
そして–見て	バビロンに	あなたが–来た–時に	セラヤに	に–対して	エレミヤは	そして–言った
H7200	H0894	H0935	H8304	H0413	H3414	H0559

הָאֵלֶּה׃	הַדְּבָרִים	כָּל־	אֵת	וְקָרָאתָ
これらの	言葉を	すべての	(目的格)	そして–読め
H0428	H1697	H3605	H0853	H7121

エレミヤはセラヤに言った、「あなたはバビロンへ行ったならば、忘れることなくこのすべての言葉を読み、

62

לְהַכְרִיתוֹ	הַזֶּה	הַמָּקוֹם	אֶל־	דִּבַּרְתָּ	אַתָּה	יְהוָה	וְאָמַרְתָּ
滅ぼすために	この	この–場所に	に–対して	語られた	あなたは	主よ	そして–言え
H3772	H2088	H4725	H0413	H1696		H3068	H0559

כִּי־	בְהֵמָה	וְעַד־	לְמֵאָדָם	יוֹשֵׁב	בּוֹ	הֱיוֹת־	לְבִלְתִּי
なぜなら	家畜まで	そして–まで	人から	住む–者が	そこに	いる–ことが	いない–ように
	H0929	H5704	H0120	H3427		H1961	H1115

תִּהְיֶה׃	עוֹלָם	שְׁמָמוֹת
となる	永遠の	永遠の–廃墟
H1961	H5769	

そして言いなさい、『主よ、あなたはこの所を滅ぼし、人と獣とを問わず、すべてここに住む者のないようにし、永久にここを荒れ地としようと、この所について語られました』と。

63

עָלָיו	תִּקְשֹׁר	הַזֶּה	הַסֵּפֶר	אֶת־	לִקְרֹא	כְּכַלֹּתְךָ	וְהָיָה
それに	縛れ	この	巻物を	(目的格)	読むことを	あなたが–読み–終えた–時に	そして–なる
	H7194	H2088		H0853	H7121	H3615	H1961

פְּרָת׃	תּוֹךְ	אֶל־	וְהִשְׁלַכְתּוֹ	אֶבֶן	
ユーフラテスの	真ん中に	の–中に	そして–投げ込め	石を	
H6578	H8432	H0413	H7993	H0068	

あなたがこの巻物を読み終ったならば、これに石をむすびつけてユフラテ川の中に投げこみ、

64

הָרָעָה	מִפָּנֶיהָ	תָּקוּם	וְלֹא־	בָּבֶל	תִּשְׁקַע	כָּכָה	וְאָמַרְתָּ
わざわいの	前から	上がることは	そして–ない	バビロンは	沈む	このように	そして–言え
	H6440		H3808	H0894	H8257	H3602	H0559

יִרְמְיָהוּ׃	דִּבְרֵי	הֵנָּה	עַד־	וְיָעֲפוּ	עָלֶיהָ	מֵבִיא	אָנֹכִי	אֲשֶׁר
エレミヤの	言葉は	である	ここまで	そして–疲れ果てる	彼女の–上に	もたらす	わたしが	それは
H3414	H1697	H2008	H5704	H3286		H0935	H0595	

ס
(段落記号)

そして言いなさい、『バビロンはこのように沈んで、二度と上がってこない。わたしがこれに災を下すからである』と」。ここまではエレミヤの言葉である。

Chapter 52

בֶּן־	עֶשְׂרִים	שָׁנָה	וְאַחַת	שְׁנַת	צִדְקִיָּהוּ	בִּמְלֹכֹו	וְאַחַת	עֶשְׂרֵה	שָׁנָה	1
息子の	二十	歳の	そして-一の	ツィデキヤは	即位した-時	そして-十一	年間	年	
	H6242	H8141	H0259	H6667		H0259	H6240	H8141	

מִלְבְּנָה׃	יִרְמְיָהוּ	בַּת־	חֲמוּטַל)	[חמיטל]	אִמּוֹ	וְשֵׁם	בִּירוּשָׁלָ͏ִם	מָלַךְ
リブナから	エレミヤの	娘の	ハムタル	(ケティブ)	その-母の	そして-名は	エルサレムで	治めた
H3841	H3414	H1323	H2537	H2537	H0517	H8034	H3389	

ゼデキヤは王となったとき二十一歳であったが、エルサレムで十一年世を治めた。母の名はハムタルといい、リブナのエレミヤの娘である。

יְהוֹיָקִים׃	עָשָׂה	אֲשֶׁר־	כְּכֹל	יְהוָה	בְּעֵינֵי	הָרַע	וַיַּעַשׂ	2
ヨホヤキムが	行った	それは	すべての-ように	主の	の-目に	悪を	そして-行った	
H3079			H3605	H3068				

ゼデキヤはエホヤキムがすべて行ったように、主の目の前に悪事を行った。

הִשְׁלִיכוֹ	עַד־	וִיהוּדָה	בִּירוּשָׁלַ͏ִם	הָיְתָה	יְהוָה	אַף	עַל־	כִּי	3
投げ-捨てる	まで	そして-ユダに	エルサレムに	あった	主の	怒りの	の-ために	なぜなら	
H7993	H5704	H3063	H3389	H1961	H3068	H0639			

בָּבֶל׃	בְּמֶלֶךְ	צִדְקִיָּהוּ	וַיִּמְרֹד	פָּנָיו	מֵעַל	אוֹתָם
バビロンの	に-対して-王	ツィデキヤは	そして-反逆した	その-御前の	から	彼らを
H0894	H4428	H6667	H4775	H6440		H0853

たしかに、主の怒りによって、エルサレムとユダとは、そのみ前から捨て去られるようなことになった。そしてゼデキヤはバビロンの王にそむいた。

לַחֹדֶשׁ	בֶּעָשׂוֹר	הָעֲשִׂירִי	בַּחֹדֶשׁ	לְמָלְכֹּו	הַתְּשִׁעִית	בַּשָּׁנָה	וַיְהִי		4
その-月の	第十-日に	第十の	その-月に	その-治世の	第九の	その-年に	そして-あった		
H2320	H6218	H6224	H2320		H8671	H8141	H1961		

עַל־	חֵילוֹ	וְכָל־	הוּא	בָּבֶל	מֶלֶךְ־	נְבוּכַדְרֶאצַּר	בָּא	
に-対して	その-軍勢が	そして-すべての	彼が	バビロンの	王の	ネブカドレツァルが	来た	
	H2428	H3605	H1931	H0894	H4428	H5019	H0935	

סָבִיב׃	דָּיֵק	עָלֶיהָ	וַיִּבְנוּ	עָלֶיהָ	וַיַּחֲנוּ	יְרוּשָׁלָ͏ִם
周囲に	包囲の-壁を	それに-対して	そして-築いた	それに-対して	そして-陣を-敷いた	エルサレムに
H5439	H1785		H1129		H2583	H3389

そこで彼の治世の九年十月十日に、バビロンの王ネブカデレザルはその軍勢を率い、エルサレムにきて、これを包囲し、周囲に塁を築いてこれを攻めた。

צִדְקִיָּהוּ׃	לַמֶּלֶךְ	שָׁנָה	עַשְׁתֵּי	עַד	בַּמָּצוֹר	הָעִיר	וַתָּבֹא		5
ツィデキヤの	その-王の	年	十一の	第十一の	まで	包囲の-下に	その-町は	そして-あった	
H6667	H4428	H8141	H6240	H6249	H5704	H4692		H0935	

こうしてこの町は攻め囲まれて、ゼデキヤ王の十一年にまで及んだが、

בָּעִיר	הָרָעָב	וַיֶּחֱזַק	לַחֹדֶשׁ	בְּתִשְׁעָה	הָרְבִיעִי	בַּחֹדֶשׁ			6
その-町で	飢饉が	そして-激しくなった	その-月の	第九-日に	第四の	その-月に			
	H7458	H2388	H2320	H8672	H7243	H2320			

הָאָרֶץ׃	לְעַם	לֶחֶם	הָיָה	וְלֹא־	
その-地の	その-民の-ために	パンが	なかった	そして-なかった	
H0776		H3899	H1961	H3808	

その四月九日になって、町の中の食糧は、はなはだしく欠乏し、その地の民は食物を得ることができなくなった。

7 וַתִּבָּקַע הָעִיר וְכָל־אַנְשֵׁי הַמִּלְחָמָה יִבְרְחוּ֙ וַיֵּצְאוּ מֵהָעִיר
そして-破られた その-町は そして-すべての 人々の 戦いの 逃げた そして-出た その-町から
H1234 H3605 H0376 H4421 H1272 H3318

לַ֣יְלָה דֶּ֣רֶךְ שַׁ֣עַר בֵּין־ הַחֹמֹתַ֗יִם אֲשֶׁר֙ עַל־ גַּ֣ן הַמֶּ֔לֶךְ
夜に 道を-通って 門の 間の- 二つの-城壁の それは の-上にある 庭の 王の
H3915 H1870 H8179 H0996 H2346 H0834 H5921 H1588 H4428

וְכַשְׂדִּ֖ים עַל־ הָעִ֣יר סָבִ֑יב וַיֵּלְכ֖וּ דֶּ֥רֶךְ הָעֲרָבָֽה׃
そして-カルデア人が の-上に その-町に 周囲に そして-行った 道を アラバの
H3778 H5921 H5892 H3212 H1870 H6160

そして町の城壁はついに打ち破られたので、兵士たちはみな逃げ、夜のうちに、王の園の近くの、二つの城壁の間の門から町をのがれ出て、カルデヤびとが、町を攻め囲んでいるうちに、アラバの方へ落ちて行った。

8 וַיִּרְדְּפ֣וּ חֵיל־ כַּשְׂדִּ֗ים אַחֲרֵי֙ הַמֶּ֔לֶךְ וַיַּשִּׂ֖יגוּ אֶת־ צִדְקִיָּ֣הוּ
そして-追った 軍勢の カルデアの の-後を 王の そして-追いついた (目的格) ツィデキヤに
H7291 H2428 H3778 H0310 H4428 H5381 H0853 H6667

וְכָל־ חֵיל֖וֹ נָפְצ֣וּ מֵעָלָ֑יו וַיִּרְח֣וּ בְעַרְבַ֔ת יְרֵח֖וֹ
そして-すべての その-軍勢は 散った 彼から エリコの の-平原で
H3605 H2428 H5310 H5921 H3405 H6160

しかしカルデヤびとの軍勢は王を追って行って、エリコの平地でゼデキヤに追いついたが、彼の軍勢がみな散って彼のそばを離れたので、

9 וַיִּתְפְּשׂ֣וּ אֶת־ הַמֶּ֗לֶךְ וַיַּעֲל֤וּ אֹתוֹ֙ אֶל־ מֶ֣לֶךְ בָּבֶ֔ל
そして-捕らえた (目的格) 王を そして-連れ-上った 彼を もとへ- 王の バビロンの
H8610 H0853 H4428 H5927 H0853 H0413 H4428 H0894

וַיְדַבֵּ֥ר אִתּ֖וֹ מִשְׁפָּטִֽים׃ בְּאֶ֣רֶץ חֲמָ֑ת בְּרִבְלָ֖תָה
そして-語った 彼に 裁きを の-地に ハマトの リブラへ
H1696 H0854 H4941 H0776 H2574 H7247

カルデヤびとは王を捕え、ハマテの地のリブラにいるバビロンの王のもとに引いていったので、王は彼の罪を定めた。

10 וַיִּשְׁחַ֣ט מֶֽלֶךְ־ בָּבֶ֡ל אֶת־ בְּנֵ֣י צִדְקִיָּ֣הוּ לְעֵינָ֣יו וְגַם֩
そして-屠った 王の バビロンの (目的格) 息子たちを ツィデキヤの その-目の-前で そして-また
H7819 H4428 H0894 H0853 H1121 H6667 H5869 H1571

בְּרִבְלָ֖תָה שָׁחַ֣ט יְהוּדָ֑ה שָׂרֵ֥י כָל־ אֶת־
リブラで 屠った ユダの 大臣たちを すべての (目的格)
H7247 H7819 H3063 H8269 H3605 H0853

すなわちバビロンの王はゼデキヤの子たちをその目の前で殺させ、ユダのつかさたちをことごとくリブラで殺させ、

11 וְאֶת־ עֵינֵ֣י צִדְקִיָּ֣הוּ עִוֵּ֔ר וַיַּאַסְרֵ֥הוּ בַנְחֻשְׁתַּ֖יִם וַיְבִאֵ֣הוּ
そして そして-目を ツィデキヤの くらました そして-縛った 青銅の-足かせで そして-連れて-行った
H0853 H5869 H6667 H5786 H0631 H5178 H0935

בֵּ֣ית־)בֵּ֔ית([בבית־] וַיִּתְּנֵ֥הוּ בָבֶ֖לָה בָּבֶ֑ל מֶ֣לֶךְ־
家に (ケティブ) そして-入れた バビロンへ バビロンの 王の
H1004 H5414 H0894 H0894 H4428

עַד־ הַפְּקֻדֹ֖ת יֽוֹם מוֹתֽוֹ׃
まで 監禁の 日の その-死の
H5704 H6486 H3117 H4194

またゼデキヤの目をつぶさせた。そしてバビロンの王は彼を鎖につないでバビロンへ連れて行き、その死ぬ日まで獄屋に入れて置いた。

12 וּבַחֹדֶשׁ הַחֲמִישִׁי בֶּעָשׂוֹר לַחֹדֶשׁ הִיא שְׁנַת־תְּשַׁע־עֶשְׂרֵה שָׁנָה
そして-その-月に 第五の 第十-日に その-月の それは 年の 第十九の 年
H2320 H2549 H6218 H2320 H1931 H8141 H8672 H6240 H8141

לַמֶּלֶךְ נְבוּכַדְרֶאצַּר מֶלֶךְ־בָּבֶל בָּא נְבוּזַרְאֲדָן רַב־טַבָּחִים
その-王の ネブカドレツァルの 王の バビロンの 来た ネブザルアダンが 親衛隊の-長の 料理人の
H4428 H5019 H4428 H0894 H0935 H5018 H2876

עָמַד לִפְנֵי מֶלֶךְ־בָּבֶל בִּירוּשָׁלִָם׃
立った の-前に 王の バビロンの エルサレムで
H5975 H6440 H4428 H0894 H3389

五月十日に、――それはバビロンの王ネブカデレザルの世の十九年であった――バビロンの王に仕える侍衛の長ネブザラダンはエルサレムに、はいって、

13 וַיִּשְׂרֹף אֶת־בֵּית יְהוָה וְאֶת־בֵּית הַמֶּלֶךְ וְאֵת כָּל־בָּתֵּי
家々を すべての そして 王の 家を そして 主の 家を (目的格) そして-焚いた
H1004 H3605 H0853 H4428 H1004 H0853 H3068 H1004 H0853 H8313

יְרוּשָׁלִַם וְאֵת כָּל־בֵּית הַגָּדוֹל שָׂרַף בָּאֵשׁ׃
エルサレムの そして すべての 家を 大きな 焚いた 火で
H3389 H0853 H3605 H1004 H1419 H8313 H0784

主の宮と王の宮殿を焼き、エルサレムのすべての家を焼いた。彼は大きな家をみな焼きはらった。

14 וְאֵת כָּל־חוֹמַת יְרוּשָׁלִַם סָבִיב נָתְצוּ כָּל־חֵיל כַּשְׂדִּים אֲשֶׁר
それは カルデアの 軍勢が すべての 壊した 周囲の エルサレムの 城壁を すべての そして
H0834 H3778 H2428 H3605 H5422 H5439 H3389 H2346 H3605 H0853

אֶת־רַב טַבָּחִים׃
と共にいた 親衛隊の-長の 料理人の
H0854 H2876

また侍衛の長と共にいたカルデヤびとの軍勢は、エルサレムの周囲の城壁をみな取りこわした。

15 וּמִדַּלּוֹת וְאֶת־יֶתֶר הָעָם הַנִּשְׁאָרִים בָּעִיר וְאֶת־הַנֹּפְלִים אֲשֶׁר
そして-貧しい-者たちの その-民の 残りの そして その-町に 残っていた その-民の
H0853 H7604 H5307 H0834 H3499 H5971 H0853 H5971 H3605

נָפְלוּ אֶל־מֶלֶךְ בָּבֶל וְאֶת־יֶתֶר הָאָמוֹן הֶגְלָה נְבוּזַרְאֲדָן רַב־טַבָּחִים׃
投降した の-もとへ 王の バビロンの そして 残りの 職人たちを 捕囚に-した ネブザルアダンは 親衛隊の-長の 料理人の
H5307 H0413 H4428 H0894 H0853 H3499 H0527 H1540 H5018 H2876

そして侍衛の長ネブザラダンは民のうちの最も貧しい者若干、そのほか町のうちに残った者、およびバビロンの王にくだった人、その他工匠たちを捕え移した。

16 וּמִדַּלּוֹת הָאָרֶץ הִשְׁאִיר נְבוּזַרְאֲדָן רַב־טַבָּחִים לְכֹרְמִים וְלִיוֹגְבִים׃
そして-貧しい-者たちの その-地の 残した ネブザルアダンは 親衛隊の-長の 料理人の ぶどう-耕作人として そして-農夫として
H3605 H0776 H7604 H5018 H2876 H3755 H3009

しかし侍衛の長ネブザラダンはその地の最も貧しい者若干を残して、ぶどうを作る者とし、農夫とした。

17 וְאֶת־ עַמּוּדֵי הַנְּחֹשֶׁת אֲשֶׁר לְבֵית־ יְהוָה וְאֶת־ הַמְכֹנוֹת וְאֶת־ יָם הַנְּחֹשֶׁת
そして 柱を 青銅の それは の–家の 主の そして 台座を そして 海を 青銅の
H0853 H5982 H0853 H3068 H0853 H4350 H0853 H3220

אֲשֶׁר בְּבֵית־ יְהוָה שִׁבְּרוּ כַשְׂדִּים וַיִּשְׂאוּ אֶת־ כָּל־ נְחֹשְׁתָם
それは の–家にある 主の 砕いた カルデア人は そして–運んた (目的格) すべての その–青銅を
H0834 H3068 H7665 H3778 H5375 H0853 H3605

בָּבֶלָה׃
バビロンへ
H0894

カルデヤびとはまた主の宮の青銅の柱と、洗盤の台と、青銅の海を砕いて、その青銅をことごとくバビロンへ運び、

18 וְאֶת־ הַכַּפּוֹת וְאֶת־ הַמִּזְרָקֹת וְאֶת־ הַמְזַמְּרוֹת וְאֶת־ הַיְּעִים וְאֶת־ הַסִּרוֹת וְאֶת־
杯を そして 鉢を そして 芯切り–はさみを そして シャベルを そして 鍋を そして
H3709 H0853 H4219 H0853 H4212 H0853 H3257 H0853 H5518 H0853

כָּל־ כְּלֵי הַנְּחֹשֶׁת אֲשֶׁר יְשָׁרְתוּ בָהֶם לָקָחוּ׃
すべての 器を 青銅の それは 仕えていた それらで 取った
H3605 H3627 H2876 H8334 H3947

また、つぼと、十能と、心切りばさみと、鉢と、香を盛る皿および宮の勤めに用いる青銅の器をことごとく取って行った。

19 וְאֶת־ הַסִּפִּים וְאֶת־ הַמַּחְתּוֹת וְאֶת־ הַמִּזְרָקוֹת וְאֶת־ הַסִּירוֹת וְאֶת־ הַמְנוֹרוֹת וְאֶת־
そして 敷居を そして 火皿を そして 鉢を そして 鍋を そして 燭台を そして
H0853 H5592 H0853 H4289 H0853 H4219 H0853 H5518 H0853 H4501 H0853

הַכַּפּוֹת וְאֶת־ הַמְנַקִּיּוֹת וְאֶת־ אֲשֶׁר זָהָב זָהָב וַאֲשֶׁר־ כֶּסֶף כֶּסֶף לָקַח
杯を そして 杯を それは 金の 金の そして–それは 銀の 銀の 取った
H3709 H0853 H4518 H0834 H2091 H2091 H3605 H3701 H3701 H3947

רַב־ טַבָּחִים׃
親衛隊の–長が 料理人の
H2876

また彼らは小鉢と、心取り皿と、鉢と、つぼと、燭台と、香を盛る皿と、灌祭の鉢を取った。金で作った物は金として、銀で作った物は銀として、侍衛の長は運び去った。

20 וְהָעַמּוּדִים שְׁנֵים הַיָּם אֶחָד וְהַבָּקָר שְׁנֵים עָשָׂר נְחֹשֶׁת אֲשֶׁר־ תָּחַת
柱を 二本の 海を 一つの そして–雄牛を 十二の 青銅の それは の–下の
H5982 H8147 H3220 H0259 H1241 H6240 H8147 H0259 H8478

הַמְכֹנוֹת אֲשֶׁר עָשָׂה הַמֶּלֶךְ שְׁלֹמֹה לְבֵית יְהוָה לֹא־ הָיָה מִשְׁקָל
台座の それは 作った 王の ソロモンが の–家の–ために 主の なかった なかった 重さは
H4350 H0834 H6213 H4428 H8010 H1004 H3068 H3808 H1961 H4948

לְנְחֹשֶׁת כָּל־ הַכֵּלִים הָאֵלֶּה׃
その–青銅の すべての これらの–器の これらの
H0428 H3627 H3605

ソロモン王が主の宮に造った二本の柱と、一つの海と、海の下の十二の青銅の牛と、台など、このすべての物の青銅の重さは量ることもできなかった。

21 וְהָעַמּוּדִים שְׁמֹנֶה עֶשְׂרֵה אַמָּה׀ קומה (קוֹמַת) הָעַמֻּד הָאֶחָד וְחוּט שְׁתֵּים־
そして-柱は 十八の 十八の アンマの (ケティブ) 高さの 柱の 一本の そして-紐が 十二の
H5982 H8083 H6240 H0520 H6967 H5982 H0259 H2339 H8147

עֶשְׂרֵה אַמָּה עֵסֶב אֹתָם וְעָבְיוֹ אַרְבַּע אֶצְבָּעוֹת נָבוּב׃
十二の アンマの 囲んだ そして-その-厚みは 四の 指幅の 中空であった
H6240 H0520 H5437 H5672 H0702 H0676 H5014

この一本の柱の高さは十八キュビト、周囲は十二キュビトで、指四本の厚さがあり、中は、うつろであった。

22 וְכֹתֶרֶת עָלָיו נְחֹשֶׁת וְקוֹמַת הַכֹּתֶרֶת הָאַחַת חֲמֵשׁ אַמּוֹת
そして-柱頭が その-上に 青銅の そして-高さの 柱頭の 一つの 五の アンマの
H3805 H5921 H5178 H6967 H3805 H0259 H2568 H0520

וְשָׂבָךְ וְרִמֹּנִים עַל־הַכֹּתֶרֶת סָבִיב הַכֹּל נְחֹשֶׁת וְכָאֵלֶּה
そして-網細工と そして-柘榴が の-上に 柱頭の 周囲に すべて 青銅の 同様に
H7639 H7416 H5921 H3805 H5439 H3605 H5178 H0428

לָעַמּוּד הַשֵּׁנִי וְרִמֹּנִים׃
その-柱に 第二の そして-柘榴が
H5982 H8145 H7416

その上に青銅の柱頭があり、柱頭の高さは五キュビト、柱頭の周囲は網細工と、ざくろとで飾り、これらもみな青銅であった。他の柱もそのざくろも、これと同じであった。

23 וַיִּהְיוּ הָרִמֹּנִים תִּשְׁעִים וְשִׁשָּׁה רוּחָה כָּל־מֵאָה עַל־
そして-あった 九十の 柘榴は そして-六の 風の-方向に すべての 百の の-上に
H1961 H8673 H7416 H8337 H7307 H3605 H3967 H5921

הַשְּׂבָכָה סָבִיב׃
網細工の 周囲に
H7639 H5439

その四方に九十六個のざくろがあり、周囲の網細工の上にあるざくろの数は百個であった。

24 וַיִּקַּח רַב־טַבָּחִים אֶת־שְׂרָיָהוּ כֹּהֵן הָרֹאשׁ וְאֶת־
そして-取った 親衛隊の-長は 料理人の (目的格) セラヤを 祈司の 第一の そして
H3947 H7227 H2876 H0853 H8304 H3548 H7218 H0853

צְפַנְיָה כֹּהֵן הַמִּשְׁנֶה וְאֶת־שְׁלֹשֶׁת שֹׁמְרֵי הַסָּף׃
ツェファニヤを 祈司の 第二の そして 三人の 門の-番人を 敷居の
H6846 H3548 H4932 H0853 H7969 H8104 H5592

侍衛の長は祭司長セラヤと次席の祭司ゼパニヤと三人の門を守る者を捕え、

25 וּמִן־הָעִיר לָקַח סָרִיס אֶחָד אֲשֶׁר־הָיָה פְקִיד עַל־אַנְשֵׁי
そして-から その-町から 取った 宮官を 一人の それは いた 官吏の の-上に 人々の
H4480 H5892 H3947 H5631 H0259 H0834 H1961 H6496 H5921 H0376

הַמִּלְחָמָה וְשִׁבְעָה אַנְשִׁים רֹאֵי פְנֵי־הַמֶּלֶךְ אֲשֶׁר נִמְצְאוּ בָּעִיר
戦いの そして-七人の 人々を 見る-者たちの 顔を 王の それは 見つけられた その-町に
H4421 H7651 H0376 H7200 H6440 H4428 H0834 H4672 H5892

וְאֶת־סֹפֵר שַׂר הַצָּבָא הַמַּצְבֵּא אֶת־עַם הָאָרֶץ וְשִׁשִּׁים אִישׁ
そして 書記を 将軍の 軍隊の 徴兵していた (目的格) 民を その-地の そして-六十人の 人を
H0853 H5608 H8269 H6635 H6633 H0853 H5971 H0776 H8346 H0376

הַנִּמְצָאִים בְּתוֹךְ הָעִיר׃
その-町の の-中に 見つけられた
H5892 H8432 H4672

その-地の その-民の-中から
H0776 H5971

また兵士をつかさどるひとりの役人と、町にいた王の側近の者七人と、その地の民を募る軍勢の長の書記官と、町の中にいた六十人の者を町から捕え去った。

26 וַיִּקַּח נְבוּזַרְאֲדָן רַב־ טַבָּחִים וַיֹּלֶךְ אוֹתָם
そして-取った ネブザルアダンは 親衛隊の-長の 料理人の そして-連れて-行った 彼らを
H3947 H5018 H7227 H2876 H3212 H0853

אֶל־ מֶלֶךְ בָּבֶל רִבְלָתָה׃
の-もとへ 王の バビロンの リブラへ
H0413 H4428 H0894 H7247

侍衛の長ネブザラダンは、これらの人を捕えて、リブラにいるバビロンの王のもとに連れて行った。

27 וַיַּכֵּם וַיְמִתֵם מֶלֶךְ בָּבֶל בְּרִבְלָה בְּאֶרֶץ חֲמָת
そして-打ち そして-殺した 王の バビロンの リブラで の-地に ハマトの
H5221 H4191 H4428 H0894 H7247 H0776 H2574

וַיִּגֶל יְהוּדָה מֵעַל אַדְמָתוֹ׃
そして-捕囚に-した ユダを から その-地の
H1540 H3063 H4480 H0127

ハマテの地のリブラで彼らを撃ち殺した。こうして、ユダは自分の地から捕え移された。

28 זֶה הָעָם אֲשֶׁר הֶגְלָה נְבוּכַדְרֶאצַּר בִּשְׁנַת־ שֶׁבַע יְהוּדִים שְׁלֹשֶׁת
これが 民である それは 捕囚に-した ネブカドレツァルが その-年に 第七の ユダ人を 三千の
H2088 H5971 H0834 H1540 H5019 H8141 H7651 H3064 H7969

וְעֶשְׂרִים וְשֹׁלֹשָׁה׃
そして-二十の そして-三の
H6242 H7969

ネブカデレザルが捕え移した民の数は次のとおりである。第七年にはユダヤ人三千二十三人。

29 בִּשְׁנַת שְׁמוֹנֶה עֶשְׂרֵה לִנְבוּכַדְרֶאצַּר מִירוּשָׁלַם נֶפֶשׁ שְׁמֹנֶה מֵאוֹת שְׁלֹשִׁים
その-年に 第十八の ネブカドレツァルの エルサレムから 魂を 八百の 三十の
H8141 H8083 H5019 H3389 H5315 H8083 H3967 H7970

וּשְׁנָיִם׃
そして-二の
H8147

またネブカデレザルはその第十八年にエルサレムから八百三十二人を捕え移した。

30 בִּשְׁנַת שָׁלֹשׁ וְעֶשְׂרִים לִנְבוּכַדְרֶאצַּר הֶגְלָה נְבוּזַרְאֲדָן
その-年に 第二十三の そして-二十三の ネブカドレツァルの 捕囚に-した ネブザルアダンが
H8141 H7969 H6242 H5019 H1540 H5018

רַב־ טַבָּחִים יְהוּדִים נֶפֶשׁ שֶׁבַע מֵאוֹת שִׁבְעִים אַרְבָּעִים וַחֲמִשָּׁה כָּל־ נֶפֶשׁ
親衛隊の-長の 料理人の ユダ人を 魂を 七百の 七百の 七十の 四十の そして-五の すべての 魂は
H7227 H2876 H3064 H5315 H7651 H3967 H7657 H0705 H2568 H3605 H5315

אַרְבַּעַת אֲלָפִים שֵׁשׁ וְשֵׁשׁ מֵאוֹת׃ פ
四千の 四千の そして-六百の 六百の (段落記号)
H0702 H0505 H8337 H3967

ネブカデレザルの二十三年に侍衛の長ネブザラダンは、ユダヤ人七百四十五人を捕え移した。この総数は四千六百人であった。

31 וַיְהִי֩ בִשְׁלֹשִׁ֨ים וָשֶׁ֜בַע שָׁנָ֗ה לְגָלוּת֙ יְהוֹיָכִ֣ין מֶֽלֶךְ־יְהוּדָ֔ה בִּשְׁנֵ֥ים עָשָׂ֖ר חֹ֑דֶשׁ בְּעֶשְׂרִ֥ים וַחֲמִשָּׁ֛ה לַחֹ֥דֶשׁ נָשָׂ֖א מְרֹדַךְ־בִּלְאֲדָ֣ן מֶֽלֶךְ־בָּבֶ֑ל עָשָׂ֣ר חֹ֔דֶשׁ בְּעֶשְׂרִ֥ים וַחֲמִשָּׁ֛ה לַחֹ֥דֶשׁ וַיֹּצֵ֨א יְהוֹיָכִ֜ין מֶֽלֶךְ־יְהוּדָ֗ה מִבֵּ֥ית הַכְּלוֹא׃ (הַכְּלוֹא׃) [הכליא] (הַכְּלִיא׃)

31 そして-あった 第三十七の 月の 第十二の
H1961 H7970 H2320 H6240

そして-持ち-上げた エヴィル・メロダクが 王の
H5375 H0192 H4428

その-月の そして-五の 第二十五-日に
H2320 H2568 H6242

そして-出した ユダの 王の ヨホヤキンの 頭を (目的格) その-治世の その-年に バビロンの
H3318 H3063 H4428 H3078 H7218 H0853 H4438 H8141 H0894

彼を から 牢の-家の (ケティブ)
H0853 H3628 H3628

ユダの王エホヤキンが捕え移されて後三十七年の十二月二十五日に、バビロンの王エビルメロダクはその即位の年に、ユダの王エホヤキンを獄屋から出し、そのこうべを挙げさせ、

32 וַיְדַבֵּ֣ר אִתּ֗וֹ וַיִּתֵּ֤ן אֶת־כִּסְאוֹ֙ מִמַּ֣עַל לְכִסֵּ֔א הַמְּלָכִ֖ים אֲשֶׁ֣ר אִתּ֑וֹ בְּבָבֶֽל׃ [מלכים] (הַמְּלָכִים)

32 そして-語った 彼に 良き-ことを (目的格) そして-置いた その-王座を の-上に の-王座の
H1696 H0854 H2896 H0853 H5414 H3678 H4605 H3678

それは 彼と共にいた バビロンで 王たちの (ケティブ)
H0834 H0854 H0894 H4428 H4428

親切に彼を慰め、その位を、バビロンで共にいる王たちの位よりも高くした。

33 וְשִׁנָּ֣ה אֶת־בִּגְדֵ֔י וְאָכַ֥ל לֶ֙חֶם֙ לְפָנָ֔יו תָּמִ֖יד כָּל־יְמֵ֥י חַיָּֽיו׃

33 そして-変えた (目的格) 衣を その-牢の そして-食べた パンを その-前で 常に すべての
H8138 H0853 H0899 H3608 H0398 H3899 H6440 H8548 H3605

日々の その-生涯の
H3117

こうしてエホヤキンは獄屋の服を脱いだ。そして生きている間は毎日王の食卓で食事し、

34 וַאֲרֻחָתוֹ֙ אֲרֻחַ֣ת תָּמִ֔יד נִתְּנָה־לּ֥וֹ מֵאֵ֖ת מֶֽלֶךְ־בָּבֶ֑ל דְּבַר־י֣וֹם בְּיוֹמ֔וֹ עַד־י֥וֹם מוֹתֹ֖ו כָּל־יְמֵ֥י חַיָּֽיו׃

34 そして-その-食料は 食料の 常に 与えられた 彼に から 王の バビロンの 日ごとの-分を
H0737 H0737 H8548 H5414 H0854 H0854 H4428 H0894 H1697

日の その-日に まで その-死の すべての 日々の その-生涯の
H3117 H3117 H5704 H4194 H3605 H3117

彼の給与としては、その死ぬ日まで一生の間、たえず日々の必要にしたがって、バビロンの王から給与を賜わった。

Lamentations

Chapter 1

רַבָּתִי	כְּאַלְמָנָה	הָיְתָה	עָם	רַבָּתִי	הָעִיר	בָּדָד	יָשְׁבָה	וְאֵיכָה	1
大いなる–者	やもめ–の–ように	なった	民–に	満ちて–いた	都–は	独り–で	座って–いる	ああ	
	H0490	H1961				H0910	H3427		

ס	לָמַס׃	הָיְתָה	בַּמְּדִינוֹת	שָׂרָתִי	בַגּוֹיִם	
[区切り]	貢ぎ物–を–納める–者–に	なった	地方々–の–中–で	女王–であった	諸国民–の–中–で	
	H4522	H1961	H4082	H8282		

ああ、むかしは、民の満ちみちていたこの都、国々の民のうちで大いなる者であったこの町、今は寂しいさまで座し、やもめのようになった。もろもろの町のうちで女王であった者、今は奴隷となった。

מְנַחֵם	לָהּ	אֵין־	לְחֶיָהּ	עַל	וְדִמְעָתָהּ	בַּלַּיְלָה	תִּבְכֶּה	בָכוֹ	2
慰める–者–が	彼女–に	いない	彼女の–頬–の	～の–上–に	そして–涙–が	夜–に	泣く	激しく	
H5162		H0369	H3895		H1832	H3915	H1058	H1058	

הָיוּ	בָּהּ	בָּגְדוּ	רֵעֶיהָ	כָּל־	אֹהֲבֶיהָ	מִכָּל־	
なった	彼女–に	裏切った	彼女の–友たち–は	すべて–の	彼女の–愛する–者たち–の	すべて–の–中に	
H1961		H0898	H7453	H3605	H0157	H3605	

ס	לְאֹיְבִים׃	לָהּ	
[区切り]	敵–に	彼女–に–とって	
	H0341		

これは夜もすがらいたく泣き悲しみ、そのほおには涙が流れている。そのすべての愛する者のうちには、これを慰める者はひとりもなく、そのすべての友はこれにそむいて、その敵となった。

יָשְׁבָה	הָיא	עֳנִי	וּמֵרֹב	עֲבֹדָה	גָּלְתָה	יְהוּדָה	מֵעֳנִי	3
住んで–いる	彼女–は	労役–から	そして–多く–の	苦しみ–から	捕囚–に–なった	ユダ–は	苦しみ–から	
H3427	H1931	H5656	H7230	H6040	H1540	H3063	H6040	

הִשִּׂיגוּהָ	רֹדְפֶיהָ	כָּל־	מָנוֹחַ	מָצְאָה	לֹא	בַגּוֹיִם	
追い–ついた	彼女を–追う–者たち–は	すべて–の	安息–を	見つけられなかった	ない	諸国民–の–中–に	
H5381	H7291	H3605	H4494	H4672	H3808		

ס	הַמְצָרִים׃	בֵּין	
[区切り]	狭い–所–の	～の–間–で	
	H4712	H0996	

ユダは悩みのゆえに、また激しい苦役のゆえに、のがれて行って、もろもろの国民のうちに住んでいるが、安息を得ず、これを追う者がみな追いついてみると、悩みのうちにあった。

4 דַּרְכֵי צִיּוֹן אֲבֵלוֹת מִבְלִי בָאֵי מוֹעֵד כָּל־ שְׁעָרֶיהָ
道–は シオン–の 嘆いて–いる なぜなら–ない 来る–者–が 祈り–に すべて–の 彼女の–門–は
H1870 H6726 H0057 H1097 H0935 H4150 H3605 H8179

כֹּהֲנֶיהָ נֶאֱנָחִים בְּתוּלֹתֶיהָ נוּגוֹת וְהִיא
彼女の–祈司たち–は うめいて–いる 彼女の–おとめたち–は 悲しみ そして–彼女–は
H3548 H0584 H1330 H3013 H1931

שָׁמֵמִין
荒れ果て–いる
H8074

מַר־ לָהּ׃ ס
苦い 彼女–に–とって [区切り]
H4751

シオンの道は祭に上ってくる者のないために悲しみ、その門はことごとく荒れ、その祭司たちは嘆き、そのおとめたちは引かれて行き、シオンはみずからいたく苦しむ。

5 הָיוּ לְרֹאשׁ צָרֶיהָ אֹיְבֶיהָ שָׁלוּ כִּי־ יְהוָה הוֹגָהּ
なった 頭–に 彼女の–敵たち–が 彼女の–敵たち–は 栄えた なぜなら 主–が 悲しませた
H1961 H7218 H6887 H0341 H7951 H3588 H3068 H3013

עַל רֹב־ פִּשְׁעֶיהָ עוֹלָלֶיהָ הָלְכוּ שְׁבִי לִפְנֵי־ צָר׃
～の–ゆえに 多く–の 彼女の–背き–の 彼女の–幼子たち–は 行った 捕囚–として ～の–前–に 敵–の
H5921 H7230 H6588 H5768 H1980 H7628 H6440 H6862

ס
[区切り]

そのあだはかしらとなり、その敵は栄えている。そのとがが多いので、主がこれを悩まされたからである。その幼な子たちは捕われて、あだの前に行った。

6 וַיֵּצֵא מִן־ [בַּת־ צִיּוֹן (מִבַּת־ הָדָרָהּ הָיוּ
そして–去った [～から] [娘～から] (娘–から) シオン–の すべて–の 彼女の–輝き–が なった
H3318 H4480 H1323 H6726 H3588 H1926 H1961

כְּאַיָּלִים לֹא־ מָצְאוּ מִרְעֶה וַיֵּלְכוּ בְלֹא־
鹿–の–ように ない 見つけられなかった 牧草–を そして–行った ない–まま
H0354 H3808 H4672 H4829 H3212 H1097

שָׂרֶיהָ לִפְנֵי רוֹדֵף׃ כֹּחַ ס
彼女の–君主たち–は ～の–前–を 追う–者–の 力–が [区切り]
H8269 H6440 H7291 H3581

シオンの娘の栄華はことごとく彼女を離れ去り、その君たちは牧草を得ない、しかのようになり、自分を追う者の前に力なく逃げ去った。

7 זָכְרָה יְרוּשָׁלַם יְמֵי עָנְיָהּ וּמְרוּדֶיהָ כָּל־
思い–出した エルサレム–は 日々–を 彼女の–苦しみ–の そして–彼女の–放浪–の すべて–の
H2142 H3389 H3117 H6040 H4788 H3605

מַחֲמַדֶּיהָ אֲשֶׁר הָיוּ מִימֵי קֶדֶם בִּנְפֹּל עַמָּהּ בְּיַד־ צָר
彼女の–宝物–を それ–が あった 日々–から 昔–の 倒れた–時 彼女の–民–が 手–に 敵–の
H4262 H0834 H1961 H3117 H6924 H5307 H5971 H3027 H6862

וְאֵין עוֹזֵר לָהּ רָאוּהָ צָרִים שָׂחֲקוּ עַל מִשְׁבַּתָּהּ׃
そして–いない 助ける–者–が 彼女–に 見た 敵たち–が 嘲笑った ～の–こと–を 彼女の–滅び–の
H0369 H5826 H0 H7200 H6887 H7832 H5921 H4868

ס
[区切り]

エルサレムはその悩みと苦しみの日に、昔から持っていたもろもろの宝を思い出す。その民があだの手に陥り、だれもこれを助ける者のない時、あだはこれを見て、その滅びをあざ笑った。

כָּל־	הָיְתָה	לְנִידָה	כֵּן	עַל־	יְרוּשָׁלִַם	חָטְאָה	חֵטְא	8
すべて–の	なった	汚れた–もの–に	ゆえに	それ–の	エルサレム–は	犯した	罪–を	
H3605	H1961	H5206			H3389	H2398	H2399	

נְאָנְחָה	הִיא	גַּם־	עֶרְוָתָהּ	רָאוּ	כִּי־	הִזִּילוּהָ	מְכַבְּדֶיהָ
うめいて	彼女–自身–も	また	彼女の–裸–を	見た	なぜなら	見くびった	彼女を–尊んだ–者たち–は
H0584	H1931	H1571	H6172	H7200		H2107	H3513

ס	אָחוֹר׃	וַתָּשָׁב
[区切り]	後ろ–へ	そして–退いた
	H0268	H7725

エルサレムは、はなはだしく罪を犯したので、汚れたものとなった。これを尊んだ者も皆その裸を見たので、これを卑しめる。これもまたみずから嘆き、顔をそむける。

וַתֵּרֶד	אַחֲרִיתָהּ	זָכְרָה	לֹא	בְּשׁוּלֶיהָ	טֻמְאָתָהּ			9
そして–下った	彼女の–終わり–を	思い–出さなかった	ない	彼女の–裾–に	彼女の–汚れ–は			
H3381	H0319	H2142	H3808	H7757	H2932			

כִּי	עָנְיִי	אֶת־	יְהוָה	רְאֵה	לָהּ	מְנַחֵם	אֵין	פְּלָאִים
なぜなら	私の–苦しみ–を	(を)	主–よ	見て–ください	彼女–に	慰める–者–が	いない	驚くほど–に
	H6040	H0853	H3068	H7200		H5162	H0369	H6382

ס	אוֹיֵב׃	הִגְדִּיל
[区切り]	敵–が	大きく–なった
	H0341	H1431

その汚れはその衣のすそにあり、これはその終りを思わなかった。それゆえ、これは驚くばかりに落ちぶれ、これを慰める者はひとりもない。「主よ、わが悩みを顧みてください、敵は勝ち誇っていますから」。

גּוֹיִם	רָאֲתָה	כִּי־	מַחֲמַדֶּיהָ	כָּל־	עַל	צָר	פָּרַשׂ	יָדוֹ	10
諸国民–が	見た	なぜなら	彼女の–宝物–の	すべて–の	～の–上–に	敵–が	広げた	彼の–手–を	
	H7200		H4261	H3605			H6566	H3027	

ס	לָךְ׃	בָּקָהָל	יָבֹאוּ	לֹא־	צִוִּיתָה	אֲשֶׁר	מִקְדָּשָׁהּ	בָּאוּ
[区切り]	あなた–の	会衆–に	入るな–と	ない	命じた	それ–を	彼女の–聖所–に	入った
		H6951	H0935	H3808	H6680		H4720	H0935

敵は手を伸べて、その財宝をことごとく奪った。あなたがさきに異邦人らはあなたの公会に、はいってはならないと命じられたのに、彼らがその聖所にはいるのをシオンは見た。

]מחמודיהם[	נָתְנוּ	לֶחֶם	מְבַקְשִׁים	נֶאֱנָחִים	עַמָּהּ	כָּל־		11
[宝物を]	与えた	パン–を	求めて–いる	うめいて–いる	彼女の–民–が	すべて–の		
H4262	H5414	H3899	H1245	H0584		H3605		

יְהוָה	רְאֵה	נַפֵּשׁ	לְהָשִׁיב	בְּאֹכֶל	)מַחֲמַדֵּיהֶם(
主–よ	見て–ください	命–を	回復する–ために	食べ物–の–ために	(彼らの–宝物–を)
H3068	H7200	H5315	H7725	H0400	H4261

ס	זוֹלָלָה׃	הָיִיתִי	כִּי	וְהַבִּיטָה
[区切り]	卓しい–者–に	なった	なぜなら	そして–見て–ください
		H1961		H5027

その民はみな嘆いて食物を求め、その命をささえるために、財宝を食物にかえた。「主よ、みそなわして、わたしの卑しめられるのを顧みてください」。

12

הַבִּיטוּ	דֶּרֶךְ	עֹבְרֵי	כָּל־	אֲלֵיכֶם׀	לֹוא	
見て–ください	道–の	通り–がかり–の–者たち–よ	すべて–の	あなたたち–に	ないのか	
H5027	H1870		H3605	H0413	H3808	

לִי	עוֹלַל	אֲשֶׁר	כְּמַכְאֹבִי	מַכְאוֹב׀	יֵשׁ	אִם־	וּרְאוּ
私–に	与えた	それ–を	私の–痛み–の–ような	痛み–が	あるか	あるか–どうか	そして–見なさい
			H4341	H4341	H3426		H7200

ס	אַפּוֹ׃	חֲרוֹן	בְּיוֹם	יְהוָה	הוֹגָה	אֲשֶׁר׀	
[区切り]	彼の–怒り–の	燃える–怒り–の	日–に	主–が	悲しませた	それ–を	
	H0639	H2740	H3117	H3068	H3013		

「すべて道行く人よ、あなたがたはなんとも思わないのか。主がその激しい怒りの日にわたしを悩まして、わたしにくだされた苦しみのような苦しみが、また世にあるだろうか、尋ねて見よ。

13

רֶשֶׁת	פָּרַשׂ	וַיִּרְדֵּנָהּ	בְּעַצְמֹתַי	אֵשׁ	שָׁלַח־	מִמָּרוֹם
網–を	広げた	そして–打ち–勝った	私の–骨–の–中–に	火–を	送った	高き–所–から
H7568	H6566		H6106	H0784	H7971	H4791

דָּוָה׃	הַיּוֹם	כָּל־	שֹׁמְמָה	נְתָנַנִי׀	אָחוֹר	הֱשִׁיבֵנִי	לְרַגְלָי׀
病んだ–者–に	日–を	すべて–の	荒れ果てた–者–に	置いた	後ろ–へ	戻した	私の–足–の–ために
H1739	H3117	H3605	H8076	H5414	H0268	H7725	H7272

ס
[区切り]

主は上から火を送り、それをわが骨にくだし、網を張ってわが足を捕え、わたしを引き返させ、ひねもす心わびしく、かつ病み衰えさせられた。

14

עַל־	עָלוּ	יִשְׁתָּרְגוּ	בְּיָדוֹ	פִּשְׁעַי	עֹל	נִשְׂקַד׀	
～の–上–に	上がった	絡み–合った	彼の–手–によって	私の–背き–の	軒–が	結び–つけられた	
	H5927	H8276	H3027	H6588	H5923	H8244	

קוּם׃	אוּכַל	לֹא־	בִּידֵי	אֲדֹנָי	נְתָנַנִי	כֹּחִי	הִכְשִׁיל	צַוָּארִי
起き上がれない	立てない	ない	手–の–中–に	主–は	渡した	私の–力–を	弱らせた	私の–首–の
	H3201	H3808	H3027	H0136	H5414		H3782	

ס
[区切り]

わたしのとがは、つかねられて、一つのくびきとせられ、主のみ手により固く締められて、わたしの首におかれ、わたしの力を衰えさせられた。主はわたしを、立ちむかい得ざる者の手に渡された。

15

מוֹעֵד	עָלַי	קָרָא	בְּקִרְבִּי	אֲדֹנָי׀	וּבְחוּרָי	כָּל־	סִלָּה	
集会–を	私–に–対して	呼び–集めた	私の–内–で	主–は	私の–勇士たち–を	すべて–の	投げ–捨てた	
H4150		H7121	H7130	H0136	H0047	H3605		

ס	יְהוּדָה׃	בַּת־	לְבְתוּלַת	אֲדֹנָי	דָּרַךְ	גַּת	בַּחוּרַי	לְשַׁבֵּר
[区切り]	ユダ–の	娘–の	娘–の–ために	主–は	踏んだ	酒ぶね–を	私の–若者たち–を	砕く–ために
	H3063	H1323	H1330	H0136	H1869	H1660	H0970	H7665

主はわたしのうちにあるすべての勇士を無視し、聖会を召集して、わたしを攻め、わが若き人々を打ち滅ぼされた。主は酒ぶねを踏むように、ユダの娘なるおとめを踏みつけられた。

16

כִּי־	מַ֔יִם	יָרְדָ֖ה	עֵינִ֑י	וְעֵינִ֣י	בוֹכִיָּ֔ה	אֲנִ֖י	וְאֵלֶּ֑ה	עַל־
なぜなら	水–が	流れる	私の–目–から	私の–目–から	泣いて–いる	私は	これら–の	～の–ゆえに
	H4325	H3381			H1058	H0589	H0428	

שׁוֹמֵ֥ם	בָּנַ֛י	הָיָ֥ו	נַפְשִׁ֖י	מֵשִׁ֣יב	מְנַחֵ֑ם	מִמֶּ֣נִּי	רָחַ֔ק
荒れ果てた–者–に	私の–子ら–は	なった	私の–魂–を	回復させる–者–が	慰める–者–が	私–から	遠い
H8074		H1961	H5315	H7725	H5162		H7368

	ס	אוֹיֵ֖ב׃	גָּבַ֥ר	כִּ֛י
	[区切り]	敵–が	打ち–勝った	なぜなら
		H0341	H1396	

このために、わたしは泣き悲しみ、わたしの目は涙であふれる。わたしを慰める者、わたしを勇気づける者がわたしから遠く離れたからである。わが子らは敵が勝ったために、わびしい者となった」。

17

לְיַעֲקֹ֔ב	יְהוָ֥ה	צִוָּ֖ה	לֹ֑ה	מְנַחֲמָ֣יו	אֵ֔ין	בְּיָדֶ֖יהָ	צִיּ֑וֹן	פָּרְשָׂ֣ה
ヤコブ–に–対して	主–は	命じた	彼女–に	慰める–者–が	いない	彼女の–手–を	シオン–は	広げた
H3290	H3068	H6680		H5162	H0369	H3027	H6726	H6566

	ס	בֵּינֵיהֶ֖ם׃	לְנִדָּ֑ה	יְרוּשָׁלִַ֣ם	הָיְתָ֔ה	צָרֶ֖יו	סְבִיבָ֥יו
	[区切り]	彼らの–間–で	汚れた–もの–に	エルサレム–は	なった	彼の–敵–を	周り–に
		H0996	H5079	H3389	H1961		H5439

シオンは手を伸ばしても、これを慰める者はひとりもない。ヤコブについては、主は命じて、その周囲の者を、これがあだとせられた。エルサレムは彼らの中にあって、汚れた物のようになった。

18

[עמים]	כָּל־	נָ֣א	שִׁמְעוּ־	מָרִ֔יתִי	פִּ֖יהוּ	כִּ֣י	יְהוָ֑ה	הִוא֙	צַדִּ֔יק
[民よ]	すべて–の	どうか	聞いて–ください	背いた	彼の–口–に	なぜなら	主–は	彼–は	正しい
	H3605	H4994	H8085	H4784	H6310		H3068	H1931	H6662

(הָעַמִּ֖ים)	וּרְא֣וּ	מַכְאֹבִ֑י	בְּתוּלֹתַ֥י	וּבַחוּרַ֖י	הָלְכ֥וּ
(民–よ)	そして–見なさい	私の–痛み–を	私の–おとめたち–と	そして–私の–若者たち–は	行った
	H7200	H4341	H1330	H0970	H1980

	ס	בַּשֶּׁ֖בִי׃
	[区切り]	捕囚–に

「主は正しい、わたしは、み言葉にそむいた。すべての民よ、聞け、わが苦しみを顧みよ。わがおとめらも、わが若人らも捕われて行った。

19

וּזְקֵנַ֖י	כֹּהֲנַ֑י	רִמָּ֣וּנִי	הֵ֔מָּה	לַֽמְאַהֲבַ֖י	קָרָ֥אתִי
そして–私の–長老たち–は	私の–祢司たち–と	欺いた	彼ら–は	私の–愛する–者たち–に	呼んだ
H2205	H3548		H1992	H0157	H7121

אֶת־	וְיָשִׁ֖יבוּ	לָ֑מוֹ	אֹ֣כֶל	בִּקְשׁ֥וּ	כִּי־	נָ֛וְעוּ	בָּעִ֖יר
(を)	そして–回復する–ために	彼らの–ために	食べ物–を	求めた	なぜなら	息絶えた	町–の–中–で
H0853	H7725			H1245		H1478	

	ס	נַפְשָֽׁם׃
	[区切り]	彼らの–命–を
		H5315

わたしはわが愛する者を呼んだが、彼らはわたしを欺いた。わが祭司および長老たちは、その命をささえようと、食物を求めている間に、町のうちで息絶えた。

20 רְאֵ֤ה יְהוָה֙ כִּֽי־צַ֣ר לִ֔י מֵעַ֖י חֳמַרְמָ֑רוּ

見て-ください 主-よ なぜなら 苦しい 私-に-とって 私の-内臓-は かき乱れて-いる
H7200 H3068 H4578

נֶהְפַּךְ֩ לִבִּ֨י בְקִרְבִּ֜י כִּֽי־מָר֣וֹ מָרִ֗יתִי מִח֤וּץ שִׁכְּלָה־חֶ֙רֶב֙ בַּבַּ֔יִת כְּמָ֖וֶת׃ ס

ひっくり-返った 私の-心-が 私の-内-で なぜなら 激しく 背いた 外-では 子を-失わせた 剣-が
H2015 H7130 H4784 H4784 H2351 H4784 H2719

[区切り] 死-の-よう 家の中-では
H4194

主よ、顧みてください、わたしは悩み、わがはらわたはわきかえり、わが心臓はわたしの内に転倒しています。わたしは、はなはだしくそむいたからです。外にはつるぎがあって、わが子を奪い、家の内には死のようなものがある。

21 שָׁמְע֣וּ כִּֽי־נֶאֱנָחָ֣ה אָנִ֔י אֵ֥ין לִ֖י מְנַחֵ֑ם כָּל־אֹיְבַ֙י֙ שָׁמְע֣וּ רָעָתִ֔י שָׂשׂ֖וּ כִּֽי־אַתָּ֣ה עָשִׂ֑יתָ הֵבֵ֤אתָ יוֹם־קָרָ֙אתָ֙ וְיִֽהְיוּ֙ כָּמ֔וֹנִי׃ ס

聞いて-ください うめいて-いる なぜなら 私-が いない 慰める-者-が 私の-災い-を 喜んだ なさった あなた-が なぜなら 聞いた 私の-敵たち-は
H8085 H0584 H3588 H0589 H0369 H5162 H7451 H8085 H6213 H0859 H3588 H8085 H0341

[区切り] 私-の-ように そして-なる-ように 呼び-出した 日-を もたらして-ください
H3644 H1961 H7121 H3117 H0935

わたしがどんなに嘆くかを聞いてください。わたしを慰める者はひとりもなく、敵はみなわたしの悩みを聞いて、あなたがこれをなされたのを喜んだ。あなたがさきに告げ知らせたその日をきたらせ、彼らをも、わたしのようにしてください。

22 תָּבֹ֤א כָל־רָעָתָם֙ לְפָנֶ֔יךָ וְעוֹלֵ֥ל לָהֶ֖ם כַּאֲשֶׁ֣ר עוֹלַ֑לְתָּ לִ֚י עַל־כָּל־פִּשְׁעָ֔י כִּֽי־רַבּ֥וֹת אַנְחֹתַ֖י וְלִבִּ֥י דַוָּ֑י׃ פ

来る-ように すべて-の 彼らの-悪-が あなたの-前-に そして-行いなさい その-ように
H0935 H3605 H7451 H6440 H6213 H3651

私-に 行った-ように ～の-ゆえに 私の-背き-の なぜなら 多い 私の-歎き-は
H3651 H6213 H5921 H6588 H3588 H7227 H0585

[段落] そして-私の-心-は 弱り-果てた
H1742

彼らの悪をことごとくあなたの前にあらわし、さきにわがもろもろのとがのために、わたしに行われたように、彼らにも行ってください。わが嘆きは多く、わが心は弱りはてているからです」。

Chapter 2

1 אֵיכָ֤ה ׀ יָעִ֣יב בְּאַפּ֗וֹ אֲדֹנָי֙ אֶת־בַּת־צִיּ֔וֹן הִשְׁלִ֥יךְ מִשָּׁמַ֖יִם אֶ֣רֶץ תִּפְאֶ֑רֶת זָכַ֣ר הֲדֹם־רַגְלָ֔יו בְּי֖וֹם אַפּֽוֹ׃ ס

ああ 雲-で-覆った 彼の-怒り-で 主-は (を) 娘-を シオン-の 投げ-落とした 天-から
H0349 H5743 H0639 H0136 H0853 H1323 H6726 H7993 H8064

地-へ 輝き-を 思い-出さなかった 足台-を 彼の-足-の 日-に
H0776 H8597 H2142 H1916 H7272 H3117

そして-ない イスラエル-の
H3808 H3478

[区切り] 彼の-怒り-の
H0639

ああ、主は怒りを起し、黒雲をもってシオンの娘をおおわれた。主はイスラエルの栄光を天から地に投げ落し、その怒りの日に、おのれの足台を心にとめられなかった。

2

בִּלַּע | אֲדֹנָי | לֹא | (וְלֹא) | חָמַל | אֵת | כָּל־ | נְאוֹת | יַעֲקֹב
飲み-込んだ | 主-は | [ない] | (そして-ない) | 惜しまなかった | (を) | すべて-の | 牧場-を | ヤコブ-の
H1104 | H0136 | H3808 | H3808 | H2550 | H0853 | H3605 | H4999 | H3290

הָרַס | בְּעֶבְרָתוֹ | מִבְצְרֵי | בַּת־ | יְהוּדָה | הִגִּיעַ | לָאָרֶץ | חִלֵּל | מַמְלָכָה
引き-倒した | 彼の-怒り-で | 要塞-を | 娘-の | ユダ-の | 打ち-倒した | 地-に | 汚した | 王国-を
H2040 | H5678 | H4013 | H1323 | H3063 | H5060 | H0776 | | H4467

וְשָׂרֶיהָ׃ | ס
そして-その-君主たち-を | [区切り]
H8269

主はヤコブのすべてのすまいを滅ぼして、あわれまず、その怒りによって、ユダの娘のとりでをこわし、これを地に倒して、その国とそのつかさたちをはずかしめられた。

3

גָּדַע | בָּחֳרִי | אַף | כָּל | קֶרֶן | יִשְׂרָאֵל | הֵשִׁיב | אָחוֹר
切り-落とした | 燃える-怒り-で | 怒り-の | すべて-の | 角-を | イスラエル-の | 引き-戻した | 後ろ-へ
H1438 | H2750 | H0639 | H3605 | H7161 | H3478 | H7725 | H0268

לֶהָבָה | כְּאֵשׁ | בְּיַעֲקֹב | וַיִּבְעַר | אוֹיֵב | מִפְּנֵי | יְמִינוֹ
炎-の | 火-の-ように | ヤコブ-の-中-で | そして-燃えた | 敵-の | ～の-前-から | 彼の-右-の-手-を
H3852 | H0784 | | | H0341 | H6440 | H3225

אָכְלָה | סָבִיב׃ | ס
食い-尽くす | 周り-を | [区切り]
H0398 | H5439

主は激しい怒りをもって、イスラエルのすべての力を断ち、敵の前で、おのれの右の手を引きもどし、周囲を焼きつくす燃える火のように、ヤコブを焼かれた。

4

דָּרַךְ | קַשְׁתּוֹ | כְּאוֹיֵב | נִצָּב | יְמִינוֹ | כְּצָר | וַיַּהַרֹג
張った | 彼の-弓-を | 敵-の-ように | 構えた | 彼の-右-の-手-を | 敵-の-ように | そして-殺した
H1869 | H7198 | H0341 | H5324 | H3225 | | H2026

כְּאֵשׁ | שָׁפַךְ | צִיּוֹן | בַּת־ | בְּאָהֳלֵי | עַיִן | מַחֲמַדֵּי־ | כֹל
火-の-ように | 注ぎ-出した | シオン-の | 娘-の | 天幕-の-中-に | 目-の | 慕わしい-もの-を | すべて-の
H0784 | H8210 | H6726 | H1323 | H0168 | | H4261 | H3605

חֲמָתוֹ׃ | ס
彼の-怒り-を | [区切り]
H2534

主は敵のように弓を張り、あだのように右の手を伸べて立ち、シオンの娘の天幕におるわれわれの目に誇る者を、ことごとく殺し、火のようにその怒りを注がれた。

5

הָיָה | אֲדֹנָי | כְּאוֹיֵב | בִּלַּע | יִשְׂרָאֵל | בִּלַּע | כָּל־ | אַרְמְנוֹתֶיהָ
なった | 主-は | 敵-の-ように | 飲み-込んだ | イスラエル-を | 飲み-込んだ | すべて-の | 彼女の-宮殿-を
H1961 | H0136 | H0341 | H1104 | H3478 | H1104 | H3605 | H0759

שִׁחֵת | מִבְצָרָיו | וַיֶּרֶב | בְּבַת־ | יְהוּדָה | תַּאֲנִיָּה | וַאֲנִיָּה׃ | ס
滅ぼした | 彼の-要塞-を | そして-増した | 娘-の-中-に | ユダ-の | 嘆き-と | そして-悲しみ-を | [区切り]
H7843 | H4013 | | H1323 | H3063 | H8386 | H0592 |

主は敵のようになって、イスラエルを滅ぼし、そのすべての宮殿を滅ぼし、そのとりでをこわし、ユダの娘の上に憂いと悲しみとを増し加えられた。

6

וַיַּחְמֹס	כְּגַן	שֻׂכֹּו	שִׁחֵת	מוֹעֲדֹו	שִׁכַּח	יְהוָה
そして–引き–倒した	園–の–ように	彼の–仮小屋–を	滅ぼした	彼の–集会の–場–を	忘れさせた	主–は
H2554	H1588	H7900	H7843	H4150	H7911	H3068

בְּצִיּוֹן	מוֹעֵד	וַיִּנְאַץ	וְשַׁבָּת	בְּזַעַם־	אַפּוֹ	מֶלֶךְ
シオン–で	祈り–と	そして–蔑んだ	そして–安息日–を	怒り–の–激しさ–で	彼の–怒り–の	王–を
H6726	H4150	H5006	H7676	H2195	H0639	H4428

וְכֹהֵן׃	ס	
そして–祢司–を	[区切り]	
H3548		

主は園の小屋のようにおのれの幕屋を倒し、その祭の場所をこわされた。主は祭と安息日とをシオンに忘れさせ、激しい怒りによって、王と祭司とを捨てられた。

7

חוֹמֹת	אוֹיֵב	בְּיַד־	הִסְגִּיר	מִקְדָּשׁוֹ	נִאֵר	מִזְבְּחוֹ	וַאדֹנָי	זָנַח
城壁–を	敵–の	手–に	引き–渡した	彼の–聖所–を	嫌った	彼の–祭壇–を	主–は	捨てた
H2346	H0341	H3027	H5462	H4720	H5010	H4196	H0136	

מוֹעֵד׃	כְּיוֹם	יְהוָה	בְּבֵית־	נָתְנוּ	קוֹל	אַרְמְנוֹתֶיהָ	ס
祈り–の	日–の–ように	主–の	家–の–中–で	上げた	声–を	彼女の–宮殿–の	[区切り]
H4150	H3117	H3068		H5414		H0759	

主はその祭壇を忌み、その聖所をきらって、もろもろの宮殿の石がきを敵の手に渡された。彼らは祭の日のように、主の宮で声をあげた。

8

לֹא־	קָו	נָטָה	צִיּוֹן	בַּת־	חוֹמַת	לְהַשְׁחִית	וַיהוָה	חָשַׁב
ない	測り–縄–を	張った	シオン–の	娘–の	城壁–を	滅ぼす–こと–を	主–は	計画した
H3808		H5186	H6726	H1323	H2346	H7843	H3068	H2803

יַחְדָּו	וְחוֹמָה	חֵל	וַיֶּאֱבָל־	מִבַּלְעֲדֵי	יָדוֹ	הֵשִׁיב	
共に	そして–城壁–を	堰–を	そして–嘆かせた	滅ぼす–こと–から	彼の–手–を	引き–戻さなかった	
	H2346	H2426	H0056	H1104	H3027	H7725	

אֻמְלָלוּ׃	ס	
衰えた	[区切り]	
H0535		

主はシオンの娘の城壁を破壊しようと思い定めて、なわを張り、打ちこわして、その手をひかず、城壁と石がきとを悲しませられた。これらは共に衰える。

9

מַלְכָּהּ	בְּרִיחֶיהָ	וְשִׁבַּר	אִבַּד	שְׁעָרֶיהָ	בָּאָרֶץ	טָבְעוּ	
彼女の–王–と	彼女の–かんぬき–を	そして–壊した	滅ぼした	彼女の–門–が	地–の–中–に	沈んだ	
H4428	H1280	H7665	H0006	H8179	H0776	H2883	

לֹא־	נְבִיאֶיהָ	גַּם־	תּוֹרָה	אֵין	בַּגּוֹיִם	וְשָׂרֶיהָ	
ない	彼女の–預言者たち–も	また	律法–が	ない	諸国民–の–中–に	そして–彼女の–君主たち–は	
H3808	H5030	H1571	H8451	H0369		H8269	

ס	מֵיְהוָה׃	חָזוֹן	מָצְאוּ	
[区切り]	主–から–の	幻–を	見いださなかった	
	H3068	H2377	H4672	

その門は地にうずもれ、主はその貫の木をこわし砕かれた。その王と君たちはもろもろの国民の中におり、もはや律法はなく、またその預言者は主から幻を得ない。

10 יֵשְׁבוּ לָאָרֶץ יִדְמוּ זִקְנֵי בַת־צִיּוֹן הֶעֱלוּ עָפָר עַל־
座って-いる 地-に 黙って-いる 長老たち-は 娘-の かぶせた 塵-を ～の-上-に
H3427 H0776 H2205 H6726 H1323 H5927 H6083

רֹאשָׁם חָגְרוּ שַׂקִּים הוֹרִידוּ לָאָרֶץ בְּתוּלֹת יְרוּשָׁלָ͏ִם׃
彼らの-頭-の 纏った 荒布-を うなだれた 地-に おとめたち-は エルサレム-の
H2296 H8242 H3381 H0776 H1330 H3389

ס
[区切り]

シオンの娘の長老たちは地に座して黙し、頭にちりをかぶり、身に荒布をまとった。エルサレムのおとめたちはこうべを地にたれた。

11 כָּלוּ בַדְּמָעוֹת עֵינַי חָמַרְמְרוּ מֵעַי נִשְׁפַּךְ לָאָרֶץ כְּבֵדִי
尽きた 涙-で 私の-目-が かき乱れて-いる 私の-内臓-が 注ぎ-出された 地-に 私の-肝-が
H3615 H1832 H5869 H4578 H8210 H0776 H3516

עַל־שֶׁבֶר בַּת־עַמִּי בְּעָטֵף עוֹלֵל וְיוֹנֵק
～の-ゆえに 砕き-の 娘-の 私の-民-の 弱り-果てる-時 幼子-と そして-乳飲み子-が
H7667 H1323 H5971 H5768 H3243

ס בִּרְחֹבוֹת קִרְיָה׃
[区切り] 広場-の-中-で 町-の
H7339 H7151

わが目は涙のためにつぶれ、わがはらわたはわきかえり、わが肝はわが民の娘の滅びのために、地に注ぎ出される。幼な子や乳のみ子が町のちまたに息も絶えようとしているからである。

12 לְאִמֹּתָם יֹאמְרוּ אַיֵּה דָגָן וְיַיִן בְּהִתְעַטְּפָם
彼らの-母たち-に 言う どこ-に 穀物-が そして-ぶどう酒-が 弱り-果てる-時
H0517 H0559 H0346 H1715 H3196

כְּחָלָל בִּרְחֹבוֹת עִיר בְּהִשְׁתַּפֵּךְ נַפְשָׁם אֶל־ חֵיק
傷ついた-者-の-ように 広場-の-中-で 町-の 注ぎ-出される-時 彼らの-命-が ～へ 胸-の-上-に
H7339 H5315 H0413 H2436

ס אִמֹּתָם׃
[区切り] 彼らの-母たち-の
H0517

彼らが、傷ついた者のように町のちまたで息も絶えようとするとき、その母のふところにその命を注ぎ出そうとするとき、母にむかって、「パンとぶどう酒とはどこにありますか」と叫ぶ。

13 מָה־ אָעִידֵךְ מָה אֲדַמֶּה־ לָךְ הַבַּת יְרוּשָׁלַ͏ִם מָה אֲשַׁוֶּה־
何-を 証言しようか 何-を たとえようか あなた-に 娘-よ エルサレム-の 何-を 比べようか
H4100 H5749 H4100 H1819 H0000 H1323 H3389 H4100

לָךְ וַאֲנַחֲמֵךְ בְּתוּלַת בַּת־ צִיּוֹן כִּי־ גָדוֹל כַּיָּם
あなた-に そして-慰めようか おとめ-よ 娘-よ シオン-の なぜなら 大きい 海-の-ように
H0000 H5162 H1330 H1323 H6726 H3588 H1419 H3220

ס לָךְ׃ יִרְפָּא־ מִי שִׁבְרֵךְ
[区切り] あなた-を 癒せるのか 誰-が あなたの-砕き-は
H0000 H7495 H4310 H7667

エルサレムの娘よ、わたしは何をあなたに言い、何にあなたを比べることができようか。シオンの娘なるおとめよ、わたしは何をもってあなたになぞらえて、あなたを慰めることができようか。あなたの破れは海のように大きい、だれがあなたをいやすことができようか。

14

וְלֹא־	וְתָפֵל	שָׁוְא	לָךְ	חָזוּ	נְבִיאַיִךְ	
そして–ない	そして–無価値–を	空虚–と	あなたの–ために	見た	あなたの–預言者たち–は	
H3808		H7723		H2372	H5030	

)שְׁבוּתֵךְ(	]שביתך[	לְהָשִׁיב	עֲוֹנֵךְ	עַל־	גָּלוּ
(あなたの–捕囚–を)	[あなたの捕囚を]	回復する–ために	あなたの–罪–を	～の–上–に	明かしなかった
H7622	H7622	H7725	H5771		H1540

ס	וּמַדּוּחִים׃	שָׁוְא	מַשָּׂאוֹת	לָךְ	וַיֶּחֱזוּ
[区切り]	そして–迷わし–の	空虚–の	宣託–を	あなたの–ために	そして–見た
	H4065	H7723	H4864		H2372

あなたの預言者たちはあなたのために人を欺く偽りの幻を見た。彼らはあなたの不義をあらわして捕われを免れさせようとはせず、あなたのために人を迷わす偽りの託宣を見た。

15

שָׂרְקוּ	דֶּרֶךְ	עֹבְרֵי	כָּל־	כַּפַּיִם	עָלַיִךְ	סָפְקוּ	
口笛–を–吹いた	道–の	通り–がかり–の–者たち–が	すべて–の	手–を	あなた–に–対して	手–を–打った	
H8319	H1870		H3605	H3709			

שָׁרְקוּ	הָעִיר	הַזֹּאת	יְרוּשָׁלָ͏ִם	בַּת	עַל־	רֹאשָׁם	וַיָּנִעוּ
呼ばれた	都–なのか	これ–が	エルサレム–の	娘–の	～の–こと–を	彼らの–頭–を	そして–振った
H0559		H2063	H3389	H1323			H5128

ס	הָאָרֶץ׃	לְכָל־	מָשׂוֹשׂ	יְפִי	כְּלִילַת
[区切り]	地–の	すべて–の	喜び–と	美–の	完全な–美しさ–と
	H0776	H3605	H4885	H3308	H3632

すべて道行く人は、あなたにむかって手を打ち、エルサレムの娘にむかって、あざ笑い、かつ頭を振って言う、「麗しさのきわみ、全地の喜びととなえられた町はこれなのか」と。

16

שָׂרְקוּ	אוֹיְבַיִךְ	כָּל־	פִּיהֶם	עָלַיִךְ	פָּצוּ	
口笛–を–吹いた	あなたの–敵たち–が	すべて–の	彼らの–口–を	あなた–に–対して	開けた	
H8319	H0341	H3605	H6310		H6475	

שִׁקְוִינֶהָ	הַיּוֹם	זֶה	אַךְ	בָּלַעְנוּ	אָמְרוּ	שֵׁן	וַיִּחְרְקוּ־
待ち–望んだ	日–である	これ–が	まことに	飲み–込んだ	言った	歯–を	そして–かみ–鳴らした
	H3117	H2088	H0389	H1104	H0559	H8127	H2786

ס	רָאִינוּ׃	מָצָאנוּ	
[区切り]	見た	見つけた	
	H7200	H4672	

あなたのもろもろの敵は、あなたをののしり、あざ笑い、歯がみして言う、「われわれはこれを滅ぼした、ああ、これはわれわれが望んだ日だ、今われわれはこれにあい、これを見た」と。

17

קֶדֶם	מִימֵי־	צִוָּה	אֲשֶׁר	אִמְרָתוֹ	בִּצַּע	זָמַם	אֲשֶׁר	יְהוָה	עָשָׂה
昔–の	日々–から	命じた	それ–を	彼の–言葉–を	成し–遂げた	計画した	それ–を	主–は	行った
	H3117	H6680			H1214	H2161		H3068	

קֶרֶן	הֵרִים	אוֹיֵב	עָלַיִךְ	וַיְשַׂמַּח	חָמַל	וְלֹא	הָרַס	
角–を	上げた	敵–を	あなた–の–上–に	そして–喜ばせた	惜しまなかった	そして–ない	引き–倒した	
		H0341		H8055	H2550	H3808	H2040	

ס	צָרָיִךְ׃	
[区切り]	あなたの–敵たち–の	

主はその計画されたことを行い、警告されたことをなし遂げ、いにしえから命じておかれたように、滅ぼして、あわれむことをせず、あなたについて敵を喜ばせ、あなたのあだの力を高められた。

18

דִּמְעָה֙	כַּנָּחַל	הוֹרִ֣ידִי	צִיּ֔וֹן	בַּת־	חוֹמַ֖ת	אֲדֹנָ֑י	אֶל־	לִבָּ֣ם	צָעֲק֔
涙–を	川–の–ように	流しなさい	シオン–の	娘–の	城壁–よ	主–へ	～へ	彼らの–心–が	叫んだ
H1832		H3381	H6726	H1323	H2346	H0136	H0413		H6817

בַּת־	תִּדֹּ֖מִי	אַל־	לָ֣ךְ	פּוּגַ֑ת	תִּתְּנִ֣י	אַל־	וְלַ֥יְלָה	יוֹמָ֛ם	
瞳–よ	止まないで	～ないで	あなた–に	休み–を	与えないで	～ないで	そして–夜–も	昼–も	
H1323		H0408		H6314	H5414	H0408	H3915	H3119	

ס	עֵינֵֽךְ׃	
[区切り]	あなたの–目–の	

シオンの娘よ、声高らかに主に呼ばわれ、夜も昼も川のように涙を流せ。みずから安んじることをせず、あなたのひとみを休ませるな。

19

כַּמַּ֖יִם	שִׁפְכִ֣י	אַשְׁמֻר֑וֹת	לְרֹ֣אשׁ	בַּלַּ֔יְלָה)	[בליל	רֹנִ֥י	וְקוּמִ֛י	
水–の–ように	注ぎ–出しなさい	夜番–の	初め–に	(夜–に)	[夜に]	叫びなさい	起きなさい	
H4325	H8210	H0821		H3915	H3915			

עַל־	כַּפַּ֖יִךְ	אֵלָ֑יו	שְׂאִ֣י	אֲדֹנָ֔י	פְּנֵ֥י	נֹ֛כַח	לִבֵּ֥ךְ	
～の–ために	あなたの–手–を	彼–に–向けて	上げなさい	主–の	御顔–の	前–に	あなたの–心–を	
	H3709	H0413	H5375	H0136	H6440	H5227		

ס	חוּצֽוֹת׃	כָּל־	בְּרֹ֣אשׁ	בְּרָעָ֔ב	הָֽעֻטוּפִ֖ים	עוֹלָלַ֑יִךְ	נָֽפֶשׁ֙	
[区切り]	通り–の	すべて–の	頭–に	飢え–で	弱り–果てる	あなたの–幼子たち–の	命–の	
	H2351	H3605		H7458		H5768	H5315	

夜、初更に起きて叫べ。主の前にあなたの心を水のように注ぎ出せ。町のかどで、飢えて息も絶えようとする幼な子の命のために、主にむかって両手をあげよ。

20

תֹּֽאכַלְנָה֙	אִם־	כֹּ֔ה	עוֹלָלֶ֖יהָ	לְמִ֑י	וְהַבִּ֣יטָה	יְהוָ֔ה	רְאֵ֖ה	
食べるのか	まさか	この–ように	行ったのか	誰–に	そして–見て–ください	主–よ	見て–ください	
H0398		H3541		H4310	H5027	H3068	H7200	

כֹּהֵ֥ן	אֲדֹנָ֖י	בְּמִקְדָּ֑שׁ	יֵהָרֵ֥ג	אִם־	טִפֻּחִ֛ים	עֹלְלֵ֖י	פִּרְיָ֑ם	נָשִׁ֕ים	
祢司–と	主–の	聖所–の–中–で	殺されるのか	まさか	育てた	幼子–を	彼女らの–実–を	女たち–が	
H3548	H0136	H4720	H2026		H2949	H5768	H6529	H0802	

ס	וְנָבִֽיא׃	
[区切り]	そして–預言者–が	
	H5030	

主よ、みそなわして、顧みてください。あなたはだれにむかってこのように行われたのですか。女は自分の産んだ子、その大事に育てた幼な子を食べるでしょうか。祭司と預言者が主の聖所で殺されていいでしょうか。

21

וּבַחוּרַ֖י	בְּחוּצ֣וֹת	וְזָקֵ֔ן	נַ֖עַר	חוּצ֑וֹת	לָאָ֣רֶץ	שָׁכְב֥וּ	
そして–私の–若者たち–は	私の–おとめたち–と	そして–老人–が	若者–と	通り–に	地–に	横たわった	
H0970	H1330	H2205	H5288	H2351	H0776	H7901	

ס	חָמַ֖לְתָּ׃	לֹ֣א	טָבַ֑חְתָּ	אַפֶּ֔ךָ	בְּי֥וֹם	הָרַ֛גְתָּ	בְּחָרֵ֥ב	נָפָ֖לוּ	
[区切り]	惜しまなかった	ない	屠った	あなたの–怒り–の	日–に	殺した	剣–に–よって	倒れた	
	H2550	H3808	H2873	H0639	H3117	H2026	H2719	H5307	

老いも若きも、ちまたのちりに伏し、わがおとめも、若人も、つるぎで倒されてしまった。あなたは、その怒りの日にこれを殺し、これをほふって、あわれむことをされなかった。

22

תִּקְרָ֣א	כְיוֹם֮	מוֹעֵד֒	מְגוּרַ֣י	מִסָּבִ֔יב	וְלֹא֙	הָיָ֔ה
呼び-集めた	日-の-ように	祈り-の	私の-恐れ-を	周り-から	そして-なかった	あった-者-は
H7121	H3117	H4150	H4032	H5439	H3808	H1961

וְרִבִּיתִ֑י	טִפָּחְתִּי֙	אֲשֶׁר־	וְשָׂרִ֣יד	פָּלִ֔יט	יְהוָ֖ה	אַף־	בְּיוֹם֙
そして-大きく-した	育てた	それ-を	そして-生き残った-者-も	逃れた-者-も	主-の	怒り-の	日-に
	H2946		H8300		H3068	H0639	H3117

פ	כִּלָּ֖ם׃	אֹיְבִֽי
[段落]	滅ぼした	私の-敵-が
	H3615	H0341

あなたは、わたしの恐れるものを、祭の日のように四方から呼び集められた。主の怒りの日には、のがれた者も残った者もなかった。わたしが、いだき育てた者をわたしの敵は滅ぼし尽した。

Chapter 3

1

עֶבְרָתֽוֹ׃	בְּשֵׁ֖בֶט	עֳנִ֑י	רָאָ֣ה	הַגֶּ֔בֶר	אֲנִ֞י
彼の-怒り-の	棒-に-よって	苦しみ-を	見た	男-である	私は
H5678	H7626	H6040	H7200	H1397	H0589

わたしは彼の怒りのむちによって、悩みにあった人である。

2

אֽוֹר׃	וְלֹא־	חֹ֖שֶׁךְ	וַיֹּלַ֥ךְ	נָהַ֛ג	אוֹתִ֥י
光-の-中-を	そして-ない	闇-の-中-を	そして-歩かせた	導いた	私-を
H0216	H3808	H2822	H3212		H0853

彼はわたしをかり立てて、光のない暗い中を歩かせ、

3

ס	הַיּ֖וֹם׃	כָּל־	יָד֥וֹ	יַהֲפֹ֛ךְ	יָשׁ֥וּב	בִּ֖י	אַךְ־
[区切り]	日-を	すべて-の	彼の-手-を	ひっくり-返す	向ける	私-に-対して	まことに
	H3117	H3605	H3027	H2015	H7725		H0389

まことにその手をしばしばかえて、ひねもすわたしを攻められた。

4

עַצְמוֹתָֽי׃	שִׁבַּ֖ר	וְעוֹרִ֑י	בְּשָׂרִ֣י	בִּלָּ֔ה	
私の-骨-を	砕いた	そして-私の-肌-を	私の-肉-と	衰え-させた	
H6106	H7665	H5785	H1320	H1086	

彼はわが肉と皮を衰えさせ、わが骨を砕き、

5

וּתְלָאָֽה׃	רֹ֖אשׁ	וַיַּקֵּ֥ף	עָלַ֛י	בָּנָ֥ה
そして-苦難-で	毒-と	そして-囲んだ	私-に-対して	築いた
H8513	H7219			H1129

苦しみと悩みをもって、わたしを囲み、わたしを閉じこめ、

6

ס	עוֹלָֽם׃	כְּמֵתֵ֥י	הוֹשִׁיבַ֖נִי	בְּמַחֲשַׁכִּ֑ים	
[区切り]	永遠-の	死者-の-ように	座らせた	闇-の-中-に	
	H5769	H4191	H3427	H4285	

遠い昔に死んだ者のように、暗い所に住まわせられた。

7

נְחָשָׁתִֽי׃	הִכְבִּ֖יד	אֵצֵ֑א	וְלֹ֣א	בַּעֲדִ֔י	גָּדַ֙ר֙
私の-鎖-を	重く-した	出られない	そして-ない	私の-周り-を	囲んだ
	H3513	H3318	H3808	H1157	H1443

彼はわたしのまわりに、かきをめぐらして、出ることのできないようにし、重い鎖でわたしをつながれた。

תְּפִלָּתִי׃	שָׂתַם	וַאֲשַׁוֵּעַ	אֶזְעַק	כִּי	גַּם	8
私の–祈り–を	閉ざした	そして–助け–を–求めても	叫んでも	たとえ	また	
H8605		H7768	H2199		H1571	

わたしは叫んで助けを求めたが、彼はわたしの祈をしりぞけ、

ס	עִוָּה׃	נְתִיבֹתַי	בְּנָזִית	דְּרָכַי	גָּדַר	9
[区切り]	曲げた	私の–小道–を	切り石–で	私の–道–を	壁–で–ふさいだ	
			H1496	H1870	H1443	

切り石をもって、わたしの行く道をふさぎ、わたしの道筋を曲げられた。

בְּמִסְתָּרִים׃	(אֲרִי	[אריה]	לִי	הוּא	אֹרֵב	דֹּב	10
隠れ–場所–で	(獅子–の–ように)	[獅子のように]	私–に–対して	彼–は	待ち–伏せる	熊–の–ように	
H4565				H1931	H0693	H1677	

彼はわたしに対して待ち伏せするくまのように、潜み隠れるししのように、

שֹׁמֵם׃	שָׂמַנִי	וַיְפַשְּׁחֵנִי	סוֹרֵר	דְּרָכַי	11
荒れ果てた–者–に	置いた	そして–引き–裂いた	そらした	私の–道–を	
H8076		H6582	H5493	H1870	

わが道を離れさせ、わたしを引き裂いて、見るかげもないみじめな者とし、

ס	לַחֵץ׃	כַּמַּטָּרָא	וַיַּצִּיבֵנִי	קַשְׁתּוֹ	דָּרַךְ	12
[区切り]	矢–の–ために	的–の–ように	そして–立てた	彼の–弓–を	張った	
	H2671	H4307	H5324	H7198	H1869	

その弓を張って、わたしを矢の的のようにされた。

אַשְׁפָּתוֹ׃	בְּנֵי	בְּכִלְיוֹתָי	הֵבִיא	13
彼の–矢筒–の	矢–を	私の–内臓–に	射–込んだ	
H0827		H3629	H0935	

彼はその箙の矢をわたしの心臓に打ち込まれた。

הַיּוֹם׃	כָּל־	נְגִינָתָם	עַמִּי	לְכָל־	שְׂחֹק	הָיִיתִי	14
日–を	すべて–の	彼らの–嘲り–の–歌–に	私の–民–に	すべて–の	笑い–草–に	なった	
H3117	H3605	H5058		H3605	H7814	H1961	

わたしはすべての民の物笑いとなり、ひねもす彼らの歌となった。

ס	לַעֲנָה׃	הִרְוָנִי	בַּמְּרוֹרִים	הִשְׂבִּיעַנִי	15
[区切り]	にがよもぎ–で	酔わせた	苦い–もの–で	満たした	
	H3939	H7301	H4844	H7646	

彼はわたしを苦い物で飽かせ、にがよもぎをわたしに飲ませられた。

בָּאֵפֶר׃	הִכְפִּישַׁנִי	שִׁנַּי	בֶּחָצָץ	וַיְגָרֵס	16
灰–の–中–に	伏せた	私の–歯–を	砂利–で	そして–砕いた	
H0665	H3728	H8127	H2687	H1638	

彼は小石をもって、わたしの歯を砕き、灰の中にわたしをころがされた。

טוֹבָה׃	נַפְשִׁי	מִשָּׁלוֹם	וַתִּזְנַח		17
幸い–を	忘れた	私の–魂–を	平和–から	そして–退けた	
H5382	H5315	H7965			

わが魂は平和を失い、わたしは幸福を忘れた。

ס	מֵיְהוָה׃	וְתוֹחַלְתִּי	נִצְחִי	אָבַד	וָאֹמַר׃	18
[区切り]	主-から	そして-私の-望み-が	私の-栄光-が	消えた	そして-言った	
	H3068	H8431	H5331	H0006	H0559	

そこでわたしは言った、「わが栄えはうせ去り、わたしが主に望むところのものもうせ去った」と。

וָרֹאשׁ׃	לַעֲנָה	וּמְרוּדִי	עָנְיִי	זְכָר־	19
そして-毒-を	にがよもぎ-と	そして-私の-放浪-を	私の-苦しみ-と	思い-出して-ください	
H7219	H3939	H4788	H6040	H2142	

どうか、わが悩みと苦しみ、にがよもぎと胆汁とを心に留めてください。

נַפְשִׁי׃	עָלַי	(וְתָשׁוֹחַ)	[ותשיח]	תִּזְכּוֹר	זָכוֹר	20
私の-魂-が	私の-上-に	(そして-うなだれる)	[そして-うなだれる]	思い-出す	思い-出して	
H5315		H7743	H7743	H2142	H2142	

わが魂は絶えずこれを思って、わがうちにうなだれる。

ס	אוֹחִיל׃	כֵּן	עַל־	לִבִּי	אֶל־	אָשִׁיב	זֹאת	21
[区切り]	望む	ゆえに	それ-の	私の-心-に	～へ	心-に-戻す	これ-を	
	H3176				H0413	H7725	H2063	

しかし、わたしはこの事を心に思い起す。それゆえ、わたしは望みをいだく。

רַחֲמָיו׃	כָּלּוּ	לֹא־	כִּי	תָמְנוּ	לֹא־	כִּי	יְהוָה	חַסְדֵי	22
彼の-あわれみ-は	絶えない	ない	なぜなら	尽きない	ない	なぜなら	主-の	恵み-は	
	H3615	H3808		H8552	H3808		H3068		

主のいつくしみは絶えることがなく、そのあわれみは尽きることがない。

אֱמוּנָתֶךָ׃	רַבָּה	לַבְּקָרִים	חֲדָשִׁים	23
あなたの-詠実-は	大きい	毎朝	新しい	
H0530		H1242	H2319	

これは朝ごとに新しく、あなたの真実は大きい。

ס	לוֹ׃	אוֹחִיל	כֵּן	עַל־	נַפְשִׁי	אָמְרָה	יְהוָה	חֶלְקִי	24
[区切り]	彼-に	望む	ゆえに	それ-の	私の-魂-が	言った	主-は	私の-分け前-である	
		H3176			H5315	H0559	H3068		

わが魂は言う、「主はわたしの受くべき分である、それゆえ、わたしは彼を待ち望む」と。

לַדֹּרְשָׁיו׃	לְנֶפֶשׁ	לְקָוָּיו	יְהוָה	טוֹב	25
求める-者-に	魂-に	待つ-者-に	主-は	良い	
H1875	H5315		H3068		

主はおのれを待ち望む者と、おのれを尋ね求める者にむかって恵みふかい。

יְהוָה׃	לִתְשׁוּעַת	וְדוּמָם	וְיָחִיל	טוֹב	26
主-の	救い-を	そして-黙って	そして-静かに-待つ-こと	良い	
H3068	H8668	H1748	H3175		

主の救を静かに待ち望むことは、良いことである。

ס	בְּנְעוּרָיו׃	עֹל	יִשָּׂא	כִּי־	לַגָּבֶר	טוֹב	27
[区切り]	若い-時-に	軛-を	負う	なぜなら	男-に-とって	良い	
		H5923	H5375		H1397		

人が若い時にくびきを負うことは、良いことである。

28
יֵשֵׁב בָּדָד וְיִדֹּם כִּי נָטַל עָלָיו׃
座る–がよい 独り–で そして–黙る–がよい なぜなら 負わせた 彼–の–上–に
H3427 H0910 H1824 H3588 H5190

主がこれを負わせられるとき、ひとりすわって黙しているがよい。

29
יִתֵּן בָּעָפָר פִּיהוּ אוּלַי יֵשׁ תִּקְוָה׃
つける–がよい 塵–の–中–に 彼の–口–を おそらく ある 望み–が
H5414 H6083 H6310 H0194 H3426

口をちりにつけよ、あるいはなお望みがあるであろう。

30
יִתֵּן לְמַכֵּהוּ לֶחִי יִשְׂבַּע בְּחֶרְפָּה׃ ס
与える–がよい 打つ–者–に 頬–を 満ちる–がよい 辱め–で [区切り]
H5414 H5221 H3895 H7646 H2781

おのれを撃つ者にほおを向け、満ち足りるまでに、はずかしめを受けよ。

31
כִּי לֹא יִזְנַח לְעוֹלָם אֲדֹנָי׃
なぜなら ない 捨てない 永遠–に 主–は
H3588 H3808 H2186 H5769 H0136

主はとこしえにこのような人を捨てられないからである。

32
כִּי אִם־הוֹגָה וְרִחַם כְּרֹב חסדו [חַסְדֵּיו׃)
なぜなら たとえ 悲しませても そして–あわれむ 多く–の–ように [彼の恵み] (彼の–恵み–の)
H3588 H0518 H3013 H7355 H7230

彼は悩みを与えられるが、そのいつくしみが豊かなので、またあわれみをたれられる。

33
כִּי לֹא עִנָּה מִלִּבּוֹ בְּנֵי־אִישׁ׃ ס
なぜなら ない 苦しめない 彼の–心–から 子ら–を 人–の [区切り]
H3588 H3808 H6031 H3824 H1121 H0376

彼は心から人の子を苦しめ悩ますことをされないからである。

34
לְדַכֵּא תַּחַת רַגְלָיו כָּל אֲסִירֵי אָרֶץ׃
踏み–つぶす–こと ～の–下–で 彼の–足–の すべて–の 囚人たち–を 地–の
H1792 H8478 H7272 H3605 H0615 H0776

地のすべての捕われ人を足の下に踏みにじり、

35
לְהַטּוֹת מִשְׁפַּט־גֶּבֶר נֶגֶד פְּנֵי עֶלְיוֹן׃
曲げる–こと 正義–を 男–の 前–で 御顔–の いと高き–お方–の
H5186 H4941 H1397 H5048 H6440

いと高き者の前に人の公義をまげ、

36
לְעַוֵּת אָדָם בְּרִיבוֹ אֲדֹנָי לֹא רָאָה׃ ס
曲げる–こと 人–を 彼の–訴訟–で 主–は ない 見ない–というのか [区切り]
H5791 H0120 H7379 H0136 H3808 H7200

人の訴えをくつがえすことは、主のよみせられないことである。

37
מִי זֶה אָמַר וַתְּהִי אֲדֹנָי לֹא צִוָּה׃
誰–が この 言って そして–それが–なったのか 主–が ない 命じた–のでなければ
H4310 H2088 H0559 H1961 H0136 H3808 H6680

主が命じられたのでなければ、だれが命じて、その事の成ったことがあるか。

וְהַטּוֹב׃	הָרָעוֹת	תֵּצֵא	לֹא	עֶלְיוֹן	מִפִּי	38
そして–良い–こと–も	悪い–こと–も	出ない	ない	いと高き–お方–の	口–から	
		H3318	H3808		H6310	

災もさいわいも、いと高き者の口から出るではないか。

ס	)׃חַטָּאָיו(	]חטאו[	עַל־	גֶּבֶר	חָי	אָדָם	יִתְאוֹנֵן	מַה־	39
[区切り]	(彼の–罪–の)	[彼の罪の]	～の–ゆえに	男–が	生きて–いる	人–が	つぶやくのか	なぜ	
	H2399	H2399		H1397		H0120	H0596	H4100	

生ける人はどうしてつぶやかねばならないのか、人は自分の罪の罰せられるのを、つぶやくことができようか。

יְהוָה׃	עַד־	וְנָשׁוּבָה	וְנַחְקֹרָה	דְּרָכֵינוּ	נַחְפְּשָׂה	40
主–へ	～へ	そして–戻ろう	そして–調べよう	私たちの–道–を	探ろう	
H3068	H5704	H7725	H2713	H1870	H2664	

われわれは、自分の行いを調べ、かつ省みて、主に帰ろう。

בַּשָּׁמָיִם׃	אֵל	אֶל־	כַּפֵּינוּ	אֶל־	לְבָבֵנוּ	נִשָּׂא	41
天–の	神–へ	～へ	手–と–共に	～へ	私たちの–心–を	上げよう	
H8064	H0410	H0413	H3709	H0413	H3824	H5375	

われわれは天にいます神にむかって、手と共に心をもあげよう。

ס	סָלָחְתָּ׃	לֹא	אַתָּה	וּמָרִינוּ	פָּשַׁעְנוּ	נַחְנוּ	42
[区切り]	赦しなかった	ない	あなた–は	そして–反逆した	背いた	私たち–は	
	H5545	H3808		H4784	H6586	H5168	

「わたしたちは罪を犯し、そむきました、あなたはおゆるしになりませんでした。

חָמָלְתָּ׃	לֹא	הָרַגְתָּ	וַתִּרְדֹּפֵנוּ	בְאַף	סַכֹּתָה	43
惜しまなかった	ない	殺した	そして–追った	怒り–で	覆った	
H2550	H3808	H2026	H7291	H0639		

あなたは怒りをもってご自分をおおい、わたしたちを追い攻め、殺して、あわれまず、

תְּפִלָּה׃	מֵעֲבוֹר	לָךְ	בֶּעָנָן	סַכֹּתָה	44
祈り–が	通り–過ぎない–ように	あなた–を	雲–で	覆った	
H8605			H6051		

また雲をもってご自分をおおい、祈を通じないようにし、

ס	הָעַמִּים׃	בְּקֶרֶב	תְּשִׂימֵנוּ	וּמָאוֹס	סְחִי	45
[区切り]	諸国民–の	諸国民–の–中–に	置いた	そして–汚れ物–に	くず–と	
		H7130		H3973	H5501	

もろもろの民の中に、わたしたちをちりあくたとなさいました。

אֹיְבֵינוּ׃	כֹּל־	פִּיהֶם	עָלֵינוּ	פָּצוּ	46
私たちの–敵たち–が	すべて–の	彼らの–口–を	私たち–に–対して	開けた	
H0341	H3605	H6310		H6475	

敵はみなわたしたちをののしり、

וְהַשָּׁבֶר׃	הַשֹּׁאת	לָנוּ	הָיָה	וָפַחַת	פַּחַד	47
そして–砕き–が	荒廃–と	私たち–に	来た	そして–落とし–穴–が	恐れ–と	
H7667	H7612		H1961	H6354	H6343	

恐れと落し穴と、荒廃と滅亡とが、わたしたちに臨みました。

ס	עַמִּי׃	בַּת־	שֶׁבֶר	עַל־	עֵינִי	תֵּרַד	מַיִם	פַּלְגֵי־	48
[区切り]	私の–民–の	娘–の	砕き–の	～の–ゆえに	私の–目–から	流れる	水–の	川–の–ように	
		H1323	H7667			H3381	H4325	H6388	

わが民の娘の滅びによって、わたしの目には涙の川が流れています。

הַפֻּגּוֹת׃	מֵאֵין	תִּדְמֶה	וְלֹא	נִגְּרָה	עֵינִי	49
休み–が	ない–から	止まない	そして–ない	流れ–出す	私の–目–は	
H2014	H0369	H1820	H3808	H5064		

わが目は絶えず涙を注ぎ出して、やむことなく、

מִשָּׁמָיִם׃	יְהוָה	וְיַרְא	יַשְׁקִיף	עַד־	50
天–から	主–が	そして–見る–まで	見おろす–まで	～まで	
H8064	H3068	H7200	H8259	H5704	

主が天から見おろして、顧みられる時にまで及ぶでしょう。

ס	עִירִי׃	בְּנוֹת	מִכֹּל	לְנַפְשִׁי	עוֹלְלָה	עֵינִי	51
[区切り]	私の–町–の	娘たち–の	すべて–の–ゆえに	私の–魂–を	苦しめる	私の–目–は	
		H1323	H3605	H5315			

わが目はわが町のすべての娘の最期のゆえに、わたしを痛ませます。

חִנָּם׃	אֹיְבַי	כַּצִּפּוֹר	צָדוּנִי	צוֹד	52
理由–なく	私の–敵たち–は	鳥–の–ように	狩った	狩り–の–ように	
H2600	H0341	H6833			

ゆえなくわたしに敵する者どもによって、わたしは鳥のように追われました。

בִּי׃	אֶבֶן	וַיַּדּוּ־	חַיָּי	בַּבּוֹר	צָמְתוּ	53
私–に	石–を	そして–投げた	私の–命–を	穴–の–中–で	絶った	
	H0068	H3034			H6789	

彼らは生きているわたしを穴の中に投げ入れ、わたしの上に石を投げつけました。

ס	נִגְזַרְתִּי׃	אָמַרְתִּי	רֹאשִׁי	עַל־	מַיִם	צָפוּ־	54
[区切り]	絶たれた–と	言った	私の–頭–の	～の–上–に	水–が	溢れた	
	H1504	H0559			H4325	H6687	

水はわたしの頭の上にあふれ、わたしは『断ち滅ぼされた』と言いました。

תַּחְתִּיּוֹת׃	מִבּוֹר	יְהוָה	שִׁמְךָ	קָרָאתִי	55
最も–深い–所–から	深い–穴–から	主–よ	あなたの–名–を	呼んだ	
H8482		H3068	H8034	H7121	

主よ、わたしは深い穴からみ名を呼びました。

לְשַׁוְעָתִי׃	לְרַוְחָתִי	אָזְנְךָ	תַּעְלֵם	אַל־	שָׁמַעְתָּ	קוֹלִי	56
私の–叫び–に	私の–安らぎ–に	あなたの–耳–を	隠さないで	～ないで	聞いた	私の–声–を	
H7775	H7309	H0241	H5956	H0408	H8085		

あなたはわが声を聞かれました、『わが嘆きと叫びに耳をふさがないでください』。

ס	תִּירָא׃	אַל־	אָמַרְתָּ	אֶקְרָאֶךָּ	בְּיוֹם	קָרַבְתָּ	57
[区切り]	恐れるな–と	～ないで	言った	呼んだ–時	日–に	近づいた	
	H3372	H0408	H0559	H7121	H3117	H7126	

わたしがあなたに呼ばわったとき、あなたは近寄って、『恐れるな』と言われました。

חַיַּי׃	גָּאַלְתָּ	נַפְשִׁי	רִיבֵי	אֲדֹנָי	רַבְתָּ	58
私の–命–を	贖った	私の–魂–の	私の–魂–の–訴え–を	主–は	争った	
		H5315	H7379	H0136	H7378	

主よ、あなたはわが訴えを取りあげて、わたしの命をあがなわれました。

מִשְׁפָּטִי׃	שָׁפְטָה	עַוָּתָתִי	יְהוָה	רָאִיתָה	59
私の–裁き–を	裁いて–ください	私の–不正–を	主–よ	見た	
H4941	H8199	H5792	H3068	H7200	

主よ、あなたはわたしがこうむった不義をごらんになりました。わたしの訴えをおさばきください。

ס	לִי׃	מַחְשְׁבֹתָם	כָּל־	נִקְמָתָם	כָּל־	רָאִיתָה	60
[区切り]	私–に–対する	彼らの–計画–を	すべて–の	彼らの–復讐–を	すべて–の	見た	
		H4284	H3605	H5360	H3605	H7200	

あなたはわたしに対する彼らの報復と、陰謀とを、ことごとくごらんになりました。

עָלָי׃	מַחְשְׁבֹתָם	כָּל־	יְהוָה	חֶרְפָּתָם	שָׁמַעְתָּ	61
私–に–対する	彼らの–計画–を	すべて–の	主–よ	彼らの–辱め–を	聞いた	
	H4284	H3605	H3068	H2781	H8085	

主よ、あなたはわたしに対する彼らのそしりと、陰謀とを、ことごとく聞かれました。

הַיּוֹם׃	כָּל־	עָלַי	וְהֶגְיוֹנָם	קָמַי	שִׂפְתֵי	62
日–を	すべて–の	私–に–対して	そして–彼らの–つぶやき–が	私に–立ち–向かう–者たち–の	唇–が	
H3117	H3605		H1902		H8193	

立ってわたしに逆らう者どものくちびると、その思いは、ひねもすわたしを攻めています。

מַנְגִּינָתָם׃	אֲנִי	הַבִּיטָה	וְקִימָתָם	שִׁבְתָּם	63
彼らの–嘲り–の–歌–である	私–が	見て–ください	そして–彼らの–立つ–こと–を	彼らの–座る–こと–と	
H4485	H0589	H5027	H7012	H3427	

ס
[区切り]

どうか、彼らのすわるをも、立つをも、みそなわしてください。わたしは彼らの歌となっています。

יְדֵיהֶם׃	כְּמַעֲשֵׂה	יְהוָה	גְּמוֹל	לָהֶם	תָּשִׁיב	64
彼らの–手–の	行い–に–応じて	主–よ	報い–を	彼ら–に	報いて–ください	
H3027	H4639	H3068	H1576		H7725	

主よ、彼らの手のわざにしたがって、彼らに報い、

לָהֶם׃	תַּאֲלָתְךָ	לֵב	מְגִנַּת־	לָהֶם	תִּתֶּן	65
彼ら–に	あなたの–呪い–を	心–の	かたくなな–心–を	彼ら–に	与えて–ください	
H1992	H8381		H4044	H1992	H5414	

彼らの心をかたくなにし、あなたののろいを彼らに注いでください。

פ	יְהוָה׃	שְׁמֵי	מִתַּחַת	וְתַשְׁמִידֵם	בְּאַף	תִּרְדְּפֵם	66
[段落]	主–の	天–の	～の–下–から	そして–滅ぼして–ください	怒り–で	追って–ください	
	H3068	H8064	H8478	H8045	H0639	H7291	

主よ、怒りをもって彼らを追い、天が下から彼らを滅ぼしてください」。

Chapter 4

1 אֵיכָה֙ יוּעַם֙ זָהָ֔ב יִשְׁנֶ֖א הַכֶּ֣תֶם הַטָּ֑וב תִּשְׁתַּפַּ֕כְנָה אַבְנֵי־ קֹ֖דֶשׁ בְּרֹ֥אשׁ
ああ 曇った 金-が 変わった 純金-が 良い 注ぎ-出された 石-が 聖なる-の 頭-に
H0349 H6004 H2091 H8132 H3800 H0068 H8210 H6944

כָּל־ חוּצֽוֹת׃ ס
すべて-の 通り-の [区切り]
H3605 H2351

ああ、黄金は光を失い、純金は色を変じ、聖所の石はすべてのちまたのかどに投げ捨てられた。

2 בְּנֵ֣י צִיּ֔וֹן הַיְקָרִ֖ים הַמְסֻלָּאִ֑ים נֶחְשְׁב֤וּ לְנִבְלֵי־ חֶ֔רֶשׂ מַעֲשֵׂ֖ה יְדֵ֥י יוֹצֵֽר׃ ס
息子たち-は 尊い 値踏みされた 見なされた 壺-の-ように 土-の 作品-に 手-の 陶工-の [区切り]
H6726 H3368 H5537 H2803 H3335 H2789 H4639 H3027 H3335

ああ、精金にも比すべきシオンのいとし子らは、陶器師の手のわざである土の器のようにみなされる。

3 גַּם־ תַּנִּ֞ין חָלְצ֣וּ שַׁ֗ד הֵינִ֤יקוּ גּוּרֵיהֶן֙ בַּת־ עַמִּ֔י כְּיַעֵנִ֖ים בַּמִּדְבָּֽר׃ ס
また [山犬も] (山犬-でさえ) 引き-出す 乳-を 乳-を-与える その-子たち-に 娘-は 荒野-の [区切り]
H1571 H8568 H8568 H2789 H7699 H3243 H1482 H1323 H3283 H3283 H3283 H7699

כִּ֚ן לְאַכְזָ֔ר עֲנָ֖י לֹ֣א יוֹנֵ֑ק לְשׁ֤וֹן לֹֽא־ פָרַ֥שׂ לָהֶֽם׃ ס
[のように] 残酷-に 私の-民-の 乳飲み子-の 舌-が くっついた 彼ら-に いない 与える-者-は [区切り]
H3283 H0393 H5971 H3243 H3956 H1692 H1992 H0369 H6566

山犬さえも乳ぶさをたれて、その子に乳を飲ませる。ところが、わが民の娘は、荒野のだちょうのように無慈悲になった。

4 דָּבַ֤ק לְשׁוֹן־ יוֹנֵק֙ אֶל־ חִכּ֔וֹ בַּצָּמָ֖א עֹולָלִ֣ים שָׁאֲל֣וּ לֶ֑חֶם פֹּרֵ֥שׂ אֵין־ לָהֶֽם׃ ס
くっついた 舌-が 乳飲み子-の ～に 口蓋-に 渇き-で 幼子たち-は 求めた パン-を 与える-者-は いない 彼ら-に [区切り]
H1692 H3956 H3243 H0413 H2441 H6772 H5768 H7592 H3899 H6566 H0369 H1992

乳のみ子の舌はかわいて、上あごに、ひたとつき、幼な子らはパンを求めても、これに与える者がない。

5 הָאֹכְלִ֣ים לְמַעֲדַנִּ֔ים נָשַׁ֖מּוּ בַּחוּצֽוֹת׃ הָאֱמֻנִ֣ים עָלֵ֔י חִבְּק֖וּ אַשְׁפַּתּֽוֹת׃ ס
食べて-いた-者たち-は ごちそう-を 荒れ-果てた 通り-で 育てられた-者たち-は ～の-上-で 抱いた ごみの-山-を [区切り]
H0398 H4574 H8074 H2351 H0539 H5921 H2263 H0830

תּוֹלָ֑ע
紅-の
H8438

うまい物を食べていた者は、落ちぶれて、ちまたにおり、紫の着物で育てられた者も、今は灰だまりの上に伏している。

6 וַיִּגְדַּל֙ עֲוֹ֣ן בַּת־ עַמִּ֔י מֵחַטַּ֖את סְדֹ֑ם הַהֲפוּכָ֣ה כְמֹו־ רָגַ֔ע וְלֹא־ חָ֖לוּ בָּ֥הּ יָדָֽיִם׃ ס
そして-大きく-なった 罪-が 娘-の 私の-民-の 罪-より-も ソドム-の 覆された ～の-ように 一瞬-で そして-ない その-中-で 動かなかった 手-が [区切り]
H1431 H5771 H1323 H5971 H2403 H5467 H2015 H3644 H7281 H3808 H1961 H3027

わが民の娘のうけた懲しめは、ソドムの罰よりも大きかった。ソドムは昔、人の手によらないで、またたくまに滅ぼされたのだ。

מִפְּנִינִים	עֶצְמָם	אָדְמוּ	מֵחָלָב	צָחֹחוּ	מִשֶּׁלֶג	נְזִירֶיהָ	זַכּוּ	7
珊瑚-より-も	体-が	赤かった	乳-より-も	輝いた	雪-より-も	彼女の-ナジル人たち-は	清かった	
H6443	H6106	H0119	H2461	H6705	H7950	H5139	H2141	

ס	גִּזְרָתָם׃	סַפִּיר	
[区切り]	彼らの-姿-は	サファイア-の-ように	
	H1508	H5601	

わが民の君たちは雪よりも清らかに、乳よりも白く、そのからだは、さんごよりも赤く、その姿の美しさはサファイヤのようであった。

צָפַד	בַּחוּצוֹת	נִכְּרוּ	לֹא	תָאֳרָם	מִשְׁחוֹר	חָשַׁךְ		8
張り-ついた	通り-で	見分けられない	ない	彼らの-姿-は	すす-より-も	暗く-なった		
H6821	H2351		H3808	H8389	H7815	H2821		

ס	כָּעֵץ׃	הָיָה	יָבֵשׁ	עַצְמָם	עַל־	עוֹרָם
[区切り]	木-の-ように	なった	乾いて	彼らの-骨-の	～の-上-に	彼らの-肌-が
	H6086	H1961	H3001	H6106		H5785

今はその顔はすすよりも黒く、町の中にいても人に知られず、その皮膚は縮んで骨につき、かわいて枯れ木のようになった。

יָזוֹבוּ	שֶׁהֵם	רָעָב	מֻחַלְלֵי	חֶרֶב	חַלְלֵי־	הָיוּ	טוֹבִים	9
流れ-出た	彼ら-は	飢え-の	飢え-に-倒れた-者-より	剣-の	剣-に-倒れた-者-は	あった	良かった	
H2100	H1992	H7458		H2719		H1961		

ס	שָׂדָי׃	מִתְנוּבַת	מְדֻקָּרִים	
[区切り]	野-の	産物-から	刺されて	
		H8570	H1856	

つるぎで殺される者は、飢えて死ぬ者よりもさいわいである。彼らは田畑の産物の欠乏によって、刺された者のように衰え行くからである。

לָמוֹ	לְבָרוֹת	הָיָה	יַלְדֵיהֶן	בִּשְּׁלוּ	רַחֲמָנִיּוֹת	נָשִׁים	יְדֵי	10
彼女ら-の-ために	食べ物-に	なった	彼女らの-子ら-を	煮た	あわれみ-深い	女たち-の	手-で	
	H1262	H1961	H3206	H1310	H7362	H0802	H3027	

ס	עַמִּי׃	בַּת־	בְּשֶׁבֶר
[区切り]	私の-民-の	娘-の	砕き-の-時に
		H1323	H7667

わが民の娘の滅びる時には情深い女たちさえも、手ずから自分の子どもを煮て、それを食物とした。

אַפּוֹ	חֲרוֹן	שָׁפַךְ	חֲמָתוֹ	אֶת־	יְהוָה	כִּלָּה		11
彼の-怒り-の	燃える-怒り-を	注ぎ-出した	彼の-怒り-を	(を)	主-は	成し-遂げた		
H0639	H2740	H8210	H2534	H0853	H3068	H3615		

ס	יְסוֹדֹתֶיהָ׃	וַתֹּאכַל	בְּצִיּוֹן	אֵשׁ	וַיַּצֶּת־
[区切り]	その-基-を	そして-食い-尽くした	シオン-に	火-を	そして-燃やした
	H3247	H0398	H6726	H0784	H3341

主はその憤りをことごとく漏らし、激しい怒りをそそぎ、シオンに火を燃やして、その礎までも焼き払われた。

12 לֹא ない H3808 | הֶאֱמִינוּ 信じなかった H0539 | מַלְכֵי־ 王たち–は H4428 | אֶרֶץ 地–の H0776 | וכל[[そしてすべての] H3605 | כֹּל)((すべて–の) H3605 | יֹשְׁבֵי 住む–者たち–は H3427 | תֵּבֵל 世界–の H8398

כִּי 〜とは H0935 | בָא 入る–と 敵–と | צַר 敵–と | וְאוֹיֵב そして–仕敵–が H0341 | בְּשַׁעֲרֵי 門–の–中–に H8179 | יְרוּשָׁלִָם׃ エルサレム–の H3389 | ס [区切り]

地の王たちも、世の民らもみな、エルサレムの門に、あだや敵が、討ち入ろうとは信じなかった。

13 מֵחַטַּאת 罪–の–ゆえに | נְבִיאֶיהָ 彼女の–預言者たち–の H5030 | עֲוֹנוֹת 罪–の–ゆえに H5771 | כֹּהֲנֶיהָ 彼女の–祢司たち–の H3548 | הַשֹּׁפְכִים 流した H8210 | בְּקִרְבָּהּ その–中–で H7130

דָּם 血–を H1818 | צַדִּיקִים׃ 正しい–者たち–の H6662 | ס [区切り]

これはその預言者たちの罪のため、その祭司たちの不義のためであった。彼らは義人の血をその町の中に流した者である。

14 נָעוּ さまよった H5128 | עִוְרִים 盲人–の–ように H5787 | בָּחוּצוֹת 通り–で H2351 | נִגְאֲלוּ 汚れた H1351 | בַּדָּם 血–で H1818 | בִּלְתִּי ない–まま H3808 | יְכֹלּוּ できなかった H3201 | יִגְּעוּ 触れる–こと–が H5060

בִּלְבֻשֵׁיהֶם׃ 彼らの–衣–に H3830 | ס [区切り]

彼らは盲人のように、ちまたにさまよい、血で汚れている。だれもその衣にさわることができない。

15 סוּרוּ 退け H5493 | טָמֵא 汚れた–者–よ H2931 | קָרְאוּ 呼んだ H7121 | לָמוֹ 彼ら–に H5493 | סוּרוּ 退け H5493 | אַל־ 〜ないで H0408 | תִּגְּעוּ 触れるな H5060 | כִּי なぜなら | נָצוּ 逃げた H1571 | גַּם־ また H1571

לָגוּר׃ 住む–こと–を | ס [区切り] | יוֹסִיפוּ 続けない H3254 | לֹא ない H3808 | בַּגּוֹיִם 諸国民–の–中–で | אָמְרוּ 言った H0559 | נָעוּ さまよった H5128

人々は彼らにむかって、「去れよ、けがらわしい」、「去れよ、去れよ、さわるな」と叫んだので、彼らは逃げ去って放浪者となったが、異邦人の中でも人々は「もうわれわれのうちに宿ってはならない」と言った。

16 פְּנֵי 御顔–が H6440 | יְהוָה 主–の H3068 | חִלְּקָם 散らした H3307 | לֹא ない H3808 | יוֹסִיף 続けない H3254 | לְהַבִּיטָם 見る–こと–を H5027 | פְּנֵי 顔–を H6440 | כֹהֲנִים 祢司たち–の H3548 | לֹא ない H3808

חָנָּנוּ׃ 情け–を–かけなかった | לֹא ない H3808 | וּזְקֵנִים)((そして–長老たち–に) H2205 | זקנים[[長老たちに] H2205 | נָשְׂאוּ 尊ばなかった H5375 | ס [区切り]

主はみずから彼らを散らして、再び彼らを顧みず、祭司を尊ばず、長老をいたわられなかった。

17 עוֹדֵינוּ)((まだ–私たち–の) H5750 | תִּכְלֶינָה 尽きた H3615 | עֵינֵינוּ 私たちの–目–が | אֶל־ 〜へ H0413 | עֶזְרָתֵנוּ 私たちの–助け–へ H5833 | הָבֶל 空しい H1892 | עודינה[[まだ私たちの] H5750

יוֹשִׁעַ׃ 救えない | לֹא ない H3808 | גּוֹי 国民–へ | אֶל־ 〜へ H0413 | צִפִּינוּ 見張った H6822 | בְּצִפִּיָּתֵנוּ 私たちの–見張り–の–中–で H6836 | ס [区切り]

われわれの目は、むなしく助けを待ち望んで疲れ衰えた。われわれは待ち望んだが、救を与え得ない国びとを待ち望んだ。

מָלְאוּ	קִצֵּינוּ	קָרַב	בְּרְחֹבֹתֵינוּ	מִלֶּכֶת	צְעָדֵינוּ	צָדוּ	18
満ちた	私たちの–終わり–が	近づいた	私たちの–広場–で	歩く–こと–から	私たちの–歩み–を	狩った	
H4390	H7093	H7126	H7339	H3212	H6806		

ס	קִצֵּינוּ׃	בָּא	כִּי־	יָמֵינוּ	
[区切り]	私たちの–終わり–が	来た	なぜなら	私たちの–日–が	
	H7093	H0935		H3117	

人々がわれわれの歩みをうかがうので、われわれは自分の町の中をも、歩くことができなかった。われわれの終りは近づいた、日は尽きた。われわれの終りが来たからである。

בַּמִּדְבָּר	דְּלָקֻנוּ	הֲרָרִים	עַל־	שָׁמַיִם	מִנִּשְׁרֵי	רֹדְפֵינוּ	הָיוּ	קַלִּים	19
荒野–で	追った	山々–の	～の–上–で	天–の	鷲–より–も	私たちの–追手–は	あった	速かった	
	H1814	H2022		H8064	H5404	H7291	H1961	H7031	

ס	לָנוּ׃	אָרְבוּ	
[区切り]	私たち–を	待ち–伏せた	
		H0693	

われわれを追う者は空のはげたかよりも速く、彼らは山でわれわれを追い立て、野でわれわれを待ち伏せる。

אָמַרְנוּ	אֲשֶׁר	בְּשִׁחִיתוֹתָם	נִלְכָּד	יְהוָה	מְשִׁיחַ	אַפֵּינוּ	רוּחַ	20
言った	それ–を	彼らの–穴–の–中–で	捕られた	主–の	油注ぎ–は	私たちの–鼻–の	息–は	
H0559		H7825	H3920	H3068	H4899	H0639	H7307	

ס	בַּגּוֹיִם׃	נִחְיֶה	בְּצִלּוֹ	
[区切り]	諸国民–の–中–で	生きる–と	彼の–陰–の–下–で	
		H2421	H6738	

われわれが鼻の息とたのんだ者、主に油そそがれた者は、彼らの落し穴で捕えられた。彼はわれわれが「異邦人の中でもその陰に生きるであろう」と思った者である。

עוּץ	בְּאֶרֶץ	(יוֹשֶׁבֶת)	[יושבתי]	אֱדוֹם	בַּת־	וְשִׂמְחִי	שִׂישִׂי	21
ウツ–の	地–に	(住む–者–よ)	[住む者よ]	エドム–の	娘–よ	そして–楽しみなさい	喜びなさい	
H5780	H0776	H3427	H3427	H0123	H1323	H8055	H7797	

ס	וְתִתְעָרִי׃	תִּשְׁכְּרִי	כּוֹס	תַּעֲבָר־	עָלַיִךְ	גַּם־
[区切り]	そして–裸に–なるだろう	酔うだろう	杯–が	回って–くる	あなた–に–も	また
	H6168	H7937				H1571

ウズの地に住むエドムの娘よ、喜び楽しめ、あなたにもまた杯がめぐって行く、あなたも酔って裸になる。

פָּקַד	לְהַגְלוֹתֵךְ	יוֹסִיף	לֹא	צִיּוֹן	בַּת־	עֲוֹנֵךְ	תַּם־	22
罰した	捕囚–に–する–こと–を	続けない	ない	シオン–の	娘–よ	あなたの–罪–は	尽きた	
	H1540	H3254	H3808	H6726	H1323	H5771	H8552	

פ	חַטֹּאתֵיךְ׃	עַל־	גָּלָה	אֱדוֹם	בַּת־	עֲוֹנֵךְ
[段落]	あなたの–罪–を	～の–上–に	あらわに–した	エドム–の	娘–よ	あなたの–罪–を
			H1540	H0123	H1323	H5771

シオンの娘よ、あなたの不義の罰は終った。主は重ねてあなたを捕え移されない。エドムの娘よ、主はあなたの不義を罰し、あなたの罪をあらわされる。

Chapter 5

1 זְכֹר יְהוָה מֶה־הָיָה לָּנוּ הביטה (הַבִּיטָה) חֶרְפָּתֵנוּ׃
思い出してください 主よ 何が 起こったかを 私たちに [見てください] (見てください)
H2142 H3068 H4100 H1961 H5027 H5027
וּרְאֵה אֶת־ 私たちの–恥辱を
そして–ご覧ください (を)
H7200 H0853 H2781

主よ、われわれに臨んだ事を覚えてください。われわれのはずかしめを顧みてください。

2 נַחֲלָתֵנוּ נֶהֶפְכָה לְזָרִים בָּתֵּינוּ לְנָכְרִים׃
私たちの–嗣業は 渡された 他国人に 私たちの–家は 外国人に
H5159 H2015 H2114 H1004 H5237

われわれの嗣業は他国の人に移り、家は異邦人のものとなった。

3 יְתוֹמִים הָיִינוּ אין (וְאֵין) אָב אִמֹּתֵינוּ כְּאַלְמָנוֹת׃
孤児に 私たちは–なった [なく] (父は–いない) 父が 私たちの–母は やもめの–ように
H3490 H1961 H0369 (H0369) H0001 H0517 H0490

われわれはみなしごとなって父はなく、母はやもめにひとしい。

4 מֵימֵינוּ בְּכֶסֶף נִשְׁתִּינוּ עֵצֵינוּ בִּמְחִיר יָבֹאוּ׃
私たちの–水を 銀で 私たちは–飲んだ 私たちの–薪は 代価を–払って 手に入れた
H4325 H3701 H8354 H6086 H4242 H0935

われわれは金を出して水を飲み、価を払って、たきぎを獲なければならない。

5 עַל צַוָּארֵנוּ נִרְדָּפְנוּ לֹא יָגַעְנוּ לֹא (וְלֹא) הֻנַּח לָנוּ׃
~の上に 私たちの–首を 追い立てられ 疲れ果てたが [ない] (休みは–なかった) 与えられ 私たちに
H5921 H6677 H7291 H3021 H3808 (H3808) H5117

われわれは首にくびきをかけられて追い使われ、疲れても休むことができない。

6 מִצְרַיִם נָתַנּוּ יָד אַשּׁוּר לִשְׂבֹּעַ לָחֶם׃
エジプトに 私たちは–手を–差し出し 手を アッシリアに 満たされるため パンで
H4714 H5414 H3027 H0804 H7646 H3899

われわれは足りるだけの食物を獲るために、エジプトおよびアッスリヤに手をさし伸べた。

7 אֲבֹתֵינוּ חָטְאוּ אינם (וְאֵינָם) אנחנו (וַאֲנַחְנוּ) עֲוֹנֹתֵיהֶם סָבָלְנוּ׃
私たちの–先祖は 罪を–犯した [もはやいない] (しかし–もういない) [私たちが] (私たちが) 彼らの–咎を 負っている
H0001 H2398 H0369 (H0369) H0587 (H0587) H5771 H5445

われわれの先祖は罪を犯して、すでに世になく、われわれはその不義の責めを負っている。

8 עֲבָדִים מָשְׁלוּ בָּנוּ פֹּרֵק אֵין מִיָּדָם׃
奴隷たちが 支配している 私たちを 救い出す者は いない 彼らの–手から
H5650 H4910 H1004 H6561 H0369 H3027

奴隷であった者がわれわれを治めるが、われわれをその手から救い出す者がない。

9 בְּנַפְשֵׁנוּ נָבִיא לַחְמֵנוּ מִפְּנֵי חֶרֶב הַמִּדְבָּר׃
命がけで 私たちは–得る 私たちの–パンを ~の前で 剣の 荒野の
H5315 H0935 H3899 H6440 H2719

われわれは荒野のつるぎのゆえに、おのが命をかけて食物を獲る。

עוֹרֵ֣נוּ	כְּתַנּ֣וּר	נִכְמְר֔וּ	מִפְּנֵ֖י	זַלְעֲפ֣וֹת	רָעָֽב׃	10
私たちの-皮膚は	かまどの-ように	焼けただれた	~のゆえに	焼け付く-熱の	飢えの	
H5785	H8574	H3648	H6440	H2152	H7458	

われわれの皮膚は飢餓の激しい熱のために、炉のように熱い。

נָשִׁ֣ים	בְּצִיּ֔וֹן	עִנּ֖וּ	בְּתֻל֑וֹת	בְּעָרֵ֖י	יְהוּדָֽה׃	11
女たちは	シオンで	辱められた	おとめたちは	ユダの-町々で	ユダの	
H0802	H6726		H1330		H3063	

女たちはシオンで犯され、おとめたちはユダの町々で汚された。

שָׂרִ֣ים	בְּיָדָ֔ם	נִתְל֖וּ	פְּנֵ֣י	זְקֵנִ֑ים	לֹ֥א	12
君主たちは	彼らの-手で	吊るされた	長老たちの-顔は	長老たちは	尊ばれ-なかった	
H8269	H3027	H8518	H6440	H2205	H3808	

נֻהָֽדָרוּ׃
敬われなかった
H1921

君たる者も彼らの手でつるされ、長老たちも尊ばれず、

בַּחוּרִ֣ים	טְחוֹן֮	נָשְׂא֒וּ	וּנְעָרִ֗ים	בָּעֵ֣ץ	כָּשָֽׁלוּ׃	13
若者たちは	ひき臼を	担がされ	少年たちは	薪の-下で	よろめいた	
H0970	H2911	H5375	H5288	H6086	H3782	

若者たちは、ひきうすをになわせられ、わらべたちは、たきぎを負って、よろめき、

זְקֵנִ֣ים	מִשָּׁ֣עַר	שָׁבָ֣תוּ	בַּחוּרִ֣ים	מִנְגִּינָתָֽם׃		14
長老たちは	門から	姿を消し	若者たちは	彼らの-音楽から		
H2205	H8179		H0970	H5058		

長老たちは門に集まることをやめ、若者たちはその音楽を廃した。

שָׁבַ֣ת	מְשׂ֣וֹשׂ	לִבֵּ֑נוּ	נֶהְפַּ֤ךְ	לְאֵבֶל֙	מְחֹלֵ֔נוּ	15
絶えた	喜びは	私たちの-心の	変わった	嘆きに	私たちの-踊りは	
	H4885		H2015	H0060	H4234	

われわれの心の喜びはやみ、踊りは悲しみに変り、

נָפְלָ֣ה	עֲטֶ֣רֶת	רֹאשֵׁ֑נוּ	א֥וֹי־	נָ֖א	לָ֔נוּ	16
落ちた	冠が	私たちの-頭から	ああ	災いだ	私たちに	
H5307	H5850		H0188	H4994		

כִּ֥י	חָטָ֖אנוּ׃	
なぜなら	私たちは-罪を-犯した	
	H2398	

われわれの冠はこうべから落ちた。わざわいなるかな、われわれは罪を犯したからである。

עַל־	זֶ֣ה	הָיָ֔ה	דָּוֶ֖ה	לִבֵּ֑נוּ	עַל־	אֵ֣לֶּה	17
この-ことのゆえに	この	なった	弱り果てた	私たちの-心は	これらの-ことのゆえに	これらの	
	H2088	H1961	H1739			H0428	

עֵינֵֽינוּ׃	חָשְׁכ֖וּ
私たちの-目は	暗くなった
	H2821

このために、われわれの心は衰え、これらの事のために、われわれの目はくらくなった。

עַל֙	הַר־	צִיּ֔וֹן	שֻׁעָלִ֖ים	הָלְכ֣וּ־	בּ֑וֹ	פ	18
~の上を	山	シオンの	狐が	歩き回っている	その上を	[段落]	
	H2022	H6726	H7776	H1980			

שָׁמֵֽם׃
荒れ果てた-その上を
H8074

シオンの山は荒れはて、山犬がその上を歩いているからである。

אַתָּ֣ה	יְהוָ֔ה	לְעוֹלָ֖ם	תֵּשֵׁ֑ב	כִּסְאֲךָ֙	לְדֹ֣ר	19
あなたは	主よ	とこしえに	座しておられる	あなたの-御座は	代々に	
	H3068	H5769	H3427	H3678	H1755	

וָדֹֽר׃
限りなく
H1755

しかし主よ、あなたはとこしえに統べ治められる。あなたの、み位は世々絶えることがない。

20 לָמָּה H4100 なぜ
לָנֶ֥צַח H5331 永久に
תִּשְׁכָּחֵ֖נוּ H7911 私たちを–忘れるのか
תַּעַזְבֵ֥נוּ 私たちを–見捨てるのか
לְאֹ֥רֶךְ H0753 長い
יָמִֽים׃ H3117 日々を

なぜ、あなたはわれわれをながく忘れ、われわれを久しく捨ておかれるのですか。

21 הֲשִׁיבֵ֤נוּ H7725 立ち返らせてください
יְהוָה֙ H3068 主よ
אֵלֶ֔יךָ H0413 あなたのもとに
]ונשוב[H7725 [そうすれば私たちは帰る]
)וְנָשׁ֑וּבָה(H7725 私たちは–立ち返ります
חַדֵּ֖שׁ 新しくしてください
יָמֵ֥ינוּ H3117 私たちの–日々を
כְּקֶֽדֶם׃ 昔の–ように

主よ、あなたに帰らせてください、われわれは帰ります。われわれの日を新たにして、いにしえの日のようにしてください。

22 כִּ֣י まことに
אִם־ もし
מָאַ֔סְתָּ 完全に
מְאַסְתָּ֥נוּ あなたが–退けたのでなければ
קָצַ֖פְתָּ H7107 あなたは–激しく–怒られた
עָלֵ֑ינוּ 私たちに–対して

עַד־ 甚だしく H5704
מְאֹֽד׃ 甚だ H3966

あなたは全くわれわれを捨てられたのですか、はなはだしく怒っていられるのですか。

Ezekiel

Chapter 1

1 וַיְהִי בִּשְׁלֹשִׁים שָׁנָה בָּרְבִיעִי בַּחֲמִשָּׁה לַחֹדֶשׁ וַאֲנִי בְּתוֹךְ־הַגּוֹלָה עַל־נְהַר־כְּבָר הַנִּפְתָּחוּ הַשָּׁמָיִם וָאֶרְאֶה מַרְאוֹת אֱלֹהִים׃

וַיְהִי	בִּשְׁלֹשִׁים	שָׁנָה	בָּרְבִיעִי	בַּחֲמִשָּׁה	לַחֹדֶשׁ	וַאֲנִי	בְּתוֹךְ־	הַגּוֹלָה	
さて–あった	三十の	年の	第四の–月の	五日に	その–月の	私は	中に–いて	捕囚の–民の	
H1961	H7970	H8141	H7243	H2568	H2320	H0589	H8432	H1473	

עַל־	נְהַר־	כְּבָר	הַנִּפְתָּחוּ	הַשָּׁמָיִם	וָאֶרְאֶה	מַרְאוֹת	אֱלֹהִים׃
その	川の–ほとりの	ケバル	開かれた	天が	そして–私は–見た	幻を	神の
	H5104	H3529	H8064	H7200			H0430

第三十年四月五日に、わたしがケバル川のほとりで、捕囚の人々のうちにいた時、天が開けて、神の幻を見た。

2 בַּחֲמִשָּׁה לַחֹדֶשׁ הִיא הַשָּׁנָה הַחֲמִישִׁית לְגָלוּת הַמֶּלֶךְ יוֹיָכִין׃

בַּחֲמִשָּׁה	לַחֹדֶשׁ	הִיא	הַשָּׁנָה	הַחֲמִישִׁית	לְגָלוּת	הַמֶּלֶךְ	יוֹיָכִין׃
五日に	その–月の	それは	年の	第五の	捕囚の	王	ヨヤキンの
H2568	H2320	H1931	H8141	H2549	H1546	H4428	H3112

これはエホヤキン王の捕え移された第五年であって、その月の五日に、

3 הָיֹה הָיָה דְּבַר־יְהוָה אֶל־יְחֶזְקֵאל בֶּן־בּוּזִי הַכֹּהֵן בְּאֶרֶץ כַּשְׂדִּים עַל־נְהַר־כְּבָר וַתְּהִי עָלָיו שָׁם יַד־יְהוָה׃

הָיֹה	הָיָה	דְּבַר־	יְהוָה	אֶל־	יְחֶזְקֵאל	בֶּן־	בּוּזִי	הַכֹּהֵן	בְּאֶרֶץ	כַּשְׂדִּים
確かに	あった	言葉が	主の	に	エゼキエル	息子	ブジの	祭司の	地で	カルデアの
H1961	H1961	H1697	H3068	H0413	H3168	H1121	H0941	H3548	H0776	H3778

עַל־	נְהַר־	כְּבָר	וַתְּהִי	עָלָיו	שָׁם	יַד־	יְהוָה׃	
の	川の	ケバルの–ほとりで	そして–あった	彼の–上に	そこで	手が	主の	
	H5104	H3529	H1961		H8033	H3027	H3068	

主の言葉がケバル川のほとり、カルデヤびとの地でブジの子祭司エゼキエルに臨み、主の手がその所で彼の上にあった。

4 וָאֵרֶא וְהִנֵּה רוּחַ סְעָרָה בָּאָה מִן־הַצָּפוֹן עָנָן גָּדוֹל וְאֵשׁ מִתְלַקַּחַת וְנֹגַהּ לוֹ סָבִיב וּמִתּוֹכָהּ כְּעֵין הָאֵשׁ מִתּוֹךְ הַחַשְׁמַל׃

וָאֵרֶא	וְהִנֵּה	רוּחַ	סְעָרָה	בָּאָה	מִן־	הַצָּפוֹן	עָנָן	גָּדוֹל	וְאֵשׁ	מִתְלַקַּחַת	וְנֹגַהּ	לוֹ	סָבִיב	וּמִתּוֹכָהּ	כְּעֵין	הָאֵשׁ	מִתּוֹךְ	הַחַשְׁמַל
そして–私は–見た	すると–見よ	風が	嵐の	来る	から	北の–方から	雲	大きな	そして–火が	燃え–輝く	そして–輝きが	それに	周りに–あった	その–中から	のように–見える	火の	の–中から	琥珀の
H7200	H2009	H7307	H5591	H0935	H4480	H6828	H6051	H1419	H0784	H3947	H5051	H0	H5439	H8432	H3700	H0784	H8432	H2830

わたしが見ていると、見よ、激しい風と大いなる雲が北から来て、その周囲に輝きがあり、たえず火を吹き出していた。その火の中に青銅のように輝くものがあった。

5 וּמִתּוֹכָהּ דְּמוּת אַרְבָּע חַיּוֹת וְזֶה מַרְאֵיהֶן דְּמוּת אָדָם לָהֵנָּה׃

וּמִתּוֹכָהּ	דְּמוּת	אַרְבָּע	חַיּוֹת	וְזֶה	מַרְאֵיהֶן	דְּמוּת	אָדָם	לָהֵנָּה׃
その–中から	姿が	四つの	生き物の	これが	その–姿であった	姿は	人の	それらに–あった
H8432	H1823	H0702	H2416	H2088	H4758	H1823	H0120	H2007

またその中から四つの生きものの形が出てきた。その様子はこうである。彼らは人の姿をもっていた。

6 וְאַרְבָּעָה פָּנִים לְאֶחָת וְאַרְבָּע כְּנָפִים לְאַחַת לָהֶם׃
四つの 顔が 一つの-ものに また-四つの 翼が 一つの-ものに それらに-あった
H0702 H6440 H0259 H0702 H3671 H0259

おのおの四つの顔をもち、またそのおのおのに四つの翼があった。

7 וְרַגְלֵיהֶם רַגְלָה וְכַף רַגְלֵיהֶם כְּכַף עֵגֶל וְנֹצְצִים
その-足は 足で 足の-裏は その-足の のように 子牛の そして-輝いていた
H7272 H7272 H3709 H7272 H3709 H5695 H5340

כְּעֵין נְחֹשֶׁת קָלָל׃
のように 青銅の 磨かれた
H7044

その足はまっすぐで、足のうらは子牛の足のうらのようであり、みがいた青銅のように光っていた。

8 וְיָדֵי(וידן) אָדָם מִתַּחַת כַּנְפֵיהֶם עַל אַרְבַּעַת רִבְעֵיהֶם וּפְנֵיהֶם
人の-手が 人の 下に-あった その-翼の の 四つの 側面の その-顔と
H3027 H0120 H8478 H3671 H0702 H7253 H6440

וְכַנְפֵיהֶם לְאַרְבַּעְתָּם׃
その-翼は 四つの-ものに
H3671 H0702

その四方に、そのおのおのの翼の下に人の手があった。この四つの者はみな顔と翼をもち、

9 אִישׁ אֶל־אִשָּׁה חֻבְּרֹת כַּנְפֵיהֶם לֹא־יִסַּבּוּ בְלֶכְתָּן אִישׁ
おのおの と 互いに つながっていた その-翼は ない 向きを-変えず 進む-とき おのおの
H0376 H0413 H0802 H2266 H3808 H5437 H3212 H0376

אֶל־עֶבֶר פָּנָיו יֵלֵכוּ׃
の 方向へ 顔の 進んだ
H0413 H5676 H6440 H3212

翼は互に連なり、行く時は回らずに、おのおの顔の向かうところにまっすぐに進んだ。

10 וּדְמוּת פְּנֵיהֶם פְּנֵי אָדָם וּפְנֵי אַרְיֵה אֶל־הַיָּמִין לְאַרְבַּעְתָּם
その-姿は その-顔は 顔は 人の そして-顔は 獅子の に 右の-側に 四つの-ものの
H1823 H6440 H6440 H0120 H6440 H0413 H3225 H0702

וּפְנֵי־נֶשֶׁר לְאַרְבַּעְתָּן מֵהַשְּׂמְאוֹל שׁוֹר וּפְנֵי־
また-顔は 鷲の 四つの-ものの 左の-側に 牛の また-顔は
H6440 H5404 H0702 H8040 H7794 H6440

וּפְנֵי־ לְאַרְבַּעְתָּן׃
また-顔は 四つの-ものの
H6440 H0702

顔の形は、おのおのその前方に人の顔をもっていた。四つの者は右の方に、ししの顔をもち、四つの者は左の方に牛の顔をもち、また四つの者は後ろの方に、わしの顔をもっていた。

11 וּפְנֵיהֶם וְכַנְפֵיהֶם פְּרֻדוֹת מִלְמָעְלָה לְאִישׁ שְׁתַּיִם חֻבְּרוֹת אִישׁ וּשְׁתַּיִם
その-顔は その-翼は 広げられて 上の-方に おのおの 二つは つながり 互いに また-二つは
H6440 H3671 H6504 H4605 H0376 H8147 H2266 H0376 H8147

מְכַסּוֹת אֵת גְּוִיֹּתֵיהֶנָּה׃
覆っていた を その-体を
H3680 H0853 H1472

彼らの顔はこのようであった。その翼は高く伸ばされ、その二つは互に連なり、他の二つをもってからだをおおっていた。

12 וְאִישׁ אֶל־ פְּנָיו עֵבֶר יֵלֵכוּ אֶל אֲשֶׁר יִהְיֶה־ שָׁמָּה הָרוּחַ לָלֶכֶת
おのおの の 方向へ 顔の 進んだ へ どこでも あった そこへ 霊が 行こう–とする
H0376 H0413 H5676 H6440 H3212 H0413 H0834 H1961 H8033 H7307 H3212

לְא יָסֹבּוּ בְלֶכְתָּן׃ יֵלֵכוּ לְא
なかった 向きを–変える–ことは 進む–とき 進み
H3808 H5437 H3212 H3212

彼らはおのおのその顔の向かうところへまっすぐに行き、霊の行くところへ彼らも行き、その行く時は回らない。

13 וּדְמוּת חַיּוֹת מַרְאֵיהֶם כְּנֶחֱלֵי־ אֵשׁ בֹּעֲרוֹת כְּמַרְאֵה הַלַּפִּדִים הִיא
その–姿は 生き物の その–外見は のような 火の–炭の 燃える のような それが
H1823 H2416 H4758 H3940 H0784 H1513 H4758 H1931

מִתְהַלֶּכֶת בֵּין הַחַיּוֹת וְנֹגַהּ לָאֵשׁ וּמִן־ הָאֵשׁ יוֹצֵא בָרָק׃
行き来していた の–間を 生き物の そして–輝きが 火に–あり から 火の–中から 出ていた 稲妻が
H1980 H0996 H2416 H5051 H0784 H0784 H3318 H1300

この生きもののうちには燃える炭の火のようなものがあり、たいまつのように、生きものの中を行き来している。火は輝いて、その火から、いなずまが出ていた。

14 וְהַחַיּוֹת רָצוֹא וָשׁוֹב כְּמַרְאֵה הַבָּזָק׃
生き物は 走り 戻り のような 稲光の
H2416 H7519 H7725 H4758 H0965

生きものは、いなずまのひらめきのように速く行き来していた。

15 וָאֶרְא הַחַיּוֹת אֶחָד אוֹפָן בָּאָרֶץ אֵצֶל פְּנָיו׃ לְאַרְבַּעַת הַחַיּוֹת
私は–見た 生き物を 一つ 輪が 地に–あった そばに 顔の 四つの 生き物の
H7200 H2416 H0259 H0212 H0776 H0681 H6440 H0702 H2416

וְהִנֵּה אוֹפַן
すると–見よ 輪が
H2009 H0212

わたしが生きものを見ていると、生きもののかたわら、地の上に輪があった。四つの生きものおのおのに、一つずつの輪である。

16 מַרְאֵה הָאוֹפַנִּים וּמַעֲשֵׂיהֶם כְּעֵין תַּרְשִׁישׁ וּדְמוּת אֶחָד לְאַרְבַּעְתָּן וּמַרְאֵיהֶם
外見は 輪の その–作りは のような 緑柱石の 同じ–姿が 一つの 四つに–あった その–外見と
H4758 H0212 H4639 H8658 H1823 H0259 H0702 H4758

כַּאֲשֶׁר יִהְיֶה הָאוֹפַן בְּתוֹךְ הָאוֹפָן׃ וּמַעֲשֵׂיהֶם
あたかも ある–ような 輪が の–中に 輪の その–作りは
H3644 H1961 H0212 H8432 H0212 H4639

もろもろの輪の形と作りは、光る貴かんらん石のようである。四つのものは同じ形で、その作りは、あたかも、輪の中に輪があるようである。

17 עַל־ אַרְבַּעַת רִבְעֵיהֶן בְּלֶכְתָּם יֵלֵכוּ לְא יָסֹבּוּ בְלֶכְתָּן׃
の 四つの 側面の–方へ 進む–とき 進んだ ない 向きを–変える–ことは 進む–とき
H5921 H0702 H7253 H3212 H3212 H3808 H5437 H3212

その行く時、彼らは四方のいずれかに行き、行く時は回らない。

18 וְגַבֵּיהֶן וְגֹבָהּ לָהֶם וְיִרְאָה לָהֶם וְגַבֹּתָם מְלֵאֹת עֵינַיִם סָבִיב
その–縁は 高さが それらに–あり 畏れ–多く それらに 縁は 満ちていた 目で 周りに
H1354 H1363 H1992 H3374 H1992 H1354 H4392 H5869 H5439

לְאַרְבַּעְתָּן׃
四つの–ものの
H0702

四つの輪には輪縁と輻とがあり、その輪縁の周囲は目をもって満たされていた。

19 וּבְלֶכְתְּ֣ הַֽחַיּ֗וֹת יֵֽלְכ֤וּ הָאוֹפַנִּים֙ אֵצְלָ֔ם וּבְהִנָּשֵׂ֥א הַֽחַיּ֖וֹת מֵעַ֣ל הָאָ֑רֶץ

וּבְלֶכְתְּ֣	הַֽחַיּ֗וֹת	יֵֽלְכ֤וּ	הָאוֹפַנִּים֙	אֵצְלָ֔ם	וּבְהִנָּשֵׂ֥א	הַֽחַיּ֖וֹת	מֵעַ֣ל	הָאָ֑רֶץ
進む–とき	生き物が	進んだ	輪も	そばで	持ち上がる–とき	生き物が	から	地の–上から
H3212	H2416	H3212	H0212	H0681	H5375	H2416	H5921	H0776

יִנָּשְׂא֖וּ הָאוֹפַנִּֽים׃

יִנָּשְׂא֖וּ	הָאוֹפַנִּֽים׃
持ち上がった	輪も
H5375	H0212

生きものが行く時には、輪もそのかたわらに行き、生きものが地からあがる時は、輪もあがる。

20 עַל֩ אֲשֶׁ֨ר יִֽהְיֶ֜ה שָׁ֣מָּה הָר֗וּחַ לָלֶכֶת֙ לָלֶ֔כֶת וְהָאוֹפַנִּ֖ים יִנָּשְׂא֣וּ לְעֻמָּתָ֑ם כִּ֣י רֽוּחַ֙ הַֽחַיָּ֔ה בָּאוֹפַנִּֽים׃

עַל֩	אֲשֶׁ֨ר	יִֽהְיֶ֜ה	שָׁ֣מָּה	הָר֗וּחַ	לָלֶכֶת֙	לָלֶ֔כֶת	שָׁ֣מָּה	הָר֗וּחַ	וְהָאוֹפַנִּ֖ים	יִנָּשְׂא֣וּ	לְעֻמָּתָ֑ם	כִּ֣י	רֽוּחַ֙	הַֽחַיָּ֔ה	בָּאוֹפַנִּֽים׃
どこへ	でも	あった	そこへ	霊が	行こう–とした	行こう–とする	そこへ	霊が	そして–輪も	持ち上がった	共に	なぜなら	霊が	生き物の	輪の–中に–あった
H5921	H0834	H1961	H8033	H7307	H3212	H3212	H8033	H7307	H0212	H5375	H5980	H3588	H7307	H2416	H0212

霊の行く所には彼らも行き、輪は彼らに伴ってあがる。生きものの霊が輪の中にあるからである。

21 בְּלֶכְתָּ֣ם יֵֽלֵכ֗וּ וּבְעָמְדָם֙ יַֽעֲמֹ֔דוּ וּבְהִנָּשְׂאָ֖ם מֵעַ֣ל הָאָ֑רֶץ יִנָּשְׂא֣וּ הָאוֹפַנִּ֖ים לְעֻמָּתָ֑ם כִּ֣י רֽוּחַ֙ הַֽחַיָּ֔ה בָּאוֹפַנִּֽים׃

בְּלֶכְתָּ֣ם	יֵֽלֵכ֗וּ	וּבְעָמְדָם֙	יַֽעֲמֹ֔דוּ	וּבְהִנָּשְׂאָ֖ם	מֵעַ֣ל	הָאָ֑רֶץ	יִנָּשְׂא֣וּ	הָאוֹפַנִּ֖ים	לְעֻמָּתָ֑ם	כִּ֣י	רֽוּחַ֙	הַֽחַיָּ֔ה	בָּאוֹפַנִּֽים׃
進む–とき	進み	止まる–とき	止まった	持ち上がる–とき	から	地の–上から	持ち上がった	輪も	共に	なぜなら	霊が	生き物の	輪の–中に–あった
H3212	H3212	H5975	H5975	H5375	H5921	H0776	H5375	H0212	H5980	H3588	H7307	H2416	H0212

彼らが行く時は、これらも行き、彼らがとどまる時は、これらもとどまり、彼らが地からあがる時は、輪もまたこれらと共にあがる。生きものの霊が輪の中にあるからである。

22 וּדְמ֣וּת עַל־ רָאשֵׁ֣י הַֽחַיָּה֮ כְּעִין֒ הַקֶּ֣רַח הַנּוֹרָ֗א נְטוּי֙ עַל־

וּדְמ֣וּת	עַל־	רָאשֵׁ֣י	הַֽחַיָּה֮	כְּעִין֒	הַקֶּ֣רַח	הַנּוֹרָ֗א	נְטוּי֙	עַל־
姿は	の	頭の–上に	生き物の	のような	氷の	畏るべき	広がっていた	の
H1823			H2416		H7140	H3372	H5186	

מִלְמָ֑עְלָה׃ רָאשֵׁיהֶֽם׃

מִלְמָ֑עְלָה׃	רָאשֵׁיהֶֽם׃
上の–方に	その–頭の–上に
H4605	

生きものの頭の上に水晶のように輝く大空の形があって、彼らの頭の上に広がっている。、

23 וְתַ֣חַת֮ הָרָקִ֣יעַ כַּנְפֵיהֶם֒ יְשָׁר֣וֹת אִשָּׁ֔ה אֶל־ אֲחוֹתָ֖הּ לְאִ֣ישׁ שְׁתָּ֑יִם

וְתַ֣חַת֮	הָרָקִ֣יעַ	כַּנְפֵיהֶם֒	יְשָׁר֣וֹת	אִשָּׁ֔ה	אֶל־	אֲחוֹתָ֖הּ	לְאִ֣ישׁ	שְׁתָּ֑יִם
そして–下では	大空の	その–翼は	まっすぐに	互いに	と	隣の–ものと	おのおの	二つは
H8478	H7549	H3671	H3477	H0802	H0413	H0269	H0376	H8147

גְּוִיֹּתֵיהֶם׃ אֵת֙ לָהֶ֣נָּה מְכַסּ֔וֹת שְׁתָּ֖יִם וּלְאִ֣ישׁ לָהֶ֣נָּה מְכַסּ֔וֹת

גְּוִיֹּתֵיהֶם׃	אֵת֙	לָהֶ֣נָּה	מְכַסּ֔וֹת	שְׁתָּ֖יִם	וּלְאִ֣ישׁ	לָהֶ֣נָּה	מְכַסּ֔וֹת
その–体を	を	それらの	覆っていた	二つは	また–おのおの	それらの	覆い
H1472	H0853	H2007	H3680	H8147	H0376	H2007	H3680

大空の下にはまっすぐに伸ばした翼があり、たがいに相連なり、生きものはおのおの二つの翼をもって、からだをおおっている。

24 וָאֶשְׁמַ֗ע אֶת־ קוֹל֙ כַּנְפֵיהֶ֔ם כְּקוֹל֙ מַ֣יִם רַבִּ֔ים כְּקוֹל֙ שַׁדַּ֔י

וָאֶשְׁמַ֗ע	אֶת־	קוֹל֙	כַּנְפֵיהֶ֔ם	כְּקוֹל֙	מַ֣יִם	רַבִּ֔ים	כְּקוֹל־	שַׁדַּ֔י
私は–聞いた	を	音を	翼の	のような	水の	大–いなる	のような	全能者の–声
H8085	H0853	H7754	H3671	H7754	H4325	H7227	H7754	H7706

בְּלֶכְתָּ֣ם קוֹל֙ הַֽמְּלָ֔ה כְּקוֹל֙ מַחֲנֶ֔ה תִּרְפֶּ֖ינָה בְּעָמְדָ֣ם כַּנְפֵיהֶֽן׃

בְּלֶכְתָּ֣ם	קוֹל֙	הַֽמְּלָ֔ה	כְּקוֹל֙	מַחֲנֶ֔ה	תִּרְפֶּ֖ינָה	בְּעָמְדָ֣ם	כַּנְפֵיהֶֽן׃
進む–とき	音は	騒がしさの	のような	軍勢の–声	垂れ–下がった	止まる–とき	翼は
H3212	H7754	H1999	H7754	H4264	H7503	H5975	H3671

その行く時、わたしは大水の声、全能者の声のような翼の声を聞いた。その声の響きは大軍の声のようで、そのとどまる時は翼をたれる。

תִּרַפֶּינָה	בְּעָמְדָם	רֹאשָׁם	עַל־	אֲשֶׁר	לָרָקִיעַ	מֵעַל	קוֹל	וַיְהִי־	25
垂れ-下がった	止まる-とき	頭の-上の	の	その	大空の	上から	声が	そして-あった	
H7503	H5975				H7549			H1961	

כַּנְפֵיהֶן׃
翼は
H3671

また彼らの頭の上の大空から声があった。彼らが立ちとどまる時は翼をおろした。

דְּמוּת	סַפִּיר	אֶבֶן־	כְּמַרְאֵה	רֹאשָׁם	עַל־	אֲשֶׁר	לָרָקִיעַ	וּמִמַּעַל	26
姿の	サファイアの	石の	のような	頭の-上の	の	その	大空の	そして-上の-方に	
H1823	H5601	H0068	H4758				H7549	H4605	

מִלְמָעְלָה׃	עָלָיו	אָדָם	כְּמַרְאֵה	דְּמוּת	הַכִּסֵּא	דְּמוּת	וְעַל	כִּסָּא
上の-方から	その-上に	人の	のような	姿は	王座の	姿の	その-上に	王座が-あり
H4605		H0120	H4758	H1823	H3678	H1823		H3678

彼らの頭の上の大空の上に、サファイヤのような位の形があった。またその位の形の上に、人の姿のような形があった。

מָתְנָיו	מִמַּרְאֵה	סָבִיב	לָהּ	בֵּית־	אֵשׁ	כְּמַרְאֵה־	חַשְׁמַל	כְּעֵין	וָאֵרֶא	27
腰の	外見から	周りに	それに	家の	火の	のような	琥珀の	のような	私は-見た	
H4975	H4758	H5439			H0784	H4758	H2830		H7200	

לוֹ	וְנֹגַהּ	אֵשׁ	כְּמַרְאֵה־	רָאִיתִי	וּלְמַטָּה	מָתְנָיו	וּמִמַּרְאֵה	וּלְמָעְלָה
それに	そして-輝きが	火の	のような	私は-見た	下の-方は	腰の	外見から	上の-方と
	H5051	H0784	H4758	H7200	H4295	H4975	H4758	H4605

סָבִיב׃
周りに-あった
H5439

そしてその腰とみえる所の上の方に、火の形のような光る青銅の色のものが、これを囲んでいるのを見た。わたしはその腰とみえる所の下の方に、火のようなものを見た。そして彼のまわりに輝きがあった。

הַנֹּגַהּ	מַרְאֵה	כֵּן	הַגֶּשֶׁם	בְּיוֹם	בֶּעָנָן	יִהְיֶה	אֲשֶׁר	הַקֶּשֶׁת	כְּמַרְאֵה	28
輝きが	外見の	そのように	雨の	日の	雲の-中に	ある	その	虹の	のような	
H5051	H4758		H1653	H3117	H6051	H1961		H7198	H4758	

עַל־	וָאֶפֹּל	וָאֵרֶא	יְהוָה	כְּבוֹד־	דְּמוּת	מַרְאֵה	הוּא	סָבִיב
の-上に	ひれ伏した	私は-見て	主の-であった	栄光の	姿の	外見の	これが	周りに-あった
	H5307	H7200	H3068	H3519	H1823	H4758	H1931	H5439

ס	מְדַבֵּר׃	קוֹל	וָאֶשְׁמַע	פָּנַי
（区切り）	語る-者の	声を	そして-聞いた	顔の
	H1696		H8085	H6440

そのまわりにある輝きのさまは、雨の日に雲に起るにじのようであった。主の栄光の形のさまは、このようであった。わたしはこれを見て、わたしの顔をふせたとき、語る者の声を聞いた。

Chapter 2

אִתָּךְ׃	וַאֲדַבֵּר	רַגְלֶיךָ	עַל־	עֲמֹד	אָדָם	בֶּן־	אֵלַי	וַיֹּאמֶר	1
お前に	そうすれば-語ろう	足の	の-上に	立て	人の	子	私に	そして-言われた	
H0853	H1696	H7272		H5975	H0120		H0413	H0559	

彼はわたしに言われた、「人の子よ、立ちあがれ、わたしはあなたに語ろう」。

2

וָאֶשְׁמַע
そして-聞いた
H8085
רַגְלָי
足の
H7272
עַל־
の-上に
וַתַּעֲמִדֵנִי
立たせた
H5975
אֵלַי
私に
H0413
דֹּבֵר
語られた
H1696
כְּאֶשֶׁר
その-とき
H7307
רוּחַ
霊が
H7307
בִּי
私に
H0935
וַתָּבֹא
入って-来た
H0935

פ
（区切り）
אֵלָי׃
私に
H0413
מְדַבֵּר
語る-者が
H1696
אֵת
を
H0853

そして彼がわたしに語られた時、霊がわたしのうちに入り、わたしを立ちあがらせた。そして彼のわたしに語られるのを聞いた。

3

יִשְׂרָאֵל
イスラエルの
H3478
בְּנֵי
子ら
אֶל־
へ
H0413
אֹתְךָ
お前を
H0853
אֲנִי
わたしは
H0589
שֹׁלֵחַ
遣わす
H7971
אָדָם
人の
H0120
בֶּן־
子
אֵלַי
私に
H0413
וַיֹּאמֶר
そして-言われた
H0559

פָּשְׁעוּ
そむいた
H6586
וַאֲבוֹתָם
また-その-先祖たちも
H0001
הֵמָּה
彼ら
H1992
בִּי
わたしに
מָרְדוּ־
背いた
H4775
אֲשֶׁר
彼らは
הַמּוֹרְדִים
反逆する
H4775
גּוֹיִם
国々
אֶל־
へ
H0413

הַזֶּה׃
この
H2088
הַיּוֹם
今日の
H3117
עֶצֶם
まさに
H6106
עַד־
まで
H5704
בִּי
わたしに

彼はわたしに言われた、「人の子よ、わたしはあなたをイスラエルの民、すなわちわたしにそむいた反逆の民につかわす。彼らもその先祖も、わたしにそむいて今日に及んでいる。

4

וְאָמַרְתָּ
そして-言え
H0559
אֲלֵיהֶם
彼らに
H0413
אֹתְךָ
お前を
H0853
שֹׁלֵחַ
遣わす
H7971
אֲנִי
わたしは
H0589
לֵב
心の
וְחִזְקֵי־
かたくなな
H2389
פָנִים
顔の
H6440
קְשֵׁי
厚かましく
H7186
וְהַבָּנִים
子らは

יְהוָה׃
神は
H3069
אֲדֹנָי
主
H0136
אָמַר
言われる
H0559
כֹּה
こう
H3541
אֲלֵיהֶם
彼らに
H0413

彼らは厚顔で強情な者たちである。わたしはあなたを彼らにつかわす。あなたは彼らに『主なる神はこう言われる』と言いなさい。

5

וְיֵדָעוּ
知るであろう
H3045
הֵמָּה
彼らは
H1992
מְרִי
反逆の
H4805
בֵּית
家は
כִּי
なぜなら
יֵחָדֵלוּ
拒んでも
H2308
וְאִם־
もし
יִשְׁמְעוּ
聞いても
H8085
אִם־
もし
וְהֵמָּה
彼らが
H1992

פ
（区切り）
בְתוֹכָם׃
彼らの-中に
H8432
הָיָה
いた
H1961
נָבִיא
預言者が
H5030
כִּי
と

彼らは聞いても、拒んでも、（彼らは反逆の家だから）彼らの中に預言者がいたことを知るだろう。

6

כִּי
たとえ
תִירָא
恐れる-こと
H3372
אַל־
ない
H0408
וּמִדִּבְרֵיהֶם
その-言葉を
H1697
מֵהֶם
彼らを
H1992
תִירָא
恐れる-こと
H3372
אַל־
ない
H0408
אָדָם
人の
H0120
בֶּן־
子
וְאַתָּה
あなたは

מִדִּבְרֵיהֶם
その-言葉を
H1697
יוֹשֵׁב
住んでも
H3427
אַתָּה
あなたが
עַקְרַבִּים
さそりの-中に
H6137
וְאֶל־
また-の
H0413
אוֹתָךְ
あなたに-あっても
H0853
וְסַלּוֹנִים
あざみが
H5544
סָרָבִים
いばらが
H5621

הֵמָּה׃
彼らは-ある
H1992
מְרִי
反逆の
H4805
בֵּית
家で
כִּי
なぜなら
תֵחַת
おじる-こと
H2865
אַל־
ない
H0408
וּמִפְּנֵיהֶם
その-顔を
H6440
תִירָא
恐れる-こと
H3372
אַל־
ない
H0408

人の子よ、彼らを恐れてはならない。彼らの言葉をも恐れてはならない。たといあざみといばらがあなたと一緒にあっても、またあなたが、さそりの中に住んでも、彼らの言葉を恐れてはならない。彼らの顔をはばかってはならない。彼らは反逆の家である。

7	וְדִבַּרְתָּ	אֶת־	אֵלֵיהֶם	דְּבָרַי	אִם־	יִשְׁמְעוּ	וְאִם־	יֶחְדָּלוּ	כִּי	מְרִי
	を	H0853	彼らに	H0413	わたしの–言葉を	H1697	もし	H8085	聞いても	H4805	なぜなら	H2308	拒んでも	H3808	反逆–者で

	פ	הֵמָּה׃
	（区切り）	彼らは–ある
		H1992

彼らが聞いても、拒んでも、あなたはただわたしの言葉を彼らに語らなければならない。彼らは反逆の家だから。

8	וְאַתָּה	בֶּן־	אָדָם	שְׁמַע	אֵת	אֲשֶׁר־	אֲנִי	מְדַבֵּר	אֵלֶיךָ	אַל־
	あなたは	子	人の	聞け	を	わたしが	わたしが	語る–ことを	あなたに	ない
			H0120	H8085	H0853		H0589	H1696	H0413	H0408

תְּהִי־	מֶרִי	כְּבֵית	הַמֶּרִי	פְּצַה	פִּיךָ	וְאֶכֹּל	אֵת	אֲשֶׁר־	
なる–こと	反逆–者に	のような	反逆の–家の	開け	口を	そして–食べよ	を	わたしが	
H1961	H4805		H4805	H6475	H6310	H0398	H0853		

אֵלֶיךָ׃	נֹתֵן	אֲנִי
あなたに	与える–ものを	わたしが
H0413	H5414	H0589

人の子よ、わたしがあなたに語るところを聞きなさい。反逆の家のようにそむいてはならない。あなたの口を開いて、わたしが与えるものを食べなさい」。

9	וָאֶרְאֶה	וְהִנֵּה־	יָד	שְׁלוּחָה	אֵלָי	וְהִנֵּה־	בָהּ	מְגִלַּת־	סֵפֶר׃
	私は–見た	そして–見よ	手が	差し伸べられた	私に	すると–見よ	それに	巻物が	書の
	H7200	H2009	H3027	H7971	H0413	H2009		H4039	

この時わたしが見ると、見よ、わたしの方に伸べた手があった。また見よ、手の中に巻物があった。

10	וַיִּפְרֹשׂ	אוֹתָהּ	לְפָנַי	וְהִיא	כְתוּבָה	פְּנִים	וְאָחוֹר	וְכָתוּב	אֵלֶיהָ	
	広げられた	それを	私の–前に	それは	書かれていた	表にも	裏にも	書かれて–いた	それには	
	H6566	H0853	H6440	H1931	H3789	H6440	H0268	H3789	H0413	

	ס	וָהִי׃	וְהֶגֶה	קִנִים
	（区切り）	悲しみが	嘆きと	哀歌と
		H1958	H1899	H7015

彼がわたしの前にこれを開くと、その表にも裏にも文字が書いてあった。その書かれていることは悲しみと、嘆きと、災の言葉であった。

Chapter 3

1	אֶת־	אֱכוֹל	אֱכוֹל	תִּמְצָא	אֲשֶׁר־	אֵת	בֶּן־	אָדָם	אֵלַי	וַיֹּאמֶר
	を	食べよ	食べよ	見つけて	見つける–ものを	を	人の	子	私に	そして–言われた
	H0853	H0398	H0398	H4672		H0853	H0120		H0413	H0559

יִשְׂרָאֵל׃	בֵּית	אֶל־	דַּבֵּר	וְלֵךְ	הַזֹּאת	הַמְּגִלָּה	
イスラエルの	家に	に	語れ	そして–行け	この	この–巻物を	
H3478		H0413	H1696	H3212	H2063	H4039	

彼はわたしに言われた。「人の子よ、あなたに与えられたものを食べなさい。この巻物を食べ、行ってイスラエルの家に語りなさい」。

2 וָאֶפְתָּ֖ח אֶת־ פִּ֑י וַיַּאֲכִלֵ֖נִי אֶת֙ הַמְּגִלָּ֣ה הַזֹּֽאת׃
私は–開いた を 口を そして–食べさせられた を この–巻物を この
H0853 H6310 H0398 H0853 H4039 H2063

そこでわたしが口を開くと、彼はわたしにその巻物を食べさせた。

3 וַיֹּ֣אמֶר אֵלַ֔י בֶּן־ אָדָ֕ם בִּטְנְךָ֥ תַאֲכֵ֖ל וּמֵעֶ֣יךָ תְמַלֵּ֑א
そして–言われた 私に 子 人の あなたの–腹を 食べさせ あなたの–はらわたを 満たせ
H0559 H0413 H1121 H0120 H0990 H0398 H4578 H4390

וָאֹכְלָ֔ה וַתְּהִ֥י בְּפִ֖י כִּדְבַ֥שׁ לְמָתֽוֹק׃ פ
私は–食べた そして–あった 口の–中で のように 甘く–蜜の （区切り）
H0398 H1961 H6310 H1706 H4966

そして彼はわたしに言われた、「人の子よ、わたしがあなたに与えるこの巻物を食べ、これであなたの腹を満たしなさい」。わたしがそれを食べると、それはわたしの口に甘いこと蜜のようであった。

4 וַיֹּ֣אמֶר אֵלַ֔י בֶּן־ אָדָ֕ם לֵ֥ךְ־ בֹּ֖א אֶל־ בֵּ֣ית יִשְׂרָאֵ֑ל וְדִבַּרְתָּ֖
そして–言われた 私に 子 人の 行け 来い へ 家に イスラエルの そして–語れ
H0559 H0413 H1121 H0120 H3212 H0935 H0413 H1004 H3478 H1696

בִּדְבָרָ֖י אֲלֵיהֶֽם׃
わたしの–言葉で 彼らに
H1697 H0413

彼はまたわたしに言われた、「人の子よ、イスラエルの家に行って、わたしの言葉を語りなさい。

5 כִּ֣י לֹ֤א אֶל־ עַם֙ עִמְקֵ֣י שָׂפָ֔ה וְכִבְדֵ֖י לָשׁ֑וֹן אַתָּ֥ה שָׁלוּחַ֙ אֶל־
なぜなら ない へ 民に 難解な 唇の 重い 言葉の あなたは 遣わされる へ
H3808 H0413 H5971 H6012 H8193 H3515 H3956 H0859 H7971 H0413

בֵּ֖ית יִשְׂרָאֵֽל׃
家に イスラエルの
H1004 H3478

わたしはあなたを、異国語を用い、舌の重い民につかわすのでなく、イスラエルの家につかわすのである。

6 וְלֹ֣א אֶל־ עַמִּ֣ים רַבִּ֗ים עִמְקֵי־ שָׂפָה֙ כִּבְדֵ֣י לָשׁ֔וֹן אֲשֶׁ֥ר לֹא־ תִשְׁמַ֖ע
ない へ 民々に 多くの 難解な 唇の 重い 言葉の その ない 理解できる
H3808 H0413 H5971 H6012 H8193 H3515 H3956 H0834 H3808 H8085

דְּבָרֵיהֶ֑ם אִם־ לֹ֣א אֲלֵיהֶם֮ שְׁלַחְתִּיךָ֣ הֵ֔מָּה יִשְׁמְעוּ֙ אֵלֶ֔יךָ׃
その–言葉を もし ないのか 彼らに わたしが–遣わしたのなら 彼らは 聞いたであろう あなたに
H1697 H0518 H3808 H0413 H7971 H1992 H8085 H0413

すなわちあなたがその言葉を知らない、異国語の舌の重い多くの民につかわすのではない。もしわたしがあなたをそのような民につかわしたら、彼らはあなたに聞いたであろう。

7

אֹבִים	אֵינָם	כִּי־	אֵלַיִךְ	לִשְׁמֹעַ	יֹאבוּ	לֹא	יִשְׂרָאֵל	וּבֵית
望まない	ない	なぜなら	あなたに	聞く-ことを	望まない	ない	イスラエルの	しかし-家は
H0014	H0369		H0413	H8085	H0014	H3808	H3478	

לֵב	וְקִשֵׁי־	מֵצַח	חִזְקֵי־	יִשְׂרָאֵל	בֵּית	כֹּל־	כִּי	אֵלַי	לִשְׁמֹעַ
心の	かたくなな	額の	強情な	イスラエルの	家は	すべての	なぜなら	わたしに	聞く-ことを
	H7186	H4696	H2389	H3478		H3605		H0413	H8085

הֵמָּה׃
彼らは-ある
H1992

しかしイスラエルの家はあなたに聞くのを好まない。彼らはわたしに聞くのを好まないからである。イスラエルの家はすべて厚顔でまた強情である。

8

מִצְחֵךְ	וְאֶת־	פְּנֵיהֶם	לְעַזֹּת	חֲזָקִים	פָּנַיִךְ	אֶת־	נָתַתִּי	הִנֵּה
あなたの-額を	また-を	その-顔に	に-対して	強く	あなたの-顔を	を	わたしは-した	見よ
H4696	H0853	H6440	H5980	H2389	H6440	H0853	H5414	H2009

מִצְחָם׃	לְעַזֹּת	חָזָק
その-額に	に-対して	強く
H4696	H5980	H2389

見よ、わたしはあなたの顔を彼らの顔に向かって堅くし、あなたの額を彼らの額に向かって堅くした。

9

אוֹתָם	תִּירָא	לֹא־	מִצְחֵךְ	נָתַתִּי	מִצֹּר	חָזָק	כְּשָׁמִיר		
彼らを	恐れる-こと	ない	あなたの-額を-金剛石の	わたしは-した	岩よりも	強く	のように		
H0853	H3372	H3808	H4696	H5414	H6864	H2389	H8068		

פ	הֵמָּה׃	מְרִי	בֵּית־	כִּי	מִפְּנֵיהֶם	תֵּחַת	וְלֹא־
（区切り）	彼らは-ある	反逆の	家で	なぜなら	その-前で	おじる-こと	ない
	H1992	H4805			H6440	H2865	H3808

わたしはあなたの額を岩よりも堅いダイヤモンドのようにした。ゆえに彼らを恐れてはならない。彼らの顔をはばかってはならない。彼らは反逆の家である」。

10

אֲדַבֵּר	אֲשֶׁר	דְּבָרַי	כָּל־	אֶת־	אָדָם	בֶּן־	אֵלַי	וַיֹּאמֶר
語る	わたしが	わたしの-言葉を	すべての	を	人の	子	私に	そして-言われた
H1696		H1697	H3605	H0853	H0120		H0413	H0559

שְׁמָע׃	וּבְאָזְנֶיךָ	בִּלְבָבְךָ	קַח	אֵלֶיךָ
聞け	耳で	心の-中に	受けよ	あなたに
H8085	H0241	H3824	H3947	H0413

また彼はわたしに言われた、「人の子よ、わたしがあなたに語るすべての言葉をあなたの心におさめ、あなたの耳に聞きなさい。

11

אֲלֵיהֶם	וְדִבַּרְתָּ	עַמֶּךָ	בְּנֵי	אֶל־	הַגּוֹלָה	אֶל־	בֹּא	וְלֵךְ	
彼らに	そして-語れ	あなたの-民の	子らに	へ	捕囚の-民へ	へ	来い	そして-行け	
H0413	H1696			H0413	H1473	H0413	H0935	H3212	

יֶחְדָּלוּ׃	וְאִם־	יִשְׁמְעוּ	אִם־	יְהוָה	אֲדֹנָי	אָמַר	כֹּה	אֲלֵיהֶם	וְאָמַרְתָּ
拒んでも	もし	聞いても	もし	神は	主	言われる	こう	彼らに	そして-言え
H2308		H8085		H3069	H0136	H0559	H3541	H0413	H0559

そして捕囚の人々、あなたの民の人々の所へ行って、彼らが聞いても、彼らが拒んでも、『主なる神はこう言われる』と彼らに言いなさい」。

12 וַתִּשָּׂאֵנִי רוּחַ וָאֶשְׁמַע אַחֲרַי קוֹל רַעַשׁ גָּדוֹל בָּרוּךְ כְּבוֹד־יְהוָה מִמְּקוֹמוֹ׃
持ち上げた 霊が-私を 私は-聞いた 後ろに 声を 響きの 大きな ほめたたえよ 栄光を 主の その-場所から
H5375 H7307 H8085 H0310 H7494 H1288 H3519 H3068 H4725

時に霊がわたしをもたげた。そして主の栄光がその所からのぼった時、わたしの後に大いなる地震の響きを聞いた。

13 וְקוֹל כַּנְפֵי הַחַיּוֹת מַשִּׁקוֹת אִשָּׁה אֶל־אֲחוֹתָהּ וְקוֹל הָאוֹפַנִּים אֲחוֹתָם רַעַשׁ גָּדוֹל׃
そして-音を 翼の 生き物の 触れ合う 互いに と 隣の-ものと 輪の 響きの 大きな
H3671 H2416 H8264 H0802 H0413 H0269 H0212 H7494

それは互に相触れる生きものの翼の音と、そのかたわらの輪の音で、大いなる地震のように響いた。

14 וְרוּחַ נְשָׂאַתְנִי וַתִּקָּחֵנִי וָאֵלֵךְ מַר בַּחֲמַת רוּחִי יְהוָה וְיַד־יְהוָה עָלַי חָזָקָה׃
霊が 持ち上げた-私を 連れて-行った 私は-行った 苦く 怒りの-中で 霊の 主の 手が 私の-上に 強く-あった
H7307 H5375 H3947 H3212 H4751 H2534 H7307 H3068 H3027 H2388

霊はわたしをもたげ、わたしを取り去ったので、わたしは心を熱くし、苦々しい思いで出て行った。主の手が強くわたしの上にあった。

15 וָאָבוֹא אֶל־הַגּוֹלָה תֵּל אָבִיב הַיֹּשְׁבִים נְהַר־כְּבָר וָאֵשֵׁב שָׁם הֵמָּה יוֹשְׁבִים שָׁם שִׁבְעַת יָמִים מְשֹׁמֵם בְּתוֹכָם׃]ואשר( )וָאֵשֵׁב
私は-来た へ 捕囚の-民の テル アビブに 住んでいる の 川の ケバルの-ほとりに 私は-座った そこに 七 日の-間 荒然として 彼らの-中に [読み変え] 私は-座った
H0935 H0413 H1473 H8512 H3427 H0413 H5104 H3529 H3427 H8033 H3427 H1992 H3427 H8074 H8432

そしてわたしはケバル川のほとりのテルアビブにいる捕囚の人々のもとへ行き、七日の間、驚きあきれて彼らの中に座した。

16 וַיְהִי מִקְצֵה שִׁבְעַת יָמִים וַיְהִי דְבַר־יְהוָה אֵלַי לֵאמֹר׃ פ
あった 終わりに 七 日の （区切り） あった 言葉が 主の 私に 言って
H1961 H7651 H3117 H1961 H1697 H3068 H0413 H0559

七日過ぎて後、主の言葉がわたしに臨んだ、

17 בֶּן־אָדָם צֹפֶה נְתַתִּיךָ לְבֵית יִשְׂרָאֵל וְשָׁמַעְתָּ מִפִּי וְהִזְהַרְתָּ אוֹתָם מִמֶּנִּי׃
子 人の 見張りとして わたしは-立てた 家の-ために イスラエルの 聞き わたしの-口から そして-警告せよ 彼らを わたしから
H1121 H0120 H6822 H5414 H1004 H3478 H8085 H6310 H2094 H0853 H1697

「人の子よ、わたしはあなたをイスラエルの家のために見守る者とした。あなたはわたしの口から言葉を聞くたびに、わたしに代って彼らを戒めなさい。

18

דַּבֵּרְךָ	וְלֹא	הִזְהַרְתּוֹ	וְלֹא	תָמוּת	מָוֹת	לָרָשָׁע	בְּאָמְרִי
語らないなら	また-ない	警告しないなら	しかし-ない	死ぬ	必ず	悪人に	言う-とき
H1696	H3808		H3808	H4191	H4191	H7563	H0559

יָמוּת	בַּעֲוֹנוֹ	רָשָׁע	הוּא	לְחַיֹּתוֹ	הָרְשָׁעָה	מִדַּרְכּוֹ	רָשָׁע	לְהַזְהִיר
死ぬ	その-罪の-中で	悪人は	彼は	生かす-ために	悪しき	その-道から	悪人に	警告する-ために
H4191	H5771	H7563	H1931	H2421	H7563	H1870	H7563	

אֲבַקֶּשׁ׃	מִיָּדֶךָּ	וְדָמוֹ
わたしは-求める	お前の-手から	しかし-その-血を
H1245	H3027	H1818

わたしが悪人に『あなたは必ず死ぬ』と言うとき、あなたは彼の命を救うために彼を戒めず、また悪人を戒めて、その悪い道から離れるように語らないなら、その悪人は自分の悪のために死ぬ。しかしその血をわたしはあなたの手から求める。

19

מֵרִשְׁעוֹ	שָׁב	וְלֹא־	רָשָׁע	הִזְהַרְתָּ	כִּי־	וְאַתָּה	
その-悪から	立ち返らないなら	しかし-ない	悪人に	警告して	もし	しかし-あなたが	
H7562	H7725	H3808	H7563				

הִצַּלְתָּ׃	נַפְשְׁךָ	אֶת־	וְאַתָּה	יָמוּת	בַּעֲוֹנוֹ	הוּא	הָרְשָׁעָה	וּמִדַּרְכּוֹ
救う	自分の-魂を	を	しかし-あなたは	死ぬ	その-罪の-中で	彼は	悪しき	その-道から
H5337	H5315	H0853		H4191	H5771	H1931	H7563	H1870

ס
（区切り）

しかし、もしあなたが悪人を戒めても、彼がその悪をも、またその悪い道をも離れないなら、彼はその悪のために死ぬ。しかしあなたは自分の命を救う。

20

מִכְשֹׁל	וְנָתַתִּי	עָוֶל	וְעָשָׂה	מִצִּדְקוֹ	צַדִּיק	וּבְשׁוּב	
つまずきを	わたしが-置くなら	不正を	そして-行う	正義から	正しい-者が	また-立ち返る-とき	
H4383	H5414			H6664	H6662	H7725	

וְלֹא	יָמוּת	בְּחַטָּאתוֹ	הִזְהַרְתּוֹ	לֹא	כִּי	יָמוּת	הוּא	לְפָנָיו
そして-ない	死ぬ	その-罪の-中で	警告しなかったので	ない	なぜなら	死ぬ	彼は	その-前に
H3808	H4191			H3808		H4191	H1931	H6440

אֲבַקֶּשׁ׃	מִיָּדֶךָּ	וְדָמוֹ	עָשָׂה	אֲשֶׁר	צִדְקָתוֹ	תִּזָּכֹרְנָה
わたしは-求める	お前の-手から	そして-その-血を	行った	彼が	その-正義は	覚えられない
H1245	H3027	H1818			H6666	H2142

また義人がその義にそむき、不義を行うなら、わたしは彼の前に、つまずきを置き、彼は死ぬ。あなたが彼を戒めなかったゆえ、彼はその罪のために死に、その行った義は覚えられない。しかしその血をわたしはあなたの手から求める。

21

וְהוּא	צַדִּיק	חֲטֹא	לְבִלְתִּי	צַדִּיק	הִזְהַרְתּוֹ	כִּי	וְאַתָּה	
そして-彼が	正しい-者が	罪を-犯す	ない-ように	正しい-者に	警告して	もし	しかし-あなたが	
H1931	H6662	H2398	H1115	H6662				

אֶת־	וְאַתָּה	נִזְהָר	כִּי	יִחְיֶה	חָיוֹ	חָטָא	לֹא־	
を	そして-あなたは	警告されたから	なぜなら	生きる	確かに	罪を-犯さないなら	ない	
H0853				H2421	H2421	H2398	H3808	

ס	הִצַּלְתָּ׃	נַפְשְׁךָ	
（区切り）	救う	自分の-魂を	
	H5337	H5315	

けれども、もしあなたが義人を戒めて、罪を犯さないように語り、そして彼が罪を犯さないなら、彼は戒めを受けいれたゆえに、その命を保ち、あなたは自分の命を救う」。

22 וַתְּהִי עָלַי שָׁם יַד־יְהוָה וַיֹּאמֶר אֵלַי קוּם צֵא אֶל־הַבִּקְעָה וְשָׁם אֲדַבֵּר אוֹתָךְ׃
あった 私に-上に そこで 手が 主の そして-言われた 私に 立て 出て-行け へ 平野へ そこで 語ろう お前に
H1961 H5921 H8033 H3027 H3068 H0559 H0413 H6965 H3318 H0413 H1237 H8033 H1696 H0853

その所で主の手がわたしの上に臨み、彼はわたしに言われた、「立って、平野に出て行きなさい。その所でわたしはあなたに語ろう」。

23 וָאָקוּם וָאֵצֵא הַבִּקְעָה אֶל־כְּבוֹד יְהוָה עֹמֵד כַּכָּבוֹד אֲשֶׁר רָאִיתִי עַל־נְהַר־כְּבָר וָאֶפֹּל עַל־פָּנָי׃
私は-立ち上がった 出て-行った へ 平野へ 栄光が 主の 立って-いた のような-栄光の わたしが 見た の 川の ケバルの-ほとりでの 私は-ひれ伏した の-上に 顔の
H6965 H3318 H0413 H1237 H3519 H3068 H5975 H3519 H0834 H7200 H5921 H5104 H3529 H5307 H5921 H6440

そこで、わたしは立って平野に出て行った。見よ、主の栄光が、かつてわたしがケバル川のほとりで見た栄光のように、その所に立ち現れたので、わたしはひれ伏した。

24 וַתָּבֹא־בִי רוּחַ וַתַּעֲמִדֵנִי עַל־רַגְלַי וַיְדַבֵּר אֹתִי וַיֹּאמֶר אֵלַי בֹּא הִסָּגֵר בְּתוֹךְ בֵּיתֶךָ׃
入って-来た 私に 霊が 立たせた の-上に 足の 語った 私に そして-言われた 私に
H0935 H0413 H7307 H5975 H5921 H7272 H1696 H0854 H0559 H0413

行け 閉じこもれ の-中に 家の
H0935 H5462 H8432 H1004

しかし霊がわたしのうちにはいって、わたしを立ちあがらせ、わたしに語って言った、「行って、あなたの家にこもっていなさい。

25 וְאַתָּה בֶּן־אָדָם הִנֵּה נָתְנוּ עָלֶיךָ עֲבוֹתִים וַאֲסָרוּךְ בָּהֶם וְלֹא תֵצֵא בְּתוֹכָם׃
あなたは 子 人の 見よ かけられる あなたに 縄が 縛られる それで できない その-中から 出る-ことが
H0859 H1121 H0120 H2009 H5414 H5921 H6060 H0631 H0413 H3808 H8432 H3318

人の子よ、見よ、彼らはあなたの上になわをかけ、それであなたを縛り、あなたを民の中に行かせないようにする。

26 וְלִשְׁוֹנְךָ אַדְבִּיק אֶל־חִכֶּךְ וְנֶאֱלַמְתָּ וְלֹא תִהְיֶה לָהֶם כִּי בֵית מְרִי הֵמָּה׃
あなたの-舌を わたしは-つける に 上あごに 黙る そして-ない なる-ことが 彼らには なぜなら 家で 反逆の 彼らは-ある
H3956 H1692 H0413 H2441 H0481 H3808 H1961 H0834 H3068 H4805 H1992

戸める 人に
H3198 H0376

わたしはあなたの舌を上あごにつかせ、あなたをおしにして、彼らを戒めることができないようにする。彼らは反逆の家だからである。

27 וּבְדַבְּרִי אִתְּךָ אֶפְתַּח אֶת־פִּיךָ וְאָמַרְתָּ אֲלֵיהֶם כֹּה אָמַר אֲדֹנָי
וּבְ דַבְּ רִי אִתְּ ךָ אֶפְתַּ ח אֶת־ פִּ יךָ וְ אָמַרְ תָּ אֲלֵיהֶם כֹּה אָמַר אֲדֹנָי
しかし–語る–とき お前に 開く を 口を そして–言え 彼らに こう 言われる 主
H1696 H0853 H0853 H6310 H0559 H0413 H3541 H0559 H0136

ס הַמֶּה׃ מְרִי בֵּית כִּי יֶחְדָּל וְהֶחָדֵל יִשְׁמָע וְהַשֹּׁמֵעַ יְהוָה
(区切り) הַמֶּה׃ מְרִי בֵּית כִּי יֶחְדָּל וְהֶחָדֵל יִשְׁמָע וְהַשֹּׁמֵעַ יְהוָה
彼らは–ある 反逆の 家で なぜなら 拒め 拒む–者は 聞け 聞く–者は 神は
H1992 H4805 H1004 H3588 H2308 H2310 H8085 H8085 H3069

しかし、わたしがあなたと語るときは、あなたの口を開く。あなたは彼らに『主なる神はこう言われる』と言わなければならない。聞く者は聞くがよい、拒む者は拒むがよい。彼らは反逆の家だからである。

Chapter 4

1 וְאַתָּה בֶּן־אָדָם קַח־לְךָ לְבֵנָה וְנָתַתָּה אוֹתָהּ לְפָנֶיךָ
וְ אַתָּ ה בֶּן־ אָדָ ם קַ ח־ לְ ךָ לְ בֵנָ ה וְ נָתַתָּ ה אוֹתָ הּ לְ פָנֶ יךָ
あなたは 子 人の 取れ 自分の–ために れんがを そして–置け それを 前に
H0859 H1121 H0120 H3947 H3843 H5414 H0853 H6440

וְחַקּוֹתָ עָלֶיהָ עִיר אֶת־ יְרוּשָׁלָ͏ִם׃
וְ חַקּוֹתָ עָלֶ יהָ עִ יר אֶת־ יְרוּשָׁלָ͏ִם׃
そして–刻め それに 都を を エルサレムを
H2710 H5921 H5892 H0853 H3389

人の子よ、一枚のかわらを取って、あなたの前に置き、その上にエルサレムの町を描きなさい。

2 וְנָתַתָּה עָלֶיהָ מָצוֹר וּבְנֵיתָ עָלֶיהָ דָּיֵק וְשָׁפַכְתָּ עָלֶיהָ סֹלְלָה
וְ נָתַתָּ ה עָלֶ יהָ מָצוֹר וּ בְנֵיתָ עָלֶ יהָ דָּיֵק וְ שָׁפַכְתָּ עָלֶ יהָ סֹלְלָה
そして–仕掛けよ それに 包囲を 築け それに 壁を そして–積み上げよ それに 土塁を
H5414 H5921 H4692 H1129 H5921 H1785 H8210 H5921 H5550

וְנָתַתָּה עָלֶיהָ מַחֲנוֹת וְשִׂים־ עָלֶיהָ כָּרִים סָבִיב׃
וְ נָתַתָּ ה עָלֶ יהָ מַחֲנוֹת וְ שִׂים־ עָלֶ יהָ כָּרִים סָבִיב׃
そして–配置せよ それに 陣営を そして–置け それに 破城槌を 周りに
H5414 H5921 H4264 H7760 H5921 H3603 H5439

そしてこれを取り囲み、これにむかって雲梯を設け、塁を築き、陣を張り、その回りに城くずしを備えてこれを攻めなさい。

3 וְאַתָּה קַח־לְךָ בַרְזֶל וְנָתַתָּה אוֹתָהּ קִיר בַּרְזֶל בֵּינְךָ וּבֵין הָעִיר
וְ אַתָּ ה קַ ח־ לְ ךָ בַרְזֶ ל וְ נָתַתָּ ה אוֹתָ הּ קִ יר בַּרְזֶ ל בֵּ ינְ ךָ וּ בֵין הָ עִ יר
あなたは 取れ 自分の–ために 鉄の そして–置け それを 壁の–ように 鉄の 間に お前と の–間に 都の
H0859 H3947 H7760 H1270 H5414 H0853 H7023 H1270 H0996 H0996 H0996 H5892

וְהָיְתָה בַמָּצוֹר וְהַכִּינוֹתָ אֶת־ פָּנֶיךָ אֵלֶיהָ וְהָיְתָה הִיא אוֹת
וְ הָיְתָ ה בַמָּצוֹר וְ הַכִּינוֹתָ אֶת־ פָּנֶ יךָ אֵלֶ יהָ וְ הָיְתָ ה הִ יא אוֹת
それは–ある 包囲の–中に そして–向けよ を 顔を それに–向けて それは–ある しるしで–ある
H1961 H4692 H3559 H0853 H6440 H0413 H1961 H1931 H0226

ס לְבֵית יִשְׂרָאֵל׃ וְצַרְתָּ עָלֶיהָ
(区切り) לְבֵית יִשְׂרָאֵל׃ וְצַרְתָּ עָלֶיהָ
家に–対する イスラエルの それを 囲め
H1004 H3478 H6696 H5921

また鉄の板をとり、それをあなたと町の間に置いて鉄の壁となし、あなたの顔をこれに向けなさい。町をこのように囲んで、その包囲を押し進めなさい。これがイスラエルの家のしるしである。

4 וְאַתָּה שְׁכַב עַל־ צִדְּךָ הַשְּׂמָאלִי וְשַׂמְתָּ אֶת־ עֲוֹן בֵּית־ יִשְׂרָאֵל
וְ אַתָּ ה שְׁכַב עַל־ צִדְּ ךָ הַ שְּׂמָאלִ י וְ שַׂמְתָּ אֶת־ עֲוֹן בֵּ ית־ יִשְׂרָאֵל
あなたは 横たわれ の–上に 側の 左の そして–負え を 罪を 家の イスラエルの
H0859 H7901 H5921 H6654 H8042 H7760 H0853 H5771 H1004 H3478

עֲוֹנָם׃ אֵת־ תִּשָּׂא עָלָיו תִּשְׁכַּב אֲשֶׁר הַיָּמִים מִסְפַּר עָלָיו
עֲוֹנָם׃ אֵת־ תִּשָּׂא עָלָיו תִּשְׁכַּב אֲשֶׁר הַיָּמִים מִסְפַּר עָלָיו
その–罪を を 負う その–上に 横たわる その 日の 数の その–上に
H5771 H0853 H5375 H5921 H7901 H0834 H3117 H4557 H5921

あなたはまた自分の左脇を下にして寝なさい。わたしはあなたの上にイスラエルの家の罰を置く。あなたはこのようにして寝ている日の間、彼らの罰を負わなければならない。

5 וְאַתָּה֙ נָתַתִּי֙ לְךָ֔ אֶת־שְׁנֵי֙ עֲוֹנָ֔ם לְמִסְפַּ֖ר יָמִ֑ים שְׁלֹשׁ־מֵא֥וֹת וְתִשְׁעִ֖ים
私は 与えた お前に を 年数を その-罪の としての 日数を 三百 百 九十
H0589 H5414 H0853 H8141 H5771 H4557 H3117 H7969 H3967 H8673

יוֹם֙ וְנָשָׂאתָ֣ עֲוֹ֔ן בֵּ֖ית־יִשְׂרָאֵ֑ל׃
日 負え 罪を 家の イスラエルの
H3117 H5375 H5771 H1004 H3478

わたしは彼らの罰の年数に等しいその日数、すなわち三百九十日をあなたのために定める。その間あなたはイスラエルの家の罰を負わなければならない。

6 וְכִלִּיתָ֣ אֶת־אֵ֠לֶּה וְשָׁכַבְתָּ֨ עַל־צִדְּךָ֤ שֵׁנִית֙ (הַיְמָנִי֔) [הימיני] וְנָשָׂאתָ֖
終えたら を これらを 横たわれ の-上に 側の 再び 右の [読み変え] そして-負え
H3615 H0853 H0428 H7901 H5921 H6654 H8145 H3233 H3225 H5375

אֶת־עֲוֹ֣ן בֵּית־יְהוּדָ֔ה אַרְבָּעִ֥ים יוֹם֙ יוֹם֙ לַשָּׁנָ֔ה יוֹם֙ לַשָּׁנָ֔ה יוֹם֙ נָתַ֣תִּיו
を 罰を 家の ユダの 四十 日 日を 年の-ために 日を 年の-ために 定めた
H0853 H5771 H1004 H3063 H0705 H3117 H3117 H8141 H3117 H8141 H5414

לָֽךְ׃
お前に
H0

あなたはその期間を終ったなら、また右脇を下にして寝て、ユダの家の罰を負わなければならない。わたしは一日を一年として四十日をあなたのために定める。

7 וְאֶל־יְרוּשָׁלַ֙͏ִם֙ מְצ֣וֹר תָּכִ֔ין פָּנֶ֖יךָ וּזְרֹעֲךָ֣ חָשׂוּפָ֑ה וְנִבֵּ֥אתָ
そして-の エルサレムの 包囲に-向けて 向けよ 顔を 腕を-露わにして 腕を 預言せよ
H0413 H3389 H4692 H3559 H6440 H2220 H2834 H5012

עָלֶֽיהָ׃
それに-対して
H0

あなたは自分の顔をエルサレムの包囲の方に向け、腕をあらわし、町に向かって預言しなければならない。

8 וְהִנֵּ֤ה נָתַ֙תִּי֙ עָלֶ֣יךָ עֲבוֹתִ֔ים וְלֹא־תֵהָפֵ֥ךְ מִצִּדְּךָ֖ אֶל־צִדֶּ֑ךָ
見よ わたしは-かける 縄を できない 寝返りを-打つ-ことが 側から へ 側の
H2009 H5414 H5688 H3808 H2015 H6654 H0413 H6654

עַד־מַלְאֹ֥ת יְמֵ֖י מְצוֹרֶֽךָ׃
まで 日々の 包囲の
H5704 H3117 H4692

見よ、わたしはあなたに、なわをかけて、あなたの包囲の期間の終るまで、左右に動くことができないようにする。

9 וְאַתָּה קַח־לְךָ חִטִּין וּשְׂעֹרִים וּפוֹל וַעֲדָשִׁים וְדֹחַן וְכֻסְּמִים
あなたは 取れ 自分の–ために 小麦と 大麦と そら豆と レンズ豆と きびと スペルト小麦を
H3947 H2406 H8184 H6321 H5742 H1764 H3698

וְנָתַתָּה אוֹתָם בִּכְלִי אֶחָד וְעָשִׂיתָ אוֹתָם לְךָ לְלֶחֶם מִסְפַּר
そして–入れよ それらを 器の–中に 一つの そして–作れ それらを 自分の–ために パンに 数の
H5414 H0853 H3627 H0259 H0853 H3899 H4557

הַיָּמִים אֲשֶׁר־אַתָּה שׁוֹכֵב עַל־צִדְּךָ הַשְּׁלֹשׁ מֵאוֹת וְתִשְׁעִים יוֹם
日の 横たわる あなたが その 日の 三百 側の の–上に 百 九十 日の–間
H3117 H7901 H0859 H3967 H8673 H3117

תֹּאכְלֶנּוּ׃
食べよ–それを
H0398

あなたはまた小麦、大麦、豆、レンズ豆、あわ、はだか麦を取って、一つの器に入れ、これでパンを造り、あなたが横になって寝る日の数、すなわち三百九十日の間これを食べなければならない。

10 וּמַאֲכָלְךָ אֲשֶׁר תֹּאכְלֶנּוּ בְּמִשְׁקָל עֶשְׂרִים שֶׁקֶל לַיּוֹם מֵעֵת עַד־עֵת תֹּאכְלֶנּוּ׃
食物は その 食べる 重さで 二十 シェケル 日に 時から の 時まで 食べよ–それを
H3978 H0398 H4946 H6242 H8255 H3117 H6256 H5704 H6256 H0398

あなたが食べる食物は量って一日に二十シケルである。あなたは一日に一度これを食べなければならない。

11 וּמַיִם בְּמִשּׁוּרָה תִּשְׁתֶּה שְׁשִׁית הַהִין מֵעֵת עַד־עֵת עֵת תִּשְׁתֶּה׃
水は 量って 飲め 六分の–一の ヒンを 時から の 時まで 飲め
H4325 H4884 H8354 H8345 H1969 H6256 H5704 H6256 H8354

また水を量って一ヒンの六分の一を一日に一度飲まなければならない。

12 וְעֻגַת שְׂעֹרִים תֹּאכְלֶנָּה וְהִיא בְּגֶלְלֵי צֵאַת הָאָדָם תְּעֻגֶנָּה לְעֵינֵיהֶם׃
そして–菓子を 大麦の 食べよ それは の–上で 排泄物の 人の 焼け 彼らの–目の–前で
H5692 H8184 H0398 H1931 H1561 H6627 H0120 H5746

ס
（区切り）

あなたは大麦の菓子のようにしてこれを食べなさい。すなわち彼らの目の前でこれを人の糞で焼かなければならない」。

13 וַיֹּאמֶר יְהוָה כָּכָה יֹאכְלוּ בְנֵי־יִשְׂרָאֵל אֶת־לַחְמָם טָמֵא בַּגּוֹיִם אֲשֶׁר אַדִּיחֵם שָׁם׃
そして–言われた 主は このように 食べる 子らは を イスラエルの パンを 汚れた 諸国の–中で その 追い–散らす そこで
H0559 H3068 H3602 H0398 H0853 H3478 H3899 H2931 H1471 H5080 H8033

そして主は言われた、「このようにイスラエルの民はわたしが追いやろうとする国々の中で汚れたパンを食べなければならない」。

14

וְנִבְלָה מְטֹמָאָה לֹא נַפְשִׁי הִנֵּה יְהוִה אֲדֹנָי אֲהָהּ וָאֹמַר
死肉も 汚れて-いません ない 私の-魂は 見てください 神よ 主 ああ 私は-言った
H5038 H3808 H5315 H2009 H3069 H0136 H0162 H0559

בָּא וְלֹא־ עַתָּה וְעַד־ מִנְּעוּרַי אָכַלְתִּי לֹא־ וּטְרֵפָה
入った-ことが また-ない 今まで まで 若い-時から 食べた-ことが ない 引き裂かれた-ものも
H0935 H3808 H6258 H5704 H0398 H3808 H2966

ס פִּגּוּל׃ בְּשָׂר בְּפִי
（区切り） 汚れた 肉は 口に
H6292 H1320 H6310

そこでわたしは言った、「ああ、主なる神よ、わたしは自分を汚したことはありません。わたしは幼い時から今日まで、自然に死んだものや、野獣に裂き殺されたものを食べたことはありません。また汚れた肉がわたしの口にはいったことはありません」。

15

וַיֹּאמֶר אֵלַי רְאֵה נָתַתִּי לְךָ אֶת־ [צפועין] (צְפִיעֵי) הַבָּקָר
そして-言われた 私に 見よ わたしは-与える お前に を [読み変え] 糞を 牛の
H0559 H0413 H7200 H5414 H0413 H0853 H6832 H6832 H1241

ס עֲלֵיהֶם׃ לַחְמְךָ אֶת־ וְעָשִׂיתָ הָאָדָם גֶּלְלֵי תַּחַת
（区切り） それの-上で パンを を そして-作れ 人の 排泄物の の-代わりに
H3899 H0853 H0120 H1561 H8478

すると彼はわたしに言われた、「見よ、わたしは牛の糞をもって人の糞に換えることをあなたにゆるす。あなたはそれで自分のパンを整えなさい」。

16

וַיֹּאמֶר אֵלַי בֶּן־ אָדָם הִנְנִי שֹׁבֵר מַטֵּה־ לֶחֶם בִּירוּשָׁלִַם
そして-言われた 私に 子 人の 見よ-わたしは 絶つ 支えを パンの エルサレムで
H0559 H0413 H0120 H2009 H7665 H4294 H3899 H3389

וְאָכְלוּ־ לֶחֶם בְּמִשְׁקָל בְּדָאגָה וּבְדֹאגָה וּמַיִם בְּמִשּׁוּרָה וּבְשִׁמָּמוֹן יִשְׁתּוּ׃
そして-食べる パンを 重さで-量って 心配しながら 水も 量って 恐れながら 飲む
H0398 H3899 H4948 H1674 H4325 H4884 H8078 H8354

またわたしに言われた、「人の子よ、見よ、わたしはエルサレムで人のつえとするパンを打ち砕く。彼らはパンを量って、恐れながら食べ、また水を量って驚きながら飲む。

17

לְמַעַן וְחָסְרוּ לֶחֶם וָמַיִם וְנָשַׁמּוּ אִישׁ וְאָחִיו וְנָמַקּוּ בַּעֲוֹנָם׃
の-ために 不足する パンと 水が 恐れおののき 互いに 兄弟と そして-衰える その-罪の-中で
H4616 H2637 H3899 H4325 H8074 H0376 H0251 H4743 H5771

פ
（区切り）

これは彼らをパンと水とに乏しくし、互に驚いて顔を見合わせ、その罰のために衰えさせるためである。

Chapter 5

1 וְאַתָּה בֶּן־אָדָם קַח־לְךָ חֶרֶב חַדָּה תַּעַר הַגַּלָּבִים תִּקָּחֶנָּה
あなたは 子 人の 取れ 自分の–ために 鋭い 剣を 剃刀を 理髪師の 取れ
H0853 H1121 H0120 H3947 H3947 H2299 H2719 H8593 H1532 H3947

וְהַעֲבַרְתָּ לְךָ עַל־רֹאשְׁךָ וְעַל־זְקָנֶךָ וְלָקַחְתָּ לְךָ מֹאזְנֵי
自分の–ために 剃れ –そして 頭の –を–上 そして ひげを –そして 取れ –そして 自分の–ために 秤を
H3947 H8593 H7218 H5921 H7218 H2206 H3947 H3976

וְחִלַּקְתָּם׃ מִשְׁקָל
–そして 分けよ 計りの
H2505 H4948

人の子よ、鋭いつるぎを取り、それを理髪師のかみそりとして、あなたの頭と、ひげとをそり、はかりで量って、その毛を分けなさい。

2 שְׁלִשִׁית בָּאֵשׁ תַּבְעִיר בְּתוֹךְ הָעִיר כִּמְלֹאת יְמֵי הַמָּצוֹר וְלָקַחְתָּ אֶת־
三分の–一を 火で 燃やせ の–中で 都の 満ちる–とき 日々が 包囲の –そして 取れ を
H7992 H0784 H1197 H8432 H5892 H4390 H3117 H4692 H3947 H0853

הַשְּׁלִשִׁית וְהִכִּיתָ בַּחֶרֶב סְבִיבוֹתֶיהָ הַשְּׁלִשִׁית תְּזָרֶה לָרוּחַ וְחֶרֶב אָרִיק אַחֲרֵיהֶם׃
三分の–一を 打て 剣で その–周りで 三分の–一を まき–散らせ 風に –そして 剣を 拝く その–後に
H7992 H5221 H2719 H5439 H7992 H2219 H7307 H2719 H7324 H310

その三分の一は包囲の期間の終る時、町の中で火で焼き、また三分の一を取り、つるぎで町のまわりでこれを打ち、さらに三分の一を風に散らしなさい。わたしはつるぎを抜いて、彼らのあとを追う。

3 וְלָקַחְתָּ מִשָּׁם מְעַט בְּמִסְפָּר וְצַרְתָּ אוֹתָם בִּכְנָפֶיךָ׃
取れ そこから 少しを 数で –そして 包め それらを 衣の–裾に
H3947 H8033 H4592 H4557 H6887 H853 H3671

あなたはその毛を少し取って、衣のすそに包み、

4 וּמֵהֶם תִּקַּח עוֹד וְהִשְׁלַכְתָּ אוֹתָם אֶל־תּוֹךְ הָאֵשׁ וְשָׂרַפְתָּ
それらから また 取り 投げ入れよ それらを の–中に 中に 火の –そして 燃やせ
H1992 H5750 H3947 H7993 H853 H0413 H8432 H0784 H8313

בָּאֵשׁ אֹתָם תֵּצֵא מִמֶּנּוּ אֵשׁ אֶל־כָּל־בֵּית יִשְׂרָאֵל׃ פ
火で それらを 出る そこから 火が へ すべての 家に イスラエルの （区切り）
H0784 H0853 H3318 H4480 H0784 H0413 H3605 H1004 H3478

またそのうちから少しを取って火の中に投げ入れ、火でこれを焼きなさい。火はその中から出て、イスラエルの全家に及ぶ。

5 כֹּה אָמַר אֲדֹנָי יְהוִה זֹאת יְרוּשָׁלַ͏ִם בְּתוֹךְ הַגּוֹיִם שַׂמְתִּיהָ וּסְבִיבוֹתֶיהָ
こう 言われる 主は 神は これが エルサレムである の–中に 諸国の 置いた その–周りに
H3541 H0559 H0136 H3069 H2063 H3389 H8432 H1471 H5439

אֲרָצוֹת׃
国々が–ある
H0776

主なる神はこう言われる、わたしはこのエルサレムを万国の中に置き、国々をそのまわりに置いた。

6

וַתָּמֶר אֶת־ מִשְׁפָּטַי לְרִשְׁעָה מִן־ הַגּוֹיִם וְאֶת־ חֻקּוֹתַי
しかし-変えた を わたしの-おきてを 悪に よりも 諸国よりも また-を わたしの-定めを
H4784 H0853 H4941 H7564 H0853 H2708

מִן־ הָאֲרָצוֹת אֲשֶׁר סְבִיבוֹתֶיהָ כִּי בְמִשְׁפָּטַי מָאָסוּ וְחֻקּוֹתַי לֹא־
よりも 国々よりも その 周りの なぜなら わたしの-おきてを 退けた わたしの-定めに ない
H0776 H5439 H4941 H2708 H3808

בָהֶם׃ הָלְכוּ ס
その-中に 歩まなかった （区切り）
H1980

エルサレムは他の国々よりも悪しく、わたしのおきてにそむき、そのまわりの国々よりもわたしの定めにそむいた。すなわち彼らはわたしのおきてを捨て、わたしの定めに歩まなかった。

7

לָכֵן כֹּה־ אָמַר אֲדֹנָי יְהוִה יַעַן הֲמֻנְכֶם מִן־ הַגּוֹיִם אֲשֶׁר
それゆえ こう 言われる 主 神は の-ゆえに 騒ぎが よりも 諸国よりも その
H3541 H0559 H0136 H3069 H3282

סְבִיבוֹתֵיכֶם בְּחֻקּוֹתַי לֹא הֲלַכְתֶּם וְאֶת־ מִשְׁפָּטַי לֹא עֲשִׂיתֶם
周りの わたしの-定めに ない 歩まず わたしの-を おきてを ない 行わず
H5439 H2708 H3808 H1980 H0853 H4941 H3808

וּכְמִשְׁפְּטֵי הַגּוֹיִם אֲשֶׁר סְבִיבוֹתֵיכֶם לֹא עֲשִׂיתֶם׃ ס
のような-おきてすら その 諸国の 周りの ない 行わなかった （区切り）
H4941 H5439 H3808

それゆえ主はこう言われる、あなたがたはそのまわりにいる異邦人よりも狂暴であって、わたしの定めに歩まず、わたしのおきてを行わず、むしろ、あなたがたの回りにいる異邦人のおきてを守っていた。

8

לָכֵן כֹּה אָמַר אֲדֹנָי יְהוִה הִנְנִי גַּם־ אֲנִי עָלַיִךְ לְעֵינֵי הַגּוֹיִם׃ מִשְׁפָּטִים בְּתוֹכֵךְ וְעָשִׂיתִי
それゆえ こう 言われる 主 神は 見よ-わたしは まことに わたしが お前に-対して 諸国の 目の-前で さばきを お前の-中で 行う
H3541 H0559 H0136 H3069 H2009 H1571 H0589 H4941 H8432

それゆえ主なる神はこう言われる、見よ、わたしはあなたを攻め、異邦人の目の前で、あなたの中にさばきを行う。

9

וְעָשִׂיתִי בָּךְ אֵת אֲשֶׁר לֹא־ אֲשֶׁר לֹא־ עָשִׂיתִי וְאֵת אֲשֶׁר־ לֹא תֵעָשֶׂה
行う お前に を ない-ことを ない 行った-ことが また-を ない-ことを
H0853 H3808 H0853 H3808

כָּמֹהוּ עוֹד לְכָל־ יַעַן תּוֹעֲבֹתָיִךְ׃ ס
同じような-ことは 再び すべての の-ゆえに 忌まわしい-ものの （区切り）
H3644 H5750 H3605 H3282 H8441

あなたのもろもろの憎むべき事のために、わたしがまだした事のないような事、またこの後ふたたびしないような事をあなたに対してする。

10

לָכֵן אֲבוֹת יֹאכְלוּ בָנִים בְּתוֹכֵךְ בָּנִים יֹאכְלוּ אֲבוֹתָם וְעָשִׂיתִי בָךְ שְׁפָטִים
それゆえ 父が 食べる 子を お前の-中で 子が 食べる 父を 行う お前に さばきを
H0001 H0398 H1121 H8432 H1121 H0398 H0001 H6213 H8201

כָּל־ לְכָל־ רוּחַ׃ זָרִיתִי אֶת־ שְׁאֵרִיתֵךְ פ
すべての あらゆる 方角に そして-まき-散らす を 残りの-者を （区切り）
H3605 H3605 H7307 H2219 H0853 H7611

それゆえ、あなたのうちで父はその子を食い、子はその父を食う。わたしはあなたに対してさばきを行い、あなたのうちの残りの者をことごとく四方の風に散らす。

11 לָכֵן חַי־ אֲנִי נְאֻם אֲדֹנָי יְהוִה אִם־ לֹא יַעַן אֶת־
それゆえ 生きている わたしが 告げる 主 神は 確かに ないのか の-ゆえに を
H3808 H3282 H3853

מִקְדָּשִׁי טִמֵּאת אֶת־ כָּל־ שִׁקּוּצַיִךְ וּבְכָל־ תּוֹעֲבֹתָיִךְ וְגַם־ אֲנִי
わたしの-聖所を 汚した すべての 忌まわしい-もので すべての 忌むべき-ことで まことに わたしも
H4720 H3605 H8251 H3605 H8441 H1571 H0589

אֶחְמֹל׃ לֹא וְלֹא־ אֲנִי וְגַם־ עֵינִי תָּחוֹס לֹא וְלֹא־ אֶגְרַע
あわれまない ない わたしも まことに わたしの-目は 惜しむ-ことは そして-ない 削る
H2550 H3808 H0589 H1639 H2347 H3808 H1639

それゆえ、主なる神は言われる、わたしは生きている。あなたはその忌むべき物と、その憎むべき事とをもって、わたしの聖所を汚したので、わたしは必ずあなたの数を減らす。わたしの目はあなたを惜しみ見ず、またわたしはあなたをあわれまない。

12 שְׁלִשְׁתַּיִךְ בַּדֶּבֶר יָמוּתוּ וּבָרָעָב יִכְלוּ בְתוֹכֵךְ וְהַשְּׁלִשִׁית בַּחֶרֶב יִפְּלוּ
お前の-三分の-一は 疫病で 死ぬ 飢饉で 絶える お前の-中で 三分の-一は 剣で 倒れる
H7992 H1698 H4191 H7458 H3615 H8432 H7992 H2719 H5307

סְבִיבוֹתָיִךְ בַּחֲרִיהֶם אַחֲרֵיהֶם׃ אָרִיק וְחֶרֶב אֶזְרֶה רוּחַ לְכָל־ וְהַשְּׁלִישִׁית
その-周りで 三分の-一を あらゆる 方角に まき-散らし 剣を 拝く その-後に
H5439 H7992 H7307 H2219 H2719 H7324

あなたの三分の一はあなたの中で疫病で死に、ききんで滅び、三分の一はあなたのまわりでつるぎに倒れ、三分の一は四方の風に散らされる。わたしはつるぎを抜いてそのあとを追う。

13 וְכִלָּה אַפִּי וַהֲנִחוֹתִי חֲמָתִי בָּם וְהִנָּחַמְתִּי וְיָדְעוּ
尽きる わたしの-怒りが 休ませる わたしの-憤りを 彼らに-対して 慣らされる そして-知る
H3615 H0639 H5117 H2534 H5162 H3045

בְּדַבֵּרִי יְהוָה אֲנִי כִּי־ בְּקִנְאָתִי בְּכַלּוֹתִי חֲמָתִי בָּם׃
語ったと 主が わたし わたしが 熱心で 尽くす-とき わたしの-憤りを 彼らに-対して
H1696 H3068 H0589 H7068 H3615 H2534

こうしてわたしは怒りを漏らし尽し、憤りを彼らの上に漏らして、満足する。こうして、わたしの憤りを彼らの上に漏らし尽した時、彼らは主であるわたしが熱心に語ったことを知るであろう。

14 וְאֶתְּנֵךְ לְחָרְבָּה וְלִחֳרָפָה בַּגּוֹיִם אֲשֶׁר סְבִיבוֹתָיִךְ לְעֵינֵי כָּל־
わたしは-する 廃姻に そして-そしりに 諸国の-中で その 周りの 目の-前で すべての
H5414 H2723 H2781 H1471 H5439 H3605

עוֹבֵר׃
通る-者の

わたしはまわりにある国々の中と、すべてそばを通る者の目の前であなたを滅亡とあざけりに渡す。

15 וְהָיְתָה חֶרְפָּה וּגְדוּפָה מוּסָר וּמְשֹׁמָּה לַגּוֹיִם אֲשֶׁר סְבִיבוֹתָיִךְ בַּעֲשׂוֹתִי
なる そしりと なぶりと 戒めと 荒れ残りと 諸国に-対して その 周りの 行う-とき
H1961 H2781 H1422 H4148 H4923 H1471 H5439

דִּבַּרְתִּי׃ יְהוָה אֲנִי חֵמָה וּבְתוֹכָחוֹת וּבְחֵמָה בְּאַף שְׁפָטִים בָּךְ
語った 主が わたし 憤りの 戒めの-叱責で 憤りで 怒りで さばきを お前に
H1696 H3068 H0589 H2534 H2534 H0639 H8201

わたしが怒りと、憤りと、重い懲罰とをもって、あなたに対してさばきを行う時、あなたはそのまわりにある国々のあざけりとなり、そしりとなり、戒めとなり、驚きとなる。これは主であるわたしが語るのである。

16 בְּשַׁלְּחִי אֶת־חִצֵּי הָרָעָב הָרָעִים אֲשֶׁר הָיוּ לְמַשְׁחִית אֲשֶׁר־אֲשַׁלַּח
放つ それを 滅びの-ための あった それは 彼らに 悪い 飢饉の 矢を を 放つ-とき
H7971 H4889 H1961 H7458 H2671 H0853 H7971

וְשָׁבַרְתִּי לָכֶם מַטֵּה־ לֶחֶם׃ וְרָעָב אוֹתָם לְשַׁחֶתְכֶם אֹסֵף עֲלֵיכֶם
そして-絶つ お前たちの-ために 支えを パンの 飢饉を それらを 滅ぼす-ために 加える お前たちに
H7665 H4294 H3899 H7458 H7843 H3254 H0853

すなわち、わたしがあなたを滅ぼすききんの矢、滅亡の矢をあなたに放つ時、わたしはあなたを滅ぼすために放つのだ。わたしはあなたの上にききんを増し加え、あなたがつえとするパンを打ち砕く。

17 וְשִׁלַּחְתִּי עֲלֵיכֶם רָעָב וְחַיָּה רָעָה וְשִׁכְּלֶךָּ וְדֶבֶר וְדָם יַעֲבָר־ בָּךְ
遣わす お前たちに 飢饉と 獣と 悪い 子を-失わせる 疫病と 流血が 通り-過ぎる お前を
H7971 H7458 H2416 H7451 H1698 H1818

וְחֶרֶב אָבִיא עָלַיִךְ אֲנִי יְהוָה דִּבַּרְתִּי׃ פ
剣を もたらす お前に わたし 主が 語った （区切り）
H2719 H0935 H0589 H3068 H1696

わたしはあなたにききんと野獣を送って、あなたの子を奪い取り、また疫病と流血にあなたの中を通らせ、またつるぎをあなたに送る。主であるわたしがこれを言う」。

Chapter 6

1 וַיְהִי דְבַר־ יְהוָה אֵלַי לֵאמֹר׃
あった 言葉が 主の 私に 言って
H1961 H1697 H3068 H0413 H0559

主の言葉が、わたしに臨んで言った、

2 בֶּן־ אָדָם שִׂים פָּנֶיךָ אֶל־ הָרֵי יִשְׂרָאֵל וְהִנָּבֵא אֲלֵיהֶם׃
子 人の 向けよ 顔を に-向けて 山々に イスラエルの そして-預言せよ それらに-対して
H1121 H0120 H7760 H6440 H0413 H2022 H3478 H5012 H0413

「人の子よ、あなたの顔をイスラエルの山々に向け、預言して、

3 וְאָמַרְתָּ הָרֵי יִשְׂרָאֵל שִׁמְעוּ דְּבַר־ אֲדֹנָי יְהוִה כֹּה־ אָמַר אֲדֹנָי יְהוִה
そして-言え 山々よ イスラエルの 聞け 言葉を 主 神の こう 言われる 主 神は
H0559 H2022 H3478 H8085 H1697 H0136 H3069 H3541 H0136 H3069

לֶהָרִים וְלַגְּבָעוֹת (וְלַגֵּאָיוֹת) [ולגאית] לָאֲפִיקִים וְלַגֵּבָעוֹת הִנְנִי אֲנִי מֵבִיא עֲלֵיכֶם חֶרֶב וְאִבַּדְתִּי בָּמֹתֵיכֶם׃
山に 丘に 派に [読み変え] 谷に わたしは 見よ-わたしは もたらす お前たちに 剣を そして-滅ぼす 高き-所を
H2022 H1389 H0650 H1516 H1516 H0589 H2009 H0935 H5315 H2719 H0006 H1116

言え。イスラエルの山々よ、主なる神の言葉を聞け。主なる神は山と丘と、谷と川に向かって、こう言われる、見よ、わたしはつるぎをあなたがたに送り、あなたがたの高き所を滅ぼす。

4 וְנָשַׁמּוּ מִזְבְּחוֹתֵיכֶם וְנִשְׁבְּרוּ חַמָּנֵיכֶם וְהִפַּלְתִּי חַלְלֵיכֶם לִפְנֵי גִּלּוּלֵיכֶם׃
荒れ果てる 祢壇が 破壊される 香の-台が 倒れさせる 殺された-者を の-前に 偶像の
H8074 H4196 H7665 H2553 H5307 H2491 H6440 H1544

あなたがたの祭壇は荒され、あなたがたの香の祭壇はこわされる。わたしはあなたがたの偶像の前に、あなたがたの殺された者を投げ出す。

5	וְנָתַתִּי	אֶת־	פִּגְרֵי	בְנֵי	יִשְׂרָאֵל	לִפְנֵי	גִּלּוּלֵיהֶם	וְזֵרִיתִי	אֶת־
	置く	を	死体を	子らの	イスラエルの	の–前に	偶像の	そして–まき–散らす	を
	H5414	H0853	H6297		H3478	H6440	H1544	H2219	H0853

עַצְמוֹתֵיכֶם	סְבִיבוֹת	מִזְבְּחוֹתֵיכֶם׃	
骨を	周りに	祢壇の	
H6106	H5439	H4196	

わたしはイスラエルの民の死体を彼らの偶像の前に置き、骨をあなたがたの祭壇のまわりに散らす。

6	וְיֶאְשְׁמוּ	יֶחֳרְבוּ	לְמַעַן	תִּשָּׁמְנָה	וְהַבָּמוֹת	תֶּחֱרַבְנָה	הֶעָרִים	מוֹשְׁבוֹתֵיכֶם	בְּכֹל
	贖う	荒れ果てる	の–ために	荒れる	高き–所が	荒れ果てる	都が	住まいで	すべての
	H0816		H4616	H3456	H1116			H4186	H3605

מַעֲשֵׂיכֶם׃	וְנִמְחוּ	חַמָּנֵיכֶם	וְנִגְדְּעוּ	גִּלּוּלֵיכֶם	וְנִשְׁבְּתוּ	וְנִשְׁבְּרוּ	מִזְבְּחוֹתֵיכֶם
所業が	拭い–去られる	香の–台が	切り–倒される	偶像が	滅びる	破壊される	祢壇が
		H2553	H1438	H1544		H7665	H4196

すべてあなたがたの住む所で町々は滅ぼされ、高き所は荒される。こうしてあなたがたの祭壇はこわし荒され、あなたがたの偶像は砕かれて滅び、あなたがたの香の祭壇は倒され、あなたがたのわざは消し去られる。

7	וְנָפַל	חָלָל	בְּתוֹכְכֶם	וִידַעְתֶּם	כִּי־	אֲנִי	יְהוָה׃
	倒れる	殺された–者が	お前たちの–中で	そして–知る	わたしが	わたし	主で–あると
	H5307		H8432	H3045		H0589	H3068

また殺された者はあなたがたのうちに倒れる。これによって、あなたがたはわたしが主であることを知るようになる。

8	וְהוֹתַרְתִּי	בִּהְיוֹת	לָכֶם	פְּלִיטֵי	חֶרֶב	בַּגּוֹיִם	בְּהִזָּרוֹתֵיכֶם	בָּאֲרָצוֹת׃
	残す	ある–とき	お前たちに	逃れた–者が	剣から	諸国の–中に	散らされる–とき	国々に
	H3498	H1961			H2719		H2219	H0776

わたしは、あなたがたのある者を生かしておく。あなたがたが、つるぎをのがれて国々の中におり、国々に散らされる時、

9	וְזָכְרוּ	פְלִיטֵיכֶם	אוֹתִי	בַּגּוֹיִם	אֲשֶׁר	נִשְׁבוּ־	שָׁם	אֲשֶׁר	נִשְׁבַּרְתִּי
	思い–出す	逃れた–者が	わたしを	諸国の–中で	そこで	捕らえられた	そこで	わたしが	砕いたと
	H2142		H0853			H7617	H8033		H7665

אַחֲרֵי	הַזֹּנּוֹת	עֵינֵיהֶם	וְאֶת	מֵעָלַי	סָר	אֲשֶׁר־	הַזּוֹנָה	לִבָּם	אֶת־
の–後を–追った	姦淫の	その–目を	また–を	わたしから	離れた	それが	姦淫の	その–心を	を
	H2181		H0853		H5493		H2181		H0853

תּוֹעֲבֹתֵיהֶם׃	לְכֹל	עָשׂוּ	אֲשֶׁר	הָרָעוֹת	אֶל־	בְּפְנֵיהֶם	וְנָקְטוּ	גִּלּוּלֵיהֶם
忌むべき–行いの	すべての	行った	彼らが	悪の–ゆえに	の	自分に–対して	嫁悪する	偶像の
H8441	H3605				H0413	H6440	H6962	H1544

あなたがたのうちののがれた者は、その捕え移された国々の中でわたしを思い出す。これはわたしが、彼らのわたしを離れた姦淫の心と、偶像を慕って姦淫を行う目をくじくからである。そして彼らはそのもろもろの憎むべきことと、その犯した悪のために、みずからをいとうようになる。

10	לָהֶם	לַעֲשׂוֹת	דִּבַּרְתִּי	חִנָּם	אֶל־	לֹא	יְהוָה	אֲנִי	כִּי־	וְיָדְעוּ
	彼らに	行うと	語った–ことを	空しく	の	ない	主が	わたし	わたしが	そして–知る
		H1696		H2600	H0413	H3808	H3068	H0589		H3045

פ	הָרָעָה	הַזֹּאת׃	
（区切り）	この–悪い–ことを	この	
		H2063	

そして彼らはわたしが主であることを知る。この災を彼らに対して下すと、わたしが言ったのは決してむなしい事ではない」。

אֶל	אָח	וֶאֱמָר־	בְּרַגְלְךָ֙	וּרְקַע	בְּכַפְּךָ֙	הַכֵּה	יְהוִה	אֲדֹנָי	אָמַר	כֹּה־
に–対して	ああ	そして–言え	足で	踏み鳴らせ	手で	打て	神は	主	言われる	こう
H0413	H0253	H0559	H7272	H7554	H3709	H5221	H3069	H0136	H0559	H3541

11

יִפְּלוּ׃	וּבַדֶּבֶר	בָּרָעָב	בַּחֶרֶב	אֲשֶׁר	יִשְׂרָאֵל	בֵּית	רָעוֹת	תּוֹעֲבוֹת	כָּל־
倒れる	疫病で	飢饉で	剣で	彼らは	イスラエルの	家の	悪い	忌むべき–ものの	すべての
H5307	H1698	H7458	H2719		H3478			H8441	H3605

主なる神はこう言われる、「あなたは手を打ち、足を踏みならして言え。ああ、イスラエルの家のすべての悪しき憎むべき者はわざわいだ。彼らはつるぎと、ききんと、疫病に倒れるからである。

יָמוּת	בָּרָעָב	וְהַנָּצוֹר	וְהַנִּשְׁאָר	יִפֹּל	בַּחֶרֶב	וְהַקָּרוֹב	יָמוּת	בַּדֶּבֶר	הָרָחֹק
死ぬ	飢饉で	囲まれた–者は	残った–者	倒れる	剣で	近くの–者は	死ぬ	疫病で	遠くの–者は
H4191	H7458	H5341	H7604	H5307	H2719	H7138	H4191	H1698	H7350

12

בָּם׃	חֲמָתִי	וְכִלֵּיתִי
彼らに–対して	わたしの–憤りを	こうして–尽くす
	H2534	H3615

遠くにいる者は疫病で死に、近くにいる者はつるぎに倒れる。生き残って身を全うする者はききんによって死ぬ。このようにわたしはわが憤りを彼らの上に漏らし尽す。

גִּלּוּלֵיהֶם	בְּתוֹךְ	חַלְלֵיהֶם	בִּהְיוֹת	יְהוָה	אֲנִי	כִּי־	וִידַעְתֶּם	
偶像の	の–中に	殺された–者が	ある–とき	主で–あると	わたし	わたしが	そして–知る	
H1544	H8432		H1961	H3068	H0589		H3045	

13

כָּל־	וְתַחַת	הֶהָרִים	רָאשֵׁי	וּבְכָל	רָמָה	גִּבְעָה	כָּל־	אֶל	מִזְבְּחוֹתֵיהֶם	סְבִיבוֹת
すべての	の–下に	山の	頂の	すべての	高い	丘の	すべての	の	祢壇の	周りに
H3605	H8478	H2022		H3605		H1389	H3605	H0413	H4196	H5439

רֵיחַ	שָׁם	נָתְנוּ־	אֲשֶׁר	מָקוֹם	עָבְתָּה	אֵלָה	כָּל־	וְתַחַת	רַעֲנָן	עֵץ
香りを	そこで	ささげた	そこで	場所で	茂った	樫の–木の	すべての	の–下に	青い	木の
H7381	H8033	H5414		H4725	H5687	H0424	H3605	H8478		H6086

גִּלּוּלֵיהֶם׃	לְכָל	נִיחֹחַ
偶像に	すべての	なだめる
H1544	H3605	H5207

彼らの殺される者がその偶像の中にあり、その祭壇のまわりにあり、すべての高き丘の上にあり、すべての山の頂にあり、すべての青木の下にあり、すべての茂ったかしの木の下にあり、彼らがこうばしいかおりを、すべての偶像にささげた所にある時、あなたがたはわたしが主であることを知るのである。

מִמִּדְבָּר	וּמִשַּׁמָּה	שְׁמָמָה	הָאָרֶץ	אֶת־	וְנָתַתִּי	עֲלֵיהֶם	יָדִי	אֶת־	וְנָטִיתִי
から	荒涼に	荒れ地に	地を	を	そして–する	彼らに–対して	手を	を	伸べる
	H4923		H0776	H0853	H5414		H3027	H0853	H5186

14

פ	יְהוָה׃	אֲנִי	כִּי־	וְיָדְעוּ	מוֹשְׁבוֹתֵיהֶם	בְּכָל	דִּבְלָתָה
（区切り）	主で–あると	わたし	わたしが	そして–知る	住まいで	すべての	ディブラの–荒野から
	H3068	H0589		H3045	H4186	H3605	H1689

わたしはまた手を彼らの上に伸べて、その地を荒し、すべて彼らの住む所を、荒野からリブラまで荒れ地とする。これによって彼らはわたしが主であることを知るようになる」。

Chapter 7

לֵאמֹר׃	אֵלַי	יְהוָה	דְּבַר־	וַיְהִי	
言って	私に	主の	言葉が	あった	
H0559	H0413	H3068	H1697	H1961	

1

主の言葉がまたわたしに臨んだ、

2 וְאַתָּה בֶן־אָדָם כֹּה־אָמַר אֲדֹנָי יְהוִה לְאַדְמַת יִשְׂרָאֵל קֵץ
そして–あなた 子よ 人の こう 言われる 主なる 神は 地に–対して イスラエルの 終わりが
H0559 H0136 H0069 H0127 H3478 H7093

הָאָרֶץ׃ כַּנְפוֹת (ארבעת) אַרְבַּע עַל־ הַקֵּץ בָּא
地の 隅々に 四つの 四つの の–上に 終わりが 来た
H0776 H3671 H0702 H0702 H7093 H0935

「人の子よ、イスラエルの地の終りについて主はこう言われる、この国の四方の境に終りが来た。

3 עַתָּה הַקֵּץ עָלַיִךְ וְשִׁלַּחְתִּי אַפִּי בָּךְ וּשְׁפַטְתִּיךְ
今や 終わりが あなたの–上に そして–送る 怒りを あなたに そして–裁く
H6258 H7093 H5921 H7971 H0639 H0413 H8199

כְּדַרְכָּיִךְ וְנָתַתִּי עָלַיִךְ אֶת כָּל־ תּוֹעֲבֹתָיִךְ׃
あなたの–行いの–通りに そして–報いる あなたの–上に を すべての 忌まわしいことを
H1870 H5414 H5921 H0853 H3605 H8441

いま、あなたの終りが来た。わたしはわが怒りをあなたに漏らし、あなたの行いに従って、あなたをさばき、あなたのもろもろの憎むべき物のためにあなたを罰する。

4 וְלֹא־ תָחוֹס עֵינִי עָלַיִךְ וְלֹא אֶחְמוֹל כִּי דְרָכַיִךְ
そして–ない 惜しまない わたしの–目は あなたを ない あわれまない なぜなら あなたの–行いを
H3808 H2347 H5869 H5921 H3808 H2550 H3588 H1870

אֲנִי כִּי־ יְדַעְתֶּם וְהָיָיִן תּוֹכֵךְ בְּתוֹכֵךְ וְתוֹעֲבוֹתַיִךְ עָלַיִךְ אֶתֵּן
わたしが こと そして–知る 現れる あなたの–中に あなたの–忌まわしさは 報いる あなたの–上に
H0589 H3588 H3045 H1961 H8432 H8441 H5414 H5921

יְהוָה׃ פ
主で–ある —
H3068

わたしの目はあなたを惜しみ見ず、またあなたをあわれまない。わたしはあなたの行いのためにあなたを罰する。あなたの憎むべき事があなたのうちにある。これによって、あなたがたはわたしが主であることを知るようになる。

5 כֹּה אָמַר אֲדֹנָי יְהוִה רָעָה אַחַת רָעָה הִנֵּה בָּאָה׃
こう 言われる 主なる 神は 災いが ただ–一つの 災いが 見よ 来る
H3541 H0559 H0136 H3069 H7451 H0259 H7451 H2009 H0935

主なる神はこう言われる、災が引き続いて起る。見よ、災が来る。

6 קֵץ בָּא בָּא הַקֵּץ הֵקִיץ עָלַיִךְ הִנֵּה בָּאָה׃
終わりが 来た 来た 終わりが 目覚めた 終わりが あなたに–向かって 見よ 来る
H7093 H0935 H0935 H7093 H6974 H7093 H0413 H2009 H0935

終りが来る。その終りが来る。それが起って、あなたに臨む。見よ、それが来る。

7 הַצָּפִירָה בָּאָה יוֹשֵׁב הָאָרֶץ בָּא הָעֵת קָרוֹב הַיּוֹם מְהוּמָה וְלֹא־
定めの–時が 来た 住む–者よ 地の 来た 時が 近い 日は 騒乱で もう–ない
H6843 H0935 H3427 H0776 H0935 H6256 H7138 H3117 H4103 H3808

הֶד הָרִים׃
山々の–喜びの–声は —
H1906 H2022

この地に住む者よ、あなたの最後の運命があなたに来た。時は来た。日が近づいた。混乱の日で、山々に聞える喜びの日ではない。

8 עַתָּה מְקֹרוֹב אֶשְׁפְּכָה חֲמָתִי עָלַיִךְ וְכִלִּיתִי אַפִּי בָּךְ וְשָׁפַטְתִּיךְ
今や 間もなく 注ぎ出す 憤りを あなたの–上に そして–尽くす 怒りを あなたに そして–裁く
H6258 H7138 H8210 H2534 H5414 H3615 H0639 H8199

כְּדָרָכַיִךְ וְנָתַתִּי עָלַיִךְ אֶת כָּל תּוֹעֲבוֹתָיִךְ׃
あなたの–行いの–通りに そして–報いる あなたの–上に を すべての 忌まわしいことを
H1870 H5414 H0853 H3605 H8441

今わたしは、すみやかにわたしの憤りをあなたの上に注ぎ、わたしの怒りをあなたに漏らし尽し、あなたの行いに従ってあなたをさばき、あなたのもろもろの憎むべき事のためにあなたを罰する。

9 וְלֹא תָחוֹס עֵינִי וְלֹא אֶחְמוֹל כְּדָרָכַיִךְ
そして–ない 惜しまない わたしの–目は ない あわれまない あなたの–行いの–通りに
H3808 H2347 H3808 H2550 H1870

וְיָדַעְתֶּם כִּי אֲנִי יְהוָה תְּהִיֶיךָ בְתוֹכֵךְ וְתוֹעֲבוֹתַיִךְ עָלַיִךְ אֶתֵּן׃ מַכֶּה
そして–知る こと わたしが 現れる あなたの–中に あなたの–忌まわしさは 報いる あなたの–上に 打つ–者で–ある
H3045 H3588 H0589 H1961 H8432 H8441 H5414 H5221

יְהוָה׃
主で
H3068

わたしの目はあなたを惜しみ見ず、またあなたをあわれまない。わたしはあなたの行いのためにあなたを罰する。あなたの憎むべき事があなたのうちにある。これによって、あなたがたは、主であるわたしがあなたを撃つことを知るようになる。

10 הִנֵּה הַיּוֹם הִנֵּה בָאָה יָצְאָה הַצְּפִירָה פָּרַח הַמַּטֶּה צָץ הַזָּדוֹן׃
見よ その–日が 見よ 来る 巡って–来た 定めの–時が 咲き誇った 杖は 芽吹いた 高慢は
H2009 H3117 H2009 H0935 H3318 H6843 H6524 H4294 H6779 H2087

見よ、その日を。また見よ、かの日が来た。あなたの最後の運命が来た。不義は花咲き、高ぶりは芽を出した。

11 הַחָמָס קָם לְמַטֵּה־רֶשַׁע לֹא מֵהֶם וְלֹא מֵהֲמוֹנָם וְלֹא וְלֹא
暴虐が 立ち–上がり 悪の–杖と–なった — 何も–ない 彼らから ない その–群衆から ない
H2555 H6965 H4294 H7562 H3808 H1992 H3808 H1993 H3808

מֵהֶמֶּהֶם וְלֹא נָהּ בָּהֶם׃
その–富から ない 嘆きが 彼らの–ために
H1991 H3808 H5089

暴虐はつのって悪のつえとなった。彼らもその群衆も、その富も消え、また彼らの名声も消えて何も残らなくなる。

12 בָּא הָעֵת הִגִּיעַ הַיּוֹם הַקּוֹנֶה אַל־יִשְׂמַח וְהַמּוֹכֵר אַל־יִתְאַבָּל
来た 時が 近づいた 日が 買う–者は するな 喜ぶことを 売る–者は するな 嘆くことを
H0935 H6256 H5060 H3117 H7069 H0408 H8055 H4376 H0408 H0056

כִּי חָרוֹן אֶל־כָּל הֲמוֹנָהּ׃
なぜなら 燃える–怒りが に–向かう すべての 群衆に
H2740 H0413 H3605

時は来た。日は近づいた。買う者は喜ぶな。売る者は悲しむな。怒りがすべての群衆の上に臨むからだ。

13 כִּי־ なぜなら H3588 הַמּוֹכֵר הַמִּמְכָּר֙ 売った-物に H4465 לֹֽא־ に H0413 יָשׁ֣וּב ない H3808 וְעוֹד֮ まだ H5750 בַּֽחַיִּים֒ 生きて-いる-間は H2416 הֵ֣מָּה 彼らの-命が H1992

חַיָּתָ֔ם その-命を H2416 בַּעֲוֹנ֖וֹ 咎の-中で H5771 וְאִ֣ישׁ そして-人は H0376 לֹ֣א ない H3808 יָשׁ֑וּב 取り消されない H7725 הֲמוֹנָ֣ה 群衆は H1995 כָּל־ すべての H3605 אֶל־ に-関し H0413 חָזוֹן 幻が H2377 כִּי־ こと H3588

לֹ֥א ない H3808 יִתְחַזָּֽקוּ׃ 強められない H2388

売る者はたとい生きていても、その売ったものに帰ることはない。怒りがそのすべての民衆の上にあるからだ。それはもとに帰らない。その不義のために、だれも命を全うすることはできない。

14 תָּקְע֥וּ 吹いた H8628 בַתָּקוֹעַ֙ 角笛を H8619 וְהָכִ֣ין そして-備えた H3559 הַכֹּ֔ל すべてを H3605 וְאֵין しかし-いない H0369 הֹלֵ֥ךְ 行く-者が H1980 לַמִּלְחָמָ֖ה 戦いに H4421 כִּי

なぜなら

חֲרוֹנִ֔י わたしの-怒りが H2740 אֶל־ に-向かう H0413 כָּל־ すべての H3605 הֲמוֹנָ֖הּ׃ 群衆に H1995

人々がラッパを吹いて備えをしても戦いに出る者はない。それはわたしの怒りがそのすべての群衆の上にあるからだ。

15 הַחֶ֣רֶב 剣が H2719 בַּחוּץ֮ 外に H2351 וְהַדֶּ֣בֶר 疫病と H1698 וְהָרָעָב֒ 飢饉が H7458 מִבַּ֣יִת 内に H1004 אֲשֶׁ֣ר 者は H834 בַּשָּׂדֶ֗ה 野に-いる H7704 בַּחֶ֙רֶב֙ 剣で H2719 יָמ֣וּת 死ぬ H4191 וַאֲשֶׁ֔ר そして-者は H834

יֹאכְלֻ֖נּוּ 食い尽くす H0398 וְדֶ֣בֶר 疫病が H1698 רָעָ֑ב 飢饉と H7458 בָּעִ֥יר 町に-いる H5892

外にはつるぎがあり、内には疫病とききんがある。畑にいる者はつるぎに死に、町にいる者はききんと疫病に滅ぼされる。

16 וּפָלְט֣וּ 逃れた H6403 פְלֵיטֵיהֶ֗ם 逃れた-者たちが H6412 וְהָי֤וּ そして-いた H1961 אֶל־ に H0413 הֶהָרִים֙ 山々に H2022 כְּיוֹנֵ֣י 鳩の-ように H3123 הַגְּאָיוֹת֒ 谷間の H1516 כֻּלָּ֔ם みな H3605 הֹמ֖וֹת うめいて H1993

אִ֥ישׁ おのおの H0376 בַּעֲוֹנ֖וֹ׃ 自分の-咎の-ゆえに H5771

そのうちの、のがれる者は谷間のはとのように山々に行って、おのおの皆その罪のために悲しむ。

17 כָּל־ すべての H3605 יָדַ֣יִם 手は H3027 תִּרָפֶ֔ינָה だらりと-垂れ H7503 וְכָל־ そして-すべての H3605 בִּרְכַּ֖יִם 膝は H1290 תֵּלַ֥כְנָה 流れる H3212 מָֽיִם׃ 水の-ように H4325

両手とも弱くなり、両ひざとも水のように弱くなる。

18 וְחָגְר֣וּ そして-まとった H2296 שַׂ֔קִּים 荒布を H8242 וְכִסְתָ֥ה そして-覆った H3680 אוֹתָ֖ם 彼らを H0853 וְאֵ֣ימָ֑ה そして H0413 פַּלָּצ֥וּת 恐怖が H6427 פָּנִ֖ים 顔に H6440 כָּל־ すべての H3605 בּוּשָׁ֑ה 恥があり H0955

קָרְחָ֖ה׃ 禿がある H7144 רָאשֵׁיהֶ֥ם 頭に H7218 וּבְכָל־ そして-すべての H3605

彼らは荒布を身にまとい、恐れが彼らをおおい、すべての顔には恥があらわれ、すべての頭は髪をそり落す。

19 כַּסְפָּם בַּחוּצוֹת יַשְׁלִיכוּ וְזָהָבָם לְנִדָּה יִהְיֶה כַּסְפָּם וְזָהָבָם לֹא־יוּכַל
銀を 通りに 投げ捨てる 金は 汚れた-物の-ように なる 銀も 金も ない できない
H3701 H2351 H7993 H2091 H5079 H1961 H3701 H2091 H3808 H3201

לְהַצִּילָם בְּיוֹם עֶבְרַת יְהוָה נַפְשָׁם לֹא יְשַׂבְּעוּ וּמֵעֵיהֶם לֹא יְמַלָּאוּ
救い出すことが 日に 激しい-怒りの 主の 魂を ない 満たさない 腹を ない 満たさない
H5337 H3117 H5678 H3068 H5315 H3808 H7646 H4578 H3808 H4390

כִּי־מִכְשׁוֹל עֲוֹנָם הָיָה׃
なぜなら つまずきと-なった 咎の —
H1961 H5771 H4383

彼らはその銀をちまたに捨て、その金はあくたのようになる。主の怒りの日には金銀も彼らを救うことはできない。それらは彼らの飢えを満足させることができない、またその腹を満たすことができない。それは彼らの不義のつまずきであったからだ。

20 וְצִבְיָ֣ עֶדְיוֹ֔ שָׂ֖מוּ לִגְאוֹן֑ תּוֹעֲבֹתָ֥ם שִׁקּוּצֵיהֶ֖ם
そして-美しさを 飾りの 誇りの-ために 用いた そして-像を 忌まわしい-ものの 汚らわしい-ものを
H6754 H5716 H1347 H8441 H8251

בְּתוֹכָ֖הּ עַל־כֵּ֥ן בְּנִדָּ֖ה לָהֶ֥ם נְתַתִּ֖יו׃
それで それ-ゆえ — 汚れた-物と-した 彼らに-とって わたしは-それを
H5414 H3651 H5079

彼らはその美しい飾り物を高ぶりのために用い、またこれをもってその憎むべき偶像と忌むべき物を造った。それゆえわたしはこれを彼らに対して汚れたものとする。

21 וְנָתַתִּיו בְּיַד־זָרִים לָבַז וְלִרְשָׁעֵי הָאָרֶץ לְשָׁלָל וְחִלְּלוּהוּ׃ (וחללה)
そして-それを-渡す 異国の-者の 手に 獲物として そして-悪者たちに 地の 戦利品として そして-汚す —
H5414 H2490

わたしはこれを外国人の手に渡して奪わせ、地の悪人に渡してかすめさせる。彼らはこれを汚す。

22 וְהַסְבּוֹתִי פָנַי מֵהֶם וְחִלְּלוּ אֶת־צְפוּנִי וּבָאוּ־בָהּ
そして-背ける 顔を 彼らから 汚す そして- を わたしの-秘所を そして-入る そこに
H5437 H6440 H1992 H0853 H2490 H6845 H0935

פָּרִיצִים וְחִלְּלוּהָ׃ פ
荒らす-者たちが そして-汚す —
H6530

わたしは彼らから顔をそむけて、彼らにわたしの聖所を汚させる。強盗がこれにはいって汚し、

23 עֲשֵׂה הָרְתֻּק כִּי הָאָרֶץ מָלְאָה מִשְׁפַּט דָּמִים וְהָעִיר מָלְאָה חָמָס׃
作れ 鎖を なぜなら 地は 満ちている 裁きで 血の そして-都は 満ちている 暴虐で
H7569 H3588 H0776 H4390 H4941 H1818 H6776 H4390 H2555

また荒れ地とする。この地は流血のとがに満ち、この町は暴虐に満ちているゆえ、

24 וְהֵבֵאתִי רָעֵי גוֹיִם וְיָרְשׁוּ אֶת־בָּתֵּיהֶם וְהִשְׁבַּתִּי גְּאוֹן עַזִּים וְנֶחֱלוּ מִקְדָּשֵׁיהֶם׃
そして-連れて-来る 最も-悪い-者を 諸国の そして-奪い取る を 彼らの-家を そして-終わらせる 誇りを 強い-者の そして-汚される 聖所が
H0935 H7451 H1471 H3423 H0853 H1004 H6184 H1347 H5794 H2490 H4720

わたしは国々のうちの悪い者どもを招いて、彼らの家をかすめさせる。わたしは強い者の高ぶりをやめさせる。また彼らの聖所は汚される。

25	קְפָדָה־	בָּא	וּבִקְשׁוּ	שָׁלוֹם	וְאֵין׃
	恐怖が	来る	そして–求める	平和を	しかし–ない
	H7089	H0935	H1245	H7965	H0369

滅びが来るとき、彼らは平安を求めても得られない。

26	וּבִקְשָׁוּ	תְּהִיֶה	שְׁמוּעָה	אֶל־	וּשְׁמוּעָה	תָּבוֹא	הוֹוָה	עַל־	הוֹוָה
	そして–求める	来る	噂が	—	そして–噂の–上に	来る	災いが	—	災いの–上に
	H1245	H1961	H8052	H0413	H8052	H0935	H1943		H1943

מִזְּקֵנִים׃	וְעֵצָה	מִכֹּהֵן	תֹּאבַד	וְתוֹרָה	מִנָּבִיא	חָזוֹן
長老たちから	そして–助言は	祭司から	失われ	しかし–律法は	預言者から	幻を
H2205	H6098	H3548	H0006	H8451	H5030	H2377

災に災が重なりきたり、知らせに知らせが相つぐ。その時、彼らは預言者に幻を求める。しかし律法は祭司のうちに絶え、計りごとは長老のうちに絶える。

27	תִּבְהֲלָנָה	הָאָרֶץ	עַם־	וִידֵי	שְׁמָמָה	יִלְבָּשׁ	וְנָשִׂיא	יִתְאַבָּל	הַמֶּלֶךְ
	震える	地の	民の	そして–手が	荒廃を	身に–まとう	そして–君主は	嘆き	王は
	H0926	H0776		H3027		H3847		H0056	H4428

כִּי־	וְיָדְעוּ	אֶשְׁפְּטֵם	וּבְמִשְׁפְּטֵיהֶם	אוֹתָם	אֶעֱשֶׂה	מִדַּרְכָּם
こと	そして–知る	裁く	そして–彼らの–裁きで	彼らに	わたしは–行う	彼らの–行いの–通りに
	H3045	H8199	H4941	H0853		H1870

פ	יְהוָה׃	אֲנִי
—	主で–ある	わたしが
	H3068	H0589

王は悲しみ、つかさは望みを失い、その地の民の手はおののきによってこわばる。わたしは彼らの行いに従って彼らをあつかい、そのさばきに従って彼らをさばく。そして彼らはわたしが主であることを知るようになる」。

Chapter 8

1	בְּבֵיתִי	יוֹשֵׁב	וְאָנִי	לַחֹדֶשׁ	בַּחֲמִשָּׁה	בַּשִּׁשִּׁי	הַשִּׁשִּׁית	בַּשָּׁנָה	וַיְהִי
	わたしの–家に	座って–いた	わたしは	月の	第五の–日に	第六の–月の	第六の	年の	あった
		H3427	H0589	H2320	H2568	H8345	H8345	H8141	H1961

יַד־	שָׁם	עָלַי	וַתִּפֹּל	לְפָנַי	יוֹשְׁבִים	יְהוּדָה	וְזִקְנֵי
手が	そこに	わたしの–上に	そして–落ちた	わたしの–前に	座って–いた	ユダの	そして–長老たちが
H3027	H8033		H5307	H6440	H3427	H3063	H2205

יְהוִה׃	אֲדֹנָי
神の	主なる
H3069	H0136

第六年の六月五日にわたしがわたしの家に座し、ユダの長老たちがわたしの前に座していたとき、主なる神の手がわたしの上に下った。

2	אֵשׁ	וּלְמַטָּה	מָתְנָיו	מִמַּרְאֵה	אֵשׁ	כְּמַרְאֵה־	דְמוּת	וְהִנֵּה	וָאֵרְאֶה
	火で	下は	その–腰から	見た目から	火の	見た目の–ように	姿が	そして–見よ	そして–見た
	H0784	H4295	H4975	H4758	H0784	H4758	H1823	H2009	H7200

הַחַשְׁמַלָה׃	כְּעֵין	זֹהַר	כְּמַרְאֵה־	וּלְמַעְלָה	וּמִמָּתְנָיו
光る–金属の	琥珀の–ように	輝きの	見た目の–ように	上は	そして–その–腰から
H2830		H2096	H4758	H4605	H4975

わたしは見ていると、見よ、人のような形があって、その腰とみられる所から下は火のように見え、腰から上は光る青銅のように輝いて見えた。

3 וַיִּשְׁלַ֣ח תַּבְנִ֔ית יָ֖ד וַיִּקָּחֵ֑נִי בְּצִיצֹ֥ת רֹאשִׁ֛י וַתִּשָּׂאֵ֥נִי רוּחַ֙ בֵּ֣ין הָאָ֔רֶץ וּבֵ֖ין הַשָּׁמַ֑יִם וַתָּבֵ֨א אֹתִ֤י יְרוּשָׁלִַ֙ם֙ בְּמַרְא֣וֹת אֱלֹהִ֔ים אֶל־פֶּ֖תַח שַׁ֣עַר הַפְּנִימִ֑ית הַפֹּנֶ֣ה צָפ֔וֹנָה אֲשֶׁר־שָׁ֗ם מוֹשַׁב֙ סֵ֣מֶל הַקִּנְאָ֔ה הַמַּקְנֵֽא׃

3
וַיִּשְׁלַח — そして–伸ばした — H7971
תַּבְנִית — 形を — H8403
יָד — 手の — H3027
וַיִּקָּחֵנִי — そして–取った — H3947
בְּצִיצֹת — わたしの–髪を — H6734
רֹאשִׁי — 頭の — H5375
וַתִּשָּׂאֵנִי — そして–持ち上げた — H5375
רוּחַ — 霊が — H7307
בֵּין — 間に — H0996
הָאָרֶץ — 地と — H0776
וּבֵין — 間に — H0996
הַשָּׁמַיִם — 天の — H8064
וַתָּבֵא — そして–連れて–行った — H0935
אֹתִי — わたしを — H0853
יְרוּשָׁלִַ֙ם֙ — エルサレムに — H3389
בְּמַרְא֣וֹת — 幻の–中で
אֱלֹהִים — 神の — H0430
אֶל־ — へ — H0413
פֶּתַח — 入口に — H6607
שַׁעַר — 門の — H8179
הַפְּנִימִית — 内側の — H6442
הַפֹּנֶה — 向いている — H6437
צָפוֹנָה — 北に — H6828
אֲשֶׁר־ — そこに
שָׁם — ある — H8033
מוֹשַׁב — 座が — H4186
סֵמֶל — 偶像の — H5566
הַקִּנְאָה — 妬みの — H7068
הַמַּקְנֵא׃ — 妬み–起こさせる — H7069

彼は手のようなものを伸べて、わたしの髪の毛をつかんだ。そして霊がわたしを天と地の間に引きあげ、神の幻のうちにわたしをエルサレムに携えて行き、北に向かった内庭の門の入口に至らせた。そこには、ねたみをひき起すねたみの偶像があった。

4 וְהִנֵּה־ שָׁ֣ם כְּבוֹד֮ אֱלֹהֵי֒ יִשְׂרָאֵל֙ כַּמַּרְאֶ֔ה אֲשֶׁ֥ר רָאִ֖יתִי בַּבִּקְעָֽה׃

4
וְהִנֵּה־ — そして–見よ — H2009
שָׁם — そこに — H8033
כְּבוֹד — 栄光が — H3519
אֱלֹהֵי — 神の — H0430
יִשְׂרָאֵל — イスラエルの — H3478
כַּמַּרְאֶה — 幻の–ように — H4758
אֲשֶׁר — あの
רָאִיתִי — 見た — H7200
בַּבִּקְעָה׃ — 平野で — H1237

見よ、そこに、わたしがかの平野で見た幻のようなイスラエルの神の栄光があらわれた。

5 וַיֹּ֥אמֶר אֵלַ֖י בֶּן־ אָדָ֑ם שָׂא־ נָ֥א עֵינֶ֛יךָ דֶּ֥רֶךְ צָפ֖וֹנָה וָאֶשָּׂ֤א עֵינַי֙ דֶּ֣רֶךְ צָפ֔וֹנָה וְהִנֵּ֣ה מִצָּפ֔וֹן לְשַׁ֖עַר הַמִּזְבֵּ֑חַ סֵ֣מֶל הַקִּנְאָ֔ה הַזֶּ֖ה בַּמָּבֽוֹא׃

5
וַיֹּאמֶר — そして–言われた — H0559
אֵלַי — わたしに — H0413
בֶּן־ — 子よ
אָדָם — 人の — H0120
שָׂא־ — 上げよ — H5375
נָא — どうか — H4994
עֵינֶיךָ — 目を
דֶּרֶךְ — 方に — H1870
צָפוֹנָה — 北の — H6828
וָאֶשָּׂא — そして–上げた — H5375
עֵינַי — 目を
דֶּרֶךְ — 方に — H1870
צָפוֹנָה — 北の — H6828
וְהִנֵּה — そして–見よ — H2009
מִצָּפוֹן — 北の–側から — H6828
לְשַׁעַר — 門の — H8179
הַמִּזְבֵּחַ — 祭壇の — H4196
סֵמֶל — 偶像が — H5566
הַקִּנְאָה — 妬みの — H7068
הַזֶּה — この — H2088
בַּמָּבוֹא׃ — 入口に — H0872

時に彼はわたしに言われた、「人の子よ、目をあげて北の方をのぞめ」。そこでわたしが目をあげて北の方をのぞむと、見よ、祭壇の門の北にあたって、その入口に、このねたみの偶像があった。

6 וַיֹּ֥אמֶר אֵלַ֖י בֶּן־ אָדָ֑ם הַרֹ֣אֶה אַתָּ֔ה [מהם] (מָּ֣ה) (הֵ֔ם) תֹּעֵבֹ֥ות גְּדֹלֹ֖ות אֲשֶׁ֣ר בֵּית־ יִשְׂרָאֵ֣ל עֹשִׂ֔ים פֹּ֑ה לְרָחֳקָ֣ה מֵעַ֔ל מִקְדָּשַׁ֖י וְעֹ֣וד תָּשׁ֔וּב תִּרְאֶ֖ה תֹּעֵבֹ֥ות גְּדֹלֹֽות׃ ס

6
וַיֹּאמֶר — そして–言われた — H0559
אֵלַי — わたしに — H0413
בֶּן־ — 子よ
אָדָם — 人の — H0120
הַרֹאֶה — 見えるか — H7200
אַתָּה — あなたに
[מהם] — — H4480
(מָּה) — 何を — H4100
(הֵם) — — H1992
תֹּעֵבוֹת — 忌まわしいことを — H8441
גְּדֹלוֹת — 大きな
אֲשֶׁר — あの
בֵּית־ — 家が
יִשְׂרָאֵל — イスラエルの — H3478
עֹשִׂים — 行っている
פֹּה — ここで — H6311
לְרָחֳקָה — 遠ざかるために — H7368
מֵעַל — から
מִקְדָּשִׁי — わたしの–聖所 — H4720
וְעוֹד — さらに — H5750
תָּשׁוּב — また — H7725
תִּרְאֶה — 見る — H7200
תֹּעֵבוֹת — 忌まわしいことを — H8441
גְּדֹלוֹת׃ — 大きな
ס — —

彼はまたわたしに言われた、「人の子よ、あなたは彼らのしていること、すなわちイスラエルの家がここでしている大いなる憎むべきことを見るか。これはわたしを聖所から遠ざけるものである。しかしあなたは、さらに大いなる憎むべきことを見るだろう」。

7 וַיְבִיאֵ֖נִי אֶל־פֶּ֣תַח הֶחָצֵ֑ר וָאֵרְאֶ֗ה וְהִנֵּ֤ה חֹר־אֶחָד׃ בַּקִּֽיר׃

וַיְבִיאֵ֖נִי	אֶל־	פֶּ֣תַח	הֶחָצֵ֑ר	וָאֵרְאֶ֗ה	וְהִנֵּ֤ה	חֹר־	אֶחָד׃	
そして-連れて-行った	へ	入口に	庭の	そして-見た	そして-見よ	穴が	一つ	
H0935	H0413	H6607	H7200	H7200	H2009	H2356	H0259	

בַּקִּֽיר׃	
壁に	
H7023	

そして彼はわたしを庭の門に行かせた。わたしが見ると、見よ、壁に一つの穴があった。

8 וַיֹּ֣אמֶר אֵלַ֔י בֶּן־אָדָ֕ם חֲתָר־נָ֥א בַקִּ֖יר וָאֶחְתֹּ֣ר בַּקִּ֑יר וְהִנֵּ֤ה פֶ֣תַח אֶחָֽד׃

וַיֹּ֣אמֶר	אֵלַ֔י	בֶּן־	אָדָ֕ם	חֲתָר־	נָ֥א	בַקִּ֖יר	וָאֶחְתֹּ֣ר	בַּקִּ֑יר	וְהִנֵּ֤ה	פֶ֣תַח	אֶחָֽד׃
そして-言われた	わたしに	子よ	人の	掘れ	どうか	壁を	そして-掘った	壁を	そして-見よ	入口が	一つ
H0559	H0413	H0120	H0120	H2864	H4994	H7023	H2864	H7023	H2009	H6607	H0259

彼はわたしに言われた、「人の子よ、壁に穴をあけよ」。そこでわたしが壁に穴をあけると、見よ、一つの戸があった。

9 וַיֹּ֣אמֶר אֵלַ֔י בֹּ֖א וּרְאֵ֣ה אֶת־הַתּוֹעֵב֣וֹת הָרָעוֹת֮ אֲשֶׁ֣ר הֵם֒ עֹשִׂ֖ים פֹּֽה׃

וַיֹּ֣אמֶר	אֵלַ֔י	בֹּ֖א	וּרְאֵ֣ה	אֶת־	הַתּוֹעֵב֣וֹת	הָרָעוֹת֮	אֲשֶׁ֣ר	הֵם֒	עֹשִׂ֖ים	פֹּֽה׃
そして-言われた	わたしに	入って	そして-見よ	を	忌まわしいことを	悪い	あの	彼らが	行っている	ここで
H0559	H0413	H0935	H7200	H0853	H8441	H7451	H0834	H1992	H6311	H6311

彼はわたしに言われた、「はいって、彼らがここでなす所の悪しき憎むべきことを見よ」。

10 וָאָבוֹא֙ וָאֶרְאֶ֔ה וְהִנֵּ֥ה כָל־תַּבְנִ֖ית רֶ֣מֶשׂ וּבְהֵמָ֑ה שִׁקֻּ֗ץ וְכָל־גִּלּוּלֵ֛י בֵּ֥ית יִשְׂרָאֵ֖ל מְחֻקֶּ֣ה עַל־הַקִּ֑יר סָבִ֖יב וְסָבִ֥יב׃

וָאָבוֹא֙	וָאֶרְאֶ֔ה	וְהִנֵּ֥ה	כָל־	תַּבְנִ֖ית	רֶ֣מֶשׂ	וּבְהֵמָ֑ה	שִׁקֻּ֗ץ	וְכָל־	גִּלּוּלֵ֛י	בֵּ֥ית	יִשְׂרָאֵ֖ל	מְחֻקֶּ֣ה	עַל־	הַקִּ֑יר	סָבִ֖יב	וְסָבִ֥יב׃
そして-入った	そして-見た	そして-見よ	あらゆる	形の	這う-ものと	獣の	忌むべき	そして-あらゆる	偶像が	家の	イスラエルの	刻まれて	の-上に	壁の	周り-じゅうに	―
H0935	H7200	H2009	H3605	H8403	H7431	H0929	H8263	H3605	H1544	H1004	H3478	H2707	H5921	H7023	H5439	H5439

そこでわたしがはいって見ると、もろもろの這うものと、憎むべき獣の形、およびイスラエルの家のもろもろの偶像が、まわりの壁に描いてあった。

11 וְשִׁבְעִ֣ים אִ֗ישׁ מִזִּקְנֵי֙ בֵּית־יִשְׂרָאֵ֔ל וְיַאֲזַנְיָ֥הוּ בֶן־שָׁפָ֖ן עֹמְדִ֣ים בְּתוֹכָ֑ם עֹמֵ֣ד לִפְנֵיהֶ֗ם וְאִישׁ֙ מִקְטַרְתּ֣וֹ בְיָד֔וֹ וַעֲלָ֛ה עֲנַ֥ן הַקְּטֹֽרֶת׃

וְשִׁבְעִ֣ים	אִ֗ישׁ	מִזִּקְנֵי֙	בֵּית־	יִשְׂרָאֵ֔ל	וְיַאֲזַנְיָ֥הוּ	בֶן־	שָׁפָ֖ן	עֹמְדִ֣ים	בְּתוֹכָ֑ם	עֹמֵ֣ד	לִפְנֵיהֶ֗ם	וְאִישׁ֙	מִקְטַרְתּ֣וֹ	בְיָד֔וֹ	וַעֲלָ֛ה	עֲנַ֥ן	הַקְּטֹֽרֶת׃
そして-七十人の	人が	長老たちの-中から	家の	イスラエルの	ヤアザンヤフが	子の	シャファンの	立って-いた	その-中に	立って-いた	その-前に	そして-各自が	香炉を	手に	そして-立ち-上る	雲が	香の	―
H7657	H0376	H2205	H1004	H3478	H2970	H1121	H8227	H5975	H8432	H5975	H6440	H0376	H4730	H3027	H5927	H6051	H7004	H5927

またイスラエルの家の長老七十人が、その前に立っていた。シャパンの子ヤザニヤも、彼らの中に立っていた。おのおの手に香炉を持ち、そしてその香の煙が雲のようにのぼった。

12 וַיֹּ֤אמֶר אֵלַי֙ הַרָ֣אִיתָ בֶּן־אָדָ֔ם אֲשֶׁ֥ר זִקְנֵי־בֵית־יִשְׂרָאֵ֖ל
そして-言われた わたしに 見たか 子よ 人の あの 長老たちが 家の イスラエルの
H0559 H0413 H7200 H0120 H0376 H2205 H1004 H3478

עֹשִׂ֑ים בַּחֹ֣שֶׁךְ אִ֗ישׁ בְּחַדְרֵי֙ מַשְׂכִּיתֹ֔ו כִּ֣י אֹמְרִ֔ים אֵ֥ין יְהוָ֖ה רֹאָ֑ה
行っている 暗闇の-中で 各自が 部屋の-中で 偶像の なぜなら 言っている いない 主は 見て
H6213 H2822 H0376 H2315 H4906 H3588 H0559 H0369 H3068 H7200

הָאָֽרֶץ׃ אֶת־ יְהוָ֖ה עָזַ֥ב אֹתָ֛נוּ
この-地を を 主は 見捨てた わたしたちを
H0776 H0853 H3068 H5800 H0853

時に彼はわたしに言われた、「人の子よ、イスラエルの家の長老たちが暗い所で行う事、すなわちおのおのその偶像の室で行う事を見るか。彼らは言う、『主はわれわれを見られない。主はこの地を捨てられた』と」。

13 וַיֹּ֣אמֶר אֵלָ֗י עֹ֚וד תָּשׁ֣וּב תִּרְאֶ֔ה גְּדֹלֹ֥ות תֹּועֵבֹ֖ות אֲשֶׁ֣ר־ הֵ֑מָּה
そして-言われた わたしに さらに また 見る 大きな 忌まわしいことを あの 彼らが
H0559 H0413 H5750 H7725 H7200 H1419 H8441 H0834 H1992

עֹשִֽׂים׃
行っている
H6213

またわたしに言われた、「あなたはさらに彼らがなす大いなる憎むべきことを見る」。

14 וַיְבִאֵ֕נִי אֶל־ פֶּ֥תַח שַׁ֖עַר בֵּית־ יְהוָ֑ה אֲשֶׁ֥ר הַצָּפֹ֖ונָה אֶל־
そして-連れて-行った へ 入口に 門の 家の 主の ある 北の-側の に
H0935 H0413 H6607 H8179 H1004 H3068 H0834 H6828 H0413

הַנָּשִׁ֖ים שָׁ֣ם וְהִנֵּ֑ה מְבַכִּ֖ות אֶת־ הַתַּמּ֥וז׃ ס
女たちが そこに そして-見よ 泣いて-いた を タンムズの-ために —
H0802 H8033 H2009 H1058 H0853 H8542

またわたしに言われた、「あなたはさらに彼らがなす大いなる憎むべきことを見る」。

そして彼はわたしを連れて主の家の北の門の入口に行った。見よ、そこに女たちがすわって、タンムズのために泣いていた。

15 וַיֹּ֣אמֶר אֵלַ֗י הַרָ֣אִיתָ בֶּן־אָדָ֔ם עֹ֚וד תָּשׁ֣וּב תִּרְאֶ֔ה תֹּועֵבֹ֖ות
そして-言われた わたしに 見たか 子よ 人の さらに また 見る 忌まわしいことを
H0559 H0413 H7200 H0120 H5750 H7725 H7200 H8441

גְּדֹלֹ֥ות מֵאֵֽלֶּה׃
大きな これら-より
H1419 H0428

その時、彼はわたしに言われた、「人の子よ、あなたはこれを見たか。これよりもさらに大いなる憎むべきことを見るだろう」。

16 וַיְבִאֵ֕נִי אֶל־ פֶּ֥תַח בֵּית־ יְהוָ֖ה הַפְּנִימִ֑ית וְהִנֵּ֗ה פֶּ֚תַח הֵיכַל֙ יְהוָ֔ה בֵּ֥ין הָאוּלָ֖ם וּבֵ֣ין הַמִּזְבֵּ֑חַ כְּעֶשְׂרִ֥ים אִ֛ישׁ אַחֹרֵיהֶ֖ם אֶל־
そして-連れて-行った へ 入口に 家の 主の 内側の そして-見よ 入口に 神殿の 主の 間に 柱廊と 間に 祭壇の およそ-二十 人が 背を-向けて に
H0935 H0413 H6607 H1004 H3068 H6442 H2009 H6607 H1964 H3068 H0996 H0197 H0996 H4196 H6242 H0376 H0268 H0413

מִשְׁתַּחֲוִיתֶ֖ם וְהֵ֑מָּה קֵ֣דְמָה לַשָּׁ֔מֶשׁ׃
ひれ伏して-いた そして-彼らは 東に-向けて 東に-向かって 太陽に
H7812 H1992 H6926 H6926 H8121

彼はまたわたしを連れて、主の家の内庭にはいった。見よ、主の宮の入口に、廊と祭壇との間に二十五人ばかりの人が、主の宮にその背中を向け、顔を東に向け、東に向かって太陽を拝んでいた。

17 וַיֹּ֣אמֶר אֵלַ֗י הֲרָאִ֙יתָ֙ בֶּן־אָדָ֔ם הַנָּקֵ֥ל לְבֵית־יְהוּדָ֖ה מֵעֲשׂ֣וֹת
そして-言われた わたしに 見たか 子よ 人の 軽い-ことか 家に-とって ユダの 行う-ことは
H0559 H0413 H7200 H0120 H7043 H0853 H3063

אֲשֶׁר־עָשׂ֣וּ פֹ֔ה כִּֽי־מָלְא֥וּ אֶת־הָאָ֖רֶץ חָמָ֑ס וְשָׁ֣בוּ לְהַכְעִיסֵ֔נִי
ここで 行った あの 忌まわしいことを を 満たした を 地を 暴虐で そして-再び わたしを-怒らせ
H6311 H0834 H8441 H0853 H4390 H0853 H0776 H2555 H7725 H3707

וְהִנָּ֖ם שֹׁלְחִ֣ים אֶת־הַזְּמוֹרָ֑ה אֶל־אַפָּֽם׃
そして-見よ 差し-伸べて-いる を 枝を に 鼻に
H2009 H7971 H0853 H2156 H0413 H0639

時に彼はわたしに言われた、「人の子よ、あなたはこれを見たか。ユダの家にとって、彼らがここでしているこれらの憎むべきわざは軽いことであるか。彼らはこの地を暴虐で満たし、さらにわたしを怒らせる。見よ、彼らはその鼻に木の枝を置く。

18 וְגַם־אֲנִי֙ אֶעֱשֶׂ֣ה בְחֵמָ֔ה לֹא־תָח֥וֹס עֵינִ֖י וְלֹ֣א אֶחְמֹ֑ל וְקָרְא֤וּ
そして-また わたしは 行う 憤りで しない 惜しまない わたしの-目は しない あわれまない
H1571 H0589 H6213 H2534 H3808 H2347 H3808 H2550 H7121

בְאָזְנַ֙י֙ קוֹל֙ גָּד֣וֹל וְלֹ֔א אֶשְׁמַ֖ע אוֹתָֽם׃
わたしの-耳に 声で 大きな しない 聞かない 彼らを
H0241 H0853 H3808 H8085 H0853

そして-叫んでも

それゆえ、わたしも憤って事を行う。わたしの目は彼らを惜しみ見ず、またあわれまない。たとい彼らがわたしの耳に大声で呼ばわっても、わたしは彼らの言うことを聞かない」。

Chapter 9

1 וַיִּקְרָ֙א בְּאָזְנַ֙י֙ קוֹל֙ גָּד֣וֹל לֵאמֹ֔ר קָרְב֥וּ פְקֻדּ֖וֹת הָעִ֑יר וְאִ֣ישׁ כְּלִ֔י
そして-叫んだ わたしの-耳に 声で 大きな 言って 近づけ 罰を-下す-者を 都の そして-各自が 武器を
H7121 H0241 H0853 H1419 H0559 H7126 H6486 H5892 H0376 H3627

מַשְׁחֵתּ֖וֹ בְּיָד֑וֹ׃
滅ぼしの 手に
H4892 H3027

時に彼はわたしの耳に大声に呼ばわって言われた、「町を罰する者たちよ、おのおの滅ぼす武器をその手に持って近よれ」と。

2 וְהִנֵּ֣ה שִׁשָּׁ֣ה אֲנָשִׁ֗ים בָּאִ֙ים֙ מִדֶּ֣רֶךְ־שַׁ֔עַר הָעֶלְי֖וֹן אֲשֶׁ֣ר
そして-見よ 六人の 人が 来た 方向から 門の 上の あの
H2009 H8337 H0376 H0935 H1870 H8179 H5945 H0834

צָפֹ֑נָה מָפְצֵ֣ה בְיָד֔וֹ וְאִ֣ישׁ־אֶחָ֗ד בְּתוֹכָם֙ לָבֻ֣שׁ בַּדִּ֔ים
北に 向いて-いる 打ち-砕く その手に そして-一人の その-中に 身に-まとい 亜麻の-衣を
H6828 H4660 H3027 H0376 H8432 H3847 H0906

וְאִ֣ישׁ כְּלִ֔י מַחְצַ֖תּוֹ בְּיָד֑וֹ וַיָּבֹ֣אוּ וַיַּֽעַמְד֔וּ אֵ֖צֶל מִזְבַּ֣ח הַנְּחֹ֑שֶׁת׃
そして-各自が 武器を 滅ぼしの 手に そして-入って-来た そして-立った 傍らに 祭壇の 青銅の
H0376 H3627 H4892 H3027 H0935 H5975 H0681 H4196 H5178

וְקֶ֣סֶת הַסֹּפֵ֔ר בְּמָתְנָ֑יו
そして-書記の-道具を 書記の 腰に
H7083 H5613 H4975

見よ、北に向かう上の門の道から出て来る六人の者があった。おのおのその手に滅ぼす武器を持ち、彼らの中のひとりは亜麻布を着、その腰に物を書く墨つぼをつけていた。彼らははいって来て、青銅の祭壇のかたわらに立った。

3

עָלָיו	הָיָה	אֲשֶׁר	הַכְּרוּב	מֵעַל	נַעֲלָה	יִשְׂרָאֵל	אֱלֹהֵי	וּכְבוֹד
その-上に	あった	あの	ケルビムの	から	上がった	イスラエルの	神の	そして-栄光が
	H1961		H3742		H5927	H3478	H0430	H3519

אֲשֶׁר	הַבַּדִּים	הַלָּבֻשׁ	הָאִישׁ	אֶל־	וַיִּקְרָא	הַבָּיִת	מִפְתַּן	אֶל
あの	亜麻の-衣を	身に-まとう	人を	に	そして-呼んだ	家の	敷居に	へ
	H0906	H3847	H0376	H0413	H7121		H4670	H0413

ס	בְּמָתְנָיו׃	הַסֹּפֵר	קֶסֶת
—	腰に	書記の	書記の-道具を
	H4975		H7083

ここにイスラエルの神の栄光がその座しているケルビムから立ちあがって、宮の敷居にまで至った。そして主は、亜麻布を着て、その腰に物を書く墨つぼをつけている者を呼び、

4

יְרוּשָׁלִָם	בְּתוֹךְ	הָעִיר	בְּתוֹךְ	עֲבֹר	אֵלָיו)	[אלון]	יְהוָה	וַיֹּאמֶר
エルサレムの	中を	都の	中を	通り-抜けよ	彼に	—	主は	そして-言われた
H3389	H8432		H8432		H0413	H0413	H3068	H0559

כָּל־	עַל	וְהַנֶּאֱנָקִים	הַנֶּאֱנָחִים	הָאֲנָשִׁים	מִצְחָוֹת	עַל־	תָּו	וְהִתְוִיתָ
すべての	に-ついて	そして-うめく	嘆き	人々の	額の	の-上に	印を	そして-しるせ
H3605		H0602	H0584	H0376	H4696		H8420	H8427

בְּתוֹכָהּ׃	הַנַּעֲשׂוֹת	הַתּוֹעֵבוֹת
その-中で	行われて-いる	忌まわしいことの
H8432		H8441

彼に言われた、「町の中、エルサレムの中をめぐり、その中で行われているすべての憎むべきことに対して嘆き悲しむ人々の額にしるしをつけよ」。

5

[על־	וְהַכּוּ	אַחֲרָיו	בָּעִיר	עִבְרוּ	בְּאָזְנָי	אָמַר	וְלָאֵלֶּה	
—	そして-打て	彼の-後に	都を	通り-抜けよ	わたしの-耳に	言われた	そして-これらに	
	H5221				H0241	H0559	H0428	

תַּחְמֹלוּ׃	וְאַל־	עֵינְכֶם)	[עיניכם	תָּחֹס	אַל־)
あわれむことを	するな	あなたがたの-目は	—	惜しむことを	するな
H2550	H0408	H5869		H2347	H0408

またわたしの聞いている所で他の者に言われた、「彼のあとに従い町をめぐって、撃て。あなたの目は惜しみ見るな。またあわれむな。

6

אִישׁ	כָּל־	וְעַל־	לְמַשְׁחִית	תַּהַרְגוּ	וְנָשִׁים	וְטַף	וּבְתוּלָה	בָּחוּר	זָקֵן	
人に	すべての	しかし	滅ぼしの-ために	殺せ	女たちも	子供も	おとめも	若者も	老人も	
H0376	H3605		H4889	H2026	H0802	H2945	H1330	H0970	H2205	

וַיָּחֵלּוּ	תָּחֵלּוּ	וּמִמִּקְדָּשִׁי	תִּגְּשׁוּ	אַל־	הַחָתָו	עָלָיו	אֲשֶׁר־	
そして-始めた	始めよ	そして-わたしの-聖所から	近づくことを	するな	印が	その-上に	ある	
		H4720	H5066	H0408	H8420			

הַבָּיִת׃	לִפְנֵי	אֲשֶׁר	הַזְּקֵנִים	בָּאֲנָשִׁים
家の	前に-いた	あの	長老の	人々から
	H6440		H2205	H0376

老若男女をことごとく殺せ。しかし身にしるしのある者には触れるな。まずわたしの聖所から始めよ」。そこで、彼らは宮の前にいた老人から始めた。

7 וַיֹּאמֶר אֲלֵיהֶם טַמְּאוּ אֶת־הַבַּיִת וּמַלְאוּ אֶת־הַחֲצֵרוֹת חֲלָלִים
そして-言われた 彼らに 汚せ を 家を そして-満たせ を 庭を 倒れた-者で
H0559 H0413 H0853 H0853 H4390 H0853 H2351

צֵאוּ וַיֵּצְאוּ וְהִכּוּ בָּעִיר׃
出よ そして-出て-行った そして-打った 都で
H3318 H3318 H5221

この時、主は彼らに言われた、「宮を汚し、死人で庭を満たせ。行け」。そこで彼らは出て行って、町の中で撃った。

8 וַיְהִי כְּהַכּוֹתָם וְנֶאשְׁאַר אֲנִי וָאֶפֹּלָה עַל־פָּנַי
そして-あった 彼らが-打つ-とき そして-残った わたしが そして-ひれ伏した の-上に 顔の
H1961 H5221 H7604 H0589 H5307 H5921 H6440

וָאֶזְעַק וָאֹמַר אֲהָהּ אֲדֹנָי יְהוִה הַמַשְׁחֵית אַתָּה אֶת־כָּל
そして-叫んだ そして-言った ああ 主なる 神よ 滅ぼすのか あなたは を すべての
H2199 H0559 H0162 H0136 H3069 H7843 H0859 H0853 H3605

שְׁאֵרִית יִשְׂרָאֵל בְּשָׁפְכְּךָ אֶת־חֲמָתְךָ עַל־יְרוּשָׁלִָם׃
残りの-者を イスラエルの 注ぎ-出して を 憤りを の-上に エルサレムに
H7611 H3478 H8210 H0853 H2534 H5921 H3389

さて彼らが人々を打ち殺していた時、わたしひとりだけが残されたので、ひれ伏して、叫んで言った、「ああ主なる神よ、あなたがエルサレムの上に怒りを注がれるとき、イスラエルの残りの者を、ことごとく滅ぼされるのですか」。

9 וַיֹּאמֶר אֵלַי עֲוֹן בֵּית־יִשְׂרָאֵל וִיהוּדָה גָּדוֹל בִּמְאֹד מְאֹד
そして-言われた わたしに 咎は 家の イスラエルと ユダの 大きい 極めて 極めて
H0559 H0413 H5771 H1004 H3478 H3063 H1419 H3966 H3966

וַתִּמָּלֵא הָאָרֶץ דָּמִים וְהָעִיר מָלְאָה מְטֵה עָוֶל כִּי אָמְרוּ יְהוָה עָזַב
そして-満ちた 地は 血で そして-都は 満ちた 歪みで なぜなら 言った 主は 見捨てた
H4390 H0776 H1818 H4390 H4297 H3588 H0559 H3068 H5800

אֶת־הָאָרֶץ וְאֵין יְהוָה רֹאֶה׃
を 地を そして-いない 主は 見て
H0853 H0776 H0369 H3068 H7200

主はわたしに言われた、「イスラエルとユダの家の罪は非常に大きい。国は血で満ち、町は不義で満ちている。彼らは言う、『主はこの地を捨てられた。主は顧みられない』。

10 וְגַם־אֲנִי לֹא־תָחוֹס עֵינִי וְלֹא אֶחְמֹל דַּרְכָּם בְּרֹאשָׁם נָתָתִי׃
そして-また わたしは しない 惜しまない わたしの-目は そして-しない あわれまない 彼らの-行いを 頭の-上に 報いる
H1571 H0589 H3808 H2347 H5869 H3808 H2550 H1870 H5414

それゆえ、わたしの目は彼らを惜しみ見ず、またあわれまない。彼らの行うところを、彼らのこうべに報いる」。

11 וְהִנֵּה הָאִישׁ לָבֻשׁ הַבַּדִּים אֲשֶׁר הַסֵּת בְּמָתְנָיו מְשִׁיב דָּבָר
そして-見よ 人が 身に-まとう 亜麻の-衣を あの 書記の-道具を 腰に 報告して 言葉を
H2009 H0376 H3830 H0906 H0834 H7083 H4975 H7725 H1697

לֵאמֹר עָשִׂיתִי כַּאֲשֶׁר כְּכָל אֲשֶׁר צִוִּיתָנִי׃ ס
言って 行いました —[כאשר] すべての-通りに — 命じられた —
H0559 H6213 H3605 H0834 H6680

Powered by Bible Hub

時に、かの亜麻布を着、物を書く墨つぼを腰につけていた人が報告して言った、「わたしはあなたがお命じになったように行いました」。

Chapter 10

1 וָאֵרְאֶה וְהִנֵּה אֶל־ הָרָקִיעַ אֲשֶׁר עַל־ רֹאשׁ הַכְּרֻבִים כְּאֶבֶן
そして–見た そして–見よ に 大空に あの の–上に 頭の ケルビムの 石の–ように
H7200 H2009 H0413 H7549 H0413 H0752 H3742 H0068

סַפִּיר כְּמַרְאֵה דְמוּת כִּסֵּא נִרְאָה עֲלֵיהֶם׃
サファイアの 見た目の–ように 形の 玉座の 見えた その–上に
H5601 H4758 H1823 H3678 H7200

時にわたしは見ていたが、見よ、ケルビムの頭の上の大空に、サファイヤのようなものが王座の形をして、その上に現れた。

2 וַיֹּאמֶר אֶל־ הָאִישׁ לְבֻשׁ הַבַּדִּים וַיֹּאמֶר בֹּא בֵינוֹת
そして–言われた に 人に 身に–まとう 亜麻の–衣を そして–言われた 入れ 間に
H0559 H0413 H0376 H3847 H0906 H0559 H0935 H0996

לַגַּלְגַּל אֶל־ תַּחַת לַכְּרוּב וּמַלֵּא חָפְנֶיךָ גַּחֲלֵי־ אֵשׁ מִבֵּינוֹת לַכְּרֻבִים
輪の に 下に ケルブの そして–満たせ 両手を 燃える–炭で 火の 間から ケルビムの
H1534 H0413 H8478 H3742 H4390 H2651 H0784 H0996 H3742

וְזָרֵק וַיָּבֹא לְעֵינָי׃ הָעִיר עַל־
そして–まき散らせ そして–入った わたしの–目の–前で 都に の–上に
H2236 H0935

彼は亜麻布を着たその人に言われた、「ケルビムの下の回る車の間にはいり、ケルビムの間から炭火をとってあなたの手に満たし、これを町中にまき散らせ」。そして彼はわたしの目の前ではいった。

3 וְהַכְּרֻבִים עֹמְדִים מִימִין לַבַּיִת בְּבֹאוֹ הָאִישׁ וְהֶעָנָן מָלֵא אֶת־
そして–ケルビムは 立って–いた 右側に 家の 入る–とき 人が そして–雲が 満たした を
H3742 H5975 H3225 H1004 H0935 H0376 H6051 H4390 H0853

הַחָצֵר הַפְּנִימִית׃
庭を 内側の
H6442

この人がはいった時、ケルビムは宮の南側に立っていた。また雲はその内庭を満たしていた。

4 וַיֵּרָם כְּבוֹד־ יְהוָה מֵעַל הַכְּרוּב עַל מִפְתַּן הַבַּיִת וַיִּמָּלֵא הַבַּיִת
そして–上がった 栄光が 主の から ケルブの へ 敷居に 家の そして–満ちた 家は
H5927 H3519 H3068 H4480 H3742 H5921 H4670 H1004 H4390 H1004

אֶת־ הֶעָנָן וְהֶחָצֵר מָלְאָה נֹגַהּ כְּבוֹד יְהוָה׃
で 雲で 庭は 満ちた 輝きで 栄光の 主の
H0853 H6051 H2691 H4390 H5051 H3519 H3068

主の栄光はケルビムの上から宮の敷居の上にあがり、宮は雲で満ち、庭は主の栄光の輝きで満たされた。

5 וְקוֹל כַּנְפֵי הַכְּרוּבִים נִשְׁמַע עַד־ הֶחָצֵר הַחִיצֹנָה כְּקוֹל אֵל־ שַׁדַּי
そして–音が 翼の ケルビムの 聞こえた まで 庭の 外側の 声の–ように 神の 全能の
H7754 H3671 H3742 H8085 H5704 H2691 H2435 H6963 H0410 H7706

בְּדַבְּרוֹ׃
語る–ときの
H1696

時にケルビムの翼の音が大能の神が語られる声のように外庭にまで聞えた。

אֵשׁ	קַח	לֵאמֹר	הַבַּדִּים	לְבֻשׁ־	הָאִישׁ	אֶת־	בְּצַוֹּתוֹ	וַיְהִי
火を	取れ	言って	亜麻の-衣を	身に-まとう	人に	を	命じた-とき	そして-あった
H0784	H3947	H0559	H0906	H3847	H0376	H0853	H6680	H1961

הָאוֹפָן׃	אֶצֶל	וַיַּעֲמֹד	וַיָּבֹא	לַכְּרוּבִים	מִבֵּינוֹת	לַגַּלְגַּל	מִבֵּינוֹת
輪の	傍らに	そして-立った	そして-入った	ケルビムの	間から	輪の	間から
H0212	H0681	H5975	H0935	H3742	H0996	H1534	H0996

6

彼が亜麻布を着ている人に、「回る車の間、ケルビムの間から火を取れ」。と命じた時、その人ははいって、輪のかたわらに立った。

בֵּינוֹת	אֲשֶׁר	הָאֵשׁ	אֶל־	לַכְּרוּבִים	מִבֵּינוֹת	יָדוֹ	אֶת־	הַכְּרוּב	וַיִּשְׁלַח
間に-ある	あの	火に	へ	ケルビムの	間から	手を	を	ケルブが	そして-伸ばした
H0996		H0784	H0413	H3742	H0996	H3027	H0853	H3742	H7971

וַיִּקַּח	הַבַּדִּים	לְבֻשׁ	חָפְנֵי	אֶל־	וַיִּתֵּן	וַיִּשָּׂא	הַכְּרֻבִים
そして-取った	亜麻の-衣を	身に-まとう	両手に	に	そして-渡した	そして-取り-上げ	ケルビムの
H3947	H0906	H3847	H2651	H0413	H5414	H5375	H3742

וַיֵּצֵא׃
そして-出た
H3318

7

ひとりのケルブはその手をケルビムの間から伸べて、ケルビムの間にある火を取り、亜麻布を着た人の手に置いた。すると彼はこれを取って出て行った。

כַּנְפֵיהֶם׃	תַּחַת	אָדָם	יַד־	תַּבְנִית	לַכְּרֻבִים	וַיֵּרָא
翼の	下に	人の	手の	形が	ケルビムに	そして-見えた
H3671	H8478	H0120	H3027	H8403	H3742	H7200

8

ケルビムはその翼の下に人の手のような形のものを持っているように見えた。

הַכְּרוּב	אֶצֶל	אֶחָד	אוֹפָן	הַכְּרוּבִים	אֶצֶל	אוֹפַנִּים	אַרְבָּעָה	וְהִנֵּה	וָאֶרְאֶה
ケルブの	傍らに	一つ	輪が	ケルビムの	傍らに	輪が	四つの	そして-見よ	そして-見た
H3742	H0681	H0259	H0212	H3742	H0681	H0212	H0702	H2009	H7200

אֶבֶן	כְּעֵין	הָאוֹפַנִּים	וּמַרְאֵה	אֶחָד	הַכְּרוּב	אֶצֶל	אֶחָד	וְאוֹפָן	אֶחָד
石の	の-ように	輪の	そして-見た目は	一つ	ケルブの	傍らに	一つ	そして-輪が	一つ
H0068		H0212	H4758	H0259	H3742	H0681	H0259	H0212	H0259

תַּרְשִׁישׁ׃
タルシシュの
H8658

9

わたしが見ていると、見よ、ケルビムのかたわらに四つの輪があり、一つの輪はひとりのケルブのかたわらに、他の輪は他のケルブのかたわらにあった。輪のさまは、光る貴かんらん石のようであった。

הָאוֹפָן׃	בְּתוֹךְ	הָאוֹפָן	יִהְיֶה	כַּאֲשֶׁר	לְאַרְבַּעְתָּם	אֶחָד	דְּמוּת	וּמַרְאֵיהֶם
輪の	中に	輪が	ある	あたかも	四つともに	一つ	形が	そして-その-見た目は
H0212	H8432	H0212	H1961		H0702	H0259	H1823	H4758

10

そのさまは四つとも同じ形で、あたかも輪の中に輪があるようであった。

כִּי	בְלֶכְתָּם	יִסַּבּוּ	לֹא	יֵלֵכוּ	רִבְעֵיהֶם	אַרְבַּעַת	אֶל־	בְּלֶכְתָּם
なぜなら	進む-とき	向きを-変えない	ない	進んだ	方向に	四つの	に	進む-とき
	H3212	H5437	H3808	H3212	H7253	H0702	H0413	H3212

בְּלֶכְתָּם׃	יִסַּבּוּ	לֹא	יֵלֵכוּ	אַחֲרָיו	הָרֹאשׁ	יִפְנֶה	אֲשֶׁר־	הַמָּקוֹם
進む-とき	向きを-変えない	ない	進んだ	その-後に	頭が	向く	あの	場所に
H3212	H5437	H3808	H3212			H6437		H4725

11

その行く時は四方のどこへでも行く。その行く時は回らない。ただ先頭の輪の向くところに従い、その行く時は回ることをしない。

12 וְכָל־ בְּשָׂרָם וְגַבֵּיהֶם וִידֵיהֶם וְכַנְפֵיהֶם וְהָאוֹפַנִּים מְלֵאִים עֵינַיִם
そして-すべての 体と 背と そして-手と そして-翼と そして-輪は 満ちて-いた 目で
H3605 H1320 H1354 H3027 H3671 H0212 H4392

סָבִיב לְאַרְבַּעְתָּם אוֹפַנֵּיהֶם׃
周り-じゅうに 四つの 輪に
H5439 H0702 H0212

その輪縁、その輻、および輪には、まわりに目が満ちていた。―その輪は四つともこれを持っていた。

13 לָאוֹפַנִּים לָהֶם קוֹרָא הַגַּלְגַּל בְּאָזְנָי׃
輪に-ついて それらに 呼ばれて-いた 回る-輪と わたしの-耳に
H0212 H7121 H1534 H0241

その輪はわたしの聞いている所で、「回る輪」と呼ばれた。

14 וְאַרְבָּעָה פָּנִים לְאֶחָד פְּנֵי הָאֶחָד הָרִאשׁוֹן פְּנֵי לְאֶחָד פְּנֵי הַכְּרוּב הַשֵּׁנִי וּפְנֵי אָדָם
そして-四つの 顔が 各自に 顔は 第一の 顔で ケルブの 第二の そして-顔は 人の
H0702 H6440 H0259 H6440 H0259 H6440 H3742 H8145 H6440 H0120

וְהַשְּׁלִישִׁי פְּנֵי אַרְיֵה וְהָרְבִיעִי פְּנֵי־ נָשֶׁר׃
そして-第三の 顔で 獅子の そして-第四の 顔で 鷲の
H7992 H6440 H0738 H7243 H6440 H5404

そのおのおのには四つの顔があった。第一の顔はケルブの顔、第二の顔は人の顔、第三はししの顔、第四はわしの顔であった。

15 וַיֵּרֹמּוּ הַכְּרוּבִים הִוא הַחַיָּה אֲשֶׁר רָאִיתִי בִּנְהַר־ כְּבָר׃
そして-上がった ケルビムは これが 生き物で あの 見た ケバルの-川で ―
H7426 H3742 H1931 H2416 H0834 H7200 H5104 H3529

その時ケルビムはのぼった。これがケバル川でわたしが見た生きものである。

16 וּבְלֶכֶת הַכְּרוּבִים יֵלְכוּ הָאוֹפַנִּים גַּם־ אֶצְלָם וּבְשָׂאֵת הַכְּרוּבִים כַּנְפֵיהֶם
そして-進む-とき ケルビムが 進んだ 輪も その-傍らを そして-上げる-とき ケルビムが 翼を
H3212 H3742 H3212 H0212 H0681 H5375 H3742 H3671

לָרוּם מֵעַל הָאָרֶץ לֹא־ יָסֹבּוּ הָאוֹפַנִּים גַּם־ הֵם אֶת־
上がる-ために から 地の ない 向きを-変えない 輪も また それらは を
H3212 H4480 H0776 H3808 H5437 H0212 H1571 H1992 H0853

מֵאֶצְלָם׃
その-傍らを-離れない
H0681

ケルビムの行く時、輪もそのかたわらに行き、ケルビムが翼をあげて地から飛びあがる時は、輪もそのかたわらを離れない。

17 בְּעָמְדָם יַעֲמֹדוּ וּבְרוֹמָם יֵרוֹמּוּ אוֹתָם כִּי רוּחַ הַחַיָּה
止まる-とき 止まり そして-上がる-とき 上がった それらも なぜなら 霊が 生き物の
H5975 H5975 H4791 H7426 H0853 H3588 H7307 H2416

בָּהֶם׃
その-中に

その立ちどまる時は、輪も立ちどまり、そののぼる時は、輪も共にのぼる。生きものの霊がその中にあるからである。

18 וַיֵּצֵא יְהוָה כְּבוֹד מֵעַל מִפְתַּן הַבָּיִת וַיַּעֲמֹד עַל־ הַכְּרוּבִים׃
そして–出た 主の 栄光が から 敷居の 家の そして–止まった の–上に ケルビムの
H3318 H3068 H3519 H4605 H4670 H5975 H5921 H3742

時に主の栄光が宮の敷居から出て行って、ケルビムの上に立った。

19 וַיִּשְׂאוּ הַכְּרוּבִים אֶת־ כְּנְפֵיהֶם וַיֵּרוֹמּוּ מִן־ הָאָרֶץ לְעֵינַי בְּצֵאתָם וְהָאוֹפַנִּים לְעֻמָּתָם וַיַּעֲמֹד פֶּתַח שַׁעַר בֵּית־ יְהוָה הַקַּדְמוֹנִי וּכְבוֹד אֱלֹהֵי־ יִשְׂרָאֵל עֲלֵיהֶם מִלְמָעְלָה׃
そして–上げた ケルビムは を 翼を そして–上がった から 地の わたしの–目の–前で 出る–とき そして–輪も 対に そして–止まった 門の 入口に 家の 主の 東の 上から その–上に イスラエルの 神の そして–栄光が
H5375 H3742 H0853 H3671 H7426 H4480 H0776 H5869 H3318 H0212 H5980 H5975 H8179 H6607 H1004 H3068 H6931 H4605 H5921 H3478 H0430 H3519

するとケルビムは翼をあげて、わたしの目の前で、地からのぼった。その出て行く時、輪もまたこれと共にあり、主の宮の東の門の入口の所へ行って止まった。イスラエルの神の栄光がその上にあった。

20 הַחַיָּה אֲשֶׁר רָאִיתִי תַּחַת אֱלֹהֵי־ יִשְׂרָאֵל בִּנְהַר־ כְּבָר וָאֵדָּע כִּי כְרוּבִים הֵמָּה׃
これが 生き物で あの 見た 下に 神の イスラエルの ケバルの–川で — そして–知った こと ケルビムで–ある それらは
H1931 H2416 H834 H7200 H8478 H0430 H3478 H5104 H3529 H3045 H3588 H3742 H1992

これがすなわちわたしがケバル川のほとりで、イスラエルの神の下に見たかの生きものである。わたしはそれがケルビムであることを知っていた。

21 אַרְבָּעָה אַרְבָּעָה לְאֶחָד פָּנִים וְאַרְבָּע לְאֶחָד כְּנָפִים וּדְמוּת יְדֵי אָדָם תַּחַת כַּנְפֵיהֶם׃
四つずつ 四つの 各自に 顔が そして–四つの 各自に 翼が 形が 手の 人の 翼の 下に
H0702 H0702 H0259 H6440 H0702 H0259 H3671 H1823 H3027 H0120 H3671 H8478

これにはおのおの四つの顔があり、おのおの四つの翼があり、また人の手のようなものがその翼の下にあった。

22 וּדְמוּת פְּנֵיהֶם הֵמָּה הַפָּנִים אֲשֶׁר רָאִיתִי עַל־ נְהַר־ כְּבָר מַרְאֵיהֶם וְאוֹתָם אִישׁ אֶל־ עֵבֶר פָּנָיו יֵלֵכוּ׃
そして–形は 顔の それらは 顔で あの 見た の–ほとりで 川の ケバルの その–見た目も それら自身も 各自が に 向きに 顔の 進んだ
H1823 H6440 H1992 H6440 H834 H7200 H5921 H5104 H3529 H4758 H853 H376 H413 H5676 H6440 H3212

その顔の形は、ケバル川のほとりでわたしが見たそのままの顔である。おのおのその前の方にまっすぐに行った。

Chapter 11

1 וַתִּשָּׂאֵנִי רוּחַ וַתָּבֵא אֹתִי אֶל־שַׁעַר בֵּית־יְהוָה הַקָּדִמוֹנִי הַפּוֹנֶה קָדִימָה וְהִנֵּה בְּפֶתַח הַשַּׁעַר עֶשְׂרִים וַחֲמִשָּׁה אִישׁ וָאֶרְאֶה בְּתוֹכָם אֶת־יַאַזַנְיָה בֶּן־עַזֻּר וְאֶת־פְּלַטְיָהוּ בֶן־בְּנָיָהוּ שָׂרֵי הָעָם׃ פ

主の 家の 門に へ わたしを そして-連れて-行った 霊が わたしを そして-持ち-上げた
H3068 H1004 H8179 H0413 H0853 H0935 H7307 H0853 H5375

そして-見た 人が 五人の 二十 門の 入口に そして-見よ 東に 向いている 東の
H7200 H0376 H2568 H6242 H8179 H6607 H2009 H6921 H6437 H6931

ベナヤの 子の ペラテヤを そして アズルの 子の ヤアザンヤを を その-中に
H1141 H1121 H6410 H0853 H5809 H1121 H2970 H0853 H8432

— 民の 指導者たちを
H8269

時に霊はわたしをあげて、東に向かう主の宮の東の門に連れて行った。見よ、その門の入口に二十五人の者がいた。わたしはその中にアズルの子ヤザニヤと、ベナヤの子ペラテヤを見た。共に民のつかさであった。

2 וַיֹּאמֶר אֵלַי בֶּן־אָדָם אֵלֶּה הָאֲנָשִׁים הַחֹשְׁבִים אָוֶן וְהַיֹּעֲצִים עֲצַת־רָע בָּעִיר הַזֹּאת׃

そして-言われた わたしに 子よ 人の これらが 人々で 企ている 悪を そして-勧めている
H0559 H0413 H1121 H0120 H0428 H0376 H2803 H0205 H3289

この 都の-中で 悪い 勧めを
H2063 H1004 H7451 H6098

すると彼はわたしに言われた、「人の子よ、これらの者はこの町の中で悪い事を考え、悪い計りごとをめぐらす人々である。

3 הָאֹמְרִים לֹא בְקָרוֹב בְּנוֹת בָּתִּים הֵיא הַסִּיר וַאֲנַחְנוּ בָּשָׂר׃

言っている ない 近くに 建てる-ことを 家を これが 釜で わたしたちは 肉だ
H0559 H3808 H7138 H1129 H1004 H1931 H5518 H0587 H1320

彼らは言う、『家を建てる時は近くはない。この町はなべであり、われわれは肉である』と。

4 לָכֵן הִנָּבֵא עֲלֵיהֶם הִנָּבֵא בֶּן־אָדָם׃

それゆえ 預言せよ 預言せよ 彼らに-対して 子よ 人の
H3651 H5012 H5012 H5921 H1121 H0120

それゆえ、彼らに向かって預言せよ。人の子よ、預言せよ」。

5 וַתִּפֹּל עָלַי רוּחַ יְהוָה וַיֹּאמֶר אֵלַי אֱמֹר כֹּה־אָמַר יְהוָה כֵּן אֲמַרְתֶּם בֵּית יִשְׂרָאֵל וּמַעֲלוֹת רוּחֲכֶם אֲנִי יָדַעְתִּיהָ׃

そして-落ちた わたしの-上に 霊が 主の そして-言われた わたしに 言え こう 言われる
H5307 H5921 H7307 H3068 H0559 H0413 H0559 H3541 H0559

その-通り 言った 家よ イスラエルの そして-思いを 魂の わたしは 知って-いる
H3651 H0559 H1004 H3478 H4609 H7307 H0589 H3045

時に、主の霊がわたしに下って、わたしに言われた、「主はこう言われると言え、イスラエルの家よ、考えてみよ。わたしはあなたがたの心にある事どもを知っている。

6 הִרְבִּיתֶם חַלְלֵיכֶם בָּעִיר הַזֹּאת וּמִלֵּאתֶם חוּצֹתֶיהָ חָלָל׃ פ

増やした 倒れた-者を 都の-中で この そして-満たした 通りを 倒れた-者で —
H7235 H2491 H5892 H2063 H4390 H2351 H2491

あなたがたはこの町に殺される者を増し、殺された者をもってちまたを満たした。

7 לָכֵן֙ כֹּה־ אָמַ֣ר ׀ אֲדֹנָ֣י יְהוִ֔ה חַלְלֵיכֶ֕ם אֲשֶׁ֥ר שַׂמְתֶּ֖ם בְּתוֹכָ֑הּ הֵ֣מָּה הַבָּשָׂ֔ר וְהִ֣יא הַסִּ֔יר וְאֶתְכֶ֖ם מִתּוֹכָ֥הּ הוֹצִֽיא׃

לָכֵן֙	כֹּה־	אָמַ֣ר ׀	אֲדֹנָ֣י	יְהוִ֔ה	חַלְלֵיכֶ֕ם	אֲשֶׁ֥ר	שַׂמְתֶּ֖ם	בְּתוֹכָ֑הּ	הֵ֣מָּה	הַבָּשָׂ֔ר
それゆえ	こう	言われる	主なる	神は	倒れた-者こそ	あの	置いた	その-中に	それらが	肉で
H3541	H0559	H0136	H3069					H8432	H1992	H1320

וְהִ֣יא	הַסִּ֔יר	וְאֶתְכֶ֖ם	הוֹצִֽיא׃		מִתּוֹכָֽהּ׃
そして-これが	釜で-ある	しかし-あなたがたを	引き-出す		その-中から
H1931		H0853	H3318		H8432

それゆえ、主なる神はこう言われる、町の中にあなたがたが置く殺された者は肉である。この町はなべである。しかし、あなたがたはその中から取り出される。

8 חֶ֣רֶב אֲבִ֣יא עֲלֵיכֶ֔ם נְאֻ֖ם אֲדֹנָ֣י יְהוִֽה׃

חֶ֣רֶב	אֲבִ֣יא	עֲלֵיכֶ֔ם	נְאֻ֖ם	אֲדֹנָ֣י	יְהוִֽה׃	
剣を	もたらす	あなたがたの-上に	宣言する	主なる	神は	
H2719	H0935		H5002	H0136	H3069	

וְחֶ֣רֶב	יִרְאֶ֔תָם	חֶ֣רֶב			
そして-剣を	恐れた	剣を			
H2719	H3372	H2719			

あなたがたはつるぎを恐れた。わたしはあなたがたにつるぎを臨ませると、主は言われる。

9 וְהוֹצֵאתִי֙ אֶתְכֶ֔ם מִתּוֹכָ֖הּ וְנָתַתִּ֣י אֶתְכֶ֔ם בְּיַד־ זָרִ֑ים וְעָשִׂ֥יתִי בָכֶ֖ם שְׁפָטִֽים׃

וְהוֹצֵאתִי֙	אֶתְכֶ֔ם	מִתּוֹכָ֖הּ	וְנָתַתִּ֣י	אֶתְכֶ֔ם	בְּיַד־	זָרִ֑ים			
そして-引き-出す	あなたがたを	その-中から	そして-渡す	あなたがたを	手に	異国の-者の			
H3318	H0853	H8432	H5414	H0853	H3027				

וְעָשִׂ֥יתִי	בָכֶ֖ם	שְׁפָטִֽים׃
そして-行う	あなたがたに	裁きを
		H8201

またわたしはあなたがたをその中から引き出して、他国人の手に渡し、あなたがたをさばく。

10 בַּחֶ֣רֶב תִּפֹּ֣לוּ עַל־ גְּבוּל֮ יִשְׂרָאֵל֒ אֶשְׁפּ֣וֹט אֶתְכֶם֮ וְיָדַעְתֶּם֒ כִּ֣י אֲנִ֣י יְהוָ֔ה׃

בַּחֶ֣רֶב	תִּפֹּ֣לוּ	עַל־	גְּבוּל֮	יִשְׂרָאֵל֒	אֶשְׁפּ֣וֹט	אֶתְכֶם֮	וְיָדַעְתֶּם֒	כִּ֣י	
剣で	倒れる	の-上で	境で	イスラエルの	裁く	あなたがたを	そして-知る	こと	
H2719	H5307		H1366	H3478	H8199	H0853	H3045		

אֲנִ֣י	יְהוָ֔ה׃	
わたしが	主で-ある	
H0589	H3068	

あなたがたはつるぎに倒れる。わたしはあなたがたをイスラエルの境でさばく。これによってあなたがたはわたしが主であることを知るようになる。

11 הִ֣יא לֹא־ תִהְיֶ֣ה לָכֶם֮ לְסִיר֒ וְאַתֶּם֙ בְּתוֹכָ֔הּ לֹ֥א תִהְי֖וּ לְבָשָׂ֑ר אֶתְכֶ֖ם אֶשְׁפֹּ֥ט יִשְׂרָאֵ֛ל בִּגְבוּל֥ אֶל־ עַל־ לְבָשָֽׂר׃

הִ֣יא	לֹא־	תִהְיֶ֣ה	לָכֶם֮	לְסִיר֒	וְאַתֶּם֙	בְּתוֹכָ֔הּ	לֹ֥א	תִהְי֖וּ	לְבָשָׂ֑ר	אֶתְכֶ֖ם	אֶשְׁפֹּ֥ט	יִשְׂרָאֵ֛ל	בִּגְבוּל֥	אֶל־	עַל־	לְבָשָֽׂר׃
これは	ない	ならない	あなたがたに-とって	釜とは	そして-あなたがたは	その-中の	ならない									
	H3808	H1961				H8432	H1961									

この町はあなたがたに対してなべとはならず、あなたがたはその肉とはならない。わたしはイスラエルの境であなたがたをさばく。

12 וְיָדַעְתֶּם֙ כִּ֣י אֲנִ֣י יְהוָ֔ה בַּחֻקַּ֖י אֲשֶׁ֣ר לֹ֣א הָלַכְתֶּ֑ם וּמִשְׁפָּטַ֖י לֹ֥א עֲשִׂיתֶ֛ם וְכִמְשְׁפְּטֵ֥י הַגּוֹיִ֖ם אֲשֶׁ֥ר סְבִיבוֹתֵיכֶ֑ם עֲשִׂיתֶֽם׃

וְיָדַעְתֶּם֙	כִּ֣י	אֲנִ֣י	יְהוָ֔ה	בַּחֻקַּ֖י	אֲשֶׁ֣ר	לֹ֣א	הָלַכְתֶּ֑ם	וּמִשְׁפָּטַ֖י	לֹ֥א	עֲשִׂיתֶ֛ם	וְכִמְשְׁפְּטֵ֥י	הַגּוֹיִ֖ם	אֲשֶׁ֥ר	סְבִיבוֹתֵיכֶ֑ם	עֲשִׂיתֶֽם׃
そして-知る	こと	わたしが	主で-ある		あの	ない	歩まなかった	そして-掌を	ない	行わなかった	しかし-掌の-通りに	諸国の	あの	周りの	行った
H3045		H0589	H3068	H2706		H3808	H1980	H4941	H3808		H4941			H5439	

これによって、あなたがたはわたしが主であることを知るようになる。あなたがたはわたしの定めに歩まず、またわたしのおきてを行わず、かえってその周囲の他国人のおきてに従って行っているからである」。

13

וָאֶפֹּל	מֵת	בְּנָיָה	בֶּן־	וּפְלַטְיָהוּ	כְּהִנַּבְּאִי	וַיְהִי	
そして–ひれ伏した	死んだ	ベナヤの	子の	そして–ペラテヤが	預言する–ときに	そして–あった	
H5307	H4191	H1141		H6410	H5012	H1961	

כָּלָה׃	יְהוִה	אֲדֹנָי	אֲהָהּ	וָאֹמַר	גָּדוֹל־	קוֹל־	וָאֶזְעַק	פָּנַי	עַל־
終わらせるのか	神よ	主なる	ああ	そして–言った	大きな	声で	そして–叫んだ	顔の	の–上に
H3617	H3069	H0136	H0162	H0559			H2199	H6440	

פ	יִשְׂרָאֵל׃	שְׁאֵרִית	אֶת	עֹשֶׂה	אַתָּה
—	イスラエルの	残りの–者を	を	行って	あなたは
	H3478	H7611	H0853		

このようにわたしが預言していた時、ベナヤの子ペラテヤが死んだので、わたしは打ち伏して、大声で叫んで言った、「ああ主なる神よ、あなたはイスラエルの残りの者をことごとく滅ぼそうとされるのですか」。

14

לֵאמֹר׃	אֵלַי	יְהוָה	דְּבַר־	וַיְהִי	
言って	わたしに	主の	言葉が	そして–あった	
H0559	H0413	H3068	H1697	H1961	

時に主の言葉がわたしに臨んで言った、

15

יִשְׂרָאֵל	בֵּית	כָּל־	גְּאֻלָּתֵךְ	אַנְשֵׁי	אַחֵיךְ	אַחַיִךְ	אָדָם	בֶּן־	
イスラエルの	家よ	そして–すべての	贖いの	人々よ	兄弟たちよ	兄弟たちよ	人の	子よ	
H3478		H3605	H1353	H0376	H0251	H0251	H0120		

יְהוָה	מֵעַל	רַחֲקוּ	יְרוּשָׁלַם	יֹשְׁבֵי	לָהֶם	אָמְרוּ	אֲשֶׁר	כֻּלָּהּ
主から	から	遠く–離れよ	エルサレムの	住む–者が	彼らに	言った	あの	その–すべてよ
H3068		H7368	H3389	H3427		H0559		H3605

ס	לְמוֹרָשָׁה׃	הָאָרֶץ	נִתְּנָה	הֵיא	לָנוּ
—	所有として	地は	与えられた	これが	わたしたちに
	H4181	H0776	H5414	H1931	

「人の子よ、あなたの兄弟、あなたの友、あなたの兄弟である捕われ人、イスラエルの全家、エルサレムの住民は言った、『彼らが主から遠く離れた。この地はわれわれの所有として与えられているのだ』と。

16

וְכִי	בַגּוֹיִם	הִרְחַקְתִּים	כִּי	יְהוִה	אֲדֹנָי	אָמַר	כֹּה־	אֱמֹר	לָכֵן
たとえ	諸国の–中に	遠く–連れて–行った	たとえ	神は	主なる	言われる	こう	言え	それゆえ
	H7368			H3069	H0136	H0559	H3541	H0559	

בָּאֲרָצוֹת	מְעַט	לְמִקְדָּשׁ	לָהֶם	וָאֱהִי	בָּאֲרָצוֹת	הֲפִיצוֹתִים
諸国の–中で	小さな	聖所と	彼らに–とって	そして–わたしは–なった	諸国の–中に	散らした
H0776	H4592	H4720		H1961	H0776	

ס	שָׁם׃	בָּאוּ	אֲשֶׁר־	
—	そこに	行った	あの	
	H8033	H0935		

それゆえ、言え、『主なる神はこう言われる、たといわたしは彼らを遠く他国人の中に移し、国々の中に散らしても、彼らの行った国々で、わたしはしばらく彼らのために聖所となる』と。

17

מִן־	אֶתְכֶם	וְקִבַּצְתִּי	יְהוִה	אֲדֹנָי	אָמַר	כֹּה־	אֱמֹר	לָכֵן
から	あなたがたを	そして–集める	神は	主なる	言われる	こう	言え	それゆえ
	H0853	H6908	H3069	H0136	H0559	H3541	H0559	

בָּהֶם	נְפֻצוֹתֶם	אֲשֶׁר	הָאֲרָצוֹת	מִן־	אֶתְכֶם	וְאָסַפְתִּי	הָעַמִּים
そこに	散らされた	あの	諸国から	から	あなたがたを	そして–集める	諸民の–中から
			H0776		H0853	H0622	

יִשְׂרָאֵל׃	אַדְמַת	אֶת־	לָכֶם	וְנָתַתִּי	
イスラエルの	地を	を	あなたがたに	そして–与える	
H3478	H0127	H0853		H5414	

それゆえ、言え、『主はこう言われる、わたしはあなたがたをもろもろの民の中から集め、その散らされた国々から集めて、イスラエルの地をあなたがたに与える』と。

18 וּבָאוּ־ שָׁמָּה וְהֵסִירוּ אֶת־ כָּל־ שִׁקּוּצֶיהָ וְאֶת־ כָּל־ תּוֹעֲבוֹתֶיהָ מִמֶּנָּה׃
そして-帰り そこに そして-取り-除く を すべての 汚らわしい-ものを そして すべての 忌まわしい-ものを そこから
H0935 H8033 H5493 H0853 H3605 H8251 H0853 H3605 H8441

彼らはその所に来る時、そのもろもろのいとうべきものと、もろもろの憎むべきものとをその所から取り除く。

19 וְנָתַתִּי לָהֶם֙ לֵ֣ב אֶחָ֔ד וְר֥וּחַ חֲדָשָׁ֖ה אֶתֵּ֣ן בְּקִרְבְּכֶ֑ם וַהֲסִרֹתִ֤י
そして-与える 彼らに 心を 一つの そして-霊を 新しい 与える 内に そして-取り-除く
H5414 H0259 H7307 H2319 H5414 H7130 H5493

לֵב֙ הָאֶ֣בֶן מִבְּשָׂרָ֔ם וְנָתַתִּי֙ לָהֶ֣ם לֵ֔ב בָּשָׂ֖ר׃
心を 石の 体から そして-与える 彼らに 心を 肉の
H0068 H1320 H5414 H1320

そしてわたしは彼らに一つの心を与え、彼らのうちに新しい霊を授け、彼らの肉から石の心を取り去って、肉の心を与える。

20 לְמַ֣עַן֮ בְּחֻקַּתַּי֣ יֵלֵ֔כוּ וְאֶת־ מִשְׁפָּטַ֖י יִשְׁמְר֣וּ וְעָשׂ֑וּ וְהָי֤וּ
それは 掌に 歩み そして 掌を 守り そして-行う-ため そして-なる
H4616 H2708 H3212 H0853 H4941 H8104 H0853 H1961

לִ֥י לְעָ֖ם וַאֲנִ֥י אֶהְיֶ֛ה לָהֶ֥ם לֵֽאלֹהִֽים׃
わたしに-とって 民と そして-わたしは なる 彼らに-とって 神と
H0589 H1961 H0430

これは彼らがわたしの定めに歩み、わたしのおきてを守って行い、そして彼らがわたしの民となり、わたしが彼らの神となるためである。

21 וְאֶל־ לֵ֣ב שִׁקּוּצֵיהֶ֣ם וְתוֹעֲבוֹתֵיהֶם֮ בְּרֹאשָׁם֒ דַּרְכָּם֙ הֹלֵ֣ךְ לִבָּ֔ם
しかし-に 心が 汚らわしい-ものと 忌まわしい-ものに 頭の-上に 行いを 向かう-者には 心が
H0413 H3824 H8251 H1870 H1980

נָתַ֥תִּי אֲדֹנָ֖י יְהוִ֑ה נְאֻם֙ אֲדֹנָ֣י
報いる 主なる 宣言する 神は
H5414 H0136 H5002 H3069

しかしいとうべきもの、憎むべきものをその心に慕って歩む者には、彼らの行いに従ってそのこうべに報いると、主なる神は言われる」。

22 וַיִּשְׂאוּ֙ הַכְּרוּבִ֔ים אֶת־ כַּנְפֵיהֶ֖ם וְהָאוֹפַנִּ֣ים לְעֻמָּתָ֑ם וּכְב֣וֹד
そして-上げた ケルビムは を 翼を そして-輪も 対に そして-栄光が
H5375 H3742 H0853 H3671 H0212 H5980 H3519

אֱלֹהֵ֥י יִשְׂרָאֵ֖ל עֲלֵיהֶ֥ם מִלְמָֽעְלָה׃
神の イスラエルの その-上に 上から
H0430 H3478 H4605

時にケルビムはその翼をあげた。輪がそのかたわらにあり、イスラエルの神の栄光がその上にあった。

23 וַיַּ֤עַל כְּבוֹד־ יְהוָה֙ מֵעַ֣ל תּ֔וֹךְ הָעִ֖יר וַיַּעֲמֹ֑ד עַל־ הָהָ֣ר אֲשֶׁ֔ר
そして-上がった 栄光が 主の から 中の 都の そして-止まった の-上に 山の あの
H5927 H3519 H3068 H4605 H8432 H5975 H2022

מִקֶּ֖דֶם לָעִֽיר׃
東の 都の

主の栄光が町の中からのぼって、町の東にある山の上に立ちどまった。

24

בַּמַּרְאֶה	הַגּוֹלָה	אֶל־	כַּשְׂדִּימָה	וַתְּבִיאֵנִי	נְשָׂאַתְנִי	וְרוּחַ
幻の–中で	捕囚たちの–もとに	へ	カルデアに	そして–連れて–行った	持ち–上げた	そして–霊が
H4758	H1473	H0413	H3778	H0935	H5375	H7307

רָאִיתִי׃	אֲשֶׁר	הַמַּרְאֶה	מֵעָלַי	וַיַּעַל	אֱלֹהִים	בְּרוּחַ
見た	あの	幻が	わたしから	そして–上がった	神の	霊の
H7200		H4758		H5927	H0430	H7307

その時、霊はわたしをあげ、神の霊によって、幻のうちにわたしをカルデヤの捕われ人の所へ携えて行った。そしてわたしが見た幻はわたしを離れてのぼった。

25

פ	הֶרְאָנִי׃	אֲשֶׁר	יְהוָה	דִּבְרֵי	כָּל־	אֶת	הַגּוֹלָה	אֶל־	וָאֲדַבֵּר
—	見せられた	あの	主の	言葉を	すべての	を	捕囚たちに	に	そして–語った
	H7200		H3068	H1697	H3605	H0853	H1473	H0413	H1696

そこでわたしは主がわたしに示された事をことごとくかの捕われ人に告げた。

Chapter 12

1

לֵאמֹר׃	אֵלַי	יְהוָה	דְּבַר־	וַיְהִי
言って	わたしに	主の	言葉が	あった
H0559	H0413	H3068	H1697	H1961

主の言葉がわたしに臨んだ、

2

לָהֶם	עֵינַיִם	אֲשֶׁר	יֹשֵׁב	אַתָּה	הַמְּרִי	בֵּית־	בְּתוֹךְ	אָדָם	בֶּן־
彼らに	目が–ある	あの	住んで–いる	あなたは	反逆の	家の	中に	人の	子よ
			H3427		H4805		H8432	H0120	

כִּי	שָׁמְעוּ	וְלֹא	לִשְׁמֹעַ	לָהֶם	אָזְנַיִם	רָאוּ	וְלֹא	לִרְאוֹת
なぜなら	聞かない	しかし–ない	聞く–ための	彼らに	耳が–ある	見ない	しかし–ない	見る–ための
	H8085	H3808	H8085		H0241	H7200	H3808	H7200

הֵם׃	מְרִי	בָּיִת
彼らは	反逆の	家で
H1992	H4805	

「人の子よ、あなたは反逆の家の中にいる。彼らは見る目があるが見ず、聞く耳があるが聞かず、彼らは反逆の家である。

3

יוֹמָם	וּגְלֵה	גּוֹלָה	כְּלֵי	לְךָ	עֲשֵׂה	אָדָם	בֶּן־	וְאַתָּה
昼に	そして–立ち–去れ	捕囚の	荷物を	自分の–ために	作れ	人の	子よ	そして–あなたは
H3119	H1540	H1473	H3627			H0120		

אוּלַי	לְעֵינֵיהֶם	אַחֵר	מָקוֹם	אֶל־	מִמְּקוֹמְךָ	וְגָלִיתָ	לְעֵינֵיהֶם	
おそらく	彼らの–目の–前で	別の	場所に	に	場所から	そして–立ち–去れ	彼らの–目の–前で	
H0194		H0312	H4725	H0413	H4725	H1540		

הֵמָּה׃	מְרִי	בָּיִת	כִּי	יִרְאוּ	
彼らは	反逆の	家で	なぜなら	見る	
H1992	H4805			H7200	

それゆえ、人の子よ、捕囚の荷物を整え、彼らの目の前で昼のうちに移れ、彼らの目の前であなたの所から他の所に移れ。彼らは反逆の家であるが、あるいは彼らは顧みるところがあろう。

4 וְהוֹצֵאתָ כֵלֶיךָ כִּכְלֵי גוֹלָה יוֹמָם לְעֵינֵיהֶם וְאַתָּה תֵּצֵא
そして-出せ 荷物を 荷物の-ように 捕囚の 昼に 彼らの-目の-前で そして-あなたは 出よ
H3318 H3627 H3627 H1473 H3119 H3318

לְעֵינֵיהֶם בָּעֶרֶב תֵּצֵא כִּמוֹצָאֵי גוֹלָה׃
彼らの-目の-前で 夕方に 出て行け 捕囚の-ように 立ち-去る
H3318 H6153 H4161 H1473

あなたは、捕囚の荷物のようなあなたの荷物を、彼らの目の前で昼のうちに持ち出せ。そして捕囚に行くべき人々のように、彼らの目の前で夕べのうちに出て行け。

5 לְעֵינֵיהֶם חֲתָר־לְךָ בַּקִּיר וְהוֹצֵאתָ בּוֹ׃
彼らの-目の-前で 掘れ 自分の-ために 壁を そして-出せ そこから
H2864 H7023 H3318

すなわち彼らの目の前で壁に穴をあけ、そこから出て行け。

6 לְעֵינֵיהֶם עַל־כָּתֵף תִּשָּׂא בָּעֶלְטָה תּוֹצִיא פָּנֶיךָ תְּכַסֶּה וְלֹא
彼らの-目の-前で の-上に 肩に 担え 暗闇の-中で 運び-出せ 顔を 覆え そして-ない
H5375 H3802 H5939 H3318 H6440 H3680 H3808

כִּי־אֹת הָאָרֶץ לֹא תִרְאֶה כִּי מוֹפֵת נְתַתִּיךָ לְבֵית יִשְׂרָאֵל׃
なぜなら を 地を 見るな しるしとして 立てた 家に-とって イスラエルの
H0853 H0776 H7200 H4159 H5414 H3478

あなたは彼らの目の前でその荷物を肩に負い、やみのうちにそれを運び出せ。あなたの顔をおおって地を見るな。わたしはあなたをしるしとなして、イスラエルの家に示すのだ」。

7 וָאֶעֱשֶׂה כֵּן כַּאֲשֶׁר צֻוֵּיתִי כֵּלַי הוֹצֵאתִי כִּכְלֵי גוֹלָה יוֹמָם
そして-行った その-通りに あの 命じられた 荷物を 出した 捕囚の 昼に
H6680 H3627 H3318 H1473 H3119

בָּעֶרֶב חָתַרְתִּי־לִי בַּקִּיר בְּיָד הוֹצֵאתִי בָּעֶלְטָה עַל־כָּתֵף נְשָׂאתִי
そして-夕方に 掘った 自分の-ために 壁を 手で 運び-出した 暗闇の-中で の-上に 肩に 担いだ
H2864 H7023 H3027 H3318 H5939 H3802 H5375

לְעֵינֵיהֶם׃ פ
彼らの-目の-前で —

そこでわたしは命じられたようにし、捕囚の荷物のような荷物を昼のうちに持ち出し、夕べにはわたしの手で壁に穴をあけ、やみのうちに彼らの目の前で、これを肩に負って運び出した。

8 וַיְהִי דְבַר־יְהוָה אֵלַי בַּבֹּקֶר לֵאמֹר׃
そして-あった 言葉が 主の わたしに 朝に 言って
H1961 H1697 H3068 H0413 H1242 H0559

次の朝、主の言葉がわたしに臨んだ、

9 בֶּן־אָדָם הֲלֹא אָמְרוּ אֵלֶיךָ בֵּית יִשְׂרָאֵל הַמֹּרִי בֵּית מָה
子よ 人の ではないか 言った あなたに 家が イスラエルの 反逆の 家が 何を
H0120 H3808 H0559 H0413 H3478 H4805 H4100

אַתָּה עֹשֶׂה׃
あなたは して-いるのか

「人の子よ、反逆の家であるイスラエルの家は、あなたに向かって、『何をしているのか』と言わなかったか。

10 אֱמֹר לַאֲלִיהֶם כֹּה אָמַר אֲדֹנָי יְהוִה הַנָּשִׂיא הַמַּשָּׂא הַזֶּה בִּירוּשָׁלִַם
言え 彼らに こう 言われる 主なる 神は 君主に-対する 宣告が この エルサレムの-中の
H0559 H0413 H3541 H0559 H0136 H3069 H5387 H4853 H2088 H3389

וְכָל־ בֵּית יִשְׂרָאֵל אֲשֶׁר־ הֵמָּה בְתוֹכָם׃
そして-すべての 家の イスラエルの あの 彼らは その-中に
H3605 H1004 H3478 H0834 H1992 H8432

あなたは彼らに言いなさい、『主なる神はこう言われる、この託宣はエルサレムの君、およびその中にあるイスラエルの全家にかかわるものである』と。

11 אֱמֹר אֲנִי מוֹפֶתְכֶם כַּאֲשֶׁר עָשִׂיתִי כֵּן יֵעָשֶׂה לָהֶם בַּגּוֹלָה
言え わたしは しるしで-ある 行った-ように その-通りに 行われる 彼らに 捕囚として
H0559 H0589 H4159 H0834 H6213 H3651 H1473

בַּשֶּׁבִי יֵלֵכוּ׃
捕らわれて 行く
H7628 H3212

また言いなさい、『わたしはあなたがたのしるしである。わたしがしたとおりに彼らもされる。彼らはとりこにされて移される』と。

12 וְהַנָּשִׂיא אֲשֶׁר־ בְתוֹכָם יִשָּׂא עַל־ כָּתֵף בָּעֲלָטָה יֵצֵא וְיַחְתְּרוּ בַקִּיר
そして-君主は あの その-中の 担い 肩に の-上に 暗闇の-中で そして-出る 掘って 壁を
H0559 H0834 H8432 H5375 H3802 H0413 H5939 H3318 H2864 H7023

לַעֲיִן הוּא אֶת־ פָּנָיו יְכַסֶּה אֲשֶׁר לֹא־ יִרְאֶה בְעֵינָיו הָאָרֶץ׃
目で 彼は を 顔を 覆う なぜなら あの ない 見ることは 運び-出す-ために
H5869 H1931 H0853 H6440 H3680 H3282 H0834 H3808 H7200 H5927 H0776

彼らのうちの君は、やみのうちにその荷物を肩に載せて出て行く。彼は壁に穴をあけて、そこから出て行く。彼は顔をおおって、自分の目でこの地を見ない。

13 וּפָרַשְׂתִּי עָלָיו רִשְׁתִּי וְנִתְפָּשׂ בְּמִצּוּדָתִי וְהֵבֵאתִי אֹתוֹ
そして-広げる 網を の-上に そして-捕らえられる 罠に そして-連れて-行く 彼を
H6566 H7568 H5921 H8610 H4685 H0935 H0853

בָּבֶלָה אֶרֶץ כַּשְׂדִּים וְאוֹתָהּ לֹא־ יִרְאֶה וְשָׁם יָמוּת׃
バビロンに 地に カルデアの そして-そこを ない 見ない そして-そこで 死ぬ
H0894 H0776 H3778 H0853 H3808 H7200 H8033 H4191

わたしはわたしの網を彼の上に打ちかける。彼はわたしのわなにかかる。わたしは彼をカルデヤびとの地のバビロンに引いて行く。しかし彼はそれを見ないで、そこで死ぬであろう。

14 וְכָל־ סְבִיבֹתָיו עֶזְרוֹ (עזרה) וְאֶת־ כָּל־ אֲגַפָּיו אֲזָרֶה
そして-すべての 周りの 助けと ― あの そして-すべての 軍勢を 散らす
H3605 H5439 H5828 H5828 H0834 H3605 H0102 H2219

וְחֶרֶב אָרִיק אַחֲרֵיהֶם׃ לְכָל־ רוּחַ
そして-剣を 抜く 彼らの-後に すべての-方向に 風に
H2719 H7324 H0310 H3605 H7307

またすべて彼の周囲にいて彼を助ける者および彼の軍隊を、わたしは四方に散らし、つるぎを抜いてそのあとを追う。

15

וְזֵרִיתִי בַגּוֹיִם אוֹתָם בַּהֲפִיצִי יְהוָה אֲנִי כִּי־ וְיָדְעוּ
そして-まき-散らす 諸国の-中に 彼らを 散らす-ときに 主で-ある わたしが こと そして-知る
H2219 H0853 H3068 H0589 H3045

בָּאֲרָצוֹת׃ אוֹתָם
諸国の-中に 彼らを
H0776 H0853

わたしが彼らを諸国民の中に散らし、国々にまき散らすとき、彼らはわたしが主であることを知る。

16

אֶת־ יְסַפְּרוּ לְמַעַן וּמִדֶּבֶר מֵרָעָב מֵחֶרֶב מִסְפָּר אֲנָשַׁי מֵהֶם וְהוֹתַרְתִּי
を 語る-ため それは 疫病から 飢饉から 剣から 少数の 人を 彼らから そして-残す
H0853 H4616 H1698 H7458 H2719 H4557 H0376 H1992 H3498

אֲנִי כִּי־ וְיָדְעוּ שָׁם בָּאוּ אֲשֶׁר־ בַגּוֹיִם תּוֹעֲבוֹתֵיהֶם כָּל־
わたしが こと そして-知る そこに 行った あの 諸国の-中で 忌まわしいことを すべての
H0589 H3045 H8033 H0935 H8441 H3605

יְהוָה׃ פ
主で-ある —
H3068

ただし、わたしは彼らのうちに、わずかの者を残して、つるぎと、ききんと、疫病を免れさせ、彼らがおこなったもろもろの憎むべきことを、彼らが行く国びとの中に告白させよう。そして彼らはわたしが主であることを知るようになる」。

17

וַיְהִי דְבַר־ יְהוָה אֵלַי לֵאמֹר׃
そして-あった 言葉が 主の わたしに 言って
H1961 H1697 H3068 H0413 H0559

主の言葉がまたわたしに臨んだ、

18

בֶּן־ אָדָם לַחְמְךָ בְרַעַשׁ תֹּאכֵל וּמֵימֶיךָ בִּרְגָזָה וּבְדְאָגָה תִּשְׁתֶּה׃
子よ 人の パンを 震えで 食べよ そして-水を おののきと 心配で 飲め
H0120 H3899 H7494 H0398 H4325 H7269 H1674 H8354

「人の子よ、震えてあなたのパンを食べ、おののきと恐れとをもって水を飲め。

19

וְאָמַרְתָּ אֶל־ כֹּה־ אָמַר אֲדֹנָי יְהוִה לִיוֹשְׁבֵי יְרוּשָׁלַ͏ִם
そして-言え に こう 言われる 主なる 神は 住む-者に エルサレムの
H0559 H0413 H3541 H0136 H3069 H3427 H3389

עַם הָאָרֶץ עַל־ יִשְׂרָאֵל לַחְמָם בִּדְאָגָה יֹאכֵלוּ וּמֵימֵיהֶם בְּשִׁמָּמוֹן יִשְׁתּוּ לְמַעַן
地の 民に に イスラエルの パンを 心配で 食べる そして-水を 恐れで 飲む それは
H0776 H5971 H0413 H3478 H3899 H1674 H0398 H4325 H8078 H8354 H4616

אַדְמָתָהּ אֶל־ מִמְּלֹאָהּ מֵחֲמַס הַיּוֹשְׁבִים כָּל־ אַרְצָהּ תֵּשֵׁם׃ בָּהּ
地の に-ついて 満ちた-ものから 暴虐の-ゆえに 住む-者の すべての 地が 荒れる-ため そこの
H0127 H0413 H4393 H2555 H3427 H3605 H0776 H3456 H0413

そしてこの地の民について言え、主なる神はイスラエルの地のエルサレムの民についてこう言われる、彼らは恐れをもってそのパンを食べ、驚きをもってその水を飲むようになる。これはその地が、すべてその中に住む者の暴虐のために衰え、荒れ地となるからである。

20

וְהֶעָרִים הַנּוֹשָׁבוֹת תֶּחֱרַבְנָה וְהָאָרֶץ שְׁמָמָה תִּהְיֶה וִידַעְתֶּם כִּי־ אֲנִי
そして-町々は 住んで-いる 荒れる そして-地は 荒廃と なる そして-知る こと わたしが
H5892 H3427 H2719 H0776 H8077 H1961 H3045 H3588 H0589

יְהוָה׃ פ
主で-ある —
H3068

人の住んでいた町々は荒れはて、地は荒塚となる。そしてあなたがたは、わたしが主であることを知るようになる」。

21 וַיְהִי דְבַר־ יְהוָה אֵלַי לֵאמֹר׃
そして-あった 言葉が 主の わたしに 言って
H1961 H1697 H3068 H0413 H0559

主の言葉がわたしに臨んだ、

22 בֶּן־ אָדָם מָה־ הַמָּשָׁל הַזֶּה לָכֶם עַל־ אַדְמַת יִשְׂרָאֵל לֵאמֹר
子よ 人の 何か ことわざは この あなたがたの の-上で 地の イスラエルの 言う
H0120 H4100 H4912 H2088 H0853 H0127 H3478 H0559

יַאֲרְכוּ הַיָּמִים וְאָבַד כָּל־ חָזוֹן׃
長引く 日は そして-消えた すべての 幻は
H0748 H3117 H0006 H3605 H2377

「人の子よ、イスラエルの地について、あなたがたが『日は延び、すべての幻はむなしくなった』という、このことわざはなんであるか。

23 לָכֵן אֱמֹר אֲלֵיהֶם כֹּה־ אָמַר אֲדֹנָי יְהוִה הִשְׁבַּתִּי אֶת־ הַמָּשָׁל הַזֶּה
それゆえ 言え 彼らに こう 言われる 主なる 神は 終わらせる を この
H0559 H0413 H3541 H0559 H0136 H3069 H0853 H4912 H2088

וְלֹא־ יִמְשְׁלוּ אֹתוֹ עוֹד בְּיִשְׂרָאֵל כִּי אִם־ דַּבֵּר אֱמֹר אֲלֵיהֶם קָרְבוּ
そして-ない 唱えない それを もう イスラエルで むしろ 言え 言え 彼らに 近づいた
H3808 H0853 H5750 H3478 H3588 H1696 H0559 H0413 H7126

הַיָּמִים וּדְבַר כָּל־ חָזוֹן׃
日は そして-言葉が すべての 幻の
H3117 H1697 H3605 H2377

それゆえ、彼らに言え、『主なる神はこう言われる、わたしはこのことわざをやめさせ、彼らが再びイスラエルで、これをことわざとしないようにする』と。しかし、あなたは彼らに言え、『日とすべての幻の実現とは近づいた』と。

24 כִּי לֹא יִהְיֶה עוֹד כָּל־ חֲזוֹן שָׁוְא וּמִקְסָם חָלָק בְּתוֹךְ בֵּית
なぜなら ない あるない もはや すべての 幻の 嘘の そして-占いの 媚びる 中に 家の
H3588 H3808 H1961 H5750 H3605 H2377 H7723 H4738 H2509 H8432 H1004

יִשְׂרָאֵל׃
イスラエルの
H3478

イスラエルの家のうちには、もはやむなしい幻も、偽りの占いもなくなる。

25 וְכִי אֲנִי יְהוָה אֲדַבֵּר אֶת אֲשֶׁר אֲדַבֵּר דָּבָר וְיֵעָשֶׂה לֹא
なぜなら わたしは 主で 語る を あの 語る 言葉を そして-行われる ない
H3588 H0589 H3068 H1696 H0853 H0834 H1696 H1697 H6213 H3808

תִמָּשֵׁךְ עוֹד כִּי בְיֹמֵיכֶם בֵּית הַמֶּרִי אֲדַבֵּר דָּבָר וַעֲשִׂיתִיו
遅れない もう なぜなら あなたがたの-日に 家よ 反逆の 語る 言葉を そして-行う
H4900 H5750 H3588 H3117 H1004 H4805 H1696 H1697 H6213

נְאֻם אֲדֹנָי יְהוִה׃ פ
宣言する 主なる 神は —
H5002 H0136 H3069

しかし主なるわたしは、わが語るべきことを語り、それは必ず成就する。決して延びることはない。ああ、反逆の家よ、あなたの日にわたしはこれを語り、これを成就すると、主なる神は言われる」。

26 וַיְהִי דְבַר־ יְהוָה אֵלַי לֵאמֹר׃
そして-あった 言葉が 主の わたしに 言って
H1961 H1697 H3068 H0413 H0559

主の言葉がまたわたしに臨んだ、

27

חֲזֵה	הִוא	אֲשֶׁר־	הֶחָזוֹן	אֹמְרִים	יִשְׂרָאֵל	בֵּית־	הִנֵּה	אָדָם	בֶּן־
見る	彼が	あの	幻は	言って-いる	イスラエルの	家が	見よ	人の	子よ
H2372	H1931		H2377	H0559	H3478		H2009	H0120	

נִבָּא׃	הִוא	רְחוֹקוֹת	וּלְעִתִּים	רַבִּים	לְיָמִים	
預言して-いる	彼は	遠い	そして-時の-ために	多くの	日の-ための-もので	
H5012	H1931	H7350	H6256		H3117	

「人の子よ、見よ、イスラエルの家は言う、『彼の見る幻は、なお多くの日の後の事である。彼が預言することは遠い後の時のことである』と。

28

כָּל־	עוֹד	תִּמָּשֵׁךְ	לֹא־	יְהוִה	אֲדֹנָי	אָמַר	כֹּה	אֲלֵיהֶם	אֱמֹר	לָכֵן
すべての	もう	遅れない	ない	神は	主なる	言われる	こう	彼らに	言え	それゆえ
H3605	H5750	H4900	H3808	H3069	H0136	H0559	H3541	H0413	H0559	

ס	יְהוִה׃	אֲדֹנָי	נְאֻם	וְיֵעָשֶׂה	דָּבָר	אֲדַבֶּר	אֲשֶׁר	דְּבָרַי
—	神は	主なる	宣言する	そして-行われる	言葉を	語る	あの	言葉は
	H3069	H0136	H5002		H1697	H1696		H1697

それゆえ、彼らに言え、主なる神はこう言われる、わたしの言葉はもはや延びない。わたしの語る言葉は成就すると、主なる神は言われる」。

Chapter 13

1

לֵאמֹר׃	אֵלַי	יְהוָה	דְּבַר־	וַיְהִי
言って	わたしに	主の	言葉が	あった
H0559	H0413	H3068	H1697	H1961

主の言葉がわたしに臨んだ、

2

וְאָמַרְתָּ	הַנִּבְאִים	יִשְׂרָאֵל	נְבִיאֵי	אֶל־	הִנָּבֵא	אָדָם	בֶּן־
そして-言え	預言して-いる	イスラエルの	預言者たちに	に-対して	預言せよ	人の	子よ
H0559	H5012	H3478	H5030	H0413	H5012	H0120	

יְהוָה׃	דְּבַר־	שִׁמְעוּ	מִלִּבָּם	לִנְבִיאֵי	
主の	言葉を	聞け	自分の-心からの	預言者たちに	
H3068	H1697	H8085		H5030	

「人の子よ、イスラエルの預言者たちに向かって預言せよ。すなわち自分の心のままに預言する人々に向かって、預言して言え、『あなたがたは主の言葉を聞け』。

3

הַהֹלְכִים	אֲשֶׁר	הַנִּבְלִים	הַנִּבְיאִים	עַל־	הָוֹי	יְהוִה	אֲדֹנָי	אָמַר	כֹּה
従う	あの	愚かな	預言者たちに	に-対して	わざわいだ	神は	主なる	言われる	こう
H1980		H5036	H5030		H1945	H3069	H0136	H0559	H3541

רָאוּ׃	וְלִבְלְתִּי	רוּחָם	אַחַר	
見たことが	しかし-ない	自分の-霊に	後に	
H7200	H1115	H7307		

主なる神はこう言われる、なにも見ないで、自分の霊に従う愚かな預言者たちはわざわいだ。

4

הָיוּ׃	יִשְׂרָאֵל	נְבִיאֶיךָ	בֶּחֳרָבוֹת	כְּשֻׁעָלִים	
で-あった	イスラエルの	預言者たちよ	廃墟の-中の	狐の-ように	
H1961	H3478	H5030	H2723	H7776	

イスラエルよ、あなたの預言者たちは、荒れ跡にいるきつねのようだ。

5

יִשְׂרָאֵל	בֵּית	עַל־	גָּדֵר	וַתְּגֻדְּרוּ	בַּפְּרָצוֹת	עֲלִיתֶם	לֹא	
イスラエルの	家の	の–ために	垣を	そして–修復しなかった	破れ目に	上がらなかった	ない	
H3478			H1447	H1443	H6556	H5927	H3808	

יְהוָה׃	בְּיוֹם	בַּמִּלְחָמָה	לַעֲמֹד	
主の	日に	戦いに	立つ–ために	
H3068	H3117	H4421	H5975	

あなたがたは主の日に戦いに立つため、破れ口にのぼらず、またイスラエルの家のために石がきを築こうともしない。

6

לֹא	וַיהוָה	יְהוָה	נְאֻם־	הָאֹמְרִים	כָּזָב	וְקֶסֶם	שָׁוְא	חָזוּ
ない	しかし–主は	主の	宣言だと	言っている	偽りの	そして–占いを	嘘を	見た
H3808	H3068	H3068	H5002	H0559	H3577	H7081	H7723	H2372

דָּבָר׃	לְקַיֵּם	וְיִחֲלוּ	שִׁלָּחָם
言葉が	実現することを	そして–期待した	遣わさなかった
H1697		H3176	H7971

彼らは虚偽を言い、偽りを占った。彼らは主が彼らをつかわさないのに『主が言われる』と言い、なおその言葉の成就することを期待する。

7

נְאֻם־	וְאֹמְרִים	אֲמַרְתֶּם	כָּזָב	וּמִקְסָם	חֲזִיתֶם	שָׁוְא	מֶחֱזֵה־	הֲלוֹא
宣言だと	そして–言って–いる	言った	偽りの	そして–占いを	見た	嘘の	幻を	では–ないか
H5002	H0559	H0559	H3577	H4738	H2372	H7723	H4236	H3808

ס	דִּבַּרְתִּי׃	לֹא	וַאֲנִי	יְהוָה
—	語らなかった	ない	しかし–わたしは	主の
		H3808	H0589	H3068

あなたがたはむなしい幻を見、偽りの占いを語り、わたしが言わないのに『主が言われる』と言ったではないか」。

8

כָּזָב	וַחֲזִיתֶם	שָׁוְא	דִּבַּרְכֶם	יַעַן	יְהוִה	אֲדֹנָי	אָמַר	כֹּה	לָכֵן
偽りを	そして–見た	嘘を	語った	なぜなら	神は	主なる	言われる	こう	それゆえ
H3577	H2372	H7723	H1696	H3282	H3069	H0136	H0559	H3541	

יְהוִה׃	אֲדֹנָי	נְאֻם	אֲלֵיכֶם	הִנְנִי	לָכֵן
神は	主なる	宣言する	あなたがたに–対する	見よ–わたしは	それゆえ
H3069	H0136	H5002	H0413	H2009	

それゆえ、主なる神はこう言われる、「あなたがたはむなしいことを語り、偽りの物を見るゆえ、わたしはあなたがたを罰すると主なる神は言われる。

9

בְּסוֹד	כָּזָב	וְהַקֹּסְמִים	שָׁוְא	הַחֹזִים	הַנְּבִיאִים	אֶל־	יָדִי	וְהָיְתָה	
集いの–中に	偽りを	そして–占う	嘘を	見る	預言者たちに	に–対して	手が	そして–ある	
H5475	H3577	H7080	H7723	H2374	H5030	H0413	H3027	H1961	

אַדְמַת	וְאֶל־	יִכָּתְבוּ	לֹא	יִשְׂרָאֵל	בֵּית־	וּבְכָתָב	יִהְיוּ	לֹא־	עַמִּי
地に	そして–に	書かれない	ない	イスラエルの	家の	そして–書の–中に	いない	ない	民の
H0127	H0413	H3789	H3808	H3478		H3791	H1961	H3808	

יְהוִה׃	אֲדֹנָי	אֲנִי	כִּי	וְיָדְעוּ	יָבֹאוּ	לֹא	יִשְׂרָאֵל
神で–ある	主なる	わたしが	こと	そして–知る	入れない	ない	イスラエルの
H3069	H0136	H0589		H3045	H0935	H3808	H3478

わたしの手は、むなしい幻を見、偽りの占いを言う預言者に敵対する。彼らはわが民の会に臨まず、イスラエルの家の籍にしるされず、イスラエルの地に、はいることができない。そしてあなたがたはわたしが主なる神であることを知るようになる。

10

שָׁלֹום	וְאֵין	שָׁלֹום	לֵאמֹר	עַמִּי	אֶת־	הִטְעוּ	וּבְיַעַן	יַעַן
平和は	しかし-ない	平和だと	言って	民を	を	惑わした	まさに-なぜなら	なぜなら
H7965	H0369	H7965	H0559		H0853	H2937	H3282	H3282

תָּפֵל׃	אֹתוֹ	טָחִים	וְהִנָּם	חַיִץ	בָּנָה	וְהוּא
白漆喰で	それを	塗る	そして-見よ	壁を	建てる	そして-彼が
	H0853		H2009	H2434	H1129	H1931

彼らはわが民を惑わし、平和がないのに『平和』と言い、また民が塀を築く時、これらの預言者たちは水しっくいをもってこれを塗る。

11

וְאַתָּה	שׁוֹטֵף	גֶּשֶׁם	וְהָיָה	וְיִפֹּל	תָּפֶל	טָחֵי	אֶל־	אֱמֹר
そして-あなたがたよ	浪の	雨が	ある	そして-崩れる	白漆喰を	塗る-者に	に	言え
	H7857	H1653	H1961	H5307			H0413	H0559

תִּבָּקֵעַ׃	סְעָרוֹת	וְרוּחַ	תִּפֹּלְנָה	אֶלְגָּבִישׁ	אַבְנֵי
裂く	嵐の	そして-風が	落ちる	雹の	石が
H1234		H7307	H5307	H0417	H0068

それゆえ、水しっくいを塗る者どもに『これはかならずくずれる』と言え。これに大雨が注ぎ、ひょうが降り、あらしが吹く。

12

אֲשֶׁר	הַטָּיחַ	אַיֵּה	אֲלֵיכֶם	יֵאָמֵר	הֲלוֹא	הַקִּיר	נָפַל	וְהִנֵּה
あの	漆喰は	どこに-あるのか	あなたがたに	言われる	では-ないか	壁が	崩れた	そして-見よ
	H2915	H0346	H0413	H0559	H3808	H7023	H5307	H2009

ס	טָחְתֶּם׃
—	塗った

そして塀がくずれる時、人々はあなたがたに向かって、『あなたがたが塗った水しっくいはどこにあるか』と言わないであろうか。

13

וְגֶשֶׁם	בְּחֲמָתִי	סְעָרוֹת	רוּחַ־	וּבְקִעְתִּי	יְהוִה	אֲדֹנָי	אָמַר	כֹּה	לָכֵן
そして-雨が	憤りで	嵐の	風で	そして-裂く	神は	主なる	言われる	こう	それゆえ
H1653	H2534		H7307	H1234	H3069	H0136	H0559	H3541	

לְכָלָה׃	בְּחֵמָה	אֶלְגָּבִישׁ	וְאַבְנֵי	יְהִיֶה	בְּאַפִּי	שִׁטֵּף
滅ぼす-ために	激しい-怒りで	雹の	そして-石が	ある	怒りで	浪の
H3617	H2534	H0417	H0068	H1961	H0639	H7857

それゆえ、主なる神はこう言われる、わたしはわが憤りをもって大風を起し、わが怒りをもって大雨を注がせ、憤りをもってひょうを降らせて、これを滅ぼす。

14

הָאָרֶץ	אֶל־	וְהִגַּעְתִּיהוּ	תָּפֶל	טַחְתֶּם	אֲשֶׁר־	הַקִּיר	אֶת־	וְהָרַסְתִּי
地に	に	そして-倒す	白漆喰を	塗った	あの	壁を	を	そして-壊す
H0776	H0413	H5060				H7023	H0853	H2040

כִּי־	וִידַעְתֶּם	בְּתוֹכָהּ	וּכְלִיתֶם	וְנָפְלָה	יְסֹדוֹ	וְנִגְלָה
こと	そして-知る	その-中で	そして-滅びる	そして-崩れる	土台が	そして-あらわに-なる
	H3045	H8432	H3615	H5307	H3247	H1540

יְהוָה׃	אֲנִי
主で-ある	わたしが
H3068	H0589

またわたしはあなたがたが水しっくいをもって塗った塀をこわして、これを地に倒し、その基をあらわす。これが倒れる時、あなたがたはその中に滅びる。そしてあなたがたは、わたしが主であることを知るようになる。

15 וְכִלֵּיתִי אֶת־חֲמָתִי בַּקִּיר וּבַטָּחִים אֹתוֹ בַּתָּפֵל וְאֹמַר
そして-尽くす を 憤りを 壁に そして-塗る-者に それを 白漆喰で そして-言う
H3615 H0853 H2534 H7023 H0853 H0559

לָכֶם אֵין הַקִּיר וְאֵין הַטָּחִים אֹתוֹ׃
あなたがたに ない 壁は そして-ない 塗る-者も それを
H0369 H7023 H0369 H0853

こうしてわたしが、その塀と、これを水しっくいで塗った者との上に、わたしの憤りを漏らし尽して、あなたがたに言う、塀はなくなり、これを塗った者もなくなる。

16 נְבִיאֵי יִשְׂרָאֵל הַנִּבְּאִים אֶל־יְרוּשָׁלַ͏ִם וְהַחֹזִים לָהּ
預言者たちよ イスラエルの 預言して-いる に-対して エルサレムに そして-見る そこに-ついて
H5030 H3478 H5012 H0413 H3389 H2374

פ יְהוִה׃ אֲדֹנָי נְאֻם שָׁלֹ֑ם וְאֵין שָׁלֹ֑ם חֲזוֹן
一 神は 主なる 宣言する 平和は しかし-ない 平和の 幻を
H3069 H0136 H5002 H7965 H0369 H7965 H2377

これがすなわち平和がないのに平和の幻を見、エルサレムについて預言したイスラエルの預言者であると、主なる神は言われる。

17 וְאַתָּה בֶּן־אָדָם שִׂים פָּנֶיךָ אֶל־בְּנוֹת עַמְּךָ הַמִּתְנַבְּאוֹת
そして-あなたは 子よ 人の 向けよ 顔を に-対して 娘たちに 民の 預言して-いる
H5012 H0120 H7760 H6440 H0413 H1323 H5971 H5012

מִלִּבְּהֶן וְהִנָּבֵא עֲלֵיהֶן׃
自分の-心から そして-預言せよ 彼女らに-対して
H5012

人の子よ、心のままに預言するあなたの民の娘たちに対して、あなたの顔を向け、彼らに向かって預言して、

18 וְאָמַרְתָּ כֹּה־אָמַר אֲדֹנָי יְהוִה הוֹי לְמִתְפְּרוֹת כְּסָתוֹת עַל כָּל־
そして-言え こう 言われる 主なる 神は わざわいだ 縫う-者に 帯を の-上に すべての
H0559 H3541 H0559 H0136 H3069 H1945 H8609 H3704 H5921 H3605

נְפָשׁוֹת לְצוֹדֵד קוֹמָה כָּל־רֹאשׁ עַל־ הַמִּסְפָּחוֹת וְעֹשׂוֹת יָדַי אַצִּילֵי
魂を 狩る-ために 丈の すべての 頭の の-上に 覚いを そして-作る 手の 手首の
H5315 H6967 H3605 H7218 H5921 H4555 H6213 H3027 H0679

הַנְּפָשׁוֹת לְעַמִּי תְצוֹדְדָנָה וּנְפָשׁוֹת לָכֶנָּה תְּחַיֶּינָה׃
魂を 民の 狩るのか そして-魂を 自分の-ために 生かすのか
H5315 H5971 H6679 H2421 H5315 H3820 H2421

言え、主なる神はこう言われる、手の節々に占いひもを縫いつけ、もろもろの大きさの人の頭に、かぶり物を作りかぶせて、魂をかり取ろうとする女はわざわいだ。あなたがたは、わが民の魂をかり取って、あなたがたの利益のために、他の魂を生かしおこうとするのか。

19 וַתְּחַלְּלֻנָה אֹתִי אֶל־עַמִּי בְּשַׁעֲלֵי שְׂעֹרִים וּבְפִתֻּתֵי לֶחֶם לְהָמֵית
そして-汚した わたしを の-前で 民の 少しの 大麦で そして-かけらの パンで 殺す-ために
H2490 H0853 H0413 H5971 H8168 H8184 H6626 H3899 H4191

נְפָשׁוֹת אֲשֶׁר לֹא־ תְמוּתֶנָה וּלְחַיּוֹת נְפָשׁוֹת אֲשֶׁר לֹא־ תְחַיֶּינָה
魂を あの ない 死ぬべきでない そして-生かす 魂を あの ない 生きるべきでない
H5315 H0834 H3808 H4191 H2421 H5315 H0834 H3808 H2421

ס בְּכַזֵּבְכֶם לְעַמִּי שֹׁמְעֵי כָזָב׃
一 嘘で 民に 聞く-者に 嘘を
H3576 H5971 H8085 H3577

あなたがたは少しばかりの大麦のため、少しばかりのパンのために、わが民のうちに、わたしを汚し、かの偽りを聞きいれるわが民に偽りを述べて、死んではならない者を死なせ、生きていてはならない者を生かす。

20 לָכֵן כֹּה־אָמַר אֲדֹנָי יְהוִה הִנְנִי אֶל־כְּסֻתוֹתֵיכֶנָה אֲשֶׁר
それゆえ こう 言われる 主なる 神は 見よ-わたしは に-対する 帯に あの
H3541 H0559 H0136 H3069 H2009 H0413 H3704

אַתֶּם שָׁם־אֶת הַנְּפָשׁוֹת לְפָרְחוֹת וְקָרַעְתִּי אֹתָם מֵעַל
あなたがたが そこで を 魂を 飛ぶ-ように そして-引き-裂く それらを から
H8033 H0853 H5315 H6524 H7167 H0853

אַתֶּם אֶת־הַנְּפָשׁוֹת אֲשֶׁר אַתֶּם מְצוֹדְדוֹת אֶת־נְפָשִׁים
あなたがたが あの 魂を を 狩る 魂を
H5315 H0853 H6524 H0834 H5315 H0853

וְשִׁלַּחְתִּי זְרוֹעֹתֵיכֶם וְקָרַעְתִּי אֶת־מְצוֹדֹתֵיכֶם וְהִצַּלְתִּי
そして-解き-放つ 腕から そして-引き-裂く を 覚いを そして-救う
H7971 H2220 H7167 H0853 H4555 H5337

אֶת־עַמִּי מִיֶּדְכֶן וְלֹא־יִהְיוּ עוֹד בְּיֶדְכֶן לְמִצוֹדָה וְיָדַעְתֶּן
民を 手から そして-ない いない もう 手の-中に 罠として そして-知る
H5971 H3027 H3808 H1961 H5750 H3027 H4686 H3045

כִּי־אֲנִי יְהוָה׃
こと わたしが 主で-ある
H3588 H0589 H3068

それゆえ、主なる神はこう言われる、見よ、わたしはあなたがたが用いて、魂をかり取るところの占いひもを奪い、あなたがたの腕から占いひもを裂き取って、あなたがたがかり取るところの魂を、鳥のように放ちやる。

21 וְקָרַעְתִּי אֶת־מִטְפְּחֹתֵיכֶם וְהִצַּלְתִּי אֶת־עַמִּי מִיֶּדְכֶן וְלֹא־יִהְיוּ
そして-引き-裂く を 覚いを そして-救う 民を 手から そして-ない いない
H7167 H0853 H4555 H5337 H5971 H3027 H3808 H1961

עוֹד בְּיֶדְכֶן לְמִצוֹדָה וְיָדַעְתֶּן כִּי־אֲנִי יְהוָה׃
もう 手の-中に 罠として そして-知る こと わたしが 主で-ある
H5750 H3027 H4686 H3045 H3588 H0589 H3068

わたしはまたあなたがたの、かぶり物を裂き、わが民をあなたがたの手から救う。彼らは再びあなたがたの獲物とはならない。そしてあなたがたはわたしが主であることを知るようになる。

22 יַעַן הַכְאַבְתֶּם לֵב־צַדִּיק שֶׁקֶר וַאֲנִי לֹא הַכְאִבְתִּיו
なぜなら 悲しませた 心を 正しい-者の 偽りで そして-わたしは ない 悲しませなかった
H3282 H3820 H6662 H8267 H0589 H3808 H3510

וּלְחַזֵּק יְדֵי רָשָׁע לְבִלְתִּי־שׁוּב מִדַּרְכּוֹ הָרָע לְהַחֲיֹתוֹ׃
そして-強めた 手を 悪人の 立ち-帰らせない-ために 立ち-帰ることを 道から 悪い ために 生かす-ために
H2388 H3027 H7563 H1115 H7725 H1870 H7451 H2421

あなたがたは偽りをもって正しい者の心を悩ました。わたしはこれを悩ますなかった。またあなたがたは悪人が、その命を救うために、その悪しき道から離れようとする時、それをしないように勧める。

23 לָכֵן שָׁוְא לֹא־תֶחֱזֶינָה וְקֶסֶם לֹא־תִקְסֳמְנָה עוֹד וְהִצַּלְתִּי
それゆえ 嘘を ない 見ない そして-占いを ない 占わない もう そして-救う
H3541 H7723 H3808 H2372 H7081 H3808 H7080 H5750 H5337

אֶת־עַמִּי מִיֶּדְכֶן וְיָדַעְתֶּן כִּי־אֲנִי יְהוָה׃
民を 手から そして-知る こと わたしが 主で-ある
H5971 H3027 H3045 H3588 H0589 H3068

それゆえ、あなたがたは重ねてむなしい幻を見ることができず、占いをすることができないようになる。わたしはわが民を、あなたがたの手から救い出す。そのとき、あなたがたはわたしが主であることを知るようになる」。

Chapter 14

וַיָּבֹ֣וא 1
そして–来た
H0935

אֵלַ֗י אֲנָשִׁים֙ מִזִּקְנֵ֣י
わたしの–もとに 人々が 長老たちの–中から
H0413 H0376 H2205

יִשְׂרָאֵ֔ל וַיֵּשְׁב֖וּ
イスラエルの そして–座った
H3478 H3427

לְפָנָ֑י׃ פ
わたしの–前に —
H6440

ここにイスラエルの長老のうちのある人々が、わたしの所に来て、わたしの前に座した。

וַיְהִ֥י 2
そして–あった
H1961

דְבַר־ יְהוָ֖ה אֵלַ֥י לֵאמֹֽר׃
言葉が 主の わたしに 言って
H1697 H3068 H0413 H0559

時に主の言葉が、わたしに臨んだ、

בֶּן־ אָדָ֗ם 3
人の 子よ
H0120

הָאֲנָשִׁ֤ים הָאֵ֙לֶּה֙ גִּלּוּלֵיהֶ֣ם עַל־ לִבָּ֔ם
これらの 人々は 偶像を の–上に 心の
H0428 H0376 H1544

וּמִכְשׁ֥וֹל עֲוֹנָ֖ם
そして–つまずきを 咎の
H4383 H5771

הֵעֱלָ֑וּ הַאִדָּרֵ֥שׁ אִדָּרֵ֖שׁ לָהֶ֥ם׃ ס
上げた 本当に–求められるか 求められるのか 彼らに —
H5927 H1875 H1875 H0559

פְּנֵיהֶ֣ם נֹכַ֔ח נָתְנ֖וּ
顔の 前に 置いた
H6440 H5227 H5414

「人の子よ、これらの人々は、その偶像を心の中に持ち、罪に落しいれるところのつまずきを、その顔の前に置いている。わたしはどうして彼らの願いをいれることができようか。

לָכֵ֞ן 4
それゆえ
H3541

דַּבֵּ֣ר אֵלֵ֗ימוֹ֙ וְאָמַרְתָּ֣ אֲלֵיהֶ֔ם כֹּה־ אָמַ֥ר אֲדֹנָ֖י יְהוִ֑ה אִ֣ישׁ אִ֤ישׁ
語れ 彼らに そして–言え 彼らに こう 言われる 主なる 神は 人で 人で
H1696 H0853 H0559 H0413 H3541 H0136 H3069 H0376 H0376

מִבֵּ֣ית יִשְׂרָאֵ֗ל אֲשֶׁ֨ר יַעֲלֶ֤ה גִלּוּלָיו֙ אֶל־ לִבּ֔וֹ וּמִכְשׁ֥וֹל עֲוֹנ֖וֹ
家からの イスラエルの あの 上げる を 偶像を の–上に 心の そして–つまずきを 咎の
H3478 H0834 H5927 H0853 H1544 H0413 H4383 H5771

נָשָׂ֣א פָנָ֔יו נֹכַ֖ח
置く 顔の 前に
H5227 H6440

וּבָ֣א אֶל־ הַנָּבִ֔יא יְהוָ֥ה אֲנִ֖י נֵעָנֵ֥יתִי לֹ֛ו]בה[
そして–来る に 預言者の–もとに わたしは 主で 答える 彼に —
H0935 H0413 H5030 H0589 H3068 H6030 H0559

בְּרֹ֣ב)בָּא(גִּלּוּלָֽיו׃
多くの 来た 偶像の–ために
H7230 H0935 H1544

それゆえ彼らに告げて言え、主なる神は、こう言われる、イスラエルの家の人々で、その偶像を心の中に持ち、その顔の前に罪に落しいれるところのつまずくものを置きながら、預言者のもとに来る者には、その多くの偶像のゆえに、主なるわたしは、みずからこれに答をする。

לְמַ֗עַן 5
それは
H4616

תָּפֹ֤שׂ אֶת־ בֵּית֙ יִשְׂרָאֵ֔ל בְּלִבָּ֑ם אֲשֶׁ֣ר נָזְר֥וּ מֵעָלַ֖י
捕らえる–ため を 家を イスラエルの 心で あの 離れた わたしから
H8610 H0853 H3478 H3824 H4604

כֻּלָּ֖ם׃ ס בְּגִלּוּלֵיהֶֽם׃
すべて — 偶像の–ために
H3605 H1544

これはその偶像のために、すべてわたしを離れたイスラエルの家の心を、わたしが捕えるためである。

6 לָכֵן אֱמֹר אֶל־בֵּית יִשְׂרָאֵל כֹּה אָמַר אֲדֹנָי יְהוִה שׁוּבוּ
それゆえ 言え に 家に イスラエルの こう 言われる 主なる 神は 立ち-帰れ
H3541 H3478 H0559 H0136 H3069 H7725

וְהָשִׁיבוּ מֵעַל גִּלּוּלֵיכֶם וּמֵעַל כָּל־תּוֹעֲבֹתֵיכֶם הָשִׁיבוּ פְּנֵיכֶם׃
そして-離れよ から 偶像から そして-から すべての 忌まわしいことから 背けよ 顔を
H7725 H1544 H3605 H8441 H7725 H6440

それゆえイスラエルの家に言え、主なる神はこう言われる、あなたがたは悔いて、あなたがたの偶像を捨てよ。あなたがたの顔を、そのすべての憎むべきものからそむけよ。

7 כִּי אִישׁ אִישׁ מִבֵּית יִשְׂרָאֵל וּמִן־הַגֵּר אֲשֶׁר־יָגוּר בְּיִשְׂרָאֵל
人で 人で なぜなら 家からの イスラエルの そして-寄留者より あの 住む イスラエルに
H0376 H0376 H3478 H1616 H3478

וְיִנָּזֵר מֵאַחֲרַי וְיַעַל גִּלּוּלָיו אֶל־לִבּוֹ וּמִכְשׁוֹל עֲוֹנוֹ יָשִׂים נֶכַח פָּנָיו
そして-離れ わたしの-後に-従うことから そして-上げる 偶像を の-上に 心の そして-つまずきを 咎の 置く 前に 顔の
H5927 H1544 H0413 H4383 H5771 H5227 H6440

וּבָא אֶל־הַנָּבִיא לִדְרֹשׁ־לוֹ בִּי אֲנִי יְהוָה אֶעֱנֶה־לּוֹ בִּי׃
そして-来る に 預言者の-もとに 求める-ために 彼の-ために わたし自身で 答える 彼に 主で わたしは わたしに-よって
H0935 H0413 H5030 H1875 H3068 H6440

イスラエルの家の者およびイスラエルに宿る外国人のだれでも、わたしから離れ、その心に偶像を持ち、その顔の前に罪に落しいれるところのつまずきを置きながら、預言者に来て、心のままにわたしに求めるときは、主であるわたしは、みずからこれに答をする。

8 וְנָתַתִּי פָנַי בָּאִישׁ הַהוּא וְהַשַּׂמֹתִיהוּ לְאוֹת וְלִמְשָׁלִים
そして-向ける 顔を その-人に-対して その そして-する しるしとして そして-ことわざとして
H5414 H6440 H0376 H1931 H8074 H0226 H4912

וְהִכְרַתִּיו מִתּוֹךְ עַמִּי וִידַעְתֶּם כִּי־אֲנִי יְהוָה׃ ס
そして-断つ 中から 民の そして-知る こと わたしが 主で-ある 一
H3772 H8432 H5971 H3045 H3588 H0589 H3068

わたしはわたしの顔を、その人に向け、彼を、しるし、およびことわざとなし、これをわが民のうちから断ち滅ぼす。その時、あなたがたはわたしが主であることを知るようになる。

9 וְהַנָּבִיא כִּי־יִפָּתֶה וְדִבֶּר דָּבָר אֲנִי יְהוָה פִּתִּיתִי אֶת
そして-預言者が もし 惑わされて そして-語る 言葉を わたしは 主で 惑わした を
H5030 H3588 H6601 H1696 H1697 H0589 H3068 H6601 H0853

וְנָטִיתִי אֶת־יָדִי עָלָיו וְהִשְׁמַדְתִּיו מִתּוֹךְ עַמִּי הַנָּבִיא הַהוּא
そして-伸ばす を 手を 彼の-上に そして-滅ぼす 中から 民の その 預言者を
H5186 H0853 H3027 H5921 H8045 H8432 H5971 H1931 H5030

יִשְׂרָאֵל׃
イスラエルの
H3478

もし預言者が欺かれて言葉を出すことがあれば、それは主であるわたしが、その預言者を欺いたのである。わたしは手を彼の上に伸べ、わが民イスラエルのうちから彼を滅ぼす。

10 וְנָשְׂאוּ עֲוֹנָם כְּעֲוֹן הַדֹּרֵשׁ כְּעֲוֹן הַנָּבִיא יִהְיֶה׃
そして-負う 咎を 尋ねる-者の 尋ねる-者の-咎の-ように 預言者の なる
H5375 H5771 H1875 H5771 H5030 H1961

彼らはその罰を負う。その預言者の罰は、問い求める者の罰と同様である。

11 לְמַעַן לֹא־ יִתְעֲוּ עוֹד בֵּית־ יִשְׂרָאֵל מֵאַחֲרַי
それは ない 迷わない-ため もう 家が イスラエルの わたしの-後に-従うことから
H4616 H3808 H8582 H5750 H3478

וְלֹא־ יִטַּמְּאוּ עוֹד בְּכָל־ פִּשְׁעֵיהֶם וְהָיוּ לִי לְעָם
そして-ない 汚れない-ため もう すべての 背きで そして-なる わたしに-とって 民と
H3808 H8582 H5750 H3605 H6588 H1961

וְאָנֹכִי אֶהְיֶה לָהֶם לֵאלֹהִים נְאֻם אֲדֹנָי יְהוִה׃ פ
そして-わたしは なる 彼らに-とって 神と 宣言する 主なる 神は —
H0589 H1961 H0430 H5002 H0136 H3069

これはイスラエルの家が、重ねてわたしを離れて迷わず、重ねてそのもろもろのとがによって、おのれを汚さないため、また彼らがわが民となり、わたしが彼らの神となるためであると、主なる神は言われる」。

12 וַיְהִי דְבַר־ יְהוָה אֵלַי לֵאמֹר׃
そして-あった 言葉が 主の わたしに 言って
H1961 H1697 H3068 H0413 H0559

主の言葉が、またわたしに臨んだ、

13 בֶּן־ אָדָם אֶרֶץ כִּי תֶחֱטָא־ לִי לִמְעָל־ מַעַל וְנָטִיתִי יָדִי
子よ 人の 地が もし 罪を-犯す わたしに-対して 背いて 背きを そして-伸ばす 手を
H3027 H5186 H4604 H4603 H2398 H0776 H0120

עָלֶיהָ וְשָׁבַרְתִּי לָהּ מַטֵּה־ לֶחֶם וְהִשְׁלַחְתִּי־ בָהּ רָעָב וְהִכְרַתִּי
その-上に そして-折る そこに-とっての 杖を パンの そして-送る そこに 飢饉を そして-断つ
H7665 H4294 H3899 H7971 H7458 H3772

מִמֶּנָּה אָדָם וּבְהֵמָה׃
そこから 人と 獣を
H0120 H0929

「人の子よ、もし国がわたしに、もとりそむいて罪を犯し、わたしがその上に手を伸べて、そのつえとたのむパンを砕き、これにききんを送り、人と獣とをそのうちから断つ時、

14 וְהָיוּ שְׁלֹשֶׁת הָאֲנָשִׁים הָאֵלֶּה בְּתוֹכָהּ נֹחַ]דנאל[ )דָּנִיֵּאל(וְאִיּוֹב הֵמָּה
そして-いた 三人の 人が これらの その-中に ノアと — ダニエルと ヨブが 彼らは
H1961 H7969 H0376 H0428 H8432 H5146 H1840 H1840 H0347 H1992

נְאֻם אֲדֹנָי יְהוִה׃ נַפְשָׁם בְּצִדְקָתָם יְנַצֵּלוּ
宣言する 主なる 神は 自分の-魂を 義で 救う
H5002 H0136 H3069 H5315 H6666 H5337

たといそこにノア、ダニエル、ヨブの三人がいても、彼らはその義によって、ただ自分の命を救いうるのみであると、主なる神は言われる。

15 לוּ־ חַיָּה רָעָה אַעֲבִיר בָּאָרֶץ וְשִׁכְּלָתָהּ וְהָיְתָה שְׁמָמָה
もし 獣を 悪い 通らせる 地に そして-子を-奪う そして-なる 荒廃と
H3863 H2416 H7451 H5674 H0776 H7921 H1961 H8077

מִפְּנֵי הַחַיָּה׃ עוֹבֵר מִבְלִי
獣の-ために 通る-者が 通る-者が-いない-ほどに
H6440 H1097

もしわたしが野の獣にこの地を通らせ、これを荒させ、これを荒れ地となし、その獣のためにそこを通る者がないようにしたなら、

16

יְהוִה	אֲדֹנָי	נְאֻם	אָנִי	חַי־	בְּתוֹכָהּ	הָאֵלֶּה	הָאֲנָשִׁים	שְׁלֹשֶׁת
神は	主なる	宣言する	わたしは	生きて–いる–と	その–中に	これらの	人が	三人の
H3069	H0136	H5002	H0589		H8432	H0428	H0376	H7969

תִּהְיֶה	וְהָאָרֶץ	יִנָּצְלוּ	לְבַדָּם	הֵמָּה	יַצִּילוּ	בָנוֹת	וְאִם־	בָּנִים	אִם־
なる	そして–地は	救われる	自分たちだけ	彼らは	救えない	娘も	もし–ない	息子も	もし–ない
H1961	H0776	H5337	H0905	H1992	H5337	H1323			

שְׁמָמָה׃
荒廃と

主なる神は言われる、わたしは生きている、たといこれら三人の者がその中にいても、そのむすこ娘を救うことはできない。ただ自分自身を救いうるのみで、その地は荒れ地となる。

17

בָּאָרֶץ	תַּעֲבֹר	חֶרֶב	וְאָמַרְתִּי	הַהִיא	הָאָרֶץ	עַל־	אָבִיא	חֶרֶב	אוֹ
地を	通り–抜けるように	剣よ	そして–言う	その	地の	の–上に	もたらす	剣を	あるいは
H0776		H2719	H0559	H1931	H0776		H0935	H2719	

וּבְהֵמָה׃	אָדָם	מִמֶּנָּה	וְהִכְרַתִּי
獣を	人と	そこから	そして–断つ
H0929	H0120		H3772

あるいは、わたしがもし、つるぎをその地に臨ませ、つるぎよ、この地を行きめぐれと言って、人と獣とをそこから断つならば、

18

יְהוִה	אֲדֹנָי	נְאֻם	אָנִי	חַי־	בְּתוֹכָהּ	הָאֵלֶּה	הָאֲנָשִׁים	וּשְׁלֹשֶׁת
神は	主なる	宣言する	わたしは	生きて–いる–と	その–中に	これらの	人が	そして–三人の
H3069	H0136	H5002	H0589		H8432	H0428	H0376	H7969

יִנָּצֵלוּ׃	לְבַדָּם	הֵם	כִּי	וּבָנוֹת	בָּנִים	יַצִּילוּ	לֹא
救われる	自分たちだけ	彼らは	ただ	娘も	息子も	救えない	ない
H5337	H0905	H1992		H1323		H5337	H3808

主なる神は言われる、わたしは生きている、たといこれら三人の者がその中にいても、そのむすこ娘を救うことはできない。ただ自分自身を救いうるのみである。

19

בְּדָם	עָלֶיהָ	חֲמָתִי	וְשָׁפַכְתִּי	הַהִיא	הָאָרֶץ	אֶל־	אֲשַׁלַּח	דֶּבֶר	אוֹ
血で	その–上に	憤りを	そして–注ぎ–出す	その	地に	に	送る	疫病を	あるいは
H1818		H2534	H8210	H1931	H0776	H0413	H7971	H1698	

וּבְהֵמָה׃	אָדָם	מִמֶּנָּה	לְהַכְרִית
獣を	人と	そこから	断つ–ために
H0929	H0120		H3772

あるいは、わたしがもし、この地に疫病を送り、血をもってわが憤りをその上に注ぎ、人と獣とをそこから断つならば、

20

נְאֻם	אָנִי	חַי־	בְּתוֹכָהּ	וְאִיּוֹב	(דָּנִיֵּאל	[דנאל]	וְנֹחַ		
宣言する	わたしは	生きて–いる–と	その–中に	ヨブが	ダニエルと	—	そして–ノアと		
H5002	H0589		H8432	H0347	H1840)	H1840	H5146		

יַצִּילוּ	בְּצִדְקָתָם	הֵמָּה	יַצִּילוּ	בַּת	אִם־	בֵּן	אִם־	יְהוִה	אֲדֹנָי
救う	義で	彼らは	救えない	娘も	もし–ない	息子も	もし–ない	神は	主なる
H5337	H6666	H1992	H5337	H1323				H3069	H0136

פ	נַפְשָׁם׃
—	自分の–魂を
	H5315

主なる神は言われる、わたしは生きている、たといノア、ダニエル、ヨブがそこにいても、彼らはそのむすこ娘を救うことができない。ただその義によって自分の命を救いうるのみである。

21 כִּי֩ כֹ֨ה אָמַ֜ר אֲדֹנָ֣י יְהוִ֗ה אַ֚ף כִּי־אַרְבַּ֣עַת שְׁפָטַ֔י הָרָעִ֖ים חֶ֣רֶב
こう 言われる 主なる 神は まして この−なぜなら 四つの 裁きを 悪い 剣と
H3541 H0559 H0136 H3069 H0637 H0702 H8201 H7451 H2719

וְרָעָ֑ב וְחַיָּ֣ה רָעָה֮ וָדֶ֣בֶר שִׁלַּ֣חְתִּי אֶל־ יְרוּשָׁלַ֗͏ִם לְהַכְרִ֥ית מִמֶּ֛נָּה אָדָ֖ם
飢饉と 獣と 悪い 疫病を 送った に エルサレムに 断つ−ために そこから 人と
H7458 H2416 H7451 H1698 H7971 H0413 H3389 H3772 H4480 H0120

וּבְהֵמָֽה׃
獣を
H0929

主なる神はこう言われる、わたしが人と獣とを地から断つために、つるぎと、ききんと、悪しき獣と、疫病との四つのきびしい罰をエルサレムに送る時はどうであろうか。

22 וְהִנֵּ֣ה הִ֠וא נוֹתֶ֨רֶת־ בָּ֜הּ פְּלֵטָ֗ה הַמּוֹצְאִים֙ בָּנִ֣ים וּבָנ֔וֹת הִנָּ֖ם יוֹצְאִ֣ים
そして−見よ 残る 残りの−者が そこに 連れ−出される 息子と 娘が 見よ 出て−来る
H2009 H3498 H6413 H3318 H1121 H1323 H2009 H3318

אֲלֵיכֶ֑ם וּרְאִיתֶם֙ אֶת־ דַּרְכָּ֣ם וְאֶת־ עֲלִילוֹתָ֔ם וְנִחַמְתֶּ֖ם עַל־
あなたがたの−もとに そして−見る を 行いを そして わざを そして−慰められる に−ついて
H0413 H7200 H0853 H1870 H0853 H5949 H5162 H5921

כָּל־ אֲשֶׁ֤ר הֵבֵ֙אתִי֙ עָלֶ֔יהָ אֵ֖ת יְרוּשָׁלַ֑͏ִם אֶת־ כָּל־ אֲשֶׁ֥ר עָשִׂ֖יתִי
すべての−ことを あの を エルサレムに の−上に もたらした あの 災いに−ついて
H3605 H0834 H3389 H5921 H0935 H0834 H7451

׃עָלֶֽיהָ הֵבֵ֙אתִי֙
その−上に もたらした
H5921 H0935

しかし、もしそれがあなたがたに来るとき、むすこ娘たちを助け出す者が、その中に残っていて、あなたがたがその行いと、わざとを見るならば、わたしがエルサレムの上に与えたすべての災について慰められるであろう。

23 וְנִחַמְתֶּ֣ם אֶתְכֶ֗ם כִּ֣י תִרְאוּ֮ אֶת־ דַּרְכְּכֶם֒ וְאֶת־ עֲלִילוֹתֵיכֶם֙ וְיָדַעְתֶּ֣ם
そして−慰める あなたがたを なぜなら 見る−とき を 行いを そして わざを そして−知る
H5162 H0853 H3588 H7200 H0853 H1870 H0853 H5949 H3045

כִּ֣י לֹ֣א חִנָּ֗ם עָשִׂ֙יתִי֙ אֵ֣ת כָּל־ אֲשֶׁ֤ר עָשִׂ֙יתִי֙ בָּ֔הּ נְאֻם֙
なぜなら ない 無駄に 行わなかった を すべての−ことを あの 行った そこで 宣言する
H3588 H3808 H2600 H6213 H0853 H3605 H0834 H6213 H1931 H5002

׃יְהוִ֖ה אֲדֹנָֽי פ
神は 主なる
H3069 H0136

すなわち、あなたがたが、その行いと、わざとを見る時、彼らはあなたがたを慰め、あなたがたはわたしがこれに行った事は、すべてゆえなくしたのではないことを知るようになると、主なる神は言われる」。

Chapter 15

1 וַיְהִ֥י דְבַר־ יְהוָ֖ה אֵלַ֥י לֵאמֹֽר׃
あった 言葉が 主の 私に 言って
H1961 H1697 H3068 H0413 H0559

主の言葉がわたしに臨んだ、

2 בֶּן־ אָדָם֙ מַה־ הָיְתָ֣ה עֵֽץ־ הַגֶּ֔פֶן מִכָּל־ עֵ֖ץ זְמוֹרָ֑ה אֲשֶׁ֥ר
人の 子よ 何が なるだろうか 木は ぶどうの 木の 枝は それは
H1120 H4100 H1961 H6086 H1612 H6086 H2156 H834

הָיָ֖ה בַּעֲצֵ֥י הַיָּֽעַר׃
あった 木々の–中に 森の
H1961 H6086

「人の子よ、ぶどうの木、森の木のうちにあるぶどうの枝は、ほかの木になんのまさる所があるか。

3 הֲיֻקַּ֤ח מִמֶּנּוּ֙ עֵ֔ץ לַעֲשׂ֖וֹת מְלָאכָ֑ה אִם־ יִקְח֤וּ מִמֶּנּוּ֙ אֲנָשִׁ֔ים
取られるだろうか そこから 木が 作るために 仕事に あるいは 取るだろうか そこから 釘を
H3947 H4399 H6086 H3947 H4480 H3489

תָּ֖לוּי כָּל־ כְּלִֽי׃
掛けるために あらゆる 器を
H8518 H3605 H3627

その木は何かを造るために用いられるか。また人はこれを用いて、器物を掛ける木釘を造るだろうか。

4 הִנֵּה֙ לָאֵ֣שׁ נִתַּ֔ן לְאָכְלָ֖ה שְׁנֵ֣י קְצוֹתָ֑יו וְתוֹכֹ֣ו הָאֻכָּ֔ל
見よ 火に 渡された 燃料として 両方の 端を 焼き尽くした 火は そして–中央も
H2009 H784 H5414 H402 H8147 H7098 H398 H784 H8432

הֲיִצְלַ֖ח לִמְלָאכָֽה׃
役立つだろうか 仕事に
H2787 H4399

見よ、これは火に投げ入れられて燃える。火がその両端を焼いたとき、またその中ほどがこげたとき、それはなんの役に立つだろうか。

5 הִנֵּה֙ בִּהְיוֹתָ֣ו שָׁלֵ֔ם לֹ֥א יֵעָשֶׂ֖ה עֹ֑וד כַּ֣אַף כִּֽי־ אֵ֔שׁ
見よ 完全な–時でも そのままで なかった 作られることは さらに まして なおさら 火が
H2009 H1961 H8549 H3808 H6213 H5750 H637 H3588 H784

תֻּאָכַ֖ל וְנִצְרָ֑ב עֹ֖וד לֹ֥א יֵעָשֶׂ֖ה לִמְלָאכָֽה׃ ס
それを–焼き 焦げたならば 作られるだろうか さらに 仕事に —
H398 H2787 H6213 H5750 H3808 H6213 H4399

見よ、これは完全な時でも、なんの用をもなさない。まして火がこれを焼き、これをこがした時には、なんの役に立つだろうか。

6 לָכֵ֞ן כֹּ֣ה אָמַ֤ר אֲדֹנָי֙ יְהוִ֔ה כַּאֲשֶׁ֨ר עֵֽץ־ הַגֶּ֜פֶן בְּעֵ֣ץ הַיַּ֗עַר
それゆえ このように 言われる 主なる 神は ちょうど 木を ぶどうの 木の–中で 森の
H3651 H3541 H559 H136 H3069 H3588 H6086 H1612 H6086 H3293

אֲשֶׁר־ נָתַ֤תִּי לָאֵשׁ֙ לְאָכְלָ֔ה כֵּ֥ן נָתַ֖תִּי אֶת־ יֹשְׁבֵ֣י יְרוּשָׁלָֽ͏ִם׃
それを 私が–与えた 火に 燃料として そのように 私は–与えた — 住民を エルサレムの
H834 H5414 H784 H402 H3651 H5414 H853 H3427 H3389

それゆえ主なる神はこう言われる、わたしが森の木の中のぶどうの木を、火に投げ入れて焼くように、エルサレムの住民をそのようにする。

7

תְּאכְלֵם	וְהָאֵשׁ	יָצְאוּ	מֵהָאֵשׁ	בָּהֶם	פָּנַי	אֶת־	וְנָתַתִּי
彼らを–焼き尽くす	また–火が	彼らは–出たが	火から	彼らに–対して	顔を	—	そして–向ける
H0398	H0784	H3318	H0784		H6440	H0853	H5414

פָּנַי	אֶת־	בְּשׁוּמִי	יְהוָה	אֲנִי	כִּי־	וְיָדַעְתֶּם
顔を	—	私が–向ける–とき	主であると	私が	まことに	そして–あなたがたは–知る
H6440	H0853		H3068	H0589		H3045

בָּהֶם׃
彼らに–対して

わたしはわたしの顔を彼らに向けて攻める。彼らがその火からのがれても、火は彼らを焼き尽す。わたしが顔を彼らに向けて攻める時、あなたがたはわたしが主であることを知る。

8

נְאֻם	מַעַל	מָעֲלוּ	יַעַן	שְׁמָמָה	הָאָרֶץ	אֶת־	וְנָתַתִּי
と–仰せられる	背信を	彼らが–犯した	なぜなら	荒れ地に	地を	—	そして–私は–する
H5002	H4604	H4603	H3282		H0776	H0853	H5414

פ	יְהוִה׃	אֲדֹנָי
—	神は	主なる
	H3069	H0136

彼らが、もとりそむいたゆえに、わたしはこの地を荒れ地とすると、主なる神は言われる」。

Chapter 16

1

וַיְהִי	דְבַר־	יְהוָה	אֵלַי	לֵאמֹר׃	
あった	言葉が	主の	私に	言って	
H1961	H1697	H3068	H0413	H0559	

主の言葉が再びわたしに臨んだ、

2

בֶּן־	אָדָם	הוֹדַע	אֶת־	יְרוּשָׁלִַם	אֶת־	תּוֹעֲבֹתֶיהָ׃
人の	子よ	知らせよ	—	エルサレムに	—	忌まわしい–行いを
	H0120	H3045	H0853	H3389	H0853	H8441

「人の子よ、エルサレムにその憎むべき事どもを示して、

3

מְכֹרֹתַיִךְ	לִירוּשָׁלִַם	יְהוִה	אֲדֹנָי	אָמַר	כֹּה־	וְאָמַרְתָּ	
お前の–起源は	エルサレムに	神は	主なる	言われる	このように	そして–言え	
H4351	H3389	H3069	H0136	H0559	H3541	H0559	

חִתִּית׃	וְאִמֵּךְ	הָאֱמֹרִי	אָבִיךְ	הַכְּנַעֲנִי	מֵאֶרֶץ	וּמֹלְדֹתַיִךְ
ヒッタイト人だ	お前の–母は	アモリ人で	お前の–父は	カナン人の	地から	そして–お前の–生まれは
H2850	H0517	H0567	H0001		H0776	H4138

言え。主なる神はエルサレムにこう言われる、あなたの起り、あなたの生れはカナンびとの地である。あなたの父はアモリびと、あなたの母はヘテびとである。

4

שָׁרֵךְ	כָּרַת	לֹא־	אֹתָךְ	הוּלֶּדֶת	בְּיוֹם	וּמוֹלְדוֹתַיִךְ	
お前の–へその–緒は	切ることが	切られなかった	お前が	生まれた	日に	お前の–生まれは	
H8270	H3772	H3808	H0853	H3205	H3117	H4138	

הַמּוֹלַחַת	לֹא	וְהָמְלֵחַ	לְמִשְׁעִי	רָחַצְתְּ	לֹא־	וּבַמַּיִם
こすられることが	なかった	そして–塩で	清めるために	洗うことが	洗われなかった	そして–水で
	H3808		H4935	H7364	H3808	H4325

חֻתָּלְתְּ׃	לֹא	וְהָחְתֵּל	
巻かれることが	なかった	そして–布で	
H2853	H3808	H2853	

あなたの生れについていえば、その生れた日に、へその緒は切られず、水で洗い清められず、塩でこすられず、また布で包まれなかった。

5

לֹא־ חָסָה עָלַיִךְ לַעֲשׂוֹת אַחַת מֵאֵלֶּה
なかった 哀れむ お前に–対して するために 目が 一つでも これらの–うち
H3808 H2347 H6440 H5921 H6213 H0259 H0428

לְחֶמְלָה לָךְ עָלַיִךְ וַתֻּשְׁלְכִי אֶל־ פְּנֵי הַשָּׂדֶה בְּגֹעַל נַפְשֵׁךְ
憐れみを–もって お前に–対して そして–捨てられた へ 表面に 野の 嫌悪の–中で お前の–魂の
H2550 H5921 H7993 H0413 H6440 H7704 H1604 H5315

בְּיוֹם הֻלֶּדֶת אֹתָךְ׃
日に 生まれた お前が
H3117 H3205 H0853

ひとりもあなたをあわれみ見る者なく、情をもってこれらのことの一つをも、あなたにしてやる者もなく、あなたの生れた日に、あなたはきらわれて、野原に捨てられた。

6

וָאֶעֱבָר עָלַיִךְ וָאֶרְאֵךְ מִתְבּוֹסֶסֶת בְּדָמַיִךְ בְּדָמַיִךְ
そして–私は–通りかかった お前の–そばを そして–私は–見た もがき–苦しむ–お前を お前の–血の–中で お前の–血の–中で
H5674 H5921 H7200 H0947 H1818 H1818

וָאֹמַר לָךְ בְּדָמַיִךְ חֲיִי וָאֹמַר לָךְ בְּדָמַיִךְ חֲיִי׃
そして–私は–言った お前に そして–私は–言った 生きよ お前の–血の–中で 生きよ お前に
H0559 H0559 H2421 H1818 H2421 H1818

わたしはあなたのかたわらを通り、あなたが血の中にころがりまわっているのを見た時、わたしは血の中にいるあなたに言った、『生きよ、

7

רְבָבָה כְּצֶמַח הַשָּׂדֶה נְתַתִּיךְ וַתִּרְבִּי וַתִּגְדְּלִי
無数に 野の–苗の–ように 野の 私は–お前を–育てた そして–お前は–増し そして–大きく–なり
H7233 H6780 H7704 H5414 H7235 H1431

וַתָּבֹאִי בַּעֲדִי עֲדָיִים שָׁדַיִם נָכֹנוּ וּשְׂעָרֵךְ צָמְחָה
そして–お前は–達した 飾りの–中の 飾りを 乳房は 形づくられ そして–お前の–髪は 伸びた
H0935 H5716 H5716 H7699 H8181 H6779

וְעֵרֻם וְאַתְּ וְעֶרְיָה׃
あらわだった 裸で しかし–お前は
H6181 H5903

野の木のように育て』と。すなわちあなたは成長して大きくなり、一人前の女になり、その乳ぶさは形が整い、髪は長くなったが、着物がなく、裸であった。

8

וָאֶעֱבָר עָלַיִךְ וָאֶרְאֵךְ וְהִנֵּה עִתֵּךְ עֵת דֹּדִים וָאֶפְרֹשׂ כְּנָפִי עָלַיִךְ וָאֲכַסֶּה עֶרְוָתֵךְ
そして–私は–通りかかった お前の–そばを そして–私は–見た そして–見よ お前の–時が 時だった 愛の そして–私は–広げた 私の–衣の–裾を お前の–上に そして–私は–覆った お前の–裸を
H5674 H5921 H7200 H2009 H6256 H6256 H1730 H6566 H3671 H5921 H3680 H6172

וָאֶשָּׁבַע לָךְ וָאָבוֹא בִּבְרִית אֹתָךְ נְאֻם אֲדֹנָי יְהוִה וַתִּהְיִי לִי׃
そして–私は–誓った お前に そして–私は–入った 契約に お前と と–仰せられる 主なる 神は そして–お前は–なった 私の–ものに
H7650 H0935 H1285 H0853 H5002 H0136 H3069 H1961

わたしは再びあなたのかたわらをとおって、あなたを見たが、見よ、あなたは愛せられる年齢に達していたので、わたしは着物のすそであなたをおおい、あなたの裸をかくし、そしてあなたに誓い、あなたと契約を結んだ。そしてあなたはわたしのものとなったと、主なる神は言われる。

9

וָאֶרְחָצֵךְ וָאֶשְׁטֹף בַּמַּיִם וָאֶרְחָצֵךְ מֵעָלַיִךְ דָּמַיִךְ וָאֶסֹּכָה
そして–私は–洗った そして–私は–すすいだ 水で そして–私は–洗った お前から お前の–血を そして–私は–油を–塗った
H7364 H7857 H4325 H7364 H4480 H1818 H5480

׃בַּשָּׁמֶן
油で
H8081

そこでわたしは水であなたを洗い、あなたの血を洗い落して油を塗り、

10

וָאַלְבִּישֵׁךְ רִקְמָה וָאֶנְעֲלֵךְ תָּחַשׁ וָאֶחְבְּשֵׁךְ בַּשֵּׁשׁ
そして–私は–着せた 刺繍の–衣を そして–私は–履かせた 上質の–革を そして–私は–巻いた 亜麻で
H3847 H7553 H8476 H2280

׃וָאֲכַסֵּךְ מֶשִׁי
そして–私は–覆った 絹で
H3680 H4897

縫い取りした着物を着せ、皮のくつをはかせ、細布をかぶらせ、絹のきれであなたをおおった。

11

וָאֶעְדֵּךְ וָאֶתֵּן צְמִידִים עַל־יָדַיִךְ וְרָבִיד
そして–私は–飾った そして–私は–つけた 腕輪を の–上に お前の–手 そして–首飾りを
H5716 H5414 H6781 H5921 H3027 H7242

׃עַל־גְּרוֹנֵךְ
の–上に お前の–のど
H5921 H1627

また飾り物であなたを飾り、腕輪をあなたの手にはめ、鎖をあなたの首にかけ、

12

וָאֶתֵּן נֶזֶם עַל־אַפֵּךְ וְעָגִילִים עַל־אָזְנָיִךְ וַעֲטֶרֶת
そして–私は–つけた 鼻輪を の–上に お前の–鼻 そして–耳輪を の–上に お前の–耳 そして–冠を
H5414 H5141 H5921 H0639 H5694 H5921 H0241 H5850

׃תִּפְאֶרֶת בְּרֹאשֵׁךְ
お前の–頭に 輝かしい
H8597

鼻には鼻輪、耳には耳輪、頭には美しい冠を与えた。

13

וַתַּעְדִּי זָהָב וָכֶסֶף וּמַלְבּוּשֵׁךְ שֵׁשׁ (שש) וָמֶשִׁי
そして–お前は–飾った 金で そして–銀で そして–お前の–衣は 亜麻と (—) そして–絹と
H5710 H2091 H3701 H4403 H8336 (—) H4897

וְרִקְמָה וְדִבַשׁ וְשֶׁמֶן סֹלֶת וּדְבַשׁ וָשָׁמֶן אָכַלְתְּ (אכלתי) אָכְלָתְּ
そして–刺繍だった そして–蜜と そして–油を 上質の–小麦粉と そして–蜜と そして–油を (—) お前は–食べた
H7553 H1706 H8081 H5560 H1706 H8081 (H0398) H0398

וַתִּיפִי מְאֹד מְאֹד וַתִּצְלְחִי לִמְלוּכָה׃
そして–お前は–美しく–なり 非常に 非常に そして–お前は–栄えた 王位にまで
H3302 H3966 H3966 H6743 H4410

このようにあなたは金銀で飾られ、細布、絹、縫い取りの服をあなたの衣とし、麦粉と、蜜と、油とを食べた。あなたは非常に美しくなって王の地位に進み、

14 וַיֵּצֵא שְׁמֵךְ בַּגּוֹיִם בַּיָּפְיֵךְ וְכִי כְּלִיל הוּא
そして-出た お前の-名声が 諸国の-中に お前の-美しさの-ゆえに なぜなら 完全だった それは
H3318 H8034 H3308 H3632 H1931

אֲשֶׁר־ בָּהַדְרִי שַׂמְתִּי עָלַיִךְ נְאֻם אֲדֹנָי יְהוִה׃
それを 私の-輝きに-よって 私が-置いた お前の-上に と-仰せられる 主なる 神は
H1926 H7760 H5002 H0136 H3069

あなたの美しさのために、あなたの名声は国々に広まった。これはわたしが、あなたに施した飾りによって全うされたからであると、主なる神は言われる。

15 וַתִּבְטְחִי בְיָפְיֵךְ וַתִּזְנִי עַל־ שִׁמֵךְ
しかし-お前は-信頼した お前の-美しさに そして-お前は-姫んだ の-上に お前の-名声
H0982 H3308 H2181 H5921 H8034

וַתִּשְׁפְּכִי תַּזְנוּתַיִךְ עַל־ כָּל־ עוֹבֵר לוֹ־ יְהִי׃
そして-お前は-注ぎ-出した お前の-淫行を — すべての の-上に 通りかかる-者に それは なった
H8210 H8457 H0853 H3605 H5921 H5674 H1961

ところが、あなたは自分の美しさをたのみ、自分の名声によって姦淫を行い、すべてかたわらを通る者と、ほしいままに姦淫を行った。

16 וַתִּקְחִי מִבְּגָדַיִךְ וַתַּעֲשִׂי־ לָךְ בָּמוֹת טְלֻאוֹת
そして-お前は-取った お前の-衣から そして-お前は-作った 自分の-ために 高き-所を 色とりどりの
H3947 H4055 H6213 H3948 H1116 H2921

וְלֹא יִהְיֶה׃ בָּאוֹת לֹא עֲלֵיהֶם וַתִּזְנִי
あることは そして-あり得ない 来ることは あり得ない その-上で そして-お前は-姫んだ
H1961 H3808 H0935 H3808 H5921 H2181

あなたは自分の衣をとって、自分のために、はなやかに色どった聖所を造り、その上で姦淫を行っている。こんなことはかつてなかったこと、またあってはならないことである。

17 וַתִּקְּחִי כְּלֵי תִפְאַרְתֵּךְ מִזְּהָבִי וּמִכַּסְפִּי אֲשֶׁר
そして-お前は-取った 器を お前の-輝かしい 私の-金から そして-私の-銀から それを
H3947 H3627 H8597 H2091 H3701

וַתִּזְנִי־ וַתַּעֲשִׂי־ לָךְ נָתַתִּי אֲלֵיהֶם׃ צַלְמֵי זָכָר
そして-お前は-姫んだ そして-お前は-作った 自分の-ために 私が-与えた お前に それらと 像を 男の
H2181 H6754 H2145 H5414 H5921

あなたはわたしが与えた金銀の美しい飾りの品をとり、自分のために男の像を造って、これと姦淫を行った。

18 וַתִּקְחִי אֶת־ בִּגְדֵי רִקְמָתֵךְ וַתְּכַסִּים
そして-お前は-取った — 衣を お前の-刺繍の そして-お前は-それらを-覆った
H3947 H0853 H1264 H7553 H3680

וְשַׁמְנִי וּקְטֹרְתִּי [נתתי] (נָתַתְּ) לִפְנֵיהֶם׃
そして-私の-油と そして-私の-香を — お前は-供えた それらの-前に
H8081 H7004 H5414 H5414 H6440

また縫い取りのある自分の衣をとって彼らに着せ、わたしの油と香とをその前に供え、

19 וְלַחְמִי֙ אֲשֶׁר־ נָתַ֣תִּי לָ֔ךְ סֹ֖לֶת וְשֶׁ֣מֶן וּדְבַ֑שׁ

そして–私の–パンを	それを	私が–与えた	お前に	上質の–小麦粉と	そして–油と	そして–蜜を
H3899	H0834	H5414	H0859	H5560	H8081	H1706

הֶֽאֱכַלְתִּ֣יךְ וּנְתַתָּ֣יהוּ לִפְנֵיהֶ֔ם לְרֵ֥יחַ נִיחֹ֑חַ

私が–お前に–食べさせた	そして–お前は–それを–供えた	それらの–前に	なだめる–香りとして	快い
H0398	H5414	H6440	H7381	H5207

וַיְהִי֙ נְאֻ֣ם אֲדֹנָ֔י יְהוִ֖ה׃

そして–そうなった	と–仰せられる	主なる	神は
H1961	H5002	H0136	H3069

またわたしがあなたに与えたパン、わたしがあなたを養うための麦粉、油および蜜を、こうばしきかおりとして彼らの前に供えたと、主なる神は言われる。

20 וַתִּקְּחִי֙ אֶת־ בָּנַ֣יִךְ וְאֶת־ בְּנוֹתַ֔יִךְ אֲשֶׁ֥ר יָלַ֖דְתְּ לִ֑י

そして–お前は–取った	—	お前の–息子を	そして	お前の–娘を	それを	お前が–産んだ
H3947	H0853	H0853	H1121	H1323	H0834	H3205

וַתִּזְבְּחִ֥ים לָהֶ֖ם לֵאָכֽוֹל הַמִּמְעַ֖ט [מתזנתך]

そして–お前は–それらを–いけにえに–した	それらに	食べさせるために	少ないのか	—
H2076	H0001	H0398	H4592	H8457

(מִתַּזְנוּתָֽיִךְ׃)

お前の–淫行よりも
H8457

あなたはまた、あなたがわたしに産んだむすこ、娘たちをとって、その像に供え、彼らに食わせた。このようなあなたの姦淫は小さい事であろうか。

21 וַתִּשְׁחֲטִ֣י אֶת־ בָּנָ֔י וַתִּתְּנִ֥ים בְּהַעֲבִ֖יר אוֹתָ֑ם

そして–お前は–屠った	—	私の–息子を	そして–お前は–引き渡した	火の–中を–通らせて	それらを
H8552	H0853	H1121	H5414	H5674	H0853

לָהֶֽם׃

それらに

あなたはわたしの子どもを殺し、火の中を通らせて彼らにささげた。

22 וְאֶת־ כָּל־ תּוֹעֲבֹתַ֣יִךְ וְתַזְנוּתַ֔יִךְ לֹ֥א זָכַ֖רְתְּ [זכרתי]

—	なかった	そして–お前の–淫行の–中で	お前の–忌まわしい–行いと	すべての	そして	
H2142	H3808	H8457	H8441	H3605	H0854	

(זָכַ֕רְתְּ) אֶת־ יְמֵ֖י נְעוּרַ֑יִךְ בִּהְיוֹתֵ֤ךְ עֵרֹם֙ וְעֶרְיָ֔ה

お前は–思い出さなかった	—	日々を	お前の–若い–時の	お前が	裸で	あらわで
H2142	H0853	H3117	H5291	H1961	H5903	H6181

מִתְבּוֹסֶ֖סֶת בְּדָמֵ֥ךְ הָיִֽית׃

もがき–苦しんでいた	お前の–血の–中で	お前は–いた
H0947	H1818	H1961

あなたがそのすべての憎むべきことや姦淫を行うに当って、あなたが衣もなく、裸で、血の中にころがりまわっていた自分の若き日のことを思わなかった。

23 וַיְהִ֣י אַחֲרֵ֣י כָל־ רָעָתֵ֗ךְ אֲוֹי֤ אֲוֹי֙ לָ֔ךְ נְאֻ֖ם

そして–あった	後に	すべての	お前の–悪の	わざわいだ	わざわいだ	お前に	と–仰せられる
H1961	H0310	H3605	H7451	H0188	H0188	H0000	H5002

אֲדֹנָ֥י יְהוִֽה׃

主なる	神は
H0136	H3069

あなたがもろもろの悪を行った後、（あなたはわざわいだ、わざわいだと、主なる神は言われる）

24 וַתִּבְנִי־ לָךְ גֵּב וַתַּעֲשִׂי־ לָךְ רָמָה בְּכָל־ רְחוֹב׃
そして–お前は–建てた 自分の–ために 円屋根の–室を 自分の–ために 高い–所を 広場に
H1129 H1354 H7339 H3605 H7413

あなたは自分のために高楼を建て、広場、広場に台を造り、

25 אֶל־ כָּל־ רֹאשׁ דֶּרֶךְ בָּנִית רָמָתֵךְ וַתְּתַעֲבִי
すべての 道の–角に 道の お前の–建てた お前の–高い–所を そして–お前は–汚した
H0413 H3605 H1870 H1129 H7413 H8581

וַתְּפַשְּׁקִי אֶת־ יָפְיֵךְ לְכָל־ עוֹבֵר וַתַּרְבִּי אֶת־ תזנתך] [תַּזְנוּתַיִךְ׃(
そして–お前は–開いた お前の–美しさを — すべての 通りかかる–者に — お前の–淫行を
H6589 H3308 H0853 H3605 H7272 H0853 H8457 H8457

ちまた、ちまたのつじに台を造って、あなたの美しさを汚し、すべてかたわらを通る者に身をまかせて、大いに姦淫を行っている。

26 אֶל־ בְּנֵי מִצְרַיִם שְׁכֵנַיִךְ גִּדְלֵי בָשָׂר וַתַּזְנִי
と 息子ら エジプトの お前の–隣人である 大きな 肉体の そして–お前は–姫んだ
H0413 H4714 H7934 H1432 H1320 H2181

וַתַּרְבִּי אֶת־ תַּזְנוּתַיִךְ לְהַכְעִיסֵנִי׃
そして–お前は–増した — お前の–淫行を 私を–怒らせるために
H0853 H8457 H3707

あなたはまた、かの肉欲的な隣りエジプトの人々と姦淫を行い、大いに姦淫を行って、わたしを怒らせた。

27 וְהִנֵּה וָאֶטֵּיתִי יָדִי עָלַיִךְ וָאֶגְרַע חֻקֵּךְ
そして–見よ そして–伸ばした 私の–手を お前に–対して そして–減らした お前の–分け前を
H2009 H5186 H3027 H6639 H2706

וָאֶתֵּנֵךְ בְּנֶפֶשׁ שׂנְאוֹתַיִךְ בְּנוֹת פְּלִשְׁתִּים הַנִּכְלָמוֹת מִדַּרְכֵּךְ זִמָּה׃
そして–私は–引き渡した 意志に お前を–憎む–者たちの 娘ら ペリシテ人の 恋じる お前の–道から みだらな
H5414 H5315 H8130 H1323 H6430 H3637 H1870 H2154

それゆえ、わたしはわたしの手をあなたの上に伸べて、あなたの賜わる分を減らし、あなたの敵、すなわち、あなたのみだらな行為を恥じるペリシテびとの娘らの欲のままに、あなたを渡した。

28 אַשּׁוּר בְּנֵי אֶל־ וַתִּזְנִי מִבְלְתִּי שָׂבְעָתֵךְ
アッシリアの 息子ら と そして–お前は–姫んだ 満たされない–からこそ お前は–満足したのに
H0804 H0413 H2181 H1115 H7654

וְגַם לֹא שָׂבַעַתְּ וַתִּזְנִּים׃
それでも なかった 満たされることが そして–お前は–姫んだ
H1571 H3808 H7646 H2181

あなたは飽くことがないので、またアッスリヤの人々と姦淫を行ったが、彼らと姦淫を行っても、なお飽くことがなかった。

וְגַם־ כַּשְׂדִּימָה כְּנַעַן אֶרֶץ אֶל־ תַּזְנוּתֵךְ אֶת־ וַתַּרְבִּי 29
それでも カルデアまで カナンの 地 へと お前の–淫行を — そして–お前は–増した
H1571 H3778 H0776 H0413 H8457 H0853

בְּזֹאת לֹא שָׂבַעַתְּ׃
これに–よっても なかった 満たされることが
H2063 H3808 H7646

あなたはまたカルデヤの商業地と大いに姦淫を行ったが、これと姦淫を行っても、なお飽くことがなかった。

אֶת־ בַּעֲשׂוֹתֵךְ יְהוִה אֲדֹנָי נְאֻם לִבְּתֵךְ אֲמְלָה מָה 30
— お前が–行う–とき 神は 主なる と–仰せられる お前の–心は 弱いのか なんと
H0853 H3069 H0136 H5002 H3826 H0535 H4100

שַׁלָּטֶת׃ זוֹנָה אִשָּׁה־ מַעֲשֵׂה אֵלֶּה כָּל־
厚かましい 遊女の 女の 行いを これらの これ–すべてを
H7986 H2181 H0802 H4639 H0428 H3605

主なる神は言われる、あなたの心はどんなに恋いわずらうのか。あなたは、これらすべての事を行った。これはあつかましい姦淫のわざである。

דַּרְכֵּךְ כָּל־ בְּרֹאשׁ גַּבֵּךְ בְּבִנוֹתַיִךְ 31
道の すべての すべての–道の–角に お前の–円屋根の–室を お前が–建てた–とき
H1870 H3605 H1354 H1129

[הייתי] וְלֹא־ רְחוֹב בְּכָל־ (עָשִׂית) [עשיתי] וְרָמָתֵךְ
— しかし–なかった 広場に すべての お前は–作った — そして–お前の–高い–所を
H1961 H3808 H7339 H3605 H6213 H7413

אֶתְּנָן׃ לִקְלֹס כְּזוֹנָה (הָיִית)
報酬を 軽蔑する–ために 遊女の–ように お前は–いた
H0868 H7046 H2181 H1961

あなたは、ちまた、ちまたのつじに高楼を建て、広場、広場に台を設けたが、価をもらうことをあざけったので、遊女のようではなかった。

זָרִים׃ אֶת־ תִּקַּח אִישָׁהּ תַּחַת הַמְנָאֶפֶת הָאִשָּׁה 32
他人を — 彼女は–取る 彼女の–夫 の–代わりに 姦通する 姦婦よ
H0853 H3947 H0376 H8478 H5003 H0802

自分の夫に替えて他人と通じる姦婦よ。

לְכָל־ נְדָנַיִךְ אֶת־ נָתַתְּ וְאַתְּ נֶדֶה יִתְּנוּ־ זוֹנוֹת לְכָל־ 33
すべての お前の–贈り物を — 与えた しかし–お前は 贈り物を 与える 遊女に すべての
H3605 H5083 H0853 H5414 H5078 H5414 H2181 H3605

מִסָּבִיב אֵלַיִךְ לָבוֹא אוֹתָם וַתְּשַׁחֲדִי מְאַהֲבַיִךְ
四方から お前の–もとに 来るために 彼らを そして–お前は–賄った お前の–愛人に
H5439 H0413 H0935 H0853 H7809 H0157

בְּתַזְנוּתָיִךְ׃
お前の–淫行の–ために
H8457

人はすべての遊女に物を与える。しかしあなたはすべての恋人に物を与え、彼らにまいないして、あなたと姦淫するために、四方からあなたの所にこさせる。

34 וַיְהִי־ בָךְ הֶפֶךְ מִן־ הַנָּשִׁים בִּתַּזְנוּתַיִךְ
そして–あった お前には 逆の–ことが とは–違い 女たちとは お前の–淫行に–おいて
H1961 H2016 H0802 H8457

וְאֵתְנֵן אֶתְּנָן וּבְתִתֵּךְ זוּנָה לֹא וְאַחֲרַיִךְ
しかし–報酬が 報酬を そして–お前が–与える–とき 追って–姫む–者が なかった そして–お前の–後を
H0868 H0868 H5414 H2181 H3808

לְהֶפֶךְ׃ וַתְּהִי לָךְ נִתַּן־ לֹא
逆に そして–お前は–なった お前に 与えられることが なかった
H2016 H1961 H5414 H3808

このようにあなたは姦淫を行うに当って、他の女と違っている。すなわち、だれもあなたに姦淫をさせたのではない。あなたはかえって価を払い、相手はあなたに払わない。これがあなたの違うところである。

35 לָכֵן זוֹנָה שִׁמְעִי דְּבַר־ יְהוָה׃ פ
それゆえ 遊女よ 聞け 言葉を 主の —
H3541 H2181 H8085 H1697 H3068

それで遊女よ、主の言葉を聞け。

36 כֹּה־ אָמַר אֲדֹנָי יְהוִה יַעַן הִשָּׁפֵךְ נְחֻשְׁתֵּךְ
このように 言われる 主なる 神は なぜなら 注ぎ–出された お前の–淫欲が
H3541 H0559 H0136 H3068 H3282 H8210

וְעַל מְאַהֲבַיִךְ עַל־ בְּתַזְנוּתַיִךְ עֶרְוָתֵךְ וַתִּגָּלֶה
そして–の–上に お前の–愛人の の–上に お前の–淫行の–中で お前の–裸が そして–さらけ–出された
H0157 H8457 H6172 H1540

נָתַתְּ אֲשֶׁר בָּנַיִךְ וְכִדְמֵי תוֹעֵבוֹתַיִךְ גִּלּוּלַיִ כָּל־
お前が–与えた それを お前の–息子の そして–血に–よって お前の–忌まわしい 偶像の すべての
H5414 H1818 H8441 H1544 H3605

לָהֶם׃
それらに

主なる神はこう言われる、あなたがその恋人と姦淫して、あなたの恥じる所をあらわし、あなたの裸をあらわし、またすべての偶像と、あなたが彼らにささげたあなたの子どもらの血のゆえに、

37 לָכֵן הִנְנִי מְקַבֵּץ אֶת־ כָּל־ מְאַהֲבַיִךְ אֲשֶׁר עָרַבְתְּ
それゆえ 見よ–私は 集める — すべての お前の–愛人を それを お前が–喜ばせた
H2009 H6908 H0853 H3605 H0157 H6149

וְאֶת כָּל־ אֲשֶׁר אָהַבְתְּ עַל כָּל־ אֲשֶׁר שָׂנֵאת
そして すべての それを お前が–愛した と共に すべての それを お前が–憎んだ
H0853 H3605 H0157 H5921 H3605 H8130

עֲלֵיהֶם מִסָּבִיב עָלַיִךְ אֹתָם וְקִבַּצְתִּי וְגִלִּיתִי עֶרְוָתֵךְ
彼らに–対して 四方から お前に–対して 彼らを そして–私は–集める そして–私は–さらけ–出す お前の–裸を
H5921 H5439 H5921 H0853 H6908 H1540 H6172

וְרָאוּ כָּל־ אֶת־ עֶרְוָתֵךְ׃
そして–彼らは–見る すべての — お前の–裸を
H7200 H3605 H0853 H6172

אֲלֵיהֶם
彼らに–対して
H0413

見よ、わたしはあなたと遊んだあなたのすべての恋人、およびすべてあなたが恋した者と、すべてあなたが憎んだ者とを集め、四方から彼らをあなたの所に集めて、あなたの裸を彼らにあらわす。彼らはあなたの裸を、ことごとく見る。

38 וּשְׁפַטְתִּיךְ֙ מִשְׁפְּטֵ֣י נֹאֲפ֔וֹת וְשֹׁפְכֹ֖ת דָּ֑ם וְנָתַתִּ֤יךְ דַּם־חֵמָה֙ וְקִנְאָ֔ה׃
そして–私は–お前を–裁く 裁きで 姦婦の 血の そして–血を–流す–者の そして–私は–お前に–与える 血を 怒りの 妬みの
H8199 H4941 H5003 H1818 H8210 H5414 H1818 H2534 H7068

わたしは姦淫を行った女と、血を流した女がさばかれるように、あなたをさばき、憤りと、ねたみの血とを、あなたに注ぐ。

39 וְנָתַתִּ֤י אוֹתָךְ֙ בְּיַדָּ֔ם וְהָרְס֖וּ גַּבֵּ֑ךְ
そして–私は–引き渡す お前を 彼らの–手に そして–彼らは–壊す お前の–円屋根の–室を
H5414 H0853 H3027 H2040 H1354

וְנִתְצ֣וּ רָמוֹתַ֔יִךְ וְהִפְשִׁ֥יטוּ אוֹתָ֖ךְ בְּגָדַ֑יִךְ
そして–打ち–壊す お前の–高い–所を そして–彼らは–はぎ取る お前から お前の–衣を
H5422 H7413 H6584 H0853

וְלָקְח֣וּ כְלֵי֩ תִפְאַרְתֵּ֨ךְ וְהִנִּיח֤וּךְ עֵירֹם֙ וְעֶרְיָ֔ה׃
そして–彼らは–取る 器を お前の–輝かしい そして–彼らは–お前を–残す 裸で あらわに
H3947 H3627 H8597 H3240 H5903 H6181

わたしはあなたを恋人の手に渡す。彼らはあなたの高楼を倒し、台をこわし、あなたの衣をはぎ取り、あなたの美しい飾りの品を奪い、あなたを衣服のない裸者にする。

40 וְהַעֲל֤וּ עָלַיִךְ֙ קָהָ֔ל וְרָגְמ֥וּ אוֹתָ֖ךְ בָּאֶ֑בֶן
そして–彼らは–上らせる お前に–対して 群衆を そして–彼らは–打つ お前を 石で
H5927 H6951 H7275 H0853 H0068

וּבְתָקוּךְ֙ בְּחַרְבוֹתָ֔ם׃
そして–彼らは–切り裂く 剣で
H1333 H2719

彼らは民衆をかり立ててあなたを攻め、石であなたを撃ち、つるぎであなたを切り、

41 וְשָׂרְפ֤וּ בָתַּיִךְ֙ בָּאֵ֔שׁ וְעָשׂ֥וּ־בָ֖ךְ שְׁפָטִ֑ים לְעֵינֵי֙
そして–彼らは–焼く お前の–家を 火で そして–彼らは–行う お前に–対して 裁きを 目の–前で
H8313 H0784 H6213 H8201

וְהִשְׁבַּתִּ֤יךְ מִזּוֹנָה֙ וְגַם־אֶ֣תְנָ֔ן לֹ֥א תִתֵּ֖ן עוֹד׃
そして–私は–お前を–やめさせる 遊女で–あることから そして–また 報酬を ない もはや お前は–与えることが
H7673 H2181 H1571 H0868 H3808 H5750 H5414

火であなたの家を焼き、多くの女たちの前で、あなたにさばきを行う。こうしてわたしはあなたに淫行をやめさせ、重ねて価を払わせないようにする。

42 וַהֲנִחֹתִ֤י חֲמָתִי֙ בָּ֔ךְ וְסָרָ֥ה קִנְאָתִ֖י מִמֵּ֑ךְ
そして–私は–静める 私の–怒りを お前に–対して そして–去る 私の–妬みが お前から
H5117 H2534 H0853 H5493 H7068

וְשָׁקַטְתִּי֙ וְלֹ֣א אֶכְעַ֔ס עוֹד׃
そして–私は–安らぐ そして–ない 私は–怒ることが もはや
H8252 H3808 H3707 H5750

そしてあなたに対するわが憤りをしずめ、わがねたみをあなたから離し、わたしは心を安んじて、再び怒ることをしない。

43 יַ֣עַן אֲשֶׁר־ לֹ֣א]זכרתי[זָכַרְתְּ(אֶת־ יְמֵי֮ נְעוּרַ֒יִךְ
なぜなら それを なかった —[H2142] お前が–思い出さなかった —[H0853] 日々を お前の–若い–時の
H3282 H3808 H2142 H0853 H3117

וַתִּרְגְּזִי־ לִי֒ בְּכָל־ אֵ֣לֶּה גַּם־ וְאֲנִי֮ הֵ֣א
そして–お前は–私を–怒らせた 私を これら–すべてに–よって これらの そして–また 私が 見よ
H7264 H3605 H0428 H1571 H0589 H1887

]עשיתי[וְלֹ֣א יְהוִ֔ה אֲדֹנָ֖י נְאֻם֙ נָתַ֣תִּי בְרֹאשׁ֔ וְדַרְכֵּ֖ךְ
— そして–なかったのか 神は 主なる と–仰せられる 私は–報いた 頭の–上に お前の–道を
H3808 H3069 H0136 H5002 H5414 H1870

תּוֹעֵבֹתַ֑יִךְ׃ כָּל־ עַ֚ל הַזִּמָּ֣ה אֶת־ עָשִׂ֔ית(וַתַּ֖עַשׂ
お前の–忌まわしい–行いの すべての の–上に みだらな–ことを —[H0853] お前は–行った
H8441 H3605 H2154 H6213

またあなたはその若き日の事を覚えず、すべてこれらの事をもって、わたしを怒らせたから、見よ、わたしもあなたの行うところをあなたのこうべに報いると、主なる神は言われる。あなたはもろもろの憎むべき事に加えて、このみだらな事をおこなったではないか。

44 הִנֵּה֙ כָּל־ הַמֹּשֵׁ֔ל עָלַ֖יִךְ יִמְשֹׁ֣ל לֵאמֹ֑ר כְּאִמָּ֖ה
見よ すべての ことわざを–言う お前に–ついて ことわざを–言う–者が 言って 母の–ように
H2009 H3605 H0559 H0517

בִּתָּֽהּ׃
娘も–だと
H1323

見よ、すべてことわざを用いる者は、あなたについて、『この母にしてこの娘あり』という、ことわざを用いる。

45 בַּת־ אִמֵּ֣ךְ אַ֔תְּ גֹּעֶ֖לֶת אִישָׁ֑הּ וּבָנֶ֖יהָ וַאֲחוֹת֙
娘だ お前の–母の お前は 嫌う 彼女の–夫を そして–彼女の–子らを そして–姉妹の
H1323 H0517 H0269 H1602 H0376 H0269

אִמְּכֶ֔ן וּבְנֹתֶ֖יהָ אַנְשֵׁיהֶ֑ן נָעֲלוּ֙ אֲשֶׁ֣ר אַ֔תְּ אֲחוֹתֵ֖ךְ
お前たちの–母は そして–彼女らの–子らを 彼女らの–夫を 嫌った それを お前は お前の–姉妹の
H0517 H0269 H1602 H0376

אֱמֹרִ֑י׃ וַאֲבִיכֶ֖ן חִתִּ֔ית
アモリ人だ お前たちの–父は ヒッタイト人で
H0567 H0001 H2850

あなたは、その夫と子どもとを捨てたあなたの母の娘、またその夫と子どもとを捨てた姉妹を持っている。あなたの母はヘテびと、あなたの父はアモリびと、

46 עַל־ הַיּוֹשֶׁ֣בֶת וּבְנוֹתֶ֔יהָ הִ֣יא שֹׁמְרוֹן֙ הַגְּדוֹלָ֔ה וַאֲחוֹתֵ֖ךְ
の–上に 住んでいる そして–彼女の–娘たちが 彼女は サマリアで 大きい–方の そして–お前の–姉は
H3427 H1323 H1931 H8111 H0269

סְדֹ֔ם מִימִינֵ֖ךְ הַיּוֹשֶׁ֣בֶת מִמֵּ֑ךְ הַקְּטַנָּ֣ה וַאֲחוֹתֵ֗ךְ שְׂמֹאולֵֽךְ׃
ソドムで お前の–右に 住んでいる お前より 小さい–方の そして–お前の–妹は お前の–左
H5467 H3225 H3427 H0269 H8040

וּבְנוֹתֶֽיהָ׃
そして–彼女の–娘たちだ
H1323

あなたの姉はサマリヤ、サマリヤはその娘たちと共に、あなたの北に住み、あなたの妹はソドムで、その娘たちと共に、あなたの南に住んでいる。

[עשית	וּבְתוֹעֲבוֹתֵיהֶן	הָלַכְתְּ	בִּדְרָכֵיהֶן	וְלֹא	47
—	そして–彼女らの–忌まわしい–行いの–ように	お前は–歩いた	彼女らの–道で	そして–なかった	
	H8441	H1980	H1870	H3808	

דְּרָכֶיהָ׃	בְּכֹל־	מֵהֶן	וַתַּשְׁחֵתִי	קָט	כִּמְעַט	(עָשִׂית
お前の–道で	すべての	彼女らよりも	そして–お前は–もっと–堕落した	間で	わずかな	お前は–行った
H1870	H3605	H2004	H7843	H6985	H4592	H6213

あなたは彼らの道を歩まず、彼らの憎むべき事に従っていないが、しばらくすると、あなたのおこないは、彼らよりもさらに悪くなる。

סְדֹם	עָשְׂתָה	אִם־	יְהוִה	אֲדֹנָי	נְאֻם	אָנִי	חַי־	48
ソドムが	行ったならば	もし	神は	主なる	と–仰せられる	私が	私は–生きている	
H5467			H3069	H0136	H5002	H0589		

אַתְּ	עָשִׂית	כַּאֲשֶׁר	וּבְנוֹתֶיהָ	הִיא	אֲחוֹתֵךְ	
お前が	お前が–行った–ように	ちょうど	そして–彼女の–娘たちが	彼女が	お前の–姉妹の	
			H1323	H1931	H0269	

וּבְנוֹתָיִךְ׃
そして–お前の–娘たちが
H1323

主なる神は言われる、わたしは生きている。あなたの妹ソドムとその娘たちは、あなたとあなたの娘たちがしたほどのことはしなかった。

לֶחֶם	שִׂבְעַת־	גָּאוֹן	אֲחוֹתֵךְ	סְדֹם	עָוֹן	הָיָה	זֶה	הִנֵּה־	49
パンの	食物の–満足と	高慢と	お前の–姉妹の	ソドムの	罪は	だった	これが	見よ	
H3899	H7653	H1347	H0269	H5467	H5771	H1961	H2088	H2009	

עָנִי	וְיַד־	וְלִבְנוֹתֶיהָ	לָהּ	הָיָה	הַשְׁקֵט	וְשַׁלְוָה
貧しい–者と	そして–手を	そして–彼女の–娘たちに	彼女に	あった	平穏の	そして–安易な
H6041	H3027	H1323		H1961	H8252	H7962

הֶחֱזִיקָה׃	לֹא	וְאֶבְיוֹן
彼女は–強めることが	なかった	そして–乏しい–者の
H2388	H3808	H0034

見よ、あなたの妹ソドムの罪はこれである。すなわち彼女と、その娘たちは高ぶり、食物に飽き、安泰に暮していたが、彼らは、乏しい者と貧しい者を助けなかった。

לְפָנָי	תּוֹעֵבָה	וַתַּעֲשֶׂינָה	וַתִּגְבְּהֶינָה	50
私の–前で	忌まわしい–ことを	そして–彼女らは–行った	そして–彼女らは–高慢に–なり	
H6440	H8441		H1361	

ס	רָאִיתִי׃	כַּאֲשֶׁר	אֹתָן	וָאָסִיר	
—	私が–見た–ように	ちょうど	彼女らを	そして–私は–除いた	
	H7200		H0853	H5493	

彼らは高ぶり、わたしの前に憎むべき事をおこなったので、わたしはそれを見た時、彼らを除いた。

51

אֶת־	וַתַּרְבִּי	חֲטָאָה	לֹא	חַטֹּאתַיִךְ	כַּחֲצִי	וְשֹׁמְרוֹן
—	そして–お前は–増した	犯すことが	なかった	お前の–罪の	半分も	そして–サマリアは
H0853		H2398	H3808		H2677	H8111

)אֲחוֹתַיִךְ(	]אחותך[	אֶת־	וַתְּצַדְּקִי	מֵהֶנָּה	תּוֹעֵבוֹתַיִךְ
お前の–姉妹を	—	—	そして–お前は–正しく–見せた	彼女らよりも	お前の–忌まわしい–行いを
H0269	H0269	H0853	H6663	H2007	H8441

):עָשִׂית(	]עשיתי[	אֲשֶׁר	תּוֹעֵבוֹתַיִךְ	בְּכָל־
お前が–行った	—	それを	お前の–忌まわしい–行いに–よって	すべての
H6213			H8441	H3605

サマリヤはあなたの半分も罪を犯さなかった。あなたは彼らよりも多く憎むべき事をおこない、あなたのおこなったもろもろの憎むべき事によって、あなたの姉妹を義と見せかけた。

52

בְּחַטֹּאתַיִךְ	לַאֲחוֹתֵךְ	פִּלַּלְתְּ	אֲשֶׁר	כְּלִמָּתֵךְ	שְׂאִי	וְאַתְּ	גַּם־
お前の–罪に–よって	お前の–姉妹を	お前が–弁護した	それを	お前の–恥を	負え	お前も	また
	H0269	H6419		H3639	H5375		H1571

מִמֵּךְ	תִּצְדַּקְנָה	מִהֵן	הִתְעַבְתְּ	אֲשֶׁר־
お前よりも	彼女らは–正しく–見える	彼女らよりも	お前が–もっと–忌まわしく–行った	それに–よって
	H6663	H2004	H8581	

:אַחְיוֹתֵךְ	בְּצַדֶּקְתֵּךְ	כְּלִמָּתֵךְ	וּשְׂאִי	בּוֹשִׁי	אַף	וְגַם־
お前の–姉妹を	お前が–正しく–見せた–とき	お前の–恥を	そして–負え	恥じよ	お前も	そして–また
H0269	H6663	H3639	H5375	H0954		H1571

あなたはその姉妹を有利にさばいたことによって、あなたもまた自分のはずかしめを負わなければならない。それはあなたが彼らよりも、さらに憎むべきことをした罪によって、彼らはあなたよりも義とされるからである。それであなたも恥を受け、はずかしめを負わなければならない。それはあなたがその姉妹を義と見せかけたからである。

53

סְדֹם	)שְׁבוּת(	]שבית[	אֶת־	שְׁבִיתָהֶן	אֶת־	וְשַׁבְתִּי	
ソドムの	繁栄を	—	—	彼女らの–繁栄を	—	そして–私は–回復させる	
H5467	H7622	H7622	H0853	H7622	H0853	H7725	

]ושבית[	וּבְנוֹתֶיהָ	שֹׁמְרוֹן	)שְׁבוּת(	]שבית[	וְאֶת־	וּבְנוֹתֶיהָ
—	そして–彼女の–娘たちの	サマリアの	繁栄を	—	そして	そして–彼女の–娘たちの
H7622	H1323	H8111	H7622	H7622	H0853	H1323

בְּתוֹכָהּנָה:	שְׁבִיתֵךְ	)וּשְׁבוּת(
彼女らの–中に	お前の–捕囚を	そして–繁栄を
H8432		H7622

わたしは彼らの幸福をもとに返す。すなわちソドムとその娘たちの幸福、サマリヤとその娘たちの幸福、また彼らの中にいるあなたの幸福をもとに返す。

54

אֲשֶׁר	מִכֹּל	וְנִכְלַּמְתְּ	כְּלִמָּתֵךְ	תִּשְׂאִי	לְמַעַן	
それを	すべてから	そして–お前が–恥じる–ために	お前の–恥を	お前が–負う–ために	それは	
	H3605	H3637	H3639	H5375	H4616	

:אֹתָן	בְּנַחֲמֵךְ	עָשִׂית	
彼女らを	お前が–慰める–とき	お前が–行った	
H0853	H5162		

これはあなたに自分のはずかしめを負わせるため、またすべてあなたのなした事を恥じさせるためである。こうしてあなたは彼らの慰めとなる。

וְשֹׁמְרוֹן
そして–サマリアと
H8111
לִקַדְמָתָן
元の–状態に
H6927
תָּשַׁבְנָ֔ה
戻る
H7725
וּבְנוֹתֶ֖יהָ
そして–彼女の–娘たちは
H1323
סְדֹ֣ם
ソドムと
H5467
וַאֲחוֹתַ֑יִךְ
そして–お前の–姉妹は
H0269
55

תְּשֻׁבֶ֣ינָה
戻る
H7725
וּבְנוֹתַ֔יִךְ
そして–お前の–娘たちも
H1323
וְאַתְּ֖
そして–お前も
לִקַדְמָתָ֣ן
元の–状態に
H6927
תָּשֻׁ֑בְנָ
戻る
H7725
וּבְנוֹתֶ֖יהָ
そして–彼女の–娘たちは
H1323

לִקַדְמַתְכֶֽן׃
元の–状態に
H6927

あなたの姉妹ソドムと、その娘たちとは、そのもとの所に帰り、サマリヤと、その娘たちとは、そのもとの所に帰り、あなたと、あなたの娘たちとは、そのもとの所に帰る。

בְּיוֹם
日に
H3117
בְּפִ֣יךְ
お前の–口に
H6310
לִשְׁמוּעָ֔ה
話題として
H8052
אֲחוֹתֵ֖ךְ
お前の–姉妹の
H0269
סְדֹ֣ם
ソドムが
H5467
הֱיוֹתָ֑הּ
あることが
H1961
וְלֹ֖וא
そして–なかった
H3808
56

גְּאוֹנֵֽךְ׃
お前の–高慢の
H1347

あなたの高ぶりの日に、あなたの姉妹ソドムは、あなたの口に、ことわざとなったではなかったか。

בְּנ֥וֹת
娘らの
H1323
חֶרְפָּ֖ת
そしりの
H2781
עֵ֣ת
時の–ように
H6256
כְּמוֹ֙
ちょうど
H3644
רָעָתֵ֔ךְ
お前の–悪が
תְּנָלֶ֖ה
あらわに–なった
H1540
בְּטֶ֣רֶם
明らかに–なる–前に
H2962
57

מְסָבִֽיב׃
四方から
H5439
אוֹתָ֔ךְ
お前を
H0853
הַשָּׂאטוֹת֙
軽蔑する
H7590
פְּלִשְׁתִּ֔ים
ペリシテ人の
H6430
בְּנ֥וֹת
娘ら
H1323
סְבִיבוֹתֶ֖יהָ
周囲の–者たちの
H5439
וְכָל־
そして–すべての
H3605
אֲרָ֑ם
アラムの
H0758

すなわちあなたの悪があらわされた時まで、そうではなかったか。しかし今はあなたも彼女と同様に、エドムの娘たちと、すべてその周囲の者、および四方からあなたをあざけるペリシテの娘たちのそしりとなった。

נְאֻ֔ם
と–仰せられる
H5002
נְשָׂאתִ֖ים
負った
H5375
אַתְּ֣
お前が
תּוֹעֲבוֹתַ֑יִךְ
お前の–忌まわしい–行いを
H8441
וְאֶת־
そして
H0853
זִמָּתֵ֖ךְ
お前の–みだらな–行いと
H2154
אֶת־
—
H0853
58

יְהוָֽה׃
主は
H3068
ס
—

あなたはあなたのみだらな行為と、あなたの憎むべき事のとがとを、身に負っていると主は言われる。

כַּאֲשֶׁ֣ר
ちょうど
אוֹתָ֔ךְ
お前に
H0853
)וְעָשִׂ֖יתִי(
私は–行う
H6213
]ועשית[
—
יְהוִ֣ה
神は
H3069
אֲדֹנָ֑י
主なる
H0136
אָמַ֣ר
言われる
H0559
כֹּ֔ה
このように
H3541
כִּ֥י
なぜなら
59

בְּרִֽית׃
契約を
H1285
לְהָפֵ֖ר
破るために
אָלָ֑ה
誓いを
H0423
בְּזֽוֹת
お前が–軽んじた
H0959
אֲשֶׁר־
それを
עָשִׂ֥ית
お前が–行った–ように

主なる神はこう言われる、誓いを軽んじ、契約を破ったあなたには、あなたがしたように、わたしもあなたにする。

נְעוּרָֽיִךְ
お前の–若い–時の
בִּימֵ֣י
日々に
H3117
אוֹתָ֔ךְ
お前との
H0853
בְּרִיתִ֖י
私の–契約を
H1285
אֶת־
—
H0853
אֲנִ֣י
私が
H0589
וְזָכַרְתִּ֑י
しかし–私は–思い出す
H2142
60

עוֹלָֽם׃
永遠の
H5769
בְּרִ֥ית
契約を
H1285
לָ֖ךְ
お前の–ために
וַהֲקִמוֹתִ֥י
そして–私は–立てる

しかしわたしはあなたの若き日に、あなたと結んだ契約を覚え、永遠の契約をあなたと立てる。

61

וְזָכַרְתְּ	אֶת־	דְּרָכַיִךְ	וְנִכְלַמְתְּ	בְּקַחְתֵּךְ	אֶת־
そして–お前は–思い出す	—	お前の–道を	そして–恥じる	お前が–受ける–とき	—
H2142	H0853	H1870	H3637	H3947	H0853

אֲחוֹתַיִךְ	הַגְּדֹלוֹת	מִמֵּךְ	אֶל־	הַקְּטַנּוֹת	מִמֵּךְ	וְנָתַתִּי	אֶתְהֶן
お前の–姉妹を	大きい–方も	お前より	と共に	小さい–方も	お前より	そして–私は–与える	彼女らを
H0269			H0413			H5414	H0853

לָךְ	לְבָנוֹת	וְלֹא	מִבְּרִיתֵךְ׃
お前に	娘として	しかし–ない	お前の–契約から–では
	H1323	H3808	H1285

わたしがあなたの姉および妹を受け、またあなたとの契約によらずに、娘として彼らをあなたに与える時、あなたは自分のおこないを思い出して恥じる。

62

וַהֲקִימוֹתִי	אֲנִי	אֶת־	בְּרִיתִי	אִתָּךְ	וְיָדַעַתְּ	כִּי־	אֲנִי
そして–私は–立てる	私が	—	私の–契約を	お前と	そして–お前は–知る	まことに	私が
	H0589	H0853	H1285	H0854	H3045		H0589

יְהוָה׃
主であると
H3068

わたしはあなたと契約を立て、あなたはわたしが主であることを知るようになる。

63

עוֹד	לָךְ	יְהִיֶה־	וְלֹא	וָבֹשְׁתְּ	תִּזְכְּרִי	לְמַעַן	
もはや	お前に	あることが	そして–ない	そして–恥じる–ために	お前が–思い出し	それは	
H5750		H1961	H3808	H0954	H2142	H4616	

אֲשֶׁר	לְכֹל־	לָךְ	בְּכַפְּרִי־	כָּלְמָתֵךְ	מִפָּנַי	פֶּה	פְּתָחוֹן	
それを	すべての	お前の–ために	私が–贖う–とき	お前の–恥	の–前で	口を	開く–ことが	
	H3605			H3639	H6440	H6310	H6610	

ס	יְהוָה׃	אֲדֹנָי	נְאֻם	עָשִׂית
—	神は	主なる	と–仰せられる	お前が–行った
	H3069	H0136	H5002	

こうしてすべてあなたの行ったことにつき、わたしがあなたをゆるす時、あなたはそれを思い出して恥じ、その恥のゆえに重ねて口を開くことがないと、主なる神は言われる」。

Chapter 17

1

וַיְהִי	דְבַר־	יְהוָה	אֵלַי	לֵאמֹר׃	
そして–あった	言葉が	主の	私に	言って	
H1961	H1697	H3068	H0413	H0559	

時に主の言葉がわたしに臨んだ、

2

בֶּן־	אָדָם	חִוּד	חִידָה	וּמְשָׁל	מָשָׁל	אֶל־	בֵּית	יִשְׂרָאֵל׃
子よ	人の	出せ	謎を	そして–語れ	たとえを	に向けて	家に	イスラエルの
	H0120	H2330	H2420		H4912	H0413		H3478

「人の子よ、イスラエルの家になぞをかけ、たとえを語って、

3 וְאָמַרְתָּ֗ כֹּה־ אָמַ֞ר אֲדֹנָ֤י יְהוִה֙ הַנֶּ֣שֶׁר הַגָּד֔וֹל גְּד֥וֹל הַכְּנָפַ֖יִם אֹ֣רֶךְ

そして-言え このように 言われる 主なる 神は 大鷲が 大きな 大いなる 翼を-持ち 長い
H0559 H3541 H0559 H0136 H3069 H5404 H1419 H1361 H3671 H0750

הַנּוֹצָ֑ה מָלֵא֙ הָאֵ֔בֶר הָרִקְמָ֖ה לוֹ֙ אֲשֶׁר־ הַלְּבָנ֔וֹן אֶל־ בָּ֥א

羽毛の 満ちた 羽を-持ち 色とりどりの-模様が あった それに レバノンに へ 来て
H5133 H4392 H0083 H7553 H0413 H0935

וַיִּקַּ֖ח אֶת־ צַמֶּ֣רֶת הָאָֽרֶז׃

そして-取った を 梢を 杉の
H3947 H0853 H6788 H0730

言え。主なる神がこう言われる、さまざまの色の羽毛を多く持ち、大きな翼と、長い羽根とを持つ大わしがレバノンに来て、香柏のこずえにとまり、

4 אֶת רֹ֣אשׁ יִנִּיקוֹתָ֔יו קָטָ֖ף וַיְבִיאֵ֑הוּ אֶל־ אֶ֣רֶץ כְּנַ֔עַן בְּעִ֥יר

を 先端を 若枝の その-若枝の 摘み取り そして-運んだ-それを へ 地に カナンの 商人の-町に
H0853 H7218 H3242 H6998 H0935 H0413 H0776 H3669 H5503

רֹכְלִ֖ים שָׂמֽוֹ׃

商人たちの 置いた
H7402 H7760

その若枝の頂を摘み切り、これを商業の地に運び、商人の町に置いた。

5 וַיִּקַּ֣ח מִזֶּ֣רַע הָאָ֔רֶץ וַיִּתְּנֵ֖הוּ בִּשְׂדֵ֣ה־ זֶ֑רַע קָ֣ח

そして-取って から-種を その-地の そして-置いた-それを 畑に 種蒔きの 植えた
H3947 H2233 H0776 H5414 H7704 H2233 H3947

עַל־ מַ֥יִם רַבִּ֖ים צַפְצָפָ֥ה שָׂמֽוֹ׃

の-ほとりに 水の 豊かな 柳の-ように 置いた
H5921 H4325 H7227 H6851 H7760

またその地の種をとって、これを肥えた土に植えた。すなわち水の多い所にもって行って、柳を植えるようにこれを植えた。

6 וַיִּצְמַ֗ח וַיְהִי֙ לְגֶ֣פֶן סֹרַ֔חַת שִׁפְלַ֖ת קוֹמָ֑ה לִפְנ֥וֹת

そして-芽を-出し そして-なった ぶどうの-木に 広がる 低い 丈の 向ける-ために
H6779 H1961 H1612 H5628 H8217 H6967 H6437

וַתַּ֣עַשׂ וַתְּהִי֙ לְגֶ֣פֶן תַּחְתָּ֔יו יִהְי֖וּ וְשָׁרְשָׁ֑יו וַאֲלִיּוֹתָ֥יו דָּלִיּוֹתָ֖יו

そして-生やし そして-なった ぶどうの-木に その-下に あった その-根は 彼に その-つるを
H6213 H1961 H1612 H8478 H1961 H8328 H0413 H1808

פֹּאֳרוֹת׃ וַתִּשַּׁלַּ֥ח בַּדִּ֖ים

若枝を そして-伸ばした 枝を
H6288 H7971 H0905

これが成長して、たけ低く、はびこるぶどうの木となり、枝はわしに向かい、根はわしの下にあり、こうしてついにぶどうの木となり、枝を伸ばし、葉を出した。

7 וַיְהִי֙ אֶחָ֣ד גָּד֔וֹל גְּד֥וֹל כְּנָפַ֖יִם וְרַב־ נוֹצָ֑ה וְהִנֵּ֣ה

そして-あった もう-一つの 大いなる 大きな 翼と 豊かな 羽毛の すると-見よ
H1961 H0259 H1419 H1361 H3671 H7227 H5133 H2009

וְדָלִיּוֹתָ֥יו עָלָ֖יו שָׁרְשֶׁ֣יהָ כָּפְנָ֑ה הַזֹּ֣את הַגֶּ֔פֶן לְהַשְׁקוֹת֙ לֹ֔ו שִׁלְחָ֥ה־

その-つるを 彼に-向けて その-根を 曲げた この ぶどうの-木は 潤す-ために 彼に 伸ばした
H1808 H5921 H8328 H3719 H2063 H1612 H8248 H0413 H7971

מַטָּעָ֖הּ׃ מֵעֲרֻגֹ֥ות אוֹתָ֛הּ

その-植えた-所の 畝から それを
H4302 H6170 H0853

ここにまた大きな翼と、羽毛の多いほかの一羽の大わしがあった。見よ、このぶどうの木は、潤いを得るために、その根をわしに向かってまげ、その枝をわしに向かって伸ばした。

8

עָנָף֙	לַעֲשׂ֣וֹת	שְׁתוּלָ֔ה	הֵ֖יא	רַבִּ֑ים	מַ֥יִם	אֶל־	טֹ֖וב	שָׂדֶ֥ה	אֶל־
枝を	生やす-ために	植えられていた	それは	豊かな	水の	へ	良い	畑の	へ
H6057		H8362	H1931		H4325	H0413			H0413

ס	:אַדֶּֽרֶת	לְגֶ֣פֶן	לִֽהְיֹ֗ות	פֹּ֚רִי	וְלָשֵׂ֣את
—	見事な	ぶどうの-木に	なる-ために	実を	そして-実を-結ぶ
	H0155	H1612	H1961	H6529	H5375

これが枝を出し、実を結び、みごとなぶどうの木となるために、わしはこれを植えた苗床から水の多い良い地に移し植えた。

9

שָׁרָשֶׁ֣יהָ	אֶת־	הֲלוֹא֮	תִצְלָ֒ח	יְהוָה֙	אֲדֹנָ֣י	אָמַ֔ר	כֹּ֖ה	אֱמֹ֑ר
その-根を	を	ではないか	繁栄する-だろうか	神は	主なる	言われる	このように	言え
H8328	H0853	H3808		H3069	H0136	H0559	H3541	H0559

צִמְחָ֣הּ	טַרְפֶּ֗י	כָּל־	וְיָבֵ֔שׁ	יְקוֹסֵ֖ס	וּפִרְיָ֣הּ	וְאֶת־	יְנַתֵּ֑ק
その-萌え-出たものは	新芽は	すべての	そして-枯れる	むしり-取る	その-実を	そして	引き抜き
H6780	H2964	H3605	H3001	H7082	H6529	H0853	H5423

אוֹתָ֣הּ	לִמְשֹׁאֹ֔ות	רָ֖ב	וּבְעַם־	גְּדוֹלָ֑ה	בִּזְרֹ֥עַ	וְלֹא־	תִיבָ֖שׁ
それを	引き抜く-ために	民を-もって	多くの	大きな	大きな-力や	そして-ない	枯れる
H0853	H5375				H2220	H3808	H3001

:מִשָּׁרָשֶׁ֥יהָ
その-根から
H8328

あなたは、主なる神がこう言われると言え、これは栄えるであろうか。わしはその根を抜き、その枝を切り、その若葉を皆枯らさないであろうか。これをその根からあげるには、強い腕や多くの民を必要としない。

10

הַקָּדִ֔ים	רוּחַ֙	בָּ֣הּ	כְּנֹ֣עַת	הֲלוֹא֮	הֻתְצָ֒ל	שְׁתוּלָ֣ה	וְהִנֵּ֔ה
東の	風が	それに	触れると	ではないか	繁栄する-だろうか	植えられていても	そして-見よ
H6921	H7307		H5060	H3808		H8362	H2009

פ	:תִיבָּ֑שׁ	צִמְחָ֣הּ	עֶרְנֹ֔ת	עַל־	יָבֵ֖שׁ	תִיבָּ֑שׁ
—	枯れる	その-育った	畝の	の-上で	枯れる	枯れて
	H3001	H6780	H6170		H3001	H3001

見よ、それが移し植えられたら、また栄えるであろうか。東風がこれを打つ時、それは枯れてしまわないであろうか。その育った苗床で枯れないであろうか」。

11

לֵאמֹֽר׃	אֵלַ֖י	יְהוָ֥ה	דְּבַר־	וַיְהִ֔י
言って	私に	主の	言葉が	そして-あった
H0559	H0413	H3068	H1697	H1961

主の言葉がまたわたしに臨んだ、

12

הִנֵּה־	אֱמֹ֣ר	אֵלֶ֔יהָ	מָה־	יְדַעְתֶּ֖ם	הֲלֹ֣א	הַמֶּ֑רִי	לְבֵ֥ית	נָ֛א	אֱמֹר־
見よ	言え	これらが	何を	あなたがたは	知らないのか	反逆の	に-向けて-家に	どうか	言え
H2009	H0559	H0428	H4100	H3045	H3808	H4805		H4994	H0559

שָׂרֶ֖יהָ	וְאֶת־	מַלְכָּ֣הּ	אֶת־	וַיִּקַּ֗ח	יְרוּשָׁלִַ֜ם	בָּבֶ֤ל	מֶלֶךְ־	בָּ֔א
その-高官たちを	そして	その-王と	を	そして-取った	エルサレムに	バビロンの	王が	来た
H8269	H0853	H4428	H0853	H3947	H3389	H0894	H4428	H0935

:בָּבֶֽלָה	אֵלָ֑יו	אֹתָ֣ם	וַיָּבֵ֖א	
バビロンへ	彼の-もとへ	彼らを	そして-連れて-行った	
H0894	H0413	H0853	H0935	

「反逆の家に言え。これらがなんであるかをあなたがたは知らないのか。彼らに言え、見よ、バビロンの王がエルサレムにきて、その王とつかさとを捕え、これをバビロンに引いて行った。

13 וַיִּקַּח מִזֶּרַע הַמְּלוּכָה וַיִּכְרֹת אִתּוֹ בְּרִית וַיָּבֵא אֹתוֹ
そして-取って から-種を 王族の そして-結んだ 彼と 契約を そして-入れた 彼を
H3947 H2233 H4410 H3772 H0854 H1285 H0935 H0853

בְּאָלָה וְאֶת־אֵילֵי הָאָרֶץ לָקָח׃
誓いの-もとに そして 指導者たちを その-地の 取った
H0423 H0853 H0776 H3947

また王の子孫のひとりを捕えて、これと契約を結び、誓いを立てさせ、また国のおもだった人々を捕えて行った。

14 לִהְיוֹת מַמְלָכָה שְׁפָלָה לִבְלְתִּי הִתְנַשֵּׂא לִשְׁמֹר בְּרִיתוֹ
なる-ために 王国が 卑しい 高ぶらない-ように 高ぶらない 守る-ために その-契約を
H1961 H4467 H8217 H1115 H5375 H8104 H1285

לְעָמְדָהּ׃ אֶת־ בּוֹ
存続する-ために を 彼に
H5975 H0853

これはこの国を卑しくして、みずから立つことができないようにし、その契約を守ることによって立たせるためである。

15 וַיִּמְרָד־ בּוֹ לִשְׁלֹחַ מַלְאָכָיו לְהֹתֵת־ לוֹ סוּסִים
しかし-彼は-反逆した 彼に 遣わして 使者たちを 与える-ために 彼に 馬と
H4775 H7971 H3947 H4397 H5414 H4714

וְהֵפֵר הַיִּצְלָח הֲיִמָּלֵט הָעֹשֶׂה אֵלֶּה וְעַם־ רָב
そして-破った 成功する-だろうか 逃れる-だろうか 行う-者が これらのことを 民を 多くの
H0428 H4422

וְנִמְלָט׃ בְּרִית
そして-逃れる-だろうか 契約を
H4422 H1285

しかし彼はバビロンの王にそむき、使者をエジプトに送って、馬と多くの兵とをそこから獲ようとした。彼は成功するだろうか。このようなことをなす者は、のがれることができようか。

16 חַי־ אֲנִי נְאֻם אֲדֹנָי יְהוִה אִם־ לֹא בִּמְקוֹם הַמֶּלֶךְ
生きている わたしは 宣言される 主なる 神は まことに ない 場所で 王の
H2416 H0589 H5002 H0136 H3069 H0518 H3808 H4725 H4428

הַמַּמְלִיכוֹ אֹתוֹ אֲשֶׁר בָּזָה אֶת־ אָלָתוֹ וַאֲשֶׁר הֵפֵר אֶת־
彼を-王と-した 者の その 軽んじた を その-誓いを そして-その 破った を
H0853 H0853 H0834 H0959 H0853 H0423 H0834 H6565 H0853

בְּרִיתוֹ אִתּוֹ בְּתוֹךְ־ בָּבֶל יָמוּת׃
その-契約を 彼と-ともに の-中で バビロンで 死ぬ
H1285 H0854 H8432 H0894 H4191

契約を破ってなおのがれることができようか。主なる神は言われる、わたしは生きている、必ず彼は自分を王となした王の住む所、彼が立てた誓いを軽んじ、その契約を破った相手の王のいるバビロンで彼は死ぬ。

17 וְלֹא בְחַיִל גְּדוֹל וּבְקָהָל רָב יַעֲשֶׂה אִתּוֹ פַּרְעֹה
そして-ない 大きな 大きな-軍勢と 大いなる-集団を-もって 大いなる 助ける 彼を パロは
H3808 H1419 H2428 H6951 H7227 H6213 H0853 H6547

לְהַכְרִית נְפָשׁוֹת רַבּוֹת׃ דַּיֵּק וּבְנוֹת סֹלְלָה בִּשְׁפֹּךְ
滅ぼす-ために 命を 多くの 攻城壁を そして-建てる 塁壁を 築く-とき
H3772 H5315 H7227 H1785 H1129 H5550 H8210

בַּמִּלְחָמָה׃
戦いの-中で
H4421

多くの命を断つために塁を築き、雲梯を建てるとき、パロは決して大いなる軍勢と、多くの人とをもって、彼を助けて戦いをしない。

18 וּבָזָה אָלָה וַיַּחֲלֵל בְּרִית לְהָפֵר וְהִנֵּה נָתַן יָדוֹ וְכָל־ אֵלֶּה
そして-軽んじた 誓いを 破る-ために 契約を 見よ そして-与えた 手を すべての これらを
H0959 H0423 H3806 H1285 H2009 H5414 H3605 H0428

עָשָׂה לֹא יִמָּלֵט׃ ס
行って ない 逃れる ―
H3808 H4422

彼は誓いを軽んじ、契約を破り、その手を与えて誓いながら、なおこれらの事をしたゆえ、のがれることはできない。

19 לָכֵן כֹּה־ אָמַר אֲדֹנָי יְהוִה חַי־ אָנִי אִם־ לֹא
それゆえ このように 言われる 主なる 神は 生きている わたしは まことに ない
H3651 H3541 H0559 H0136 H3069 H2416 H0589 H0518 H3808

בְּרִיתִי הֵפִיר אֲשֶׁר וְאֹתָהּ בָּזָה אֲשֶׁר וְאֹתוֹ אָלָתִי
わたしの-契約を 破った それを そして-軽んじた それを そして-わたしの-誓いを
H1285 H6331 H0834 H0853 H0959 H0834 H0853 H0423

וְנָתַתִּיו בְּרֹאשׁוֹ׃
わたしは-報いる その-頭に
H5414 H7218

それゆえ、主なる神はこう言われる、わたしは生きている、彼がわたしの誓いを軽んじ、わたしの契約を破ったことを、必ず彼のこうべに報いる。

20 וְהֵבִיאוֹתִיהוּ וּפָרַשְׂתִּי עָלָיו רִשְׁתִּי וְנִתְפַּשׂ בְּמִצּוּדָתִי
そして-連れて-行く そして-広げる 彼の-上に わたしの-網を そして-捕らえられる わたしの-罠に
H0935 H6566 H5921 H7568 H8610 H4686

וְנִשְׁפַּטְתִּי אִתּוֹ שָׁם אֲשֶׁר עַל־ מָעַל בִּי׃
そして-さばく 彼を そこで ことで その-不信の 背いた わたしに
H8199 H0854 H8033 H0834 H4604 H4603

בָּבֶלָה
バビロンへ
H0894

わたしはわが網を彼の上に打ちかけ、彼をわがわなに捕えて、バビロンに引いて行き、彼がわたしにむかって犯した反逆のために、その所で彼をさばく。

21 וְאֵת כָּל־ [מברחו] (מִבְרָחָיו) בְּכָל־ אֲנָפָיו בַּחֶרֶב יִפֹּלוּ
そして すべての [―] 逃亡者たちは すべての 軍勢の-中で 剣に 倒れる
H0853 H3605 H4015 H4015 H3605 H0102 H2719 H5307

וְהַנִּשְׁאָרִים לְכָל־ רוּחַ יִפָּרְשׁוּ וְיָדַעְתֶּם כִּי אֲנִי יְהוָה
そして-残った者は すべての 方角に 散らされる そして-知るであろう それは わたし 主が
H7604 H3605 H7307 H6566 H3045 H3588 H0589 H3068

דִּבַּרְתִּי׃ ס
語ったと ―
H1696

彼のすべての軍隊のえり抜きの兵士は皆つるぎに倒れ、生き残った者は八方に散らされる。そしてあなたがたは主なるわたしが、これを語ったことを知るようになる」。

22 כֹּה אָמַר אֲדֹנָי יְהוִה וְלָקַחְתִּי אֲנִי מִצַּמֶּרֶת הָאֶרֶז הָרָמָה
このように 言われる 主なる 神は わたしは-取る わたし自ら 梢から 杉の 高い
H3541 H0559 H0136 H3069 H3947 H0589 H6788 H0730 H7311

וְשָׁתַלְתִּי עַל אֶקְטֹף רַךְ מֵרֹאשׁ יֹנְקוֹתָיו וְנָתַתִּי
そして-植える の-上に わたし自ら 折り取り 柔らかい-ものを その-先端の 若枝から そして-植える
H8362 H5921 H6998 H7390 H7218 H3127 H5414

הַר־ גָּבֹהַ וְתָלוּל׃
山の 高い そびえ-立つ
H2022 H1364 H8524

主なる神はこう言われる、「わたしはまた香柏の高いこずえから小枝をとって、これを植え、その若芽の頂から柔かい芽を摘みとり、これを高いすぐれた山に植える。

23

פְּרִי	וְעָשָׂה	עָנָף	וְנָשָׂא	אֶשְׁתֶּלֶנּוּ	יִשְׂרָאֵל	מְרוֹם	בְּהַר
実を	そして-結ぶ	枝を	そして-生やし	植える	イスラエルの	高い	の-上に-山の
H6529		H6057	H5375	H8362	H3478	H4791	H2022

כָּנָף	כֹּל-	צִפּוֹר	כֹּל	תַּחְתָּיו	וְשָׁכְנוּ	אַדִּיר	לְאֶרֶז	וְהָיָה
翼-ある-ものが	すべての	鳥が	すべての	その-下に	そして-宿る	見事な	杉に	そして-なる
H3671	H3605	H6833	H3605	H8478	H7931	H0117	H0730	H1961

תִּשְׁכֹּנָה׃	דָּלִיּוֹתָיו	בְּצֵל
宿る	その-枝の	陰に
H7931	H1808	H6738

わたしはイスラエルの高い山にこれを植える。これは枝を出し、実を結び、みごとな香柏となり、その下にもろもろの種類の獣が住み、その枝の陰に各種の鳥が巣をつくる。

24

הִגְבַּהְתִּי׀	גְּבֹהַ	עֵץ	וְהִשְׁפַּלְתִּי	יְהוָה	אֲנִי	כִּי	הַשָּׂדֶה	עֲצֵי	כָּל-	וְיָדְעוּ
高くした	高い	木を	低くした	主が	わたし	それは	野の	木は	すべての	そして-知る
H1361	H1364	H6086	H8213	H3068	H0589		H7704	H6086	H3605	H3045

דִּבַּרְתִּי	יְהוָה	אֲנִי	יָבֵשׁ	עֵץ	וְהִפְרַחְתִּי	לָח	עֵץ	הוֹבַשְׁתִּי׀	שָׁפָל	עֵץ
語り	主が	わたし	枯れた	木を	そして-芽吹かせた	緑の	木を	枯らした	低い	木を
H1696	H3068	H0589	H3002	H6086		H3892	H6086	H3001	H8217	H6086

וְעָשִׂיתִי׃	פ
そして-行う	—

そして野のすべての木は、主なるわたしが高い木を低くし、低い木を高くし、緑の木を枯らし、枯れ木を緑にすることを知るようになる。主であるわたしはこれを語り、これをするのである」。

Chapter 18

1

לֵאמֹר׃	אֵלַי	יְהוָה	דְּבַר-	וַיְהִי
言って	私に	主の	言葉が	そして-あった
H0559	H0413	H3068	H1697	H1961

主の言葉がわたしに臨んだ、

2

אַדְמַת	עַל-	הַזֹּה	הַמָּשָׁל	אֶת-	מֹשְׁלִים׀	אַתֶּם	לָכֶם	מַה-
地で	について	この	たとえを	この	語っている	あなたがたは	あなたがたは	何を
H0127		H2088	H4912	H0853				H4100

תִּקְהֶינָה׃	הַבָּנִים	וְשִׁנֵּי	בֹּסֶר	יֹאכְלוּ	אָבוֹת׀	לֵאמֹר	יִשְׂרָאֵל
浮く	子どもたちの	そして-歯が	酸い-ぶどうを	食べた	父たちが	言って	イスラエルの
H6949		H8127	H1155	H0398	H0001	H0559	H3478

「あなたがたがイスラエルの地について、このことわざを用い、『父たちが、酢いぶどうを食べたので子供たちの歯がうく』というのはどんなわけか。

3

עוֹד	לָכֶם	יִהְיֶה	אִם-	יְהוִה	אֲדֹנָי	נְאֻם	אֲנִי	חַי-
もう	あなたがたに	ない	まことに	神は	主なる	宣言される	わたしは	生きている
H5750		H1961		H3069	H0136	H5002	H0589	

בְּיִשְׂרָאֵל׃	הַזֹּה	הַמָּשָׁל	מָשָׁל
イスラエルで	この	たとえが	語られる-こと
H3478	H2088	H4912	

主なる神は言われる、わたしは生きている、あなたがたは再びイスラエルでこのことわざを用いることはない。

4

הַבֵּן	וּכְנֶפֶשׁ	הָאָב	כְּנֶפֶשׁ	הִנֵּה	לִי	הַנְּפָשׁוֹת	כָּל־	הֵן
子の	子の-魂も	父の	父の-魂も	それらは	わたしの-ものである	魂は	すべての	見よ
H5315		H0001	H5315	H2007		H5315	H3605	H2005

ס	תָּמוּת׃	הִיא	הַחֹטֵאת	הַנֶּפֶשׁ	הֵנָּה	לִי־
—	死ぬ	その-者が	罪を-犯す	魂は	それらは	わたしの-ものである
	H4191	H1931	H2398	H5315	H2007	

見よ、すべての魂はわたしのものである。父の魂も子の魂もわたしのものである。罪を犯した魂は必ず死ぬ。

5

וּצְדָקָה׃	מִשְׁפָּט	וְעָשָׂה	צַדִּיק	יִהְיֶה	כִּי־	וְאִישׁ
義を	公正と	そして-行う	正しい	あるなら	もし	そして-人が
H6666	H4941		H6662	H1961		H0376

人がもし正しくあって、公道と正義とを行い、

6

בֵּית	גִּלּוּלֵי	אֶל־	נָשָׂא	לֹא	וְעֵינָיו	אָכַל	לֹא	הֶהָרִים
家の	偶像に	に-向けて	上げない	ない	その-目を	食べず	ない	山々で
H1544		H0413	H5375	H3808		H0398	H3808	H2022

אֶל־	לֹא	יִשְׂרָאֵל	וְאֶת־	אֵשֶׁת	רֵעֵהוּ	לָא	טִמֵּא	וְאֶל־
の-上で	ない	イスラエルの	そして	妻を	隣人の	ない	汚さず	そして-に
H0413	H3808	H3478	H0853	H0802	H7453	H3808		H0413

אִשָּׁה	נִדַּת	לֹא	יִקְרָב׃	
女に	月のさわりの	ない	近づかない	
H0802	H5079	H3808	H7126	

山の上で食事をせず、また目をあげてイスラエルの家の偶像を仰がず、隣り人の妻を犯さず、汚れの時にある女に近づかず、

7

לַחְמוֹ	יִגְזֹל	לֹא	גְּזֵלָה	יָשִׁיב	חוֹב	חֲבֹלָתוֹ	יוֹנָה	לֹא	וְאִישׁ
その-パンを	行わず	ない	強奪を	返し	債務者の	質物を	虐げず	ない	そして-人を
H3899	H1497	H3808	H1500	H7725	H2326		H3238	H3808	H0376

בָּגֶד׃	יְכַסֶּה־	וְעֵירֹם	יִתֵּן	לְרָעֵב
衣を	覆う	裸の-者に	与え	飢えた-者に
	H3680	H5903	H5414	H7457

だれをもしえたげず、質物を返し、決して奪わず、食物を飢えた者に与え、裸の者に衣服を着せ、

8

אֱמֶת	מִשְׁפָּט	יָדוֹ	יָשִׁיב	מֵעָוֶל	יִקַּח	לֹא	וְתַרְבִּית	יִתֵּן	לֹא־
真実の	公正な	手を	引く	不正から	取らず	ない	高利を	貸さず	ない
H0571	H4941	H3027	H7725		H3947	H3808	H8636	H5414	H3808

בַּנֶּשֶׁךְ	יַעֲשֶׂה	בֵּין	אִישׁ	לְאִישׁ׃
利息を-もって	裁きを-行う	の-間で	人と	人の
H5392		H0996	H0376	H0376

利息や高利をとって貸さず、手をひいて悪を行わず、人と人との間に真実のさばきを行い、

9

יִחְיֶה	חָיֹה	הוּא	צַדִּיק	אֱמֶת	לַעֲשׂוֹת	שָׁמַר	וּמִשְׁפָּטַי	יְהַלֵּךְ	בְּחֻקּוֹתַי
生きる	確かに	者である	正しい	真実を	行う	守り	わたしの-定めを	歩み	わたしの-掟に
H2421	H2421	H1931	H6662	H0571		H8104	H4941	H1980	H2708

נְאֻם	אֲדֹנָי	יְהוִה׃	
宣言される	主なる	神は	
H5002	H0136	H3069	

わたしの定めに歩み、わたしのおきてを忠実に守るならば、彼は正しい人である。彼は必ず生きることができると、主なる神は言われる。

10 וְהוֹלִיד בֶּן־ פָּרִיץ שֹׁפֵךְ דָּם וְעָשָׂה אָח מֵאַחַד אֵלֶּה׃
しかし-もうけた 息子を 暴虐な 流す 血を そして-行った 兄弟に の-一つ これらの
H3205 H6530 H8210 H1818 H6213 H0251 H0259 H0428

しかし彼が子を生み、その子が荒い者で、人の血を流し、これらの義務の一つをも行わず、

11 וְהוּא אֶת־ עָשָׂה כִּי גַּם אֶל־ הֶהָרִים אָכַל לֹא אֵלֶּה כָּל־ אֶת־ לְרֵעֵהוּ טִמֵּא׃
しかし-彼自身は を すべての これらを ない 行わなかった さらに の-上で 食べ 山々で 隣人の 汚した
H1931 H0853 H3605 H0428 H3808 H6213 H1571 H0413 H0398 H2022 H7453 H2930

かえって山の上で食事をし、隣り人の妻を犯し、

12 עָנִי וְאֶבְיוֹן הוֹנָה גְּזֵלוֹת חֲבָל לֹא יָשִׁיב וְאֶל־ הַגִּלּוּלִים
貧しい-者と 乏しい-者を 虐げ 強奪を 行い 質物を ない 返さず そして-に 偶像に
H6041 H0034 H3238 H1500 H1497 H2254 H3808 H7725 H0413 H1544

נָשָׂא עֵינָיו הוֹעֵבָה עָשָׂה׃
上げた 目を 忌まわしい-こと 行った
H5375 H5869 H8441 H6213

乏しい者や貧しい者をしえたげ、物を奪い、質物を返さず、目をあげて偶像を仰ぎ、憎むべき事をおこない、

13 כָּל־ אֶת לֹא וָחָי לָקַח וְתַרְבִּית נָתַן בַּנֶּשֶׁךְ
すべての を ない そして-生きる-だろうか 取った 高利を 貸し 利息を-もって
H3605 H0853 H3808 H2425 H3947 H8636 H5414 H5392

יִחְיֶה לֹא הַתּוֹעֵבוֹת הָאֵלֶּה עָשָׂה מָוֹת יוּמָת דָּמָיו בּוֹ יִהְיֶה׃
生きない ない 忌まわしい-ことを これらの 行った 必ず 殺される その-血は 彼の-上に ある
H2421 H3808 H8441 H0428 H6213 H4191 H4191 H1818 H0996 H1961

利息や高利をとって貸すならば、その子は生きるであろうか。彼は生きることはできない。彼はこれらの憎むべき事をしたので、必ず死に、その血は彼自身に帰する。

14 וְהִנֵּה הוֹלִיד בֵּן וַיַּרְא אֶת־ כָּל־ חַטֹּאת אָבִיו אֲשֶׁר עָשָׂה
そして-見よ もうけた 息子を そして-見た を すべての 罪を その-父の それを 行った
H2009 H3205 H1121 H7200 H0853 H3605 H2403 H0001 H0834 H6213

וַיִּרְאֶה וְלֹא יַעֲשֶׂה כֵּן׃
そして-見て そして-ない 行わない 同様に
H7200 H3808 H6213 H3651

しかし彼が子を生み、その子が父の行ったすべての罪を見て、恐れ、そのようなことを行わず、

15 עַל־ הֶהָרִים לֹא אָכַל וְעֵינָיו לֹא נָשָׂא גִּלּוּלֵי בֵית אֶל־
の-上で 山々で ない 食べず その-目を ない 上げない 偶像に 家の に-向けて
H5921 H2022 H3808 H0398 H5869 H3808 H5375 H1544 H1004 H0413

טִמֵּא׃ לֹא לְרֵעֵהוּ אֵשֶׁת אֶת־ יִשְׂרָאֵל
汚さず ない 隣人の 妻を を イスラエルの
H2930 H3808 H7453 H0802 H0853 H3478

山の上で食事せず、目をあげてイスラエルの家の偶像を仰がず、隣り人の妻を犯さず、

16 וְאִישׁ לֹא הוֹנָה חֲבֹל לֹא חֲבָל וּגְזֵלָה לֹא נָזָל לַחְמוֹ
そして-人を ない 虐げず 質物を ない 取らず 強奪を ない 行わず その-パンを
H0376 H3808 H3238 H2254 H3808 H2490 H1500 H3808 H1497 H3899

לְרָעֵב נָתָן וְעֵרֹם כִּסֶּה־ בָּגֶד׃
飢えた-者に 与え 裸の-者に 覆う 衣を
H7457 H5414 H5903 H3680

だれをもしえたげず、質物をひき留めず、物を奪わず、かえって自分の食物を飢えた者に与え、裸の者に衣服を着せ、

17 מֵעָנִי הֵשִׁיב יָדוֹ נֶשֶׁךְ וְתַרְבִּית לֹא לָקָח מִשְׁפָּטַי עָשָׂה
貧しい-者から 引く 手を 利息と 高利を ない 取らず わたしの-定めを 行い
H6041 H7725 H3027 H5392 H8636 H3808 H3947 H4941

בְּחֻקּוֹתַי הָלָךְ הוּא לֹא מָוֶת יָמוּת בַּעֲוֹן אָבִיו חָיוֹ חָיָה׃
わたしの-掟に 歩んだ 彼は ない 死なない の-咎の-ゆえに 父の 確かに 生きる
H2708 H1980 H1931 H3808 H4191 H5771 H0001 H2421 H2421

その手をひいて悪を行わず、利息や高利をとらず、わたしのおきてを行い、わたしの定めに歩むならば、彼はその父の悪のために死なず、必ず生きる。

18 אָבִיו כִּי־ עָשַׁק עֹשֶׁק גָּזַל גָּזֵל אָח לֹא־ וַאֲשֶׁר טוֹב עָשָׂה
その-父は なぜなら 虐げた 虐げを 奪い 奪い 兄弟を ない そして-それは 善く 行った
H0001 H3588 H6231 H6233 H1497 H1499 H0251 H3808 H0834 H2896 H6213

בְּתוֹךְ עַמָּיו הִנֵּה־ וְהִנֵּה מֵת בַּעֲוֹנוֹ׃
の-中で その-民の 見よ 死ぬ その-咎の-ゆえに
H8432 H5971 H2009 H4191 H5771

しかしその父は人をかすめ、その兄弟の物を奪い、その民の中で良くない事を行ったゆえ、見よ、彼はその悪のために死ぬ。

19 וַאֲמַרְתֶּם מַדּוּעַ לֹא־ נָשָׂא הַבֵּן בַּעֲוֹן הָאָב וְהַבֵּן מִשְׁפָּט
あなたがたは-言う なぜ ない 負わないのか 子は の-咎を 父の しかし-子は 公正と
H0559 H4069 H3808 H5375 H1121 H5771 H1 H1121 H4941

וְצִדְקָה עָשָׂה אֶת כָּל־ חֻקּוֹתַי שָׁמַר וַיַּעֲשֶׂה אֹתָם חָיֹה חָיָה׃
義を 行い を すべての わたしの-掟を 守り そして-行った それらを 確かに 生きる
H6666 H6213 H0853 H3605 H2708 H8104 H6213 H0853 H2421 H2421

しかしあなたがたは、『なぜ、子は父の悪を負わないのか』と言う。子は公道と正義とを行い、わたしのすべての定めを守っておこなったので、必ず生きるのである。

20 הַנֶּפֶשׁ הַחֹטֵאת הִיא תָמוּת בֵּן לֹא־ הָאָב בַּעֲוֹן וְהַבֵּן לֹא וְאָב
魂は 罪を-犯す その-者が 死ぬ 子は ない 父の の-咎を 負わない そして-父は ない
H5315 H2398 H1931 H4191 H1121 H3808 H1 H5771 H5375 H3808 H1

עָלָיו תִּהְיֶה וּרְשָׁעַת הָרָשָׁע׃ (רשע) צִדְקַת הַצַּדִּיק עָלָיו תִּהְיֶה׃ ס
その-上に ある そして-悪は 悪い-者の — 義は 正しい-者の その-上に ある —
H5921 H1961 H7564 H7563 H7563 H6666 H6662 H5921 H1961 H5

יִשָּׂא בַּעֲוֹן הַבֵּן
負わない の-咎を 子の
H5375 H5771 H1121

罪を犯す魂は死ぬ。子は父の悪を負わない。父は子の悪を負わない。義人の義はその人に帰し、悪人の悪はその人に帰する。

21 וְהָרָשָׁע כִּי יָשׁוּב מִכָּל־ [חטאתו] (חַטֹּאתָיו) אֲשֶׁר עָשָׂה וְשָׁמַר
しかし–悪い–者が もし 立ち返って すべての — 罪から それを 犯した そして–守り
H7563 H7725 H3605 H2403 H8104

אֶת־ כָּל־ חֻקּוֹתַי וְעָשָׂה מִשְׁפָּט וּצְדָקָה חָיֹה יִחְיֶה לֹא יָמוּת׃
を すべての わたしの–掟を そして–行い 公正と 義を 確かに 生きて ない 死なない
H0853 H3605 H2708 H6213 H4941 H6666 H2421 H3808 H4191

しかし、悪人がもしその行ったもろもろの罪を離れ、わたしのすべての定めを守り、公道と正義とを行うならば、彼は必ず生きる。死ぬことはない。

22 כָּל־ פְּשָׁעָיו אֲשֶׁר עָשָׂה לֹא אֵשֶׁר בְּצִדְקָתוֹ לוֹ יִזָּכְרוּ
すべての 背きは それを 犯した ない それを その–義の–ゆえに 彼に–対して 覚えられない
H3605 H6588 H3808 H6666

עָשָׂה יִחְיֶה׃
行った 生きる
H2421

その犯したもろもろのとがは、彼に対して覚えられない。彼はそのなした正しい事のために生きる。

23 הֶחָפֹץ אֶחְפֹּץ מוֹת רָשָׁע בְּמוֹת נְאֻם אֲדֹנָי יְהוִה הֲלוֹא בְּשׁוּבוֹ
望む–だろうか わたしは–望むか 死を 悪い–者の 宣言される 主なる 神は むしろ 立ち返って
H2654 H0589 H4194 H7563 H5002 H0136 H3069 H3808 H7725

ס וְחָיָה׃ מִדְּרָכָיו
— そして–生きること–ではないか その–道から
H2421 H1870

主なる神は言われる、わたしは悪人の死を好むであろうか。むしろ彼がそのおこないを離れて生きることを好んでいるではないか。

24 וּבְשׁוּב צַדִּיק מִצִּדְקָתוֹ וְעָשָׂה עָוֶל כְּכֹל הַתּוֹעֵבוֹת
しかし–立ち返って 正しい–者が その–義から そして–行い 不正を すべての 忌まわしい–ことを
H7725 H6662 H6666 H6213 H5766 H3605 H8441

אֲשֶׁר־ עָשָׂה הָרָשָׁע יַעֲשֶׂה כָּל־ וָחָי [צדקתו] (צִדְקֹתָיו)
それを 行った 悪い–者が 行うように すべての そして–生きる–だろうか — 義は
H6213 H7563 H6213 H3605 H2425 H6666 H6666

אֲשֶׁר־ עָשָׂה לֹא בְּמַעֲלוֹ אֲשֶׁר־ מָעַל וּבְחַטָּאתוֹ אֲשֶׁר־
それを 行った ない その–不信の–ゆえに それを 犯した その–罪の–ゆえに それを
H6213 H3808 H4604 H4603 H2398

תִּזָּכֵרְנָה לֹא עָשָׂה אֲשֶׁר־ בָּם יָמוּת׃
覚えられない ない 行った それを その–中で 死ぬ
H2142 H3808 H6213 H4191

しかし義人がもしその義を離れて悪を行い、悪人のなすもろもろの憎むべき事を行うならば、生きるであろうか。彼が行ったもろもろの正しい事は覚えられない。彼はその犯したとがと、その犯した罪とのために死ぬ。

25 וַאֲמַרְתֶּם יִשְׂרָאֵל בֵּית נָא שִׁמְעוּ־ אֲדֹנָי דֶּרֶךְ יִתָּכֵן לֹא
あなたがたは–言う イスラエルの 家よ どうか 聞け 主の 道は 正しくない ない
H0559 H3478 H4994 H8085 H0136 H1870 H8505 H3808

הֲלֹא דַרְכֵיכֶם לֹא יִתָּכֵנוּ׃ דַּרְכִּי הַדַּרְכֹי
むしろ あなたがたの–道が ない 正しくないのではないか わたしの–道が
H3808 H1870 H3808 H8505 H1870

しかしあなたがたは、『主のおこないは正しくない』と言う。イスラエルの家よ、聞け。わたしのおこないは正しくないのか。正しくないのは、あなたがたのおこないではないか。

26 בְּשׁוּב־ צַדִּיק מִצִּדְקָתוֹ וְעָשָׂה עָוֶל וּמֵת עֲלֵיהֶם
立ち返って 正しい–者が その–義から そして–行い 不正を そして–死ぬ その–ゆえに
H7725 H6662 H6666 H6213 H4191

בְּעַוְלוֹ אֲשֶׁר־ עָשָׂה יָמוּת׃ ס
その–不正の–ゆえに それを 行った 死ぬ —
H4191

義人がその義を離れて悪を行い、そのために死ぬならば、彼は自分の行った悪のために死ぬのである。

27 וּבְשׁוּב רָשָׁע מֵרִשְׁעָתוֹ אֲשֶׁר עָשָׂה וַיַּעַשׂ מִשְׁפָּט וּצְדָקָה הוּא אֶת־ נַפְשׁוֹ יְחַיֶּה׃
しかし–立ち返って 悪い–者が その–悪から それを 行った そして–行い 公正と 義を 彼は を その–魂を 生かす
H7725 H7563 H7564 H6213 H4941 H6666 H1931 H853 H5315 H2421

しかし悪人がその行った悪を離れて、公道と正義とを行うならば、彼は自分の命を救うことができる。

28 וַיַּרְא [וישוב] (וַיָּשָׁב) מִכָּל־ פִּשְׁעָיו אֲשֶׁר עָשָׂה חָיוֹ חָיָה לֹא יָמוּת׃
そして–見て — 立ち返った すべての 背きから それを 犯した 確かに 生きて ない 死なない
H7200 H7725 H7725 H3605 H6588 H6213 H2421 H2421 H3808 H4191

彼は省みて、その犯したすべてのとがを離れたのだから必ず生きる。死ぬことはない。

29 וְאָמְרוּ לֹא יִתָּכֵן דֶּרֶךְ אֲדֹנָי הַדַּרְכִּי לֹא לֹא יִתָּכֵן דַּרְכֵיכֶם בֵּית יִשְׂרָאֵל הֲלֹא׃
しかし–言う 家は イスラエルの ない 正しくない 道は 主の わたしの–道が ない
H0559 H1004 H3478 H3808 H8505 H1870 H0136 H1870 H3808

正しくないのではないか ない あなたがたの–道が むしろ イスラエルの 家よ 正しくないのか
H8505 H3808 H1870 H3808 H3478 H1004 H8505

しかしイスラエルの家は『主のおこないは正しくない』と言う。イスラエルの家よ、わたしのおこないは、はたして正しくないのか。正しくないのは、あなたがたのおこないではないか。

30 לָכֵן אִישׁ כִּדְרָכָיו אֶשְׁפֹּט אֶתְכֶם בֵּית יִשְׂרָאֵל נְאֻם
それゆえ 各人を それに–従って さばく あなたがたを 家よ イスラエルの 宣言される
H0376 H3478 H5002

שׁוּבוּ וְהָשִׁיבוּ מִכָּל־ פִּשְׁעֵיכֶם וְלֹא־ יִהְיֶה לָכֶם לְמִכְשׁוֹל עָוֹן׃
悔い改めよ そして–立ち返れ すべての あなたがたの–背きから そして–ない ならない あなたがたに つまずきと 咎が
H7725 H7725 H3605 H6588 H3808 H1961 H3478 H4383 H5771

それゆえ、イスラエルの家よ、わたしはあなたがたを、おのおのそのおこないに従ってさばくと、主なる神は言われる。悔い改めて、あなたがたのすべてのとがを離れよ。さもないと悪はあなたがたを滅ぼす。

31 הַשְׁלִיכוּ מֵעֲלֵיכֶם אֶת־כָּל־פִּשְׁעֵיכֶם אֲשֶׁר פְּשַׁעְתֶּם בָּם
投げ捨てよ あなたがたから を すべての あなたの–背きを それを 犯した その–中で
H7993 H4480 H0853 H3605 H6588 H0834 H6586 H0996

וַעֲשׂוּ לָכֶם לֵב חָדָשׁ וְרוּחַ חֲדָשָׁה וְלָמָּה תָמֻתוּ
そして–造れ あなたがたの–ために 心を 新しい そして–霊を 新しい なぜ 死のうとする–のか
H6213 H4100 H4191

בֵּית יִשְׂרָאֵל׃
家よ イスラエルの
H3478

あなたがたがわたしに対しておこなったすべてのとがを捨て去り、新しい心と、新しい霊とを得よ。イスラエルの家よ、あなたがたはどうして死んでよかろうか。

32 כִּי לֹא אֶחְפֹּץ בְּמוֹת הַמֵּת נְאֻם אֲדֹנָי יְהוִה וְהָשִׁיבוּ וִחְיוּ׃ פ
なぜなら ない 望まない の–死を 死ぬ–者の 宣言される 主なる 神は 立ち返れ —
H3808 H2654 H4194 H4191 H5002 H0136 H3068 H7725 H2421

わたしは何人との死をも喜ばないのであると、主なる神は言われる。それゆえ、あなたがたは翻って生きよ」。

Chapter 19

1 וְאַתָּה שָׂא קִינָה עַל־נְשִׂיאֵי יִשְׂרָאֵל׃
そして–あなたは 上げよ 哀歌を に–向けて 君主たちに イスラエルの
H5375 H7015 H0413 H5387 H3478

あなたはイスラエルの君たちのために悲しみの歌をのべて

2 וְאָמַרְתָּ מָה אִמְּךָ לְבִיָּא בֵּין אֲרָיוֹת רָבָצָה בְּתוֹךְ גּוּרֶיהָ רִבְּתָה׃ כְּפִרִים
そして–言え 何か あなたの–母は 雌獅子であった の–中で 獅子たちの 伏して の–中で その–子を 育てた 若獅子たちの
H0559 H4100 H0517 H3833 H0996 H0738 H7257 H8432 H1482 H7235 H3505

言え、あなたの母はししのうちにあって、どんな雌じしであったろう。彼女は若いししのうちに伏して子じしを養った。

3 וַתַּעַל אֶחָד מִגּוּרֶיהָ כְּפִיר הָיָה וַיִּלְמַד לִטְרָף־טֶרֶף אָדָם אָכָל׃
そして–育てた 一匹の その–子の–中から 若獅子に なった そして–学んだ 引き裂くことを 獲物を 人を 食べた
H5927 H0259 H1482 H3715 H1961 H3925 H2963 H2964 H0120 H0398

彼女は子じしの一つを育てたが、それは若いししとなって、獲物をとることを学び、人を食べた。

4 וַיִּשְׁמְעוּ אֵלָיו גּוֹיִם בְּשַׁחְתָּם תִּתָּפֶשׂ וַיְבִאֻהוּ בַּחַחִים אֶל־אֶרֶץ מִצְרָיִם׃
そして–聞いた 彼について 諸国民が その–落とし–穴で 捕らえられた そして–連れて–行かれた 鉤で へ 地に エジプトの
H8085 H0413 H1471 H7845 H8610 H0935 H2397 H0413 H0776 H4714

国々の人は彼に対して叫び声をあげ、落し穴でこれを捕え、かぎでこれをエジプトの地に引いて行った。

5 וַתֵּ֣רֶא כִּֽי־נוֹחֲלָ֣ה אָבְדָ֔ה תִּקְוָתָ֖הּ וַתִּקַּ֣ח אֶחָ֑ד
そして-見た それは 待ったが 失われた その-望みは そして-取った もう-一匹を
H7200 H3176 H0006 H8432 H3947 H0259

מִגּוֹרֵיָ֥הּ שָׂ֖מָתְהוּ׃ כְּפִ֥יר
その-子の-中から した 若獅子に
H1482

雌じしは自分の思いが破れ、その望みを失ったのを見たので、ほかの子じしをとって、これを若い子じしとした。

6 וַיִּתְהַלֶּךְ־ בְּת֣וֹךְ־ אַרְיֵ֔ות כְּפִ֖יר הָיָ֣ה וַיִּלְמַ֑ד לִטְרֶ֥ף־ טָ֖רֶף
そして-歩んだ の-中で 獅子たちの 若獅子に なった そして-学んだ 引き裂くことを 獲物を
H1980 H8432 H0738 H1961 H3925 H2963 H2964

אָדָ֥ם אָכָֽל׃
人を 食べた
H0120 H0398

彼はししのうちに行き来し、若いししとなって、獲物をとることを学び、人を食べた。

7 וַיֵּ֣דַע אַלְמְנוֹתָ֗יו וְעָרֵיהֶם֙ הֶחֱרִ֔יב וַתֵּשַׁ֥ם אֶ֖רֶץ
そして-知った その-対嫉を そして-その-町々を 荒らした そして-荒れた 地が
H3045 H0490 H2720 H8074 H3456 H0776

וּמְלֹאָ֑הּ מִקּ֥וֹל שַׁאֲגָתֹֽו׃
そして-その-満ちる-ものが から-声の その-吻哮の
H4393 H7581

彼はその要害を荒し、その町々を滅ぼした。そのほえる声によって、その地とその中に満ちるものとは皆恐れた。

8 וַיִּתְּנ֤וּ עָלָיו֙ מִמְּדִינֹ֔ות סָבִ֖יב גֹּויִ֑ם עָלָ֥יו וַיִּפְרְשׂ֥וּ רִשְׁתָּ֖ם
そして-向けた 彼に-対して 諸国民が 囲みから 地方から そして-広げた 網を 彼の-上に
H5414 H5921 H1471 H5439 H4082 H6566 H7568 H5921

בְּשַׁחֲתָ֥ם נִתְפָּֽשׂ׃
その-落とし-穴で 捕らえられた
H7845 H8610

そこで国々の人は彼に対して四方にわなを設け、彼に網を打ちかけ、落し穴で彼を捕えた。

9 וַיִּתְּנֵ֤הוּ בַסּוּגַר֙ בָּֽחַחִ֔ים וַיְבִיאֻ֖הוּ אֶל־ מֶ֣לֶךְ בָּבֶ֑ל בְּמְצֻדֹ֔ות יְבִיאֻ֖הוּ
そして-入れた 檻に 鉤で そして-連れて-行った へ 王の バビロンの 入れた 要塞に
H5414 H5474 H2397 H0935 H0413 H4428 H0894 H0935

לְמַ֣עַן לֹא־ יִשָּׁמַ֗ע קֹולֹו֙ עֹ֔וד אֶל־ הָרֵ֖י יִשְׂרָאֵ֥ל׃ פ
ために ない 聞こえない-ように その-声が もう の-上で 山々に イスラエルの ―
H4616 H3808 H8085 H6963 H5750 H0413 H2022 H3478

彼らはかぎをもって、これをかごに入れ、これをバビロンの王のもとに連れて行き、これをおりの中に入れて、再びその声をイスラエルの山々に聞えさせないようにした。

10 אִמֵּךְ֙ כְּגֶ֣פֶן בִּדְמִ֔ךָ שְׁתוּלָ֖ה עַל־ מַ֑יִם
あなたの-母は ぶどうの-木の-ようであった あなたの-血筋の-中で の-ほとりに 水の 植えられて
H0517 H1612 H1818 H5921 H4325 H8362

פָּרְיָ֥הּ וַעֲנָפָ֖הּ הָיְתָ֣ה מִמַּ֑יִם רַבִּֽים׃
実り-豊かで 枝-多く あった から-水の 豊かな
H6509 H6058 H1961 H4325 H7227

あなたの母は水のほとりに移し植えられたぶどう畑のぶどうの木のようで、水が多いために実りがよく、枝がはびこった。

קוֹמָתוֹ	וַתִּגְבַּהּ	מְשֹׁלְלִים	שִׁבְטֵי	אֶל־	עֹז	מַטּוֹת	לָהּ	וַיְהִי־	11
その-丈は	そして-伸びた	治める-者の	笏に	の-ために	強い	枝が	それに	そして-あった	
H6967	H1361	H4910	H7626	H0413	H5797	H4294		H1961	

דָּלִיֻּתֶיהָ׃	בְּרֹב	בְּגָבְהָהּ	וַיֵּרֶא	עֲבֹתִים	בֵּין	עַל־
その-つるの	多さの-ゆえに	その-高さの-ゆえに	そして-見えた	濃い-枝葉の	の-間に	の-上に
H1808	H7230	H1363	H7200	H5688	H0996	

その強い幹は君たる者のつえとなった。それは茂みの中に高くそびえ、多くの枝をつけて高く見えた。

								12
הוֹבַישׁ	הַקָּדִים	וְרוּחַ	הֻשְׁלְכָה	לָאָרֶץ	בְּחֵמָה	וַתָּשָׁשׁ		
枯らした	東の	そして-風が	投げ-捨てられた	地に	怒りを-もって	しかし-引き抜かれた		
H3001	H6921	H7307	H7993	H0776	H2534	H5428		

אֲכָלָתְהוּ׃	אֵשׁ	עֻזָּהּ	מַטֵּה	וַיִּבֵּשׁוּ	הִתְפָּרְקוּ	פִּרְיָהּ
焼き-尽くした	火が	その-強い	枝は	そして-枯れた	折られて	その-実を
H0398	H0784	H5797	H4294	H3001	H6561	H6529

しかしこのぶどうの木は憤りによって抜かれ、地に投げうたれ、東風がそれを枯らし、その実はもぎ取られ、その強い幹は枯れて、火に焼き滅ぼされた。

						13
וְצָמְאָה׃	צִיָּה	בְּאֶרֶץ	בַּמִּדְבָּר	שְׁתוּלָה	וְעַתָּה	
そして-渇きの	乾いた	の-地に	荒野に	植えられている	そして-今	
H6772	H6723	H0776		H8362	H6258	

今これは荒野に、かわいた、水のない地に移し植えられ、

									14
הָיָה	וְלֹא־	אָכְלָה	פִּרְיָהּ	בַּדֶּיהָ	מִמַּטֵּה	אֵשׁ	וַתֵּצֵא		
なかった	そして-なかった	焼き-尽くした	その-実を	その-枝の	から-枝の	火が	そして-出た		
H1961	H3808	H0398	H6529	H0905	H4294	H0784	H3318		

פ	לְקִינָה׃	וַתְּהִי	הִיא	קִינָה	לִמְשׁוֹל	שֵׁבֶט	עֹז	מַטֵּה־	בָּהּ
—	哀歌に	そして-なった	それは	哀歌である	治める-ための	笏が	強い	枝が	それに
	H7015	H1961	H1931	H7015	H4910	H7626	H5797	H4294	

火がその幹から出て、その枝と実とを滅ぼしたので、強い幹で、君たる者のつえとなるべきものはそこにない。これが悲しみの言葉、また悲しみの歌となった。

Chapter 20

								1
אֲנָשִׁים	בָּאוּ	לַחֹדֶשׁ	בֶּעָשׂוֹר	בֶּחָמֵשׁ	הַשְּׁבִיעִית	בַּשָּׁנָה	וַיְהִי	
人々が	来た	その-月の	十日に	第五の-月の	第七の	その-年に	そして-あった	
H0376	H0935	H2320	H6218	H2549	H7637	H8141	H1961	

וַיֵּשְׁבוּ	יְהוָה	אֶת־	לִדְרֹשׁ	יִשְׂרָאֵל	מִזִּקְנֵי	
そして-座った	主を	(を)	尋ね求めるために	イスラエルの	イスラエルの-長老たちの-中から	
H3427	H3068	H0853	H1875	H3478	H2205	

ס	לְפָנָי׃
(段落)	私の-前に
	H6440

第七年の五月十日に、イスラエルの長老たちのある人々が、主に尋ねるためにきて、わたしの前に座した。

					2
לֵאמֹר׃	אֵלַי	יְהוָה	דְּבַר־	וַיְהִי	
言って	私に	主の	言葉が-	そして-あった	
H0559	H0413	H3068	H1697	H1961	

時に主の言葉がわたしに臨んだ、

3
בֶּן־ אָדָם דַּבֵּר אֶת־ זִקְנֵי יִשְׂרָאֵל וְאָמַרְתָּ אֲלֵהֶם כֹּה אָמַר
人の– 子よ 語れ (に) 長老たちに イスラエルの そして–言え 彼らに このように 言われる
H0120 H1696 H0854 H2205 H3478 H0559 H0413 H3541 H0559

אֲדֹנָי יְהוִה הֲלִדְרֹשׁ אֹתִי אַתֶּם בָּאִים חַי־
主なる 神は わたしに–尋ねるために わたしを あなたがたは 来ているのか わたしは–生きている
H0136 H3069 H1875 H0853 H0935

אֲדֹנָי יְהוִה: נֵאָם לָכֶם אִדָּרֵשׁ אִם־ אָנִי
主なる 神は と–告げられる あなたがたには 尋ねられはしない 決して– わたしは
H0136 H3069 H5002 H1875 H0589

「人の子よ、イスラエルの長老たちに告げて言え。主なる神はこう言われる、あなたがたがわたしのもとに来たのは、わたしに何か尋ねるためであるか。主なる神は言われる、わたしは生きている、わたしはあなたがたの尋ねに答えない。

4
הוֹדִיעֵם: אֲבוֹתָם תּוֹעֲבֹת אֶת־ בֶּן־ אָדָם הֲתִשְׁפֹּט אֹתָם הֲתִשְׁפֹּט
知らせよ 彼らの–先祖たちの 忌まわしい–行いを (の) 子よ 人の– 裁くのか 彼らを 裁くのか
H3045 H0001 H8441 H0853 H0120 H8199 H0853 H8199

あなたは彼らをさばこうとするのか。人の子よ、あなたは彼らをさばこうとするのか。それなら彼らの先祖たちのした憎むべき事を彼らに知らせ、

5
בָּחָרִי בְיוֹם יְהוִה אֲדֹנָי אָמַר כֹּה־ אֲלֵיהֶם וְאָמַרְתָּ
わたしが–選んだ その–日に 神は 主なる 言われる このように– 彼らに そして–言え
H0977 H3117 H3069 H0136 H0559 H3541 H0413 H0559

וָאוֹדַע בְּיִשְׂרָאֵל וָאֶשָּׂא יָדִי לְזֶרַע בֵּית יַעֲקֹב
わたしは–知らせた イスラエルを わたしは–手を–挙げ わたしの–手を 子孫に 家の ヤコブの
H3045 H3478 H5375 H3027 H2233 H1004 H3290

אֲנִי לֵאמֹר לָהֶם יָדִי וָאֶשָּׂא מִצְרָיִם בְּאֶרֶץ לָהֶם
わたしは 言って 彼らに わたしの–手を わたしは–手を–挙げ エジプトの エジプトの–地で 彼らに
H0589 H0559 H3027 H5375 H4714 H0776

אֱלֹהֵיכֶם: יְהוָה
あなたがたの–神であると 主
H0430 H3068

かつ彼らに言え。主なる神はこう言われる、わたしがイスラエルを選び、ヤコブの家の子孫に誓い、エジプトの地でわたし自身を彼らに知らせ彼らに誓って、わたしはあなたがたの神、主であると言った日、

6
מֵאֶרֶץ לְהוֹצִיאָם לָהֶם יָדִי נָשָׂאתִי בַּיּוֹם הַהוּא בַּיּוֹם
エジプトの–地から 導き出すために 彼らに わたしの–手を わたしは–手を–挙げた その その–日に
H0776 H3318 H3027 H5375 H1931 H3117

וּדְבַשׁ חָלָב זָבַת לָהֶם תַּרְתִּי אֲשֶׁר־ אֶרֶץ אֶל־ מִצְרָיִם
蜜の–流れる 乳 乳と 彼らのために わたしが–探した (ところの)– 地に (へ) エジプトの
H1706 H2461 H2100 H8446 H0776 H0413 H4714

הָאֲרָצוֹת: לְכָל־ הִיא צְבִי
国々の中で すべての– それは 麗しい
H0776 H3605 H1931

その日にわたしは彼らに誓って、エジプトの地から彼らを導き出し、わたしが彼らのために探り求めた乳と蜜との流れる地、全地の中で最もすばらしい所へ行かせると言った。

וּבְגִלּוּלֵי
エジプトの–偶像で
H1544
הַשְׁלִיכוּ
捨てよ
H7993
עֵינָיו
その–目の
שִׁקּוּצֵי
忌まわしい–ものを
H8251
אִישׁ
各々
H0376
אֱלֹהֵם
彼らに
H0413
וָאֹמַר
そして–言った
H0559
7

אֱלֹהֵיכֶם׃
あなたがたの–神である
H0430
יְהוָה
主
H3068
אֲנִי
わたしは
H0589
תִּטַּמְּאוּ
汚れては–ならない
אַל־
(するな)
H0408
מִצְרַיִם
エジプトの
H4714

わたしは彼らに言った、あなたがたは、おのおのその目を楽しませる憎むべきものを捨てよ。エジプトの偶像をもって、その身を汚すな。わたしはあなたがたの神、主であると。

אֶת־
(の)
H0853
אִישׁ
各々
H0376
אֵלַי
わたしに
H0413
לִשְׁמֹעַ
聞くことを
H8085
אָבוּ
聞こうと
H0014
וְלֹא
そして–しなかった
H3808
בִּי
わたしに
וַיַּמְרוּ־
しかし–彼らは–逆らった
H4784
8

לֹא
(なかった)
H3808
מִצְרַיִם
エジプトの
H4714
גִּלּוּלֵי
偶像を
H1544
וְאֶת־
(の)
H0853
הִשְׁלִיכוּ
捨て
H7993
לֹא
(なかった)
H3808
עֵינֵיהֶם
その–目の
שִׁקּוּצֵי
忌まわしい–ものを
H8251

לְכַלּוֹת
尽くすと
H3615
עֲלֵיהֶם
彼らの–上に
חֲמָתִי
わたしの–憤りを
H2534
לִשְׁפֹּךְ
注ぎ出すと
H8210
וָאֹמַר
それで–わたしは–言った
H0559
עָזָבוּ
捨てなかった

מִצְרָיִם׃
エジプトの
H4714
אֶרֶץ
地の
H0776
בְּתוֹךְ
(の)–中で
H8432
בָּהֶם
彼らに
אַפִּי
わたしの–怒りを
H0639

ところが彼らはわたしにそむき、わたしの言うことを聞こうともしなかった。彼らは、おのおのその目を楽しませた憎むべきものを捨てず、またエジプトの偶像を捨てなかった。それで、わたしはエジプトの地のうちで、わたしの憤りを彼らに注ぎ、わたしの怒りを彼らに漏らそうと思った。

הַחֵל
汚されることの
לִבְלְתִּי
汚されない–ために
H1115
שְׁמִי
わたしの–名の–ために
H8034
לְמַעַן
(ために)
H4616
וָאַעַשׂ
しかし–わたしは–行った
9

אֲלֵיהֶם
彼らに
H0413
נוֹדַעְתִּי
わたしが–知らせた
H3045
אֲשֶׁר
(ところの)
בְּתוֹכָם
その–中にいた
H8432
הֵמָּה
彼らが
H1992
אֲשֶׁר־
(ところの)–
הַגּוֹיִם
諸国民の
לְעֵינֵי
(の)–目の–前で

מִצְרָיִם׃
エジプトの
H4714
מֵאֶרֶץ
エジプトの–地から
H0776
לְהוֹצִיאָם
導き出すことを
H3318
לְעֵינֵיהֶם
その–目の–前で

しかしわたしはわたしの名のために行動した。それはエジプトの地から彼らを導き出して、周囲に住んでいた異邦人たちに、わたしのことを知らせ、わたしの名が彼らの目の前に、はずかしめられないためである。

הַמִּדְבָּר׃
荒野に
אֶל־
(へ)
H0413
וָאֲבִאֵם
そして–導いた
H0935
מִצְרָיִם
エジプトの
H4714
מֵאֶרֶץ
エジプトの–地から
H0776
וָאוֹצִיאֵם
そして–導き出した
H3318
10

すなわち、わたしはエジプトの地から彼らを導き出して、荒野に連れて行き、

אֲשֶׁר
(ところの)
אוֹתָם
彼らに
H0853
הוֹדַעְתִּי
知らせた
H3045
מִשְׁפָּטַי
わたしの–定めを
H4941
וְאֶת־
(を)
H0853
חֻקּוֹתַי
わたしの–掟を
H2708
אֶת־
(を)
H0853
לָהֶם
彼らに
וָאֶתֵּן
そして–与えた
H5414
11

בָּהֶם׃
それらによって
וָחַי
そして–生きる
H2425
הָאָדָם
人が
H0120
אוֹתָם
それらを
H0853
יַעֲשֶׂה
行う

わたしの定めを彼らに授け、わたしのおきてを彼らに示した。これは人がこれを行うことによって生きるものである。

וּבֵינֵיהֶם
彼らとの-間の
H0996

בֵּינִי
わたしと
H0996

לְאוֹת
しるしと
H0226

לִהְיוֹת
なるために
H1961

לָהֶם
彼らに

נָתַתִּי
与えた
H5414

שַׁבְּתוֹתַי
わたしの-安息日を
H7676

אֶת־
(を)
H0853

וְגַם
また
H1571

12

מְקַדְּשָׁם׃
彼らを-聖別する-者であると
H6942

יְהוָה
主であり
H3068

אֲנִי
わたしが
H0589

כִּי
(ことを)

לָדַעַת
知るために
H3045

わたしはまた彼らに安息日を与えて、わたしと彼らとの間のしるしとした。これは主なるわたしが彼らを聖別したことを、彼らに知らせるためである。

הָלְכוּ
従わず
H1980

לֹא־
(なかった)
H3808

בְּחֻקּוֹתַי
わたしの-掟に
H2708

בַּמִּדְבָּר
荒野で

יִשְׂרָאֵל
イスラエルの
H3478

בֵּית־
家は-

בִּי
わたしに

וַיַּמְרוּ־
しかし-逆らった
H4784

13

בָּהֶם
それらによって

וָחַי
そして-生きる
H2425

הָאָדָם
人が
H0120

אֹתָם
それらを
H0853

יַעֲשֶׂה
行う

אֲשֶׁר
(ところの)

מָאֲסוּ
退け

מִשְׁפָּטַי
わたしの-定めを
H4941

וְאֶת־
(を)
H0853

חֻקֹּתַי
わたしの-憤りを
H2534

לִשְׁפֹּךְ
注ぎ出すと
H8210

וָאֹמַר
それで-わたしは-言った
H0559

מְאֹד
甚だしく
H3966

חִלְּלוּ
汚した

שַׁבְּתֹתַי
わたしの-安息日を
H7676

וְאֶת־
(を)
H0853

לְכַלּוֹתָם׃
滅ぼし-尽くすと
H3615

בַּמִּדְבָּר
荒野で

עֲלֵיהֶם
彼らの-上に

しかしイスラエルの家は荒野でわたしにそむき、わたしの定めに歩まず、人がそれを行うことによって、生きることのできるわたしのおきてを捨て、大いにわたしの安息日を汚した。そこでわたしは荒野で、わたしの憤りを彼らの上に注ぎ、これを滅ぼそうと思ったが、

הַחֵל
汚されることの

לְבִלְתִּי
汚されない-ために
H1115

שְׁמִי
わたしの-名の-ために
H8034

לְמַעַן
(ために)
H4616

וָאֶעֱשֶׂה
しかし-わたしは-行った

14

לְעֵינֵיהֶם׃
その-目の-前で

הוֹצֵאתִים
導き出した
H3318

אֲשֶׁר
(ところの)

הַגּוֹיִם
諸国民の

לְעֵינֵי
(の)-目の-前で

わたしはわたしの名のために行動した。それはわたしが彼らを導き出して見せた異邦人の前に、わたしの名が汚されないためである。

הָבִיא
導き入れる
H0935

לְבִלְתִּי
導き入れないと
H1115

בַּמִּדְבָּר
荒野で

לָהֶם
彼らに

יָדִי
わたしの-手を
H3027

נָשָׂאתִי
手を-挙げた
H5375

אֲנִי
わたし自身
H0589

וְגַם־
また-
H1571

15

הִיא
それは
H1931

צְבִי
麗しい

וּדְבַשׁ
蜜の-流れる
H1706

חָלָב
乳
H2461

זָבַת
乳と
H2100

נָתַתִּי
わたしが-与えた
H5414

אֲשֶׁר־
(ところの)-

הָאָרֶץ
その-地に
H0776

אֶל־
(へ)
H0413

אוֹתָם
彼らを
H0853

לְכָל־
すべての-
H3605

הָאֲרָצוֹת׃
国々の中で
H0776

ただし、わたしは荒野で彼らに誓い、わたしが彼らに与えた乳と蜜との流れる地、全地の最もすばらしい地に、彼らを導かないと言った。

16 יַעַן בְּמִשְׁפָּטַי מָאָסוּ וְאֶת־חֻקּוֹתַי לֹא־הָלְכוּ בָהֶם
なぜなら 退け (を) わたしの–掟に (なかった) 従わなかった それらに
H3282 H4941 H0853 H2708 H3808 H1980

וְאֶת־שַׁבְּתוֹתַי חִלֵּלוּ כִּי אַחֲרֵי גִלּוּלֵיהֶם לִבָּם הָלֵךְ׃
(を) わたしの–安息日を 汚した なぜなら (の)–後を 彼らの–偶像の 彼らの–心は 追い求めていた
H0853 H7676 H2490 H3282 H1544 H1980

これは彼らがその心に偶像を慕って、わがおきてを捨て、わが定めに歩まず、わが安息日を汚したからである。

17 וַתָּחָס עֵינִי עֲלֵיהֶם מְשַׁחֲתָם וְלֹא־עָשִׂיתִי
しかし–惜しんだ わたしの–目は 彼らを 滅ぼすことから そして–しなかった わたしは–しなかった
H2347 H5869 H5921 H7843 H3808 H6213

כָּלָה אוֹתָם בַּמִּדְבָּר׃
滅ぼし–尽くすことを 彼らを 荒野で
H3617 H0853

けれどもわたしは彼らを惜しみ見て、彼らを滅ぼさず、荒野で彼らを絶やさなかった。

18 וָאֹמַר אֶל־בְּנֵיהֶם בַּמִּדְבָּר בְּחֻקֵּי
そして–わたしは–言った (に) 彼らの–子らに 荒野で あなたがたの–先祖の–掟に
H0559 H0413 H1121 H4057 H2706

אֲבוֹתֵיכֶם אַל־תֵּלֵכוּ וְאֶת־מִשְׁפְּטֵיהֶם אַל־תִּשְׁמֹרוּ וּבְגִלּוּלֵיהֶם
あなたがたの–先祖の (するな) 歩むな (を) 彼らの–定めを (するな) 守るな 彼らの–偶像で
H0001 H0408 H3212 H0853 H4941 H0408 H8104 H1544

אַל־תִּטַּמְּאוּ׃
(するな) 汚れるな
H0408

わたしはまた荒野で彼らの子どもたちに言った、あなたがたの先祖の定めに歩んではならない。そのおきてを守ってはならない。その偶像をもって、あなたがたの身を汚してはならない。

19 אֲנִי יְהוָה אֱלֹהֵיכֶם בְּחֻקֹּתַי לֵכוּ וְאֶת־מִשְׁפָּטַי שִׁמְרוּ
わたしは 主 あなたがたの–神である わたしの–掟に 歩め (を) わたしの–定めを 守り
H0589 H3068 H0430 H2708 H3212 H0853 H4941 H8104

וַעֲשׂוּ אוֹתָם׃
そして–行え それらを
H0853

主なるわたしはあなたがたの神である。わが定めに歩み、わがおきてを守ってこれを行い、

20 וְאֶת־שַׁבְּתוֹתַי קַדֵּשׁוּ וְהָיוּ לְאוֹת בֵּינִי וּבֵינֵיכֶם
(を) わたしの–安息日を 聖別せよ そして–なるであろう しるしと わたしと あなたがたとの–間の
H0853 H7676 H6942 H1961 H0226 H0996 H0996

וְאֶת־אֱלֹהֵיכֶם׃ יְהוָה אֲנִי כִּי לָדַעַת
あなたがたの–神であると 主 わたしが (ことを) 知るために
H0430 H3068 H0589 H3045

わが安息日を聖別せよ。これはわたしとあなたがたとの間のしるしとなって、主なるわたしがあなたがたの神であることを、あなたがたに知らせるためである。

21 בָּנִים הַבָּנִים בִּי וַיַּמְרוּ־ בְּחֻקֹּתַי לֹא־ הָלָכוּ וְאֶת־ מִשְׁפָּטַי
わたしに 子らは わたしの–掟に (なかった) 従わず (を) わたしの–定めを
H4784 H2708 H3808 H1980 H0853 H4941

לֹא־ שָׁמְרוּ לַעֲשׂוֹת אוֹתָם אֲשֶׁר יַעֲשֶׂה אוֹתָם הָאָדָם וָחַי
(なかった) 守らなかった 行うことを それらを (ところの) 行う それらを 人が そして–生きる
H3808 H8104 H6213 H0853 H0834 H6213 H0853 H0120 H2425

וָאֹמַר וַיְחַלְּלוּ שַׁבְּתוֹתַי אֶת־ בָּהֶם לְשָׁפֵךְ
それで–わたしは–言った 汚した わたしの–安息日を (を) それらによって 注ぎ出すと
H0559 H2490 H7676 H0853 H8210

בַּמִּדְבָּר׃ בָּהֶם אַפִּי לְכַלּוֹת עֲלֵיהֶם חֲמָתִי
荒野で 彼らに わたしの–怒りを 尽くすと 彼らの–上に わたしの–憤りを
H4057 H0639 H3615 H2534

しかしその子どもたちはわたしにそむき、わが定めに歩まず、人がこれを行うことによって、生きることのできるわたしのおきてを守り行わず、わが安息日を汚した。そこでわたしはわが憤りを彼らの上に注ぎ、荒野で彼らに対し、わが怒りを漏らそうと思った。

22 עָשִׂיתִי וָאַעַשׂ לְמַעַן שְׁמִי
わたしの–名の–ために (ために) そして–行った わたしの–手を (を) しかし–わたしは–引き止めた
H8034 H4616 H6213 H3027 H0853 H7725 וַהֲשִׁבֹּתִי יָדִי אֶת־

הוֹצֵאתִי אֲשֶׁר־ הַגּוֹיִם לְעֵינֵי הֵחֵל לְבִלְתִּי אוֹתָם
彼らを 導き出した (ところの)– 諸国民の (の)–目の–前で 汚されることの 汚されない–ために
H0853 H3318 H0834 H1471 H5869 H2490 H1115

לְעֵינֵיהֶם׃
その–目の–前で

しかしわたしはわが手を翻して、わが名のために行動した。それはわたしが彼らを導き出して見せた異邦人の前に、わたしの名が汚されないためである。

23 גַּם־ אֲנִי נָשָׂאתִי אֶת־ יָדִי לָהֶם בַּמִּדְבָּר לְהָפִיץ אֹתָם
また– わたし自身 手を–挙げた (を) わたしの–手を 彼らに 荒野で 散らすと 彼らを
H1571 H0589 H5375 H0853 H3027 H1471 H6440 H7760 H0853

בָּאֲרָצוֹת׃ אוֹתָם וּלְזָרוֹת בַּגּוֹיִם
もろもろの–国に 彼らを そして–まき散らすと 諸国民の–中に
H0776 H0853 H2219 H1471

ただしわたしは荒野で彼らに誓い、わたしは異邦人の間に彼らを散らし、国々の中に彼らをふりまくと言った。

24 שָׁמְרוּ וְאֶת־ מָאָסוּ וְחֻקֹּתַי עָשׂוּ לֹא־ מִשְׁפָּטַי יַעַן
わたしの–安息日を (を) 退け わたしの–掟を 行わず (なかった) わたしの–定めを なぜなら
H7676 H0853 H3988 H2708 H6213 H3808 H4941 H3282

עֵינֵיהֶם׃ הָיוּ אֲבוֹתָם גִּלּוּלֵי וְאַחֲרֵי חִלְּלוּ
彼らの–目は–追い求めていた (であった) 彼らの–先祖の 偶像の (の)–後を 汚し
H1961 H0001 H1544 H0310 H2490

これは彼らがわがおきてを行わず、わが定めを捨て、わが安息日を汚し、彼らの目にその先祖の偶像を慕ったからである。

25 וְגַם־ אֲנִי֙ נָתַ֣תִּי לָהֶ֔ם חֻקִּ֖ים לֹא־ טוֹבִ֑ים

また- わたし自身 与えた 彼らに 良くない-掟を (ない) 良くない
H1571 H0589 H5414 H2706 H3808

וּמִשְׁפָּטִ֖ים לֹ֣א יִחְי֥וּ בָהֶֽם׃

そして-生きることの-できない-定めを (ない) 生きることの-できない それらによって
H4941 H3808 H2421

またわたしは彼らに良くない定めと、それによって生きることのできないおきてとを与え、

26 וָאֲטַמֵּ֣א אוֹתָ֗ם בְּמַתְּנֹתָ֛ם בְּהַעֲבִ֥יר כָּל־

そして-汚れるに-任せた 彼らを 彼らの-供え物によって 火の-中を-通らせることによって すべての-
H0853 H4979 H3605

פֶּ֣טֶר רֶ֔חֶם לְמַ֥עַן אֲשַׁמֵּ֖ם לְמַ֣עַן אֲשֶׁ֣ר יֵדְע֑וּ

初子を 胎を-開く (ために) 荒廃させるために (ために) (ところの) 彼らが-知るために (ことを)
H4616 H8074 H4616 H3045

אֲנִ֖י יְהוָֽה׃ ס

わたしが 主であることを (段落)
H0589 H3068

そして、彼らのういごに火の中を通らせるその供え物によって、彼らを汚し、彼らを恐れさせた。わたしがこれを行ったのは、わたしが主であることを、彼らに知らせるためである。

27 לָכֵ֣ן דַּבֵּ֣ר אֶל־ בֵּ֣ית יִשְׂרָאֵל֮ בֶּן־ אָדָם֒ וְאָמַרְתָּ֣ אֲלֵיהֶ֗ם כֹּ֚ה

それゆえ 語れ (に) 家に イスラエルの 人の- 子よ そして-言え 彼らに このように
H1696 H0413 H3478 H0120 H0559 H0413 H3541

אָמַ֣ר אֲדֹנָ֣י יְהוִ֔ה עוֹד֙ בְּזֹ֣את גִּדְּפ֔וּ אֹתִ֖י אֲבוֹתֵיכֶֽם׃

言われる 主である 神は なおも このことによっても 冒瀆した わたしを あなたがたの-先祖は
H0559 H0136 H3069 H5750 H2063 H1442 H0853 H0001

בִּ֥י מָֽעַל׃ בְּמַעֲלָ֖ם

わたしに 背いた 彼らの-不信仰によって
H4604 H4603

それゆえ人の子よ、イスラエルの家に告げて言え。主なる神はこう言われる、あなたがたの先祖はまた、不信の罪を犯してわたしを汚した。

28 לָתֵ֣ת יָדִ֔י אֶת־ נָשָׂ֖אתִי אֲשֶׁ֣ר הָאָ֑רֶץ אֶל־ וָאֲבִיאֵ֣ם

与えると わたしの-手を (を) 手を-挙げて (ところの) その-地に (に) わたしが-導き入れた
H5414 H3027 H0853 H5375 H0776 H0413 H0935

עֵ֚ץ וְכָל־ רָמָ֔ה גִּבְעָ֖ה כָּל־ וַיִּרְא֣וּ לָהֶ֑ם אוֹתָ֣הּ

茂った-木を そして-すべての- 高い 高い-丘を すべての- すると-彼らは-見た 彼らに それを
H6086 H3605 H7200 H1389 H3605 H7200 H0853

שָׁ֔ם וַיִּתְּנ֣וּ זִבְחֵיהֶ֗ם אֶת־ שָׁם֙ וַיַּזְבְּח֣וּ עָבְט֖ת

そこに そして-供えた 彼らの-いけにえを (を) そこで そして-いけにえを-ささげた 茂った
H8033 H5414 H2077 H0853 H8033 H2076 H5687

וַיָּסִ֑כוּ נִיחֹחֵיהֶ֗ם רֵ֚יחַ שָׁ֔ם וַיָּשִׂ֖ימוּ קָרְבָּנָ֣ם כָּ֔עַס

そして-注いだ 彼らの-香りを かぐわしい そこに そして-置いた 彼らの-供え物を 怒りを-招く
H5207 H7381 H8033 H7760 H5262 H3707

נִסְכֵּיהֶֽם׃ אֶת־ שָׁם

彼らの-灌祭を (を) そこに
H5262 H0853 H8033

わたしが彼らに与えようと誓った地に、彼らを導き入れた時、彼らはすべての高い丘と、すべての茂った木とを見て、その所で犠牲をささげ、忌むべき供え物をささげ、またこうばしいかおりをその所に上らせ、その所に灌祭を注いだ。

29 וָאֹמַר אֲלֵהֶם מָה הַבָּמָה אֲשֶׁר־אַתֶּם הַבָּאִים שָׁם
そして–わたしは–言った 彼らに 何か 高き所とは (ところの)– あなたがたが 行っている そこに
H0559 H0413 H4100 H1116 H0834 H0935 H8033

וַיִּקְרֵא שְׁמָהּ בָּמָה עַד הַיּוֹם הַזֶּה׃
そして–呼ばれた その–名は バマと (まで) 今日の この–日まで
H7121 H8034 H1117 H5704 H3117 H2088

（わたしは彼らに言った、あなたがたが通うその高き所はなんであるか。それでその名は今日までバマととなえられている。）

30 לָכֵן אֱמֹר אֶל־בֵּית יִשְׂרָאֵל כֹּה אָמַר אֲדֹנָי יְהוִה הַבְּדֶרֶךְ
それゆえ 言え (に) 家に イスラエルの このように 言われる 主なる 神は その–道で
H3651 H0559 H0413 H1004 H3478 H3541 H0559 H0136 H3069 H1870

אַתֶּם שְׁקוּצֵיהֶם וְאַחֲרֵי נִטְמְאִים אַתֶּם אֲבוֹתֵיכֶם׃
あなたがたは 彼らの–忌まわしい–ものの (の)–後を 汚れている あなたがたは あなたがたの–先祖の
H0859 H8251 H0310 H2930 H0859 H1004

זֹנִים׃
姦淫している
H2181

それゆえ、イスラエルの家に言え。主なる神はこう言われる、あなたがたは、その先祖のおこないに従って、その身を汚し、その憎むべきものを慕うのか。

31 בְּהַעֲבִיר בְּנֵיכֶם בָּאֵשׁ בְּגִלּוּלֵיכֶם עַד־הַיּוֹם
火の–中を–通らせるとき あなたがたの–子らを 火の 今日の–日まで (まで) あなたがたの–偶像によって すべての– 汚れている あなたがたは
H5674 H1121 H0784 H3117 H5704 H1544 H3605 H2930 H0859

וַאֲנִי אִדָּרֵשׁ לָכֶם בֵּית יִשְׂרָאֵל חַי־אָנִי
そして–わたしが 尋ねられようか あなたがたには 家よ イスラエルの わたしは–生きている わたしは
H0589 H1875 H3478 H1004 H0589

נְאֻם אֲדֹנָי יְהוִה אִם־אִדָּרֵשׁ לָכֶם׃
と–告げられる 主なる 神は 決して– 尋ねられはしない あなたがたには
H5002 H0136 H3069 H0518 H1875

あなたがたは、その供え物をささげ、その子供に火の中を通らせて、今日まですべての偶像をもって、その身を汚すのである。イスラエルの家よ、わたしは、なおあなたがたに尋ねられるべきであろうか。わたしは生きている。わたしは決してあなたがたに尋ねられるはずはないと、主なる神は言われる。

32 וְהָעֹלָה עַל־רוּחֲכֶם הָיוֹ לֹא תִהְיֶה אֲשֶׁר אַתֶּם
そして–思い上がり あなたがたの– 霊に–上る 決して (は) 実現しない (ところの) あなたがたが
H5927 H1004 H7307 H3808 H1961 H0834 H0859

אֹמְרִים נִהְיֶה כַּגּוֹיִם כְּמִשְׁפְּחוֹת הָאֲרָצוֹת
言う われわれは–なろう 諸国民の–ように もろもろの–国の–氏族の–ように もろもろの–国の
H0559 H1961 H1471 H5971 H4940 H0776

לִשְׁרֵת עֵץ וָאָבֶן׃
仕えようと 木と 石に
H8334 H6086 H0068

あなたがたの心にあること、すなわち『われわれは異邦人のようになり、国々のもろもろのやからのようになって、木や石を拝もう』との考えは決して成就しない。

33 חַי־ אֲנִי נְאֻם אֲדֹנָי יְהוִה אִם־ לֹא בְיָד חֲזָקָה
わたしは わたしは-生きている と-告げられる 主なる 神は 必ず- (ない) 力強い-手と 力強い
H0589 H3069 H3808 H3027 H2389

וּבִזְרוֹעַ נְטוּיָה וּבְחֵמָה שְׁפוּכָה אֶמְלֹךְ
そして-伸ばした-腕と 伸ばした そして-注ぎ出す-憤りとをもって 注ぎ出す わたしは-支配する
H2220 H5186 H2534 H8210

עֲלֵיכֶם׃
あなたがたを

主なる神は言われる、わたしは生きている、わたしは必ず強い手と伸べた腕と注がれた憤りとをもって、あなたがたを治める。

34 וְהוֹצֵאתִי אֶתְכֶם מִן־ הָעַמִּים וְקִבַּצְתִּי אֶתְכֶם מִן־
そして-導き出す あなたがたを (から) もろもろの-民から そして-集める あなたがたを (から)
H3318 H0853 H6908 H0853

הָאֲרָצוֹת אֲשֶׁר נְפוֹצֹתֶם בָּם בְּיָד חֲזָקָה וּבִזְרוֹעַ
もろもろの-国から (ところの) 散らされている その-中に 力強い-手と 力強い そして-伸ばした-腕と
H0776 H0834 H6327 H1931 H3027 H2389 H2220

נְטוּיָה וּבְחֵמָה שְׁפוּכָה׃
伸ばした そして-注ぎ出す-憤りを-もって 注ぎ出す
H5186 H2534 H8210

わたしはわが強い手と伸べた腕と注がれた憤りとをもって、あなたがたをもろもろの民の中から導き出し、その散らされた国々から集め、

35 וְהֵבֵאתִי אֶתְכֶם אֶל־ מִדְבַּר הָעַמִּים וְנִשְׁפַּטְתִּי אִתְּכֶם
そして-連れて行く あなたがたを (へ) 荒野に もろもろの-民の そして-さばく あなたがたと
H0935 H0853 H0413 H4057 H5971 H8199 H0854

פָּנִים׃ אֶל־ פְּנֵיכֶם שָׁם
顔を-合わせて (の) 顔と そこで
H6440 H0413 H6440 H8033

もろもろの民の荒野に導き入れ、その所で顔と顔とを合わせて、あなたがたをさばく。

36 כַּאֲשֶׁר נִשְׁפַּטְתִּי אֶת־ אֲבוֹתֵיכֶם בְּמִדְבַּר אֶרֶץ מִצְרָיִם כֵּן
(のように) さばいた (と) あなたがたの-先祖たちと (の)-荒野で 地の エジプトの そのように
H0834 H8199 H0854 H1 H4057 H0776 H4714 H3651

נְאֻם אֲדֹנָי יְהוִה׃ אִתְּכֶם אִשָּׁפֵט
と-告げられる 主なる 神は あなたがたを さばく
H5002 H0136 H3069 H0854 H8199

すなわち、エジプトの地の荒野で、あなたがたの先祖をさばいたように、わたしはあなたがたをさばくと、主なる神は言われる。

37 וְהַעֲבַרְתִּי אֶתְכֶם תַּחַת הַשָּׁבֶט וְהֵבֵאתִי אֶתְכֶם בְּמָסֹרֶת
そして-通らせる あなたがたを (の)-下を 杖の そして-導き入れる あなたがたを 契約の
H5674 H0853 H8478 H7626 H0935 H0853 H4562

הַבְּרִית׃
絆の-中に
H1285

わたしはあなたがたに、むちの下を通らせ、数えてはいらせ、

38 וּבָרוֹתִי מִכֶּם הַמֹּרְדִים וְהַפּוֹשְׁעִים בִּי מֵאֶרֶץ
そして–取り除く あなたがたの–中から 反逆する–者たちと 背く–者たちを わたしに 寄留の–地から
H1305 H4775 H6586 H0776

מְגוּרֵיהֶם אוֹצִיא אוֹתָם וְאֶל־ אַדְמַת יִשְׂרָאֵל לָא יָבֹוא
彼らの–寄留の 連れ出す 彼らを しかし–(に) 地には イスラエルの (ない) 入らない
H4033 H3318 H0853 H0413 H0127 H3478 H3808 H0935

וְיָדַעְתֶּם כִּי־ אֲנִי יְהוָה׃
そして–あなたがたは–知る (ことを)– わたしが 主であることを
H3045 H0589 H3068

あなたがたのうちから、従わぬ者と、わたしにそむいた者とを分かち、その寄留した地から、彼らを導き出す。しかし彼らはイスラエルの地に入ることはできない。こうしてあなたがたはわたしが主であることを知るようになる。

39 וְאַתֶּם בֵּית־ יִשְׂרָאֵל כֹּה־ אָמַר אֲדֹנָי יְהוִה אִישׁ גִּלּוּלָיו
あなたがたは 家よ– イスラエルの (ことを)– このように– 言われる 主なる 神は 各々 自分の–偶像を
H0559 H0136 H3069 H0376 H1544

וְאַחַר אִם־ לֹא תִשְׁמְעוּ אֵינְכֶם שֹׁמְעִים אֵלָי וְאֶת־ שְׁמִי
しかし–その–後は もし– (するな) 聞かないなら 聞いている わたしに (を) 名を
H3212 H5647 H3808 H8085 H0369 H0413 H0853 H8034

לְכוּ עִבְדוּ בְּמַתְּנוֹתֵיכֶם עוֹד וְאַל־ תְּחַלְּלוּ אֶת־ קָדְשִׁי
行って 仕えよ あなたがたの–供え物と もはや もはや–汚しては–ならない (するな) わたしの–聖なる
H3212 H5647 H4979 H5750 H3808 H6944

וּבְגִלּוּלֵיכֶם׃
あなたがたの–偶像とで
H1544

それで、イスラエルの家よ、主なる神はこう言われる、あなたがたはわたしに聞かないなら、今も後も、おのおのその偶像に行って仕えるがよい。しかし再び供え物と偶像とをもって、わたしの聖なる名を汚してはならない。

40 כִּי בְּהַר־ קָדְשִׁי בְּהַר מְרוֹם יִשְׂרָאֵל נְאֻם
なぜなら わたしの–聖なる–山で (の)–山 高い イスラエルの と–告げられる
H3478 H5002 H2022 H4791 H6944 H2022

אֲדֹנָי יְהוִה שָׁם יַעַבְדֻנִי כָּל־ בֵּית יִשְׂרָאֵל כֻּלֹּה בָּאָרֶץ
主なる 神は そこで わたしに–仕える すべての– 家が イスラエルの そのすべてが その–地で
H0136 H3069 H8033 H5647 H3605 H3478 H3605 H0776

שָׁם אֶרְצֵם וְאֶת־ אֶת־ אֶדְרֹושׁ שָׁם תְּרוּמֹתֵיכֶם וְאֶת־
そこで わたしは–受け入れる そして–そこで (を) わたしは–求める (を) あなたがたの–奉納物を (を)
H8033 H7521 H8033 H0853 H1875 H0853 H8641 H0853

קָדְשֵׁיכֶם׃ בְּכָל־ מַשְׁאֹותֵיכֶם רֵאשִׁית
あなたがたの–聖なるものと–ともに すべての– あなたがたの–ささげ物を 初穂の
H6944 H3605 H4864 H7225

主なる神は言われる、わたしの聖なる山、イスラエルの高い山の上で、イスラエルの全家はその地で、ことごとくわたしに仕える。その所でわたしは喜んで彼らを受けいれ、あなたがたのささげ物と最上の供え物とを、その聖なるささげ物と共に求める。

41

אֶתְכֶם	בְּהוֹצִיאִי	אֶתְכֶם	אֶרְצֶה	נִיחֹחַ	בְּרֵיחַ
あなたがたを	わたしが–連れ出すとき	あなたがたを	わたしは–受け入れる	香りとして	かぐわしい
H0853	H3318	H0853	H7521	H5207	H7381

אֲשֶׁר	הָאֲרָצוֹת	מִן־	אֶתְכֶם	וְקִבַּצְתִּי	הָעַמִּים	מִן־	
(ところの)	もろもろの–国から	(から)	あなたがたを	そして–集める	もろもろの–民の–中から	(から)	
	H0776		H0853	H6908			

הַגּוֹיִם׃	לְעֵינֵי	בָּכֶם	וְנִקְדַּשְׁתִּי	בָּם	נְפֹצֹתֶם	
諸国民の	(の)–目の–前で	あなたがたによって	そして–わたしは–聖とされる	その–中に	散らされている	
			H6942			

わたしがあなたがたをもろもろの民の中から導き出し、かつてあなたがたを散らした国々から集める時、こうばしいかおりとして、あなたがたを喜んで受けいれる。そしてわたしは異邦人の前で、あなたがたの中に、わたしの聖なることをあらわす。

42

בְּהָבִיאִי	יְהוָה	אֲנִי	כִּי־	וִידַעְתֶּם	
わたしが–導き入れるとき	主であることを	わたしが	(ことを)–	そして–あなたがたは–知る	
H0935	H3068	H0589		H3045	

אֶת־	נָשָׂאתִי	אֲשֶׁר	הָאָרֶץ	אֶל־	יִשְׂרָאֵל	אַדְמַת	אֶל־	אֶתְכֶם
(を)	手を–挙げて	(ところの)	その–地に	(へ)	イスラエルの	地に	(へ)	あなたがたを
H0853	H5375		H0776	H0413	H3478	H0127	H0413	H0853

לַאֲבוֹתֵיכֶם׃	אוֹתָהּ	לָתֶת	יָדִי
あなたがたの–先祖に	それを	与えると	わたしの–手を
H0001	H0853	H5414	H3027

こうしてわたしがあなたがたを、イスラエルの地、すなわちあなたがたの先祖たちに与えると誓った地に、はいらせる時、あなたがたはわたしが主であることを知るようになる。

43

עֲלִילוֹתֵיכֶם	כָּל־	וְאֶת	דַּרְכֵיכֶם	אֶת־	שָׁם	וּזְכַרְתֶּם־		
あなたがたの–行いを	すべての–	また	あなたがたの–道を	(を)	そこで	そして–思い出す		
H5949	H3605	H0853	H1870	H0853	H8033	H2142		

בְּכָל־	בִּפְנֵיכֶם	וּנְקֹטֹתֶם	בָּם	נִטְמֵאתֶם	אֲשֶׁר
すべての–	自らの–顔を	そして–嫌悪する	それらによって	汚された	(ところの)
H3605	H6440	H6962			

עֲשִׂיתֶם׃	אֲשֶׁר	רָעוֹתֵיכֶם
行った	(ところの)	あなたがたの–悪しき–行いの–ゆえに

またその所であなたがたは、その身を汚したあなたがたのおこないと、すべてのわざとを思い出し、みずから行ったすべての悪事のために、自分を忌みきらうようになる。

44

אֶתְכֶם	בַּעֲשׂוֹתִי	יְהוָה	אֲנִי	כִּי־	וִידַעְתֶּם
あなたがたに	わたしが–行うとき	主であることを	わたしが	(ことを)–	そして–あなたがたは–知る
H0854		H3068	H0589		H3045

הָרָעִים	כְּדַרְכֵיכֶם	לֹא	שְׁמִי	לְמַעַן	
悪い	あなたがたの–悪い–道に–よらず	(ない)	わたしの–名の–ために	(ために)	
	H1870	H3808	H8034	H4616	

יְהוִה׃	אֲדֹנָי	נְאֻם	יִשְׂרָאֵל	בֵּית	הַנִּשְׁחָתוֹת	וְכַעֲלִילוֹתֵיכֶם
神は	主なる	と–告げられる	イスラエルの	家よ	堕落した	あなたがたの–堕落した–行いに–よらず
H3069	H0136	H5002	H3478		H7843	H5949

פ
(段落)

イスラエルの家よ、わたしがあなたがたの悪しきおこないによらず、またその腐れたわざによらず、わたしの名のために、あなたがたを扱う時、あなたがたはわたしが主であることを知るのであると、主なる神は言われる」。

45 וַיְהִי דְבַר־ יְהוָה אֵלַי לֵאמֹר׃
そして-あった 言葉が- 主の 私に 言って
H1961 H1697 H3068 H0413 H0559

主の言葉がまたわたしに臨んだ、

46 בֶּן־ אָדָם שִׂים פָּנֶיךָ דֶּרֶךְ תֵּימָנָה וְהַטֵּף דָּרוֹם אֶל־ וְהִנָּבֵא נֶגֶב׃ יַעַר הַשָּׂדֶה
人の- 子よ 向けよ あなたの-顔を (の)-方に 南に そして-語れ (に) 南に ネゲブの 森に (に) そして-預言せよ
H0120 H6440 H1870 H8486 H5197 H0413 H1864 H5045

「人の子よ、顔を南に向け、南に向かって語り、ネゲブの森の地に対して預言せよ。

47 וְאָמַרְתָּ לְיַעַר שְׁמַע דְּבַר־ יְהוָה כֹּה־ אָמַר אֲדֹנָי יְהוִה הִנְנִי וְהִצַּתִּי בְךָ אֵשׁ וְאָכְלָה בְךָ כָּל־ כָּל־ לַחְ עֵץ־ וְכָל־ עֵץ יָבֵשׁ לֹא־ תִכְבֶּה לֶהָבַת שַׁלְהֶבֶת צָפוֹנָה׃ מִנֶּגֶב פָּנִים כָּל־ בָּהּ וְנִצְרְבוּ־
そして-言え 聞け ネゲブの (の)-森に 神は 主なる 言われる このように- 主の 言葉を- 見よ-わたしは 火を あなたの-中に 火を-つける- あなたの-中の すべての- 青い 青い-木も- 枯れた 枯れた-木も そして-すべての- 炎は 燃え上がる 消えない (ない) 枯れた 北まで 南から 顔が すべての- それによって そして-焼かれる
H0559 H8085 H5045 H1697 H0559 H3541 H3068 H0136 H0559 H2009 H3341 H0784 H0398 H3605 H3892 H6086 H3605 H7957 H3852 H3518 H3808 H3002 H6086 H6828 H5045 H6440 H3605 H6866

すなわちネゲブの森に言え、主の言葉を聞け、主なる神はこう言われる、見よ、わたしはあなたのうちに火を燃やす。その火はあなたのうちのすべての青木と、すべての枯れ木を焼き滅ぼし、その燃える炎は消されることがなく、南から北まで、すべての地のおもては、これがために焼ける。

48 וְרָאוּ כָּל־ בָּשָׂר כִּי אֲנִי יְהוָה בָּעַרְתִּיהָ לֹא תִכְבֶּה׃
そして-見る すべての- 肉なる-者は (ことを) わたしが 主であり 燃やしたことを (ない)
H7200 H3605 H1320 H0589 H3068 H3518

すべて肉なる者は、主なるわたしがこれを焼いたことを見る。その火は消されない」。

49 הֲלֹא לִי אֹמְרִים הֵמָּה יְהוִה אֲדֹנָי אֲהָהּ וָאֹמַר מְמַשֵּׁל הוּא׃ פ מְשָׁלִים
(ないか) 私について 言っている 彼らは 神よ 主なる ああ そして-わたしは-言った たとえを-語る 彼は (段落) たとえを
H3808 H0559 H1992 H3069 H0136 H0162 H0559 H4912 H1931

そこでわたしは言った、「ああ主なる神よ、彼らはわたしについてこう語っています、『彼はたとえをもって語る者ではないか』と」。

Chapter 21

1

וַיְהִי דְבַר־ יְהוָה אֵלַי לֵאמֹר׃
そして–あった 言葉が– 主の 私に 言って
H1961 H1697 H3068 H0413 H0559

主の言葉がわたしに臨んだ、

2

בֶּן־ אָדָם שִׂים פָּנֶיךָ אֶל־ מִקְדָּשִׁים וְהַטֵּף אֶל־ יְרוּשָׁלִַם
人の– 子よ 向けよ あなたの–顔を (に) 聖所に そして–語れ (に) エルサレムに
H0120 H6440 H0413 H4720 H5197 H3389

וְהִנָּבֵא אֶל־ אַדְמַת יִשְׂרָאֵל׃
そして–預言せよ (に) 地に イスラエルの
H5012 H0413 H0127 H3478

「人の子よ、あなたの顔をエルサレムに向け、あなたの言葉を聖所に向けてのべ、イスラエルの地に向かって預言し、

3

וְאָמַרְתָּ לְאַדְמַת יִשְׂרָאֵל כֹּה אָמַר יְהוָה הִנְנִי
そして–言え (の)–地に イスラエルの このように 言われる 主は 見よ–わたしは
H0559 H0127 H3478 H3541 H0559 H3068 H2009

וְהֹצֵאתִי חַרְבִּי מִתַּעֲרָהּ וְהִכְרַתִּי מִמֵּךְ צַדִּיק וְרָשָׁע׃
そして–抜く わたしの–剣を その–鞘から そして–断つ あなたから 正しい–者と 悪い–者を
H3318 H2719 H8593 H3772 H4480 H6662 H7563

イスラエルの地に言え。主はこう言われる、見よ、わたしはあなたを攻め、わたしのつるぎをさやから抜き、あなたのうちから、正しい者も悪しき者をも断ってしまう。

4

לָכֵן יַעַן אֲשֶׁר־ הִכְרַתִּי מִמֵּךְ צַדִּיק וְרָשָׁע תֵּצֵא חַרְבִּי מִתַּעֲרָהּ אֶל־ כָּל־ בָּשָׂר מִנֶּגֶב וְעַד צָפוֹן׃
それゆえ なぜなら 断つ あなたから 正しい–者と 悪い–者を 出る わたしの–剣は その–鞘から (に) すべての– 肉なる–者に 南から 北まで
H3318 H3282 H3772 H4480 H6662 H7563 H3318 H2719 H8593 H0413 H3605 H1320 H5045 H6828

わたしがあなたのうちから、正しい者も悪しき者をも断つゆえに、わたしのつるぎはさやから抜け出て、南から北までのすべての肉なる者を攻める。

5

וְיָדְעוּ כָל־ בָּשָׂר כִּי אֲנִי יְהוָה הוֹצֵאתִי חַרְבִּי מִתַּעֲרָהּ לֹא תָשׁוּב עוֹד׃ ס
そして–知る すべての– 肉なる–者は (ことを) わたしが 主であり 抜いたことを わたしの–剣を その–鞘から (ない) 戻らない もはや (段落)
H3045 H3605 H1320 H3588 H0589 H3068 H3318 H2719 H8593 H3808 H7725 H5750

すべて肉なる者は、主なるわたしが、そのつるぎをさやから抜き放ったことを知る。このつるぎは再びさやに納められない。

6 וְאַתָּה בֶּן־אָדָם הֵאָנַח | בְּשִׁבְרוֹן מָתְנַיִם וּבְמְרִירוּת תֵּאָנַח
そして–あなたは 人の– 子よ 嘆け (の)–砕ける 腰の 苦しみ–をもって 嘆け
H0584 H0120 H7670 H4975 H4814 H0584

לְעֵינֵיהֶם׃
彼らの–目の–前で

それゆえ、人の子よ、嘆け、心砕けるまでに嘆き、彼らの目の前でいたく嘆け。

7 וְהָיָה כִּי־יֹאמְרוּ אֵלֶיךָ עַל־מָה אַתָּה
そして–なるであろう (ところの)– 彼らが–言うとき あなたに (について) 何に–ついて あなたは
H1961 H0559 H0413 H4100

נֶאֱנָחַ וְאָמַרְתָּ אֶל־שְׁמוּעָה כִּי־בָאָה וְנָמַס
嘆いて–いるのか そして–言え (について) 知らせの–ゆえに (ところの)– 来る そして–溶ける
H0584 H0559 H0413 H8052 H0935 H4549

כָּל־לֵב וְכָל־יָדַיִם תִּרְפֶּינָה וְכָל־רוּחַ תִּכְהֶה וְכָל־בִּרְכַּיִם תֵּלַכְנָה מָיִם הִנֵּה בָאָה וְנֶהְיָתָה נְאֻם
心は すべての– 手は すべての– そして–力を–失う すべての– 霊は そして–弱る すべての– 膝は 水の 水の–ように–流れる 見よ 来る そして–なる と–告げられる
H3605 H3605 H7503 H3605 H7307 H3605 H1290 H4325 H3212 H2009 H0935 H1961 H5002

אֲדֹנָי יְהוִה׃ פ
主なる 神は (段落)
H0136 H3069

人があなたに向かって、『なぜ嘆くのか』と言うなら、『この知らせのためである。それが来れば人の心はみな溶け、手はみななえ、霊はみな弱り、ひざはみな水のようになる。見よ、それは来る、必ず成就する』と言え」と主なる神は言われる。

8 וַיְהִי דְבַר־יְהוָה אֵלַי לֵאמֹר׃
そして–あった 言葉が– 主の 私に 言って
H1961 H1697 H3068 H0413 H0559

主の言葉がわたしに臨んだ、

9 וְאַתָּה בֶּן־אָדָם הִנָּבֵא וְאָמַרְתָּ כֹּה אָמַר אֲדֹנָי אֱמֹר חֶרֶב חֶרֶב הוּחָדָה וְגַם־מְרוּטָה׃
子よ 人の– 預言せよ そして–言え このように 言われる 主は 言え 剣よ 剣よ 研ぎ澄まされ また– 磨かれた
H0120 H5012 H0559 H3541 H0559 H0136 H0559 H2719 H2719 H2300 H1571 H4803

「人の子よ、預言して言え、主はこう言われる、つるぎがある、とぎ、かつ、みがいたつるぎがある。

10 לְמַעַן טֶבַח טֹבֵחַ הוּחָדָה לְמַעַן־הָיֶה־לָהּ בָּרָק מֹרָטָה
(ために) 虐殺の 虐殺の–ために 研ぎ澄まされ (ために)– (ように)– それに 稲妻を 磨かれた
H4616 H2873 H2874 H2300 H4616 H1961 H4803

אוֹ נָשֹׂישׂ שֵׁבֶט בְּנִי מֹאֶסֶת כָּל־עֵץ׃
あるいは 喜ぶのか 杖を わが–子の 退ける すべての– 木を
H7797 H7626 H1121 H3988 H3605 H6086

殺すためにといであり、いなずまのようにきらめくためにみがいてある。わたしたちは喜ぶことができるか。わが子よ、あなたはつえと、すべて木で作ったものとを軽んじた。

11 וַיִּתֶּן לְמָרְטָה אֹתָהּ לְתָפְשׂ בַּכָּף הִיא־ הוּחַדָּה וְהִיא חֶרֶב
そして-渡された それを 磨くために 手に-握る-ために 手に これは- 研ぎ澄まされた 剣であり
H5414 H0853 H4803 H8610 H3709 H1931 H2719

וְהִיא מֹרָטָה לָתֶת אוֹתָהּ בְּיַד־ הוֹרֵג׃
これは 磨かれた 渡す-ために それを 殺す-者の-手に 殺す-者の
H1931 H4803 H5414 H0853 H3027 H2026

このつるぎは手にとるために、とがれ、殺す者の手に渡すために、とがれみがかれるのである。

12 זְעַק וְהֵילֵל בֶּן־ אָדָם כִּי־ הִיא הָיְתָה בְעַמִּי הִיא בְּכָל־
叫べ そして-泣き叫べ 子よ 人の- なぜなら- なった これは わが-民に これは すべての-
H2199 H3213 H0120 H1931 H1961 H1931 H3605

נְשִׂיאֵי יִשְׂרָאֵל מְגוּרֵי אֶל־ חֶרֶב הָיוּ אֶת־
イスラエルの-君たちに イスラエルの 恐れの-中に (に) 剣の-前に (と) (であった)
H3478 H4048 H0413 H2719 H1961 H0854

כִּי בֹּחַן וּמָּה גַּם־ אִם־ לֹא מֹאֶסֶת שֵׁבֶט יִהְיֶה לְאָ׃
なぜなら 試みであり そして-もし また- もし- 退ける 杖さえも (ない) 存在しない
H0974 H4100 H1571 H0853 H7626 H3808 H1961

נְאֻם אֲדֹנָי יְהוִה׃ פ
と-告げられる 主なる 神は (段落)
H5002 H0136 H3069

これはためしにすることではない。もしあなたが、つえをあざけったら、どういうことになろうか」と主なる神は言われる。

14 וְאַתָּה בֶּן־ אָדָם הִנָּבֵא כַּף אֶל־ כַּף וְתִכָּפֶל חָרֶב
そして-あなたは 人の- 子よ 預言せよ 手を (に) 手を そして-打ち合わせよ 剣を
H5221 H3709 H0413 H3709 H5012 H0120

שְׁלִשְׁתָּה חֶרֶב חַלְלֵי הִיא חָרֶב חֲדֶרֶת הַגָּדוֹל׃ לָהֶם
三倍に 剣よ 刺し-貫かれた-者たちの これは 剣よ 取り囲む 大いなる-者の 彼らを
H7992 H2719 H2719 H1931 H2719 H2314

「それゆえ、人の子よ、あなたは預言し、手を打ちならせ。つるぎを二度も三度も臨ませよ。これは人を殺すつるぎ、大いに殺すつるぎであって、彼らを囲むものである。

15 וּלְמַעַן לֵב לָמוּג הַמִּכְשֹׁלִים וְהַרְבֵּה כָּל־ שַׁעֲרֵיהֶם
(ために) 心が 溶ける-ために つまずきが そして-増す-ために すべての- 彼らの-門に
H4616 H3824 H4127 H4383 H1919 H3605 H8179

נָתַתִּי אִבְחַת־ חָרֶב אָח עֲשׂוּיָה לְבָרָק מְעֻטָּה לְטֶבַח׃
与えた 剣の-恐怖を- 剣の ああ 造られた 稲妻の-ために 包まれた 虐殺の-ために
H5414 H0019 H2719 H0253 H6213 H1300 H4593 H2874

これがために彼らの心は溶け、多くの者がすべての門に倒れる。わたしはひらめくつるぎを彼らに送る。ああ、これはいなずまのようになり、人を殺すためにみがかれている。

16 הִתְאַחֲדִי הֵימָנִי הָשִׂימִי הַשְׂמִילִי אָנָּה פָּנַיִךְ מְעֻדוֹת׃
鋭くなれ 右に 向かえ 左に どこへでも あなたの-刃が 定められている
H0258 H3231 H8041 H0575 H6440 H3259

あなたの刃の向かうところで、右に左になぎ倒せ。

17 וְגַם־ אֲנִי אַכֶּה כַפִּי אֶל־ כַּפִּי וַהֲנִחֹתִי
また- わたし自身 打ち合わせる わたしの-手を (に) わたしの-手に そして-鎮める
H1571 H0589 H5221 H3709 H0413 H3709 H5117

פ דִּבַּרְתִּי׃ יְהוָה אֲנִי חֲמָתִי
(段落) 語った 主であり わたしは わたしの-憤りを
H1696 H3068 H0589 H2534

わたしもまた、わたしの手を打ちならし、わたしの怒りをしずめると、主なるわたしは言った」。

18 וַיְהִי דְבַר־ יְהוָה אֵלַי לֵאמֹר׃
そして-あった 言葉が- 主の 私に 言って
H1961 H1697 H3068 H0413 H0559

主の言葉がまたわたしに臨んだ、

19 וְאַתָּה בֶּן־ אָדָם שִׂים־ לְךָ דְּרָכִים שְׁנַיִם חֶרֶב
そして-あなたは 人の- 子よ 置け- あなたの-ために 二つの 道を 来る-ための 剣が
H1961 H0120 H7760 H0853 H8147 H1870 H0935 H2719

מֶלֶךְ־ בָּבֶל מֵאֶרֶץ אֶחָד יֹצְאוּ שְׁנֵיהֶם וְיָד בָּרֹא
バビロンの-王の- 一つの-地から 一つの 出る 二つとも そして-手を 刻め
H4428 H0894 H0776 H0259 H3318 H8147 H3027 H1254

בְּרֹאשׁ דֶּרֶךְ־ עִיר עֹרֵא׃
(の)-始まりに 町への-道の- 町の 刻め
H7218 H1870 H5892 H6857

「人の子よ、バビロンの王のつるぎが来るために、二つの道を備えよ。この二つの道は一つの国から出ている。あなたは道しるべを作り、これを町に向かう道のはじめに置け。

20 וְאֶת־ עַמּוֹן בְּנֵי־ רַבַּת אֶת חֶרֶב לָבוֹא תָּשִׂים דֶּרֶךְ
また-(を) アンモンの アンモンの-子らの- ラバを (を) 剣が 来る-ための 定めよ 道を
H0853 H5983 H1121 H7237 H0853 H2719 H0935 H7760 H1870

בִּצוּרָה׃ בִּירוּשָׁלִַם יְהוּדָה
要塞の 要塞の-エルサレムに ユダを
H1219 H3389 H3063

あなたはまたアンモンの人々のラバと、ユダと、堅固な城の町エルサレムとにつるぎの来る道を設けよ。

21 בְּרֹאשׁ הַדֶּרֶךְ אֵם אֶל־ בָּבֶל מֶלֶךְ־ עָמַד כִּי־
(の)-始まりに その-道の 分かれ-道に (に) バビロンの バビロンの-王は- 立った なぜなら-
H7218 H1870 H0517 H0413 H0894 H4428 H5975

לְקֶסֶם־ הַדְּרָכִים שְׁנֵי בַּתְּרָפִים שָׁאַל בְּחִצִּים קִלְקֵל קֶסֶם
占いの-ために- その-道の 二つの テラピムに テラピムに-尋ね 矢を 矢を-振り 占いを-する
H7080 H1870 H8147 H8655 H7592 H2671 H7043 H7081

רָאָה בַכָּבֵד׃
肝を 肝を-見た
H3516 H7200

バビロンの王は道の分れ目、二つの道のはじめに立って占いをし、矢をふり、テラピムに問い、肝を見る。

פֶּה	לִפְתֹּחַ	כָּרִים	לָשׂוּם	יְרוּשָׁלִַם	הַקֶּסֶם	וְהָיָה	בִּימִינוֹ	22
口を	開く-ために	攻城槌を	据える-ための	エルサレムの	その-占いは	あった	彼の-右手に	
H6310				H3389	H7081	H1961	H3225	

לִשְׁפֹּךְ	שְׁעָרִים	עַל־	כָּרִים	לָשׂוּם	בְּתְרוּעָה	קוֹל	לְהָרִים	בְּרֹצַח
塁壁を-築き	門に	(に)	攻城槌を	据える-ため	ときの-声で	声を	上げる-ために	叫びで
H8210	H8179				H8643			H7524

דָּיֵק׃	לִבְנוֹת	סֹלְלָה
やぐらを	そして-建てる-ため	塁壁を
H1785	H1129	H5550

彼の右にエルサレムのために占いが出る。すなわち口を開いて叫び、声をあげ、ときを作り、門に向かって城くずしを設け、塁を築き、雲梯を建てよと言う。

שְׁבֻעֵי	בְּעֵינֵיהֶם	שָׁוְא	)כְּקֶסֶם־	]כקסום־	לָהֶם	וְהָיָה	23
誓いの-	彼らの-目には	偽りの	偽りの-占いの-ように	(のように)	彼らにとって	そして-なった	
H7650		H7723	H7080	H7080		H1961	

פ	לְהִתָּפֵשׂ׃	עָוֹן	מַזְכִּיר	וְהוּא־	לָהֶם	שְׁבֻעוֹת	
(段落)	捕らえられる-ために	咎を	思い出させる	しかし-彼は	彼らには	誓いが-ある	
	H8610	H5771	H2142	H1931		H7621	

しかしこれは彼らの目には偽りの占いと思われ、彼らは堅き誓いをなした。しかし彼は、彼らを捕えることによって、罪を思い出させる。

עֲוֹנְכֶם	הַזְכַּרְכֶם	יַעַן	יְהוִה	אֲדֹנָי	אָמַר	כֹּה־	לָכֵן	24
あなたがたの-咎を	思い出させる	なぜなら	神は	主なる	言われる	このように-	それゆえ	
H5771	H2142	H3282	H3069	H0136	H0559	H3541		

בְּכָל	חַטָּאותֵיכֶם	לְהֵרָאוֹת	פִּשְׁעֵיכֶם	בְּהִנָּלוֹת
すべての	あなたがたの-罪が	見える-ように	あなたがたの-背きが	現れる-ことによって
H3605		H7200	H6588	H1540

פ	תִּתָּפֵשׂוּ׃	בַּכָּף	הִזָּכְרֻכֶם	יַעַן	עֲלִילוֹתֵיכֶם	
(段落)	捕らえられる	手の-中で	思い出される	なぜなら	あなたがたの-行いに-おいて	
	H8610	H3709	H2142	H3282	H5949	

それゆえ、主なる神はこう言われる、あなたがたの罪は覚えられ、その反逆は現れ、その罪はすべてのわざに現れる。このようにあなたがたは、すでに覚えられているから、彼らの手に捕えられる。

בָּא	אֲשֶׁר־	יִשְׂרָאֵל	נְשִׂיא	רָשָׁע	חָלָל	וְאַתָּה	25
来た	(ところの)-	イスラエルの	イスラエルの-君よ	悪しき	刺し-貫かれた	そして-あなたは	
H0935		H3478		H7563			

ס	קֵץ׃	עֲוֹן	בְּעֵת	יוֹמוֹ	
(段落)	終わりの	咎の	(の)-時に	その-日が	
	H7093	H5771	H6256	H3117	

汚れた悪人であるイスラエルの君よ、あなたの終りの刑罰の時であるその日が来る。

זֹאת	הָעֲטָרָה	וְהָרֵים	הַמִּצְנֶפֶת	הָסֵר	יְהוִה	אֲדֹנָי	אָמַר	כֹּה	26
これは	冠を	そして-取り去れ	頭巾を	取り除け	神は	主なる	言われる	このように	
H2063	H5850		H4701	H5493	H3069	H0136	H0559	H3541	

הַשְׁפֵּל׃	וְהַגְבֹהָה	הַגְבֹּהַ	הַשְׁפָּלָה	זֹאת	לֹא־	
低くせよ	高い-者を	高くし	低い-者を	もはや-このまま-ではない	(ない)	
H8213	H1364	H1361	H8217	H2063	H3808	

主なる神はこう言われる、かぶり物を脱ぎ、冠を取り離せ。すべてのものは、そのままには残らない。卑しい者は高くされ、高い者は卑しくされる。

27

בָּא	עַד־	הֲיָה	לֹא	זֹאת	גַּם־	אֲשִׁימֶנָּה	עָוֶה	עָוֶה	עָוֶה
来る–まで	(まで)–	なかった	(ない)	これも	また–	わたしは–なす	荒廃を	荒廃	荒廃
H0935	H5704	H1961	H3808	H2063	H1571		H5754	H5754	H5754

פ	וּנְתַתִּיו׃	הַמִּשְׁפָּט	לוֹ	אֲשֶׁר־
(段落)	そして–わたしは–与える	さばきの–権利を–持つ	その–者が	(ところの)–
	H5414	H4941		

ああ破滅、破滅、破滅、わたしはこれをこさせる。わたしが与える権威をもつ者が来る時まで、その跡形さえも残らない。

28

אֶל־	יְהוָה	אֲדֹנָי	אָמַר	כֹּה	וְאַתָּה	הִנָּבֵא	אָדָם	בֶּן־	וְאַתָּה
(に)	神は	主なる	言われる	このように	そして–言え	預言せよ	子よ	人の–	そして–あなたは
H0413	H3069	H0136	H0559	H3541	H0559	H5012	H0120		

חֶרֶב	חֶרֶב	וְאָמַרְתָּ	חֶרְפָּתָם	וְאֶל־	עַמּוֹן	בְּנֵי
剣よ	剣よ	そして–言え	彼らの–そしりに–ついて	また–(に)	アンモンの	アンモンの–子らに
H2719	H2719	H0559	H2781	H0413	H5983	

בָּרָק׃	לְמַעַן	לְהָכִיל	מְרוּטָה	לְטֶבַח	פְּתוּחָה
稲妻の–ために	(ために)	飲み込む–ため	磨かれた	虐殺の–ため	抜かれた
	H4616	H0398	H4803	H2874	

人の子よ、預言して言え。主なる神はアンモンの人々と、そのあざけりについて、こう言われる、つるぎがある。このつるぎは殺すために抜かれ、いなずまのようにひかりきらめくようにとがれている。

29

אוֹתָךְ	לָתֵת	כָּזָב	לָךְ	בְּקֶסֶם־	שָׁוְא	לָךְ	בַּחֲזוֹת		
あなたを	置く–ため	偽りを–語る	あなたに	(の中で)–占い–	偽りの–幻を	あなたに–ついて	(の中で)		
H0853	H5414	H3577		H7080	H7723		H2372		

יוֹמָם	בָּא	אֲשֶׁר־	רְשָׁעִים	חַלְלֵי	צַוְּארֵי	אֶל־	
その–日が	来た	(ところの)–	悪しき–者たちの	刺し–貫かれた–悪しき–者たちの	首の–上に	(の)–	
H3117	H0935		H7563			H0413	

קֵץ׃	עֲוֹן	בְּעֵת
終わりの	咎の	(の)–時に
H7093	H5771	H6256

彼らがあなたに偽りの幻を示し、偽りを占ったゆえ、これは殺さるべき悪しき者の首の上に置かれる。彼らの終りの刑罰の時であるその日がきている。

30

מְכֻרוֹתַיִךְ	בְּאֶרֶץ	נִבְרֵאת	אֲשֶׁר־	בִּמְקוֹם	תַּעֲרָה	אֶל־	הָשֵׁב	
あなたの–生まれの	(の)–地で	あなたが–造られた	(ところの)–	(の)–場所で	その–鞘に	(に)	戻せ	
H4351	H0776			H4725	H8593	H0413	H7725	

אֹתָךְ׃	אֶשְׁפֹּט
あなたを	わたしは–さばく
H0853	H8199

これをさやに納めよ、わたしはあなたの造られた所、あなたの生れた地であなたをさばく。

31

עָלַיִךְ	אָפִיחַ	עֶבְרָתִי	בְּאֵשׁ	זַעְמִי	עָלַיִךְ	וְשָׁפַכְתִּי		
あなたの–上に	吹きつける	わたしの–激怒の	(の)–火を	わたしの–憤りを	あなたの–上に	そして–注ぐ		
	H6315	H5678	H0784	H2195		H8210		

מַשְׁחִית׃	חָרָשִׁי	בְּעֵרִים	אֲנָשִׁים	בְּיַד	וּנְתַתִּיךְ	
滅びの	滅びを–造り出す–者の	荒々しい	荒々しい–者たちの	(の)–手に	そして–渡す	
H4889	H2796		H0376	H3027	H5414	

わたしの怒りをあなたに注ぎ、わたしの憤りの火をあなたに向けて燃やし、滅ぼすことに巧みな残忍な人の手にあなたを渡す。

לָֽא	הָאָ֖רֶץ	בְּתוֹךְ	יִהְיֶ֑ה	דָּמֵ֣ךְ	לְאָכְלָ֔ה	תִּהְיֶ֣ה	לָאֵ֔שׁ	32
(ない)	その–地の	(の)–中で	流される	あなたの–血は	燃料と	あなたは–なる	火の	
H3808	H0776	H8432	H1961	H1818	H0402	H1961	H0784	

פ	דִּבַּ֥רְתִּי׃	יְהוִ֖ה	אֲנִ֣י	כִּ֑י	תִּזָּכֵֽרִי
(段落)	語った	主であり	わたしが	なぜなら	思い出されない
	H1696	H3068	H0589		H2142

あなたは火のための、たきぎとなり、あなたの血は国の中に流され、覚えられることはない、主なるわたしが言う」。

Chapter 22

לֵאמֹֽר׃	אֵלַ֖י	יְהוָ֥ה	דְּבַר־	וַיְהִ֥י	1
言って	私に	主の	言葉が–	そして–あった	
H0559	H0413	H3068	H1697	H1961	

また主の言葉がわたしに臨んで言った、

וְהוֹדַעְתָּ֖הּ	הַדָּמִ֑ים	עִ֣יר	אֶת־	הַתִּשְׁפְּט֔	הַתִּשְׁפְּט	אָדָ֖ם	בֶּן־	וְאַתָּ֕ה	2
そして–知らせよ	血の	血の–町を	(を)	裁くのか	裁くのか	子よ	人の–	そして–あなたは	
H3045	H1818		H0853	H8199	H8199	H0120			

תּוֹעֲבוֹתֶֽיהָ׃	כָּל־	אֶת	
その–忌まわしい–行いを	すべての–	(を)	
H8441	H3605	H0853	

「人の子よ、あなたはさばくのか。血を流すこの町をさばくのか。それならこの町にそのもろもろの憎むべき事を示して、

בְּתוֹכָ֔הּ	דָּ֖ם	שֹׁפֶכֶת	עִ֑יר	יְהוִ֣ה	אֲדֹנָ֔י	אָמַ֣ר	כֹּ֚ה	וְאָמַרְתָּ֣	3
その–中に	血を	血を–流す	町よ	神は	主なる	言われる	このように	そして–言え	
H8432	H1818	H8210		H3069	H0136	H0559	H3541	H0559	

לְטָמְאָֽהּ׃	עָלֶ֖יהָ	גִּלּוּלִ֥ים	וְעָשְׂתָ֛ה	עִתָּ֧הּ	לָבֽוֹא
汚れる–ために	自らの–上に	偶像を	そして–造った	その–時が	来たる–ために
		H1544		H6256	H0935

言え。主なる神はこう言われる、自分のうちに血を流して、その刑罰の時をまねき、偶像を造ってその身を汚す町よ、

							4
אֲשֶׁר־	וּבְגִלּוּלַ֖יִךְ	אָשַׁ֑מְתְּ	שָׁפַכְתְּ	אֲשֶׁר־	בְּדָמֵ֣ךְ		
(ところの)–	そして–あなたの–偶像によって	罪を–負った	流した	(ところの)–	あなたの–血によって		
	H1544	H0816	H8210		H1818		

עַל־	שְׁנוֹתָ֔יִךְ	עַד־	וַתָּבֹ֖וא	יָמַ֑יִךְ	וַתַּקְרִ֣יבִי	טָמֵ֔את	עָשִׂ֥ית
(の)–ために	あなたの–年々に	(まで)	そして–来た	あなたの–日々を	そして–近づけた	汚れた	造った
	H8141	H5704	H0935	H3117	H7126		

הָאֲרָצ֑וֹת׃	לְכָל־	וְקַלָּסָ֖ה	לַגּוֹיִ֔ם	חֵרְפָּ֣ה	נְתַתִּ֔יִךְ	כֵּ֥ן
国々の–前で	すべての–	そして–嘲笑と	諸国民の–前で	そしりと	わたしは–した	それゆえ
H0776	H3605	H7048		H2781	H5414	

あなたはその流した血によって罪を得、その造った偶像によって汚れ、あなたの日を近づかせ、あなたの年の定めの時はきた。それゆえわたしはあなたをもろもろの国民のあざけりとなし、万国の物笑いとする。

רַבַּת	הַשֵּׁם	טְמֵאַת	בָּךְ	יִתְקָלְסוּ־	מִמְּךְ	וְהָרְחֹקוֹת	הַקְּרֹבוֹת	5
混乱に–満ちた	名の	名の–汚れた	あなたを	嘲り笑う	あなたから	遠くの–者も	近くの	
	H8034	H2931		H7046		H7350	H7138	

הַמְּהוּמָה׃
混乱の
H4103

あなたに近い者も、遠い者も、汚れと、混乱に満ちているあなたをあざける。

בָּךְ	הָיוּ	לִזְרֹעוֹ	אִישׁ	יִשְׂרָאֵל	נְשִׂיאֵי	הִנֵּה	6
あなたの–中に	(であった)	その–腕に–かけて	各々	イスラエルの	イスラエルの–君たちは	見よ	
	H1961	H2220	H0376	H3478		H2009	

דָּם׃	שָׁפְכָה־	לְמַעַן
血を	血を–流す–	(ために)
H1818	H8210	H4616

見よ、あなたのうちのイスラエルの君たちは、おのおのその力にしたがって、血を流そうとしている。

וְאַלְמָנָה	יָתוֹם	בְּתוֹכֵךְ	בַּעֹשֶׁק	עָשׂוּ	לַגֵּר	בָּךְ	הֵקֵלּוּ	וָאֵם	אָב	7
寡婦を	孤児と	あなたの–中で	虐げで	扱った	寄留者を	あなたの–中で	軽んじた	母を	父と	
H0490	H3490	H8432	H6233		H1616		H7043	H0517	H0001	

בָּךְ׃	הוֹנוּ
あなたの–中で	虐げた
	H3238

父母はあなたのうちで卑しめられ、寄留者はあなたのうちで虐待をうけ、みなしごと、やもめとはあなたのうちで悩まされている。

חִלַּלְתִּי׃	שַׁבְּתֹתַי	וְאֶת־	בָּזִית	קָדָשַׁי	8
汚した	わたしの–安息日を	そして–(を)	侮った	わたしの–聖なる–ものを	
	H7676	H0853	H0959	H6944	

あなたはわたしの聖なるものを卑しめ、わたしの安息日を汚した。

וְאֶל־	דָּם	שָׁפְכָה־	לְמַעַן	בָּךְ	הָיוּ	רָכִיל	אַנְשֵׁי		9
そして–(の)	血を	血を–流す–	(ために)	あなたの–中に	(であった)	中傷の	中傷する–者たちが		
H0413	H1818	H8210	H4616		H1961	H7400	H0376		

בְּתוֹכֵךְ׃	עָשׂוּ	זִמָּה	בָּךְ	אָכְלוּ	הֶהָרִים	
あなたの–中で	行った	淫行を	あなたの–中で	食べた	山々で	
H8432		H2154		H0398	H2022	

人をののしって血を流そうとする者は、あなたのうちにおり、人々はあなたのうちで、山の上で食事をし、あなたのうちで、みだらなおこないをし、

בָּךְ׃	עִנּוּ־	הַנִּדָּה	טְמֵאַת	בָּךְ	גִּלָּה־	אָב	עֶרְוַת־	10
あなたの–中で	辱めた–	月経の	月経の–汚れの	あなたの–中で	さらけ出した–	父の	父の–裸を–	
		H5079	H2931		H1540	H0001	H6172	

あなたのうちで、父の裸を現し、あなたのうちで、汚れのうちにある女を犯す。

11

אֶת־	וְאִישׁ	תּוֹעֵבָה	עָשָׂה	רֵעֵהוּ	אֵשֶׁת	אֶת־	וְאִישׁ
(と)	そして–ある–者は	忌まわしい–行いを	行った	隣人の	隣人の–妻と	(と)	そして–ある–者は
H0853	H0376	H8441		H7453	H0802	H0854	H0376

עִנָּה־	אָבִיו	בַּת־	אֲחֹתוֹ	אֶת־	וְאִישׁ	בְּזִמָּה	טָמֵא	כַּלָּתוֹ
辱めた–	自分の–父の	娘と–	自分の–姉妹と	(と)	そして–ある–者は	淫行で	汚した	息子の–妻を
	H0001	H1323	H0269	H0853	H0376	H2154		H3618

בָּךְ׃
あなたの–中で

またあなたのうちに、その隣の妻と憎むべき事を行う者があり、淫行をもって、その嫁を汚す者があり、自分の父の娘である自分の姉妹を犯す者があり、

12

לָקַחְתָּ	וְתַרְבִּית	נֶשֶׁךְ	דָּם	שָׁפַךְ־	לְמַעַן	בָּךְ	לָקְחוּ־	שֹׁחַד
取った	高利を	利子と	血を	血を–流す–	(ために)	あなたの–中で	受け取った–	賄賂を
H3947	H8636	H5392	H1818	H8210	H4616		H3947	H7810

יְהוָה׃	אֲדֹנָי	נְאֻם	שָׁכַחְתָּ	וְאֹתִי	בַּעֹשֶׁק	רֵעֶיךָ	וַתִּבְצָעִי
神は	主なる	と–告げられる	忘れた	そして–わたしを	虐げで	隣人から	そして–貪った
H3069	H0136	H5002	H7911	H0853	H6233	H7453	H1214

また血を流そうとして、あなたのうちで、まいないを取る者がある。あなたは利息と高利とを取り、しえたげによって、あなたの隣り人のものをかすめ、そしてわたしを忘れてしまったと、主なる神は言われる。

13

עָשִׂית	אֲשֶׁר	בִּצְעֶךָ	אֶל־	כַּפִּי	הִכֵּיתִי	וְהִנֵּה	
行った	(ところの)	あなたの–不正な–利得に	(に対し)	わたしの–手を	わたしは–打つ	そして–見よ	
		H1215	H0413	H3709	H5221	H2009	

בְּתוֹכֵךְ׃	הָיוּ	אֲשֶׁר	דָּמֶךָ	וְעַל־
あなたの–中に	(であった)	(ところの)	あなたの–血に	そして–(に)
H8432	H1961		H1818	

それゆえ見よ、あなたが得た不正の利の事、およびあなたのうちにある流血の事に対して、わたしは手を打ちならす。

14

אֲשֶׁר	לַיָּמִים	יָדַיִךְ	תֶּחֱזַקְנָה	אִם־	לִבֵּךְ	תַּעֲמֹד
(ところの)	その–日々に	あなたの–手は	強くあり得るか	あるいは–	あなたの–心は	耐えられるか
	H3117	H3027	H2388			H5975

וְעָשִׂיתִי׃	דִּבַּרְתִּי	יְהוָה	אֲנִי	אוֹתָךְ	עֹשָׂה	אֲנִי
そして–行う	語った	主であり	わたしは	あなたに	行う	わたしが
	H1696	H3068	H0589	H0853		H0589

わたしがあなたを攻める日には、あなたの勇気は、これに耐え得ようか。またあなたの手は強くあり得ようか。主なるわたしはこれを宣言し、これをなす。

15

וְהַתְמַּתִּי	בָּאֲרָצוֹת	וְזֵרִיתִיךְ	בַּגּוֹיִם	אוֹתָךְ	וְהֵפִיצוֹתִי
そして–尽くす	もろもろの–国に	そして–まき散らす	諸国民の–中に	あなたを	そして–散らす
H8552	H0776	H2219		H0853	

מִמֵּךְ׃	טֻמְאָתֵךְ
あなたから	あなたの–汚れを
	H2932

わたしはあなたを、もろもろの国民のうちに散らし、国々の間にまき、そしてあなたから汚れを除く。

16 וְנֵחַלְתְּ בָּךְ לְעֵינֵי גּוֹיִם וְיָדַעַתְּ כִּי־ אֲנִי
そして-侮られる あなた自身によって (の)-目の-前で 諸国民の そして-知る (ことを)- わたしが
H0589 H3045

יְהוָה׃ פ
主であることを (段落)
H3068

わたしはあなたによって、もろもろの国民の前に汚される。そしてあなたはわたしが主であることを知る」。

17 וַיְהִי דְּבַר־ יְהוָה אֵלַי לֵאמֹר׃
そして-あった 言葉が- 主の 私に 言って
H1961 H1697 H3068 H0413 H0559

主の言葉がまたわたしに臨んだ、

18 בֶּן־ אָדָם בֵּית־ יִשְׂרָאֵל לִי הָיוּ־ לְסוּג)לְסִיג[כֻּלָּם נְחֹשֶׁת
人の- 子よ 家は- イスラエルの わたしにとって なった- (に) 滴に 彼らは-皆 銅と
H0120 H1961 H3478 H0559 H5509 H3605

וּבְדִיל וּבַרְזֶל וְעוֹפֶרֶת בְּתוֹךְ כּוּר סִגִים כֶּסֶף הָיוּ׃ ס
鈴と 鉄と 鉛と (の)-中の 炉の 滴である 銀の なった (段落)
H0913 H1270 H5777 H8432 H3564 H5509 H3701 H1961

「人の子よ、イスラエルの家はわたしに対して、かなかすとなった。彼らはすべて炉の中の銀、青銅、すず、鉄、鉛のかなかすとなった。

19 לָכֵן כֹּה אָמַר אֲדֹנָי יְהוִה יַעַן הֱיוֹת כָּלְכֶם לְסִגִים
それゆえ このように 言われる 主なる 神は なぜなら なった あなたがたは-皆 滴に
H3541 H0559 H0136 H3069 H3282 H1961 H3605 H5509

לָכֵן הִנְנִי קֹבֵץ אֶתְכֶם אֶל־ תּוֹךְ יְרוּשָׁלִָם׃
それゆえ 見よ-わたしは 集める あなたがたを (の)-中に (の)-中に エルサレムの
H2009 H6908 H0853 H0413 H8432 H3389

それゆえ、主なる神はこう言われる、あなたがたは皆かなかすとなったゆえ、見よ、わたしはあなたがたをエルサレムの中に集める。

20 כְּקֻבְּצַת כֶּסֶף וּנְחֹשֶׁת וּבַרְזֶל וּבְדִיל וְעוֹפֶרֶת בְּתוֹךְ כּוּר לָפַחַת־
集める 銀と 銅と 鉄と 鈴を 鉛と (の)-中に 炉の 吹きつける-ために
H6910 H3701 H5178 H1270 H0913 H5777 H8432 H3564 H5301

אֵשׁ עָלָיו לְהַנְתִּיךְ כֵּן אֶקְבֹּץ בְּאַפִּי וּבַחֲמָתִי
火を その-上に 溶かす-ために そのように 集める わたしの-怒りと わたしの-憤りの-中で
H0784 H5413 H6908 H0639 H2534

וְהִנַּחְתִּי וְהִתַּכְתִּי אֶתְכֶם׃
そして-置く そして-溶かす あなたがたを
H3240 H5413 H0853

人が銀、青銅、鉄、鉛、すずなどを炉の中に集め、これに火を吹きかけて溶かすように、わたしは怒りと憤りとをもって、あなたがたを集め入れて溶かす。

21 וְכִנַּסְתִּי אֶתְכֶם וְנָפַחְתִּי עֲלֵיכֶם בְּאֵשׁ עֶבְרָתִי
そして-集める あなたがたを そして-吹きつける あなたがたの-上に (の)-火を わたしの-激怒の
H3664 H0853 H5301 H5921 H0784 H5678

וְנִתַּכְתֶּם בְּתוֹכָהּ׃
そして-溶かされる その-中で
H5413 H8432

すなわち、わたしはあなたがたを集め、わたしの怒りの火を、あなたがたに吹きかける。あなたがたはその中で溶ける。

22 כְּהִתּוּךְ כֶּסֶף בְּתוֹךְ כּוּר כֵּן תִּתְכְּנוּ בְּתוֹכָהּ
(のように) 銀が-溶ける-ように (の)-中で 炉の そのように 溶かされる その-中で
H2046 H3701 H8432 H3564 H5413 H8432

וִידַעְתֶּם כִּי־ אֲנִי יְהוָה שָׁפַכְתִּי חֲמָתִי
そして-あなたがたは-知る (ことを)- わたしが 主であり 注ぎ出したことを わたしの-憤りを
H3045 H0589 H3068 H8210 H2534

עֲלֵיכֶם׃ פ
あなたがたの-上に (段落)

銀が炉の中で溶けるように、あなたがたもその中で溶ける。そしてあなたがたは主なるわたしが、あなたがたの上に、わたしの怒りを注いだことを知るようになる」。

23 וַיְהִי דְבַר־ יְהוָה אֵלַי לֵאמֹר׃
そして-あった 言葉が- 主の 私に 言って
H1961 H1697 H3068 H0413 H0559

主の言葉がまたわたしに臨んだ、

24 בֶּן־ אָדָם אֱמָר־ לָהּ אַתְּ אֶרֶץ לֹא מְטֹהָרָה הִיא לֹא
人の- 子よ 言え- それに あなたは 地である (ない) 清められていない それは (ない)
H0120 H0559 H0776 H3808 H2891 H1931 H3808

גֶּשְׁמָה בְיוֹם זָעַם׃
雨の-注がれない (の)-日に 憤りの
H1656 H3117 H2195

「人の子よ、これに言え、あなたは怒りの日に清められず、また雨の降らない地である。

25 קֶשֶׁר נְבִיאֶיהָ בְּתוֹכָהּ כַּאֲרִי שֹׁאֲגִ טֶרֶף נֶפֶשׁ
謀反が その-預言者たちの その-中に 唸える-獅子の-ように 唸える 引き裂く 獲物を 命を
H7195 H5030 H8432 H7580 H2963 H2964 H5315

אָכָלוּ חֹסֶן וְיקָר הִרְבּוּ בְתוֹכָהּ׃ אַלְמְנוֹתֶיהָ יִקָּחוּ
食い尽くした 財宝と 高価な-ものを 増やした その-中に その-寡婦たちを 奪った
H0398 H2633 H3366 H7235 H8432 H0490 H3947

その中の君たちは、獲物を裂くほえるししのような者で、彼らは人々を滅ぼし、宝と尊い物とを取り、そのうちに、やもめの数をふやす。

26 כֹּהֲנֶיהָ חָמְסוּ תּוֹרָתִי וַיְחַלְלוּ קָדָשַׁי בֵּין־
(の)-間を わたしの-聖なる-ものを そして-汚した わたしの-律法を 犬辱した その-祢司たちは
H0996 H6944 H2554 H8451 H3548

וּבֵין־ הַטָּמֵא לְחֹל לֹא הִבְדִּילוּ קֹדֶשׁ
そして-(の)-間を 汚れた-ものと 俗なる-ものとの (なかった) 区別しなかった 聖なる-ものと
H0996 H2931 H2455 H3808 H0914 H6944

וּמִשַּׁבְּתוֹתַי הֶעְלִימוּ עֵינֵיהֶם הוֹרִיעוּ לֹא לְטָהוֹר
そして-わたしの-安息日から 目を-そらした 彼らの-目を 教えなかった (なかった) 清い-ものとの
H7676 H5956 H3045 H3808 H2889

וָאֵחַל בְּתוֹכָם׃
そして-わたしは-汚された 彼らの-中で
H8432

その祭司たちはわが律法を犯し、聖なる物を汚した。彼らは聖なる物と汚れた物とを区別せず、清くない物と清い物との違いを教えず、わが安息日を無視し、こうしてわたしは彼らの間に汚されている。

27

לְאַבֵּד	דָּם	לִשְׁפְּךְ־	טֶרֶף	טָרְפִי	כִּזְאֵבִים	בְּקִרְבָּהּ	שָׂרֶיהָ
滅ぼす–ために	血を	血を–流す–ために	獲物を	引き裂く	狼の–ように	その–中に	その–君たちは
H0006	H1818	H8210	H2964	H2963	H2061	H7130	H8269

בָּצַע׃	בְּצַע	לְמַעַן	נְפָשׁוֹת
不正な–利得を	不正な–利得を–得る–ために	(ために)	命を
H1215	H1214	H4616	H5315

その中にいる君たちは、獲物を裂くおおかみのようで、血を流し、不正の利を得るために人々を滅ぼす。

28

שָׁוְא	חֹזִים	תָּפֵל	לָהֶם	טָחֲוִ	וּנְבִיאֵיהָ	
偽りの–幻を	見ている	漆喰いを	彼らの–ために	塗りつぶした	そして–その–預言者たちは	
H7723	H2374				H5030	

וַיהוָה	יְהוִה	אֲדֹנָי	אָמַר	כֹּה	אֹמְרִים	כָּזָב	לָהֶם	וְקֹסְמִים
しかし–主は	神はと	主なる	言われる	このように	言っている	偽りを	彼らの–ために	そして–占う
H3068	H3069	H0136	H0559	H3541	H0559	H3577		H7080

דִּבָּר׃	לֹא
語っていない	(ない)
H1696	H3808

その預言者たちは、水しっくいでこれを塗り、偽りの幻を見、彼らに偽りを占い、主が語らないのに『主なる神はこう言われる』と言う。

29

וְעֲנִי	גָזֵל	וְגָזְלוּ	עֹשֶׁק	עָשְׁקוּ	הָאָרֶץ	עַם	
そして–貧しい–者と	強奪を	そして–強奪した	虐げを	虐げた	その–地の	その–地の–民は	
H6041	H1498	H1497	H6233	H6231	H0776		

מִשְׁפָּט׃	בְּלֹא	עָשְׁקוּ	הַגֵּר	וְאֶת־	הוֹנוּ	וְאֶבְיוֹן
公正なく	正義なく	虐げた	寄留者を	そして–(を)	虐げた	乏しい–者を
H4941	H3808	H6231	H1616	H0853	H3238	H0034

国の民はしえたげを行い、奪うことをなし、乏しい者と貧しい者とをかすめ、不法に他国人をしえたぐ。

30

בַּפָּרֶץ	וְעֹמֵד	גָּדֵר	גְּדֹר־	אִישׁ	מֵהֶם	וָאֲבַקֵּשׁ	
破れ口に	そして–立つ	壁を	壁を–築く–	一人の–人を	彼らの–中に	そして–わたしは–探した	
H6556	H5975	H1447	H1443	H0376	H1992	H1245	

וְלֹא	שַׁחֲתָהּ	לְבִלְתִּי	הָאָרֶץ	בְּעַד	לְפָנַי	
しかし–(なかった)	滅ぼすことを	滅ぼさない–ために	その–地の	(の)–ために	わたしの–前に	
H3808	H7843	H1115	H0776	H1157	H6440	

מָצָאתִי׃
見つからなかった
H4672

わたしは、国のために石がきを築き、わたしの前にあって、破れ口に立ち、わたしにこれを滅ぼさせないようにする者を、彼らのうちに尋ねたが得られなかった。

31

כִּלִּיתִי	עֶבְרָתִי	בְּאֵשׁ	זַעְמִי	עֲלֵיהֶם	וָאֶשְׁפֹּךְ	
滅ぼした	わたしの–激怒の	(の)–火で	わたしの–憤りを	彼らの–上に	それで–わたしは–注いだ	
H3615	H5678	H0784	H2195		H8210	

פ	יְהוִה׃	אֲדֹנָי	נְאֻם	נָתַתִּי	בְּרֹאשָׁם	דַּרְכָּם
(段落)	神は	主なる	と–告げられる	報いた	彼らの–頭の–上に	彼らの–道を
	H3069	H0136	H5002	H5414		H1870

それゆえ、わたしはわが怒りを彼らの上に注ぎ、わが憤りの火をもって彼らを滅ぼし、彼らのおこないを、そのこうべに報いたと、主なる神は言われる」。

Chapter 23

1 וַיְהִי דְבַר־ יְהוָה אֵלַי לֵאמֹר׃
そして–あった 言葉が 主の 私に 言って
H1961 H1697 H3068 H0413 H0559

主の言葉がわたしに臨んだ、

2 בֶּן־ אָדָם שְׁתַּיִם נָשִׁים בְּנוֹת אֵם־ אַחַת הָיוּ׃
人の–子よ 一 二人の 女が 娘たちで 母 一人の いた
H0120 H8147 H0802 H1323 H0517 H0259 H1961

「人の子よ、ここにふたりの女があった。ひとりの母の娘である。

3 וַתִּזֳנֶינָה בְּמִצְרַיִם בִּנְעוּרֵיהֶן זָנוּ שָׁמָּה שֻׁדֵּיהֶן וְשָׁם מֹעֲכוּ
そして–遊女となった エジプトで 若い–時に 淫行を–行い そこで もまれた 乳房が そして–そこで
H2181 H4714 H1331 H2181 H8033 H4600 H7699 H8033

עִשּׁוּ דַּדֵּי בְתוּלֵיהֶן׃
触られた 胸が 処女の–時の
H6213 H1717 H1331

彼らはエジプトで淫行をした。彼らは若い時に淫行をした。すなわちその所で彼らの胸は押され、その処女の乳ぶさはいじられた。

4 וּשְׁמוֹתָן וְאָהֳלָה הַגְּדוֹלָה וְאָהֳלִיבָה אֲחוֹתָהּ וַתִּהְיֶינָה לִי
そして–名は オホラ 姉の そして–オホリバ 妹の そして–彼女たちは わたしの–ものと–なり
H8034 H0170 H1419 H0172 H0269 H1961 H0589

וַתֵּלַדְנָה בָנִים וּבָנוֹת וּשְׁמוֹתָן שֹׁמְרוֹן אָהֳלָה וְירוּשָׁלַם אָהֳלִיבָה׃
そして–産んだ 息子たちと 娘たちを そして–名は サマリヤ オホラ そして–エルサレム オホリバ
H3205 H1121 H1323 H8034 H8111 H0170 H3389 H0172

彼らの名は姉はアホラ、妹はアホリバである。彼らはわたしのものとなって、むすこ娘たちを産んだ。その本名はアホラはサマリヤ、アホリバはエルサレムである。

5 וַתִּזֶן אָהֳלָה תַּחְתָּי וַתַּעְגַּב עַל־ מְאַהֲבֶיהָ אֶל־ קְרוֹבִים׃ אַשּׁוּר
そして–淫行を–行った オホラは わたしの–下で そして–慕った —を 情夫たちを —
H2181 H0170 H8478 H5689 H5921 H0157 H0413 H0804

アホラはわたしのものである間に淫行をなし、その恋人なるアッスリヤびとにこがれた。

6 לְבֻשֵׁי תְכֵלֶת סִגְנִים וּפַחוֹת בַּחוּרֵי חֶמֶד כֻּלָּם פָּרָשִׁים רֹכְבֵי
身に–まとう 青い–服の 総督たちや 長官たちを 若い 望ましい すべての 騎兵たち 馬に–乗る
H3847 H8504 H6346 H5461 H0970 H2531 H3605 H6571 H7392

סוּסִים׃
者たち

すなわち紫の衣をきた軍人、長官、司令官、すべて好ましい若者、馬に乗る者たちである。

וּבְכֻלָּם	כֹּלָם	אַשּׁוּר	בְּנֵי־	מִבְחַר	עֲלֵיהֶם	תַּזְנוּתֶיהָ	וַתִּתֶּן	7
そして–すべての	すべての	アッシリヤの	子らに	選り抜きの	彼らの–上に	淫行を	そして–注いだ	
H3605	H3605	H0804		H4005		H8457	H5414	

נִטְמָאָה׃	גִּלּוּלֵיהֶם	בְּכָל־	עֲגֻבָּה	אֲשֶׁר־
身を–汚した	偶像で	すべての	慕った	者に
	H1544	H3605	H5689	

彼女は彼らに淫行を供えた。彼らはすべてアッスリヤのえり抜きの人々である。彼女はまた、そのこがれたすべての者のもろもろの偶像をもって、おのれを汚した。

בִּנְעוּרֶיהָ	שָׁכְבוּ	אוֹתָהּ	כִּי	עֲבֻדָּה	לֹא	מִמִּצְרַיִם	תַּזְנוּתֶיהָ	וְאֶת־	8
若い–時に	寝た	彼女と	なぜなら	—	捨てなかった	エジプトからの	淫行を	そして	
	H7901	H0853			H3808	H4714	H8457	H0853	

עָלֶיהָ׃	תַּזְנוּתָם	וַיִּשְׁפְּכוּ	בְּתוּלֶיהָ	דַּדֶּי	עִשּׁוּ	וְהֵמָּה	
彼女の–上に	淫行を	そして–注いだ	処女の–時の	乳房を	触った	そして–彼らは	
	H8457	H8210	H1331	H1717		H1992	

彼女はエジプトの日からおこなっていた、その淫行を捨てなかった。それは彼女の若い時に、彼らが彼女と寝、その処女の乳ぶさをいじり、その情欲を彼女の上に注いだからである。

עֲלֵיהֶם׃	עֲגֻבָּה	אֲשֶׁר	אַשּׁוּר	בְּנֵי	בְּיַד־	מְאַהֲבֶיהָ	בְּיַד־	נְתַתִּיהָ	לָכֵן	9
彼らを	慕った	者たちの	アッシリヤの	子らの	手に	情夫たちの	手に	渡した	それゆえ	
	H5689		H0804		H3027	H0157	H3027	H5414		

それゆえ、わたしは彼女をその恋人の手に渡し、そのこがれたアッスリヤの人々の手に渡した。

הָרָגוּ	בַּחֶרֶב	וְאוֹתָהּ	לָקָחוּ	וּבְנוֹתֶיהָ	בָּנֶיהָ	עֶרְוָתָהּ	גִּלּוּ	הֵמָּה	10
殺した	剣で	そして–彼女を	捕らえ	娘たちを	息子たちと	裸を	あらわにした	彼らは	
H2026	H2719	H0853	H3947	H1323		H6172	H1540	H1992	

ס	בָּהּ׃	עָשׂוּ	וּשְׁפוּטִים	לַנָּשִׁים	שֵׁם	וַתְּהִי־
—	彼女に	行った	そして–裁きを	女たちの–間で	評判に	そして–彼女は–なった
			H8196	H0802	H8034	H1961

彼らは彼女の裸を現し、そのむすこ娘たちを奪い、つるぎをもって彼女を殺した。こうして彼女に対するさばきが行われたとき、彼女は女たちの間の語り草となった。

תַּזְנוּתֶיהָ	וְאֶת־	מִמֶּנָּה	עַגְבָתָהּ	וַתַּשְׁחֵת	אָהֳלִיבָה	אֲחוֹתָהּ	וַתֵּרֶא	11
淫行は	そして	彼女–よりも	情欲を	そして–堕落させた	オホリバは	妹の	そして–見た	
H8457	H0853		H5691	H7843	H0172	H0269	H7200	

מִזְּנוּנֶיהָ׃	אֲחוֹתָהּ׃	
淫行より–ひどく	姉の	
H2183	H0269	

その妹アホリバはこれを見て、姉よりも情欲をほしいままにし、姉の淫行よりも多く淫行をなし、

מְכֻלָּל	לְבֻשֵׁי	קְרֹבִים	וּסְגָנִים	פַּחוֹת	עֲגֻבָּה	אַשּׁוּר	בְּנֵי	אֶל־	12
華やかな–衣の	身に–まとう	近い	長官たちを	総督たちや	慕った	アッシリヤの	子らを	—	
H4358	H3847	H7138	H5461	H6346	H5689	H0804		H0413	

כֻּלָּם׃	חֶמֶד	בַּחוּרֵי	סוּסִים	רֹכְבֵי	פָּרָשִׁים	
すべての	望ましい	若い	者たち	馬に–乗る	騎兵たち	
H3605	H2531	H0970		H7392		

アッスリヤの人々に恋こがれた。長官、司令官、盛装した軍人、馬に乗る者たちで、すべて好ましい若者たちである。

13 וָאֵרְא כִּי נִטְמְאָה דֶּרֶךְ אֶחָד לִשְׁתֵּיהֶן׃
そして-わたしは-見た — 汚れたと 道が 一つ 二人-ともに
H7200 H8147 H1870 H0259 H8147

わたしは彼女が身を汚したのを見た。彼らは共に一つの道をたどったが、

14 וַתֹּסֶף תַּזְנוּתֶיהָ וַתֵּרֶא אֲנָשִׁי מְחֻקָּה עַל־ הַקִּיר צַלְמֵי
そして-増した 淫行を そして-見た 人々が 刻まれた — 壁の-上に 像を
H3254 H8457 H7200 H0376 H2707 H0413 H7023 H6754

כַּשְׂדִּים(כשדיים) חֲקֻקִים בַּשָּׁשֶׁר׃
— カルデヤ人の 刻まれた 朱色で
H3778 H3778 H2710 H8350

彼女はさらにその淫行を続け、壁に描いた人々を見た。すなわち朱で描いたカルデヤびとの像で、

15 חֲגוֹרֵי אֵזוֹר בִּמָתְנֵיהֶם סְרוּחֵי טְבוּלִים בְּרֹאשֵׁיהֶם מַרְאֵה שָׁלִשִׁים כֻּלָּם
帯を-締めた 腰帯の 腰に 垂れ下がる 頭巾を 頭に 姿は 将校たちの すべて
H2289 H0232 H4975 H5628 H2871 H7218 H4758 H7991 H3605

דְּמוּת בְּנֵי־ בָבֶל כַּשְׂדִּים אֶרֶץ מוֹלַדְתָּם׃
似姿は 子らの バビロンの カルデヤの 地 生まれの
H1823 H1121 H0894 H3778 H0776 H4138

腰には帯を結び、頭にはたれさがったずきんをいただいていた。これらはみな官吏のような姿で、その生れた国カルデヤのバビロン人に似ていた。

16 וַתַּעְגְּבֶה(ותעגב) עֵינֶיהָ לְמַרְאֵה עֲלֵיהֶם וַתִּשְׁלַח מַלְאָכִים אֲלֵיהֶם
そして-慕った — 見た-目で 彼らを 使者たちを 彼らの-もとへ
H5689 H5689 H4758 H5921 H4397 H0413

כַּשְׂדִּימָה׃
カルデヤに
H3778

彼女はこれらを見て、これに恋こがれ、使者をカルデヤの彼らのもとに送った。

17 וַיָּבֹאוּ אֵלֶיהָ בְּנֵי־ בָבֶל לְמִשְׁכַּב דֹּדִים וַיְטַמְּאוּ אוֹתָהּ בְּתַזְנוּתָם
そして-来た 彼女の-もとに 子らが バビロンの 愛の 床に そして-汚した 彼女を 淫行で
H0935 H0413 H1121 H0894 H4904 H1730 H2930 H0853 H8457

וַתִּטְמָא־ בָּם וַתָּקַע נַפְשָׁהּ מֵהֶם׃
そして-汚れ 彼らに-よって そして-離れた 魂が 彼らから
H2930 H0413 H3363 H5315 H1992

そこでバビロンの人々は彼女のもとに来て、恋の床につき、情欲をもって彼女を汚したが、彼女は彼らに汚されるにおよんで、その心は彼らから離れた。

18 וַתִּגַל עֶרְוָתָהּ וַתִּגַל תַּזְנוּתֶיהָ וַתָּקַע נַפְשִׁי מֵעַל אֲחוֹתָהּ׃
そして-あらわにした 淫行を そして-あらわにした 裸を — そして-離れた わたしの-魂が 姉から —
H1540 H8457 H1540 H6172 H0853 H3363 H5315 H0269 H5921

נָקְעָה כַּאֲשֶׁר מֵעָלֶיהָ
離れた-ように ちょうど 彼女から
H5361 H3588 H5921

彼女がその淫行を公然と続け、その裸をさらしたので、わたしの心は彼女から離れた。これはあたかもわたしの心が、彼女の姉から離れたと同様である。

19 וַתַּרְבֶּה אֶת־ תַּזְנוּתֶיהָ לִזְכֹּר אֶת־ יְמֵי נְעוּרֶיהָ אֲשֶׁר זָנְתָה
そして–増やした —を 淫行を 思い出して —を 日々を 若い–時の その–時 淫行を–行った
H8457 H0853 H2142 H0853 H3117 H5291 H0834 H2181

בְּאֶרֶץ מִצְרָיִם׃
地で エジプトの
H0776 H4714

しかし彼女はなおエジプトの地で姦淫をしたその若き日を覚えて、その淫行を続け、

20 וַתַּעְגְּבָה עַל אֲשֶׁר פִּלַגְשֵׁיהֶם בְּשַׂר אֲשֶׁר חֲמֹרִים בְּשָׂרָם וְזִרְמַת
そして–慕った —に その 情夫たちを 肉が その ろばの–ような 肉で そして–精が
H5689 H5921 H0834 H6370 H1320 H0834 H2543 H1320 H2231

סוּסִים זִרְמָתָם׃
馬の–ような 精の
H2231

その情夫たちに恋こがれた。その人の肉は、ろばの肉のごとく、その精は馬の精のようであった。

21 וַתִּפְקְדִי אֶת זִמַּת נְעוּרַיִךְ בְּעָשְׂוֹת מִצְרַיִם אֶל דַּדַּיִךְ לְמַעַן
そして–懐かしんだ —を みだらさを 若い–時の もまれた–時を エジプトで 乳房が ために
H0853 H2154 H5291 H6213 H4714 H1717 H4616

נְעוּרָיִךְ׃ ס שָׁדֵי
若い–時の — 胸が

このようにあなたは、かのエジプトびとが、あなたの胸に手をつけ、あなたの若い乳ぶさをおさえた時の、若い時の淫行を慕っている」。

22 לָכֵן אָהָלִיבָה כֹּה־ אָמַר אֲדֹנָי יְהוִה הִנְנִי מֵעִיר אֶת־
それゆえ オホリバよ このように 言われる 主なる 神は 見よ–わたしは 奮い–立たせる —を
H0172 H3541 H0559 H0136 H3069 H2009 H5782 H0853

מְאַהֲבַיִךְ אֶת עָלַיִךְ אֲשֶׁר־ נָקְעָה נַפְשֵׁךְ מֵהֶם וְהַבֵּאתִי
情夫たちを お前に–向かって —を 者たちを 離れた 魂が 彼らから そして–連れて–来る
H0157 H5921 H0853 H0834 H5361 H5315 H1992 H0935

עָלַיִךְ מִסָּבִיב׃
お前に–向かって 四方から
H5921 H5439

それゆえ、アホリバよ、主なる神はこう言われる、「見よ、わたしは、あなたの心がすでに離れたあなたの恋人らを起して、あなたを攻めさせ、彼らに四方から来てあなたを攻めさせる。

23 בְּנֵי בָבֶל וְכָל־ כַּשְׂדִּים פְּקֹוד וְשׁוֹעַ וְקוֹעַ כָּל־ בְּנֵי
子らを バビロンの すべての カルデヤ人を ペコデと ショアと コアと すべての 子らを
H1121 H0894 H3605 H3778 H6489 H7772 H6970 H3605 H1121

אַשּׁוּר אִתָּם בַּחוּרֵי חֶמֶד פַּחוֹת וְסָגָנִים שָׁלִשִׁים וְכֻלָּם
アッシリヤの 彼らと–共に 若い 望ましい 総督たちと 長官たちを 将校たちと すべて
H0804 H0854 H0970 H2531 H6346 H5461 H7991 H3605

וְקֹרְאֵי סוּסִים רֹכְבֵי כֻלָּם׃
名のある–者たち 馬に–乗る 者たち すべて
H7121 H7392 H5483 H3605

すなわちバビロンの人々およびカルデヤのすべての人々、ペコデ、ショア、コア、アッスリヤのすべての人々、好ましい若者、長官、司令官、官吏、軍人など、すべて馬に乗る者たちである。

24 וּבָ֣אוּ עָלַ֔יִךְ בְּרֶ֖כֶב וַגַּלְגַּ֑ל וּבְקָהָ֥ל עַמִּ֛ים צִנָּ֥ה וּמָגֵ֖ן וְקוֹבַ֥ע

そして-来る お前に-向かって 武器と 戦車と 車輪と 群衆の 民で 大盾と 小盾と 兜を
H0935 H2021 H7393 H1534 H6951 H5971 H6793 H4043 H6959

וְשָׁ֣מוּ לִפְנֵיהֶ֗ם וְנָתַ֤תִּי סָבִיב֙ עָלַ֔יִךְ מִשְׁפָּ֖ט וְשָׁפְט֥וּךְ

据える お前に-向かって 四方に そして-わたしは-ゆだねる 彼らに 裁きを そして-裁く
H7760 H5921 H5439 H5414 H6440 H4941 H8199

בְּמִשְׁפְּטֵיהֶֽם׃

彼らの-裁きで
H4941

彼らは戦車、貨車、および多くの民を率いて、北からあなたに攻めて来る。大盾、小盾、かぶとを備えて、四方からあなたに攻めかかる。わたしが彼らにさばきをゆだねるゆえ、彼らは、そのおきてに従って、あなたをさばく。

25 וְנָתַתִּ֤י קִנְאָתִי֙ בָּ֔ךְ וְעָשׂ֥וּ אוֹתָ֖ךְ בְּחֵמָ֑ה אַפֵּ֣ךְ וְאָזְנַ֔יִךְ יָסִ֔ירוּ

そして-向ける ねたみを お前に そして-行う お前に 怒りで 鼻と 耳とを 切り取る
H5414 H7068 H0853 H6213 H0639 H2534 H0639 H0241 H5493

וְאַחֲרִיתֵ֖ךְ בַּחֶ֣רֶב תִּפֹּ֑ולְנָה בָּנַ֥יִךְ וּבְנוֹתַ֖יִךְ יִקָּ֥חוּ

そして-残りの-者は 剣で 倒れる 彼らは 息子たちと 娘たちを 捕らえ
H0319 H2719 H5307 H1992 H1121 H1323 H3947

וְאַחֲרִיתֵ֖ךְ תֵּאָכֵ֥ל בָּאֵֽשׁ׃

そして-残りの-者は 火で-焼かれる —
H0319 H0398 H0784

わたしはあなたに向かってわたしの憤りを起すゆえ、彼らは怒りをもってあなたを扱い、あなたの鼻と耳とを切り落し、そして残りの者はつるぎに倒れる。彼らはあなたのむすこ娘たちを奪い、生き残った者を火で焼く。

26 וְהִפְשִׁיטוּךְ֙ בְּגָדַ֔יִךְ וְלָקְח֖וּ כְּלֵ֣י תִפְאַרְתֶּֽךָ׃

そして-はぎ取る 衣を —（目的語） 飾りの 品々を
H6584 H0899 H3627 H8597

彼らはまたあなたの衣服をはぎ取り、あなたの美しい飾りを取り去る。

27 וְהִשְׁבַּתִּ֤י זִמָּתֵךְ֙ מִמֵּ֔ךְ וְאֶת־ זְנוּתֵ֖ךְ מֵאֶ֣רֶץ מִצְרַ֑יִם וְלֹֽא־

そして-やめさせる みだらさを お前から そして 淫行を 地から エジプトの そして-もはや
H7673 H2154 H4480 H0853 H2184 H0776 H4714 H3808

תִשְׂאֶ֤ינָה עֵינַ֙יִךְ֙ אֲלֵיהֶ֔ם וּמִצְרַ֖יִם לֹ֣א תִזְכְּרִי־ עֹ֑וד׃ ס

上げない 目を 彼らに そして-エジプトを もはや 思い出さない 再び —
H5375 H5869 H0413 H4714 H3808 H2142 H5750

こうしてわたしはあなたの淫乱と、エジプトの地から持って来た淫行とを取り除き、重ねてあなたの目を、エジプトびとに向けて上げさせず、彼らの事を思わないようにする。

28 כִּ֣י כֹ֤ה אָמַר֙ אֲדֹנָ֣י יְהוִ֔ה הִנְנִ֥י נֹתֶנְךָ֖ בְּיַ֣ד אֲשֶׁ֣ר שָׂנֵ֑את

なぜなら このように 言われる 主なる 神は 見よ-わたしは 渡す 手に 者たちの 憎む
H3588 H3541 H0559 H0136 H3069 H2009 H5414 H3027 H0834 H8130

בְּיַ֣ד אֲשֶׁר־ נָקְעָ֤ה נַפְשֵׁךְ֙ מֵהֶ֔ם׃

手に 者たちの 離れた 魂が 彼らから
H3027 H0834 H5361 H5315 H1992

主なる神はこう言われる、見よ、わたしはあなたの憎む者の手、あなたの心の離れた者の手にあなたを渡す。

29 וְעָשׂוּ אוֹתָךְ בְּשִׂנְאָה וְלָקְחוּ כָּל־ יְגִיעֵךְ וַעֲזָבוּךְ עֵירֹם וְעֶרְיָה
そして–行う お前に 憎しみで そして–奪う すべての 労苦を そして–捨てる 裸で 丸裸に
H0853 H8135 H3947 H3605 H3018 H5903 H6181

וְנִגְלָה זְנוּנַיִךְ עֶרְוָתֵךְ וְזִמָּתֵךְ וְזַנוּתָיִךְ׃
そして–あらわにされる 淫行の 恥部が そして–みだらさと 淫行とが
H1540 H2183 H6172 H2154 H8457

彼らは憎しみをもってあなたを扱い、あなたの所得をことごとく取り去り、あなたを赤はだかにし、あなたの淫行の裸を現す。あなたの淫乱と淫行とのゆえに、

30 עָשׂוֹת אֵלֶּה לָךְ בִּזְנוֹתֵךְ אַחֲרֵי גּוֹיִם נִטְמֵאת
行う これらを お前に 淫行を–した–ため 後を–追って 異邦の–民を 汚れた
H6213 H0428 H0853 H2181 H0310 H1961 H5971

בְּגִלּוּלֵיהֶם׃
偶像で
H1544

すなわち、あなたが異邦人を慕って姦淫を行い、彼らの偶像をもって身を汚したゆえに、これらのことがあなたに臨むのだ。

31 בְּרֹאשׁ דַּרְכֵּךְ בָּנִית גַּבֵּךְ וְעָשִׂית רָמָתֵךְ בְּכָל־ רְחוֹב וְלֹא הָיִית כְּזוֹנָה
道に 姦淫の 高台を そして–建てる 高台を すべての 通りに そして–作る 遊女の ように
H1870 H1167 H1129 H7413 H3605 H7339 H6948 H2181

בְּבִזָּתָהּ׃ ס
—
H3808

あなたはその姉の道を歩んだので、わたしも彼女の杯をあなたにわたす。

32 כֹּה אָמַר אֲדֹנָי יְהוִה כּוֹס אֲחוֹתֵךְ תִּשְׁתִּי הָעֲמֻקָּה וְהָרְחָבָה תִּהְיֶה
このように 言われる 主なる 神は 杯を 姉の 飲む 深い そして–広い それは
H3541 H0559 H0136 H3069 H3563 H0269 H8354 H6013 H7342 H1961

לִצְחֹק וְלַלָּעַג תְּכוּכָה מְרֻבָּה לְהָכִיל׃
嘲笑と あざけりと–なる 大いに 満ちている
H6712 H3933 H4767 H3557

主なる神はこう言われる、あなたは姉の深い、大きな杯を飲み、笑い物となり、あざけりとなる、この杯にはそれらが多くこもっている。

33 שִׁכָּרוֹן וְיָגוֹן תִּמָּלְאִי כּוֹס שַׁמָּה וּשְׁמָמָה כּוֹס אֲחוֹתֵךְ שֹׁמְרוֹן׃
酔いと 悲しみで 満たされる 杯は 恐怖と 荒廃の 杯は 姉の サマリヤの
H7943 H3015 H4390 H3563 H8047 H8077 H3563 H0269 H8111

あなたは酔いと憂いとに満たされる。驚きと滅びの杯、これがあなたの姉サマリヤの杯である。

34 וְשָׁתִית אוֹתָהּ וּמָצִית וְאֶת־ חַרְשֵׂיהָ תְגָרֵמִי וְשַׁדַיִךְ תְּנַתָּקִי כִּי
そして–飲み干し それを すすり そして 破片を かじり そして–乳房を 引き裂く なぜなら
H8354 H0853 H4680 H0853 H2789 H1633 H7699 H5423 H3588

אֲנִי דִבַּרְתִּי נְאֻם אֲדֹנָי יְהוִה׃ ס
わたしが 語った 告げる 主なる 神の —
H0589 H1696 H5002 H0136 H3069 H3808

あなたはこれを飲みこれをかたむけ、あなたの髪の毛をひきむしり、あなたの乳ぶさをかきさく。わたしがこれを言うと、主なる神は言われる。

35 לָכֵן אֲדֹנָי יְהוִה אָמַר כֹּה עֲיַן שָׁכַחַתְּ אוֹתִי וַתַּשְׁלִיכִי
それゆえ 主なる 神は 言われる このように 忘れた ― わたしを そして-投げ捨てた
H0559 H0136 H3069 H3282 H7911 H0853 H7993

אַתְּ גַּם וְאֶת־זִמָּתֵךְ שְׂאִי אַתְּ גַּם וְאֶת־תַּזְנוּתַיִךְ׃ ס
お前も 負え みだらさと ― 淫行とを ―
H5375 H2154 H0853 H8457

אַחֲרַי גַּוֵּךְ וְגַם־אַתְּ אוֹתִי
後ろに 背中の それゆえ-また わたしを
H0853 H1458 H1571 H0853

それゆえ、主なる神はこう言われる、あなたはわたしを忘れ、わたしをあなたのうしろに捨て去ったゆえ、あなたは自分の淫乱と淫行との罪を負わねばならぬ」。

36 וַיֹּאמֶר יְהוָה אֵלַי בֶּן־אָדָם הֲתִשְׁפּוֹט אֶת־אָהֳלִיבָה וְאֶת־אָהֳלָה
そして-言われた 主は 私に 人の-子よ ― 裁くか ― オホラと ― オホリバを
H0559 H3068 H0413 H0120 H8199 H0853 H0170 H0853 H0172

וְהַגֶּד לָהֶן אֶת תּוֹעֲבוֹתֵיהֶן׃
そして-告げよ 彼女たちに ― 忌まわしい-ことを
H5046 H0853 H8441

主はわたしに言われた、「人の子よ、あなたはアホラとアホリバをさばくのか。それならば彼らにその憎むべき事を告げよ。

37 כִּי נָאֲפוּ וְדָם בְּיָדֵיהֶן וְגִלּוּלֵיהֶן וְאֶת־גַּם וְגַם
なぜなら 姦淫を-行い そして-血が 手に-あり 偶像たちと そして ― そして-また
H5003 H1818 H3027 H1544 H0854 H0853 H1571

נָאֲפוּ לִי וְאֶת־בְּנֵיהֶן אֲשֶׁר יָלְדוּ־לִי הֶעֱבִירוּ לָהֶם לְאָכְלָה׃
姦淫を-行い わたしに ― 産んだ 子らを ― 通らせた 彼らに 食物として
H5003 H0853 H1931 H3205 H0853 H0402

彼らは姦淫を行い、血が彼らの手の上にある。彼らはその偶像と姦淫を行い、またわたしに産んだ子らを、食物のために彼らにささげた。

38 עוֹד זֹאת עָשׂוּ לִי טִמְּאוּ אֶת־מִקְדָּשִׁי בַּיּוֹם הַהוּא וְאֶת־שַׁבְּתוֹתַי
さらに これを 行った わたしに 汚した ― 聖所を その-日に ― そして 安息日を
H5750 H2063 H6213 H0853 H4720 H3117 H1931 H0853 H7676

חִלֵּלוּ׃
汚した
H2490

さらに彼らは、わたしに対してこのようにした。すなわち、彼らは同じ日にわたしの聖所を汚し、わたしの安息日を犯した。

39 וּבִשְׁחָטָם לְגִלּוּלֵיהֶם בְּנֵיהֶם אֶת־וַיָּבֹאוּ אֶל־מִקְדָּשִׁי בַּיּוֹם הַהוּא
そして-屠った-とき ― 偶像に-ささげ 子らを ― そして-来た ― 聖所に その-日に ―
H0853 H1544 H0853 H0935 H0413 H4720 H3117 H1931

לְחַלְּלוֹ וְהִנֵּה־כֹה עָשׂוּ בְּתוֹךְ בֵּיתִי׃
汚すために そして-見よ このように 行った 中で わたしの-家の
H2009 H3541 H8432

彼らはその子らを、偶像にささげるためにほふった同じ日に、わたしの聖所にきて、これを汚した。見よ、彼らがわたしの家の中でしたことはこれである。

40 וְאַף כִּי תִשְׁלַחְנָה לַאֲנָשִׁים בָּאִים מִמֶּרְחָק אֲשֶׁר מַלְאָךְ שָׁלוּחַ
そして-さらに ― 遣わした 人々を 来る 遠くから 彼らに 使者が 遣わされ
H0637 H3588 H7971 H0376 H0935 H4801 H0834 H4397 H7971

אֲלֵיהֶם וְהִנֵּה־ בָּאוּ לַאֲשֶׁר רָחַצְתְּ כָּחַלְתְּ עֵינַיִךְ וְעָדִית
彼らの-もとへ そして-見よ 来た そのために 身を-洗い 目に-墨を-塗り ― そして-飾った
H0413 H2009 H0935 H0834 H7364 H3583 H5869 H6287

עֲדִי׃
飾りを
H5716

さらに彼らは使者をやって、遠くから来るように人々を招いた。見よ、彼らはきた。あなたは、この人々のために身を洗い、目を描き、飾り物を身につけ、

41 וְיָשַׁבְתְּ עַל־ מִטָּה כְּבוּדָּה וְשֻׁלְחָן עָרוּךְ לְפָנֶיהָ וְקִטָּרְתִּי
そして-座った 寝台に 立派な そして-食卓が 備えられ その-前に そして-わたしの-香と
H3427 H4296 H3588 H3542 H7979 H6186 H6440 H7004

וְשַׁמְנִי שַׂמְתְּ עָלֶיהָ׃
油を 置いた その-上に
H8081 H7760 H5921

尊い床に座し、食卓をその前に設け、わたしの香と、わたしの油とを、その上に供えた。

42 וְקוֹל הָמוֹן שָׁלֵו וְאֶל־ אֲנָשִׁים מֵרַב אָדָם מוּבָאִים
そして-声 群衆の 安らかな その-中で そして 人々が 多くの 民の-中から 連れて-来られた
H6963 H1995 H7961 H1931 H0413 H0376 H7230 H0120 H0935

וַעֲטֶרֶת תִּפְאֶרֶת עַל־ יְדֵיהֶן צְמִידִים וַיִּתְּנוּ מִמִּדְבָּר)סָבָאִים( ]סובאים[
そして-冠を 美しい ― 手に 腕輪を そして-着けた 荒野から サバ人たちが ―
H5850 H8597 H5921 H3027 H6781 H5414 H4057 H5433 H3588

עַל־ רָאשֵׁיהֶן׃
― 頭に
H5921 H7218

こうして、のんきな群衆の声は彼女と共にあり、また、荒野から連れて来た通りがかりの酔いどれも、彼らと共にいた。彼らは女たちの手に腕輪をはめさせ、頭に美しい冠をいただかせた。

43 וָאֹמַר לַבְלָה נָאוּפֶיהָ]עת[ )עַתָּה( ]יזנה[ )יִזְנוּ(תַּזְנוּתֶהָ
そして-わたしは-言った 疲れ果てた-者に 姦淫を ― 今 ― 淫行を-行う 淫行を
H0559 H1087 H5003 H6256 H6258 H2181 H2181 H8457

וְהִיא׃
そして-彼女を
H1931

そこでわたしは言った、彼女と姦淫を行う時、人々は姦淫を犯さないであろうか。

44 וַיָּבוֹא כְּבוֹא אֶל־ אִשָּׁה זוֹנָה כֵּן בָּאוּ אֶל־ אָהֳלִיבָה וְאֶל־ אָהֳלָה
そして-来た 来る-ように ― 遊女の もとに そのように 来た ― 彼女の-もとに そして-来た
H0935 H0935 H0413 H0802 H2181 H3651 H0935 H0413 H0170

הַזְּמָה׃ אִשֶּׁת אֲהָלִיבָה
女たち みだらな オホリバの-もとに
H2154 H0802 H0172

人が遊女の所にはいるように、彼らは彼女の所にはいった。こうして彼らは姦淫を行うために、アホラおよびアホリバの所にはいった。

45 וַאֲנָשִׁים צַדִּיקִם הֵמָּה יִשְׁפְּטוּ אוֹתָהֶם מִשְׁפַּט נֹאֲפוֹת וּמִשְׁפַּט שֹׁפְכוֹת דָּם כִּי נֹאֲפֹת הֵנָּה וְדָם בְּיֵדֵיהֶן׃ ס

そして–正しい 人々が 彼ら 裁く 彼女たちを 裁きで 姦婦たちの そして–裁きで
H0376 H6662 H1992 H8199 H0853 H4941 H5003 H4941

— 手に–ある H3027 そして–血が H1818 だから H2007 姦婦 H5003 なぜなら 血を–流す–者たちの H8210 — H1818

しかし正しい人々は淫婦のさばきと、血を流した女のさばきとをもって、彼らをさばく。それは彼らが淫婦であって、その手に血があるからである」。

46 כִּי כֹה אָמַר אֲדֹנָי יְהוִה הַעֲלֵה עֲלֵיהֶם קָהָל וְנָתֹן אֹתָן לְזַעֲוָה וְלָבָז׃

なぜなら このように 言われる 主なる 神は 呼び–集めよ 彼女たちに–向かって 群衆を
H3541 H0559 H0136 H3069 H5927 H6951

略奪に H0957 恐怖と H2189 彼女たちを H0853 そして–渡せ H5414

主なる神はこう言われる、「わたしは軍隊を彼らに向かって攻め上らせ、彼らを恐れと略奪とに渡す。

47 וְרָגְמוּ עֲלֵיהֶן אֶבֶן אֹתָן וּבָרְאָ בְּחַרְבוֹתָם בְּנֵיהֶם וּבְנוֹתֵיהֶם יַהַרְגוּ וּבָתֵּיהֶן בָּאֵשׁ יִשְׂרֹפוּ׃

そして–石で–打て 彼女たちを 石で 群衆が そして–切り刻め 剣で 息子たちと
H7275 H0853 H0068 H6951 H1323 H2719

そして–娘たちを 殺し H2026 そして–家々を 火で H0784 焼き払え H8313

軍隊は彼らを石で打ち、つるぎで切り、そのむすこ娘たちを殺し、火でその家を焼く。

48 וְהִשְׁבַּתִּי זִמָּה מִן־הָאָרֶץ וְנִוַּסְרוּ כָּל־הַנָּשִׁים וְלֹא תַעֲשֶׂינָה כְּזִמַּתְכֶנָה׃

そして–やめさせる みだらさを — 地から そして–戒められる すべての 女たちは
H7275 H2154 H0776 H3256 H3605 H0802

そして–行わない H3808 — みだらな–ことを H2154

こうしてわたしはこの地に淫乱を絶やす。すべての女はみずからいましめて、あなたがたがしたような淫乱を行わない。

49 וְנָתְנוּ זִמַּתְכֶנָה עֲלֵיכֶן וְחַטָּאֵי גִלּוּלֵיכֶן תִּשָּׂאנָה וִידַעְתֶּם כִּי אֲנִי אֲדֹנָי יְהוִה׃ פ

そして–報いる みだらさを お前たちに そして–罪を 偶像の 負う そして–知る —
H5414 H2154 H2399 H1544 H5375 H3045

わたしが H0589 主なる H0136 神であると H3069 — H0589

あなたがたの淫乱の報いは、あなたがたの上にくだり、あなたがたはその偶像礼拝の罪を負い、そしてわたしが主なる神であることを知るようになる」。

Chapter 24

1 וַיְהִי דְבַר־יְהוָה אֵלַי בַּשָּׁנָה הַתְּשִׁיעִת בַּחֹדֶשׁ הָעֲשִׂירִי בֶּעָשׂוֹר לַחֹדֶשׁ
そして-あった 言葉が 主の 私に 年の 第九の 月の 第十の 十日に その-月の
H1961 H1697 H3068 H0413 H8141 H8671 H2320 H6224 H6218 H2320

לֵאמֹֽר׃
言って
H0559

第九年の十月十日に、主の言葉がわたしに臨んだ、

2 בֶּן־אָדָם כְּתֹב־לְךָ אֶת־שֵׁם הַיּוֹם אֶת־עֶצֶם
人の 子よ [書き記せ] (書き記せ) あなた-自身に を 名を この-日の を まさに
H0120 H3789 H3789 H0853 H8034 H3117 H0853 H6106

הַיּוֹם הַזֶּה סָמַךְ מֶלֶךְ־בָּבֶל אֶל־יְרוּשָׁלַ͏ִם בְּעֶצֶם הַיּוֹם הַזֶּה׃
この-日の この 攻め寄せた 王が バビロンの に エルサレム まさに この-日に この
H3117 H2088 H5564 H4428 H0894 H0413 H3389 H6106 H3117 H2088

「人の子よ、あなたはこの日すなわち今日の名を書きしるせ。バビロンの王は、この日エルサレムを包囲した。

3 וּמְשָׁל אֶל־בֵּית־הַמֶּרִי מָשָׁל וְאָמַרְתָּ אֲלֵיהֶם כֹּה אָמַר אֲדֹנָי
そして-語れ に 家に 反逆の たとえを そして-言え 彼らに このように 言われる 主なる
H1413 H0413 H1004 H4805 H4912 H0559 H0413 H3541 H0559 H0136

יְהוָה שְׂפֹת הַסִּיר שְׂפֹת וְגַם־יְצֹק בּוֹ מָיִם׃
神は 据えよ 鍋を 据えよ そして-また 注げ その-中に 水を
H3069 H8239 H5518 H8239 H1571 H3332 H1004 H4325

あなたはこの反逆の家にたとえを語って言え。主なる神はこう言われる、かますをすえ、これをすえて、水をくみ入れよ。

4 אֱסֹף נְתָחֶיהָ אֵלֶיהָ כָּל־טוֹב יָרֵךְ וְכָתֵף מִבְחַר עֲצָמִים
集めよ その-肉片を その-中に すべての 良い ももと 肩を 選り抜きの 骨で
H0622 H5409 H0413 H3605 H2896 H3409 H3802 H4005 H6106

מַלֵּא׃
満たせ
H4390

その中に肉の切れを入れよ、すべて良い肉の切れ、すなわち、ももと肩の肉をこれに入れよ。良い骨をこれに満たせ。

5 מִבְחַר הַצֹּאן לְקוֹחַ וְגַם דְּוֹר הָעֲצָמִים תַּחְתֶּיהָ רַתַּח רַתֵּחַ
選り抜きの 羊の-群れから 取れ そして-また 積み上げよ 骨を その-下に 沸き立たせよ
H4005 H6629 H3947 H1571 H1197 H6106 H8478 H7570

בְּתוֹכָהּ׃ ס עַצְמֶיהָ בַּשְּׁלוּ גַּם־רְתָחֶיהָ
その-中で セラ その-骨を 煮よ また その-沸騰を
H8432 H6106 H1310 H1571 H7571

羊の最も良いものを取れ。かまの下にまきを積み、その肉を煮たぎらせ、またその中の骨を煮よ。

6 לָכֵן כֹּה־אָמַר אֲדֹנָי יְהוִה אוֹי עִיר הַדָּמִים סִיר אֲשֶׁר חֶלְאָתָהּ
それゆえ このように 言われる 主なる 神は ああ 都よ 血の 鍋よ そこに さびが
H3541 H0559 H0136 H3069 H0188 H5892 H1818 H5518 H0834 H2457

בָּהּ וְחֶלְאָתָהּ לֹא יָצְאָה מִמֶּנָּה לִנְתָחֶיהָ לִנְתָחֶיהָ הוֹצִיאָהּ
ある そして-その-さびは まだ 出て行って-いない そこから その-肉片を 一つ-一つ 取り出せ
H1961 H2457 H3808 H3318 H4480 H5409 H5409 H3318

לֹא־נָפַל עָלֶיהָ גּוֹרָל׃
くじを 引いては ならない その-上に
H3808 H5307 H5921 H1486

それゆえ、主なる神はこう言われる、わざわいなるかな、流血の町、さびているかま。そのさびはこれを離れない。肉をひとつびとつ無差別に取り出せ。

כִּי	דָמָהּ	בְתוֹכָהּ	הָיָה	עַל־	צְחִיחַ	סֶלַע	שָׂמָתְהוּ	לֹא	שְׁפָכַתְהוּ	7
なぜなら	その–血が	その–中に	あった	裸の	岩の	上に	置いた	それを	注がなかった	
	H1818	H8432	H1961		H6706	H5553		H3808	H8210	

עַל־	הָאָרֶץ	לְכַסּוֹת	עָלָיו	עָפָר׃
地の	上に	覆うために	その–上を	土で
	H0776	H3680		H6083

その流した血はまだその中にある。彼女はこれを裸岩の上に流し、土でこれをおおうために、地面には注がなかった。

לְהַעֲלוֹת	חֵמָה	לִנְקֹם	נְקָם	נָתַתִי	אֶת־	דָמָהּ	עַל־	צְחִיחַ	8
怒りを	引き起こし	復讐を	行うために	わたしは–置いた	の	その–血を	裸の	岩の	
H5927	H2534	H5358	H5359	H5414	H0853	H1818		H6706	

סֶלַע	לְבִלְתִי	הִכָּסוֹת׃	פ
上に	覆われない	ように	パラグラフ
H5553	H1115	H3680	

これは、わたしの怒りをつのらせ、あだを返すために、その流した血がおおわれないように、裸岩の上に流したのである。

לָכֵן	כֹּה	אָמַר	אֲדֹנָי	יְהוִה	אוֹי	עִיר	הַדָמִים	גַם־	אֲנִי	9
それゆえ	このように	言われる	主なる	神は	ああ	都よ	血の	わたし–もまた	大きくする	
	H3541	H0559	H0136	H3069	H0188		H1818	H1571	H0589	

אַגְדִיל	הַמִדוּרָה׃
その–薪の–山を	—
H1431	H4071

それゆえ、主なる神はこう言われる、わざわいなるかな、流血の町。わたしもまた、まきをさらに積み重ねる。

הַרְבֵּה	הָעֵצִים	הַדְלֵק	הָאֵשׁ	הָתֵם	הַבְשֵׂר	וְהַרְקַח	הַמִרְקָחָה	וְהָעֲצָמוֹת	10
多くの	薪を	燃やせ	火を	肉を	煮尽くせ	そして–調合せよ	香料を	そして–骨が	
	H6086	H1814	H0784	H8552	H1320	H7543	H4841	H6106	

יֶחֱרוּ׃
焦げるまで
H2787

まきを積み重ね、火を燃やし、肉をよく煮て、煮つくし、骨を焼け。

וְהַעֲמִידֶהָ	עַל־	גֶחָלֶיהָ	רֵקָה	לְמַעַן	תֵחַם	וְתָרָה	נְחשְׁתָהּ	11
そして–据えよ	その–炭の–上に	それを	空のまま	ために	熱せられ	そして–焼かれ	その–銅が	
H5975		H1513	H7386	H4616	H3179	H2787		

וְנִתְכָה	בְתוֹכָהּ	טֻמְאָתָהּ	תֻתַם	חֶלְאָתָהּ׃
そして–溶けて	その–中で	その–汚れが	消え尽きる	その–さびが
H5413	H8432	H2932	H8552	H2457

そしてかまを熱くするため、それをからにして炭火の上に置き、その銅を焼いて、汚れをその中に溶かし、そのさびを去れ。

תְאֻנִים	הֶלְאָת	וְלֹא־	תֵצֵא	מִמֶנָּה	רַבַּת	חֶלְאָתָהּ	בְאֵשׁ	חֶלְאָתָהּ׃	12
労苦は	疲れ果てた	しかし–出ない	そこから	その	多くの	さびが	火の–中でも	その–さびは	
H8383	H3811	H3808	H3318			H2457	H0784	H2457	

しかしわたしのほねおりは、むだであった。その多くのさびは火によって消えない。

13

וְלֹא	טִהַרְתִּיךְ	יַעַן	זִמָּה	בְּטֻמְאָתֵךְ	
あなたは	わたしが–あなたを–清めたのに	だから	みだらさが–ある	あなたの–汚れの–中に	
H3808	H2891	H3282	H2154	H2932	

הֲנִיחֵי	עַד־	עוֹד	תִּטְהֲרִי־	לֹא	מִטֻּמְאָתֵךְ	טָהֳרְתְּ
静めるまで	わたしが	もう	清くなることは–ない	もはや	あなたの–汚れから	清くならなかった
H5117	H5704	H5750	H2891	H3808	H2932	H2891

בָּךְ׃	חֲמָתִי	אֶת־
あなたに–対して	わたしの–怒りを	の
	H2534	H0853

そのさびとは、あなたの不潔な淫行である。わたしはあなたを清めようとしたが、あなたはあなたの不潔から清められようとしないから、わたしの怒りをあなたに漏らし尽すまでは、あなたは汚れから清まることはない。

14

אָחוּס	וְלֹא־	אֶפְרָע	לֹא־	וְעָשִׂיתִי	בָּאָה	דִּבַּרְתִּי	יְהוָה	אֲנִי
—	惜しまず	—	取り消さず	そして–わたしは–行う	それは–来る	語った	主が	わたし
H2347	H3808		H3808		H0935	H1696	H3068	H0589

יְהוָה׃	אֲדֹנָי	נְאֻם	שְׁפָטוּךְ	וְכַעֲלִילוֹתַיִךְ	כִּדְרָכַיִךְ	אֶנָּחֵם	וְלֹא
神は	主なる	と–告げる	裁かれる	あなたの–行いに–従って	あなたの–道と	悔やまない	そして
H3069	H0136	H5002	H8199	H5949	H1870	H5162	H3808

פ
パラグラフ

主なるわたしはこれを言った。そしてこれは必ず成る。わたしはこれをなす。わたしはやめない、惜しまない、悔いない。あなたのおこないにより、あなたのわざによって、あなたをさばくと、主なる神は言われる」。

15

לֵאמֹר׃	אֵלַי	יְהוָה	דְּבַר־	וַיְהִי	
言って	私に	主の	言葉が	そして–あった	
H0559	H0413	H3068	H1697	H1961	

また主の言葉がわたしに臨んだ、

16

וְלֹא	בְּמַגֵּפָה	עֵינֶיךְ	מַחְמַד	אֶת־	מִמֵּךְ	לֹקֵחַ	הִנֵּנִי	אָדָם	בֶּן־
しかし	疫病で	あなたの–目の	喜びを	の	あなたから	取り去る	見よ–わたしは	子よ	人の
H3808	H4046		H4261	H0853		H3947	H2009	H0120	

דִּמְעָתֵךְ׃	תָּבוֹא	וְלֹוא	תִבְכֶּה	וְלֹא	תִסְפֹּד
あなたの–涙を	流しては–ならない	そして	ならない	泣いては	嘆いては–ならない
H1832	H0935	H3808	H1058	H3808	H5594

「人の子よ、見よ、わたしは、にわかにあなたの目の喜ぶ者を取り去る。嘆いてはならない。泣いてはならない。涙を流してはならない。

17

חֲבוֹשׁ	פְּאֵרֵךְ	תַּעֲשֶׂה	לֹא־	אֵבֶל	מֵתִים	דָּם	וְהֶאָנֵק	
巻け	あなたの–頭飾りを	ならない	行っては	喪を	死者の–ための	黙って	うめけ	
H2280	H6287		H3808	H0060	H4191		H0602	

עַל־	תַּעְטֶה	וְלֹא	בְּרַגְלֶיךָ	תָּשִׂים	וּנְעָלֶיךָ	עָלֶיךָ	
の	覆っては–ならない	そして	あなたの–足に	履け	そして–あなたの–靴を	あなたの–上に	
		H3808	H7272		H5275		

תֹּאכֵל׃	לֹא	אֲנָשִׁים	וְלֶחֶם	שָׂפָם	
ならない	食べては	人々の	そして–パンを	口ひげを	
H0398	H3808	H0376	H3899	H8222	

声をたてずに嘆け。死人のために嘆き悲しむな。ずきんをかぶり、足にくつをはけ。口をおおうな。嘆きのパンを食べるな」。

18 וָאֲדַבֵּר אֶל־הָעָם בַּבֹּקֶר וַתָּמָת בָּעֶרֶב אִשְׁתִּי
そして–わたしは–語った に 民に 朝に そして–死んだ わたしの–妻が 夕べに
H1696 H0413 H5971 H1242 H4191 H0802 H6153

וָאַעַשׂ בַּבֹּקֶר כַּאֲשֶׁר צֻוֵּיתִי׃
そして–わたしは–行った 朝に 命じられた 通りに
H1242 H6680

朝のうちに、わたしは人々に語ったが、夕べには、わたしの妻は死んだ。翌朝わたしは命じられたようにした。

19 וַיֹּאמְרוּ אֵלַי הָעָם הֲלֹא־תַגִּיד לָנוּ מָה־אֵלֶּה
そして–言った わたしに 民は 告げないのか — わたしたちに 何か これらの–ことが
H0559 H0413 H5971 H3808 H5046 H0428

אַתָּה עֹשֶׂה כִּי׃
あなたが している–ことを と
H6213 H3588

人々はわたしに言った、「あなたがするこの事は、われわれになんの関係があるのか、それをわれわれに告げてはくれまいか」。

20 וָאֹמַר אֲלֵיהֶם דְּבַר־יְהוָה הָיָה אֵלַי לֵאמֹר׃
そして–わたしは–言った 彼らに 言葉が 主の あった わたしに 言って
H0559 H0413 H1697 H3068 H1961 H0413 H0559

わたしは彼らに言った、「主の言葉がわたしに臨んだ、

21 וְאֱמֹר כֹּה־אָמַר אֲדֹנָי יְהוִה הִנְנִי מְחַלֵּל אֶת־
言え このように 言われる 主なる 神は 見よ–わたしは 汚す の
H0559 H3541 H0559 H0136 H3069 H2009 H2490 H0853

מִקְדָּשִׁי גְּאוֹן עֻזְּכֶם מַחְמַד עֵינֵיכֶם וּמַחְמַל
わたしの–聖所を 誇りを あなたがたの–力の 喜びを あなたがたの–目の そして–慕いを
H4720 H1347 H5797 H4261 H5869 H4263

נַפְשְׁכֶם וּבְנֵיכֶם וּבְנוֹתֵיכֶם אֲשֶׁר עֲזַבְתֶּם
あなたがたの–魂の そして–あなたがたの–息子と あなたがたの–娘たちは あなたがたが 残してきた
H5315 H1121 H1323 H0834 H5800

בַּחֶרֶב יִפֹּלוּ׃
剣に–よって 倒れる
H2719 H5307

『イスラエルの家に言え、主なる神はこう言われる、見よ、わたしはあなたがたの力の誇、目の喜び、心の望みであるわが聖所を汚す。あなたがたが残すむすこ娘たちは、つるぎに倒れる。

22 וַעֲשִׂיתֶם כַּאֲשֶׁר עָשִׂיתִי לֹא תַעֲטוּ שָׂפָם עַל־
そして–あなたがたも–行え わたしが 行ったように の 口ひげを 覆っては ならない
H6213 H3651 H8222 H5921 H6213 H3808 H8193

וְלֶחֶם אֲנָשִׁים לֹא תֹאכֵלוּ׃
そして–パンを 人々の 食べては ならない
H3899 H0376 H3808 H0398

あなたがたもわたしがしたようにし、口をおおわず、嘆きのパンを食べず、

23

וּפְאֵרְכֶם עַל־ רָאשֵׁיכֶם וְנַעֲלֵיכֶם
そして–あなたがたの–頭飾りは の–上に あなたがたの–頭の そして–靴は
H6287 H5921 H7218 H5275

בְּרַגְלֵיכֶם לֹא תִסְפְּדוּ וְלֹא תִבְכּוּ וְנִמַּקְתֶּם
あなたがたの–足に 嘆いては ならない 泣いては ならない しかし–あなたがたは–やつれる
H7272 H3808 H5594 H3808 H1058 H4743

בַּעֲוֹנֹתֵיכֶם וְנִהַמְתֶּם אִישׁ אֶל־ אָחִיו׃
あなたがたの–咎の–中で そして–うめく 互いに に 向かって
H5771 H5098 H0376 H0413 H0251

頭にずきんをかぶり、足にくつをはき、嘆かず、泣かず、その罪の中にやせ衰えて、互にうめくようになる。

24

וְהָיָה יְחֶזְקֵאל לָכֶם לְמוֹפֵת כְּכֹל אֲשֶׁר־ עָשָׂה
そして–なる エゼキエルが あなたがたにとって しるしと すべて 彼が 行ったように
H1961 H3168 H4159 H3605

תַּעֲשׂוּ בְּבֹאָהּ וְיָדַעְתֶּם כִּי אֲנִי אֲדֹנָי׃
あなたがたも–行う それが–来るとき そして–あなたがたは–知る と わたしが 主なる
H0935 H3045 H0589 H0136

סְ יְהוִה׃
セラ 神で–あることを
H3069

このようにエゼキエルはあなたがたのためにしるしとなる。彼がしたようにあなたがたもせよ。この事が成る時、あなたがたはわたしが主なる神であることを知るようになる』。

25

וְאַתָּה בֶּן־ אָדָם הֲלוֹא בְיוֹם קַחְתִּי מֵהֶם אֶת־ מָעוּזָּם
そして–あなた 人の 子よ まことに その–日に わたしが–取り去る 彼らから の 砦を
H0120 H3808 H3117 H3947 H1992 H0853 H4581

מְשׂוֹשׂ תִּפְאַרְתָּם אֶת־ מַחְמַד עֵינֵיהֶם וְאֶת־ נַפְשָׁם מַשָּׂא בְּנֵיהֶם
喜びを その–栄えの の 慕いを 彼らの–目の そして 望みを 彼らの–魂の 彼らの–息子と
H4885 H8597 H0853 H4261 H5869 H0853 H5315 H1121

וּבְנוֹתֵיהֶם׃
彼らの–娘たちを
H1323

人の子よ、わたしが、彼らのとりで、彼らの喜びと栄え、彼らの目の喜びであり、その心の望みであるもの、また彼らのむすこ娘たちを取り去る日、

26

בַּיּוֹם הַהוּא יָבוֹא הַפָּלִיט אֵלֶיךָ לְהַשְׁמִעוּת אָזְנָיִם׃
その日に その–日に 来る 逃れた–者が あなたに 聞かせるために あなたの–耳に
H3117 H1931 H0935 H6412 H0413 H2045 H0241

その日に難をのがれて来る者が、あなたのもとにきて、あなたに事を告げる。

27

בַּיּוֹם הַהוּא תִּפָּתַח פִּיךָ אֶת־ הַפָּלִיט וְתְדַבֵּר וְלֹא
その日に その–日に 開かれる あなたの–口が と–共に 逃れた–者と そして–あなたは–語り もはや
H3117 H1931 H6605 H6310 H0854 H6412 H1696 H3808

עוֹד תֵּאָלֵם וְהָיִיתָ לָהֶם לְמוֹפֵת וְיָדְעוּ כִּי־
いない 黙っては そして–あなたは–なる 彼らにとって しるしと そして–彼らは–知る と
H5750 H0481 H1961 H4159 H3045

אֲנִי יְהוִה׃ סְ
わたしが 主で–あることを セラ
H0589 H3068

その日あなたは、そののがれてきた者に向かって口を開き、語り、もはや沈黙しない。こうしてあなたは彼らのためにしるしとなり、彼らはわたしが主であることを知る」。

Chapter 25

1 וַיְהִי דְבַר־ יְהוָה אֵלַי לֵאמֹר׃
そして–あった 言葉が 主の 私に 言って
H1961 H1697 H3068 H0413 H0559

主の言葉がわたしに臨んだ、

2 בֶּן־ אָדָם שִׂים פָּנֶיךָ אֶל־ בְּנֵי עַמּוֹן וְהִנָּבֵא עֲלֵיהֶם׃
人の–子よ — 顔を 向けよ — 子らに アンモンの そして–預言せよ 彼らに–向かって
H0120 H6440 H0413 H1121 H5983 H5012

「人の子よ、あなたの顔をアンモンの人々に向け、これに向かって預言し、

3 וְאָמַרְתָּ לִבְנֵי עַמּוֹן שִׁמְעוּ דְּבַר־ אֲדֹנָי יְהוִה כֹּה־ אָמַר אֲדֹנָי יְהוִה
そして–言え 子らに アンモンの 聞け 言葉を 主なる 神の このように 言われる 主なる
H0559 H1121 H5983 H8085 H1697 H0136 H3069 H3541 H0559 H0136

אֶל־ מִקְדָּשִׁי כִּי־ חֻנַּל וְאֶל־ אַדְמַת אֶל־ הֶאָח אָמְרֵךְ יַעַן יְהוִה
— 聖所に–向かって 汚された–と — そして 地に–向かって — ああ 言ったから — 神は
H0413 H4720 H2490 H0413 H0127 H0413 H1889 H0559 H3282 H3069

בַּגּוֹלָה׃ הָלְכוּ כִּי יְהוּדָה בֵּית וְאֶל־ נְשַׁמָּה כִּי יִשְׂרָאֵל
捕囚に — 行った–と ユダの 家に–向かって そして — 荒れた–と イスラエルの
H1473 H1980 H3063 H1004 H0413 H8074 H3478

アンモンの人々に言え。主なる神の言葉を聞け。主なる神はこう言われる、あなたはわが聖所の汚された時、またイスラエルの地の荒された時、またユダの家が捕え移された時、ああ、それはよい気味であると言った。

4 לָכֵן הִנְנִי נֹתְנֵךְ לִבְנֵי־ קֶדֶם לְמוֹרָשָׁה וְיִשְׁבוּ טִירוֹתֵיהֶם
それゆえ 見よ–わたしは 渡す 子らに 東の 所有物として そして–彼らは–建てる 陣営を
H2009 H5414 H1121 H6924 H4181 H3427 H2918

וְהֵמָּה יִשְׁתּוּ פִּרְיֵךְ יֹאכְלוּ הֵמָּה מִשְׁכְּנֵיהֶם בָּךְ וְנָתְנוּ בָּךְ
そして–彼らが 飲む 果物を 食べる 彼らが 住まいを お前の–中に そして–置く お前の–中に
H1992 H8354 H6529 H0398 H1992 H4908 H1992 H5414 H1992

חֲלָבֵךְ׃
乳を
H2461

それゆえ、わたしはあなたを、東の人々に渡して彼らの所有とする。彼らはあなたのうちに陣営を設け、あなたのうちに住居を造り、あなたのくだものを食べ、あなたの乳を飲む。

5 וְנָתַתִּי אֶת־ רַבָּה לִנְוֵה גְמַלִּים וְאֶת־ בְּנֵי עַמּוֹן לְמִרְבַּץ־ צֹאן
そして–する — ラバを 牧場に らくだの そして 子らを アンモンの 伏す–場に 羊の
H5414 H0853 H7237 H5095 H1581 H0853 H1121 H5983 H7257 H6629

וִידַעְתֶּם כִּי־ אֲנִי יְהוָה׃ ס
そして–知る わたしが 主であると —
H3045 H0589 H3068 H0

わたしはラバを、らくだを飼う所とし、アンモンびとの町々を、羊の伏す所とする。そしてあなたがたは、わたしが主であることを知るようになる。

6

וְרַקְּעָךְ	דָּ֗	מַחְאֲךָ	יַ֚עַן	יְהוִה	אֲדֹנָ֔י	אָמַ֖ר	כֹּ֑ה	כִּ֣י
そして-足を-踏み鳴らし	—	手を-打ち	—	神は	主なる	言われる	このように	なぜなら
H7554	H3027	H4222	H3282	H3069	H0136	H0559	H3541	

יִשְׂרָאֵ֖ל׃	אַדְמַ֥ת	אֶל־	בְּנֶ֛פֶשׁ	שָׁאטָ֥ה	בְכָל־	וַתִּשְׂמַ֣ח	בְּרֶ֧גֶל
イスラエルの	地に-向かって	—	魂の	侮びで	すべての	そして-喜んだ	—
H3478	H0127	H0413	H5315	H7589	H3605	H8055	H7272

主なる神はこう言われる、あなたはイスラエルの地に向かって手をうち、足を踏み、心に悪意を満たして喜んだ。

7

)לְבַזּ֑	]לבג[	וּנְתַתִּ֖יךָ	עָלֶ֣יךָ	יָדִ֔י	אֶת־	נָטִ֥יתִי	הִנְנִ֛י	לָכֵ֕ן
略奪に	—	そして-渡す	お前の-上に	手を	—	伸ばした	見よ-わたしは	それゆえ
H0957	H0897	H5414		H3027	H0853	H5186	H2009	

וְיָדַעְתָּ֣	אַשְׁמִ֣ידֶךָ	הָאֲרָצ֗וֹת	מִן־	וְהַאֲבַדְתִּ֣יךָ	הָעַמִּ֔ים	מִן־	וְהִכְרַתִּ֥יךָ	לַגּוֹיִ֑ם
そして-知る	絶やす	地々から	—	そして-滅ぼす	民々から	—	そして-断つ	異邦の-民に
H3045	H8045	H0776		H0006			H3772	

ס	יְהוָֽה׃	אֲנִ֖י	כִּֽי־
—	主であると	わたしが	—
	H3068	H0589	

それゆえ、見よ、わたしはわが手をあなたに向けて伸べ、あなたを、もろもろの国民に渡して略奪にあわせ、あなたを、もろもろの民の中から断ち、諸国の中から滅ぼし絶やす。そしてあなたは、わたしが主であることを知るようになる。

8

הִנֵּ֣ה	וְשֵׂעִ֗יר	מוֹאָב֙	אָמַ֔ר	יַ֚עַן	יְהוִ֣ה	אֲדֹנָ֔י	אָמַ֖ר	כֹּ֑ה
見よ	セイルが	モアブと	言ったから	—	神は	主なる	言われる	このように
H2009		H4124	H0559	H3282	H3069	H0136	H0559	H3541

יְהוּדָ֖ה׃	בֵּ֥ית	הַגּוֹיִ֔ם	כְּכָל־
ユダの	家は	異邦の-民と	すべての-ように
H3063			H3605

主なる神はわたしにこう言われる、モアブは言った、見よ、ユダの家は、他のすべての国民と同様であると。

9

צְבִ֔י	מִקְצֵ֖הוּ	מֵעָרָ֑יו	מֵהֶעָרִ֗ים	מוֹאָב֙	כָּתֵ֣ף	אֶת־	פֹּתֵ֤חַ	הִנְנִ֞י	לָכֵ֗ן
誉れ	端から	町々の	町々から	モアブの	側面を	—	開く	見よ-わたしは	それゆえ
				H4124	H3802	H0853		H2009	

)וְקִרְיָתָֽיְמָה׃(	]וקריתמה[	מְעוֹן֙בָּעַל֙	הַיְשִׁמֹ֣תבֵּ֔ית	אֶ֖רֶץ
キリヤタイムを	—	バアル-メオン	ベト-ハ-エシモト	地を
H7156	H7156	H1186	H1020	H0776

それゆえ、わたしはモアブの境界の町々、すなわち国の栄えであるベテエシモテ、バアルメオン、キリアタイムの横腹を開き、

10

לְמַ֣עַן	לְמוֹרָשָׁ֔ה	וּנְתַתִּ֥יהָ	עַמּ֖וֹן	בְּנֵ֑י	עַל־	קֶ֣דֶם֙	לִבְנֵי־	
そうすれば	所有物として	そして-渡す	アンモンの	子らと-共に	—	東の	子らに	
H4616	H4181	H5414	H5983					

בַּגּוֹיִֽם׃	עַמּ֖וֹן	בְּנֵי־	תִּזָּכֵ֥ר	לֹֽא־
異邦の-民の-中で	アンモンの	子らは	—	記憶されない
	H5983		H2142	H3808

これをアンモンの人々と共に、東方の人々に与えて、その所有とし、モアブの人々をもろもろの国民の中に記憶させない。

11

ס	יְהוָֽה׃	אֲנִ֖י	כִּֽי־	וְיָדְע֣וּ	שְׁפָטִ֔ים	אֶעֱשֶׂ֥ה	וּבְמוֹאָ֖ב	
—	主であると	わたしが	—	そして-知る	裁きを	行う	そして-モアブに	
	H3068	H0589		H3045	H8201		H4124	

わたしはモアブの上にさばきを行う。そのとき、彼らはわたしが主であることを知る。

לְבֵ֖ית	נָקֹ֑ם	בִּנְקֹ֥ם	אֱדֹ֛ום	עֲשֹׂ֥ות	נַעַ֖ן	יְהוִ֣ה	אֲדֹנָ֔י	אָמַ֕ר	כֹּ֥ה	12
家に–向かって	復讐を	復讐を–行い	エドムが	行った	—	神は	主なる	言われる	このように	
H5359		H5358	H0123		H3282	H3069	H0136	H0559	H3541	

בָּהֶֽם׃	וְנִקְמ֥וּ	אָשֹׁ֖ום	וַיֶּאְשְׁמ֣וּ	יְהוּדָ֑ה
彼らに	そして–復讐した	大いに	そして–罪を–犯した	ユダの
	H5358	H0816	H0816	H3063

主なる神はこう言われる、エドムは恨みをふくんでユダの家に敵対し、これに恨みを返して、はなはだしく罪を犯した。

אֱדֹ֔ום	עַל־	יָדִ֖י	וְנָטִ֣תִי	יְהוִ֣ה	אֲדֹנָ֔י	אָמַ֕ר	כֹּ֥ה	לָכֵ֛ן	13
エドムの–上に	—	手を	そして–伸ばす	神は	主なる	言われる	このように	それゆえ	
H0123		H3027	H5186	H3069	H0136	H0559	H3541		

בַּחֶ֖רֶב	וּדְדָנָ֑ה	מִתֵּימָ֣ן	חָרְבָ֔ה	וּנְתַתִּ֖יהָ	וּבְהֵמָ֥ה	אָדָ֛ם	מִמֶּ֥נָּה	וְהִכְרַתִּ֥י
剣で	そして–デダンまで	テマンから	廃墟に	そして–する	家畜を	人と	そこから	そして–断つ
H2719		H8487	H2723	H5414	H0929	H0120		H3772

יִפְּלֽוּ׃
倒れる
H5307

それゆえ、主なる神はこう言われる、わたしはエドムの上に手を伸べて、その中から人と獣とを断ち、これを荒れ地とする。テマンからデダンまで人々はつるぎに倒れる。

בֶּאֱדֹ֔ום	וְעָשׂ֥וּ	יִשְׂרָאֵ֖ל	עַמִּ֑י	בְּיַד֙	בֶּאֱדֹ֔ום	נִקְמָתִ֖י	אֶת־	וְנָתַ֥תִּי	14
エドムに	そして–行う	イスラエルの	民の	手に–よって	エドムに	復讐を	—	そして–下す	
H0123		H3478		H3027	H0123	H5360	H0853	H5414	

פ	יְהוִ֖ה׃	אֲדֹנָ֑י	נְאֻ֣ם	נִקְמָתִ֔י	אֶת־	וְיָדְע֖וּ	וְכִחַמָתִ֥י	כְּאַפִּֽי
—	神の	主なる	告げる	復讐を	—	そして–知る	そして–憤りに–応じて	怒りに–応じて
	H3069	H0136	H5002	H5360	H0853	H3045	H2534	H0639

わたしはわが民イスラエルの手をもって、エドムにわがあだを報いる。彼らがわが怒り、わが憤りに従ってエドムに行う時、エドムの人々は、わたしがあだを返すことを知るようになると、主なる神は言われる。

וַיִּנָּקְמ֥וּ	בִּנְקָמָ֖ה	פְּלִשְׁתִּ֑ים	עֲשֹׂ֥ות	נַעַ֖ן	יְהוִ֣ה	אֲדֹנָ֔י	אָמַ֕ר	כֹּ֥ה	15
そして–復讐した	復讐を	ペリシテ人が	行った	—	神は	主なる	言われる	このように	
H5358	H5360	H6430		H3282	H3069	H0136	H0559	H3541	

עֹולָֽם׃	אֵיבַ֥ת	לְמַשְׁחִ֖ית	בְּנֶ֥פֶשׁ	בִּשְׁאָ֛ט	נָקָ֥ם
永遠の	敵意を–もって	滅ぼしに	魂の	侮びで	復讐を
H5769	H0342	H4889	H5315	H7589	H5359

主なる神はこう言われる、ペリシテびとは恨みをふくんで行動し、心に悪意をもってあだを返し、深い敵意をもって、滅ぼすことをした。

עַל־	יָדִ֖י	נֹוטֶ֣ה	הִנְנִ֔י	יְהוִ֣ה	אֲדֹנָ֔י	אָמַ֕ר	כֹּ֥ה	לָכֵ֛ן	16
—	手を	伸ばす	見よ–わたしは	神は	主なる	言われる	このように	それゆえ	
	H3027	H5186	H2009	H3069	H0136	H0559	H3541		

הַיָּֽם׃	חֹ֖וף	שְׁאֵרִ֑ית	אֶת־	וְהַאֲבַדְתִּ֣י	כְּרֵתִ֔ים	אֶת־	וְהִכְרַתִּ֥י	פְּלִשְׁתִּֽים
—	海辺の	残りの–者を	—	そして–滅ぼす	ケレト人を	—	そして–断つ	ペリシテ人の–上に
H3220	H2348	H7611	H0853	H0006	H3774	H0853	H3772	H6430

それゆえ、主なる神はこう言われる、見よ、わたしは手をペリシテびとの上に伸べ、ケレテびとを断ち、海べの残りの者を滅ぼす。

17 וְעָשִׂיתִי בָם נְקָמוֹת גְּדֹלוֹת בְּתוֹכְחוֹת חֵמָה וְיָדְעוּ כִּי־אֲנִי
そして-行う 彼らに 大いなる 懲らしめで 怒りの そして-知る —
H6213 H0853 H1419 H8433 H2534 H3045 H0589

יְהוָה בְּתִתִּי אֶת־נְקָמָתִי בָם׃ ס
主であると 下す-とき — 復讐を 彼らに —
H3068 H5414 H0853 H5360 H0853

わたしは怒りに満ちた懲罰をもって、大いなる復讐を彼らになす。わたしが彼らにあだを返す時、彼らはわたしが主であることを知るようになる」。

Chapter 26

1 וַיְהִי בְּעַשְׁתֵּי־עֶשְׂרֵה שָׁנָה בְּאֶחָד לַחֹדֶשׁ הָיָה דְבַר־יְהוָה אֵלַי
そして-あった 十-一の 第 一 月の-第一の-日に あった 言葉が 主の 私に
H1961 H6249 H8141 H0259 H2320 H1961 H1697 H3068 H0413

לֵאמֹר׃
言って
H0559

第十一年の第一日に主の言葉がわたしに臨んだ、

2 בֶּן־אָדָם יַעַן אֲשֶׁר־אָמְרָה צֹר עַל־יְרוּשָׁלַ͏ִם הֶאָח נִשְׁבְּרָה דַלְתוֹת
人の 子よ だから 言った — ツロが について-エルサレム ああ 破られた 門が
H0120 H3282 H0559 H6865 H5921 H3389 H0162 H7665 H1817

הָעַמִּים נָסַבָּה אֵלָי אִמְלְאָה הָחֳרָבָה׃
諸国民の 向きが-変わった 私に 満たされる 廃墟で
H5971 H5437 H0413 H4390 H2720

「人の子よ、ツロはエルサレムについて言った、『ああ、それはよい気味である。もろもろの民の門は破れて、わたしに開かれた。わたしは豊かになり、彼は破れはてた』と。

3 לָכֵן כֹּה אָמַר אֲדֹנָי יְהוִה הִנְנִי עָלַיִךְ צֹר
それゆえ このように 言われる 主なる 神は 見よ-わたしは あなたに-向かう ツロよ
H3651 H3541 H0559 H0136 H3069 H2009 H5921 H6865

וְהַעֲלֵיתִי עָלַיִךְ גּוֹיִם רַבִּים כְּהַעֲלוֹת הַיָּם לְגַלָּיו׃
そして-わたしは-上らせる あなたに-向かって 多くの-国々を — 上らせるように 海が その-波を
H5927 H5921 H1471 H7227 H5927 H3220 H1530

それゆえ、主なる神はこう言われる、ツロよ、わたしはあなたを攻め、海がその波を起すように、わたしは多くの国民を、あなたに攻めこさせる。

4 וְשִׁחֲתוּ חוֹמוֹת צֹר וְהָרְסוּ מִגְדְּלֹתֶיהָ וְסָחֵיתִי
そして-彼らは-破壊する 城壁を ツロの そして-壊す その-塔を そして-削り取る
H7843 H2346 H6865 H2040 H4026 H5500

עָפְרָהּ מִמֶּנָּה וְנָתַתִּי אוֹתָהּ לִצְחִיחַ סָלַע׃
その-塵を そこから そして-わたしは-する それを 裸の 岩と
H6083 H4480 H1961 H0853 H6706 H5553

彼らはツロの城壁をこわし、そのやぐらを倒す。わたしはその土を払い去って、裸の岩にする。

5

אֲדֹנָי	נְאֻם	דִּבַּרְתִּי	אֲנִי	כִּי	הַיָּם	בְּתוֹךְ	תִּהְיֶה	חֲרָמִים	מִשְׁטַח
主なる	と-告げる	語った	わたしが	なぜなら	海の	の-中で	なる	網を	網を-干す-場所と
H0136	H5002	H1696	H0589		H3220	H8432	H1961		

לַגּוֹיִם׃	לְבַז	וְהָיְתָה	יְהוִה
諸国民にとって	略奪物と	そして-それは-なる	神は
	H0957	H1961	H3069

ツロは海の中にあって、網をはる場所になる。これはわたしが言ったのであると、主なる神は言われる。ツロは、もろもろの民にかすめられ、

6

אֲנִי	כִּי־	וְיָדְעוּ	תֶּהָרַגְנָה	בַּחֶרֶב	בַּשָּׂדֶה	אֲשֶׁר	וּבְנוֹתֶיהָ	
わたしが	と	そして-彼らは-知る	殺される	剣で	野に-いる	の	そして-その-娘たちは	
H0589		H3045	H2026	H2719			H1323	

פ	יְהוָה׃	
パラグラフ	主で-あることを	
	H3068	

その本土におる娘たちは、つるぎで殺される。そして彼らは、わたしが主であることを知るようになる。

7

צֹר	אֶל־	מֵבִיא	הִנְנִי	יְהוִה	אֲדֹנָי	אָמַר	כֹּה	כִּי	
ツロに	に	導いて	見よ-わたしは-連れて-来る	神は	主なる	言われる	このように	なぜなら	
H6865	H0413	H0935	H2009	H3069	H0136	H0559	H3541		

וְקָהָל	וּבְפָרָשִׁים	וּבְרֶכֶב	בְּסוּס	מְלָכִים	מֶלֶךְ	מִצָּפוֹן	בָּבֶל	מֶלֶךְ־	נְבוּכַדְרֶאצַּר
軍勢と	騎兵と	戦車と	馬と	王たちの	王の	北から	バビロンの	王を	ネブカドレツァルを
H6951		H7393		H4428	H4428	H6828	H0894	H4428	H5019

רָב׃	וְעַם־
一	多くの-民を-率いて

主なる神はこう言われる、見よ、わたしは王の王なるバビロンの王ネブカデレザルに、馬、戦車、騎兵、および多くの軍勢をひきいて、北からツロに攻めこさせる。

8

דָּיֵק	עָלַיִךְ	וְנָתַן	יַהֲרֹג	בַּחֶרֶב	בַּשָּׂדֶה	בְּנוֹתַיִךְ		
包囲-壁を	あなたに-対して	そして-彼は-築く	彼は-殺す	剣で	野に-いる	あなたの-娘たちを		
H1785		H5414	H2026	H2719		H1323		

צִנָּה׃	עָלַיִךְ	וְהֵקִים	סֹלְלָה	עָלַיִךְ	וְשָׁפַךְ
盾を	あなたに-対して	そして-立てる	土塁を	あなたに-対して	そして-積み上げる
			H5550		H8210

彼は本土におるあなたの娘たちを、つるぎで殺し、あなたに向かって雲梯を建て、塁を築き、盾を備え、

9

יִתֵּן	וּמִגְדָּלֹתַיִךְ	בְּחֹמוֹתָיִךְ	יִתֵּן	קַבָּלָיו	וּמְחִי	
彼は-打ち壊す	そして-あなたの-塔を	あなたの-城壁に	彼は-当てる	彼の	そして-打ち壊す-槌を	
H5422	H4026	H2346	H5414	H6904	H4239	

בְּחַרְבוֹתָיו׃
彼の-剣で
H2719

城くずしをあなたの城壁に向け、おのであなたのやぐらを打ち砕く。

10 מִשְׁפְּעַת סוּסָיו יְכַסֶּךָּ אֲבָקָם מִקּוֹל פָּרָשׁ וְגַלְגַּל וְרֶכֶב תִּרְעַשְׁנָה חוֹמוֹתַיִךְ
その–多くの 馬の 覆う 塵が 音に 騎兵と 輪と 戦車の 揺れる あなたの–城壁が
H8229 H5483 H3680 H0080 H6963 H6571 H1534 H7393 H7493 H2346

בְּבֹאוֹ בִשְׁעָרַיִךְ כִּמְבוֹא עִיר מְבֻקָּעָה׃
彼が–入るとき あなたの–門に 入るように 都に 破られた
H0935 H8179 H3996 H5892 H1234

その多くの馬の土煙は、あなたをおおう。人が破れた町にはいるように、彼があなたの門にはいる時、騎兵と貨車と戦車の響きによって、あなたの石がきはゆるぐ。

11 בְּפַרְסוֹת סוּסָיו יִרְמֹס אֶת־ כָּל־ חוּצוֹתָיִךְ עַמֵּךְ בַּחֶרֶב
ひづめで 彼の–馬の 彼は–踏みにじる の すべての あなたの–通りを あなたの–民を 剣で
H6541 H5483 H7429 H0853 H3605 H2351 H5971 H2719

תֵּרֵד׃ לָאָרֶץ עֻזֵּךְ וּמַצְּבוֹת יַהֲרֹג
倒れる 地に あなたの–力の そして–石柱を 彼は–殺す
H3381 H0776 H5797 H4676 H2026

彼はその馬のひずめで、あなたのすべてのちまたを踏みあらし、つるぎであなたの民を殺す。あなたの力強い柱は地に倒れる。

12 חוֹמוֹתַיִךְ וְהָרְסוּ רְכֻלָּתֵךְ וּבָזְזוּ חֵילֵךְ וְשָׁלָלוּ
あなたの–城壁を そして–壊す あなたの–商品を そして–略奪する あなたの–富を そして–彼らは–奪う
H2346 H2040 H7404 H0962 H2428

וַעֲפָרֵךְ וְעֵצַיִךְ וַאֲבָנַיִךְ יְתֹצוּ חֶמְדַּתֵךְ וּבָתֵּי
あなたの–塵を あなたの–木と そして–あなたの–石と 彼らは–打ち壊す あなたの–喜びの そして–家々を
H6083 H6086 H0068 H5422 H2532 H1004

יָשִׂימוּ׃ מַיִם בְּתוֹךְ
彼らは–投げ込む 水の の–中に
H7760 H4325 H8432

彼らはあなたの財宝を奪い、商品をかすめ、城壁をくずし、楽しい家をこわし、石と木と土とを水の中に投げ込む。

13 יִשָּׁמַע לֹא וְקוֹל כִּנּוֹרַיִךְ שִׁירָיִךְ הֲמוֹן וְהִשְׁבַּתִּי
聞かれない もはや そして–音も あなたの–琴の あなたの–歌の 響きを そして–わたしは–終わらせる
H8085 H3808 H6963 H3658 H7892 H1993 H1995 H7673

עוֹד׃
再び
H5750

わたしはあなたの歌の声をとどめる。琴の音はもはや聞えなくなる。

14 תִּבָּנֶה לֹא וְנָתַתִּיךְ לִצְחִיחַ סֶלַע מִשְׁטַח חֲרָמִים תִּהְיֶה לֹא
建てられない 再び なる 網を 網を–干す–場所と 岩と 裸の そして–わたしは–する
H1129 H3808 H1961 H2764 H4894 H5553 H6706 H5414

סלה יְהוָה׃ אֲדֹנָי נְאֻם דִּבַּרְתִּי יְהוָה אֲנִי כִּי עוֹד
セラ 神は 主なる と–告げる 語った 主が わたし なぜなら もう
H3069 H0136 H5002 H1696 H3068 H0589 H5750

わたしはあなたを裸の岩にする。あなたは網を張る場所となり、再び建てられることはない。主なるわたしがこれを言ったと、主なる神は言われる。

15 כֹּה אָמַר אֲדֹנָי יְהוִה לְצֹור וְהָלְאָה מִקֹּול מַפַּלְתֵּךְ בֶּאֱנֹק
主なる神はツロにこう言われる、海沿いの国々はあなたの倒れる響き、手負いのうめき、あなたのうちの殺人のゆえに、身震いしないであろうか。

16 וְיָרְדוּ מֵעַל כִּסְאוֹתָם הַנָּיִם נְשִׂיאֵי כָל וְהִסִּירוּ אֶת־
その時、海の君たちは皆その位からおり、朝服を脱ぎ、縫い取りの衣服を取り去り、恐れを身にまとい、地に座して、いたく恐れ、あなたの事を驚き、

17 אֵיךְ לָךְ וְאָמְרוּ קִינָה עָלַיִךְ וְנָשְׂאוּ
どうして あなたに そして-言う 哀歌を あなたに-ついて そして-彼らは-上げる

בַּיָּם חֲזָקָה הָיְתָה אֲשֶׁר הַהֻלָּלָה הָעִיר מִיַּמִּים נוֹשֶׁבֶת אָבַדְתְּ
海に 強い あった で 賛えられた 都よ 海から 住まわれて-いた者よ あなたは-滅びたのか

יוֹשְׁבֶיהָ וְיֹשְׁבֶיהָ אֲשֶׁר־ נָתְנוּ חִתִּיתָם לְכָל־ כָּל הָיָא:
その-住民に その-住民は 与えた — 恐れを すべての 彼女と

18 עַתָּה יֶחֶרְדוּ הָאִיִּים בְּיוֹם מַפַּלְתֶּךָ וְנִבְהֲלוּ הָאִיִּים אֲשֶׁר־ בַּיָּם
あなたのために悲しみの歌をのべて言う、『あなたは海にあって、強い誉ある町、本土に恐れを与えていたあなたも、その住民も、海から消え去った。

מִצֹּאתֶךָ: סֶלָה
あなたの-最期に セラ

19 כִּי כֹה אָמַר אֲדֹנָי יְהוִה כְּתִתִּי אֹתָךְ עִיר נֶחֱרֶבֶת
島々はあなたの倒れる日に身震いする。海の島々はあなたの去り行くことを見て驚く』。

כְּעָרִים אֲשֶׁר לֹא־ נוֹשָׁבוּ בְּהַעֲלוֹת עָלַיִךְ אֶת־ תְּהוֹם וְכִסּוּךְ
なぜなら このように 言われる 神は 主なる 私が-するとき あなたを 荒れ果てた 都と

הָרַבִּים: הַמָּיִם
多くの 大-水が

主なる神はこう言われる、わたしはあなたを、荒れた町となし、住む者のない町のようにし、淵をあなたに向かってわきあがらせ、大水にあなたをおおわせる時、

עוֹלָם	עִם	אֶל־	בּוֹר	יוֹרְדֵי	אֶת־	וְהוֹרַדְתִּיךְ	20
過去の	民の	に	穴に	下る–者たちと–共に	の	そして–わたしは–下らせる	
H5769		H0413		H3381	H0854	H3381	

בּוֹר	יוֹרְדֵי	אֶת־	מֵעוֹלָם	כְּחָרְבוֹת	תַּחְתִּיּוֹת	בְּאֶרֶץ	וְהוֹשַׁבְתִּיךְ
穴に	下る–者たちと–共に	の	昔からの	廃墟のように	下の	地に	そして–住まわせる
	H3381	H0854	H5769	H2723	H8482	H0776	H3427

חַיִּים׃	בְּאֶרֶץ	צְבִי	וְנָתַתִּי	תֵּשְׁבִי	לֹא	לְמַעַן
生きる–者の	地に	栄光を	そして–わたしは–与える	ように	住まれない	ために
	H0776		H5414	H3427	H3808	H4616

あなたを穴に下る者どもと共に、昔の民の所に下し、穴に下る者と共に下の国に、昔のままの荒れ跡の中に、あなたを住ませる。それゆえ、あなたは人の住む所とならず、また生ある者の地に所を得ない。

תִּמָּצְאִי	וְלֹא־	וְתִבָּקְשִׁי	וְאֵינֵךְ	אֶתֵּנֵךְ	בַּלָּהוֹת	21
—	見つからない	そして–求められるが	そして–あなたは–なくなる	わたしは–与える	恐怖を	
H4672	H3808	H1245	H0369	H5414	H1091	

ס	יְהוָה׃	אֲדֹנָי	נְאֻם	לְעוֹלָם	עוֹד	
セラ	神は	主なる	と–告げる	永遠に	再び	
	H3069	H0136	H5002	H5769	H5750	

わたしはあなたの終りを、恐るべきものとする。あなたは無に帰する。あなたを尋ねる人があっても、永久に見いださないと、主なる神は言われる」。

Chapter 27

לֵאמֹר׃	אֵלַי	יְהוָה	דְּבַר־	וַיְהִי	1
言って	私に	主の	言葉が	そして–あった	
H0559	H0413	H3068	H1697	H1961	

主の言葉がわたしに臨んだ、

קִינָה׃	צֹר	עַל־	שָׂא	אָדָם	בֶּן־	וְאַתָּה	2
哀歌を	ツロ	に–ついて	上げよ	子よ	人の	そして–あなた	
H7015	H6865		H5375	H0120			

「人の子よ、ツロのために悲しみの歌をのべ、

אֶל־	הָעַמִּים	רֹכֶלֶת	יָם	מְבוֹאֹת	עַל־	(הַיֹּשֶׁבֶת)	[הישבתין]	לְצֹר	וְאָמַרְתָּ	3
に	諸国民の	商人よ	海の	入口に	の	(住む–者よ)	[住む–者よ]	ツロに	そして–言え	
H0413		H7402	H3220	H3997		H3427	H3427	H6865	H0559	

אֲנִי	אָמַרְתְּ	אַתְּ	צֹר	יְהוָה	אֲדֹנָי	אָמַר	כֹּה	רַבִּים	אִיִּים
わたしは	言った	あなたは	ツロよ	神は	主なる	言われる	このように	—	多くの–島々に
H0589	H0559		H6865	H3069	H0136	H0559	H3541		H0339

יָפְיִי׃	כְּלִילַת
美で–あると	完全な
H3308	H3632

海の入口に住んで、多くの海沿いの国々の民の商人であるツロに対して言え、主なる神はこう言われる、ツロよ、あなたは言った、『わたしの美は完全である』と。

יָפְיֵךְ׃	כָּלְלוּ	בֹּנַיִךְ	גְּבוּלֵךְ	יַמִּים	בְּלֵב	4
あなたの–美を	完成させた	あなたの–建て–者たちは	あなたの–領域が–ある	海の	の–中に	
H3308	H3634	H1129	H1366	H3220		

あなたの境は海の中にあり、あなたの建設者はあなたの美を完全にした。

מִלְּבָנוֹן	אֶרֶז	לְחֹתָיִם	כָּל־	אֶת	לָךְ	בָּנוּ	מִשְׁנִיר	בְּרוֹשִׁים	5
レバノンから	杉を	板を	すべての	の	あなたに	彼らは–造った	セニルから	系杉で	
H3844	H0730	H3871	H3605	H0853		H1129	H8149	H1265	

עָלָיִךְ׃	תֹּרֶן	לַעֲשׂוֹת	לָקָחוּ
あなたの–上に	帆柱を	作るために	取って
	H8650		H3947

人々はセニルのもみの木であなたのために船板を造り、レバノンから香柏をとって、あなたのために帆柱を造り、

שֵׁן	עָשׂוּ־	קַרְשָׁךְ	מִשׁוֹטֵיךְ	עָשׂוּ	מִבָּשָׁן	אַלּוֹנִים			6
象牙で	彼らは–作った	あなたの–甲板を	あなたの–櫂を	彼らは–作った	バシャンから	樫の–木で			
H8127		H7175			H1316	H0437			

כִּתִּיִּים׃)	כתים]	מֵאִיֵּי	אֲשֻׁרִים	בַּת־
(キティムの)	[キティム]	島々から	アッシュリムの	の–木から
H3794	H3794	H0339	H0839	H1323

バシャンのかしの木で、あなたのためにかいを造り、クプロの島から来る松の木に象牙をはめて、あなたのために甲板を造った。

לְנֵס	לָךְ	לִהְיוֹת	מִפְרָשֵׂךְ	הָיָה	מִמִּצְרַיִם	בְּרִקְמָה	שֵׁשׁ־		7
旗と	あなたにとって	なるために	あなたの–帆として	あった	エジプトから	刺繍の	亜麻布が		
H5251		H1961	H4666	H1961	H4714	H7553			

מְכַסֶּךָ׃	הָיָה	אֱלִישָׁה	מֵאִיֵּי	וְאַרְגָּמָן	תְּכֵלֶת
あなたの–覆いとして	あった	エリシャの	島々から	紅–紫が	青–紫と
H4374	H1961	H0473	H0339	H0713	H8504

あなたの帆はエジプトから来るあや布であって、あなたの旗に用いられ、あなたのおおいはエリシャの海岸から来る青と紫の布である。

צוֹר	חַכְמַיִךְ	לָךְ	שָׁטִים	הָיוּ	וְאַרְוַד	צִידוֹן	יֹשְׁבֵי		8
ツロの	知恵ある–者たちが	あなたの	漕ぎ–手として	いた	そして–アルワドの	シドンの	住民が		
H6865	H2450			H1961	H0719	H6721	H3427		

חֹבְלָיִךְ׃	הֵמָּה	בָּךְ	הָיוּ
あなたの–水先案内人で–あった	彼らが	あなたの–中に	いた
H2259	H1992		H1961

あなたのこぎ手は、シドンとアルワデの住民、あなたのかじとりは、あなたのうちにいる熟練なゼメルの人々である。

מַחֲזִיקֵי	בָּךְ	הָיוּ	וַחֲכָמֶיהָ		גְּבָל	זִקְנֵי		9
繕う–者として	あなたの–中に	いた	そして–その–知恵ある–者たちが		ゲバルの	長老たちが		
H2388		H1961	H2450		H1380	H2205		

בָּךְ	הָיוּ	וּמַלָּחֶיהָם	הַיָּם	אֳנִיּוֹת	כָּל־	בְּדֶקֶךְ	
あなたの–中に	いた	そして–その–水夫たちが	海の	船が	すべての	あなたの–裂け目を	
	H1961	H4419	H3220	H0591	H3605	H0919	

מַעֲרָבֵךְ׃	לַעֲרֹב
あなたの–商品を	交易するために
H4627	H6148

ゲバルの老人たち、およびその熟練な人々は、あなたのうちにいて漏りを繕い、海のすべての船およびその船員らはあなたのうちにいて、あなたの商品を交易する。

10

וְכוֹבַע	מָגֵן	מִלְחַמְתֶּךָ	אַנְשֵׁי	בְחֵילֶךָ	הָיוּ	פוּט	וְלוּד	פָּרַס
かぶとを	盾と	あなたの–戦いの	人々として	あなたの–軍に	いた	プトが	ルデと	ペルシアと
H3553	H4043	H4421	H0376	H2428	H1961	H6316	H3865	H6539

הֲדָרֶךָ׃	נָתְנוּ	הֵמָּה	בָּךְ	תָּלוּ־
あなたの–輝きを	与えた	彼らが	あなたの–中に	掛けた
H1926	H5414	H1992		H8518

ペルシャ人、ルデびと、プテびとはあなたの軍に加わって、あなたの戦士となる。彼らはあなたのうちに、盾とかぶとを掛け、あなたに輝きをそえた。

11

וְגַמָּדִים	סָבִיב	חוֹמוֹתַיִךְ	עַל־	וְחֵילֶךָ	אַרְוַד	בְּנֵי
そして–勇士たちが	周囲に	あなたの–城壁の	の–上に	そして–あなたの–軍勢が	アルワドの	子らが
H1575	H5439	H2346		H2428	H0719	

כָּלְלוּ	הֵמָּה	סָבִיב	חוֹמוֹתַיִךְ	עַל־	תָּלוּ	שִׁלְטֵיהֶם	הָיוּ	בְּמִגְדָּלוֹתַיִךְ
完成させた	彼らが	周囲に	あなたの–城壁の	の–上に	掛けた	その–盾を	いた	あなたの–塔に
H3634	H1992	H5439	H2346		H8518	H7982	H1961	H4026

יָפְיֵךְ׃
あなたの–美を
H3308

アルワデとヘレクの人々は、あなたの周囲の城壁の上にあり、ガマデの人々は、あなたのやぐらの中にあり、彼らは、あなたの周囲の城壁にその盾を掛けて、あなたの美観を全うした。

12

בְּרֶזֶל	בַּרְזֶל	בְּכֶסֶף	הָוֹן	כָּל־	מֶרֶב	סַחְרְתֵּךְ	תַּרְשִׁישׁ
鈴と	鉄と	銀と	富によって	あらゆる	多くの	あなたの–商人で–あった	タルシシュが
H0913	H1270	H3701	H1952	H3605	H7230	H5503	H8659

עִזְבוֹנָיִךְ׃	נָתְנוּ	וְעוֹפֶרֶת
あなたの–倉庫に	彼らは–納めた	そして–鉛を
H5801	H5414	H5777

あなたはそのすべての貨物に富むゆえに、タルシシはあなたと交易をなし、銀、鉄、すず、鉛をあなたの商品と交換した。

13

אָדָם	בְּנֶפֶשׁ	רְכֻלָּיִךְ	הֵמָּה	וָמֶשֶׁךְ	תֻּבַל	יָוָן
―	人の–命と	あなたの–交易–相手で–あった	彼らが	メシェクが	トバルと	ヤワンと
H0120	H5315	H7402	H1992	H4902	H8422	H3120

מַעֲרָבֵךְ׃	נָתְנוּ	נְחֹשֶׁת	וּכְלֵי	
あなたの–市場に	彼らは–納めた	青銅の	そして–器を	
H4627	H5414		H3627	

ヤワン、トバル、およびメセクはあなたと取引し、彼らは人身と青銅の器とを、あなたの商品と交換した。

14

עִזְבוֹנָיִךְ׃	נָתְנוּ	וּפָרָשִׁים	סוּסִים	תּוֹגַרְמָה	מִבֵּית
あなたの–倉庫に	彼らは–納めた	騾馬を	騎兵と	馬と	トガルマの	家から
H5801	H5414	H6505		H8425	

ベテ・トガルマは馬、軍馬、および騾馬をあなたの商品と交換した。

15

יָדֵךְ	סְחֹרַת	רַבִּים	אִיִּים	רְכֻלַּיִךְ	דְּדָן	בְּנֵי
あなたの–手の	商品を	―	多くの–島々が	あなたの–交易–相手で–あった	デダンの	子らが
H3027	H5506		H0339	H7402		

אַשְׁכָּרֵךְ׃	הֵשִׁיבוּ	וְהַבְנִים)(	וּהוּבנים[	שֵׁן	קַרְנוֹת
あなたの–財として	彼らは–払った	(黒檀を)	[黒檀]	象牙の	角と
H0814	H7725	H1894	H1894	H8127	

ローヅ島の人々はあなたと取引し、多くの海沿いの国々は、あなたの市場となり、象牙と黒たんとを、みつぎとしてあなたに持ってきた。

16 אֲרָם סֹחֲרֵתֵךְ מֵרֹב מַעֲשָׂיִךְ בְּנֹפֶךְ אַרְגָּמָן וְרִקְמָה
アラムが あなたの–商人で–あった 多くの あなたの–産物によって トルコ石と 紅–紫と 刺繍と
H0758 H5503 H7230 H4639 H5801 H0713 H7553

וּבוּץ וְרָאמֹת וְכַדְכֹּד נָתְנוּ בְעִזְבוֹנָיִךְ׃
細–布と 珊瑚と ルビーを 彼らは–納めた あなたの–倉庫に
H0948 H7215 H3539 H5414 H5801

あなたの製品が多いので、エドムはあなたと商売し、彼らは赤玉、紫、縫い取りの布、細布、さんご、めのうをもって、あなたの商品と交換した。

17 יְהוּדָה וְאֶרֶץ יִשְׂרָאֵל הֵמָּה רֹכְלֵיךְ בְּחִטֵּי מִנִּית וּפַנַּג
ユダと そして–地が イスラエルの 彼らが あなたの–交易–相手で–あった 小麦と ミニトの 菓子と
H3063 H0776 H3478 H1992 H7402 H2406 H4511 H6436

וְדִבַשׁ וְשֶׁמֶן וְצֳרִי נָתְנוּ מַעַרְבֵּךְ׃
蜜と 油と 乳香を 彼らは–納めた あなたの–市場に
H1706 H8081 H6875 H5414 H4627

ユダとイスラエルの地は、あなたと取引し、麦、オリブ、いちじく、蜜、油、および乳香をもって、あなたの商品と交換した。

18 דַּמֶּשֶׂק סֹחֲרֵתֵךְ בְּרֹב מַעֲשָׂיִךְ מֵרֹב כָּל־ הֹון בְּיֵין
ダマスコが あなたの–商人で–あった 多くの あなたの–産物の 多くの あらゆる 富の ぶどう酒と
H1834 H5503 H7230 H4639 H7230 H3605 H1952 H3196

חֶלְבּוֹן וְצֶמֶר צָחַר׃
ヘルボンの そして–羊毛と 白い
H2463 H6785 H6713

あなたの製品が多く、あなたの富が多いので、ダマスコはあなたと取引し、ヘルボンの酒と、さらした羊毛と、

19 וְדָן וְיָוָן מְאוּזָל בְּעִזְבוֹנַיִךְ נָתְנוּ בַרְזֶל עָשׁוֹת קִדָּה וְקָנֶה
そして–ダンと ヤワンが ウズアルから あなたの–倉庫に 納めた 鉄と 鍛えた 肉桂と 菖蒲を
H2051 H3120 H0187 H5414 H1270 H6219 H6916 H7070

הָיָה בְּמַעַרְבֵּךְ׃
あった あなたの–市場に
H1961 H4627

ウザルの酒をもって、あなたの商品と交換し、銑鉄、肉桂、菖蒲をもって、あなたの商品と交易した。

20 דְּדָן רֹכְלֵתֵךְ בְּבִגְדֵי חֹפֶשׁ לִרְכְבָה׃
デダンが あなたの–交易–相手で–あった 布で 自由の 乗り物のための
H1719 H7402 H0899 H2667 H7396

デダンは乗物の鞍敷をもって、あなたと取引した。

21 עֲרַב וְכָל־ נְשִׂיאֵי קֵדָר הֵמָּה סֹחֲרֵי יָדֵךְ בְּכָרִים
アラビアと すべての 君主たちが ケダルの 彼らが 商人で–あった あなたの–手の 小羊と
H6152 H3605 H5387 H6938 H1992 H5503 H3027 H3733

וְאֵילִים וְעַתּוּדִים בָּם סֹחֲרֵיִךְ׃
雄羊と 雄山羊を それらで あなたの–商人で–あった
H0352 H6260 H0000 H5503

アラビヤびと、およびケダルのすべての君たちは小羊、雄羊、やぎをもって、あなたと取引し、これらの物をあなたと交易した。

22 רֹכְלֵי שְׁבָא וְרַעְמָה הֵמָּה רֹכְלָיִךְ בְּרֹאשׁ כָּל־
商人たちが シェバの そして-ラアマの 彼らが あなたの-交易-相手で-あった 最上の あらゆる
H7402 H7614 H7484 H1992 H7402 H7218 H3605

בֹּשֶׂם וּבְכָל־אֶבֶן יְקָרָה וְזָהָב נָתְנוּ עִזְבוֹנָיִךְ׃
香料と そして-あらゆる 宝石と 貴重な そして-金を 彼らは-納めた あなたの-倉庫に
H1314 H3605 H0068 H3368 H2091 H5414 H5801

シバとラアマの商人は、あなたと取引し、もろもろの尊い香料と、もろもろの宝石と金とをもって、あなたの商品と交換した。

23 חָרָן וְכַנֵּה וְעֶדֶן רֹכְלֵי שְׁבָא אַשּׁוּר כִּלְמַד
ハランと カネと エデンが 商人で-あった シェバの アッシュルと キルマドが
H2771 H3656 H5729 H7402 H7614 H0804 H3638

רֹכַלְתָּךְ׃
あなたの-交易-相手で-あった
H7402

ハラン、カンネ、エデン、アッスリヤ、キルマデはあなたと取引した。

24 הֵמָּה רֹכְלַיִךְ בְּמַכְלֻלִים תְּכֵלֶת וְרִקְמָה
彼らが あなたの-交易-相手で-あった 素晴らしい-物で 包みで 青-紫の そして-刺繍の
H1992 H7402 H4360 H1545 H8504 H7553

וּבְגָנְזֵי בְרֹמִים בַּחֲבָלִים חֲבֻשִׁים וַאֲרָזִים בִּרְכֻלָתֵךְ׃
そして-宝-箱に 彩りの 縄で 縛られ そして-結ばれた あなたの-市場に
H1595 H1264 H2280 H0729 H4819

彼らは、はなやかな衣服と、青く縫い取りした布と、ひもで結んで、じょうぶにした敷物などをもって、あなたと取引した。

25 אֳנִיּוֹת תַּרְשִׁישׁ שָׁרוֹתַיִךְ מַעַרְבֵּךְ וַתִּמָּלְאִי
船が タルシシュの あなたの-隊商で-あった あなたの-交易の そして-あなたは-満たされた
H0591 H8659 H7788 H4627 H4390

וַתִּכָּבְדִי מְאֹד בְּלֵב־יַמִּים׃
そして-重くなった 非常に の-中で 海の
H3513 H3966 H3220

タルシシの船はあなたの商品を運んでまわった。あなたは海の中にいて満ち足り、いたく栄えた。

26 בְּמַיִם רַבִּים הֱבִיאוּךְ הַשָּׁטִים אֹתָךְ רוּחַ הַקָּדִים שָׁבָרֵךְ בְּלֵב
大-水の-中に 一 連れて-行った 漕ぎ-手たちが あなたを 風が 東の 破壊した の-中で
H4325 H7227 H0935 H7751 H0853 H7307 H6921 H7665 H3220

יַמִּים׃
海の
H3220

あなたのこぎ手らはあなたを大海の中に進め、海の中で東風があなたの船を破った。

27

מַחֲזִיקֵי	וְחֹבְלָיִךְ	מַלָּחַיִךְ	מַעֲרָבֵּךְ	וְעִזְבוֹנַיִךְ	הוֹנֵךְ
繕う-者と	あなたの-水先案内人と	あなたの-水夫と	あなたの-市場と	あなたの-倉庫と	あなたの-富と
H2388	H2259	H4419	H4627	H5801	H1952

מִלְחַמְתֵּךְ	אַנְשֵׁי	וְכָל־	מַעֲרָבֵךְ	וְעֹרְבֵי	בְּרִקֵּךְ
あなたの-戦いの	人々が	そして-すべての	あなたの-商品の	そして-交易する-者と	あなたの-裂け目の
H4421	H0376	H3605	H4627	H6148	H0919

בְּלֵב	יִפְלוּ	בְּתוֹכֵךְ	אֲשֶׁר	קְהָלֵךְ	וּבְכָל־	בָּךְ	אֲשֶׁר־
の-中に	落ちる	あなたの-中の	の	あなたの-軍勢が	そして-すべての	あなたの-中に-いる	の
	H5307	H8432		H6951	H3605		

מַפַּלְתֵּךְ׃	בְּיוֹם	יַמִּים
あなたの-滅亡の	日に	海の
H4658	H3117	H3220

あなたの財宝、あなたの貨物、あなたの商品、あなたの船員、あなたのかじ取り、あなたの漏りを繕う者、あなたの商品を商う者、あなたの中にいるすべての軍人、あなたの中にいるすべての仲間は皆、あなたの破滅の日に海の中に沈む。

28

מִגְרְשׁוֹת׃	יִרְעֲשׁוּ	חֹבְלָיִךְ	זַעֲקַת	לְקוֹל
周囲の-地が	震える	あなたの-水先案内人の	叫びの	声に
H4054	H7493	H2259	H2201	

あなたのかじ取りの叫び声に、近郷は震い、

29

חֹבְלֵי	כֹּל	מַלָּחִים	מָשׁוֹט	תֹּפְשֵׂי	כָּל	מֵאֳנִיּוֹתֵיהֶם	וְיָרְדוּ
水先案内人が	すべての	水夫たちが	櫂を	握る-者が	すべての	その-船から	そして-降りる
H2259	H3605	H4419		H8610	H3605	H0591	H3381

יַעֲמֹדוּ׃	הָאָרֶץ	אֶל־	הַיָּם
立つ	陸に	に	海の
H5975	H0776	H0413	H3220

すべてかいをとる者は船からくだる。船員および海のすべてのかじ取りは海べに立ち、

30

עַל־	עָפָר	וְיִתְעַלָּיוּ	מָרָה	וְיִזְעֲקוּ	בְקוֹלָם	עָלַיִךְ	וְהִשְׁמִיעוּ
の-上に	塵を	そして-かぶる	苦く	そして-叫ぶ	その-声で	あなたに-ついて	そして-聞かせる
	H6083	H5927	H4751	H2199			H8085

יִתְפַּלָּשׁוּ׃	בָּאֵפֶר	רָאשֵׁיהֶם
転げ回る	灰の-中で	その-頭の
H6428	H0665	

あなたのために声をあげて泣き、はげしく叫び、ちりをこうべにかぶり、灰の中にまろび、

31

אֵלַיִךְ	וּבָכוּ	שַׂקִּים	וְחָגְרוּ	קָרְחָה	אֵלַיִךְ	וְהִקְרִיחוּ
あなたの-ために	そして-泣く	荒布を	そして-まとう	穿だかに	あなたの-ために	そして-剃り上げる
H0413	H1058	H8242	H2296	H7144	H0413	H7139

מָר׃	מִסְפֵּד	נֶפֶשׁ	בְּמַר־
苦い	嗟きで	魂で	苦い
H4751	H4553	H5315	H4751

あなたのために髪をそり、荒布をまとい、あなたのために心を痛めて泣き、はげしく嘆く。

32

מִי	עָלַיִךְ	וְקוֹנְנוּ	קִינָה	בְּנִיהֶם	אֵלַיִךְ	וְנָשְׂאוּ
誰が	あなたに-ついて	そして-嘆く	哀歌を	その-歌で	あなたに-ついて	そして-上げる
H4310		H6969	H7015	H5204	H0413	H5375

הַיָּם׃	בְּתוֹךְ	כְּדֻמָּה	כְּצוֹר
海の	の-中で	沈黙した-者のように	ツロのようか
H3220	H8432	H1822	H6865

彼らは悲しんで、あなたのために悲しみの歌をのべ、あなたを弔って言う、『だれかツロのように海の中で滅びたものがあるか。

33	בְּצֵאת	עִזְבוֹנַיִךְ	מִיַּמִּים	הִשְׂבָּעַתְ	עַמִּים	רַבִּים	בְּרֹב	הוֹנַיִךְ
	出て-行ったとき	あなたの-倉庫が	海から	満たした	多くの-民を	—	多くの	あなたの-富と
	H3318	H5801	H3220	H7646			H7230	H1952

וּמַעֲרָבַיִךְ	הֶעֱשַׁרְתְּ	מַלְכֵי־	אֶרֶץ׃	
あなたの-商品で	富ませた	地の-王たちを	—	
H4627	H6238	H4428	H0776	

あなたの商品が海を越えてきた時、あなたは多くの民を飽かせ、あなたの多くの財宝と商品とをもって、地の王たちを富ませた。

34	עֵת	נִשְׁבָּרַת	מִיַּמִּים	בִּמְעַמְקֵי־	מָיִם	מַעֲרָבֵךְ	וְכָל־	קְהָלֵךְ
	時に	破壊された	海から	深い-水の-中で	—	あなたの-商品と	すべての	あなたの-軍勢が
	H6256	H7665	H3220	H4615	H4325	H4627	H3605	H6951

בְּתוֹכֵךְ	נָפָלוּ׃
あなたの-中で	倒れた
H8432	H5307

今あなたは海で破船し、深い水に沈み、あなたの商品と、あなたのすべての船員とは、あなたと共に沈んだ。

35	כָּל	יֹשְׁבֵי	הָאִיִּים	שָׁמְמוּ	עָלָיִךְ	וּמַלְכֵיהֶם
	すべての	住民が	島々の	おぞのいた	あなたに-ついて	そして-その-王たちは
	H3605	H3427	H0339	H8074		H4428

שַׂעֲרוּ	רָעֲמוּ	פָּנִים׃
おぞのきの	青ざめた	顔を
	H7481	H6440

海沿いの国々に住む者は皆あなたについて驚き、その王たちは大いに恐れてその顔を震わす。

36	סֹחֲרִים	בָּעַמִּים	שָׁרְקוּ	עָלָיִךְ	בַּלָּהוֹת	הָיִית
	商人たちが	諸国民の-中で	口笛を-吹いた	あなたに-ついて	恐怖と	なった
	H5503		H8319		H1091	H1961

וְאֵינֵךְ	עַד־	עוֹלָם׃	ס
そして-あなたは-なくなる	永遠に	—	セラ
H0369	H5704	H5769	

もろもろの民の中の商人らはあなたをあざける。あなたは恐るべき終りを遂げ、永遠にうせはてる』」。

Chapter 28

1	וַיְהִי	דְבַר־	יְהוָה	אֵלַי	לֵאמֹר׃
	そして-あった	言葉が	主の	私に	言って
	H1961	H1697	H3068	H0413	H0559

主の言葉がわたしに臨んだ、

2

בֶּן־ אָדָם אֱמֹר לְנְגִיד צֹר כֹּה־ אָמַר אֲדֹנָי יְהוִה יַעַן גָּבַהּ
人の 子よ 言え 君主に ツロの このように 言われる 主なる 神は だから 高ぶった
H0120 H0559 H5057 H6865 H3541 H0136 H3069 H3282 H1361

בְּלֵב בְּשִׁבְתִּי מוֹשַׁב אֱלֹהִים אֲנִי אֵל וַתֹּאמֶר לִבְּךָ
の–中に 座って–いる–と 神の 座に わたしは–と 神だ そして–あなたは–言った あなたの–心が
H3427 H0430 H4186 H0589 H0410 H0559

לִבְּךָ וַתִּתֶּן אֵל וְלֹא־ אָדָם וְאַתָּה יַמִּים
あなたの–心を それでも–あなたは–した ない 神では 人間で–あり しかし–あなたは 海の
H5414 H0410 H3808 H0120 H3220

כְּלֵב אֱלֹהִים׃
の–心のように 神の
H0430

「人の子よ、ツロの君に言え、主なる神はこう言われる、あなたは心に高ぶって言う、『わたしは神である、神々の座にすわって、海の中にいる』と。しかし、あなたは自分を神のように賢いと思っても、人であって、神ではない。

3

הִנֵּה חָכָם אַתָּה מִדָּנִיֵּאל מדנאל לֹא סָתוּם כָּל־
見よ 知恵が–ある あなたは [ダニエルよりも] (ダニエルよりも) いかなる 秘密も かなわない
H2009 H2450 H0859 H1840 H1840 H3605 H5640 H3808

עֲמָמוּךָ׃
あなたには
H6004

見よ、あなたはダニエルよりも賢く、すべての秘密もあなたには隠れていない。

4

בְּחָכְמָתְךָ וּבִתְבוּנָתְךָ עָשִׂיתָ לְךָ חַיִל וַתַּעַשׂ זָהָב
あなたの–知恵で そして–あなたの–英知で 得た あなたの–ために 富を そして–得た 金と
H2451 H8394 H6213 H0853 H2428 H6213 H2091

וְכֶסֶף בְּאוֹצְרוֹתֶיךָ׃
銀を あなたの–倉庫に
H3701 H0214

あなたは知恵と悟りとによって富を得、金銀を倉にたくわえた。

5

בְּרֹב חָכְמָתְךָ בִּרְכֻלָּתְךָ הִרְבֵּיתָ חֵילֶךָ וַיִּגְבַּהּ לִבְּךָ
多くの あなたの–知恵で あなたの–交易で 増やした あなたの–富を そして–高ぶった あなたの–心が
H7230 H2451 H7404 H7235 H2428 H1361 H3824

בְּחֵילֶךָ׃ ס
あなたの–富によって セラ
H2428

あなたは大いなる貿易の知恵によってあなたの富を増し、その富によってあなたの心は高ぶった。

6

לָכֵן כֹּה אָמַר אֲדֹנָי יְהוִה יַעַן תִּתֶּךָ לִבְּךָ אֵת־
それゆえ このように 言われる 主なる 神は だから あなたが–した あなたの–心を の
H3541 H0559 H0136 H3069 H3282 H5414 H3824 H0853

כְּלֵב אֱלֹהִים׃
の–心のように 神の
H0430

それゆえ、主なる神はこう言われる、あなたは自分を神のように賢いと思っているゆえ、

7

גּוֹיִם	עָרִיצֵי	זָרִים	עָלַיִךְ	מֵבִיא	הִנְנִי	לָכֵן
諸国民の	横暴な–者を	他国–人を	あなたに–向かって	導いて	見よ–わたしは–連れて–来る	それゆえ
	H6184			H0935	H2009	

יִפְעָתֵךְ׃	וְחִלְּלוּ	חָכְמָתֵךְ	יְפִי	עַל־	חַרְבוֹתָם	וְהֵרִיקוּ
あなたの–輝きを	そして–汚す	あなたの–知恵の	美しさに	に–向かって	剣を	そして–彼らは–抜く
H3314		H2451	H3308		H2719	H7324

見よ、わたしは、もろもろの国民の最も恐れている異邦人をあなたに攻めこさせる。彼らはつるぎを抜いて、あなたが知恵をもって得た麗しいものに向かい、あなたの輝きを汚し、

8

יַמִּים׃	בְּלֵב	חָלָל	מְמוֹתֵי	וָמַתָּה	יוֹרִדוּךְ	לַשָּׁחַת
海の	の–中で	刃に–倒れた–者の	死を	そして–あなたは–死ぬ	彼らは–下らせる	穴に
H3220			H4463	H4191	H3381	H7845

あなたを穴に投げ入れる。あなたは海の中で殺された者のような死を遂げる。

9

הֲרֹגֵךְ	לִפְנֵי	אָנִי	אֱלֹהִים	תֹּאמַר	הֲאָמֹר
あなたを–殺す–者の	前で	わたしは–と	神だ	あなたは–言うか	果たして–言えるか
H2026	H6440	H0589	H0430	H0559	H0559

מְחַלְלֵךְ׃	בְיַד	אֵל	וְלֹא־	אָדָם	וְאַתָּה
あなたを–汚す–者の	手の–中で	ない	神では	人間で–あり	しかし–あなたは
	H3027	H0410	H3808	H0120	

それでもなおあなたは、『自分は神である』と、あなたを殺す人々の前で言うことができるか。あなたは自分を傷つける者の手にかかっては、人であって、神ではないではないか。

10

דִּבַּרְתִּי	אֲנִי	כִּי	זָרִים	בְיַד־	תָּמוּת	עֲרֵלִים	מוֹתֵי
語った	わたしが	なぜなら	他国–人の	手に–よって	あなたは–死ぬ	割礼なき–者の	死を
H1696	H0589			H3027	H4191	H6189	H4194

ס	יְהוָה׃	אֲדֹנָי	נְאֻם
セラ	神は	主なる	と–告げる
	H3069	H0136	H5002

あなたは異邦人の手によって割礼を受けない者の死を遂げる。これはわたしが言うのであると、主なる神は言われる」。

11

לֵאמֹר׃	אֵלַי	יְהוָה	דְּבַר־	וַיְהִי
言って	私に	主の	言葉が	そして–あった
H0559	H0413	H3068	H1697	H1961

また主の言葉がわたしに臨んだ、

12

אָמַר	כֹּה	לוֹ	וְאָמַרְתָּ	צֹר	מֶלֶךְ	עַל־	קִינָה	שָׂא	אָדָם	בֶּן־
言われる	このように	彼に	そして–言え	ツロの	王に	に–ついて	哀歌を	上げよ	子よ	人の
H0559	H3541		H0559	H6865	H4428		H7015	H5375	H0120	

יָפְיִ׃	וּכְלִיל	חָכְמָה	מָלֵא	תָּכְנִית	חוֹתֵם	אַתָּה	יְהוִה	אֲדֹנָי
美に	そして–完全な	知恵に	満ちて–いた	完全の	印章で–あった	あなたは	神は	主なる
H3308	H3632	H2451	H4392	H8508	H2856		H3069	H0136

「人の子よ、ツロの王のために悲しみの歌をのべて、これに言え。主なる神はこう言われる、あなたは知恵に満ち、美のきわみである完全な印である。

13 בְּעֵדֶן גַּן־ אֱלֹהִים הָיִיתָ כָּל־ אֶבֶן יְקָרָה מְסֻכָתֶךָ
に 園に 神の あなたは-いた あらゆる 宝石が 貴重な あなたの-覆いで-あった
H1588 H430 H1961 H3605 H0068 H3368 H4540

אֹדֶם פִּטְדָה וְיָהֲלֹם תַּרְשִׁישׁ שֹׁהַם וְיָשְׁפֵה נֹפֶךְ וּבָרְקַת
紅玉髄と トパーズと ダイヤモンドと 緑柱石と 縞瑪瑙と 碧玉と トルコ石と エメラルドと
H0124 H6357 H3095 H8658 H7718 H3471 H5601 H5306

הִכְרַאֲךָ מְלֶאכֶת וְזָהָב תֻּפֶּיךָ וּנְקָבֶיךָ בְּיוֹם בָּךְ
あなたが-造られた 細工が そして-金が あなたの-タンバリンの そして-笛の 日に あなたの-中に
H3117 H2091 H4399 H8596 H5345 H3117

כּוֹנָנוּ׃
備えられた

あなたは神の園エデンにあって、もろもろの宝石が、あなたをおおっていた。すなわち赤めのう、黄玉、青玉、貴かんらん石、緑柱石、縞めのう、サファイヤ、ざくろ石、エメラルド。そしてあなたの象眼も彫刻も金でなされた。これらはあなたの造られた日に、あなたのために備えられた。

14 אַתְּ־ כְּרוּב מְמֻשָׁח הַסּוֹכֵךְ וּנְתַתִּיךָ בְּהַר קֹדֶשׁ
あなたは ケルブで-あった 油注がれた 覆う-者で そして-わたしは-置いた に 山に
H0859 H3742 H4473 H5480 H5414 H2022 H6944

הָיִיתָ אֱלֹהִים בְּתוֹךְ אַבְנֵי־ אֵשׁ הִתְהַלָּכְתָּ׃
あなたは-いた 神の-聖なる の-中で 石の 火の 歩いて-いた
H1961 H0430 H8432 H0068 H0784 H1980

わたしはあなたを油そそがれた守護のケルブと一緒に置いた。あなたは神の聖なる山にいて、火の石の間を歩いた。

15 תָּמִים אַתָּה בִּדְרָכֶיךָ מִיּוֹם הִבָּרְאָךְ עַד־ נִמְצָא
完全で-あった あなたは あなたの-道に-おいて 日から あなたが-造られた 見つかるまで ―
H8549 H0859 H1870 H3117 H0859 H5704 H4672

עַוְלָתָה בָּךְ׃
不正が あなたの-中に

あなたは造られた日から、あなたの中に悪が見いだされた日まではそのおこないが完全であった。

16 בְּרֹב רְכֻלָּתְךָ מָלְאוּ תוֹכְךָ חָמָס וַתֶּחֱטָא
多くの あなたの-交易で 満ちた あなたの-内が 暴力で そして-あなたは-罪を-犯した
H7230 H7404 H4390 H8432 H2555 H2398

וָאֲחַלֶּלְךָ מֵהַר אֱלֹהִים וָאַבֶּדְךָ כְּרוּב הַסֹּכֵךְ מִתּוֹךְ
そこで-わたしは-汚した から 神の-山から そして-わたしは-滅ぼした ケルブよ 覆う-者よ から
H0859 H2022 H0430 H0006 H3742 H5480 H8432

אַבְנֵי־ אֵשׁ׃
石の 火の
H0068 H0784

あなたの商売が盛んになると、あなたの中に暴虐が満ちて、あなたは罪を犯した。それゆえ、わたしはあなたを神の山から汚れたものとして投げ出し、守護のケルブはあなたを火の石の間から追い出した。

17 גָּבְהָה לִבְּךָ עַל־ יָפְיֶךָ שִׁחַתָּ חָכְמָתְךָ עַל־ יִפְעָתֶךָ
高ぶった あなたの-心が あなたの-美によって 捜った あなたの-知恵を の-ために あなたの-輝きの
H1361 H3820 H3308 H7843 H2451 H5921 H3314

עַל־ אֶרֶץ הִשְׁלַכְתִּיךָ לִפְנֵי מְלָכִים נְתַתִּיךָ לְרַאְוָה בָּךְ׃
の-上に 地の わたしは-投げきった 前に 王たちの わたしは-与えた 見せ物として あなたを
H5921 H0776 H7993 H6440 H4428 H5414 H7200 H0859

あなたは自分の美しさのために心高ぶり、その輝きのために自分の知恵を汚したゆえに、わたしはあなたを地に投げうち、王たちの前に置いて見せ物とした。

18

וָאוֹצִא־	מִקְדָּשֶׁיךָ	חִלַּלְתָּ	רְכֻלָּתְךָ	בְּעֲוֹל֣	עֲוֹנֶיךָ	מֵרֹ֣ב
そこで–わたしは–出した	あなたの–聖所を	汚した	あなたの–交易の	不正で	あなたの–咎の	多くの
H3318	H4720		H7404		H5771	H7230

הָאָ֑רֶץ	עַל־	לְאֵפֶר֙	וָאֶתֶּנְךָ	אֲכַלֶּ֣תְךָ	הֲיִא	מְתוֹכְךָ֔	אֵ֖שׁ	
地の	の–上に	灰と	そして–わたしは–した	あなたを–焼き尽くした	それが	あなたの–内から	火を	
H0776		H0665	H5414	H0398	H1931	H8432	H0784	

רֹאֶ֖יךָ׃	כָּל־	לְעֵינֵ֥י
あなたを–見る–者の	すべての	目の–前で
H7200	H3605	

あなたは不正な交易をして犯した多くの罪によってあなたの聖所を汚したゆえ、わたしはあなたの中から火を出してあなたを焼き、あなたを見るすべての者の前であなたを地の上の灰とした。

19

הָיִ֔יתָ	בַלָּהוֹת֙	עָלֶ֔יךָ	שָׁמְמ֖וּ	בָּעַמִּ֑ים	יוֹדְעֶ֣יךָ	כָּל־
なった	恐怖と	あなたに–ついて	おぞのいた	諸国民の–中で	あなたを–知る–者が	すべての
H1961	H1091		H8074		H3045	H3605

פ	עוֹלָֽם׃	עַד־	וְאֵינֶ֥נְךָ	
パラグラフ	—	永遠に	そして–あなたは–なくなる	
	H5769	H5704	H0369	

もろもろの民のうちであなたを知る者は皆あなたについて驚く。あなたは恐るべき終りを遂げ、永遠にうせはてる」。

20

לֵאמֹֽר׃	אֲלַ֖י	יְהוָ֥ה	דְּבַר־	וַיְהִ֥י
言って	私に	主の	言葉が	そして–あった
H0559	H0413	H3068	H1697	H1961

主の言葉がわたしに臨んだ、

21

עָלֶֽיהָ׃	וְהִנָּבֵ֖א	צִיד֑וֹן	אֶל־	פָּנֶ֥יךָ	שִׂ֛ים	אָדָ֖ם	בֶּן־
それに–対して	そして–預言せよ	シドン	に–向かって	あなたの–顔を	向けよ	子よ	人の
	H5012	H6721	H0413	H6440		H0120	

「人の子よ、あなたの顔をシドンに向け、これに向かって預言して、

22

צִיד֔וֹן	עָלָ֖יִךְ	הִנֵּ֣נִי	יְהוִ֑ה	אֲדֹנָ֣י	אָמַ֗ר	כֹּ֚ה	וְאָמַרְתָּ֙	
シドンよ	あなたに	見よ–わたしは–向かう	神は	主なる	言われる	このように	そして–言え	
H6721		H2009	H3069	H0136	H0559	H3541	H0559	

יְהוָ֔ה	אֲנִ֖י	כִּי־	וְיָדְע֣וּ	בְתוֹכֵ֑ךְ	וְנִכְבַּדְתִּ֖י	
主で–あることを	わたしが	と	そして–彼らは–知る	あなたの–中で	そして–わたしは–栄光を–得る	
H3068	H0589		H3045	H8432	H3513	

בָּ֔הּ׃	וְנִקְדַּשְׁתִּ֣י	שְׁפָטִ֖ים	בָּ֔הּ	בַּעֲשׂוֹתִ֥י	
その–中で	そして–わたしは–聖と–される	裁きを	その–中で	行うとき	
	H6942	H8201			

言え。主なる神はこう言われる、シドンよ、見よ、わたしはあなたの敵となる、わたしはあなたのうちで栄えをあらわす。わたしがシドンのうちにさばきをおこない、そのうちにわたしの聖なることをあらわす時、彼らはわたしが主であることを知る。

23 וְשִׁלַּחְתִּי־ בָּהּ דֶּבֶר וְדָם֙ בְּחוּצוֹתֶ֔יהָ וְנִפְלָ֥ל חָלָ֖ל
そして–わたしは–送る その–中に 疫病と 血を その–通りに そして–倒れる 傷ついた–者が
H7971 H1698 H1818 H2351 H5307

בְּתוֹכָ֑הּ בְּחֶ֣רֶב מְסָבִ֗יב עָלֶ֙יהָ֙ וְיָדְע֔וּ כִּ֥י אֲנִ֖י יְהוָ֥ה׃
その–中で 剣で 周囲から それに–対して そして–彼らは–知る と わたしが 主で–あることを
H8432 H2719 H5439 H3045 H0589 H3068

わたしは疫病をこれに送り、そのちまたに流血を送る。その四方からこれに臨むつるぎによって殺される者がその中に倒れる時、彼らはわたしが主であることを知る。

24 וְלֹא־ יִהְיֶ֥ה עוֹד֙ לְבֵ֣ית יִשְׂרָאֵ֔ל סַלּ֥וֹן מַמְאִ֖יר
そして–もはや–ない なくなる もう 家にとって イスラエルの 刺す–とげも 痛める
H3808 H1961 H5750 H3478 H5544 H3992

כֹּ֚ל מִכֹּאֲבֵ֔י וְקוֹץ֙ מַכְאִ֔יב סְבִיבֹתָ֖ם הַשָּׁאטִ֣ים אוֹתָ֑ם וְיָדְע֖וּ כִּ֥י
から 苦しめる そして–刺す–いばらも その–周囲の 蔑む–者の 彼らを そして–彼らは–知る と
H3605 H3510 H6975 H5439 H7590 H0853 H3045

אֲנִ֥י אֲדֹנָ֖י יְהוִֹ֥ה׃ ס
わたしが 主なる 神で–あることを セラ
H0589 H0136 H3069

イスラエルの家には、もはや刺すいばらはなく、これを卑しめたその周囲の人々のうちには、苦しめるとげもなくなる。こうして彼らはわたしが主であることを知るようになる。

25 כֹּ֣ה ׀ אָמַ֣ר אֲדֹנָ֣י יְהוִ֗ה בְּקַבְּצִי֙ אֶת־ בֵּ֣ית יִשְׂרָאֵ֔ל מִן־ הָעַמִּ֖ים
このように 言われる 主なる 神は 集めるとき の 家を イスラエルの から 諸国民の
H3541 H0559 H0136 H3069 H6908 H0853 H3478 H5971

אֲשֶׁ֣ר נָפֹ֔צוּ בָּ֖ם וְנִקְדַּשְׁתִּ֣י לְעֵינֵ֑י הַגּוֹיִ֔ם
の–中に 散らされた 彼らの そして–わたしは–聖と–される 目の–前で 諸国民の
H6942

אֲשֶׁ֣ר נָתַ֔תִּי לְעַבְדִּ֖י לְיַעֲקֹ֑ב וְיָשְׁב֣וּ עַל־ אַדְמָתָ֔ם
の わたしが–与えた わたしの–僕べに ヤコブに そして–彼らは–住む その–地の の–上に
H5414 H5650 H3290 H3427 H0127

主なる神はこう言われる、わたしがイスラエルの家の者を、その散らされたもろもろの民の中から集め、もろもろの国民の目の前で、彼らにわたしの聖なることをあらわす時、彼らはわたしが、わがしもべヤコブに与えた地に住むようになる。

26 וְיָשְׁב֣וּ עָלֶ֗יהָ לָבֶ֙טַח֙ וּבָנ֣וּ בָתִּ֔ים וְנָטְע֖וּ כְּרָמִ֑ים
そして–彼らは–住む その–上に 安全に そして–建てる 家を そして–植える ぶどう畑を
H3427 H0983 H1129 H1004 H5193 H3754

וְיָשְׁב֣וּ לָבֶ֔טַח בַּעֲשׂוֹתִ֣י שְׁפָטִ֔ים בְּכָל֙ הַשָּׁאטִ֣ים אֹתָ֔ם מִסְּבִיבוֹתָ֑ם
そして–住む 安全に 行うとき 裁きを に–対して 蔑む–者すべてに 彼らを 周囲からの
H3427 H0983 H6213 H8201 H3605 H7590 H0853 H5439

וְיָדְע֣וּ כִּ֤י אֲנִי֙ יְהוָ֔ה אֱלֹהֵיהֶ֖ם׃ ס
そして–彼らは–知る と わたしが 主で–あることを 彼らの–神で–あることを セラ
H3045 H0589 H3068 H0430

彼らはそこに安らかに住み、家を建て、またぶどう畑を作る。かつて彼らを卑しめたすべての隣り人たちに対して、わたしがさばきを行う時、彼らは安らかに住む。こうして彼らは、わたしが彼らの神、主であることを知る」。

Chapter 29

1

בַּשָּׁנָה הָעֲשִׂירִית בָּעֲשִׂרִי בִּשְׁנֵים עָשָׂר לַחֹדֶשׁ הָיָה דְבַר־ יְהוָה אֵלַי לֵאמֹר׃
第十の 十の-月の 十二 一 日に あった 言葉が 主の 私に 言って
H8141 H6224 H6224 H8147 H6240 H2320 H1961 H1697 H3068 H0413 H0559

第十年の十月十二日に、主の言葉がわたしに臨んだ、

2

בֶּן־ אָדָם שִׂים פָּנֶיךָ עַל־ פַּרְעֹה מֶלֶךְ מִצְרַיִם וְהִנָּבֵא עָלָיו וְעַל־ מִצְרַיִם כֻּלָּהּ׃
人の 子よ 向けよ あなたの-顔を に-向かって ファラオ 王に エジプトの そして-預言せよ
H0120 H7760 H6440 H5921 H6547 H4428 H4714 H5012
彼に-対して そして-に-対して エジプト すべてに
H5921 H5921 H4714 H3605

「人の子よ、あなたの顔をエジプトの王パロに向け、彼とエジプト全国に対して預言し、

3

דַּבֵּר וְאָמַרְתָּ כֹּה־ אָמַר אֲדֹנָי יְהוִה הִנְנִי עָלֶיךָ
語れ そして-言え このように 言われる 主なる 神は 見よ-わたしは-向かう あなたに
H1696 H0559 H3541 H0559 H0136 H3069 H2009

הַתַּנִּים הַגָּדוֹל הָרֹבֵץ בְּתוֹךְ יְאֹרָיו אֲשֶׁר אָמַר
大きな-海獣よ 一 伏す の-中に その-川の の 言った
H8577 H1419 H7257 H8432 H2975 H834 H0559

לִי יְאֹרִי וַאֲנִי עָשִׂיתִנִי׃
わたしのものだ 川は そして-わたしが 自分で-造った-と
H2975 H0589

「語って言え。主なる神はこう言われる、エジプトの王パロよ、見よ、わたしはあなたの敵となる。あなたはその川の中に伏す大いなる龍で、『ナイル川はわたしのもの、わたしがこれを造った』と言う。

4

וְנָתַתִּי חַחִיים[ ](חַחִים בִּלְחָיֶיךָ וְהִדְבַּקְתִּי דְגַת־
そして-わたしは-つける [鉤を] (鉤を) あなたの-あごに そして-くっつかせる 魚を
H5414 H2397 H2397 H3895 H1692 H1710

יְאֹרֶיךָ בְּקַשְׂקְשֹׂתֶיךָ וְהַעֲלִיתִיךָ מִתּוֹךְ יְאֹרֶיךָ וְאֵת כָּל־ דְּגַת
あなたの-川の あなたの-うろこに そして-引き上げる から あなたの-川の そして すべての 魚も
H2975 H7193 H5927 H8432 H2975 H853 H3605 H1710

בְּקַשְׂקְשֹׂתֶיךָ תִּדְבָּק׃ יְאֹרֶיךָ בְּקַשְׂקְשֹׂתֶיךָ
あなたの-うろこに くっつく あなたの-川の あなたの-うろこに
H7193 H1692 H2975 H7193

わたしは、かぎをあなたのあごにかけ、あなたの川の魚を、あなたのうろこにつかせ、あなたと、あなたのうろこについているもろもろの魚を、あなたの川から引きあげ、

5

וּנְטַשְׁתִּיךָ הַמִּדְבָּרָה אוֹתְךָ וְאֵת כָּל־ דְּגַת יְאֹרֶיךָ עַל־
そして-わたしは-捨てる 荒野に あなたを そして すべての 魚も あなたの-川の の-上に
H5203 H3452 H853 H3605 H1710 H2975 H5921

פְּנֵי הַשָּׂדֶה תִּפּוֹל לֹא תֵאָסֵף וְלֹא תִקָּבֵץ לְחַיַּת הָאָרֶץ
面に あなたは-倒れる 集められず 一 拾われず 一 獣に 地の
H7704 H5307 H3808 H0622 H3808 H6908 H2416 H0776

וְלְעוֹף הַשָּׁמַיִם נְתַתִּיךָ לְאָכְלָה׃
そして-鳥に 空の わたしは-与える 食物として
H5775 H8064 H5414 H0402

あなたとあなたの川のもろもろの魚を、荒野に投げ捨てる。あなたは野の面に倒れ、あなたを取り集める者も、葬る者もない。わたしはあなたを地の獣と空の鳥のえじきとして与える。

6

יַעַן	יְהוָה	אֲנִי	כִּי	מִצְרַיִם	יֹשְׁבֵי	כָּל־	וְיָדְעוּ	
だから	主で–あることを	わたしが	と	エジプトの	住民が	すべての	そして–知る	
H3282	H3068	H0589		H4714	H3427	H3605	H3045	

יִשְׂרָאֵל׃	לְבֵית	קָנֶה	מִשְׁעֶנֶת	הֱיוֹתָם
イスラエルの	家にとって	葛の	葛の–杖として	彼らが–あった
H3478		H7070		H1961

そしてエジプトのすべての住民はわたしが主であることを知る。あなたはイスラエルの家に対して葦のつえであった。

7

כָּל־	לָהֶם	וּבָקַעְתָּ	תֵּרוֹץ	בכפם)(בכפך[	בְּךָ	בְּתָפְשָׂם	
すべての	彼らの	そして–裂いた	あなたは–裂けた	(手で)	[手で]	あなたを	彼らが–つかんだとき
H3605		H1234	H7533	H3709	H3709	H8610	

לָהֶם	וְהַעֲמַדְתָּ	תִּשָּׁבֵר	עָלֶיךָ	וּבְהִשָּׁעֲנָם	כָּתֵף	
彼らの	そして–よろめかせた	あなたは–折れた	あなたに	そして–彼らが–寄りかかったとき	肩を	
	H5976	H7665		H8172	H3802	

כָּל־	מָתְנָיִם׃	ס	
すべての	腰を	セラ	
H3605	H4975		

彼らがあなたを手にとる時、あなたは折れ、彼らの肩はことごとく裂ける。彼らがまたあなたに寄りかかる時、あなたは破れ、彼らの腰をことごとく震えさせる。

8

עָלָיִךְ	מֵבִיא	הִנְנִי	יְהוִה	אֲדֹנָי	אָמַר	כֹּה	לָכֵן
あなたに–対して	導いて	見よ–わたしは–もたらす	神は	主なる	言われる	このように	それゆえ
	H0935	H2009	H3069	H0136	H0559	H3541	

וּבְהֵמָה׃	אָדָם	מִמֵּךְ	וְהִכְרַתִּי	חֶרֶב
家畜を	人と	あなたから	そして–断つ	剣を
H0929	H0120		H3772	H2719

それゆえ、主なる神はこう言われる、見よ、わたしはつるぎをあなたに持ってきて、人と獣とをあなたのうちから断つ。

9

אֲנִי	כִּי־	וְיָדְעוּ	וְחָרְבָה	לְשִׁמָּמָה	מִצְרַיִם	אֶרֶץ־	וְהָיְתָה	
わたしが	と	そして–彼らは–知る	廃墟に	荒廃と	エジプトの	地が	そして–なる	
H0589		H3045	H2723		H4714	H0776	H1961	

עָשִׂיתִי׃	וַאֲנִי	לִי	יְאֹר	אָמַר	יַעַן	יְהוָה
造った–と	そして–わたしが	わたしのものだ	川は	彼が–言った	だから	主で–あることを
	H0589		H2975	H0559	H3282	H3068

エジプトの地は荒れて、むなしくなる。そして彼はわたしが主であることを知る。あなたは『ナイル川はわたしのもの、わたしがこれを造った』と言っているゆえに、

10

אֶת־	וְנָתַתִּי	יְאֹרֶיךָ	וְאֶל־	אֵלֶיךָ	הִנְנִי	לָכֵן	
の	そして–わたしは–する	あなたの–川に	そして	あなたに	見よ–わたしは–向かう	それゆえ	
H0853	H5414	H2975	H0413	H0413	H2009		

גְּבוּל	וְעַד־	סְוֵנֵה	מִמִּגְדֹּל	שְׁמָמָה	חָרֵב	לְחָרְבוֹת	מִצְרַיִם	אֶרֶץ
境まで	そして	スエネまで	ミグドルから	荒廃と	荒れ果てた	廃墟と	エジプトの	地を
	H5704	H5482				H2723	H4714	H0776

כּוּשׁ׃
クシュの

見よ、わたしはあなたとあなたの川々の敵となって、エジプトの地をミグドルからスエネまで、エチオピヤの境に至るまで、ことごとく荒し、むなしくする。

11

וְלֹא	בָהּ	תַּעֲבָר־	לֹא	בְּהֵמָה	וְרֶגֶל	אָדָם	רֶגֶל	בָּהּ	תַּעֲבָר־	לֹא
そして	そこを	—	通らない	家畜の	そして–足が	人の	足が	—	そこを	通らない
H3808			H3808	H0929	H7272	H0120	H7272			H3808

שָׁנָה׃	אַרְבָּעִים	תֵּשֵׁב
年	四十	住まれない
H8141	H0705	H3427

人の足はこれを渡らず、獣の足もこれを渡らない。四十年の間、ここに住む者はない。

12

נְשַׁמּוֹת	אֲרָצוֹת	וּבְתוֹךְ	שְׁמָמָה	מִצְרַיִם	אֶרֶץ	אֶת־	וְנָתַתִּי	
荒れ果てた	地の	の–中で	荒廃と	エジプトの	地を	の	そして–わたしは–する	
H8074	H0776	H8432		H4714	H0776	H0853	H5414	

שָׁנָה	אַרְבָּעִים	שְׁמָמָה	תִּהְיֶינָה	מֻחֳרָבוֹת	עָרֵים	בְּתוֹךְ	וְעָרֵיהָ
年	四十	荒廃に	なる	破壊された	町の	の–中で	そして–その–町々は
H8141	H0705		H1961			H8432	

פ	בָּאֲרָצוֹת׃	וְזֵרִיתִים	בַּגּוֹיִם	מִצְרַיִם	אֶת־	וַהֲפִצֹתִי
パラグラフ	諸国に	そして–まき散らす	諸国民の–中に	エジプトを	の	そして–わたしは–散らす
	H0776	H2219		H4714	H0853	

わたしはエジプトの地を荒して、荒れた国々の中に置き、その町々は荒れて、四十年のあいだ荒れた町々の中にある。わたしはエジプトびとを、もろもろの国民の中に散らし、もろもろの国の中に散らす。

13

אֶת־	אֲקַבֶּץ	שָׁנָה	אַרְבָּעִים	מִקֵּץ	יְהוִה	אֲדֹנָי	אָמַר	כֹּה	כִּי	
の	わたしは–集める	年の	四十	終わりに	神は	主なる	言われる	このように	なぜなら	
H0853	H6908	H8141	H0705	H7093	H3069	H0136	H0559	H3541		

שָׁמָּה׃	נָפֻצוּ	אֲשֶׁר־	הָעַמִּים	מִן־	מִצְרַיִם
そこに	散らされた	の–中に	諸国民の	から	エジプトを
H8033					H4714

主なる神はこう言われる、四十年の後、わたしはエジプトびとを、その散らされたもろもろの民の中から集める。

14

פַּתְרוֹס	אֶרֶץ	אֹתָם	וַהֲשִׁבֹתִי	מִצְרַיִם	שְׁבוּת	אֶת־	וְשַׁבְתִּי	
パトロスの	地に	彼らを	そして–帰らせる	エジプトの	運命を	の	そして–わたしは–回復させる	
H6624	H0776	H0853	H7725	H4714	H7622	H0853	H7725	

שְׁפָלָה׃	מַמְלָכָה	שָׁם	וְהָיוּ	מְכוּרָתָם	אֶרֶץ	עַל־	
卑しい	王国と	そこで	そして–彼らは–なる	その–生まれ故郷の	地に	に	
H8217	H4467	H8033	H1961	H4351	H0776		

すなわちエジプトの運命をもとに返し、彼らをその生れた地であるパテロスの地に帰らせる。その所で彼らは卑しい国となる。

15

הַגּוֹיִם	עַל־	עוֹד	תִּתְנַשֵּׂא	וְלֹא־	שְׁפָלָה	תִּהְיֶה	הַמַּמְלָכוֹת	מִן־	
諸国民の	の–上に	もう	高ぶらない	そして–もはや	卑しい	それは–なる	王国の	から	
		H5750	H5375	H3808	H8217	H1961	H4467		

בַּגּוֹיִם׃	רְדוֹת	לְבִלְתִּי	וְהַמְעַטְתִּים
諸国民を	—	支配しない–ように	そして–わたしは–小さくする
		H1115	H4591

これはもろもろの国よりも卑しくなり、再びもろもろの国民の上に出ることができない。わたしは彼らを小さくするゆえ、再びもろもろの国民を治めることはない。

16

וְלֹא יִהְיֶה־עוֹד לְבֵית יִשְׂרָאֵל לְמִבְטָח
そして–もはや–ならない なくなる もう 家にとって イスラエルの よりどころと
H3808 H1961 H5750 H1961 H3478 H4009

מַזְכִּיר עָוֹן בִּפְנוֹתָם אַחֲרֵיהֶם וְיָדְעוּ כִּי אֲנִי
思い出させる–ものと 咎を 彼らが–向いたとき 彼らの–後に そして–彼らは–知る と わたしが
H2142 H5771 H6437 H0310 H3045 H0589

אֲדֹנָי יְהוִה׃ פ
主なる 神で–あることを パラグラフ
H0136 H3069

これはイスラエルが助けを求める時、その罪を思い出して、再びイスラエルの家の頼みとはならない。こうして彼らは、わたしが主なる神であることを知る」。

17

וַיְהִי בְּעֶשְׂרִים שָׁנָה וְשֶׁבַע בָּרִאשׁוֹן בְּאֶחָד לַחֹדֶשׁ הָיָה דְבַר־יְהוָה
そして–あった 二十–七 年の 一 第一の 第一の–月の 日に あった 言葉が 主の
H1961 H6242 H8141 H7651 H7223 H0259 H2320 H1961 H1697 H3068

אֵלַי לֵאמֹר׃
私に 言って
H0413 H0559

第二十七年の一月一日に、主の言葉がわたしに臨んだ、

18

בֶּן־אָדָם נְבוּכַדְרֶאצַּר מֶלֶךְ־בָּבֶל הֶעֱבִיד אֶת־חֵילוֹ עֲבֹדָה גְדֹלָה
人の 子よ ネブカドレツァル 王が バビロンの 働かせた の その–軍を 労働で 大きな
H0120 H5019 H4428 H0894 H5647 H0853 H2428 H5656 H1419

וְשָׂכָר לֹא־הָיָה לוֹ וְלִחֵילוֹ עַל־צֹר עֲבֹדָה אֲשֶׁר־עָבַד עָלֶיהָ׃
しかし–報酬が ない 彼にも その–軍にも ツロから のための 労働の の 働いた それに–対して
H7939 H1961 H3808 H0369 H2428 H6865 H5921 H5656 H0834 H5647 H5921

ס
セラ

「人の子よ、バビロンの王ネブカデレザルは、その軍勢をツロに対して大いに働かせた。頭は皆はげ、肩はみな破れた。しかし彼もその軍勢も、ツロに対してなしたその働きのために、なんの報いをも得なかった。

19

לָכֵן כֹּה אָמַר אֲדֹנָי יְהוִה הִנְנִי נֹתֵן לְנְבוּכַדְרֶאצַּר
それゆえ このように 言われる 主なる 神は 見よ–わたしは–与える 与える ネブカドレツァルに
H3541 H0559 H0136 H3069 H2009 H5414 H5019

מֶלֶךְ־בָּבֶל אֶת־אֶרֶץ מִצְרַיִם וְנָשָׂא הֲמוֹנָהּ וְשָׁלַל שְׁלָלָהּ וּבָזַז בִּזָּהּ
王に バビロンの の 地を エジプトの そして–彼は–運ぶ その–富を そして–奪う
H4428 H0894 H0853 H0776 H4714 H5375 H1995 H7998 H0962 H0957

וְהָיְתָה שָׂכָר לְחֵילוֹ׃
そして–それが–なる 報酬と その–軍の
H1961 H7939 H2428

20

מִצְרָיִם	אֶרֶץ	אֶת־	לוֹ	נָתַתִּי	בָּהּ	עָבַד	אֲשֶׁר־	פְּעֻלָּתוֹ
エジプトの	地を	の	彼に	わたしは–与えた	そこで	働いた	の	その–働きの–報酬として
H4714	H0776	H0853		H5414		H5647		H6468

ס	יְהוִה׃	אֲדֹנָי	נְאֻם	לִי	עָשׂוּ	אֲשֶׁר	
セラ	神は	主なる	と–告げる	わたしの–ために	行った	の	
	H3069	H0136	H5002				

彼の働いた報酬として、わたしはエジプトの地を彼に与える。彼らはわたしのために、これをしたからであると、主なる神は言われる。

21

וּלְךָ	יִשְׂרָאֵל	לְבֵית	קֶרֶן	אַצְמִיחַ	הַהוּא	בַּיּוֹם	
そして–あなたに	イスラエルの	家に	角を	わたしは–芽生えさせる	その	その–日に	
	H3478			H6779	H1931	H3117	

אֲנִי	כִּי־	וְיָדְעוּ	בְתוֹכָם	פֶּה	פִּתְחוֹן־	אֶתֵּן		
わたしが	と	そして–彼らは–知る	彼らの–中で	口を	開く–ことを	わたしは–与える		
H0589		H3045	H8432	H6310	H6610	H5414		

פ	יְהוָה׃
パラグラフ	主で–あることを
	H3068

その日、わたしはイスラエルの家に、一つの角を生じさせ、あなたの口を彼らのうちに開かせる。そして彼らはわたしが主であることを知る」。

Chapter 30

1

וַיְהִי	דְבַר־	יְהוָה	אֵלַי	לֵאמֹר׃	
そして–あった	言葉が	主の	私に	言って	
H1961	H1697	H3068	H0413	H0559	

主の言葉がわたしに臨んだ、

2

הָהּ	הֵילִילוּ	יְהוִה	אֲדֹנָי	אָמַר	כֹּה	וְאָמַרְתָּ	הִנָּבֵא	אָדָם	בֶּן־
ああ	泣き叫べ	神は	主なる	言われる	このように	そして–言え	預言せよ	子よ	人の
H1929	H3213	H3069	H0136	H0559	H3541	H0559	H5012	H0120	

לַיּוֹם׃
その–日よ
H3117

「人の子よ、預言して言え、主なる神はこう言われる、嘆け、その日はわざわいだ。

3

יְהוִה׃	גּוֹיִם	עֵת	עָנָן	יוֹם	לַיהוָה	יוֹם	וְקָרוֹב	יוֹם	קָרוֹב	כִּי־
来る	諸国民の	時が	雲の	日が	主の	日が	そして–近い	日が	近い	なぜなら
H1961		H6256	H6051	H3117	H3068	H3117	H7138	H3117	H7138	

その日は近い、主の日は近い。これは雲の日、異邦人の滅びの時である。

4

חָלָל	בִּנְפֹּל	בְּכוּשׁ	חַלְחָלָה	וְהָיְתָה	בְּמִצְרַיִם	חֶרֶב	וּבָאָה	
傷ついた–者が	倒れるとき	クシュに	苦悶が	そして–起こる	エジプトに	剣が	そして–来る	
	H5307		H2479	H1961	H4714	H2719	H0935	

יְסוֹדֹתֶיהָ׃	וְנֶהֶרְסוּ	הֲמוֹנָהּ	וְלֻקְחוּ	בְּמִצְרַיִם	
その–基が	そして–壊される	その–富が	そして–奪われる	エジプトで	
H3247	H2040		H3947	H4714	

つるぎがエジプトに臨む。エジプトで殺される者の倒れる時、エチオピヤには苦しみがあり、その財宝は奪い去られ、その基は破られる。

5 כּוּשׁ וּפוּט וְלוּד וְכָל־ עֲרַב וְכוּב וּבְנֵי אֶרֶץ הַבְּרִית
クシュと プトと ルデと そして–すべての 混合の–民と クブと そして–子らが 地の 契約の
H3568 H6316 H3865 H3605 H6154 H3552 H1121 H0776 H1285

אִתָּם בַּחֶרֶב יִפֹּלוּ׃ פ
彼らと–共に 剣で 倒れる パラグラフ
H0854 H2719 H5307

エチオピヤ、プテ、ルデ、アラビヤ、リビヤおよび同盟国の人々は、彼らと共につるぎに倒れる。

6 כֹּה אָמַר יְהוָה וְנָפְלוּ סֹמְכֵי מִצְרַיִם וְיָרַד גְּאוֹן
このように 言われる 主は そして–倒れる 支える–者が エジプトの そして–下る 誇りが
H3541 H0559 H3068 H5307 H5564 H4714 H3381 H1347

עֻזָּהּ מִמִּגְדֹּל סְוֵנֵה בַּחֶרֶב יִפְּלוּ־ בָהּ נְאֻם אֲדֹנָי יְהוִה׃
その–力の ミグドルから スエネまで 剣で 倒れる その–中で と–告げる 主なる 神は
H5797 H4024 H5482 H2719 H5307 H0136 H5002 H3069

主はこう言われる、エジプトを助ける者は倒れ、その誇る力はうせる。ミグドルからスエネまで、人々はつるぎによってそのうちに倒れると主なる神が言われる。

7 וְנָשַׁמּוּ בְּתוֹךְ אַרְצוֹת נְשַׁמּוֹת וְעָרֶיהָ בְּתוֹךְ עָרִים נַחֲרָבוֹת
そして–荒れ果てる の–中で 地の 荒れ果てた そして–その–町々は の–中で 町の 破壊された
H8074 H8432 H0776 H8074 H5892 H8432 H5892 H5892

תִּהְיֶינָה׃
なる
H1961

それは荒れて、荒れはてた国々のうちにあり、その町々は荒れた町々のうちにある。

8 וְיָדְעוּ כִּי־ אֲנִי יְהוָה בְּתִתִּי־ אֵשׁ בְּמִצְרָיִם
そして–彼らは–知る と わたしが 主で–あることを 放つとき 火を エジプトに
H3045 H3588 H0589 H3068 H5414 H0784 H4714

וְנִשְׁבְּרוּ כָּל־ עֹזְרֶיהָ׃
そして–砕かれる すべての その–助ける–者が
H7665 H3605 H5826

わたしがエジプトに火を送り、これを助ける者が皆滅びる時、彼らはわたしが主であることを知る。

9 בַּיּוֹם הַהוּא יֵצְאוּ מַלְאָכִים מִלְּפָנַי בַּצִּים לְהַחֲרִיד אֶת־
その日に その 出て–行く 使者たちが わたしの–前から 船で 恐れさせるために の
H3117 H1931 H3318 H4397 H6440 H6716 H2729 H0853

כּוּשׁ בָּטַח וְהָיְתָה חַלְחָלָה בָּהֶם כִּי הִנֵּה בָא׃ ס
クシュを 安心して–いる そして–起こる 苦悶が 彼らの–中に 日に エジプトの なぜなら 見よ それは–来る セラ
H3568 H0983 H1961 H2479 H8432 H3117 H4714 H3588 H2009 H0935

その日、早足の使者がわたしから出て、何事も知らぬエチオピヤびとを恐れさせる。そしてかのエジプトの滅びの日に、彼らに苦しみが来る。見よ、これはかならず来る。

10 כֹּה אָמַר אֲדֹנָי יְהוִה וְהִשְׁבַּתִּי אֶת־הֲמוֹן מִצְרַיִם בְּיַד נְבוּכַדְרֶאצַּר מֶלֶךְ־בָּבֶל׃

כֹּה	אָמַר	אֲדֹנָי	יְהוִה	וְהִשְׁבַּתִּי	אֶת־	הֲמוֹן	מִצְרַיִם	בְּיַד
このように	言われる	主なる	神は	そして–わたしは–終わらせる	の	群衆を	エジプトの	手で
H3541	H0559	H0136	H3069		H0853		H4714	H3027

נְבוּכַדְרֶאצַּר	מֶלֶךְ־	בָּבֶל׃
ネブカドレツァルの	王の	バビロンの
H5019	H4428	H0894

主なる神はこう言われる、わたしはバビロンの王ネブカデレザルの手によってエジプトの富を滅ぼす。

11 הוּא וְעַמּוֹ אִתּוֹ עָרִיצֵי גּוֹיִם מוּבָאִים לְשַׁחֵת

הוּא	וְעַמּוֹ	אִתּוֹ	עָרִיצֵי	גּוֹיִם	מוּבָאִים	לְשַׁחֵת
彼が	そして–その–民が	彼と–共に	横暴な–者が	諸国民の	連れて–来られる	滅ぼすために
H1931		H0854	H6184		H0935	H7843

הָאָרֶץ	אֶת־	וּמָלְאוּ	מִצְרַיִם	עַל־	חַרְבוֹתָם	וְהֵרֵיקוּ	הָאָרֶץ
地を	の	そして–満たす	エジプト	に–向かって	剣を	そして–彼らは–抜く	その–地を
H0776	H0853	H4390	H4714		H2719	H7324	H0776

חֲלָלִ֖ל׃
傷ついた–者で

彼と彼に従うその民、すなわち国民のうちの最も恐るべき者がきて、その地を滅ぼす。彼らはつるぎを抜いて、エジプトを攻め、殺した者を国に満たす。

12 וְנָתַתִּי אֶת־יְאֹרִים חָרָבָה וּמָכַרְתִּי אֶת־הָאָרֶץ בְּיַד־רָעִים וְהַשְׁמֹתִּי אֶת־הָאָרֶץ וּמְלֹאָהּ בְּיַד־זָרִים אֲנִי יְהוָה דִּבַּרְתִּי׃ ס

וְנָתַתִּי	יְאֹרִים	חָרָבָה	וּמָכַרְתִּי	אֶת־	הָאָרֶץ	בְּיַד־	רָעִים	וְהַשְׁמֹתִּי	אֶת־
そして–わたしは–する	川を	乾いた–地と	そして–売る	の	地を	手に	悪人の	そして–わたしは–荒らす	
H5414	H2975	H2724	H4376	H0853	H0776	H3027		H8074	

הָאָרֶץ	וּמְלֹאָהּ	בְּיַד־	זָרִים	אֲנִי	יְהוָה	דִּבַּרְתִּי׃		
地と	その–満ちて–いるものを	手で	他国–人の	わたし	主が	語った		
H0776	H4393	H3027		H0589	H3068	H1696		

ס
セラ

わたしはナイル川をからし、その国を悪しき者の手に売り、異邦人の手によって国とその中のものとを荒す。主なるわたしはこれを言った。

13 כֹּה־אָמַר אֲדֹנָי יְהוִה וְאַבַּדְתִּי גִלּוּלִים וְהִשְׁבַּתִּי אֱלִילִים מִנֹּף וְנָשִׂיא מֵאֶרֶץ־מִצְרַיִם לָא יִהְיֶה־עוֹד

כֹּה־	אָמַר	אֲדֹנָי	יְהוִה	וְאַבַּדְתִּי	גִלּוּלִים	וְהִשְׁבַּתִּי	אֱלִילִים	מִנֹּף	וְנָשִׂיא	מֵאֶרֶץ־
このように	言われる	主なる	神は	そして–わたしは–滅ぼす	偶像を	そして–終わらせる	偶像を	メンフィスから	そして–君主が	地から
H3541	H0559	H0136	H3069	H0006	H1544		H0457	H5297		H0776

מִצְרַיִם	לָא	יִהְיֶה־	עוֹד		
エジプトの	もはや	いなくなる	もう		
H4714	H3808	H1961	H5750		

מִצְרָיִם׃	בְּאֶרֶץ	יִרְאָה	וְנָתַתִּי	
エジプトの	地に	恐れを	そして–わたしは–与える	
H4714	H0776	H3374	H5414	

主なる神はこう言われる、わたしは偶像をこわし、メンピスで偶像を滅ぼす。エジプトの国には、もはや君たる者がなくなる。わたしはエジプトの国に恐れを与える。

14 וְהַשְׁמֹתִּי אֶת־פַּתְרוֹס וְנָתַתִּי אֵשׁ בְּצֹעַן וְעָשִׂיתִי שְׁפָטִים בְּנֹא׃

וְהַשְׁמֹתִּי	אֶת־	פַּתְרוֹס	וְנָתַתִּי	אֵשׁ	בְּצֹעַן	וְעָשִׂיתִי	שְׁפָטִים		
そして–わたしは–荒らす	の	パトロスを	そして–放つ	火を	ツォアンに	そして–行う	裁きを		
H8074	H0853	H6624	H5414	H0784	H6814		H8201		

בְּנֹא׃
ノーに
H4996

わたしはパテロスを荒し、ゾアンに火を放ち、テーベにさばきをおこない、

15

אֶת־	וְהִכְרַתִּי	מִצְרָיִם	מָעוֹז	סִין	עַל־	חֲמָתִי	וְשָׁפַכְתִּי
の	そして-断つ	エジプトの	砦よ	シン	の-上に	わたしの-怒りを	そして-わたしは-注ぎ出す
H0853	H3772	H4714	H4581			H2534	H8210

נֹא׃	הֲמוֹן
ノーの	群衆を
H4996	

わたしの怒りを、エジプトの要害であるペルシュムに注ぎ、テーベの群衆を断ち、

16

וְנֹא	סִין	(תָּחוּל)	[תחיל]	חָוִל	בְּמִצְרַיִם	אֵשׁ	וְנָתַתִּי	
そして-ノーは	シンは	(もだえ-苦しむ)	[繰り返し]	もだえ-苦しむ	エジプトに	火を	そして-放つ	
H4996		H2342			H4714	H0784	H5414	

יוֹמָם׃	צָרֵי	וְנֹף	לְהִבָּקֵעַ	תִּהְיֶיהָ	
日々	敵が	そして-メンフィスは	破られる-ものと	なる	
H3119		H5297	H1234	H1961	

エジプトに火を下す。ペルシュムはいたく苦しみ、テーベは打ち破られ、その城壁は破壊され、

17

תֵּלַכְנָה׃	בַּשִּׁבְי	וְהֵנָּה	יִפְּלוּ	בַּחֶרֶב	וּפִי־בֶסֶת	אָוֶן	בַּחוּרֵי	
行く	捕囚として	そして-彼女らは	倒れる	剣で	そして-ピ-ベセトの	アヴェンの	若者たちが	
H3212		H2007	H5307	H2719	H6364	H0206	H0970	

オンとピベセテの若者はつるぎに倒れ、女たちは捕え移される。

18

מִצְרַיִם	מֹטוֹת	אֶת־	שָׁם	בְּשָׁבְרִי־	הַיּוֹם	חָשַׁךְ	וּבְתַחְפַּנְחֵס	
エジプトの	軒を	の	そこで	わたしが-砕くとき	日が	暗くなる	そして-テハフネヘスで	
H4714	H4133	H0853	H8033	H7665	H3117	H2821	H8471	

בַּשִּׁבְי	וּבְנוֹתֶיהָ	יְכַסֶּנָּה	עָנָן	הִיא	עֻזָּהּ	גְּאוֹן	בָּהּ	וְנִשְׁבַּת־
捕囚として	そして-その-娘たちは	覆う	雲が	彼女を	その-力の	誇りが	そこで	そして-終わる
	H1323	H3680	H6051	H1931	H5797	H1347		

תֵּלַכְנָה׃
行く
H3212

わたしがエジプトの支配を砕く時、テパネスでは日は暗くなり、その誇る力は絶え、雲はこれをおおい、その娘たちは捕え移される。

19

יְהוָה׃	אֲנִי	כִּי־	וְיָדְעוּ	בְּמִצְרָיִם	שְׁפָטִים	וְעָשִׂיתִי	
主で-あることを	わたしが	と	そして-彼らは-知る	エジプトに	裁きを	そして-わたしは-行う	
H3068	H0589		H3045	H4714	H8201		

פ
パラグラフ

このようにわたしはエジプトにさばきを行う。そのとき彼らはわたしが主であることを知る」。

20

יְהוָה	דְּבַר־	הָיָה	לַחֹדֶשׁ	בְּשִׁבְעָה	בָּרִאשׁוֹן	שָׁנָה	עֶשְׂרֵה	בְּאַחַת	וַיְהִי
主の	言葉が	あった	日に	第七の	第一の-月の	年の	—	十-一の	そして-あった
H3068	H1697	H1961	H2320	H7651	H7223	H8141	H6240	H0259	H1961

לֵאמֹר׃	אֵלַי
言って	私に
H0559	H0413

第十一年の一月七日に主の言葉がわたしに臨んだ、

21 בֶּן־ אָדָם֙ זְרוֹעַ֙ פַּרְעֹ֣ה מֶֽלֶךְ־ מִצְרַ֔יִם שָׁבָ֖רְתִּי וְהִנֵּ֑ה
人の 子よ の 腕を ファラオの 王の エジプトの わたしは–折った そして–見よ
H0120 H0853 H2220 H6547 H4428 H4714 H7665 H2009

לְחָזְקָ֔הּ לַחֲבֹ֥שָׁה חִתּ֖וּל לָשׂ֑וּם רְפָא֥וֹת לָתֵ֛ת חֳבֹ֥שָׁה לֹא־
— 繋ぐために 包帯を 当てるために 膏いを 与えるために — 繋がれて–いない
H2388 H2280 H2848 H7499 H5414 H2280 H3808

ס לְתָפְשׂ֖ בֶּחָֽרֶב׃
剣を 握るために 強くするために
H2719 H8610

「人の子よ、わたしはエジプトの王パロの腕を折った。見よ、これは包まれず、いやされず、ほうたいをも施されない。それは強くなって、つるぎを執ることができない。

22 מֶֽלֶךְ־ פַּרְעֹ֣ה אֶל־ הִנְנִי֙ יְהוִ֔ה אֲדֹנָ֖י וְאָמַ֑ר כֹּה־ לָכֵ֗ן
王に ファラオに に 見よ–わたしは–向かう 神は 主なる 言われる このように それゆえ
H4428 H6547 H0413 H2009 H3069 H0136 H0559 H3541

וְהַפַּלְתִּ֖י הַנִּשְׁבֶּ֣רֶת וְאֶת־ הַחֲזָקָ֔ה מִצְרַ֑יִם וְשִׁבַּרְתִּי֙ זְרֹעֹתָ֣יו אֶת־ אֶת־
そして–落とす 折れた–方を そして 強い–方と エジプトの そして–折る その–腕を の の
H5307 H7665 H0853 H2389 H4714 H7665 H2220 H0853

מִיָּד֖וֹ׃ הַחָֽרֶב אֶת־
その–手から 剣を の
H3027 H2719 H0853

それゆえ、主なる神はこう言われる、見よ、わたしはエジプトの王パロを攻め、その強い腕と、折れた腕とを共に折り、その手からつるぎを落させる。

23 בַּגּוֹיִ֔ם מִצְרַ֖יִם אֶת־ וְהֲפִצוֹתִ֥י וְזֵרִיתִ֖ם בָּאֲרָצֽוֹת׃
諸国民の–中に エジプトを の そして–散らす そして–まき散らす 諸国に
H1471 H4714 H0853 H6327 H2219 H0776

わたしはエジプトびとを、もろもろの国民の中に散らし、国々に散らす。

24 חַרְבִּ֔י אֶת־ וְנָתַתִּ֣י בָּבֶ֑ל מֶ֣לֶךְ זְרֹעֹת֙ אֶת־ וְחִזַּקְתִּ֖י בְּיָד֥וֹ
わたしの–剣を の そして–与える バビロンの 王の 腕を の そして–強くする その–手に
H2719 H0853 H5414 H0894 H4428 H2220 H0853 H2388 H3027

לְפָנָֽיו׃ חָלָ֖ל נַאֲקֹ֥ות וְנָאַ֛ק פַּרְעֹ֔ה זְרֹעֹתָ֣יו אֶת־ וְשִׁבַּרְתִּ֖י
その–前で 傷ついた–者の うめきを そして–彼は–うめく ファラオの 腕を の そして–折る
H6440 H2491 H5009 H5008 H6547 H2220 H0853 H7665

わたしはバビロンの王の腕を強くし、わたしのつるぎを、その手に与える。しかしわたしはパロの腕を折るゆえ、彼は深手を負った者のように、彼の前にうめく。

25 תִּפֹּ֑לְנָה פַּרְעֹ֣ה וּזְרֹעֹת֙ בָּבֶ֔ל מֶ֣לֶךְ זְרֹעֹת֙ אֶת־ וְהַחֲזַקְתִּ֖י
倒れる ファラオの そして–腕が バビロンの 王の 腕を の そして–強くする
H5307 H6547 H2220 H0894 H4428 H2220 H0853 H2388

מֶ֣לֶךְ בְּיַד֙ חַרְבִּ֔י אֶת־ בְּתִתִּ֣י יְהוָ֑ה אֲנִי֙ כִּי־ וְיָדְע֖וּ
王の 手に わたしの–剣を 与えるとき 主で–あることを わたしが と そして–彼らは–知る
H4428 H3027 H2719 H5414 H3068 H0589 H3588 H3045

מִצְרָֽיִם׃ אֶרֶץ֙ אֶל־ אֹתָ֔הּ וְנָטָ֖ה בָּבֶֽל
エジプトの 地に に–向かって それを そして–彼が–振るう バビロンの
H4714 H0776 H0413 H0853 H5186 H0894

わたしがバビロンの王の腕を強くし、パロの腕がたれる時、彼らはわたしが主であることを知る。わたしがわたしのつるぎを、バビロンの王に授け、これをエジプトの国に向かって伸べさせ、

בָּאֲרָצוֹת	אוֹתָם	וְזֵרִיתִי	בַּגּוֹיִם	מִצְרַיִם	אֶת־	וַהֲפִצוֹתִי	26
諸国に	彼らを	そして–まき散らす	諸国民の–中に	エジプトを	の	そして–散らす	
H0776	H0853	H2219		H4714	H0853		

ס	יְהוָה׃	אֲנִי	כִּי־	וְיָדְעוּ
セラ	主で–あることを	わたしが	と	そして–彼らは–知る
	H3068	H0589		H3045

わたしがエジプトびとを、もろもろの国民の中に散らし、国々に散らす時、彼らはわたしが主であることを知る」。

Chapter 31

אֵלַי	יְהוָה	דְּבַר־	הָיָה	לַחֹדֶשׁ	בְּאֶחָד	בַּשְּׁלִישִׁי	שָׁנָה	עֶשְׂרֵה	בְּאַחַת	וַיְהִי	1
私に	主の	言葉が	あった	日に	一	第三の–月の	年に	の	第–十一	そして–あった	
H0413	H3068	H1697	H1961	H2320	H0259	H7992	H8141	H6240	H0259	H1961	

לֵאמֹר׃
言って
H0559

第十一年の三月一日に主の言葉がわたしに臨んだ、

מִי	אֶל־	הֲמוֹנוֹ	וְאֶל־	מִצְרַיִם	מֶלֶךְ־	פַּרְעֹה	אֶל־	אֱמֹר	אָדָם	בֶּן־	2
誰に	に	その–群衆に	また–に	エジプトの	王	パロ	に	言え	の–子よ	人	
H4310	H0413		H0413	H4714	H4428	H6547	H0413	H0559	H0120		

בְּגָדְלֶךָ׃	דָּמִיתָ
その–偉大さにおいて	あなたは–似ていた
H1433	H1819

「人の子よ、エジプトの王パロと、その民衆とに言え、あなたはその大いなること、だれに似ているか。

קוֹמָה	וּגְבַהּ	מֵצַל	וְחֹרֶשׁ	עָנֶף	יְפֵה	בַּלְּבָנוֹן	אֶרֶז	אַשּׁוּר	הִנֵּה	3
丈で	高い	陰の	茂った	枝をもち	美しい	レバノンの	杉であった	アッシリヤは	見よ	
H6967	H1362	H6751	H2793	H6057	H3303	H3844	H0730	H0804	H2009	

צַמַּרְתּוֹ׃	הָיְתָה	עֲבֹתִים	וּבֵין
その–梢は	あった	密雲の	そして–間に
H6788	H1961	H5688	H0996

見よ、わたしはあなたをレバノンの香柏のようにする。麗しき枝と森の陰があり、たけが高く、その頂は雲の中にある。

וְאֶת־	מַטָּעָהּ	סְבִיבוֹת	הֹלֵךְ	נַהֲרוֹתֶיהָ	אֶת־	רִמְּמָתְהוּ	תְּהוֹם	גִּדְּלוּהוּ	מַיִם	4
また–その	その–植えた所の	周囲に	流して	川々を	その	高くした	深淵が	育てた	水が	
H0853	H4302	H5439	H1980	H5104	H0854		H8415	H1431	H4325	

הַשָּׂדֶה׃	עֲצֵי	כָּל־	אֶל	שִׁלְחָה	תְּעָלֹתֶיהָ
野の	木々に	すべての	に	送った	水路を
	H6086	H3605	H0413	H7971	

水はこれを育て、大水がこれを高くする。その川々はその植えた所をめぐって流れ、その流れを野のすべての木に送る。

5 עַל־ כֵּן קֹמָתוֹ גָּבְהָה מִכֹּל עֲצֵי הַשָּׂדֶה וַתִּרְבֶּינָה סַרְעַפֹּתָיו
それゆえ こうして その−丈は 高くなった すべての 木々より 野の そして−増えた その−枝は
H5921 H3651 H6967 H1361 H3605 H6086 H7704 H8299 H5634

וַתֶּאֱרַכְנָה [פארתו] (פֹּארֹתָיו) מִמַּיִם רַבִּים בְּשַׁלְחוֹ׃
そして−伸びた [異読] その−大枝は 豊かな−水の ゆえに 伸ばしたとき
H0748 H6288 H6288 H4325 H7227 H7971

これによってそのたけは、野のすべての木よりも高くなり、その育つとき多くの水のために枝葉は茂り、枝は伸び、

6 בִּסְעַפֹּתָיו קִנְּנוּ כָּל־ עוֹף הַשָּׁמַיִם וְתַחַת פְּאֹרֹתָיו יָלְדוּ כָּל
その−枝々に 巣を作った すべての 鳥が 空の そして−下で その−大枝の 産んだ すべての
H5589 H7077 H3605 H5775 H8064 H8478 H6288 H3205 H3605

חַיַּת הַשָּׂדֶה וּבְצִלּוֹ יָשְׁבוּ כָּל גּוֹיִם רַבִּים׃
野の 獣が その−陰に 住んだ すべての 国々が 多くの
H7704 H2416 H6738 H3427 H3605 H1471 H7227

その枝葉に空のすべての鳥が、巣をつくり、その枝の下に野のすべての獣は子を生み、その陰にもろもろの国民は住む。

7 וַיִּיְפְּ שָׁרְשׁוֹ הָיָה כִּי־ לָאְ דָלִיּוֹתָיו בְּאֹרֶךְ בְּגָדְלוֹ
そして−美しかった その−根が あった なぜなら 垂れ枝のゆえに 長い その−偉大さにおいて
H3302 H8328 H1961 H3588 H1808 H0753 H1433

אֶל־ מַיִם רַבִּים׃
に向かって 水の 豊かな
H0413 H4325 H7227

これはその大きなことと、その枝の長いことによって美しかった。その根を多くの水に、おろしていたからである。

8 אֶל־ דָּמוּ לָאְ בְּרוֹשִׁים אֱלֹהִים בְּגַן־ עַמָּמֻהוּ לָאְ אֲרָזִים
に 等しくなかった 決して 糸杉も 神の 園の 比べられなかった 決して 杉の木も
H0413 H1819 H3808 H1265 H0430 H1588 H6004 H3808 H0730

סָעַפֹּתָיו וְעַרְמֹנִים לָאְ הָיוּ כְּפֹארֹתָיו כָּל־ עֵץ בְּגַן־ אֱלֹהִים
その−枝に プラタナスも 決して ならなかった その−大枝のように どの 木も 園の 神の
H5589 H6196 H3808 H1961 H3605 H6086 H1588 H0430

לָאְ דָּמָה אֵלָיו בְּיָפְיוֹ׃
決して 似なかった それに 美しさにおいて
H3808 H1819 H0413 H3308

神の園の香柏も、これと競うことはできない。もみの木もその枝葉に及ばない。けやきもその枝と比べられない。神の園のすべての木も、その麗しきこと、これに比すべきものはない。

9 יָפָה עָשִׂיתִיו בְּרֹב דָּלִיּוֹתָיו וַיְקַנְאֻהוּ כָּל־ עֲצֵי עֵדֶן
美しく わたしは−造った 豊かな 垂れ枝をもって そして−ねたんだ すべての 木々が エデンの
H3303 H6213 H7230 H1808 H7065 H3605 H6086 H5731

אֲשֶׁר בְּגַן הָאֱלֹהִים׃ ס
それらは 園の 神の [区切り]
H0834 H1588 H0430

わたしはその枝を多くして、これを美しくした。神の園にあるエデンの木は皆これをうらやんだ。

10 לָכֵן כֹּה אָמַר אֲדֹנָי יְהוִה יַעַן אֲשֶׁר גָּבְהָה בְקוֹמָה
それゆえ このように 主なる 神は なぜなら それが 高くなり 丈において
H3651 H3541 H0136 H3069 H3282 H0834 H1361 H6967

וַיִּתֵּן צַמַּרְתּוֹ בֵּין אֶל־ עֲבוֹתִים וַיָּרָם לִבָּהּ בְּגָבְהָהּ׃
そして−伸ばした その−梢を 間に に 密雲の そして−高ぶった その−心は 高さのゆえに
H5414 H6788 H0996 H0413 H5688 H7311 H3824 H1363

それゆえ、主なる神はこう言われる、これは、たけが高くなり、その頂を雲の中におき、その心が高ぶりおごるゆえ、

11

וְאֶתְּנֵהוּ בְּיַד אֵיל גּוֹיִם עָשֹׂה יַעֲשֶׂה לּוֹ כִּרְשָׁעוֹ
そこで–わたしは–渡した 手に 力ある者の 国々の 必ず 取り扱う それを その–悪に–応じて
H5414 H3027 H0410 H1471 H6213 H3808 H7562

גֵּרַשְׁתָּהוּ׃
わたしは–追い出した
H1644

わたしはこれを、もろもろの国民の力ある者の手に渡す。彼はこれに対してその悪のために正しい処置をとる。わたしはこれを追い出した。

12

וַיִּכְרְתֻהוּ זָרִים עָרִיצֵי גּוֹיִם וַיִּטְּשֻׁהוּ אֶל־הֶהָרִים וּבְכָל־
そして–切り倒した 異国の者が 暴虐な者が 国々の そして–捨てた に 山々の上に すべての
H3772 H2114 H6184 H1471 H5203 H0413 H2022 H3605

אֲפִיקֵי הָאָרֶץ פְּאֹרָתָיו וַתִּשָּׁבַרְנָה וַיֵּרְדוּ דָּלִיּוֹתָיו נָפְלוּ גְּאָיוֹת
流れの中で 地の その–大枝は すべての そして–折れた その–垂れ枝は 落ちた 谷間に
H0650 H0776 H6288 H3605 H7665 H1809 H5307 H1516

וַיִּטְּשֻׁהוּ׃ הָאָרֶץ עַמֵּי כָּל־ מִצִּלּוֹ
そして–去った 地の 民が すべての その–陰から
H5203 H0776 H5971 H3605 H6738

וַיֵּרְדוּ
そして–降りた
H3381

もろもろの国民の最も恐れている異邦人はこれを切り倒して捨てる。その枝はもろもろの山と、すべての谷とに落ち、その枝葉は砕けて、地のすべての流れにあり、地のすべての民は、その陰を離れて、これを捨てる。

13

עַל־ מַפַּלְתּוֹ יִשְׁכְּנוּ כָּל־ עוֹף הַשָּׁמָיִם וְאֶל־ פְּאֹרָתָיו הָיוּ
その–倒れた上に 幹の 宿る すべての 鳥が 空の そして–に その–大枝の上に いた
H5307 H4658 H7931 H3605 H5775 H8064 H0413 H6288 H1961

כָּל חַיַּת הַשָּׂדֶה׃
すべての 獣が 野の
H3605 H2416 H7704

その倒れた所に、空のもろもろの鳥は住み、その枝の上に、野のもろもろの獣はいる。

14

לְמַעַן אֲשֶׁר לֹא־ יִגְבְּהוּ בְקוֹמָתָם כָּל־ עֲצֵי־ מַיִם וְלֹא־
それは ために 決して 高くならないため その–丈において どの 木も 水辺の 決して
H4616 H0834 H3808 H1361 H6967 H3605 H6086 H4325 H3808

יִתְּנוּ צַמְּרָתָם אֶל־ בֵּין עֲבֹתִים לֹא־ יַעַמְדוּ אֵלֵיהֶם
伸ばさないため その 梢を に 間に 密雲の 決して 立たないため それらの–中で
H5414 H0853 H6788 H0413 H0996 H5688 H3808 H5975

כִּי־ כֻלָּם נִתְּנוּ לַמָּוֶת אֶל־ אֶרֶץ תַּחְתִּית בְּתוֹךְ בְּנֵי אָדָם אֶל־
なぜなら すべて 渡された 死に に 地の 下の 中に 人の 子らの に
H3605 H5414 H4194 H0413 H0776 H8482 H8432 H0120 H0413

יוֹרְדֵי בּוֹר׃ ס
穴に–降る者の 中に [区切り]
H3381 H0953

これは水のほとりのすべての木が、その高さのために誇ることなく、その頂を雲の中におくことなく、水に潤う木が、みずから高ぶり立つことのないためである。これらは皆、死に渡され、下の国に入り、穴に下る者と共に他の人々のうちにいる。

15

כִּסֵּיתִי הֶאֱבַלְתִּי שְׁאוֹלָה רִדְתָּו בְיוֹם יְהוִה אֲדֹנָי אָמַר כֹּה־
覆った わたしは–嘆かせた 陰府に 降った 日に 神は 主なる 言われた このように
H3680 H0056 H7585 H3381 H3117 H3069 H0136 H0559 H3541

רַבִּים מַיִם וַיִּכָּלְאוּ נַהֲרוֹתֶיהָ וָאֶמְנַע תְּהוֹם אֶת־ עָלָיו
水は 豊かな そして–せき止められた その–川々を わたしは–止めた 深淵を を それの–上に
H4325 H3607 H5104 H4513 H8415 H0853

עֶלְפָּה׃ עָלָיו הַשָּׂדֶה עֲצֵי וְכָל־ לְבָנוֹן עָלָיו וָאַקְדֵּר
しおれた それのゆえに 野の 木々は すべての レバノンを その–上に そして–暗くした
H5969 H6086 H3605 H3844 H6937

主なる神はこう言われる、これが陰府に下る日にわたしが淵をこれがために悲しませ、その川々をせきとめるので、大水はとどまる。わたしはレバノンを、これがために嘆かせ、野のすべての木を、これがために衰えさせる。

16

אֶת־ שְׁאוֹלָה אֹתָו בְּהוֹרְדִי גּוֹיִם הִרְעַשְׁתִּי מַפַּלְתּוֹ מִקּוֹל
と共に 陰府に それを 降らせたとき 国々を わたしは–震えさせた その–倒れる 音で
H0854 H7585 H0853 H3381 H7493 H4658

מִבְחַר עֵדֶן עֲצֵי־ כָּל־ תַּחְתִּית בְּאֶרֶץ וְנִחֲמוּ בּוֹר יוֹרְדֵי
選ばれた エデンの 木々は すべての 下の 地の そして–慰められた 中に 穴に–降る者たちを
H4005 H6086 H3605 H8482 H0776 H5162 H3381

מָיִם׃ שֹׁתֵי כָּל־ לְבָנוֹן וְטוֹב־
木々は 水を–飲む すべての レバノンの そして–良い
H4325 H8354 H3605 H3844

わたしがこれを穴に下る者と共に陰府に落す時、もろもろの国民をその落ちる響きのために、打ち震えさせる。そしてエデンのすべての木、レバノンのすぐれて美しいもの、すべて水に潤うものは、下の国で慰められる。

17

וּזְרֹעוֹ חֶרֶב חַלְלֵי־ אֶל־ שְׁאוֹלָה יָרְדוּ אִתּוֹ הֵם גַּם־
そして–その–腕 中に 剣に–刺された者の へ 陰府に 降った 共に それらも また
H2220 H2719 H0413 H7585 H3381 H0854 H1992 H1571

גּוֹיִם׃ בְּתוֹךְ בְּצִלּוֹ יָשְׁבוּ
国々の 中に その–陰に 住んでいた
H8432 H6738 H3427

彼らもこれと共に陰府に下り、つるぎで殺された者のところに至る。まことにもろもろの国民のうちで、その陰に住んだ者も滅びる。

18

בַּעֲצֵי־ וּבְגֹדֶל בְּכָבוֹד כָּכָה דָּמִיתָ מִי אֶל־
木々の–中で 偉大さにおいて 栄光において このように あなたは–似ていたか 誰に に
H6086 H1433 H3519 H3602 H1819 H4310 H0413

עֲרֵלִים בְּתוֹךְ תַּחְתִּית אֶרֶץ אֶל־ עֵדֶן עֲצֵי־ אֶת־ וְהוּרַדְתָּ עֵדֶן
割礼なき者の 中に 下の 地の に エデンの 木々 と共に あなたは–降ろされる エデンの
H6189 H8432 H8482 H0776 H0413 H6086 H0854 H3381

הַמּוֹנָהּ וְכָל־ פַּרְעֹה הֵוּא חֶרֶב חַלְלֵי־ אֶת־ תִּשְׁכַּב
その–群衆である すべての パロと これが 中に 剣に–刺された者の と共に あなたは–横たわる
H3605 H6547 H1931 H2719 H0854 H7901

ס יְהוִה׃ אֲדֹנָי נְאֻם
[区切り] 神の 主なる 告げられた
H3069 H0136 H5002

エデンの木のうちで、その栄えと大いなることで、あなたはどれに似ているのか。あなたはこのように、エデンの木と共に、下の国に落され、つるぎで殺された者と共に、割礼を受けない者のうちに住む。これがパロとその民衆であると、主なる神は言われる」。

Chapter 32

וַיְהִי בִּשְׁתֵּי עֶשְׂרֵה שָׁנָה בִּשְׁנֵי־עָשָׂר חֹדֶשׁ בְּאֶחָד לַחֹדֶשׁ הָיָה דְבַר־ 1
そして-あった 第-十二 の 年に 第-十二 月の 一 に あった 言葉が
H1961 H8147 H6240 H8141 H8147 H2320 H0259 H2320 H1961 H1697

יְהוָה אֵלַי לֵאמֹר׃
主の 私に 言って
H3068 H0413 H0559

第十二年の十二月一日に、主の言葉がわたしに臨んだ、

בֶּן־ אָדָם שָׂא קִינָה עַל־ פַּרְעֹה מֶלֶךְ־ מִצְרַיִם וְאָמַרְתָּ אֵלָיו 2
人 の-子よ 上げよ 哀歌を について パロ 王 エジプトの そして-言え 彼に
H0120 H5375 H7015 H6547 H4428 H4714 H0559 H0413

גּוֹיִם נִדְמֵיתָ וְאַתָּה כַּתַּנִּים בַּיַּמִּים וַתָּנַח
国々の あなたは-滅んだ しかし-あなたは 竜の-ようだった 海の-中の あなたは-突進し
H1819 H8565 H3220 H1518

כְּפִיר נְהָרוֹתָיִךְ וַתִּדְלַח־ בְּרַגְלֶיךָ וַתִּרְפֹּס וַתְּעַכֵּר מַיִם׃
若い-獅子よ あなたの-川々の中で 濁した そして-踏み-荒らした あなたの-足で 水を その-川々を
H5104 H1804 H7272 H7515 H5104

「人の子よ、エジプトの王パロのために、悲しみの歌をのべて、これに言え、あなたは自分をもろもろの国民のうちのししであると考えているが、あなたは海の中の龍のような者である。あなたは川の中に、はね起き、足で水をかきまぜ、川を濁す。

כֹּה אָמַר אֲדֹנָי יְהוִה וּפָרַשְׂתִּי עָלֶיךָ אֶת־ רִשְׁתִּי בִּקְהַל עַמִּים רַבִּים וְהֶעֱלוּךָ בְּחֶרְמִי׃ 3
このように 言われた 主なる 神は そして-広げる わたしの-網を あなたの-上に を わたしの-引き網で そして-引き上げる 多くの 民たちの 集まりの-中で
H3541 H0559 H0136 H3069 H6566 H7568 H5927 H6951

主なる神はこう言われる、わたしは多くの民の集団をもって、わたしの網をあなたに投げかけ、あなたを網で引きあげる。

וְהִשְׁכַּנְתִּי אֶטִּלֶךָּ הַשָּׂדֶה פְּנֵי עַל־ בָּאָרֶץ וְנִטַּשְׁתִּיךָ 4
そして-住まわせる あなたを-投げる 野の 面 の 地の-上に そして-投げ出す
H7931 H2904 H6440 H0776 H5203

וְהִשְׂבַּעְתִּי מִמְּךָ חַיַּת כָּל־ הָאָרֶץ׃ עוֹף הַשָּׁמַיִם כָּל־ עָלֶיךָ
そして-満たす あなたで 獣を すべての 地の 鳥を 空の すべての あなたの-上に
H7646 H4480 H2416 H3605 H0776 H5775 H8064 H3605

わたしはあなたを地に投げ捨て、野の面に投げうち、空のすべての鳥をあなたの上にとまらせ、全地の獣にあなたを与えて飽かせる。

וְנָתַתִּי אֶת־ בְּשָׂרְךָ עַל־ הֶהָרִים וּמִלֵּאתִי הַגֵּאָיוֹת רָמוּתֶךָ׃ 5
そして-置く を 肉を-あなたの の-上に 山々の そして-満たす 谷間を あなたの-高さで
H5414 H0853 H1320 H2022 H4390 H1516 H7419

わたしはあなたの肉を山々に捨て、あなたの死体で谷を満たす。

6

וְהִשְׁקִיתִי	אֶרֶץ	צָפְתֵּךְ	מִדָּמֵךְ	אֶל־	הֶהָרִים	וַאֲפִקִים
そして–浸す	地を	あなたの–流れ出るもので	あなたの–血によって	まで	山々に	そして–谷川は
H8248	H0776	H6824	H1818	H0413	H2022	H0650

יִמָּלְאוּן	מִמֶּךָּ׃
満ちる	あなたで
H4390	

わたしはあなたの流れる血で、地を潤し、山々にまで及ぼす。谷川はあなたの死体で満ちる。

7

בֶּעָנָן	שֶׁמֶשׁ	כְּכִבְיֵהֶם	אֶת־	וְהִקְדַּרְתִּי	שָׁמַיִם	בְּכַבּוֹתֵךְ	וְכִסִּיתִי	
雲で	太陽を	その–星々を	を	そして–暗くする	天を	あなたが–消えるとき	そして–覆う	
H6051	H8121	H3556	H0853	H6937	H8064	H3518	H3680	

אוֹרוֹ׃	יָאִיר	לֹא־	וְיָרֵחַ	אֲכַסֶּנּוּ
その–光を	輝かない	決して	そして–月は	わたしは–覆う
H0216	H0215	H3808	H3394	H3680

わたしはあなたを滅ぼす時、空をおおい、星を暗くし、雲で日をおおい、月に光を放たせない。

8

חֹשֶׁךְ	וְנָתַתִּי	עָלָיִךְ	אַקְדִּירֵם	בַּשָּׁמָיִם	אוֹר	מְאוֹרֵי	כָּל־
闇を	そして–もたらす	あなたの–上に	わたしは–暗くする	天の	光の	輝くもの	すべての
H2822	H5414		H6937	H8064	H0216	H3974	H3605

יְהוָה׃	אֲדֹנָי	נְאֻם	אַרְצֵךְ	עַל־
神の	主なる	告げられた	あなたの–地に	の–上に
H3069	H0136	H5002	H0776	

わたしは空の輝く光を、ことごとくあなたの上に暗くし、あなたの国をやみとすると主なる神は言う。

9

עַל־	בַּגּוֹיִם	שִׁבְרֵךְ	בַּהֲבִיאִי	רַבִּים	עַמִּים	לֵב	וְהִכְעַסְתִּי
の–上に	国々の–中に	あなたの–滅びを	もたらすとき	多くの	民たちの	心を	そして–悩ませる
		H7667	H0935				H3707

יְדַעְתָּם׃	לֹא־	אֲשֶׁר	אֲרָצוֹת
知らなかった	決して	それらは	地々に
H3045	H3808		H0776

わたしはもろもろの国民、あなたの知らない国々の中に、あなたを捕え移す時、多くの民の心を痛ませる。

10

עָלָיִךְ	יִשְׂעֲרוּ	וּמַלְכֵיהֶם	רַבִּים	עַמִּים	עָלָיִךְ	וְהַשְׁמוֹתִי	
あなたについて	身の毛がよだつ	その–王たちは	多くの	民たちを	あなたについて	そして–驚かせる	
		H4428				H8074	

אִישׁ	לִרְגָעָיו	וְחָרְדוּ	פְּנֵיהֶם	עַל־	חַרְבִּי	בְּעוֹפְפִי	שַׁעַר
おのおの	絶えず	そして–おののく	彼らの–顔の	の–前で	わたしの–剣を	振るとき	身震いして
H0376	H7281	H2729	H6440		H2719		

ס	מַפַּלְתֶּךָ׃	בְּיוֹם	לְנַפְשׁוֹ
[区切り]	あなたの–倒れる	日に	自分の–命のために
	H4658	H3117	H5315

わたしはあなたについて、多くの民を驚かせる。その王たちは、わたしがわたしのつるぎを、彼らの前に振るう時、あなたの事でおののく。あなたの倒れる日には、彼らはおのおの自分の命を思って、絶えず打ち震える。

11

תְּבוֹאֶךָּ׃	בָבֶל	מֶלֶךְ־	חֶרֶב	יְהוָה	אֲדֹנָי	אָמַר	כֹּה	כִּי
あなたに–来る	バビロンの	王の	剣が	神は	主なる	言われた	このように	なぜなら
H0935	H0894	H4428	H2719	H3069	H0136	H0559	H3541	

主なる神はこう言われる、バビロンの王のつるぎはあなたに臨む。

כֻּלָּם	גּוֹיִם	עָרִיצֵי	הֲמוֹנֵךְ	אַפִּיל	גִּבּוֹרִים	בְּחַרְבוֹת	12
すべてを	国々の	暴虐な-者たち	あなたの-群衆を	わたしは-倒す	勇士たちの	剣で	
H3605		H6184		H5307	H1368	H2719	

הֲמוֹנָהּ׃	כָּל־	וְנִשְׁמַד	מִצְרַיִם	גְּאוֹן	אֶת־	וְשָׁדְדוּ
その-群衆は	すべての	そして-滅ぼされる	エジプトの	誇りを	を	そして-略奪する
	H3605	H8045	H4714	H1347	H0853	H7703

わたしはあなたの民衆を勇士のつるぎに倒れさせる。彼らは皆、もろもろの国民の中で、最も恐れられている者たちである。彼らはエジプトの誇を断つ、エジプトの民衆は皆滅ぼされる。

תִּדְלָחֵם	וְלֹא	רַבִּים	מַיִם	מֵעַל	בְּהֶמְתָּהּ	כָּל־	אֶת־	וְהַאֲבַדְתִּי	13
濁さない	そして-決して	水の-そばから	豊かな	から	家畜を	すべての	を	そして-滅ぼす	
H1804	H3808		H4325		H0929	H3605	H0853	H0006	

תִּדְלָחֵם׃	לֹא	בְּהֶמָה	וּפִרְסוֹת	עוֹד	אָדָם	רֶגֶל־
濁さない	決して	家畜の	そして-ひづめも	もはや	人の	足は
H1804	H3808	H0929	H6541	H5750	H0120	H7272

わたしはその家畜をことごとく、多くの水のかたわらから滅ぼす。人の足は再びこれを濁さず、家畜のひずめもこれを乱さない。

אֲדֹנָי	נְאֻם	אוֹלִיךְ	כַּשֶּׁמֶן	וְנַהֲרוֹתָם	מֵימֵיהֶם	אַשְׁקִיעַ	אָז	14
主なる	告げられた	流す	油の-ように	そして-その-川々を	その-水を	沈ませる	そのとき	
H0136	H5002	H3212	H8081	H5104	H4325	H8257		

יְהוָה׃
神の
H3069

その時わたしはその水を清くし、その川々を油のように流れさせると、主なる神は言う。

בְּהַכּוֹתִי	מְמִלֹּאָהּ	אֶרֶץ	וּנְשַׁמָּה	שְׁמָמָה	מִצְרַיִם	אֶרֶץ	אֶת־	בְּתִתִּי	15
打つとき	その-満ちるものから	地を	そして-荒れ地に	荒廃に	エジプトの	地を	を	するとき	
H5221	H4393	H0776	H8074		H4714	H0776	H0853	H5414	

יְהוָה׃	אֲנִי	כִּי־	וְיָדְעוּ	בָּהּ	יוֹשְׁבֵי	כָּל־	אֶת־
主	であることを	わたしが	そして-知る	その中の	住む者を	すべての	を
H3068	H0589		H3045		H3427	H3605	H0853

わたしはエジプトの国を荒し、その国に満ちるものが、ことごとく取り去られる時、わたしがその中に住む者をことごとく撃つ時、彼らはわたしが主であることを知る。

וְעַל־	מִצְרַיִם	עַל־	אוֹתָהּ	תְּקוֹנֵנָה	הַגּוֹיִם	בְּנוֹת	וְקוֹנְנוּהָ	הִיא	קִינָה	16
そして-ために	エジプトの	ために	それを	歌う	国々の	娘たちが	そして-歌う	それは	哀歌	
	H4714		H0853	H6969		H1323	H6969	H1931	H7015	

פ	יְהוָה׃	אֲדֹנָי	נְאֻם	אוֹתָהּ	תְּקוֹנֵנָה	הֲמוֹנָהּ	כָּל־
[区切り]	神の	主なる	告げられた	それを	歌う	その-群衆の	すべての
	H3069	H0136	H5002	H0853	H6969		H3605

これは悲しみの歌である。人々はこれを歌い、もろもろの国の娘たちはこれを歌う。すなわちエジプトと、そのすべての民衆とのために、これを歌うのであると、主なる神は言われる」。

אֵלַי	יְהוָה	דְּבַר־	הָיָה	לַחֹדֶשׁ	עָשָׂר	בַּחֲמִשָּׁה	שָׁנָה	עֶשְׂרֵה	בְּשִׁתֵּי	וַיְהִי	17
私に	主の	言葉が	あった	日に	の	第-十五	年に	の	第-十二	そして-あった	
H0413	H3068	H1697	H1961	H2320	H6240	H2568	H8141	H6240	H8147	H1961	

לֵאמֹר׃
言って
H0559

第十二年の一月十五日に、主の言葉がわたしに臨んだ、

18 בֶּן־ אָדָם נְהֵה עַל־ הֲמוֹן מִצְרַיִם וְהוֹרְדֵהוּ אֹותָהּ וּבְנוֹת
人 の-子よ 嘆け について 群衆を エジプトの そして-降ろせ それを そして-娘たちを
H0120 H5091 H0853 H3381 H4714 H1323

אַדִּרֵם גּוֹיִם אֶל־ אֶרֶץ תַּחְתִּיּוֹת אֶת־ יֹורְדֵי בֹור׃
力ある 国々の に 地の 下の と共に 穴に-降る者の 中に
H0117 H0413 H0776 H8482 H0854 H3381

「人の子よ、エジプトの民衆のために嘆き、これと大いなる国々の娘らとを、下の国に投げ下し、穴に下った者のところに至らせよ。

19 מִמְּי נָעַמְתָּ רְדָה וְהָשְׁכְּבָה אֶת־ עֲרֵלִים׃
誰よりも あなたは-優れていたか 降れ そして-横たわれ と共に 割礼なき者の
H4310 H5276 H3381 H7901 H0854 H6189

『あなたの美はだれにまさっているか。下って、割礼を受けない者と共に伏せよ』。

20 בְּתוֹךְ חַלְלֵי־ חֶרֶב יִפֹּלוּ חָרֶב נִתְּנָה מָשְׁכוּ אֹותָהּ וְכָל־
中に 剣に-刺された者の 中で 彼らは-倒れる 剣が 渡された 引きずれ それを すべての
H8432 H2719 H2719 H5307 H2719 H5414 H4900 H0853 H3605

הֲמוֹנֶיהָ׃
その-群衆を

彼らはつるぎに殺される者のうちに倒れる。その民衆はこれと共に伏せる。

21 יְדַבְּרוּ־ לֹו אֵלֵי גִּבֹּרִים מִתְּוֹךְ שְׁאֹול אֶת־ יָרְדוּ עִזְרָיו
語る 彼に 力ある 勇士たちが 中から 陰府の と共に 降った その-助け手たちと
H1696 H0410 H1368 H8432 H7585 H0854 H3381 H5826

חָרֶב׃ חַלְלֵי־ הָעֲרֵלִים שָׁכְבוּ
中で 剣に-刺された者の 割礼なき者たちは 横たわった
H2719 H6189 H7901

勇士の首領はその助け手と共に、陰府の中から彼らに言う、『割礼を受けない者、つるぎに殺された者は下って伏している』と。

22 חַלְלִים כֻּלָּם קִבְרֹתֶיהָ סְבִיבֹותָיו קָהָלָהּ וְכָל־ אַשּׁוּר שָׁם
刺された者たち みな その-墓がある 周囲に その-会衆と すべての アッシリヤがいる そこに
H3605 H6913 H5439 H6951 H3605 H0804 H8033

הַנֹּפְלִים בֶּחָרֶב׃
倒れた 剣で
H5307 H2719

アッスリヤとその仲間とはその所におり、その墓はこれを囲む。彼らはみな殺された者、またつるぎに倒れた者である。

23 אֲשֶׁר נִתְּנוּ קִבְרֹתֶיהָ בְּיַרְכְּתֵי־ בֹור וַיְהִי קָהָלָהּ סְבִיבֹות
その 墓が-置かれた その-墓々は 奥深い-所の 穴の そして-あった その-会衆が 周囲に
H5414 H6913 H3411 H1961 H6951 H5439

חַיִּים׃ בְּאֶרֶץ חִתִּית נָתְנוּ אֲשֶׁר־ בַּחֶרֶב נֹפְלִים חַלְלִים כֻּלָּם קִבְרָתָהּ
生ける者の 地に 恐怖を もたらした 彼らは 剣で 倒れた 刺された者たち みな その-墓の
H0776 H2851 H5414 H2719 H5307 H3605 H6900

彼らの墓は穴の奥に設けられ、その仲間はその墓の周囲にあり、これはみな殺された者、つるぎに倒れた者、生ける者の地に恐れを起した者である。

24

הַנֹּפְלִים	חֲלָלִים	כֻּלָּם	קִבְרֹתָהּ	סְבִיבוֹת	הֲמוֹנָהּ	וְכָל־	עֵילָם	שָׁם
倒れた	刺された者たち	みな	その–墓の	周囲に	その–群衆と	すべての	エラムがいる	そこに
H5307		H3605	H6900	H5439		H3605		H8033

חִתִּיתָם	נָתְנוּ	אֲשֶׁר	תַּחְתִּיּוֹת	אֶרֶץ	אֶל־	וְעֲרֵלִים	יָרְדוּ	אֲשֶׁר־	בַּחֶרֶב
その–恐怖を	もたらした	彼らは	下の	地の	に	割礼なき者として	降った	彼らは	剣で
H2851	H5414		H8482	H0776	H0413	H6189	H3381		H2719

בּוֹר׃	יֹרְדֵי	אֶת־	כְּלִמָּתָם	וַיִּשְׂאוּ	חַיִּים	בְּאֶרֶץ
中で	穴に–降る者の	と共に	その–恥辱を	そして–負った	生ける者の	地に
	H3381	H0854	H3639	H5375		H0776

その所にエラムがおり、その民衆は皆、その墓の周囲におる。彼らはみな殺された者、つるぎに倒れた者、割礼を受けないで、下の国に下った者、生ける者の地に、恐れを起した者で、穴に下る者と共に、恥を負うのである。

25

סְבִיבוֹתָיו	הֲמוֹנָהּ	בְּכָל־	לָהּ׀	מִשְׁכָּב	נָתְנוּ	חֲלָלִים	בְּתוֹךְ	
周囲に	その–群衆と	すべての	彼女に	寝床が	置かれた	刺された者たちの	中に	
H5439		H3605		H4904	H5414		H8432	

חִתִּיתָם	נִתַּן	כִּי־	חֶרֶב	חַלְלֵי־	עֲרֵלִים	כֻּלָּם	קִבְרָתָהּ	
その–恐怖が	もたらされた	なぜなら	中で	剣に–刺された者の	割礼なき者たち	みな	その–墓がある	
H2851	H5414		H2719		H6189	H3605	H6913	

בְּתוֹךְ	בּוֹר	יֹרְדֵי	אֶת־	כְּלִמָּתָם	וַיִּשְׂאוּ	חַיִּים	בְּאֶרֶץ	
中に	中で	穴に–降る者の	と共に	その–恥辱を	そして–負った	生ける者の	地に	
H8432		H3381	H0854	H3639	H5375		H0776	

נִתָּן׃	חַלָלִים
置かれた	刺された者たちの
H5414	

彼らはそのすべての民衆と共に、殺された者の中に床を置き、その墓はこれを囲む。これは皆、割礼を受けない者、つるぎに殺された者、生ける者の地に恐れを起した者で、穴に下る者と共に恥を負う。彼らは殺された者の中に置かれている。

26

כֻּלָּם	קִבְרוֹתֶיהָ	סְבִיבוֹתָיו	הֲמוֹנָהּ	וְכָל־	תֻּבַל׀	מֶשֶׁךְ	שָׁם	
みな	その–墓がある	周囲に	その–群衆と	すべての	トバルがいる	メシェクと	そこに	
H3605	H6913	H5439		H3605	H8422	H4902	H8033	

חַיִּים׃	בְּאֶרֶץ	חִתִּיתָם	נָתְנוּ	כִּי־	חֶרֶב	מְחַלְלֵי	עֲרֵלִים	
生ける者の	地に	その–恐怖を	もたらした	なぜなら	者の中で	剣に–刺された	割礼なき者たち	
	H0776	H2851	H5414		H2719		H6189	

その所にメセクとトバル、およびすべての民衆がおる。その墓はこれを囲む。彼らは皆、割礼を受けない者で、つるぎで殺された者である。生ける者の地に恐れを起したからである。

27

יָרְדוּ־	אֲשֶׁר	מֵעֲרֵלִים	נֹפְלִים	גִּבּוֹרִים	אֶת־	יִשְׁכְּבוּ׀	וְלֹא	
降った	彼らは	割礼なき者の–中の	倒れた	勇士たちと	と共に	横たわらない	彼らは–決して	
H3381		H6189	H5307	H1368	H0854	H7901	H3808	

וַתְּהִי	רָאשֵׁיהֶם	תָּחַת	חַרְבוֹתָם	אֶת־	וַיִּתְּנוּ	מִלְחַמְתָּם	בִּכְלֵי־	שְׁאוֹל
そして–あった	その–頭の	下に	その–剣を	を	そして–置かれた	戦いの	武具と–共に	陰府に
H1961		H8478	H2719	H0853	H5414	H4421	H3627	H7585

חַיִּים׃	בְּאֶרֶץ	גִּבּוֹרִים	חִתִּית	כִּי־	עַצְמוֹתָם	עַל־	עֲוֹנָתָם
生ける者の	地に	勇士たちの	恐怖であった	なぜなら	その–骨の	の–上に	その–咎が
	H0776	H1368	H2851		H6106		H5771

彼らは昔の倒れた勇士と共に伏さない。これらの勇士は、武具を持って陰府に下り、つるぎをまくらとし、その盾は骨の上にある。これは勇士の恐れが、生ける者の地にあったからである。

28 וְאַתָּה בְּתוֹךְ עֲרֵלִים תִּשָּׁבֵר וְתִשְׁכַּב אֶת־חַלְלֵי־
しかし-あなたは 中に 割礼なき者の 砕かれる そして-横たわる と共に 剣に-刺された者の
H7665 H6189 H8432 H7901 H0854

חָרֶב׃
中で
H2719

あなたは割礼を受けない者のうちに、つるぎで殺された者と共に横たわる。

29 שָׁמָּה אֱדוֹם מְלָכֶיהָ וְכָל־נְשִׂיאֶיהָ אֲשֶׁר־נִתְּנוּ בִּגְבוּרָתָם
そこに エドムがいる その-王たちと すべての その-君たちと 彼らは 置かれた その-力と共に
H8033 H0123 H4428 H3605 H5414 H1369

אֶת־חַלְלֵי־ חָרֶב הֵמָּה בַּגּוֹיִם יִשְׁכָּבוּ וְאֶת־ עֲרֵלִים
と共に 剣に-刺された者の 中で 彼らは と共に 横たわる そして-と共に 割礼なき者と
H0854 H2719 H1992 H0854 H7901 H0854 H6189

יוֹרְדֵי בוֹר׃
穴に-降る者の 中で
H3381

その所にエドムとその王たちと、そのすべての君たちがおる。彼らはその力を持つにもかかわらず、かのつるぎで殺された者と共に横たえられ、割礼を受けない者および穴に下る者と共に伏している。

30 שָׁמָּה נְסִיכֵי צָפוֹן כֻּלָּם וְכָל־צִדֹנִי אֲשֶׁר־יָרְדוּ אֶת־
そこに 君たちがいる 北の すべて すべての シドンの者たちと 彼らは 降った と共に
H8033 H6828 H3605 H6722 H3381 H0854

הַחֲלָלִים בְּחִתִּיתָם מִגְּבוּרָתָם בּוֹשִׁים וַיִּשְׁכְּבוּ עֲרֵלִים אֶת־
刺された者と 恐怖にもかかわらず その-力から 恥じて そして-横たわった 割礼なき者として と共に
H2851 H1369 H0954 H7901 H6189 H0854

יוֹרְדֵי בוֹר׃ אֶת־ כְּלִמָּתָם וַיִּשְׂאוּ חָרֶב חַלְלֵי־
中で 穴に-降る者の と共に その-恥辱を そして-負った 中で 剣に-刺された者の
H3381 H0854 H3639 H5375 H2719

その所に北の君たち、およびシドンびとが皆おる。彼らは自分の力によって恐れを起したので、殺された者と共に恥を受けて、下って行った者である。彼らはつるぎで殺された者と共に、割礼を受けずに伏し、穴に下る者と共に恥を負う。

31 אוֹתָם יִרְאֶה פַּרְעֹה וְנִחַם עַל־ כָּל־ [המונה] (הֲמוֹנוֹ)
彼らを 見る パロは そして-慰められる について すべての [異読] その-群衆の
H0853 H7200 H6547 H5162 H3605

חַלְלֵי־ חֶרֶב הוּא פַּרְעֹה וְכָל־ חֵילוֹ חָלָל נְאֻם אֲדֹנָי יְהוִה׃
剣に-刺された者 である パロと すべての その-軍勢は 告げられた 主なる 神の
H2719 H6547 H3605 H2428 H5002 H0136 H3069

パロは彼らを見る時、そのすべての民衆について慰められる。パロとそのすべての軍勢とは、つるぎで殺されると、主なる神は言われる。

32 כִּי־ נָתַתִּי |חתיתו| אֶת־ בְּאֶרֶץ)חִתִּיתִי(
なぜなら わたしは–もたらした を [異読] 地に わたしの–恐怖を
H3588 H5414 H0853 H2851 H2851 H0776 H2851

חַיִּים וְהֻשְׁכַּב בְּתוֹךְ עֲרֵלִים אֶת־ חַלְלֵי־ חֶרֶב פַּרְעֹה וְכָל־
生ける者の そして–横たえられる 中に 割礼なき者の と共に 剣に–刺された者の 中で パロと すべての
H2416 H7901 H8432 H6189 H0854 H2719 H6547 H3605

הֲמוֹנֹה אֲדֹנָי יְהוִה׃ נְאֻם פ
その–群衆は 主なる 神の 告げられた [区切り]
H1995 H0136 H3069 H5002

彼は生ける者の国に恐れを広げた。それゆえ、パロとすべての民衆とは、割礼を受けない者のうちにあって、つるぎで殺された者と共に伏すと、主なる神は言われる」。

Chapter 33

1 וַיְהִי דְבַר־ יְהוָה אֵלַי לֵאמֹר׃
そして–あった 言葉が 主の 私に 言って
H1961 H1697 H3068 H0413 H0559

主の言葉がわたしに臨んだ、

2 בֶּן־ אָדָם דַּבֵּר אֶל־ בְּנֵי עַמֶּךָ וְאָמַרְתָּ אֲלֵיהֶם אֶרֶץ כִּי־
人 の–子よ 語れ に 子らに あなたの–民の そして–言え 彼らに 地に もし
H1121 H0120 H1696 H0413 H1121 H5971 H0559 H0413 H0776 H3588

אִישׁ אֶחָד מִקְצֵיהֶם וְלָקְחוּ עַם־ הָאָרֶץ אֹתוֹ וְנָתְנוּ
人を 一人 その–中から そして–取るなら 民が その–地の 剣を その–上に もたらすなら 彼を そして–立てるなら
H0376 H0259 H7097 H3947 H5971 H0776 H2719 H5921 H0935 H0853 H5414

לָהֶם לְצֹפֶה׃
自分たちの–ために 見張りとして
H0853 H6822

「人の子よ、あなたの民の人々に語って言え、わたしがつるぎを一つの国に臨ませる時、その国の民が彼らのうちからひとりを選んで、これを自分たちの見守る者とする。

3 וְרָאָה אֶת־ הַחֶרֶב בָּאָה עַל־ הָאָרֶץ וְתָקַע בַּשּׁוֹפָר
そして–見て を 剣が 来るのを の–上に その–地の そして–吹くなら 角笛を
H7200 H0853 H2719 H0935 H5921 H0776 H8628 H7782

וְהִזְהִיר אֶת־ הָעָם׃
そして–警告するなら を 民を
H0853

彼は国につるぎが臨むのを見て、ラッパを吹き、民を戒める。

4 וְשָׁמַע הַשֹּׁמֵעַ אֶת־ קוֹל הַשּׁוֹפָר וְלֹא נִזְהָר וַתָּבוֹא
そして–聞いて 聞く–者が を 音を 角笛の しかし–決して 警告を–受けなければ そして–来て
H8085 H8085 H0853 H6963 H7782 H3808 H2094 H0935

חֶרֶב וַתִּקָּחֵהוּ דָמוֹ בְרֹאשׁוֹ יִהְיֶה׃
剣が そして–奪うなら その–血は その–頭の–上に ある
H2719 H3947 H1818 H7218 H1961

しかし人がラッパの音を聞いても、みずから警戒せず、ついにつるぎが来て、その人を殺したなら、その血は彼のこうべに帰する。

5	יְהִיָה	בּוֹ	דָּמוֹ	נִזְהָר	וְלֹא	שָׁמַע	הַשּׁוֹפָר	קוֹל	אֵת
	ある	その–身に	その–血は	警告を–受けなければ	しかし–決して	聞いて	角笛の	音を	を
	H1961		H1818		H3808	H8085	H7782		H0853

מִלָּט׃	נַפְשׁוֹ	נִזְהָר	וְהוּא	
救う	その–命を	警告を–受けたなら	しかし–彼が	
H4422	H5315		H1931	

彼はラッパの音を聞いて、みずから警戒しなかったのであるから、その血は彼自身に帰する。しかしその人が、みずから警戒したなら、その命は救われる。

6	בַּשּׁוֹפָר	תִּקַּע	וְלֹא־	בָּאָה	הַחֶרֶב	אֶת־	יִרְאֶה	כִּי־	וְהַצֹּפֶה
	角笛を	吹かなければ	しかし–決して	来るのを	剣が	を	見て	もし	しかし–見張りが
	H7782	H8628	H3808	H0935	H2719	H0853	H7200		H6822

הוּא	נֶפֶשׁ	מֵהֶם	וַתִּקַּח	חֶרֶב	וַתָּבוֹא	נִזְהָר	לֹא־	וְהָעָם	
その者は	命を	彼らから	そして–奪うなら	剣が	そして–来て	警告を–受けず	決して	そして–民が	
H1931	H5315	H1992	H3947	H2719	H0935		H3808		

ס	אֲדַרֹּשׁ׃	הַצֹּפֶה	מִיַּד־	וְדָמוֹ	נִלְקָח	בַּעֲוֹנוֹ
[区切り]	わたしは–求める	見張りの	手から	しかし–その–血を	取られた	その–咎の–ゆえに
	H1875	H6822	H3027	H1818	H3947	H5771

しかし見守る者が、つるぎの臨むのを見ても、ラッパを吹かず、そのため民が、みずから警戒しないでいるうちに、つるぎが臨み、彼らの中のひとりを失うならば、その人は、自分の罪のために殺されるが、わたしはその血の責任を、見守る者の手に求める。

7	יִשְׂרָאֵל	לְבֵית	נְתַתִּיךָ	צֹפֶה	אָדָם	בֶּן־	וְאַתָּה		
	イスラエルの	家の–ために	わたしは–あなたを–立てた	見張りとして	の–子よ	人	そして–あなた		
	H3478		H5414	H6822	H0120				

מִפִּי	דָּבָר	וְהִזְהַרְתָּ	אֹתָם	מִמֶּנִּי׃	וְשָׁמַעְתָּ	
わたしの–口から	言葉を	そして–警告せよ	彼らに	わたしから	そして–聞いて	
H6310	H1697		H0853		H8085	

それゆえ、人の子よ、わたしはあなたを立てて、イスラエルの家を見守る者とする。あなたはわたしの口から言葉を聞き、わたしに代って彼らを戒めよ。

8	לְהַזְהִיר	דַּבֵּרְתָּ	וְלֹא	תָמוּת	מוֹת	רָשָׁע	לָרָשָׁע	בְּאָמְרִי	
	警告するために	語らなければ	しかし–決して	死ぬと	必ず	悪者よ	悪者に	わたしが–言うとき	
		H1696	H3808	H4191	H4191	H7563	H7563	H0559	

מִיָּדְךָ	וְדָמוֹ	יָמוּת	בַּעֲוֹנוֹ	רָשָׁע	הוּא	מִדַּרְכּוֹ	רָשָׁע	
あなたの–手から	しかし–その–血を	死ぬ	その–咎の–ゆえに	悪者は	その	その–道から	悪者に	
H3027	H1818	H4191	H5771	H7563	H1931	H1870	H7563	

אֲבַקֵּשׁ׃
わたしは–求める
H1245

わたしが悪人に向かって、悪人よ、あなたは必ず死ぬと言う時、あなたが悪人を戒めて、その道から離れさせるように語らなかったら、悪人は自分の罪によって死ぬ。しかしわたしはその血を、あなたの手に求める。

9

וְאַתָּה כִּי־ הִזְהַרְתָּ רָשָׁע מִדַּרְכּוֹ לָשׁוּב מִמֶּנָּה
しかし–あなたが もし 警告したなら 悪者に その–道から 立ち返るように そこから
H7725 H1870 H7563

וְאַתָּה וָמֵת בַּעֲוֹנוֹ הוּא מִדַּרְכּוֹ שָׁב וְלֹא־
しかし–あなたは 死ぬ その–咎の–ゆえに その者は その–道から 立ち返らなければ しかし–決して
H4191 H5771 H1931 H1870 H7725 H3808

ס נַפְשְׁךָ הִצָּלְתָּ׃
[区切り] あなたの–命を 救った
H5337 H5315

しかしあなたが悪人に、その道を離れるように戒めても、その悪人がその道を離れないなら、彼は自分の罪によって死ぬ。しかしあなたの命は救われる。

10

וְאַתָּה בֶּן־ אָדָם אֱמֹר֙ אֶל־ בֵּית יִשְׂרָאֵל כֵּן
そして–あなた 人 の–子よ 言え に 家に イスラエルの このように
H0120 H0559 H0413 H3478

אֲמַרְתֶּם לֵאמֹר כִּי־ פִשְׁעֵינוּ וְחַטֹּאתֵינוּ עָלֵינוּ
あなたがたは–言った 言って 確かに 私たちの–背きと 私たちの–罪が 私たちの–上にある
H0559 H0559 H6588

וּבָם נִמַּקִּים וְאֵיךְ נֶאֱחֶנוּ אַתָּה׃ נִחְיֶה
それらの–中で 衰え–果てている どうして 私たちは 生きられようか
H0587 H4743 H2421

それゆえ、人の子よ、イスラエルの家に言え、あなたがたはこう言った、『われわれのとがと、罪はわれわれの上にある。われわれはその中にあって衰えはてる。どうして生きることができようか』と。

11

אֱמֹר֙ אֲלֵיהֶ֔ם חַי־ אֲנִי֙ נְאֻם֙ אֲדֹנָ֣י יְהוִ֔ה אִם־ אֶחְפֹּץ
言え 彼らに わたしは–生きている わたしは 告げられた 主なる 神は 決して 喜ばない
H0559 H0413 H0589 H5002 H0136 H3069 H0408 H2654

בְּמ֣וֹת הָרָשָׁ֗ע כִּ֤י אִם־ בְּשׁ֙וּב֙ הָרָשָׁ֣ע מִדַּרְכּ֔וֹ וְחָיָ֖ה
悪者の–死を むしろ こそ 立ち返ることを 悪者が その–道から そして–生きることを
H4194 H3588 H0518 H7725 H7563 H1870 H2421

שׁ֚וּבוּ שׁ֣וּבוּ מִדַּרְכֵּיכֶ֔ם הָרָעִ֑ים וְלָמָּה֙ תָּמ֣וּתוּ בֵּ֥ית יִשְׂרָאֵ֖ל׃ פ
立ち返れ 立ち返れ あなたがたの–道から 悪い なぜ 死ぬのか 家よ イスラエルの [区切り]
H7725 H7725 H1870 H7451 H4100 H4191 H1004 H3478

あなたは彼らに言え、主なる神は言われる、わたしは生きている。わたしは悪人の死を喜ばない。むしろ悪人が、その道を離れて生きるのを喜ぶ。あなたがたは心を翻せ、心を翻してその悪しき道を離れよ。イスラエルの家よ、あなたはどうして死んでよかろうか。

12

וְאַתָּה בֶּן־ אָדָם אֱמֹר֙ אֶל־ בְּנֵ֣י עַמְּךָ֔ צְדָקַ֥ת צַדִּ֖יק לֹ֣א
そして–あなた 人 の–子よ 言え に 子らに あなたの–民の 義は 正しい者の 決して
H0120 H0559 H0413 H1121 H5971 H6666 H6662 H3808

בְּי֣וֹם פִּשְׁע֔וֹ לֹ֣א תַצִּילֶ֑נּוּ וְרִשְׁעַ֣ת הָרָשָׁ֗ע לֹא־ יִכָּשֶׁל־ בָּ֔הּ בְּי֣וֹם
日に その–背きの 救わない そして–悪は 悪者の 決して つまずかせない それによって 日に
H3117 H6588 H5337 H7564 H7563 H3808 H3782 H1992 H3117

שׁוּבוֹ֙ מֵרִשְׁעָ֔וֹ לֹ֣א יוּכַ֔ל לִֽחְיוֹת֙ בָּ֔הּ בְּי֣וֹם
立ち返る その–悪から できない 生きることが それによって 日に
H7725 H7562 H3201 H2421 H1992 H3117

חַטֹּאתֹ֑ו׃
その–罪の
H2398

人の子よ、あなたの民の人々に言え、義人の義は、彼が罪を犯す時には、彼を救わない。悪人の悪は、彼がその悪を離れる時、その悪のために倒れることはない。義人は彼が罪を犯す時、その義のために生きることはできない。

13 בְּאָמְרִי לַצַּדִּיק חָיֹה יִחְיֶה הוּא־וְבָטַח עַל־צִדְקָתוֹ
わたしが–言うとき 正しい者に 必ず 生きると しかし–彼が 頼り に その–義に
H0559 H6662 H2421 H2421 H1931 H0982 H6666

וְעָשָׂה עָוֶל כָּל־צדקתו [צִדְקֹתָיו) לֹא תִזָּכַרְנָה
そして–行うなら 不正を すべての [異読] その–義は 決して 覚えられない
H6213 H5766 H3605 H6666 H3808 H2142

וּבְעַוְלוֹ אֲשֶׁר־עָשָׂה בּוֹ יָמוּת׃
そして–その–不正の–ゆえに それを 行った その中で 死ぬ
H5766 H6213 H1992 H4191

わたしが義人に、彼は必ず生きると言っても、もし彼が自分の義をたのんで、罪を犯すなら、彼のすべての義は覚えられない。彼はみずから犯した罪のために死ぬ。

14 וּבְאָמְרִי לָרָשָׁע מוֹת תָּמוּת וְשָׁב מֵחַטָּאתוֹ וְעָשָׂה
わたしが–言うとき 悪者に 必ず 死ぬと しかし–立ち返り その–罪から そして–行うなら
H0559 H7563 H4191 H4191 H7725 H2398 H6213

מִשְׁפָּט וּצְדָקָה׃
公正と 義を
H4941 H6666

また、わたしが悪人に『あなたは必ず死ぬ』と言っても、もし彼がその罪を離れ、公道と正義とを行うならば、

15 חֲבָל יָשִׁיב גְּזֵלָה בְּחֻקּוֹת הַחַיִּים לָלֶכֶת בְּלִי עָוֶל עָשׂוֹת
質物を 返し 奪ったものを 掟に–従い 命の 歩み 決して 不正を 行わず
H2254 H7725 H1500 H2708 H2416 H1980 H1115 H5766 H6213

לֹא יָמוּת חָיוֹ יִחְיֶה לֹא עָשָׂה׃
死なない 必ず 生きる 決して 行った
H4191 H2421 H2421 H3808 H6213

すなわちその悪人が質物を返し、奪った物をもどし、命の定めに歩み、悪を行わないならば、彼は必ず生きる。決して死なない。

16 וּצְדָקָה מִשְׁפָּט לוֹ תִזָּכַרְנָה לֹא חָטָא אֲשֶׁר חַטֹּאתָיו) [חטאתו כָּל־
義を 公正と 彼に 覚えられない 決して 犯した それを その–罪は [異読] すべての
H6666 H4941 H2398 H3808 H2142 H2398 H3605

עָשָׂה חָיוֹ יִחְיֶה׃
行った 必ず 生きる
H6213 H2421 H2421

彼の犯したすべての罪は彼に対して覚えられない。彼は公道と正義とを行ったのであるから、必ず生きる。

17 וְאָמְרוּ בְּנֵי עַמְּךָ לֹא יִתָּכֵן דֶּרֶךְ אֲדֹנָי וְהֵמָּה דַּרְכָּם
しかし–言う 子らが あなたの–民の 決して 正しくない 道は 主のと しかし–彼らの 道こそ
H0559 H1121 H5971 H3808 H8505 H1870 H0136 H1992 H1870

לֹא־יִתָּכֵן׃
決して 正しくない
H3808 H8505

あなたの民の人々は『主の道は公平でない』と言う。しかし彼らの道こそ公平でないのである。

18 בְּשׁוּב צַדִּיק מִצִּדְקָתוֹ וְעָשָׂה עָוֶל וָמֵת בָּהֶם׃
立ち返るとき 正しい者が その–義から そして–行うなら 不正を そして–死ぬ それらの–ゆえに
H7725 H6662 H6666 H6213 H5766 H4191 H1992

義人がその義を離れて、罪を犯すならば、彼はこれがために死ぬ。

19 וּבְשׁוּב צַדִּיק מִצִּדְקָתוֹ וְעָשָׂה עָוֶל כְּכֹל הַתּוֹעֵבֹת אֲשֶׁר עָשָׂה רָשָׁע וְעָשָׂה הֲיִחְיֶה כָּל צִדְקֹתָיו אֲשֶׁר עָשָׂה לֹא תִזָּכַרְנָה בְּמַעֲלוֹ אֲשֶׁר מָעָל וּבְחַטָּאתוֹ אֲשֶׁר חָטָא בָּהֶם הֵמָּה יָמוּת׃

וּבְשׁוּב	רָשָׁע	מֵרִשְׁעָתוֹ	וְעָשָׂה	מִשְׁפָּט	וּצְדָקָה	עֲלֵיהֶם			
そして–立ち返るとき	悪者が	その–悪から	そして–行うなら	公正と	義を	それらに–よって			
H7725	H7563	H7564		H4941	H6666				

הֲיִחְיֶה׃	הוּא								
生きる	その者は								
H2421	H1931								

悪人がその悪を離れて、公道と正義とを行うならば、彼はこれによって生きる。

20 וַאֲמַרְתֶּם לֹא יִתָּכֵן דֶּרֶךְ אֲדֹנָי אִישׁ כִּדְרָכָיו אֶשְׁפֹּט אֶתְכֶם בֵּית יִשְׂרָאֵל אִישׁ כְּדַרְכָּיו׃ פ

וַאֲמַרְתֶּם	לֹא	יִתָּכֵן	דֶּרֶךְ	אֲדֹנָי	אִישׁ	כִּדְרָכָיו			
あなたがたは–言った	決して	正しくないと	道は	主のと	おのおの	その–道に–従って			
H0559	H3808	H8505	H1870	H0136	H0376	H1870			

פ	יִשְׂרָאֵל	בֵּית	אֶתְכֶם	אֶשְׁפֹּט					
[区切り]	イスラエルの	家よ	あなたがたを	わたしは–裁く					
	H3478		H0853	H8199					

それであるのに、あなたがたは『主の道は公平でない』と言う。イスラエルの家よ、わたしは各自のおこないにしたがって、あなたがたをさばく」。

21 וַיְהִי בִּשְׁתֵּי עֶשְׂרֵה שָׁנָה בַּחֲמִשָּׁה לַחֹדֶשׁ בָּעֲשִׂרִי לִגְלוּתֵנוּ בָּא־אֵלַי הַפָּלִיט מִירוּשָׁלִַם לֵאמֹר הֻכְּתָה הָעִיר׃

וַיְהִי	בִּשְׁתֵּי	עֶשְׂרֵה	שָׁנָה	בַּחֲמִשָּׁה	לַחֹדֶשׁ	בָּעֲשִׂרִי	לִגְלוּתֵנוּ	בָּא־	
そして–あった	第–十二	の	年に	第五	日に	第十の–月の	私たちの–捕囚の	来た	
H1961	H8147	H6240	H8141	H2568	H2320	H6224	H1546	H0935	

אֵלַי	הַפָּלִיט	מִירוּשָׁלִַם	לֵאמֹר	הֻכְּתָה	הָעִיר׃				
私に	逃れた–者が	エルサレムから	言って	打たれた	都は				
H0413		H3389	H0559	H5221					

わたしたちが捕え移された後、すなわち第十二年の十月五日に、エルサレムからのがれて来た者が、わたしのもとに来て言った、「町は打ち破られた」と。

22 וְיַד־יְהוָה הָיְתָה עָלַי בָּעֶרֶב לִפְנֵי בוֹא הַפָּלִיט וַיִּפְתַּח אֶת־פִּי עַד־בּוֹא אֵלַי בַּבֹּקֶר וַיִּפָּתַח פִּי וְלֹא אֶהְיֶה עוֹד נֶאֱלָמְתִּי׃ פ

וְיַד־	יְהוָה	הָיְתָה	עָלַי	בָּעֶרֶב	לִפְנֵי	בוֹא	הַפָּלִיט	וַיִּפְתַּח	אֶת־
そして–手が	主の	あった	私の–上に	夕べに	前に	来る	逃れた–者が	そして–開いた	を
H3027	H3068	H1961	H0413	H6153	H6440	H0935			H0853

פִּי	עַד־	בּוֹא	אֵלַי	בַּבֹּקֶר	וַיִּפָּתַח	פִּי	וְלֹא	אֶהְיֶה	עוֹד	נֶאֱלָמְתִּי׃	פ
私の–口を	まで	来る	私の–もとに	朝に	そして–開かれた	私の–口は	そして–もはや		もう	黙らなかった	
H6310	H5704	H0935	H0413	H1242		H6310	H3808		H5750	H0481	

その者が来た前の夜、主の手がわたしに臨んだ。次の朝、その人がわたしのもとに来たころ、主はわたしの口を開かれた。わたしの口が開けたので、もはやわたしは沈黙しなかった。

23 וַיְהִי דְבַר־יְהוָה אֵלַי לֵאמֹר׃

וַיְהִי	דְבַר־	יְהוָה	אֵלַי	לֵאמֹר׃	
そして–あった	言葉が	主の	私に	言って	
H1961	H1697	H3068	H0413	H0559	

主の言葉がわたしに臨んだ、

24

אֹמְרִים	יִשְׂרָאֵל	אַדְמַת	עַל־	הָאֵלֶּה	הֶחֳרָבוֹת	יֹשְׁבֵי	אָדָם	בֶּן־
言っている	イスラエルの	土地の	の-上の	これらの	廃墟の	住む-者たちは	の-子よ	人
H0559	H3478	H0127		H0428	H2723	H3427	H0120	

רַבִּים	וַאֲנַחְנוּ	הָאָרֶץ	אֶת־	וַיִּירַשׁ	אַבְרָהָם	הָיָה	אֶחָד	לֵאמֹר
多い	しかし-私たちは	地を	を	そして-受け継いだ	アブラハムは	であった	一人	言って
	H0587	H0776	H0853	H3423	H0085	H1961	H0259	H0559

ס	לְמוֹרָשָׁה׃	הָאָרֶץ	נִתְּנָה	לָנוּ
[区切り]	所有として	地は	与えられた	私たちに
	H4181	H0776	H5414	

「人の子よ、イスラエルの地の、かの荒れ跡の住民らは、語り続けて言う、『アブラハムはただひとりで、なおこの地を所有した。しかしわたしたちの数は多い。この地はわれわれの所有として与えられている』と。

25

תֹּאכְלוּ	וְהַדָּם	עַל־	יְהוָה	אֲדֹנָי	וְאָמַר	כֹּה־	אֲלֵיהֶם	אֱמֹר	לָכֵן
食べ	血を	と共に	神は	主なる	言われた	このように	彼らに	言え	それゆえ
H0398	H1818		H3069	H0136	H0559	H3541	H0413	H0559	

תִּירָשׁוּ׃	וְהָאָרֶץ	תִּשְׁפְּכוּ	וְדָם	גִּלּוּלֵיכֶם	אֶל־	תִּשְׂאוּ	וְעֵינֵיכֶם
受け継ぐのか	それでも-地を	流し	そして-血を	偶像に	に	上げ	あなたがたの-目を
H3423	H0776	H8210	H1818	H1544	H0413	H5375	

それゆえ、あなたは彼らに言え、主なる神はこう言われる、あなたがたは肉を血のついたままで食べ、おのが偶像を仰ぎ、血を流していて、なおこの地を所有することができるか。

26

אִשָּׁת	אֶת־	וְאִישׁ	תּוֹעֵבָה	עֲשִׂיתֶן	חַרְבְּכֶם	עַל־	עֲמַדְתֶּם
妻を	を	そして-おのおの	忌まわしいことを	行った	あなたがたの-剣に	に	頼った
H0802	H0853	H0376	H8441		H2719		H5975

ס	תִּירָשׁוּ׃	וְהָאָרֶץ	טִמֵּאתֶם	רֵעֵהוּ
[区切り]	受け継ぐのか	それでも-地を	汚した	隣人の
	H3423	H0776		H7453

あなたがたはつるぎをたのみ、憎むべき事をおこない、おのおの隣り人の妻を汚して、なおこの地を所有することができるか。

27

אָנִי	חַי־	יְהוָה	אֲדֹנָי	אָמַר	כֹּה־	אֲלֵהֶם	תֹּאמַר	כֹּה־	
わたしは	わたしは-生きている	神は	主なる	言われた	このように	彼らに	言え	このように	
H0589		H3069	H0136	H0559	H3541	H0413	H0559	H3541	

הַשָּׂדֶה	פְּנֵי	עַל־	וַאֲשֶׁר	יִפֹּלוּ	בַּחֶרֶב	בָּחֳרָבוֹת	אֲשֶׁר	לֹא	אִם־
野の	面の	の-上の	そして-者たちは	倒れる	剣で	廃墟に-いる	者たちは	確かに	必ず
	H6440			H5307	H2719	H2723		H3808	

יָמוּתוּ׃	בַּדֶּבֶר	וּבַמְּעָרוֹת	בַּמְּצָדוֹת	וַאֲשֶׁר	לְאָכְלוֹ	נְתַתִּיו	לַחַיָּה
死ぬ	疫病で	洞穴に-いる	要塞や	そして-者たちは	食われるために	わたしは-渡した	獣に
H4191	H1698	H4631			H0398	H5414	

あなたは彼らに言いなさい。主なる神はこう言われる、わたしは生きている。かの荒れ跡にいる者は必ずつるぎに倒れる。わたしは野の面にいる者を、獣に与えて食わせ、要害とほら穴とにいる者は疫病で死ぬ。

28

עֻזָּהּ	גְּאוֹן	וְנִשְׁבָּת	וּמְשַׁמָּה	שְׁמָמָה	הָאָרֶץ	אֶת־	וְנָתַתִּי
その-力の	誇りは	そして-やむ	そして-荒れ地に	荒廃に	地を	を	そして-する
H5797	H1347		H4923		H0776	H0853	H5414

עוֹבֵר׃	מֵאֵין	יִשְׂרָאֵל	הָרֵי	וְשָׁמְמוּ
なくなる	通る者もなく	イスラエルの	山々は	そして-荒れ果てる
	H0369	H3478	H2022	H8074

わたしはこの国を全く荒す。彼の誇る力はうせ、イスラエルの山々は荒れて通る者もなくなる。

29 וְיָדְעוּ כִּי־אֲנִי יְהוָה בְּתִתִּי אֶת־הָאָרֶץ שְׁמָמָה מִכֹּל תּוֹעֲבֹתָם אֲשֶׁר עָשׂוּ׃ ס

そして-知る わたしが である-ことを 主 するとき を 地を 荒廃に そして-荒れ地に
H3045 H0589 H3068 H5414 H0853 H0776 H8077 H4923

[区切り] 行った 彼らが 忌まわしいことの すべての ゆえに
H6213 H8441 H3605 H5921

彼らがおこなったすべての憎むべきことのために、わたしがこの国を全く荒す時、彼らはわたしが主であることを悟る。

30 וְאַתָּה בֶן־אָדָם בְּנֵי עַמְּךָ הַמְדַבְּרִים בְּךָ אֵצֶל

そして-あなた 人 の-子よ あなたの-民の 語り合っている あなたについて そばで
H0859 H0120 H5971 H1696 H0413 H0681

הַבָּתִּים וּבְפִתְחֵי הַקִּירוֹת אִישׁ אֶת־אָחִיו אִישׁ אֶת־אַחַד וְדִבֶּר־אֶת־חַד

家々の そして-入口で 壁の おのおのが と 一人に と 一人が そして-語る
H1004 H6607 H7023 H0376 H0854 H0259 H0854 H2297 H1696

יְהוָה׃ מֵאֵת הַיּוֹצֵא הַדָּבָר מָה וְשִׁמְעוּ נָא בֹּאוּ וְלֵאמֹר אָחִיו אֶת־

主の から 出る 言葉が 何か そして-聞こう どうか さあ 言って その-兄弟に
H3068 H0854 H3318 H1697 H4100 H8085 H4994 H0935 H0559 H0251

人の子よ、あなたの民の人々は、かきのかたわら、家の入口で、あなたの事を論じ、たがいに語りあって言う、『さあ、われわれは、どんな言葉が主から出るかを聞こう』と。

31 וּבָאוּ כְּמְבוֹא־עָם וְיֵשְׁבוּ לְפָנֶיךָ עַמִּי וְשָׁמְעוּ אֶת־דְּבָרֶיךָ וְאוֹתָם לֹא יַעֲשׂוּ

そして-来る そして-座る 人々が 民が-来るように あなたの-もとに あなたの-前に
H0935 H0413 H5971 H3996 H3427 H6440

כִּי־עֲגָבִים בְּפִיהֶם הֵמָּה עֹשִׂים אַחֲרֵי בִצְעָם לִבָּם הֹלֵךְ׃

なぜなら 行わない 決して しかし-それを あなたの-言葉を を そして-聞く わたしの-民として
H3588 H6213 H3808 H0853 H1697 H0853 H8085 H5971

向かう 彼らの-心は その-利得 の-後を 行っている 彼らは 口に-する 甘い-言葉を
H1980 H3820 H1215 H0310 H6213 H1992 H6310 H5690

彼らは民が来るようにあなたの所に来、わたしの民のようにあなたの前に座して、あなたの言葉を聞く。しかし彼らはそれを行わない。彼等は口先では多くの愛を現すが、その心は利におもむいている。

32 וְהִנְךָ לָהֶם כְּשִׁיר עֲגָבִים יְפֵה קוֹל וּמֵטִב נַגֵּן וְשָׁמְעוּ אֶת־דְּבָרֶיךָ וְעֹשִׂים לֹא אֵינָם אוֹתָם׃

そして-見よ-あなたは ように-歌の 恋の-歌の 美しい 声の そして-上手に 奏でる そして-聞く を あなたの-言葉を しかし-行う-者は いない それを
H2009 H3820 H5690 H3303 H6963 H2895 H5059 H8085 H0853 H1697 H6213 H0369 H0853

見よ、あなたは彼らには、美しい声で愛の歌をうたう者のように、また楽器をよく奏する者のように思われる。彼らはあなたの言葉は聞くが、それを行おうとはしない。

33 וּבְבֹאָה הִנֵּה בָאָה וְיָדְעוּ כִּי נָבִיא הָיָה בְּתוֹכָם׃

そして-来るとき-それが 見よ 来る そして-知る 確かに 預言者が いた-ことを 彼らの-中に
H0935 H2009 H0935 H3045 H3588 H5030 H1961 H8432

ס

[区切り]

この事が起る時――これは必ず起る――そのとき彼らの中にひとりの預言者がいたことを彼らは悟る」。

Chapter 34

1 וַיְהִי דְבַר־ יְהוָה אֵלַי לֵאמֹר׃
そして–あった 言葉が 主の 私に 言って
H1961 H1697 H3068 H0413 H0559

主の言葉がわたしに臨んだ、

2 בֶּן־ אָדָם הִנָּבֵא עַל־ רֹעֵי יִשְׂרָאֵל הִנָּבֵא וְאָמַרְתָּ אֲלֵיהֶם
人 預言せよ について 牧者たちに イスラエルの 預言せよ そして–言え 彼らに
H0120 H5012 H5012 H3478 H0559 H0413

כֹּה אָמַר אֲדֹנָי יְהוִה הוֹי רֹעֵי יִשְׂרָאֵל אֲשֶׁר
このように 言われた 主なる 神は わざわいだ 牧者たちよ イスラエルの 彼らは
H3541 H0559 H0136 H3069 H1945 H7462 H3478

הָיוּ רֹעִים הֲלוֹא הַצֹּאן יִרְעוּ רֹעִים׃
あった 牧者たちに 自分を 養う–者たち ないのか 羽を 養うべきではないか 牧者たちは
H1961 H0853 H7462 H3808 H6629 H7462

「人の子よ、イスラエルの牧者たちに向かって預言せよ。預言して彼ら牧者に言え、主なる神はこう言われる、わざわいなるかな、自分自身を養うイスラエルの牧者。牧者は群れを養うべき者ではないか。

3 אֶת־ הַחֵלֶב תֹּאכֵלוּ וְאֶת־ הַצֶּמֶר תִּלְבָּשׁוּ הַבְּרִיאָה תִזְבָּחוּ הַצֹּאן לֹא
を 脂を 食べ そして–を 羊毛を 着る 太った–ものを 屠る 羽を 決して
H0853 H2459 H0398 H0853 H6785 H3847 H1277 H2076 H6629 H3808

תִרְעוּ׃
養わない

ところが、あなたがたは脂肪を食べ、毛織物をまとい、肥えたものをほふるが、群れを養わない。

4 אֶת־ הַנַּחְלוֹת לֹא חִזַּקְתֶּם וְאֶת־ הַחוֹלָה לֹא רִפָּאתֶם
を 弱い–ものを 決して 強めなかった そして–を 病んだ–ものを 決して 癒さなかった
H0853 H5signature H3808 H2388 H0853 H2470 H3808 H7495

וְלַנִּשְׁבֶּרֶת לֹא חִבַּשְׁתֶּם וְאֶת־ הַנִּדַּחַת לֹא הֲשִׁבֹתֶם וְאֶת־ הָאֹבֶדֶת לֹא בִקַּשְׁתֶּם
そして–傷ついた–ものを 決して 包まなかった そして–を 追いやられた–ものを 決して 連れ戻さなかった そして–を 迷った–ものを 決して 探さなかった
H7665 H3808 H2280 H0853 H5080 H3808 H7725 H0853 H0006 H3808 H1245

וּבְחָזְקָה רְדִיתֶם אֹתָם וּבְפָרֶךְ׃
むしろ–力で 支配した 彼らを 過酷に
H2394 H7287 H0853 H6531

あなたがたは弱った者を強くせず、病んでいる者をいやさず、傷ついた者をつつまず、迷い出た者を引き返らせず、うせた者を尋ねず、彼らを手荒く、きびしく治めている。

5 וַתָּפוּצֶינָה לִבְלִי רֹעֶה וַתִּהְיֶינָה לְאָכְלָה לְכָל־ חַיַּת
そして–散らされた 牧者が–いない–ゆえに なく 食べ物に すべての 獣の
H6327 H1097 H7462 H1961 H0402 H3605 H2416

הַשָּׂדֶה וַתָּפוּצֶינָה׃
野の そして–散らされた

彼らは牧者がないために散り、野のもろもろの獣のえじきになる。

רָמָה	גִּבְעָה	כָּל־	וְעַל	הֶהָרִים	בְּכָל־	צֹאנִי	יִשְׁגּוּ	6
高い	丘の	すべての	そして-の-上で	山々の-上で	すべての	私の-羊は	さまよった	
	H1389	H3605		H2022	H3605	H6629	H7686	

דּוֹרֵשׁ	וְאֵין	צֹאנִי	נָפֻצוּ	הָאָרֶץ	פְּנֵי	כָּל־	וְעַל
いなかった	探す-者が-なく	私の-羊は	散らされた	地の	面の	すべての	そして-の-上で
H1875	H0369	H6629		H0776	H6440	H3605	

מְבַקֵּשׁ׃	וְאֵין
いなかった	求める-者も
H1245	H0369

わが羊は散らされている。彼らはもろもろの山と、もろもろの高き丘にさまよい、わが羊は地の全面に散らされているが、これを捜す者もなく、尋ねる者もない。

יְהוָה׃	דְּבַר	אֶת־	שִׁמְעוּ	רֹעִים	לָכֵן	7
主の	言葉を	を	聞け	牧者たちよ	それゆえ	
H3068	H1697	H0853	H8085			

それゆえ、牧者よ、主の言葉を聞け。

הָיוֹת־	יַעַן	לֹא	אִם־	יְהוִה	אֲדֹנָי	וְנֶאֱם	אָנִי	חַי־	8
なった	ゆえに	確かに	必ず	神は	主なる	告げられた	わたしは	わたしは-生きている	
H1961	H3282	H3808		H3069	H0136	H5002	H0589		

הַשָּׂדֶה	חַיַּת	לְכָל־	לְאָכְלָה	צֹאנִי	וַתְּהִי־נָה׀	לָבַז	וְצֹאנִי
野の	獣の	すべての	食べ物に	私の-羊が	そして-なった	略奪物に	私の-羊が
		H3605	H0402	H6629	H1961	H0957	H6629

צֹאנִי	אֶת־	רֹעַי	דָּרְשׁוּ	וְלֹא־	רֹעֶה	מֵאֵין	
私の-羊を	を	私の-牧者たちは	探さなかった	そして-決して	牧者が	いなかった-ゆえに	
H6629	H0853		H1875	H3808		H0369	

ס	רָעוּ׃	לֹא	צֹאנִי	וְאֶת־	אוֹתָם	הָרֹעִים	וַיִּרְעוּ
[区切り]	養わなかった	決して	私の-羊を	しかし-を	自分を	牧者たちは	むしろ-養った
		H3808	H6629	H0853	H0853		

主なる神は言われる、わたしは生きている。わが羊はかすめられ、わが羊は野のもろもろの獣のえじきとなっているが、その牧者はいない。わが牧者はわが羊を尋ねない。牧者は自身を養うが、わが羊を養わない。

יְהוָה׃	דְּבַר־	שִׁמְעוּ	הָרֹעִים	לָכֵן	9
主の	言葉を	聞け	牧者たちよ	それゆえ	
H3068	H1697	H8085			

それゆえ牧者らよ、主の言葉を聞け。

אֶת־	וְדָרַשְׁתָּי	הָרֹעִים	אֶל־	הִנְנִי	יְהוִה	אֲדֹנָי	אָמַר	כֹּה־	10
を	そして-求める	牧者たちに	に-向かう	見よ-わたしは	神は	主なる	言われた	このように	
H0853	H1875		H0413	H2009	H3069	H0136	H0559	H3541	

עוֹד	יִרְעוּ	וְלֹא־	צֹאן	מִרְעוֹת	וְהִשְׁבַּתִּים׀	מִיָּדָם	צֹאנִי
もはや	養わない	そして-決して	羊を	養うことから	そして-やめさせる	彼らの-手から	私の-羊を
H5750		H3808	H6629			H3027	H6629

לָהֶם	תִּהְיֶיןָ	וְלֹא־	מִפִּיהֶם	צֹאנִי	וְהִצַּלְתִּי	אוֹתָם	הָרֹעִים
彼らに-とって	ならない	そして-決して	彼らの-口から	私の-羊を	そして-救う	自分を	牧者たちは
	H1961	H3808	H6310	H6629	H5337	H0853	

ס	לְאָכְלָה׃
[区切り]	食べ物に
	H0402

主なる神はこう言われる、見よ、わたしは牧者らの敵となり、わたしの羊を彼らの手に求め、彼らにわたしの群れを養うことをやめさせ、再び牧者自身を養わせない。またわが羊を彼らの口から救って、彼らの食物にさせない。

11 כִּי כֹה אָמַר אֲדֹנָי יְהוִה הִנְנִי־ אֲנִי וְדָרַשְׁתִּי אֶת־
なぜなら このように 言われた 主なる 神は 見よ–わたしは 自ら そして–探す を
H3541 H0559 H0136 H3069 H2009 H0589 H1875 H0853

צֹאנִי וּבִקַּרְתִּים׃
私の–翊を そして–世話する
H6629 H1239

主なる神はこう言われる、見よ、わたしは、わたしみずからわが羊を尋ねて、これを捜し出す。

12 כְּבַקֶּרֶת רֹעֶה עֶדְרוֹ בְּיוֹם־ הֱיוֹתָו בְּתוֹךְ־ צֹאנוֹ נִפְרָשׁוֹת כֵּן
世話するように 牧者が その–群れを 日に いるとき 中に その–翊の 散らされた そのように
H1243 H5739 H3117 H1961 H8432 H6629 H6327 H3651

אֲבַקֵּר אֶת־ צֹאנִי וְהִצַּלְתִּי אֹתָם מִכָּל־ הַמְּקוֹמֹת אֲשֶׁר נָפְצוּ
わたしは–世話する を 私の–翊を そして–救う 彼らを すべての 場所から そこへ 散らされた
H1239 H0853 H6629 H5337 H0853 H3605 H4725 H6327 H5060

שָׁם בְּיוֹם עָנָן וַעֲרָפֶל׃
そこで 日に 雲と 暗きの
H8033 H3117 H6051 H6205

牧者がその羊の散り去った時、その羊の群れを捜し出すように、わたしはわが羊を捜し出し、雲と暗やみの日に散った、すべての所からこれを救う。

13 וְהוֹצֵאתִים מִן־ הָעַמִּים וְקִבַּצְתִּים מִן־ הָאֲרָצוֹת וְהֵבֵאתִים אֶל־
そして–導き出す から 民たちの–中から そして–集める から 地々から そして–連れ来る に
H3318 H4480 H5971 H6908 H4480 H0776 H0935 H0413

אַדְמָתָם וּרְעִיתִים אֶל־ הָרֵי יִשְׂרָאֵל בָּאֲפִיקִים וּבְכֹל
その–土地に そして–養う に 山々で イスラエルの 流れの–そばで そして–すべての
H0127 H7462 H0413 H2022 H3478 H0650 H3605

מוֹשְׁבֵי הָאָרֶץ׃
住まいの–場所で 地の
H4186 H0776

わたしは彼らをもろもろの民の中から導き出し、もろもろの国から集めて、彼らの国に携え入れ、イスラエルの山の上、泉のほとり、また国のうちの人の住むすべての所でこれを養う。

14 בְּמִרְעֶה־ טוֹב אֶרְעֵם אֹתָם וּבְהָרֵי מְרוֹם־ יִשְׂרָאֵל תִּהְיֶה
良い–牧草地で 良い 養う わたしは–彼らを そして–山々で 高い イスラエルの ある
H4829 H2896 H7462 H0853 H2022 H4791 H3478 H1961

שָּׁם נְוֵהֶם תִּרְבַּצְנָה בְּנָוֶה טוֹב וּמִרְעֶה שְׁמֵנִים תִּרְעֶינָה אֶל־
そこで 彼らの–囲いが 伏す 良い–囲いの–中で 良い そして–豊かな 牧草地で 食べる に
H8033 H5116 H7257 H5116 H2896 H7462 H8082 H7462 H0413

הָרֵי יִשְׂרָאֵל׃
山々で イスラエルの
H2022 H3478

わたしは良き牧場で彼らを養う。その牧場はイスラエルの高い山にあり、その所で彼らは良い羊のおりに伏し、イスラエルの山々の上で肥えた牧場で草を食う。

15 אֲנִי אֶרְעֶה צֹאנִי וַאֲנִי אַרְבִּיצֵם נְאֻם אֲדֹנָי יְהוִה׃
わたしが 養う 私の–翊を そして–わたしが 伏せる 告げられた 主なる 神の
H0589 H7462 H6629 H0589 H7257 H5002 H0136 H3069

わたしはみずからわが羊を飼い、これを伏させると主なる神は言われる。

16

אָשִׁיב	הַנִּדַּחַת	וְאֶת־	אֲבַקֵּשׁ	הָאֹבֶדֶת	אֶת־
連れ戻し	追いやられた-ものを	そして-を	わたしは-探し	迷った-ものを	を
H7725	H5080	H0853	H1245	H0006	H0853

הַשְּׁמֵנָה	וְאֶת־	אֶחֱזֵק	הַחוֹלָה	וְאֶת־	אֶחְבֹּשׁ	וְלַנִּשְׁבֶּרֶת
太った-ものを	しかし-を	強める	病んだ-ものを	そして-を	包み	そして-傷ついた-ものを
H8082	H0853	H2388		H0853	H2280	H7665

בְּמִשְׁפָּט׃	אֶרְעֶנָּה	אַשְׁמִיד	הַחֲזָקָה	וְאֶת־
公正を-もって	養う	わたしは-滅ぼす	強い-ものを	そして-を
H4941		H8045	H2389	H0853

わたしは、うせたものを尋ね、迷い出たものを引き返し、傷ついたものを包み、弱ったものを強くし、肥えたものと強いものとは、これを監督する。わたしは公平をもって彼らを養う。

17

בֵּין־	שֹׁפֵט	הִנְנִי	יְהוִה	אֲדֹנָי	אָמַר	כֹּה	צֹאנִי	וְאַתָּנָה
間を	裁く	見よ-わたしは	神は	主なる	言われた	このように	私の-翊よ	そして-あなたがた
H0996	H8199	H2009	H3069	H0136	H0559	H3541	H6629	

וְלָעַתּוּדִים׃	לָאֵילִים	לָשֶׂה	שֶׂה
雄山羊の	雄羊と	羊の	羊と
H6260		H7716	H7716

主なる神はこう言われる、あなたがた、わが群れよ、見よ、わたしは羊と羊との間、雄羊と雄やぎとの間をさばく。

18

תִּרְמְסוּ	מִרְעֵיכֶם	וְיֶתֶר	תִּרְעוּ	הַטּוֹב	הַמִּרְעֶה	מִכֶּם	הַמְעַט
踏みつける	牧草地を	そして-残りの	食べて	良い	牧草地で	あなたがたには	少ないのか
H7429	H4829				H4829		H4592

תִּרְפְּשׁוּן׃	בְּרַגְלֵיכֶם	הַנּוֹתָרִים	וְאֵת	תִּשְׁתּוּ	מַיִם	וּמִשְׁקַע־	בְּרַגְלֵיכֶם
濁すのか	あなたがたの-足で	残りを	そして-を	飲んで	水を	そして-澄んだ	あなたがたの-足で
H7515	H7272	H3498	H0853	H8354	H4325	H4950	H7272

あなたがたは良き牧場で草を食い、その草の残りを足で踏み、また澄んだ水を飲み、その残りを足で濁すが、これは、あまりのことではないか。

19

וּמְרֻפָּשׁ	תִּרְעֶינָה	רַגְלֵיכֶם	מִרְמַס	וְצֹאנִי	
そして-濁されたものを	食べ	あなたがたの-足の	踏みつけたものを	そして-私の-翊は	
H4833		H7272	H4823	H6629	

ס	תִּשְׁתֶּינָה׃	רַגְלֵיכֶם	
[区切り]	飲む	あなたがたの-足の	
	H8354	H7272	

わが羊はあなたがたが、足で踏んだものを食い、あなたがたの足で濁したものを、飲まなければならないのか。

20

בֵּין־	וְשָׁפַטְתִּי	אֲנִי	הִנְנִי־	אֲלֵיהֶם	יְהוִה	אֲדֹנָי	אָמַר	כֹּה	לָכֵן
間を	そして-裁く	自ら	見よ-わたしは	彼らに	神は	主なる	言われた	このように	それゆえ
H0996	H8199	H0589	H2009	H0413	H3069	H0136	H0559	H3541	

רָזֽוֹת׃	שֶׂה	וּבֵין	בְּרִיָּה	שֶׂה
やせた	羊の	そして-間を	太った	羊の
H7330	H7716	H0996	H1274	H7716

それゆえ、主なる神はこう彼らに言われる、見よ、わたしは肥えた羊と、やせた羊との間をさばく。

21 יַ֚עַן בְּצַדְּךָ֣ וּבְכָתֵ֔ף תֶּהְדֹּ֖פוּ וּבְקַרְנֵיכֶ֑ם תְּנַגְּח֗וּ כָּל־ הַנַּחְלוֹת֙ עַד־ אֲשֶׁ֣ר הֲפִיצוֹתֶ֔ם אוֹתָ֖נָה אֶל־ הַחוּצָֽה׃

ゆえに 脇で そして-肩で 押しのけ そして-角で 突き すべての 弱い-ものを まで ついに
H3282 H6654 H3802 H1920 H6654 H5055 H3605 H5704
散らした それらを に 外に
H0853 H0413 H2351

あなたがたは、わきと肩とをもって押し、角をもって、すべて弱い者を突き、ついに彼らを外に追い散らした。

22 וְהוֹשַׁעְתִּ֥י לְצֹאנִ֖י וְלֹא־ תִהְיֶ֣ינָה עוֹד֮ לָבֵז֒ וְשָׁפַטְתִּי֙ בֵּ֣ין שֶׂ֔ה וּבֵ֖ין שֶֽׂה׃

そして-救う 私の-翊を そして-決して ならない もはや 略奪に そして-裁く 間を 羊と
H3467 H6629 H3808 H1961 H5750 H0957 H8199 H0996 H7716
羊の
H7716

それゆえ、わたしはわが群れを助けて、再びかすめさせず、羊と羊との間をさばく。

23 וַהֲקִמֹתִ֣י עֲלֵיהֶ֗ם אֶת־ רֹעֶ֤ה אֶחָד֙ וְרָעָ֣ה אֹתָ֔ם אֶת־ עַבְדִּ֖י דָּוִ֑ד הֽוּא־ יִרְעֵ֣ם אוֹתָ֔ם וְה֥וּא יִֽהְיֶה־ לָהֶ֖ם לְרֹעֶֽה׃

そして-立てる 彼らの-上に 牧者を 一人の 彼らを そして-養う 彼らを を 私の-僕を ダビデを
H0259 H0853 H0853 H5650 H1732
養う 彼が なる 彼らに-とって 牧者に
H1931 H1961

わたしは彼らの上にひとりの牧者を立てる。すなわちわがしもべダビデである。彼は彼らを養う。彼は彼らを養い、彼らの牧者となる。

24 וַאֲנִ֣י יְהוָ֔ה אֶֽהְיֶ֥ה לָהֶ֖ם לֵֽאלֹהִ֑ים וְעַבְדִּ֥י דָוִ֛ד נָשִׂ֖יא בְּתוֹכָ֑ם אֲנִ֣י יְהוָ֔ה דִּבַּ֖רְתִּי׃

そして-わたし 主が なる 彼らに-とって 神に そして-私の-僕 ダビデが 君として
H0589 H3068 H1961 H0430 H5650 H1732
語った 主が わたし 彼らの-中に
H1696 H3068 H0589 H8432

主なるわたしは彼らの神となり、わがしもべダビデは彼らのうちにあって君となる。主なるわたしはこれを言う。

25 וְכָרַתְתִּ֨י לָהֶ֜ם בְּרִ֣ית שָׁל֗וֹם בְּרִ֤ית עוֹלָם֙ תִּֽהְיֶ֣ה אוֹתָ֔ם וְהִשְׁבַּתִּי֙ וְהִרְבֵּיתִ֔ים וְנָתַתִּ֥י אֶת־ מִקְדָּשִׁ֖י בְּתוֹכָ֥ם לָעַ֖ד׃

そして-結ぶ 彼らの-ために 契約を 平和の 絶やす そして-私は 悪い 獣を から 地から
H3772 H1285 H7965 H0776
そして-住む 荒野に 安全に 眠る そして- 森の-中で
H3427 H6160 H0983 H3462

わたしは彼らと平和の契約を結び、国の内から野獣を追い払う。彼らは心を安んじて荒野に住み、森の中に眠る。

26 וְנָתַתִּ֥י אוֹתָ֛ם וְסְבִיבוֹת֖ גִּבְעָתִ֑י וְהוֹרַדְתִּ֤י גֶּ֙שֶׁם֙ בְּעִתּ֔וֹ גִּשְׁמֵ֥י בְרָכָ֖ה יִֽהְיֽוּ׃

そして-する 彼らを そして-周囲の 私の-丘の 降らせる そして- 雨を その-時に 雨は
H5414 H0853 H5439 H1389 H3381 H1653 H6256 H1653
なる 祈福の
H1961 H1293

わたしは彼らおよびわが山の周囲の所々を祝福し、季節にしたがって雨を降らす。これは祝福の雨となる。

27 וְנָתַן עֵץ הַשָּׂדֶה אֶת־פִּרְיוֹ וְהָאָרֶץ תִּתֵּן יְבוּלָהּ וְהָיוּ
そして−与える 木が 野の を その−実を そして−地が 与える その−産物を そして−いる
H5414 H6086 H7704 H0853 H6529 H0776 H5414 H2981 H1961

בְּשִׁבְרִי אֶת־מֹטוֹת עֻלָּם וְהִצַּלְתִּים מִיַּד הָעֹבְדִים בָּהֶם׃ וְיָדְעוּ כִּי־אֲנִי יְהוָה
折るとき を かせを の−上に その−土地の 安全に 横たわる わたしが である−ことを 主
H7665 H0853 H4133 H5921 H0127 H0983 H7901 H3588 H0589 H3068

彼らを 奴隷にする−者の 手から そして−救う その−軛の
H5647 H3027 H5337 H5923

野の木は実を結び、地は産物を出す。彼らは心を安んじてその国におり、わたしが彼らのくびきの棒を砕き、彼らを奴隷とした者の手から救い出す時、彼らはわたしが主であることを悟る。

28 וְלֹא־יִהְיוּ עוֹד לָבַז לַגּוֹיִם וְחַיַּת הָאָרֶץ לֹא תֹאכְלֵם וְיָשְׁבוּ לָבֶטַח
そして−決して ならない もはや 略奪に 国々の−ために そして−獣も 地の 決して 食らない 安全に そして−住む
H3808 H1961 H5750 H0957 H1471 H2416 H0776 H3808 H0398 H0983 H3427

וְאֵין מַחֲרִיד׃
おびえさせる−者は−なく いない
H0369 H2729

彼らは重ねて、もろもろの国民にかすめられることなく、地の獣も彼らを食うことはない。彼らは心を安んじて住み、彼らを恐れさせる者はない。

29 וַהֲקִמֹתִי לָהֶם מַטָּע לְשֵׁם וְלֹא־יִהְיוּ עוֹד אֲסֻפֵּי
そして−起こす 彼らの−ために 植えを 名高い そして−決して ならない もはや 集められた−者
H6965 H1992 H4302 H8034 H3808 H1961 H5750 H0622

רָעָב בָּאָרֶץ וְלֹא־יִשְׂאוּ עוֹד כְּלִמַּת הַגּוֹיִם׃
飢饉に−よって 地に そして−決して 負わない もはや 恥辱を 国々の
H7458 H0776 H3808 H5375 H5750 H3639 H1471

わたしは彼らのために、良い栽培所を与える。彼らは重ねて、国のききんに滅びることなく重ねて諸国民のはずかしめを受けることはない。

30 וְיָדְעוּ כִּי אֲנִי יְהוָה אֱלֹהֵיהֶם אִתָּם וְהֵמָּה עַמִּי
そして−知る わたしが である−ことを 主 彼らの−神 共に−いる そして−彼らは 私の−民
H3045 H3588 H0589 H3068 H0430 H0854 H1992 H5971

בֵּית יִשְׂרָאֵל נְאֻם אֲדֹנָי יְהוִה׃
家は イスラエルの 告げられた 主なる 神の
H1004 H3478 H5002 H0136 H3069

彼らはその神、主なるわたしが彼らと共におり、彼らイスラエルの家が、わが民であることを悟ると、主なる神は言われる。

31 וְאַתֶּן צֹאנִי צֹאן מַרְעִיתִי אָדָם אַתֶּם אֲנִי
そして−あなたがたは 翊よ 私の−翊 私の−牧草地の 人 あなたがたである わたしは
H6629 H6629 H4830 H0120 H0859 H0589

אֱלֹהֵיכֶם נְאֻם אֲדֹנָי יְהוִה׃ פ
あなたがたの−神である 告げられた 主なる 神の [区切り]
H0430 H5002 H0136 H3069

あなたがたはわが羊、わが牧場の羊である。わたしはあなたがたの神であると、主なる神は言われる」。

Chapter 35

1 וַיְהִי דְבַר־ יְהוָה אֵלַי לֵאמֹר׃
そして–あった 言葉が 主の 私に 言って
H1961 H1697 H3068 H0413 H0559

主の言葉がわたしに臨んだ、

2 בֶּן־ אָדָם שִׂים פָּנֶיךָ עַל־ הַר שֵׂעִיר וְהִנָּבֵא עָלָיו׃
人 の–子よ 向けよ あなたの–顔を に–向かって 山 セイルの そして–預言せよ
H0120 H6440 H2022 H0120

「人の子よ、あなたの顔をセイル山に向け、これに対して預言し、

3 וְאָמַרְתָּ לּוֹ כֹּה אָמַר אֲדֹנָי יְהוִה הִנְנִי אֵלֶיךָ הַר־ שֵׂעִיר וְנָטִיתִי יָדִי עָלֶיךָ וּנְתַתִּיךָ שְׁמָמָה וּמְשֹׁאָה׃
それに このように 言われた 主なる 神は 見よ–わたしは お前に–向かう 山よ セイルの そして–伸ばす 私の–手を お前の–上に そして–する 荒廃に そして–荒れ地に
H0559 H3541 H0136 H3069 H2009 H0413 H2022 H1961 H3027 H5186 H6440 H5414 H8047 H4923

これに言え。主なる神はこう言われる、セイル山よ、見よ、わたしはあなたを敵とし、わたしの手をあなたに向かって伸べ、あなたを全く荒し、

4 עָרֶיךָ חָרְבָּה אַתָּה וְאַתָּה שְׁמָמָה תִּהְיֶה וְיָדַעְתָּ כִּי־ אֲנִי יְהוָה׃
お前の–町々を 廃墟に わたしは–する そして–お前は 荒廃に なる そして–知る わたしが 主
H2723 H0589 H1961 H3045 H0589 H3068

あなたの町々を滅ぼす。あなたは荒れはてる。そしてわたしが主であることを悟る。

5 יַעַן הֱיוֹת לְךָ אֵיבַת עוֹלָם וַתַּגֵּר אֶת־ בְּנֵי־ עַל־ יִשְׂרָאֵל בְּעֵת אֵידָם בְּעֵת חֶרֶב יְדֵי־ קֵץ׃
ゆえに あった お前に 敵意が 永遠の そして–渡した を 子らを に イスラエルの 時に その–災いの 時に 剣の 手に 終わりの
H3282 H1961 H0342 H5769 H5064 H0853 H1121 H5921 H3478 H6256 H0343 H6256 H2719 H3027 H7093

あなたは限りない敵意をいだいて、イスラエルの人々をその災の時、終りの刑罰の時に、つるぎの手に渡した。

6 לָכֵן חַי־ אֲנִי נְאֻם אֲדֹנָי יְהוִה כִּי־ לְדָם אֶעֱשֶׂךָּ וְדָם יִרְדָּפֶךָּ אִם־ לֹא דָם שָׂנֵאתָ וְדָם יִרְדָּפֶךָּ׃
それゆえ わたしは–生きている わたしは 告げられた 主なる 神は 必ず 血に わたしは–する そして–血が 追う 実に 確かに 血を 憎んだ そして–血が 追う
H3651 H0589 H5002 H0136 H3069 H3588 H1818 H6213 H1818 H7291 H0518 H3808 H1818 H8130 H1818 H7291

それゆえ、主なる神は言われる、わたしは生きている。わたしはあなたを血にわたす。血はあなたを追いかける。あなたには血のとががあるゆえ、血はあなたを追いかける

7

עֹבֵר	מִמֶּנּוּ	וְהִכְרַתִּי	וּשְׁמָמָה	לְשִׁמְמָה	שֵׂעִיר	הָר	אֶת־	וְנָתַתִּי
通る者と	そこから	そして–絶つ	そして–荒れ地に	荒廃に	セイルの	山を	を	そして–する
		H3772				H2022	H0853	H5414

וָשָׁב׃
帰る者を
H7725

わたしはセイル山を全く荒し、そこに行き来する者を断ち、

8

וְכָל־	וְגֵאוֹתֶיךָ	גִּבְעוֹתֶיךָ	חֲלָלָיו	הָרָיו	אֶת־	וּמִלֵּאתִי		
そして–すべての	お前の–谷も	お前の–丘も	刺された者で	その–山々を	を	そして–満たす		
H3605	H1516	H1389		H2022	H0853	H4390		

בָּהֶם׃ יִפְּלוּ חֶרֶב חַלְלֵי־ אַפֶּיקֶיךָ
その中で 倒れる 中で 剣に–刺された者が お前の–流れにも
H5307 H2719 H0650

その山々を殺された者で満たす。つるぎで殺された者が、あなたのもろもろの丘、もろもろの谷、もろもろのくぼ地に倒れる。

9

וְיָדַעְתֶּם	)תָּשֻׁבְנָה(	]תישבנה[	לֹא	וְעָרֶיךָ	אֶתְּנֵךְ	עוֹלָם	שְׁמָמוֹת	
そして–知る	戻らない	[異読]	決して	そして–お前の–町々は	わたしは–する	永遠の	荒廃に	
H3045	H7725	H3427	H3808		H5414	H5769		

יְהוָה׃ אֲנִי כִּי־
主 である–ことを わたしが
H3068 H0589

わたしはあなたを、永遠の荒れ地とし、あなたの町々には住む者がなくなる。そしてあなたがたは、わたしが主であることを悟る。

10

תִּהְיֶינָה	לִי	הָאֲרָצוֹת	שְׁתֵּי	וְאֶת־	הַגּוֹיִם	שְׁנֵי	אֶת־	אָמַרְתְּ	יַעַן
なる	私の–ものに	地は	二つの	そして–を	国と	二つの	を	お前が–言った	ゆえに
H1961		H0776	H8147	H0853		H8147	H0853	H0559	H3282

וַיהוָה וְיִרַשְׁנוּהָ׃ שָׁם הָיָה׃
しかし–主が そして–受け継ぐと そこに おられた
H3068 H3423 H8033 H1961

あなたは言う、『これら二つの国民、二つの国はわたしのもの、われわれはこれを獲よう』と。しかし主はそこにおられる。

11

כְּאַפְּךָ	וְעָשִׂיתִי	יְהוִה	אֲדֹנָי	נְאֻם	אָנִי	חַי־	לָכֵן	
お前の–怒りと	そして–行う	神は	主なる	告げられた	わたしは	わたしは–生きている	それゆえ	
H0639		H3069	H0136	H5002	H0589			

וְנוֹדַעְתִּי בָם מִשִּׂנְאָתֶיךָ עָשִׂיתָה אֲשֶׁר וּכְקִנְאָתְךָ
そして–知られる 彼らに お前の–憎しみから お前が–行った それらを お前の–ねたみに–応じて
H3045 H8135 H7068

אֶשְׁפְּטֵךְ׃ כַּאֲשֶׁר בָּם
わたしが–裁く のとき 彼らの–中で
H8199

それゆえ、主なる神は言われる、わたしは生きている。あなたが彼らを憎んで、彼らに示した怒りと、ねたみにしたがって、わたしはあなたを扱う。わたしがあなたをさばく時、わたし自身をあなたに示す。

נְאָצוֹתֶיךָ	כָּל־	אֶת־	וְשָׁמַעְתִּי	יְהוָה׀	אֲנִי	כִּי־	וְיָדַעְתָּ			12
お前の–侮辱を	すべての	を	わたしは–聞いた	主	である–ことを	わたしが	そして–知る			
	H3605	H0853	H8085	H3068	H0589		H3045			

לָנוּ	)שֻׁמְּמוּ(	]שממה[	וּלְאֹמַר	יִשְׂרָאֵל	הָרֵי	עַל־	אָמַרְתָּ	אֲשֶׁר
私たちに	荒れた	[異読]	言って	イスラエルの	山々の	に–ついて	お前が–言った	それを
	H8074	H8074	H0559	H3478	H2022		H0559	

לְאָכְלָה׃	נִתְּנוּ
食べ物として	与えられた
H0402	H5414

あなたがイスラエルの山々に向かって、『これは荒れはてて、われわれの食となる』と言ったもろもろのそしりを、主なるわたしが聞いたことをあなたは悟る。

אֲנִי	דִּבְּרִיכֶם	עָלַי	וְהַעְתַּרְתָּם	בְּפִיכֶם	עָלַי	וַתַּגְדִּילוּ				13
わたしは	お前の–言葉を	私に–対して	そして–増した	お前の–口で	私に–対して	そして–大きくした				
H0589	H1697		H6280	H6310		H1431				

ס	שָׁמָעְתִּי׃
[区切り]	聞いた
	H8085

あなたがたは、わたしに対して口をもって誇り、またわたしに対して、あなたがたの言葉を多くした。わたしはそれを聞いた。

לָךְ׃	אֶעֱשֶׂה־	שְׁמָמָה	הָאָרֶץ	כָּל־	כִּשְׂמֹחַ	יְהוִה	אֲדֹנָי	אָמַר	כֹּה	14
お前に	わたしは–する	荒廃に	地が	すべての	喜ぶとき	神は	主なる	言われた	このように	
			H0776	H3605	H8055	H3069	H0136	H0559	H3541	

主なる神はこう言われる、全地の喜びのために、わたしはあなたを荒れ地とする。

שְׁמָמָה	אֲשֶׁר־	עַל	יִשְׂרָאֵל	בֵּית־	לְנַחֲלַת	כִּשְׂמְחָתְךָ				15
荒れたことを	それが	ゆえに	イスラエルの	家の	受け継ぎに–ついて	お前が–喜んだように				
H8074			H3478		H5159	H8057				

אֱדוֹם	וְכָל־	שֵׂעִיר׀	הַר־	תִּהְיֶה	שְׁמָמָה	לָךְ	אֶעֱשֶׂה־	כֵּן
エドムよ	そして–すべての	セイルの	山よ	なる	荒廃に	お前に	わたしは–する	そのように
H0123	H3605		H2022	H1961				

פ	יְהוָה׃	אֲנִי	כִּי־	וְיָדְעוּ	כֻלָּהּ
[区切り]	主	である–ことを	わたしが	そして–知る	すべて
	H3068	H0589		H3045	H3605

あなたが、イスラエルの家の嗣業の荒れるのを喜んだように、わたしはあなたに、そのようにする。セイル山よ、あなたは荒れ地となる。エドムもすべてそのようになる。そのとき彼らは、わたしが主であることを悟るようになる。

Chapter 36

הָרֵי׀	וְאַמַּרְתָּ	יִשְׂרָאֵל	הָרֵי	אֶל־	הִנָּבֵא	אָדָם	בֶּן־	וְאַתָּה	1
山々よ	そして–言え	イスラエルの	山々に	に	預言せよ	の–子よ	人	そして–あなた	
H2022	H0559	H3478	H2022	H0413	H5012	H0120			

יְהוָה׃	דְּבַר־	שִׁמְעוּ	יִשְׂרָאֵל
主の	言葉を	聞け	イスラエルの
H3068	H1697	H8085	H3478

人の子よ、イスラエルの山々に預言して言え。イスラエルの山々よ、主の言葉を聞け。

2

הֶאָח	עֲלֵיכֶם	הָאוֹיֵב	אָמַר	יַעַן	יְהוִה	אֲדֹנָי	אָמַר	כֹּה
ああ	お前たちに-ついて	敵が	言った	ゆえに	神は	主なる	言われた	このように
H1889		H0341	H0559	H3282	H3069	H0136	H0559	H3541

לָנוּ׃	הָיְתָה	לְמוֹרָשָׁה	עוֹלָם	וּבָמוֹת
私たちのものに	なった	所有として	永遠の	そして-高い所は
	H1961	H4181	H5769	H1116

主なる神はこう言われる、敵はあなたがたについて言う、『ああ、昔の高き所が、われわれのものとなった』と。

3

בְּלַעַן	יַעַן	יְהוִה	אֲדֹנָי	אָמַר	כֹּה	וְאָמַרְתָּ	הִנָּבֵא	לָכֵן
まことに-ゆえに	ゆえに	神は	主なる	言われた	このように	そして-言え	預言せよ	それゆえ
H3282	H3282	H3069	H0136	H0559	H3541	H0559	H5012	

הַגּוֹיִם	לִשְׁאֵרִית	מוֹרָשָׁה	לִהְיוֹתְכֶם	מִסָּבִיב	אֶתְכֶם	וְשָׁאֹף	שַׁמּוֹת	
国々の	残りの者の	所有として	ならせるために	周囲から	お前たちを	そして-呑み込んだ	荒らし	
	H7611	H4181	H1961	H5439	H0853		H8074	

עָם׃	וְדִבַּת־	לָשׁוֹן	שִׂפַת	עַל־	וַתַּעֲלוּ	
民の	そして-中傷として	舌の	唇の	の-上に	そして-上った	
	H1681	H3956	H8193		H5927	

それゆえ、あなたは預言して言え。主なる神はこう言われる、彼らはあなたがたを荒し、四方からあなたがたを打ち滅ぼしたので、あなたがたは他の国民の所有となり、また民の悪いうわさとなった。

4

אֲדֹנָי	אָמַר	כֹּה־	יְהוִה	אֲדֹנָי	דִּבַּר־	שִׁמְעוּ	יִשְׂרָאֵל	הָרֵי	לָכֵן
主なる	言われた	このように	神の	主なる	言葉を	聞け	イスラエルの	山々よ	それゆえ
H0136	H0559	H3541	H3069	H0136	H1697	H8085	H3478	H2022	

וְלָעָרִים	הַשֹּׁמְמוֹת	וְלַחֳרָבוֹת	וְלַגֵּאָיוֹת	לָאֲפִיקִים	וְלַגְּבָעוֹת	לְהָרִים	יְהוִה	
そして-町々に	荒れた	そして-廃墟に	そして-谷に	流れに	そして-丘に	山々に	神は	
	H8076	H2723	H1516	H0650	H1389	H2022	H3069	

מִסָּבִיב׃	אֲשֶׁר	הַגּוֹיִם	לִשְׁאֵרִית	וּלְלַעַג	לְבַז	הָיוּ	אֲשֶׁר	הַנֶּעֱזָבוֹת
周囲の	それらは	国々の	残りの者の	そして-嘲りに	略奪に	なった	それらは	見捨てられた
H5439			H7611	H3933	H0957	H1961		

ס
[区切り]

それゆえ、イスラエルの山々よ、主なる神の言葉を聞け。主なる神は、山と、丘と、くぼ地と、谷と、滅びた荒れ跡と、人の捨てた町々、すなわちその周囲にある諸国民の残った者にかすめられ、あざけられるようになったものに、こう言われる。

5

קִנְאָתִי	בְּאֵשׁ	לֹא	אִם־	יְהוִה	אֲדֹנָי	אָמַר	כֹּה־	לָכֵן	
私の-熱情の	火で	確かに	必ず	神は	主なる	言われた	このように	それゆえ	
H7068	H0784	H3808		H3069	H0136	H0559	H3541		

נָתְנוּ־	אֲשֶׁר	כָּל	אֱדוֹם	וְעַל־	הַגּוֹיִם	שְׁאֵרִית	עַל־	דִּבַּרְתִּי
取った	彼らは	すべて	エドムに	そして-に-ついて	国々の	残りの者に	に-ついて	わたしは-語った
H5414		H3605	H0123			H7611		H1696

נֶפֶשׁ	בְּשִׂאָט	לֵבָב	כָּל־	בְּשִׂמְחַת	לְמוֹרָשָׁה	לָהֶם	וְאַרְצִי	אֶת־
魂を	侮って	心の	すべての	喜びを-もって	所有として	自分たちの-ために	私の-地を	を
H5315	H7589	H3824	H3605	H8057	H4181	H1992	H0776	H0853

לָבַז׃	מִגְרָשָׁהּ	לְמַעַן	
略奪に	その-牧草地を	ために	
H0957	H4054	H4616	

主なる神はこう言われる、わたしはねたみの炎をもって、他の国民とエドム全国とに対して言う、彼らは心ゆくまで喜び、心に誇ってわが地を自分の所有とし、これを奪い、かすめた者である。

לָאֲפִיקִים	וְלַגְּבָעוֹת	לֶהָרִים	וְאָמַרְתָּ	יִשְׂרָאֵל	אַדְמַת	עַל־	הִנָּבֵא	לָכֵן	6
流れに	そして-丘に	山々に	そして-言え	イスラエルの	土地に	に-ついて	預言せよ	それゆえ	
H0650	H1389	H2022	H0559	H3478	H0127		H5012		

דִּבַּרְתִּי	וּבַחֲמָתִי	בְּקִנְאָתִי	הִנְנִי	יְהוִה	אֲדֹנָי	וְאָמַר	כֹּה־	וְלַגְּאָיוֹת
語った	怒りを-もって	熱情と	見よ-わたしは	神は	主なる	言われた	このように	そして-谷に
H1696	H2534	H7068	H2009	H3069	H0136	H0559	H3541	H1516

נְשָׂאתֶם׃	גּוֹיִם	כְּלִמַּת	יַעַן
お前たちは-負った	国々の	恥辱を	ゆえに
H5375		H3639	H3282

それゆえ、あなたはイスラエルの地の事を預言し、山と、丘と、くぼ地と、谷とに言え。主なる神はこう言われる、見よ、あなたがたは諸国民のはずかしめを受けたので、わたしはねたみと怒りとをもって語る。

אִם־	יָדִי	אֶת־	נָשָׂאתִי	אֲנִי	יְהוִה	אֲדֹנָי	אָמַר	כֹּה	לָכֵן	7
必ず	私の-手を	を	上げた	わたしは	神は	主なる	言われた	このように	それゆえ	
	H3027	H0853	H5375	H0589	H3069	H0136	H0559	H3541		

יִשָּׂאוּ׃	כְּלִמָּתָם	הֵמָּה	מְסָבִיב	לָכֶם	אֲשֶׁר	הַגּוֹיִם	לֹא
負う	その-恥辱を	彼ら自身が	周囲の	お前たちの-周囲の	それらは	国々が	確かに
H5375	H3639	H1992	H5439				H3808

それゆえ、主なる神はこう言われる、わたしは誓って言う、あなたがたの周囲の諸国民は必ずはずかしめを受ける。

תִּשְׂאוּ	וּפְרִיכֶם	תִּתֵּנוּ	עֲנָפְכֶם	יִשְׂרָאֵל	הָרֵי	וְאַתֶּם		8
実らせる	そして-お前たちの-実を	出し	お前たちの-枝を	イスラエルの	山々よ	しかし-お前たち		
H5375	H6529	H5414	H6057	H3478	H2022			

לָבוֹא׃	קָרְבוּ	כִּי	יִשְׂרָאֵל	לְעַמִּי
帰って-来ることが	近づいた	なぜなら	イスラエルの	私の-民の-ために
H0935	H7126		H3478	

しかしイスラエルの山々よ、あなたがたは枝を出し、わが民イスラエルのために実を結ぶ。この事の成るのは近い。

וְנֶעֱבַדְתֶּם	אֲלֵיכֶם	וּפָנִיתִי	אֲלֵיכֶם	הִנְנִי	כִּי	9
そして-耕される	お前たちに	そして-振り向く	お前たちに-向かう	見よ-わたしは	なぜなら	
H5647	H0413	H6437	H0413	H2009		

וְנִזְרַעְתֶּם׃
そして-種が-まかれる
H2232

見よ、わたしはあなたがたに臨み、あなたがたを顧みる。あなたがたは耕され、種をまかれる。

וְנִשְׁבוּ	כֻלָּהּ	יִשְׂרָאֵל	בֵּית	כָּל־	אָדָם	עֲלֵיכֶם	וְהִרְבֵּיתִי		10
そして-住まれる	すべてを	イスラエルの	家を	すべての	人を	お前たちの-上に	そして-増やす		
H3427	H3605	H3478		H3605	H0120				

תִּבָּנֶינָה׃	וְהֶחֳרָבוֹת	הֶעָרִים
建てられる	そして-廃墟は	町々に
H1129	H2723	

わたしはあなたがたの上に人をふやす。これはことごとくイスラエルの家の者となり、町々には人が住み、荒れ跡は建て直される。

11

וְהוֹשַׁבְתִּי	וּפָרוּ	וְרָבוּ	וּבְהֵמָה	אָדָם	עֲלֵיכֶם	וְהִרְבֵּיתִי	
そして–住まわせる	そして–実を–結ぶ	そして–増え	家畜を	人と	お前たちの–上に	そして–増やす	
H3427	H6509		H0929	H0120			

אֲנִי	כִּי־	וִידַעְתֶּם	מֵרֹאשֹׁתֵיכֶם	וְהֵטַבְתִּי	כְּקַדְמוֹתֵיכֶם	אֶתְכֶם	
である–ことを	わたしが	そして–知る	初めよりも	そして–良くする	以前の–ように	お前たちに	
H0589		H3045	H7221	H2895	H6927	H0853	

יְהוָה׃	
主	
H3068	

わたしはあなたがたの上に人と獣とをふやす。彼らはふえて、子を生む。わたしはあなたがたの上に、昔のように人を住ませ、初めの時よりも、まさる恵みをあなたがたに施す。その時あなたがたは、わたしが主であることを悟る。

12

וְיָרְשׁוּךָ	יִשְׂרָאֵל	עַמִּי	אֶת־	אָדָם	עֲלֵיכֶם	וְהוֹלַכְתִּי	
そして–受け継ぐ	イスラエルを	私の–民を	を	人を	お前たちの–上に	そして–歩かせる	
H3423	H3478		H0853	H0120		H3212	

לְשַׁכְּלֵם׃	עוֹד	תּוֹסֵף	וְלֹא־	לְנַחֲלָה	לָהֶם	וְהָיִיתָ	
子を–失わせることを	もはや	繰り返さない	そして–決して	受け継ぎに	彼らに–とって	そして–なる	
	H5750	H3254	H3808	H5159		H1961	

ס	
[区切り]	

わたしはわが民イスラエルの人々をあなたがたの上に歩ませる。彼らはあなたがたを所有し、あなたがたはその嗣業となり、あなたがたは重ねて彼らに子のない嘆きをさせない。

13

אָדָם	אֹכֶלֶת	לָכֶם	אֹמְרִים	יַעַן	יְהוִה	אֲדֹנָי	אָמַר	כֹּה
人を	食い尽くす	お前たちに	言う者が–いる	ゆえに	神は	主なる	言われた	このように
H0120	H0398		H0559	H3282	H3069	H0136	H0559	H3541

הָיִית׃	(גּוֹיַיִךְ)	[גויך]	וּמְשַׁכֶּלֶת	(אָתְּ)	[אתי]	
であったと	お前の–国を	[異読]	そして–子を–失わせる	お前は	[異読]	
H1961						

主なる神はこう言われる、彼らはあなたがたに向かって、『あなたは人を食い、あなたの民に子のない嘆きをさせる』と言う。

14

[תכשלי־]	לֹא	(וְגוֹיַיִךְ)	[וגויך]	עוֹד	תֹּאכְלִי	לֹא־	אָדָם	לָכֵן
[異読]	決して	お前の–国を	[異読]	もはや	食い尽くさない	決して	人を	それゆえ
H3782	H3808			H5750	H0398	H3808	H0120	

יְהוִה׃	אֲדֹנָי	נְאֻם	עוֹד	(תְּשַׁכְּלִי־)	
神の	主なる	告げられた	もはや	子を–失わせない	
H3069	H0136	H5002	H5750	H7921	

あなたはもはや人を食わない。あなたの民に重ねて子のない嘆きをさせることはないと、主なる神は言われる。

15

לֹא	עַמִּים	וְחֶרְפַּת	הַגּוֹיִם	כְּלִמַּת	עוֹד	אֵלַיִךְ	אַשְׁמִיעַ	וְלֹא־	
決して	民たちの	そして–そしりを	国々の	恥辱を	もはや	お前に	聞かせない	そして–決して	
H3808		H2781		H3639	H5750	H0413	H8085	H3808	

אֲדֹנָי	נְאֻם	עוֹד	תַּכְשֵׁלִי	לֹא־	(וְגוֹיַיִךְ)	[וגויך]	עוֹד	תִּשְׂאִי־
主なる	告げられた	もはや	つまずかせない	決して	お前の–国を	[異読]	もはや	負わせない
H0136	H5002	H5750	H3782	H3808			H5750	H5375

יְהוִה׃	ס	
神の	[区切り]	
H3069		

わたしは重ねて諸国民のはずかしめをあなたに聞かせない。あなたは重ねて、もろもろの民のはずかしめを受けることはなく、あなたの民を重ねてつまずかせることはないと、主なる神は言われる」。

16 וַיְהִי דְבַר־ יְהוָה אֵלַי לֵאמֹר׃
言って 私に 主の 言葉が そして–あった
H0559 H0413 H3068 H1697 H1961

主の言葉がわたしに臨んだ、

17 בֶּן־ אָדָם בֵּית יִשְׂרָאֵל יֹשְׁבִים עַל־ אַדְמָתָם וַיְטַמְּאוּ אוֹתָהּ
人 の–子よ 家が イスラエルの 住んでいた の–上に その–土地の そして–汚した それを
H0120 H3478 H3427 H0127 H0853

בְּדַרְכָם לְפָנָי׃ כְּטֻמְאַת הַנִּדָּה הָיְתָה דַרְכָם
その–道と その–行いとで 汚れの–ように 月のものの あった その–道は 私の–前に
H1870 H5949 H2932 H5079 H1961 H1870 H6440

「人の子よ、昔、イスラエルの家が、自分の国に住んだとき、彼らはおのれのおこないとわざとをもって、これを汚した。そのおこないは、わたしの前には、汚れにある女の汚れのようであった。

18 וָאֶשְׁפֹּךְ חֲמָתִי עֲלֵיהֶם עַל־ הַדָּם אֲשֶׁר־ שָׁפְכוּ עַל־ הָאָרֶץ
そこで–注いだ 私の–怒りを 彼らの–上に の–ゆえに 血の それを 流した の–上に 地の
H8210 H2534 H1818 H8210 H0776

וּבְגִלּוּלֵיהֶם טִמְּאוּהָ׃
そして–偶像で 汚した
H1544

彼らが国に血を流し、またその偶像をもって、国を汚したため、わたしはわが怒りを彼らの上に注ぎ、

19 וָאָפִיץ אֹתָם בַּגּוֹיִם וַיִּזָּרוּ בָּאֲרָצוֹת כִּדְרָכָם
そこで–散らした 彼らを 国々の–中に そして–まき散らされた 地々に その–道と
H1870 H0776 H2219 H0853

וְכַעֲלִילוֹתָם שְׁפַטְתִּים׃
その–行いに–応じて わたしは–裁いた
H5949 H8199

彼らを諸国民の中に散らしたので、彼らは国々の中に散った。わたしは彼らのおこないと、わざとにしたがって、彼らをさばいた。

20 וַיָּבֹא אֶל־ הַגּוֹיִם אֲשֶׁר־ בָּאוּ שָׁם וַיְחַלְּלוּ אֶת־ שֵׁם קָדְשִׁי
そして–来た に 国々に そこへ 来た そこで そして–汚した を 名を 私の–聖なる
H0935 H0413 H1471 H0935 H8033 H2490 H0853 H8034 H6944

בֶּאֱמֹר לָהֶם עַם־ יְהוָה אֵלֶּה וּמֵאַרְצוֹ יָצָאוּ׃
言われたとき 彼らに 民として 主の これらは そして–その–地から 出て–来たと
H0559 H1471 H5971 H3068 H0428 H0776 H3318

彼らがその行くところの国々へ行ったとき、わが聖なる名を汚した。これは人々が彼らについて『これは主の民であるが、その国から出た者である』と言ったからである。

21 וָאֶחְמֹל עַל־ שֵׁם קָדְשִׁי אֲשֶׁר חִלְּלוּהוּ בֵּית יִשְׂרָאֵל
そこで–惜しんだ の–ゆえに 名を 私の–聖なる それを 汚した 家が イスラエルの
H2550 H5921 H8034 H6944 H0834 H2490 H1004 H3478

בַּגּוֹיִם אֲשֶׁר־ בָּאוּ שָׁמָּה׃ ס
国々の–中で そこへ 行った そこへ [区切り]
H1471 H0834 H0935 H8033

しかしわたしはイスラエルの家が、その行くところの諸国民の中で汚したわが聖なる名を惜しんだ。

22 לָכֵן אֱמֹר לְבֵית־יִשְׂרָאֵל כֹּה אָמַר אֲדֹנָי יְהוִה לֹא
それゆえ 言え 家に イスラエルの このように 言われた 主なる 神は 決して
H0559 H0559 H3478 H3541 H0559 H0136 H3069 H3808

לְמַעַנְכֶם אֲנִי לְבֵית יִשְׂרָאֵל כִּי אִם־לְשֵׁם
お前たちの–ために わたしは 家よ イスラエルの むしろ こそ 名の–ために
H4616 H0589 H1004 H3478 H3588 H0518 H8034

עֲשֶׂה בֵּית יִשְׂרָאֵל אֲשֶׁר חִלַּלְתֶּם בַּגּוֹיִם אֲשֶׁר בָּאתֶם שָׁם׃
行うのではない 家よ イスラエルの むしろ お前たちが–汚した 国々の–中で そこへ お前たちが–行った そこへ
H6213 H1004 H3478 H3588 H2490 H1471 H1961 H0935 H8033

それゆえ、あなたはイスラエルの家に言え。主なる神はこう言われる、イスラエルの家よ、わたしがすることはあなたがたのためではない。それはあなたがたが行った諸国民の中で汚した、わが聖なる名のためである。

23 וְקִדַּשְׁתִּי אֶת־שְׁמִי הַגָּדוֹל הַמְחֻלָּל בַּגּוֹיִם אֲשֶׁר חִלַּלְתֶּם
そして–聖とする を 私の–名を 大いなる 汚された 国々の–中で お前たちが–汚した
H6942 H0853 H8034 H1419 H2490 H1471 H1961

בְּתוֹכָם וְיָדְעוּ הַגּוֹיִם כִּי־אֲנִי יְהוָה נְאֻם אֲדֹנָי יְהוִה
その–中で そして–知る 国々は わたしが である–ことを 主 告げられた 主なる 神の
H8432 H3045 H1471 H3588 H0589 H3068 H5002 H0136 H3069

בְּהִקָּדְשִׁי בָכֶם לְעֵינֵיהֶם׃
聖とされるとき お前たちの–中で 彼らの–目の–前で
H6942

わたしは諸国民の中で汚されたもの、すなわち、あなたがたが彼らの中で汚した、わが大いなる名の聖なることを示す。わたしがあなたがたによって、彼らの目の前に、わたしの聖なることを示す時、諸国民はわたしが主であることを悟ると、主なる神は言われる。

24 וְלָקַחְתִּי אֶתְכֶם מִן־הַגּוֹיִם וְקִבַּצְתִּי אֶתְכֶם מִכֹּל־הָאֲרָצוֹת
そして–取る お前たちを から 国々から そして–集める お前たちを すべての 地々から
H3947 H0853 H4480 H1471 H6908 H0853 H3605 H0776

וְהֵבֵאתִי אֶתְכֶם אֶל־אַדְמַתְכֶם׃
そして–連れ来る お前たちを に お前たちの–土地に
H0935 H0853 H0413 H0127

わたしはあなたがたを諸国民の中から導き出し、万国から集めて、あなたがたの国に行かせる。

25 וְזָרַקְתִּי עֲלֵיכֶם מַיִם טְהוֹרִים וּטְהַרְתֶּם מִכֹּל
そして–振りかける お前たちの–上に 水を 清い そして–清められる すべての
H2236 H4325 H2889 H2891 H3605

טֻמְאוֹתֵיכֶם וּמִכֹּל־גִּלּוּלֵיכֶם אֲטַהֵר אֶתְכֶם׃
お前たちの–汚れから そして–すべての 偶像から わたしは–清める お前たちを
H2932 H3605 H1544 H2891 H0853

わたしは清い水をあなたがたに注いで、すべての汚れから清め、またあなたがたを、すべての偶像から清める。

26 וְנָתַתִּי לָכֶם לֵב חָדָשׁ וְרוּחַ חֲדָשָׁה אֶתֵּן בְּקִרְבְּכֶם
そして–与える お前たちに 心を 新しい 霊を 新しい 与える お前たちの–内に
H5414 H3820 H2319 H7307 H2319 H5414 H7130

וְהַסִרֹתִי אֶת־לֵב הָאֶבֶן מִבְשַׂרְכֶם וְנָתַתִּי לָכֶם לֵב בָּשָׂר׃
そして–取り除く を 心を 石の 肉から そして–与える お前たちに 心を 肉の
H5493 H0853 H3820 H0068 H1320 H5414 H3820 H1320

わたしは新しい心をあなたがたに与え、新しい霊をあなたがたの内に授け、あなたがたの肉から、石の心を除いて、肉の心を与える。

27 וְאֶת־רוּחִי אֶתֵּן בְּקִרְבְּכֶם וְעָשִׂיתִי אֶת־אֲשֶׁר בְּחֻקַּי תֵּלֵכוּ
そして–を 私の–霊を 与える お前たちの–内に そして–する それは 私の–掛に 歩むように
H0853 H7307 H5414 H7130 H0853 H2706 H3212

וּמִשְׁפָּטַי תִּשְׁמְרוּ וַעֲשִׂיתֶם׃
そして–私の–定めを 守り そして–行う
H4941 H8104

わたしはまたわが霊をあなたがたのうちに置いて、わが定めに歩ませ、わがおきてを守ってこれを行わせる。

28 וְיָשַׁבְתֶּם בָּאָרֶץ אֲשֶׁר נָתַתִּי לַאֲבֹתֵיכֶם וִהְיִיתֶם לִי
そして–住む 地に それを わたしが–与えた お前たちの–父たちに そして–なる 私に–とって
H3427 H0776 H5414 H0001 H1961

לְעָם וְאָנֹכִי אֶהְיֶה לָכֶם לֵאלֹהִים׃
民に そして–わたしが なる お前たちに–とって 神に
H0595 H1961 H0430

あなたがたは、わたしがあなたがたの先祖に与えた地に住んで、わが民となり、わたしはあなたがたの神となる。

29 וְהוֹשַׁעְתִּי אֶתְכֶם מִכֹּל טֻמְאוֹתֵיכֶם וְקָרָאתִי אֶל־הַדָּגָן וְהִרְבֵּיתִי
そして–救う お前たちを すべての お前たちの–汚れから そして–呼ぶ に 穀物を そして–増やす
H3467 H0853 H3605 H2932 H7121 H0413 H1715 H7235

וְלֹא־אֶתֵּן עֲלֵיכֶם רָעָב׃
そして–決して もたらさない お前たちの–上に 飢饉を
H3808 H5414 H5921 H7458

わたしはあなたがたをそのすべての汚れから救い、穀物を呼びよせてこれを増し、ききんをあなたがたに臨ませない。

30 וְהִרְבֵּיתִי אֶת־פְּרִי הָעֵץ וּתְנוּבַת הַשָּׂדֶה לְמַעַן אֲשֶׁר לֹא תִקְחוּ
そして–増やす を 実を 木の そして–産物を ために それは 決して 受けない
H7235 H0853 H6529 H6086 H8570 H4616 H0834 H3808 H3947

עוֹד חֶרְפַּת רָעָב בַּגּוֹיִם׃
もはや そしりを 飢饉の 国々の–中で
H5750 H2781 H7458 H1471

またわたしは木の実と、田畑の作物とを多くする。あなたがたは重ねて諸国民の間に、ききんのはずかしめを受けることがない。

31 וְזָכַרְתֶּם אֶת־דַּרְכֵיכֶם הָרָעִים וּמַעַלְלֵיכֶם לֹא־אֲשֶׁר
そして–思い出す を お前たちの–道を 悪い そして–お前たちの–行いを 決して それらは
H2142 H0853 H1870 H7451 H4611 H3808 H0834

טוֹבִים וְנִקְטֹתֶם בִּפְנֵיכֶם עַל־עֲוֹנֹתֵיכֶם וְעַל־תּוֹעֲבוֹתֵיכֶם׃
良くなかった そして–嫌悪する お前たちの–目の–前で の–ゆえに お前たちの–咎の そして–の–ゆえに お前たちの–忌まわしいことの
H6962 H6440 H5921 H5771 H5921 H8441

その時あなたがたは自身の悪しきおこないと、良からぬわざとを覚えて、その罪と、その憎むべきこととのために、みずから恨む。

יְהוִה אֲדֹנָי נְאֻם עָשֹׂה אֵנִי־ לְמַעַנְכֶם לָא 32
知られよ 神は 主なる 告げられた 行うのではない わたしは お前たちの–ために 決して
H3045 H3069 H0136 H5002 H0589 H4616 H3808

ס יִשְׂרָאֵל׃ בֵּית מִדַּרְכֵיכֶם וְהִכָּלְמוּ בָּוֹשׁוּ לָכֶם
[区切り] イスラエルの 家よ お前たちの–道の–ゆえに そして–辱められよ 恥じよ お前たちに
H3478 H1870 H3637 H0954

わたしがなすことはあなたがたのためではないと、主なる神は言われる。あなたがたはこれを知れ。イスラエルの家よ、あなたがたは自分のおこないを恥じて悔やむべきである。

כֹּה אָמַר אֲדֹנָי יְהוִה בְּיוֹם טַהֲרִי אֶתְכֶם מִכֹּל עֲוֹנֹתֵיכֶם 33
このように 言われた 主なる 神は 日に 清める お前たちを すべての お前たちの–咎から
H3541 H0559 H0136 H3069 H3117 H2891 H0853 H3605 H5771

וְהוֹשַׁבְתִּי וְנִבְנְתָה הֶעָרִים אֶת־ הֶחֳרָבוֹת׃
そして–住まわせる そして–建てられる 町々に を 廃墟は
H3427 H1129 H0853 H2723

主なる神はこう言われる、わたしは、あなたがたのすべての罪を清める日に、町々に人を住ませ、その荒れ跡を建て直す。

כֹּל־ לְעֵינֵי שְׁמָמָה הָיְתָה אֲשֶׁר תַּחַת תָּעֳבֶד הַנְּשַׁמָּה וְהָאָרֶץ 34
すべての 目に 荒廃として あった それが 代わりに 耕される 荒らされた そして–荒れた–地が
H3605 H1961 H8478 H5647 H8074 H0776

עוֹבֵר׃
通る者の

荒れた地は、行き来の人々の目に荒れ地と見えたのに引きかえて耕される。

וְאָמְרוּ הַלָּזוּ הָאָרֶץ הַנְּשַׁמָּה הָיְתָה כְּגַן־ עֵדֶן וְהֶעָרִים הַחֳרֵבוֹת 35
そして–言う この 地は 荒らされた なった 園の–ように エデンの そして–町々は 廃墟だった
H0559 H1977 H0776 H8074 H1961 H1588 H5731 H2723

יָשָׁבוּ׃ בְּצוּרוֹת וְהַנֶּהֱרָסוֹת וְהַנְּשַׁמּוֹת
住まれていると 城壁で–囲まれて そして–破壊された そして–荒らされた
H3427 H1219 H2040 H8074

そこで人々は言う、『この荒れた地は、エデンの園のようになった。荒れ、滅び、くずれた町々は、堅固になり、人の住む所となった』と。

יְהוָה אֲנִי כִּי סְבִיבוֹתֵיכֶם יִשְׁאֲרוּ אֲשֶׁר הַגּוֹיִם וְיָדְעוּ 36
主 である–ことを わたしが お前たちの–周囲に 残っている それらは 国々は そして–知る
H3068 H0589 H3588 H5439 H7604 H0834 H1471 H3045

ס יְהוָה דִּבַּרְתִּי וְעָשִׂיתִי׃ בָּנִיתִי הַנֶּהֱרָסוֹת נָטַעְתִּי הַנְּשַׁמָּה יְהוָה אֲנִי
[区切り] 語った 主が そして–行った 建てた 破壊されたものを 植えた 荒らされたものを 主が わたし
H1696 H3068 H6213 H1129 H2040 H5193 H8074 H3068 H0589

あなたがたの周囲に残った諸国民は主なるわたしがくずれた所を建て直し、荒れた所にものを植えたということを悟るようになる。主なるわたしがこれを言い、これをなすのである。

כֹּה אָמַר אֲדֹנָי יְהוִה עוֹד זֹאת אִדָּרֵשׁ לְבֵית־ יִשְׂרָאֵל לַעֲשׂוֹת 37
このように 言われた 主なる 神は なお これを 求められる 家に イスラエルの 行うために
H3541 H0559 H0136 H3069 H5750 H2063 H1875 H1004 H3478 H6213

כַּצֹּאן אָדָם׃ אַרְבֵּה אֹתָם לָהֶם
翊の–ように 人を 増やす 彼らを 彼らの–ために
H6629 H0120 H7235 H0853 H1992

主なる神はこう言われる、イスラエルの家は、わたしが次のことを彼らのためにするように、わたしに求めるべきである。すなわち人を群れのようにふやすこと、

38	כְּצֹאן	קָדְשִׁים	כְּצֹאן	יְרוּשָׁלַ͏ִם	בְּמוֹעֲדֶיהָ	כֵּן	תִּהְיֶינָה	הֶעָרִים
	翊の–ように	聖なる	翊の–ように	エルサレムの	その–祝いの–時に	そのように	なる	町々は
	H6629	H6944	H6629	H3389	H4150		H1961	

ס	יְהוָה׃	אֲנִי	כִּי־	וְיָדְעוּ	אָדָם	צֹאן	מְלֵאוֹת	הֶחֳרֵבוֹת
[区切り]	主	である–ことを	わたしが	そして–知る	人の	翊の	満ちる	廃墟だった
	H3068	H0589		H3045	H0120	H6629	H4392	

すなわち犠牲のための群れのように、エルサレムの祝い日の群れのようにすることである。こうして荒れた町々は人の群れで満ちる。その時人々は、わたしが主であることを悟るようになる」。

Chapter 37

1	הָיְתָה	עָלַי	יַד־	יְהוָה	וַיּוֹצִאֵנִי	בְּרוּחַ	יְהוָה	וַיְנִיחֵנִי	בְּתוֹךְ
	あった	私の–上に	手が	主の	そして–導き出した	霊に–よって	主の	そして–置いた	中に
	H1961		H3027	H3068	H3318	H7307	H3068	H5117	H8432

הַבִּקְעָה	וְהִיא	מְלֵאָה	עֲצָמוֹת׃
平野の	そして–それは	満ちていた	骨で
H1237	H1931	H4392	H6106

主の手がわたしに臨み、主はわたしを主の霊に満たして出て行かせ、谷の中にわたしを置かれた。そこには骨が満ちていた。

2	וְהֶעֱבִירַנִי	עֲלֵיהֶם	וְסָבִיב	סָבִיב	וְהִנֵּה	רַבּוֹת	מְאֹד	עַל־	פְּנֵי
	そして–導いた	その–上を	周囲を	周囲を	そして–見よ	多かった	非常に	の–上に	面の
			H5439	H5439	H2009		H3966		H6440

הַבִּקְעָה	וְהִנֵּה	יְבֵשׁוֹת	מְאֹד׃
平野の	そして–見よ	乾いていた	非常に
H1237	H2009	H3002	H3966

彼はわたしに谷の周囲を行きめぐらせた。見よ、谷の面には、はなはだ多くの骨があり、皆いたく枯れていた。

3	וַיֹּאמֶר	אֵלַי	בֶּן־	אָדָם	הֲתִחְיֶינָה	הָעֲצָמוֹת	הָאֵלֶּה
	そして–言われた	私に	人	の–子よ	生き返るだろうか	骨は	これらの
	H0559	H0413		H0120	H2421	H6106	H0428

וָאֹמַר	אֲדֹנָי	יְהוִה	אַתָּה	יָדָעְתָּ׃
そこで–わたしは–言った	主なる	神よ	あなたが	知っておられます
H0559	H0136	H3069		H3045

彼はわたしに言われた、「人の子よ、これらの骨は、生き返ることができるのか」。わたしは答えた、「主なる神よ、あなたはご存じです」。

4	וַיֹּאמֶר	אֵלַי	הִנָּבֵא	עַל־	הָעֲצָמוֹת	הָאֵלֶּה	וְאָמַרְתָּ	אֲלֵיהֶם	הָעֲצָמוֹת
	そして–言われた	私に	預言せよ	に–ついて	骨に	これらの	そして–言え	それらに	骨よ
	H0559	H0413	H5012		H6106	H0428	H0559	H0413	H6106

הַיְבֵשׁוֹת	שִׁמְעוּ	דְבַר־	יְהוָה׃	
乾いた	聞け	言葉を	主の	
H3002	H8085	H1697	H3068	

彼はまたわたしに言われた、「これらの骨に預言して、言え。枯れた骨よ、主の言葉を聞け。

מֵבִיא	אֲנִי	הִנֵּה	הָאֵלֶּה	לָעֲצָמוֹת	יְהוִה	אֲדֹנָי	אָמַר	כֹּה	5
入れる	わたしが	見よ	これらの	骨に	神は	主なる	言われた	このように	
H0935	H0589	H2009	H0428	H6106	H3069	H0136	H0559	H3541	

וְחִיִּיתֶם׃	רוּחַ	בָּכֶם
そして–生きる	霊を	お前たちの–中に
H2421	H7307	

主なる神はこれらの骨にこう言われる、見よ、わたしはあなたがたのうちに息を入れて、あなたがたを生かす。

וְקָרַמְתִּי	בָּשָׂר	עֲלֵיכֶם	וְהַעֲלֵתִי	גִּדִים	עֲלֵיכֶם	וְנָתַתִּי	6
そして–覆う	肉を	お前たちの–上に	そして–つける	筋を	お前たちの–上に	そして–与える	
H7159	H1320		H5927	H1517		H5414	

כִּי־	וִידַעְתֶּם	וְחִיִּיתֶם	רוּחַ	בָּכֶם	וְנָתַתִּי	עוֹר	עֲלֵיכֶם	
わたしが	そして–知る	そして–生きる	霊を	お前たちの–中に	そして–与える	皮を	お前たちの–上に	
	H3045	H2421	H7307		H5414	H5785		

יְהוָה׃	אֲנִי
主	である–ことを
H3068	H0589

わたしはあなたがたの上に筋を与え、肉を生じさせ、皮でおおい、あなたがたのうちに息を与えて生かす。そこであなたがたはわたしが主であることを悟る」。

רַעַשׁ	וְהִנֵּה־	כְּהִנָּבְאִי	קוֹל	וַיְהִי־	צִוִּיתִי	כַּאֲשֶׁר	וְנִבֵּאתִי		7
響きが	そして–見よ	預言したとき	音が	そして–あった	命じられた	のとき	そこで–預言した		
H7494	H2009	H5012		H1961	H6680		H5012		

עַצְמוֹ׃	אֶל־	עֶצֶם	עֶצֶם	וַתִּקְרְבוּ	
その–骨に	に	骨が	骨が	そして–近づいた	
H6106	H0413	H6106	H6106	H7126	

わたしは命じられたように預言したが、わたしが預言した時、声があった。見よ、動く音があり、骨と骨が集まって相つらなった。

עוֹר	עֲלֵיהֶם	וַיִּקְרָם	עָלָה	וּבָשָׂר	גִּדִים	עֲלֵיהֶם	וְהִנֵּה־	וָאֶרְאֶה	8
皮が	その–上に	そして–覆った	ついた	そして–肉が	筋が	その–上に	そして–見よ	そして–見た	
H5785		H7159	H5927	H1320	H1517		H2009	H7200	

בָּהֶם׃	אֵין	וְרוּחַ	מִלְמָעְלָה
その–中に	なかった	しかし–霊は	上から
	H0369	H7307	H4605

わたしが見ていると、その上に筋ができ、肉が生じ、皮がこれをおおったが、息はその中になかった。

אֶל־	וְאָמַרְתָּ	אָדָם	בֶּן־	הִנָּבֵא	הָרוּחַ	אֶל־	הִנָּבֵא	אֵלַי	וַיֹּאמֶר	9
に	そして–言え	の–子よ	人	預言せよ	霊に	に	預言せよ	私に	そして–言われた	
H0413	H0559	H0120		H5012	H7307	H0413	H5012	H0413	H0559	

וּפְחִי	הָרוּחַ	בָּאִי	רוּחוֹת	מֵאַרְבָּע	יְהוִה	אֲדֹנָי	וְאָמַר	כֹּה־	הָרוּחַ
そして–吹け	霊よ	来い	風から	四つの	神は	主なる	言われた	このように	霊に
H5301	H7307	H0935	H7307	H0702	H3069	H0136	H0559	H3541	H7307

וְיִחְיוּ׃	הָאֵלֶּה	בַּהֲרוּגִים
そして–生きよ	これらの	殺された–者に
H2421	H0428	H2026

時に彼はわたしに言われた、「人の子よ、息に預言せよ、息に預言して言え。主なる神はこう言われる、息よ、四方から吹いて来て、この殺された者たちの上に吹き、彼らを生かせ」。

וַיִּחְיוּ וַתָּבוֹא בָהֶם הָרוּחַ וְהִנַּבְּאתִי כַּאֲשֶׁר צִוָּנִי 10
そして-生きた 霊が その-中に そして-入った 命じられた のとき そこで-預言した
H2421 H7307 H0935 H6680 H5012

וַיַּעַמְדוּ עַל־ רַגְלֵיהֶם חַיִל גָּדוֹל מְאֹד־ מְאֹד׃ ס
そして-立ち上がった の-上に その-足の 軍勢として 大きな 非常に 非常に [区切り]
H5975 H7272 H2428 H3966 H3966

そこでわたしが命じられたように預言すると、息はこれにはいった。すると彼らは生き、その足で立ち、はなはだ大いなる群衆となった。

וַיֹּאמֶר אֵלַי בֶּן־ אָדָם הָעֲצָמוֹת הָאֵלֶּה כָּל־ בֵּית יִשְׂרָאֵל 11
そして-言われた 私に 人 の-子よ 骨は これらの すべての 家である イスラエルの
H0559 H0413 H0120 H6106 H0428 H3605 H0428 H3478

הֵמָּה הִנֵּה אֹמְרִים יָבְשׁוּ עַצְמוֹתֵינוּ וְאָבְדָה תִקְוָתֵנוּ נִגְזַרְנוּ
彼らである 見よ 言っている 乾いた 私たちの-骨は そして-失われた 私たちの-望みは 断たれた
H1992 H2009 H0559 H3001 H6106 H0006 H8615 H1504

לָנוּ׃
私たちは

そこで彼はわたしに言われた、「人の子よ、これらの骨はイスラエルの全家である。見よ、彼らは言う、『われわれの骨は枯れ、われわれの望みは尽き、われわれは絶え果てる』と。

לָכֵן הִנָּבֵא וְאָמַרְתָּ אֲלֵיהֶם כֹּה־ אָמַר אֲדֹנָי יְהוִה הִנֵּה 12
それゆえ 預言せよ そして-言え 彼らに このように 主なる 神は 見よ
H0559 H5012 H0559 H0413 H3541 H0136 H3069 H2009

אֲנִי פֹּתֵחַ אֶת־ קִבְרוֹתֵיכֶם וְהַעֲלֵיתִי אֶתְכֶם מִקִּבְרוֹתֵיכֶם עַמִּי
わたしが を 開く を お前たちの-墓を そして-上らせる お前たちを お前たちの-墓から 私の-民よ
H0589 H0853 H6913 H5927 H0853 H6913

וְהֵבֵאתִי אֶתְכֶם אֶל־ אַדְמַת יִשְׂרָאֵל׃ ס
そして-連れ来る お前たちを に 土地に イスラエルの [区切り]
H0935 H0853 H0413 H0127 H3478

それゆえ彼らに預言して言え。主なる神はこう言われる、わが民よ、見よ、わたしはあなたがたの墓を開き、あなたがたを墓からとりあげて、イスラエルの地にはいらせる。

וִידַעְתֶּם כִּי־ אֲנִי יְהוָה בְּפִתְחִי אֶת־ קִבְרוֹתֵיכֶם 13
そして-知る わたしが である-ことを 主 開くとき を お前たちの-墓を
H3045 H3588 H0589 H3068 H0834 H6913

עַמִּי׃ מִקִּבְרוֹתֵיכֶם אֶתְכֶם וּבְהַעֲלוֹתִי
私の-民よ お前たちの-墓から お前たちを そして-上らせるとき
H5971 H6913 H0853 H5927

わが民よ、わたしがあなたがたの墓を開き、あなたがたをその墓からとりあげる時、あなたがたは、わたしが主であることを悟る。

14 וְנָתַתִּי רוּחִי בָּכֶם וְחִיִּיתֶם וְהִנַּחְתִּי אֶתְכֶם עַל־
そして-与える 私の-霊を お前たちの-中に そして-生きる そして-休ませる お前たちを の-上に
H5414 H7307 H0853 H2421 H3240 H0853

אַדְמַתְכֶם וְיָדַעְתֶּם כִּי־ אֲנִי יְהוָה דִּבַּרְתִּי וְעָשִׂיתִי נְאֻם־
お前たちの-土地の そして-知る わたしが である-ことを 主 語った そして-行った 告げられた
H0127 H3045 H0589 H3068 H1696 H5002

יְהוָה׃ פ
主の [区切り]
H3068

わたしがわが霊を、あなたがたのうちに置いて、あなたがたを生かし、あなたがたをその地に安住させる時、あなたがたは、主なるわたしがこれを言い、これをおこなったことを悟ると、主は言われる」。

15 וַיְהִי דְּבַר־ יְהוָה אֵלַי לֵאמֹר׃
そして-あった 言葉が 主の 私に 言って
H1961 H1697 H3068 H0413 H0559

主の言葉がわたしに臨んだ、

16 וְאַתָּה בֶּן־ אָדָם קַח־ לְךָ עֵץ אֶחָד וּכְתָב עָלָיו
そして-あなた 人 の-子よ 取れ あなたの-ために 木を 一つの そして-書け その-上に
H3947 H0120 H3789 H0259 H6086

וְלִבְנֵי יִשְׂרָאֵל חבריו(חֲבֵרָיו) וּלְקַח עֵץ אֶחָד
そして-子らの-ために イスラエルの [異読] その-仲間の そして-取れ 木を 一つの
H3478 H2270 H2270 H3947 H6086 H0259

לִיהוּדָה וְלִבְנֵי יִשְׂרָאֵל חֲבֵרָיו׃(חברו]
ユダの-ために イスラエルの その-仲間の [異読]
H3063 H3478 H2270 H2270

וּכְתֹב עָלָיו לְיוֹסֵף עֵץ אֶפְרַיִם וְכָל־ בֵּית יִשְׂרָאֵל
そして-書け その-上に ヨセフの-ために 木は エフライムの そして-すべての 家の イスラエルの
H3789 H3130 H6086 H0669 H3605 H1004 H3478

חֲבֵרָיו׃(חברו]
その-仲間の [異読]
H2270 H2270

「人の子よ、あなたは一本の木を取り、その上に『ユダおよびその友であるイスラエルの子孫のために』と書き、また一本の木を取って、その上に『ヨセフおよびその友であるイスラエルの全家のために』と書け。これはエフライムの木である。

17 וְקָרֵב אֹתָם אֶחָד אֶחָד אֶל־ אֶחָד לְעֵץ אֶחָד וְהָיוּ
そして-近づけよ それらを 一つを に 一つに 木に 一つの そして-なる
H7126 H0853 H0259 H0413 H0259 H6086 H0259 H1961

לַאֲחָדִים בְּיָדֶךָ׃
一つに あなたの-手の-中で
H0259 H3027

あなたはこれらを合わせて、一つの木となせ。これらはあなたの手で一つになる。

18 וְכַאֲשֶׁר יֹאמְרוּ אֵלֶיךָ בְּנֵי עַמְּךָ לֵאמֹר הֲלוֹא־ תַגִּיד
そして-のとき 言うなら あなたに 子らが あなたの-民の 言って どうか 教えてくれないか
H5046 H3808 H0559 H0413 H1121 H5971

לָּנוּ מָה־ אֵלֶּה לָךְ׃
私たちに 何を これらは あなたに-とっては
H4100 H0428

あなたの民の人々があなたに向かって、『これはなんのことであるか、われわれに示してくれないか』と言う時は、

19 דַּבֵּר֩ אֲלֵהֶ֨ם כֹּֽה־אָמַ֜ר אֲדֹנָ֣י יְהוִ֗ה הִנֵּה֙ אֲנִ֣י לֹקֵ֔חַ אֶת־עֵ֖ץ
語れ そして–彼らに このように 言われた 主なる 神は 見よ わたしが 取る を 木を
H1696 H0413 H3541 H0559 H0136 H3069 H2009 H0589 H3947 H0853 H6086

יוֹסֵ֑ף אֲשֶׁ֣ר בְּיַד־אֶ֠פְרַיִם וְשִׁבְטֵ֨י יִשְׂרָאֵ֤ל חברו[ ]חֲבֵרָ֙יו׃(
ヨセフの それは エフライムの 手に–ある そして–部族を イスラエルの [異読] その–仲間の
H3130 H0834 H0669 H3027 H7626 H3478 H2270 H2270

וְנָתַתִּ֤י אוֹתָם֙ עָלָ֔יו אֶת־עֵ֖ץ יְהוּדָ֑ה וַעֲשִׂיתִ֣ם אֶ֔חָד לְעֵ֖ץ וְהָי֥וּ
そして–置く それらを その–上に を 木を ユダの そして–する 一つの 木に そして–なる
H5414 H0853 H5921 H0853 H6086 H3063 H6213 H0259 H6086 H1961

בְּיָדִֽי׃ אֶחָֽד
私の–手の–中で 一つに
H3027 H0259

これに言え、主なる神はこう言われる、見よ、わたしはエフライムの手にあるヨセフと、その友であるイスラエルの部族の木を取り、これをユダの木に合わせて、一つの木となす。これらはわたしの手で一つとなる。

20 וְהָי֤וּ הָעֵצִים֙ אֲשֶׁר־תִּכְתָּ֣ב עֲלֵיהֶ֔ם בְּיָדְךָ֖ לְעֵינֵיהֶֽם׃
そして–ある 木が それに 書いた その–上に あなたの–手の–中に 彼らの–目の–前に
H1961 H6086 H0834 H3789 H5921 H3027 H5869

あなたが文字を書いた木が、彼らの目の前で、あなたの手にあるとき、

21 וְדַבֵּ֣ר אֲלֵהֶ֗ם כֹּֽה־אָמַ֤ר אֲדֹנָי֙ יְהוִ֔ה הִנֵּ֗ה אֲנִי֙ לֹקֵ֣חַ אֶת־בְּנֵ֣י
そして–語れ 彼らに このように 言われた 主なる 神は 見よ わたしが 取る を 子らを
H1696 H0413 H3541 H0559 H0136 H3069 H2009 H0589 H3947 H0853 H1121

יִשְׂרָאֵל֙ מִבֵּ֣ין הַגּוֹיִ֔ם אֲשֶׁ֥ר הָלְכ֖וּ שָׁ֑ם וְקִבַּצְתִּ֤י אֹתָם֙ מִסָּבִ֔יב
イスラエルの から–間から 国々の それへ 行った そこへ そして–集める 彼らを 周囲から
H3478 H0996 H1471 H0834 H1980 H8033 H6908 H0853 H5439

וְהֵבֵאתִ֖י אֹתָ֥ם אֶל־אַדְמָתָֽם׃
そして–連れ来る 彼らを に その–土地に
H0935 H0853 H0413 H0127

あなたは彼らに言え。主なる神は、こう言われる、見よ、わたしはイスラエルの人々を、その行った国々から取り出し、四方から彼らを集めて、その地にみちびき、

22 וְעָשִׂיתִ֣י אֹתָ֗ם לְגוֹי֙ בָּאָ֣רֶץ אֶחָ֔ד בְּהָרֵ֖י יִשְׂרָאֵ֑ל וּמֶ֤לֶךְ אֶחָד֙ יִֽהְיֶ֣ה
そして–する 彼らを 国に 地に 一つの 山々の イスラエルの そして–王が 一人の なる
H6213 H0853 H1471 H0776 H0259 H2022 H3478 H4428 H0259 H1961

לְכֻלָּ֔ם לְמֶ֖לֶךְ וְלֹ֣א יִֽהְיוּ־(יהיה־[ ]עוֹד֙ לִשְׁנֵ֣י גוֹיִ֔ם
彼ら–すべての–ために 王に そして–決して [異読] ならない もはや 二つの 国に
H3605 H4428 H3808 H1961 H1961 H5750 H8147 H1471

עוֹד֙ וְלֹֽא־יֵחָצ֥וּ לִשְׁתֵּ֖י מַמְלָכ֑וֹת עוֹד֙ לִשְׁתֵּ֣י וְלֹֽא׃
もはや 王国に 二つの もはや 分かれない 二つの そして–決して
H5750 H4467 H8147 H5750 H2673 H8147 H3808

その地で彼らを一つの民となしてイスラエルの山々におらせ、ひとりの王が彼ら全体の王となり、彼らは重ねて二つの国民とならず、再び二つの国に分れない。

23 וְלֹא יִטַּמְּאוּ עוֹד בְּגִלּוּלֵיהֶם וּבְשִׁקּוּצֵיהֶם וּבְכֹל פִּשְׁעֵיהֶם
そして-決して 汚さない もはや 偶像で 忌まわしい-もので そして-すべての 背きで
H3808 H2930 H5750 H1544 H8251 H3605 H6588

וְהוֹשַׁעְתִּי אֹתָם מִכֹּל מוֹשְׁבֹתֵיהֶם אֲשֶׁר חָטְאוּ בָהֶם וְטִהַרְתִּי אוֹתָם
そして-救う 彼らを すべての 住まいから そこで 罪を-犯した その中で そして-清める 彼らを
H3467 H0853 H4186 H3605 H0853 H2398 H0853 H2891 H0853

וְהָיוּ־לִי לְעָם וְאָנֹכִי אֶהְיֶה לָהֶם לֵאלֹהִים׃
そして-なる 私に-とって 民に そして-わたしが なる 彼らに-とって 神に
H1961 H0589 H1961 H0430

彼らはまた、その偶像と、その憎むべきことどもと、もろもろのとがとをもって、身を汚すことはない。わたしは彼らを、その犯したすべての背信から救い出して、これを清める。そして彼らはわが民となり、わたしは彼らの神となる。

24 וְעַבְדִּי דָוִד מֶלֶךְ עֲלֵיהֶם וְרוֹעֶה אֶחָד יִהְיֶה לְכֻלָּם
なる 一人の そして-牧者が 彼らの-上に 王として ダビデが そして-私の-僕
H1961 H0259 H7462 H5921 H4428 H1732 H5650

וּבְמִשְׁפָּטַי יֵלֵכוּ וְחֻקֹּתַי יִשְׁמְרוּ וְעָשׂוּ אוֹתָם׃
そして-私の-定めに 歩み 守り そして-私の-掛を それらを
H4941 H3212 H8104 H2708 H6213 H0853

わがしもべダビデは彼らの王となる。彼らすべての者のために、ひとりの牧者が立つ。彼らはわがおきてに歩み、わが定めを守って行う。

25 וְיָשְׁבוּ עַל־הָאָרֶץ אֲשֶׁר נָתַתִּי לְעַבְדִּי לְיַעֲקֹב אֲשֶׁר יָשְׁבוּ־
住む の-上に 地の それを わたしが-与えた 私の-僕に ヤコブに そこに 住んだ
H3427 H5921 H0776 H0834 H5414 H5650 H3290 H0834 H3427

בָהּ הֵמָּה וּבְנֵיהֶם וּבְנֵי וּבְנֵי־בְנֵיהֶם עֹלָם וְדָוִד עַבְדִּי נָשִׂיא לָהֶם לְעוֹלָם׃
そこに お前たちの-父たちが そして-住む その-上に 彼らが そして-その-子らが そして-子らの 永遠に 彼らの-ために 君として 私の-僕 そして-ダビデが 永遠に まで 子らが
H1992 H3427 H5921 H1992 H1121 H1121 H1121 H5769 H3605 H5704 H1121

彼らはわがしもべヤコブに、わたしが与えた地に住む。これはあなたがたの先祖の住んだ所である。そこに彼らと、その子らと、その子孫とが永遠に住み、わがしもべダビデが、永遠に彼らの君となる。

26 וְכָרַתִּי לָהֶם בְּרִית שָׁלוֹם בְּרִית עוֹלָם יִהְיֶה אוֹתָם וְנָתַתִּים
そして-結ぶ 契約を 平和の 契約が 永遠の なる それらに-とって そして-置く
H3772 H1285 H7965 H1285 H5769 H1961 H0853 H5414

וְהִרְבֵּיתִי אוֹתָם וְנָתַתִּי אֶת־מִקְדָּשִׁי בְּתוֹכָם לְעוֹלָם׃
そして-増やす 彼らを そして-置く を 私の-聖所を 彼らの-中に 永遠に
H7235 H0853 H5414 H0853 H4720 H8432 H5769

わたしは彼らと平和の契約を結ぶ。これは彼らの永遠の契約となる。わたしは彼らを祝福し、彼らをふやし、わが聖所を永遠に彼らの中に置く。

27 וְהָיָה מִשְׁכָּנִי עֲלֵיהֶם וְהָיִיתִי לָהֶם לֵאלֹהִים וְהֵמָּה
そして-ある 私の-住まいが 彼らの-上に そして-なる 彼らに-とって 神に そして-彼らが
H1961 H4908 H5921 H1961 H0430 H1992

יִהְיוּ־לִי לְעָם׃
なる 私に-とって 民に
H1961

わがすみかは彼らと共にあり、わたしは彼らの神となり、彼らはわが民となる。

28 וְיָדְעוּ הַגּוֹיִם כִּי אֲנִי יְהוָה מְקַדֵּשׁ אֶת־יִשְׂרָאֵל בִּהְיוֹת
そして-知る 国々は わたしが である-ことを 主 聖とする を イスラエルを あるとき
H3045 H1471 H3068 H6942 H0853 H3478 H1961

מִקְדָּשִׁי בְּתוֹכָם לְעוֹלָם׃ ס
私の-聖所が 彼らの-中に 永遠に [区切り]
H4720 H8432 H5769

そしてわが聖所が永遠に、彼らのうちにあるようになるとき、諸国民は主なるわたしが、イスラエルを聖別する者であることを悟る」。

Chapter 38

1 וַיְהִי דְּבַר־יְהוָה אֵלַי לֵאמֹר׃
そして-あった 言葉が 主の 私に 言って
H1961 H1697 H3068 H0413 H0559

主の言葉がわたしに臨んだ、

2 בֶּן־אָדָם שִׂים פָּנֶיךָ אֶל־גּוֹג אֶרֶץ הַמָּגוֹג נְשִׂיא רֹאשׁ מֶשֶׁךְ
人の 子よ 向けよ あなたの-顔を に ゴグ 地の マゴグ 首長 頭の メシェク
H0120 H7760 H6440 H0413 H1463 H0776 H4031 H5387 H7218 H4902

וְתֻבָל וְהִנָּבֵא עָלָיו׃
そして-トバル そして-預言せよ 彼に-ついて
H8422 H5012

「人の子よ、メセクとトバルの大君であるマゴグの地のゴグに、あなたの顔を向け、これに対して預言して、

3 וְאָמַרְתָּ כֹּה אָמַר אֲדֹנָי יְהוִה הִנְנִי אֵלֶיךָ גּוֹג נְשִׂיא רֹאשׁ מֶשֶׁךְ
そして-言え このように 言う 主なる 神は 見よ-わたしは あなたに-向かう ゴグよ 首長 頭の メシェク
H0559 H3541 H0136 H3069 H2009 H0413 H1463 H5387 H7218 H4902

וְתֻבָל׃
そして-トバル
H8422

言え。主なる神はこう言われる、メセクとトバルの大君であるゴグよ、見よ、わたしはあなたの敵となる。

4 וְשׁוֹבַבְתִּיךָ וְנָתַתִּי חַחִים בִּלְחָיֶיךָ וְהוֹצֵאתִי אוֹתְךָ
わたしは-あなたを-引き戻し そして-入れる 鉤を あなたの-顎に そして-連れ出す あなたを
H7725 H5414 H2397 H3895 H3318 H0853

וְאֶת־כָּל־חֵילֶךָ סוּסִים וּפָרָשִׁים לְבֻשֵׁי מִכְלוֹל כֻּלָּם קָהָל
そして 馬と 騎兵を 着た 完全な-武装を 彼ら-すべて 大きな
H3605 H6951

רַב צִנָּה וּמָגֵן תֹּפְשֵׂי חֲרָבוֹת כֻּלָּם׃
集団 大盾と 小盾 握る-者たち 剣を 彼ら-すべて
H3605 H2719 H8610 H4043 H4043 H7218

わたしはあなたを引きもどし、あなたのあごにかぎをかけて、あなたと、あなたのすべての軍勢と、馬と、騎兵とを引き出す。彼らはみな武具をつけ、大盾、小盾を持ち、すべてつるぎをとる者で大軍である。

5 פָּרַס כּוּשׁ וּפוּט אִתָּם כֻּלָּם מָגֵן וְכוֹבָע׃
ペルシヤ クシュ そして-プテ 彼らと-共に 彼ら-すべて 盾と 兜
H6539 H3553 H4043 H3605 H0854 H6316

ペルシャ、エチオピヤ、プテは彼らと共におり、みな盾とかぶとを持つ。

6 גֹּמֶר וְכָל־ אֲגַפֶּיהָ בֵּית תּוֹגַרְמָה יַרְכְתֵי צָפוֹן וְאֶת־ כָּל־
ゴメル そして–すべての その–部隊 家の トガルマ 奥の 北 そして–すべての
H1586 H3605 H0102 H0853 H8425 H3411 H6828 H0853 H3605

אֲגַפֶּיהָ עַמִּים רַבִּים אִתָּךְ׃
その–部隊を 多くの 民が あなたと–共に
H0102 H0854

ゴメルとそのすべての軍隊、北の果のベテ・トガルマと、そのすべての軍隊など、多くの民もあなたと共におる。

7 הָכֵן וְהָכֵן לְךָ אַתָּה וְכָל־ קְהָלֶךָ
備えよ そして–準備せよ あなた–自身のために あなたは そして–すべての あなたの–集団
H3559 H3559 H0859 H0859 H3605 H6951

הַנִּקְהָלִים עָלֶיךָ וְהָיִיתָ לָהֶם לְמִשְׁמָר׃
集まった–者たち あなたに そして–なれ 彼らの 護衛と
H6950 H0854 H1961 H0854 H4929

あなたは備えをなせ。あなたとあなたの所に集まった軍隊は、みな備えをなせ。そしてあなたは彼らの保護者となれ。

8 מִיָּמִים רַבִּים תִּפָּקֵד בְּאַחֲרִית הַשָּׁנִים תָּבוֹא אֶל־ אֶרֶץ מְשׁוֹבֶבֶת
長い 日の–後 あなたは–召集される 終わりの 年に あなたは–来る に 地に 回復した
H3117 H7227 H0859 H0319 H8141 H0935 H0413 H0776 H7725

מֵחֶרֶב מִקִּבְּצַת מֵעַמִּים רַבִּים עַל הָרֵי יִשְׂרָאֵל אֲשֶׁר־ הָיְתָה
剣から 集められた 多くの–民から 多くの 上に 山々の イスラエルの それは であった
H2719 H6908 H7227 H5971 H5921 H2022 H3478 H0834 H1961

לְחָרְבָּה תָּמִיד וְהִיא מֵעַמִּים הוּצְּאָה וְיָשְׁבוּ לָבֶטַח כֻּלָּם׃
荒廃の 絶えず しかし–それは 民の–中から 連れ出された そして–住む 安全に 彼ら–すべて
H2723 H8548 H1931 H5971 H3318 H3427 H0983 H3605

多くの日の後、あなたは集められ、終りの年にあなたは戦いから回復された地、すなわち多くの民の中から、人々が集められた地に向かい、久しく荒れすたれたイスラエルの山々に向かって進む。その人々は国々から導き出されて、みな安らかに住んでいる。

9 אַתָּה תִּהְיֶה כֶּעָנָן לְכַסּוֹת הָאָרֶץ תָּבוֹא כַּשּׁוֹאָה וְעָלִיתָ
あなたは あなたは–なる 雲の–ように 覆う–ため 地を 来る 嵐の–ように そして–あなたは–上る
H0859 H1961 H5927 H3680 H0776 H0935 H7722 H5927

וְכָל־ אֲגַפֶּיךָ עַמִּים רַבִּים אִתָּךְ׃ ס
そして–すべての あなたの–部隊 そして–多くの 民が あなたと–共に —
H3605 H0102 H5971 H7227 H0854 H0853

あなたはそのすべての軍隊および多くの民を率いて上り、暴風のように進み、雲のように地をおおう。

10 כֹּה אָמַר אֲדֹנָי יְהוִה וְהָיָה בַּיּוֹם הַהוּא יַעֲלוּ דְבָרִים עַל־
このように 言う 主なる 神は そして–なる その–日に その 上る 事柄が 上に
H3541 H0559 H0136 H3069 H1961 H3117 H1931 H5927 H1697 H5921

לִבָּךְ וְחָשַׁבְתָּ מַחֲשֶׁבֶת רָעָה׃
あなたの–心に そして–あなたは–企む 邪悪な 計画を
H3824 H2803 H4284 H7451

主なる神はこう言われる、その日に、あなたの心に思いが起り、悪い計りごとを企てて、

11 וְאָמַרְתָּ֗ אֶעֱלֶה֙ עַל־ אֶ֣רֶץ פְּרָז֔וֹת אָבוֹא֙
そして–あなたは–言う わたしは–上ろう に 地に 城壁の–ない–村々の わたしは–行こう
H0559 H5927 H0776 H6519 H0935

הַשַּׁקְטִ֖ים יֹשְׁבֵ֑י לָבֶ֣טַח כֻּלָּ֔ם יֹשְׁבִ֕ים בְּאֵ֥ין חוֹמָ֖ה וּבְרִיחַ֥ וּדְלָתַ֛יִם אֵ֥ין
静かな 住む–者たち 安全に 彼ら–すべて 住んでいる ない 城壁が かんぬきも 門も ない
H8252 H3427 H0983 H3605 H3427 H0369 H2346 H1280 H0369

לָהֶֽם׃
彼らには

言う、『わたしは無防備の村々の地に上り、穏やかにして安らかに住む民、すべて石がきもなく、貫の木も門もない地に住む者どもを攻めよう』と。

12 לִשְׁלֹ֤ל שָׁלָל֙ וְלָבֹ֣ז בָּז֔ יָדְךָ֖ עַל־ חָרְבוֹת֙ לָשׁ֣וּב
奪う–ため 略奪を そして–取る–ため 獲物を あなたの–手を に–対して 廃墟に 向ける–ため
H7998 H0962 H0957 H3027 H0413 H2723 H7725

נוֹשָׁבֹ֔ת וְאֶל־ עַ֣ם מֵאֻסָּ֔ף מִגּוֹיִ֖ם עֹשֵׂ֣ה מִקְנֶ֑ה וְקִנְיָ֔ן
住む–者たち そして–に–対して 民に 集められた 諸国から 得る–者たち 家畜と 財産を
H3427 H0413 H0622 H5971 H4735 H7075

הָאָֽרֶץ׃ טַבּ֥וּר עַל־ יֹשְׁבֵ֖י
地の 中心に の–上の 住む–者たち
H0776 H2872 H3427

そしてあなたは物を奪い、物をかすめ、いま人の住むようになっている荒れ跡を攻め、また国々から集まってきて、地の中央に住み、家畜と貨財とを持つ民を攻めようとする。

13 שְׁבָ֣א וּדְדָ֗ן וְסֹחֲרֵ֤י תַרְשִׁישׁ֙ וְכָל־ כְּפִרֶ֣יהָ יֹאמְר֣וּ
シェバ そして–デダン そして–商人たち タルシシュの すべての 若い–獅子たち 言う
H7614 H1719 H5503 H8659 H3605 H3715 H0559

הֲלִשְׁלֹ֥ל שָׁלָ֛ל אַתָּ֥ה בָ֖אתָ לָבֹ֣ז בָּ֑ז הַקְהַלְתָּ֥ לָּ֛ךְ
奪う–ため 略奪を あなたは 来たのか 取る–ため 獲物を あなたは–集めた あなたに
H7998 H0935 H0962 H0957 H6950

גָּד֖וֹל׃ שָׁלָ֔ל לִשְׁלֹ֣ל וְקִנְיָ֔ן מִקְנֶ֑ה לָקַ֣חַת וְזָהָ֥ב כֶּ֛סֶף וְלָשֵׂ֥את קָהָלֶֽךָ׃
略奪を 大きな 奪う–ため 財産を 家畜と 取る–ため 金を 銀と 運ぶ–ため あなたの–集団を
H7998 H7075 H4735 H3947 H2091 H3701 H5375 H6951

ס

シバ、デダン、タルシシの商人、およびそのもろもろの村々はあなたに言う、『あなたは物を奪うために来たのか。物をかすめるために軍隊を集めたのか。あなたは金銀を持ち去り、家畜と貨財とを取りあげ、大いに物を奪おうとするのか』と。

14 לָכֵן֙ הִנָּבֵ֣א בֶן־ אָדָ֔ם וְאָמַרְתָּ֣ לְגוֹג֮ כֹּה֩ אָמַ֨ר אֲדֹנָ֤י יְהוִה֙
それゆえ 預言せよ 人の 子よ そして–言え ゴグに このように 言う 主なる 神は
H5012 H1121 H0120 H1463 H3541 H0559 H0136 H3069

תֵּדָֽע׃ לָבֶ֣טַח יִשְׂרָאֵ֔ל עַמִּ֖י בְּשֶׁ֣בֶת הַהוּא֙ בַּיּ֣וֹם וַהֲל֥וֹא
あなたは–知る 安全に イスラエルが わが–民 住む–とき その その–日に ではないか
H3045 H0983 H3478 H5971 H3427 H1931 H3117 H3808

それゆえ、人の子よ、ゴグに預言して言え。主なる神はこう言われる、わが民イスラエルの安らかに住むその日に、あなたは立ちあがり、

15 וּבָאתָ מִמְּקוֹמְךָ מִיַּרְכְּתֵי צָפוֹן אַתָּה וְעַמִּים רַבִּים
そして-あなたは-来る あなたの-場所から 奥から 北の あなたは そして-多くの 民が
H0935 H4725 H3411 H6828

רֹכְבֵי סוּסִים כֻּלָּם קָהָל גָּדוֹל וְחַיִל רָב׃
乗る-者たち 馬に 彼ら-すべて 大きな 集団 そして-強大な 軍勢
H7392 H3605 H6951 H0854 H2428

北の果のあなたの所から来る。多くの民はあなたと共におり、みな馬に乗り、その軍隊は大きく、その兵士は強い。

16 וְעָלִיתָ עַמִּי עַל־ יִשְׂרָאֵל כֶּעָנָן לְכַסּוֹת הָאָרֶץ בְּאַחֲרִית
そして-あなたは-上る わが-民 に-対して イスラエルに 雲の-ように 覆う-ため 地を 終わりの
H5927 H0854 H6051 H3680 H0776 H0319

הַיָּמִים תִּהְיֶה וַהֲבִאוֹתִיךָ עַל־ אַרְצִי לְמַעַן יֵדְעוּ הַגּוֹיִם
日に それは-なる わたしは-あなたを-連れて来る に-対して わが-地に ために 知る-こと 諸国が
H3117 H1961 H0935 H0776 H4616 H3045 H1471

בְּהִקָּדְשִׁי בְךָ לְעֵינֵיהֶם גּוֹג׃ ס
わたしが-聖とされる-とき あなたを-通して 彼らの-目の-前で ゴグよ —
H6942 H1463

あなたはわが民イスラエルに攻めのぼり、雲のように地をおおう。ゴグよ、終りの日にわたしはあなたを、わが国に攻めきたらせ、あなたをとおして、わたしの聖なることを諸国民の目の前にあらわして、彼らにわたしを知らせる。

17 כֹּה־ אָמַר אֲדֹנָי יְהוִה הַאַתָּה־ הוּא אֲשֶׁר־ דִּבַּרְתִּי בְיָמִים
このように 言う 主なる 神は その者 彼こそ あなたは-その者か わたしが-語った 昔の
H3559 H0136 H3069 H1931 H0834 H1696 H3117

קַדְמוֹנִים בְּיַד עַבְדַי נְבִיאֵי יִשְׂרָאֵל הַנִּבְּאִים בַּיָּמִים הָהֵם
日に 手を-通して わが-しもべたち 預言者たち イスラエルの 預言していた その-日に その
H6931 H3027 H5650 H5030 H3478 H5012 H3117 H1992

שָׁנִים לְהָבִיא אֹתְךָ עֲלֵיהֶם׃ ס
年々 連れて来る-と あなたを 彼らに-対して —
H8141 H0935 H0853

主なる神はこう言われる、わたしが昔、わがしもべイスラエルの預言者たちによって語ったのは、あなたのことではないか。すなわち彼らは、そのころ年久しく預言して、わたしはあなたを送って、彼らを攻めさせると言ったではないか。

18 וְהָיָה בַּיּוֹם הַהוּא בְּיוֹם בּוֹא גוֹג עַל־ אַדְמַת יִשְׂרָאֵל נְאֻם
そして-なる その-日に その 日に 来る-とき ゴグが に-対して 地に イスラエルの 告げる
H1961 H3117 H1931 H3117 H0935 H1463 H0127 H3478 H5002

אֲדֹנָי יְהוִה תַּעֲלֶה חֲמָתִי בְּאַפִּי׃
主なる 神は 上る わが-怒りが わが-鼻に
H0136 H3069 H5927 H2534 H0639

しかし主なる神は言われる、その日、すなわちゴグがイスラエルの地に攻め入る日に、わが怒りは現れる。

19 וּבְקִנְאָתִי בְּאֵשׁ־ עֶבְרָתִי דִּבַּרְתִּי אִם־ לֹא בַּיּוֹם הַהוּא יִהְיֶה
わが-熱心と わが-憤りで わたしは-語る まことに ないか その-日に その ある
H7068 H0784 H5678 H1696 H0518 H3808 H3117 H1931 H1961

רַעַשׁ גָּדוֹל עַל אַדְמַת יִשְׂרָאֵל׃
大きな 地震が 上に 地に イスラエルの
H7494 H0127 H3478

わたしは、わがねたみと、燃えたつ怒りとをもって言う。その日には必ずイスラエルの地に、大いなる震動があり、

20 וְרָעֲשׁוּ מִפָּנַי דְּגֵי הַיָּם וְעוֹף הַשָּׁמַיִם וְחַיַּת הַשָּׂדֶה
そして-震える わが-前に 魚は 海の そして-鳥は 天の そして-獣は 野の
H7493 H6440 H1709 H3220 H5775 H8064 H2421

וְכָל־ הָרֶמֶשׂ הָרֹמֶשֶׂת עַל־ הָאֲדָמָה וְכֹל ׀ הָאָדָם אֲשֶׁר עַל־
そして-すべての 這う-ものは 這う 地の の-上を 人は その者 の-上の
H3605 H7431 H7430 H0127 H0120

פְּנֵי הָאֲדָמָה וְנֶהֶרְסוּ הֶהָרִים וְנָפְלוּ הַמַּדְרֵגוֹת וְכָל־ חוֹמָה לָאָרֶץ
面の 地の そして-崩れる 山々は そして-落ちる 崖は そして-すべての 壁は 地に
H6440 H0127 H2040 H2022 H5307 H4095 H3605 H2346 H0776

תִּפּוֹל׃
倒れる
H5307

海の魚、空の鳥、野の獣、すべての地に這うもの、地のおもてにあるすべての人は、わが前に打ち震える。また山々はくずれ、がけは落ち、すべての石がきは地に倒れる。

21 וְקָרָאתִי לְכָל־ הָרַי חַרְבִּי אֲדֹנָי יְהוִה נְאֻם חַרְבּוֹ בְּאָחִיו תִּהְיֶה׃ אִישׁ
そして-わたしは-呼ぶ すべての わが-山々に 剣を 主なる 神は 告げる 剣は なる その-兄弟に-対して 人の
H7121 H3605 H2022 H2719 H0136 H3069 H5002 H2719 H1961 H0251 H0376

彼に-対して
H5921

主なる神は言われる、わたしはゴグに対し、すべての恐れを呼びよせる。すべての人のつるぎは、その兄弟に向けられる。

22 וְנִשְׁפַּטְתִּי אִתּוֹ בְּדֶבֶר וּבְדָם וְגֶשֶׁם וְאַבְנֵי אֶלְגָּבִישׁ אֵשׁ
そして-わたしは-裁く 彼を 疫病と 流血で そして-雨と あふれる 雹の 石を 火と
H8199 H0854 H1698 H1818 H1653 H7857 H0068 H0417 H0784

וְגָפְרִית אַמְטִיר עָלָיו וְעַל־ אֲגַפָּיו וְעַל־ עַמִּים רַבִּים אֲשֶׁר
そして-硫黄を わたしは-降らせる 彼の-上に そして-の-上に その-部隊 そして-の-上に 多くの 民 その者たち
H1614 H4305 H5921 H5921 H0102 H5921 H5973 H7227 H0834

אִתּוֹ׃
彼と-共にいる
H0854

わたしは疫病と流血とをもって彼をさばく。わたしはみなぎる雨と、ひょうと、火と、硫黄とを、彼とその軍隊および彼と共におる多くの民の上に降らせる。

23 וְהִתְגַּדַּלְתִּי וְהִתְקַדַּשְׁתִּי וְנוֹדַעְתִּי לְעֵינֵי גּוֹיִם רַבִּים
そして-わたしは-大いなる-者と-なり 聖なる-者と-なり 知られる 目の-前で 諸国の 多くの
H1431 H6942 H3045 H5869 H1471 H7227

וְיָדְעוּ כִּי־ אֲנִי יְהוָה׃ ס
そして-彼らは-知る まことに わたしが 主で-ある-ことを —
H3045 H3588 H0589 H3068

そしてわたしはわたしの大いなることと、わたしの聖なることとを、多くの国民の目に示す。そして彼らはわたしが主であることを悟る。

Chapter 39

1 וְאַתָּה בֶּן־אָדָם הִנָּבֵא עַל־גּוֹג וְאָמַרְתָּ כֹּה אָמַר
そして–あなたは 人の 子よ 預言せよ に–対して ゴグに そして–言え このように 言う
H0559 H3541 H0559 H1463 H5012 H0120 H0413 H1463 H8422 H4902 H7218 H5387 H2009 H3068 H0136

אֲדֹנָי יְהוִה הִנְנִי אֵלֶיךָ גּוֹג נְשִׂיא רֹאשׁ מֶשֶׁךְ וְתֻבָל׃
主なる 神は 見よ–わたしは あなたに–向かう ゴグよ 首長 頭の メシェク そして–トバル

人の子よ、ゴグに向かって預言して言え。主なる神はこう言われる、メセクとトバルの大君であるゴグよ、見よ、わたしはあなたの敵となる。

2 וְשִׁבַּבְתִּיךָ וְשִׁשֵּׁאתִיךָ וְהַעֲלִיתִיךָ מִיַּרְכְּתֵי צָפוֹן
わたしは–あなたを–引き戻し そして–あなたを–導き そして–あなたを–上らせ 奥から 北の

וְהַבֵאתִיךָ עַל־הָרֵי יִשְׂרָאֵל׃
そして–あなたを–連れて来る に–対して 山々に イスラエルの

わたしはあなたを引きもどし、あなたを押しやり、北の果から上らせ、イスラエルの山々に導き、

3 וְהִכֵּיתִי קַשְׁתְּךָ מִיַּד שְׂמֹאלֶךָ וְחִצֶּיךָ מִיַּד יְמִינְךָ אַפִּיל׃
わたしは–打つ そして–わたしは–弓を あなたの–左–手の から 矢を そして–あなたの–右–手の わたしは–落とす

あなたの左の手から弓を打ち落し、右の手から矢を落させる。

4 עַל־הָרֵי יִשְׂרָאֵל תִּפּוֹל אַתָּה וְכָל־אֲגַפֶּיךָ וְעַמִּים אֲשֶׁר אִתָּךְ לְעֵיט צִפּוֹר כָּל־כָּנָף וְחַיַּת הַשָּׂדֶה לְאָכְלָה נְתַתִּיךָ׃
の–上に 山々に イスラエルの あなたは–倒れる そして–すべての あなたの–部隊 そして–民は その者たち と–共にいる に 鳥に すべての 翼の そして–獣に 野の 食べ物として わたしは–あなたを–与える

あなたとあなたのすべての軍隊およびあなたと共にいる民たちは、イスラエルの山々に倒れる。わたしはあなたを、諸種の猛禽と野獣とに与えて食わせる。

5 עַל־פְּנֵי הַשָּׂדֶה תִּפּוֹל כִּי אֲנִי דִבַּרְתִּי נְאֻם אֲדֹנָי יְהוִה׃
の–上に 面の 野の あなたは–倒れる なぜなら わたしが 語った 告げる 主なる 神は

あなたは野の面に倒れる。わたしがこれを言ったからであると、主なる神は言われる。

6 וְשִׁלַּחְתִּי־אֵשׁ בְּמָגוֹג וּבְיֹשְׁבֵי הָאִיִּים לָבֶטַח וְיָדְעוּ כִּי־אֲנִי יְהוָה׃
そして–わたしは–送る 火を マゴグに そして–住む–者たちに 島々の 安全に そして–彼らは–知る 主で–ある–ことを わたしが まことに

わたしはゴグと、海沿いの国々に安らかに住む者に対して火を送り、彼らにわたしが主であることを悟らせる。

7 וְאֶת־ そして H0853 שֵׁם 名を H8034 קָדְשִׁי わが-聖なる H6944 אוֹדִיעַ わたしは-知らせる H3045 בְּתוֹךְ 中で H8432 עַמִּי わが-民 H5971 יִשְׂרָאֵל イスラエルの H3478 וְלֹא־ そして-ない H3808

אֶחֱלֶל わたしは-汚させない H2490 אֶת־ — H0853 שֵׁם־ 名を H8034 קָדְשִׁי わが-聖なる H6944 עוֹד もはや H5750 וְיָדְעוּ そして-知る H3045 הַגּוֹיִם 諸国は H1471 כִּי־ まことに H3588 אֲנִי わたしが H0589

יְהוָה 主 H3068 קָדוֹשׁ 聖なる-者 H6918 בְּיִשְׂרָאֵל׃ イスラエルの-中の H3478

わたしはわが聖なる名を、わが民イスラエルのうちに知らせ、重ねてわが聖なる名を汚させない。諸国民はわたしが主、イスラエルの聖者であることを悟る。

8 הִנֵּה 見よ H2009 בָּאָה それは-来た H0935 וְנִהְיְתָה そして-成る H1961 נְאֻם 告げる H5002 אֲדֹנָי 主なる H0136 יְהוִה 神は H3069 הִוא それが H1931 הַיּוֹם その-日 H3117 אֲשֶׁר その者 H834 דִּבַּרְתִּי׃ わたしが-語った H1696

9 וְיָצְאוּ そして-出る H3318 יוֹשְׁבֵי 住む-者たちは H3427 עָרֵי 町々の H5892 יִשְׂרָאֵל イスラエルの H3478 וּבָעֲרוּ そして-燃やし H1197 וְהִשִּׁיקוּ そして-火を-つける H5400 בָּנֶשֶׁק 武器で H5402

וּמָגֵן そして-盾で H4043 צִנָּה そして-大盾で H6793 בַּקֶּשֶׁת 弓で H7198 וּבְחִצִּים そして-矢で H2671 וּבְמַקֵּל そして-棍棒で H4731 וּבְרֹמַח そして-槍で H7420 וּבְעָרוּ そして-燃やす H1197

בָּהֶם それらで H1992 אֵשׁ 火を H0784 שֶׁבַע 七 H7651 שָׁנִים׃ 年 H8141

イスラエルの町々に住む者は出て来て、武器すなわち大盾、小盾、弓、矢、手やり、およびやりなどを燃やし、焼き、七年の間これを火に燃やす。

10 וְלֹא־ そして-ない H3808 יִשְׂאוּ 運ばない H5375 עֵצִים 木を H6086 מִן־ から H4480 הַשָּׂדֶה 野の H7704 מִן־ から H4480 הַיְעָרִים 森の H3293 כִּי なぜなら H3588

וְשָׁלְלוּ そして-奪う H7997 אֶת־ — H0853 שְׁלָלֵיהֶם 奪った-者たちを H7998 וּבָזְזוּ そして-取る H962 אֶת־ — H0853 בֹּזְזֵיהֶם 取った-者たちを H957 וְחָטְבוּ 切らない H2404

בַּנֶּשֶׁק 武器で H5402 יִבְעֲרוּ 燃やす H1197 אֵשׁ 火を H0784

נְאֻם 告げる H5002 אֲדֹנָי 主なる H0136 יְהוִה׃ 神は H3069 ס —

彼らは野から木を取らず、森から木を切らず、武器で火を燃やし、自分をかすめた者をかすめ、自分の物を奪った者を奪うと、主なる神は言われる。

11 וְהָיָה בַיּוֹם הַהוּא אֶתֵּן לְגוֹג מְקוֹם־שָׁם קֶבֶר בְּיִשְׂרָאֵל

イスラエルに 墓を そこに 場所を ゴグに わたしは–与える その 日に そして–なる
H3478 H6913 H8033 H4725 H1463 H5414 H1931 H3117 H1961

הָעֹבְרִים קִדְמַת הַיָּם וְחֹסֶמֶת הִיא אֶת־ גָּיְא הָעֹבְרִים

通り–過ぎる–者を 東の 海の そして–ふさぐ それは — 谷を 通り–過ぎる–者の
H0853 H1931 H2629 H3220 H6926 H1516

וְקָבְרוּ שָׁם אֶת־ גּוֹג וְאֶת־ כָּל־ הֲמוֹנָהּ וְקָרְאוּ גֵּיא

そして–彼らは–葬る そこに — ゴグと そして すべての その–群衆を そして–彼らは–呼ぶ 谷と
H6912 H8033 H0853 H1463 H0853 H3605 H7121 H1516

גּוֹג׃ הֲמוֹן

ゴグの 群衆の
H1996 H1996

その日、わたしはイスラエルのうちに、墓地をゴグに与える。これは旅びとの谷にあって海の東にある。これは旅びとを妨げる。そこにゴグとその民衆を埋めるからである。これをハモン・ゴグの谷と名づける。

12 וּקְבָרוּם בֵּית יִשְׂרָאֵל לְמַעַן טַהֵר אֶת־ הָאָרֶץ שִׁבְעָה חֳדָשִׁים׃

そして–彼らを–葬る 家は イスラエルの ために 清める — 地を 七 月
H6912 H1004 H3478 H4616 H2891 H0853 H0776 H7651 H2320

イスラエルの家はこれを埋めて、地を清めるために七か月を費す。

13 וְקָבְרוּ כָּל־ עַם הָאָרֶץ וְהָיָה לָהֶם לְשֵׁם יוֹם הַכָּבְדִי

そして–彼らは–葬る すべての 民は 地の そして–なる 彼らに 誉れと 日に わたしが–栄光を–現す
H6912 H3605 H5971 H0776 H1961 H3513 H8034 H3117 H3513

נְאֻם אֲדֹנָי יְהוִה׃

告げる 主なる 神は
H5002 H0136 H3069

国のすべての民はこれを埋め、これによって名を高める。これはわが栄えを現す日であると、主なる神は言われる。

14 וְאַנְשֵׁי תָמִיד יַבְדִּילוּ עֹבְרִים בָּאָרֶץ מְקַבְּרִים אֶת־ הָעֹבְרִים

そして–人々を 常に 彼らは–分ける 通り–過ぎる–者を 地に 葬る–者を — 通り–過ぎる–者を
H0376 H8548 H0914 H5674 H0776 H6912 H0853 H5674

שִׁבְעָה־ חֳדָשִׁים מִקְצֵה לְטַהֲרָה הָאָרֶץ פְּנֵי עַל־ הַנּוֹתָרִים אֶת־

七 月 終わりに 清める–ため 地の 面の の–上の 残り–の–者たちを —
H7651 H2320 H7097 H2891 H0776 H6440 H5921 H3498 H0853

יַחְקְרוּ׃

彼らは–探す
H2713

彼らは人々を選んで、絶えず国の中を行きめぐらせ、地のおもてに残っている者を埋めて、これを清めさせる。七か月の終りに彼らは尋ねる。

15 וְעָבְרוּ הָעֹבְרִים בָּאָרֶץ וְרָאָה עֶצֶם אָדָם וּבָנָה אִצְלוֹ

そして–通る 通り–過ぎる–者たちは 地を そして–見る 骨を 人の そして–建てる その–傍に
H5674 H5674 H0776 H7200 H6106 H0120 H1129 H0681

גּוֹג׃ הֲמוֹן גֵּיא אֶל־ הַמְקַבְּרִים אֹתוֹ קָבְרָוּ עַד צִיּוּן

ゴグの 群衆の 谷に に 葬る–者たちが それを 葬る まで 標しを
H1996 H1996 H1516 H0413 H6912 H0853 H6912 H5704 H6725

国を行きめぐる者が行きめぐって、人の骨を見る時、死人を埋める者が、これをハモン・ゴグの谷に埋めるまで、そのかたわらに、標を建てて置く。

16 וְגַם־ שֵׁם֙ עִ֣יר הֲמוֹנָ֔ה וְטִהֲר֖וּ הָאָֽרֶץ׃ ס
そして-また 名は 町の ハモナ そして-彼らは-清める 地を —
H1571 H8034 H5892 H1997 H2891 H0776

（ハモナの町もそこにある。）こうして彼らはその国を清める。

17 וְאַתָּ֣ה בֶן־ אָדָ֗ם כֹּה־ אָמַ֤ר אֲדֹנָי֙ יְהוִ֔ה אֱמֹ֖ר לְצִפּ֣וֹר כָּל־
そして-あなたは 人の 子よ このように 言う 主なる 神は 言え に 鳥に
H1571 H0120 H0136 H0559 H3541 H0559 H3069 H0559 H6833 H3605

כָּנָ֑ף וּלְכֹל֙ חַיַּ֣ת הַשָּׂדֶ֔ה הִקָּבְצ֥וּ וָבֹ֖אוּ הֵאָסְפ֣וּ מִסָּבִ֔יב עַל־
すべての-翼の そして-すべての 獣に 野の 集まれ そして-来い 集まれ 四方から に-対して
H3671 H3605 H2416 H7704 H0935 H6908 H5439

זִבְחִ֣י אֲשֶׁר־ אֲנִי־ זֹבֵ֣חַ לָכֶ֗ם זֶ֣בַח גָּד֔וֹל עַל־ הָרֵ֥י יִשְׂרָאֵ֖ל
わが-いけにえを その者 わたしが 屠る あなたがたの-ために 大きな いけにえを の-上の 山々の
H2077 H0834 H0589 H2076 H3605 H2077 H5921 H2022 H3478

וְאָכַלְתָּ֥ם בָּשָׂ֖ר וְשָׁתִיתֶ֥ם דָּֽם׃
そして-食べよ 肉を そして-飲め 血を
H0398 H1320 H8354 H1818

主なる神はこう言われる、人の子よ、諸種の鳥と野の獣とに言え、みな集まってこい。わたしがおまえたちのために供えた犠牲、すなわちイスラエルの山々の上にある、大いなる犠牲に、四方から集まり、その肉を食い、その血を飲め。

18 בְּשַׂ֣ר גִּבּוֹרִ֣ים תֹּאכֵ֔לוּ וְדַם־ נְשִׂיאֵ֥י הָאָ֖רֶץ תִּשְׁתּ֑וּ
肉を 勇士たちの あなたがたは-食べる そして-血を 君主たちの 地の あなたがたは-飲む
H1320 H1368 H0398 H1818 H5387 H0776 H8354

אֵילִ֣ים כָּרִ֣ים וְעַתּוּדִ֗ים פָּרִ֛ים בָּשָׁ֥ן מְרִיאֵ֖י כֻּלָּֽם׃
雄羊と 小羊と そして-雄山羊と 雄牛を バシャンの 肥えた-もの 彼ら-すべて
H0352 H3733 H6260 H6499 H1316 H4806 H3605

おまえたちは勇士の肉を食い、地の君たちの血を飲め。雄羊、小羊、雄やぎ、雄牛などすべてバシャンの肥えた獣を食え。

19 וַאֲכַלְתֶּ֥ם חֵ֛לֶב לְשָׂבְעָ֖ה וּשְׁתִיתֶ֣ם דָּ֑ם לִשְׁכָּרָ֔ון מִזִּבְחִ֖י אֲשֶׁר־
そして-食べよ 脂肪を 飽きる-まで そして-飲め 血を 酔う-まで わが-いけにえから その者
H0398 H2459 H7654 H8354 H1818 H7943 H2077 H0834

זָבַ֥חְתִּי לָכֶֽם׃
わたしが-屠った あなたがたの-ために
H2076 H3605

わたしがおまえたちのために供えた犠牲は、飽きるまでその脂肪を食べ、酔うまで血を飲め。

20 וְשָׂבַעְתֶּ֥ם עַל־ שֻׁלְחָנִ֖י מִלְחָמָ֣ה אִ֔ישׁ וְכָל־ גִּבּ֥וֹר וְרֶ֖כֶב סוּס֙
そして-飽きる の-上で わが-食卓で 戦いの 戦士とを そして-すべての 勇士と 戦車と 馬と
H7646 H5921 H7979 H4421 H0376 H3605 H1368 H7393 H5483

נְאֻם֙ אֲדֹנָ֣י יְהוִ֔ה׃
告げる 主なる 神は
H5002 H0136 H3069

おまえたちはわが食卓について馬と、騎手と、勇士と、もろもろの戦士とを飽きるほど食べると、主なる神は言われる。

21 וְנָתַתִּי כְּבוֹדִי בַּגּוֹיִם וְרָאוּ כָל־הַגּוֹיִם אֶת־
そして-わたしは-置く わが-栄光を 諸国の-中に そして-見る すべての 諸国は —
H5414 H3519 H1471 H7200 H3605 H1471 H0853

מִשְׁפָּטִי אֲשֶׁר עָשִׂיתִי וְאֶת־יָדִי אֲשֶׁר שַׂמְתִּי בָהֶם׃
わが-裁きを その者 わたしが-行った そして わが-手を その者 わたしが-置いた 彼らの-上に
H4941 H834 H6213 H853 H3027 H834 H7760 H1471

わたしはわが栄光を諸国民に示す。すべての国民はわたしが行ったさばきと、わたしが彼らの上に加えた手とを見る。

22 וְיָדְעוּ בֵית יִשְׂרָאֵל כִּי אֲנִי יְהוָה אֱלֹהֵיהֶם מִן־
そして-知る 家は イスラエルの まことに わたしが 主 彼らの-神で-ある-ことを から
H3045 H1004 H3478 H3588 H589 H3068 H430 H1471 H4480

הַיּוֹם הַהוּא וָהָלְאָה׃
その-日 その 後
H3117 H1931 H1973

この日から後、イスラエルの家はわたしが彼らの神、主であることを悟るようになる。

23 וְיָדְעוּ הַגּוֹיִם כִּי בַעֲוֹנָם גָּלוּ בֵּית־יִשְׂרָאֵל עַל
そして-知る 諸国は まことに その-咲の-ゆえに 捕囚と-なった 家は イスラエルの の-ゆえに
H3045 H1471 H3588 H5771 H1540 H1004 H3478 H5921

אֲשֶׁר מָעֲלוּ־בִי וָאַסְתִּר פָּנַי מֵהֶם וָאֶתְּנֵם בְּיַד צָרֵיהֶם וַיִּפְּלוּ כֻלָּם׃
その者 背いた わたしに そして-わたしは-隠した わが-顔を 彼らから そして-わたしは-渡した 彼ら-すべて 倒れた そして- 敵の 彼らの- 手に 剣によって 彼ら-すべて
H834 H4603 H1471 H5641 H6440 H1992 H5414 H3605 H5307 H6862 H2719 H3605

また諸国民はイスラエルの家が、その悪によって捕え移されたことを悟る。彼らがわたしにそむいたので、わたしはわが顔を彼らに隠し、彼らをその敵の手に渡した。それで彼らは皆つるぎに倒れた。

24 כְּטֻמְאָתָם וּכְפִשְׁעֵיהֶם עָשִׂיתִי אֹתָם וָאַסְתִּר
その-汚れに-応じて そして-その-背きに-応じて わたしは-行った 彼らに そして-わたしは-隠した
H2932 H6588 H6213 H853 H5641

פָּנַי מֵהֶם׃ ס
わが-顔を 彼らから —
H6440 H1992

わたしは彼らの汚れと、とがとに従って、彼らを扱い、わたしの顔を彼らに隠した。

25 לָכֵן כֹּה אָמַר אֲדֹנָי יְהוִה עַתָּה אָשִׁיב אֶת־[שבית](שְׁבוּת)
それゆえ このように 言う 主なる 神は 今 わたしは-回復させる — 捕囚の 境遇を
H3651 H3541 H0559 H0136 H3069 H6258 H7725 H853 H7622 H7622

וְרִחַמְתִּי כָּל־בֵּית יִשְׂרָאֵל וְקִנֵּאתִי לְשֵׁם קָדְשִׁי׃
そして-わたしは-あわれむ すべての 家を イスラエルの そして-わたしは-熱心に-なる 名の-ために わが-聖なる
H7355 H3605 H1004 H3478 H7065 H8034 H6944

ヤコブの
H3290

それゆえ、主なる神はこう言われる、いまわたしはヤコブの幸福をもとに返し、イスラエルの全家をあわれみ、わが聖なる名のために、ねたみを起す。

26

מָעֲלוֹ־	אֲשֶׁר	מַעֲלָם	כָּל־	וְאֶת־	כְּלִמָּתָם	אֶת־	וְנָשׂוֹ	
背いた	その者	彼らの–背きを	すべての	そして	彼らの–恥を	—	そして–彼らは–負う	
H4603		H4604	H3605	H0853	H3639	H0853	H5375	

:מַחֲרִיד	וְאֵין	לָבֶטַח	אַדְמָתָם	עַל־	בְּשָׁבְתָּם	בָּי	
おびやかす–者が	そして–ない	安全に	彼らの–地に	の–上に	住む–とき	わたしに	
H2729	H0369	H0983	H0127		H3427		

彼らは、その国に安らかに住み、だれもこれを恐れさせる者がないようになった時、自分の恥と、わたしに向かってなした反逆とを忘れる。

27

מֵאַרְצוֹת	אֹתָם	וְקִבַּצְתִּי	הָעַמִּים	מִן־	אוֹתָם	בְּשׁוֹבְבִי	
から	彼らを	そして–集める	諸国の–民の	から	彼らを	わたしが–帰らせる–とき	
H0776	H0853	H6908			H0853	H7725	

:רַבִּים	הַגּוֹיִם	לְעֵינֵי	בָּם	וְנִקְדַּשְׁתִּי	אֹיְבֵיהֶם	
多くの	諸国の	目の–前で	彼らを–通して	そして–わたしは–聖とされる	彼らの–敵の–地	
				H6942	H0341	

わたしが彼らを諸国民の中から帰らせ、その敵の国から呼び集め、彼らによって、わたしの聖なることを、多くの国民の前に示す時、

28

בְּהַגְלוֹתִי	אֱלֹהֵיהֶם	יְהוָה	אֲנִי	כִּי	וְיָדְעוּ		
わたしが–流した–とき	彼らの–神で–ある–ことを	主	わたしが	まことに	そして–彼らは–知る		
H1540	H0430	H3068	H0589		H3045		

אוֹתִיר	וְלֹא־	אַדְמָתָם	עַל־	וְכִנַּסְתִּים	הַגּוֹיִם	אֶל־	אֹתָם	
わたしは–残さない	そして–ない	彼らの–地に	の–上に	そして–集める	諸国の–中に	に	彼らを	
H3498	H3808	H0127		H3664		H0413	H0853	

:שָׁם	מֵהֶם	עוֹד
そこに	彼らを	もはや
H8033	H1992	H5750

彼らは、わたしが彼らの神、主であることを悟る。これはわたしが彼らを諸国民のうちに移し、またこれをその国に呼び集めたからである。わたしはそのひとりをも、国々のうちに残すことをしない。

29

אֶת־	שָׁפַכְתִּי	אֲשֶׁר	מֵהֶם	פָּנַי	עוֹד	אַסְתִּיר	וְלֹא־	
—	わたしが–注いだ	その者	彼らから	わが–顔を	もはや	わたしは–隠さない	そして–ない	
H0853	H8210		H1992	H6440	H5750	H5641	H3808	

פ	:יְהוָה	אֲדֹנָי	נְאֻם	יִשְׂרָאֵל	בֵּית	עַל־	רוּחִי
—	神は	主なる	告げる	イスラエルの	家の	の–上に	わが–霊を
	H3069	H0136	H5002	H3478			H7307

わたしは、わが霊をイスラエルの家に注ぐ時、重ねてわが顔を彼らに隠さないと、主なる神は言われる」。

Chapter 40

1 בְּעֶשְׂרִים שָׁנָה וְחָמֵשׁ לָגָלוּתֵנוּ בְּרֹאשׁ הַשָּׁנָה בֶּעָשׂוֹר לַחֹדֶשׁ בְּאַרְבַּע עֶשְׂרֵה
二十 年の そして-五 年の われらの-捕囚の 初めに 年の 十日に 月の 十 四
H6242 H8141 H2568 H8141 H1546 H7218 H6218 H2320 H0702 H6240

שָׁנָה אַחַר אֲשֶׁר הֻכְּתָה הָעִיר בְּעֶצֶם הַיּוֹם הַזֶּה הָיְתָה עָלַי יַד־
年 後 その者 打たれた 町が まさに その-日に この あった わたしの-上に 手が
H8141 H0310 H0834 H5221 H5782 H6106 H3117 H2088 H1961 H5921 H3027

יְהוָה וַיָּבֵא אֹתִי שָׁמָּה׃
主の そして-連れて来た わたしを そこに
H3068 H0935 H0853 H8033

われわれが捕え移されてから二十五年、都が打ち破られて後十四年、その年の初めの月の十日、その日に主の手がわたしに臨み、わたしをかの所に携えて行った。

2 בְּמַרְאוֹת אֱלֹהִים הֱבִיאַנִי אֶל־אֶרֶץ יִשְׂרָאֵל וַיַּנִּיחֵנִי אֶל־הַר
幻の-中で 神の 連れて来た に 地に イスラエルの そして-置いた に-対して 山に
H4759 H0430 H0935 H0413 H0776 H3478 H5117 H0413 H2022

גָּבֹהַּ מְאֹד עָלָיו וְכִמִבְנֵה־עִיר מִנֶּגֶב׃
非常に 高い そして-その-上に 建物の-ような 町が 南から
H3966 H1364 H5921 H4011 H5892

すなわち神は幻のうちに、わたしをイスラエルの地に携えて行って、非常に高い山の上におろされた。その山の上に、わたしと相対して、一つの町のような建物があった。

3 וַיָּבֵא אוֹתִי שָׁמָּה וְהִנֵּה־אִישׁ מַרְאֵהוּ כְּמַרְאֵה נְחֹשֶׁת
そして-連れて来た わたしを そこに 人が その-姿は 姿の-ような 青銅の
H0935 H0853 H8033 H0376 H4758 H4758 H5178

וּפִתִּיל־פִּשְׁתִּים בְּיָדוֹ וּקְנֵה הַמִּדָּה בְּיָדוֹ וְהוּא עֹמֵד בַּשָּׁעַר׃
そして-糸の 亜麻の その-手に そして-答の 測りの 彼は そして-立っていた 門に
H6616 H6593 H3027 H7070 H4060 H1931 H5975 H8179

神がわたしをそこに携えて行かれると、見よ、ひとりの人がいた。その姿は青銅の形のようで、手に麻のなわと、測りざおとを持って門に立っていた。

4 וַיְדַבֵּר אֵלַי הָאִישׁ בֶּן־אָדָם רְאֵה בְעֵינֶיךָ וּבְאָזְנֶיךָ
そして-話した わたしに その-人は 人の 子よ 見よ あなたの-目で そして-耳で
H1696 H0413 H0376 H0120 H7200 H5869 H0241

שְׁמַע וְשִׂים לִבְּךָ לְכֹל אֲשֶׁר־אֲנִי מַרְאֶה אוֹתְךָ כִּי לְמַעַן
聞け そして-置け あなたの-心を すべてに その者 わたしが 見せる あなたに なぜなら ために
H8085 H7760 H3824 H3605 H0834 H0589 H4758 H0853 H3588 H4616

הֹבָאתָה הֲנָּה הַגֶּד אֶת־כָּל־אֲשֶׁר אַתָּה רֹאֶה
ここに 告げよ ―― すべてを その者 あなたが 見る
H2008 H5046 H0853 H3605 H0834 H0859 H7200

לְבֵית יִשְׂרָאֵל׃
家に イスラエルの
H3478

その人はわたしに言った、「人の子よ、目で見、耳で聞き、わたしがあなたに示す、すべての事を心にとめよ。あなたをここに携えて来たのは、これをあなたに示すためである。あなたの見ることを、ことごとくイスラエルの家に告げよ」。

5 וְהִנֵּה חוֹמָה מִחוּץ לַבַּיִת סָבִיב וְסָבִיב וּבְיַד הָאִישׁ קְנֵה הַמִּדָּה שֵׁשׁ־
そして-見よ 壁が 外に 家の 回りに 回りに そして-手に その-人の 竿が 測りの 六
H2009 H2346 H2351 H0413 H5439 H5439 H3027 H0376 H7070 H4058 H8337

אַמּוֹת בָּאַמָּה וָטֹפַח וַיָּמָד אֶת־ רֹחַב הַבִּנְיָן קְנֵה אֶחָד
キュビトの キュビトで そして-幅 そして-測った ―を 幅は 建物の ―-竿 ―
H0259 H7070 H1146 H7341 H0853 H4058 H2948

וְקוֹמָה קְנֵה אֶחָד׃
そして-高さは ―-竿 ―
H6967 H7070 H0259

見よ、宮の外の周囲に、かきがあり、その人の手に六キュビトの測りざおがあった。そのキュビトは、おのおの一キュビトと一手幅とである。彼が、そのかきの厚さを測ると、一さおあり、高さも一さおあった。

6 וַיָּבוֹא אֶל־ שַׁעַר אֲשֶׁר פָּנָיו דֶּרֶךְ הַקָּדִימָה וַיַּעַל [במעלותו]
そして-来た に 門に その者 その-面は 方向の 東の そして-上った その-階段を
H0935 H0413 H8179 H0376 H6440 H1870 H6921 H5927

וַיָּמָד אֶת־ סַף הַשַּׁעַר קְנֵה אֶחָד וְאֵת רֹחַב אֶחָד סַף אֶחָד׃ (בְּמַעֲלוֹתָיו)
そして-測った ―を 敷居を 門の ―-竿 ― 幅 そして ―を 敷居を ―の ―
H4058 H0853 H0413 H8179 H7070 H0259 H7341 H0853 H0259

קְנֵה אֶחָד רֹחַב׃
―-竿 ― 幅
H7070 H0259 H7341

彼が東向きの門に行き、その階段を上って、門の敷居を測ると、その厚さは一さおあり、

7 וְהַתָּא אֶחָד קָנֶה וְקָנֶה אֶחָד רֹחַב וּבֵין הַתָּאִים חָמֵשׁ
そして-小部屋は ―-竿 ― 長さ そして-―-竿 ― 幅 そして-間は 小部屋の 五
H8372 H7070 H0259 H0753 H7070 H0259 H7341 H0996 H8372 H2568

וְסַף הַשַּׁעַר מִבַּיִת אוּלָם מֵאֵצֶל הַשַּׁעַר אֶחָד קָנֶה אֶחָד׃
そして-敷居は 門の 家の-側から 玄関の 偃らの 門の ― ―-竿 ―
H7341 H0259 H7070 H0259 H0681 H8179 H0197 H8179 H7070 H0259

אַמּוֹת

その詰め所は長さ一さお、幅一さお、詰め所と、詰め所との間は五キュビトあり、内の門の廊のかたわらの門の敷居は一さおあった。

8 וַיָּמָד אֶת־ אוּלָם הַשַּׁעַר אֶחָד קָנֶה מִבַּיִת׃
そして-測った ―を 玄関を 門の ― ―-竿 家の-側から
H4058 H0853 H0197 H8179 H0259 H7070

門の廊を測ると八キュビトあり、

9 וַיָּמָד אֶת־ אוּלָם הַשַּׁעַר שְׁמֹנֶה וְאֵילָיו (וְאילו) אַמּוֹת
そして-測った ―を 玄関を 門の 八 そして-その-柱は キュビト
H4058 H0853 H0197 H8179 H8083 H0

וְאוּלָם הַשַּׁעַר מִבַּיִת׃
そして-玄関は 門の 家の-側から
H0197 H8179

キュビト

その脇柱は二キュビト、門の廊は内側にあった。

10 וְתָאֵי הַשַּׁעַר דֶּרֶךְ הַקָּדִים שְׁלֹשָׁה מִפֹּה וּשְׁלֹשָׁה מִפֹּה אַחַת
そして-小部屋は 門の 方向の 東の 三 こちらに そして-三 あちらに 一つ
H8372 H8179 H1870 H6921 H7969 H6311 H7969 H6311 H0259

מִדָּה אַחַת לְאֵילָם מִפֹּה וּמִפֹּוֹ׃
寸法は 一つ 柱の-ための こちらに そして-あちらに
H0259 H6311 H6311

וּמִדָּה לִשְׁלֹשָׁתָם
そして-寸法は 三つの-ための
H7969

東向きの門の詰め所は、こなたに三つ、かなたに三つあり、三つとも同じ寸法である。脇柱もまた、こなたかなたともに同じ寸法である。

11 וַיָּמָד אֶת־רֹחַב פֶּתַח־הַשָּׁעַר עֶשֶׂר אַמּוֹת אֹרֶךְ הַשָּׁעַר שְׁלֹושׁ עֶשְׂרֵה אַמּוֹת׃
そして-測った -を 幅を 入口の 門の 十 キュビト 長さは 門の 十 キュビト 三 キュビト
H4058 H0853 H7341 H6607 H8179 H6235 H0259 H0753 H8179 H7969 H0259 H6240

門の入口の広さを測ると十キュビトあり、門の長さは十三キュビトあった。

12 וְגֹבֶל לִפְנֵי הַתָּאוֹת אַמָּה אֶחָת וְאַמָּה־אַחַת גֹּבֶל מִפֹּה וְהַתָּא שֵׁשׁ־אַמּוֹת אַמַּת מִפֹּו׃ וְשֵׁשׁ אַמּוֹת מִזֶּה׃
そして-仕切りは 前の 小部屋の 一 キュビト そして-一 キュビト 仕切りは こちらに そして-小部屋は 六 キュビト こちらに キュビト そして-六 キュビト あちらに
H1366 H6440 H8372 H0259 H0259 H1366 H6311 H8372 H0853 H8337 H6311 H0259 H8337 H6311

詰め所の前の境は一キュビト、かなたの境も一キュビトで、詰め所は、こなたかなたともに六キュビトあった。

13 וַיָּמָד אֶת־הַשַּׁעַר מִגַּג הַתָּא לְגַג וְרֹחַב עֶשְׂרִים וְחָמֵשׁ׃
そして-測った -を 門を 屋根から 小部屋の その-屋根まで 幅は 二十 そして-五
H4058 H0853 H8179 H1406 H8372 H1406 H7341 H6242 H2568

פֶּתַח אַמּוֹת פֶּתַח נֶגֶד׃
入口は キュビト 入口の 向かいの
H6607 H0853 H6607 H5048

彼がまたこの詰め所の裏から、かの詰め所の裏まで、門を測ると、入口から入口まで二十五キュビトあった。

14 וַיַּעַשׂ אֶת־אֵילִים שִׁשִּׁים אַמָּה וְאֶל־אֵיל הֶחָצֵר הַשַּׁעַר וְסָבִיב׃
そして-作った -を 柱を 六十 キュビト そして-に 柱の 庭の 門の 回りに
H6213 H0853 H0352 H8346 H0413 H0352 H2691 H8179 H5439

סָבִיב׃
回りに
H5439

彼がまた廊を測ると二十キュビトあり、門の廊の周囲は、すべて庭である。

15 וְעַל פְּנֵי הַשַּׁעַר הַיאתון[ ]הָאִיתוֹן עַל־ לִפְנֵי אֻלָם הַשַּׁעַר הַפְּנִימִי׃
そして-の-上に 面の 門の 入口の 一 の-上に 前の 玄関の 門の 内側の
H6213 H6440 H8179 H2978 H2978 H5921 H6440 H0197 H8179 H6442

חֲמִשִּׁים אַמָּה׃
五十 キュビト
H2572

入口の門の前から内の門の廊の前まで五十キュビトあり、

16 וְחַלֹּנוֹת אֲטֻמוֹת לְאֵלֵּי־הָאֲיִם וְאֶל־הַתָּאִים לְפְנִימָה אֵילֵיהֶמָּה וְאֶל־לַשַּׁעַר וְסָבִיב
そして-窓が 狭い に-対して 小部屋に その-柱に そして-に-対して 門の 回りに
H2474 H0331 H0413 H8372 H6441 H0413 H8179 H5439

וְסָבִיב וְחַלֹּנוֹת וְאֵלֵּי לְפְנִימָה וְסָבִיב וְסָבִיב לְאֻלַּמּוֹת וְכֵן סָבִיב׃ תְּמֹרִים׃
回りに そして-窓が 柱に 内側に 回りに 回りに 玄関に そして-同様に 回りに 棕櫚の-模様
H5439 H2474 H0413 H6441 H5439 H5439 H0361 H8561

詰め所と、門の内側の周囲の脇柱とに窓があり、廊の内側の周囲にも、同様に窓があり、脇柱には、しゅろがあった。

17 וַיְבִיאֵנִי אֶל־הֶחָצֵר הַחִיצוֹנָה וְהִנֵּה לְשָׁכוֹת וְרִצְפָּה עָשׂוּי לֶחָצֵר
そして-連れて来た に 庭に 外の 見よ 部屋と 舗装が 作られた 庭に
H0935 H0413 H2435 H2009 H3957 H7970 H6213 H3827

סָבִיב וְסָבִיב שְׁלֹשִׁים לְשָׁכוֹת אֶל־הָרִצְפָּה׃
回りに 回りに 三十の 部屋が に-対して 舗装に
H5439 H5439 H7970 H3957 H0413 H7531

彼がまたわたしを外庭に携え入れると、見よ、庭の周囲に設けた室と、敷石とがあり、敷石の上に三十の室があった。

18 וְהָרִצְפָּה לְיֶרֶךְ הַשְּׁעָרִים אֶרֶךְ לְעֻמַּת הַשְּׁעָרִים כֶּתֶף אֶל־וְהָרִצְפָּה הַתַּחְתּוֹנָה׃
そして-舗装は 門の 長さの 対応して 門の 側に に-対して 下の
H7531 H8179 H0753 H5980 H8179 H3802 H0413 H8481

敷石は門のわきにあり、門と同じ長さで、これは下の敷石である。

19 וַיָּמָד רֹחַב מִלִּפְנֵי הַתַּחְתּוֹנָה לִפְנֵי הֶחָצֵר הַפְּנִימִי מֵחוּץ מֵאָה מֵאָה אַמָּה
そして-測った 幅を 前から 下の 門の 前まで 庭の 内の 外で 百 キュビト
H4058 H7341 H6440 H8481 H8179 H6440 H2351 H3967

וְהַצָּפוֹן׃ הַקָּדִים
北 東と
H6828 H6921

彼が下の門の内の前から、内庭の外の前までの距離を測ると、百キュビトあった。

20 וְהַשַּׁעַר אֲשֶׁר פָּנָיו דֶּרֶךְ הַצָּפוֹן לֶחָצֵר הַחִיצוֹנָה מָדַד אָרְכּוֹ
そして-門は その者 面は 方向の 北の 庭の 外の 測った その-長さを
H8179 H0834 H6440 H1870 H6828 H2435 H4058 H0753

וְרָחְבּוֹ׃
そして-その-幅を
H7341

また彼はわたしに先だって北へ行った。見よ、そこに外庭に属する北向きの門があった。彼はその長さと幅とを測った。

21 |ואילו| מִפֹּו וּשְׁלֹשָׁה מִפֹּו שְׁלֹשָׁה)וְתָאָיו(|ותאו|
そして-その-柱は あちらに そして-三 こちらに 三 ― そして-その-小部屋は
H6311 H7969 H6311 H7969 H8372 H8372

)וְאֵילָיו(|ואלמו|)וְאֻלָמָיו(הָיָה כְּמִדַּת הַשָּׁעַר הָרִאשׁוֹן חֲמִשִּׁים
― そして-その-玄関は ― であった 寸法の-ように 門の 最初の 五十
H0361 H0361 H1961 H4060 H8179 H7223 H2572

אַמָּה אָרְכּוֹ וְרֹחַב חָמֵשׁ וְעֶשְׂרִים בָּאַמָּה׃
キュビト その-長さは そして-幅は 五 そして-二十 キュビト
H0753 H7341 H2568 H6242

その詰め所が、こなたに三つ、かなたに三つあり、また脇柱と廊とがあった。これらは初めの門と同じ寸法で、長さは五十キュビト、幅は二十五キュビトである。

22 |וחלונו|)וְחַלּוֹנָיו(|ואלמו|)וְאֻלָמָיו(|ותמרו|)וְתָמֳרָיו(
そして-その-窓は ― そして-その-玄関は ― そして-その-棕櫚は ―
H2474 H2474 H0361 H0361 H8561 H8561

בּוֹ יַעֲלוּ־ שִׁבְעַ וּבְמַעֲלֹתָו הַקָּדִים דֶּרֶךְ פָּנָיו אֲשֶׁר הַשַּׁעַר כְּמִדַּת
それに 上った 七 そして-階段で 東の 方向の その-面は その者 門の 寸法の-ように
H5927 H7651 H6921 H1870 H6440 H8179

לִפְנִימָה׃)וְאֻלָמָיו(|ואילמו|
その-前に ― そして-その-玄関は
H6440 H0361 H0361

その窓と、廊と、しゅろとは、東向きの門にあるものと同じ寸法である。そして七段の階段を経て、それに上ると、廊は内側にあった。

23 מִשַּׁעַר וַיָּמָד וְלַקָּדִים לַצָּפוֹן הַשַּׁעַר נֶגֶד הַפְּנִימִי לֶחָצֵר וְשַׁעַר
門から そして-測った そして-東の 北の 門の 向かいの 内の 庭の そして-門が
H8179 H4058 H6921 H6828 H8179 H5048 H6442 H8179

אַמָּה׃ מֵאָה שַׁעַר אֶל־
キュビト 百 門まで に
H3967 H8179 H0413

内庭の門は北と東の門に向かっていた。彼が門から門までを測ると、百キュビトあった。

24 |אילו| וּמָדַד הַדָּרוֹם דֶּרֶךְ שָׁעַר וְהִנֵּה־ הַדָּרוֹם דֶּרֶךְ וַיּוֹלֶכְנִי
その-柱を そして-測った 南の 方向の 門が そして-見よ 南の 方向の そして-導いた
H4058 H1864 H1870 H8179 H2009 H1864 H1870 H3212

)אֵילָיו(|ואילמו|)וְאֵילָמָיו(כַּמִּדּוֹת הָאֵלֶּה׃
― そして-その-玄関を ― 寸法の-ように これらの
H0361 H0361 H0428

彼がまたわたしを南へ行かせると、見よ、南向きの門があった。その脇柱と廊を測ると、他と同じ寸法であった。

25 וְחַלּוֹנִים לוֹ |ולאילמו|)וּלְאֵילָמָיו(סָבִיב וְסָבִיב כְּהַחַלֹּנוֹת הָאֵלֶּה
そして-窓が それに そして-その-玄関に ― 回りに 回りに 窓の-ように これらの
H2474 H0361 H0361 H5439 H5439 H2474 H0428

אַמָּה׃ וְעֶשְׂרִים חָמֵשׁ וְרֹחַב אֹרֶךְ אַמָּה חֲמִשִּׁים
キュビト そして-二十 五 そして-幅は 長さ キュビト 五十
H6242 H2568 H7341 H0753 H0753 H2572

これと、その廊の周囲とに、他の窓のような窓があって、その長さは五十キュビト、幅は二十五キュビトあった。

26 וּמַעֲלֹות שִׁבְעָה עֹלוֹתָיו (עלותן) וְאֵלַמָּיו (ואלמן) לִפְנֵיהֶם
そして-階段は 七 その-上り口の ― そして-その-玄関は その-前に
H7651 H6440 H0361 H0361

וְתִמֹרִים אֶחָד לוֹ מִפֹּה וְאֶחָד מִפֹּה אֶל־ אִילוֹ (אילן) אֵילָיו׃ (אילו)
そして-棕櫚が それに 一つ こちらに そして-一つ あちらに に-対して その-柱に ―
H8561 H0259 H6311 H0259 H6311 H0413 H0413

これを上るのに七段の階段があり、その廊は内側にあった。その脇柱の上には、こなたに一つ、かなたに一つのしゅろがあった。

27 וְשַׁעַר לֶחָצֵר הַפְּנִימִי דֶּרֶךְ הַדָּרוֹם וַיָּמָד שַׁעַר מִשַּׁעַר אֶל־ הַשַּׁעַר דֶּרֶךְ
そして-門が 庭の 内の 方向の 南の そして-測った 門から に 門まで 方向の
H8179 H6442 H1870 H1864 H4058 H8179 H0413 H8179 H1870

הַדָּרוֹם מֵאָה אַמֹּות׃
南の 百 キュビト
H1864 H3967

内庭には南向きの門があり、門から門まで南の方へ測ると、百キュビトあった。

28 וַיְבִיאֵנִי אֶל־ חָצֵר הַפְּנִימִי בְּשַׁעַר הַדָּרוֹם וַיָּמָד אֶת־ הַשַּׁעַר הַדָּרוֹם
そして-連れて来た に 庭に 内の 門で 南の そして-測った ― 門を 南の
H0935 H0413 H2691 H6442 H8179 H1864 H4058 H0853 H8179 H1864

כַּמִּדּוֹת הָאֵלֶּה׃
寸法の-ように これらの
H0428

彼がわたしを南の門から内庭にはいらせ、南の門を測ると、さきのものと、同じ寸法であった。

29 וְתָאָיו (ותאן) וְאֵילָיו (ואילן) וְאֵלַמָּיו (ואלמן)
そして-その-小部屋は そして-その-柱は ― そして-その-玄関は
H8372 H0361 H0361

וְלִאֵלַמָּיו (ולאלמן) וְחַלֹּונֹות לוֹ וְסָבִיב וְסָבִיב
そして-その-玄関に それに そして-窓が 回りに 回りに
H0361 H2474 H5439 H5439

כַּמִּדּוֹת הָאֵלֶּה אַמַּת אָרְךְ וְרֹחַב עֶשְׂרִים וְחָמֵשׁ אַמֹּות׃
寸法の-ように これらの キュビト 長さ そして-幅は 二十 そして-五 キュビト
H0428 H0753 H7341 H6242 H2568

その詰め所と、脇柱と、廊とは、他のものと同じ寸法で、その門と、廊の周囲とには窓があり、門の長さは五十キュビト、幅は二十五キュビトであった。

30 וְאֵלַמֹּות וְסָבִיב וְסָבִיב אָרְךְ חָמֵשׁ וְעֶשְׂרִים אַמָּה וְרֹחַב חָמֵשׁ
そして-玄関は 回りに 回りに 長さは 五 そして-二十 キュビト そして-幅は 五
H0361 H5439 H5439 H0753 H2568 H6242 H0753 H2568

אַמֹּות׃
キュビト

周囲に廊があって、その長さは二十五キュビト、幅は五キュビトである。

31 וְאֵלַמָּו֙ אֶל־חָצֵ֣ר הַחִצֹונָ֔ה וְתִמֹרִ֖ים אֶל־אֵילֹ֣ון)אֵילָ֑יו(וּמַעֲלֹ֥ות שְׁמֹונָ֖ה)מַעֲלָ֥יו׃(

そして–その–玄関は に–対して 庭に 外の そして–椰棗が に–対して その–柱に ― そして–階段は 八 その–上り口の ―
H0361 H0413 H2435 H8561 H0413 H0408 H8083 H4608 H4608

その廊は外庭に面して、脇柱の上にしゅろがあり、その階段は八段であった。

32 וַיְבִיאֵ֙נִי֙ אֶל־הֶחָצֵ֣ר הַפְּנִימִ֔י דֶּ֖רֶךְ הַקָּדִ֑ים וַיָּ֙מָד֙ אֶת־הַשַּׁ֔עַר כַּמִּדֹּ֖ות הָאֵֽלֶּה׃

そして–連れて来た に 庭に 内の 方向の 東の そして–測った ― 門を これらの 寸法の–ように
H0935 H0413 H0408 H6442 H1870 H6921 H4058 H0853 H8179 H0428

彼はまたわたしを内庭の東の方に携えて行って、門を測った。それは他と同じ寸法であった。

33 וְתָאָ֙יו֙)וְאֵילָ֔יו(וְאֵלַמָּ֖ו)וְאֵלָמָ֑יו(וְחַלֹונֹ֥ות לֹ֛ו וְלְאֵלַמָּ֖ו)וּלְאֵלָמָ֑יו(סָבִ֣יב וְסָבִ֔יב

そして–その–小部屋は ― そして–その–柱は そして–その–玄関は ― それに そして–窓が そして–その–玄関に 回りに 回りに
H8372 H0361 H0361 H0361 H0361 H2474 H0361 H5439 H5439

וְעֶשְׂרִ֖ים אַמָּ֑ה וְרֹ֙חַב֙ חֲמִשִּׁ֔ים אַמָּ֖ה אָרֶ֥ךְ׃

そして–二十 キュビト そして–幅は 五 キュビト 長さは 五十
H6242 H7341 H2568 H0753 H2572

その詰め所と、脇柱と、廊とは、他と同じ寸法で、その門と、その廊の周囲とに窓があり、門の長さは五十キュビト、幅は二十五キュビトである。

34 וְאֵלַמָּ֙יו֙)אֵילָ֔יו(וְתִמֹרִ֖ים אֶל־אֵילֹ֣ון)אֵילָ֑יו(וּמַעֲלֹ֥ות שְׁמֹונָ֖ה)מַעֲלָ֥יו׃(

そして–その–玄関は ― 庭に 外の そして–椰棗が に–対して その–柱に ― 階段の 八 その–上り口の ―
H0361 H0361 H2435 H8561 H0413 H0408 H4608 H8083 H4608

וּמִפֹּ֖ו וּמִפֹּ֑ו

そして–あちらに こちらに
H6311 H6311

その廊は外庭に面し、その脇柱の上には、こなたかなたに、しゅろがあり、その階段は八段であった。

35 וַיְבִיאֵ֙נִי֙ אֶל־שַׁ֣עַר הַצָּפֹ֔ון וַיָּ֙מָד֙ כַּמִּדֹּ֖ות הָאֵֽלֶּה׃

そして–連れて来た に 門に 北の そして–測った 寸法の–ように これらの
H0935 H0413 H8179 H6828 H4058 H0428

彼がまたわたしを北の門に携えて行って、これを測ると、それは他と同じ寸法であった。

36 לֹ֛ו וְחַלֹונֹ֥ות וְלְאֵלַמָּ֖יו)וְאֵלָמָ֑יו(וְאֵלַמָּ֙ו֙)אֵילָ֔יו(אֵילֹ֣ון)תָּאָ֙יו֙(תָּאֹ֔ו

それに そして–窓が ― そして–その–玄関は ― その–柱は ― その–小部屋は
H0408 H2474 H0361 H0361 H0361 H0408 H8372 H8372

וְעֶשְׂרִ֖ים אַמָּ֑ה וְרֹ֙חַב֙ חֲמִשִּׁ֔ים אַמָּ֖ה אָרֶ֥ךְ וְסָבִ֣יב וְסָבִֽיב׃

そして–二十 キュビト そして–幅は 五 キュビト 長さは 回りに 回りに
H6242 H7341 H2568 H0753 H2572 H0753 H5439 H5439

その詰め所と、脇柱と、廊とは、他と同じ寸法で、その周囲に窓があり、門の長さは五十キュビト、幅は二十五キュビトである。

37 וְאֵילָיו(אילו| אֶל־ וְתִמֹרִים הַחִיצוֹנָה לֶחָצֵר)וְאֵילָיו(|ואילו
— その-柱に に-対して そして-棕櫚が 外の 庭に — そして-その-柱は
H0413 H8561 H2435 H6311

מְפֹה וּמִפֹּה וּשְׁמֹנֶה מַעֲלוֹת):מַעֲלָיו(|מעלו
こちらに そして-あちらに 八 階段の ー その-上り口の
H6311 H6311 H8083 H4608 H4608

その廊は外庭に面し、その脇柱の上には、こなたかなたに、しゅろがあり、その階段は八段であった。

38 וְלִשְׁכָּה וּפִתְחָהּ בְּאֵילֵים הַשְּׁעָרִים שָׁם יָדֵיחוּ אֶת־ הָעֹלָה׃
そして-部屋が そして-その-入口が 柱の-ところに 門の そこで 洗う ー 燔祈を
H3957 H6607 H0853 H1740 H8033 H8179

門の廊に戸のある室があって、そこは燔祭の物を洗う所である。

39 וּבְאֻלָם לְשִׁחוֹט מִפֹּה שֻׁלְחָנוֹת וּשְׁנַיִם מִפֹּו שֻׁלְחָנוֹת שְׁנַיִם הַשַּׁעַר
そして-玄関に 屠る-ために あちらに 台が そして-二つの こちらに 台が 二つの 門の
H0197 H8147 H7979 H6311 H8147 H7979 H6311

וְהָאָשָׁם׃ וְהַחַטָּאת הָעוֹלָה אֲלֵיהֶם
そして-負罪の-供え物を そして-罪の-供え物と 燔祈と それらの-上で
H0817 H0413

門の廊に、こなたに二つの台、かなたに二つの台があり、その上で、燔祭、罪祭、愆祭の物をほふるのであった。

40 וְאֶל־ הַכְּתֵף לְאֻלָם הַשַּׁעַר שְׁנַיִם שֻׁלְחָנוֹת וְאֶל־ הַכְּתֵף הַצְּפוֹנָה הַשַּׁעַר לְפֶתַח לָעוֹלֶה מְחוּצָה
そして-に-対して 側に 玄関に 門の 二つの 台が そして-に-対して 側に 北の 門の 入口の 上る-者の-ために 外の
H0413 H3802 H0197 H8179 H8147 H7979 H3802 H6828 H8179 H6607 H5927 H2351

שְׁנַיִם שֻׁלְחָנוֹת׃ הַשַּׁעַר וְאֶל־ הַכְּתֵף הָאַחֶרֶת אֲשֶׁר לְאֻלָם שְׁנַיִם
二つの 台が 門の そして-に-対して 側の もう-一つの その者 玄関の 二つの 台が
H8147 H7979 H8179 H0413 H3802 H0312 H0197 H8147 H7979

門の廊の入口にある廊の外の片側に、二つの台があり、門の廊の他の側にも、二つの台があり、

41 שֻׁלְחָנוֹת שְׁמֹנֶה הַשָּׁעַר לְכֶתֶף מִפֹּה שֻׁלְחָנוֹת וְאַרְבָּעָה מִפֹּה שֻׁלְחָנוֹת אַרְבָּעָה
台で 八つの 門の 側の あちらに 台が そして-四つの こちらに 台が 四つの
H7979 H8083 H8179 H3802 H6311 H7979 H0702 H6311 H7979 H0702

יִשְׁחֲטוּ׃ אֲלֵיהֶם
屠る それらの-上で
H0413

門のかたわら、内側に四つの台、外側に四つの台があって、合わせて八つの台である。その上で、犠牲の物をほふるのである。

42 וְחֲצִי אַחַת אַמָּה אֹרֶךְ֮ גָּזִית אַבְנֵי לָעוֹלָה שֻׁלְחָנוֹת וְאַרְבָּעָה֒
そして-半 キュビト 一 長さは 切り石の 石の 燔祈の-ための 台は そして-四つの
H2677 H0259 H0753 H1496 H0068 H7979 H0702

אַלְיהֶם אֶחָת אַמָּה וְגֹבַהּ וְחֲצִי אַחַת אַמָּה וְרֹחַב
それらの-上に キュビト 一 そして-高さは そして-半 キュビト 一 そして-幅は
H0413 H0259 H1363 H2677 H0259 H7341

וְהַזָּבַח׃ בָּם הָעוֹלָה אֶת־ יִשְׁחֲטוּ אֲשֶׁר הַכֵּלִים אֶת־ וְיָנִיחוּ
そして-いけにえを それらで 燔祈と ー 屠る その者で 器具を ー そして-置く
H2077 H0853 H3627 H0853 H3240

そこにまた燔祭のために四つの切り石の台があり、その長さは一キュビト半、幅は一キュビト半、高さは一キュビト、その上に燔祭および犠牲をほふる器を置くのである。

וְאֶל־	סָבִיב	וְסָבִיב	בַּבַּיִת	מוּכָנִים	אֶחָד	טֶפַח	וְהַשְּׂפָתַיִם	43
そして-に-対して	回りに	回りに	家の-中に	取り付けられた	一	一-幅の	そして-鉦は	
H0413	H5439	H5439			H0259	H2948		

הַקָּרְבָּן׃	בְּשַׂר	הַשֻּׁלְחָנוֹת
供え物の	肉が	台に
	H1320	H7979

内の周囲に、一手幅の折り釘が打ちつけてあって、供え物の肉は、台の上に置かれるのである。

כֹּתֶף	אֶל־	אֲשֶׁר	הַפְּנִימִי	בֶּחָצֵר	שָׁרִים	לִשְׁכוֹת	הַפְּנִימִי	לַשַּׁעַר	וּמִחוּצָה	44
側の	に-対して	その者	内の	庭に	歌う-者の	部屋が	内の	門の	そして-外から	
H3802	H0413		H6442		H7891	H3957	H6442	H8179	H2351	

פְּנֵי	הַקָּדִים	שַׁעַר	כֹּתֶף	אֶל־	אֶחָד	הַדָּרוֹם	דֶּרֶךְ	וּפְנֵיהֶם	הַצָּפוֹן	שַׁעַר
面は	東の	門の	側の	に-対して	一つは	南の	方向の	そして-その-面は	北の	門の
H6440	H6921	H8179	H3802	H0413	H0259	H1864	H1870	H6440	H6828	H8179

הַצָּפוֹן׃	דֶּרֶךְ
北の	方向の
H6828	H1870

彼はまたわたしを、外から内庭に連れてはいった。見よ、内庭に二つの室があり、一つは北の門のかたわらにあって南に向かい、一つは南の門のかたわらにあって、北に向かっていた。

לַכֹּהֲנִים	הַדָּרוֹם	דֶּרֶךְ	פָּנֶיהָ	אֲשֶׁר	הַלִּשְׁכָּה	זֶה	אֵלָי	וַיְדַבֵּר	45
祈司たちの-ための	南の	方向の	その-面は	その者	部屋は	この	わたしに	そして-話した	
H3548	H1864	H1870	H6440		H3957	H2090	H0413	H1696	

הַבָּיִת׃	מִשְׁמֶרֶת	שֹׁמְרֵי
家の	務めを	守る-者たち
	H4931	H8104

彼はわたしに言った、この南向きの室は、宮を守る祭司のためのもの、

מִשְׁמֶרֶת	שֹׁמְרֵי	לַכֹּהֲנִים	הַצָּפוֹן	דֶּרֶךְ	פָּנֶיהָ	אֲשֶׁר	וְהַלִּשְׁכָּה	46
務めを	守る-者たち	祈司たちの-ための	北の	方向の	その-面は	その者	そして-部屋は	
H4931	H8104	H3548	H6828	H1870	H6440		H3957	

יְהוָה	אֶל־	לֵוִי	מִבְּנֵי־	הַקְּרֵבִים	צָדוֹק	בְּנֵי־	הֵמָּה	הַמִּזְבֵּחַ
主に	に	レビの	子らの-中から	近づく-者たち	ツァドクの	子らで	彼らは	祭壇の
H3068	H0413	H3878		H7131	H6659		H1992	H4196

לְשָׁרְתוֹ׃	
仕える-ために	
H8334	

また北向きの室は、祭壇を守る祭司のためのものである。その人たちは、レビの子孫のうちのザドクの子孫であって、主に近く仕える者たちである。

מְרֻבָּעַת	אַמָּה	מֵאָה	וְרֹחַב	אַמָּה	מֵאָה	אֹרֶךְ	הֶחָצֵר	אֶת־	וַיָּמָד	47
正方形	キュビト	百	そして-幅は	キュビト	百	長さは	庭を	一	そして-測った	
H7251		H3967	H7341		H3967	H0753		H0853	H4058	

הַבָּיִת׃	לִפְנֵי	וְהַמִּזְבֵּחַ
家の	前に	そして-祭壇は
	H6440	H4196

そして彼が庭を測ると、その長さは百キュビト、幅も百キュビトで四角である。宮の前には祭壇があった。

וַיְבִאֵנִי אֶל־הָאֻלָם וַיָּמָד אֶת־אַיִל הָאֻלָם חָמֵשׁ אַמּוֹת רֹחַב מִזֶּה וְרֹחַב שָׁלֹשׁ אַמּוֹת מִזֶּה וְרֹחַב הַשָּׁעַר שָׁלֹשׁ אַמּוֹת מִזֶּה וְרֹחַב מִזֶּה׃ 48

そして-連れて来た H0935 / に H0413 / 玄関に H0197 / 家の H0197 / そして-測った H4058 / 柱を H0194 / 玄関の H0197 / 五 H2568 / キュビト H0520 / 幅 H7341 / キュビトの H0520 / 六 H8337 / 壁柱を H0194 / を H0853 / そして-測った H4058 / 本殿を H1964 / に H0413 / そして-連れて来た H0935 / 天幕の H0168 / 幅は H7341 / あちら側 H6311 / 幅 H7341 / キュビトの H0520 / そして-六 H8337 / こちら側 H6311 / こちら側 H6311 / キュビト H0520 / 五 H2568 / 入口の H6607 / そして-側壁は H3802 / キュビト H0520 / 十 H6235 / 入口の H6607 / そして-幅は H7341 / 二十 H6242 / そして-幅は H7341 / キュビト H0520 / 四十 H0705 / その-長さを H0753 / そして-測った H4058 / あちら側 H6311 / キュビト H0520 / そして-五 H2568 / キュビト H0520 / あちらに H6311 / キュビト H0520 / 三 H7969 / 門の H8179 / そして-幅は H7341 / あちらに H6311 / キュビト H0520 / そして-五 H2568 / こちらに H6311 / こちらに H6311 / キュビト H0520 / そして-三 H7969

彼がわたしを宮の廊に連れて行って、廊の脇柱を測ると、こなたも五キュビト、かなたも五キュビトであり、門の幅は十四キュビトである。門の壁は、こなたも三キュビト、かなたも三キュビトである。

וְאֹרֶךְ הָאֻלָם עֶשְׂרִים אַמָּה וְרֹחַב אַמָּה עֶשְׂרִים לְפָנֶה אֲשֶׁר יַעֲלוּ אֵלָיו וַיַּעֲמִדוּ אֵל־הָאֵילִים אֶחָד מִזֶּה וְאֶחָד מִזֶּה׃ 49

長さは H0753 / 玄関の H0197 / 二十 H6242 / キュビト H0520 / そして-幅は H7341 / 十 H6249 / 一 H6240 / キュビト H0520 / その者 H0834 / そして-階段で H4609 / 柱に H0352 / 一つ H0259 / こちらに H6311 / そして-一つ H0259 / あちらに H6311 / に-対して H0413 / それに H0413 / そして-柱が H5982 / 上った H5927

廊の長さは二十キュビト、幅は十二キュビトであり、十の階段によって上るのである。脇柱に沿って、こなたに一つ、かなたに一つの柱があった。

Chapter 41

וַיְבִיאֵנִי אֶל־הַהֵיכָל וַיָּמָד אֶת־אֵילֵי שֵׁשׁ־אַמּוֹת רֹחַב מִזֶּה וְרֹחַב שֵׁשׁ־אַמּוֹת רֹחַב הָאֹהֶל׃ 1

に-連れて来た H0935 / に H0413 / 本殿を H1964 / そして-測った H4058 / を H0853 / 壁柱を H0194 / 六 H8337 / キュビトの H0520 / 幅 H7341 / 天幕の H0168 / 幅は H7341 / あちら側 H6311 / 幅 H7341 / キュビトの H0520 / そして-六 H8337 / こちら側 H6311

彼がわたしを拝殿に連れて行って、脇柱を測ると、こなたの幅も六キュビト、かなたの幅も六キュビトあった。

וּפֶתַח הַפֶּתַח עֶשֶׂר אַמּוֹת וְכִתְפוֹת הַפֶּתַח חָמֵשׁ אַמּוֹת מִזֶּה וְחָמֵשׁ אַמּוֹת מִזֶּה וַיָּמָד אֶת־אָרְכּוֹ אַרְבָּעִים וְרֹחַב עֶשְׂרִים׃ 2

そして-幅は H7341 / 入口の H6607 / 十 H6235 / キュビト H0520 / そして-側壁は H3802 / 入口の H6607 / 五 H2568 / キュビト H0520 / こちら側 H6311 / そして-五 H2568 / キュビト H0520 / あちら側 H6311 / そして-測った H4058 / その-長さを H0753 / 四十 H0705 / そして-幅は H7341 / 二十 H6242

その戸の幅は十キュビト、戸のわきの壁は、こなたも五キュビト、かなたも五キュビトあった。彼はまた拝殿の長さを測ると四十キュビト、その幅は二十キュビトあった。

3 וּבָא וַיָּמָד לְפְנִימָה אֵיל־ הַפֶּתַח שְׁתַּיִם אַמּוֹת וְהַפֶּתַח שֵׁשׁ
そして-入った そして-測った 内側に 壁柱を 入口の 二 キュビト そして-入口は 六
H0935 H4058 H6441 H0935 H6607 H8147 H0582 H6607 H8337

אַמּוֹת׃ שֵׁבַע הַפֶּתַח וְרֹחַב אַמּוֹת
キュビト 七 入口の そして-幅は キュビト
H0582 H7651 H6607 H7341 H0582

彼がまた内にはいって、戸の脇柱を測ると、それは二キュビトあり、戸の幅は六キュビト、戸のわきの壁は七キュビトあった。

4 וַיָּמָד אֶת־ אָרְכּוֹ עֶשְׂרִים אַמָּה וְרֹחַב עֶשְׂרִים אַמָּה אֶל־
そして-測った を その-長さを 二十 キュビト そして-幅は 二十 キュビト に
H4058 H0853 H0753 H6242 H0582 H7341 H6242 H0582 H0413

הַקֳּדָשִׁים׃ קֹדֶשׁ זֶה אֵלַי וַיֹּאמֶר הַהֵיכָל פְּנֵי
至聖所である 聖なる これは わたしに そして-言った 本殿の 前の
H6944 H6944 H2088 H0413 H0559 H1964 H6440

彼はまた拝殿の奥の室の長さを測ると二十キュビト、幅も二十キュビトあった。そして彼はわたしに、これは至聖所であると言った。

5 וַיָּמָד קִיר־ הַבַּיִת שֵׁשׁ אַמּוֹת רֹחַב וְצֵלָע הַצֵּלָע אַרְבַּע אַמּוֹת וְסָבִיב
そして-測った 壁を 宮の 六 キュビト そして-幅は 脇部屋の 四 キュビト 周囲に
H4058 H7023 H1004 H8337 H0582 H7341 H6763 H0702 H0582 H5439

סָבִיב׃ לַבַּיִת סָבִיב
周囲に 宮の 周囲に
H5439 H1004 H5439

彼が宮の壁を測ると、その厚さは六キュビトあり、宮の周囲の脇間の広さは、四方おのおの四キュビトあり、

6 וְהַצְּלָעוֹת צֵלָע אֶל־ צֵלָע שָׁלוֹשׁ וּשְׁלֹשִׁים פְּעָמִים וּבָאוֹת בַּקִּיר
そして-脇部屋は 脇部屋の-上に 脇部屋 に 三 そして-三十 回 そして-入って 壁に
H6763 H6763 H6763 H0413 H6763 H7969 H7970 H6471 H0935 H7023

לַצְּלָעוֹת סָבִיב וְסָבִיב לְהֵיוֹת אֲחוּזִים וְלֹא־ אֲשֶׁר־ לַבַּיִת
脇部屋のために 周囲に 周囲に 支えと-なるように 保持されて しかし-ない それは 宮の
H6763 H5439 H5439 H1961 H0270 H3808 H0834 H1004

בַּקִּיר הַבָּיִת׃ אֲחוּזִים יִהְיוּ
壁の-中に 宮の 保持されて 保持されて
H7023 H1004 H0270 H1961

脇間は、室の上に室があって三階になり、各階に三十の室がある。宮の周囲の壁には、脇間をささえる突起があった。これは脇間が、宮の壁そのものによってささえられないためである。

7 וְרָחְבָה וְנָסְבָה לְמַעְלָה לְמַעְלָה לַצְּלָעוֹת כִּי מְוּסַב־
そして-広くなり そして-回っていた 上へ 上へと 脇部屋のために なぜなら 取り巻きの
H7337 H5437 H4605 H4605 H6763 H3588 H4141

לְמַעְלָה לַבָּיִת רְחַב־ כֵּן עַל־ לַבַּיִת סָבִיב וְסָבִיב לְמַעְלָה לְמַעְלָה הַבַּיִת
上方で 宮の 幅は そのように の-上に 宮の 周囲に 周囲に 上へと 上へ 宮は
H4605 H1004 H7341 H3651 H5921 H1004 H5439 H5439 H4605 H4605 H1004

לַתִּיכוֹנָה׃ הָעֶלְיוֹנָה עַל־ יַעֲלֶה הַתַּחְתּוֹנָה וְכֵן
中の-階を-通って 上の-階へ の-上に 上がって 下の-階から そして-そのように
H8484 H5945 H5921 H5927 H8481 H3651

脇間は、宮の周囲の各階にある突起につれて、階を重ねて上にいくにしたがって広くなり、宮の外部の階段が上に通じ、一階から三階へは、二階をとおって上るのである。

8 וְרָאָיתִי לַבַּיִת גֹּבַהּ סָבִיב וְסָבִיב [מיסדות] (מוסדות) הַצְּלָעוֹת מְלֹא
そして-わたしは見た 高さが 周囲に 周囲に [ケティブ] 土台は 脇部屋の 満たして
H7200 H1363 H5439 H5439 H3245 H4143 H6763 H4393

הַקָּנֶה שֵׁשׁ אַמּוֹת אֲצִילָה׃
測り竿の 六 キュビト 接合部まで
H7070 H8337 H0679

わたしはまた宮の周囲に高い所のあるのを見た。脇間の基を測ると、六キュビトの一さおあった。

9 רֹחַב הַקִּיר אֲשֶׁר־ לַצֶּלַע אֶל־ הַחוּץ חָמֵשׁ אַמּוֹת וַאֲשֶׁר מְנֻחַ
幅は 壁の それは 脇部屋の に 外の 五 キュビト そして-残された 空き地は
H7341 H7023 H0834 H6763 H0413 H2351 H2568 H0430 H3240

בֵּית צְלָעוֹת אֲשֶׁר לַבָּיִת׃
部屋は 脇部屋の それは 宮の
H6763

脇間の外の壁の厚さは五キュビト、あき地になっている高い所は五キュビトあった。宮の高い所と、

10 וּבֵין הַלִּשְׁכוֹת רֹחַב עֶשְׂרִים אַמָּה סָבִיב סָבִיב לַבָּיִת׃
そして-間には 部屋との 幅は 二十 キュビト 周囲に 周囲に 宮の
H0996 H3957 H7341 H6242 H0430 H5439 H5439

庭の室の間には、宮の周囲に、広さ二十キュビトの所があった。

11 וּפֶתַח לַצֶּלַע הַמְּנֻחָה פֶּתַח אֶחָד דֶּרֶךְ הַצָּפוֹן רֹחַב וּפֶתַח אֶחָד לַדָּרוֹם
そして-入口は 脇部屋の 空き地に 入口が 一つ 道は 北の 幅は そして-入口が 一つ 南に
H6607 H6763 H3240 H6607 H0259 H1870 H6828 H7341 H6607 H0259 H1864

וְרֹחַב הַמְּנֻחָה מָקוֹם חָמֵשׁ אַמּוֹת סָבִיב וְסָבִיב׃
そして-幅は 場所の 五 キュビト 周囲に 周囲に
H7341 H4725 H2568 H0430 H5439 H5439

脇間の戸は、あき地になっている高い所に向かって開け、一つの戸は北に向かい、一つの戸は南に向かっていた。そのあき地になっている所の幅は、周囲五キュビトであった。

12 וְהַבִּנְיָן אֲשֶׁר פְּנֵי אֶל־ גַּזְרָה הַנִּפְרָדֶת אֶל־ דֶּרֶךְ הַיָּם רֹחַב שִׁבְעִים אַמָּה
そして-建物は それは 面した に 仕切り地の 側の 道の 西の 幅は 七十 キュビト
H1146 H0834 H6440 H0413 H1508 H6285 H1870 H3220 H7341 H7657 H0430

וְקִיר הַבִּנְיָן חָמֵשׁ אַמּוֹת רֹחַב סָבִיב וְסָבִיב וְאָרְכּוֹ תִּשְׁעִים׃
そして-壁は 建物の 五 キュビトの 幅 周囲に 周囲に そして-その-長さは 九十
H7023 H1146 H2568 H0430 H7341 H5439 H5439 H0753 H8673

אַמָּה׃
キュビト

西の方の宮の庭に面した建物は、幅七十キュビト、その建物の周囲の壁の厚さは五キュビト、長さは九十キュビトであった。

13 וּמָדַד אֶת־ הַבַּיִת אֹרֶךְ מֵאָה אַמָּה וְהַגִּזְרָה וְהַבִּנְיָה
そして-測った を 宮を 長さ 百 キュビト そして-仕切り地と そして-建物と
H4058 H0853 H1004 H0753 H3967 H0430 H1508 H1140

וְקִירוֹתֶיהָ אֹרֶךְ מֵאָה אַמָּה׃
そして-その-壁は 長さ 百 キュビト
H7023 H0753 H3967 H0430

彼が宮を測ると、その長さは百キュビトあり、その庭と建物と、その壁は長さ百キュビト、

14 וְרֹחַב פְּנֵי הַבַּיִת וְהַגִּזְרָה לַקְּדִים מֵאָה אַמָּה׃
そして-幅は 前面の 宮の そして-仕切り地の 東に 百 キュビト
H7341 H6440 H1508 H6921 H3967

また宮の東に面した所と庭との幅は百キュビトであった。

15 וּמָדַד אֹרֶךְ־הַבִּנְיָן אֶל־פְּנֵי הַגִּזְרָה אֲשֶׁר עַל־אֲחֹרֶיהָ
そして-測った 建物の に 面した それは の-上の その-後ろの
H4058 H1146 H0413 H6440 H1508

וְאֵת אֻלָמָיו׃ וְאֶת־הַהֵיכָל הַפְּנִימִי וְאֶת־מִסְּפֵי הֶחָצֵר
そして-玄関は 庭の
H0197

וְאֶת־מִסְּפֵי וּמִפֹּה וּמִזֶּה אַמָּה אַמָּה וְהַהֵיכָל וְאֶת־מִסְּפֵי
そして-その-回廊を こちら側 そして-あちら側 百 キュビト そして-本殿は 内側の
[ケティブ] H6311 H6311 H3967 H1964 H6442

彼が西の方の庭に面した建物と、その壁の長さを測ると、かなた、こなたともに百キュビトであった。宮の拝殿と、内部の室と、外の廊とには、羽目板があった。

16 הַסִּפִּים וְהַחַלֻּנִים וְהָאֲטֻמוֹת וְהָאֲתִיקִים סָבִיב לִשְׁלָשְׁתָּם נֶגֶד
敷居と そして-格子窓と 閉ざされた そして-回廊を 周囲に 三つの-ものに-対して 向かい合って
H2474 H0331 H5439 H7969 H5048

וְהַחַלֹּנוֹת וְהַחַלֹּנוֹת עַד־ וְהָאָרֶץ סָבִיב וְסָבִיב עֵץ שְׁחִיף הַסָּף
そして-窓は 窓まで まで そして-地面から 周囲に 周囲に 木で 板張りの 敷居に
H2474 H2474 H5704 H0776 H5439 H5439 H6086 H7824

מְכֻסּוֹת׃
覆われていた
H3680

これらの三つのものの周囲には、すべて引込み枠の窓があり、宮の敷居に面して、宮の周囲は、床から窓まで、羽目板であって、窓には、おおいがあった。

17 עַל־ מֵעַל הַפֶּתַח וְעַד־ הַבַּיִת הַפְּנִימִי וְלַחוּץ וְאֶל־ כָּל־ הַקִּיר
の-上に 上方の 入口の そして-まで 宮の 内側の そして-外側に そして-に すべての 壁に
H6607 H5704 H6442 H2351 H0413 H3605 H7023

וְסָבִיב׃ סָבִיב בַּפְּנִימִי וּבַחִיצוֹן מִדּוֹת׃
周囲に 周囲に 内側に そして-外側に 寸法で
H5439 H5439 H6442 H2435

戸の上の空所、内室、外室ともに、羽目板であった。内室および拝殿の周囲のすべての壁には、同じように彫刻してあった。

18 וְעָשׂוּי כְּרוּבִים וְתִמֹרִים וְתִמֹרָה בֵּין־ כְּרוּב לְכְרוּב׃
そして-作られていた ケルビムと そして-椰子の-木が そして-椰子の-木は 間に ケルブと ケルブとの
H3742 H8561 H8561 H0996 H3742

וּשְׁנֵים פָּנִים לַכְּרוּב׃
そして-二つの 顔が ケルブに
H8147 H6440 H3742

すなわちケルビムと、しゅろとが彫刻してあった。ケルブとケルブとの間に、しゅろがあり、おのおののケルブには、二つの顔があり、

19 וּפְנֵי֙ אָדָ֔ם אֶל־הַתְּמָרָ֖ה הַתְּמָרָ֑ה מִפֹּ֣ה וּפְנֵי־כְפִ֔יר אֶל־הַתְּמָרָ֖ה מִפֹּ֑ה בְּכָל־הַבַּ֖יִת סָבִֽיב׃

そして–人の 人の に 椰子の–木に そして–顔は 若い–獅子の に 椰子の–木に こちら側 そして–顔は 周囲に 周囲に 宮に すべての に 作られていた あちら側

H6440 H0120 H0413 H8561 H6311 H6440 H0413 H8561 H6311 H5439 H5439 H3605 H0413 H6213

こなたには、しゅろに向かって、人の顔があり、かなたには、しゅろに向かって、若じしの顔があり、宮の周囲は、すべてこのように彫刻してあった。

20 מֵהָאָ֣רֶץ עַד־מֵעַ֗ל הַפֶּ֙תַח֙ הַכְּרוּבִ֣ים וְהַתְּמָרִ֔ים עֲשׂוּיִ֖ם וְקִ֣יר הַהֵיכָֽל׃

地面から まで 上方の 入口の ケルビムと そして–椰子の–木が 作られていた そして–壁は 本殿の

H0776 H5704 H4605 H6607 H3742 H8561 H6213 H7023 H1964

床から戸の上まで、ケルビムと、しゅろとが、壁に彫刻してあった。

21 הֵיכָ֣ל מְזוּזַ֤ת רְבֻעָה֙ וּפְנֵ֣י הַקֹּ֔דֶשׁ הַמַּרְאֶ֖ה כַּמַּרְאֶֽה׃

本殿は 門柱は 四角い そして–前面は 聖所の 外観は その–外観の–ように

H1964 H4201 H7251 H6440 H6944 H4758 H4758

拝殿の柱は四角であった。聖所の前には、木の祭壇に似たものがあった。

22 הַמִּזְבֵּ֣חַ עֵ֔ץ שָׁל֥וֹשׁ אַמּ֖וֹת גָּבְהֹ֑ה וְאָרְכּ֣וֹ שְׁתֵּ֣ים אַמּ֔וֹת וּמִקְצֹעֹתָ֖יו לּ֑וֹ וְקִירֹתָ֥יו עֵ֖ץ וַיְדַבֵּ֣ר אֵלַ֔י זֶ֚ה הַשֻּׁלְחָ֔ן אֲשֶׁ֖ר לִפְנֵ֥י יְהוָֽה׃

祭壇は 木の 三 キュビト 高さ そして–その–長さは 二 キュビト そして–その–角は それに そして–その–壁は 木の そして–語った わたしに これは 食卓で それは の–前に 主の

H4196 H6086 H7969 H0520 H1364 H0753 H8147 H0520 H4740 H0520 H7023 H6086 H1696 H0413 H2088 H7979 H0834 H6440 H3068

その高さは三キュビト、長さは二キュビト、幅は二キュビトで、すみと、台と、壁とは、ともに木である。彼はわたしに言った、「これは主の前にある机である」

23 וּשְׁתַּ֥יִם דְּלָתוֹת֙ לַהֵיכָ֔ל וְלַקֹּֽדֶשׁ׃

そして–二つの 扉が 本殿に そして–聖所に

H8147 H1817 H1964 H6944

拝殿と聖所とには、二つの戸があり、

24 וּשְׁתַּ֥יִם דְּלָתוֹת֙ לַדְּלָתוֹת֔ שְׁתַּ֖יִם דְּלָתוֹת֑ מוּסַבּ֣וֹת שְׁתַּ֔יִם לְדֶ֥לֶת אֶחָ֖ת וּשְׁתֵּ֥י דְלָתוֹת֙ לָאַחֶֽרֶת׃

そして–二つの 扉が 扉のために 二つの 回る 扉 二つが 一つの 扉に そして–二つの 扉が もう–一方に

H8147 H1817 H1817 H8147 H4142 H1817 H8147 H1817 H0259 H8147 H1817 H0312

その戸には、二つのとびらがあった。すなわち二つの開き戸である。

25 וְעָשׂוּיָה עֲלֵיהֶן אֶל־הַדְּלָתוֹת הַהֵיכָל כְּרוּבִים וְתִמֹרִים
そして-作られていた それらの-上に に 扉に 本殿の ケルビムと そして-椰子の-木が
H6213 H5921 H0413 H1817 H1964 H3742 H8561

כַּאֲשֶׁר עֲשׂוּיִם לַקִּירוֹת וְעָב עֵץ אֶל־פְּנֵי הָאוּלָם מֵהַחוּץ׃
ちょうど-その 作られていた 壁に そして-厚い 木の に 前面に 玄関の 外から
H3651 H6213 H7023 H5646 H6086 H0413 H6440 H0197 H2351

拝殿の戸には、おのおのにケルビムと、しゅろとが、彫刻してあって、それは壁に彫刻したものと同じである。また外の廊に面して、木の天蓋があり、

26 וְחַלֹּנִים אֲטֻמוֹת וְתִמֹרִים מִפֹּה וּמִפֹּה אֶל־כִּתְפוֹת
そして-格子窓と 閉ざされた そして-椰子の-木が こちら側 そして-あちら側 に 側壁に
H0331 H8561 H6311 H6311 H0413 H3802

וְהָעָבִים׃ וְצַלְעוֹת הַבַּיִת הָאוּלָם
そして-梁 宮の そして-脇部屋と 玄関の
H5646 H6763 H0197

廊の壁には、こなたかなたに引込み窓と、しゅろとがあった。

Chapter 42

1 וַיּוֹצִאֵנִי אֶל־הֶחָצֵר הַחִיצוֹנָה הַדֶּרֶךְ דֶּרֶךְ הַצָּפוֹן וַיְבִאֵנִי אֶל־
そして-連れ出した に 庭に 外の 道を 道を 北の そして-連れて来た に
H3318 H0413 H2435 H1870 H1870 H6828 H0935 H0413

הַנֶּגֶד וַאֲשֶׁר הַגִּזְרָה הַנֶּגֶד אֲשֶׁר הַלִּשְׁכָּה הַצָּפוֹן׃ אֶל־הַבִּנְיָן
向かいの そして-それは 仕切り地の 向かいの それは 部屋に 北の に 建物の
H5048 H0834 H1508 H5048 H0834 H3957 H6828 H0413 H1146

彼はわたしを北の方の内庭に連れ出し、庭に向かった北の方の建物に対する室に導いた。

2 אַמּוֹת׃ חֲמִשִּׁים וְרָחַב הַצָּפוֹן פֶּתַח הַמֵּאָה אַמּוֹת אֹרֶךְ פְּנֵי־ אֶל־
キュビト 五十 そして-幅は 北の 入口は 百の キュビトの 長さ 前面に に
H0520 H2572 H7341 H6828 H6607 H3967 H0520 H0753 H6440 H0413

北側にある建物の長さは百キュビト、幅は五十キュビトである。

3 הַחִיצוֹנָה לֶחָצֵר אֲשֶׁר רִצְפָּה וְנֶגֶד הַפְּנִימִי לֶחָצֵר אֲשֶׁר עֶשְׂרִים נֶגֶד
外側の 庭の それは 舗装の そして-向かいの 内側の 庭の それは 二十の 向かいの
H2435 H5048 H6442 H0834 H6242 H5048

בַּשְּׁלִשִּׁים׃ אַתִּיק פְּנֵי־ אֶל־ אַתִּיק
三階の-中に 回廊に 向かいの に 回廊が
H7992 H6440 H0413 H0863

二十キュビトの内庭に続いて、外庭の敷石に面し、三階になった廊下があった。

4 אַמָּה דֶּרֶךְ הַפְּנִימִית אֶל־ רֹחַב אַמּוֹת עֶשֶׂר מַהֲלַךְ הַלִּשְׁכוֹת וְלִפְנֵי
キュビト 道は 内側の に 幅 キュビトの 十 通路が 部屋の そして-前には
H0520 H1870 H6442 H0413 H7341 H0520 H6235 H4109 H3957 H6440

אֶחָת׃ וּפִתְחֵיהֶם לַצָּפוֹן׃
一 そして-その-入口は 北に
H0259 H6607 H6828

また室の前に幅十キュビト、長さ百キュビトの通路があった。その戸は北に向かっていた。

5 וְהַלְּשָׁכוֹת הָעֶלְיוֹנֹת קְצָרוֹת כִּי־יוֹכְלוּ אַתִּיקִים מֵהֵנָּה מֵהַתַּחְתֹּנוֹת
そして–部屋は 上の–階の 狭かった なぜなら 取っていた 回廊が それらから 下の–階より
H3957 H8484 H0398 H2007 H8481

וּמֵהַתִּכֹנוֹת׃ בִּנְיָן
そして–中の–階より 建物の
H8484 H1146

その建物の上の室は、下の室と中の室よりも狭かった。それは廊下のために、場所を取ったためである。

6 כִּי מְשֻׁלָּשׁוֹת הֵנָּה וְאֵין לָהֶן עַמּוּדִים כְּעַמּוּדֵי הַחֲצֵרוֹת
なぜなら 三階建てで それらは そして–なかった それらには 柱が 庭の–柱の–ような 庭の
H8027 H2007 H0369 H0413 H5982 H5982

עַל־כֵּן נֶאֱצַל מִן־הַתַּחְתּוֹנוֹת מֵהַתִּכֹנוֹת וּמֵהָאָרֶץ׃
その–上に そのように 削り取られた 下の–階より 中の–階より 地面から
H5921 H3651 H0680 H8481 H8484 H0776

これらは三階であって、外庭の柱のような柱は持たなかった。それで上の室は、下および中の室よりも狭いのである。

7 וְגָדֵר אֲשֶׁר־לַחוּץ לְעֻמַּת הַלְּשָׁכוֹת הֶחָצֵר דֶּרֶךְ הַחִצוֹנָה אֶל־פְּנֵי
そして–塀は それは 外側の 向かい合って 部屋の 庭の 道の 外側の に 前の
H1447 H0834 H2351 H5980 H3957 H2691 H1870 H2435 H0413 H6440

אַמָּה׃ חֲמִשִּׁים אָרְכּוֹ הַלְּשָׁכוֹת
キュビト 五十 その–長さは 部屋の
H0520 H2572 H0753 H3957

室の外に沿ってかきがあり、それは他の室に向かって外庭に至る。その長さは五十キュビト、

8 כִּי־אֹרֶךְ הַלְּשָׁכוֹת אֲשֶׁר לֶחָצֵר הַחִצוֹנָה חֲמִשִּׁים אַמָּה וְהִנֵּה עַל־
なぜなら 長さは 部屋の それは 庭の 外側の 五十 キュビト 見よ の–上に
H3588 H0753 H3957 H0834 H2691 H2435 H2572 H0520 H2009 H5921

פְּנֵי הַהֵיכָל מֵאָה אַמָּה׃
前面の 本殿の 百 キュビト
H6440 H1964 H3967 H0520

外庭の室の長さも五十キュビトあった。宮に面する所は百キュビトであった。

9 וּמִתַּחַת ׀ לְשָׁכוֹת ׀ וּמִתָּחַת (הַלְּשָׁכוֹת) הָאֵלֶּה [הַמְבוֹא] (הַמָּבִיא) מִן־הַקָּדִים
そして–下に [ケティブ] そして–下に 部屋の これらの [ケティブ] 入口が 東から
H8478 H3957 H8478 H0428 H3996 H0935 H6921

בְּבֹאָם מִן־הֶחָצֵר הַחִצוֹנָה׃ לְהֵנָּה
入る–ときに 庭から 外側の そこへ
H0935 H2691 H2435 H2007

これらの室の下に外庭からこれにはいるように、東側に入口があった。

10 וּבְרֹחַב גֶּדֶר הֶחָצֵר דֶּרֶךְ הַקָּדִים אֶל־פְּנֵי הַגִּזְרָה עַל־פְּנֵי הַבִּנְיָן
幅の–中に 塀の 庭の 道は 東の に 前の 仕切り地の 前の 建物の
H7341 H1444 H2691 H1870 H6921 H0413 H6440 H1508 H6440 H1146

לְשָׁכוֹת׃
部屋が
H3957

外側のかきは、外庭に始まっている。南の方で、庭と建物との前に、室があった。

11 וְדֶרֶךְ לִפְנֵיהֶם כְּמַרְאֵה הַלְּשָׁכוֹת אֲשֶׁר דֶּרֶךְ הַצָּפוֹן כְּאָרְכָּן
そして–道は その–前に 外観の–ように 部屋の それは 道の 北の その–長さの–ように
H1870 H6440 H4758 H3957 H1870 H6828 H0753

כֵּן רָחְבָּן וְכָל מוֹצָאֵיהֶן וְכִמְשְׁפְּטֵיהֶן וּכְפִתְחֵיהֶן׃
そのように その–幅も そして–すべての 出口も そして–その–寸法も そして–その–入口も
H7341 H3605 H4161 H4941 H6607

北向きの室と同様に、その前に通路があり、その長さも幅も同様で、その出口もその配置もその戸も同様である。

12 וּכְפִתְחֵי הַלְּשָׁכוֹת אֲשֶׁר דֶּרֶךְ דֶּרֶךְ הַדָּרוֹם פֶּתַח בְּרֹאשׁ דֶּרֶךְ דֶּרֶךְ בִּפְנֵי
そして–入口の–ように 部屋の それは 道の 南の 入口が 初めの 道の 道は 前の
H6607 H3957 H1870 H1864 H6607 H7218 H1870 H1870 H6440

הַגְּדֵרָת הַנִּינָה דֶּרֶךְ הַקָּדִים בְּבוֹאָן׃
垣の 保護された 道の 東の 入る–ときに
H1448 H1903 H1870 H6921 H0935

南の室の下に、人々が通路にはいる東の入口があり、これに対して隔てのかきがあった。

13 וַיֹּאמֶר אֵלַי לִשְׁכוֹת הַצָּפוֹן לִשְׁכוֹת הַדָּרוֹם אֲשֶׁר אֶל פְּנֵי הַגְּזֵרָה
そして–言った わたしに 部屋は 北の 部屋は 南の それは に 前の 仕切り地の
H0559 H0413 H3957 H6828 H3957 H1864 H0413 H6440 H1508

הֵנָּה אֲשֶׁר יֹאכְלוּ שָׁם הַכֹּהֲנִים אֲשֶׁר קְרוֹבִים לַיהוָה
それらは 聖なる 部屋である 食べる そこで 祢司たちが それは 近い 主に
H2007 H6944 H3957 H0398 H8033 H3548 H0834 H7138 H3068

וְהַמִּנְחָה הַקֳּדָשִׁים קֹדֶשׁ וְנָתְנוּ שָׁם הַקֳּדָשִׁים קֹדֶשׁ
そして–穀物の–供え物と 至聖の–ものを 聖なる–ものの 置く そこに 至聖の–ものを 聖なる–ものの
H4503 H6944 H6944 H3240 H8033 H6944 H6944

כִּי הַמָּקוֹם קֹדֶשׁ׃ וְהָאָשָׁם וְהַחַטָּאת
なぜなら その–場所は 聖い そして–賀償の–いけにえを そして–罪の–いけにえと
H4725 H6918 H0817

時に彼はわたしに言った、「庭に面した北の室と、南の室とは、聖なる室であって、主に近く仕える祭司たちが、最も聖なるものを食べる場所である。その場所に彼らは、最も聖なるもの、すなわち素祭、罪祭、愆祭のものを置かなければならない。その場所は聖だからである。

14 בְּבֹאָם הַכֹּהֲנִים לֹא וְלֹא יֵצְאוּ מִן הַקֹּדֶשׁ אֶל הֶחָצֵר הַחִיצוֹנָה וְשָׁם
そして–そこに 外側の 庭に に 聖所から 出てくる そして–ない 祢司たちは 入る–ときに
H8033 H2435 H2691 H0413 H6944 H3318 H3808 H3548 H0935

(וְלָבְשׁוּ) [ילבשן] הֵנָּה קֹדֶשׁ כִּי בָהֶן יְשָׁרְתוּ אֲשֶׁר בִּגְדֵיהֶם וְנָיְחוּ
そして–着る [ケティブ] それらは 聖い なぜなら それらで 仕えた それで その–衣服を 置く
H3847 H3847 H2007 H6944 H8334 H0834 H3240

לָעָם׃ אֲשֶׁר אֶל וְקָרְבוּ אֲחֵרִים בְּגָדִים
民のための それは に そして–近づく 別の 衣服を
H0413 H7126 H0312

祭司たちが、聖所にはいった時は、そこから外庭に出てはならない。彼らは勤めを行う衣服を、その所に置かなければならない。これは聖だからである。彼らは民衆に属する場所に近づく前に、他の衣服を着けなければならない」。

15 וְכִלָּה מְדוֹת אֶת־הַבַּיִת הַפְּנִימִי וַיּוֹצִיאֵנִי דֶּרֶךְ הַשַּׁעַר אֲשֶׁר
そして–終えた 寸法を 宮の 内側の そして–連れ出した 道の 門を それは
H3615 H0853 H1870 H6442 H3318 H1870 H8179

פָּנָיו דֶּרֶךְ הַקָּדִים וַיְמָדְדוֹ סָבִיב׃ סָבִיב׃
その–面は 東の そして–測った 周囲に 周囲に
H6440 H6921 H4058 H5439 H5439

彼らは宮の庭の内部を測り終えると、東向きの門の道から、わたしを連れ出して、宮の周囲を測った。

16 מָדַד רוּחַ הַקָּדִים בְּקָנֶה הַמִּדָּה חֲמֵשׁ [אמות] (מֵאוֹת) קָנִים בְּקָנֶה
測った 方角を 東の 測りの 五 [ケティブ] 百 竿 測り–竿で
H4058 H7307 H6921 H4058 H2568 H3967 H7070 H7070

סָבִיב׃ הַמִּדָּה
周囲に 測りの
H5439

彼が測りざおで、東側を測ると、測りざおで五百キュビトあり、

17 מָדַד רוּחַ הַצָּפוֹן חֲמֵשׁ־מֵאוֹת קָנִים בְּקָנֶה הַמִּדָּה סָבִיב׃
測った 方角を 北の 五 百 竿 測り–竿で 測りの 周囲に
H4058 H7307 H6828 H2568 H3967 H7070 H7070 H4058 H5439

また転じて、北側を測ると、測りざおで五百キュビトあり、

18 אֶת רוּחַ הַדָּרוֹם מָדַד חֲמֵשׁ־מֵאוֹת קָנִים בְּקָנֶה הַמִּדָּה׃
を 方角を 南の 測った 五 百 竿 測り–竿で 測りの
H0853 H7307 H1864 H4058 H2568 H3967 H7070 H7070 H4058

また転じて、南側を測ると、測りざおで五百キュビトあり、

19 סָבַב אֶל־ רוּחַ הַיָּם מָדַד חֲמֵשׁ־מֵאוֹת קָנִים בְּקָנֶה הַמִּדָּה׃
回った に 方角の 西の 測った 五 百 竿 測り–竿で 測りの
H5437 H0413 H7307 H3220 H4058 H2568 H3967 H7070 H7070 H4058

また転じて、西側を測ると、測りざおで五百キュビトあった。

20 לְאַרְבַּע רוּחוֹת מְדָדוֹ חוֹמָה לוֹ סָבִיב וְסָבִיב אֹרֶךְ חֲמֵשׁ מֵאוֹת וְרֹחַב
四つの 方角に 測った 塀が それに 周囲に 周囲に 長さは 五 百 そして–幅は
H0702 H7307 H4058 H2346 H0753 H2568 H3967 H7341

לְהַבְדִּיל בֵּין הַקֹּדֶשׁ לְחֹל׃ חֲמֵשׁ מֵאוֹת
分ける–ために 間の 聖なる–ものと 俗なる–ものを 五 百
H0914 H0996 H6944 H2455 H2568 H3967

このように、四方を測ったが、その周囲に、長さ五百キュビト、幅五百キュビトのかきがあって、聖所と、俗の所との隔てをなしていた。

Chapter 43

1 וַיּוֹלִכֵנִי אֶל־ הַשַּׁעַר הַשַּׁעַר אֲשֶׁר פֹּנֶה דֶּרֶךְ הַקָּדִים׃
そして–導いた に 門に 門は それは 向いていた 道の 東の
H3212 H0413 H8179 H8179 H6437 H1870 H6921

その後、彼はわたしを門に導いた。門は東に面していた。

2

וְקוֹלוֹ	הַקָּדִים	מִדֶּרֶךְ	בָּא	יִשְׂרָאֵל	אֱלֹהֵי	כְּבוֹד	וְהִנֵּה
そして-その-声は	東の	道から	来た	イスラエルの	神の	栄光が	そして-見よ
	H6921	H1870	H0935	H3478	H0430	H3519	H2009

מִכְּבֹדוֹ׃	הָאֵירָה	וְהָאָרֶץ	רַבִּים	מַיִם	כְּקוֹל
その-栄光から	輝いた	そして-地は	多くの	水の	声の-ようであった
H3519	H0215	H0776		H4325	

その時、見よ、イスラエルの神の栄光が、東の方から来たが、その来る響きは、大水の響きのようで、地はその栄光で輝いた。

3

רָאִיתִי	אֲשֶׁר־	כַּמַּרְאֶה	רָאִיתִי	אֲשֶׁר	הַמַּרְאֶה	וּכְמַרְאֶה
わたしが-見た	それは	幻の-ように	わたしが-見た	それは	幻の	そして-外観の-ように
H7200		H4758	H7200		H4758	H4758

אֲשֶׁר	כַּמַּרְאֶה	וּמַרְאוֹת	הָעִיר	אֶת־	לְשַׁחֵת	בְּבֹאִי
それは	幻の-ようであった	そして-幻は	町を	を	滅ぼす-ために	わたしが-来た-ときに
	H4758	H4758		H0853	H7843	H0935

פָּנָי׃	אֶל־	וָאֶפֹּל	כְּבָר	נְהַר־	אֶל־	רָאִיתִי
顔の	の-上に	そして-ひれ伏した	ケバルの	川の	に	わたしが-見た
H6440	H0413	H5307	H3529	H5104	H0413	H7200

わたしが見た幻の様は、彼がこの町を滅ぼしに来た時に、わたしが見た幻と同様で、これはまたわたしがケバル川のほとりで見た幻のようであった。それでわたしは顔を伏せた。

4

הַקָּדִים׃	דֶּרֶךְ	פָּנָיו	אֲשֶׁר	שַׁעַר	דֶּרֶךְ	הַבַּיִת	אֶל־	בָּא	יְהוָה	וּכְבוֹד
東の	道の	その-面は	それは	門から	道の	宮に	に	入った	主の	そして-栄光は
H6921	H1870	H6440		H8179	H1870		H0413	H0935	H3068	H3519

主の栄光が、東の方に面した門の道から宮にはいった時、

5

מָלְאָה	וְהִנֵּה	הַפְּנִימִי	הֶחָצֵר	אֶל־	וַתְּבִיאֵנִי	רוּחַ	וַתִּשָּׂאֵנִי
満ちていた	そして-見よ	内側の	庭に	に	そして-連れて来た	霊が	そして-持ち上げた
H4390	H2009	H6442		H0413	H0935	H7307	H5375

הַבָּיִת׃	יְהוָה	כְּבוֹד־
宮を	主の	栄光が
	H3068	H3519

霊がわたしを引き上げて、内庭に導き入れると、見よ、主の栄光が宮に満ちた。

6

אֵצְלִי׃	עֹמֵד	הָיָה	וְאִישׁ	מֵהַבַּיִת	אֵלַי	מְדַבֵּר	וָאֶשְׁמַע
わたしの-傍に	立って	いた	そして-人が	宮から	わたしに	語る-者が	そして-聞いた
H0681	H5975	H1961	H0376		H0413	H1696	H8085

その人がわたしのかたわらに立った時、わたしはひとりの人が、宮の中からわたしに語るのを聞いた。

7

מְקוֹם	וְאֶת־	כִּסְאִי	מְקוֹם	אֶת־	אָדָם	בֶּן־	אֵלַי	וַיֹּאמֶר
場所を	そして-を	わたしの-玉座の	場所を	を	人の-子よ	人の-子よ	わたしに	そして-言った
H4725	H0853	H3678	H4725	H0853	H0120		H0413	H0559

לְעוֹלָם	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי־	בְּתוֹךְ	שָׁם	אֶשְׁכָּן־	אֲשֶׁר	רַגְלַי	כַּפּוֹת
永遠に	イスラエルの	子らの	の-中に	そこに	わたしが-住む	そこに	わたしの-足の	足の-裏の
H5769	H3478		H8432	H8033	H7931		H7272	H3709

הֵמָּה	קָדְשִׁי	שֵׁם	יִשְׂרָאֵל	בֵּית־	עוֹד	יְטַמְּאוּ	וְלֹא
彼らは	わたしの-聖なる	名を	イスラエルの	家は	再び	汚す	そして-ない
H1992	H6944	H8034	H3478		H5750		H3808

בְּמוֹתָם׃	מַלְכֵיהֶם	וּבְפִגְרֵי	בִּזְנוּתָם	וּמַלְכֵיהֶם
その-高き-所で	その-王たちの	そして-死体で	その-淫行で	そして-その-王たちも
H1116	H4428	H6297	H2184	H4428

彼はわたしに言った、「人の子よ、これはわたしの位のある所、わたしの足の裏の踏む所、わたしが永久にイスラエルの人々の中に住む所である。またイスラエルの家は、民もその王たちも、再び姦淫と、王たちの死体とをもって、わが聖なる名を汚さない。

8

בְּתִתָּם (置く-ことによって) H5414
סִפָּם (その-敷居を) H0854
אֶת־ (を) H0854
סִפִּי (わたしの-敷居の-傍に) H4201
וּמְזוּזָתָם (そして-その-門柱を) H4201
אֵצֶל (傍に) H0681

וְהַקִּיר (そして-壁が) H7023
בֵּינִי (わたしとの-間に) H0996
וּבֵינֵיהֶם (そして-彼らとの-間に) H0996
וְטִמְּאוּ (そして-汚した) H0853
אֶת־ (を) H0853
שֵׁם (名を) H8034
מְזוּזָתִי (わたしの-門柱の) H4201

קָדְשִׁי (わたしの-聖なる) H6944
בְּתוֹעֲבוֹתָם (その-忌まわしい-ことで) H8441
אֲשֶׁר (それは)
עָשׂוּ (行った)
וָאֵכַל (そして-滅ぼした) H0398
אֹתָם (彼らを) H0853
בְּאַפִּי׃ (わたしの-怒りで) H0639

彼らはその敷居を、わが敷居のかたわらに設け、その門柱を、わが門柱のかたわらに設けたので、わたしと彼らとの間には、わずかに壁があるのみである。そして彼らは、その犯した憎むべき事をもって、わが聖なる名を汚したので、わたしは怒りをもって、これを滅ぼした。

9

עַתָּה (今) H6258
יִרְחֲקוּ (遠ざけよ) H7368
אֶת־ (を) H0853
זְנוּתָם (その-淫行を) H2184
וּפִגְרֵי (そして-死体を) H6297
מַלְכֵיהֶם (その-王たちの) H4428
מִמֶּנִּי (わたしから)

וְשָׁכַנְתִּי (そして-わたしは-住む) H7931
בְּתוֹכָם (その-中に) H8432
לְעוֹלָם׃ (永遠に) H5769
ס (区切り)

今彼らに命じて姦淫と、その王たちの死体を、わたしから遠く取り除かせよ。そうしたら、わたしは永久に彼らの中に住む。

10

אַתָּה (あなたは)
בֶן־ (人の-子よ) H0120
אָדָם (人の-子よ) H0120
הַגֵּד (告げよ) H5046
אֶת־ (を) H0853
בֵּית־ (家に)
יִשְׂרָאֵל (イスラエルの) H3478
אֶת־ (を) H0853
הַבַּיִת (宮を)

וְיִכָּלְמוּ (そして-恥じるように) H3637
מֵעֲוֹנוֹתֵיהֶם (その-咲から) H5771
וּמָדְדוּ (そして-測るように) H4058
אֶת־ (を) H0853
תָּכְנִית׃ (その-設計を) H8508

人の子よ、宮と、その外形と、設計とをイスラエルの家に示せ。彼らはその悪を恥じるであろう。

11

וְאִם־ (そして-もし)
נִכְלְמוּ (恥じるなら) H3637
מִכֹּל (すべての) H3605
אֲשֶׁר־ (それは)
עָשׂוּ (行った)
צוּרַת (形を) H6699
הַבַּיִת (宮の)
וְתָכוּנָתוֹ (そして-その-構造を) H8498

וּמוֹצָאָיו (そして-その-出口を) H4161
וּמוֹבָאָיו (そして-その-入口を) H4126
וְכָל־ (そして-すべての) H3605
צוּרָתוֹ (その-形を) H6699
וְאֶת (そして-を) H0853
כָּל־ (すべての) H3605
חֻקֹּתָיו (その-描を) H2708

וְכָל־ (そして-すべての) H3605
צוּרֹתַי (その-形を) H6699 [ケティブ] צורתין
וְכָל־ (そして-すべての) H3605
תּוֹרֹתָיו (その-律法を) H8451 [ケティブ] תורתן
הוֹדַע (知らせよ) H3045
אוֹתָם (彼らに) H0853

וְכָתְבָ (そして-書け) H3789
לְעֵינֵיהֶם (その-目の-前に)
וְיִשְׁמְרוּ (そして-守るように) H8104
אֶת־ (を) H0853
כָּל־ (すべての) H3605
צוּרָתוֹ (その-形を) H6699
וְאֶת־ (そして-を) H0853
כָּל־ (すべての) H3605

חֻקֹּתָיו (その-描を) H2708
וְעָשׂוּ (そして-行うように)
אוֹתָם׃ (それらを) H0853

彼らがその犯したすべての事を恥じたら、彼らに、この宮の建て方、設備、出口、入口、すべての形式、すべてのおきて、すべての規定を示せ。これを彼らの目の前に書き、彼らにそのすべての規定と、おきてとを守り行わせよ。

סָבִיב	וְסָבִיב	גְּבֻלּוֹ	כָּל־	הָהָר	רֹאשׁ	עַל־	הַבַּיִת	תּוֹרַת	זֹאת
周囲に	周囲に	その–境界は	すべての	山の	頂の	の–上に	宮の	律法である	これは
H5439	H5439	H1366	H3605	H2022				H8451	H2063

הַבָּיִת׃	תּוֹרַת	זֹאת	הִנֵּה־	קֹדֶשׁ	קָדָשִׁים
宮の	律法	これである	見よ–これは	至聖の	聖なる
	H8451	H2063	H2009	H6944	H6944

宮の規定はこれである。山の頂の四方の地域はみな最も聖である。見よ、これは宮の規定である。

וְטֹפַח	אַמָּה	אַמָּה	בָּאַמּוֹת	הַמִּזְבֵּחַ	מִדּוֹת	וְאֵלֶּה	13
そして–一–手幅	キュビト	キュビトは	キュビトで	祭壇の	寸法である	そして–これらは	
H2948				H4196		H0428	

סָבִיב	שְׂפָתָהּ	אֶל־	וּגְבוּלָהּ	רֹחַב	וְאַמָּה־	הָאַמָּה	וְחֵיק
周囲に	その–唇の	に	そして–その–縁は	幅	そして–キュビトの	キュビトの	そして–溝は
H5439	H8193	H0413	H1366	H7341			H2436

הַמִּזְבֵּחַ׃	גֹּב	וְזֶה	הָאֶחָד	זֶרֶת
祭壇の	背である	そして–これは	一つ	—–ゼレトの
H4196	H1354	H2088	H0259	H2239

祭壇の寸法はキュビトですれば、次のようである。（そのキュビトは一キュビトと一手幅である。）土台は高さ一キュビト、幅一キュビト、その周囲の縁は半キュビトである。

אֶחָת	אַמָּה	וְרֹחַב	אַמּוֹת	שְׁתַּיִם	הַתַּחְתּוֹנָה	הָעֲזָרָה	עַד־	הָאָרֶץ	וּמֵחֵיק	14
一	キュビト	そして–幅は	キュビト	二	下の	台座の	まで	地面の	そして–溝から	
H0259		H7341		H8147	H8481	H5835	H5704	H0776	H2436	

הָאַמָּה׃	וְרֹחַב	אַמּוֹת	אַרְבַּע	הַגְּדוֹלָה	הָעֲזָרָה	עַד־	הַקְּטַנָּה	וּמֵהָעֲזָרָה
キュビト	そして–幅は	キュビト	四	大きい	台座の	まで	小さい	そして–台座から
	H7341		H0702		H5835	H5704		H5835

祭壇の高さは、次のとおりである。地面の土台から下のかさねまで二キュビト、幅は一キュビト、また小さいかさねから大きいかさねまで四キュビト、その幅は一キュビトである。

אַרְבָּע׃	הַקְּרָנוֹת	וּלְמַעְלָה	וּמֵהָאֲרִיאֵל	אַמּוֹת	אַרְבַּע	וְהָהַרְאֵל	15
四つ	角が	そして–上方に	そして–神の–祭壇から	キュビト	四	そして–炎の–祭壇は	
H0702		H4605	H0741		H0702	H2025	

祭壇の炉は四キュビトで、祭壇の炉から高さ一キュビトの角が四本出ていた。

אֶל	רָבּוּעַ	רֹחַב	עֶשְׂרֵה	בִּשְׁתַּיִם	אָרֶךְ	עֶשְׂרֵה	שְׁתַּיִם	)וְהָאֲרִיאֵל(	]והאריל[	16
に	正方形で	幅	十二の	に	長さ	十二の	十二	そして–神の–祭壇は	[ケティブ]	
H0413	H7251	H7341	H6240	H8147	H0753	H6240	H8147	H0741	H0741	

רִבְעָיו׃	אַרְבַּעַת
その–側面に	四つの
H7253	H0702

炉は長さ十二キュビト、幅十二キュビトの四角形である。

17 וְהָעֲזָרָה אַרְבָּע עֶשְׂרֵה אׇרֶךְ בְּאַרְבָּע עֶשְׂרֵה רׇחַב אֶל אַרְבַּעַת רִבְעֶיהָ
そして-台座は 四つの 十四の 長さ に 幅 十四の に 四つの その-側面に
H5835 H0702 H6240 H0753 H0702 H7341 H6240 H0702 H0413 H7253

וְהַגֵּבוּל סָבִיב אַמָּה חֲצִי אוֹתָהּ סָבִיב וְהַחֵיק אַמָּה לָהּ סָבִיב׃
そして-縁は 周囲に 半 それの 周囲に そして-溝は キュビトの それに キュビトの
H1366 H5439 H2677 H0853 H5439 H2436 H0amah H0lo H5439

וּמַעֲלֹתֶיהָ פְּנוֹת קָדִים׃
そして-その-階段は 向いていた 東に
H4609 H6437 H6921

そのかさねは四方とも長さ十四キュビト、幅十四キュビトの四角形、その周囲の縁は幅半キュビト、その台は四方一キュビト、その階段は東に面する」。

18 וַיֹּאמֶר אֵלַי בֶּן אָדָם כֹּה אָמַר אֲדֹנָי יְהוִה אֵלֶּה חֻקּוֹת הַמִּזְבֵּחַ בְּיוֹם הֵעָשׂוֹתוֹ לְהַעֲלוֹת עוֹלָה עָלָיו וְלִזְרֹק דָּם׃ עָלָיו
そして-言った 私に 人の-子よ 人の-子よ このように 言った 主なる 主は これらは 描である 祭壇の 日に それが-作られる ささげる-ために 燔祭を その-上に そして-振りかける-ために 血を その-上に
H0559 H0413 H0120 H0120 H3541 H0559 H0136 H3069 H0428 H2708 H4196 H3117 H6213 H5927 H5930 H2236 H1818 H5921

彼はわたしに言った、「人の子よ、主なる神はこう言われる、祭壇を建て、その上に燔祭をささげ、これに血を注ぐ日には、次のことを祭壇の定めとせよ。

19 וְנָתַתָּה אֶל הַכֹּהֲנִים הַלְוִיִּם אֲשֶׁר הֵם מִזֶּרַע צָדוֹק הַקְּרֹבִים אֵלַי נְאֻם אֲדֹנָי יְהוִה לְשָׁרְתֵנִי פַּר בֶּן בָּקָר לְחַטָּאת׃
そして-与えよ に 祢司たちに レビ人の それは 子孫の ツァドクの 近い 私に 宣言である 主なる 主の わたしに-仕える-ための 雄牛を 子の 牧蒭の 罪の-いけにえの-ために
H5414 H0413 H3548 H3881 H0834 H2233 H6659 H7138 H0413 H5002 H0136 H3069 H8334 H6499 H1121 H1241 H2403

すなわち主なる神は言われる、ザドクの子孫で、わたしに近く仕えるレビびとである祭司には、罪祭のために雄牛の子を与えよ。

20 וְלָקַחְתָּ מִדָּמוֹ וְנָתַתָּה עַל אַרְבַּע קַרְנוֹתָיו וְאֶל אַרְבַּע פִּנּוֹת הָעֲזָרָה וְאֶל הַגֵּבוּל סָבִיב וְחִטֵּאתָ אוֹתוֹ וְכִפַּרְתָּהוּ׃
そして-取れ その-血から そして-塗れ の-上に 四つの その-角に そして-に 四つの 角の 台座の そして-に 縁に 周囲の それを そして-清めよ そして-贖いを-なせ
H3947 H1818 H5414 H5921 H0702 H7161 H0413 H0702 H6438 H5835 H0413 H1366 H5439 H0853 H2398 H3722 H3722

またその血をとって、これを祭壇の四つの角と、かさねの四すみと、周囲の縁に塗って、祭壇を清め、これをあがなえ。

21 וְלָקַחְתָּ֞ אֶת־הַפָּ֣ר הַֽחַטָּ֗את וּשְׂרַפּוֹ֙ בְּמִפְקַ֣ד הַבַּ֔יִת מִח֖וּץ
そして-取れ を 雄牛を 罪の-いけにえの そして-焼け 定められた-場所で 宮の 外で
H3947 H0853 H6499 H2398 H8313 H4662 H1241 H2351

לַמִּקְדָּֽשׁ׃
聖所の
H4720

あなたはまた罪祭の牛をとって、これを聖所の外、宮のうちの定められた所で焼け。

22 וּבַיּ֣וֹם הַשֵּׁנִ֗י תַּקְרִ֤יב שְׂעִיר־עִזִּים֙ תָּמִ֔ים לְחַטָּ֖את וְחִטְּא֣וּ
そして-二日目に 二日目の ささげる 雄山羊を 山羊の 完全な 罪の-いけにえとして そして-清める
H3117 H8145 H7126 H8163 H5795 H8549 H2398

אֶת־הַמִּזְבֵּ֑חַ כַּאֲשֶׁ֥ר חִטְּא֖וּ בַּפָּ֥ר׃
を 祭壇を ちょうど-その 清めた 雄牛で
H0853 H4196 H3644 H2398 H6499

第二日に、あなたは無傷の雄やぎを、罪祭としてささげよ。すなわち雄牛で清めたように、これで祭壇を清めよ。

23 בְּכַלּוֹתְךָ֖ מֵחַטֵּ֑א תַּקְרִיב֙ פַּ֣ר בֶּן־בָּקָ֔ר תָּמִ֔ים וְאַ֖יִל מִן־הַצֹּ֑אן
終える-ときに 清めから ささげる 雄牛を 子の 牧蒭の 完全な そして-雄羊を から 群れの
H3615 H2398 H7126 H6499 H1121 H1241 H8549 H3644 H4480 H6629

תְּמִימִֽם׃
完全な
H8549

清めごとを終えたなら、無傷の雄牛の子と、群れの中の無傷の雄羊とをささげよ。

24 וְהִקְרַבְתָּ֣ם לִפְנֵ֣י יְהוָ֔ה וְהִשְׁלִ֥יכוּ הַכֹּהֲנִ֖ים עֲלֵיהֶ֣ם מֶ֑לַח וְהֶעֱל֥וּ
そして-ささげる の-前に 主の そして-振りかける 祢司たちが その-上に 塩を そして-ささげる
H7126 H6440 H3068 H7993 H3548 H5922 H4417 H5927

אוֹתָ֛ם עֹלָ֖ה לַֽיהוָֽה׃
それらを 燔祭として 主に
H0853 H5930 H3068

これを主の前に持ってきて、祭司らはその上に塩をまき、これらを燔祭として主にささげよ。

25 שִׁבְעַ֣ת יָמִ֗ים תַּעֲשֶׂ֤ה שְׂעִיר־חַטָּאת֙ לַיּ֔וֹם בֶּן־בָּקָ֖ר וּפָ֑ר
七日の-間 日の-間 ささげる 雄山羊を 罪の-いけにえの 毎日 子の 牧蒭の そして-雄牛を
H7651 H3117 H6213 H8163 H2403 H3117 H1121 H1241 H6499

תָּמִ֥ים יַעֲשׂ֖וּ וְאַ֥יִל מִן־הַצֹּֽאן׃
完全な ささげる そして-雄羊を から 群れの
H8549 H6213 H3644 H4480 H6629

七日の間、あなたは日々雄やぎを罪祭とせよ。また雄牛の子と、群れの中の雄羊との無傷のものをととのえ、

26 שִׁבְעַ֣ת יָמִ֗ים יְכַפְּרוּ֙ אֶת־הַמִּזְבֵּ֔חַ וְטִהֲרוּ֖ אֹתוֹ֑ וּמִלְאוּ֙ יָד֔וֹ׃]ידו[
七日の-間 日の-間 贖う を 祭壇を そして-清める それを そして-満たす [ケティブ]
H7651 H3117 H3722 H853 H4196 H2891 H853 H4390 H3027

(יָדָיו׃)
その-手を
H3027

七日の間、彼らは祭壇をあがない、これを清め、これを聖別しなければならない。

27

וְהָלְאָה
そして-それ以降
H1973

הַשְּׁמִינִי
八日目の
H8066

בַּיּוֹם
日に
H3117

וְהָיָה׃
そして-なる
H1961

ס
(区切り)

הַיָּמִים
その-日々を
H3117

אֶת־
を
H0853

וְיִכְלוּ
そして-終える
H3615

וְאֶת־
そして-を
H0853

עוֹלֹתֵיכֶם
あなたがたの-燔祭を

אֶת־
を
H0853

הַמִּזְבֵּחַ
祭壇の
H4196

עַל־
の-上で

הַכֹּהֲנִים
祢司たちが
H3548

יַעֲשׂוּ
ささげる

ס
(区切り)

יְהוָה׃
主の
H3069

אֲדֹנָי
主なる
H0136

נְאֻם
宣言である
H5002

אֶתְכֶם
あなたがたを
H0853

וְרָצִיתִי
そして-喜ぶ
H7521

שַׁלְמֵיכֶם
あなたがたの-和解の-いけにえを
H8002

彼らがこれらの日を満たしたとき、八日目から後は、祭司たちは、あなたがたの燔祭と、酬恩祭とを祭壇の上に供える。そうすれば、わたしは、あなたがたを受けいれると、主なる神は言われる」。

Chapter 44

1

וְהוּא
そして-それは
H1931

קָדִים
東に
H6921

הַפֹּנֶה
向いている
H6437

הַחִיצוֹן
外側の
H2435

הַמִּקְדָּשׁ
聖所の
H4720

שַׁעַר
門に
H8179

דֶּרֶךְ
道の
H1870

אֹתִי
わたしを
H0853

וַיָּשָׁב
そして-戻した
H7725

סָגוּר׃
閉じられていた
H5462

こうして、彼はわたしを連れて、聖所の東に向いている外の門に帰ると、門は閉じてあった。

2

יִפָּתֵחַ
開かれる

לֹא
ない
H3808

יִהְיֶה
である
H1961

סָגוּר
閉じられたまま
H5462

הַזֶּה׃
この
H2088

הַשַּׁעַר
この-門は
H8179

יְהוָה
主は
H3068

אֵלַי
わたしに
H0413

וַיֹּאמֶר
そして-言った
H0559

בּוֹ
それに

בָּא
入った
H0935

יִשְׂרָאֵל
イスラエルの
H3478

אֱלֹהֵי־
神の
H0430

יְהוָה
主が
H3068

כִּי
なぜなら

בּוֹ
それに

יָבֹא
入る
H0935

לֹא־
ない
H3808

וְאִישׁ
そして-人は
H0376

סָגוּר׃
閉じられたまま
H5462

וְהָיָה
そして-なる
H1961

彼はわたしに言った、「この門は閉じたままにしておけ、開いてはならない。ここからだれもはいってはならない。イスラエルの神、主が、ここからはいったのだから、これは閉じたままにしておけ。

3

מִדֶּרֶךְ
道から
H1870

יְהוָה
主の
H3068

לִפְנֵי
の-前で
H6440

לֶחֶם
パンを
H3899

לֶאֱכָל־
食べる-ために
H0398

בּוֹ
そこに

יֵשֵׁב־
座る
H3427

הוּא
彼は
H1931

נָשִׂיא
君主である

הַנָּשִׂיא
君主は

אֶת־
を
H0853

יֵצֵא׃
出る
H3318

וּמִדֶּרֶךְ
そして-その-道から
H1870

בָּא
入る
H0935

הַשַּׁעַר
門の
H8179

אֻלָם
玄関の
H0197

ただ君たる者だけが、この内に座し、主の前でパンを食し、門の廊を通ってはいり、またそこから外に出よ」。

4

וְהִנֵּה
そして-見よ
H2009

וָאֵרֶא
そして-見た
H7200

הַבַּיִת
宮の

פְּנֵי
前の
H6440

אֶל־
に
H0413

הַצָּפוֹן
北の
H6828

שַׁעַר
門の
H8179

דֶּרֶךְ־
道の
H1870

וַיְבִיאֵנִי
そして-連れて来た
H0935

פָּנָי׃
顔の
H6440

אֶל־
の-上に
H0413

וָאֶפֹּל
そして-ひれ伏した
H5307

יְהוָה
主の
H3068

בֵּית
宮を

אֶת־
を
H0853

יְהוָה
主の
H3068

כְּבוֹד־
栄光が
H3519

מָלֵא
満ちていた
H4390

彼はまたわたしを連れて、北の門の道から宮の前に行った。わたしが見ていると、見よ、主の栄光が主の宮に満ちた。わたしがひれ伏すと、

5

וּרְאֵ֕ה לִבְּךָ֖ שִׂ֑ים אָדָ֣ם בֶּן־ יְהוָ֔ה אֵלַ֖י וַיֹּ֣אמֶר
そして-見よ あなたの-心を 心に-留めよ 人の-子よ 人の-子よ 主は わたしに そして-言った
H7200 H0120 H3068 H0413 H0559

אֹתָ֑ךְ מְדַבֵּ֖ר אֲנִ֥י אֲשֶׁ֛ר כָּל־ אֵ֥ת שְׁמַ֣ע וּבְאָזְנַ֔יִךְ בְּעֵינָ֖יִךְ
あなたに 語る わたしが それは すべての を 聞け そして-あなたの-耳で あなたの-目で
H0853 H1696 H0589 H3605 H0853 H8085 H0241

וְשַׂ֣מְתָּ֔ (תּוֹרָתָ֖יו) [תורתו] וּלְכָל־ יְהוָ֔ה בֵּית־ חֻקּ֥וֹת לְכָל־
そして-心に-留めよ その-律法を [ケティブ] そして-すべての 主の 宮の 描を すべての
H8451 H8451 H3605 H3068 H2708 H3605

הַמִּקְדָּ֑שׁ׃ מוֹצָאֵ֖י בְּכֹ֣ל הַבַּ֔יִת לְמִבֹּ֖וא לִבְּךָ֥
聖所の 出口の すべての 宮の 入口に あなたの-心を
H4720 H4161 H3605 H3996

主はわたしに言われた、「人の子よ、主の宮のすべてのおきてと、そのすべての規定とについて、わたしがあなたに告げるすべての事に心をとめ、目を注ぎ、耳を傾けよ。また宮にはいることを許されている者と、聖所にはいることのできない者とに心せよ。

6

יְהוִ֔ה אֲדֹנָ֖י אָמַ֣ר כֹּ֑ה יִשְׂרָאֵ֔ל בֵּ֖ית אֶל־ מֶ֣רִי אֶל־ וְאָמַרְתָּ֙
主は 主なる 言った このように イスラエルの 家に に 反逆の-者に に そして-言え
H3069 H0136 H0559 H3541 H3478 H0413 H4805 H0413 H0559

יִשְׂרָאֵ֑ל׃ בֵּ֖ית תּוֹעֲבֹתֵיכֶ֔ם מִכָּל־ לָכֶ֣ם רַב־
イスラエルの 家よ あなたがたの-忌まわしい-ことより すべての あなたがたには 十分である
H3478 H8441 H3605

また反逆の家であるイスラエルの家に言え。主なる神は、こう言われる、イスラエルの家よ、その憎むべきことをやめよ。

7

בָּשָׂ֔ר וְעֲרֵלֵ֖י לֵ֑ב עֲרֵלֵי־ נֵכָ֔ר בְּנֵי־ בְּהָבִיאֲכֶ֗ם
肉体の そして-割礼なき-者を 心の 割礼なき-者を 異国の 子らを 入れる-ことによって
H1320 H6189 H6189 H5236 H0935

אֶת־ בְּהַקְרִיבְכֶ֤ם בֵּיתִי֙ אֶת־ לְחַלְלָ֔ו בְּמִקְדָּשִׁ֖י לִֽהְיוֹת֙
を ささげる-ときに わたしの-宮を を 汚す-ために わたしの-聖所に いる-ために
H0853 H7126 H0853 H4720 H1961

כָּל־ אֶל־ בְּרִיתִ֔י אֶת־ וַיָּפֵ֖רוּ וָדָ֣ם חֵ֑לֶב לַחְמִ֣י
すべての に わたしの-契約を を そして-破った そして-血を 脂肪と わたしの-パンを
H3605 H0413 H1285 H0853 H1818 H2459 H3899

תּוֹעֲבֹתֵיכֶֽם׃
あなたがたの-忌まわしい-ことに
H8441

すなわちあなたがたは、わたしの食物である脂肪と血とがささげられる時、心にも肉にも、割礼を受けない異邦人を入れて、わが聖所におらせ、これを汚した。また、もろもろの憎むべきものをもって、わが契約を破った。

8

לְשֹׁמְרֵ֑י וַתְּשִׂימ֣וּן קָדָשַׁ֔י מִשְׁמֶ֣רֶת שְׁמַרְתֶּ֖ם וְלֹ֣א
守る-者として そして-置いた わたしの-聖なる-ものの 務めを 守った そして-ない
H8104 H6944 H4931 H8104 H3808

לָכֶֽם׃ בְּמִקְדָּשִׁ֖י מִשְׁמַרְתִּ֥י
あなたがたの-ために わたしの-聖所に わたしの-務めの
H4720 H4931

あなたがたは、わが聖なる物を守る務を怠り、かえって異邦人を立てて、わが聖所の務を守らせた。

9 כֹּה־ אָמַר֙ אֲדֹנָ֣י יְהוִ֔ה כָּל־ בֶּן־ נֵכָ֖ר עֲרֵ֣ל לֵ֑ב
H3541 H0559 H0136 H3069 H3605 H5236 H6189
このように 言った 主なる 主は すべての 子の 異国の 割礼なき-者は 心の

וְעֶרֶל֙ בָּשָׂ֔ר לֹ֣א יָבֹ֔וא אֶל־ מִקְדָּשִׁ֖י לְכָל־ בֶּן־ נֵכָ֑ר
H6189 H1320 H3808 H0935 H0413 H4720 H3605 H5236
そして-割礼なき-者は 肉体の ない 入る に わたしの-聖所に すべての 子の 異国の

אֲשֶׁ֥ר בְּתוֹךְ־ בְּנֵ֖י יִשְׂרָאֵֽל׃
H8432 H1121 H3478
それは の-中に 子らの イスラエルの

それゆえ、主なる神は、こう言われる、イスラエルの人々のうちにいるすべての異邦人のうち、心と肉とに割礼を受けないすべての者は、わが聖所にはいってはならない。

10 כִּ֣י אִם־ הַלְוִיִּ֡ם אֲשֶׁ֣ר רָחֲקוּ֩ מֵעָלַ֨י בִּתְעוֹת֜ יִשְׂרָאֵ֗ל אֲשֶׁ֤ר
H3881 H7368 H8582 H3478
レビ人は しかし ただし それは 遠ざかった わたしから 迷いの-ときに イスラエルが それは

תָּעוּ֙ מֵֽאַחֲרַ֣י גִּלּוּלֵיהֶ֔ם וְנָשְׂא֖וּ עֲוֹנָֽם׃
H8582 H1544 H5375 H5771
迷った わたしから 後に その-偶像を そして-負う その-咲を

またレビ人であって、イスラエルが迷った時、偶像を慕い、わたしから迷い出て、遠く離れた者は、その罪を負わなければならない。

11 וְהָי֣וּ מְשָׁרְתִ֣ים בְּמִקְדָּשִׁ֗י פְּקֻדּוֹת֙ עַל־ שַׁעֲרֵ֣י הַבַּ֔יִת
H1961 H4720 H8334 H6486 H0413 H8179
そして-なる わたしの-聖所で 仕える-者として 任務を に 門の 宮の

וּמְשָׁרְתִ֖ים בְּבֵ֣ית אֶת־ הַבַּ֑יִת הֵ֣מָּה יִשְׁחֲט֣וּ אֶת־ הָעֹלָ֣ה וְאֶת־ הַזֶּ֔בַח
H2077 H0853 H8334 H0853 H1992 H7819 H0853 H5930 H1992
そして-仕える-者として を 宮に 彼らは 屠る を 燔祭を そして-を いけにえを

לִפְנֵיהֶ֖ם לְשָׁרְתָֽם׃ וְהֵ֣מָּה יַעַמְד֔וּ לִפְנֵי֙ עַ֣ם
H6440 H8334 H1992 H5975
その-前に 仕える-ために そして-彼らは 立つ 民の-ために

すなわち彼らはわが聖所で、仕え人となり、宮の門を守る者となり、宮に仕えるしもべとなり、民のために、燔祭および犠牲のものを殺し、彼らの前に立って仕えなければならない。

12 יַ֣עַן אֲשֶׁ֣ר יְשָׁרְת֣וּ אוֹתָ֗ם לִפְנֵי֙ גִּלּוּלֵיהֶ֔ם וַיְהִ֣י לְבֵית־ יִשְׂרָאֵ֗ל
H3282 H8334 H0853 H6440 H1544 H1961 H1004 H3478
ゆえに それは 仕えた 彼らに の-前で その-偶像の そして-なった の-家に イスラエルの

לְמִכְשׁ֣וֹל עָוֹן֮ עַל־ כֵּן֒ נָשָׂ֤אתִי יָדִי֙ עֲלֵיהֶ֔ם נְאֻ֖ם
H4383 H5771 H5921 H5375 H3027 H5921 H5002
の-つまずきの-石と 咲の の-上に そのゆえに 挙げた わたしの-手を 彼らに-対して 宣言である

אֲדֹנָ֣י יְהוִ֑ה וְנָשְׂא֖וּ עֲוֹנָֽם׃
H3069 H5375 H5771
主の 主なる そして-負う その-咲を

彼らはその偶像の前で民に仕え、イスラエルの家にとって、罪のつまずきとなったゆえ、主なる神は言われる、わたしは彼らについて誓った。彼らはその罪を負わなければならない。

13 וְלֹא־ そして-ない H3808 יִגְּשׁוּ 近づく H5066 אֵלַי わたしに H0413 לְכַהֵן 祢司として-仕える H3547 לִי わたしに H5066 וְלָגֶשֶׁת そして-近づく H5066 עַל־ の-上に H3605 כָּל־ すべての H3605

כְּלִמָּתָם その-恥を H3639 וְנָשְׂאוּ そして-負う H5375 הַקֳּדָשִׁים 至聖の-ものに H6944 קָדְשַׁי 聖なる-ものの H6944 אֶל־ に H0413 קָדָשַׁי わたしの-聖なる-ものに H6944

עָשׂוּ׃ 行った אֲשֶׁר それは וְתוֹעֲבוֹתָם そして-その-忌まわしい-ことを H8441

彼らはわたしに近づき、祭司として、わたしに仕えることはできない。またわたしの聖なる物、および最も聖なる物に、近づいてはならない。彼らはそのおこなった憎むべきことのため、恥を負わなければならない。

14 וְנָתַתִּי そして-置く H5414 אוֹתָם 彼らを H0853 שֹׁמְרֵי 守る-者として H8104 מִשְׁמֶרֶת 務めの H4931 הַבַּיִת 宮の H3605 לְכֹל すべての H3605 עֲבֹדָתוֹ その-務めの H5656 וּלְכֹל そして-すべての H3605

אֲשֶׁר それは יֵעָשֶׂה なされる בּוֹ׃ そこで פ (区切り)

しかし彼らには、宮を守る務をさせ、そのもろもろの務と、宮でなすべきすべての事とに当らせる。

15 וְהַכֹּהֲנִים そして-祢司たちは H3548 הַלְוִיִּם レビ人の H3881 בְּנֵי 子らの H6659 צָדוֹק ツァドクの H8104 אֲשֶׁר それは H0853 שָׁמְרוּ 守った H4931 מִשְׁמֶרֶת 務めを H4720 מִקְדָּשִׁי わたしの-聖所の H8334

לְשָׁרְתֵנִי わたしに-仕える-ために H0413 אֵלַי わたしに H7126 יִקְרְבוּ 近づく H1992 הֵמָּה 彼らは H3478 מֵעָלַי わたしから H1818 יִשְׂרָאֵל イスラエルの H8582 בְּנֵי־ 子らが

אֲדֹנָי 主なる H0136 נְאֻם 宣言である H1818 וָדָם そして-血を H2459 חֵלֶב 脂肪と H7126 לִי わたしに H6440 לְהַקְרִיב ささげる-ために H5975 לְפָנַי わたしの-前に H3069 וְעָמְדוּ そして-立つ

יְהוִה׃ 主の H3069

しかしザドクの子孫であるレビの祭司たち、すなわちイスラエルの人々が、わたしを捨てて迷った時に、わが聖所の務を守った者どもは、わたしに仕えるために近づき、脂肪と血とをわたしにささげるために、わたしの前に立てと、主なる神は言われる。

16 הֵמָּה 彼らは H1992 יָבֹאוּ 入る H0935 אֶל־ に H0413 מִקְדָּשִׁי わたしの-聖所に H4720 וְהֵמָּה そして-彼らは H1992 יִקְרְבוּ 近づく H7126 אֶל־ に H0413 שֻׁלְחָנִי わたしの-食卓に H7979

לְשָׁרְתֵנִי わたしに-仕える-ために H8334 וְשָׁמְרוּ そして-守る H8104 אֶת־ を H0853 מִשְׁמַרְתִּי׃ わたしの-務めを H4931

すなわち彼らはわが聖所に入り、わが台に近づいてわたしに仕え、わたしの務を守る。

17 וְהָיָה そして-なる H1961 בְּבוֹאָם 入る-ときに H0935 אֶל־ に H0413 שַׁעֲרֵי 門に H8179 הֶחָצֵר 庭の H2691 הַפְּנִימִית 内側の H6442 בִּגְדֵי 衣服を H0899 פִשְׁתִּים 亜麻の H6593 יִלְבָּשׁוּ 着る H3847 וְלֹא־ そして-ない H3808

וָבָיְתָה׃ そして-宮の-中に H1004 הַפְּנִימִית 内側の H6442 הֶחָצֵר 庭の H2691 בְּשַׁעֲרֵי 門の-中に H8179 בְּשָׁרְתָם 仕える-ときに H8334 צֶמֶר 羊毛を H6785 עֲלֵיהֶם その-上に H5921 יַעֲלֶה 身に-つける H5927

彼らが内庭の門にはいる時は、麻の衣服を着なければならない。内庭の門および宮の内で、務をなす時は、毛織物を身につけてはならない。

18 פַּאֲרֵי פִשְׁתִּים יִהְיוּ עַל־ רֹאשָׁם וּמִכְנְסֵי פִשְׁתִּים יִהְיוּ עַל־ מָתְנֵיהֶם לֹא יַחְגְּרוּ בַּיָּזַע׃

帽子を	亜麻の	ある	の-上に	その-頭の	そして-下着を	亜麻の	ある	の-上に	その-腰の
H6287	H6593	H1961			H4370	H6593	H1961		H4975

汗の-出る-もので	締める	ない
H3154	H2296	H3808

また頭には亜麻布の冠をつけ、腰には亜麻布の袴をつけなければならない。ただし汗の出るような衣を身につけてはならない。

19 וּבְצֵאתָם֙ אֶל־ הֶחָצֵר הַחִיצוֹנָה֙ אֶל־ הַחִיצוֹנָה֙ הֶחָצֵר אֶל־ וּבְצֵאתָם֙ יִפְשְׁטוּ֙ הָעָם֙ אֶל־ הַחִיצוֹנָה֙ בְּלִשְׁכַּת הַקֹּדֶשׁ וְהִנִּיחוּ֙ אוֹתָם֙ בָּ֔ם מְשָׁרְתָ֖ם הֵ֑מָּה אֲשֶׁר־ בִּגְדֵיהֶם֙ אֶת־ וְלָבְשׁוּ֙ בְּגָדִ֣ים אֲחֵרִ֔ים וְלֹא־ יְקַדְּשׁוּ֙ אֶת־ הָעָ֔ם בִּבְגָדֵיהֶ֖ם׃

そして-出る-ときに	に	庭に	外側の	に	庭に	外側の	に	民の	脱ぐ										
H3318	H0413	H2435		H0413	H2435		H0413		H6584										

彼らはわが民に、聖と俗との区別を教え、汚れたものと、清いものとの区別を示さなければならない。

24 וְעַל־ רִיב הֵמָּה יַעַמְדוּ [לשפט] לְמִשְׁפָּט) [ושפטהו] בְּמִשְׁפָּטַי

そして-の-上に 争いの 彼らは 立つ [ケティブ] 裁きの-ために [ケティブ] わたしの-裁きで
H7379 H1992 H5975 H8199 H4941 H8199 H4941

(וְאֶת־ תּוֹרֹתַי וְאֶת־ חֻקֹּתַי בְּכָל־ מוֹעֲדַי יִשְׁפְּטוּהוּ)

そして-を わたしの-律法を そして-を わたしの-描を すべての わたしの-祭りに 裁く
H0853 H8451 H0853 H2708 H3605 H4150 H8199

וְאֶת־ שַׁבְּתוֹתַי יְקַדֵּשׁוּ׃

そして-を わたしの-安息日を 聖とする
H0853 H7676 H6942

争いのある時は、さばきのために立ち、わがおきてにしたがってさばき、また、わたしのもろもろの祭の時は、彼らはわが律法と定めを守り、わが安息日を、聖別しなければならない。

25 וְאֶל־ מֵת אָדָם לֹא יָבוֹא לְטָמְאָה כִּי אִם־ לְאָב

そして-に 死人の 人の ない 近づく 汚れる-ために ただし しかし 父の-ために
H0413 H4191 H0120 H3808 H0935 H2930 H3588 H0001

וּלְאֶחוֹת לְאָח וּלְבַת וּלְבֵן וּלְאֵם׃

そして-姉妹の-ために 兄弟の-ために そして-娘の-ために そして-息子の-ために そして-母の-ために
H0269 H0251 H1323 H1121 H0517

אֲשֶׁר־ לֹא הָיְתָה לְאִישׁ יִטַּמָּאוּ׃

それは ない いた 男に 汚れる
H0834 H3808 H1961 H0376 H2930

死人に近づいて、身を汚してはならない。ただ父のため、母のため、むすこのため、娘のため、兄弟のため、夫をもたない姉妹のためには、近よって身を汚すことも許される。

26 וְאַחֲרֵי טָהֳרָתוֹ שִׁבְעַת יָמִים יִסְפְּרוּ־ לוֹ׃

そして-後に その-清めの 七日の-間 日の-間 数える 彼に
H0310 H2893 H7651 H3117 H5608 H0

このような人は、汚れた後、自身のために、七日の期間を数えよ。そうすれば清まる。

27 וּבְיוֹם בֹּאוֹ אֶל־ הַקֹּדֶשׁ אֶל־ הַחָצֵר הַפְּנִימִית לְשָׁרֵת בַּקֹּדֶשׁ יַקְרִיב

そして-日に 入る-日に に 聖所に に 庭に 内側の 仕える-ために 聖所で ささげる
H0310 H3117 H0935 H0413 H6944 H0413 H2691 H6442 H8334 H6944 H7126

נְאֻם אֲדֹנָי יְהוִה׃ חַטָּאתוֹ

宣言である 主なる 主の その-罪の-いけにえを
H5002 H0136 H3069 H2403

彼は聖所に入り、内庭に行き、聖所で務に当る日には、罪祭をささげなければならないと、主なる神は言われる。

28 וְהָיְתָה לָהֶם לְנַחֲלָה אֲנִי נַחֲלָתָם וְאֲחֻזָּה לֹא

そして-なる 彼らに の-嗣ぎの-ために わたしが 彼らの-嗣ぎである そして-所有地を ない
H0310 H1961 H0376 H5159 H0589 H5159 H0376 H0272 H3808

תִתְּנוּ לָהֶם בְּיִשְׂרָאֵל אֲנִי אֲחֻזָּתָם׃

与える 彼らに イスラエルに わたしが 彼らの-所有地である
H5414 H0376 H3478 H0589 H0376 H0272

彼らには嗣業はない。わたしがその嗣業である。あなたがたはイスラエルの中で、彼らに所有を与えてはならない。わたしが彼らの所有である。

29 הַמִּנְחָה וְהַחַטָּאת וְהָאָשָׁם הֵמָּה יֹאכְלוּם
穀物の-供え物と そして-罪の-いけにえと そして-賛償の-いけにえを 彼らは 食べる
H4503 H2403 H0817 H1992 H0398

וְכָל־ חֵרֶם בְּיִשְׂרָאֵל לָהֶם יִהְיֶה׃
そして-すべての 尽くし-ささげた-ものは イスラエルの 彼らの-ものである なる
H3605 H2764 H3478 H1961

彼らは素祭、罪祭、愆祭の物を食べる。すべてイスラエルのうちのささげられた物は彼らの物となる。

30 וְרֵאשִׁית כָּל־ בִּכּוּרֵי כֹל וְכָל־ תְּרוּמַת כֹּל מִכֹּל
そして-初穂の すべての 初物の すべての そして-すべての 奉納物の すべての から
H7225 H3605 H1061 H3605 H3605 H8641 H3605 H3605

תִּתְּנוּ לַכֹּהֲנִים תְּרוּמוֹתֵיכֶם וְרֵאשִׁית עֲרִסוֹתֵיכֶם
与える 祢司たちの-ものと-なる あなたがたの-奉納物の そして-初穂を あなたがたの-粉の
H5414 H3548 H8641 H7225 H6182

לְהָנִיחַ בְּרָכָה אֶל־ בֵּיתֶךָ׃ לַכֹּהֵן
留まらせる-ために 祝福を に あなたの-家に 祢司に
H5117 H1293 H0413 H1004 H3548

すべての物の初なりの初物、およびすべてあなたがたのささげるもろもろのささげ物は、みな祭司のものとなる。またあなたがたの麦粉の初物は祭司に与えよ。これはあなたがたの家が、祝福されるためである。

31 כָּל־ נְבֵלָה וּטְרֵפָה מִן־ הָעוֹף וּמִן־ הַבְּהֵמָה לֹא
すべての 死んだ-ものと そして-引き裂かれた-ものを から 鳥の そして-から 家畜の ない
H3605 H5038 H2966 H5775 H4480 H0929 H3808

פ הַכֹּהֲנִים׃ יֹאכְלוּ
(区切り) 祢司たちは 食べる
H3548 H0398

祭司は、鳥でも獣でも、すべて自然に死んだもの、または裂き殺されたものを食べてはならない。

Chapter 45

1 וּבְהַפִּילְכֶם בְּנַחֲלָה תָּרִימוּ תְּרוּמַת אֶת־ הָאָרֶץ קֹדֶשׁ מִן־
そして-くじを-引く-ときに 嗣ぎとして ささげる 奉納地を を 地を 聖なる から
H5307 H5159 H7311 H8641 H0853 H0776 H6944 H4480

לַיהוָה קֹדֶשׁ הִוא׃ אֹרֶךְ הָאָרֶךְ מֵאוֹת חֲמִשָּׁה וְעֶשְׂרִים אֶלֶף וְרֹחַב עֲשָׂרָה אֶלֶף אֹרֶךְ קָדֶשׁ־
主に 聖なる それは 長さ 地の 五 そして-二十 千 長さは 幅は 十 千 長い
H3068 H6944 H1931 H0753 H0776 H2568 H6242 H0505 H0753 H7341 H6235 H0505 H0753 H6944

בְּכָל־ גְּבוּלָהּ סָבִיב׃
すべての その-境界の 周囲に
H3605 H1366 H5439

あなたがたは、くじを引き、地を分けて、それを所有するときには、地の一部を聖なる地所として主にささげよ。その長さは二万五千キュビト、幅は二万キュビトで、その区域はすべて聖なる地である。

2 מִזֶּה יִהְיֶה לַקֹּדֶשׁ אֶל־ מֵאוֹת חֲמֵשׁ מֵאוֹת בַּחֲמֵשׁ מֵאוֹת מְרֻבָּע סָבִיב וַחֲמִשִּׁים
それから なる 聖所の に 五 百 に 五百 正方形の 周囲に そして-五十
H2088 H1961 H6944 H0413 H2568 H3967 H2568 H3967 H7251 H5439 H2572

לוֹ סָבִיב׃ מִגְרָשׁ אַמָּה
それに 周囲に 空き地が キュビトの
H5439 H4054

そのうち聖所に属するものは縦横五百キュビトずつであって、それは四角である。また五十キュビトの空地をその周囲につくれ。

3

וְרֹחַב	אֶלֶף	וְעֶשְׂרִים	)חֲמִשָּׁה(	]חמשׁ[	אֹרֶךְ	תָּמֹוד	הַזֹּאת	הַמִּדָּה	וּמִן־
そして–幅を	千	そして–二十	五	[ケティブ]	長さを	測る	この	寸法の	そして–から
H7341	H0505	H6242	H2568	H2568	H0753	H4058	H2063		

:קָדָשִׁים	קֹדֶשׁ	הַמִּקְדָּשׁ	יִהְיֶה	וּבוֹ־	אֲלָפִים	עֶשֶׂרֶת
至聖の	聖なる	聖所が	ある	そして–その–中に	千	十
H6944	H6944	H4720	H1961		H0505	H6235

あなたはこの聖なる地所から長さ二万五千キュビト、幅一万キュビトを測り取り、その中に聖所と至聖所とを設けよ。

4

הַקְּרֵבִים	יִהְיֶה	הַמִּקְדָּשׁ	מְשָׁרְתֵי	לַכֹּהֲנִים	הוּא	הָאָרֶץ	מִן־	קֹדֶשׁ
近づく–者の	なる	聖所の	仕える–者の	祢司たちの–ために	それは	地の	から	聖なる
H7131	H1961	H4720	H8334	H3548	H1931	H0776		H6944

לְבָתִּים	מָקוֹם	לָהֶם	וְהָיָה	יְהוָה	אֶת־	לְשָׁרֵת	
家々の–ための	場所と	彼らの–ために	そして–なる	主に	を	仕える–ために	
	H4725		H1961	H3068	H0853	H8334	

:לַמִּקְדָּשׁ	וּמִקְדָּשׁ
聖所の–ための	そして–聖なる–場所と
H4720	H4720

これは国の中で聖なる所であって、主に近く仕える聖所の仕え人である祭司に帰属する。これは彼らのためには家を建てる所、聖所のためには聖地となる。

5

)וְהָיָה(	]יהיה[	רֹחַב	אֲלָפִים	וַעֲשָׂרֶת	אֹרֶךְ	אֶלֶף	וְעֶשְׂרִים	וַחֲמִשָּׁה	
そして–なる	[ケティブ]	幅	千	そして–十	長さ	千	そして–二十	そして–五	
H1961	H1961	H7341	H0505	H6235	H0753	H0505	H6242	H2568	

:לִשְׁכֹת	עֶשְׂרִים	לַאֲחֻזָּה	לָהֶם	הַבַּיִת	מְשָׁרְתֵי	לַלְוִיִּם
部屋	二十	所有地として	彼らの–ために	宮の	仕える–者の	レビ人の–ために
H3957	H6242	H0272	H1992		H8334	H3881

また長さ二万五千キュビト、幅一万キュビトの別の地所は、宮に仕えるレビびとに帰属し、彼らの住む町のための所有とする。

6

וְעֶשְׂרִים	חֲמִשָּׁה	וְאֹרֶךְ	רֹחַב	אֲלָפִים	חֲמֵשֶׁת	תִּתְּנוּ	הָעִיר	וַאֲחֻזַּת	
そして–二十	五	そして–長さは	幅	千	五	与える	町の	そして–所有地を	
H6242	H2568	H0753	H7341	H0505	H2568	H5414		H0272	

:יִהְיֶה	יִשְׂרָאֵל	בֵּית	לְכָל־	הַקֹּדֶשׁ	תְּרוּמַת	לְעֻמַּת	אֶלֶף	
の–ものと–なる	イスラエルの	家の	すべての	聖なる	奉納地の	向かい合って	千	
H1961	H3478		H3605	H6944	H8641	H5980	H0505	

聖地として区別した部分に沿い、幅五千キュビト、長さ二万五千キュビトは、町の所有とせよ。これはイスラエル全家のものとなる。

7

הָעִיר	וְלַאֲחֻזַּת	הַקֹּדֶשׁ	לִתְרוּמַת	וּמִזֶּה	מִזֶּה	וְלַנָּשִׂיא	
町の	そして-所有地の	聖なる	奉納地の	そして-あちら側に	こちら側	そして-君主の-ために	
	H0272	H6944	H8641	H2088	H2088		

יָמָּה	יָם	מִפְּאַת־	הָעִיר	אֲחֻזַּת	פְּנֵי	וְאֶל־	הַקֹּדֶשׁ	תְּרוּמַת־	פְּנֵי	אֶל־
西へ	海の	側から	町の	所有地の	前の	そして-に	聖なる	奉納地の	前の	に
H3220	H3220	H6285		H0272	H6440	H0413	H6944	H8641	H6440	H0413

יָם	מִגְּבוּל	הַחֲלָקִים	אַחַד	לְעֻמּוֹת	וְאֹרֶךְ	קָדִימָה	קֶדְמָה	וּמִפְּאַת־
海の	境界から	分け前の	一つの	向かい合って	そして-長さは	東へ	東の	そして-側から
H3220	H1366		H0259	H5980	H0753	H6921		H6285

קָדִימָה׃	גְּבוּל	אֶל־
東の	境界の	に
H6921	H1366	H0413

また君たる者の分は、かの聖地と町の所有地との、こなたかなたにある。すなわち聖地と町の所有地に沿い、西と東に向かい、部族の分の一つに応じて、地所の西から東の境に至り、

8

עוֹד	יוֹנוּ	וְלֹא־	בְיִשְׂרָאֵל	לַאֲחֻזָּה	לוֹ	יִהְיֶה־	לָאָרֶץ
再び	虐げる	そして-ない	イスラエルに	所有地として	彼の-ために	なる	地として
H5750	H3238	H3808	H3478	H0272		H1961	H0776

לִשְׁבְטֵיהֶם׃	יִשְׂרָאֵל	לְבֵית־	יִתְּנוּ	וְהָאָרֶץ	עַמִּי	אֶת־	נְשִׂיאַי
その-部族に	イスラエルの	の-家に	与える	そして-地を	わたしの-民を	を	わたしの-君主たちが
H7626	H3478		H5414	H0776		H0853	

ס
(区切り)

その所有の地所はイスラエルの中にある。わたしの君たちは、重ねてわたしの民をしえたげず、部族にしたがってイスラエルの家に土地を与える。

9

חָמָס	יִשְׂרָאֵל	נְשִׂיאַי	לָכֶם	רַב־	יְהוָה	אֲדֹנָי	אָמַר	כֹּה־
暴力と	イスラエルの	君主たちよ	あなたがたには	十分である	主は	主なる	言った	このように
H2555	H3478				H3069	H0136	H0559	H3541

גָּרְשֹׁתֵיכֶם	הָרֵימוּ	עֲשׂוּ	וּצְדָקָה	וּמִשְׁפָּט	הָסִירוּ	וָשֹׁד	
あなたがたの-追放を	取り-除け	行え	そして-公正を	そして-正義と	取り-除け	そして-略奪を	
H1646			H6666	H4941	H5493	H7701	

יְהוָה׃	אֲדֹנָי	נְאֻם	עַמִּי	מֵעַל
主の	主なる	宣言である	わたしの-民の	から
H3069	H0136	H5002		

主なる神は、こう言われる、イスラエルの君たちよ、暴虐と略奪とをやめ、公道と正義を行え。わが民を追いたてることをやめよと、主なる神は言われる。

10

לָכֶם׃	יְהִי	צֶדֶק	וּבַת־	צֶדֶק	וְאֵיפַת־	צֶדֶק	מֹאזְנֵי־	
あなたがたに	あるように	正しい	そして-バトを	正しい	そして-エパを	正しい	秤を	
	H1961	H6664	H1324	H6664	H0374	H6664	H3976	

あなたがたは正しいはかり、正しいエパ、正しいバテを用いよ。

11

הַבַּת	הַחֹמֶר	מַעְשָׂר	לְשֵׂאת	יִהְיֶה־	אֶחָד	תָּכֶן	וְהַבַּת	הָאֵיפָה
バトは	ホメルの	十分の-一を	含む-ために	である	一つの	分量	そして-バトは	エパと
H1324		H4643	H5375	H1961	H0259	H8506	H1324	H0374

מַתְכֻּנְתּוֹ׃	יִהְיֶה	הַחֹמֶר	אֶל־	הָאֵיפָה	הַחֹמֶר	וַעֲשִׂרִת	
その-基準は	ある	ホメルに	に	エパは	ホメルの	そして-十分の-一を	
H4971	H1961		H0413	H0374		H6224	

エパとバテとは同量にせよ。すなわちバテをホメルの十分の一とし、エパもホメルの十分の一とし、すべてホメルによって量を定めよ。

12 וְהַשֶּׁקֶל עֶשְׂרִים גֵּרָה עֶשְׂרִים שְׁקָלִים חֲמִשָּׁה וְעֶשְׂרִים שְׁקָלִים
そして-シェケルは 二十 ゲラの 二十 シェケルと 五 そして-二十五 シェケルと
H8255 H6242 H1626 H6242 H2568 H6242 H8255

עֲשָׂרֶה וַחֲמִשָּׁה שֶׁקֶל הַמָּנֶה יִהְיֶה לָכֶם׃
十 そして-五 シェケルが マナと なる あなたがたに
H6235 H2568 H8255 H4488 H1961

一シケルは二十ゲラである。五シケルは五シケル、十シケルは十シケルとせよ。一ミナは五十シケルとせよ。

13 זֹאת הַתְּרוּמָה אֲשֶׁר תָּרִימוּ שִׁשִּׁית הָאֵיפָה מֵחֹמֶר הַחִטִּים
これは 奉納物である それは ささげる 六分の-一を エパの ホメルの 小麦の
H2063 H8641 H0834 H8345 H0374 H2563 H2406

וְשִׁשִּׁיתָם הָאֵיפָה מֵחֹמֶר הַשְּׂעֹרִים׃
そして-六分の-一を エパの ホメルの 大麦の
H8341 H0374 H2563 H8184

あなたがたがささげるささげ物はこれである。すなわち、一ホメルの小麦のうちから六分の一エパをささげ、大麦一ホメルのうちから六分の一エパをささげよ。

14 וְחֹק מִן־הַשֶּׁמֶן בַּת מִדַּת הַשֶּׁמֶן עֲשִׂרִת הַכֹּר מִן־הַבַּתִּים
そして-定めは 油の バトの 油の 十分の-一を バトの コルの から バトが
H2706 H8081 H1324 H8081 H4643 H1324 H6235 H3734 H1324

חֹמֶר׃ כִּי־עֲשֶׂרֶת הַבַּתִּים חֹמֶר׃
ホメルである なぜなら 十 バトが ホメルである
H2563 H3588 H6235 H1324 H2563

油は一コルのうちから十分の一バテをささげよ。コルはホメルと同じく十バテに当る。

15 וְשֶׂה־אַחַת מִן־הַצֹּאן מִן־מָאתַיִם הַמַּשְׁקֶה מִמַּשְׁקֵה יִשְׂרָאֵל
そして-羊を 一匹 から 群れの から 二百匹の 潤いの-地の イスラエルの
H7716 H0259 H4166 H6629 H4166 H3967 H4945 H3478

לְמִנְחָה וְלָעוֹלָה וְלִשְׁלָמִים לְכַפֵּר
穀物の-供え物の-ために そして-燔祭の-ために そして-和解の-いけにえの-ために 贖う-ために
H4503 H8002

עֲלֵיהֶם נְאֻם אֲדֹנָי יְהוִה׃
その-上に 宣言である 主なる 主の
H5002 H0136 H3069

またイスラエルの氏族から、家畜の群れ二百につき一頭の羊を出して、素祭、燔祭、酬恩祭とし、彼らのために、あがないをなせと主なる神は言われる。

16 כָּל־הָעָם הָאָרֶץ יְהִיוּ אֶל־הַתְּרוּמָה הַזֹּאת לַנָּשִׂיא בְּיִשְׂרָאֵל׃
すべての 民は 地の ある に この 奉納物の 君主の-ために イスラエルの
H3605 H5971 H0776 H1961 H0413 H2063 H8641 H5387 H3478

国の民は皆これをイスラエルの君にささげ物とせよ。

17 וְעַל־ הַנָּשִׂיא יִהְיֶה הָעוֹלוֹת וְהַמִּנְחָה וְהַנֶּסֶךְ בַּחַגִּים
そして-の-上に 君主の ある 燔祭と そして-穀物の-供え物と そして-注ぎの-供え物が 祭りに
H2282 H5262 H4503 H1961 H5262 H2282

וּבַחֳדָשִׁים וּבַשַּׁבָּתוֹת בְּכָל־ מוֹעֲדֵי בֵּית יִשְׂרָאֵל הוּא־ יַעֲשֶׂה אֶת־
そして-月の-初めに そして-安息日に すべての 祭りの 家の イスラエルの 彼は ささげる を
H2320 H7676 H3605 H4150 H1931 H3478 H1931 H0853

הַחַטָּאת וְאֶת־ הַמִּנְחָה וְאֶת־ הָעוֹלָה וְאֶת־ הַשְּׁלָמִים
罪の-いけにえを そして-を 穀物の-供え物を そして-を 燔祭を そして-を 和解の-いけにえを
H0853 H4503 H0853 H5930 H0853 H8002

לְכַפֶּר בְּעַד בֵּית־ יִשְׂרָאֵל׃ ס
贖う-ために の-ために 家の イスラエルの (区切り)
H3722 H1157 H1004 H3478

また祭日、ついたち、安息日、すなわちイスラエルの家のすべての祝い日に、燔祭、素祭、灌祭を供えるのは、君たる者の務である。すなわち彼はイスラエルの家のあがないのために、罪祭、素祭、燔祭、酬恩祭をささげなければならない。

18 כֹּה־ אָמַר֙ אֲדֹנָ֣י יְהוִ֔ה בָּרִאשׁוֹן֙ בְּאֶחָ֣ד לַחֹ֔דֶשׁ תִּקַּ֖ח פַּר־ בֶּן־ בָּקָ֑ר
このように 言った 主なる 主は 第一の-月に 一日に 月の 取る 雄牛を 子の 牧畜の
H3541 H0559 H0136 H3069 H7223 H0259 H2320 H3947 H6499 H1121 H1241

וְחִטֵּאתָ֖ אֶת־ הַמִּקְדָּ֥שׁ תָּמִֽים׃
そして-清める を 聖所を 完全な
H2398 H0853 H4720 H8549

主なる神は、こう言われる、正月の元日に、あなたは無傷の雄牛の子を取って聖所を清めよ。

19 וְלָקַ֣ח הַכֹּהֵ֗ן מִדַּם֙ הַחַטָּ֔את וְנָתַ֖ן אֶל־ מְזוּזַ֣ת הַבַּ֑יִת וְאֶל־
そして-取る 祭司が から 罪の-いけにえの-血の そして-塗る に 門柱に 宮の そして-に
H3947 H3548 H1818 H2403 H5414 H0413 H4201 H1004 H0413

אַרְבַּע֙ פִּנּ֣וֹת הָעֲזָרָ֔ה לַמִּזְבֵּ֖חַ וְעַל־ מְזוּזַ֣ת שַׁ֔עַר הֶחָצֵ֖ר הַפְּנִימִֽית׃
四つの 角の 台座の 祭壇の そして-に 門柱の 門の 庭の 内側の
H0702 H6438 H5835 H4196 H5921 H4201 H8179 H2691 H6442

祭司は罪祭の獣の血を取って、宮の柱と祭壇のかさねの四すみ、および内庭の門の柱に塗れ。

20 וְכֵ֣ן תַּעֲשֶׂ֗ה בְּשִׁבְעָה֙ לַחֹ֔דֶשׁ מֵאִ֖ישׁ שֹׁגֶ֑ה וּמִפֶּ֣תִי
そして-そのように 行う 七日に 月の から 迷った-者と そして-愚かな-者の-ために
H3651 H7651 H2320 H0376 H7686 H6612

וְכִפַּרְתֶּ֖ם אֶת־ הַבָּֽיִת׃
そして-贖う を 宮を
H3722 H0853 H1004

月の七日に、あなたがたは、過失や無知のために罪を犯した者のために、このように行って宮のためにあがないをなせ。

21 בָּרִאשׁוֹן֙ בְּאַרְבָּעָ֣ה עָשָׂ֔ר יוֹם֙ לַחֹ֔דֶשׁ יִהְיֶ֥ה לָכֶ֖ם הַפָּ֣סַח חַ֑ג
第一の-月に 十四日に 十四の 日に 月の ある あなたがたに 過越の-祭りが 祭りである
H7223 H0702 H6240 H3117 H2320 H1961 H3068 H6453 H2282

מַצּ֥וֹת יֵאָכֵ֖ל׃ יָמִ֔ים שִׁבְעֹ֥ת
種なし-パンが 食べられる 日の-間の 七日の-間の
H4682 H3398 H3117 H7620

正月の十四日に、あなたがたは過越の祭を祝え。七日の間、種を入れぬパンを食べよ。

22 וְעָשָׂה הַנָּשִׂיא בַּיּוֹם הַהוּא בַּעֲדוֹ וּבְעַד כָּל־עַם הָאָרֶץ פָּר חַטָּאת׃
そして-ささげる 君主が その 日に その-ために そして-ために すべての 民の 地の 雄牛を 罪の-いけにえの
H6213 H5387 H1931 H3117 H1157 H1157 H3605 H5971 H0776 H6499 H2403

その日に君たる者は、自身のため、また国のすべての民のため、雄牛をささげて罪祭とし、

23 וְשִׁבְעַת יְמֵי־הֶחָג עוֹלָה יַעֲשֶׂה לַיהוָה שִׁבְעָה פָרִים וְשִׁבְעַת אֵילִים תְּמִימִם לַיּוֹם שִׁבְעַת הַיָּמִים וְחַטָּאת שְׂעִיר עִזִּים לַיּוֹם׃
そして-七日の-間 日々の 祭りの ささげる 燔祭を 主に 七頭の 雄牛と 七頭の 雄羊を 完全な 毎日 七日の-間 そして-罪の-いけにえを 雄山羊を 山羊の 毎日
H7651 H3117 H2282 H6213 H5930 H3068 H7651 H6499 H7651 H352 H8549 H3117 H7651 H2403 H8163 H5795 H3117

祝い日である七日の間は、七頭の雄牛と、七頭の雄羊の無傷のものを、七日の間毎日、燔祭として主に供えよ。また、雄やぎを罪祭として日々ささげよ。

24 וּמִנְחָה אֵיפָה לַפָּר וְאֵיפָה לָאַיִל יַעֲשֶׂה וְשֶׁמֶן הִין לָאֵיפָה׃
そして-穀物の-供え物は エパを 雄牛の-ために そして-エパを 雄羊の-ために ささげる そして-油を ヒンを エパの-ために
H4503 H0374 H6499 H0374 H0374 H6213 H8081 H1969 H0374

また素祭として麦粉一エパを各雄牛のため、一エパを各雄羊のためにととのえ、油一ヒンを各エパに加えよ。

25 בַּשְּׁבִיעִי בַּחֲמִשָּׁה עָשָׂר יוֹם לַחֹדֶשׁ בֶּחָג כָּאֵלֶּה שִׁבְעַת יַעֲשֶׂה כַּחַטָּאת כָּעֹלָה וְכַמִּנְחָה וְכַשָּׁמֶן׃ ס
第七の-月に 十五日に 月の 祭りに これらの-ように ささげる 七日の-間 罪の-いけにえの-ように 燔祭の-ように そして-穀物の-供え物の-ように そして-油の-ように 日々の
H7637 H2568 H2320 H2282 H3644 H6213 H7651 H2403 H5930 H3605 H4503 H8081 H3117

(区切り)

七月十五日の祝い日に、彼は七日の間、罪祭、燔祭、素祭および油を、このように供えなければならない。

Chapter 46

1 כֹּה־אָמַר אֲדֹנָי יְהוִה שַׁעַר הֶחָצֵר הַפְּנִימִית הַפֹּנֶה קָדִים יִהְיֶה סָגוּר שֵׁשֶׁת יְמֵי הַמַּעֲשֶׂה וּבְיוֹם הַשַּׁבָּת יִפָּתֵחַ וּבְיוֹם חֹדֶשׁ יִפָּתֵחַ׃
このように 言われた 主なる 神は 門は 庭の 内側の 向いている 東に 六つの 働きの 日の 閉じられて なければならない また-日に 安息日の しかし-日に 開かれる 新月の 開かれる
H3541 H0559 H0136 H3068 H8179 H2691 H6442 H6437 H6921 H8337 H4639 H3117 H5462 H1961 H3117 H7676 H3117 H6605 H2320 H6605

主なる神は、こう言われる、内庭にある東向きの門は、働きをする六日の間は閉じ、安息日にはこれを開き、またついたちにはこれを開け。

2 וּבָא הַנָּשִׂיא דֶּרֶךְ אוּלָם הַשַּׁעַר מִחוּץ וְעָמַד וְעַמַּד־ עַל־ מְזוּזַת הַשָּׁעַר
そして-入る 君主は 道を-通って 玄関の 門の 外から そして-立つ そばに 柱の 門の
H0935 H0853 H1870 H0197 H8179 H2351 H5975 H5921 H4201 H8179

וְעָשׂוּ הַכֹּהֲנִים אֶת־ עֹלָתוֹ וְאֶת־ שְׁלָמָיו
そして-ささげる 祭司たちは [目的語] 彼の-全焼のささげ物を そして 彼の-和解のささげ物を
H6213 H3548 H0853 H5930 H0853 H8002

וְהִשְׁתַּחֲוָה עַל־ מִפְתַּן הַשַּׁעַר וְיָצָא וְהַשַּׁעַר לֹא־ יִסָּגֵר עַד־
そして-ひれ伏す そばに 敷居の 門の そして-出る しかし-門は ない 閉じられない まで
H7812 H5921 H4670 H8179 H3318 H8179 H3808 H5462 H5704

הָעֶרֶב׃
夕方の
H6153

君たる者は、外から門の廊をとおってはいり、門の柱のかたわらに立て。そのとき祭司たちは、燔祭と酬恩祭とをささげ、彼は門の敷居で、礼拝して出て行くのである。しかし門は夕暮まで閉じてはならない。

3 וְהִשְׁתַּחֲוָה עַם־ הָאָרֶץ פֶּתַח הַשַּׁעַר הַהוּא בַּשַּׁבָּתוֹת וּבֶחֳדָשִׁים לִפְנֵי
そして-ひれ伏す 民は その-地の 入り口で 門の その 安息日に また-新月に の-前で
H7812 H5971 H0776 H6607 H8179 H1931 H7676 H2320 H6440

יְהוָה׃
主の
H3068

国の民は安息日と、ついたちとに、その門の入口で主の前に礼拝をせよ。

4 וְהָעֹלָה אֲשֶׁר־ יַקְרִב הַנָּשִׂיא לַיהוָה בְּיוֹם הַשַּׁבָּת שִׁשָּׁה כְבָשִׂים
そして-全焼のささげ物を それを ささげる 君主は 主に 日に 安息日の 六頭の 子羊を
H5930 H0834 H7126 H5387 H3068 H3117 H7676 H8337 H3532

תְּמִימִם׃ וְאַיִל תְּמִימִם׃
傷のない また-雄羊を 傷のない
H8549 H0352 H8549

君たる者が、安息日に主にささげる燔祭は、六頭の無傷の小羊と、一頭の無傷の雄羊とである。

5 וּמִנְחָה מִנְחַת וְלַכְּבָשִׂים לָאַיִל אֵיפָה וּמִנְחָה
そして-穀物のささげ物は 雄羊に-対する 一エパの そして-穀物のささげ物は
H5930 H4503 H3532 H0352 H0374 H5930 H4503

לָאֵיפָה׃ הִין וְשֶׁמֶן וְדֵי
一エパに-対する 一ヒンの そして-油は 彼の-手の
H0374 H1969 H8081 H3027

また素祭は雄羊のために麦粉一エパ、小羊のための素祭は、その人のささげうる程度とし、麦粉一エパに油一ヒンを加えよ。

6 וּבְיוֹם הַחֹדֶשׁ פַּר בֶּן־ בָּקָר תְּמִימִם וְשִׁשָּׁה כְבָשִׂים וְאַיִל
しかし-日に 新月の 若い-雄牛を の-子 牛の 傷のない また-六頭の 子羊を そして-雄羊を
H3117 H2320 H6499 H1121 H1241 H8549 H8337 H3532 H0352

תְּמִימִם׃ יִהְיוּ׃
傷のない ものでなければならない
H8549 H1961

ついたちには無傷の雄牛の子一頭、六頭の小羊および一頭の雄羊をささげよ。これらはすべて無傷のものでなければならない。

7
מִנְחָה יַעֲשֶׂה לָאַיִל וְאֵיפָה לַפָּר וְאֵיפָה
穀物のささげ物として ささげる 雄羊に-対する また-一エパを 雄牛に-対する そして-一エパを
H4503 H0374 H0374 H6499 H0374

לָאֵיפָה׃ הִין וְשֶׁמֶן יָדָו תַּשִּׂיג כַּאֲשֶׁר וְלַכְּבָשִׂים
一エパに-対する 一ヒンの また-油は 彼の-手が 達する のように そして-子羊には
H0374 H1969 H8081 H3027 H5381 H3532

素祭は雄牛のために麦粉一エパ、雄羊のために麦粉一エパ、小羊のためには、その人のささげうる程度のものを供えよ。また麦粉一エパに油一ヒンを加えよ。

8
יֵצֵא׃ וּבְדַרְכּוֹ יָבוֹא הַשַּׁעַר אוּלָם דֶּרֶךְ הַנָּשִׂיא וּבְבוֹא
出る また-その-道から 入る 門の 玄関の 道を-通って 君主は そして-入る-とき
H3318 H1870 H0935 H8179 H0197 H1870 H0935

君たる者がはいる時は門の廊の道からはいり、またその道から出よ。

9
דֶּרֶךְ־ הַבָּא בַּמּוֹעֲדִים יְהוָה לִפְנֵי הָאָרֶץ עַם־ וּבְבוֹא
道を-通って 入って-来る-者は 祭りの-ときに 主の の-前に その-地の 民は そして-入る-とき
H1870 H0935 H4150 H3068 H6440 H0776 H0935

דֶּרֶךְ־ וְהַבָּא נֶגֶב שַׁעַר דֶּרֶךְ־ יֵצֵא לְהִשְׁתַּחֲוֹת צָפוֹן שַׁעַר
道を-通って また-入って-来る-者は 南の 門の 道を-通って 出る 礼拝するために 北の 門の
H1870 H0935 H5045 H8179 H1870 H3318 H7812 H6828 H8179

הַשַּׁעַר דֶּרֶךְ יָשׁוּב לֹא צָפוֹנָה שַׁעַר דֶּרֶךְ־ יֵצֵא נֶגֶב שַׁעַר
門の 道を-通って 戻らない ない 北の 門の 道を-通って 出る 南の 門の
H8179 H1870 H7725 H3808 H6828 H8179 H1870 H3318 H5045 H8179

):יֵצֵא( ]יצאו[נִכְחוֹ כִּי בּוֹ בָּא אֲשֶׁר־
出る [ケティブ] まっすぐに なぜなら それに 入って-来た そこを-通って
H3318 H3318 H5226 H0935

国の民が、祝い日に主の前に出る時、礼拝のため、北の門の道からはいる者は、南の門の道から出て行き、南の門の道からはいる者は、北の門の道から出て行け。そのはいった門の道からは、帰ってはならない。まっすぐに進んで、出て行かなければならない。

10
יֵצֵאוּ׃ וּבְצֵאתָם יָבוֹא בְּבוֹאָם בְּתוֹכָם וְהַנָּשִׂיא
出る また-彼らが-出る-とき 入る 彼らが-入る-とき 彼らの-中で そして-君主は
H3318 H3318 H0935 H0935 H8432

彼らがはいる時、君たる者は、彼らと共にはいり、彼らが出る時、彼も出なければならない。

11
וְאֵיפָה לַפָּר אֵיפָה הַמִּנְחָה תִּהְיֶה וּבַמּוֹעֲדִים וּבַחַגִּים
また-一エパの 雄牛に-対する 一エパの 穀物のささげ物は なる また-例祭に また-祭りに
H0374 H6499 H0374 H4503 H1961 H4150 H2282

ס לָאֵיפָה׃ הִין וְשֶׁמֶן יָדוֹ מַתַּת וְלַכְּבָשִׂים לָאַיִל
[区切り] 一エパに-対する 一ヒンの そして-油は 彼の-手の 賜物の そして-子羊には 雄羊に-対する
H0374 H1969 H8081 H3027 H4991 H3532

祭日と祝い日には、素祭として、若い雄牛のために麦粉一エパ、雄羊のために麦粉一エパ、小羊のためには、その人のささげうる程度のものを供え、麦粉一エパには油一ヒンを加えよ。

12 וְכִי־ יַעֲשֶׂה הַנָּשִׂיא נְדָבָה עוֹלָה אוֹ־ שְׁלָמִים
そして–もし ささげる–なら 君主が 自発の 全焼のささげ物を あるいは 和解のささげ物を
H8002 H5071

וְעָשָׂה אֶת־ עֹלָתוֹ וְאֶת־ שְׁלָמָיו כַּאֲשֶׁר יַעֲשֶׂה
そして–ささげる [目的語] 彼の–全焼のささげ物を そして 彼の–和解のささげ物を のように ささげる
H0853 H0853 H8002

בְּיוֹם הַשַּׁבָּת וְיָצָא וְסָגַר אֶת־ הַשַּׁעַר אַחֲרֵי צֵאתוֹ׃
日に 安息日の そして–出る そして–閉じる [目的語] 門を の–後で 彼が–出た
H3117 H7676 H3318 H5462 H0853 H8179 H3318

また君たる者が、心からの供え物として、燔祭または酬恩祭を主にささげる時は、彼のために東に面した門を開け。彼は安息日に行うように、その燔祭と酬恩祭を供え、そして退出する。その退出の後、門は閉ざされる。

13 וְכֶבֶשׂ עֹלָה לַיהוָה תַּעֲשֶׂה יוֹם בְּיוֹם תָּמִים שְׁנָתוֹ בֶּן־
そして–子羊を 全焼のささげ物として 主に ささげる 日ごとに 傷のない 一歳の の–子
H3532 H5930 H3068 H6213 H8549 H8141 H1121

בַּבֹּקֶר בַּבֹּקֶר תַּעֲשֶׂה אֹתוֹ׃
朝–ごとに 朝–ごとに ささげる それを
H1242 H1242 H6213 H0853

彼は日ごとに一歳の無傷の小羊を燔祭として、主にささげなければならない。すなわち朝ごとに、これをささげなければならない。

14 וּמִנְחָה תַּעֲשֶׂה עָלָיו בַּבֹּקֶר בַּבֹּקֶר שִׁשִּׁית הָאֵיפָה
そして–穀物のささげ物を ささげる それに–加えて 朝–ごとに 朝–ごとに 六分の–一の 一エパの
H4503 H6213 H5921 H1242 H1242 H8345 H0374

וְשֶׁמֶן שְׁלִשִׁית הַהִין לָרֹס הַסֹּלֶת אֶת־ מִנְחָה
また–油は 三分の–一の 一ヒンの 混ぜるために 上等の–小麦粉に [目的語] 穀物のささげ物として
H8081 H7992 H1969 H7450 H5560 H0853 H4503

תָּמִיד׃ עוֹלָם חֻקּוֹת לַיהוָה
絶えず 永遠の 定めの 主への
H8548 H5769 H2708 H3068

彼は朝ごとに、素祭をこれに添えてささげなければならない。すなわち麦粉一エパの六分の一に、これを潤す油一ヒンの三分の一を、素祭として主にささげなければならない。これは常燔祭のおきてである。

15 וְעָשׂוּ(יַעֲשׂוּ) [ועשו] אֶת־ הַכֶּבֶשׂ וְאֶת־ הַמִּנְחָה וְאֶת־ הַשֶּׁמֶן בַּבֹּקֶר
ささげる [ケティブ] [目的語] 子羊を そして 穀物のささげ物を そして–油を 朝–ごとに
H6213 H0853 H3532 H0853 H4503 H0853 H8081 H1242

עוֹלַת תָּמִיד׃ פ
全焼のささげ物として 絶えず [区切り]
H5930 H8548

すなわち朝ごとに常燔祭として、小羊と素祭と油とをささげなければならない。

16 כֹּה־ אָמַר אֲדֹנָי יְהוִה כִּי־ יִתֵּן הַנָּשִׂיא מַתָּנָה לְאִישׁ
このように 言われた 主なる 神は もし 与える–なら 君主が 贈り物を 人に
H3541 H0559 H0136 H3069 H3588 H5414 H5375 H4979 H0376

מִבָּנָיו נַחֲלָתוֹ הִיא וְהָיְתָה לְבָנָיו אֲחֻזָּתָם׃
彼の–息子たちから 彼の–相続地は それは なる 彼の–息子たちの–ものと 彼らの–所有地として
H1121 H5159 H1931 H1961 H1121 H0272

בְּנַחֲלָה׃ הִיא
相続地として それは
H5159 H1931

主なる神は、こう言われる、君たる者が、もしその嗣業から、その子のひとりに財産を与える時は、それはその子らの嗣業の所有となる。

17 וְכִי־ יִתֵּן מַתָּנָה מִנַּחֲלָתוֹ לְאַחַד מֵעַבָדָיו וְהָיְתָה
しかし–もし 与える–なら 贈り物を 彼の–相続地から 一人に 彼の–家来たちの それは–なる
H3588 H5414 H4979 H5159 H0259 H5650 H1961

לוֹ עַד־ שְׁנַת הַדְּרוֹר וְשָׁבַת אַךְ לַנָּשִׂיא בָּנָיו נַחֲלָתוֹ׃
彼の–ものと まで 年の 解放の そして–戻る ただし 君主に 彼の–息子たちに 彼の–相続地は
H0518 H5704 H8141 H1865 H7725 H0389 H5387 H1121 H5159

לָהֶם תִּהְיֶה׃
彼らの–ものと なる
H1992 H1961

しかし彼がその奴隷のひとりに、嗣業の一部分を与える時は、それは彼の解放の年まで、その人に属していて、その後は君たる人に帰る。彼の嗣業は、ただその子らにだけ伝わるべきである。

18 וְלֹא־ יִקַּח הַנָּשִׂיא מִנַּחֲלַת הָעָם לְהוֹנֹתָם מֵאֲחֻזָּתָם
そして–ない 取っては–ならない 君主は から 民の–相続地の 彼らを–虐げて 彼らの–所有地から
H3808 H3947 H5387 H5159 H5971 H3238 H0272

יְפֻצוּ לֹא־ אֲשֶׁר לְמַעַן בָּנָיו אֶת־ יִנְחַל מֵאֲחֻזָּתוֹ׃ אִישׁ עַמִּי
散らされることの ない ない ために 彼の–息子たちに [目的語] 分け与える 彼自身の–所有地から 各自 わたしの–民が
H6327 H3808 H0834 H4616 H1121 H0853 H5157 H0272 H0376 H5971

מֵאֲחֻזָּתוֹ׃
彼の–所有地から
H0272

君たる者はその民の嗣業を取って、その財産を継がせないようにしてはならない。彼はただ、自分の財産のうちから、その子らにその嗣業を、与えなければならない。これはわが民のひとりでも、その財産を失わないためである」。

19 וַיְבִיאֵנִי הַלִּשְׁכוֹת הַקְּדֹשׁ אֲשֶׁר עַל־ כֶּתֶף הַשַּׁעַר בַּמָּבוֹא
そして–連れて来た–私を 部屋へ 聖なる 側面に 門の へ そばの そこの 入り口を–通って
H0935 H3957 H6944 H3802 H8179 H0413 H5921 H0834 H3996

אֶל־ הַכֹּהֲנִים הַפְּנוּת צָפוֹנָה וְהִנֵּה־ שָׁם מָקוֹם]בירכתם[ )בִּירֵכָתַיִם(
に 祭司たちの 向いている 北に すると–見よ そこに 場所が–あった [ケティブ] 奥に
H0413 H3548 H6437 H6828 H2009 H8033 H4725 H3411 H3411

יָמָּה׃ ס
西の–方に [区切り]
H3220

こうして彼はわたしを連れて、門のかたわらの入口から、北向きの祭司の聖なる室に、はいらせた。見ると、西の奥の方に一つの場所があった。

20

אֶת־ [目的語] H0853
הַכֹּהֲנִים 祭司たちが H3548
שָׁם そこで H8033
יְבַשְּׁלוּ־ 煮る H1310
אֲשֶׁר そこで
הַמָּקוֹם 場所で–ある H4725
זֶה これが H2088
אֵלַי 私に H0413
וַיֹּאמֶר そして–言った H0559

לְבִלְתִּי ないように H1115
הַמִּנְחָה 穀物のささげ物を H4503
אֶת־ [目的語] H0853
יַאפוּ 焼く H0644
אֲשֶׁר そこで
הַחַטָּאת 罪のささげ物を
וְאֶת־ そして H0853
הָאָשָׁם 罪過のささげ物を H0817

הָעָם׃ 民を
אֶת־ [目的語] H0853
לְקַדֵּשׁ 聖とするために H6942
הַחִיצוֹנָה 外側の H2435
הֶחָצֵר 庭の
אֶל־ に H0413
הוֹצִיא 持ち出す H3318

彼はわたしに言った、「これは祭司たちが愆祭および罪祭のものを煮、素祭のものを焼く所である。これは外庭にそれらを携え出て、聖なるべきことを、民にうつさないためである」。

21

מִקְצוֹעֵי 隅の H4740
אַרְבַּעַת 四つの H0702
אֶל־ に H0413
וַיַּעֲבִרֵנִי そして–通らせた–私を
הַחִיצֹנָה 外側の H2435
הֶחָצֵר 庭の
אֶל־ に H0413
וַיּוֹצִיאֵנִי そして–連れ出した–私を H3318

הֶחָצֵר׃ 庭の
בְּמִקְצַע 隅に H4740
חָצֵר 庭が
הֶחָצֵר 庭の
בְּמִקְצַע 隅に H4740
חָצֵר׀ 庭が–あった
וְהִנֵּה すると–見よ H2009
הֶחָצֵר 庭の

彼はまたわたしを外庭に連れ出し、庭の四すみを通らせた。見よ、庭のこのすみにも庭があり、また庭のかのすみにも庭があった。

22

וּשְׁלֹשִׁים また–三十の H7970
אֹרֶךְ 長さの H0753
אַרְבָּעִים 四十の H0705
קְטֻרוֹת 屋根の–ある H7000
חֲצֵרוֹת 囲まれた–庭が–あった
הֶחָצֵר׀ 庭の
מִקְצָעוֹת 隅に H4740
בְּאַרְבַּעַת 四つの H0702

מְחֻקְצָעוֹת׃ 角のある
לְאַרְבַּעְתָּם 四つ–すべてに H0702
אַחַת 一つの H0259
מִדָּה 寸法は
רֹחַב 幅の H7341

すなわち庭の四すみに小さい庭があり、長さ四十キュビト、幅三十キュビトで、四つとも同じ大きさである。

23

מִתָּחַת 下に H8478
עָשׂוּי 造られていた
וּמִבַשְּׁלוֹת また–煮る–場所が H4018
לְאַרְבַּעְתָּם 四つ–すべてに H0702
סָבִיב 周囲に H5439
בָּהֶם それらの–中に
סָבִיב 周囲に H5439
וְטוּר そして–棚が H2905

סָבִיב׃ 周囲に H5439
הַטִּירוֹת 棚の H2918

その四つの小さい庭の内部の四方には、石の壁があり、周囲の壁の下に、物を煮る所が設けてあった。

24

מְשָׁרְתֵי 仕える–者たちが H8334
שָׁם そこで H8033
יְבַשְּׁלוּ־ 煮る H1310
אֲשֶׁר そこで
הַמְבַשְּׁלִים 煮る–ための H1310
בֵּית 家の
אֵלֶּה これらは H0428
אֵלַי 私に H0413
וַיֹּאמֶר そして–言った H0559

הָעָם׃ 民の
זֶבַח いけにえを H2077
אֶת־ [目的語] H0853
הַבַּיִת 宮の

彼はわたしに言った、「これらは宮の仕え人たちが、民のささげる犠牲のものを煮る台所である」。

Chapter 47

1

מִפְתָּן	מִתַּחַת	יֹצְאִים	מַיִם	וְהִנֵּה־	הַבַּיִת	פֶּתַח	אֶל־	וַיְשִׁבֵנִי
敷居の	下から	流れ-出ていた	水が	すると-見よ	宮の	入り口に	へ	そして-戻した-私を
H4670	H8478	H3318	H4325	H2009		H6607	H0413	H7725

מִכֶּתֶף	מִתַּחַת	יֹרְדִים	וְהַמַּיִם	קֹדְמָה	הַבָּיִת	פְּנֵי	כִּי־	קָדִימָה	הַבַּיְתָה
側面の	下から	下って-いた	そして-水は	東で-ある	宮の	正面が	なぜなら	東の-方へ	宮の
H3802	H8478	H3381	H4325	H6921		H6440		H6921	

לַמִּזְבֵּחַ׃	מִנֶּגֶב	הַיְמָנִית	הַבַּיְתָה
祭壇の	南の-方へ	右の	宮の
H4196	H5045	H3233	

そして彼はわたしを宮の戸口に帰らせた。見よ、水の宮の敷居の下から、東の方へ流れていた。宮は東に面し、その水は、下から出て、祭壇の南にある宮の敷居の南の端から、流れ下っていた。

2

חִוֹּין	דֶּרֶךְ	וַיְסֹבְבֵנִי	צָפוֹנָה	שַׁעַר	דֶּרֶךְ־	וַיּוֹצִאֵנִי		
外の	道を-通って	そして-廻らせた-私を	北の	門の	道を-通って	そして-連れ出した-私を		
H2351	H1870	H5437	H6828	H8179	H1870	H3318		

מִן־	מְפַכִּים	מַיִם	וְהִנֵּה־	קֵדְמָה	הַפּוֹנָה	דֶּרֶךְ	הַחִוֹּין	שַׁעַר	אֶל־
から	湧き-出ていた	水が	すると-見よ	東に	向いている	道を-通って	外の	門の	へ
	H6379	H4325	H2009	H6921	H6437	H1870	H2351	H8179	H0413

הַיְמָנִית׃	הַכָּתֵף
右の	側面の
H3233	H3802

彼は北の門の道から、わたしを連れ出し、外をまわって、東に向かう外の門に行かせた。見よ、水は南の方から流れ出ていた。

3

בָּאַמָּה	אֶלֶף	וַיָּמָד	בְּיָדוֹ	וְקָו	קֵדְמָה	הָאִישׁ	בְּצֵאת־	
アンマで	千を	そして-測った	手に-持って	測り-縄を	東に-向かって	その-人は	出て-行く-とき	
	H0505	H4058	H3027		H6921	H0376	H3318	

אָפְסִים׃	מַיִם	בַּמַּיִם	וַיַּעֲבִרֵנִי
くるぶしまでの	水は	水の-中を	そして-渡らせた-私を
	H4325	H4325	

その人は東に進み、手に測りなわをもって一千キュビトを測り、わたしを渡らせた。すると水はくるぶしに達した。

4

אֶלֶף	וַיָּמָד	בִּרְכָּיִם	מַיִם	בַּמַּיִם	וַיַּעֲבִרֵנִי	אֶלֶף	וַיָּמָד	
千を	そして-測った	ひざまでの	水は	水の-中を	そして-渡らせた-私を	千を	そして-測った	
H0505	H4058	H1290	H4325	H4325		H0505	H4058	

מָתְנָיִם׃	מַיִם	וַיַּעֲבִרֵנִי
腰までの	水は	そして-渡らせた-私を
H4975	H4325	

彼がまた一千キュビトを測って、わたしを渡らせると、水はひざに達した。彼がまた一千キュビトを測って、わたしを渡らせると、水は腰に達した。

5

כִּי־	לַעֲבֹר	אוּכַל	לֹא־	אֲשֶׁר	נַחַל	אֶלֶף	וַיָּמָד	
なぜなら	渡ることが	渡ることが-できなかった	ない	それを	川と-なった	千を	そして-測った	
		H3201	H3808			H0505	H4058	

יַעֲבֹר׃	לֹא־	אֲשֶׁר	נַחַל	שָׂחוּ	מַיִם	הַמַּיִם	נָאוּ	
渡れない	ない	それを	川と-なった	泳ぐほどの	水は	水が	深く-なった	
	H3808			H7813	H4325	H4325	H1342	

彼がまた一千キュビトを測ると、渡り得ないほどの川になり、水は深くなって、泳げるほどの水、越え得ないほどの川になった。

6 וַיֹּאמֶר אֵלַי הֲרָאִיתָ בֶן־אָדָם וַיּוֹלִכֵנִי וַיְשִׁבֵנִי שְׂפַת הַנָּחַל׃
そして-言った 私に 見たか の-子よ 人の そして-導いた-私を そして-座らせた-私を 岸に 川の
H0559 H0413 H7200 H0120 H3212 H7725 H8193

彼はわたしに「人の子よ、あなたはこれを見るか」と言った。それから、彼はわたしを川の岸に沿って連れ帰った。

7 בְּשׁוּבֵּנִי וְהִנֵּה עַל־שְׂפַת הַנָּחַל עֵץ רַב מְאֹד מִזֶּה וּמִזֶּה׃
戻った-とき すると-見よ に 岸の 川の 木が 多く 非常に こちらにも あちらにも
H7725 H2009 H0413 H8193 H5158 H6086 H3966 H2088 H2088

わたしが帰ってくると、見よ、川の岸のこなたかなたに、はなはだ多くの木があった。

8 וַיֹּאמֶר אֵלַי הַמַּיִם הָאֵלֶּה יוֹצְאִים אֶל־הַגְּלִילָה הַקַּדְמוֹנָה וְיָרְדוּ עַל־הָעֲרָבָה וּבָאוּ הַיָּמָּה אֶל־הַיָּמָּה הַמּוּצָאִים וְנִרְפָּאוּ׃ [ונרפאו]
そして-言った 私に 水は これらの 出る 東の 地方の へ 流れ-出ている そして-下って-いく へ アラバの そして-入る 海に 海の 流れ-出る-とき [ケティブ]
H0559 H0413 H4325 H0428 H3318 H6930 H1552 H0413 H3318 H3220 H0413 H3220 H0935 H6160 H0413 H3381 H7495

彼はわたしに言った、「この水は東の境に流れて行き、アラバに落ち下り、その水が、よどんだ海にはいると、それは清くなる。

9 וְהָיָה כָּל־נֶפֶשׁ הַחַיָּה אֲשֶׁר־יִשְׁרֹץ אֶל אֲשֶׁר יָבֹא שָׁמָּה הַנְּחָלִים וְיִחְיֶה וְהָיָה כָּל־הַדָּגָה רַב מְאֹד כִּי בָּאוּ שָׁמָּה הַמַּיִם וְיֵרָפְאוּ וְחָיָה כֹּל אֲשֶׁר יָבוֹא שָׁמָּה הַנָּחַל׃
そして-なる すべての 生き物は 生きている そこへ 群がる へ そこに すべての-ところに 川が 来る そこに 生きる 二つの-川が そこに 来た なぜなら 非常に 多く 魚が そして-なる 生きる そこに すべてが そして-生きる そして-いやされる これらの この-水が
H1961 H3605 H5315 H2421 H8317 H0413 H3605 H5158 H0935 H8033 H2421 H5158 H8033 H0935 H3966 H7230 H1710 H1961 H2421 H8033 H0935 H3605 H2425 H7495 H0428 H4325

おおよそこの川の流れる所では、もろもろの動く生き物が皆生き、また、はなはだ多くの魚がいる。これはその水がはいると、海の水を清くするためである。この川の流れる所では、すべてのものが生きている。

10 וְהָיָה [יעמדו] (עָמְדוּ) עָלָיו דַּיָּגִים מֵעֵין גֶּדִי וְעַד־מֵעֵין אֶגְלַיִם מִשְׁטַח חֲרָמִים לְמִינֵהֶן יִהְיוּ דְּגָתָם כִּדְגַת הַיָּם הַגָּדוֹל רַבָּה מְאֹד׃
そして-なる [ケティブ] 立つ それの-そばに 漁師たちが エン・ゲディから また-まで エン・エグライムまで 干す-場所と 網のために なる その-種類に-応じて その-魚は の-魚のように 海の 大きな 多く 非常に
H1961 H5975 H5975 H5921 H1728 H5872 H5704 H5882 H4893 H2764 H1961 H4327 H1710 H1710 H3220 H1419 H7227 H3966

すなどる者が、海のかたわらに立ち、エンゲデからエン・エグライムまで、網を張る所となる。その魚は、大海の魚のように、その種類がはなはだ多い。

11

נִתָּנוּ׃	לְמֶלַח	יֵרָפְאוּ	וְלֹא	וּגְבָאֶיו	בְּצֹאֲתָיו)	[בצאתו
与えられた	塩のために	いやされない	ない	その–池は	その–沢地と	[ケティブ]
H5414	H4417	H7495	H3808	H1360	H1207	H1207

ただし、その沢と沼とは清められないで、塩地のままで残る。

12

עֵץ־	כָּל־	וּמִזֶּה	מִזֶּה	שְׂפָתוֹ	עַל־	יַעֲלֶה	הַנַּחַל	וְעַל־
食用の–木が	すべての	あちらにも	こちらにも	岸に	その	育つ	川の	そして–そばに
H6086	H3605	H2088	H2088	H8193		H5927		

יִבֹּל	לָחֳדָשָׁיו׀	יְבַכֵּר	יִתֹּם	וְלֹא־	עָלֵהוּ	יִבּוֹל	לֹא־	מַּאֲכָל
実を–結ぶ	毎月	その–実は	絶えない	また–ない	その–葉は	しおれない	ない	食べる–ための
H1069	H2320	H6529	H8552	H3808	H5929		H3808	H3978

פִּרְיוֹ	וְהָיָה)	[והיו	יוֹצְאִים	הֵמָּה	הַמִּקְדָּשׁ	מִן־	מֵימָיו	כִּי
その–実は	そして–なる	[ケティブ]	流れ–出ている	それらが	聖所から	から	その–水は	なぜなら
H6529	H1961	H1961	H3318	H1992	H4720		H4325	

ס	לִתְרוּפָה׃	וְעָלֵהוּ	לְמַאֲכָל
[区切り]	いやしのために	また–その–葉は	食物として
	H8644	H5929	H3978

川のかたわら、その岸のこなたかなたに、食物となる各種の木が育つ。その葉は枯れず、その実は絶えず、月ごとに新しい実がなる。これはその水が聖所から流れ出るからである。その実は食用に供せられ、その葉は薬となる」。

13

אֶת־	תִּתְנַחֲלוּ	אֲשֶׁר	גְּבוּל	גֶּה	יְהוִה	אֲדֹנָי	אָמַר	כֹּה	
[目的語]	受け–継ぐ	それに–徴って	境界で–ある	これが	神は	主なる	言われた	このように	
H0853	H5157		H1366	H1454	H3069	H0136	H0559	H3541	

חֲבָלִים׃	יוֹסֵף	יִשְׂרָאֵל	שִׁבְטֵי	עָשָׂר	לִשְׁנֵי	הָאָרֶץ
二–分を–得る	ヨセフは	イスラエルの	部族の	十二の	十二の	地を
	H3130	H3478	H7626	H6240	H8147	H0776

主なる神は、こう言われる、「あなたがたがイスラエルの十二の部族に、嗣業として土地を分け与えるには、その境を次のように定めなければならない。ヨセフには二つの分を与えよ。

14

יָדִי	אֶת־	נָשָׂאתִי׀	אֲשֶׁר	כְּאָחָיו	אִישׁ	אוֹתָהּ׀	וּנְחַלְתֶּם	
私の–手を	[目的語]	誓った–私が	それを	その–兄弟のように	各自	それを	そして–受け–継ぐ	
H3027	H0853	H5375		H0251	H0376	H0853	H5157	

בְּנַחֲלָה׃	לָכֶם	הַזֹּאת	הָאָרֶץ	וְנָפְלָה	לַאֲבֹתֵיכֶם	לְתִתָּהּ
相続地として	あなたがたに	この	この–地は	そして–落ちる	あなたがたの–先祖たちに	与えると
H5159		H2063	H0776	H5307	H0001	H5414

あなたがたは、これを公平に分けよ。これはわたしが、あなたがたの先祖に与えると誓ったもので、これは嗣業として、あなたがたに属するものである。

15

חֶתְלֹן	הַדֶּרֶךְ	הַגָּדוֹל	הַיָּם	מִן־	צְפוֹנָה	לְפֹאָת	הָאָרֶץ	גְּבוּל	וְזֶה
ヘトロンの	道の	大きな	海の	から	北の	方面の	地の	境界で–ある	そして–これが
H2855	H1870		H3220		H6828	H6285	H0776	H1366	H2088

צְדָדָה׃	לְבוֹא	
ツェダドへの	入り口の	
H6657	H0935	

その地の境はこのとおりである。北は大海からヘテロンの道を経て、ハマテの入口およびゼダデに至り、

16 וְחֲמָ֗ת בֵּרֹתָה֙ סִבְרַ֣יִם אֲשֶׁ֔ר בֵּ֥ין גְּב֖וּל דַּמֶּ֑שֶׂק וּבֵ֣ין גְּב֔וּל חֲצַ֖ר הַתִּיכ֥וֹן אֲשֶׁ֖ר אֶל־גְּב֣וּל חַוְרָֽן׃

ハマト ベロタ シブライム それは の–間の ダマスコの 境界の また–の–間の 境界の ハツェル・ ハッティコン それは に 境界の ハウランの

H2574 H1366 H5453 H0996 H1834 H1366 H0996 H2694 H2694 H0413 H1366 H2362

またベロテおよびダマスコとハマテの境にあるシブライムに至り、ハウランの境にあるハザル・ハテコンに及ぶ。

17 וְהָיָ֤ה גְבוּל֙ מִן־הַיָּ֔ם חֲצַ֥ר עֵינ֖וֹן גְּב֣וּל דַּמֶּ֑שֶׂק וְצָפ֣וֹן צָפ֗וֹנָה וּגְב֛וּל חֲמָ֖ת וְזֶ֥ה פְּאַ֖ת צָפֽוֹן׃

そして–なる 境界は から 海の ハツェル・ エノン 境界の ダマスコの そして–北の 北の 方面の これが ハマトの また–境界の 北の–方へ

H1961 H1366 H4480 H3220 H2703 H2703 H1366 H1834 H6828 H6828 H6285 H0853 H2574 H1366 H6828

その境は海からダマスコの北の境にあるハザル・エノンにおよび、北の方はハマテがその境である。これが北の方である。

18 וּפְאַ֣ת קָדִ֗ים מִבֵּין֙ חַוְרָ֣ן וּמִבֵּין֙ דַּמֶּ֔שֶׂק וּמִבֵּ֥ין הַגִּלְעָ֖ד וּמִבֵּ֣ין אֶ֣רֶץ יִשְׂרָאֵ֑ל וְאֶת־הַיַּרְדֵּ֣ן תָּמַ֔דּוּ מִגְּב֖וּל עַד־הַיָּ֣ם הַקַּדְמוֹנִ֑י וְזֶ֥ה פְּאַ֖ת קָדִֽים׃

そして–方面の 東の の–間の ハウランと ダマスコと また–の–間の ギルアドと また–の–間の 地の イスラエルの ヨルダンが 測る これが 境界から 海の に 東の

H6285 H6921 H1366 H2362 H0996 H1834 H0996 H1568 H0996 H0776 H3478 H3383 H4058 H0853 H1366 H3220 H5704 H6931 H6285 H6921

東の方は、ハウランとダマスコの間のハザル・エノンから、ギレアデとイスラエルの地との間の、ヨルダンに沿い、東の海に至り、タマルに及ぶ。これが東の方である。

19 וּפְאַ֣ת נֶ֔גֶב תֵּימָ֖נָה מִתָּמָ֣ר עַד־מֵ֣י מְרִיבֹ֣ות קָדֵ֑שׁ נַ֥חַל אֶל־הַיָּ֖ם הַגָּד֣וֹל וְזֶ֥ה פְּאַת־נֶ֖גְבָּה תֵּימָֽנָה׃

そして–方面の 南の 南の–方へ 大きな これが 方面の 南の 海の へ 川へ カデシュの メリバト・ 水の まで タマルから 南の–方へ

H6285 H5045 H8486 H5045 H3220 H0853 H6285 H8486 H5045 H0413 H5158 H6946 H4808 H4325 H5704 H8559

南の方はタマルからメリボテ・カデシの川に及び、そこからエジプトの川に沿って大海に至る。これが南の方である。

20 וּפְאַת־יָ֔ם הַיָּ֖מָּה מִגְּב֣וּל עַד־נֹ֔כַח לְבֹ֖וא חֲמָ֑ת זֹ֥את פְּאַת־יָֽם׃

そして–方面の 西の 海の 境界から まで 向かいの 入り口の ハマトの これが 方面の 西の

H6285 H3220 H3220 H1366 H5704 H5227 H0935 H2574 H2063 H6285 H3220

西の方はハマテの入口に至る大海を境とする。これが西の方である。

21 וְחִלַּקְתֶּ֥ם אֶת־הָאָ֖רֶץ הַזֹּ֣את לָכֶ֑ם לִשְׁבְטֵ֖י יִשְׂרָאֵֽל׃

そして–分ける [目的語] この–地を この あなたがたに 部族の イスラエルの

H2063 H0776 H0853 H2063 H0776 H7626 H3478

あなたがたはこのように、イスラエルの部族に従って、この地をあなたがたの間に分割せよ。

22

הַגָּרִים	וּלְהַגֵּרִים	לָכֶם	בְּנַחֲלָה	אֹתָהּ	תַּפִּלוּ	וְהָיָה	
住んでいる	また–寄留者たちに	あなたがたに	相続地として	それを	分配する	そして–なる	
	H1616		H5159	H0853	H5307	H1961	

לָכֶם	וְהָיוּ	בְּתוֹכְכֶם	בָּנִים	הוֹלִדוּ	אֲשֶׁר־	בְּתוֹכְכֶם
あなたがたに	そして–なる	あなたがたの–中に	子供を	生んだ	そこで	あなたがたの–中に
	H1961	H8432		H3205		H8432

בְּתוֹךְ	בְּנַחֲלָה	יִפְּלוּ	אִתְּכֶם	יִשְׂרָאֵל	בְּבְנֵי	כְּאֶזְרָח
の–中に	相続地に	分配される	あなたがたと–共に	イスラエルの–子らの	の–中で	生まれの–者のように
H8432	H5159	H5307	H0854	H3478		H0249

יִשְׂרָאֵל׃	שִׁבְטֵי
イスラエルの	部族の
H3478	H7626

あなたがたは、くじをもって、これをあなたがたのうちに分け、またあなたがたのうちにいて、あなたがたのうちに、子を生んだ寄留の他国人のうちに分けて、嗣業とせよ。彼らは、あなたがたには、イスラエルの人々のうちの本国人と同様である。彼らもあなたがたと一緒にくじを引いて、イスラエルの部族のうちに嗣業を得るべきである。

23

נַחֲלָתוֹ	תִּתְּנוּ	שָׁם	אִתּוֹ	הַגֵּר	גָּר	אֲשֶׁר־	בַּשֵּׁבֶט	וְהָיָה
彼の–相続地を	与える	そこで	共に	寻留者が	住んだ	そこに	部族の–中で	そして–なる
H5159	H5414	H8033	H0854	H1616			H7626	H1961

ס	יְהוִה׃	אֲדֹנָי	נְאֻם
[区切り]	神の	主なる	御告げで–ある
	H3069	H0136	H5002

他国人には、その住んでいる部族のうちで、その嗣業をこれに与えなければならないと、主なる神は言われる。

Chapter 48

1

לְבוֹא־	וְחֶתְלֹן	דֶּרֶךְ־	יַד־	אֶל־	צָפוֹנָה	מִקְצֵה	הַשְּׁבָטִים	שְׁמוֹת	וְאֵלֶּה
入り口の	ヘトロンの	道の	側の	に	北の	端から	部族の	名の	そして–これらが
H0935	H2855	H1870	H3027	H0413	H6828		H7626	H8034	H0428

וְהָיוּ־	חֲמָת	יַד־	אֶל־	צָפוֹנָה	דַּמֶּשֶׂק	גְּבוּל	עֵינָן	חֲצַר	חֲמָת
そして–ある	ハマトの	側の	に	北の–方へ	ダマスコの	境界の	エナン	ハツェル・	ハマトの
H1961	H2574	H3027	H0413	H6828	H1834	H1366	H2704	H2704	H2574

אֶחָד׃	דָּן	הַיָּם	קְדִים	פְּאַת־	לְוֹ
一つ	ダン	海まで	東から	方面の	彼に
H0259	H1835	H3220	H6921	H6285	

イスラエルの部族の名は次のとおりである。北の果からヘテロンの道を経て、ハマテの入口に至り、ハマテに相対するダマスコの北の境にあるハザル・エノンに及び、東の方から西の方へのびる地方、これがダンの分である。

2

אֶחָד׃	אָשֵׁר	יָמָּה	פְּאַת־	עַד־	קְדִים	מִפְּאַת	דָּן	גְּבוּל	וְעַל
一つ	アシェル	西の	方面の	まで	東の	方面から	ダンの	境界の	そして–の–そばに
H0259	H0836	H3220	H6285	H5704	H6921	H6285	H1835	H1366	

ダンの領地に沿って、東の方から西の方へのびる地方、これがアセルの分である。

3

אֶחָד׃	נַפְתָּלִי	יָמָּה	פְּאַת־	וְעַד־	קְדִימָה	מִפְּאַת	אָשֵׁר	גְּבוּל	וְעַל
一つ	ナフタリ	西の	方面の	まで	東の	方面から	アシェルの	境界の	そして–の–そばに
H0259	H5321	H3220	H6285	H5704	H6921	H6285	H0836	H1366	

アセルの領地に沿って、東の方から西の方へのびる地方、これがナフタリの分である。

וְעַל	גְּבוּל	נַפְתָּלִי	מִפְּאַת	קֶדְמָה	עַד־	פְּאַת־	יָמָּה	מְנַשֶּׁה	אֶחָד׃
そして–の–そばに	境界の	ナフタリの	方面から	東の	まで	方面の	西の	マナセ	一つ
H1366	H5321	H6285	H6921	H5704	H6285	H3220	H4519	H0259	

4

ナフタリの領地に沿って、東の方から西の方へのびる地方、これがマナセの分である。

וְעַל	גְּבוּל	מְנַשֶּׁה	מִפְּאַת	קֶדְמָה	עַד־	פְּאַת־	יָמָּה	אֶפְרַיִם	אֶחָד׃
そして–の–そばに	境界の	マナセの	方面から	東の	まで	方面の	西の	エフライム	一つ
H1366	H4519	H6285	H6921	H5704	H6285	H3220	H0669	H0259	

5

マナセの領地に沿って、東の方から西の方へのびる地方、これがエフライムの分である。

וְעַל	גְּבוּל	אֶפְרַיִם	מִפְּאַת	קֶדְמִים	וְעַד־	פְּאַת־	יָמָּה	רְאוּבֵן	אֶחָד׃
そして–の–そばに	境界の	エフライムの	方面から	東の	まで	方面の	西の	ルベン	一つ
H1366	H0669	H6285	H6921	H5704	H6285	H3220	H7205	H0259	

6

エフライムの領地に沿って、東の方から西の方へのびる地方、これがルベンの分である。

וְעַל	גְּבוּל	רְאוּבֵן	מִפְּאַת	קֶדְמִים	עַד־	פְּאַת־	יָמָּה	יְהוּדָה	אֶחָד׃
そして–の–そばに	境界の	ルベンの	方面から	東の	まで	方面の	西の	ユダ	一つ
H1366	H7205	H6285	H6921	H5704	H6285	H3220	H3063	H0259	

7

ルベンの領地に沿って、東の方から西の方へのびる地方、これがユダの分である。

וְעַל	גְּבוּל	יְהוּדָה	מִפְּאַת	קֶדְמִים	עַד־	פְּאַת־	יָמָּה	תִּהְיֶה	הַתְּרוּמָה
そして–の–そばに	境界の	ユダの	方面から	東の	まで	方面の	西の	なる	奉納地は
H1366	H3063	H6285	H6921	H5704	H6285	H3220	H1961	H8641	

8

אֲשֶׁר־	תָּרִימוּ	חֲמִשָּׁה	וְעֶשְׂרִים	אֶלֶף	רֹחַב	וְאֹרֶךְ	כְּאַחַד	הַחֲלָקִים
それを	奉納する	二万–五千	二万–五千の	千の	幅の	また–長さは	の–一つのように	割り当ての
		H2568	H6242	H0505	H7341	H0753	H0259	

מִפְּאַת	קָדְמָה	עַד־	פְּאַת־	יָמָּה	וְהָיָה	הַמִּקְדָּשׁ	בְּתוֹכוֹ׃
方面から	東の	まで	方面の	西の	そして–ある	聖所が	その–中に
H6285	H6921	H5704	H6285	H3220	H1961	H4720	H8432

ユダの領地に沿って、東の方から西の方へのびる地方は、あなたがたのささげる献納地とせよ。その幅は二万五千キュビト、その東の方から西の方へのびる長さは、部族の一つの分に同じで、聖所はその中にある。

הַתְּרוּמָה	אֲשֶׁר	תָּרִימוּ	לַיהוָה	אֹרֶךְ	חֲמִשָּׁה	וְעֶשְׂרִים	אֶלֶף	וְרֹחַב	עֲשֶׂרֶת
奉納地は	それを	奉納する	主に	長さは	二万–五千	二万–五千の	千の	また–幅は	一万の
H8641			H3068	H0753	H2568	H6242	H0505	H7341	H6235

9

אֲלָפִים׃
千の
H0505

すなわちあなたがたの主にささげる献納地は長さ二万五千キュビト、幅二万キュビトとである。

חֲמִשָּׁה	צָפוֹנָה	לַכֹּהֲנִים	הַקֹּדֶשׁ	תִּרוּמַת־	תִּהְיֶה	וְלֵאלֶּה	
二万–五千	北に	祭司たちの–ために	聖なる	奉納地は	なる	そして–これらの–ために	
H2568	H6828	H3548	H6944	H8641	H1961	H0428	

10

וְנֶגְבָּה	אַלְפַּיִם	עֶשֶׂרֶת	רֹחַב	וְקִדְמָה	אַלְפַּיִם	עֶשֶׂרֶת	רֹחַב	וְיָמָּה	אֶלֶף	וְעֶשְׂרִים
また–南に	千の	一万の	幅は	また–東に	千の	一万の	幅は	また–西に	千の	二万–五千の
H5045	H0505	H6235	H7341	H6921	H0505	H6235	H7341	H3220	H0505	H6242

בְּתוֹכוֹ׃	יְהוָה	מִקְדַּשׁ־	וְהָיָה	אֶלֶף	וְעֶשְׂרִים	חֲמִשָּׁה	אֹרֶךְ
その–中に	主の	聖所が	そして–ある	千の	二万–五千の	二万–五千	長さは
H8432	H3068	H4720	H1961	H0505	H6242	H2568	H0753

これが祭司への聖なる献納地である。すなわち祭司の分は、北は二万五千キュビト、西は幅一万キュビト、東は幅一万キュビト、南は長さ二万五千キュビトである。主の聖所はその中にある。

11

לֹא־	אֲשֶׁר	מִשְׁמַרְתִּי	שָׁמְרוּ	אֲשֶׁר	צָדוֹק	מִבְּנֵי	הַמְקֻדָּשׁ	לַכֹּהֲנִים
ない	彼らは	私の-務めを	守った	彼らは	ツァドクの	の-子らの	聖別された	祭司たちの-ために
H3808		H4931	H8104		H6659		H6942	H3548

ס	הַלְוִיִּם׃	תָּעוּ	כַּאֲשֶׁר	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי	בִּתְעוֹת	תָּעוּ	
[区切り]	レビ人たちのように	迷った	のように	イスラエルの	の-子らが	迷いの-中で	迷わなかった	
	H3881	H8582		H3478		H8582	H8582	

これはイスラエルの人々が迷い出た時、レビびとが迷ったように迷ったことはなく、わが務を守り通したザドクの子孫のうちから、聖別された祭司に属する。

12

אֶל־	קָדָשִׁים	קֹדֶשׁ	הָאָרֶץ	מִתְּרוּמַת	תְּרוּמָה	לָהֶם	וְהָיְתָה
に	至聖の	聖なる	地の-奉納地の	から	奉納地として	彼らの-ために	そして-なる
H0413	H6944	H6944	H0776	H8641	H8642		H1961

הַלְוִיִּם׃	גְּבוּל
レビ人たちの	境界の
H3881	H1366

このようにレビびとの境に沿って、いと聖なる地、すなわち聖なる献納地が、特別な分として彼らに帰属する。

13

אֹרֶךְ	אֶלֶף	וְעֶשְׂרִים	חֲמִשָּׁה	הַכֹּהֲנִים	גְּבוּל	לְעֻמַּת	וְהַלְוִיִּם
長さの	千の	二万-五千の	二万-五千	祭司たちの	境界の	並んで	そして-レビ人たちは
H0753	H0505	H6242	H2568	H3548	H1366	H5980	H3881

עֲשֶׂרֶת	וְרֹחַב	אֶלֶף	וְעֶשְׂרִים	חֲמִשָּׁה	אֹרֶךְ	כָּל־	אֲלָפִים	עֲשֶׂרֶת	וְרֹחַב
一万の	また-幅は	千の	二万-五千の	二万-五千	長さは	全ての	千の	一万の	また-幅は
H6235	H7341	H0505	H6242	H2568	H0753	H3605	H0505	H6235	H7341

אֲלָפִים׃
千の
H0505

レビびとの分は祭司の所有地の境に沿って、長さ二万五千キュビト、幅一万キュビト、すなわち、そのすべての長さ二万五千キュビト、幅二万キュビトである。

14

]יעבור[	וְלֹא	יָמֵר	וְלֹא	מִמֶּנּוּ	יִמְכְּרוּ	וְלֹא־
[ケティブ]	また-ない	交換しては-ならない	また-ない	それから	売っては-ならない	そして-ない
	H3808	H4171	H3808		H4376	H3808

לַיהוָה׃	קֹדֶשׁ	כִּי־	הָאָרֶץ	רֵאשִׁית	(יַעֲבִיר)
主に-属する	聖なる-もので-ある	なぜなら	地の	初穂を	譲っては-ならない
H3068	H6944		H0776	H7225	

彼らはこれを売ってはならない、また交換してはならない、またその大事な分を手ばなしてはならない。これは主に属する聖なる物だからである。

15

חֹל־	אֶלֶף	וְעֶשְׂרִים	חֲמִשָּׁה	פְּנֵי	עַל־	בְּרֹחַב	הַנּוֹתָר	אֲלָפִים	וַחֲמֵשֶׁת
世俗の-地で	千の	二万-五千の	二万-五千	面の	の-前に	幅の	残りの	千の	また-五千の
H2455	H0505	H6242	H2568	H6440		H7341	H3498	H0505	H2568

]בתוכה[	הָעִיר	וְהָיְתָה	וּלְמִגְרָשׁ	לְמוֹשָׁב	לָעִיר	הוּא	
[ケティブ]	都は	そして-なる	また-空き地の-ために	住まいの-ためと	都の-ために	それは	
H8432		H1961	H4054	H4186		H1931	

(בְּתוֹכוֹ׃)
その-中に
H8432

その残りの地すなわち幅五千キュビト、長さ二万五千キュビトは町のため、すみかのため、また郊外のための一般人の地所とせよ。町はその中に置け。

16

וְאֵלֶּה	מִדּוֹתֶיהָ	פְּאַת	צָפוֹן	חֲמֵשׁ	מֵאוֹת	וְאַרְבַּעַת	אֲלָפִים	וּפְאַת־
そして–これらが	その–寸法で–ある	方面の	北の	五百の	五百と	四千の	四千の	また–方面の
H0428		H6285	H6828	H2568	H3967	H0702	H0505	H6285

וְאַרְבַּעַת	מֵאוֹת	חֲמֵשׁ	קָדִים	וּמִפְאַת	אַלְפִּים	וְאַרְבַּעַת	מֵאוֹת	חמש]	חֲמֵשׁ	נֶגֶב
四千の	五百と	五百の	東の	また–方面の	四千の	四千の	五百と	[ケティブ]	五百の	南の
H0702	H3967	H2568	H6921	H6285	H0505	H0702	H3967	H2568	H2568	H5045

אַלְפִּים׃	וְאַרְבַּעַת	מֵאוֹת	חֲמֵשׁ	יָמָּה	וּפְאַת־	אַלְפִּים
四千の	四千の	五百と	五百の	西の	また–方面の	四千の
H0505	H0702	H3967	H2568	H3220	H6285	H0505

一般人の地所の広さは次のとおりである。すなわち北の方四千五百キュビト、南の方四千五百キュビト、東の方四千五百キュビト、西の方四千五百キュビトである。

17

חֲמִשִּׁים	וְנֶגְבָּה	וּמָאתַיִם	חֲמִשִּׁים	צָפוֹנָה	לָעִיר׃	מִגְרָשׁ	וְהָיָה
二百–五十の	また–南に	二百–五十の	二百–五十の	北に	都の–ための	空き地が	そして–ある
H2572	H5045	H3967	H2572	H6828		H4054	H1961

וּמָאתַיִם׃	חֲמִשִּׁים	וְיָמָּה	וּמָאתַיִם	חֲמִשִּׁים	וְקָדִימָה	וּמָאתַיִם
二百–五十の	二百–五十の	また–西に	二百–五十の	二百–五十の	また–東に	二百–五十の
H3967	H2572	H3220	H3967	H2572	H6921	H3967

町は郊外を含む。郊外は北二百五十キュビト、南二百五十キュビト、東二百五十キュビト、西二百五十キュビトである。

18

אַלְפִּים	וַעֲשָׂרֶת	קָדִימָה	אַלְפִּים	עֲשֶׂרֶת	הַקֹּדֶשׁ	תְּרוּמַת	וְלְעֻמַּת	בָּאֹרֶךְ	וְהַנּוֹתָר
千の	また–一万の	東に	千の	一万の	聖なる	奉納地の	並んで	長さの	そして–残りの
H0505	H6235	H6921	H0505	H6235	H6944	H8641	H5980	H0753	H3498

לְלֶחֶם	תְּבוּאָתוֹ)	תבואתה]	וְהָיְתָה	הַקֹּדֶשׁ	תְּרוּמַת	לְעֻמַּת	וְהָיָה	יָמָּה
食物として	その–産物は	[ケティブ]	そして–なる	聖なる	奉納地の	並んで	そして–なる	西に
H3899	H8393	H8393	H1961	H6944	H8641	H5980	H1961	H3220

הָעִיר׃	לְעֹבְדֵי
都の	働く–者たちの
	H5647

聖なる献納地に沿っている残りの地の長さは東へ一万キュビト、西へ一万キュビトである。これは聖なる献納地に沿っており、その産物は町の働き人の食物となる。

19

יִשְׂרָאֵל׃	שִׁבְטֵי	מִכֹּל	יַעַבְדוּהוּ	הָעִיר	וְהָעֹבֵד
イスラエルの	部族の	すべての–中から	仕える	都で	そして–働く–者は
H3478	H7626	H3605	H5647		H5647

町の働き人は、イスラエルのすべての部族から出て、これを耕作するのである。

20

רְבִיעִית	אֶלֶף	וְעֶשְׂרִים	בַּחֲמִשָּׁה	אֶלֶף	וְעֶשְׂרִים	חֲמִשָּׁה	הַתְּרוּמָה	כֹּל־
四分の–一の	千の	二万–五千の	の–二万–五千	千の	二万–五千と	二万–五千の	奉納地は	全ての
H7243	H0505	H6242	H2568	H0505	H6242	H2568	H8641	H3605

הָעִיר׃	אֲחֻזַּת	אֶל־	הַקֹּדֶשׁ	תְּרוּמַת	אֶת־	תָּרִימוּ
都の	所有地の	に	聖なる	奉納地を	[目的語]	奉納する
	H0272	H0413	H6944	H8641	H0853	

あなたがたがささげる献納地の全体は二万五千キュビト四方である。これは町の所有地と共に聖なる献納地である。

וְלַאֲחֻזָּת	הַקֹּדֶשׁ	לִתְרוּמַת־	וּמִזֶּה	וּמִזֶּה	לַנָּשִׂיא	וְהַנּוֹתָר	21
また–の–所有地の	聖なる	の–奉納地の	あちらにも	こちらにも	君主の–ために	そして–残りは	
H0272	H6944	H8641	H2088	H2088		H3498	

קָדִימָה׃	גְּבוּל	עַד־	תְּרוּמָה׃	וְאֶלֶף	וְעֶשְׂרִים	חֲמִשָּׁה׃	פְּנֵי	אֶל־	הָעִיר
東の	境界の	まで	奉納地の	千の	二万–五千と	二万–五千の	面の	の–前の	都の
H6921	H1366	H5704	H8641	H0505	H6242	H2568	H6440	H0413	

לְעֻמַּת	יָמָּה	גְּבוּל	עַל־	אֶלֶף	וְעֶשְׂרִים	חֲמִשָּׁה	פְּנֵי	עַל־	וְיָמָּה
並んで	西の	境界の	に	千の	二万–五千と	二万–五千の	面の	の–前の	また–西に
H5980	H3220	H1366		H0505	H6242	H2568	H6440		H3220

[בתוכה]	הַבַּיִת	וּמִקְדַּשׁ	הַקֹּדֶשׁ	תְּרוּמַת	וְהָיְתָה	לַנָּשִׂיא	חֲלָקִים
[ケティブ]	宮の	また–聖所は	聖なる	奉納地は	そして–なる	君主の–ために	割り当ての
H8432		H4720	H6944	H8641	H1961		

(בְּתוֹכוֹ׃)
その–中に
H8432

聖なる献納地と町の所有地との、こなたかなたの残りの地は、君たる者に属する。これは聖なる献納地の二万五千キュビトに面して東の境に至り、西はその二万五千キュビトに面して西の境に至り、部族の分に沿うもので、君たる者に属する。聖なる献納地と、宮の聖所とは、その中にある。

יִהְיֶה	לַנָּשִׂיא	אֲשֶׁר	בְּתוֹךְ	הָעִיר	וּמֵאֲחֻזַּת	הַלְוִיִּם	וּמֵאֲחֻזַּת	22
なる	君主の–ものと	それは	の–中に	都の–所有地の	また–から	レビ人の–所有地の	また–から	
H1961			H8432		H0272	H3881	H0272	

יִהְיֶה׃	לַנָּשִׂיא	בִּנְיָמִן	גְּבוּל	וּבֵין	יְהוּדָה	גְּבוּל	וּבֵין	
なる	君主の–ために	ベニヤミンの	境界の	また–の–間に	ユダの	境界の	の–間に	
H1961		H1144	H1366	H0996	H3063	H1366	H0996	

町の所有地は、君たる者に属する部分の中にあり、そして君たる者の分は、ユダの領地と、ベニヤミンの領地との間にある。

אֶחָד׃	בִּנְיָמִן	יָמָּה	פְּאַת־	עַד־	קָדִימָה	מִפְּאַת	הַשְּׁבָטִים	וְיֶתֶר	23
一つ	ベニヤミン	西の	方面の	まで	東の	方面から	部族は	そして–残りの	
H0259	H1144	H3220	H6285	H5704	H6921	H6285	H7626		

なお残りの部族では東の方から西の方に至る地方、これがベニヤミンの分である。

אֶחָד׃	שִׁמְעוֹן	יָמָּה	פְּאַת־	עַד־	קָדִימָה	מִפְּאַת	בִּנְיָמִן	גְּבוּל	וְעַל	24
一つ	シメオン	西の	方面の	まで	東の	方面から	ベニヤミンの	境界の	そして–の–そばに	
H0259	H8095	H3220	H6285	H5704	H6921	H6285	H1144	H1366		

ベニヤミンの領地に沿って、東の方から西の方に至る地方、これがシメオンの分である。

אֶחָד׃	יִשָּׂשכָר	יָמָּה	פְּאַת־	עַד־	קָדִימָה	מִפְּאַת	שִׁמְעוֹן	גְּבוּל	וְעַל	25
一つ	イッサカル	西の	方面の	まで	東の	方面から	シメオンの	境界の	そして–の–そばに	
H0259	H3485	H3220	H6285	H5704	H6921	H6285	H8095	H1366		

シメオンの領地に沿って、東の方から西の方に至る地方、これがイッサカルの分である。

אֶחָד׃	זְבוּלֻן	יָמָּה	פְּאַת־	עַד־	קָדִימָה	מִפְּאַת	יִשָּׂשכָר	גְּבוּל	וְעַל	26
一つ	ゼブルン	西の	方面の	まで	東の	方面から	イッサカルの	境界の	そして–の–そばに	
H0259	H2074	H3220	H6285	H5704	H6921	H6285	H3485	H1366		

イッサカルの領地に沿って、東の方から西の方に至る地方、これがゼブルンの分である。

27 וְעַל גְּבוּל זְבוּלֻן מִפְּאַת קֵדְמָה עַד־פְּאַת יָמָּה גָּד אֶחָד׃

そして-の-そばに	境界の	ゼブルンの	方面から	東の	まで	方面の	西の	ガド	一つ
H0413	H1366	H2074	H6285	H6921	H5704	H6285	H3220	H1410	H0259

ゼブルンの領地に沿って、東の方から西の方に至る地方、これがガドの分である。

28 וְעַל גְּבוּל גָּד אֶל־פְּאַת נֶגֶב תֵּימָנָה וְהָיָה גְּבוּל

そして-の-そばに	境界の	ガドの	の-方面の	方面の	南の	南の-方へ	そして-なる	境界は
H0413	H1366	H1410	H0413	H6285	H5045	H8486	H1961	H1366

הַגָּדוֹל׃ הַיָּם עַל־ נַחֲלָה קָדֵשׁ מְרִיבַת מֵי מִתָּמָר

大きな	海の	に	川へ	カデシュの	メリバト・	水の	タマルから
	H3220			H6946	H4808	H4325	H8559

南の方はガドの領地に沿って、タマルからメリボテ・カデシの水に至り、そこからエジプトの川に沿って大海に至る。

29 זֹאת הָאָרֶץ אֲשֶׁר־ תַּפִּילוּ מְנַחֲלָה לִשְׁבְטֵי יִשְׂרָאֵל וְאֵלֶּה

そして-これらが	イスラエルの	部族の	相続地として	分配する	それを	地で-ある	これが
H0428	H3478	H7626	H5159	H5307		H0776	H2063

פ יְהוִה׃ אֲדֹנָי נְאֻם מַחְלְקוֹתָם

[区切り]	神の	主なる	御告げで-ある	割り当てで-ある
	H3069	H0136	H5002	H4256

これはあなたがたが、くじをもってイスラエルの部族のうちに分けて、嗣業とすべき地である。これが彼らの分であると、主なる神は言われる。

30 וְאֵלֶּה מֹצָאֵי הָעִיר מִפְּאַת צָפוֹן חֲמֵשׁ מֵאוֹת מִדַּת אַלְפַּיִם וְאַרְבַּעַת

そして-これらが	都の	方面の	北の	五百の	五百と	四千の	四千の	寸法の
H0428	H6285	H6828	H2568	H3967		H0505	H0702	

תּוֹצְאֹת הָעִיר מִפְּאַת צָפוֹן חֲמֵשׁ מֵאוֹת מִדַּת אַלְפַּיִם וְאַרְבַּעַת

出口で-ある	都の	方面の	北の	五百の	五百と	四千の	四千の
H8444		H6285	H6828	H2568	H3967		H0702

町の出口は次のとおりである。北の方の長さは四千五百キュビトである。

31 וְשַׁעֲרֵי הָעִיר עַל־ שְׁמוֹת שִׁבְטֵי יִשְׂרָאֵל שְׁעָרִים שְׁלוֹשָׁה צָפוֹנָה שַׁעַר

そして-門は	都の	に-ちなんだ	名の	部族の	イスラエルの	門が	三つ	北に	門は
H8179			H8034	H7626	H3478	H8179	H7969	H6828	H8179

רְאוּבֵן אֶחָד שַׁעַר יְהוּדָה אֶחָד שַׁעַר לֵוִי אֶחָד׃

ルベンの	一つ	門は	ユダの	一つ	門は	レビの	一つ
H7205	H0259	H8179	H3063	H0259	H8179	H3878	H0259

町の門はイスラエルの部族の名にしたがい、三つの門になっている。すなわちルベンの門、ユダの門、レビの門である。

32 וְאֶל־ פְּאַת קֵדְמָה חֲמֵשׁ מֵאוֹת וְאַרְבַּעַת אַלְפַּיִם וּשְׁעָרִים שְׁלֹשָׁה וְשַׁעַר

そして-に	方面の	東の	五百の	五百と	四千の	四千の	また-門が	三つ	そして-門は
H0413	H6285	H6921	H2568	H3967	H0505	H0702	H8179	H7969	H8179

יוֹסֵף אֶחָד שַׁעַר בִּנְיָמִן אֶחָד שַׁעַר דָּן אֶחָד׃

ヨセフの	一つ	門は	ベニヤミンの	一つ	門は	ダンの	一つ
H3130	H0259	H8179	H1144	H0259	H8179	H1835	H0259

東の方は四千五百キュビトであって、三つの門がある。すなわちヨセフの門、ベニヤミンの門、ダンの門である。

33 וּפְאַת־ נֶגְבָּה חֲמֵשׁ מֵאוֹת חֲמֵשׁ מֵאוֹת וְאַרְבַּעַת אֲלָפִים מִדָּה וּשְׁעָרִים שְׁלֹשָׁה שָׁעַר
また-方面の 南の 五百の 五百と 四千の 四千の 寸法の また-門が 三つ 門は
H6285 H5045 H2568 H3967 H0505 H0702 H4060 H8179 H7969 H8179

אֶחָד׃ זְבוּלֵן שָׁעַר אֶחָד יִשָּׂשכָר שָׁעַר אֶחָד שִׁמְעוֹן
一つ ゼブルンの 門は 一つ イッサカルの 門は 一つ シメオンの
H0259 H2074 H8179 H0259 H3485 H8179 H0259 H8095

南の方は四千五百キュビトであって、三つの門がある。すなわちシメオンの門、イッサカルの門、ゼブルンの門である。

34 וּפְאַת־ פְּאָה יָמָּה חֲמֵשׁ מֵאוֹת חֲמֵשׁ מֵאוֹת וְאַרְבַּעַת אֲלָפִים שַׁעֲרֵיהֶם שְׁלֹשָׁה שָׁעַר שָׁעַר גָּד אֶחָד שָׁעַר
方面の 西の 五百の 五百と 四千の 四千の その-門は 三つ 門は ガドの 一つ 門は
H6285 H3220 H2568 H3967 H0505 H0702 H8179 H7969 H8179 H1410 H0259 H8179

אֶחָד׃ נַפְתָּלִי שָׁעַר אֶחָד אָשֵׁר
一つ ナフタリの 門は 一つ アシェルの
H0259 H5321 H8179 H0259 H0836

西の方は四千五百キュビトであって、三つの門がある。すなわちガドの門、アセルの門、ナフタリの門である。

35 סָבִיב תְּמֻנָּה שְׁמֹנַת אֲלָפִים וְשֵׁם־ הָעִיר מִיּוֹם יְהוָה שָׁמָּה׃
周囲は 一万-八千 一万-八千 千の そして-名は 都の その-日から 主が- そこに-おられる
H5439 H8083 H6240 H0505 H8034 H5892 H3117 H3068 H8033

町の周囲は一万八千キュビトあり、この日から後、この町の名は『主そこにいます』と呼ばれる」。

Daniel

Chapter 1

1 בִּשְׁנַת שְׁלוֹשׁ לְמַלְכוּת יְהוֹיָקִים מֶלֶךְ־יְהוּדָה בָּא נְבוּכַדְנֶאצַּר מֶלֶךְ־בָּבֶל יְרוּשָׁלַ͏ִם וַיָּצַר עָלֶיהָ׃

בִּשְׁנַת	שְׁלוֹשׁ	לְמַלְכוּת	יְהוֹיָקִים	מֶלֶךְ־	יְהוּדָה	בָּא	נְבוּכַדְנֶאצַּר	מֶלֶךְ־
の–年に	三	の–治世の	エホヤキム	王	ユダの	来た	ネブカドネツァル	王は
H8141	H7969	H4438	H3079	H4428	H3063	H0935	H5019	H4428

בָּבֶל	יְרוּשָׁלַ͏ִם	וַיָּצַר	עָלֶיהָ׃
バビロンの	エルサレムに	そして–包囲した	それを
H0894	H3389		

ユダの王エホヤキムの治世の第三年にバビロンの王ネブカデネザルはエルサレムにきて、これを攻め囲んだ。

2 וַיִּתֵּן אֲדֹנָי בְּיָדוֹ אֶת־יְהוֹיָקִים מֶלֶךְ־יְהוּדָה וּמִקְצָת כְּלֵי בֵית־הָאֱלֹהִים וַיְבִיאֵם אֶרֶץ־שִׁנְעָר בֵּית אֱלֹהָיו וְאֶת־הַכֵּלִים הֵבִיא בֵּית אוֹצַר אֱלֹהָיו׃

וַיִּתֵּן	אֲדֹנָי	בְּיָדוֹ	אֶת־	יְהוֹיָקִים	מֶלֶךְ־	יְהוּדָה	וּמִקְצָת	כְּלֵי	בֵית־
そして–与えた	主は	彼の–手に	（を）	エホヤキム	王	ユダの	また–一部の	器を	宮の
H5414	H0136	H3027	H0853	H3079	H4428	H3063	H7117	H3627	

הָאֱלֹהִים	וַיְבִיאֵם	אֶרֶץ־	שִׁנְעָר	בֵּית	אֱלֹהָיו	וְאֶת־	הַכֵּלִים	הֵבִיא	בֵּית
神の	そして–運んだ–それらを	地–へ	シヌアルの	宮に	彼の–神の	そして（を）	その–器を	持って来た	宮の
H0430	H0935	H0776	H8152		H0430	H0853	H3627	H0935	

אוֹצַר	בֵּית	אֱלֹהָיו׃
宝物庫に	宮の	彼の–神の
H0214		H0430

主はユダの王エホヤキムと、神の宮の器具の一部とを、彼の手にわたされたので、彼はこれをシナルの地の自分の神の宮に携えゆき、その器具を自分の神の蔵に納めた。

3 וַיֹּאמֶר לְהָבִיא אַשְׁפְּנַז רַב סָרִיסָיו מִבְּנֵי יִשְׂרָאֵל וּמִזֶּרַע הַמְּלוּכָה וּמִן־הַפַּרְתְּמִים׃

וַיֹּאמֶר	לְהָבִיא	סָרִיסָיו	רַב	לְאַשְׁפְּנַז	הַמֶּלֶךְ	וַיֹּאמֶר	מִבְּנֵי	יִשְׂרָאֵל	וּמִזֶּרַע
そして–言った	連れて–来るように	彼の–宦官たちの	長である	アシュペナズに	王は	そして–言った	の–子らの–中から	イスラエル	また–子孫の–中から
H0559	H0935	H5631		H0828	H4428	H0559		H3478	H2233

הַמְּלוּכָה	וּמִן־	הַפַּרְתְּמִים׃	
王族の	また–の–中から	貴族たちの	
H4410		H6579	

時に王は宦官の長アシペナズに、イスラエルの人々の中から、王の血統の者と、貴族たる者数人とを、連れて来るように命じた。

4 יְלָדִים אֲשֶׁר־אֵין בָּהֶם כָּל־(מאום)[מוּם] וְטוֹבֵי מַרְאֶה וּמַשְׂכִּילֵי חָכְמָה וְיֹדְעֵי דַעַת וּמְבִינֵי מַדָּע וַאֲשֶׁר כֹּחַ בְּהֵיכַל הַמֶּלֶךְ וְלִלַמְּדָם סֵפֶר וּלְשׁוֹן כַּשְׂדִּים׃

יְלָדִים	אֲשֶׁר־	אֵין־	בָּהֶם	כָּל־	[מאום]	(מוּם)	וְטוֹבֵי	מַרְאֶה	וּמַשְׂכִּילֵי	חָכְמָה	וְיֹדְעֵי	דַעַת	וּמְבִינֵי	מַדָּע
若者たちを	（ところの）	ない	彼らに	何の	[欠点も]	傷も	また–美しい	容姿の	また–賢い	知恵に	また–精通した	知識に	また–理解力のある	学問に
H3206		H0369		H3605		H3971		H4758		H2451		H1847		H4093

וַאֲשֶׁר	כֹּחַ	בְּכָל־	חָכְמָה		לַעֲמֹד	בְּהֵיכַל	הַמֶּלֶךְ	וְלִלַמְּדָם	סֵפֶר	וּלְשׁוֹן	כַּשְׂדִּים׃	
また（ところの）	能力が	すべての	知恵に		仕えるための	宮殿で	王の	また–教えるために–彼らに	書物と	また–言語を	カルデア人の	
		H3605	H2451		H5975	H1964	H4428	H3925		H3956	H3778	

すなわち身に傷がなく、容姿が美しく、すべての知恵にさとく、知識があって、思慮深く、王の宮に仕えるに足る若者を連れてこさせ、これにカルデヤびとの文学と言語とを学ばせようとした。

5	וַיְמַן	לָהֶם	הַמֶּלֶךְ	דְּבַר־	יוֹם	בְּיוֹמוֹ	מִפַּת־בַּג	הַמֶּלֶךְ
	そして–定めた	彼らに	王は	分量を	毎日の	日ごとに	王の–食べ物から	王の
	H4487	H1992	H4428	H1697	H3117	H3117	H6598	H4428

וּמִקְצָתָם	שָׁלֹשׁ	שָׁנִים	וְלִגַדְּלָם	מִשְׁתָּיו	וּמִיַּיִן	
そして–その–終わりに	三	年	また–養うために–彼らを	彼の–飲み物の	また–ぶどう酒から	
H7117	H7969	H8141	H1431	H4960	H3196	

וְיַעַמְדוּ	לִפְנֵי	הַמָּלֶךְ׃	
仕えることになる	の–前に	王の	
H5975	H6440	H4428	

そして王は王の食べる食物と、王の飲む酒の中から、日々の分を彼らに与えて、三年のあいだ彼らを養い育て、その後、彼らをして王の前に、はべらせようとした。

6	וַיְהִי	בָהֶם	מִבְּנֵי	יְהוּדָה	דָּנִיֵּאל	חֲנַנְיָה	מִישָׁאֵל	וַעֲזַרְיָה׃
	そして–いた	彼らの–中に	の–子らから	ユダの	ダニエル	ハナニヤ	ミシャエル	アザリヤ
	H1961			H3063	H1840		H4332	H5838

彼らのうちに、ユダの部族のダニエル、ハナニヤ、ミシャエル、アザリヤがあった。

7	וַיָּשֶׂם	לָהֶם	שָׂר	הַסָּרִיסִים	שֵׁמוֹת	וַיָּשֶׂם	לְדָנִיֵּאל	בֶּלְטְשַׁאצַּר
	そして–つけた	彼らに	長は	宦官たちの	名前を	そして–つけた	ダニエルに	ベルテシャツァル
	H1992	H8269	H5631	H8034	H7760		H1840	H1095

וְלַחֲנַנְיָה	שַׁדְרַךְ	וּלְמִישָׁאֵל	מֵישַׁךְ	וְלַעֲזַרְיָה	עֲבֵד	נְגוֹ׃
ハナニヤには	シャデラク	ミシャエルには	メシャク	アザリヤには	アベデ	ネゴ
	H7714	H4332	H4335	H5838	H5664	H5664

宦官の長は彼らに名を与えて、ダニエルをベルテシャザルと名づけ、ハナニヤをシャデラクと名づけ、ミシャエルをメシャクと名づけ、アザリヤをアベデネゴと名づけた。

8	בְּפַתְבָּג	יִתְנַּאָל	לֹא־	אֲשֶׁר	לִבּוֹ	עַל־	דָּנִיֵּאל	וַיָּשֶׂם
	の–食べ物で	汚れないと	ない	（こと）	彼の–心に	（に–ついて）	ダニエルは	そして–決心した
	H6598	H1351	H3808				H1840	

לֹא	אֲשֶׁר	הַסָּרִיסִים	מִשַּׂר	וַיְבַקֵּשׁ	מִשְׁתָּיו	וּבְיֵין	הַמֶּלֶךְ	
ない	（こと）	宦官たちの–長に	から	そして–願った	彼の–飲み物の	また–ぶどう酒で	王の	
H3808		H5631	H8269	H1245	H4960	H3196	H4428	

יִתְנַּאָל׃	
汚れないようにと	
H1351	

ダニエルは王の食物と、王の飲む酒とをもって、自分を汚すまいと、心に思い定めたので、自分を汚させることのないように、宦官の長に求めた。

9	וַיִּתֵּן	הָאֱלֹהִים	אֶת־	דָּנִיֵּאל	לְחֶסֶד	וְלְרַחֲמִים	לִפְנֵי	שַׂר	הַסָּרִיסִים׃
	そして–与えた	神は	（を）	ダニエルに	恵みと	あわれみを	の–前で	長の	宦官たちの
	H5414	H0430	H0853	H1840			H6440	H8269	H5631

神はダニエルをして、宦官の長の前に、恵みとあわれみとを得させられたので、

10 וַיֹּאמֶר שַׂר הַסָּרִיסִים לְדָנִיֵּאל אֲנִי יָרֵא אֶת־אֲדֹנִי הַמֶּלֶךְ
そして-言った 長は 宮官たちの ダニエルに 私は 恐れている （を） 私の-主人 王を
H0559 H8269 H5631 H1840 H0589 H3373 （を） H0113 H4428

אֲשֶׁר מִשְׁתִּיכֶם וְאֶת־מַאֲכַלְכֶם אֶת־מָנָה אֲשֶׁר
（もし） あなたがたの-飲み物を また（を） あなたがたの-食事と （を） 定めた （ところの方）
H4960 H0853 H3978 H0853 H4487

לָמָּה יִרְאֶה אֶת־פְּנֵיכֶם זְעֻפִּים מִן־הַיְלָדִים אֲשֶׁר
なぜ 見て （を） あなたがたの-顔が やつれている より 若者たちよりも （ところの）
H4100 H7200 H0853 H6440 H2196 H3206

כְּגִילְכֶם וְחִיַּבְתֶּם אֶת־רֹאשִׁי לַמֶּלֶךְ׃
あなたがたと-同年齢の 危険に-さらすことになる （を） 私の-首を 王に
H2325 H0853 H4428

宦官の長はダニエルに言った、「わが主なる王は、あなたがたの食べ物と、飲み物とを定められたので、わたしはあなたがたの健康の状態が、同年輩の若者たちよりも悪いと、王が見られることを恐れるのです。そうすればあなたがたのために、わたしのこうべが、王の前に危くなるでしょう」。

11 וַיֹּאמֶר דָּנִיֵּאל אֶל־הַמֶּלְצַר אֲשֶׁר מִנָּה שַׂר הַסָּרִיסִים
そして-言った ダニエルは に 世話係に （ところの） 任命した 長が 宮官たちの
H0559 H1840 H0413 H4453 H4487 H8269 H5631

עַל־חֲנַנְיָה מִישָׁאֵל וַעֲזַרְיָה׃
（の-上に） ダニエル ハナニヤ ミシャエル アザリヤの
H1840 H4332 H5838

そこでダニエルは宦官の長がダニエル、ハナニヤ、ミシャエルおよびアザリヤの上に立てた家令に言った、

12 נַסֹּ־נָא אֶת־עֲבָדֶיךָ יָמִים עֲשָׂרָה וְיִתְּנוּ־לָנוּ
試して-ください どうか （を） あなたの-しもべたちを 日間 十 そして-与えて-ください
H5254 H4994 H0853 H5650 H3117 H6235 H5414

מִן־הַזֵּרְעִים וְנֹאכְלָה וּמַיִם וְנִשְׁתָּה׃
から 野菜を 食べさせて-ください また-水を 飲ませて-ください
H4325 H0398 H8354

「どうぞ、しもべらを十日の間ためしてください。わたしたちにただ野菜を与えて食べさせ、水を飲ませ、

13 וְיֵרָאוּ לְפָנֶיךָ מַרְאֵינוּ וּמַרְאֵה הַיְלָדִים הָאֹכְלִים
そして-比べて-ください あなたの-前で 私たちの-容姿と また-容姿を 若者たちの 食べている
H7200 H6440 H4758 H4758 H3206 H0398

אֶת־הַפַּתְבַּג מַלְכָּא וְכַאֲשֶׁר תֶּחֱזֵה עֲשֵׂה עִם־עַבָדֶיךָ׃
（を） 食べ物を 王の そして-見た-通りに ご覧に-なって 扱って-ください （と-共に） あなたの-しもべたちを
H0853 H6598 H4428 H7200 H6213 H5650

そしてわたしたちの顔色と、王の食物を食べる若者の顔色とをくらべて見て、あなたの見るところにしたがって、しもべらを扱ってください」。

14 וַיִּשְׁמַע לָהֶם לַדָּבָר הַזֶּה וַיְנַסֵּם יָמִים עֲשָׂרָה׃
そして-聞き入れた 彼らに この-件について この そして-試した 日間 十
H8085 H1697 H2088 H5254 H3117 H6235

家令はこの事について彼らの言うところを聞きいれ、十日の間、彼らをためした。

15 וּמִקְצָת יָמִים עֲשָׂרָה נִרְאָה מַרְאֵיהֶם טוֹב וּבְרִיאֵי בָשָׂר
そして–終わりに 日間の 十 見えた 彼らの–容姿は 良く また–健康であった 肉体が
H7117 H3117 H6235 H7200 H4758 H2896 H1277 H1320

מִן כָּל הַיְלָדִים הָאֹכְלִים אֶת פַּתְבַּג הַמֶּלֶךְ׃
よりも すべての 若者たちよりも 食べている （を） 食べ物を 王の
H4480 H3605 H3206 H0398 H0853 H6598 H4428

十日の終りになってみると、彼らの顔色は王の食物を食べたすべての若者よりも美しく、また肉も肥え太っていた。

16 וַיְהִי נֹשֵׂא הַמֶּלְצַר אֶת פַּתְבָּגָם וְיֵין מִשְׁתֵּיהֶם וְנֹתֵן לָהֶם זֵרְעֹנִים׃
そして–なった 世話係は 取り除く者に （を） 彼らの–食べ物と また–ぶどう酒を 彼らの–飲み物の 彼らに そして–与えた 野菜を
H1961 H4453 H5375 H0853 H6598 H3196 H4960 H5414

それで家令は彼らの食物と、彼らの飲むべき酒とを除いて、彼らに野菜を与えた。

17 וְלַיְלָדִים הָאֵלֶּה אַרְבַּעְתָּם נָתַן לָהֶם הָאֱלֹהִים מַדָּע וְהַשְׂכֵּל בְּכָל סֵפֶר וְחָכְמָה וְדָנִיֵּאל הֵבִין בְּכָל חָזוֹן וַחֲלֹמוֹת׃
そして–若者たちに これらの 四人に 与えた 神は 知識と また–洞察力を すべての 書物と 知恵において また–ダニエルは 理解した すべての 幻と また–夢を
H3206 H0428 H0702 H5414 H0430 H4093 H3605 H2451 H1840 H0995 H3605 H2377 H2472

この四人の者には、神は知識を与え、すべての文学と知恵にさとい者とされた。ダニエルはまたすべての幻と夢とを理解した。

18 וּלְמִקְצָת הַיָּמִים אֲשֶׁר אָמַר הַמֶּלֶךְ לְהָבִיאָם וַיְבִיאֵם שַׂר הַסָּרִיסִים לִפְנֵי נְבֻכַדְנֶצַּר׃
そして–終わりに その–日々の （の） 言った 王が 連れて–来るようにと 連れて–来た–彼らを 長は 宦官たちの の–前に ネブカドネツァルの
H7117 H3117 H0834 H0559 H4428 H0935 H0935 H8269 H5631 H6440 H5019

さて、王が命じたところの若者を召し入れるまでの日数が過ぎたので、宦官の町は彼らをネブカデネザルの前に連れていった。

19 וַיְדַבֵּר אִתָּם הַמֶּלֶךְ וְלֹא נִמְצָא מִכֻּלָּם כְּדָנִיֵּאל חֲנַנְיָה
そして–話した 彼らと 王は しかし–ない 見出されなかった すべての–中から ダニエル ハナニヤ
H1696 H0854 H4428 H3808 H4672 H3605 H1840

מִישָׁאֵל וַעֲזַרְיָה וַיַּעֲמְדוּ לִפְנֵי הַמֶּלֶךְ׃
ミシャエル アザリヤに–匹敵する者は そして–仕えた の–前に 王の
H4332 H5838 H5975 H6440 H4428

王が彼らと語ってみると、彼らすべての中にはダニエル、ハナニヤ、ミシャエル、アザリヤにならぶ者がなかったので、彼らは王の前にはべることとなった。

20

הַמֶּלֶךְ	מֵהֶם	בִּקֵּשׁ	אֲשֶׁר־	בִּינָה	חָכְמַת	דִּבַר	וְכֹל
王は	彼らに	尋ねた	（を）	理解の	知恵の	事柄において	そして–すべての
H4428	H1992	H1245		H0998	H2451	H1697	H3605

הָאַשָּׁפִים	הַחַרְטֻמִּים	כָּל־	עַל	יָדוֹת	עֶשֶׂר	וַיִּמְצָאֵם	
占星術師たちよりも	呪術師や	すべての	（より）	倍も	十	そして–見出した–彼らを	
H0825	H2748	H3605		H3027	H6235	H4672	

מַלְכוּתוֹ׃	בְּכָל־	אֲשֶׁר
彼の–王国にいる	すべての	（ところの）
H4438	H3605	

王が彼らにさまざまの事を尋ねてみると、彼らは知恵と理解において、全国の博士、法術士にまさること十倍であった。

21

פ	הַמֶּלֶךְ׃	לְכוֹרֶשׁ	אַחַת	שְׁנַת	עַד־	דָּנִיֵּאל	וַיְהִי	
פ	王の	クロス	第一の	年の	まで	ダニエルは	そして–いた	
	H4428	H3566	H0259	H8141	H5704	H1840	H1961	

ダニエルはクロス王の元年まで仕えていた。

Chapter 2

1

חֲלֹמוֹת	נְבֻכַדְנֶצַּר	חָלַם	נְבֻכַדְנֶצַּר	לְמַלְכוּת	שְׁתַּיִם	וּבִשְׁנַת	
夢を	ネブカドネツァルは	見た	ネブカドネツァル	の–治世の	二	そして–の–年に	
H2472	H5019		H5019	H4438	H8147	H8141	

עָלָיו׃	נִהְיְתָה	וּשְׁנָתוֹ	רוּחוֹ	וַתִּתְפָּעֶם
彼の–上に	なった	そして–彼の–眠りは	彼の–霊は	そして–悩まされた
	H1961	H8142	H7307	H6470

ネブカデネザルの治世の第二年に、ネブカデネザルは夢を見、そのために心に思い悩んで眠ることができなかった。

2

וְלַמְכַשְּׁפִים	וְלָאַשָּׁפִים	לַחַרְטֻמִּים	לִקְרֹא	הַמֶּלֶךְ	וַיֹּאמֶר		
また–魔術師たちと	また–占星術師たちと	呪術師たちと	呼ぶようにと	王は	そして–言った		
H3784	H0825	H2748	H7121	H4428	H0559		

לִפְנֵי	וַיַּעַמְדוּ	וַיָּבֹאוּ	חֲלֹמֹתָיו	לַמֶּלֶךְ	לְהַגִּיד	וְלַכַּשְׂדִּים	
の–前に	そして–立った	そして–来た	彼の–夢を	王に	告げるために	また–カルデア人たちを	
H6440	H5975	H0935	H2472	H4428	H5046	H3778	

הַמֶּלֶךְ׃
王の
H4428

そこで王は命じて王のためにその夢を解かせようと、博士、法術士、魔術士、カルデヤびとを召させたので、彼らはきて王の前に立った。

3

לָדַעַת	רוּחִי	וַתִּתְפָּעֶם	חָלָמְתִּי	חֲלוֹם	הַמֶּלֶךְ	לָהֶם	וַיֹּאמֶר	
知るために	私の–霊は	そして–悩まされた	見た–私は	夢を	王は	彼らに	そして–言った	
H3045	H7307	H6470		H2472	H4428	H1992	H0559	

הַחֲלוֹם׃	אֶת־
その–夢を	（を）
H2472	H0853

王は彼らにむかって、「わたしは夢を見たが、その夢を知ろうと心に思い悩んでいる」と言ったので、

4

חֱיִי
生きてください
H2418
לְעָלְמִין
永遠に
H5957
מַלְכָּא
王よ
H4430
אֲרָמִית
アラム語で
H0762
לְמַלְכָּא
王に
H4428
הַכַשְׂדִים
カルデア人たちは
H3778
וַיְדַבְּרוּ
そして–話した
H1696

וּפִשְׁרָא
そうすれば–解き明かしを
H6591
)לְעַבְדָךְ(
あなたの–しもべに
H5649
]לעבדיך[
[あなたの–しもべたちに]
H5649
חֶלְמָא
夢を
H2493
אֱמַר
告げてください
H0560

:נְחַוֵא
示しましょう
H2324

カルデヤびとらはアラム語で王に言った、「王よ、とこしえに生きながらえられますように。どうぞしもべらにその夢をお話しください。わたしたちはその解き明かしを申しあげましょう」。

5

אַזְדָּא
確かに–出た
H0230
מִנִי
私から
H4481
מִלְּתָא
命令は
H4406
)לְכַשְׂדָאֵי(
カルデア人たちに
H3779
]לכשדיא[
[カルデア人たちに]
H3779
וְאָמַר
そして–言った
H0560
מַלְכָּא
王は
H4430
עָנֵה
答えた
H6032

תִתְעַבְדוּן
される–であろう
H5648
הַדְמִין
八つ裂きに
H1917
וּפִשְׁרֵהּ
その–解き明かしを
H6591
חֶלְמָא
夢と
H2493
תְהוֹדְעוּנַנִי
知らせなければ–私に
H3046
לָא
ない
H3809
הֵן
もし

:יִתְשָׂמוּן
されるであろう
H7761
נְוָלִי
廃墟に
H5122
וּבָתֵיכוֹן
また–あなたがたの–家は
H1005

王は答えてカルデヤびとに言った、「わたしの言うことは必ず行う。あなたがたがもしその夢と、その解き明かしを、わたしに示さないならば、あなたがたの身は切り裂かれ、あなたがたの家は滅ぼされる。

6

שַגִיא
大いなる
H7690
וִיקָר
また–栄誉を
H3367
וּנְבִזְבָה
また–褒賞と
H5023
מַתְנָן
贈り物と
H4978
תְהַחֲוֹן
示すなら
H2324
וּפִשְׁרֵהּ
その–解き明かしを
H6591
חֶלְמָא
夢と
H2493
וְהֵן
しかし–もし

:הַחֲוֹנִי
示せ–私に
H2324
וּפִשְׁרֵהּ
その–解き明かしを
H6591
חֶלְמָא
夢と
H2493
לָהֵן
それゆえ
H6925
קֳדָמַי
私の–前で
H4481
מִן־
から
H6902
תְקַבְלוּן
受けるであろう

しかし、その夢とその解き明かしとを示すならば、贈り物と報酬と大いなる栄誉とを、わたしから受けるだろう。それゆえその夢とその解き明かしとを、わたしに示しなさい」。

7

לְעַבְדָוֹהִי
彼の–しもべたちに
H5649
יֵאמַר
告げてください
H0560
חֶלְמָא
夢を
H2493
מַלְכָּא
王よ
H4430
וְאָמְרִין
そして–言った
H0560
תִנְיָנוּת
二度目に
H8579
עָנוֹ
答えた
H6032

:נְהַחֲוֵה
示しましょう
H2324
וּפִשְׁרָה
そうすれば–解き明かしを
H6591

彼らは再び答えて言った、「王よ、しもべらにその夢をお話しください。そうすればわたしたちはその解き明かしを示しましょう」。

8

אַנְתּוּן
あなたがたは
H0608
עִדָנָא
時間を
H5732
דִי
（こと）
H1768
אֱנָה
私は
H0608
יָדַע
知っている
H3046
יַצִיבְ
確かに
H3330
מִן־
から
H4481
וְאָמַר
そして–言った
H0560
מַלְכָּא
王は
H4430
עָנֵה
答えた
H6032

:מִלְּתָא
命令は
H4406
מִנִי
私から
H4481
אַזְדָּא
確かに–出た
H0230
דִי
（こと）
H1768
חֲזִיתוּן
見た
H2370
דִי
（こと）
H1768
קֳבֵלְ
ゆえに
H6903
כָּל־
すべて
H3606
זָבְנִין
稼いでいる
H2084

王は答えて言った、「あなたがたはわたしが言ったことは、必ず行うことを承知しているので、時を延ばそうとしているのを、わたしは確かに知っている。

9

דָּתְכוֹן
あなたがたの–定めは
H1882

הֲיָא
である
H1932

חֲדָה־
一つ
H2298

תְּהוֹדְעַנַנִי
知らせなければ–私に
H3046

לָא
ない
H3809

חֶלְמָא
夢を
H2493

הֵן־
もし
H0518

דִּי
（こと）
H1768

עַד
まで
H5705

קֳדָמַי
私の–前で
H6925

לְמֵאמַר
語るために
H0560

)הַזְדַּמְנְתּוּן(
用意した
H2164

]הזמנתון[
[用意した]
H2164

וּשְׁחִיתָה
また–堕落した
H7844

כְּדִבָּה
偽りの
H3538

וּמְלָּה
そして–言葉を
H4406

דִּי
（こと）
H1768

וְאִנַּדַּע
そうすれば–知るであろう
H3046

לִי
私に
H0560

אֱמַרוּ
告げよ
H0560

חֶלְמָא
夢を
H2493

לָהֵן
それゆえ
H1836

יְשַׁתְּנָא
変わるのを
H8133

עִדָּנָא
時が
H5732

דִּי
（こと）
H1768

:תְּהַחֲוֻנַנִי
示すことが–できると
H2324

פִּשְׁרֵהּ
その–解き明かしを
H6591

もしその夢をわたしに示さないならば、あなたがたの受ける刑罰はただ一つあるのみだ。あなたがたは一致して、偽りと、欺きの言葉をわたしの前に述べて、時の変るのを待とうとしているのだ。まずその夢をわたしに示しなさい。そうすれば、わたしはあなたがたがその解き明かしをも、示しうることを知るだろう」。

10

אִיתַי
いない
H0383

לָא־
ない
H3809

וְאָמְרִין
そして–言った
H0560

מַלְכָּא
王の
H4430

קֳדָם־
の–前で
H6925

)כַּשְׂדָּאֵי(
カルデア人たちは
H3779

]כשדיא[
[カルデア人たちは]
H3779

עֲנוֹ
答えた
H6032

קֳבֵל
ゆえに
H6903

כָּל־
すべての
H3606

לְהַחֲוָיָה
示すことが
H2324

יוּכַל
できる
H3202

מַלְכָּא
王の
H4430

מִלָּת
言葉を
H4406

דִּי
（ところの）
H1768

יַבֶּשְׁתָּא
地の
H3007

עַל־
の–上に
H5922

אֱנָשׁ
人は
H0606

שְׁאֵל
尋ねた–ことがない
H7593

לָא
ない
H3809

כְּדְנָה
このような
H1836

מִלָּה
事柄を
H4406

וְשַׁלִּיט
また–支配者も
H7990

רַב
偉大な
H7229

מֶלֶךְ
王も
H4430

כָּל־
いかなる
H3606

דִּי
（こと）
H1768

:וְכַשְׂדָּי
また–カルデア人にも
H3779

וְאָשָׁף
また–占星術師にも
H0826

חַרְטֹם
呪術師にも
H2749

לְכָל־
いかなる
H3606

カルデヤびとらは王の前に答えて言った、「世の中には王のその要求に応じうる者はひとりもありません。どんな大いなる力ある王でも、このような事を、博士、法術士、カルデヤびとに尋ねた者はありませんでした。

11

אִיתַי
いない
H0383

לָא
ない
H3809

וְאָחֳרָן
そして–他に
H0321

יַקִּירָה
難しい
H3358

שְׁאֵל
尋ねている
H7593

מַלְכָּא
王が
H4430

דִּי־
（ところの）
H1768

וּמִלְּתָא
そして–事柄は
H4406

דִּי
（ところの）
H1768

אֱלָהִין
神々のみが
H0426

לָהֵן
ただ
H3861

מַלְכָּא
王の
H4430

קֳדָם
の–前で
H6925

יְחַוֵּהּ
示すことが–できる–それを
H2324

דִּי
（ところの–者が）
H1768

:אִיתּוֹהִי
ない
H0383

לָא
ない
H3809

בִּשְׂרָא
人間と
H1321

עִם־
（と–共に）
H5974

מְדָרְהֹון
彼らの–住まいは

王の尋ねられる事はむずかしい事であって、肉なる者と共におられない神々を除いては、王の前にこれを示しうる者はないでしょう」。

12
לְהָאבֵד וַאֲמַר שַׂגִּיא וּקְצַף בְּנַס מַלְכָּא דְּנָה קֳבֵל כָּל־
滅ぼすように そして–命じた 大いに また–激怒した 怒り 王は このことの ゆえに すべて
H0007 H0560 H7690 H7108 H1149 H4430 H1836 H6903 H3606

לְכֻל חַכִּימֵי בָבֶל׃
すべての 知者たちを バビロンの
H3606 H2445 H0895

これによって王は怒り、かつ大いに憤り、バビロンの知者をすべて滅ぼせと命じた。

13
וְדָתָא וְחַכִּימַיָּא מִתְקַטְּלִין וּבְעוֹ דָּנִיֵּאל
そして–命令が そして–知者たちは 殺されようとしていた そして–捜し求めた ダニエルと
H1882 H2445 H6992 H1156 H1841

פ וְחַבְרוֹהִי לְהִתְקַטָּלָה׃ פ
彼の–仲間たちを 殺すために
H2269 H6992

この命令が発せられたので、知者らは殺されることになった。またダニエルとその同僚をも殺そうと求めた。

14
בֵּאדַיִן דָּנִיֵּאל הֲתִיב עֵטָא וּסְכָל לְאַרְיוֹךְ רַב־ טַבָּחַיָּא
その–時 ダニエルは 返した 思慮と また–分別を アリオクに 長である 護衛兵たちの
H0116 H1841 H8421 H5843 H2942 H0127 H7229 H2876

דִּי מַלְכָּא דִּי נְפַק לְקַטָּלָה לְחַכִּימֵי בָבֶל׃
（ところの） 王の （ところの） 出て行った 殺すために 知者たちを バビロンの
H1768 H4430 H1768 H5312 H7992 H2445 H0895

そして王の侍衛の長アリオクが、バビロンの知者らを殺そうと出てきたので、ダニエルは思慮と知恵とをもってこれに応答した。

15
עָנֵה דָּנִיֵּאל לְאַרְיוֹךְ שַׁלִּיטָא דִּי־ מַלְכָּא עַל־ מָה דָתָא
答えて ダニエルに そして–言った アリオクに 権力者よ （ところの） 王の なぜ か 命令は
H6032 H0560 H0127 H7990 H0127 H1768 H4430 H5922 H4101 H1882

הוֹדַע אַרְיוֹךְ מִלְּתָא אֱדַיִן מַלְכָּא קֳדָם מִן־ מְהַחֲצְפָה׃ לְדָנִיֵּאל
知らせた アリオクは 事柄を その–時 王の の–前 から 急いでいるのか ダニエルに
H3046 H0127 H4406 H0116 H4430 H6925 H4481 H2685 H1841

すなわち王の高官アリオクに「どうして王はそんなにきびしい命令を出されたのですか」と言った。アリオクがその事をダニエルに告げ知らせると、

16
לֵהּ יְהַב־ זְמָן דִּי מַלְכָּא מִן־ וּבְעָה עַל וְדָנִיֵּאל
彼に 与えて–ほしいと 時間を （こと） 王に から そして–願った 入って そして–ダニエルは
H5415 H2166 H1768 H4430 H4481 H1156 H5954 H1841

פ לְהַחֲוָיֵה לְמַלְכָּא׃ פִּשְׁרָא
王に 示すと そうすれば–解き明かしを
H4430 H2324 H6591

ダニエルは王のところへはいっていって、その解き明かしを示すために、しばらくの時を与えられるよう王に願った。

17
חַבְרוֹהִי לְמִישָׁאֵל וְלַחֲנַנְיָה עֲזַרְיָה לְבַיְתֵהּ אֲזַל דָּנִיֵּאל אֱדַיִן
彼の–仲間たちに アザリヤに ミシャエル そして–ハナニヤ 行った 彼の–家に ダニエルは その–時
H2269 H5839 H4333 H0236 H1005 H1841 H0116

הוֹדַע מִלְּתָא׃
知らせた 事柄を
H3046 H4406

それからダニエルは家に帰り、同僚のハナニヤ、ミシャエルおよびアザリヤにこの事を告げ知らせ、

18 וְרַחֲמִין לְמִבְעֵא מִן־קֳדָם אֱלָהָּ שְׁמַיָּא עַל־ רָזָה דְנָה דִּי
そして–あわれみを 求めるために から の–前 神に 天の について 奥義の この （こと）
H7359 H1156 H4481 H6925 H0426 H8065 H5922 H7328 H1836 H1768

חַכִּימֵי שְׁאָר עִם־ וְחַבְרוֹהִי דָּנִיֵּאל יְהֹבְדוּן לָא
知者たちと 残りの （と–共に） 彼の–仲間たちが ダニエルと 滅ぼされないようにと ない
H2445 H7606 H5974 H2269 H1841 H0007 H3809

בָּבֶל׃
バビロンの
H0895

共にこの秘密について天の神のあわれみを請い、ダニエルとその同僚とが、他のバビロンの知者と共に滅ぼされることのないように求めた。

19 דָּנִיֵּאל אֱדַיִן גְּלֵי רָזָה לֵילְיָא דִּי־ בְּחֶזְוָא לְדָנִיֵּאל אֱדַיִן
ダニエルは その–時 明かされた 奥義が 夜の （ところの） 幻の–中で ダニエルに その–時
H1841 H0116 H1541 H7328 H3916 H1768 H2376 H1841 H0116

בָּרֵךְ לֵאֱלָהָּ שְׁמַיָּא׃
ほめたたえた （を）–神を 天の
H1289 H0426 H8065

ついに夜の幻のうちにこの秘密がダニエルに示されたので、ダニエルは天の神をほめたたえた。

20 מְבָרַךְ אֱלָהָא דִּי־ שְׁמֵהּ לְהֵוֵא וְאָמַר דָּנִיֵּאל עָנָה
ほめたたえられて 神の （ところの） 御名が あるように そして–言った ダニエルは 答えた
H1289 H0426 H1768 H8036 H1934 H0560 H1841 H6032

דִּי וּגְבוּרְתָּא חָכְמְתָּא דִּי וְעַד־ עָלְמָא מִן־
（ところの） また–力は 知恵と （こと） 永遠まで そして–まで 永遠から から
H1768 H1370 H2452 H1768 H5957 H5705 H5957 H4481

הִיא׃ לֵהּ־
それは 彼の–ものである
H1932

ダニエルは言った、「神のみ名は永遠より永遠に至るまでほむべきかな、知恵と権能とは神のものである。

21 וְהוּא מְהַשְׁנֵא עִדָּנַיָּא וְזִמְנַיָּא מְהַעְדֵּה מַלְכִין וּמְהָקֵים מַלְכִין יָהֵב
そして–彼は 変える 時代と また–季節を 廃する 王たちを また–立てる 王たちを 与える
H0001 H8133 H5732 H2166 H5709 H4430 H6966 H4430 H3052

לְחַכִּימִין חָכְמְתָּא וּמַנְדְּעָא לְיָדְעֵי בִינָה׃
知者たちに 知恵を また–知識を 知る–者たちに 理解の
H2445 H2452 H4486 H3046 H0999

神は時と季節とを変じ、王を廃し、王を立て、知者に知恵を与え、賢者に知識を授けられる。

22 הוּא גְּלֵא עַמִיקָתָא וּמְסַתְּרָתָא יְדַע מָה בַחֲשׁוֹכָא ונהירא]
彼は 明かす 深い事と また–隠された事を 知る 何が 闇の–中にあるかを [そして–光は]
H1932 H1541 H5994 H3046 H4101 H2816

שְׁרֵא׃ עִמֵּהּ (וּנְהוֹרָא
宿る 彼と–共に そして–光は
H8271 H5974 H5094

神は深妙、秘密の事をあらわし、暗黒にあるものを知り、光をご自身のうちに宿す。

23 וּגְבוּרְתָא חָכְמְתָא דִּי אֱנָה וּמְשַׁבַּח מְהוֹדֵא אֲבָהָתַי אֱלָהּ וְלָךְ
また-力を 知恵と （こと） 私は また-賛美する 感謝し 私の-先祖たちの 神よ あなたに
H1370 H2452 H1768 H7624 H3029 H0002 H0426

מִנָּךְ בְּעֵינָא דִּי־ הוֹדַעְתָּנִי וּכְעַן לִי יְהַבְתְּ
あなたから 求めていた （ところの） 知らせてくださった-私に そして-今 私に 与えてくださった
H4481 H1156 H1768 H3046 H3705 H3052

:הוֹדַעְתָּנָא מַלְכָּא מִלַּת דִּי־
知らせてくださった-私たちに 王の 事柄を （ところの）
H3046 H4430 H4406 H1768

わが先祖たちの神よ、あなたはわたしに知恵と力とを賜い、今われわれがあなたに請い求めたところのものをわたしに示し、王の求めたことをわれわれに示されたので、わたしはあなたに感謝し、あなたをさんびします」。

24 דִּי עַל־ אַרְיוֹךְ דָּנִיֵּאל עַל דְּנָה קֳבֵל כָּל־
（ところの-者を） アリオクの （の-もとに） 入った ダニエルは このことの ゆえに すべて
H1768 H5922 H5954 H1841 H1836 H6903 H3606

לְהַכִּימֵי לְהוֹבָדָה מַלְכָּא מַנִּי וְכֵן אֲמַר־ לֵהּ
彼に 言った そして-こう 行って バビロンの 知者たちを 滅ぼすために 王が 任命した
H0560 H3652 H0236 H0895 H2445 H0007 H4430 H4483

וּפִשְׁרָא מַלְכָּא קֳדָם הַעְלֵנִי תְּהוֹבֵד אַל־ בָּבֶל לְחַכִּימֵי
そうすれば-解き明かしを 王の の-前に 連れて行け-私を 滅ぼすな ない バビロンの 知者たちを
H6591 H4430 H6925 H5954 H0007 H0409 H0895 H2445

ס לְמַלְכָּא :אֲחַוֵא
ס 示そう 王に
H2324 H4430

そこでダニエルは、王がバビロンの知者たちを滅ぼすことを命じておいたアリオクのもとへ行って、彼にこう言った、「バビロンの知者たちを滅ぼしてはなりません。わたしを王の前に連れて行ってください。わたしはその解き明かしを王に示します」。

25 אֱדַיִן אַרְיוֹךְ בְּהִתְבְּהָלָה הַנְעֵל לְדָנִיֵּאל קֳדָם מַלְכָּא וְכֵן אֲמַר־
その-時 アリオクは 急いで 連れて行った ダニエルを の-前に 王の そして-こう 言った
H0116 H0927 H5954 H1841 H6925 H4430 H3652 H0560

לֵהּ דִּי־ הַשְׁכַּחַת גְּבַר מִן־ בְּנֵי גָּלוּתָא דִּי יְהוּד
彼に （ところの） 見つけた 人を から の-子らの 捕囚の （ところの） ユダの
H1768 H7912 H1400 H4481 H1123 H1547 H1768 H3061

לְמַלְכָּא פִּשְׁרָא דִּי :יְהוֹדַע
王に 解き明かしを （ところの-者は） 知らせるであろう
H4430 H6591 H1768 H3046

アリオクは急いでダニエルを王の前に連れて行き、王にこう言った、「ユダから捕え移した者の中に、その解き明かしを王にお知らせすることのできる、ひとりの人を見つけました」。

26 עָנֵה מַלְכָּא וְאָמַר לְדָנִיֵּאל דִּי שְׁמֵהּ בֵּלְטְשַׁאצַּר]הֵאיתִיךְ[
答えた 王は そして-言った ダニエルに （ところの） 名が ベルテシャツァル [できるか]
H6032 H4430 H1560 H1841 H1768 H8036 H1096 H0383

)הֵאיתָךְ(כָּהֵל לְהוֹדָעֲתָנִי חֶלְמָא חֲזֵית דִּי־ וּפִשְׁרֵהּ :
できるか お前は 知らせることが-私に 夢を 見た （ところの） その-解き明かしを
H0383 H3546 H3046 H2493 H2370 H1768 H6591

王は答えて、ベルテシャザルという名のダニエルに言った、「あなたはわたしが見た夢と、その解き明かしとをわたしに知らせることができるのか」。

27 עָנָה דָנִיֵּאל קֳדָם מַלְכָּא וְאָמַר רָזָה דִּי־ מַלְכָּא שְׁאֵל
答えた ダニエルは の–前で 王の そして–言った 奥義を （ところの） 王が 尋ねている
H6032 H1841 H6925 H4430 H0560 H7328 H1768 H4430 H7593

לָא חַכִּימִין אָשְׁפִּין חַרְטֻמִּין גָּזְרִין יָכְלִין לְהַחֲוָיָה לְמַלְכָּא׃
ない 知者も 占星術師も 呪術師も 占い師も できない 示すことが 王に
H3809 H2445 H0826 H2749 H1505 H3202 H2324 H4430

ダニエルは王に答えて言った、「王が求められる秘密は、知者、法術士、博士、占い師など、これを王に示すことはできません。

28 בְּרַם אִיתַּי בִּשְׁמַיָּא אֱלָהּ גָּלֵא רָזִין וְהוֹדַע לְמַלְכָּא נְבוּכַדְנֶצַּר
しかし いる 天に 神が 明かす–方が 奥義を そして–知らせた 王に ネブカドネツァル
H1297 H0383 H8065 H0426 H1541 H7328 H3046 H4430 H5020

מָה דִּי לֶהֱוֵא בְּאַחֲרִית יוֹמַיָּא חֶלְמָךְ וְחֶזְוֵי רֵאשָׁךְ עַל־
何が （こと） 起こるかを の–終わりに 日々の あなたの–夢と また–幻は あなたの–頭の の–上の
H4101 H1768 H1934 H0320 H3118 H2493 H2376 H7217 H5922

פ מִשְׁכְּבֶךְ דְּנָה הִוא׃ פ
あなたの–寝床の これ である
H4903 H1836 H1932

しかし秘密をあらわすひとりの神が天におられます。彼は後の日に起るべき事を、ネブカデネザル王に知らされたのです。あなたの夢と、あなたが床にあって見た脳中の幻はこれです。

29 אַנְתָּה מַלְכָּא רַעְיוֹנָךְ עַל־ מִשְׁכְּבָךְ סְלִקוּ מָה דִּי לֶהֱוֵא
あなたは 王よ あなたの–思いは の–上で あなたの–寝床の のぼった 何が （こと） 起こるか
H0607 H4430 H7476 H5922 H4903 H5559 H4101 H1768 H1934

אַחֲרֵי דְנָה הוֹדְעָךְ מָה־ דִּי לֶהֱוֵא׃
後に この–後 知らせた–あなたに 何が （こと） 起こるかを
H0311 H1836 H3046 H4101 H1768 H1934

וְגָלֵא רָזַיָּא הוֹדְעָנָךְ מַה־ דִּי לֶהֱוֵא׃
そして–明かす–方が 奥義を 知らせた–あなたに 何が （こと） 起こるかを
H1541 H7328 H3046 H4101 H1768 H1934

王よ、あなたが床におられたとき、この後どんな事があろうかと、思いまわされたが、秘密をあらわされるかたが、将来どんな事が起るかを、あなたに知らされたのです。

30 וַאֲנָה לָא בְחָכְמָה דִּי־ אִיתַי בִּי מִן־ כָּל־
そして–私には ない 知恵に–よってではない （ところの） ある 私に よりも すべての
H0607 H3809 H2452 H1768 H0383 H4481 H3606

חַיַּיָּא דִּי דְנָה רָזָא גְּלֵי לִי לָהֵן עַל־ דִּבְרַת
生きている–者たちよりも この 奥義は 明かされた 私に むしろ の–ために 目的の （こと）
H2417 H7328 H1836 H1541 H3861 H5922 H1701 H1768

פִּשְׁרָא לְמַלְכָּא יְהוֹדְעוּן וְרַעְיוֹנֵי לִבְבָךְ תִּנְדָּע׃
解き明かしを 王に 知らせるためであり また–思いを あなたの–心の 知るためである
H6591 H4430 H3046 H7476 H3825 H3046

この秘密をわたしにあらわされたのは、すべての生ける者にまさって、わたしに知恵があるためではなく、ただその解き明かしを、王にお知らせすることによって、あなたが心に思われたことを、お知りになるためです。

31 אַנְתָּה מַלְכָּא חָזֵה הֲוַיְתָ וַאֲלוּ צֶלֶם חַד שַׂגִּיא שַׂלְמָא צַלְמָא דְכֵן
あなたは 王よ 見ていた （過去） そして–見よ 像が 一つの 大きな その–像は その–ような
H0607 H4430 H2370 H1934 H0431 H6755 H2298 H7690 H6755 H1797

וְזִיוֵהּ יַתִּיר קָאֵם לְקָבְלָךְ וְרֵוֵהּ דְּחִיל׃
また–その–輝きは 非常に 立っていた あなたの–前に また–その–姿は 恐ろしかった
H2122 H3493 H6966 H6903 H7299 H1763

רַב
巨大で
H7229

王よ、あなたは一つの大いなる像が、あなたの前に立っているのを見られました。その像は大きく、非常に光り輝いて、恐ろしい外観をもっていました。

32 הָדֵ֣ין צַלְמָ֗א רֵאשֵׁהּ֙ דִּֽי־דְהַ֣ב טָ֔ב חֲדוֹהִ֖י וּדְרָעוֹהִ֑י דִּי־כְסַ֔ף מְעֽוֹהִי֙ וְיַרְכָתֵ֔הּ דִּי־נְחָֽשׁ׃

הָדֵ֣ין	צַלְמָ֗א	רֵאשֵׁהּ֙	דִּֽי־	דְהַ֣ב	טָ֔ב	חֲדוֹהִ֖י	וּדְרָעוֹהִ֑י	דִּי־
その	像の	頭は	（ところの）	金の	純粋な	その–胸と	また–その–腕は	（ところの）
H1932	H6755	H7217	H1768	H1722	H2869	H2306	H1872	H1768

כְּסַ֖ף	מְעֽוֹהִי֙	וְיַרְכָתֵ֔הּ	דִּי־	נְחָֽשׁ׃
銀の	その–腹と	また–その–腿は	（ところの）	青銅の
H3702	H4577	H3410	H1768	H5174

その像の頭は純金、胸と両腕とは銀、腹と、ももとは青銅、

33 שָׁקוֹהִ֣י דִּי־פַרְזֶ֔ל רַגְלֽוֹהִי֙ [מנהון] (מִנְּהֵ֣ין) דִּי־פַרְזֶ֖ל וְדִי־חֲסַֽף׃

שָׁקוֹהִ֣י	דִּי־	פַרְזֶ֔ל	רַגְלֽוֹהִי֙	[מנהון]	(מִנְּהֵ֣ין)	דִּי־	פַרְזֶ֖ל	וְדִי־חֲסַֽף׃
その–すねは	（ところの）	鉄の	その–足は	[一部は]	一部は	（ところの）	鉄の	粘土の
H8243	H1768	H6523	H7271	H4481	H4481	H1768	H6523	H2635

すねは鉄、足の一部は鉄、一部は粘土です。

34 בִּידַ֣יִן לָ֗א דִּי־אֶבֶן֙ הִתְגְּזֶ֣רֶת דִּי־עַ֔ד הֲוֵ֖ית חָזֵ֑ה

בִּידַ֣יִן	לָ֗א	דִּי־	אֶבֶן֙	הִתְגְּזֶ֣רֶת	דִּי־	עַ֔ד	הֲוֵ֖ית	חָזֵ֑ה
手に–よらずに	ない	（ところの）	石が	切り出された	（こと）	まで	（過去）	見ていた
H3028	H3809	H1768	H0069	H1505	H1768	H5705	H1934	H2370

וְהַדֵּקֶת֙ וְחַסְפָּ֣א פַרְזְלָ֔א דִּי֙ רַגְלֽוֹהִי֙ עַל־לְצַלְמָ֔א וּמְחָ֖ת

וְהַדֵּקֶת֙	וְחַסְפָּ֣א	פַרְזְלָ֔א	דִּי֙	רַגְלֽוֹהִי֙	עַל־	לְצַלְמָ֔א	וּמְחָ֖ת	
そして–砕いた	また–粘土の	鉄と	（ところの）	その–足を	の–上の	その–像を	そして–打った	
H1855	H2635	H6523	H1768	H7271	H5922	H6755	H4223	

הַמּֽוֹן׃	
それらを	
H1994	

あなたが見ておられたとき、一つの石が人手によらずに切り出されて、その像の鉄と粘土との足を撃ち、これを砕きました。

35 בֵּאדַ֣יִן דָּקוּ֮ כַּחֲדָה֒ פַּרְזְלָ֣א חַסְפָּ֗א נְחָשָׁ֤א כַסְפָּא֙ וְדַהֲבָ֔א וַהֲו֖וֹ

בֵּאדַ֣יִן	דָּקוּ֮	כַּחֲדָה֒	פַּרְזְלָ֣א	חַסְפָּ֗א	נְחָשָׁ֤א	כַסְפָּא֙	וְדַהֲבָ֔א	וַהֲו֖וֹ
その–時	砕けた	共に	鉄も	粘土も	青銅も	銀も	また–金も	そして–なった
H0116	H1855	H2298	H6523	H2635	H5174	H3702	H1722	H1934

כְּעִ֣ור מִן־אִדְרֵי־קַ֔יִט וּנְשָׂ֖א הַמּ֑וֹן רוּחָ֣א וְכָל־אֲתַ֔ר

כְּעִ֣ור	מִן־	אִדְרֵי־	קַ֔יִט	וּנְשָׂ֖א	הַמּ֑וֹן	רוּחָ֣א	וְכָל־	אֲתַ֔ר
もみ殻のように	から	の–打ち場の	夏の	そして–運んだ	それらを	風が	そして–いかなる	場所も
H5784	H4481	H0147	H7007	H5376	H1994	H7308	H3606	H0870

וְאַבְנָ֣א דִֽי־מְחָ֣ת לְצַלְמָ֗א דִּי֙ הֲוַ֣ת לְהֽוֹן֙ הִשְׁתַּכַּ֔ח לָא־

וְאַבְנָ֣א	דִֽי־	מְחָ֣ת	לְצַלְמָ֗א	דִּי֙	הֲוַ֣ת	לְהֽוֹן֙	הִשְׁתַּכַּ֔ח	לָא־
そして–石は	（ところの）	打った	その–像を		なった	それらには	見つからなかった	ない
H0069	H1768	H4223	H6755		H1934		H7912	H3809

אַרְעָ֑א׃	כָּל־	וּמְלָ֣ת	רַ֔ב	לְטֽוּר
地を	すべての	そして–満たした	大きな	大きな–山に
H0772	H3606	H4391	H7229	H2906

こうして鉄と、粘土と、青銅と、銀と、金とはみな共に砕けて、夏の打ち場のもみがらのようになり、風に吹き払われて、あとかたもなくなりました。ところがその像を撃った石は、大きな山となって全地に満ちました。

36 דְּנָ֣ה חֶלְמָ֔א וּפִשְׁרֵ֖ה נֵאמַ֥ר קֳדָם־מַלְכָּֽא׃

דְּנָ֣ה	חֶלְמָ֔א	וּפִשְׁרֵ֖ה	נֵאמַ֥ר	קֳדָם־	מַלְכָּֽא׃
これが	夢であり	その–解き明かしを	述べよう	の–前で	王の
H1836	H2493	H6591	H0560	H6925	H4430

これがその夢です。今わたしたちはその解き明かしを、王の前に申しあげましょう。

37 אַנְתָּה מַלְכָּא מַלְכַּיָּא דִּי אֱלָהּ שְׁמַיָּא מַלְכוּתָא חֻסְנָא
あなたは 王よ 王の 中の-王であり （ところの-者に） 神が 天の 王国と 力と
H0607 H4430 H4430 H4430 H1768 H0426 H8065 H4437 H2632

וְתָקְפָּא וְיקָרָא יְהַב־ לָךְ׃
また-権威と また-栄光を 与えた あなたに
H3052 H3367

王よ、あなたは諸王の王であって、天の神はあなたに国と力と勢いと栄えとを賜い、

38 וּבְכָל־ דָּיְרִין( ]דארין[דִּי בְנֵי־ אֲנָשָׁא חֵיוַת בְּרָא וְעוֹף־
そして-すべての （住む [住む] （ところの） の-子らを 人間の 獣を 野の また-鳥を
H3606 H1753 H1753 H1768 H1123 H0606 H2423 H1251 H5776

רֵאשָׁה הוּא אַנְתָּה־ בְּכָלְהֵון וְהַשְׁלְטָךְ בִּידָךְ יְהַב שְׁמַיָּא
頭である その あなたは それらすべてを そして-治めさせた あなたの-手に 与えた 天の
H7217 H1932 H0607 H3606 H7981 H3028 H3052 H8065

דַּהֲבָא׃ דִּי
金の （ところの）
H1722 H1768

また人の子ら、野の獣、空の鳥はどこにいるものでも、皆これをあなたの手に与えて、ことごとく治めさせられました。あなたはあの金の頭です。

39 וּמַלְכוּ מִנָּךְ אַרְעָא אָחֳרִי מַלְכוּ תְקוֹם וּבָתְרָךְ
そして-王国が あなたよりも 劣った 別の 王国が 起こるであろう そして-あなたの-後に
H4437 H4481 H0772 H0317 H4437 H6966 H0870

אַרְעָא׃ בְּכָל־ תִּשְׁלַט דִּי נְחָשָׁא דִּי אָחֳרִי)תְלִיתָאָה( ]תליתיא[
地を すべての 治める （ところの-者が） 青銅の （ところの） 別の 第三の [第三の]
H0772 H3606 H7981 H1768 H5174 H1768 H0317 H8523

あなたの後にあなたに劣る一つの国が起ります。また第三に青銅の国が起って、全世界を治めるようになります。

40 וּמַלְכוּ)רְבִיעָאָה( ]רביעית[תֶּהֱוֵא תַקִּיפָה כְּפַרְזְלָא קֳבֵל כָּל־ דִּי
そして-王国が 第四の [第四の] あるであろう 強い 鉄のように ゆえに すべて （こと）
H4437 H7244 H7244 H1934 H8624 H6523 H6903 H3606 H1768

וְכָל־ מְרָעַע דִּי־ כְּפַרְזְלָא וְכַפַּרְזְלָא כֻּלָּא וְתָשֵׁל מְהַדַּק פַּרְזְלָא
すべての 砕く （ところの） そして-鉄のように すべてを また-打ち壊す 砕き 鉄は
H3606 H7490 H1768 H6523 H3606 H2827 H1855 H6523

אִלֵּין תַּדֵּק וְתֵרֹעַ׃
これらを 砕き また-打ち壊すであろう
H0459 H1855 H7490

第四の国は鉄のように強いでしょう。鉄はよくすべての物をこわし砕くからです。鉄がこれらをことごとく打ち砕くように、その国はこわし砕くでしょう。

41

פֶּחָר	דִּי־	חֲסַף	(מִנְּהֵין	[ומנהון]	וְאֶצְבְּעָתָא	רַגְלַיָּא	חֲזַיְתָה	וְדִי־	
陶工の	（ところの）	粘土の	一部は	[一部は]	また–足の–指が	足と	見た	そして–（こと）	
H6353	H1768	H2635	H4481	H4481	H0677	H7271	H2370	H1768	

דִּי	נְצְבְתָא	וּמִן־	תֶּהֱוֵה	פְּלִינָה	מַלְכוּ	פַּרְזֶל	(וּמִנְּהֵין	[ומנהון]	
（ところの）	堅さが	しかし–から	ものとなる	分裂した	王国は	鉄の	また–一部は	[また–一部は]	
H1768	H5326	H4481	H1934	H6386	H4437	H6523	H4480	H4481	

בַּחֲסַף	מְעָרַב	פַּרְזְלָא	חֲזַיְתָה	דִּי	קֳבֵל	כָּל־	בַּהּ	לֶהֱוֵא־	פַּרְזְלָא
粘土と	混ざった	鉄が	見た	（こと）	ゆえに	すべて	その–中に	あるであろう	鉄の
H2635	H6151	H6523	H2370	H1768	H6903	H3606		H1934	H6523

טִינָא׃
泥の
H2917

あなたはその足と足の指を見られましたが、その一部は陶器師の粘土、一部は鉄であったので、それは分裂した国をさします。しかしあなたが鉄と粘土との混じったのを見られたように、その国には鉄の強さがあるでしょう。

42

מִן־	חֲסַף	(וּמִנְּהֵין	[ומנהון]	פַּרְזֶל	(מִנְּהֵין	[ומנהון]	רַגְלַיָּא	וְאֶצְבְּעָת
から	粘土	また–一部は	[また–一部は]	鉄	一部は	[一部は]	足の	そして–足の–指は
H4481	H2635	H4480	H4481	H6523	H4481	H4481	H7271	H0677

תְּבִירָה׃	תֶּהֱוֵה	וּמִנָּהּ	תַּקִּיפָה	תֶּהֱוֵה	מַלְכוּתָא	קְצָת	
もろい	あるであろう	また–一部は	強く	あるであろう	王国は	一部は	
H8406	H1934	H4481	H8624	H1934	H4437	H7118	

その足の指の一部は鉄、一部は粘土であったように、その国は一部は強く、一部はもろいでしょう。

43

לֶהֱוֹן	מִתְעָרְבִין	טִינָא	בַּחֲסַף	מְעָרַב	פַּרְזְלָא	חֲזַיְתָ	(וְדִי	[דִין	
であろう	混ぜ合わさる	泥の	粘土と	混ざった	鉄が	見た	そして–（こと）	[（こと）]	
H1934	H6151	H2917	H2635	H6151	H6523	H2370	H1768	H1768	

הֵא־	דְּנָה	עִם־	דְּנָה	דָּבְקִין	לֶהֱוֹן	וְלָא־	אֱנָשָׁא	בִּזְרַע
ちょうど	これは	（と–共に）	これと	くっつく	であろう	しかし–ない	人間の	人間の–種に
	H1836	H5974	H1836	H1693	H1934	H3809	H0606	H2234

חַסְפָּא׃	עִם־	מִתְעָרֶב	לָא	פַּרְזְלָא	כְּדֵי	
粘土と	（と–共に）	混ざらない	ない	鉄は	のように	
H2635	H5974	H6151	H3809	H6523	H1768	

あなたが鉄と粘土との混じったのを見られたように、それらは婚姻によって、互に混ざるでしょう。しかし鉄と粘土とは相混じらないように、かれとこれと相合することはありません。

44

מַלְכוּ	שְׁמַיָּא	אֱלָהּ	יְקִים	אִנּוּן	מַלְכַיָּא	דִּי	וּבְיוֹמֵיהֹון	
王国を	天の	神は	立てるであろう	それらの	王たちの	（ところの）	そして–その–日々に	
H4437	H8065	H0426	H6966		H4430	H1768	H3118	

תִּשְׁתְּבֵק	לָא	אָחֳרָן	לְעַם	וּמַלְכוּתָה	תִּתְחַבַּל	לָא	לְעָלְמִין	דִּי
残されない	ない	他の	民に	そして–その–王国は	滅ぼされない	ない	永遠に	（ところの）
H7662	H3809	H0321	H5972	H4437	H2255	H3809	H5957	H1768

לְעָלְמַיָּא׃	תְּקוֹם	וְהִיא	מַלְכְוָתָא	אִלֵּין	כָּל־	וְתָסֵיק	תַּדַּק	
永遠に	立つ	そして–それは	王国を	これらの	すべての	また–終わらせる	砕き	
H5957	H6966	H1932	H4437	H0459	H3606	H5487	H1855	

それらの王たちの世に、天の神は一つの国を立てられます。これはいつまでも滅びることがなく、その主権は他の民にわたされず、かえってこれらのもろもろの国を打ち破って滅ぼすでしょう。そしてこの国は立って永遠に至るのです。

45

לָא	דִּי־	אֶבֶן	אִתְגְּזֶרֶת	מִטּוּרָא	דִּי	חֲזַיְתָ	דִּי־	קְבֶל	כָּל־
ない	（ところの）	石が	切り出された	山から	（こと）	見た	（こと）	ゆえに	すべて
H3809	H1768	H0069	H1505	H2906	H1768	H2370	H1768	H6903	H3606

הוֹדַע	רַב	אֱלָהָּ	וְדַהֲבָא	כַּסְפָּא	חַסְפָּא	נְחָשָׁא	פַּרְזְלָא	וְהַדֶּקֶת	בִּידַיִן
知らせた	偉大な	神は	また–金を	銀と	粘土と	青銅と	鉄と	そして–砕いた	手に–よらずに
H3046	H7229	H0426	H1722	H3702	H2635	H5174	H6523	H1855	H3028

וּמְהֵימַן	חֶלְמָא	וְיַצִּיב	דְּנָה	אַחֲרֵי	לֶהֱוֵא	דִּי	מָה	לְמַלְכָּא
また–信頼できる	夢は	そして–確かであり	この–後	後に	起こるかを	（こと）	何が	王に
H0540	H2493	H3330	H1836	H0311	H1934	H1768	H4101	H4430

פְּשַׁרֵּהּ׃	פ	
その–解き明かしは	פ	
H6591		

一つの石が人手によらずに山から切り出され、その石が鉄と、青銅と、粘土と、銀と、金とを打ち砕いたのを、あなたが見られたのはこの事です。大いなる神がこの後に起るべきことを、王に知らされたのです。その夢はまことであって、この解き明かしは確かです」。

46

סְגֵד	וּלְדָנִיֵּאל	אַנְפּוֹהִי	עַל־	נְפַל	נְבוּכַדְנֶצַּר	מַלְכָּא	בֱּאדַיִן
拝んだ	そして–ダニエルに	彼の–顔を	の–上に	ひれ伏した	ネブカドネツァルは	王は	その–時
H5457	H1841	H0600	H5922	H5308	H5020	H4430	H0116

לֵהּ׃	לְנַסָּכָה	אֲמַר	וְנִיחוֹחִין	וּמִנְחָה
彼に	ささげるように	命じた	また–香を	そして–供え物と
	H5260	H0560	H5208	H4504

そこでネブカデネザル王はひれ伏して、ダニエルを拝し、供え物と薫香とを、彼にささげることを命じた。

47

הוּא	אֱלָהֲכוֹן	דִּי	קְשֹׁט	מִן־	וְאָמַר	לְדָנִיֵּאל	מַלְכָּא	עָנֵהּ
彼は	あなたがたの–神は	（こと）	真実に	から	そして–言った	ダニエルに	王は	答えた
H1932	H0426	H1768	H7187	H4481	H0560	H1841	H4430	H6032

יְכֹלְתָּ	דִּי	רָזָיִן	וְגָלֵה	מַלְכִּין	וּמָרֵא	אֱלָהִין	אֱלָהּ
できた	（こと）	奥義を	また–明かす–方である	王たちの	また–主であり	中の–神であり	神の
H3202	H1768	H7328	H1541	H4430	H4756	H0426	H0426

דְּנָה׃	רָזָה	לְמִגְלֵא
この	奥義を	明かすことが
H1836	H7328	H1541

そして王はダニエルに答えて言った、「あなたがこの秘密をあらわすことができたのを見ると、まことに、あなたがたの神は神々の神、王たちの主であって、秘密をあらわされるかただ」。

48

לֵהּ	יְהַב־	שַׂגִּיאָן	רַבְרְבָן	וּמַתְּנָן	רַבִּי	לְדָנִיֵּאל	מַלְכָּא	אֱדַיִן
彼に	与えた	多くの	大きな	そして–贈り物を	高め	ダニエルを	王は	その–時
	H3052	H7690	H7260	H4978	H7236	H1841	H4430	H0116

סְגָנִין	וְרַב־	בָּבֶל	מְדִינַת	כָּל־	עַל	וְהַשְׁלְטֵהּ
総督たちの	また–長と–した	バビロンの	州を	すべての	（の–上に）	そして–治めさせた–彼に
H5460	H7229	H0895	H4083	H3606	H5922	H7981

בָּבֶל׃	חַכִּימֵי	כָּל־	עַל
バビロンの	知者たちの	すべての	（の–上に）
H0895	H2445	H3606	H5922

こうして王はダニエルに高い位を授け、多くの大いなる贈り物を与えて、彼をバビロン全州の総督とし、またバビロンの知者たちを統轄する者の長とした。

49

דִּי	עֲבִידְתָּא	עַל	וּמַנִּי	מַלְכָּא	מִן־	בְּעָא	וְדָנִיֵּאל
（ところの）	務めに	（の–上に）	そして–任命した	王に	から	願った	そして–ダニエルは
H1768	H5673	H5922	H4483	H4430	H4481	H1156	H1841

מַלְכָּא׃	בִּתְרַע	וְדָנִיֵּאל	נְגֹוַעֲבֵד	מֵישָׁךְ	לְשַׁדְרַךְ	בָּבֶל	מְדִינַת
王の	の–門に	そして–ダニエルは	アベデネゴを	メシャクと	シャデラクと	バビロンの	州の
H4430	H8651	H1841	H5665	H4336	H7715	H0895	H4083

פ
פ

王はまたダニエルの願いによって、シャデラクとメシャクとアベデネゴを任命して、バビロン州の事務をつかさどらせた。ただしダニエルは王の宮にとどまっていた。

Chapter 3

1

שִׁתִּין	אַמִּין	רוּמֵהּ	דְּהַב	דִּי־	צְלֵם	עֲבַד	מַלְכָּא	נְבוּכַדְנֶצַּר
六十	キュビト	その–高さは	金の	（ところの）	像を	作った	王は	ネブカドネツァル
H8361	H0521	H7314	H1722	H1768	H6755	H5648	H4430	H5020

בָּבֶל׃	בְּמְדִינַת	דּוּרָא	בְּבִקְעַת	אֲקִימֵהּ	שֵׁת	אַמִּין	פְּתָיֵהּ
バビロンの	の–州に	ドゥラの	の–平野に	立てた–それを	六	キュビト	その–幅は
H0895	H4083	H1757	H1236	H6966	H8353	H0521	H6613

ネブカデネザル王は一つの金の像を造った。その高さは六十キュビト、その幅は六キュビトで、彼はこれをバビロン州のドラの平野に立てた。

2

סְגָנַיָּא	לַאֲחַשְׁדַּרְפְּנַיָּא	וּלְמִכְנַשׁ	שְׁלַח	מַלְכָּא	וּנְבוּכַדְנֶצַּר
長官たちと	総督たちと	集めるために	遣わした	王は	そして–ネブカドネツァル
H5460	H0324	H3673	H7972	H4430	H5020

שַׁלְטֹנֵי	וְכָל	תִּפְתָּיֵא	דָּתָבְרַיָּא	גְּדָבְרַיָּא	אֲדַרְגָּזְרַיָּא	וּפַחֲוָתָא
支配者たちを	また–すべての	法官たちと	裁判官たちと	財務官たちと	参議官たちと	また–州知事たちと
H7984	H3606	H8614	H1884	H1411	H0148	H6347

מַלְכָּא׃	נְבוּכַדְנֶצַּר	הֲקִים	דִּי	צַלְמָא	לַחֲנֻכַּת	לְמֵתֵא	מְדִינָתָא
王が	ネブカドネツァル	立てた	（ところの）	像の	の–奉献式に	来るために	州の
H4430	H5020	H6966	H1768	H6755	H2597	H0858	H4083

そしてネブカデネザル王は、総督、長官、知事、参議、庫官、法官、高僧および諸州の官吏たちを召し集め、ネブカデネザル王の立てたこの像の落成式に臨ませようとした。

3

גְּדָבְרַיָּא	אֲדַרְגָּזְרַיָּא	וּפַחֲוָתָא	סְגָנַיָּא	אֲחַשְׁדַּרְפְּנַיָּא	מְתְכַּנְּשִׁין	בֵּאדַיִן
財務官たちと	参議官たちと	また–州知事たちと	長官たちと	総督たちと	集まった	その–時
H1411	H0148	H6347	H5460	H0324	H3673	H0116

דִּי	צַלְמָא	לַחֲנֻכַּת	מְדִינָתָא	שַׁלְטֹנֵי	וְכָל	תִּפְתָּיֵא	דָּתָבְרַיָּא
（ところの）	像の	の–奉献式に	州の	支配者たちが	また–すべての	法官たちと	裁判官たちと
H1768	H6755	H2597	H4083	H7984	H3606	H8614	H1884

דִּי	צַלְמָא	לָקֳבֶל	)וְקָיְמִין(	]וקאמין[	מַלְכָּא	נְבוּכַדְנֶצַּר	הֲקִים
（ところの）	像の	の–前に	そして–立った	[そして–立った]	王が	ネブカドネツァル	立てた
H1768	H6755	H6903	H6966	H6966	H4430	H5020	H6966

נְבוּכַדְנֶצַּר׃	הֲקִים
ネブカドネツァルが	立てた
H5020	H6966

そこで、総督、長官、知事、参議、庫官、法官、高僧および諸州の官吏たちは、ネブカデネザル王の立てた像の落成式に臨み、そのネブカデネザルの立てた像の前に立った。

וְלִשָׁנַיָּא׃	אֻמַיָּא	עַמְמַיָּא	אֱמַרִין	לְכוֹן	בְּחַיִל	קָרֵא	וְכָרוֹזָא	4
また–言語の–者よ	国々よ	もろもろの–民よ	告げる	あなたがたに	大声で	叫んだ	そして–伝令係が	
H3961	H0524	H5972	H0560		H2429	H7123	H3744	

時に伝令者は大声に呼ばわって言った、「諸民、諸族、諸国語の者よ、あなたがたにこう命じられる。

סַבְּכָא	)קַתְרוֹס(	]קיתרוס[	מַשְׁרוֹקִיתָא	קַרְנָא	כָּל	תִּשְׁמְעוּן	דִּי־	בְּעִדָּנָא	5
竪琴の	琴の	[琴の]	笛の	角笛の	音を	聞いたら	（ところの）	時に	
H5443	H7030	H7030	H4953	H7162	H7032	H8086	H1768	H5732	

לְצֶלֶם	וְתִסְגְּדוּן	תִּפְּלוֹן	זְמָרָא	זְנֵי	וְכָל	סוּמְפֹנְיָה	פְּסַנְתֵּרִין
（を）–像を	そして–拝まねばならない	ひれ伏して	音楽の	種類の	また–すべての	太鼓の	弦楽器の
H6755	H5457	H5308	H2170	H2178	H3606	H5481	H6460

מַלְכָּא׃	נְבוּכַדְנֶצַּר	הֲקִים	דִּי	דַּהֲבָּא
王が	ネブカドネツァル	立てた	（ところの）	金の
H4430	H5020	H6966	H1768	H1722

角笛、横笛、琴、三角琴、立琴、風笛などの、もろもろの楽器の音を聞く時は、ひれ伏してネブカデネザル王の立てた金の像を拝まなければならない。

שַׁעֲתָא	בַּהּ־	וְיִסְגֻּד	יִפֹּל	לָא	דִּי־	וּמַן־		6
時に	その	そして–拝まないなら	ひれ伏して	ない	（ところの–者が）	そして–誰でも		
H8160		H5457	H5308	H3809	H1768	H4479		

יְקִדְתָּא׃	נוּרָא	אַתּוּן	לְגוֹא־	יִתְרְמֵא
燃えさかる	火の	炎の	の–中に	投げ込まれる
H3345	H5135	H0861	H1459	H7412

だれでもひれ伏して拝まない者は、ただちに火の燃える炉の中に投げ込まれる」と。

קַרְנָא	קָל	עַמְמַיָּא	כָּל־	שָׁמְעִין	כְּדֵי	זִמְנָא	בַּהּ־	דְּנָה	קֳבֵל	כָּל־	7
角笛の	音を	民は	すべての	聞いた	ときに	時に	その	このことの	ゆえに	すべて	
H7162	H7032	H5972	H3606	H8086	H1768	H2166		H1836	H6903	H3606	

נָפְלִין	זְמָרָא	זְנֵי	וְכָל	פְּסַנְטֵרִין	סַבְּכָא	)קַתְרוֹס(	]קיתרס[	מַשְׁרוֹקִיתָא
ひれ伏した	音楽の	種類の	また–すべての	弦楽器の	竪琴の	琴の	[琴の]	笛の
H5308	H2170	H2178	H3606	H6460	H5443	H7030	H7030	H4953

הֲקִים	דִּי	דַּהֲבָּא	לְצֶלֶם	סָגְדִין	וְלִשָׁנַיָּא	אֻמַיָּא	עַמְמַיָּא	כָּל־
立てた	（ところの）	金の	（を）–像を	拝んだ	また–言語の–者は	国々の	民は	すべての
H6966	H1768	H1722	H6755	H5457	H3961	H0524	H5972	H3606

מַלְכָּא׃	נְבוּכַדְנֶצַּר
王が	ネブカドネツァル
H4430	H5020

そこで民らはみな、角笛、横笛、琴、三角琴、立琴、風笛などの、もろもろの楽器の音を聞くや、諸民、諸族、諸国語の者たちはみな、ひれ伏して、ネブカデネザル王の立てた金の像を拝んだ。

קַרְצֵיהוֹן	וַאֲכָלוּ	כַּשְׂדָּאֵין	גֻּבְרִין	קְרִבוּ	זִמְנָא	בַּהּ־	דְּנָה	קֳבֵל	כָּל־	8
彼らを	そして–訴えた	カルデア人の	人々が	近づいた	時に	その	このことの	ゆえに	すべて	
H7170	H0399	H3779	H1400	H7127	H2166		H1836	H6903	H3606	

יְהוּדָיֵא׃	דִּי
ユダヤ人たちの	（ところの）
H3062	H1768

その時、あるカルデヤびとらが進みきて、ユダヤ人をあしざまに訴えた。

9 עָנוֹ֙ וְאָמְרִ֔ין לְנְבוּכַדְנֶצַּ֖ר מַלְכָּ֣א מַלְכָּ֑א לְעָלְמִ֖ין חֱיִ֥י׃
答えて そして-言った ネブカドネツァルに 王よ 王よ 永遠に 生きてください
H6032 H0560 H5020 H4430 H4430 H5957 H2418

すなわち彼らはネブカデネザル王に言った、「王よ、とこしえに生きながらえられますように。

10 אַנְתָּ֤ה ׀ מַלְכָּא֙ שַׂ֣מְתָּ טְעֵ֔ם כָּל־ דִּ֥י אֱנָ֖שׁ דִּ֣י ׀ שְׁמַ֣ע קָלָ֗ךְ יִשְׁמַ֤ע קַרְנָא֙ מַשְׁרֹקִיתָ֣א קִיתְרֹס֔ וְסִיפַנְיָ֖ה
あなたは 王よ 定めた 命令を すべての 人は （ところの-者が） 聞いたら 音を 角笛の 笛の 琴の [また-太鼓の]
H0607 H4430 H7761 H2942 H3606 H0606 H1768 H8086 H7032 H7162 H4953 H7030 H5481

וְכָל־ זְנֵי־ זְמָרָ֛א יִפֹּ֥ל וְיִסְגֻּ֖ד לְצֶ֣לֶם דִּֽי־ הַקִּֽים׃
また-すべての 種類の 音楽の ひれ伏して そして-拝まねばならない （を）-像を
H3606 H2178 H2170 H5308 H5457 H6755

金の
H1722

王よ、あなたは命令を出して仰せられました。すべて、角笛、横笛、琴、三角琴、立琴、風笛などの、もろもろの楽器の音を聞く者は皆、ひれ伏して金の像を拝まなければならない。

11 וּמַן־ דִּ֣י לָא֩ יִפֹּ֨ל וְיִסְגֻּ֜ד יִתְרְמֵ֗א לְגֹ֣ו אַתּ֤וּן נוּרָא֙ יָקִ֣דְתָּא׃
そして-誰でも （ところの-者が） ない ひれ伏して そして-拝まないなら 投げ込まれる の-中に 炎の 火の 燃えさかる
H4479 H1768 H3809 H5308 H5457 H7412 H1459 H0861 H5135 H3345

また、だれでもひれ伏して拝まない者はみな、火の燃える炉の中に投げ込まれると。

12 אִיתַ֣י גֻּבְרִ֣ין יְהוּדָאִ֡ין דִּ֣י־ מַנְיְתָ֣ עַל־ עֲבִידַ֣ת מְדִינַ֣ת בָּבֶ֑ל שַׁדְרַךְ֙ מֵישַׁ֣ךְ נְגֹ֣ועֲבֶ֔ד גֻּבְרַיָּ֥א אִלֵּ֖ךְ לָא־ שָׂ֥מוּ
いる 人々が ユダヤ人の （ところの-者を） 任命した 彼らを の-上に 務めの 州の バビロンの シャデラクと メシャクと アベデネゴを 人々は これらの ない 置かなかった
H0383 H1400 H3062 H1768 H4483 H3487 H5922 H5673 H4083 H0895 H7715 H4336 H5665 H1400 H0479 H3809 H7761

וּלְצֶ֥לֶם פָּלְחִ֖ין לָ֣א לֵאלָהָ֑ךְ ׀ לֵאלָהַיִּ֣ךְ ׀ טְעֵ֣ם מַלְכָּ֣א עֲלָ֔ךְ ׀ עֲלַיִּ֣ךְ ׀
また-像に 仕えておらず ない あなたの-神に [あなたの-神に] 注意を 王よ あなたに [あなたに]
H6755 H6399 H3809 H0426 H0426 H2942 H4430 H5921 H5922

ס סָגְדִ֑ין׃ לָ֣א דִּ֥י הֲקִימְתָּ֖ דַּהֲבָֽא׃
ס 拝んでいない ない （ところの） 金の
H5457 H3809 H6966 H1768 H1722

ここにあなたが任命して、バビロン州の事務をつかさどらせられているユダヤ人シャデラク、メシャクおよびアベデネゴがおります。王よ、この人々はあなたを尊ばず、あなたの神々にも仕えず、あなたの立てられた金の像をも拝もうとしません」。

13 בְּאֵדַיִן נְבוּכַדְנֶצַּר בִּרְגַז וַחֲמָה אֲמַר לְהַיְתָיָה לְשַׁדְרַךְ
その–時 ネブカドネツァルは 怒りと また–激怒の–中で 命じた 連れて来るように シャデラクと
H0116 H5020 H7266 H2528 H0560 H0858 H7715

מֵישָׁךְ גְּבַרַיָּא אִלֵּךְ בֵּאדַיִן גְּבֶעֱוֹעַבֶד קֳדָם הֵיתָיוּ מַלְכָּא׃
メシャクと 人々は これらの その–時 アベデネゴを の–前に 連れて来られた 王の
H4336 H1400 H0479 H0116 H5665 H6925 H0858 H4430

そこでネブカデネザルは怒りかつ憤って、シャデラク、メシャクおよびアベデネゴを連れてこいと命じたので、この人々を王の前に連れてきた。

14 עָנֵה נְבֻכַדְנֶצַּר וְאָמַר לְהֹון הַצְדָּא שַׁדְרַךְ מֵישָׁךְ גְּבֶעֱוֹעַבֶד
答えた ネブカドネツァルは そして–言った 彼らに 本当か シャデラクよ メシャクよ アベデネゴよ
H6032 H5020 H0560 H6656 H7715 H4336 H5665

לֵאלָהַי אִיתֵיכוֹן לָא פָּלְחִין וּלְצֶלֶם דַּהֲבָא דִּי הֲקִימֶת לָא
私の–神に ない お前たちは 仕えておらず また–像に 金の （ところの） 立てた ない
H0426 H3809 H0383 H6399 H6755 H1768 H6966 H3809

סָגְדִין׃
拝んでいないのか
H5457

ネブカデネザルは彼らに言った、「シャデラク、メシャク、アベデネゴよ、あなたがたがわが神々に仕えず、またわたしの立てた金の像を拝まないとは、ほんとうなのか。

15 כְּעַן הֵן אִיתֵיכוֹן מִשְׁתְּמְעִין דִּי בְּעִדָּנָא דִּי־ עִדְּנִין קָל
今 もし お前たちが 用意があるなら （こと） 時に （ところの） 聞いたら 音を
H3705 H3606 H0383 H6263 H1768 H5732 H1768 H8086 H7032

קַרְנָא מַשְׁרוֹקִיתָא [קיתרס] (קִתְרוֹס) שַׁבְּכָא פְּסַנְתֵּרִין וְסוּמְפֹּנְיָה וְכָל זְנֵי
角笛の 笛の [琴の] 琴の 竪琴の 弦楽器の また–太鼓の また–すべての 種類の
H7162 H4953 H7030 H7030 H5443 H6460 H5481 H3606 H2178

זְמָרָא תִּפְּלוּן וְתִסְגְּדוּן לְצַלְמָא דִּי־ עֲבַדְתִּ לָא
音楽の ひれ伏して そして–拝むなら 像を （ところの） 作った ない
H2170 H5308 H5457 H6755 H1768 H5648 H3809

וּמַן־ הוּא אֱלָהּ דִּי יְשֵׁיזִבְנָכוֹן מִן־ יְדָי׃
そして–誰が その 神が （ところの–者が） 救えるのか–お前たちを から 私の–手から
H4479 H1932 H0426 H1768 H7804 H4481 H3028

תִּסְגְּדוּן לָא־ בַּהּ־ שַׁעֲתָה תִּתְרְמוֹן גֻּבָּא נוּרָא אַתּוּן לְגוֹא־ וְתֶקְדְתָּא
拝まないなら その 時に 投げ込まれるであろう の–中に 炎の 火の 燃えさかる
H5457 H0429 H8160 H7412 H1459 H0861 H5135 H3345

あなたがたがもし、角笛、横笛、琴、三角琴、立琴、風笛などの、もろもろの楽器の音を聞くときにひれ伏して、わたしが立てた像を、ただちに拝むならば、それでよろしい。しかし、拝むことをしないならば、ただちに火の燃える炉の中に投げ込まれる。いったい、どの神が、わたしの手からあなたがたを救うことができようか」。

16 עָנִו לְמַלְכָּא נְבֻכַדְנֶצַּר לָא־ וְאָמְרִין גְּבֶעֱוֹעַבֶד מֵישָׁךְ שַׁדְרַךְ
答えた 王に ネブカドネツァルよ そして–言った アベデネゴは メシャクと シャデラクと
H6032 H4430 H5020 H0560 H5665 H4336 H7715

לַהֲתָבוּתָךְ׃ פִּתְגָם דְּנָה עַל־ אֲנַחְנָה חַשְׁחִין
答えることは 言葉を この–件について に–ついて 私たちは 必要ではない
H8421 H6600 H1836 H5922 H0586

シャデラク、メシャクおよびアベデネゴは王に答えて言った、「ネブカデネザルよ、この事について、お答えする必要はありません。

17

לְשֵׁיזָבוּתָנָא	יָכֵל	פָּלְחִין	אֲנַחְנָא	דִּי־	אֱלָהֲנָא	אִיתַי	הֵן
救うことが–私たちを	できる	仕えている	私たちが	（ところの）	私たちの–神は	あるなら	もし
H7804	H3202	H6399	H0586	H1768	H0426	H0383	

יְשֵׁיזֵב׃	מַלְכָּא	יְדָךְ	וּמִן־	יָקְדָתָא	נוּרָא	אַתּוּן	מִן־
救われるであろう	王よ	あなたの–手から	また–から	燃えさかる	火の	炎の	から
H7804	H4430	H3028	H4481	H3345	H5135	H0861	H4481

もしそんなことになれば、わたしたちの仕えている神は、その火の燃える炉から、わたしたちを救い出すことができます。また王よ、あなたの手から、わたしたちを救い出されます。

18

לאלהיך	דִּי	מַלְכָּא	לָךְ	לֶהֱוֵא־	יְדִיעַ	לָא	וְאִן	
あなたの–神に	（こと）	王よ	あなたに	あるように	知ってください	なくても	しかし–もし	
H0426	H1768	H4430		H1934	H3046	H3809		

נְסְגָּד׃	לָא	הֲקִימְתָּ	דִּי	דַּהֲבָא	וּלְצֶלֶם	פָּלְחִין	(אִיתַנָא	[אִיתִינָא	לָא־
拝まない	ない	立てた	（ところの）	金の	また–像に	仕えない	私たちは	[私たちは]	ない
H5457	H3809	H6966	H1768	H1722	H6755	H6399	H0383)	H0383]	H3809

ס
ס

たといそうでなくても、王よ、ご承知ください。わたしたちはあなたの神々に仕えず、またあなたの立てた金の像を拝みません」。

19

אֶשְׁתַּנִּי)	[אשתנו	אַנְפּוֹהִי	וּצְלֶם	חֵמָא	הִתְמְלִי	נְבוּכַדְנֶצַּר	בֵּאדַיִן	
変わった	[変わった]	彼の–顔の	また–表情が	怒りで	満たされた	ネブカドネツァルは	その–時	
H8133	H8133	H0600	H6755	H2528	H4391	H5020	H0116	

לְאַתּוּנָא	לְמֶזֵא	וְאָמַר	עֲנֵה	נְגוֹעַבֶד	מֵישָׁךְ	שַׁדְרַךְ	עַל־	
炎を	熱くするように	そして–言った	答えて	アベデネゴに	メシャクと	シャデラクと	に–対して	
H0861	H0228	H0560	H6032	H5665	H4336	H7715	H5922	

לְמֶזֵהּ׃	חֲזֵה	דִּי	עַל	שִׁבְעָה	חַד־	
熱くするべき	見た	（こと）	よりも	七倍に	ー	
H0228	H2370	H1768	H5922	H7655	H2298	

そこでネブカデネザルは怒りに満ち、シャデラク、メシャクおよびアベデネゴにむかって、顔色を変え、炉を平常よりも七倍熱くせよと命じた。

20

לְשַׁדְרַךְ	לְכַפָּתָה	אֲמַר	בְּחֵילֵהּ	דִּי	חַיִל	גִּבָּרֵי־	וּלְגֻבְרִין	
シャデラクと	縛るように	命じた	彼の–軍の	（ところの）	力の	勇敢な	そして–人々に	
H7715	H3729	H0560	H2429	H1768	H2429	H1401	H1400	

יָקְדָתָא׃	נוּרָא	לְאַתּוּן	לְמַרְמֵא	נְגוֹעַבֶד	מֵישָׁךְ
燃えさかる	火の	炎の	投げ込むために	アベデネゴを	メシャクと
H3345	H5135	H0861	H7412	H5665	H4336

またその軍勢の中の力の強い人々を呼んで、シャデラク、メシャクおよびアベデネゴを縛って、彼らを火の燃える炉の中に投げ込めと命じた。

21

פַּטְשֵׁיהוֹן)	[פטישיהון	בְּסַרְבָּלֵיהוֹן	כְּפִתוּ	אִלֵּךְ	גִּבְרַיָּא	בֵּאדַיִן	
彼らの–下着と	[彼らの–下着と]	彼らの–上着と	縛られた	これらの	人々は	その–時	
H6361	H6361	H5622	H3729	H0479	H1400	H0116	

יָקְדָתָא׃	נוּרָא	אַתּוּן	לְגוֹא־	וּרְמִיו	וּלְבֻשֵׁיהוֹן	וְכַרְבְּלָתְהוֹן	
燃えさかる	火の	炎の	の–中に	そして–投げ込まれた	また–彼らの–衣服を	また–彼らの–帽子と	
H3345	H5135	H0861	H1459	H7412	H3831	H3737	

そこでこの人々は、外套、下着、帽子、その他の衣服のまま縛られて、火の燃える炉の中に投げ込まれた。

22 כָּל־ קֳבֵל דְּנָה מִן־ דִּי מִלַּת מַלְכָּא מַחְצְפָּה וְאַתּוּנָא אֲזֵהָ
すべて ゆえに このことの から （こと） 命令が 王の 急ぎであり また–炎が 熱くて
H3606 H6903 H1836 H4481 H1768 H4406 H4430 H2685 H0861 H0228

גְּבְרַיָּא אִלֵּךְ מֵישַׁךְ לְשַׁדְרַךְ הַסְקוּ דִּי נְגֹוַעֲבֵד
人々は これらの メシャクと シャデラクと 担ぎ上げた （ところの–者が） アベデネゴを
H1400 H0479 H4336 H7715 H5267 H1768 H5665

יַתִּירָא שְׁבִיבָא הִמּוֹן קְטָל דִּי נוּרָא׃
非常に 炎が 彼らを 殺した （ところの） 火の
H3493 H7631 H1994 H6992 H1768 H5135

王の命令はきびしく、かつ炉は、はなはだしく熱していたので、シャデラク、メシャクおよびアベデネゴを引きつれていった人々は、その火炎に焼き殺された。

23 וְגַבְרַיָּא אִלֵּךְ תְּלָתֵהוֹן שַׁדְרַךְ מֵישַׁךְ נְגֹוַעֲבֵד נְפַלוּ לְגוֹא־
そして–人々は これらの 三人は シャデラクと メシャクと アベデネゴは 落ちた の–中に
H1400 H0479 H8532 H7715 H4336 H5665 H5308 H1459

אַתּוּן־ נוּרָא יָקְדָתָא מְכַפְּתִין׃ פ
炎の 火の 燃えさかる 縛られたまま פ
H0861 H5135 H3345 H3729

シャデラク、メシャク、アベデネゴの三人は縛られたままで、火の燃える炉の中に落ち込んだ。

24 אֱדַיִן תְּוֵה מַלְכָּא נְבוּכַדְנֶצַּר וְקָם בְּהִתְבְּהָלָה עָנֵה וְאָמַר
その–時 驚いた 王は ネブカドネツァル そして–立ち上がった 急いで 答えて そして–言った
H0116 H8429 H4430 H5020 H6966 H0927 H6032 H0560

לְהַדָּבְרוֹהִי הֲלָא גֻבְרִין תְּלָתָא דִּי מִנָּא לְגוֹא־ נוּרָא מְכַפְּתִין עָנֵן
彼の–家臣たちに ではないか 人を 三人 投げ込んだ–私たちは の–中に 火の 縛られた 答えて
H1907 H3809 H1400 H8532 H7412 H1459 H5135 H3729 H6032

וְאָמְרִין לְמַלְכָּא יַצִּיבָא׃
そして–言った 王に その–通りです 王よ
H0560 H4430 H3330 H4430

その時、ネブカデネザル王は驚いて急ぎ立ちあがり、大臣たちに言った、「われわれはあの三人を縛って、火の中に投げ入れたではないか」。彼らは王に答えて言った、「王よ、そのとおりです」。

25 עָנֵה וְאָמַר הָא־ אֲנָה חָזֵה גֻּבְרִין אַרְבְּעָה שְׁרַיִן מַהְלְכִין בְּגוֹא־
答えて そして–言った 見よ 私は 見ている 人を 四人の 解かれて 歩いている の–中で
H6032 H0560 H2370 H1400 H0703 H8271 H1981 H1459

נוּרָא לָא־ אִיתַי בְּהֶוֹן וְרֵוֵהּ דִּי רְבִיעָאָה( ]רביעיא[
火の ない ない 彼らに そして–姿は （ところの） [第四の–者の] 第四の–者の
H5135 H3809 H0383 H7299 H1768 H7244 H7244

וַחֲבָל לְבַר־ דְּמֵה סּ אֱלָהִין׃
そして–傷が の–子に 似ている סּ 神々の
H2257 H1247 H1821 H0426

王は答えて言った、「しかし、わたしの見るのに四人の者がなわめなしに、火の中を歩いているが、なんの害をも受けていない。その第四の者の様子は神の子のようだ」。

26 בֵּאדַ֡יִן קְרֵ֣ב נְבוּכַדְנֶצַּ֣ר לְתָרַע֮ אַתּ֣וּן נוּרָ֒א אֲתּ֣וּן דְּקַדְתָּ֗א עֲנָ֤ה
近づいた ネブカドネツァルは の–戸口に 炎の 火の 燃えさかる 答えて
H7127 H5020 H8651 H0861 H5135 H3345 H6032

וְאָמַ֗ר שַׁדְרַ֤ךְ מֵישָׁךְ֙ עַבְדֹ֣והִי דִּי־ אֱלָהָ֔א
そして–言った シャデラクよ メシャクよ しもべたちよ （ところの） 神の
H0560 H7715 H4336 H5649 H1768 H0426

נָפְק֣וּ כְדֵ֗ין בְּאֵד֙יִן֙ וְאֵתָ֔ו עִלָּיא֙ (עִלְאָ֔ה) מִישָׁךְ֙ שַׁדְרַ֔ךְ
出てきた その–時 そして–来なさい 出て来い いと高き [いと高き] メシャクと シャデラクと
H5312 H0116 H0858 H5312 H5943 H5943 H4336 H7715

נוּרָֽא׃ גּ֣וֹא מִן־ נְגֹוַעֲבֵֽד
火の の–中の から アベデネゴは
H5135 H1459 H4481 H5665

そこでネブカデネザルは、その火の燃える炉の入口に近寄って、「いと高き神のしもべシャデラク、メシャク、アベデネゴよ、出てきなさい」と言ったので、シャデラク、メシャク、アベデネゴはその火の中から出てきた。

27 וְקָֽמוּ֙ אֲחַשְׁדַּרְפְּנַ֔יָּא סְגָנַיָּ֖א וּפַחֲוָתָ֑א וְהַדִּבְרֵ֣י מַלְכָּ֗א חֲזָ֤ו
そして–集まった 総督たちと 長官たちと また–州知事たちと また–家臣たちは 王の 見た
H3673 H0324 H5460 H6347 H1907 H4430 H2370

לְגִבְרַיָּ֡א דִּ֣י לָא־ שְׁלִ֣ט נוּרָא֮ בְּגֶשְׁמְהֹון֒ וּשְׂעַ֤ר רֵאשְׁהֹון֙
これらの 人々を ない （こと） 支配しなかった 火は 彼らの–体に そして–髪も 彼らの–頭の
H0479 H1400 H3809 H1768 H7981 H5135 H1655 H8177 H7217

לָא֙ נְהִ֔ירַ וְרֵיחַ֙ נוּרָ֔א שְׁנ֖וֹ לָ֑א וְסָרְבָלֵיהֹון֙ הִתְחָרַ֔ךְ לָ֖א
ない 火の また–臭いも 変わっておらず ない そして–彼らの–上着も 焦げておらず ない
H3809 H5135 H7382 H8133 H3809 H5622 H2761 H3809

בְּהֹון׃ עֲדָ֥ת
彼らに 付いていなかった
H5709

総督、長官、知事および王の大臣たちも集まってきて、この人々を見たが、火は彼らの身にはなんの力もなく、その頭の毛は焼けず、その外套はそこなわれず、火のにおいもこれに付かなかった。

28 עָנֵ֣ה נְבוּכַדְנֶצַּ֣ר וְאָמַ֗ר בְּרִ֤יךְ אֱלָהֲהֹון֙ דִּי־ שַׁדְרַ֔ךְ
答えた ネブカドネツァルは そして–言った ほめたたえよ 彼らの–神を （ところの） シャデラクと
H6032 H5020 H0560 H1289 H0426 H1768 H7715

וְשֵׁיזַ֗ב מַלְאֲכֵ֤הּ שְׁלַח֙ דִּי־ וַעֲבַדְנֹ֔ו מֵישָׁךְ֙
そして–救った 彼の–御使いを 遣わした （ところの–方が） アベデネゴの メシャクと
H7804 H4398 H7972 H1768 H5665 H4336

שַׁנִּ֔יו מַלְכָּ֖א וּמִלְּתָ֑ת עֲלֹ֣והִי הִתְרְחִצ֙וּ דִּ֣י לְעַבְדֹ֣והִי
破った 王の そして–言葉を 彼に 信頼した （ところの–者が） 彼の–しもべたちを
H8133 H4430 H4406 H5922 H7365 H1768 H5649

יִסְגְּד֔וּן וְלָא־ יִפְלְחֻ֖ון לָא־ דִּ֑י (גֶּ֣שְׁמְהֹון) [נשמיהון] וִיהַבוּ֙
拝まないために また–ない 仕えず ない （こと） 彼らの–体を [彼らの–体を] そして–渡した
H5457 H3809 H6399 H3809 H1768 H1655 H1655 H3052

לֵאלָהֲהֹון׃ לָהֵ֥ן אֱלָ֖ה לְכָל־
彼らの–神に ただ–のみ 神にも いかなる
H0426 H3861 H0426 H3606

ネブカデネザルは言った、「シャデラク、メシャク、アベデネゴの神はほむべきかな。神はその使者をつかわして、自分に寄り頼むしもべらを救った。また彼らは自分の神以外の神に仕え、拝むよりも、むしろ王の命令を無視し、自分の身をも捨てようとしたのだ。

29

וְלִשָּׁן	אֻמָּה	עַם	כָּל־	דִּי	טְעֵם	שָׂם	וּמִנִּי	
また–言語の–者が	国と	民と	すべての	（こと）	命令が	出される	そして–私から	
H3961	H0524	H5972	H3606	H1768	H2942	H7761	H4481	

שַׁדְרַךְ	דִּי־	אֱלָהֲהוֹן	עַל	)שְׁלוֹ(	]שלה[	יֵאמַר	דִּי־
シャデラクと	（ところの）	彼らの–神に	に–対して	不敬を	[不敬]	話す	（ところの–者が）
H7715	H1768	H0426	H5922	H7955	H7955	H0560	H1768

יִשְׁתַּוֵּה	נְוָלֵי	וּבַיְתֵהּ	יִתְעֲבֵד	הַדְּמִין	נְגֹוֹאעֲבֵד	מִישַׁךְ	
されるであろう	廃墟に	また–彼の–家は	されるであろう	八つ裂きに	アベデネゴの	メシャクと	
	H5122	H1005	H5648	H1917	H5665	H4336	

לְהַצָּלָה	יְכָל	דִּי־	אָחֳרָן	אֱלָה	אִיתַי	לָא	דִּי	קֳבֵל	כָּל־
救うことが	できる	（ところの–者が）	他の	神は	ない	ない	（こと）	ゆえに	すべて
H5338	H3202	H1768	H0321	H0426	H0383	H3809	H1768	H6903	H3606

כִּדְנָה׃
このように
H1836

それでわたしはいま命令を下す。諸民、諸族、諸国語の者のうちだれでも、シャデラク、メシャク、アベデネゴの神をののしる者があるならば、その身は切り裂かれ、その家は滅ぼされなければならない。このように救を施すことのできる神は、ほかにないからだ」。

30

פ	בָּבֶל׃	בְּמְדִינַת	נְגֹוֹעֲבֵד	מִישָׁךְ	לְשַׁדְרַךְ	הַצְלַח	מַלְכָּא	בֵּאדַיִן
פ	バビロンの	の–州で	アベデネゴを	メシャクと	シャデラクと	栄えさせた	王は	その–時
	H0895	H4083	H5665	H4336	H7715	H6744	H4430	H0116

こうして、王はシャデラク、メシャクおよびアベデネゴの位を進めて、バビロン州におらせた。

Chapter 4

1

דִּי־	וְלִשְׁנָיָא	אֻמַיָּא	עַמְמַיָּא	לְכָל־	מַלְכָּא	נְבוּכַדְנֶצַּר
（ところの–者が）	また–言語の–者に	国々と	民と	すべての	王は	ネブカドネツァル
H1768	H3961	H0524	H5972	H3606	H4430	H5020

יִשְׁגָּא׃	שְׁלָמְכוֹן	אַרְעָא	בְּכָל־	)דָּיְרִין(	]דארין[
増すように	あなたがたの–平安が	地に	すべての	住んでいる	[住んでいる]
H7680	H8001	H0772	H3606	H1753	H1753

ネブカデネザル王は全世界に住む諸民、諸族、諸国語の者に告げる。どうか、あなたがたに平安が増すように。

2

)עִלָּאָה(	]עליא[	אֱלָהָא	עִמִּי	עֲבַד	דִּי	וְתִמְהַיָּא	אָתַיָּא	
いと高き	[いと高き]	神が	私と–共に	行った	（ところの）	また–不思議を	しるしと	
H5943	H5943	H0426	H5974	H5648	H1768	H8540	H0852	

לְהַחֲוָיָה׃	קֳדָמַי	שְׁפַר	
示すことを	私の–前で	良いと–思った	
H2324	H6925	H8232	

いと高き神はわたしにしるしと奇跡とを行われた。わたしはこれを知らせたいと思う。

3

מַלְכוּתֵהּ	תַּקִּיפִין	כְּמָה	וְתִמְהוֹהִי	רַבְרְבִין	כְּמָה	אָתוֹהִי
彼の–王国は	力強いことか	どれほど	また–彼の–不思議は	大きいことか	どれほど	彼の–しるしは
H4437	H8624	H4101	H8540	H7260	H4101	H0852

וְדָר׃	דָּר	עִם־	וְשָׁלְטָנֵהּ	עָלַם	מַלְכוּת
また–代まで	代から	（と–共に）	また–彼の–支配は	永遠の	王国である
H1859	H1859	H5974	H7985	H5957	H4437

ああ、そのしるしの大いなること、ああ、その奇跡のすばらしいこと、その国は永遠の国、その主権は世々に及ぶ。

4

בְּהֵיכְלִי׃	וְרַעֲנַן	בְּבֵיתִי	הֲוֵית	שְׁלֵה	נְבוּכַדְנֶצַּר	אֲנָה
私の–宮殿で	また–栄えていた	私の–家で	いた	安らかに	ネブカドネツァル	私は
H1965	H7487	H1005	H1934	H7954	H5020	

われネブカデネザルはわが家に安らかにおり、わが宮にあって栄えていたが、

5

רֵאשִׁי	וְחֶזְוֵי	מִשְׁכְּבִי	עַל־	וְהַרְהֹרִין	וִידַחֲלֵנִי	חֶזְוָא	חֶלְמָ
私の–頭の	また–幻が	私の–寝床の	の–上の	また–思いが	そして–恐れさせた–私を	見た	夢を
H7217	H2376	H4903	H5922	H2031	H1763	H2370	H2493

יְבַהֲלֵנִי׃
恐れさせた–私を
H0927

わたしは一つの夢を見て、そのために恐れた。すなわち床にあって、その事を思いめぐらし、わが脳中の幻のために心を悩ました。

6

בָּבֶל	חַכִּימֵי	לְכֹל	קֳדָמַי	לְהַנְעָלָה	טְעֵם	שִׂים	וּמִנִּי	
バビロンの	知者たちを	すべての	私の–前に	連れて来るように	命令が	出された	そして–私から	
H0895	H2445	H3606	H6925	H5954	H2942	H7761	H4481	

יְהוֹדְעֻנַנִי׃	חֶלְמָא	פִּשְׁרָ	דִּי־
知らせるために–私に	夢の	解き明かしを	（こと）
H3046	H2493	H6591	H1768

そこでわたしは命令を下し、バビロンの知者をことごとくわが前に召し寄せて、その夢の解き明かしを示させようとした。

7

]כשדיא[	אָשַׁפְתָּיָא	חַרְטֻמַּיָא	)עלין(	]עללין[	בֵּאדַיִן	
[カルデア人たちと]	占星術師たちと	呪術師たちと	入って来た	[入って来た]	その–時	
H3779	H0826	H2749	H5954	H5954	H0116	

וּפִשְׁרֵהּ	קֳדָמֵיהוֹן	אֲנָהּ	אֲמַר	וְחֶלְמָא	וְגָזְרַיָּא	)כַּשְׂדָּאֵי(
その–解き明かしを	彼らの–前で	私は	告げた	そして–夢を	また–占い師たちが	カルデア人たちと
H6591	H6925		H0560	H2493	H1505	H3779

לִי׃	מְהוֹדְעִין	לָא־
私に	知らせなかった	ない
	H3046	H3809

すると、博士、法術士、カルデヤびと、占い師たちがきたので、わたしはその夢を彼らに語ったが、彼らはその解き明かしを示すことができなかった。

8

שְׁמֵהּ	דִּי־	דָנִיֵּאל	קֳדָמַי	עַל	אָחֳרִין	וְעַד
名は	（ところの–者の）	ダニエルが	私の–前に	入って来た	後に	そして–最後に
H8036	H1768	H1841	H6925	H5954	H0318	H5705

קַדִּישִׁין	אֱלָהִין	רוּחַ־	וְדִי	אֱלָהִי	כְּשֻׁם	בֵּלְטְשַׁאצַּר
聖なる	神々の	霊が	そして（ところの–者）	私の–神の	の–名に–ちなんだ	ベルテシャツァル
H6922	H0426	H7308	H1768	H0426	H8036	H1096

אֲמְרֵת׃	קֳדָמוֹהִי	וְחֶלְמָא	בֵּהּ
告げた–私は	彼の–前で	そして–夢を	彼に–ある
H0560	H6925	H2493	

最後にダニエルがわたしの前にきた、――彼の名はわが神の名にちなんで、ベルテシャザルととなえられ、彼のうちには聖なる神の霊がやどっていた――わたしは彼にその夢を語って言った、

9

אֱלָהִין	רוּחַ	דִּי	יְדִעַת	אֲנָה	וְדִי	חַרְטֻמַיָּא	רַב	בֵּלְטְשַׁאצַּר
神々の	霊が	（こと）	知っている	私は	（こと）	呪術師たちの	長よ	ベルテシャツァルよ
H0426	H7308	H1768	H3046		H1768	H2749	H7229	H1096

חֶלְמַי	חֱזוֹי	לָךְ	אָנֵס	לָא־	רָז	וְכָל־	בָּךְ	קַדִּישִׁין
私の–夢の	幻を	あなたには	難しくない	ない	奥義が	そして–すべての	あなたに–あると	聖なる
H2493	H2376		H0598	H3809	H7328	H3606		H6922

אֱמַר׃	וּפִשְׁרֵהּ	חֱזֵית	דִּי־
述べよ	その–解き明かしを	見た	（ところの）
H0560	H6591	H2370	H1768

「博士の長ベルテシャザルよ、わたしは知っている。聖なる神の霊があなたのうちにやどっているから、どんな秘密もあなたにはむずかしいことはない。ここにわたしが見た夢がある。その解き明かしをわたしに告げなさい。

10

בְּגוֹא	אִילָן	וַאֲלוּ	הֲוֵית	חָזֵה	מִשְׁכְּבֵי	עַל־	רֵאשִׁי	וְחֶזְוֵי
の–中に	木が	そして–見よ	（過去）	見ていた	私の–寝床の	の–上の	私の–頭の	そして–幻は
H1459	H0363	H0431	H1934	H2370	H4903	H5922	H7217	H2376

שַׂגִּיא׃	וְרוּמֵהּ	אַרְעָא
大きかった	また–その–高さは	地の
H7690	H7314	H0772

わたしが床にあって見た脳中の幻はこれである。わたしが見たのに、地の中央に一本の木があって、そのたけが高かったが、

11

וְחַזְוָתֵהּ	לִשְׁמַיָּא	יְמְטָא	וְרוּמֵהּ	וְתַקֵּף	אִילָנָא	רְבָה
また–その–姿は	天に	届いた	また–その–高さは	また–強くなった	木は	大きく–なった
H2379	H8065	H4291	H7314	H8631	H0363	H7236

אַרְעָא׃	כָּל־	לְסוֹף
地の	すべての	の–果てまで
H0772	H3606	H5491

その木は成長して強くなり、天に達するほどの高さになって、地の果までも見えわたり、

12

בֵּהּ	לְכֹלָּא־	וּמְזוֹן	שַׂגִּיא	וְאִנְבֵּהּ	שַׁפִּיר֙	עָפְיֵהּ
その–中に–あった	すべての–ために	また–食べ物が	多く	また–その–実は	美しく	その–葉は
	H3606	H4203	H7690	H0004	H8209	H6074

וּמִנֵּהּ	שְׁמַיָּא	צִפְּרֵי	)יְדוּרָן(	]ידרון[	וּבַעֲנָפוֹהִי	בָּרָא	חֵיוַת	וְתַטְלֶל	תְּחוֹתוֹהִי
また–それから	天の	鳥が	住む	[住む]	また–その–枝に	野の	獣が	憩う	その–下で
H4481	H8065	H6853	H1753	H1753	H6056	H1251	H2423	H2927	H8460

בִּשְׂרָא׃	כָּל־	יִתְזִין
肉は	すべての	養われた
H1321	H3606	H2110

その葉は美しく、その実は豊かで、すべての者がその中から食物を獲、また野の獣はその陰にやどり、空の鳥はその枝にすみ、すべての肉なる者はこれによって養われた。

13 חָזֵה הֲוֵית בְּחֶזְוֵי רֵאשִׁי עַל־ מִשְׁכְּבִי וַאֲלוּ עִיר

見ていた (過去) 幻の-中で 私の-頭の の-上の 私の-寝床の 見張りが
H2370 H1934 H2376 H7217 H5922 H4903 H0431 H5894

וְקַדִּישׁ מִן־ שְׁמַיָּא נָחֵת׃

また-聖なる から 天から 降ってきた
H6922 H4481 H8065 H5182

わたしが床にあって見た脳中の幻の中に、ひとりの警護者、ひとりの聖者の天から下るのを見たが、

14 קָרֵא בְחַיִל וְכֵן אֲמַר גְּדוּ אִילָנָא וְקַצּוּ עַנְפּוֹהִי אַתָּרוּ

叫んだ 大声で そして-こう 言った 木を 切り倒せ そして-切り落とせ その-枝を 振り落とせ
H7123 H2429 H3652 H0560 H0363 H1414 H7113 H6056 H5426

מִן־ וְצִפְּרַיָּא תַּחְתּוֹהִי מִן־ חֱיוָתָא תְּגֵד אִבָּהּ וּבַדְּרוּ פֵּרְיֵהּ׃

から また-鳥は その-下から から 獣は 逃げよ その-実を そして-散らせ その-葉を
H4481 H6853 H8479 H4481 H2423 H5111 H0004 H0921 H6074

עַנְפּוֹהִי׃

その-枝から
H6056

彼は声高く呼ばわって、こう言った、『この木を切り倒し、その枝を切りはらい、その葉をゆり落し、その実を打ち散らし、獣をその下から逃げ去らせ、鳥をその枝から飛び去らせよ。

15 בְּרַם שְׁרֹשׁוֹהִי בְּאַרְעָא עִקַּר וּבְאֶסוּר וּנְחָשׁ פַּרְזֶלָ דִּי־ שְׁבֻקוּ

しかし その-根の 地に 残せ そして-縛めを また-青銅の 鉄と (ところの)
H1297 H8330 H0772 H7662 H0613 H5174 H6523 H1768

בִּדְתָאָא וּבְטַל שְׁמַיָּא יִצְטַבַּע וְעִם־ חֱיוָתָא

の-草の-中で そして-露で 天の 濡らされよ そして-共に 獣と
H1883 H2920 H8065 H6647 H5974 H2423

חֲלָקֵהּ בַּעֲשָׂב אַרְעָא׃

彼の-分け前は の-草に 地の
H2508 H6212 H0772

ただしその根の切り株を地に残し、それに鉄と青銅のなわをかけて、野の若草の中におき、天からくだる露にぬれさせ、また地の草の中で、獣と共にその分にあずからせよ。

16 לְבָבֵהּ מִן־ [אנושא] (אֱנָשָׁא) יְשַׁנּוֹן וּלְבַב חֱיוָה יִתְיְהַב לֵהּ

彼の-心は から [人間の] 人間の 変えられよ そして-心が 獣の 与えられよ 彼に
H3825 H4481 H0606 H0606 H8133 H3825 H2423 H3052

וְשִׁבְעָה עִדָּנִין יַחְלְפוּן עֲלוֹהִי׃

そして-七つの 時が 過ぎよ 彼の-上を
H7655 H5732 H2499 H5922

またその心は変って人間の心のようでなく、獣の心が与えられて、七つの時を過ごさせよ。

17

עַד־ (まで) H5705
שְׁאֵלְתָּא (要求である) H7595
קַדִּישִׁין (聖なる-者たちの) H6922
וּמֵאמַר (また-言葉である) H3983
פִּתְגָמָא (命令であり) H6600
עִירִין (見張りたちの) H5894
בִּגְזֵרַת (の-定めに-よって) H1510

[עליא] ([いと高き-方が]) H5943
שַׁלִּיט (支配する) H7990
דִּי־ (こと) H1768
חַיְיָא (生きている-者が) H2417
יִנְדְּעוּן (知るために) H3046
דִּי (こと) H1768
דִּבְרַת (の-目的の) H1701

יְהָב (望む) H6634
דִּי (ところの-者に) H1768
וּלְמַן־ (そして-誰にでも) H4479
(אֲנָשָׁא) (人間の) H0606
[אנושא] ([人間の]) H0606
בְּמַלְכוּת (の-王国において) H4437
(עִלָּאָה) (いと高き-方が) H5943

(עֲלַהּ׃) (その-上に) H5921
[עליה] ([その-上に]) H5922
יְקִים (立てる) H6966
אֲנָשִׁים (人を) H0606
וּשְׁפַל (そして-卑しい) H8215
יְתְּנַנַּהּ (与えると) H5415

この宣言は警護者たちの命令によるもの、この決定は聖者たちの言葉によるもので、いと高き者が、人間の国を治めて、自分の意のままにこれを人に与え、また人のうちの最も卑しい者を、その上に立てられるという事を、すべての者に知らせるためである』と。

18

(וְאַנְתְּ) (そして-お前は) H0607
[ואנתה] ([そして-お前は]) H0607
נְבוּכַדְנֶצַּר (ネブカドネツァルは) H5020
מַלְכָּא (王) H4430
אֲנָה (私が) H0576
חֱזֵית (見た) H2370
חֶלְמָא (夢である) H2493
דְנָה (これが) H1836

חַכִּימֵי (知者たちは) H2445
כָל־ (すべての) H3606
וְדִי (こと) H1768
קֳבֵל (ゆえに) H6903
כָּל־ (すべて) H3606
אֱמַר (述べよ) H0560
וּפִשְׁרָא (解き明かしを) H6591
בֵּלְטְשַׁאצַּר (ベルテシャツァルよ) H1096

(וְאַנְתְּ) (そして-お前は) H0607
[ואנתה] ([そして-お前は]) H0607
לְהוֹדָעֻתַנִי (知らせることが-私に) H3046
פִּשְׁרָא (解き明かしを) H6591
יָכְלִין (できない) H3202
לָא־ (ない) H3809
מַלְכוּתִי (私の-王国の) H4437

בְּךָ׃ (お前に-ある)
קַדִּישִׁין (聖なる) H6922
אֱלָהִין (神々の) H0426
רוּחַ־ (霊が) H7308
דִּי (こと) H1768
כְּהֵל (できる) H3546

われネブカデネザル王はこの夢を見た。ベルテシャザルよ、あなたはその解き明かしをわたしに告げなさい。わが国の知者たちは、いずれもその解き明かしを、わたしに示すことができなかったけれども、あなたにはそれができる。あなたのうちには、聖なる神の霊がやどっているからだ」。

19

חֲדָה (一時) H2298
כְּשָׁעָה (しばらく) H8160
אִשְׁתּוֹמַם (驚いた) H8075
בֵּלְטְשַׁאצַּר (ベルテシャツァル) H1096
שְׁמֵהּ (名は) H8036
דִּי־ (ところの-者の) H1768
דָּנִיֵּאל (ダニエルは) H1841
אֱדַיִן (その-時) H0116

חֶלְמָא (夢も) H2493
בֵּלְטְשַׁאצַּר (ベルテシャツァルよ) H1096
וְאָמַר (そして-言った) H0560
מַלְכָּא (王は) H4430
עָנֵה (答えた) H6032
יְבַהֲלִנֵּהּ (恐れさせた-彼を) H0927
וְרַעְיוֹנֹהִי (また-彼の-思いが) H7476

וְאָמַר (そして-言った) H0560
בֵּלְטְשַׁאצַּר (ベルテシャツァルは) H1096
עָנֵה (答えた) H6032
יְבַהֲלָךְ (恐れさせないで-お前を) H0927
אַל־ (ない) H0408
וּפִשְׁרָא (また-解き明かしも) H6591

וּפִשְׁרֵהּ (また-その-解き明かしが) H6591
(לְשָׂנְאָךְ) (あなたの-敵に) H8131
[לשנאיך] ([あなたの-敵に]) H8131
חֶלְמָא (夢が) H2493
(מָרִי) (私の-主よ) H4756
[מראי] ([私の-主よ]) H4756

(לְעָרָךְ׃) (あなたの-仇に) H6146
[לעריך] ([あなたの-仇に]) H6146

その時、その名をベルテシャザルととなえるダニエルは、しばらくのあいだ驚き、思い悩んだので、王は彼に告げて言った、「ベルテシャザルよ、あなたはこの夢と、その解き明かしのために、悩むには及ばない」。ベルテシャザルは答えて言った、「わが主よ、どうか、この夢は、あなたを憎む者にかかわるように。この解き明かしは、あなたの敵に臨むように。

20

אִילָנָא	דִּי	חֲזַיְתָ	דִּי	רְבָה	וְתָקְפָה	וְרוּמֵהּ	יְמְטֵא
木は	（ところの）	見た	（こと）	大きく–なった	また–強くなった	また–その–高さは	届いた
H0363	H1768	H2370	H1768	H7236	H8631	H7314	H4291

לִשְׁמַיָּא	וַחֲזוּתֵהּ	לְכָל־	אַרְעָא׃
天に	また–その–姿は	すべての	地に
H8065	H2379	H3606	H0772

あなたが見られた木、すなわちその成長して強くなり、天に達するほどの高さになって、地の果までも見えわたり、

21

וְעָפְיֵהּ	שַׂפִיר	וְאִנְבֵּהּ	שַׂגִּיא	וּמָזוֹן	לְכֹלָּא־	בֵּהּ	
そして–その–葉は	美しく	また–その–実は	多く	また–食べ物が	すべての–ために	その–中に–あった	
H6074	H8209	H0004	H7690	H4203	H3606		

תְּחוֹתֹהִי	תְּדוּר	חֵיוַת	בָּרָא	וּבְעַנְפּוֹהִי	יִשְׁכְּנָן	צִפְּרֵי	שְׁמַיָּא׃
その–下に	住む	獣が	野の	また–その–枝に	宿る	鳥が	天の
H8460	H1753	H2423	H1251	H6056	H7932	H6853	H8065

その葉は美しく、その実は豊かで、すべての者がその中から食物を獲、また野の獣がその陰にやどり、空の鳥がその枝に住んだ木、

22

וְתָקְפַת	רְבַית	דִּי	מַלְכָּא	הִוא	(אַנְתְּ־	]אנתה־[
また–強くなった	大きく–なった	（ところの–者が）	王よ	それである	あなたが	[あなたは]
H8631	H7236	H1768	H4430	H1932	H0607	H0607

לְסוֹף	וְשָׁלְטָנֵךְ	לִשְׁמַיָּא	וּמְטָת	רְבָת	וְרִבוּתָךְ
の–果てまで	また–あなたの–支配は	天に	また–届いた	大きく–なった	また–あなたの–偉大さは
H5491	H7985	H8065	H4291	H7236	H7238

אַרְעָא׃
地の
H0772

王よ、それはすなわちあなたです。あなたは成長して強くなり、天に達するほどに大きくなり、あなたの主権は地の果にまで及びました。

23

שְׁמַיָּא	מִן־	נְחַת	וְקַדִּישׁ	עִיר	מַלְכָּא	חֲזָה	וְדִי
天から	から	降ってきた	また–聖なる–者が	見張りと	王が	見た	そして（こと）
H8065	H4481	H5182	H6922	H5894	H4430	H2370	H1768

שְׁבְקוּ	בְּאַרְעָא	שָׁרְשׁוֹהִי	עִקַּר	בְּרַם	וְחַבְּלוּהִי	אִילָנָא	גִּדּוּ	וְאָמַר
残せ	地に	その–根の	切り株を	しかし	そして–滅ぼせ–それを	木を	切り倒せ	そして–言った
H7662	H0772	H8330	H6136	H1297	H2255	H0363	H1414	H0560

וּבְאֱסוּר	דִּי־	פַּרְזֶל	וּנְחָשׁ	בִּדְתָאָא	חַבְלָה	בָּרָא	דִּי	וְטַל
そして–縛めを	（ところの）	鉄と	また–青銅の	の–草の–中で	彼の–分け前となれ	野の	（ところの）	そして–露で
H0613	H1768	H6523	H5174	H1883	H2508	H1251	H1768	H2920

שְׁמַיָּא	יִצְטַבַּע	וְעִם־	חֵיוַת	בָּרָא	עִם	חַלָּקֵהּ	שִׁבְעָה	דִּי־	עִדָּנִין
天の	濡らされよ	そして–共に	獣と	野の	まで	彼の–分け前となれ	七つの	（こと）	時が
H8065	H6647	H5974	H2423	H1251	H5705	H2508	H7655	H1768	H5732

יַחְלְפוּן	עֲלוֹהִי׃
過ぎる	彼の–上を
H2499	H5922

ところが、王はひとりの警護者、ひとりの聖者が、天から下って、こう言うのを見られました、『この木を切り倒して、これを滅ぼせ。ただしその根の切り株を地に残し、それに鉄と青銅のなわをかけて、野の若草の中におき、天からくだる露にぬれさせ、また野の獣と共にその分にあずからせて、七つの時を過ごさせよ』と。

24 דְּנָ֗ה פִּשְׁרָא֙ מַלְכָּ֔א וּגְזֵרַ֥ת עִלָּיִ֖א (עִלְּאָ֑ה) הִ֣יא
これが 解き明かしである 王よ そして-定めである [いと高き-方の] (いと高き-方の) それは
H1836 H6591 H4430 H1510 H5943 H5943 H1932

(מָרִ֔י) מַלְכָּֽא׃ עַל־ מְטָ֥ת דִּֽי (מָרְאִ֖ין)
(私の-主よ) 王よ の-上に 届いた (ところの-ことが) [私の-主よ]
H4756 H4430 H5922 H4291 H1768 H4756

王よ、その解き明かしはこうです。すなわちこれはいと高き者の命令であって、わが主なる王に臨まんとするものです。

25 לֶהֱוֵ֔ה בָּרָ֖א חֵיוַ֣ת וְעִם־ אֲנָשָׁ֑א מִן־ טָרְדִ֣ין וְלָךְ֙
なるであろう 野の 獣と そして-共に 人間から から 追い出される そして-あなたは
H1934 H1251 H2423 H5974 H0606 H4481 H2957

שְׁמַיָּ֔א וּמִטַּ֣ל יְטַעֲמ֑וּן לָךְ֙ וְכִתּוֹרִ֣ין וְעִשְׂבָּ֖א מְדֹרָ֥ךְ
天の そして-露で 食べさせるであろう あなたに 牛のように そして-草を あなたの-住まいは
H8065 H2920 H2939 H8450

דִּי־ עַד֩ עֲלָ֨יִךְ֙ יַחְלְפ֜וּן עִדָּנִ֗ין וְשִׁבְעָ֤ה מְצַבְּעִין֙ לָךְ֙
(こと) まで あなたの-上を 過ぎるであろう 時が そして-七つの 濡らすであろう あなたを
H1768 H5705 H5922 H2499 H5732 H7655 H6647

וּלְמַן־ אֲנָשָׁ֔א בְּמַלְכ֥וּת עִלָּיָ֖א שַׁלִּ֣יט דִּי־ תִנְדַּ֑ע
そして-誰にでも 人間の の-王国において いと高き-方が 支配する (こと) 知る
H4479 H0606 H4437 H5943 H7990 H1768 H3046

יְתְנִ֖נַּהּ׃ יִצְבֶּ֔א דִּ֥י
与えると 望む (ところの-者に)
H5415 H6634 H1768

すなわちあなたは追われて世の人を離れ、野の獣と共におり、牛のように草を食い、天からくだる露にぬれるでしょう。こうして七つの時が過ぎて、ついにあなたは、いと高き者が人間の国を治めて、自分の意のままに、これを人に与えられることを知るに至るでしょう。

26 מַלְכוּתָ֖ךְ אִילָנָ֑א דִּ֣י שָׁרְשׁוֹהִ֔י עִקַּ֥ר לְמִשְׁבַּ֖ק אֲמַ֣רוּ וְדִ֣י
あなたの-王国は 木の (ところの) その-根の 切り株を 残すようにと 言った そして (こと)
H4437 H0363 H1768 H8330 H6136 H7662 H0560 H1768

שְׁמַיָּֽא׃ שַׁלְטָ֖ן דִּ֣י תִנְדַּ֑ע דִּ֣י מִן־ קְיָמָ֔ה לָךְ֙
天が 支配する (こと) 知る (こと) から 確かである あなたに
H8065 H7990 H1768 H3046 H1768 H4481 H7011

また彼らはその木の根の切り株を残しおけと命じたので、あなたが、天はまことの支配者であるということを知った後、あなたの国はあなたに確保されるでしょう。

27 וְחַטָ֖אָךְ (עֲלָ֑ךְ) [עלי֣ך] יִשְׁפַּ֔ר מִלְכִ֙י֙ מַלְכָּ֣א לָ֔הֵן
[また-あなたの-罪を] あなたに [あなたに] 良いように 私の-勧めが 王よ それゆえ
H2408 H5921 H5922 H8232 H4431 H4430 H3861

עֲנָ֑ן בְּמִחַ֖ן וַעֲוָיָתָ֣ךְ פְּרֻ֔ק בְּצִדְקָ֙ה (וְחַטָ֖אָךְ)
貧しい-者への の-あわれみに-よって また-あなたの-不義を 断ち切り 義に-よって (また-あなたの-罪を)
H6033 H2604 H5758 H6562 H6665 H2408

לְשַׁלְוָתָֽךְ׃ אַרְכָ֖ה תֶּהֱוֵ֔א הֵ֣ן
あなたの-安寧に 延長が あるであろう おそらく
H7963 H0754 H1934

それゆえ王よ、あなたはわたしの勧告をいれ、義を行って罪を離れ、しえたげられる者をあわれんで、不義を離れなさい。そうすれば、あるいはあなたの繁栄が、長く続くかもしれません」。

28

פ	מַלְכָּא׃	נְבוּכַדְנֶצַּר	עַל־	מְטָא	כֻּלָּא
פ	王の	ネブカドネツァル	の–上に	届いた	すべてが
	H4430	H5020	H5922	H4291	H3606

この事は皆ネブカデネザル王に臨んだ。

29

בָּבֶל	דִּי	מַלְכוּתָא	הֵיכַל	עַל־	עֲשַׂר	תְּרֵי־	יַרְחִין	לְקֵצָת
バビロンの	（ところの）	王国の	宮殿の	の–上を	二	十	月の	の–終わりに
H0895	H1768	H4437	H1965	H5922	H6236	H8648	H3393	H7118

הֲוָה׃	מְהַלָּךְ
（過去）	歩いていた
H1934	H1981

十二か月を経て後、王がバビロンの王宮の屋上を歩いていたとき、

30

רַבְּתָא	בָּבֶל	הִיא	דְּא־	הֲלָא	וְאָמַר	מַלְכָּא	עָנֵה
大いなる	バビロンは	それである	これが	ではないか	そして–言った	王は	答えた
H7229	H0895	H1932	H1668	H3809	H0560	H4430	H6032

חֵסְנִי	בְּתֻקֶף	מַלְכוּ	לְבֵית	בְּנַיְתֵהּ	אֲנָה	דִּי־
私の–力の	の–力に–よって	王国の	の–家として	建てた–それを	私が	（ところの–ものを）
H2632		H4437	H1005	H1124		H1768

הַדְרִי׃	וְלִיקָר
私の–威厳の	また–の–栄光の–ために
H1923	H3367

王は自ら言った、「この大いなるバビロンは、わたしの大いなる力をもって建てた王城であって、わが威光を輝かすものではないか」。

31

נְבוּכַדְנֶצַּר	אֱמְרִין	לָךְ	נְפַל	שְׁמַיָּא	מִן־	קָל	מַלְכָּא	בְּפֻם	מִלְּתָא	עוֹד
ネブカドネツァル	告げる	あなたに	落ちた	天から	から	声が	王の	の–口に	言葉が	まだ
H5020	H0560		H5308	H8065	H4481	H7032	H4430	H6433	H4406	H5751

מִנָּךְ׃	עֲדָת	מַלְכוּתָא	מַלְכָּא
あなたから	去った	王国は	王よ
H4481	H5709	H4437	H4430

その言葉がなお王の口にあるうちに、天から声がくだって言った、「ネブカデネザル王よ、あなたに告げる。国はあなたを離れ去った。

32

מְדֹרָךְ	בָּרָא	חַיְתָא	וְעִם־	טָרְדִין	לָךְ	אֱנָשָׁא	וּמִן־
あなたの–住まいとなる	野の	獣と	そして–共に	追い出し	あなたを	人間から	そして–から
	H1251	H2423	H5974	H2957		H0606	H4481

יַחְלְפוּן	עִדָּנִין	וְשִׁבְעָה	יְטַעֲמוּן	לָךְ	כְּתוֹרִין	עִשְׂבָּא
過ぎるであろう	時が	そして–七つの	食べさせるであろう	あなたに	牛のように	草を
H2499	H5732	H7655	H2939		H8450	

עִלָּיָא	שַׁלִּיט	דִּי־	תִנְדַּע	דִּי־	עַד	עֲלָךְ)	[עלידך
いと高き–方が	支配する	（こと）	知る	（こと）	まで	あなたの–上を	[あなたの–上を]
H5943	H7990	H1768	H3046	H1768	H5705	H5921	H5922

יְהַנְנַהּ׃	יְצַבֶּא	דִּי	וּלְמַן־	אֱנָשָׁא	בְּמַלְכוּת
与えると	望む	（ところの–者に）	そして–誰にでも	人間の	の–王国において
H5415	H6634	H1768	H4479	H0606	H4437

あなたは、追われて世の人を離れ、野の獣と共におり、牛のように草を食い、こうして七つの時を経て、ついにあなたは、いと高き者が人間の国を治めて、自分の意のままに、これを人に与えられることを知るに至るだろう」。

33

בְּהּ־	שַׁעֲתָא	מִלְּתָא	עַל־	סָפַת	נְבוּכַדְנֶצַּר	וּמִן־	אֲנָשָׁא	טְרִיד
その	時に	言葉が	の–上に	成就した	ネブカドネツァルの	そして–から	人間から	追い出された
	H8160	H4406	H5922	H5487	H5020	H4481	H0606	H2957

וְעִשְׂבָּא	כְּתוֹרִין	יֵאכֻל	וּמִטַּל	שְׁמַיָּא	גְּשְׁמֵהּ	יִצְטַבַּע	עַד	דִּי
そして–草を	牛のように	食べた	そして–露で	天の	彼の–体は	濡らされた	まで	（こと）
	H8450	H0399	H2920	H8065	H1655	H6647	H5705	H1768

שַׂעְרֵהּ	כִּנְשְׁרִין	רְבָה	וְטִפְרְוֹהִי	כְּצִפְּרִין׃
彼の–髪は	鷲のように	伸びた	また–彼の–爪は	鳥のように
H8177	H5403	H7236	H2953	H6853

この言葉は、ただちにネブカデネザルに成就した。彼は追われて世の人を離れ、牛のように草を食い、その身は天からくだる露にぬれ、ついにその毛は、わしの羽のようになり、そのつめは鳥のつめのようになった。

34

נְטֵלֹת	לִשְׁמַיָּא	וְעֵינַי	נְבוּכַדְנֶצַּר	אֲנָה	יוֹמַיָּא	וְלִקְצָת
上げた	天に	私の–目を	ネブカドネツァル	私は	日々の	そして–の–終わりに
H5191	H8065	H5870	H5020		H3118	H7118

בָּרֵכֹת	וּלְעִלָּאָה)	[ולעליא]	יְתוּב	עֲלַי	וּמַנְדְּעִי		
ほめたたえた	そして–いと高き–方を	[そして–いと高き–方を]	戻った	私に	そして–私の–理性が		
H1289	H5943	H5943	H8421	H5922	H4486		

עָלַם	שָׁלְטָן	שָׁלְטָנֵהּ	דִּי	וְהַדְרֵת	שַׁבְּחֵת	עָלְמָא	וּלְחַי	
永遠の	支配である	彼の–支配は	（こと）	また–崇めた	賛美した	生きる–方を	そして–永遠に	
H5957	H7985	H7985	H1768	H1922	H7624	H5957	H2417	

וְדָר׃	דָּר	עִם־	וּמַלְכוּתֵהּ	
また–代まで	代から	（と–共に）	また–彼の–王国は	
H1859	H1859	H5974	H4437	

こうしてその期間が満ちた後、われネブカデネザルは、目をあげて天を仰ぎ見ると、わたしの理性が自分に帰ったので、わたしはいと高き者をほめ、その永遠に生ける者をさんびし、かつあがめた。その主権は永遠の主権、その国は世々かぎりなく、

35

וּכְמִצְבְּיֵהּ	חֲשִׁיבִין	כְּלָה	אַרְעָא	דָּיְרֵי)	[דארין]	וְכֹל־		
また–彼の–望みの–ままに	みなされ	無に–等しいと	地の	住む–者は	[住む–者は]	そして–すべての		
H6634	H2804	H3809	H0772	H1753	H1753	H3606		

וְלָא	אַרְעָא	וְדָיְרֵי)	[ודארי]	שְׁמַיָּא	בְּחַיִל	עֲבֵד		
そして–ない	地の	また–住む–者において	[また–住む–者において]	天の	の–軍勢において	行う		
H3809	H0772	H1753	H1753	H8065	H2429	H5648		

עֲבַדְתְּ׃	מָה	לֵהּ	וְיֵאמַר	בִּידֵהּ	יְמַחֵא	דִּי־	אִיתַי
行ったのかと	何を	彼に	そして–言う	彼の–手を	打つ	（ところの–者が）	いない
H5648	H4101		H0560	H3028	H4223	H1768	H0383

地に住む民はすべて無き者のように思われ、天の衆群にも、地に住む民にも、彼はその意のままに事を行われる。だれも彼の手をおさえて「あなたは何をするのか」と言いうる者はない。

36

בֵּהּ־	זִמְנָא	וּמַנְדְּעִי	יְתוּב	עֲלַי	וְלִיקָר	מַלְכוּתִי	הַדְרִי
その	時に	私の–理性が	戻った	私に	また–の–栄光の–ために	私の–王国の	私の–威厳と
	H2166	H4486	H8421	H5922	H3367	H4437	H1923

וְזִיוִ	יְתוּב	עֲלַי	וְלִי	הַדְּבְרַי	וְרַבְרְבָנַי	יְבַעְיוֹן	
また–私の–輝きが	戻った	私に	そして–私に	私の–家臣たちと	また–私の–大臣たちが	尋ね来た	
H2122	H8421	H5922		H1907	H7261	H1156	

וְעַל־	מַלְכוּתִי	הָתְקְנַת	וּרְבוּ	יַתִּירָה	הְוֹסְפַת	לִי׃	
そして–の–上に	私の–王国に	回復した	また–偉大さが	非常な	加えられた	私に	
H5922	H4437	H8627	H7238	H3493	H3255		

この時わたしの理性は自分に帰り、またわが国の光栄のために、わが尊厳と光輝とが、わたしに帰った。わが大臣、わが貴族らもきて、わたしに求め、わたしは国の上に堅く立って、前にもまさって大いなる者となった。

37

כְּעַן	אֲנָה	נְבוּכַדְנֶצַּר	מְשַׁבַּח	וּמְרוֹמֵם	וּמְהַדַּר	לְמֶלֶךְ	שְׁמַיָּא	
今	私は	ネブカドネツァル	賛美し	また–崇め	また–栄光を–帰す	（を）–王に	天の	
H3705		H5020	H7624	H7313	H1922	H4430	H8065	

דִּי	כָל־	מַעֲבָדוֹהִי	קְשׁוֹט	וְאֹרְחָתֵהּ	דִּין	וְדִי	
（こと）	すべての	彼の–わざは	真実であり	また–彼の–道は	正義であり	そして（ところの–者を）	
H1768	H3606	H4567	H7187	H0735	H1780	H1768	

					פ
מַהְלְכִין	בְּגַוָּה	יָכֵל	לְהַשְׁפָּלָה׃		פ
歩む	高ぶりの–中に	できる	低くすることが		
H1981	H1467	H3202	H8214		

そこでわれネブカデネザルは今、天の王をほめたたえ、かつあがめたてまつる。そのみわざはことごとく真実で、その道は正しく、高ぶり歩む者を低くされる。

Chapter 5

1

וְלָקֳבֶל	אַלַף	לְרַבְרְבָנוֹהִי	רַב	לְחֶם	עֲבַד	מַלְכָּא	בֵּלְשַׁאצַּר
そして–の–前で	千人の	彼の–大臣たちの–ために	大きな	宴会を	開いた	王は	ベルシャツァル
H6903	H0506	H7261	H7229	H3900	H5648	H4430	H1113

שָׁתֵה׃	חַמְרָא	אַלְפָא	
飲んだ	ぶどう酒を	千人の	
H8355	H2562	H0506	

ベルシャザル王は、その大臣一千人のために、盛んな酒宴を設け、その一千人の前で酒を飲んでいた。

2

וְכַסְפָּא	דַּהֲבָא	לְמָאנֵי	לְהַיְתָיָה	חַמְרָא	בְּטַעֵם	וְאֲמַר	בֵּלְשַׁאצַּר
また–銀の	金の	器を	持って来るように	ぶどう酒の	の–味の–中で	命じた	ベルシャツァルは
H3702	H1722	H3984	H0858	H2562	H2939	H0560	H1113

בִּירוּשְׁלֶם	דִּי	הֵיכְלָא	מִן־	אֲבוּהִי	נְבוּכַדְנֶצַּר	הַנְפֵק	דִּי	
エルサレムの	（ところの）	宮から	から	彼の–父が	ネブカドネツァルが	持ち出した	（ところの）	
H3390	H1768	H1965	H4481	H0002	H5020	H5312	H1768	

וּלְחֵנָתֵהּ׃	שְׁגָלְתֵהּ	וְרַבְרְבָנוֹהִי	מַלְכָּא	בְּהוֹן	וְיִשְׁתּוֹן	
また–彼の–そばめたちが	彼の–妃たちと	また–彼の–大臣たちと	王と	それらで	そして–飲むために	
H3904	H7695	H7261	H4430		H8355	

酒が進んだとき、ベルシャザルは、その父ネブカデネザルがエルサレムの神殿から取ってきた金銀の器を持ってこいと命じた。王とその大臣たち、および王の妻とそばめらが、これをもって酒を飲むためであった。

3 בֵּאדַ֡יִן הַיְתִיו֩ דַּהֲבָ֨א מָאנֵ֜י דִּ֣י הַנְפִּ֗קוּ מִן־הֵיכְלָא֮ דִּֽי־בֵית֒ אֱלָהָ֣א דִּֽי־בִירוּשְׁלֶם֮ וְאִשְׁתָּיו֒ בְּהֹ֣ון מַלְכָּא֮ וְרַבְרְבָנ֣וֹהִי֒ וְלַחֲנָתֵ֖הּ׃ שֵׁגְלָתֵ֥הּ

בֵּאדַ֡יִן	הַיְתִיו֩	דַּהֲבָ֨א	מָאנֵ֜י	דִּ֣י	הַנְפִּ֗קוּ	מִן־	הֵיכְלָא֮	דִּֽי־	בֵית֒	אֱלָהָ֣א	דִּֽי־	בִירוּשְׁלֶם֮	וְאִשְׁתָּיו֒
その–時	持って来た	金の	器を	（ところの）	持ち出した	から	宮から	（ところの）	家の	神の	（ところの）	エルサレムの	そして–飲んだ
H0116	H0858	H1722	H3984	H1768	H5312	H4481	H1965	H1768	H1005	H0426	H1768	H3390	H8355

בְּהֹ֣ון	מַלְכָּא֮	וְרַבְרְבָנ֣וֹהִי֒		וְלַחֲנָתֵ֖הּ׃		שֵׁגְלָתֵ֥הּ	
それらで	王と	また–彼の–大臣たちと		また–彼の–そばめたちが		彼の–妃たちと	
H1668	H4430	H7261		H3904		H7695	

そこで人々はそのエルサレムの神の宮すなわち神殿から取ってきた金銀の器を持ってきたので、王とその大臣たち、および王の妻とそばめらは、これをもって飲んだ。

4 אִשְׁתְּיו֙ חַמְרָ֔א וְשַׁבַּ֖חוּ לֵֽאלָהֵ֑י דַּֽהֲבָא֙ וְכַסְפָּ֣א נְחָשָׁ֔א פַּרְזְלָ֖א אָעָ֥א וְאַבְנָֽא׃

אִשְׁתְּיו֙	חַמְרָ֔א	וְשַׁבַּ֖חוּ	לֵֽאלָהֵ֑י	דַּֽהֲבָא֙	וְכַסְפָּ֣א	נְחָשָׁ֔א	פַּרְזְלָ֖א	אָעָ֥א	וְאַבְנָֽא׃
飲んだ	ぶどう酒を	そして–賛美した	神々を	金の	また–銀の	青銅の	鉄の	木の	また–石の
H8355	H2562	H7624	H0426	H1722	H3702	H5174	H6523	H0636	H0069

すなわち彼らは酒を飲んで、金、銀、青銅、鉄、木、石などの神々をほめたたえた。

5 בַּהּ־שַׁעֲתָ֡ה נִפְקוּ֩ (נְפַקָ֨ה) אֶצְבְּעָ֜ן דִּֽי־יַ֣ד אֱנָ֗שׁ וְכָתְבָן֙ לָקֳבֵ֣ל

בַּהּ־	שַׁעֲתָ֡ה	נִפְקוּ֩	(נְפַקָ֨ה)	אֶצְבְּעָ֜ן	דִּֽי־	יַ֣ד	אֱנָ֗שׁ	וְכָתְבָן֙	לָקֳבֵ֣ל
その	時に	[現れた]	現れた	指が	（ところの）	手の	人間の	そして–書いた	の–向かいに
H8160	H5312	H5312	H5312	H0677	H1768	H3028	H0606	H3790	H6903

וּמַלְכָּא֙	חָזֵ֔ה	מַלְכָּ֖א	דִּ֣י	הֵיכְלָ֑א	כְּתַ֣ל	דִּֽי־	גִ֔יר	עַל־	נִבְרַשְׁתָּ֖א		
そして–王は	見た	王の	（ところの）	宮殿の	壁の	（ところの）	漆喰の	の–上に	燭台の		
H4430	H2370	H4430	H1768	H1965	H3797	H1768	H1528	H5922	H5043		

כָּתְבָ֥ה׃	דִּ֛י	יְדָ֖הּ	פָּ֑ס		
書いた	（ところの）	手の	部分を		
H3790	H1768	H3028	H6447		

すると突然人の手の指があらわれて、燭台と相対する王の宮殿の塗り壁に物を書いた。王はその物を書いた手の先を見た。

6 אֱדַ֣יִן מַלְכָּא֮ זִיוֵ֣הִי֒ שְׁנ֣וֹהִי וְרַעְיֹנ֣וֹהִי֙ יְבַהֲלִוְנַּ֔הּ וְקִטְרֵ֖י

אֱדַ֣יִן	מַלְכָּא֮	זִיוֵ֣הִי֒	שְׁנ֣וֹהִי	וְרַעְיֹנ֣וֹהִי֙	יְבַהֲלִוְנַּ֔הּ	וְקִטְרֵ֖י	
その–時	王の	彼の–輝きが	変わった	また–彼の–思いが	恐れさせた–彼を	そして–結び目が	
H0116	H4430	H2122	H8133	H7476	H0927	H7001	

חַרְצֵ֔הּ	מִשְׁתָּרְיִ֑ן	וְאַרְכֻבָתֵ֖הּ	דָּ֣א	לְדָ֔א	נָקְשָׁ֥ן׃		
彼の–腰の	解けた	また–彼の–膝が	互いに	互いに	ぶつかった		
H2783	H8271	H0755	H1668	H1668	H5368		

そのために王の顔色は変り、その心は思い悩んで乱れ、その腰のつがいはゆるみ、ひざは震えて互に打ちあった。

7

קָרֵא	מַלְכָּא	בְּחַיִל	לְהֵעָלָהּ	לְאָשַׁפַּיָּא	[כשדיא]	(כַּשְׂדָּאֵי)
叫んだ	王は	大声で	連れて来るように	占星術師たちと	[カルデア人たちと]	カルデア人たちと
H7123	H4430	H2429	H5954	H0826	H3779	H3779

וְגָזְרַיָּא	עָנֵה	מַלְכָּא	וְאָמַר	לְחַכִּימֵי	בָבֶל	דִּי	כָּל־	אֱנָשׁ
また–占い師たちを	答えた	王は	そして–言った	知者たちに	バビロンの	（こと）	すべての	人で
H1505	H6032	H4430	H0560	H2445	H0895	H1768	H3606	H0606

דִּי־	יִקְרֵה	כְתָבָה	דְנָה	וּפִשְׁרֵהּ	יְחַוְּנַנִי	אַרְגְּוָנָא	יִלְבַּשׁ
（ところの–者が）	読む	書を	この	また–その–解き明かしを	示す–私に	紫を	着せられ
H1768	H7123	H3792	H1836	H6591	H2324	H0711	H3848

וְתַלְתָּי	צַוְּארֵהּ	עַל־	דַּהֲבָא	דִּי־	(וְהַמְנִיכָא)	[והמונכא]
そして–第三の–者として	彼の–首の	の–上に	金の	（ところの）	また–首飾りを	[また–首飾りを]
	H6676	H5922	H1722	H1768	H2002	H2002

ס	:יִשְׁלַט	בְּמַלְכוּתָא
ס	治めるであろう	王国において
	H7981	H4437

王は大声に呼ばわって、法術士、カルデヤびと、占い師らを召してこさせた。王はバビロンの知者たちに告げて言った、「この文字を読み、その解き明かしをわたしに示す者には紫の衣を着せ、首に金の鎖をかけさせて、国の第三のつかさとしよう」と。

8

כְּתָבָא	כְּהַלִּין	וְלָא־	מַלְכָּא	חַכִּימֵי	כָּל	(עֲלִין)	[עללין]	אֱדַיִן
書を	できなかった	しかし–ない	王の	知者たちが	すべての	入って来た	[入って来た]	その–時
H3792	H3546	H3809	H4430	H2445	H3606	H5954	H5954	H0116

לְמִקְרֵא	[ופשרא]	(וּפִשְׁרֵהּ)	לְהוֹדָעָה	:לְמַלְכָּא
読むことが	[また–その–解き明かしを]	また–その–解き明かしを	知らせることが	王に
H7123	H6591	H6591	H3046	H4430

王の知者たちは皆はいってきた。しかしその文字を読むことができず、またその解き明かしを王に示すことができなかったので、

9

עֲלוֹהִי	שְׁנַן	וְזִיוֹהִי	מִתְבְּהַל	שַׁגִּיא	בֶּלְשַׁאצַּר	מַלְכָּא	אֱדַיִן
彼の–上に	変わった	また–彼の–輝きが	恐れた	大いに	ベルシャツァルは	王は	その–時
H5922	H8133	H2122	H0927	H7690	H1113	H4430	H0116

וְרַבְרְבָנוֹהִי	:מְשְׁתַּבְּשִׁין
また–彼の–大臣たちは	当惑した
H7261	H7672

ベルシャザル王は大いに思い悩んで、その顔色は変り、王の大臣たちも当惑した。

10

[עללת]	מִשְׁתְּיָא	לְבֵית	וְרַבְרְבָנוֹהִי	מַלְכָּא	מִלֵי	לְקֳבֵל	מַלְכְּתָּא	
[入って来た]	宴会の	の–家に	また–彼の–大臣たちの	王の	言葉の	の–ゆえに	王妃は	
H5954	H4961	H1005	H7261	H4430	H4406	H6903	H4433	

אַל־	חֱיִי	לְעָלְמִין	מַלְכָּא	וַאֲמֶרֶת	מַלְכְּתָּא	עֲנַת	(עַלַת)
ない	生きてください	永遠に	王よ	そして–言った	王妃は	答えた	入って来た
H0409	H2418	H5957	H4430	H0560	H4433	H6032	H5954

יְבַהֲלוּךְ	רַעְיוֹנָךְ	וְזִיוָךְ	אַל־	:יְשַׁתַּנּוֹ
恐れさせるな–お前を	あなたの–思いが	また–あなたの–輝きが	ない	変わるな
H0927	H7476	H2122	H0409	H8133

時に王妃は王と大臣たちの言葉を聞いて、その宴会場にはいってきた。そして王妃は言った、「王よ、どうか、とこしえに生きながらえられますように。あなたは心に思い悩んではなりません。また顔色を変えるには及びません。

11

בֵּהּ	קַדִּישִׁין	אֱלָהִין	רוּחַ	דִּי	בְּמַלְכוּתָךְ	גְּבַר	אִיתַי	
彼に–ある	聖なる	神々の	霊が	（ところの–者に）	あなたの–王国に	人が	いる	
	H6922	H0426	H7308	H1768	H4437	H1400	H0383	

אֱלָהִין	כְּחָכְמַת־	וְחָכְמָה	וְשָׂכְלְתָנוּ	נְהִירָו	אֲבוּךְ	וּבְיוֹמֵי	
神々の	の–知恵のような	また–知恵が	また–洞察力と	光と	あなたの–父の	そして–の–日々に	
H0426	H2452	H2452	H7924		H0002	H3118	

אָשְׁפִּין	חַרְטֻמִּין	רַב	אֲבוּךְ	נְבֻכַדְנֶצַּר	וּמַלְכָּא	בֵּהּ	הִשְׁתְּכַחַת	
占星術師と	呪術師と	長と–した	あなたの–父が	ネブカドネツァル	そして–王	彼に	見出された	
H0826	H2749	H7229	H0002	H5020	H4430		H7912	

מַלְכָּא׃	אֲבוּךְ	הֲקִימֵהּ	גָּזְרִין	כַּשְׂדָּאֵי	
王	あなたの–父が	立てた–彼を	占い師の	カルデア人と	
H4430	H0002	H6966	H1505	H3779	

あなたの国には、聖なる神の霊のやどっているひとりの人がおります。あなたの父の代に、彼は、明知、分別および神のような知恵のあることをあらわしました。あなたの父ネブカデネザル王は、彼を立てて、博士、法術士、カルデヤびと、占い師らの長とされました。

12

חֶלְמִין	מְפַשַּׁר	וְשָׂכְלְתָנוּ	וּמַנְדַּע	יַתִּירָה	וְרוּחַ	דִּי	קֳבֵל	כָּל־
夢を	解き明かす	また–洞察力が	また–知識と	優れた	霊が	（こと）	ゆえに	すべて
H2493	H6590	H7924	H4486	H3493	H7308	H1768	H6903	H3606

דִּי־	בְּדָנִיֵּאל	בֵּהּ	הִשְׁתְּכַחַת	קְטִרִין	וּמְשָׁרָא	אֲחִידָן	וַאֲחַוָיַת	
（ところの–者に）	ダニエルに	彼に	見出された	結び目を	また–解く	謎を	また–説明する	
H1768	H1841		H7912	H7001	H8271	H0280	H0263	

וּפִשְׁרָה	יִתְקְרֵי	דָּנִיֵּאל	כְּעַן	בֵּלְטְשַׁאצַּר	שְׁמֵהּ	שָׂם־	מַלְכָּא
そうすれば–解き明かしを	呼びなさい	ダニエルを	今	ベルテシャツァルと	名を	つけた	王が
H6591	H7123	H1841	H3705	H1096	H8036	H7761	H4430

פ	יְהַחֲוֵה׃	
פ	示すであろう	
	H2324	

彼は、王がベルテシャザルという名を与えたダニエルという者ですが、このダニエルには、すぐれた霊、知識、分別があって、夢を解き、なぞを解き、難問を解くことができます。ゆえにダニエルを召しなさい。彼はその解き明かしを示すでしょう」。

13

לְדָנִיֵּאל	וְאָמַר	מַלְכָּא	עָנָה	מַלְכָּא	קֳדָם	הֵעָל	דָּנִיֵּאל	בֵּאדַיִן
ダニエルに	そして–言った	王は	答えた	王の	の–前に	連れて来られた	ダニエルは	その–時
H1841	H0560	H4430	H6032	H4430	H6925	H5954	H1841	H0116

דִּי	גָּלוּתָא	בְנֵי	מִן־	דִּי־	דָּנִיֵּאל	הוּא	)אַנְתְּ־(	]אנתה־[
（ところの）	捕囚の	の–子らの	から	（ところの–者）	ダニエル	それである	お前が	[お前が]
H1768	H1547	H1123	H4481	H1768	H1841	H1932	H0607	H0607

יְהוּד׃	מִן־	אֲבִי	מַלְכָּא	הַיְתִי	דִּי		יְהוּד
ユダから	から	私の–父が	王が	連れて来た	（ところの–者を）		ユダの
H3061	H4481	H0002	H4430	H0858	H1768		H3061

そこでダニエルは王の前に召された。王はダニエルに言った、「あなたは、わが父の王が、ユダからひきつれてきたユダの捕囚のひとりなのか。

14

בָּךְ	אֱלָהִין	רוּחַ	דִּי	)עֲלָךְ(	]עלידך[	וְשִׁמְעֵת	
お前に–あると	神々の	霊が	（こと）	お前に–ついて	[お前に–ついて]	そして–聞いた	
	H0426	H7308	H1768	H5921	H5922	H8086	

בָּךְ׃	הִשְׁתְּכַחַת	יַתִּירָה	וְחָכְמָה	וְשָׂכְלְתָנוּ	וְנַהִירָו	
お前に	見出されたと	優れた	また–知恵が	また–洞察力と	そして–光と	
	H7912	H3493	H2452	H7924		

聞くところによると、あなたのうちには、聖なる神の霊がやどっていて、明知、分別および非凡な知恵があるそうだ。

15 וּכְעַן הֳעֵלוּ קֳדָמַי חַכִּימַיָּא אָשְׁפַּיָּא דִּי־ כְתָבָה דְנָה
そして–今 連れて来られた 私の–前に 知者たちと 占星術師たちが （こと） 書を この
H3705 H5954 H6925 H2445 H0826 H1768 H3792 H1836

פְּשַׁר־ כָּהֲלִין וְלָא־ לְהוֹדָעֲתַנִי פִּשְׁרֵהּ יְקָרֵיהּ
解き明かしを できなかった しかし–ない 知らせるために–私に また–その–解き明かしを 読むために
H6591 H3546 H3809 H3046 H6591 H7123

מִלְּתָא׃ לְהַחֲוָיָה
事柄の 示すことが
H4406 H2324

わたしは、知者、法術士らを、わが前に召しよせて、この文字を読ませ、その解き明かしを示させようとしたが、彼らは、この事の解き明かしを示すことができなかった。

16 וַאֲנָה שְׁמִעֵת עֲלַיִךְ (עֲלָךְ) דִּי־ (תּוּכַל) (תִּיכוּל) פְּשָׁרִין
そして–私は 聞いた [お前に–ついて] お前に–ついて （こと） [できる] できると 解き明かしを
H0589 H8086 H5922 H5921 H1768 H3202 H3202 H6591

לְמִקְרֵא כְּתָבָא (תִּכוּל) (תּוּכַל) הֵן כְּעַן לְמִשְׁרֵא וְקִטְרִין לְמִפְשַׁר
読んで 書を できるなら [できるなら] もし 今 解くことが また–結び目を 解き明かし
H7123 H3792 H3202 H3202 H2006 H3705 H8271 H7001 H6590

(וְהַמְנִיכָא) [והמונכא] תִּלְבַּשׁ אַרְגְּוָנָא לְהוֹדָעֲתַנִי וּפִשְׁרֵהּ
また–首飾りを [また–首飾りを] 着せられ 紫を 知らせる–私に また–その–解き明かしを
H2002 H2002 H3848 H0711 H3046 H6591

תִּשְׁלַט׃ בְּמַלְכוּתָא וְתַלְתָּא צַוְּארָךְ עַל־ דַּהֲבָא דִּי־
治めるであろう 王国において そして–第三の–者として お前の–首の の–上に 金の （ところの）
H7981 H4437 H8531 H6676 H5922 H1722 H1768

פ
פ

しかしまた聞くところによると、あなたは解き明かしをなし、かつ難問を解くことができるそうだ。それで、あなたがもし、この文字を読み、その解き明かしをわたしに示すことができたなら、あなたに紫の衣を着せ、金の鎖を首にかけさせて、この国の第三のつかさとしよう」。

17 בֵּאדַיִן עָנֵה דָנִיֵּאל וְאָמַר קֳדָם מַלְכָּא מַתְנָתָךְ לָךְ
その–時 答えた ダニエルは そして–言った の–前で 王の あなたの–贈り物は あなたの–ものを
H0116 H6032 H1841 H0560 H6925 H4430 H4978

לְמַלְכָּא אֶקְרֵא כְּתָבָא בְּרַם הַב לְאָחֳרָן וּנְבִזְבִיתָךְ לֶהֱוֵן
王に 読もう 書を しかし 与えよ 他の–者に また–あなたの–褒賞を あるように
H4430 H7123 H3792 H1297 H3052 H0321 H5023 H1934

אֲהוֹדְעִנֵּהּ׃ וּפִשְׁרָא
知らせよう–彼に また–解き明かしを
H3046 H6591

ダニエルは王の前に答えて言った、「あなたの賜物は、あなたご自身にとっておき、あなたの贈り物は、他人にお与えください。それでも、わたしは王のためにその文字を読み、その解き明かしをお知らせいたしましょう。

18

וְיֵקָרָא	וּרְבוּתָא	מַלְכוּתָא	(עִלָּאָה	[עליא]	אֱלָהָא	מַלְכָּא	(אַנְתְּ	[אנתה]
また–栄光と	また–偉大さと	王国と	いと高き	[いと高き]	神が	王よ	あなたは	[あなたは]
H3367	H7238	H4437	H5943	H5943	H0426	H4430	H0607	H0607

וְהַדְרָה	יְהַב	לִנְבוּכַדְנֶצַּר	אֲבוּךְ׃
また–威厳を	与えた	ネブカドネツァルに	あなたの–父に
H1923	H3052	H5020	H0002

王よ、いと高き神はあなたの父ネブカデネザルに国と権勢と、光栄と尊厳とを賜いました。

19

וּמִן־	רְבוּתָא	דִּי	יְהַב־	לֵהּ	כָּל	עַמְמַיָּא	אֻמַיָּא	וְלִשָׁנַיָּא
そして–から	偉大さの	（ところの）	与えた	彼に	すべての	民と	国々と	また–言語の–者が
H4481	H7238	H1768	H3052	H3606	H5972	H0524	H3961

הֲוֹו	זָיְעִין	[זאעין]	וְדָחֲלִין	מִן־	קֳדָמוֹהִי	דִּי־	הֲוָה	צָבֵא
いた	おののいて	[おののいて]	また–恐れていた	から	彼の–前で	（ところの–者を）	いた	望んだ
H1934	H2112	H2112	H1763	H4481	H6925	H1768	H1934	H6634

הֲוָא	קָטֵל	וְדִי־	הֲוָה	צָבֵא	הֲוָה	מַחֵא	וְדִי־	הֲוָה
いた	殺し	そして（ところの–者を）	いた	望んだ	いた	生かし	そして（ところの–者を）	いた
H1934	H6992	H1768	H1934	H6634	H1934	H2418	H1768	H1934

צָבֵא	הֲוָה	מָרִים	וְדִי־	הֲוָה	צָבֵא	הֲוָה	מַשְׁפִּיל׃
望んだ	いた	高め	そして（ところの–者を）	いた	望んだ	いた	低めた
H6634	H1934	H7313	H1768	H1934	H6634	H1934	H8214

彼に権勢を賜わったことによって、諸民、諸族、諸国語の者はみな、彼の前におののき恐れました。彼は自分の欲する者を殺し、自分の欲する者を生かし、自分の欲する者を上げ、自分の欲する者を下しました。

20

הָנְחַת	לְהַזְדָּה	תְּקִפַת	וְרוּחֵהּ	לִבְבֵהּ	רָם	וּכְדִי
降ろされた	傲慢に–なるまで	強くなった	また–彼の–霊が	彼の–心が	高ぶった	そして–ときに
H5182	H2103	H8631	H7308	H3825	H7313	H1768

מִנֵּהּ׃	הֶעְדִּיו	וְיֵקָרֵהּ	מַלְכוּתֵהּ	כָּרְסְיֵא	מִן־
彼から	取り去られた	また–彼の–栄光が	彼の–王国の	の–王座から	から
H4481	H5709	H3367	H4437	H3764	H4481

しかし彼は心に高ぶり、かたくなになり、ごうまんにふるまったので、王位からしりぞけられ、その光栄を奪われ、

21

חֵיוְתָא	עִם־	וְלִבְבֵהּ	טְרִיד	אֲנָשָׁא	בְּנֵי	וּמִן־
獣と	（と–共に）	また–彼の–心は	追い出された	人間の	の–子らから	そして–から
H2423	H5974	H3825	H2957	H0606	H1123	H4481

כְּתוֹרִין	עִשְׂבָא	מְדוֹרֵהּ	עִרְדַיָּא	וְעִם־	שְׁוִיו)	[שוי
牛のように	草を	彼の–住まいは	野ろばと	そして–共に	等しく–された	[等しく–された]
H8450			H6167	H5974	H7739	

דִּי־	יְדַע	דִּי־	עַד	יִצְטַבַּע	גְּשְׁמֵהּ	שְׁמַיָּא	וּמִטַּל	יְטַעֲמוּנֵּהּ
（こと）	知った	（こと）	まで	濡らされた	彼の–体は	天の	そして–露で	食べさせた–彼に
H1768	H3046	H1768	H5705	H6647	H1655	H8065	H2920	H2939

דִּי	וּלְמַן־	אֲנָשָׁא	בְּמַלְכוּת	עִלָּאָה)	[עליא	אֱלָהָא	שַׁלִּיט
（ところの–者に）	そして–誰にでも	人間の	の–王国において	いと高き	[いと高き]	神が	支配する
H1768	H4479	H0606	H4437	H5943	H5943	H0426	H7990

עֲלַהּ׃)	[עליה	יְהָקֵים	יְצִבָּה
その–上に	[その–上に]	立てる	望む
H5921	H5922	H6966	H6634

追われて世の人と離れ、その思いは獣のようになり、そのすまいは野ろばと共にあり、牛のように草を食い、その身は天からくだる露にぬれ、こうしてついに彼は、いと高き神が人間の国を治めて、自分の意のままに人を立てられるということを、知るようになりました。

22

לִבְּךָ	הַשְׁפִּלְתָּ	לֹא	בֵּלְשַׁאצַּר	בְּרֵהּ	(וְאַנְתְּ	[ואנתה
お前の–心を	低くしなかった	ない	ベルシャツァルよ	彼の–子	そして–お前は	[そして–お前は]
H3825	H8214	H3809	H1113	H1247	H0607	H0607

:יְדַעְתָּ	דְּנָה	כָּל־	דִּי	קֳבֶל	כָּל־
知っていたのに	これらを	すべての	（こと）	ゆえに	すべて
H3046	H1836	H3606	H1768	H6903	H3606

ベルシャザルよ、あなたは彼の子であって、この事をことごとく知っていながら、なお心を低くせず、

23

בַּיְתֵהּ	דִּי־	וְלִמָאנַיָּא	הִתְרוֹמַמְתָּ	וּשְׁמַיָּא	מָרֵא־	וְעַל
彼の–家の	（ところの）	そして–器を	高ぶった	天の	主に–対して	そして–に–対して
H1005	H1768	H3984	H7313	H8065	H4756	H5922

ורבבניך]	(וְאַנְתְּ	ואנתה]	(קֳדָמָךְ	קדמיך]	הַיְתָיו
[また–お前の–大臣たちと]	そして–お前と	[そして–お前と]	お前の–前に	[お前の–前に]	持って来た
H7261	H0607	H0607	H6925	H6925	H0858

בְּהוֹן	שָׁתַיִן	חַמְרָא	וּלְחֵנָתָךְ	שֵׁגְלָתָךְ	וְרַבְרְבָנָךְ)
それらで	飲んだ	ぶどう酒を	また–お前の–そばめたちが	お前の–妃たちと	また–お前の–大臣たちと
	H8355	H2562	H3904	H7695	H7261

לָא־	דִּי	וְאַבְנָא	אָעָא	פַּרְזְלָא	נְחָשָׁא	וְדַהֲבָא	כַסְפָּא־	וְלֵאלָהֵי
ない	（ところの–ものは）	また–石の	木の	鉄の	青銅の	また–金の	銀の	そして–神々を
H3809	H1768	H0069	H0636	H6523	H5174	H1722	H3702	H0426

דִּי־	וְלֵאלָהָא	שַׁבַּחְתָּ	יָדְעִין	וְלָא	שָׁמְעִין	וְלָא־	חָזַיִן
（ところの–方の）	そして–神を	賛美した	知らない	また–ない	聞こえず	また–ない	見えず
H1768	H0426	H7624	H3046	H3809	H8086	H3809	H2370

הַדַּרְתָּ:	לָא	לֵהּ	אָרְחָתָךְ	וְכָל־	בִּידֵהּ	נְשְׁמָתָךְ
崇めなかった	ない	彼の–ものである	お前の–道が	また–すべての	彼の–手に–ある	お前の–息が
H1922	H3809		H0735	H3606	H3028	H5396

かえって天の主にむかって、みずから高ぶり、その宮の器物をあなたの前に持ってこさせ、あなたとあなたの大臣たちと、あなたの妻とそばめたちは、それをもって酒を飲み、そしてあなたは見ることも、聞くことも、物を知ることもできない金、銀、青銅、鉄、木、石の神々をほめたたえたが、あなたの命をその手ににぎり、あなたのすべての道をつかさどられる神をあがめようとはしなかった。

24

דְּנָה	וּכְתָבָא	יְדָא	דִּי־	פַּסָּא	שְׁלִיַח	קֳדָמוֹהִי	מִן־	בֵּאדַיִן
この	そして–書が	手の	（ところの）	手の–先が	遣わされた	彼の–前から	から	その–時
H1836	H3792	H3028	H1768	H6447	H7972	H6925	H4481	H0116

:רְשִׁים
書かれた
H7560

それゆえ、彼の前からこの手が出てきて、この文字が書きしるされたのです。

25

:וּפַרְסִין	תְּקֵל	מְנֵא	מְנֵא	רְשִׁים	דִּי	כְתָבָא	וּדְנָה
ウパルシン	テケル	メネ	メネ	書かれた	（ところの）	書である	そして–これが
		H4484	H4484	H7560	H1768	H3792	H1836

そのしるされた文字はこうです。メネ、メネ、テケル、ウパルシン。

26 דְּנָה פְּשַׁר־ מִלְּתָא מְנֵא־ מְנָה אֱלָהָא מַלְכוּתָךְ
これが 解き明かしである 事柄の メネは 数えた 神が あなたの–王国を
H1836 H6591 H4406 H4484 H4483 H0426 H4437

וְהַשְׁלְמָהּ׃
そして–終わらせた–それを
H8000

その事の解き明かしはこうです、メネは神があなたの治世を数えて、これをその終りに至らせたことをいうのです。

27 תְּקֵל תְּקִילְתָּה בְּמֹאזְנַיָּא וְהִשְׁתְּכַחַתְּ חַסִיר׃
テケルは 量られた–お前は の–秤で そして–見出された 不足と
H8625 H8625 H3977 H7912 H2627

テケルは、あなたがはかりで量られて、その量の足りないことがあらわれたことをいうのです。

28 פְּרֵס פְּרִיסַת מַלְכוּתָךְ וִיהִיבַת לְמָדַי וּפָרָס׃
ペレスは 分けられた あなたの–王国は そして–与えられた メディアと ペルシアに
H6537 H6537 H4437 H3052 H4076 H6540

ペレスは、あなたの国が分かたれて、メデアとペルシャの人々に与えられることをいうのです」。

29 וּבֵאדַיִן אֲמַר בֵּלְשַׁאצַּר וְהַלְבָּישׁוּ לְדָנִיֵּאל אַרְגְּוָנָא [והמונכא]
その–時 命じた ベルシャツァルは そして–着せた ダニエルに 紫を [また–首飾りを]
H0116 H0560 H1113 H3848 H1841 H0711 H2002

)וְהַמְנִיכָא(דִּי־ דַהֲבָא עַל־ צַוְּארֵהּ וְהַכְרְזוּ עֲלוֹהִי דִּי־
また–首飾りを （ところの） 金の の–上に 彼の–首の そして–布告した 彼に–ついて （こと）
H2002 H1768 H1722 H5922 H6676 H3745 H5922 H1768

לֶהֱוֵא שַׁלִּיט תַּלְתָּא בְּמַלְכוּתָא׃
なると 支配者 第三の 王国において
H1934 H7990 H8531 H4437

そこでベルシャザルは命じて、ダニエルに紫の衣を着せ、金の鎖をその首にかけさせ、彼について布告を発して、彼は国の第三のつかさであると言わせた。

30 בֵּהּ בְּלֵילְיָא קְטִיל בֵּלְאשַׁצַּר מַלְכָּא [כשדיא])כַּשְׂדָּאָה׃(פ
その 夜に 殺された ベルシャツァルは 王は [カルデアの] カルデアの
H3916 H6992 H1113 H4430 H3779 H3779 H3779 פ

カルデヤびとの王ベルシャザルは、その夜のうちに殺され、

31 וְדָרְיָוֶשׁ מָדָיָא קַבֵּל מַלְכוּתָא שְׁנִין כְּבַר שִׁתִּין וְתַרְתֵּין׃
そして–ダリヨスは メディア人の 受け取った 王国を 歳の およそ 六十 二
H1868 H4077 H6902 H4437 H8140 H1247 H8361 H8648

メデアびとダリヨスが、その国を受けた。この時ダリヨスは、おおよそ六十二歳であった。

Chapter 6

1 שְׁפַר קֳדָמ דָּרְיָוֶשׁ לְהַקָמ עַל־ מַלְכוּתָא לַאֲחַשְׁדַרְפְּנַיָּא מְאָה וְעֶשְׂרִין
よしとされた の–前で ダリウス ダリウス そして任命した の–上に 王国 総督たちを 百 二十
H8232 H6925 H1868 H6966 H5922 H4437 H0324 H3969 H6243

בְּכָל־ מַלְכוּתָא׃ לֶהֱוֹן דִּי
全– 王国に いるように 彼らが
H3606 H4437 H1934 H1768

ダリヨスは全国を治めるために、その国に百二十人の総督を立てることをよしとし、

2

דִּי־	מִנְּהֹון	חַד־	דָּנִיֵּאל	דִּי	תְלָתָא	סָרְכִין	מִנְּהֹון	וְעֵלָּא
それは	彼らの–中の	一人が	ダニエル	その	三人	大臣たちを	彼らの–上に	そして上に
H1768	H4481	H2298	H1841	H1768	H8532	H5632	H4481	H5924

לְהֱוֵא	לָא־	וּמַלְכָּא	טַעְמָא	לְהֹון	יָהֲבִין	אִלֵּין	אֲחַשְׁדַּרְפְּנַיָּא	לְהֵוֹן
ように	ない	そして王が	勘定を	彼らに	報告する	これらの	総督たちが	であった
H1934	H3809	H4430	H2941		H3052	H0459	H0324	H1934

נָזֵק׃
損害を–受ける
H5142

また彼らの上に三人の総監を立てた。ダニエルはそのひとりであった。これは総督たちをして、この三人の前に、その職務に関する報告をさせて、王に損失の及ぶことのないようにするためであった。

3

כָּל־	וַאֲחַשְׁדַּרְפְּנַיָּא	סָרְכַיָּא	עַל־	מִתְנַצַּח	הֲוָא	דְּנָה	דָּנִיֵּאל	אֱדַיִן
すべて	総督たちより	大臣たちと	より–上に	際立っていた	であった	この	ダニエル	そのとき
H3606	H0324	H5632	H5922	H5330	H1934	H1836	H1841	H0116

עַל־	לַהֲקָמוּתֵהּ	עֲשִׁית	וּמַלְכָּא	בֵּהּ	יַתִּירָא	רוּחַ	דִּי	קֳבֵל
の–上に	彼を立てることを	考えていた	そして王は	彼の–中に	卓越した	霊が	その	の–ゆえに
H5922	H6966	H6246	H4430		H3493	H7308	H1768	H6903

מַלְכוּתָא׃	כָּל־
王国	全–
H4437	H3606

ダニエルは彼のうちにあるすぐれた霊のゆえに、他のすべての総監および総督たちにまさっていたので、王は彼を立てて全国を治めさせようとした。

4

לְהַשְׁכָּחָה	עִלָּה	בָּעַיִן	הֲוֹו	וַאֲחַשְׁדַּרְפְּנַיָּא	סָרְכַיָּא	אֱדַיִן
見つけるために	口実を	探していた	であった	総督たちは	大臣たちと	そのとき
H7912	H5931	H1156	H1934	H0324	H5632	H0116

יָכְלִין	לָא־	וּשְׁחִיתָה	עִלָּה	וְכָל־	מַלְכוּתָא	מִצַּד	לְדָנִיֵּאל
できなかった	ない	欠点も	口実も	しかし何の	王国の	の–側から	ダニエルに–対する
H3202	H3809	H7844	H5931	H3606	H4437	H6655	H1841

לָא	וּשְׁחִיתָה	שָׁלוּ	וְכָל־	הוּא	מְהֵימַן	דִּי־	קֳבֵל	כָּל־	לְהַשְׁכָּחָה
ない	欠点も	怠慢も	何の	者であり	忠実な	その	の–ゆえに	すべて	見つけることが
H3809	H7844	H7960	H3606	H1932	H0540	H1768	H6903	H3606	H7912

עֲלוֹהִי׃	הִשְׁתְּכַחַת
彼に–対して	見つからなかった
H5922	H7912

そこで総監および総督らは、国事についてダニエルを訴えるべき口実を得ようとしたが、訴えるべきなんの口実も、なんのとがをも見いだすことができなかった。それは彼が忠信な人であって、その身になんのあやまちも、とがも見いだされなかったからである。

5

לְדָנִיֵּאל	נְהַשְׁכַּח	לָא	דִּי	אֲמָרִין	אִלֵּךְ	גֻּבְרַיָּא	אֱדַיִן
ダニエルに–対する	見つけることが–できない	ない	こと	言った	これらの	人々は	そのとき
H1841	H7912	H3809	H1768	H0560	H0479	H1400	H0116

ס	אֱלָהֵהּ׃	בְּדָת	עֲלוֹהִי	הַשְׁכְּחָנָה	לָהֵן	עִלָּא	כָּל־	דְּנָה
—	彼の–神の	の–律法で	彼に–対して	見つけよう	ただし	口実も	何の	この
	H0426	H1882	H5922	H7912	H3861	H5931	H3606	H1836

そこでその人々は言った、「われわれはダニエルの神の律法に関して、彼を訴える口実を得るのでなければ、ついに彼を訴えることはできまい」と。

אֱדַיִן	סָרְכַיָּא	וַאֲחַשְׁדַּרְפַּנַיָּא	אִלֵּין	הַרְגֻּשׁוּ	עַל־	מַלְכָּא	וְכֵן	אָמְרִין	6
そのとき	大臣たちと	総督たちは	これらの	押し寄せた	の–前に	王	そしてこう	言った	
H0116	H5632	H0324	H0459	H7284	H5922	H4430	H3652	H0560	

לֵהּ	דָּרְיָוֶשׁ	מַלְכָּא	לְעָלְמִין	חֱיִי׃	
彼に	ダリウス	王よ	永遠に	生きませ	
H1868	H4430	H5957	H2418		

こうして総監と総督らは、王のもとに集まってきて、王に言った、「ダリヨス王よ、どうかとこしえに生きながらえられますように。

וּפַחֲוָתָא	הַדָּבְרַיָּא	וַאֲחַשְׁדַּרְפַּנַיָּא	סְגָנַיָּא	מַלְכוּתָא	סָרְכֵי	וְכָל	אִתְיָעֲטוּ	7
知事たちが	参議官たちと	総督たちと	長官たちと	王国の	大臣たちが	すべての	相談した	
H6347	H1907	H0324	H5460	H4437	H5632	H3606		

יְבָעֵה	דִּי־	כָל־	דִּי	אֱסָר	וּלְתַקָּפָה	מַלְכָּא	קְיָם	לְקַיָּמָה
願い求める	の–者が	すべて	すなわち	禁令を	そして定めるために	王の	法令を	制定するために
H1156	H1768	H3606	H1768	H0633	H8631	H4430	H7010	H6966

מַלְכָּא	מִנָּךְ	לָהֵן	תְּלָתִין	יוֹמִין	עַד־	וֶאֱנָשׁ	אֱלָהּ	כָּל־	מִן־	בָּעוּ
王よ	あなた以外の	ただし	三十	日	までの	人にも	神にも	いかなる	から	願いを
H4430	H4481	H3861	H8533	H3118	H5705	H0606	H0426	H3606	H4481	H1159

אַרְיָוָתָא׃	לְגֻב	יִתְרְמֵא
獅子の	穴の–中へ	投げ込まれる
H0744	H1358	H7412

国の総監、長官および総督、参議および知事らは、相はかって、王が一つのおきてを立て、一つの禁令を定められるよう求めることになりました。王よ、それはこうです。すなわち今から三十日の間は、ただあなたにのみ願い事をさせ、もしあなたをおいて、神または人にこれをなす者があれば、すべてその者を、ししの穴に投げ入れるというのです。

לָא	דִּי	כְתָבָא	וְתִרְשֻׁם	אֱסָרָא	תְּקִים	מַלְכָּא	כְּעַן	8
ない	それは	書面に	そして署名してください	禁令を	制定してください	王よ	今	
H3809	H1768	H3792	H7560	H0633	H6966	H4430	H3705	

תֶּעְדֵּא׃	לָא	דִּי־	וּפָרַס	מָדַי	כְּדָת־	לְהַשְׁנָיָה
取り消せない	ない	それは	とペルシアの	メディア	の–法に–従い	変更できない
H5709	H3809	H1768	H6540	H4076	H1882	H8133

それで王よ、その禁令を定め、その文書に署名して、メデアとペルシャの変ることのない法律のごとく、これを変えることのできないようにしてください」。

וֶאֱסָרָא׃	כְּתָבָא	רְשֻׁם	דָּרְיָוֶשׁ	מַלְכָּא	דְּנָה	קֳבֵל	כָּל־	9
禁令に	書面と	署名した	ダリウスは	王	この	の–ゆえに	すべて	
H0633	H3792	H7560	H1868	H4430	H1836	H6903	H3606	

そこでダリヨス王は、その禁令の文書に署名した。

10

וְכַוִּין
そして窓が
H3551

לְבֵיתֵהּ
自分の-家に-行き
H1005

עַל
に
H5954

כְּתָבָא
書面が
H3792

רְשִׁים
署名された
H7560

דִּי־
こと
H1768

יְדַע
知った
H3046

כְּדִי
ときに
H1768

וְדָנִיֵּאל
そしてダニエルは
H1841

וְהוּא
彼は
H1932

בְיוֹמָא
度
H3118

תְלָתָה
三
H8532

וְזִמְנִין
そして日に
H2166

יְרוּשְׁלֶם
エルサレム
H3390

נֶגֶד
に-向かって
H5049

בְּעִלִּיתֵהּ
屋上の-部屋で
H5952

לֵהּ
彼の
H0

פְּתִיחָן
開いていた
H6606

קֳבֵל
の-通り
H6903

כָּל־
すべて
H3606

אֱלָהֵהּ
彼の-神
H0426

קֳדָם
の-前で
H6925

וּמוֹדֵא
そして感謝した
H3029

וּמְצַלֵּא
そして祈り
H6739

בִּרְכוֹהִי
膝
H1291

עַל־
の-上に
H5922

בָּרְכָךְ
ひざまずき
H1289

ס
—

דְּנָה׃
この
H1836

קַדְמַת
以前
H6928

מִן־
から
H4481

עָבֵד
行っていた
H5648

הֲוָא
であった
H1934

דִּי־
であった
H1768

ダニエルは、その文書の署名されたことを知って家に帰り、二階のへやの、エルサレムに向かって窓の開かれた所で、以前からおこなっていたように、一日に三度ずつ、ひざをかがめて神の前に祈り、かつ感謝した。

11

אֱדַיִן
そのとき
H0116

גֻּבְרַיָּא
人々は
H1400

אִלֵּךְ
これらの
H0479

הַרְגִּשׁוּ
押し入り
H7284

וְהַשְׁכְּחוּ
そして見つけた
H7912

לְדָנִיֵּאל
ダニエルが
H1841

בָּעֵא
願い求め
H1156

וּמִתְחַנַּן
嘆願していることを
H2604

קֳדָם
の-前で
H6925

אֱלָהֵהּ׃
彼の-神
H0426

そこでその人々は集まってきて、ダニエルがその神の前に祈り、かつ求めていることを見たので、

12

בֵּאדַיִן
そのとき
H0116

קְרִיבוּ
近づいて
H7127

וְאָמְרִין
言った
H0560

קֳדָם־
の-前で
H6925

מַלְכָּא
王
H4430

עַל־
について
H5922

אֱסָר
禁令
H0633

מַלְכָּא
王の
H4430

אֱסָר
禁令を
H0633

הֲלָא
ではないか
H3809

רְשִׁמְתָּ
署名したのは
H7560

דִּי
すなわち
H1768

כָּל־
すべての
H3606

אֱנָשׁ
人が
H0606

דִּי
その
H1768

מִן־
から
H4481

יְבָעֵה
願い求める
H1156

כָּל־
いかなる
H3606

אֱלָהּ
神にも
H0426

וֶאֱנָשׁ
人にも
H0606

עָנֵה
答えた
H6032

אַרְיְוָתָא
獅子の
H0744

לְגֹוב
穴の-中へ
H1358

יִתְרְמֵא
投げ込まれる
H7412

מַלְכָּא
王よ
H4430

מִנָּךְ
あなた以外の
H4481

לָהֵן
ただし
H3861

תְלָתִין
三十
H8533

יוֹמִין
日
H3118

עַד־
までの
H5705

לָא
ない
H3809

דִּי־
それは
H1768

וּפָרַס
とペルシアの
H6540

מָדַי
メディア
H4076

כְּדָת־
の-法に-従い
H1882

מִלְּתָא
ことである
H4406

יַצִּיבָא
確かな
H3330

וְאָמַר
そして言った
H0560

מַלְכָּא
王は
H4430

תֶּעְדֵּא׃
取り消せない
H5709

彼らは王の前にきて、王の禁令について奏上して言った、「王よ、あなたは禁令に署名して、今から三十日の間は、ただあなたにのみ願い事をさせ、もしあなたをおいて、神または人に、これをなす者があれば、すべてその者を、ししの穴に投げ入れると、定められたではありませんか」。王は答えて言った、「その事は確かであって、メデアとペルシャの法律のごとく、変えることのできないものだ」。

13

בְּנֵי	מִן־	דִּי	דָּנִיֵּאל	דִּי	מַלְכָּא	קֳדָם	וְאָמְרִין	עֲנוֹ	בֱּאדַיִן
子らの–中の	の–者で	その	ダニエルは	こと	王	の–前で	言った	答えて	そのとき
H1123	H4481	H1768	H1841	H1768	H4430	H6925	H0560	H6032	H0116

אֱסָרָא	וְעַל־	טְעֵם	מַלְכָּא	)עֲלָךְ(	]עלין[	שָׂם	לָא־	יְהוּד	דִּי	גָּלוּתָא
禁令にも	そしての	注意を	王よ	あなたに	あなたに	従わなかった	ない	ユダの	の–者	捕囚の
H0633	H5922	H2942	H4430	H5921	H5922	H7761	H3809	H3061	H1768	H1547

:בָּעוּתֵהּ	בָּעֵא	בְיוֹמָא	תְלָתָהּ	וְזִמְנִין	רְשִׁימְתָּ	דִּי	
彼の–願いを	願い求めている	度	三	そして日に	署名した	その	
H1159	H1156	H3118	H8532	H2166	H7560	H1768	

彼らは王の前に答えて言った、「王よ、ユダから引いてきた捕囚のひとりである、かのダニエルは、あなたをも、あなたの署名された禁令をも顧みず、一日に三度ずつ、祈をささげています」。

14

וְעַל	עֲלוֹהִי	בְּאֵשׁ	שַׂגִּיא	שְׁמַע	מִלְּתָא	כְּדָה	מַלְכָּא	אֱדַיִן	
そしての–ために	彼の–ことで	不快に–思い	非常に	聞いたとき	言葉を	この	王は	そのとき	
H5922	H5922	H0888	H7690	H8086	H4406	H1768	H4430	H0116	

מְשַׁתַּדַּר	הֲוָא	שְׁמְשָׁא	מֶעֱלֵי	וְעַד	לְשֵׁזָבוּתֵהּ	לְבַל	שָׂם	דָּנִיֵּאל
努力していた	であった	太陽が	日の–沈む	そしてまでの	救い出すことを	心を	定めた	ダニエル
H7712	H1934	H8122	H4606	H5705	H7804	H1079	H7761	H1841

:לְהַצָּלוּתֵהּ
彼を–救うことに
H5338

王はこの言葉を聞いて大いに憂え、ダニエルを救おうと心を用い、日の入るまで、彼を救い出すことに努めた。

15

דַּע	לְמַלְכָּא	וְאָמְרִין	מַלְכָּא	עַל־	הַרְגָּשׁוּ	אִלֵּךְ	גֻּבְרַיָּא	בֱּאדַיִן	
知ってください	王に	そして言った	王	の–前に	押し寄せた	これらの	人々は	そのとき	
H3046	H4430	H0560	H4430	H5922	H7284	H0479	H1400	H0116	

מַלְכָּא	דִּי־	וְקְיָם	אֱסָר	כָּל־	דִּי־	וּפָרַס	לְמָדַי	דָּת	דִּי־	מַלְכָּא
王が	その	法令を	禁令と	すべての	すなわち	ペルシアの	メディアと	法である	こと	王よ
H4430	H1768	H7010	H0633	H3606	H1768	H6540	H4076	H1882	H1768	H4430

:לְהַשְׁנָיָה	לָא	יְהָקִים	
変更できない	ない	制定した	
H8133	H3809	H6966	

時にその人々は、また王のもとに集まってきて、王に言った、「王よ、メデアとペルシャの法律によれば、王の立てた禁令、または、おきては変えることのできないものであることを、ご承知ください」。

16

דִּי	לְגֻבָּא	וּרְמוֹ	לְדָנִיֵּאל	וְהַיְתִיו	אֲמַר	מַלְכָּא	בֱּאדַיִן		
の	穴の–中へ	そして投げ込んだ	ダニエルを	そして連れて–来た	命じた	王は	そのとき		
H1768	H1358	H7412	H1841	H0858	H0560	H4430	H0116		

)אַנְתְּ(	]אנתה[	דִּי	אֱלָהָךְ	לְדָנִיֵּאל	וְאָמַר	מַלְכָּא	עָנָה	אַרְיָוָתָא
あなたが	あなたが	その	あなたの–神が	ダニエルに	そして言った	王は	答えた	獅子の
H0607	H0607	H1768	H0426	H1841	H0560	H4430	H6032	H0744

:יְשֵׁזְבִנָּךְ	הוּא	בְּתְדִירָא	לֵהּ	פָּלַח־		
あなたを–救うであろう	その方が	常に	彼に	仕えている		
H7804	H1932	H8411		H6399		

そこで王は命令を下したので、ダニエルは引き出されて、ししの穴に投げ入れられた。王はダニエルに言った、「どうか、あなたの常に仕える神が、あなたを救われるように」。

17

מַלְכָּא	וְחַתְמַהּ	גֻּבָּא	פֻּם	עַל־	וְשִׂמַת	חֲדָה	אֶבֶן	וְהֵיתָיִת
王は	そして封印した	穴の	口に	の–上に	そして置かれた	一つ	石を	そして持って–来られた
H4430	H2857	H1358	H6433	H5922	H7761	H2298	H0069	H0858

צְבוּ	תִּשְׁנָא	לָא־	דִּי	רַבְרְבָנוֹהִי	וּבְעִזְקַת	בְּעִזְקַתֵּה
目的が	変わらないように	ない	こと	大臣たちの	そして印鑑–指輪で	自分の–印鑑–指輪で
H6640	H8133	H3809	H1768	H7261	H5824	H5824

בִּדָנִיֵּאל׃
ダニエルに–対する
H1841

そして一つの石を持ってきて、穴の口をふさいだので、王は自分の印と、大臣らの印をもって、これに封印した。これはダニエルの処置を変えることのないようにするためであった。

18

לָא־	וְדַחֲנָן	טְוָת	וּבָת	לְהֵיכְלֵהּ	מַלְכָּא	אֲזַל	אֱדַיִן
ない	そして娯楽を	断食して	そして過ごした	自分の–宮殿へ	王は	行った	そのとき
H3809	H1761	H2908	H0956	H1965	H4430	H0236	H0116

עֲלוֹהִי׃	נְדַת	וְשִׁנְתֵּהּ	קֳדָמוֹהִי	הַנְעַל
彼から	逃げた	そして眠りが	彼の–前に	持ち込ませなかった
H5922	H5075	H8139	H6925	H5954

こうして王はその宮殿に帰ったが、その夜は食をとらず、また、そばめたちを召し寄せず、全く眠ることもしなかった。

19

אֲזַל׃	אַרְיְוָתָא	דִּי־	לְגֻבָּא	וּבְהִתְבְּהָלָה	בִּנְהָא	יְקוּם	בִּשְׁפַרְפָּרָא	מַלְכָּא	בֵּאדַיִן
行った	獅子の	の	穴へ	そして急いで	明け方に	起きた	夜明けに	王は	そして
H0236	H0744	H1768	H1358	H0927	H5053	H6966	H8238	H4430	H0116

こうして王は朝まだき起きて、ししの穴へ急いで行ったが、

20

וְאָמַר	מַלְכָּא	עָנֵה	זְעֵק	עֲצִיב	בְּקָל	לְדָנִיֵּאל	לְגֻבָּא	וּכְמִקְרְבֵהּ
そして言った	王は	答えた	叫んだ	悲しげな	声で	ダニエルに	穴に	そして近づいたとき
H0560	H4430	H6032	H2200	H6088	H7032	H1841	H1358	H7127

(אַנְתְּ	]אנתה[	דִּי	אֱלָהָךְ	חַיָּא	אֱלָהָא	עֲבַד	דָּנִיֵּאל	לְדָנִיֵּאל
あなたが	あなたが	その	あなたの–神は	生ける	神の	しもべよ	ダニエルよ	ダニエルに
H0607	H0607	H1768	H0426	H2417	H0426	H5649	H1841	H1841

אַרְיְוָתָא׃	מִן־	לְשֵׁיזָבוּתָךְ	הַיְכֵל	בְּתְדִירָא	לֵהּ	פָּלַח־
獅子	から	あなたを–救うことが	できたか	常に	彼に	仕えている
H0744	H4481	H7804	H3202	H8411		H6399

ダニエルのいる穴に近づいたとき、悲しげな声をあげて呼ばわり、ダニエルに言った、「生ける神のしもべダニエルよ、あなたが常に仕えている神はあなたを救って、ししの害を免れさせることができたか」。

21

חֱיִי׃	לְעָלְמִין	מַלְכָּא	מַלַּל	מַלְכָּא	עִם־	דָּנִיֵּאל	אֱדַיִן
生きませ	永遠に	王よ	語った	王	と	ダニエルは	そのとき
H2418	H5957	H4430	H4449	H4430	H5974	H1841	H0116

ダニエルは王に言った、「王よ、どうか、とこしえに生きながらえられますように。

22

חַבְּלֻונִי וְלָא אַרְיָוָתָא פֻּם וְסִגַּר מַלְאֲכֵה שְׁלַח אֱלָהִי
傷つけなかった–私を そしてない 獅子たちの 口を そして閉じた 御使いを 遣わした 私の–神が
H2255 H3809 H0744 H6433 H5463 H4398 H7972 H0426

קדמיך] וְאַף לִי הִשְׁתְּכַחַת זְכוּ קֳדָמוֹהִי דִּי קֳבֵל כָּל־
あなたの–前にも そしてまた 私に 見いだされた 潔白が 御前に その の–ゆえに すべて
H6925 H0638 H7912 H2136 H6925 H1768 H6903 H3606

עַבְדֵת׃ לָא חֲבוּלָה לָא מַלְכָּא קֳדָמָךְ)
行わなかった ない 害を 王よ あなたの–前にも
H5648 H3809 H2248 H4430 H6925

わたしの神はその使をおくって、ししの口を閉ざされたので、ししはわたしを害しませんでした。これはわたしに罪のないことが、神の前に認められたからです。王よ、わたしはあなたの前にも、何も悪い事をしなかったのです」。

23

מִן־ לְהַנְסָקָה אֲמַר וּלְדָנִיֵּאל עֲלוֹהִי טְאֵב שַׂגִּיא מַלְכָּא בֵּאדַיִן
から 引き上げることを 命じた そしてダニエルに 彼の–ことで 喜んだ 大いに 王は そのとき
H4481 H5267 H0560 H1841 H5922 H2868 H7690 H4430 H0116

הִשְׁתְּכַח לָא־ חֲבָל כָּל־ גֻּבָּא מִן־ דָּנִיֵּאל וְהֶסֵק גֻּבָּא
見つからなかった ない 傷も そして何の 穴 から ダニエルは そして引き上げられた 穴
H7912 H3809 H2257 H3606 H1358 H4481 H1841 H5267 H1358

בֵּאלָהֵהּ׃ הֵימִן דִּי בְּהּ
彼の–神に 信頼していた それは 彼には
H0426 H0540 H1768

そこで王は大いに喜び、ダニエルを穴の中から出せと命じたので、ダニエルは穴の中から出されたが、その身になんの害をも受けていなかった。これは彼が自分の神を頼みとしていたからである。

24

דִּי קַרְצוֹהִי אֲכַלוּ דִּי־ אִלֵּךְ גֻּבְרַיָּא וְהֵיתָיוּ מַלְכָּא וַאֲמַר
の 中傷を 訴えた その これらの 人々 そして連れて–来られた 王は そして命じた
H1768 H7170 H0399 H1768 H0479 H1400 H0858 H4430 H0560

וְלָא־ וּנְשֵׁיהוֹן בְּנֵיהוֹן אִנּוּן רְמוֹ אַרְיָוָתָא וּלְגֻב דָּנִיֵּאל
そしてない 妻たちも 子どもたちと 彼らは 投げ込まれた 獅子の そしての–穴に ダニエルに–対する
H3809 H5389 H1123 H7412 H0744 H1358 H1841

כָּל־ אַרְיָוָתָא בְּהוֹן שְׁלֶטוּ דִּי־ עַד גֻּבָּא לְאַרְעִית מְטוֹ
そしてすべての 獅子たちが 彼らに 襲いかかった に まで 穴の 底に 達しなかった
H3606 H0744 H7981 H1768 H5705 H1358 H0773 H4291

גַּרְמֵיהוֹן׃ הַדְקוּ
砕いた 骨を
H1855 H1635

王はまた命令を下して、ダニエルをあしざまに訴えた人々を引いてこさせ、彼らをその妻子と共に、ししの穴に投げ入れさせた。彼らが穴の底に達しないうちに、ししは彼らにとびかかって、その骨までもかみ砕いた。

25

דארין] דִּי־ וְלִשָּׁנַיָּא אֻמַּיָּא עַמְמַיָּא לֶכְלְּ־ כְּתַב מַלְכָּא דָּרְיָוֶשׁ בֵּאדַיִן
住む その 言語の–者に 国と 民と すべての 書き記した 王は ダリウス そのとき
H1753 H1768 H3961 H0524 H5972 H3606 H3790 H4430 H1868 H0116

יִשְׂגֵּא׃ שְׁלָמְכוֹן אַרְעָא בְּכָל־ דְּיָרִין)
増すように あなたがたの–平安が 地に 全– 住む
H7680 H8001 H0772 H3606 H1753

そこでダリヨス王は全世界に住む諸民、諸族、諸国語の者に詔を書きおくって言った、「どうか、あなたがたに平安が増すように。

26 מִן־ から H4481 קֳדָמַי 私の–前で H6925 טְעֵם 命令は H2942 שָׂם 出される H7761 וְדִי すなわち H1768 בְּכָל־ の–全– H3606 שָׁלְטָן 領域で H7985 מַלְכוּתִי 私の–王国の H4437 לֶהֱוֵן であるように H1934 זאעין[恐れ H2112

)זְיִעִין おののき H2112 וְדָחֲלִין 畏れ敬う H1763 מִן־ の–御前で H4481 קֳדָם の–御前で H6925 אֱלָהּ 神を H0426 דִּי־ の H1768 דָּנִיֵּאל ダニエルの H1841 דִּי־ その方は H1768 וְהוּא その方は H1932 אֱלָהָא 生ける–神 H0426

חַיָּא 生ける H2417 וְקָיְמִין そして永遠に H7011 לְעָלְמִין 立つ H5957 וּמַלְכוּתֵהּ そしてその–王国は H4437 דִּי־ ない H1768 לָא ない H3809 תִתְחַבַּל 滅びない H2255 וְשָׁלְטָנֵהּ そしてその–支配は H7985 עַד־ までの H5705

סוֹפָא׃ 終わり H5491

わたしは命令を出す。わが国のすべての州の人は、皆ダニエルの神を、おののき恐れなければならない。彼は生ける神であって、とこしえに変ることなく、その国は滅びず、その主権は終りまで続く。

27 מְשֵׁיזֵב 救い出す–方 H7804 וּמַצִּיל そして助ける–方 H5338 וְעָבֵד そして行う–方 H5648 אָתַיִן しるしと H0852 וְתִמְהִין 不思議を H8540 בִּשְׁמַיָּא 天で H8065 וּבְאַרְעָא そして地で H0772 דִּי その方が H1768

אַרְיְוָתָא׃ 獅子の H0744 יַד 手 H3028 מִן־ から H4481 לְדָנִיֵּאל ダニエルを H1841 שֵׁיזִיב 救い出した H7804

彼は救を施し、助けをなし、天においても、地においても、しるしと奇跡とをおこない、ダニエルを救って、ししの力をのがれさせたかたである」。

28 וְדָנִיֵּאל そしてダニエル H1841 דְּנָה この H1836 הַצְלַח 栄えた H6744 בְּמַלְכוּת の–治世に H4437 דָּרְיָוֶשׁ ダリウスの H1868 וּבְמַלְכוּת そしての–治世に H4437 כּוֹרֶשׁ キュロス H3567 פָּרְסָאָה[ペルシア人の H6543

)פָּרְסָאָה׃(ペルシア人の H6543 פ — H6543

こうして、このダニエルはダリヨスの世と、ペルシャ人クロスの世において栄えた。

Chapter 7

1 בִּשְׁנַת の–年に H8140 חֲדָה 第一 H2298 לְבֶלְאשַׁצַּר ベルシャツァルの H1113 מֶלֶךְ 王 H4430 בָּבֶל バビロンの H0895 דָּנִיֵּאל ダニエルは H1841 חֶלֶם 夢を H2493 חֲזָה 見た H2370 וְחֶזְוֵי そして幻を H2376 רֵאשֵׁהּ 頭の H7217

אֲמַר׃ 語った H0560 מִלִּין 言葉を H4406 רֵאשׁ 要点の H7217 כְּתַב 書き記した H3790 חֶלְמָא 夢を H2493 בֵּאדַיִן そのとき H0116 מִשְׁכְּבֵהּ 寝床 H4903 עַל־ の–上で H5922

バビロンの王ベルシャザルの元年に、ダニエルは床にあって夢を見、また脳中に幻を得たので、彼はその夢をしるして、その事の大意を述べた。

2 עָנֵה 答えて H6032 דָּנִיֵּאל ダニエルは H1841 וְאָמַר そして言った H0560 חָזֵה 見ていた H2370 הֲוֵית 私は H1934 בְּחֶזְוִי 幻の–中で H2376 עִם־ の–間に H5974 לֵילְיָא 夜 H3916 וַאֲרוּ そして見よ H0718

רַבָּא׃ 大きな–海 H7229 לְיַמָּא に–向かって H3221 מְגִיחָן 吹き荒れていた H1519 שְׁמַיָּא 天の H8065 רוּחֵי 風が H7308 אַרְבַּע 四つの H0703

ダニエルは述べて言った、「わたしは夜の幻のうちに見た。見よ、天の四方からの風が大海をかきたてると、

3 וְאַרְבָּע חֵיוָן רַבְרְבָן סָלְקָן מִן־יַמָּא שְׁנָנִן דָּא מִן־דָּא׃
そして四つの 獣が 大きな 上がって-来た から 海 異なっていた 一つが から 他と
H0703 H2423 H7260 H5559 H4481 H3221 H8133 H1668 H4481 H1668

四つの大きな獣が海からあがってきた。その形は、おのおの異なり、

4 קַדְמָיְתָא כְּאַרְיֵה וְגַפִּין דִּי־נְשַׁר חָזֵה הֲוַית עַד־דִּי
第一のものは 獅子の-ようで そして翼が の 鷲の 見ていた あった 私は まで に
H6933 H0744 H1611 H1768 H5403 H2370 H1934 H5705 H1768

מְרִיטוּ גַפַּיהּ וְנִטְלַת וּמִן־אַרְעָא עַל־רַגְלַיִן כֶּאֱנָשׁ
引き抜かれた 翼が そして持ち上げられた から 地 の-上に 二本の-足で 人の-ように
H4804 H1611 H5191 H0772 H4481 H5922 H7271 H0606

וּלְבַב אֱנָשׁ יְהִיב לַהּ׃
そして心が 人の 与えられた それに
H3825 H0606 H3052

立たされた

第一のものは、ししのようで、わしの翼をもっていたが、わたしが見ていると、その翼は抜きとられ、また地から起されて、人のように二本の足で立たせられ、かつ人の心が与えられた。

5 וְאָרוּ חֵיוָה אָחֳרִי דָּמְיָה תִנְיָנָה וְלִשְׁטַר־חַד לְדֻבּ הֳקִימַת
そして見よ 獣が もう一つ 似ていた 第二の 片側に そしての- 一方 熊に 起こされた
H0718 H2423 H0317 H1821 H8578 H7859 H2298 H1678 H6966

וְתְלָת עִלְעִין בְּפֻמָּהּ בֵּין [שניה] (שִׁנַּהּ) וְכֵן אָמְרִין לַהּ קוּמִי
そして三つの 肋骨が 口の-中に の-間に 歯の 歯の そしてこう 言った それに 起き上がれ
H8532 H5967 H6433 H0997 H8128 H8128 H3652 H0560 H6966

בְּשַׂר שַׂגִּיא אֲכֻלִי׃
肉を 多くの 食い尽くせ
H1321 H7690 H0399

見よ、第二の獣は熊のようであった。これはそのからだの一方をあげ、その口の歯の間に、三本の肋骨をくわえていたが、これに向かって『起きあがって、多くの肉を食らえ』と言う声があった。

6 בָּאתַר דְּנָה חָזֵה הֲוַית וְאָרוּ אָחֳרִי כִּנְמַר וְלַהּ גַּפִּין
の-後に これ 見ていた 私は そして見よ もう一つの 豹の-ようで そしてそれには 翼が
H0870 H1836 H2370 H1934 H0718 H0317 H5245 H1611

אַרְבַּע עוֹף דִּי־עַל [גביה] (גַּבַּהּ) רֵאשִׁין אַרְבְּעָה וְלְחֵיוְתָא וְשָׁלְטָן
四つ 鳥の の 上に 背中の 背中の 頭が そして四つの 獣に そして権威が
H0703 H5776 H1768 H5922 H1355 H1355 H7217 H0703 H2423 H7985

יְהִיב לַהּ׃
与えられた それに
H3052

その後わたしが見たのは、ひょうのような獣で、その背には鳥の翼が四つあった。またこの獣には四つの頭があり、主権が与えられた。

7

בָּאתַר	דְּנָה	חָזֵה	הֲוֵית	בְּחֶזְוֵי	לֵילְיָא	וַאֲרוּ	חֵיוָה	[רביעיה]
の-後に	これ	見ていた	私は	幻の-中で	夜の	そして見よ	獣が	第四の
H0870	H1836	H2370	H1934	H2376	H3916	H0718	H2423	H7244

דְּחִילָה	וְאֵימְתָנִי	וְתַקִּיפָא	יַתִּירָא	וְשִׁנַּיִן	דִּי־	פַּרְזֶל	לַהּ	רַבְרְבָן
恐ろしく	そして恐るべく	そして強い	非常に	そして歯が	の	鉄の	それに	大きな
H1763	H0574	H8624	H3493	H8128	H1768	H6523		H7260

אָכְלָה	וּמְדֶקָּה	וּשְׁאָרָא	[ברגליה]	(בְּרַגְלַהּ)	רָפְסָה	וְהֵיא
食い尽くし	そして粉砕し	そして残りを	足で	足で	踏みつけた	そしてそれは
H0399	H1855	H7606	H7271	H7271	H7512	H1932

מְשַׁנְיָה	מִן־	כָּל־	חֵיוָתָא	דִּי	קֳדָמַיָּה	וְקַרְנַיִן	עֲשַׂר	לַהּ׃
異なっていた	から	すべての	獣	の	以前の	そして角が	十	あった
H8133	H4481	H3606	H2423	H1768	H6925	H7162	H6236	

その後わたしが夜の幻のうちに見た第四の獣は、恐ろしい、ものすごい、非常に強いもので、大きな鉄の歯があり、食らい、かつ、かみ砕いて、その残りを足で踏みつけた。これは、その前に出たすべての獣と違って、十の角を持っていた。

8

[ביניהון]	סְלֶקֶת	זְעֵירָה	אָחֳרִי	קֶרֶן	וְאָלוּ	בְּקַרְנָיָא	הֲוֵית	מִשְׁתַּכַּל
間に	生えて-来た	小さな	もう一つの	角が	そして見よ	角を	私は	見つめていた
H0997	H5559	H2192	H0317	H7162	H0431	H7162	H1934	H7920

מִן־	(אֶתְעֲקַרָה)	[אתעקרו]	קַדְמָיָתָא	קַרְנָיָא	מִן־	וּתְלָת	(בֵּינֵיהֶן)	
の-前から	引き抜かれた	引き抜かれた	以前の	角が	の	そして三つの	それらの-間に	
H4481	H6132	H6132	H6933	H7162	H4481	H8532	H0997	

וּפֻם	דָּא	בְּקַרְנָא־	אֲנָשָׁא	כְּעֵינֵי	עֵינִין	וַאֲלוּ	(קֳדָמֶהּ)	[קדמיה]
そして口が	この	の-角に	人の	の-目の-ような	目が	そして見よ	その-前から	その-前から
H6433	H1668	H7162	H0606	H5870	H5870	H0431	H6925	H6925

רַבְרְבָן׃	מְמַלֶּלָה
大きなことを	語っていた
H7260	H4449

わたしが、その角を注意して見ていると、その中に、また一つの小さい角が出てきたが、この小さい角のために、さきの角のうち三つがその根から抜け落ちた。見よ、この小さい角には、人の目のような目があり、また大きな事を語る口があった。

9

וּלְבוּשֵׁהּ	יְתֵב	יוֹמִין	וְעַתִּיק	רְמִיו	כָּרְסָוָן	דִּי	עַד	הֲוֵית	חָזֵה
その-衣は	座した	者が	そして日の-老いたる	据えられた	王座が	に	まで	私は	見ていた
H3831	H3488	H3118	H6268	H7412	H3764	H1768	H5705	H1934	H2370

נוּר	דִּי־	שְׁבִיבִין	כָּרְסְיֵהּ	נְקָא	כַּעֲמַר	רֵאשֵׁהּ	וּשְׂעַר	חִוָּר	כִּתְלַג
火	の	炎の	その-王座は	清く	羊毛の-ように	頭の	そして髪は	白く	雪の-ように
H5135	H1768	H7631	H3764	H5343	H6015	H7217	H8177	H2358	H8517

דָּלֵק׃	נוּר	גַּלְגְּלוֹהִי
燃える	火の	その-車輪は
H1815	H5135	H1535

わたしが見ていると、もろもろのみ座が設けられて、日の老いたる者が座しておられた。その衣は雪のように白く、頭の毛は混じりもののない羊の毛のようであった。そのみ座は火の炎であり、その車輪は燃える火であった。

10

נְהַר	דִּי־	נוּר	נָגֶד	וְנָפֵק	מִן־	קֳדָמוֹהִי	אֶלֶף	אלפים	אַלְפִין)
川が	の	火の	流れ	そして出ていた	から	御前	千の	幾千が	幾千が
H5103	H1768	H5135	H5047	H5312	H4481	H6925	H0506	H0506	H0506

וְסִפְרִין	יְתִב	דִּינָא	יְקוּמוּן	קֳדָמוֹהִי	רִבְבָן)	רבון	וְרִבְּוֹ	יְשַׁמְּשׁוּנֵּהּ
そして書物が	開かれ	裁きが	立っていた	御前に	幾万が	幾万が	そして万の	仕えていた
H5609	H3488	H1780	H6966	H6925	H7240	H7240	H7240	H8120

פְּתִיחוּ׃
開かれた
H6606

彼の前から、ひと筋の火の流れが出てきた。彼に仕える者は千々、彼の前にはべる者は万々、審判を行う者はその席に着き、かずかずの書き物が開かれた。

11

חָזֵה	הֲוֵית	בֵּאדַיִן	מִן־	קָל	מִלַּיָּא	רַבְרְבָתָא	דִּי	קַרְנָא	מְמַלֶּלָה
見ていた	私は	そのとき	の–ゆえに	声	言葉の	大きな	の	角が	語る
H2370	H1934	H0116	H4481	H7032	H4406	H7260	H1768	H7162	H4449

לִיקַדַת	וְיהִיבַת	גְּשְׁמַהּ	וְהוּבַד	חֵיוְתָא	קְטִילַת	דִּי	עַד־	הֲוֵית
焼く–ために	そして渡された	その–体は	そして滅ぼされた	獣は	殺された	に	まで	私は
H3346	H3052	H1655	H0007	H2423	H6992	H1768	H5705	H1934

אֶשָּׁא׃
火で
H0785

わたしは、その角の語る大いなる言葉の声がするので見ていたが、わたしが見ている間にその獣は殺され、そのからだはそこなわれて、燃える火に投げ入れられた。

12

לְהֹון	יְהִיבַת	בְּחַיִן	וְאַרְכָה	שָׁלְטָנְהֹון	הֶעְדִּיו	חֵיוָתָא	וּשְׁאָר	
彼らに	与えられた	命の	しかし延長が	その–権威が	取り去られた	獣たちは	そして残りの	
H3052	H2417	H0754	H7985	H5709	H2423	H7606		

וְעִדָּן׃	זִמְנָ	עַד־	
季節	時と	まで	
H5732	H2166	H5705	

その他の獣はその主権を奪われたが、その命は、時と季節の来るまで延ばされた。

13

אֱנָשׁ	כְּבַר	שְׁמַיָּא	עֲנָנֵי	עִם־	וַאֲרוּ	לֵילְיָא	בְּחֶזְוֵי	הֲוֵית	חָזֵה
人の–子が	の–ような	天の	雲の	と–共に	そして見よ	夜の	幻の–中で	私は	見ていた
H0606	H1247	H8065	H6050	H5974	H0718	H3916	H2376	H1934	H2370

הַקְרְבוּהִי׃	וּקְדָמוֹהִי	מְטָה	יוֹמַיָּא	עַתִּיק	וְעַד־	הֲוָה	אֲתָה
導かれた	そして御前に	至り	者の–もとに	日の–老いたる	そしてまで	のだった	来ていた
H7127	H6925	H4291	H3118	H6268	H5705	H1934	H0858

わたしはまた夜の幻のうちに見ていると、見よ、人の子のような者が、天の雲に乗ってきて、日の老いたる者のもとに来ると、その前に導かれた。

14

וְלִשָׁנַיָּא	אֻמַיָּא	עַמְמַיָּא	וְכָל	וּמַלְכוּ	וְיֵקָר	שָׁלְטָן	יְהֵיב	וְלֵהּ	
言語の–者が	国と	民と	そしてすべての	王国が	栄光と	主権と	与えられた	そして彼に	
H3961	H0524	H5972	H3606	H4437	H3367	H7985	H3052		

דִּי־	וּמַלְכוּתֵהּ	יֶעְדֵּה	לָא	דִּי־	עָלַם	שָׁלְטָן	שָׁלְטָנֵּהּ	יִפְלְחוּן	לֵהּ
の	そしてその–王国は	過ぎ去らない	ない	の	永遠	主権の	その–主権は	仕えた	彼に
H1768	H4437	H5709	H3809	H1768	H5957	H7985	H7985	H6399	

פ	תִּתְחַבַּל׃	לָא	
—	滅びない	ない	
	H2255	H3809	

彼に主権と光栄と国とを賜い、諸民、諸族、諸国語の者を彼に仕えさせた。その主権は永遠の主権であって、なくなることがなく、その国は滅びることがない。

15

אֶתְכְּרִיַת	רוּחִי	אֲנָה	דָּנִיֵּאל	בְּנָוֹא	נִדְנֶה	וְחֶזְוֵי	רֵאשִׁי	יְבַהֲלֻנַּנִי׃
悩まされた	霊が	私	ダニエルは	の–中で	体	そして幻が	頭の	私を–恐れさせた
H3735	H7308	H0589	H1841	H1459	H5085	H2376	H7217	H0927

そこで、われダニエル、わがうちなる霊は憂え、わが脳中の幻は、わたしを悩ましたので、

16

עַל־	מִנֶּה	אֶבְעֵא־	וְיַצִּיבָא	קָאֲמַיָּא	מִן־	חַד	עַל־	קְרֵבֵת
について	彼から	求めた	そして確かなことを	立っている–者の	の	一人	の–もとに	近づいた
H5922	H4481	H1156	H3330	H6966	H4481	H2298	H5922	H7127

כָּל־	דְּנָה	וְאָמַר־	לִי	וּפִשְׁרָ	מִלַּיָּא	יְהוֹדְעִנַנִי׃		
すべて	これ	そして告げた	私に	そして解き明かしを	言葉の	知らせた		
H3606	H1836	H0560	H1	H6591	H4406	H3046		

わたしは、そこに立っている者のひとりに近寄って、このすべての事の真意を尋ねた。するとその者は、わたしにこの事の解き明かしを告げ知らせた。

17

אַרְעָא׃	מִן־	יְקוּמוּן	מַלְכִין	אַרְבְּעָה	אַרְבַּע	אִנִּין	דִּי	רַבְרְבָתָא	חֵיוָתָא	אִלֵּין
地	から	起こる	王が	四人の	四つ	それらは	の	大きな	獣は	これらの
H0772	H4481	H6966	H4430	H0703	H0703	H0607	H1768	H7260	H2423	H0459

『この四つの大きな獣は、地に起らんとする四人の王である。

18

עָלְמָא	עַד־	מַלְכוּתָא	וְיַחְסְנוּן	עִלָּיִן	קַדִּישֵׁי	מַלְכוּתָא	וְיִקְבְּלוּן	
永遠	まで	王国を	そして所有する	いと高き–方の	聖なる–者たちが	王国を	そして受ける	
H5957	H5705	H4437	H2631	H5946	H6922	H4437	H6902	

עָלְמַיָּא׃	עָלַם	וְעַד	
永遠に	永遠の	そしてまで	
H5957	H5957	H5705	

しかしついには、いと高き者の聖徒が国を受け、永遠にその国を保って、世々かぎりなく続く』。

19

שְׁנָיָה	הֲוָת	דִּי־	רְבִיעָיָתָא	חֵיוְתָא	עַל־	לְיַצָּבָא	צְבִית	אֱדַיִן
異なっていた	であった	その	第四の	獣の	について	確かめることを	望んだ	そのとき
H8133	H1934	H1768	H7244	H2423	H5922	H3321	H6634	H0116

דִּי־	וְטַפְרַיהּ	פַּרְזֶל	דִּי־	שִׁנַּהּ)	שניהן[	יַתִּירָה	דְּחִילָה	כָּלְיָין)	כלהון[	מִן־
の	そして爪は	鉄の	の	歯は	歯は	非常に	恐ろしく	すべて	すべて	から
H1768	H2953	H6523	H1768	H8128	H8128	H3493	H1763	H3605	H3605	H4481

רַפְסָה׃	בְּרַגְלַיהּ	וּשְׁאָרָא	מְדַקְקָה	אָכְלָה	נְחָשׁ
踏みつけた	足で	そして残りを	粉砕し	食い尽くし	青銅の
H7512	H7271	H7606	H1855	H0399	H5174

そこでわたしは、さらに第四の獣の真意を知ろうとした。その獣は他の獣と異なって、はなはだ恐ろしく、その歯は鉄、そのつめは青銅であって、食らい、かつ、かみ砕いて、その残りを足で踏みつけた。

20

סְלֹקֶת	דִּי	וְאָחֳרִי	בְרֵאשֵׁהּ	דִּי	עֲשַׂר	קַרְנַיָּא	וְעַל־	
生えて-来た	の	そしてもう一つの	その-頭にある	の	十の	角	そしてについて	
H5559	H1768	H0317	H7217	H1768	H6236	H7162	H5922	

דִּכֵּן	וְקַרְנָא	תְּלָת	(קֳדָמַהּ)	[קדמיהן]	מִן־	(וּנְפַלָה)	[ונפלון]
すなわち	そしてその-角には	三つが	その-前から	その-前から	の	そして倒れた	そして倒れた
H1797	H7162	H8532	H6925	H6925	H4481	H5308	H5308

מִן־	רַב	וְחֶזְוֵהּ	רַבְרְבָן	מְמַלַל	וְפֻם	לַהּ	וְעֵינִין
より	大きかった	そしてその-外見は	大きなことを	語っていた	そして口が	あり	そして目が
H4481	H7229	H2376	H7260	H4449	H6433		H5870

חַבְרָתֵהּ׃
仲間
H2273

この獣の頭には、十の角があったが、そのほかに一つの角が出てきたので、この角のために、三つの角が抜け落ちた。この角には目があり、また大きな事を語る口があって、その形は、その同類のものよりも大きく見えた。

21

קַדִּישִׁין	עִם־	קְרָב	עָבְדָה	דִּכֵּן	וְקַרְנָא	הַוֵית	חָזֵה
聖なる-者たちに	と	戦いを	行っていた	すなわち	そしてその-角は	私は	見ていた
H6922	H5974	H7129	H5648	H1797	H7162	H1934	H2370

לְהוֹן׃	וְיָכְלָה
彼らに	そして勝っていた
	H3202

わたしが見ていると、この角は聖徒と戦って、彼らに勝ったが、

22

לְקַדִּישֵׁי	יְהַב	וְדִינָא	יוֹמַיָּא	עַתִּיק	אֲתָה	דִּי־	עַד
の-聖なる-者たちに	与えられた	そして裁きが	者が	日の-老いたる	来た	に	まで
H6922	H3052	H1780	H3118	H6268	H0858	H1768	H5705

קַדִּישִׁין׃	הֶחֱסִנוּ	וּמַלְכוּתָא	מְטָה	וְזִמְנָא	עִלָּיִן	
聖なる-者たちが	所有した	そして王国を	来た	そして時が	いと高き-方の	
H6922	H2631	H4437	H4291	H2166	H5946	

ついに日の老いたる者がきて、いと高き者の聖徒のために審判をおこなった。そしてその時がきて、この聖徒たちは国を受けた。

23

תִּשְׁנָא	דִּי	בְאַרְעָא	תֶּהֱוֵא	(רְבִיעָאָה)	[רביעיא]	מַלְכוּ	רְבִיעָיְתָא	חֵיוְתָא	אֲמַר	כְּנָה
異なる	それは	地上に	である	第四の	第四の	王国が	第四の	獣は	言った	こう
H8133	H1768	H0772	H1934	H7244	H7244	H4437	H7244	H2423	H0560	H3652

וְתַדְקִנָּה׃	וּתְרוֹשִׁנַּהּ	אַרְעָא	כָּל־	וְתֵאכֻל	מַלְכְוָתָא	כָּל־	מִן־	
そして粉砕する	そして踏みにじり	地を	すべての	そして食い尽くす	王国	すべての	から	
H1855	H1759	H0772	H3606	H0399	H4437	H3606	H4481	

彼はこう言った、『第四の獣は地上の第四の国である。これはすべての国と異なって、全世界を併合し、これを踏みつけ、かつ打ち砕く。

24

יְקוּם	וְאָחֳרָן	יְקֻמוּן	מַלְכִין	עַשְׂרָה	מַלְכוּתָה	מִנַּהּ	עֲשַׂר	וְקַרְנַיָּא	
起こる	そしてもう一人が	起こる	王が	十人の	王国の	その-中から	十は	そして角	
H6966	H0321	H6966	H4430	H6236	H4437	H4481	H6236	H7162	

יְהַשְׁפֵּל׃	מַלְכִין	וּתְלָתָה	קַדְמָיֵא	מִן־	יִשְׁנָא	וְהוּא	אֲחֳרֵיהוֹן
倒す	王を	そして三人の	以前の-者と	から	異なる	そして彼は	彼らの-後に
H8214	H4430	H8532	H6933	H4481	H8133	H1932	H0311

十の角はこの国から起る十人の王である。その後にまたひとりの王が起る。彼は先の者と異なり、かつ、その三人の王を倒す。

25 וּמִלִּין עַל־עֶלְיוֹנִין יְמַלֵּל וְלִקְדִישֵׁי

そして言葉を に–逆らい いと高き–方に いと高き–方を 語り そしての–聖なる–者たちを

H4406 H6655 H5943 H5943 H4449 H6922

עֶלְיוֹנִין יְבַלֶּא וְיִסְבַּר לְהַשְׁנָיָה זִמְנִין וְדָת עַד־ זְמָן וְעִדָּנִין פְּלַג׃

いと高き–方の 苦しめる そして企てる 変えることを 時と 法を まで その–手に そして渡される

H5946 H1080 H5452 H8133 H2166 H1882 H5705 H3028 H3052

עִדָּן׃ פְּלַג וְעִדָּנִין עִדָּן

時 半– 二時と 一時と

H5732 H6387 H5732 H5732

彼は、いと高き者に敵して言葉を出し、かつ、いと高き者の聖徒を悩ます。彼はまた時と律法とを変えようと望む。聖徒はひと時と、ふた時と、半時の間、彼の手にわたされる。

26 וְדִינָא יִתֵּב וְשָׁלְטָנֵהּ יְהַעְדּוֹן לְהַשְׁמָדָה וּלְהוֹבָדָה עַד־ סוֹפָא׃

そして裁きが 開かれ そしてその–権威を 取り去る 滅ぼし そして絶やすために まで 終わり

H1780 H3488 H7985 H5709 H8046 H0007 H5705 H5491

しかし審判が行われ、彼の主権は奪われて、永遠に滅び絶やされ、

27 וּמַלְכוּתָה וְשָׁלְטָנָא וּרְבוּתָא דִּי־ מַלְכָוָת תְּחוֹת כָּל־ שְׁמַיָּא יְהִיבַת לְעַם

そして王国と 権威と 偉大さが の 王国の の–下の すべての 天 の–民に 与えられる

H4437 H7985 H7238 H1768 H4437 H8460 H3606 H8065 H5972 H3052

קַדִּישֵׁי עֶלְיוֹנִין מַלְכוּתֵהּ מַלְכָוָת עָלַם וְכָל־ שָׁלְטָנַיָּא לֵהּ יִפְלְחוּן וְיִשְׁתַּמְעוּן׃

聖なる–者たちが いと高き–方の その–王国は 王国の 永遠 そしてすべての 権威ある–者たちが 彼に 仕え そして従う

H6922 H5946 H4437 H4437 H5957 H3606 H7985 H6399 H8086

国と主権と全天下の国々の権威とは、いと高き者の聖徒たる民に与えられる。彼らの国は永遠の国であって、諸国の者はみな彼らに仕え、かつ従う』。

28 עַד־ כָּה סוֹפָא דִּי־ מִלְּתָא אֲנָה דָּנִיֵּאל שַׂגִּיא דַּעְיוֹנַי

ここまでが ここまでが の 終わりで 言葉の 私 ダニエルは 大いに 思いが

H5705 H3542 H1768 H5491 H4406 H0589 H1841 H7690 H7476

פ׀ נְטַרֶת׃ בְּלִבִּי וּמִלְּתָא עֲלַי יְשְׁתַּנּוֹן וְזִינַי יְבַהֲלֻנַּנִי

— 留めた 心の–中に しかし言葉を 私の 変わった そして顔色が 私を–恐れさせた

H5202 H3821 H4406 H5922 H8133 H2122 H0927

その事はここで終った。われダニエルは、これを思いまわして、非常に悩み、顔色も変った。しかし、わたしはこの事を心に留めた」。

Chapter 8

1 בִּשְׁנַת שָׁלוֹשׁ לְמַלְכוּת בֶּלְאשַׁצַּר הַמֶּלֶךְ חָזוֹן נִרְאָה אֵלַי אֲנִי דָּנִיֵּאל

の–年に 第三 の–治世の ベルシャツァル 王の 幻が 現れた 私に 私 ダニエルに

H8141 H7969 H4438 H1112 H4428 H2377 H7200 H0413 H0589 H1840

אַחֲרֵי הַנִּרְאָה אֵלַי בַּתְּחִלָּה׃

の–後に 現れた 私に 初めに

H0310 H7200 H0413 H8462

われダニエルは先に幻を見たが、後またベルシャザル王の治世の第三年に、一つの幻がわたしに示された。

2 וָאֶרְאֶה֙ וַיְהִי֙ בְּרָאֹתִ֔י וַאֲנִ֕י בְּשׁוּשַׁ֖ן הַבִּירָ֑ה אֲשֶׁ֣ר
そして見た そしてであった 見たとき そして私は シュシャンに 城塁の それは
H7200 H1961 H7200 H0589 H7800 H1002

וָאֶרְאֶה֙ וַאֲנִ֣י הָיִ֔יתִי עַל־ אוּבַ֖ל אוּלָֽי׃
そして見た 幻の–中で そして私は いた の–ほとりに 川 ウライ
H7200 H2377 H0589 H1961 H0180 H0195

בְּעֵילָ֔ם הַמְּדִינָ֑ה וָאֶרְאֶה֙ בָּֽחָזוֹן֙ וַאֲנִ֣י
エラムの 州に–ある そして見た 幻の–中で そして私は
H4082 H7200 H2377 H0589

その幻を見たのは、エラム州の首都スサにいた時であって、ウライ川のほとりにおいてであった。

3 וָאֶשָּׂ֤א עֵינַי֙ וָאֶרְאֶ֔ה וְהִנֵּ֣ה אֵ֔יל עֹמֵ֖ד לִפְנֵ֣י הָאֻבָ֑ל
そして上げた 目を そして見た そして見よ 雄羊が 立っていた の–前に 川
H5375 H7200 H2009 H0259 H5975 H6440 H0180

וְלוֹ֙ קְרָנַ֔יִם וְהַקְּרָנַ֖יִם גְּבֹהוֹת֙ וְהָאַחַ֣ת גְּבֹהָ֔ה מִן־ וְהַשֵּׁנִ֖ית
そしてそれには 角が–あった そして角は 高く そして一方が 高かった より もう一方
H1364 H1364 H0259 H1364 H8145

בָּאַחֲרֹנָֽה׃ עֹלָ֔ה וְהַגְּבֹהָ֖ה
後から 伸びた そして高い–方が
H0314 H5927 H1364

わたしが目をあげて見ると、川の岸に一匹の雄羊が立っていた。これに二つの角があって、その角は共に長かったが、一つの角は他の角よりも長かった。その長いのは後に伸びたのである。

4 רָאִ֣יתִי אֶת־ הָאַ֡יִל מְנַגֵּ֣חַ֩ יָ֨מָּה וְצָפוֹנָ֜ה וְנֶ֣גְבָּה וְכָל־ חַיּ֣וֹת
見た を 雄羊が 突きを–している 西へと そして北へと そして南へと すべての 獣は
H7200 H0853 H1361 H5055 H3220 H6828 H5045 H3605

לְאֹ־ וְאֵ֣ין מַצִּ֔יל מִיָּדוֹ֙ וְעָשָׂ֣ה
ない そしていなかった 救う–者は その–手から そして行った
H3808 H0369 H5337 H3027

וְהִגְדִּֽיל׃ לְפָנָ֖יו יַעֲמֹ֑דוּ כִּרְצֹנ֖וֹ
そして大きく–なった その–前に 立つことが–できなかった 思いの–ままに
H1431 H6440 H5975 H7522

わたしが見ていると、その雄羊は、西、北、南にむかって突撃したが、これに当ることのできる獣は一匹もなく、またその手から救い出すことのできるものもなかった。これはその心のままにふるまい、みずから高ぶっていた。

5 וַאֲנִ֣י הָיִ֔יתִי מֵבִ֔ין וְהִנֵּ֣ה צְפִיר־ הָעִזִּ֗ים בָּ֤א מִן־ הַמַּעֲרָב֙ עַל־
そして私が いた 考えていると 雄山羊が 山羊の 来た から 西 の–上を
H0589 H1961 H0995 H6842 H5795 H0935 H4628

פְּנֵ֣י כָל־ הָאָ֔רֶץ וְאֵ֥ין נוֹגֵ֖עַ בָּאָ֑רֶץ וְהַצָּפִ֣יר וְקֶ֤רֶן חָזוּת֙ בֵּ֣ין
面 全– 地を そしてない 触れていなかった 地に そして山羊には 角が 目立つ の–間に
H6440 H3605 H0776 H0369 H5060 H0776 H6842 H7162 H2380 H0996

עֵינָֽיו׃
目の

わたしがこれを考え、見ていると、一匹の雄やぎが、全地のおもてを飛びわたって西からきたが、その足は土を踏まなかった。このやぎには、目の間に著しい一つの角があった。

6

הָאֵבֶל	לִפְנֵי	עֹמֵד	רָאִיתִי	אֲשֶׁר	הַקְּרָנַיִם	בַּעַל	הָאַיִל	עַד־	וַיָּבֹא
川	の–前に	立っている	見た	その	角の	の–持ち主の	雄羊	まで	そして来た
H0180	H6440	H5975	H7200			H1167		H5704	H0935

כֹּחוֹ׃	בַּחֲמַת	אֵלָיו	וַיָּרָץ
力で	怒りの	それに–向かって	そして走った
	H2534	H0413	H7323

この者は、さきにわたしが川の岸に立っているのを見た、あの二つの角のある雄羊にむかってきて、激しく怒ってこれに走り寄った。

7

אֹתוֹ־	וַיַּכֵּהוּ	אֵלָיו	וַיִּתְמַרְמַר	הָאַיִל	אֶצֶל	וּמַגִּיעַ	וְרָאִיתִיו		
を	そして打った	それに–向かって	そして怒り狂った	雄羊	の–そばに	近づく	そして見た		
H0853	H5221	H0413	H4843		H0681	H5060	H7200		

לַעֲמֹד	בָּאַיִל	כֹּחַ	הָיָה	וְלֹא־	קְרָנָיו	שְׁתֵּי	אֶת־	וַיְשַׁבְּרֵהוּ	הָאַיִל
立つことが	雄羊に	力が	であった	そしてない	角を	二つの	を	そして折った	雄羊を
H5975			H1961	H3808		H8147	H0853	H7665	

לָאַיִל	מַצִּיל	הָיָה	וְלֹא־	וַיְרַמְּסֵהוּ	אַרְצָה	וַיַּשְׁלִיכֵהוּ	לְפָנָיו	
雄羊を	救う–者は	であった	そしてない	そして踏みつけた	地に	そして投げ倒した	その–前に	
	H5337	H1961	H3808	H7429	H0776	H7993	H6440	

מִיָּדוֹ׃	
その–手から	
H3027	

わたしが見ていると、それが雄羊に近寄るや、これにむかって怒りを発し、雄羊を撃って、その二つの角を砕いた。雄羊には、これに当る力がなかったので、やぎは雄羊を地に打ち倒して踏みつけた。また、その雄羊を、やぎの力から救いうる者がなかった。

8

הַקָּרֶן	נִשְׁבְּרָה	וּכְעָצְמוֹ	מְאֹד	עַד־	הִגְדִּיל	הָעִזִּים	וּצְפִּיר	
角が	折れた	そして強くなったとき	非常に	まで	大きく–なった	山羊の	そして雄山羊は	
	H7665		H3966	H5704	H1431	H5795	H6842	

הַשָּׁמָיִם׃	רוּחוֹת	לְאַרְבַּע	תַּחְתֶּיהָ	אַרְבַּע	חָזוּת	וַתַּעֲלֶנָה	הַגְּדוֹלָה	
天の	風の–方向へ	四つの	その–代わりに	四つの	目立つ	そして生えた	大きな	
H8064	H7307	H0702	H8478	H0702	H2380	H5927		

こうして、その雄やぎは、はなはだしく高ぶったが、その盛んになった時、あの大きな角が折れて、その代りに四つの著しい角が生じ、天の四方に向かった。

9

יֶתֶר	וַתִּגְדַּל־	מִצְּעִירָה	אַחַת	קֶרֶן־	יָצָא	מֵהֶם	הָאַחַת	וּמִן־	
非常に	そして大きく–なった	小さな	一つ	角が	出た	それらの–中の	一つの	そしてから	
	H1431	H4704	H0259		H3318	H1992	H0259		

הַצָּבִי׃	וְאֶל־	הַמִּזְרָח	וְאֶל־	הַנֶּגֶב	אֶל־		
麗しき–地	そしてに–向かって	東	そしてに–向かって	南	に–向かって		
	H0413	H4217	H0413	H5045	H0413		

その角の一つから、一つの小さい角が出て、南に向かい、東に向かい、麗しい地に向かって、はなはだしく大きくなり、

10

וּמִן־	הַצָּבָא	מִן־	אָרְצָה	וַתַּפֵּל	הַשָּׁמָיִם	צְבָא	עַד־	וַתִּגְדַּל	
から	軍勢と	から	地に	そして落とした	天の	軍勢の	まで	そして大きく–なった	
			H0776	H5307	H8064		H5704	H1431	

וַתִּרְמְסֵם׃	הַכּוֹכָבִים	
そして踏みつけた	星を	
H7429	H3556	

天の衆群に及ぶまでに大きくなり、星の衆群のうちの数個を地に投げ下して、これを踏みつけ、

11 וְעַד שַׂר־ הַצָּבָא הִגְדִּיל וּמִמֶּנּוּ הֻרִים[ ]הוּרַם(
そしてまで の–将 軍勢の 大きく–なった そして彼から 取り除かれた 取り除かれた
H5704 H8269 H1431 H7311

וְהֻשְׁלַךְ מְכוֹן מִקְדָּשׁוֹ׃ הַתָּמִיד
そして投げ倒された 場所が 聖所の 常供の–ささげが
H7993 H4349 H4720 H8548

またみずから高ぶって、その衆群の主に敵し、その常供の燔祭を取り除き、かつその聖所を倒した。

12 וְצָבָא תִּנָּתֵן עַל־ הַתָּמִיד בְּפָשַׁע וְתַשְׁלֵךְ אֱמֶת אַרְצָה
そして軍勢が 渡された に–対して 常供の–ささげ 背きの–ゆえに そして投げ捨てた 真理を 地に
H5414 H6588 H8548 H7993 H0571 H0776

וְעָשְׂתָה וְהִצְלִיחָה׃
そして行い そして成功した

そしてその衆群は、罪によって、常供の燔祭と共に、これにわたされた。その角はまた真理を地に投げうち、ほしいままにふるまって、みずから栄えた。

13 וָאֶשְׁמְעָה אֶחָד־ קָדוֹשׁ מְדַבֵּר וַיֹּאמֶר אֶחָד לַפְּלֹמוֹנִי
そして聞いた 一人の 聖なる–者が 語っているのを そして言った 一人の ある–者に
H8085 H0259 H6918 H1696 H0559 H0259 H6422

קָדוֹשׁ לְמִי־ עַד מָתַי הֶחָזוֹן הַתָּמִיד וְהַפֶּשַׁע שֹׁמֵם תֵּת וְקֹדֶשׁ
聖なる–者が 語っているのを まで いつ 幻は 常供の–ささげと そしての–背きが 荒らす 渡す そして聖所と
H6918 H1696 H5704 H4970 H2377 H8548 H6588 H8074 H5414 H6944

וְצָבָא מִרְמָס׃
そして軍勢を 踏みにじるために
H4823

それから、わたしはひとりの聖者の語っているのを聞いた。またひとりの聖者があって、その語っている聖者にむかって言った、「常供の燔祭と、荒すことをなす罪と、聖所とその衆群がわたされて、足の下に踏みつけられることについて、幻にあらわれたことは、いつまでだろうか」と。

14 וַיֹּאמֶר אֵלַי עַד עֶרֶב בֹּקֶר אַלְפַּיִם וּשְׁלֹשׁ מֵאוֹת וְנִצְדַּק קֹדֶשׁ׃
そして言った 私に まで 夕と 朝の 二千 三 百 そして清められる 聖所は
H0559 H0413 H5704 H6153 H1242 H0505 H7969 H3967 H6663 H6944

彼は言った、「二千三百の夕と朝の間である。そして聖所は清められてその正しい状態に復する」。

15 וַיְהִי בִּרְאוֹתִי אֲנִי דָּנִיֵּאל אֶת־ הֶחָזוֹן וָאֲבַקְשָׁה בִינָה וְהִנֵּה
そしてであった 見たとき 私 ダニエルが を 幻を そして求めた 理解を そして見よ
H1961 H7200 H0589 H1840 H0853 H2377 H1245 H0998 H2009

עֹמֵד לְנֶגְדִּי כְּמַרְאֵה־ גָבֶר׃
立っていた 私の–前に の–姿が–のような 男
H5975 H5048 H4758 H1397

われダニエルはこの幻を見て、その意味を知ろうと求めていた時、見よ、人のように見える者が、わたしの前に立った。

16 וָאֶשְׁמַע קוֹל־ אָדָם בֵּין אוּלָי וַיִּקְרָא וַיֹּאמַר גַּבְרִיֵּאל
そして聞いた 声を–の 人の の–間から ウライの そして呼び そして言った ガブリエルよ
H8085 H0120 H0996 H0195 H7121 H0559 H1403

הָבֵן לְהַלָּז אֶת־ הַמַּרְאֶה׃
理解させよ この–者に を 幻を
H0995 H1975 H0853 H4758

わたしはウライ川の両岸の間から人の声が出て、呼ばわるのを聞いた、「ガブリエルよ、この幻をその人に悟らせよ」。

17 וַיָּבֹא אֵצֶל עָמְדִי וּבְבֹאוֹ נִבְעַתִּי וָאֶפְלָה עַל־פָּנָי
そして来た の–そばに 私の–立つ–所に そして来たとき 恐れた そして倒れた 顔 の–上に
H0935 H0681 H5975 H0935 H1204 H5307 H6440

וַיֹּאמֶר הָבֶן לָמוֹ כִּי לְעֵת־קֵץ הֶחָזוֹן׃
そして言った 理解せよ 私に 人 の–子よ なぜなら の–時の–ために 終わり 幻は
H0559 H0995 H0413 H0120 H0120 H3588 H6256 H7093 H2377

すると彼はわたしの立っている所にきた。彼がきたとき、わたしは恐れて、ひれ伏した。しかし、彼はわたしに言った、「人の子よ、悟りなさい。この幻は終りの時にかかわるものです」。

18 וּבְדַבְּרוֹ עִמִּי נִרְדַּמְתִּי עַל־פָּנַי אַרְצָה וַיִּגַּע־בִּי
そして語ったとき 私と 深い–眠りに–落ちた の–上に 顔を 地に そして触れた 私に
H1696 H5973 H7290 H5921 H6440 H0776 H5060 H0589

וַיַּעֲמִידֵנִי עַל־עָמְדִי׃
そして立たせた の–上に 私の–立つ–所に
H5975 H5921 H5975

彼がわたしに語っていた時、わたしは地にひれ伏して、深い眠りに陥ったが、彼はわたしに手を触れ、わたしを立たせて、

19 וַיֹּאמֶר הִנְנִי מוֹדִיעֲךָ אֵת אֲשֶׁר־יִהְיֶה בְּאַחֲרִית הַזָּעַם כִּי
そして言った 見よ、私は 知らせる を の–ことを 起こる の–終わりに 怒りの なぜなら
H0559 H2009 H3045 H0853 H0834 H1961 H0319 H2195 H3588

לְמוֹעֵד קֵץ׃
の–定めの–時に 終わりの
H4150 H7093

言った、「見よ、わたしは憤りの終りの時に起るべきことを、あなたに知らせよう。それは定められた終りの時にかかわるものであるから。

20 הָאַיִל אֲשֶׁר־רָאִיתָ בַּעַל הַקְּרָנַיִם מַלְכֵי מָדַי וּפָרָס׃
雄羊は その 見た の–持ち主の 角の 王たちである メディアと ペルシアの
H0352 H0834 H7200 H1167 H7161 H4428 H4074 H6539

あなたが見た、あの二つの角のある雄羊は、メデアとペルシャの王です。

21 וְהַצָּפִיר הַשָּׂעִיר מֶלֶךְ יָוָן וְהַקֶּרֶן הַגְּדוֹלָה אֲשֶׁר בֵּין־עֵינָיו
そして雄山羊は 毛深い 王である ギリシアの そして角は 大きな その の–間に–ある 目の
H6842 H8163 H4428 H3120 H7161 H1419 H0834 H0996 H5869

הוּא הַמֶּלֶךְ הָרִאשׁוֹן׃
それは 王 第一の
H1931 H4428 H7223

また、かの雄やぎはギリシヤの王です、その目の間の大きな角は、その第一の王です。

22 וְהַנִּשְׁבֶּרֶת וַתַּעֲמֹדְנָה אַרְבַּע אַרְבַּע תַּחְתֶּיהָ אַרְבַּע מַלְכֻיוֹת מִגּוֹי יַעֲמֹדְנָה
そして折れた–ものは そして立った 四つが その–代わりに 四つの 王国が 国から 立つ
H7665 H5975 H0702 H8478 H0702 H4438 H1471 H5975

לֹא בְכֹחוֹ׃
しかしない その–力で
H3808

またその角が折れて、その代りに四つの角が生じたのは、その民から四つの国が起るのです。しかし、第一の王のような勢力はない。

23 וּבְאַחֲרִית מַלְכוּתָם כְּהָתֵם הַפֹּשְׁעִים יַעֲמֹד מֶלֶךְ עַז־פָּנִים וּמֵבִין חִידוֹת׃
そしての-終わりに その-治世の 満ちたとき 背く-者たちが 立つ 王が 強い- 顔の そして理解する 謎を
H0319 H4438 H8552 H6586 H5794 H4428 H5975 H6440 H0995 H2420

彼らの国の終りの時になり、罪びとの罪が満ちるに及んで、ひとりの王が起るでしょう。その顔は猛悪で、彼はなぞを解き、

24 וְהִצְלִיחַ וְעָצַם וְלֹא בְכֹחוֹ וְנִפְלָאוֹת יַשְׁחִית וְעָשָׂה וְהִשְׁחִית וְעַם־קְדֹשִׁים׃
そして成功し そして強くなる その-力は しかしない 自分の-力で そして恐るべきものを 滅ぼし そして行い そして滅ぼす そしての-民を 聖なる
H7843 H6381 H3808 H3027 H6099 H7843 H6918

その勢力は盛んであって、恐ろしい破壊をなし、そのなすところ成功して、有力な人々と、聖徒である民を滅ぼすでしょう。

25 וְעַל־שִׂכְלוֹ וְהִצְלִיחַ מִרְמָה בְיָדוֹ וּבִלְבָבוֹ יַגְדִּיל וּבְשַׁלְוָה יַשְׁחִית רַבִּים עַל־שַׂר שָׂרִים יַעֲמֹד וּבְאֶפֶס יָד יִשָּׁבֵר׃
そしての-上に 賂さ そして成功させる 欺きを その-手で そして心の-中で 大きく-なり そして平和の-中で 滅ぼす 多くの-者を そしてに-対して の-君 君たちの 立つ しかしない 手に-よらず 打ち砕かれる
H7922 H7962 H7843 H0571 H8269 H8269 H5975 H3027 H7665

彼は悪知恵をもって、偽りをその手におこない遂げ、みずから心に高ぶり、不意に多くの人を打ち滅ぼし、また君の君たる者に敵するでしょう。しかし、ついに彼は人手によらずに滅ぼされるでしょう。

26 וּמַרְאֵה הָעֶרֶב וְהַבֹּקֶר אֲשֶׁר נֶאֱמַר אֱמֶת הוּא וְאַתָּה סְתֹם הֶחָזוֹן כִּי לְיָמִים רַבִּים׃
そして幻は 夕と その そして朝の 語られた 真実で ある しかしあなたは 封じよ 幻を なぜなら の-日の-ためで 多くの
H4758 H6153 H0559 H0571 H1931 H0853 H1242 H3117

先に示された朝夕の幻は真実です。しかし、あなたはその幻を秘密にしておかなければならない。これは多くの日の後にかかわる事だから」。

27 וַאֲנִי דָנִיֵּאל נִהְיֵיתִי וְנֶחֱלֵיתִי יָמִים וְאֶעֱשֶׂה אֶת־מְלֶאכֶת הַמֶּלֶךְ וְאֶתְמַהּ עַל־הַמַּרְאֶה וְאֵין מֵבִין׃ פ
そして私 ダニエルは 消耗し そして病んだ 日々を そして起き上がり そして行った を 務め 王の に-ついて 幻 そしていなかった 理解する-者は
H0589 H1840 H1961 H3117 H6965 H4399 H4428 H0853 H8074 H4758 H0369 H0995

われダニエルは疲れはてて、数日の間病みわずらったが、後起きて、王の事務を執った。しかし、わたしはこの幻の事を思って驚いた。またこれを悟ることができなかった。

Chapter 9

1 בִּשְׁנַת אַחַת לְדָרְיָוֶשׁ בֶּן־אֲחַשְׁוֵרוֹשׁ מִזֶּרַע מָדָי אֲשֶׁר הָמְלַךְ
の–年に 第一 ダリウスの の–子 アハシュエロス の–子孫 メディアの その 王と–なった
H8141 H0259 H1867 H0325 H2233 H4074

עַל מַלְכוּת כַּשְׂדִּים׃
の–上に 王国 カルデアの
H4438 H3778

メデアびとアハシュエロスの子ダリヨスが、カルデヤびとの王となったその元年、

2 בִּשְׁנַת אַחַת לְמָלְכוֹ אֲנִי דָנִיֵּאל בִּינֹתִי בַּסְּפָרִים מִסְפַּר הַשָּׁנִים אֲשֶׁר
の–年に 第一 その–治世の 私 ダニエルは 理解した 書物から 数を 年の その
H8141 H0259 H4557 H1840 H0995 H0589 H8141

הָיָה דְבַר־יְהוָה אֶל־יִרְמְיָה הַנָּבִיא לְמַלֹּאות לְחָרְבוֹת יְרוּשָׁלִַם
であった 言葉が–の 主 に エレミヤ 預言者に 満たすために の–荒廃 エルサレムの
H1961 H1697 H3068 H0413 H3414 H5030 H4390 H2723 H3389

שִׁבְעִים שָׁנָה׃
七十 年を
H7657 H8141

すなわちその治世の第一年に、われダニエルは主が預言者エレミヤに臨んで告げられたその言葉により、エルサレムの荒廃の終るまでに経ねばならぬ年の数は七十年であることを、文書によって悟った。

3 וָאֶתְּנָה אֶת־פָּנַי אֶל־אֲדֹנָי הָאֱלֹהִים לְבַקֵּשׁ תְּפִלָּה וְתַחֲנוּנִים בְּצוֹם
そして向けた を 顔を に–向かって 主 神に 求めるために 祈りと 嘆願を 断食と
H5414 H0853 H6440 H0413 H0136 H0430 H1245 H8605 H8469 H6685

וְשָׂק וָאֵפֶר׃
そして荒布と そして灰で
H8242 H0665

それでわたしは、わが顔を主なる神に向け、断食をなし、荒布を着、灰をかぶって祈り、かつ願い求めた。

4 וָאֶתְפַּלְלָה לַיהוָה אֱלֹהָי וָאֶתְוַדֶּה וָאֹמְרָה אָנָּא אֲדֹנָי הָאֵל הַגָּדוֹל
そして祈った 主に 私の–神 そして告白した そして言った どうか 主よ 神よ 大いなる
H6419 H3068 H0430 H3034 H0559 H0577 H0136 H0410

וְנוֹרָא שֹׁמֵר הַבְּרִית וְהַחֶסֶד לְאֹהֲבָיו וּלְשֹׁמְרֵי מִצְוֹתָיו׃
そして畑るべき 守る–方 契約を そして憐れみを 愛する–者と そして守る–者に その–戒めを
H3372 H8104 H1285 H2617 H0157 H8104 H4687

すなわちわたしは、わが神、主に祈り、ざんげして言った、「ああ、大いなる恐るべき神、主、おのれを愛し、おのれの戒めを守る者のために契約を保ち、いつくしみを施される者よ、

5 חָטָאנוּ וְעָוִינוּ וְהִרְשַׁעְנוּ (והרשענו) וּמָרַדְנוּ וְסוֹר מִמִּצְוֹתֶיךָ
罪を–犯し そして悪を–行い 悪を–行い 悪を–行い そして反逆し そして背いた から–の
H2398 H5753 H7561 H7561 H4775 H5493 H4687

וּמִמִּשְׁפָּטֶיךָ׃
そしての–戒めと–定めから
H4941

われわれは罪を犯し、悪をおこない、よこしまなふるまいをなし、そむいて、あなたの戒めと、おきてを離れました。

6

אֶל־	בְּשֵׁמְךָ	דִּבְּרוּ	אֲשֶׁר	הַנְּבִיאִים	עֲבָדֶיךָ	אֶל־	שָׁמַעְנוּ	וְלֹא
に	御名に–より	語った	その	預言者たちに	僕たちである	に	聞かなかった	そしてない
H0413	H8034	H1696		H5030	H5650	H0413	H8085	H3808

הָאָרֶץ׃	עַם	כָּל־	וְאֶל	וַאֲבֹתֵינוּ	שָׂרֵינוּ	מְלָכֵינוּ
地の	民に	すべての	そしてに	そして先祖たちに	指導者たちと	私たちの–王たちと
H0776		H3605	H0413	H0001	H8269	H4428

われわれはまた、あなたのしもべなる預言者たちが、あなたの名をもって、われわれの王たち、君たち、先祖たち、および国のすべての民に告げた言葉に聞き従いませんでした。

7

כַּיּוֹם	הַפָּנִים	בֹּשֶׁת	וְלָנוּ	הַצְּדָקָה	אֲדֹנָי	לְךָ
の–日の–ように	顔の	恥は	そして私たちのものである	義は	主よ	あなたのものである
H3117	H6440	H1322		H6666	H0136	

הַקְּרֹבִים	יִשְׂרָאֵל	וְלִכָל־	יְרוּשָׁלַם	וּלְיוֹשְׁבֵי	יְהוּדָה	לְאִישׁ	הַזֶּה
近くの	イスラエルに	そしての–すべての	エルサレム	そしての–住民に	ユダ	の–人に	この
H7138	H3478	H3605	H3389	H3427	H3063	H0376	H2088

מָעֲלוּ־	אֲשֶׁר	בְּמַעַלָם	שָׁם	הִדַּחְתָּם	אֲשֶׁר	הָאֲרָצוֹת	בְּכָל־	וְהָרְחֹקִים
背いた	その	の–背きの–ゆえに	そこに	追い散らした	その	地に	の–すべての	そして遠くの
H4603		H4604	H8033	H5080		H0776	H3605	H7350

בָּךְ׃
あなたに

主よ、正義はあなたのものですが、恥はわれわれに加えられて、今日のような有様です。すなわちユダの人々、エルサレムの住民および全イスラエルの者は、近き者も、遠き者もみな、あなたが追いやられたすべての国々で恥をこうむりました。これは彼らがあなたにそむいて犯した罪によるのです。

8

וְלַאֲבֹתֵינוּ	לְשָׂרֵינוּ	לְמַלְכֵינוּ	הַפָּנִים	בֹּשֶׁת	לָנוּ	יְהוָה
そして先祖たちの	指導者たちと	私たちの–王たちと	顔の	恥は	私たちのものである	主よ
H0001	H8269	H4428	H6440	H1322		H3068

לָךְ׃	חָטָאנוּ	אֲשֶׁר
あなたに–対して	罪を–犯した	その
	H2398	

主よ、恥はわれわれのもの、われわれの王たち、君たちおよび先祖たちのものです。これはわれわれがあなたにむかって罪を犯したからです。

9

בּוֹ׃	מָרַדְנוּ	כִּי	וְהַסְלִחוֹת	הָרַחֲמִים	אֱלֹהֵינוּ	לַאדֹנָי
彼に	反逆した	なぜなら	赦しは	憐れみと	私たちの–神の	主のものである
	H4775		H5547		H0430	H0136

あわれみと、ゆるしはわれわれの神、主のものです。これはわれわれが彼にそむいたからです。

10

אֲשֶׁר	בְּתוֹרֹתָיו	לָלֶכֶת	אֱלֹהֵינוּ	יְהוָה	בְּקוֹל	שָׁמַעְנוּ	וְלֹא
その	その–律法に–従い	歩むために	私たちの–神の	主	の–声に	聞かなかった	そしてない
	H8451	H3212	H0430	H3068		H8085	H3808

הַנְּבִיאִים׃	עַבָדָיו	בְּיַד	לְפָנֵינוּ	נָתַן
預言者たちの	僕たちである	の–手を–通して	私たちの–前に	与えた
H5030	H5650	H3027	H6440	H5414

またわれわれの神、主のみ声に聞き従わず、主がそのしもべ預言者たちによって、われわれの前に賜わった律法を行わなかったからです。

11 וְכָל־ יִשְׂרָאֵל עָבְרוּ אֶת־ תּוֹרָתֶךָ וְסוֹר לְבִלְתִּי שְׁמֹעַ
そしてすべての イスラエルは 破った を 律法を そして背いて ないように 聞くことを
H3605 H3478 H5493 H0853 H8451 H5493 H1115 H8085

בְּקֹלֶךָ וַתִּתַּךְ עָלֵינוּ הָאָלָה וְהַשְּׁבֻעָה אֲשֶׁר כְּתוּבָה בְּתוֹרַת
御声に そして注がれた 私たちの-上に 呪いと そして誓いが その 書かれている の-律法に
H8085 H5413 H0423 H7621 H0423 H3789 H8451

מֹשֶׁה עֶבֶד־ הָאֱלֹהִים כִּי חָטָאנוּ לוֹ׃
モーセ の-僕の 神の なぜなら 罪を-犯した 彼に-対して
H4872 H5650 H0430 H2398

まことにイスラエルの人々は皆あなたの律法を犯し、離れ去って、あなたのみ声に聞き従わなかったので、神のしもべモーセの律法にしるされたのろいと誓いが、われわれの上に注ぎかかりました。これはわれわれが神にむかって罪を犯したからです。

12 וַיָּקֶם אֶת־ דְּבָרָיו[דברין] אֲשֶׁר־ דִּבֶּר עָלֵינוּ וְעַל
を そして成就させた 言葉を 言葉を その 語った 私たちに-対して そしてに-対して
H0853 H1697 H1697 H1696

שֹׁפְטֵינוּ אֲשֶׁר שָׁפְטוּנוּ לְהָבִיא עָלֵינוּ רָעָה גְדֹלָה אֲשֶׁר לֹא־
裁き人たち その 裁いた もたらすために 私たちの-上に 災いを 大きな その ない
H8199 H8199 H0935 H8199 H3808

נֶעֱשְׂתָה כַּאֲשֶׁר נֶעֱשְׂתָה תַּחַת כָּל־ הַשָּׁמַיִם בִּירוּשָׁלָ͏ִם׃
行われたことのない の-下で すべての 天 の-ように 行われた エルサレムに
H3389 H8478 H3605 H8064 H3389

すなわち神は大いなる災をわれわれの上にくだして、さきにわれわれと、われわれを治めたつかさたちにむかって告げられた言葉を実行されたのです。あのエルサレムに臨んだような事は、全天下にいまだかつてなかった事です。

13 כַּאֲשֶׁר כָּתוּב בְּתוֹרַת מֹשֶׁה אֵת כָּל־ הָרָעָה הַזֹּאת בָּאָה
の-ように 書かれている の-律法に モーセの を すべての 災いが この 来た
H3789 H8451 H4872 H0853 H3605 H7451 H2063 H0935

עָלֵינוּ וְלֹא־ חִלִּינוּ אֶת־ פְּנֵי יְהוָה אֱלֹהֵינוּ לָשׁוּב
私たちの-上に そしてない なだめなかった を 御顔を 主 私たちの-神の 立ち返るために
H3808 H2470 H0853 H6440 H3068 H0430 H7725

מֵעֲוֹנֵנוּ וּלְהַשְׂכִּיל בַּאֲמִתֶּךָ׃
から-の-咲から そして悟るために の-真理を
H5771 H7919 H0571

モーセの律法にしるされたように、この災はすべてわれわれに臨みましたが、なおわれわれの神、主の恵みを請い求めることをせず、その不義を離れて、あなたの真理を悟ることをもしませんでした。

14 וַיִּשְׁקֹד יְהוָה עַל־ הָרָעָה וַיְבִיאֶהָ עָלֵינוּ כִּי־ צַדִּיק
そして見張った 主は の-上に 災いを そしてもたらした 私たちの-上に なぜなら 義である
H8245 H3068 H5921 H7451 H0935 H5921 H3588 H6662

יְהוָה אֱלֹהֵינוּ אֲשֶׁר עָשָׂה אֵת כָּל־ מַעֲשָׂיו וְלֹא שָׁמַעְנוּ
主は 私たちの-神は の-上に すべての 御業に-おいて その 行った ない 聞かなかった
H3068 H0430 H5921 H3605 H4639 H0834 H6213 H3808 H8085

בְּקֹלוֹ׃
その-声に

それゆえ、主はこれを心に留めて、災をわれわれに下されたのです。われわれの神、主は、何事をされるにも、正しくあらせられます。ところが、われわれはそのみ声に聞き従わなかったのです。

15 וְעַתָּה אֲדֹנָי אֱלֹהֵינוּ אֲשֶׁר הוֹצֵאתָ אֶת־עַמְּךָ מֵאֶרֶץ מִצְרַיִם בְּיָד
そして今 主よ 私たちの–神よ その 導き–出した を 民を から–の エジプト の–手で
H6258 H0136 H0430 H0853 H3318 H0776 H4714 H3027

חֲזָקָה וַתַּעַשׂ־לְךָ שֵׁם כַּיּוֹם הַזֶּה חָטָאנוּ רָשָׁעְנוּ׃
強い そして得た 御自分に 名を の–日の–ように この 罪を–犯した 悪を–行った
H2389 H6213 H8034 H3117 H2088 H2398 H7561

われわれの神、主よ、あなたは強きみ手をもって、あなたの民をエジプトの地から導き出して、今日のように、み名をあげられました。われわれは罪を犯し、よこしまなふるまいをしました。

16 אֲדֹנָי כְּכָל־צִדְקֹתֶךָ יָשָׁב־נָא אַפְּךָ וַחֲמָתְךָ מֵעִירְךָ
主よ の–すべての–に従い 義の–業 立ち返らせて–ください どうか 怒りと 憤りを から–の
H0136 H3605 H6666 H7725 H4994 H0639 H2534

יְרוּשָׁלַ͏ִם הַר־קָדְשֶׁךָ כִּי בַחֲטָאֵינוּ וּבַעֲוֹנוֹת אֲבֹתֵינוּ יְרוּשָׁלַ͏ִם
エルサレム の–山 聖なる なぜなら の–罪の–ゆえに そしての–咲の–ゆえに 先祖たちの エルサレムと
H3389 H2022 H6944 H3588 H2399 H5771 H0001 H3389

וְעַמְּךָ לְחֶרְפָּה לְכָל־סְבִיבֹתֵינוּ׃
そして民は 脅りと–なっている の–すべてに 回りの
H6258 H2781 H3605 H5439

主よ、どうぞあなたが、これまで正しいみわざをなされたように、あなたの町エルサレム、あなたの聖なる山から、あなたの怒りと憤りとを取り去ってください。これはわれわれの罪と、われわれの先祖の不義のために、エルサレムと、あなたの民が、われわれの周囲の者の物笑いとなったからです。

17 וְעַתָּה שְׁמַע אֱלֹהֵינוּ אֶל־תְּפִלַּת עַבְדְּךָ וְאֶל־תַּחֲנוּנָיו
そして今 聞いてください 私たちの–神よ に 祈りを 僕の そしてに 嘆願を
H6258 H8085 H0430 H0413 H8605 H5650 H0413 H8469

וְהָאֵר פָּנֶיךָ עַל־מִקְדָּשְׁךָ הַשָּׁמֵם לְמַעַן אֲדֹנָי׃
そして輝かせてください 御顔を の–上に 聖所の 荒れた のために 主よ
H0215 H6440 H0413 H4720 H8074 H4616 H0136

それゆえ、われわれの神よ、しもべの祈と願いを聞いてください。主よ、あなたご自身のために、あの荒れたあなたの聖所に、あなたのみ顔を輝かせてください。

18 הַטֵּה אֱלֹהַי וּשְׁמַע פְּקַח־עֵינֶיךָ וּרְאֵה שֹׁמְמֹתֵינוּ וְהָעִיר
傾けてください 私の–神よ そして聞いてください 開いてください 目を そして見てください 荒廃を–私たちの そして都を
H5186 H0430 H8085 H6491 H6491 H0241 H7200 H8074 H5892

אֲשֶׁר־נִקְרָא שִׁמְךָ עָלֶיהָ כִּי לֹא עַל־צִדְקֹתֵינוּ אֲנַחְנוּ מַפִּילִים
その 呼ばれている 御名が その–上に なぜなら ない の–上に 義の–業 私たちは 捨てている
H7121 H8034 H5921 H3588 H3808 H5921 H6666 H0587 H5307

תַּחֲנוּנֵינוּ לְפָנֶיךָ כִּי עַל־רַחֲמֶיךָ הָרַבִּים׃
嘆願を 御前に それは の–上に 憐れみ 大きな
H8469 H6440 H3588 H5921 H7356 H7227

わが神よ、耳を傾けて聞いてください。目を開いて、われわれの荒れたさまを見、み名をもってとなえられる町をごらんください。われわれがあなたの前に祈をささげるのは、われわれの義によるのではなく、ただあなたの大いなるあわれみによるのです。

19 וַאֲדֹנָי שְׁמָעָה וַאדֹנָי סְלָחָה אֲדֹנָי הַקְשִׁיבָה וַעֲשֵׂה
主よ 聞いてください 主よ 赦してください 主よ 耳を-傾けてください そして行ってください
H0136 H8085 H0136 H5545 H0136 H7181

אַל־ תְּאַחַר לְמַעַנְךָ אֱלֹהַי כִּי־ שִׁמְךָ נִקְרָא עִירְךָ וְעַל־
ない 遅れないでください の-ために 私の-神よ なぜなら 御名が 呼ばれている 都と そして
H0408 H0309 H4616 H0430 H3068 H8034 H7121 H5921

עַמֶּךָ׃ וְעַל־
民の そしての-上に

主よ、聞いてください。主よ、ゆるしてください。主よ、み心に留めて、おこなってください。わが神よ、あなたご自身のために、これを延ばさないでください。あなたの町と、あなたの民は、み名をもってとなえられているからです」。

20 וְעוֹד אֲנִי מְדַבֵּר וּמִתְפַּלֵּל וּמִתְוַדֶּה חַטָּאתִי וְחַטַּאת עַמִּי
そしてなお 私が 語り そして祈り そして告白していた 私の-罪と そしての-罪を 私の-民
H5750 H0589 H1696 H6419 H3034 H2403 H5921

יִשְׂרָאֵל וּמַפִּיל תְּחִנָּתִי לִפְנֵי יְהוָה אֱלֹהַי עַל הַר־ קֹדֶשׁ
イスラエルの そして捨てていた 嘆願を の-前に 主 私の-神に の-ために の-山 聖なる
H3478 H5307 H8467 H6440 H3068 H0430 H5921 H2022 H6944

אֱלֹהָי׃
私の-神の
H0430

わたしがこう言って祈り、かつわが罪とわが民イスラエルの罪をざんげし、わが神の聖なる山のために、わが神、主の前に願いをしていたとき、

21 וְעוֹד אֲנִי מְדַבֵּר בַּתְּפִלָּה וְהָאִישׁ גַּבְרִיאֵל אֲשֶׁר רָאִיתִי בֶּחָזוֹן
そしてなお 私が 語っていた 祈りの-中で そして人が ガブリエル その 見た 幻の-中で
H5750 H0589 H1696 H8605 H0376 H1403 H0834 H7200 H2377

בַּתְּחִלָּה מֻעָף בִּיעָף נֹגֵעַ אֵלַי כְּעֵת מִנְחַת־ עֶרֶב׃
初めに 飛び-来た 素早く 触れた 私に の-時に の-ささげ 夕べの
H8462 H3286 H3288 H5060 H0413 H6256 H4503 H6153

すなわちわたしが祈の言葉を述べていたとき、わたしが初めに幻のうちに見た、かの人ガブリエルは、すみやかに飛んできて、夕の供え物をささげるころ、わたしに近づき、

22 וַיָּבֶן וַיְדַבֶּר עִמִּי וַיֹּאמַר דָּנִיֵּאל עַתָּה יָצָאתִי
そして解き明かした そして語った 私と そして言った ダニエルよ 今 出て-来た
H0995 H1696 H0559 H1840 H6258 H3318

לְהַשְׂכִּילְךָ בִינָה׃
理解させるために 悟りを
H0998

わたしに告げて言った、「ダニエルよ、わたしは今あなたに、知恵と悟りを与えるためにきました。

23 בִּתְחִלַּת תַּחֲנוּנֶיךָ יָצָא דָּבָר וַאֲנִי בָּאתִי לְהַגִּיד כִּי חֲמוּדוֹת
の-初めに 嘆願の 出た 言葉が そして私は 来た 告げるために なぜなら 愛されている
H8462 H8469 H3318 H1697 H0589 H0935 H5046 H3588 H2532

אָתָּה וּבִין בַּדָּבָר וְהָבֵן בַּמַּרְאֶה׃
あなたは そして悟れ 言葉を そして理解せよ 幻を
H0859 H0995 H1697 H0995 H4758

あなたが祈を始めたとき、み言葉が出たので、それをあなたに告げるためにきたのです。あなたは大いに愛せられている者です。ゆえに、このみ言葉を考えて、この幻を悟りなさい。

24 שָׁבֻעִים שִׁבְעִים נֶחְתַּךְ עַל־ וְעַל־ עִיר קָדְשֶׁךָ לְכַלֵּא
週が 七十 定められた の-上に そしての-上に 都 聖なる 終わらせるために
H7620 H7657 H2852 H6944 H3607

הַפֶּשַׁע וּלְחתם| |וּלְהָתֵם)(|חטאות| חַטָּאת)(וּלְכַפֵּר עָוֹן
背きを そして封じるために そして封じるために 罪を 罪を 贖うために 咲を
H6588 H2856 H8552 H2403 H5771

וְלִמְשֹׁחַ וְנָבִיא חָזוֹן וְלַחְתֹּם עֹלָמִים צֶדֶק וּלְהָבִיא
そして油注ぐために そして預言を 幻と そして封じるために 永遠の 義を そしてもたらすために
H4886 H5030 H2377 H2856 H5769 H6664 H0935

קֹדֶשׁ קָדָשִׁים׃
聖なる 至聖所を
H6944 H6944

あなたの民と、あなたの聖なる町については、七十週が定められています。これはとがを終らせ、罪に終りを告げ、不義をあがない、永遠の義をもたらし、幻と預言者を封じ、いと聖なる者に油を注ぐためです。

25 וְתֵדַע וְתַשְׂכֵּל מִן־ מֹצָא דָבָר לְהָשִׁיב וְלִבְנוֹת יְרוּשָׁלַ͏ִם
そして知れ そして悟れ から の-出る 言葉の 回復するために そして建てるために エルサレムを
H3045 H7919 H4480 H4161 H1697 H7725 H1129 H3389

עַד־ נָגִיד שָׁבֻעִים שִׁבְעָה וְשָׁבֻעִים שִׁשִּׁים וּשְׁנַיִם תָּשׁוּב
までの 君主 週が 七つ そして週が 六十 二 建て-直される
H5704 H5057 H7620 H7651 H7620 H8346 H8147 H7725

וְחָרוּץ וּבְצוֹק הָעִתִּים׃
そして堀とが そしての-苦しみの 時に
H2742 H1227 H6256

וְנִבְנְתָה רְחוֹב
そして建てられる 広場と
H1129 H7339

それゆえ、エルサレムを建て直せという命令が出てから、メシヤなるひとりの君が来るまで、七週と六十二週あることを知り、かつ悟りなさい。その間に、しかも不安な時代に、エルサレムは広場と街路とをもって、建て直されるでしょう。

26 וְאַחֲרֵי הַשָּׁבֻעִים שִׁשִּׁים וּשְׁנַיִם יִכָּרֵת מָשִׁיחַ וְאֵין לוֹ וְהָעִיר
そしての-後 週の 六十 二 断たれる 油注がれた-者は そしてない 彼には そして都と
H7620 H8346 H8147 H3772 H4899 H0369

וְעַד קֵץ שֶׁטֶף בַּשֶּׁטֶף וְקִצּוֹ הַבָּא נָגִיד עַם וְהַקֹּדֶשׁ יַשְׁחִית
そしてまで 終わり 洪水の-ように そしてその-終わりは 来る 君主の 民が 滅ぼす そして聖所を
H5704 H7093 H7858 H7093 H0935 H5057 H5971 H7843 H6944

שֹׁמֵמוֹת׃ נֶחֱרֶצֶת מִלְחָמָה
荒廃が 定められている 戦いが
H8074 H2782 H4421

その六十二週の後にメシヤは断たれるでしょう。ただし自分のためにではありません。またきたるべき君の民は、町と聖所とを滅ぼすでしょう。その終りは洪水のように臨むでしょう。そしてその終りまで戦争が続き、荒廃は定められています。

27 וְהִגְבִּיר בְּרִית לָרַבִּים שָׁבוּעַ אֶחָד וַחֲצִי הַשָּׁבוּעַ וְהִשְׁבִּית
そしてその契約を多くの者のために一週の間強くする。そして半ばに週の犠牲と供え物とを廃するでしょう。
H1285 H7620 H0259 H2677 H7620 H1396

וְעַד־ כָּנָף שִׁקּוּצִים מְשֹׁמֵם וְעַל וּמִנְחָה זֶבַח
また荒す者が憎むべき者の翼に乗って来るでしょう。こうしてついにその定まった終りが、その荒す者の上に注がれるのです」。
H5704 H3671 H8074 H8251 H5413 H4503 H2077

פ שֹׁמֵם׃ עַל־ תִּתָּךְ וְנֶחֱרָצָה כָּלָה
— 荒らす者の の上に 注がれる そして定められたものが 終わりと
H8074 H5413 H2782 H3617

Chapter 10

1 בִּשְׁנַת שְׁלוֹשׁ לְכוֹרֶשׁ מֶלֶךְ פָּרַס דָּבָר נִגְלָה לְדָנִיֵּאל אֲשֶׁר־
その ダニエルに 啓示された 言葉が ペルシアの 王 キュロスの 第三 の年に
H1840 H1540 H1697 H6539 H4428 H3566 H7969 H8141

וּבִין וְגָדוֹל וְצָבָא הַדָּבָר וְאֱמֶת בֶּלְטְשַׁאצַּר שְׁמוֹ נִקְרָא
そして理解した 大きな そして戦いの 言葉は そして真実で ベルテシャツァルと 名が 呼ばれていた
H0995 H1697 H0571 H1095 H8034 H7121

בַּמַּרְאֶה׃ לוֹ וּבִינָה הַדָּבָר אֶת־
幻について 彼に そして理解が 言葉を を
H4758 H0998 H1697 H0853

ペルシャの王クロスの第三年に、ベルテシャザルと名づけられたダニエルに、一つの言葉が啓示されたが、その言葉は真実であり、大いなる戦いを意味するものであった。彼はその言葉に心を留め、その幻を悟った。

2 יָמִים׃ שָׁבֻעִים שְׁלֹשָׁה מִתְאַבֵּל הָיִיתִי דָּנִיֵּאל אֲנִי הָהֵם בַּיָּמִים
日々 週の 三 嘆き悲しみ いた ダニエルは 私 その の日々に
H3117 H7620 H7969 H0056 H1961 H1840 H0589 H1992 H3117

そのころ、われダニエルは三週の間、悲しんでいた。

3 פִּי אֶל־ בָּא לֹא־ יַיִן וּבָשָׂר אָכַלְתִּי לָא חֲמֻדּוֹת לֶחֶם
口 に 入らなかった ない ぶどう酒も そして肉も 食べなかった ない 美味な パンを
H6310 H0413 H0935 H3808 H3196 H1320 H0398 H3808 H3899

פ יָמִים׃ שָׁבֻעִים שְׁלֹשֶׁת מְלֹאת עַד־ סָכְתִּי לֹא־ וְסוֹךְ
— 日々が 週の 三 満ちる まで 塗らなかった ない そして油を
H3117 H7620 H7969 H4390 H5704 H5480 H3808 H5480

すなわち三週間の全く満ちるまでは、うまい物を食べず、肉と酒とを口にせず、また身に油を塗らなかった。

4 וּבְיוֹם עֶשְׂרִים וְאַרְבָּעָה לַחֹדֶשׁ הָרִאשׁוֹן וַאֲנִי הָיִיתִי עַל יַד־
そしての日に 二十 そして四 の月の 第一の そして私は いた の ほとりに 岸
H3117 H6242 H0702 H2320 H7223 H0589 H1961 H5921 H3027

חִדֶּקֶל׃ הוּא הַגָּדוֹל הַנָּהָר
ティグリスである それは 大きな 川の
H2313 H1931 H1419 H5104

正月の二十四日に、わたしがチグリスという大川の岸に立っていたとき、

5

בַּדִּים	לָבוּשׁ	אֶחָד	אִישׁ־	וְהִנֵּה	וָאֶרְא	עֵינַי	אֶת־	וָאֶשָּׂא
亜麻の	衣を-着た	一人	人が	そして見よ	そして見た	目を	を	そして上げた
H0906	H3847	H0259	H0376	H2009	H7200		H0853	H5375

:אוּפָז	בְּכֶתֶם	חֲגֻרִים	וּמָתְנָיו
ウファズの	の-純金で	帯びていた	そして腰には
H0210	H3800	H2296	H4975

目をあげて望み見ると、ひとりの人がいて、亜麻布の衣を着、ウパズの金の帯を腰にしめていた。

6

כְּלַפִּידֵי	וְעֵינָיו	בָּרָק	כְּמַרְאֵה	וּפָנָיו	כְּתַרְשִׁישׁ	וּגְוִיָּתוֹ	
の-松明の-ようで	そして目は	稲妻の	の-姿の-ようで	そして顔は	緑柱石の-ようで	そして体は	
H3940			H4758	H6440	H8658	H1472	

דִּבְרֵיו	וְקוֹל	קֶלֶל	נְחֹשֶׁת	כְּעֵין	וּמַרְגְּלֹתָיו	וּזְרֹעֹתָיו	אֵשׁ	
言葉の	そして声は	磨かれた	青銅の	の-輝きの-ようで	そして足は	そして腕と	火の	
H1697		H7044			H4772	H2220	H0784	

:הָמוֹן	כְּקוֹל
群衆の	の-声の-ようで

そのからだは緑柱石のごとく、その顔は電光のごとく、その目は燃えるたいまつのごとく、その腕と足は、みがいた青銅のように輝き、その言葉の声は、群衆の声のようであった。

7

עִמִּי	הָיוּ	אֲשֶׁר	וְהָאֲנָשִׁים	הַמַּרְאָה	אֶת־	לְבַדִּי	דָּנִיֵּאל	אֲנִי	וְרָאִיתִי
私と-共に	いた	その	そして人々は	幻を	を	一人だけ	ダニエルは	私	そして見た
	H1961		H0376		H0853	H0905	H1840	H0589	H7200

וַיִּבְרְחוּ	עֲלֵיהֶם	נָפְלָה	גְדֹלָה	חֲרָדָה	אֲבָל	הַמַּרְאָה	אֶת־	רָאוּ	לֹא
そして逃げた	彼らの-上に	落ちた	大きな	恐れが	しかし	幻を	を	見なかった	ない
H1272		H5307		H2731	H0061		H0853	H7200	H3808

:בְּהֶחָבֵא
隠れるために
H2244

この幻を見た者は、われダニエルのみであって、わたしと共にいた人々は、この幻を見なかったが、彼らは大いにおののいて、逃げかくれた。

8

וְלֹא	הַזֹּאת	הַגְּדֹלָה	הַמַּרְאָה	אֶת־	וָאֶרְאֶה	לְבַדִּי	נִשְׁאַרְתִּי	וַאֲנִי	
そしてない	この	大きな	幻を	を	そして見た	一人だけ	残された	そして私は	
H3808	H2063			H0853	H7604	H0905	H7604	H0589	

וְלֹא	לְמַשְׁחִית	עָלַי	נֶהְפַּךְ	וְהוֹדִי	כֹּחַ	בִּי	נִשְׁאַר־
そしてない	衰えに	私の-上に	変わった	そして輝きが	力が	私には	残らなかった
H3808	H4889		H2015	H1935			H7604

:כֹּחַ	עָצָרְתִּי
力を	保てなかった
	H6113

それでわたしひとり残って、この大いなる幻を見たので、力が抜け去り、わが顔の輝きは恐ろしく変って、全く力がなくなった。

9 וָאֶשְׁמַע אֶת־ קוֹל דִּבְרֵיו וּכְשָׁמְעִי דִּבְרֵי קוֹל אֶת־ וַאֲנִי הָיֵיתִי
を 声を 言葉の そして聞いたとき を 声を 言葉の そして聞いた 私は いた
H8085 H0853 H1697 H8085 H0853 H1697 H0589 H1961

נִרְדָּם פָּנַי עַל־ וּפָנַי אָרְצָה׃
深い–眠りに–落ちて 顔 の–上に そして顔を 地に–向けて
H7290 H6440 H6440 H0776

わたしはその言葉の声を聞いたが、その言葉の声を聞いたとき、顔を伏せ、地にひれ伏して、深い眠りに陥った。

10 וְהִנֵּה־ יָד נָגְעָה בִּי וַתְּנִיעֵנִי עַל־ בִּרְכַּי וְכַפּוֹת יָדָי׃
そして見よ 手が 触れた 私に そして動かした 膝と の–上に そして掌の–上に 手の
H2009 H3027 H5060 H0413 H5128 H1290 H3709 H3027

見よ、一つの手があって、わたしに触れたので、わたしは震えながらひざまずき、手をつくと、

11 וַיֹּאמֶר אֵלַי דָּנִיֵּאל אִישׁ־ חֲמֻדוֹת הָבֵן בַּדְּבָרִים אֲשֶׁר אָנֹכִי דֹבֵר
そして言った 私に ダニエルよ の–人よ 愛された 理解せよ 言葉を その 私が 語る
H0559 H0413 H1840 H0376 H2532 H0995 H1697 H0834 H0595 H1696

וּבְדַבְּרוֹ אֵלֶיךָ שֻׁלַּחְתִּי עַתָּה כִּי עָמְדְךָ עַל־ וַעֲמֹד אֵלֶיךָ
そして語ったとき あなたに 遣わされた 今 なぜなら 立つ–所に の–上に そして立て あなたに
H1696 H0413 H7971 H6258 H3588 H5975 H5921 H5975 H0413

עִמִּי אֶת־ הַדָּבָר הַזֶּה עָמַדְתִּי מַרְעִיד׃
私と を 言葉を この 立った 震えながら
H0854 H1697 H2088 H5975 H7460

彼はわたしに言った、「大いに愛せられる人ダニエルよ、わたしがあなたに告げる言葉に心を留め、立ちあがりなさい。わたしは今あなたのもとにつかわされたのです」。彼がこの言葉をわたしに告げているとき、わたしは震えながら立ちあがった。

12 וַיֹּאמֶר אֵלַי אַל־ תִּירָא דָּנִיֵּאל כִּי מִן־ הַיּוֹם הָרִאשׁוֹן אֲשֶׁר
そして言った 私に ない 恐れるな ダニエルよ なぜなら から 日の 最初の その
H0559 H0413 H0408 H3372 H1840 H3588 H4480 H3117 H7223 H0834

נָתַתָּ לְבָבְךָ לְהָבִין וּלְהִתְעַנּוֹת לִפְנֵי אֱלֹהֶיךָ נִשְׁמְעוּ דְבָרֶיךָ
定めた 心を 理解するために そしてへりくだるために の–前で 神 聞かれた 言葉は
H5414 H0853 H0995 H6031 H6440 H0430 H8085 H1697

בִּדְבָרֶיךָ׃ בָּאתִי וַאֲנִי־
の–言葉の–ゆえに 来た そして私は
H1697 H0935 H0589

すると彼はわたしに言った、「ダニエルよ、恐れるに及ばない。あなたが悟ろうと心をこめ、あなたの神の前に身を悩ましたその初めの日から、あなたの言葉は、すでに聞かれたので、わたしは、あなたの言葉のゆえにきたのです。

13 וְהִנֵּה יוֹם וְאֶחָד עֶשְׂרִים לְנֶגְדִּי עֹמֵד פָּרַס מַלְכוּת וְשַׂר
そして見よ 日 一 二十 私の–前に 立っていた ペルシアの 王国の そしての–君
H2009 H3117 H0259 H6242 H5048 H5975 H6539 H4438 H8269

שָׁם נוֹתַרְתִּי וַאֲנִי לְעָזְרֵנִי בָּא הָרִאשֹׁנִים הַשָּׂרִים אַחַד מִיכָאֵל
そこに 残された そして私は 助けるために 来た 第一の 君たちの 一人の ミカエルが
H8033 H3498 H0589 H5826 H0935 H7223 H8269 H0259 H4317

אֵצֶל מַלְכֵי פָּרָס׃
の–そばに 王たち ペルシアの
H0681 H4428 H6539

ペルシャの国の君が、二十一日の間わたしの前に立ちふさがったが、天使の長のひとりであるミカエルがきて、わたしを助けたので、わたしは、彼をペルシャの国の君と共に、そこに残しておき、

14 וּבָאתִי לַהֲבִינְךָ אֵת אֲשֶׁר־יִקְרֶה לְעַמְּךָ בְּאַחֲרִית הַיָּמִים כִּי־עוֹד חָזוֹן לַיָּמִים׃
そして来た を 理解させるために を その 降りかかることを 民に の–終わりに 日々の
H0935 H0853 H0995 H0853 H0834 H7136 H0776 H0319 H3117
H2377 H5750 H3117

末の日に、あなたの民に臨まんとする事を、あなたに悟らせるためにきたのです。この幻は、なおきたるべき日にかかわるものです」。

15 וּבְדַבְּרוֹ עִמִּי כַּדְּבָרִים הָאֵלֶּה נָתַתִּי פָנַי אַרְצָה וָאֶאֱלָמָה׃
そして語ったとき 私と の–言葉の–ように これらの 向けた 顔を 地に そして黙った
H1696 H5973 H1697 H0428 H5414 H6440 H0776 H0481

彼がこれらの言葉を、わたしに述べていたとき、わたしは、地にひれ伏して黙っていたが、

16 וְהִנֵּה כִּדְמוּת בְּנֵי אָדָם נֹגֵעַ שְׂפָתָי עַל־פִּי וָאֶפְתַּח־פִּי וָאֲדַבְּרָה וָאֹמְרָה אֶל־הָעֹמֵד לְנֶגְדִּי אֲדֹנִי בַּמַּרְאָה נֶהֶפְכוּ עָלַי צִירַי וְלֹא עָצַרְתִּי כֹחַ׃
そして見よ の–姿の–ような 人の 子の 触れた 唇 の–上に 口を そして開いた そして語り そして言った に 立っている–方に 主よ 私の–前に 幻に–よって 変わった 私の–上に そしてない 保てなかった 力を
H2009 H1823 H0120 H5060 H8193 H5921 H6310 H6605 H1696 H0559 H0413 H5975 H0113 H5048 H4759 H2015 H5921 H3808 H6113 H3581

見よ、人の子のような者が、わたしのくちびるにさわったので、わたしは口を開き、わが前に立っている者に語って言った、「わが主よ、この幻によって、苦しみがわたしに臨み、全く力を失いました。

17 וַאֲנִי זֶה אֲדֹנִי עִם־לְדַבֵּר זֶה אֲדֹנִי עֶבֶד יוּכַל וְתֵיךְ וְעַתָּה לֹא־יַעֲמָד־בִּי כֹחַ וְנִשְׁאֲרָה־בִּי׃
そして私は この 主 と 語ることが この 主の 僕が できようか そしてどうして 今から ない 立てない 私には 力が そして息も 残ってない 私には
H0589 H2088 H0113 H5973 H1696 H2088 H0113 H5650 H3201 H1963 H6258 H3808 H5975 H0518 H5397 H7604 H0589

わが主のしもべは、どうしてわが主と語ることができましょう。わたしは全く力を失い、息も止まるばかりです」。

18 וַיֹּסֶף וַיִּגַּע־בִּי כְּמַרְאֵה אָדָם וַיְחַזְּקֵנִי׃
そして再び そして触れた 私に の–姿の–ような 人の そして強めた
H3254 H5060 H0413 H4758 H0120 H2388

人の形をした者は、再びわたしにさわり、わたしを力づけて、

19 וַיֹּאמֶר אַל־תִּירָא אִישׁ־חֲמֻדוֹת שָׁלוֹם לָךְ חֲזַק חֲזַק וַחֲזַק וּבְדַבְּרוֹ עִמִּי וָאֹמְרָה הִתְחַזַּקְתִּי וַאדֹנִי דַּבֵּר כִּי חִזַּקְתָּנִי׃
そして言った ない–に 恐れるな の–人よ 愛された 平安が あなたに 強くあれ 強くあれ そして強くあれ そして語ったとき 私と 強められた そして言った 語ってください 主よ なぜなら 強めてくださった
H0559 H0408 H3372 H0376 H2530 H7965 H0859 H2388 H2388 H2388 H1696 H5973 H2388 H0559 H1696 H0113 H3588 H2388

言った、「大いに愛せられる人よ、恐れるには及ばない。安心しなさい。心を強くし、勇気を出しなさい」。彼がこう言ったとき、わたしは力づいて言った、「わが主よ、語ってください。あなたは、わたしに力をつけてくださったから」。

20 וַיֹּ֣אמֶר הֲיָדַ֗עְתָּ לָמָּה־בָּ֤אתִי אֵלֶ֙יךָ֙ וְעַתָּ֣ה אָשׁ֔וּב לְהִלָּחֵ֖ם עִם־
そして言った 知っているか なぜ 来たかを あなたに そして今 帰る 戦うために と
H0559 H3045 H4100 H0935 H0413 H6258 H7725

שַׂ֥ר יָוָ֖ן בָּֽא׃ וְאֲנִי֙ יוֹצֵ֔א וְהִנֵּ֥ה שַׂר־פָּרָ֖ס בָּ֑א
の–君が ギリシアの 来る そして私が 出て–行くと そして見よ の–君が ペルシアの 来る
H8269 H3120 H0935 H0589 H3318 H2009 H8269 H6539 H0935

そこで彼は言った、「あなたは、わたしがなんのためにきたかを知っていますか。わたしは、今帰っていって、ペルシャの君と戦おうとしているのです。彼との戦いがすむと、ギリシヤの君があらわれるでしょう。

21 אֶ֗בֶל וְאַגִּ֤יד לְךָ֙ אֶת־הָרָשׁ֔וּם בִּכְתָ֖ב אֱמֶ֑ת וְאֵ֣ין אֶחָ֔ד
しかし 告げる あなたに を 記されていることを の–書に 真理の 一人も そしていない
H0061 H5046 H0853 H7559 H3791 H0571 H0369 H0259

עִמִּ֖י בְּאֵ֥לֶּה כִּ֛י אִם־מִיכָאֵ֥ל שַׂרְכֶ֖ם׃ פ
私と–共に これら ただし のみ ミカエル あなたがたの–君 —
H0428 H0589 H0834 H4317 H8269

עַל־ מִתְחַזֵּ֥ק
の–上に 強める–者は
H5921 H2388

しかしわたしは、まず真理の書にしるされている事を、あなたに告げよう。わたしを助けて、彼らと戦う者は、あなたがたの君ミカエルのほかにはありません。

Chapter 11

1 וַאֲנִי֙ בִּשְׁנַ֣ת אַחַ֔ת לְדָרְיָ֖וֶשׁ הַמָּדִ֑י עָמְדִ֥י לְמַחֲזִ֖יק וּלְמָעֹ֥וז
そして私は の–年に 第一 ダリウスの メディア人の 私の–立つ–所は 強めるためと そして砦と–なるために
H0589 H8141 H0259 H1867 H4075 H5975 H2388 H4581

לֽוֹ׃
彼に

わたしはまたメデアびとダリヨスの元年に立って彼を強め、彼を力づけたことがあります。

2 וְעַתָּ֣ה אֱמֶ֔ת אַגִּ֥יד לָ֖ךְ הִנֵּ֣ה עוֹד֮ שְׁלֹשָׁ֣ה מְלָכִים֒ עֹמְדִ֣ים לְפָרָ֑ס
そして今 真実を 告げる あなたに 見よ なお 三人の 王が 立つ ペルシアに
H6258 H0571 H5046 H0413 H2009 H5750 H7969 H4428 H5975 H6539

וְהָרְבִיעִי֙ יַעֲשֶׁ֣ה עֹשֶׁ֔ר יַעֲשִׁ֖יר בְּעָשְׁרֹ֑ו וּכְחֶזְקָתֹ֗ו
そして第四の–者は 富を–得る 富を その–富で そして強く–なったとき
H7243 H6238 H6239 H6239 H2393

עַל־ הַכֹּ֖ל מַלְכ֥וּת יָוָֽן׃
すべてより 大きな 王国に–対して ギリシアの
H3605 H1419 H4438 H3120

わたしは今あなたに真理を示そう。見よ、ペルシャになお三人の王が起るでしょう。その第四の者は、他のすべての者にまさって富み、その富によって強くなったとき、彼はすべてのものを動員して、ギリシヤの国を攻めます。

3 וְעָמַ֣ד מֶ֔לֶךְ גִּבֹּ֖ור וּמָשַׁ֣ל מֶמְשָׁ֑ל רַ֥ב וְעָשָׂ֖ה כִּרְצֹונֹֽו׃
そして立つ 王が 力ある そして治める 支配を 大きな そして行う 思いの–ままに
H5975 H4428 H1368 H4910 H4474 H7227 H6213 H7522

またひとりの勇ましい王が起り、大いなる権力をもって世を治め、その意のままに事をなすでしょう。

4

הַשָּׁמַיִם	רוּחוֹת	לְאַרְבַּע	וְתֵחָץ	מַלְכוּתוֹ	תִּשָּׁבֵר	וּכְעָמְדוֹ
天の	風の-方向へ	四つの	そして分けられる	その-王国は	砕かれる	そして立ったとき
H8064	H7307	H0702	H2673	H4438	H7665	H5975

תִּנָּתֵשׁ	כִּי	מָשָׁל	אֲשֶׁר	כְּמָשְׁלוֹ	וְלֹא	לְאַחֲרִיתוֹ	וְלֹא
引き抜かれる	なぜなら	治めた	その	その-支配の-ようには	そしてない	その-子孫に	そしてない
H5428		H4910			H3808	H0319	H3808

אֵלֶּה׃	מִלְּבַד־	וְלַאֲחֵרִים	מַלְכוּתוֹ
これら	の-他にも	そして他の-者に	その-王国は
H0428	H0905	H0312	H4438

彼が強くなった時、その国は破られ、天の四方に分かたれます。それは彼の子孫に帰せず、また彼が治めたほどの権力もなく、彼の国は抜き取られて、これら以外の者どもに帰するでしょう。

5

עָלָיו	וְיֶחֱזַק	שָׂרָיו	וּמִן־	הַנֶּגֶב	מֶלֶךְ־	וְיֶחֱזַק
彼より	そして強く-なる	その-将軍たちの	そしての-中から	南	の-王が	そして強く-なる
	H2388	H8269		H5045	H4428	H2388

מֶמְשַׁלְתּוֹ׃	רַב	מִמְשָׁל	וּמָשַׁל
その-支配は	大きな	支配を	そして治める
H4475		H4474	H4910

南の王は強くなります。しかしその将軍のひとりが、彼にまさって強くなり、権力をふるいます。その権力は、大いなる権力です。

6

הַצָּפוֹן	מֶלֶךְ	אֶל־	תָּבוֹא	הַנֶּגֶב	מֶלֶךְ־	וּבַת	יִתְחַבָּרוּ	שָׁנִים	וּלְקֵץ
北の	王	に	来る	南	の-王の	そして娘が	同盟する	年の	そしての-終わりに
H6828	H4428	H0413	H0935	H5045	H4428	H1323	H2266	H8141	H7093

וּזְרֹעֹו	יַעֲמֹד	וְלֹא	הַזְּרֹעַ	כֹּחַ	תַּעְתֵּר	וְלֹא־	מֵישָׁרִים	לַעֲשׂוֹת
その-腕も	立たない	そしてない	腕の	力を	保てない	そしてない	和平を	行うために
H2220	H5975	H3808	H2220		H6113	H3808	H4339	

בָּעִתִּים׃	וּמַחֲזִקָהּ	וְהַיֹּלְדָהּ	וּמְבִיאֶיהָ	הִיא	וְנִתָּן
その-時に	そして強めた-者も	そして産んだ-者も	そして連れて-来た-者も	彼女は	そして渡される
H6256	H2388	H3205	H0935	H1931	H5414

年を経て後、彼らは縁組をなし、南の王の娘が、北の王にきて、和親をはかります。しかしその女は、その腕の力を保つことができず、またその王も、その子も立つことができません。その女と、その従者と、その子およびその女を獲た者とは、わたされるでしょう。

7

וְיָבֹא	הַחַיִל	אֶל־	וְיָבֹא	כִּנּוֹ	שָׁרָשֶׁיהָ	מִנְּצֶר	וְעָמַד
そして入る	軍勢に	に	そして来る	その-代わりに	その-根の	からの-芽が	そして立つ
H0935	H2428	H0413	H0935	H3653	H8328	H5342	H5975

וְהֶחֱזִיק׃	בָּהֶם	וְעָשָׂה	הַצָּפוֹן	מֶלֶךְ	בְּמָעוֹז
そして勝つ	彼らに-対して	そして行う	北の	王	の-要塞に
H2388			H6828	H4428	H4581

そのころ、この女の根から、一つの芽が起って彼に代り、北の王の軍勢にむかってきて、その城に討ち入り、これを攻めて勝つでしょう。

8

וְזָהָב	כֶּסֶף	חֶמְדַּת־	כְּלֵי	עִם־	נְסִכֵיהֶם	עִם־	אֱלֹהֵיהֶם	וְגַם
そして金を	銀と	宝物の	の-器を	と-共に	偶像と	と-共に	彼らの-神々も	そしてまた
H2091	H3701		H3627				H0430	H1571

הַצָּפוֹן׃	מִמֶּלֶךְ	יַעֲמֹד	שָׁנִים	וְהוּא	מִצְרָיִם	יָבֹא	בַּשִּׁבְיָ
北の	より-の-王より	立つ	年の-間	そして彼は	エジプトに	持ち帰る	の-捕獲として
H6828	H4428	H5975	H8141	H1931	H4714	H0935	

彼はまた彼らの神々、鋳像および金銀の貴重な器物を、エジプトに携え去り、そして数年の間、北の王を討つことを控えます。

9 וּבָא בִּמַּלְכוּת הַנֶּגֶב וְשָׁב אֶל־אַדְמָתוֹ׃
そして来る の–王国に 南の そして帰る に 自分の–地に
H0935 H4428 H5045 H7725 H0413 H0127

その後、北の王は、南の王の国に討ち入るが、自分の国に帰るでしょう。

10 וּבָנָו [ובנו] (וּבָנָיו) יִתְגָּרוּ וְאָסְפוּ הֲמוֹן חַיָלִים רַבִּים וּבָא
そしてその–子らは その–子らは 戦いを–挑み そして集める 群れを 軍勢の 大きな そして来る
H1121 H1624 H0622 H2428 H0935

וְשָׁטַף וְעָבַר וְשָׁב וְיִתְגָּרָה (וְיִתְגָּרֶה) [ויתגרו] עַד־מָעֻזּוֹ׃ (מָעֻזֵּהוּ) [מעזה]
そして洪水の–ように–流れ そして通り過ぎる そして戻って 戦いを–挑む 戦いを–挑む まで その–要塞に その–要塞に
H7857 H5674 H7725 H1624 H1624 H5704 H4581 H4581

その子らはまた憤激して、あまたの大軍を集め、進んで行って、みなぎりあふれ、通り過ぎるが、また行って、その城にまで攻め寄せるでしょう。

11 וְיִתְמַרְמַר וְיָצָא וְנִלְחַם עִמּוֹ עִם־מֶלֶךְ הַצָּפוֹן וְהֵעֱמִיד
そして怒り狂う そして出て そして戦う 彼と と 王 北の そして立てる
H4843 H3318 H5973 H5973 H5973 H4428 H6828 H5975

הֲמוֹן רָב וְנִתַּן בְּיָדוֹ׃
群れを 大きな そして渡される 群れは その–手に
H4428 H7227 H5414 H1995 H3027

そこで南の王は、大いに怒り、出てきて北の王と戦います。彼は大軍を起すけれども、その軍は相手の手にわたされるでしょう。

12 וְנָשָׂא הֲמוֹן [ירום] (וְרָם) לִבּוֹ וְהִפִּיל רִבֹּאוֹת וְלֹא
そして持ち去られる 群れは 高ぶる 高ぶる 心が そして倒す 万を そしてない
H5375 H1995 H7311 H7311 H3824 H5307 H7239 H3808

יָעוֹז׃
強く–ならない
H5810

彼がその軍を打ち破ったとき、その心は高ぶり、数万人を倒します。しかし、勝つことはありません。

13 וְשָׁב מֶלֶךְ הַצָּפוֹן וְהֵעֱמִיד הָמוֹן רַב מִן־רִאשֹׁנָה
そして帰って–来る 王が 北の そして立てる 群れを 大きな より 最初の
H7725 H4428 H6828 H5975 H1995 H7227 H4480 H7223

וּבְרֹכֶשׁ רָב׃ וְלִקֵּץ הָעִתִּים שָׁנִים יָבוֹא בֹּוא יָבוֹא בְּחַיִל גָּדוֹל
そしてしての–終わりに 時の 年の 来る 来て の–軍勢で 大きな
H7093 H6256 H8141 H0935 H0935 H2428 H1419

そして財産で 多くの
H7399 H7227

それは北の王がまた初めよりも大いなる軍を起し、数年の後、大いなる軍勢と多くの軍需品とをもって、攻めて来るからです。

14 וּבָעִתִּים הָהֵם רַבִּים יַעַמְדוּ עַל־מֶלֶךְ הַנֶּגֶב וּבְנֵי
そしての–時に その 多くの–者が 立つ に–対して 王 南の そしての–子らが
H6256 H1992 H7227 H5975 H5921 H4428 H5045

פָּרִיצֵי עַמְּךָ יִנַּשְּׂאוּ לְהַעֲמִיד חָזוֹן וְנִכְשָׁלוּ׃
暴力の–者である 民の 起ち上がる 成就させるために 幻を そして倒れる
H6530 H5971 H5375 H5975 H2377 H3782

そのころ多くの者が起って、南の王に敵します。またあなたの民のうちのあらくれ者が、みずから高ぶって事をなし、幻を成就しようとするが失敗するでしょう。

15 וְיָבֹא֙ מֶ֣לֶךְ הַצָּפ֔וֹן וְיִשְׁפֹּךְ֙ סוֹלֵלָ֔ה וְלָכַ֖ד עִ֣יר מִבְצָר֑וֹת וּזְרֹעוֹת֙ הַנֶּ֣גֶב לֹ֣א יַעֲמֹ֔דוּ וְעַ֥ם מִבְחָרָ֖יו וְאֵ֣ין כֹּ֥חַ לַעֲמֹֽד׃

וְיָבֹא֙	מֶ֣לֶךְ	הַצָּפ֔וֹן	וְיִשְׁפֹּךְ֙	סוֹלֵלָ֔ה	וְלָכַ֖ד	עִ֣יר	מִבְצָר֑וֹת	וּזְרֹעוֹת֙
そして来る	王が	北の	そして築く	土塁を	そして取る	都を	要塞の	そして腕は
H0935	H4428	H6828	H8210	H5550	H3920		H4013	H2220

הַנֶּ֣גֶב	לֹ֣א	יַעֲמֹ֔דוּ	וְעַ֥ם	מִבְחָרָ֖יו	וְאֵ֣ין	כֹּ֥חַ	לַעֲמֹֽד׃	
南の	ない	立たない	そして民も	精鋭の	そしてない	力が	立つための	
H5045	H3808	H5975		H4005	H0369		H5975	

こうして北の王がきて、塁を築き、堅固な町を取るが、南の王の力は、これに立ち向かうことができず、またそのえり抜きの民も、これに立ち向かう力がありません。

16 וְעָשָׂ֤ה הַבָּא֙ אֵלָ֔יו כִּרְצוֹנ֖וֹ וְאֵ֣ין עוֹמֵ֣ד לְפָנָ֑יו וְיַעֲמֹ֣ד בְּאֶֽרֶץ־צְבִ֔י וְכָלָ֖ה בְּיָדֽוֹ׃

וְעָשָׂ֤ה	הַבָּא֙	אֵלָ֔יו	כִּרְצוֹנ֖וֹ	וְאֵ֣ין	עוֹמֵ֣ד	לְפָנָ֑יו	וְיַעֲמֹ֣ד	
そして行う	来る–者が	彼に–対して	思いの–ままに	そしてない	立つ–者は	その–前に	そして立つ	
H0935		H0413	H7522	H0369	H5975	H6440	H5975	

בְּאֶֽרֶץ־	צְבִ֔י	וְכָלָ֖ה	בְּיָדֽוֹ׃	
の–地に	麗しき	そして滅びが	その–手に	
H0776		H3615	H3027	

これに攻めて来る者は、その心のままに事をなし、その前に立ち向かうことのできる者はなく、彼は麗しい地に立ち、その地は全く彼のために荒されます。

17 וְשָׂ֣ם פָּנָיו֮ לָב֣וֹא בְתֹ֣קֶף כָּל־מַלְכוּתוֹ֒ וְיִשָּׁרִ֣ים עִמּ֔וֹ וְעָשָׂ֖ה וְיִתֶּן־לוֹ֙ בַּת־הַנָּשִׁ֣ים לְהַשְׁחִיתָ֔הּ וְלֹ֥א תַעֲמֹ֖ד וְלֹא־לוֹ֥ תִהְיֶֽה׃

וְשָׂ֣ם	פָּנָיו֮	לָב֣וֹא	בְתֹ֣קֶף	כָּל־	מַלְכוּתוֹ֒	וְיִשָּׁרִ֣ים	עִמּ֔וֹ	
そして定める	顔を	来るために	の–力で	すべての	その–王国の	そして直き–者を	彼と–共に	
	H6440	H0935	H8633	H3605	H4438	H3477		

וְעָשָׂ֣ה	וּבַת	הַנָּשִׁ֣ים	יִתֶּן־	לוֹ֙	לְהַשְׁחִיתָ֔הּ	וְלֹ֥א	תַעֲמֹ֖ד	וְלֹא־
そして行う	そして娘を	女の	与える	彼に	滅ぼすために	そしてない	立たない	そしてない
	H1323	H0802	H5414		H7843	H3808	H5975	H3808

לוֹ	תִהְיֶֽה׃
彼の	ならない
	H1961

彼は全国の力をもって討ち入ろうと、その顔を向けるが、相手と仲直りをし、その娘を与えて、その国を取ろうとします。しかし、その事は成らず、また彼の利益にはならないでしょう。

18 וְיָשֵׂ֤ם קְצִין֙ חֶרְפָּת֔וֹ בִּלְתִּ֥י חֶרְפָּת֖וֹ יָשִׁ֣יב לוֹ֑ וְהִשְׁבִּ֣ית לוֹ֔ וְלָכַ֖ד רַבִּ֣ים לְאִיִּ֑ים וְיָשֵׂ֤ם פָּנָיו֙ לָשׂ֣וּם וְ()ישׁבו[] קָצִ֖ין

וְיָשֵׂ֤ם	קְצִין֙	חֶרְפָּת֔וֹ	בִּלְתִּ֥י	חֶרְפָּת֖וֹ	יָשִׁ֣יב	לוֹ֑	וְהִשְׁבִּ֣ית	לוֹ֔
	指揮官が	その–恥を	ないどころか	その–恥を	返す	彼に	そして止めさせる	彼に
	H7101	H2781	H1115	H2781	H7725			

וְלָכַ֖ד	רַבִּ֣ים	לְאִיִּ֑ים	וְיָשֵׂ֤ם	פָּנָיו֙	לָשׂ֣וּם	וְ()ישׁבו[]	קָצִ֖ין	
そして取る	多くを	の–島々に		顔を	そして向ける	そして向ける		
H3920		H0339		H6440	H7725	H7725		

その後、彼は顔を海沿いの国々に向けて、その多くのものを取ります。しかし、ひとりの大将があって、彼が与えた恥辱をそそぎ、その恥辱を彼の上に返します。

19 וְשָׁ֤ב פָּנָיו֙ לְמָעוּזֵ֣י אַרְצ֔וֹ וְנִכְשַׁ֥ל וְנָפַ֖ל וְלֹ֣א יִמָּצֵֽא׃

וְשָׁ֤ב	פָּנָיו֙	לְמָעוּזֵ֣י	אַרְצ֔וֹ	וְנִכְשַׁ֥ל	וְנָפַ֖ל	וְלֹ֣א	יִמָּצֵֽא׃	
そして向ける	顔を	の–要塞に	自分の–地の	そしてつまずき	そして倒れる	そしてない	見つからない	
H7725	H6440		H0776	H3782	H5307	H3808	H4672	

こうして彼は、その顔を自分の国の要害に向けるが、彼はつまずき倒れて消えうせるでしょう。

20 וְעָמַד עַל־ כַּנּוֹ מַעֲבִיר נוֹגֵשׂ הֲדַר מַלְכוּת
そして立つ の–代わりに その 通らせる–者が 取り立て人を 栄光の 王国の
H5975 H3653 H5065 H1925 H4438

בְּיָמִים וְאַחֲרֵי׳ מְעַט יִשָּׁבֵר וְלֹא בְאַפַּיִם וְלֹא בְמִלְחָמָה׃
そしての–日の–うちに わずかな 打ち砕かれる そしてない 怒りではなく そしてない 戦いでもなく
H3117 H0259 H7665 H3808 H0639 H3808 H4421

彼に代って起る者は、栄光の国に人をつかわして、租税を取り立てさせるでしょう。しかし彼は、怒りにも戦いにもよらず、数日のうちに滅ぼされます。

21 וְעָמַד עַל־ כַּנּוֹ נִבְזֶה וְלֹא־ נָתְנוּ עָלָיו הָדוֹד
そして立つ の–代わりに その 卽しむべき–者が そしてない 与えられなかった 彼に 威厳は
H5975 H3653 H0959 H3808 H5414 H1935

בַּהַלַקְלַקּוֹת׃ מַלְכוּת וְהֶחֱזִיק בְּשַׁלְוָה וּבָא
へつらいで 王国を そして得る 平和の–中に そして来る
H2519 H4438 H2388 H7962 H0935

מַלְכוּת
王国の
H4438

彼に代って起る者は、卑しむべき者であって、彼には、王の尊厳が与えられず、彼は不意にきて、巧言をもって国を獲るでしょう。

22 וּזְרֹעוֹת הַשֶּׁטֶף יִשְׁטְפוּ מִלְּפָנָיו וְיִשָּׁבֵרוּ וְגַם נְגִיד בְּרִית׃
そして腕は 洪水の 押し流される その–前から そして打ち砕かれる そしてまた 君主も 契約の
H2220 H7858 H7857 H6440 H7665 H1571 H5057 H1285

洪水のような軍勢は、彼の前に押し流されて敗られ、契約の君たる者もまた敗られるでしょう。

23 וּמִן־ הֶתְחַבְּרוּת אֵלָיו יַעֲשֶׂה מִרְמָה וְעָלָה וְעָצַם בִּמְעַט־ גּוֹי׃
そしてから 同盟を 彼と 行う 欺きを そして上り そして強く–なる の–少数の 民で
H1413 H2266 H6213 H4820 H5927 H6105 H4592

彼は、これと同盟を結んで後、偽りのおこないをなし、わずかな民をもって強くなり、

24 בְּשַׁלְוָה וּבְמִשְׁמַנֵּי מְדִינָה יָבוֹא וְעָשָׂה אֲשֶׁר לֹא־ עָשׂוּ
平和の–中に そしての–最も–豊かな–所に 州の 来る そして行う その ない 行わなかった
H7962 H4082 H0935 H6213 H4382 H3808

אֲבֹתָיו וַאֲבוֹת אֲבֹתָיו בִּזָּה וְשָׁלָל וּרְכוּשׁ לָהֶם יְזָרֶה
先祖たちも そして先祖の 先祖たちも 略奪物と そして戦利品と そして財産を 彼らに ばらまく
H0001 H0001 H0001 H0961 H7998 H7399 H1992 H2219

עֵת׃ וְעַד־ מַחְשְׁבֹתָיו יַחֲשֹׁב מִבְצָרִים וְעַל
時 そしてまでの 計画を 企てる 要塞に そしてに–対して
H6256 H5704 H4284 H2803 H4013

不意にその州の最も肥えた所に攻め入り、その父も、その父の父もしなかった事をおこない、その奪った物、かすめた物および財宝を、人々の中に散らすでしょう。彼はまた計略をめぐらして、堅固な城を攻めるが、ただし、それは時の至るまでです。

25 וּמֶלֶךְ הַנֶּגֶב יִתְגָּרֶה מִלְחָמָה לַמִּלְחָמָה בְּחַיִל גָּדוֹל וְעָצוּם וְלֹא יַעֲמֹד
そして王が 南の 戦いに 戦いを–挑む 大きな の–軍勢で 大きな そして強い まで 非常に そしてない 立たない
H4428 H5045 H4421 H1624 H1419 H2428 H1419 H6099 H5704 H3966 H3808 H5975

כִּי־ עָלָיו יַחְשְׁבוּ מַחֲשָׁבוֹת׃
なぜなら 彼に–対して 企てる 計画を
H2803 H4284

彼はその勢力と勇気とを奮い起し、大軍を率いて南の王を攻めます。南の王もまたみずから奮い、はなはだ大いなる強力な軍勢をもって戦います。しかし、彼に対して、陰謀をめぐらす者があるので、これに立ち向かうことができません。

26 וְאֹכְלֵי פַּת־בָּגֹו יְשַׁבְּרוּהוּ וְחֵילֹו יִשְׁטֹף וְנָפְלוּ
そして食べる-者が の-パンを 彼の 打ち砕く そしてその-軍勢は 押し流す そして倒れる
H0398 H6598 H6598 H7665 H2428 H7857 H5307

חֲלָלִים רַבִּים׃
倒れた-者が 多くの

すなわち彼の食物を食べる者たちが、彼を滅ぼします。そして、その軍勢は押し流されて、多くの者が倒れ死ぬでしょう。

27 וּשְׁנֵיהֶם הַמַּלְכִים לְבָבָם לְמָרָע כְּזָב יְדַבְּרוּ
そして両方の 王たちは 心が の-悪に-向かい 偽りを 語る
H8147 H4428 H3824 H4827 H3577 H1696

אֶחָד שֻׁלְחָן וְעַל־ לַמֹּועֵד׃ עֹוד כִּי־ תִצְלָח וְלֹא
一つの 食卓 そしての-上で の-定めの-時に 終わりは なお なぜなら 成功しない そしてない
H0259 H7979 H4150 H7093 H5750 H3808

このふたりの王は、害を与えようと心にはかり、ひとつ食卓に共に食して、偽りを語るが、それは成功しません。終りはなお定まった時の来るまでこないからです。

28 וְשָׁב אַרְצֹו בִּרְכֻושׁ גָּדֹול וּלְבָבֹו עַל־ בְּרִית קֹדֶשׁ וְעָשָׂה
そして帰る その-地へ の-財産で 大きな そして心は に-対して 契約に 聖なる そして行い
H7725 H0776 H7399 H1285 H3824 H5921 H1285 H6944 H6213

וְשָׁב לְאַרְצֹו׃
そして帰る 自分の-地に
H7725 H0776

彼は大いなる財宝をもって、自分の国に帰るでしょう。しかし、彼の心は聖なる契約にそむき、ほしいままに事をなして、自分の国に帰ります。

29 לַמֹּועֵד יָשׁוּב וּבָא בַנֶּגֶב וְלֹא־ תִהְיֶה כָרִאשֹׁנָה
の-定めの-時に 帰る そして来る 南に そしてない ならない 最初の-ようには
H4150 H7725 H0935 H5045 H3808 H1961 H7223

וְכָאַחֲרֹנָה׃
そして最後の-ようには
H0314

定まった時になって、彼はまた南に討ち入ります。しかし、この時は前の時のようではありません。

30 וּבָא עָלָיו צִיִּים כִּתִּים וְנִכְאָה וְשָׁב וְזָעַם עַל־
そして来る 彼に-対して 船が キティムの そしてくじける そして帰り そして怒り に-対して
H0935 H6716 H3794 H0995 H7725 H2194 H5921

וְעָשָׂה וְשָׁב וְיָבֶן עַל־ עֹזְבֵי בְּרִית קֹדֶשׁ׃
そして行う そして帰り そして目を-つける に 捨てる-者に 契約を 聖なる
H6213 H7725 H0995 H5921 H5800 H1285 H6944

בְּרִית־ קֹדֶשׁ
契約に 聖なる
H1285 H6944

それはキッテムの船が、彼に立ち向かって来るので、彼は脅かされて帰り、聖なる契約に対して憤り、事を行うでしょう。彼は帰っていって、聖なる契約を捨てる者を顧み用いるでしょう。

31 וּזְרֹעִים מִמֶּנּוּ יַעֲמְדוּ וְחִלְּלוּ הַמִּקְדָּשׁ הַמָּעוֹז וְהֵסִירוּ הַתָּמִיד וְנָתְנוּ הַשִּׁקּוּץ מְשֹׁמֵם׃

וּזְרֹעִים	מִמֶּנּוּ	יַעֲמְדוּ	וְחִלְּלוּ	הַמִּקְדָּשׁ	הַמָּעוֹז	וְהֵסִירוּ	הַתָּמִיד	
そして腕が	彼から	立つ	そして汚す	聖所を	要塞の	そして取り除く	常供の–ささげを	
H2220		H5975		H4720	H4581	H5493	H8548	
וְנָתְנוּ	הַשִּׁקּוּץ	מְשֹׁמֵם׃						
そして置く	忌まわしい–ものを	荒らす						
H5414	H8251	H8074						

彼から軍勢が起って、神殿と城郭を汚し、常供の燔祭を取り除き、荒す憎むべきものを立てるでしょう。

32 וּמַרְשִׁיעֵי בְרִית יַחֲנִיף בַּחֲלַקּוֹת וְעָם יֹדְעֵי אֱלֹהָיו יַחֲזִקוּ וְעָשׂוּ׃

וּמַרְשִׁיעֵי	בְרִית	יַחֲנִיף	בַּחֲלַקּוֹת	וְעָם	יֹדְעֵי	אֱלֹהָיו	
そしての–悪を–行う–者を	契約の	堕落させる	へつらいで	そして民が	知る–者が	彼らの–神を	
H7561	H1285	H2610	H2514		H3045	H0430	
יַחֲזִקוּ	וְעָשׂוּ׃						
強く–なり	そして行う						
H2388							

彼は契約を破る者どもを、巧言をもってそそのかし、そむかせるが、自分の神を知る民は、堅く立って事を行います。

33 וּמַשְׂכִּילֵי עָם יָבִינוּ לָרַבִּים וְנִכְשְׁלוּ בְחֶרֶב וּבְלֶהָבָה בִּשְׁבִי וּבְבִזָּה יָמִים׃

וּמַשְׂכִּילֵי	עָם	יָבִינוּ	לָרַבִּים	וְנִכְשְׁלוּ	בְחֶרֶב	וּבְלֶהָבָה	בִּשְׁבִי	
そしての–知恵ある–者が	民の	理解させる	多くの–者に	そして倒れる	剣と	そして炎と	捕囚と	
		H0995		H3782	H2719	H3852		
וּבְבִזָּה	יָמִים׃							
そして略奪に–より	日々の–間							
H0961	H3117							

民のうちの賢い人々は、多くの人を悟りに至らせます。それでも、彼らはしばらくの間、やいばにかかり、火に焼かれ、捕われ、かすめられなどして倒れます。

34 וּבְהִכָּשְׁלָם יֵעָזְרוּ עֵזֶר מְעָט וְנִלְוָוּ עֲלֵיהֶם רַבִּים בַּחֲלַקּוֹת׃

וּבְהִכָּשְׁלָם	יֵעָזְרוּ	עֵזֶר	מְעָט	וְנִלְוָוּ	עֲלֵיהֶם	רַבִּים	בַּחֲלַקּוֹת׃
そして倒れたとき	助けられる	助けで	少しの	そして加わる	彼らに	多くの–者が	へつらいで
H3782	H5826	H5828	H4592				H2519

その倒れるとき、彼らは少しの助けを獲ます。また多くの人が、巧言をもって彼らにくみするでしょう。

35 וּמִן־הַמַּשְׂכִּילִים יִכָּשְׁלוּ לִצְרוֹף בָּהֶם וּלְבָרֵר וְלַלְבֵּן עַד־עֵת קֵץ כִּי־עוֹד לַמּוֹעֵד׃

וּמִן־	הַמַּשְׂכִּילִים	יִכָּשְׁלוּ	לִצְרוֹף	בָּהֶם	וּלְבָרֵר				
そしてから	知恵ある–者が	倒れる	精錬するために	彼らを	そして清めるために				
		H3782	H6884		H1305				
וְלַלְבֵּן	עַד־	עֵת	קֵץ	כִּי־	עוֹד	לַמּוֹעֵד׃			
そして白く–するために	までの	時	終わりの	なぜなら	なお	の–定めの–時に			
	H5704	H6256	H7093		H5750	H4150			

また賢い者のうちのある者は、終りの時まで、自分を練り、清め、白くするために倒れるでしょう。終りはなお定まった時の来るまでこないからです。

36 וְעָשָׂה כִרְצוֹנוֹ הַמֶּלֶךְ וְיִתְרוֹמֵם וְיִתְגַּדֵּל עַל־כָּל־אֵל וְעַל־אֵל אֵלִים יְדַבֵּר וְהִצְלִיחַ עַד־כָּלָה זַעַם נֶחֱרָצָה כִּי נֶעֱשְׂתָה׃

וְעָשָׂה	כִרְצוֹנוֹ	הַמֶּלֶךְ	וְיִתְרוֹמֵם	וְיִתְגַּדֵּל	עַל־	כָּל־	אֵל	וְעַל־	אֵל	אֵלִים	יְדַבֵּר	
そして行う	思いの–ままに	王は	そして高ぶり	そして大きく–なる	の–上に	すべての	神より	そてに–対して	神の	神々に	語る	
	H7522	H4428					H0410		H0410	H0410	H1696	
וְהִצְלִיחַ	נִפְלָאוֹת	עַד־	כָּלָה	זַעַם	נֶחֱרָצָה	כִּי	נֶעֱשְׂתָה׃					
そして成功する	驚くべきことを	まで	完了	怒りの	定められたことが	なぜなら	行われる					
	H6381	H5704	H3615	H2195	H2782							

この王は、その心のままに事をおこない、すべての神を越えて、自分を高くし、自分を大いにし、神々の神たる者にむかって、驚くべき事を語り、憤りのやむ時まで栄えるでしょう。これは定められた事が成就するからです。

37

וְעַל־ אֱלֹהֵי אֲבֹתָיו לָא יָבִין וְעַל־ חֶמְדַּת נָשִׁים
そしてに–対して 神を 先祖たちの ない 顧みない そしてに–対して 慨れも 女の
H0430 H0001 H3808 H0995 H0802

וְעַל־ כָּל־ לָא יָבִין כִּי עַל־ כָּל יִתְגַּדָּל׃
そしてに–対して いかなる 神も ない 顧みない なぜなら の–上に すべて 大きく–なる
H3605 H0433 H3808 H0995 H3605 H1431

彼はその先祖の神々を顧みず、また婦人の好む者も、いかなる神をも顧みないでしょう。彼はすべてにまさって、自分を大いなる者とするからです。

38

וְלֵאלֹהַּ עַל־ מָעֻזִּים כַּנּוֹ יְכַבֵּד וְלֵאלֹוהַּ אֲשֶׁר לֹא־
そしてに–対して 要塞の–神を の–上に その–代わりに 崇める そしての–神を その ない
H0433 H4581 H3653 H3513 H0433 H3808

וּבַחֲמֻדוֹת׃ יְקָרָה וּבְאֶבֶן וּבְכֶסֶף בִּזָּהָב יְכַבֵּד אֲבֹתָיו יְדָעֻהוּ
そして宝物で 宝 そして石と そして銀と 金と 崇める 先祖たちが 知らなかった
H3368 H0068 H3701 H2091 H3513 H0001 H3045

彼はこれらの者の代りに、要害の神をあがめ、金、銀、宝石、および宝物をもって、その先祖たちの知らなかった神をあがめ、

39

וְעָשָׂה לְמִבְצְרֵי מָעֻזִּים עִם־ אֱלֹוהַּ נֵכָר אֲשֶׁר הכיר] יַכִּיר(יַרְבֶּה
そして行う の–要塞に–対して 要塞の と–共に 神の 異国の その 認める 認める 増やす
H4013 H4581 H0433 H5236 H4242 H5234

בְּמִחָיר׃ יְחַלֵּק וַאֲדָמָה בָּרַבִּים וְהִמְשִׁילָם כָּבֹוד
代価で 分け与える そして地を 多くの–者の–上に そして治めさせる 栄誉を
H4242 H0127 H4910 H3519

異邦の神の助けによって、最も強固な城にむかって、事をなすでしょう。そして彼を認める者には、栄誉を増し与え、これに多くの人を治めさせ、賞与として土地を分け与えるでしょう。

40

וּבְעֵת קֵץ יִתְנַגַּח עִמֹּו מֶלֶךְ הַנֶּגֶב וְיִשְׁתָּעֵר עָלָיו מֶלֶךְ
そしての–時に 終わりの 突きを–する 彼に 王が 南の そして嵐の–ように–襲う 彼に 王が
H6256 H7093 H5055 H5045 H4428 H4428

וְשָׁטַף בָּאֳנִיּוֹת וּבְפָרָשִׁים וּבְרֶכֶב רַבּוֹת בָּאֳרָצוֹת וּבָא
そして洪水の–ように–流れ そして船で そして騎兵と 戦車と 多くの 諸国に そして来る
H7857 H0591 H0776 H0935 H7393 H6828

וְעָבָר׃
そして通り過ぎる

終りの時になって、南の王は彼と戦います。北の王は、戦車と騎兵と、多くの船をもって、つむじ風のように彼を攻め、国々にはいっていって、みなぎりあふれ、通り過ぎるでしょう。

41

וּבָא בָּאֲרָצוֹת וְרַבּוֹת יִכָּשֵׁלוּ וְאֵלֶּה יִמָּלְטוּ מִיָּדֹו
そして来る の–地に 麗しき そして多くの–者が 倒れる そしてこれらは 逃れる その–手から
H0935 H0776 H6643 H3782 H0428 H4422 H3027

וּמוֹאָב וְרֵאשִׁית בְּנֵי עַמֹּון׃
そしてモアブと そして最初の 子らの アンモンの
H4124 H7225 H1121 H5983

אֱדֹום
エドムと
H0123

彼はまた麗しい国にはいります。また彼によって、多くの者が滅ぼされます。しかし、エドム、モアブ、アンモンびとらのうちのおもな者は、彼の手から救われましょう。

42 וְיִשְׁלַח יָדוֹ בַּאֲרָצוֹת וְאֶרֶץ מִצְרַיִם לֹא תִהְיֶה לְפְלֵיטָה׃
そして伸ばす 手を 諸国に そして地も エジプトの ない ならない 逃れる–所に
H7971 H3027 H0776 H0776 H4714 H3808 H1961 H6413

彼は国々にその手を伸ばし、エジプトの地も免れません。

43 וּמָשַׁל בְּמִכְמַנֵּי הַזָּהָב וְהַכֶּסֶף וּבְכֹל חֲמֻדוֹת מִצְרָיִם
そして支配する の–宝庫を 金の そして銀の すべての 宝物を エジプトの
H4910 H4362 H2091 H3701 H3605 H2534 H4714

וְכֻשִׁים וְלֻבִים בְּמִצְעָדָיו׃
そしてエチオピア人は そしてリビア人と その–足もとに
H3569 H3864 H4703

彼は金銀の財宝と、エジプトのすべての宝物を支配し、リビヤびと、エチオピヤびとは、彼のあとに従います。

44 וּשְׁמֻעוֹת תְּבַהֲלֻהוּ מִמִּזְרָח וּמִצָּפוֹן וְיָצָא בְּחֵמָא גְדוֹלָה
そして知らせが 恐れさせる 東と そして北からの そして出て–行く の–怒りで 大きな
H8052 H0926 H4217 H6828 H3318 H2534

לְהַשְׁמִיד וְלַהֲחֵרִים רַבִּים׃
滅ぼすために そして全滅させるために 多くの–者を
H8045

しかし東と北からの知らせが彼を驚かし、彼は多くの人を滅ぼし絶やそうと、大いなる怒りをもって出て行きます。

45 וְיִטַּע אָהֳלֵי אַפַּדְנוֹ בְּין יַמִּים לְהַר־צְבִי קֹדֶשׁ וּבָא עַד־קִצּוֹ וְאֵין עוֹזֵר לוֹ׃
そして張る 天幕を 宮殿の の–間に 海 の–山へ 麗しき– 聖なる まで そして来る 彼に 助ける–者は そしてない その–終わりに
H5193 H0168 H0643 H0996 H3220 H2022 H6944 H5704 H0935 H5826 H0369 H7093

彼は海と麗しい聖山との間に、天幕の宮殿を設けるでしょう。しかし、彼はついにその終りにいたり、彼を助ける者はないでしょう。

Chapter 12

1 וּבָעֵת הַהִיא יַעֲמֹד הַשַּׂר הַגָּדוֹל עַל־בְּנֵי עַמֶּךָ וְהָיְתָה עֵת צָרָה אֲשֶׁר לֹא־נִהְיְתָה מֵהִוָּת גּוֹי עַד־הָעֵת הַהִיא וּבָעֵת הַהִיא יִמָּלֵט עַמֶּךָ כָּל־הַנִּמְצָא כָּתוּב בַּסֵּפֶר׃
そして–その–時に 立ち上がる ミカエルが 君 偉大な 守護する者 子らの ～の–上に
H6256 H1931 H5975 H4317 H8269 H1961 H5975 H1121

あなたの–民の 時が なかった それは 苦難の 起こったことが ～が–あって–以来
H6256 H3808 H1961 H1961

そして–あった
H1961

すべての あなたの–民は 救い出される その そして–その–時に その その–時 ～まで 国が
H3605 H5704 H1931 H6256 H4422 H1931 H6256 H5704 H1471

書に 書かれた 記されている–者は
H3789 H4672

その時あなたの民を守っている大いなる君ミカエルが立ちあがります。また国が始まってから、その時にいたるまで、かつてなかったほどの悩みの時があるでしょう。しかし、その時あなたの民は救われます。すなわちあの書に名をしるされた者は皆救われます。

עוֹלָם	לְחַיֵּי	אֱלֶה	יָקִיצוּ	עָפָר	אַדְמַת־	מִישְׁנֵי	וְרַבִּים	2
永遠の	永遠の–命へ	ある者は	目覚める	塵の	地の	眠る者たちの	そして–多くの者が	
H5769		H0428	H6974	H6083	H0127	H3463		

ס	עוֹלָם׃	לִדְרָאוֹן	לַחֲרָפוֹת	וְאֵלֶּה
—	永遠の	嫌悪の	恥辱と	そして–ある者は
	H5769	H1860	H2781	H0428

また地のちりの中に眠っている者のうち、多くの者は目をさますでしょう。そのうち永遠の生命にいたる者もあり、また恥と、限りなき恥辱をうける者もあるでしょう。

הָרַבִּים	וּמַצְדִּיקֵי	הָרָקִיעַ	כְּזֹהַר	יַזְהִרוּ	וְהַמַּשְׂכִּלִים	3
多くの者を	そして–義に–導く者たちは	大空の	輝きの–ように	輝く	そして–賢い者たちは	
	H6663	H7549	H2096			

פ	וָעֶד׃	לְעוֹלָם	כַּכּוֹכָבִים	
—	いつまでも	永遠に	星の–ように	
	H5703	H5769	H3556	

賢い者は、大空の輝きのように輝き、また多くの人を義に導く者は、星のようになって永遠にいたるでしょう。

עֵת	עַד־	הַסֵּפֶר	וַחְתֹם	הַדְּבָרִים	סְתָם	דָּנִיֵּאל	וְאַתָּה	4
時の	～まで	この–書を	そして–封印せよ	これらの–言葉を	封じよ	ダニエルよ	そして–あなたは	
H6256	H5704		H2856	H1697		H1840		

הַדָּעַת׃	וְתִרְבֶּה	רַבִּים	יְשׁוֹטְטוּ	קֵץ
知識が	そして–増す	多くの者が	走り回る	終わりの
H1847				H7093

ダニエルよ、あなたは終りの時までこの言葉を秘し、この書を封じておきなさい。多くの者は、あちこちと探り調べ、そして知識が増すでしょう」。

הֵנָּה	אֶחָד	עֹמְדִים	אֲחֵרִים	שְׁנַיִם	וְהִנֵּה	דָּנִיֵּאל	אֲנִי	וְרָאִיתִי	5
こちら側の	一人は	立っていた	他の者が	二人の	すると–見よ	ダニエルは	私	そして–見た	
H2008	H0259	H5975	H0312	H8147	H2009	H1840	H0589	H7200	

הַיְאֹר׃	לִשְׂפַת	הֵנָּה	וְאֶחָד	הַיְאֹר	לִשְׂפַת
川の	岸に	あちら側の	そして–一人は	川の	岸に
H2975	H8193	H2008	H0259	H2975	H8193

そこで、われダニエルが見ていると、ほかにまたふたりの者があって、ひとりは川のこなたの岸に、ひとりは川のかなたの岸に立っていた。

עַד־	הַיְאֹר	לְמֵימֵי	מִמַּעַל	אֲשֶׁר	הַבַּדִּים	לָבוּשׁ	לָאִישׁ	וַיֹּאמֶר	6
～まで	川の	水の	上に–いた	その者は	亜麻布を	身に–まとった	その–人に	そして–言った	
H5704	H2975	H4325	H4605		H0906	H3847	H0376	H0559	

הַפְּלָאוֹת׃	קֵץ	מָתַי	
驚くべき–事々の	終わりが	いつ	
H6382	H7093	H4970	

わたしは、かの亜麻布を着て川の水の上にいる人にむかって言った、「この異常なできごとは、いつになって終るでしょうか」と。

7

וָאֶשְׁמַע	אֵת־	הָאִישׁ	לְבוּשׁ	הַבַּדִּים	אֲשֶׁר	מִמַּעַל	לְמֵימֵי	הַיְאֹר׃
そして–聞いた	～を	その–人が	身に–まとった	亜麻布を	その者は	上に–いた	水の	川の
H8085	H0853	H0376	H3847	H0906		H4605	H4325	H2975

וַיָּרֶם	יְמִינוֹ	וּשְׂמֹאלוֹ	אֶל־	הַשָּׁמַיִם	וַיִּשָּׁבַע	בְּחֵי	
そして–上げた	右手と	左手を	～に–向けて	天に	そして–誓った	永遠に–生きる–方に–かけて	
H3225		H8040	H0413	H8064	H7650		

נִפְּץ	וּכְכַלּוֹת	וָחֲצִי	מוֹעֲדִים	לְמוֹעֵד	כִּי	הָעוֹלָם
砕くことが	そして–終わる–時に	半分の–後に	定められた–時々と	定められた–時と	それは	永遠の
	H3615	H2677	H4150	H4150		H5769

אֵלֶּה׃	כָּל־	תִּכְלֶינָה	קֹדֶשׁ	עַם־	יַד־
これらは	これらの–すべてが	成し遂げられる	聖なる	民の	手を
H0428	H3605	H3615	H6944		H3027

かの亜麻布を着て、川の水の上にいた人が、天に向かって、その右の手と左の手をあげ、永遠に生ける者をさして誓い、それは、ひと時とふた時と半時である。聖なる民を打ち砕く力が消え去る時に、これらの事はみな成就するだろうと言うのを、わたしは聞いた。

8

אַחֲרִית	מָה	אֲדֹנִי	וָאֹמְרָה	אָבִין	וְלֹא	שָׁמַעְתִּי	וַאֲנִי
終わりは	何が	わが–主よ	そして–言った	理解できなかった	しかし–ない	聞いた	そして–私は
H0319	H4100	H0113	H0559	H0995	H3808	H8085	H0589

פ	אֵלֶּה׃
—	これらの
	H0428

わたしはこれを聞いたけれども悟れなかった。わたしは言った、「わが主よ、これらの事の結末はどんなでしょうか」。

9

הַדְּבָרִים	וַחֲתֻמִים	סְתֻמִים	כִּי־	דָּנִיֵּאל	לֵךְ	וַיֹּאמֶר	
これらの–言葉は	そして–封印されている	封じられている	なぜなら	ダニエルよ	行け	そして–言った	
H1697	H2856			H1840	H3212	H0559	

קֵץ׃	עֵת	עַד־
終わりの	時の	～まで
H7093	H6256	H5704

彼は言った、「ダニエルよ、あなたの道を行きなさい。この言葉は終りの時まで秘し、かつ封じておかれます。

10

רְשָׁעִים	וְהִרְשִׁיעוּ	רַבִּים	וְיִצָּרְפוּ	וְיִתְלַבְּנוּ	יִתְבָּרְרוּ
悪しき者たちは	しかし–悪を行う	多くの者は	そして–練られる	そして–白くされ	清められ
H7563	H7561		H6884		H1305

יָבִינוּ׃	וְהַמַּשְׂכִּלִים	רְשָׁעִים	כָּל־	יָבִינוּ	וְלֹא
理解する	しかし–賢い者たちは	悪しき者たちは	すべての	理解しない	そして–ない
H0995		H7563	H3605	H0995	H3808

多くの者は、自分を清め、自分を白くし、かつ練られるでしょう。しかし、悪い者は悪い事をおこない、ひとりも悟ることはないが、賢い者は悟るでしょう。

11

שֹׁמֵם	שִׁקּוּץ	וְלֻתַּת	הַתָּמִיד	הוּסַר	וּמֵעֵת	
荒らす	忌むべきものが	そして–置かれる	常供の–ささげ物が	取り除かれる	そして–その–時から	
H8074	H8251	H5414	H8548	H5493	H6256	

וְתִשְׁעִים׃	מָאתַיִם	אֶלֶף	יָמִים	
九十	二百	千	日数は	
H8673	H3967	H0505	H3117	

常供の燔祭が取り除かれ、荒す憎むべきものが立てられる時から、千二百九十日が定められている。

12 אַשְׁרֵי הַמְחַכֶּה וְיַגִּיעַ לְיָמִּים אֶלֶף שְׁלֹשׁ מֵאוֹת שְׁלֹשִׁים וַחֲמִשָּׁה׃
幸いなるかな 待ち望む者は そして–達する 日数 千 三 百 三十 五に
H0835 H2442 H5060 H3117 H0505 H7969 H3967 H7970 H2568

待っていて千三百三十五日に至る者はさいわいです。

13 וְאַתָּה לֵךְ וְתָנוּחַ לַקֵּץ וְתַעֲמֹד לְגֹרָלְךָ לְקֵץ הַיָּמִין׃
そして–あなたは 行け 終わりに–向かって そして–安らかに–休め そして–立ち上がる あなたの–受ける–分の–ために 終わりの 日々の
H3212 H7093 H5117 H5975 H1486 H7093 H3117

しかし、終りまであなたの道を行きなさい。あなたは休みに入り、定められた日の終りに立って、あなたの分を受けるでしょう」。

Hosea

Chapter 1

1 דְּבַר־ יְהוָה אֲשֶׁר הָיָה אֶל־ הוֹשֵׁעַ בֶּן־ בְּאֵרִי בִּימֵי עֻזִּיָּה יוֹתָם
言葉の 主の それは あった ～へ ホセアに 息子の ベエリの 日々に ウジヤ ヨタム
H1697 H3068 H0834 H1961 H0413 H1954 H1121 H0881 H3117 H5818 H3147

יְחִזְקִיָּה אָחָז יְהוּדָה מַלְכֵי מֶלֶךְ יוֹאָשׁ בֶּן־ יָרָבְעָם וּבִימֵי
ヒゼキヤの アハズ ユダの 王たちの 王の ヨアシュの 息子の ヤロブアム そして–日々に
H2396 H0271 H3063 H4428 H4428 H3101 H1121 H3379 H3117

יִשְׂרָאֵל׃
イスラエルの
H3478

ユダヤの王ウジヤ、ヨタム、アハズ、ヒゼキヤの世、イスラエルの王ヨアシの子ヤラベアムの世に、ベエリの子ホセアに臨んだ主の言葉。

2 תְּחִלַּת דִּבֶּר־ יְהוָה בְּהוֹשֵׁעַ פ וַיֹּאמֶר יְהוָה אֶל־ הוֹשֵׁעַ לֵךְ
初めに 語った 主が ホセアを–通して — そして–言った 主は ～に ホセアに 行け
H8462 H1696 H3068 H1954 H0559 H3068 H0413 H1954 H3212

קַח־ לְךָ אֵשֶׁת זְנוּנִים וְיַלְדֵי זְנוּנִים כִּי־ זָנֹה תִזְנֶה הָאָרֶץ
めとれ あなたの–ために 妻を 姦淫の そして–子らを 姦淫の なぜなら 姦淫を–行い 姦淫する この–地は
H3947 H0802 H2183 H3206 H2183 H3588 H2181 H2181

מֵאַחֲרֵי יְהוָה׃
離れて 主から
H3068

主が最初ホセアによって語られた時、主はホセアに言われた、「行って、淫行の妻と、淫行によって生れた子らを受けいれよ。この国は主にそむいて、はなはだしい淫行をなしているからである」。

3 וַיֵּלֶךְ וַיִּקַּח אֶת־ גֹּמֶר בַּת־ דִּבְלָיִם וַתַּהַר
そして–行った そして–めとった ～を ゴメルを 娘の ディブライムの そして–身ごもった
H3212 H3947 H0853 H1586 H1323 H1691 H2029

וַתֵּלֶד־ לוֹ בֵּן׃
そして–産んだ 彼に 息子を
H3205

そこで彼は行ってデブライムの娘ゴメルをめとった。彼女はみごもって男の子を産んだ。

4

מְעַט	עוֹד	כִּי־	יִזְרְעֶאל	שְׁמוֹ	קְרָא	אֵלָיו	יְהוָה	וַיֹּאמֶר
少しで	もう-少しで	なぜなら	イズレエルと	その-名を	呼べ	彼に	主は	そして-言った
H4592	H5750		H3157	H8034	H7121	H0413	H3068	H0559

מַמְלְכוּת	וְהִשְׁבַּתִּי	יֵהוּא	בֵּית	עַל־	יִזְרְעֶאל	דְּמֵי	אֶת־	וּפָקַדְתִּי
王国を	そして-終わらせる	エヒウの	家に	～の-上に	イズレエルの	血を	～を	そして-罰する
H4468		H3058			H3157	H1818	H0853	

יִשְׂרָאֵל׃	בֵּית
イスラエルの	家の
H3478	

主はまた彼に言われた、「あなたはその子の名をエズレルと名づけよ。しばらくしてわたしはエズレルの血のためにエヒウの家を罰し、イスラエルの家の国を滅ぼすからである。

5

יִזְרְעֶאל׃	בְּעֵמֶק	יִשְׂרָאֵל	קֶשֶׁת	אֶת־	וְשָׁבַרְתִּי	הַהוּא	בַּיּוֹם	וְהָיָה
イズレエルの	谷で	イスラエルの	弓を	～を	そして-折る	その	その-日に	そして-ある
H3157	H6010	H3478	H7198	H0853	H7665	H1931	H3117	H1961

その日、わたしはエズレルの谷でイスラエルの弓を折る」と。

6

שְׁמָהּ	קְרָא	לוֹ	וַיֹּאמֶר	בַּת	וַתֵּלֶד	עוֹד	וַתַּהַר	
その-名を	呼べ	彼に	そして-言った	娘を	そして-産んだ	再び	そして-身ごもった	
H8034	H7121		H0559	H1323	H3205	H5750	H2029	

כִּי־	יִשְׂרָאֵל	בֵּית	אֶת־	אַרְחֵם	עוֹד	אוֹסִיף	לֹא	כִּי	רֻחָמָה לֹא
なぜなら	イスラエルの	家を	～を	憐れまない	もはや	続けない	ない	なぜなら	ロ・ルハマと
	H3478		H0853	H7355	H5750	H3254	H3808		H3819

לָהֶם׃	אֶשָּׂא	נָשֹׂא
彼らから	取り去る	必ず-取り去る
	H5375	H5375

ゴメルはまたみごもって女の子を産んだ。主はホセアに言われた、「あなたはその名をロルハマと名づけよ。わたしはもはやイスラエルの家をあわれまず、決してこれをゆるさないからである。

7

וְלֹא	אֱלֹהֵיהֶם	בַּיהוָה	וְהוֹשַׁעְתִּים	אֲרַחֵם	יְהוּדָה	בֵּית	וְאֶת־	
そして-ない	彼らの-神に-よって	主に-よって	そして-救う	憐れむ	ユダの	家を	そして～を	
H3808	H0430	H3068	H3467	H7355	H3063		H0853	

וּבְפָרָשִׁים׃	בְּסוּסִים	וּבְמִלְחָמָה	וּבְחֶרֶב	בְּקֶשֶׁת	אוֹשִׁיעֵם
また-騎兵に-よって	馬に-よって	また-戦いに-よって	また-剣に-よって	弓に-よって	救わない
		H4421	H2719	H7198	H3467

しかし、わたしはユダの家をあわれみ、その神、主によってこれを救う。わたしは弓、つるぎ、戦争、馬および騎兵によって救うのではない」と。

8

בֵּן׃	וַתֵּלֶד	וַתַּהַר	רֻחָמָה לֹא	אֶת־	וַתִּגְמֹל	
息子を	そして-産んだ	そして-身ごもった	ロ・ルハマを	～を	そして-乳離れした	
	H3205	H2029	H3819	H0853	H1580	

ゴメルはロルハマを乳離れさせたとき、またみごもって男の子を産んだ。

9

עַמִּי	לֹא	אַתֶּם	כִּי	עַמִּי לֹא	שְׁמוֹ	קְרָא	וַיֹּאמֶר	
わが-民では	ない	あなたがたは	なぜなら	ロ・アミと	その-名を	呼べ	そして-言った	
	H3808			H3818	H8034	H7121	H0559	

ס	לָכֶם׃	אֶהְיֶה	לֹא־	וְאָנֹכִי
—	あなたがたの-ために	ある	ない	そして-私は
		H1961	H3808	H0595

主は言われた、「その子の名をロアンミと名づけよ。あなたがたは、わたしの民ではなく、わたしは、あなたがたの神ではないからである」。

10

יִמַּד	לֹא־	אֲשֶׁר	הַיָּם	כְּחוֹל	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי־	מִסְפָּר	וְהָיָה
測れない	ない	それは	海の	浜の–砂の–ように	イスラエルの	子らの	数が	そして–ある
H4058	H3808		H3220	H2344	H3478		H4557	H1961

עַמִּי	לֹא־	לָהֶם	יֵאָמֵר	אֲשֶׁר־	בִּמְקוֹם	וְהָיָה	יִסָּפֵר	וְלֹא
わが–民では	ない	彼らに	言われた	そこで	その–場所で	そして–ある	数えられない	そして–ない
	H3808	H1992	H0559		H4725	H1961		H3808

חָי׃	אֵל־	בְּנֵי	לָהֶם	יֵאָמֵר	אַתֶּם
神の	生ける	子らよ	彼らに	言われる	あなたがたはと
	H0410		H1992	H0559	

しかしイスラエルの人々の数は海の砂のように量ることも、数えることもできないほどになって、さきに彼らが「あなたがたは、わたしの民ではない」と言われたその所で、「あなたがたは生ける神の子である」と言われるようになる。

11

וְשָׂמוּ	יַחְדָּו	יִשְׂרָאֵל	וּבְנֵי־	יְהוּדָה	בְּנֵי־	וְנִקְבְּצוּ		
そして–立てる	共に	イスラエルの	そして–子らが	ユダの	子らが	そして–集められる		
		H3478		H3063		H6908		

גָּדוֹל	כִּי	הָאָרֶץ	מִן־	וְעָלוּ	אֶחָד	רֹאשׁ	לָהֶם	
大いなるかな	なぜなら	その–地から	～から	そして–上る	一つの	一つの–かしらを	彼らの–ために	
		H0776		H5927	H0259			

יִזְרְעֶאל׃	יוֹם
イズレエルの	日は
H3157	H3117

そしてユダの人々とイスラエルの人々は共に集まり、ひとりの長を立てて、その地からのぼって来る。エズレルの日は大いなるものとなる。

Chapter 2

1

רֻחָמָה׃	וְלַאֲחוֹתֵיכֶם	עַמִּי	לַאֲחֵיכֶם	אִמְרוּ	
憐れまれた者と	そして–あなたがたの–姉妹に	わが–民と	あなたがたの–兄弟に	言え	
H7355	H0269		H0251	H0559	

あなたがたの兄弟に向かっては「アンミ（わが民）」と言い、あなたがたの姉妹に向かっては「ルハマ（あわれまれる者）」と言え。

2

לֹא	וְאָנֹכִי	אִשְׁתִּי	לֹא	הִיא	כִּי־	רִיבוּ	בְאִמְּכֶם	רִיבוּ
ない	そして–私は	わが–妻では	ない	彼女は	なぜなら	訴えよ	あなたがたの–母に	訴えよ
H3808	H0595	H0802	H3808	H1931		H7378	H0517	H7378

שָׁדֶיהָ׃	מִבֵּין	וְנַאֲפוּפֶיהָ	מִפָּנֶיהָ	זְנוּנֶיהָ	וְתָסַר	אִישָׁהּ	
彼女の–乳房の	間から	そして–姦通を	彼女の–顔から	姦淫を	そして–取り除け	彼女の–夫では	
	H0996	H5005	H6440	H2183	H5493	H0376	

「あなたがたの母とあげつらえ、あげつらえ――彼女はわたしの妻ではない、わたしは彼女の夫ではない――そして彼女にその顔から淫行を除かせ、その乳ぶさの間から姦淫を除かせよ。

3

וְשַׂמְתִּיהָ	הַיָּלְדָהּ	כְּיוֹם	וְהִצַּגְתִּיהָ	עֶרְמָה	אַפְשִׁיטֶנָּה	פֶּן־		
そして–する	彼女が–生まれた	生まれた–日の–ように	そして–置く	裸にして	剥ぎ取る	さもないと		
	H3205	H3117	H3322	H6174	H6584	H6435		

בַּצָּמָא׃	וַהֲמִתִּיהָ	צִיָּה	כְּאֶרֶץ	וְשַׂתִּיהָ	כְּמִדְבָּר	
渇きで	そして–殺す	乾いた	乾いた–地の–ように	そして–する	荒野の–ように	
H6772	H4191	H6723	H0776	H7896		

そうでなければ、わたしは彼女の着物をはいで裸にし、その生れ出た日のようにし、また荒野のようにし、かわききった地のようにし、かわきによって彼女を殺す。

4 וְאֶת־ לֹא בָנֶיהָ אַרְחֵם כִּי־ בְנֵי זְנוּנִים הֵמָּה׃
そして〜を ない 彼女の−子らを 憐れまない なぜなら 子らは 姦淫の 彼らは
H0853 H3808 H7355 H3808 H1992 H2183

わたしはその子らをあわれまない、彼らは淫行の子らだからである。

5 כִּי זָנְתָה אִמָּם הוֹרָתָם הֹבִישָׁה אָמְרָה כִּי
なぜなら 姦淫した 彼らの−母は 恥ずべき−ことを−した 彼らを−身ごもった−者は なぜなら 言った
H2181 H0517 H3001 H2029 H3808 H0559

אֵלְכָה אַחֲרַי מְאַהֲבַי נֹתְנֵי לַחְמִי וּמֵימַי צַמְרִי
行こう 後を−追って 私の−愛人たちの 与える−者たちの 私の−パンと 私の−水と 私の−羊毛と
H3212 H0157 H5414 H3899 H4325 H6785

וְשִׁקּוּיָי׃ שַׁמְנִי פִּשְׁתִּי
私の−飲み物を 私の−油と 私の−亜麻と
H8250 H8081 H6593

彼らの母は淫行をなし、彼らをはらんだ彼女は恥ずべきことを行った。彼女は言った、『わたしはわが恋人たちについて行こう。彼らはパンと水と羊の毛と麻と油と飲み物とを、わたしに与える者である』と。

6 לָכֵן הִנְנִי־ שָׂךְ אֶת־ דַּרְכֵּךְ בַּסִּירִים וְגָדַרְתִּי אֶת־ גְּדֵרָהּ
それゆえ 見よ−私は ふさぐ 〜を あなたの−道を 茨で そして−壁を−築く 〜を 彼女の−壁を
H2009 H7753 H0853 H1870 H1443 H0853 H1448

וּנְתִיבוֹתֶיהָ לֹא תִמְצָא׃
そして−彼女の−小道を ない 見つけない
H3808 H4672

それゆえ、わたしはいばらで彼女の道をふさぎ、かきをたてて、彼女にはその道がわからないようにする。

7 וְרָדְפָה אֶת־ מְאַהֲבֶיהָ וְלֹא־ תַשִּׂיג אֹתָם וּבִקְשָׁתַם
そして−追う 〜を 彼女の−愛人たちを しかし−ない 追いつかない 彼らに そして−尋ねる
H7291 H0853 H3808 H5381 H0853 H1245

כִּי הָרִאשׁוֹן אִישִׁי אֵלֵךְ וְאָשׁוּבָה אֵלְכָה וְאָמְרָה תִמְצָא וְלֹא
なぜなら 初めの 私の−夫の 〜に そして−戻ろう 行こう そして−言う 見つけない しかし−ない
H3588 H7223 H0376 H0413 H7725 H3212 H0559 H4672 H3808

מֵעָתָּה׃ אָז לִי טוֹב
今よりも その−時は 私にとって 良かった
H6258

彼女はその恋人たちのあとを慕って行く、しかし彼らに追いつくことはない。彼らを尋ねる、しかし見いだすことはない。そこで彼女は言う、『わたしは行って、さきの夫に帰ろう。あの時は今よりもわたしによかったから』と。

8 וְהִיא לֹא יָדְעָה כִּי אֲנֹכִי נָתַתִּי לָהּ הַדָּגָן
しかし−彼女は ない 知らなかった それは 私が 与えたのに 彼女に 穀物と
H1931 H3808 H3045 H0595 H5414 H3588 H1715

וְהַתִּירוֹשׁ וְהַיִּצְהָר וְכֶסֶף הִרְבֵּיתִי לָהּ וְזָהָב עָשׂוּ
そして−新しい−葡萄酒と そして−油を そして−銀を 豊かに−与えた 彼女に そして−金を 用いた
H8492 H3323 H3701 H7235 H3588 H2091 H6213

לַבָּעַל׃
バアルの−ために

彼女に穀物と酒と油とを与えた者、またバアルのために用いた銀と金とを多く彼女に与えた者は、わたしであったことを彼女は知らなかった。

9 לָכֵן אָשׁוּב וְלָקַחְתִּי דְגָנִי בְּעִתּוֹ וְתִירוֹשִׁי בְּמוֹעֲדוֹ
それゆえ 取り戻す そして–取る 私の–穀物を その–時に そして–私の–葡萄酒を
H7725 H3947 H1715 H6256 H8492 H4150

וְהִצַּלְתִּי צַמְרִי וּפִשְׁתִּי לְכַסּוֹת עֶרְוָתָהּ׃ אֶת־
そして–奪い取る 私の–羊毛と 私の–亜麻を 覆う–ための 彼女の–裸を ～を
H5337 H6785 H6593 H3680 H6172 H0853

それゆえ、わたしは穀物をその時になって奪い、ぶどう酒をその季節になって奪い、また彼女の裸をおおうために用いる羊の毛と麻とを奪い取る。

10 וְעַתָּה אֶגַּלֶּה אֶת־נַבְלָהּ לְעֵינֵי מְאַהֲבֶיהָ וְאִישׁ לֹא־
そして–今 あらわにする ～を 彼女の–恥を 目の–前で 彼女の–愛人たちの そして–誰も ない
H6258 H1540 H0853 H5040 H0376 H3808

יַצִּילֶנָּה מִיָּדִי׃
救えない 私の–手から
H5337 H3027

わたしは今、彼女のみだらなことをその恋人たちの目の前にあらわす。だれも彼女をわたしの手から救う者はない。

11 וְהִשְׁבַּתִּי כָּל־ מְשׂוֹשָׂהּ חַגָּהּ חָדְשָׁהּ וְשַׁבַּתָּהּ
そして–終わらせる すべての 彼女の–喜びを 彼女の–祭りを 彼女の–新月を そして–彼女の–安息日を
H3605 H4885 H2282 H2320 H7676

וְכָל מוֹעֲדָהּ׃
そして–すべての 彼女の–例祭を
H3605 H4150

わたしは彼女のすべての楽しみ、すなわち祝、新月、安息日、すべての祭をやめさせる。

12 וְהַשַּׁמֹּתִי גַּפְנָהּ וּתְאֵנָתָהּ אֲשֶׁר אָמְרָה הֲלָמָּה אֶתְנָה
そして–荒らす 彼女の–葡萄の–木と 彼女の–いちじくの–木を それらは 言った 報酬だ それらは
H8074 H1612 H8384 H0834 H0559 H0868 H1992

לִּי אֲשֶׁר נָתְנוּ־ לִי מְאַהֲבַי וְשַׂמְתִּים לְיַעַר וַאֲכָלָתַם
私の–ための それらを 与えた 私に 私の–愛人たちが そして–する 森に そして–食い荒らす
H0834 H5414 H0853 H0157 H7760 H3293 H0398

חַיַּת הַשָּׂדֶה׃
獣が 野の
H2416 H7704

わたしはまた彼女が先に『これはわたしの恋人らが、わたしに与えた報酬だ』と言った彼女のぶどうの木と、いちじくの木とを荒し、これを林とし、野の獣にこれを食わせる。

13 וּפָקַדְתִּי עָלֶיהָ אֶת־ יְמֵי הַבְּעָלִים אֲשֶׁר תְּקַטֵּיר לָהֶם
そして–罰する 彼女の–上に ～を 日々を バアルたちの それらに 香を–たいた 彼らに
H6485 H5921 H0853 H3117 H1168 H0834 H6999 H1992

וַתֵּעַד נִזְמָהּ וְחֶלְיָתָהּ וַתֵּלֶךְ אַחֲרֵי מְאַהֲבֶיהָ
そして–飾った 彼女の–耳輪と 彼女の–首飾りを そして–行った 後を–追って 彼女の–愛人たちの
H5710 H5141 H2481 H3212 H0310 H4758

וְאֹתִי שָׁכְחָה נְאֻם־ יְהוָה׃ פ
そして–私を 忘れた 宣言する 主が —
H0853 H7911 H5002 H3068

また彼女が耳輪と宝石で身を飾り、その恋人たちを慕って行って、わたしを忘れ、香をたいて仕えたバアルの祭の日のために、わたしは彼女を罰すると主は言われる。

14 לָכֵן הִנֵּה אָנֹכִי מְפַתֶּיהָ וְהֹלַכְתִּיהָ הַמִּדְבָּר וְדִבַּרְתִּי עַל לִבָּהּ׃
それゆえ 見よ 私は 彼女を-誘う そして-導く 荒野に そして-語る 〜に 彼女の-心に
H3212 H0595 H2009 H1696

それゆえ、見よ、わたしは彼女をいざなって、荒野に導いて行き、ねんごろに彼女に語ろう。

15 וְנָתַתִּי לָהּ אֶת־כְּרָמֶיהָ מִשָּׁם וְאֶת־עֵמֶק עָכוֹר לְפֶתַח תִּקְוָה וְעָנְתָה שָּׁמָּה כִּימֵי נְעוּרֶיהָ
そして-与える 彼女に 〜を 彼女の-葡萄畑を そこから そして〜を 谷を アコルの 希望の-扉として そして-応える そこで 若き-日の-ように 彼女の-若き-日の
H5414 H6607 H3117

וְכִיּוֹם עֲלֹתָהּ מֵאֶרֶץ מִצְרָיִם׃ ס
そして-その-日の-ように 彼女が-上った 地から エジプトの —
H5927 H0776 H4714

その所でわたしは彼女にそのぶどう畑を与え、アコルの谷を望みの門として与える。その所で彼女は若かった日のように、エジプトの国からのぼって来た時のように、答えるであろう。

16 וְהָיָה בַּיּוֹם הַהוּא נְאֻם־יְהוָה תִּקְרְאִי אִישִׁי וְלֹא־תִקְרְאִי לִי עוֹד בַּעְלִי׃
そして-ある その-日に 宣言する 主が 呼ぶ わが-夫よと そして-ない 呼ばない 私を もはや わが-バアルよと
H1961 H3117 H5002 H3068 H7121 H0376 H3808 H7121 H5750 H1180

主は言われる、その日には、あなたはわたしを『わが夫』と呼び、もはや『わがバアル』とは呼ばない。

17 וְהַסִרֹתִי אֶת־שְׁמוֹת הַבְּעָלִים מִפִּיהָ וְלֹא־יִזָּכְרוּ עוֹד בִּשְׁמָם׃
そして-取り除く 〜を 名を バアルたちの 彼女の-口から そして-ない 思い出さない もはや その-名に-よって
H5493 H0853 H8034 H6310 H3808 H2142 H5750 H8034

わたしはもろもろのバアルの名を彼女の口から取り除き、重ねてその名をとなえることのないようにする。

18 וְכָרַתִּי לָהֶם בְּרִית בַּיּוֹם הַהוּא עִם־חַיַּת הַשָּׂדֶה וְעִם־עוֹף הַשָּׁמַיִם וּרְמֶשׂ הָאֲדָמָה וְקֶשֶׁת וְחֶרֶב וּמִלְחָמָה אֶשְׁבּוֹר מִן־הָאָרֶץ וְהִשְׁכַּבְתִּים לָבֶטַח׃
そして-結ぶ 彼らの-ために 契約を その-日に 〜と 獣と 野の そして〜と 鳥と そして-這うものと 地の 弓と そして-戦いを 剣と 折る 〜から 天の そして-休ませる 安らかに
H3772 H1285 H3117 H0776 H5775 H8064 H7431 H0127 H7198 H4421 H2719 H7665 H0776 H7901 H0983

その日には、わたしはまたあなたのために野の獣、空の鳥および地の這うものと契約を結び、また弓と、つるぎと、戦争とを地から断って、あなたを安らかに伏させる。

19 וְאֵרַשְׂתִּיךְ לִי לְעוֹלָם וְאֵרַשְׂתִּיךְ לִי בְּצֶדֶק וּבְמִשְׁפָּט וּבְחֶסֶד
そして–婚約する 私に 永遠に そして–婚約する 私に 義と そして–公正と そして–憐れみと
H0781 H5769 H0781 H6664 H4941

וּבְרַחֲמִים׃
そして–愛とを–もって

またわたしは永遠にあなたとちぎりを結ぶ。すなわち正義と、公平と、いつくしみと、あわれみとをもってちぎりを結ぶ。

20 וְאֵרַשְׂתִּיךְ לִי בֶּאֱמוּנָה וְיָדַעַתְּ אֶת־יְהוָה׃ ס
そして–婚約する 私に 誠実を–もって そして–知る ～を 主を —
H0781 H0530 H3045 H0853 H3068

わたしは真実をもって、あなたとちぎりを結ぶ。そしてあなたは主を知るであろう。

21 וְהָיָה בַּיּוֹם הַהוּא אֶעֱנֶה נְאֻם־יְהוָה אֶעֱנֶה אֶת־הַשָּׁמַיִם וְהֵם
そして–ある その–日に その 答える 宣言する 主が 答える ～に 天に そして–それらは
H1961 H3117 H1931 H6030 H3068 H6030 H0853 H8064 H1992

יַעֲנוּ אֶת־הָאָרֶץ׃
答える ～に 地に
H6030 H0853 H0776

主は言われる、その日わたしは天に答え、天は地に答える。

22 וְהָאָרֶץ תַּעֲנֶה אֶת־הַדָּגָן וְאֶת־הַתִּירוֹשׁ וְאֶת־הַיִּצְהָר וְאֵת׃
そして–地は 答える ～に 穀物に そして～に 新しい–葡萄酒に そして～に 油に
H0776 H6030 H0853 H1715 H0853 H8492 H0853 H3323

יִזְרְעֶאל׃ אֶת־יַעֲנוּ וְהֵם
イズレエルに ～に 答える そして–それらは
H3157 H0853 H6030 H1992

地は穀物と酒と油とに答え、またこれらのものはエズレルに答える。

23 וּזְרַעְתִּיהָ לִי בָּאָרֶץ וְרִחַמְתִּי אֶת־לֹא רֻחָמָה
そして–種を–まく 私の–ために 地に そして–憐れむ ～を ない 憐れまれなかった–者を
H2232 H0776 H7355 H0853 H3808 H7355

וְאָמַרְתִּי לְלֹא־עַמִּי עַמִּי־אָתָּה וְהוּא יֹאמַר אֱלֹהָי׃
そして–言う ～に わが–民では–ない–者に わが–民よ あなたはと そして–彼は 言う わが–神よと
H0559 H3808 H5971 H5971 H0859 H1931 H0559 H0430

פ
—

わたしはわたしのために彼を地にまき、あわれまれぬ者をあわれみ、わたしの民でない者に向かって、『あなたはわたしの民である』と言い、彼は『あなたはわたしの神である』と言う」。

Chapter 3

1

רֵעַ	אֲהֻבַת	אִשָּׁה	אֲהַב־	לֵךְ	עוֹד	אֵלַי	יְהוָה	וַיֹּאמֶר
他の–男に	愛されている	女を	愛せよ	行け	再び	私に	主は	そして–言った
H7453	H0157	H0802	H0157	H3212	H5750	H0413	H3068	H0559

אֶל־	פְּנֵי	וְהֵם	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי	אֶת־	יְהוָה	כְּאַהֲבַת	וּמְנָאֲפֶת
～に	向く	しかし–彼らは	イスラエルの	子らを	～を	主の	愛の–ように	そして–姦通する–者を
H0413	H6437	H1992	H3478		H0853	H3068	H0160	H5003

עֲנָבִים׃	אֲשִׁישֵׁי	וְאֹהֲבֵי	אֲחֵרִים	אֱלֹהִים
葡萄の	干し–葡萄の–菓子を	そして–愛する	他の	他の–神々に
H6025	H0809	H0157	H0312	H0430

主はわたしに言われた、「あなたは再び行って、イスラエルの人々が他の神々に転じて、干ぶどうの菓子を愛するにもかかわらず、主がこれを愛せられるように、姦夫に愛せられる女、姦淫を行う女を愛せよ」と。

2

שְׂעֹרִים	וְחֹמֶר	כֶּסֶף	עֲשָׂר	בַּחֲמִשָּׁה	לִי	וָאֲכַרֶהָ	
大麦と	そして–一–ホメルの	銀で	十五	十五の	私の–ために	そして–買った	
H8184		H3701	H6240	H2568			

שְׂעֹרִים׃	וְלֶתֶךְ	
大麦で	そして–半–ホメルの	
H8184	H3963	

そこでわたしは銀十五シケルと大麦一ホメル半とをもって彼女を買い取った。

3

וְלֹא	תִזְנִי	לָא	לִי	תֵּשְׁבִי	רַבִּים	יָמִים	אֵלֶיהָ	וָאֹמַר	
そして–ない	姦淫するな	ない	私の–ために	座って–いよ	多くの	日々	彼女に	そして–言った	
H3808	H2181	H3808		H3427		H3117	H0413	H0559	

אֵלָיִךְ׃	אֲנִי	וְגַם־	לְאִישׁ	תִּהְיִי
あなたに–対して	私も	そして–また	他の–男の–ものに	なるな
H0413	H0589	H1571	H0376	H1961

わたしは彼女に言った、「あなたは長くわたしの所にとどまって、淫行をなさず、また他の人のものとなってはならない。わたしもまた、あなたにそうしよう」と。

4

שָׂר	וְאֵין	מֶלֶךְ	אֵין	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי	יֵשְׁבוּ	רַבִּים	יָמִים	כִּי
君も	そして–なく	王も	なく	イスラエルの	子らは	座る	多くの	日々	なぜなら
H8269	H0369	H4428	H0369	H3478		H3427		H3117	

וּתְרָפִים׃	אֵפוֹד	וְאֵין	מַצֵּבָה	וְאֵין	זֶבַח	וְאֵין	
そして–テラピムも	エポデも	そして–なく	石の–柱も	そして–なく	いけにえも	そして–なく	
H8655	H0646	H0369	H4676	H0369	H2077	H0369	

イスラエルの子らは多くの日の間、王なく、君なく、犠牲なく、柱なく、エポデおよびテラピムもなく過ごす。

5

וְאֶת	אֱלֹהֵיהֶם	יְהוָה	אֶת־	וּבִקְשׁוּ	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי	יָשֻׁבוּ	אַחַר
そして～を	彼らの–神を	主を	～を	そして–尋ねる	イスラエルの	子らは	帰る	その–後
H0853	H0430	H3068	H0853	H1245	H3478		H7725	

בְּאַחֲרִית	טוּבוֹ	וְאֶל־	יְהוָה	אֶל־	וּפָחֲדוּ	מַלְכָּם	דָּוִד	
終わりの–日に	その–恵みに	そして～に	主に	～に	そして–疑れつつ–近づく	彼らの–王を	ダビデを	
H0319	H2898	H0413	H3068	H0413	H6342	H4428	H1732	

פ	הַיָּמִים׃
—	日々の
	H3117

そしてその後イスラエルの子らは帰って来て、その神、主と、その王ダビデとをたずね求め、終りの日におののいて、主とその恵みに向かって来る。

Chapter 4

יוֹשְׁבֵי	עִם־	לַיהוָה	רִיב	כִּי	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי	יְהוָה	דְּבַר־	שִׁמְעוּ	1
住む–者たちと	～と	主には–ある	訴えが	なぜなら	イスラエルの	子らよ	主の	言葉を	聞け	
H3427		H3068	H7379		H3478		H3068	H1697	H8085	

בָּאָרֶץ׃	אֱלֹהִים	דַּעַת	וְאֵין־	חֶסֶד	וְאֵין־	אֱמֶת	אֵין־	כִּי	הָאָרֶץ
その–地に	神の	知識が	そして–ない	憐れみが	そして–ない	誠実が	ない	なぜなら	その–地の
H0776	H0430	H1847	H0369		H0369	H0571	H0369		H0776

イスラエルの人々よ、主の言葉を聞け。主はこの地に住む者と争われる。この地には真実がなく、愛情がなく、また神を知ることもないからである。

נָגָעוּ׃	בְּדָמִים	וְדָמִים	פָּרָצוּ	וְנָאֹף	וְגָנֹב	וְרָצֹחַ	וְכַחֵשׁ	אָלָה	2
触れた	血に	そして–血が	はびこり	姦通が	盗みと	殺人と	偶りと	呪いと	
H5060	H1818	H1818	H6555	H5003	H1589	H7523	H3584	H0422	

ただのろいと、偽りと、人殺しと、盗みと、姦淫することのみで、人々は皆荒れ狂い、殺害に殺害が続いている。

בָּהּ	יוֹשֵׁב	כָּל־	וְאֻמְלַל	הָאָרֶץ	תֶּאֱבַל	וְכֵן	עַל־	3
その–中の	住む–者は	すべての	そして–衰える	その–地は	嘆く	それゆえ	それ–ゆえに	
	H3427	H3605	H0535	H0776	H0056			

יֵאָסֵפוּ׃	הַיָּם	דְּגֵי	וְגַם־	הַשָּׁמָיִם	וּבְעוֹף	הַשָּׂדֶה	בְּחַיַּת	
取り去られる	海の	魚も	そして–また	天の	そして–空の–鳥と–共に	野の	野の–獣と–共に	
H0622	H3220	H1709	H1571	H8064	H5775			

それゆえ、この地は嘆き、これに住む者はみな、野の獣も空の鳥も共に衰え、海の魚さえも絶えはてる。

וְעַמְּךָ	אִישׁ	יוֹכַח	וְאַל־	יָרֵב	אַל־	אִישׁ	אַךְ	4
そして–あなたの–民は	人を	責めるな	そして–ない	争うな	ない	人は	しかし	
	H0376	H3198	H0408	H7378	H0408	H0376	H0389	

כֹּהֵן׃	כְּמְרִיבֵי
祢司と	争う–者の–ように
H3548	H7378

しかし、だれも争ってはならない、責めてはならない。祭司よ。わたしの争うのは、あなたと争うのだ。

וְדָמִיתִי	לָיְלָה	עִמְּךָ	נָבִיא	גַּם־	וְכָשַׁל	הַיּוֹם	וְכָשַׁלְתָּ	5
そして–滅ぼす	夜に	あなたと–共に	預言者も	また	そして–つまずく	昼に	そして–つまずく	
H1820	H3915		H5030	H1571	H3782	H3117	H3782	

אִמֶּךָ׃
あなたの–母を
H0517

あなたは昼つまずき、預言者もまたあなたと共に夜つまずく。わたしはあなたの母を滅ぼす。

6

נִדְמוּ	עַמִּי	מִבְּלִי	הַדַּעַת	כִּי־	אַתָּה	הַדַּעַת	מָאַסְתָּ	וְאֶמְאָסְךָ
滅びた	わが–民は	ない–ために	知識の	なぜなら	あなたが	知識を	拒んだ	そして–拒む
H1820		H1097	H1847			H1847		

בָּנֶיךָ	אֶשְׁכַּח	אֱלֹהֶיךָ	תּוֹרַת	וַתִּשְׁכַּח	לִי	מִכַּהֵן
あなたの–子らを	忘れる	あなたの–神の	律法を	そして–忘れた	私の–ための	祢司で–あることから
	H7911	H0430	H8451	H7911		H3547

גַּם־	אָנִי׃
また	私も
H1571	H0589

わたしの民は知識がないために滅ぼされる。あなたは知識を捨てたゆえに、わたしもあなたを捨てて、わたしの祭司としない。あなたはあなたの神の律法を忘れたゆえに、わたしもまたあなたの子らを忘れる。

7

אָמִיר׃	בְּקָלוֹן	כְּבוֹדָם	לִי	חָטְאוּ־	כֵּן	כְּרָבָּם
変える	恥に	彼らの–栄光を	私に–対して	罪を–犯した	その–ように	増えるに–つれて
H4171	H7036	H3519		H2398		

彼らは大きくなるにしたがって、ますますわたしに罪を犯したゆえ、わたしは彼らの栄えを恥に変える。

8

נַפְשׁוֹ׃	יִשְׂאוּ	עֲוֹנָם	וְאֶל־	יֹאכְלוּ	עַמִּי	חַטָּאת
その–魂を	向ける	彼らの–咸に	そして〜に	食らう	わが–民の	罪を
H5315	H5375	H5771	H0413	H0398		

彼らはわが民の罪を食いものにし、その罪を犯すことをせつに願っている。

9

וּמַעַלְלָיו	דְּרָכָיו	עָלָיו	וּפָקַדְתִּי	כַּכֹּהֵן	כָּעָם	וְהָיָה	
そして–その–行いを	その–道を	彼の–上に	そして–罰する	祢司の–ように	民の–ように	そして–ある	
H4611	H1870			H3548		H1961	

אָשִׁיב	לוֹ׃
報いる	彼に
H7725	

それゆえ祭司も民と同じようになる。わたしはそのわざのために彼らを罰し、そのおこないのために彼らに報いる。

10

יְהוָה	אֶת־	כִּי־	יִפְרֹצוּ	וְלֹא	הִזְנוּ	יִשְׂבָּעוּ	וְלֹא	וְאָכְלוּ
主を	〜を	なぜなら	増えない	しかし–ない	姦淫した	満足しない	しかし–ない	そして–食べる
H3068	H0853		H6555	H3808	H2181	H7646	H3808	H0398

לִשְׁמֹר׃	עָזְבוּ
守ることを	捨てた
H8104	

彼らは食べても飽くことなく、淫行をなしてもその数を増すことがない。彼らは主を捨てて、淫行を愛したからである。

11

לֵב׃	יִקַּח־	וְתִירוֹשׁ	וְיַיִן	זְנוּת
心を	奪う	そして–新しい–葡萄酒が	そして–葡萄酒と	姦淫と
	H3947	H8492	H3196	H2184

酒と新しい酒とは思慮を奪う。

12

הִתְעָה	זְנוּנִים	רוּחַ	כִּי	לוֹ	יַגִּיד	וּמַקְלוֹ	יִשְׁאָל	בְּעֵצוֹ	עַמִּי
迷わせた	姦淫の	霊が	なぜなら	彼に	告げる	そして–その–杖が	尋ねる	その–木に	わが–民は
H8582	H2183	H7307			H5046	H4731	H7592	H6086	

אֱלֹהֵיהֶם׃	מִתַּחַת	וַיִּזְנוּ
彼らの–神から	離れて	そして–姦淫した
H0430	H8478	H2181

わが民は木に向かって事を尋ねる。またそのつえは彼らに事を示す。これは淫行の霊が彼らを迷わしたからである。彼らはその神を捨てて淫行をなした。

13

עַל־	רָאשֵׁי	הֶהָרִים	יְזַבֵּחוּ	וְעַל־	הַגְּבָעוֹת	יְקַטֵּרוּ	תָּחַת
～の–上で	頂で	山々の	いけにえを–ささげる	そして–～の–上で	丘の–上で	香を–たく	下で
		H2022	H2076		H1389		H8478

עַל־	צִלָּהּ	טוֹב	כִּי	וְאֵלָה	וְלִבְנֶה	אַלּוֹן
それ–ゆえに	その–陰が	良い	なぜなら	そして–テレビンの–木の	そして–ポプラと	樫の–木と
	H6738			H0424	H3839	H0437

תְּנָאַפְנָה׃	וְכַלּוֹתֵיכֶם	בְּנוֹתֵיכֶם	תִּזְנֶינָה	כֵּן
姦通する	そして–あなたがたの–嫁らは	あなたがたの–娘らは	姦淫する	それゆえ
H5003	H3618	H1323	H2181	

彼らは山々の頂で犠牲をささげ、丘の上、かしの木、柳の木、テレビンの木の下で供え物をささげる。これはその木陰がここちよいためである。それゆえ、あなたがたの娘は淫行をなし、あなたがたの嫁は姦淫を行う。

14

וְעַל־	תִּזְנֶינָה	כִּי	בְּנוֹתֵיכֶם	עַל־	אֶפְקֹד	לֹא־
そして–～の–上に	姦淫するとき	なぜなら	あなたがたの–娘らを	～の–上に	罰しない	ない
	H2181		H1323			H3808

יִפָּרֵדוּ	הַזֹּנוֹת	עִם־	הֵם	כִּי־	תְנָאַפְנָה	כִּי	כַלּוֹתֵיכֶם
退く	遊女たちと	～と	彼らが	なぜなら	姦通するとき	なぜなら	あなたがたの–嫁らを
H6504	H2181		H1992		H5003		H3618

יִלָּבֵט׃	יָבִין	לֹא־	וְעָם	יְזַבֵּחוּ	הַקְּדֵשׁוֹת	וְעִם־
打ち倍される	惟る	ない	そして–民は	いけにえを–ささげる	神殿–娼婦たちと	そして～と
H3832	H0995	H3808		H2076	H6948	

わたしはあなたがたの娘が淫行をしても罰しない。またあなたがたの嫁が姦淫を行っても罰しない。男たちみずから遊女と共に離れ去り、宮の遊女と共に犠牲をささげているからである。悟りのない民は滅びる。

15

תָּבֹאוּ	וְאַל־	יְהוּדָה	יֶאְשַׁם	אַל־	יִשְׂרָאֵל	אַתָּה	זֹנֶה	אִם־
行くな	そして–ない	ユダは	罪を–負うな	ない	イスラエルよ	あなたが	姦淫するなら	もし
H0935	H0408	H3063	H0816	H0408	H3478		H2181	

יְהוָה׃	חַי־	תִּשָּׁבְעוּ	וְאַל־	אָוֶן בֵּית	תַּעֲלוּ	וְאַל־	הַגִּלְגָּל
主に–かけて	生ける	誓うな	そして–ない	ベト・アヴェンに	上るな	そして–ない	ギルガルに
H3068		H7650	H0408	H1007	H5927	H0408	H1537

イスラエルよ、あなたは淫行をなしても、ユダに罪を犯させてはならない。ギルガルへ行ってはならない。ベテアベンにのぼってはならない。また「主は生きておられる」と言って誓ってはならない。

16

כְּכֶבֶשׂ	יְהוָה	יִרְעֵם	עַתָּה	יִשְׂרָאֵל	סָרֵר	סֹרֵרָה	כְּפָרָה	כִּי
小羊の–ように	主は	養う	今	イスラエルは	強情で–ある	強情な	雌牛の–ように	なぜなら
H3532	H3068		H6258	H3478	H5637	H5637	H6510	

בַּמֶּרְחָב׃
広い–牧草地で
H4800

イスラエルは強情な雌牛のように強情である。今、主は小羊を広い野に放つようにして、彼らを養うことができようか。

17

לוֹ׃	הָנַח־	אֶפְרַיִם	עֲצַבִּים	חָבוּר
彼を	放って–おけ	エフライムは	偶像に	結びついた
	H3240	H0669	H6091	H2266

エフライムは偶像に結びつらなった。そのなすにまかせよ。

מָגִנָּיהָ׃	קָלוֹן	הֵבוּ	אָהֲבוּ	הִזְנוּ	הַזְנֵה	סָבְאָם	סָר	18
彼女の–盾たちは	恥を	与えよ	愛した	姦淫を–行った	姦淫に–姦淫した	彼らの–酒宴は	去った	
H4043	H7036	H0157	H0157	H2181	H2181	H5435	H5493	

彼らは酒宴のとりことなり、淫行にふけっている。彼らはその光栄よりも恥を愛する。

ס	מִזִּבְחוֹתָם	וְיֵבֹשׁוּ	בְּכִנָּפֶיהָ	אֹתָהּ	רוּחַ	צָרַר	19
—	その–祭壇を	そして–恥じる	その–翼で	彼女を	風が	包んだ	
	H2077	H0954	H3671	H0853	H7307		

風はその翼に彼らを包んだ。彼らはその祭壇のゆえに恥を受ける。

Chapter 5

הַמֶּלֶךְ׃	וּבֵית	יִשְׂרָאֵל	בֵּית	וְהַקְשִׁיבוּ	הַכֹּהֲנִים	זֹאת	שִׁמְעוּ־	1
王の	そして–家よ	イスラエルの	家よ	そして–耳を–傾けよ	祢司たちよ	これを	聞け	
H4428		H3478		H7181	H3548	H2063	H8085	

הֱיִיתֶם	פַּח	כִּי־	הַמִּשְׁפָּט	לָכֶם	כִּי	הַאֲזִינוּ	
あなたがたは	罠と–なった	なぜなら	裁きが–ある	あなたがたに	なぜなら	耳を–傾けよ	
H1961			H4941			H0238	

תָּבוֹר׃	עַל־	פְּרוּשָׂה	וְרֶשֶׁת	לְמִצְפָּה
タボルの	～の–上に	張られた	そして–網と–なった	ミツパに–対して
H8396		H6566	H7568	H4709

祭司たちよ、これを聞け、イスラエルの家よ、心をとめよ、王の家よ、耳を傾けよ、さばきはあなたがたに臨む。あなたがたはミツパにわなを設け、タボルの上に網を張ったからだ。

לְכֻלָּם׃	מוּסָר	וַאֲנִי	הֶעְמִיקוּ	שַׁטִּים	וְשַׁחֲטָה	2
彼ら–すべてに–対して	懲らしめと–なる	そして–私は	深く	背く–者たちは	そして–殺した	
H3605	H4148	H0589	H6009	H7846		

彼らはシッテムの穴を深くしたが、わたしは彼らをことごとく懲らしめる。

כִּי	מִמֶּנִּי	נִכְחָד	לֹא־	וְיִשְׂרָאֵל	אֶפְרַיִם	יָדַעְתִּי	אֲנִי	3
なぜなら	私から	隠れて–いない	ない	そして–イスラエルは	エフライムを	知っている	私は	
		H3582	H3808	H3478	H0669	H3045	H0589	

יִשְׂרָאֵל׃	נִטְמָא	אֶפְרַיִם	הִזְנֵיתָ	עַתָּה
イスラエルは	汚れた	エフライムは	姦淫した	今
H3478		H0669	H2181	H6258

わたしはエフライムを知っている。イスラエルはわたしに隠れることがない。エフライムよ、あなたは今淫行をなし、イスラエルは汚された。

זְנוּנִים	רוּחַ	כִּי	אֱלֹהֵיהֶם	אֶל־	לָשׁוּב	מַעַלְלֵיהֶם	יִתְּנוּ	לֹא	4
姦淫の	霊が	なぜなら	彼らの–神に	～に	帰ることを	彼らの–行いは	許さない	ない	
H2183	H7307		H0430	H0413	H7725	H4611	H5414	H3808	

יָדָעוּ׃	לֹא	יְהוָה	וְאֶת־	בְּקִרְבָּם	
知らない	ない	主を	そして～を	彼らの–内に–あり	
H3045	H3808	H3068	H0853	H7130	

彼らのおこないは彼らを神に帰らせない。それは淫行の霊が彼らのうちにあって、主を知ることができないからだ。

5 וְעָנָה גְאוֹן־ יִשְׂרָאֵל בְּפָנָיו וְיִשְׂרָאֵל וְאֶפְרַיִם יִכָּשְׁלוּ
そして–証言する 高慢が イスラエルの その–顔に そして–イスラエルと エフライムは つまずく
H6030 H1347 H3478 H6440 H3478 H0669 H3782

בַּעֲוֹנָם כָּשַׁל יְהוּדָה גַּם־ עִמָּם׃
その–咸に–よって つまずいた ユダも また 彼らと–共に
H5771 H3782 H3063 H1571

イスラエルの誇はその顔に向かって証言している。エフライムはその不義によってつまずき、ユダもまた彼らと共につまずく。

6 בְּצֹאנָם וּבִבְקָרָם יֵלְכוּ לְבַקֵּשׁ אֶת־ יְהוָה וְלֹא יִמְצָאוּ
彼らの–羊と 彼らの–牛を–もって 行く 尋ねる–ために ～を 主を しかし–ない 見つけない
H6629 H1241 H3212 H1245 H0853 H3068 H3808 H4672

חָלַץ מֵהֶם׃
退いた 彼らから
H1992

彼らは羊の群れ、牛の群れを携えて行って、主を求めても、主に会うことはない。主は彼らから離れ去られた。

7 בַּיהוָה בָּגָדוּ כִּי־ בָנִים זָרִים יָלָדוּ עַתָּה יֹאכְלֵם חֹדֶשׁ אֶת־
主に–対して 裏切った なぜなら 子らを 異なる 産んだ 今 食い尽くす 新月が ～を
H3068 H0898 H3588 H1121 H2114 H3205 H6258 H0398 H2320 H0853

חֶלְקֵיהֶם׃ ס
彼らの–分け前を —

彼らは主にむかって貞操を守らず、ほかの者の子を産んだ。新月は彼らをその田畑と共に滅ぼす。

8 תִּקְעוּ שׁוֹפָר בַּגִּבְעָה חֲצֹצְרָה בָּרָמָה הָרִיעוּ אָוֶן בֵּית אַחֲרֶיךָ בִּנְיָמִין׃
吹け 角笛を ギベアで ラッパを ラマで 叫べ ベト・アヴェンで あなたの–後に ベニヤミンよ
H8628 H7782 H1390 H2689 H7414 H7321 H1007 H0310 H1144

ギベアで角笛を吹き、ラマでラッパを鳴らし、ベテアベンで呼ばわり叫べ。ベニヤミンよ、おののけ。

9 אֶפְרַיִם לְשַׁמָּה תִּהְיֶה בְּיוֹם תּוֹכָחָה בְּשִׁבְטֵי יִשְׂרָאֵל הוֹדַעְתִּי
エフライムは 荒れ地に なる その–日に 懲らしめの 部族たちの–間で イスラエルの 知らせた
H0669 H8047 H1961 H3117 H8433 H7626 H3478 H3045

נֶאֱמָנָה׃
確かなことを
H0539

エフライムは刑罰の日に荒れすたれる。わたしはイスラエルの部族のうちに、必ず起るべき事を知らせる。

10 הָיוּ יְהוּדָה שָׂרֵי כִּמַסִּיגֵי גְּבוּל עֲלֵיהֶם אֶשְׁפּוֹךְ כַּמָּיִם
なった ユダの 君たちは 境を–動かす–者の–ように 境を 彼らの–上に 注ぎ出す 水の–ように
H1961 H3063 H8269 H5253 H1366 H5678 H8210 H4325

עֶבְרָתִי׃
私の–怒りを
H5678

ユダの君たちは境を移す者のようになった。わたしはわが怒りを水のように彼らの上に注ぐ。

11 עָשׁוּק אֶפְרַיִם רְצוּץ מִשְׁפָּט כִּי הוֹאִיל הָלַךְ אַחֲרֵי־ צָו׃
虐げられた エフライムは 砕かれた 裁きが なぜなら 喜んで 従った 後を–追って 空しい–定めの
H6231 H0669 H7533 H4941 H3588 H2974 H1980 H0310 H6673

エフライムは甘んじて、むなしいものに従って歩んだゆえ、さばきを受けて、しえたげられ、打ちひしがれる。

12 וַאֲנִי כְּעָשׁ לְאֶפְרַיִם וְכָרָקָב לְבֵית יְהוּדָה׃
そして–私は 蛾の–ように エフライムに–対して そして–腐れの–ように 家に–対して ユダの
H0589 H6211 H0669 H7538 H1004 H3063

それゆえ、わたしはエフライムには、しみのように、ユダの家には腐れのようになる。

13 וַיַּרְא אֶפְרַיִם אֶת־חָלְיוֹ וִיהוּדָה אֶת־מְזֹרוֹ וַיֵּלֶךְ
そして–見た エフライムは ～を その–病を そして–ユダは ～を その–傷を そして–行った
H7200 H0669 H0853 H2483 H3063 H0853 H4205 H3212

אֶפְרַיִם אֶל־אַשּׁוּר וַיִּשְׁלַח אֶל־מֶלֶךְ יָרֵב וְהוּא לֹא
エフライムは ～に アッシリアに そして–遣わした ～に 王に ヤレブの しかし–彼は ない
H0669 H0413 H0804 H7971 H0413 H4428 H3377 H1931 H3808

יוּכַל לִרְפָּא לָכֶם וְלֹא־יִגֶּהּ מִכֶּם מָזוֹר׃
できない 癒すことが あなたがたを そして–ない 取り除かない あなたがたから 傷を
H3201 H7495 H0376 H3808 H1455 H0376 H4205

エフライムはおのれの病を見、ユダはおのれの傷を見たとき、エフライムはアッスリヤに行き、大王に人をつかわした。しかし彼はあなたがたをいやすことができない。また、あなたがたの傷をなおすことができない。

14 כִּי אָנֹכִי כַּשַּׁחַל לְאֶפְרַיִם וְכַכְּפִיר לְבֵית
なぜなら 私は 獅子の–ように エフライムに–対して そして–若い–獅子の–ように 家に–対して
H0595 H7826 H0669 H3715 H1004

אָנִי אָנִי אֶטְרֹף וְאֵלֵךְ אֶשָּׂא וְאֵין מַצִּיל׃
私が 私が 引き裂く そして–去る 運び–去る そして–ない 救う–者は
H0589 H0589 H2963 H3212 H5375 H0369 H5337

わたしはエフライムに対しては、ししのようになり、ユダの家に対しては若きししのようになる。わたしは、わたしこそ、かき裂いて去り、かすめて行くが、だれも救う者はない。

15 אֵלֵךְ אָשׁוּבָה אֶל־מְקוֹמִי עַד אֲשֶׁר־יֶאְשְׁמוּ וּבקְשׁוּ פָּנָי
行く 戻る ～に 私の–場所に まで 彼らが 認めるまで そして–尋ねる 私の–顔を
H3212 H7725 H0413 H4725 H5704 H0834 H0816 H1245 H6440

בַּצָּר לָהֶם יְשַׁחֲרֻנְנִי׃
苦しみの–中で 彼らに 尋ね–求める
H6869 H1992 H7836

わたしは彼らがその罪を認めて、わが顔をたずね求めるまで、わたしの所に帰っていよう。彼らは悩みによって、わたしを尋ね求めて言う、

Chapter 6

1 לְכוּ וְנָשׁוּבָה אֶל־יְהוָה כִּי הוּא טָרָף וְיִרְפָּאֵנוּ יַךְ
行こう そして–帰ろう ～に 主に なぜなら 主が 引き裂いたが そして–癒す 打ったが
H3212 H7725 H0413 H3068 H3588 H1931 H2963 H7495 H5221

וְיַחְבְּשֵׁנוּ׃
そして–包む
H2280

「さあ、わたしたちは主に帰ろう。主はわたしたちをかき裂かれたが、またいやし、わたしたちを打たれたが、また包んでくださるからだ。

2 יְחַיֵּנוּ מִיָּמָיִם בַּיּוֹם הַשְּׁלִישִׁי יְקִמֵנוּ וְנִחְיֶה לְפָנָיו׃
生かす 二日の–後に 三日目に 第三の 起こす そして–生きる 御前に
H2421 H3117 H3117 H7992 H6965 H2421 H6440

主は、ふつかの後、わたしたちを生かし、三日目にわたしたちを立たせられる。わたしたちはみ前で生きる。

מֽוֹצָאֹו	נָכֹון	כְּשַׁחַר	יְהוָה	אֶת־	לָדַעַת	נִרְדְּפָה	וְנֵדְעָה	3
その-出で立ちは	確かな	曙の-ように	主を	～を	知ることを	追い-求めよう	そして-知ろう	
H4161		H7837	H3068	H0853	H3045	H7291	H3045	

אָרֶץ׃	יוֹרֶה	כְּמַלְקֹושׁ	לָנוּ	כַּגֶּשֶׁם	וְיָבֹוא	
地を	潤す	後の-雨の-ように	私たちに	雨の-ように	そして-来る	
H0776		H4456		H1653	H0935	

わたしたちは主を知ろう、せつに主を知ることを求めよう。主はあしたの光のように必ず現れいで、冬の雨のように、わたしたちに臨み、春の雨のように地を潤される」。

יְהוּדָה	לְךָ	אֶעֱשֶׂה־	מָּה	אֶפְרַיִם	לְךָ	אֶעֱשֶׂה־	מָּה	4
ユダよ	あなたに	しようか	何を	エフライムよ	あなたに	しようか	何を	
H3063			H4100	H0669			H4100	

הֹלֵךְ׃	מַשְׁכִּים	וְכַטַּל	בֹּקֶר	כְּעֲנַן־	וְחַסְדְּכֶם
去る	早く	そして-露の-ように	朝の	朝の-雲の-ように	そして-あなたがたの-憐れみは
H1980	H7925	H2919	H1242	H6051	

エフライムよ、わたしはあなたに何をしようか。ユダよ、わたしはあなたに何をしようか。あなたがたの愛はあしたの雲のごとく、また、たちまち消える露のようなものである。

פִּי	בְּאִמְרֵי־	חֲרַגְתִּים	בַּנְּבִיאִים	חָצַבְתִּי	כֵּן	עַל־		5
私の	口の-言葉に-よって	殺した	預言者たちに-よって	切り倒した	それゆえ	それ-ゆえに		
H6310	H0561	H2026	H5030	H2672				

יֵצֵא׃	אֹור	וּמִשְׁפָּטֶיךָ	
出る	光の-ように	そして-あなたの-裁きは	
H3318	H0216	H4941	

それゆえ、わたしは預言者たちによって彼らを切り倒し、わが口の言葉をもって彼らを殺した。わがさばきは現れ出る光のようだ。

מֵעֹלֹות׃	אֱלֹהִים	וְדַעַת	זָבַח	וְלֹא־	חָפַצְתִּי	חֶסֶד	כִּי	6
燔祭よりも	神の	そして-知識を	いけにえを	そして-ない	望む	憐れみを	なぜなら	
	H0430	H1847	H2077	H3808				

わたしはいつくしみを喜び、犠牲を喜ばない。燔祭よりもむしろ神を知ることを喜ぶ。

בִּי׃	בָּגְדוּ	שָׁם	בְּרִית	עָבְרוּ	כְּאָדָם	וְהֵמָּה		7
私に-対して	裏切った	そこで	契約を	破った	アダムの-ように	しかし-彼らは		
	H0898	H8033	H1285		H0121	H1992		

ところが彼らはアダムで契約を破り、かしこでわたしにそむいた。

מִדָּם׃	עֲקֻבָּה	אָוֶן	פֹּעֲלֵי	קִרְיַת	גִּלְעָד			8
血からの	血で-汚れた	不正の	悪を-行う-者たちの	町で-ある	ギレアデは			
H1818		H0205	H6466	H7151	H1568			

ギレアデは悪を行う者の町で、血の足跡で満たされている。

יְרַצְּחוּ־	דֶּרֶךְ	כֹּהֲנִים	חֶבֶר	גְּדוּדִים	אִישׁ	וּכְחַכֵּי		9
殺す	道で	祭司たちの	徒党は	盗賊たちの-ように	人を	そして-待ち伏せる-者の-ように		
H7523	H1870	H3548	H2267	H1416	H0376	H2442		

עָשׂוּ׃	זִמָּה	כִּי	שְׁכֶמָה
行った	悪事を	なぜなら	シェケムに-向かって
	H2154		H7927

盗賊が人を待ち伏せするように、祭司たちは党を組み、シケムへ行く道で人を殺す。このように彼らは悪しき事を行う。

10	בְּבֵית	יִשְׂרָאֵל	רָאִיתִי	]שעריריה	)שַׁעֲרוּרִיָּה(	שָׁם	זְנוּת
	家に–おいて	イスラエルの	見た	恐ろしい–ことを	恐ろしい–ことを	そこに	姦淫が–ある
		H3478	H7200			H8033	H2184

לְאֶפְרַיִם	נִטְמָא	יִשְׂרָאֵל׃
エフライムに	汚れた	イスラエルは
H0669		H3478

わたしはイスラエルの家に恐るべき事を見た。かしこでエフライムは淫行をなし、イスラエルは汚された。

11	גַּם־	יְהוּדָה	שָׁת	קָצִיר	לָךְ	בְּשׁוּבִי	שְׁבוּת	עַמִּי׃	פ
	また	ユダよ	定めた	収穫を	あなたの–ために	私が–帰らせる–時	捕囚を	わが–民の	—
	H1571	H3063	H7896			H7725	H7622		

ユダよ、あなたのためにも刈入れが定められている。わたしがわが民の繁栄を回復するとき、

Chapter 7

1	כִּי	שֹׁמְרוֹן	וְרָעוֹת	אֶפְרַיִם	עֲוֹן	וְנִגְלָה	לְיִשְׂרָאֵל	כְּרָפְאִי
	なぜなら	サマリアの	そして–悪が	エフライムの	咸が	そして–現れた	イスラエルを	癒す–時に
		H8111		H0669	H5771	H1540	H3478	H7495

בַּחוּץ׃	גְּדוּד	פָּשַׁט	יָבוֹא	וְגַנָּב	שֹׁקֵר	פָּעֲלוּ
外で	盗賊が	襲う	入る	そして–盗人が	偶りを	行った
H2351	H1416	H6584	H0935	H1590	H8267	H6466

わたしがイスラエルをいやすとき、エフライムの不義と、サマリヤの悪しきわざとは現れる。彼らは偽りをおこない、内では盗びとが押し入り、外では山賊の群れが襲いきたる。

2	סְבָבוּם	עַתָּה	זָכְרְתִי	רָעָתָם	כָּל־	לִלְבָבָם	יֹאמְרוּ	וּבַל־
	囲んだ	今	記憶した	彼らの–悪を	すべての	彼らの–心に	言わない	そして–ない
	H5437	H6258	H2142		H3605	H3824	H0559	H1077

מַעַלְלֵיהֶם	נֶגֶד	פָּנַי	הָיוּ׃
彼らの–行いが	前に	私の–顔の	あった
H4611	H5048	H6440	H1961

しかし、彼らはわたしが彼らのすべての悪を覚えていることを悟らない。今、そのわざは彼らを囲んで、わたしの顔の前にある。

3	בְּרָעָתָם	יְשַׂמְּחוּ־	מֶלֶךְ	וּבְכַחֲשֵׁיהֶם	שָׂרִים׃
	彼らの–悪で	喜ばせる	王を	そして–彼らの–偶りで	君たちを
		H8055	H4428	H3585	H8269

彼らはその悪をもって王を喜ばせ、その偽りをもって君たちを喜ばせる。

4	כֻּלָּם	מְנָאֲפִים	כְּמוֹ	תַּנּוּר	בֹּעֵרָה	מֵאֹפֶה	יִשְׁבּוֹת
	彼らは–皆	姦通する–者で	～の–ように	かまどの–ように	燃える	パン–屋の	止める
	H3605	H5003	H3644	H8574		H0644	

מֵעִיר	מִלּוּשׁ	בָּצֵק	עַד־	חֲמִצָתוֹ׃
かき–混ぜることを	練り–混ぜてから	生地が	～まで	発酵するまで
H5782	H3888	H1217	H5704	

彼らはみな姦淫を行う者で、パンを焼く者が熱くする炉のようだ。パンを焼く者は、ねり粉をこねてから、それがふくれるまで、しばらく、火をおこす事をしないだけだ。

לֹצְצִֽים׃	אֶת־	יָדוֹ	מָשַׁךְ	מִיַּ֣יִן	חֲמַ֔ת	שָׂרִ֖ים	הֶחֱל֣וּ	מַלְכֵּ֑נוּ	יֹ֚ום	5
嘲る–者たちと	～と	その–手を	引いた	葡萄酒の	熱で	君たちは	病んだ	私たちの–王の	日に	
H3945	H0854	H3027	H4900	H3196	H2534	H8269		H4428	H3117	

われわれの王の日に、つかさたちは酒の熱によって病みわずらい、王はあざける者と共に手を伸べた。

הַלָּ֖יְלָה	כָּל־	בְּאָרְבָּ֑ם	לִבָּ֔ם	כַּתַּנּ֖וּר	קֵרְב֣וּ	כִּי־		6
夜の–間	すべての	彼らの–待ち伏せの–中で	彼らの–心を	かまどの–ように	近づけた	なぜなら		
H3915	H3605	H0693		H8574	H7126			

לָהָבָֽה׃	כְּאֵ֣שׁ	בֹּעֵ֔ר	הִ֥וא	בֹּ֖קֶר	אֹפֵ֑הֶם	יָשֵׁ֣ן	
炎の	火の–ように	燃える	それは	朝に	彼らの–怒りは	眠る	
H3852	H0784		H1931	H1242	H0644	H3463	

彼らは陰謀をもってその心を炉のように燃やす。その怒りは夜通しくすぶり、朝になると炎のように燃える。

כָּל־	שֹׁפְטֵיהֶ֖ם	אֶת־	וְאָכְל֣וּ	כַּתַּנּ֔וּר	יֶֽחֱמּ֑וּ	כֻּלָּ֖ם		7
すべての	彼らの–裁き人を	～を	そして–食い尽くす	かまどの–ように	熱く–なる	彼らは–皆		
H3605	H8199	H0853	H0398	H8574	H2552	H3605		

אֵלָ֑י׃	בָּהֶ֖ם	קֹרֵ֣א	אֵין־	נָפְל֔וּ	מַלְכֵיהֶ֖ם	
私に	彼らの–中に	呼ぶ–者は	ない	倒れた	彼らの–王たちは	
H0413		H7121	H0369	H5307	H4428	

彼らは皆、炉のように熱くなって、そのさばきびとを焼き滅ぼす。そのもろもろの王は皆たおれる。彼らの中にはわたしを呼ぶ者がひとりもない。

הֻפּוּכָֽה׃	בְּלִ֣י	עֻגָ֔ה	הָיָ֖ה	אֶפְרַ֑יִם	יִתְבּוֹלָ֣ל	הֽוּא	בָּעַמִּ֔ים	אֶפְרַ֖יִם	8
裏返された	ない	パンに	なった	エフライムは	混ぜ合う	彼は	諸国民の–中で	エフライムは	
H2015	H1097	H5692	H1961	H0669		H1931		H0669	

エフライムはもろもろの民の中に入り混じる。エフライムは火にかけて、かえさない菓子である。

זָרָ֖קָה	שֵׂיבָ֑ה	גַּם־	יָדָ֔ע	לֹ֣א	וְה֔וּא	כֹּחוֹ֙	זָרִ֣ים	אָכְל֖וּ	9
散らばった	白髪が	また	知らない	ない	しかし–彼は	その–力を	異国の–者が	食い尽くした	
H2236	H7872	H1571	H3045	H3808	H1931			H0398	

יָדָֽע׃	לֹ֣א	וְה֔וּא	בּ֖וֹ
知らない	ない	しかし–彼は	彼に
H3045	H3808	H1931	

他国人らは彼の力を食い尽すが、彼はそれを知らない。しらがが混じってはえても、それを悟らない。

יְהוָ֖ה	אֶל־	שָׁ֑בוּ	וְלֹא־	בְּפָנָ֔יו	יִשְׂרָאֵ֖ל	גְּא֥וֹן־	וְעָנָ֛ה		10
主に	～に	帰らない	しかし–ない	その–顔に	イスラエルの	高慢が	そして–証言した		
H3068	H0413	H7725	H3808	H6440	H3478	H1347			

זֹּ֑את׃	בְּכָל־	בְּקַשְׁה֖וּ	וְלֹ֣א	אֱלֹהֵיהֶֽם׃
これで	これ–すべてに–かかわらず	尋ねない	そして–ない	彼らの–神に
H2063	H3605	H1245	H3808	H0430

イスラエルの誇は自らに向かって証言している、彼らはこのもろもろの事があっても、なおその神、主に帰らず、また主を求めない。

11

אַשּׁוּר	קָרָאוּ	מִצְרַיִם	לֵב	אֵין	פּוֹתָה	כְּיוֹנָה	אֶפְרַיִם	וַיְהִי	
アッシリアに	呼んだ	エジプトに	心が	ない	愚かな	鳩の-ように	エフライムは	そして-なった	
H0804	H7121	H4714		H0369		H3123	H0669	H1961	

הָלָכוּ׃	
行った	
H1980	

エフライムは知恵のない愚かな、はとのようだ。彼らはエジプトに向かって呼び求め、またアッスリヤへ行く。

12

אוֹרִידֵם	הַשָּׁמַיִם	כְּעוֹף	רִשְׁתִּי	עֲלֵיהֶם	אֶפְרֹשׂ	יֵלֵכוּ	כַּאֲשֶׁר	
引き-下ろす	天の	鳥の-ように	私の-網を	彼らの-上に	広げる	行くなら	行く-時に	
H3381	H8064	H5775	H7568		H6566	H3212		

ס	לַעֲדָתָם׃	כְּשָׁמְעָ	אַיְסְרֵם
—	彼らの-会衆への	知らせに-従って	懲らしめる
	H5712		H3256

彼らが行くとき、わたしは彼らの上に網を張って、空の鳥のように引き落し、その悪しきおこないのゆえに、彼らを懲らしめる。

13

פָּשְׁעוּ	כִּי־	לָהֶם	שֹׁד	מִמֶּנִּי	נָדְדוּ	כִּי־	לָהֶם	אוֹי	
背いた	なぜなら	彼らに	滅びが	私から	さまよった	なぜなら	彼らに	わざわいなるかな	
H6586		H1992	H7701		H5074		H1992	H0188	

כְּזָבִים׃	עָלַי	דִּבְּרוּ	וְהֵמָּה	אֶפְדֵּם	וְאָנֹכִי	בִּי
偶りを	私に-対して	語った	しかし-彼らは	贖うのに	そして-私は	私に-対して
H3577		H1696	H1992	H6299	H0595	

わざわいなるかな、彼らはわたしを離れて迷い出た。滅びは彼らに臨む。彼らがわたしに向かって罪を犯したからだ。わたしは彼らをあがなおうと思うが、彼らはわたしに逆らって偽りを言う。

14

מִשְׁכְּבוֹתָם	עַל־	יְיִלִילוּ	כִּי	בְלִבָּם	אֵלַי	זָעֲקוּ	וְלֹא־	
彼らの-床の	～の-上で	泣き叫ぶ	それどころか	彼らの-心で	私に	叫ばない	そして-ない	
H4904		H3213			H0413	H2199	H3808	

בִּי׃	יָסוּרוּ	יִתְגּוֹרָרוּ	וְתִירוֹשׁ	דָּגָן	עַל־
私に-対して	背く	集まる	葡萄酒の	穀物と	～の-ために
	H5493		H8492	H1715	

彼らは真心をもってわたしを呼ばず、ただ床の上で悲しみ叫ぶ。彼らは穀物と酒のためには集まるが、わたしに逆らう。

15

רָע׃	יְחַשְּׁבוּ־	וְאֵלַי	זְרוֹעָתָם	חִזַּקְתִּי	יִסַּרְתִּי	וַאֲנִי	
悪を	企む	しかし-私に-対して	彼らの-腕を	強めた	訓練した	そして-私は	
	H2803	H0413	H2220	H2388	H3256	H0589	

わたしは彼らを教え、その腕を強くしたが、彼らはわたしに逆らって、悪しき事をはかる。

16

שָׂרֵיהֶם	בַּחֶרֶב	יִפְלוּ	רְמִיָּה	כְּקֶשֶׁת	הָיוּ	עָל	לֹא	וְיָשׁוּבוּ	
彼らの-君たちは	剣に-よって	倒れる	欺く	弓の-ように	なった	高き-方に	ない	帰る	
H8269	H2719	H5307		H7198	H1961	H5920	H3808	H7725	

מִצְרָיִם׃	בְּאֶרֶץ	לַעְגָּם	זוֹ	לְשׁוֹנָם	מִזַּעַם	
エジプトの	地で	彼らの-嘲りで-ある	これが	彼らの-舌の	怒りの-ために	
H4714	H0776	H3933	H2097	H3956	H2195	

彼らはバアルに帰る。彼らはあざむく弓のようだ。彼らの君たちはその舌の高ぶりのために、つるぎに倒れる。これはエジプトの国で人々のあざけりとなる。

Chapter 8

עָבְרוּ	יַעַן	יְהוָה	בֵּית	עַל־	כַּנֶּשֶׁר	שֹׁפָר	חִכְּךָ	אֶל־	1
破った	なぜなら	主の	家の–上に	～の–上に	鷲の–ように	角笛を	あなたの–口に	～へ	
	H3282	H3068			H5404	H7782	H2441	H0413	

פָּשְׁעוּ׃	תּוֹרָתִי	וְעַל־	בְּרִיתִי	
背いた	私の–律法に–対して	そして～に–対して	私の–契約を	
H6586	H8451		H1285	

ラッパをあなたの口にあてよ、はげたかは主の家に臨む。彼らがわたしの契約を破り、わたしの律法を犯したからだ。

יִשְׂרָאֵל׃	יְדַעֲנוּךָ	אֱלֹהַי	יִזְעָקוּ	לִי	2
イスラエルよ	知っていると	わが–神よ	叫ぶ	私に	
H3478	H3045	H0430	H2199		

彼らはわたしに向かって叫ぶ、「わが神よ、われわれイスラエルはあなたを知る」と。

יִרְדְּפוֹ׃	אוֹיֵב	טוֹב	יִשְׂרָאֵל	זָנַח	3
追う	敵が	善を	イスラエルは	拒んだ	
H7291	H0341		H3478		

イスラエルは善はしりぞけた。敵はこれを追うであろう。

כַּסְפָּם	יָדָעְתִּי	וְלֹא	הֵשִׁירוּ	מִמֶּנִּי	וְלֹא	הִמְלִיכוּ	הֵם	4
彼らの–銀と	知らずに	しかし–ない	立てた	私からでは	しかし–ない	立てた	彼らは	
H3701	H3045	H3808	H8323		H3808		H1992	

יִכָּרֵת׃	לְמַעַן	עֲצַבִּים	לָהֶם	עָשׂוּ	וְזָהָבָם
断ち–滅ぼす	断ち–滅ぼす–ために	偶像を	彼らの–ために	作った	彼らの–金で
H3772	H4616	H6091			H2091

彼らは王を立てた、しかし、わたしによって立てたのではない。彼らは君を立てた、しかし、わたしはこれを知らない。彼らは銀と金をもって、自分たちの滅びのために偶像を造った。

לֹא	מָתַי	עַד־	בָּם	אַפִּי	חָרָה	שֹׁמְרוֹן	עֶגְלֵךְ	זָנַח	5
ない	いつまで	～まで	彼らに–対して	私の–怒りが	燃えた	サマリアよ	あなたの–子牛を	拒んだ	
H3808	H4970	H5704		H0639	H2734	H8111	H5695		

נִקָּיֹן׃	יוּכְלוּ
潔く–あることが	できないのか
	H3201

サマリヤよ、わたしはあなたの子牛を忌みきらう。わたしの怒りは彼らに向かって燃える。彼らはいつになればイスラエルで罪なき者となるであろうか。

כִּי־	הוּא	אֱלֹהִים	וְלֹא	עָשָׂהוּ	חָרָשׁ	וְהוּא	מִיִּשְׂרָאֵל	כִּי	6
なぜなら	それは	神では	そして–ない	作った	職人が	それは	イスラエルから	なぜなら	
	H1931	H0430	H3808		H2796	H1931	H3478		

שֹׁמְרוֹן׃	עֵגֶל	יִהְיֶה	שְׁבָבִים	
サマリアの	子牛は	なる	破片に	
H8111	H5695	H1961	H7616	

これは工人の作ったもので、神ではない。サマリヤの子牛は砕けて粉となる。

7

בְּלִי	צֶמַח	לוֹ	אֵין־	קָמָה	יִקְצֹרוּ	וְסוּפָתָה	יִזְרָעוּ	רוּחַ	כִּי
ない	芽は	彼に	ない	立つ–穂は	刈り取る	そして–嵐を	まく	風を	なぜなら
H1097	H6780		H0369	H7054			H2232	H7307	

יִבְלָעֻהוּ׃	זָרִים	יַעֲשֶׂה	אוּלַי	קֶמַח	יַעֲשֶׂה־
飲み込む	異国の–者が	生み出しても	たとえ	粉を	生み出さない
H1104			H0194	H7058	

彼らは風をまいて、つむじ風を刈り取る。立っている穀物は穂を持たず、また実らない。たとい実っても、他国人がこれを食い尽す。

8

בּוֹ׃	חֵפֶץ	אֵין־	כִּכְלִי	בַגּוֹיִם	הָיָו	עַתָּה׀	יִשְׂרָאֵל	נִבְלָע
その–中に	喜びが	ない	器の–ように	諸国民の–中で	なった	今	イスラエルは	飲み込まれた
	H2656	H0369	H3627		H1961	H6258	H3478	H1104

イスラエルはのまれた。彼らは諸国民の間にあって、すでに無用な器のようになった。

9

הִתְנוּ	אֶפְרַיִם	לוֹ	בּוֹדֵד	פֶּרֶא	אַשּׁוּר	עָלוּ	הֵמָּה׀	כִּי־
雇った	エフライムは	彼の	独りで	野ろばの–ように	アッシリアに	上った	彼らは	なぜなら
H8566	H0669		H0909	H6501	H0804	H5927	H1992	

אֲהָבִים
愛人たちを
H0158

彼らはひとりさまよう野のろばのように、アッスリヤにのぼって行った。エフライムは物を贈って恋人を得た。

10

מִמַּשָּׂא	מְעָט	וַיָּחֵלּוּ	אֲקַבְּצֵם	עַתָּה	בַגּוֹיִם	יִתְּנוּ	כִּי־	גַּם
重荷から	少し	そして–苦しむ	集める	今	諸国民の–中で	雇ったとしても	雇っても	たとえ
H4592			H6908	H6258		H8566		H1571

שָׂרִים׃	מֶלֶךְ
君たちの	王の
H8269	H4428

たとい彼らが国々に物を贈って同盟者を得ても、わたしはまもなく彼らを集める。彼らはしばらくにして、王や君たちに油をそそぐことをやめる。

11

מִזְבְּחוֹת	לוֹ	הָיוּ־	לַחֲטֹא	מִזְבְּחֹת	אֶפְרַיִם	הִרְבָּה	כִּי־
祭壇は	彼に–とって	なった	罪を–犯す–ために	祭壇を	エフライムは	増やした	なぜなら
H4196		H1961	H2398	H4196	H0669		

לַחֲטֹא׃
罪を–犯す–ための–ものに
H2398

エフライムは多くの祭壇を造って罪を犯したゆえ、これは彼には罪を犯すための祭壇となった。

12

נֶחְשָׁבוּ׃	זָר	כְּמוֹ־	תּוֹרָתִי	)רְבִי(	]רבו[	לוֹ	)אֶכְתָּב־(	]אכתוב־[
みなされた	異質な–ものの	～の–ように	私の–律法を	多くの	多くの	彼に	書いた	書いた
H2803		H3644	H8451	H7239	H7239	H3789	H3789	H3789

わたしは彼のために、あまたの律法を書きしるしたが、これはかえって怪しい物のように思われた。

13

עַתָּה	רָצָם	לֹא	יְהוָה	וַיֹּאכְלוֹ	בָּשָׂר׀	יִזְבְּחוּ	הַבְהָבַי	זִבְחֵי
今	受け入れない	ない	主は	そして–食べる	肉を	ささげる	私の–捨え物の	いけにえを
H6258	H7521	H3808	H3068	H0398	H1320	H2076	H1890	H2077

יָשׁוּבוּ׃	מִצְרַיִם	הֵמָּה	חַטֹּאותָם	וְיִפְקֹד	עֲוֹנָם׀	יִזְכֹּר
帰る	エジプトに	彼らは	彼らの–罪を	そして–罰する	彼らの–咸を	思い出す
H7725	H4714	H1992			H5771	H2142

彼らは犠牲を好み、肉をささげてこれを食べる。しかし主はこれを喜ばれない。今、彼らの不義を覚え、彼らの罪を罰せられる。彼らはエジプトに帰る。

וַיִּשְׁכַּח	יִשְׂרָאֵל	אֶת־	עֹשֵׂהוּ	וַיִּבֶן	הֵיכָלוֹת	וִיהוּדָה	14
そして–忘れた	イスラエルは	～を	その–造り主を	そして–建てた	神殿を	そして–ユダは	
H7911	H3478	H0853	H3478	H1129	H1964	H3063	

הִרְבָּה	עָרִים	בְּצֻרוֹת	וְשִׁלַּחְתִּי־	אֵשׁ	בְּעָרָיו	וְאָכְלָה	אַרְמְנוֹתֶיהָ׃
増やした	町々を	城壁の–ある	そして–送る	火を	その–町々に	そして–焚き尽くす	その–宮殿を
		H1219		H0784		H0398	H0759

ס
—

イスラエルは自分の造り主を忘れて、もろもろの宮殿を建てた。ユダは堅固な町々を多く増し加えた。しかしわたしは火をその町々に送って、もろもろの城を焼き滅ぼす。

Chapter 9

אַל־	תִּשְׂמַח	וְיִשְׂרָאֵל	אֶל־	גִּיל	כָּעַמִּים	כִּי	זָנִיתָ	מֵעַל	1
ない	喜ぶな	イスラエルよ	～へ	喜びへ	諸国民の–ように	なぜなら	姦淫した	離れて	
H0408	H8055	H3478	H0413				H2181		

אֱלֹהֶיךָ	אָהַבְתָּ	אֶתְנָן	עַל	כָּל־	גָּרְנוֹת	דָּגָן׃	
あなたの–神から	愛した	報酬を	～の–上で	すべての	脱穀場の	穀物の	
H0430	H0157	H0868		H3605	H1637	H1715	

イスラエルよ、もろもろの民のように喜びおどるな。あなたは淫行をなして、あなたの神を離れ、すべての穀物の打ち場で受ける淫行の価を愛した。

בָּהּ׃	יְכַחֵשׁ	וְתִירוֹשׁ	יִרְעֵם	לֹא	יְנֵקֵב	גֹּרֶן	2
彼女を	裏切る	そして–新しい–葡萄酒は	養わない	ない	酒ぶねは	脱穀場と	
	H3584	H8492		H3808	H3342	H1637	

打ち場と酒ぶねとは彼らを養わない。また新しい酒もむなしくなる。

וּבְאַשּׁוּר	מִצְרַיִם	אֶפְרַיִם	וְשָׁב	יְהוָה	בְּאֶרֶץ	יֵשְׁבוּ	לֹא	3
そして–アッシリアで	エジプトに	エフライムは	そして–帰る	主の	地に	住まない	ない	
H0804	H4714	H0669	H7725	H3068	H0776	H3427	H3808	

יֹאכְלוּ׃	טָמֵא	
食べる	汚れた–ものを	
H0398	H2931	

彼らは主の地に住むことなく、エフライムはエジプトに帰り、アッスリヤで汚れた物を食べる。

זִבְחֵיהֶם	לוֹ	יֶעֱרְבוּ־	וְלֹא	יַיִן	וְלַיהוָה	יִסְכּוּ	לֹא־	4
彼らの–いけにえは	主には	喜ばない	そして–ない	葡萄酒を	主に	注ぎ出さない	ない	
H2077		H6148	H3808	H3196	H3068		H3808	

לַחְמָם	כִּי־	יִטַּמָּאוּ	אֹכְלָיו	כָּל־	לָהֶם	אוֹנִים	כְּלֶחֶם
彼らの–パンは	なぜなら	汚れる	食べる–者は	すべての	彼らには	悲しみの	悲しみの–パンの–ように
H3899			H0398	H3605		H0205	H3899

יְהוָה׃	בֵּית	יָבוֹא	לֹא	לְנַפְשָׁם	
主の	家に	入らない	ない	彼らの–魂の–ためで	
H3068		H0935	H3808	H5315	

彼らは主に向かって酒を注がず、また犠牲をもって主を喜ばせず、彼らのパンは喪におる者のパンのようで、すべてこれを食べる者は汚される。彼らのパンはただ自分の飢えを満たすためで、主の家に、はいることはできない。

5

יְהוָֽה׃	חַג־	וּלְיוֹם	מוֹעֵד	לְיוֹם	תַּעֲשׂוּ	מָה־
主の	祭りの	そして–日に	例祭の	日に	するのか	何を
H3068	H2282	H3117	H4150	H3117		H4100

あなたがたは祝の日と、主の祭の日に、何をしようとするのか。

6

מַחְמַד	תִּקְבְּרֵם	מֹף	תְּקַבְּצֵם	מִצְרַיִם	מִשֹּׁד	הָלְכוּ	הִנֵּה	כִּי־
宝を	葉る	メンフィスが	集める	エジプトが	滅びから	行った	見よ	なぜなら
H4261	H6912	H4644	H6908	H4714	H7701	H1980	H2009	

בְּאָהֳלֵיהֶם׃	חָוֹחַ	יִירָשֵׁם	קִמּוֹשׁ	לְכַסְפָּם
彼らの–天幕に	茨が	受け継ぐ	いらくさが	彼らの–銀の
H0168	H2336	H3423	H7057	H3701

見よ、彼らはアッスリヤへ行く。エジプトは彼らを集め、メンピスは彼らを葬る。あざみは彼らの銀の宝物を所有し、いばらは彼らの天幕にはびこる。

7

הַנָּבִיא	אֱוִיל	יִשְׂרָאֵל	יֵדְעוּ	הַשִּׁלֻּם	יְמֵי	בָּאוּ	הַפְּקֻדָּה	יְמֵי	וּבָאוּ
預言者は	愚かだ	イスラエルよ	知れ	報いの	日々が	来た	罰の	日々が	来た
H5030	H0191	H3478	H3045	H7966	H3117	H0935	H6486	H3117	H0935

מְשֻׁגָּע	אִישׁ	הָרוּחַ	עַל	רַב	עֲוֹנְךָ	וְרַבָּה	מַשְׂטֵמָה׃
狂っている	人は	霊の	～の–ために	多くの	あなたの–咸の	そして–大きい	敵意が
H7696	H0376	H7307	עַל	H7230	H5771		H4895

刑罰の日は来た。報いの日は来た。イスラエルはこれを知る。預言者は愚かな者、霊に感じた人は狂った者だ。これはあなたがたの不義が多く、恨みが大きいためである。

8

יָקוּשׁ	פָּח	נָבִיא	אֱלֹהָי	עִם־	אֶפְרַיִם	צֹפֶה
鳥を–捕らえる–者の	罠で–ある	預言者は	私の–神の	～と–共に	エフライムは	見張りで–ある
H3352		H5030	H0430		H0669	H6822

אֱלֹהָיו׃	בְּבֵית	מַשְׂטֵמָה	דְּרָכָיו	כָּל־	עַל־
その–神の	家に	敵意が–ある	その–道に	すべての	～の–上に
H0430		H4895	H1870	H3605	

預言者はわが神の民エフライムの見張人である。しかし預言者のすべての道には鳥をとる者のわながあり、恨みはその神の家にある。

9

חַטֹּאותָם׃	יִפְקֹד	עֲוֹנָם	יִזְכֹּר	הַגִּבְעָה	כִּימֵי	שִׁחֲתוּ	הֶעְמִיקוּ־	
彼らの–罪を	罰する	彼らの–咸を	思い出す	ギベアの	ギベアの–日々の–ように	堕落した	深く	
		H5771	H2142	H1390	H3117	H7843	H6009	

ס
—

彼らはギベアの日のように、深くおのれを腐らせた。主はその不義を覚え、その罪を罰せられる。

10

בִּרֵאשִׁיתָהּ	בִּתְאֵנָה	כְּבִכּוּרָה	יִשְׂרָאֵל	מָצָאתִי	בַּמִּדְבָּר	כַּעֲנָבִים
その–初めの	いちじくの–木の	初なりの–ように	イスラエルを	見いだした	荒野で	葡萄の–ように
H7225	H8384	H1063	H3478	H4672		H6025

לַבֹּשֶׁת	וַיִּנָּזְרוּ	בָּעַל־פְּעוֹר	בָּאוּ	הֵמָּה	אֲבוֹתֵיכֶם	רָאִיתִי
恥に	そして–身を–ささげた	バアル・ペオルに	来た	しかし–彼らは	あなたがたの–父たちを	見た
H1322		H1187	H0935	H1992	H0001	H7200

כְּאֲהֲבָם׃	שִׁקּוּצִים	וַיִּהְיוּ
彼らの–愛する–ものの–ように	忌むべき–ものに	そして–なった
H0157	H8251	H1961

わたしはイスラエルを荒野のぶどうのように見、あなたがたの先祖たちを、いちじくの木の初めに結んだ初なりのように見た。ところが彼らはバアル・ペオルへ行き、身をバアルにゆだね、彼らが愛した物と同じように憎むべき者となった。

11 エフライムの H0669 / 鳥の–ように H5775 / 飛び去る H3519 / その–栄光は H3519 / 産みから H3205 / そして–胎から H0990 / そして–懐妍から H2032

エフライムの栄光は、鳥のようにとび去る。すなわち産むことも、はらむことも、みごもることもなくなる。

12 もし H0518 / 彼らを–育てても H1431 / ～を H0853 / 彼らの–子らを H1121 / そして–子を–失わせる H7921 / 人から H0120 / なぜなら H3588 / また H1571

たとえ H0637 / 私が–離れる–時に H5493 / 彼らから H1992 / わざわいなるかな H0188 / 彼らに H1992

たとい彼らが子を育てても、わたしはその子を奪って、残る者のないようにする。わたしが彼らを離れるとき、彼らはわざわいだ。

13 エフライムは H0669 / 見た H7200 / 私が–見た–ように H3588 / ツロの–ように H6865 / 植えられた H8362 / 美しい–場所に H4999

しかし–エフライムは H0669 / ～に H0413 / 連れ出す H3318 / 殺す–者に H2026 / その–子らを H1121

わたしが見たように、エフライムの子らはえじきに定められた。エフライムはその子らを、人を殺す者に渡さなければならない。

14 与えよ H5414 / 彼らに H0376 / 主よ H3068 / 何を H4100 / 与えるのか H5414 / 与えよ H5414 / 子宮を H7358 / 彼らに H0376 / 流産する H7921 / そして–乳房を H7699

干からびた H6784

主よ、彼らに与えてください。あなたは何を与えられますか。流産の胎と、かわいた乳ぶさを彼らに与えてください。

15 すべての H3605 / 彼らの–悪は H7451 / ギルガルに–ある H1537 / なぜなら H3588 / そこで H8033 / 憐んだ H8130 / ～の–ために H5921 / 悪さの H7455

すべての H3605 / 彼らを–愛することを H0160 / 続けない H3254 / ない H3808 / 追い出す H1644 / 私の–家から H1004 / 彼らの–行いの H4611

強情で–ある H5637 / 彼らの–君たちは H8269

彼らのすべての悪はギルガルにある。わたしはかしこで彼らを憎んだ。彼らのおこないの悪しきがゆえに、彼らをわが家から追いだし、重ねて愛することをしない。その君たちはみな、反逆者である。

16

כִּי	גַם	יַעֲשׂוּן	)בְּל־(	]בלי־[	פְּרִי	יָבֵשׁ	שָׁרְשָׁם	אֶפְרַיִם	הֻכָּה
たとえ	たとえ	結ばない	ない	ない	実を	枯れた	その–根は	エフライムは	打たれた
	H1571		H1077	H1097	H6529	H3001	H8328	H0669	H5221

ס	:בִּטְנָם	מַחֲמַדֵּי	וְהֵמַתִּי	יֻלְּדוּן
—	その–胎の	愛する–ものを	そして–殺す	産んでも
	H0990	H4261	H4191	H3205

エフライムは撃たれ、その根は枯れて、実を結ばない。たとい彼らが子を産んでも、わたしはそのいつくしむ子らを殺す。

17

נְדֹדִים	וְיִהְיוּ	לוֹ	שָׁמְעוּ	לֹא	כִּי	אֱלֹהַי	יִמְאָסֵם
さまよう–者に	そして–なる	主に	聞かなかった	ない	なぜなら	私の–神は	拒む
H5074	H1961		H8085	H3808		H0430	

ס	:בַּגּוֹיִם
—	諸国民の–中で

彼らは聞き従わないので、わが神はこれを捨てられる。彼らはもろもろの国民のうちに、さすらい人となる。

Chapter 10

1

הַרְבָּה	לְפַרְיוֹ	כְּרֹב	לוֹ	יְשַׁוֶּה־	פְּרִי	יִשְׂרָאֵל	בּוֹקֵק	גֶּפֶן
増やした	その–実の	増えるに–つれて	彼に	等しく–する	実を	イスラエルの	茂る	葡萄の–木は
	H6529	H7230			H6529	H3478		H1612

:מַצֵּבוֹת	הֵיטִיבוּ	לְאַרְצוֹ	כְּטוּב	לַמִּזְבְּחוֹת
石の–柱を	立派に–した	その–地の	良く–なるに–つれて	祭壇を
H4676	H3190	H0776		H4196

イスラエルは実を結ぶ茂ったぶどうの木である。その実を多く結ぶにしたがって、祭壇を増し、その地の豊かなるにしたがって、柱の像を麗しくした。

2

יְשֹׁדֵד	מִזְבְּחוֹתָם	יַעֲרֹף	הוּא	יֶאְשָׁמוּ	עַתָּה	לִבָּם	חָלַק
破壊する	彼らの–祭壇を	打ち–壊す	主が	罪を–負う	今	彼らの–心は	滑らかな
H7703	H4196	H6202	H1931	H0816	H6258		

:מַצֵּבוֹתָם
彼らの–石の–柱を
H4676

彼らの心は偽りである。今、彼らはその罪を負わなければならない。主はその祭壇をこわし、その柱の像を砕かれる。

3

יְהוָה	אֶת־	יָרֵאנוּ	לֹא	כִּי	לָנוּ	מֶלֶךְ	אֵין	יֹאמְרוּ	עַתָּה	כִּי
主を	～を	疑れなかった	ない	なぜなら	私たちには	王が	ない	言う	今	なぜなら
H3068	H0853	H3372	H3808			H4428	H0369	H0559	H6258	

:לָנוּ	יַעֲשֶׂה־	מַה־	וְהַמֶּלֶךְ
私たちに	するのか	何を	そして–王は
		H4100	H4428

今、彼らは言う、「われわれは主を恐れないので、われわれには王がない。王はわれわれのために何をなしえようか」と。

4 דִּבְּרוּ אָלוֹת שָׁוְא כָּרֹת בְּרִית וּפָרַח כָּרְאשׁ מִשְׁפָּט
語った 言葉を 誓いを 空しい 結びながら 契約を そして-芽生えた 毒草の-ように 裁きが
H1696 H1697 H0422 H7723 H3772 H1285 H7219 H4941

עַל תַּלְמֵי שָׂדֵי׃
〜の-上に 畠の-畝の 畠の
H8525

彼らはむなしき言葉をいだし、偽りの誓いをもって契約を結ぶ。それゆえ、さばきは畑のうねの毒草のように現れる。

5 לְעֶגְלוֹת אָוֶן בֵּית יָגוּרוּ שֹׁכֵן שֹׁמְרוֹן כִּי־ אָבַל עָלָיו
子牛の-ために ベト・アヴェンの 恐れる 住民は サマリアの なぜなら 嘆く それの-上に
H1007 H3372 H7934 H8111 H3588 H0056

וְכָמָרָיו עָלָיו יָגִילוּ עַל־ כְּבוֹדוֹ כִּי־ גָלָה עַמּוֹ
そして-その-祢司たちは それの-上に 喜んだ 〜の-ために その-栄光の なぜなら 去った その-民は
H3649 H1523 H5921 H3519 H3588 H1540 H5971

מִמֶּנּוּ׃
それから

サマリヤの住民は、ベテアベンの子牛のためにおののき、その民はこれがために嘆き、その偶像に仕える祭司たちは、その栄光のうせたるがために泣き悲しむ。

6 גַּם־ הוּא לְאַשּׁוּר יוּבָל מִנְחָה לְמֶלֶךְ יָרֵב בָּשְׁנָה אֶפְרַיִם
また それを アッシリアに 運ばれる 貢ぎ物として 王への ヤレブの 恥を エフライムは
H1571 H0853 H0804 H2986 H4503 H4428 H3377 H1317 H0669

יִקַּח וְיֵבוֹשׁ יִשְׂרָאֵל מֵעֲצָתוֹ׃
受ける そして-恥じる イスラエルは その-謀りごとの-ために
H3947 H0954 H3478 H6098

その子牛はアッスリヤに携えられ、礼物として大王にささげられ、エフライムは恥をうけ、イスラエルはおのれの偶像を恥じる。

7 נִדְמָה שֹׁמְרוֹן מַלְכָּהּ כְּקֶצֶף עַל־ פְּנֵי־ מָיִם׃
滅びる サマリアの その-王は 木片の-ように 〜の-上の 面の 水の
H1820 H8111 H4428 H3588 H6440 H4325

サマリヤの王は、水のおもての木切れのように滅ぼされる。

8 וְנִשְׁמְדוּ בָּמוֹת אָוֶן חַטַּאת יִשְׂרָאֵל קוֹץ וְדַרְדַּר יַעֲלֶה עַל־
そして-滅びる 高き-所は 不正の 罪の イスラエルの 茨と あざみが 生える 〜の-上に
H8045 H1116 H0205 H2403 H3478 H6975 H1863 H5927 H5921

ס עָלֵינוּ׃ וְלַגְּבָעוֹת נִפְלוּ לֶהָרִים כַּסּוּנוּ וְאָמְרוּ
— 私たちの-上に 倒れよ そして-丘に 覆え 山々に そして-言う
H5307 H1389 H3680 H2022 H0559

מִזְבְּחוֹתָם׃
彼らの-祭壇の
H4196

イスラエルの罪であるアベンの高き所も滅び、いばらとあざみがその祭壇の上にはえ茂る。その時彼らは山に向かって、「われわれをおおえ」と言い、丘に向かって「われわれの上に倒れよ」と言う。

9 מִימֵי הַגִּבְעָה חָטָאתָ יִשְׂרָאֵל שָׁם עָמְדוּ לֹא־ תַשִּׂיגָם בַּגִּבְעָה
日々から ギベアの 罪を-犯した イスラエルよ そこに 立った ない 追いつかない ギベアで
H3117 H1390 H2398 H3478 H8033 H5975 H3808 H5381 H1390

מִלְחָמָה עַל־ בְּנֵי עַוְלָה׃
戦いが 〜の-上に 子らの 不義の
H4421 H5921 H1121 H5932

イスラエルよ、あなたはギベアの日からこのかた罪を犯した。彼らはその所に立っていた。戦いはギベアにおる彼らに及ばないであろうか。

10

לִשְׁתֵּי בְּאָסְרָם עַמִּים עֲלֵיהֶם וְאֵסְפוּ וְאֶסָּרֵם בְּאַוָּתִי
二つの 縛られる–時に 諸国民が 彼らに–対して そして–集まる そして–縛る 私の–望みに–よって
H8147 H0631 H0622 H3256 H0185

עֲוֹנָתָם׃) |עינתם| (
咸の 咸の
H5771

わたしは来てよこしまな民を攻め、これを懲らしめる。彼らがその二つの罪のために懲しめられるとき、もろもろの民は集まって彼らを攻める。

11

עָבַרְתִּי וַאֲנִי לָדוּשׁ אָהַבְתִּי מְלֻמָּדָה עֶגְלָה וְאֶפְרַיִם
通った そして–私は 脱穀することを 愛した 訓練された 雌牛で–ある そして–エフライムは
H0589 H1758 H0157 H3925 H0669

לְעָלָיו יְשַׂדֵּד־ יְהוּדָה יַחֲרוֹשׁ אֶפְרַיִם אַרְכִּיב צַוָּארָהּ טוּב עַל־
彼の–ために 鶴を–引く ユダは 耕す エフライムに 轡に–かける 彼女の–首の 美しい ～の–上を
H7702 H3063 H0669 H7392 H6676 H2898

יַעֲקֹב׃
ヤコブは
H3290

エフライムはならされた若い雌牛であって、穀物を踏むことを好む。わたしはその麗しい首を惜しんだ。しかし、わたしはエフライムにくびきをかける。ユダは耕し、ヤコブは自分のために、まぐわをひかねばならない。

12

נִירוּ חֶסֶד לְפִי־ קִצְרוּ לִצְדָקָה לָכֶם זִרְעוּ
耕せ 憐れみの 憐れみに–従って 刈り取れ 義の–ために あなたがたの–ために まけ
H5214 H6310 H6666 H2232

וְעֵת לִדְרֹשׁ אֶת־ יְהוָה עַד־ יָבוֹא
そして–時で–ある 尋ねる ～を 主を ～まで 来るまで
H6256 H1875 H0853 H3068 H5704 H0935

לָכֶם נִיר
あなたがたの–ために 休耕地を
H5215

וְיֹרֶה צֶדֶק לָכֶם׃
そして–降らせる 義を あなたがたに
H6664

あなたがたは自分のために正義をまき、いつくしみの実を刈り取り、あなたがたの新田を耕せ。今は主を求むべき時である。主は来て救いを雨のように、あなたがたに降りそそがれる。

13

חֲרַשְׁתֶּם־ רֶשַׁע עַוְלָתָה קָצַרְתֶּם אֲכַלְתֶּם פְּרִי־ כָּחַשׁ בָּטַחְתָּ כִּי־ בְּדַרְכֶּךָ
耕した 悪を 不義を 刈り取った 食べた 実を 偶りの 信頼した なぜなら あなたの–道に
H7562 H6664 H0398 H6529 H3585 H0982 H1870

בְּרֹב גִּבּוֹרֶיךָ׃
多くの あなたの–勇士たちに
H7230 H1368

あなたがたは悪を耕し、不義を刈りおさめ、偽りの実を食べた。これはあなたがたが自分の戦車を頼み、勇士の多いことを頼んだためである。

14 וְקָ֣אם שָׁא֗וֹן בְּעַמֶּ֙ךָ֙ וְכָל־ מִבְצָרֶ֔יךָ יוּשַּׁ֕ד
そして–起こる 騒ぎが あなたの–民の–中に そして–すべての あなたの–要塞は 破壊される
H7588 H3605 H4013 H7703

כְּשֹׁ֣ד שַׁלְמָ֔ן בְּבֵ֥ית אַרְבֵּאל֖ בְּי֣וֹם מִלְחָמָ֑ה אֵ֚ם עַל־ בָּנִ֔ים רֻטָּֽשָׁה׃
破壊の–ように シャルマンの ベト・アルベルの 日に 戦いの 母が ～の–上で 子らの 打ち–砕かれた
H7701 H8020 H1009 H3117 H4421 H0517 H7376

それゆえ、あなたがたの民の中にいくさの騒ぎが起り、シャルマンが戦いの日にベテ・アルベルを打ち破ったように、あなたがたの城はことごとく打ち破られる。母らはその子らと共に打ち砕かれた。

15 כָּכָ֤ה עָשָׂה֙ לָכֶ֣ם בֵּֽית־אֵ֔ל מִפְּנֵ֖י רָעַ֣ת רָעַתְכֶ֑ם בַּשַּׁחַר֙ נִדְמָ֣ה נִדְמָ֔ה מֶ֖לֶךְ יִשְׂרָאֵ֥ל׃
この–ように した あなたがたに ベテルは ～の–ために 悪の あなたがたの–悪の 曙に 滅びる 全く–滅びる 王は イスラエルの
H3602 H6213 H1008 H6440 H7451 H7837 H1820 H4428 H3478

イスラエルの家よ、あなたがたの大いなる悪のゆえに、このように、あなたがたにも行われ、イスラエルの王は、あらしの中に全く滅ぼされる。

Chapter 11

1 כִּֽי־ נַ֙עַר֙ יִשְׂרָאֵ֣ל וָאֹהֲבֵ֔הוּ וּמִמִּצְרַ֖יִם קָרָ֣אתִי לִבְנִֽי׃
なぜなら 幼かった イスラエルが そして–愛した そして–エジプトから 呼んだ 私の–息子を
H5288 H3478 H0157 H4714 H7121

わたしはイスラエルの幼い時、これを愛した。わたしはわが子をエジプトから呼び出した。

2 קָרְא֣וּ לָהֶ֔ם כֵּ֚ן הָלְכ֣וּ מִפְּנֵיהֶ֔ם לַבְּעָלִ֖ים יְזַבֵּ֑חוּ וְלַפְּסִלִ֖ים יְקַטֵּרֽוּן׃
呼んだ 彼らに それだけ 行った 彼らの–前から バアルたちに いけにえを–ささげた そして–偶像に 香を–たいた
H7121 H6456 H3651 H1980 H6440 H2076 H6456 H6999

わたしが呼ばわるにしたがって、彼らはいよいよわたしから遠ざかり、もろもろのバアルに犠牲をささげ、刻んだ像に香をたいた。

3 וְאָנֹכִ֞י תִּרְגַּ֤לְתִּי לְאֶפְרַ֙יִם֙ קָחָ֣ם עַל־ זְרוֹעֹתָ֔יו וְלֹ֥א יָדְע֖וּ כִּֽי־ רָפָ֥אתִי׃
そして–私は 歩かせた エフライムに 取った ～の–上に その–腕の しかし–ない 知らなかった それは 癒したことを
H0595 H8637 H0669 H3947 H5921 H2220 H3808 H3045 H7495

わたしはエフライムに歩むことを教え、彼らをわたしの腕にいだいた。しかし彼らはわたしにいやされた事を知らなかった。

4

כְּמֹרְמֵי	לָהֶם	וָאֱהִי	אַהֲבָה	בַּעֲבֹתוֹת	אֲמָשְׁכֵם	אָדָם	בְּחַבְלֵי
上げる–者の–ように	彼らに–とって	そして–なった	愛の	綱で	引いた	人の	紐で
		H1961	H0160	H5688	H4900	H0120	

אוֹכִיל׃	אֵלָיו	וָאֹט	לְחֵיהֶם	עָל	עֹל
食べさせた	彼に	そして–差し–伸べた	彼らの–頬の	～の–上の	軛を
H0398	H0413	H5186	H3895		H5923

わたしはあわれみの綱、すなわち愛のひもで彼らを導いた。わたしは彼らに対しては、あごから、くびきをはずす者のようになり、かがんで彼らに食物を与えた。

5

כִּי	מַלְכּוֹ	הוּא	וְאַשּׁוּר	מִצְרַיִם	אֶרֶץ	אֶל־	יָשׁוּב	לֹא
なぜなら	王と–なる	彼の	そして–アッシリアが	エジプトの	地に	～に	帰らない	ない
	H4428	H1931	H0804	H4714	H0776	H0413	H7725	H3808

לָשׁוּב׃	מֵאֲנוּ
帰ることを	拒んだ
H7725	H3985

彼らはエジプトの地に帰り、アッスリヤびとが彼らの王となる。彼らがわたしに帰ることを拒んだからである。

6

וְאָכְלָה	בַדָּיו	וְכִלְּתָה	בְעָרָיו	חֶרֶב	וְחָלָה
そして–食い尽くす	その–かんぬきを	そして–滅ぼす	その–町々で	剣が	そして–振るう
H0398	H0905	H3615		H2719	

מִמֹּעֲצוֹתֵיהֶם׃
彼らの–謀りごとの–ために
H4156

つるぎは、そのもろもろの町にあれ狂い、その門の貫の木を砕き、その城の中に彼らを滅ぼす。

7

יְרוֹמֵם׃	לֹא	יַחַד	יִקְרָאֻהוּ	עַל	וְאֶל־	לִמְשׁוּבָתִי	תְלוּאִים	וְעַמִּי
高めない	ない	共に	呼ぶ	上へ	そして～へ	私からの–背きに	側んだ	そして–わが–民は
	H3808		H7121	H5920	H0413	H4878	H8511	

わが民はわたしからそむき去ろうとしている。それゆえ、彼らはくびきをかけられ、これを除きうる者はひとりもいない。

8

אֶתֶּנְךָ	אֵיךְ	יִשְׂרָאֵל	אֲמַגֶּנְךָ	אֶפְרַיִם	אֶתֶּנְךָ	אֵיךְ	
するのか	どうして	イスラエルよ	引き渡せようか	エフライムよ	引き渡せようか	どうして	
H5414		H3478	H4042	H0669	H5414		

נִכְמְרוּ	יַחַד	לִבִּי	עָלַי	נֶהְפַּךְ	כִּצְבֹאִים	אֲשִׂימְךָ	כְּאַדְמָה
燃えた	共に	私の–心は	私の–内に	変わった	ツェボイムの–ように	するのか	アドマの–ように
H3648				H2015	H6636		H0126

נִחוּמָי׃
私の–憐れみは
H5150

エフライムよ、どうして、あなたを捨てることができようか。イスラエルよ、どうしてあなたを渡すことができようか。どうしてあなたをアデマのようにすることができようか。どうしてあなたをゼボイムのように扱うことができようか。わたしの心は、わたしのうちに変り、わたしのあわれみは、ことごとくもえ起っている。

9

כִּי	אֶפְרַיִם	לְשַׁחֵת	אָשׁוּב	לֹא	אַפִּי	חֲרוֹן	אֶעֱשֶׂה	לֹא
なぜなら	エフライムを	滅ぼす-ために	帰らない	ない	私の	燃える-怒りを	行わない	ない
	H0669	H7843	H7725	H3808	H0639	H2740		H3808

אָבוֹא	וְלֹא	קָדוֹשׁ	בְּקִרְבֶּךָ	אִישׁ	וְלֹא־	אָנֹכִי	אֵל
来ない	そして-ない	聖なる-者で-ある	あなたの-内に-ある	人では	そして-ない	私は	神で-ある
H0935	H3808	H6918	H7130	H0376	H3808	H0595	H0410

בְּעִיר׃
怒りを-もって

わたしはわたしの激しい怒りをあらわさない。わたしは再びエフライムを滅ぼさない。わたしは神であって、人ではなく、あなたのうちにいる聖なる者だからである。わたしは滅ぼすために臨むことをしない。

10

וְיֶחֶרְדוּ	יִשְׁאַג	הוּא	כִּי־	יִשְׁאָג	כְּאַרְיֵה	יֵלְכוּ	יְהוָה	אַחֲרֵי
そして-急ぎ-来る	吼える	主が	なぜなら	吼える	獅子の-ように	行く	主の	後を-追って
H2729	H7580	H1931		H7580		H3212	H3068	

מִיָּם׃	בָּנִים
海から	子らが
H3220	

彼らは主に従って歩む。主はししのほえるように声を出される。主が声を出されると、子らはおののきつつ西から来る。

11

וְהוֹשַׁבְתִּים	אַשּׁוּר	מֵאֶרֶץ	וּכְיוֹנָה	מִמִּצְרַיִם	כִּצְפוֹר	יֶחֶרְדוּ	
そして-住まわせる	アッシリアの	地から	そして-鳩の-ように	エジプトから	鳥の-ように	急ぎ-来る	
H3427	H0804	H0776	H3123	H4714	H6833	H2729	

ס	יְהוָה׃	נְאֻם־	בָּתֵּיהֶם	עַל־
—	主が	宣言する	彼らの-家に	～の-上に
	H3068	H5002		

彼らはエジプトから鳥のように、アッスリヤの地から、はとのように急いで来る。わたしは彼らをその家に帰らせると主は言われる。

12

עֹד	וְיהוּדָה	יִשְׂרָאֵל	בֵּית	וּבִמְרָמָה	אֶפְרַיִם	בְּכַחַשׁ	סְבָבֻנִי	
まだ	そして-ユダは	イスラエルの	家は	そして-欺きで	エフライムは	偶りで	囲んだ	
H5750	H3063	H3478		H4820	H0669	H3585	H5437	

נֶאֱמָן׃	קְדוֹשִׁים	וְעִם־	אֵל	עִם־	רָד
忠実で-ある	聖なる-者と	そして～と-共に	神と	～と-共に	さまよって-いる
H0539	H6918		H0410		H7300

エフライムは偽りをもって、わたしを囲み、イスラエルの家は欺きをもって、わたしを囲んだ。しかしユダはなお神に知られ、聖なる者に向かって真実である。

Chapter 12

1

יַרְבֶּה	וְשֹׁד	כָּזָב	הַיּוֹם	כָּל־	קָדִים	וְרֹדֵף	רוּחַ	רֹעֶה	אֶפְרַיִם
増す	破壊を	偶りと	日を	すべての	東風を	そして-追う	風を	飼う	エフライムは
	H7701	H3577	H3117	H3605	H6921	H7291	H7307		H0669

יוּבָל׃	לְמִצְרַיִם	וְשֶׁמֶן	יִכְרֹתוּ	אַשּׁוּר	עִם־	וּבְרִית
運ぶ	エジプトに	そして-油を	結ぶ	アッシリアと	～と	そして-契約を
H2986	H4714	H8081	H3772	H0804		H1285

エフライムはひねもす風を牧し、東風を追い、偽りと暴虐とを増し加え、アッスリヤと取引をなし、油をエジプトに送った。

2 וְרִיב לַיהוָה וְלִפְקֹד עַל־יַעֲקֹב כִּדְרָכָיו כְּמַעֲלָלָיו יָשִׁיב לוֹ׃
そして–訴えが 主には–ある ～と ユダと そして–罰する ～の–上に ヤコブを その–道に–従って 彼に 報いる その–行いに–従って
H7379 H3068 H5921 H3063 H6485 H5921 H3290 H1870 H7725 H4611

主はユダと争い、ヤコブをそのしわざにしたがって罰し、そのおこないにしたがって報いられる。

3 בַּבֶּטֶן עָקַב אֶת־אָחִיו וּבְאוֹנוֹ שָׂרָה אֶת־אֱלֹהִים׃
胎の–中で かかとを–つかんだ ～を その–兄の そして–その–力で 戦った ～と 神と
H0990 H6117 H0853 H0251 H0202 H8280 H0854 H0430

ヤコブは胎にいたとき、その兄弟のかかとを捕え、成人したとき神と争った。

4 וַיָּשַׂר אֶל־מַלְאָךְ וַיּוּכָל בָּכָה וַיִּתְחַנַּן־לוֹ בֵּית־אֵל יִמְצָאֶנּוּ וְשָׁם יְדַבֵּר עִמָּנוּ׃
そして–戦った ～と 御使いと そして–勝った 泣いて そして–懇願した 主に ベテルで 見いだした そして–そこで 語った 私たちと
H7786 H0413 H4397 H3201 H1058 H2603 H3068 H1008 H4672 H8033 H1696 H5973

彼は天の使と争って勝ち、泣いてこれにあわれみを求めた。彼はベテルで神に出会い、その所で神は彼と語られた。

5 וַיהוָה אֱלֹהֵי הַצְּבָאוֹת יְהוָה זִכְרוֹ׃
そして–主は 神で–ある 万軍の 主が その–名で–ある
H3068 H0430 H6635 H3068 H2143

主は万軍の神、その名は主である。

6 וְאַתָּה בֵּאלֹהֶיךָ תָּשׁוּב חֶסֶד וּמִשְׁפָּט שְׁמֹר וְקַוֵּה אֶל־אֱלֹהֶיךָ תָמִיד׃
そして–あなたは あなたの–神に–よって 帰れ 憐れみと そして–公正を 守れ そして–待ち望め 常に あなたの–神を ～を
H7725 H0430 H2617 H4941 H8104 H6960 H0430 H0413

それゆえ、あなたはあなたの神に帰り、いつくしみと正しきとを守り、つねにあなたの神を待ち望め。

7 כְּנַעַן בְּיָדוֹ מֹאזְנֵי מִרְמָה לַעֲשֹׁק אָהֵב׃
商人は その–手に 側りの–秤を–持ち 欺きの 虐げることを 愛する
H3669 H3027 H3976 H4820 H6231 H0157

商人はその手に偽りのはかりを持ち、しえたげることを好む。

8 וַיֹּאמֶר אֶפְרַיִם אַךְ עָשַׁרְתִּי מָצָאתִי אָוֶן לִי כָּל־יְגִיעַי לֹא יִמְצְאוּ־לִי עָוֹן אֲשֶׁר־חֵטְא׃
そして–言った エフライムは 確かに 富んだ 見いだした 富を 私の–ために すべての 私の–労苦の–中に ない 見いだせない 咸を それは 罪で–ある
H0559 H0669 H0389 H6238 H4672 H0202 H0369 H3605 H3018 H3808 H4672 H5771 H0834 H2399

エフライムは言った、「まことにわたしは富める者となった。わたしは自分ために財宝を得た」と。しかし彼のすべての富もその犯した罪をつぐなうことはできない。

9 וְאָנֹכִי יְהוָה אֱלֹהֶיךָ מֵאֶרֶץ מִצְרָיִם עֹד אוֹשִׁיבְךָ בָּאֳהָלִים
そして–私は 主で–ある あなたの–神で–ある 地から エジプトの 再び 住まわせる 天幕に
H0595 H3068 H0430 H0776 H4714 H5750 H3427 H0168

כִּימֵי מוֹעֵד׃
例祭の 例祭の–日の–ように
H4150 H3117

わたしはエジプトの国を出たときから、あなたの神、主である。わたしは祭の日のように、再びあなたを天幕に住まわせよう。

10 וְדִבַּרְתִּי עַל־הַנְּבִיאִים וְאָנֹכִי הִרְבֵּיתִי חָזוֹן וּבְיַד
そして–語った ～に–よって 預言者たちに そして–私は 増やした 幻を そして–手に–よって
H1696 H5030 H0595 H2377 H3027

הַנְּבִיאִים אֲדַמֶּה׃
預言者たちの たとえる
H5030 H1819

わたしは預言者たちに語った。幻を多く示したのはわたしである。わたしは預言者たちによってたとえを語った。

11 אִם־גִּלְעָד אָוֶן אַךְ־הֶבֶל הָיוּ בַגִּלְגָּל שְׁוָרִים
もし ギレアデが 不正で–あるなら ただ 空しさに なった ギルガルで 牛を
H0518 H1568 H0205 H0389 H7723 H1961 H1537 H7794

זָבֵחוּ גַּם מִזְבְּחוֹתָם כְּגַלִּים עַל תַּלְמֵי שָׂדֶי׃
いけにえに–ささげた また 彼らの–祭壇も 石堆の–ように ～の–上の 畠の–畝の 畠の
H2076 H1571 H4196 H1530 H5921 H8525 H7704

もしギレアデに不義があるなら、彼らは必ずむなしき者となる。もし彼らがギルガルで雄牛を犠牲にささげるなら、彼らの祭壇は畑のうねに積んだ石塚のようになる。

12 וַיִּבְרַח יַעֲקֹב שְׂדֵה אֲרָם וַיַּעֲבֹד יִשְׂרָאֵל בְּאִשָּׁה
そして–逃げた ヤコブは 野に アラムの そして–仕えた イスラエルは 女の–ために
H1272 H3290 H7704 H0758 H5647 H3478 H0802

וּבְאִשָּׁה שָׁמָר׃
そして–女の–ために 守った
H0802 H8104

（ヤコブはアラムの地に逃げっていった。イスラエルは妻をめとるために人に仕えた。彼は妻をめとるために羊を飼った。）

13 וּבְנָבִיא הֶעֱלָה יְהוָה אֶת־יִשְׂרָאֵל מִמִּצְרָיִם
そして–預言者に–よって 導き–上った 主は ～を イスラエルを エジプトから
H5030 H5927 H3068 H0853 H3478 H4714

וּבְנָבִיא נִשְׁמָר׃
そして–預言者に–よって 守られた
H5030 H8104

主はひとりの預言者によって、イスラエルをエジプトから導き出し、ひとりの預言者によってこれを守られた。

14 הִכְעִיס אֶפְרַיִם תַּמְרוּרִים וְדָמָיו עָלָיו יִשֹּׁושׁ וְחֶרְפָּתוֹ יָשִׁיב
怒らせた エフライムは 苦く そして–その–血を その–上に 残す そして–その–辱めを 報いる
H3707 H0669 H8563 H1818 H5921 H7604 H2781 H7725

לוֹ אֲדֹנָיו׃
彼に その–主が
H0136

エフライムはいたく主を怒らせた。それゆえ主はその血のとがを彼の上にのこし、そのはずかしめを彼に返される。

Chapter 13

1

וַיֶּאְשַׁם
しかし–罪を–犯した
H0816

בְּיִשְׂרָאֵל
イスラエルで
H3478

הוּא
彼は
H1931

נָשָׂא
高められた
H5375

רָתֵּת
おそれが–あった
H7578

אֶפְרַיִם
エフライムが
H0669

כְּדַבֶּר
語った–時
H1696

וַיָּמֹת׃
そして–死んだ
H4191

בַּבָּעַל
バアルに–よって

エフライムが物言えば、人々はおののいた。彼はイスラエルの中に自分を高くした。しかし彼はバアルによって罪を犯して死んだ。

2

מִכַּסְפָּם
彼らの–銀から
H3701

מַסֵּכָה
鋳像を

לָהֶם
彼らの–ために

וַיַּעֲשׂוּ
そして–作った

לַחַטֹּא
罪を–犯すことを
H2398

יוֹסִפוּ
続ける
H3254

וְעַתָּה
そして–今
H6258

אֹמְרִים
言う
H0559

הֵם
彼らは
H1992

לָהֶם
彼らに

כֻּלָּה
すべてが
H3605

חָרָשִׁים
職人の
H2796

מַעֲשֶׂה
仕事で–ある
H4639

עֲצַבִּים
偶像を
H6091

כִּתְבוּנָם
彼らの–技に–よって
H8394

יִשָּׁקוּן׃
口づけする

עֲגָלִים
子牛に
H5695

אָדָם
人の
H0120

זֹבְחֵי
いけにえを–ささげる–者が
H2076

そして彼らは今もなおますます罪を犯し、その銀をもって自分のために像を鋳、巧みに偶像を造る。これは皆工人のわざである。彼らは言う、これに犠牲をささげよ、人々は子牛に口づけせよと。

3

כְּמוֹ
もみがらの–ように
H4671

הֹלֵךְ
去る
H1980

מַשְׁכִּים
早く
H7925

וְכַטַּל
そして–露の–ように
H2919

בֹּקֶר
朝の
H1242

כַּעֲנַן־
朝の–雲の–ように
H6051

יִהְיוּ
なる
H1961

לָכֵן
それゆえ

מֵאֲרֻבָּה׃
窓からの
H0699

וּכְעָשָׁן
そして–煙の–ように
H6227

מִגֹּרֶן
脱穀場から
H1637

יְסֹעֵר
吹き–散らされる
H5590

それゆえ彼らは朝の霧のように、すみやかに消えうせる露のように、打ち場から風に吹き去られるもみがらのように、また窓から出て行く煙のようになる。

4

לֹא
ない
H3808

זוּלָתִי
私の–他に
H2108

וֵאלֹהִים
そして–神を
H0430

מִצְרָיִם
エジプトの
H4714

מֵאֶרֶץ
地から
H0776

אֱלֹהֶיךָ
あなたの–神で–ある
H0430

יְהוָה
主で–ある
H3068

וְאָנֹכִי
そして–私は
H0595

בִלְתִּי׃
私の–他には
H1115

אַיִן
ない
H0369

וּמוֹשִׁיעַ
そして–救う–者は
H3467

תֵּדָע
知らない
H3045

わたしはエジプトの国を出てからこのかた、あなたの神、主である。あなたはわたしのほかに神を知らない。わたしのほかに救う者はない。

5

תַּלְאֻבוֹת׃
乾きの
H8514

בְּאֶרֶץ
地で
H0776

בַּמִּדְבָּר
荒野で

יְדַעְתִּיךָ
知った
H3045

אֲנִי
私は
H0589

わたしは荒野で、またかわいた地で、あなたを知った。

6
כְּמַרְעִיתָם וַיִּשְׂבְּעוּ וַיִּשְׂבְּעוּ וַיָּרָם לִבָּם עַל־כֵּן שְׁכֵחוּנִי׃
それ–ゆえに 彼らの–心は そして–高ぶった 満足した H7646 そして–満足した H7646 彼らの–牧草地に–従って H4830
忘れた H7911 それゆえ

しかし彼らは食べて飽き、飽きて、その心が高ぶり、わたしを忘れた。

7
וָאֱהִי כְּמוֹ־לָהֶם כְּשַׁחַל עַל־דֶּרֶךְ כְּנָמֵר אָשׁוּר׃
そして–なった H1961 彼らに–対して ～の–ように 獅子の–ように H7826 そして–豹の–ように H5246 道の H1870 ～の–働で
待ち–伏せる H7789

それゆえ、わたしは彼らに向かって、ししのようになり、ひょうのように道のかたわらに潜んでうかがう。

8
אֶפְגְּשֵׁמוֹ כְּדֹב שַׁכּוּל וְאֶקְרַע סְגוֹר לִבָּם וְאֹכְלֵם שָׁם
襲う H6298 熊の–ように H1677 子を–奪われた H7909 そして–引き裂く H7167 囲いを H5458 彼らの–心の H1677 そして–食らう H0398 そこで H8033
תְּבַקְּעֵם׃ הַשָּׂדֶה חַיַּת כְּלָבִיא
引き裂く H1234 野の 獣が 雌獅子の–ように

わたしは子を取られた熊のように彼らに出会って、その胸をかきさき、その所で、ししのようにこれを食い尽し、野の獣のようにこれをかき破る。

9
בְּעֶזְרֶךָ׃ בִּי כִּי־ יִשְׂרָאֵל שִׁחֶתְךָ
あなたの–助けに H5828 私に–対して なぜなら イスラエルよ H3478 滅ぼした H7843

イスラエルよ、わたしはあなたを滅ぼす。だれがあなたを助けることができよう。

10
עָרֶיךָ בְּכָל־ וְיוֹשִׁיעֲךָ אֱפוֹא מַלְכְּךָ אֱהִי
あなたの–町で すべての H3605 そして–救うのか H3467 さあ H0645 あなたの–王は H4428 どこに–いるのか H0165
וְשָׁרֶיךָ׃ מֶלֶךְ לִי תְּנָה־ אָמַרְתָּ אֲשֶׁר וְשָׁפְטֶיךָ
そして–君たちを H8269 王を H4428 私に 与えよ H5414 言った H0559 それについて そして–あなたの–裁き人は H8199

あなたを助けるあなたの王は今、どこにいるのか。あなたがかつて「わたしに王と君たちとを与えよ」と言ったあなたを保護すべき、すべてのつかさたちは今、どこにいるのか。

11
ס בְּעֶבְרָתִי׃ וְאֶקַּח בְּאַפִּי מַלְכְּךָ לְךָ אֶתֵּן־
― 怒りで H5678 そして–取り去った H3947 怒りで H0639 王を H4428 あなたに 与えた H5414

わたしは怒りをもってあなたに王を与えた、また憤りをもってこれを奪い取った。

12
חַטָּאתוֹ׃ צְפוּנָה אֶפְרַיִם עֲוֹן צְרוּר
その–罪は 隠された H6845 エフライムの H0669 咸は H5771 包まれた

エフライムの不義は包みおかれ、その罪は積みたくわえられてある。

13 חֶבְלֵי יוֹלֵדָה יָבֹאוּ לוֹ הוּא־לֹא בֵן חָכָם כִּי־לֹא עֵת
産みの-苦しみが 生む-女の 来る 彼に 彼は 息子で-ある 賢く-ない なぜなら 時に
H2256 H3205 H0935 H1931 H3808 H2450 H3588 H6256

לֹא־יַעֲמֹד בְּמִשְׁבַּר בָּנִים׃
ない 立たない 産みの-場所に 子らの
H3808 H5975 H4866

子を産む女の苦しみが彼に臨む。彼は知恵のない子である。生れる時が来ても彼は産門にあらわれない。

14 מִיַּד שְׁאוֹל אֶפְדֵּם מִמָּוֶת אֶגְאָלֵם אֵי דְבָרֶיךָ מָוֶת אַיֵּה
手から 陰府の 贖う 死から 贖う どこに-あるのか 死よ どこに-あるのか
H3027 H7585 H6299 H4194 H0165 H1698 H4194 H0165

נֹחַם יִסָּתֵר מֵעֵינָי׃ שְׁאוֹל קָטָבֵךְ
憐れみは 隠れる 私の-目から 陰府よ あなたの-滅びは
H5164 H5641 H7585 H6987

わたしは彼らを陰府の力から、あがなうことがあろうか。彼らを死から、あがなうことがあろうか。死よ、おまえの災はどこにあるのか。陰府よ、おまえの滅びはどこにあるのか。あわれみは、わたしの目から隠されている。

15 כִּי הוּא בֶּן בָּאֲחִים יַפְרִיא יָבוֹא קָדִים רוּחַ יְהוָה מִמִּדְבָּר עֹלֶה
たとえ 彼が 中で 兄弟たちの 実を-結んでも 来る 東風が 風が 主の 荒野から 上る
H3588 H1931 H0996 H0251 H6500 H0935 H6921 H7307 H3068 H4057 H5927

וְיֵבוֹשׁ וְיֶחֱרַב מְקוֹרוֹ וְהוּא מַעְיָנוֹ יְשֹׁסֶּה אוֹצַר כָּל־ כְּלִי
そして-干上がる その-泉は そして-枯れる その-湧き水は 彼は 奪い-取る 倉を すべての 器の
H0954 H4726 H3001 H4599 H1931 H8154 H0214 H3605 H3627

חֶמְדָּה׃
宝の

たとい彼は葦のように栄えても、東風が吹いて来る。主の風が荒野から吹き起る。これがためにその源はかれ、その泉はかわく。それはすべての尊い物の宝庫をかすめ奪う。

16 תֶּאְשַׁם מָרְתָה כִּי שֹׁמְרוֹן עֹלְלֶיהָם יִפְּלוּ בַּחֶרֶב בֶּאלֹהֶיהָ
罪を-負う 背いた なぜなら サマリアは その-幼子らは 倒れる 剣に-よって その-神に-対して
H0816 H4784 H3588 H8111 H5768 H5307 H2719 H0430

פ יְבֻקָּעוּ׃ וְהָרִיּוֹתָיו יְרֻטָּשׁוּ
— 引き裂かれる そして-その-妊婦らは 打ち-砕かれる
H1234 H7376

サマリヤはその神にそむいたので、その罪を負い、つるぎに倒れ、その幼な子は投げ砕かれ、そのはらめる女は引き裂かれる。

Chapter 14

1 שׁוּבָה יִשְׂרָאֵל עַד יְהוָה אֱלֹהֶיךָ כִּי כָשַׁלְתָּ בַּעֲוֹנֶךָ׃
帰れ イスラエルよ ～に 主に あなたの-神に なぜなら つまずいた あなたの-咸に-よって
H7725 H3478 H5704 H3068 H0430 H3588 H3782 H5771

イスラエルよ、あなたの神、主に帰れ。あなたは自分の不義によって、つまずいたからだ。

2

כָּל־ すべての H3605 | אֵלָיו 主に H0413 | אִמְרוּ 言え H0559 | יְהוָה 主に H3068 | אֶל־ ～に H0413 | וְשׁוּבוּ そして-帰れ H7725 | דְּבָרִים 言葉を H1697 | עִמָּכֶם あなたがたと-共に | קְחוּ 取れ H3947

שְׂפָתֵינוּ׃ 私たちの-唇の H8193 | פָּרִים 雄牛を H6499 | וְנִשַׁלְּמָה そして-ささげる | טוֹב 善を | וְקַח־ そして-受けてください H3947 | עָוֹן 咸を H5771 | תִּשָּׂא 赦してください H5375

あなたがたは言葉を携えて、主に帰って言え、「不義はことごとくゆるして、よきものを受けいれてください。わたしたちは自分のくちびるの実をささげます。

3

עוֹד もはや H5750 | נֹאמַר 言わない H0559 | וְלֹא־ そして-ない H3808 | נִרְכָּב 乗らない H7392 | לֹא ない H3808 | סוּס 馬に | עַל־ ～の-上に | יוֹשִׁיעֵנוּ 救わない H3467 | לֹא ない H3808 | וְאַשּׁוּר アッシリアは H0804

יְתוֹם׃ 孤児は H3490 | יְרֻחַם 憐れまれる H7355 | בְּךָ あなたの-内に | אֲשֶׁר־ その中で | יָדֵינוּ 私たちの-手の H3027 | לְמַעֲשֵׂה 作品に-対して H4639 | אֱלֹהֵינוּ 私たちの-神よと H0430

アッスリヤはわたしたちを助けず、わたしたちは馬に乗りません。わたしたちはもはや自分たちの手のわざに向かって『われわれの神』とは言いません。みなしごはあなたによって、あわれみを得るでしょう」。

4

מִמֶּנּוּ׃ 彼から | אַפִּי 私の-怒りは H0639 | שָׁב 去った H7725 | כִּי なぜなら | נְדָבָה 自由に H5071 | אֹהֲבֵם 愛する H0157 | מְשׁוּבָתָם 彼らの-背きを H4878 | אֶרְפָּא 癒す H7495

わたしは彼らのそむきをいやし、喜んでこれを愛する。わたしの怒りは彼らを離れ去ったからである。

5

שָׁרָשָׁיו その-根を H8328 | וְיַךְ そして-張る H5221 | כַּשּׁוֹשַׁנָּה 百合の-ように H7799 | יִפְרַח 咲く | לְיִשְׂרָאֵל イスラエルに-対して H3478 | כַּטַּל 露の-ように H2919 | אֶהְיֶה なる H1961

כַּלְּבָנוֹן׃ レバノンの-ように H3844

わたしはイスラエルに対しては露のようになる。彼はゆりのように花咲き、ポプラのように根を張り、

6

לוֹ 彼の | וְרֵיחַ そして-その-香りは H7381 | הוֹדוֹ その-輝きは H1935 | כַּזַּיִת オリーブの-ように H2132 | וְיִהִי そして-なる H1961 | יְנִקוֹתָיו その-若枝は H3127 | יֵלֵכוּ 広がる H3212

כַּלְּבָנוֹן׃ レバノンの-ように H3844

その枝は茂りひろがり、その麗しさはオリブの木のように、そのかんばしさはレバノンのようになる。

7

זִכְרוֹ その-名声は H2143 | כַּגֶּפֶן 葡萄の-木の-ように H1612 | וְיִפְרַח そして-花-咲く | דָּגָן 穀物を H1715 | יְחַיּוּ 生かす H2421 | בְּצִלּוֹ その-陰に H6738 | יֹשְׁבֵי 住む-者たちは H3427 | יָשֻׁבוּ 帰る H7725

ס ― | לְבָנוֹן׃ レバノンの H3844 | כְּיֵין 葡萄酒の-ように H3196

彼らは帰って来て、わが陰に住み、園のように栄え、ぶどうの木のように花咲き、そのかんばしさはレバノンの酒のようになる。

8 אֶפְרַ֙יִם֙ מַה־ לִּ֣י עֹ֔וד לָֽעֲצַבִּ֖ים אֲנִ֣י עָנִ֑יתִי וַאֲשׁוּרֶ֖נּוּ אֲנִ֥י
エフライムよ 何を 私に もはや 偶像とは 私が 答えた そして–見守る 私は
H0669 H4100 H0589 H5750 H6091 H0589 H7789 H0589

כִּבְרֹ֣וׁש רַעֲנָ֔ן מִמֶּ֖נִּי פִּרְיְךָ֥ נִמְצָֽא׃
緑の–糸杉の–ように 青々とした 私から あなたの–実は 見いだされる
H1265 H6529 H4672

エフライムよ、わたしは偶像となんの係わりがあろうか。あなたに答え、あなたを顧みる者はわたしである。わたしは緑のいとすぎのようだ。あなたはわたしから実を得る。

9 מִֽי־ חָכָ֙ם֙ וְיָבֶ֣ן נָבֹ֔ון וְיֵדָ֖ע כִּֽי־
誰が 賢いのか これらを 悟るのか そして–知るのか なぜなら
H4310 H2450 H0428 H0995 H0995 H3045

יְשָׁרִ֙ים֙ דַּרְכֵ֣י יְהוָ֔ה וְצַדִּקִ֖ים יֵלְכ֣וּ בָ֑ם וּפֹשְׁעִ֖ים יִכָּשְׁל֥וּ בָֽם׃
まっすぐで–ある 道は 主の そして–義しい–者は 歩く その–中を しかし–背く–者は つまずく
H3477 H1870 H3068 H6662 H3212 H6586 H3782

その–中で

知恵のある者はだれか。その人にこれらのことを悟らせよ。悟りある者はだれか。その人にこれらのことを知らせよ。主の道は直く、正しき者はこれを歩む。しかし罪びとはこれにつまずく。

Joel

Chapter 1

1 דְּבַר־ יְהוָה֙ אֲשֶׁ֣ר הָיָ֔ה אֶל־ יוֹאֵ֖ל בֶּן־ פְּתוּאֵֽל׃
言葉 主の それは あった ～に ヨエル 息子– ペトエル
H1697 H3068 H0834 H1961 H0413 H3100 H1121 H6602

ペトエルの子ヨエルに臨んだ主の言葉。

2 שִׁמְעוּ־ זֹ֤את הַזְּקֵנִים֙ וְהַאֲזִ֔ינוּ כֹּ֖ל יוֹשְׁבֵ֣י הָאָ֑רֶץ הֲֽיָתָ֤ה זֹּאת֙ בִּימֵיכֶ֔ם וְאִ֖ם בִּימֵ֥י אֲבֹתֵיכֶֽם׃
聞け これを 長老たちよ そして–耳を傾けよ すべての 住民よ その–地の あったか
H8085 H2063 H2205 H0238 H3605 H3427 H0776 H1961

このようなことが あるいは 日々に 先祖の
H2063 H0001 H3117 H0001

老人たちよ、これを聞け。すべてこの地に住む者よ、耳を傾けよ。あなたがたの世、またはあなたがたの先祖の世にこのような事があったか。

3 לִבְנֵיכֶ֣ם תְּסַפֵּ֔רוּ וּבְנֵיכֶ֖ם לִבְנֵיהֶ֑ם וּבְנֵיהֶ֖ם לְד֥וֹר אַחֵֽר׃
彼らの–子らに そして–あなたがたの–子らは 語れ あなたがたの–子らに それについて
H1121 H0853 H5608 H1121 H1121 H0853

別の 次の–世代に そして–彼らの–子らは
H0312 H1755 H0853 H1121

これをあなたがたの子たちに語り、子たちはまたその子たちに語り、その子たちはまたこれを後の代に語り伝えよ。

4 הַיֶּ֙לֶק֙ אָכַ֣ל הָאַרְבֶּ֔ה וְיֶתֶ֖ר אָכַ֣ל הָאַרְבֶּ֑ה וְיֶתֶ֖ר אָכַ֥ל הַגָּזָֽם׃
バッタ 食い尽くした いなごの そして–残り– いなご 食い尽くした かみきり虫の 残り–
H3218 H0398 H0697 H0853 H0697 H0398 H1501 H0853

その–毛虫 食い尽くした バッタの そして–残り–
H2625 H0398 H3218 H0853

かみ食らういなごの残したものは、群がるいなごがこれを食い、群がるいなごの残したものは、とびいなごがこれを食い、とびいなごの残したものは、滅ぼすいなごがこれを食った。

5 הָקִ֣יצוּ שִׁכּוֹרִ֔ים וּבְכ֖וּ וְהֵילִ֑לוּ כָּל־ שֹׁתֵ֣י יָ֔יִן עַל־ עָסִ֖יס כִּ֥י נִכְרַ֖ת מִפִּיכֶֽם׃
目覚めよ 酔いどれたちよ そして–泣け そして–嘆け すべての 飲む–者たちよ ぶどう酒の
H6974 H7910 H1058 H3213 H3605 H8354 H3196

～のために なぜなら 甘い–ぶどう酒 断たれた あなたがたの–口から
H5921 H3588 H6071 H3772 H6310

酔える者よ、目をさまして泣け。すべて酒を飲む者よ、うまい酒のゆえに泣き叫べ。うまい酒はあなたがたの口から断たれるからだ。

6 כִּי־ גּוֹי עָלָה עַל־ אַרְצִי עָצוּם וְאֵין מִסְפָּר
なぜなら 国民が 攻め上った ～の-上に わたしの-地に 力強く そして-数え切れない 数
H4557 H0369 H6099 H0776 H5927 H1471

שִׁנָּיו שִׁנֵּי אַרְיֵה וּמְתַלְעוֹת לָבִיא לוֹ׃
その-歯は 歯- 獅子の そして-牙は 雌獅子の それに
H8127 H8127 H0738 H4973 H3833

一つの国民がわたしの国に攻めのぼってきた。その勢いは強く、その数は計られず、その歯はししの歯のようで、雌じしのきばをもっている。

7 שָׂם לְשַׁמָּה גַּפְנִי וּתְאֵנָתִי לְקֻצְפָּה חָשֹׂף הִשְׁלֵךְ׃
変えた 荒廃に わたしの-ぶどうの木を そして-わたしの-いちじくの木を 裂き折りに 剥ぎ取り
H8047 H1612 H8384 H7111 H2834

הִלְבִּינוּ שָׂרִיגֶיהָ׃
白くなった その-枝は
H7993 H8299

彼らはわがぶどうの木を荒し、わがいちじくの木を折り、その皮をはだかにして捨てた。その枝は白くなった。

8 אֵלַי כִּבְתוּלָה חֲגֹרַת־ שָׂק עַל־ בַּעַל נְעוּרֶיהָ׃
嘆け おとめのように まとった- 粗布を ～のために 夫- その-若き日の
H0421 H1330 H2296 H8242 H1167 H5271

あなたがたは若い時の夫のために荒布を腰にまとったおとめのように泣き悲しめ。

9 הָכְרַת מִנְחָה וָנֶסֶךְ מִבֵּית יְהוָה אָבְלוּ הַכֹּהֲנִים
断たれた 穀物の-捧げ物 そして-注ぎの-供え物は 主の-宮から 主の 嘆いている 祭司たちは
H3772 H4503 H5262 H1004 H3068 H0056 H3548

מְשָׁרְתֵי יְהוָה׃
仕える-者たち 主の
H8334 H3068

素祭と灌祭とは主の家に絶え、主に仕える祭司たちは嘆き悲しむ。

10 שֻׂדַּד שָׂדֶה אָבְלָה אֲדָמָה כִּי שֻׁדַּד דָּגָן הוֹבִישׁ תִּירוֹשׁ
荒らされた 畑は 嘆いている 大地は なぜなら 荒らされた 穀物は 枯れた 新しい-ぶどう酒は
H7703 H7704 H0056 H0127 H7703 H1715 H3001 H8492

אֻמְלַל יִצְהָר׃
衰えた 油は
H0535 H3323

畑は荒れ、地は悲しむ。これは穀物が荒れはて、新しい酒は尽き、油も絶えるためである。

11 הֹבִישׁוּ אִכָּרִים הֵילִילוּ כֹּרְמִים עַל־ חִטָּה וְעַל־ שְׂעֹרָה
恥じよ 農夫たちよ 嘆け ぶどう園の-農夫たちよ ～のために 小麦 そして-～のために 大麦
H0954 H0406 H3213 H3755 H5921 H2406 H5921 H8184

כִּי אָבַד קְצִיר שָׂדֶה׃
なぜなら 失われた 収穫- 畑の
H0006

小麦および大麦のために、農夫たちよ、恥じよ、ぶどう作りたちよ、泣け。畑の収穫がうせ去ったからである。

וְתַפּוּחַ	תָּמָר	גַּם־	רִמּוֹן	אֻמְלָלָה	וְהַתְּאֵנָה	הוֹבִישָׁה	הַגֶּפֶן		12
そして–りんご	なつめやし	また	ざくろ	衰えた	そして–いちじくの木は	枯れた	ぶどうの木は		
H8598	H8558	H1571	H7416	H0535	H8384	H3001	H1612		

ס	:אָדָם	בְּנֵי	מִן־	שָׂשׂוֹן	הֹבִישׁ	כִּי־	יָבְשׁוּ	הַשָּׂדֶה	עֲצֵי	כָּל־
ס	人の	子ら–	～から	喜びは	消え去った	まことに	枯れた	野の	木々–	すべての
	H0120			H8342	H3001		H3001		H6086	H3605

ぶどうの木は枯れ、いちじくの木はしおれ、ざくろ、やし、りんご、野のすべての木はしぼんだ。それゆえ楽しみは人の子らからかれうせた。

לִינוּ	בָּאוּ	מִזְבֵּחַ	מְשָׁרְתֵי	הֵילִילוּ	הַכֹּהֲנִים	וְסִפְדוּ	חִגְרוּ	13
夜を過ごせ	来て	祭壇の	仕える–者たちよ	泣き叫べ	祭司たちよ	そして–嘆け	身にまとえ	
	H0935	H4196	H8334	H3213	H3548	H5594	H2296	

אֱלֹהֵיכֶם	מִבֵּית	נִמְנַע	כִּי	אֱלֹהָי	מְשָׁרְתֵי	בַּשַּׂקִּים	
あなたがたの–神の	宮から	絶たれた	なぜなら	わたしの–神の	仕える–者たちよ	粗布を–まとって	
H0430		H4513		H0430	H8334	H8242	

וְנָסֶךְ׃	מִנְחָה
そして–注ぎの–供え物は	穀物の–捧げ物と
H5262	H4503

祭司たちよ、荒布を腰にまとい、泣き悲しめ。祭壇に仕える者たちよ、泣け。神に仕える者たちよ、来て、荒布をまとい、夜を過ごせ。素祭も灌祭もあなたがたの神の家から退けられたからである。

בֵּית	הָאָרֶץ	יֹשְׁבֵי	כָּל	זִקְנֵים	אִסְפוּ	עֲצָרָה	קִרְאוּ	צוֹם	קַדְּשׁוּ־	14
宮に	その–地の	住民を	すべての	長老たちを	集めよ	聖会を	呼び集めよ	断食を	聖別せよ	
	H0776	H3427	H3605	H2205	H0622	H6116	H7121	H6685	H6942	

יְהוָה׃	אֶל־	וְזַעֲקוּ	אֱלֹהֵיכֶם	יְהוָה
主に	～に向かって	そして–叫べ	あなたがたの–神の	主
H3068	H0413	H2199	H0430	H3068

あなたがたは断食を聖別し、聖会を召集し、長老たちを集め、国の民をことごとくあなたがたの神、主の家に集め、主に向かって叫べ。

:בָּוֹא	מִשַּׁדִּי	וּכְשֹׁד	יְהוָה	יוֹם	קָרוֹב	כִּי	לַיּוֹם	אֲהָהּ	15
来る	全能者から	そして–滅びのように	主の	日は	近い	なぜなら	その–日よ	ああ	
H0935	H7706	H7701	H3068	H3117	H7138		H3117	H0162	

ああ、その日はわざわいだ。主の日は近く、全能者からの滅びのように来るからである。

אֱלֹהֵינוּ	מִבֵּית	נִכְרָתָה	אֹכֶל	עֵינֵינוּ	נֶגֶד	הֲלוֹא	16
わたしたちの–神の	宮から	断たれたではないか	食物が	わたしたちの–目の	目の前で	まさに	
H0430		H3772	H0400		H5048	H3808	

וְגִיל׃	שִׂמְחָה
そして–楽しみは	喜びと
	H8057

われわれの目の前に食物は絶え、われわれの神の家から喜びと楽しみが絶えたではないか。

הֹבִישׁ	כִּי	מַמְגֻרוֹת	נֶהֱרְסוּ	אָצְרוֹת	נָשַׁמּוּ	מֶגְרְפֹתֵיהֶם	תַּחַת	פְּרֻדוֹת	עָבְשׁוּ	17
枯れた	なぜなら	穀物倉は	壊された	倉は	荒れ果てた	彼らの–鋤の	下で	種は	しなびた	
H3001		H4460	H2040	H0214	H8074	H4053	H8478	H6507	H5685	

דָּגָן׃
穀物は
H1715

種は土の下に朽ち、倉は荒れ、穀物がつきたので、穀倉はこわされる。

18 מַה־ נֶּאֶנְחָה בְהֵמָה נָבֹכוּ עֶדְרֵי בָקָר כִּי אֵין מִרְעֶה לָהֶם
なんと うめいている 家畜は さまよっている 群れ– 牛の なぜなら ない 牧草地が 彼らに
H4100 H0584 H0929 H0943 H5739 H1241 H0369 H4829 H1992

גַּם־ עֶדְרֵי הַצֹּאן נֶאְשָׁמוּ׃
また 群れ– 羊の 苦しんでいる
H1571 H5739 H6629 H0816

いかに家畜はうめき鳴くか。牛の群れはさまよう。彼らには牧草がないからだ。羊の群れも滅びうせる。

19 אֵלֶיךָ יְהוָה אֶקְרָא כִּי אֵשׁ אָכְלָה נְאוֹת מִדְבָּר וְלֶהָבָה
あなたに 主よ わたしは–叫ぶ なぜなら 火が 焼き尽くした 牧場を 荒野の そして–炎が
H0413 H3068 H7121 H0784 H0398 H4999 H3852

לִהֲטָה כָּל־ עֲצֵי הַשָּׂדֶה׃
焼き尽くした すべての 木々を 野の
H3857 H3605 H6086

主よ、わたしはあなたに向かって呼ばわる。火が荒野の牧草を焼き滅ぼし、炎が野のすべての木を焼き尽したからである。

20 גַּם־ בַּהֲמוֹת שָׂדֶה תַּעֲרֹג אֵלֶיךָ כִּי יָבְשׁוּ אֲפִיקֵי מָיִם
また 獣たちも 野の あえいでいる あなたに–向かって なぜなら 干上がった 流れ– 水の
H1571 H0929 H7704 H6165 H0413 H3001 H0650 H4325

וְאֵשׁ אָכְלָה נְאוֹת מִדְבָּר׃ פ
そして–火が 焼き尽くした 牧場を 荒野の פ
H0784 H0398 H4999

野の獣もまたあなたに向かって呼ばわる。水の流れがかれはて、火が荒野の牧草を焼き滅ぼしたからである

Chapter 2

1 תִּקְעוּ שׁוֹפָר בְּצִיּוֹן וְהָרִיעוּ בְּהַר קָדְשִׁי יִרְגְּזוּ כָּל יֹשְׁבֵי
吹け 角笛を シオンで そして–叫べ 山で わたしの–聖なる 震えよ すべての 住民よ
H8628 H7782 H6726 H7321 H2022 H6944 H7264 H3605 H3427

כִּי בָא יוֹם־ יְהוָה כִּי קָרוֹב׃
なぜなら 来る 日が– 主の まことに 近い
H0935 H3117 H3068 H0389 H7138

あなたがたはシオンでラッパを吹け。わが聖なる山で警報を吹きならせ。国の民はみな、ふるいわななけ。主の日が来るからである。それは近い。

2 יוֹם חֹשֶׁךְ וַאֲפֵלָה יוֹם עָנָן וַעֲרָפֶל כְּשַׁחַר פָּרֻשׂ עַל־
日 闇の 暗黒の そして–暗黒の 日 雲の そして–濃い–霧の 曙の–ように 広がった ～の–上に
H3117 H2822 H0653 H3117 H6051 H6205 H7837 H6566

הָרִים עַם רַב וְעָצוּם כָּמֹהוּ לֹא נִהְיָה מִן־
山々の 民 大いなる そして–力強い それの–ような–ものは なかった 存在しなかった ～から
H2022 H5971 H7227 H6099 H3644 H3808 H1961

וְאַחֲרָיו לֹא יוֹסֵף עַד־ שְׁנֵי דֹר וָדֹר׃
そして–その–後にも ない 加えられない ～まで 年々– 代々 そして–代々
H0310 H3808 H3254 H5704 H8141 H1755 H1755

עוֹלָם מֵאָז׃
永遠の–昔から
H5769

これは暗く、薄暗い日、雲の群がるまっくらな日である。多くの強い民が暗やみのようにもろもろの山をおおう。このようなことは昔からあったことがなく、後の代々の年にも再び起ることがないであろう。

3

עֵדֶן	כְּגַן־	לֶהָבָה	תְּלַהֵט	וְאַחֲרָיו	אֵשׁ	אָכְלָה	לְפָנָיו	
エデンの	園の–ように	炎が	燃え上がる	そして–その–後ろで	火が	焼き尽くす	その–前で	
	H1588	H3852	H3857		H0784	H0398	H6440	

הָיְתָה	לֹא־	פְלֵיטָה	וְגַם־	שְׁמָמָה	מִדְבָּר	וְאַחֲרָיו	לְפָנָיו	הָאָרֶץ
あった	なく	逃れる–もの	そして–また	荒廃	荒野の	そして–その–後ろは	その–前にあり	地は
H1961	H3808	H6413	H1571				H6440	H0776

לוֹ׃
それに

火は彼らの前を焼き、炎は彼らの後に燃える。彼らのこない前には、地はエデンの園のようであるが、その去った後は荒れ果てた野のようになる。これをのがれうるものは一つもない。

4

יְרוּצוּן׃	כֵּן	וּכְפָרָשִׁים	מַרְאֵהוּ	סוּסִים	כְּמַרְאֶה
駆ける	そのように	そして–騎兵の–ように	その–姿	馬の	姿の–ように
H7323			H4758		H4758

そのかたちは馬のかたちのようであり、その走ることは軍馬のようである。

5

אֵשׁ	לֶהָבַ	כְּקוֹל	יְרַקְּדוּן	הֶהָרִים	רָאשֵׁי	עַל־	מַרְכָּבוֹת	כְּקוֹל
火の	炎–	音の–ように	跳ね回る	山々の	頂き–	～の–上で	戦車の	音の–ように
H0784	H3851		H7540	H2022			H4818	

מְלֻחָמָה׃	עֲרוּךְ	עָצוּם	כְּעַם	קַשׁ	אֹכְלָה
戦いに	備えた	力強い	民の–ように	刈り株を	焼き尽くす
H4421		H6099		H7179	H0398

山の頂でとびおどる音は、戦車のとどろくようである。また刈り株を焼く火の炎の音のようであり、戦いの備えをした強い軍隊のようである。

6

פָּארוּר׃	קִבְּצוּ	פָּנִים	כָּל־	עַמִּים	יָחִילוּ	מִפָּנָיו
青ざめを	集めた	顔は	すべての	諸国の–民は	もだえる	その–前で
H6289	H6908	H6440	H3605			H6440

その前にもろもろの民はなやみ、すべての顔は色を失う。

7

יֵלֵכוּן	בִּדְרָכָיו	וְאִישׁ	חוֹמָה	יַעֲלוּ	מִלְחָמָה	כְּאַנְשֵׁי	יְרֻצוּן	כְּגִבּוֹרִים
進む	自分の–道を	そして–各自	城壁を	よじ登る	戦いの	戦士の–ように	走る	勇士の–ように
H3212	H1870	H0376	H2346	H5927	H4421	H0376	H7323	H1368

אֹרְחוֹתָם׃	יְעַבְטוּן	וְלֹא
その–道筋から	逸れない	そして–ない
H0734	H5670	H3808

彼らは勇士のように走り、兵士のように城壁によじ登る。彼らはおのおの自分の道を進んで行って、その道を踏みはずさない。

8

וּבְעַד	יֵלֵכוּן	בִּמְסִלָּתוֹ	גֶּבֶר	יִדְחָקוּן	לֹא	אָחִיו	וְאִישׁ	
そして–～を–通っても	進む	自分の–道を	各人が	押し合わない	ない	その–兄弟を	そして–互いに	
H1157	H3212	H4546	H1397	H1766	H3808	H0251	H0376	

יִבָּצֵעוּ׃	לֹא	יִפָּלוּ	הַשֶּׁלַח
途切れない	ない	倒れても	武器を
H1214	H3808	H5307	H7973

彼らは互におしあわず、おのおのその道を進み行く。彼らは武器の中にとびこんでも、身をそこなわない。

9 בָּעִיר רָצוֹץ בַּבָּתִּים יַעֲלוּ בַּחַלּוֹנִים יָבֹאוּ
町の–中で 駆ける 家々に よじ登る 窓から 入る
H1157 H7323 H0935 H5927 H2474 H0935

כַּגַּנָּב׃
盗人の–ように
H1590

彼らは町にとび入り、城壁の上を走り、家々によじ登り、盗びとのように窓からはいる。

10 לְפָנָיו רָגְזָה אֶרֶץ רָעֲשׁוּ שָׁמָיִם שָׁמֶשׁ וְיָרֵחַ קָדָרוּ וְכוֹכָבִים
その–前で 震えた 地は 揺れた 天は 太陽と そして–月は 暗くなった そして–星は
H6440 H7264 H0776 H7493 H8064 H8121 H3394 H6937 H3556

אָסְפוּ נָגְהָם׃
引っ込めた その–輝きを
H0622 H5051

地は彼らの前におののき、天はふるい、日も月も暗くなり、星はその光を失う。

11 וַיהוָה נָתַן קוֹלוֹ לִפְנֵי חֵילוֹ כִּי רַב מְאֹד מַחֲנֵהוּ
そして–主は 発した その–声を ～の–前で その–軍勢の まことに 大いなる 非常に その–陣営は
H3068 H5414 H6440 H2426 H3588 H7227 H3966 H4264

כִּי עָצוּם עֹשֵׂה דְבָרוֹ כִּי־ גָדוֹל יוֹם־ יְהוָה וְנוֹרָא מְאֹד
まことに 力強い 行う–者 その–言葉を まことに 大いなる 日は– 主の そして–恐るべき 非常に
H3588 H6099 H6213 H1697 H3588 H1419 H3117 H3068 H3372 H3966

וּמִי יְכִילֶנּוּ׃
そして–誰が 耐えられるか
H4310 H3557

主はその軍勢の前で声をあげられる。その軍隊は非常に多いからである。そのみ言葉をなし遂げる者は強い。主の日は大いにして、はなはだ恐ろしいゆえ、だれがこれに耐えることができよう。

12 וְגַם־ עַתָּה נְאֻם־ יְהוָה שֻׁבוּ עָדַי בְּכָל־ לְבַבְכֶם
そして–また 今こそ 告げる– 主は 立ち返れ わたしの–もとに すべての– あなたがたの–心で
H1571 H6258 H5002 H3068 H7725 H5704 H3605 H3824

וּבִבְכִי וּבְמִסְפֵּד׃
そして–嘆きと そして–悲しみ–をもって
H1065 H4553

וּבְצוֹם
そして–断食と
H6685

主は言われる、「今からでも、あなたがたは心をつくし、断食と嘆きと、悲しみとをもってわたしに帰れ。

13 וְקִרְעוּ לְבַבְכֶם וְאַל־ בִּגְדֵיכֶם וְשׁוּבוּ אֶל־
そして–引き裂け あなたがたの–心を そして–ない あなたがたの–衣を そして–立ち返れ ～に–向かって
H7167 H3824 H0408 H0413

יְהוָה אֱלֹהֵיכֶם כִּי־ חַנּוּן וְרַחוּם הוּא אֶרֶךְ אַפַּיִם
主 あなたがたの–神に なぜなら 恵み深く あわれみ深い 方である 遅く 怒り
H3068 H0430 H3588 H2587 H7349 H1931 H0750 H0639

וְרַב־ חֶסֶד וְנִחָם עַל־ הָרָעָה׃
そして–豊かな– 慈しみ そして–悔いる ～に–ついて わざわいを
H7227 H2617 H5162 H5921 H7451

あなたがたは衣服ではなく、心を裂け」。あなたがたの神、主に帰れ。主は恵みあり、あわれみあり、怒ることがおそく、いつくしみが豊かで、災を思いかえされるからである。

מִנְחָה	בְּרָכָה	אַחֲרָיו׀	וְהִשְׁאִיר	וְנִחָם	יָשׁוּב	יוֹדֵעַ	מִי	14
穀物の-捧げ物と	祝福を	その-後に	そして-残して	そして-悔いて	立ち返って	知ろうか	誰が	
H4503	H1293		H7604	H5162	H7725	H3045	H4310	

פ	:אֱלֹהֵיכֶם	לַיהוָה	וְנֶסֶךְ
פ	あなたがたの-神に	主-	そして-注ぎの-供え物を
	H0430	H3068	H5262

神があるいは立ち返り、思いかえして祝福をその後に残し、素祭と灌祭とをあなたがたの神、主にささげさせられる事はないとだれが知るだろうか。

:עֲצָרָה	קִרְאוּ	צוֹם	קַדְּשׁוּ־	בְּצִיּוֹן	שׁוֹפָר	תִּקְעוּ	15
聖会を	呼び集めよ	断食を	聖別せよ	シオンで	角笛を	吹け	
H6116	H7121	H6685	H6942	H6726	H7782	H8628	

シオンでラッパを吹きならせ。断食を聖別し、聖会を召集し、

וְיֹנְקֵי	עוֹלְלִים	אִסְפוּ׀	זְקֵנִים	קִבְּצוּ	קָהָל׀	קַדְּשׁוּ	עָם	אִסְפוּ־	16
そして-乳飲み子-	幼子たちと	集めよ	長老たちを	集めよ	会衆を	聖別せよ	民を	集めよ	
H3243	H5768	H0622	H2205	H6908	H6951	H6942		H0622	

מֵחֻפָּתָהּ׃	וְכַלָּה	מֵחֶדְרוֹ׀	חָתָן	יֵצֵא	שָׁדַיִם
その-奥の間から	そして-花嫁は	その-部屋から	花婿は	出よ	乳房の
H2646	H3618	H2315	H2860	H3318	

民を集め、会衆を聖別し、老人たちを集め、幼な子、乳のみ子を集め、花婿をその家から呼びだし、花嫁をそのへやから呼びだせ。

וְיֹאמְרוּ׀	יְהוָה	מְשָׁרְתֵי	הַכֹּהֲנִים	יִבְכּוּ׀	וְלַמִּזְבֵּחַ	הָאוּלָם׀	בֵּין	17
そして-言え	主の	仕える-者たちよ	祭司たちよ	泣け	そして-祭壇の	玄関と	間で	
H0559	H3068	H8334	H3548	H1058	H4196	H0197	H0996	

תִּתֵּן	וְאַל־	עַמֶּךָ	עַל־	יְהוָה	חוּסָה	
与え	そして-ないでください	あなたの-民を	～を	主よ	憐れんでください	
H5414	H0408			H3068	H2347	

בָּעַמִּים	יֹאמְרוּ	לָמָּה	גּוֹיִם	בָּם	לִמְשָׁל־	לְחֶרְפָּה׀	נַחֲלָתְךָ
諸国の-民の-中で	言うのか	なぜ	異邦人に	彼らを	支配させ-	辱めに	あなたの-受け継ぎの-地を
	H0559	H4100			H4910	H2781	H5159

:אֱלֹהֵיהֶם	אַיֵּה
彼らの-神は	どこにいるのか
H0430	H0346

主に仕える祭司たちは、廊と祭壇との間で泣いて言え、「主よ、あなたの民をゆるし、あなたの嗣業をもろもろの国民のうちに、そしりと笑い草にさせないでください。どうしてもろもろの国民に、『彼らの神はどこにいるのか』と言わせてよいでしょうか」。

:עַמּוֹ	עַל־	וַיַּחְמֹל	לְאַרְצוֹ׀	יְהוָה	וַיְקַנֵּא	18
その-民を	～を	そして-憐れんだ	その-地の-ために	主は	そして-熱情を-起こした	
		H2550	H0776	H3068	H7065	

その時主は自分の地のために、ねたみを起し、その民をあわれまれた。

19

וַיַּ֣עַן יְהוָ֔ה וַיֹּ֖אמֶר לְעַמּ֑וֹ הִנְנִ֨י שֹׁלֵ֜חַ לָכֶ֗ם אֶת־
そして–答えた 主は そして–言った その–民に 見よ–わたしは 送る あなたがたに （を）
H3068 H0559 H2009 H7971 H0853

הַדָּגָ֣ן וְהַתִּירֹ֣שׁ וְהַיִּצְהָ֔ר וּשְׂבַעְתֶּ֖ם אֹתֹ֑ו וְלֹא־
穀物と そして–新しい–ぶどう酒と そして–油を そして–満足する それに そして–ない
H1715 H8492 H3323 H7646 H0853 H3808

אֶתֵּ֥ן עֹ֛וד חֶרְפָּ֖ה בַּגֹּויִֽם׃ אֶתְכֶ֕ם
させない もはや 辱めに 異邦人の–中で あなたがたを
H5414 H5750 H2781 H0853

主は答えて、その民に言われた、「見よ、わたしは穀物と新しい酒と油とをあなたがたに送る。あなたがたはこれを食べて飽きるであろう。わたしは重ねてあなたがたにもろもろの国民のうちでそしりを受けさせない。

20

וְאֶת־ הַצְּפוֹנִ֖י אַרְחִ֣יק מֵעֲלֵיכֶ֑ם וְהִדַּחְתִּיו֙ אֶל־
そして–（を） 北の–者を 遠ざける あなたがたから そして–追い払った ～に–向かって
H0853 H6830 H7368 H4480 H5080 H0413

אֶ֣רֶץ צִיָּ֔ה וּשְׁמָמָ֖ה אֶת־ פָּנָ֑יו וְסָפָ֤ה אֶל־ הַיָּם֙ הַקָּדְמֹנִ֔י
地– 乾いた そして–荒れ果てた （を） その–前面を ～に–向かって 東の–海に 前方の
H0776 H6723 H8074 H0854 H6440 H0413 H3220 H6931

וְתַעַל֙ בְּאֹשׁ֔וֹ וְעָלָ֖ה אֶל־ הַיָּ֣ם הָאַחֲרֹ֑ון כִּ֥י הִגְדִּ֖יל
そして–立ち上る その–悪臭は そして–立ち上る 海に ～に–向かって 後ろの
H5927 H0889 H5927 H3220 H0413 H0314 H3588 H1431

לַעֲשֹׂ֥ות׃ כִּ֖י צָחֲנָתֹ֣ו וְסָרְחֹ֑נָה
行うために まことに その–腐臭は そして–その–後方を
H6213 H3588 H6709 H5490

わたしは北から来る者をあなたがたから遠ざけ、これをかわいた荒れ地に追いやり、その前の者を東の海に、その後の者を西の海に追いやる。その臭いにおいは起り、その悪しきにおいは上る。これは大いなる事をしたからである。

21

אַל־ תִּירְאִ֣י אֲדָמָ֔ה גִּילִ֖י וּשְׂמָחִ֑י כִּֽי־ הִגְדִּ֥יל יְהוָ֖ה
ない 恐れるな 大地よ 喜べ そして–楽しめ なぜなら 大いなる–ことを–した 主は
H0408 H3372 H0127 H1523 H8055 H3588 H1431 H3068

לַעֲשֹֽׂות׃
行うために
H6213

地よ恐るな、喜び楽しめ、主は大いなる事を行われたからである。

22

אַל־ תִּירְא֣וּ בַהֲמֹ֣ות שָׂדָ֔י כִּ֥י נָאֹ֖ות מִדְבָּ֑ר כִּֽי־ עֵ֤ץ
ない 恐れるな 獣たちよ 野の なぜなら 青々と–茂った 牧場は 荒野の まことに 木は
H0408 H3372 H0929 H7704 H3588 H1876 H4999 H4057 H3588 H6086

פִּרְיֹו֙ נָתְנ֣וּ תְאֵנָ֔ה וְגֶ֥פֶן חֵילָ֖ם׃ נָשָׂ֑א
その–実を 与えた いちじくの–木と そして–ぶどうの–木は その–力を 実らせた
H6529 H5414 H8384 H1612 H2428 H5375

野のもろもろの獣よ、恐るな。荒野の牧草はもえいで、木はその実を結び、いちじくの木とぶどうの木とは豊かに実る。

23

וּבְנֵ֣י צִיֹּ֔ון גִּ֥ילוּ וְשִׂמְח֖וּ בַּיהוָ֣ה אֱלֹהֵיכֶ֑ם כִּֽי־ נָתַ֤ן
そして–子らよ シオンの 喜べ そして–楽しめ 主に–あって あなたがたの–神に なぜなら 与えた
H1121 H6726 H1523 H8055 H3068 H0430 H3588 H5414

לָכֶ֣ם אֶת־ הַמֹּורֶ֔ה גֶּ֖שֶׁם וַיֹּ֣רֶד לָכֶ֑ם מֹורֶ֖ה וּמַלְקֹֽוש׃ לִצְדָקָ֔ה
あなたがたに （を） 早い–雨を 雨を そして–降らせた あなたがたに 早い–雨と そして–後の–雨を 義の–ために
H0853 H4175 H1653 H3381 H6666

בָּרִאשֹֽׁון׃
初めに
H7223

主は答えて、その民に言われた、「見よ、わたしは穀物と新しい酒と油とをあなたがたに送る。あなたがたはこれを食べて飽きるであろう。わたしは重ねてあなたがたにもろもろの国民のうちでそしりを受けさせない。

20

וְאֶת־ הַצְּפוֹנִ֖י אַרְחִ֣יק מֵעֲלֵיכֶ֑ם וְהִדַּחְתִּיו֙ אֶל־
そして–（を） 北の–者を 遠ざける あなたがたから そして–追い払った ～に–向かって
H0853 H6830 H7368 H4480 H5080 H0413

אֶ֣רֶץ צִיָּ֔ה וּשְׁמָמָ֖ה אֶת־ פָּנָ֑יו וְסָפָ֤ה אֶל־ הַיָּם֙ הַקָּדְמֹנִ֔י
地– 乾いた そして–荒れ果てた （を） その–前面を ～に–向かって 東の–海に 前方の
H0776 H6723 H8074 H0854 H6440 H0413 H3220 H6931

וְתַעַל֙ בְּאֹשׁ֔וֹ וְעָלָ֖ה אֶל־ הַיָּ֣ם הָאַחֲרֹ֑ון כִּ֥י הִגְדִּ֖יל
そして–立ち上る その–悪臭は そして–立ち上る 海に ～に–向かって 後ろの
H5927 H0889 H5927 H3220 H0413 H0314 H3588 H1431

לַעֲשֹׂ֥ות׃ כִּ֖י צָחֲנָתֹ֣ו וְסָרְחֹ֑נָה
行うために まことに その–腐臭は そして–その–後方を
H6213 H3588 H6709 H5490

わたしは北から来る者をあなたがたから遠ざけ、これをかわいた荒れ地に追いやり、その前の者を東の海に、その後の者を西の海に追いやる。その臭いにおいは起り、その悪しきにおいは上る。これは大いなる事をしたからである。

21

אַל־ תִּירְאִ֣י אֲדָמָ֔ה גִּילִ֖י וּשְׂמָחִ֑י כִּֽי־ הִגְדִּ֥יל יְהוָ֖ה
ない 恐れるな 大地よ 喜べ そして–楽しめ なぜなら 大いなる–ことを–した 主は
H0408 H3372 H0127 H1523 H8055 H3588 H1431 H3068

לַעֲשֹֽׂות׃
行うために
H6213

地よ恐るな、喜び楽しめ、主は大いなる事を行われたからである。

22

אַל־ תִּירְא֣וּ בַהֲמֹ֣ות שָׂדָ֔י כִּ֥י נָאֹ֖ות מִדְבָּ֑ר כִּֽי־ עֵ֤ץ
ない 恐れるな 獣たちよ 野の なぜなら 青々と–茂った 牧場は 荒野の まことに 木は
H0408 H3372 H0929 H7704 H3588 H1876 H4999 H4057 H3588 H6086

פִּרְיֹו֙ נָתְנ֣וּ תְאֵנָ֔ה וְגֶ֥פֶן חֵילָ֖ם׃ נָשָׂ֑א
その–実を 与えた いちじくの–木と そして–ぶどうの–木は その–力を 実らせた
H6529 H5414 H8384 H1612 H2428 H5375

野のもろもろの獣よ、恐るな。荒野の牧草はもえいで、木はその実を結び、いちじくの木とぶどうの木とは豊かに実る。

23

וּבְנֵ֣י צִיֹּ֔ון גִּ֥ילוּ וְשִׂמְח֖וּ בַּיהוָ֣ה אֱלֹהֵיכֶ֑ם כִּֽי־ נָתַ֤ן
そして–子らよ シオンの 喜べ そして–楽しめ 主に–あって あなたがたの–神に なぜなら 与えた
H1121 H6726 H1523 H8055 H3068 H0430 H3588 H5414

לָכֶ֣ם אֶת־ הַמֹּורֶ֔ה גֶּ֖שֶׁם וַיֹּ֣רֶד לָכֶ֑ם מֹורֶ֖ה וּמַלְקֹֽוש׃ לִצְדָקָ֔ה
あなたがたに （を） 早い–雨を 雨を そして–降らせた あなたがたに 早い–雨と そして–後の–雨を 義の–ために
H0853 H4175 H1653 H3381 H6666

בָּרִאשֹֽׁון׃
初めに
H7223

シオンの子らよ、あなたがたの神、主によって喜び楽しめ。主はあなたがたを義とするために秋の雨を賜い、またあなたがたのために豊かに雨を降らせ、前のように、秋の雨と春の雨とを降らせられる。

24 וּמָלְאוּ הַגָּרָנוֹת בָּר וְהֶשְׁקוּ הַיְקָבִים תִּירוֹשׁ וְיִצְהָר׃
そして-満ちる そして-打ち場は 穀物で そして-あふれる 搾り場は 新しい-ぶどう酒と そして-油で
H4390 H1637 H1637 H7783 H3342 H8492 H3323

打ち場は穀物で満ち、石がめは新しい酒と油とであふれる。

25 וְשִׁלַּמְתִּי לָכֶם אֶת־הַשָּׁנִים אֲשֶׁר אָכַל הַיֶּלֶק הָאַרְבֶּה וְהַגָּזָם וְהֶחָסִיל חֵילִי הַגָּדוֹל אֲשֶׁר שָׁלַחְתִּי בָּכֶם׃
そして-償う あなたがたに (を) 年々を それは 食い尽くした いなごが バッタと そして-かみきり虫が そして-毛虫と わたしの-軍勢- 大いなる それを 送った あなたがたの-中に
H7971 H2428 H1501 H2625 H8141 H0853 H0398 H0697 H3218

わたしがあなたがたに送った大軍、すなわち群がるいなご、とびいなご、滅ぼすいなご、かみ食らういなごの食った年をわたしはあなたがたに償う。

26 וַאֲכַלְתֶּם אָכוֹל וְשָׂבוֹעַ וְהִלַּלְתֶּם אֶת־שֵׁם יְהוָה אֱלֹהֵיכֶם אֲשֶׁר־עָשָׂה עִמָּכֶם לְהַפְלִיא וְלֹא־יֵבְשׁוּ עַמִּי לְעוֹלָם׃
そして-食べる 豊かに-食べて そして-満ち足りて そして-賛美する (を) 名を 主
H0398 H0398 H7646 H0398 H0853 H8034 H3068
あなたがたと-ともに 驚くべき-ことを そして-ない 恥じない わたしの-民は
H0430 H6381 H3808 H0954 H5769

あなたがたは、じゅうぶん食べて飽き、あなたがたに不思議なわざをなされたあなたがたの神、主のみ名をほめたたえる。わが民は永遠にはずかしめられることがない。

27 וִידַעְתֶּם כִּי בְקֶרֶב יִשְׂרָאֵל אָנִי וַאֲנִי יְהוָה אֱלֹהֵיכֶם וְאֵין עוֹד וְלֹא־יֵבְשׁוּ עַמִּי לְעוֹלָם׃ ס ס
そして-知る まことに ～の-中に イスラエルの わたしがいると そして-わたしが 主
H3045 H3588 H7130 H3478 H0589 H0589 H3068
そして-ない 恥じない わたしの-民は 永遠に
H3808 H0954 H5769
そして-ない ほかに あなたがたの-神であると
H0369 H5750 H0430

あなたがたはイスラエルのうちにわたしのいることを知り、主なるわたしがあなたがたの神であって、ほかにないことを知る。わが民は永遠にはずかしめられることがない。

28 וְהָיָה אַחֲרֵי־כֵן אֶשְׁפֹּךְ אֶת־רוּחִי עַל־כָּל־בָּשָׂר וְנִבְּאוּ בְנֵיכֶם וּבְנוֹתֵיכֶם זִקְנֵיכֶם חֲלֹמוֹת יַחֲלֹמוּן בַּחוּרֵיכֶם חֶזְיֹנוֹת יִרְאוּ׃
そして-なる その-後- 注ぎ出す (を) わたしの-霊を ～の-上に すべての
H1961 H0310 H8210 H0853 H7307 H5921 H3605
そして-預言する あなたがたの-息子たちと そして-あなたがたの-娘たちは
H5012 H1121 H1323
肉なる-者に
H1320
あなたがたの-老人たちは 夢見る 夢を あなたがたの-若者たちは 幻を 見る
H2205 H2492 H2472 H0970 H2384 H7200

その後わたしはわが霊をすべての肉なる者に注ぐ。あなたがたのむすこ、娘は預言をし、あなたがたの老人たちは夢を見、あなたがたの若者たちは幻を見る。

29

בַּיָּמִים	הַשְּׁפָחוֹת	וְעַל־	הָעֲבָדִים	עַל־	וְגַם
その-日々に	女の-しもべたちに	そして-〜の-上にも	男の-しもべたちと	〜の-上にも	そして-また
H3117	H8198		H5650		H1571

רוּחִי׃	אֶת־	אֶשְׁפּוֹךְ	הָהֵמָּה
わたしの-霊を	（を）	注ぎ出す	それらの
H7307	H0853	H8210	H1992

その日わたしはまたわが霊をしもべ、はしために注ぐ。

30

עָשָׁן׃	וְתִימְרוֹת	וָאֵשׁ	דָּם	וּבָאָרֶץ	בַּשָּׁמַיִם	מֹפְתִים	וְנָתַתִּי	
煙の	そして-煙の-柱を	そして-火と	血と	そして-地に	天に	しるしを	そして-示す	
H6227	H8490	H0784	H1818	H0776	H8064	H4159	H5414	

わたしはまた、天と地とにしるしを示す。すなわち血と、火と、煙の柱とがあるであろう。

31

הַגָּדוֹל	יְהוָה	יוֹם	בּוֹא	לִפְנֵי	לְדָם	וְהַיָּרֵחַ	לְחֹשֶׁךְ	יֵהָפֵךְ	הַשֶּׁמֶשׁ
大いなる	主の	日-	来る	〜の-前に	血に	そして-月は	闇に	変わる	太陽は
	H3068	H3117	H0935	H6440	H1818	H3394	H2822	H2015	H8121

וְהַנּוֹרָא׃
そして-恐るべき
H3372

主の大いなる恐るべき日が来る前に、日は暗く、月は血に変る。

32

צִיּוֹן	בְּהַר־	כִּי	יִמָּלֵט	יְהוָה	בְּשֵׁם	יִקְרָא	אֲשֶׁר־	כֹּל	וְהָיָה
シオンと	山-	なぜなら	救われる	主の	名を-	呼ぶ	〜する-者は	すべて	そして-なる
H6726	H2022		H4422	H3068	H8034	H7121		H3605	H1961

וּבַשְּׂרִידִים	יְהוָה	אָמַר	כַּאֲשֶׁר	פְּלֵיטָה	תִּהְיֶה	וּבִירוּשָׁלַ͏ִם	
そして-生き残りの-者たちの-中に	主が	言った	〜の-通り	逃れる-者が	ある	そして-エルサレムに	
H8300	H3068	H0559		H6413	H1961	H3389	

קֹרֵא׃	יְהוָה	אֲשֶׁר
呼ぶ	主が	それは
H7121	H3068	

すべて主の名を呼ぶ者は救われる。それは主が言われたように、シオンの山とエルサレムとに、のがれる者があるからである。その残った者のうちに、主のお召しになる者がある。

Chapter 3

1

(אָשִׁיב)	]אשוב[	אֲשֶׁר	הַהִיא	וּבָעֵת	הָהֵמָּה	בַּיָּמִים	הִנֵּה	כִּי
回復させる	回復させる	その時	その	そして-その-時に	それらの	その-日々に	見よ	なぜなら
H7725	H7725		H1931	H6256	H1992	H3117	H2009	

וִירוּשָׁלָ͏ִם׃	יְהוּדָה	שְׁבוּת	אֶת־
そして-エルサレムの	ユダの	捕囚-	（を）
H3389	H3063	H7622	H0853

見よ、わたしがユダとエルサレムとの幸福をもとに返すその日、その時、

2 וְקִבַּצְתִּי֙ そして-集める H6908 אֶת־ （を） H0853 כָּל־ すべての H3605 הַגּוֹיִ֔ם 異邦人を
וְהוֹרַדְתִּ֖ים そして-降らせる H3381 אֶל־ ～に-向かって H0413 עֵ֣מֶק 谷- H6010 יְהוֹשָׁפָ֑ט ヨシャパテの H3092
וְנִשְׁפַּטְתִּי֩ そして-裁く H8199 אִתָּ֨ם 彼らと H8033 שָׁ֜ם そこで H5159 עַל־ ～に-ついて עַמִּ֣י わたしの-民と
וְנַחֲלָתִ֗י そして-わたしの-受け継ぎの-地
וְאֶת־ そして-（を） H0853 אַרְצִ֣י わたしの-地を H0776 חִלְּק֔וּ 分け合った
בַּגּוֹיִ֖ם 異邦人の-中に פִּזְּר֣וּ 散らした H6340 אֲשֶׁ֑ר それを יִשְׂרָאֵ֙ל イスラエルを H3478

わたしは万国の民を集めて、これをヨシャパテの谷に携えくだり、その所でわが民、わが嗣業であるイスラエルのために彼らをさばく。彼らがわが民を諸国民のうちに散らして、わたしの地を分かち取ったからである。

3 וְאֶל־ そして-～に-ついて H0413 יַדּ֣וּ 投げた H3032 עַמִּ֔י わたしの-民に גּוֹרָ֖ל くじを H1486 נָתְנ֣וּ そして-与えた H5414 הַיֶּ֑לֶד 少年を H3206 בַּזּוֹנָ֔ה 遊女の-ために H2181
וַיִּשְׁתּ֖וּ そして-飲んだ H8354 בַּיָּ֥יִן ぶどう酒の-ために H3196 מָכְר֣וּ 売った H4376 וְהַיַּלְדָּ֖ה そして-少女を H3207

彼らはわが民をくじ引きにし、遊女のために少年をわたし、酒のために少女を売って飲んだ。

4 וְגַם־ そして-また H1571 מָה־ 何が H4100 אַתֶּם֙ お前たちは לִ֣י わたしに צֹ֔ר ツロよ H6865 וְצִיד֖וֹן そして-シドンよ H6721 וְכָל־ そして-すべての H3605 גְּלִילֹ֑ות 地方- H1552
הַגְּמ֥וּל 報いを H1576 אַתֶּ֛ם お前たちは מְשַׁלְּמִ֥ים 返しているのか עָלַ֖י わたしに וְאִם־ そして-もし גְּמֻלִֽים 報いようとするなら H1580
פְּלֶ֣שֶׁת ペリシテの H6429 בְּרֹאשְׁכֶֽם׃ お前たちの-頭の-上に גְּמֻלְכֶ֖ם お前たちの-行いを H1576 אָשִׁ֥יב 返す H7725 מְהֵרָ֖ה 迅速に H4120 קָ֑ל 素早く H7031 עָלַ֣י わたしに אַתֶּ֔ם お前たちが

ツロとシドンよ、ペリシテのすべての地方よ、おまえたちは、わたしとなんのかかわりがあるか。おまえたちはわたしに報復をしようとするのか。もしおまえたちがわたしに報復しようとするなら、わたしは時をうつさず、すみやかに、おまえたちのおこないの報復をおまえたちの頭上にこさせる。

5 אֲשֶׁר־ それは H3701 כַּסְפִּ֣י わたしの-銀と וְזְהָבִ֔י そして-わたしの-金を לְקַחְתֶּ֖ם 取った H3947 וּמַחֲמַדַּ֑י そして-わたしの-宝物- הַטֹּבִ֖ים 美しい H4261 הֲבֵאתֶֽם׃ 運び込んだ H0935
לְהֵיכְלֵיכֶֽם׃ お前たちの-神殿に H1964

これはおまえたちがわたしの銀と金とをとり、わたしの貴重な宝をおまえたちの宮に携え行き、

6 וּבְנֵי֙ そして-子ら- H1121 יְהוּדָ֣ה ユダの H3063 וּבְנֵי֙ そして-子ら- H1121 יְרוּשָׁלַ֔ם エルサレムの H3389 מְכַרְתֶּ֖ם 売った H4376 לִבְנֵ֣י 子らに- הַיְוָנִ֑ים ギリシャの H3125 לְמַ֣עַן ～の-ために H4616
גְּבוּלָֽם׃ 彼らの-境界から מֵעַ֖ל ～から הַרְחִיקָֽם 彼らを-遠ざけるために H7368

またユダの人々とエルサレムの人々とをギリシヤびとに売って、その本国から遠く離れさせたからである。

7	הִנְנִי	מִן־	הַמָּקוֹם	אֲשֶׁר־	מְכַרְתֶּם	אֹתָם	שָׁמָּה
	見よ–わたしは	～から	その–場所から	そこに	売った	彼らを	そこに
	H2009		H4725		H4376	H0853	H8033

וַהֲשִׁבֹתִי	וְגְמֻלְכֶם	בְּרֹאשְׁכֶם׃
そして–返す	お前たちの–行いを	お前たちの–頭の–上に
H7725	H1576	

見よ、わたしはおまえたちが売ったその所から彼らを起して、おまえたちのおこないの報復をおまえたちの頭上にこさせる。

8	וּמָכַרְתִּי	אֶת־	בְּנֵיכֶם	וְאֶת־	בְּנוֹתֵיכֶם	בְּיַד	בְּנֵי
	そして–売る	（を）	お前たちの–息子たちと	そして–（を）	お前たちの–娘たちを	手に–	子ら–
	H4376	H0853		H0853	H1323	H3027	

ס	יְהוּדָה	וּמְכָרוּם	לְשִׁבְאִים	אֶל־	גּוֹי	רָחוֹק	כִּי	יְהוָה	דִּבֶּר׃
ס	ユダの	そして–売る	シェバの–人々に	～に–向かって	国民–	遠い	なぜなら	主が	語った
	H3063	H4376		H0413		H7350		H3068	H1696

わたしはおまえたちのむすこ娘たちをユダの人々の手に売る。彼らはこれを遠い国びとであるシバびとに売ると、主は言われる」。

9	קִרְאוּ־	זֹאת	בַּגּוֹיִם	קַדְּשׁוּ	מִלְחָמָה	הָעִירוּ	הַגִּבּוֹרִים	יִגְּשׁוּ	יַעֲלוּ
	告げよ	これを	異邦人の–中で	聖別せよ	戦いを	奮い立たせよ	勇士たちを	近づけ	登らせよ
	H7121	H2063		H6942	H4421	H5782	H1368	H5066	H5927

כֹּל	אַנְשֵׁי	הַמִּלְחָמָה׃
すべての	戦士たちを	戦いの
H3605	H0376	H4421

もろもろの国民の中に宣べ伝えよ。戦いの備えをなし、勇士をふるい立たせ、兵士をことごとく近づかせ、のぼらせよ。

10	כְּתוּ	אִתֵּיכֶם	לַחֲרָבוֹת	וּמַזְמְרֹתֵיכֶם	לְרֹמָחִים	הַחַלָּשׁ	יֹאמַר
	打ち直せ	お前たちの–斜を	剣に	そして–お前たちの–剪定ばさみを	槍に	弱い–者も	言え
	H3807	H0855	H2719	H4211	H7420	H2523	H0559

גִּבּוֹר	אָנִי׃
勇士だと	わたしは
H1368	H0589

あなたがたのすきを、つるぎに、あなたがたのかまを、やりに打ちかえよ。弱い者に「わたしは勇士である」と言わせよ。

11	עוּשׁוּ	וָבֹאוּ	כָּל־	הַגּוֹיִם	מִסָּבִיב	וְנִקָּבְצוּ	שָׁמָּה	הַנְחֵת	יְהוָה
	急げ	そして–来い	すべての	異邦人よ	四方から	そして–集まれ	そこに	下らせてください	主よ
	H5789	H0935	H3605		H5439	H6908	H8033	H5181	H3068

גִּבּוֹרֶיךָ׃
あなたの–勇士たちを
H1368

周囲のすべての国民よ、急ぎ来て、集まれ。主よ、あなたの勇士をかしこにお下しください。

12	יֵעוֹרְרוּ	וְיַעֲלוּ	הַגּוֹיִם	אֶל־	עֵמֶק	יְהוֹשָׁפָט	כִּי	שָׁם	אֵשֵׁב
	奮い立て	そして–登らせよ	異邦人を	～に–向かって	谷–	ヨシャパテの	なぜなら	そこで	座る
	H5782	H5927		H0413	H6010	H3092		H8033	H3427

לִשְׁפֹּט	אֶת־	כָּל־	הַגּוֹיִם	מִסָּבִיב׃
裁くために	（を）	すべての	異邦人を	四方から
H8199	H0853	H3605		H5439

もろもろの国民をふるい立たせ、ヨシャパテの谷にのぼらせよ。わたしはそこに座して、周囲のすべての国民をさばく。

13 שִׁלְחוּ מַגָּל כִּי בָשַׁל קְצִיר בֹּאוּ רְדוּ כִּי מָלְאָה גַּת הֵשִׁיקוּ
放て 鎌を なぜなら 熟した 収穫は 来い 踏め なぜなら 満ちた 酒船は あふれている
H7971 H4038 H3588 H1310 H7105 H0935 H3381 H3588 H4390 H1660 H7783

הַיְקָבִים כִּי רַבָּה רָעָתָם׃
搾り場は まことに 大きい 彼らの-悪は
H3342 H3588 H7227 H7451

かまを入れよ、作物は熟した。来て踏め、酒ぶねは満ち、石がめはあふれている。彼らの悪が大きいからだ。

14 הֲמוֹנִים הֲמוֹנִים בְּעֵמֶק הַחָרוּץ כִּי קָרוֹב יוֹם יְהוָה בְּעֵמֶק הֶחָרוּץ׃
群衆よ 群衆よ 谷に 裁きの なぜなら 近い 日は- 主の 谷に 裁きの
H1995 H1995 H6010 H2782 H3588 H7138 H3117 H3068 H6010 H2782

群衆また群衆は、さばきの谷におる。主の日がさばきの谷に近いからである。

15 שֶׁמֶשׁ וְיָרֵחַ קָדָרוּ וְכוֹכָבִים אָסְפוּ נָגְהָם׃
太陽と そして-月は 暗くなった そして-星は 引っ込めた その-輝きを
H8121 H3394 H6937 H3556 H0622 H5051

日も月も暗くなり、星もその光を失う。

16 וַיהוָה מִצִּיּוֹן יִשְׁאָג וּמִירוּשָׁלַ͏ִם יִתֵּן קוֹלוֹ וְרָעֲשׁוּ שָׁמַיִם
そして-主は シオンから 吾える エルサレムから そして-エルサレムから 発する その-声を そして-揺れる 天と
H3068 H6726 H7580 H3389 H5414 H6963 H7493 H8064

וָאָרֶץ וַיהוָה מַחֲסֶה לְעַמּוֹ וּמָעוֹז לִבְנֵי יִשְׂרָאֵל׃
そして-地は しかし-主は 避け所 その-民の-ための そして-砦 子らの-ための イスラエルの
H0776 H3068 H4268 H5971 H4581 H1121 H3478

主はシオンから大声で叫び、エルサレムから声を出される。天も地もふるい動く。しかし主はその民の避け所、イスラエルの人々のとりでである。

17 וִידַעְתֶּם כִּי אֲנִי יְהוָה אֱלֹהֵיכֶם שֹׁכֵן בְּצִיּוֹן הַר־
そして-知る まことに わたしが 主 あなたがたの-神であると 住む シオンに 山-
H3045 H3588 H0589 H3068 H0430 H7931 H6726 H2022

קָדְשִׁי וְהָיְתָה יְרוּשָׁלַ͏ִם קֹדֶשׁ וְזָרִים לֹא־ יַעַבְרוּ־ בָהּ עוֹד׃ ס
わたしの-聖なる そして-なる エルサレムは 聖なる-もの そして-異邦人は ない 通らない そこを もはや ס
H6944 H1961 H3389 H6944 H2114 H3808 H5674 H1973 H5750

「そこであなたがたは知るであろう、わたしはあなたがたの神、主であって、わが聖なる山シオンに住むことを。エルサレムは聖所となり、他国人は重ねてその中を通ることがない。

18 וְהָיָה בַּיּוֹם הַהוּא יִטְּפוּ הֶהָרִים עָסִיס וְהַגְּבָעוֹת תֵּלַכְנָה חָלָב
そして-なる その-日に その-日は したたる 山々は 甘い-ぶどう酒を そして-丘は 流れる 乳を
H1961 H3117 H3117 H5197 H2022 H6071 H1389 H3212 H2461

וְכָל־ אֲפִיקֵי יְהוּדָה יֵלְכוּ מַיִם וּמַעְיָן מִבֵּית יְהוָה יֵצֵא וְהִשְׁקָה
そして-すべての 流れ- ユダの 流れる 水を そして-泉が 宮から 主の 出る そして-潤す
H3605 H0650 H3063 H3212 H4325 H4599 H1004 H3068 H3318 H8248

אֶת־ נַחַל הַשִּׁטִּים׃
（を） 谷- シティムの
H0853 H5158 H7851

その日もろもろの山にうまい酒がしたたり、もろもろの丘は乳を流し、ユダのすべての川は水を流す。泉は主の家から出て、シッテムの谷を潤す。

19 מִצְרַ֣יִם לְשִׁמָּמָ֔ה תִּֽהְיֶ֖ה וֶאֱד֣וֹם לְמִדְבַּר־ שְׁמָמָ֑ה תִּֽהְיֶ֔ה מֵחֲמַ֖ס בְּנֵ֥י
エジプトは 荒廃に なる そして–エドムは 荒野の 荒廃に なる 暴力の–ために 子ら–
H4714 H1961 H0123 H1961 H2555

יְהוּדָ֔ה אֲשֶׁר־ שָׁפְכ֥וּ דָם־ נָקִ֖יא בְּאַרְצָֽם׃
ユダの それは 流した 血– 罪なき 彼らの–地で
H3063 H8210 H1818 H0776

エジプトは荒れ地となり、エドムは荒野となる。彼らはその国でユダの人々をしえたげ、罪なき者の血を流したからである。

20 וִֽירוּשָׁלִַ֖ם לְד֥וֹר וָדֹֽר׃ תֵּשֵׁ֖ב לְעוֹלָ֑ם וִיהוּדָ֖ה
そして–エルサレムは 代々に 代々に 住む 永遠に そして–ユダは
H3389 H1755 H1755 H3427 H5769 H3063

しかしユダは永遠に人の住む所となり、エルサレムは世々に保つ。

21 בְּצִיּ֖וֹן׃ שֹׁכֵ֥ן וַיהוָ֛ה נִקֵּיתִ֑י לֹֽא־ דָמָ֣ם וְנִקֵּיתִ֔י
シオンに 住む そして–主は 清めなかった–ものを ない 彼らの–血を そして–清める
H6726 H7931 H3068 H5352 H3808 H1818 H5352

わたしは彼らに血の報復をなし、とがある者をゆるさない。主はシオンに住まわれる」。

Amos

Chapter 1

1 דִּבְרֵי עָמוֹס אֲשֶׁר־ הָיָה בַּנֹּקְדִים מִתְּקוֹעַ אֲשֶׁר חָזָה עַל־
言葉– アモスの それは いた 牧者の–中に テコアからの それを 幻見した ～に–ついて
H1697 H5986 H1961 H5349 H8620 H2372

דִּבְרֵי יִשְׂרָאֵל בִּימֵי עֻזִּיָּה מֶלֶךְ־ יְהוּדָה בִּימֵי יָרָבְעָם בֶּן־ יוֹאָשׁ
イスラエルに 日々に– ウジヤの 王– ユダの そして–日々に– ヤロブアムの 息子– ヨアシュの
H3478 H3117 H5818 H4428 H3063 H3117 H3379 H3101

מֶלֶךְ יִשְׂרָאֵל שְׁנָתַיִם לִפְנֵי הָרָעַשׁ׃
王– イスラエルの 二年–前 ～の–前に その–地震の
H4428 H3478 H8141 H6440 H7494

テコアの牧者のひとりであるアモスの言葉。これはユダの王ウジヤの世、イスラエルの王ヨアシの子ヤラベアムの世、地震の二年前に、彼がイスラエルについて示されたものである。

2 וַיֹּאמַר יְהוָה מִצִּיּוֹן יִשְׁאָג וּמִירוּשָׁלַם יִתֵּן קוֹלוֹ וְאָבְלוּ
そして–言った 主は シオンから 吾える そして–エルサレムから 発する その–声を そして–嘆く
H0559 H3068 H6726 H7580 H3389 H5414 H0056

נְאוֹת הָרֹעִים וְיָבֵשׁ רֹאשׁ הַכַּרְמֶל׃ פ
牧場は 羊飼いの そして–枯れる 頂き– カルメルの
H4999 H3001 H3760

彼は言った、「主はシオンからほえ、エルサレムから声を出される。牧者の牧場は嘆き、カルメルの頂は枯れる」。

3 כֹּה אָמַר יְהוָה עַל־ שְׁלֹשָׁה פִּשְׁעֵי דַמֶּשֶׂק וְעַל־ אַרְבָּעָה לֹא
こう 言った 主は ～の–ために 三つの 背き– ダマスコの そして–～の–ために 四つの ない
H3541 H0559 H3068 H0702 H3808 H7969 H6588 H1834 H0702

אֲשִׁיבֶנּוּ עַל־ דּוֹשָׁם בַּחֲרוּצוֹת הַבַּרְזֶל אֶת־ הַגִּלְעָד׃
取り消さない ～の–ために 彼らが–踏みにじった 鉄の–脱穀機で 鉄の （を） ギレアデを
H7725 H5921 H1758 H2742 H1270 H0853 H1568

主はこう言われる、「ダマスコの三つのとが、四つのとがのために、わたしはこれを罰してゆるさない。これは彼らが鉄のすり板で、ギレアデを踏みにじったからである。

4 וְשִׁלַּחְתִּי אֵשׁ בְּבֵית חֲזָאֵל וְאָכְלָה אַרְמְנוֹת בֶּן־ הֲדָד׃
そして–送る 火を 家に– ハザエルの そして–焼き尽くす 宮殿を– ベン・ハダデの
H7971 H0784 H1004 H2371 H0398 H0759 H1130

わたしはハザエルの家に火を送り、ベネハダデのもろもろの宮殿を焼き滅ぼす。

וְתוֹמֵךְ	אָוֶן	מִבִּקְעַת־	יוֹשֵׁב	וְהִכְרַתִּי	דַּמֶּשֶׂק	בְּרִיחַ	וְשָׁבַרְתִּי	5
そして–持つ–者を	アヴェンの	平野–から	住民を	そして–断つ	ダマスコの	かんぬき–	そして–砕く	
H8551	H0206	H1237	H3427	H3772	H1834	H1280	H7665	

יְהוָה׃	אָמַר	קִירָה	אֲרָם	עַם־	וְגָלָו	עֵדֶן	מִבֵּית	שֵׁבֶט
主は	言った	キルに	アラムの	民は–	そして–捕囚となる	エデンの	ベト–エデンから	王笏を
H3068	H0559		H0758		H1540			H7626

פ
פ

わたしはダマスコの貫の木を砕き、アベンの谷から住民を断ち、ベテエデンから王のつえをとる者を断つ。スリヤの民はキルに捕えられて行く」と主は言われる。

לֹא	אַרְבָּעָה	וְעַל־	עַזָּה	פִּשְׁעֵי	שְׁלֹשָׁה	עַל־	יְהוָה	אָמַר	כֹּה	6
ない	四つの	そして–〜の–ために	ガザの	背き–	三つの	〜の–ために	主は	言った	こう	
H3808	H0702		H5804	H6588	H7969		H3068	H0559	H3541	

לֶאֱדֹם׃	לְהַסְגִּיר	שְׁלֵמָה	גָּלוּת	הַגְלוֹתָם	עַל־	אֲשִׁיבֶנּוּ	
エドムに	引き渡すために	完全な	捕囚を	彼らが–捕囚にした	〜の–ために	取り消さない	
H0123	H5462	H8003	H1546	H1540		H7725	

主はこう言われる、「ガザの三つのとが、四つのとがのために、わたしはこれを罰してゆるさない。これは彼らが人々をことごとく捕えて行って、エドムに渡したからである。

אַרְמְנוֹתֶיהָ׃	וְאָכְלָה	עַזָּה	בְּחוֹמַת	אֵשׁ	וְשִׁלַּחְתִּי	7
その–宮殿を	そして–焼き尽くす	ガザの	城壁に–	火を	そして–送る	
H0759	H0398	H5804	H2346	H0784	H7971	

わたしはガザの石がきに火を送り、そのもろもろの宮殿を焼き滅ぼす。

וַהֲשִׁבוֹתִי	מֵאַשְׁקְלוֹן	שֵׁבֶט	וְתוֹמֵךְ	מֵאַשְׁדּוֹד	יוֹשֵׁב	וְהִכְרַתִּי	8
そして–向ける	アシュケロンから	王笏を	そして–持つ–者を	アシュドデから	住民を	そして–断つ	
H7725	H0831	H7626	H8551	H0795	H3427	H3772	

אֲדֹנָי	אָמַר	פְּלִשְׁתִּים	שְׁאֵרִית	וְאָבְדוּ	עֶקְרוֹן	עַל־	יָדִי	
主	言った	ペリシテ人の	残りの–者は	そして–滅びる	エクロンに	〜に–向かって	わたしの–手を	
H0136	H0559	H6430	H7611	H0006	H6138		H3027	

	פ	יְהוָה׃
	פ	主は
		H3069

わたしはアシドドから住民を断ち、アシケロンから王のつえをとる者を断つ。わたしはまた手をかえしてエクロンを撃つ。そして残ったペリシテびとも滅びる」と主なる神は言われる。

לֹא	אַרְבָּעָה	וְעַל־	צֹר	פִּשְׁעֵי־	שְׁלֹשָׁה	עַל־	יְהוָה	אָמַר	כֹּה	9
ない	四つの	そして–〜の–ために	ツロの	背き–	三つの	〜の–ために	主は	言った	こう	
H3808	H0702		H6865	H6588	H7969		H3068	H0559	H3541	

וְלֹא	לֶאֱדֹם	שְׁלֵמָה	גָּלוּת	הַסְגִּירָם	עַל־	אֲשִׁיבֶנּוּ	
そして–ない	エドムに	完全な	捕囚を	彼らが–引き渡した	〜の–ために	取り消さない	
H3808	H0123	H8003	H1546	H5462		H7725	

אַחִים׃	בְּרִית	זָכְרוּ	
兄弟の	契約–	覚えていなかった	
H0251	H1285	H2142	

主はこう言われる、「ツロの三つのとが、四つのとがのために、わたしはこれを罰してゆるさない。これは彼らが人々をことごとくエドムに渡し、また兄弟の契約を心に留めなかったからである。

פ	:אַרְמְנוֹתֶיהָ	וְאָכְלָה	צֹר	בְּחוֹמַת	אֵשׁ	וְשִׁלַּחְתִּי		10
פ	その-宮殿を	そして-焼き尽くす	ツロの	城壁に-	火を	そして-送る		
	H0759	H0398	H6865	H2346	H0784	H7971		

それゆえ、わたしはツロの石がきに火を送り、そのもろもろの宮殿を焼き滅ぼす」。

לֹא	אַרְבָּעָה	וְעַל־	אֱדוֹם	פִּשְׁעֵי	שְׁלֹשָׁה	עַל־	יְהוָה	אָמַר	כֹּה	11
ない	四つの	そして-〜の-ために	エドムの	背き-	三つの	〜の-ために	主は	言った	こう	
H3808	H0702		H0123	H6588	H7969		H3068	H0559	H3541	

רַחֲמָיו	וְשִׁחֵת	אָחִיו	בַּחֶרֶב	רָדְפוֹ	עַל־	אֶשְׁיבֶנּוּ	
その-憐れみを	そして-滅ぼした	その-兄弟を	剣で	彼が-追った	〜の-ために	取り消さない	
	H7843	H0251	H2719	H7291		H7725	

:נֶצַח	שָׁמְרָה	וְעֶבְרָתוֹ	אַפּוֹ	לָעַד	וַיִּטְרָפֵהוּ	
いつまでも	保ち続けた	そして-その-激怒は	その-怒りは	永遠に	そして-引き裂いた	
H5331	H8104	H5678	H0639	H5703	H2963	

主はこう言われる、「エドムの三つのとが、四つのとがのために、わたしはこれを罰してゆるさない。これは彼がつるぎをもってその兄弟を追い、全くあわれみの情を断ち、常に怒って、人をかき裂き、ながくその憤りを保ったからである。

פ	:בָּצְרָה	אַרְמְנוֹת	וְאָכְלָה	בְּתֵימָן	אֵשׁ	וְשִׁלַּחְתִּי		12
פ	ボツラの	宮殿を-	そして-焼き尽くす	テマンに	火を	そして-送る		
	H1224	H0759	H0398	H8487	H0784	H7971		

それゆえ、わたしはテマンに火を送り、ボズラのもろもろの宮殿を焼き滅ぼす」。

וְעַל־	עַמּוֹן	בְּנֵי־	פִּשְׁעֵי	שְׁלֹשָׁה	עַל־	יְהוָה	אָמַר	כֹּה	13
そして-〜の-ために	アンモンの	子ら-	背き-	三つの	〜の-ために	主は	言った	こう	
	H5983		H6588	H7969		H3068	H0559	H3541	

לְמַעַן	הַגִּלְעָד	הָרוֹת	בְּקָעָם	עַל־	אֲשִׁיבֶנּוּ	לֹא	אַרְבָּעָה
〜の-ために	ギレアデの	姉婦たちを	彼らが-引き裂いた	〜の-ために	取り消さない	ない	四つの
H4616	H1568		H1234		H7725	H3808	H0702

גְּבוּלָם:	אֶת־	הַרְחִיב
彼らの-境界を	(を)	広げるために
H1366	H0853	H7337

主はこう言われる、「アンモンの人々の三つのとが、四つのとがのために、わたしはこれを罰してゆるさない。これは彼らがその国境を広げるために、ギレアデのはらんでいる女をひき裂いたからである。

בְּיוֹם	בִּתְרוּעָה	אַרְמְנוֹתֶיהָ	וְאָכְלָה	רַבָּה	בְּחוֹמַת	אֵשׁ	וְהִצַּתִּי		14
日に-	雄叫びの-中で	その-宮殿を	そして-焼き尽くす	ラバの	城壁に-	火を	そして-放つ		
H3117	H8643	H0759	H0398	H7237	H2346	H0784	H3341		

סוּפָה	בְּיוֹם	בְּסַעַר	מִלְחָמָה
暴風の	日に-	嵐の-中で	戦いの
	H3117		H4421

それゆえ、わたしはラバの石がきに火をはなち、そのもろもろの宮殿を焼き滅ぼす。これは戦いの日に、ときの声をもってせられ、つむじ風の日に、暴風をもってせられる。

פ	:יְהוָה	אָמַר	יַחְדָּו	וְשָׂרָיו	הוּא	בַּגּוֹלָה	מַלְכָּם	וְהָלַךְ	15
פ	主は	言った	共に	そして-その-家臣たちも	彼は	捕囚として	彼らの-王は	そして-行く	
	H3068	H0559		H8269	H1931	H1473	H4428	H1980	

彼らの王はそのつかさたちと共に捕えられて行く」と主は言われる。

Chapter 2

1 כֹּה | אָמַר | יְהוָה | עַל־ | שְׁלֹשָׁה | פִּשְׁעֵי | מוֹאָב | וְעַל־
こう | 言われた | 主は | ～に–ついて | 三つの | 背きの–罪の–ゆえに | モアブの | また～に–ついて
H3541 | H0559 | H3068 | H5921 | H7969 | H6588 | H4124 | H5921

עַל־ | אַשִׁיבֶנּוּ | לֹא | אַרְבָּעָה | עַל־ | שָׂרְפּוֹ | עַצְמוֹת | מֶלֶךְ־ | אֱדוֹם
～の–ゆえに | わたしは–取り消さない | 決して | 四つの–ゆえに | ～の–ゆえに | 彼が–焼いた | 骨を | 王の | エドムの
H5921 | H7725 | H3808 | H0702 | H5921 | H8313 | H6106 | H4428 | H0123

לַשִּׂיד׃
灰に–するまで
H7875

主はこう言われる、「モアブの三つのとが、四つのとがのために、わたしはこれを罰してゆるさない。これは彼がエドムの王の骨を焼いて灰にしたからである。

2 וְשִׁלַּחְתִּי־ | אֵשׁ | בְּמוֹאָב | וְאָכְלָה | אַרְמְנוֹת | הַקְּרִיּוֹת | וּמֵת
そして–送る | 火を | モアブに | そして–焼き尽くす | 城塞を | ケリヨテの | そして–死ぬ
H7971 | H0784 | H4124 | H0398 | H0759 | H7152 | H4191

בִּשְׁאוֹן | מוֹאָב | בִּתְרוּעָה | בְּקוֹל | שׁוֹפָר׃
騒音の–中で | モアブは | 鬨の声と | 角笛の | 音の–中で
H7588 | H4124 | H8643 | H6963 | H7782

それゆえ、わたしはモアブに火を送り、ケリオテのもろもろの宮殿を焼き滅ぼす。モアブは騒ぎと、ときの声と、ラッパの音の中に死ぬ。

3 וְהִכְרַתִּי | שׁוֹפֵט | מִקִּרְבָּהּ | וְכָל־ | שָׂרֶיהָ | אַהֲרֹג | עִמּוֹ
わたしは–断つ | 裁き人を | その–中から | そして–すべての | その–首長たちを | わたしは–殺す | 彼と–共に
H3772 | H8199 | H7130 | H3605 | H8269 | H2026 | H5973

פ
פ

אָמַר | יְהוָה׃
言われた | 主は
H0559 | H3068

わたしはそのうちから、支配者を断ち、そのすべてのつかさを彼と共に殺す」と主は言われる。

4 כֹּה | אָמַר | יְהוָה | עַל־ | שְׁלֹשָׁה | פִּשְׁעֵי | יְהוּדָה | וְעַל־
こう | 言われた | 主は | ～に–ついて | 三つの | 背きの–罪の–ゆえに | ユダの | また～に–ついて
H3541 | H0559 | H3068 | H5921 | H7969 | H6588 | H3063 | H5921

עַל־ | אַשִׁיבֶנּוּ | לֹא | אַרְבָּעָה | עַל־ | מָאֲסָם | אֶת־ | תּוֹרַת | יְהוָה
～の–ゆえに | わたしは–取り消さない | 決して | 四つの–ゆえに | ～の–ゆえに | 彼らが–退けた | （を） | 律法を | 主の
H5921 | H7725 | H3808 | H0702 | H5921 | H4544 | H0853 | H8451 | H3068

וְחֻקָּיו | לֹא | שָׁמְרוּ | וַיַּתְעוּם | כְּזִבֵּיהֶם | אֲשֶׁר־ | הָלְכוּ
また–その–掟を | （彼らは） | 守らなかった | そして–惑わした | 彼らの–偽りが | それに | 従って–歩んだ
H2706 | H3808 | H8104 | H8582 | H3577 | H0834 | H1980

אֲבוֹתָם | אַחֲרֵיהֶם׃
彼らの–先祖たちが | それらの–後を
H0001

主はこう言われる、「ユダの三つのとが、四つのとがのために、わたしはこれを罰してゆるさない。これは彼らが主の律法を捨て、その定めを守らず、その先祖たちが従い歩いた偽りの物に惑わされたからである。

5

וְשִׁלַּחְתִּי	אֵשׁ	בִּיהוּדָה	וְאָכְלָה	אַרְמְנוֹת	יְרוּשָׁלָ͏ִם׃	פ
わたしは–火を–送る	火を	ユダに	そして–焼き尽くす	城塞を	エルサレムの	פ
H7971	H0784	H3063	H0398	H0759	H3389	

それゆえ、わたしはユダに火を送り、エルサレムのもろもろの宮殿を焼き滅ぼす」。

6

כֹּה	אָמַר	יְהוָה	עַל־	שְׁלֹשָׁה	פִּשְׁעֵי	יִשְׂרָאֵל	וְעַל־
こう	言われた	主は	～に–ついて	三つの	背きの–罪の–ゆえに	イスラエルの	また～に–ついて
H3541	H0559	H3068	H5921	H7969	H6588	H3478	H5921

צַדִּיק	בַּכֶּסֶף	מִכְרָם	עַל־	אֲשִׁיבֶנּוּ	לֹא	אַרְבָּעָה
正しい–者を	銀で	彼らが–売った	～の–ゆえに	わたしは–取り消さない	決して	四つの–ゆえに
H6662	H3701	H4376	H5921	H7725	H3808	H0702

נַעֲלָיִם׃	בַּעֲבוּר	וְאֶבְיוֹן
靴の–ために	一足の	また–貧しい–者を
H5275	H5668	H0034

主はこう言われる、「イスラエルの三つのとが、四つのとがのために、わたしはこれを罰してゆるさない。これは彼らが正しい者を金のために売り、貧しい者をくつ一足のために売るからである。

7

וְדֶרֶךְ	דַּלִּים	בְּרֹאשׁ	אֶרֶץ	עֲפַר־	עַל־	הַשֹּׁאֲפִים
そして–道を	弱い–者たちの	頭の–上に	地の	地の–ちりを	～の–上の	踏みつける–者たちは
H1870	H1800	H0776	H6083	H5921	H5921	

לְמַעַן	הַנַּעֲרָה	אֶל־	יֵלְכוּ	וְאָבִיו	וְאִישׁ	יַטּוּ	עֲנָוִים
そのようにして	同じ–娘の	～の–もとへ	行く	その–父とが	また–人と	曲げる	柔和な–者たちの
H4616	H5291	H0413	H3212	H0001	H0376	H5186	H6035

קָדְשִׁי׃	שֵׁם	אֶת־	חַלֵּל
わたしの–聖なる	名を	（を）	汚す
H6944	H8034	H0853	

彼らは弱い者の頭を地のちりに踏みつけ、苦しむ者の道をまげ、また父子ともにひとりの女のところへ行って、わが聖なる名を汚す。

8

וְיַיִן	מִזְבֵּחַ	כָּל־	אֵצֶל	יַטּוּ	חֲבֻלִים	בְּגָדִים	וְעַל־
また–ぶどう酒を	祭壇の	すべての	そばに	横たわる	質に–取った	衣を	そして～の–上で
H3196	H4196	H3605	H0681	H5186			

אֱלֹהֵיהֶם׃	בֵּית	יִשְׁתּוּ	עֲנוּשִׁים
彼らの–神の	家で	飲む	罰金で–得た
H0430		H8354	H6064

彼らはすべての祭壇のかたわらに質に取った衣服を敷いて、その上に伏し、罰金をもって得た酒を、その神の家で飲む。

9

כְּגֹבַהּ	אֲשֶׁר	מִפְּנֵיהֶם	הָאֱמֹרִי	אֶת־	הִשְׁמַדְתִּי	וְאָנֹכִי
高さは～の–ように	その者の	彼らの–前から	アモリ人を	（を）	滅ぼした	しかし–わたしは
H1363		H6440	H0567	H0853	H8045	H0595

פִּרְיוֹ	וְאַשְׁמִיד	כָּאֳלוֹנִים	הוּא	וְחָסֹן	גָּבְהוֹ	אֲרָזִים
その–実を	わたしは–滅ぼした	樫の–木の–ように	彼は	また–強い	その–高さであり	杉の–木の
H6529	H8045	H0437	H1931	H2634	H1363	H0730

מִתָּחַת׃	וְשָׁרָשָׁיו	מִמַּעַל
下からも	また–その–根を	上からも
H8478	H8328	H4605

さきにわたしはアモリびとを彼らの前から滅ぼした。これはその高きこと、香柏のごとく、その強きこと、かしの木のようであったが、わたしはその上の実と、下の根とを滅ぼした。

10 וְאָנֹכִי הֶעֱלֵיתִי אֶתְכֶם מֵאֶרֶץ מִצְרַיִם וָאוֹלֵךְ אֶתְכֶם בַּמִּדְבָּר אַרְבָּעִים שָׁנָה לָרֶשֶׁת אֶת־אֶרֶץ הָאֱמֹרִי׃

そして–わたしは 上らせた あなたがたを 地から エジプトの そして–導いた あなたがたを
H0853 H5927 H0595 H0776 H4714 H3212 H0853

荒野を 四十 年の–間 所有する–ために （を） 地を アモリ人の
H0705 H8141 H3423 H0853 H0776 H0567

わたしはまた、あなたがたをエジプトの地から連れ上り、四十年のあいだ荒野で、あなたがたを導き、アモリびとの地を獲させた。

11 וָאָקִים מִבְּנֵיכֶם לִנְבִיאִים וּמִבַּחוּרֵיכֶם נְזִרִים הַאַף לֹא־זֹאת בְּנֵי יִשְׂרָאֵל נְאֻם־יְהוָה׃

わたしは–立てた あなたがたの–子らの–中から 預言者として また–あなたがたの–若者の–中から
H0595 H0853 H1121 H5030 H0970

ナジル人として まことに そうでは–ないか そうでは 子らよ イスラエルの 告げられた 主は
H5139 H0637 H0369 H2063 H1121 H3478 H5002 H3068

わたしはあなたがたの子らのうちから預言者を起し、あなたがたの若者のうちからナジルびとを起した。イスラエルの人々よ、そうではないか」と主は言われる。

12 וַתַּשְׁקוּ אֶת־הַנְּזִרִים יַיִן וְעַל־הַנְּבִיאִים תְּצַוּוּ לֵאמֹר לֹא תִנָּבְאוּ׃

しかし–あなたがたは–飲ませた （に） ナジル人たちに ぶどう酒を また〜に–対して 預言者たちに
H8248 H0853 H5139 H3196 H5921 H5030

あなたがたは–命じた 言って （するな） 預言しては–ならない
H6680 H0559 H3808 H5012

「ところがあなたがたはナジルびとに酒を飲ませ、預言者に命じて『預言するな』と言う。

13 הִנֵּה אָנֹכִי מֵעִיק תַּחְתֵּיכֶם כַּאֲשֶׁר תָּעִיק הָעֲגָלָה הַמְלֵאָה לָהּ עָמִיר׃

見よ わたしは 押しつぶす あなたがたの–下を ちょうど〜の–ように 押しつぶす 荷車が 満ちた それに 束で
H2009 H0595 H5781 H8478 H3644 H5781 H5699 H4395 H5995

見よ、わたしは麦束をいっぱい積んだ車が物を圧するように、あなたがたをその所で圧する。

14 וְאָבַד מָנוֹס מִקָּל וְחָזָק לֹא־יְאַמֵּץ כֹּחוֹ וְגִבּוֹר לֹא־יְמַלֵּט נַפְשׁוֹ׃

そして–なくなる 逃げ場が 足の–速い–者からも また–強い–者も （できない） 力を–発揮–できない その–力を また–勇士も （できない） 救えない その–いのちを
H0006 H4498 H7031 H2389 H3808 H0553 H3581 H1368 H3808 H4422 H5315

速く走る者も逃げ場を失い、強い者もその力をふるうことができず、勇士もその命を救うことができない。

15 וְתֹפֵשׂ קַשָּׁת לֹא יַעֲמֹד וְקַל בְּרַגְלָיו וְרֹכֵב הַסּוּס לֹא יְמַלֵּט נַפְשׁוֹ׃

また–弓を–つかむ–者も 弓を （できない） 立ち向かえない また–足の–速い–者も その–足で また–乗る–者も 馬に 逃れられない （できない） その–いのちを
H8610 H7198 H3808 H5975 H7031 H7272 H7392 H5483 H4422 H3808 H5315

弓をとる者も立つことができず、足早の者も自分を救うことができず、馬に乗る者もその命を救うことができない。

16 פ וְאַמִּיץ לִבּוֹ בַּגִּבּוֹרִים עָרוֹם יָנוּס בַּיּוֹם־ הַהוּא נְאֻם־ יְהוָה׃ פ
また-勇敢な 心の 勇士たちの-中で 裸で 逃げる その-日に 告げられた 主は
H0533 H0853 H1368 H6174 H5127 H3117 H1931 H5002 H3068

勇士のうちの雄々しい心の者もその日には裸で逃げる」と主は言われる。

Chapter 3

1 שִׁמְעוּ אֶת־ הַדָּבָר הַזֶּה אֲשֶׁר דִּבֶּר יְהוָה עֲלֵיכֶם בְּנֵי
聞け (を) この-言葉を それは 語られた 主が あなたがたに-ついて 子らよ
H8085 H0853 H1697 H2088 H1696 H3068

מִצְרַיִם מֵאֶרֶץ הֶעֱלֵיתִי אֲשֶׁר הַמִּשְׁפָּחָה כָּל־ עַל יִשְׂרָאֵל
エジプトの 地から わたしが-上らせた それを 氏族に すべての ～に-ついて イスラエルの
H4714 H0776 H5927 H4940 H3605

לֵאמֹר׃
言って
H0559

イスラエルの人々よ、主があなたがたに向かって言われたこと、わたしがエジプトの地から導き上った全家に向かって言ったこの言葉を聞け。

2 רַק יְדַעְתִּי אֶתְכֶם לְכֹל מִשְׁפְּחוֹת הָאֲדָמָה עַל־ כֵּן
ただ わたしは-知った あなたがたを すべての-中から 氏族の 地の それ-ゆえに こそ
H7535 H3045 H0853 H3605 H4940 H0127

עֲוֹנֹתֵיכֶם׃ כָּל־ אֶת עֲלֵיכֶם אֶפְקֹד
あなたがたの-咎を すべての (を) あなたがたに-対して わたしは-罰する
H5771 H3605 H0853

「地のもろもろのやからのうちで、わたしはただ、あなたがただけを知った。それゆえ、わたしはあなたがたのもろもろの罪のため、あなたがたを罰する。

3 נוֹעָדוּ׃ אִם־ בִּלְתִּי יַחְדָּו שְׁנַיִם הֵיֵלְכוּ
約束しなかったなら もし （しない-限り） 共に 二人が 二人の-者は-歩くだろうか
H3259 H1115 H8147 H3212

ふたりの者がもし約束しなかったなら、一緒に歩くだろうか。

4 לוֹ כִּי־ יִשְׁאַג אַרְיֵה בַּיַּעַר טֶרֶף וְאֵין
のに ない しかし-獲物が 森の-中で 獅子が 獅子は-吠えるだろうか
H0369 H2964 H7580

מִמְּעֹנָתוֹ קוֹלוֹ כְּפִיר יִתֵּן הֲיִתֵּן אִם־ בִּלְתִּי
その-巣から その-声を 若い-獅子が 若い-獅子は-声を-上げるだろうか もし （しない-限り）
H4585 H3920 H1115

לָכֶד׃
捕らえなかったなら

ししがもし獲物がなかったなら、林の中でほえるだろうか。若いししがもし物をつかまなかったなら、その穴から声を出すだろうか。

5

הֲתִפֹּ֤ל	צִפּוֹר֙	עַל־	פָּ֣ח	הָאָ֔רֶץ	וּמוֹקֵ֖שׁ	אֵ֣ין	לָ֑הּ
鳥は–落ちるだろうか	鳥が	～の–上の	罠の	地の	しかし–わなが	ない	のに
H5307	H6833		H0776		H4170	H0369	

תַּעֲלֶ֥ה־	פַ֛ח	מִן־	הָאֲדָמָ֖ה	וְלָכֹ֥ד	לֹ֣א	יִלְכֹּ֔ד	:
罠は–上がるだろうか	罠が	～から	地から	しかし–捕らえる–ことが	（ない）	捕らえないのに	
H5927			H0127	H3920	H3808	H3920	

もしわながなかったなら、鳥は地に張った網にかかるだろうか。網にもし何もかからなかったなら、地からとびあがるだろうか。

6

אִם־	יֶחֱרַ֥ד	לֹ֛א	וְעָ֖ם	בְּעִ֑יר	שׁוֹפָ֣ר	יִתָּקַ֔ע	אִם־
もし	恐れないだろうか	（ない）	しかし–民は	町で	角笛が	角笛が–吹き–鳴らされ	もし
	H2729	H3808			H7782	H8628	

עָשָׂ֖ה	:	לֹ֥א	וַיהוָ֖ה	בְּעִ֑יר	רָעָ֛ה	תִּהְיֶ֥ה
なさらなかったのか		（ない）	しかし–主が	町に	災いが	あるなら
		H3808	H3068			H1961

町でラッパが鳴ったなら、民は驚かないだろうか。主がなされるのでなければ、町に災が起るだろうか。

7

גָּלָ֔ה	אִם־	כִּ֣י	דָבָ֔ר	יְהוִ֖ה	אֲדֹנָ֑י	יַעֲשֶׂ֣ה	לֹ֗א	כִּ֣י
明かされた	もし	（しない–限り）	何事も	神は	主なる	なさらない	（ない）	まことに
H1540			H1697	H3069	H0136		H3808	

הַנְּבִיאִֽים׃	עֲבָדָ֖יו	אֶל־	סוֹדֽוֹ	
預言者たちに	その–しもべたちに	～に	その–秘密を	
H5030	H5650	H0413	H5475	

まことに主なる神はそのしもべである預言者にその隠れた事を示さないでは、何事をもなされない。

8

לֹ֣א	מִי֮	דִּבֶּ֣ר	יְהוִה֒	אֲדֹנָ֣י	יָרָ֔א	לֹ֣א	מִי֙	שָׁאַ֔ג	אַרְיֵ֖ה
（ない）	誰が	語られた	神が	主なる	恐れないか	（ない）	誰が	吠えた	獅子が
H3808	H4310	H1696	H3069	H0136	H3372	H3808	H4310	H7580	

יִנָּבֵֽא׃	
預言しないか	
H5012	

ししがほえる、だれが恐れないでいられよう。主なる神が語られる、だれが預言しないでいられよう」。

9

בְּאֶ֔רֶץ	אַרְמְנוֹת֙	וְעַל־	בְּאַשְׁדּ֔וֹד	אַרְמְנ֖וֹת	עַל־	הַשְׁמִ֣יעוּ		
地の	城塞に	また～に–向かって	アシュドデの	城塞に	～に–向かって	告げ知らせよ		
H0776	H0759		H0795	H0759		H8085		

רַבּ֑וֹת	מְהוּמֹ֖ת	וּרְא֣וּ	שֹׁמְר֔וֹן	הָרֵ֣י	עַל־	הֵאָסְפ֤וּ	וְאִמְרוּ֙	מִצְרָ֔יִם
大きな	騒乱の	そして–見よ	サマリヤの	山々に	～の–上に	集まれ	そして–言え	エジプトの
	H4103	H7200	H8111	H2022		H0622	H0559	H4714

בְּקִרְבָּֽהּ׃	וַעֲשׁוּקִ֖ים	בְּתוֹכָֽהּ׃	
その–中の	また–虐げられた–者たちを	その–中の	
H7130	H6217	H8432	

アッスリヤにあるもろもろの宮殿、エジプトの地にあるもろもろの宮殿に宣べて言え、「サマリヤの山々に集まり、そのうちにある大いなる騒ぎと、その中で行われる暴虐とを見よ」と。

10

חָמָ֖ס	הָאֹצְרִ֑ים	יְהוָ֛ה	נְאֻם־	נְכֹחָ֥ה	עֲשׂ֖וֹת־	יָדְע֥וּ	וְלֹא־	
暴虐と	蓄える–者たちは	主は	告げられた	正しいことを	行うことを	知らない	しかし–（ない）	
H2555	H0686	H3068	H5002	H5229		H3045	H3808	

פ			
פ	בְּאַרְמְנוֹתֵיהֶֽם׃	וָשֹׁ֖ד	
	その–城塞に	また–略奪を	
	H0759	H7701	

主は言われる、「彼らは正義を行うことを知らず、しえたげ取った物と奪い取った物とをそのもろもろの宮殿にたくわえている」。

וְהוֹרֵד	הָאָרֶץ	וְסָבִיב	צָר	יְהוִה	אֲדֹנָי	אָמַר	כֹּה	לָכֵן	11
そして-引き降ろされる	地を	また-取り囲む	敵が	神は	主なる	言われた	こう	それゆえ	
H3381	H0776	H5439		H3069	H0136	H0559	H3541		

מִמֶּךָּ	עֻזֶּךָ	וְנָבַזּוּ	אַרְמְנוֹתָיִךְ׃
あなたから	あなたの-力は	そして-奪われる	あなたの-城塞は
	H5797	H0962	H0759

それゆえ主なる神はこう言われる、「敵がきて、この国を囲み、あなたの防備をあなたから取り除き、あなたのもろもろの宮殿はかすめられる」。

כִּרְעַיִם	שְׁתֵּי	הָאֲרִי	מִפִּי	הָרֹעֶה	יַצִּיל	כַּאֲשֶׁר	יְהוָה	אָמַר	כֹּה	12
すねか	二本の	獅子の	口から	羊飼いが	救い出す	ちょうど～の-ように	主は	言われた	こう	
H3767	H8147		H6310		H5337		H3068	H0559	H3541	

הַיֹּשְׁבִים	יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי	יִנָּצְלוּ	כֵּן	אֹזֶן	בְּרַל־	אוֹ
座っている-者たちは	イスラエルの	子らは	救い出される	そのように	耳の	切れ端を	あるいは
H3427	H3478		H5337		H0241	H0915	

עֶרֶשׂ׃	וּבִדְמֶשֶׂק	מִטָּה	בִּפְאַת	בְּשֹׁמְרוֹן
長椅子に	また-ダマスコの-絹の	寝台の	隅に	サマリヤで
H6210	H1833	H4296	H6285	H8111

主はこう言われる、「羊飼がししの口から、羊の両足、あるいは片耳を取り返すように、サマリヤに住むイスラエルの人々も、長いすのすみや、寝台の一部を携えて救われるであろう」。

הַצְּבָאוֹת׃	אֱלֹהֵי	יְהוִה	אֲדֹנָי	נְאֻם־	יַעֲקֹב	בְּבֵית	וְהָעִידוּ	שִׁמְעוּ	13
万軍の	神なる	神	主なる	告げられた	ヤコブの	家に	そして-警告せよ	聞け	
	H0430	H3069	H0136	H5002	H3290			H8085	

万軍の神、主なる神は言われる、「聞け、そしてヤコブの家に証言せよ。

עָלָיו	יִשְׂרָאֵל	פִּשְׁעֵי־	פָּקְדִי	בְּיוֹם	כִּי		14
それに-対して	イスラエルの	背きの-罪を	わたしが-罰する	その-日に	なぜなら		
	H3478	H6588		H3117			

וְנִגְדְּעוּ	קַרְנוֹת	הַמִּזְבֵּחַ	וּפָקַדְתִּי	עַל־	מִזְבְּחוֹת	בֵּית־אֵל
そして-切り落とされる	角は	祭壇の	わたしは-また-罰する	～に-対して	祭壇を	ベテルの
H1438		H4196			H4196	H1008

וְנָפְלוּ	לָאָרֶץ׃
そして-落ちる	地に
H5307	H0776

わたしはイスラエルのもろもろのとがを罰する日にベテルの祭壇を罰する。その祭壇の角は折れて、地に落ちる。

הַשֵּׁן	בָּתֵּי	וְאָבְדוּ	הַקַּיִץ	בֵּית	עַל־	הַחֹרֶף	בֵּית־	וְהִכִּיתִי	15
象牙の	家々は	そして-滅びる	夏の	家を	～と-共に	冬の	家を	わたしは-打つ	
H8127		H0006	H7019			H2779		H5221	

ס	יְהוָה׃	נְאֻם־	רַבִּים	בָּתִּים	וְסָפּוּ
ס	主は	告げられた	多くの	家々は	そして-終わる
	H3068	H5002			H5486

わたしはまた冬の家と夏の家とを撃つ、象牙の家は滅び、大いなる家は消えうせる」と主は言われる。

Chapter 4

שִׁמְרֹ֔ון בְּהַ֖ר אֲשֶׁ֣ר הַבָּשָׁ֑ן פָּרֹ֣ות הַזֶּ֔ה הַדָּבָ֥ר שִׁמְעוּ֙ 1
サマリヤの 山の-上に-いる それは バシャンの 雌牛たちよ この この-言葉を 聞け
H8111 H2022 H1316 H6510 H2088 H1697 H8085

לַאֲדֹנֵיהֶ֔ם הָאֹמְרֹ֖ת אֶבְיֹונִ֑ים הָרֹצְצֹ֣ות דַּלִּ֔ים הָעֹשְׁקֹ֖ות
その-主人たちに 言う-者たちよ 貧しい-者たちを 踏みにじる-者たちよ 弱い-者たちを 虐げる-者たちよ
H0113 H0559 H0034 H7533 H1800 H6231

וְנִשְׁתָּ֖ה׃ הָבִ֥יאָה
そして-飲もう 持って-来い
H8354 H0935

「バシャンの雌牛どもよ、この言葉を聞け。あなたがたはサマリヤの山におり、弱い者をしえたげ、貧しい者を圧迫し、またその主人に向かって、『持ってきて、わたしたちに飲ませよ』と言う。

עֲלֵיכֶ֔ם בָּאִ֖ים יָמִ֑ים הִנֵּ֣ה כִּ֔י בְּקָדְשֹׁ֖ו יְהוִ֣ה אֲדֹנָ֔י נִשְׁבַּ֥ע 2
あなたがたの-上に 来る 日々が 見よ まことに その-聖に-かけて 神は 主なる 誓われた
H0935 H3117 H2009 H6944 H3069 H0136 H7650

דּוגָֽה׃ בְּסִירֹ֖ות וְאַחֲרִיתְכֶ֑ן בְּצִנֹּ֔ות אֶתְכֶ֖ם וְנָשָׂ֥א
漁の 釣り-針で また-あなたがたの-残りの-者は 鉤で あなたがたは そして-運ばれる
H1729 H0319 H0853 H5375

主なる神はご自分の聖なることによって誓われた、見よ、あなたがたの上にこのような時が来る。その時、人々はあなたがたをつり針にかけ、あなたがたの残りの者を魚つり針にかけて引いて行く。

הַהַרְמֹונָ֑ה וְהִשְׁלַכְתֶּ֣ן גֶּ֔דֶר אִשָּׁ֖ה תֵּצֶ֣אנָה פְּרָצִ֔ים 3
ハルモンへ そして-投げ捨てられる その-前に おのおの あなたがたは-出て-行く また-破れ口から
H2038 H7993 H5048 H0802 H3318 H6556

יְהוָ֖ה׃ נְאֻם־
主は 告げられた
H3068 H5002

あなたがたはおのおのまっすぐに石がきの破れた所を出て、ハルモンに追いやられる」と主は言われる。

לַבֹּ֑קֶר וְהָבִ֖יאוּ לִפְשַׁ֣ע הִרְבּ֔וּ הַגִּלְגָּ֖ל וּפִשְׁעוּ֙ בֵּֽית־אֵ֔ל בָּ֣אוּ 4
朝に そして-持って-来い 背くことを ますます ギルガルに そして-背け ベテルに 来い
H1242 H0935 H6586 H1537 H6586 H1008 H0935

מַעְשְׂרֹתֵיכֶ֖ם׃ יָמִ֔ים לִשְׁלֹ֣שֶׁת זִבְחֵיכֶ֑ם
あなたがたの-十分の一を 日の 三日-ごとに あなたがたの-いけにえを
H4643 H3117 H7969 H2077

「あなたがたはベテルへ行って罪を犯し、ギルガルへ行って、とがを増し加えよ。朝ごとに、あなたがたの犠牲を携えて行け、三日ごとに、あなたがたの十分の一を携えて行け。

הַשְׁמִ֔יעוּ נְדָבֹ֖ות וְקִרְאוּ֙ תֹּודָ֔ה מֵחָמֵ֑ץ וְקַטֵּ֖ר 5
知らせよ 自発の-ささげ物を そして-叫べ 感謝の-ささげ物を 種入れ-パンから そして-焼け
H8085 H5071 H7121 H8426

יְהוִ֖ה׃ אֲדֹנָ֔י נְאֻם֙ יִשְׂרָאֵ֔ל בְּנֵ֖י אֲהַבְתֶּ֣ם כֵּ֔ן כִּ֣י
神は 主なる 告げられた イスラエルの 子らよ あなたがたは-愛した そう なぜなら
H3069 H0136 H5002 H3478 H1121 H0157 H3651 H3541 H3588

種を入れたパンの感謝祭をささげ、心よりの供え物をふれ示せ。イスラエルの人々よ、あなたがたはこのようにするのを好んでいる」と主なる神は言われる。

6

עָרֵיכֶם	בְּכָל־	שִׁנַּיִם	נְקִיּוֹן	לָכֶם	נָתַתִּי	אֲנִי	וְגַם־
あなたがたの–町々で	すべての	歯を	きれいな	あなたがたに	与えた	わたしも	また–まことに
	H3605	H8127			H5414	H0589	H1571

עָדַי	שַׁבְתֶּם	וְלֹא־	מְקוֹמֹתֵיכֶם	בְּכָל	לֶחֶם	וְחֹסֶר
わたしに	立ち返らなかった	しかし–（ない）	あなたがたの–所で	すべての	パンの	また–不足を
H5704	H7725	H3808	H4725	H3605	H3899	H2640

יְהוָה׃	נְאֻם־
主は	告げられた
H3068	H5002

「わたしはまた、あなたがたのすべての町であなたがたの歯を清くし、あなたがたのすべての所でパンを乏しくした。それでも、あなたがたはわたしに帰らなかった」と主は言われる。

7

חֳדָשִׁים	שְׁלֹשָׁה	בְּעוֹד	הַגֶּשֶׁם	אֶת־	מִכֶּם	מָנַעְתִּי	אָנֹכִי	וְגַם
か月	三	まだ	雨を	（を）	あなたがたから	差し止めた	わたしも	また–まことに
H2320	H7969	H5750	H1653	H0853		H4513	H0595	H1571

עִיר	וְעַל־	אֶחָת	עִיר	עַל־	וְהִמְטַרְתִּי	לַקָּצִיר
町に	しかし〜の–上には	一つの	町に	〜の–上に	そして–わたしは–降らせた	刈り入れ–まで
		H0259			H4305	

לֹא־	אֲשֶׁר־	וְחֶלְקָה	תִּמָּטֵר	אַחַת	חֶלְקָה	אַמְטִיר	לֹא	אַחַת
（ない）	それは	しかし–畑で	雨を–受けた	一つの	畑は	降らせなかった	（ない）	もう–一つの
H3808			H4305	H0259		H4305	H3808	H0259

תִּיבָשׁ׃	עָלֶיהָ	תַּמְטִיר
枯れた	その–上に	雨が–降らなかった
H3001		H4305

「わたしはまた、刈入れまでなお三月あるのに雨をとどめて、あなたがたの上にくださず、この町には雨を降らし、かの町には雨を降らさず、この畑は雨をえ、かの畑は雨をえないで枯れた。

8

מַיִם	לִשְׁתּוֹת	אַחַת	עִיר	אֶל־	עָרִים	שָׁלֹשׁ	שְׁתַּיִם	וְנָעוּ
水を	飲む–ために	一つの	町の	〜の–もとへ	町々が	三つの	二つ	そして–さまよった
H4325	H8354	H0259		H0413		H7969	H8147	H5128

יְהוָה׃	נְאֻם־	עָדַי	שַׁבְתֶּם	וְלֹא־	יִשְׂבָּעוּ	וְלֹא
主は	告げられた	わたしに	立ち返らなかった	しかし–（ない）	満たされなかった	しかし–（ない）
H3068	H5002	H5704	H7725	H3808	H7646	H3808

そこで二つ三つの町が一つの町によろめいて行って、水を飲んでも、飽くことができなかった。それでも、あなたがたはわたしに帰らなかった」と主は言われる。

9

גַּנּוֹתֵיכֶם	הַרְבּוֹת	וּבְיֵרָקוֹן	בַּשִּׁדָּפוֹן	אֶתְכֶם	הִכֵּיתִי
あなたがたの–園を	増し–加えた	また–黒穂病で	立ち枯れと	あなたがたを	わたしは–打った
H1593		H3420		H0853	H5221

וְזֵיתֵיכֶם	וּתְאֵנֵיכֶם	וְכַרְמֵיכֶם
また–あなたがたの–オリーブの–木を	また–あなたがたの–いちじくの–木を	また–あなたがたの–ぶどう畑を
H2132	H8384	H3754

ס ס	יְהוָה׃	נְאֻם־	עָדַי	שַׁבְתֶּם	וְלֹא־	הַגָּזָם	יֹאכַל
	主は	告げられた	わたしに	立ち返らなかった	しかし–（ない）	いなごが	食い–尽くした
	H3068	H5002	H5704	H7725	H3808	H1501	H0398

「わたしは立ち枯れと腐り穂とをもってあなたがたを撃ち、あなたがたの園と、ぶどう畑とを荒した。いちじくの木とオリブの木とは、いなごが食った。それでも、あなたがたはわたしに帰らなかった」と主は言われる。

בַּחֶרֶב
剣で
H2719
הָרַגְתִּי
わたしは-殺した
H2026
מִצְרַיִם
エジプトの
H4714
בְּדֶרֶךְ
道の-ように
H1870
דֶּבֶר
疫病を
H1698
בָּכֶם
あなたがたの-中に
H1870
שִׁלַּחְתִּי
わたしは-送った
H7971
10

בְּאַשׁ
悪臭を
H0889
וָאַעַלֶ֙ה
そして-立ち上らせた
H5927
סוּסֵיכֶם
あなたがたの-馬の
H5483
שְׁבִ֣י
捕虜の
H7628
עִם
～と-共に
H5973
בַּחוּרֵיכֶם
あなたがたの-若者たちを
H0970

נְאֻם־
告げられた
H5002
עָדַי
わたしに
H5704
שְׁבְתֶּם
立ち返らなかった
H7725
וְלֹא־
しかし-（ない）
H3808
וּבְאַפְּכֶם
また-あなたがたの-鼻に
H0639
מַחֲנֵיכֶם׃
あなたがたの-陣営の
H4264

יְהוָה׃
主は
H3068

「わたしはエジプトにしたようにあなたがたのうちに疫病を送り、つるぎをもってあなたがたの若者を殺し、あなたがたの馬を奪い去り、あなたがたの宿営の臭気を上らせて、あなたがたの鼻をつかせた。それでも、あなたがたはわたしに帰らなかった」と主は言われる。

וְאֶת־
また-（を）
H0853
סְדֹם
ソドムと
H5467
אֶת־
（を）
H0853
אֱלֹהִים֙
神が
H0430
כְּמַהְפֵּכַ֣ת
覆滅の-ように
H4114
בָּכֶם
あなたがたの-中を
H1870
הָפַכְתִּי
わたしは-覆した
H2015
11

וְלֹא־
しかし-（ない）
H3808
מִשְׂרֵפָ֑ה
火の-中から
H8316
מֻצָּ֣ל
救い出された
H5337
כְּאוּד֙
燃えさしの-ように
H0181
וַתִּהְיוּ֙
そして-あなたがたは-なった
H1961
עֲמֹרָ֔ה
ゴモラを
H6017

ס
ס
יְהוָה׃
主は
H3068
נְאֻם־
告げられた
H5002
עָדַי
わたしに
H5704
שַׁבְתֶּם
立ち返らなかった
H7725

「わたしはあなたがたのうちの町を神がソドムとゴモラを滅ぼされた時のように滅ぼしたので、あなたがたは炎の中から取り出された燃えさしのようであった。それでも、あなたがたはわたしに帰らなかった」と主は言われる。

זֹּאת
このことを
H2063
כִּי־
まことに
H3588
עֵקֶב֙
それゆえに
H6118
יִשְׂרָאֵ֔ל
イスラエルよ
H3478
לְךָ֖
あなたに
H0000
אֶעֱשֶׂה־
わたしは-行う
H6213
כֹּה
こう
H3541
לָכֵ֑ן
それゆえ
H3651
12

יִשְׂרָאֵֽל׃
イスラエルよ
H3478
אֱלֹהֶ֖יךָ
あなたの-神に
H0430
לִקְרַ֥את־
迎える-ために
H7125
הָכֵ֛ן
備えよ
H3559
לְךָ֖
あなたに
H0000
אֶעֱשֶׂה־
わたしは-行う
H6213

「それゆえイスラエルよ、わたしはこのようにあなたに行う。わたしはこれを行うゆえ、イスラエルよ、あなたの神に会う備えをせよ」。

מַה־
何が
H4100
לְאָדָ֗ם
人に
H0120
וּמַגִּ֤יד
また-告げる-方は
H5046
רוּחַ֙
風を
H7307
וּבֹרֵ֔א
また-創造する-方は
H1254
הָרִ֖ים
山々を
H2022
יוֹצֵ֑ר
形造る-方は
H3335
הִנֵּ֣ה
見よ
H2009
כִּ֤י
なぜなら
H3588
13

אֶ֔רֶץ
地の
H0776
בָּמֳתֵ֖י
高き所を
H1116
עַל־
～の-上を
H5921
וְדֹרֵ֥ךְ
また-踏み-歩く-方は
H1869
עֹ֙פֶל֙
闇に
H5939
שַׁ֣חַר
あけぼのを
H7837
עֹשֶׂ֔ה
造る-方は
H6213
שֹׁחֹ֖ו
その-思いで-あるかを
H7808

ס
ס
שְׁמֽוֹ׃
その-名は
H8034
צְבָאוֹת֙
万軍の
H6635
אֱלֹהֵ֣י־
神なる
H0430
יְהוָ֔ה
主
H3068

見よ、彼は山を造り、風を創造し、人にその思いのいかなるかを示し、また、あけぼのを変えて暗やみとなし、地の高い所を踏まれる者、その名を万軍の神、主と言う。

Chapter 5

קִינָה	עֲלֵיכֶם	נֹשָׂא	אָנֹכִי	אֲשֶׁר	הַזֶּה	הַדָּבָר	אֶת־	שִׁמְעוּ	1
哀歌を	あなたがたに–ついて	取り–上げる	わたしが	それを	この	この–言葉を	(を)	聞け	
H7015		H5375	H0595		H2088	H1697	H0853	H8085	

יִשְׂרָאֵל׃	בֵּית
イスラエルの	家よ
H3478	

イスラエルの家よ、わたしが悲しみの歌をもって、あなたがたについて宣べるこの言葉を聞け、

עַל־	נִטְּשָׁה	יִשְׂרָאֵל	בְּתוּלַת	קוּם	תּוֹסִיף	לֹא־	נָפְלָה׀	2
～の–上に	捨てられた	イスラエルは	おとめなる	起き上がらない	再び	二度と	倒れた	
	H5203	H3478	H1330		H3254	H3808	H5307	

מְקִימָהּ׃	אֵין	אַדְמָתָהּ
起こす–者は	誰も–いない	その–地の
	H0369	H0127

「おとめイスラエルは倒れて、また起き上がらず、彼女はおのれの地に投げ倒されてこれを起す者がない」。

מֵאָה	תַּשְׁאִיר	אֶלֶף	הַיֹּצֵאת	הָעִיר	יְהוָה	אֲדֹנָי	אָמַר׀	כֹּה	כִּי	3
百人を	残す	千人で	出発した	町が	神は	主なる	言われた	こう	なぜなら	
H3967	H7604	H0505	H3318		H3069	H0136	H0559	H3541		

ס	יִשְׂרָאֵל׃	לְבֵית	עֲשָׂרָה	תַּשְׁאִיר	מֵאָה	וְהַיּוֹצֵאת		
ס	イスラエルの	家に	十人を	残す	百人で	また–出発した		
	H3478		H6235	H7604	H3967	H3318		

主なる神はこう言われる、「イスラエルの家では、千人出た町は百人残り、百人出た町は十人残る」。

וְחָיוּ׃	דִּרְשׁוּנִי	יִשְׂרָאֵל	לְבֵית	יְהוָה	אָמַר	כֹּה	כִּי	4
そして–生きよ	わたしを–求めよ	イスラエルの	家に	主は	言われた	こう	なぜなら	
H2421	H1875	H3478		H3068	H0559	H3541		

主はイスラエルの家にこう言われる、「あなたがたはわたしを求めよ、そして生きよ。

שָׁבַע־בְּאֵר	תָּבֹאוּ	לָא	וְהַגִּלְגָּל	בֵּית־אֵל	תִּדְרְשׁוּ	וְאֶל־		5
また–ベエルシェバに	行くな	(するな)	また–ギルガルに	ベテルを	求めるな	しかし–(するな)		
H0884	H0935	H3808	H1537	H1008	H1875	H0408		

לְאָוֶן׃	יִהְיֶה	וּבֵית־אֵל	יִגְלֶה	גָּלֹה	הַגִּלְגָּל	כִּי	תַּעֲבְרוּ	לָא
空しき–ものに	なる	また–ベテルは	捕囚と–なり	必ず	ギルガルは	なぜなら	渡るな	(するな)
H0205	H1961	H1008	H1540	H1540	H1537			H3808

ベテルを求めるな、ギルガルに行くな。ベエルシバにおもむくな。ギルガルは必ず捕えられて行き、ベテルは無に帰するからである」。

יוֹסֵף	בֵּית	כָּאֵשׁ	יְצַלַּח	פֶּן־	וְחָיוּ	יְהוָה	אֶת־	דִּרְשׁוּ	6
ヨセフの	家に	火の–ように	突き–進む	さもなくば	そして–生きよ	主を	(を)	求めよ	
H3130		H0784		H6435	H2421	H3068	H0853	H1875	

לְבֵית־אֵל׃	מְכַבֶּה	וְאֵין־	וְאָכְלָה
ベテルには	消す–者は	しかし–いない	そして–焼き–尽くす
H1008	H3518	H0369	H0398

あなたがたは主を求めよ、そして生きよ。さもないと主は火のようにヨセフの家に落ち下られる。火はこれを焼くが、ベテルのためにこれを消す者はひとりもない。

7	הַהֹפְכִים	לְלַעֲנָה	מִשְׁפָּט	וּצְדָקָה	לָאָרֶץ	הִנִּיחוּ׃
	変える–者たちよ	苦よもぎに	公正を	また–正義を	地に	捨てた
	H2015	H3939	H4941	H6666	H0776	H3240

あなたがた、公道をにがよもぎに変え、正義を地に投げ捨てる者よ。

8	עֹשֵׂה	כִימָה	וּכְסִיל	וְהֹפֵךְ	לַבֹּקֶר	צַלְמָוֶת	וְיוֹם	לַיְלָה
	造る–方は	プレアデスと	また–オリオンを	また–変える–方は	朝に	死の–影を	また–昼を	夜に
	H3598	H3685	H2015	H1242	H6757	H3117	H3915	

	הַחֹשֵׁיךְ	הַקּוֹרֵא	לְמֵי־	הַיָּם	וַיִּשְׁפְּכֵם	עַל־	פְּנֵי	הָאָרֶץ	יְהוָה
	暗くする	呼ぶ–方は	海の–水を	海の	そして–注ぎ–出す	～の–上に	面に	地の	主
	H2821	H7121	H4325	H3220	H8210		H6440	H0776	H3068

ס	שְׁמוֹ׃
ס	その–名は
	H8034

プレアデスおよびオリオンを造り、暗黒を朝に変じ、昼を暗くして夜となし、海の水を呼んで、地のおもてに注がれる者、その名は主という。

9	הַמַּבְלִיג	שֹׁד	עַל־	עָז	וְשֹׁד	עַל־	מִבְצָר	יָבוֹא׃
	降らせる–方は	破壊を	～の–上に	強い–者に	また–破壊が	～の–上に	要塞に	来る
	H1082	H7701		H5794	H7701		H4013	H0935

主は滅びをたちまち強い者に臨ませられるので、滅びはついに城に臨む。

10	שָׂנְאוּ	בַשָּׁעַר	מוֹכִיחַ	וְדֹבֵר	תָּמִים	יִתְעֵבוּ׃
	彼らは–憎んだ	門で	戸める–者を	また–語る–者を	真実を	忌み–嫌う
	H8130	H8179	H3198	H1696	H8549	H8581

彼らは門にいて戒める者を憎み、真実を語る者を忌みきらう。

11	לָכֵן	יַעַן	בּוֹשַׁסְכֶּם	עַל־	דָּל	וּמַשְׂאַת־	בַּר
	それゆえ	あなたがたが	踏みつけた–からには	～の–上に	弱い–者を	また–財産の	穀物を
		H3282	H1318		H1800	H4864	

	תִּקָּחוּ	מִמֶּנּוּ	בָּתֵּי	גָזִית	בְּנִיתֶם	וְלֹא־	תֵשְׁבוּ	בָם
	取り–立てる	彼から	家々を	切り–石の	あなたがたは–建てた	しかし–(ない)	住めない	その–中に
	H3947			H1496	H1129	H3808	H3427	

	כַּרְמֵי־	חֶמֶד	נְטַעְתֶּם	וְלֹא	תִשְׁתּוּ	אֶת־	יֵינָם׃
	ぶどう畑を	麗しい	あなたがたは–植えた	しかし–(ない)	飲めない	(を)	その–ぶどう酒を
	H3754	H2531	H5193	H3808	H8354	H0853	H3196

あなたがたは貧しい者を踏みつけ、彼から麦の贈り物をとるゆえ、あなたがたは切り石の家を建てても、その中に住むことはできない。美しいぶどう畑を作っても、その酒を飲むことはできない。

12	כִּי	יָדַעְתִּי	רַבִּים	פִּשְׁעֵיכֶם	וַעֲצֻמִים
	なぜなら	わたしは–知っている	多いことを	あなたがたの–背きの–罪が	また–大きいことを
		H3045		H6588	H6099

	חַטֹּאתֵיכֶם	צֹרְרֵי	צַדִּיק	לֹקְחֵי	כֹּפֶר	וְאֶבְיוֹנִים
	あなたがたの–罪が	苦しめる–者たちよ	正しい–者を	受け–取る–者たちよ	賄賂を	また–貧しい–者を
			H6662	H3947		H0034

הִטּוּ׃	בַשָּׁעַר	
退けた	門で	
H5186	H8179	

わたしは知る、あなたがたのとがは多く、あなたがたの罪は大きいからである。あなたがたは正しい者をしえたげ、まいないを取り、門で貧しい者を退ける。

13 לָכֵן הַמַּשְׂכִּיל בָּעֵת הַהִיא יִדֹּם כִּי עֵת רָעָה הִיא׃
それゆえ 賢い-者は その-時に その 沈黙する なぜなら 時は 悪い それは
H1931 H6256 H1931 H1826 H6256 H7451 H1931

それゆえ、このような時には賢い者は沈黙する、これは悪い時だからである。

14 דִּרְשׁוּ־טוֹב וְאַל־רָע לְמַעַן תִּחְיוּ וְיִהְיֶה־כֵּן יְהוָה אֱלֹהֵי־צְבָאוֹת אִתְּכֶם כַּאֲשֶׁר אֲמַרְתֶּם׃
求めよ 善を しかし-(するな) 悪を そうすれば あなたがたは-生きる そして-あるように 主 神なる 万軍の あなたがたと-共に ちょうど〜の-ように あなたがたが-言った
H1875 H2896 H0408 H7451 H4616 H2421 H1961 H3068 H0430 H0559

善を求めよ、悪を求めるな。そうすればあなたがたは生きることができる。またあなたがたが言うように、万軍の神、主はあなたがたと共におられる。

15 שִׂנְאוּ־רָע וְאֶהֱבוּ טוֹב וְהַצִּיגוּ בַשַּׁעַר מִשְׁפָּט אוּלַי יְחָנֵּן יְהוָה אֱלֹהֵי־צְבָאוֹת שְׁאֵרִית יוֹסֵף׃ ס
憎め 悪を そして-愛せよ 善を そして-打ち-立てよ 門で 公正を おそらく 恵みを-与える 主は 神なる 万軍の 残りの-者に ヨセフの ס
H8130 H7451 H0157 H2896 H3322 H8179 H4941 H0194 H2603 H3068 H0430 H0559 H7611 H3130

悪を憎み、善を愛し、門で公義を立てよ。万軍の神、主は、あるいはヨセフの残りの者をあわれまれるであろう。

16 לָכֵן כֹּה־אָמַר יְהוָה אֱלֹהֵי צְבָאוֹת אֲדֹנָי בְּכָל־רְחֹבוֹת מִסְפֵּד וּבְכָל־חוּצוֹת יֹאמְרוּ הוֹ־הוֹ וְקָרְאוּ אִכָּר לְאֵבֶל וּמִסְפֵּד לִנְהִי׃ יוֹדְעֵי אֶל־
それゆえ こう 言われた 主 神なる 万軍の 主は 広場で すべての 嘆きが-あり 農夫を 〜に 嘆きに また-嘆きを 歌を 知る-者に 〜に
H3541 H0559 H3068 H0430 H0559 H0136 H7339 H3605 H4553 H0406 H0413 H0060 H4553 H5092 H3045 H0413

それゆえ、主なる万軍の神、主はこう言われる、「すべての広場で泣くことがあろう。すべてのちまたで人々は『悲しいかな、悲しいかな』と言う。また彼らは農夫を呼んできて嘆かせ、巧みな泣き女を招いて泣かせ、

17 וּבְכָל־כְּרָמִים מִסְפֵּד כִּי־אֶעֱבֹר בְּקִרְבֵּךְ אָמַר יְהוָה׃ ס
また-すべての ぶどう畑で 嘆きが-ある なぜなら わたしが-通り-過ぎる あなたの-中を 言われた 主は ס
H3605 H3754 H4553 H3588 H5674 H7130 H0559 H3068

またすべてのぶどう畑にも泣くことがあろう。それはわたしがあなたがたの中を通るからである」と主は言われる。

18 הוֹי מִתְאַוִּים אֶת־יוֹם יְהוָה לָמָּה־זֶּה לָכֶם יוֹם יְהוָה הוּא וְלֹא־אוֹר׃ חֹשֶׁךְ
わざわいだ 待ち-望む-者たちは (を) 日を 主の なぜ それを あなたがたに 日は 主の 光では-ない また-(ない) 闇で-あり それは
H1945 H0183 H0853 H3117 H3068 H4100 H2088 H3117 H3068 H0216 H3808 H2822 H1931

わざわいなるかな、主の日を望む者よ、あなたがたは何ゆえ主の日を望むのか。これは暗くて光がない。

הַבַּ֖יִת	וּבָ֣א	הַדֹּ֑ב	וּפְגָעוֹ	הָאֲרִ֔י	מִפְּנֵ֣י	אִישׁ֙	נָ֣נוֹס	כַּאֲשֶׁ֤ר	19
家に	そして-入る	熊に	そして-出会う	獅子の	前から	人が	逃げる	ちょうど〜の-ように	
H0935		H1677	H6293		H6440	H0376	H5127		

:הַנָּחָ֔שׁ	וּנְשָׁכוֹ	הַקִּ֖יר	עַל־	יָד֑וֹ	וְסָמַ֣ךְ
蛇に	そして-噛まれる	壁に	〜の-上に	その-手を	そして-もたれかかる
H5175		H7023		H3027	H5564

人がししの前を逃れてもくまに出会い、また家にはいって、手を壁につけると、へびにかまれるようなものである。

וְלֹא־	וְאָפֵ֥ל	אוֹר֙	וְלֹא־	יְהוָ֔ה	יוֹם֙	חֹ֣שֶׁךְ	הֲלֹא־		20
また-(ない)	また-暗黒で	光では-ない	また-(ない)	主の	日は	闇では-ないか	まことに-(ないか)		
H3808	H0651	H0216	H3808	H3068	H3117	H2822	H3808		

:לוֹ	נֹ֥גַהּ
それに	輝きは
	H5051

主の日は暗くて、光がなく、薄暗くて輝きがないではないか。

:בְּעַצְּרֹתֵיכֶם	אָרֵ֖יחַ	וְלֹ֣א	חַגֵּיכֶ֑ם	מָאַ֥סְתִּי	שָׂנֵ֛אתִי	21
あなたがたの-聖会を	喜ばない	また-(ない)	あなたがたの-祭りを	退けた	わたしは-憎んだ	
H6116	H7306	H3808	H2282		H8130	

わたしはあなたがたの祭を憎み、かつ卑しめる。わたしはまた、あなたがたの聖会を喜ばない。

וּמִנְחֹתֵיכֶם	עֹלוֹת֙	לִ֣י	תַּעֲל֤וּ־	אִם־	כִּי		22
また-あなたがたの-穀物の-ささげを	燔祈と	わたしに	あなたがたが-ささげるなら	もし	たとえ		
H4503			H5927				

:אַבִּ֑יט	לֹ֣א	מְרִיאֵיכֶם֙	וְשֶׁ֣לֶם	אֶרְצֵ֔ה	לֹ֖א	
見向きも-しない	(ない)	あなたがたの-肥えた-家畜を	また-和解の-ささげの	受け-入れない	(ない)	
H5027	H3808	H4806	H8002	H7521	H3808	

たといあなたがたは燔祭や素祭をささげても、わたしはこれを受けいれない。あなたがたの肥えた獣の酬恩祭はわたしはこれを顧みない。

:אֶשְׁמָ֔ע	לֹ֣א	נְבָלֶ֑יךָ	וְזִמְרַ֖ת	שִׁרֶ֥יךָ	הֲמ֣וֹן	מֵעָלַ֔י	הָסֵ֖ר	23
聞かない	(ない)	あなたの-琴の	また-旋律を	あなたの-歌の	騒ぎを	わたしから	遠ざけよ	
H8085	H3808		H2172				H5493	

あなたがたの歌の騒がしい音をわたしの前から断て。あなたがたの琴の音は、わたしはこれを聞かない。

:אֵיתָ֔ן	כְּנַחַ֖ל	וּצְדָקָ֥ה	מִשְׁפָּ֛ט	כַּמָּ֥יִם	וְיִגַּ֥ל	24
尽きない	川の-ように	また-正義よ	公正よ	水の-ように	しかし-流れよ	
H0386		H6666	H4941	H4325	H1556	

公道を水のように、正義をつきない川のように流れさせよ。

בַּ֚יִת	שָׁנָ֔ה	אַרְבָּעִ֖ים	בַּמִּדְבָּ֑ר	לִ֣י	הֲנִגַּשְׁתֶּ֤ם־	וּמִנְחָה֙	הַזִּבְחִ֔ים	25
家よ	年の-間	四十	荒野で	わたしに	あなたがたは-携えたか	また-ささげ物を	いけにえと	
	H8141	H0705			H5066	H4503	H2077	

:יִשְׂרָאֵ֖ל
イスラエルの
H3478

「イスラエルの家よ、あなたがたは四十年の間、荒野でわたしに犠牲と供え物をささげたか。

						26
כִּיּוּן	וְאֶת	מַלְכְּכֶם	סִכּוּת	אֶת	וּנְשָׂאתֶם	
キュンを	また-(を)	あなたがたの-王の	シックトを	(を)	しかし-あなたがたは-担いだ	
H3594	H0853	H4432	H5522	H0853	H5375	

לָכֶם׃	עֲשִׂיתֶם	אֲשֶׁר	אֱלֹהֵיכֶם	כּוֹכַב	צַלְמֵיכֶם
自分たちの-ために	あなたがたが-造った	それを	あなたがたの-神の	星を	あなたがたの-像の
			H0430	H3556	H6754

かえってあなたがたの王シクテをにない、あなたがたが自分で作ったあなたがたの偶像、星の神、キウンをになった。

							27
אֱלֹהֵי־	יְהוָה	אָמַר	לְדַמָּשֶׂק	מֵהָלְאָה	אֶתְכֶם	וְהִגְלֵיתִי	
神なる	主	言われた	ダマスコの	向こうに	あなたがたを	それゆえ-わたしは-捕囚に-する	
H0430	H3068	H0559	H1834	H1973	H0853	H1540	

פ	שְׁמוֹ׃	צְבָאוֹת
פ	その-名は	万軍の
	H8034	

それゆえわたしはあなたがたをダマスコのかなたに捕え移す」と、その名を万軍の神ととなえられる主は言われる。

Chapter 6

						1
שֹׁמְרוֹן	בְּהַר	וְהַבֹּטְחִים	בְּצִיּוֹן	הַשַּׁאֲנַנִּים	הַוֹי	
サマリヤの	山に	また-信頼する-者たちは	シオンに-いる	安らかな-者たちは	わざわいだ	
H8111	H2022	H0982	H6726	H7600	H1945	

יִשְׂרָאֵל׃	בֵּית	לָהֶם	וּבָאוּ	הַגּוֹיִם	רֵאשִׁית	נִקְבֵי
イスラエルの	家は	彼らの-もとに	そして-来る	諸国民の	第一の	名づけられた-者たちよ
H3478		H1992	H0935		H7225	

「わざわいなるかな、安らかにシオンにいる者、また安心してサマリヤの山にいる者、諸国民のかしらのうちの著名な人々で、イスラエルの家がきて従う者よ。

									2
גַּת־	וּרְדוּ	רַבָּה	חֲמַת	מִשָּׁם	וּלְכוּ	וּרְאוּ	כַּלְנֵה	עִבְרוּ	
ガトに	そして-下れ	大いなる	ハマトに	そこから	そして-行け	そして-見よ	カルネに	渡れ	
H1661	H3381	H2579	H2579	H8033	H3212	H7200			

גְּבוּלָם	רַב	אִם־	הָאֵלֶּה	הַמַּמְלָכוֹת	מִן־	הֲטוֹבִים	פְּלִשְׁתִּים
彼らの-領土は	大きいか	もし	これらの	王国よりも	～よりも	それらは-良いか	ペリシテ人の
H1366			H0428	H4467			H6430

מִגְּבֻלְכֶם׃
あなたがたの-領土よりも
H1366

カルネに渡って見よ。そこから大ハマテに行き、またペリシテびとのガテに下って見よ。彼らはこれらの国にまさっているか。彼らの土地はあなたがたの土地よりも大きいか。

						3
חָמָס׃	שֶׁבֶת	וַתַּגִּישׁוּן	רָע	לְיוֹם	הַמְנַדִּים	
暴虐の	座を	そして-近づける	悪い	日を	遠ざける-者たちよ	
H2555	H7675	H5066		H3117		

あなたがたは災の日を遠ざけ、強暴の座を近づけている。

4 הַשֹּׁכְבִים עַל־ מִטּוֹת שֵׁן וּסְרוּחִים עַל־
横たわる–者たちよ 〜の–上に 寝台の 象牙の また–のび–だらける–者たちよ 〜の–上で
H7901 H4296 H8127 H5628

עַרְשׂוֹתָם וְאֹכְלִים מִצֹּאן כָּרִים וַעֲגָלִים מִתּוֹךְ מַרְבֵּק׃
その–長椅子の また–食べる 群れから 小羊を また–子牛を 中から 肥育小屋の
H6210 H0398 H6629 H3733 H5695 H8432 H4770

わざわいなるかな、みずから象牙の寝台に伏し、長いすの上に身を伸ばし、群れのうちから小羊を取り、牛舎のうちから子牛を取って食べ、

5 הַפֹּרְטִים עַל־ פִּי נֵבֶל כְּדָוִיד חָשְׁבוּ לָהֶם
即興で–歌う–者たちよ 〜に–合わせて 口に 琴の ダビデの–ように 考案した 自分たちの–ために
H6527 H6310 H5035 H1732 H2803 H1992

כְּלֵי־ שִׁיר׃
楽器を 歌の
H3627

琴の音に合わせて歌い騒ぎ、ダビデのように楽器を造り出し、

6 הַשֹּׁתִים בְּמִזְרְקֵי יַיִן וְרֵאשִׁית שְׁמָנִים יִמְשָׁחוּ וְלֹא נֶחְלוּ
飲む–者たちよ 鉢で ぶどう酒を 最上の また–油で 塗る しかし–(ない) 悲しまない
H8354 H4219 H3196 H7225 H8081 H4886 H3808 H2470

עַל־ שֶׁבֶר יוֹסֵף׃
〜の–ことを 破滅を ヨセフの
H7667 H3130

鉢をもって酒を飲み、いとも尊い油を身にぬり、ヨセフの破滅を悲しまない者たちよ。

7 לָכֵן עַתָּה יִגְלוּ בְּרֹאשׁ גֹּלִים וְסָר מִרְזַח סְרוּחִים׃
それゆえ 今 捕囚に–なる 先頭に–立って 捕囚の そして–終わる 宴は のびだらけた–者たちの
H6258 H1540 H1540 H7218 H5493 H4797 H5628

פ
פ

それゆえ今、彼らは捕われて、捕われ人のまっ先に立って行く。そしてかの身を伸ばした者どもの騒ぎはやむであろう」。

8 נִשְׁבַּע אֲדֹנָי יְהוִה בְּנַפְשׁוֹ נְאֻם־ יְהוָה אֱלֹהֵי צְבָאוֹת מְתָאֵב
誓われた 主なる 神は その–いのちに–かけて 告げられた 主 神なる 万軍の 忌み–嫌う
H7650 H0136 H3068 H5315 H5002 H3068 H0430 H6635 H8374

יַעֲקֹב גְּאוֹן וְאַרְמְנֹתָיו שָׂנֵאתִי וְהִסְגַּרְתִּי עִיר
ヤコブの 高慢を また–その–城塞を 憎んだ そして–引き–渡す 町を
H3290 H1347 H0759 H8130 H5462 H5892

וּמְלֹאָהּ׃ אֶת־ אָנֹכִי
また–その–中の–すべてを (を) わたしは
H4393 H0853 H0595

主なる神はおのれによって誓われた、（万軍の神、主は言われる、）「わたしはヤコブの誇を忌みきらい、そのもろもろの宮殿を憎む。わたしはこの町とすべてその中にいる者を渡す」。

9 וְהָיָה אִם־ יִוָּתְרוּ עֲשָׂרָה אֲנָשִׁים בְּבַיִת אֶחָד וָמֵתוּ׃
そして–なる もし 残るなら 十人の 人が 家の–中に 一つの 彼らも–死ぬ
H1961 H0518 H3498 H6235 H0376 H1004 H0259 H4191

一つの家に十人の者が残っていても、彼らは死に、

10 וְנָשָׂא֗וֹ דּוֹדוֹ֙ וּמְסָרְפ֔וֹ לְהוֹצִ֥יא עֲצָמִ֖ים מִן־הַבַּ֑יִת וְאָמַ֞ר
そして-運ぶ その-親族が また-焼く-者が 運び-出す-ために 骨を ～から 家から そして-言う
H5375 H1730 H5635 H3318 H6106 H0559

לַֽאֲשֶׁר֙ בְּיַרְכְּתֵ֣י הַבַּ֔יִת וְעֹ֥ד הַעֹ֖וד עִמָּ֑ךְ וְאָמַ֖ר אֶ֥פֶס וְאָמַ֛ר
～に-居る-者に 奥に 家の まだ あなたと-共に-いるか そして-言う いないと そして-言う
H3411 H5750 H0559 H0559

וְלֹ֥א כִֽי־ לְהַזְכִּ֖יר בְּשֵׁ֣ם יְהוָ֑ה׃ הָ֣סְ
(ない) なぜなら 口に-しては-ならない 名を 主の 静かにと
H3808 H2013 H2142 H8034 H3068

そしてその親戚、すなわちこれを焼く者は、骨を家から運びだすために、これを取り上げ、またその家の奥にいる者に向かって、「まだあなたと共にいる者があるか」と言い、「ない」との答がある時、かの人はまた「声を出すな、主の名をとなえるな」と言うであろう。

11 כִּֽי־ הִנֵּ֣ה יְהוָ֗ה מְצַוֶּה֙ וְהִכָּ֣ה הַבַּ֔יִת הַגָּדֹ֖ול רְסִיסִ֑ים וְהַבַּ֥יִת הַקָּטֹֽן׃
なぜなら 見よ 主が 命じる そして-打つ 家を 大きい 破片に また-家を 小さい
H2009 H3068 H6680 H5221

בְּקָעִֽים׃
一裂に
H1233

見よ、主は命じて、大きな家を撃って、みじんとなし、小さな家を撃って、切れ切れとされる。

12 כִּֽי־ בַבְּקָרִ֖ים יַחֲרֹ֣ושׁ אִם־ סוּסִ֑ים בַּסֶּ֣לַע יָרֻצֽוּן הֲיֵחָרֹ֥שׁ
なぜなら 牛で 耕すだろうか もし 馬が 岩の-上を 馬は-走るだろうか
H1241 H5553 H7323

לְלַעֲנָֽה׃ צְדָקָ֖ה וּפְרִי֙ מִשְׁפָּ֔ט לְרֹ֣אשׁ הֲפַכְתֶּ֖ם
苦よもぎに 正義の また-実を 公正を 毒に あなたがたは-変えた
H3939 H6666 H6529 H4941 H7219 H2015

馬は岩の上を走るだろうか。人は牛で海を耕すだろうか。ところがあなたがたは公道を毒に変じ、正義の実をにがよもぎに変じた。

13 בְּחָזְקֵ֖נוּ הֲלֹ֣וא דָבָ֑ר לְלֹ֣א הַשְּׂמֵחִ֔ים הָאֹמְרִ֖ים
わたしたちの-力で まことに-(ないか) ことに 空しい 喜ぶ-者たちよ 言う-者たちよ
H2392 H3808 H1697 H3808 H8055 H0559

קַרְנָֽיִם׃ לָ֔נוּ לָקַ֥חְנוּ
カルナイムを 自分たちの-ために わたしたちは-取った
H3947

あなたがたはロデバルを喜び、「われわれは自分の力でカルナイムを得たではないか」と言う。

14 כִּֽי־ הִנְנִ֨י מֵקִ֜ים עֲלֵיכֶ֣ם בֵּ֣ית יִשְׂרָאֵ֗ל נְאֻם־ יְהוָ֥ה
なぜなら 見よ-わたしは 起こす あなたがたに-対して 家よ イスラエルの 告げられた 主
H2009 H6965 H5002 H3068

אֶל־ עַד־ נַחַ֑ל וְלָחֲצ֥וּ אֶתְכֶ֖ם מְלֹ֥בֹוא חֲמָ֛ת הַצְּבָאֹ֥ות אֱלֹהֵ֖י גֹּ֣וי
～まで ～まで 川まで そして-苦しめる あなたがたを 入り口から ハマトの 万軍の 神なる 国民を
H5704 H2574 H0935 H0853 H3905 H0430 H1471

הָעֲרָבָֽה׃ ס
ס アラバの
H6160

それゆえ、万軍の神、主は言われる、「イスラエルの家よ、見よ、わたしは一つの国民を起して、あなたがたに敵対させる。彼らはハマテの入口からアラバの川まであなたがたを悩ます」。

Chapter 7

1 כֹּ֥ה הֶרְאַ֖נִי אֲדֹנָ֣י יְהוִ֑ה וְהִנֵּ֤ה יוֹצֵר֙ גֹּבַ֔י

このように	示された–わたしに	主なる	神は	そして–見よ	造っておられた	いなごの–群れを
H3541	H7200	H0136	H3069	H2009	H3335	

בְּתְחִלַּ֖ת עֲלֹ֣ות הַלָּקֹ֑שׁ וְהִנֵּה־ לֶ֥קֶשׁ הַלַּ֖קֶשׁ אַחַ֥ר גִּזֵּ֖י הַמָּלֶֽךְ׃

の–初めに	生え出る	二番草が	そして–見よ	二番草は	の–後に	刈り取りの	王の
H8462	H5927	H3954	H2009	H3954	H0310	H1488	H4428

主なる神はこのようにわたしに示された。見よ、二番草のはえ出る初めに主は、いなごを造られた。見よ、その二番草は王の刈った後に、はえたものである。

2 וְהָיָ֗ה אִם־ כִּלָּה֙ לֶֽאֱכֹ֣ל אֶת־ עֵ֣שֶׂב הָאָ֔רֶץ

そして–なった	もし	食い尽くしたなら	食べることを	を	草	地の
H1961		H3615	H0398	H0853	H6212	H0776

וָאֹמַ֕ר אֲדֹנָ֥י יְהוִ֖ה סְלַח־ נָ֑א מִ֥י יָקוּם֙ יַעֲקֹ֔ב

そして–わたしは–言った	主なる	神よ	赦して	ください	誰が	立ち上がれましょう	ヤコブは
H0559	H0136	H3069	H5545	H4994	H4310		H3290

כִּ֥י קָטֹ֖ן הֽוּא׃

なぜなら	小さい	のです
		H1931

そのいなごが地の青草を食い尽した時、わたしは言った、「主なる神よ、どうぞ、ゆるしてください。ヤコブは小さい者です、どうして立つことができましょう」。

3 נִחַ֥ם יְהוָ֖ה עַל־ זֹ֑את לֹ֣א תִהְיֶ֔ה אָמַ֖ר יְהוָֽה׃

思い直された	主は	について	これを	ない	起こらない	言われた	主は
H5162	H3068		H2063	H3808	H1961	H0559	H3068

主はこのことについて思いかえされ、「このことは起さない」と主は言われた。

4 כֹּ֥ה הֶרְאַ֖נִי אֲדֹנָ֣י יְהוִ֑ה וְהִנֵּ֤ה קֹרֵא֙ לָרִ֣ב בָּאֵ֔שׁ

このように	示された–わたしに	主なる	神は	そして–見よ	呼んでおられた	争うために	火をもって
H3541	H7200	H0136	H3069	H2009	H7121	H7378	H0784

וַתֹּאכַ֖ל אֶת־ תְּהֹ֣ום רַבָּ֑ה וְאָכְלָ֖ה אֶת־ הַחֶֽלֶק׃

地所を	そして–焼き尽くした	を	大いなる	深淵を	そして–焼き尽くそうとした	を	
	H0398	H0853	H8415		H0398	H0853	

主なる神はこのようにわたしに示された。見よ、主なる神はさばきのために火を呼ばれた。火は大淵を焼き、また地を焼こうとした。

5 כֹּ֥ה הֶרְאַ֖נִי אֲדֹנָ֣י יְהוִ֑ה וְהִנֵּ֤ה יוֹצֵר֙ גֹּבַ֔י

このように	示された–わたしに	主なる	神は	そして–見よ	造っておられた	いなごの–群れを
H3541	H7200	H0136	H3069	H2009	H3335	

וָאֹמַ֕ר אֲדֹנָ֥י יְהוִ֖ה חֲדַל־ נָ֑א מִ֥י יָקוּם֙ יַעֲקֹ֔ב

そして–わたしは–言った	主なる	神よ	やめて	ください	誰が	立ち上がれましょう	ヤコブは
H0559	H0136	H3069	H2308	H4994	H4310		H3290

כִּ֥י קָטֹ֖ן הֽוּא׃

なぜなら	小さい	のです
		H1931

その時わたしは言った、「主なる神よ、どうぞ、やめてください。ヤコブは小さい者です、どうして立つことができましょう」。

6 נִחַם יְהוָה עַל־זֹאת גַּם־הִיא לֹא תִהְיֶה אָמַר אֲדֹנָי
思い直された 主は について これを また これも ない 起こらない 言われた 主なる
H5162 H3068 H0559 H2063 H1571 H1931 H3808 H1961 H0559 H0136

ס יְהוָה׃ ס
神は
H3069

主はこのことについて思いかえされ、「このこともまた起さない」と主なる神は言われた。

7 כֹּה הֶרְאַנִי וְהִנֵּה אֲדֹנָי נִצָּב עַל־חוֹמַת
このように 示された–わたしに そして–見よ 主が 立っておられた の–上に 壁の
H3541 H7200 H2009 H0136 H5324 H2346

אֲנָךְ׃ וּבְיָדוֹ אֲנָךְ
測り縄が–あった そして–その–手に 測り縄で–造った
H0594 H3027 H0594

また主はわたしに示された。見よ、主は測りなわをもって築いた石がきの上に立ち、その手に測りなわをもっておられた。

8 וַיֹּאמֶר יְהוָה אֵלַי מָה־אַתָּה רֹאֶה עָמוֹס וָאֹמַר
そして–言われた 主は わたしに 何を あなたは 見ているか アモスよ そして–わたしは–言った
H0559 H3068 H0413 H4100 H0559 H7200 H5986 H0559

וַיֹּאמֶר אֲדֹנָי הִנְנִי שָׂם אֲנָךְ בְּקֶרֶב עַמִּי
そして–言われた 主は 見よ–わたしは 置く 測り縄を の–真ん中に わが–民
H0559 H0136 H2009 H7760 H0594 H7130 H5971

יִשְׂרָאֵל לֹא־אוֹסִיף עוֹד עֲבוֹר לוֹ׃
イスラエルの もはや–ない 繰り返さない もう 見過ごすことを 彼を
H3478 H3808 H3254 H5750 H5674 H0

そして主はわたしに言われた、「アモスよ、あなたは何を見るか」。「測りなわ」とわたしが答えると、主はまた言われた、「見よ、わたしは測りなわをわが民イスラエルの中に置く。わたしはもはや彼らを見過しにしない。

9 וְנָשַׁמּוּ בָּמוֹת יִשְׂחָק וּמִקְדְּשֵׁי יִשְׂרָאֵל יֶחֱרָבוּ
そして–荒れ果てる 高き–所は イサクの そして–聖所は イスラエルの 荒廃する
H8074 H1116 H3446 H4720 H3478 H2717

פ בְּחֶרֶב׃ בֵּית יָרָבְעָם עַל־וְקַמְתִּי
剣をもって ヤロブアムの 家 に–対して そして–わたしは–立ち上がる
H2719 H3379 H1004 H5921

イサクの高き所は荒され、イスラエルの聖所は荒れはてる。わたしはつるぎをもってヤラベアムの家に立ち向かう」。

10 וַיִּשְׁלַח אֲמַצְיָהוּ כֹהֵן בֵּית־אֵל אֶל־יָרָבְעָם מֶלֶךְ־יִשְׂרָאֵל לֵאמֹר
そして–遣わした アマツヤは 祭司 ベテルの に ヤロブアム 王 イスラエルの 言って
H7971 H0558 H3548 H1008 H0413 H3379 H4428 H3478 H0559

קָשַׁר עָלֶיךָ עָמוֹס בְּקֶרֶב בֵּית יִשְׂרָאֵל לֹא־
謀反を–企てました あなたに–対して アモスが の–ただ中で 家 イスラエルの ない
H7194 H5921 H5986 H7130 H1004 H3478 H3808

דְבָרָיו׃ אֶת־כָּל לְהָכִיל הָאָרֶץ תּוּכַל
彼の–言葉を を すべての 受け入れることが この–地は 耐えられません
H1697 H0853 H3605 H3557 H0776 H3201

時にベテルの祭司アマジヤは、イスラエルの王ヤラベアムに人をつかわして言う、「イスラエルの家のただ中で、アモスはあなたにそむきました。この地は彼のもろもろの言葉に耐えることができません。

11

גָּלֹה	וְיִשְׂרָאֵל	יָרָבְעָם	יָמוּת	בַּחֶרֶב	עָמוֹס	אָמַר	כֹּה	כִּי־
必ず	そして–イスラエルは	ヤロブアムは	死ぬ	剣によって	アモスは	言った	こう	なぜなら
H1540	H3478	H3379	H4191	H2719	H5986	H0559	H3541	

ס	אַדְמָתוֹ׃	מֵעַל	יִגְלֶה
ס	その–地を	の–上から	捕囚となる
	H0127		H1540

アモスはこのように言っています、『ヤラベアムはつるぎによって死ぬ、イスラエルは必ず捕えられて行って、その国を離れる』と」。

12

אֶרֶץ	אֶל־	לְךָ	בְּרַח־	לֶךְ	חֹזֶה	עָמוֹס	אֶל־	אֲמַצְיָה	וַיֹּאמֶר
地	へ	おまえは	逃げよ	行け	予見者よ	アモス	に	アマツヤは	そして–言った
H0776	H0413		H1272	H3212	H2374	H5986	H0413	H0558	H0559

תִּנָּבֵא׃	וְשָׁם	לֶחֶם	שָׁם	וְאֶכְלִ־	יְהוּדָה
預言せよ	そして–そこで	パンを	そこで	そして–食べよ	ユダの
H5012	H8033	H3899	H8033	H0398	H3063

それからアマジヤはアモスに言った、「先見者よ、行ってユダの地にのがれ、かの地でパンを食べ、かの地で預言せよ。

13

הוּא	מֶלֶךְ	מִקְדַּשׁ־	כִּי	לְהִנָּבֵא	עוֹד	תוֹסֶף	לֹא־	וּבֵית־אֵל	
である	王の	聖所	なぜなら	預言することを	もはや	重ねるな	もう–ない	しかし–ベテルでは	
H1931	H4428	H4720		H5012	H5750	H3254	H3808	H1008	

ס	הִוא׃	מַמְלָכָה	וּבֵית	
ס	である	王国の	そして–宮殿	
	H1931	H4467		

しかしベテルでは二度と預言してはならない。ここは王の聖所、国の宮だから」。

14

אָנֹכִי	נָבִיא	לֹא־	אֲמַצְיָה	אֶל־	וַיֹּאמֶר	עָמוֹס	וַיַּעַן	
わたしは	預言者では	ない	アマツヤ	に	そして–言った	アモスは	そして–答えた	
H0595	H5030	H3808	H0558	H0413	H0559	H5986		

וּבוֹלֵס	אָנֹכִי	בּוֹקֵר	כִּי־	אָנֹכִי	נָבִיא	בֶּן־	וְלֹא	
そして–いちじく桑の–実を–切る–者	わたしは	牧者	ただ	わたしは	預言者の	息子	そして–ない	
H1103	H0595	H0951		H0595	H5030		H3808	

שִׁקְמִים׃
いちじく桑の
H8256

アモスはアマジヤに答えた、「わたしは預言者でもなく、また預言者の子でもない。わたしは牧者である。わたしはいちじく桑の木を作る者である。

15

לֵךְ	יְהוָה	אֵלַי	וַיֹּאמֶר	הַצֹּאן	מֵאַחֲרֵי	יְהוָה	וַיִּקָּחֵנִי	
行け	主は	わたしに	そして–言われた	群れの	の–後ろから	主は	そして–連れ出された–わたしを	
H3212	H3068	H0413	H0559	H6629		H3068	H3947	

הִנָּבֵא	אֶל־	עַמִּי	יִשְׂרָאֵל׃
預言せよ	に	わが–民	イスラエルに
H5012	H0413		H3478

ところが主は群れに従っている所からわたしを取り、『行って、わが民イスラエルに預言せよ』と、主はわたしに言われた。

16 וְעַתָּה שְׁמַע דְּבַר־יְהוָה אַתָּה אֹמֵר לֹא־תִנָּבֵא עַל־יִשְׂרָאֵל
今–そして–聞け 言葉を–主の あなたは 言う ない–預言するな に–対して イスラエル
H6258 H8085 H1697 H3068 H0559 H3808 H5012 H3478

וְלֹא תַטִּיף עַל־בֵּית יִשְׂחָק׃
そして–ない 語り落とすな に–対して 家 イサクの
H3808 H5197 H3446

それゆえ今、主の言葉を聞け。あなたは言う、『イスラエルに向かって預言するな、イサクの家に向かって語るな』と。

17 לָכֵן כֹּה־אָמַר יְהוָה אִשְׁתְּךָ בָּעִיר תִּזְנֶה וּבָנֶיךָ
それゆえ こう 言われた 主は あなたの–妻は 町で 遊女となる そして–あなたの–息子たちと
H3541 H0559 H3068 H0802 H2181 H1323

וּבְנֹתֶיךָ בַּחֶרֶב יִפֹּלוּ וְאַדְמָתְךָ בַּחֶבֶל תֻּחָלֵק
そして–あなたの–娘たちは 剣によって 倒れる そして–あなたの–地は 測り縄で 分割される
H1323 H2719 H5307 H0127

וְאַתָּה עַל־אַדְמָה טְמֵאָה תָּמוּת וְיִשְׂרָאֵל גָּלֹה יִגְלֶה מֵעַל
そして–あなたは の–上で 地 汚れた 死ぬ そして–イスラエルは 必ず 捕囚となる の–上から
H1540 H1540 H3478 H4191 H2931 H0127

אַדְמָתוֹ׃ ס ס
その–地を
H0127

それゆえ、主はこう言われる、『あなたの妻は町で遊女となり、あなたのむすこ、娘たちはつるぎに倒れ、あなたの地は測りなわで分かたれる。そしてあなたは汚れた地で死に、イスラエルは必ず捕えられて行って、その国を離れる』」。

Chapter 8

1 כֹּה הֶרְאַנִי אֲדֹנָי יְהוִה וְהִנֵּה כְּלוּב קָיִץ׃
このように 示された–わたしに 主なる 神は そして–見よ 籠–一つの 夏の–果物の
H3541 H7200 H0136 H3069 H2009 H3619 H7019

主なる神は、このようにわたしに示された。見よ、ひとかごの夏のくだものがある。

2 וַיֹּאמֶר מָה־אַתָּה רֹאֶה עָמוֹס וָאֹמַר כְּלוּב קָיִץ
そして–言われた 何を あなたは 見ているか アモスよ そして–わたしは–言った 籠–一つの 夏の–果物です
H0559 H4100 H0559 H7200 H5986 H0559 H3619 H7019

וַיֹּאמֶר יְהוָה אֵלַי בָּא הַקֵּץ עַמִּי יִשְׂרָאֵל לֹא־אוֹסִיף עוֹד עֲבוֹר לוֹ׃
そして–言われた 主は わたしに 来た 終わりが わが–民 イスラエルに もはや–ない 繰り返さない もう 見過ごすことを 彼を
H0559 H3068 H0413 H0935 H7093 H5971 H3478 H3808 H3254 H5750 H5674 H0

主は言われた、「アモスよ、あなたは何を見るか」。わたしは「ひとかごの夏のくだもの」と答えた。すると主はわたしに言われた、「わが民イスラエルの終りがきた。わたしは再び彼らを見過しにしない。

3

הַפֶּגֶר	רַב	יְהוָה	אֲדֹנָי	נְאֻם	הַהוּא	בַּיּוֹם	הֵיכָל	שִׁירוֹת	וְהֵילִילוּ
しかばねが	多い	神は	主なる	告げられた	その	その-日に	宮殿の	歌は	そして-泣き叫ぶ
H6297		H3069	H0136	H5002	H1931	H3117	H1964		H3213

פ	הָס׃	הַשְׁלִיךְ	מָקוֹם	בְּכָל־
פ	静かに	投げ捨てた	場所に	あらゆる
	H2013	H7993	H4725	H3605

その日には宮の歌は嘆きに変り、しかばねがおびただしく、人々は無言でこれを至る所に投げ捨てる」と主なる神は言われる。

4

(עֲנִיֵּי־	]עִנּוּי־	וְלַשְׁבִּית	אֶבְיוֹן	הַשֹּׁאֲפִים	זֹּאת	שִׁמְעוּ־
貧しい-者たちを	苦しむ	そして-絶やそうとする	貧しい-者を	踏みにじる-者たちよ	これを	聞け
H6041	H6035		H0034		H2063	H8085

אָרֶץ׃
地の
H0776

あなたがた、貧しい者を踏みつけ、また国の乏しい者を滅ぼす者よ、これを聞け。

5

וְהַשַּׁבָּת	שֶׁבֶר	וְנַשְׁבִּירָה	הַחֹדֶשׁ	יַעֲבָר	מָתַי	לֵאמֹר
そして-安息日は	穀物を	そして-穀物を-売ろう	新月の-祭りは	過ぎるのか	いつ	言って
H7676	H7668	H7666	H2320		H4970	H0559

שֶׁקֶל	וּלְהַגְדִּיל	אֵיפָה	לְהַקְטִין	בָּר	וְנַפְתִּחָה־
シェケルを	そして-大きくするために	エパ升を	小さくするために	小麦を	そして-小麦を-売り出そう
H8255	H1431	H0374	H6994		

מִרְמָה׃	מֹאזְנֵי	וְלַעֲוֹת
偽りの	秤を	そして-歪めるために
H4820	H3976	H5791

あなたがたは言う、「新月はいつ過ぎ去るだろう、そうしたら、われわれは穀物を売ろう。安息日はいつ過ぎ去るだろう、そうしたら、われわれは麦を売り出そう。われわれはエパを小さくし、シケルを大きくし、偽りのはかりをもって欺き、

6

בָּר	וּמַפָּל	נַעֲלָיִם	בַּעֲבוּר	וְאֶבְיוֹן	דַּלִּים	בַּכֶּסֶף	לִקְנוֹת
麦の	そして-くず	一足の-履物	の-ために	そして-貧しい-者を	弱い-者を	銀で	買うために
	H4651	H5275	H5668	H0034	H1800	H3701	H7069

נַשְׁבִּיר׃
売りさばこう
H7666

乏しい者を金で買い、貧しい者をくつ一足で買いとり、また、くず麦を売ろう」。

7

כָּל־	לָנֶצַח	אֶשְׁכַּח	אִם־	יַעֲקֹב	בִּגְאוֹן	יְהוָה	נִשְׁבַּע
すべての	永遠に	忘れない	決して-ない	ヤコブの	の-誇りにかけて	主は	誓われた
H3605	H5331	H7911		H3290	H1347	H3068	H7650

מַעֲשֵׂיהֶם׃
彼らの-行いを
H4639

主はヤコブの誇をさして誓われた、「わたしは必ず彼らのすべてのわざをいつまでも忘れない。

8

בָּהּ	יוֹשֵׁב	כָּל־	וְאָבַל	הָאָרֶץ	תִּרְגַּז	לֹא־	זֹאת	הֲעַל
そこに	住む-者は	すべての	そして-嘆く	地は	震えないか	ない	これ	の-ゆえに
	H3427	H3605	H0056	H0776	H7264	H3808	H2063	

וְנִשְׁקָעָה(׃	ונשקה]	וְנִגְרְשָׁה	כֻלָּהּ	כְּאֹר	וְעָלְתָה	
そして-沈む	そして-沈み	そして-揺り動かされ	すべてが	ナイル川の-ように	そして-上がる	
H8257	H8248	H1644	H3605	H2975	H5927	

ס	מִצְרָיִם׃	כִּיְאֹור
ס	エジプトの	ナイル川の-ように
	H4714	H2975

これがために地は震わないであろうか。地に住む者はみな嘆かないであろうか。地はみなナイル川のようにわきあがり、エジプトのナイル川のようにみなぎって、また沈まないであろうか」。

9

הַשֶּׁמֶשׁ	וְהֵבֵאתִי	יְהוִה	אֲדֹנָי	נְאֻם	הַהוּא	בַּיּוֹם	וְהָיָה	
太陽を	そして-わたしは-沈ませる	神は	主なる	告げられた	その	その-日に	そして-なる	
H8121	H0935	H3069	H0136	H5002	H1931	H3117	H1961	

אֹור׃	בְּיוֹם	לָאָרֶץ	וְהַחֲשַׁכְתִּי	בְּצָהֳרָיִם
光の	の-日に	地を	そして-暗くする	真昼に
H0216	H3117	H0776	H2821	

主なる神は言われる、「その日には、わたしは真昼に太陽を沈ませ、白昼に地を暗くし、

10

שִׁירֵיכֶם	וְכָל־	לְאֵבֶל	חַגֵּיכֶם	וְהָפַכְתִּי				
あなたがたの-歌を	そして-すべての	嘆きに	あなたがたの-祭りを	そして-わたしは-変える				
	H3605	H0060	H2282	H2015				

כָּל־	וְעַל־	שָׂק	מָתְנַיִם	כָּל־	עַל־	וְהַעֲלֵיתִי	לְקִינָה	
すべての	そして-の-上に	粗布を	腰に	すべての	の-上に	そして-まとわせる	悲しみの-歌に	
H3605		H8242	H4975	H3605		H5927	H7015	

וְאַחֲרִיתָהּ	יָחִיד	כְּאֵבֶל	וְשַׂמְתִּיהָ	קָרְחָה	רֹאשׁ
そして-その-終わりは	ひとり子の	の-ような-嘆きに	そして-させる-それを	禿げを	頭に
H0319	H3173	H0060		H7144	

מָר׃	כְּיוֹם
苦い	の-ような-日に
H4751	H3117

あなたがたの祭を嘆きに変らせ、あなたがたの歌をことごとく悲しみの歌に変らせ、すべての人に荒布を腰にまとわせ、すべての人に髪をそり落させ、その日を、ひとり子を失った喪中のようにし、その終りを、苦い日のようにする」。

11

לֹא־	בָאָרֶץ	רָעָב	וְהִשְׁלַחְתִּי	יְהוִה	אֲדֹנָי	נְאֻם	בָּאִים	יָמִים	הִנֵּה
ない	地に	飢えを	そして-わたしは-送る	神は	主なる	告げられた	来る	日々が	見よ
H3808	H0776	H7458	H7971	H3069	H0136	H5002	H0935	H3117	H2009

יְהוָה׃	דְּבְרֵי	אֶת	לִשְׁמֹעַ	אִם־	כִּי	לַמַּיִם	צָמְאָ	וְלֹא־	לֶלֶחֶם
主の	言葉を	を	聞くことへの	むしろ	ただ	水への	渇き	そして-ない	パンへの
H3068	H1697	H0853	H8085			H4325	H6772	H3808	H3899

רָעָב
飢え
H7458

主なる神は言われる、「見よ、わたしがききんをこの国に送る日が来る、それはパンのききんではない、水にかわくのでもない、主の言葉を聞くことのききんである。

12

לְבַקֵּשׁ	יְשׁוֹטְטוּ	מִזְרָח	וְעַד־	וּמִצָּפוֹן	יָם	עַד־	מִיָּם	וְנָעוּ
求めて	走り回る	東へ	そして-まで	そして-北から	海	まで	海から	そして-さまよう
H1245		H4217	H5704	H6828	H3220	H5704	H3220	H5128

יִמְצָאוּ׃	וְלֹא	יְהוָה	דְּבַר־	אֶת־
見つけない	しかし-ない	主の	言葉を	を
H4672	H3808	H3068	H1697	H0853

彼らは海から海へさまよい歩き、主の言葉を求めて、こなたかなたへはせまわる、しかしこれを得ないであろう。

13 בַּיּ֣וֹם ההַה֗וּא תִּתְעַלַּ֤פְנָה הַבְּתוּלֹת֙ הַיָּפ֔וֹת וְהַבַּחוּרִ֖ים בַּצָּמָ֑א：

その–日に H3117 その H1931 気を–失う H5968 おとめたちは H1330 美しい H3303 そして–若者たちは H0970 渇きの–ために H6772

その日には美しいおとめも、若い男もかわきのために気を失う。

14 הַנִּשְׁבָּעִ֞ים בְּאַשְׁמַ֣ת שֹׁמְר֗וֹן וְאָמְרוּ֙ חַ֣י אֱלֹהֶ֔יךָ דָּ֔ן

ダンよ H1835 あなたの–神は H0430 生きている そして–言う H0559 サマリヤの H8111 の–罪にかけて H0819 誓う–者たちは H7650

וְחַ֣י דֶּ֣רֶךְ בְּאֵר־שָׁ֔בַע וְנָפְל֥וּ וְלֹא־ יָקֻ֖מוּ עֽוֹד：

そして–生きている 道は H1870 ベエル・シェバの H0884 そして–倒れる H5307 そして–ない H3808 再び–起き上がれない もう H5750

ס
ס

かのサマリヤのアシマをさして誓い、『ダンよ、あなたの神は生きている』と言い、また『ベエルシバの道は生きている』と言う者どもは必ず倒れる。再び起きあがることはない」。

Chapter 9

1 רָאִ֤יתִי אֶת־ אֲדֹנָי֙ נִצָּ֣ב עַל־ הַמִּזְבֵּ֔חַ וַיֹּ֣אמֶר֮ הַ֣ךְ הַכַּפְתּ֒וֹר וְיִרְעֲשׁ֣וּ הַסִּפִּ֗ים וּבְצַ֤ע כֻּלָּם֙ בְּרֹ֣אשׁ

見た–わたしは H7200 を H0853 主が H0136 立っておられるのを H5324 の–働に 祖壇の H4196 そして–言われた H0559 打て H5221

すべての–者の H3605 の–頭の–上に 砕け H1214 敷居が 震えるように H7493 柱頭を H3730

וְאַחֲרִיתָ֥ם בַּחֶ֖רֶב אֶהֱרֹ֑ג לֹא־ יָנ֤וּס לָהֶם֙ נָ֔ס וְלֹא־ יִמָּלֵ֥ט לָהֶ֖ם פָּלִֽיט：

そして–その–残りの–者を 剣で H2719 殺す H2026 ない H3808 逃れない H5127 彼らの–中から 逃げる–者は H5127 そして–ない H3808

生き残る–者は 彼らの–中から 免れない H4422

わたしは祭壇のかたわらに立っておられる主を見た。主は言われた、「柱の頭を打って、敷居を震わせ、これを打ち砕いて、すべての民の頭の上に落ちかからせよ。その残った者を、わたしはつるぎで殺し、そのひとりも逃げおおす者はなく、のがれうる者はない。

2 אִם־ יַחְתְּר֣וּ שְׁא֔וֹל מִשָּׁ֥ם יָדִ֖י תִּקָּחֵ֑ם וְאִם־ יַעֲל֣וּ שָׁמַ֔יִם מִשָּׁ֖ם אוֹרִידֵֽם：

もし H0518 掘り下げても H2864 よみに H7585 そこから H8033 わたしの–手が H3027 取り出す–彼らを H3947 そして–もし H0518 上っても H5927

天に H8064 そこから H8033 引き降ろす–彼らを H3381

たとい彼らは陰府に掘り下っても、わたしの手はこれをそこから引き出す。たとい彼らは天によじのぼっても、わたしはそこからこれを引きおろす。

3

וְאִם־ そして-もし
וּלְקַחְתִּים そして-取る-彼らを H3947
אֶחָפֵשׂ 探し出す H2664
מִשָּׁם そこから H8033
הַכַּרְמֶל カルメルの H3760
בְּרֹאשׁ の-頂きに
יֵחָבְאוּ 隠れても H2244
וְאִם־ そして-もし
הַנָּחָשׁ 蛇に H5175
אֶת־ を H0853
אֲצַוֶּה 命じる H6680
מִשָּׁם そこから H8033
הַיָּם 海の H3220
בְּקַרְקַע の-底に H7172
עֵינַי わたしの-目の
מִנֶּגֶד から-隠れて H5048
יִסָּתְרוּ 隠れても H5641
וְנִשָּׁכָם׃ そして-噛ませる-彼らを

たとい彼らはカルメルの頂に隠れても、わたしはこれを捜して、そこから引き出す。たとい彼らはわたしの目をのがれて、海の底に隠れても、わたしはへびに命じて、その所でこれをかませる。

4

וְאִם־ そして-もし
יֵלְכוּ 行っても H3212
לִפְנֵי の-前で H6440
בַשְּׁבִי 捕囚となって
אֹיְבֵיהֶם 彼らの-敵の H0341
מִשָּׁם そこから H8033
אֲצַוֶּה 命じる H6680
אֶת־ を H0853
הַחֶרֶב 剣に H2719
וְלֹא そして-ない H3808
לְרָעָה 禍いの-ために
עֲלֵיהֶם 彼らの-上に
עֵינַי わたしの-目を
וְשַׂמְתִּי そして-わたしは-置く
וְהָרָגָתַם そして-殺す-彼らを H2026
לְטוֹבָה׃ 幸いの-ためには

たとい彼らは捕われて、その敵の前に行っても、わたしはその所でつるぎに命じて、これを殺させる。わたしは彼らの上にわたしの目を注ぐ、それは災のためであって、幸のためではない」。

5

כֹּל־ すべての H3605
וְאָבְלוּ そして-嘆く H0056
וְתָמּוֹג そして-それは-溶ける H4127
בָּאָרֶץ 地に H0776
הַנּוֹגֵעַ 触れる-方は H5060
הַצְּבָאוֹת 万軍の
יְהוִה 神 H3069
וַאדֹנָי そして-主なる H0136
כִּיאֹר ナイル川の-ように
וְשָׁקְעָה そして-沈む H8257
כֻּלֹּה すべてが H3605
כַּיְאוֹר ナイル川の-ように H2975
וְעָלְתָה そして-上がる H5927
בָּהּ そこに
יוֹשְׁבֵי 住む-者たちは H3427
מִצְרָיִם׃ エジプトの H4714

万軍の神、主が地に触れられると、地は溶け、その中に住む者はみな嘆き、地はみなナイル川のようにわきあがり、エジプトのナイル川のようにまた沈む。

6

הַבּוֹנֶה 建てる-方は H1129
בַּשָּׁמַיִם 天に H8064
מַעֲלוֹתָיו(その-階段を
מעלותו] その-階段を
וַאֲגֻדָּתוֹ そして-その-円屋根を H0092
עַל־ の-上に
אֶרֶץ 地 H0776
יְסָדָהּ 基づけられた-それを H3245
הַקֹּרֵא 呼ぶ-方は H7121
לְמֵי־ の-水を H4325
הַיָּם 海の H3220
וַיִּשְׁפְּכֶם そして-注ぎ出す-それを H8210
עַל־ の-上に
פְּנֵי 面の H6440
הָאָרֶץ 地の H0776
שְׁמוֹ׃ その-名は H8034
יְהוָה 主 H3068

主はご自分の高殿を天に築き、大空の基を地の上にすえ、海の水を呼んで、地のおもてに注がれる。その名は主となえられる。

7

יִשְׂרָאֵל	בְּנֵי	לִי	אַתֶּם	כֻּשִׁיִּם	כִּבְנֵי	הֲלוֹא
イスラエルの	子らよ	わたしにとって	あなたがたは	クシュ人の	の-子らの-ように	ではないか
H3478				H3569		H3808

מִצְרַיִם	מֵאֶרֶץ	הֶעֱלֵיתִי	יִשְׂרָאֵל	אֶת־	הֲלוֹא	יְהוָה	נְאֻם־
エジプトの	から-地	上らせた-わたしは	イスラエルを	を	ではないか	主は	告げられた
H4714	H0776	H5927	H3478	H0853	H3808	H3068	H5002

מִקִּיר׃	וַאֲרָם	מִכַּפְתּוֹר	וּפְלִשְׁתִּים
キルから	そして-アラムを	カフトルから	そして-ペリシテ人を
	H0758	H3731	H6430

主は言われる、「イスラエルの子らよ、あなたがたはわたしにとってエチオピヤびとのようではないか。わたしはイスラエルをエジプトの国から、ペリシテびとをカフトルから、スリヤびとをキルから導き上ったではないか。

8

מֵעַל	אֹתָהּ	וְהִשְׁמַדְתִּי	הַחַטָּאָה	בַּמַּמְלָכָה	יְהוִה	אֲדֹנָי	וְעֵינֵי	הִנֵּה
の-上から	それを	そして-滅ぼす	罪ある	に-置かれている-王国の	神の	主なる	目が	見よ
	H0853	H8045	H2400	H4467	H3069	H0136		H2009

נְאֻם־	יַעֲקֹב	בֵּית	אֶת־	אַשְׁמִיד	הַשְׁמֵיד	לֹא	כִּי	אֶפֶס	הָאֲדָמָה	פְּנֵי
告げられた	ヤコブの	家	を	滅ぼさない	全く	ない	ただ	ただし	地の	面の
H5002	H3290		H0853	H8045	H8045	H3808			H0127	H6440

יְהוָה׃
主は
H3068

見よ、主なる神の目はこの罪を犯した国の上に注がれている。わたしはこれを地のおもてから断ち滅ぼす。しかし、わたしはヤコブの家をことごとくは滅ぼさない」と主は言われる。

9

אֶת־	הַגּוֹיִם	בְּכֹל־	וַהֲנִעוֹתִי	מְצַוֶּה	אָנֹכִי	הִנֵּה	כִּי־
を	諸国民の	すべての-中で	そして-ふるいにかける	命じている	わたしが	見よ	なぜなら
H0853		H3605	H5128	H6680	H0595	H2009	

יִפֹּל	וְלֹא־	בַּכְּבָרָה	יִנּוֹעַ	כַּאֲשֶׁר	יִשְׂרָאֵל	בֵּית
落ちない	そして-ない	ふるいで	ふるいにかけられるように	ちょうど	イスラエルの	家
H5307	H3808	H3531	H5128		H3478	

אָרֶץ׃	צְרוֹר
地に	小石ひとつ
H0776	

「見よ、わたしは命じて、人がふるいで物をふるうように、わたしはイスラエルの家を万国民のうちでふるう。ひと粒も地に落ちることはない。

10

תַּגִּישׁ	לֹא־	הָאֹמְרִים	עַמִּי	חַטָּאֵי	כֹּל	יָמֻתוּ	בַּחֶרֶב	
近づかない	ない	言う-者たちは	わが-民の	罪人たちは	すべての	死ぬ	剣で	
H5066	H3808	H0559		H2400	H3605	H4191	H2719	

הָרָעָה׃	בַּעֲדֵינוּ	וְתַקְדִּים	
禍いは	われらに	そして-先に-来ない	
	H5704	H6923	

わが民の罪びと、すなわち『災はわれわれに近づかない、われわれに臨まない』と言う者どもはみな、つるぎで殺される。

11 בַּיּוֹם הַהוּא אָקִים אֶת־סֻכַּת דָּוִיד הַנֹּפֶלֶת וְגָדַרְתִּי אֶת־פִּרְצֵיהֶן
その–日に その 建て直す を ダビデの 仮庵を 倒れた を 塞ぐ そして–塞ぐ を その–破れ口を
H3117 H1931 H0853 H5521 H1732 H5307 H0853 H1443 H0853 H6556

וַהֲרִסֹתָיו אָקִים וּבְנִיתִיהָ כִּימֵי עוֹלָם׃
そして–その–廃墟を 建て直す そして–建てる–それを のように–日々 昔の
H2034 H1129 H3117 H5769

その日には、わたしはダビデの倒れた幕屋を興し、その破損を繕い、そのくずれた所を興し、これを昔の時のように建てる。

12 לְמַעַן יִירְשׁוּ אֶת־שְׁאֵרִית אֱדוֹם וְכָל־הַגּוֹיִם אֲשֶׁר־
それは–ために 受け継ぐように を 残りの–者を エドムの そして–すべての 諸国民を その–上に
H4616 H3423 H0853 H7611 H0123 H3605

נִקְרָא שְׁמִי עֲלֵיהֶם נְאֻם־ יְהוָה עֹשֵׂה זֹּאת׃ פ
呼ばれている わたしの–名が 彼らの–上に 告げられた 主は 行う–方は これを
H7121 H8034 H5002 H3068 H6213 H2063

これは彼らがエドムの残った者、およびわが名をもって呼ばれるすべての国民を所有するためである」とこの事をなされる主は言われる。

13 הִנֵּה יָמִים בָּאִים נְאֻם־ יְהוָה וְנִגַּשׁ חוֹרֵשׁ בַּקֹּצֵר
見よ 日々が 来る 告げられた 主は そして–追いつく 耕す–者が 刈り入れる–者に
H2009 H3117 H0935 H5002 H3068 H5066 H2063

וְדֹרֵךְ עֲנָבִים בְּמֹשֵׁךְ הַזָּרַע וְהִטִּיפוּ הֶהָרִים עָסִיס וְכָל־ הַגְּבָעוֹת תִּתְמוֹגַגְנָה׃
そして–踏む–者が 葡萄を に–追いつく–者が 種まく–者に そして–滴る 山々は 甘い–ぶどう汁を 溶ける 丘は そして–すべての
H1869 H6025 H4900 H2233 H5197 H2022 H6071 H4127 H1389 H3605

主は言われる、「見よ、このような時が来る。その時には、耕す者は刈る者に相継ぎ、ぶどうを踏む者は種まく者に相継ぐ。もろもろの山にはうまい酒がしたたり、もろもろの丘は溶けて流れる。

14 וְשַׁבְתִּי אֶת־שְׁבוּת עַמִּי יִשְׂרָאֵל וּבָנוּ עָרִים
そして–回復させる–わたしは を 捕囚の–身を わが–民 イスラエルの そして–建てる 町々を
H7725 H0853 H7622 H5971 H3478 H1129

וְיָשְׁבוּ וְנָטְעוּ כְרָמִים וְשָׁתוּ אֶת־ יֵינָם וְעָשׂוּ גַנּוֹת וְאָכְלוּ אֶת־ פִּרְיהֶם׃
そして–住む そして–植える ぶどう畑を そして–飲む を その–ぶどう酒を そして–造る 園を そして–食べる を その–実を
H3427 H5193 H3754 H8354 H0853 H3196 H6213 H1593 H0398 H0853 H6529

わたしはわが民イスラエルの幸福をもとに返す。彼らは荒れた町々を建てて住み、ぶどう畑を作ってその酒を飲み、園を作ってその実を食べる。

15 וְנָטַעְתִּים עַל־ אַדְמָתָם וְלֹא יִנָּתְשׁוּ עוֹד מֵעַל אַדְמָתָם אֲשֶׁר נָתַתִּי לָהֶם אָמַר יְהוָה אֱלֹהֶיךָ׃
そして–植える–彼らを の–上に 彼らの–地に そして–ない 引き抜かれない もはや の–上から その 与えた–わたしが 彼らに 言われた 主 あなたの–神は
H5193 H5921 H0127 H3808 H5428 H5750 H4480 H0834 H5414 H1992 H0559 H3068 H0430

わたしは彼らをその地に植えつける。彼らはわたしが与えた地から再び抜きとられることはない」とあなたの神、主は言われる。

Obadiah

Chapter 1

שָׁמַעְנוּ	שְׁמוּעָה	לֶאֱדוֹם	יְהוִה	אֲדֹנָי	אָמַר	כֹּה־	עֹבַדְיָה	חֲזוֹן	1
私たちは–聞いた	知らせを	エドムについて	神は	主なる	言われた	このように	オバデヤの	幻	
H8085	H8052	H0123	H3069	H0136	H0559	H3541	H5662	H2377	

וְנָקוּמָה	קוּמוּ	שְׁלֻחַ	בַּגּוֹיִם	וְצִיר	יְהוָה	מֵאֵת	
そして–立ち上がろう	立ち上がれ	遣わされた	国々の–中に	そして–使者が	主の	主から	
		H7971			H3068	H0854	

לַמִּלְחָמָה׃	עָלֶיהָ
戦いのために	彼女に–向かって
H4421	

オバデヤの幻。主なる神はエドムについてこう言われる、われわれは主から出たおとずれを聞いた。ひとりの使者が諸国民のうちにつかわされて言う、「立てよ、われわれは立ってエドムと戦おう」。

מְאֹד׃	אַתָּה	בָּזוּי	בַּגּוֹיִם	נְתַתִּיךָ	קָטֹן	הִנֵּה	2
非常に	あなたは	蔑まれた	国々の–中で	わたしは–あなたを–した	小さい–者と	見よ	
H3966		H0959		H5414		H2009	

見よ、わたしはあなたを国々のうちで小さい者とする。あなたはひどく卑しめられる。

שִׁבְתֶּךָ	מְרוֹם	סֶלַע	בְּחַגְוֵי־	שֹׁכְנִי	הִשִּׁיאֲךָ	לִבְּךָ	זְדוֹן	3
その–住まいの	高い	岩の	岩の–裂け目に	住む–者よ	あなたを–欺いた	あなたの–心の	傲慢が	
H7675	H4791	H5553	H2288	H7931	H5377		H2087	

אֶרֶץ׃	יוֹרְדֵנִי	מִי	בִּלְבָּוֹ	אֹמֵר
地に	私を–引き降ろせようか	誰が	心の–中で	言う–者よ
H0776	H3381	H4310		H0559

岩のはざまにおり、高い所に住む者よ、あなたの心の高ぶりは、あなたを欺いた。あなたは心のうちに言う、「だれがわたしを地に引き下らせる事ができるか」。

קִנֶּךָ	שִׂים	כּוֹכָבִים	בֵּין	וְאִם־	כַּנֶּשֶׁר	תַּגְבִּיהַּ	אִם־	4
あなたの–巣を	置いても	星々の	星々の–間に	たとえ	鷲のように	高く–上げても	たとえ	
H7064		H3556	H0996		H5404	H1361		

יְהוָה׃	נְאֻם־	אוֹרִידְךָ	מִשָּׁם
主の	これは–御告げ	わたしは–あなたを–引き降ろす	そこから
H3068	H5002	H3381	H8033

たといあなたは、わしのように高くあがり、星の間に巣を設けても、わたしはそこからあなたを引きおろすと主は言われる。

5

נִדְמֵ֥יתָה	אֵ֖יךְ	לַ֑יְלָה	שָׁדְד֣וּ	אִם־	לָ֗ךְ	בָּאוּ־	גַנָּבִים֙	אִם־
あなたは–滅ぼされる	ああ	夜に	略奪者が	もし	あなたに	来たなら	盗人が	もし
H1820		H3915	H7703			H0935	H1590	

לָ֔ךְ	בָּ֣אוּ	בֹּצְרִ֔ים	אִם־	דַּיָּ֖ם	יִגְנְב֣וּ	הֲלֹ֑וא		
あなたに	来たなら	ぶどうの–摘み取り人が	もし	十分なだけ	盗むのではないか	彼らは–ただ		
	H0935	H1219		H1767	H1589	H3808		

עֹלֵלֹ֖ות׃	יַשְׁאִ֣ירוּ	הֲלֹ֔וא
落ち穂を	残さないか	彼らは
H5955	H7604	H3808

もし盗びとがあなたの所に来、強盗が夜きても、彼らは、ほしいだけ盗むではないか。ああ、あなたは全く滅ぼされてしまう。もしぶどうを集める者があなたの所に来たなら、彼らはなお余りの実を残さないであろうか。

6

מַצְפֻּנָ֖יו׃	נִבְעֲ֥ו	עֵשָׂ֛ו	נֶחְפְּשׂ֥וּ	אֵ֖יךְ	
その–隠し場が	暴かれた	エサウは	探し出された	ああ	
H4710	H1158	H6215	H2664		

ああ、エサウはかすめられ、その隠しておいた宝は探り出される。

7

הִשִּׁיאֻ֔וךָ	בְּרִיתֶ֖ךָ	אַנְשֵׁ֣י	כֹ֑ל	שִׁלְּחֻ֣וךָ	הַגְּב֗וּל	עַד־	עַד־	
あなたを–欺いた	同盟の–者たちが	あなたの–同盟の	すべての	追いやった	国境まで	国境まで		
H5377	H1285	H0376	H3605	H7971	H1366	H5704		

תַּחְתֶּ֔יךָ	מָזֹ֣ור	יָשִׂ֔ימוּ	לַחְמְךָ֖	שְׁלֻמֶ֑ךָ	אַנְשֵׁ֣י	לְךָ֗	יָכְל֣וּ	
あなたの–下に	罠を	仕掛けた	あなたの–パンを	友の–者たちが	あなたの–友の	あなたに	打ち勝った	
H8478	H4204			H7965	H0376		H3201	

בֹּ֥ו׃	תְּבוּנָ֖ה	אֵ֥ין
彼には	分別が	無い
	H8394	H0369

あなたと契約を結んだ人々はみな、あなたを欺き、あなたを国境に追いやった。あなたと同盟を結んだ人々はあなたに勝った。あなたの信頼する友はあなたの下にわなを設けた、しかしその事を悟らない。

8

חֲכָמִ֣ים	וְהַאֲבַדְתִּ֤י	יְהוָה֙	נְאֻם־	הַה֣וּא	בַּיֹּ֔ום	הֲלֹ֖וא		
知恵ある–者たちを	わたしは–滅ぼす	主の	これは–御告げ	その	その–日に	ではないか		
H2450	H0006	H3068	H5002	H1931	H3117	H3808		

עֵשָׂ֑ו׃	מֵהַ֣ר	וּתְבוּנָ֔ה	מֵאֲדֹ֖ום
エサウの	エサウの–山から	そして–分別を	エドムから
H6215	H2022	H8394	H0123

主は言われる、その日には、わたしはエドムから知者を滅ぼし、エサウの山から悟りを断ち除かないだろうか。

9

אִ֖ישׁ	יִכָּרֵת־	לְמַ֣עַן	תֵּימָ֔ן	גִּבֹּרֶ֖יךָ	וְחַתּ֥וּ		
すべての–人が	断ち–滅ぼされるため	それは	テマンよ	あなたの–勇士たちは	そして–おののく		
H0376	H3772	H4616	H8487	H1368	H2865		

מִקָּטֶ֑ל׃	עֵשָׂ֖ו	מֵהַ֣ר
虐殺によって	エサウの	エサウの–山から
H6993	H6215	H2022

テマンよ、あなたの勇士は驚き恐れる。人はみな殺されてエサウの山から断ち除かれる。

10

בוּשָׁ֣ה	תְּכַסְּךָ֔	יַעֲקֹ֖ב	אָחִ֣יךָ	מֵחָמָ֑ס
恥が	あなたは–恥で–覆われる	ヤコブへの–暴虐のゆえに	あなたの–兄弟	あなたの–兄弟
H0955	H3680	H3290	H0251	H2555

לְעֹולָֽם׃	וְנִכְרַ֥תָּ
永遠に	そして–断ち切られる
H5769	H3772

あなたはその兄弟ヤコブに暴虐を行ったので、恥はあなたをおおい、あなたは永遠に断たれる。

11 בְּיוֹם עָמְדְךָ מִנֶּגֶד בְּיוֹם שְׁבוֹת
その–日に あなたが–向かい側に–立った その–日に 異国の–者たちが–捕らえた
H3117 H5975 H5048 H3117 H7617

יְרוּשָׁלִַם וְעַל־ שְׁעָרָיו) [שערו] בָּאוּ וְנָכְרִים חֵילוֹ זָרִים
エルサレムに–ついて そして その–門に (※) 入り そして–異邦人が その–富を 異国の–者たちが
H3389 H8179 H8179 H0935 H5237 H2428

מֵהֵם׃ כְּאַחַד אַתָּה גַּם־ גּוֹרָל יָדּוּ
彼らの 彼らの–一人の–ようであった あなたも あなたも–また くじを くじを–引いた
H1992 H0259 H1571 H1486 H3032

あなたが離れて立っていた日、すなわち異邦人がその財宝を持ち去り、外国人がその門におし入り、エルサレムをくじ引きにした日、あなたも彼らのひとりのようであった。

12 וְאַל־ תָּרֶא בְּיוֹם אָחִיךָ בְּיוֹם־ נָכְרוֹ וְאַל־
見るな 見るな あなたの–兄弟の あなたの–兄弟の–日を その–不幸の その–不幸の–日を 喜ぶな
H0408 H7200 H0251 H3117 H5235 H3117 H0408

תַּגְדֵּל וְאַל־ אָבְדָם בְּיוֹם יְהוּדָה לִבְנֵי־ תִשְׂמַח
大口を–開くな 大口を–開くな その–滅びの その–滅びの–日に ユダの ユダの–民の 喜ぶな
H1431 H0408 H0006 H3117 H3063 H8055

צָרָה׃ בְּיוֹם פִּיךָ
苦難の 苦難の–日に あなたの–口を
H3117 H6310

しかしあなたは自分の兄弟の日、すなわちその災の日をながめていてはならなかった。あなたはユダの人々の滅びの日に、これを喜んではならず、その悩みの日に誇ってはならなかった。

13 אַל־ תָּבוֹא בְּשַׁעַר־ עַמִּי בְּיוֹם אֵידָם אַל־ תָּרֶא
入るな 入るな わたしの–民の わたしの–民の–門に その–災いの その–災いの–日に 見るな 見るな
H0408 H0935 H8179 H3117 H0343 H0408 H7200

וְאַל־ אֵידוֹ בְּיוֹם אַתָּה גַם־ בְּרָעָתוֹ תִשְׁלַחְנָה
手を–伸ばすな その–災いの その–災いの–日に その–苦しみを あなたも あなたも–また 手を–伸ばすな
H0408 H0343 H3117 H1571 H7971

חֵילוֹ׃ בְּיוֹם אֵידוֹ
その–富に その–災いの–日に その–災いの
H2428 H3117 H0343

あなたはわが民の災の日に、その門にはいってはならず、その災の日にその苦しみをながめてはならなかった。またその災の日に、その財宝に手をかけてはならなかった。

14 וְאַל־ תַּעֲמֹד עַל־ הַפֶּרֶק לְהַכְרִית אֶת־ פְּלִיטָיו וְאַל־
立つな 分かれ道に 断ち滅ぼすため (を) その–逃れた–者を 引き渡すな
H0408 H5975 H6563 H3772 H0853 H0408

צָרָה׃ בְּיוֹם שְׂרִידָיו תַּסְגֵּר
苦難の 苦難の–日に その–生き残った–者を 引き渡すな
H3117 H8300 H5462

あなたは分れ道に立って、そののがれる者を切ってはならなかった。あなたは悩みの日にその残った者を敵にわたしてはならなかった。

15 כִּי־ קָרוֹב יוֹם־ יְהוָה עַל־ כָּל־ הַגּוֹיִם כַּאֲשֶׁר
あなたが–した–ように 国々に–臨む すべての すべての 主の 主の–日が 近い なぜなら
H3605 H3068 H3117 H7138

עָשִׂיתָ יֵעָשֶׂה לָּךְ גְּמֻלְךָ יָשׁוּב בְּרֹאשֶׁךָ׃
したように あなたに あなたに–なされる あなたの–報いは 返る あなたの–頭に
H7725 H1576

主の日が万国の民に臨むのは近い。あなたがしたようにあなたもされる。あなたの報いはあなたのこうべに帰する。

16 כִּי כָאֲשֶׁר שְׁתִיתֶם עַל־ הַר קָדְשִׁי יִשְׁתּוּ
ちょうど あなたがたが–飲んだ–ように 飲んだように わたしの 聖なる–山で 聖なる 飲むであろう
H8354 H2022 H6944 H8354

כָּל־ הַגּוֹיִם תָּמִיד וְשָׁתוּ וְלָעוּ וְהָיוּ
すべての 国々も–絶えず 絶えず 彼らは–飲み そして–飲み込み そして–なるであろう
H3605 H8548 H8354 H1961

כְּלוֹא כְּלֹא הָיוּ׃
存在しなかった 存在しなかった–かのように
H1961 H3808

あなたがたがわが聖なる山で飲んだように、周囲のもろもろの民も飲む。すなわち彼らは飲んでよろめき、かつてなかったようになる。

17 וּבְהַר צִיּוֹן תִּהְיֶה פְלֵיטָה וְהָיָה קֹדֶשׁ
しかし–シオンの シオンの–山には あるであろう 逃れた–者が そして–なるであろう 聖なる–所と
H2022 H6726 H1961 H6413 H1961 H6944

וְיָרְשׁוּ בֵּית יַעֲקֹב אֶת מוֹרָשֵׁיהֶם׃
そして–受け継ぐ ヤコブの–家は ヤコブの (を) その–所有地を
H3423 H3290 H0853 H4180

しかしシオンの山には、のがれる者がいて、聖なる所となる。またヤコブの家はその領地を獲る。

18 וְהָיָה בֵית־ יַעֲקֹב אֵשׁ וּבֵית יוֹסֵף לֶהָבָה
そして–なる ヤコブの–家は 火と そして–ヨセフの–家は ヨセフは 炎と
H1961 H3290 H0784 H3130 H3852

וּבֵית עֵשָׂו לְקַשׁ וְדָלְקוּ בָהֶם וְאָכְלוּם
そして–エサウの–家は エサウは 刈り株と そして–燃やし 彼らの–中で そして–食い尽くす
H6215 H7179 H1814 H0398

וְלֹא־ יִהְיֶה שָׂרִיד לְבֵית עֵשָׂו כִּי
そして–残る–者は–いない 残る–者は–いない 生き残る–者は エサウの–家には エサウの まことに
H3808 H1961 H8300 H6215

יְהוָה דִּבֶּר׃
主が 語られた
H3068 H1696

ヤコブの家は火となり、ヨセフの家は炎となり、エサウの家はわらとなる。彼らはその中に燃えて、これを焼く。エサウの家には残る者がないようになると主は言われた。

19 וְיָרְשׁוּ֙ הַנֶּ֔גֶב אֶת־הַ֖ר עֵשָׂ֑ו וְהַשְּׁפֵלָה֙ אֶת־פְּלִשְׁתִּ֔ים וְיָרְשׁוּ֙ אֶת־שְׂדֵ֣ה אֶפְרַ֔יִם וְאֶת־שְׂדֵ֖ה שֹׁמְר֑וֹן וּבִנְיָמִן֙ אֶת־הַגִּלְעָֽד׃

そして–受け継ぐ ネゲブの–者たちは (を) エサウの エサウの–山を (を) そして–受け継ぐ ペリシテ人の–地を (を) そして–受け継ぐ エフライムの エフライムの–野を (を) そして サマリアの–野を (を) そして–ベニヤミンは ギルアデを

ネゲブの人々はエサウの山を獲、セフェラの人々はペリシテびとを獲る。また彼らはエフライムの地、およびサマリヤの地を獲、ベニヤミンはギレアデを獲る。

20 וְגָלַ֤ת הַחֵל־הַזֶּה֙ לִבְנֵ֣י יִשְׂרָאֵ֔ל אֲשֶׁר־כְּנַעֲנִ֖ים עַד־צָרְפַ֑ת וְגָלַ֤ת יְרוּשָׁלִַ֙ם֙ אֲשֶׁ֣ר בִּסְפָ֔רַד וְיָרְשׁוּ֙ אֶת־עָרֵ֣י הַנֶּֽגֶב׃

そして–捕囚の–者たちは この–軍勢の この イスラエルの イスラエルの–民で カナン人の–地の そして–エルサレムの–捕囚の–者たちは ツァレファテの ツァレファテまでの カナン人の エルサレムの セファラデに–いる 受け継ぐ (を) ネゲブの–町々を ネゲブの

ハラにいるイスラエルの人々の捕われ人は、フェニキヤをザレパテまで取り、セパラデにいるエルサレムの捕われ人は、ネゲブの町々を獲る。

21 וְעָל֤וּ מוֹשִׁעִים֙ בְּהַ֣ר צִיּ֔וֹן לִשְׁפֹּ֖ט אֶת־הַ֣ר עֵשָׂ֑ו וְהָיְתָ֥ה לַיהוָ֖ה הַמְּלוּכָֽה׃

そして–救う–者たちが–上る 救う–者たちが シオンの シオンの–山に 裁くために (を) エサウの エサウの–山を そして–王国は 主の–ものとなる 王国は

Jonah

Chapter 1

1

לֵאמֹֽר׃	אֲמִתַּי	בֶּן־	יוֹנָה	אֶל־	יְהוָה	דְּבַר־	וַיְהִי	
言って	アミタイの	アミタイの–子	ヨナに	ヨナに	主の	主の–言葉が	そして–あった	
H0559	H0573		H3124	H0413	H3068	H1697	H1961	

主の言葉がアミッタイの子ヨナに臨んで言った、

2

עָלֶיהָ	וּקְרָא	הַגְּדוֹלָה	הָעִיר	נִינְוֵה	אֶל־	לֵךְ	קוּם
彼女に–向かって	そして–叫べ	大いなる	大いなる–町へ	ニネベへ	ニネベへ	行け	立て
	H7121			H5210	H0413	H3212	

לְפָנָֽי׃	רָעָתָם	עָלְתָה	כִּי־	
わたしの–前に	彼らの–悪が	上って–きた	なぜなら	
H6440		H5927		

「立って、あの大きな町ニネベに行き、これに向かって呼ばわれ。彼らの悪がわたしの前に上ってきたからである」。

3

יָפוֹ	וַיֵּרֶד	יְהוָה	מִלִּפְנֵי	תַּרְשִׁישָׁה	לִבְרֹחַ	יוֹנָה	וַיָּקָם	
ヤファに	そして–下りた	主の	主の–前から	タルシシュへ	逃げるために	ヨナは	そこで–立った	
H3305	H3381	H3068	H6440	H8659	H1272	H3124		

בָּהּ	וַיֵּרֶד	שְׂכָרָהּ	וַיִּתֵּן	תַּרְשִׁישׁ	בָּאָה	וְאֳנִיָּה	וַיִּמְצָא	
それに	そして–乗った	その–運賃を	そして–払った	タルシシュへ	行く	船を	そして–見つけた	
	H3381	H7939	H5414	H8659	H0935	H0591	H4672	

יְהוָֽה׃	מִלִּפְנֵי	תַּרְשִׁישָׁה	עִמָּהֶם	לָבוֹא
主の	主の–前から	タルシシュへ	彼らと–共に	行くために
H3068	H6440	H8659		H0935

しかしヨナは主の前を離れてタルシシへのがれようと、立ってヨッパに下って行った。ところがちょうど、タルシシへ行く船があったので、船賃を払い、主の前を離れて、人々と共にタルシシへ行こうと船に乗った。

4

גְּדוֹל	סַעַר־	וַיְהִי	הַיָּם	אֶל־	גְּדוֹלָה	רוּחַ־	הֵטִיל	וַיהוָה
大きな	大きな–嵐が	そして–起こった	海に	海に	大きな	大きな–風を	投げつけた	しかし–主は
		H1961	H3220	H0413		H7307	H2904	H3068

לְהִשָּׁבֵֽר׃	חִשְּׁבָה	וְהָאֳנִיָּה	בַּיָּם
砕けるかと	砕けるかと–思われた	そして–船は	海に
H7665	H2803	H0591	H3220

時に、主は大風を海の上に起されたので、船が破れるほどの激しい暴風が海の上にあった。

וַיִּירְאוּ הַמַּלָּחִים וַיִּזְעֲקוּ אִישׁ אֶל־אֱלֹהָיו וַיָּטִלוּ 5
そして–恐れた 水夫たちは そして–叫んだ 各自 自分の–神に 自分の–神に そして–投げ据てた
H3372 H4419 H2199 H0376 H0430 H0413 H2904

אֶת־הַכֵּלִים אֲשֶׁר בָּאֳנִיָּה אֶל־הַיָּם לְהָקֵל מֵעֲלֵיהֶם וְיוֹנָה
(を) 荷物を 船の–中に–あった 船の 海に 海に 軽くするため 彼らの–上から しかし–ヨナは
H0853 H3627 H0591 H0413 H3220 H7043 H3124

יָרַד וַיִּרְכְּתֵי הַסְּפִינָה וַיִּשְׁכַּב וַיֵּרָדַם׃
下りた 船の–奥に 船の 横たわり そして–深く–眠った
H3381 H0413 H5600 H3411 H7901 H7290

それで水夫たちは恐れて、めいめい自分の神を呼び求め、また船を軽くするため、その中の積み荷を海に投げ捨てた。しかし、ヨナは船の奥に下り、伏して熟睡していた。

וַיִּקְרַב אֵלָיו רַב הַחֹבֵל וַיֹּאמֶר לוֹ מַה־לְּךָ 6
そこで–近づいた 彼に 船の–長が 船の そして–言った 彼に どうして あなたは
H7126 H0413 H2259 H0559 H0413 H4100

נִרְדָּם קוּם קְרָא אֶל־אֱלֹהֶיךָ אוּלַי יִתְעַשֶּׁת
眠っているのか 起きよ 呼べ あなたの–神に あるいは 思い直してくださるかも
H7290 H0413 H7121 H0430 H0194

הָאֱלֹהִים לָנוּ וְלֹא נֹאבֵד׃
神が 私たちのために そうすれば–滅びない 滅びない
H0430 H3808 H0006

そこで船長は来て、彼に言った、「あなたはどうして眠っているのか。起きて、あなたの神に呼ばわりなさい。神があるいは、われわれを顧みて、助けてくださるだろう」。

וַיֹּאמְרוּ אִישׁ אֶל־רֵעֵהוּ לְכוּ וְנַפִּילָה גּוֹרָלוֹת וְנֵדְעָה 7
そこで–言った 各自 仲間に 仲間に さあ くじを–引こう くじを そうすれば–知ろう
H0559 H0376 H7453 H0413 H3212 H5307 H1486 H3045

בְּשֶׁלְמִי הָרָעָה הַזֹּאת לָנוּ וַיַּפֵּלוּ גּוֹרָלוֹת וַיִּפֹּל הַגּוֹרָל
誰の–せいで この–災いが この 私たちに そこで–引いた くじを そして–くじが–落ちた くじが
H4310 H7451 H2063 H0853 H5307 H1486 H5307 H1486

עַל־יוֹנָה׃
ヨナの–上に
H3124 H5315

やがて人々は互に言った、「この災がわれわれに臨んだのは、だれのせいか知るために、さあ、くじを引いてみよう」。そして彼らが、くじを引いたところ、くじはヨナに当った。

וַיֹּאמְרוּ אֵלָיו הַגִּידָה־נָּא לָנוּ בַּאֲשֶׁר לְמִי־זֹאת הָרָעָה הַזֹּאת 8
そこで–言った 彼に 話してくれ どうか 私たちに 誰の–せいで 誰の–せいで この–災いが この
H0559 H0413 H5046 H4994 H0853 H4310 H7451 H2063

וְאֵי־זֶה מִמֶּזֶּה אַתָּה אַרְצֶךָ וְאֵי־מִזֶּה תָּבוֹא מָה מְלַאכְתֶּךָ וּמֵאַיִן לָנוּ מַה־
そして–どの 民か あなたは どの 国か あなたの–国か 来たのか 何が 仕事か あなたの–仕事か そして–どこから 私たちに 何が
H0335 H5971 H0859 H2088 H0776 H0853 H0935 H4100 H4399 H0853 H0370 H4100

そこで人々はヨナに言った、「この災がだれのせいで、われわれに臨んだのか、われわれに告げなさい。あなたの職業は何か。あなたはどこから来たのか。あなたの国はどこか。あなたはどこの民か」。

9

וַיֹּ֣אמֶר֮ אֲלֵיהֶם֒ עִבְרִ֣י אָנֹכִ֗י וְאֶת־יְהוָה֙ אֱלֹהֵ֣י הַשָּׁמַ֔יִם אֲנִ֖י יָרֵ֑א אֲשֶׁר־עָשָׂ֤ה אֶת־הַיָּם֙ וְאֶת־הַיַּבָּשָׁ֔ה׃

そこで–言った 彼らに ヘブル人である 私は 主を そして 天の–神 私は 畑れている
H0559 H0413 H5680 H0595 H0853 H3068 H0430 H0589 H3373
造られた (を) 海も そして 乾いた–地も
H6213 H0853 H3220 H0853 H3004

ヨナは彼らに言った、「わたしはヘブルびとです。わたしは海と陸とをお造りになった天の神、主を恐れる者です」。

10

וַיִּירְא֤וּ הָאֲנָשִׁים֙ יִרְאָ֣ה גְדוֹלָ֔ה וַיֹּאמְר֣וּ אֵלָ֔יו מַה־זֹּ֥את עָשִׂ֖יתָ כִּ֣י יָדְע֤וּ הָאֲנָשִׁים֙ כִּֽי־מִלִּפְנֵ֣י יְהוָ֔ה הוּא֙ בֹּרֵ֔חַ כִּ֥י הִגִּ֖יד לָהֶֽם׃

そこで–恐れた 人々は 大きな–恐れを そして–言った 彼に 何という ことを したのか
H3372 H0376 H3372 H0559 H0413 H4100 H2063 H6213
彼が–告げた 彼らに なぜなら 逃げていることを 彼が 主の 主の–前から 彼が 人々は 知った なぜなら
H5046 H1992 H1931 H1272 H3068 H6440 H3045 H0376 H3045

そこで人々ははなはだしく恐れて、彼に言った、「あなたはなんたる事をしてくれたのか」。人々は彼がさきに彼らに告げた事によって、彼が主の前を離れて、のがれようとしていた事を知っていたからである。

11

וַיֹּאמְר֣וּ אֵלָיו֮ מַה־נַּֽעֲשֶׂה֒ לְּךָ֗ וְיִשְׁתֹּ֤ק הַיָּם֙ מֵעָלֵ֔ינוּ כִּ֥י הַיָּ֖ם הוֹלֵ֥ךְ וְסֹעֵ֑ר׃

そこで–言った 彼に 何を すれば–よいのか あなたに そうすれば–静まるのか 海が 私たちから なぜなら 海は ますます 荒れていた
H3045 H0413 H4100 H6213 H0413 H8367 H3220 H0413 H3220 H1980 H5590

人々は彼に言った、「われわれのために海が静まるには、あなたをどうしたらよかろうか」。それは海がますます荒れてきたからである。

12

וַיֹּ֣אמֶר אֲלֵיהֶם֮ שָׂאוּנִי֒ וְהַטִּילֻנִי֙ אֶל־הַיָּ֔ם וְיִשְׁתֹּ֤ק הַיָּם֙ מֵעֲלֵיכֶ֔ם כִּ֣י יוֹדֵ֔עַ אָנִ֕י כִּ֛י בְּשֶׁלִּ֥י הַסַּעַ֖ר הַגָּדוֹל֣ הַזֶּ֑ה עֲלֵיכֶֽם׃

そこで–言った 彼らに 担ぎ–上げよ そして–投げ込め 海に 海は そうすれば–静まる あなたがたから なぜなら 知っている 私は 私の–せいで この 大きな この–嵐が あなたがたの–上に
H0559 H0413 H5375 H2904 H0413 H3220 H3220 H8367 H4480 H3588 H3045 H0589 H7945 H2088 H1419 H5921

ヨナは彼らに言った、「わたしを取って海に投げ入れなさい。そうしたら海は、あなたがたのために静まるでしょう。わたしにはよくわかっています。この激しい暴風があなたがたに臨んだのは、わたしのせいです」。

13

וַיַּחְתְּר֣וּ הָאֲנָשִׁים֮ לְהָשִׁיב֒ אֶל־הַיַּבָּשָׁה֙ וְלֹ֣א יָכֹ֔לוּ כִּ֥י הַיָּ֖ם הוֹלֵ֥ךְ וְסֹעֵ֑ר עֲלֵיהֶֽם׃

そこで–苦しんだ 人々は 戻そうと 陸に しかし–できなかった なぜなら 海は ますます 荒れ続けた 彼らに–対して
H2864 H0376 H7725 H0413 H3808 H3201 H3220 H1980 H5590

しかし人々は船を陸にこぎもどそうとつとめたが、成功しなかった。それは海が彼らに逆らって、いよいよ荒れたからである。

14 וַיִּקְרְאוּ אֶל־יְהוָה וַיֹּאמְרוּ אָנָּה יְהוָה אַל־נָא נאבְדָה בְנֶפֶשׁ הָאִישׁ הַזֶּה וְאַל־תִּתֵּן עָלֵינוּ דָּם נָקִיא כִּי־אַתָּה יְהוָה כַּאֲשֶׁר חָפַצְתָּ עָשִׂיתָ׃

そこで–叫んだ そこで–言った ああ 主よ どうか 主に 主に 負わせないでください この この–人の この–人の–いのちの–ために 滅ぼさないでください 私たちに 罪のない–者の–血を なぜなら あなたが 主よ 負わせないでください 望まれた–とおりに なさったのです

そこで人々は主に呼ばわって言った、「主よ、どうぞ、この人の生命のために、われわれを滅ぼさないでください。また罪なき血を、われわれに帰しないでください。主よ、これはみ心に従って、なされた事だからです」。

15 וַיִּשְׂאוּ אֶת־יוֹנָה וַיְטִלֻהוּ אֶל־הַיָּם וַיַּעֲמֹד הַיָּם מִזַּעְפּוֹ׃

そこで–担ぎ–上げた (を) ヨナを そして–投げ込んだ 海に 海に 海は そこで–止んだ その–荒れ狂いから

そして彼らはヨナを取って海に投げ入れた。すると海の荒れるのがやんだ。

16 וַיִּירְאוּ הָאֲנָשִׁים יִרְאָה גְדוֹלָה אֶת־יְהוָה וַיִּזְבְּחוּ־זֶבַח לַיהוָה וַיִּדְּרוּ נְדָרִים׃

そこで–恐れた 人々は 大きな–恐れを 大きな 主を (を) そして–いけにえを–ささげた いけにえを 主に そして–誓願を–立てた 誓願を

そこで人々は大いに主を恐れ、犠牲を主にささげて、誓願を立てた。

17 וַיְמַן יְהוָה דָּג גָּדוֹל לִבְלֹעַ אֶת־יוֹנָה וַיְהִי יוֹנָה בִּמְעֵי הַדָּג שְׁלֹשָׁה יָמִים וּשְׁלֹשָׁה לֵילוֹת׃

そこで–主は–備えた 主は 大きな–魚を 大きな 飲み込むために (を) ヨナを そして–いた ヨナは 魚の–腹の–中に 三–日と 日と そして–三 夜

主は大いなる魚を備えて、ヨナをのませられた。ヨナは三日三夜その魚の腹の中にいた。

Chapter 2

1 וַיִּתְפַּלֵּל יוֹנָה אֶל־יְהוָה אֱלֹהָיו מִמְּעֵי הַדָּגָה׃

そこで–祈った ヨナは 主に 主に その–神に 魚の–腹の–中から 魚の

ヨナは魚の腹の中からその神、主に祈って、

2 וַיֹּ֣אמֶר קָרָ֤אתִי מִצָּרָה֙ לִ֣י אֶל־ יְהוָ֔ה וַיַּעֲנֵ֑נִי
そして–言った わたしは–叫んだ 苦難の–中から 私の 主に 主に そして–答えてくださった
H0559 H7121 H4689 H0413 H3068

מִבֶּ֥טֶן שְׁא֖וֹל שִׁוַּ֣עְתִּי שָׁמַ֔עְתָּ קוֹלִֽי׃
よみの–国の–腹から よみの–国の よみの–国の わたしは–叫んだ あなたは–聞いてくださった わたしの–声を
H0990 H7585 H7768 H8085

言った、「わたしは悩みのうちから主に呼ばわると、主はわたしに答えられた。わたしが陰府の腹の中から叫ぶと、あなたはわたしの声を聞かれた。

3 וַתַּשְׁלִיכֵ֨נִי מְצוּלָ֜ה בִּלְבַ֣ב יַמִּ֗ים וְנָהָר֙ יְסֹבְבֵ֔נִי
あなたは–わたしを–投げ込んだ 深みに 海の–心に 海の そして–流れが わたしを–取り巻いた
H7993 H4688 H3824 H3220 H5104 H5437

כָּל־ מִשְׁבָּרֶ֥יךָ וְגַלֶּ֖יךָ עָלַ֣י עָבָֽרוּ׃
すべての あなたの–砕ける–波と そして–あなたの–大波が わたしの–上を 過ぎ去った
H3605 H4867 H1530

あなたはわたしを淵の中、海のまん中に投げ入れられた。大水はわたしをめぐり、あなたの波と大波は皆、わたしの上を越えて行った。

4 וַאֲנִ֗י אָמַ֙רְתִּי֙ נִגְרַ֣שְׁתִּי מִנֶּ֣גֶד עֵינֶ֔יךָ אַ֚ךְ
そして–わたしは 思った わたしは–追い出された あなたの–目の–前から あなたの–目の しかし
H0589 H0559 H1644 H5048 H0389

אוֹסִ֖יף לְהַבִּ֣יט אֶל־ הֵיכַ֥ל קָדְשֶֽׁךָ׃
わたしは–再び 見る あなたの–聖なる–神殿を あなたの–聖なる 神殿を
H3254 H5027 H0413 H1964 H6944

わたしは言った、『わたしはあなたの前から追われてしまった、どうして再びあなたの聖なる宮を望みえようか』。

5 אֲפָפ֤וּנִי מַ֙יִם֙ עַד־ נֶ֔פֶשׁ תְּה֖וֹם יְסֹבְבֵ֑נִי סֽוּף
水が–わたしを–取り囲んだ 水が いのちまで 深淵が わたしを–取り巻いた 海草が
H0661 H4325 H5315 H8415 H5437 H5488

חָבְשׁ֖וּשׁ לְרֹאשִֽׁי׃
巻きついた わたしの–頭に
H2280

水がわたしをめぐって魂にまでおよび、淵はわたしを取り囲み、海草は山の根元でわたしの頭にまといついた。

6 לְקִצְבֵ֣י הָרִ֗ים יָרַ֙דְתִּי֙ הָאָ֣רֶץ בְּרִחֶ֔יהָ בַּעֲדִ֖י לְעוֹלָ֑ם
山々の–根元に 山々の 地の わたしは–下った かんぬきが わたしの–上に 永遠に
H7095 H2022 H0776 H3381 H1280 H1157 H5769

וַתַּ֥עַל מִשַּׁ֖חַת חַיַּ֣י יְהוָ֔ה אֱלֹהָ֖י׃
しかし–引き上げてくださった 滅びから わたしの–いのちを 主よ わたしの–神よ
H5927 H7845 H2416 H3068 H0430

わたしは地に下り、地の貫の木はいつもわたしの上にあった。しかしわが神、主よ、あなたはわが命を穴から救いあげられた。

7

יְהוָה אֶת־ נַפְשִׁי עָלַי בְּהִתְעַטֵּף
主を (を) わたしの–たましいが わたしの–上で わたしの–たましいが–弱り果てた–とき
H3068 H0853 H5315

אֶל־ תְּפִלָּתִי אֵלֶיךָ וַתָּבוֹא זָכַרְתִּי
あなたの–聖なる–神殿に わたしの–祈りが あなたに そして–届いた わたしは–思い出した
H0413 H8605 H0413 H0935 H2142

קָדְשֶׁךָ׃ הֵיכַל
神殿に あなたの–聖なる
H6944 H1964

わが魂がわたしのうちに弱っているとき、わたしは主をおぼえ、わたしの祈はあなたに至り、あなたの聖なる宮に達した。

8

יַעֲזֹבוּ׃ חַסְדָּם שָׁוְא הַבְלֵי־ מְשַׁמְּרִים
捨てる その–恵みを 偶像を 空しい–偶像を 空しい–偶像を–崇める–者は
H7723 H1892 H8104

むなしい偶像に心を寄せる者は、そのまことの忠節を捨てる。

9

לָךְ אֶזְבְּחָה־ תּוֹדָה בְקוֹל וַאֲנִי
あなたに あなたに–いけにえを–ささげる 感謝の 感謝の–声を–あげて しかし–わたしは
H2076 H8426 H0589

ס לַיהוָה׃ יְשׁוּעָתָה אֲשַׁלֵּמָה נָדַרְתִּי אֲשֶׁר
(段落) 主の–もの 救いは わたしは–果たす 誓った わたしが–誓った–ことを
H3068 H3444 H5087

しかしわたしは感謝の声をもって、あなたに犠牲をささげ、わたしの誓いをはたす。救は主にある」。

10

פ הַיַּבָּשָׁה׃ אֶל־ יוֹנָה אֶת־ וַיָּקֵא לַדָּג יְהוָה וַיֹּאמֶר
(段落) 乾いた–地に 乾いた–地に ヨナを (を) そこで–吐き出した 魚に 主は そこで–命じた
H3004 H0413 H3124 H0853 H6958 H1709 H3068 H0559

主は魚にお命じになったので、魚はヨナを陸に吐き出した。

Chapter 3

1

לֵאמֹר׃ שֵׁנִית יוֹנָה אֶל־ יְהוָה דְּבַר־ וַיְהִי
言って 二度目 ヨナに ヨナに 主の 主の–言葉が そして–あった
H0559 H8145 H3124 H0413 H3068 H1697 H1961

時に主の言葉は再びヨナに臨んで言った、

2

אֶת־ אֵלֶיהָ וּקְרָא הַגְּדוֹלָה הָעִיר נִינְוֵה אֶל־ לֵךְ קוּם
(を) 彼女に そして–叫べ 大いなる 大いなる–町へ ニネベへ ニネベへ 行け 立て
H0853 H0413 H7121 H5210 H0413 H3212

אֵלֶיךָ׃ דַּבֵּר אָנֹכִי אֲשֶׁר הַקְּרִיאָה
あなたに 語る わたしが わたしが わたしが–告げる–宣言を
H0413 H1696 H0595 H7150

「立って、あの大きな町ニネベに行き、あなたに命じる言葉をこれに伝えよ」。

וְנִינְוֵה יְהוָה כִּדְבַר נִינְוֵה אֶל־ וַיֵּלֶךְ יוֹנָה וַיָּקָם 3
ニネベは 主の 主の–言葉の–とおりに ニネベへ ニネベへ そして–行った ヨナは そこで–立った
H5210 H3068 H1697 H5210 H0413 H3212 H3124

:יָמִים שְׁלֹשֶׁת מַהֲלַךְ לֵאלֹהִים גְּדוֹלָה עִיר־ הָיְתָה
日の 三 三–日の–行程の 神にとっても 大きな 大きな–町で 非常に–大きな–町であった
H3117 H7969 H4109 H0430 H1961

そこでヨナは主の言葉に従い、立って、ニネベに行った。ニネベは非常に大きな町であって、これを行きめぐるには、三日を要するほどであった。

וַיִּקְרָא יוֹנָה וַיָּחֶל 4
そして–叫んだ 日の 一 一–日の–行程で 町に 町に–入ることを ヨナは そこで–始めた
H7121 H0259 H3117 H4109 H0935 H3124

:נֶהְפָּכֶת וְנִינְוֵה יוֹם אַרְבָּעִים עוֹד וַיֹּאמַר
滅ぼされる ニネベは 日で 四十–日で あと そして–言った
H2015 H5210 H3117 H0705 H5750 H0559

ヨナはその町にはいり、初め一日路を行きめぐって呼ばわり、「四十日を経たらニネベは滅びる」と言った。

וַיַּלְבְּשׁוּ צוֹם וַיִּקְרְאוּ־ בֵאלֹהִים נִינְוֵה אַנְשֵׁי וַיַּאֲמִינוּ 5
そして–身に–まとった 断食を そして–布告した 神を ニネベの ニネベの–人々は そこで–信じた
H3847 H6685 H7121 H0430 H5210 H0376 H0539

:קְטַנָּם וְעַד־ מִגְּדוֹלָם שַׂקִּים
小さな–者まで 小さな–者まで 大きな–者から 荒布を
H5704 H8242

そこでニネベの人々は神を信じ、断食をふれ、大きい者から小さい者まで荒布を着た。

וַיָּקָם נִינְוֵה מֶלֶךְ אֶל־ הַדָּבָר וַיִּגַּע 6
そこで–立ち上がった ニネベの ニネベの–王に ニネベの–王に その–言葉が そして–届いた
H5210 H4428 H0413 H1697 H5060

וַיֵּשֶׁב שַׂק וַיְכַס מֵעָלָיו אַדַּרְתּוֹ וַיַּעֲבֵר מִכִּסְאוֹ
そして–座った 荒布を そして–まとった 自分から その–王服を そして–脱いだ その–王座から
H3427 H8242 H3680 H0155 H3678

:הָאֵפֶר עַל־
灰の 灰の–上に
H0665

このうわさがニネベの王に達すると、彼はその王座から立ち上がり、朝服を脱ぎ、荒布をまとい、灰の中に座した。

וּגְדֹלָיו הַמֶּלֶךְ מִטְּעַם בִּנְינְוֵה וַיֹּאמֶר וַיִּזְעַק 7
その–大臣たちの 王と 王と–その–大臣たちの–布告により ニネベで そして–言った そして–布告した
H4428 H2940 H5210 H0559 H2199

אַל־ מְאוּמָה יִטְעֲמוּ אַל־ וְהַצֹּאן הַבָּקָר וְהַבְּהֵמָה הָאָדָם לֵאמֹר
食べてはならない 何も 味わってはならない 何も 羊も 牛も 家畜も 人も 言って
H0408 H3972 H2938 H0408 H6629 H1241 H0929 H0120 H0559

:יִשְׁתּוּ אַל־ וּמַיִם יִרְעוּ
飲んではならない 飲んではならない 水も 食べてはならない
H8354 H0408 H4325

また王とその大臣の布告をもって、ニネベ中にふれさせて言った、「人も獣も牛も羊もみな、何をも味わってはならない。物を食い、水を飲んではならない。

8 וְיִתְכַּסּוּ שַׂקִּים הָאָדָם וְהַבְּהֵמָה וְיִקְרְאוּ אֶל־אֱלֹהִים בְּחָזְקָה וְיָשֻׁבוּ
そして–まとえ 荒布を 人も 家畜も そして–叫べ 神に 力強く そして–立ち戻れ
H3680 H8242 H0120 H0929 H7121 H0413 H0430 H2394 H7725

אִישׁ מִדַּרְכּוֹ הָרָעָה וּמִן־ הַחָמָס אֲשֶׁר בְּכַפֵּיהֶם׃
各自 自分の–悪い–道から 悪い そして 暴力から 自分の–手の–中に–ある 自分の–手の
H0376 H1870 H7451 H2555 H0834 H3709

人も獣も荒布をまとい、ひたすら神に呼ばわり、おのおのその悪い道およびその手にある強暴を離れよ。

9 מִי־ יוֹדֵעַ יָשׁוּב וְנִחַם הָאֱלֹהִים וְשָׁב
誰が–知ろう 知ろう 思い直して そして–悔い改めてくださるかも 神は そして–思い直して
H4310 H3045 H7725 H5162 H0430 H7725

וְלֹא נֹאבֵד׃ אַפּוֹ מֵחֲרוֹן
そうすれば–滅びない 滅びない 怒りから 燃える–怒りから
H3808 H0006 H0639 H2740

あるいは神はみ心をかえ、その激しい怒りをやめて、われわれを滅ぼされないかもしれない。だれがそれを知るだろう」。

10 וַיַּרְא הָאֱלֹהִים אֶת־ מַעֲשֵׂיהֶם כִּי־ שָׁבוּ מִדַּרְכָּם
そこで–見た 神は (を) 彼らの–行いを 彼らが 立ち戻ったことを 自分たちの–悪い–道から
H7200 H0430 H0853 H4639 H3588 H7725 H1870

הָרָעָה אֲשֶׁר־ דִּבֶּר לַעֲשׂוֹת־ לָהֶם וְלֹא עָשָׂה׃
悪い 言った くだすと わざわいに–ついて くだすと–言った 神は そこで–悔い改めた 行うと 行わなかった そして–行わなかった 彼らに
H7451 H1696 H0834 H7451 H0559 H0430 H5162 H6213 H3808 H1992

神は彼らのなすところ、その悪い道を離れたのを見られ、彼らの上に下そうと言われた災を思いかえして、これをおやめになった。

Chapter 4

1 וַיֵּרַע אֶל־ יוֹנָה רָעָה גְדוֹלָה וַיִּחַר לוֹ׃
そして–不満であった ヨナにとって ヨナにとって 大きな–不満が 大きな 彼は
H3415 H0413 H3124 H7451 H1419 H2734 H0

ところがヨナはこれを非常に不快として、激しく怒り、

2 וַיִּתְפַּלֵּל אֶל־יְהוָה וַיֹּאמַר אָנָּה יְהוָה הֲלוֹא־זֶה
そこで–祈った 主に 主に そして–言った ああ 主よ これこそ–ではなかったか これこそ
H6419 H0413 H3068 H0559 H0577 H3068 H3808 H2088

דְבָרִי עַד־ הֱיוֹתִי עַל־ אַדְמָתִי עַל־ כֵּן קִדַּמְתִּי
わたしの–言葉 まだ 自分の–国に–いた–時に 自分の 自分の–国に それだから それだから 急いだ
H1697 H5704 H1961 H0127 H0127 H3651 H6923

לִבְרֹחַ תַּרְשִׁישָׁה כִּי יָדַעְתִּי כִּי אַתָּה אֵל־ חַנּוּן
逃げようと タルシシュへ なぜなら 知っていた あなたが あなたが 恵み–深く 恵みの
H1272 H8659 H3045 H3588 H0859 H0410 H2587

וְנִחָם וְרַב־ חֶסֶד אֶרֶךְ אַפַּיִם וְרַחוּם
そして–悔い改められる そして–豊かな 恵みに–満ち 怒りに–遅く 怒りに そして–あわれみ–深く
H5162 H7227 H2617 H0750 H0639 H7349

עַל־ הָרָעָה׃
わざわいに わざわいに–ついて

主に祈って言った、「主よ、わたしがなお国におりました時、この事を申したではありませんか。それでこそわたしは、急いでタルシシにのがれようとしたのです。なぜなら、わたしはあなたが恵み深い神、あわれみあり、怒ることおそく、いつくしみ豊かで、災を思いかえされることを、知っていたからです。

3 וְעַתָּה יְהוָה קַח־ נָא אֶת־ נַפְשִׁי מִמֶּנִּי כִּי טוֹב
だから–今 主よ 取ってください どうか (を) わたしの–いのちを わたしから なぜなら 良い
H6258 H3068 H3947 H4994 H0853 H5315 H4480 H3588 H2896

מוֹתִי מֵחַיָּי׃ ס
わたしの–死は 生きること–よりも (段落)
H4194

それで主よ、どうぞ今わたしの命をとってください。わたしにとっては、生きるよりも死ぬ方がましだからです」。

4 וַיֹּאמֶר יְהוָה הַהֵיטֵב חָרָה לָךְ׃
そこで–言われた 主は 正しく 怒っているのか あなたは
H0559 H3068 H3190 H2734 H3588

主は言われた、「あなたの怒るのは、よいことであろうか」。

5 וַיֵּצֵא יוֹנָה מִן־ הָעִיר וַיֵּשֶׁב מִקֶּדֶם לָעִיר וַיַּעַשׂ לוֹ
そこで–出た ヨナは 町から 町から そして–座った 東側に 町の そして–作った 自分の–ために
H3318 H3124 H3427 H6924 H3318 H3318

סֻכָּה וַיֵּשֶׁב תַּחְתֶּיהָ בַּצֵּל עַד אֲשֶׁר יִרְאֶה מַה־
仮小屋を そして–座った その–下に 日陰に 見るまで 見るまで 何が
H5521 H3427 H8478 H6738 H5704 H0834 H7200 H4100

בָּעִיר׃ יִהְיֶה
町に 起こるかを
H1961

そこでヨナは町から出て、町の東の方に座し、そこに自分のために一つの小屋を造り、町のなりゆきを見きわめようと、その下の日陰にすわっていた。

6

מֵעַל	וַיַּעַל	קִיקָיֹון	אֱלֹהִים	יְהוָה־	וַיְמַן
上に	そして–生え上がらせた	とうごまの–木を	神は	主は–神は	そこで–主は–備えた
	H5927	H7021	H0430	H3068	H4487

לוֹ	לְהַצִּיל	רֹאשׁוֹ	עַל־	צֵל	לִהְיוֹת	לְיוֹנָה
彼を	救うために	その–頭の	その–頭の–上に	日陰と	日陰と–なる–ために	ヨナの–ために
	H5337			H6738	H1961	H3124

גְּדוֹלָה׃	שִׂמְחָה	הַקִּיקָיֹון	עַל־	יוֹנָה	וַיִּשְׂמַח	מֵרָעָתֹו
大きな	大きな–喜びで	とうごまの–木を	とうごまの–木を	ヨナは	そこで–喜んだ	その–苦しみから
	H8057	H7021		H3124	H8055	

時に主なる神は、ヨナを暑さの苦痛から救うために、とうごまを備えて、それを育て、ヨナの頭の上に日陰を設けた。ヨナはこのとうごまを非常に喜んだ。

7

אֶת־	וַתָּךְ	לַמָּחֳרָת	הַשַּׁחַר	בַּעֲלֹות	תֹּולַעַת	הָאֱלֹהִים
(を)	そして–打った	翌日	夜明けの	夜明けに	虫を	神は
H0853	H5221	H4283	H7837	H5927		H0430

וַיִּמַן	הַקִּיקָיֹון	וַיִּיבַשׁ׃	
しかし–神は–備えた	とうごまの–木を	そして–枯れた	
H4487	H7021	H3001	

ところが神は翌日の夜明けに虫を備えて、そのとうごまをかませられたので、それは枯れた。

8

קָדִים	רוּחַ	אֱלֹהִים	וַיְמַן	הַשֶּׁמֶשׁ	כְּזָרַחַ	וַיְהִי
東の	東の–熱風を	神は	そこで–神は–備えた	太陽が	太陽が–昇った–とき	そして–起こった
H6921	H7307	H0430	H4487	H8121	H2224	H1961

וַיִּתְעַלָּף	יוֹנָה	רֹאשׁ	עַל־	הַשֶּׁמֶשׁ	וַתָּךְ	חֲרִישִׁית
そこで–弱り果てた	ヨナの	ヨナの–頭に	ヨナの–頭に	太陽が	そして–打ちつけた	焼けつくような
H5968	H3124			H8121	H5221	H2759

מֹותִי	טֹוב	וַיֹּאמֶר	לָמוּת	נַפְשֹׁו	אֶת־	וַיִּשְׁאַל	
わたしの–死は	良い	そして–言った	死ぬことを	自分の–死を	(を)	そして–願った	
H4191		H0559	H4191	H5315	H0853	H7592	

מֵחָיָּי׃
生きること–よりも

やがて太陽が出たとき、神が暑い東風を備え、また太陽がヨナの頭を照したので、ヨナは弱りはて、死ぬことを願って言った、「生きるよりも死ぬ方がわたしにはましだ」。

9

לְךָ	הָרָה־	הַהֵיטֵב	יוֹנָה	אֶל־	אֱלֹהִים	וַיֹּאמֶר
あなたは	怒っているのか	正しく	ヨナに	ヨナに	神は	そこで–言われた
	H2734	H3190	H3124	H0413	H0430	H0559

עַד־	לִי	חָרָה־	הֵיטֵב	וַיֹּאמֶר	הַקִּיקָיֹון	עַל־	
死ぬほど	私は	怒っている	正しく	そこで–言った	とうごまの–木に	とうごまの–木に–ついて	
H5704		H2734	H3190	H0559	H7021		

מָוֶת׃
死ぬほど
H4194

しかし神はヨナに言われた、「とうごまのためにあなたの怒るのはよくない」。ヨナは言った、「わたしは怒りのあまり狂い死にそうです」。

10

הַקִּיקָיֹון	עַל־	חַסְתָּ	אַתָּה	יְהוָה	וַיֹּאמֶר
とうごまの–木を	とうごまの–木を	惜しんだ	あなたは	主は	そこで–言われた
H7021		H2347		H3068	H0559

וְלֹא	בּוֹ	עָמַלְתָּ	לֹא־	אֲשֶׁר
そして–育てた–ことも–ない	それの–ために	労した	労したこともない	あなたが–労した–ことも–ない
H3808		H5998	H3808	

אָבָד׃	לַיְלָה	וּבִן־	הָיָה	לַיְלָה	שִׁבֵּן־	גִּדַּלְתּוֹ
滅びた	一–夜の	そして–一–夜で–滅びた	生え	一–夜の	一–夜で–生え	育てたこともない
H0006	H3915		H1961	H3915		H1431

主は言われた、「あなたは労せず、育てず、一夜に生じて、一夜に滅びたこのとうごまをさえ、惜しんでいる。

11

הָעִיר	נִינְוֵה	עַל־	אָחוּס	לֹא	וַאֲנִי	
大いなる–町を	ニネベを	ニネベを	惜しまない	惜しまない–ことが–あろうか	それなら–わたしが	
H5210			H2347	H3808	H0589	

אָדָם	רִבּוֹ	עֶשְׂרֵה	מְשֻׁתֵּים־	הָרִבֵּה	בָּהּ	יֶשׁ־	אֲשֶׁר	הַגְּדוֹלָה
人が	万の	十二–万の	十二万–人以上の	十二万–人以上の	そこには	いる	そこには	大いなる
H0120	H7239	H6240	H8147			H3426		

רַבָּה׃	וּבְהֵמָה	לִשְׂמֹאלוֹ	יְמִינוֹ	בֵּין־	יָדַע	לֹא־	אֲשֶׁר
多くの	そして–多くの–家畜も	左を	右と	右と	見分けられない	右と	右と–左を
	H0929	H8040	H3225	H0996	H3045	H3808	

ましてわたしは十二万あまりの、右左をわきまえない人々と、あまたの家畜とのいるこの大きな町ニネベを、惜しまないでいられようか」。

Micah

Chapter 1

1 דְּבַר־ יְהוָה אֲשֶׁר הָיָה אֶל־ מִיכָהּ הַמֹּרַשְׁתִּי בִּימֵי יוֹתָם אָחָז יְחִזְקִיָּה מַלְכֵי־ יְהוּדָה אֲשֶׁר־ חָזָה עַל־ שֹׁמְרוֹן וִירוּשָׁלָם׃

ユダの王ヨタム、アハズおよびヒゼキヤの世に、モレシテびとミカが、サマリヤとエルサレムについて示された主の言葉。

2 שִׁמְעוּ כָל־ עַמִּים הַקְשִׁיבִי אֶרֶץ וּמְלֹאָהּ וִיהִי אֲדֹנָי יְהוִה בָּכֶם לְעֵד אֲדֹנָי מֵהֵיכַל קָדְשׁוֹ׃

あなたがたすべての民よ、聞け。地とその中に満てる者よ、耳を傾けよ。主なる神はあなたがたにむかって証言し、主はその聖なる宮から証言される。

3 כִּי־ הִנֵּה יְהוָה יֹצֵא מִמְּקוֹמוֹ וְיָרַד וְדָרַךְ עַל־ בָּמֳתֵי (במותי) אָרֶץ׃

見よ、主はそのご座所から出てこられ、下ってきて地の高い所を踏まれる。

4 וְנָמַסּוּ הֶהָרִים תַּחְתָּיו וְהָעֲמָקִים יִתְבַּקָּעוּ כַּדּוֹנַג מִפְּנֵי הָאֵשׁ כְּמַיִם מְגֻרָּים בְּמוֹרָד׃

山は彼の下に溶け、谷は裂け、火の前のろうのごとく、坂に流れる水のようだ。

5

מִי־	יִשְׂרָאֵל	בֵּית	וּבְחַטֹּאות	זֹאת	כָּל־	יַעֲקֹב	בְּפֶשַׁע
誰が	イスラエルの	家	そして-の-罪の-ために	これは	すべて	ヤコブの	の-背きの-ために
H4310	H3478			H2063	H3605	H3290	H6588

הֲלוֹא	יְהוּדָה	בָּמוֹת	וּמִי	שֹׁמְרוֹן	הֲלוֹא	יַעֲקֹב	פֶּשַׁע
ではないか	ユダの	高き-所は	そして-誰が	サマリヤでは	ではないか	ヤコブの	背き
H3808	H3063	H1116	H4310	H8111	H3808	H3290	H6588

יְרוּשָׁלִָם׃
エルサレムでは
H3389

これはみなヤコブのとがのゆえ、イスラエルの家の罪のゆえである。ヤコブのとがとは何か、サマリヤではないか。ユダの家の罪とは何か、エルサレムではないか。

6

וְהִגַּרְתָּי	כֶּרֶם	לְמַטָּעֵי	הַשָּׂדֶה	לְעִי	שֹׁמְרוֹן	וְשַׂמְתִּי	
そして-転がす	ぶどう畑の	の-植え-場と	野の	の-廃墟と	サマリヤを	そして-わたしは-する	
H5064	H3754	H4302		H5856	H8111		

אֲגַלָּה׃	וְיסֹדֶיהָ	אַבְנֶיהָ	לַגַּי
あらわにする	そして-その-基を	その-石を	に-谷
H1540	H3247	H0068	H1516

このゆえにわたしはサマリヤを野の石塚となし、ぶどうを植える所となし、またその石を谷に投げ落し、その基をあらわにする。

7

יִשָּׂרְפוּ	אֶתְנַנֶּיהָ	וְכָל־	יֻכַּתּוּ	פְּסִילֶיהָ	וְכָל־		
火で-焼かれる	その-遊女の-報酬は	そして-すべての	打ち砕かれる	その-偶像は	そして-すべての		
H8313	H0868	H3605	H3807	H6456	H3605		

זוֹנָה	מֵאֶתְנַן	כִּי	שִׁמְמָה	אָשִׂים	עֲצַבֶּיהָ	וְכָל־	בָּאֵשׁ
遊女の	から-遊女の-報酬	なぜなら	荒廃と	する	その-偶像を	そして-すべての	火で
H2181	H0868				H6091	H3605	H0784

יָשׁוּבוּ׃	זוֹנָה	אֶתְנַן	וְעַד־	קִבָּצָה
帰る	遊女の	遊女の-報酬と	そして-まで	集めたのだから
H7725	H2181	H0868	H5704	H6908

その彫像はみな砕かれ、その獲た価はみな火で焼かれる。わたしはその偶像をことごとくこわす。これは遊女の価から集めたのだから、遊女の価に帰る。

8

)שׁוֹלָל(	]שילל[	אֵילֵכָה	וְאֵילִילָה	אֶסְפְּדָה	זֹאת	עַל־	
はぎ取られて	はぎ取られ	歩く-わたしは	そして-泣き叫ぶ	嘆く-わたしは	これ	の-ゆえに	
H7758	H7758	H3212	H3213	H5594	H2063		

יַעֲנָה׃	כִּבְנוֹת	וְאֵבֶל	כַּתַּנִּים	מִסְפֵּד	אֶעֱשֶׂה	וְעָרֹום
だちょうの	の-ように-娘ら	そして-嘆きを	山犬の-ように	嘆きを	する-わたしは	そして-裸で
H3284	H1323	H0060		H4553		H6174

わたしはこれがために嘆き悲しみ、はだしと裸で歩きまわり、山犬のように嘆き、だちょうのように悲しみ鳴く。

9

שָׁעַר	עַד־	נָגַע	יְהוּדָה	עַד־	בָּאָה	כִּי־	מַכּוֹתֶיהָ	אֲנוּשָׁה	כִּי
門に	まで	届いた	ユダに	まで	来た	なぜなら	その-打ち傷は	癒しがたい	なぜなら
H8179	H5704	H5060	H3063	H5704	H0935		H4347	H0605	

יְרוּשָׁלִָם׃	עַד־	עַמִּי
エルサレムに	まで	わが-民の
H3389	H5704	

サマリヤの傷はいやすことのできないもので、ユダまでひろがり、わが民の門、エルサレムまで及んでいる。

עָפָר	לְעַפְרָהבְּבֵית	תִּבְכּוּ	אַל־	בָּכוֹ	תַּגִּידוּ	אַל־	בְּגַת	10
ちりの–中で	ベト・レアフラで	泣くな	ない	泣くこと	告げるな	ない	ガトで	
H6083	H1036	H1058	H0408	H1058	H5046	H0408	H1661	

הִתְפַּלָּשְׁתִי׃)	]התפלשתי	
まみれよ	まみれよ–わたしは	
H6428	H6428	

ガテに告げるな、泣き叫ぶな。ベテレアフラで、ちりの中にころがれ。

יָצְאָה	לֹא	בֹּשֶׁת	עֶרְיָה־	שָׁפִיר	יוֹשֶׁבֶת	לָכֶם	עִבְרִי	11
出てこない	ない	恥を–もって	裸と	シャピルの	住む–者よ	おまえたちは	通り過ぎよ	
H3318	H3808	H1322	H6181	H8208	H3427			

עֲמְדָתוֹ׃	מִכֶּם	יִקַּח	הָאֶצֶלבֵּית	מִסְפַּד	צַאֲנָן	יוֹשֶׁבֶת
その–立つ–場所を	あなたがたから	取る	ベト・ハエツェルの	嘆きは	ツアナンの	住む–者は
H5979		H3947	H1018	H5594	H6630	H3427

サピルに住む者よ、裸になり、恥をこうむって進み行け。ザアナンに住む者は出てこない。ベテエゼルの嘆きはあなたがたからその跡を断つ。

מֵאֵת	רָעָ֫ה	יָרַד	כִּי־	מָרוֹת	יוֹשֶׁבֶת	לְטוֹב	חָלָה	כִּי־	12
から	禍いが	下った	なぜなら	マロトの	住む–者は	幸いの–ために	苦しんでいる	なぜなら	
H0854		H3381		H4796	H3427				

יְרוּשָׁלִָם׃	לִשְׁעַר	יְהוָה
エルサレムの	に–門	主の
H3389	H8179	H3068

マロテに住む者は気づかわしそうに幸を待つ。災が主から出て、エルサレムの門に臨んだからである。

לְבַת־	הִיא	חַטָּאת	רֵאשִׁית	לָכִישׁ	יוֹשֶׁבֶת	לָרֶכֶשׁ	הַמֶּרְכָּבָה	רְתָם	13
に–娘にとって	それは	罪の	初め	ラキシュの	住む–者よ	に–駿馬に	戦車を	つなげ	
H1323	H1931		H7225	H3923	H3427	H7409	H4818	H7573	

יִשְׂרָאֵל׃	פִּשְׁעֵי	נִמְצְאוּ	בָּךְ	כִּי־	צִיּוֹן
イスラエルの	背きが	見いだされた	おまえの–中に	なぜなら	シオンの
H3478	H6588	H4672			H6726

ラキシに住む者よ、戦車に早馬をつなげ。ラキシはシオンの娘にとって罪の初めであった。イスラエルのとがが、あなたがたのうちに見られたからである。

לְאַכְזָב	אַכְזִיב	בָּתֵּי	מֹרֶשֶׁת	עַל	שִׁלּוּחִים	תִּתֶּנִי	לָכֵן	14
の–偽りとなる	アクジブの	家々は	モレシュト・ガト	に	別れの–贈り物を	与える	それゆえ	
H0391	H0392		H4182		H7964	H5414		

יִשְׂרָאֵל׃	לְמַלְכֵי
イスラエルの	に–王たちにとって
H3478	H4428

それゆえ、あなたはモレセテ・ガテに別れの贈り物を与える。アクジブの家々はイスラエルの王たちにとって、人を欺くものとなる。

יָבוֹא	עֲדֻלָּם	עַד־	מָרֵשָׁה	יוֹשֶׁבֶת	לָךְ	אָבִי	הַיֹּרֵשׁ	עֹד	15
来る	アドラムに	まで	マレシャの	住む–者よ	おまえに	連れて–来る–わたしは	征服者を	なお	
H0935	H5725	H5704	H4762	H3427		H0935	H3423	H5750	

יִשְׂרָאֵל׃	כְּבוֹד
イスラエルの	栄光は
H3478	H3519

マレシャに住む者よ、わたしはまた侵略者をあなたの所に連れて行く。イスラエルの栄光はアドラムに去るであろう。

קָרְחָתֵךְ	הַרְחִבִי	תַעֲנוּגַיִךְ	בְּנֵי	עַל־	וְגֹזִי	קָרְחִי	16
あなたの–禿げを	広くせよ	あなたの–喜びの	子らの	の–ために	そして–剃れ	そり落とせ	
H7144	H7337	H8588			H1494	H7139	

ס	מִמֵּךְ׃	גָלוּ	כִי	כַּנֶּשֶׁר
ס	あなたから	捕囚となった	なぜなら	禿鷲の–ように
		H1540		H5404

あなたの喜ぶ子らのために、あなたの髪をそり落せ。そのそった所をはげたかのように大きくせよ。彼らは捕えられてあなたを離れるからである。

Chapter 2

הַבֹּקֶר	בְּאוֹר	מִשְׁכְּבוֹתָם	עַל־	רָע	וּפֹעֲלֵי	אָוֶן	חֹשְׁבֵי־	הָוֹי	1
光に	朝の	寝床の–上で	その	悪を	また–行う–者たちよ	不義を	企てる–者たちよ	ああ	
H1242	H0216	H4904			H6466	H0205	H2803	H1945	

יָדָם׃	לְאֵל	יֶשׁ־	כִי	יַעֲשׂוּהָ
彼らの–手に	力が	ある	なぜなら	それを–実行する
H3027	H0410	H3426		

その床の上で不義を計り、悪を行う者はわざわいである。彼らはその手に力あるゆえ、夜が明けるとこれを行う。

וְעָשְׁקוּ	וְנָשָׂאוּ	וּבָתִּים	וְגָזָלוּ	שָׂדוֹת	וְחָמְדוּ		2
そして–虐げる	そして–取り上げる	また–家を	そして–奪い取り	畑を	そして–彼らは–むさぼり		
H6231	H5375		H1497				

פ	וְנַחֲלָתוֹ׃	וְאִישׁ	וּבֵיתוֹ	גֶּבֶר
פ	また–その–相続地を	また–人を	また–その–家を	人を
	H5159	H0376		H1397

彼らは田畑をむさぼってこれを奪い、家をむさぼってこれを取る。彼らは人をしえたげてその家を奪い、人をしえたげてその嗣業を奪う。

הַזֹּאת	הַמִּשְׁפָּחָה	עַל־	חֹשֵׁב	הִנְנִי	יְהוָה	אָמַר	כֹּה	לָכֵן	3
この	氏族に–対して	この	企てている	見よ–わたしは	主は	言われた	このように	それゆえ	
H2063	H4940		H2803	H2009	H3068	H0559	H3541		

וְלֹא	צַוְּארֹתֵיכֶם	מִשָּׁם	תָמִישׁוּ	לֹא־	אֲשֶׁר	רָעָה
そして–決して	あなたがたの–首を	そこから	外すことは–できない	決して	そこから	災いを
H3808		H8033	H4185	H3808		

הִיא׃	רָעָה	עֵת	כִי	רוֹמָה	תֵלְכוּ
それは	悪しき	時	なぜなら	高ぶって	歩くことは–できない
H1931		H6256		H7317	H3212

それゆえ、主はこう言われる、見よ、わたしはこのやからにむかって災を下そうと計る。あなたがたはその首をこれから、はずすことはできない。また、まっすぐに立って歩くことはできない。これは災の時だからである。

4

נְהִי
悲しみの-声で
H5092

וְנָהָה
そして-嘆き
H5091

מָשָׁל
嘲りの-歌が
H4912

עֲלֵיכֶם
あなたがたに-ついて

יִשָּׂא
唱えられる
H5375

הַהוּא
その
H1931

בַּיּוֹם
その-日に
H3117

אֵיךְ
ああ

יָמִיר
取り替えられる
H4171

עַמִּי
わが-民の

חֵלֶק
わが-民の-分は

נְשַׁדֵּנוּ
私たちは-荒らされた
H7703

שָׁדוֹד
完全に
H7703

אָמַר
言う
H0559

נָהְיָה
嘆いて
H5093

יְחַלֶּק׃
分け与えられる

שָׂדֵינוּ
私たちの-畑は

לְשׁוֹבֵב
背く-者に
H7728

לִי
私から

יָמִישׁ
取り去られる
H4185

その日、人々は歌を作ってあなたがたをののしり、悲しみの歌をもって嘆き悲しみ、「われわれはことごとく滅ぼされる、わが民の分は人に与えられる。どうしてこれはわたしから離れるのであろう。われわれの田畑はわれわれを捕えた者の間に分け与えられる」と言う。

5

בַּקָּהָל
主の-会衆に-おいて
H6951

בְּגוֹרָל
くじによって
H1486

חֶבֶל
測り-縄を

מַשְׁלִיךְ
投げる-者は
H7993

לָךְ
あなたには

יִהְיֶה
いない
H1961

לֹא־
決して
H3808

לָכֵן
それゆえ

יְהוָה׃
主の
H3068

それゆえ、主の会衆のうちにはくじによって測りなわを張る者はひとりもなくなる。

6

לֹא
決して
H3808

לָאֵלֶּה
これらの-ことについて
H0428

יַטִּפוּ
預言-しない
H5197

לֹא־
しかし
H3808

יַטִּיפוּן
彼らは-預言-する
H5197

תַּטָּפוּ
預言-するな
H5197

אַל־
するな
H0408

כְּלִמּוֹת׃
恥辱は
H3639

יִסָּג
去ることは-ない
H5253

彼らは言う、「あなたがたは説教してはならない。そのような事について説教してはならない。そうすればわれわれは恥をこうむることがない」と。

7

אֵלֶּה
これらが
H0428

אִם־
もし

יְהוָה
主の
H3068

רוּחַ
主の-霊は
H7307

הֲקֻצַּר
短くなったのか

יַעֲקֹב
ヤコブよ
H3290

בֵּית־
ヤコブの-家よ

הֵאָמֻור
言われるのか
H0559

הַיָּשָׁר
正しく
H3477

עִם
〜に-対して

הֵיטִיבוּ
益を-もたらすのではないか
H3190

דְּבָרַי
わたしの-言葉は
H1697

הֲלֹוא
まことに
H3808

מַעֲלָלָיו
その-業であるなら
H4611

הוֹלֵךְ׃
歩む-者に
H1980

ヤコブの家よ、そんなことは言えるのだろうか。主は気短な方であろうか。これらは主のみわざなのであろうか。わが言葉は正しく歩む者に、益とならないのであろうか。

8

תַּפְשִׁטוּן
あなたがたは-はぎ取る
H6584

אֶדֶר
上着を
H0145

שַׂלְמָה
外套の
H8008

מִמּוּל
〜の-前から
H4136

יְקוֹמֵם
立ち上がる

לְאוֹיֵב
敵として
H0341

עַמִּי
わが-民は

וְאֶתְמוֹל
しかし-最近
H0865

מִלְחָמָה׃
戦いの
H4421

שׁוּבֵי
戦いから-帰る
H7725

בֶּטַח
安らかに
H0983

מֵעֹבְרֵים
通り過ぎる-者たちから

ところが、あなたがたは立ってわが民の敵となり、いくさのことを知らずに、安らかに過ぎゆく者から、平和な者から、上着をはぎ取り、

9

מֵעַל
その-幼い-子たちから

תָּעֲנֻגֶיהָ
家から
H8588

מִבֵּית
その-楽しみの

תְּגָרְשׁוּן
あなたがたは-追い出す
H1644

עַמִּי
わが-民の

נָשִׁי
わが-民の-女たちを
H0802

לְעוֹלָם׃
永遠に
H5769

הֲדָרִי
わたしの-栄光を
H1926

תִּקְחוּ
あなたがたは-奪い取る
H3947

עֹלְלֶיהָ
その-幼い-子たちの
H5768

わが民の女たちをその楽しい家から追い出し、その子どもから、わが栄えをとこしえに奪う。

10

תְּחַבֵּל
滅ぼす

טָמְאָה
汚れが

בַּעֲבוּר
～の-ゆえに
H5668

הַמְנוּחָה
安息の-地では
H4496

זֹאת
これは
H2063

לֹא־
ない
H3808

כִּי
なぜなら

וּלְכוּ
そして-去れ
H3212

קוּמוּ
立ち上がれ

נִמְרָץ׃
激しい
H4834

וְחֶבֶל
そして-苦しみは

立って去れ、これはあなたがたの休み場所ではない。これは汚れのゆえに滅びる。その滅びは悲惨な滅びだ。

11

לַיַּיִן
ぶどう酒と
H3196

לְךָ
あなたに

אַטֻּף
わたしは-預言する
H5197

כְּזֹב
嘘をつき
H3576

וָשֶׁקֶר
偽りに-従って
H8267

רוּחַ
風と
H7307

הֹלֵךְ
歩き
H1980

אִישׁ
人が
H0376

לוּ־
もし
H3863

הַזֶּה׃
この
H2088

הָעָם
この-民の

מַטִּיף
預言者と-なる
H5197

וְהָיָה
そうすれば-彼は
H1961

וְלַשָּׁכָר
また-強い-酒について
H7941

もし人が風に歩み、偽りを言い、「わたしはぶどう酒と濃き酒とについて、あなたに説教しよう」と言うならば、その人はこの民の説教者となるであろう。

12

שְׁאֵרִית
残りの-者を
H7611

אֲקַבֶּצְךָ
わたしは-呼び集める
H6908

קַבֵּץ
必ず
H6908

כֻּלְּךָ
すべての-あなたを
H3605

יַעֲקֹב
ヤコブよ
H3290

אֶאֱסֹף
わたしは-集める
H0622

אָסֹף
必ず
H0622

כְּעֶדֶר
群れの-ように
H5739

בָּצְרָה
ボツラの
H1223

כְּצֹאן
ボツラの-羊の-ように
H6629

אֲשִׂימֶנּוּ
わたしは-彼らを-置く

יָחַד
共に

יִשְׂרָאֵל
イスラエルの
H3478

מֵאָדָם׃
人で
H0120

תְּהִימֶנָה
騒がしく-なる
H1949

הַדָּבְרוֹ
その-真ん中に

בְּתוֹךְ
その-牧場の
H8432

ヤコブよ、わたしは必ずあなたをことごとく集め、イスラエルの残れる者を集める。わたしはこれをおりの羊のように、牧場の中の群れのように共におく。これは人の多きによって騒がしくなる。

13

שַׁעַר
門を
H8179

וַיַּעַבְרוּ
そして-通り過ぎ

פָּרַצוּ
彼らは-突き破り
H6555

לִפְנֵיהֶם
彼らの-前に
H6440

הַפֹּרֵץ
突き破る-者が
H6555

עָלָה
上って-行った
H5927

בִּרֹאשָׁם׃
彼らの-先頭に

וַיהוָה
そして-主が
H3068

לִפְנֵיהֶם
彼らの-前に
H6440

מַלְכָּם
彼らの-王が
H4428

וַיַּעֲבֹר
そして-進まれた

בָּם
そこから

וַיֵּצְאוּ
そして-出て-行った
H3318

פ
פ

打ち破る者は彼らに先だって登りゆき、彼らは門を打ち破り、これをとおって外に出て行く。彼らの王はその前に進み、主はその先頭に立たれる。

Chapter 3

1

בֵּ֖ית	וּקְצִינֵ֑י	יַעֲקֹ֔ב	רָאשֵׁ֣י	נָ֠א	שִׁמְעוּ־	וָאֹמַ֕ר	
イスラエルの–家の	また–指導者たちよ	ヤコブの	頭たちよ	どうか	聞け	そして–わたしは–言った	
	H7101	H3290		H4994	H8085	H0559	

הַמִּשְׁפָּֽט׃	אֶת־	לָדַ֥עַת	לָכֶ֖ם	הֲלוֹא	יִשְׂרָאֵ֔ל	
公義を	（を）	知るべきではないか	あなたがたは	まことに	イスラエルの	
H4941	H0853	H3045		H3808	H3478	

わたしは言った、ヤコブのかしらたちよ、イスラエルの家のつかさたちよ、聞け、公義はあなたがたの知っておるべきことではないか。

2

עוֹרָ֖ם	גֹּזְלֵ֑י	(רָ֣ע)	[רעה]	וְאֹהֲבֵ֥י	טֽוֹב	שֹׂנְאֵ֖י	
彼らの–皮を	はぎ取る–者たちよ	悪を	悪を	また–愛する–者たちよ	善を	憎む–者たちよ	
H5785	H1497			H0157		H8130	

עַצְמוֹתָֽם׃	מֵעַ֥ל	וּשְׁאֵרָ֖ם	מֵעֲלֵיהֶֽם׃	
彼らの–骨から	～から	また–彼らの–肉を	彼らから	
H6106		H7607		

あなたがたは善を憎み、悪を愛し、わが民の身から皮をはぎ、その骨から肉をそぎ、

3

וְאֶת־	הִפְשִׁ֖יטוּ	מֵעֲלֵיהֶ֑ם	וְעוֹרָ֣ם	עַמִּ֔י	שְׁאֵ֣ר	אָכְל֔וּ	וַאֲשֶׁ֕ר	
また	はぎ取り	彼らから	そして–彼らの–皮を	わが–民の	わが–民の–肉を	食らった	そして–彼らは	
H0853	H6584		H5785		H7607	H0398		

בְּת֣וֹךְ	וּכְבָשָׂ֖ר	בַּסִּ֑יר	כַּאֲשֶׁ֣ר	וּפָרְשׂ֔וּ	פִּצָּ֖חוּ	עַצְמֹתֵיהֶ֣ם	
釜の–中の	また–肉の–ように	鍋の–中の–ように	あたかも	そして–切り分けた	砕き	彼らの–骨を	
H8432	H1320			H6566	H6476	H6106	

קְלָחֹֽת׃
釜の
H7037

またわが民の肉を食らい、その皮をはぎ、その骨を砕き、これを切りきざんで、なべに入れる食物のようにし、大なべに入れる肉のようにする。

4

וְיַסְתֵּ֣ר	אוֹתָ֗ם	יַעֲנֶה֙	וְלֹ֣א	יְהוָ֔ה	אֶל־	יִזְעֲק֖וּ	אָ֣ז	
そして–隠される	彼らに	答えない	しかし–決して	主に	～に–向かって	彼らは–叫ぶ	その–時	
H5641	H0853		H3808	H3068	H0413	H2199		

פ	מַעַלְלֵיהֶֽם׃	הֵרֵ֥עוּ	כַּאֲשֶׁ֖ר	הַהִ֣יא	בָּעֵ֑ת	מֵהֶ֔ם	פָּנָ֖יו
פ	彼らの–行いの	彼らが–悪を–行った	～の–ゆえに	その	その–時に	彼らから	その–顔を
	H4611			H1931	H6256	H1992	H6440

こうして彼らが主に呼ばわっても、主はお答えにならない。かえってその時には、み顔を彼らに隠される。彼らのおこないが悪いからである。

עַמִּי	אֶת־	הַמַּתְעִים	הַנְּבִיאִים	עַל־	יְהוָה	אָמַר	כֹּה	5
わが–民を	（を）	惑わす–者たちよ	預言者たちに	～に–ついて	主は	言われた	このように	
	H0853	H8582	H5030		H3068	H0559	H3541	

עַל־	יִתֵּן	לֹא־	וַאֲשֶׁר	שָׁלוֹם	וְקָרְאוּ	בְּשִׁנֵּיהֶם	הַנֹּשְׁכִים
その–口に	与えない–者には	決して	しかし	平和と	そして–叫ぶ	彼らの–歯で	噛みながら
	H5414	H3808		H7965	H7121	H8127	

מִלְחָמָה׃	עָלָיו	וְקִדְּשׁוּ	פִּיהֶם	
戦いを	彼に–対して	そして–聖別する	彼らの–口に	
H4421		H6942	H6310	

わが民を惑わす預言者について主はこう言われる、彼らは食べ物のある時には、「平安」を叫ぶけれども、その口に何も与えない者にむかっては、宣戦を布告する。

מִקֶּסֶם	לָכֶם	וְחָשְׁכָה	מֵחָזוֹן	לָכֶם	לַיְלָה	לָכֵן	6
占いの–代わりに	あなたがたに	そして–暗闇が	幻の–代わりに	あなたがたに	夜が	それゆえ	
H7080		H2821	H2377		H3915		

הַיּוֹם׃	עֲלֵיהֶם	וְקָדַר	הַנְּבִיאִים	עַל־	הַשֶּׁמֶשׁ	וּבָאָה
昼が	彼らの–上に	そして–暗くなる	預言者たちの	～の–上に	太陽は	そして–沈む
H3117		H6937	H5030		H8121	H0935

それゆえ、あなたがたには夜があっても幻がなく、暗やみがあっても占いがない。太陽はその預言者たちに没し、昼も彼らの上に暗くなる。

שָׂפָם	עַל־	וְעָטוּ	הַקֹּסְמִים	וְחָפְרוּ	הַחֹזִים	וּבֹשׁוּ	7
口ひげを	～の	そして–覆う	占い師たちは	また–辱められる	見る–者たちは	そして–恥じる	
H8222			H7080	H2659	H2374	H0954	

אֱלֹהִים׃	מַעֲנֵה	אֵין	כִּי	כֻלָּם
神からの	神からの–答えが	ない	なぜなら	彼ら–すべて
H0430	H4617	H0369		H3605

先見者は恥をかき、占い師は顔をあからめ、彼らは皆そのくちびるをおおう。神の答がないからである。

וּמִשְׁפָּט	יְהוָה	רוּחַ	אֶת־	כֹּחַ	מָלֵאתִי	אָנֹכִי	וְאוּלָם	8
また–公義と	主の	主の–霊に	（と）	力に	満ちている	わたしは	しかし–まことに	
H4941	H3068	H7307	H0853		H4390	H0595	H0199	

ס	חַטָּאתוֹ׃	וּלְיִשְׂרָאֵל	פִּשְׁעוֹ	לְיַעֲקֹב	לְהַגִּיד	וּגְבוּרָה
ס	その–罪を	また–イスラエルに	その–背きを	ヤコブに	告げるために	また–勇気に
		H3478	H6588	H3290	H5046	H1369

しかしわたしは主のみたまによって力に満ち、公義と勇気とに満たされ、ヤコブにそのとがを示し、イスラエルにその罪を示すことができる。

בֵּית	וּקְצִינֵי	יַעֲקֹב	בֵּית	רָאשֵׁי	זֹאת	נָא	שִׁמְעוּ־	9
イスラエルの–家の	また–指導者たちよ	ヤコブの	ヤコブの–家の	頭たちよ	これを	どうか	聞け	
	H7101	H3290			H2063	H4994	H8085	

יְעַקְּשׁוּ׃	הַיְשָׁרָה	כָּל־	וְאֶת	מִשְׁפָּט	הַמְתַעֲבִים	יִשְׂרָאֵל
曲げる–者たちよ	正しいことを	すべての	また	公義を	忌み嫌う–者たちよ	イスラエルの
H6140	H3477	H3605	H0853	H4941	H8581	H3478

ヤコブの家のかしらたち、イスラエルの家のつかさたちよ、すなわち公義を憎み、すべての正しい事を曲げる者よ、これを聞け。

בְּעַוְלָה׃	וִירוּשָׁלִַם	בְּדָמִים	צִיּוֹן	בֹּנֶה	10
不正で	また–エルサレムを	血で	シオンを	建てる–者たちよ	
	H3389	H1818	H6726	H1129	

あなたがたは血をもってシオンを建て、不義をもってエルサレムを建てた。

11 וְרָאשֶׁיהָ בְּשֹׁחַד יִשְׁפֹּטוּ וְכֹהֲנֶיהָ בִּמְחִיר יוֹרוּ וּנְבִיאֶיהָ
その-頭たちは 賄賂で 裁き また-その-祭司たちは 報酬で 教え また-その-預言者たちは
H7810 H8199 H3548 H4242 H3384 H5030

בְּכֶסֶף יְקֶסֵּמוּ וְעַל־ יְהוָה יִשָּׁעֲנוּ לֵאמֹר הֲלֹא יְהוָה בְּקִרְבֵּנוּ לֹא־
銀で 占う しかし-なお 主に 寄りかかって 言う まことに 主は 私たちの-うちに 決して
H3701 H7080 H6049 H3068 H8172 H0559 H3808 H3068 H7130 H3808

תָבוֹא עָלֵינוּ רָעָה׃
来ない 私たちの-上に 災いは
H0935

そのかしらたちは、まいないをとってさばき、その祭司たちは価をとって教え、その預言者たちは金をとって占う。しかもなお彼らは主に寄り頼んで、「主はわれわれの中におられるではないか、だから災はわれわれに臨むことがない」と言う。

12 לָכֵן בִּגְלַלְכֶם צִיּוֹן שָׂדֶה תֵּחָרֵשׁ וִירוּשָׁלַ͏ִם עִיִּין תִּהְיֶה
それゆえ あなたがたの-ゆえに シオンは 畑として 耕される また-エルサレムは 廃墟と なる
H1558 H6726 H7704 H2758 H3389 H5856 H1961

וְהַר בֵּית הַבִּירָה לְבָמוֹת יָעַר׃ פ
また-宮の-山は 宮の 高き所と 林の
H2022 H1004 H1116 H3293 פ

それゆえ、シオンはあなたがたのゆえに田畑となって耕され、エルサレムは石塚となり、宮の山は木のおい茂る高い所となる。

Chapter 4

1 וְהָיָה בְּאַחֲרִית הַיָּמִים יִהְיֶה ׀ הַר בֵּית־ יְהוָה
そして-なる 終わりの-日々に 終わりの-日々に なる 主の-家の 主の
H1961 H0319 H3117 H1961 H1004 H3068

נָכוֹן בְּרֹאשׁ הֶהָרִים וְנִשָּׂא הוּא מִגְּבָעוֹת וְנָהֲרוּ
堅く-立てられる 山々の-頂に 山々の 高く-そびえる それは 丘々よりも そして-流れ-集う
H3559 H7218 H2022 H5375 H1931 H1389 H5102

עָלָיו עַמִּים׃
そこに 諸国の-民が
H5971

末の日になって、主の家の山はもろもろの山のかしらとして堅く立てられ、もろもろの峰よりも高くあげられ、もろもろの民はこれに流れくる。

2 וְהָלְכ֣וּ גּוֹיִם רַבִּים וְאָמְרוּ֙ וְלֵכוּ֙ וְנַעֲלֶה֙ אֶל־ הַר־
そして-歩む 諸国の-民が 多くの そして-言う さあ-行こう そして-上ろう ～へ 主の-山へ
H1980 H1471 H7227 H0559 H3212 H5927 H0413 H2022

יְהוָה וְאֶל־ בֵּית֙ אֱלֹהֵ֣י יַעֲקֹ֔ב וְיוֹרֵ֖נוּ מִדְּרָכָ֑יו
主の また-～へ ヤコブの-神の ヤコブの-神の-家へ ヤコブの そうすれば-教えてくださる その-道を
H3068 H0413 H0430 H3290 H3384 H1870

וְנֵלְכָ֣ה בְאֹרְחֹתָ֔יו כִּ֣י מִצִּיּ֤וֹן תֵּצֵא֙ תּוֹרָ֔ה וּדְבַר־ יְהוָ֖ה
そして-歩もう その-小道を なぜなら シオンから 出る 律法が また-主の-言葉が 主の
H3212 H0734 H3588 H6726 H3318 H8451 H1697 H3068

מִירוּשָׁלָֽ͏ִם׃
エルサレムから
H3389

多くの国民は来て言う、「さあ、われわれは主の山に登り、ヤコブの神の家に行こう。彼はその道をわれわれに教え、われわれはその道に歩もう」と。律法はシオンから出、主の言葉はエルサレムから出るからである。

עֲצֻמִים	לְגוֹיִם	וְהוֹכִיחַ	רַבִּים	עַמִּים	בֵּין	וְשָׁפַט		3
強い	強い–国々の–ために	そして–正される	多くの	多くの–民の	～の–間で	そして–裁かれる		
H6099		H3198			H0996	H8199		

לֹא־	לְמַזְמֵרוֹת	וַחֲנִיתֹתֵיהֶם	לְאִתִּים	חַרְבֹּתֵיהֶם	וְכִתְּתוּ	רָחוֹק	עַד־
決して	鉋定ばさみに	また–彼らの–槍を	鉋に	彼らの–剣を	そして–打ち直す	遠く	遠く–まで
H3808	H4211	H2595	H0855	H2719	H3807	H7350	H5704

מִלְחָמָה׃	עוֹד	יִלְמְדוּן	וְלֹא־	חֶרֶב	גּוֹי	אֶל־	גּוֹי	יִשָּׂא
戦いを	もはや	学ばない	そして–決して	剣を	国に	～に–対して	国が	持ち上げない
H4421	H5750	H3925	H3808	H2719		H0413		H5375

彼は多くの民の間をさばき、遠い所まで強い国々のために仲裁される。そこで彼らはつるぎを打ちかえて、すきとし、そのやりを打ちかえて、かまとし、国は国にむかってつるぎをあげず、再び戦いのことを学ばない。

תְּאֵנָתוֹ	וְתַחַת	גַּפְנוֹ	תָּחַת	אִישׁ	וְיָשְׁבוּ			4
その–いちじくの–木の	また–～の–下に	その–ぶどうの–木の	～の–下に	各人が	そして–座る			
H8384	H8478	H1612	H8478	H0376	H3427			

דִּבֶּר׃	צְבָאוֹת	יְהוָה	פִּי	כִּי־	מַחֲרִיד	וְאֵין	
語られた	万軍の	主の	主の–口が	なぜなら	恐れさせる–者は	そして–いない	
H1696		H3068	H6310		H2729	H0369	

彼らは皆そのぶどうの木の下に座し、そのいちじくの木の下にいる。彼らを恐れさせる者はない。これは万軍の主がその口で語られたことである。

נֵלֵךְ	וַאֲנַחְנוּ	אֱלֹהָיו	בְּשֵׁם	אִישׁ	יֵלְכוּ־	הָעַמִּים	כָּל־	כִּי	5
歩む	しかし–私たちは	その–神の	その–神の–名で	各人が	歩んでも	民が	すべての	たとえ	
H3212	H0587	H0430	H8034	H0376	H3212		H3605		

פ	וָעֶד׃	לְעוֹלָם	אֱלֹהֵינוּ	יְהוָה	בְּשֵׁם־	
פ	また–とこしえに	永遠に	私たちの–神の	主の	主の–御名に–よって	
	H5703	H5769	H0430	H3068	H8034	

すべての民はおのおのその神の名によって歩む。しかしわれわれはわれわれの神、主の名によって、とこしえに歩む。

וְהַנִּדָּחָה	הַצֹּלֵעָה	אֶקְבֹּצָה	יְהוָה	נְאֻם־	הַהוּא	בַּיּוֹם	6
また–追い出された–者を	足を–引く–者を	わたしは–集める	主は	告げられた	その	その–日に	
H5080	H6760	H0622	H3068	H5002	H1931	H3117	

הֲרֵעֹתִי׃	וַאֲשֶׁר	אֲקַבֶּצָה
苦しめた–者を	また–わたしが	わたしは–呼び集める
		H6908

主は言われる、その日には、わたしはかの足のなえた者を集め、またかの追いやられた者およびわたしが苦しめた者を集め、

וְהַנֹּהֲלָאָה	לִשְׁאֵרִית	הַצֹּלֵעָה	אֶת־	וְשַׂמְתִּי				7
また–遠くに–追いやられた–者を	残りの–者として	足を–引く–者を	（を）	そして–わたしは–置く				
H1972	H7611	H6760	H0853					

מֵעַתָּה	צִיּוֹן	בְּהַר	עֲלֵיהֶם	יְהוָה	וּמָלַךְ	עָצוּם	לְגוֹי
今から	シオンの	シオンの–山で	彼らの–上に	主が	そして–治められる	強い	強い–国民として
H6258	H6726	H2022		H3068		H6099	

פ	עוֹלָם׃	וְעַד־
פ	永遠に	そして–～まで
	H5769	H5704

その足のなえた者を残れる民とし、遠く追いやられた者を強い国民とする。主はシオンの山で、今よりとこしえに彼らを治められる。

8

תְּאַתָּה	עֶדֶר	מִגְדַּל־	עֹפֶל	בַּת־	צִיּוֹן	וְאַתָּה
来る	あなたに	シオンの	シオンの–娘よ	砦よ	ミグダル・エデルよ	そして–あなたは
H0857	H5704	H6726	H1323		H4026	

יְרוּשָׁלָ͏ִם׃	לְבַת־	מַמְלָכֶת	הָרִאשֹׁנָה	הַמֶּמְשָׁלָה	וּבָאָה
エルサレムの	エルサレムの–娘に	王国が	以前の	以前の–支配が	そして–来る
H3389	H1323	H4467	H7223	H4475	H0935

羊の群れのやぐら、シオンの娘の山よ、以前の主権はあなたに帰ってくる。すなわちエルサレムの娘の国はあなたに帰ってくる。

9

אִם־	בָּךְ	אֵין־	הַמַּלְכֵּךְ	רֵעַ	תָּרִיעִי	לָמָּה	עַתָּה
あるいは	あなたの–うちに	いないのか	王は	叫び–声を	叫ぶのか	なぜ	今
		H0369	H4428	H7452	H7321	H4100	H6258

כַּיּוֹלֵדָה׃	חִיל	הֶחֱזִיקֵךְ	כִּי־	אָבָד	יוֹעֲצֵךְ
産む–女の–ように	産みの–苦しみが	あなたを–捕らえた	なぜなら	滅びたのか	あなたの–助言者は
H3205		H2388		H0006	H3289

今あなたは何ゆえわめき叫ぶのか、あなたのうちに王がないのか。あなたの相談相手は絶えはて、産婦のように激しい痛みがあなたを捕えたのか。

10

עַתָּה	כִּי־	כַּיּוֹלֵדָה	צִיּוֹן	בַּת־	וָגְחִי	חוּלִי	
今	なぜなら	産む–女の–ように	シオンの	シオンの–娘よ	そして–産み出すがよい	もだえよ	
H6258		H3205	H6726	H1323	H1518		

שָׁם	בָּבֶל	עַד־	וּבָאת	בַּשָּׂדֶה	וְשָׁכַנְתְּ	מִקִּרְיָה	תֵּצְאִי
そこで	バビロンまで	～まで	そして–行く	野に	そして–住む	町から	あなたは–出る
H8033	H0894	H5704	H0935		H7931	H7151	H3318

אֹיְבַיִךְ׃	מִכַּף	יְהוָה	יִגְאָלֵךְ	שָׁם	תִּנָּצְלִי	
あなたの–敵の	あなたの–敵の–手から	主が	あなたを–贖われる	そこで	あなたは–救われる	
H0341	H3709	H3068		H8033	H5337	

シオンの娘よ、産婦のように苦しんでうめけ。あなたは今、町を出て野にやどり、バビロンに行かなければならない。その所であなたは救われる。主はその所であなたを敵の手からあがなわれる。

11

תֶּחֱנָף	הָאֹמְרִים	רַבִּים	גּוֹיִם	עָלַיִךְ	נֶאֱסְפוּ	וְעַתָּה	
汚されるがよい	言う–者たちが	多くの	多くの–国々が	あなたに–対して	集まった	しかし–今	
H2610	H0559				H0622	H6258	

עֵינֵינוּ׃	בְּצִיּוֹן	וְתֶחֱזֶ	
私たちの–目が	シオンを	そして–見るがよい	
	H6726	H2372	

いま多くの国民はあなたに逆らい、集まって言う、「どうかシオンが汚されるように、われわれの目がシオンを見てあざ笑うように」と。

12

עֲצָתוֹ	הֵבִינוּ	וְלֹא	יְהוָה	מַחְשְׁבוֹת	יָדְעוּ	לֹא	וְהֵמָּה	
その–計りごとを	惟らない	そして–決して	主の	主の–計画を	知らない	決して	しかし–彼らは	
H6098	H0995	H3808	H3068	H4284	H3045	H3808	H1992	

גָּרְנָה׃	כְּעֳמִיר	קִבְּצָם	כִּי	
脱穀場に	束の–ように	集められた	なぜなら	
H1637	H5995	H6908		

しかし彼らは主の思いを知らず、またその計画を悟らない。すなわち主が麦束を打ち場に集めるように、彼らを集められることを悟らない。

בַּרְזֶל	אָשִׂים	קַרְנֵךְ	כִּי־	צִיּוֹן	בַּת־	וָדוֹשִׁי	קוּמִי	13
鉄に	わたしは–する	あなたの–角を	なぜなら	シオンの	シオンの–娘よ	そして–踏みにじれ	立て	
H1270				H6726	H1323	H1758		

רַבִּים	עַמִּים	וַהֲדִקוֹת	נְחוּשָׁה	אָשִׂים	וּפַרְסָתַיִךְ
多くの	多くの–民を	そして–打ち砕け	青銅に	わたしは–する	また–あなたの–ひづめを
		H1854	H5154		H6541

הָאָרֶץ׃	כָּל־	לַאֲדוֹן	וְחֵילָם	בִּצְעָם	לַיהוָה	וְהַחֲרַמְתִּי
全地の	全地の	全地の–主に	また–彼らの–富を	彼らの–利得を	主に	そして–奉献する
H0776	H3605	H0113	H2428	H1215	H3068	

シオンの娘よ、立って打ちこなせ。わたしはあなたの角を鉄となし、あなたのひずめを青銅としよう。あなたは多くの民を打ち砕き、彼らのぶんどり物を主にささげ、彼らの富を全地の主にささげる。

Chapter 5

יַכּוּ	בַּשֵּׁבֶט	עָלֵינוּ	שָׂם	מָצוֹר	גְּדוּד	בַּת־	תִּתְגֹּדְדִי	עַתָּה	1
打つ	杖で	私たちに–対して	置かれた	包囲が	軍勢の	軍勢の–娘よ	身を–切り裂け	今	
H5221	H7626			H4692	H1416	H1323	H1413	H6258	

ס	יִשְׂרָאֵל׃	שֹׁפֵט	אֶת	הַלְּחִי	עַל־	
ס	イスラエルの	イスラエルの–裁き人の	（を）	頬を	～の–上を	
	H3478	H8199	H0853	H3895		

今あなたは壁でとりまかれている。敵はわれわれを攻め囲み、つえをもってイスラエルのつかさのほおを撃つ。

בְּאַלְפֵי	לִהְיוֹת	צָעִיר	אֶפְרָתָה	בֵּית־לֶחֶם	וְאַתָּה	2
ユダの–氏族の–中で	なるには	小さき–者よ	エフラタよ	ベツレヘム・エフラタよ	しかし–あなたは	
H0505	H1961	H6810	H0672	H1035		

בְּיִשְׂרָאֵל	מוֹשֵׁל	לִהְיוֹת	יֵצֵא	לִי	מִמְּךָ	יְהוּדָה
イスラエルを	治める–者が	なる–者が	出る	わたしの–ために	あなたから	ユダの
H3478	H4910	H1961	H3318			H3063

עוֹלָם׃	מִימֵי	מִקֶּדֶם	וּמוֹצָאֹתָיו
永遠の	永遠の–日々から	太古から	そして–その–起源は
H5769	H3117		H4163

しかしベツレヘム・エフラタよ、あなたはユダの氏族のうちで小さい者だが、イスラエルを治める者があなたのうちからわたしのために出る。その出るのは昔から、いにしえの日からである。

וְיֶתֶר	יָלְדָה	יוֹלֵדָה	עֵת	עַד־	יִתֵּנֵם	לָכֵן	3
そして–残りの	産む–時まで	産む–女が	産む–女が	～まで	彼らを–渡される	それゆえ	
	H3205	H3205	H6256	H5704	H5414		

יִשְׂרָאֵל׃	בְּנֵי	עַל־	יָשׁוּבוּן	אֶחָיו
イスラエルの	イスラエルの–子らの–もとへ	～へ	帰る	その–兄弟たちは
H3478			H7725	H0251

それゆえ、産婦の産みおとす時まで、主は彼らを渡しおかれる。その後その兄弟たちの残れる者はイスラエルの子らのもとに帰る。

4 וְרָעָה֙ בְּעֹ֣ז יְהוָ֔ה בִּגְאוֹ֖ן שֵׁ֣ם יְהוָ֣ה וְעָמַ֑ד
そして–牧る 主の–力に–よって 主の 主の–御名の–威光に–よって 主の 主の–御名の そして–立つ
H7462 H5797 H3068 H1347 H8034 H3068 H5975

כִּ֣י עַתָּ֔ה יִגְדַּ֖ל עַד־אַפְסֵי־אָ֑רֶץ׃ וְיָשָׁ֖בוּ כִּ֥י הֵ֛ם אֱלֹהֵ֥יו
なぜなら 今や 大いなる–者となる ～まで 地の–果てまで 地の そして–彼らは–住む その–神の
H3588 H6258 H1431 H5704 H0776 H3427 H0430

彼は主の力により、その神、主の名の威光により、立ってその群れを養い、彼らを安らかにおらせる。今、彼は大いなる者となって、地の果にまで及ぶからである。

5 וְהָיָ֣ה זֶ֔ה שָׁלֹ֖ום כִּֽי־יָבֹ֣וא אַשּׁ֗וּר וְכִ֣י בְאַרְצֵ֔נוּ
そして–なる これが 平和と もし アッシリアが もし 私たちの–地に また–もし
H1961 H2088 H7965 H0804 H3588 H0935 H0776

וְהַקַּמְנוּ֙ עָלָ֔יו שִׁבְעָ֥ה רֹעִ֖ים וּשְׁמֹנָ֣ה נְסִיכֵ֑י אָדָֽם׃
そうすれば–私たちは–立てる 彼に–対して 七人の 牧者を 人の–君主を また–八人の
H6965 H5921 H7651 H7462 H5257 H0120 H8083

これは平和である。アッスリヤびとがわれわれの国に来て、われわれの土地を踏むとき、七人の牧者を起し、八人の君を起してこれに当らせる。

6 וְרָעוּ֙ אֶת־אֶ֣רֶץ אַשּׁ֔וּר בַּחֶ֖רֶב וְאֶת־אֶ֣רֶץ נִמְרֹ֑ד
そして–彼らは–牧る （を） アッシリアの–地を アッシリアの 剣で また ニムロデの–地を
H7462 H0853 H0776 H0804 H2719 H0853 H0776

וְהִצִּ֤יל מֵאַשּׁוּר֙ כִּֽי־יָבֹ֣וא בִגְבוּלֵ֔נוּ כִּֽי־יִדְרֹ֖ךְ בְּפִתְחֵ֣יהָ נִמְרֹ֑ד
そして–救われる アッシリアから もし 来るならば 私たちの–地に その–門の–内で ニムロデの
H5337 H4972 H3588 H0935 H1366 H3588 H1869 H6607 H5248

וְכִֽי־יִדְרֹךְ֙ בִּגְבוּלֵ֔נוּ׃ ס
また–もし 踏み入るならば 私たちの–境に ס
H3588 H1869 H1366

彼らはつるぎをもってアッスリヤの地を治め、ぬきみのつるぎをもってニムロデの地を治める。アッスリヤびとがわれわれの地に来て、われわれの境を踏み荒すとき、彼らはアッスリヤびとから、われわれを救う。

7 וְהָיָ֣ה שְׁאֵרִ֣ית יַעֲקֹ֗ב בְּקֶ֙רֶב֙ עַמִּ֣ים רַבִּ֔ים
そして–なる ヤコブの–残りの–者は ヤコブの 多くの–民の–中に–あって 多くの–民の 多くの
H1961 H7611 H3290 H7130 H5971 H7227

כִּטַּ֤ל מֵאֵת֙ יְהוָ֔ה כִּרְבִיבִ֖ים עֲלֵי־עֵ֑שֶׂב אֲשֶׁ֤ר לֹא־יְקַוֶּה֙ לְאִ֔ישׁ וְלֹא־יְחַ֖ל לִבְנֵי־אָדָֽם׃
露の–ように 主からの 主からの 夜雨の–ように 草の–上の 草の それは 決して 待たない 人を 人の 人の–子らを そして–決して 期待しない
H2919 H0854 H3068 H7241 H6212 H5921 H6213 H3808 H3176 H0376 H0120 H1121 H3808 H3176

その時ヤコブの残れる者は多くの民の中にあること、人によらず、また人の子らを待たずに主からくだる露のごとく、青草の上に降る夕立ちのようである。

8 וְהָיָה שְׁאֵרִית יַעֲקֹב בַּגּוֹיִם בְּקֶרֶב
そして-なる ヤコブの-残りの-者は ヤコブの 諸国の-民の-中で 多くの-民の-中に-あって
H1961 H7611 H3290 H0776 H7130

עַמִּים רַבִּים כְּאַרְיֵה בִּבְהֵמוֹת יַעַר כְּכְפִיר בִּעֲדְרֵי
多くの-民の 多くの 獅子の-ように 獣の-中の 森の 若い-獅子の-ように 羊の-群れの-中の
H5739 H0929

צֹאן אֲשֶׁר אִם עָבַר וְרָמַס וְטָרַף וְאֵין מַצִּיל׃
羊の それは もし 通り過ぎれば そして-踏みにじり そして-引き裂く そして-いない 救う-者は
H6629 H0369 H2963 H7429

またヤコブの残れる者が国々の中におり、多くの民の中にいること、林の獣の中のししのごとく、羊の群れの中の若いししのようである。それが過ぎるときは踏み、かつ裂いて救う者はない。

9 תָּרֹם יָדְךָ עַל־צָרֶיךָ וְכָל־אֹיְבֶיךָ יִכָּרֵתוּ׃
上げられよ あなたの-手が ～の-上に あなたの-敵の そして-すべての あなたの-敵は 断たれる
H3027 H3605 H0341 H3772

פ
פ

あなたの手はもろもろのあだの上にあげられ、あなたの敵はことごとく断たれる。

10 וְהָיָה בַיּוֹם־הַהוּא נְאֻם־יְהוָה וְהִכְרַתִּי סוּסֶיךָ מִקִּרְבֶּךָ וְהַאֲבַדְתִּי מַרְכְּבֹתֶיךָ׃
そして-なる その-日に その 告げられた 主は そして-わたしは-断つ あなたの-馬を あなたの-中から そして-滅ぼす あなたの-戦車を
H1961 H3117 H1931 H5002 H3068 H3772 H7130 H0006 H4818

主は言われる、その日には、わたしはあなたのうちから馬を絶やし、戦車をこわし、

11 וְהִכְרַתִּי עָרֵי אַרְצֶךָ וְהָרַסְתִּי כָּל־מִבְצָרֶיךָ׃
そして-わたしは-断つ あなたの-地の-町々を あなたの-地の そして-打ち壊す すべての あなたの-要塞を
H3772 H0776 H2040 H3605 H4013

あなたの国の町々を絶やし、あなたの城をことごとくくつがえす。

12 וְהִכְרַתִּי כְשָׁפַיִם מִיָּדֶךָ וְמְעוֹנְנִים לֹא יִהְיוּ־לָךְ׃
そして-わたしは-断つ まじないを あなたの-手から また-占い師は 決して いなくなる あなたに
H3772 H3785 H3027 H3808 H1961

またあなたの手から魔術を絶やす。あなたのうちには占い師がないようになる。

13 וְהִכְרַתִּי פְסִילֶיךָ וּמַצֵּבוֹתֶיךָ מִקִּרְבְּךָ וְלֹא־תִשְׁתַּחֲוֶה עוֹד לְמַעֲשֵׂה יָדֶיךָ׃
そして-わたしは-断つ あなたの-偶像を また-あなたの-石の-柱を あなたの-中から そして-決して ひざまずかない もはや あなたの-手の-わざに あなたの-手の
H3772 H6456 H4676 H7130 H3808 H7812 H5750 H4639 H3027

またあなたのうちから彫像および石の柱を絶やす。あなたは重ねて手で作った物を拝むことはない。

14

וְנָתַשְׁתִּי	אֲשֵׁירֶיךָ	מִקִּרְבֶּךָ	וְהִשְׁמַדְתִּי	עָרֶיךָ׃
そして–わたしは–引き抜く	あなたの–アシェラ像を	あなたの–中から	そして–滅ぼす	あなたの–町々を
H5428	H0842	H7130	H8045	

またあなたのうちからアシラ像を抜き倒し、あなたの町々を滅ぼす。

15

וְעָשִׂיתִי	בְּאַף	וּבְחֵמָה	נָקָם	אֶת־	הַגּוֹיִם	אֲשֶׁר	לֹא
そして–わたしは–行う	怒りと	また–憤りの–中で	復讐を	（を）	諸国の–民に	それは	決して
	H0639	H2534	H5359	H0853			H3808

שָׁמֵעוּ׃	ס
聞かなかった	ס
H8085	

そしてわたしは怒りと憤りとをもってその聞き従わないもろもろの国民に復讐する。

Chapter 6

1

שִׁמְעוּ־	נָא	אֵת	אֲשֶׁר־	יְהוָה	אֹמֵר	קוּם	רִיב	אֶת־	הֶהָרִים
聞け	どうか	（を）	主が	主が	言われることを	立て	訴えよ	～に–向かって	山々に
H8085	H4994	H0853		H3068	H0559		H7378	H0854	H2022

קוֹלֶךָ׃	הַגְּבָעוֹת	וְתִשְׁמַעְנָה
あなたの–声を	丘々よ	そして–聞け
	H1389	H8085

あなたがたは主の言われることを聞き、立ちあがって、もろもろの山の前に訴えをのべ、もろもろの丘にあなたの声を聞かせよ。

2

כִּי	אֶרֶץ	מוֹסְדֵי	וְהָאֵתָנִים	יְהוָה	רִיב	אֶת־	הָרִים	שִׁמְעוּ
なぜなら	地の	地の–基よ	また–堅固なる	主の	主の–訴えを	（を）	山々よ	聞け
	H0776	H4146	H0386	H3068	H7379	H0853	H2022	H8085

יְתוֹכָח׃	יִשְׂרָאֵל	וְעִם־	עַמּוֹ	עִם־	לַיהוָה	רִיב
言い争われる	イスラエルと	また–～と	その–民と	～と	主には	訴えが–ある
H3198	H3478				H3068	H7379

もろもろの山よ、地の変ることなき基よ、主の言い争いを聞け。主はその民と言い争い、イスラエルと論争されるからである。

3

הַלְאֹתֵיךָ	וּמָה	לְךָ	עָשִׂיתִי	מֶה־	עַמִּי
わたしは–あなたを–疲れさせたのか	また–何を	あなたに	わたしは–したのか	何を	わが–民よ
H3811	H4100			H4100	

בִּי׃	עֲנֵה
わたしに	答えよ

「わが民よ、わたしはあなたに何をなしたか、何によってあなたを疲れさせたか、わたしに答えよ。

4

עֲבָדִים	וּמִבֵּית	מִמִּצְרַיִם	מֵאֶרֶץ	הֶעֱלִתִיךָ	כִּי
奴隷の	また–奴隷の–家から	エジプトの	エジプトの–地から	わたしは–あなたを–導いた	なぜなら
H5650		H4714	H0776	H5927	

אַהֲרֹן	מֹשֶׁה	אֶת־	לְפָנֶיךָ	וָאֲשַׁלַּח	פְּדִיתִיךָ
アロンと	モーセと	（を）	あなたの–前に	そして–わたしは–遣わした	あなたを–贖った
H0175	H4872	H0853	H6440	H7971	H6299

וּמִרְיָם׃
また–ミリアムを
H4813

わたしはエジプトの国からあなたを導きのぼり、奴隷の家からあなたをあがない出し、モーセ、アロンおよびミリアムをつかわして、あなたに先だたせた。

5

וּמֶה־	מוֹאָב	מֶלֶךְ	בָּלָק	יָעַץ	מַה־	נָּא	זְכָר־	עַמִּי
また–何を	モアブの	モアブの–王	バラクが	企てたか	何を	どうか	思い出せ	わが–民よ
H4100	H4124	H4428	H1111	H3289	H4100	H4994	H2142	

הַגִּלְגָּל	עַד־	הַשִּׁטִּים	מִן־	בְּעוֹר	בֶּן־	בִּלְעָם	אֹתוֹ	עָנָה
ギルガルまで	～まで	シティムから	～から	ベオルの	ベオルの–子	ビレアムが	彼に	答えたか
H1537	H5704	H7851		H1160			H0853	

יְהוָה׃	צִדְקוֹת	דָּעַת	לְמַעַן
主の	主の–義の–わざを	知る	～の–ために
H3068	H6666	H3045	H4616

わが民よ、モアブの王バラクがたくらんだ事、ベオルの子バラムが彼に答えた事、シッテムからギルガルに至るまでに起った事どもを思い起せ。そうすれば、あなたは主の正義のみわざを知るであろう」。

6

הַאֲקַדְּמֶנּוּ	מָרוֹם	לֵאלֹהֵי	אַכְּף	יְהוָה	אֶקָּדֵם	בַּמֶּה
近づこうか	高き	いと–高き–神の–前に	身を–かがめようか	主に	近づこうか	何を–もって
H6923	H4791	H0430	H3721	H3068	H6923	H4100

שָׁנָה׃	בְּנֵי	בַעֲגָלִים	בְּעוֹלוֹת
一歳の	一歳の	一歳の–子牛を–もって	穭牲を–もって
H8141		H5695	

「わたしは何をもって主のみ前に行き、高き神を拝すべきか。燔祭および当歳の子牛をもってそのみ前に行くべきか。

7

הַיִּרְצֶה	יְהוָה	בְּאַלְפֵי	אֵילִים	בְּרִבְבוֹת	נַחֲלֵי־	שֶׁמֶן	הַאֶתֵּן
喜ばれるのか	主は	幾千の	雄羊を–もって	幾万の	油の–川を–もって	油の	ささげようか
H7521	H3068	H0505		H7233		H8081	H5414

נַפְשִׁי׃	חַטָּאת	בִּטְנִי	פְּרִי	פִּשְׁעִי	בְּכוֹרִי
わが–魂の	わが–魂の–罪の–ために	わが–胎の	わが–胎の–実を	わが–背きの–ために	わが–長子を
H5315		H0990	H6529	H6588	H1060

主は数千の雄羊、万流の油を喜ばれるだろうか。わがとがのためにわが長子をささぐべきか。わが魂の罪のためにわが身の子をささぐべきか」。

8

מִמְּךָ	דּוֹרֵשׁ	יְהוָה	וּמָה־	טּוֹב	מַה־	אָדָם	לְךָ	הִגִּיד
あなたから	求めて–おられるか	主が	また–何を	善いか	何が	人よ	あなたに	告げられた
	H1875	H3068	H4100		H4100	H0120		H5046

לָכֶת	וְהַצְנֵעַ	חֶסֶד	וְאַהֲבַת	מִשְׁפָּט	עֲשׂוֹת	אִם־	כִּי
歩むこと	また–へりくだって	憐れみを	また–愛すること	公義を	行うこと	これだけである	ただ
H3212			H0160	H4941			

פ	אֱלֹהֶיךָ׃	עִם־
פ	あなたの–神と	～と–共に
	H0430	

人よ、彼はさきによい事のなんであるかをあなたに告げられた。主のあなたに求められることは、ただ公義をおこない、いつくしみを愛し、へりくだってあなたの神と共に歩むことではないか。

9

מַטֶּה	שִׁמְעוּ	שְׁמֶךָ	יִרְאֶה	וְתוּשִׁיָּה	יִקְרָא	לָעִיר	יְהוָה	קוֹל
杖と	聞け	あなたの–御名を	恐れる	そして–知恵は	呼ばわる	町に–向かって	主の	主の–声が
H4294	H8085	H8034	H3372	H8454	H7121		H3068	

יְעָדָהּ׃	וּמִי
それを–定めたのか	また–誰が
H3259	H4310

主の声が町にむかって呼ばわる――全き知恵はあなたの名を恐れることである――「部族および町の会衆よ、聞け。

10

רָזוֹן	וְאֵיפַת	רֶשַׁע	אֹצְרוֹת	רָשָׁע	בֵּית	הַאֵשׁ	עוֹד	
不正な–ますが	また–不足の	不義の	不義の–宝が	悪しき	悪しき–者の–家に	あるのか	なお	
H7332	H0374	H7562	H0214	H7563		H0786	H5750	

זְעוּמָה׃
忌み嫌われる
H2194

わたしは悪人の家にある不義の財宝、のろうべき不正な枡を忘れ得ようか。

11

מְרֻמָּה׃	אַבְנֵי	וּבְכִיס	רֶשַׁע	בְּמֹאזְנֵי	הַאֲזַכֶּה	
偉りの	偉りの–石で	また–偉りの–袋の–中の	不正の	不正の–秤で	答えられようか	
H4820	H0068	H3599	H7562	H3976	H2135	

不正なはかりを用い、偽りのおもしを入れた袋を用いる人をわたしは罪なしとするだろうか。

12

וּלְשׁוֹנָם	שֶׁקֶר	דִּבְּרוּ־	וְיוֹשְׁבֶיהָ	חָמָס	מָלְאוּ	עֲשִׁירֶיהָ	אֲשֶׁר	
また–彼らの–舌は	偽りを	語った	また–その–住民は	暴力に	満ちている	富める–者たちは	その	
H3956	H8267	H1696	H3427	H2555	H4390	H6223		

בְּפִיהֶם׃	רְמִיָּה
彼らの–口の–中で	欺きで–ある
H6310	

あなたのうちの富める人は暴虐で満ち、あなたの住民は偽りを言い、その舌は口で欺くことをなす。

13

חַטֹּאתֶךָ׃	עַל־	הַשְׁמֵם	הַכּוֹתֶךָ	הֶחֱלֵיתִי	אֲנִי	וְגַם־
あなたの–罪の	～の–ゆえに	荒らすことを	あなたを–打つことを	始めた	わたしは	それゆえ–また
		H8074	H5221		H0589	H1571

それゆえ、わたしはあなたを撃ち、あなたをその罪のために滅ぼすことを始めた。

14

בְּקִרְבֶּךָ	וְיֵשְׁחֲךָ	תִּשְׁבָּע	וְלֹא	תֹאכַל	אַתָּה	
あなたの–内に–ある	そして–空腹が	満たされない	しかし–決して	食べるが	あなたは	
H7130	H3445	H7646	H3808	H0398		

לַחֶרֶב	תְּפַלֵּט	וַאֲשֶׁר	תַּפְלִיט	וְלֹא	וְתַסֵּג
剣に	救っても	そして–救った–ものも	救えない	しかし–決して	そして–者を–退かそうとするが
H2719	H6403		H6403	H3808	H5253

אֶתֵּן׃
わたしは–渡す
H5414

あなたは食べても、飽くことがなく、あなたの腹はいつもひもじい。あなたは移しても、救うことができない。あなたが救う者を、わたしはつるぎにわたす。

15

וְלֹא־	זַיִת׀	תִּדְרֹךְ־	אַתָּה	תִקְצֹר	וְלֹא	תִזְרַע	אַתָּה
しかし–決して	オリーブを	踏むが	あなたは	刈り取れない	しかし–決して	種を–まくが	あなたは
H3808	H2132	H1869			H3808	H2232	

יָיִן׃	תִּשְׁתֶּה־	וְלֹא	וְתִירוֹשׁ	שֶׁמֶן	תָּסוּךְ
ぶどう酒を	飲めない	しかし–決して	また–新しい–ぶどう酒も	油を	塗れない
H3196	H8354	H3808	H8492	H8081	H5480

あなたは種をまいても、刈ることがなく、オリブの実を踏んでも、その身に油を塗ることがなく、ぶどうを踏んでも、その酒を飲むことがない。

16

בֵּית־	מַעֲשֵׂה	וְכֹל׀	עָמְרִי	חֻקּוֹת	וְיִשְׁתַּמֵּר	
アハブの–家の	アハブの–家の–わざが	また–すべての	オムリの	オムリの–定めが	そして–守られている	
	H4639	H3605	H6018	H2708	H8104	

אֹתְךָ	תִּתִּי	לְמַעַן	בְּמֹעֲצוֹתָם	וַתֵּלְכוּ	אַחְאָב	
あなたを	わたしは–する	それゆえ	彼らの–謀りごとに–従って	そして–あなたがたは–歩んだ	アハブの	
H0853	H5414	H4616	H4156	H3212	H0256	

פ	תִּשָּׂאוּ׃	עַמִּי	וְחֶרְפַּת	לִשְׁרֵקָה	וְיֹשְׁבֶיהָ	לְשַׁמָּה
פ	あなたがたは–負う	わが–民の	そして–わが–民の–恥を	嘲りの–的と	また–その–住民を	荒れ地と
	H5375		H2781	H8322	H3427	H8047

あなたはオムリの定めを守り、アハブの家のすべてのわざをおこない、彼らの計りごとに従って歩んだ。これはわたしがあなたを荒し、その住民を笑い物とするためである。あなたがたは民のはずかしめを負わねばならぬ」。

Chapter 7

1

קַיִץ	כְּאָסְפֵי־	הָיִיתִי׀	כִּי	לִי	אַלְלַי
夏	夏の–果物を–集めた–後の–ように	わたしは–なった	なぜなら	わたしは–悲しい	ああ
H7019	H0625	H1961			H0480

בִּכּוּרָה	לֶאֱכוֹל	אֶשְׁכּוֹל	אֵין־	בָּצִיר	כְּעֹלְלֹת
初なりの–実を	食べる–ための	一房の–ぶどうも	ない	ぶどうの–収穫	ぶどうの–落ち穂拾いの–ように
H1063	H0398	H0811	H0369	H1210	H5955

נַפְשִׁי׃	אִוְּתָה
わたしの–魂は	慕い求めた
H5315	H0183

わざわいなるかな、わたしは夏のくだものを集める時のように、ぶどうの収穫の残りを集める時のようになった。食らうべきぶどうはなく、わが心の好む初なりのいちじくもない。

2

אָבַד
滅び去った
H0006

חָסִיד
敬虔な–者は
H2623

מִן־
〜から

הָאָרֶץ
この–地から
H0776

וְיָשָׁר
そして–正しい–者は
H3477

בָּאָדָם
人々の–中に
H0120

אָיִן
いない
H0369

כֻּלָּם
彼ら–すべては

לְדָמִים
血を–流す–ために
H1818

יֶאֱרֹבוּ
待ち伏せし
H0693

אִישׁ
人は–各々
H0376

אֶת־
〜を
H0853

אָחִיהוּ
その–兄弟を
H0251

יָצוּדוּ
網で–捕らえる

חֵרֶם׃
滅びの–ために

H3605

神を敬う人は地に絶え、人のうちに正しい者はない。みな血を流そうと待ち伏せし、おのおの網をもってその兄弟を捕える。

3

עַל־
〜の–上に

הָרָע
悪を

כַּפַּיִם
両手で
H3709

לְהֵיטִיב
巧みに–行う
H3190

הַשָּׂר
君は
H8269

שׁאֵל
要求し
H7592

וְהַשֹּׁפֵט
そして–裁判官は
H8199

בַּשֹּׁלֵם
賄賂で–裁く
H7966

וְהַגָּדוֹל
そして–権力者は

הַוָּה
彼は
H1931

נַפְשׁוֹ
その–魂の
H5315

הַוַּת
欲望を
H1942

דַּבֵּר
語る
H1696

וַיְעַבְּתוּהָ׃
そして–彼らは–それを–ねじ曲げる
H5686

両手は悪い事をしようと努めてやまない。つかさと裁判官はまいないを求め、大いなる人はその心の悪い欲望を言いあらわし、こうして彼らはその悪を仕組む。

4

טוֹבָם
彼らの–最善の–者も

כְּחֵדֶק
茨の–ように
H2312

יָשָׁר
最も–正しい–者も
H3477

מִמְּסוּכָּה
いばらの–垣根より–悪い
H4534

יוֹם
日
H3117

מְצַפֶּיךָ
あなたの–見張り人たちの
H6822

פְּקֻדָּתְךָ
あなたへの–刑罰が
H6486

בָּאָה
来た
H0935

עַתָּה
今
H6258

תִּהְיֶה
来るであろう
H1961

מְבוּכָתָם׃
彼らの–混乱が
H3998

彼らの最もよい者もいばらのごとく、最も正しい者もいばらのいけがきのようだ。彼らの見張びとの日、すなわち彼らの刑罰の日が来る。いまや彼らの混乱が近い。

5

אַל־
信じるな
H0408

תַּאֲמִינוּ
信頼するな
H0539

בְּרֵעַ
友を
H7453

אַל־
頼るな
H0408

תִבְטְחוּ
信頼するな
H0982

בְּאַלּוּף
親しい–友を

מִשְׁכֶּבֶת
あなたの–懐に–寝る–者にも
H7901

פִּיךָ׃
あなたの–口の
H6310

פְּתָחֶיהָ־
口の–戸を
H6607

שְׁמֹר
守れ
H8104

חֵיקֶךָ
あなたの–懐の
H2436

あなたがたは隣り人を信じてはならない。友人をたのんではならない。あなたのふところに寝る者にも、あなたの口の戸を守れ。

6

כִּי־
なぜなら

בֵן
息子は

מְנַבֵּל
愚かにし

אָב
父を
H0001

בַּת
娘は
H1323

קָמָה
逆らって–立ち上がる

בְּאִמָּהּ
その–母に
H0517

כַּלָּה
嫁は
H3618

בַּחֲמֹתָהּ
その–姑に
H2545

אֹיְבֵי
人の–敵は
H0341

אִישׁ
その–人の
H0376

אַנְשֵׁי
人々
H0376

בֵיתוֹ׃
その–家の

むすこは父をいやしめ、娘はその母にそむき、嫁はそのしゅうとめにそむく。人の敵はその家の者である。

7 וַאֲנִי֙ בַּיהוָ֣ה אֶצְפֶּ֔ה אוֹחִ֖ילָה לֵאלֹהֵ֣י יִשְׁעִ֑י
しかし–わたしは 主に 目を–注ぎ 待ち望む わたしの–神に わたしの–救いの
H0589 H3068 H6822 H3426 H0430 H3468

יִשְׁמָעֵ֥נִי אֱלֹהָֽי׃
わたしに–聞いてくださる わたしの–神は
H8085 H0430

しかし、わたしは主を仰ぎ見、わが救の神を待つ。わが神はわたしの願いを聞かれる。

8 אַל־ תִּשְׂמְחִ֣י אֹיַבְתִּ֔י לִ֖י כִּ֣י נָפַ֑לְתִּי קָמְתִּ֔י
喜ぶな わたしの–敵よ わたしについて たとえ わたしが–倒れても わたしは–起き上がる
H0408 H0341 H3426 H3588 H5307 H6965

כִּֽי־ אֵשֵׁ֥ב בַּחֹ֖שֶׁךְ יְהוָ֥ה א֛וֹר לִ֖י׃ ס
たとえ わたしが–座っていても 暗闇の–中に 主は 光と–なってくださる わたしに
H3588 H3427 H2822 H3068 H0216 H3426 ס

わが敵よ、わたしについて喜ぶな。たといわたしが倒れるとも起きあがる。たといわたしが暗やみの中にすわるとも、主はわが光となられる。

9 עַד֩ יְהוָ֨ה לֹ֜ו חָטָ֣אתִי כִּ֗י אֶשָּׂא֙ זַֽעַף־ יְהוָ֔ה
～まで 主に–対して わたしは–罪を–犯したからだ なぜなら わたしは–耐え忍ぶ 主の 怒りを
H5704 H3426 H2398 H3588 H5375 H3068 H2197

עַד־ אֲשֶׁ֤ר יָרִיב֙ רִיבִ֔י וְעָשָׂ֖ה מִשְׁפָּטִ֑י
主が 弁護してくださり わたしの–訴えを そして–行ってくださる わたしの–裁きを
H0834 H7378 H7379 H6213 H4941

יֹוצִיאֵ֣נִי לָאֹ֔ור אֶרְאֶ֖ה בְּצִדְקָתֹֽו׃
わたしを–導き出してくださる 光の–中へ わたしは–見る 主の–義を
H3318 H0216 H7200 H6666

主はわが訴えを取りあげ、わたしのためにさばきを行われるまで、わたしは主の怒りを負わなければならない。主に対して罪を犯したからである。主はわたしを光に導き出してくださる。わたしは主の正義を見るであろう。

10 וְתֵרֶ֣א אֹיַבְתִּ֔י וַתְּכַסֶּ֥הָ בֹּ֖שֶׁת הָאֹמְרָ֣ה אֵלַ֑י
そして–見るであろう わたしの–敵は そして–彼女を–覆う 恥が わたしに–言っていた–者は
H7200 H0341 H3680 H0954 H0559

אַיֵּ֞ה יְהוָ֤ה אֱלֹהֶ֙יךָ֙ עֵינַ֣י תִּרְאֶ֔נָּה עַתָּ֖ה לְמִרְמָ֣ס כְּטִ֣יט חוּצֹ֑ות׃
どこに–いるのか 主は あなたの–神は わたしの–目は 見るであろう 今 踏みつけられる–ものに 泥の–ように 街路の
H0346 H3068 H0430 H5869 H7200 H6258 H4823 H2916 H2351

תִּֽהְיֶ֖ה בָּֽהּ׃
彼女は–なるであろう 彼女を
H1961 H0996

その時「あなたの神、主はどこにいるか」とわたしに言ったわが敵は、これを見て恥をこうむり、わが目は彼を見てあざ笑う。彼は街路の泥のように踏みつけられる。

11 יֹ֚ום לִבְנֹ֣ות גְּדֵרֵ֔יךְ יֹ֖ום הַה֣וּא יִרְחַ֥ק חֹֽק׃
その–日に 建て直す–日が–来る あなたの–城壁を その–日に 境界は–広げられる 境界は
H3117 H1129 H1447 H3117 H1931 H7368 H2706

あなたの城壁を築く日が来る。その日には国境が遠く広がる。

12

וְעָרֵי	אַשּׁוּר	לְמִנִּי	יָבֹוא	וְעָדֶיךָ	הוּא	יֹום
そして–町々から	アッシリアから	～から	人々が–来る	そして–あなたの–もとに	その日	その–日に
	H0804		H0935	H5704	H1931	H3117

מִיָּם	וְיָם	נָהָר	וְעַד־	מָצוֹר	וּלְמִנֵּי	מָצוֹר
海へ	そして–海から	大河まで	そして–～まで	エジプトから	そして–～から	エジプトの
H3220	H3220	H5104	H5704	H4693		H4692

וְהָר׃ הָהָר	
山へ	そして–山から
H2022	H2022

その日にはアッスリヤからエジプトまで、エジプトからユフラテ川まで、海から海まで、山から山まで、人々はあなたに来る。

13

מִפְּרִי	וְנָשְׁמָה	עַל־	לְשִׁמָּמָה	הָאָרֶץ	וְהָיְתָה
その–行いの–実の–ゆえに	その–住民たちの	～の–ゆえに	荒れ地に	この–地は	しかし–この–地は–なる
H6529	H3427			H0776	H1961

ס מַעַלְלֵיהֶם׃	
ס	彼らの–行いの
	H4611

しかしかの地はその住民のゆえに、そのおこないの実によって荒れはてる。

14

שֹׁכְנִי	נַחֲלָתֶךָ	צֹאן	בְּשִׁבְטֶךָ	עַמֶּךָ	רְעֵה	
ひとりで–住んでいる	あなたの–嗣業の	羊の–群れを	あなたの–杖で	あなたの–民を	牧してください	
H7931	H5159	H6629	H7626			

וְגִלְעָד	בָּשָׁן	יִרְעוּ	כַּרְמֶל	בְּתוֹךְ	יַעַר	לְבָדָד
そして–ギレアデで	バシャンと	彼らを–牧してください	カルメルの	～の–中に	森の–中に	ひとりで
H1568	H1316		H3760	H8432		H0910

כִּימֵי עוֹלָם׃	
永遠の	昔の–日々の–ように
H5769	H3117

どうか、あなたのつえをもってあなたの民、すなわち園の中の林にひとりおるあなたの嗣業の羊を牧し、いにしえの日のようにバシャンとギレアデで、彼らを養ってください。

15

אַרְאֶנּוּ	מִצְרַיִם	מֵאֶרֶץ	צֵאתְךָ	כִּימֵי	
わたしは–彼に–見せる	エジプトの	～の–地から	あなたが–出て–行った	～の–日々の–ように	
H7200	H4714	H0776	H3318	H3117	

נִפְלָאוֹת׃	
驚くべき–わざを	
H6381	

あなたがエジプトの国を出た時のように、わたしはもろもろの不思議な事を彼らに示す。

16

עַל־	יָד	יָשִׂימוּ	גְּבוּרָתָם	מִכֹּל	וְיֵבֹשׁוּ	גּוֹיִם	יִרְאוּ
～の–上に	手を	彼らは–置く	彼らの–力を	すべての	そして–恥じる	諸国民は	諸国民は–見て
	H3027		H1369	H3605	H0954		H7200

תֶּחֱרַשְׁנָה׃	אָזְנֵיהֶם	פֶּה
聞こえなくなる	彼らの–耳は	口の
	H0241	H6310

国々の民は見て、そのすべての力を恥じ、その手を口にあて、その耳は聞えぬ耳となる。

17 יִלַּחֲכוּ עָפָר כַּנָּחָשׁ כְּזֹחֲלֵי אֶרֶץ יִרְגְּזוּ
彼らは–なめる 塵を 蛇の–ように 地を–這う–もの–のように 地の 震えながら–出て来る
H3897 H6083 H5175 H0776 H7264

מִמְּסִגְּרֹתֵיהֶם אֶל־יְהוָה אֱלֹהֵינוּ יִפְחֲדוּ וְיִרְאוּ מִמֶּךָּ׃
彼らの–砦から ～に–向かって 主 私たちの–神に 恐れおののき そして–恐れる あなたの–御前で
H4526 H0413 H3068 H0430 H6342 H3372

彼らはへびのように、地に這うもののようにちりをなめ、震えながらその城から出、おののきつつ、われわれの神、主に近づいてきて、あなたのために恐れる。

18 מִי־אֵל כָּמוֹךָ נֹשֵׂא עָוֹן וְעֹבֵר עַל־פֶּשַׁע
だれが 神で 赦す–方 咎を そして–見過ごす–方 ～を 背きを
H4310 H0410 H5375 H5771 H6588

לְשְׁאֵרִית נַחֲלָתוֹ לֹא־הֶחֱזִיק לָעַד אַפּוֹ כִּי־
その–嗣業の–残りの–者の その–嗣業の 保たない 永遠に その–怒りを なぜなら
H7611 H5159 H2388 H5703 H0639

חָפֵץ חֶסֶד הוּא׃
喜ばれる 慈しみを 主は
H1931

だれかあなたのように不義をゆるし、その嗣業の残れる者のためにとがを見過ごされる神があろうか。神はいつくしみを喜ばれるので、その怒りをながく保たず、

19 יָשׁוּב יְרַחֲמֵנוּ יִכְבֹּשׁ עֲוֹנֹתֵינוּ וְתַשְׁלִיךְ בִּמְצֻלוֹת
再び 憐れんでくださる 踏みつけてくださる 私たちの–咎を そして–投げ入れてくださる 深みの–中に
H7725 H7355 H3533 H5771 H7993 H4688

כָּל־חַטֹּאותָם׃ יָם
すべての 彼らの–罪を 海の
H3605 H3220

再びわれわれをあわれみ、われわれの不義を足で踏みつけられる。あなたはわれわれのもろもろの罪を海の深みに投げ入れ、

20 תִּתֶּן אֱמֶת לְיַעֲקֹב חֶסֶד לְאַבְרָהָם אֲשֶׁר־ נִשְׁבַּעְתָּ
あなたは–与えてくださる まことを ヤコブに 慈しみを アブラハムに あなたが 誓われた–ことを
H5414 H0571 H3290 H2617 H0085 H7650

מִימֵי קֶדֶם׃ לַאֲבֹתֵינוּ
昔の 昔の–日々から 私たちの–先祖たちに
H3117 H0001

昔からわれわれの先祖たちに誓われたように、真実をヤコブに示し、いつくしみをアブラハムに示される。

Nahum

Chapter 1

1	מַשָּׂא	נִינְוֵה	סֵפֶר	חֲזוֹן	נַחוּם	הָאֶלְקֹשִׁי׃
	宣告	ニネベへの	書	幻の	ナホムの	エルコシュ人の
	H4853	H5210	H5612	H2377	H5151	H0512

ニネベについての託宣。エルコシびとナホムの幻の書。

2	אֵל	קַנּוֹא	וְנֹקֵם	יְהוָה	נֹקֵם	יְהוָה	חֲמָה
	神は	熱情の	そして-復讐する	主であり	復讐する	主は	憤りの-主であり
	H0410	H7072	H5358	H3068	H5358	H3068	H2534

לְאוֹיְבָיו׃	הוּא	וְנוֹטֵר	לְצָרָיו	יְהוָה	נֹקֵם
その-敵に-対して	主は	そして-怒りを-保つ	その-敵に-対して	主は	復讐する
H0341	H1931	H5201		H3068	H5358

主はねたみ、かつあだを報いる神、主はあだを報いる者、また憤る者、主はおのがあだに報復し、おのが敵に対して憤りをいだく。

3	יְהוָה	אַפַּיִם	[וגדול־](※)	)וּגְדָל־	כֹּחַ	וְנַקֵּה	לֹא
	主は	怒りに		そして-大いなる	力-あり	そして-罰せずには	決して
	H3068	H0639		H1431		H5352	H3808

רַגְלָיו׃	אֲבַק	וְעָנָן	דַּרְכּוֹ	וּבִשְׂעָרָה	בְסוּפָה	יְהוָה	יְנַקֶּה
塵である	その-足の	そして-雲は	その-道とし	そして-嵐の-中を	暴風の-中を	主は	おかない
H7272	H0080	H6051	H1870	H8183		H3068	H5352

主は怒ることおそく、力強き者、主は罰すべき者を決してゆるされない者、主の道はつむじ風と大風の中にあり、雲はその足のちりである。

4	גּוֹעֵר	בַּיָּם	וַיֹּבְשֵׁהוּ	וְכָל־	הַנְּהָרוֹת	הֶחֱרִיב	אֻמְלַל	בָּשָׁן
	主は-叱る	海を	そして-干上がらせる	そして-すべての	川を	涸れさせる	衰える	バシャンと
	H1605	H3220	H3001	H3605	H5104		H0535	H1316

וְכַרְמֶל	וּפֶרַח	לְבָנוֹן	אֻמְלָל׃	
そして-カルメルが	そして-レバノンの-花も	レバノンの	衰える	
H3760	H6525	H3844	H0535	

彼は海を戒めて、これをかわかし、すべての川をかれさせる。バシャンとカルメルはしおれ、レバノンの花はしぼむ。

5	הָרִים	רָעֲשׁוּ	מִמֶּנּוּ	וְהַגְּבָעוֹת	הִתְמוֹגְגוּ	וַתִּשָּׂא	הָאָרֶץ	מִפָּנָיו
	山々は	揺れ動く	主の-前で	そして-丘は	溶け去る	そして-持ち上がる	地は	その-前で
	H2022	H7493		H1389	H4127	H5375	H0776	H6440

וְתֵבֵל	וְכָל־	יֹשְׁבֵי	בָּהּ׃	
そして-世界も	そして-すべての	住む-者たちも	その-中に	
H8398	H3605	H3427		

もろもろの山は彼の前に震い、もろもろの丘は溶け、地は彼の前にむなしくなり、世界とその中に住む者も皆、むなしくなる。

6

בַּחֲרוֹן	יָקוּם	וּמִי	יַעֲמֹוד	מִי	זַעְמוֹ	לְפָנָיו	
その–燃える	耐えられようか	そして–誰が	立つことが–できようか	誰が	その–憤りの	その–前に	
H2740		H4310	H5975	H4310	H2195	H6440	

מִמָּנּוּ׃	נִתְּצוּ	וְהַצֻּרִים	כָּאֵשׁ	נִתְּכָה	חֲמָתוֹ	אַפּוֹ	
主の–前で	砕かれる	そして–岩々は	火のように	注ぎ出される	その–怒りは	怒りに	
	H5422	H6697	H0784	H5413	H2534	H0639	

だれが彼の憤りの前に立つことができよう。だれが彼の燃える怒りに耐えることができよう。その憤りは火のように注がれ、岩も彼によって裂かれる。

7

בּוֹ׃	חֹסִי	וְיֹדֵעַ	צָרָה	בְּיוֹם	לְמָעוֹז	יְהוָה	טוֹב
主を	避け所と–する	そして–知っておられる	苦難の	苦難の–日に	砦として	主は	善い
	H2620	H3045		H3117	H4581	H3068	

主は恵み深く、なやみの日の要害である。彼はご自分を避け所とする者を知っておられる。

8

יְרַדֵּף־	וְאֹיְבָיו	מְקוֹמָהּ	יַעֲשֶׂה	כָּלָה	עֹבֵר	וּבְשֶׁטֶף
追い込む	そして–その–敵を	その–場所を	主は	滅ぼし–尽くす	洪水で	しかし–押し寄せる
H7291	H0341	H4725		H3617		H7858

חֹשֶׁךְ׃
闇の–中に
H2822

しかし、彼はみなぎる洪水であだを全く滅ぼし、おのが敵を暗やみに追いやられる。

9

תָּקוּם	לֹא־	עֹשֶׂה	הוּא	כָלָה	יְהוָה	אֶל־	תַּחְשְׁבוּן	מַה־
起こらない	二度と	である	主ご自身	滅ぼし–尽くすのは	主に	主に–対して	企てるのか	何を
	H3808		H1931	H3617	H3068	H0413	H2803	H4100

צָרָה׃	פַּעֲמָיִם
苦難は	二度と
	H6471

あなたがたは主に対して何を計るか。彼はその敵に二度としかえしをする必要がないように敵を全く滅ぼされる。

10

סְבוּאִים	וּכְסָבְאָם	סְבֻכִים	סִירִים	עַד־	כִּי	
酔った–ように	そして–酒に–酔った–ように	絡み合っても	茨が	茨の–ように	たとえ	
	H5435	H5440		H5704		

מָלֵא׃	יָבֵשׁ	כְּקַשׁ	אֻכְּלוּ	
完全に	刈り株の–ように	乾いた	焼き尽くされる	
H4392	H3002	H7179	H0398	

彼らは結びからまったいばらのように、かわいた刈り株のように、焼き尽される。

11

בְּלִיָּעַל׃	יֹעֵץ	רָעָה	יְהוָה	עַל־	חֹשֵׁב	יָצָא	מִמֶּךָּ
邪悪を	邪悪を–助言する	悪を–企てる	主に	主に–対して	主に–対して–悪を	出た	あなたから
H1100	H3289		H3068		H2803	H3318	

ס
(段落)

主に対して悪事を計り、よこしまな事を勧める者があなたのうちから出たではないか。

12 וְכֹ֣ה אָמַ֣ר יְהוָ֗ה אִם־שְׁלֵמִים֙ וְכֵ֣ן רַבִּ֔ים וְכֵ֖ן נָגֹ֣זוּ
וְעָבַ֑ר וְעִנִּיתִ֖יךָ לֹ֣א אֲעַנֶּ֥ךָּ עֽוֹד׃
וְכֹה
このように
H3541
אָמַר
言われる
H0559
יְהוָה
主は
H3068
אִם־
たとえ
שְׁלֵמִים
健全で
H8003
וְכֵן
そして–それほど
רַבִּים
多くても
וְכֵן
それでも
נָגֹזוּ
刈り取られ
H1494
וְעָבַר
そして–過ぎ去る
וְעִנִּיתִיךָ
わたしは–あなたを–苦しめたが
לֹא
もはや
H3808
אֲעַנֶּךָּ
あなたを–苦しめない
עוֹד׃
もう
H5750

主はこう言われる、「たとい彼らは強く、かつ多くあっても、切り倒されて絶えはてる。わたしはあなたを苦しめたが、重ねてあなたを苦しめない。

13 וְעַתָּה֙ אֶשְׁבֹּ֣ר מֹטֵ֔הוּ מֵעָלֶ֖יךָ וּמוֹסְרֹתַ֑יִךְ אֲנַתֵּֽק׃
וְעַתָּה
そして–今
H6258
אֶשְׁבֹּר
わたしは–砕く
H7665
מֹטֵהוּ
そのくびきを
H4132
מֵעָלֶיךָ
あなたから
וּמוֹסְרֹתַיִךְ
そして–あなたの–鎖を
H4147
אֲנַתֵּק׃
わたしは–断ち切る
H5423

今わたしは彼のくびきを砕いて、あなたからとり除き、あなたのなわめを切りはなす」。

14 וְצִוָּה֙ יְהוָ֣ה עָלֶ֔יךָ לֹא־יִזָּרַ֥ע עוֹד֙ מִשְׁמֶ֔ךָ
מִבֵּ֣ית אֱלֹהֶ֗יךָ אַכְרִ֤ית פֶּ֨סֶל֙ וּמַסֵּכָ֔ה אָשִׂ֖ים
כִּ֥י קַלּוֹתָ֖ה פ׃ קִבְרֶֽךָ׃
וְצִוָּה
そして–主は–命じられた
H6680
יְהוָה
主は
H3068
עָלֶיךָ
あなたについて
לֹא־
もはや
H3808
יִזָּרַע
蒔かれない
H2232
מִשְׁמֶךָ
あなたの–名によって
H8034
עוֹד
もう
H5750
אָשִׂים
わたしは–定める
מַסֵּכָה
そして–鋳た–像を
פֶּסֶל
刻んだ–像と
H6459
אַכְרִית
わたしは–断つ
H3772
אֱלֹהֶיךָ
あなたの–神の
H0430
מִבֵּית
あなたの–神の–家から
קִבְרֶךָ
あなたの–墓を
כִּי
まことに
קַלּוֹתָה׃
あなたは–卑しい
H7043
פ
(段落)

主はあなたについてお命じになった、「あなたの名は長く続かない。わたしはあなたの神々の家から、彫像および鋳造を除き去る。あなたは罪深い者だから、わたしはあなたの墓を設ける」。

15 הִנֵּ֤ה עַל־הֶֽהָרִים֙ רַגְלֵ֣י מְבַשֵּׂ֔ר מַשְׁמִ֖יעַ שָׁל֑וֹם
חֹגִ֣י יְהוּדָ֗ה שַׁלֵּ֤מִי נְדָרֶ֙יךָ֙ כִּֽי־לֹ֣א יוֹסִ֔יף עוֹד֙ לַעֲבָ֣ר בְּלִיַּ֔עַל כֻּלֹּ֖ה נִכְרָֽתָ׃
הִנֵּה
見よ
H2009
עַל־
山々の–上に
הֶהָרִים
山々の
H2022
רַגְלֵי
良い–知らせを–伝える–者の
H7272
מְבַשֵּׂר
良い–知らせを–伝える
H1319
מַשְׁמִיעַ
平和を–告げる
H8085
שָׁלוֹם
平和を
H7965
חֹגִי
祝え
H2287
יְהוּדָה
ユダよ
H3063
נְדָרֶיךָ
あなたの–誓願を
H5088
שַׁלֵּמִי
果たせ
חַגֶּיךָ
あなたの–祭りを
H2282
כִּי
なぜなら
לֹא
もはや
H3808
יוֹסִיף
二度と
H3254
עוֹד
もう
H5750
לַעֲבָר־
通り過ぎない
(לעבור־)
(※)
בְּלִיַּעַל
悪しき–者は
H1100
כֻּלֹּה
完全に
H3605
נִכְרָתָ׃
断ち切られた
H3772

見よ、良きおとずれを伝える者の足は山の上にある。彼は平安を宣べている。ユダよ、あなたの祭を行い、あなたの誓願をはたせ。よこしまな者は重ねて、あなたに向かって攻めてこないからである。彼は全く断たれる。

Chapter 2

1 חַזֵּ֤ק מְצָדָה֙ צְפֵה־אֹ֔רַח אַמֵּ֥ץ מָתְנַ֖יִם כֹּ֥חַ מְאֹֽד׃
עָלָה
攻め上って–来た
H5927
מְפִיץ
散らす–者が
עַל־
あなたの–前に
פָּנֶיךָ
あなたの
H6440
נְצוֹר
守れ
H5341
מְצָדָה
砦を
H4694
צְפֵה־
見張れ
H6822
אֹרַח
道を
H1870
חַזֵּק
強くせよ
H2388
מָתְנַיִם
腰を
H4975
אַמֵּץ
奮い立たせよ
H0553
כֹּחַ
力を
מְאֹד׃
大いに
H3966

撃ち破る者があなたに向かって上って来る。城を守れ、道をうかがえ。腰に帯せよ、大いに力を強くせよ。

2 כִּי שָׁב יְהוָה אֶת־גְּאוֹן יַעֲקֹב כִּגְאוֹן
なぜなら 回復させる 主は (を) ヨブの-誇りを ヤコブの-誇りの-ように
H3068 H7725 H0853 H1347 H3290 H1347

יִשְׂרָאֵל כִּי בֹקְקִוכָם בְּקָקוּם וְזְמֹרֵיהֶם שִׁחֵתוּ׃
イスラエルの なぜなら 略奪した-者たちが 略奪した そして-そのぶどうの-枝を そむいた
H3478 H7843 H2156

主はヤコブの栄えを回復して、イスラエルの栄えのようにされる。かすめる者が彼らをかすめ、そのぶどうづるを、そこなったからである。

3 מָגֵן גִּבֹּרָיו מְאָדָם אַנְשֵׁי־חַיִל מִתְלַעֲים בְּאֵשׁ־
盾は その-勇士たちの 赤く-染められ 戦士たちは 緋色に-身を-まとい 鋼の-炎で
H4043 H1368 H0119 H0376 H2428 H8529 H0784

פְּלָדוֹת בְּיוֹם הֲכִינוֹ וְהַבְרֹשִׁים הָרְעָלוּ׃
鋼の 戦車は 備えの-日に 備えの そして-槍が 振りかざされる
H6393 H7393 H3117 H1265 H7477

その勇士の盾は赤くいろどられ、その兵士は紅に身をよろう。戦車はその備えの日に、火のように輝き、軍馬はおどる。

4 בָּחוּצוֹת יִתְהוֹלְלוּ הָרֶכֶב יְשִׁתַּקְשְׁקוּן בָּרְחֹבוֹת מַרְאֵיהֶן כַּלַּפִּידִם כַּבָּרָקִים
通りを 狂い走る 戦車が 轟き合う 広場で その-姿は たいまつの-ように 稲妻の-ように
H2351 H7393 H8264 H7339 H4758 H3940

יְרוֹצֵצוּ׃
駆け巡る
H7323

戦車はちまたに狂い走り、大路に飛びかける。彼らはたいまつのように輝き、いなずまのように飛びかける。

5 יִזְכֹּר אַדִּירָיו יִכָּשְׁלוּ בהלכותם בַּהֲלִיכָתָם יְמַהֲרוּ חוֹמָתָהּ
思い起こす その-貴族たちを 彼らは-つまずく (※) その-歩みの-中で 急ぐ その-城壁に
H2142 H0117 H3782 H1980 H1979 H2346

וְהֻכָן הַסֹּכֵךְ׃
そして-備えられる 防壁が

将士らは召集され、彼らはその道でつまずき倒れ、城壁に向かって急いで行って大盾を備える。

6 שַׁעֲרֵי הַנְּהָרוֹת נִפְתָּחוּ וְהַהֵיכָל נָמוֹג׃
川の 開かれ そして-宮殿は 溶け去る
H8179 H5104 H1964 H4127

川々の門は開け、宮殿はあわてふためく。

7 וְהֻצָּב גָּלְתָה הָעֲלָתָה וְאַמְהֹתֶיהָ מְנַהֲגוֹת כְּקוֹל
そして-定められた 連れ去られ 引き上げられる そして-その-侍女たちは 嘆きながら 鳩の-ような
H5324 H1540 H5927 H0519

יוֹנִים מִתְפָּפֹת עַל־לִבֹּתֵן׃
鳩の 胸を-打つ 自分たちの 胸を
H3123 H8608 H3824

その王妃は裸にされて、捕われゆき、その侍女たちは悲しみ、胸を打って、はとのようにうめく。

8

עִמְדוּ	נָסִּים	וְהֵמָּה	הֵיא	מֵימֵי	מַיִם	כִּבְרֵכַת־	וְנִינְוֵה	
止まれ	逃げていく	しかし-彼らは	そうであった	昔から	水の	水の-池の-ようで	そして-ニネベは	
H5975	H5127	H1992	H1931	H3117	H4325	H1295	H5210	

מַפְנֶה׃	וְאֵין	עֲמֹדוּ
振り向かない	しかし-誰も	止まれ
H6437	H0369	H5975

ニネベは池のようであったが、その水は注ぎ出された。「立ち止まれ、立ち止まれ」と呼んでも、ふりかえるものもない。

9

כְּלִי	מִכֹּל	כָּבֹד	לַתְכוּנָה	קֵצֶה	וְאֵין	זָהָב	בְּזוּ	כֶּסֶף	בְּזוּ
尊い	すべての	栄光が	財宝がある	果てしない	果て-しない	金を	奪い取れ	銀を	奪い取れ
H3627	H3605	H3519	H8498		H0369	H2091	H0962	H3701	H0962

חֶמְדָּה׃
器から

銀を奪え、金を奪え。その宝は限りなく、もろもろの尊い物はおびただしい。

10

וְחַלְחָלָה	בִּרְכַּיִם	וּפִּק	נָמֵס	וְלֵב	וּמְבֻלָּקָה	וּמְבוּקָה	בּוּקָה	
そして-苦しみが	震え	そして-膝は	溶け	そして-心は	そして-荒れ果てる	そして-荒廃	空虚	
H2479	H1290	H6375	H4549		H1110	H4003	H0950	

פָּארוּר׃	קִבְּצוּ	כֻלָּם	וּפְנֵי	מָתְנַיִם	בְּכָל־	
青ざめを	集める	すべての-顔は	そして-すべての	腰に-あり	すべての	
H6289	H6908	H3605	H6440	H4975	H3605	

消えうせ、むなしくなり、荒れはてた。心は消え、ひざは震え、すべての腰には痛みがあり、すべての顔は色を失った。

11

הָלַךְ׀	אֲשֶׁר	לַכְּפִרִים	הָוּא	וּמִרְעֵה	אֲרָיוֹת	מְעוֹן	אַיֵּה	
歩いた	そこを	牧場は	若い-獅子の	そして-若い-獅子の	獅子の	獅子の-巣穴は	どこにあるのか	
H1980			H1931	H4829		H4583	H0346	

מַחֲרִיד׃	וְאֵין	אַרְיֵה	גּוּר	שָׁם	לָבִיא	אַרְיֵה	
いなかった	そして-恐れさせる-者は	獅子の	獅子の-子が	そこに	雌-獅子が	雄-獅子が	
H2729	H0369		H1482	H8033			

ししのすみかはどこであるか。若いししの穴はどこであるか。そこに雄じしはその獲物を携え行き、その子じしと共にいても、これを恐れさせる者はない。

12

לְלִבְאֹתָיו	וּמְחַנֵּק	גְּרוֹתָיו	בְּדֵי	טֹרֵף	אַרְיֵה	
その-雌-獅子たちの-ために	そして-絞め殺した	その-子たちの-ために	十分に	引き裂いた	雄-獅子は	
	H2614	H1484	H1767	H2963		

טְרֵפָה׃	וּמְעֹנֹתָיו	חֹרָיו	טֶרֶף	וַיְמַלֵּא־	
引き裂いた-獲物で	そして-その-巣穴を	その-穴を	獲物で	そして-満たした	
H2966	H4585	H2356	H2964	H4390	

雄じしはその子じしのために引き裂き、雌じしのために獲物を絞め殺し、獲物をもってその穴を満たし、引き裂いた肉をもってそのすみかを満たした。

13

בֶּעָשָׁן	וְהִבְעַרְתָּי	צְבָאוֹת	יְהוָה	נְאֻם	אֵלַיִךְ	הִנֵּנִי
煙の–中で	そして–燃やす	万軍の	主の	これは–御告げ	あなたに–向かう	見よ–わたしは
H6227			H3068	H5002	H0413	H2009

מֵאֶרֶץ	וְהִכְרַתִּי	חֶרֶב	תְּאכַל	וּכְפִירַיִךְ	רִכְבָּהּ
地から	そして–断ち切る	剣が	食い尽くす	そして–あなたの–若い–獅子を	その–戦車を
H0776	H3772	H2719	H0398		H7393

ס	מַלְאָכֶיהָ׃	קוֹל	עוֹד	יִשָּׁמַע	וְלֹא־	טַרְפֵּךְ
(段落)	声は	あなたの–使者たちの	もう	聞こえない	そして–もはや	あなたの–獲物を
	H4397		H5750	H8085	H3808	H2964

万軍の主は言われる、見よ、わたしはあなたに臨む。わたしはあなたの戦車を焼いて煙にする。つるぎはあなたの若いししを滅ぼす。わたしはまた、あなたの獲物を地から断つ。あなたの使者の声は重ねて聞かれない。

Chapter 3

1

טָרֶף׃	יָמִישׁ	לֹא	מְלֵאָה	פֶּרֶק	כָּחַשׁ	כֻּלָּהּ	דָּמִים	עִיר	הוֹי
獲物が	絶えない	絶えない	満ちている	略奪に	偽りに	すべてが	町よ	血の	ああ
H2964	H4185	H3808	H4395	H6563	H3585	H3605	H1818		H1945

わざわいなるかな、血を流す町。その中には偽りと、ぶんどり物が満ち、略奪はやまない。

2

מְרַקֵּדָה׃	וּמֶרְכָּבָה	דֹּהֵר	וְסוּס	אוֹפַן	רַעַשׁ	וְקוֹל	שׁוֹט	קוֹל
跳ねる	そして–戦車が	駆け	そして–馬が	車輪の	轟きの–音	そして–車輪の	鞭の	鞭の–音
H7540	H4818	H1725		H0212	H7494		H7752	

むちの音がする。車輪のとどろく音が聞える。かける馬があり、走る戦車がある。

3

וְרֹב	חֲנִית	וּבְרֶק	חֶרֶב	וְלַהַב	מַעֲלֶה	פָּרָשׁ
そして–おびただしい	槍が–きらめく	そして–槍が	剣が–閃き	そして–剣が	突進し	騎兵が
H7230	H2595		H2719	H3851	H5927	

[יכשלון	לַגְוִיָּה	קְצֶה	וְאֵין	פֶּגֶר	וְכָבֵד	חָלָל
(※)	死体の–山	果てしない	そして–果てしない	屍が	そして–重なり合う	殺された–者たち
H3782	H1472		H0369	H6297	H3514	

בְּגִוִּיָּתָם׃	(וְכָשְׁלוּ)
その–死体に	つまずく
H1472	H3782

騎兵は突撃し、つるぎがきらめき、やりがひらめく。殺される者はおびただしく、しかばねは山をなす。死体は数限りなく、人々はその死体につまずく。

4

גּוֹיִם	הַמֹּכֶרֶת	כְּשָׁפִים	בַּעֲלַת	חֵן	טוֹבַת	זוֹנָה	זְנוּנֶיהָ	מֹרֶב
国々を	売り渡す–者	女主人の	魔術の	魅力の	美しい	遊女の	姦淫の–ゆえに	おびただしい
	H4376	H3785	H1172	H2580		H2181	H2183	H7230

בְּכִשְׁפֶּיהָ׃	וּמִשְׁפָּחוֹת	בִּזְנוּנֶיהָ
その–魔術で	そして–諸族を	その–姦淫で
H3785	H4940	H2183

これは皆あでやかな遊女の恐るべき魔力と、多くの淫行のためであって、その淫行をもって諸国民を売り、その魔力をもって諸族を売り渡したものである。

שׁוֹלַיִךְ	וְגִלִּיתִי	צְבָאוֹת	יְהוָה	נְאֻם	אֵלַיִךְ	הִנֵּנִי	5
あなたの–裾を	そして–あらわにする	万軍の	主の	これは–御告げ	あなたに–向かう	見よ–わたしは	
H7757	H1540		H3068	H5002	H0413	H2009	

קְלוֹנֵךְ׃	וּמַמְלָכוֹת	מַעְרֵךְ	גּוֹיִם	וְהַרְאֵיתִי	פָּנַיִךְ	עַל־
あなたの–恥を	そして–王国に	あなたの–裸を	国々に	そして–見せる	あなたの	あなたの–顔の–上に
H7036	H4467	H4626		H7200	H6440	

万軍の主は言われる、見よ、わたしはあなたに臨む、わたしはあなたのすそを顔の上まであげ、あなたの裸を諸民に見せ、あなたの恥じる所を諸国に見せる。

כִּרְאִי׃	וְשַׂמְתִּיךְ	וְנִבַּלְתִּיךְ	שִׁקֻּצִים	עָלַיִךְ	וְהִשְׁלַכְתִּי	6
見せしめと	そして–さらし–者に–する	そして–辱め	汚物を	あなたの–上に	そして–投げつける	
H7210			H8251		H7993	

わたしは汚らわしい物を、あなたの上に投げかけて、あなたをはずかしめ、あなたを見ものとする。

שָׁדְדָה	וְאָמַר	מִמֵּךְ	יָדוֹד	רֹאַיִךְ	כָּל־	וְהָיָה	7
荒らされた	そして–言う	あなたから	逃げ去る	あなたを–見る–者は	すべての	そして–なる	
H7703	H0559		H5074	H7200	H3605	H1961	

לָךְ׃	מְנַחֲמִים	אֲבַקֵּשׁ	מֵאַיִן	לָהּ	יָנוּד	מִי	נִינְוֵה
あなたの–ために	慰める–者を	わたしは–探そう	どこから	彼女の–ために	嘆こう	誰が	ニネベは
	H5162	H1245	H0370		H5110	H4310	H5210

すべてあなたを見るものは、あなたを避けて逃げ去って言う、「ニネベは滅びた」と。だれがこのために嘆こう。わたしはどこから彼女を慰める者を、尋ね出し得よう。

מַיִם	בַּיְאֹרִים	הַיֹּשְׁבָה	אָמוֹן	מִנָּא	הַהֵיטִבִי		8
水が	川の–ほとりに	ナイルの–ほとりに–座す	ノ・アモンに	ノ・アモンに	あなたは–勝る–のか		
H4325	H2975	H3427	H0528	H4996	H3190		

חוֹמָתָהּ׃	מַיִם	יָם	חֵיל	אֲשֶׁר־	לָהּ	סָבִיב
その–城壁は	海から	海で	その–砦は	その–砦は	あった	周囲に–ある
H2346	H3220	H3220	H2426			H5439

あなたはテーベにまさっているか。これはナイル川のかたわらに座し、水をその周囲にめぐらし、海をとりでとなし、水をその垣としている。

וְלוּבִים	פּוּט	קֵצֶה	וְאֵין	וּמִצְרַיִם	עָצְמָה	כּוּשׁ	9
そして–リビア人が	プテ人と	なかった	そして–限りが	そして–エジプトも	その–力であり	クシュが	
H3864	H6316		H0369	H4714	H6109		

בְּעֶזְרָתֵךְ׃	הָיוּ
あなたの–助けに	あった
H5833	H1961

その力はエチオピヤ、またエジプトであって、限りがない。プトびと、リビヤびともその助け手であった。

בְּרֹאשׁ	יְרֻטָּשׁוּ	עֹלְלֶיהָ	גַּם	בַּשֶּׁבִי	הָלְכָה	לַגֹּלָה	הִיא	גַּם־	10
すべての	打ち砕かれた	幼子たちも	その	捕虜として	行った	捕囚として	彼女も	しかし–彼女も	
	H7376	H5768	H1571		H1980	H1473	H1931	H1571	

וְכָל־	גּוֹרָל	יַדּוּ	נִכְבַּדֶּיהָ	וְעַל־	חוּצוֹת	כָּל־	
そして–すべての	くじが	くじが–引かれ	高貴な–者たちに–ついて	そして–その	通りの–辻で	すべての	
H3605	H1486	H3032	H3513		H2351	H3605	

בַּזִּקִּים׃	רֻתְּקוּ	גְּדוֹלֶיהָ
鎖で	鎖で–つながれた	大いなる–者たちは
	H7576	

しかし、これもとりことなって捕えられて行き、その子供もすべてのちまたのかどで打ち砕かれ、その尊い人々はくじで分けられ、その大いなる人々は皆、鎖につながれた。

תְּבַקְּשִׁי	אַתְּ	גַּם־	נֶעְלָמָה	תִּהְיִי	תִּשְׁכְּרִי	אַתְּ	גַּם־		11
求める	あなたも	あなたも–また	隠れる–者と	あなたは–なる	酔わされる	あなたも	あなたも–また		
H1245		H1571	H5956	H1961	H7937		H1571		
						מֵאוֹיֵב׃	מָעוֹז		
						敵から	砦を		
						H0341	H4581		

あなたもまた酔わされて気を失い、あなたは敵を避けて逃げ場を求める。

יְנֻעוּ	אִם־	בִּכּוּרִים	עִם־	תְּאֵנִים	מִבְצָרַיִךְ	כָּל־		12
揺すれば	もし	実の–ように	初なりの	いちじくの–木の–ように	あなたの–要塞は	すべての		
H5128		H1061		H8384	H4013	H3605		
				אוֹכֵל׃	פִּי	עַל־	וְנָפְלוּ	
				口に	口に	食べる–者の	落ちる	
				H0398	H6310		H5307	

あなたのとりでは皆初なりの実をもつ、いちじくの木のようだ。これをゆすぶればその実は落ちて、食べようとする者の口にはいる。

נִפְתְּחוּ	פְּתוֹחַ	לְאֹיְבֵיךְ	בְּקִרְבֵּךְ	נָשִׁים	עַמָּךְ	הִנֵּה		13
開かれた	大きく	あなたの–敵に	あなたの–中で	女の–ようだ	あなたの–民は	見よ		
		H0341	H7130	H0802		H2009		
בְּרִיחָיִךְ׃	אֵשׁ	אָכְלָה	אַרְצֵךְ	שַׁעֲרֵי				
あなたの–門を	火が	火が–焼き尽くした	あなたの–地の	あなたの–地の–門は				
H1280	H0784	H0398	H0776	H8179				

見よ、あなたのうちにいる兵士は女のようだ。あなたの国の門はあなたの敵の前に広く開かれ、火はあなたの貫の木を焼いた。

וְרִמְסִי	בַּטִּיט	בָּאִי	מִבְצָרַיִךְ	חַזְקִי	לָךְ	שַׁאֲבִי־	מָצוֹר	מֵי	14
そして–踏め	泥の–中に	入れ	あなたの–要塞を	強くせよ	水を	汲め	包囲の–ための	汲め	
H7429	H2916	H0935	H4013	H2388		H7579	H4692	H4325	
					מַלְבֵּן׃	הַחֲזִיקִי	בַּחֹמֶר		
					れんが–型を	つかめ	粘土を		
					H4404	H2388			

籠城のために水をくめ。あなたのとりでを堅めよ。粘土の中にはいって、しっくいを踏み、れんがの型をとれ。

כַּיֶּלֶק	תְּאכְלֵךְ	חֶרֶב	תַּכְרִיתֵךְ	אֵשׁ	תְּאכְלֵךְ	שָׁם		15
いなごの–ように	あなたを–食い尽くす	剣が	あなたを–断つ	火が	あなたを–焼き尽くす	そこで		
H3218	H0398	H2719	H3772	H0784	H0398	H8033		
			כְּאַרְבֶּה׃	הֻתְכַּבְּדִי	כַּיֶּלֶק	הִתְכַּבֵּד		
			ばったの–ように	増やせ	いなごの–ように	増やせ		
			H0697	H3513	H3218	H3513		

その所で火はあなたを焼き、つるぎはあなたを切る。それはいなごのようにあなたを食い滅ぼす。あなたはいなごのように数を増せ。ばったのようにふえよ。

וַיָּעָף׃	פָּשַׁט	יֶלֶק	הַשָּׁמַיִם	מִכּוֹכְבֵי	רָכְלַיִךְ	הִרְבֵּית		16
そして–飛び去る	脱皮し	いなごは	天の	天の–星より–多く	あなたの–商人を	あなたは–増やした		
	H6584	H3218	H8064	H3556	H7402			

あなたは自分の商人を天の星よりも多くした。いなごは羽をはって飛び去る。

17

הַחֹנִים	גֹּבַי	כִּגְנוֹב	וְטַפְסְרַיִךְ	כָּאַרְבֶּה	מִנְזָרֶיךָ
宿る	いなごの–群れの–ように	群がる	そして–あなたの–役人は	ばったの–ように	あなたの–番兵は
H2583			H2951	H0697	H4502

מְקוֹמוֹ	נוֹדַע	וְלֹא־	וְנוֹדַד	זָרְחָה	שֶׁמֶשׁ	קָרָה	בְיוֹם	בַּגְּדֵרוֹת
その–場所は	知られない	そして–知られない	飛び立ち	昇ると	太陽が	寒い	寒い–日に	石垣に
H4725	H3045	H3808	H5074	H2224	H8121	H7135	H3117	H1448

אַיִם׃
どこに
H0335

あなたの君たちは、ばったのように、あなたの学者たちは、いなごのように、寒い日には垣にとまり、日が出て来ると飛び去る。そのありかはだれも知らない。

18

אַדִּירֶיךָ	יִשְׁכְּנוּ	אַשּׁוּר	מֶלֶךְ	רֹעֶיךָ	נָמוּ
あなたの–貴族たちは	横たわる	アッシリアの	アッシリアの–王よ	あなたの–牧者たちは	眠りこけた
H0117	H7931	H0804	H4428		H5123

מְקֻבָּץ׃	וְאֵין	הֶהָרִים	עַל־	עַמְּךָ	נָפֹצוּ
いない	そして–集める–者は	山々の	山々の–上に	あなたの–民は	散らされた
H6908	H0369	H2022			

アッスリヤの王よ、あなたの牧者は眠り、あなたの貴族はまどろむ。あなたの民は山の上に散らされ、これを集める者はない。

19

שִׁמְעֲךָ	וְכָל	מַכָּתֶךָ	נַחְלָה	לְשִׁבְרֶךָ	כֵּהָה	אֵין־
あなたの–噂を–聞く	すべての	あなたの–打ち傷は	致命的である	あなたの–傷に	癒しは	癒しは–ない
H8085	H3605	H4347		H7667	H3545	H0369

מִי	עַל־	כִּי	עָלֶיךָ	כַּף	תָּקְעוּ	שִׁמְעֲךָ
誰の	誰の–上に	なぜなら	あなたについて	手を	手を–打つ	あなたの–噂を
H4310				H3709	H8628	

תָּמִיד׃	רָעָתְךָ	עָבְרָה	לֹא־
絶えず	あなたの–悪は	及ばなかった	及ばなかった–ことが–あろうか
H8548			H3808

あなたの破れは、いえることがなく、あなたの傷は重い。あなたのうわさを聞く者は皆、あなたの事について手を打つ。あなたの悪を常に身に受けなかったような者が、だれひとりあるか。

Habakkuk

Chapter 1

הַמַּשָּׂא	אֲשֶׁר	חָזָה	חֲבַקּוּק	הַנָּבִיא׃	1
宣告	預言者–ハバククが	見た	ハバククが	預言者が	
H4853	H834	H2372	H2265	H5030	

預言者ハバククが見た神の託宣。

אֶזְעַק	תִּשְׁמָע	וְלֹא	שִׁוַּעְתִּי	יְהוָה	אָנָה	עַד־	2
わたしは–叫ぶ	聞いてくださらない	あなたは	わたしは–叫ぶのか	主よ	いつまで	いつまで	
H2199	H8085	H3808	H7768	H3068	H0575	H5704	

תוֹשִׁיעַ׃	וְלֹא	חָמָס	אֵלֶיךָ	
救ってくださらない	あなたは	暴力と	あなたに	
H3467	H3808	H2555	H0413	

主よ、わたしが呼んでいるのに、いつまであなたは聞きいれて下さらないのか。わたしはあなたに「暴虐がある」と訴えたが、あなたは助けて下さらないのか。

וְחָמָס	וְשֹׁד	תַּבִּיט	וְעָמָל	אָוֶן	תַּרְאֵנִי	לָּמָּה	3
そして–暴力が	そして–破壊と	見ているのか	そして–苦しみを	不正を	わたしに–見せるのか	なぜ	
H2555	H7701	H5027	H5999	H0205	H7200	H4100	

יִשָּׂא׃	וּמָדוֹן	רִיב	וַיְהִי	לְנֶגְדִּי	
立ち上がる	そして–紛争が	争いと	そして–起こる	わたしの–前に–ある	
H5375	H4066	H7379	H1961	H5048	

あなたは何ゆえ、わたしによこしまを見せ、何ゆえ、わたしに災を見せられるのか。略奪と暴虐がわたしの前にあり、また論争があり、闘争も起っている。

כִּי	מִשְׁפָּט	לָנֶצַח	יֵצֵא	וְלֹא־	תִּוָּרֶה	תָּפוּג	כֵּן	עַל־	4
なぜなら	正義が	永遠に	出ない	そして–出ない	律法が	弱まる	それゆえ	それゆえ	
H4941	H5331	H3318	H3808	H8451	H6313				

מְעֻקָּל׃	מִשְׁפָּט	יֵצֵא	כֵּן	עַל־	הַצַּדִּיק	אֶת־	מַכְתִּיר	רָשָׁע	
曲げられて	正義が	出る	それゆえ	それゆえ	正しい–者を	(を)	取り囲む	悪しき–者が	
H6127	H4941	H3318			H6662	H0853	H3803	H7563	

それゆえ、律法はゆるみ、公義は行われず、悪人は義人を囲み、公義は曲げて行われている。

פֹּעֵל	פֹּעַל	כִּי־	תְמָהוּ	וְהִתְמַהְמְהוּ	וְהַבִּיטוּ	בַגּוֹיִם	רְאוּ	5
わたしは–行う	わざを	なぜなら	驚け	そして–驚け	そして–見つめよ	国々の–中で	見よ	
H6466	H6467		H8539	H8539	H5027		H7200	

יְסֻפָּר׃	כִּי	תַאֲמִינוּ	לֹא	בִּימֵיכֶם	
語られても	たとえ	信じない	信じないであろう	あなたがたの–日々に	
		H0539	H3808	H3117	

諸国民のうちを望み見て、驚け、そして怪しめ。わたしはあなたがたの日に一つの事をする。人がこの事を知らせても、あなたがたはとうてい信じまい。

6

וְהַנִּמְהָר	הַמַּר	הַגּוֹי	הַכַּשְׂדִּים	אֵת־	מֵקִים	הִנֵּנִי	כִּי־
そして–性急な	残忍な	残忍な–国民を	カルデア人を	(を)	起こす	わたしは	なぜなら–見よ
H4751			H3778	H0853		H2009	

לֹוֹ׃	לֹא־	מִשְׁכְּנוֹת	לָרֶשֶׁת	אֶרֶץ	לְמֶרְחֲבֵי־	הַהוֹלֵךְ
自分の	自分の–ものでは–ない	住まいを	奪めるために	地を	広い–地を	行く–者
	H3808	H4908	H3423	H0776	H4800	H1980

見よ、わたしはカルデヤびとを興す。これはたけく、激しい国民であって、地を縦横に行きめぐり、自分たちのものでないすみかを奪う。

7

יֵצֵא׃	וּשְׂאֵתוֹ	מִשְׁפָּטוֹ	מֵעַמּוֹ	הוּא	וְנוֹרָא	אָיֹם
出る	その–威光が	その–正義と	自分たちから	彼らは	そして–惚ろしい	恐ろしく
H3318	H7613	H4941		H1931	H3372	H0366

これはきびしく、恐ろしく、そのさばきと威厳とは彼ら自身から出る。

8

וּפָשׁוּ	עֶרֶב	מִזְּאֵבֵי	וְחַדּוּ	סוּסָיו	מִנְּמֵרִים	וְקַלּוּ	
そして–飛びかかる	夕暮れの	夕暮れの–狼より	そして–獣猛である	その–馬は	豹よりも	そして–速い	
	H6153	H2061			H5246	H7043	

לֶאֱכוֹל׃	חָשׁ	כְּנֶשֶׁר	יָעֻפוּ	יָבֹאוּ	מֵרָחוֹק	וּפָרָשָׁיו	פָּרָשָׁיו
食べるために	急いで	鷲のように	飛ぶ	来る	遠くから	その–騎兵は	その–騎兵は
H0398		H5404		H0935	H7350		

その馬はひょうよりも速く、夜のおおかみよりも荒い。その騎兵は威勢よく進む。すなわち、その騎兵は遠い所から来る。彼らは物を食おうと急ぐわしのように飛ぶ。

9

וַיֶּאֱסֹף	קָדִימָה	פְּנֵיהֶם	מְנַמַּת	יָבוֹא	לְחָמָס	כֻּלֹּה	
そして–集める	前へ	その–顔の	その–顔の–向きは	来る	暴力の–ために	すべての–者が	
H0622	H6921	H6440	H4041	H0935	H2555	H3605	

שֶׁבִי׃	כַּחוֹל
捕虜を	砂の–ように
	H2344

彼らはみな暴虐のために来る。彼らを恐れる恐れが彼らの前を行く。彼らはとりこを砂のように集める。

10

לְכָל־	הוּא	לוֹ	מִשְׂחָק	וְרוֹזְנִים	יִתְקַלָּס	בַּמְּלָכִים	וְהוּא	
すべての	彼は	彼にとって	笑いぐさ	そして–支配者たちは	嘲笑する	王たちを	そして–彼は	
H3605	H1931		H4890	H7336	H7046	H4428	H1931	

וַיִּלְכְּדָהּ׃	עָפָר	וַיִּצְבֹּר	יִשְׂחָק	מִבְצָר
そして–攻め落とす	土を	そして–積み上げる	嘲笑する	砦を
H3920	H6083	H6651	H7832	H4013

彼らは王たちを侮り、つかさたちをあざける。彼らはすべての城をあざ笑い、土を積み上げてこれを奪う。

11

כֹּחוֹ	זוּ	וְאָשֵׁם	וַיַּעֲבֹר	רוּחַ	חָלַף	אָז	
その–力が	この	そして–罪ある–者となる	そして–過ぎ去る	風の–ように	通り過ぎる	その時	
	H2098	H0816		H7307	H2498		

לֵאלֹהָיו׃	
その–神である	
H0430	

こうして、彼らは風のようになぎ倒して行き過ぎる。彼らは罪深い者で、おのれの力を神となす。

12 הֲלֹוא אַתָּה מִקֶּדֶם יְהוָה אֱלֹהַי קְדֹשִׁי
あなたは–ではないか あなたは 太古からの 主よ わたしの–神よ わたしの–聖なる–方よ
H3808 H0430 H3068 H6918

לֹא נָמוּת יְהוָה לְמִשְׁפָּט שַׂמְתּוֹ וְצוּר לְהוֹכִיחַ
私たちは–死なない 主よ 裁きの–ために あなたは–彼を–定めた そして–岩よ 正すために
H3808 H4191 H3068 H4941 H6697 H3198

יְסַדְתּוֹ׃
あなたは–彼を–立てた
H3245

わが神、主、わが聖者よ。あなたは永遠からいますかたではありませんか。わたしたちは死んではならない。主よ、あなたは彼らをさばきのために備えられた。岩よ、あなたは彼らを懲しめのために立てられた。

13 טְהוֹר עֵינַיִם מֵרְאוֹת רָע וְהַבִּיט עָמָל לֹא
清い 目である–から 悪を–見るには 悪を 見る–そして–苦しみを–を 苦しみを できない
H2890 H5869 H7200 H7451 H5027 H5999 H0413 H3808

תַּחֲרִישׁ בְּבַלַּע רָשָׁע מִמֶּנּוּ׃ צַדִּיק
黙っているのか 悪しき–者が–飲み込む–ときに 悪しき 自分より 自分より–正しい–者を
H2790 H1104 H7563 H4480 H6662

あなたは目が清く、悪を見られない者、また不義を見られない者であるのに、何ゆえ不真実な者に目をとめていられるのですか。悪しき者が自分よりも正しい者を、のみ食らうのに、何ゆえ黙っていられるのですか。

14 וַתַּעֲשֶׂה אָדָם כִּדְגֵי הַיָּם כְּרֶמֶשׂ לֹא־
そして–あなたは–作った 人を 海の–魚の–ように 這う–ものの–ように 治める–者の–いない
H6213 H0120 H1709 H3220 H7431 H3808

מֹשֵׁל בּוֹ׃
治める–者の それを
H4910

あなたは人を海の魚のようにし、治める者のない這う虫のようにされる。

15 כֻּלּוֹ בְּחַכָּה הֶעֱלָה יְגָרֵהוּ בְּחֶרְמֹו וַיַּאַסְפֵּהוּ בְּמִכְמַרְתּוֹ
すべてを 釣り針で 引き上げる 網で–引き寄せる 網で そして–地引き網で–集める 地引き網で
H3605 H2443 H5927 H1641 H2764 H0622

וְיָגִיל׃ יִשְׂמַח כֵּן עַל־
そして–踊る 喜ぶ それゆえ それゆえ
H1523 H8055

彼はつり針でこれをことごとくつり上げ、網でこれを捕え、引き網でこれを集め、こうして彼は喜び楽しむ。

16 כִּי לְמִכְמַרְתּוֹ וַיְקַטֵּר לְחֶרְמֹו יִזְבַּח כֵּן עַל־
なぜなら 地引き網に そして–香を–たく 網に いけにえを–ささげる それゆえ それゆえ
H2076

בְּרִאָה׃ וּמַאָכְלוֹ חֶלְקּוֹ שָׁמֵן בָּהֵמָּה
肖えている そして–その–食べ物が その–分け前が 豊かである それらによって
H1277 H3978 H8082 H1992

それゆえ、彼はその網に犠牲をささげ、その引き網に香をたく。これによって彼はぜいたくに暮し、その食物も豊かになるからである。

יַחְמֹֽול׃	לֹא	גֹּויִם	לַהֲרֹג	וְתָמִיד	חֶרְמֹו	יָרִיק	כֵּן	הָעַל	17
容赦なく	容赦なく	国々を	殺すことを	そして–絶えず	網を	空にするのか	それゆえ	それゆえ	
H2550	H3808		H2026	H8548		H7324			

ס
(段落)

それで、彼はいつまでもその網の獲物を取り入れて、無情にも諸国民を殺すのであろうか。

Chapter 2

מָצֹור	עַל־	וְאֶתְיַצְּבָה	אֶעֱמֹדָה	מִשְׁמַרְתִּי	עַל־	1
砦の	砦の–上に	そして–構える	わたしは–立つ	わたしの–見張り所に	わたしの–見張り所に	
H4692		H3320	H5975	H4931		

אָשִׁיב	וּמָה	בִּי	יְדַבֵּר־	מַה־	לִרְאֹות	וַאֲצַפֶּה	
答えようか	そして–何を	わたしに	語りかけられるか	何を	見るために	そして–見守る	
H7725	H4100		H1696	H4100	H7200	H6822	

תֹּוכַחְתִּי׃	עַל־
わたしの–訴えに	わたしの–訴えに–ついて

わたしはわたしの見張所に立ち、物見やぐらに身を置き、望み見て、彼がわたしになんと語られるかを見、またわたしの訴えについてわたし自らなんと答えたらよかろうかを見よう。

עַל־	וּבְאֵר	חָזֹון	כְּתֹוב	וַיֹּאמֶר	יְהוָה	וַיַּעֲנֵנִי	2
板の–上に	そして–明らかにせよ	幻を	書き記せ	そして–言われた	主は	そこで–答えてくださった	
	H0874	H2377	H3789	H0559	H3068		

בֹּו׃	קֹורֵא	רָוּץ	לְמַעַן	הַלֹּחֹות	
それを	読める–者が	走りながら	走りながら–読める–ように	板の	
	H7121	H7323	H4616	H3871	

主はわたしに答えて言われた、「この幻を書き、これを板の上に明らかにしるし、走りながらも、これを読みうるようにせよ。

לַקֵּץ	וְיָפֵחַ	לַמֹּועֵד	חָזֹון	עֹוד	כִּי	3
終わりに–向かって	そして–急いでいる	定められた–時の–ためであり	幻は	まだ	なぜなら	
H7093	H6315	H4150	H2377	H5750		

לֹא	יְבֹא	בֹּא	כִּי־	לֹו	חַכֵּה־	יִתְמַהְמָהּ	אִם־	יְכַזֵּב	וְלֹא
遅れない	来るのである	来る	必ず	それを	待て	遅れても	たとえ	偽らない	そして–偽らない
H3808	H0935	H0935			H2442	H4102		H3576	H3808

יְאַחֵר׃
遅れない
H0309

この幻はなお定められたときを待ち、終りをさして急いでいる。それは偽りではない。もしおそければ待っておれ。それは必ず臨む。滞りはしない。

4

בּוֹ	נַפְשׁוֹ	יָשְׁרָה	לֹא־	עֻפְּלָה	הִנֵּה
その–中で	その–たましいは	まっすぐでない	まっすぐで–ない	高慢な–者は	見よ
	H5315	H3474	H3808		H2009

יִחְיֶה׃	בֶּאֱמוּנָתוֹ	וְצַדִּיק
生きる	その–信仰によって	しかし–正しい–者は
H2421	H0530	H6662

見よ、その魂の正しくない者は衰える。しかし義人はその信仰によって生きる。

5

וְלֹא	יָהִיר	גֶּבֶר	בּוֹגֵד	הַיַּיִן	כִּי־	וְאַף
そして–止まらない	高慢な	高慢な–者は	裏切る	ぶどう酒は	ぶどう酒は	そして–まことに
H3808	H3093	H1397	H0898	H3196		H0637

וְהוּא	נַפְשׁוֹ	כִּשְׁאוֹל	הִרְחִיב	אֲשֶׁר	יִנְוֶה
そして–彼は	その–たましいを	よみの–国の–ように	広げる	その–貪欲を–広げる	止まらない
H1931	H5315	H7585	H7337		

הַגּוֹיִם	כֹּל־	אֵלָיו	וַיֶּאֱסֹף	יִשְׂבָּע	וְלֹא	כַמָּוֶת
国々を	すべての	自分に	そして–集める	満たされない	そして–満たされない	死の–ように
	H3605	H0413	H0622	H7646	H3808	H4194

הָעַמִּים׃	כֹּל־	אֵלָיו	וַיְקַבֵּץ
民を	すべての	自分に	そして–かき集める
	H3605	H0413	H6908

また、酒は欺くものだ。高ぶる者は定まりがない。彼の欲は陰府のように広い。彼は死のようであって、飽くことなく、万国をおのれに集め、万民をおのれのものとしてつどわせる」。

6

וּמְלִיצָה	יִשְׂאוּ	מָשָׁל	עָלָיו	כֻּלָּם	אֵלֶּה	הֲלוֹא־
そして–謎かけの	取り上げ	たとえを–取り上げ	彼に–対して	皆	これらは–皆	では–ないか
H4426	H5375	H4912		H3605	H0428	H3808

לֹא־	הַמַּרְבֶּה	הוֹי	וְיֹאמַר	לוֹ	חִידוֹת
自分の–もので–ない–ものを	増やす–者よ	ああ	そして–言う	彼に	謎かけの–言葉で
H3808		H1945	H0559		H2420

עַבְטִיט׃	עָלָיו	וּמַכְבִּיד	מָתַי	עַד־	לוֹ
質草を	自分の–上に	そして–重くする–者よ	いつまで	いつまで	自分の–ものでない
H5671		H3513	H4970	H5704	

これらは皆ことわざをもって彼をあざけり、あざけりのなぞをもって彼をあざ笑わないだろうか。すなわち言う、「わざわいなるかな、おのれに属さないものを増し加える者よ。いつまでこのようであろうか。質物でおのれを重くする者よ」。

7

מְזַעְזְעֶיךָ	וְיִקְצוּ	נֹשְׁכֶיךָ	יָקוּמוּ	פֶּתַע	הֲלוֹא
あなたを–揺さぶる–者が	そして–目覚めるのでは	あなたを–噛む–者が	起き上がるのでは	突然	突然
H2111	H6974			H6621	H3808

לָמוֹ׃	לְמִשִּׁסּוֹת	וְהָיִיתָ
彼らの–ために	略奪物と	そして–あなたは–なる
	H4933	H1961

あなたの負債者は、にわかに興らないであろうか。あなたを激しくゆすぶる者は目ざめないであろうか。その時あなたは彼らにかすめられる。

8

כָּל־ / 残りの–すべての / H3605
יְשָׁלּוּךָ / あなたを–奪う
רַבִּים / 多くの
גּוֹיִם / 多くの–国々を
שָׁלָלוּךָ / 奪った
אַתָּה / あなたが
כִּי / あなたが–略奪したから

קִרְיָה / 町と / H7151
אֶרֶץ / 地に / H0776
וַחֲמַס־ / そして–地に–対する–暴力の–ゆえに / H2555
אָדָם / 人の / H0120
מִדְּמֵי / 人の–血の–ゆえに / H1818
עַמִּים / 民が
יֶתֶר / 残りの

פ / (段落)
בָּהּ׃ / その–中に
יוֹשְׁבֵי / 住む–者の–ために / H3427
וְכָל־ / そして–すべての / H3605

あなたは多くの国民をかすめたゆえ、そのもろもろの民の残れる者は皆あなたをかすめる。これは人の血を流し、国と町と、その中に住むすべての者に暴虐を行ったからである。

9

בַּמָּרוֹם / 高い–所に / H4791
לָשׂוּם / 置く–ために
לְבֵיתוֹ / 自分の–家の–ために
רָע / 悪しき
בֶּצַע / 不正な–利得を / H1215
בֹּצֵעַ / 不正な–利得を–得る–者よ / H1214
הוֹי / ああ / H1945

רָע׃ / 悪の
מִכַּף־ / 悪の–手から / H3709
לְהִנָּצֵל / 免れるために / H5337
קִנּוֹ / 自分の–巣を / H7064

わざわいなるかな、災の手を免れるために高い所に巣を構えようと、おのが家のために不義の利を取る者よ。

10

וְחוֹטֵא / そして–罪を–犯している / H2398
רַבִּים / 多くの
עַמִּים / 民を
קָצוֹת־ / 多くの–民を–断ち / H7096
לְבֵיתֶךָ / 自分の–家に
בֹּשֶׁת / 恥を / H1322
יָעַצְתָּ / 企んだ / H3289

נַפְשֶׁךָ׃ / 自分の–たましいに–対して / H5315

あなたは事をはかって自分の家に恥を招き、多くの民を滅ぼして、自分の生命を失った。

11

כִּי־ / なぜなら
אֶבֶן / 石が / H0068
מִקִּיר / 壁から / H7023
תִּזְעָק / 叫ぶ / H2199
וְכָפִיס / そして–梱が / H3714
מֵעֵץ / 木から / H6086
יַעֲנֶנָּה׃ / 答える

פ / (段落)

石は石がきから叫び、梁は建物からこれに答えるからである。

12

הוֹי / ああ / H1945
בֹּנֶה / 建てる–者よ / H1129
עִיר / 町を
בְּדָמִים / 血で / H1818
וְכוֹנֵן / そして–建てる–者よ
קִרְיָה / 町を / H7151
בְּעַוְלָה׃ / 不正で

わざわいなるかな、血をもって町を建て、悪をもって町を築く者よ。

13

הֲלוֹא / では–ないか / H3808
הִנֵּה / 見よ / H2009
מֵאֵת / 主からの–ことである / H0854
יְהוָה / 主の / H3068
צְבָאוֹת / 万軍の
וְיִיגְעוּ / そして–労する / H3021
עַמִּים / 民々が
בְּדֵי־ / 火の–ために–だけ / H1767

יִעָפוּ׃ / 疲れ果てる / H3286
רִיק / 空しさの / H7385
בְּדֵי־ / 空しさの–ために–だけ / H1767
וּלְאֻמִּים / そして–諸国民が / H3816
אֵשׁ / 火の / H0784

見よ、もろもろの民は火のために労し、もろもろの国びとはむなしい事のために疲れる。これは万軍の主から出る言葉ではないか。

14 כִּי תִמָּלֵא הָאָרֶץ לָדַעַת אֶת־כְּבוֹד יְהוָה כַּמַּיִם יְכַסּוּ עַל־
なぜなら 満ちる 地は 知ることで (を) 主の–栄光を 主の 水が–覆う–ように 覆う 海を
H4390 H0776 H3045 H0853 H3519 H3068 H4325 H3680

יָם׃ ס
海を (段落)
H3220

海が水でおおわれているように、地は主の栄光の知識で満たされるからである。

15 לְמַעַן שַׁכֵּר וְאַף חֲמָתְךָ מְסַפֵּחַ רֵעֵהוּ מַשְׁקֵה אוֹי
見るために 酔わせる そして–また あなたの–毒を 混ぜる 隣人に 飲ませる–者よ ああ
H4616 H7937 H0637 H2573 H7453 H8248 H1945

מְעוֹרֵיהֶם׃ עַל־ הַבִּיט
その–裸を その–裸を 見るために
H4589 H5027

わざわいなるかな、その隣り人に怒りの杯を飲ませて、これを酔わせ、彼らの隠し所を見ようとする者よ。

16 וְהֵעָרֵל שְׁבַע קָלוֹן מִכָּבוֹד שְׁתֵה גַּם־ אַתָּה
そして–割礼のない–者となれ 満ちた 恥で 栄光の–代わりに 飲め あなたも–また あなたも
H6188 H7646 H7036 H3519 H8354 H1571 H0859

וְקִיקְלוֹן יְהוָה יְמִין כּוֹס עָלֶיךָ תִסּוֹב
そして–恥辱が 主の 右の–手の 主の–右の–手の–杯が あなたの–上に 廻り–来る
H7022 H3068 H3225 H5437

כְּבוֹדֶךָ׃ עַל־
あなたの–栄光の あなたの–栄光の–上に
H3519

あなたは誉の代りに恥に飽き、あなたもまた飲んでよろめけ。主の右の手の杯は、あなたに巡り来る。恥はあなたの誉に代る。

17 כִּי חֲמַס לְבָנוֹן יְכַסֶּךָּ וְשֹׁד בְּהֵמוֹת
なぜなら レバノンに–対する–暴力が レバノンの あなたを–覆う そして–獣の–破壊が 獣の
H2555 H3844 H3680 H7701 H0929

וַחֲמַס־ אֶרֶץ קִרְיָה
そして–地に–対する–暴力の–ゆえに 地に 町と
H2555 H0776 H7151

מִדְּמֵי אָדָם יְחִיתֶן
人の–血の–ゆえに 人の あなたを–恐れさせる
H1818 H0120 H2865

בָּהּ׃ ס וְכָל־ יֹשְׁבֵי
その–中に (段落) そして–すべての 住む–者の–ために
H3605 H3427

あなたがレバノンになした暴虐は、あなたを倒し、獣のような滅亡は、あなたを恐れさせる。これは人の血を流し、国と町と、町の中に住むすべての者に、暴虐を行ったからである。

18 מַה־ הוֹעִיל פֶּסֶל כִּי פְסָלוֹ יְצָרוֹ מַסֵּכָה
何の–役に–立つのか 役に立つのか 刻まれた–像は なぜなら 彫ったのだ その–作者が 鋳た–像と
H4100 H3276 H6459 H6458 H3336

לַעֲשׂוֹת עָלָיו יְצִיר בָּטַח כִּי יֹצֵר שֶׁקֶר וּמוֹרֵה
作るために それの–上に 自分の–作品に 作者が 頼る なぜなら 偽りを そして–偽りを–教える–者と
H3336 H3335 H0982 H8267

אִלְּמִים׃ אֱלִילֵי ס
物言わぬ 物言わぬ–偶像を (段落)
H0483 H0457

刻める像、鋳像および偽りを教える者は、その作者がこれを刻んだとてなんの益があろうか。その作者が物言わぬ偶像を造って、その造ったものに頼んでみても、なんの益があろうか。

הִנֵּה־	יוֹרֶה	הֲוּא	דּוּמָם	לְאֶבֶן	עוּרִי	הָקִיצָה	לָעֵץ	אֹמֵר	הוֹי	19
見よ	教えるのか	それが	黙っている–石に	石に	起きよ	目覚めよ	木に	言う–者よ	ああ	
H2009		H1931	H1748	H0068	H5782	H6974	H6086	H0559	H1945	

בְּקִרְבּוֹ׃	אֵין	רוּחַ	וְכָל־	וְכֶסֶף	זָהָב	תָּפוּשׂ	הֹוא
その–中には	ない	息は	しかし–すべての	そして–銀で	金と	覆われている	それは
H7130	H0369	H7307	H3605	H3701	H2091	H8610	H1931

わざわいなるかな、木に向かって、さめよと言い、物言わぬ石に向かって、起きよと言う者よ。これは黙示を与え得ようか。見よ、これは金銀をきせたもので、その中には命の息は少しもない。

פ	׃הָאָרֶץ	כָּל־	מִפָּנָיו	הַס	קָדְשׁוֹ	בְּהֵיכַל	וַיהוָה	20
(段落)	全–地よ	全–地よ	その–前に	黙れ	聖なる	その–聖なる–神殿に–おられる	しかし–主は	
	H0776	H3605	H6440	H2013	H6944	H1964	H3068	

しかし、主はその聖なる宮にいます、全地はそのみ前に沈黙せよ。

Chapter 3

׃שְׁגְיֹנוֹת	עַל	הַנָּבִיא	לַחֲבַקּוּק	תְּפִלָּה	1
シギヨノトに	シギヨノトに–合わせて	ハバククの–預言者の	預言者–ハバククの	祈り	
H7692		H5030	H2265	H8605	

シギヨノテの調べによる、預言者ハバククの祈。

בְּקֶרֶב	פָּעָלְךָ֙	יְהוָה	יָרֵאתִי֙	שִׁמְעֲךָ֙	שָׁמַעְתִּי	יְהוָה	2
年々の–中で	あなたの–わざを	主よ	わたしは–畏れる	あなたの–知らせを	わたしは–聞いた	主よ	
H7130	H6467	H3068	H3372		H8085	H3068	

רַחֵם	בְּרֹגֶז	תּוֹדִיעַ	שָׁנִים	בְּקֶרֶב	חַיֵּיהוּ	שְׁנֵים֙
あわれみを	怒りの–中にあっても	知らしめてください	年々の	年々の–中で	生かしてください	年々の
H7355	H7267	H3045	H8141	H7130	H2421	H8141

׃תִּזְכֹּור
思い出してください
H2142

主よ、わたしはあなたのことを聞きました。主よ、わたしはあなたのみわざを見て恐れます。この年のうちにこれを新たにし、この年のうちにこれを知らせてください。怒る時にもあわれみを思いおこしてください。

סֶלָה	פָּארָן	מֵהַר־	וְקָדוֹשׁ	יָבֹוא	מִתֵּימָן	אֱלוֹהַ֙	3
セラ	パランの	パランの–山から	そして–聖なる–方は	来られる	テマンから	神は	
H5542	H6290	H2022	H6918	H0935	H8487	H0433	

׃הָאָרֶץ	מָלְאָה	וּתְהִלָּתוֹ	הוֹדוֹ	שָׁמַיִם֙	כִּסָּה
地に	満ちた	そして–その–賛美が–満ちた	その–威光が	天を	その–威光が–覆った
H0776	H4390	H8416	H1935	H8064	H3680

神はテマンからこられ、聖者はパランの山からこられた。その栄光は天をおおい、そのさんびは地に満ちた。[セラ

חֲבִיוֹן	וְשָׁם	לֹו	מִיָּדֹו	קְרָנַיִם	תְּהִיֶּה	כָּאֹור	וְנִגְהֹה֙	4
その–力の	そして–そこに	その–手に–ある	その–手から	角が	なる	光の–ように	そして–輝きは	
H2253	H8033		H3027		H1961	H0216	H5051	

׃עֻזֹּה
隠れ場が–ある
H5797

その輝きは光のようであり、その光は彼の手からほとばしる。かしこにその力を隠す。

5	לְפָנָיו	יֵלֶךְ	דָּבֶר	וְיֵצֵא	רֶשֶׁף	לְרַגְלָיו׃
	その–前に	行く	疫病が	そして–出る	灾いが	その–足の–あとに
	H6440	H3212	H1698	H3318	H7565	H7272

疫病はその前に行き、熱病はその後に従う。

6	וַיִּתְפֹּצְצוּ	גּוֹיִם	וַיִּתָּר	רָאָה	אֶרֶץ	וַיְמַדֵּד	עָמַד
	そして–砕けた	国々を	そして–飛び上がらせた	見られた	地を	そして–測られた	主は–立ち
				H7200	H0776	H4128	H5975

הַרְרֵי־	עַד	שַׁחוּ	גִּבְעוֹת	עוֹלָם	הֲלִיכוֹת	עוֹלָם	לוֹ׃
永遠の–山々が	永遠の	沈んだ	太古の–丘が	太古の	その–道は	永遠の	その–道である
H2042	H5703	H7817	H1389	H5769	H1979	H5769	

彼は立って、地をはかり、彼は見て、諸国民をおののかせられる。とこしえの山は散らされ、永遠の丘は沈む。彼の道は昔のとおりである。

7	יְרִיעוֹת	יִרְגְּזוּן	כּוּשָׁן	אָהֳלֵי	רָאִיתִי	אָוֶן	תַּחַת
	ミデヤンの–幕が	震える	クシャンの	クシャンの–天幕を	わたしは–見た	苦しみの	苦しみの–下に
	H3407	H7264	H3572	H0168	H7200	H0205	H8478

אֶרֶץ	מִדְיָן׃	ס	
ミデヤンの–地の	ミデヤンの	(段落)	
H0776	H4080		

わたしが見ると、クシャンの天幕に悩みがあり、ミデアンの国の幕は震う。

8	הֲבַנְּהָרִים	יְהוָה	חָרָה	אִם	בַּנְּהָרִים	אַפֶּךָ	
	川に–対してなのか	主よ	怒ったのは	川に–対してなのか	川に	あなたの–怒りは	
	H5104	H3068	H2734		H5104	H0639	

אִם־	בַּיָּם	עֶבְרָתֶךָ	כִּי	תִרְכַּב	עַל־
海に–対してなのか	海に	あなたの–憤りは	あなたが–乗るからである	乗る	あなたの–馬に
	H3220	H5678		H7392	

סוּסֶיךָ	מַרְכְּבֹתֶיךָ	יְשׁוּעָה׃
あなたの–馬に	あなたの–戦車は	救いである
	H4818	H3444

主よ、あなたが馬に乗り、勝利の戦車に乗られる時、あなたは川に向かって怒られるのか。川に向かって憤られるのか。あるいは海に向かって立腹されるのか。

9	עָרְיָה	תֵּעוֹר	קַשְׁתְּךָ	שִׁבְעוֹת	מַטּוֹת	אָמַר	סֶלָה	נְהָרוֹת
	あらわに–される	あらわになる	あなたの–弓は	誓いの–矢が	矢が	御言葉である	セラ	川で
	H6181	H5783	H7198	H7621	H4294	H0562	H5542	H5104

תְּבַקַּע־	אָרֶץ׃
あなたは–引き裂く	地を
H1234	H0776

あなたの弓は取り出された。矢は、弦につがえられた。[セラ あなたは川をもって地を裂かれた。

10	קוֹלוֹ	תְּהוֹם	נָתַן	עָבַר	מַיִם	זֶרֶם	הָרִים	יָחִילוּ	רָאוּךָ
	その–声を	深淵が	上げた	過ぎ去る	大水の	大水の–流れが	山々が	もだえる	あなたを–見て
		H8415	H5414		H4325	H2230	H2022		H7200

נָשָׂא׃	יָדָיו	רוֹם
上げた	その–手を	高く
H5375	H3027	H7315

山々はあなたを見て震い、荒れ狂う水は流れいで、淵は声を出して、その手を高くあげた。

11 שֶׁמֶשׁ יָרֵחַ עָמַד זְבֻלָה לְאוֹר חִצֶּיךָ יְהַלֵּכוּ
太陽と 月は 止まった その-高い-住まいに あなたの-光に あなたの-矢の 飛ぶ
H8121 H3394 H5975 H2073 H0216 H2671 H1980

לְנֹגַהּ חֲנִיתֶךָ׃ בְּרֶק
あなたの-輝きに あなたの-槍の あなたの-槍の-稲妻に
H5051 H2595

飛び行くあなたの矢の光のために、電光のようにきらめく、あなたのやりのために、日も月もそのすみかに立ち止まった。

12 בְּזַעַם תִּצְעַד־ אָרֶץ בְּאַף תָּדוּשׁ גּוֹיִם׃
憤りで あなたは-歩まれる 地を 怒りで あなたは-踏みにじる 国々を
H2195 H6805 H0776 H0639 H1758

あなたは憤って地を行きめぐり、怒って諸国民を踏みつけられた。

13 יָצָאתָ לִישַׁע עַמֶּךָ לִישַׁע אֶת־
あなたは-出て-行かれた 救いの-ために あなたの-民の 救いの-ために (を)
H3318 H3468 H3468 H0854

מָחַצְתָּ רֹאשׁ מִבֵּית רָשָׁע מְשִׁיחֶךָ
あなたは-打ち砕いた 頭を 悪しき-者の-家から 悪しき あなたの-油注がれた-者の-ために
H4272 H7563 H4899

עָרוֹת יְסוֹד עַד־ צַוָּאר סֶלָה׃ פ
あらわにした 基から 首まで 首まで セラ (段落)
H6168 H3247 H5704 H5542

あなたはあなたの民を救うため、あなたの油そそいだ者を救うために出て行かれた。あなたは悪しき者の頭を砕き、彼を腰から首まで裸にされた。[セラ

14 נָקַבְתָּ בְּמַטָּיו רֹאשׁ]פרזו[(פְּרָזָיו) יִסְעֲרוּ
あなたは-貫いた その-矢で 頭を (※) その-戦士たちの 嵐のように-攻め来た
H5344 H4294 H7218 H6518 H6518 H5590

לַהֲפִיצֵנִי עֲלִיצָתָם כְּמוֹ־ לֶאֱכֹל עָנִי בַּמִּסְתָּר׃
わたしを-散らすために その-喜びは 食い尽くすように 食い尽くす 貧しい-者を 隠れた-所で
H6327 H5951 H3644 H0398 H6041 H4565

あなたはあなたのやりで将軍の首を刺しとおされた。彼らはわたしを散らそうとして、つむじ風のように来、貧しい者をひそかに、のみ滅ぼすことを楽しみとした。

15 דָּרַכְתָּ בַיָּם סוּסֶיךָ חֹמֶר מַיִם רַבִּים׃
あなたは-歩まれた 海を あなたの-馬で 大いなる-水の-泡立ちを 大いなる-水の 大いなる
H1869 H3220 H5553 H4325

あなたはあなたの馬を使って、海と大水のさかまくところを踏みつけられた。

16 וְשָׁמַעְתִּי בִּטְנִי לְקוֹל צָלְלוּ שִׂפְתַי
わたしは-聞いた わたしの-腹の-底が その-声に ふるえた わたしの-唇が
H8085 H0990 H6963 H6750 H8193

וְתִרְגַּז אֶרֶץ וְתַחְתַּי בַּעֲצָמַי יָבֹא רָקָב
そして-震えた わたしは-震える そして-わたしの-下で わたしの-骨に 腐りが 入ってくる
H7264 H0776 H8478 H6106 H7538 H0935

אָנוּחַ לְיוֹם צָרָה לַעֲלוֹת לְעָם יְגוּדֵנוּ׃
静かに-待つ 苦難の-日を 苦難の 攻め上って-くるのを わたしたちを-襲う-民に わたしたちを
H5117 H3117 H6869 H5927 H3816 H1464

אֲשֶׁר
わたしは-静かに-待つ
H834

わたしは聞いて、わたしのからだはわななき、わたしのくちびるはその声を聞いて震える。腐れはわたしの骨に入り、わたしの歩みは、わたしの下によろめく。わたしはわれわれに攻め寄せる民の上に悩みの日の臨むのを静かに待とう。

17 כִּי־ תְאֵנָה לֹא־ תִפְרָח וְאֵין יְבוּל בַּגְּפָנִים
たとえ いちじくの-木が 花-咲かなくても 花が そして-実が-なくても 実が ぶどうの-木に
H8384 H3808 H6085 H0369 H2981 H1612

כִּחֲשׁ מַעֲשֵׂה־ זַיִת וּשְׁדֵמוֹת לֹא־ עָשָׂה
裏切っても オリーブの-実りが オリーブの オリーブの-畑が そして 食物を-生み出さなくても 生み出さなくても
H3584 H4639 H2132 H7709 H3808

אֹכֶל גָּזַר מִמִּכְלָה צֹאן וְאֵין בָּקָר בָּרְפָתִים׃
食物を 断たれても 囲いから 羊が そして-いなくても 牛が 畜舎に
H0400 H1504 H4356 H6629 H0369 H1241 H7517

いちじくの木は花咲かず、ぶどうの木は実らず、オリブの木の産はむなしくなり、田畑は食物を生ぜず、おりには羊が絶え、牛舎には牛がいなくなる。

18 וַאֲנִי בַּיהוָה אָגִילָה אָעְלֹזָה בֵּאלֹהֵי יִשְׁעִי׃
しかし-わたしは 主にあって 喜ぶ 踊る 救いの-神に-あって 救いの
H0589 H3068 H5937 H1523 H0430 H3468

しかし、わたしは主によって楽しみ、わが救の神によって喜ぶ。

19 יְהוִה אֲדֹנָי חֵילִי וַיָּשֶׂם רַגְלַי כָּאַיָּלוֹת
主なる 神は わたしの-力である そして-置かれる わたしの-足を 鹿の-ように
H3069 H0136 H2428 H7272 H0355

לַמְנַצֵּחַ יַדְרִכֵנִי בָּמוֹתָי וְעַל בִּנְגִינוֹתָי׃
指揮者の-ために 歩ませてくださる 高い-所の そして-わたしの-高い-所の-上を
H5329 H1869 H1116

わたしの-弦楽器に-合わせて
H5058

主なる神はわたしの力であって、わたしの足を雌じかの足のようにし、わたしに高い所を歩ませられる。これを琴に合わせ、聖歌隊の指揮者によって歌わせる。

Zephaniah

Chapter 1

1 דְּבַר־ יְהוָה אֲשֶׁר הָיָה אֶל־ צְפַנְיָה בֶן־ כּוּשִׁי בֶן־ גְּדַלְיָה בֶן־ אֲמַרְיָה בֶן־ חִזְקִיָּה בִּימֵי יֹאשִׁיָּהוּ בֶן־ אָמוֹן מֶלֶךְ יְהוּדָה׃

言葉 主の 臨んだ ～が ゼパニヤに クシの 子 ゲダルヤの 子 アマリヤの 子 ヒゼキヤの ～の–日々に ヨシヤ 子 アモンの 王 ユダの

H1697 H3068 H1961 H0413 H6846 H3570 H1121 H1436 H0560 H2396 H3117 H2977 H1121 H0526 H4428 H3063

ユダの王アモンの子ヨシヤの世に、ゼパニヤに臨んだ主の言葉。ゼパニヤはクシの子、クシはゲダリヤの子、ゲダリヤはアマリヤの子、アマリヤはヒゼキヤの子である。

2 אָסֹף אָסִיף כֹּל מֵעַל פְּנֵי הָאֲדָמָה נְאֻם־ יְהוָה׃

必ず わたしは–一掃する すべてを ～の–上から 面 この–大地の 告げられた 主の

H0622 H5486 H3605 H4480 H6440 H0127 H5002 H3068

主は言われる、「わたしは地のおもてからすべてのものを一掃する」。

3 אָסֹף אָדָם וּבְהֵמָה אָסֹף עוֹף־ הַשָּׁמַיִם וְדִגֵי הַיָּם וְהַמַּכְשֹׁלוֹת אֶת־ הָרְשָׁעִים וְהִכְרַתִּי אֶת־ הָאָדָם מֵעַל פְּנֵי הָאֲדָמָה נְאֻם־ יְהוָה׃

わたしは–滅ぼす 人を そして–家畜を わたしは–滅ぼす 空の–鳥を 天の そして–海の–魚を そして–つまずきの–石を ～と–共に 悪しき者どもを そして–わたしは–断ち滅ぼす ～を 人を 海の ～の–上から 面 この–大地の 告げられた 主の

H0622 H0120 H0929 H0622 H5775 H8064 H1709 H4384 H0854 H7563 H3772 H0853 H0120 H3220 H4480 H6440 H0127 H5002 H3068

主は言われる、「わたしは人も獣も一掃し、空の鳥、海の魚をも一掃する。わたしは悪人を倒す。わたしは地のおもてから人を絶ち滅ぼす」。

4 וְנָטִיתִי יָדִי עַל־ יְהוּדָה וְעַל כֹּל־ יוֹשְׁבֵי יְרוּשָׁלָ͏ִם וְהִכְרַתִּי מִן־ הַמָּקוֹם הַזֶּה אֶת־ שְׁאָר הַבַּעַל אֵת שֵׁם הַכְּמָרִים עִם־ הַכֹּהֲנִים׃

そして–わたしは–伸ばす わたしの–手を ～の–上に ユダに そして–～の–上に すべての 住民に エルサレムの そして–わたしは–断ち滅ぼす ～から この–場所から この ～を 残りの–ものを バアルの ～を 名を 偶像–祭司たちの ～と–共に 祭司たちの

H5186 H3027 H5921 H3063 H5921 H3605 H3427 H3389 H3772 H4480 H4725 H2088 H0853 H7605 H1168 H0853 H8034 H3649 H5973 H3548

「わたしはユダとエルサレムのすべての住民との上に手を伸べる。わたしはこの所からバアルの残党と、偶像の祭司の名とを断つ。

5

וְאֶת־	הַשָּׁמָיִם	לְצְבָא	הַגַּגּוֹת	עַל־	הַמִּשְׁתַּחֲוִים	וְאֶת־	
そして-～を	天の	天の-万軍に	屋上で	～の-上で	屋上で-ひれ伏す-者たちを	そして-～を	
H0853	H8064		H1406		H7812	H0853	

בְּמַלְכָּם׃	וְהַנִּשְׁבָּעִים	לַיהוָה	הַנִּשְׁבָּעִים	הַמִּשְׁתַּחֲוִים
モレクに	そして-誓う-者たちを	主に	誓う-者たちを	ひれ伏す-者たちを
	H7650	H3068	H7650	H7812

また屋上で天の万象を拝む者、主に誓いを立てて拝みながら、またミルコムをさして誓う者、

6

בְּקֹשְׁוּ	לֹא־	וַאֲשֶׁר	יְהוָה	מֵאַחֲרֵי	הַנְּסוֹגִים	וְאֶת־	
尋ね-なかった	求め-なかった	そして-～は	主に	～に-従う-ことから	退く-者たちを	そして-～を	
H1245	H3808		H3068		H5472	H0853	

דְרָשֻׁהוּ׃	וְלֹא	יְהוָה	אֶת־
尋ね求め-なかった-のだ	そして-～しなかった	主を	～を
H1875	H3808	H3068	H0853

主にそむいて従わない者、主を求めず、主を尋ねない者を断つ」。

7

יְהוָה	הֵכִין	כִּי־	יְהוָה	יוֹם	קָרוֹב	כִּי	יְהוִה	אֲדֹנָי	מִפְּנֵי	הַס
主は	備えられた	なぜなら	主の	日が	近い	なぜなら	神の	主なる	御前で	静まれ
H3068			H3068	H3117	H7138		H3069	H0136	H6440	H2013

קְרֻאָיו׃	הִקְדִּישׁ	זָבַח
その-招かれた-者たちを	聖別された	いけにえを
H7121	H6942	H2077

主なる神の前に沈黙せよ。主の日は近づき、主はすでに犠牲を備え、その招いた者を聖別されたからである。

8

וְעַל־	הַשָּׂרִים	עַל־	וּפָקַדְתִּי	יְהוָה	זֶבַח	בְּיוֹם	וְהָיָה	
そして-～を	君たちを	～を	そして-わたしは-罰する	主の	いけにえの	その-日に	そして-なる	
	H8269			H3068	H2077	H3117	H1961	

נָכְרִי׃	מַלְבּוּשׁ	הַלְבֻשִׁים	כָּל־	וְעַל	הַמֶּלֶךְ	בְּנֵי
異国の	衣服を	着ている-者たちを	すべての	そして-～を	王の	子らを
H5237	H4403	H3847	H3605		H4428	

主の犠牲をささげる日に、「わたしはつかさたちと王の子たち、およびすべて異邦の衣服を着る者を罰する。

9

הַהוּא	בַּיּוֹם	הַמִּפְתָּן	עַל־	הַדֹּלֵג	כָּל־	עַל	וּפָקַדְתִּי	
その	その-日に	敷居の	～の-上を	飛び越える-者を	すべての	～を	そして-わたしは-罰する	
H1931	H3117	H4670		H1801	H3605			

ס	וּמִרְמָה׃	חָמָס	אֲדֹנֵיהֶם	בַּיִת	הַמְמַלְאִים	
ס	そして-欺きで	暴虐と	その-主人たちの	家を	満たす-者たちを	
	H4820	H2555	H0113		H4390	

その日にわたしはまた、すべて敷居をとび越え、暴虐と欺きとを自分の主君の家に満たす者を罰する」。

10

הַדָּגִים	מִשַּׁעַר	צְעָקָה	קוֹל	יְהוָה	נְאֻם־	הַהוּא	בַּיּוֹם	וְהָיָה
魚の	魚の-門から	叫びの	叫び声が	主の	告げられた	その	その-日に	そして-なる
H1709	H8179	H6818		H3068	H5002	H1931	H3117	H1961

מֵהַגְּבָעוֹת׃	גָּדוֹל	וְשֶׁבֶר	הַמִּשְׁנֶה	מִן־	וְיִלֶלָה	
丘から	大きな	そして-大きな-破壊が	第二の-区域から	～から	そして-嘆きが	
H1389		H7667	H4932		H3215	

主は言われる、「その日には魚の門から叫び声がおこり、第二の町からうめき声がおこり、もろもろの丘からすさまじい響きがおこる。

11
הֵילִילוּ יֹשְׁבֵי מַכְתֵּשׁ כִּי נִדְמָה כָּל־עַם כְּנַעַן נִכְרְתוּ
嘆き叫べ 住民たちよ マクテシュの なぜなら 滅びた すべての 民は 商人の 断たれた
H3213 H3427 H4389 H3588 H1820 H3605 H5971 H3772
כָּל־נְטוּלֵי כָסֶף׃
すべての 銀を-担ぐ 銀の
H3605 H5375 H3701

しっくいの家の住民よ、泣き叫べ。あきないする民は皆滅ぼされ、銀を量る者は皆断たれるからである。

12
וְהָיָה בָּעֵת הַהִוא אֲחַפֵּשׂ אֶת־יְרוּשָׁלַ͏ִם בַּנֵּרוֹת
そして-なる その-時に その わたしは-くまなく-捜す ～を エルサレムを ともしびで
H1961 H6256 H1931 H2664 H853 H3389 H0
וּפָקַדְתִּי עַל־הָאֲנָשִׁים הַקֹּפְאִים עַל־שְׁמָרֵיהֶם
そして-わたしは-罰する ～を 人々を 安穏としている-者たちを ～の-上に その-滓の-上に
H6485 H5921 H0376 H7087 H5921 H8105
הָאֹמְרִים בְּלִבָּם לֹא־יֵיטִיב יְהוָה וְלֹא יָרֵעַ׃
言っている-者たちを その-心の-中で ～しない 良くも-しない 主は そして-～しない 悪くも-しない-と
H0559 H3824 H3808 H3190 H3068 H3808 H7489

その時、わたしはともしびをもって、エルサレムを尋ねる。そして滓の上に凝り固まり、その心の中で『主は良いことも、悪いこともしない』と言う人々をわたしは罰する。

13
וְהָיָה חֵילָם לְמִשְׁסָּה וּבָתֵּיהֶם לִשְׁמָמָה וּבָנוּ בָתִּים
そして-なる 彼らの-財産は 略奪に そして-彼らの-家は 荒廃に 彼らは-建てても 家を
H1961 H2428 H4933 H1004 H1129 H1004
וְלֹא יֵשְׁבוּ וְנָטְעוּ כְרָמִים וְלֹא יִשְׁתּוּ אֶת־יֵינָם׃
しかし-～しない 住む-ことは-ない そして-植えても ぶどう園を しかし-～しない 飲む-ことは-ない ～を その-ぶどう酒を
H3808 H3427 H5193 H3754 H3808 H8354 H853 H3196

彼らの財宝はかすめられ、彼らの家は荒れはてる。彼らは家を建てても、それに住むことができない、ぶどう畑を作っても、そのぶどう酒を飲むことができない」。

14
קָרוֹב יוֹם־יְהוָה הַגָּדוֹל קָרוֹב וּמַהֵר מְאֹד קוֹל יוֹם־יְהוָה
近い 主の-日が 大いなる 主の そして-速やかに 非常に 声が-聞こえる 主の-日の
H7138 H3117 H3068 H1419 H7138 H4116 H3966 H6963 H3117
מַר צָרַח שָׁם גִּבּוֹר׃
苦い 叫ぶ-声 そこで 勇士が
H4751 H6873 H8033 H1368

主の大いなる日は近い、近づいて、すみやかに来る。主の日の声は耳にいたい。そこに、勇士もいたく叫ぶ。

15 יוֹם עֶבְרָה הַיּוֹם הַהוּא יוֹם צָרָה וּמְצוּקָה יוֹם שֹׁאָה וּמְשׁוֹאָה יוֹם חֹשֶׁךְ וַאֲפֵלָה יוֹם עָנָן וַעֲרָפֶל׃

יוֹם	עֶבְרָה	הַיּוֹם	הַהוּא	יוֹם	צָרָה	וּמְצוּקָה	יוֹם	שֹׁאָה
激怒の-日	激怒の	その-日は	その	苦難の-日	苦難と	そして-苦悩の	荒廃の-日	荒廃と
H3117	H5678	H3117	H1931	H3117	H4691		H3117	

וּמְשׁוֹאָה	יוֹם	חֹשֶׁךְ	וַאֲפֵלָה	יוֹם	עָנָן	וַעֲרָפֶל׃	
そして-滅亡の	暗闇の-日	暗闇と	そして-暗黒の	雲の-日	雲と	そして-濃い-闇の	
H4875	H3117	H2822	H0653	H3117	H6051	H6205	

その日は怒りの日、なやみと苦しみの日、荒れ、また滅びる日、暗く、薄暗い日、雲と黒雲の日、

16 יוֹם שׁוֹפָר וּתְרוּעָה עַל הֶעָרִים הַבְּצֻרוֹת וְעַל הַפִּנּוֹת הַגְּבֹהוֹת׃

יוֹם	שׁוֹפָר	וּתְרוּעָה	עַל	הֶעָרִים	הַבְּצֻרוֹת	וְעַל	
角笛の-日	角笛と	そして-鬨の声の	～に-向かって	堅固な-町々に	堅固な	そして-～に-向かって	
H3117	H7782	H8643			H1219		

הַפִּנּוֹת	הַגְּבֹהוֹת׃
高い-塔に	高い
H6438	H1364

ラッパとときの声の日、堅固な町と高いやぐらを攻める日である。

17 וְהַצַּרְתִּי לָאָדָם וְהָלְכוּ כָעִוְרִים כִּי לַיהוָה חָטָאוּ וְשֻׁפַּךְ דָּמָם כֶּעָפָר וּלְחֻמָם כַּגֹּלָלִים׃

וְהַצַּרְתִּי	לָאָדָם	וְהָלְכוּ	כָעִוְרִים	כִּי	לַיהוָה	חָטָאוּ	וְשֻׁפַּךְ	דָּמָם	כֶּעָפָר	וּלְחֻמָם
そして-わたしは-苦しめる	人を	そして-彼らは-歩く	盲人の-ように	なぜなら	主に-対して	彼らは-罪を-犯した-からだ	そして-注がれる	彼らの-血は	塵の-ように	そして-彼らの-肉は
	H0120	H1980	H5787		H3068	H2398	H8210	H1818	H6083	H3894

כַּגֹּלָלִים׃
糞の-ように
H1561

わたしは人々になやみを下して、盲人のように歩かせる。彼らが主に対して罪を犯したからである。彼らの血はちりのように流され、彼らの肉は糞土のように捨てられる。

18 גַּם־כַּסְפָּם גַּם־זְהָבָם לֹא־יוּכַל לְהַצִּילָם בְּיוֹם עֶבְרַת יְהוָה וּבְאֵשׁ קִנְאָתוֹ תֻּאָכֵל כִּי־כָלָה אַךְ־בֶּהָלָה יַעֲשֶׂה אֶת כָּל־יֹשְׁבֵי הָאָרֶץ׃ ס

גַּם־	כַּסְפָּם	גַּם־	זְהָבָם	לֹא־	יוּכַל	לְהַצִּילָם	בְּיוֹם	עֶבְרַת	יְהוָה	וּבְאֵשׁ	קִנְאָתוֹ	תֻּאָכֵל	כִּי־	כָלָה	אַךְ־	בֶּהָלָה	יַעֲשֶׂה	אֶת	כָּל־	יֹשְׁבֵי	הָאָרֶץ׃	ס
その-銀も	彼らの-銀も	その-金も	彼らの-金も	～ない	救う-ことは-できない	彼らを-救う-ことは	その-日に	怒りの	主の	そして-火で	その-熱情の	焼き尽くされる	なぜなら	すべての	まことに	恐ろしい-ものを	主は-もたらす	～に	すべての	住民に	この-地の	ס
H1571	H3701	H1571	H2091	H3808	H3201	H5337	H3117	H5678	H3068	H0784	H7068	H0398		H3605	H0389	H0926		H0853	H3605	H3427	H0776	

彼らの銀も金も、主の怒りの日には彼らを救うことができない。全地は主のねたみの火にのまれる。主は地に住む人々をたちまち滅ぼし尽される。

Chapter 2

1 הִתְקוֹשְׁשׁוּ וְקוֹשׁוּ הַגּוֹי לֹא נִכְסָף׃

הִתְקוֹשְׁשׁוּ	וְקוֹשׁוּ	הַגּוֹי	לֹא	נִכְסָף׃
集まれ	そして-集まれ	国よ	ない	恥を-知る
			H3808	H3700

あなたがた、恥を知らぬ民よ、共につどい、集まれ。

בְּטֶרֶם	לֶדֶת	חֹק	כְּמֹץ	עָבַר	יוֹם	וּבְטֶרֶם	לֹא־	יָבוֹא	2
その–前に	産む	定めが	籾殻の–ように	過ぎ去る	日が	その–前に	まだ	来ない–うちに	
H2962	H3205	H2706	H4671	H3117	H2962	H3808	H0935		

עֲלֵיכֶם	יָבוֹא	לֹא־	בְּטֶרֶם	יְהוָה	אַף־	חֲרוֹן	עֲלֵיכֶם
あなたがたの–上に	来ない–うちに	まだ	その–前に	主の	の	燃える–怒りが	あなたがたの–上に
	H0935	H3808	H2962	H3068	H0639	H2740	

יוֹם	אַף־	יְהוָה׃
日が	の	主の
H3117	H0639	H3068

すなわち、もみがらのように追いやられる前に、主の激しい怒りがまだあなたがたに臨まない前に、主の憤りの日がまだあなたがたに来ない前に。

בַּקְּשׁוּ־	פָּעֲלוּ	מִשְׁפָּטוֹ	אֲשֶׁר	הָאָרֶץ	עַנְוֵי	כָּל־	יְהוָה	אֶת־	בַּקְּשׁוּ	3
求めよ	行う–者よ	公正を	その	地の	柔和な–者たちよ	すべての	主を	を	求めよ	
H1245	H6466	H4941		H0776	H6035	H3605	H3068	H0853	H1245	

יְהוָה׃	אַף־	בְּיוֹם	תִּסָּתְרוּ	אוּלַי	עֲנָוָה	בַּקְּשׁוּ	צֶדֶק
主の	の–怒りの	その–日に	隠される–であろう	おそらく	謙遜を	求めよ	義を
H3068	H0639	H3117	H5641	H0194	H6038	H1245	H6664

すべて主の命令を行うこの地のへりくだる者よ、主を求めよ。正義を求めよ。謙遜を求めよ。そうすればあなたがたは主の怒りの日に、あるいは隠されることがあろう。

אַשְׁדּוֹד	לְשַׁמָּה	וְאַשְׁקְלוֹן	תִּהְיֶה	עֲזוּבָה	עַזָּה	כִּי	4
アシュドドは	荒廃と–なる	そして–アシュケロンは	なる	見捨てられた–ものと	ガザは	まことに	
H0795		H0831	H1961		H5804		

ס	תְּעֻקָּר׃	וְעֶקְרוֹן	יְגֹרָשׁוּהָ	בְּצָהֳרָיִם
—	根こそぎに–される	そして–エクロンは	追い払われる	真昼に
		H6138	H1644	

ともあれ、ガザは捨てられ、アシケロンは荒れはて、アシドドは真昼に追い払われ、エクロンは抜き去られる。

עֲלֵיכֶם	יְהוָה	דְּבַר־	כְּרֵתִים	גּוֹי	הַיָּם	חֶבֶל	יְשְׁבֵי	הוֹי	5
あなたがたに–向かう	主の	言葉が	クレタ人よ	国よ	海の	海辺の	住む–者たちよ	わざわいだ	
	H3068	H1697	H3774		H3220		H3427	H1945	

יוֹשֵׁב׃	מֵאֵין	וְהַאֲבַדְתִּיךְ	פְּלִשְׁתִּים	אֶרֶץ	כְּנַעַן
住む–者	住む–者が–いなく–なるまで	わたしは–あなたを–滅ぼす	ペリシテ人の	地よ	カナンよ
H3427	H0369	H0006	H6430	H0776	

わざわいなるかな、海べに住む者、ケレテの国民。ペリシテびとの地、カナンよ、主の言葉があなたがたに臨む。わたしはあなたを滅ぼして、住む者がないようにする。

צֹאן׃	וְנִוְרוֹת	רֹעִים	כְּרֹת	נְוֹת	הַיָּם	חֶבֶל	וְהָיְתָה	6
羊の	そして–囲いと	羊飼いの	囲いと	牧場と	海の	海辺は	そして–なる	
H6629	H1448		H3741		H3220		H1961	

海べよ、あなたは牧場となり、羊飼の牧草地となり、また羊のおりとなる。

7

וְהָיָה　חֶבֶל　לִשְׁאֵרִית　בֵּית　יְהוּדָה　עֲלֵיהֶם　יִרְעוּן
その–地は　残りの–者の–ために　家の　ユダの　その–上で　彼らは–牧する
H1961　H7611　H3063

בָּתֵּי　אַשְׁקְלוֹן　בָּעֶרֶב　יִרְבָּצוּן　כִּי　יִפְקְדֵם　יְהוָה　אֱלֹהֵיהֶם　וְשָׁב
の–家々で　アシュケロンの　夕べに　彼らは–横たわる　なぜなら　顧みる　主が　彼らの–神が　そして–回復させる
H0831　H6153　H7257　H3068　H0430　H7725

שְׁבִיתָם׃)　]שבותם[
捕囚を　彼らの
H7622　H7622

海べはユダの家の残りの者に帰する。彼らはその所で群れを養い、夕暮にはアシケロンの家に伏す。彼らの神、主が彼らを顧み、その幸福を回復されるからである。

8

חֵרְפּוּ　אֲשֶׁר　עַמּוֹן　בְּנֵי　וְגִדּוּפֵי　מוֹאָב　חֶרְפַּת　שָׁמַעְתִּי
そしった　その　アンモンの　の–子らの　そして–侮辱を　モアブの　そしりを　わたしは–聞いた
H2781　H8085　H5983　H1421　H4124

גְּבוּלָם׃　עַל־　וַיַּגְדִּילוּ　עַמִּי　אֶת־
彼らの–領土を　に–対して　そして–高ぶった　わが–民を　を
H1366　H1431　H0853

「わたしはモアブのあざけりと、アンモンの人々の、ののしりを聞いた。彼らはわが民をあざけり、自ら誇って彼らの国境を侵した。

9

כִּי־　יִשְׂרָאֵל　אֱלֹהֵי　צְבָאוֹת　יְהוָה　נְאֻם　אֲנִי　חַי־　לָכֵן
まことに　イスラエルの　の–神　万軍の　主の　との–宣言　わたしは　生きている　それゆえ
H3478　H0430　H3068　H5002　H0589

כָּעֲמֹרָה　עַמּוֹן　וּבְנֵי　תִּהְיֶה　כְּסְדֹם　מוֹאָב
ゴモラの–ように　の　そして–アンモンの–子らは　なる　ソドムの–ように　モアブは
H6017　H5983　H1961　H5467　H4124

עוֹלָם　עַד־　וּשְׁמָמָה　מֶלַח　וּמִכְרֵה־　חָרוּל　מִמְשַׁק
永遠に　とこしえに　そして–荒廃と　塩の　そして–塩の　いらくさの　いらくさの–はびこる–地と
H5769　H5704　H4417　H4379　H2738　H4476

יִנְחָלוּם׃　גּוֹיִי(　]גוי[　וְיֶתֶר　יְבָזּוּם　עַמִּי　שְׁאֵרִית
彼らを–継ぐ　国の　わが　そして–残りの–者が　彼らを–略奪し　わが–民の　わが–民の–残りの–者が
H5157　H0962　H7611

それゆえ、万軍の主、イスラエルの神は言われる、わたしは生きている。モアブは必ずソドムのようになる。アンモンの人々はゴモラのようになる。いらくさと塩穴とがここを占領して、永遠に荒れ地となる。わが民の残りの者は彼らをかすめ、わが国民の残りの者はこれを所有する」。

10

זֹאת　לָהֶם　תַּחַת　גְּאוֹנָם　כִּי　חֵרְפוּ　וַיַּגְדִּילוּ　עַל־　עַם
これが　彼らに　代わりに　彼らの–高慢の　なぜなら　そしった　そして–高ぶった　に–対して　民に
H2063　H1992　H8478　H1347　H1431

צְבָאוֹת׃　יְהוָה
万軍の　主の
H3068

この事の彼らに臨むのはその高ぶりによるのだ。彼らが万軍の主の民をあざけり、みずから誇ったからである。

11 נוֹרָא יְהוָה עֲלֵיהֶם כִּי רָזָה אֶת כָּל־ אֱלֹהֵי הָאָרֶץ
恐るべき 主は 彼らに–対して まことに 痩せ–細らせる を すべての 神々を 地の
H3372 H3068 H5921 H3588 H7329 H0853 H3605 H0430 H0776

וְיִשְׁתַּחֲווּ־ לוֹ אִישׁ מִמְּקוֹמוֹ כֹּל אִיֵּי הַגּוֹיִם׃
そして–ひれ伏す 主に 各人が 自分の–場所から すべての 島々が 諸国の
H7812 H0376 H4725 H3605 H0339

主は彼らに対して恐るべき者となられる。主は地のすべての神々を飢えさせられる。もろもろの国の民は、おのおの自分の所から出て主を拝む。

12 גַּם־ אַתֶּם כּוּשִׁים חַלְלֵי חַרְבִּי הֵמָּה׃
また あなたがたも クシュ人よ 刺し–貫かれた–者よ わが–剣に–よる 彼らは
H1571 H3569 H2491 H2719 H1992

エチオピヤびとよ、あなたがたもまたわがつるぎによって殺される。

13 וְיֵט יָדוֹ עַל־ צָפוֹן וְיַאֲבֵד אֶת־ אַשּׁוּר וְיָשֵׂם אֶת־
そして–伸ばす 御手を に–向かって 北に そして–滅ぼす を アッシリヤを そして–なす を
H5186 H3027 H5921 H6828 H0006 H0853 H0804 H7760 H0853

נִינְוֵה לִשְׁמָמָה צִיָּה כַּמִּדְבָּר׃
ニネベを 荒廃と 乾いた–地と 荒野の–ように
H5210 H8074 H6723 H4057

主はまた北に向かって手を伸べ、アッスリヤを滅ぼし、ニネベを荒して、荒野のような、かわいた地とされる。

14 וְרָבְצוּ בְתוֹכָהּ כָּל־ עֲדָרִים גּוֹי חַיְתוֹ־ גַּם־ גַּם־ קָאַת
そして–伏す その–中に あらゆる 群れが 国の 生き物が また また ペリカンも
H7257 H8432 H3605 H5739 H1471 H2416 H1571 H6893

בַּסַּף כִּי אַרְזָהּ יְלִינוּ קוֹל יְשׁוֹרֵר בְּחַלּוֹן חָרֵב
敷居に まことに 杉の 宿る 声が 歌う 窓に 荒廃が
H5592 H3588 H0730 H3885 H6963 H7891 H2474 H2720

קִפֹּד בִּכְפְתֹּרֶיהָ יְלִינוּ עֵרָה׃
はりねずみも その–柱頭に 宿る 板が–むき出しに–なった
H7090 H3730 H3885 H6168

家畜の群れ、もろもろの野の獣はその中に伏し、はげたかや、やまあらしはその柱の頂に住み、ふくろうは、その窓のうちになき、からすは、その敷居の上に鳴く。その香柏の細工が裸にされるからである。

15 זֹאת הָעִיר הָעַלִּיזָה הַיּוֹשֶׁבֶת לָבֶטַח הָאֹמְרָה בִּלְבָבָהּ אֲנִי
これが 都だ 喜び–騒ぐ 安らかに–住む 安心して 言う その–心の–中で わたしだ
H2063 H5947 H7599 H3427 H0983 H0559 H3824 H0589

וְאַפְסִי עוֹד מַה־ הָיְתָה לְשַׁמָּה מַרְבֵּץ לַחַיָּה כָּל
そして–他に–いない もう どうして なったのか 荒廃に 伏す–所に 獣の すべての
H0657 H5750 H0349 H1961 H8047 H4769 H2416 H3605

עוֹבֵר עָלֶיהָ יִשְׁרֹק יָנִיעַ יָדוֹ׃ ס
通り–過ぎる–者は その–傍らを あざ笑い 振る 手を —
H5674 H5921 H8319 H5128 H3027

この町は勝ち誇って、安らかに落ち着き、その心の中で、「ただわたしだけだ、わたしの外にはだれもない」と言った町であるが、このように荒れはてて、獣の伏す所になってしまった。ここを通り過ぎる者は皆あざけって、手を振る。

Chapter 3

1

הַיּוֹנָה׃	הָעִיר	וְנִגְאָלָה	מֹרְאָה	הוֹי
暴虐の	都よ	そして-汚れた	反逆する	わざわいだ
H3238		H1351	H4754	H1945

わざわいなるかな、このそむき汚れた暴虐の町。

2

אֱלֹהֶיהָ	אֶל־	בָּטָחָה	לֹא	בַּיהוָה	מוּסָר	לָקְחָה	לֹא	בְּקוֹל	שָׁמְעָה	לֹא
その-神に	に	信頼した	ない	主に	懲らしめを	受け入れた	ない	声に	聞いた	ない
H0430	H0413	H0982	H3808	H3068	H4148	H3947	H3808		H8085	H3808

קָרֵבָה׃	לֹא
近づいた	ない
H7126	H3808

これはだれの声にも耳を傾けず、懲しめを受けいれず、主に寄り頼まず、おのれの神に近よらない。

3

לֹא	עֶרֶב	זְאֵבֵי	שִׁפְטֶיהָ	שְׁאַגִּים	אֲרָיוֹת	בְּקִרְבָּהּ	שָׂרֶיהָ
ない	夕べの	の-狼であり	その-裁き人たちは	吠える	獅子であり	その-中の	その-首長たちは
H3808	H6153	H2061	H8199	H7580		H7130	H8269

לַבֹּקֶר׃	גָּרְמוּ
朝まで	残さない
H1242	

その中にいるつかさたちは、ほえるしし、そのさばきびとたちは、夜のおおかみで、彼らは朝まで何一つ残さない。

4

קֹדֶשׁ	חִלְּלוּ־	כֹהֲנֶיהָ	בְּגֹדוֹת	אַנְשֵׁי	פְּחָזִים	נְבִיאֶיהָ
聖なる-ものを	汚した	その-祭司たちは	裏切りの	の-人々であり	軽薄であり	その-預言者たちは
H6944		H3548	H0900	H0376	H6348	H5030

תּוֹרָה׃	חָמְסוּ
律法を	犯した
H8451	H2554

その預言者たちは、放縦で偽りびと、その祭司たちは聖なる物を汚し、律法を破る。

5

יִתֵּן	מִשְׁפָּטוֹ	בַּבֹּקֶר	בַּבֹּקֶר	עַוְלָה	יַעֲשֶׂה	לֹא	בְּקִרְבָּהּ	צַדִּיק	יְהוָה
与える	その-公正を	朝ごとに	朝ごとに	不正を	行わない	ない	その-中に	正しい	主は
H5414	H4941	H1242	H1242			H3808	H7130	H6662	H3068

בֹּשֶׁת׃	עַוָּל	יוֹדֵעַ	וְלֹא־	נֶעְדָּר	לֹא	לָאוֹר
恥を	不正な-者は	知らない	しかし-ない	欠けることは	ない	光の-中に
H1322	H5767	H3045	H3808		H3808	H0216

その中にいます主は義であって、不義を行われない。朝ごとにその公義を現して、誤ることがない。しかし不義な者は恥を知らない。

6

מִבְלִי	חוּצוֹתָם	הֶחֱרַבְתִּי	פִּנּוֹתָם	נָשַׁמּוּ	גּוֹיִם	הִכְרַתִּי
ない	その-通りを	わたしは-荒らした	その-やぐらは	荒廃した	諸国を	わたしは-断ち-切った
H1097	H2351		H6438	H8074		H3772

יוֹשֵׁב׃	מֵאֵין	אִישׁ	מִבְלִי־	עָרֵיהֶם	נִצְדּוּ	עוֹבֵר
住む-者が	いない	人が	ない	その-町々は	滅ぼされた	通る-者が
H3427	H0369	H0376	H1097			

「わたしは諸国民を滅ぼした。そのやぐらは荒れはてた。わたしはそのちまたを荒したので、ちまたを行き来する者もない。その町々は荒れすたれて、人の姿もなく、住む者もない。

7

וְלֹא־	מוּסָר	תִּקְחִי	אוֹתִי	תִּירְאִי	אַךְ־	אָמַרְתִּי	
そして–ない	懲らしめを	受け入れよ	わたしを	わたしを–恐れよ	ただ	わたしは–言った	
H3808	H4148	H3947	H0853	H3372	H0389	H0559	

הִשְׁכִּימוּ	אָכֵן	עָלֶיהָ	פָּקַדְתִּי	אֲשֶׁר־	כֹּל	מְעוֹנָהּ	יִכָּרֵת
彼らは–早くから	しかし	彼女に	わたしが–命じた	その	すべての	その–住まいが	断たれない
H7925	H0403				H3605	H4585	H3772

עֲלִילוֹתָם׃	כֹּל	הִשְׁחַתִּיו
その–行いを	すべての	堕落させた
H5949	H3605	H7843

わたしは言った、『これは必ずわたしを恐れ、懲しめを受ける。これはわたしが命じたすべての事を見失わない』と。しかし彼らはしきりに自分の行状を乱した」。

8

לָעֵד	קוּמִי	לְיוֹם	יְהוָה	נְאֻם־	לִי	חַכּוּ־	לָכֵן
証しの–ために	わたしが–立ち上がる	その–日を	主の	との–宣言	わたしを	待て	それゆえ
H5706		H3117	H3068	H5002		H2442	

עֲלֵיהֶם	לִשְׁפֹּךְ	מַמְלָכוֹת	לְקָבְצִי	גּוֹיִם	לֶאֱסֹף	מִשְׁפָּטִי	כִּי
彼らの–上に	注ぐこと	王国を	集めること	諸国を	集めること	わたしの–定めは	まことに
	H8210	H4467	H6908		H0622	H4941	

תֵּאָכֵל	קִנְאָתִי	בְּאֵשׁ	כִּי	אַפִּי	חֲרוֹן	כֹּל	זַעְמִי
焼き–尽くされる	わが–ねたみの	の–火で	まことに	わが–怒りを	燃える	すべての	わが–憤りを
H0398	H7068	H0784		H0639	H2740	H3605	H2195

הָאָרֶץ׃	כָּל־
地が	すべての
H0776	H3605

主は言われる、「それゆえ、あなたがたは、わたしが立って、証言する日を待て。わたしの決意は諸国民をよせ集め、もろもろの国を集めて、わが憤り、わが激しい怒りをことごとくその上に注ぐことであって、全地は、ねたむわたしの怒りの火に焼き滅ぼされるからである。

9

לִקְרֹא	בְרוּרָה	שָׂפָה	עַמִּים	אֶל־	אֶהְפֹּךְ	אָז	כִּי־
呼ぶ–ために	清い	唇を	もろもろの–民に	に	わたしは–変える	その–時	まことに
H7121	H1305	H8193		H0413	H2015		

אֶחָד׃	שְׁכֶם	לְעָבְדוֹ	יְהוָה	בְּשֵׁם	כֻּלָּם
組んで	一つの–肩を	主に–仕える–ために	主の	の–名で	すべての–者が
H0259	H7926	H5647	H3068	H8034	H3605

その時わたしはもろもろの民に清きくちびるを与え、すべて彼らに主の名を呼ばせ、心を一つにして主に仕えさせる。

10

יוֹבִלוּן	פּוּצַי	בַּת־	עֲתָרַי	כּוּשׁ	לִנְהָרֵי־	מֵעֵבֶר	
携えて–来る	散らされた–者の	の–娘	わが–崇拝者たちが	クシュの	の–川々の	の–彼方から	
H2986		H1323			H5104	H5676	

מִנְחָתִי׃	
わが–ささげ物を	
H4503	

わたしを拝む者、わたしが散らした者の娘はエチオピヤの川々の向こうから来て、わたしに供え物をささげる。

11

כִּי־	בִּי	פָּשַׁעְתְּ	אֲשֶׁר	עֲלִילֹתַיִךְ	מִכֹּל	תֵּבוֹשִׁי	לֹא	הַהוּא	בַּיּוֹם
まことに	わたしに	背いた	その	その-行いを	すべての	恥じない	ない	その	その-日に
		H6586		H5949	H3605	H0954	H3808	H1931	H3117

וְלֹא־	גַאֲוָתֵךְ	עַלִיזֵי	מִקִּרְבֵּךְ	אָסִיר	אָז	
そして-ない	あなたの-高慢の	誇り-高ぶる-者を	あなたの-中から	わたしは-取り除く	その-時	
H3808	H1346	H5947	H7130	H5493		

קָדְשִׁי׃	בְּהַר	עוֹד	לְגָבְהָה	תוֹסָפִי	
わが-聖なる	の-山で	もう	高ぶることは	もはや-ない	
H6944	H2022	H5750	H1361	H3254	

その日には、あなたはわたしにそむいたすべてのわざのゆえに、はずかしめられることはない。その時わたしはあなたのうちから、高ぶって誇る者どもを除くゆえ、あなたは重ねてわが聖なる山で、高ぶることはない。

12

בְּשֵׁם	וְחָסוּ	וָדָל	עָנִי	עַם	בְּקִרְבֵּךְ	וְהִשְׁאַרְתִּי	
の-名に	そして-身を-寄せる	そして-乏しい	貧しく	民を	あなたの-中に	そして-わたしは-残す	
H8034	H2620	H1800	H6041		H7130	H7604	

יְהוָה׃
主の
H3068

わたしは柔和にしてへりくだる民を、あなたのうちに残す。彼らは主の名を避け所とする。

13

כָּזָב	יְדַבְּרוּ	וְלֹא־	עַוְלָה	יַעֲשׂוּ	לֹא־	יִשְׂרָאֵל	שְׁאֵרִית	
偽りを	語らない	そして-ない	不正を	行わない	ない	イスラエルの	の-残りの-者は	
H3577	H1696	H3808			H3808	H3478	H7611	

וְרָבְצוּ	יִרְעוּ	הֵמָּה	כִּי־	תַּרְמִית	לְשׁוֹן	בְּפִיהֶם	יִמָּצֵא	וְלֹא־
そして-伏す	草を-食み	彼らは	まことに	欺きの	の-舌は	その-口に	見いだされない	そして-ない
H7257		H1992			H3956	H6310	H4672	H3808

ס	מַחֲרִיד׃	וְאֵין	
—	恐れさせる-者は	そして-いない	
	H2729	H0369	

イスラエルの残りの者は不義を行わず、偽りを言わず、その口には欺きの舌を見ない。それゆえ、彼らは食を得て伏し、彼らをおびやかす者はいない」。

14

בַּת	לֵב	בְּכָל־	וְעָלְזִי	שִׂמְחִי	יִשְׂרָאֵל	הָרִיעוּ	צִיּוֹן	בַּת־	רָנִּי
娘よ	心で	すべての	そして-楽しめ	喜べ	イスラエルよ	叫べ	シオンの	の-娘よ	歌え
H1323		H3605	H5937	H8055	H3478	H7321	H6726	H1323	

יְרוּשָׁלִָם׃
エルサレムの
H3389

シオンの娘よ、喜び歌え。イスラエルよ、喜び呼ばわれ。エルサレムの娘よ、心のかぎり喜び楽しめ。

15

יְהוָה	וְיִשְׂרָאֵל	מֶלֶךְ	אֹיְבֵךְ	פִּנָּה	מִשְׁפָּטַיִךְ	יְהוָה	הֵסִיר
主が	イスラエルの	王なる	あなたの-敵を	追い払った	あなたへの-さばきを	主は	取り除いた
H3068	H3478	H4428	H0341	H6437	H4941	H3068	H5493

עוֹד׃	רָע	תִּירְאִי	לֹא־	בְּקִרְבֵּךְ	
もう	災いを	恐れない	もう-ない	あなたの-中に-いる	
H5750		H3372	H3808	H7130	

主はあなたを訴える者を取り去り、あなたの敵を追い払われた。イスラエルの王なる主はあなたのうちにいます。あなたはもはや災を恐れることはない。

16 בַּיּוֹם הַהוּא יֵאָמֵר לִירוּשָׁלַ͏ִם אַל־תִּירָאִי צִיּוֹן אַל־יִרְפּוּ יָדָיִךְ׃
その–日に その 言われる エルサレムに するな 恐れるな シオンよ するな 弱らせるな あなたの–手を
H3117 H1931 H0559 H3389 H0408 H3372 H6726 H0408 H7503 H3027

その日、人々はエルサレムに向かって言う、「シオンよ、恐れるな。あなたの手を弱々しくたれるな。

17 יְהוָה אֱלֹהֶיךָ בְּקִרְבְּךָ גִּבּוֹר יוֹשִׁיעַ יָשִׂישׂ עָלֶיךָ בְּשִׂמְחָה יַחֲרִישׁ בְּאַהֲבָתוֹ יָגִיל עָלֶיךָ בְּרִנָּה׃
主は あなたの–神は あなたの–中に–いる 力ある 救い–主として 喜ぶ あなたの–ことを 喜びを–もって 静まる その–愛の–中で 歓喜する あなたの–ことを 歌を–もって
H3068 H0430 H7130 H1368 H3467 H7797 H8057 H2790 H0160 H1523 H5947 H7440

あなたの神、主はあなたのうちにいまし、勇士であって、勝利を与えられる。彼はあなたのために喜び楽しみ、その愛によってあなたを新にし、祭の日のようにあなたのために喜び呼ばわられる」。

18 נוּגֵי מִמּוֹעֵד אָסַפְתִּי מִמֵּךְ הָיוּ עָלֶיהָ מַשָּׂאת חֶרְפָּה׃
悲しむ–者たちを 祭りから–離れた わたしは–集めた あなたから 彼らは–いた その–上に 重荷が そしりであった
H3013 H4150 H0622 H4480 H1961 H5921 H4864 H2781

「わたしはあなたから悩みを取り去る。あなたは恥を受けることはない。

19 הִנְנִי עֹשֶׂה אֶת־כָּל־עֹנַיִךְ בָּעֵת הַהִיא וְהוֹשַׁעְתִּי אֶת־הַצֹּלָעָה וְהַנִּדָּחָה אֲקַבֵּץ וְשַׂמְתִּים לִתְהִלָּה וְלִשֵּׁם בְּכָל־הָאָרֶץ בָּשְׁתָּם׃
見よ–わたしは する を すべての 時に その 救う そして–わたしは–救う を 足の–なえた–者を そして–追い散らされた–者を 集める わたしは–集める 置く そして–する 賛美と そして–名誉に すべての 地で その–恥の–中で
H2009 H6213 H0853 H3605 H6256 H1931 H3467 H0853 H6760 H5080 H6908 H7760 H8416 H7760 H8034 H3605 H0776 H1322

見よ、その時あなたをしえたげる者をわたしはことごとく処分し、足なえを救い、追いやられた者を集め、彼らの恥を誉にかえ、全地にほめられるようにする。

20 בָּעֵת הַהִיא אֲשֶׁר אָבִיא אֶתְכֶם וּבָעֵת קַבְּצִי אֶתְכֶם כִּי־אֶתֵּן אֶתְכֶם לְשֵׁם וְלִתְהִלָּה בְּכֹל עַמֵּי הָאָרֶץ בְּשׁוּבִי אֶת־שְׁבוּתֵיכֶם לְעֵינֵיכֶם אָמַר יְהוָה׃
時に その 来る わたしは–連れて–来る あなたがたを 時に そして–その 集める あなたがたを まことに わたしは–与える あなたがたを 名誉と そして–賛美に すべての の–民の–中で 地の 主は
H6256 H1931 H0935 H0853 H6256 H6908 H0853 H3588 H5414 H0853 H8034 H8416 H3605 H5971 H0776 H3068
と–言った あなたがたの–目の–前で あなたがたの–繁栄を を わたしが–回復する–時に
H0559 H5869 H7622 H0853 H7725

その時、わたしはあなたがたを連れかえる。わたしがあなたがたを集めるとき、わたしがあなたがたの目の前に、あなたがたの幸福を回復するとき、地のすべての民の中で、あなたがたに名を得させ、誉を得させる」と主は言われる。

Haggai

Chapter 1

1

בִּשְׁנַת שְׁתַּיִם לְדָרְיָוֶשׁ הַמֶּלֶךְ בַּחֹדֶשׁ הַשִּׁשִּׁי בְּיוֹם אֶחָד לַחֹדֶשׁ
第二-年に 第二の 主の 王の 第六の-月の 第六の 第一-日に 第一の その-月の
H8141 H8147 H1867 H4428 H2320 H8345 H3117 H0259 H2320

הָיָה דְבַר־יְהוָה בְּיַד־חַגַּי הַנָּבִיא אֶל־זְרֻבָּבֶל
あった 主の-言葉が 預言者-ハガイの-手によって ハガイの 預言者の ゼルバベルに
H1961 H1697 H3068 H3027 H2320 H5030 H0413

בֶּן־שְׁאַלְתִּיאֵל פַּחַת יְהוּדָה וְאֶל־יְהוֹשֻׁעַ בֶּן־יְהוֹצָדָק הַכֹּהֵן הַגָּדוֹל לֵאמֹר׃
シェアルティエルの-子 ユダの-総督 ユダの そして-ヨシュアに エホツァダクの-子 エホツァダクの 大-祠司 大なる 言って
H2216 H6346 H3063 H0413 H3091 H3087 H3548 H0559

ダリヨス王の二年六月、その月の一日に、主の言葉が預言者ハガイによって、シャルテルの子、ユダの総督ゼルバベル、およびヨザダクの子、大祭司ヨシュアに臨んだ、

2

כֹּה אָמַר יְהוָה צְבָאוֹת לֵאמֹר הָעָם הַזֶּה אָמְרוּ לֹא עֵת־בֹּא עֵת בֵּית יְהוָה לְהִבָּנוֹת׃ פ
言われる 主は 万軍の 言って この民は この 言う まだ 時では-ない 来る-時が 主の-家が 主の-家が-建てられる 建てられる (段落)
H0559 H3068 H6635 H0559 H5971 H2088 H0559 H3808 H6256 H0935 H1004 H3068 H1129

「万軍の主はこう言われる、この民は、主の家を再び建てる時は、まだこないと言っている」。

3

וַיְהִי דְבַר־יְהוָה בְּיַד־חַגַּי הַנָּבִיא לֵאמֹר׃
そこで-あった 主の-言葉が 預言者-ハガイの-手によって 預言者の 言って
H1961 H1697 H3068 H3027 H2320 H5030 H0559

そこで、主の言葉はまた預言者ハガイに臨んだ、

4

הַעֵת לָכֶם אַתֶּם בְּבָתֵּיכֶם סְפוּנִים וְהַבַּיִת הַזֶּה חָרֵב׃
時なのか あなたがたにとって あなたがたが 住むのが あなたがたの-板張りの-家に 板張りの この-家が 廃墟の-ままなのに
H6256 H3427 H5603 H2088

「主の家はこのように荒れはてているのに、あなたがたは、みずから板で張った家に住んでいる時であろうか。

עַל־ あなたがたの–道に
לְבַבְכֶם あなたがたの–心を
H3824
שִׂימוּ 心を–向けよ
צְבָאוֹת 万軍の
יְהוָה 主は
H3068
אָמַר 言われる
H0559
כֹּה このように
H3541
וְעַתָּה さあ–今
H6258
5
דַּרְכֵיכֶם׃
あなたがたの
H1870

それで今、万軍の主はこう言われる、あなたがたは自分のなすべきことをよく考えるがよい。

שָׁתֹו 飲んでも
H8354
לִשְׂבְעָה 満足は
H7654
וְאֵין־ 満足は–ない
H0369
אָכֹול 食べても
H0398
מְעָט 少なかった
H4592
וְהָבֵא 収穫は–少なかった
H0935
הַרְבֵּה 多く
זְרַעְתֶּם 多く–蒔いたが
H2232
6
מְשַׂתַּכֵּר 稼ぐが
וְהַמְשַׂתַּכֵּר そして–稼ぐ–者は
לֹו 彼には
לְחֹם 温かく
וְאֵין־ 温かく–ならない
H0369
לָבוֹשׁ 着ても
H3847
לְשָׂכְרָה 潤わない
H7937
וְאֵין־ 潤わない
H0369
פ (段落)
נָקוּב׃ 袋に–入れる
צְרֹור 穴の
אֶל־ 穴の–開いた
H0413

あなたがたは多くまいても、取入れは少なく、食べても、飽きることはない。飲んでも、満たされない。着ても、暖まらない。賃銀を得ても、これを破れた袋に入れているようなものである。

עַל־ あなたがたの–道に
לְבַבְכֶם あなたがたの–心を
H3824
שִׂימוּ 心を–向けよ
צְבָאוֹת 万軍の
יְהוָה 主は
H3068
אָמַר 言われる
H0559
כֹּה このように
H3541
7
דַּרְכֵיכֶם׃
あなたがたの
H1870

万軍の主はこう言われる、あなたがたは、自分のなすべきことを考えるがよい。

בֹּו それを
וְאֵרָצֶה־ そうすれば–わたしは–喜ぶ
H7521
הַבַּיִת 家を
וּבְנוּ そして–建てよ
H1129
עֵץ 木を
H6086
וְהַבִיאוּ そして–持って–来い
H0935
הָהָר 山に
H2022
עֲלוּ 上れ
H5927
8
יְהוָה׃ 主は
H3068
אָמַר 言われる
H0559
וְאֶכָּבְדָה(そして–栄光を–受ける
H3513
]ואכבד[(※)
H3513

山に登り、木を持ってきて主の家を建てよ。そうすればわたしはこれを喜び、かつ栄光のうちに現れると主は言われる。

הַבָּיִת 家に
וַהֲבֵאתֶם そして–持ち帰ったが
H0935
לְמִעְט 少なかった
H4592
וְהִנֵּה しかし–見よ
H2009
הַרְבֵּה 多くを
אֶל־ 多くを
H0413
פָּנָה 期待した
H6437
9
יַעַן わたしの–家の–ゆえに
H3282
צְבָאוֹת 万軍の
יְהוָה 主の
H3068
נְאֻם これは–御告げ
H5002
מָּה なぜか
H4100
יַעַן なぜか
H3282
בְּו それを
וְנָפַחְתִּי わたしは–吹き消した
H5301
לְבֵיתֹו׃ 自分の–家に
אִישׁ 各自
H0376
רָצִים 走っている
H7323
וְאַתֶּם あなたがたは
חָרֵב 廃墟であり
הַזֶּה この–家が
H1931
אֲשֶׁר־ この–家が
בֵּיתִי わたしの–家が

あなたがたは多くを望んだが、見よ、それは少なかった。あなたがたが家に持ってきたとき、わたしはそれを吹き払った。これは何ゆえであるかと、万軍の主は言われる。これはわたしの家が荒れはてているのに、あなたがたは、おのおの自分の家の事だけに、忙しくしている。

10

כָּלְאָה	וְהָאָרֶץ	מִטָּל	שָׁמַיִם	כָּלְאוּ	עֲלֵיכֶם	כֵּן	עַל־
地も	そして–地も–止めた	露を	天は	天は–閉ざした	あなたがたの–上に	それゆえ	それゆえ
H3607	H0776	H2919	H8064	H3607			

יְבוּלָהּ׃
その–産物を
H2981

それゆえ、あなたがたの上の天は露をさし止め、地はその産物をさし止めた。

11

הֶהָרִים	וְעַל־	הָאָרֶץ	עַל־	חֹרֶב	וָאֶקְרָא	
山々の	そして–山々の–上に	地の	地の–上に	日照りを	そして–わたしは–呼び対した	
H2022		H0776			H7121	

הַיִּצְהָר	וְעַל־	הַתִּירוֹשׁ	וְעַל־		הַדָּגָן	וְעַל־	
油の	そして–油の–上に	ぶどう酒の	そして–新しい–ぶどう酒の–上に		穀物の	そして–穀物の–上に	
H3323		H8492			H1715		

וְעַל־	הָאָדָם	וְעַל־	הָאֲדָמָה	תּוֹצִיא		אֲשֶׁר	וְעַל	
そして–家畜の–上に	人の	そして–人の–上に	地が	地が–生じる–ものの–上に		すべての	そして	
	H0120		H0127	H3318				

ס	כַּפָּיִם׃	יְגִיעַ	כָּל־	וְעַל		הַבְּהֵמָה
(段落)	手の	手の–労苦の–上に	すべての	そして–すべての		家畜の
	H3709	H3018	H3605			H0929

また、わたしは地にも、山にも、穀物にも、新しい酒にも、油にも、地に生じるものにも、人間にも、家畜にも、手で作るすべての作物にも、ひでりを呼び寄せた」。

12

וַיִּשְׁמַע	זְרֻבָּבֶל	בֶּן־	שַׁלְתִּיאֵל	וְיהוֹשֻׁעַ	
そこで–聞いた	ゼルバベルは	シェアルティエルの–子	シェアルティエルの	そして–ヨシュアは	
H8085	H2216			H3091	

הָעָם	שְׁאֵרִית	וְכָל	הַגָּדוֹל	הַכֹּהֵן	יְהוֹצָדָק	בֶּן־	
民の	残りの–者たちは	そして–すべての	大なる	大–祠司	エホツァダクの	エホツァダクの–子	
	H7611	H3605		H3548	H3087		

הַנָּבִיא	חַגַּי	דִּבְרֵי		וְעַל־	אֱלֹהֵיהֶם	יְהוָה	בְּקוֹל
預言者の	ハガイの	預言者–ハガイの–言葉に		そして	その–神の	主の	主の–声に
H5030		H1697			H0430	H3068	

יְהוָה׃	מִפְּנֵי	הָעָם	וַיִּירְאוּ	אֱלֹהֵיהֶם	יְהוָה	שְׁלָחוֹ	כַּאֲשֶׁר	
主の	主の–前で	民は	そして–民は–畏れた	その–神が	主が	遣わされた	主が–遣わされた–とおり	
H3068	H6440		H3372	H0430	H3068	H7971		

そこで、シャルテルの子ゼルバベルとヨザダクの子、大祭司ヨシュアおよび残りのすべての民は、その神、主の声と、その神、主のつかわされた預言者ハガイの言葉とに聞きしたがい、そして民は、主の前に恐れかしこんだ。

13

אֲנִי	לֵאמֹר	לָעָם	יְהוָה	בְּמַלְאֲכוּת	יְהוָה	מַלְאַךְ	חַגַּי	וַיֹּאמֶר
わたしは	言って	民に	主の	主の–使命によって	主の	主の–使い	ハガイは	そこで–言った
H0589	H0559		H3068	H4400	H3068	H4397		H0559

יְהוָה׃	נְאֻם־	אִתְּכֶם	
主の	これは–御告げ	あなたがたと–共に–ある	
H3068	H5002	H0854	

時に、主の使者ハガイは主の命令により、民に告げて言った、「わたしはあなたがたと共にいると主は言われる」。

14

בֶּן־	זְרֻבָּבֶל	רוּחַ	אֶת־	יְהוָה	וַיָּעַר	
シェアルティエルの-子	ゼルバベルの	ゼルバベルの-霊を	(を)	主は	そこで-主は-奮い立たせた	
	H2216	H7307	H0853	H3068	H5782	

יְהוֹשָׁעַ	רוּחַ	וְאֶת־	יְהוּדָה	פַּחַת	שַׁלְתִּיאֵל
ヨシュアの	ヨシュアの-霊を	そして-ヨシュアの	ユダの	ユダの-総督の	シェアルティエルの
H3091	H7307	H0853	H3063	H6346	

רוּחַ	וְאֶת־	הַגָּדוֹל	הַכֹּהֵן	יְהוֹצָדָק	בֶּן־
残りの-者たちの-霊を	そして-すべての	大なる	大-祠司の	エホツァダクの	エホツァダクの-子
H7307	H0853		H3548	H3087	

צְבָאוֹת	יְהוָה	בְּבֵית־	מְלָאכָה	וַיַּעֲשׂוּ	וַיָּבֹאוּ	הָעָם	שְׁאֵרִית	כֹּל
万軍の	主の	主の-家で	仕事を	そして-働いた	そして-彼らは-来て	民の	残りの	すべての
	H3068		H4399		H0935		H7611	H3605

פ	אֱלֹהֵיהֶם׃
(段落)	その-神の
	H0430

そして主は、シャルテルの子、ユダの総督ゼルバベルの心と、ヨザダクの子、大祭司ヨシュアの心、および残りのすべての民の心を、振り動かされたので、彼らは来て、その神、万軍の主の家の作業にとりかかった。

15

שְׁתָּיִם	בִּשְׁנַת	בַּשִּׁשִּׁי	לַחֹדֶשׁ	וְאַרְבָּעָה	עֶשְׂרִים	בְּיוֹם
第二の	第二-年に	第六の-月の	その-月の	そして-第四の	第二十四の	第二十四-日に
H8147	H8141	H8345	H2320	H0702	H6242	H3117

לְדָרְיָוֶשׁ	הַמָּלֶךְ׃
ダリウス-王の	王の
H1867	H4428

これは六月二十四日のことであった。

Chapter 2

יְהוָה	דְּבַר־	הָיָה	לַחֹדֶשׁ	וְאֶחָד	בְּעֶשְׂרִים	בַּשְּׁבִיעִי	1
主の	主の-言葉が	あった	その-月の	そして-第一の	第二十一-日に	第七の-月の	
H3068	H1697	H1961	H2320	H0259	H6242	H7637	

לֵאמֹר׃	הַנָּבִיא	חַגַּי	בְּיַד־
言って	預言者の	ハガイの	預言者-ハガイの-手によって
H0559	H5030		H3027

ダリヨス王の二年の七月二十一日に、主の言葉が預言者ハガイに臨んだ、

שַׁלְתִּיאֵל	בֶּן־	זְרֻבָּבֶל	אֶל־	נָא	אֱמֹר־	2
シェアルティエルの	シェアルティエルの-子	ゼルバベルに	ゼルバベルに	どうか	言え	
		H2216	H0413	H4994	H0559	

הַכֹּהֵן	יְהוֹצָדָק	בֶּן־	יְהוֹשֻׁעַ	וְאֶל־	יְהוּדָה	פַּחַת
大-祠司に	エホツァダクの	エホツァダクの-子	ヨシュアに	そして-ヨシュアに	ユダの	ユダの-総督に
H3548	H3087		H3091	H0413	H3063	H6346

לֵאמֹר׃	הָעָם	שְׁאֵרִית	וְאֶל־	הַגָּדוֹל	
言って	民に	残りの	そして-残りの	大なる	
H0559		H7611	H0413		

「シャルテルの子、ユダの総督ゼルバベルと、ヨザダクの子、大祭司ヨシュア、および残りのすべての民に告げて言え、

3

הַזֹּאת	הַבַּיִת	אֶת־	רָאָה	אֲשֶׁר	הַנִּשְׁאָר	בָּכֶם	מִי
この	この–家を	(を)	見たのか	見たのか	残っていて	あなたがたの–中で	誰が
H2088		H0853	H7200		H7604		H4310

עַתָּה	אֹתוֹ	רֹאִים	אַתֶּם	וּמָה	הָרִאשׁוֹן	בִּכְבוֹדוֹ
今	それを	見ているのか	あなたがたは	そして–何と	以前の	その–以前の–栄光の–中で
H6258	H0853	H7200		H4100	H7223	H3519

בְּעֵינֵיכֶם׃	כְּאַיִן	כָּמֹהוּ	הֲלוֹא
あなたがたの–目には	無いに–等しい	それの–ように	それは–ではないか
	H0369	H3644	H3808

『あなたがた残りの者のうち、以前の栄光に輝く主の家を見た者はだれか。あなたがたは今、この状態をどう思うか。これはあなたがたの目には、無にひとしいではないか。

4

יְהוֹשֻׁעַ	וַחֲזַק	יְהוָה	נְאֻם־	וְזֶרֻבָּבֶל	חֲזַק	וְעַתָּה
ヨシュアよ	そして–強くあれ	主の	これは–御告げ	ゼルバベルよ	強くあれ	しかし–今
H3091	H2388	H3068	H5002	H2216	H2388	H6258

עַם	כָּל־	וַחֲזַק	הַגָּדוֹל	הַכֹּהֵן	יְהוֹצָדָק	בֶּן־
地の–民よ	すべての	そして–強くあれ	大なる	大–祠司よ	エホツァダクの	エホツァダクの–子よ
	H3605	H2388		H3548	H3087	

אִתְּכֶם	אֲנִי	כִּי־	וַעֲשׂוּ	יְהוָה	נְאֻם־	הָאָרֶץ
あなたがたと–共に–ある	わたしは	なぜなら	そして–働け	主の	これは–御告げ	地の
H0854	H0589			H3068	H5002	H0776

צְבָאוֹת׃	יְהוָה	נְאֻם
万軍の	主の	これは–御告げ
	H3068	H5002

主は言われる、ゼルバベルよ、勇気を出せ。ヨザダクの子、大祭司ヨシュアよ、勇気を出せ。主は言われる。この地のすべての民よ、勇気を出せ。働け。わたしはあなたがたと共にいると、万軍の主は言われる。

5

בְּצֵאתְכֶם	אִתְּכֶם	כָּרַתִּי	אֲשֶׁר־	הַדָּבָר	אֶת־
あなたがたが–出た–時に	あなたがたと	わたしが	わたしが–契約した	この–言葉を	(を)
H3318	H0854	H3772		H1697	H0853

ס	תִּירָאוּ׃	אַל־	בְּתוֹכְכֶם	עֹמֶדֶת	וְרוּחִי	מִמִּצְרָיִם
(段落)	恐れるな	恐れるな	あなたがたの–中に	立っている	そして–わたしの–霊は	エジプトから
	H3372	H0408	H8432	H5975	H7307	H4714

これはあなたがたがエジプトから出た時、わたしがあなたがたに、約束した言葉である。わたしの霊が、あなたがたのうちに宿っている。恐れるな。

6

וַאֲנִי	הֵיא	מְעַט	אַחַת	עוֹד	צְבָאוֹת	יְהוָה	אָמַר	כֹּה	כִּי
わたしは	すれば	少し	一度	もう–一度	万軍の	主は	言われる	このように	なぜなら
H0589	H1931	H4592	H0259	H5750		H3068	H0559	H3541	

הֶחָרָבָה׃	וְאֶת־	הַיָּם	וְאֶת־	הָאָרֶץ	וְאֶת־	הַשָּׁמַיִם	אֶת־	מַרְעִישׁ
乾いた–地を	そして	海を	そして	地を	そして	天を	(を)	揺り動かす
H2724	H0853	H3220	H0853	H0776	H0853	H8064	H0853	H7493

万軍の主はこう言われる、しばらくして、いま一度、わたしは天と、地と、海と、かわいた地とを震う。

7 וְהִרְעַשְׁתִּי֙ אֶת־ כָּל־ הַגּוֹיִ֔ם וּבָ֣אוּ חֶמְדַּ֔ת כָּל־ הַגּוֹיִ֖ם וּמִלֵּאתִ֣י אֶת־ הַבַּ֤יִת הַזֶּה֙ כָּבֹ֔וד אָמַ֖ר יְהוָ֣ה צְבָאֽוֹת׃

国々の	すべての	すべての–国々の–宝が	そして–来る	国々を	すべての	(を)	そして–揺り動かす	
	H3605		H0935		H3605	H0853	H7493	
万軍の	主は	言われる	栄光で	この	この–家を	(を)	そして–わたしは–満たす	
	H3068	H0559	H3519	H2088		H0853	H4390	

わたしはまた万国民を震う。万国民の財宝は、はいって来て、わたしは栄光をこの家に満たすと、万軍の主は言われる。

8 לִ֥י הַכֶּ֖סֶף וְלִ֣י הַזָּהָ֑ב נְאֻ֖ם יְהוָ֥ה צְבָאֽוֹת׃

わたしの–ものである	銀は	そして–わたしの–ものである	金も	これは–御告げ	主の
	H3701		H2091	H5002	H3068

銀はわたしのもの、金もわたしのものであると、万軍の主は言われる。

9 גָּד֣וֹל יִהְיֶ֔ה כְּבוֹד֙ הַבַּ֣יִת הַזֶּ֔ה הָאַחֲר֖וֹן מִן־ הָרִאשׁ֑וֹן אָמַ֣ר יְהוָ֣ה צְבָאֹ֗ות וּבַמָּקֹ֤ום הַזֶּה֙ אֶתֵּ֣ן שָׁלֹ֔ום נְאֻ֖ם יְהוָ֥ה צְבָאֽוֹת׃ פ

大いなる	であろう	この–家の	この–家の–栄光は	この	後の–ものは	以前の–ものよりも	以前の				
	H1961		H3519	H2088	H0314		H7223				
言われる	主は	万軍の	そして–この–場所で	この	わたしは–与える	平和を	これは–御告げ	主の	(段落)	万軍の	
H0559	H3068		H4725	H2088	H5414	H7965	H5002	H3068			

主の家の後の栄光は、前の栄光よりも大きいと、万軍の主は言われる。わたしはこの所に繁栄を与えると、万軍の主は言われる』」。

10 בְּעֶשְׂרִ֣ים וְאַרְבָּעָ֔ה לַתְּשִׁיעִ֖י בִּשְׁנַ֣ת שְׁתַּ֑יִם לְדָרְיָ֣וֶשׁ הָיָ֔ה דְּבַר־ יְהוָ֖ה אֶל־ חַגַּ֥י הַנָּבִ֖יא לֵאמֹֽר׃

二十四–日に	第四の	そして–第九の–月の	第二–年の	第二の	ダリウスの	あった	主の–言葉が		
H6242	H0702	H8671	H8141	H8147	H1867	H1961	H1697		
言って	預言者の	ハガイに	預言者–ハガイに		主の				
H0559	H5030		H0413		H3068				

ダリヨスの二年の九月二十四日に、主の言葉が預言者ハガイに臨んだ、

11 כֹּ֣ה אָמַ֣ר יְהוָ֣ה צְבָאֹ֗ות שְׁאַל־ נָ֤א אֶת־ הַכֹּהֲנִים֙ תֹּורָ֣ה לֵאמֹֽר׃

このように	言われる	主は	万軍の	尋ねよ	どうか	(を)	祭司たちに	律法に–ついて	言って
H3541	H0559	H3068		H7592	H4994	H0853	H3548	H8451	H0559

「万軍の主はこう言われる、律法について祭司たちに尋ねて言え、

12 אִם־ יִשָּׂ֨א אִ֜ישׁ בְּשַׂר־ קֹ֣דֶשׁ בִּכְנַף־ בִּגְדֹ֗ו וְנָגַ֤ע בִּכְנָפֹו֙ אֶל־ הַלֶּ֣חֶם וְאֶל־ הַנָּזִ֔יד וְאֶל־ הַיַּ֖יִן וְאֶל־ כָּל־ מַאֲכָ֑ל הֲיִקְדָּ֔שׁ וַיַּעֲנ֥וּ הַכֹּהֲנִ֖ים וַיֹּאמְרוּ֙ לֹֽא׃

その–衣の	その–衣の–裾に	聖なる	聖なる–肉を	人が	人が–運ぶなら	もし													
	H3671	H6944	H1320	H0376	H5375	H2005													
ぶどう酒に	あるいは	あるいは	煮ものに	あるいは	パンに	その–裾が	そして–その–裾が–触れるなら												
H3196	H0413	H5138	H0413	H3899	H0413	H3671	H5060												
祭司たちは	そこで–答えた	聖くなるか	食べ物にでも	どんな	あるいは–どんな		油に	あるいは											
H3548		H6942	H3978	H3605	H0413		H8081	H0413											
いいえ	そして–言った																		
H3808	H0559																		

『人がその衣服のすそで聖なる肉を運んで行き、そのすそがもし、パンまたはあつもの、または酒、または油、またはどんな食物にでもさわったなら、それらは聖なるものとなるか』と」。祭司たちは「ならない」と答えた。

נֶפֶשׁ	טְמֵא־	יִגָּע	אִם־	חַגַּי	וַיֹּאמֶר	13
死体に	死体に–触れて–汚れた	死体に–触れた–者が–触れるなら	もし	ハガイは	そこで–言った	
H5315	H2931	H5060			H0559	

יִטְמָא׃	וַיֹּאמְרוּ	הַכֹּהֲנִים	וַיַּעֲנוּ	הֲיִטְמָא	אֵלֶּה	בְּכָל־
汚れる	そして–言った	祠司たちは	そこで–答えた	汚れるか	これらの	これらの–どれかに
	H0559	H3548			H0428	H3605

ハガイはまた言った、「もし、死体によって汚れた人が、これらの一つにさわったなら、それは汚れるか」。祭司たちは「汚れる」と答えた。

הַגּוֹי	וְכֵן־	הַזֶּה	הָעָם־	כֵּן	וַיֹּאמֶר	חַגַּי	וַיַּעַן	14
この–国民も	そのように	この	この–民も	そのように	そして–言った	ハガイは	そこで–答えた	
		H2088			H0559			

יְדֵיהֶם	מַעֲשֵׂה	כֹּל־	וְכֵן	יְהוָה	נְאֻם־	לְפָנָי	הַזֶּה
手の	彼らの–手の–わざも	すべての	そのように	主の	これは–御告げ	わたしの–前に	この
H3027	H4639	H3605		H3068	H5002	H6440	H2088

הוּא׃	טָמֵא	שָׁם	יַקְרִיבוּ	וַאֲשֶׁר	
それは	汚れている	そこに	彼らが–ささげる–ものも	そして–そこに	
H1931	H2931	H8033	H7126		

そこで、ハガイは言った、「主は言われる、この民も、この国も、わたしの前では、そのようである。またその手のわざもそのようである。その所で彼らのささげるものは、汚れたものである。

וָמָעְלָה	הַזֶּה	הַיּוֹם	מִן־	לִבַּבְכֶם	נָא	שִׂימוּ־	וְעַתָּה	15
そして–以後	この日	今日から	今日から	あなたがたの–心を	どうか	心を–向けよ	さあ–今	
H4605	H2088	H3117		H3824	H4994		H6258	

יְהוָה׃	בְּהֵיכַל	אֶבֶן	אֶל־	אֶבֶן	שׂוּם־	מִטָּרֶם
主の	主の–神殿に	石が	石の–上に	石が	置かれてなかった	まだ–置かれてなかった–時には
H3068	H1964	H0068	H0413	H0068		H2962

今、あなたがたはこの日から、後の事を思うがよい。主の宮で石の上に石が積まれなかった前、あなたがたは、どんなであったか。

בָּא	עֶשְׂרֵה	וְהָיְתָה	עֶשְׂרִים	עֶרְמַת	אֶל־	בָּא	מֶהְיוֹתָם	16
来ても	十しか	あったのは	二十しか	二十の	二十の–積みわらに	来ても	それ以前は	
	H6235	H1961	H6242	H6194	H0413	H0935	H1961	

עֶשְׂרִים׃	וְהָיְתָה	פּוּרָה	חֲמִשִּׁים	לַחְשֹׁף	הַיֶּקֶב	אֶל־
二十しか	あったのは	ぶどう酒を	五十の	汲もうと	ぶどうの	ぶどうの–酒船に
H6242	H1961	H6333	H2572	H2834	H3342	H0413

あの時には、二十枡の麦の積まれる所に行ったが、わずかに十枡を得、また五十桶をくもうとして、酒ぶねに行ったが、二十桶を得たのみであった。

כָּל־	אֵת	וּבַבָּרָד	וּבַיְּרָקוֹן	בַּשִּׁדָּפוֹן	אֶתְכֶם	הִכֵּיתִי	17
すべての	(を)	そして–雹で	そして–衆びで	枝枯れで	あなたがたを	わたしは–打った	
H3605	H0853	H1259	H3420		H0853	H5221	

יְהוָה׃	נְאֻם־	אֵלָי	אַתֶּם	וְאֵין־	יְדֵיכֶם	מַעֲשֵׂה
主の	これは–御告げ	わたしに	あなたがたは	しかし–あなたがたは	手の	あなたがたの–手の–わざを
H3068	H5002	H0413	H0853	H0369	H3027	H4639

わたしは立ち枯れと、腐り穂と、ひょうをもってあなたがたと、あなたがたのすべての手のわざを撃った。しかし、あなたがたは、わたしに帰らなかったと主は言われる。

18 שִׂימוּ־ 心を–向けよ H3824 נָא どうか H4994 לְבַבְכֶם׃ あなたがたの–心を H3824 מִן־ 今日から H3117 הַיּוֹם 今日から H3117 הַזֶּה この日 H2088 וָמָעְלָה そして–以後 H4605 מִיּוֹם 第二十四–日から H3117

אֲשֶׁר־ その–日 הַיּוֹם その–日から H3117 לְמִן־ すなわち–その H8671 לַתְּשִׁעִי 第九の–月の H0702 וְאַרְבָּעָה そして–第四の H6242 עֶשְׂרִים 第二十四の

לְבַבְכֶם׃ 心を H3824 שִׂימוּ 心を–向けよ H3068 יְהוָה 主の H1964 הֵיכַל־ 主の–神殿の H3245 יְסַד 主の–神殿の–基が–置かれた

あなたがたはこの日より後、すなわち、九月二十四日よりの事を思うがよい。また主の宮の基をすえた日から後の事を心にとめるがよい。

19 וְהָרִמּוֹן そして–ざくろの–木も H7416 וְהַתְּאֵנָה そして–いちじくの–木も H8384 הַגֶּפֶן ぶどうの–木も H1612 וְעַד־ そして H5704 בַּמְּגוּרָה 穀倉に H4035 הַזֶּרַע 種が H2233 הַעוֹד まだ–あるか H5750

הַזֶּה この日 H2088 הַיּוֹם 今日から H3117 מִן־ しかし–今日から נָשָׂא 実を–結んでいない H5375 לֹא まだ H3808 הַזַּיִת オリーブの H2132 וְעֵץ そして–オリーブの–木も H6086

ס (段落) אֲבָרֵךְ׃ わたしは–祝福する H1288

種はなお、納屋にあるか。ぶどうの木、いちじくの木、ざくろの木、オリブの木もまだ実を結ばない。しかし、わたしはこの日から、あなたがたに恵みを与える」。

20 וַיְהִי そして–あった H1961 דְבַר־ 主の–言葉が H1697 יְהוָה 主の H3068 שֵׁנִית 二度目が H8145 אֶל־ ハガイに H0413 חַגַּי ハガイに בְּעֶשְׂרִים 第二十四–日に H6242 וְאַרְבָּעָה そして–第四の H0702

לֵאמֹר׃ 言って H0559 לַחֹדֶשׁ その–月の H2320

この月の二十四日に、主の言葉がふたたびハガイに臨んだ、

21 אֱמֹר 言え H0559 אֶל־ ゼルバベルに H0413 זְרֻבָּבֶל ゼルバベルに H2216 פַּחַת־ ユダの–総督に H6346 יְהוּדָה ユダの H3063 לֵאמֹר 言って H0559 אֲנִי わたしは H0589 מַרְעִישׁ 揺り動かす H7493 אֶת־ (を) H0853

הָאָרֶץ׃ 地を H0776 וְאֶת־ そして H0853 הַשָּׁמַיִם 天を H8064

「ユダの総督ゼルバベルに告げて言え、わたしは天と地を震う。

22 וְהָפַכְתִּי֙ כִּסֵּ֣א מַמְלָכ֔וֹת וְהִשְׁמַדְתִּ֖י חֹ֣זֶק מַמְלְכ֣וֹת הַגּוֹיִ֑ם
そして–わたしは–覆す 王座を 王国の そして–わたしは–滅ぼす 力を 異邦の
H2015 H3678 H4467 H8045 H2392 H4467

וְהָפַכְתִּ֖י מֶרְכָּבָ֣ה וְרֹכְבֶ֑יהָ וְיָרְד֤וּ סוּסִים֙
そして–わたしは–覆す 戦車を そして–それに–乗る–者を そして–降りる 馬も
H2015 H4818 H7392 H3381

וְרֹכְבֵיהֶ֔ם אִ֖ישׁ בְּחֶ֣רֶב אָחִֽיו׃
そして–それに–乗る–者も 各自 同胞の–剣によって 同胞の
H7392 H0376 H2719 H0251

わたしは国々の王位を倒し、異邦の国々の力を滅ぼし、また戦車、およびこれに乗る者を倒す。馬およびこれに乗る者は、たがいにその仲間のつるぎによって倒れる。

23 בַּיּ֣וֹם הַה֗וּא נְאֻם־ יְהוָה֙ צְבָאוֹת֙ אֶקָּחֲךָ֣ זְרֻבָּבֶ֔ל
その–日に その 主の これは–御告げ 万軍の わたしは–あなたを–取る ゼルバベルよ
H3117 H1931 H3068 H5002 H3947 H2216

נְאֻם־ יְהוָ֔ה עַבְדִּי֙ שְׁאַלְתִּיאֵ֔ל בֶּן־
主の これは–御告げ わたしの–僕よ シェアルティエルの シェアルティエルの–子よ
H3068 H5002 H5650

נְאֻם֙ יְהוָ֔ה בָּחַ֖רְתִּי בְּךָ֑ כִּי־ כְחוֹתָ֣ם וְשַׂמְתִּיךָ֔
主の これは–御告げ わたしは–選んだ あなたを なぜなら 印章の–ように そして–あなたを–置く
H3068 H5002 H0977 H2368

צְבָאֽוֹת׃
万軍の

万軍の主は言われる、シャルテルの子、わがしもベゼルバベルよ、主は言われる、その日、わたしはあなたを立て、あなたを印章のようにする。わたしはあなたを選んだからであると、万軍の主は言われる」。

Zechariah

Chapter 1

בַּחֹדֶשׁ הַשְּׁמִינִי בִּשְׁנַת שְׁתַּיִם לְדָרְיָוֶשׁ הָיָה דְבַר־יְהוָה אֶל־זְכַרְיָהוּ בֶּן־בֶּרֶכְיָה בֶּן־עִדּוֹ הַנָּבִיא לֵאמֹר׃ 1

בַּחֹדֶשׁ	הַשְּׁמִינִי	בִּשְׁנַת	שְׁתַּיִם	לְדָרְיָוֶשׁ	הָיָה	דְבַר־	יְהוָה	אֶל־	זְכַרְיָהוּ
の–月に	第八の	の–年の	第二の	ダレイオスの	あった	言葉が	主の	に	ゼカリヤに
H2320	H8066	H8141	H8147	H1867	H1961	H1697	H3068	H0413	

בֶּן־	בֶּרֶכְיָה	בֶּן־	עִדּוֹ	הַנָּבִיא	לֵאמֹר׃
の–子	ベレクヤの	の–子	イドの	預言者に	言って
	H1296		H5714	H5030	H0559

ダリヨスの第二年の八月に、主の言葉がイドの子ベレキヤの子である預言者ゼカリヤに臨んだ、

קָצַף יְהוָה עַל־אֲבוֹתֵיכֶם קָצֶף׃ 2

קָצַף	יְהוָה	עַל־	אֲבוֹתֵיכֶם	קָצֶף׃
怒った	主は	に–対して	あなたがたの–先祖に	激しく
H7107	H3068		H0001	

「主はあなたがたの先祖たちに対して、いたくお怒りになった。

וְאָמַרְתָּ אֲלֵהֶם כֹּה אָמַר יְהוָה צְבָאוֹת שׁוּבוּ אֵלַי נְאֻם יְהוָה צְבָאוֹת וְאָשׁוּבָה אֲלֵיכֶם אָמַר יְהוָה צְבָאוֹת׃ 3

וְאָמַרְתָּ	אֲלֵהֶם	כֹּה	אָמַר	יְהוָה	צְבָאוֹת	שׁוּבוּ	אֵלַי	נְאֻם	יְהוָה
そして–言え	彼らに	このように	言う	主は	万軍の	立ち返れ	わたしに	との–宣言	主の
H0559	H0413	H3541	H0559	H3068		H7725	H0413	H5002	H3068

וְאָשׁוּב	אֲלֵיכֶם	אָמַר	יְהוָה	צְבָאוֹת		
そうすれば–わたしは–立ち返る	あなたがたに	と–言う	主は	万軍の		
H7725	H0413	H0559	H3068			

それゆえ、万軍の主はこう仰せられると、彼らに告げよ。万軍の主は仰せられる、わたしに帰れ、そうすれば、わたしもあなたがたに帰ろうと、万軍の主は仰せられる。

אַל־תִּהְיוּ כַּאֲבֹתֵיכֶם אֲשֶׁר קָרְאוּ־אֲלֵיהֶם הַנְּבִיאִים הָרִאשֹׁנִים לֵאמֹר כֹּה אָמַר יְהוָה צְבָאוֹת שׁוּבוּ נָא מִדַּרְכֵיכֶם הָרָעִים וּמַעַלְלֵיכֶם הָרָעִים וְלֹא שָׁמְעוּ וְלֹא הִקְשִׁיבוּ אֵלַי נְאֻם יְהוָה׃ 4

אַל־	תִּהְיוּ	כַּאֲבֹתֵיכֶם	אֲשֶׁר	קָרְאוּ־	אֲלֵיהֶם	הַנְּבִיאִים	הָרִאשֹׁנִים	לֵאמֹר	כֹּה	אָמַר	יְהוָה	צְבָאוֹת	שׁוּבוּ	נָא	מִדַּרְכֵיכֶם	הָרָעִים
するな	なるな	あなたがたの–先祖の–ように	その	呼びかけた	彼らに	預言者たちが	以前の	言って	このように	言う	主は	万軍の	立ち返れ	どうか	あなたがたの–悪い–道から	悪い
H0408	H1961			H7121	H0413	H5030	H7223	H0559	H3541	H0559	H3068		H7725	H4994	H1870	

אֵלַי	הִקְשִׁיבוּ	וְלֹא־	שָׁמְעוּ	וְלֹא	הָרָעִים	(וּמַעֲלְלֵיכֶם)	[ומעליכם]	
わたしに	耳を–傾けた	そして–ない	聞いた	しかし–ない	悪い	行いから	そして–あなたがたの	
H0413	H7181	H3808	H8085	H3808		H4611	H5953	

יְהוָה׃	נְאֻם־	
主の	との–宣言	
H3068	H5002	

あなたがたの先祖たちのようであってはならない。先の預言者たちは、彼らにむかって叫んで言った、『万軍の主はこう仰せられる、悪い道を離れ、悪いおこないを捨てて帰れ』と。しかし彼らは聞きいれず、耳をわたしに傾けなかったと主は言われる。

5 אֲבוֹתֵיכֶם אַיֵּה־ הֵם וְהַנְּבִאִים הַלְעוֹלָם יִחְיוּ׃
あなたがたの–先祖は どこに いるのか そして–預言者たちは 永遠に 生きるのか
H0001 H0346 H1992 H5030 H5769 H2421

あなたがたの先祖たち、彼らはどこにいるか。預言者たち、彼らは永遠に生きているのか。

6 וְאַךְ דְּבָרַי וְחֻקַּי אֲשֶׁר צִוִּיתִי אֶת־ עַבְדַי הַנְּבִיאִים
しかし わが–言葉と わが–定めは その を わたしが–命じた わが–しもべたち 預言者たちに
H0389 H1697 H2706 H0853 H6680 H5650 H5030

הֲלוֹא הִשִּׂיגוּ אַחֲרֵי אֲבֹתֵיכֶם וַיָּשֻׁבוּ וַיֹּאמְרוּ כַּאֲשֶׁר זָמַם
確かに 追いついた あなたがたの–先祖に そして–彼らは–立ち返り そして–言った ちょうど 定めた
H3808 H5381 H0001 H7725 H0559 H2161

יְהוָה צְבָאוֹת לַעֲשׂוֹת לָנוּ כִּדְרָכֵינוּ וּכְמַעַלְלֵינוּ
主が 万軍の する–ことを わたしたちに わたしたちの–道に–従い そして–わたしたちの–行いに–従い
H3068 H6635 H6213 H0589 H1870 H4611

כֵּן עָשָׂה אֹתָנוּ׃ ס
なした そのように わたしたちに —
H0854

しかしわたしのしもべである預言者たちに命じたわが言葉と、わが定めとは、あなたがたの先祖たちに及んだではないか。それで彼らは立ち返って言った、『万軍の主がわれわれの道にしたがい、おこないに従って、われわれに、なそうと思い定められたように、そのとおりされたのだ』と」。

7 בְּיוֹם עֶשְׂרִים וְאַרְבָּעָה לְעַשְׁתֵּי־ עָשָׂר חֹדֶשׁ הוּא־ חֹדֶשׁ חָדֶשׁ בִּשְׁנַת
の–日に 二十 そして–四の の–十 一の 月の それは 月 の–年の
H3117 H6242 H0702 H6249 H6240 H2320 H1931 H2320 H8141

שְׁבָט שְׁתֵּים לְדָרְיָוֶשׁ הָיָה דְבַר־ יְהוָה אֶל־ זְכַרְיָהוּ בֶּן־ בֶּרֶכְיָהוּ בֶּן־ עִדּוֹ
第二の ダレイオスの あった 言葉が 主の に ゼカリヤに の–子 ベレクヤの の–子 イドの
H8147 H1867 H1961 H1697 H3068 H0413 H2148 H1296 H1296 H5714

הַנָּבִיא לֵאמֹר׃
預言者に 言って
H5030 H0559

ダリヨスの第二年の十一月、すなわちセバテという月の二十四日に、主の言葉がイドの子ベレキヤの子である預言者ゼカリヤに臨んだ。そしてゼカリヤは言った、

8 וְרָאֵיתִי הַלַּיְלָה וְהִנֵּה־ אִישׁ רֹכֵב עַל־ סוּס אָדֹם
わたしは–見た 夜に そして–見よ 一人の–人が 乗って–いた の–上に 馬の 赤い
H7200 H3915 H2009 H0376 H7392 H5921 H5483 H0119

וְהוּא עָמַד בֵּין הַהֲדַסִּים אֲשֶׁר בַּמְּצֻלָה וְאַחֲרָיו
そして–彼は 立って–いた の–間に ミルトスの–木の その 深い–谷の そして–その–後ろに
H1931 H5975 H0996 H1918 H0834 H4699 H0310

סוּסִים אֲדֻמִּים שְׂרֻקִּים וּלְבָנִים׃
馬が–いた 赤い 栗毛の そして–白い
H3836 H8320 H0119 H1242

「わたしは夜、見ていると、ひとりの人が赤馬に乗って、谷間にあるミルトスの木の中に立ち、その後に赤馬、栗毛の馬、白馬がいた。

9

הַדֹּבֵר	הַמַּלְאָךְ	אֵלַי	וַיֹּאמֶר	אֲדֹנָי	אֱלֹהַּ	מָה־	וָאֹמַר
話す	御使いが	わたしに	そして–言った	わが–主よ	これらは	何ですか	そして–わたしは–言った
H1696	H4397	H0413	H0559	H0113	H0428	H4100	H0559

אֵלֶּה׃	הֵמָּה	מָּה־	אַרְאֶךָּ	אֲנִי	בִּי
これらを	それらが	何であるか	見せよう	わたしが	わたしに
H0428	H1992	H4100	H7200	H0589	

その時わたしが『わが主よ、これらはなんですか』と尋ねると、わたしと語る天の使は言った、『これがなんであるか、あなたに示しましょう』。

10

אֲשֶׁר	אֵלֶּה	וַיֹּאמֶר	הַהֲדַסִּים	בֵּין־	הָעֹמֵד	הָאִישׁ	וַיַּעַן
その	これらは	そして–言った	ミルトスの–木の	の–間の	立って–いる	その–人が	そして–答えた
	H0428	H0559	H1918	H0996	H5975	H0376	

בָּאָרֶץ׃	לְהִתְהַלֵּךְ	יְהוָה	שָׁלַח
地を	巡り–歩く–ために	主が	遣わした
H0776	H1980	H3068	H7971

すると、ミルトスの木の中に立っている人が答えて、『これらは地を見回らせるために、主がつかわされた者です』と言うと、

11

וַיֹּאמְרוּ	הַהֲדַסִּים	בֵּין	הָעֹמֵד	יְהוָה	מַלְאַךְ	אֶת־	וַיַּעֲנוּ
そして–言った	ミルトスの–木の	の–間の	立って–いる	主の	御使いに	に	そして–答えた
H0559	H1918	H0996	H5975	H3068	H4397	H0853	

וְשֹׁקֶטֶת׃	יֹשֶׁבֶת	הָאָרֶץ	כָּל־	וְהִנֵּה	בָּאָרֶץ	הִתְהַלָּכְנוּ
そして–静かで–ある	安らかに–住み	地は	すべての	そして–見よ	地を	わたしたちは–巡り–歩いた
H8252	H3427	H0776	H3605	H2009	H0776	H1980

彼らは答えて、ミルトスの中に立っている主の使に言った、『われわれは地を見回ったが、全地はすべて平穏です』。

12

אַתָּה	מָתַי	עַד־	צְבָאוֹת	יְהוָה	וַיֹּאמַר	יְהוָה	מַלְאַךְ־	וַיַּעַן
あなたは	いつまで	いつまで	万軍の	主よ	そして–言った	主の	御使いが	そして–答えた
	H4970	H5704		H3068	H0559	H3068	H4397	

זֶה	זָעַמְתָּה	אֲשֶׁר	יְהוּדָה	עָרֵי	וְאֶת	יְרוּשָׁלִַם	אֶת־	תְּרַחֵם	לֹא־
この	怒った	その	ユダの	の–町々を	そして	エルサレムを	を	あわれまないのですか	ない
H2088	H2194		H3063		H0853	H3389	H0853	H7355	H3808

שָׁנָה׃	שִׁבְעִים
年も	七十
H8141	H7657

すると主の使は言った、『万軍の主よ、あなたは、いつまでエルサレムとユダの町々とを、あわれんで下さらないのですか。あなたはお怒りになって、すでに七十年になりました』。

13

נֹחֲמִים׃	דְּבָרִים	טוֹבִים	דְּבָרִים	בִּי	הַדֹּבֵר	הַמַּלְאָךְ	אֶת־	יְהוָה	וַיַּעַן
慰めの	言葉を	良い	言葉を	わたしに	話す	御使いに	に	主は	そして–答えた
H5150	H1697		H1697		H1696	H4397	H0853	H3068	

主はわたしと語る天の使に、ねんごろな慰めの言葉をもって答えられた。

14

יְהוָה	אָמַר	כֹּה	לֵאמֹר	קְרָא	בִּי	הַדֹּבֵר	הַמַּלְאָךְ	אֵלַי	וַיֹּאמֶר
主は	言う	このように	言って	叫べ	わたしに	話す	御使いが	わたしに	そして–言った
H3068	H0559	H3541	H0559	H7121		H1696	H4397	H0413	H0559

גְּדוֹלָה׃	קִנֵּאתִי	וּלְצִיּוֹן	לִירוּשָׁלִַם	קִנֵּאתִי	צְבָאוֹת
大いなる	熱意を	そして–シオンを	エルサレムを	熱心に–思う	万軍の
	H7068	H6726	H3389	H7065	

そこで、わたしと語る天の使は言った、『あなたは呼ばわって言いなさい。万軍の主はこう仰せられます、わたしはエルサレムのため、シオンのために、大いなるねたみを起し、

15

אֲנִי	אֲשֶׁר	הַשַּׁאֲנַנִּים	הַגּוֹיִם	עַל־	קָצַף	אֲנִי	גָּדוֹל	וָקֶצֶף
わたしが	その	安らかな	諸国に	に–対して	怒って–いる	わたしは	大いなる	そして–怒りを
H0589		H7600			H7107	H0589		

לְרָעָה׃	עָזָרוּ	וְהֵמָּה	מְעָט	קָצַפְתִּי
災いを	助けた	しかし–彼らは	少し	怒った
	H5826	H1992	H4592	H7107

安らかにいる国々の民に対して、大いに怒る。なぜなら、わたしが少しばかり怒ったのに、彼らは、大いにこれを悩ましたからであると。

16

בְּרַחֲמִים	לִירוּשָׁלַ͏ִם	שַׁבְתִּי	יְהוָה	אָמַר	כֹּה־	לָכֵן
あわれみを–もって	エルサレムに	わたしは–立ち返った	主は	言う	このように	それゆえ
	H3389	H7725	H3068	H0559	H3541	

עַל־	יִנָּטֶה	(וְקָו	[וקוה]	צְבָאוֹת	יְהוָה	נְאֻם	בָּהּ	יִבָּנֶה	בֵּיתִי
の–上に	張られる	測り–縄が	そして	万軍の	主の	との–宣言	その–中に	建てられる	わが–家は
	H5186	H6961	H6961		H3068	H5002		H1129	

יְרוּשָׁלָ͏ִם׃
エルサレムの
H3389

それゆえ、主はこう仰せられます、わたしはあわれみをもってエルサレムに帰る。わたしの家はその中に建てられ、測りなわはエルサレムに張られると、万軍の主は仰せられます。

17

מִטּוֹב	עָרַי	תְּפוּצֶינָה	עוֹד	צְבָאוֹת	יְהוָה	אָמַר	כֹּה	לֵאמֹר	קְרָא	וְעוֹד
繁栄で	わが–町々は	あふれる	なお	万軍の	主は	言う	このように	言って	叫べ	なお
			H5750		H3068	H0559	H3541	H0559	H7121	H5750

ס	בִּירוּשָׁלָ͏ִם׃	עוֹד	וּבָחַר	צִיּוֹן	אֶת־	עוֹד	יְהוָה	וְנִחַם
—	エルサレムを	なお	そして–選ぶ	シオンを	を	なお	主は	そして–慰める
	H3389	H5750	H0977	H6726	H0853	H5750	H3068	H5162

あなたはまた呼ばわって言いなさい。万軍の主はこう仰せられます、わが町々は再び良い物で満ちあふれ、主は再びシオンを慰め、再びエルサレムを選ぶ』と」。

18

קְרָנוֹת׃	אַרְבַּע	וְהִנֵּה	וָאֶרְא	עֵינַי	אֶת־	וָאֶשָּׂא
角を	四つの	そして–見よ	そして–見た	わが–目を	を	そして–わたしは–上げた
	H0702	H2009	H7200		H0853	H5375

わたしが目をあげて見ていると、見よ、四つの角があった。

19

וַיֹּאמֶר	אֵלֶּה	מָה־	בִּי	הַדֹּבֵר	הַמַּלְאָךְ	אֶל־	וָאֹמַר
そして–言った	これらは	何ですか	わたしに	話す	御使いに	に	そして–わたしは–言った
H0559	H0428	H4100		H1696	H4397	H0413	H0559

יִשְׂרָאֵל	אֶת־	יְהוּדָה	אֶת־	זֵרוּ	אֲשֶׁר	הַקְּרָנוֹת	אֵלֶּה	אֵלַי
イスラエルを	を	ユダを	を	散らした	その	角である	これらは	わたしに
H3478	H0853	H3063	H0853	H2219			H0428	H0413

ס	וִירוּשָׁלָ͏ִם׃	
—	そして–エルサレムを	
	H3389	

わたしと語る天の使に「これらはなんですか」と言うと、彼は答えて言った、「これらはユダ、イスラエルおよびエルサレムを散らした角です」。

20 וַיַּרְאֵנִי יְהוָה אַרְבָּעָה חָרָשִׁים׃
そして-見せた 主は 四人の 職人を
H7200 H3068 H0702 H2796

その時、主は四人の鍛冶をわたしに示された。

21 וָאֹמַר מָה אֵלֶּה בָּאִים לַעֲשׂוֹת וַיֹּאמֶר לֵאמֹר
そして-わたしは-言った 何を この-者たちは 来て-いるのか する-ために そして-言った 言って
H0559 H4100 H0428 H0935 H0559 H0559

לֹא־אִישׁ נָשָׂא רֹאשׁוֹ וַיָּבֹאוּ אֵלֶּה לְהַחֲרִיד אֹתָם לְיַדּוֹת אֶת־קַרְנוֹת הַגּוֹיִם
ない 人も 上げなかった その-頭を そして-来た この-者たちは 恐れさせる-ために 彼らを 打ち-落とす-ために を 角を 諸国の
H3808 H0376 H5375 H0853 H0935 H0428 H0853 H3034 H0853 H7161

הַנֹּשְׂאִים קֶרֶן עַל־אֶרֶץ יְהוּדָה לְזָרוֹתָהּ׃ ס
上げて-いる 角を に-向かって の-地に ユダの 散らす-ために —
H5375 H7161 H0413 H0776 H3063 H2219

わたしが「これらは何をするために来たのですか」と言うと、彼は答えた、「これらの角はユダを散らして、人にその頭をあげさせなかったものですが、この四人の者が来たのは彼らをおどし、かのユダの地にむかって角をあげ、これを散らした国々の民の角を投げうつためです」。

Chapter 2

1 וָאֶשָּׂא עֵינַי וָאֵרֶא וְהִנֵּה־אִישׁ וּבְיָדוֹ
そして-わたしは-上げた わが-目を そして-見た そして-見よ 一人の-人が そして-その-手に
H5375 H5869 H7200 H2009 H0376 H3027

חֶבֶל מִדָּה׃
測り-縄が 測りの
H2256 H4058

またわたしが目をあげて見ていると、見よ、ひとりの人が、測りなわを手に持っているので、

2 וָאֹמַר אָנָה אַתָּה הֹלֵךְ וַיֹּאמֶר אֵלַי לָמֹד אֶת־יְרוּשָׁלַ͏ִם לִרְאוֹת כַּמָּה־רָחְבָהּ וְכַמָּה אָרְכָּהּ׃
そして-わたしは-言った どこへ あなたは 行くのか そして-言った わたしに 測る-ために を エルサレムを 見る-ために どれほどの 幅が-あるか そして-どれほどの 長さが-あるか
H0559 H0575 H0859 H1980 H0559 H0413 H4058 H0853 H3389 H7200 H4100 H7341 H0853 H4100 H0753

「あなたはどこへ行くのですか」と尋ねると、その人はわたしに言った、「エルサレムを測って、その広さと、長さを見ようとするのです」。

3 וְהִנֵּה הַמַּלְאָךְ הַדֹּבֵר בִּי יֹצֵא וּמַלְאָךְ אַחֵר יֵצֵא לִקְרָאתוֹ׃
そして-見よ 御使いが 話す わたしに 出て-行く そして-別の-御使いが もう-一人の 出て-行く その-迎えに
H2009 H4397 H1696 H0413 H3318 H4397 H0312 H3318 H7125

すると見よ、わたしと語る天の使が出て行くと、またひとりの天の使が出てきて、これに出会って、

4 וַיֹּ֤אמֶר אֵלָיו֙ לֵאמֹ֔ר הַלָּ֥ז הַנַּ֖עַר דַּבֵּ֣ר רֹ֑ץ אֶל־ אֵ֣לֶּה פְּרָזוֹת֙ תֵּשֵׁ֔ב
そして-言った 彼に 走れ 話せ に その-若者に あの 言って 城壁なき-村として 住む
H0559 H0413 H7323 H1696 H0413 H5288 H1975 H0559 H6519 H3427

מֵרֹ֣ב אָדָ֔ם וּבְהֵמָ֖ה בְּתוֹכָֽהּ׃ יְרוּשָׁלִַ֗ם
多くの 人と そして-家畜の-ために その-中に エルサレムは
H7230 H0120 H0929 H8432 H3389

言った、「走って行って、あの若い人に言いなさい、『エルサレムはその中に、人と家畜が多くなるので、城壁のない村里のように、人の住む所となるでしょう。

5 וְאֵ֤נִי אֶהְיֶה־ לָּהּ֙ נְאֻם־ יְהוָ֔ה חוֹמַ֥ת אֵ֖שׁ סָבִ֑יב וּלְכָב֖וֹד אֶֽהְיֶה׃ בְּתוֹכָֽהּ׃ פ
そして-わたしは なる 彼女に との-宣言 主の の-城壁と 火の 回りに そして-栄光と なる その-中に —
H0589 H1961 H5002 H3068 H2346 H0784 H5439 H3519 H1961 H8432

主は仰せられます、わたしはその周囲で火の城壁となり、その中で栄光となる』と」。

6 הֹ֣וֹ וְהֹ֗וֹ וְנֻסוּ֙ מֵאֶ֣רֶץ צָפ֔וֹן נְאֻם־ יְהוָ֖ה כִּ֥י רוּחַ֙ הַשָּׁמַ֔יִם פֵּרַ֥שְׂתִּי אֶתְכֶ֖ם נְאֻם־ יְהוָֽה׃
おお おお そして-逃げよ の-地から 北の との-宣言 まことに 風の-ように 天の わたしは-散らした あなたがたを との-宣言 主の
H1945 H1945 H5127 H0776 H6828 H5002 H3068 H3588 H7307 H8064 H6566 H0853 H5002 H3068

主は仰せられる、さあ、北の地から逃げて来なさい。わたしはあなたがたを、天の四方の風のように散らしたからである。

7 הֹ֣וֹי צִיּ֔וֹן הַמְלֵ֖טִי יוֹשֶׁ֣בֶת בַּת־ בָּבֶ֑ל׃ ס
おお シオンよ 逃れよ 住む-者よ の-娘よ バベルの —
H1945 H6726 H4422 H3427 H1323 H0894

さあ、バビロンの娘と共にいる者よ、シオンにのがれなさい。

8 כִּ֣י כֹ֤ה אָמַר֙ יְהוָ֣ה צְבָא֔וֹת אַחַ֖ר כָּב֣וֹד שְׁלָחַ֑נִי אֶל־ הַגּוֹיִ֖ם הַשֹּׁלְלִ֣ים אֶתְכֶ֔ם
まことに このように 言う 主は 万軍の の-後に 栄光の 遣わした に 諸国に 略奪する
H3588 H3541 H0559 H3068 H6635 H0310 H3519 H7971 H0413 H1471 H8155

נֹגֵ֥עַ בְּכֶ֖ם נֹגֵ֣עַ בְּבָבַ֑ת עֵינ֖וֹ׃
触れるのだ あなたがたに 触れる-者は の-瞳に その-目の
H5060 H0853 H5060 H0892 H5869

あなたがたにさわる者は、彼の目の玉にさわるのであるから、あなたがたを捕えていった国々の民に、その栄光にしたがって、わたしをつかわされた万軍の主は、こう仰せられる、

9 כִּ֣י הִנְנִ֤י מֵנִיף֙ יָדִ֔י עֲלֵיהֶ֖ם וְהָי֥וּ שָׁלָ֑ל וְיָדַעְתֶּ֗ם כִּֽי־ יְהוָ֤ה צְבָאוֹת֙ שְׁלָחָ֔נִי׃ ס
まことに 見よ-わたしは 振り-上げる を わが-手を 彼らの-上に そして-なる 戦利品と そして-知る まことに 主が 万軍の 遣わしたのだと —
H3588 H2009 H5130 H0853 H3027 H5921 H1961 H7998 H3045 H3588 H3068 H6635 H7971

「見よ、わたしは彼らの上に手を振る。彼らは自分に仕えた者のとりことなる。その時あなたがたは万軍の主が、わたしをつかわされたことを知る。

10 רָנִּי וְשִׂמְחִי בַּת־צִיּוֹן כִּי הִנְנִי־בָא וְשָׁכַנְתִּי בְתוֹכֵךְ נְאֻם־יְהוָה׃
歌え そして-喜べ の-娘よ シオンの まことに 見よ-わたしは 来る そして-住む 主の との-宣言 あなたの-中に
H7931 H0935 H2009 H6726 H1323 H8055 H3068 H5002 H8432

主は言われる、シオンの娘よ、喜び歌え。わたしが来て、あなたの中に住むからである。

11 וְנִלְוּוּ גוֹיִם רַבִּים אֶל־יְהוָה בַּיּוֹם הַהוּא וְהָיוּ לִי לְעָם וְשָׁכַנְתִּי בְתוֹכֵךְ וְיָדַעַתְּ כִּי־יְהוָה צְבָאוֹת שְׁלָחַנִי אֵלָיִךְ׃
そして-加わる 諸国が 多くの に 主に その 日に その-日に そして-なる わたしの 民と そして-住む あなたの-中に そして-知る 主が まことに 万軍の 遣わしたのだと あなたに
H1961 H1931 H3117 H3068 H0413 H7971 H0413

その日には、多くの国民が主に連なって、わたしの民となる。わたしはあなたの中に住む。

12 וְנָחַל יְהוָה אֶת־יְהוּדָה חֶלְקּוֹ עַל אַדְמַת הַקֹּדֶשׁ וּבָחַר עוֹד בִּירוּשָׁלָ͏ִם׃
そして-受け継ぐ 主は を ユダを その-受け分として の-上に の-地の 聖なる そして-選ぶ なお エルサレムを
H5157 H3068 H0853 H3063 H0127 H6944 H0977 H5750

あなたは万軍の主が、わたしをあなたにつかわされたことを知る。主は聖地で、ユダを自分の分として取り、エルサレムを再び選ばれるであろう」。

13 הַס כָּל־בָּשָׂר מִפְּנֵי יְהוָה כִּי נֵעוֹר מִמְעוֹן קָדְשׁוֹ׃ ס
静まれ すべての 肉なる-者よ の-前に 主の まことに 立ち-上がった の-住まいから その-聖なる —
H2013 H3605 H1320 H6440 H3068 H5782 H4583 H6944

すべて肉なる者よ、主の前に静まれ。主はその聖なるすみかから立ちあがられたからである。

Chapter 3

1 וַיַּרְאֵנִי אֶת־יְהוֹשֻׁעַ הַכֹּהֵן הַגָּדוֹל עֹמֵד לִפְנֵי מַלְאַךְ יְהוָה וְהַשָּׂטָן עֹמֵד עַל־יְמִינוֹ לְשִׂטְנוֹ׃
そして-見せた を ヨシュアを 祭司 大いなる 立って-いる の-前に 御使いの 主の そして-サタンが 立って-いた の-傾に その-右の 訴える-ために
H7200 H0853 H3091 H3548 H1419 H5975 H6440 H4397 H3068 H7854 H5975 H5921 H3225 H7853

時に主は大祭司ヨシュアが、主の使の前に立ち、サタンがその右に立って、これを訴えているのをわたしに示された。

2 וַיֹּאמֶר יְהוָה אֶל־הַשָּׂטָן יִגְעַר יְהוָה בְּךָ הַשָּׂטָן וְיִגְעַר יְהוָה בְּךָ
主は そして-言った に サタンに 責める 主が お前を サタンよ そして-責める 主が
H0559 H0413 H7854 H1605 H3068 H7854 H1605 H3068

הַבֹּחֵר בִּירוּשָׁלִָם הֲלָוֹא זֶה אוּד מֻצָּל מֵאֵשׁ׃
選ぶ-方が エルサレムを これは これは 燃え-さしでは-ないか 救い-出された 火から
H0977 H3389 H3808 H2088 H0181 H5337 H0784

主はサタンに言われた、「サタンよ、主はあなたを責めるのだ。すなわちエルサレムを選んだ主はあなたを責めるのだ。これは火の中から取り出した燃えさしではないか」。

3 וִיהוֹשֻׁעַ הָיָה לָבֻשׁ בְּגָדִים צוֹאִים וְעֹמֵד לִפְנֵי הַמַּלְאָךְ׃
そして-ヨシュアは いた 着て 衣を 汚れた そして-立って-いた の-前に 御使いの
H3091 H1961 H3847 H0899 H6674 H5975 H6440 H4397

ヨシュアは汚れた衣を着て、み使の前に立っていたが、

4 וַיַּעַן וַיֹּאמֶר אֶל־הָעֹמְדִים לְפָנָיו לֵאמֹר הָסִירוּ הַבְּגָדִים מֵעָלָיו וַיֹּאמֶר אֵלָיו רְאֵה הֶעֱבַרְתִּי עֲוֹנְךָ מֵעָלֶיךָ וְהַלְבֵּשׁ אֹתְךָ מַחֲלָצוֹת׃
そして-答えた そして-言った に 立って-いる-者たちに その-前に 言って 脱がせよ 衣を 見よ 彼に そして-言った 彼から 汚れた あなたに そして-着せる 晴れ着を
H6030 H0559 H0413 H5975 H6440 H0559 H5493 H0899 H7200 H0413 H0559 H5921 H6674 H0853 H3847 H4254

み使は自分の前に立っている者どもに言った、「彼の汚れた衣を脱がせなさい」。またヨシュアに向かって言った、「見よ、わたしはあなたの罪を取り除いた。あなたに祭服を着せよう」。

5 וָאֹמַר יָשִׂימוּ צָנִיף טָהוֹר עַל־רֹאשׁוֹ וַיָּשִׂימוּ צָנִיף טָהוֹר עַל־רֹאשׁוֹ וּבְגָדִים הִלְבִּישׁוּהוּ וּמַלְאַךְ יְהוָה עֹמֵד׃
そして-わたしは-言った かぶせよ かぶり物を 清い の-上に その-頭の そして-かぶせた かぶり物を 清い の-上に その-頭の 衣を そして-着せた 御使いが 主の 立って-いた
H0559 H7760 H6797 H2889 H5921 H7218 H7760 H6797 H2889 H5921 H7218 H0899 H3847 H4397 H3068 H5975

わたしは言った、「清い帽子を頭にかぶらせなさい」。そこで清い帽子を頭にかぶらせ、衣を彼に着せた。主の使はかたわらに立っていた。

6 וַיָּעַד מַלְאַךְ יְהוָה בִּיהוֹשֻׁעַ לֵאמֹר׃
そして-命じた 御使いが 主の ヨシュアに 言って
H5749 H4397 H3068 H3091 H0559

主の使は、ヨシュアを戒めて言った、

7 כֹּה־אָמַר יְהוָה צְבָאוֹת אִם־בִּדְרָכַי תֵּלֵךְ וְאִם־אֶת־מִשְׁמַרְתִּי תִשְׁמֹר וְגַם־אַתָּה תָּדִין אֶת־בֵּיתִי וְגַם תִּשְׁמֹר אֶת־חֲצֵרָי וְנָתַתִּי לְךָ מַהְלְכִים בֵּין הָעֹמְדִים הָאֵלֶּה׃
このように 言う 主は 万軍の もし わが-道に 歩むなら そして-もし を わが-務めを 守るなら そして-また 裁く を 家を わが- そして-また 守る を わが-庭を これらの 立って-いる-者たちの の-間に 自由に-歩む-権利を あなたに そして-わたしは-与える
H3541 H0559 H3068 H6635 H1870 H3212 H0518 H4931 H0853 H1571 H8104 H0853 H1004 H1777 H0859 H1571 H8104 H0853 H2691 H5414 H0996 H4108 H0413 H5975 H0428

「万軍の主は、こう仰せられる、あなたがもし、わたしの道に歩み、わたしの務を守るならば、わたしの家をつかさどり、わたしの庭を守ることができる。わたしはまた、ここに立っている者どもの中に行き来することを得させる。

8 שְׁמַע־ נָ֣א יְהוֹשֻׁ֣עַ הַכֹּהֵ֣ן הַגָּד֗וֹל אַתָּה֙ וְרֵעֶ֣יךָ֔ הַיֹּשְׁבִ֖ים
聞け どうか ヨシュアよ 祭司 大いなる あなたと そして-あなたの-仲間よ 座って-いる
H8085 H4994 H3091 H3548 H1419 H7453 H3427

לְפָנֶ֣יךָ כִּ֤י אַנְשֵׁ֨י מוֹפֵ֔ת הֵ֚מָּה כִּ֣י הִנְנִ֔י מֵבִ֥יא אֶת־
あなたの-前に まことに しるしの 彼らは まことに 見よ-わたしは 来させる を
H6440 H3588 H4159 H1992 H3588 H2009 H0935 H0853

עַבְדִּ֖י צֶֽמַח׃
わが-しもべを 芽を
H5650 H6780

大祭司ヨシュアよ、あなたも、あなたの前にすわっている同僚たちも聞きなさい。彼らはよいしるしとなるべき人々だからである。見よ、わたしはわたしのしもべなる枝を生じさせよう。

9 וְכִ֣י הִנֵּ֗ה הָאֶ֙בֶן֙ אֲשֶׁ֣ר נָתַ֔תִּי לִפְנֵ֖י יְהוֹשֻׁ֑עַ עַל־
まことに 見よ その-石を その わたしが-置いた の-前に ヨシュアの の-上に
H3588 H2009 H0068 H0834 H5414 H6440 H3091 H5921

אֶ֣בֶן אֶחָ֗ד עֵינַ֥יִם שִׁבְעָ֛ה פִּתֻּחָ֥הּ מְפַתֵּ֖חַ הִנְנִ֣י יְהוָ֣ה צְבָאוֹת֮ נְאֻם֒
一つの-石の 一つの 目が-ある 七つの その-彫り物を 彫る 見よ-わたしは 主の 万軍の との-宣言
H0068 H0259 H5869 H7651 H6603 H6603 H2009 H3068 H6635 H5002

אֶחָֽד׃ בְּי֣וֹם הַהִ֣יא הָאָ֔רֶץ־ עֲוֹ֥ן אֶת־ וּמַשְׁתִּ֖י
一の 一-日で その その-地の 罪を を そして-取り除く
H0259 H3117 H1931 H0776 H5771 H0853 H4185

万軍の主は言われる、見よ、ヨシュアの前にわたしが置いた石の上に、すなわち七つの目をもっているこの一つの石の上に、わたしはみずから文字を彫刻する。そしてわたしはこの地の罪を、一日の内に取り除く。

10 בַּיּ֣וֹם הַה֗וּא נְאֻם֙ יְהוָ֣ה צְבָאוֹת֒ תִּקְרְא֣וּ אִ֔ישׁ לְרֵעֵ֖הוּ אֶל־ תַּחַ֑ת
その-日に その との-宣言 主の 万軍の 招く 各人が その-隣人を に の-下に
H3117 H1931 H5002 H3068 H6635 H7121 H0376 H7453 H0413 H8478

תְּאֵנָֽה׃ תַּחַת֙ וְאֶל־ גֶּ֔פֶן
いちじくの-木の の-下に そして-に ぶどうの-木の
H8384 H8478 H0413 H1612

万軍の主は言われる、その日には、あなたがたはめいめいその隣り人を招いて、ぶどうの木の下、いちじくの木の下に座すのである」。

Chapter 4

1 וַיָּ֖שָׁב הַמַּלְאָ֣ךְ הַדֹּבֵ֣ר בִּ֑י וַיְעִירֵ֕נִי כְּאִ֥ישׁ אֲשֶׁר־ יֵעוֹר֙
そして-戻った 御使いが 話す わたしに そして-起こした 人の-ように その 起こされる
H7725 H4397 H1696 H0589 H5782 H0376 H0834 H5782

מִשְּׁנָתֽוֹ׃
その-眠りから
H8142

わたしと語った天の使がまた来て、わたしを呼びさました。わたしは眠りから呼びさまされた人のようであった。

2 וַיֹּאמֶר אֵלַי מָה אַתָּה רֹאֶה וְאֹמַר׃ (ויאמר)
わたしに 何を あなたは 見て-いるか そして-わたしは-言った
H0413 H4100 H0559 H7200 H0559

וְהִנֵּה מְנוֹרַת זָהָב כֻּלָּהּ וְגֻלָּהּ עַל־רֹאשָׁהּ וְרָאֵיתִי
そして-見よ 燭台が 金の すべてが そして-その-鉢が の-上に その-頂の わたしは-見た
H2009 H4501 H2091 H3605 H1543 H0559 H7200

וְשִׁבְעָה שִׁבְעָה עָלֶיהָ נֵרֹתֶיהָ שִׁבְעָה וְשִׁבְעָה מוּצָקוֹת לַנֵּרוֹת אֲשֶׁר
そして-七つの 七つの その-上に ともしびが そして-七つの 管が ともしびの-ための その
H7651 H7651 H5921 H5216 H7651 H7651 H4166 H5921 H834

עַל־רֹאשָׁהּ׃
の-上の その-頂の

彼がわたしに向かって「何を見るか」と言ったので、わたしは言った、「わたしが見ていると、すべて金で造られた燭台が一つあって、その上に油を入れる器があり、また燭台の上に七つのともしび皿があり、そのともしび皿は燭台の上にあって、これにおのおの七本ずつの管があります。

3 וּשְׁנֵי זֵיתִים עָלֶיהָ אֶחָד מִימִין הַגֻּלָּה וְאֶחָד עַל־שְׂמֹאלָהּ׃
そして-二本の オリーブの-木が その-傾に 一本は 右に 鉢の そして-一本は の-上に その-左に
H8147 H2132 H5921 H0259 H3225 H1543 H0259 H5921 H8040

また燭台のかたわらに、オリブの木が二本あって、一本は油をいれる器の右にあり、一本はその左にあります」。

4 וָאַעַן וָאֹמַר אֶל־הַמַּלְאָךְ הַדֹּבֵר בִּי לֵאמֹר מָה־אֵלֶּה׃
そして-わたしは-答えた そして-言った に 御使いに 話す わたしに 言って 何ですか
H6030 H0559 H0413 H4397 H1696 H0589 H0559 H4100

אֲדֹנִי׃
わが-主よ
H0113

わたしはまたわたしと語る天の使に言った、「わが主よ、これらはなんですか」。

5 וַיַּעַן הַמַּלְאָךְ הַדֹּבֵר בִּי וַיֹּאמֶר אֵלַי הֲלוֹא יָדַעְתָּ מָה־הֵמָּה אֵלֶּה וָאֹמַר לֹא אֲדֹנִי׃
そして-答えた 御使いが 話す わたしに そして-言った わたしに 知らないのか 知らないのか 何であるか それらが これらを そして-わたしは-言った いいえ わが-主よ
H6030 H4397 H1696 H0589 H0559 H0413 H3808 H3045 H4100 H1992 H0428 H0559 H3808 H0113

わたしと語る天の使は答えて、「あなたはそれがなんであるか知らないのですか」と言ったので、わたしは「わが主よ、知りません」と言った。

6 וַיַּעַן וַיֹּאמֶר אֵלַי לֵאמֹר זֶה דְּבַר־יְהוָה אֶל־זְרֻבָּבֶל לֵאמֹר
そして-答えた そして-言った わたしに 言って これが 言葉である 主の に ゼルバベルに
H6030 H0559 H0413 H0559 H2088 H1697 H3068 H0413 H2216

לֹא בְחַיִל וְלֹא בְכֹחַ כִּי אִם־בְּרוּחִי אָמַר יְהוָה צְבָאוֹת׃
ない 軍勢に-よらず そして-ない 力に-よらず ただ に-よる わが-霊に と-言う 主は 万軍の
H3808 H2428 H3808 H3581 H3588 H3808 H7307 H0559 H3068 H6635

すると彼はわたしに言った、「ゼルバベルに、主がお告げになる言葉はこれです。万軍の主は仰せられる、これは権勢によらず、能力によらず、わたしの霊によるのである。

7	אֶת־	וְהוֹצִיא	לְמִישֹׁר	זְרֻבָּבֶל	לִפְנֵי	הַגָּדוֹל	הָר־	אַתָּה	מִי־
	を	そして-取り-出す	平地と-なる	ゼルバベルの	の-前で	大いなる	山よ	お前は	何か
	H0853	H3318	H4334	H2216	H6440		H2022		H4310

פ	לָהּ׃	חֵן	חֵן	תְּשֻׁאוֹת	הָרִאשָׁה	הָאֶבֶן
—	それに	恵みあれ	恵みあれ	叫び-声を	第一の	かしら-石を
		H2580	H2580	H8663	H7222	H0068

大いなる山よ、おまえは何者か。おまえはゼルバベルの前に平地となる。彼は『恵みあれ、これに恵みあれ』と呼ばわりながら、かしら石を引き出すであろう」。

8	לֵאמֹר׃	אֵלַי	יְהוָה	דְּבַר־	וַיְהִי
	言って	わたしに	主の	言葉が	そして-あった
	H0559	H0413	H3068	H1697	H1961

主の言葉がわたしに臨んで言うには、

9	וְיָדְעְתָּ	תְּכַצַּעְנָה	וְיָדָיו	הַזֶּה	הַבַּיִת	יְסְדוּ	זְרֻבָּבֶל	יְדֵי	
	そして-知る	完成させる	そして-その-手が	この	家の	基を-置いた	ゼルバベルの	の-手が	
	H3045	H1214	H3027	H2088		H3245	H2216	H3027	

אֲלֵיכֶם׃	שְׁלָחָנִי	צְבָאוֹת	יְהוָה	כִּי־
あなたがたに	遣わしたのだと	万軍の	主が	まことに
H0413	H7971		H3068	

「ゼルバベルの手はこの宮の礎をすえた。彼の手はこれを完成する。その時あなたがたは万軍の主が、わたしをあなたがたにつかわされたことを知る。

10	אֶת־	וְרָאוּ	וְשָׂמְחוּ	קְטַנּוֹת	לְיוֹם	בְּזֵ֫	מִי	כִּי	
	を	そして-見る	そして-喜ぶ	小さな-ことの	の-日を	蔑ったのか	だれが	まことに	
	H0853	H7200	H8055		H3117	H0936	H4310		

הֵמָּה	יְהוָה	עֵינֵי	אֵלֶּה	שִׁבְעָה־	זְרֻבָּבֶל	בְּיַד	הַבְּדִיל	הָאֶבֶן	
それらは	主の	目である	これら	七つの	ゼルバベルの	の-手に	鉛の	下げ-振りの-石を	
H1992	H3068		H0428	H7651	H2216	H3027	H0913	H0068	

הָאָרֶץ׃	בְּכָל־	מְשׁוֹטְטִים
地を	すべての	巡り-見て-いる
H0776	H3605	

だれでも小さい事の日をいやしめた者は、ゼルバベルの手に、下げ振りのあるのを見て、喜ぶ。これらの七つのものは、あまねく全地を行き来する主の目である」。

11	הָאֵלֶּה	הַזֵּיתִים	שְׁנֵי	מַה־	אֵלָיו	וָאֹמַר	וָאַעַן	
	これらの	オリーブの-木は	二本の	何ですか	彼に	そして-言った	そして-わたしは-答えた	
	H0428	H2132	H8147	H4100	H0413	H0559		

שְׂמֹאולָהּ׃	וְעַל־	הַמְנוֹרָה	יְמִין	עַל־
その-左に	そして-の-左に	燭台の	右に	の-右に
H8040		H4501	H3225	

わたしはまた彼に尋ねて、「燭台の左右にある、この二本のオリブの木はなんですか」と言い、

12	הַזֵּיתִים	שִׁבְלֵי	שְׁתֵּי	מַה־	אֵלָיו	וָאֹמַר	שֵׁנִית	וָאַעַן	
	オリーブの	の-枝は	二つの	何ですか	彼に	そして-言った	二度目に	そして-わたしは-答えた	
	H2132		H8147	H4100	H0413	H0559	H8145		

הַזָּהָב׃	מֵעָלֵיהֶם	הַמְרִיקִים	הַזָּהָב	צַנְתְּרוֹת	שְׁנֵי	בְּיַד	אֲשֶׁר
金を	それらから	注ぎ-出す	金の	金の-管の	二つの	の-傾の	その
H2091		H7324	H2091	H6804	H8147	H3027	

重ねてまた「この二本の金の管によって、油をそれから注ぎ出すオリブの二枝はなんですか」と言うと、

13 וַיֹּאמֶר אֵלַי לֵאמֹר הֲלוֹא יָדַעְתָּ מָה־אֵלֶּה
そして-言った わたしに 言って 知らないのか 知らないのか 何であるか これらを
H0559 H0413 H0559 H3808 H3045 H4100 H0428

וָאֹמַר לֹא אֲדֹנָי׃
そして-わたしは-言った いいえ わが-主よ
H0559 H3808 H0113

彼はわたしに答えて、「あなたはそれがなんであるか知らないのですか」と言ったので、「わが主よ、知りません」と言った。

14 וַיֹּאמֶר אֵלֶּה שְׁנֵי בְנֵי־הַיִּצְהָר הָעֹמְדִים עַל־אֲדוֹן כָּל־
そして-言った これらは 二人の 油の 立って-いる の-傍らである 主の すべての
H0559 H0428 H8147 H3323 H5975 H0113 H3605

הָאָרֶץ׃
地の
H0776

すると彼は言った、「これらはふたりの油そそがれた者で、全地の主のかたわらに立つ者です」。

Chapter 5

1 וָאָשׁוּב וָאֶשָּׂא עֵינַי וָאֶרְאֶה וְהִנֵּה מְגִלָּה
そして-わたしは-振り-返り そして-上げた わが-目を そして-見た そして-見よ 巻物が
H7725 H5375 H7200 H2009 H4039

עָפָה׃
飛んで-いる

わたしがまた目をあげて見ていると、飛んでいる巻物を見た。

2 וַיֹּאמֶר אֵלַי מָה אַתָּה רֹאֶה וָאֹמַר אֲנִי רֹאֶה מְגִלָּה עָפָה
そして-言った わたしに 何を あなたは 見て-いるか そして-わたしは-言った わたしは
H0559 H0413 H4100 H0859 H7200 H0559 H0589

אָרְכָּהּ עֶשְׂרִים בָּאַמָּה וְרָחְבָּהּ עֶשֶׂר בָּאַמָּה׃
その-長さは 二十 キュビトの そして-その-幅は 十 キュビトの
H0753 H6242 H0520 H7341 H6235 H0520

彼がわたしに「何を見るか」と言ったので、「飛んでいる巻物を見ます。その長さは二十キュビト、その幅は十キュビトです」と答えた。

3 וַיֹּאמֶר אֵלַי זֹאת הָאָלָה הַיּוֹצֵאת עַל־פְּנֵי כָל־הָאָרֶץ
そして-言った わたしに これが のりである 出て-行く の-上に の-面の すべての 地の
H0559 H0413 H2063 H0423 H3318 H5921 H6440 H3605 H0776

כִּי כָל־הַגֹּנֵב מִזֶּה כְּמוֹהָ נִקָּה וְכָל־הַנִּשְׁבָּע מִזֶּה כְּמוֹהָ נִקָּה׃
まことに すべての 盗む-者は こちらに-従って それの-ように 断ち-切られる そして-すべての そちらに-従って それの-ように 断ち-切られる
H3588 H3605 H1589 H2088 H3644 H5352 H3605 H2088 H3644 H5352

偽り-誓う-者は
H7650

すると彼はまた、わたしに言った、「これは全地のおもてに出て行く、のろいの言葉です。すべて盗む者はこれに照して除き去られ、すべて偽り誓う者は、これに照して除き去られるのです。

4

הַגַּנָּב בַּיִת אֶל־ וּבָאָה צְבָאוֹת יְהוָה נְאֻם הוֹצֵאתִיהָ
盗人の 家に の–家に そして–入る 万軍の 主の との–宣言 わたしは–送り–出した
H1590 H0413 H0935 H3068 H5002 H3318

בֵּיתוֹ בְּתוֹךְ וְלָנָה לַשָּׁקֶר בִּשְׁמִי הַנִּשְׁבָּע בָּיִת וְאֶל־
その–家の の–中に そして–宿る 偽りの わが–名に–かけて 偽り–誓う–者の 家に そして–の–家に
H8432 H8267 H8034 H7650 H0413

אֲבָנָיו׃ וְאֶת־ עֵצָיו וְאֶת־ וְכִלָּתוּ
その–石も そして その–木も そして そして–滅ぼす
H0068 H0853 H6086 H0853 H3615

万軍の主は仰せられます、わたしはこれを出て行かせる。これは盗む者の家に入り、またわたしの名をさして偽り誓う者の家に入り、その家の中に宿って、これをその木と石と共に滅ぼすと」。

5

נָא שָׂא אֵלַי וַיֹּאמֶר בִּי הַדֹּבֵר הַמַּלְאָךְ וַיֵּצֵא
どうか 上げよ わたしに そして–言った わたしに 話す 御使いが そして–出て–来た
H4994 H5375 H0413 H0559 H1696 H4397 H3318

הַזֹּאת׃ הַיּוֹצֵאת מָה וּרְאֵה עֵינֶיךָ
これは 出て–来るのか 何が そして–見よ あなたの–目を
H2063 H3318 H4100 H7200

わたしと語る天の使は進んで来て、わたしに「目をあげて、この出てきた物が、なんであるかを見なさい」と言った。

6

הַיּוֹצֵאת הָאֵיפָה זֹאת וַיֹּאמֶר הִיא מַה־ וָאֹמַר
出て–来る エパ升ましである これは そして–言った それは 何ですか そして–わたしは–言った
H3318 H0374 H2063 H0559 H1931 H4100 H0559

הָאָרֶץ׃ בְּכָל־ עֵינָם זֹאת וַיֹּאמֶר
地に–おける すべての 彼らの–目である これが そして–言った
H0776 H3605 H2063 H0559

わたしが「これはなんですか」と言うと、彼は「この出てきた物は、エパ枡です」と言い、また「これは全地の罪です」と言った。

7

יוֹשֶׁבֶת אַחַת אִשָּׁה וְזֹאת נְשָׂאת עֹפֶרֶת כִּכַּר וְהִנֵּה
座って–いる 一人の 一人の–女が そして–これは 持ち–上げられた 鉛の 円盤が そして–見よ
H3427 H0259 H0802 H2063 H5375 H5777 H3603 H2009

הָאֵיפָה׃ בְּתוֹךְ
エパ升ましの の–中に
H0374 H8432

そして見よ、鉛のふたを取りあげると、そのエパ枡の中にひとりの女がすわっていた。

8

הָאֵיפָה תּוֹךְ אֶל־ אֹתָהּ וַיַּשְׁלֵךְ הָרִשְׁעָה זֹאת וַיֹּאמֶר
エパ升ましの 中に の–中に 彼女を そして–投げ–入れた 悪である これは そして–言った
H0374 H8432 H0413 H0853 H7993 H7564 H2063 H0559

ס פִּיהָ׃ אֶל־ הָעֹפֶרֶת אֶבֶן אֶת־ וַיַּשְׁלֵךְ
— その–口の の–上に 鉛の 石を を そして–投げた
H6310 H0413 H5777 H0068 H0853 H7993

すると彼は「これは罪悪である」と言って、その女をエパ枡の中に押し入れ、鉛の重しを、その枡の口に投げかぶせた。

9

וְאֶשָּׂא
そして-わたしは-上げた
H5375

עֵינַי
わが-目を

וְאֶרְאֶה
そして-見た
H7200

וְהִנֵּה
そして-見よ
H2009

שְׁתַּיִם
二人の
H8147

נָשִׁים
女が
H0802

יוֹצְאוֹת
出て-来た
H3318

בְּכַנְפֵיהֶם
その-翼に
H3671

וְלָהֵנָּה
そして-彼女らには
H2007

כְנָפַיִם
翼が-あった
H3671

כִּכַנְפֵי
の-翼の-ような
H3671

הַחֲסִידָה
こうのとりの
H2624

וְרוּחַ
そして-風が
H7307

וַתִּשֶּׂאנָה
そして-持ち-上げた
H5375

אֶת־
を
H0853

הָאֵיפָה
エパ升ましを
H0374

בֵּין
の-間に
H0996

הָאָרֶץ
地の
H0776

וּבֵין
そして-の-間に
H0996

הַשָּׁמָיִם׃
天の
H8064

それからわたしが目をあげて見ていると、ふたりの女が出てきた。これに、こうのとりの翼のような翼があり、その翼に風をはらんで、エパ枡を天と地との間に持ちあげた。

10

וָאֹמַר
そして-わたしは-言った
H0559

אֶל־
に
H0413

הַמַּלְאָךְ
御使いに
H4397

הַדֹּבֵר
話す
H1696

בִּי
わたしに

אָנָה
どこへ
H0575

הֵמָּה
彼女らは
H1992

מוֹלִכוֹת
運んで-行くのか
H3212

אֶת־
を
H0853

הָאֵיפָה׃
エパ升ましを
H0374

わたしは、わたしと語る天の使に言った、「彼らはエパ枡を、どこへ持って行くのですか」。

11

וַיֹּאמֶר
そして-言った
H0559

אֵלַי
わたしに
H0413

לִבְנוֹת־
建てる-ために
H1129

לָהּ
彼女の-ために

בַּיִת
家を

בְּאֶרֶץ
の-地に
H0776

שִׁנְעָר
シナルの
H8152

וְהוּכַן
そして-整えられ

וְהֻנִּיחָה
そして-置かれる
H3240

שָׁם
そこに
H8033

עַל־
の-上に

מְכֻנָתָהּ׃
その-台の
H4369

ס
—

彼はわたしに言った、「シナルの地で、女たちのために家を建てるのです。それが建てられると、彼らはエパ枡をそこにすえ、それの土台の上に置くのです」。

Chapter 6

1

וָאָשֻׁב
そして-わたしは-振り-返り
H7725

וָאֶשָּׂא
そして-上げた
H5375

עֵינַי
わが-目を

וָאֶרְאֶה
そして-見た
H7200

וְהִנֵּה
そして-見よ
H2009

אַרְבַּע
四台の
H0702

מֶרְכָּבוֹת
戦車が
H4818

יוֹצְאוֹת
出て-来る
H3318

מִבֵּין
の-間から
H0996

שְׁנֵי
二つの
H8147

הָהָרִים
山の
H2022

וְהָהָרִים
そして-山々は
H2022

הָרֵי
山である
H2022

נְחֹשֶׁת׃
青銅の

わたしがまた目をあげて見ていると、四両の戦車が二つの山の間から出てきた。その山は青銅の山であった。

2

בַּמֶּרְכָּבָה
の-戦車には
H4818

הָרִאשֹׁנָה
第一の
H7223

סוּסִים
馬が-いた

אֲדֻמִּים
赤い

וּבַמֶּרְכָּבָה
そして-の-戦車には
H4818

הַשֵּׁנִית
第二の
H8145

סוּסִים
馬が-いた

שְׁחֹרִים׃
黒い
H7838

第一の戦車には赤馬を着け、第二の戦車には黒馬を着け、

3

סוּסִים
馬が–いた
H7243
הָרְבִעִית
第四の
H7243
וּבַמֶּרְכָּבָה
そして–の–戦車には
H4818
לְבָנִים
白い
H3836
סוּסִים
馬が–いた
H7992
הַשְּׁלִשִׁית
第三の
H7992
וּבַמֶּרְכָּבָה
そして–の–戦車には
H4818

בְּרֻדִּים׃ אֲמֻצִּים׃
まだらの
H1261
たくましい
H0554

第三の戦車には白馬を着け、第四の戦車には、まだらのねずみ色の馬を着けていた。

4

אֵלֶּה
これらは
H0428
מָה־
何ですか
H4100
בִּי
わたしに
H0413
הַדֹּבֵר
話す
H1696
הַמַּלְאָךְ
御使いに
H4397
אֶל־
に
H0413
וָאֹמַר
そして–言った
H0559
וָאַעַן
そして–わたしは–答えた

אֲדֹנָי׃
わが–主よ
H0113

わたしは、わたしと語るみ使に尋ねた、「わが主よ、これらはなんですか」。

5

יוֹצְאוֹת
出て–行く
H3318
הַשָּׁמַיִם
天の
H8064
רוּחוֹת
風である
H7307
אַרְבַּע
四つの
H0702
אֵלֶּה
これらは
H0428
אֵלַי
わたしに
H0413
וַיֹּאמֶר
そして–言った
H0559
הַמַּלְאָךְ
御使いが
H4397
וַיַּעַן
そして–答えた

הָאָרֶץ׃ כָּל־ אֲדוֹן עַל־ מֻתְיַצְּבִ
地の
H0776
すべての
H3605
主の
H0113
の–前に
の–後に–立って
H3320

天の使は答えて、わたしに言った、「これらは全地の主の前に現れて後、天の四方に出て行くものです。

6

וְהַלְּבָנִים
そして–白い–のは
H3836
צָפוֹן
北の
H6828
אֶרֶץ
地の
H0776
אֶל־
の–方へ
H0413
יְצֵאִים
出て–行く
H3318
הַשְּׁחֹרִים
黒い
H7838
הַסּוּסִים
馬が
それに
אֲשֶׁר־
その

הַתֵּימָן׃ אֶרֶץ אֶל־ יָצְאוּ וְהַבְּרֻדִּים אַחֲרֵיהֶם אֶל־ יָצְאוּ
南の
H8486
地の
H0776
の–方へ
H0413
出て–行った
H3318
そして–まだらの–は
H1261
それらの
の–後に
H0413
出て–行った
H3318

黒馬を着けた戦車は、北の国をさして出て行き、白馬は西の国をさして出て行き、まだらの馬は南の国をさして出て行くのです」。

7

בָּאָרֶץ
地を
H0776
לְהִתְהַלֵּךְ
巡り–歩く–ために
H1980
לְלֶכֶת
行く–ことを
H3212
וַיְבַקְשׁוּ
そして–求めた
H1245
יָצְאוּ
出て–行った
H3318
וְהָאֲמֻצִּים
そして–たくましい–のは
H0554

בָּאָרֶץ׃ וַתִּתְהַלָּכְנָה בָּאָרֶץ הִתְהַלְּכוּ לְכוּ וַיֹּאמֶר
地を
H0776
そして–巡り–歩いた
H1980
地を
H0776
巡り–歩け
H1980
行け
H3212
そして–言った
H0559

馬が出てくると、彼らは、地をあまねくめぐるために、しきりに出たがるのであった。それで彼が「行って、地をあまねくめぐれ」と言うと、彼らは地を行きめぐった。

8

אֶל־
の–方へ
H0413
הַיּוֹצְאִים
出て–行く–者たちは
H3318
רְאֵה
見よ
H7200
לֵאמֹר
言って
H0559
אֵלַי
わたしに
H0413
וַיְדַבֵּר
そして–語った
H1696
אֹתִי
わたしを
H0853
וַיִּזְעַק
そして–呼んだ
H2199

ס
—
צָפוֹן׃
北の
H6828
בְּאֶרֶץ
の–地で
H0776
רוּחִי
わが–霊を
H7307
אֶת־
を
H0853
הֵנִיחוּ
静めた
H5117
צָפוֹן
北の
H6828
אֶרֶץ
地の
H0776

すると彼はわたしを呼んで、「北の国をさして行く者どもは、北の国でわたしの心を静まらせてくれた」と言った。

9 וַיְהִי דְבַר־ יְהוָה אֵלַי לֵאמֹר׃
そして-あった 言葉が 主の わたしに 言って
H1961 H1697 H3068 H0413 H0559

主の言葉がまたわたしに臨んだ、

10 לָקוֹחַ מֵאֵת הַגּוֹלָה מֵחֶלְדַּי וּמֵאֵת טוֹבִיָּה וּמֵאֵת יְדַעְיָה וּבָאתָ אַתָּה בַּיּוֹם הַהוּא וּבָאתָ בֵּית יֹאשִׁיָּה בֶן־ צְפַנְיָה׃
受け取れ から 捕囚の-民から ヘルダイから そして-から トビヤから そして-から エダヤから そして-行け あなたが その日に その そして-入れ の-家に ヨシヤの の-子 ツェファニヤの
H3947 H0854 H1473 H2469 H0853 H2900 H0853 H3048 H0935 H0859 H3117 H1931 H0935 H2977 H1004 H6846

מִבָּבֶל׃ בָּאוּ אֲשֶׁר־
バベルから 来た その
H0894 H0935

「バビロンから帰ってきたかの捕囚の中から、ヘルダイ、トビヤおよびエダヤを連れて、その日にゼパニヤの子ヨシヤの家に行き、

11 וְלָקַחְתָּ כֶּסֶף־ וְזָהָב וְעָשִׂיתָ עֲטָרוֹת וְשַׂמְתָּ בְּרֹאשׁ יְהוֹשֻׁעַ בֶּן־
そして-受け取れ 銀と 金を そして-作れ 冠を そして-置け の-頭に ヨシュアの の-子
H3947 H3701 H2091 H6213 H5850 H7760 H0910 H3091 H1121

הַגָּדוֹל׃ הַכֹּהֵן יְהוֹצָדָק
大いなる 祭司 エホツァダクの
H1419 H3548 H3087

彼らから金銀を受け取って、一つの冠を造り、それをヨザダクの子である大祭司ヨシュアの頭にかぶらせて、

12 וְאָמַרְתָּ אֵלָיו לֵאמֹר כֹּה אָמַר יְהוָה צְבָאוֹת לֵאמֹר הִנֵּה־ אִישׁ צֶמַח
そして-言え 彼に 言って このように 言う 主は 万軍の 言って 見よ 一人の-人の 芽が
H0559 H0413 H0559 H3541 H0559 H3068 H6635 H0559 H2009 H0376 H6780

וְיִבֶן אֶת־ הֵיכַל יְהוָה׃ וְהוּא־ יִצְמָח וּמִתַּחְתָּיו יִצְמָח וְשָׁמוֹ
そして-建てる を 神殿を 主の そして-彼が 芽ばえる そして-その-下から その-名である
H1129 H0853 H1964 H3068 H1931 H6779 H8478 H8034

彼に言いなさい、『万軍の主は、こう仰せられる、見よ、その名を枝という人がある。彼は自分の場所で成長して、主の宮を建てる。

13 וְהוּא יִבְנֶה אֶת־ הֵיכַל יְהוָה וְהוּא־ יִשָּׂא הָדוֹד וְיָשַׁב
そして-彼は 建てる を 神殿を 主の そして-彼が 帯びる 威光を そして-座す
H1931 H1129 H0853 H1964 H3068 H1931 H5375 H1935 H3427

וְהָיָה כֹהֵן עַל־ כִּסְאוֹ וַעֲצַת
そして-いる 祭司が の-上に その-王座の そして-の-動めが
H1961 H3548 H5921 H3678 H6098

וּמָשַׁל עַל־ כִּסְאוֹ וְהָיָה שְׁנֵיהֶם׃ בֵּין תִּהְיֶה שָׁלוֹם
そして-治める の-上に その-王座の そして-いる 両者の の-間に ある 平和の
H4910 H5921 H3678 H1961 H8147 H0996 H1961 H7965

すなわち彼は主の宮を建て、王としての光栄を帯び、その位に座して治める。その位のかたわらに、ひとりの祭司がいて、このふたりの間に平和の一致がある』。

14 וְהָעֲטָרֹת֙ תִּֽהְיֶ֣ה לְחֵ֔לֶם וּלְטוֹבִיָּ֖ה וּלְיְדַעְיָ֑ה
そして-冠は なる ヘレムの-ために そして-トビヤの-ために そして-エダヤの-ために
H5850 H1961 H2494 H2900 H3048

וְלְחֶ֣ן בֶּן־צְפַנְיָ֔ה לְזִכָּר֖וֹן בְּהֵיכַ֥ל יְהוָֽה׃
そして-ヘンの-ために の-子 ツェファニヤの 記念として の-神殿に 主の
H2581 H6846 H2146 H1964 H3068

またその冠はヘルダイ、トビヤ、エダヤおよびゼパニヤの子ヨシヤの記念として、主の宮に納められる。

15 וְרִחוֹקִ֖ים יָבֹ֑אוּ וּבָנ֣וּ בְהֵיכַ֣ל יְהוָ֔ה וִֽידַעְתֶּ֕ם כִּֽי־יְהוָ֥ה צְבָא֖וֹת שְׁלָחַ֣נִי אֲלֵיכֶ֑ם
そして-遠くの-者が 来る そして-建てる 主の の-神殿を そして-知る まことに 主が 万軍の 遣わしたのだと あなたがたに
H7350 H0935 H1129 H3068 H1964 H3045 H0935 H3068 H7971 H0413

וְהָיָ֗ה אִם־שָׁמוֹעַ֙ תִּשְׁמְע֣וּן בְּקוֹל֙ יְהוָ֣ה אֱלֹהֵיכֶ֔ם ס׃
そして-ある もし 確かに 聞くなら の-声に 主の あなたがたの-神の —
H1961 H0430 H8085 H8085 H0413 H3068

また遠い所の者どもが来て、主の宮を建てることを助ける。そしてあなたがたは万軍の主が、わたしをつかわされたことを知るようになる。あなたがたがもし励んで、あなたがたの神、主の声に聞き従うならば、このようになる」。

Chapter 7

1 וַיְהִי֙ בִּשְׁנַ֣ת אַרְבַּ֔ע לְדָרְיָ֖וֶשׁ הָיָ֣ה דְבַר־יְהוָ֑ה אֶל־זְכַרְיָ֔ה
そして-あった の-年の 第四の ダレイオスの 王の あった 言葉が 主の に ゼカリヤに
H1961 H8141 H0702 H1867 H4428 H1961 H1697 H3068 H0413 H2148

בְּאַרְבָּעָ֥ה לַחֹ֖דֶשׁ הַתְּשִׁעִ֑י בְּכִסְלֵֽו׃
四日に の-月の 第九の キスレウに
H0702 H2320 H8671 H3691

ダリヨス王の第四年の九月、すなわちキスリウという月の四日に、主の言葉がゼカリヤに臨んだ。

2 וַיִּשְׁלַ֤ח בֵּית־אֵל֙ שַׂר־אֶ֔צֶר וְרֶגֶם־מֶ֖לֶךְ וַאֲנָשָׁ֑יו
そして-遣わした ベテルは シャルエツェルを そして-レゲム・メレクを そして-その-人々を
H7971 H1008 H8272 H7278 H0376

לְחַלּ֖וֹת אֶת־פְּנֵ֥י יְהוָֽה׃
なだめる-ために を の-顔を 主の
H2470 H0853 H6440 H3068

その時ベテルの人々は、シャレゼル、レゲン・メレクおよびその従者をつかわして、主の恵みを請い、

3 לֵאמֹ֔ר לַכֹּהֲנִ֖ים אֲשֶׁ֣ר לְבֵית־יְהוָ֣ה צְבָא֑וֹת וְאֶל־הַנְּבִיאִ֖ים לֵאמֹ֥ר
言って その 家の-の 主の 万軍の そして-に 預言者たちに 言って
H0559 H0834 H1004 H3068 H6635 H0413 H5030 H0559

הַאֶבְכֶּ֤ה בַּחֹ֙דֶשׁ֙ הַחֲמִשִּׁ֔י הִנָּזֵ֖ר כַּאֲשֶׁ֣ר עָשִׂ֑יתִי זֶ֥ה כַּמָּ֖ה שָׁנִֽים׃ פ
泣くべきか の-月に 第五の 断食して ちょうど わたしが-して-きた-ように この どれほどの 年も —
H1058 H2320 H2549 H5144 H3644 H6213 H2088 H4100 H8141

かつ万軍の主の宮にいる祭司に問わせ、かつ預言者に問わせて言った、「わたしは今まで、多年おこなってきたように、五月に泣き悲しみ、かつ断食すべきでしょうか」。

4 וַיְהִי דְּבַר־ יְהוָה צְבָאוֹת אֵלַי לֵאמֹר׃
そして-あった 言葉が 主の 万軍の わたしに 言って
H1961 H1697 H3068 H0413 H0559

この時、万軍の主の言葉がわたしに臨んだ、

5 אֱמֹר אֶל־ כָּל־ עַם הָאָרֶץ וְאֶל־ הַכֹּהֲנִים לֵאמֹר כִּי־ צַמְתֶּם
言え に すべての 民に 地の そして-に 祭司たちに 言って まことに 断食した
H0559 H0413 H3605 H0776 H0413 H3548 H0559 H6684

וְזֶה שִׁבְעִים שָׁנָה הֲצוֹם
そして-この 七十 年も 断食したのか
H2088 H7657 H8141 H6684

וּבַשְּׁבִיעִי בַּחֲמִישִׁי וְסָפוֹד
そして-第七の-月に 第五の-月に そして-嘆いた
H7637 H2549 H5594

צַמְתֵּנִי אָנִי׃
断食したのか わたしの-ために
H6684 H0589

「地のすべての民、および祭司に告げて言いなさい、あなたがたが七十年の間、五月と七月とに断食し、かつ泣き悲しんだ時、はたして、わたしのために断食したか。

6 וְכִי תֹאכְלוּ וְכִי אַתֶּם הָאֹכְלִים וְאַתֶּם הַשֹּׁתִים׃
そして-ときに 食べる そして-ときに あなたがたが 食べる者であり そして-あなたがたが 飲む-者ではないか
H0398 H0398 H3808 H8354

あなたがたが食い飲みする時、それは全く自分のために食い、自分のために飲むのではないか。

7 הֲלוֹא אֶת־ הַדְּבָרִים אֲשֶׁר קָרָא יְהוָה בְּיַד הַנְּבִיאִים הָרִאשֹׁנִים
ではないか を 言葉では その 告げた 主が の-手に-よって 預言者たちの 以前の
H3808 H0853 H1697 H7121 H3068 H3027 H5030 H7223

בִּהְיוֹת יְרוּשָׁלַם יוֹשֶׁבֶת וּשְׁלֵוָה וְעָרֶיהָ סְבִיבֹתֶיהָ
の-ときに エルサレムが 住まい そして-安らかで-あった そして-その-町々が その-周囲に
H1961 H3389 H3427 H7961 H5439

וְהַנֶּגֶב וְהַשְּׁפֵלָה יוֹשֵׁב׃ פ
そして-ネゲブも そして-シェフェラも 住んで-いた —
H5045 H8219 H3427

昔エルサレムがその周囲の町々と共に、人が住み、栄えていた時、また南の地および平野にも、人が住んでいた時に、さきの預言者たちによって、主がお告げになった言葉は、これらの事ではなかったか」。

8 וַיְהִי דְּבַר־ יְהוָה אֶל־ זְכַרְיָה לֵאמֹר׃
そして-あった 言葉が 主の に ゼカリヤに 言って
H1961 H1697 H3068 H0413 H2148 H0559

主の言葉が、またゼカリヤに臨んだ、

9 כֹּה אָמַר יְהוָה צְבָאוֹת לֵאמֹר מִשְׁפַּט אֱמֶת שִׁפְּטוּ וְחֶסֶד
このように 言う 主は 万軍の 言って 公正な 真実の 裁きを-行え そして-慈しみと
H3541 H0559 H3068 H6635 H0559 H4941 H0571 H8199 H2617

וְרַחֲמִים עֲשׂוּ אִישׁ אֶת־ אָחִיו׃
そして-あわれみを 行え 各人が に その-兄弟に
H7356 H6213 H0376 H0854 H0251

「万軍の主はこう仰せられる、真実のさばきを行い、互に相いつくしみ、相あわれみ、

10 וְאַלְמָנָה וְיָתוֹם גֵּר וְעָנִי אַל־ תַּעֲשֹׁקוּ
そして-やもめを そして-みなしごを 寄留者を そして-貧しい-者を するな しいたげるな
H0490 H3490 H1616 H6041 H0408 H6231

וְרָעַת אִישׁ אֲחִיו אַל־ תַּחְשְׁבוּ בִלְבַבְכֶם׃
そして-悪を 各人が その-兄弟の するな たくらむな あなたがたの-心の-中で
H0376 H0251 H0408 H2803 H3824

やもめ、みなしご、寄留の他国人および貧しい人を、しえたげてはならない。互に人を害することを、心に図ってはならない」。

11 וַיְמָאֲנוּ לְהַקְשִׁיב סֹרֶרֶת כָּתֵף וַיִּתְּנוּ הִכְבִּידוּ וְאָזְנֵיהֶם
しかし-拒んだ 耳を-傾ける-ことを そして-向けた 肩を 頑なな そして-その-耳を 重く-した
H3985 H7181 H5414 H3802 H5637 H0241 H3513

מִשְׁמוֹעַ׃
聞く-ことから
H8085

ところが、彼らは聞くことを拒み、肩をそびやかし、耳を鈍くして聞きいれず、

12 וְלִבָּם שָׂמוּ שָׁמִיר מִשְׁמוֹעַ אֶת־ הַתּוֹרָה וְאֶת־ הַדְּבָרִים
そして-その-心を した ダイヤモンドの-ように 聞く-ことから を 律法を そして 言葉を
H3985 H8068 H8085 H0853 H8451 H0853 H1697

אֲשֶׁר שָׁלַח יְהוָה צְבָאוֹת בְּרוּחוֹ בְּיַד הַנְּבִיאִים הָרִאשֹׁנִים
その 遣わした 主が 万軍の その-霊に-よって の-手に-よって 預言者たちの 以前の
H7971 H3068 H6635 H7307 H3027 H5030 H7223

וַיְהִי קֶצֶף גָּדוֹל מֵאֵת יְהוָה צְבָאוֹת׃
そして-あった 怒りが 大いなる から 主の 万軍の
H1961 H0854 H3068 H6635

その心を金剛石のようにして、万軍の主がそのみたまにより、さきの預言者によって伝えられた、律法と言葉とに聞き従わなかった。それゆえ、大いなる怒りが、万軍の主から出て、彼らに臨んだのである。

13 וַיְהִי כַּאֲשֶׁר קָרָא וְלֹא שָׁמֵעוּ כֵּן יִקְרְאוּ וְלֹא
そして-あった ちょうど 呼びかけた しかし-ない 聞いた そのように 呼ぶ しかし-ない
H1961 H3808 H7121 H8085 H3808 H7121

אָמַר יְהוָה צְבָאוֹת׃ אֶשְׁמָע
と-言う 主は 万軍の 聞く
H0559 H3068 H6635 H8085

「わたしが呼ばわったけれども、彼らは聞こうとしなかった。そのとおりに、彼らが呼ばわっても、わたしは聞かない」と万軍の主は仰せられる。

14 וְאֲסָעֲרֵם עַל כָּל־ הַגּוֹיִם אֲשֶׁר לֹא־ יְדָעוּם
そして-わたしは-吹き-散らした の-上に すべての 諸国の-上に その ない 知らなかった
H5590 H5921 H3605 H1471 H834 H3808 H3045

וְהָאָרֶץ נָשַׁמָּה אַחֲרֵיהֶם מֵעֹבֵר וּמָשׁוֹב וַיָּשִׂימוּ אֶרֶץ־ חֶמְדָּה׃ פ
そして-地は 荒れ果てた 彼らの-後に 通る-者も そして-戻る-者も-なく そして-した 地を 麗しい —
H0776 H8047 H0310 H5674 H7725 H7760 H0776 H2532

לְשַׁמָּה׃
荒廃に
H8047

「わたしは、つむじ風をもって、彼らを未知のもろもろの国民の中に散らした。こうして彼らが去った後、この地は荒れて行き来する者もなく、この麗しい地は荒れ地となったのである」。

Chapter 8

1

וַיְהִי	דְּבַר־	יְהוָה	צְבָאוֹת	לֵאמֹר׃
そして–あった	言葉が	主の	万軍の	言って
H1961	H1697	H3068	H0559	

万軍の主の言葉がわたしに臨んだ、

2

כֹּה	אָמַר	יְהוָה	צְבָאוֹת	קִנֵּאתִי	לְצִיּוֹן	קִנְאָה	גְדוֹלָה	וְחֵמָה
このように	言う	主は	万軍の	熱心に–思う	シオンを	熱意を	大いなる	そして–激しい–情を
H3541	H0559	H3068		H7065	H6726	H7068		H2534

גְדוֹלָה	קִנֵּאתִי	לָהּ׃
大いなる	熱心に–思う	彼女を
	H7065	

「万軍の主は、こう仰せられる、『わたしはシオンのために、大いなるねたみを起し、またこれがために、大いなる憤りをもってねたむ』。

3

כֹּה	אָמַר	יְהוָה	שַׁבְתִּי	אֶל־	צִיּוֹן	וְשָׁכַנְתִּי	בְּתוֹךְ	
このように	言う	主は	わたしは–立ち返った	に	シオンに	そして–住む	の–中に	
H3541	H0559	H3068	H7725	H0413	H6726	H7931	H8432	

יְרוּשָׁלִַם	וְנִקְרְאָה	יְרוּשָׁלִַם	עִיר־	הָאֱמֶת	וְהַר־	יְהוָה	צְבָאוֹת	הָר
エルサレムの	そして–呼ばれる	エルサレムは	の–都と	真実の	そして–の–山と	主の	万軍の	山と
H3389	H7121	H3389		H0571	H2022	H3068		H2022

ס	הַקֹּדֶשׁ׃
—	聖なる
	H6944

主はこう仰せられる、『わたしはシオンに帰って、エルサレムの中に住む。エルサレムは忠信な町となえられ、万軍の主の山は聖なる山と、となえられる』。

4

כֹּה	אָמַר	יְהוָה	צְבָאוֹת	עֹד	יֵשְׁבוּ	זְקֵנִים	וּזְקֵנוֹת	בִּרְחֹבוֹת
このように	言う	主は	万軍の	なお	座る	老人たちが	そして–老女たちが	の–広場に
H3541	H0559	H3068		H5750	H3427	H2205	H2205	H7339

יְרוּשָׁלִַם	וְאִישׁ	מִשְׁעַנְתּוֹ	בְּיָדוֹ	מֵרֹב	יָמִים׃
エルサレムの	そして–各人が	その–杖を	その–手に	多くの	日々の–ために
H3389	H0376		H3027	H7230	H3117

万軍の主は、こう仰せられる、『エルサレムの街路には再び老いた男、老いた女が座するようになる。みな年寄の人々で、おのおのつえを手に持つ。

5

ס	בִּרְחֹבֹתֶיהָ׃	מְשַׂחֲקִים	וִילָדוֹת	יְלָדִים	יִמָּלְאוּ	הָעִיר	וּרְחֹבוֹת	
—	その–広場で	遊ぶ	そして–少女たちで	少年たちと	満ちる	都の	そして–広場は	
	H7339	H7832	H3207	H3206	H4390		H7339	

またその町の街路には、男の子、女の子が満ちて、街路に遊び戯れる』。

6

הַזֶּה	הָעָם	שְׁאֵרִית	בְּעֵינֵי	יִפָּלֵא	כִּי	צְבָאוֹת	יְהוָה	אָמַר	כֹּה
この	民の	残りの–者の	の–目に	不思議に–見える	たとえ	万軍の	主は	言う	このように
H2088		H7611		H6381			H3068	H0559	H3541

פ	צְבָאוֹת׃	יְהוָה	נְאֻם	יִפָּלֵא	בְּעֵינַי	גַּם־	הָהֵם	בַּיָּמִים
—	万軍の	主の	との–宣言	不思議であろうか	わが–目にも	また	その	その–日々に
		H3068	H5002	H6381		H1571	H1992	H3117

万軍の主は、こう仰せられる、『その日には、たとい、この民の残れる者の目に、不思議な事であっても、それはわたしの目にも、不思議な事であろうか』と万軍の主は言われる。

מִזְרָח	מֵאֶרֶץ	עַמִּי	אֶת־	מוֹשִׁיעַ	הִנְנִי	צְבָאוֹת	יְהוָה	אָמַר	כֹּה	7
東の	の–地から	わが–民を	を	救う	見よ–わたしは	万軍の	主は	言う	このように	
H4217	H0776		H0853	H3467	H2009		H3068	H0559	H3541	

הַשָּׁמֶשׁ׃	מְבוֹא	וּמֵאֶרֶץ
太陽の	の–日の–没する	そして–の–地から
H8121	H3996	H0776

万軍の主は、こう仰せられる、『見よ、わが民を東の国から、また西の国から救い出し、

לְעָם	לִי	וְהָיוּ־	יְרוּשָׁלִָם	בְּתוֹךְ	וְשָׁכְנוּ	אֹתָם	וְהֵבֵאתִי		8
民と	わたしの	そして–なる	エルサレムの	の–中に	そして–住む	彼らを	そして–連れて–来る		
		H1961	H3389	H8432	H7931	H0853	H0935		

ס	וּבִצְדָקָה׃	בֶּאֱמֶת	לֵאלֹהִים	לָהֶם	אֶהְיֶה	וָאֲנִי
—	そして–義を–もって	真実を–もって	神と	彼らの	なる	そして–わたしは
	H6666	H0571	H0430		H1961	H0589

彼らを連れてきて、エルサレムに住まわせ、彼らはわが民となり、わたしは彼らの神となって、共に真実と正義とをもって立つ』」。

הָאֵלֶּה	בַּיָּמִים	הַשֹּׁמְעִים	יְדֵיכֶם	תֶּחֱזַקְנָה	צְבָאוֹת	יְהוָה	אָמַר	כֹּה־	9
これらの	その–日々に	聞く–者よ	あなたがたの–手よ	強く–あれ	万軍の	主は	言う	このように	
H0428	H3117	H8085	H3027	H2388		H3068	H0559	H3541	

יְהוָה	בֵּית־	יְסַד	בְּיוֹם	אֲשֶׁר	הַנְּבִיאִים	מִפִּי	הָאֵלֶּה	הַדְּבָרִים	אֶת
主の	の–家の	基が–置かれた	の–日に	その	預言者たちの	の–口から	これらの	言葉を	を
H3068		H3245	H3117		H5030	H6310	H0428	H1697	H0853

לְהִבָּנוֹת׃	הַהֵיכָל	צְבָאוֹת
建てられる–ために	神殿が	万軍の
H1129	H1964	

万軍の主は、こう仰せられる、「万軍の主の家である宮を建てるために、その礎をすえた日からこのかた、預言者たちの口から出たこれらの言葉を、きょう聞く者よ、あなたがたの手を強くせよ。

הַבְּהֵמָה	וּשְׂכַר	נִהְיָה	לֹא	הָאָדָם	שְׂכַר	הָהֵם	הַיָּמִים	לִפְנֵי	כִּי	10
家畜の	そして–賃金は	あった	ない	人の	賃金は	その	日々の	の–前に	まことに	
H0929	H7939	H1961	H3808	H0120	H7939	H1992	H3117	H6440		

הַצָּר	מִן־	שָׁלוֹם	אֵין־	וְלַבָּא	וְלַיּוֹצֵא	אֵינֶנָּה
敵からの	からの	平安が	ない	そして–入って–来る–者にも	そして–出て–行く–者にも	なかった
		H7965	H0369	H0935	H3318	H0369

בְּרֵעֵהוּ׃	אִישׁ	הָאָדָם	כָּל־	אֶת־	וַאֲשַׁלַּח
その–隣人に–対して	各人が	人を	すべての	を	そして–わたしは–仕向けた
H7453	H0376	H0120	H3605	H0853	H7971

この日の以前には、人も働きの価を得ず、獣も働きの価を得ず、また出る者もはいる者も、あだのために安全ではなかった。わたしはまた人々を相たがいにそむかせた。

הַזֶּה	הָעָם	לִשְׁאֵרִית	אֲנִי	הָרִאשֹׁנִים	כַּיָּמִים		לֹא	וְעַתָּה		11
この	民の	残りの–者に–対して	わたしは	以前の	以前の–日々の–ように		ない	しかし–今は		
H2088		H7611	H0589	H7223	H3117		H3808	H6258		

צְבָאוֹת׃	יְהוָה	נְאֻם
万軍の	主の	との–宣言
	H3068	H5002

しかし今は、わたしのこの民の残れる者に対することは、さきの日のようではないと、万軍の主は言われる。

12 כִּי־ זֶרַע֙ הַשָּׁלֹ֔ום הַגֶּ֖פֶן תִּתֵּ֣ן פִּרְיָ֑הּ וְהָאָ֙רֶץ֙ תִּתֵּ֣ן יְבוּלָ֔הּ וְהַשָּׁמַ֖יִם יִתְּנ֣וּ טַלָּ֑ם וְהִנְחַלְתִּ֞י אֶת־ שְׁאֵרִ֤ית הָעָם־ הַזֶּה֙ אֶת־ כָּל־ אֵ֔לֶּה׃

כִּי־	זֶרַע֙	הַשָּׁלֹ֔ום	הַגֶּ֖פֶן	תִּתֵּ֣ן	פִּרְיָ֑הּ	וְהָאָ֙רֶץ֙	תִּתֵּ֣ן	יְבוּלָ֔הּ
まことに	種が	平和の	ぶどうの-木は	与える	その-実を	そして-地は	与える	その-産物を
	H2233	H7965	H1612	H5414	H6529	H0776	H5414	H2981
וְהַשָּׁמַ֖יִם	יִתְּנ֣וּ	טַלָּ֑ם	וְהִנְחַלְתִּ֞י	אֶת־	שְׁאֵרִ֤ית	הָעָם־	הַזֶּה֙	אֶת־
そして-天は	与える	その-露を	そして-わたしは-受け継がせる	を	残りの-者に	民の	この	を
H8064	H5414	H2919	H5157	H0853	H7611	H2088	H0428	H0853
כָּל־	אֵ֔לֶּה׃							
すべての	これらを							
H3605	H0428							

そこには、平和と繁栄との種がまかれるからである。すなわちぶどうの木は実を結び、地は産物を出し、天は露を与える。わたしはこの民の残れる者に、これをことごとく与える。

13 וְהָיָ֗ה כַּאֲשֶׁר֙ הֱיִיתֶ֤ם קְלָלָה֙ בַּגֹּויִ֔ם בֵּ֥ית יְהוּדָ֖ה וּבֵ֣ית יִשְׂרָאֵ֑ל כֵּ֚ן אֹושִׁ֣יעַ אֶתְכֶ֔ם וִהְיִיתֶ֖ם בְּרָכָ֑ה אַל־ תִּירָ֣אוּ תֶחֱזַ֖קְנָה יְדֵיכֶֽם׃ ס

וְהָיָ֗ה	כַּאֲשֶׁר֙	הֱיִיתֶ֤ם	קְלָלָה֙	בַּגֹּויִ֔ם	בֵּ֥ית	יְהוּדָ֖ה	וּבֵ֣ית	יִשְׂרָאֵ֑ל	כֵּ֚ן	אֹושִׁ֣יעַ	אֶתְכֶ֔ם
そして-ある	ちょうど	あなたがたが-いた	のりと	諸国の-中で	家よ	ユダの	そして-家よ	イスラエルの	そのように	救う	あなたがたを
H1961	H1961	H1961	H7045	H1961	H1004	H3063	H1004	H3478	H3651	H3467	H0853
וִהְיִיתֶ֖ם	בְּרָכָ֑ה	אַל־	תִּירָ֣אוּ	תֶחֱזַ֖קְנָה	יְדֵיכֶֽם׃	ס					
そして-なる	祝福と	するな	恐れるな	強く-あれ	あなたがたの-手よ	—					
H1961	H1293	H0408	H3372	H2388	H3027						

ユダの家およびイスラエルの家よ、あなたがたが、国々の民の中に、のろいとなっていたように、わたしはあなたがたを救って祝福とする。恐れてはならない。あなたがたの手を強くせよ」。

14 כִּי֩ כֹ֨ה אָמַ֜ר יְהוָ֣ה צְבָאֹ֗ות כַּאֲשֶׁ֨ר זָמַ֤מְתִּי לְהָרַע֙ אֶתְכֶ֔ם בְּהַקְצִ֖יף אֲבֹתֵיכֶ֑ם אָמַ֖ר יְהוָ֥ה צְבָאֹ֛ות וְלֹ֥א נִחָ֖מְתִּי׃

כִּי֩	כֹ֨ה	אָמַ֜ר	יְהוָ֣ה	צְבָאֹ֗ות	כַּאֲשֶׁ֨ר	זָמַ֤מְתִּי	לְהָרַע֙	אֶתְכֶ֔ם	בְּהַקְצִ֖יף	אֲבֹתֵיכֶ֑ם	אָמַ֖ר
まことに	このように	言う	主は	万軍の	ちょうど	わたしが-定めた	災いを-もたらす-ことを		の-ときに	あなたがたの-先祖が	と-言う
H3541	H3541	H0559	H3068	H6635	H3651	H2161	H7451	H0853	H7107	H0001	H0559
יְהוָ֥ה	צְבָאֹ֛ות	וְלֹ֥א	נִחָ֖מְתִּי׃								
主は	万軍の	そして-ない	思い-直さなかった								
H3068	H6635	H3808	H5162								

万軍の主は、こう仰せられる、「あなたがたの先祖が、わたしを怒らせた時に、災を下そうと思って、これをやめなかったように、――万軍の主は言われる――

15 כֵּ֣ן זָמַ֗מְתִּי שָׁבְתִּי֙ בַּיָּמִ֣ים הָאֵ֔לֶּה לְהֵיטִ֥יב אֶת־ יְרוּשָׁלַ֖ם וְאֶת־ בֵּ֣ית יְהוּדָ֑ה אַל־ תִּירָ֖אוּ׃

כֵּ֣ן	זָמַ֗מְתִּי	שָׁבְתִּי֙	בַּיָּמִ֣ים	הָאֵ֔לֶּה	לְהֵיטִ֥יב	אֶת־	יְרוּשָׁלַ֖ם	וְאֶת־	בֵּ֣ית	יְהוּדָ֑ה	אַל־
そのように	わたしが-定めた	わたしは-立ち返った	その-日々に	これらの	良くする-ことを	を	エルサレムを	そして	家を	ユダの	するな
H3651	H2161	H7725	H3117	H0428	H3190	H0853	H3389	H0853	H1004	H3063	H0408
תִּירָ֖אוּ׃											
恐れるな											
H3372											

そのように、わたしはまた今日、エルサレムとユダの家に恵みを与えよう。恐れてはならない。

16

אֱמֶת֙	רֵעֵ֔הוּ	אֶת־	אִ֖ישׁ	אֱמֶ֣ת	דַּבְּר֑וּ	תַּעֲשׂ֣וּ	אֲשֶׁ֔ר	הַדְּבָרִ֖ים	אֵ֥לֶּה
真実と	その–隣人に	に	各人が	真実を	語れ	行うべき	その	言葉である	これらが
H0571	H7453	H0854	H0376	H0571	H1696			H1697	H0428

בְּשַׁעֲרֵיכֶֽם׃	שִׁפְט֔וּ	שָׁל֖וֹם	וּמִשְׁפַּ֥ט
あなたがたの–門で	裁きを–行え	平和の	そして–公正の
H8179	H8199	H7965	H4941

あなたがたのなすべき事はこれである。あなたがたは互に真実を語り、またあなたがたの門で、真実と平和のさばきとを、行わなければならない。

17

בִּלְבַבְכֶ֑ם	תַּחְשְׁב֣וּ	אַל־	רֵעֵ֔הוּ	רָעַ֣ת	אֶת־	וְאִ֣ישׁ			
あなたがたの–心の–中で	たくらむな	するな	その–隣人の	悪を	を	そして–各人が			
H3824	H2803	H0408	H7453		H0853	H0376			

אֲשֶׁ֥ר	אֵ֖לֶּה	כָּל־	אֶת־	כִּ֥י	תֶּאֱהָ֑בוּ	אַל־	שֶׁ֣קֶר	וּשְׁבֻעַ֥ת	
その	これらを	すべての	を	まことに	愛するな	するな	偽りの	そして–偽りの–誓いを	
	H0428	H3605	H0853		H0157	H0408	H8267	H7621	

ס	יְהוָֹה׃	נְאֻם־	שָׂנֵ֖אתִי	
—	主の	との–宣言	わたしが–憎む	
	H3068	H5002	H8130	

あなたがたは、互に人を害することを、心に図ってはならない。偽りの誓いを好んではならない。わたしはこれらの事を憎むからであると、主は言われる」。

18

לֵאמֹֽר׃	אֵלַ֖י	צְבָאֹ֑ות	יְהוָ֣ה	דְּבַר־	וַיְהִ֥י	
言って	わたしに	万軍の	主の	言葉が	そして–あった	
H0559	H0413		H3068	H1697	H1961	

万軍の主の言葉がわたしに臨んだ、

19

הַחֲמִישִׁ֔י	וְצ֣וֹם	הָרְבִיעִ֗י	צ֤וֹם	צְבָאֹות֙	יְהוָ֣ה	אָמַ֔ר	כֹּֽה־	
第五の–月の	そして–の–断食は	第四の–月の	の–断食は	万軍の	主は	言う	このように	
H2549	H6685	H7243	H6685		H3068	H0559	H3541	

לְשָׂשׂ֥וֹן	יְהוּדָ֖ה	לְבֵית־	יִהְיֶ֛ה	הָעֲשִׂרִ֥י	וְצ֣וֹם	הַשְּׁבִיעִ֗י	וְצ֣וֹם	
喜びと	ユダの	の–家の–ために	なる	第十の–月の	そして–の–断食は	第七の–月の	そして–の–断食は	
H8342	H3063		H1961	H6224	H6685	H7637	H6685	

פ	אֱהָֽבוּ׃	וְהַשָּׁלֹ֖ום	וְהָאֱמֶ֥ת	טֹובִ֛ים	וּלְמֹעֲדִ֥ים	וּלְשִׂמְחָ֖ה
—	愛せよ	そして–平和を	そして–真実を	良い	そして–祈りと	そして–楽しみと
	H0157	H7965	H0571		H4150	H8057

「万軍の主は、こう仰せられる、四月の断食と、五月の断食と、七月の断食と、十月の断食とは、ユダの家の喜び楽しみの時となり、よき祝の時となる。ゆえにあなたがたは、真実と平和とを愛せよ。

20

רַבֹּֽות׃	עָרִ֖ים	וְיוֹשְׁבֵ֥י	עַמִּ֛ים	יָבֹ֥אוּ	אֲשֶׁ֖ר	עֹ֑וד	צְבָאֹ֔ות	יְהוָ֣ה	אָמַ֔ר	כֹּֽה
多くの	町々の	そして–住む–者が	民が	来る	その	なお	万軍の	主は	言う	このように
		H3427		H0935		H5750		H3068	H0559	H3541

万軍の主は、こう仰せられる、もろもろの民および多くの町の住民、すなわち、一つの町の住民は、他の町の人々のところに行き、

21 וְהָלְכוּ֙ יֹשְׁבֵ֣י אַחַ֔ת אֶל־אַחַ֖ת לֵאמֹ֑ר נֵלְכָ֤ה הָלוֹךְ֙ לְחַלּ֣וֹת אֶת־פְּנֵ֣י יְהוָ֔ה וּלְבַקֵּ֖שׁ אֶת־יְהוָ֣ה צְבָאֹ֑ות אֵ֥לְכָה גַּם־אֲנִֽי׃

住む-者が 一つの-町の に 言って 行こう 行こう そして-行く
H3427 H0259 H0413 H0559 H3212 H1980

わたしも-行こう 万軍の 主を を そして-求める-ために 主の の-顔を を なだめる-ために
H3212 H6440 H0853

また わたしも
H1571 H0589

『われわれは、ただちに行って、主の恵みを請い、万軍の主に呼び求めよう』と言うと、『わたしも行こう』と言う。

22 וּבָ֣אוּ עַמִּ֔ים וְגוֹיִ֖ם רַבִּ֑ים לְבַקֵּ֞שׁ אֶת־יְהוָ֤ה צְבָאוֹת֙ וּלְחַלּ֣וֹת אֶת־פְּנֵ֣י יְהוָ֔ה׃ ס

そして-来る 民が 多くの そして-諸国が 強い を 求める-ために 万軍の
H0935 H6440 H0853 H1245

エルサレムで そして-なだめる-ために を の-顔を 主の
H3389 H0853 H6440 H3068

多くの民および強い国民はエルサレムに来て、万軍の主を求め、主の恵みを請う。

23 כֹּ֣ה אָמַ֗ר יְהוָה֙ צְבָאוֹת֙ בַּיָּמִ֣ים הָהֵ֔מָּה אֲשֶׁ֗ר יַחֲזִ֛יקוּ עֲשָׂרָ֥ה אֲנָשִׁ֖ים מִכֹּ֣ל לְשֹׁנֹ֣ות הַגּוֹיִ֑ם וְהֶחֱזִ֣יקוּ֩ בִּכְנַ֨ף אִ֜ישׁ יְהוּדִ֗י לֵאמֹר֙ נֵלְכָ֣ה אִתָּ֔כֶם כִּ֣י שָׁמַ֔עְנוּ אֱלֹהִ֖ים עִמָּכֶֽם׃ ס

このように 言う 万軍の 主は その-日々に その その つかむ 十人の 人々が すべての
H3541 H0559 H3068 H6235 H1992 H3117 H6235 H2388 H0376 H3605

言葉の 諸国の そして-つかむ の-衣の-すそを 一人の-人の ユダの 言って 行こう
H3956 H2388 H3671 H0376 H3064 H0559 H3212

あなたがたと-共に-いると 神が わたしたちは-聞いた まことに あなたがたと-共に
H0430 H8085

万軍の主は、こう仰せられる、その日には、もろもろの国ことばの民の中から十人の者が、ひとりのユダヤ人の衣のすそをつかまえて、『あなたがたと一緒に行こう。神があなたがたと共にいますことを聞いたから』と言う」。

Chapter 9

1 מַשָּׂ֗א דְּבַר־יְהוָה֙ בְּאֶ֣רֶץ חַדְרָ֔ךְ וְדַמֶּ֖שֶׂק מְנֻחָתֹ֑ו כִּ֚י לַֽיהוָ֔ה עֵ֥ין אָדָ֖ם וְכֹ֣ל שִׁבְטֵ֥י יִשְׂרָאֵֽל׃

宣告 言葉の 主の の-地に-対する ハドラクの そして-ダマスコが その-安住の-地である
H4496 H1697 H3068 H0776 H2317 H1834

まことに 目は 人の すべての 部族の イスラエルの
H3605 H0120 H3478 H7626

託宣 主の言葉はハデラクの地に臨み、ダマスコの上にとどまる。アラムの町々はイスラエルのすべての部族のように主に属するからである。

2 וְגַם־חֲמָ֥ת תִּגְבָּל־בָּ֖הּ צֹ֣ר וְצִידֹ֑ון כִּ֥י חָכְמָ֖ה מְאֹֽד׃

そして-また ハマトも 接する それに ツロも そして-シドンも まことに 知恵が-ある 非常に
H1571 H2574 H1379 H6865 H6721 H2449 H3966

これに境するハマテもまたそのとおりだ。非常に賢いが、ツロとシドンもまた同様である。

3 וַתִּבֶן צֹר מָצוֹר לָהּ וַתִּצְבָּר־כֶּסֶף כֶּעָפָר וְחָרוּץ כְּטִיט חוּצוֹת׃
そして–築いた ツロは 要塞を 自分の–ために そして–積み–上げた 銀を ちりの–ように 純金を 泥の–ように 通りの
H1129 H6865 H4692 H6651 H3701 H6083 H2916 H2351

ツロは自分のために、とりでを築き、銀をちりのように積み、金を道ばたの泥のように積んだ。

4 הִנֵּה אֲדֹנָי יוֹרִשֶּׁנָּה וְהִכָּה בַיָּם חֵילָהּ וְהִיא בָאֵשׁ תֵּאָכֵל׃
見よ 主が 奪い–取る 奔い–取る 海で その–富を そして–打つ 彼女は の–火で 焼き–尽くされる
H2009 H0136 H3423 H5221 H3220 H2428 H1931 H0784 H0398

しかし見よ、主はこれを攻め取り、その富を海の中に投げ入れられる。これは火で焼き滅ぼされる。

5 תֵּרֶא אַשְׁקְלוֹן וְיָרְאָה וְעַזָּה וְתָחֵיל מְאֹד וְעֶקְרוֹן כִּי־בֹשָׁה מִקְוָתָהּ מֵעַזָּה מֶלֶךְ וְאָבַד וְאַשְׁקְלוֹן לֹא תוֹשָׁב׃
見る アシュケロンは そして–恐れる そして–ガザも そして–濡く 非常に そして–エクロンも まことに 恥を–かかせた その–期待を ガザから 王が そして–滅びる そして–アシュケロンは ない 住まない
H7200 H0831 H3372 H5804 H2342 H3966 H6138 H3588 H0954 H4007 H5804 H4428 H0006 H0831 H3808 H3427

アシケロンはこれを見て恐れ、ガザもまた見てもだえ苦しみ、エクロンもまたその望む所のものがはずかしめられて苦しむ。ガザには王が絶え、アシケロンには住む者がなくなり、

6 וְיָשַׁב מַמְזֵר בְּאַשְׁדּוֹד וְהִכְרַתִּי גְּאוֹן פְּלִשְׁתִּים׃
そして–住む 混血の–者が アシュドドに そして–わたしは–断ち–切る 高慢を ペリシテ人の
H3427 H4464 H0795 H3772 H1347 H6430

アシドドには混血の民が住む。わたしはペリシテびとの誇を断つ。

7 וַהֲסִרֹתִי דָמָיו מִפִּיו וְשִׁקֻּצָיו מִבֵּין שִׁנָּיו וְנִשְׁאַר גַּם־הוּא לֵאלֹהֵינוּ וְהָיָה כְּאַלָּף בִּיהוּדָה וְעֶקְרוֹן כִּיבוּסִי׃
そして–取り除く その–血を その–口から そして–その–忌まわしい–ものを その–歯の の–間から そして–残る また 彼も われらの–神の–ために そして–なる の–族長の–ように ユダの そして–エクロンは エブス人の–ように
H5493 H1818 H6310 H8251 H8127 H0996 H7604 H1571 H1931 H0430 H1961 H0505 H3063 H6138 H2983

またその口から血を取り除き、その歯の間から憎むべき物を取り除く。これもまた残ってわれわれの神に帰し、ユダの一民族のようになる。またエクロンはエブスびとのようになる。

8 וְחָנִיתִי לְבֵיתִי מִצָּבָא מֵעֹבֵר וּמִשָּׁב
そして-わたしは-守る わが-家の-ために 見張りとして 通り-過ぎる-者から そして-戻る-者から
H2583 H4675 H7725

וְלֹא־ יַעֲבָר עֲלֵיהֶם עוֹד נֹגֵשׂ כִּי עַתָּה רָאִיתִי בְעֵינָי׃
そして-ない 通らない 彼らの-上を もう 圧制者は まことに 今や わたしは-見た わが-目で
H3808 H5750 H5065 H6258 H7200

ס
—

その時わたしは、わが家のために営を張って、見張りをし、行き来する者のないようにする。しえたげる者は、かさねて通ることがない。わたしが今、自分の目で見ているからである。

9 גִּילִי מְאֹד בַּת־ צִיּוֹן הָרִיעִי בַּת יְרוּשָׁלִָם הִנֵּה מַלְכֵּךְ יָבוֹא
喜べ 大いに の-娘よ シオンの 叫べ 娘よ エルサレムの 見よ あなたの-王が 来る
H1523 H3966 H1323 H6726 H7321 H1323 H3389 H2009 H4428 H0935

לָךְ צַדִּיק וְנוֹשָׁע הוּא עָנִי וְרֹכֵב עַל־ חֲמוֹר וְעַל־ עַיִר בֶּן־ אֲתֹנוֹת׃
あなたに 正しく そして-救いを-もって 彼は 柔和で そして-乗って-いる の-上に ろばの 子ろばの そして-の-上に 雌ろばの
H6662 H3467 H1931 H6041 H7392 H5895 H0860

シオンの娘よ、大いに喜べ、エルサレムの娘よ、呼ばわれ。見よ、あなたの王はあなたの所に来る。彼は義なる者であって勝利を得、柔和であって、ろばに乘る。すなわち、ろばの子である子馬に乘る。

10 וְהִכְרַתִּי־ רֶכֶב מֵאֶפְרַיִם וְסוּס מִירוּשָׁלִַם וְנִכְרְתָה קֶשֶׁת מִלְחָמָה וְדִבֶּר שָׁלוֹם לַגּוֹיִם וּמָשְׁלוֹ מִיָּם עַד־ יָם וּמִנָּהָר עַד־ אַפְסֵי־ אָרֶץ׃
そして-わたしは-断ち-切る 戦車を エフライムから 馬を エルサレムから そして-断たれる 弓が 戦いの そして-語る 平和を 諸国に そして-その-支配は 海の の-まで の-海から 地の の-果ての の-まで そして-の-川から
H3772 H7393 H0669 H5483 H3389 H3772 H7198 H4421 H1696 H7965 H1471 H3220 H5704 H3220 H0776 H0657 H5704 H5104

わたしはエフライムから戦車を断ち、エルサレムから軍馬を断つ。また、いくさ弓も断たれる。彼は国々の民に平和を告げ、その政治は海から海に及び、大川から地の果にまで及ぶ。

11 גַּם־ אַתְּ בְּדַם־ בְּרִיתֵךְ שִׁלַּחְתִּי אֲסִירַיִךְ מִבּוֹר אֵין מַיִם בּוֹ׃
また あなたも の-血に-よって あなたの-契約の わたしは-解き-放った あなたの-捕囚を の-穴から ない 水が その-中に
H1571 H1818 H1285 H7971 H0615 H0369 H4325

あなたについてはまた、あなたとの契約の血のゆえに、わたしはかの水のない穴から、あなたの捕われ人を解き放す。

12 שׁוּבוּ לְבִצָּרוֹן אֲסִירֵי הַתִּקְוָה גַּם־ הַיּוֹם מַגִּיד מִשְׁנֶה אָשִׁיב לָךְ׃
立ち返れ とりでに 捕囚たちよ 希望の また 今日 告げる 倍を わたしは-返す あなたに
H7725 H1225 H0615 H8615 H1571 H3117 H5046 H4932 H7725

望みをいだく捕われ人よ、あなたの城に帰れ。わたしはきょうもなお告げて言う、必ず倍して、あなたをもとに返すことを。

13 כִּי־ דָרַכְתִּי יְהוּדָה לִי מִלֵּאתִי קֶשֶׁת אֶפְרַיִם
まことに わたしは-張った ユダを わが-ために 満たした 弓として エフライムを
H3588 H1869 H3063 H3027 H4390 H7198 H0669

וְשַׁמְתִּיךָ בְּנֵךְ צִיּוֹן עַל־ בָּנַיִךְ יָוָן וְעוֹרַרְתִּי
そして-した あなたの-子らに に-対して シオンよ あなたの-子らを ヤワンの そして-奏い-立たせた
H7760 H1121 H6726 H5921 H1121 H3120 H5782

כְּחֶרֶב גִּבּוֹר׃
の-剣の-ように 勇士の
H2719 H1368

わたしはユダを張って、わが弓となし、エフライムをその矢とした。シオンよ、わたしはあなたの子らを呼び起して、ギリシヤの人々を攻めさせ、あなたを勇士のつるぎのようにさせる。

14 וַיהוָה עֲלֵיהֶם יֵרָאֶה וְיָצָא כַבָּרָק חִצּוֹ וַאדֹנָי יְהוִה
そして-主が 彼らの-上に 現れる そして-出る の-稲妻の-ように その-矢が そして-主 神は
H3068 H5921 H7200 H3318 H1300 H2671 H0136 H3069

בַּשּׁוֹפָר יִתְקָע וְהָלַךְ בְּסַעֲרוֹת תֵּימָן׃
の-角笛を 吹き-鳴らす そして-進む の-嵐の-中を 南の
H7782 H8628 H1980 H5492 H8486

その時、主は彼らの上に現れて、その矢をいなずまのように射られる。主なる神はラッパを吹きならし、南のつむじ風に乗って出てこられる。

15 יְהוָה צְבָאוֹת יָגֵן עֲלֵיהֶם וְאָכְלוּ וְכָבְשׁוּ אַבְנֵי־ קָלַע וְשָׁתוּ
主が 万軍の 守る 彼らを そして-食らい そして-踏み-つける の-石を 石投げの そして-飲む
H3068 H6635 H1598 H5921 H0398 H3533 H0068 H7049 H8354

כְּמוֹ־ יָיִן וּמָלְאוּ כַּמִּזְרָק כְּזָוִיוֹת מִזְבָּחַ׃
の-ように ぶどう酒の そして-満ちる の-鉢の-ように の-角の-ように 祭壇の
H3644 H3196 H4390 H4219 H6438 H4196

万軍の主は彼らを守られるので、彼らは石投げどもを食い尽し、踏みつける。彼らはまたぶどう酒のように彼らの血を飲み、鉢のようにそれで満たされ、祭壇のすみのように浸される。

16 וְהוֹשִׁיעָם יְהוָה אֱלֹהֵיהֶם בַּיּוֹם הַהוּא כְּצֹאן עַמּוֹ כִּי אַבְנֵי־
そして-救う 主が 彼らの-神が その-日に その の-羊の-ように その-民の まことに の-石が
H3467 H3068 H0430 H3117 H1931 H6629 H5971 H3588 H0068

נֵזֶר מִתְנוֹסְסוֹת עַל־ אַדְמָתוֹ׃
冠の 輝く の-上に その-地の
H5145 H5264 H5921 H0127

その日、彼らの神、主は、彼らを救い、その民を羊のように養われる。彼らは冠の玉のように、その地に輝く。

17 כִּי מַה־ טּוּבוֹ וּמַה־ יָּפְיוֹ דָּגָן בְּחוּרִים
まことに 何と その-良さよ そして-何と その-麗しさよ 穀物が 若者を-育て
H3588 H4100 H2898 H4100 H3308 H1715 H0970

וְתִירוֹשׁ יְנוֹבֵב בְּתֻלוֹת׃
そして-新しい-ぶどう酒が 花-咲かせる 乙女を
H8492 H5107 H1330

そのさいわい、その麗しさは、いかばかりであろう。穀物は若者を栄えさせ、新しいぶどう酒は、おとめを栄えさせる。

Chapter 10

1 שַׁאֲלוּ מֵיְהוָה מָטָר בְּעֵת מַלְקוֹשׁ יְהוָה עֹשֶׂה חֲזִיזִים וּמְטַר־ גֶּשֶׁם יִתֵּן לָהֶם לְאִישׁ עֵשֶׂב בַּשָּׂדֶה׃

1 求めよ 主に 雨を 時に 後の–雨の 主が 造る 稲光を そして–雨を 雨の 与える
H7592 H3068 H4306 H6256 H4456 H3068 H6213 H2385 H4306 H1653 H5414
彼らに 各人に 草を 野の
H1992 H0376 H6212

あなたがたは春の雨の時に、雨を主に請い求めよ。主はいなずまを造り、大雨を人々に賜い、野の青草をおのおのに賜わる。

2 כִּי הַתְּרָפִים דִּבְּרוּ־ אָוֶן וְהַקּוֹסְמִים חָזוּ שֶׁקֶר וַחֲלֹמוֹת הַשָּׁוְא יְדַבֵּרוּ הֶבֶל יְנַחֵמוּן עַל־ כֵּן נָסְעוּ כְמוֹ־ צֹאן יַעֲנוּ כִּי־ אֵין רֹעֶה׃ פ

まことに テラピムは 語った 空しい–ことを 占い師は そして–夢は 空しい
H3588 H8655 H1696 H0205 H7080 H2472 H7723
もので 空しい–慰める ゆえに それの さまよった の–ように 羊の 苦しむ まことに
H1892 H5162 H3651 H5921 H5265 H3644 H6629 H3588
語る
H1696
いない 羊飼いが —
H0369

テラピムは、たわごとを言い、占い師は偽りを見、夢見る者は偽りの夢を語り、むなしい慰めを与える。このゆえに、民は羊のようにさまよい、牧者がないために悩む。

3 עַל־ הָרֹעִים חָרָה אַפִּי וְעַל־ הַעַתּוּדִים אֶפְקֹד כִּי־ פָקַד יְהוָה צְבָאוֹת אֶת־ בֵּית יְהוּדָה וְשָׂם אוֹתָם כְּסוֹס הוֹדוֹ בַּמִּלְחָמָה׃

に–対して 羊飼いたちに 燃える わが–怒りが に–対して そして–に–対して 雄山羊たちに わたしは–罰する
H5921 H7462 H2734 H639 H5921 H6260 H6485
まことに 顧みた 主が 万軍の を 家を ユダの そして–した 彼らを
H3588 H6485 H3068 H6635 H853 H1004 H3063 H7760 H853
戦いの その–威光の の–馬の–ように
H4421 H1935 H5483

「わが怒りは牧者にむかって燃え、わたしは雄やぎを罰する。万軍の主が、その群れの羊であるユダの家を顧み、これをみごとな軍馬のようにされるからである。

4 מִמֶּנּוּ פִּנָּה מִמֶּנּוּ יָתֵד מִמֶּנּוּ קֶשֶׁת מִלְחָמָה מִמֶּנּוּ יֵצֵא כָּל־ נוֹגֵשׂ יַחְדָּו׃

そこから かしら–石が そこから 釘が そこから 弓が 戦いの そこから 出る すべての
H4480 H6438 H4480 H3489 H4480 H7198 H4421 H4480 H3318 H3605
共に 支配者が
H3162 H5065

隅石は彼らから出、天幕の杭も彼らから出、いくさ弓も彼らから出、支配者も皆彼らの中から出る。

5

בַּמִּלְחָמָה	חוּצוֹת	בְּטִיט	בּוֹסִים	כְּגִבֹּרִים	וְהָיוּ
戦い–の–中で	通りの	泥–の–中を	踏みつける–者たち	勇士の–ように	そして–彼らは–なる
H4421	H2351	H2916	H0947	H1368	H1961

סוּסִים׃	רֹכְבֵי	וְהֹבִישׁוּ	עִמָּם	יְהוָה	כִּי	וְנִלְחֲמוּ
馬の	乗る–者たちを	そして–恥じさせる	彼ら–と–共に	主が	なぜなら	そして–彼らは–戦う
	H7392	H3001		H3068		

彼らが戦う時は勇士のようになって、道ばたの泥の中に敵を踏みにじる。主が彼らと共におられるゆえに彼らは戦い、馬に乗る者どもを困らせる。

6

אוֹשִׁיעַ	יוֹסֵף	בֵּית	וְאֶת־	יְהוּדָה	בֵּית	אֶת־	וְגִבַּרְתִּי
わたしは–救う	ヨセフの	家–を	そして	ユダの	家–を	—	わたしは–強くする
H3467	H3130		H0853	H3063		H0853	H1396

לֹא־	כַּאֲשֶׁר	וְהָיוּ	רְחַמְתִּים	כִּי	וְהוֹשְׁבוֹתִים
ない	あたかも	そして–彼らは–なる	わたしは–憐れんだ	なぜなら	そして–わたしは–住まわせる
H3808		H1961	H7355		H7725

וְאֶעֱנֵם׃	אֱלֹהֵיהֶם	יְהוָה	אֲנִי	כִּי	זְנַחְתִּים
そして–わたしは–答える	彼らの–神	主	わたしは	なぜなら	わたしが–退けた–かの–ように
	H0430	H3068	H0589		

わたしはユダの家を強くし、ヨセフの家を救う。わたしは彼らをあわれんで、彼らを連れ帰る。彼らはわたしに捨てられたことのないようになる。わたしは彼らの神、主であって、彼らに答えるからである。

7

יַיִן	כְּמוֹ־	לִבָּם	וְשָׂמַח	אֶפְרַיִם	כְּגִבּוֹר	וְהָיוּ
ぶどう酒	のように	彼らの–心は	そして–喜ぶ	エフライムは	勇士の–ように	そして–なる
H3196	H3644		H8055	H0669	H1368	H1961

בַּיהוָה׃	לִבָּם	יָגֵל	וְשָׂמַח	יִרְאוּ	וּבְנֵיהֶם
主に–あって	彼らの–心は	踊る	そして–喜ぶ	見て	そして–彼らの–子たちは
H3068		H1523	H8055	H7200	

エフライムびとは勇士のようになり、その心は酒を飲んだように喜ぶ。その子供らはこれを見て喜び、その心は主によって楽しむ。

8

וְרָבוּ	פְּדִיתִים	כִּי	וַאֲקַבְּצֵם	לָהֶם	אֶשְׁרְקָה
そして–増える	わたしは–贖った	なぜなら	そして–わたしは–集める	彼らに	わたしは–口笛を–吹く
	H6299		H6908		H8319

רָבוּ׃	כְּמוֹ
増えた	のように
	H3644

わたしは彼らに向かい、口笛を吹いて彼らを集める、わたしが彼らをあがなったからである。彼らは昔のように数多くなる。

9

וְחָיוּ	יִזְכְּרוּנִי	וּבַמֶּרְחַקִּים	בָּעַמִּים	וְאֶזְרָעֵם	
そして–生きる	わたしを–思い–出す	そして–遠くに–あって	諸国の–民の–中に	そして–わたしは–蒸く	
H2421	H2142	H4801		H2232	

וְשָׁבוּ׃	בְּנֵיהֶם	אֶת־
そして–帰る	彼らの–子たちと–共に	—
H7725		H0854

わたしは彼らを国々の民の中に散らした。しかし彼らは遠い国々でわたしを覚え、その子供らと共に生きながらえて帰ってくる。

10

וְאֶל־	אֲקַבְּצֵם	וּמֵאַשּׁוּר	מִצְרַיִם	מֵאֶרֶץ	וַהֲשִׁבוֹתִים
そして	わたしは–集める	そして–アッシリアから	エジプト	の–地から	そして–わたしは–帰らせる
H0413	H6908	H0804	H4714	H0776	H7725

לָהֶם׃	יִמָּצֵא	וְלֹא	אֲבִיאֵם	וּלְבָנוֹן	גִּלְעָד	אֶרֶץ
彼らに	十分な–場所が–見つかる	そして–ない	わたしは–導く	そして–レバノンへ	ギレアデの	地–へ
	H4672	H3808	H0935	H3844	H1568	H0776

わたしは彼らをエジプトの国から連れ帰り、アッスリヤから彼らを集める。わたしはギレアデの地およびレバノンに彼らを連れて行く。彼らはいる所もないほどに多くなる。

11

מְצוּלוֹת	כֹּל	וְהֻכָּה	צָרָה	בַּיָּם	וְעָבַר	בַּיָּם	גַּלִּים	וְהִכָּה
深みは	すべての	そして–打つ	苦難の	海–を	そして–渡る	海の–中の	波を	そして–湧れる
H4688	H3605	H5221		H3220		H3220	H1530	H3001

יָסוּר׃	מִצְרַיִם	וְשֵׁבֶט	אַשּׁוּר	גְּאוֹן	וְהוּרַד	יְאֹר
去る	エジプトの	そして–笛は	アッシリアの	高慢は	そして–引き–下げられる	ナイルの
H5493	H4714	H7626	H0804	H1347	H3381	H2975

彼らはエジプトの海を通る。海の波は撃たれ、ナイルの淵はことごとくかれた。アッスリヤの高ぶりは低くされ、エジプトのつえは移り去る。

12

יְהוָה׃	נְאֻם	יִתְהַלָּכוּ	וּבִשְׁמוֹ	בַּיהוָה	וְגִבַּרְתִּים	
主の	主の–御告げ	彼らは–歩く	そして–その–名に–おいて	主に–あって	そして–わたしは–強くする	ס
H3068	H5002	H1980	H8034	H3068	H1396	—

わたしは彼らを主によって強くする。彼らは主の名を誇る」と主は言われる。

Chapter 11

1

בַּאֲרָזֶיךָ׃	אֵשׁ	וְתֹאכַל	דְּלָתֶיךָ	לְבָנוֹן	פְּתַח
お前の–杉を	火が	そして–食い–尽くせ	お前の–扉を	レバノンよ	開け
H0730	H0784	H0398		H3844	

レバノンよ、おまえの門を開き、おまえの香柏を火に焼き滅ぼさせよ。

2

הֵילִילוּ	שֻׁדַּד	אַדִּרִים	אֲשֶׁר	אֶרֶז	נָפַל	כִּי־	בְּרוֹשׁ	הֵילֵל
嘆け	荒らされた	威厳なる–木々が	それらの	杉が	倒れた	なぜなら	糸杉よ	嘆け
H3213	H7703	H0117		H0730	H5307		H1265	H3213

הַבָּצִיר׃)	[הבצור	יַעַר	יָרַד	כִּי	בָּשָׁן	אַלּוֹנֵי
密生–の	—	森は	倒れた	なぜなら	バシャンの	樫の–木よ
H1208	H1208		H3381		H1316	H0437

いとすぎよ、泣き叫べ。香柏は倒れ、みごとな木は、そこなわれたからである。バシャンのかしよ、泣き叫べ。茂った林は倒れたからである。

3

כְּפִירִים	שַׁאֲגַת	קוֹל	אַדַּרְתָּם	שֻׁדְּדָה	כִּי	הָרֹעִים	יְלֵלַת	קוֹל
若い–獅子たちの	吼えの	声	彼らの–栄光が	荒らされた	なぜなら	牧者たちの	嘆きの	声
	H7581		H0155	H7703			H3215	

ס	הַיַּרְדֵּן׃	גְּאוֹן	שֻׁדַּד	כִּי	
—	ヨルダンの	誇りが	荒らされた	なぜなら	
	H3383	H1347	H7703		

聞け、牧者の泣き叫ぶ声を。彼らの栄えが消え去ったからである。聞け、ししのほえる声を。ヨルダンの草むらが荒れ果てたからである。

4	כֹּה	אָמַר	יְהוָה	אֱלֹהָי	רְעֵה	אֶת־	צֹאן	הַהֲרֵגָה׃
	このように	言った	主	わたしの-神は	牧え	—	羊の-群れを	屠られる
	H3541	H0559	H3068	H0430	H7462	H0853	H6629	H2028

わが神、主はこう仰せられた、「ほふらるべき羊の群れの牧者となれ。

5	אֲשֶׁר	קֹנֵיהֶן	יַהַרְגֵן	וְלֹא	יֶאְשְׁמוּ	וּמֹכְרֵיהֶן	יֹאמַר	בָּרוּךְ
	その	買い-主たちは	屠り	そして-ない	罪を-感じる	そして-売る-者たちは	言う	ほめられよ
		H7069	H2026	H3808	H0816	H4376	H0559	H1288

עָלֵיהֶן׃	יַחְמֹל	לֹא	וְרֹעֵיהֶם	וַאֲעַשֶּׁר	יְהוָה	
彼らを	惜しまない	ない	そして-彼らの-牧者たちは	わたしは-富んだ-と	主よ	
	H2550	H3808		H6238	H3068	

これを買う者は、これをほふっても罰せられない。これを売る者は言う、『主はほむべきかな、わたしは富んだ』と。そしてその牧者は、これをあわれまない。

6	כִּי	לֹא	אֶחְמֹל	עוֹד	עַל־	יֹשְׁבֵי	הָאָרֶץ	נְאֻם־	יְהוָה
	なぜなら	ない	わたしは-惜しまない	もはや	—	住む-者たちを	地の	主の-御告げ	主
		H3808	H2550	H5750		H3427	H0776	H5002	H3068

וְהִנֵּה	אָנֹכִי	מַמְצִיא	אֶת־	הָאָדָם	אִישׁ	בְּיַד־	רֵעֵהוּ	וּבְיַד	
そして-見よ	わたしは	引き-渡す	—	人を	各々を	の-手に	その-隣人の	そして-の-手に	
H2009	H0595	H4672	H0853	H0120	H0376	H3027	H7453	H3027	

מַלְכּוֹ	וְכִתְּתוּ	אֶת־	הָאָרֶץ	וְלֹא	אַצִּיל	מִיָּדָם׃		
その-王の	そして-打ち-砕く	—	地を	そして-ない	わたしは-救う	彼らの-手から		
H4428	H3807	H0853	H0776	H3808	H5337	H3027		

わたしは、もはやこの地の住民をあわれまないと、主は言われる。見よ、わたしは人をおのおのその牧者の手に渡し、おのおのその王の手に渡す。彼らは地を荒す。わたしは彼らの手からこれを救い出さない」。

7	וָאֶרְעֶה	אֶת־	צֹאן	הַהֲרֵגָה	לָכֵן	עֲנִיֵּי	הַצֹּאן
	そして-わたしは-牧った	—	羊の-群れを	屠られる	それゆえ	買しい	の
	H7462	H0853	H6629	H2028		H6041	H6629

וָאֶקַּח־	לִי	שְׁנֵי	מַקְלוֹת	לְאַחַד	קָרָאתִי	נֹעַם	
そして-わたしは-取った	わたしの-ために	二-本の	杖を	一-本を	わたしは-呼んだ	恩寵と	
H3947		H8147	H4731	H0259	H7121	H5278	

וְאֶרְעֶה	אֶת־	הַצֹּאן׃	וְלְאַחַד	קָרָאתִי	חֹבְלִים	
そして-わたしは-牧った	—	羊の-群れを	そして-もう-一-本を	わたしは-呼んだ	結束と	
	H0853	H6629	H0259	H7121		

わたしは羊の商人のために、ほふらるべき羊の群れの牧者となった。わたしは二本のつえを取り、その一本を恵みと名づけ、一本を結びと名づけて、その羊を牧した。

8	וָאַכְחֵד	שְׁלֹשֶׁת	הָרֹעִים	בְּיֶרַח	אֶחָד	וַתִּקְצַר	
	そして-わたしは-退けた	三-人の	牧者を	一-か月の-うちに	一-つの	そして-短く-なった	
	H3582	H7969		H3391	H0259		

בִּי׃	בָּהֶם	וְגַם־	נַפְשָׁם	בָּהֳחָלָה	נַפְשִׁי	
わたしを	彼らに-対して	そして-また	彼らの-心は	嫁-悪った	わたしの-心は	
		H1571	H5315		H5315	

わたしは一か月に牧者三人を滅ぼした。わたしは彼らに、がまんしきれなくなったが、彼らもまた、わたしを忌みきらった。

9

תָּמוּת	הַמֵּתָה	אֶתְכֶם	אֶרְעֶה	לֹא	וָאֹמַר
死ぬが–よい	死ぬ–者は	お前たちを	わたしは–牧わない	ない	そして–わたしは–言った
H4191	H4191	H0853		H3808	H0559

בְּשַׂר	אֶת־	אִשָּׁה	תֹּאכַלְנָה	וְהַנִּשְׁאָרוֹת	תִּכָּחֵד	וְהַנִּכְחֶדֶת
肉を	—	各々が	食い–尽くせ	そして–残る–者たちは	絶たれるが–よい	そして–絶たれる–者は
H1320	H0853	H0802	H0398	H7604	H3582	H3582

רֵעוּתָהּ׃
その–仲間の
H7468

それでわたしは言った、「わたしはあなたがたの牧者とならない。死ぬ者は死に、滅びる者は滅び、残った者はたがいにその肉を食いあうがよい」。

10

אֹתוֹ	וָאֶגְדַּע	נֹעַם	אֶת־	מַקְלִי	אֶת־	וָאֶקַּח	
それを	そして–わたしは–折った	恩寵の	—	わたしの–杖を	—	そして–わたしは–取った	
H0853	H1438	H5278	H0853	H4731	H0853	H3947	

הָעַמִּים׃	כָּל־	אֶת־	כָּרַתִּי	אֲשֶׁר	בְּרִיתִי	אֶת־	לְהָפֵר
民と	すべての	—	わたしが–結んだ	それを	わたしの–契約を	—	破棄する–ために
	H3605	H0854	H3772		H1285	H0853	

わたしは恵みというつえを取って、これを折った。これはわたしがもろもろの民と結んだ契約を、廃するためであった。

11

הַצֹּאן	עֲנִיֵּי	כֵּן	וַיֵּדְעוּ	הַהוּא	בַּיּוֹם	וַתֻּפַר
羊の–群れの	買しい	その–ように	そして–知った	その	その–日に	そして–破棄された
H6629	H6041		H3045	H1931	H3117	

הוּא׃	יְהוָה	דְּבַר־	כִּי	אֹתִי	הַשֹּׁמְרִים
それで–ある	主の	言葉–で–あると	それが	わたしを	見守る–者たちは
H1931	H3068	H1697		H0853	H8104

そしてこれは、その日に廃された。そこで、わたしに目を注いでいた羊の商人らは、これが主の言葉であったことを知った。

12

שְׂכָרִי	הָבוּ	בְּעֵינֵיכֶם	טוֹב	אִם־	אֲלֵיהֶם	וָאֹמַר
わたしの–報酬を	与えよ	お前たちの–目に	良い–と	もし	彼らに	そして–わたしは–言った
H7939	H3051				H0413	H0559

כָּסֶף׃	שְׁלֹשִׁים	שְׂכָרִי	אֶת־	וַיִּשְׁקְלוּ	חֲדָלוּ	וְלֹא	וְאִם־
銀を	三十	わたしの–報酬を	—	そして–彼らは–量った	やめよ	ない–なら	そして–もし
H3701	H7970	H7939	H0853	H8254	H2308	H3808	

わたしは彼らに向かって、「あなたがたがもし、よいと思うならば、わたしに賃銀を払いなさい。もし、いけなければやめなさい」と言ったので、彼らはわたしの賃銀として、銀三十シケルを量った。

13

הַיְקָר	אֲדֶר	הַיּוֹצֵר	אֶל־	הַשְׁלִיכֵהוּ	אֵלַי	יְהוָה	וַיֹּאמֶר
価ある	高貴なる	陶器–師の–もとへ	へ	投げ–捨てよ–それを	わたしに	主は	そして–言った
H3366	H0145	H3335	H0413	H7993	H0413	H3068	H0559

הַכֶּסֶף	שְׁלֹשִׁים	וָאֶקַּח	מֵעֲלֵיהֶם	יָקָרְתִּי		אֲשֶׁר
銀を	三十の	そして–わたしは–取った	彼らから	わたしの–価値と–された		それが
H3701	H7970	H3947		H3365		

הַיּוֹצֵר׃	אֶל־	יְהוָה	בֵּית	אֹתוֹ	וָאַשְׁלִיךְ
陶器–師の–もと	へ	主の	家–の–中へ	それを	そして–わたしは–投げた
H3335	H0413	H3068		H0853	H7993

主はわたしに言われた、「彼らによって、わたしが値積られたその尊い価を、宮のさいせん箱に投げ入れよ」。わたしは銀三十シケルを取って、これを主の宮のさいせん箱に投げ入れた。

אֶת־	לְהָפֵר	הַחֻבְלִים	אֵת	הַשֵּׁנִי	מַקְלִי	אֶת־	וָאֲגַדֵּעַ			14
—	破棄する–ために	結束の	—	第二の	わたしの–杖を	—	そして–わたしは–折った			
H0853			H0853	H8145	H4731	H0853	H1438			
ס	יִשְׂרָאֵל׃	וּבֵין	יְהוּדָה	בֵּין	הָאַחֻוָּה					
—	イスラエル	そして–間の	ユダと	間の	兄弟–の–絆を					
	H3478	H0996	H3063	H0996	H0264					

そしてわたしは結びという第二のつえを折った。これはユダとイスラエルの間の、兄弟関係を廃するためであった。

אֱוִלִי׃	רֹעֶה	כְּלִי	לְךָ֖	קַח־	עוֹד	אֵלַי	יְהוָה	וַיֹּאמֶר		15
愚かな	牧者の	道具を	お前の–ために	取れ	再び	わたしに	主は	そして–言った		
H0196		H3627		H3947	H5750	H0413	H3068	H0559		

主はわたしに言われた、「おまえはまた愚かな牧者の器を取れ。

יִפְקֹד	לֹא־	הַנִּכְחָדוֹת	בָּאָרֶץ	רֹעֶה	מֵקִים	אָנֹכִי	הִנֵּה־	כִּי		16
彼は–尋ねる	ない	絶たれる–者たちを	地に	牧者を	立てる	わたしは	見よ	なぜなら		
	H3808	H3582	H0776			H0595	H2009			
לֹא	הַנִּצָּבָה	יִרְפָּא	לֹא	וְהַנִּשְׁבֶּרֶת	יְבַקֵּשׁ	לֹא־	הַנַּעַר			
ない	立っている–者を	彼は–癒す	ない	そして–傷ついた–者を	彼は–探す	ない	若い–者を			
H3808	H5324	H7495	H3808	H7665	H1245	H3808	H5289			
ס	יְפָרֵק׃	וּפַרְסֵיהֶן	יֹאכֵל	הַבְּרִיאָה	וּבְשַׂר	יְכַלְכֵּל				
—	彼は–引き–裂く	そして–彼らの–蹄を	彼は–食べる	肥えた–者の	そして–肉を	彼は–養う				
	H6561	H6541	H0398	H1277	H1320	H3557				

見よ、わたしは地にひとりの牧者を起す。彼は滅ぼされる者を顧みず、迷える者を尋ねず、傷ついた者をいやさず、健やかな者を養わず、肥えた者の肉を食らい、そのひずめをさえ裂く者である。

וְעַל־	זְרוֹעוֹ	עַל־	חֶרֶב	הַצֹּאן	עֹזְבִי	הָאֱלִיל	רֹעִי	הוֹי		17
そして	彼の–腕に	—	剣よ	羊の–群れを	捨てる–者よ	空しい–者の	牧者よ	わざわいだ		
	H2220		H2719	H6629		H0457	H7473	H1945		
ס	תְּכֻהֶה׃	כָּהֹה	יְמִינוֹ	וְעֵין	תִּיבָשׁ	יָבוֹשׁ	זְרֹעוֹ	יְמִינוֹ	עֵין	
—	曇る	曇る	彼の–右の	そして–目は	干上がる	干上がる	彼の–腕は	彼の–右の	目に	
			H3225		H3001	H3001	H2220	H3225		

その羊の群れを捨てる愚かな牧者はわざわいだ。どうか、つるぎがその腕を撃ち、その右の目を撃つように。その腕は全く衰え、その右の目は全く見えなくなるように」。

Chapter 12

שָׁמַיִם	נֹטֶה	יְהוָה	נְאֻם־	יִשְׂרָאֵל	עַל־	יְהוָה	דְּבַר־	מַשָּׂא		1
天を	広げる–方	主	主の–御告げ	イスラエル	に–ついて	主の	言葉の	宣告		
H8064	H5186	H3068	H5002	H3478		H3068	H1697			
פ	בְּקִרְבּוֹ׃	אָדָם	רוּחַ־	וְיֹצֵר	אֶרֶץ	וְיֹסֵד				
—	その–内に	人の	霊を	そして–造る–方	地の	そして–基を–置く–方				
	H7130	H0120	H7307	H3335	H0776	H3245				

託宣 イスラエルについての主の言葉。すなわち天をのべ、地の基をすえ、人の霊をその中に造られた主は、こう仰せられる、

2 הִנֵּה אָנֹכִי שָׂם אֶת־יְרוּשָׁלַ‍ִם סַף־רַעַל לְכָל־הָעַמִּים סָבִיב
見よ わたしは する —と エルサレムを 杯–と よろめきの すべての 民に–対して 周囲の
H2009 H0595 H0853 H3389 H7478 H3605 H5439

וְגַם עַל־יְהוּדָה יִהְיֶה בַּמָּצוֹר עַל־יְרוּשָׁלָ‍ִם׃
そして–また に–対して ユダにも ある 包囲の–中に エルサレム
H1571 H3063 H1961 H4692 H3389

「見よ、わたしはエルサレムを、その周囲にあるすべての民をよろめかす杯にしようとしている。これはエルサレムの攻め囲まれる時、ユダにも及ぶ。

3 וְהָיָה בַּיּוֹם־הַהוּא אֶשִּׂים אֶת־יְרוּשָׁלַ‍ִם אֶבֶן מַעֲמָסָה לְכָל־הָעַמִּים
そして–なる その その–日に わたしは–する —と エルサレムを 石–と 重荷の すべての
H1961 H1931 H3117 H7760 H0853 H3389 H0068 H4614 H3605

כָּל־עֹמְסֶיהָ שָׂרוֹט יִשָּׂרְטוּ וְנֶאֱסְפוּ עָלֶיהָ כֹּל גּוֹיֵי הָאָרֶץ׃
それを–担ぐ–者は 傷を–受ける 彼らは–傷を–受ける そして–集まる それに–対して すべての 国々は 地の
H6006 H8295 H8295 H0622 H5921 H3605 H1471 H0776

その日には、わたしはエルサレムをすべての民に対して重い石とする。これを持ちあげる者はみな大傷を受ける。地の国々の民は皆集まって、これを攻める。

4 בַּיּוֹם הַהוּא נְאֻם־יְהוָה אַכֶּה כָל־סוּס בְּתִמָּהוֹן וְרֹכְבוֹ בַּשִּׁגָּעוֹן
その その–日に 主 主の–御告げ わたしは–打つ すべての 馬を 恐怒で そして–その–乗り手を 狂気で
H1931 H3117 H3068 H5002 H5221 H3605 H5483 H8541 H7392 H7697

וְעַל־בֵּית יְהוּדָה אֶפְקַח אֶת־עֵינַי וְכָל־סוּס הָעַמִּים אַכֶּה בְּעִוָּרוֹן׃
そして 家–に–対して ユダの わたしは–開く —を わたしの–目を そして–すべての 馬を 諸国民の わたしは–打つ 盲目で
H7225 H1004 H3063 H6491 H0853 H5869 H3605 H5483 H5971 H5221 H5787

主は言われる、その日には、わたしはすべての馬を撃って驚かせ、その乗り手を撃って狂わせる。しかし、もろもろの民の馬を、ことごとく撃って、めくらとするとき、ユダの家に対しては、わたしの目を開く。

5 וְאָמְרוּ אַלְפֵי יְהוּדָה בְּלִבָּם אַמְצָה לִי יֹשְׁבֵי
そして–言う 指導者たちは ユダの 彼らの–心の–中で 力で–ある わたしに 住む–者たちは
H0559 H0505 H3063 H3824 H0556 H0523 H3427

יְרוּשָׁלַ‍ִם בַּיהוָה צְבָאוֹת אֱלֹהֵיהֶם׃
エルサレムの に–あって 万軍の 彼らの–神
H3389 H3068 H6635 H0430

その時ユダの諸族は、その心の中に『エルサレムの住民は、その神、万軍の主によって力強くなった』と言う。

6 בַּיּוֹם הַהוּא אָשִׂים אֶת־אַלְפֵי יְהוּדָה כְּכִיּוֹר אֵשׁ בְּעֵצִים
その その–日に わたしは–する —を 指導者たちを ユダの 火–鉢の–ように 火の 薪の–中の
H1931 H3117 H7760 H0853 H0505 H3063 H3595 H0784 H6086

וְכִלַּפִּיד אֵשׁ בְּעֹמֶר וְאָכְלוּ עַל־יָמִין וְעַל־שְׂמֹאול אֶת־כָּל־הָעַמִּים סָבִיב
そして–松明の–ように 火の 束の–中の そして–食い–尽くす に 右と そして–に 左の —を すべての 民を 周囲の
H3940 H0784 H6016 H0398 H5921 H3225 H5921 H8040 H0853 H3605 H5971 H5439

וְיָשְׁבָה יְרוּשָׁלַ‍ִם עוֹד תַּחְתֶּיהָ בִּירוּשָׁלָ‍ִם׃ פ
そして–住む エルサレムは 再び その–場所に エルサレムに —
H3427 H3389 H5750 H8478 H3389 H6605

その日には、わたしはユダの諸族を、たきぎの中の火皿のようにし、麦束の中のたいまつのようにする。彼らは右に左に、その周囲にあるすべての民を、焼き滅ぼす。しかしエルサレムはなお、そのもとの所、すなわちエルサレムで、人の住む所となる。

7

תִּגְדַּל	לֹא־	לְמַעַן	בָּרִאשֹׁנָה	יְהוּדָה	אָהֳלֵי	אֶת־	יְהוָה	וְהוֹשִׁיעַ
大きく–なる	ない–ように	それは	まず–最初に	ユダの	天幕を	—	主は	そして–救う
H1431	H3808	H4616	H7223	H3063	H0168	H0853	H3068	H3467

יְהוּדָה׃	עַל־	יְרוּשָׁלִַם	יֹשֵׁב	וְתִפְאֶרֶת	דָּוִיד	בֵּית־	תִּפְאֶרֶת
ユダより	に–対して	エルサレムの	住む–者の	そして–栄光が	ダビデの	家の	栄光が
H3063		H3389	H3427	H8597	H1732		H8597

主はまずユダの幕屋を救われる。これはダビデの家の光栄と、エルサレムの住民の光栄とが、ユダの光栄にまさることのないようにするためである。

8

הַנִּכְשָׁל	וְהָיָה	יְרוּשָׁלִַם	יוֹשֵׁב	בְּעַד	יְהוָה	יָגֵן	הַהוּא	בַּיּוֹם
つまずく–者は	そして–なる	エルサレムの	住む–者を	の–ために	主は	守る	その	その–日に
H3782	H1961	H3389	H3427	H1157	H3068	H1598	H1931	H3117

כֵּאלֹהִים	דָּוִיד	וּבֵית	כְּדָוִיד	הַהוּא	בַּיּוֹם	בָּהֶם
神の–ように	ダビデの	そして–家は	ダビデの–ように	その	その–日に	彼らの–中で
H0430	H1732		H1732	H1931	H3117	

לִפְנֵיהֶם׃	יְהוָה	כְּמַלְאַךְ
彼らの–前に	主の	主の–御使いの–ように
H6440	H3068	H4397

その日、主はエルサレムの住民を守られる。彼らの中の弱い者も、その日には、ダビデのようになる。またダビデの家は神のように、彼らに先だつ主の使のようになる。

9

הַגּוֹיִם	כָּל־	אֶת־	לְהַשְׁמִיד	אְבַקֵּשׁ	הַהוּא	בַּיּוֹם	וְהָיָה
国々を	すべての	—	滅ぼす–ことを	わたしは–求める	その	その–日に	そして–なる
H3605	H0853	H8045	H1245	H1931	H3117	H1961	

יְרוּשָׁלִַם׃	עַל־	הַבָּאִים
エルサレム	に–対して	来る–者たちを
H3389		H0935

その日には、わたしはエルサレムに攻めて来る国民を、ことごとく滅ぼそうと努める。

10

רוּחַ	יְרוּשָׁלִַם	יוֹשֵׁב	וְעַל	דָּוִיד	בֵּית	עַל־	וְשָׁפַכְתִּי	
霊を	エルサレムの	住む–者の	そして–の–上に	ダビデの	家	の–上に	そして–わたしは–注ぐ	
H7307	H3389	H3427		H1732			H8210	

וְסָפְדוּ	דָּקָרוּ	אֲשֶׁר־	אֵת	אֵלַי	וְהִבִּיטוּ	וְתַחֲנוּנִים	חֵן
そして–嘆く	刺し–貫いた–者を	彼らが	—	わたしを	そして–彼らは–見る	そして–嘆願の	恩寵の
H5594	H1856		H0853	H0413	H5027	H8469	H2580

כְּהָמֵר	עָלָיו	וְהָמֵר	הַיָּחִיד	עַל־	כְּמִסְפֵּד	עָלָיו
激しく–泣く–ように	彼の–ために	そして–激しく–泣く	独り子	の–ための	嘆きの–ように	彼の–ために
H4843		H4843	H3173		H5594	

הַבְּכוֹר׃	עַל־
初子	の–ために
H1060	

わたしはダビデの家およびエルサレムの住民に、恵みと祈の霊とを注ぐ。彼らはその刺した者を見る時、ひとり子のために嘆くように彼のために嘆き、ういごのために悲しむように、彼のためにいたく悲しむ。

11 בַּיּוֹם הַהוּא יִגְדַּל הַמִּסְפֵּד בִּירוּשָׁלִַם כְּמִסְפַּד הֲדַדְ־רִמּוֹן בְּבִקְעַת מְגִדּוֹן׃

בַּיּוֹם	הַהוּא	יִגְדַּל	הַמִּסְפֵּד	בִּירוּשָׁלִַם	כְּמִסְפַּד	הֲדַדְ־	רִמּוֹן	בְּבִקְעַת	מְגִדּוֹן׃
その–日に	その	大きく–なる	嘆きは	エルサレムに–おいて	嘆きの–ように	ハダド・	リモンの	平野に–おける	メギドの
H3117	H1931	H1431	H4553	H3389	H4553	H1910	H1910	H1237	H4023

その日には、エルサレムの嘆きは、メギドの平野にあったハダデ・リンモンのための嘆きのように大きい。

12 וְסָפְדָה הָאָרֶץ מִשְׁפָּחוֹת מִשְׁפָּחוֹת לְבָד לְבָד מִשְׁפַּחַת בֵּית־דָּוִיד לְבָד וְנָשֵׁיהֶם׃ לְבָד נָתָן בֵּית־מִשְׁפַּחַת לְבָד וְנָשֵׁיהֶם׃

וְסָפְדָה	הָאָרֶץ	מִשְׁפָּחוֹת	מִשְׁפָּחוֹת	לְבָד	מִשְׁפַּחַת	בֵּית־	דָּוִיד	לְבָד	וְנָשֵׁיהֶם׃	לְבָד	נָתָן	בֵּית־	מִשְׁפַּחַת	לְבָד	וְנָשֵׁיהֶם׃
そして–嘆く	地は	氏族ごとに	氏族ごとに	別々に	氏族は	家の	ダビデの	別々に	そして–彼らの–妻たちは	別々に	ナタンの	家の	氏族は	別々に	そして–彼らの–妻たちは
H5594	H0776	H4940	H4940	H0905	H4940		H1732	H0905	H0802	H0905	H5416		H4940	H0905	H0802

国じゅう、氏族おのおの別れて嘆く。すなわちダビデの家の氏族は別れて嘆き、その妻たちも別れて嘆く。ナタンの家の氏族は別れて嘆き、その妻たちも別れて嘆く。

13 לְבָד מִשְׁפַּחַת לְבָד וְנָשֵׁיהֶם׃ לְבָד לֵוִי בֵּית־מִשְׁפַּחַת לְבָד וְנָשֵׁיהֶם׃

לְבָד	הַשִּׁמְעִי	מִשְׁפָּחַת	לְבָד	וְנָשֵׁיהֶם׃	לְבָד	לֵוִי	בֵּית־	מִשְׁפַּחַת	לְבָד	וְנָשֵׁיהֶם׃
別々に	シメイの	氏族は	別々に	そして–彼らの–妻たちは	別々に	レビの	家の	氏族は	別々に	そして–彼らの–妻たちは
H0905	H8097	H4940	H0905	H0802	H0905	H3878		H4940	H0905	H0802

レビの家の氏族は別れて嘆き、その妻たちも別れて嘆く。シメイの氏族は別れて嘆き、その妻たちも別れて嘆く。

14 כֹּל הַמִּשְׁפָּחוֹת הַנִּשְׁאָרוֹת מִשְׁפָּחֹת מִשְׁפָּחֹת לְבָד לְבָד וְנָשֵׁיהֶם׃ ס

כֹּל	הַמִּשְׁפָּחוֹת	הַנִּשְׁאָרוֹת	מִשְׁפָּחֹת	מִשְׁפָּחֹת	לְבָד	לְבָד	וְנָשֵׁיהֶם׃		
すべての	氏族は	残りの	氏族ごとに	氏族ごとに	別々に	別々に	そして–彼らの–妻たちは		
H3605	H4940	H7604	H4940	H4940	H0905	H0905	H0802		

その他の氏族も皆別れて嘆き、その妻たちも別れて嘆くのである。

Chapter 13

1 בַּיּוֹם הַהוּא יִהְיֶה מָקוֹר נִפְתָּח לְבֵית דָּוִיד וְלִישְׁבֵי יְרוּשָׁלִַם לְחַטָּאת וּלְנִדָּה׃

בַּיּוֹם	הַהוּא	יִהְיֶה	מָקוֹר	נִפְתָּח	לְבֵית	דָּוִיד	וְלִישְׁבֵי	יְרוּשָׁלִַם	לְחַטָּאת	וּלְנִדָּה׃
その–日に	その	ある	泉が	開かれた	家の–ために	ダビデの	そして–住む–者の–ために	エルサレムの	罪の–ためと	そして–汚れの–ため
H3117	H1931	H1961	H4726			H1732	H3427	H3389		H5079

その日には、罪と汚れとを清める一つの泉が、ダビデの家とエルサレムの住民とのために開かれる。

2

וְהָיָה בַּיּוֹם הַהוּא נְאֻם יְהוָה צְבָאוֹת אַכְרִית אֶת־שְׁמוֹת
そして-なる その-日に その 主の-御告げ 主 万軍の わたしは-断つ —
H1961 H3117 H1931 H5002 H3068 H6091 H0853 名を
H8034

הָעֲצַבִּים וְלֹא יִזָּכְרוּ עוֹד וְגַם אֶת־הַנְּבִיאִים רוּחַ הַטֻּמְאָה אַעֲבִיר מִן־הָאָרֶץ׃
偶像の 地 から そして-ない 思い-出される もはや そして-また —
H6091 H0776 H4480 H3808 H2142 H5750 H1571 H0853 偵預言者たちを
H5030

וְאִתָּ
そして
H0853

万軍の主は言われる、その日には、わたしは地から偶像の名を取り除き、重ねて人に覚えられることのないようにする。わたしはまた預言者および汚れの霊を、地から去らせる。

3

וְהָיָה כִּי־יִנָּבֵא אִישׁ עוֹד וְאָמְרוּ אֵלָיו אָבִיו וְאִמּוֹ
そして-なる もし 預言する-なら 人が なお そして-言う 彼に 彼の-父と そして-彼の-母と
H1961 H3588 H5012 H0376 H5750 H0559 H0413 H0001 H0517

יְהוָה בְּשֵׁם וְדִקְּרוּ אָבִיו וְאִמּוֹ יְלִדָיו בְּהִנָּבְאוֹ׃
主 の-名に-おいて お前は-語った 偽りを なぜなら お前は-生きる ない 彼を-生んだ-者たちが 彼が-預言する-時に 彼を-生んだ-者たちが そして-彼の-母が 彼の-父と そして-刺す
H3068 H8034 H1696 H8267 H3588 H2421 H3808 H3205 H5012 H3205 H0517 H0001 H1856

もし、人が今後預言するならば、その産みの父母はこれにむかって、『あなたは主の名をもって偽りを語るゆえ、生きていることができない』と言い、その産みの父母は彼が預言している時、彼を刺すであろう。

4

וְהָיָה בַּיּוֹם הַהוּא יֵבֹשׁוּ הַנְּבִיאִים אִישׁ מֵחֶזְיֹנוֹ בְּהִנָּבְאֹתָו
そして-なる その-日に その 恥じる 預言者たちは 各々が 彼の-幻を 彼が-預言する-時に
H1961 H3117 H1931 H0954 H5030 H0376 H2384 H5012

וְלֹא יִלְבְּשׁוּ אַדֶּרֶת שֵׂעָר לְמַעַן כַּחֵשׁ׃
そして-ない 彼らは-着る 外套を 毛の 欺く-ために 偽る
H3808 H3847 H0155 H8181 H4616 H3584

その日には、預言者たちは皆預言する時、その幻を恥じる。また人を欺くための毛の上着を着ない。

5

וְאָמַר לֹא נָבִיא אָנֹכִי אִישׁ־עֹבֵד אֲדָמָה כִּי אָדָם הִקְנָנִי מִנְּעוּרָי׃
そして-彼は-言う ない 預言者では わたしは 人で-ある 耕す 土地を なぜなら 人が 買った 若い-時から
H0559 H3808 H5030 H0595 H0376 H5647 H0127 H3588 H0120 H7069 H4480 H5271

そして『わたしは預言者ではない、わたしは土地を耕す者だ。若い時から土地を持っている』と言う。

6

וְאָמַר אֵלָיו מָה הַמַּכּוֹת הָאֵלֶּה בֵּין יָדֶיךָ וְאָמַר אֲשֶׁר
そして-言う 彼に 何か 傷は これらの の-間に-ある お前の-手 そして-彼は-言う それは
H0559 H0413 H4100 H4347 H0428 H0996 H3027 H0559 H0834

הֻכֵּיתִי בֵּית מְאַהֲבָי׃ ס
わたしが-打たれた 家に-おいて わたしを-愛する-者たちの —
H5221 H1004 H0157

もし、人が彼に『あなたの背中の傷は何か』と尋ねるならば、『これはわたしの友だちの家で受けた傷だ』と、彼は言うであろう」。

7 חֶרֶב עוּרִי עַל־ רֹעִי וְעַל־ גֶּבֶר עֲמִיתִי
剣よ 目覚めよ に−対して わたしの−牧者よ そして−に−対して 人よ わたしの−仲間の
H2719 H5782 H5921 H7462 H5921 H1397 H5997

נְאֻם יְהוָה צְבָאוֹת הַךְ אֶת־ הָרֹעֶה וּתְפוּצֶיָן וַהֲשִׁבֹתִי
主の−御告げ 主 万軍の 打て ― 牧者を そして−散る そして−わたしは−向ける
H5002 H3068 H6635 H5221 H853 H7462 H6327 H7725

הַצֹּעֲרִים׃ עַל־ יָדִי
小さい−者たち に−対して わたしの−手を
H6819 H5921 H3027

万軍の主は言われる、「つるぎよ、立ち上がってわが牧者を攻めよ。わたしの次に立つ人を攻めよ。牧者を撃て、その羊は散る。わたしは手をかえして、小さい者どもを攻める。

8 וְהָיָה בְּכָל־ הָאָרֶץ נְאֻם־ יְהוָה פִּי־ שְׁנַיִם בָּהּ יִכָּרְתוּ
そして−なる 全−地に−おいて 地の 主の−御告げ 三分の 二は その−中で 断たれる
H1961 H3605 H776 H5002 H3068 H6310 H8147 H1931 H3772

וְהַשְּׁלִשִׁית בָּהּ׃ יִוָּתֵר יִגְוְעוּ
そして−三分の−一は その−中に 残る 死ぬ
H7992 H1931 H3498 H1478

主は言われる、全地の人の三分の二は断たれて死に、三分の一は生き残る。

9 וְהֵבֵאתִי אֶת־ הַשְּׁלִשִׁית בָּאֵשׁ וּצְרַפְתִּים כִּצְרֹף
そして−わたしは−導く ― 三分の−一を 火の−中に そして−わたしは−精錬する 精錬する−ように
H0935 H0853 H7992 H0784 H6884 H6884

כְּבְחַן וּבְחַנְתִּים כַּכֶּסֶף אֶת־ וְהוּא הַזָּהָב אֶת־ יִקְרָא בִּשְׁמִי
試す−ように そして−わたしは−試す 銀を ― 彼は 金を ― 呼ぶ わたしの−名を
H0974 H0974 H3701 H0853 H1931 H2091 H0853 H7121 H8034

וְהוּא יֹאמַר עַמִּי הוּא וְאָמַר אֹתוֹ אֶעֱנֶה וַאֲנִי
そして−彼は 言う わたしの−民で−ある−と 彼は そして−わたしは 彼に 答える そして−わたしは
H1931 H0559 H5971 H1931 H0559 H0853 H6030 H0589

ס אֱלֹהָי׃ יְהוָה
― わたしの−神−で−ある−と 主は
H0430 H3068

わたしはこの三分の一を火の中に入れ、銀をふき分けるように、これをふき分け、金を精錬するように、これを精錬する。彼らはわたしの名を呼び、わたしは彼らに答える。わたしは『彼らはわが民である』と言い、彼らは『主はわが神である』と言う」。

Chapter 14

1 הִנֵּה יוֹם־ בָּא לַיהוָה וְחֻלַּק שְׁלָלֵךְ בְּקִרְבֵּךְ׃
見よ 日が 来る 主の そして−分けられる お前の−戦利品が お前の−中で
H2009 H3117 H0935 H3068 H2505 H7998 H7130

見よ、主の日が来る。その時あなたの奪われた物は、あなたの中で分かたれる。

2

וְאָסַפְתִּי אֶת־כָּל־הַגּוֹיִם אֶל־יְרוּשָׁלַ͏ִם לַמִּלְחָמָה
そして–わたしは–集める を–すべての 国々を へ エルサレムに 戦いの–ために
H0622 H0853 H3605 H0413 H3389 H4421

וְנִלְכְּדָה הָעִיר וְנָשַׁסּוּ הַבָּתִּים וְהַנָּשִׁים תשגלנה[ ]תִּשְׁכַּבְנָה(
そして–取られる 都は そして–略奪される 家々は そして–女たちは ― 犯される
H3920 H0802 H8155 H0802 H7693 H7901

וְיָצָא חֲצִי הָעִיר בַּגּוֹלָה וְיֶתֶר הָעָם לֹא יִכָּרֵת מִן־
そして–出て–行く 半分は 都の 捕囚と–なって そして–残りの 民は ない 断たれる から
H3318 H2677 H0802 H1473 H3808 H3772

הָעִיר׃
都
H5892

わたしは万国の民を集めて、エルサレムを攻め撃たせる。町は取られ、家はかすめられ、女は犯され、町の半ばは捕えられて行く。しかし残りの民は町から断たれることはない。

3

וְיָצָא יְהוָה וְנִלְחַם בַּגּוֹיִם הָהֵם כְּיוֹם הִלָּחֲמוֹ בְּיוֹם
そして–出て–行く 主は そして–戦う 国々と それらの 日の–ように 戦った 日の–ように
H3318 H3068 H1992 H3117 H3117

קְרָב׃
戦いの
H7128

その時、主は出てきて、いくさの日にみずから戦われる時のように、それらの国びとと戦われる。

4

וְעָמְדוּ רַגְלָיו בַּיּוֹם־הַהוּא עַל־הַר הַזֵּיתִים אֲשֶׁר
そして–立つ その–足は その–日に の–上に 山 オリーブの それは
H5975 H7272 H3117 H1931 H2022 H2132

עַל־פְּנֵי יְרוּשָׁלַ͏ִם מִקֶּדֶם וְנִבְקַע הַר הַזֵּיתִים מֶחֱצִיו מִזְרָחָה
の–前に–ある エルサレムの 東から そして–裂ける 山は オリーブの その–半分から 東へと
H6440 H3389 H6924 H1234 H2022 H2132 H2677 H4217

וְחֶצְיוֹ־צָפוֹנָה וְהָהָר חֲצִי וּמָשׁ מְאֹד גְּדוֹלָה גֵּיא וְנָיָסָה
そして–その–半分は 北へと 山の 半分は そして–動く 非常に 大きな 谷は そして–西へと
H2677 H6828 H2022 H2677 H4185 H3966 H1516 H3220

נֶגְבָּה׃
南へと
H5045

その日には彼の足が、東の方エルサレムの前にあるオリブ山の上に立つ。そしてオリブ山は、非常に広い一つの谷によって、東から西に二つに裂け、その山の半ばは北に、半ばは南に移り、

5

אֶל־	הָרִים׀	גֵּי־	יַגִּיעַ	כִּי־	הָרֵי	גָיְא־	וְנַסְתֶּם
へ	山々の	谷–は	山の–谷は–届く	なぜなら	わたしの–山の	谷–へ	そして–お前たちは–逃げる
H0413	H2022	H1516	H5060		H2022	H1516	H5127

הָרַעַשׁ	מִפְּנֵי	נַסְתֶּם׀	כַּאֲשֶׁר	וְנַסְתֶּם		אָצַל׃
地震	の–前から	お前たちが–逃げた–ように	ちょうど	そして–お前たちは–逃げる		アツァルまで
H7494	H6440	H5127		H5127		

קְדֹשִׁים	כָּל־	אֱלֹהַי	יְהוָה	וּבָא	יְהוּדָה	מֶלֶךְ־	עֻזִּיָּה	בִּימֵי
聖なる–者たちと	すべての	わたしの–神が	主が	そして–来る	ユダの	王の	ウジヤ	の–日に
H6918	H3605	H0430	H3068	H0935	H3063	H4428	H5818	H3117

עִמָּךְ׃
お前と–共に

わが山の谷はふさがれる。裂けた山の谷が、そのかたわらに接触するからである。そして、あなたがたはユダの王ウジヤの世に、地震を避けて逃げたように逃げる。こうして、あなたがたの神、主はこられる、もろもろの聖者と共にこられる。

6

וְקִפָּאוֹן׃)	]יִקְפָּאוֹן[	יִקָּרוֹת	אוֹר	יִהְיֶה	לֹא־	הַהוּא	בַּיּוֹם	וְהָיָה
凍る	―	貴い–ものは	光は	ある	ない	その	その–日に	そして–なる
		H3368	H0216	H1961	H3808	H1931	H3117	H1961

その日には、寒さも霜もない。

7

לָיְלָה	וְלֹא־	יוֹם	לֹא־	לַיהוָה	יִוָּדֵעַ	הִוא	אֶחָד	יוֹם־	וְהָיָה
夜でも	そして–ない	昼でも	ない	主に	知られて–いる	それは	一つの	日が	そして–ある
H3915	H3808	H3117	H3808	H3068	H3045	H1931	H0259	H3117	H1961

אוֹר׃	יִהְיֶה־	עֶרֶב	לְעֵת־	וְהָיָה
光が	ある	夕べ	の–時に	そして–なる
H0216	H1961	H6153	H6256	H1961

そこには長い連続した日がある（主はこれを知られる）。これには昼もなく、夜もない。夕暮になっても、光があるからである。

8

אֶל־	חֲצִיָם	מִירוּשָׁלַ͏ִם	חַיִּים	מַיִם־	יֵצְאוּ	הַהוּא	בַּיּוֹם	וְהָיָה
へ	その–半分は	エルサレムから	生きた	水が	出て–行く	その	その–日に	そして–なる
H0413	H2677	H3389		H4325	H3318	H1931	H3117	H1961

יִהְיֶה׃	וּבְחֹרֶף	בַּקַּיִץ	הָאַחֲרוֹן	הַיָּם	אֶל־	וְחֶצְיָם	הַקַּדְמוֹנִי	הַיָּם
ある	そして–冬にも	夏にも	西の	海	へ	そして–その–半分は	東の	海
H1961	H2779	H7019	H0314	H3220	H0413	H2677	H6931	H3220

その日には、生ける水がエルサレムから流れ出て、その半ばは東の海に、その半ばは西の海に流れ、夏も冬もやむことがない。

9

אֶחָד	יְהוָה	יִהְיֶה	הַהוּא	בַּיּוֹם	הָאָרֶץ	כָּל־	עַל־	לְמֶלֶךְ	יְהוָה	וְהָיָה
唯一	主は	ある	その	その–日に	地	すべての	の–上に	王と	主は	そして–なる
H0259	H3068	H1961	H1931	H3117	H0776	H3605		H4428	H3068	H1961

וּשְׁמוֹ	אֶחָד׃
そして–その–名は	唯一
H8034	H0259

主は全地の王となられる。その日には、主ひとり、その名一つのみとなる。

10

יְרוּשָׁלָ֑͏ִם	נֶ֙גֶב֙	לְרִמּ֔וֹן	מִגָּבַ֖ע	כָּעֲרָבָ֑ה	הָאָ֣רֶץ	כֹּל־	יִסּ֗וֹב	
エルサレムの	南の	リモンまで	ゲバから	平野の–ように	地の	全–地は	変わる	
H3389	H5045		H1387	H6160	H0776	H3605	H5437	

שָׁעַ֔ר	מְקוֹם֙	עַד־	בִּנְיָמִ֔ן	לְמִשְׁעַ֖ר	תַּחְתִּיָּ֑ה	וְיָשְׁבָ֣ה	וְרָאֲמָ֔ה
門の	場所	の–場所まで	ベニヤミンの	の–門から	その–場所に	そして–住む	そして–高められる
H8179	H4725	H5704	H1144	H8179	H8478	H3427	H7213

הַמֶּ֖לֶךְ׃	יִקְבֵ֥י	עַד֙	חֲנַנְאֵ֔ל	וּמִגְדָּ֖ל	הַפִּנּ֑וֹת	שַׁ֣עַר	עַד־	הָרִאשׁ֔וֹן
王の	ぶどう–酒–絞り場の	まで	ハナンエルの	そして–塔の	角の	門	の–場所まで	最初の
H4428	H3342	H5704	H2606	H4026	H6434	H8179	H5704	H7223

全地はゲバからエルサレムの南リンモンまで、平地のように変る。しかしエルサレムは高くなって、そのもとの所にとどまり、ベニヤミンの門から、先にあった門の所に及び、隅の門に至り、ハナネルのやぐらから、王の酒ぶねにまで及ぶ。

11

לָבֶ֥טַח׃	יְרוּשָׁלַ֖͏ִם	וְיָשְׁבָ֣ה	עוֹד֙	יִֽהְיֶ֔ה־	לֹ֣א	וְחֵ֖רֶם	בָּ֑הּ	וְיָשְׁב֥וּ
安全に	エルサレムは	そして–住む	もはや	ある	ない	そして–滅びは	その–中に	そして–住む
H0983	H3389	H3427	H5750	H1961	H3808			H3427

その中には人が住み、もはやのろいはなく、エルサレムは安らかに立つ。

12

אֲשֶׁ֣ר	הָעַמִּ֗ים	כָּל־	אֶת־	יְהוָה֙	יִגַּ֣ף	אֲשֶׁ֤ר	הַמַּגֵּפָ֔ה	תִּֽהְיֶ֖ה	וְזֹ֣את
それらの	民を	すべての	—	主が	主が–打つ	それで	疫病が	ある	そして–これが
		H3605	H0853	H3068	H5062		H4046	H1961	H2063

רַגְלָ֑יו	עַל־	עֹמֵ֣ד	וְהוּא֙	בְּשָׂרֹ֔ו	וְהַמַּ֖ק	יְרוּשָׁלַ֣͏ִם	עַל־	צָבְא֥וּ
彼の–足	の–上に	立って–いる	そして–彼は	彼の–肉は	溶ける	エルサレム	に–対して	戦った
H7272		H5975	H1931	H1320	H4743	H3389		H6633

בְּפִיהֶ֑ם׃	תִּמַּ֣ק	וּלְשׁוֹנ֔וֹ	בְּחֹרֵיהֶ֖ן	תִּמַּ֣קְנָה	וְעֵינָ֔יו
彼の–口の–中で	溶ける	そして–彼の–舌は	その–穴の–中で	溶ける	そして–彼の–目は
H6310	H4743	H3956	H2356	H4743	

エルサレムを攻撃したもろもろの民を、主は災をもって撃たれる。すなわち彼らはなお足で立っているうちに、その肉は腐れ、目はその穴の中で腐れ、舌はその口の中で腐れる。

13

וְהֶחֱזִ֣יקוּ	בָהֶ֗ם	רַבָּ֤ה	יְהוָה֙	מְהוּמַ֣ת־	תִּֽהְיֶ֔ה	הַה֥וּא	בַּיּ֖וֹם	וְהָיָ֣ה
そして–つかむ	彼らの–中に	大きな	主の	混乱が	ある	その	その–日に	そして–なる
H2388			H3068	H4103	H1961	H1931	H3117	H1961

רֵעֵ֑הוּ׃	יַ֣ד	עַל־	יָדֹ֔ו	וְעָלְתָ֖ה	רֵעֵ֥הוּ	יַ֛ד	אִ֥ישׁ
その–隣人の	手の	に–対して	彼の–手が	そして–上がる	その–隣人の	手を	各々が
H7453	H3027		H3027	H5927	H7453	H3027	H0376

その日には、主は彼らを大いにあわてさせられるので、彼らはおのおのその隣り人を捕え、手をあげてその隣り人を攻める。

14

הַגּוֹיִ֣ם	כָּל־	חַ֤יִל	וְאֻסַּף֙	בִּירוּשָׁלַ֔͏ִם	תִּלָּחֵ֖ם	יְהוּדָ֣ה	גַּם־	וְ
国々の	すべての	富は	そして–集められる	エルサレムに–おいて	戦う	ユダも	そして–また	
	H3605	H2428	H0622	H3389		H3063	H1571	

מְאֹֽד׃	לָרֹ֑ב	וּבְגָדִ֖ים	וְכֶ֣סֶף	זָהָ֗ב	סָבִ֔יב
非常に	大量に	そして–衣服が	そして–銀と	金と	周囲の
H3966	H7230		H3701	H2091	H5439

ユダもまた、エルサレムに敵して戦う。その周囲のすべての国びとの財宝、すなわち金銀、衣服などが、はなはだ多く集められる。

15

וְכֵן תִּהְיֶה מַגֵּפַת הַסּוּס הַפֶּרֶד הַגָּמָל וְהַחֲמוֹר וְכָל־
そして–同じように ある 疫病が 馬の 騾馬の 駱駝の そして–ろばの そして–すべての
H3605 H2543 H1581 H6505 H4046 H1961

הַבְּהֵמָה אֲשֶׁר יִהְיֶה בַּמַּחֲנוֹת הָהֵמָּה כַּמַּגֵּפָה הַזֹּאת׃
家畜の それらの ある 陣営の–中に それらの この–疫病の–ように この
H0929 H1961 H4264 H1992 H4046 H2063

また馬、騾、らくだ、ろば、およびその陣営にあるすべての家畜にも、この災のような災が臨む。

16

וְהָיָה כָּל־הַנּוֹתָר מִכָּל־הַגּוֹיִם הַבָּאִים עַל־יְרוּשָׁלָ͏ִם
そして–なる すべての 残る–者は すべての–中から 国々の 来た に–対して エルサレム
H1961 H3605 H3498 H3605 H0935 H3389

וְעָלוּ מִדֵּי שָׁנָה בְשָׁנָה לְהִשְׁתַּחֲוֹת לְמֶלֶךְ יְהוָה צְבָאוֹת וְלָחֹג
そして–上る 毎年 年ごとに 年ごとに 礼拝する–ために 王に 主 万軍の そして–祝う–ために
H5927 H1767 H8141 H8141 H7812 H4428 H3068 H6635 H2287

אֶת־חַג הַסֻּכּוֹת׃
— 祭りを 仮庵の
H0853 H2282 H5521

エルサレムに攻めて来たもろもろの国びとの残った者は、皆年々上って来て、王なる万軍の主を拝み、仮庵の祭を守るようになる。

17

וְהָיָה אֲשֶׁר לֹא־יַעֲלֶה מִמִּשְׁפְּחוֹת הָאָרֶץ אֶל־יְרוּשָׁלַ͏ִם
そして–なる それらの ない 上る–なら から 氏族の 地の へ エルサレム
H1961 H3808 H5927 H0854 H4940 H0776 H0413 H3389

לְהִשְׁתַּחֲוֹת לְמֶלֶךְ יְהוָה צְבָאוֹת וְלֹא עֲלֵיהֶם יִהְיֶה הַגָּשֶׁם׃
礼拝する–ために 王に 主 万軍の そして–ない 彼らの–上に ある 雨は
H7812 H4428 H3068 H6635 H3808 H5921 H1961 H1653

地の諸族のうち、王なる万軍の主を拝むために、エルサレムに上らない者の上には、雨が降らない。

18

וְאִם־מִשְׁפַּחַת מִצְרַיִם לֹא־תַעֲלֶה וְלֹא בָאָה וְלֹא עָלוּ
そして–もし 氏族が エジプトの ない 上る–なら そして–ない 来る–なら そして–ない 上る
H3808 H4940 H4714 H3808 H5927 H0935 H3808 H5927

לֹא אֲשֶׁר יִהְיֶה עֲלֵיהֶם הַמַּגֵּפָה אֲשֶׁר יִגֹּף יְהוָה אֶת־הַגּוֹיִם אֲשֶׁר לֹא־יַעֲלוּ
ない それらの 国々を — 主が 主が–打つ それで 疫病が ある 彼らの–上に 上る
H3808 H5927 H0853 H3068 H5062 H4046 H1961

לָחֹג אֶת־חַג הַסֻּכּוֹת׃
祝う–ために — 祭りを 仮庵の
H2287 H0853 H2282 H5521

エジプトの人々が、もし上ってこない時には、主が仮庵の祭を守るために、上ってこないすべての国びとを撃たれるその災が、彼らの上に臨む。

19

זֹאת תִּהְיֶה חַטַּאת מִצְרַיִם וְחַטַּאת כָּל־הַגּוֹיִם אֲשֶׁר לֹא־יַעֲלוּ
これが ある 罪が エジプトの そして–罪が すべての 国々の それらの ない 上る
H2063 H1961 H2403 H4714 H2403 H3605 H1471 H3808 H5927

לָחֹג אֶת־חַג הַסֻּכּוֹת׃
祝う–ために — 祭りを 仮庵の
H2287 H0853 H2282 H5521

これが、エジプトびとの受ける罰、およびすべて仮庵の祭を守るために上ってこない国びとの受ける罰である。

20 בַּיּוֹם הַהוּא יִהְיֶה עַל־ מְצִלּוֹת הַסּוּס קֹדֶשׁ לַיהוָה וְהָיָה הַסִּירוֹת
その–日に その 在る の–上に 鈴に 馬の 聖なる–と 主に そして–なる 鍋は
H3117 H1931 H1961 H4698 H6944 H3068 H1961

בְּבֵית יְהוָה כַּמִּזְרָקִים לִפְנֵי הַמִּזְבֵּחַ׃
家の–中の 主の 鉢の–ように の–前の 祭壇
H3063 H3068 H4219 H6440 H4196

その日には、馬の鈴の上に「主に聖なる者」と、しるすのである。また主の宮のなべは、祭壇の前の鉢のように、聖なる物となる。

21 וְהָיָה כָּל־ סִיר בִּירוּשָׁלַ͏ִם וּבִיהוּדָה קֹדֶשׁ לַיהוָה צְבָאוֹת
そして–なる すべての 鍋は エルサレムの–中の そして–ユダの–中の 聖なる–と 主に 万軍の
H1961 H3605 H3389 H3063 H6944 H3068 H6635

וּבָאוּ כָּל־ הַזֹּבְחִים וְלָקְחוּ מֵהֶם וּבִשְּׁלוּ בָהֶם
そして–来る すべての 犠牲を–ささげる–者たちは そして–取る それらから そして–煮る それらで
H0935 H3605 H2076 H3947 H1992 H1310 H1992

וְלֹא־ יִהְיֶה כְנַעֲנִי עוֹד בְּבֵית־ יְהוָה צְבָאוֹת בַּיּוֹם הַהוּא׃
そして–ない ある 商人は もはや 家の–中に 主 万軍の その–日に その
H3808 H1961 H3669 H5750 H1004 H3068 H6635 H3117 H1931

Malachi

Chapter 1

1 מַשָּׂא דְּבַר־ יְהוָה אֶל־ יִשְׂרָאֵל בְּיַד מַלְאָכִי׃
宣告 言葉の 主の へ イスラエル の–手に–よる マラキ
H4401 H3027 H3478 H0413 H3068 H1697

マラキによってイスラエルに臨んだ主の言葉の託宣。

2 אָהַבְתִּי אֶתְכֶם אָמַר יְהוָה וַאֲמַרְתֶּם בַּמֶּה
わたしは–愛した お前たちを 言った 主は そして–お前たちは–言う どのように
H0157 H0853 H0559 H3068 H0559 H4100

אָהַבְתָּנוּ אֵת־ עֵשָׂו הֲלוֹא־ נְאֻם־ יְהוָה
あなたは–愛したのか–と では–ない–か 兄で–あった エサウは 主の–御告げ 主
H0157 H0251 H3808 H6215 H5002 H3068

וְאֶת־ יַעֲקֹב׃ אָהָב אֵת־ לְיַעֲקֹב
そして–わたしは–愛した ―― ヤコブを ヤコブに–対して
H0157 H0853 H3290 H3290

主は言われる、「わたしはあなたがたを愛した」と。ところがあなたがたは言う、「あなたはどんなふうに、われわれを愛されたか」。主は言われる、「エサウはヤコブの兄ではないか。しかしわたしはヤコブを愛し、

3 וְאֶת־ וְאֵת עֵשָׂו שָׂנֵאתִי וָאֶשִׂים אֶת־ הָרָיו שְׁמָמָה
そして 荒れ地と 彼の–山々を ―― そして–わたしは–した わたしは–憎んだ エサウを そして
H0853 H2022 H0853 H8130 H6215 H0853

מִדְבָּר׃ לְתַנּוֹת נַחֲלָתוֹ
荒野の 荒野の–山犬の–ために 彼の–相続地を
H8568 H5159

エサウを憎んだ。かつ、わたしは彼の山地を荒し、その嗣業を荒野の山犬に与えた」。

4 וְנִבְנֶה כִּי־ תֹאמַר אֱדוֹם הֲרֻשָּׁשְׁנוּ וְנָשׁוּב
そして–我々は–建てる もし 言う–なら エドムが 我々は–打ち–砕かれた そして–我々は–帰る
H1129 H0559 H0123 H7567 H7725

וְקָרְאוּ כֹּה אָמַר יְהוָה צְבָאוֹת הֵמָּה יִבְנוּ וַאֲנִי אֶהֱרוֹס
そして–呼ぶ このように 言った 主 万軍の 彼らは 建てる しかし–わたしは 壊す
H7121 H3541 H0559 H3068 H6635 H1992 H1129 H0589 H2040

עַד־ יְהוָה זַעַם אֲשֶׁר־ וְהָעָם רִשְׁעָה גְּבוּל לָהֶם וְקָרְאוּ
いつまでも 主が 主が–怒った それらの そして–民–と 悪の 領土–と 彼らを そして–呼ぶ
H5704 H3068 H2194 H5971 H7564 H1366 H0

עוֹלָם׃
永遠に
H5769

もしエドムが「われわれは滅ぼされたけれども、荒れた所を再び建てる」と言うならば、万軍の主は「彼らは建てるかもしれない。しかしわたしはそれを倒す。人々は、彼らを悪しき国ととなえ、とこしえに主の怒りをうける民ととなえる」と言われる。

5

וְעֵינֵיכֶם תִּרְאֶינָה וְאַתֶּם תֹּאמְרוּ יִגְדַּל יְהוָה מֵעַל
そして–お前たちの–目が 見る そして–お前たちは 言う 大きい–と 主は の–向こうに
H7200 H0559 H1431 H3068

לִגְבוּל יִשְׂרָאֵל׃
領土を–越えて イスラエルの
H1366 H3478

あなたがたの目はこれを見て、「主はイスラエルの境を越えて大いなる神である」と言うであろう。

6

בֵּן יְכַבֵּד אָב וְעֶבֶד אֲדֹנָיו וְאִם־ אָב אַיֵּה כְבוֹדִי וְאִם־ אֲדֹנִים אַיֵּה אָנִי מוֹרָאִי אָמַר יְהוָה צְבָאוֹת לָכֶם הַכֹּהֲנִים בּוֹזֵי שְׁמִי וַאֲמַרְתֶּם בַּמֶּה בָזִינוּ אֶת־ שְׁמֶךָ׃
子は 敬う そして–僕は その–主人を そして–もし 父を 父で–あるなら どこに–ある わたしの–尊厳は そして–もし 主人で–あるなら どこに–ある わたしは わたしの–名を 侮る–者たちよ 祢司たちよ お前たちに 万軍の 主 言った わたしへの–畏れは あなたの–名を — 我々は–侮ったのか どのように そして–お前たちは–言う
H3513 H0001 H0001 H5650 H0113 H0113 H0001 H0589 H0346 H0346 H3519 H0113 H0589 H0346 H0959 H3548 H3068 H0559 H8034 H0959 H8034 H0853 H0959 H4100 H0559

「子はその父を敬い、しもべはその主人を敬う。それでわたしがもし父であるならば、あなたがたのわたしを敬う事実が、どこにあるか。わたしがもし主人であるならば、わたしを恐れる事実が、どこにあるか。わたしの名を侮る祭司たちよ、と万軍の主はあなたがたに言われる。ところがあなたがたは『われわれはどんなふうにあなたの名を侮ったか』と言い、

7

בַּמֶּה וַאֲמַרְתֶּם מְגֹאָל לֶחֶם מִזְבְּחִי עַל־ מְגֹשָׁשִׁים׃ נִבְזֶה נְבַזֵּה יְהוָה שֻׁלְחַן בֶּאֱמָרְכֶּם גֵּאַלְנוּךָ׃ הִוא׃
どのように そして–お前たちは–言う 汚れた パンを わたしの–祭壇に の–上に ささげる–者たちが それは 侮るべき–もので–ある–と 主の 主の–食卓は お前たちが–言う–時に 我々は–汚したのか–と
H4100 H0559 H1351 H3899 H4196 H5066 H1931 H0959 H3068 H7979 H0559 H1351

汚れた食物をわたしの祭壇の上にささげる。またあなたがたは、主の台は卑しむべき物であると考えて、『われわれはどんなふうに、それを汚したか』と言う。

8

וְכִי־ תַגִּשׁוּן עִוֵּר לִזְבֹּחַ אֵין רָע וְכִי־ תַגִּישׁוּ פִּסֵּחַ וְחֹלֶה אֵין הַקְרִיבֵהוּ נָא לְפֶחָתֶךָ הֲיִרְצֶךָ אוֹ הֲיִשָּׂא פָּנֶיךָ אָמַר יְהוָה צְבָאוֹת׃
そして–もし お前たちが–ささげる–時に 盲目の–ものを 犠牲として ない 悪く–ない–か そして–もし お前たちが–ささげる–時に 足の–不自由な–ものと そして–病んだ–ものを ない どうぞ ささげて–みよ 総督に お前の– 彼が–喜ぶ–か あるいは 彼が–受け入れる–か お前の–顔を 言った 主 万軍の
H5066 H6455 H5066 H2076 H0369 H7126 H4994 H6346 H7521 H0176 H5375 H6440 H0559 H3068 H6635

あなたがたが盲目の獣を、犠牲にささげるのは悪い事ではないか。また足のなえたもの、病めるものをささげるのは悪い事ではないか。今これをあなたのつかさにささげてみよ。彼はあなたを喜び、あなたを受けいれるであろうかと、万軍の主は言われる。

9 וְעַתָּה חַלּוּ־נָא פְנֵי־אֵל וְיחָנֵנוּ מִיֶּדְכֶם הָיְתָה
そして–今 嫌って–くれ どうぞ の–顔を 神 そして–憐れんで–くれ お前たちの–手から あった
H6258 H2470 H4994 H6440 H0410 H2603 H3027 H1961

זֹּאת הֲיִשָּׂא מִכֶּם פָּנִים אָמַר יְהוָה צְבָאוֹת׃
これは 彼が–受け入れる–か お前たちから 顔を 言った 主 万軍の
H2063 H5375 H6440 H0559 H3068 H6635

あなたがたは、神がわれわれをあわれまれるように、神の恵みを求めてみよ。このようなあなたがたの手のささげ物をもって、彼はあなたがたを受けいれられるであろうかと、万軍の主は言われる。

10 מִי גַם־בָּכֶם וְיִסְגֹּר דְּלָתַיִם וְלֹא־תָאִירוּ
誰か また お前たちの–中に そして–閉じる–者は–いるか 扉を そして–ない お前たちは–照らす
H4310 H1571 H0834 H5462 H1817 H3808 H0215

חֶפֶץ לִי אֵין־בָּכֶם אָמַר יְהוָה צְבָאוֹת וּמִנְחָה לֹא־
喜びが わたしには ない お前たちに–対して 言った 主 万軍の そして–供え物を
H2656 H0369 H0834 H0559 H3068 H6635 H4503 H3808

אֶרְצֶה מִיֶּדְכֶם׃
わたしは–受け入れる お前たちの–手から
H7521 H3027

あなたがたがわが祭壇の上にいたずらに、火をたくことのないように戸を閉じる者があなたがたのうちに、ひとりあったらいいのだが。わたしはあなたがたを喜ばない、またあなたがたの手からささげ物を受けないと、万軍の主は言われる。

11 כִּי מִמִּזְרַח־שֶׁמֶשׁ וְעַד־מְבוֹאוֹ גָּדוֹל
なぜなら 日の–昇る–ところから 太陽の そして–の–没する–ところまで その 大きい
H3588 H4217 H8121 H5704 H3996 H1419

שְׁמִי בַּגּוֹיִם וּבְכָל־מָקוֹם מֻקְטָר מֻגָּשׁ לִשְׁמִי
わたしの–名は 諸国民の–中で そして–すべての 場所で 香が–焚かれ ささげられる わたしの–名に
H8034 H1471 H3605 H4725 H6999 H5066 H8034

וּמִנְחָה טְהוֹרָה כִּי־גָדוֹל שְׁמִי בַּגּוֹיִם אָמַר יְהוָה צְבָאוֹת׃
そして–供え物が 清い なぜなら 大きい わたしの–名は 諸国民の–中で 言った 主 万軍の
H4503 H2889 H3588 H1419 H8034 H1471 H0559 H3068 H6635

日の出る所から没する所まで、国々のうちにわが名はあがめられている。また、どこでも香と清いささげ物が、わが名のためにささげられる。これはわが名が国々のうちにあがめられているからであると、万軍の主は言われる。

12 וְאַתֶּם מְחַלְּלִים אֹתוֹ בֶּאֱמָרְכֶם אֲדֹנָי שֻׁלְחָן מְגֹאָל
しかし–お前たちは 汚して–いる それを お前たちが–言う–時に 主の 主の–食卓は 汚れて–いる–と
H0589 H2490 H0853 H0559 H0136 H7979 H1351

נִבְזֶה אָכְלוֹ׃ וְנִיבוֹ הוּא
侮るべき–もので–ある–と その–食べ物は そして–その–実は それは
H0959 H0400 H5108 H1931

ところがあなたがたは、主の台は汚れている、またこの食物は卑しむべき物であると言って、これを汚した。

13 וַאֲמַרְתֶּם֙ הִנֵּ֣ה מַתְּלָאָ֔ה וְהִפַּחְתֶּ֥ם אוֹתוֹ֖
そして–お前たちは–言う 見よ 何と–疲れる–ことか–と そして–お前たちは–吹き–飛ばす それを
H0559 H2009 H4972 H5301 H0853

אָמַ֣ר יְהוָ֑ה צְבָאֽוֹת וַהֲבֵאתֶ֣ם גָּזוּל֩ וְאֶת־הַפִּסֵּ֨חַ
言った 主 万軍の そして–お前たちは–持って–来る 奪った–ものと そして 足の–不自由な–ものと
H0559 H3068 H0559 H0935 H1497 H0853 H6455

וְאֶת־הַחוֹלָ֜ה וַהֲבֵאתֶ֣ם אֶת־הַמִּנְחָ֗ה הַאֶרְצֶ֤ה
そして 病んだ–ものを そして–お前たちは–持って–来る ― 供え物を わたしが–受け入れる–か
H0853 H0935 H0853 H4503 H7521

מִיָּדְכֶ֔ם אָמַ֖ר יְהוָֽה׃ ס אוֹתָ֥הּ
お前たちの–手から 言った 主は ― それを
H3027 H0559 H3068 H0853

14 וְנוֹדֵ֗ר וְזָכָ֤ר בְּעֶדְרוֹ֙ וְיֵ֣שׁ נוֹכֵ֔ל וְאָר֖וּר
そして–誓う 雄が 彼の–群れの–中に そして–いる 欺く–者は そして–呪われる–者で–ある
H5087 H2145 H5739 H3426 H5230 H0779

וְזֹבֵ֣חַ מָשְׁחָ֔ת לַאדֹנָ֖י כִּ֣י מֶ֣לֶךְ גָּד֔וֹל אָ֙נִי֙
そして–牺牲として–ささげる 傷の–ある–ものを 主に なぜなら 王で–ある 大いなる わたしは
H2076 H7843 H0136 H3588 H4428 H1419 H0589

אָמַ֣ר יְהוָ֣ה צְבָאוֹת֮ וְשְׁמִי֒ נוֹרָ֣א בַגּוֹיִם׃
言った 主 万軍の そして–わたしの–名は 畏れられる 諸国民の–中で
H0559 H3068 H6635 H8034 H3372 H1471

群れのうちに雄の獣があり、それをささげると誓いを立てているのに、傷のあるものを、主にささげる偽り者はのろわれる。わたしは大いなる王で、わが名は国々のうちに恐れられるべきであると、万軍の主は言われる。

Chapter 2

1 וְעַתָּ֕ה אֲלֵיכֶ֖ם הַמִּצְוָ֣ה הַזֹּ֑את הַכֹּהֲנִֽים׃
そして–今 お前たちに この–戒めが この 祭司たちよ
H6258 H0413 H4687 H2063 H3548

祭司たちよ、今この命令があなたがたに与えられる。

2 אִם־לֹ֣א וְאִם־לֹ֣א תִשְׁמְע֗וּ אִם־לֹ֣א תָשִׂ֔ימוּ לֵ֖ב
もし ない そして–もし お前たちが–聞く–なら ない お前たちが–置く–なら 心
H3808 H3808 H8085 H3808 H0518

לָתֵ֥ת כָּבוֹד֙ לְשְׁמִ֔י אָמַ֖ר יְהוָ֣ה צְבָאוֹת֑ וְשִׁלַּחְתִּ֤י בָכֶם֙
与える–ために 栄光を わたしの–名に 言った 主 万軍の そして–わたしは–送る お前たちに
H5414 H3519 H8034 H0559 H3068 H6635 H7971 H0853

אֶת־הַמְאֵרָ֔ה וְאָרַרְתִּ֖י אֶת־בִּרְכֹתֵיכֶ֑ם וְגַ֣ם
呪いを そして–わたしは–呪う ― お前たちの–祝福を そして–もう
H3994 H0853 H0779 H0853 H1293 H1571

אֲרוֹתִ֔יהָ כִּ֥י אֵינְכֶ֖ם שָׂמִ֥ים עַל־לֵֽב׃
わたしは–呪った–それを なぜなら お前たちは–ない 置いて–いる の–上に 心
H0779 H0369 H7760 H5921 H3820

万軍の主は言われる、あなたがたがもし聞き従わず、またこれを心に留めず、わが名に栄光を帰さないならば、わたしはあなたがたの上に、のろいを送り、またあなたがたの祝福をのろいに変える。あなたがたは、これを心に留めないので、わたしはすでにこれをのろった。

3

עַל־	פֶּרֶשׁ	וְזֵרִיתִי	הַזֶּרַע	אֶת־	לָכֶם	גֹּעֵר	הִנְנִי
の–上に	糞を	そして–わたしは–撒く	子孫を	—	お前たちに	わたしは–叱る	見よ
	H6569	H2219	H2233	H0853		H1605	H2009

אֲלֵיו׃	אִתְּכֶם	וְנָשָׂא	חַגֵּיכֶם	פֶּרֶשׁ	פְּנֵיכֶם
それと–共に	お前たちは	そして–運ばれる	お前たちの–祭りの	糞を	お前たちの–顔
H0413	H0853	H5375	H2282	H6569	H6440

見よ、わたしはあなたがたの子孫を責める。またあなたがたの犠牲の糞を、あなたがたの顔の上にまき散らし、あなたがたをわたしの前から退ける。

4

הַזֹּאת	הַמִּצְוָה	אֵת	אֲלֵיכֶם	שִׁלַּחְתִּי	כִּי	וִידַעְתֶּם	
この	この–戒めを	—	お前たちに	わたしが–送った	それが	そして–お前たちは–知る	
H2063	H4687	H0853	H0413	H7971		H3045	

צְבָאוֹת׃	יְהוָה	אָמַר	לֵוִי	אֶת־	בְּרִיתִי	לִהְיוֹת
万軍の	主	言った	レビと	—	わたしの–契約が	ある–ために
	H3068	H0559	H3878	H0854	H1285	H1961

こうしてわたしが、この命令をあなたがたに与えたのは、レビと結んだわが契約が、保たれるためであることを、あなたがたが知るためであると、万軍の主は言われる。

5

מוֹרָא	לוֹ	וָאֶתֵּן־	וְהַשָּׁלוֹם	הַחַיִּים	אִתּוֹ	הָיְתָה	וּבְרִיתִי
畏れを	彼に	そして–わたしは–与えた	そして–平安の	命と	彼と	あった	わたしの–契約は
		H5414	H7965		H0854	H1961	H1285

הוּא׃	נָחַת	שְׁמִי	וּמִפְנֵי	וַיִּירָאֵנִי	
彼は	ひれ–伏した	わたしの–名	そして–の–前に	そして–彼は–畏れた	
H1931	H2865	H8034	H6440	H3372	

彼と結んだわが契約は、生命と平安との契約であって、わたしがこれを彼に与えたのは、彼にわたしを恐れさせるためである。彼はすでにわたしを恐れ、わが名の前におののいた。

6

בְּשָׁלוֹם	בִּשְׂפָתָיו	נִמְצָא	לֹא־	וְעַוְלָה	בְּפִיהוּ	הָיְתָה	אֱמֶת	תּוֹרַת
平安の–うちに	彼の–唇に	見いだされた	ない	そして–不正は	彼の–口に	あった	真理の	律法は
H7965	H8193	H4672	H3808		H6310	H1961	H0571	H8451

מֵעָוֹן׃	הֵשִׁיב	וְרַבִּים	אִתִּי	הָלַךְ	וּבְמִישׁוֹר
咲から	彼は–立ち–帰らせた	そして–多くの–者を	わたしと–共に	彼は–歩んだ	そして–正しく
H5771	H7725		H0854	H1980	H4334

彼の口には、まことの律法があり、そのくちびるには、不義が見られなかった。彼は平安と公義とをもって、わたしと共に歩み、また多くの人を不義から立ち返らせた。

7

יְבַקְּשׁוּ	וְתוֹרָה	דַּעַת	יִשְׁמְרוּ־	כֹהֵן	שִׂפְתֵי	כִּי־
求める–べきで–ある	そして–律法を	知識を	守る–べきで–ある	祢司の	唇は	なぜなら
H1245	H8451	H1847	H8104	H3548	H8193	

הוּא׃	צְבָאוֹת	יְהוָה־	מַלְאַךְ	כִּי	מִפִּיהוּ
彼は	万軍の	主の	御使いで–ある	なぜなら	彼の–口から
H1931	H3068	H4397			H6310

祭司のくちびるは知識を保ち、人々が彼の口から律法を尋ねるのが当然である。彼は万軍の主の使者だからだ。

8 וְאַתֶּם סַרְתֶּם מִן־הַדֶּרֶךְ הִכְשַׁלְתֶּם רַבִּים בַּתּוֹרָה
しかし-お前たちは それた から 道 お前たちは-つまずかせた 多くの-者を 律法に-おいて
H8451 H3782 H1870 H4480 H5493

שִׁחַתֶּם בְּרִית הַלֵּוִי אָמַר יְהוָה צְבָאוֹת׃
お前たちは-破った 契約を レビの 言った 主 万軍の
H7843 H1285 H3878 H0559 H3068

ところが、あなたがたは道を離れ、多くの人を教えてつまずかせ、レビの契約を破ったと、万軍の主は言われる。

9 וְגַם־אֲנִי נָתַתִּי אֶתְכֶם נִבְזִים וּשְׁפָלִים לְכָל־
そして-また わたしも した お前たちを 侮られる-者と そして-卑しい-者と すべての
H1571 H0589 H5414 H0853 H0959 H8217 H3605

הָעָם כְּפִי אֲשֶׁר אֵינְכֶם שֹׁמְרִים אֶת־ דְּרָכָי נֹשְׂאִים פָּנִים בַּתּוֹרָה׃ פ
民に-対して に-応じて それらの お前たちは-ない 守って-いる ― わたしの-道を 顔を 律法に-おいて ―
H6440 H8451 H4480 H5375 H6310 H0369 H8104 H0853 H1870

あなたがたはわたしの道を守らず、律法を教えるに当って、人にかたよったがために、あなたがたをすべての民の前に侮られ、卑しめられるようにする」。

10 הֲלוֹא אָב אֶחָד לְכֻלָּנוּ הֲלוֹא אֵל אֶחָד בְּרָאָנוּ מַדּוּעַ
では-ない-か 父が 一つの 我々-すべてに では-ない-か 神が 一つの 我々を-造った なぜ
H3808 H0001 H0259 H3605 H3808 H0410 H0259 H1254 H4069

נִבְגַּד אִישׁ בְּאָחִיו לְחַלֵּל בְּרִית אֲבֹתֵינוּ׃
我々は-裏切る 各々が その-兄弟を 汚す-ために 契約を 我々の-父たちの
H0898 H0376 H0251 H2490 H1285 H0001

われわれの父は皆一つではないか。われわれを造った神は一つではないか。なにゆえ、われわれは先祖たちの契約を破って、おのおのその兄弟に偽りを行うのか。

11 בָּגְדָה יְהוּדָה וְתוֹעֵבָה נֶעֶשְׂתָה בְּיִשְׂרָאֵל
裏切った ユダは そして-忌まわしい-ことが 行われた イスラエルに-おいて
H0898 H3063 H8441 H6213 H3478

וּבִירוּשָׁלִָם כִּי חִלֵּל יְהוּדָה קֹדֶשׁ יְהוָה אֲשֶׁר אָהֵב
そして-エルサレムに-おいて なぜなら 汚した ユダは 聖なる-ものを 主の それを 主が-愛した
H3389 H3588 H2490 H3063 H6944 H3068 H0834 H0157

וּבָעַל בַּת־ אֵל נֵכָר׃
そして-娶った 娘を 神の 異なる
H1166 H1323 H0410 H5236

ユダは偽りを行い、イスラエルおよびエルサレムの中には憎むべき事が行われた。すなわちユダは主が愛しておられる聖所を汚して、他の神に仕える女をめとった。

12 יַכְרֵת יְהוָה לָאִישׁ אֲשֶׁר יַעֲשֶׂנָּה עֵר וְעֹנֶּה מֵאָהֳלֵי
断つ 主が その-人から 行う-者を 目覚める-者と そして-答える-者を の-天幕から
H3772 H3068 H0376 H0834 H6213 H5782 H6030 H0168

פ יַעֲקֹב וּמַגִּישׁ מִנְחָה לַיהוָה צְבָאוֹת׃
― ヤコブの そして-ささげる-者を 供え物を 主に 万軍の
H3290 H5066 H4503 H3068

どうか、主がこうした事を行う人をば、証言する者も、答弁する者も、また万軍の主にささげ物をする者をも、ヤコブの幕屋から断たれるように。

13 וְזֹאת שֵׁנִית תַּעֲשׂוּ כְּסוֹת דִּמְעָה יְהוָה מִזְבַּח אֶת־ בְּכִי
そして–これを 第二に お前たちは–行う 覆う–ことを 涙で 主の 主の–祭壇を ―
H2063 H8145 H6213 H3680 H1832 H3068 H4196 H0853 H1065

וְלָקַחַת מִנְחָה אֶל־ פְּנוֹת עוֹד מֵאֵין וַאֲנָקָה
そして–受け–取る–ことが 供え物 へ 向く–ことが もはや なくなる–ほどに そして–嘆きで
H3947 H4503 H0413 H6437 H5750 H0369 H0603

רָצוֹן מִיֶּדְכֶם׃
喜びを お前たちの–手から
H7522 H3027

あなたがたはまたこのような事をする。すなわち神がもはやささげ物をかえりみず、またこれをあなたがたの手から、喜んで受けられないために、あなたがたは涙と、泣くことと、嘆きとをもって、主の祭壇をおおい、

14 וַאֲמַרְתֶּם עַל־ כִּי־ יְהוָה בֵּינְךָ הֵעִיד
そして–お前たちは–言う に–ついて なぜなら 主が お前と 証人で–あった
H0559 H4100 H0413 H3068 H0996

וְהִיא בָּהּ בָּגַדְתָּה אַתָּה אֲשֶׁר נְעוּרֶיךָ וּבֵין אֶשֶׁת
そして–彼女は 彼女を 裏切った お前が その お前の–若い–時の そして–の–間に 妻と
H1931 H0898 H0859 H0834 H5271 H0996 H0802

בְּרִיתֶךָ׃ וְאֵשֶׁת חֲבֶרְתְּךָ
お前の–契約の そして–妻で–ある お前の–伴侶で–ある
H1285 H0802 H2278

「なぜ神は受けられないのか」と尋ねる。これは主があなたと、あなたの若い時の妻との間の、契約の証人だったからである。彼女は、あなたの連れ合い、契約によるあなたの妻であるのに、あなたは彼女を裏切った。

15 וְלֹא־ עָשָׂה אֶחָד וּשְׁאָר רוּחַ לוֹ וּמָה
そして–ない–か 作った 一つの–ものを そして–残りの 霊が 彼に–ある そして–何を
H3808 H6213 H0259 H7605 H7307 H0834 H4100

וְאֶת־ אִשְׁתּוֹ בְּרוּחֲכֶם וְנִשְׁמַרְתֶּם אֱלֹהִים זֶרַע מְבַקֵּשׁ הֶאָחָד
そして–妻を お前たちの–霊に–おいて そして–気を–つけよ 神の 子孫を 求める その–一つの–ものは
H0802 H7307 H8104 H0430 H2233 H1245 H0259

בְּנֹעוּרֶיךָ אַל־ וְיִבְגֹּד׃
お前の–若い–時の ない 裏切る–べきで–ある
H0898 H0408 H0898

一つ神は、われわれのために命の霊を造り、これをささえられたではないか。彼は何を望まれるか。神を敬う子孫であるゆえ、あなたがたはみずから慎んで、その若い時の妻を裏切ってはならない。

16 כִּי־ שָׂנֵא שַׁלַּח אָמַר יְהוָה אֱלֹהֵי יִשְׂרָאֵל וְכִסָּה חָמָס עַל־
なぜなら 憎む 離婚を 言った 主 神 イスラエルの そして–覆う 暴力が の–上に
H3588 H8130 H7971 H0559 H3068 H0430 H3478 H3680 H2555 H5921

וְלֹא בְּרוּחֲכֶם וְנִשְׁמַרְתֶּם צְבָאוֹת יְהוָה אָמַר לְבוּשׁוֹ
そして–ない お前たちの–霊に–おいて そして–気を–つけよ 万軍の 主 言った 彼の–衣を
H3808 H7307 H8104 H6635 H3068 H0559 H3830

ס תִּבְגֹּדוּ׃
― 裏切る–べきで–ある
H0898

イスラエルの神、主は言われる、「わたしは離縁する者を憎み、また、しえたげをもってその衣をおおう人を憎むと、万軍の主は言われる。ゆえにみずから慎んで、裏切ることをしてはならない」。

17

בַּמָּה	וַאֲמַרְתֶּם	בְּדִבְרֵיכֶם	יְהוָה	הוֹגַעְתֶּם
どのように	そして–お前たちは–言う	お前たちの–言葉で	主を	お前たちは–疲れさせた
H4100	H0559	H1697	H3068	H3021

בְּעֵינֵי	טוֹב	רָע	עֹשֵׂה	כָּל־	בֶּאֱמָרְכֶם	הוֹגָעְנוּ
の–目に	良い–と	悪を	行う–者は	すべての	お前たちが–言う–時に	我々は–疲れさせたのか–と
			H3605		H0559	H3021

:הַמִּשְׁפָּט	אֱלֹהֵי	אַיֵּה	אוֹ	חָפֵץ	הוּא	וְהֵם	יְהוָה
裁きの	神は	どこに–ある	あるいは	喜ぶ–と	主は	そして–彼らを	主
H4941	H0430	H0346			H1931		H3068

あなたがたは言葉をもって主を煩わした。しかしあなたがたは言う、「われわれはどんなふうに、彼を煩わしたか」。それはあなたがたが「すべて悪を行う者は主の目に良く見え、かつ彼に喜ばれる」と言い、また「さばきを行う神はどこにあるか」と言うからである。

Chapter 3

1

בָּא֙וֹ	וּפִתְאֹם	לְפָנָי	דֶּרֶךְ	וּפִנָּה־	מַלְאָכִי	שֹׁלֵחַ	הִנְנִי
来る	そして–突然	わたしの–前に	道を	そして–備える	わたしの–使者を	わたしは–遣わす	見よ
H0935	H6597	H6440	H1870	H6437	H4397	H7971	H2009

אֲשֶׁר־	הַבְּרִית	וּמַלְאַךְ	מְבַקְּשִׁים	אַתֶּם	אֲשֶׁר־	וְהָאָדוֹן	הֵיכָלוֹ	אֶל־
その	契約の	そして–御使いが	求めて–いる	お前たちが	その	主が	その–宮に	へ
	H1285	H4397	H1245			H0113	H1964	H0413

:צְבָאוֹת	יְהוָה	אָמַר	בָּא	הִנֵּה־	חֶפְצִים	אַתֶּם
万軍の	主	言った	来る	見よ	喜んで–いる	お前たちが
	H3068	H0559	H0935	H2009	H2655	

「見よ、わたしはわが使者をつかわす。彼はわたしの前に道を備える。またあなたがたが求める所の主は、たちまちその宮に来る。見よ、あなたがたの喜ぶ契約の使者が来ると、万軍の主が言われる。

2

בְּהֵרָאוֹתוֹ	הָעֹמֵד	וּמִי	בּוֹאוֹ	יוֹם	אֶת־	מְכַלְכֵּל	וּמִי
その–現れる–時に	立てる	そして–誰が	その–来る	日に	—	耐えられる	そして–誰が
H7200	H5975	H4310	H0935	H3117	H0853	H3557	H4310

:מְכַבְּסִים	וּכְבֹרִית	מְצָרֵף	כְּאֵשׁ	הוּא֙	כִּי־
洗う–者の–灰汁	そして–の–ように–ある	精錬する–者の–火	の–ように–ある	彼は	なぜなら
H3526	H1287	H6884	H0784	H1931	

その来る日には、だれが耐え得よう。そのあらわれる時には、だれが立ち得よう。彼は金をふきわける者の火のようであり、布さらしの灰汁のようである。

3

בְּנֵי־	אֶת־	וְטִהַר	כֶּסֶף	וּמִטַהֵר	מְצָרֵף	וְיָשַׁב
子らを	—	そして–清める	銀の	そして–清める–者と–して	精錬する–者と–して	そして–座る
	H0853	H2891	H3701	H2891	H6884	H3427

לַיהוָה	וְהָיוּ	וְכַכֶּסֶף	כַּזָּהָב	אֹתָם	וְזִקַּק	לֵוִי
主に	そして–彼らは–なる	そして–銀の–ように	金の–ように	彼らを	そして–精精する	レビの
H3068	H1961	H3701	H2091	H0853	H2212	H3878

:בִּצְדָקָה	מִנְחָה	מַגִּישֵׁי
義の–うちに	供え物を	ささげる–者と
H6666	H4503	H5066

彼は銀をふきわけて清める者のように座して、レビの子孫を清め、金銀のように彼らを清める。そして彼らは義をもって、ささげ物を主にささげる。

4 וְעָרְבָה֙ לַיהוָ֔ה מִנְחַ֥ת יְהוּדָ֖ה וִירוּשָׁלִָ֑ם כִּימֵ֥י עוֹלָ֖ם
そして–快い 主に 供え物は ユダと そして–エルサレムの の–日々の–ように 昔の
H6149 H3068 H4503 H3063 H3389 H3117 H5769

וּכְשָׁנִ֥ים קַדְמֹנִיּֽוֹת׃
そして–の–年々の–ように 古い
H8141 H6931

その時ユダとエルサレムとのささげ物は、昔の日のように、また先の年のように主に喜ばれる。

5 וְקָרַבְתִּ֤י אֲלֵיכֶם֙ לַמִּשְׁפָּ֔ט וְהָיִ֥יתִי מְמַהֵ֖ר עֵ֣ד
そして–わたしは–近づく お前たちに 裁きの–ために そして–わたしは–なる 証人と 速い
H7126 H0413 H4941 H1961 H5707

לַשֶּׁ֑קֶר וּבַנֹּשְׁבָעִ֣ים וּבַמְנָאֲפִ֗ים וּבְמְכַשְּׁפִים֙
偽りの そして–偽りを–誓う–者たちに–対して そして–姦淫する–者たちに–対して 魔術師たちに–対して
H8267 H7650 H5003 H3784

וְיָת֔וֹם אַלְמָנָ֖ה שָׂכִ֣יר שְׂכַר־ וּבְעֹשְׁקֵ֣י
そして–孤児と やもめと 雇い–人の 賃金を そして–虐げる–者たちに–対して
H3490 H0490 H7916 H7939 H6231

צְבָאֽוֹת׃ יְהוָ֥ה אָמָ֖ר יְרֵאוּנִ֑י וְלֹ֣א גֵ֔ר וּמַטֵּי־
万軍の 主 言った わたしを–畏れる そして–ない 寄留者を そして–退ける–者たちに–対して
H3068 H0559 H3372 H3808 H1616 H5186

そしてわたしはあなたがたに近づいて、さばきをなし、占い者、姦淫を行う者、偽りの誓いをなす者にむかい、雇人の賃銀をかすめ、やもめと、みなしごとをしえたげ、寄留の他国人を押しのけ、わたしを恐れない者どもにむかって、すみやかにあかしを立てると、万軍の主は言われる。

6 כִּ֣י אֲנִ֤י יְהוָה֙ לֹ֣א שָׁנִ֔יתִי וְאַתֶּ֥ם בְּנֵי־ יַעֲקֹ֖ב לֹ֥א
なぜなら わたしは 主 ない わたしは–変わった そして–お前たちは 子らよ ヤコブの ない
H3588 H0589 H3068 H3808 H8138 H3808 H1121 H3290 H3808

כָלִֽיתֶם׃
お前たちは–滅びた
H3615

主なるわたしは変ることがない。それゆえ、ヤコブの子らよ、あなたがたは滅ぼされない。

7 לְמִימֵ֣י אֲבֹתֵיכֶ֗ם סַרְתֶּם֙ מֵחֻקַּ֔י וְלֹ֥א
の–日々から 父たちの お前たちの お前たちは–それた わたしの–定めから そして–ない
H3117 H0001 H5493 H2706 H3808

שְׁמַרְתֶּ֑ם שׁ֥וּבוּ אֵלַ֖י וְאָשׁ֣וּבָה אֶלְכֶ֔ם אָמַ֥ר
守った お前たちは–立ち–帰れ わたしの–もとに そして–わたしは–立ち–帰る お前たちの–もとに 言った
H8104 H7725 H0413 H7725 H0413 H0559

צְבָאֽוֹת׃ יְהוָ֔ה וַאֲמַרְתֶּ֣ם בַּמֶּ֖ה נָשֽׁוּב׃
万軍の 主 そして–お前たちは–言う どのように 我々は–立ち–帰るのか–と
H3068 H0559 H4100 H7725

あなたがたは、その先祖の日から、わが定めを離れて、これを守らなかった。わたしに帰れ、わたしはあなたがたに帰ろうと、万軍の主は言われる。ところが、あなたがたは『われわれはどうして帰ろうか』と尋ねる。

8

אֹתִי	קֹבְעִים	אַתֶּם	כִּי	אֱלֹהִים	אָדָם	הֲיִקְבַּע
わたしを	奪って-いる	お前たちは	それなのに	神を	人が	人が-奪う-か
H0853	H6906			H0430	H0120	H6906

וְהַתְּרוּמָה׃	הַמַּעֲשֵׂר	קְבַעֲנוּךְ	בַּמֶּה	וַאֲמַרְתֶּם
そして-奉納物を	十分の-一と	我々は-奪ったのか-と	どのように	そして-お前たちは-言う
H8641	H4643	H6906	H4100	H0559

人は神の物を盗むことをするだろうか。しかしあなたがたは、わたしの物を盗んでいる。あなたがたはまた『どうしてわれわれは、あなたの物を盗んでいるのか』と言う。十分の一と、ささげ物をもってである。

9

כֻּלּוֹ׃	הַגּוֹי	קֹבְעִים	אַתֶּם	וְאֹתִי	נֶאֱרָרִים	אַתֶּם	בַּמְּאֵרָה׃
すべて	国民が	奪って-いる	お前たちは	そして-わたしを	呪われて-いる	お前たちは	呪いで
H3605		H6906		H0853	H0779		H3994

あなたがたは、のろいをもって、のろわれる。あなたがたすべての国民は、わたしの物を盗んでいるからである。

10

טֶּרֶף	וִיהִי	הָאוֹצָר	בֵּית	אֶל־	הַמַּעֲשֵׂר	כָּל־	אֶת־	הָבִיאוּ	
食物を	そして-あらせよ	倉の	家の-中の	へ	十分の-一を	すべての	ー	持って-来い	
H2964	H1961	H0214		H0413	H4643	H3605	H0853	H0935	

לָא	אִם־	צְבָאוֹת	יְהוָה	אָמַר	בָּזֹאת	נָא	וּבְחָנוּנִי	בְּבֵיתִי
ない-なら	もし	万軍の	主	言った	これで	どうぞ	そして-試して-みよ	わたしの-家に
H3808			H3068	H0559	H2063	H4994	H0974	

בְּרָכָה	לָכֶם	וַהֲרִיקֹתִי	הַשָּׁמַיִם	אֲרֻבּוֹת	אֶת	לָכֶם	אֶפְתָּח
祝福を	お前たちに	そして-わたしが-注ぎ-出す	天の	窓を	ー	お前たちに	わたしが-開く
H1293		H7324	H8064	H0699	H0853		

דָּי׃	בְּלִי־	עַד־
十分な	ない-ほど	まで
H1767	H1097	H5704

わたしの宮に食物のあるように、十分の一全部をわたしの倉に携えてきなさい。これをもってわたしを試み、わたしが天の窓を開いて、あふるる恵みを、あなたがたに注ぐか否かを見なさいと、万軍の主は言われる。

11

לָכֶם	יַשְׁחֵת	וְלֹא־	בָּאֹכֵל	לָכֶם	וְגָעַרְתִּי	
お前たちの-ために	滅ぼす	そして-ない	食い-荒らす-者を	お前たちの-ために	そして-わたしは-叱る	
	H7843	H3808	H0398		H1605	

בַּשָּׂדֶה	הַגֶּפֶן	לָכֶם	תְּשַׁכֵּל	וְלֹא־	הָאֲדָמָה	פְּרִי	אֶת־
畑に-おいて	ぶどうの-木が	お前たちの-ために	実を-落とす	そして-ない	地の	実を	ー
	H1612			H3808	H0127	H6529	H0853

צְבָאוֹת׃	יְהוָה	אָמַר
万軍の	主	言った
	H3068	H0559

わたしは食い滅ぼす者を、あなたがたのためにおさえて、あなたがたの地の産物を、滅ぼさないようにしよう。また、あなたがたのぶどうの木が、その熟する前に、その実を畑に落すことのないようにしようと、万軍の主は言われる。

12

אֶרֶץ	אַתֶּם	תִּהְיוּ	כִּי־	הַגּוֹיִם	כָּל־	אֶתְכֶם	וְאִשְּׁרוּ	
地と	お前たちは	お前たちは-なる	なぜなら	国々が	すべての	お前たちを	そして-幸いと-呼ぶ	
H0776		H1961			H3605	H0853	H0833	

ס	צְבָאוֹת׃	יְהוָה	אָמַר	חֵפֶץ
ー	万軍の	主	言った	喜びの
		H3068	H0559	H2656

こうして万国の人は、あなたがたを祝福された者ととなえるであろう。あなたがたは楽しい地となるからであると、万軍の主は言われる。

13 חָזְקוּ עָלַי דִּבְּרֵיכֶם אָמַר יְהוָה וַאֲמַרְתֶּם מַה־
強かった わたしに–対して お前たちの–言葉は 言った 主は そして–お前たちは–言う 何を
H2388 H5921 H1697 H0559 H3068 H0559 H4100

נִדְבַּרְנוּ עָלֶיךָ׃
我々は–語ったのか あなたに–対して
H1696

主は言われる、あなたがたは言葉を激しくして、わたしに逆らった。しかもあなたがたは『われわれはあなたに逆らって、どんな事を言ったか』と言う。

14 אֲמַרְתֶּם שָׁוְא עֲבֹד אֱלֹהִים וּמַה־ בָּצַע כִּי שָׁמַרְנוּ
お前たちは–言う 空しい–と 仕える–ことは 神に そして–何の 利益が それは 我々が–守った
H0559 H7723 H5647 H0430 H4100 H1215 H8104

מִשְׁמַרְתּוֹ וְכִי הָלַכְנוּ קְדֹרָנִית מִפְּנֵי יְהוָה צְבָאוֹת׃
その–務めを そして–それは 我々が–歩んだ 喪に–服して の–前に 主 万軍の
H4931 H3588 H1980 H6941 H6440 H3068 H6635

あなたがたは言った、『神に仕える事はつまらない。われわれがその命令を守り、かつ万軍の主の前に、悲しんで歩いたからといって、なんの益があるか。

15 וְעַתָּה אֲנַחְנוּ מְאַשְּׁרִים זֵדִים גַּם־ נִבְנוּ עֹשֵׂי רִשְׁעָה גַּם
そして–今 我々は 幸いと–呼ぶ 高慢な–者を また 立てられた 行う–者たちは 悪を また
H6258 H0587 H0833 H2086 H1571 H1129 H6213 H7564 H1571

וַיְמַלְּטוּ׃ אֱלֹהִים בָּחֲנוּ
そして–逃れた 神を 試した
H4422 H0430 H0974

今われわれは高ぶる者を、祝福された者と思う。悪を行う者は栄えるばかりでなく、神を試みても罰せられない』」。

16 אָז נִדְבְּרוּ יִרְאֵי יְהוָה אִישׁ אֶת־ רֵעֵהוּ וַיַּקְשֵׁב
その–時 語り–合った 畏れる–者たちは 主を 各々が ―― その–友と そして–耳を–傾けた
H0227 H1696 H3372 H3068 H0376 H0854 H7453 H7181

וַיִּשְׁמָע וַיִּכָּתֵב סֵפֶר זִכָּרוֹן לְפָנָיו לְיִרְאֵי יְהוָה
そして–聞いた そして–書かれた 書が 記念の その–前に 畏れる–者たちの–ために 主を
H8085 H3789 H5612 H2146 H6440 H3372 H3068

וּלְחֹשְׁבֵי שְׁמוֹ׃
そして–尊ぶ–者たちの–ために その–名を
H2803 H8034

そのとき、主を恐れる者は互に語った。主は耳を傾けてこれを聞かれた。そして主を恐れる者、およびその名を心に留めている者のために、主の前に一つの覚え書がしるされた。

17 וְהָיוּ לִי אָמַר יְהוָה צְבָאוֹת לַיּוֹם אֲשֶׁר אֲנִי עֹשֶׂה
そして–彼らは–なる わたしの–ものと 言った 主 万軍の その–日に それの わたしが 作る
H1961 H3068 H0559 H3117 H0834 H0589 H6213

סְגֻלָּה וְחָמַלְתִּי עֲלֵיהֶם כַּאֲשֶׁר יַחְמֹל אִישׁ עַל־ בְּנוֹ הָעֹבֵד
宝と そして–わたしは–惜しむ 彼らを ちょうど 惜しむ–ように 人が の–上に その–子を 仕える
H5459 H2550 H5921 H2550 H376 H5647

אֹתוֹ׃
彼に
H853

「万軍の主は言われる、彼らはわたしが手を下して事を行う日に、わたしの者となり、わたしの宝となる。また人が自分に仕える子をあわれむように、わたしは彼らをあわれむ。

							18
בֵּין	לְרָשָׁע	צַדִּיק	בֵּין	וּרְאִיתֶם	וְשַׁבְתֶּם		
の-間を	そして-悪人の	義人と	の-間を	そして-お前たちは-見る	そして-お前たちは-立ち-帰る		
H0996	H7563	H6662	H0996	H7200	H7725		

ס	:עֲבָדוֹ	לֹא	לַאֲשֶׁר	אֱלֹהִים	עֹבֵד
—	仕えた	ない	そして	神に	仕える-者と
	H5647	H3808		H0430	H5647

その時あなたがたは、再び義人と悪人、神に仕える者と、仕えない者との区別を知るようになる。

Chapter 4

								1
זֵדִים	כָּל־	וְהָיוּ	כַּתַּנּוּר	בֹּעֵר	בָּא	הַיּוֹם	הִנֵּה	כִּי־	
高慢な-者と	すべての	そして-なる	炉の-ように	燃える	来る	その-日が	見よ	なぜなら	
H2086	H3605	H1961	H8574		H0935	H3117	H2009		

יְהוָה	אָמַר	הַבָּא	הַיּוֹם	אֹתָם	וְלִהַט	קַשׁ	רִשְׁעָה	עֹשֶׂה	וְכָל־
主	言った	来る	その-日が	彼らを	そして-燃やす	わらと	悪を	行う-者は	そして-すべての
H3068	H0559	H0935	H3117	H0853	H3857	H7179	H7564		H3605

:וְעָנָף	שֹׁרֶשׁ	לָהֶם	יַעֲזֹב	לֹא־	אֲשֶׁר	צְבָאוֹת
そして-枝も	根も	彼らに	残す	ない	それが	万軍の
H6057	H8328	H1992		H3808		

万軍の主は言われる、見よ、炉のように燃える日が来る。その時すべて高ぶる者と、悪を行う者とは、わらのようになる。その来る日は、彼らを焼き尽して、根も枝も残さない。

								2
בִּכְנָפֶיהָ	וּמַרְפֵּא	צְדָקָה	שֶׁמֶשׁ	שְׁמִי	יִרְאֵי	לָכֶם	וְזָרְחָה	
その-翼に	そして-癒しが	義の	太陽が	わたしの-名を	畏れる-者たちよ	お前たちに	そして-昇る	
H3671	H4832	H6666	H8121	H8034	H3373		H2224	

:מַרְבָּק	כְּעֻגְלֵי	וּפִשְׁתֶּם	וִיצָאתֶם	
畜舎の	子牛の-ように	そして-跳ねる	そして-お前たちは-出て-行く	
H4770	H5695		H3318	

しかしわが名を恐れるあなたがたには、義の太陽がのぼり、その翼には、いやす力を備えている。あなたがたは牛舎から出る子牛のように外に出て、とびはねる。

									3
כַּפּוֹת	תָּחַת	אֵפֶר	יִהְיוּ	כִּי־	רְשָׁעִים	וְעַסּוֹתֶם			
足の-裏	の-下に	灰と	彼らは-なる	なぜなら	悪しき-者たちを	そして-お前たちは-踏む			
H3709	H8478	H0665	H1961		H7563	H6072			

פ	:צְבָאוֹת	יְהוָה	אָמַר	עֹשֶׂה	אֲנִי	אֲשֶׁר	בְּיוֹם	רַגְלֵיכֶם
—	万軍の	主	言った	作る	わたしが	それの	その-日に	お前たちの
		H3068	H0559		H0589		H3117	H7272

また、あなたがたは悪人を踏みつけ、わたしが事を行う日に、彼らはあなたがたの足の裏の下にあって、灰のようになると、万軍の主は言われる。

								4
בְּחֹרֵב	אוֹתוֹ	צִוִּיתִי	אֲשֶׁר	עַבְדִּי	מֹשֶׁה	תּוֹרַת	זִכְרוּ	
ホレブに-おいて	彼に	わたしが-命じた	それを	わたしの-僕の	モーセの	律法を	覚えよ	
H2722	H0853	H6680		H5650	H4872	H8451	H2142	

:וּמִשְׁפָּטִים	חֻקִּים	יִשְׂרָאֵל	כָּל־	עַל־	
そして-裁きを	定めと	イスラエル	すべての	の-ために	
H4941	H2706	H3478	H3605		

あなたがたは、わがしもべモーセの律法、すなわちわたしがホレブで、イスラエル全体のために、彼に命じた定めとおきてとを覚えよ。

יְהוָה	יוֹם	בּוֹא	לִפְנֵי	הַנָּבִיא	אֵלִיָּה	אֶת	לָכֶם	שֹׁלֵחַ	אָנֹכִי	הִנֵּה	5
主の	日が	来る	の–前に	預言者	エリヤを	—	お前たちに	遣わす	わたしは	見よ	
H3068	H3117	H0935	H6440	H5030	H0452	H0853		H7971	H0595	H2009	

וְהַנּוֹרָא׃	הַגָּדוֹל
そして–畏れ多い	大いなる
H3372	

見よ、主の大いなる恐るべき日が来る前に、わたしは預言者エリヤをあなたがたにつかわす。

עַל־	בָּנִים	וְלֵב	בָּנִים	עַל־	אָבוֹת	לֵב־	וְהֵשִׁיב		6
へ	子らの	そして–心を	子らに	へ	父たちの	心を	そして–彼は–立ち–帰らせる		
					H0001		H7725		

חֵרֶם׃	הָאָרֶץ	אֶת־	וְהִכִּיתִי	אָבֹוא	פֶּן־	אֲבוֹתָם
滅びで	地を	—	そして–打つ	わたしは–来て	さもなくば	彼らの–父たちに
	H0776	H0853	H5221	H0935	H6435	H0001

彼は父の心をその子供たちに向けさせ、子供たちの心をその父に向けさせる。これはわたしが来て、のろいをもってこの国を撃つことのないようにするためである」。

Matthew

Chapter 1

1

Βίβλος	γενέσεως	Ἰησοῦ	Χριστοῦ,	υἱοῦ	Δαυὶδ,	υἱοῦ	Ἀβραάμ.
系図の–書	起源の	イエス	キリストの	子である	ダビデの	子である	アブラハムの
G0976	G1078	G2424	G5547	G5207	G1138	G5207	G0011

アブラハムの子であるダビデの子、イエス・キリストの系図。

2

Ἀβραὰμ	ἐγέννησεν	τὸν	Ἰσαάκ;	Ἰσαὰκ	δὲ	ἐγέννησεν	τὸν	Ἰακώβ;
アブラハムは	もうけた	—	イサクを	イサクは	また	もうけた	—	ヤコブを
G0011	G1080	G3588	G2464	G2464	G1161	G1080	G3588	G2384

Ἰακὼβ	δὲ	ἐγέννησεν	τὸν	Ἰούδαν	καὶ	τοὺς	ἀδελφοὺς	αὐτοῦ;
ヤコブは	また	もうけた	—	ユダと	そして	—	兄弟たちを	彼の
G2384	G1161	G1080	G3588	G2455	G2532	G3588	G0080	G0846

アブラハムはイサクの父であり、イサクはヤコブの父、ヤコブはユダとその兄弟たちとの父、

3

Ἰούδας	δὲ	ἐγέννησεν	τὸν	Φαρὲς	καὶ	τὸν	Ζαρὰ	ἐκ	τῆς	Θάμαρ;
ユダは	また	もうけた	—	パレスと	そして	—	ザラを	～から	—	タマルの
G2455	G1161	G1080	G3588	G5329	G2532	G3588	G2196	G1537	G3588	G2283

Φαρὲς	δὲ	ἐγέννησεν	τὸν	Ἑσρώμ;	Ἑσρὼμ	δὲ	ἐγέννησεν	τὸν	Ἀράμ;
パレスは	また	もうけた	—	エスロンを	エスロンは	また	もうけた	—	アラムを
G5329	G1161	G1080	G3588	G2074	G2074	G1161	G1080	G3588	G0689

ユダはタマルによるパレスとザラとの父、パレスはエスロンの父、エスロンはアラムの父、

4

Ἀρὰμ	δὲ	ἐγέννησεν	τὸν	Ἀμιναδάβ;	Ἀμιναδὰβ	δὲ	ἐγέννησεν	τὸν
アラムは	また	もうけた	—	アミナダブを	アミナダブは	また	もうけた	—
G0689	G1161	G1080	G3588	G0284	G0284	G1161	G1080	G3588

Ναασσών;	Ναασσὼν	δὲ	ἐγέννησεν	τὸν	Σαλμών;
ナアソンを	ナアソンは	また	もうけた	—	サルモンを
G3476	G3476	G1161	G1080	G3588	G4533

アラムはアミナダブの父、アミナダブはナアソンの父、ナアソンはサルモンの父、

5

Σαλμὼν	δὲ	ἐγέννησεν	τὸν	Βόες	ἐκ	τῆς	Ῥαχάβ;	Βόες	δὲ
サルモンは	また	もうけた	—	ボアズを	～から	—	ラハブの	ボアズは	また
G4533	G1161	G1080	G3588	G1003	G1537	G3588	G4477	G1003	G1161

ἐγέννησεν	τὸν	Ἰωβὴδ	ἐκ	τῆς	Ῥούθ;	Ἰωβὴδ	δὲ	ἐγέννησεν	τὸν
もうけた	—	オベデを	～から	—	ルツの	オベデは	また	もうけた	—
G1080	G3588	G5601	G1537	G3588	G4503	G5601	G1161	G1080	G3588

Ἰεσσαί;
エッサイを
G2421

サルモンはラハブによるボアズの父、ボアズはルツによるオベデの父、オベデはエッサイの父、

6

Ἰεσσαὶ	δὲ	ἐγέννησεν	τὸν	Δαυὶδ	τὸν	βασιλέα.	Δαυὶδ	δὲ	ἐγέννησεν
エッサイは	また	もうけた	—	ダビデ	—	王を	ダビデは	また	もうけた
G2421	G1161	G1080	G3588	G1138	G3588	G0935	G1138	G1161	G1080

τὸν	Σολομῶνα	ἐκ	τῆς	τοῦ	Οὐρίου;
—	ソロモンを	～から	—	—	ウリヤの-妻の
G3588	G4672	G1537	G3588	G3588	G3774

エッサイはダビデ王の父であった。ダビデはウリヤの妻によるソロモンの父であり、

7

Σολομὼν	δὲ	ἐγέννησεν	τὸν	Ῥοβοάμ;	Ῥοβοὰμ	δὲ	ἐγέννησεν	τὸν
ソロモンは	また	もうけた	—	レハベアムを	レハベアムは	また	もうけた	—
G4672	G1161	G1080	G3588	G4497	G4497	G1161	G1080	G3588

Ἀβιά;	Ἀβιὰ	δὲ	ἐγέννησεν	τὸν	Ἀσάφ;
アビヤを	アビヤは	また	もうけた	—	アサを
G0007	G0007	G1161	G1080	G3588	G0760

ソロモンはレハベアムの父、レハベアムはアビヤの父、アビヤはアサの父、

8

Ἀσὰφ	δὲ	ἐγέννησεν	τὸν	Ἰωσαφάτ;	Ἰωσαφὰτ	δὲ	ἐγέννησεν	τὸν	Ἰωράμ;
アサは	また	もうけた	—	ヨサパテを	ヨサパテは	また	もうけた	—	ヨラムを
G0760	G1161	G1080	G3588	G2498	G2498	G1161	G1080	G3588	G2496

Ἰωρὰμ	δὲ	ἐγέννησεν	τὸν	Ὀζίαν;
ヨラムは	また	もうけた	—	ウジヤを
G2496	G1161	G1080	G3588	G3604

アサはヨサパテの父、ヨサパテはヨラムの父、ヨラムはウジヤの父、

9

Ὀζίας	δὲ	ἐγέννησεν	τὸν	Ἰωαθάμ;	Ἰωαθὰμ	δὲ	ἐγέννησεν	τὸν	Ἄχαζ;
ウジヤは	また	もうけた	—	ヨタムを	ヨタムは	また	もうけた	—	アハズを
G3604	G1161	G1080	G3588	G2488	G2488	G1161	G1080	G3588	G0881

Ἄχαζ	δὲ	ἐγέννησεν	τὸν	Ἑζεκίαν;
アハズは	また	もうけた	—	ヒゼキヤを
G0881	G1161	G1080	G3588	G1478

ウジヤはヨタムの父、ヨタムはアハズの父、アハズはヒゼキヤの父、

10

Ἑζεκίας	δὲ	ἐγέννησεν	τὸν	Μανασσῆ;	Μανασσῆς	δὲ	ἐγέννησεν	τὸν
ヒゼキヤは	また	もうけた	—	マナセを	マナセは	また	もうけた	—
G1478	G1161	G1080	G3588	G3128	G3128	G1161	G1080	G3588

Ἀμώς;	Ἀμὼς	δὲ	ἐγέννησεν	τὸν	Ἰωσίαν;
アモスを	アモスは	また	もうけた	—	ヨシヤを
G0301	G0301	G1161	G1080	G3588	G2502

ヒゼキヤはマナセの父、マナセはアモンの父、アモンはヨシヤの父、

11

Ἰωσίας	δὲ	ἐγέννησεν	τὸν	Ἰεχονίαν	καὶ	τοὺς	ἀδελφοὺς	αὐτοῦ,	ἐπὶ
ヨシヤは	また	もうけた	—	エコニヤと	そして	—	兄弟たちを	彼の	～の-頃
G2502	G1161	G1080	G3588	G2423	G2532	G3588	G0080	G0846	G1909

τῆς	μετοικεσίας	Βαβυλῶνος.
—	捕囚の	バビロンへの
G3588	G3350	G0897

ヨシヤはバビロンへ移されたころ、エコニヤとその兄弟たちとの父となった。

12

Μετὰ	δὲ	τὴν	μετοικεσίαν	Βαβυλῶνος,	Ἰεχονίας	ἐγέννησεν	τὸν	Σαλαθιήλ;
～の-後	さて	―	捕囚の	バビロンへの	エコニヤは	もうけた	―	サラテルを
G3326	G1161	G3588	G3350	G0897	G2423	G1080	G3588	G4528

Σαλαθιὴλ	δὲ	ἐγέννησεν	τὸν	Ζοροβαβέλ;
サラテルは	また	もうけた	―	ゾロバベルを
G4528	G1161	G1080	G3588	G2216

バビロンへ移されたのち、エコニヤはサラテルの父となった。サラテルはゾロバベルの父、

13

Ζοροβαβὲλ	δὲ	ἐγέννησεν	τὸν	Ἀβιούδ;	Ἀβιοὺδ	δὲ	ἐγέννησεν	τὸν
ゾロバベルは	また	もうけた	―	アビウデを	アビウデは	また	もうけた	―
G2216	G1161	G1080	G3588	G0010	G0010	G1161	G1080	G3588

Ἐλιακίμ;	Ἐλιακὶμ	δὲ	ἐγέννησεν	τὸν	Ἀζώρ;
エリヤキムを	エリヤキムは	また	もうけた	―	アゾルを
G1662	G1662	G1161	G1080	G3588	G0107

ゾロバベルはアビウデの父、アビウデはエリヤキムの父、エリヤキムはアゾルの父、

14

Ἀζὼρ	δὲ	ἐγέννησεν	τὸν	Σαδώκ;	Σαδὼκ	δὲ	ἐγέννησεν	τὸν	Ἀχίμ;
アゾルは	また	もうけた	―	サドクを	サドクは	また	もうけた	―	アキムを
G0107	G1161	G1080	G3588	G4524	G4524	G1161	G1080	G3588	G0885

Ἀχὶμ	δὲ	ἐγέννησεν	τὸν	Ἐλιούδ;
アキムは	また	もうけた	―	エリウデを
G0885	G1161	G1080	G3588	G1664

アゾルはサドクの父、サドクはアキムの父、アキムはエリウデの父、

15

Ἐλιοὺδ	δὲ	ἐγέννησεν	τὸν	Ἐλεάζαρ;	Ἐλεάζαρ	δὲ	ἐγέννησεν	τὸν
エリウデは	また	もうけた	―	エレアザルを	エレアザルは	また	もうけた	―
G1664	G1161	G1080	G3588	G1648	G1648	G1161	G1080	G3588

Ματθάν;	Ματθὰν	δὲ	ἐγέννησεν	τὸν	Ἰακώβ;
マタンを	マタンは	また	もうけた	―	ヤコブを
G3157	G3157	G1161	G1080	G3588	G2384

エリウデはエレアザルの父、エレアザルはマタンの父、マタンはヤコブの父、

16

Ἰακὼβ	δὲ	ἐγέννησεν	τὸν	Ἰωσὴφ	τὸν	ἄνδρα	Μαρίας,	ἐξ	ἧς
ヤコブは	また	もうけた	―	ヨセフを	―	夫である	マリヤの	～から	彼女から
G2384	G1161	G1080	G3588	G2501	G3588	G0435	G3137	G1537	G3739

ἐγεννήθη	Ἰησοῦς,	ὁ	λεγόμενος	Χριστός.
生まれた	イエスが	―	呼ばれる	キリストと
G1080	G2424	G3588	G3004	G5547

ヤコブはマリヤの夫ヨセフの父であった。このマリヤからキリストといわれるイエスがお生れになった。

17 Πᾶσαι οὖν αἱ γενεαὶ ἀπὸ Ἀβραὰμ ἕως Δαυὶδ γενεαὶ
すべての このように ― 世代は ～から アブラハムから ～まで ダビデまで 世代が
G3956 G3767 G3588 G1074 G0575 G0011 G2193 G1138 G1074

δεκατέσσαρες; καὶ ἀπὸ Δαυὶδ ἕως τῆς μετοικεσίας Βαβυλῶνος, γενεαὶ
十四あり また ～から ダビデから ～まで ― 捕囚の バビロンへの 世代が
G1180 G2532 G0575 G1138 G2193 G3588 G3350 G0897 G1074

δεκατέσσαρες; καὶ ἀπὸ τῆς μετοικεσίας Βαβυλῶνος ἕως τοῦ Χριστοῦ,
十四あり また ～から ― 捕囚から バビロンの ～まで ― キリストまで
G1180 G2532 G0575 G3588 G3350 G0897 G2193 G3588 G5547

γενεαὶ δεκατέσσαρες.
世代が 十四ある
G1074 G1180

だから、アブラハムからダビデまでの代は合わせて十四代、ダビデからバビロンへ移されるまでは十四代、そして、バビロンへ移されてからキリストまでは十四代である。

18 Τοῦ δὲ Ἰησοῦ Χριστοῦ ἡ γένεσις οὕτως ἦν. μνηστευθείσης τῆς
― さて イエス キリストの ― 誕生は このように であった 婚約していた ―
G3588 G1161 G2424 G5547 G3588 G1078 G3779 G1510 G3423 G3588

μητρὸς αὐτοῦ Μαρίας τῷ Ἰωσήφ, πρὶν ἢ συνελθεῖν αὐτοὺς,
母 彼の マリヤが ― ヨセフと まだ ～する–前に 一緒に–なる 彼らが
G3384 G0846 G3137 G3588 G2501 G4250 G2228 G4905 G0846

εὑρέθη ἐν γαστρὶ ἔχουσα ἐκ πνεύματος ἁγίου.
身ごもっている–ことが–わかった ～の 胎に 子を–宿して ～から 御霊 聖なる–方の
G2147 G1722 G1064 G2192 G1537 G4151 G0040

イエス・キリストの誕生の次第はこうであった。母マリヤはヨセフと婚約していたが、まだ一緒にならない前に、聖霊によって身重になった。

19 Ἰωσὴφ δὲ, ὁ ἀνὴρ αὐτῆς, δίκαιος ὢν, καὶ μὴ θέλων αὐτὴν
ヨセフは しかし ― 夫は 彼女の 正しい–人で あり また ～ない 望んで 彼女を
G2501 G1161 G3588 G0435 G0846 G1342 G1510 G2532 G3361 G2309 G0846

δειγματίσαι, ἐβουλήθη λάθρᾳ ἀπολῦσαι αὐτήν.
さらし者に–する–ことを 決心した ひそかに 離縁しようと 彼女を
G1165 G1014 G2977 G0630 G0846

夫ヨセフは正しい人であったので、彼女のことが公けになることを好まず、ひそかに離縁しようと決心した。

20 ταῦτα δὲ αὐτοῦ ἐνθυμηθέντος, ἰδοὺ, ἄγγελος Κυρίου κατ’
これらの–ことを ところが 彼が 思い–巡らしていると 見よ 御使いが 主の ～の–中で
G3778 G1161 G0846 G1760 G3708 G0032 G2962 G2596

ὄναρ ἐφάνη αὐτῷ, λέγων, Ἰωσὴφ, υἱὸς Δαυίδ, μὴ φοβηθῇς
夢に 現れて 彼に 言った ヨセフよ 子孫である ダビデの ～するな 恐れて
G3677 G5316 G0846 G3004 G2501 G5207 G1138 G3361 G5399

παραλαβεῖν Μαρίαν τὴν γυναῖκά σου; τὸ γὰρ ἐν αὐτῇ
迎え入れる–ことを マリヤを ― 妻として あなたの ― なぜなら ～の–うちに 彼女の
G3880 G3137 G3588 G1135 G4771 G3588 G1063 G1722 G0846

γεννηθὲν, ἐκ Πνεύματός ἐστιν Ἁγίου.
宿った–ものは ～から 御霊 である 聖なる–方の
G1080 G1537 G4151 G1510 G0040

彼がこのことを思いめぐらしていたとき、主の使が夢に現れて言った、「ダビデの子ヨセフよ、心配しないでマリヤを妻として迎えるがよい。その胎内に宿っているものは聖霊によるのである。

21 τέξεται 産むであろう G5088 δὲ そして G1161 υἱὸν, 男の-子を G5207 καὶ そして G2532 καλέσεις 名づけなさい G2564 τὸ — G3588 ὄνομα 名を G3686 αὐτοῦ その-子の G0846 Ἰησοῦν; イエスと G2424

αὐτὸς この-方こそ G0846 γὰρ なぜなら G1063 σώσει 救って-くださる G4982 τὸν — G3588 λαὸν 民を G2992 αὐτοῦ ご自身の G0846 ἀπὸ ～から G0575 τῶν — G3588 ἁμαρτιῶν 罪から G0266 αὐτῶν. 彼らの G0846

彼女は男の子を産むであろう。その名をイエスと名づけなさい。彼は、おのれの民をそのもろもろの罪から救う者となるからである」。

22 Τοῦτο この-すべての-ことが G3778 δὲ さて G1161 ὅλον 全て G3650 γέγονεν, 起こったのは G1096 ἵνα ～する-ために G2443 πληρωθῇ 成就する G4137 τὸ — G3588

ῥηθὲν 語られた-ことが G2046 ὑπὸ ～によって G5259 Κυρίου 主から G2962 διὰ ～を-通して G1223 τοῦ — G3588 προφήτου, 預言者を G4396 λέγοντος, こう-言われた G3004

すべてこれらのことが起ったのは、主が預言者によって言われたことの成就するためである。すなわち、

23 Ἰδοὺ, 見よ G3708 ἡ — G3588 παρθένος おとめが G3933 ἐν ～の-うちに G1722 γαστρὶ 胎に G1064 ἕξει, 子を-宿し G2192 καὶ そして G2532 τέξεται 男の-子を-産む G5088 υἱόν, 男の-子を G5207

καὶ そして G2532 καλέσουσιν 名づけるであろう G2564 τὸ — G3588 ὄνομα 名を G3686 αὐτοῦ その-子の G0846 Ἐμμανουήλ, インマヌエルと G1694 ὅ それは G3739 ἐστιν ～である G1510

μεθερμηνευόμενον, 訳すと G3177 Μεθ’ 我らと-共に G3326 ἡμῶν 私たちの G1473 ὁ — G3588 Θεός. 神がおられる G2316

「見よ、おとめがみごもって男の子を産むであろう。その名はインマヌエルと呼ばれるであろう」。これは、「神われらと共にいます」という意味である。

24 ἐγερθεὶς 目を-覚まして G1453 δὲ そこで G1161 ὁ — G3588 Ἰωσὴφ ヨセフは G2501 ἀπὸ ～から G0575 τοῦ — G3588 ὕπνου, 眠りから G5258 ἐποίησεν 行った G4160 ὡς ～の-通りに G5613

προσέταξεν 命じられた G4367 αὐτῷ 彼に G0846 ὁ — G3588 ἄγγελος 御使いが G0032 Κυρίου, 主の G2962 καὶ そして G2532 παρέλαβεν 迎え入れた G3880 τὴν — G3588 γυναῖκα 妻を G1135 αὐτοῦ, 自分の G0846

ヨセフは眠りからさめた後に、主の使が命じたとおりに、マリヤを妻に迎えた。

25 καὶ しかし G2532 οὐκ ～なかった G3756 ἐγίνωσκεν 知ることは G1097 αὐτὴν 彼女を G0846 ἕως ～まで G2193 οὗ ～する-まで G3739 ἔτεκεν 産んだ G5088 υἱόν; 男の-子を G5207 καὶ そして G2532

ἐκάλεσεν 名づけた G2564 τὸ — G3588 ὄνομα 名を G3686 αὐτοῦ その-子の G0846 Ἰησοῦν. イエスと G2424

しかし、子が生れるまでは、彼女を知ることはなかった。そして、その子をイエスと名づけた。

Chapter 2

1 Τοῦ δὲ Ἰησοῦ, γεννηθέντος ἐν Βηθλέεμ τῆς Ἰουδαίας, ἐν
— さて イエスが 生まれた–とき ～にて ベツレヘムの — ユダヤの ～の–時代に
G3588 G1161 G2424 G1080 G1722 G0965 G3588 G2449 G1722

ἡμέραις Ἡρῴδου τοῦ βασιλέως, ἰδοὺ, μάγοι ἀπὸ ἀνατολῶν παρεγένοντο
日々に ヘロデ — 王の 見よ 博士たちが ～から 東の–方から やって–来た
G2250 G2264 G3588 G0935 G3708 G3097 G0575 G0395 G3854

εἰς Ἱεροσόλυμα,
～へ エルサレムへ
G1519 G2414

イエスがヘロデ王の代に、ユダヤのベツレヘムでお生れになったとき、見よ、東からきた博士たちがエルサレムに着いて言った、

2 λέγοντες, Ποῦ ἐστιν ὁ τεχθεὶς βασιλεὺς τῶν Ἰουδαίων? εἴδομεν
言った どこに おられますか — 生まれた 王は — ユダヤ人の 見ました
G3004 G4226 G1510 G3588 G5088 G0935 G3588 G2453 G3708

γὰρ αὐτοῦ τὸν ἀστέρα ἐν τῇ ἀνατολῇ, καὶ ἤλθομεν προσκυνῆσαι
なぜなら その–方の — 星を ～にて — 東の–方で それで 参りました 拝む–ために
G1063 G0846 G3588 G0792 G1722 G3588 G0395 G2532 G2064 G4352

αὐτῷ.
その–方を
G0846

「ユダヤ人の王としてお生れになったかたは、どこにおられますか。わたしたちは東の方でその星を見たので、そのかたを拝みにきました」。

3 ἀκούσας δὲ ὁ βασιλεὺς Ἡρῴδης, ἐταράχθη, καὶ πᾶσα Ἱεροσόλυμα
聞いて さて — 王 ヘロデは 動揺した そして すべての エルサレムも
G0191 G1161 G3588 G0935 G2264 G5015 G2532 G3956 G2414

μετ’ αὐτοῦ.
共に 彼と
G3326 G0846

ヘロデ王はこのことを聞いて不安を感じた。エルサレムの人々もみな、同様であった。

4 καὶ συναγαγὼν πάντας τοὺς ἀρχιερεῖς καὶ γραμματεῖς τοῦ λαοῦ,
そして 集めて すべての — 祭司長と そして 律法学者を — 民の
G2532 G4863 G3956 G3588 G0749 G2532 G1122 G3588 G2992

ἐπυνθάνετο παρ’ αὐτῶν ποῦ ὁ Χριστὸς γεννᾶται.
尋ねた ～から 彼らに どこで — キリストが 生まれるのかを
G4441 G3844 G0846 G4226 G3588 G5547 G1080

そこで王は祭司長たちと民の律法学者たちとを全部集めて、キリストはどこに生れるのかと、彼らに問いただした。

5 οἱ δὲ εἶπαν αὐτῷ, Ἐν Βηθλέεμ τῆς Ἰουδαίας: οὕτως γὰρ
彼らは さて 答えた 彼に ～にて ベツレヘムで — ユダヤの このように なぜなら
G3588 G1161 G3004 G0846 G1722 G0965 G3588 G2449 G3779 G1063

γέγραπται διὰ τοῦ προφήτου:
書かれている ～を–通して — 預言者により
G1125 G1223 G3588 G4396

彼らは王に言った、「それはユダヤのベツレヘムです。預言者がこうしるしています、

6

Καὶ	σύ,	Βηθλέεμ,	γῆ	Ἰούδα,	οὐδαμῶς	ἐλαχίστη	εἶ
そして	お前よ	ベツレヘムよ	地よ	ユダの	決して～ではない	最も-小さい-もの	である
G2532	G4771	G0965	G1093	G2448	G3760	G1646	G1510

ἐν	τοῖς	ἡγεμόσιν	Ἰούδα,	ἐκ	σοῦ	γὰρ	ἐξελεύσεται	ἡγούμενος,
～の-中で	―	指導者たちの	ユダの	～から	お前から	なぜなら	出てくるであろう	指導者が
G1722	G3588	G2232	G2448	G1537	G4771	G1063	G1831	G2233

ὅστις	ποιμανεῖ	τὸν	λαόν	μου	τὸν	Ἰσραήλ.
その-者が	牧するであろう	―	民を	我が	―	イスラエルを
G3748	G4165	G3588	G2992	G1473	G3588	G2474

『ユダの地、ベツレヘムよ、おまえはユダの君たちの中で、決して最も小さいものではない。おまえの中からひとりの君が出て、わが民イスラエルの牧者となるであろう』」。

7

Τότε	Ἡρῴδης,	λάθρᾳ	καλέσας	τοὺς	μάγους,	ἠκρίβωσεν	παρ’	αὐτῶν
その-時	ヘロデは	ひそかに	呼び寄せて	―	博士たちを	突き-止めた	～から	彼らに
G5119	G2264	G2977	G2564	G3588	G3097	G0198	G3844	G0846

τὸν	χρόνον	τοῦ	φαινομένου	ἀστέρος.
―	時期を	―	現れた	星の
G3588	G5550	G3588	G5316	G0792

そこで、ヘロデはひそかに博士たちを呼んで、星の現れた時について詳しく聞き、

8

καὶ	πέμψας	αὐτοὺς	εἰς	Βηθλέεμ,	εἶπεν,	Πορευθέντες,	ἐξετάσατε	ἀκριβῶς
そして	遣わして	彼らを	～へ	ベツレヘムへ	言った	行って	探しなさい	念入りに
G2532	G3992	G0846	G1519	G0965	G3004	G4198	G1833	G0199

περὶ	τοῦ	παιδίου;	ἐπὰν	δὲ	εὕρητε,	ἀπαγγείλατέ	μοι,	ὅπως
～について	―	幼子を	見つけたら	そして	見つけたら	知らせなさい	私に	～する-ために
G4012	G3588	G3813	G1875	G1161	G2147	G0518	G1473	G3704

κἀγὼ	ἐλθὼν,	προσκυνήσω	αὐτῷ.
私もまた	行って	拝もう	その-子を
G2504	G2064	G4352	G0846

彼らをベツレヘムにつかわして言った、「行って、その幼な子のことを詳しく調べ、見つかったらわたしに知らせてくれ。わたしも拝みに行くから」。

9

οἱ	δὲ	ἀκούσαντες	τοῦ	βασιλέως,	ἐπορεύθησαν;	καὶ	ἰδοὺ,	ὁ	ἀστὴρ,
彼らは	さて	聞いて	―	王の-言葉を	出発した	すると	見よ	―	星が
G3588	G1161	G0191	G3588	G0935	G4198	G2532	G3708	G3588	G0792

ὃν	εἶδον	ἐν	τῇ	ἀνατολῇ,	προῆγεν	αὐτούς,	ἕως	ἐλθὼν,	ἐστάθη
それを	見たもの	～にて	―	東の-方で	先立って-進んだ	彼らを	～まで	来て	止まった
G3739	G3708	G1722	G3588	G0395	G4254	G0846	G2193	G2064	G2476

ἐπάνω	οὗ	ἦν	τὸ	παιδίον.
上に	その-場所に	いた	―	幼子が
G1883	G3757	G1510	G3588	G3813

彼らは王の言うことを聞いて出かけると、見よ、彼らが東方で見た星が、彼らより先に進んで、幼な子のいる所まで行き、その上にとどまった。

10

ἰδόντες	δὲ	τὸν	ἀστέρα,	ἐχάρησαν	χαρὰν	μεγάλην	σφόδρα.
見て	さて	―	星を	喜んだ	喜びを	大きな	非常に
G3708	G1161	G3588	G0792	G5463	G5479	G3173	G4970

彼らはその星を見て、非常な喜びにあふれた。

11 καὶ そして G2532 ἐλθόντες 入って G2064 εἰς ～へ G1519 τὴν ― G3588 οἰκίαν, 家に G3614 εἶδον 見た G3708 τὸ ― G3588 παιδίον 幼子を G3813 μετὰ 共に G3326 Μαρίας マリヤと G3137 τῆς ― G3588

μητρὸς 母 G3384 αὐτοῦ, その-方の G0846 καὶ そして G2532 πεσόντες, ひれ伏して G4098 προσεκύνησαν 拝んだ G4352 αὐτῷ: その-方を G0846 καὶ そして G2532 ἀνοίξαντες 開けて G0455 τοὺς ― G3588

θησαυροὺς 宝の-箱を G2344 αὐτῶν, 彼らの G0846 προσήνεγκαν 捧げた G4374 αὐτῷ その-方に G0846 δῶρα: 贈り-物を G1435 χρυσὸν 黄金と G5557 καὶ そして G2532 λίβανον 乳香と G3030 καὶ そして G2532

σμύρναν. 没薬を G4666

そして、家にはいって、母マリヤのそばにいる幼な子に会い、ひれ伏して拝み、また、宝の箱をあけて、黄金・乳香・没薬などの贈り物をささげた。

12 καὶ そして G2532 χρηματισθέντες 夢で-警告されて G5537 κατ’ ～の-中で G2596 ὄναρ 夢で G3677 μὴ ～ないように G3361 ἀνακάμψαι 戻る G0344 πρὸς ～の-もとへ G4314 Ἡρῴδην, ヘロデの G2264

δι’ ～を-通って G1223 ἄλλης 別の G0243 ὁδοῦ 道を G3598 ἀνεχώρησαν 帰って-行った G0402 εἰς ～へ G1519 τὴν ― G3588 χώραν 国へ G5561 αὐτῶν. 彼らの G0846

そして、夢でヘロデのところに帰るなとのみ告げを受けたので、他の道をとおって自分の国へ帰って行った。

13 Ἀναχωρησάντων 去った-後 G0402 δὲ さて G1161 αὐτῶν, 彼らが G0846 ἰδοὺ, 見よ G3708 ἄγγελος 御使いが G0032 κυρίου 主の G2962 φαίνεται 現れた G5316 κατ’ ～の-中で G2596 ὄναρ 夢に G3677

τῷ ― G3588 Ἰωσὴφ, ヨセフに G2501 λέγων, 言った G3004 Ἐγερθεὶς, 起きて G1453 παράλαβε 連れて-行け G3880 τὸ ― G3588 παιδίον 幼子と G3813 καὶ そして G2532 τὴν ― G3588 μητέρα 母を G3384

αὐτοῦ, その-子の G0846 καὶ そして G2532 φεῦγε 逃げなさい G5343 εἰς ～へ G1519 Αἴγυπτον, エジプトへ G0125 καὶ そして G2532 ἴσθι いなさい G1510 ἐκεῖ そこに G1563 ἕως ～まで G2193 ἂν ～するまで G0302

εἴπω 告げる G3004 σοι; あなたに G4771 μέλλει ～しようと-している G3195 γὰρ なぜなら G1063 Ἡρῴδης ヘロデが G2264 ζητεῖν 探し-求める G2212 τὸ ― G3588 παιδίον, 幼子を G3813

τοῦ ～する-ために G3588 ἀπολέσαι 殺そうと G0622 αὐτό. その-子を G0846

彼らが帰って行ったのち、見よ、主の使が夢でヨセフに現れて言った、「立って、幼な子とその母を連れて、エジプトに逃げなさい。そして、あなたに知らせるまで、そこにとどまっていなさい。ヘロデが幼な子を捜し出して、殺そうとしている」。

14 ὁ 彼は G3588 δὲ さて G1161 ἐγερθεὶς, 起きて G1453 παρέλαβεν 連れて-行った G3880 τὸ ― G3588 παιδίον 幼子と G3813 καὶ そして G2532 τὴν ― G3588 μητέρα 母を G3384 αὐτοῦ その-子の G0846

νυκτὸς, 夜の-うちに G3571 καὶ そして G2532 ἀνεχώρησεν 退いた G0402 εἰς ～へ G1519 Αἴγυπτον, エジプトへ G0125

そこで、ヨセフは立って、夜の間に幼な子とその母とを連れてエジプトへ行き、

15 καὶ ἦν ἐκεῖ ἕως τῆς τελευτῆς Ἡρῴδου; ἵνα πληρωθῇ τὸ
そして いた そこに ～まで ― 死まで ヘロデの ～する-ために 成就する ―
G2532 G1510 G1563 G2193 G3588 G5054 G2264 G2443 G4137 G3588

ῥηθὲν ὑπὸ κυρίου διὰ τοῦ προφήτου, λέγοντος, Ἐξ
語られた-ことが ～によって 主から ～を-通して ― 預言者を こう-言われた ～から
G2046 G5259 G2962 G1223 G3588 G4396 G3004 G1537

Αἰγύπτου ἐκάλεσα τὸν υἱόν μου.
エジプトから 呼び-出した ― 息子を 我が
G0125 G2564 G3588 G5207 G1473

ヘロデが死ぬまでそこにとどまっていた。それは、主が預言者によって「エジプトからわが子を呼び出した」と言われたことが、成就するためである。

16 Τότε Ἡρῴδης, ἰδὼν ὅτι ἐνεπαίχθη ὑπὸ τῶν μάγων, ἐθυμώθη
その-時 ヘロデは 見て ～ことを 欺かれた ～によって ― 博士たちに 激しく-怒った
G5119 G2264 G3708 G3754 G1702 G5259 G3588 G3097 G2373

λίαν, καὶ ἀποστείλας, ἀνεῖλεν πάντας τοὺς παῖδας τοὺς ἐν Βηθλέεμ
非常に そして 人を-遣わして 殺した すべての ― 男の-子を ― ～にいる ベツレヘムの
G3029 G2532 G0649 G0337 G3956 G3588 G3816 G3588 G1722 G0965

καὶ ἐν πᾶσι τοῖς ὁρίοις αὐτῆς, ἀπὸ διετοῦς καὶ κατωτέρω,
そして ～にいる すべての ― 地域の その-周辺の ～から 二歳-以下の そして それ-以下の
G2532 G1722 G3956 G3588 G3725 G0846 G0575 G1332 G2532 G2736

κατὰ τὸν χρόνον ὃν ἠκρίβωσεν παρὰ τῶν μάγων.
～に-よって ― 時期を それを 突き-止めた ～から ― 博士たちに
G2596 G3588 G5550 G3739 G0198 G3844 G3588 G3097

さて、ヘロデは博士たちにだまされたと知って、非常に立腹した。そして人々をつかわし、博士たちから確かめた時に基いて、ベツレヘムとその附近の地方とにいる二歳以下の男の子を、ことごとく殺した。

17 τότε ἐπληρώθη τὸ ῥηθὲν διὰ Ἱερεμίου τοῦ προφήτου,
その-時 成就した ― 語られた-ことが ～を-通して エレミヤ ― 預言者により
G5119 G4137 G3588 G2046 G1223 G2408 G3588 G4396

λέγοντος,
こう-言われた
G3004

こうして、預言者エレミヤによって言われたことが、成就したのである。

18 Φωνὴ ἐν Ῥαμὰ ἠκούσθη, κλαυθμὸς καὶ ὀδυρμὸς πολύς, Ῥαχὴλ
声が ～にて ラマで 聞こえた 泣き声と そして 嘆きが 大きな ラケルが
G5456 G1722 G4471 G0191 G2805 G2532 G3602 G4183 G4478

κλαίουσα τὰ τέκνα αὐτῆς, καὶ οὐκ ἤθελεν παρακληθῆναι,
泣いていた ― 子どもたちの-ことを 彼女の そして ～なかった 望んで 慎められる-ことを
G2799 G3588 G5043 G0846 G2532 G3756 G2309 G3870

ὅτι οὐκ εἰσίν.
なぜなら もはや いないので
G3754 G3756 G1510

「叫び泣く大いなる悲しみの声がラマで聞えた。ラケルはその子らのためになげいた。子らがもはやいないので、慰められることさえ願わなかった」。

19

Τελευτήσαντος	δὲ	τοῦ	Ἡρῴδου,	ἰδοὺ,	ἄγγελος	Κυρίου	φαίνεται	κατ’
死んだ–後	さて	—	ヘロデが	見よ	御使いが	主の	現れた	～の–中で
G5053	G1161	G3588	G2264	G3708	G0032	G2962	G5316	G2596

ὄναρ	τῷ	Ἰωσὴφ	ἐν	Αἰγύπτῳ,
夢に	—	ヨセフに	～にて	エジプトで
G3677	G3588	G2501	G1722	G0125

さて、ヘロデが死んだのち、見よ、主の使がエジプトにいるヨセフに夢で現れて言った、

20

λέγων,	Ἐγερθεὶς,	παράλαβε	τὸ	παιδίον	καὶ	τὴν	μητέρα	αὐτοῦ,	καὶ
言った	起きて	連れて–行け	—	幼子と	そして	—	母を	その–子の	そして
G3004	G1453	G3880	G3588	G3813	G2532	G3588	G3384	G0846	G2532

πορεύου	εἰς	γῆν	Ἰσραήλ;	τεθνήκασιν	γὰρ	οἱ	ζητοῦντες
行きなさい	～へ	地へ	イスラエルの	死んだので	なぜなら	—	命を–狙っていた–者たちは
G4198	G1519	G1093	G2474	G2348	G1063	G3588	G2212

τὴν	ψυχὴν	τοῦ	παιδίου.
—	命を	—	幼子の
G3588	G5590	G3588	G3813

「立って、幼な子とその母を連れて、イスラエルの地に行け。幼な子の命をねらっていた人々は、死んでしまった」。

21

ὁ	δὲ	ἐγερθεὶς	παρέλαβεν	τὸ	παιδίον	καὶ	τὴν	μητέρα	αὐτοῦ,
彼は	さて	起きて	連れて–行った	—	幼子と	そして	—	母を	その–子の
G3588	G1161	G1453	G3880	G3588	G3813	G2532	G3588	G3384	G0846

καὶ	εἰσῆλθεν	εἰς	γῆν	Ἰσραήλ.
そして	入った	～へ	地へ	イスラエルの
G2532	G1525	G1519	G1093	G2474

そこでヨセフは立って、幼な子とその母とを連れて、イスラエルの地に帰った。

22

ἀκούσας	δὲ	ὅτι	Ἀρχέλαος	βασιλεύει	τῆς	Ἰουδαίας
聞いて	しかし	～ことを	アルケラオスが	王として–治めている	—	ユダヤを
G0191	G1161	G3754	G0745	G0936	G3588	G2449

ἀντὶ	τοῦ	πατρὸς	αὐτοῦ	Ἡρῴδου,	ἐφοβήθη	ἐκεῖ	ἀπελθεῖν;
～の–代わりに	—	父	自分の	ヘロデの	恐れた	そこへ	行く–ことを
G0473	G3588	G3962	G0846	G2264	G5399	G1563	G0565

χρηματισθεὶς	δὲ	κατ’	ὄναρ,	ἀνεχώρησεν	εἰς	τὰ	μέρη	τῆς	Γαλιλαίας:
夢で–警告されて	さて	～の–中で	夢で	退いた	～へ	—	地方へ	—	ガリラヤの
G5537	G1161	G2596	G3677	G0402	G1519	G3588	G3313	G3588	G1056

しかし、アケラオがその父ヘロデに代ってユダヤを治めていると聞いたので、そこへ行くことを恐れた。そして夢でみ告げを受けたので、ガリラヤの地方に退き、

23

καὶ	ἐλθὼν,	κατῴκησεν	εἰς	πόλιν	λεγομένην	Ναζαρέτ;	ὅπως	πληρωθῇ
そして	来て	住んだ	～に	町に	呼ばれる	ナザレと	～する–ために	成就する
G2532	G2064	G2730	G1519	G4172	G3004	G3478	G3704	G4137

τὸ	ῥηθὲν	διὰ	τῶν	προφητῶν,	ὅτι	Ναζωραῖος	κληθήσεται.
—	語られた–ことが	～を–通して	—	預言者たちにより	～と	ナザレ人と	呼ばれるであろう
G3588	G2046	G1223	G3588	G4396	G3754	G3480	G2564

ナザレという町に行って住んだ。これは預言者たちによって、「彼はナザレ人と呼ばれるであろう」と言われたことが、成就するためである。

Chapter 3

1

Ἐν	δὲ	ταῖς	ἡμέραις	ἐκείναις,	παραγίνεται	Ἰωάννης	ὁ	βαπτιστὴς,
～にて	さて	―	日々に	その	現れた	ヨハネが	―	バプテスマ
G1722	G1161	G3588	G2250	G1565	G3854	G2491	G3588	G0910

κηρύσσων	ἐν	τῇ	ἐρήμῳ	τῆς	Ἰουδαίας,
宣べ-伝えて	～にて	―	荒野で	―	ユダヤの
G2784	G1722	G3588	G2048	G3588	G2449

そのころ、バプテスマのヨハネが現れ、ユダヤの荒野で教を宣べて言った、

2

‹καὶ›	λέγων,	Μετανοεῖτε:	ἤγγικεν	γὰρ	ἡ	βασιλεία	τῶν	οὐρανῶν.
そして	言った	悟改めよ	近づいたので	なぜなら	―	御国が	―	天の
G2532	G3004	G3340	G1448	G1063	G3588	G0932	G3588	G3772

「悔い改めよ、天国は近づいた」。

3

οὗτος	γάρ	ἐστιν	ὁ	ῥηθεὶς	διὰ	Ἠσαΐου	τοῦ	προφήτου,
この-方こそ	なぜなら	である	―	語られた-者	～を-通して	イザヤ	―	預言者により
G3778	G1063	G1510	G3588	G2046	G1223	G2268	G3588	G4396

λέγοντος,	Φωνὴ	βοῶντος	ἐν	τῇ	ἐρήμῳ,	Ἑτοιμάσατε	τὴν	ὁδὸν	Κυρίου;
こう-言われた	声が	叫ぶ-者の	～にて	―	荒野で	整えよ	―	道を	主の
G3004	G5456	G0994	G1722	G3588	G2048	G2090	G3588	G3598	G2962

εὐθείας	ποιεῖτε	τὰς	τρίβους	αὐτοῦ.
まっすぐに-せよ	せよ	―	小道を	その-方の
G2117	G4160	G3588	G5147	G0846

預言者イザヤによって、「荒野で呼ばわる者の声がする、『主の道を備えよ、その道筋をまっすぐにせよ』」と言われたのは、この人のことである。

4

Αὐτὸς	δὲ	ὁ	Ἰωάννης	εἶχεν	τὸ	ἔνδυμα	αὐτοῦ	ἀπὸ	τριχῶν
さて	また	―	ヨハネは	持っていた	―	衣服を	彼の	～からの	毛からの
G0846	G1161	G3588	G2491	G2192	G3588	G1742	G0846	G0575	G2359

καμήλου,	καὶ	ζώνην	δερματίνην	περὶ	τὴν	ὀσφὺν	αὐτοῦ,	ἡ	δὲ	τροφὴ
らくだの	そして	帯を	革の	～に	―	腰に	彼の	―	また	食べ物は
G2574	G2532	G2223	G1193	G4012	G3588	G3751	G0846	G3588	G1161	G5160

ἦν	αὐτοῦ	ἀκρίδες	καὶ	μέλι	ἄγριον.
であった	彼の	いなごと	そして	蜜で	野生の
G1510	G0846	G0200	G2532	G3192	G0066

このヨハネは、らくだの毛ごろもを着物にし、腰に皮の帯をしめ、いなごと野蜜とを食物としていた。

5

Τότε	ἐξεπορεύετο	πρὸς	αὐτὸν	Ἱεροσόλυμα,	καὶ	πᾶσα	ἡ	Ἰουδαία,
その-時	出て-行った	～の-もとへ	彼の	エルサレムと	そして	すべての	―	ユダヤと
G5119	G1607	G4314	G0846	G2414	G2532	G3956	G3588	G2449

καὶ	πᾶσα	ἡ	περίχωρος	τοῦ	Ἰορδάνου,
そして	すべての	―	周辺の-地が	―	ヨルダンの
G2532	G3956	G3588	G4066	G3588	G2446

すると、エルサレムとユダヤ全土とヨルダン附近一帯の人々が、ぞくぞくとヨハネのところに出てきて、

6 καὶ そして G2532 ἐβαπτίζοντο バプテスマを-受けていた G0907 ἐν ～にて G1722 τῷ — G3588 Ἰορδάνῃ ヨルダン G2446 ποταμῷ 川で G4215 ὑπ’ ～によって G5259 αὐτοῦ, 彼によって G0846

ἐξομολογούμενοι 告白して G1843 τὰς — G3588 ἁμαρτίας 罪を G0266 αὐτῶν. 彼らの G0846

自分の罪を告白し、ヨルダン川でヨハネからバプテスマを受けた。

7 Ἰδὼν 見て G3708 δὲ さて G1161 πολλοὺς 多くの G4183 τῶν — G3588 Φαρισαίων パリサイ人と G5330 καὶ そして G2532 Σαδδουκαίων サドカイ人が G4523 ἐρχομένους 来るのを G2064 ἐπὶ ～へ G1909 τὸ — G3588

βάπτισμα バプテスマに G0908 ‹αὐτοῦ›, 彼の G0846 εἶπεν 言った G3004 αὐτοῖς, 彼らに G0846 Γεννήματα まむしの-子らよ G1081 ἐχιδνῶν, 毒蛇の G2191 τίς 誰が G5101 ὑπέδειξεν 教えたのか G5263 ὑμῖν お前たちに G4771

φυγεῖν 逃れる-ことを G5343 ἀπὸ ～から G0575 τῆς — G3588 μελλούσης 来たるべき G3195 ὀργῆς? 怒りから G3709

ヨハネは、パリサイ人やサドカイ人が大ぜいバプテスマを受けようとしてきたのを見て、彼らに言った、「まむしの子らよ、迫ってきている神の怒りから、おまえたちはのがれられると、だれが教えたのか。

8 ποιήσατε 実らせよ G4160 οὖν だから G3767 καρπὸν 実を G2590 ἄξιον ふさわしい G0514 τῆς — G3588 μετανοίας. 悔改めに G3341

だから、悔改めにふさわしい実を結べ。

9 καὶ そして G2532 μὴ ～するな G3361 δόξητε 思って G1380 λέγειν 言う-ことを G3004 ἐν ～の-中で G1722 ἑαυτοῖς, 自分たちの G1438 Πατέρα 父として G3962 ἔχομεν 持っている G2192 τὸν — G3588

Ἀβραάμ. アブラハムを G0011 λέγω 言う G3004 γὰρ なぜなら G1063 ὑμῖν, お前たちに G4771 ὅτι ～と G3754 δύναται できる G1410 ὁ — G3588 Θεὸς 神は G2316 ἐκ ～から G1537 τῶν — G3588 λίθων 石から G3037

τούτων これらの G3778 ἐγεῖραι 起こす-ことが G1453 τέκνα 子らを G5043 τῷ — G3588 Ἀβραάμ. アブラハムの G0011

自分たちの父にはアブラハムがあるなどと、心の中で思ってもみるな。おまえたちに言っておく、神はこれらの石ころからでも、アブラハムの子を起すことができるのだ。

10 ἤδη もはや G2235 δὲ さて G1161 ἡ — G3588 ἀξίνη 斧が G0513 πρὸς ～に G4314 τὴν — G3588 ῥίζαν 根に G4491 τῶν — G3588 δένδρων 木の G1186 κεῖται: 置かれている G2749 πᾶν すべての G3956

οὖν だから G3767 δένδρον 木は G1186 μὴ ～ない G3361 ποιοῦν 実らせない G4160 καρπὸν 実を G2590 καλὸν 良い G2570 ἐκκόπτεται 切り-倒され G1581 καὶ そして G2532 εἰς ～の-中へ G1519 πῦρ 火の G4442

βάλλεται. 投げ-込まれる G0906

斧がすでに木の根もとに置かれている。だから、良い実を結ばない木はことごとく切られて、火の中に投げ込まれるのだ。

11 ἐγὼ μὲν ὑμᾶς βαπτίζω ἐν ὕδατι εἰς μετάνοιαν;
私は たしかに あなたがたに バプテスマを–授ける ～によって 水で ～の–ために 悟改めの
G1473 G3303 G4771 G0907 G1722 G5204 G1519 G3341

ὁ δὲ ὀπίσω μου ἐρχόμενος ἰσχυρότερός μού ἐστιν, οὗ οὐκ
しかし さて 後から 私の 来られる–方は 力強い–方であり 私より である その–方の ～ない
G3588 G1161 G3694 G1473 G2064 G2478 G1473 G1510 G3739 G3756

εἰμὶ ἱκανὸς τὰ ὑποδήματα βαστάσαι. αὐτὸς ὑμᾶς
である ふさわしい ― 履物を 運ぶ–ことさえも その–方は あなたがたに
G1510 G2425 G3588 G5266 G0941 G0846 G4771

βαπτίσει ἐν Πνεύματι Ἁγίῳ καὶ πυρί.
バプテスマを–授けるであろう ～によって 御霊と 聖なる そして 火で
G0907 G1722 G4151 G0040 G2532 G4442

わたしは悔改めのために、水でおまえたちにバプテスマを授けている。しかし、わたしのあとから来る人はわたしよりも力のあるかたで、わたしはそのくつをぬがせてあげる値うちもない。このかたは、聖霊と火とによっておまえたちにバプテスマをお授けになるであろう。

12 οὗ τὸ πτύον ἐν τῇ χειρὶ αὐτοῦ; καὶ διακαθαριεῖ τὴν
その–方の ― 箕が ～に ― 手に その–方の そして 徹底的に–清めるであろう ―
G3739 G3588 G4425 G1722 G3588 G5495 G0846 G2532 G1245 G3588

ἅλωνα αὐτοῦ, καὶ συνάξει τὸν σῖτον αὐτοῦ εἰς τὴν
脱穀場を その–方の そして 集めるであろう ― 麦を その–方の ～の–中へ ―
G0257 G0846 G2532 G4863 G3588 G4621 G0846 G1519 G3588

ἀποθήκην; τὸ δὲ ἄχυρον κατακαύσει πυρὶ ἀσβέστῳ.
倉に しかし さて 籾は 燃やすであろう 火で 消えない
G0596 G3588 G1161 G0892 G2618 G4442 G0762

また、箕を手に持って、打ち場の麦をふるい分け、麦は倉に納め、からは消えない火で焼き捨てるであろう」。

13 Τότε παραγίνεται ὁ Ἰησοῦς ἀπὸ τῆς Γαλιλαίας ἐπὶ τὸν Ἰορδάνην,
その–時 来られた ― イエスが ～から ― ガリラヤから ～へ ― ヨルダンへ
G5119 G3854 G3588 G2424 G0575 G3588 G1056 G1909 G3588 G2446

πρὸς τὸν Ἰωάννην, τοῦ βαπτισθῆναι ὑπ' αὐτοῦ.
～の–もとへ ― ヨハネの ～する–ために バプテスマを–受ける ～によって 彼に
G4314 G3588 G2491 G3588 G0907 G5259 G0846

そのときイエスは、ガリラヤを出てヨルダン川に現れ、ヨハネのところにきて、バプテスマを受けようとされた。

14 ὁ δὲ ‹Ἰωάννης› διεκώλυεν αὐτὸν, λέγων, Ἐγὼ χρείαν ἔχω
しかし さて ヨハネは 止めようとした その–方を 言った 私こそ 必要が–ある ある
G3588 G1161 G2491 G1254 G0846 G3004 G1473 G5532 G2192

ὑπὸ σοῦ βαπτισθῆναι, καὶ σὺ ἔρχῃ πρός
～によって あなたに バプテスマを–受ける それなのに あなたが 来られるのですか ～の–もとへ
G5259 G4771 G0907 G2532 G4771 G2064 G4314

με?
私の
G1473

ところがヨハネは、それを思いとどまらせようとして言った、「わたしこそあなたからバプテスマを受けるはずですのに、あなたがわたしのところにおいでになるのですか」。

15 ἀποκριθεὶς δὲ, ὁ Ἰησοῦς εἶπεν ‹πρὸς› αὐτόν, Ἄφες ἄρτι;
答えて しかし — イエスは 言われた ～に 彼に 今は–許しなさい 今は
G0611 G1161 G3588 G2424 G3004 G4314 G0846 G0863 G0737

οὕτως γὰρ πρέπον ἐστὶν ἡμῖν πληρῶσαι πᾶσαν δικαιοσύνην.
このように なぜなら ふさわしい である 私たちが 成就する–ことが すべての 義を
G3779 G1063 G4241 G1510 G1473 G4137 G3956 G1343

τότε ἀφίησιν αὐτόν.
その–時 許した その–方を
G5119 G0863 G0846

しかし、イエスは答えて言われた、「今は受けさせてもらいたい。このように、すべての正しいことを成就するのは、われわれにふさわしいことである」。そこでヨハネはイエスの言われるとおりにした。

16 βαπτισθεὶς δὲ, ὁ Ἰησοῦς εὐθὺς ἀνέβη ἀπὸ τοῦ ὕδατος; καὶ
バプテスマを–受けて さて — イエスは すぐに 上がられた ～から — 水から すると
G0907 G1161 G3588 G2424 G2112 G0305 G0575 G3588 G5204 G2532

ἰδοὺ, ἠνεῴχθησαν [αὐτῷ] οἱ οὐρανοί, καὶ εἶδεν [τὸ] Πνεῦμα [τοῦ] Θεοῦ
見よ 開かれた その–方に — 天が そして 見た — 御霊が — 神の
G3708 G0455 G0846 G3588 G3772 G2532 G3708 G3588 G4151 G3588 G2316

καταβαῖνον ὡσεὶ περιστερὰν, [καὶ] ἐρχόμενον ἐπ’ αὐτόν.
降って–来るのを あたかも 鳩の–ように そして 来るのを ～の–上に その–方の
G2597 G5616 G4058 G2532 G2064 G1909 G0846

イエスはバプテスマを受けるとすぐ、水から上がられた。すると、見よ、天が開け、神の御霊がはとのように自分の上に下ってくるのを、ごらんになった。

17 καὶ ἰδοὺ, φωνὴ ἐκ τῶν οὐρανῶν, λέγουσα, Οὗτός ἐστιν ὁ Υἱός
すると 見よ 声が ～から — 天から 言った この–方は である — 息子
G2532 G3708 G5456 G1537 G3588 G3772 G3004 G3778 G1510 G3588 G5207

μου, ὁ ἀγαπητός, ἐν ᾧ εὐδόκησα.
我が — 愛する ～の–中に その–方を 喜ぶ
G1473 G3588 G0027 G1722 G3739 G2106

また天から声があって言った、「これはわたしの愛する子、わたしの心にかなう者である」。

Chapter 4

1 Τότε ὁ Ἰησοῦς ἀνήχθη εἰς τὴν ἔρημον ὑπὸ τοῦ Πνεύματος
その–時 — イエスは 導かれた ～へ — 荒野へ ～によって — 御霊によって
G5119 G3588 G2424 G0321 G1519 G3588 G2048 G5259 G3588 G4151

πειρασθῆναι ὑπὸ τοῦ διαβόλου.
試みられる–ために ～によって — 悪魔に
G3985 G5259 G3588 G1228

さて、イエスは御霊によって荒野に導かれた。悪魔に試みられるためである。

2	καὶ	νηστεύσας	ἡμέρας	τεσσεράκοντα	καὶ	τεσσεράκοντα,	νύκτας	ὕστερον
そして	断食して	日間を	四十	そして	四十	夜を	その-後
G2532	G3522	G2250	G5062	G2532	G5062	G3571	G5305

ἐπείνασεν.
空腹に-なった
G3983

そして、四十日四十夜、断食をし、そののち空腹になられた。

3	καὶ	προσελθὼν	ὁ	πειράζων,	εἶπεν	αὐτῷ,	Εἰ	Υἱὸς	εἶ
そして	近づいて	—	試す-者が	言った	その-方に	もし	子であるなら	であるなら
G2532	G4334	G3588	G3985	G3004	G0846	G1487	G5207	G1510

| τοῦ | Θεοῦ, | εἰπὲ, | ἵνα | οἱ | λίθοι | οὗτοι | ἄρτοι | γένωνται.
---|---|---|---|---|---|---|---|---|---
| — | 神の | 命じて-みよ | ～する-ように | — | 石が | これらの | パンに | なるように
| G3588 | G2316 | G3004 | G2443 | G3588 | G3037 | G3778 | G0740 | G1096

すると試みる者がきて言った、「もしあなたが神の子であるなら、これらの石がパンになるように命じてごらんなさい」。

4	ὁ	δὲ	ἀποκριθεὶς,	εἶπεν,	Γέγραπται,	Οὐκ	ἐπ’	ἄρτῳ	μόνῳ
しかし	さて	答えて	言われた	書かれている	～ない	～によって	パンのみで	だけで
G3588	G1161	G0611	G3004	G1125	G3756	G1909	G0740	G3441

| ζήσεται | ὁ | ἄνθρωπος, | ἀλλ’ | ἐπὶ | παντὶ | ῥήματι
---|---|---|---|---|---|---|---
| 生きるのではない | — | 人は | そうではなく | ～によって | すべての | ことばによって
| G2198 | G3588 | G0444 | G0235 | G1909 | G3956 | G4487

ἐκπορευομένῳ	διὰ	στόματος	Θεοῦ.
出る	～を-通って	口から	神の
G1607	G1223	G4750	G2316

イエスは答えて言われた、「『人はパンだけで生きるものではなく、神の口から出る一つ一つの言で生きるものである』と書いてある」。

5	Τότε	παραλαμβάνει	αὐτὸν	ὁ	διάβολος	εἰς	τὴν	ἁγίαν	πόλιν,	καὶ
その-時	連れて-行った	その-方を	—	悪魔が	～へ	—	聖なる	都へ	そして
G5119	G3880	G0846	G3588	G1228	G1519	G3588	G0040	G4172	G2532

| ἔστησεν | αὐτὸν | ἐπὶ | τὸ | πτερύγιον | τοῦ | ἱεροῦ,
---|---|---|---|---|---|---|---
| 立たせた | その-方を | ～の-上に | — | 屋根の-端に | — | 神殿の
| G2476 | G0846 | G1909 | G3588 | G4419 | G3588 | G2411

それから悪魔は、イエスを聖なる都に連れて行き、宮の頂上に立たせて

6	καὶ	λέγει	αὐτῷ,	Εἰ	Υἱὸς	εἶ	τοῦ	Θεοῦ,	βάλε
そして	言った	その-方に	もし	子であるなら	であるなら	—	神の	飛び-降りよ
G2532	G3004	G0846	G1487	G5207	G1510	G3588	G2316	G0906

σεαυτὸν	κάτω:	γέγραπται	γὰρ,	ὅτι	Τοῖς	ἀγγέλοις	αὐτοῦ	ἐντελεῖται
自分-自身を	下へ	書かれている	なぜなら	～と	—	御使いたちに	その-方の	命じるであろう
G4572	G2736	G1125	G1063	G3754	G3588	G0032	G0846	G1781

περὶ	σοῦ,	καὶ	ἐπὶ	χειρῶν	ἀροῦσίν	σε,	μή
～について	あなたに	そして	～の-上に	手の	支えるであろう	あなたを	決して～ない
G4012	G4771	G2532	G1909	G5495	G0142	G4771	G3361

ποτε	προσκόψῃς	πρὸς	λίθον	τὸν	πόδα	σου.
～する-ことが	つまずく	～に	石に	—	足を	あなたの
G4219	G4350	G4314	G3037	G3588	G4228	G4771

言った、「もしあなたが神の子であるなら、下へ飛びおりてごらんなさい。『神はあなたのために御使たちにお命じになると、あなたの足が石に打ちつけられないように、彼らはあなたを手でささえるであろう』と書いてありますから」。

7

ἔφη	αὐτῷ	ὁ	Ἰησοῦς,	Πάλιν	γέγραπται,	Οὐκ	ἐκπειράσεις	Κύριον
言われた	その-方に	—	イエスは	また	書かれている	～するな	試してはならない	主を
G5346	G0846	G3588	G2424	G3825	G1125	G3756	G1598	G2962

τὸν	Θεόν	σου.
—	神である	あなたの
G3588	G2316	G4771

イエスは彼に言われた、「『主なるあなたの神を試みてはならない』とまた書いてある」。

8

Πάλιν	παραλαμβάνει	αὐτὸν	ὁ	διάβολος	εἰς	ὄρος	ὑψηλὸν	λίαν,	καὶ
再び	連れて-行った	その-方を	—	悪魔が	～へ	山へ	高い	非常に	そして
G3825	G3880	G0846	G3588	G1228	G1519	G3735	G5308	G3029	G2532

δείκνυσιν	αὐτῷ	πάσας	τὰς	βασιλείας	τοῦ	κόσμου	καὶ	τὴν	δόξαν
見せた	その-方に	すべての	—	国々を	—	世界の	そして	—	栄光を
G1166	G0846	G3956	G3588	G0932	G3588	G2889	G2532	G3588	G1391

αὐτῶν,
それらの
G0846

次に悪魔は、イエスを非常に高い山に連れて行き、この世のすべての国々とその栄華とを見せて

9

καὶ	εἶπεν	αὐτῷ,	Ταῦτά	σοι	πάντα	δώσω,	ἐὰν	πεσὼν,
そして	言った	その-方に	これらを	あなたに	すべて	与えよう	もし	ひれ伏して
G2532	G3004	G0846	G3778	G4771	G3956	G1325	G1437	G4098

προσκυνήσῃς	μοι.
拝むなら	私を
G4352	G1473

言った、「もしあなたが、ひれ伏してわたしを拝むなら、これらのものを皆あなたにあげましょう」。

10

τότε	λέγει	αὐτῷ	ὁ	Ἰησοῦς,	Ὕπαγε,	Σατανᾶ;	γέγραπται	γάρ,
その-時	言われた	その-方に	—	イエスは	退けよ	サタンよ	書かれている	なぜなら
G5119	G3004	G0846	G3588	G2424	G5217	G4567	G1125	G1063

Κύριον	τὸν	θεόν	σου	προσκυνήσεις,	καὶ	αὐτῷ	μόνῳ
主を	—	神である	あなたの	拝むべきであり	そして	その-方にのみ	だけに
G2962	G3588	G2316	G4771	G4352	G2532	G0846	G3441

λατρεύσεις.
仕えるべきである
G3000

するとイエスは彼に言われた、「サタンよ、退け。『主なるあなたの神を拝し、ただ神にのみ仕えよ』と書いてある」。

11

Τότε	ἀφίησιν	αὐτὸν	ὁ	διάβολος,	καὶ	ἰδοὺ,	ἄγγελοι	προσῆλθον
その-時	去った	その-方から	—	悪魔は	そして	見よ	御使いたちが	近づいて
G5119	G0863	G0846	G3588	G1228	G2532	G3708	G0032	G4334

καὶ	διηκόνουν	αὐτῷ.
そして	仕えた	その-方に
G2532	G1247	G0846

そこで、悪魔はイエスを離れ去り、そして、御使たちがみもとにきて仕えた。

12 Ἀκούσας 聞いて G0191 δὲ さて G1161 ὅτι ～ことを G3754 Ἰωάννης ヨハネが G2491 παρεδόθη, 捕らえられた G3860 ἀνεχώρησεν 退いた G0402 εἰς ～へ G1519 τὴν ― G3588 Γαλιλαίαν: ガリラヤへ G1056

さて、イエスはヨハネが捕えられたと聞いて、ガリラヤへ退かれた。

13 καὶ そして G2532 καταλιπὼν 去って G2641 τὴν ― G3588 Ναζαρὰ, ナザレを G3478 ἐλθὼν, 来て G2064 κατῴκησεν 住んだ G2730 εἰς ～に G1519 Καφαρναοὺμ, カペナウムに G2584 τὴν ― G3588 παραθαλασσίαν, 海辺の G3864 ἐν ～の–地域に G1722 ὁρίοις 境にある G3725 Ζαβουλὼν ゼブルンと G2194 καὶ そして G2532 Νεφθαλίμ, ナフタリの G3508

そしてナザレを去り、ゼブルンとナフタリとの地方にある海べの町カペナウムに行って住まわれた。

14 ἵνα ～する–ために G2443 πληρωθῇ 成就する G4137 τὸ ― G3588 ῥηθὲν 語られた–ことが G2046 διὰ ～を–通して G1223 Ἡσαΐου イザヤ G2268 τοῦ ― G3588 προφήτου, 預言者により G4396 λέγοντος, こう–言われた G3004

これは預言者イザヤによって言われた言が、成就するためである。

15 Γῆ 地よ G1093 Ζαβουλὼν ゼブルンの G2194 καὶ そして G2532 γῆ 地よ G1093 Νεφθαλίμ, ナフタリの G3508 ὁδὸν 道よ G3598 θαλάσσης, 海の G2281 πέραν 向こうの G4008 τοῦ ― G3588 Ἰορδάνου, ヨルダンの G2446 Γαλιλαία ガリラヤよ G1056 τῶν ― G3588 ἐθνῶν. 異邦人の G1484

「ゼブルンの地、ナフタリの地、海に沿う地方、ヨルダンの向こうの地、異邦人のガリラヤ、

16 ὁ ― G3588 λαὸς 民は G2992 ὁ ― G3588 καθήμενος 座っていた G2521 ἐν ～の–中に G1722 σκοτίᾳ, 闇の G4653 φῶς 光を G5457 εἶδεν 見た G3708 μέγα, 大きな G3173 καὶ そして G2532 τοῖς ― G3588 καθημένοις 座っていた–者たちに G2521 ἐν ～の–中に G1722 χώρᾳ 地に G5561 καὶ そして G2532 σκιᾷ 陰に G4639 θανάτου, 死の G2288 φῶς 光が G5457 ἀνέτειλεν 昇った G0393 αὐτοῖς. 彼らに G0846

暗黒の中に住んでいる民は大いなる光を見、死の地、死の陰に住んでいる人々に、光がのぼった」。

17 Ἀπὸ ～から G0575 τότε その–時 G5119 ἤρξατο 始められた G0756 ὁ ― G3588 Ἰησοῦς イエスは G2424 κηρύσσειν 宣べ–伝える–ことを G2784 καὶ そして G2532 λέγειν, 言う–ことを G3004 Μετανοεῖτε, 悟改めよ G3340 ἤγγικεν 近づいたので G1448 γὰρ なぜなら G1063 ἡ ― G3588 βασιλεία 御国が G0932 τῶν ― G3588 οὐρανῶν. 天の G3772

この時からイエスは教を宣べはじめて言われた、「悔い改めよ、天国は近づいた」。

18 Περιπατῶν 歩いて–おられた G4043 δὲ さて G1161 παρὰ ～の–そばを G3844 τὴν ― G3588 θάλασσαν 海の G2281 τῆς ― G3588 Γαλιλαίας, ガリラヤの G1056 εἶδεν 見た G3708 δύο 二人の G1417 ἀδελφούς, 兄弟を G0080 Σίμωνα シモンを G4613 τὸν ― G3588 λεγόμενον 呼ばれる G3004 Πέτρον, ペテロと G4074 καὶ そして G2532 Ἀνδρέαν アンデレを G0406 τὸν ― G3588 ἀδελφὸν 弟である G0080 αὐτοῦ, 彼の G0846 βάλλοντας 投げて–いた G0906 ἀμφίβληστρον 網を G0293 εἰς ～の–中へ G1519 τὴν ― G3588 θάλασσαν; 海に G2281 ἦσαν であった G1510 γὰρ なぜなら G1063 ἁλιεῖς. 漁師で G0231

さて、イエスがガリラヤの海べを歩いておられると、ふたりの兄弟、すなわち、ペテロと呼ばれたシモンとその兄弟アンデレとが、海に網を打っているのをごらんになった。彼らは漁師であった。

19 καὶ そして G2532 λέγει 言われた G3004 αὐτοῖς, 彼らに G0846 Δεῦτε ついて–来なさい G1205 ὀπίσω 後に G3694 μου, 私の G1473 καὶ そうすれば G2532 ποιήσω して–あげよう G4160 ὑμᾶς あなたがたを G4771 ἁλιεῖς 漁師に G0231 ἀνθρώπων. 人間の G0444

イエスは彼らに言われた、「わたしについてきなさい。あなたがたを、人間をとる漁師にしてあげよう」。

20 οἱ 彼らは G3588 δὲ さて G1161 εὐθέως その–場で G2112 ἀφέντες 捨てて G0863 τὰ ― G3588 δίκτυα, 網を G1350 ἠκολούθησαν 従った G0190 αὐτῷ. その–方に G0846

すると、彼らはすぐに網を捨てて、イエスに従った。

21 Καὶ そして G2532 προβὰς 進んで G4260 ἐκεῖθεν, そこから G1564 εἶδεν 見た G3708 ἄλλους, ほかの G0243 δύο 二人の G1417 ἀδελφούς, 兄弟を G0080 Ἰάκωβον ヤコブを G2385 τὸν ― G3588 τοῦ ― G3588 Ζεβεδαίου, ゼベダイの G2199 καὶ そして G2532 Ἰωάννην ヨハネを G2491 τὸν ― G3588 ἀδελφὸν 弟である G0080 αὐτοῦ, 彼の G0846 ἐν ～の–中で G1722 τῷ ― G3588 πλοίῳ 船の中で G4143 μετὰ 共に G3326 Ζεβεδαίου ゼベダイと G2199 τοῦ ― G3588 πατρὸς 父の G3962 αὐτῶν, 彼らの G0846 καταρτίζοντας 繕って–いた G2675 τὰ ― G3588 δίκτυα 網を G1350 αὐτῶν; 彼らの G0846 καὶ そして G2532 ἐκάλεσεν 呼んだ G2564 αὐτούς. 彼らを G0846

そこから進んで行かれると、ほかのふたりの兄弟、すなわち、ゼベダイの子ヤコブとその兄弟ヨハネとが、父ゼベダイと一緒に、舟の中で網を繕っているのをごらんになった。そこで彼らをお招きになると、

22 οἱ 彼らは G3588 δὲ さて G1161 εὐθέως, その–場で G2112 ἀφέντες 捨てて G0863 τὸ ― G3588 πλοῖον 船と G4143 καὶ そして G2532 τὸν ― G3588 πατέρα 父を G3962 αὐτῶν, 彼らの G0846 ἠκολούθησαν 従った G0190 αὐτῷ. その–方に G0846

すぐ舟と父とをおいて、イエスに従って行った。

23 Καὶ περιῆγεν ἐν ὅλῃ τῇ Γαλιλαίᾳ, διδάσκων ἐν ταῖς
そして 巡られた ～の-中を 全ての ― ガリラヤを 教えて ～にて ―
G2532 G4013 G1722 G3650 G3588 G1056 G1321 G1722 G3588

συναγωγαῖς αὐτῶν, καὶ κηρύσσων τὸ εὐαγγέλιον τῆς βασιλείας, καὶ
会堂で 彼らの そして 宣べ-伝えて ― 福音を ― 御国の そして
G4864 G0846 G2532 G2784 G3588 G2098 G3588 G0932 G2532

θεραπεύων πᾶσαν νόσον καὶ πᾶσαν μαλακίαν ἐν τῷ λαῷ.
癒して すべての 病と そして すべての 弱さを ～の-中で ― 民の
G2323 G3956 G3554 G2532 G3956 G3119 G1722 G3588 G2992

イエスはガリラヤの全地を巡り歩いて、諸会堂で教え、御国の福音を宣べ伝え、民の中のあらゆる病気、あらゆるわずらいをおいやしになった。

24 καὶ ἀπῆλθεν ἡ ἀκοὴ αὐτοῦ εἰς ὅλην τὴν Συρίαν. καὶ
そして 広まった ― 評判が その-方の ～へ 全ての ― シリヤに そして
G2532 G0565 G3588 G0189 G0846 G1519 G3650 G3588 G4947 G2532

προσήνεγκαν αὐτῷ πάντας τοὺς κακῶς ἔχοντας ποικίλαις νόσοις
連れて-来た その-方の-もとへ すべての ― 悩み-苦しむ 人々を 様々な 病と
G4374 G0846 G3956 G3588 G2560 G2192 G4164 G3554

καὶ βασάνοις συνεχομένους, [καὶ] δαιμονιζομένους, καὶ
そして 苦しみに 捕らわれている-者を また 悪霊に-取り-つかれた-者を そして
G2532 G0931 G4912 G2532 G1139 G2532

σεληνιαζομένους, καὶ παραλυτικούς; καὶ ἐθεράπευσεν αὐτούς.
てんかんの-者を そして 中風の-者を そして 癒した 彼らを
G4583 G2532 G3885 G2532 G2323 G0846

そこで、その評判はシリヤ全地にひろまり、人々があらゆる病にかかっている者、すなわち、いろいろの病気と苦しみとに悩んでいる者、悪霊につかれている者、てんかん、中風の者などをイエスのところに連れてきたので、これらの人々をおいやしになった。

25 καὶ ἠκολούθησαν αὐτῷ ὄχλοι πολλοὶ ἀπὸ τῆς Γαλιλαίας καὶ
そして 従った その-方に 群衆が 大きな ～から ― ガリラヤと そして
G2532 G0190 G0846 G3793 G4183 G0575 G3588 G1056 G2532

Δεκαπόλεως, καὶ Ἱεροσολύμων καὶ Ἰουδαίας, καὶ πέραν τοῦ Ἰορδάνου.
デカポリスと そして エルサレムと そして ユダヤと そして 向こうの ― ヨルダンから
G1179 G2532 G2414 G2532 G2449 G2532 G4008 G3588 G2446

こうして、ガリラヤ、デカポリス、エルサレム、ユダヤ及びヨルダンの向こうから、おびただしい群衆がきてイエスに従った。

Chapter 5

1 Ἰδὼν δὲ τοὺς ὄχλους, ἀνέβη εἰς τὸ ὄρος; καὶ καθίσαντος αὐτοῦ,
見て さて ― 群衆を 登られた ～へ ― 山へ そして 座られると その-方の
G3708 G1161 G3588 G3793 G0305 G1519 G3588 G3735 G2532 G2523 G0846

προσῆλθαν αὐτῷ οἱ μαθηταὶ αὐτοῦ.
近づいて-来た その-方に ― 弟子たちが その-方の
G4334 G0846 G3588 G3101 G0846

イエスはこの群衆を見て、山に登り、座につかれると、弟子たちがみもとに近寄ってきた。

2

καὶ	ἀνοίξας	τὸ	στόμα	αὐτοῦ,	ἐδίδασκεν	αὐτοὺς,	λέγων,
そして	口を–開いて	—	口を	その–方の	教えられた	彼らに	言われた
G2532	G0455	G3588	G4750	G0846	G1321	G0846	G3004

そこで、イエスは口を開き、彼らに教えて言われた。

3

Μακάριοι	οἱ	πτωχοὶ	τῷ	πνεύματι,	ὅτι	αὐτῶν	ἐστιν	ἡ
幸いである	—	貧しい–者は	—	霊において	なぜなら	彼らの	ものである	—
G3107	G3588	G4434	G3588	G4151	G3754	G0846	G1510	G3588

βασιλεία	τῶν	οὐρανῶν.
御国は	—	天の
G0932	G3588	G3772

「こころの貧しい人たちは、さいわいである、天国は彼らのものである。

4

μακάριοι	οἱ	πενθοῦντες,	ὅτι	αὐτοὶ	παρακληθήσονται.
幸いである	—	悲しむ–者は	なぜなら	その–人たちは	慰められるであろう
G3107	G3588	G3996	G3754	G0846	G3870

悲しんでいる人たちは、さいわいである、彼らは慰められるであろう。

5

μακάριοι	οἱ	πραεῖς,	ὅτι	αὐτοὶ	κληρονομήσουσιν	τὴν	γῆν.
幸いである	—	柔和な–者は	なぜなら	その–人たちは	受け–継ぐであろう	—	地を
G3107	G3588	G4239	G3754	G0846	G2816	G3588	G1093

柔和な人たちは、さいわいである、彼らは地を受けつぐであろう。

6

μακάριοι	οἱ	πεινῶντες	καὶ	διψῶντες	τὴν	δικαιοσύνην;	ὅτι	αὐτοὶ
幸いである	—	飢え	そして	渇く–者は	—	義に	なぜなら	その–人たちは
G3107	G3588	G3983	G2532	G1372	G3588	G1343	G3754	G0846

χορτασθήσονται.
満たされるであろう
G5526

義に飢えかわいている人たちは、さいわいである、彼らは飽き足りるようになるであろう。

7

μακάριοι	οἱ	ἐλεήμονες,	ὅτι	αὐτοὶ	ἐλεηθήσονται.
幸いである	—	憐れみ–深い–者は	なぜなら	その–人たちは	憐れみを–受けるであろう
G3107	G3588	G1655	G3754	G0846	G1653

あわれみ深い人たちは、さいわいである、彼らはあわれみを受けるであろう。

8

μακάριοι	οἱ	καθαροὶ	τῇ	καρδίᾳ,	ὅτι	αὐτοὶ	τὸν	Θεὸν
幸いである	—	清い–者は	—	心の	なぜなら	その–人たちは	—	神を
G3107	G3588	G2513	G3588	G2588	G3754	G0846	G3588	G2316

ὄψονται.
見るであろう
G3708

心の清い人たちは、さいわいである、彼らは神を見るであろう。

9

μακάριοι	οἱ	εἰρηνοποιοί,	ὅτι	αὐτοὶ	υἱοὶ	Θεοῦ	κληθήσονται.
幸いである	—	平和を–作る–者は	なぜなら	その–人たちは	子と	神の	呼ばれるであろう
G3107	G3588	G1518	G3754	G0846	G5207	G2316	G2564

平和をつくり出す人たちは、さいわいである、彼らは神の子と呼ばれるであろう。

10 μακάριοι οἱ δεδιωγμένοι ἕνεκεν δικαιοσύνης, ὅτι αὐτῶν
幸いである — 迫害されて–いる–者は ～の–ために 義の なぜなら 彼らの
G3107 G3588 G1377 G1752 G1343 G3754 G0846

ἐστιν ἡ βασιλεία τῶν οὐρανῶν.
ものである — 御国は — 天の
G1510 G3588 G0932 G3588 G3772

義のために迫害されてきた人たちは、さいわいである、天国は彼らのものである。

11 μακάριοί ἐστε ὅταν ὀνειδίσωσιν ὑμᾶς, καὶ διώξωσιν, καὶ
幸いである あなたがたは ～する–とき ののしられ あなたがたが そして 迫害され そして
G3107 G1510 G3752 G3679 G4771 G2532 G1377 G2532

εἴπωσιν πᾶν πονηρὸν καθ’ ὑμῶν, ψευδόμενοι ἕνεκεν ἐμοῦ.
言われる あらゆる 悪い–ことを ～に–対して あなたがたに 偽って ～の–ために 私の
G3004 G3956 G4190 G2596 G4771 G5574 G1752 G1473

わたしのために人々があなたがたをののしり、また迫害し、あなたがたに対し偽って様々の悪口を言う時には、あなたがたは、さいわいである。

12 χαίρετε καὶ ἀγαλλιᾶσθε, ὅτι ὁ μισθὸς ὑμῶν πολὺς ἐν
喜びなさい そして 喜び–躍りなさい なぜなら — 報いは あなたがたの 大きい ～に
G5463 G2532 G0021 G3754 G3588 G3408 G4771 G4183 G1722

τοῖς οὐρανοῖς; οὕτως γὰρ ἐδίωξαν τοὺς προφήτας τοὺς πρὸ
— 天に このように なぜなら 迫害した — 預言者たちを — ～の–前の
G3588 G3772 G3779 G1063 G1377 G3588 G4396 G3588 G4253

ὑμῶν.
あなたがたの
G4771

喜び、よろこべ、天においてあなたがたの受ける報いは大きい。あなたがたより前の預言者たちも、同じように迫害されたのである。

13 Ὑμεῖς ἐστε τὸ ἅλας τῆς γῆς; ἐὰν δὲ τὸ ἅλας μωρανθῇ,
あなたがたは である — 塩 — 地の もし しかし — 塩が 味を–失ったら
G4771 G1510 G3588 G0217 G3588 G1093 G1437 G1161 G3588 G0217 G3471

ἐν τίνι ἁλισθήσεται? εἰς οὐδὲν ἰσχύει ἔτι, εἰ μὴ
～で 何で 塩味を–つけるのか ～の–ために 何の 役に–立たない もはや ～する–しか ～ない
G1722 G5101 G0233 G1519 G3762 G2480 G2089 G1487 G3361

βληθὲν ἔξω, καταπατεῖσθαι ὑπὸ τῶν ἀνθρώπων.
捨てられて 外に 踏みつけられる ～によって — 人々に
G0906 G1854 G2662 G5259 G3588 G0444

あなたがたは、地の塩である。もし塩のききめがなくなったら、何によってその味が取りもどされようか。もはや、なんの役にも立たず、ただ外に捨てられて、人々にふみつけられるだけである。

14 Ὑμεῖς ἐστε τὸ φῶς τοῦ κόσμου. οὐ δύναται πόλις κρυβῆναι
あなたがたは である — 光 — 世の ～ない できない 町は 隠れる–ことが
G4771 G1510 G3588 G5457 G3588 G2889 G3756 G1410 G4172 G2928

ἐπάνω ὄρους κειμένη.
上に 山の 置かれた
G1883 G3735 G2749

あなたがたは、世の光である。山の上にある町は隠れることができない。

15

οὐδὲ	καίουσιν	λύχνον	καὶ	τιθέασιν	αὐτὸν	ὑπὸ	τὸν	μόδιον--	
また～ない	灯す	灯を	そして	置く	それを	～の-下に	—	枡の	
G3761	G2545	G3088	G2532	G5087	G0846	G5259	G3588	G3426	

ἀλλ’	ἐπὶ	τὴν	λυχνίαν--	καὶ	λάμπει	πᾶσιν	τοῖς	ἐν	
そうではなく	～の-上に	—	燭台の	そうすれば	照らす	すべての-者を	—	～に-いる	
G0235	G1909	G3588	G3087	G2532	G2989	G3956	G3588	G1722	

τῇ	οἰκίᾳ.
—	家に
G3588	G3614

また、あかりをつけて、それを枡の下におく者はいない。むしろ燭台の上において、家の中のすべてのものを照させるのである。

16

οὕτως	λαμψάτω	τὸ	φῶς	ὑμῶν	ἔμπροσθεν	τῶν	ἀνθρώπων,	
このように	輝かせなさい	—	光を	あなたがたの	～の-前で	—	人々の	
G3779	G2989	G3588	G5457	G4771	G1715	G3588	G0444	

ὅπως	ἴδωσιν	ὑμῶν	τὰ	καλὰ	ἔργα,	καὶ	δοξάσωσιν	τὸν
～する-ために	見て	あなたがたの	—	良い	行いを	そして	あがめる-ように	—
G3704	G3708	G4771	G3588	G2570	G2041	G2532	G1392	G3588

πατέρα	ὑμῶν	τὸν	ἐν	τοῖς	οὐρανοῖς.
父を	あなたがたの	—	～に-おられる	—	天に
G3962	G4771	G3588	G1722	G3588	G3772

そのように、あなたがたの光を人々の前に輝かし、そして、人々があなたがたのよいおこないを見て、天にいますあなたがたの父をあがめるようにしなさい。

17

Μὴ	νομίσητε	ὅτι	ἦλθον	καταλῦσαι	τὸν	νόμον	ἢ	τοὺς
～するな	思って-はならない	～と	来た	廃する-ために	—	律法を	または	—
G3361	G3543	G3754	G2064	G2647	G3588	G3551	G2228	G3588

προφήτας;	οὐκ	ἦλθον	καταλῦσαι,	ἀλλὰ	πληρῶσαι.
預言者たちを	～ない	来たのは	廃する-ため-ではなく	そうではなく	成就する-ためである
G4396	G3756	G2064	G2647	G0235	G4137

わたしが律法や預言者を廃するためにきた、と思ってはならない。廃するためではなく、成就するためにきたのである。

18

ἀμὴν	γὰρ	λέγω	ὑμῖν,	ἕως	ἂν	παρέλθῃ	ὁ	οὐρανὸς
まことに	なぜなら	言う	あなたがたに	～まで	～する-まで	過ぎ-去る	—	天と
G0281	G1063	G3004	G4771	G2193	G0302	G3928	G3588	G3772

καὶ	ἡ	γῆ,	ἰῶτα	ἓν,	ἢ	μία	κεραία,	οὐ	μὴ
そして	—	地が	一点-一画も	一つの	あるいは	一つの	画も	決して	～ない
G2532	G3588	G1093	G2503	G1520	G2228	G1520	G2762	G3756	G3361

παρέλθῃ	ἀπὸ	τοῦ	νόμου,	ἕως	ἂν	πάντα	γένηται.
過ぎ-去らない	～から	—	律法から	～まで	～する-まで	すべてが	成就する
G3928	G0575	G3588	G3551	G2193	G0302	G3956	G1096

よく言っておく。天地が滅び行くまでは、律法の一点、一画もすたることはなく、ことごとく全うされるのである。

19

ὃς	ἐὰν	οὖν	λύσῃ	μίαν	τῶν	ἐντολῶν	τούτων--	τῶν
～する–者は	もし	だから	破る	一つでも	―	戒めの	これらの	―
G3739	G1437	G3767	G3089	G1520	G3588	G1785	G3778	G3588

ἐλαχίστων--	καὶ	διδάξῃ	οὕτως	τοὺς	ἀνθρώπους,	ἐλάχιστος
最も–小さい–ものを	そして	そう–教えるなら	そのように	―	人々に	最も–小さい–者と
G1646	G2532	G1321	G3779	G3588	G0444	G1646

κληθήσεται	ἐν	τῇ	βασιλείᾳ	τῶν	οὐρανῶν;	ὃς	δ’
呼ばれるであろう	～に–おいて	―	御国で	―	天の	しかし–～する–者は	さて
G2564	G1722	G3588	G0932	G3588	G3772	G3739	G1161

ἂν	ποιήσῃ	καὶ	διδάξῃ,	οὗτος	μέγας	κληθήσεται	ἐν
～する	行い	そして	教えるなら	この–人は	大いなる–者と	呼ばれるであろう	～に–おいて
G0302	G4160	G2532	G1321	G3778	G3173	G2564	G1722

τῇ	βασιλείᾳ	τῶν	οὐρανῶν.
―	御国で	―	天の
G3588	G0932	G3588	G3772

それだから、これらの最も小さいいましめの一つでも破り、またそうするように人に教えたりする者は、天国で最も小さい者と呼ばれるであろう。しかし、これをおこないまたそう教える者は、天国で大いなる者と呼ばれるであろう。

20

λέγω	γὰρ	ὑμῖν,	ὅτι	ἐὰν	μὴ	περισσεύσῃ	ὑμῶν	ἡ
言う	なぜなら	あなたがたに	～と	もし	～ない	勝らなければ	あなたがたの	―
G3004	G1063	G4771	G3754	G1437	G3361	G4052	G4771	G3588

δικαιοσύνη	πλεῖον	τῶν	γραμματέων	καὶ	Φαρισαίων,	οὐ	μὴ
義が	はるかに	―	律法学者たちや	そして	パリサイ人たちより	決して	～ない
G1343	G4119	G3588	G1122	G2532	G5330	G3756	G3361

εἰσέλθητε	εἰς	τὴν	βασιλείαν	τῶν	οὐρανῶν.
入れない	～に	―	御国に	―	天の
G1525	G1519	G3588	G0932	G3588	G3772

わたしは言っておく。あなたがたの義が律法学者やパリサイ人の義にまさっていなければ、決して天国に、はいることはできない。

21

Ἠκούσατε	ὅτι	ἐρρέθη	τοῖς	ἀρχαίοις,	Οὐ	φονεύσεις;	ὃς	δ’
聞いている	～と	言われた	―	昔の–人々に	～するな	殺すな	～する–者は	さて
G0191	G3754	G2046	G3588	G0744	G3756	G5407	G3739	G1161

ἂν	φονεύσῃ,	ἔνοχος	ἔσται	τῇ	κρίσει.
～する	殺す	有罪と–なる	であろう	―	裁きに
G0302	G5407	G1777	G1510	G3588	G2920

昔の人々に『殺すな。殺す者は裁判を受けねばならない』と言われていたことは、あなたがたの聞いているところである。

22 ἐγὼ δὲ λέγω ὑμῖν, ὅτι πᾶς ὁ ὀργιζόμενος τῷ ἀδελφῷ
しかし–私は さて 言う あなたがたに ～と すべて ― 怒る–者は ― 兄弟に
G1473 G1161 G3004 G4771 G3754 G3956 G3588 G3710 G3588 G0080

αὐτοῦ, ἔνοχος ἔσται τῇ κρίσει: ὃς δ' ἂν εἴπῃ τῷ ἀδελφῷ
自分の 有罪と–なる であろう ― 裁きに ～する–者は また ～する 言う ― 兄弟に
G0846 G1777 G1510 G3588 G2920 G3739 G1161 G0302 G3004 G3588 G0080

αὐτοῦ, Ῥακά, ἔνοχος ἔσται τῷ συνεδρίῳ; ὃς δ' ἂν εἴπῃ,
自分の ラカと 有罪と–なる であろう ― 議会に ～する–者は また ～する 言う
G0846 G4469 G1777 G1510 G3588 G4892 G3739 G1161 G0302 G3004

Μωρέ, ἔνοχος ἔσται εἰς τὴν γέενναν τοῦ πυρός.
愚か者よと 有罪と–なる であろう ～に ― ゲヘナの ― 火の
G3474 G1777 G1510 G1519 G3588 G1067 G3588 G4442

しかし、わたしはあなたがたに言う。兄弟に対して怒る者は、だれでも裁判を受けねばならない。兄弟にむかって愚か者と言う者は、議会に引きわたされるであろう。また、ばか者と言う者は、地獄の火に投げ込まれるであろう。

23 ἐὰν οὖν προσφέρῃς τὸ δῶρόν σου ἐπὶ τὸ θυσιαστήριον,
もし だから 捧げようと–する–なら ― 供え物を あなたの ～の–上に ― 祭壇の
G1437 G3767 G4374 G3588 G1435 G4771 G1909 G3588 G2379

κἀκεῖ μνησθῇς ὅτι ὁ ἀδελφός σου ἔχει τι κατὰ σοῦ,
そこで 思い出したら ～と ― 兄弟が あなたの 持っている 何か ～に–対して あなたに
G2546 G3403 G3754 G3588 G0080 G4771 G2192 G5100 G2596 G4771

だから、祭壇に供え物をささげようとする場合、兄弟が自分に対して何かうらみをいだいていることを、そこで思い出したなら、

24 ἄφες ἐκεῖ τὸ δῶρόν σου ἔμπροσθεν τοῦ θυσιαστηρίου, καὶ
残し–なさい そこに ― 供え物を あなたの ～の–前に ― 祭壇の そして
G0863 G1563 G3588 G1435 G4771 G1715 G3588 G2379 G2532

ὕπαγε. πρῶτον διαλλάγηθι τῷ ἀδελφῷ σου; καὶ τότε ἐλθὼν,
行きなさい 先ず 仲直り–しなさい ― 兄弟と あなたの そして それから 来て
G5217 G4412 G1259 G3588 G0080 G4771 G2532 G5119 G2064

πρόσφερε τὸ δῶρόν σου.
捧げなさい ― 供え物を あなたの
G4374 G3588 G1435 G4771

その供え物を祭壇の前に残しておき、まず行ってその兄弟と和解し、それから帰ってきて、供え物をささげることにしなさい。

25 ἴσθι εὐνοῶν τῷ ἀντιδίκῳ σου ταχὺ, ἕως ὅτου εἶ
～しなさい 和解–しなさい ― 訴える–者と あなたの 早く ～の–間に ～する–間に いる
G1510 G2132 G3588 G0476 G4771 G5035 G2193 G3755 G1510

μετ' αὐτοῦ, ἐν τῇ ὁδῷ; μή᾽ ποτέ σε παραδῷ ὁ
共に その–者と ～に ― 途中で ～しない–ように ～する–ことが あなたを 引き渡す ―
G3326 G0846 G1722 G3588 G3598 G3361 G4219 G4771 G3860 G3588

ἀντίδικος τῷ κριτῇ, καὶ ὁ κριτὴς τῷ ὑπηρέτῃ, καὶ εἰς
訴える–者が ― 裁判官に そして ― 裁判官が ― 下役に そして ～の–中へ
G0476 G3588 G2923 G2532 G3588 G2923 G3588 G5257 G2532 G1519

φυλακὴν βληθήσῃ.
牢に 投げ–込まれる
G5438 G0906

あなたを訴える者と一緒に道を行く時には、その途中で早く仲直りをしなさい。そうしないと、その訴える者はあなたを裁判官にわたし、裁判官は下役にわたし、そして、あなたは獄に入れられるであろう。

26 ἀμὴν まことに G0281 | λέγω 言う G3004 | σοι, あなたに G4771 | οὐ 決して G3756 | μὴ ～ない G3361 | ἐξέλθῃς 出られない G1831 | ἐκεῖθεν, そこから G1564 | ἕως ～まで G2193 | ἂν ～する-まで G0302 | ἀποδῷς 支払う G0591

τὸν — G3588 | ἔσχατον 最後の G2078 | κοδράντην. —コドラントまで G2835

よくあなたに言っておく。最後の一コドラントを支払ってしまうまでは、決してそこから出てくることはできない。

27 Ἠκούσατε 聞いている G0191 | ὅτι ～と G3754 | ἐρρέθη, 言われた G2046 | Οὐ ～するな G3756 | μοιχεύσεις: 姦淫するな G3431

『姦淫するな』と言われていたことは、あなたがたの聞いているところである。

28 ἐγὼ しかし-私は G1473 | δὲ さて G1161 | λέγω 言う G3004 | ὑμῖν, あなたがたに G4771 | ὅτι ～と G3754 | πᾶς すべて G3956 | ὁ — G3588 | βλέπων 見る-者は G0991 | γυναῖκα 女を G1135

πρὸς ～する-ために G4314 | τὸ — G3588 | ἐπιθυμῆσαι 情欲を-抱く G1937 | αὐτὴν, 彼女を G0846 | ἤδη すでに G2235 | ἐμοίχευσεν 姦淫した G3431 | αὐτὴν 彼女と G0846 | ἐν ～の-中で G1722 | τῇ — G3588

καρδίᾳ 心の G2588 | αὐτοῦ. 自分の G0846

しかし、わたしはあなたがたに言う。だれでも、情欲をいだいて女を見る者は、心の中ですでに姦淫をしたのである。

29 εἰ もし G1487 | δὲ さて G1161 | ὁ — G3588 | ὀφθαλμός 目が G3788 | σου あなたの G4771 | ὁ — G3588 | δεξιὸς, 右の G1188 | σκανδαλίζει つまずかせるなら G4624 | σε, あなたを G4771

ἔξελε えぐり-出して G1807 | αὐτὸν それを G0846 | καὶ そして G2532 | βάλε 捨てなさい G0906 | ἀπὸ ～から G0575 | σοῦ; あなたから G4771 | συμφέρει 益である G4851 | γάρ なぜなら G1063 | σοι あなたに G4771

ἵνα ～する-方が G2443 | ἀπόληται 滅びる G0622 | ἓν 一つの G1520 | τῶν — G3588 | μελῶν 部分が G3196 | σου, あなたの G4771 | καὶ そして～ない G2532 | μὴ ～ない G3361 | ὅλον 全 G3650 | τὸ — G3588

σῶμά 体が G4983 | σου あなたの G4771 | βληθῇ 投げ-込まれる-よりも G0906 | εἰς ～へ G1519 | γέενναν. ゲヘナへ G1067

もしあなたの右の目が罪を犯させるなら、それを抜き出して捨てなさい。五体の一部を失っても、全身が地獄に投げ入れられない方が、あなたにとって益である。

30 καὶ εἰ ἡ δεξιά σου χεὶρ σκανδαλίζει σε, ἔκκοψον αὐτὴν
また もし 一 右の あなたの 手が つまずかせるなら あなたを 切り-落として それを
G2532 G1487 G3588 G1188 G4771 G5495 G4624 G4771 G1581 G0846

καὶ βάλε ἀπὸ σοῦ; συμφέρει γάρ σοι ἵνα ἀπόληται
そして 捨てなさい ～から あなたから 益である なぜなら あなたに ～する-方が 滅びる
G2532 G0906 G0575 G4771 G4851 G1063 G4771 G2443 G0622

ἓν τῶν μελῶν σου, καὶ μὴ ὅλον τὸ σῶμά σου εἰς
一つの 一 部分が あなたの そして～ない ～ない 全 一 体が あなたの ～へ
G1520 G3588 G3196 G4771 G2532 G3361 G3650 G3588 G4983 G4771 G1519

γέενναν ἀπέλθῃ.
ゲヘナへ 行く-よりも
G1067 G0565

もしあなたの右の手が罪を犯させるなら、それを切って捨てなさい。五体の一部を失っても、全身が地獄に落ち込まない方が、あなたにとって益である。

31 Ἐρρέθη δέ, Ὃς ἂν ἀπολύσῃ τὴν γυναῖκα αὐτοῦ, δότω αὐτῇ
言われた また ～する-者は ～する 離縁する 一 妻を 自分の 与えよ 彼女に
G2046 G1161 G3739 G0302 G0630 G3588 G1135 G0846 G1325 G0846

ἀποστάσιον:
離縁状を
G0647

また『妻を出す者は離縁状を渡せ』と言われている。

32 ἐγὼ δὲ λέγω ὑμῖν, ὅτι πᾶς ὁ ἀπολύων τὴν γυναῖκα
しかし-私は さて 言う あなたがたに ～と すべて 一 離縁する-者は 一 妻を
G1473 G1161 G3004 G4771 G3754 G3956 G3588 G0630 G3588 G1135

αὐτοῦ, παρεκτὸς λόγου πορνείας, ποιεῖ αὐτὴν μοιχευθῆναι; καὶ ὃς
自分の ～を-除いて 理由 不品行の させる 彼女を 姦淫を-犯させる そして ～する-者は
G0846 G3924 G3056 G4202 G4160 G0846 G3431 G2532 G3739

ἐὰν ἀπολελυμένην γαμήσῃ, μοιχᾶται.
もし 離縁された-者と 結婚するなら 姦淫を-犯す
G1437 G0630 G1060 G3429

しかし、わたしはあなたがたに言う。だれでも、不品行以外の理由で自分の妻を出す者は、姦淫を行わせるのである。また出された女をめとる者も、姦淫を行うのである。

33 Πάλιν, ἠκούσατε ὅτι ἐρρέθη τοῖς ἀρχαίοις, Οὐκ ἐπιορκήσεις; ἀποδώσεις
また 聞いている ～と 言われた 一 昔の-人々に ～するな 偽り-誓うな 果たせ
G3825 G0191 G3754 G2046 G3588 G0744 G3756 G1964 G0591

δὲ τῷ Κυρίῳ τοὺς ὅρκους σου.
さて 一 主に 一 誓いを あなたの
G1161 G3588 G2962 G3588 G3727 G4771

また昔の人々に『いつわり誓うな、誓ったことは、すべて主に対して果せ』と言われていたことは、あなたがたの聞いているところである。

34 ἐγὼ δὲ λέγω ὑμῖν μὴ ὀμόσαι ὅλως; μήτε
しかし-私は さて 言う あなたがたに ～するな 誓うな 一切 ～もしてはならない
G1473 G1161 G3004 G4771 G3361 G3660 G3654 G3383

ἐν τῷ οὐρανῷ, ὅτι θρόνος ἐστὶν τοῦ Θεοῦ;
～にかけて 一 天に なぜなら 御座 である 一 神の
G1722 G3588 G3772 G3754 G2362 G1510 G3588 G2316

しかし、わたしはあなたがたに言う。いっさい誓ってはならない。天をさして誓うな。そこは神の御座であるから。

35

μήτε	ἐν	τῇ	γῇ,	ὅτι	ὑποπόδιόν	ἐστιν	τῶν	ποδῶν
～もしてはならない	～にかけて	―	地に	なぜなら	足台	である	―	足の
G3383	G1722	G3588	G1093	G3754	G5286	G1510	G3588	G4228

αὐτοῦ;	μήτε	εἰς	Ἱεροσόλυμα,	ὅτι	πόλις	ἐστὶν	τοῦ
その–方の	～もしてはならない	～にかけて	エルサレムに	なぜなら	都	である	―
G0846	G3383	G1519	G2414	G3754	G4172	G1510	G3588

μεγάλου	Βασιλέως.
偉大なる	王の
G3173	G0935

また地をさして誓うな。そこは神の足台であるから。またエルサレムをさして誓うな。それは『大王の都』であるから。

36

μήτε	ἐν	τῇ	κεφαλῇ	σου	ὀμόσῃς,	ὅτι	οὐ
～もしてはならない	～にかけて	―	頭に	あなたの	誓っては–ならない	なぜなら	～ない
G3383	G1722	G3588	G2776	G4771	G3660	G3754	G3756

δύνασαι	μίαν	τρίχα	λευκὴν	ποιῆσαι,	ἢ	μέλαιναν.
できない	一本の	髪を	白く	する–ことが	あるいは	黒く
G1410	G1520	G2359	G3022	G4160	G2228	G3189

また、自分の頭をさして誓うな。あなたは髪の毛一すじさえ、白くも黒くもすることができない。

37

ἔστω	δὲ	ὁ	λόγος	ὑμῶν,	ναὶ,	ναί;	οὒ,	οὔ;	τὸ	δὲ
～で–あれ	さて	―	言葉は	あなたがたの	はいは	はい	いいえは	いいえ	―	さて
G1510	G1161	G3588	G3056	G4771	G3483	G3483	G3756	G3756	G3588	G1161

περισσὸν	τούτων,	ἐκ	τοῦ	πονηροῦ	ἐστιν.
それ以上の–ものは	これらの	～から	―	悪い–者から	である
G4053	G3778	G1537	G3588	G4190	G1510

あなたがたの言葉は、ただ、しかり、しかり、否、否、であるべきだ。それ以上に出ることは、悪から来るのである。

38

Ἠκούσατε	ὅτι	ἐρρέθη,	Ὀφθαλμὸν	ἀντὶ	ὀφθαλμοῦ,	καὶ	ὀδόντα
聞いている	～と	言われた	目には	～の–代わりに	目を	そして	歯には
G0191	G3754	G2046	G3788	G0473	G3788	G2532	G3599

ἀντὶ	ὀδόντος;
～の–代わりに	歯を
G0473	G3599

『目には目を、歯には歯を』と言われていたことは、あなたがたの聞いているところである。

39

ἐγὼ	δὲ	λέγω	ὑμῖν,	μὴ	ἀντιστῆναι	τῷ	πονηρῷ;	ἀλλ’
しかし–私は	さて	言う	あなたがたに	～するな	逆らうな	―	悪い–者に	そうではなく
G1473	G1161	G3004	G4771	G3361	G0436	G3588	G4190	G0235

ὅστις	σε	ῥαπίζει	εἰς	τὴν	δεξιὰν	σιαγόνα	σου,	στρέψον
～する–者には	あなたの	打つ	～を	―	右の	頬を	あなたの	向けなさい
G3748	G4771	G4474	G1519	G3588	G1188	G4600	G4771	G4762

αὐτῷ	καὶ	τὴν	ἄλλην;
その–者に	もう	―	片方も
G0846	G2532	G3588	G0243

しかし、わたしはあなたがたに言う。悪人に手向かうな。もし、だれかがあなたの右の頬を打つなら、ほかの頬をも向けてやりなさい。

40 καὶ また G2532 | τῷ — G3588 | θέλοντί 望む–者に G2309 | σοι あなたを G4771 | κριθῆναι 訴えて G2919 | καὶ そして G2532 | τὸν — G3588 | χιτῶνά 下着を G5509 | σου あなたの G4771

λαβεῖν, 取ろう–とする–者に G2983 | ἄφες 渡しなさい G0863 | αὐτῷ その–者に G0846 | καὶ ～も–また G2532 | τὸ — G3588 | ἱμάτιον; 上着も G2440

あなたを訴えて、下着を取ろうとする者には、上着をも与えなさい。

41 καὶ また G2532 | ὅστις ～する–者が G3748 | σε あなたに G4771 | ἀγγαρεύσει 強いるなら G0029 | μίλιον 一–マイル G3400 | ἕν, — G1520 | ὕπαγε 行きなさい G5217 | μετ’ 共に G3326 | αὐτοῦ その–者と G0846

δύο. 二–マイルを G1417

もし、だれかが、あなたをしいて一マイル行かせようとするなら、その人と共に二マイル行きなさい。

42 τῷ — G3588 | αἰτοῦντί 求める–者に G0154 | σε あなたに G4771 | δός; 与えなさい G1325 | καὶ また G2532 | τὸν — G3588 | θέλοντα 望む–者を G2309 | ἀπὸ ～から G0575 | σοῦ あなたから G4771

δανίσασθαι, 借りようと–する G1155 | μὴ ～するな G3361 | ἀποστραφῇς. 断るな G0654

求める者には与え、借りようとする者を断るな。

43 Ἠκούσατε 聞いている G0191 | ὅτι ～と G3754 | ἐρρέθη, 言われた G2046 | Ἀγαπήσεις 愛せよ G0025 | τὸν — G3588 | πλησίον 隣人を G4139 | σου あなたの G4771 | καὶ そして G2532 | μισήσεις 憎めよ G3404 | τὸν — G3588

ἐχθρόν 敵を G2190 | σου. あなたの G4771

『隣り人を愛し、敵を憎め』と言われていたことは、あなたがたの聞いているところである。

44 ἐγὼ しかし–私は G1473 | δὲ さて G1161 | λέγω 言う G3004 | ὑμῖν, あなたがたに G4771 | ἀγαπᾶτε 愛しなさい G0025 | τοὺς — G3588 | ἐχθροὺς 敵を G2190 | ὑμῶν, あなたがたの G4771 | καὶ そして G2532

προσεύχεσθε 祈りなさい G4336 | ὑπὲρ ～の–ために G5228 | τῶν — G3588 | διωκόντων 迫害する–者たちの G1377 | ὑμᾶς; あなたがたを G4771 | <εὐλογεῖτε 祝福しなさい G2127 | τοὺς — G3588

καταρωμένους 呪う–者たちを G2672 | ὑμᾶς, あなたがたを G4771 | καλῶς 善く G2573 | ποιεῖτε しなさい G4160 | τοῖς — G3588 | ἐπηρεαζόντων 侮る–者たちの G1908 | ὑμᾶς あなたがたを G4771 | καὶ そして G2532

μισοῦσιν 憎む–者たちの–ために G3404 | ὑμᾶς>; あなたがたを G4771

しかし、わたしはあなたがたに言う。敵を愛し、迫害する者のために祈れ。

45 ὅπως 〜する–ために G3704 γένησθε なる G1096 υἱοὶ 子と G5207 τοῦ — G3588 Πατρὸς 父の G3962 ὑμῶν あなたがたの G4771 τοῦ — G3588 ἐν 〜に–おられる G1722 οὐρανοῖς. 天に G3772

ὅτι なぜなら G3754 τὸν — G3588 ἥλιον 太陽を G2246 αὐτοῦ その–方の G0846 ἀνατέλλει 昇らせる G0393 ἐπὶ 〜の–上に G1909 πονηροὺς 悪い–者にも G4190 καὶ そして G2532 ἀγαθοὺς, 良い–者にも G0018

καὶ そして G2532 βρέχει 雨を–降らせる G1026 ἐπὶ 〜の–上に G1909 δικαίους 正しい–者にも G1342 καὶ そして G2532 ἀδίκους. 正しくない–者にも G0094

こうして、天にいますあなたがたの父の子となるためである。天の父は、悪い者の上にも良い者の上にも、太陽をのぼらせ、正しい者にも正しくない者にも、雨を降らして下さるからである。

46 ἐὰν もし G1437 γὰρ なぜなら G1063 ἀγαπήσητε 愛するなら G0025 τοὺς — G3588 ἀγαπῶντας 愛する–者たちだけを G0025 ὑμᾶς, あなたがたを G4771 τίνα 何の G5101 μισθὸν 報いが G3408 ἔχετε? あるのか G2192

οὐχὶ 〜でないか G3780 καὶ 〜も–また G2532 οἱ — G3588 τελῶναι 取税人でも G5057 τὸ — G3588 αὐτὸ 同じ G0846 ποιοῦσιν? しているではないか G4160

あなたがたが自分を愛する者を愛したからとて、なんの報いがあろうか。そのようなことは取税人でもするではないか。

47 καὶ また G2532 ἐὰν もし G1437 ἀσπάσησθε 挨拶するなら G0782 τοὺς — G3588 ἀδελφοὺς 兄弟たちに G0080 ὑμῶν あなたがたの G4771 μόνον, だけ G3440 τί 何の G5101 περισσὸν 優れた–ことを G4053

ποιεῖτε? しているのか G4160 οὐχὶ 〜でないか G3780 καὶ 〜も–また G2532 οἱ — G3588 ἐθνικοὶ 異邦人でも G1482 τὸ — G3588 αὐτὸ 同じ G0846 ποιοῦσιν? しているではないか G4160

兄弟だけにあいさつをしたからとて、なんのすぐれた事をしているだろうか。そのようなことは異邦人でもしているではないか。

48 Ἔσεσθε 〜で–ありなさい G1510 οὖν だから G3767 ὑμεῖς あなたがたは G4771 τέλειοι, 完全で G5046 ὡς 〜のように G5613 ὁ — G3588 Πατὴρ 父が G3962 ὑμῶν あなたがたの G4771 ὁ — G3588

οὐράνιος, 天の G3770 τέλειός 完全で G5046 ἐστιν. あられるように G1510

それだから、あなたがたの天の父が完全であられるように、あなたがたも完全な者となりなさい。

Chapter 6

1 Προσέχετε δὲ τὴν δικαιοσύνην ὑμῶν μὴ ποιεῖν ἔμπροσθεν
気をつけなさい しかし その 正しい-行いを あなたがたの ない-ように 行うことを の-前で
G4337 G1161 G3588 G1343 G4771 G3361 G4160 G1715

τῶν ἀνθρώπων, πρὸς τὸ θεαθῆναι αὐτοῖς; εἰ δὲ μή ¦γε μισθὸν οὐκ
その 人々の ために その 見られること 彼らに もし そうで なければ 報いを ない
G3588 G0444 G4314 G3588 G2300 G0846 G1487 G1161 G1490 G3408 G3756

ἔχετε παρὰ τῷ Πατρὶ ὑμῶν τῷ ἐν τοῖς οὐρανοῖς.
持たない もとに その 父の あなたがたの その おられる その 天に
G2192 G3844 G3588 G3962 G4771 G3588 G1722 G3588 G3772

自分の義を、見られるために人の前で行わないように、注意しなさい。もし、そうしないと、天にいますあなたがたの父から報いを受けることがないであろう。

2 Ὅταν οὖν ποιῇς ἐλεημοσύνην, μὴ σαλπίσῃς ἔμπροσθέν
だから それゆえ 施しを-するとき 施しを ない-ように ラッパを-吹くな の-前で
G3752 G3767 G4160 G1654 G3361 G4537 G1715

σου, ὥσπερ οἱ ὑποκριταὶ ποιοῦσιν ἐν ταῖς συναγωγαῖς καὶ ἐν
あなたの ちょうど その 偽善者たちが するように で その 会堂や また で
G4771 G5618 G3588 G5273 G4160 G1722 G3588 G4864 G2532 G1722

ταῖς ῥύμαις, ὅπως δοξασθῶσιν ὑπὸ τῶν ἀνθρώπων. ἀμὴν λέγω ὑμῖν,
その 通りで ために 称えられようと から その 人々に まことに 言う あなたがたに
G3588 G4505 G3704 G1392 G5259 G3588 G0444 G0281 G3004 G4771

ἀπέχουσιν τὸν μισθὸν αὐτῶν.
すでに-受けている その 報いを 彼らの
G0568 G3588 G3408 G0846

だから、施しをする時には、偽善者たちが人にほめられるため会堂や町の中でするように、自分の前でラッパを吹きならすな。よく言っておくが、彼らはその報いを受けてしまっている。

3 σοῦ δὲ ποιοῦντος ἐλεημοσύνην, μὴ γνώτω ἡ ἀριστερά
あなたが しかし するとき 施しを ない-ように 知らせるな その 左の-手に
G4771 G1161 G4160 G1654 G3361 G1097 G3588 G0710

σου τί ποιεῖ ἡ δεξιά σου,
あなたの 何を しているか その 右の-手が あなたの
G4771 G5101 G4160 G3588 G1188 G4771

あなたは施しをする場合、右の手のしていることを左の手に知らせるな。

4 ὅπως ᾖ σου ἡ ἐλεημοσύνη ἐν τῷ κρυπτῷ; καὶ
ために あるように あなたの その 施しが で その 隠れた-ところに そうすれば
G3704 G1510 G4771 G3588 G1654 G1722 G3588 G2927 G2532

ὁ Πατήρ σου, ὁ βλέπων ἐν τῷ κρυπτῷ, ἀποδώσει
その 父が あなたの その 見ておられる で その 隠れた-ところで 報いて-くださる
G3588 G3962 G4771 G3588 G0991 G1722 G3588 G2927 G0591

σοι.
あなたに
G4771

それは、あなたのする施しが隠れているためである。すると、隠れた事を見ておられるあなたの父は、報いてくださるであろう。

5 Καὶ そして G2532 ὅταν 祈るとき G3752 προσεύχησθε, 祈るとき G4336 οὐκ ない G3756 ἔσεσθε なってはならない G1510 ὡς のような G5613 οἱ その G3588 ὑποκριταί, 偽善者たちの G5273
ὅτι なぜなら G3754 φιλοῦσιν 好んで G5368 ἐν で G1722 ταῖς その G3588 συναγωγαῖς 会堂や G4864 καὶ また G2532 ἐν で G1722 ταῖς その G3588 γωνίαις 街角に G1137 τῶν の G3588 πλατειῶν 大通りの G4113
ἑστῶτες 立って G2476 προσεύχεσθαι, 祈ることを G4336 ὅπως ために G3704 φανῶσιν 見られようと G5316 τοῖς その G3588 ἀνθρώποις. 人々に G0444 ἀμὴν まことに G0281 λέγω 言う G3004
ὑμῖν, あなたがたに G4771 ἀπέχουσιν すでに-受けている G0568 τὸν その G3588 μισθὸν 報いを G3408 αὐτῶν. 彼らの G0846

また祈る時には、偽善者たちのようにするな。彼らは人に見せようとして、会堂や大通りのつじに立って祈ることを好む。よく言っておくが、彼らはその報いを受けてしまっている。

6 σὺ あなたは G4771 δὲ, しかし G1161 ὅταν 祈るとき G3752 προσεύχῃ, 祈るとき G4336 εἴσελθε 入りなさい G1525 εἰς に G1519 τὸ その G3588 ταμεῖόν 奥の-部屋に G5009 σου, あなたの G4771 καὶ そして G2532
κλείσας 閉じて G2808 τὴν その G3588 θύραν 戸を G2374 σου, あなたの G4771 πρόσευξαι 祈りなさい G4336 τῷ に G3588 Πατρί 父に G3962 σου, あなたの G4771 τῷ その G3588 ἐν おられる G1722 τῷ その G3588
κρυπτῷ; 隠れた-ところに G2927 καὶ そうすれば G2532 ὁ その G3588 Πατήρ 父が G3962 σου, あなたの G4771 ὁ その G3588 βλέπων 見ておられる G0991 ἐν で G1722 τῷ その G3588
κρυπτῷ, 隠れた-ところで G2927 ἀποδώσει 報いて-くださる G0591 σοι. あなたに G4771

あなたは祈る時、自分のへやにはいり、戸を閉じて、隠れた所においでになるあなたの父に祈りなさい。すると、隠れた事を見ておられるあなたの父は、報いてくださるであろう。

7 Προσευχόμενοι 祈るとき G4336 δὲ また G1161 μὴ ない-ように G3361 βατταλογήσητε, くどくど-言うな G0945 ὥσπερ ちょうど G5618 οἱ その G3588 ἐθνικοί; 異邦人の-ように G1482
δοκοῦσιν 思っている G1380 γὰρ なぜなら G1063 ὅτι と G3754 ἐν で G1722 τῇ その G3588 πολυλογίᾳ 言葉-数が-多ければ G4180 αὐτῶν 彼らの G0846 εἰσακουσθήσονται. 聞かれると G1522

また、祈る場合、異邦人のように、くどくどと祈るな。彼らは言葉かずが多ければ、聞きいれられるものと思っている。

8 μὴ ない-ように G3361 οὖν だから G3767 ὁμοιωθῆτε 似てはならない G3666 αὐτοῖς; 彼らに G0846 οἶδεν 知っておられる G1492 γὰρ なぜなら G1063 (ὁ (その G3588 θεὸς) 神) G2316 ὁ その G3588
Πατὴρ 父は G3962 ὑμῶν あなたがたの G4771 ὧν 何が G3739 χρείαν 必要か G5532 ἔχετε, あなたがたに G2192 πρὸ 前に G4253 τοῦ その G3588 ὑμᾶς あなたがたが G4771 αἰτῆσαι 求める G0154 αὐτόν. 神に G0846

だから、彼らのまねをするな。あなたがたの父なる神は、求めない先から、あなたがたに必要なものはご存じなのである。

9 οὕτως οὖν προσεύχεσθε ὑμεῖς: Πάτερ ἡμῶν, ὁ ἐν τοῖς
このように だから 祈りなさい あなたがたは 父よ 私たちの その おられる その
G3779 G3767 G4336 G4771 G3962 G1473 G3588 G1722 G3588

οὐρανοῖς, Ἁγιασθήτω τὸ ὄνομά σου.
天に 聖なるものと-されますように その 御名が あなたの
G3772 G0037 G3588 G3686 G4771

だから、あなたがたはこう祈りなさい、天にいますわれらの父よ、御名があがめられますように。

10 ἐλθέτω ἡ βασιλεία σου; γενηθήτω τὸ θέλημά σου, ὡς
来ますように その 御国が あなたの なりますように その 御心が あなたの のように
G2064 G3588 G0932 G4771 G1096 G3588 G2307 G4771 G5613

ἐν οὐρανῷ, καὶ ἐπὶ γῆς.
で 天で また でも 地上
G1722 G3772 G2532 G1909 G1093

御国がきますように。みこころが天に行われるとおり、地にも行われますように。

11 Τὸν ἄρτον ἡμῶν τὸν ἐπιούσιον δὸς ἡμῖν σήμερον;
その パンを 私たちの その 日ごとの お与えください 私たちに 今日
G3588 G0740 G1473 G3588 G1967 G1325 G1473 G4594

わたしたちの日ごとの食物を、きょうもお与えください。

12 καὶ ἄφες ἡμῖν τὰ ὀφειλήματα ἡμῶν, ὡς καὶ ἡμεῖς
そして お赦しください 私たちの その 負い目を 私たちの ように また 私たちも
G2532 G0863 G1473 G3588 G3783 G1473 G5613 G2532 G1473

ἀφήκαμεν τοῖς ὀφειλέταις ἡμῶν;
赦しました その 負い目ある-者たちを 私たちに
G0863 G3588 G3781 G1473

わたしたちに負債のある者をゆるしましたように、わたしたちの負債をもおゆるしください。

13 καὶ μὴ εἰσενέγκῃς ἡμᾶς εἰς πειρασμόν, ἀλλὰ ῥῦσαι
そして ない-ように 導かないでください 私たちを に 誘惑に むしろ お救いください
G2532 G3361 G1533 G1473 G1519 G3986 G0235 G4506

ἡμᾶς ἀπὸ τοῦ πονηροῦ. <Ὅτι σοῦ ἐστιν ἡ βασιλεία καὶ
私たちを から その 悪より なぜなら あなたの-ものです です その 国と そして
G1473 G0575 G3588 G4190 G3754 G4771 G1510 G3588 G0932 G2532

ἡ δύναμις καὶ ἡ δόξα εἰς τοὺς αἰῶνας. Ἀμήν>.
その 力と そして その 栄光は とこしえに その 限りなく アーメン
G3588 G1411 G2532 G3588 G1391 G1519 G3588 G0165 G0281

わたしたちを試みに会わせないで、悪しき者からお救いください。

14 Ἐὰν γὰρ ἀφῆτε τοῖς ἀνθρώποις τὰ παραπτώματα αὐτῶν, ἀφήσει
もし なぜなら 赦すなら その 人々を その 過ちを 彼らの 赦してくださる
G1437 G1063 G0863 G3588 G0444 G3588 G3900 G0846 G0863

καὶ ὑμῖν ὁ Πατὴρ ὑμῶν ὁ οὐράνιος.
また あなたがたを その 父も あなたがたの その 天の
G2532 G4771 G3588 G3962 G4771 G3588 G3770

もしも、あなたがたが、人々のあやまちをゆるすならば、あなたがたの天の父も、あなたがたをゆるして下さるであろう。

15 ἐὰν δὲ μὴ ἀφῆτε τοῖς ἀνθρώποις (τὰ παραπτώματα αὐτῶν), οὐδὲ
もし しかし ない 赦さないなら その 人々を (その 過ちを 彼らの) ない
G1437 G1161 G3361 G0863 G3588 G0444 G3588 G3900 G0846 G3761

ὁ Πατὴρ ὑμῶν ἀφήσει τὰ παραπτώματα ὑμῶν.
その 父も あなたがたの 赦されない その 過ちを あなたがたの
G3588 G3962 G4771 G0863 G3588 G3900 G4771

もし人をゆるさないならば、あなたがたの父も、あなたがたのあやまちをゆるして下さらないであろう。

16 Ὅταν δὲ νηστεύητε, μὴ γίνεσθε ὡς οἱ ὑποκριταὶ,
また しかし 断食するとき ない–ように なってはならない のような その 偽善者たちの
G3752 G1161 G3522 G3361 G1096 G5613 G3588 G5273

σκυθρωποί; ἀφανίζουσιν γὰρ τὰ πρόσωπα αὐτῶν, ὅπως φανῶσιν τοῖς
暗い–顔に やつす なぜなら その 顔を 彼らの ために 見せようと その
G4659 G0853 G1063 G3588 G4383 G0846 G3704 G5316 G3588

ἀνθρώποις νηστεύοντες. ἀμὴν λέγω ὑμῖν, ἀπέχουσιν τὸν μισθὸν
人々に 断食していることを まことに 言う あなたがたに すでに–受けている その 報いを
G0444 G3522 G0281 G3004 G4771 G0568 G3588 G3408

αὐτῶν.
彼らの
G0846

また断食をする時には、偽善者がするように、陰気な顔つきをするな。彼らは断食をしていることを人に見せようとして、自分の顔を見苦しくするのである。よく言っておくが、彼らはその報いを受けてしまっている。

17 σὺ δὲ, νηστεύων, ἄλειψαί σου τὴν κεφαλὴν, καὶ τὸ
あなたは しかし 断食するとき 油を–塗りなさい あなたの その 頭に そして その
G4771 G1161 G3522 G0218 G4771 G3588 G2776 G2532 G3588

πρόσωπόν σου νίψαι,
顔を あなたの 洗いなさい
G4383 G4771 G3538

あなたがたは断食をする時には、自分の頭に油を塗り、顔を洗いなさい。

18 ὅπως μὴ φανῇς τοῖς ἀνθρώποις νηστεύων, ἀλλὰ τῷ Πατρί
ために ない–ように 見せないため その 人々に 断食していることを むしろ その 父に
G3704 G3361 G5316 G3588 G0444 G3522 G0235 G3588 G3962

σου τῷ ἐν τῷ κρυφαίῳ; καὶ ὁ Πατήρ σου, ὁ
あなたの その おられる その 隠れた–ところに そうすれば その 父が あなたの その
G4771 G3588 G1722 G3588 G2927 G2532 G3588 G3962 G4771 G3588

βλέπων ἐν τῷ κρυφαίῳ, ἀποδώσει σοι.
見ておられる で その 隠れた–ところで 報いて–くださる あなたに
G0991 G1722 G3588 G2927 G0591 G4771

それは断食をしていることが人に知れないで、隠れた所においでになるあなたの父に知られるためである。すると、隠れた事を見ておられるあなたの父は、報いて下さるであろう。

19 Μὴ θησαυρίζετε ὑμῖν θησαυροὺς ἐπὶ τῆς γῆς, ὅπου
ない–ように 蓄えてはならない あなたがたのために 宝を の–上の その 地上に そこでは
G3361 G2343 G4771 G2344 G1909 G3588 G1093 G3699

σὴς καὶ βρῶσις ἀφανίζει, καὶ ὅπου κλέπται διορύσσουσιν καὶ
虫と そして 錆が 損なう そして そこでは 盗人たちが 壁を–破って そして
G4597 G2532 G1035 G0853 G2532 G3699 G2812 G1358 G2532

κλέπτουσιν;
盗む
G2813

あなたがたは自分のために、虫が食い、さびがつき、また、盗人らが押し入って盗み出すような地上に、宝をたくわえてはならない。

20 θησαυρίζετε δὲ ὑμῖν θησαυροὺς ἐν οὐρανῷ, ὅπου οὔτε σὴς
蓄えなさい むしろ あなたがたのために 宝を に 天に そこでは ない 虫も
G2343 G1161 G4771 G2344 G1722 G3772 G3699 G3777 G4597

οὔτε βρῶσις ἀφανίζει, καὶ ὅπου κλέπται οὐ διορύσσουσιν οὐδὲ
ない 錆も 損なわない そして そこでは 盗人たちが ない 壁を–破らず ない
G3777 G1035 G0853 G2532 G3699 G2812 G3756 G1358 G3761

κλέπτουσιν.
盗まない
G2813

むしろ自分のため、虫も食わず、さびもつかず、また、盗人らが押し入って盗み出すこともない天に、宝をたくわえなさい。

21 ὅπου γάρ ἐστιν ὁ θησαυρός σου, ἐκεῖ ἔσται καὶ ἡ καρδία
なぜなら そこに ある その 宝が あなたの そこに ある また その 心も
G3699 G1063 G1510 G3588 G2344 G4771 G1563 G1510 G2532 G3588 G2588

σου.
あなたの
G4771

あなたの宝のある所には、心もあるからである。

22 Ὁ λύχνος τοῦ σώματός ἐστιν ὁ ὀφθαλμός; ἐὰν οὖν ᾖ ὁ
その 灯は の 体の である その 目 もし だから あれば その
G3588 G3088 G3588 G4983 G1510 G3588 G3788 G1437 G3767 G1510 G3588

ὀφθαλμός σου ἁπλοῦς, ὅλον τὸ σῶμά σου φωτεινὸν ἔσται.
目が あなたの 澄んでいれば 全身が その 体が あなたの 明るい であろう
G3788 G4771 G0573 G3650 G3588 G4983 G4771 G5460 G1510

目はからだのあかりである。だから、あなたの目が澄んでおれば、全身も明るいだろう。

23 ἐὰν δὲ ὁ ὀφθαλμός σου πονηρὸς ᾖ, ὅλον τὸ σῶμά σου
もし しかし その 目が あなたの 悪ければ あれば 全身が その 体が あなたの
G1437 G1161 G3588 G3788 G4771 G4190 G1510 G3650 G3588 G4983 G4771

σκοτεινὸν ἔσται. εἰ οὖν τὸ φῶς τὸ ἐν σοὶ σκότος
暗い であろう もし だから その 光が その の–うちにある あなたの 闇
G4652 G1510 G1487 G3767 G3588 G5457 G3588 G1722 G4771 G4655

ἐστίν, τὸ σκότος πόσον!
であれば その 闇は どれほどか
G1510 G3588 G4655 G4214

しかし、あなたの目が悪ければ、全身も暗いだろう。だから、もしあなたの内なる光が暗ければ、その暗さは、どんなであろう。

24 Οὐδεὶς δύναται δυσὶ κυρίοις δουλεύειν; ἢ γὰρ τὸν ἕνα μισήσει,
誰も できない 二人の 主人に 仕えることは あるいは なぜなら 一方を 片方を 憎み
G3762 G1410 G1417 G2962 G1398 G2228 G1063 G3588 G1520 G3404

καὶ τὸν ἕτερον ἀγαπήσει; ἢ ἑνὸς ἀνθέξεται, καὶ τοῦ ἑτέρου
そして もう-一方を 他方を 愛する あるいは 一方に 忠実であり そして その 他方を
G2532 G3588 G2087 G0025 G2228 G1520 G0472 G2532 G3588 G2087

καταφρονήσει. οὐ δύνασθε Θεῷ δουλεύειν, καὶ μαμωνᾷ.
軽んじる ない できない 神と 仕えることは そして 富とに
G2706 G3756 G1410 G2316 G1398 G2532 G3126

だれも、ふたりの主人に兼ね仕えることはできない。一方を憎んで他方を愛し、あるいは、一方に親しんで他方をうとんじるからである。あなたがたは、神と富とに兼ね仕えることはできない。

25 Διὰ τοῦτο λέγω ὑμῖν, μὴ μεριμνᾶτε τῇ ψυχῇ
それゆえ この-ために 言う あなたがたに ない-ように 思い煩うな の-ことで 命の
G1223 G3778 G3004 G4771 G3361 G3309 G3588 G5590

ὑμῶν, τί φάγητε ἢ τί πίητε; μηδὲ τῷ σώματι ὑμῶν,
あなたがたの 何を 食べようか また 何を 飲もうかと また の-ことで 体の あなたがたの
G4771 G5101 G5315 G2228 G5101 G4095 G3366 G3588 G4983 G4771

τί ἐνδύσησθε. οὐχὶ ἡ ψυχὴ πλεῖόν ἐστιν τῆς τροφῆς, καὶ τὸ
何を 着ようかと ではないか その 命は まさっている である その 食物より また その
G5101 G1746 G3780 G3588 G5590 G4119 G1510 G3588 G5160 G2532 G3588

σῶμα τοῦ ἐνδύματος?
体は その 衣服より
G4983 G3588 G1742

それだから、あなたがたに言っておく。何を食べようか、何を飲もうかと、自分の命のことで思いわずらい、何を着ようかと自分のからだのことで思いわずらうな。命は食物にまさり、からだは着物にまさるではないか。

26 ἐμβλέψατε εἰς τὰ πετεινὰ τοῦ οὐρανοῦ, ὅτι οὐ σπείρουσιν, οὐδὲ
見なさい を その 空の-鳥を の 天の それらは ない 種を-蒔かず ない
G1689 G1519 G3588 G4071 G3588 G3772 G3754 G3756 G4687 G3761

θερίζουσιν, οὐδὲ συνάγουσιν εἰς ἀποθήκας-- καὶ ὁ Πατὴρ ὑμῶν
刈り入れず ない 蔵に-集めない に 倉に しかし その 父が あなたがたの
G2325 G3761 G4863 G1519 G0596 G2532 G3588 G3962 G4771

ὁ οὐράνιος τρέφει αὐτά: οὐχ ὑμεῖς μᾶλλον διαφέρετε
その 天の 養っておられる それらを ではないか あなたがたは はるかに まさっている
G3588 G3770 G5142 G0846 G3756 G4771 G3123 G1308

αὐτῶν?
それらより
G0846

空の鳥を見るがよい。まくことも、刈ることもせず、倉に取りいれることもしない。それだのに、あなたがたの天の父は彼らを養っていて下さる。あなたがたは彼らよりも、はるかにすぐれた者ではないか。

27 τίς δὲ ἐξ ὑμῶν μεριμνῶν δύναται προσθεῖναι ἐπὶ τὴν ἡλικίαν
また しかし の-うち あなたがたの 思い煩って できるか 加えることが に その 寿命に
G5101 G1161 G1537 G4771 G3309 G1410 G4369 G1909 G3588 G2244

αὐτοῦ πῆχυν ἕνα?
自分の 一キュビトを 一つでも
G0846 G4083 G1520

あなたがたのうち、だれが思いわずらったからとて、自分の寿命をわずかでも延ばすことができようか。

28 καὶ περὶ ἐνδύματος τί μεριμνᾶτε? καταμάθετε τὰ κρίνα τοῦ
そして について 衣服に なぜ 思い煩うのか よく-学びなさい その 野の-百合が の
G2532 G4012 G1742 G5101 G3309 G2648 G3588 G2918 G3588

ἀγροῦ, πῶς αὐξάνουσιν: οὐ κοπιῶσιν οὐδὲ νήθουσιν:
野の どのように 育つかを ない 労さず ない 紡がない
G0068 G4459 G0837 G3756 G2872 G3761 G3514

また、なぜ、着物のことで思いわずらうのか。野の花がどうして育っているか、考えて見るがよい。働きもせず、紡ぎもしない。

29 λέγω δὲ ὑμῖν ὅτι οὐδὲ Σολομὼν ἐν πάσῃ τῇ
しかし 言う あなたがたに と ない ソロモンでさえ で すべての その
G3004 G1161 G4771 G3754 G3761 G4672 G1722 G3956 G3588

δόξῃ αὐτοῦ περιεβάλετο ὡς ἓν τούτων.
栄華を-もってしても 彼の 装えなかった のように 一つ これらの-ようには
G1391 G0846 G4016 G5613 G1520 G3778

しかし、あなたがたに言うが、栄華をきわめた時のソロモンでさえ、この花の一つほどにも着飾ってはいなかった。

30 εἰ δὲ τὸν χόρτον τοῦ ἀγροῦ, σήμερον ὄντα, καὶ αὔριον εἰς
もし しかし その 草を の 野の 今日 生えていて そして 明日 に
G1487 G1161 G3588 G5528 G3588 G0068 G4594 G1510 G2532 G0839 G1519

κλίβανον βαλλόμενον, ὁ Θεὸς οὕτως ἀμφιέννυσιν, οὐ
炉に 投げ込まれるものを その 神が このように 装わせてくださるなら ではないか
G2823 G0906 G3588 G2316 G3779 G0294 G3756

πολλῷ μᾶλλον ὑμᾶς, ὀλιγόπιστοι?
はるかに-まして なおさら あなたがたを 信仰-薄い-者たちよ
G4183 G3123 G4771 G3640

きょうは生えていて、あすは炉に投げ入れられる野の草でさえ、神はこのように装って下さるのなら、あなたがたに、それ以上よくしてくださらないはずがあろうか。ああ、信仰の薄い者たちよ。

31 μὴ οὖν μεριμνήσητε, λέγοντες, Τί φάγωμεν? ἢ Τί πίωμεν?
ない-ように だから 思い煩うな 言って 何を 食べようか また 何を 飲もうか
G3361 G3767 G3309 G3004 G5101 G5315 G2228 G5101 G4095

ἢ Τί περιβαλώμεθα?
また 何を 着ようかと
G2228 G5101 G4016

だから、何を食べようか、何を飲もうか、あるいは何を着ようかと言って思いわずらうな。

32 πάντα γὰρ ταῦτα τὰ ἔθνη ἐπιζητοῦσιν; οἶδεν γὰρ
すべて なぜなら これらの-ものを その 異邦人は 求めている 知っておられる なぜなら
G3956 G1063 G3778 G3588 G1484 G1934 G1492 G1063

ὁ Πατὴρ ὑμῶν ὁ οὐράνιος ὅτι χρῄζετε τούτων
その 父は あなたがたの その 天の と 必要として-いることを これらすべてを
G3588 G3962 G4771 G3588 G3770 G3754 G5535 G3778

ἁπάντων.
あなたがたが
G0537

これらのものはみな、異邦人が切に求めているものである。あなたがたの天の父は、これらのものが、ことごとくあなたがたに必要であることをご存じである。

33 ζητεῖτε 求めなさい G2212 δὲ むしろ G1161 πρῶτον まず G4412 τὴν その G3588 βασιλείαν 御国と G0932 [τοῦ [の G3588 θεοῦ], 神の] G2316 καὶ そうすれば G2532 τὴν その G3588 δικαιοσύνην 義を G1343
αὐτοῦ; 神の G0846 καὶ そうすれば G2532 ταῦτα これらすべてが G3778 πάντα すべて G3956 προστεθήσεται 加えて-与えられる G4369 ὑμῖν. あなたがたに G4771

まず神の国と神の義とを求めなさい。そうすれば、これらのものは、すべて添えて与えられるであろう。

34 μὴ ない-ように G3361 οὖν だから G3767 μεριμνήσητε 思い煩うな G3309 εἰς について G1519 τὴν その G3588 αὔριον, 明日のことを G0839 ἡ その G3588 γὰρ なぜなら G1063 αὔριον 明日は G0839
μεριμνήσει 思い煩う G3309 ἑαυτῆς. 自分自身のことを G1438 ἀρκετὸν 十分である G0713 τῇ その G3588 ἡμέρᾳ 日には G2250 ἡ その G3588 κακία 苦労が G2549 αὐτῆς. その-日の G0846

だから、あすのことを思いわずらうな。あすのことは、あす自身が思いわずらうであろう。一日の苦労は、その日一日だけで十分である。

Chapter 7

1 Μὴ ない-ように G3361 κρίνετε, 裁くな G2919 ἵνα ために G2443 μὴ ない-ように G3361 κριθῆτε: 裁かれない G2919

人をさばくな。自分がさばかれないためである。

2 ἐν で G1722 ᾧ その G3739 γὰρ なぜなら G1063 κρίματι 裁きで G2917 κρίνετε, 裁くなら G2919 κριθήσεσθε; 裁かれる G2919 καὶ そして G2532 ἐν で G1722 ᾧ その G3739 μέτρῳ 秤で G3358
μετρεῖτε, 量るなら G3354 μετρηθήσεται 量り-返される G3354 ὑμῖν. あなたがたに G4771

あなたがたがさばくそのさばきで、自分もさばかれ、あなたがたの量るそのはかりで、自分にも量り与えられるであろう。

3 τί なぜ G5101 δὲ しかし G1161 βλέπεις 見るのか G0991 τὸ その G3588 κάρφος ちりを G2595 τὸ その G3588 ἐν にある G1722 τῷ その G3588 ὀφθαλμῷ 目の G3788 τοῦ の G3588 ἀδελφοῦ 兄弟の G0080
σου, あなたの G4771 τὴν その G3588 δὲ しかし G1161 ἐν にある G1722 τῷ その G3588 σῷ あなたの G4674 ὀφθαλμῷ 目の G3788 δοκὸν 梁を G1385 οὐ ない G3756 κατανοεῖς? 気づかないのか G2657

なぜ、兄弟の目にあるちりを見ながら、自分の目にある梁を認めないのか。

4 ἢ または G2228 πῶς どうして G4459 ἐρεῖς 言えるか G2046 τῷ その G3588 ἀδελφῷ 兄弟に G0080 σου, あなたの G4771 Ἄφες させてくれ G0863 ἐκβάλω 取り出そう G1544 τὸ その G3588 κάρφος ちりを G2595 ἐκ から G1537 τοῦ その G3588 ὀφθαλμοῦ 目から G3788 σου; あなたの G4771 καὶ しかし G2532 ἰδοὺ, 見よ G3708 ἡ その G3588 δοκὸς 梁が G1385 ἐν にある G1722 τῷ その G3588 ὀφθαλμῷ 目に G3788 σοῦ! あなたの G4771

自分の目には梁があるのに、どうして兄弟にむかって、あなたの目からちりを取らせてください、と言えようか。

5 ὑποκριτά, 偽善者よ G5273 ἔκβαλε 取り出せ G1544 πρῶτον まず G4412 ἐκ から G1537 τοῦ その G3588 ὀφθαλμοῦ 目から G3788 σοῦ あなたの G4771 τὴν その G3588 δοκόν, 梁を G1385 καὶ そうすれば G2532 τότε そのとき G5119 διαβλέψεις はっきり-見えて G1227 ἐκβαλεῖν 取り出せる G1544 τὸ その G3588 κάρφος ちりを G2595 ἐκ から G1537 τοῦ その G3588 ὀφθαλμοῦ 目から G3788 τοῦ の G3588 ἀδελφοῦ 兄弟の G0080 σου. あなたの G4771

偽善者よ、まず自分の目から梁を取りのけるがよい。そうすれば、はっきり見えるようになって、兄弟の目からちりを取りのけることができるだろう。

6 Μὴ ない-ように G3361 δῶτε 与えるな G1325 τὸ その G3588 ἅγιον 聖なる-ものを G0040 τοῖς その G3588 κυσίν, 犬に G2965 μηδὲ また G3366 βάλητε 投げるな G0906 τοὺς その G3588 μαργαρίτας 真珠を G3135 ὑμῶν あなたがたの G4771 ἔμπροσθεν の-前に G1715 τῶν その G3588 χοίρων, 豚の G5519 μήˌ ない-ように G3361 ποτε いつか G4219 καταπατήσουσιν 踏みにじる G2662 αὐτοὺς それらを G0846 ἐν で G1722 τοῖς その G3588 ποσὶν 足で G4228 αὐτῶν, 彼らの G0846 καὶ そして G2532 στραφέντες, 向き直って G4762 ῥήξωσιν 引き裂く G4486 ὑμᾶς. あなたがたを G4771

聖なるものを犬にやるな。また真珠を豚に投げてやるな。恐らく彼らはそれらを足で踏みつけ、向きなおってあなたがたにかみついてくるであろう。

7 Αἰτεῖτε, 求めなさい G0154 καὶ そうすれば G2532 δοθήσεται 与えられる G1325 ὑμῖν; あなたがたに G4771 ζητεῖτε, 探しなさい G2212 καὶ そうすれば G2532 εὑρήσετε; 見つかる G2147 κρούετε, 叩きなさい G2925 καὶ そうすれば G2532 ἀνοιγήσεται 開かれる G0455 ὑμῖν. あなたがたに G4771

求めよ、そうすれば、与えられるであろう。捜せ、そうすれば、見いだすであろう。門をたたけ、そうすれば、あけてもらえるであろう。

8 πᾶς すべて G3956 γὰρ なぜなら G1063 ὁ その G3588 αἰτῶν 求める-者は G0154 λαμβάνει; 受ける G2983 καὶ そして G2532 ὁ その G3588 ζητῶν, 探す-者は G2212 εὑρίσκει; 見つける G2147 καὶ そして G2532 τῷ その G3588 κρούοντι, 叩く-者には G2925 ἀνοιγήσεται. 開かれる G0455

すべて求める者は得、捜す者は見いだし、門をたたく者はあけてもらえるからである。

9

ἢ	τίς	ἐστιν	ἐξ	ὑμῶν	ἄνθρωπος	ὃν	αἰτήσει	ὁ	υἱὸς
または	だれか	いるか	の–うち	あなたがたの	人が	その	求める–なら	その	息子が
G2228	G5101	G1510	G1537	G4771	G0444	G3739	G0154	G3588	G5207

αὐτοῦ	ἄρτον:	μὴ	λίθον	ἐπιδώσει	αὐτῷ?
彼の	パンを	まさか	石を	与えるか	彼に
G0846	G0740	G3361	G3037	G1929	G0846

あなたがたのうちで、自分の子がパンを求めるのに、石を与える者があろうか。

10

ἢ	καὶ	ἰχθὺν	αἰτήσει:	μὴ	ὄφιν	ἐπιδώσει	αὐτῷ?
あるいは	また	魚を	求めるなら	まさか	蛇を	与える–だろうか	彼に
G2228	G2532	G2486	G0154	G3361	G3789	G1929	G0846

魚を求めるのに、へびを与える者があろうか。

11

εἰ	οὖν	ὑμεῖς,	πονηροὶ	ὄντες,	οἴδατε	δόματα	ἀγαθὰ
もし	だから	あなたがたが	悪い–者で	あっても	知っている	良い–贈り物を	良い
G1487	G3767	G4771	G4190	G1510	G1492	G1390	G0018

διδόναι	τοῖς	τέκνοις	ὑμῶν,	πόσῳ	μᾶλλον	ὁ	Πατὴρ	ὑμῶν
与えることを	その	子どもたちに	あなたがたの	どれほど	なおさら	その	父は	あなたがたの
G1325	G3588	G5043	G4771	G4214	G3123	G3588	G3962	G4771

ὁ	ἐν	τοῖς	οὐρανοῖς	δώσει	ἀγαθὰ	τοῖς	αἰτοῦσιν	αὐτόν?
その	おられる	その	天に	与えてくださる	良い–ものを	その	求める–者たちに	神に
G3588	G1722	G3588	G3772	G1325	G0018	G3588	G0154	G0846

このように、あなたがたは悪い者であっても、自分の子供には、良い贈り物をすることを知っているとすれば、天にいますあなたがたの父はなおさら、求めてくる者に良いものを下さらないことがあろうか。

12

Πάντα	οὖν,	ὅσα	ἐὰν	θέλητε	ἵνα	ποιῶσιν	ὑμῖν	οἱ	ἄνθρωποι,
すべて	だから	何でも	もし	望む–なら	ために	する–ことを	あなたがたに	その	人々が
G3956	G3767	G3745	G1437	G2309	G2443	G4160	G4771	G3588	G0444

οὕτως	καὶ	ὑμεῖς	ποιεῖτε	αὐτοῖς.	οὗτος	γάρ	ἐστιν	ὁ	νόμος
そのように	また	あなたがたも	しなさい	彼らに	これが	なぜなら	である	その	律法と
G3779	G2532	G4771	G4160	G0846	G3778	G1063	G1510	G3588	G3551

καὶ	οἱ	προφῆται.
そして	その	預言者たち
G2532	G3588	G4396

だから、何事でも人々からしてほしいと望むことは、人々にもそのとおりにせよ。これが律法であり預言者である。

13

Εἰσέλθατε	διὰ	τῆς	στενῆς	πύλης.	ὅτι	πλατεῖα	ἡ	πύλη	καὶ
入りなさい	を–通って	の	狭い	門から	なぜなら	広い	その	門と	そして
G1525	G1223	G3588	G4728	G4439	G3754	G4116	G3588	G4439	G2532

εὐρύχωρος	ἡ	ὁδὸς	ἡ	ἀπάγουσα	εἰς	τὴν	ἀπώλειαν,	καὶ	πολλοί
広々とした	その	道は	その	導く	に	その	滅びに	そして	多くの–者が
G2149	G3588	G3598	G3588	G0520	G1519	G3588	G0684	G2532	G4183

εἰσιν	οἱ	εἰσερχόμενοι	δι’	αὐτῆς;
いる	その	入って–行く	を–通って	それを
G1510	G3588	G1525	G1223	G0846

狭い門からはいれ。滅びにいたる門は大きく、その道は広い。そして、そこからはいって行く者が多い。

14 ὅτι なぜなら G3754 στενὴ 狭い G4728 ἡ その G3588 πύλη 門と G4439 καὶ そして G2532 τεθλιμμένη 険しい G2346 ἡ その G3588 ὁδὸς 道は G3598 ἡ その G3588 ἀπάγουσα 導く G0520 εἰς に G1519 τὴν その G3588 ζωήν, 命に G2222 καὶ そして G2532 ὀλίγοι 少ない–者が G3641 εἰσὶν いる G1510 οἱ その G3588 εὑρίσκοντες 見つける G2147 αὐτήν. それを G0846

命にいたる門は狭く、その道は細い。そして、それを見いだす者が少ない。

15 Προσέχετε 気をつけなさい G4337 ἀπὸ から G0575 τῶν その G3588 ψευδοπροφητῶν, 偽預言者たちに G5578 οἵτινες 彼らは G3748 ἔρχονται 来る G2064 πρὸς に G4314 ὑμᾶς あなたがたの–ところに G4771 ἐν で G1722 ἐνδύμασιν 衣を–着て G1742 προβάτων, 羊の G4263 ἔσωθεν 内側は G2081 δέ しかし G1161 εἰσιν である G1510 λύκοι 狼 G3074 ἅρπαγες. 貪欲な G0727

にせ預言者を警戒せよ。彼らは、羊の衣を着てあなたがたのところに来るが、その内側は強欲なおおかみである。

16 ἀπὸ から G0575 τῶν その G3588 καρπῶν 実によって G2590 αὐτῶν 彼らの G0846 ἐπιγνώσεσθε 見分ける G1921 αὐτούς. 彼らを G0846 μήτι まさか G3385 συλλέγουσιν 集めるか G4816 ἀπὸ から G0575 ἀκανθῶν 茨から G0173 σταφυλὰς, ぶどうを G4718 ἢ または G2228 ἀπὸ から G0575 τριβόλων あざみから G5146 σῦκα? いちじくを G4810

あなたがたは、その実によって彼らを見わけるであろう。茨からぶどうを、あざみからいちじくを集める者があろうか。

17 οὕτως このように G3779 πᾶν すべて G3956 δένδρον 木は G1186 ἀγαθὸν, 良い G0018 καρποὺς 実を G2590 καλοὺς 良い G2570 ποιεῖ; 結ぶ G4160 τὸ その G3588 δὲ しかし G1161 σαπρὸν 悪い G4550 δένδρον, 木は G1186 καρποὺς 実を G2590 πονηροὺς 悪い G4190 ποιεῖ. 結ぶ G4160

そのように、すべて良い木は良い実を結び、悪い木は悪い実を結ぶ。

18 οὐ ない G3756 δύναται できない G1410 δένδρον 木は G1186 ἀγαθὸν, 良い G0018 καρποὺς 実を G2590 πονηροὺς 悪い G4190 ποιεῖν; 結ぶことは G4160 οὐδὲ また G3761 δένδρον 木は G1186 σαπρὸν, 悪い G4550 καρποὺς 実を G2590 καλοὺς 良い G2570 ποιεῖν. 結ぶことは G4160

良い木が悪い実をならせることはないし、悪い木が良い実をならせることはできない。

19 πᾶν すべて G3956 δένδρον 木は G1186 μὴ ない G3361 ποιοῦν 結ばない G4160 καρπὸν 実を G2590 καλὸν 良い G2570 ἐκκόπτεται 切り倒されて G1581 καὶ そして G2532 εἰς に G1519 πῦρ 火に G4442 βάλλεται. 投げ込まれる G0906

良い実を結ばない木はことごとく切られて、火の中に投げ込まれる。

20 ἄρα¦γε ἀπὸ τῶν καρπῶν αὐτῶν ἐπιγνώσεσθε αὐτούς.
だから から その 実によって 彼らの 見分ける 彼らを
G0686 G0575 G3588 G2590 G0846 G1921 G0846

このように、あなたがたはその実によって彼らを見わけるのである。

21 Οὐ πᾶς ὁ λέγων μοι, Κύριε, Κύριε, εἰσελεύσεται εἰς τὴν
ない すべての その 言う-者が わたしに 主よ 主よ-と 入るのではない に その
G3756 G3956 G3588 G3004 G1473 G2962 G2962 G1525 G1519 G3588

βασιλείαν τῶν οὐρανῶν, ἀλλ’ ὁ ποιῶν τὸ θέλημα τοῦ Πατρός
御国に の 天の むしろ その 行う-者が その 御心を の 父の
G0932 G3588 G3772 G0235 G3588 G4160 G3588 G2307 G3588 G3962

μου, τοῦ ἐν τοῖς οὐρανοῖς.
わたしの の おられる その 天に
G1473 G3588 G1722 G3588 G3772

わたしにむかって『主よ、主よ』と言う者が、みな天国にはいるのではなく、ただ、天にいますわが父の御旨を行う者だけが、はいるのである。

22 πολλοὶ ἐροῦσίν μοι ἐν ἐκείνῃ τῇ ἡμέρᾳ, Κύριε, Κύριε, οὐ
多くの-者が 言うだろう わたしに に その その 日に 主よ 主よ ではないか
G4183 G2046 G1473 G1722 G1565 G3588 G2250 G2962 G2962 G3756

τῷ σῷ ὀνόματι ἐπροφητεύσαμεν, καὶ τῷ σῷ ὀνόματι δαιμόνια
の あなたの 名によって 預言し そして の あなたの 名によって 悪霊を
G3588 G4674 G3686 G4395 G2532 G3588 G4674 G3686 G1140

ἐξεβάλομεν, καὶ τῷ σῷ ὀνόματι δυνάμεις πολλὰς ἐποιήσαμεν?
追い出し そして の あなたの 名によって 力ある-業を 多くの 行ったではないか
G1544 G2532 G3588 G4674 G3686 G1411 G4183 G4160

その日には、多くの者が、わたしにむかって『主よ、主よ、わたしたちはあなたの名によって預言したではありませんか。また、あなたの名によって悪霊を追い出し、あなたの名によって多くの力あるわざを行ったではありませんか』と言うであろう。

23 καὶ τότε ὁμολογήσω αὐτοῖς, ὅτι Οὐδέποτε ἔγνων ὑμᾶς;
そして そのとき 告げる 彼らに と 一度も 知らなかった あなたがたを
G2532 G5119 G3670 G0846 G3754 G3763 G1097 G4771

ἀποχωρεῖτε ἀπ’ ἐμοῦ, οἱ ἐργαζόμενοι τὴν ἀνομίαν.
離れよ から わたしから その 行う-者たちよ その 不法を
G0672 G0575 G1473 G3588 G2038 G3588 G0458

そのとき、わたしは彼らにはっきり、こう言おう、『あなたがたを全く知らない。不法を働く者どもよ、行ってしまえ』。

24 Πᾶς οὖν, ὅστις ἀκούει μου τοὺς λόγους τούτους, καὶ ποιεῖ
すべて だから その 聞く わたしの その 言葉を これらの そして 行う-者は
G3956 G3767 G3748 G0191 G1473 G3588 G3056 G3778 G2532 G4160

αὐτούς, ὁμοιωθήσεται ἀνδρὶ φρονίμῳ, ὅστις ᾠκοδόμησεν αὐτοῦ τὴν οἰκίαν
それらを たとえられる 人に 賢い その 建てた 自分の その 家を
G0846 G3666 G0435 G5429 G3748 G3618 G0846 G3588 G3614

ἐπὶ τὴν πέτραν.
の-上に その 岩の
G1909 G3588 G4073

それで、わたしのこれらの言葉を聞いて行うものを、岩の上に自分の家を建てた賢い人に比べることができよう。

25

καὶ	κατέβη	ἡ	βροχὴ,	καὶ	ἦλθον	οἱ	ποταμοὶ,	καὶ	ἔπνευσαν	οἱ
そして	降った	その	雨が	そして	来た	その	洪水が	そして	吹いた	その
G2532	G2597	G3588	G1028	G2532	G2064	G3588	G4215	G2532	G4154	G3588

ἄνεμοι,	καὶ	προσέπεσαν	τῇ	οἰκίᾳ	ἐκείνῃ;	καὶ	οὐκ	ἔπεσεν,	
風が	そして	打ちつけた	その	家に	その	しかし	ない	倒れなかった	
G0417	G2532	G4363	G3588	G3614	G1565	G2532	G3756	G4098	

τεθεμελίωτο	γὰρ	ἐπὶ	τὴν	πέτραν.	
据えられていた	なぜなら	の-上に	その	岩の	
G2311	G1063	G1909	G3588	G4073	

雨が降り、洪水が押し寄せ、風が吹いてその家に打ちつけても、倒れることはない。岩を土台としているからである。

26

καὶ	πᾶς	ὁ	ἀκούων	μου	τοὺς	λόγους	τούτους,	καὶ	μὴ
そして	すべて	その	聞く	わたしの	その	言葉を	これらの	しかし	ない
G2532	G3956	G3588	G0191	G1473	G3588	G3056	G3778	G2532	G3361

ποιῶν	αὐτοὺς,	ὁμοιωθήσεται	ἀνδρὶ	μωρῷ,	ὅστις	ᾠκοδόμησεν	αὐτοῦ	τὴν	
行わない-者は	それらを	たとえられる	人に	愚かな	その	建てた	自分の	その	
G4160	G0846	G3666	G0435	G3474	G3748	G3618	G0846	G3588	

οἰκίαν	ἐπὶ	τὴν	ἄμμον.	
家を	の-上に	その	砂の	
G3614	G1909	G3588	G0285	

また、わたしのこれらの言葉を聞いても行わない者を、砂の上に自分の家を建てた愚かな人に比べることができよう。

27

καὶ	κατέβη	ἡ	βροχὴ,	καὶ	ἦλθον	οἱ	ποταμοὶ,	καὶ	ἔπνευσαν	οἱ
そして	降った	その	雨が	そして	来た	その	洪水が	そして	吹いた	その
G2532	G2597	G3588	G1028	G2532	G2064	G3588	G4215	G2532	G4154	G3588

ἄνεμοι,	καὶ	προσέκοψαν	τῇ	οἰκίᾳ	ἐκείνῃ,	καὶ	ἔπεσεν--	καὶ	ἦν	ἡ
風が	そして	打ちつけた	その	家に	その	そして	倒れた	そして	あった	その
G0417	G2532	G4350	G3588	G3614	G1565	G2532	G4098	G2532	G1510	G3588

πτῶσις	αὐτῆς	μεγάλη.	
崩壊は	その-家の	甚だしかった	
G4431	G0846	G3173	

雨が降り、洪水が押し寄せ、風が吹いてその家に打ちつけると、倒れてしまう。そしてその倒れ方はひどいのである」。

28

Καὶ	ἐγένετο,	ὅτε	ἐτέλεσεν	ὁ	Ἰησοῦς	τοὺς	λόγους	τούτους,	ἐξεπλήσσοντο
そして	起こった	とき	語り終えた	その	イエスが	その	言葉を	これらの	驚いた
G2532	G1096	G3753	G5055	G3588	G2424	G3588	G3056	G3778	G1605

οἱ	ὄχλοι	ἐπὶ	τῇ	διδαχῇ	αὐτοῦ,	
その	群衆は	に	その	教えに	彼の	
G3588	G3793	G1909	G3588	G1322	G0846	

イエスがこれらの言を語り終えられると、群衆はその教にひどく驚いた。

29 ἦν γὰρ διδάσκων αὐτοὺς ὡς ἐξουσίαν ἔχων, καὶ οὐχ
あった なぜなら 教えていた 彼らを のように 権威を 持つ-者として そして ではなく
G1510 G1063 G1321 G0846 G5613 G1849 G2192 G2532 G3756

ὡς οἱ γραμματεῖς αὐτῶν.
のように その 律法学者たちの 彼らの
G5613 G3588 G1122 G0846

それは律法学者たちのようにではなく、権威ある者のように、教えられたからである。

Chapter 8

1 Καταβάντος δὲ αὐτοῦ ἀπὸ τοῦ ὄρους, ἠκολούθησαν αὐτῷ ὄχλοι πολλοί.
下って-来られた さて 彼が ～から その 山 従った 彼に 群衆が 大勢
G2597 G1161 G0846 G0575 G3588 G3735 G0190 G0846 G3793 G4183

イエスが山をお降りになると、おびただしい群衆がついてきた。

2 καὶ ἰδοὺ, λεπρὸς προσελθὼν, προσεκύνει αὐτῷ, λέγων, Κύριε, ἐὰν
すると 見よ らい病人が 近づいて-来て ひれ伏した 彼に 言って 主よ もし
G2532 G3708 G3015 G4334 G4352 G0846 G3004 G2962 G1437

θέλῃς, δύνασαί με καθαρίσαι.
望まれるなら あなたは-できます 私を 清くする-ことが
G2309 G1410 G1473 G2511

すると、そのとき、ひとりのらい病人がイエスのところにきて、ひれ伏して言った、「主よ、みこころでしたら、きよめていただけるのですが」。

3 καὶ ἐκτείνας τὴν χεῖρα, ἥψατο αὐτοῦ λέγων, Θέλω; καθαρίσθητι. καὶ
そして 手を-伸ばし その 手に 触れた 彼の 言って 望む 清くなれ すると
G2532 G1614 G3588 G5495 G0680 G0846 G3004 G2309 G2511 G2532

εὐθέως ἐκαθαρίσθη αὐτοῦ ἡ λέπρα.
すぐに 清められた 彼の その らい病が
G2112 G2511 G0846 G3588 G3014

イエスは手を伸ばして、彼にさわり、「そうしてあげよう、きよくなれ」と言われた。すると、らい病は直ちにきよめられた。

4 καὶ λέγει αὐτῷ ὁ Ἰησοῦς, Ὅρα μηδενὶ εἴπῃς; ἀλλὰ
そして 言われた 彼に （冠詞） イエスは 注意-せよ だれにも 話しては-ならない むしろ
G2532 G3004 G0846 G3588 G2424 G3708 G3367 G3004 G0235

ὕπαγε, σεαυτὸν δεῖξον τῷ ἱερεῖ, καὶ προσένεγκον τὸ δῶρον ὃ
行きなさい 自分を 見せなさい その 祭司に そして ささげなさい その 供え物を ～を
G5217 G4572 G1166 G3588 G2409 G2532 G4374 G3588 G1435 G3739

προσέταξεν Μωϋσῆς, εἰς μαρτύριον αὐτοῖς.
命じた モーセが ～として あかし-の 彼らへの
G4367 G3475 G1519 G3142 G0846

イエスは彼に言われた、「だれにも話さないように、注意しなさい。ただ行って、自分のからだを祭司に見せ、それから、モーセが命じた供え物をささげて、人々に証明しなさい」。

5 Εἰσελθόντος δὲ αὐτοῦ εἰς Καφαρναοὺμ, προσῆλθεν. αὐτῷ ἑκατόνταρχος,
入られた–とき さて 彼が ～に カペナウム 近づいて–来た 彼に 百人隊長が
G1525 G1161 G0846 G1519 G2584 G4334 G0846 G1543

παρακαλῶν αὐτὸν,
懇願して 彼を
G3870 G0846

さて、イエスがカペナウムに帰ってこられたとき、ある百卒長がみもとにきて訴えて言った、

6 καὶ λέγων, Κύριε, ὁ παῖς μου βέβληται ἐν τῇ οἰκίᾳ,
そして 言って 主よ （冠詞） しもべが 私の 横たわって–います ～で その 家に
G2532 G3004 G2962 G3588 G3816 G1473 G0906 G1722 G3588 G3614

παραλυτικός, δεινῶς βασανιζόμενος.
中風で ひどく 苦しんで
G3885 G1171 G0928

「主よ、わたしの僕が中風でひどく苦しんで、家に寝ています」。

7 ‹καὶ› λέγει αὐτῷ, Ἐγὼ ἐλθὼν, θεραπεύσω αὐτόν.
すると 言われた 彼に わたしが 行って いやしましょう 彼を
G2532 G3004 G0846 G1473 G2064 G2323 G0846

イエスは彼に、「わたしが行ってなおしてあげよう」と言われた。

8 ἀποκριθεὶς δὲ, ὁ ἑκατόνταρχος ἔφη, Κύριε, οὐκ εἰμὶ ἱκανὸς ἵνα
答えて しかし その 百人隊長は 言った 主よ ～ない 私は ふさわしく ～ほどに
G0611 G1161 G3588 G1543 G5346 G2962 G3756 G1510 G2425 G2443

μου ὑπὸ τὴν στέγην εἰσέλθῃς; ἀλλὰ μόνον εἰπὲ λόγῳ,
私の ～の下に その 屋根の 入られる–ことは ただ ひと言 おっしゃって–ください お言葉を
G1473 G5259 G3588 G4721 G1525 G0235 G3440 G3004 G3056

καὶ ἰαθήσεται ὁ παῖς μου.
そうすれば いやされます （冠詞） しもべは 私の
G2532 G2390 G3588 G3816 G1473

そこで百卒長は答えて言った、「主よ、わたしの屋根の下にあなたをお入れする資格は、わたしにはございません。ただ、お言葉を下さい。そうすれば僕はなおります。

9 καὶ γὰρ ἐγὼ ἄνθρωπός εἰμι ὑπὸ ἐξουσίαν; (τασσόμενος) ἔχων
なぜなら 実に 私も 人間で あります ～の下に 権威の 置かれた 持つ–者
G2532 G1063 G1473 G0444 G1510 G5259 G1849 G5021 G2192

ὑπ’ ἐμαυτὸν στρατιώτας; καὶ λέγω τούτῳ, Πορεύθητι, καὶ πορεύεται; καὶ
～の下に 自分の 兵士たちを そして 言います この–者に 行けと すると 行きます
G5259 G1683 G4757 G2532 G3004 G3778 G4198 G2532 G4198

ἄλλῳ, Ἔρχου, καὶ ἔρχεται; καὶ τῷ δούλῳ μου, Ποίησον
また 別の–者に 来いと すると 来ます また （冠詞） しもべに 私の これを–せよと
G2532 G0243 G2064 G2532 G2064 G2532 G3588 G1401 G1473 G4160

τοῦτο, καὶ ποιεῖ.
これを すると します
G3778 G2532 G4160

わたしも権威の下にある者ですが、わたしの下にも兵卒がいまして、ひとりの者に『行け』と言えば行き、ほかの者に『こい』と言えばきますし、また、僕に『これをせよ』と言えば、してくれるのです」。

10 ἀκούσας δὲ, ὁ Ἰησοῦς ἐθαύμασεν, καὶ εἶπεν τοῖς
聞いて しかし （冠詞） イエスは 驚かれた そして 言われた （冠詞）
G0191 G1161 G3588 G2424 G2296 G2532 G3004 G3588

ἀκολουθοῦσιν, Ἀμὴν λέγω ὑμῖν, παρ’ οὐδενὶ τοσαύτην πίστιν
従って–来た–者たちに まことに 言います あなたがたに ～にさえ だれにも これほどの 信仰を
G0190 G0281 G3004 G4771 G3844 G3762 G5118 G4102

ἐν τῷ Ἰσραὴλ εὗρον.
～で （冠詞） イスラエルの–中に 見出した–ことがない
G1722 G3588 G2474 G2147

イエスはこれを聞いて非常に感心され、ついてきた人々に言われた、「よく聞きなさい。イスラエル人の中にも、これほどの信仰を見たことがない。

11 λέγω δὲ ὑμῖν, ὅτι πολλοὶ ἀπὸ ἀνατολῶν καὶ δυσμῶν
言います しかし あなたがたに （接続詞） 多くの–者が ～から 東から また 西から
G3004 G1161 G4771 G3754 G4183 G0575 G0395 G2532 G1424

ἥξουσιν, καὶ ἀνακλιθήσονται μετὰ Ἀβραὰμ, καὶ Ἰσαὰκ, καὶ Ἰακὼβ,
来て そして 食卓に–つく–でしょう ～と共に アブラハム また イサク また ヤコブと
G2240 G2532 G0347 G3326 G0011 G2532 G2464 G2532 G2384

ἐν τῇ βασιλείᾳ τῶν οὐρανῶν;
～で その 天の （冠詞） 御国に
G1722 G3588 G0932 G3588 G3772

なお、あなたがたに言うが、多くの人が東から西からきて、天国で、アブラハム、イサク、ヤコブと共に宴会の席につくが、

12 οἱ δὲ υἱοὶ τῆς βασιλείας ἐκβληθήσονται, εἰς τὸ σκότος
（冠詞） しかし 御国の–子らは その 御国の 追い出される–でしょう ～へ その 暗やみの
G3588 G1161 G5207 G3588 G0932 G1544 G1519 G3588 G4655

τὸ ἐξώτερον, ἐκεῖ ἔσται ὁ κλαυθμὸς καὶ ὁ βρυγμὸς
その 外の そこには ある–でしょう （冠詞） 泣き叫びと また （冠詞） 歯ぎしりが
G3588 G1857 G1563 G1510 G3588 G2805 G2532 G3588 G1030

τῶν ὀδόντων.
（冠詞） 歯の
G3588 G3599

この国の子らは外のやみに追い出され、そこで泣き叫んだり、歯がみをしたりするであろう」。

13 καὶ εἶπεν ὁ Ἰησοῦς τῷ ἑκατοντάρχῃ, Ὕπαγε, ὡς
そして 言われた （冠詞） イエスは その 百人隊長に 行きなさい ～のように
G2532 G3004 G3588 G2424 G3588 G1543 G5217 G5613

ἐπίστευσας, γενηθήτω σοι. καὶ ἰάθη ὁ παῖς [αὐτοῦ] ἐν
信じた–とおり なるように あなたに すると いやされた （冠詞） しもべは 彼の ～の
G4100 G1096 G4771 G2532 G2390 G3588 G3816 G0846 G1722

τῇ ὥρᾳ ἐκείνῃ.
その 時に その
G3588 G5610 G1565

それからイエスは百卒長に「行け、あなたの信じたとおりになるように」と言われた。すると、ちょうどその時に、僕はいやされた。

14 Καὶ ἐλθὼν ὁ Ἰησοῦς εἰς τὴν οἰκίαν Πέτρου, εἶδεν τὴν
そして 来て （冠詞） イエスは ～へ その 家に ペテロの 見られた （冠詞）
G2532 G2064 G3588 G2424 G1519 G3588 G3614 G4074 G3708 G3588

πενθερὰν αὐτοῦ βεβλημένην καὶ πυρέσσουσαν;
しゅうとめが 彼の 臥して-いるのを そして 熱を-出している-のを
G3994 G0846 G0906 G2532 G4445

それから、イエスはペテロの家にはいって行かれ、そのしゅうとめが熱病で、床についているのをごらんになった。

15 καὶ ἥψατο τῆς χειρὸς αὐτῆς, καὶ ἀφῆκεν αὐτὴν ὁ πυρετός;
すると 触れられた その 手に 彼女の すると 去った 彼女から （冠詞） 熱が
G2532 G0680 G3588 G5495 G0846 G2532 G0863 G0846 G3588 G4446

καὶ ἠγέρθη καὶ διηκόνει αὐτῷ.
そして 起き上がり そして もてなした 彼に
G2532 G1453 G2532 G1247 G0846

そこで、その手にさわられると、熱が引いた。そして女は起きあがってイエスをもてなした。

16 Ὀψίας δὲ γενομένης, προσήνεγκαν αὐτῷ δαιμονιζομένους πολλούς,
夕方に なって なると 連れて-来た 彼の-もとに 悪霊に-つかれた-者たちを 多くの
G3798 G1161 G1096 G4374 G0846 G1139 G4183

καὶ ἐξέβαλεν τὰ πνεύματα λόγῳ, καὶ πάντας τοὺς κακῶς ἔχοντας,
そして 追い出された その 霊どもを 言葉で また すべての （冠詞） 病んで-いる 者たちを
G2532 G1544 G3588 G4151 G3056 G2532 G3956 G3588 G2560 G2192

ἐθεράπευσεν,
いやされた
G2323

夕暮になると、人々は悪霊につかれた者を大ぜい、みもとに連れてきたので、イエスはみ言葉をもって霊どもを追い出し、病人をことごとくおいやしになった。

17 ὅπως πληρωθῇ τὸ ῥηθὲν διὰ Ἡσαΐου τοῦ προφήτου,
こうして 成就した （冠詞） 語られた-ことが ～を通して イザヤ （冠詞） 預言者の
G3704 G4137 G3588 G2046 G1223 G2268 G3588 G4396

λέγοντος, Αὐτὸς τὰς ἀσθενείας ἡμῶν ἔλαβεν, καὶ τὰς νόσους
言う 彼自身が （冠詞） 弱さを 私たちの 負い そして （冠詞） 病を
G3004 G0846 G3588 G0769 G1473 G2983 G2532 G3588 G3554

ἐβάστασεν.
担った
G0941

これは、預言者イザヤによって「彼は、わたしたちのわずらいを身に受け、わたしたちの病を負うた」と言われた言葉が成就するためである。

18 Ἰδὼν δὲ ὁ Ἰησοῦς ‹πολλοὺς› ὄχλον περὶ αὐτὸν, ἐκέλευσεν
見て しかし （冠詞） イエスは 多くの 群衆を ～の周りに ご自分 命じられた
G3708 G1161 G3588 G2424 G4183 G3793 G4012 G0846 G2753

ἀπελθεῖν εἰς τὸ πέραν.
行く-ことを ～へ その 向こう岸に
G0565 G1519 G3588 G4008

イエスは、群衆が自分のまわりに群がっているのを見て、向こう岸に行くようにと弟子たちにお命じになった。

19 Καὶ προσελθὼν, εἷς γραμματεὺς εἶπεν αὐτῷ, Διδάσκαλε, ἀκολουθήσω
すると 近づいて-来て 一人の 律法学者が 言った 彼に 先生 従います
G2532 G4334 G1520 G1122 G3004 G0846 G1320 G0190

σοι ὅπου ἐὰν ἀπέρχῃ.
あなたに どこへでも ～でも 行かれる-ところ
G4771 G3699 G1437 G0565

するとひとりの律法学者が近づいてきて言った、「先生、あなたがおいでになる所なら、どこへでも従ってまいります」。

20 καὶ λέγει αὐτῷ ὁ Ἰησοῦς, Αἱ ἀλώπεκες φωλεοὺς ἔχουσιν, καὶ
そして 言われた 彼に （冠詞） イエスは （冠詞） 狐には 穴が ある また
G2532 G3004 G0846 G3588 G2424 G3588 G0258 G5454 G2192 G2532

τὰ πετεινὰ τοῦ οὐρανοῦ κατασκηνώσεις; ὁ δὲ Υἱὸς
（冠詞） 空の-鳥には （冠詞） 空の 巣が-ある （冠詞） しかし 人の-子には
G3588 G4071 G3588 G3772 G2682 G3588 G1161 G5207

τοῦ ἀνθρώπου, οὐκ ἔχει ποῦ τὴν κεφαλὴν κλίνῃ.
（冠詞） 人の ～ない 持って-いない どこにも （冠詞） 頭を 横たえる-ところが
G3588 G0444 G3756 G2192 G4226 G3588 G2776 G2827

イエスはその人に言われた、「きつねには穴があり、空の鳥には巣がある。しかし、人の子にはまくらする所がない」。

21 ἕτερος δὲ τῶν μαθητῶν [αὐτοῦ] εἶπεν αὐτῷ, Κύριε, ἐπίτρεψόν
もう一人の しかし （冠詞） 弟子たちの 彼の 言った 彼に 主よ お許し-ください
G2087 G1161 G3588 G3101 G0846 G3004 G0846 G2962 G2010

μοι πρῶτον ἀπελθεῖν καὶ θάψαι τὸν πατέρα μου.
私に まず 行って そして 葬る-ことを （冠詞） 父を 私の
G1473 G4412 G0565 G2532 G2290 G3588 G3962 G1473

また弟子のひとりが言った、「主よ、まず、父を葬りに行かせて下さい」。

22 ὁ δὲ Ἰησοῦς λέγει αὐτῷ, Ἀκολούθει μοι, καὶ ἄφες
（冠詞） しかし イエスは 言われた 彼に わたしに-従いなさい わたしに そして 任せなさい
G3588 G1161 G2424 G3004 G0846 G0190 G1473 G2532 G0863

τοὺς νεκροὺς θάψαι τοὺς ἑαυτῶν νεκρούς.
（冠詞） 死人が 葬る-ことは （冠詞） 自分たちの 死人たちを
G3588 G3498 G2290 G3588 G1438 G3498

イエスは彼に言われた、「わたしに従ってきなさい。そして、その死人を葬ることは、死人に任せておくがよい」。

23 Καὶ ἐμβάντι αὐτῷ εἰς τὸ πλοῖον, ἠκολούθησαν αὐτῷ οἱ
そして 乗り込まれた-とき 彼が ～に その 舟に 従った 彼に （冠詞）
G2532 G1684 G0846 G1519 G3588 G4143 G0190 G0846 G3588

μαθηταὶ αὐτοῦ.
弟子たちが 彼の
G3101 G0846

それから、イエスが舟に乗り込まれると、弟子たちも従った。

24 καὶ ἰδοὺ, σεισμὸς μέγας ἐγένετο ἐν τῇ θαλάσσῃ, ὥστε τὸ πλοῖον
すると 見よ 嵐が 大きな 起こった ～で その 湖に ～ほどに その 舟が
G2532 G3708 G4578 G3173 G1096 G1722 G3588 G2281 G5620 G3588 G4143

καλύπτεσθαι ὑπὸ τῶν κυμάτων; αὐτὸς δὲ ἐκάθευδεν.
覆われるほど ～によって （冠詞） 波に 彼は しかし 眠って–おられた
G2572 G5259 G3588 G2949 G0846 G1161 G2518

すると突然、海上に激しい暴風が起って、舟は波にのまれそうになった。ところが、イエスは眠っておられた。

25 καὶ προσελθόντες, ἤγειραν αὐτὸν, λέγοντες, Κύριε, σῶσον,
そこで 近づいて–来て 起こした 彼を 言って 主よ お救い–ください
G2532 G4334 G1453 G0846 G3004 G2962 G4982

ἀπολλύμεθα!
私たちは–滅びます
G0622

そこで弟子たちはみそばに寄ってきてイエスを起し、「主よ、お助けください、わたしたちは死にそうです」と言った。

26 καὶ λέγει αὐτοῖς, Τί δειλοί ἐστε, ὀλιγόπιστοι? τότε, ἐγερθεὶς,
そこで 言われた 彼らに なぜ 恐れるのか ～なのか 信仰の–薄い–者たちよ そして 起き上がり
G2532 G3004 G0846 G5101 G1169 G1510 G3640 G5119 G1453

ἐπετίμησεν τοῖς ἀνέμοις καὶ τῇ θαλάσσῃ, καὶ ἐγένετο γαλήνη μεγάλη.
叱られた （冠詞） 風と また その 湖を すると なった 大きな–凪が 大きな
G2008 G3588 G0417 G2532 G3588 G2281 G2532 G1096 G1055 G3173

そしてイエスは彼らに言われた、「なぜこわがるのか、信仰の薄い者たちよ」。それから起きあがって、風と海とをおしかりになると、大なぎになった。

27 οἱ δὲ ἄνθρωποι ἐθαύμασαν, λέγοντες, Ποταπός ἐστιν
（冠詞） すると 人々は 驚いて 言った いったい–どのような 方–だろうか
G3588 G1161 G0444 G2296 G3004 G4217 G1510

οὗτος, ὅτι καὶ οἱ ἄνεμοι καὶ ἡ θάλασσα αὐτῷ
この–方は ～ので ～さえも （冠詞） 風も また （冠詞） 湖も この–方に
G3778 G3754 G2532 G3588 G0417 G2532 G3588 G2281 G0846

ὑπακούουσιν?
従うのか
G5219

彼らは驚いて言った、「このかたはどういう人なのだろう。風も海も従わせるとは」。

28 Καὶ ἐλθόντος αὐτοῦ εἰς τὸ πέραν, εἰς τὴν χώραν τῶν
そして 着かれた–とき 彼が ～に その 向こう岸の ～に （冠詞） 地方 （冠詞）
G2532 G2064 G0846 G1519 G3588 G4008 G1519 G3588 G5561 G3588

Γαδαρηνῶν, ὑπήντησαν αὐτῷ δύο δαιμονιζόμενοι, ἐκ τῶν μνημείων
ガダラ人の 出迎えた 彼を 二人の 悪霊に–つかれた–者が ～から （冠詞） 墓場から
G1046 G5221 G0846 G1417 G1139 G1537 G3588 G3419

ἐξερχόμενοι, χαλεποὶ λίαν, ὥστε μὴ ἰσχύειν τινὰ παρελθεῖν διὰ
出て–来て 狂暴で 非常に ～ほどに だれも 通れ–ない だれかが 通る–ことが ～を通って
G1831 G5467 G3029 G5620 G3361 G2480 G5100 G3928 G1223

τῆς ὁδοῦ ἐκείνης.
その 道を その
G3588 G3598 G1565

それから、向こう岸、ガダラ人の地に着かれると、悪霊につかれたふたりの者が、墓場から出てきてイエスに出会った。彼らは手に負えない乱暴者で、だれもその辺の道を通ることができないほどであった。

29 καὶ ἰδοὺ, ἔκραξαν, λέγοντες, Τί ἡμῖν καὶ σοί, Υἱὲ
すると 見よ 叫んだ 言って 何の-関わりが 私たちに あると言うのか あなたと 神の
G2532 G3708 G2896 G3004 G5101 G1473 G2532 G4771 G5207

τοῦ Θεοῦ? ἦλθες ὧδε πρὸ καιροῦ βασανίσαι ἡμᾶς?
（冠詞） 御子よ 来たのか ここに 時が-来る-前に 時の 苦しめる-ために 私たちを
G3588 G2316 G2064 G5602 G4253 G2540 G0928 G1473

すると突然、彼らは叫んで言った、「神の子よ、あなたはわたしどもとなんの係わりがあるのです。まだその時ではないのに、ここにきて、わたしどもを苦しめるのですか」。

30 ἦν δὲ μακρὰν ἀπ' αὐτῶν ἀγέλη χοίρων πολλῶν, βοσκομένη;
さて あった 遠く-離れた-ところに ～から 彼らから 群れが 豚の 多くの 飼われて-いた
G1510 G1161 G3112 G0575 G0846 G0034 G5519 G4183 G1006

さて、そこからはるか離れた所に、おびただしい豚の群れが飼ってあった。

31 οἱ δὲ δαίμονες παρεκάλουν αὐτὸν, λέγοντες, Εἰ ἐκβάλλεις ἡμᾶς,
（冠詞） すると 悪霊たちは 懇願した 彼に 言って もし 追い出すなら 私たちを
G3588 G1161 G1142 G3870 G0846 G3004 G1487 G1544 G1473

ἀπόστειλον ἡμᾶς εἰς τὴν ἀγέλην τῶν χοίρων.
送って-ください 私たちを ～の中へ その 群れの-中に （冠詞） 豚の
G0649 G1473 G1519 G3588 G0034 G3588 G5519

悪霊どもはイエスに願って言った、「もしわたしどもを追い出されるのなら、あの豚の群れの中につかわして下さい」。

32 καὶ εἶπεν αὐτοῖς, Ὑπάγετε. οἱ δὲ ἐξελθόντες ἀπῆλθον εἰς
すると 言われた 彼らに 行け （冠詞） すると 出て-来て 行った ～の中へ
G2532 G3004 G0846 G5217 G3588 G1161 G1831 G0565 G1519

τοὺς χοίρους: καὶ ἰδοὺ, ὥρμησεν πᾶσα ἡ ἀγέλη κατὰ τοῦ
（冠詞） 豚たちの-中に すると 見よ 突進した 全ての （冠詞） 群れが ～に-沿って その
G3588 G5519 G2532 G3708 G3729 G3956 G3588 G0034 G2596 G3588

κρημνοῦ εἰς τὴν θάλασσαν, καὶ ἀπέθανον ἐν τοῖς ὕδασιν.
崖を-下って ～の中へ その 湖の-中へ そして 死んだ ～の中で その 水の-中で
G2911 G1519 G3588 G2281 G2532 G0599 G1722 G3588 G5204

そこで、イエスが「行け」と言われると、彼らは出て行って、豚の中へはいり込んだ。すると、その群れ全体が、がけから海へなだれを打って駆け下り、水の中で死んでしまった。

33 οἱ δὲ βόσκοντες ἔφυγον, καὶ ἀπελθόντες εἰς τὴν πόλιν,
（冠詞） すると 飼っていた-者たちは 逃げ出し そして 行って ～に その 町に
G3588 G1161 G1006 G5343 G2532 G0565 G1519 G3588 G4172

ἀπήγγειλαν πάντα, καὶ τὰ τῶν δαιμονιζομένων.
知らせた すべてのことを 特に （冠詞） （冠詞） 悪霊に-つかれた-者たちの-ことを
G0518 G3956 G2532 G3588 G3588 G1139

飼う者たちは逃げて町に行き、悪霊につかれた者たちのことなど、いっさいを知らせた。

34 καὶ ἰδοὺ, πᾶσα ἡ πόλις ἐξῆλθεν εἰς ὑπάντησιν τῷ Ἰησοῦ;
そして 見よ すべての （冠詞） 町が 出て-来た ～へ 出迎えに （冠詞） イエスに
G2532 G3708 G3956 G3588 G4172 G1831 G1519 G5222 G3588 G2424

καὶ ἰδόντες αὐτὸν, παρεκάλεσαν ὅπως μεταβῇ ἀπὸ τῶν
そして 見ると 彼を 懇願した ～ように 立ち去って-くださるよう ～から その
G2532 G3708 G0846 G3870 G3704 G3327 G0575 G3588

ὁρίων αὐτῶν.
地域から 彼らの
G3725 G0846

　すると、町中の者がイエスに会いに出てきた。そして、イエスに会うと、この地方から去ってくださるようにと頼んだ。

Chapter 9

1 Καὶ ἐμβὰς εἰς πλοῖον, διεπέρασεν καὶ ἦλθεν εἰς τὴν ἰδίαν
そして 乗り込んで ～に 舟に 渡って そして 来られた ～に （冠詞） ご自分の
G2532 G1684 G1519 G4143 G1276 G2532 G2064 G1519 G3588 G2398

πόλιν.
町に
G4172

　さて、イエスは舟に乗って海を渡り、自分の町に帰られた。

2 Καὶ ἰδοὺ, προσέφερον αὐτῷ παραλυτικὸν ἐπὶ κλίνης βεβλημένον;
すると 見よ 連れて-来た 彼の-もとに 中風の-者を ～の上に 床の 横たわった
G2532 G3708 G4374 G0846 G3885 G1909 G2825 G0906

καὶ ἰδὼν ὁ Ἰησοῦς τὴν πίστιν αὐτῶν, εἶπεν τῷ παραλυτικῷ,
そして 見て （冠詞） イエスは その 信仰を 彼らの 言われた その 中風の-者に
G2532 G3708 G3588 G2424 G3588 G4102 G0846 G3004 G3588 G3885

Θάρσει, τέκνον; ἀφίενταί σου αἱ ἁμαρτίαι.
元気を-出しなさい 子よ 赦されて-いる あなたの （冠詞） 罪が
G2293 G5043 G0863 G4771 G3588 G0266

　すると、人々が中風の者を床の上に寝かせたままでみもとに運んできた。イエスは彼らの信仰を見て、中風の者に、「子よ、しっかりしなさい。あなたの罪はゆるされたのだ」と言われた。

3 καὶ ἰδού, τινες τῶν γραμματέων εἶπαν ἐν ἑαυτοῖς, Οὗτος
すると 見よ ある （冠詞） 律法学者たちが 言った ～の中で 自分たちの-中で この-者は
G2532 G3708 G5100 G3588 G1122 G3004 G1722 G1438 G3778

βλασφημεῖ!
笶涼を-言っている
G0987

　すると、ある律法学者たちが心の中で言った、「この人は神を汚している」。

4 καὶ εἰδὼς ὁ Ἰησοῦς τὰς ἐνθυμήσεις αὐτῶν, εἶπεν, Ἵνα ◡ τί
そして 知って （冠詞） イエスは その 考えを 彼らの 言われた なぜ （疑問）
G2532 G1492 G3588 G2424 G3588 G1761 G0846 G3004 G2443 G5101

ἐνθυμεῖσθε πονηρὰ ἐν ταῖς καρδίαις ὑμῶν?
思うのか 悪い-ことを ～の中で （冠詞） 心の-中で あなたがたの
G1760 G4190 G1722 G3588 G2588 G4771

イエスは彼らの考えを見抜いて、「なぜ、あなたがたは心の中で悪いことを考えているのか。

5

τί	γάρ	ἐστιν	εὐκοπώτερον,	εἰπεῖν,	Ἀφίενταί	σου	αἱ
どちらが	いったい	であるか	やさしいのか	言う-こと	赦されて-いると	あなたの	（冠詞）
G5101	G1063	G1510	G2123	G3004	G0863	G4771	G3588

ἁμαρτίαι,	ἢ	εἰπεῖν.	Ἔγειρε	καὶ	περιπάτει?
罪がと	それとも	言う-こと	起きて	そして	歩けと
G0266	G2228	G3004	G1453	G2532	G4043

あなたの罪はゆるされた、と言うのと、起きて歩け、と言うのと、どちらがたやすいか。

6

ἵνα	δὲ	εἰδῆτε	ὅτι	ἐξουσίαν	ἔχει	ὁ	Υἱὸς
しかし	さて	知る-ように	～ということを	権威を	持って-いると	（冠詞）	人の-子が
G2443	G1161	G1492	G3754	G1849	G2192	G3588	G5207

τοῦ	ἀνθρώπου	ἐπὶ	τῆς	γῆς	ἀφιέναι	ἁμαρτίας:	τότε	λέγει
（冠詞）	人の	～の上で	（冠詞）	地の	赦す-ことを	罪を	それから	言われた
G3588	G0444	G1909	G3588	G1093	G0863	G0266	G5119	G3004

τῷ	παραλυτικῷ,	Ἐγερθεὶς,	ἆρόν	σου	τὴν	κλίνην,	καὶ	ὕπαγε
その	中風の-者に	起き上がって	取り-上げなさい	あなたの	その	床を	そして	行きなさい
G3588	G3885	G1453	G0142	G4771	G3588	G2825	G2532	G5217

εἰς	τὸν	οἶκόν	σου.
～に	その	家に	あなたの
G1519	G3588	G3624	G4771

しかし、人の子は地上で罪をゆるす権威をもっていることが、あなたがたにわかるために」と言い、中風の者にむかって、「起きよ、床を取りあげて家に帰れ」と言われた。

7

καὶ	ἐγερθεὶς,	ἀπῆλθεν	εἰς	τὸν	οἶκον	αὐτοῦ.
そして	起き上がって	帰った	～に	その	家に	彼の
G2532	G1453	G0565	G1519	G3588	G3624	G0846

すると彼は起きあがり、家に帰って行った。

8

ἰδόντες	δὲ,	οἱ	ὄχλοι	ἐφοβήθησαν,	καὶ	ἐδόξασαν	τὸν	Θεὸν,
見て	しかし	（冠詞）	群衆は	恐れた	そして	賛美した	（冠詞）	神を
G3708	G1161	G3588	G3793	G5399	G2532	G1392	G3588	G2316

τὸν	δόντα	ἐξουσίαν	τοιαύτην	τοῖς	ἀνθρώποις.
（冠詞）	与えた	権威を	このような	（冠詞）	人々に
G3588	G1325	G1849	G5108	G3588	G0444

群衆はそれを見て恐れ、こんな大きな権威を人にお与えになった神をあがめた。

9

Καὶ	παράγων	ὁ	Ἰησοῦς	ἐκεῖθεν,	εἶδεν	ἄνθρωπον	καθήμενον
そして	通りかかられて	（冠詞）	イエスは	そこから	見られた	一人の-人を	座って-いるのを
G2532	G3855	G3588	G2424	G1564	G3708	G0444	G2521

ἐπὶ	τὸ	τελώνιον,	Μαθθαῖον	λεγόμενον,	καὶ	λέγει	αὐτῷ,	Ἀκολούθει
～の上に	その	収税所に	マタイという	呼ばれる-者を	そして	言われた	彼に	従いなさい
G1909	G3588	G5058	G3156	G3004	G2532	G3004	G0846	G0190

μοι.	καὶ	ἀναστὰς,	ἠκολούθησεν	αὐτῷ.	
わたしに	すると	立ち上がって	従った	彼に	
G1473	G2532	G0450	G0190	G0846	

さてイエスはそこから進んで行かれ、マタイという人が収税所にすわっているのを見て、「わたしに従ってきなさい」と言われた。すると彼は立ちあがって、イエスに従った。

10 Καὶ ἐγένετο αὐτοῦ ἀνακειμένου ἐν τῇ οἰκίᾳ, καὶ ἰδοὺ, πολλοὶ
そして 起こった 彼が 食卓に-ついて-いる-とき ～で その 家で すると 見よ 多くの
G2532 G1096 G0846 G0345 G1722 G3588 G3614 G2532 G3708 G4183

τελῶναι καὶ ἁμαρτωλοὶ, ἐλθόντες, συνανέκειντο τῷ Ἰησοῦ καὶ τοῖς
収税人や また 罪人たちが 来て 共に-食卓に-ついた （冠詞） イエスと また （冠詞）
G5057 G2532 G0268 G2064 G4873 G3588 G2424 G2532 G3588

μαθηταῖς αὐτοῦ.
弟子たちと 彼の
G3101 G0846

それから、イエスが家で食事の席についておられた時のことである。多くの取税人や罪人たちがきて、イエスや弟子たちと共にその席に着いていた。

11 καὶ ἰδόντες, οἱ Φαρισαῖοι ἔλεγον τοῖς μαθηταῖς αὐτοῦ, Διὰ
そして 見て （冠詞） パリサイ人たちは 言った （冠詞） 弟子たちに 彼の なぜ
G2532 G3708 G3588 G5330 G3004 G3588 G3101 G0846 G1223

τί, μετὰ τῶν τελωνῶν καὶ ἁμαρτωλῶν ἐσθίει ὁ
（疑問） ～と共に （冠詞） 収税人たちや また 罪人たちと 食べるのか （冠詞）
G5101 G3326 G3588 G5057 G2532 G0268 G2068 G3588

διδάσκαλος ὑμῶν?
先生は あなたがたの
G1320 G4771

パリサイ人たちはこれを見て、弟子たちに言った、「なぜ、あなたがたの先生は、取税人や罪人などと食事を共にするのか」。

12 ὁ δὲ ἀκούσας, εἶπεν, Οὐ χρείαν ἔχουσιν οἱ ἰσχύοντες
（冠詞） しかし 聞いて 言われた 必要-ない 必要を 持って-いない （冠詞） 丈夫な-者は
G3588 G1161 G0191 G3004 G3756 G5532 G2192 G3588 G2480

ἰατροῦ, ἀλλ’ οἱ κακῶς ἔχοντες.
医者を そうではなく （冠詞） 病んで-いる 者たちが
G2395 G0235 G3588 G2560 G2192

イエスはこれを聞いて言われた、「丈夫な人には医者はいらない。いるのは病人である。

13 πορευθέντες δὲ, μάθετε τί ἐστιν, Ἔλεος θέλω, καὶ οὐ
行って しかし 学びなさい 何かを であるか あわれみを 望む であって ～でなく
G4198 G1161 G3129 G5101 G1510 G1656 G2309 G2532 G3756

θυσίαν: οὐ γὰρ ἦλθον καλέσαι δικαίους, ἀλλὰ ἁμαρτωλούς.
いけにえを ～ない なぜなら 来たのだ 招く-ために 正しい-者を-でなく そうでなく 罪人たちを
G2378 G3756 G1063 G2064 G2564 G1342 G0235 G0268

『わたしが好むのは、あわれみであって、いけにえではない』とはどういう意味か、学んできなさい。わたしがきたのは、義人を招くためではなく、罪人を招くためである」。

14 Τότε προσέρχονται αὐτῷ οἱ μαθηταὶ Ἰωάννου, λέγοντες, Διὰ
その–時 近づいて–来た 彼の–もとに （冠詞） 弟子たちが ヨハネの 言って なぜ
G5119 G4334 G0846 G3588 G3101 G2491 G3004 G1223

τί ἡμεῖς καὶ οἱ Φαρισαῖοι νηστεύομεν ‹πολλά›, οἱ δὲ
（疑問） 私たちや また （冠詞） パリサイ人は 断食するのに 多く （冠詞） しかし
G5101 G1473 G2532 G3588 G5330 G3522 G4183 G3588 G1161

μαθηταί σου οὐ νηστεύουσιν?
弟子たちは あなたの ～ない 断食しないのか
G3101 G4771 G3756 G3522

そのとき、ヨハネの弟子たちがイエスのところにきて言った、「わたしたちとパリサイ人たちとが断食をしているのに、あなたの弟子たちは、なぜ断食をしないのですか」。

15 καὶ εἶπεν αὐτοῖς ὁ Ἰησοῦς, Μὴ δύνανται οἱ
そこで 言われた 彼らに （冠詞） イエスは まさか できる–だろうか （冠詞）
G2532 G3004 G0846 G3588 G2424 G3361 G1410 G3588

υἱοὶ τοῦ νυμφῶνος πενθεῖν ἐφ’ ὅσον μετ’ αὐτῶν
花婿の–友人たちが （冠詞） 花婿の–家の 悲しむ–ことが ～の間 ～である限り ～と共に 彼らと
G5207 G3588 G3567 G3996 G1909 G3745 G3326 G0846

ἐστιν ὁ νυμφίος? ἐλεύσονται δὲ ἡμέραι ὅταν ἀπαρθῇ ἀπ’
いる （冠詞） 花婿が 来る–でしょう しかし 日々が ～の時 取り去られる ～から
G1510 G3588 G3566 G2064 G1161 G2250 G3752 G0522 G0575

αὐτῶν ὁ νυμφίος, καὶ τότε νηστεύσουσιν.
彼らから （冠詞） 花婿が その–時に その–時 断食する–でしょう
G0846 G3588 G3566 G2532 G5119 G3522

するとイエスは言われた、「婚礼の客は、花婿が一緒にいる間は、悲しんでおられようか。しかし、花婿が奪い去られる日が来る。その時には断食をするであろう。

16 οὐδεὶς δὲ ἐπιβάλλει ἐπίβλημα ῥάκους ἀγνάφου ἐπὶ ἱματίῳ
だれも しかし つけない 当て–布を 縮んで–いない 新しい–布の ～の上に 古い–着物に
G3762 G1161 G1911 G1915 G4470 G0046 G1909 G2440

παλαιῷ; αἴρει γὰρ τὸ πλήρωμα αὐτοῦ ἀπὸ τοῦ ἱματίου,
古い 引き–裂く–からである なぜなら その 当て–布が それの ～から その 着物から
G3820 G0142 G1063 G3588 G4138 G0846 G0575 G3588 G2440

καὶ χεῖρον σχίσμα γίνεται.
そして もっと–ひどい 裂け目が できる
G2532 G5501 G4978 G1096

だれも、真新しい布ぎれで、古い着物につぎを当てはしない。そのつぎきれは着物を引き破り、そして、破れがもっとひどくなるから。

17 οὐδὲ βάλλουσιν οἶνον νέον εἰς ἀσκοὺς παλαιούς; εἰ δὲ
また〜ない 入れない ぶどう酒を 新しい 〜の中に 古い–革袋に 古い もし しかし
G3761 G0906 G3631 G3501 G1519 G0779 G3820 G1487 G1161

μήˈγε ῥήγνυνται οἱ ἀσκοί, καὶ ὁ οἶνος ἐκχεῖται, καὶ
そうでないなら 裂ける （冠詞） 革袋が そして （冠詞） ぶどう酒も 流れ出す そして
G1490 G4486 G3588 G0779 G2532 G3588 G3631 G1632 G2532

οἱ ἀσκοὶ ἀπόλλυνται. ἀλλὰ βάλλουσιν οἶνον νέον εἰς
（冠詞） 革袋も だめに–なる そうでなく 入れる ぶどう酒を 新しい 〜の中に
G3588 G0779 G0622 G0235 G0906 G3631 G3501 G1519

ἀσκοὺς καινούς, καὶ ἀμφότεροι συντηροῦνται.
新しい–革袋に 新しい そうすれば 両方とも 保たれる
G0779 G2537 G2532 G0297 G4933

だれも、新しいぶどう酒を古い皮袋に入れはしない。もしそんなことをしたら、その皮袋は張り裂け、酒は流れ出るし、皮袋もむだになる。だから、新しいぶどう酒は新しい皮袋に入れるべきである。そうすれば両方とも長もちがするであろう」。

18 Ταῦτα αὐτοῦ λαλοῦντος αὐτοῖς, ἰδοὺ, ἄρχων εἷς ἐλθὼν,
これらの–ことを 彼が 話して–いる–時 彼らに 見よ 指導者が 一人の 来て
G3778 G0846 G2980 G0846 G3708 G0758 G1520 G2064

προσεκύνει αὐτῷ, λέγων, ὅτι Ἡ θυγάτηρ μου ἄρτι ἐτελεύτησεν;
ひれ伏した 彼に 言って （接続詞） （冠詞） 娘が 私の ちょうど–今 死にました
G4352 G0846 G3004 G3754 G3588 G2364 G1473 G0737 G5053

ἀλλὰ ἐλθὼν, ἐπίθες τὴν χεῖρά σου ἐπ’ αὐτήν, καὶ
しかし 来て 置いて–ください その 手を あなたの 〜の上に 彼女の–上に そうすれば
G0235 G2064 G2007 G3588 G5495 G4771 G1909 G0846 G2532

ζήσεται.
生きる–でしょう
G2198

これらのことを彼らに話しておられると、そこにひとりの会堂司がきて、イエスを拝して言った、「わたしの娘がただ今死にました。しかしおいでになって手をその上においてやって下さい。そうしたら、娘は生き返るでしょう」。

19 καὶ ἐγερθεὶς, ὁ Ἰησοῦς ἠκολούθει αὐτῷ, καὶ οἱ μαθηταὶ
そして 起き上がって （冠詞） イエスは 従われた 彼に また （冠詞） 弟子たちも
G2532 G1453 G3588 G2424 G0190 G0846 G2532 G3588 G3101

αὐτοῦ.
彼の
G0846

そこで、イエスが立って彼について行かれると、弟子たちも一緒に行った。

20 Καὶ ἰδοὺ, γυνὴ αἱμορροοῦσα δώδεκα ἔτη, προσελθοῦσα ὄπισθεν, ἥψατο
すると 見よ 女が 出血に–苦しむ 十二 年の–間 近づいて–来て 後ろから 触れた
G2532 G3708 G1135 G0131 G1427 G2094 G4334 G3693 G0680

τοῦ κρασπέδου τοῦ ἱματίου αὐτοῦ.
（冠詞） ふさに （冠詞） 衣の 彼の
G3588 G2899 G3588 G2440 G0846

するとそのとき、十二年間も長血をわずらっている女が近寄ってきて、イエスのうしろからみ衣のふさにさわった。

21 ἔλεγεν γὰρ ἐν ἑαυτῇ, Ἐὰν μόνον ἅψωμαι τοῦ
言って-いた-からである なぜなら ～の中で 自分の-中で もし ただ 触れれば （冠詞）
G3004 G1063 G1722 G1438 G1437 G3440 G0680 G3588

ἱματίου αὐτοῦ, σωθήσομαι.
衣に 彼の 救われる-でしょうと
G2440 G0846 G4982

み衣にさわりさえすれば、なおしていただけるだろう、と心の中で思っていたからである。

22 ὁ δὲ Ἰησοῦς, στραφεὶς καὶ ἰδὼν αὐτὴν, εἶπεν, Θάρσει,
（冠詞） しかし イエスは 振り向いて そして 見て 彼女を 言われた 元気を-出しなさい
G3588 G1161 G2424 G4762 G2532 G3708 G0846 G3004 G2293

θύγατερ; ἡ πίστις σου σέσωκέν σε. καὶ ἐσώθη ἡ γυνὴ
娘よ （冠詞） 信仰が あなたの 救った あなたを そして 救われた その 女は
G2364 G3588 G4102 G4771 G4982 G4771 G2532 G4982 G3588 G1135

ἀπὸ τῆς ὥρας ἐκείνης.
～から その 時から その
G0575 G3588 G5610 G1565

イエスは振り向いて、この女を見て言われた、「娘よ、しっかりしなさい。あなたの信仰があなたを救ったのです」。するとこの女はその時に、いやされた。

23 καὶ ἐλθὼν ὁ Ἰησοῦς εἰς τὴν οἰκίαν τοῦ ἄρχοντος, καὶ ἰδὼν
そして 来て （冠詞） イエスは ～に その 家に その 指導者の そして 見て
G2532 G2064 G3588 G2424 G1519 G3588 G3614 G3588 G0758 G2532 G3708

τοὺς αὐλητὰς καὶ τὸν ὄχλον θορυβούμενον,
（冠詞） 笛吹きたちと また （冠詞） 群衆が 騒いで-いるのを
G3588 G0834 G2532 G3588 G3793 G2350

それからイエスは司の家に着き、笛吹きどもや騒いでいる群衆を見て言われた。

24 ἔλεγεν, Ἀναχωρεῖτε. οὐ γὰρ ἀπέθανεν τὸ κοράσιον, ἀλλὰ
言われた 立ち去りなさい なぜなら ～である 死んで-いない その 少女は そうでなく
G3004 G0402 G3756 G1063 G0599 G3588 G2877 G0235

καθεύδει. καὶ κατεγέλων αὐτοῦ.
眠って-いる すると 嘲笑った 彼を
G2518 G2532 G2606 G0846

「あちらへ行っていなさい。少女は死んだのではない。眠っているだけである」。すると人々はイエスをあざ笑った。

25 ὅτε δὲ ἐξεβλήθη ὁ ὄχλος, εἰσελθὼν, ἐκράτησεν τῆς χειρὸς
しかし すると 追い出された （冠詞） 群衆が 入って つかんだ その 手を
G3753 G1161 G1544 G3588 G3793 G1525 G2902 G3588 G5495

αὐτῆς, καὶ ἠγέρθη τὸ κοράσιον.
彼女の すると 起き上がった その 少女は
G0846 G2532 G1453 G3588 G2877

しかし、群衆を外へ出したのち、イエスは内へはいって、少女の手をお取りになると、少女は起きあがった。

26 καὶ ἐξῆλθεν ἡ φήμη αὕτη εἰς ὅλην τὴν γῆν ἐκείνην.
そして 出た その 噂が この ～に 全ての その 地に その
G2532 G1831 G3588 G5345 G3778 G1519 G3650 G3588 G1093 G1565

そして、そのうわさがこの地方全体にひろまった。

27 Καὶ παράγοντι ἐκεῖθεν τῷ Ἰησοῦ, ἠκολούθησαν ‹αὐτῷ› δύο τυφλοὶ,
そして 通りかかる–とき そこから （冠詞） イエスに 従った 彼に 二人の 盲人が
G2532 G3855 G1564 G3588 G2424 G0190 G0846 G1417 G5185

κράζοντες καὶ λέγοντες, Ἐλέησον ἡμᾶς, υἱὸς Δαυίδ.
叫びながら そして 言って あわれんで–ください 私たちを ダビデの–子よ ダビデの
G2896 G2532 G3004 G1653 G1473 G5207 G1138

そこから進んで行かれると、ふたりの盲人が、「ダビデの子よ、わたしたちをあわれんで下さい」と叫びながら、イエスについてきた。

28 ἐλθόντι δὲ εἰς τὴν οἰκίαν, προσῆλθον αὐτῷ οἱ
入って–来た–とき しかし ～に その 家に 近づいて–来た 彼の–もとに （冠詞）
G2064 G1161 G1519 G3588 G3614 G4334 G0846 G3588

τυφλοί, καὶ λέγει αὐτοῖς ὁ Ἰησοῦς, Πιστεύετε ὅτι δύναμαι
盲人たちが そして 言われた 彼らに （冠詞） イエスは 信じるか ～ということを できると
G5185 G2532 G3004 G0846 G3588 G2424 G4100 G3754 G1410

τοῦτο ποιῆσαι? λέγουσιν αὐτῷ, Ναί, Κύριε.
これを する–ことが 言った 彼に はい 主よ
G3778 G4160 G3004 G0846 G3483 G2962

そしてイエスが家にはいられると、盲人たちがみもとにきたので、彼らに「わたしにそれができると信じるか」と言われた。彼らは言った、「主よ、信じます」。

29 τότε ἥψατο τῶν ὀφθαλμῶν αὐτῶν, λέγων, Κατὰ τὴν πίστιν
その–時 触れられた （冠詞） 目に 彼らの 言って ～に応じて その 信仰に
G5119 G0680 G3588 G3788 G0846 G3004 G2596 G3588 G4102

ὑμῶν γενηθήτω ὑμῖν.
あなたがたの なるように あなたがたに
G4771 G1096 G4771

そこで、イエスは彼らの目にさわって言われた、「あなたがたの信仰どおり、あなたがたの身になるように」。

30 καὶ ἠνεῴχθησαν αὐτῶν οἱ ὀφθαλμοί; καὶ ἐνεβριμήθη αὐτοῖς
すると 開いた 彼らの （冠詞） 目が そして 厳しく–戒められた 彼らに
G2532 G0455 G0846 G3588 G3788 G2532 G1690 G0846

ὁ Ἰησοῦς, λέγων, Ὁρᾶτε μηδεὶς γινωσκέτω.
（冠詞） イエスは 言って 気をつけなさい だれにも 知られては–ならない
G3588 G2424 G3004 G3708 G3367 G1097

すると彼らの目が開かれた。イエスは彼らをきびしく戒めて言われた、「だれにも知れないように気をつけなさい」。

31 οἱ δὲ ἐξελθόντες, διεφήμισαν αὐτὸν ἐν ὅλῃ τῇ γῇ ἐκείνῃ.
（冠詞） しかし 出て–行って 広めた 彼の–ことを ～に 全ての その 地に その
G3588 G1161 G1831 G1310 G0846 G1722 G3650 G3588 G1093 G1565

しかし、彼らは出て行って、その地方全体にイエスのことを言いひろめた。

32 Αὐτῶν δὲ ἐξερχομένων, ἰδοὺ, προσήνεγκαν αὐτῷ ‹ἄνθρωπον› κωφὸν,
彼らが しかし 出て–行く–とき 見よ 連れて–来た 彼の–もとに 一人の–人を 口の–きけない
G0846 G1161 G1831 G3708 G4374 G0846 G0444 G2974

δαιμονιζόμενον.
悪霊に–つかれた
G1139

彼らが出て行くと、人々は悪霊につかれたおしをイエスのところに連れてきた。

33 καὶ ἐκβληθέντος τοῦ δαιμονίου, ἐλάλησεν ὁ κωφός. καὶ
そして 追い出された–とき その 悪霊が 話した その 口の–きけない–者が そして
G2532 G1544 G3588 G1140 G2980 G3588 G2974 G2532

ἐθαύμασαν οἱ ὄχλοι, λέγοντες, Οὐδέποτε ἐφάνη οὕτως ἐν
驚いた （冠詞） 群衆は 言って 今まで–一度も 現れた–ことがない このように ～で
G2296 G3588 G3793 G3004 G3763 G5316 G3779 G1722

τῷ Ἰσραήλ.
（冠詞） イスラエルに
G3588 G2474

すると、悪霊は追い出されて、おしが物を言うようになった。群衆は驚いて、「このようなことがイスラエルの中で見られたことは、これまで一度もなかった」と言った。

34 οἱ δὲ Φαρισαῖοι ἔλεγον, Ἐν τῷ ἄρχοντι
（冠詞） しかし パリサイ人たちは 言った ～によって （冠詞） 悪霊の–かしらに–よって
G3588 G1161 G5330 G3004 G1722 G3588 G0758

τῶν δαιμονίων ἐκβάλλει τὰ δαιμόνια.
（冠詞） 悪霊どもの 追い出して–いるのだ （冠詞） 悪霊どもを
G3588 G1140 G1544 G3588 G1140

しかし、パリサイ人たちは言った、「彼は、悪霊どものかしらによって悪霊どもを追い出しているのだ」。

35 Καὶ περιῆγεν ὁ Ἰησοῦς τὰς πόλεις πάσας καὶ τὰς κώμας,
そして 巡られた （冠詞） イエスは （冠詞） 町々を すべての また （冠詞） 村々を
G2532 G4013 G3588 G2424 G3588 G4172 G3956 G2532 G3588 G2968

διδάσκων ἐν ταῖς συναγωγαῖς αὐτῶν, καὶ κηρύσσων τὸ εὐαγγέλιον
教えながら ～で （冠詞） 会堂で 彼らの また 宣べ伝えながら （冠詞） 福音を
G1321 G1722 G3588 G4864 G0846 G2532 G2784 G3588 G2098

τῆς βασιλείας, καὶ θεραπεύων πᾶσαν νόσον καὶ πᾶσαν μαλακίαν.
（冠詞） 御国の また いやしながら あらゆる 病気と また あらゆる 弱さを
G3588 G0932 G2532 G2323 G3956 G3554 G2532 G3956 G3119

イエスは、すべての町々村々を巡り歩いて、諸会堂で教え、御国の福音を宣べ伝え、あらゆる病気、あらゆるわずらいをおいやしになった。

36 Ἰδὼν δὲ τοὺς ὄχλους, ἐσπλαγχνίσθη περὶ αὐτῶν, ὅτι
見て しかし （冠詞） 群衆を 深く–あわれまれた ～を思って 彼らを なぜなら
G3708 G1161 G3588 G3793 G4697 G4012 G0846 G3754

ἦσαν ἐσκυλμένοι καὶ ἐρριμμένοι, ὡσεὶ πρόβατα μὴ ἔχοντα
いた–からである 弱り果てて そして 打ち–捨てられて あたかも 羊の–ように 持たない 持たない
G1510 G4660 G2532 G4496 G5616 G4263 G3361 G2192

ποιμένα.
羊飼いを
G4166

また群衆が飼う者のない羊のように弱り果てて、倒れているのをごらんになって、彼らを深くあわれまれた。

37 τότε λέγει τοῖς μαθηταῖς αὐτοῦ, Ὁ μὲν θερισμὸς πολύς,
その–時 言われた （冠詞） 弟子たちに 彼の （冠詞） 一方では 収穫は 多い
G5119 G3004 G3588 G3101 G0846 G3588 G3303 G2326 G4183

οἱ δὲ ἐργάται ὀλίγοι;
（冠詞） しかし 働き人は 少ない
G3588 G1161 G2040 G3641

そして弟子たちに言われた、「収穫は多いが、働き人が少ない。

38 δεήθητε 祈りなさい G1189 οὖν だから G3767 τοῦ （冠詞） G3588 Κυρίου 主に G2962 τοῦ （冠詞） G3588 θερισμοῦ, 収穫の G2326 ὅπως ～ように G3704 ἐκβάλῃ 送り-出して-くださるよう G1544

ἐργάτας 働き人を G2040 εἰς ～に G1519 τὸν その G3588 θερισμὸν 収穫の-ために G2326 αὐτοῦ. 彼の G0846

だから、収穫の主に願って、その収穫のために働き人を送り出すようにしてもらいなさい」。

Chapter 10

1 Καὶ そして G2532 προσκαλεσάμενος 呼び-寄せて G4341 τοὺς （冠詞） G3588 δώδεκα 十二-人の G1427 μαθητὰς 弟子たちを G3101 αὐτοῦ, 彼の G0846 ἔδωκεν 与えられた G1325 αὐτοῖς 彼らに G0846

ἐξουσίαν 権威を G1849 πνευμάτων 霊の G4151 ἀκαθάρτων, 汚れた G0169 ὥστε ～ほどに G5620 ἐκβάλλειν 追い出す G1544 αὐτὰ, それらを G0846 καὶ また G2532 θεραπεύειν いやす G2323

πᾶσαν あらゆる G3956 νόσον 病気と G3554 καὶ また G2532 πᾶσαν あらゆる G3956 μαλακίαν. 弱さを G3119

そこで、イエスは十二弟子を呼び寄せて、汚れた霊を追い出し、あらゆる病気、あらゆるわずらいをいやす権威をお授けになった。

2 Τῶν （冠詞） G3588 δὲ さて G1161 δώδεκα 十二-人の G1427 ἀποστόλων 使徒たちの G0652 τὰ （冠詞） G3588 ὀνόματά 名前は G3686 ἐστιν である G1510 ταῦτα: これらである G3778 πρῶτος 第一に G4413

Σίμων, シモン G4613 ὁ （冠詞） G3588 λεγόμενος 呼ばれる G3004 Πέτρος, ペテロ G4074 καὶ また G2532 Ἀνδρέας, アンデレ G0406 ὁ （冠詞） G3588 ἀδελφὸς 兄弟 G0080 αὐτοῦ; 彼の G0846 καὶ また G2532

Ἰάκωβος ヤコブ G2385 ὁ （冠詞） G3588 τοῦ （冠詞） G3588 Ζεβεδαίου, ゼベダイの G2199 καὶ また G2532 Ἰωάννης ヨハネ G2491 ὁ （冠詞） G3588 ἀδελφὸς 兄弟 G0080 αὐτοῦ; 彼の G0846

十二使徒の名は、次のとおりである。まずペテロと呼ばれたシモンとその兄弟アンデレ、それからゼベダイの子ヤコブとその兄弟ヨハネ、

3 Φίλιππος, ピリポ G5376 καὶ また G2532 Βαρθολομαῖος; バルトロマイ G0918 Θωμᾶς, トマス G2381 καὶ また G2532 Ματθαῖος マタイ G3156 ὁ （冠詞） G3588 τελώνης; 収税人 G5057 Ἰάκωβος ヤコブ G2385

ὁ （冠詞） G3588 τοῦ （冠詞） G3588 Ἁλφαίου, アルパヨの G0256 καὶ また G2532 Θαδδαῖος; タダイ G2280

ピリポとバルトロマイ、トマスと取税人マタイ、アルパヨの子ヤコブとタダイ、

4 Σίμων シモン G4613 ὁ （冠詞） G3588 Κανανταῖος, カナン人の G2581 καὶ また G2532 Ἰούδας ユダ G2455 ὁ （冠詞） G3588 Ἰσκαριώτης, イスカリオテの G2469 ὁ （冠詞） G3588 καὶ また G2532

παραδοὺς 裏切った G3860 αὐτόν. 彼を G0846

熱心党のシモンとイスカリオテのユダ。このユダはイエスを裏切った者である。

5 Τούτους τοὺς δώδεκα ἀπέστειλεν ὁ Ἰησοῦς, παραγγείλας αὐτοῖς, λέγων,
これらの （冠詞） 十二-人を 遣わされた （冠詞） イエスは 命じて 彼らに 言って
G3778 G3588 G1427 G0649 G3588 G2424 G3853 G0846 G3004

Εἰς ὁδὸν ἐθνῶν μὴ ἀπέλθητε, καὶ εἰς πόλιν Σαμαριτῶν
～への 道に 異邦人の 行っては-ならない 行っては-ならない また ～に 町に サマリア人の
G1519 G3598 G1484 G3361 G0565 G2532 G1519 G4172 G4541

μὴ εἰσέλθητε;
入っては-ならない 入っては-ならない
G3361 G1525

イエスはこの十二人をつかわすに当り、彼らに命じて言われた、「異邦人の道に行くな。またサマリヤ人の町にはいるな。

6 πορεύεσθε δὲ μᾶλλον πρὸς τὰ πρόβατα τὰ ἀπολωλότα οἴκου
行きなさい むしろ むしろ ～のもとへ （冠詞） 羊の-もとへ （冠詞） 失われた 家の
G4198 G1161 G3123 G4314 G3588 G4263 G3588 G0622 G3624

Ἰσραήλ.
イスラエルの
G2474

むしろ、イスラエルの家の失われた羊のところに行け。

7 πορευόμενοι δὲ κηρύσσετε, λέγοντες, ὅτι Ἤγγικεν ἡ βασιλεία
行きながら そして 宣べ伝えなさい 言って （接続詞） 近づいた （冠詞） 御国が
G4198 G1161 G2784 G3004 G3754 G1448 G3588 G0932

τῶν οὐρανῶν.
（冠詞） 天の
G3588 G3772

行って、『天国が近づいた』と宣べ伝えよ。

8 ἀσθενοῦντας θεραπεύετε, νεκροὺς ἐγείρετε, λεπροὺς καθαρίζετε,
病んで-いる-者を いやしなさい 死人を よみがえらせなさい らい病人を 清めなさい
G0770 G2323 G3498 G1453 G3015 G2511

δαιμόνια ἐκβάλλετε; δωρεὰν ἐλάβετε, δωρεὰν δότε.
悪霊を 追い出しなさい ただで 受けた ただで 与えなさい
G1140 G1544 G1432 G2983 G1432 G1325

病人をいやし、死人をよみがえらせ、らい病人をきよめ、悪霊を追い出せ。ただで受けたのだから、ただで与えるがよい。

9 Μὴ κτήσησθε χρυσὸν, μηδὲ ἄργυρον, μηδὲ χαλκὸν εἰς
持っては-ならない 得ては-ならない 金を また 銀も また 銅貨も ～の中に
G3361 G2932 G5557 G3366 G0696 G3366 G5475 G1519

τὰς ζώνας ὑμῶν,
（冠詞） 帯の-中に あなたがたの
G3588 G2223 G4771

財布の中に金、銀または銭を入れて行くな。

10 μὴ また〜ない G3361 πήραν 袋も G4082 εἰς 〜のために G1519 ὁδὸν, 旅の G3598 μηδὲ また G3366 δύο 二−枚の G1417 χιτῶνας, 下着も G5509 μηδὲ また G3366 ὑποδήματα, 履物も G5266 μηδὲ また G3366
ῥάβδον: 杖も G4464 ἄξιος ふさわしい−からである G0514 γὰρ なぜなら G1063 ὁ （冠詞） G3588 ἐργάτης 働き人は G2040 τῆς （冠詞） G3588 τροφῆς 食べ物に G5160 αὐτοῦ. 彼の G0846

旅行のための袋も、二枚の下着も、くつも、つえも持って行くな。働き人がその食物を得るのは当然である。

11 εἰς 〜に G1519 ἣν どの G3739 δ’ しかし G1161 ἂν （接続） G0302 πόλιν 町に−でも G4172 ἢ または G2228 κώμην 村に−でも G2968 εἰσέλθητε, 入る−なら G1525 ἐξετάσατε 尋ねなさい G1833 τίς だれが G5101
ἐν 〜の中で G1722 αὐτῇ そこの G0846 ἄξιός ふさわしい−かを G0514 ἐστιν, であるか G1510 κἀκεῖ そこに G2546 μείνατε 留まりなさい G3306 ἕως 〜まで G2193 ἂν （接続） G0302 ἐξέλθητε. 出る−まで G1831

どの町、どの村にはいっても、その中でだれがふさわしい人か、たずね出して、立ち去るまではその人のところにとどまっておれ。

12 εἰσερχόμενοι 入る−とき G1525 δὲ しかし G1161 εἰς 〜に G1519 τὴν その G3588 οἰκίαν, 家に G3614 ἀσπάσασθε 挨拶しなさい G0782 αὐτήν. それを G0846

その家にはいったなら、平安を祈ってあげなさい。

13 καὶ そして G2532 ἐὰν もし G1437 μὲν 一方では G3303 ᾖ であるなら G1510 ἡ （冠詞） G3588 οἰκία 家が G3614 ἀξία, ふさわしい−なら G0514 ἐλθάτω 来る−ように G2064 ἡ （冠詞） G3588
εἰρήνη 平安が G1515 ὑμῶν あなたがたの G4771 ἐπ’ 〜の上に G1909 αὐτήν; それの−上に G0846 ἐὰν もし G1437 δὲ しかし G1161 μὴ 〜でない G3361 ᾖ であるなら G1510 ἀξία, ふさわしく−ない G0514
ἡ （冠詞） G3588 εἰρήνη 平安が G1515 ὑμῶν あなたがたの G4771 πρὸς 〜のもとに G4314 ὑμᾶς あなたがたの−もとに G4771 ἐπιστραφήτω. 戻る−ように G1994

もし平安を受けるにふさわしい家であれば、あなたがたの祈る平安はその家に来るであろう。もしふさわしくなければ、その平安はあなたがたに帰って来るであろう。

14 καὶ そして G2532 ὃς だれでも G3739 ἂν （接続） G0302 μὴ 〜ない G3361 δέξηται 受け入れない−なら G1209 ὑμᾶς, あなたがたを G4771 μηδὲ また G3366 ἀκούσῃ 聞かない−なら G0191
τοὺς （冠詞） G3588 λόγους 言葉を G3056 ὑμῶν, あなたがたの G4771 ἐξερχόμενοι 出る−とき G1831 ἔξω 外に G1854 τῆς その G3588 οἰκίας 家から G3614 ἢ または G2228 τῆς その G3588 πόλεως 町から G4172
ἐκείνης, その G1565 ἐκτινάξατε 払い−落としなさい G1621 τὸν （冠詞） G3588 κονιορτὸν ちりを G2868 τῶν （冠詞） G3588 ποδῶν 足の G4228 ὑμῶν. あなたがたの G4771

もしあなたがたを迎えもせず、またあなたがたの言葉を聞きもしない人があれば、その家や町を立ち去る時に、足のちりを払い落しなさい。

15

ἀμὴν	λέγω	ὑμῖν,	ἀνεκτότερον	ἔσται	γῇ	Σοδόμων	καὶ
まことに	言います	あなたがたに	まだ-耐えやすい-であろう	であろう	地に	ソドムの	また
G0281	G3004	G4771	G0414	G1510	G1093	G4670	G2532

Γομόρρων	ἐν	ἡμέρᾳ	κρίσεως,	ἢ	τῇ	πόλει	ἐκείνῃ.
ゴモラの	～に	裁きの-日に	裁きの	～よりは	その	町に	その
G1116	G1722	G2250	G2920	G2228	G3588	G4172	G1565

あなたがたによく言っておく。さばきの日には、ソドム、ゴモラの地の方が、その町よりは耐えやすいであろう。

16

Ἰδοὺ,	ἐγὼ	ἀποστέλλω	ὑμᾶς	ὡς	πρόβατα	ἐν	μέσῳ	λύκων:
見よ	わたしは	遣わす	あなたがたを	～のように	羊の-ように	～の中に	中に	狼の
G3708	G1473	G0649	G4771	G5613	G4263	G1722	G3319	G3074

γίνεσθε	οὖν	φρόνιμοι	ὡς	οἱ	ὄφεις,	καὶ	ἀκέραιοι	ὡς
なりなさい	だから	賢い-者に	～のように	（冠詞）	蛇の-ように	そして	素直な-者に	～のように
G1096	G3767	G5429	G5613	G3588	G3789	G2532	G0185	G5613

αἱ	περιστεραί.
（冠詞）	鳩の-ように
G3588	G4058

わたしがあなたがたをつかわすのは、羊をおおかみの中に送るようなものである。だから、へびのように賢く、はとのように素直であれ。

17

Προσέχετε	δὲ	ἀπὸ	τῶν	ἀνθρώπων;	παραδώσουσιν	γὰρ
用心しなさい	しかし	～から	（冠詞）	人々に-対して	引き渡す-であろう-からである	なぜなら
G4337	G1161	G0575	G3588	G0444	G3860	G1063

ὑμᾶς	εἰς	συνέδρια,	καὶ	ἐν	ταῖς	συναγωγαῖς	αὐτῶν,	μαστιγώσουσιν
あなたがたを	～に	議会に	また	～で	（冠詞）	会堂で	彼らの	むち打つ-であろう
G4771	G1519	G4892	G2532	G1722	G3588	G4864	G0846	G3146

ὑμᾶς:	
あなたがたを	
G4771	

人々に注意しなさい。彼らはあなたがたを衆議所に引き渡し、会堂でむち打つであろう。

18

καὶ	ἐπὶ	ἡγεμόνας	δὲ,	καὶ	βασιλεῖς	ἀχθήσεσθε,	ἕνεκεν
また	～の前に	総督たちの	そして	また	王たちの-前に	引かれる-であろう	～のゆえに
G2532	G1909	G2232	G1161	G2532	G0935	G0071	G1752

ἐμοῦ,	εἰς	μαρτύριον	αὐτοῖς	καὶ	τοῖς	ἔθνεσιν.
わたしの	～として	あかしの-ために	彼らへの	また	（冠詞）	異邦人への
G1473	G1519	G3142	G0846	G2532	G3588	G1484

またあなたがたは、わたしのために長官たちや王たちの前に引き出されるであろう。それは、彼らと異邦人とに対してあかしをするためである。

19

ὅταν	δὲ	παραδῶσιν	ὑμᾶς,	μὴ	μεριμνήσητε
～の時	しかし	引き渡された-とき	あなたがたを	思い-悩んでは-ならない	思い-悩んでは-ならない
G3752	G1161	G3860	G4771	G3361	G3309

πῶς	ἢ	τί	λαλήσητε:	δοθήσεται	γὰρ	ὑμῖν	ἐν
どのように	または	何を	話す-かを	与えられる-からである	なぜなら	あなたがたに	～に
G4459	G2228	G5101	G2980	G1325	G1063	G4771	G1722

ἐκείνῃ	τῇ	ὥρᾳ	τί	λαλήσητε.
その	その	時に	何を	話す-かが
G1565	G3588	G5610	G5101	G2980

彼らがあなたがたを引き渡したとき、何をどう言おうかと心配しないがよい。言うべきことは、その時に授けられるからである。

20 οὐ ～ではない–からである G3756 | γὰρ なぜなら G1063 | ὑμεῖς あなたがたが G4771 | ἐστε ではない G1510 | οἱ （冠詞） G3588 | λαλοῦντες, 話す–者は G2980 | ἀλλὰ そうでなく G0235

τὸ （冠詞） G3588 | Πνεῦμα 御霊が G4151 | τοῦ （冠詞） G3588 | Πατρὸς 父の G3962 | ὑμῶν あなたがたの G4771 | τὸ （冠詞） G3588 | λαλοῦν 話す–のである G2980 | ἐν ～において G1722

ὑμῖν. あなたがたの–中で G4771

語る者は、あなたがたではなく、あなたがたの中にあって語る父の霊である。

21 παραδώσει 引き渡す–であろう G3860 | δὲ しかし G1161 | ἀδελφὸς, 兄弟が G0080 | ἀδελφὸν 兄弟を G0080 | εἰς ～に G1519 | θάνατον; 死に G2288 | καὶ また G2532 | πατὴρ, 父が G3962 | τέκνον. 子を G5043

καὶ また G2532 | ἐπαναστήσονται 立ち上がる–であろう G1881 | τέκνα 子どもたちが G5043 | ἐπὶ ～に対して G1909 | γονεῖς, 親に G1118 | καὶ そして G2532 | θανατώσουσιν 殺す–であろう G2289 | αὐτούς. 彼らを G0846

兄弟は兄弟を、父は子を殺すために渡し、また子は親に逆らって立ち、彼らを殺させるであろう。

22 καὶ そして G2532 | ἔσεσθε ある–であろう G1510 | μισούμενοι 憎まれる–者と G3404 | ὑπὸ ～によって G5259 | πάντων すべての–者に G3956 | διὰ ～のゆえに G1223 | τὸ （冠詞） G3588 | ὄνομά 名の G3686

μου; わたしの G1473 | ὁ （冠詞） G3588 | δὲ しかし G1161 | ὑπομείνας 耐え–忍ぶ–者は G5278 | εἰς ～まで G1519 | τέλος, 終わりまで G5056 | οὗτος この–者は G3778 | σωθήσεται. 救われる–であろう G4982

またあなたがたは、わたしの名のゆえにすべての人に憎まれるであろう。しかし、最後まで耐え忍ぶ者は救われる。

23 ὅταν ～の時 G3752 | δὲ しかし G1161 | διώκωσιν 迫害する–なら G1377 | ὑμᾶς あなたがたを G4771 | ἐν ～で G1722 | τῇ その G3588 | πόλει 町で G4172 | ταύτῃ, この G3778 | φεύγετε 逃げなさい G5343 | εἰς ～に G1519

τὴν その G3588 | ἑτέραν| 次の–町へ G2087 | ἀμὴν まことに G0281 | γὰρ なぜなら G1063 | λέγω 言います G3004 | ὑμῖν, あなたがたに G4771 | οὐ 決して G3756 | μὴ ～ない G3361

τελέσητε 巡り–終わらない–であろう G5055 | τὰς （冠詞） G3588 | πόλεις 町々を G4172 | τοῦ （冠詞） G3588 | Ἰσραὴλ, イスラエルの G2474 | ἕως ～までに G2193 | ‹ἂν› （接続） G0302 | ἔλθῃ 来る G2064

ὁ （冠詞） G3588 | Υἱὸς 人の–子が G5207 | τοῦ （冠詞） G3588 | ἀνθρώπου. 人の G0444

一つの町で迫害されたなら、他の町へ逃げなさい。よく言っておく。あなたがたがイスラエルの町々を回り終らないうちに、人の子は来るであろう。

24 Οὐκ ～ではない G3756 | ἔστιν ではない G1510 | μαθητὴς 弟子は G3101 | ὑπὲρ ～より–上ではない G5228 | τὸν （冠詞） G3588 | διδάσκαλον, 先生より G1320 | οὐδὲ また～ない G3761 | δοῦλος しもべも G1401

ὑπὲρ ～より–上ではない G5228 | τὸν （冠詞） G3588 | κύριον 主人より G2962 | αὐτοῦ. 彼の G0846

弟子はその師以上のものではなく、僕はその主人以上の者ではない。

25 ἀρκετὸν τῷ μαθητῇ ἵνα γένηται ὡς ὁ διδάσκαλος
十分である （冠詞） 弟子にとって ～ならば なる–ことが ～のように （冠詞） 先生の–ように
G0713 G3588 G3101 G2443 G1096 G5613 G3588 G1320

αὐτοῦ, καὶ ὁ δοῦλος ὡς ὁ κύριος αὐτοῦ. εἰ τὸν
彼の また （冠詞） しもべが ～のように （冠詞） 主人の–ように 彼の もし （冠詞）
G0846 G2532 G3588 G1401 G5613 G3588 G2962 G0846 G1487 G3588

οἰκοδεσπότην Βεελζεβοὺλ ἐπεκάλεσαν, πόσῳ μᾶλλον τοὺς οἰκιακοὺς αὐτοῦ?
家の–主人を ベルゼブルと 呼んだ–なら ましてなお–さら （冠詞） 家の–者たちを 彼の
G3617 G0954 G1941 G4214 G3123 G3588 G3615 G0846

弟子がその師のようであり、僕がその主人のようであれば、それで十分である。もし家の主人がベルゼブルと言われるならば、その家の者どもはなおさら、どんなにか悪く言われることであろう。

26 μὴ οὖν φοβηθῆτε αὐτούς; οὐδὲν γάρ ἐστιν κεκαλυμμένον
それゆえ 決して 恐れては–ならない 彼らを 何も–ない なぜなら ない 覆われた–もの–で
G3361 G3767 G5399 G0846 G3762 G1063 G1510 G2572

ὃ οὐκ ἀποκαλυφθήσεται, καὶ κρυπτὸν ὃ οὐ
それが ない 明らかに–されない–もの–は また 隠された–もの–で それが ない
G3739 G3756 G0601 G2532 G2927 G3739 G3756

γνωσθήσεται.
知られない–もの–は
G1097

だから彼らを恐れるな。おおわれたもので、現れてこないものはなく、隠れているもので、知られてこないものはない。

27 ὃ λέγω ὑμῖν ἐν τῇ σκοτίᾳ, εἴπατε ἐν τῷ φωτί;
わたしが 言う–ことを あなたがたに の中で その 闇 言いなさい の中で その 光
G3739 G3004 G4771 G1722 G3588 G4653 G3004 G1722 G3588 G5457

καὶ ὃ εἰς τὸ οὖς ἀκούετε, κηρύξατε ἐπὶ τῶν
また あなたがたが に向かって その 耳 聞く–ことを 宣べ伝えなさい の上で その
G2532 G3739 G1519 G3588 G3775 G0191 G2784 G1909 G3588

δωμάτων.
屋上
G1430

わたしが暗やみであなたがたに話すことを、明るみで言え。耳にささやかれたことを、屋根の上で言いひろめよ。

28 καὶ μὴ φοβεῖσθε ἀπὸ τῶν ἀποκτεννόντων τὸ σῶμα, τὴν δὲ
そして ない 恐れるな から その 殺す–者たちを その 体を しかし–その また
G2532 G3361 G5399 G0575 G3588 G0615 G3588 G4983 G3588 G1161

ψυχὴν μὴ δυναμένων ἀποκτεῖναι; φοβεῖσθε δὲ μᾶλλον τὸν
魂を ない 殺す–ことの–できない–者たちを 殺す–ことが 恐れなさい むしろ もっと その
G5590 G3361 G1410 G0615 G5399 G1161 G3123 G3588

δυνάμενον καὶ ψυχὴν καὶ σῶμα ἀπολέσαι ἐν γεέννῃ.
できる–方を も 魂 も 体 滅ぼす–ことが の中で ゲヘナ
G1410 G2532 G5590 G2532 G4983 G0622 G1722 G1067

また、からだを殺しても、魂を殺すことのできない者どもを恐れるな。むしろ、からだも魂も地獄で滅ぼす力のあるかたを恐れなさい。

29 οὐχὶ δύο στρουθία ἀσσαρίου πωλεῖται? καὶ ἓν ἐξ
ではないか 二羽の 雀は 一アサリオンで 売られている しかし 一羽-も それら-の
G3780 G1417 G4765 G0787 G4453 G2532 G1520 G1537

αὐτῶν οὐ πεσεῖται ἐπὶ τὴν γῆν, ἄνευ τοῦ Πατρὸς ὑμῶν.
その-うち ない 落ちない の上に その 地に なしに その 父の あなたがたの
G0846 G3756 G4098 G1909 G3588 G1093 G0427 G3588 G3962 G4771

二羽のすずめは一アサリオンで売られているではないか。しかもあなたがたの父の許しがなければ、その一羽も地に落ちることはない。

30 ὑμῶν δὲ καὶ αἱ τρίχες τῆς κεφαλῆς πᾶσαι ἠριθμημέναι εἰσίν.
あなたがたの しかし も その 髪の毛は その 頭の すべて 数えられている のである
G4771 G1161 G2532 G3588 G2359 G3588 G2776 G3956 G0705 G1510

またあなたがたの頭の毛までも、みな数えられている。

31 μὴ οὖν φοβεῖσθε; πολλῶν στρουθίων διαφέρετε ὑμεῖς.
それゆえ 決して 恐れるな 多くの 雀よりも 優れている あなたがたは
G3361 G3767 G5399 G4183 G4765 G1308 G4771

それだから、恐れることはない。あなたがたは多くのすずめよりも、まさった者である。

32 Πᾶς οὖν ὅστις ὁμολογήσει ἐν ἐμοὶ ἔμπροσθεν τῶν ἀνθρώπων,
それゆえ すべて だれでも 告白する-者は の中に わたし の前で その 人々
G3956 G3767 G3748 G3670 G1722 G1473 G1715 G3588 G0444

ὁμολογήσω κἀγὼ ἐν αὐτῷ ἔμπροσθεν τοῦ Πατρός μου τοῦ
告白する わたし-も-また の中に その-者を の前で その 父 わたしの その
G3670 G2504 G1722 G0846 G1715 G3588 G3962 G1473 G3588

ἐν τοῖς οὐρανοῖς.
の その 天にいます
G1722 G3588 G3772

だから人の前でわたしを受けいれる者を、わたしもまた、天にいますわたしの父の前で受けいれるであろう。

33 ὅστις δ’ ἂν ἀρνήσηταί με ἔμπροσθεν τῶν ἀνθρώπων, ἀρνήσομαι
だれでも しかし もし 否む-なら わたしを の前で その 人々 否む
G3748 G1161 G0302 G0720 G1473 G1715 G3588 G0444 G0720

κἀγὼ αὐτὸν ἔμπροσθεν τοῦ Πατρός μου τοῦ ἐν τοῖς οὐρανοῖς.
わたし-も-また その-者を の前で その 父 わたしの その の その 天にいます
G2504 G0846 G1715 G3588 G3962 G1473 G3588 G1722 G3588 G3772

しかし、人の前でわたしを拒む者を、わたしも天にいますわたしの父の前で拒むであろう。

34 Μὴ νομίσητε ὅτι ἦλθον βαλεῖν εἰρήνην ἐπὶ τὴν
ない 思っては-ならない と わたしが-来たのは もたらす-ために 平和を の上に その
G3361 G3543 G3754 G2064 G0906 G1515 G1909 G3588

γῆν; οὐκ ἦλθον βαλεῖν εἰρήνην, ἀλλὰ μάχαιραν.
地に ではない わたしが-来たのは もたらす-ために 平和を そうではなく 剣を
G1093 G3756 G2064 G0906 G1515 G0235 G3162

地上に平和をもたらすために、わたしがきたと思うな。平和ではなく、つるぎを投げ込むためにきたのである。

35 ἦλθον 来たのだ G2064 γὰρ なぜなら G1063 διχάσαι 分ける–ために G1369 ἄνθρωπον 人を G0444 κατὰ に逆らって G2596 τοῦ その G3588 πατρὸς 父 G3962 αὐτοῦ, その人の G0846 καὶ また G2532
θυγατέρα 娘を G2364 κατὰ に逆らって G2596 τῆς その G3588 μητρὸς 母 G3384 αὐτῆς, その人の G0846 καὶ また G2532 νύμφην 嫁を G3565 κατὰ に逆らって G2596 τῆς その G3588 πενθερᾶς 姑 G3994
αὐτῆς. その人の G0846

わたしがきたのは、人をその父と、娘をその母と、嫁をそのしゅうとめと仲たがいさせるためである。

36 καὶ そして G2532 ἐχθροὶ 敵は G2190 τοῦ その G3588 ἀνθρώπου 人の G0444 οἱ その G3588 οἰκιακοὶ 家の–者たちである G3615 αὐτοῦ. その人の G0846

そして家の者が、その人の敵となるであろう。

37 Ὁ その G3588 φιλῶν 愛する–者が G5368 πατέρα 父を G3962 ἢ または G2228 μητέρα 母を G3384 ὑπὲρ 以上に G5228 ἐμὲ, わたし G1473 οὐκ ない G3756 ἔστιν である G1510 μου わたしに G1473
ἄξιος; ふさわしい G0514 καὶ また G2532 ὁ その G3588 φιλῶν 愛する–者が G5368 υἱὸν 息子を G5207 ἢ または G2228 θυγατέρα 娘を G2364 ὑπὲρ 以上に G5228 ἐμὲ, わたし G1473 οὐκ ない G3756 ἔστιν である G1510
μου わたしに G1473 ἄξιος. ふさわしい G0514

わたしよりも父または母を愛する者は、わたしにふさわしくない。わたしよりもむすこや娘を愛する者は、わたしにふさわしくない。

38 καὶ そして G2532 ὃς その–者が G3739 οὐ ない G3756 λαμβάνει 取る G2983 τὸν その G3588 σταυρὸν 十字架を G4716 αὐτοῦ その人の G0846 καὶ そして G2532 ἀκολουθεῖ 従う G0190 ὀπίσω 後に G3694
μου, わたしの G1473 οὐκ ない G3756 ἔστιν である G1510 μου わたしに G1473 ἄξιος. ふさわしい G0514

また自分の十字架をとってわたしに従ってこない者はわたしにふさわしくない。

39 ὁ その G3588 εὑρὼν 見いだした–者は G2147 τὴν その G3588 ψυχὴν 命を G5590 αὐτοῦ その人の G0846 ἀπολέσει 失う G0622 αὐτήν; それを G0846 καὶ そして G2532 ὁ その G3588 ἀπολέσας 失った–者は G0622
τὴν その G3588 ψυχὴν 命を G5590 αὐτοῦ その人の G0846 ἕνεκεν ために G1752 ἐμοῦ わたしの G1473 εὑρήσει 見いだす G2147 αὐτήν. それを G0846

自分の命を得ている者はそれを失い、わたしのために自分の命を失っている者は、それを得るであろう。

40 Ὁ その G3588 δεχόμενος 受け入れる–者は G1209 ὑμᾶς, あなたがたを G4771 ἐμὲ わたしを G1473 δέχεται; 受け入れる G1209 καὶ そして G2532 ὁ その G3588 ἐμὲ わたしを G1473
δεχόμενος, 受け入れる–者は G1209 δέχεται 受け入れる G1209 τὸν その G3588 ἀποστείλαντά 遣わした–方を G0649 με. わたしを G1473

あなたがたを受けいれる者は、わたしを受けいれるのである。わたしを受けいれる者は、わたしをおつかわしになったかたを受けいれるのである。

41 ὁ その G3588 | δεχόμενος 受け入れる-者は G1209 | προφήτην 預言者を G4396 | εἰς の-名に-おいて G1519 | ὄνομα 名 G3686 | προφήτου, 預言者の G4396 | μισθὸν 報いを G3408 | προφήτου 預言者の G4396

λήμψεται; 受ける G2983 | καὶ そして G2532 | ὁ その G3588 | δεχόμενος 受け入れる-者は G1209 | δίκαιον 義人を G1342 | εἰς の-名に-おいて G1519 | ὄνομα 名 G3686 | δικαίου, 義人の G1342 | μισθὸν 報いを G3408

δικαίου 義人の G1342 | λήμψεται. 受ける G2983

預言者の名のゆえに預言者を受けいれる者は、預言者の報いを受け、義人の名のゆえに義人を受けいれる者は、義人の報いを受けるであろう。

42 καὶ そして G2532 | ὃς その-者が G3739 | ἂν もし G0302 | ποτίσῃ 飲ませる-なら G4222 | ἕνα 一人に G1520 | τῶν その G3588 | μικρῶν 小さい-者たちの G3398 | τούτων これらの G3778 | ποτήριον 一杯の G4221

ψυχροῦ, 冷たい-水を G5593 | μόνον ただ G3440 | εἰς の-名に-おいて G1519 | ὄνομα 名 G3686 | μαθητοῦ, 弟子の G3101 | ἀμὴν まことに G0281 | λέγω 言う G3004 | ὑμῖν, あなたがたに G4771 | οὐ 決して G3756

μὴ ない G3361 | ἀπολέσῃ 失わない G0622 | τὸν その G3588 | μισθὸν 報いを G3408 | αὐτοῦ. その人の G0846

わたしの弟子であるという名のゆえに、この小さい者のひとりに冷たい水一杯でも飲ませてくれる者は、よく言っておくが、決してその報いからもれることはない」。

Chapter 11

1 Καὶ そして G2532 | ἐγένετο 起こった G1096 | ὅτε 時に G3753 | ἐτέλεσεν 終えた G5055 | ὁ その G3588 | Ἰησοῦς イエスが G2424 | διατάσσων 命じる-ことを G1299 | τοῖς その G3588 | δώδεκα 十二人の G1427 | μαθηταῖς 弟子たちに G3101

αὐτοῦ, その方の G0846 | μετέβη 移った G3327 | ἐκεῖθεν そこから G1564 | τοῦ その G3588 | διδάσκειν 教える-ために G1321 | καὶ そして G2532 | κηρύσσειν 宣べ伝える-ために G2784 | ἐν の中で G1722 | ταῖς その G3588

πόλεσιν 町々で G4172 | αὐτῶν. 彼らの G0846

イエスは十二弟子にこのように命じ終えてから、町々で教えまた宣べ伝えるために、そこを立ち去られた。

2 Ὁ その G3588 | δὲ しかし G1161 | Ἰωάννης, ヨハネは G2491 | ἀκούσας 聞いて G0191 | ἐν の中で G1722 | τῷ その G3588 | δεσμωτηρίῳ 牢獄 G1201 | τὰ その G3588 | ἔργα わざ G2041 | τοῦ その G3588

Χριστοῦ, キリストの G5547 | πέμψας 遣わして G3992 | διὰ を通して G1223 | τῶν その G3588 | μαθητῶν 弟子たちの G3101 | αὐτοῦ, その方の G0846

さて、ヨハネは獄中でキリストのみわざについて伝え聞き、自分の弟子たちをつかわして、

3

εἶπεν	αὐτῷ,	Σὺ	εἶ	ὁ	ἐρχόμενος,	ἢ	ἕτερον	προσδοκῶμεν?
言った	その方に	あなたが	ですか	その	来る-べき-方	それとも	別の-方を	待つ-べきか
G3004	G0846	G4771	G1510	G3588	G2064	G2228	G2087	G4328

イエスに言わせた、「『きたるべきかた』はあなたなのですか。それとも、ほかにだれかを待つべきでしょうか」。

4

καὶ	ἀποκριθεὶς,	ὁ	Ἰησοῦς	εἶπεν	αὐτοῖς,	Πορευθέντες,	ἀπαγγείλατε	Ἰωάννῃ
そして	答えて	その	イエスは	言った	彼らに	行って	報告しなさい	ヨハネに
G2532	G0611	G3588	G2424	G3004	G0846	G4198	G0518	G2491

ἃ	ἀκούετε	καὶ	βλέπετε:
それら-を	聞く-こと	そして	見る-ことを
G3739	G0191	G2532	G0991

イエスは答えて言われた、「行って、あなたがたが見聞きしていることをヨハネに報告しなさい。

5

τυφλοὶ	ἀναβλέπουσιν,	καὶ	χωλοὶ	περιπατοῦσιν,	λεπροὶ
盲人が	見えるように-なり	そして	足の-不自由な-者が	歩き	らい病人が
G5185	G0308	G2532	G5560	G4043	G3015

καθαρίζονται,	καὶ	κωφοὶ	ἀκούουσιν,	καὶ	νεκροὶ	
清められ	そして	耳の-聞こえない-者が	聞こえるように-なり	そして	死人が	
G2511	G2532	G2974	G0191	G2532	G3498	

ἐγείρονται,	καὶ	πτωχοὶ	εὐαγγελίζονται.	
よみがえらせられ	そして	貧しい-者が	福音を-受ける	
G1453	G2532	G4434	G2097	

盲人は見え、足なえは歩き、らい病人はきよまり、耳しいは聞え、死人は生きかえり、貧しい人々は福音を聞かされている。

6

καὶ	μακάριός	ἐστιν	ὃς	ἐὰν	μὴ	σκανδαλισθῇ	ἐν	ἐμοί.
そして	幸いなる-かな	である	その-者は	もし	ない	つまずかない-なら	において	わたし
G2532	G3107	G1510	G3739	G1437	G3361	G4624	G1722	G1473

わたしにつまずかない者は、さいわいである」。

7

Τούτων	δὲ	πορευομένων,	ἤρξατο	ὁ	Ἰησοῦς	λέγειν	τοῖς	ὄχλοις
これらの-者が	しかし	去っていく-とき	始めた	その	イエスは	言う-ことを	その	群衆に
G3778	G1161	G4198	G0756	G3588	G2424	G3004	G3588	G3793

περὶ	Ἰωάννου,	Τί	ἐξήλθατε	εἰς	τὴν	ἔρημον	θεάσασθαι?	κάλαμον	
について	ヨハネ	何を	出て-行った	に向かって	その	荒野に	見る-ために	葦を	
G4012	G2491	G5101	G1831	G1519	G3588	G2048	G2300	G2563	

ὑπὸ	ἀνέμου	σαλευόμενον?
によって	風	揺れ動く-ものを
G5259	G0417	G4531

彼らが帰ってしまうと、イエスはヨハネのことを群衆に語りはじめられた、「あなたがたは、何を見に荒野に出てきたのか。風に揺らぐ葦であるか。

8 ἀλλὰ τί ἐξήλθατε ἰδεῖν? ἄνθρωπον ἐν μαλακοῖς ἠμφιεσμένον?
それでは 何を 出て–行った 見る–ために 人を の中の 柔らかい–衣を 身に–まとった
G0235 G5101 G1831 G3708 G0444 G1722 G3120 G0294

ἰδοὺ, οἱ τὰ μαλακὰ φοροῦντες, ἐν τοῖς οἴκοις τῶν βασιλέων
見よ その その 柔らかい–ものを 着る–者は の中に その 家々 その 王たちの
G3708 G3588 G3588 G3120 G5409 G1722 G3588 G3624 G3588 G0935

‹εἰσίν›.
いる
G1510

では、何を見に出てきたのか。柔らかい着物をまとった人か。柔らかい着物をまとった人々なら、王の家にいる。

9 ἀλλὰ τί ἐξήλθατε-- προφήτην ἰδεῖν? ναί, λέγω ὑμῖν, καὶ
それでは 何を 出て–行った 預言者を 見る–ために そうだ 言う あなたがたに そして
G0235 G5101 G1831 G4396 G3708 G3483 G3004 G4771 G2532

περισσότερον προφήτου.
それ以上の–者を 預言者よりも
G4053 G4396

では、なんのために出てきたのか。預言者を見るためか。そうだ、あなたがたに言うが、預言者以上の者である。

10 οὗτός ἐστιν περὶ οὗ γέγραπται, Ἰδοὺ, ἐγὼ ἀποστέλλω τὸν
この–者は である について その–者 書かれている 見よ わたしが 遣わす その
G3778 G1510 G4012 G3739 G1125 G3708 G1473 G0649 G3588

ἄγγελόν μου πρὸ προσώπου σου, ὃς κατασκευάσει τὴν ὁδόν
使いを わたしの の前に 顔 あなたの その–者が 整える その 道を
G0032 G1473 G4253 G4383 G4771 G3739 G2680 G3588 G3598

σου ἔμπροσθέν σου.
あなたの の前に あなた
G4771 G1715 G4771

『見よ、わたしは使をあなたの先につかわし、あなたの前に、道を整えさせるであろう』と書いてあるのは、この人のことである。

11 ἀμὴν λέγω ὑμῖν, οὐκ ἐγήγερται ἐν γεννητοῖς
まことに 言う あなたがたに ない 起こされた–者は–いない の中で 女から–生まれた–者の
G0281 G3004 G4771 G3756 G1453 G1722 G1084

γυναικῶν μείζων Ἰωάννου τοῦ Βαπτιστοῦ. ὁ δὲ
女たちの より–大いなる–者は ヨハネより その バプテスマ しかし–その けれども
G1135 G3173 G2491 G3588 G0910 G3588 G1161

μικρότερος ἐν τῇ βασιλείᾳ τῶν οὐρανῶν, μείζων αὐτοῦ ἐστιν.
最も–小さい–者は の中で その 御国 その 天の より–大きい その–者よりも である
G3398 G1722 G3588 G0932 G3588 G3772 G3173 G0846 G1510

あなたがたによく言っておく。女の産んだ者の中で、バプテスマのヨハネより大きい人物は起らなかった。しかし、天国で最も小さい者も、彼よりは大きい。

12 ἀπὸ δὲ τῶν ἡμερῶν Ἰωάννου τοῦ Βαπτιστοῦ ἕως ἄρτι, ἡ βασιλεία
から しかし その 日々 ヨハネの その バプテスマ まで 今 その 御国は
G0575 G1161 G3588 G2250 G2491 G3588 G0910 G2193 G0737 G3588 G0932

τῶν οὐρανῶν βιάζεται, καὶ βιασταὶ ἁρπάζουσιν αὐτήν.
その 天の 力ずくで–攻められている そして 力ずく–者が 奪い–取っている それを
G3588 G3772 G0971 G2532 G0973 G0726 G0846

バプテスマのヨハネの時から今に至るまで、天国は激しく襲われている。そして激しく襲う者たちがそれを奪い取っている。

13 πάντες γὰρ οἱ προφῆται καὶ ὁ νόμος ἕως Ἰωάννου
すべての なぜなら その 預言者たちと そして その 律法は まで ヨハネ
G3956 G1063 G3588 G4396 G2532 G3588 G3551 G2193 G2491

ἐπροφήτευσαν.
預言した
G4395

すべての預言者と律法とが預言したのは、ヨハネの時までである。

14 καὶ εἰ θέλετε δέξασθαι, αὐτός ἐστιν Ἠλίας ὁ μέλλων
そして もし 望む–なら 受け入れる–ことを その–者が である エリヤ その 来る–べき
G2532 G1487 G2309 G1209 G0846 G1510 G2243 G3588 G3195

ἔρχεσθαι.
来る–はずの
G2064

そして、もしあなたがたが受けいれることを望めば、この人こそは、きたるべきエリヤなのである。

15 ὁ ἔχων ὦτα, ἀκουέτω.
その 持つ–者は 耳を 聞きなさい
G3588 G2192 G3775 G0191

耳のある者は聞くがよい。

16 Τίνι δὲ ὁμοιώσω τὴν γενεὰν ταύτην? ὁμοία ἐστὶν παιδίοις
何に しかし たとえる–べきか その 世代を この 似ている である 子供たちに
G5101 G1161 G3666 G3588 G1074 G3778 G3664 G1510 G3813

καθημένοις ἐν ταῖς ἀγοραῖς, ἃ προσφωνοῦντα τοῖς ἑτέροις,
座っている の中で その 市場 それらが 呼びかける その 他の–者たちに
G2521 G1722 G3588 G0058 G3739 G4377 G3588 G2087

今の時代を何に比べようか。それは子供たちが広場にすわって、ほかの子供たちに呼びかけ、

17 λέγουσιν, Ηὐλήσαμεν ὑμῖν, καὶ οὐκ ὠρχήσασθε; ἐθρηνήσαμεν καὶ
言う 笛を–吹いた あなたがたに しかし ない 踊らなかった 嘆いた しかし
G3004 G0832 G4771 G2532 G3756 G3738 G2354 G2532

οὐκ ἐκόψασθε.
ない 泣かなかった
G3756 G2875

『わたしたちが笛を吹いたのに、あなたたちは踊ってくれなかった。弔いの歌を歌ったのに、胸を打ってくれなかった』と言うのに似ている。

18 ἦλθεν γὰρ Ἰωάννης μήτε ἐσθίων μήτε πίνων, καὶ λέγουσιν, Δαιμόνιον
来た なぜなら ヨハネは ない 食べ ない 飲み そして 言う 悪霊が
G2064 G1063 G2491 G3383 G2068 G3383 G4095 G2532 G3004 G1140

ἔχει!
いる
G2192

なぜなら、ヨハネがきて、食べることも、飲むこともしないと、あれは悪霊につかれているのだ、と言い、

19 ἦλθεν ὁ Υἱὸς τοῦ ἀνθρώπου ἐσθίων καὶ πίνων, καὶ λέγουσιν,
来た その 人の-子は その 人 食べ そして 飲み そして 言う
G2064 G3588 G5207 G3588 G0444 G2068 G2532 G4095 G2532 G3004

Ἰδοὺ, ἄνθρωπος, φάγος καὶ οἰνοπότης, τελωνῶν φίλος καὶ ἁμαρτωλῶν!
見よ 人だ 大食いで そして 大酒飲み 取税人の 友であり そして 罪人の
G3708 G0444 G5314 G2532 G3630 G5057 G5384 G2532 G0268

καὶ ἐδικαιώθη ἡ σοφία ἀπὸ τῶν ἔργων αὐτῆς.
しかし 義と-された その 知恵は から その わざに-よって その-知恵の
G2532 G1344 G3588 G4678 G0575 G3588 G2041 G0846

また人の子がきて、食べたり飲んだりしていると、見よ、あれは食をむさぼる者、大酒を飲む者、また取税人、罪人の仲間だ、と言う。しかし、知恵の正しいことは、その働きが証明する」。

20 Τότε ἤρξατο ὀνειδίζειν τὰς πόλεις ἐν αἷς ἐγένοντο αἱ
その-時 始めた 非難する-ことを その 町々を の中で そこで 行われた その
G5119 G0756 G3679 G3588 G4172 G1722 G3739 G1096 G3588

πλεῖσται δυνάμεις αὐτοῦ, ὅτι οὐ μετενόησαν.
最も-多くの 力ある-わざが その方の それなのに ない 悟らなかった
G4118 G1411 G0846 G3754 G3756 G3340

それからイエスは、数々の力あるわざがなされたのに、悔い改めることをしなかった町々を、責めはじめられた。

21 Οὐαί σοι, Χοραζίν! οὐαί σοι, Βηθσαϊδά! ὅτι εἰ ἐν Τύρῳ
わざわいだ おまえ コラジン わざわいだ おまえ ベツサイダ なぜなら もし の中で ツロ
G3759 G4771 G5523 G3759 G4771 G0966 G3754 G1487 G1722 G5184

καὶ Σιδῶνι ἐγένοντο αἱ δυνάμεις αἱ γενόμεναι ἐν ὑμῖν,
そして シドンで 行われた-なら その 力ある-わざが その 行われた の中で あなたがた
G2532 G4605 G1096 G3588 G1411 G3588 G1096 G1722 G4771

πάλαι ἂν ἐν σάκκῳ καὶ σποδῷ, μετενόησαν.
とっくに もう の中で 荒布と そして 灰の-中で 悟っていただろう
G3819 G0302 G1722 G4526 G2532 G4700 G3340

「わざわいだ、コラジンよ。わざわいだ、ベツサイダよ。おまえたちのうちでなされた力あるわざが、もしツロとシドンでなされたなら、彼らはとうの昔に、荒布をまとい灰をかぶって、悔い改めたであろう。

22 πλὴν λέγω ὑμῖν, Τύρῳ καὶ Σιδῶνι, ἀνεκτότερον ἔσται
しかし 言う あなたがたに ツロと そして シドンにとって もっと-耐えられる であろう
G4133 G3004 G4771 G5184 G2532 G4605 G0414 G1510

ἐν ἡμέρᾳ κρίσεως, ἢ ὑμῖν.
において 裁きの-日に 裁きの よりも あなたがた
G1722 G2250 G2920 G2228 G4771

しかし、おまえたちに言っておく。さばきの日には、ツロとシドンの方がおまえたちよりも、耐えやすいであろう。

23 καὶ σύ, Καφαρναούμ, μὴ ἕως οὐρανοῦ ὑψωθήσῃ, ἕως ᾅδου
そして おまえ カペナウム まさか まで 天に 上げられるのか まで 陰府に
G2532 G4771 G2584 G3361 G2193 G3772 G5312 G2193 G0086

καταβήσῃ! ὅτι εἰ ἐν Σοδόμοις ἐγενήθησαν αἱ δυνάμεις αἱ
落とされる なぜなら もし の中で ソドムで 行われた-なら その 力ある-わざが その
G2597 G3754 G1487 G1722 G4670 G1096 G3588 G1411 G3588

γενόμεναι ἐν σοί, ἔμεινεν ἂν μέχρι τῆς σήμερον.
行われた の中で おまえ 残っていただろう もう まで その 今日
G1096 G1722 G4771 G3306 G0302 G3360 G3588 G4594

ああ、カペナウムよ、おまえは天にまで上げられようとでもいうのか。黄泉にまで落されるであろう。おまえの中でなされた力あるわざが、もしソドムでなされたなら、その町は今日までも残っていたであろう。

24 πλὴν しかし G4133 λέγω 言う G3004 ὑμῖν, あなたがたに G4771 ὅτι それなのに G3754 γῇ 地にとって G1093 Σοδόμων ソドムの G4670 ἀνεκτότερον もっと-耐えられる G0414 ἔσται であろう G1510

ἐν において G1722 ἡμέρᾳ 裁きの-日に G2250 κρίσεως 裁きの G2920 ἢ よりも G2228 σοί. おまえ G4771

しかし、あなたがたに言う。さばきの日には、ソドムの地の方がおまえよりは耐えやすいであろう」。

25 Ἐν において G1722 ἐκείνῳ その G1565 τῷ その G3588 καιρῷ 時に G2540 ἀποκριθεὶς, 答えて G0611 ὁ その G3588 Ἰησοῦς イエスは G2424 εἶπεν, 言った G3004 Ἐξομολογοῦμαί 感謝します G1843

σοι, あなたに G4771 Πάτερ, 父よ G3962 Κύριε 主よ G2962 τοῦ その G3588 οὐρανοῦ 天と G3772 καὶ そして G2532 τῆς その G3588 γῆς, 地の G1093 ὅτι なぜなら G3754 ἔκρυψας 隠した G2928 ταῦτα これら-を G3778

ἀπὸ から G0575 σοφῶν 知恵ある-者と G4680 καὶ そして G2532 συνετῶν, 賢い-者から G4908 καὶ そして G2532 ἀπεκάλυψας 明かした G0601 αὐτὰ それらを G0846 νηπίοις. 幼子たちに G3516

そのときイエスは声をあげて言われた、「天地の主なる父よ。あなたをほめたたえます。これらの事を知恵のある者や賢い者に隠して、幼な子にあらわしてくださいました。

26 ναί, そうです G3483 ὁ その G3588 Πατήρ, 父よ G3962 ὅτι なぜなら G3754 οὕτως このように G3779 εὐδοκία 喜びとなった G2107 ἐγένετο のであった G1096 ἔμπροσθέν の前で G1715 σου. あなた G4771

父よ、これはまことにみこころにかなった事でした。

27 Πάντα すべての-ことは G3956 μοι わたしに G1473 παρεδόθη 渡された G3860 ὑπὸ によって G5259 τοῦ その G3588 Πατρός 父 G3962 μου. わたしの G1473 καὶ そして G2532 οὐδεὶς 誰も-ない G3762

ἐπιγινώσκει 知らない G1921 τὸν その G3588 Υἱὸν, 子を G5207 εἰ ただ G1487 μὴ ない G3361 ὁ その G3588 Πατήρ; 父のほかには G3962 οὐδὲ また-ない G3761 τὸν その G3588 Πατέρα 父を G3962 τις 誰も G5100

ἐπιγινώσκει, 知らない G1921 εἰ ただ G1487 μὴ ない G3361 ὁ その G3588 Υἱὸς, 子のほかには G5207 καὶ そして G2532 ᾧ その-者に G3739 ἐὰν もし G1437 βούληται 望む-なら G1014 ὁ その G3588

Υἱὸς 子が G5207 ἀποκαλύψαι. 明かす-ことを G0601

すべての事は父からわたしに任せられています。そして、子を知る者は父のほかにはなく、父を知る者は、子と、父をあらわそうとして子が選んだ者とのほかに、だれもありません。

28 Δεῦτε 来なさい G1205 πρός のもとに G4314 με, わたし G1473 πάντες すべての G3956 οἱ その G3588 κοπιῶντες 労苦する-者たちよ G2872 καὶ そして G2532 πεφορτισμένοι, 重荷を-負う-者たちよ G5412

κἀγὼ わたし-が G2504 ἀναπαύσω 休ませよう G0373 ὑμᾶς. あなたがたを G4771

すべて重荷を負うて苦労している者は、わたしのもとにきなさい。あなたがたを休ませてあげよう。

29 ἄρατε 取りなさい G0142 τὸν その G3588 ζυγόν 軛を G2218 μου わたしの G1473 ἐφ’ の上に G1909 ὑμᾶς, あなたがた G4771 καὶ そして G2532 μάθετε 学びなさい G3129 ἀπ’ から G0575 ἐμοῦ, わたし G1473

ὅτι なぜなら G3754 πραΰς 柔和で G4239 εἰμι あり G1510 καὶ そして G2532 ταπεινὸς へりくだった G5011 τῇ その G3588 καρδίᾳ; 心において G2588 καὶ そうすれば G2532 εὑρήσετε 見いだす G2147

ἀνάπαυσιν 安らぎを G0372 ταῖς その G3588 ψυχαῖς 魂に G5590 ὑμῶν. あなたがたの G4771

わたしは柔和で心のへりくだった者であるから、わたしのくびきを負うて、わたしに学びなさい。そうすれば、あなたがたの魂に休みが与えられるであろう。

30 ὁ その G3588 γὰρ なぜなら G1063 ζυγός 軛は G2218 μου わたしの G1473 χρηστὸς, 負いやすく G5543 καὶ そして G2532 τὸ その G3588 φορτίον 荷は G5413 μου わたしの G1473 ἐλαφρόν 軽い G1645

ἐστιν. である G1510

わたしのくびきは負いやすく、わたしの荷は軽いからである」。

Chapter 12

1 Ἐν において G1722 ἐκείνῳ その G1565 τῷ その G3588 καιρῷ, 時に G2540 ἐπορεύθη 行った G4198 ὁ その G3588 Ἰησοῦς イエスは G2424 τοῖς その G3588 σάββασιν 安息日に G4521 διὰ を通って G1223

τῶν その G3588 σπορίμων; 麦畑 G4702 οἱ その G3588 δὲ しかし G1161 μαθηταὶ 弟子たちは G3101 αὐτοῦ その方の G0846 ἐπείνασαν, 空腹に–なった G3983 καὶ そして G2532 ἤρξαντο 始めた G0756

τίλλειν 摘み–取る–ことを G5089 στάχυας, 穂を G4719 καὶ そして G2532 ἐσθίειν. 食べる–ことを G2068

そのころ、ある安息日に、イエスは麦畑の中を通られた。すると弟子たちは、空腹であったので、穂を摘んで食べはじめた。

2 οἱ その G3588 δὲ しかし G1161 Φαρισαῖοι, パリサイ人が G5330 ἰδόντες, 見て G3708 εἶπαν 言った G3004 αὐτῷ, その方に G0846 Ἰδοὺ, 見よ G3708 οἱ その G3588 μαθηταί 弟子たちが G3101 σου あなたの G4771

ποιοῦσιν している G4160 ὃ それを G3739 οὐκ ない G3756 ἔξεστιν 許されて–いない G1832 ποιεῖν する–ことは G4160 ἐν において G1722 σαββάτῳ. 安息日に G4521

パリサイ人たちがこれを見て、イエスに言った、「ごらんなさい、あなたの弟子たちが、安息日にしてはならないことをしています」。

3 ὁ δὲ εἶπεν αὐτοῖς, Οὐκ ἀνέγνωτε τί ἐποίησεν Δαυὶδ, ὅτε
その しかし 言った 彼らに ない 読まなかったのか 何を したか ダビデが 時に
G3588 G1161 G3004 G0846 G3756 G0314 G5101 G4160 G1138 G3753

ἐπείνασεν, καὶ οἱ μετ’ αὐτοῦ?
空腹に-なった そして その と-共に その方の
G3983 G2532 G3588 G3326 G0846

そこでイエスは彼らに言われた、「あなたがたは、ダビデとその供の者たちとが飢えたとき、ダビデが何をしたか読んだことがないのか。

4 πῶς εἰσῆλθεν εἰς τὸν οἶκον τοῦ Θεοῦ, καὶ τοὺς ἄρτους τῆς
どのように 入った に向かって その 家に その 神の そして その パンを その
G4459 G1525 G1519 G3588 G3624 G3588 G2316 G2532 G3588 G0740 G3588

προθέσεως ἔφαγον, ὃ οὐκ ἐξὸν ἦν αὐτῷ φαγεῖν,
供えの 食べた それを ない 許されては-いなかった であった その方が 食べる-ことは
G4286 G5315 G3739 G3756 G1832 G1510 G0846 G5315

οὐδὲ τοῖς μετ’ αὐτοῦ, εἰ μὴ τοῖς ἱερεῦσιν μόνοις?
また-ない その と-共の その方の ただ ない その 祭司たちに だけ
G3761 G3588 G3326 G0846 G1487 G3361 G3588 G2409 G3441

すなわち、神の家にはいって、祭司たちのほか、自分も供の者たちも食べてはならぬ供えのパンを食べたのである。

5 ἢ οὐκ ἀνέγνωτε ἐν τῷ νόμῳ, ὅτι τοῖς σάββασιν οἱ
または ない 読まなかったのか の中で その 律法に と その 安息日に その
G2228 G3756 G0314 G1722 G3588 G3551 G3754 G3588 G4521 G3588

ἱερεῖς ἐν τῷ ἱερῷ τὸ σάββατον βεβηλοῦσιν, καὶ ἀναίτιοί εἰσιν?
祭司たちが の中で その 神殿で その 安息日を 汚している それでも 罪なし である
G2409 G1722 G3588 G2411 G3588 G4521 G0953 G2532 G0338 G1510

また、安息日に宮仕えをしている祭司たちは安息日を破っても罪にはならないことを、律法で読んだことがないのか。

6 λέγω δὲ ὑμῖν, ὅτι τοῦ ἱεροῦ μεῖζόν ἐστιν ὧδε.
言う しかし あなたがたに それなのに その 神殿よりも 大いなる-ものが ある ここに
G3004 G1161 G4771 G3754 G3588 G2411 G3173 G1510 G5602

あなたがたに言っておく。宮よりも大いなる者がここにいる。

7 εἰ δὲ ἐγνώκειτε τί ἐστιν, Ἔλεος θέλω καὶ οὐ θυσίαν,
もし しかし 知っていたなら 何かを であるか あわれみを 望む そして ない いけにえを
G1487 G1161 G1097 G5101 G1510 G1656 G2309 G2532 G3756 G2378

οὐκ ἂν κατεδικάσατε τοὺς ἀναιτίους.
ない もう 罰しなかっただろう その 罪なき-者たちを
G3756 G0302 G2613 G3588 G0338

『わたしが好むのは、あわれみであって、いけにえではない』とはどういう意味か知っていたなら、あなたがたは罪のない者をとがめなかったであろう。

8 κύριος γάρ ἐστιν τοῦ σαββάτου ὁ Υἱὸς τοῦ ἀνθρώπου.
主である なぜなら である その 安息日の その 人の-子は その 人
G2962 G1063 G1510 G3588 G4521 G3588 G5207 G3588 G0444

人の子は安息日の主である」。

9 Καὶ μεταβὰς ἐκεῖθεν, ἦλθεν εἰς τὴν συναγωγὴν αὐτῶν.
そして 移って そこから 来た に向かって その 会堂に 彼らの
G2532 G3327 G1564 G2064 G1519 G3588 G4864 G0846

イエスはそこを去って、彼らの会堂にはいられた。

10 καὶ ἰδοὺ, ἄνθρωπος χεῖρα ἔχων ξηράν. καὶ ἐπηρώτησαν αὐτὸν, λέγοντες,
そして 見よ 人が-いた 手の 持つ しなびた そして 尋ねた その方に 言って
G2532 G3708 G0444 G5495 G2192 G3584 G2532 G1905 G0846 G3004

Εἰ ἔξεστιν τοῖς σάββασιν θεραπεῦσαι?-- ἵνα κατηγορήσωσιν
できるのか 許されて-いるのか その 安息日に 癒す-ことが それは 訴える-ために
G1487 G1832 G3588 G4521 G2323 G2443 G2723

αὐτοῦ.
その方を
G0846

すると、そのとき、片手のなえた人がいた。人々はイエスを訴えようと思って、「安息日に人をいやしても、さしつかえないか」と尋ねた。

11 ὁ δὲ εἶπεν αὐτοῖς, Τίς ἔσται ἐξ ὑμῶν ἄνθρωπος,
その しかし 言った 彼らに 誰が いるだろう の中から あなたがたの 人が
G3588 G1161 G3004 G0846 G5101 G1510 G1537 G4771 G0444

ὃς ἕξει πρόβατον ἕν, καὶ ἐὰν ἐμπέσῃ τοῦτο τοῖς σάββασιν
その-者が 持つ-なら 羊を 一匹 そして もし 落ちた-なら それが その 安息日に
G3739 G2192 G4263 G1520 G2532 G1437 G1706 G3778 G3588 G4521

εἰς βόθυνον, οὐχὶ κρατήσει αὐτὸ καὶ ἐγερεῖ?
に向かって 穴に ない つかむ それを そして 引き上げるのか
G1519 G0999 G3780 G2902 G0846 G2532 G1453

イエスは彼らに言われた、「あなたがたのうちに、一匹の羊を持っている人があるとして、もしそれが安息日に穴に落ちこんだなら、手をかけて引き上げてやらないだろうか。

12 πόσῳ οὖν διαφέρει ἄνθρωπος προβάτου? ὥστε ἔξεστιν τοῖς
どれほど それゆえ 優れている 人は 羊よりも したがって 許されて-いる その
G4214 G3767 G1308 G0444 G4263 G5620 G1832 G3588

σάββασιν καλῶς ποιεῖν.
安息日に 良い-ことを する-ことは
G4521 G2573 G4160

人は羊よりも、はるかにすぐれているではないか。だから、安息日に良いことをするのは、正しいことである」。

13 τότε λέγει τῷ ἀνθρώπῳ, Ἔκτεινόν σου τὴν χεῖρα. καὶ ἐξέτεινεν,
その-時 言った その 人に 伸ばしなさい あなたの その 手を そして 伸ばした
G5119 G3004 G3588 G0444 G1614 G4771 G3588 G5495 G2532 G1614

καὶ ἀπεκατεστάθη, ὑγιὴς ὡς ἡ ἄλλη.
そして 回復した 健やかに ちょうど-のように その もう-一方の
G2532 G0600 G5199 G5613 G3588 G0243

そしてイエスはその人に、「手を伸ばしなさい」と言われた。そこで手を伸ばすと、ほかの手のように良くなった。

14 ἐξελθόντες δὲ, οἱ Φαρισαῖοι συμβούλιον ἔλαβον κατ' αὐτοῦ,
出て-行って しかし その パリサイ人は 議論を 取った に対して その方を
G1831 G1161 G3588 G5330 G4824 G2983 G2596 G0846

ὅπως αὐτὸν ἀπολέσωσιν.
どのようにして その方を 滅ぼすか
G3704 G0846 G0622

パリサイ人たちは出て行って、なんとかしてイエスを殺そうと相談した。

15 Ὁ δὲ Ἰησοῦς, γνοὺς, ἀνεχώρησεν ἐκεῖθεν, καὶ ἠκολούθησαν αὐτῷ
その しかし イエスは 知って 退いた そこから そして 従った その方に
G3588 G1161 G2424 G1097 G0402 G1564 G2532 G0190 G0846

[ὄχλοι] πολλοί, καὶ ἐθεράπευσεν αὐτοὺς πάντας,
群衆が 大勢の そして 癒した 彼らを すべて
G3793 G4183 G2532 G2323 G0846 G3956

イエスはこれを知って、そこを去って行かれた。ところが多くの人々がついてきたので、彼らを皆いやし、

16 καὶ ἐπετίμησεν αὐτοῖς ἵνα μὴ φανερὸν αὐτὸν ποιήσωσιν.
そして 戒めた 彼らに それは ない 知られる-ように その方を しない-ように
G2532 G2008 G0846 G2443 G3361 G5318 G0846 G4160

そして自分のことを人々にあらわさないようにと、彼らを戒められた。

17 ἵνα πληρωθῇ τὸ ῥηθὲν διὰ Ἡσαΐου τοῦ προφήτου,
それは 成就する-ために その 語られた-ことが を通して イザヤ その 預言者
G2443 G4137 G3588 G2046 G1223 G2268 G3588 G4396

λέγοντος,
言った
G3004

これは預言者イザヤの言った言葉が、成就するためである、

18 Ἰδοὺ ὁ παῖς μου, ὃν ᾑρέτισα, ὁ ἀγαπητός μου, ‹εἰς›
見よ その 僕よ わたしの その-者を 選んだ その 愛する-者よ わたしの に向かって
G3708 G3588 G3816 G1473 G3739 G0140 G3588 G0027 G1473 G1519

ὃν εὐδόκησεν ἡ ψυχή μου. θήσω τὸ Πνεῦμά μου ἐπ’
その-者を 喜んだ その 魂が わたしの 置く その 霖を わたしの の上に
G3739 G2106 G3588 G5590 G1473 G5087 G3588 G4151 G1473 G1909

αὐτόν, καὶ κρίσιν τοῖς ἔθνεσιν ἀπαγγελεῖ.
その-者 そして 裁きを その 異邦人に 告げる
G0846 G2532 G2920 G3588 G1484 G0518

「見よ、わたしが選んだ僕、わたしの心にかなう、愛する者。わたしは彼にわたしの霊を授け、そして彼は正義を異邦人に宣べ伝えるであろう。

19 οὐκ ἐρίσει οὐδὲ κραυγάσει, οὐδὲ ἀκούσει τις ἐν ταῖς πλατείαις
ない 争わない また-ない 叫ばない また-ない 聞かない 誰も の中で その 広場で
G3756 G2051 G3761 G2905 G3761 G0191 G5100 G1722 G3588 G4113

τὴν φωνὴν αὐτοῦ.
その 声を その-者の
G3588 G5456 G0846

彼は争わず、叫ばず、またその声を大路で聞く者はない。

20 κάλαμον συντετριμμένον οὐ κατεάξει, καὶ λίνον τυφόμενον οὐ σβέσει,
葦を 傷ついた ない 折らない そして 灯心を 燃える ない 消さない
G2563 G4937 G3756 G2608 G2532 G3043 G5188 G3756 G4570

ἕως ἂν ἐκβάλῃ εἰς νῖκος τὴν κρίσιν.
まで もう 導く に向かって 勝利に その 裁きを
G2193 G0302 G1544 G1519 G3534 G3588 G2920

彼が正義に勝ちを得させる時まで、いためられた葦を折ることがなく、煙っている燈心を消すこともない。

21

καὶ	τῷ	ὀνόματι	αὐτοῦ	ἔθνη	ἐλπιοῦσιν.
そして	その	名に	その-者の	異邦人が	望みを-置く
G2532	G3588	G3686	G0846	G1484	G1679

異邦人は彼の名に望みを置くであろう」。

22

Τότε	προσηνέχθη	αὐτῷ	δαιμονιζόμενος,	τυφλὸς	καὶ	κωφός,
その-時	連れて-来られた	その方に	悪霊に-取りつかれた-者が	盲目で	そして	口が-きけない
G5119	G4374	G0846	G1139	G5185	G2532	G2974

καὶ	ἐθεράπευσεν	αὐτόν,	ὥστε	τὸν	κωφὸν	λαλεῖν	καὶ
そして	癒した	その-者を	その-結果	その	口の-きけない-者が	話し	そして
G2532	G2323	G0846	G5620	G3588	G2974	G2980	G2532

βλέπειν.
見えるように-なった
G0991

そのとき、人々が悪霊につかれた盲人のおしを連れてきたので、イエスは彼をいやして、物を言い、また目が見えるようにされた。

23

καὶ	ἐξίσταντο	πάντες	οἱ	ὄχλοι,	καὶ	ἔλεγον,	Μήτι	οὗτός	ἐστιν
そして	驚いた	すべての	その	群衆は	そして	言った	まさか	この-者が	ではないか
G2532	G1839	G3956	G3588	G3793	G2532	G3004	G3385	G3778	G1510

ὁ	υἱὸς	Δαυίδ?
その	子である	ダビデの
G3588	G5207	G1138

すると群衆はみな驚いて言った、「この人が、あるいはダビデの子ではあるまいか」。

24

οἱ	δὲ	Φαρισαῖοι,	ἀκούσαντες,	εἶπον,	Οὗτος	οὐκ	ἐκβάλλει	τὰ
その	しかし	パリサイ人が	聞いて	言った	この-者は	ない	追い出す	その
G3588	G1161	G5330	G0191	G3004	G3778	G3756	G1544	G3588

δαιμόνια,	εἰ	μὴ	ἐν	τῷ	Βεελζεβοὺλ	ἄρχοντι	τῶν	δαιμονίων.
悪霊を	ただ	ない	によって	その	ベルゼブル	かしら	その	悪霊の
G1140	G1487	G3361	G1722	G3588	G0954	G0758	G3588	G1140

しかし、パリサイ人たちは、これを聞いて言った、「この人が悪霊を追い出しているのは、まったく悪霊のかしらベルゼブルによるのだ」。

25

εἰδὼς	δὲ	τὰς	ἐνθυμήσεις	αὐτῶν,	εἶπεν	αὐτοῖς,	Πᾶσα	βασιλεία
知って	しかし	その	考えを	彼らの	言った	彼らに	すべての	国が
G1492	G1161	G3588	G1761	G0846	G3004	G0846	G3956	G0932

μερισθεῖσα	καθ’	ἑαυτῆς	ἐρημοῦται,	καὶ	πᾶσα	πόλις	ἢ	οἰκία
分かれた-なら	に対して	自ら	荒れ果てる	そして	すべての	町が	または	家が
G3307	G2596	G1438	G2049	G2532	G3956	G4172	G2228	G3614

μερισθεῖσα	καθ’	ἑαυτῆς	οὐ	σταθήσεται.
分かれた-なら	に対して	自ら	ない	立ち-ゆかない
G3307	G2596	G1438	G3756	G2476

イエスは彼らの思いを見抜いて言われた、「おおよそ、内部で分れ争う国は自滅し、内わで分れ争う町や家は立ち行かない。

26

καὶ	εἰ	ὁ	Σατανᾶς	τὸν	Σατανᾶν	ἐκβάλλει,	ἐφ’	ἑαυτὸν	ἐμερίσθη.
そして	もし	その	サタンが	その	サタンを	追い出す-なら	に対して	自ら	分かれた
G2532	G1487	G3588	G4567	G3588	G4567	G1544	G1909	G1438	G3307

πῶς	οὖν	σταθήσεται	ἡ	βασιλεία	αὐτοῦ?
どうして	それゆえ	立ち-ゆくだろうか	その	国が	その-者の
G4459	G3767	G2476	G3588	G0932	G0846

もしサタンがサタンを追い出すならば、それは内わで分れ争うことになる。それでは、その国はどうして立ち行けよう。

27

καὶ	εἰ	ἐγὼ	ἐν	Βεελζεβοὺλ	ἐκβάλλω	τὰ	δαιμόνια,	οἱ	υἱοὶ
そして	もし	わたしが	によって	ベルゼブル	追い出す-なら	その	悪霊を	その	子らは
G2532	G1487	G1473	G1722	G0954	G1544	G3588	G1140	G3588	G5207

ὑμῶν	ἐν	τίνι	ἐκβάλλουσιν?	διὰ	τοῦτο,	αὐτοὶ	κριταὶ
あなたがたの	によって	誰の	追い出すのか	それゆえ	この-ゆえに	彼ら自身が	裁き-人となる
G4771	G1722	G5101	G1544	G1223	G3778	G0846	G2923

ἔσονται	ὑμῶν.
であろう	あなたがたの
G1510	G4771

もしわたしがベルゼブルによって悪霊を追い出すとすれば、あなたがたの仲間はだれによって追い出すのであろうか。だから、彼らがあなたがたをさばく者となるであろう。

28

εἰ	δὲ	ἐν	Πνεύματι	Θεοῦ	ἐγὼ	ἐκβάλλω	τὰ	δαιμόνια,
しかし-もし	けれども	によって	御霊	神の	わたしが	追い出す-なら	その	悪霊を
G1487	G1161	G1722	G4151	G2316	G1473	G1544	G3588	G1140

ἄρα	ἔφθασεν	ἐφ’	ὑμᾶς	ἡ	βασιλεία	τοῦ	Θεοῦ.
それなら	来たのだ	の上に	あなたがた	その	御国が	その	神の
G0686	G5348	G1909	G4771	G3588	G0932	G3588	G2316

しかし、わたしが神の霊によって悪霊を追い出しているのなら、神の国はすでにあなたがたのところにきたのである。

29

ἢ	πῶς	δύναταί	τις	εἰσελθεῖν	εἰς	τὴν	οἰκίαν	τοῦ	ἰσχυροῦ
または	どうして	できるのか	誰が	入る-ことが	に向かって	その	家に	その	強い-者の
G2228	G4459	G1410	G5100	G1525	G1519	G3588	G3614	G3588	G2478

καὶ	τὰ	σκεύη	αὐτοῦ	ἁρπάσαι,	ἐὰν	μὴ	πρῶτον	δήσῃ	τὸν
そして	その	家財を	その-者の	奪う-ことが	もし	ない	まず	縛らない-なら	その
G2532	G3588	G4632	G0846	G0726	G1437	G3361	G4412	G1210	G3588

ἰσχυρόν?	καὶ	τότε	τὴν	οἰκίαν	αὐτοῦ	διαρπάσει.
強い-者を	そうすれば	その-時	その	家を	その-者の	奪い取る
G2478	G2532	G5119	G3588	G3614	G0846	G1283

まただれでも、まず強い人を縛りあげなければ、どうして、その人の家に押し入って家財を奪い取ることができようか。縛ってから、はじめてその家を掠奪することができる。

30

ὁ	μὴ	ὢν	μετ’	ἐμοῦ	κατ’	ἐμοῦ	ἐστιν;	καὶ	ὁ	μὴ
その	ない	ある	と-共に	わたし	に対して	わたし	である	そして	その	ない
G3588	G3361	G1510	G3326	G1473	G2596	G1473	G1510	G2532	G3588	G3361

συνάγων	μετ’	ἐμοῦ	σκορπίζει.
集める-者は	と-共に	わたし	散らす
G4863	G3326	G1473	G4650

わたしの味方でない者は、わたしに反対するものであり、わたしと共に集めない者は、散らすものである。

31 Διὰ それゆえ G1223 τοῦτο この–ゆえに G3778 λέγω 言う G3004 ὑμῖν, あなたがたに G4771 πᾶσα すべての G3956 ἁμαρτία 罪と G0266 καὶ そして G2532 βλασφημία 冒瀬は G0988

ἀφεθήσεται 赦される G0863 τοῖς その G3588 ἀνθρώποις; 人々に G0444 ἡ しかし–その G3588 δὲ けれども G1161 τοῦ その G3588 Πνεύματος 御霊に–対する G4151 βλασφημία 冒瀬は G0988 οὐκ ない G3756

ἀφεθήσεται 赦されない G0863

だから、あなたがたに言っておく。人には、その犯すすべての罪も神を汚す言葉も、ゆるされる。しかし、聖霊を汚す言葉は、ゆるされることはない。

32 καὶ そして G2532 ὃς その–者が G3739 ἐὰν もし G1437 εἴπῃ 言う–なら G3004 λόγον 言葉を G3056 κατὰ に対して G2596 τοῦ その G3588 Υἱοῦ 子 G5207 τοῦ その G3588 ἀνθρώπου, 人の G0444

ἀφεθήσεται 赦される G0863 αὐτῷ; その–者に G0846 ὃς その–者が G3739 δ’ しかし G1161 ἂν もし G0302 εἴπῃ 言う–なら G3004 κατὰ に対して G2596 τοῦ その G3588 Πνεύματος 御霊 G4151 τοῦ その G3588

Ἁγίου, 聖なる G0040 οὐκ ない G3756 ἀφεθήσεται 赦されない G0863 αὐτῷ, その–者に G0846 οὔτε ない G3777 ἐν において G1722 τούτῳ この G3778 τῷ その G3588 αἰῶνι 世にも G0165 οὔτε ない G3777 ἐν において G1722

τῷ その G3588 μέλλοντι. 来る–世にも G3195

また人の子に対して言い逆らう者は、ゆるされるであろう。しかし、聖霊に対して言い逆らう者は、この世でも、きたるべき世でも、ゆるされることはない。

33 Ἢ または G2228 ποιήσατε しなさい G4160 τὸ その G3588 δένδρον 木を G1186 καλὸν 良い G2570 καὶ そうすれば G2532 τὸν その G3588 καρπὸν 実も G2590 αὐτοῦ その–木の G0846 καλόν, 良い G2570

ἢ または G2228 ποιήσατε しなさい G4160 τὸ その G3588 δένδρον 木を G1186 σαπρὸν 悪い G4550 καὶ そうすれば G2532 τὸν その G3588 καρπὸν 実も G2590 αὐτοῦ その–木の G0846 σαπρόν: 悪い G4550

ἐκ から G1537 γὰρ なぜなら G1063 τοῦ その G3588 καρποῦ, 実によって G2590 τὸ その G3588 δένδρον 木は G1186 γινώσκεται. 知られる G1097

木が良ければ、その実も良いとし、木が悪ければ、その実も悪いとせよ。木はその実でわかるからである。

34 γεννήματα まむしの–子らよ G1081 ἐχιδνῶν, 毒蛇の G2191 πῶς どうして G4459 δύνασθε できるのか G1410 ἀγαθὰ 良い–ことを G0018 λαλεῖν, 話す–ことが G2980 πονηροὶ 悪い–者で G4190 ὄντες? ありながら G1510

ἐκ から G1537 γὰρ なぜなら G1063 τοῦ その G3588 περισσεύματος 溢れる–ものから G4051 τῆς その G3588 καρδίας, 心の G2588 τὸ その G3588 στόμα 口は G4750 λαλεῖ. 話す G2980

まむしの子らよ。あなたがたは悪い者であるのに、どうして良いことを語ることができようか。おおよそ、心からあふれることを、口が語るものである。

35

ὁ	ἀγαθὸς	ἄνθρωπος	ἐκ	τοῦ	ἀγαθοῦ	θησαυροῦ	ἐκβάλλει	ἀγαθά;	καὶ
その	良い	人は	から	その	良い	倉から	取り出す	良い-ものを	そして
G3588	G0018	G0444	G1537	G3588	G0018	G2344	G1544	G0018	G2532

ὁ	πονηρὸς	ἄνθρωπος	ἐκ	τοῦ	πονηροῦ	θησαυροῦ	ἐκβάλλει	πονηρά.
その	悪い	人は	から	その	悪い	倉から	取り出す	悪い-ものを
G3588	G4190	G0444	G1537	G3588	G4190	G2344	G1544	G4190

善人はよい倉から良い物を取り出し、悪人は悪い倉から悪い物を取り出す。

36

λέγω	δὲ	ὑμῖν,	ὅτι	πᾶν	ῥῆμα	ἀργὸν	ὃ	λαλήσουσιν	οἱ
言う	しかし	あなたがたに	それなのに	すべての	言葉を	無駄な	それを	話す-なら	その
G3004	G1161	G4771	G3754	G3956	G4487	G0692	G3739	G2980	G3588

ἄνθρωποι,	ἀποδώσουσιν	περὶ	αὐτοῦ	λόγον	ἐν	ἡμέρᾳ	κρίσεως.
人々は	申し-開きを-する	について	それの	言葉を	において	裁きの-日に	裁きの
G0444	G0591	G4012	G0846	G3056	G1722	G2250	G2920

あなたがたに言うが、審判の日には、人はその語る無益な言葉に対して、言い開きをしなければならないであろう。

37

ἐκ	γὰρ	τῶν	λόγων	σου,	δικαιωθήσῃ,	καὶ	ἐκ	τῶν
から	なぜなら	その	言葉に-よって	あなたの	義と-される	そして	から	その
G1537	G1063	G3588	G3056	G4771	G1344	G2532	G1537	G3588

λόγων	σου,	καταδικασθήσῃ.
言葉に-よって	あなたの	罪ありと-される
G3056	G4771	G2613

あなたは、自分の言葉によって正しいとされ、また自分の言葉によって罪ありとされるからである」。

38

Τότε	ἀπεκρίθησαν	αὐτῷ	τινες	τῶν	γραμματέων	καὶ	Φαρισαίων,
その-時	答えた	その方に	ある-者たちが	その	律法学者と	そして	パリサイ人の
G5119	G0611	G0846	G5100	G3588	G1122	G2532	G5330

λέγοντες,	Διδάσκαλε,	θέλομεν	ἀπὸ	σοῦ	σημεῖον	ἰδεῖν.
言って	先生	望む	から	あなた	しるしを	見る-ことを
G3004	G1320	G2309	G0575	G4771	G4592	G3708

そのとき、律法学者、パリサイ人のうちのある人々がイエスにむかって言った、「先生、わたしたちはあなたから、しるしを見せていただきとうございます」。

39

ὁ	δὲ	ἀποκριθεὶς	εἶπεν	αὐτοῖς,	Γενεὰ	πονηρὰ	καὶ	μοιχαλὶς	σημεῖον
その	しかし	答えて	言った	彼らに	世代の	悪い	そして	姦淫な	しるしを
G3588	G1161	G0611	G3004	G0846	G1074	G4190	G2532	G3428	G4592

ἐπιζητεῖ,	καὶ	σημεῖον	οὐ	δοθήσεται	αὐτῇ,	εἰ	μὴ	τὸ	σημεῖον
求める	しかし	しるしは	ない	与えられない	それに	ただ	ない	その	しるしのほかには
G1934	G2532	G4592	G3756	G1325	G0846	G1487	G3361	G3588	G4592

Ἰωνᾶ	τοῦ	προφήτου.
ヨナの	その	預言者の
G2495	G3588	G4396

すると、彼らに答えて言われた、「邪悪で不義な時代は、しるしを求める。しかし、預言者ヨナのしるしのほかには、なんのしるしも与えられないであろう。

40 ὥσπερ γὰρ ἦν Ἰωνᾶς ἐν τῇ κοιλίᾳ τοῦ κήτους τρεῖς
ちょうど–のように なぜなら いた ヨナが の中に その 腹に その 大魚の 三
G5618 G1063 G1510 G2495 G1722 G3588 G2836 G3588 G2785 G5140

ἡμέρας καὶ τρεῖς νύκτας, οὕτως ἔσται ὁ Υἱὸς τοῦ ἀνθρώπου
日と そして 三 夜 そのように いる その 人の–子は その 人
G2250 G2532 G5140 G3571 G3779 G1510 G3588 G5207 G3588 G0444

ἐν τῇ καρδίᾳ τῆς γῆς τρεῖς ἡμέρας καὶ τρεῖς νύκτας.
の中に その 心に その 地の 三 日と そして 三 夜
G1722 G3588 G2588 G3588 G1093 G5140 G2250 G2532 G5140 G3571

すなわち、ヨナが三日三晩、大魚の腹の中にいたように、人の子も三日三晩、地の中にいるであろう。

41 ἄνδρες Νινευῖται ἀναστήσονται ἐν τῇ κρίσει μετὰ τῆς γενεᾶς ταύτης,
人々が ニネベの 立ち上がる において その 裁きに と–共に その 世代と この
G0435 G3536 G0450 G1722 G3588 G2920 G3326 G3588 G1074 G3778

καὶ κατακρινοῦσιν αὐτήν; ὅτι μετενόησαν εἰς τὸ κήρυγμα Ἰωνᾶ;
そして 罪に–定める それを なぜなら 悟った に応じて その 宣教に ヨナの
G2532 G2632 G0846 G3754 G3340 G1519 G3588 G2782 G2495

καὶ ἰδοὺ, πλεῖον Ἰωνᾶ ὧδε.
そして 見よ より–大いなる–ものが ヨナよりも ここに–ある
G2532 G3708 G4119 G2495 G5602

ニネベの人々が、今の時代の人々と共にさばきの場に立って、彼らを罪に定めるであろう。なぜなら、ニネベの人々はヨナの宣教によって悔い改めたからである。しかし見よ、ヨナにまさる者がここにいる。

42 βασίλισσα νότου ἐγερθήσεται ἐν τῇ κρίσει μετὰ τῆς γενεᾶς ταύτης,
南の–女王が 南の 起こされる において その 裁きに と–共に その 世代と この
G0938 G3558 G1453 G1722 G3588 G2920 G3326 G3588 G1074 G3778

καὶ κατακρινεῖ αὐτήν; ὅτι ἦλθεν ἐκ τῶν περάτων τῆς γῆς ἀκοῦσαι
そして 罪に–定める それを なぜなら 来た から その 果てから その 地の 聞く–ために
G2532 G2632 G0846 G3754 G2064 G1537 G3588 G4009 G3588 G1093 G0191

τὴν σοφίαν Σολομῶνος; καὶ ἰδοὺ, πλεῖον Σολομῶνος ὧδε.
その 知恵を ソロモンの そして 見よ より–大いなる–ものが ソロモンよりも ここに–ある
G3588 G4678 G4672 G2532 G3708 G4119 G4672 G5602

南の女王が、今の時代の人々と共にさばきの場に立って、彼らを罪に定めるであろう。なぜなら、彼女はソロモンの知恵を聞くために地の果から、はるばるきたからである。しかし見よ、ソロモンにまさる者がここにいる。

43 Ὅταν δὲ τὸ ἀκάθαρτον πνεῦμα ἐξέλθῃ ἀπὸ τοῦ ἀνθρώπου, διέρχεται
時に しかし その 汚れた 霊が 出た–なら から その 人 過ぎて–行く
G3752 G1161 G3588 G0169 G4151 G1831 G0575 G3588 G0444 G1330

δι’ ἀνύδρων τόπων, ζητοῦν ἀνάπαυσιν, καὶ οὐχ εὑρίσκει.
を通って 水の–ない 場所を 求めて 休らいを しかし ない 見つからない
G1223 G0504 G5117 G2212 G0372 G2532 G3756 G2147

汚れた霊が人から出ると、休み場を求めて水の無い所を歩きまわるが、見つからない。

44 τότε λέγει, Εἰς τὸν οἶκόν μου ἐπιστρέψω, ὅθεν ἐξῆλθον. καὶ
その–時 言う に向かって その 家に わたしの 帰ろう そこから 出た そして
G5119 G3004 G1519 G3588 G3624 G1473 G1994 G3606 G1831 G2532

ἐλθὸν, εὑρίσκει σχολάζοντα, καὶ σεσαρωμένον, καὶ κεκοσμημένον.
来て 見つける 空いて そして 掃き–清められ そして 飾られて–いる
G2064 G2147 G4980 G2532 G4563 G2532 G2885

そこで、出てきた元の家に帰ろうと言って帰って見ると、その家はあいていて、そうじがしてある上、飾りつけがしてあった。

45 τότε その-時 G5119 πορεύεται 行って G4198 καὶ そして G2532 παραλαμβάνει 連れて-来る G3880 μεθ’ と-共に G3326 ἑαυτοῦ 自ら G1438 ἑπτὰ 七つの G2033 ἕτερα 他の G2087 πνεύματα 霊を G4151

πονηρότερα もっと-悪い G4190 ἑαυτοῦ, 自らよりも G1438 καὶ そして G2532 εἰσελθόντα 入って G1525 κατοικεῖ 住みつく G2730 ἐκεῖ; そこに G1563 καὶ そして G2532 γίνεται なる G1096 τὰ その G3588

ἔσχατα 最後の-ものは G2078 τοῦ その G3588 ἀνθρώπου 人の G0444 ἐκείνου その G1565 χείρονα 悪い-ものになる G5501 τῶν その G3588 πρώτων. 初めよりも G4413 οὕτως そのように G3779 ἔσται なる G1510

καὶ また G2532 τῇ その G3588 γενεᾷ 世代にも G1074 ταύτῃ この G3778 τῇ その G3588 πονηρᾷ. 悪い G4190

そこでまた出て行って、自分以上に悪い他の七つの霊を一緒に引き連れてきて中にはいり、そこに住み込む。そうすると、その人ののちの状態は初めよりももっと悪くなるのである。よこしまな今の時代も、このようになるであろう」。

46 Ἔτι まだ G2089 ‹δὲ› しかし G1161 αὐτοῦ その方が G0846 λαλοῦντος 話して-いる-時に G2980 τοῖς その G3588 ὄχλοις, 群衆に G3793 ἰδοὺ, 見よ G3708 ἡ その G3588 μήτηρ 母と G3384 καὶ そして G2532 οἱ その G3588

ἀδελφοὶ 兄弟たちが G0080 αὐτοῦ その方の G0846 εἱστήκεισαν 立って-いた G2476 ἔξω, 外に G1854 ζητοῦντες 求めて G2212 αὐτῷ その方に G0846 λαλῆσαι. 話す-ことを G2980

イエスがまだ群衆に話しておられるとき、その母と兄弟たちとが、イエスに話そうと思って外に立っていた。

47 εἶπεν 言った G3004 δέ しかし G1161 τις ある-者が G5100 αὐτῷ, その方に G0846 Ἰδοὺ, 見よ G3708 ἡ その G3588 μήτηρ 母と G3384 σου, あなたの G4771 καὶ そして G2532 οἱ その G3588 ἀδελφοί 兄弟たちが G0080

σου, あなたの G4771 ἔξω 外に G1854 ἑστήκασιν, 立って-いる G2476 ζητοῦντές 求めて G2212 σοι あなたに G4771 λαλῆσαι. 話す-ことを G2980

それで、ある人がイエスに言った、「ごらんなさい。あなたの母上と兄弟がたが、あなたに話そうと思って、外に立っておられます」。

48 ὁ その G3588 δὲ しかし G1161 ἀποκριθεὶς, 答えて G0611 εἶπεν 言った G3004 τῷ その G3588 λέγοντι 言った-者に G3004 αὐτῷ, その方に G0846 Τίς 誰が G5101 ἐστιν ですか G1510 ἡ その G3588 μήτηρ 母は G3384

μου? わたしの G1473 καὶ そして G2532 τίνες 誰が G5101 εἰσὶν ですか G1510 οἱ その G3588 ἀδελφοί 兄弟たちは G0080 μου? わたしの G1473

イエスは知らせてくれた者に答えて言われた、「わたしの母とは、だれのことか。わたしの兄弟とは、だれのことか」。

49 καὶ そして G2532 ἐκτείνας 伸ばして G1614 τὴν その G3588 χεῖρα 手を G5495 αὐτοῦ その方の G0846 ἐπὶ に向かって G1909 τοὺς その G3588 μαθητὰς 弟子たちを G3101 αὐτοῦ その方の G0846 εἶπεν, 言った G3004

Ἰδοὺ, 見よ G3708 ἡ その G3588 μήτηρ 母であり G3384 μου わたしの G1473 καὶ そして G2532 οἱ その G3588 ἀδελφοί 兄弟たちである G0080 μου. わたしの G1473

そして、弟子たちの方に手をさし伸べて言われた、「ごらんなさい。ここにわたしの母、わたしの兄弟がいる。

50 ὅστις γὰρ ἂν ποιήσῃ τὸ θέλημα τοῦ Πατρός μου τοῦ ἐν
だれでも なぜなら もし 行う–なら その 御心を その 父 わたしの その の
G3748 G1063 G0302 G4160 G3588 G2307 G3588 G3962 G1473 G3588 G1722

οὐρανοῖς, αὐτός μου ἀδελφὸς, καὶ ἀδελφὴ, καὶ μήτηρ ἐστίν.
天にいます その–者が わたしの 兄弟であり そして 姉妹であり そして 母である のです
G3772 G0846 G1473 G0080 G2532 G0079 G2532 G3384 G1510

天にいますわたしの父のみこころを行う者はだれでも、わたしの兄弟、また姉妹、また母なのである」。

Chapter 13

1 Ἐν τῇ ἡμέρᾳ ἐκείνῃ, ἐξελθὼν ὁ Ἰησοῦς τῆς οἰκίας, ἐκάθητο
において その 日に その 出て–行って その イエスは その 家から 座った
G1722 G3588 G2250 G1565 G1831 G3588 G2424 G3588 G3614 G2521

παρὰ τὴν θάλασσαν.
のそばに その 海
G3844 G3588 G2281

その日、イエスは家を出て、海べにすわっておられた。

2 καὶ συνήχθησαν πρὸς αὐτὸν ὄχλοι πολλοί, ὥστε αὐτὸν εἰς
そして 集まった のもとに その方 群衆が 大勢の その–結果 その方が に向かって
G2532 G4863 G4314 G0846 G3793 G4183 G5620 G0846 G1519

πλοῖον ἐμβάντα καθῆσθαι, καὶ πᾶς ὁ ὄχλος ἐπὶ τὸν αἰγιαλὸν
舟に 乗って 座った そして すべての その 群衆は の上に その 岸辺に
G4143 G1684 G2521 G2532 G3956 G3588 G3793 G1909 G3588 G0123

εἱστήκει.
立って–いた
G2476

ところが、大ぜいの群衆がみもとに集まったので、イエスは舟に乗ってすわられ、群衆はみな岸に立っていた。

3 καὶ ἐλάλησεν αὐτοῖς πολλὰ ἐν παραβολαῖς, λέγων, Ἰδοὺ, ἐξῆλθεν
そして 話した 彼らに 多くの–ことを の中で たとえで 言って 見よ 出て–行った
G2532 G2980 G0846 G4183 G1722 G3850 G3004 G3708 G1831

ὁ σπείρων τοῦ σπείρειν.
その 種–まきが その まく–ために
G3588 G4687 G3588 G4687

イエスは譬で多くの事を語り、こう言われた、「見よ、種まきが種をまきに出て行った。

4 καὶ ἐν τῷ σπείρειν αὐτὸν, ἃ μὲν ἔπεσεν παρὰ τὴν
そして の中で その まく–時に その人が ある–ものは 一方では 落ちた のそばに その
G2532 G1722 G3588 G4687 G0846 G3739 G3303 G4098 G3844 G3588

ὁδόν, καὶ ἐλθόντα τὰ πετεινὰ κατέφαγεν αὐτά.
道 そして 来て その 鳥が 食べ–尽くした それらを
G3598 G2532 G2064 G3588 G4071 G2719 G0846

まいているうちに、道ばたに落ちた種があった。すると、鳥がきて食べてしまった。

5 ἄλλα δὲ ἔπεσεν ἐπὶ τὰ πετρώδη, ὅπου οὐκ εἶχεν
また-別の-ものは しかし 落ちた の上に その 岩地 そこには ない 持って-いなかった
G0243 G1161 G4098 G1909 G3588 G4075 G3699 G3756 G2192

γῆν πολλήν, καὶ εὐθέως ἐξανέτειλεν, διὰ τὸ μὴ ἔχειν βάθος
土を 多くの そして すぐに 芽を-出した のせいで その ない 持つ-ことが 深さを
G1093 G4183 G2532 G2112 G1816 G1223 G3588 G3361 G2192 G0899

γῆς;
土の
G1093

ほかの種は土の薄い石地に落ちた。そこは土が深くないので、すぐ芽を出したが、

6 ἡλίου δὲ ἀνατείλαντος, ἐκαυματίσθη, καὶ διὰ τὸ μὴ ἔχειν
太陽が しかし 昇った-時に 焦げた そして のせいで その ない 持つ-ことが
G2246 G1161 G0393 G2739 G2532 G1223 G3588 G3361 G2192

ῥίζαν, ἐξηράνθη.
根を 枯れた
G4491 G3583

日が上ると焼けて、根がないために枯れてしまった。

7 ἄλλα δὲ ἔπεσεν ἐπὶ τὰς ἀκάνθας, καὶ ἀνέβησαν αἱ
また-別の-ものは しかし 落ちた の上に その 茨 そして 伸びた その
G0243 G1161 G4098 G1909 G3588 G0173 G2532 G0305 G3588

ἄκανθαι, καὶ ἔπνιξαν αὐτά.
茨が そして 塞いだ それらを
G0173 G2532 G4155 G0846

ほかの種はいばらの地に落ちた。すると、いばらが伸びて、ふさいでしまった。

8 ἄλλα δὲ ἔπεσεν ἐπὶ τὴν γῆν τὴν καλὴν, καὶ ἐδίδου
また-別の-ものは しかし 落ちた の上に その 地に その 良い そして 実を-結んだ
G0243 G1161 G4098 G1909 G3588 G1093 G3588 G2570 G2532 G1325

καρπόν, ὃ μὲν ἑκατὸν, ὃ δὲ ἑξήκοντα, ὃ δὲ
実を ある-ものは 一方では 百倍 ある-ものは また 六十倍 ある-ものは また
G2590 G3739 G3303 G1540 G3739 G1161 G1835 G3739 G1161

τριάκοντα.
三十倍
G5144

ほかの種は良い地に落ちて実を結び、あるものは百倍、あるものは六十倍、あるものは三十倍にもなった。

9 ὁ ἔχων ὦτα, ἀκουέτω.
その 持つ-者は 耳を 聞きなさい
G3588 G2192 G3775 G0191

耳のある者は聞くがよい」。

10 Καὶ προσελθόντες, οἱ μαθηταὶ εἶπαν αὐτῷ, Διὰ τί ἐν παραβολαῖς
そして 近づいて その 弟子たちが 言った その方に なぜ 何の の中で たとえで
G2532 G4334 G3588 G3101 G3004 G0846 G1223 G5101 G1722 G3850

λαλεῖς αὐτοῖς?
話すのか 彼らに
G2980 G0846

それから、弟子たちがイエスに近寄ってきて言った、「なぜ、彼らに譬でお話しになるのですか」。

11 ὁ その G3588 δὲ しかし G1161 ἀποκριθεὶς, 答えて G0611 εἶπεν 言った G3004 ‹αὐτοῖς›, 彼らに G0846 ὅτι なぜなら G3754 Ὑμῖν あなたがたには G4771 δέδοται 与えられて-いる G1325

γνῶναι 知る-ことが G1097 τὰ その G3588 μυστήρια 奥義を G3466 τῆς その G3588 βασιλείας 御国の G0932 τῶν その G3588 οὐρανῶν, 天の G3772 ἐκείνοις あの-者たちには G1565 δὲ しかし G1161

οὐ ない G3756 δέδοται. 与えられて-いない G1325

そこでイエスは答えて言われた、「あなたがたには、天国の奥義を知ることが許されているが、彼らには許されていない。

12 ὅστις だれでも G3748 γὰρ なぜなら G1063 ἔχει, 持つ-者には G2192 δοθήσεται 与えられる G1325 αὐτῷ, その-者に G0846 καὶ そして G2532 περισσευθήσεται; 豊かに-される G4052 ὅστις だれでも G3748

δὲ しかし G1161 οὐκ ない G3756 ἔχει, 持たない-者からは G2192 καὶ その G2532 ὃ それを G3739 ἔχει 持って-いる-ものも G2192 ἀρθήσεται 取られる G0142 ἀπ’ から G0575 αὐτοῦ. その-者 G0846

おおよそ、持っている人は与えられて、いよいよ豊かになるが、持っていない人は、持っているものまでも取り上げられるであろう。

13 διὰ それゆえ G1223 τοῦτο, この-ゆえに G3778 ἐν の中で G1722 παραβολαῖς たとえで G3850 αὐτοῖς 彼らに G0846 λαλῶ, 話す G2980 ὅτι なぜなら G3754 βλέποντες, 見て-いても G0991 οὐ ない G3756

βλέπουσιν; 見えない G0991 καὶ そして G2532 ἀκούοντες, 聞いて-いても G0191 οὐκ ない G3756 ἀκούουσιν, 聞こえない G0191 οὐδὲ また-ない G3761 συνίουσιν. 悟らない G4920

だから、彼らには譬で語るのである。それは彼らが、見ても見ず、聞いても聞かず、また悟らないからである。

14 καὶ そして G2532 ἀναπληροῦται 成就する G0378 αὐτοῖς 彼らにおいて G0846 ἡ その G3588 προφητεία 預言が G4394 Ἡσαΐου, イザヤの G2268 ἡ その G3588 λέγουσα, 言う G3004 Ἀκοῇ 聞いて G0189

ἀκούσετε, 聞きなさい G0191 καὶ そして G2532 οὐ ない G3756 μὴ 決して G3361 συνῆτε; 悟らない G4920 καὶ そして G2532 βλέποντες 見て G0991 βλέψετε, 見なさい G0991 καὶ そして G2532 οὐ ない G3756 μὴ 決して G3361

ἴδητε, 見えない G3708

こうしてイザヤの言った預言が、彼らの上に成就したのである。『あなたがたは聞くには聞くが、決して悟らない。見るには見るが、決して認めない。

15 ἐπαχύνθη γὰρ ἡ καρδία τοῦ λαοῦ τούτου, καὶ τοῖς ὠσὶν βαρέως
太く-なった なぜなら その 心が その 民の この そして その 耳で 重く
G3975 G1063 G3588 G2588 G3588 G2992 G3778 G2532 G3588 G3775 G0917

ἤκουσαν, καὶ τοὺς ὀφθαλμοὺς αὐτῶν ἐκάμμυσαν; μή ποτε ἴδωσιν
聞いた そして その 目を 彼らの 閉じた しない-ように いつか 見る-ことが
G0191 G2532 G3588 G3788 G0846 G2576 G3361 G4219 G3708

τοῖς ὀφθαλμοῖς, καὶ τοῖς ὠσὶν ἀκούσωσιν, καὶ τῇ καρδίᾳ συνῶσιν,
その 目で そして その 耳で 聞く-ことが そして その 心で 悟る-ことが
G3588 G3788 G2532 G3588 G3775 G0191 G2532 G3588 G2588 G4920

καὶ ἐπιστρέψωσιν, καὶ ἰάσομαι αὐτούς.
そして 立ち返る-ことが そうすれば 癒すのに 彼らを
G2532 G1994 G2532 G2390 G0846

この民の心は鈍くなり、その耳は聞えにくく、その目は閉じている。それは、彼らが目で見ず、耳で聞かず、心で悟らず、悔い改めていやされることがないためである』。

16 ὑμῶν δὲ μακάριοι οἱ ὀφθαλμοὶ, ὅτι βλέπουσιν; καὶ τὰ
あなたがたの しかし 幸いなるかな その 目は なぜなら 見える そして その
G4771 G1161 G3107 G3588 G3788 G3754 G0991 G2532 G3588

ὦτα ὑμῶν, ὅτι ἀκούουσιν.
耳は あなたがたの なぜなら 聞こえる
G3775 G4771 G3754 G0191

しかし、あなたがたの目は見ており、耳は聞いているから、さいわいである。

17 ἀμὴν γὰρ λέγω ὑμῖν, ὅτι πολλοὶ προφῆται καὶ δίκαιοι
まことに なぜなら 言う あなたがたに それなのに 多くの 預言者たちと そして 義人たちが
G0281 G1063 G3004 G4771 G3754 G4183 G4396 G2532 G1342

ἐπεθύμησαν ἰδεῖν ἃ βλέπετε, καὶ οὐκ εἶδαν; καὶ
望んだ 見る-ことを それら-を 見て-いる-ものを そして ない 見なかった そして
G1937 G3708 G3739 G0991 G2532 G3756 G3708 G2532

ἀκοῦσαι ἃ ἀκούετε, καὶ οὐκ ἤκουσαν.
聞く-ことを それら-を 聞いて-いる-ものを そして ない 聞かなかった
G0191 G3739 G0191 G2532 G3756 G0191

あなたがたによく言っておく。多くの預言者や義人は、あなたがたの見ていることを見ようと熱心に願ったが、見ることができず、またあなたがたの聞いていることを聞こうとしたが、聞けなかったのである。

18 Ὑμεῖς οὖν ἀκούσατε τὴν παραβολὴν τοῦ σπείραντος:
あなたがたは それゆえ 聞きなさい その たとえを その 種-まきの
G4771 G3767 G0191 G3588 G3850 G3588 G4687

そこで、種まきの譬を聞きなさい。

19 Παντὸς ἀκούοντος τὸν λόγον τῆς βασιλείας καὶ μὴ συνιέντος,
すべての 聞く-者が その 御言葉を その 御国の そして ない 悟らない-なら
G3956 G0191 G3588 G3056 G3588 G0932 G2532 G3361 G4920

ἔρχεται ὁ πονηρὸς καὶ ἁρπάζει τὸ ἐσπαρμένον ἐν τῇ καρδίᾳ
来る その 悪い-者が そして 奪い-取る その まかれた-ものを の中に その 心に
G2064 G3588 G4190 G2532 G0726 G3588 G4687 G1722 G3588 G2588

αὐτοῦ. οὗτός ἐστιν ὁ παρὰ τὴν ὁδὸν σπαρείς.
その-者の これが である その のそばの その 道に まかれた-もの
G0846 G3778 G1510 G3588 G3844 G3588 G3598 G4687

だれでも御国の言を聞いて悟らないならば、悪い者がきて、その人の心にまかれたものを奪いとって行く。道ばたにまかれたものというのは、そういう人のことである。

20	ὁ	δὲ	ἐπὶ	τὰ	πετρώδη	σπαρείς,	οὗτός	ἐστιν	ὁ	τὸν
	その	しかし	の上の	その	岩地に	まかれた-ものは	これが	である	その	その
	G3588	G1161	G1909	G3588	G4075	G4687	G3778	G1510	G3588	G3588

λόγον	ἀκούων,	καὶ	εὐθὺς	μετὰ	χαρᾶς	λαμβάνων	αὐτόν;	
御言葉を	聞く-者で	そして	すぐに	と-共に	喜びを-もって	受け入れる-者	それを	
G3056	G0191	G2532	G2112	G3326	G5479	G2983	G0846	

石地にまかれたものというのは、御言を聞くと、すぐに喜んで受ける人のことである。

21	οὐκ	ἔχει	δὲ	ῥίζαν	ἐν	ἑαυτῷ,	ἀλλὰ	πρόσκαιρός	ἐστιν;	γενομένης
	ない	持つ	しかし	根を	の中に	自分	そうではなく	一時的で	ある	起こった-時に
	G3756	G2192	G1161	G4491	G1722	G1438	G0235	G4340	G1510	G1096

δὲ	θλίψεως	ἢ	διωγμοῦ	διὰ	τὸν	λόγον,	εὐθὺς	σκανδαλίζεται.
しかし	苦難が	または	迫害が	のせいで	その	御言葉	すぐに	つまずく
G1161	G2347	G2228	G1375	G1223	G3588	G3056	G2112	G4624

その中に根がないので、しばらく続くだけであって、御言のために困難や迫害が起ってくると、すぐつまずいてしまう。

22	ὁ	δὲ	εἰς	τὰς	ἀκάνθας	σπαρείς,	οὗτός	ἐστιν	ὁ	τὸν	λόγον
	その	しかし	の中の	その	茨に	まかれた-ものは	これが	である	その	その	御言葉を
	G3588	G1161	G1519	G3588	G0173	G4687	G3778	G1510	G3588	G3588	G3056

ἀκούων,	καὶ	ἡ	μέριμνα	τοῦ	αἰῶνος	‹τούτου›	καὶ	ἡ	ἀπάτη	τοῦ
聞く-者で	そして	その	思い-煩いが	その	世の	この	そして	その	惑わしが	その
G0191	G2532	G3588	G3308	G3588	G0165	G3778	G2532	G3588	G0539	G3588

πλούτου	συμπνίγει	τὸν	λόγον,	καὶ	ἄκαρπος	γίνεται.
富の	塞いで	その	御言葉を	そして	実を-結ばない	ものに-なる
G4149	G4846	G3588	G3056	G2532	G0175	G1096

また、いばらの中にまかれたものとは、御言を聞くが、世の心づかいと富の惑わしとが御言をふさぐので、実を結ばなくなる人のことである。

23	ὁ	δὲ	ἐπὶ	τὴν	καλὴν	γῆν	σπαρείς,	οὗτός	ἐστιν	ὁ	τὸν
	その	しかし	の上の	その	良い	地に	まかれた-ものは	これが	である	その	その
	G3588	G1161	G1909	G3588	G2570	G1093	G4687	G3778	G1510	G3588	G3588

λόγον	ἀκούων	καὶ	συνιείς;	ὃς	δὴ	καρποφορεῖ,	καὶ	ποιεῖ	
御言葉を	聞く-者で	そして	悟る-者で	その-者が	実に	実を-結ぶ	そして	生み出す	
G3056	G0191	G2532	G4920	G3739	G1211	G2592	G2532	G4160	

ὃ	μὲν	ἑκατόν,	ὃ	δὲ	ἑξήκοντα,	ὃ	δὲ	τριάκοντα.		
ある-ものは	一方では	百倍	ある-ものは	また	六十倍	ある-ものは	また	三十倍		
G3739	G3303	G1540	G3739	G1161	G1835	G3739	G1161	G5144		

また、良い地にまかれたものとは、御言を聞いて悟る人のことであって、そういう人が実を結び、百倍、あるいは六十倍、あるいは三十倍にもなるのである」。

24	Ἄλλην	παραβολὴν	παρέθηκεν	αὐτοῖς,	λέγων,	Ὡμοιώθη	ἡ	βασιλεία	τῶν
	別の	たとえを	示した	彼らに	言って	たとえられた	その	御国は	その
	G0243	G3850	G3908	G0846	G3004	G3666	G3588	G0932	G3588

οὐρανῶν,	ἀνθρώπῳ	σπείραντι	καλὸν	σπέρμα	ἐν	τῷ	ἀγρῷ	αὐτοῦ;	
天の	人に	まいた	良い	種を	の中に	その	畑に	その人の	
G3772	G0444	G4687	G2570	G4690	G1722	G3588	G0068	G0846	

また、ほかの譬を彼らに示して言われた、「天国は、良い種を自分の畑にまいておいた人のようなものである。

25

ἐν	δὲ	τῷ	καθεύδειν	τοὺς	ἀνθρώπους,	ἦλθεν	αὐτοῦ	ὁ	ἐχθρὸς
の中で	しかし	その	眠る–時に	その	人々が	来た	その人の	その	敵が
G1722	G1161	G3588	G2518	G3588	G0444	G2064	G0846	G3588	G2190

καὶ	ἐπέσπειρεν	ζιζάνια	ἀνὰ	μέσον	τοῦ	σίτου,	καὶ	ἀπῆλθεν.	
そして	まいた	毒麦を	の中に	真ん中に	その	麦の	そして	去った	
G2532	G4687	G2215	G0303	G3319	G3588	G4621	G2532	G0565	

人々が眠っている間に敵がきて、麦の中に毒麦をまいて立ち去った。

26

ὅτε	δὲ	ἐβλάστησεν	ὁ	χόρτος,	καὶ	καρπὸν	ἐποίησεν,	τότε	ἐφάνη
時に	しかし	芽を–出した	その	苗が	そして	実を	結んだ	その–時	現れた
G3753	G1161	G0985	G3588	G5528	G2532	G2590	G4160	G5119	G5316

καὶ	τὰ	ζιζάνια.	
また	その	毒麦が	
G2532	G3588	G2215	

芽がはえ出て実を結ぶと、同時に毒麦もあらわれてきた。

27

προσελθόντες,	δὲ	οἱ	δοῦλοι	τοῦ	οἰκοδεσπότου	εἶπον	αὐτῷ,	Κύριε,
近づいて	しかし	その	僕たちが	その	家の–主人の	言った	その人に	主人よ
G4334	G1161	G3588	G1401	G3588	G3617	G3004	G0846	G2962

οὐχὶ	καλὸν	σπέρμα	ἔσπειρας	ἐν	τῷ	σῷ	ἀγρῷ?	πόθεν
ではないか	良い	種を	まいたのではないか	の中に	その	あなたの	畑に	どこから
G3780	G2570	G4690	G4687	G1722	G3588	G4674	G0068	G4159

οὖν	ἔχει	ζιζάνια?
それでは	あるのか	毒麦が
G3767	G2192	G2215

僕たちがきて、家の主人に言った、『ご主人様、畑におまきになったのは、良い種ではありませんでしたか。どうして毒麦がはえてきたのですか』。

28

ὁ	δὲ	ἔφη	αὐτοῖς,	Ἐχθρὸς,	ἄνθρωπος	τοῦτο	ἐποίησεν.	οἱ	δὲ
その	しかし	言った	彼らに	敵が	人が	これを	したのだ	その	しかし
G3588	G1161	G5346	G0846	G2190	G0444	G3778	G4160	G3588	G1161

δοῦλοι	αὐτῷ,	λέγουσιν	Θέλεις	οὖν	ἀπελθόντες,	συλλέξωμεν	αὐτά?
僕たちが	その人に	言った	望むのか	それでは	行って	集めましょうか	それらを
G1401	G0846	G3004	G2309	G3767	G0565	G4816	G0846

主人は言った、『それは敵のしわざだ』。すると僕たちが言った『では行って、それを抜き集めましょうか』。

29

ὁ	δέ	φησιν,	Οὔ;	μήˌ	ποτε	συλλέγοντες	τὰ	ζιζάνια,
その	しかし	言った	いいえ	しない–ように	いつか	集める–時に	その	毒麦を
G3588	G1161	G5346	G3756	G3361	G4219	G4816	G3588	G2215

ἐκριζώσητε	ἅμα	αὐτοῖς	τὸν	σῖτον.
引き–抜く	一緒に	それらと	その	麦を
G1610	G0260	G0846	G3588	G4621

彼は言った、『いや、毒麦を集めようとして、麦も一緒に抜くかも知れない。

30 ἄφετε συναυξάνεσθαι ἀμφότερα ἕως τοῦ θερισμοῦ; καὶ ἐν
放って–おきなさい 共に–育つ–ように 両方を まで その 収穫の–時に そして において
G0863 G4885 G0297 G2193 G3588 G2326 G2532 G1722

καιρῷ τοῦ θερισμοῦ ἐρῶ τοῖς θερισταῖς, Συλλέξατε πρῶτον τὰ ζιζάνια,
時に その 収穫の 言う その 刈り入れ–人に 集めなさい まず その 毒麦を
G2540 G3588 G2326 G2046 G3588 G2327 G4816 G4412 G3588 G2215

καὶ δήσατε αὐτὰ εἰς δέσμας πρὸς τὸ κατακαῦσαι αὐτά; τὸν δὲ σῖτον, συναγάγετε εἰς τὴν ἀποθήκην μου.
そして 束ねなさい それらを に向かって 束に の–ために その 焚く–こと それらを その しかし 麦を 集めなさい に向かって その 倉に わたしの
G2532 G1210 G0846 G1519 G1197 G4314 G3588 G2618 G0846 G3588 G1161 G4621 G4863 G1519 G3588 G0596 G1473

収穫まで、両方とも育つままにしておけ。収穫の時になったら、刈る者に、まず毒麦を集めて束にして焼き、麦の方は集めて倉に入れてくれ、と言いつけよう』」。

31 Ἄλλην παραβολὴν παρέθηκεν αὐτοῖς, λέγων, Ὁμοία ἐστὶν ἡ βασιλεία τῶν
別の たとえを 示した 彼らに 言って 似ている である その 御国は その
G0243 G3850 G3908 G0846 G3004 G3664 G1510 G3588 G0932 G3588

οὐρανῶν κόκκῳ σινάπεως, ὃν λαβὼν, ἄνθρωπος ἔσπειρεν ἐν τῷ ἀγρῷ
天の 種に からしの それを 取って 人が まいた の中に その 畑に
G3772 G2848 G4615 G3739 G2983 G0444 G4687 G1722 G3588 G0068

αὐτοῦ;
その人の
G0846

また、ほかの譬を彼らに示して言われた、「天国は、一粒のからし種のようなものである。ある人がそれをとって畑にまくと、

32 ὃ μικρότερον μέν ἐστιν πάντων τῶν σπερμάτων; ὅταν δὲ
それは 最も–小さい 一方では である すべての その 種の–中で 時に しかし
G3739 G3398 G3303 G1510 G3956 G3588 G4690 G3752 G1161

αὐξηθῇ, μεῖζον τῶν λαχάνων ἐστὶν, καὶ γίνεται δένδρον, ὥστε
育った–なら 最も–大きい その 野菜よりも であり そして なる 木に その–結果
G0837 G3173 G3588 G3001 G1510 G2532 G1096 G1186 G5620

ἐλθεῖν τὰ πετεινὰ τοῦ οὐρανοῦ καὶ κατασκηνοῦν ἐν τοῖς κλάδοις
来る その 鳥が その 天の そして 巣づくる の中に その 枝に
G2064 G3588 G4071 G3588 G3772 G2532 G2681 G1722 G3588 G2798

αὐτοῦ.
その–木の
G0846

それはどんな種よりも小さいが、成長すると、野菜の中でいちばん大きくなり、空の鳥がきて、その枝に宿るほどの木になる」。

33 Ἄλλην παραβολὴν ἐλάλησεν αὐτοῖς: Ὁμοία ἐστὶν ἡ βασιλεία τῶν οὐρανῶν
別の たとえを 話した 彼らに 似ている である その 御国は その 天の
G0243 G3850 G2980 G0846 G3664 G1510 G3588 G0932 G3588 G3772

ζύμῃ, ἣν λαβοῦσα, γυνὴ ἐνέκρυψεν εἰς ἀλεύρου σάτα τρία, ἕως
パン種に それを 取って 女が 混ぜた に向かって 粉の 三サトンの 三 まで
G2219 G3739 G2983 G1135 G1470 G1519 G0224 G4568 G5140 G2193

οὗ ἐζυμώθη ὅλον.
その ふくらんだ 全体が
G3739 G2220 G3650

またほかの譬を彼らに語られた、「天国は、パン種のようなものである。女がそれを取って三斗の粉の中に混ぜると、全体がふくらんでくる」。

34 Ταῦτα πάντα ἐλάλησεν ὁ Ἰησοῦς ἐν παραβολαῖς τοῖς ὄχλοις, καὶ
これらを すべて 話した その イエスは の中で たとえで その 群衆に そして
G3778 G3956 G2980 G3588 G2424 G1722 G3850 G3588 G3793 G2532

χωρὶς παραβολῆς οὐδὲν ἐλάλει αὐτοῖς;
なしに たとえ 何も 話さなかった 彼らに
G5565 G3850 G3762 G2980 G0846

イエスはこれらのことをすべて、譬で群衆に語られた。譬によらないでは何事も彼らに語られなかった。

35 ὅπως πληρωθῇ τὸ ῥηθὲν διὰ τοῦ προφήτου, λέγοντος,
それは 成就する-ために その 語られた-ことが を通して その 預言者 言った
G3704 G4137 G3588 G2046 G1223 G3588 G4396 G3004

Ἀνοίξω ἐν παραβολαῖς τὸ στόμα μου; ἐρεύξομαι κεκρυμμένα ἀπὸ
開く の中で たとえで その 口を わたしの 述べる 隠された-ものを からの
G0455 G1722 G3850 G3588 G4750 G1473 G2044 G2928 G0575

καταβολῆς [κόσμου].
初め 世界の
G2602 G2889

これは預言者によって言われたことが、成就するためである、「わたしは口を開いて譬を語り、世の初めから隠されていることを語り出そう」。

36 Τότε ἀφεὶς τοὺς ὄχλους, ἦλθεν εἰς τὴν οἰκίαν. Καὶ προσῆλθον
その-時 去らせて その 群衆を 来た に向かって その 家に そして 近づいて-来た
G5119 G0863 G3588 G3793 G2064 G1519 G3588 G3614 G2532 G4334

αὐτῷ οἱ μαθηταὶ αὐτοῦ, λέγοντες, Διασάφησον ἡμῖν τὴν παραβολὴν
その方に その 弟子たちが その方の 言って 説明して-ください 私たちに その たとえを
G0846 G3588 G3101 G0846 G3004 G1285 G1473 G3588 G3850

τῶν ζιζανίων τοῦ ἀγροῦ.
その 毒麦の その 畑の
G3588 G2215 G3588 G0068

それからイエスは、群衆をあとに残して家にはいられた。すると弟子たちは、みもとにきて言った、「畑の毒麦の譬を説明してください」。

37 ὁ δὲ ἀποκριθεὶς εἶπεν, Ὁ σπείρων τὸ καλὸν σπέρμα ἐστὶν ὁ
その しかし 答えて 言った その まく-者は その 良い 種を である その
G3588 G1161 G0611 G3004 G3588 G4687 G3588 G2570 G4690 G1510 G3588

Υἱὸς τοῦ ἀνθρώπου;
人の-子である その 人
G5207 G3588 G0444

イエスは答えて言われた、「良い種をまく者は、人の子である。

38

ὁ	δὲ	ἀγρός	ἐστιν	ὁ	κόσμος;	τὸ	δὲ	καλὸν	σπέρμα,	οὗτοί
その	しかし	畑は	である	その	世界	その	しかし	良い	種は	これらが
G3588	G1161	G0068	G1510	G3588	G2889	G3588	G1161	G2570	G4690	G3778

εἰσιν	οἱ	υἱοὶ	τῆς	βασιλείας;	τὰ	δὲ	ζιζάνιά	εἰσιν	οἱ	υἱοὶ
である	その	子らである	その	御国の	その	しかし	毒麦は	である	その	子らである
G1510	G3588	G5207	G3588	G0932	G3588	G1161	G2215	G1510	G3588	G5207

τοῦ	πονηροῦ;
その	悪い–者の
G3588	G4190

畑は世界である。良い種と言うのは御国の子たちで、毒麦は悪い者の子たちである。

39

ὁ	δὲ	ἐχθρὸς	ὁ	σπείρας	αὐτά	ἐστιν	ὁ	διάβολος;	ὁ	δὲ
その	しかし	敵は	その	まいた–者は	それらを	である	その	悪魔	その	しかし
G3588	G1161	G2190	G3588	G4687	G0846	G1510	G3588	G1228	G3588	G1161

θερισμὸς	συντέλεια	αἰῶνός	ἐστιν,	οἱ	δὲ	θερισταὶ	ἄγγελοί	εἰσιν.
収穫は	終わりである	世の	である	その	しかし	刈り入れ–人は	御使いである	である
G2326	G4930	G0165	G1510	G3588	G1161	G2327	G0032	G1510

それをまいた敵は悪魔である。収穫とは世の終りのことで、刈る者は御使たちである。

40

ὥσπερ	οὖν	συλλέγεται	τὰ	ζιζάνια,	καὶ	πυρὶ	κατακαίεται,
ちょうど–のように	それゆえ	集められる	その	毒麦が	そして	火で	焚かれる
G5618	G3767	G4816	G3588	G2215	G2532	G4442	G2618

οὕτως	ἔσται	ἐν	τῇ	συντελείᾳ	τοῦ	αἰῶνος.
そのように	なる	において	その	終わりに	その	世の
G3779	G1510	G1722	G3588	G4930	G3588	G0165

だから、毒麦が集められて火で焼かれるように、世の終りにもそのとおりになるであろう。

41

ἀποστελεῖ	ὁ	Υἱὸς	τοῦ	ἀνθρώπου	τοὺς	ἀγγέλους	αὐτοῦ,	καὶ
遣わす	その	人の–子が	その	人	その	御使いたちを	その方の	そして
G0649	G3588	G5207	G3588	G0444	G3588	G0032	G0846	G2532

συλλέξουσιν	ἐκ	τῆς	βασιλείας	αὐτοῦ	πάντα	τὰ	σκάνδαλα	καὶ	τοὺς
集める	から	その	御国から	その方の	すべての	その	つまずきと	そして	その
G4816	G1537	G3588	G0932	G0846	G3956	G3588	G4625	G2532	G3588

ποιοῦντας	τὴν	ἀνομίαν,
行う–者を	その	不法
G4160	G3588	G0458

人の子はその使たちをつかわし、つまずきとなるものと不法を行う者とを、ことごとく御国からとり集めて、

42

καὶ	βαλοῦσιν	αὐτοὺς	εἰς	τὴν	κάμινον	τοῦ	πυρός;	ἐκεῖ	ἔσται	ὁ
そして	投げ入れる	彼らを	に向かって	その	炉に	その	火の	そこで	ある	その
G2532	G0906	G0846	G1519	G3588	G2575	G3588	G4442	G1563	G1510	G3588

κλαυθμὸς	καὶ	ὁ	βρυγμὸς	τῶν	ὀδόντων.
泣きと	そして	その	きしみが	その	歯の
G2805	G2532	G3588	G1030	G3588	G3599

炉の火に投げ入れさせるであろう。そこでは泣き叫んだり、歯がみをしたりするであろう。

43 τότε οἱ δίκαιοι ἐκλάμψουσιν ὡς ὁ ἥλιος ἐν τῇ
その–時 その 義人たちは 輝く ちょうど–のように その 太陽 の中で その
G5119 G3588 G1342 G1584 G5613 G3588 G2246 G1722 G3588

βασιλείᾳ τοῦ Πατρὸς αὐτῶν. ὁ ἔχων ὦτα, ἀκουέτω.
御国に その 父 彼らの その 持つ–者は 耳を 聞きなさい
G0932 G3588 G3962 G0846 G3588 G2192 G3775 G0191

そのとき、義人たちは彼らの父の御国で、太陽のように輝きわたるであろう。耳のある者は聞くがよい。

44 Ὁμοία ἐστὶν ἡ βασιλεία τῶν οὐρανῶν θησαυρῷ κεκρυμμένῳ ἐν τῷ
似ている である その 御国は その 天の 宝に 隠された の中に その
G3664 G1510 G3588 G0932 G3588 G3772 G2344 G2928 G1722 G3588

ἀγρῷ, ὃν, εὑρὼν, ἄνθρωπος ἔκρυψεν, καὶ ἀπὸ τῆς χαρᾶς αὐτοῦ
畑に それを 見つけて 人が 隠した そして から その 喜びの その人の
G0068 G3739 G2147 G0444 G2928 G2532 G0575 G3588 G5479 G0846

ὑπάγει, καὶ πωλεῖ ‹πάντα› ὅσα ἔχει, καὶ ἀγοράζει τὸν
行って そして 売る すべての 持って–いる–ものを 持って–いる そして 買う その
G5217 G2532 G4453 G3956 G3745 G2192 G2532 G0059 G3588

ἀγρὸν ἐκεῖνον.
畑を その
G0068 G1565

天国は、畑に隠してある宝のようなものである。人がそれを見つけると隠しておき、喜びのあまり、行って持ち物をみな売りはらい、そしてその畑を買うのである。

45 Πάλιν ὁμοία ἐστὶν ἡ βασιλεία τῶν οὐρανῶν, ‹ἀνθρώπῳ›, ἐμπόρῳ,
また 似ている である その 御国は その 天の 人に 商人に
G3825 G3664 G1510 G3588 G0932 G3588 G3772 G0444 G1713

ζητοῦντι καλοὺς μαργαρίτας;
求める 良い 真珠を
G2212 G2570 G3135

また天国は、良い真珠を捜している商人のようなものである。

46 εὑρὼν δὲ ἕνα πολύτιμον μαργαρίτην, ἀπελθὼν, πέπρακεν πάντα
見つけて しかし 一つの 高価な 真珠を 行って 売った すべての
G2147 G1161 G1520 G4186 G3135 G0565 G4097 G3956

ὅσα εἶχεν, καὶ ἠγόρασεν αὐτόν.
持って–いる–ものを 持って–いた そして 買った それを
G3745 G2192 G2532 G0059 G0846

高価な真珠一個を見いだすと、行って持ち物をみな売りはらい、そしてこれを買うのである。

47 Πάλιν ὁμοία ἐστὶν ἡ βασιλεία τῶν οὐρανῶν σαγήνῃ, βληθείσῃ εἰς
また 似ている である その 御国は その 天の 網に 投げられた に向かって
G3825 G3664 G1510 G3588 G0932 G3588 G3772 G4522 G0906 G1519

τὴν θάλασσαν, καὶ ἐκ παντὸς γένους συναγαγούσῃ;
その 海に そして から あらゆる 種類の 集めた
G3588 G2281 G2532 G1537 G3956 G1085 G4863

また天国は、海におろして、あらゆる種類の魚を囲みいれる網のようなものである。

48 ἦν, ὅτε ἐπληρώθη, ἀναβιβάσαντες ἐπὶ τὸν αἰγιαλόν, καὶ καθίσαντες,
それが 時に 満ちた 引き上げて の上に その 岸辺に そして 座って
G3739 G3753 G4137 G0307 G1909 G3588 G0123 G2532 G2523

συνέλεξαν τὰ καλὰ εἰς ἄγγη, τὰ δὲ σαπρὰ ἔξω ἔβαλον.
集めた その 良い-ものを に向かって 器に その しかし 悪い-ものを 外に 投げた
G4816 G3588 G2570 G1519 G0030 G3588 G1161 G4550 G1854 G0906

それがいっぱいになると岸に引き上げ、そしてすわって、良いのを器に入れ、悪いのを外へ捨てるのである。

49 οὕτως ἔσται ἐν τῇ συντελείᾳ τοῦ αἰῶνος: ἐξελεύσονται οἱ
そのように なる において その 終わりに その 世の 出て-来る その
G3779 G1510 G1722 G3588 G4930 G3588 G0165 G1831 G3588

ἄγγελοι, καὶ ἀφοριοῦσιν τοὺς πονηροὺς ἐκ μέσου τῶν δικαίων,
御使いが そして 分ける その 悪い-者を から 真ん中の その 義人たち
G0032 G2532 G0873 G3588 G4190 G1537 G3319 G3588 G1342

世の終りにも、そのとおりになるであろう。すなわち、御使たちがきて、義人のうちから悪人をえり分け、

50 καὶ βαλοῦσιν αὐτοὺς εἰς τὴν κάμινον τοῦ πυρός. ἐκεῖ ἔσται ὁ
そして 投げ入れる 彼らを に向かって その 炉に その 火の そこで ある その
G2532 G0906 G0846 G1519 G3588 G2575 G3588 G4442 G1563 G1510 G3588

κλαυθμὸς καὶ ὁ βρυγμὸς τῶν ὀδόντων.
泣きと そして その きしみが その 歯の
G2805 G2532 G3588 G1030 G3588 G3599

そして炉の火に投げこむであろう。そこでは泣き叫んだり、歯がみをしたりするであろう。

51 Συνήκατε ταῦτα πάντα? λέγουσιν αὐτῷ, Ναί,
悟ったか これらを すべて 言う その方に はい
G4920 G3778 G3956 G3004 G0846 G3483

あなたがたは、これらのことが皆わかったか」。彼らは「わかりました」と答えた。

52 ὁ δὲ εἶπεν αὐτοῖς, Διὰ τοῦτο, πᾶς γραμματεὺς μαθητευθεὶς
その しかし 言った 彼らに それゆえ この-ゆえに すべての 律法学者は 弟子と-された
G3588 G1161 G3004 G0846 G1223 G3778 G3956 G1122 G3100

τῇ βασιλείᾳ τῶν οὐρανῶν ὅμοιός ἐστιν ἀνθρώπῳ, οἰκοδεσπότῃ, ὅστις
その 御国に その 天の 似ている である 人に 家の-主人に その-者が
G3588 G0932 G3588 G3772 G3664 G1510 G0444 G3617 G3748

ἐκβάλλει ἐκ τοῦ θησαυροῦ αὐτοῦ καινὰ καὶ παλαιά.
取り出す から その 倉から その人の 新しい-ものと そして 古い-ものを
G1544 G1537 G3588 G2344 G0846 G2537 G2532 G3820

そこで、イエスは彼らに言われた、「それだから、天国のことを学んだ学者は、新しいものと古いものとを、その倉から取り出す一家の主人のようなものである」。

53 Καὶ ἐγένετο, ὅτε ἐτέλεσεν ὁ Ἰησοῦς τὰς παραβολὰς ταύτας, μετῆρεν
そして 起こった 時に 終えた その イエスが その たとえを これらの 移った
G2532 G1096 G3753 G5055 G3588 G2424 G3588 G3850 G3778 G3332

ἐκεῖθεν;
そこから
G1564

イエスはこれらの譬を語り終えてから、そこを立ち去られた。

54

καὶ	ἐλθὼν	εἰς	τὴν	πατρίδα	αὐτοῦ,	ἐδίδασκεν	αὐτοὺς	ἐν	τῇ
そして	来て	に向かって	その	故郷に	その方の	教えて-いた	彼らを	の中で	その
G2532	G2064	G1519	G3588	G3968	G0846	G1321	G0846	G1722	G3588

συναγωγῇ	αὐτῶν,	ὥστε	ἐκπλήσσεσθαι	αὐτοὺς	καὶ	λέγειν,	Πόθεν
会堂で	彼らの	その-結果	驚く	彼らが	そして	言う-ほどに	どこから
G4864	G0846	G5620	G1605	G0846	G2532	G3004	G4159

τούτῳ	ἡ	σοφία	αὕτη	καὶ	αἱ	δυνάμεις?
この-者に	その	知恵が	この	そして	その	力ある-わざが
G3778	G3588	G4678	G3778	G2532	G3588	G1411

そして郷里に行き、会堂で人々を教えられたところ、彼らは驚いて言った、「この人は、この知恵とこれらの力あるわざとを、どこで習ってきたのか。

55

οὐχ	οὗτός	ἐστιν	ὁ	τοῦ	τέκτονος?	υἱός	οὐχ	ἡ
ではないか	この-者は	である	その	その	大工の	息子ではないか	ではないか	その
G3756	G3778	G1510	G3588	G3588	G5045	G5207	G3756	G3588

μήτηρ	αὐτοῦ	λέγεται	Μαριὰμ?	καὶ	οἱ	ἀδελφοὶ	αὐτοῦ	Ἰάκωβος	καὶ
母は	その人の	呼ばれて-いる	マリアと	そして	その	兄弟は	その人の	ヤコブと	そして
G3384	G0846	G3004	G3137	G2532	G3588	G0080	G0846	G2385	G2532

Ἰωσὴφ	καὶ	Σίμων	καὶ	Ἰούδας?
ヨセフと	そして	シモンと	そして	ユダではないか
G2501	G2532	G4613	G2532	G2455

この人は大工の子ではないか。母はマリヤといい、兄弟たちは、ヤコブ、ヨセフ、シモン、ユダではないか。

56

καὶ	αἱ	ἀδελφαὶ	αὐτοῦ	οὐχὶ	πᾶσαι	πρὸς	ἡμᾶς	εἰσιν?
そして	その	姉妹たちは	その人の	ではないか	みな	のもとに	私たちの	いるではないか
G2532	G3588	G0079	G0846	G3780	G3956	G4314	G1473	G1510

πόθεν	οὖν	τούτῳ	ταῦτα	πάντα?
どこから	それでは	この-者に	これらが	すべて
G4159	G3767	G3778	G3778	G3956

またその姉妹たちもみな、わたしたちと一緒にいるではないか。こんな数々のことを、いったい、どこで習ってきたのか」。

57

καὶ	ἐσκανδαλίζοντο	ἐν	αὐτῷ.	ὁ	δὲ	Ἰησοῦς	εἶπεν	αὐτοῖς,	Οὐκ
そして	つまずいた	において	その方に	その	しかし	イエスは	言った	彼らに	ない
G2532	G4624	G1722	G0846	G3588	G1161	G2424	G3004	G0846	G3756

ἔστιν	προφήτης	ἄτιμος,	εἰ	μὴ	ἐν	τῇ	πατρίδι,	καὶ	ἐν
いない	預言者は	軽んじられる-者は	ただ	ない	において	その	故郷と	そして	において
G1510	G4396	G0820	G1487	G3361	G1722	G3588	G3968	G2532	G1722

τῇ	οἰκίᾳ	αὐτοῦ.
その	家において	その人の
G3588	G3614	G0846

こうして人々はイエスにつまずいた。しかし、イエスは言われた、「預言者は、自分の郷里や自分の家以外では、どこででも敬われないことはない」。

58 | καὶ | οὐκ | ἐποίησεν | ἐκεῖ | δυνάμεις | πολλὰς, | διὰ | τὴν | ἀπιστίαν
そして | ない | 行わなかった | そこで | 力ある-わざを | 多くの | のせいで | その | 不信仰
G2532 | G3756 | G4160 | G1563 | G1411 | G4183 | G1223 | G3588 | G0570

αὐτῶν.
彼らの
G0846

そして彼らの不信仰のゆえに、そこでは力あるわざを、あまりなさらなかった。

Chapter 14

1 | Ἐν | ἐκείνῳ | τῷ | καιρῷ | ἤκουσεν | Ἡρῴδης | ὁ | τετραάρχης | τὴν | ἀκοὴν
において | その | その | 時に | 聞いた | ヘロデが | その | 領主 | その | 評判を
G1722 | G1565 | G3588 | G2540 | G0191 | G2264 | G3588 | G5076 | G3588 | G0189

Ἰησοῦ,
イエスの
G2424

そのころ、領主ヘロデはイエスのうわさを聞いて、

2 | καὶ | εἶπεν | τοῖς | παισὶν | αὐτοῦ, | Οὗτός | ἐστιν | Ἰωάννης | ὁ
そして | 言った | その | 家来たちに | その人の | この-者は | である | ヨハネである | その
G2532 | G3004 | G3588 | G3816 | G0846 | G3778 | G1510 | G2491 | G3588

Βαπτιστής: | αὐτὸς | ἠγέρθη | ἀπὸ | τῶν | νεκρῶν, | καὶ | διὰ | τοῦτο,
バプテスマ | その-者が | よみがえった | から | その | 死人たち | それゆえ | のせいで | この-ゆえに
G0910 | G0846 | G1453 | G0575 | G3588 | G3498 | G2532 | G1223 | G3778

αἱ | δυνάμεις | ἐνεργοῦσιν | ἐν | αὐτῷ.
その | 力ある-わざが | 働いて-いる | の中で | その-者に
G3588 | G1411 | G1754 | G1722 | G0846

家来に言った、「あれはバプテスマのヨハネだ。死人の中からよみがえったのだ。それで、あのような力が彼のうちに働いているのだ」。

3 | Ὁ | γὰρ | Ἡρῴδης | κρατήσας | τὸν | Ἰωάνην, | ἔδησεν | ‹αὐτὸν›, | καὶ | ἐν
その | なぜなら | ヘロデは | 捕らえて | その | ヨハネを | 縛った | その-者を | そして | の中に
G3588 | G1063 | G2264 | G2902 | G3588 | G2491 | G1210 | G0846 | G2532 | G1722

φυλακῇ | ἀπέθετο, | διὰ | Ἡρῳδιάδα, | τὴν | γυναῖκα | Φιλίππου, | τοῦ | ἀδελφοῦ
牢獄に | 入れた | のせいで | ヘロディア | その | 妻 | ピリポの | その | 兄弟
G5438 | G0659 | G1223 | G2266 | G3588 | G1135 | G5376 | G3588 | G0080

αὐτοῦ.
その人の
G0846

というのは、ヘロデは先に、自分の兄弟ピリポの妻ヘロデヤのことで、ヨハネを捕えて縛り、獄に入れていた。

4 | ἔλεγεν | γὰρ | «ὁ | Ἰωάννης*»□ | αὐτῷ, | Οὐκ | ἔξεστίν | σοι
言って-いた | なぜなら | その | ヨハネが | その人に | ない | 許されて-いない | あなたに
G3004 | G1063 | G3588 | G2491 | G0846 | G3756 | G1832 | G4771

ἔχειν | αὐτήν.
持つ-ことは | 彼女を
G2192 | G0846

すなわち、ヨハネはヘロデに、「その女をめとるのは、よろしくない」と言ったからである。

5 καὶ θέλων αὐτὸν ἀποκτεῖναι, ἐφοβήθη τὸν ὄχλον, ὅτι ὡς
そして 望んで-いたが その-者を 殺す-ことを 恐れた その 群衆を なぜなら として
G2532 G2309 G0846 G0615 G5399 G3588 G3793 G3754 G5613

προφήτην αὐτὸν εἶχον.
預言者 その-者を 見なして-いた
G4396 G0846 G2192

そこでヘロデはヨハネを殺そうと思ったが、群衆を恐れた。彼らがヨハネを預言者と認めていたからである。

6 γενεσίοις δὲ γενομένοις τοῦ Ἡρῴδου, ὠρχήσατο ἡ θυγάτηρ τῆς
誕生日の-祈いが しかし 開かれた-時に その ヘロデの 踊った その 娘が その
G1077 G1161 G1096 G3588 G2264 G3738 G3588 G2364 G3588

Ἡρῳδιάδος ἐν τῷ μέσῳ, καὶ ἤρεσεν τῷ Ἡρῴδῃ;
ヘロディアの の中で その 真ん中で そして 喜ばせた その ヘロデを
G2266 G1722 G3588 G3319 G2532 G0700 G3588 G2264

さてヘロデの誕生日の祝に、ヘロデヤの娘がその席上で舞をまい、ヘロデを喜ばせたので、

7 ὅθεν μεθ’ ὅρκου, ὡμολόγησεν αὐτῇ δοῦναι ὃ ἐὰν αἰτήσηται.
それゆえ と-共に 誓いを 約束した 彼女に 与える-ことを それを もし 求める-なら
G3606 G3326 G3727 G3670 G0846 G1325 G3739 G1437 G0154

彼女の願うものは、なんでも与えようと、彼は誓って約束までした。

8 ἡ δὲ προβιβασθεῖσα ὑπὸ τῆς μητρὸς αὐτῆς, Δός μοι, φησίν,
その しかし そそのかされて によって その 母に 彼女の ください わたしに 言った
G3588 G1161 G4264 G5259 G3588 G3384 G0846 G1325 G1473 G5346

ὧδε ἐπὶ πίνακι, τὴν κεφαλὴν Ἰωάννου τοῦ Βαπτιστοῦ.
ここに の上の 皿に その 頭を ヨハネの その バプテスマの
G5602 G1909 G4094 G3588 G2776 G2491 G3588 G0910

すると彼女は母にそそのかされて、「バプテスマのヨハネの首を盆に載せて、ここに持ってきていただきとうございます」と言った。

9 καὶ λυπηθεὶς ὁ βασιλεὺς; διὰ τοὺς ὅρκους καὶ τοὺς
そして 悲しんだ その 王は のせいで その 誓いと そして その
G2532 G3076 G3588 G0935 G1223 G3588 G3727 G2532 G3588

συνανακειμένους, ἐκέλευσεν δοθῆναι.
同席の-者たち 命じた 与える-ように
G4873 G2753 G1325

王は困ったが、いったん誓ったのと、また列座の人たちの手前、それを与えるように命じ、

10 καὶ πέμψας, ἀπεκεφάλισεν ‹τὸν› Ἰωάννην ἐν τῇ φυλακῇ.
そして 人を-遣わして 首を-はねた その ヨハネの の中で その 牢獄で
G2532 G3992 G0607 G3588 G2491 G1722 G3588 G5438

人をつかわして、獄中でヨハネの首を切らせた。

11 καὶ ἠνέχθη ἡ κεφαλὴ αὐτοῦ ἐπὶ πίνακι, καὶ ἐδόθη τῷ
そして 運ばれた その 頭は その-者の の上の 皿に そして 与えられた その
G2532 G5342 G3588 G2776 G0846 G1909 G4094 G2532 G1325 G3588

κορασίῳ, καὶ ἤνεγκεν τῇ μητρὶ αὐτῆς.
娘に そして 持って-行った その 母に 彼女の
G2877 G2532 G5342 G3588 G3384 G0846

その首は盆に載せて運ばれ、少女にわたされ、少女はそれを母のところに持って行った。

12 καὶ προσελθόντες οἱ μαθηταὶ, αὐτοῦ ἦραν τὸ πτῶμα, καὶ ἔθαψαν
そして 近づいて-来て その 弟子たちが その-者の 取った その 亡骸を そして 葬った
G2532 G4334 G3588 G3101 G0846 G0142 G3588 G4430 G2532 G2290

αὐτόν; καὶ ἐλθόντες, ἀπήγγειλαν τῷ Ἰησοῦ.
それを そして 来て 報告した その イエスに
G0846 G2532 G2064 G0518 G3588 G2424

それから、ヨハネの弟子たちがきて、死体を引き取って葬った。そして、イエスのところに行って報告した。

13 Ἀκούσας δὲ, ὁ Ἰησοῦς ἀνεχώρησεν ἐκεῖθεν ἐν πλοίῳ εἰς
聞いて しかし その イエスは 退いた そこから の中で 舟で に向かって
G0191 G1161 G3588 G2424 G0402 G1564 G1722 G4143 G1519

ἔρημον τόπον κατ' ἰδίαν. καὶ ἀκούσαντες, οἱ ὄχλοι ἠκολούθησαν
寝しい 場所に の 自分だけの そして 聞いて その 群衆が 従った
G2048 G5117 G2596 G2398 G2532 G0191 G3588 G3793 G0190

αὐτῷ πεζῇ ἀπὸ τῶν πόλεων.
その方に 徒歩で から その 町々から
G0846 G3979 G0575 G3588 G4172

イエスはこのことを聞くと、舟に乗ってそこを去り、自分ひとりで寂しい所へ行かれた。しかし、群衆はそれと聞いて、町々から徒歩であとを追ってきた。

14 Καὶ ἐξελθὼν, εἶδεν πολὺν ὄχλον, καὶ ἐσπλαγχνίσθη ἐπ' αὐτοῖς, καὶ
そして 出て-来て 見た 大勢の 群衆を そして 憐れみを-感じた に対して 彼らに そして
G2532 G1831 G3708 G4183 G3793 G2532 G4697 G1909 G0846 G2532

ἐθεράπευσεν τοὺς ἀρρώστους αὐτῶν.
癒した その 病人たちを 彼らの
G2323 G3588 G0732 G0846

イエスは舟から上がって、大ぜいの群衆をごらんになり、彼らを深くあわれんで、そのうちの病人たちをおいやしになった。

15 ὀψίας δὲ γενομένης, προσῆλθον αὐτῷ οἱ μαθηταὶ, λέγοντες, Ἔρημός
夕方に しかし なった-時に 近づいて-来た その方に その 弟子たちが 言って 寝しい
G3798 G1161 G1096 G4334 G0846 G3588 G3101 G3004 G2048

ἐστιν ὁ τόπος, καὶ ἡ ὥρα ἤδη παρῆλθεν. ἀπόλυσον οὖν
である その 場所は そして その 時は もう 過ぎた 解散して-ください それゆえ
G1510 G3588 G5117 G2532 G3588 G5610 G2235 G3928 G0630 G3767

τοὺς ὄχλους, ἵνα ἀπελθόντες εἰς τὰς κώμας, ἀγοράσωσιν ἑαυτοῖς
その 群衆を それは 行って に向かって その 村々に 買う-ために 自分たちの-ために
G3588 G3793 G2443 G0565 G1519 G3588 G2968 G0059 G1438

βρώματα.
食べ物を
G1033

夕方になったので、弟子たちがイエスのもとにきて言った、「ここは寂しい所でもあり、もう時もおそくなりました。群衆を解散させ、めいめいで食物を買いに、村々へ行かせてください」。

16 ὁ δὲ Ἰησοῦς εἶπεν αὐτοῖς, Οὐ χρείαν ἔχουσιν ἀπελθεῖν. δότε αὐτοῖς ὑμεῖς φαγεῖν.
その しかし イエスは 言った 彼らに ない 必要が-ない 持って-いる 行く-ことは 与えなさい 彼らに あなたがたが 食べる-ものを
G3588 G1161 G2424 G3004 G0846 G3756 G5532 G2192 G0565 G1325 G0846 G4771 G5315

するとイエスは言われた、「彼らが出かけて行くには及ばない。あなたがたの手で食物をやりなさい」。

17 οἱ δὲ λέγουσιν αὐτῷ, Οὐκ ἔχομεν ὧδε, εἰ μὴ πέντε ἄρτους καὶ δύο ἰχθύας.
その しかし 言う その方に ない 持って-いない ここに ただ ない 五つの パンと そして 二匹の 魚
G3588 G1161 G3004 G0846 G3756 G2192 G5602 G1487 G3361 G4002 G0740 G2532 G1417 G2486

弟子たちは言った、「わたしたちはここに、パン五つと魚二ひきしか持っていません」。

18 ὁ δὲ εἶπεν, Φέρετέ μοι ὧδε αὐτούς.
その しかし 言った 持って-来なさい わたしに ここに それらを
G3588 G1161 G3004 G5342 G1473 G5602 G0846

イエスは言われた、「それをここに持ってきなさい」。

19 καὶ κελεύσας τοὺς ὄχλους ἀνακλιθῆναι ἐπὶ τοῦ χόρτου, λαβὼν τοὺς πέντε ἄρτους καὶ τοὺς δύο ἰχθύας, ἀναβλέψας εἰς τὸν οὐρανόν, εὐλόγησεν; καὶ κλάσας, ἔδωκεν τοῖς μαθηταῖς τοὺς ἄρτους, οἱ δὲ μαθηταὶ τοῖς ὄχλοις.
そして 命じて その 群衆を 座らせた の上に その 草の 取って その 五つの パンと そして 二匹の 魚を 見上げて に向かって その 天を 祝福した そして 裂いて 与えた その 弟子たちに その パンを その しかし 弟子たちは その 群衆に
G2532 G2753 G3588 G3793 G0347 G1909 G3588 G5528 G2983 G3588 G4002 G0740 G2532 G3588 G1417 G2486 G0308 G1519 G3588 G3772 G2127 G2532 G2806 G1325 G3588 G3101 G3588 G0740 G3588 G1161 G3101 G3588 G3793

そして群衆に命じて、草の上にすわらせ、五つのパンと二ひきの魚とを手に取り、天を仰いでそれを祝福し、パンをさいて弟子たちに渡された。弟子たちはそれを群衆に与えた。

20 καὶ ἔφαγον πάντες καὶ ἐχορτάσθησαν; καὶ ἦραν τὸ περισσεῦον τῶν κλασμάτων, δώδεκα κοφίνους πλήρεις.
そして 食べた みな そして 満腹に-なった そして 取った その 余った-ものを その かけらの 十二 籠 いっぱいの
G2532 G5315 G3956 G2532 G5526 G2532 G0142 G3588 G4052 G3588 G2801 G1427 G2894 G4134

みんなの者は食べて満腹した。パンくずの残りを集めると、十二のかごにいっぱいになった。

21 οἱ δὲ ἐσθίοντες ἦσαν ἄνδρες ὡσεὶ πεντακισχίλιοι, χωρὶς γυναικῶν καὶ παιδίων.
その しかし 食べて-いた-者は であった 男たちが およそ 五千人 のほかに 女と そして 子供たち
G3588 G1161 G2068 G1510 G0435 G5616 G4000 G5565 G1135 G2532 G3813

食べた者は、女と子供とを除いて、おおよそ五千人であった。

22 Καὶ εὐθέως ἠνάγκασεν τοὺς μαθητὰς ἐμβῆναι εἰς τὸ πλοῖον,
そして すぐに 促した その 弟子たちを 乗る-ように に向かって その 舟に
G2532 G2112 G0315 G3588 G3101 G1684 G1519 G3588 G4143

καὶ προάγειν αὐτὸν εἰς τὸ πέραν, ἕως οὗ ἀπολύσῃ
そして 先に-行く-ように その方よりも に向かって その 向こう-岸に まで その 解散する-まで
G2532 G4254 G0846 G1519 G3588 G4008 G2193 G3739 G0630

τοὺς ὄχλους.
その 群衆を
G3588 G3793

それからすぐ、イエスは群衆を解散させておられる間に、しいて弟子たちを舟に乗り込ませ、向こう岸へ先におやりになった。

23 καὶ ἀπολύσας τοὺς ὄχλους, ἀνέβη εἰς τὸ ὄρος κατ' ἰδίαν
そして 解散させて その 群衆を 登った に向かって その 山に の 自分だけで
G2532 G0630 G3588 G3793 G0305 G1519 G3588 G3735 G2596 G2398

προσεύξασθαι. ὀψίας δὲ γενομένης, μόνος ἦν ἐκεῖ.
祈る-ために 夕方に しかし なった-時に 一人で いた そこに
G4336 G3798 G1161 G1096 G3441 G1510 G1563

そして群衆を解散させてから、祈るためひそかに山へ登られた。夕方になっても、ただひとりそこにおられた。

24 τὸ δὲ πλοῖον, ἤδη σταδίους πολλοὺς ἀπὸ τῆς γῆς, ἀπεῖχεν
その しかし 舟は もう スタディオン 多くの から その 岸 離れて-いた
G3588 G1161 G4143 G2235 G4712 G4183 G0575 G3588 G1093 G0568

βασανιζόμενον ὑπὸ τῶν κυμάτων ἦν, γὰρ ἐναντίος ὁ ἄνεμος.
悩まされて によって その 波に であった なぜなら 逆らう その 風が
G0928 G5259 G3588 G2949 G1510 G1063 G1727 G3588 G0417

ところが舟は、もうすでに陸から数丁も離れており、逆風が吹いていたために、波に悩まされていた。

25 τετάρτῃ δὲ φυλακῇ τῆς νυκτὸς, ἦλθεν πρὸς αὐτοὺς, περιπατῶν ἐπὶ
第四の しかし 夜番に その 夜の 来た のもとに 彼ら 歩いて の上を
G5067 G1161 G5438 G3588 G3571 G2064 G4314 G0846 G4043 G1909

τὴν θάλασσαν.
その 海
G3588 G2281

イエスは夜明けの四時ごろ、海の上を歩いて彼らの方へ行かれた。

26 οἱ δὲ μαθηταὶ, ἰδόντες αὐτὸν ἐπὶ τῆς θαλάσσης περιπατοῦντα,
その しかし 弟子たちが 見て その方を の上を その 海の 歩いて-いるのを
G3588 G1161 G3101 G3708 G0846 G1909 G3588 G2281 G4043

ἐταράχθησαν, λέγοντες, ὅτι Φάντασμά ἐστιν; καὶ ἀπὸ τοῦ φόβου
動揺した 言って それなのに 幽霊だ である そして から その 恐れの-せいで
G5015 G3004 G3754 G5326 G1510 G2532 G0575 G3588 G5401

ἔκραξαν,
叫んだ
G2896

弟子たちは、イエスが海の上を歩いておられるのを見て、幽霊だと言っておじ惑い、恐怖のあまり叫び声をあげた。

27

εὐθὺς	δὲ	ἐλάλησεν	«ὁ	Ἰησοῦς»	αὐτοῖς,	λέγων,	Θαρσεῖτε,	ἐγώ	εἰμι,
すぐに	しかし	話した	その	イエスは	彼らに	言って	安心しなさい	わたし	である
G2112	G1161	G2980	G3588	G2424	G0846	G3004	G2293	G1473	G1510

μὴ	φοβεῖσθε.
ない	恐れるな
G3361	G5399

しかし、イエスはすぐに彼らに声をかけて、「しっかりするのだ、わたしである。恐れることはない」と言われた。

28

ἀποκριθεὶς	δὲ,	αὐτῷ,	ὁ	Πέτρος	εἶπεν	Κύριε,	εἰ	σὺ	εἶ,
答えて	しかし	その方に	その	ペテロが	言った	主よ	もし	あなたが	である–なら
G0611	G1161	G0846	G3588	G4074	G3004	G2962	G1487	G4771	G1510

κέλευσόν	με	ἐλθεῖν	πρὸς	σὲ	ἐπὶ	τὰ	ὕδατα.
命じて–ください	わたしに	来る–ことを	のもとに	あなた	の上を	その	水
G2753	G1473	G2064	G4314	G4771	G1909	G3588	G5204

するとペテロが答えて言った、「主よ、あなたでしたか。では、わたしに命じて、水の上を渡ってみもとに行かせてください」。

29

ὁ	δὲ	εἶπεν,	Ἐλθέ.	καὶ	καταβὰς	ἀπὸ	τοῦ	πλοίου,	[ὁ]	Πέτρος
その	しかし	言った	来なさい	そして	降りて	から	その	舟から	その	ペテロは
G3588	G1161	G3004	G2064	G2532	G2597	G0575	G3588	G4143	G3588	G4074

περιεπάτησεν	ἐπὶ	τὰ	ὕδατα,	καὶ	ἦλθεν	πρὸς	τὸν	Ἰησοῦν.
歩いた	の上を	その	水	そして	来た	のもとに	その	イエス
G4043	G1909	G3588	G5204	G2532	G2064	G4314	G3588	G2424

イエスは、「おいでなさい」と言われたので、ペテロは舟からおり、水の上を歩いてイエスのところへ行った。

30

βλέπων	δὲ	τὸν	ἄνεμον	‹ἰσχυρὸν›,	ἐφοβήθη,	καὶ	ἀρξάμενος
見て	しかし	その	風を	強い	恐れた	そして	始めて
G0991	G1161	G3588	G0417	G2478	G5399	G2532	G0756

καταποντίζεσθαι,	ἔκραξεν,	λέγων,	Κύριε,	σῶσόν	με.
沈み–かけて	叫んだ	言って	主よ	救って–ください	わたしを
G2670	G2896	G3004	G2962	G4982	G1473

しかし、風を見て恐ろしくなり、そしておぼれかけたので、彼は叫んで、「主よ、お助けください」と言った。

31

εὐθέως	δὲ	ὁ	Ἰησοῦς,	ἐκτείνας,	τὴν	χεῖρα	ἐπελάβετο	αὐτοῦ,	καὶ
すぐに	しかし	その	イエスは	伸ばして	その	手を	つかんだ	その–者を	そして
G2112	G1161	G3588	G2424	G1614	G3588	G5495	G1949	G0846	G2532

λέγει	αὐτῷ,	Ὀλιγόπιστε,	εἰς	τί	ἐδίστασας?
言う	その–者に	信仰の–薄い–者よ	に向かって	何の	疑ったのか
G3004	G0846	G3640	G1519	G5101	G1365

イエスはすぐに手を伸ばし、彼をつかまえて言われた、「信仰の薄い者よ、なぜ疑ったのか」。

32

καὶ	ἀναβάντων	αὐτῶν	εἰς	τὸ	πλοῖον,	ἐκόπασεν	ὁ	ἄνεμος.
そして	乗った–時に	彼らが	に向かって	その	舟に	止んだ	その	風が
G2532	G0305	G0846	G1519	G3588	G4143	G2869	G3588	G0417

ふたりが舟に乗り込むと、風はやんでしまった。

33 οἱ δὲ ἐν τῷ πλοίῳ προσεκύνησαν αὐτῷ, λέγοντες, Ἀληθῶς Θεοῦ
その しかし の中の その 舟の ひれ伏した その方に 言って まことに 神の
G3588 G1161 G1722 G3588 G4143 G4352 G0846 G3004 G0230 G2316

Υἱὸς εἶ!
子である あなたは
G5207 G1510

舟の中にいた者たちはイエスを拝して、「ほんとうに、あなたは神の子です」と言った。

34 Καὶ διαπεράσαντες, ἦλθον εἰς τὴν γῆν εἰς Γεννησαρέτ.
そして 渡って 来た の上の その 地に に向かって ゲネサレト
G2532 G1276 G2064 G1909 G3588 G1093 G1519 G1082

それから、彼らは海を渡ってゲネサレの地に着いた。

35 καὶ ἐπιγνόντες αὐτὸν, οἱ ἄνδρες τοῦ τόπου ἐκείνου ἀπέστειλαν εἰς
そして 認めて その方を その 人々が その 場所の その 遣わした に向かって
G2532 G1921 G0846 G3588 G0435 G3588 G5117 G1565 G0649 G1519

ὅλην τὴν περίχωρον ἐκείνην, καὶ προσήνεγκαν αὐτῷ πάντας τοὺς
すべての その 周囲の–地方に その そして 連れて–来た その方に すべての その
G3650 G3588 G4066 G1565 G2532 G4374 G0846 G3956 G3588

κακῶς ἔχοντας,
悩んで–いる 持つ–者たちを
G2560 G2192

するとその土地の人々はイエスと知って、その附近全体に人をつかわし、イエスのところに病人をみな連れてこさせた。

36 καὶ παρεκάλουν αὐτὸν ἵνα μόνον ἅψωνται τοῦ κρασπέδου τοῦ
そして 願った その方に それは ただ 触れる–ことを その ふさの その
G2532 G3870 G0846 G2443 G3440 G0680 G3588 G2899 G3588

ἱματίου αὐτοῦ; καὶ ὅσοι ἥψαντο διεσώθησαν.
衣の その方の そして すべての 触れた–者は 完全に–癒された
G2440 G0846 G2532 G3745 G0680 G1295

そして彼らにイエスの上着のふさにでも、さわらせてやっていただきたいとお願いした。そしてさわった者は皆いやされた。

Chapter 15

1 Τότε προσέρχονται τῷ Ἰησοῦ ἀπὸ Ἱεροσολύμων, Φαρισαῖοι καὶ
その時 近づいて来た その イエスに から エルサレム パリサイ人たちと そして
G5119 G4334 G3588 G2424 G0575 G2414 G5330 G2532

γραμματεῖς, λέγοντες,
律法学者たちが 言って
G1122 G3004

ときに、パリサイ人と律法学者たちとが、エルサレムからイエスのもとにきて言った、

2 Διὰ τί οἱ μαθηταί σου παραβαίνουσιν τὴν παράδοσιν τῶν
なぜ ～を その 弟子たちは あなたの 破るのですか その 言い伝えを その
G1223 G5101 G3588 G3101 G4771 G3845 G3588 G3862 G3588

πρεσβυτέρων? οὐ γὰρ νίπτονται τὰς χεῖρας ‹αὐτῶν›, ὅταν ἄρτον
長老たちの ～ない なぜなら 洗わない その 手を 彼らの ～する時に パンを
G4245 G3756 G1063 G3538 G3588 G5495 G0846 G3752 G0740

ἐσθίωσιν.
食べる
G2068

「あなたの弟子たちは、なぜ昔の人々の言伝えを破るのですか。彼らは食事の時に手を洗っていません」。

3 ὁ δὲ ἀποκριθεὶς εἶπεν αὐτοῖς, Διὰ τί καὶ ὑμεῖς
その方は しかし 答えて 言われた 彼らに なぜ ～を また あなたがたは
G3588 G1161 G0611 G3004 G0846 G1223 G5101 G2532 G4771

παραβαίνετε τὴν ἐντολὴν τοῦ Θεοῦ διὰ τὴν παράδοσιν ὑμῶν?
破るのですか その 戒めを その 神の ～のために その 言い伝えの あなたがたの
G3845 G3588 G1785 G3588 G2316 G1223 G3588 G3862 G4771

イエスは答えて言われた、「なぜ、あなたがたも自分たちの言伝えによって、神のいましめを破っているのか。

4 ὁ γὰρ Θεὸς εἶπεν, Τίμα τὸν πατέρα καὶ τὴν μητέρα; καί,
なぜなら なぜなら 神は 言われた 敬え その 父を そして その 母を また
G3588 G1063 G2316 G3004 G5091 G3588 G3962 G2532 G3588 G3384 G2532

Ὁ κακολογῶν πατέρα ἢ μητέρα, θανάτῳ τελευτάτω.
その 悪く言う者は 父を あるいは 母を 死によって 終わるべし
G3588 G2551 G3962 G2228 G3384 G2288 G5053

神は言われた、『父と母とを敬え』、また『父または母をののしる者は、必ず死に定められる』と。

5 ὑμεῖς δὲ λέγετε, Ὃς ἂν εἴπῃ τῷ πατρὶ ἢ τῇ μητρί,
あなたがたは しかし 言う 誰でも もし 言うなら その 父に あるいは その 母に
G4771 G1161 G3004 G3739 G0302 G3004 G3588 G3962 G2228 G3588 G3384

Δῶρον ὃ ἐὰν ἐξ ἐμοῦ ὠφεληθῇς--
供え物である それは もし から 私から あなたが–受ける–益は
G1435 G3739 G1437 G1537 G1473 G5623

それだのに、あなたがたは『だれでも父または母にむかって、あなたにさしあげるはずのこのものは供え物です、と言えば、

6 οὐ μὴ τιμήσει τὸν πατέρα αὐτοῦ. ☐ἢ τὴν μητέρα αὐτοῦ☐
決して ～ない 敬わない その 父を 彼の あるいは その 母を 彼の
G3756 G3361 G5091 G3588 G3962 G0846 G2228 G3588 G3384 G0846

καὶ ἠκυρώσατε τὸν λόγον τοῦ Θεοῦ διὰ τὴν παράδοσιν ὑμῶν.
こうして 無効にした その 言葉を その 神の ～のために その 言い伝えの あなたがたの
G2532 G0208 G3588 G3056 G3588 G2316 G1223 G3588 G3862 G4771

父または母を敬わなくてもよろしい』と言っている。こうしてあなたがたは自分たちの言伝えによって、神の言を無にしている。

7 ὑποκριταί! καλῶς ἐπροφήτευσεν περὶ ὑμῶν Ἠσαΐας, λέγων,
偽善者たちよ 正しく 預言した について あなたがたに イザヤは 言って
G5273 G2573 G4395 G4012 G4771 G2268 G3004

偽善者たちよ、イザヤがあなたがたについて、こういう適切な預言をしている、

8 Ὁ λαὸς οὗτος, τοῖς χείλεσίν με τιμᾷ; ἡ δὲ καρδία αὐτῶν, πόρρω
この 民は この その 唇で 私を 敬うが その しかし 心は 彼らの 遠く
G3588 G2992 G3778 G3588 G5491 G1473 G5091 G3588 G1161 G2588 G0846 G4206

ἀπέχει ἀπ’ ἐμοῦ:
離れている から 私から
G0568 G0575 G1473

『この民は、口さきではわたしを敬うが、その心はわたしから遠く離れている。

9 μάτην δὲ σέβονταί με, διδάσκοντες διδασκαλίας ἐντάλματα ἀνθρώπων.
むなしく しかし 崇めている 私を 教えながら 教えとして 命令を 人間の
G3155 G1161 G4576 G1473 G1321 G1319 G1778 G0444

人間のいましめを教として教え、無意味にわたしを拝んでいる』」。

10 Καὶ προσκαλεσάμενος τὸν ὄχλον, εἶπεν αὐτοῖς, Ἀκούετε καὶ συνίετε!
そして 呼び寄せて その 群衆を 言われた 彼らに 聞きなさい そして 悟りなさい
G2532 G4341 G3588 G3793 G3004 G0846 G0191 G2532 G4920

それからイエスは群衆を呼び寄せて言われた、「聞いて悟るがよい。

11 οὐ τὸ εἰσερχόμενον εἰς τὸ στόμα κοινοῖ τὸν ἄνθρωπον;
～ではない その 入るものが へ その 口 汚すのではない その 人を
G3756 G3588 G1525 G1519 G3588 G4750 G2840 G3588 G0444

ἀλλὰ τὸ ἐκπορευόμενον ἐκ τοῦ στόματος, τοῦτο κοινοῖ τὸν
むしろ その 出るものが から その 口から これこそが 汚すのである その
G0235 G3588 G1607 G1537 G3588 G4750 G3778 G2840 G3588

ἄνθρωπον.
人を
G0444

口にはいるものは人を汚すことはない。かえって、口から出るものが人を汚すのである」。

12 Τότε προσελθόντες, οἱ μαθηταὶ λέγουσιν αὐτῷ, Οἶδας ὅτι
その時 近づいて来て その 弟子たちは 言う 彼に ご存知ですか ～ということを
G5119 G4334 G3588 G3101 G3004 G0846 G1492 G3754

οἱ Φαρισαῖοι, ἀκούσαντες τὸν λόγον, ἐσκανδαλίσθησαν.
その パリサイ人たちが 聞いて この 言葉を つまずいたことを
G3588 G5330 G0191 G3588 G3056 G4624

そのとき、弟子たちが近寄ってきてイエスに言った、「パリサイ人たちが御言を聞いてつまずいたことを、ご存じですか」。

13 ὁ δὲ ἀποκριθεὶς εἶπεν, Πᾶσα φυτεία ἣν οὐκ ἐφύτευσεν ὁ
その方は しかし 答えて 言われた すべての 植物は それを ～ない 植えなかった その
G3588 G1161 G0611 G3004 G3956 G5451 G3739 G3756 G5452 G3588

Πατήρ μου ὁ οὐράνιος, ἐκριζωθήσεται.
父が 私の その 天の 根こそぎにされる
G3962 G1473 G3588 G3770 G1610

イエスは答えて言われた、「わたしの天の父がお植えにならなかったものは、みな抜き取られるであろう。

14 ἄφετε αὐτούς; τυφλοί εἰσιν ὁδηγοί τυφλῶν. τυφλὸς δὲ τυφλὸν
放っておけ 彼らを 盲人の である 案内人である 盲人たちの 盲人が しかし 盲人を
G0863 G0846 G5185 G1510 G3595 G5185 G5185 G1161 G5185

ἐὰν ὁδηγῇ, ἀμφότεροι εἰς βόθυνον πεσοῦνται.
もし 導くなら 両方とも へ 穴に 落ちるであろう
G1437 G3594 G0297 G1519 G0999 G4098

彼らをそのままにしておけ。彼らは盲人を手引きする盲人である。もし盲人が盲人を手引きするなら、ふたりとも穴に落ち込むであろう」。

15 Ἀποκριθεὶς δὲ, ὁ Πέτρος εἶπεν αὐτῷ, Φράσον ἡμῖν τὴν
答えて そして その ペテロは 言った 彼に 説明してください 私たちに この
G0611 G1161 G3588 G4074 G3004 G0846 G5419 G1473 G3588

παραβολήν ‹ταύτην›.
たとえを この
G3850 G3778

ペテロが答えて言った、「その譬を説明してください」。

16 ὁ δὲ εἶπεν, Ἀκμὴν καὶ ὑμεῖς ἀσύνετοί ἐστε?
その方は しかし 言われた まだ さえも あなたがたも 悟らない者 なのですか
G3588 G1161 G3004 G0188 G2532 G4771 G0801 G1510

イエスは言われた、「あなたがたも、まだわからないのか。

17 οὐ νοεῖτε ὅτι πᾶν τὸ εἰσπορευόμενον εἰς τὸ στόμα
〜ない 分からないのか 〜ということを すべて その 入るものは へ その 口に
G3756 G3539 G3754 G3956 G3588 G1531 G1519 G3588 G4750

εἰς τὴν κοιλίαν χωρεῖ, καὶ εἰς ἀφεδρῶνα ἐκβάλλεται?
へ その 腹に 行き そして へ 厠に 排出されることを
G1519 G3588 G2836 G5562 G2532 G1519 G0856 G1544

口にはいってくるものは、みな腹の中にはいり、そして、外に出て行くことを知らないのか。

18 τὰ δὲ ἐκπορευόμενα ἐκ τοῦ στόματος, ἐκ τῆς καρδίας ἐξέρχεται,
その しかし 出るものは から その 口から から その 心から 出て来る
G3588 G1161 G1607 G1537 G3588 G4750 G1537 G3588 G2588 G1831

κἀκεῖνα κοινοῖ τὸν ἄνθρωπον.
そしてそれらが 汚すのである その 人を
G2548 G2840 G3588 G0444

しかし、口から出て行くものは、心の中から出てくるのであって、それが人を汚すのである。

19 ἐκ γὰρ τῆς καρδίας ἐξέρχονται διαλογισμοὶ πονηροί, φόνοι, μοιχεῖαι,
から なぜなら その 心から 出て来る 悪い考え 邪悪な 殺人 姦淫
G1537 G1063 G3588 G2588 G1831 G1261 G4190 G5408 G3430

πορνεῖαι, κλοπαί, ψευδομαρτυρίαι, βλασφημίαι.
淫行 盗み 偽証 冒涜が
G4202 G2829 G5577 G0988

というのは、悪い思い、すなわち、殺人、姦淫、不品行、盗み、偽証、誹りは、心の中から出てくるのであって、

20 ταῦτά ἐστιν τὰ κοινοῦντα τὸν ἄνθρωπον; τὸ δὲ ἀνίπτοις χερσὶν
これらが である その 汚すものである その 人を しかし 一方 洗わない 手で
G3778 G1510 G3588 G2840 G3588 G0444 G3588 G1161 G0449 G5495

φαγεῖν, οὐ κοινοῖ τὸν ἄνθρωπον.
食べることは ～ない 汚さない その 人を
G5315 G3756 G2840 G3588 G0444

これらのものが人を汚すのである。しかし、洗わない手で食事することは、人を汚すのではない」。

21 Καὶ ἐξελθὼν ἐκεῖθεν, ὁ Ἰησοῦς ἀνεχώρησεν εἰς τὰ μέρη Τύρου
そして 出て行って そこから その イエスは 退かれた へ その 地方 ツロと
G2532 G1831 G1564 G3588 G2424 G0402 G1519 G3588 G3313 G5184

καὶ Σιδῶνος;
そして シドンの
G2532 G4605

さて、イエスはそこを出て、ツロとシドンとの地方へ行かれた。

22 καὶ ἰδοὺ, γυνὴ Χαναναία ἀπὸ τῶν ὁρίων ἐκείνων, ἐξελθοῦσα, ἔκραζεν,
すると 見よ 女が カナン人の から その 地域 その 出て来て 叫んだ
G2532 G3708 G1135 G5478 G0575 G3588 G3725 G1565 G1831 G2896

λέγουσα, Ἐλέησόν με, Κύριε, υἱὸς Δαυίδ; ἡ θυγάτηρ μου κακῶς
言って 憐れんでください 私を 主よ 子よ ダビデの その 娘が 私の ひどく
G3004 G1653 G1473 G2962 G5207 G1138 G3588 G2364 G1473 G2560

δαιμονίζεται.
悪霊に-取りつかれています
G1139

すると、そこへ、その地方出のカナンの女が出てきて、「主よ、ダビデの子よ、わたしをあわれんでください。娘が悪霊にとりつかれて苦しんでいます」と言って叫びつづけた。

23 ὁ δὲ οὐκ ἀπεκρίθη αὐτῇ λόγον. καὶ προσελθόντες, οἱ
その方は しかし ～なかった 答えなかった 彼女に 一言も そこで 近づいて来て その
G3588 G1161 G3756 G0611 G0846 G3056 G2532 G4334 G3588

μαθηταὶ αὐτοῦ ἠρώτουν αὐτὸν, λέγοντες, Ἀπόλυσον αὐτήν, ὅτι
弟子たちが 彼の 頼んでいた 彼に 言って 去らせてください 彼女を なぜなら
G3101 G0846 G2065 G0846 G3004 G0630 G0846 G3754

κράζει ὄπισθεν ἡμῶν.
叫んでいます 後ろで 私たちの
G2896 G3693 G1473

しかし、イエスはひと言もお答えにならなかった。そこで弟子たちがみもとにきて願って言った、「この女を追い払ってください。叫びながらついてきていますから」。

24 ὁ δὲ ἀποκριθεὶς εἶπεν, Οὐκ ἀπεστάλην εἰ μὴ εἰς
その方は しかし 答えて 言われた ～ではない 遣わされたのは ～以外に ～ない への
G3588 G1161 G0611 G3004 G3756 G0649 G1487 G3361 G1519

τὰ πρόβατα τὰ ἀπολωλότα οἴκου Ἰσραήλ.
その 羊に その 失われた 家の イスラエルの
G3588 G4263 G3588 G0622 G3624 G2474

するとイエスは答えて言われた、「わたしは、イスラエルの家の失われた羊以外の者には、つかわされていない」。

25 ἡ δὲ ἐλθοῦσα, προσεκύνει αὐτῷ, λέγουσα, Κύριε, βοήθει μοι!
しかし その 来て ひれ伏した 彼に 言って 主よ 助けてください 私を
G3588 G1161 G2064 G4352 G0846 G3004 G2962 G0997 G1473

しかし、女は近寄りイエスを拝して言った、「主よ、わたしをお助けください」。

26 ὁ δὲ ἀποκριθεὶς, εἶπεν, Οὐκ ἔστιν καλὸν λαβεῖν τὸν
その方は しかし 答えて 言われた ～ではない 正しくない 良いことでは 取って その
G3588 G1161 G0611 G3004 G3756 G1510 G2570 G2983 G3588

ἄρτον τῶν τέκνων, καὶ βαλεῖν τοῖς κυναρίοις.
パンを その 子どもたちの そして 投げることは その 小犬たちに
G0740 G3588 G5043 G2532 G0906 G3588 G2952

イエスは答えて言われた、「子供たちのパンを取って小犬に投げてやるのは、よろしくない」。

27 ἡ δὲ εἶπεν, Ναί, κύριε; καὶ γὰρ τὰ κυνάρια ἐσθίει ἀπὸ
しかし その 彼女は–言った はい 主よ しかし 実に その 小犬たちも 食べます から
G3588 G1161 G3004 G3483 G2962 G2532 G1063 G3588 G2952 G2068 G0575

τῶν ψιχίων τῶν πιπτόντων ἀπὸ τῆς τραπέζης τῶν κυρίων αὐτῶν.
その パンくずを その 落ちる から その 食卓から その 主人たちの 彼らの
G3588 G5589 G3588 G4098 G0575 G3588 G5132 G3588 G2962 G0846

すると女は言った、「主よ、お言葉どおりです。でも、小犬もその主人の食卓から落ちるパンくずは、いただきます」。

28 τότε ἀποκριθεὶς, ὁ Ἰησοῦς εἶπεν αὐτῇ, Ὦ γύναι, μεγάλη σου
その時 答えて その イエスは 言われた 彼女に ああ 女よ 大きい あなたの
G5119 G0611 G3588 G2424 G3004 G0846 G5599 G1135 G3173 G4771

ἡ πίστις! γενηθήτω σοι ὡς θέλεις. καὶ ἰάθη ἡ θυγάτηρ
その 信仰は なるように あなたに あなたが 望むとおりに そして いやされた その 娘は
G3588 G4102 G1096 G4771 G5613 G2309 G2532 G2390 G3588 G2364

αὐτῆς ἀπὸ τῆς ὥρας ἐκείνης.
彼女の から その 時 その
G0846 G0575 G3588 G5610 G1565

そこでイエスは答えて言われた、「女よ、あなたの信仰は見あげたものである。あなたの願いどおりになるように」。その時に、娘はいやされた。

29 Καὶ μεταβὰς ἐκεῖθεν, ὁ Ἰησοῦς ἦλθεν παρὰ τὴν θάλασσαν τῆς
そして 移って そこから その イエスは 来られた 沿って その 海の その
G2532 G3327 G1564 G3588 G2424 G2064 G3844 G3588 G2281 G3588

Γαλιλαίας; καὶ ἀναβὰς εἰς τὸ ὄρος, ἐκάθητο ἐκεῖ.
ガリラヤの そして 登って へ その 山に 座っておられた そこに
G1056 G2532 G0305 G1519 G3588 G3735 G2521 G1563

イエスはそこを去って、ガリラヤの海べに行き、それから山に登ってそこにすわられた。

30 καὶ προσῆλθον αὐτῷ ὄχλοι πολλοὶ, ἔχοντες μεθ’ ἑαυτῶν χωλούς,
そして 来た 彼のもとに 群衆が 大勢の 連れて 共に 自分たちの 足の不自由な者
G2532 G4334 G0846 G3793 G4183 G2192 G3326 G1438 G5560

κυλλούς, τυφλούς, κωφούς, καὶ ἑτέρους πολλούς, καὶ ἔρριψαν
手の不自由な者 盲人 口のきけない者 そして 他の 多くの者を そして 置いた
G2948 G5185 G2974 G2532 G2087 G4183 G2532 G4496

αὐτοὺς παρὰ τοὺς πόδας αὐτοῦ, καὶ ἐθεράπευσεν αὐτούς;
彼らを もとに その 足の 彼の すると いやされた 彼らを
G0846 G3844 G3588 G4228 G0846 G2532 G2323 G0846

すると大ぜいの群衆が、足なえ、不具者、盲人、おし、そのほか多くの人々を連れてきて、イエスの足もとに置いたので、彼らをおいやしになった。

31 ὥστε τὸν ὄχλον θαυμάσαι, βλέποντας κωφοὺς λαλοῦντας,
それで その 群衆は 驚いた 見て 口のきけない者が 話しているのを
G5620 G3588 G3793 G2296 G0991 G2974 G2980

κυλλοὺς ὑγιεῖς, καὶ χωλοὺς περιπατοῦντας, καὶ τυφλοὺς
手の不自由な者が 健やかになり そして 足の不自由な者が 歩いているのを そして 盲人が
G2948 G5199 G2532 G5560 G4043 G2532 G5185

βλέποντας; καὶ ἐδόξασαν τὸν Θεὸν Ἰσραήλ.
見えるようになったのを そして ほめたたえた その 神を イスラエルの
G0991 G2532 G1392 G3588 G2316 G2474

群衆は、おしが物を言い、不具者が直り、足なえが歩き、盲人が見えるようになったのを見て驚き、そしてイスラエルの神をほめたたえた。

32 Ὁ δὲ Ἰησοῦς, προσκαλεσάμενος τοὺς μαθητὰς αὐτοῦ, εἶπεν,
その そして イエスは 呼び寄せて その 弟子たちを 彼の 言われた
G3588 G1161 G2424 G4341 G3588 G3101 G0846 G3004

Σπλαγχνίζομαι ἐπὶ τὸν ὄχλον, ὅτι ἤδη ἡμέραι τρεῖς προσμένουσίν
深く-憐れむ に-対して この 群衆を なぜなら すでに 日 三 とどまっている
G4697 G1909 G3588 G3793 G3754 G2235 G2250 G5140 G4357

μοι, καὶ οὐκ ἔχουσιν τί φάγωσιν; καὶ ἀπολῦσαι αὐτοὺς
私のもとに そして ～ない 持っていない 何も 食べるものを そして 去らせることを 彼らを
G1473 G2532 G3756 G2192 G5101 G5315 G2532 G0630 G0846

νήστεις, οὐ θέλω, μή᾽ ποτε ἐκλυθῶσιν ἐν τῇ
空腹のまま ～ない 望まない ～しないように もしかすると 倒れるかもしれない ～の中で その
G3523 G3756 G2309 G3361 G4219 G1590 G1722 G3588

ὁδῷ.
道の途中で
G3598

イエスは弟子たちを呼び寄せて言われた、「この群衆がかわいそうである。もう三日間もわたしと一緒にいるのに、何も食べるものがない。しかし、彼らを空腹のままで帰らせたくはない。恐らく途中で弱り切ってしまうであろう」。

33 καὶ λέγουσιν αὐτῷ οἱ μαθηταί, Πόθεν ἡμῖν ἐν ἐρημίᾳ, ἄρτοι
そして 言う 彼に その 弟子たちは どこから 私たちに ～の中で 荒野で パンが
G2532 G3004 G0846 G3588 G3101 G4159 G1473 G1722 G2047 G0740

τοσοῦτοι ὥστε χορτάσαι ὄχλον τοσοῦτον.
これほど多くの ほどの 満たすための 群衆を これほどの
G5118 G5620 G5526 G3793 G5118

弟子たちは言った、「荒野の中で、こんなに大ぜいの群衆にじゅうぶん食べさせるほどたくさんのパンを、どこで手に入れましょうか」。

34 καὶ λέγει αὐτοῖς ὁ Ἰησοῦς, Πόσους ἄρτους ἔχετε? οἱ δὲ
そして 言われる 彼らに その イエスは いくつの パンを 持っているか すると 彼らは
G2532 G3004 G0846 G3588 G2424 G4214 G0740 G2192 G3588 G1161

εἶπαν, Ἑπτά, καὶ ὀλίγα ἰχθύδια.
言った 七つ そして 少しの 小魚を
G3004 G2033 G2532 G3641 G2485

イエスは弟子たちに「パンはいくつあるか」と尋ねられると、「七つあります。また小さい魚が少しあります」と答えた。

35 καὶ παραγγείλας τῷ ὄχλῳ ἀναπεσεῖν ἐπὶ τὴν γῆν,
そして 命じて その 群衆に 座るように の-上に その 地面に
G2532 G3853 G3588 G3793 G0377 G1909 G3588 G1093

そこでイエスは群衆に、地にすわるようにと命じ、

36 ἔλαβεν τοὺς ἑπτὰ ἄρτους καὶ τοὺς ἰχθύας, καὶ εὐχαριστήσας, ἔκλασεν
取られた その 七つの パンと そして その 魚を そして 感謝して 裂いて
G2983 G3588 G2033 G0740 G2532 G3588 G2486 G2532 G2168 G2806

καὶ ἐδίδου τοῖς μαθηταῖς, οἱ δὲ μαθηταὶ τοῖς ὄχλοις.
そして 与えていた その 弟子たちに そして その 弟子たちは その 群衆に
G2532 G1325 G3588 G3101 G3588 G1161 G3101 G3588 G3793

七つのパンと魚とを取り、感謝してこれをさき、弟子たちにわたされ、弟子たちはこれを群衆にわけた。

37 καὶ ἔφαγον πάντες, καὶ ἐχορτάσθησαν; καὶ τὸ περισσεῦον τῶν
そして 食べた 皆が そして 満腹した そして その 余った その
G2532 G5315 G3956 G2532 G5526 G2532 G3588 G4052 G3588

κλασμάτων, ἦραν ἑπτὰ σπυρίδας πλήρεις;
パンくずを 集めた 七つの かごに いっぱいに
G2801 G0142 G2033 G4711 G4134

一同の者は食べて満腹した。そして残ったパンくずを集めると、七つのかごにいっぱいになった。

38 οἱ δὲ ἐσθίοντες ἦσαν τετρακισχίλιοι ἄνδρες, χωρὶς γυναικῶν καὶ
その さて 食べていた者は であった 四千人の 男たちで 除いて 女たちと そして
G3588 G1161 G2068 G1510 G5070 G0435 G5565 G1135 G2532

παιδίων.
子どもたちを
G3813

食べた者は、女と子供とを除いて四千人であった。

39 Καὶ ἀπολύσας τοὺς ὄχλους, ἐνέβη εἰς τὸ πλοῖον, καὶ ἦλθεν εἰς
そして 去らせて その 群衆を 乗られた へ その 舟に そして 来られた へ
G2532 G0630 G3588 G3793 G1684 G1519 G3588 G4143 G2532 G2064 G1519

τὰ ὅρια Μαγαδάν.
その 地域に マガダンの
G3588 G3725 G3093

そこでイエスは群衆を解散させ、舟に乗ってマガダンの地方へ行かれた。

Chapter 16

1 Καὶ προσελθόντες οἱ Φαρισαῖοι καὶ Σαδδουκαῖοι, πειράζοντες
そして 近づいて来て その パリサイ人たちと そして サドカイ人たちが 試みて
G2532 G4334 G3588 G5330 G2532 G4523 G3985

ἐπηρώτησαν αὐτὸν σημεῖον ἐκ τοῦ οὐρανοῦ ἐπιδεῖξαι αὐτοῖς.
尋ねた 彼に しるしを から その 天から 見せるように 彼らに
G1905 G0846 G4592 G1537 G3588 G3772 G1925 G0846

パリサイ人とサドカイ人とが近寄ってきて、イエスを試み、天からのしるしを見せてもらいたいと言った。

2 ὁ δὲ ἀποκριθεὶς εἶπεν αὐτοῖς, Ὀψίας γενομένης, λέγετε, Εὐδία:
その方は しかし 答えて 言われた 彼らに 夕方に なると 言う 晴れだと
G3588 G1161 G0611 G3004 G0846 G3798 G1096 G3004 G2105

πυρράζει γὰρ ὁ οὐρανός.
赤い なぜなら その 空が
G4449 G1063 G3588 G3772

イエスは彼らに言われた、「あなたがたは夕方になると、『空がまっかだから、晴だ』と言い、

3 καὶ πρωΐ, Σήμερον χειμών; πυρράζει γὰρ, στυγνάζων, ὁ οὐρανός. τὸ
そして 朝には 今日は 嵐だと 赤い なぜなら 曇っている その 空が その
G2532 G4404 G4594 G5494 G4449 G1063 G4768 G3588 G3772 G3588

μὲν πρόσωπον τοῦ οὐρανοῦ γινώσκετε διακρίνειν, τὰ δὲ
一方では 顔を その 空の 見分けることが–できるが 見極めること その しかし
G3303 G4383 G3588 G3772 G1097 G1252 G3588 G1161

σημεῖα τῶν καιρῶν, οὐ δύνασθε!
しるしを その 時の ～ない できない
G4592 G3588 G2540 G3756 G1410

また明け方には『空が曇ってまっかだから、きょうは荒れだ』と言う。あなたがたは空の模様を見分けることを知りながら、時のしるしを見分けることができないのか。

4 γενεὰ πονηρὰ καὶ μοιχαλὶς, σημεῖον ἐπιζητεῖ, καὶ σημεῖον οὐ
世代は 邪悪な そして 不貞な しるしを 求める しかし しるしは ～ない
G1074 G4190 G2532 G3428 G4592 G1934 G2532 G4592 G3756

δοθήσεται αὐτῇ, εἰ μὴ τὸ σημεῖον Ἰωνᾶ. καὶ καταλιπὼν αὐτοὺς
与えられない それには ～以外に ～ない その しるし ヨナの そして 去って 彼らを
G1325 G0846 G1487 G3361 G3588 G4592 G2495 G2532 G2641 G0846

ἀπῆλθεν.
立ち去られた
G0565

邪悪で不義な時代は、しるしを求める。しかし、ヨナのしるしのほかには、なんのしるしも与えられないであろう」。そして、イエスは彼らをあとに残して立ち去られた。

5 Καὶ ἐλθόντες οἱ μαθηταὶ εἰς τὸ πέραν, ἐπελάθοντο ἄρτους
そして 来て その 弟子たちは へ その 向こう岸に 忘れていた パンを
G2532 G2064 G3588 G3101 G1519 G3588 G4008 G1950 G0740

λαβεῖν.
持って来ることを
G2983

弟子たちは向こう岸に行ったが、パンを持って来るのを忘れていた。

6 ὁ その G3588 δὲ そして G1161 Ἰησοῦς イエスは G2424 εἶπεν 言われた G3004 αὐτοῖς, 彼らに G0846 Ὁρᾶτε 見なさい G3708 καὶ そして G2532 προσέχετε 気をつけなさい G4337 ἀπὸ から G0575 τῆς その G3588
ζύμης パン種に G2219 τῶν その G3588 Φαρισαίων パリサイ人たちと G5330 καὶ そして G2532 Σαδδουκαίων. サドカイ人たちの G4523

そこでイエスは言われた、「パリサイ人とサドカイ人とのパン種を、よくよく警戒せよ」。

7 οἱ 彼らは G3588 δὲ しかし G1161 διελογίζοντο 論じ合っていた G1260 ἐν ～の中で G1722 ἑαυτοῖς, 自分たちの間で G1438 λέγοντες, 言って G3004 ὅτι ～ということを G3754 Ἄρτους パンを G0740
οὐκ ～なかった G3756 ἐλάβομεν. 持って来なかったと G2983

弟子たちは、これは自分たちがパンを持ってこなかったためであろうと言って、互に論じ合った。

8 γνοὺς 知って G1097 δὲ, そして G1161 ὁ その G3588 Ἰησοῦς イエスは G2424 εἶπεν, 言われた G3004 Τί なぜ G5101 διαλογίζεσθε 論じ合っているのか G1260 ἐν ～の中で G1722 ἑαυτοῖς, 自分たちの間で G1438
ὀλιγόπιστοι, 信仰の–薄い者たちよ G3640 ὅτι ～ということを G3754 ἄρτους パンを G0740 οὐκ ～ない G3756 ἔχετε? 持っていないと G2192

イエスはそれと知って言われた、「信仰の薄い者たちよ、なぜパンがないからだと互に論じ合っているのか。

9 οὔπω まだ G3768 νοεῖτε, 分からないのか G3539 οὐδὲ また G3761 μνημονεύετε 覚えていないのか G3421 τοὺς その G3588 πέντε 五つの G4002 ἄρτους パンを G0740 τῶν その G3588 πεντακισχιλίων, 五千人の G4000
καὶ そして G2532 πόσους いくつの G4214 κοφίνους かごを G2894 ἐλάβετε? 集めたか G2983

まだわからないのか。覚えていないのか。五つのパンを五千人に分けたとき、幾かご拾ったか。

10 οὐδὲ また G3761 τοὺς その G3588 ἑπτὰ 七つの G2033 ἄρτους パンを G0740 τῶν その G3588 τετρακισχιλίων, 四千人の G5070 καὶ そして G2532 πόσας いくつの G4214 σπυρίδας かごを G4711 ἐλάβετε? 集めたか G2983

また、七つのパンを四千人に分けたとき、幾かご拾ったか。

11 πῶς どうして G4459 οὐ ～ない G3756 νοεῖτε 分からないのか G3539 ὅτι, ～ということを G3754 οὐ ～ない G3756 περὶ について G4012 ἄρτων パンについて G0740 εἶπον 言ったのでは G3004
ὑμῖν, あなたがたに G4771 προσέχετε 気をつけなさい G4337 δὲ しかし G1161 ἀπὸ から G0575 τῆς その G3588 ζύμης パン種に G2219 τῶν その G3588 Φαρισαίων パリサイ人たちと G5330 καὶ そして G2532
Σαδδουκαίων? サドカイ人たちの G4523

わたしが言ったのは、パンについてではないことを、どうして悟らないのか。ただ、パリサイ人とサドカイ人とのパン種を警戒しなさい」。

12 τότε その時 G5119 συνῆκαν 悟った G4920 ὅτι ～ということを G3754 οὐκ ～ではない G3756 εἶπεν 言われたのは G3004 προσέχειν 気をつけよ G4337 ἀπὸ から G0575 τῆς その G3588 ζύμης パン種に G2219 τῶν その G3588 ἄρτων, パンの G0740 ἀλλὰ そうではなく G0235 ἀπὸ から G0575 τῆς その G3588 διδαχῆς 教えに G1322 τῶν その G3588 Φαρισαίων パリサイ人たちと G5330 καὶ そして G2532 Σαδδουκαίων. サドカイ人たちの G4523

そのとき彼らは、イエスが警戒せよと言われたのは、パン種のことではなく、パリサイ人とサドカイ人との教のことであると悟った。

13 Ἐλθὼν 来て G2064 δὲ そして G1161 ὁ その G3588 Ἰησοῦς イエスは G2424 εἰς へ G1519 τὰ その G3588 μέρη 地方 G3313 Καισαρείας カイサリヤ G2542 τῆς その G3588 Φιλίππου, ピリポの G5376 ἠρώτα 尋ねていた G2065 τοὺς その G3588 μαθητὰς 弟子たちに G3101 αὐτοῦ, 彼の G0846 λέγων, 言って G3004 Τίνα 誰だと G5101 λέγουσιν 言うか G3004 οἱ その G3588 ἄνθρωποι 人々は G0444 εἶναι であると G1510 τὸν その G3588 Υἱὸν 人の子を G5207 τοῦ その G3588 ἀνθρώπου? 人の G0444

イエスがピリポ・カイザリヤの地方に行かれたとき、弟子たちに尋ねて言われた、「人々は人の子をだれと言っているか」。

14 οἱ 彼らは G3588 δὲ すると G1161 εἶπαν, 言った G3004 Οἱ ある者は G3588 μὲν 一方 G3303 Ἰωάννην ヨハネ G2491 τὸν その G3588 Βαπτιστήν; バプテスマの G0910 ἄλλοι 他の者は G0243 δὲ また G1161 Ἠλίαν; エリヤ G2243 ἕτεροι また–他の者は G2087 δὲ また G1161 Ἰερεμίαν, エレミヤ G2408 ἢ あるいは G2228 ἕνα ひとりの G1520 τῶν その G3588 προφητῶν. 預言者だと G4396

彼らは言った、「ある人々はバプテスマのヨハネだと言っています。しかし、ほかの人たちは、エリヤだと言い、また、エレミヤあるいは預言者のひとりだ、と言っている者もあります」。

15 λέγει 言われる G3004 αὐτοῖς, 彼らに G0846 Ὑμεῖς あなたがたは G4771 δὲ では G1161 τίνα 誰だと G5101 με 私を G1473 λέγετε 言うか G3004 εἶναι? であると G1510

そこでイエスは彼らに言われた、「それでは、あなたがたはわたしをだれと言うか」。

16 ἀποκριθεὶς 答えて G0611 δὲ, そして G1161 Σίμων シモン G4613 Πέτρος ペテロは G4074 εἶπεν, 言った G3004 Σὺ あなたは G4771 εἶ です G1510 ὁ その G3588 Χριστὸς, キリスト G5547 ὁ その G3588 Υἱὸς 子 G5207 τοῦ その G3588 Θεοῦ 神の G2316 τοῦ その G3588 ζῶντος. 生ける G2198

シモン・ペテロが答えて言った、「あなたこそ、生ける神の子キリストです」。

17 ἀποκριθεὶς 答えて G0611 δὲ, そして G1161 ὁ その G3588 Ἰησοῦς イエスは G2424 εἶπεν 言われた G3004 αὐτῷ, 彼に G0846 Μακάριος 幸いだ G3107 εἶ, あなたは G1510 Σίμων シモン G4613
Βαριωνᾶ! バルヨナよ G0920 ὅτι なぜなら G3754 σὰρξ 肉と G4561 καὶ そして G2532 αἷμα 血が G0129 οὐκ ～ない G3756 ἀπεκάλυψέν 啓示したのではなく G0601 σοι, あなたに G4771 ἀλλ’ そうではなく G0235
ὁ その G3588 Πατήρ 父が G3962 μου, 私の G1473 ὁ その G3588 ἐν ～にいる G1722 τοῖς その G3588 οὐρανοῖς. 天に G3772

すると、イエスは彼にむかって言われた、「バルヨナ・シモン、あなたはさいわいである。あなたにこの事をあらわしたのは、血肉ではなく、天にいますわたしの父である。

18 κἀγὼ そして–私も G2504 δέ また G1161 σοι あなたに G4771 λέγω, 言う G3004 ὅτι ～ということを G3754 σὺ あなたは G4771 εἶ である G1510 Πέτρος, ペテロ G4074 καὶ そして G2532
ἐπὶ の–上に G1909 ταύτῃ この G3778 τῇ その G3588 πέτρᾳ 岩の上に G4073 οἰκοδομήσω 建てる G3618 μου 私の G1473 τὴν その G3588 ἐκκλησίαν, 教会を G1577 καὶ そして G2532 πύλαι 門は G4439 ᾅδου 陰府の G0086
οὐ ～ない G3756 κατισχύσουσιν 打ち勝たない G2729 αὐτῆς. それに G0846

そこで、わたしもあなたに言う。あなたはペテロである。そして、わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てよう。黄泉の力もそれに打ち勝つことはない。

19 δώσω 与える G1325 σοι あなたに G4771 τὰς その G3588 κλεῖδας 鍵を G2807 τῆς その G3588 βασιλείας 御国の G0932 τῶν その G3588 οὐρανῶν; 天の G3772 καὶ そして G2532 ὃ 何でも G3739 ἐὰν もし G1437
δήσῃς 縛るなら G1210 ἐπὶ の–上で G1909 τῆς その G3588 γῆς, 地上で G1093 ἔσται であろう G1510 δεδεμένον 縛られている G1210 ἐν ～において G1722 τοῖς その G3588 οὐρανοῖς; 天において G3772 καὶ そして G2532
ὃ 何でも G3739 ἐὰν もし G1437 λύσῃς 解くなら G3089 ἐπὶ の–上で G1909 τῆς その G3588 γῆς, 地上で G1093 ἔσται であろう G1510 λελυμένον 解かれている G3089 ἐν ～において G1722 τοῖς その G3588
οὐρανοῖς. 天において G3772

わたしは、あなたに天国のかぎを授けよう。そして、あなたが地上でつなぐことは、天でもつながれ、あなたが地上で解くことは天でも解かれるであろう」。

20 τότε その時 G5119 διεστείλατο 命じられた G1291 τοῖς その G3588 μαθηταῖς, 弟子たちに G3101 ἵνα ～するように G2443 μηδενὶ 誰にも G3367 εἴπωσιν, 言わないように G3004 ὅτι ～ということを G3754
αὐτός 彼こそが G0846 ἐστιν である G1510 ὁ その G3588 Χριστός. キリストであると G5547

そのとき、イエスは、自分がキリストであることをだれにも言ってはいけないと、弟子たちを戒められた。

21 Ἀπὸ τότε ἤρξατο ‹ὁ› Ἰησοῦς ⸀Χριστὸς⸁ δεικνύειν τοῖς μαθηταῖς αὐτοῦ
から その時 始められた その イエス キリストは 示すことを その 弟子たちに 彼の
G0575 G5119 G0756 G3588 G2424 G5547 G1166 G3588 G3101 G0846

ὅτι δεῖ αὐτὸν εἰς Ἱεροσόλυμα ἀπελθεῖν, καὶ πολλὰ
～ということを 必ず 彼は へ エルサレムに 行かなければならず そして 多くのことを
G3754 G1163 G0846 G1519 G2414 G0565 G2532 G4183

παθεῖν ἀπὸ τῶν πρεσβυτέρων καὶ ἀρχιερέων καὶ γραμματέων, καὶ
苦しみ から その 長老たちと そして 祭司長たちと そして 律法学者たちから そして
G3958 G0575 G3588 G4245 G2532 G0749 G2532 G1122 G2532

ἀποκτανθῆναι, καὶ τῇ τρίτῃ ἡμέρᾳ ἐγερθῆναι.
殺され そして その 三日目に 日に よみがえることを
G0615 G2532 G3588 G5154 G2250 G1453

この時から、イエス・キリストは、自分が必ずエルサレムに行き、長老、祭司長、律法学者たちから多くの苦しみを受け、殺され、そして三日目によみがえるべきことを、弟子たちに示しはじめられた。

22 καὶ προσλαβόμενος αὐτὸν, ὁ Πέτρος ἤρξατο ἐπιτιμᾶν αὐτῷ, λέγων,
すると 引き寄せて 彼を その ペテロは 始めた いさめることを 彼に 言って
G2532 G4355 G0846 G3588 G4074 G0756 G2008 G0846 G3004

Ἵλεώς σοι, Κύριε; οὐ, μὴ ἔσται σοι τοῦτο.
とんでもない ことです 主よ 決して ～ない なりません あなたに そのようなことは
G2436 G4771 G2962 G3756 G3361 G1510 G4771 G3778

すると、ペテロはイエスをわきへ引き寄せて、いさめはじめ、「主よ、とんでもないことです。そんなことがあるはずはございません」と言った。

23 ὁ δὲ στραφεὶς εἶπεν τῷ Πέτρῳ, Ὕπαγε ὀπίσω μου, Σατανᾶ!
その方は しかし 振り向いて 言われた その ペテロに 退け 後ろに 私の サタンよ
G3588 G1161 G4762 G3004 G3588 G4074 G5217 G3694 G1473 G4567

σκάνδαλον εἶ ἐμοῦ. ὅτι οὐ φρονεῖς τὰ τοῦ Θεοῦ, ἀλλὰ τὰ τῶν ἀνθρώπων.
つまずきで ある 私にとって なぜなら ～ない 考えていない その その 神のことを そうではなく その その 人のことを
G4625 G1510 G1473 G3754 G3756 G5426 G3588 G3588 G2316 G0235 G3588 G3588 G0444

イエスは振り向いて、ペテロに言われた、「サタンよ、引きさがれ。わたしの邪魔をする者だ。あなたは神のことを思わないで、人のことを思っている」。

24 Τότε ὁ Ἰησοῦς εἶπεν τοῖς μαθηταῖς αὐτοῦ, Εἴ τις θέλει ὀπίσω
その時 その イエスは 言われた その 弟子たちに 彼の もし 誰でも 望むなら 後に
G5119 G3588 G2424 G3004 G3588 G3101 G0846 G1487 G5100 G2309 G3694

μου ἐλθεῖν, ἀπαρνησάσθω ἑαυτὸν, καὶ ἀράτω τὸν σταυρὸν αὐτοῦ, καὶ
私の 来ることを 自分を–捨てなさい 自分自身を そして 負いなさい その 十字架を 自分の そして
G1473 G2064 G0533 G1438 G2532 G0142 G3588 G4716 G0846 G2532

ἀκολουθείτω μοι.
従いなさい 私に
G0190 G1473

それからイエスは弟子たちに言われた、「だれでもわたしについてきたいと思うなら、自分を捨て、自分の十字架を負うて、わたしに従ってきなさい。

25	ὃς	γὰρ	ἐὰν	θέλῃ	τὴν	ψυχὴν	αὐτοῦ	σῶσαι,	ἀπολέσει	αὐτήν;
	なぜなら	～する者は	もし	望むなら	その	いのちを	自分の	救おうと	失う	それを
	G3739	G1063	G1437	G2309	G3588	G5590	G0846	G4982	G0622	G0846

ὃς	δ’	ἂν	ἀπολέσῃ	τὴν	ψυχὴν	αὐτοῦ	ἕνεκεν	ἐμοῦ,	εὑρήσει	αὐτήν.
しかし	～する者は	もし	失うなら	その	いのちを	自分の	ために	私の	見出す	それを
G3739	G1161	G0302	G0622	G3588	G5590	G0846	G1752	G1473	G2147	G0846

自分の命を救おうと思う者はそれを失い、わたしのために自分の命を失う者は、それを見いだすであろう。

26	τί	γὰρ	ὠφεληθήσεται	ἄνθρωπος,	ἐὰν	τὸν	κόσμον	ὅλον	κερδήσῃ,	τὴν
	何の	なぜなら	益があるだろうか	人に	もし	その	世界を	全部	得ても	その
	G5101	G1063	G5623	G0444	G1437	G3588	G2889	G3650	G2770	G3588

δὲ	ψυχὴν	αὐτοῦ	ζημιωθῇ?	ἢ	τί	δώσει	ἄνθρωπος	ἀντάλλαγμα	
しかし	いのちを	自分の	失うなら	あるいは	何を	与えるのか	人は	代わりに	
G1161	G5590	G0846	G2210	G2228	G5101	G1325	G0444	G0465	

τῆς	ψυχῆς	αὐτοῦ?
その	いのちの	自分の
G3588	G5590	G0846

たとい人が全世界をもうけても、自分の命を損したら、なんの得になろうか。また、人はどんな代価を払って、その命を買いもどすことができようか。

27	μέλλει	γὰρ	ὁ	Υἱὸς	τοῦ	ἀνθρώπου	ἔρχεσθαι,	ἐν	τῇ
	やがて	なぜなら	その	人の子は	その	人の	来る	～において	その
	G3195	G1063	G3588	G5207	G3588	G0444	G2064	G1722	G3588

δόξῃ	τοῦ	Πατρὸς	αὐτοῦ,	μετὰ	τῶν	ἀγγέλων	αὐτοῦ;	καὶ	τότε
栄光のうちに	その	父の	彼の	共に	その	御使いたちと	彼の	そして	その時
G1391	G3588	G3962	G0846	G3326	G3588	G0032	G0846	G2532	G5119

ἀποδώσει	ἑκάστῳ	κατὰ	τὴν	πρᾶξιν	αὐτοῦ.
報いる	それぞれに	に–従って	その	行いに	彼の
G0591	G1538	G2596	G3588	G4234	G0846

人の子は父の栄光のうちに、御使たちを従えて来るが、その時には、実際のおこないに応じて、それぞれに報いるであろう。

28	ἀμὴν	λέγω	ὑμῖν,	ὅτι	εἰσίν	τινες	τῶν	ὧδε
	まことに	言う	あなたがたに	～ということを	いる	ある者は	その	ここに
	G0281	G3004	G4771	G3754	G1510	G5100	G3588	G5602

ἑστώτων	οἵτινες	οὐ	μὴ	γεύσωνται	θανάτου,	ἕως	ἂν	
立っている者の中で	その者たちは	決して	～ない	味わわない	死を	～まで	～するまで	
G2476	G3748	G3756	G3361	G1089	G2288	G2193	G0302	

ἴδωσιν	τὸν	Υἱὸν	τοῦ	ἀνθρώπου	ἐρχόμενον	ἐν	τῇ	βασιλείᾳ	αὐτοῦ.
見るまで	その	人の子が	その	人の	来るのを	～において	その	御国の中で	彼の
G3708	G3588	G5207	G3588	G0444	G2064	G1722	G3588	G0932	G0846

よく聞いておくがよい、人の子が御国の力をもって来るのを見るまでは、死を味わわない者が、ここに立っている者の中にいる」。

Chapter 17

1 Καὶ そして G2532 μεθ’ 後 G3326 ἡμέρας 日 G2250 ἓξ, 六 G1803 παραλαμβάνει 連れて行く G3880 ὁ その G3588 Ἰησοῦς, イエスは G2424 τὸν その G3588 Πέτρον ペテロと G4074 καὶ そして G2532
Ἰάκωβον ヤコブと G2385 καὶ そして G2532 Ἰωάννην, ヨハネを G2491 τὸν その G3588 ἀδελφὸν 兄弟である G0080 αὐτοῦ, 彼の G0846 καὶ そして G2532 ἀναφέρει 連れて行った G0399 αὐτοὺς 彼らを G0846 εἰς へ G1519
ὄρος 山 G3735 ὑψηλὸν 高い G5308 κατ’ ～だけで G2596 ἰδίαν. 彼らだけで G2398

六日ののち、イエスはペテロ、ヤコブ、ヤコブの兄弟ヨハネだけを連れて、高い山に登られた。

2 καὶ そして G2532 μετεμορφώθη 姿が変わった G3339 ἔμπροσθεν の前で G1715 αὐτῶν, 彼らの G0846 καὶ そして G2532 ἔλαμψεν 輝いた G2989 τὸ その G3588 πρόσωπον 顔が G4383 αὐτοῦ 彼の G0846
ὡς のように G5613 ὁ その G3588 ἥλιος, 太陽の G2246 τὰ その G3588 δὲ そして G1161 ἱμάτια 衣は G2440 αὐτοῦ 彼の G0846 ἐγένετο なった G1096 λευκὰ 白く G3022 ὡς のように G5613 τὸ その G3588 φῶς. 光の G5457

ところが、彼らの目の前でイエスの姿が変り、その顔は日のように輝き、その衣は光のように白くなった。

3 καὶ すると G2532 ἰδοὺ, 見よ G3708 ὤφθη 現れた G3708 αὐτοῖς 彼らに G0846 Μωϋσῆς モーセと G3475 καὶ そして G2532 Ἠλίας, エリヤが G2243 συλλαλοῦντες 話していた G4814 μετ’ 共に G3326 αὐτοῦ. 彼と G0846

すると、見よ、モーセとエリヤが彼らに現れて、イエスと語り合っていた。

4 ἀποκριθεὶς 答えて G0611 δὲ, そして G1161 ὁ その G3588 Πέτρος ペテロは G4074 εἶπεν 言った G3004 τῷ その G3588 Ἰησοῦ, イエスに G2424 Κύριε, 主よ G2962 καλόν 良いことです G2570 ἐστιν である G1510
ἡμᾶς 私たちが G1473 ὧδε ここに G5602 εἶναι. いることは G1510 εἰ もし G1487 θέλεις, 望まれるなら G2309 ποιήσω 作りましょう G4160 ὧδε ここに G5602 τρεῖς 三つの G5140 σκηνάς: 幕屋を G4633
σοὶ あなたに G4771 μίαν, 一つ G1520 καὶ そして G2532 Μωϋσεῖ モーセに G3475 μίαν, 一つ G1520 καὶ そして G2532 Ἠλίᾳ エリヤに G2243 μίαν. 一つ G1520

ペテロはイエスにむかって言った、「主よ、わたしたちがここにいるのは、すばらしいことです。もし、おさしつかえなければ、わたしはここに小屋を三つ建てましょう。一つはあなたのために、一つはモーセのために、一つはエリヤのために」。

5 ἔτι まだ G2089 αὐτοῦ 彼が G0846 λαλοῦντος, 話していると G2980 ἰδοὺ, 見よ G3708 νεφέλη 雲が G3507 φωτεινὴ 輝く G5460 ἐπεσκίασεν 覆った G1982 αὐτούς; 彼らを G0846 καὶ すると G2532 ἰδοὺ, 見よ G3708
φωνὴ 声が G5456 ἐκ から G1537 τῆς その G3588 νεφέλης, 雲から G3507 λέγουσα, 言って G3004 Οὗτός これは G3778 ἐστιν である G1510 ὁ その G3588 Υἱός 子 G5207 μου, 私の G1473 ὁ その G3588
ἀγαπητός, 愛する G0027 ἐν ～において G1722 ᾧ 彼を G3739 εὐδόκησα; 喜んだ G2106 ἀκούετε 聞きなさい G0191 αὐτοῦ! 彼に G0846

彼がまだ話し終えないうちに、たちまち、輝く雲が彼らをおおい、そして雲の中から声がした、「これはわたしの愛する子、わたしの心にかなう者である。これに聞け」。

6

καὶ	ἀκούσαντες,	οἱ	μαθηταὶ	ἔπεσαν	ἐπὶ	πρόσωπον	αὐτῶν,	καὶ
すると	聞いて	その	弟子たちは	倒れた	の-上に	顔を	彼らの	そして
G2532	G0191	G3588	G3101	G4098	G1909	G4383	G0846	G2532

ἐφοβήθησαν	σφόδρα.
恐れた	非常に
G5399	G4970

弟子たちはこれを聞いて非常に恐れ、顔を地に伏せた。

7

καὶ	προσῆλθεν	ὁ	Ἰησοῦς	καὶ	ἁψάμενος	αὐτῶν,	εἶπεν,	Ἐγέρθητε,
すると	近づいて来て	その	イエスは	そして	触れて	彼らに	言われた	起きなさい
G2532	G4334	G3588	G2424	G2532	G0680	G0846	G3004	G1453

καὶ	μὴ	φοβεῖσθε.
そして	～ない	恐れるな
G2532	G3361	G5399

イエスは近づいてきて、手を彼らにおいて言われた、「起きなさい、恐れることはない」。

8

ἐπάραντες	δὲ	τοὺς	ὀφθαλμοὺς	αὐτῶν,	οὐδένα	εἶδον	εἰ	μὴ
上げて	そして	その	目を	彼らの	誰も	見なかった	～以外に	～ない
G1869	G1161	G3588	G3788	G0846	G3762	G3708	G1487	G3361

αὐτὸν	Ἰησοῦν	μόνον.
その	イエスだけを	ただ
G0846	G2424	G3440

彼らが目をあげると、イエスのほかには、だれも見えなかった。

9

Καὶ	καταβαινόντων	αὐτῶν	ἐκ	τοῦ	ὄρους,	ἐνετείλατο	αὐτοῖς	ὁ	Ἰησοῦς,
そして	降りてくる時	彼らが	から	その	山から	命じられた	彼らに	その	イエスは
G2532	G2597	G0846	G1537	G3588	G3735	G1781	G0846	G3588	G2424

λέγων,	Μηδενὶ	εἴπητε	τὸ	ὅραμα,	ἕως	οὗ	ὁ	Υἱὸς	τοῦ
言って	誰にも	言うな	その	幻を	～まで	～するまで	その	人の子が	その
G3004	G3367	G3004	G3588	G3705	G2193	G3739	G3588	G5207	G3588

ἀνθρώπου	ἐκ	νεκρῶν	ἐγερθῇ.
人の	から	死者の中から	よみがえるまで
G0444	G1537	G3498	G1453

一同が山を下って来るとき、イエスは「人の子が死人の中からよみがえるまでは、いま見たことをだれにも話してはならない」と、彼らに命じられた。

10

Καὶ	ἐπηρώτησαν	αὐτὸν	οἱ	μαθηταὶ,	λέγοντες,	Τί	οὖν	οἱ
そして	尋ねた	彼に	その	弟子たちは	言って	なぜ	それでは	その
G2532	G1905	G0846	G3588	G3101	G3004	G5101	G3767	G3588

γραμματεῖς	λέγουσιν	ὅτι	Ἠλίαν	δεῖ	ἐλθεῖν	πρῶτον?
律法学者たちは	言うのか	～ということを	エリヤが	必ず	来なければならないと	先に
G1122	G3004	G3754	G2243	G1163	G2064	G4412

弟子たちはイエスにお尋ねして言った、「いったい、律法学者たちは、なぜ、エリヤが先に来るはずだと言っているのですか」。

11 ὁ その方は G3588 δὲ しかし G1161 ἀποκριθεὶς, 答えて G0611 εἶπεν, 言われた G3004 Ἠλίας エリヤは G2243 μὲν たしかに G3303 ἔρχεται, 来る G2064 καὶ そして G2532 ἀποκαταστήσει 回復する G0600 πάντα. すべてを G3956

答えて言われた、「確かに、エリヤがきて、万事を元どおりに改めるであろう。

12 λέγω 言う G3004 δὲ しかし G1161 ὑμῖν, あなたがたに G4771 ὅτι ～ということを G3754 Ἠλίας エリヤは G2243 ἤδη すでに G2235 ἦλθεν, 来た G2064 καὶ そして G2532 οὐκ ～なかった G3756 ἐπέγνωσαν 認めなかった G1921 αὐτὸν, 彼を G0846 ἀλλὰ そうではなく G0235 ἐποίησαν した G4160 ἐν ～に対して G1722 αὐτῷ 彼に G0846 ὅσα 何でも G3745 ἠθέλησαν. 望むままに G2309 οὕτως このように G3779 καὶ, また G2532 ὁ その G3588 Υἱὸς 人の子も G5207 τοῦ その G3588 ἀνθρώπου 人の G0444 μέλλει やがて G3195 πάσχειν 苦しむ G3958 ὑπ’ によって G5259 αὐτῶν. 彼らに G0846

しかし、あなたがたに言っておく。エリヤはすでにきたのだ。しかし人々は彼を認めず、自分かってに彼をあしらった。人の子もまた、そのように彼らから苦しみを受けることになろう」。

13 τότε その時 G5119 συνῆκαν 悟った G4920 οἱ その G3588 μαθηταὶ 弟子たちは G3101 ὅτι ～ということを G3754 περὶ について G4012 Ἰωάννου ヨハネ G2491 τοῦ その G3588 Βαπτιστοῦ バプテスマのことを G0910 εἶπεν 言われたのだと G3004 αὐτοῖς. 彼らに G0846

そのとき、弟子たちは、イエスがバプテスマのヨハネのことを言われたのだと悟った。

14 Καὶ そして G2532 ἐλθόντων 来た時 G2064 πρὸς のもとへ G4314 τὸν その G3588 ὄχλον, 群衆の G3793 προσῆλθεν 近づいて来た G4334 αὐτῷ 彼に G0846 ἄνθρωπος 人が G0444 γονυπετῶν ひざまずいて G1120 αὐτὸν, 彼に G0846

さて彼らが群衆のところに帰ると、ひとりの人がイエスに近寄ってきて、ひざまずいて、言った、

15 καὶ そして G2532 λέγων, 言って G3004 Κύριε, 主よ G2962 ἐλέησόν 憐れんでください G1653 μου 私の G1473 τὸν その G3588 υἱόν, 息子を G5207 ὅτι なぜなら G3754 σεληνιάζεται, てんかんを-起こしています G4583 καὶ そして G2532 κακῶς ひどく G2560 πάσχει; 苦しんでいます G3958 πολλάκις しばしば G4178 γὰρ なぜなら G1063 πίπτει 落ちます G4098 εἰς へ G1519 τὸ その G3588 πῦρ, 火の中に G4442 καὶ そして G2532 πολλάκις しばしば G4178 εἰς へ G1519 τὸ その G3588 ὕδωρ. 水の中に G5204

「主よ、わたしの子をあわれんでください。てんかんで苦しんでおります。何度も何度も火の中や水の中に倒れるのです。

16 καὶ προσήνεγκα αὐτὸν τοῖς μαθηταῖς σου, καὶ οὐκ
そして 連れてきました 彼を その 弟子たちのもとに あなたの しかし ～なかった
G2532 G4374 G0846 G3588 G3101 G4771 G2532 G3756

ἠδυνήθησαν αὐτὸν θεραπεῦσαι.
できなかった 彼を いやすことが
G1410 G0846 G2323

それで、その子をお弟子たちのところに連れてきましたが、なおしていただけませんでした」。

17 ἀποκριθεὶς δὲ, ὁ Ἰησοῦς εἶπεν, Ὦ γενεὰ ἄπιστος καὶ
答えて そして その イエスは 言われた ああ 世代よ 信じない そして
G0611 G1161 G3588 G2424 G3004 G5599 G1074 G0571 G2532

διεστραμμένη, ἕως πότε μεθ’ ὑμῶν ἔσομαι? ἕως πότε ἀνέξομαι
曲がった いつまで いつまで 共に あなたがたと いるのか いつまで いつまで 忍ぶのか
G1294 G2193 G4219 G3326 G4771 G1510 G2193 G4219 G0430

ὑμῶν? φέρετέ μοι αὐτὸν ὧδε.
あなたがたを 連れて来なさい 私に 彼を ここに
G4771 G5342 G1473 G0846 G5602

イエスは答えて言われた、「ああ、なんという不信仰な、曲った時代であろう。いつまで、わたしはあなたがたと一緒におられようか。いつまであなたがたに我慢ができようか。その子をここに、わたしのところに連れてきなさい」。

18 καὶ ἐπετίμησεν αὐτῷ ὁ Ἰησοῦς, καὶ ἐξῆλθεν ἀπ’ αὐτοῦ τὸ
すると 叱った それに その イエスは すると 出て行った から 彼から その
G2532 G2008 G0846 G3588 G2424 G2532 G1831 G0575 G0846 G3588

δαιμόνιον, καὶ ἐθεραπεύθη ὁ παῖς ἀπὸ τῆς ὥρας ἐκείνης.
悪霊は そして いやされた その 子は から その 時 その
G1140 G2532 G2323 G3588 G3816 G0575 G3588 G5610 G1565

イエスがおしかりになると、悪霊はその子から出て行った。そして子はその時いやされた。

19 Τότε προσελθόντες οἱ μαθηταὶ τῷ Ἰησοῦ κατ’ ἰδίαν, εἶπον, Διὰ
その時 近づいて来て その 弟子たちは その イエスに ～だけで 彼らだけで 言った なぜ
G5119 G4334 G3588 G3101 G3588 G2424 G2596 G2398 G3004 G1223

τί ἡμεῖς οὐκ ἠδυνήθημεν ἐκβαλεῖν αὐτό?
～を 私たちは ～なかった できなかったのですか 追い出すことが それを
G5101 G1473 G3756 G1410 G1544 G0846

それから、弟子たちがひそかにイエスのもとにきて言った、「わたしたちは、どうして霊を追い出せなかったのですか」。

20 ὁ δὲ λέγει αὐτοῖς, Διὰ τὴν ὀλιγοπιστίαν ὑμῶν.
その方は しかし 言われる 彼らに のために その 信仰の–小ささのために あなたがたの
G3588 G1161 G3004 G0846 G1223 G3588 G3640 G4771

ἀμὴν γὰρ, λέγω ὑμῖν, ἐὰν ἔχητε πίστιν ὡς κόκκον
まことに なぜなら 言う あなたがたに もし 持っているなら 信仰を のような 種ほどの
G0281 G1063 G3004 G4771 G1437 G2192 G4102 G5613 G2848

σινάπεως, ἐρεῖτε τῷ ὄρει τούτῳ, Μετάβα ἔνθεν ἐκεῖ! καὶ
からしの 言うであろう この 山に この 移れ ここから あそこにと すると
G4615 G2046 G3588 G3735 G3778 G3327 G1759 G1563 G2532

μεταβήσεται; καὶ οὐδὲν ἀδυνατήσει ὑμῖν.
移るであろう そして 何も 不可能ではない あなたがたにとって
G3327 G2532 G3762 G0101 G4771

するとイエスは言われた、「あなたがたの信仰が足りないからである。よく言い聞かせておくが、もし、からし種一粒ほどの信仰があるなら、この山にむかって『ここからあそこに移れ』と言えば、移るであろう。このように、あなたがたにできない事は、何もないであろう。〔

21 <Τοῦτο δὲ τὸ γένος οὐκ ἐκπορεύεται, εἰ μὴ ἐν
しかし–この しかし その 種類は ～ない 出て行かない ～以外に ～ない ～によって
G3778 G1161 G3588 G1085 G3756 G1607 G1487 G3361 G1722

προσευχῇ καὶ νηστείᾳ>.
祈りと そして 断食によって
G4335 G2532 G3521

しかし、このたぐいは、祈と断食とによらなければ、追い出すことはできない〕」。

22 Συστρεφομένων δὲ αὐτῶν ἐν τῇ Γαλιλαίᾳ, εἶπεν αὐτοῖς ὁ
集まっている時 そして 彼らが ～において その ガリラヤで 言われた 彼らに その
G4962 G1161 G0846 G1722 G3588 G1056 G3004 G0846 G3588

Ἰησοῦς, Μέλλει ὁ Υἱὸς τοῦ ἀνθρώπου παραδίδοσθαι εἰς χεῖρας
イエスは やがて その 人の子は その 人の 引き渡される へ 手に
G2424 G3195 G3588 G5207 G3588 G0444 G3860 G1519 G5495

ἀνθρώπων,
人々の
G0444

彼らがガリラヤで集まっていた時、イエスは言われた、「人の子は人々の手にわたされ、

23 καὶ ἀποκτενοῦσιν αὐτόν; καὶ τῇ τρίτῃ ἡμέρᾳ ἐγερθήσεται. καὶ
そして 殺す 彼を そして その 三日目に 日に よみがえる そして
G2532 G0615 G0846 G2532 G3588 G5154 G2250 G1453 G2532

ἐλυπήθησαν σφόδρα.
深く–悲しんだ 非常に
G3076 G4970

彼らに殺され、そして三日目によみがえるであろう」。弟子たちは非常に心をいためた。

24 Ἐλθόντων δὲ αὐτῶν εἰς Καφαρναοὺμ, προσῆλθον οἱ τὰ δίδραχμα
来た時 そして 彼らが へ カペナウムに 近づいて来た その その 宮の納め金を
G2064 G1161 G0846 G1519 G2584 G4334 G3588 G3588 G1323

λαμβάνοντες τῷ Πέτρῳ, καὶ εἶπαν, Ὁ διδάσκαλος ὑμῶν οὐ
受け取る者たちが その ペテロに そして 言った その 先生は あなたがたの ～ない
G2983 G3588 G4074 G2532 G3004 G3588 G1320 G4771 G3756

τελεῖ ‹τὰ› δίδραχμα?
納めないのか その 宮の納め金を
G5055 G3588 G1323

彼らがカペナウムにきたとき、宮の納入金を集める人たちがペテロのところにきて言った、「あなたがたの先生は宮の納入金を納めないのか」。

25 λέγει, Ναί. καὶ ἐλθόντα εἰς τὴν οἰκίαν, προέφθασεν αὐτὸν ὁ
言った はい そして 入って来た時 へ その 家に 先に-言った 彼に その
G3004 G3483 G2532 G2064 G1519 G3588 G3614 G4399 G0846 G3588

Ἰησοῦς, λέγων, Τί σοι δοκεῖ, Σίμων? οἱ βασιλεῖς τῆς γῆς, ἀπὸ
イエスは 言って どう あなたは 思うか シモンよ その 王たちは その 地の から
G2424 G3004 G5101 G4771 G1380 G4613 G3588 G0935 G3588 G1093 G0575

τίνων λαμβάνουσιν τέλη ἢ κῆνσον? ἀπὸ τῶν υἱῶν αὐτῶν, ἢ
誰から 受け取るか 税を あるいは 財税を から その 息子たちからか 彼らの あるいは
G5101 G2983 G5056 G2228 G2778 G0575 G3588 G5207 G0846 G2228

ἀπὸ τῶν ἀλλοτρίων?
から その 他人からか
G0575 G3588 G0245

ペテロは「納めておられます」と言った。そして彼が家にはいると、イエスから先に話しかけて言われた、「シモン、あなたはどう思うか。この世の王たちは税や貢をだれから取るのか。自分の子からか、それとも、ほかの人たちからか」。

26 εἰπόντος δέ, Ἀπὸ τῶν ἀλλοτρίων, ἔφη αὐτῷ ὁ Ἰησοῦς, Ἄρα¦γε
言った時 そして から その 他人からと 言われた 彼に その イエスは それなら
G3004 G1161 G0575 G3588 G0245 G5346 G0846 G3588 G2424 G0686

ἐλεύθεροί εἰσιν οἱ υἱοί.
自由である である その 息子たちは
G1658 G1510 G3588 G5207

ペテロが「ほかの人たちからです」と答えると、イエスは言われた、「それでは、子は納めなくてもよいわけである。

27 ἵνα δὲ μὴ σκανδαλίσωμεν αὐτούς, πορευθεὶς εἰς θάλασσαν,
しかし それでも ～ないように つまずかせないように 彼らを 行って へ 海へ
G2443 G1161 G3361 G4624 G0846 G4198 G1519 G2281

βάλε ἄγκιστρον, καὶ τὸν ἀναβάντα πρῶτον ἰχθὺν ἆρον, καὶ ἀνοίξας
投げなさい 釣り針を そして その かかった 最初の 魚を 取りなさい そして 開いて
G0906 G0044 G2532 G3588 G0305 G4412 G2486 G0142 G2532 G0455

τὸ στόμα αὐτοῦ, εὑρήσεις στατῆρα; ἐκεῖνον λαβὼν, δὸς αὐτοῖς
その 口を それの 見つけるだろう スタテル銀貨を それを 取って 与えなさい 彼らに
G3588 G4750 G0846 G2147 G4715 G1565 G2983 G1325 G0846

ἀντὶ ἐμοῦ καὶ σοῦ.
の-代わりに 私と そして あなたの
G0473 G1473 G2532 G4771

しかし、彼らをつまずかせないために、海に行って、つり針をたれなさい。そして最初につれた魚をとって、その口をあけると、銀貨一枚が見つかるであろう。それをとり出して、わたしとあなたのために納めなさい」。

Chapter 18

1 Ἐν ἐκείνῃ τῇ ὥρᾳ προσῆλθον οἱ μαθηταὶ τῷ Ἰησοῦ, λέγοντες,
～において その その 時に 近づいて来た その 弟子たちが その イエスに 言って
G1722 G1565 G3588 G5610 G4334 G3588 G3101 G3588 G2424 G3004

Τίς ἄρα μείζων ἐστὶν ἐν τῇ βασιλείᾳ τῶν οὐρανῶν?
誰が いったい 最も-大きい ですか ～において その 御国において その 天の
G5101 G0686 G3173 G1510 G1722 G3588 G0932 G3588 G3772

そのとき、弟子たちがイエスのもとにきて言った、「いったい、天国ではだれがいちばん偉いのですか」。

2 καὶ προσκαλεσάμενος παιδίον, ἔστησεν αὐτὸ ἐν μέσῳ αὐτῶν,
すると 呼び寄せて 子どもを 立たせた その子を ～に 真ん中に 彼らの
G2532 G4341 G3813 G2476 G0846 G1722 G3319 G0846

すると、イエスは幼な子を呼び寄せ、彼らのまん中に立たせて言われた、

3 καὶ εἶπεν, Ἀμὴν λέγω ὑμῖν, ἐὰν μὴ στραφῆτε καὶ
そして 言われた まことに 言う あなたがたに もし ～ないなら 変わらないなら そして
G2532 G3004 G0281 G3004 G4771 G1437 G3361 G4762 G2532

γένησθε ὡς τὰ παιδία, οὐ μὴ εἰσέλθητε εἰς τὴν βασιλείαν
ならないなら のように その 子どもの 決して ～ない 入れない へ その 御国に
G1096 G5613 G3588 G3813 G3756 G3361 G1525 G1519 G3588 G0932

τῶν οὐρανῶν.
その 天の
G3588 G3772

「よく聞きなさい。心をいれかえて幼な子のようにならなければ、天国にはいることはできないであろう。

4 ὅστις οὖν ταπεινώσει ἑαυτὸν ὡς τὸ παιδίον τοῦτο, οὗτός
誰でも それゆえ へりくだすなら 自分自身を のように この 子どもの この その人こそ
G3748 G3767 G5013 G1438 G5613 G3588 G3813 G3778 G3778

ἐστιν ὁ μείζων ἐν τῇ βασιλείᾳ τῶν οὐρανῶν;
である その 最も–大きい者 ～において その 御国において その 天の
G1510 G3588 G3173 G1722 G3588 G0932 G3588 G3772

この幼な子のように自分を低くする者が、天国でいちばん偉いのである。

5 καὶ ὃς ἐὰν δέξηται ἓν παιδίον τοιοῦτο, ἐπὶ τῷ
そして 誰でも もし 受け入れるなら 一人の 子どもを このような ～において その
G2532 G3739 G1437 G1209 G1520 G3813 G5108 G1909 G3588

ὀνόματί μου, ἐμὲ δέχεται.
名において 私の 私を 受け入れるのである
G3686 G1473 G1473 G1209

また、だれでも、このようなひとりの幼な子を、わたしの名のゆえに受けいれる者は、わたしを受けいれるのである。

6 ὃς δ’ ἂν σκανδαλίσῃ ἕνα τῶν μικρῶν τούτων τῶν
しかし ～する者は もし つまずかせるなら 一人を その 小さな者の これらの その
G3739 G1161 G0302 G4624 G1520 G3588 G3398 G3778 G3588

πιστευόντων εἰς ἐμέ, συμφέρει αὐτῷ ἵνα κρεμασθῇ μύλος
信じている ～を 私を 益である 彼にとって ～することが かけられることが ひき臼が
G4100 G1519 G1473 G4851 G0846 G2443 G2910 G3458

ὀνικὸς περὶ τὸν τράχηλον αὐτοῦ, καὶ καταποντισθῇ ἐν τῷ πελάγει τῆς
ロバの ～に その 首に 彼の そして 沈められることが ～に その 深みに その
G3684 G4012 G3588 G5137 G0846 G2532 G2670 G1722 G3588 G3989 G3588

θαλάσσης.
海の
G2281

しかし、わたしを信ずるこれらの小さい者のひとりをつまずかせる者は、大きなひきうすを首にかけられて海の深みに沈められる方が、その人の益になる。

7 Οὐαὶ τῷ κόσμῳ ἀπὸ τῶν σκανδάλων! ἀνάγκη γὰρ ἐλθεῖν
わざわいだ その 世は から その つまずきのために 必然である なぜなら 来ることは
G3759 G3588 G2889 G0575 G3588 G4625 G0318 G1063 G2064

τὰ σκάνδαλα, πλὴν οὐαὶ τῷ ἀνθρώπῳ δι’ οὗ τὸ σκάνδαλον
その つまずきが しかし わざわいだ その 人は 通して その人を その つまずきが
G3588 G4625 G4133 G3759 G3588 G0444 G1223 G3739 G3588 G4625

ἔρχεται!
来る
G2064

この世は、罪の誘惑があるから、わざわいである。罪の誘惑は必ず来る。しかし、それをきたらせる人は、わざわいである。

8 Εἰ δὲ ἡ χείρ σου, ἢ ὁ πούς σου σκανδαλίζει
もし しかし その 手が あなたの あるいは その 足が あなたの つまずかせるなら
G1487 G1161 G3588 G5495 G4771 G2228 G3588 G4228 G4771 G4624

σε, ἔκκοψον αὐτὸν καὶ βάλε ἀπὸ σοῦ; καλόν
あなたを 切り落としなさい それを そして 投げなさい から あなたから 良いことである
G4771 G1581 G0846 G2532 G0906 G0575 G4771 G2570

σοί ἐστιν εἰσελθεῖν εἰς τὴν ζωὴν κυλλὸν ἢ χωλόν,
あなたにとって である 入ることが へ その いのちに 手の不自由で あるいは 足が–不自由でも
G4771 G1510 G1525 G1519 G3588 G2222 G2948 G2228 G5560

ἢ δύο χεῖρας ἢ δύο πόδας ἔχοντα, βληθῆναι εἰς τὸ
よりも 二つの 手を あるいは 二つの 足を 持って 投げ込まれることは へ その
G2228 G1417 G5495 G2228 G1417 G4228 G2192 G0906 G1519 G3588

πῦρ τὸ αἰώνιον.
火に その 永遠の
G4442 G3588 G0166

もしあなたの片手または片足が、罪を犯させるなら、それを切って捨てなさい。両手、両足がそろったままで、永遠の火に投げ込まれるよりは、片手、片足になって命に入る方がよい。

9 καὶ εἰ ὁ ὀφθαλμός σου σκανδαλίζει σε, ἔξελε αὐτὸν
そして もし その 目が あなたの つまずかせるなら あなたを えぐり出しなさい それを
G2532 G1487 G3588 G3788 G4771 G4624 G4771 G1807 G0846

καὶ βάλε ἀπὸ σοῦ; καλόν σοί ἐστιν μονόφθαλμον
そして 投げなさい から あなたから 良いことである あなたにとって である 片目で
G2532 G0906 G0575 G4771 G2570 G4771 G1510 G3442

εἰς τὴν ζωὴν εἰσελθεῖν, ἢ δύο ὀφθαλμοὺς ἔχοντα βληθῆναι
へ その いのちに 入ることが よりも 二つの 目を 持って 投げ込まれることは
G1519 G3588 G2222 G1525 G2228 G1417 G3788 G2192 G0906

εἰς τὴν γέενναν τοῦ πυρός.
へ その ゲヘナに その 火の
G1519 G3588 G1067 G3588 G4442

もしあなたの片目が罪を犯させるなら、それを抜き出して捨てなさい。両眼がそろったままで地獄の火に投げ入れられるよりは、片目になって命に入る方がよい。

10 Ὁρᾶτε μὴ καταφρονήσητε ἑνὸς τῶν μικρῶν τούτων. λέγω
気をつけなさい ～ないように 見下さないように 一人を その 小さな者の これらの 言う
G3708 G3361 G2706 G1520 G3588 G3398 G3778 G3004

γὰρ ὑμῖν, ὅτι οἱ ἄγγελοι αὐτῶν ἐν οὐρανοῖς
なぜなら あなたがたに ～ということを その 御使いたちは 彼らの ～において 天において
G1063 G4771 G3754 G3588 G0032 G0846 G1722 G3772

διὰ παντὸς βλέπουσι τὸ πρόσωπον τοῦ Πατρός μου, τοῦ ἐν
いつも 常に 見ている その 御顔を その 父の 私の その ～にいる
G1223 G3956 G0991 G3588 G4383 G3588 G3962 G1473 G3588 G1722

οὐρανοῖς.
天にいる
G3772

あなたがたは、これらの小さい者のひとりをも軽んじないように、気をつけなさい。あなたがたに言うが、彼らの御使たちは天にあって、天にいますわたしの父のみ顔をいつも仰いでいるのである。〔

11 <Ἦλθεν γὰρ ὁ υἱὸς τοῦ ἀνθρώπου σῶσαι τὸ ἀπολωλός>.
来た なぜなら その 人の子は その 人の 救うために その 失われた者を
G2064 G1063 G3588 G5207 G3588 G0444 G4982 G3588 G0622

人の子は、滅びる者を救うためにきたのである。〕

12 Τί ὑμῖν δοκεῖ? ἐὰν γένηταί τινι ἀνθρώπῳ ἑκατὸν πρόβατα,
どう あなたがたは 思うか もし 持っているなら ある 人が 百 匹の羊を
G5101 G4771 G1380 G1437 G1096 G5100 G0444 G1540 G4263

καὶ πλανηθῇ ἓν ἐξ αὐτῶν, οὐχὶ ἀφήσει τὰ ἐνενήκοντα
そして 迷ったなら 一匹が その中から それらの ～ではないか 残す その 九十
G2532 G4105 G1520 G1537 G0846 G3780 G0863 G3588 G1768

ἐννέα ἐπὶ τὰ ὄρη, καὶ πορευθεὶς, ζητεῖ τὸ πλανώμενον?
九匹を の-上に その 山に そして 行って 探すのではないか その 迷ったものを
G1767 G1909 G3588 G3735 G2532 G4198 G2212 G3588 G4105

あなたがたはどう思うか。ある人に百匹の羊があり、その中の一匹が迷い出たとすれば、九十九匹を山に残しておいて、その迷い出ている羊を捜しに出かけないであろうか。

13 καὶ ἐὰν γένηται εὑρεῖν αὐτό, ἀμὴν λέγω ὑμῖν,
そして もし 見つけたなら 見つけることが それを まことに 言う あなたがたに
G2532 G1437 G1096 G2147 G0846 G0281 G3004 G4771

ὅτι χαίρει ἐπ' αὐτῷ μᾶλλον ἢ ἐπὶ τοῖς ἐνενήκοντα
～ということを 喜ぶ ～について それについて もっと よりも ～について その 九十
G3754 G5463 G1909 G0846 G3123 G2228 G1909 G3588 G1768

ἐννέα τοῖς μὴ πεπλανημένοις.
九匹について その ～ない 迷わなかったものよりも
G1767 G3588 G3361 G4105

もしそれを見つけたなら、よく聞きなさい、迷わないでいる九十九匹のためよりも、むしろその一匹のために喜ぶであろう。

14 οὕτως οὐκ ἔστιν θέλημα ἔμπροσθεν τοῦ Πατρὸς ὑμῶν, τοῦ
このように ～ない ではない 御心である の前で その 父の あなたがたの その
G3779 G3756 G1510 G2307 G1715 G3588 G3962 G4771 G3588

ἐν οὐρανοῖς, ἵνα ἀπόληται ἓν τῶν μικρῶν τούτων.
～にいる 天にいる ～することが 滅びることが 一人でも その 小さな者の これらの
G1722 G3772 G2443 G0622 G1520 G3588 G3398 G3778

そのように、これらの小さい者のひとりが滅びることは、天にいますあなたがたの父のみこころではない。

15 Ἐὰν δὲ ἁμαρτήσῃ ‹εἰς σὲ› ὁ ἀδελφός σου, ὕπαγε
もし しかし 罪を犯したなら ～に対して あなたに その 兄弟が あなたの 行きなさい
G1437 G1161 G0264 G1519 G4771 G3588 G0080 G4771 G5217

ἔλεγξον αὐτὸν, μεταξὺ σοῦ καὶ αὐτοῦ μόνου. ἐάν σου ἀκούσῃ,
指摘しなさい 彼を 二人きりで あなたと そして 彼の だけで もし あなたの 聞くなら
G1651 G0846 G3342 G4771 G2532 G0846 G3441 G1437 G4771 G0191

ἐκέρδησας τὸν ἀδελφόν σου.
得た その 兄弟を あなたの
G2770 G3588 G0080 G4771

もしあなたの兄弟が罪を犯すなら、行って、彼とふたりだけの所で忠告しなさい。もし聞いてくれたら、あなたの兄弟を得たことになる。

16 ἐὰν δὲ μὴ ἀκούσῃ, παράλαβε μετὰ σοῦ ἔτι, ἕνα
もし しかし ～ないなら 聞かないなら 連れて行きなさい 共に あなたと さらに 一人
G1437 G1161 G3361 G0191 G3880 G3326 G4771 G2089 G1520

ἢ δύο, ἵνα ἐπὶ στόματος δύο μαρτύρων ἢ τριῶν,
あるいは 二人を ～するために の–上で 口の 二人の 証人の あるいは 三人の
G2228 G1417 G2443 G1909 G4750 G1417 G3144 G2228 G5140

σταθῇ πᾶν ῥῆμα.
確定されるように すべての 事柄が
G2476 G3956 G4487

もし聞いてくれないなら、ほかにひとりふたりを、一緒に連れて行きなさい。それは、ふたりまたは三人の証人の口によって、すべてのことがらが確かめられるためである。

17 ἐὰν δὲ παρακούσῃ αὐτῶν, εἰπὸν τῇ ἐκκλησίᾳ. ἐὰν δὲ καὶ
もし しかし 聞かないなら 彼らの 言いなさい その 教会に もし しかし さらに
G1437 G1161 G3878 G0846 G3004 G3588 G1577 G1437 G1161 G2532

τῆς ἐκκλησίας παρακούσῃ, ἔστω σοι ὥσπερ ὁ ἐθνικὸς
その 教会も 聞かないなら ならせ あなたにとって ちょうど–のように その 異邦人と
G3588 G1577 G3878 G1510 G4771 G5618 G3588 G1482

καὶ ὁ τελώνης.
そして その 取税人のように
G2532 G3588 G5057

もし彼らの言うことを聞かないなら、教会に申し出なさい。もし教会の言うことも聞かないなら、その人を異邦人または取税人同様に扱いなさい。

18 Ἀμὴν λέγω ὑμῖν, ὅσα ἐὰν δήσητε ἐπὶ τῆς γῆς, ἔσται
まことに 言う あなたがたに 何でも もし 縛るなら の–上で その 地上で であろう
G0281 G3004 G4771 G3745 G1437 G1210 G1909 G3588 G1093 G1510

δεδεμένα ἐν οὐρανῷ; καὶ ὅσα ἐὰν λύσητε ἐπὶ τῆς γῆς,
縛られている ～において 天において そして 何でも もし 解くなら の–上で その 地上で
G1210 G1722 G3772 G2532 G3745 G1437 G3089 G1909 G3588 G1093

ἔσται λελυμένα ἐν οὐρανῷ.
であろう 解かれている ～において 天において
G1510 G3089 G1722 G3772

よく言っておく。あなたがたが地上でつなぐことは、天でも皆つながれ、あなたがたが地上で解くことは、天でもみな解かれるであろう。

19

Πάλιν	ἀμὴν	λέγω	ὑμῖν,	ὅτι	ἐὰν	δύο	συμφωνήσωσιν
また	まことに	言う	あなたがたに	～ということを	もし	二人が	心を–合わせるなら
G3825	G0281	G3004	G4771	G3754	G1437	G1417	G4856

ἐξ	ὑμῶν	ἐπὶ	τῆς	γῆς,	περὶ	παντὸς	πράγματος,	οὗ	ἐὰν
の中から	あなたがたの	の–上で	その	地上で	について	どんな	事柄でも	それを	もし
G1537	G4771	G1909	G3588	G1093	G4012	G3956	G4229	G3739	G1437

αἰτήσωνται,	γενήσεται	αὐτοῖς,	παρὰ	τοῦ	Πατρός	μου,	τοῦ	ἐν	οὐρανοῖς.
求めるなら	かなえられる	彼らに	から	その	父によって	私の	その	～にいる	天にいる
G0154	G1096	G0846	G3844	G3588	G3962	G1473	G3588	G1722	G3772

また、よく言っておく。もしあなたがたのうちのふたりが、どんな願い事についても地上で心を合わせるなら、天にいますわたしの父はそれをかなえて下さるであろう。

20

οὗ	γάρ	εἰσιν	δύο	ἢ	τρεῖς	συνηγμένοι	εἰς	τὸ	ἐμὸν
なぜなら	～する所に	いる	二人	あるいは	三人が	集まっている	～において	その	私の
G3757	G1063	G1510	G1417	G2228	G5140	G4863	G1519	G3588	G1699

ὄνομα,	ἐκεῖ	εἰμι	ἐν	μέσῳ	αὐτῶν.
名に	そこに	いる	～に	真ん中に	彼らの
G3686	G1563	G1510	G1722	G3319	G0846

ふたりまたは三人が、わたしの名によって集まっている所には、わたしもその中にいるのである」。

21

Τότε	προσελθὼν,	«ὁ	Πέτρος	εἶπεν»	αὐτῷ,	Κύριε,	ποσάκις	ἁμαρτήσει
その時	近づいて来て	その	ペテロは	言った	彼に	主よ	何回	罪を犯すか
G5119	G4334	G3588	G4074	G3004	G0846	G2962	G4212	G0264

εἰς	ἐμὲ	ὁ	ἀδελφός	μου,	καὶ	ἀφήσω	αὐτῷ?	ἕως	ἑπτάκις?
～に対して	私に	その	兄弟が	私の	そして	赦しますか	彼を	～まで	七回まで
G1519	G1473	G3588	G0080	G1473	G2532	G0863	G0846	G2193	G2034

そのとき、ペテロがイエスのもとにきて言った、「主よ、兄弟がわたしに対して罪を犯した場合、幾たびゆるさねばなりませんか。七たびまでですか」。

22

λέγει	αὐτῷ	ὁ	Ἰησοῦς,	Οὐ	λέγω	σοι	ἕως	ἑπτάκις,
言われる	彼に	その	イエスは	～ではない	言う	あなたに	～まで	七回までではなく
G3004	G0846	G3588	G2424	G3756	G3004	G4771	G2193	G2034

ἀλλὰ	ἕως	ἑβδομηκοντάκις	ἑπτά!
そうではなく	～まで	七十倍の	七回まで
G0235	G2193	G1441	G2033

イエスは彼に言われた、「わたしは七たびまでとは言わない。七たびを七十倍するまでにしなさい。

23

Διὰ	τοῦτο,	ὡμοιώθη	ἡ	βασιλεία	τῶν	οὐρανῶν	ἀνθρώπῳ,	βασιλεῖ,
それゆえ	このことを	たとえられた	その	御国は	その	天の	人に	王である
G1223	G3778	G3666	G3588	G0932	G3588	G3772	G0444	G0935

ὃς	ἠθέλησεν	συνᾶραι	λόγον	μετὰ	τῶν	δούλων	αὐτοῦ.
その人は	望んだ	清算することを	勘定を	共に	その	僕たちと	彼の
G3739	G2309	G4868	G3056	G3326	G3588	G1401	G0846

それだから、天国は王が僕たちと決算をするようなものだ。

24 ἀρξαμένου δὲ αὐτοῦ συναίρειν, προσηνέχθη εἷς᾽ αὐτῷ, ὀφειλέτης μυρίων
始めた時 そして 彼が 清算を 連れてこられた 一人が 彼の前に 負債者で 一万
G0756 G1161 G0846 G4868 G4374 G1520 G0846 G3781 G3463

ταλάντων.
タラントの
G5007

決算が始まると、一万タラントの負債のある者が、王のところに連れられてきた。

25 μὴ ἔχοντος δὲ αὐτοῦ ἀποδοῦναι, ἐκέλευσεν αὐτὸν ὁ κύριος
～ない 持っていない しかし 彼が 返すものを 命じた 彼を その 主人は
G3361 G2192 G1161 G0846 G0591 G2753 G0846 G3588 G2962

πραθῆναι, καὶ τὴν γυναῖκα καὶ τὰ τέκνα, καὶ πάντα ὅσα
売るように そして その 妻も そして その 子どもたちも そして すべて 持っている
G4097 G2532 G3588 G1135 G2532 G3588 G5043 G2532 G3956 G3745

ἔχει, καὶ ἀποδοθῆναι.
ものを そして 返済されるように
G2192 G2532 G0591

しかし、返せなかったので、主人は、その人自身とその妻子と持ち物全部とを売って返すように命じた。

26 πεσὼν οὖν ὁ δοῦλος προσεκύνει αὐτῷ, λέγων, Μακροθύμησον ἐπ᾽
ひれ伏して そこで その 僕は 拝んだ 彼に 言って 忍耐してください ～に対して
G4098 G3767 G3588 G1401 G4352 G0846 G3004 G3114 G1909

ἐμοί, καὶ πάντα ἀποδώσω σοι.
私に そうすれば すべて 返済します あなたに
G1473 G2532 G3956 G0591 G4771

そこで、この僕はひれ伏して哀願した、『どうぞお待ちください。全部お返しいたしますから』。

27 σπλαγχνισθεὶς δὲ, ὁ κύριος τοῦ δούλου ἐκείνου ἀπέλυσεν αὐτόν, καὶ
憐れみを–感じて そして その 主人は その 僕の その 釈放した 彼を そして
G4697 G1161 G3588 G2962 G3588 G1401 G1565 G0630 G0846 G2532

τὸ δάνειον ἀφῆκεν αὐτῷ.
その 負債を 赦した 彼に
G3588 G1156 G0863 G0846

僕の主人はあわれに思って、彼をゆるし、その負債を免じてやった。

28 ἐξελθὼν δὲ, ὁ δοῦλος ἐκεῖνος εὗρεν ἕνα τῶν συνδούλων αὐτοῦ,
出て行って しかし その 僕は その 見つけた 一人の その 仲間の僕を 彼の
G1831 G1161 G3588 G1401 G1565 G2147 G1520 G3588 G4889 G0846

ὃς ὤφειλεν αὐτῷ ἑκατὸν δηνάρια, καὶ κρατήσας αὐτὸν ἔπνιγεν, λέγων,
その者は 借りていた 彼に 百 デナリを そして つかまえて 彼を 絞めた 言って
G3739 G3784 G0846 G1540 G1220 G2532 G2902 G0846 G4155 G3004

Ἀπόδος εἴ τι ὀφείλεις.
返せ もし 何か 借りているものを
G0591 G1487 G5100 G3784

その僕が出て行くと、百デナリを貸しているひとりの仲間に出会い、彼をつかまえ、首をしめて『借金を返せ』と言った。

29 πεσὼν οὖν, ὁ σύνδουλος αὐτοῦ παρεκάλει αὐτὸν, λέγων, Μακροθύμησον
ひれ伏して そこで その 仲間の僕は 彼の 願った 彼に 言って 忍耐してください
G4098 G3767 G3588 G4889 G0846 G3870 G0846 G3004 G3114

ἐπ’ ἐμοί, καὶ ἀποδώσω σοι.
～に対して 私に そうすれば 返済します あなたに
G1909 G1473 G2532 G0591 G4771

そこでこの仲間はひれ伏し、『どうか待ってくれ。返すから』と言って頼んだ。

30 ὁ δὲ οὐκ ἤθελεν, ἀλλὰ ἀπελθὼν, ἔβαλεν αὐτὸν εἰς
彼は しかし ～なかった 望まなかった そうではなく 行って 投げ込んだ 彼を へ
G3588 G1161 G3756 G2309 G0235 G0565 G0906 G0846 G1519

φυλακὴν, ἕως ‹οὗ› ἀποδῷ τὸ ὀφειλόμενον.
牢獄に ～まで ～するまで 返済するまで その 借りているものを
G5438 G2193 G3739 G0591 G3588 G3784

しかし承知せずに、その人をひっぱって行って、借金を返すまで獄に入れた。

31 ἰδόντες οὖν οἱ σύνδουλοι αὐτοῦ τὰ γενόμενα, ἐλυπήθησαν σφόδρα,
見て そこで その 仲間の僕たちは 彼の その 起きたことを 深く-悲しんだ 非常に
G3708 G3767 G3588 G4889 G0846 G3588 G1096 G3076 G4970

καὶ ἐλθόντες, διεσάφησαν τῷ κυρίῳ ἑαυτῶν πάντα τὰ γενόμενα.
そして 来て 知らせた その 主人に 自分たちの すべて その 起きたことを
G2532 G2064 G1285 G3588 G2962 G1438 G3956 G3588 G1096

その人の仲間たちは、この様子を見て、非常に心をいため、行ってそのことをのこらず主人に話した。

32 τότε προσκαλεσάμενος αὐτὸν ὁ κύριος αὐτοῦ λέγει αὐτῷ, Δοῦλε πονηρέ,
その時 呼び寄せて 彼を その 主人は 彼の 言う 彼に 悪い僕よ 邪悪な
G5119 G4341 G0846 G3588 G2962 G0846 G3004 G0846 G1401 G4190

πᾶσαν τὴν ὀφειλὴν ἐκείνην ἀφῆκά σοι, ἐπεὶ παρεκάλεσάς με.
すべての その 負債を その 赦した お前に ～したから 願ったから 私に
G3956 G3588 G3782 G1565 G0863 G4771 G1893 G3870 G1473

そこでこの主人は彼を呼びつけて言った、『悪い僕、わたしに願ったからこそ、あの負債を全部ゆるしてやったのだ。

33 οὐκ ἔδει καὶ σὲ ἐλεῆσαι τὸν σύνδουλόν σου, ὡς
～なかったのか すべきでは また お前も 憐れむべきでは その 仲間の僕を お前の ちょうど
G3756 G1163 G2532 G4771 G1653 G3588 G4889 G4771 G5613

κἀγὼ σὲ ἠλέησα?
私も お前を 憐れんだように
G2504 G4771 G1653

わたしがあわれんでやったように、あの仲間をあわれんでやるべきではなかったか』。

34 καὶ ὀργισθεὶς, ὁ κύριος αὐτοῦ παρέδωκεν αὐτὸν τοῖς βασανισταῖς, ἕως
そして 怒って その 主人は 彼の 引き渡した 彼を その 拷問係に ～まで
G2532 G3710 G3588 G2962 G0846 G3860 G0846 G3588 G0930 G2193

οὗ ἀποδῷ πᾶν τὸ ὀφειλόμενον αὐτῷ.
～するまで 返済するまで すべての その 借りているものを 彼に
G3739 G0591 G3956 G3588 G3784 G0846

そして主人は立腹して、負債全部を返してしまうまで、彼を獄吏に引きわたした。

35 Οὕτως καὶ ὁ Πατήρ μου ὁ οὐράνιος ποιήσει ὑμῖν, ἐὰν
このように また その 父も 私の その 天の なさる あなたがたに もし
G3779 G2532 G3588 G3962 G1473 G3588 G3770 G4160 G4771 G1437

μὴ ἀφῆτε ἕκαστος τῷ ἀδελφῷ αὐτοῦ, ἀπὸ τῶν καρδιῶν
〜ないなら 赦さないなら それぞれが その 兄弟を 彼の から その 心から
G3361 G0863 G1538 G3588 G0080 G0846 G0575 G3588 G2588

ὑμῶν.
あなたがたの
G4771

あなたがためいめいも、もし心から兄弟をゆるさないならば、わたしの天の父もまたあなたがたに対して、そのようになさるであろう」。

Chapter 19

1 Καὶ ἐγένετο, ὅτε ἐτέλεσεν ὁ Ἰησοῦς τοὺς λόγους τούτους, μετῆρεν
そして あった 〜した時 終えた時 その イエスは その 言葉を これらの 移られた
G2532 G1096 G3753 G5055 G3588 G2424 G3588 G3056 G3778 G3332

ἀπὸ τῆς Γαλιλαίας, καὶ ἦλθεν εἰς τὰ ὅρια τῆς Ἰουδαίας πέραν
から その ガリラヤから そして 来られた へ その 地域に その ユダヤの 向こう側の
G0575 G3588 G1056 G2532 G2064 G1519 G3588 G3725 G3588 G2449 G4008

τοῦ Ἰορδάνου.
その ヨルダンの
G3588 G2446

イエスはこれらのことを語り終えられてから、ガリラヤを去ってヨルダンの向こうのユダヤの地方へ行かれた。

2 καὶ ἠκολούθησαν αὐτῷ ὄχλοι πολλοί, καὶ ἐθεράπευσεν αὐτοὺς ἐκεῖ.
そして 従った 彼に 群衆が 大勢の そして いやされた 彼らを そこで
G2532 G0190 G0846 G3793 G4183 G2532 G2323 G0846 G1563

すると大ぜいの群衆がついてきたので、彼らをそこでおいやしになった。

3 Καὶ προσῆλθον αὐτῷ Φαρισαῖοι, πειράζοντες αὐτὸν, καὶ λέγοντες,
そして 近づいて来た 彼に パリサイ人たちが 試みて 彼を そして 言って
G2532 G4334 G0846 G5330 G3985 G0846 G2532 G3004

Εἰ ἔξεστιν ‹ἀνθρώπῳ› ἀπολῦσαι τὴν γυναῖκα αὐτοῦ κατὰ
〜かどうか 許されているか 人が 離縁することは その 妻を 自分の 〜に従って
G1487 G1832 G0444 G0630 G3588 G1135 G0846 G2596

πᾶσαν αἰτίαν?
あらゆる 理由で
G3956 G0156

さてパリサイ人たちが近づいてきて、イエスを試みようとして言った、「何かの理由で、夫がその妻を出すのは、さしつかえないでしょうか」。

4 ὁ δὲ ἀποκριθεὶς, εἶπεν, Οὐκ ἀνέγνωτε, ὅτι ὁ
その方は しかし 答えて 言われた 〜ないのか 読んだことがないのか 〜ということを その
G3588 G1161 G0611 G3004 G3756 G0314 G3754 G3588

κτίσας ἀπ’ ἀρχῆς, ἄρσεν καὶ θῆλυ ἐποίησεν αὐτοὺς,
造られた方が から 初めから 男と そして 女とに 造られた 彼らを
G2936 G0575 G0746 G0730 G2532 G2338 G4160 G0846

イエスは答えて言われた、「あなたがたはまだ読んだことがないのか。『創造者は初めから人を男と女とに造られ、

5	καὶ	εἶπεν,	Ἕνεκα	τούτου	καταλείψει	ἄνθρωπος	τὸν	πατέρα	καὶ	τὴν
	そして	言われた	それゆえ	このために	離れる	人は	その	父と	そして	その
	G2532	G3004	G1752	G3778	G2641	G0444	G3588	G3962	G2532	G3588

μητέρα,	καὶ	κολληθήσεται	τῇ	γυναικὶ	αὐτοῦ,	καὶ	ἔσονται	οἱ	δύο	εἰς
母を	そして	結ばれる	その	妻に	自分の	そして	なる	その	二人は	～に
G3384	G2532	G2853	G3588	G1135	G0846	G2532	G1510	G3588	G1417	G1519

σάρκα	μίαν?
肉となり	一つの
G4561	G1520

そして言われた、それゆえに、人は父母を離れ、その妻と結ばれ、ふたりの者は一体となるべきである』。

6	ὥστε	οὐκέτι	εἰσὶν	δύο,	ἀλλὰ	σὰρξ	μία.	ὃ	οὖν
	それゆえ	もはや	ではない	二人ではなく	そうではなく	肉である	一つの	それを	それゆえ
	G5620	G3765	G1510	G1417	G0235	G4561	G1520	G3739	G3767

ὁ	Θεὸς	συνέζευξεν,	ἄνθρωπος	μὴ	χωριζέτω.
その	神が	結び合わせたものを	人は	～ない	引き離してはならない
G3588	G2316	G4801	G0444	G3361	G5563

彼らはもはや、ふたりではなく一体である。だから、神が合わせられたものを、人は離してはならない」。

7	λέγουσιν	αὐτῷ,	Τί	οὖν	Μωϋσῆς	ἐνετείλατο	δοῦναι	βιβλίον	ἀποστασίου,
	言う	彼に	なぜ	それでは	モーセは	命じたのか	与えよと	書状を	離縁の
	G3004	G0846	G5101	G3767	G3475	G1781	G1325	G0975	G0647

καὶ	ἀπολῦσαι	‹αὐτήν›?
そして	去らせよと	彼女を
G2532	G0630	G0846

彼らはイエスに言った、「それでは、なぜモーセは、妻を出す場合には離縁状を渡せ、と定めたのですか」。

8	λέγει	αὐτοῖς,	Ὅτι	Μωϋσῆς	πρὸς	τὴν	σκληροκαρδίαν	ὑμῶν
	言われる	彼らに	～のために	モーセは	～に対して	その	心のかたくなさに	あなたがたの
	G3004	G0846	G3754	G3475	G4314	G3588	G4641	G4771

ἐπέτρεψεν	ὑμῖν	ἀπολῦσαι	τὰς	γυναῖκας	ὑμῶν;	ἀπ’	ἀρχῆς	δὲ
許した	あなたがたに	去らせることを	その	妻たちを	あなたがたの	から	初めから	しかし
G2010	G4771	G0630	G3588	G1135	G4771	G0575	G0746	G1161

οὐ	γέγονεν	οὕτως.
～なかった	そうではなかった	このようには
G3756	G1096	G3779

イエスが言われた、「モーセはあなたがたの心が、かたくななので、妻を出すことを許したのだが、初めからそうではなかった。

9	λέγω	δὲ	ὑμῖν,	ὅτι	ὃς	ἂν	ἀπολύσῃ	τὴν	γυναῖκα
	言う	しかし	あなたがたに	～ということを	誰でも	もし	去らせるなら	その	妻を
	G3004	G1161	G4771	G3754	G3739	G0302	G0630	G3588	G1135

αὐτοῦ	μὴ	ἐπὶ	πορνείᾳ,	καὶ	γαμήσῃ	ἄλλην,	μοιχᾶται;	‹καὶ
自分の	～ない	～のために	淫行のためでなく	そして	婚姻するなら	他の女と	姦淫を犯す	そして
G0846	G3361	G1909	G4202	G2532	G1060	G0243	G3429	G2532

ὁ	ἀπολελυμένην	γαμήσας,	μοιχᾶται›.
その	去られた女と	婚姻した者も	姦淫を犯す
G3588	G0630	G1060	G3429

そこでわたしはあなたがたに言う。不品行のゆえでなくて、自分の妻を出して他の女をめとる者は、姦淫を行うのである」。

10 λέγουσιν αὐτῷ οἱ μαθηταί [αὐτοῦ], Εἰ οὕτως ἐστὶν ἡ αἰτία
言う 彼に その 弟子たちは 彼の もし このように であるなら その 理由が
G3004 G0846 G3588 G3101 G0846 G1487 G3779 G1510 G3588 G0156

τοῦ ἀνθρώπου μετὰ τῆς γυναικός, οὐ συμφέρει γαμῆσαι.
その 人の 共に その 妻との ～ない 益ではない 婚姻することは
G3588 G0444 G3326 G3588 G1135 G3756 G4851 G1060

弟子たちは言った、「もし妻に対する夫の立場がそうだとすれば、結婚しない方がましです」。

11 ὁ δὲ εἶπεν αὐτοῖς, Οὐ πάντες χωροῦσιν τὸν
その方は しかし 言われた 彼らに ～ない すべての人が 受け入れられるわけではない この
G3588 G1161 G3004 G0846 G3756 G3956 G5562 G3588

λόγον τοῦτον, ἀλλ’ οἷς δέδοται.
言葉を この そうではなく それを 与えられた者だけが
G3056 G3778 G0235 G3739 G1325

するとイエスは彼らに言われた、「その言葉を受けいれることができるのはすべての人ではなく、ただそれを授けられている人々だけである。

12 εἰσὶν γὰρ εὐνοῦχοι οἵτινες ἐκ κοιλίας μητρὸς ἐγεννήθησαν οὕτως,
いる なぜなら 孫官が その者たちは から 胎内 母の 生まれた そのように
G1510 G1063 G2135 G3748 G1537 G2836 G3384 G1080 G3779

καὶ εἰσὶν εὐνοῦχοι οἵτινες εὐνουχίσθησαν ὑπὸ τῶν ἀνθρώπων, καὶ
また いる 孫官が その者たちは 孫官にされた によって その 人々によって また
G2532 G1510 G2135 G3748 G2134 G5259 G3588 G0444 G2532

εἰσὶν εὐνοῦχοι οἵτινες εὐνούχισαν ἑαυτοὺς διὰ τὴν βασιλείαν τῶν
いる 孫官が その者たちは 孫官にした 自分自身を のために その 御国の その
G1510 G2135 G3748 G2134 G1438 G1223 G3588 G0932 G3588

οὐρανῶν. ὁ δυνάμενος χωρεῖν, χωρείτω.
天の その できる者は 受け入れることが 受け入れなさい
G3772 G3588 G1410 G5562 G5562

というのは、母の胎内から独身者に生れついているものがあり、また他から独身者にされたものもあり、また天国のために、みずから進んで独身者となったものもある。この言葉を受けられる者は、受けいれるがよい」。

13 Τότε προσηνέχθησαν αὐτῷ παιδία, ἵνα τὰς χεῖρας ἐπιθῇ
その時 連れてこられた 彼のもとに 子どもたちが ～するために その 手を 置くために
G5119 G4374 G0846 G3813 G2443 G3588 G5495 G2007

αὐτοῖς, καὶ προσεύξηται. οἱ δὲ μαθηταὶ ἐπετίμησαν αὐτοῖς.
彼らの上に そして 祈るために その しかし 弟子たちは 叱った 彼らを
G0846 G2532 G4336 G3588 G1161 G3101 G2008 G0846

そのとき、イエスに手をおいて祈っていただくために、人々が幼な子らをみもとに連れてきた。ところが、弟子たちは彼らをたしなめた。

14 ὁ δὲ Ἰησοῦς εἶπεν, Ἄφετε τὰ παιδία, καὶ μὴ κωλύετε
その しかし イエスは 言われた 許しなさい その 子どもたちを そして ～ない 妨げるな
G3588 G1161 G2424 G3004 G0863 G3588 G3813 G2532 G3361 G2967

αὐτὰ ἐλθεῖν πρός με; τῶν γὰρ τοιούτων ἐστὶν ἡ βασιλεία
彼らが 来ることを へ 私のもとへ その なぜなら このような者の である その 御国は
G0846 G2064 G4314 G1473 G3588 G1063 G5108 G1510 G3588 G0932

τῶν οὐρανῶν.
その 天の
G3588 G3772

するとイエスは言われた、「幼な子らをそのままにしておきなさい。わたしのところに来るのをとめてはならない。天国はこのような者の国である」。

15 καὶ ἐπιθεὶς τὰς χεῖρας αὐτοῖς, ἐπορεύθη ἐκεῖθεν.
そして 置いて その 手を 彼らの上に 去られた そこから
G2532 G2007 G3588 G5495 G0846 G4198 G1564

そして手を彼らの上においてから、そこを去って行かれた。

16 Καὶ ἰδοὺ, εἷς προσελθὼν αὐτῷ, εἶπεν, Διδάσκαλε, τί ἀγαθὸν
すると 見よ 一人の人が 近づいて来て 彼に 言った 先生 何の 良いことを
G2532 G3708 G1520 G4334 G0846 G3004 G1320 G5101 G0018

ποιήσω, ἵνα σχῶ ζωὴν αἰώνιον?
すればよいですか ～するために 得るために いのちを 永遠の
G4160 G2443 G2192 G2222 G0166

すると、ひとりの人がイエスに近寄ってきて言った、「先生、永遠の生命を得るためには、どんなよいことをしたらいいでしょうか」。

17 ὁ δὲ εἶπεν αὐτῷ, Τί με ἐρωτᾷς περὶ τοῦ ἀγαθοῦ?
その方は しかし 言われた 彼に なぜ 私に 尋ねるのか について その 善いことを
G3588 G1161 G3004 G0846 G5101 G1473 G2065 G4012 G3588 G0018

εἷς ἐστιν ὁ ἀγαθός. εἰ δὲ θέλεις εἰς τὴν ζωὴν εἰσελθεῖν,
ただ一人 である その 善い方は もし しかし 望むなら へ その いのちに 入ることを
G1520 G1510 G3588 G0018 G1487 G1161 G2309 G1519 G3588 G2222 G1525

τήρησον τὰς ἐντολάς.
守りなさい その 戒めを
G5083 G3588 G1785

イエスは言われた、「なぜよい事についてわたしに尋ねるのか。よいかたはただひとりだけである。もし命に入りたいと思うなら、いましめを守りなさい」。

18 λέγει αὐτῷ, Ποίας? ὁ δὲ Ἰησοῦς εἶπεν Τὸ, Οὐ
言う 彼に どの その方は すると イエスは 言われた ～である ～するな
G3004 G0846 G4169 G3588 G1161 G2424 G3004 G3588 G3756

φονεύσεις; Οὐ μοιχεύσεις; Οὐ κλέψεις; Οὐ
殺してはならない ～するな 姦淫してはならない ～するな 盗んではならない ～するな
G5407 G3756 G3431 G3756 G2813 G3756

ψευδομαρτυρήσεις;
偽証してはならない
G5576

彼は言った、「どのいましめですか」。イエスは言われた、「『殺すな、姦淫するな、盗むな、偽証を立てるな。

19 Τίμα 敬え G5091 τὸν その G3588 πατέρα 父を G3962 καὶ そして G2532 τὴν その G3588 μητέρα; 母を G3384 καὶ, そして G2532 Ἀγαπήσεις 愛しなさい G0025 τὸν その G3588 πλησίον 隣人を G4139 σου あなたの G4771

ὡς のように G5613 σεαυτόν. 自分自身の G4572

父と母とを敬え』。また『自分を愛するように、あなたの隣り人を愛せよ』」。

20 λέγει 言う G3004 αὐτῷ 彼に G0846 ὁ その G3588 νεανίσκος, 若者は G3495 Ταῦτα 𐄁 これらを G3778 πάντα すべて G3956 ἐφύλαξα. 守った G5442 τί 何が G5101 ἔτι まだ G2089 ὑστερῶ? 欠けていますか G5302

この青年はイエスに言った、「それはみな守ってきました。ほかに何が足りないのでしょう」。

21 ἔφη 言われた G5346 αὐτῷ 彼に G0846 ὁ その G3588 Ἰησοῦς, イエスは G2424 Εἰ もし G1487 θέλεις 望むなら G2309 τέλειος 完全で G5046 εἶναι, あることを G1510 ὕπαγε, 行きなさい G5217 πώλησόν 売りなさい G4453

σου あなたの G4771 τὰ その G3588 ὑπάρχοντα, 持ち物を G5225 καὶ そして G2532 δὸς 与えなさい G1325 [τοῖς] その G3588 πτωχοῖς, 貧しい人々に G4434 καὶ そうすれば G2532 ἕξεις 得る G2192

θησαυρὸν 宝を G2344 ἐν ～において G1722 οὐρανοῖς; 天において G3772 καὶ そして G2532 δεῦρο, さあ G1204 ἀκολούθει 従いなさい G0190 μοι. 私に G1473

イエスは彼に言われた、「もしあなたが完全になりたいと思うなら、帰ってあなたの持ち物を売り払い、貧しい人々に施しなさい。そうすれば、天に宝を持つようになろう。そして、わたしに従ってきなさい」。

22 ἀκούσας 聞いて G0191 δὲ, しかし G1161 ὁ その G3588 νεανίσκος 若者は G3495 τὸν この G3588 λόγον 言葉を G3056 (τοῦτον), この G3778 ἀπῆλθεν 去った G0565 λυπούμενος; 悲しみながら G3076

ἦν であった G1510 γὰρ なぜなら G1063 ἔχων 持っていた G2192 κτήματα 財産を G2933 πολλά. 多くの G4183

この言葉を聞いて、青年は悲しみながら立ち去った。たくさんの資産を持っていたからである。

23 Ὁ その G3588 δὲ そして G1161 Ἰησοῦς イエスは G2424 εἶπεν 言われた G3004 τοῖς その G3588 μαθηταῖς 弟子たちに G3101 αὐτοῦ, 彼の G0846 Ἀμὴν まことに G0281 λέγω 言う G3004 ὑμῖν, あなたがたに G4771

ὅτι ～ということを G3754 πλούσιος 金持ちが G4145 δυσκόλως 困難である G1423 εἰσελεύσεται 入ることは G1525 εἰς へ G1519 τὴν その G3588 βασιλείαν 御国に G0932 τῶν その G3588 οὐρανῶν. 天の G3772

それからイエスは弟子たちに言われた、「よく聞きなさい。富んでいる者が天国にはいるのは、むずかしいものである。

24 πάλιν また G3825 δὲ しかし G1161 λέγω 言う G3004 ὑμῖν, あなたがたに G4771 εὐκοπώτερόν 容易である G2123 ἐστιν である G1510 κάμηλον らくだが G2574 διὰ を–通って G1223 τρυπήματος 穴を G5169

ῥαφίδος 針の G4476 εἰσελθεῖν, 通ることは G1525 ἢ よりも G2228 πλούσιον 金持ちが G4145 [εἰσελθεῖν] 入ることは G1525 εἰς へ G1519 τὴν その G3588 βασιλείαν 御国に G0932 τοῦ その G3588 Θεοῦ. 神の G2316

また、あなたがたに言うが、富んでいる者が神の国にはいるよりは、らくだが針の穴を通る方が、もっとやさしい」。

25 ἀκούσαντες 聞いて G0191 δὲ しかし G1161 οἱ その G3588 μαθηταὶ 弟子たちは G3101 ἐξεπλήσσοντο 非常に-驚いた G1605 σφόδρα, 非常に G4970 λέγοντες, 言って G3004 Τίς 誰が G5101 ἄρα いったい G0686 δύναται できるのか G1410 σωθῆναι? 救われることが G4982

弟子たちはこれを聞いて非常に驚いて言った、「では、だれが救われることができるのだろう」。

26 ἐμβλέψας 見つめて G1689 δὲ, そして G1161 ὁ その G3588 Ἰησοῦς イエスは G2424 εἶπεν 言われた G3004 αὐτοῖς, 彼らに G0846 Παρὰ にとって G3844 ἀνθρώποις 人にとって G0444 τοῦτο これは G3778 ἀδύνατόν 不可能である G0102 ἐστιν, である G1510 παρὰ にとって G3844 δὲ しかし G1161 Θεῷ 神にとって G2316 πάντα すべてのことが G3956 δυνατά. 可能である G1415

イエスは彼らを見つめて言われた、「人にはそれはできないが、神にはなんでもできない事はない」。

27 Τότε その時 G5119 ἀποκριθεὶς, 答えて G0611 ὁ その G3588 Πέτρος ペテロは G4074 εἶπεν 言った G3004 αὐτῷ, 彼に G0846 Ἰδοὺ, 見よ G3708 ἡμεῖς 私たちは G1473 ἀφήκαμεν 捨てた G0863 πάντα すべてを G3956 καὶ そして G2532 ἠκολουθήσαμέν 従った G0190 σοι; あなたに G4771 τί 何が G5101 ἄρα いったい G0686 ἔσται あるのですか G1510 ἡμῖν? 私たちに G1473

そのとき、ペテロがイエスに答えて言った、「ごらんなさい、わたしたちはいっさいを捨てて、あなたに従いました。ついては、何がいただけるでしょうか」。

28 ὁ その G3588 δὲ そして G1161 Ἰησοῦς イエスは G2424 εἶπεν 言われた G3004 αὐτοῖς, 彼らに G0846 Ἀμὴν まことに G0281 λέγω 言う G3004 ὑμῖν, あなたがたに G4771 ὅτι ～ということを G3754 ὑμεῖς あなたがたは G4771 οἱ その G3588 ἀκολουθήσαντές 従った者よ G0190 μοι, 私に G1473 ἐν ～において G1722 τῇ その G3588 παλινγενεσίᾳ, 新しい-世において G3824 ὅταν ～する時 G3752 καθίσῃ 座る時 G2523 ὁ その G3588 Υἱὸς 人の子が G5207 τοῦ その G3588 ἀνθρώπου 人の G0444 ἐπὶ の-上に G1909 θρόνου 座に G2362 δόξης 栄光の G1391 αὐτοῦ, 彼の G0846 καθήσεσθε 座るであろう G2521 καὶ また G2532 ὑμεῖς あなたがたも G4771 ἐπὶ の-上に G1909 δώδεκα 十二の G1427 θρόνους, 座に G2362 κρίνοντες さばきながら G2919 τὰς その G3588 δώδεκα 十二の G1427 φυλὰς 部族を G5443 τοῦ その G3588 Ἰσραήλ. イスラエルの G2474

イエスは彼らに言われた、「よく聞いておくがよい。世が改まって、人の子がその栄光の座につく時には、わたしに従ってきたあなたがたもまた、十二の位に座してイスラエルの十二の部族をさばくであろう。

29	καὶ	πᾶς	ὅστις	ἀφῆκεν	οἰκίας,	ἢ	ἀδελφοὺς,	ἢ	ἀδελφὰς,
そして	すべての人は	誰でも	捨てた者は	家を	あるいは	兄弟を	あるいは	姉妹を
G2532	G3956	G3748	G0863	G3614	G2228	G0080	G2228	G0079

ἢ	πατέρα,	ἢ	μητέρα,	‹ἢ	γυναῖκα›,	ἢ	τέκνα,	ἢ
あるいは	父を	あるいは	母を	あるいは	妻を	あるいは	子どもたちを	あるいは
G2228	G3962	G2228	G3384	G2228	G1135	G2228	G5043	G2228

ἀγροὺς,	ἕνεκεν	τοῦ	μου*	ὀνόματός,	ἑκατονταπλασίονα	λήμψεται,	καὶ	ζωὴν
畑を	のために	その	私の	名の	百倍を	受ける	そして	いのちを
G0068	G1752	G3588	G1473	G3686	G1542	G2983	G2532	G2222

αἰώνιον	κληρονομήσει;
永遠の	受け継ぐ
G0166	G2816

おおよそ、わたしの名のために、家、兄弟、姉妹、父、母、子、もしくは畑を捨てた者は、その幾倍もを受け、また永遠の生命を受けつぐであろう。

30	Πολλοὶ	δὲ	ἔσονται	πρῶτοι	ἔσχατοι,	καὶ	ἔσχατοι	πρῶτοι.
多くの者は	しかし	なる	最初の者が	最後に	そして	最後の者が	最初に
G4183	G1161	G1510	G4413	G2078	G2532	G2078	G4413

しかし、多くの先の者はあとになり、あとの者は先になるであろう。

Chapter 20

1	Ὁμοία	γάρ	ἐστιν	ἡ	βασιλεία	τῶν	οὐρανῶν	ἀνθρώπῳ,	οἰκοδεσπότῃ,
似ている	なぜなら	である	その	天の–国は	その	天の	人に	家の–主人に
G3664	G1063	G1510	G3588	G0932	G3588	G3772	G0444	G3617

ὅστις	ἐξῆλθεν	ἅμα	πρωῒ	μισθώσασθαι	ἐργάτας	εἰς	τὸν	ἀμπελῶνα
その–者は	出て–行った	共に	朝–早く	雇うために	労働者たちを	へ	その	ぶどう園に
G3748	G1831	G0260	G4404	G3409	G2040	G1519	G3588	G0290

αὐτοῦ.

彼の
G0846

天国は、ある家の主人が、自分のぶどう園に労働者を雇うために、夜が明けると同時に、出かけて行くようなものである。

2	συμφωνήσας	δὲ	μετὰ	τῶν	ἐργατῶν	ἐκ	δηναρίου	τὴν	ἡμέραν,
同意して	そして	と共に	その	労働者たちと	で	一–デナリオンで	その	日に–ついて
G4856	G1161	G3326	G3588	G2040	G1537	G1220	G3588	G2250

ἀπέστειλεν | αὐτοὺς | εἰς | τὸν | ἀμπελῶνα | αὐτοῦ.
---|---|---|---|---|---|---|---
遣わした | 彼らを | へ | その | ぶどう園に | 彼の
G0649 | G0846 | G1519 | G3588 | G0290 | G0846

彼は労働者たちと、一日一デナリの約束をして、彼らをぶどう園に送った。

3	καὶ	ἐξελθὼν	περὶ	τρίτην	ὥραν,	εἶδεν	ἄλλους	ἑστῶτας	ἐν	τῇ
そして	出て–行き	頃	第三の	時に	見た	他の–者たちが	立っている–のを	中で	その
G2532	G1831	G4012	G5154	G5610	G3708	G0243	G2476	G1722	G3588

ἀγορᾷ	ἀργούς;
市場に	何もせずに
G0058	G0692

それから九時ごろに出て行って、他の人々が市場で何もせずに立っているのを見た。

4 καὶ ἐκείνοις εἶπεν, Ὑπάγετε καὶ ὑμεῖς εἰς τὸν ἀμπελῶνα, καὶ
そして 彼らに 言った 行きなさい また あなたがたも へ その ぶどう園に そして
G2532 G1565 G3004 G5217 G2532 G4771 G1519 G3588 G0290 G2532

ὃ ἐὰν ᾖ δίκαιον, δώσω ὑμῖν.
何でも もし であれば 正当な-ものを 与えよう あなたがたに
G3739 G1437 G1510 G1342 G1325 G4771

そして、その人たちに言った、『あなたがたも、ぶどう園に行きなさい。相当な賃銀を払うから』。

5 οἱ δὲ ἀπῆλθον. πάλιν δὲ ἐξελθὼν περὶ ἕκτην καὶ ἐνάτην ὥραν,
その そして 彼らは-行った 再び また 出て-行き 頃 第六の と 第九の 時に
G3588 G1161 G0565 G3825 G1161 G1831 G4012 G1623 G2532 G1766 G5610

ἐποίησεν ὡσαύτως.
同じように-した 同様に
G4160 G5615

そこで、彼らは出かけて行った。主人はまた、十二時ごろと三時ごろとに出て行って、同じようにした。

6 περὶ δὲ τὴν ἑνδεκάτην, ἐξελθὼν, εὗρεν ἄλλους ἑστῶτας, καὶ
頃 そして その 第十一の-時に 出て-行き 見つけた 他の-者たちが 立っている-のを そして
G4012 G1161 G3588 G1734 G1831 G2147 G0243 G2476 G2532

λέγει αὐτοῖς, Τί ὧδε ἑστήκατε ὅλην τὴν ἡμέραν ἀργοί?
言う 彼らに なぜ ここに 立っているのか 一日-中 その 日を 何もせずに
G3004 G0846 G5101 G5602 G2476 G3650 G3588 G2250 G0692

五時ごろまた出て行くと、まだ立っている人々を見たので、彼らに言った、『なぜ、何もしないで、一日中ここに立っていたのか』。

7 λέγουσιν αὐτῷ, Ὅτι οὐδεὶς ἡμᾶς ἐμισθώσατο. λέγει αὐτοῖς, Ὑπάγετε
言う 彼に なぜなら 誰も 私たちを 雇わなかった 言う 彼らに 行きなさい
G3004 G0846 G3754 G3762 G1473 G3409 G3004 G0846 G5217

καὶ ὑμεῖς εἰς τὸν ἀμπελῶνα, <καὶ ὃ ἐὰν ᾖ δίκαιον
また あなたがたも へ その ぶどう園に そして 何でも もし であれば 正当な-ものを
G2532 G4771 G1519 G3588 G0290 G2532 G3739 G1437 G1510 G1342

λήψεσθε>.
受け取るだろう
G2983

彼らが『だれもわたしたちを雇ってくれませんから』と答えたので、その人々に言った、『あなたがたも、ぶどう園に行きなさい』。

8 ὀψίας δὲ γενομένης, λέγει ὁ κύριος τοῦ ἀμπελῶνος τῷ ἐπιτρόπῳ
夕方に そして なった-時 言う その 主人は の ぶどう園の その 管理人に
G3798 G1161 G1096 G3004 G3588 G2962 G3588 G0290 G3588 G2012

αὐτοῦ, Κάλεσον τοὺς ἐργάτας, καὶ ἀπόδος ‹αὐτοῖς› τὸν μισθόν,
彼の 呼びなさい その 労働者たちを そして 支払いなさい 彼らに その 賃金を
G0846 G2564 G3588 G2040 G2532 G0591 G0846 G3588 G3408

ἀρξάμενος ἀπὸ τῶν ἐσχάτων ἕως τῶν πρώτων.
始めて から その 最後の-者たちから まで その 最初の-者たちまで
G0756 G0575 G3588 G2078 G2193 G3588 G4413

さて、夕方になって、ぶどう園の主人は管理人に言った、『労働者たちを呼びなさい。そして、最後にきた人々からはじめて順々に最初にきた人々にわたるように、賃銀を払ってやりなさい』。

9 καὶ ἐλθόντες οἱ περὶ τὴν ἑνδεκάτην ὥραν, ἔλαβον ἀνὰ
そして 来た その 頃 その 第十一の 時の-者たちは 受け取った それぞれ
G2532 G2064 G3588 G4012 G3588 G1734 G5610 G2983 G0303

δηνάριον.
一-デナリオンを
G1220

そこで、五時ごろに雇われた人々がきて、それぞれ一デナリずつもらった。

10 καὶ ἐλθόντες οἱ πρῶτοι, ἐνόμισαν ὅτι πλεῖον λήμψονται,
そして 来た その 最初の-者たちは 思った と もっと-多く 受け取るだろうと
G2532 G2064 G3588 G4413 G3543 G3754 G4119 G2983

καὶ ἔλαβον τὸ ἀνὰ δηνάριον καὶ αὐτοί.
しかし 受け取った その それぞれ 一-デナリオンを また 彼らも
G2532 G2983 G3588 G0303 G1220 G2532 G0846

ところが、最初の人々がきて、もっと多くもらえるだろうと思っていたのに、彼らも一デナリずつもらっただけであった。

11 λαβόντες, δὲ ἐγόγγυζον κατὰ τοῦ οἰκοδεσπότου,
受け取って しかし 不平を-言った に対して その 家の-主人に
G2983 G1161 G1111 G2596 G3588 G3617

もらったとき、家の主人にむかって不平をもらして

12 λέγοντες, Οὗτοι οἱ ἔσχατοι, μίαν ὥραν ἐποίησαν, καὶ ἴσους
言って この-者たちは その 最後の-者たちは 一-時間 時間しか 働いた しかし 同等に
G3004 G3778 G3588 G2078 G1520 G5610 G4160 G2532 G2470

αὐτοὺς ἡμῖν ἐποίησας, τοῖς βαστάσασι τὸ βάρος τῆς ἡμέρας καὶ
彼らを 私たちと あなたは-した その 負った-者たちに その 重荷を その 日の と
G0846 G1473 G4160 G3588 G0941 G3588 G0922 G3588 G2250 G2532

τὸν καύσωνα.
その 暑さを
G3588 G2742

言った、『この最後の者たちは一時間しか働かなかったのに、あなたは一日じゅう、労苦と暑さを辛抱したわたしたちと同じ扱いをなさいました』。

13 ὁ δὲ ἀποκριθεὶς ἑνὶ αὐτῶν, εἶπεν, Ἑταῖρε, οὐκ ἀδικῶ
その しかし 答えて 一人の 彼らの-中の 言った 友よ ない 不当に-扱って
G3588 G1161 G0611 G1520 G0846 G3004 G2083 G3756 G0091

σε. οὐχὶ δηναρίου συνεφώνησάς μοι?
あなたを ではなかったか 一-デナリオンで 同意した 私と
G4771 G3780 G1220 G4856 G1473

そこで彼はそのひとりに答えて言った、『友よ、わたしはあなたに対して不正をしてはいない。あなたはわたしと一デナリの約束をしたではないか。

14 ἆρον τὸ σὸν καὶ ὕπαγε. θέλω δὲ τούτῳ τῷ
取りなさい その あなたの-ものを そして 行きなさい 私は-望む しかし この-者に その
G0142 G3588 G4674 G2532 G5217 G2309 G1161 G3778 G3588

ἐσχάτῳ δοῦναι, ὡς καὶ σοί.
最後の-者に 与えることを ように 同じ あなたにも
G2078 G1325 G5613 G2532 G4771

自分の賃銀をもらって行きなさい。わたしは、この最後の者にもあなたと同様に払ってやりたいのだ。

15 [ἢ] ないは G2228 οὐκ ない–のか G3756 ἔξεστίν 許されて G1832 μοι 私に G1473 ὃ ことを G3739 θέλω 私が–望む G2309 ποιῆσαι することが G4160 ἐν で G1722 τοῖς その G3588 ἐμοῖς? 私の–ものに G1699

ἢ それとも G2228 ὁ その G3588 ὀφθαλμός 目が G3788 σου あなたの G4771 πονηρός 悪い–のか G4190 ἐστιν, である G1510 ὅτι なぜなら G3754 ἐγὼ 私が G1473 ἀγαθός 善い G0018 εἰμι? からか G1510

自分の物を自分がしたいようにするのは、当りまえではないか。それともわたしが気前よくしているので、ねたましく思うのか』。

16 Οὕτως このように G3779 ἔσονται なる G1510 οἱ その G3588 ἔσχατοι 最後の–者たちは G2078 πρῶτοι, 最初に G4413 καὶ そして G2532 οἱ その G3588 πρῶτοι, 最初の–者たちは G4413 ἔσχατοι; 最後に G2078

<πολλοὶ 多くの–者は G4183 γάρ なぜなら G1063 εἰσιν いる G1510 κλητοί, 招かれた G2822 ὀλίγοι 少ない–者は G3641 δὲ しかし G1161 ἐκλεκτοί>. 選ばれた G1588

このように、あとの者は先になり、先の者はあとになるであろう」。

17 καὶ そして G2532 Μέλλων しようとして G3195 ἀναβαίνων 上って–行く G0305 ‹ὁ› その G3588 Ἰησοῦς イエスは G2424 εἰς へ G1519 Ἰεροσόλυμα, エルサレムに G2414 παρέλαβεν 連れて–行った G3880 τοὺς その G3588

δώδεκα 十二人の G1427 ‹μαθητὰς› 弟子たちを G3101 κατ’ 別に G2596 ἰδίαν, ひそかに G2398 καὶ そして G2532 ἐν の–中で G1722 τῇ その G3588 ὁδῷ, 道で G3598 εἶπεν 言った G3004 αὐτοῖς, 彼らに G0846

さて、イエスはエルサレムへ上るとき、十二弟子をひそかに呼びよせ、その途中で彼らに言われた、

18 Ἰδοὺ, 見よ G3708 ἀναβαίνομεν 私たちは–上って–行く G0305 εἰς へ G1519 Ἰεροσόλυμα, エルサレムに G2414 καὶ そして G2532 ὁ その G3588 Υἱὸς 人の–子は G5207 τοῦ の G3588 ἀνθρώπου 人の G0444

παραδοθήσεται 引き渡される G3860 τοῖς その G3588 ἀρχιερεῦσιν 祭司長たちと G0749 καὶ と G2532 γραμματεῦσιν, 律法学者たちに G1122 καὶ そして G2532 κατακρινοῦσιν 死刑を–宣告する G2632 αὐτὸν 彼を G0846

εἰς へ G1519 θανάτῳ, 死に G2288

「見よ、わたしたちはエルサレムへ上って行くが、人の子は祭司長、律法学者たちの手に渡されるであろう。彼らは彼に死刑を宣告し、

19 καὶ そして G2532 παραδώσουσιν 引き渡す G3860 αὐτὸν 彼を G0846 τοῖς その G3588 ἔθνεσιν, 異邦人たちに G1484 εἰς ために G1519 τὸ その G3588 ἐμπαῖξαι あざけり G1702 καὶ と G2532

μαστιγῶσαι 鞭打ち G3146 καὶ と G2532 σταυρῶσαι; 十字架に–つける–ために G4717 καὶ しかし G2532 τῇ その G3588 τρίτῃ 三日–目に G5154 ἡμέρᾳ 日に G2250 ἐγερθήσεται. よみがえる G1453

そして彼をあざけり、むち打ち、十字架につけさせるために、異邦人に引きわたすであろう。そして彼は三日目によみがえるであろう」。

20 Τότε προσῆλθεν αὐτῷ ἡ μήτηρ τῶν υἱῶν Ζεβεδαίου μετὰ τῶν
その–時 近づいて–来た 彼に その 母が の 息子たちの ゼベダイの と共に その
G5119 G4334 G0846 G3588 G3384 G3588 G5207 G2199 G3326 G3588

υἱῶν αὐτῆς, προσκυνοῦσα, καὶ αἰτοῦσά τι ἀπ' αὐτοῦ.
息子たちと 彼女の ひれ伏して そして 願い 何かを から 彼に
G5207 G0846 G4352 G2532 G0154 G5100 G0575 G0846

そのとき、ゼベダイの子らの母が、その子らと一緒にイエスのもとにきてひざまずき、何事かをお願いした。

21 ὁ δὲ εἶπεν αὐτῇ, Τί θέλεις? λέγει αὐτῷ, Εἰπὲ ἵνα
その そして 言った 彼女に 何を 望むのか 言う 彼に 命じてください ように–と
G3588 G1161 G3004 G0846 G5101 G2309 G3004 G0846 G3004 G2443

καθίσωσιν οὗτοι οἱ δύο υἱοί μου εἷς ἐκ δεξιῶν ‹σου›, καὶ
座れるように この 二人の 二人の 息子が 私の 一人は に 右に あなたの そして
G2523 G3778 G3588 G1417 G5207 G1473 G1520 G1537 G1188 G4771 G2532

εἷς ἐξ εὐωνύμων σου, ἐν τῇ βασιλείᾳ σου.
一人は に 左に あなたの で その 王国で あなたの
G1520 G1537 G2176 G4771 G1722 G3588 G0932 G4771

そこでイエスは彼女に言われた、「何をしてほしいのか」。彼女は言った、「わたしのこのふたりのむすこが、あなたの御国で、ひとりはあなたの右に、ひとりは左にすわれるように、お言葉をください」。

22 ἀποκριθεὶς δὲ, ὁ Ἰησοῦς εἶπεν, Οὐκ οἴδατε τί
答えて そして その イエスは 言った ない あなたがたは–知らない 何を
G0611 G1161 G3588 G2424 G3004 G3756 G1492 G5101

αἰτεῖσθε. δύνασθε πιεῖν τὸ ποτήριον ὃ ἐγὼ μέλλω πίνειν?
求めているかを できるか 飲むことが その 杯を それを 私が これから 飲もうとしている
G0154 G1410 G4095 G3588 G4221 G3739 G1473 G3195 G4095

‹ἢ τὸ βάπτισμα ὃ ἐγὼ βαπτίζομαι βαπτισθῆναι›? λέγουσιν αὐτῷ,
あるいは その バプテスマを それを 私が 受ける 受けることが 言う 彼に
G2228 G3588 G0908 G3739 G1473 G0907 G0907 G3004 G0846

Δυνάμεθα.
できます
G1410

イエスは答えて言われた、「あなたがたは、自分が何を求めているのか、わかっていない。わたしの飲もうとしている杯を飲むことができるか」。彼らは「できます」と答えた。

23 λέγει αὐτοῖς, Τὸ μὲν ποτήριόν μου πίεσθε; ‹βάπτισμα ὃ ἐγὼ
言う 彼らに その 確かに 杯を 私の あなたがたは–飲む バプテスマを それを 私が
G3004 G0846 G3588 G3303 G4221 G1473 G4095 G0908 G3739 G1473

βαπτίζομαι, βαπτισθήσεσθε›; τὸ δὲ καθίσαι ἐκ δεξιῶν μου καὶ, ἐξ
受ける 受けるであろう しかし その 座ることは に 右に 私の また に
G0907 G0907 G3588 G1161 G2523 G1537 G1188 G1473 G2532 G1537

εὐωνύμων, οὐκ ἔστιν ἐμὸν τοῦτο δοῦναι; ἀλλ' οἷς
左に ない である 私の これは 与える–ことは そうではなく その–者たちに
G2176 G3756 G1510 G1699 G3778 G1325 G0235 G3739

ἡτοίμασται ὑπὸ τοῦ Πατρός μου.
備えられた によって その 父に–よって 私の
G2090 G5259 G3588 G3962 G1473

イエスは彼らに言われた、「確かに、あなたがたはわたしの杯を飲むことになろう。しかし、わたしの右、左にすわらせることは、わたしのすることではなく、わたしの父によって備えられている人々だけに許されることである」。

24 καὶ そして G2532 | ἀκούσαντες, 聞いて G0191 | οἱ その G3588 | δέκα 十人は G1176 | ἠγανάκτησαν 憤慨した G0023 | περὶ について G4012 | τῶν その G3588 | δύο 二人の G1417 | ἀδελφῶν. 兄弟たちに–ついて G0080

十人の者はこれを聞いて、このふたりの兄弟たちのことで憤慨した。

25 ὁ その G3588 | δὲ しかし G1161 | Ἰησοῦς, イエスは G2424 | προσκαλεσάμενος 呼び–寄せて G4341 | αὐτοὺς, 彼らを G0846 | εἶπεν, 言った G3004 | Οἴδατε あなたがたは–知っている G1492 | ὅτι と G3754 | οἱ その G3588 | ἄρχοντες 支配者たちが G0758 | τῶν の G3588 | ἐθνῶν 異邦人の G1484 | κατακυριεύουσιν 支配している G2634 | αὐτῶν, 彼らを G0846 | καὶ そして G2532 | οἱ その G3588 | μεγάλοι 偉い–者たちが G3173 | κατεξουσιάζουσιν 権力を–振るう G2715 | αὐτῶν. 彼らに G0846

そこで、イエスは彼らを呼び寄せて言われた、「あなたがたの知っているとおり、異邦人の支配者たちはその民を治め、また偉い人たちは、その民の上に権力をふるっている。

26 οὐχ ではない G3756 | οὕτως このように G3779 | ἔσται あるべきだ G1510 | ἐν の–中で G1722 | ὑμῖν; あなたがたの G4771 | ἀλλ’ しかし G0235 | ὃς 誰でも G3739 | ἐὰν もし G1437 | θέλῃ 望むなら G2309 | ἐν の–中で G1722 | ὑμῖν あなたがたの G4771 | μέγας 偉く G3173 | γενέσθαι, なりたいなら G1096 | ἔσται なりなさい G1510 | ὑμῶν あなたがたの G4771 | διάκονος; 仕える者に G1249

あなたがたの間ではそうであってはならない。かえって、あなたがたの間で偉くなりたいと思う者は、仕える人となり、

27 καὶ そして G2532 | ὃς 誰でも G3739 | ἂν もし G0302 | θέλῃ 望むなら G2309 | ἐν の–中で G1722 | ὑμῖν あなたがたの G4771 | εἶναι である G1510 | πρῶτος, 第一で G4413 | ἔσται なりなさい G1510 | ὑμῶν あなたがたの G4771 | δοῦλος; しもべに G1401

あなたがたの間でかしらになりたいと思う者は、僕とならねばならない。

28 ὥσπερ ちょうど G5618 | ὁ その G3588 | Υἱὸς 人の–子が G5207 | τοῦ の G3588 | ἀνθρώπου 人の G0444 | οὐκ ない G3756 | ἦλθεν 来たのは G2064 | διακονηθῆναι, 仕えられるためでなく G1247 | ἀλλὰ そうではなく G0235 | διακονῆσαι, 仕えるため G1247 | καὶ そして G2532 | δοῦναι 与えるため G1325 | τὴν その G3588 | ψυχὴν 命を G5590 | αὐτοῦ 彼の G0846 | λύτρον 身代金として G3083 | ἀντὶ の–代わりに G0473 | πολλῶν. 多くの–人の G4183

それは、人の子がきたのも、仕えられるためではなく、仕えるためであり、また多くの人のあがないとして、自分の命を与えるためであるのと、ちょうど同じである」。

29 Καὶ そして G2532 | ἐκπορευομένων 出て–行く–時 G1607 | αὐτῶν 彼らが G0846 | ἀπὸ から G0575 | Ἰεριχὼ, エリコから G2410 | ἠκολούθησεν ついて–来た G0190 | αὐτῷ 彼に G0846 | ὄχλος 群衆が G3793 | πολύς. 大勢の G4183

それから、彼らがエリコを出て行ったとき、大ぜいの群衆がイエスに従ってきた。

30 καὶ ἰδοὺ, δύο τυφλοὶ καθήμενοι παρὰ τὴν ὁδόν, ἀκούσαντες ὅτι
すると 見よ 二人の 盲人が 座っていた そばに その 道の 聞いて と
G2532 G3708 G1417 G5185 G2521 G3844 G3588 G3598 G0191 G3754

Ἰησοῦς παράγει, ἔκραξαν, λέγοντες, Κύριε, «ἐλέησον ἡμᾶς», υἱὸς Δαυίδ.
イエスが 通られると 叫んだ 言って 主よ 憐れんで-ください 私たちを 子よ ダビデの
G2424 G3855 G2896 G3004 G2962 G1653 G1473 G5207 G1138

すると、ふたりの盲人が道ばたにすわっていたが、イエスがとおって行かれると聞いて、叫んで言った、「主よ、ダビデの子よ、わたしたちをあわれんで下さい」。

31 ὁ δὲ ὄχλος ἐπετίμησεν αὐτοῖς, ἵνα σιωπήσωσιν. οἱ δὲ
その しかし 群衆は 叱った 彼らを ように-と 黙らせようと しかし その
G3588 G1161 G3793 G2008 G0846 G2443 G4623 G3588 G1161

μεῖζον ἔκραξαν, λέγοντες, Κύριε, «ἐλέησον ἡμᾶς», υἱὸς Δαυίδ.
もっと-大きく 叫んだ 言って 主よ 憐れんで-ください 私たちを 子よ ダビデの
G3173 G2896 G3004 G2962 G1653 G1473 G5207 G1138

群衆は彼らをしかって黙らせようとしたが、彼らはますます叫びつづけて言った、「主よ、ダビデの子よ、わたしたちをあわれんで下さい」。

32 καὶ στὰς, ὁ Ἰησοῦς ἐφώνησεν αὐτοὺς, καὶ εἶπεν, Τί θέλετε
そして 立ち止まって その イエスは 呼んだ 彼らを そして 言った 何を 望むのか
G2532 G2476 G3588 G2424 G5455 G0846 G2532 G3004 G5101 G2309

ποιήσω ὑμῖν?
して-あげようか あなたがたに
G4160 G4771

イエスは立ちどまり、彼らを呼んで言われた、「わたしに何をしてほしいのか」。

33 λέγουσιν αὐτῷ, Κύριε, ἵνα ἀνοιγῶσιν οἱ ὀφθαλμοὶ ἡμῶν.
言う 彼に 主よ どうか 開かれますように その 目が 私たちの
G3004 G0846 G2962 G2443 G0455 G3588 G3788 G1473

彼らは言った、「主よ、目をあけていただくことです」。

34 σπλαγχνισθεὶς δὲ, ὁ Ἰησοῦς ἥψατο τῶν ὀμμάτων αὐτῶν; καὶ εὐθέως
深く-憐れんで そして その イエスは 触れた その 目に 彼らの すると すぐに
G4697 G1161 G3588 G2424 G0680 G3588 G3659 G0846 G2532 G2112

ἀνέβλεψαν, καὶ ἠκολούθησαν αὐτῷ.
見える-ようになった そして 従った 彼に
G0308 G2532 G0190 G0846

イエスは深くあわれんで、彼らの目にさわられた。すると彼らは、たちまち見えるようになり、イエスに従って行った。

Chapter 21

1 Καὶ ὅτε ἤγγισαν εἰς Ἱεροσόλυμα καὶ ἦλθον εἰς Βηθφαγὴ εἰς
そして 近づいた-時 近づいた へ エルサレムに そして 来た へ ベテパゲに へ
G2532 G3753 G1448 G1519 G2414 G2532 G2064 G1519 G0967 G1519

τὸ ὄρος τῶν Ἐλαιῶν, τότε Ἰησοῦς ἀπέστειλεν δύο μαθητὰς,
その 山に の オリーブの その-時 イエスは 遣わした 二人の 弟子たちを
G3588 G3735 G3588 G1636 G5119 G2424 G0649 G1417 G3101

さて、彼らがエルサレムに近づき、オリブ山沿いのベテパゲに着いたとき、イエスはふたりの弟子をつかわして言われた、

2

λέγων	αὐτοῖς,	Πορεύεσθε	εἰς	τὴν	κώμην,	τὴν	κατέναντι	ὑμῶν,	καὶ
言って	彼らに	行きなさい	へ	その	村に	その	向かいの	あなたがたの	すると
G3004	G0846	G4198	G1519	G3588	G2968	G3588	G2713	G4771	G2532

εὐθέως	εὑρήσετε	ὄνον	δεδεμένην,	καὶ	πῶλον	μετ’	αὐτῆς;	λύσαντες	
すぐに	見つける	ろばが	つながれている–のを	そして	子ろばが	と共に	それの	解いて	
G2112	G2147	G3688	G1210	G2532	G4454	G3326	G0846	G3089	

ἀγάγετέ	μοι.
連れて–来なさい	私に
G0071	G1473

「向こうの村へ行きなさい。するとすぐ、ろばがつながれていて、子ろばがそばにいるのを見るであろう。それを解いてわたしのところに引いてきなさい。

3

καὶ	ἐάν	τις	ὑμῖν	εἴπῃ	τι,	ἐρεῖτε,	ὅτι	Ὁ	Κύριος
もし	もし	誰かが	あなたがたに	言ったら	何かを	言いなさい	と	その	主が
G2532	G1437	G5100	G4771	G3004	G5100	G2046	G3754	G3588	G2962

αὐτῶν	χρείαν	ἔχει.	εὐθὺς	δὲ,	ἀποστελεῖ	αὐτούς.	
それらを	必要と	している	すぐに	そして	送り–返す	それらを	
G0846	G5532	G2192	G2112	G1161	G0649	G0846	

もしだれかが、あなたがたに何か言ったなら、主がお入り用なのです、と言いなさい。そう言えば、すぐ渡してくれるであろう」。

4

Τοῦτο	δὲ	γέγονεν,	ἵνα	πληρωθῇ	τὸ	ῥηθὲν	διὰ	τοῦ	
これは	そして	起こった	ために	成就する–ために	その	語られた–ことが	を–通して	その	
G3778	G1161	G1096	G2443	G4137	G3588	G2046	G1223	G3588	

προφήτου,	λέγοντος,
預言者を	言った
G4396	G3004

こうしたのは、預言者によって言われたことが、成就するためである。

5

Εἴπατε	τῇ	θυγατρὶ	Σιών,	Ἰδοὺ,	ὁ	Βασιλεύς	σου	ἔρχεταί	σοι,
言いなさい	その	娘に	シオンの	見よ	その	王が	あなたの	来る	あなたに
G3004	G3588	G2364	G4622	G3708	G3588	G0935	G4771	G2064	G4771

πραΰς	καὶ	ἐπιβεβηκὼς	ἐπὶ	ὄνον,	καὶ	ἐπὶ	πῶλον,	υἱὸν	ὑποζυγίου.
柔和で	そして	乗って	の–上に	ろばに	そして	の–上に	子ろばに	子に	荷馬の
G4239	G2532	G1910	G1909	G3688	G2532	G1909	G4454	G5207	G5268

すなわち、「シオンの娘に告げよ、見よ、あなたの王がおいでになる、柔和なおかたで、ろばに乗って、くびきを負うろばの子に乗って」。

6

πορευθέντες	δὲ	οἱ	μαθηταὶ,	καὶ	ποιήσαντες	καθὼς	συνέταξεν	αὐτοῖς	
行って	そして	その	弟子たちは	そして	した	ように	命じた	彼らに	
G4198	G1161	G3588	G3101	G2532	G4160	G2531	G4929	G0846	

ὁ	Ἰησοῦς,
その	イエスが
G3588	G2424

弟子たちは出て行って、イエスがお命じになったとおりにし、

7 ἤγαγον 連れて–来た G0071 τὴν その G3588 ὄνον ろばと G3688 καὶ そして G2532 τὸν その G3588 πῶλον, 子ろばを G4454 καὶ そして G2532 ἐπέθηκαν かけた G2007 ἐπ’ の–上に G1909 αὐτῶν それらの G0846

τὰ その G3588 ἱμάτια, 上着を G2440 καὶ そして G2532 ἐπεκάθισεν 乗った G1940 ἐπάνω 上に G1883 αὐτῶν. それらの G0846

ろばと子ろばとを引いてきた。そしてその上に自分たちの上着をかけると、イエスはそれにお乗りになった。

8 ὁ その G3588 δὲ そして G1161 πλεῖστος 最も–多くの G4118 ὄχλος 群衆は G3793 ἔστρωσαν 敷いた G4766 ἑαυτῶν 彼らの G1438 τὰ その G3588 ἱμάτια 上着を G2440 ἐν に G1722 τῇ その G3588 ὁδῷ; 道に G3598

ἄλλοι 他の–者たちは G0243 δὲ また G1161 ἔκοπτον 切った G2875 κλάδους 枝を G2798 ἀπὸ から G0575 τῶν その G3588 δένδρων, 木から G1186 καὶ そして G2532 ἐστρώννυον 敷いた G4766 ἐν に G1722

τῇ その G3588 ὁδῷ. 道に G3598

群衆のうち多くの者は自分たちの上着を道に敷き、また、ほかの者たちは木の枝を切ってきて道に敷いた。

9 οἱ その G3588 δὲ そして G1161 ὄχλοι 群衆は G3793 οἱ その G3588 προάγοντες 先に–行く–者たちと G4254 αὐτὸν, 彼の G0846 καὶ そして G2532 οἱ その G3588 ἀκολουθοῦντες, 後に–従う–者たちは G0190

ἔκραζον, 叫んだ G2896 λέγοντες, 言って G3004 Ὡσαννὰ ホサナ G5614 τῷ その G3588 υἱῷ 子に G5207 Δαυίδ! ダビデの G1138 Εὐλογημένος 祝福–された G2127 ὁ その G3588 ἐρχόμενος 来る–者 G2064 ἐν で G1722

ὀνόματι 御名に–よって G3686 Κυρίου! 主の G2962 Ὡσαννὰ ホサナ G5614 ἐν で G1722 τοῖς その G3588 ὑψίστοις! いと–高き–所に G5310

そして群衆は、前に行く者も、あとに従う者も、共に叫びつづけた、「ダビデの子に、ホサナ。主の御名によってきたる者に、祝福あれ。いと高き所に、ホサナ」。

10 καὶ そして G2532 εἰσελθόντος 入った–時 G1525 αὐτοῦ 彼が G0846 εἰς へ G1519 Ἱεροσόλυμα, エルサレムに G2414 ἐσείσθη 揺れ–動いた G4579 πᾶσα すべての G3956 ἡ その G3588 πόλις, 都が G4172

λέγουσα, 言って G3004 Τίς 誰 G5101 ἐστιν である G1510 οὗτος? この–者は G3778

イエスがエルサレムにはいって行かれたとき、町中がこぞって騒ぎ立ち、「これは、いったい、どなただろう」と言った。

11 οἱ その G3588 δὲ そして G1161 ὄχλοι 群衆は G3793 ἔλεγον, 言った G3004 Οὗτός この–者は G3778 ἐστιν である G1510 ὁ その G3588 προφήτης, 預言者 G4396 Ἰησοῦς, イエスで G2424 ὁ その G3588 ἀπὸ から G0575

Ναζαρὲθ ナザレの G3478 τῆς の G3588 Γαλιλαίας. ガリラヤの G1056

そこで群衆は、「この人はガリラヤのナザレから出た預言者イエスである」と言った。

12 Καὶ そして G2532 εἰσῆλθεν 入った G1525 Ἰησοῦς イエスは G2424 εἰς へ G1519 τὸ その G3588 ἱερὸν 神殿に G2411 καὶ そして G2532 ἐξέβαλεν 追い-出した G1544 πάντας すべての G3956 τοὺς その G3588 πωλοῦντας 売る-者たちと G4453 καὶ と G2532 ἀγοράζοντας 買う-者たちを G0059 ἐν の-中から G1722 τῷ その G3588 ἱερῷ, 神殿の G2411 καὶ そして G2532 τὰς その G3588 τραπέζας 台を G5132 τῶν の G3588 κολλυβιστῶν 両替人たちの G2855 κατέστρεψεν, ひっくり返した G2690 καὶ そして G2532 τὰς その G3588 καθέδρας 座を G2515 τῶν の G3588 πωλούντων 売る-者たちの G4453 τὰς その G3588 περιστεράς. 鳩の G4058

それから、イエスは宮にはいられた。そして、宮の庭で売り買いしていた人々をみな追い出し、また両替人の台や、はとを売る者の腰掛をくつがえされた。

13 καὶ そして G2532 λέγει 言う G3004 αὐτοῖς, 彼らに G0846 Γέγραπται, 書かれている G1125 Ὁ その G3588 οἶκός 家は G3624 μου 私の G1473 οἶκος 家と G3624 προσευχῆς 祈りの G4335 κληθήσεται; 呼ばれる G2564 ὑμεῖς あなたがたは G4771 δὲ しかし G1161 αὐτὸν それを G0846 ποιεῖτε している G4160 σπήλαιον 巣窟に G4693 λῃστῶν. 強盗の G3027

そして彼らに言われた、「『わたしの家は、祈の家ととなえらるべきである』と書いてある。それだのに、あなたがたはそれを強盗の巣にしている」。

14 Καὶ そして G2532 προσῆλθον 来た G4334 αὐτῷ 彼に G0846 τυφλοὶ 盲人たちと G5185 καὶ と G2532 χωλοὶ 足の-不自由な-者たちが G5560 ἐν で G1722 τῷ その G3588 ἱερῷ, 神殿に G2411 καὶ そして G2532 ἐθεράπευσεν 癒した G2323 αὐτούς. 彼らを G0846

そのとき宮の庭で、盲人や足なえがみもとにきたので、彼らをおいやしになった。

15 ἰδόντες 見て G3708 δὲ しかし G1161 οἱ その G3588 ἀρχιερεῖς 祭司長たちと G0749 καὶ そして G2532 οἱ その G3588 γραμματεῖς, 律法学者たちは G1122 τὰ その G3588 θαυμάσια 驚くべき-事を G2297 ἃ それを G3739 ἐποίησεν, 行った G4160 καὶ そして G2532 τοὺς その G3588 παῖδας 子どもたちが G3816 τοὺς その G3588 κράζοντας 叫んでいる-のを G2896 ἐν で G1722 τῷ その G3588 ἱερῷ, 神殿で G2411 καὶ そして G2532 λέγοντας, 言っている G3004 Ὡσαννὰ ホサナ G5614 τῷ その G3588 υἱῷ 子に G5207 Δαυίδ, ダビデの G1138 ἠγανάκτησαν, 憤慨した G0023

しかし、祭司長、律法学者たちは、イエスがなされた不思議なわざを見、また宮の庭で「ダビデの子に、ホサナ」と叫んでいる子供たちを見て立腹し、

16	καὶ	εἶπαν	αὐτῷ,	Ἀκούεις	τί	οὗτοι	λέγουσιν?	ὁ	δὲ	Ἰησοῦς
そして	言った	彼に	聞くのか	何を	この–者たちが	言っている–のを	その	そして	イエスは
G2532	G3004	G0846	G0191	G5101	G3778	G3004	G3588	G1161	G2424

λέγει	αὐτοῖς,	Ναί,	οὐδέποτε	ἀνέγνωτε,	ὅτι	Ἐκ	στόματος	νηπίων
言う	彼らに	はい	一度も–ない	読んだことが–ないのか	と	から	口から	幼子たちと
G3004	G0846	G3483	G3763	G0314	G3754	G1537	G4750	G3516

καὶ	θηλαζόντων,	κατηρτίσω	αἶνον?
そして	乳飲み子たちの	整えた	賛美を
G2532	G2337	G2675	G0136

イエスに言った、「あの子たちが何を言っているのか、お聞きですか」。イエスは彼らに言われた、「そうだ、聞いている。あなたがたは『幼な子、乳のみ子たちの口にさんびを備えられた』とあるのを読んだことがないのか」。

17	Καὶ	καταλιπὼν	αὐτοὺς,	ἐξῆλθεν	ἔξω	τῆς	πόλεως	εἰς	Βηθανίαν,	καὶ
そして	残して	彼らを	出て–行った	外へ	の	都の	へ	ベタニヤに	そして
G2532	G2641	G0846	G1831	G1854	G3588	G4172	G1519	G0963	G2532

ηὐλίσθη	ἐκεῖ.
泊まった	そこに
G0835	G1563

それから、イエスは彼らをあとに残し、都を出てベタニヤに行き、そこで夜を過ごされた。

18	Πρωΐ	δὲ,	ἐπανάγων	εἰς	τὴν	πόλιν,	ἐπείνασεν,
朝	そして	戻る–時	へ	その	都に	空腹に–なった
G4404	G1161	G1877	G1519	G3588	G4172	G3983

朝はやく都に帰るとき、イエスは空腹をおぼえられた。

19	καὶ	ἰδὼν	συκῆν	μίαν	ἐπὶ	τῆς	ὁδοῦ,	ἦλθεν	ἐπ’	αὐτήν,
そして	見て	いちじくの–木を	一本の	の–そばの	その	道の	来た	の–ところに	それの
G2532	G3708	G4808	G1520	G1909	G3588	G3598	G2064	G1909	G0846

καὶ	οὐδὲν	εὗρεν	ἐν	αὐτῇ,	εἰ	μὴ	φύλλα	μόνον.	καὶ	λέγει
しかし	何も	見つけなかった	に	それに	ただ	しか–ない	葉	だけ	そして	言う
G2532	G3762	G2147	G1722	G0846	G1487	G3361	G5444	G3440	G2532	G3004

αὐτῇ,	Οὐ,	μηκέτι	ἐκ	σοῦ	καρπὸς	γένηται,	εἰς	τὸν	αἰῶνα.	καὶ
それに	もう	二度と	から	おまえから	実が	なるな	へ	その	永遠に	すると
G0846	G3756	G3371	G1537	G4771	G2590	G1096	G1519	G3588	G0165	G2532

ἐξηράνθη	παραχρῆμα	ἡ	συκῆ.
枯れた	たちまち	その	いちじくの–木は
G3583	G3916	G3588	G4808

そして、道のかたわらに一本のいちじくの木があるのを見て、そこに行かれたが、ただ葉のほかは何も見当らなかった。そこでその木にむかって、「今から後いつまでも、おまえには実がならないように」と言われた。すると、いちじくの木はたちまち枯れた。

20	καὶ	ἰδόντες	οἱ	μαθηταὶ	ἐθαύμασαν,	λέγοντες,	Πῶς	παραχρῆμα	ἐξηράνθη
そして	見て	その	弟子たちは	驚いた	言って	なぜ	たちまち	枯れたのか
G2532	G3708	G3588	G3101	G2296	G3004	G4459	G3916	G3583

ἡ	συκῆ?
その	いちじくの–木は
G3588	G4808

弟子たちはこれを見て、驚いて言った、「いちじくがどうして、こうすぐに枯れたのでしょう」。

21 ἀποκριθεὶς δὲ, ὁ Ἰησοῦς εἶπεν αὐτοῖς, Ἀμὴν, λέγω ὑμῖν, ἐὰν
答えて そして その イエスは 言った 彼らに まことに 言う あなたがたに もし
G0611 G1161 G3588 G2424 G3004 G0846 G0281 G3004 G4771 G1437

ἔχητε πίστιν, καὶ μὴ διακριθῆτε, οὐ μόνον τὸ τῆς
持っているなら 信仰を そして ない 疑わないなら ない だけで–なく その の
G2192 G4102 G2532 G3361 G1252 G3756 G3440 G3588 G3588

συκῆς ποιήσετε, ἀλλὰ κἂν τῷ ὄρει τούτῳ εἴπητε, Ἄρθητι
いちじくの–木の–ことを するだろう むしろ たとえ その 山に この 言っても 取り–除かれよ
G4808 G4160 G0235 G2579 G3588 G3735 G3778 G3004 G0142

καὶ βλήθητι εἰς τὴν θάλασσαν, γενήσεται.
そして 投げ–込まれよ へ その 海に なるであろう
G2532 G0906 G1519 G3588 G2281 G1096

イエスは答えて言われた、「よく聞いておくがよい。もしあなたがたが信じて疑わないならば、このいちじくにあったようなことが、できるばかりでなく、この山にむかって、動き出して海の中にはいれと言っても、そのとおりになるであろう。

22 καὶ πάντα ὅσα ἂν αἰτήσητε ἐν τῇ προσευχῇ, πιστεύοντες,
そして すべてのこと 何でも であれば 求めるなら で その 祈りの–中で 信じて
G2532 G3956 G3745 G0302 G0154 G1722 G3588 G4335 G4100

λήμψεσθε.
受けるであろう
G2983

また、祈のとき、信じて求めるものは、みな与えられるであろう」。

23 Καὶ ἐλθόντος αὐτοῦ εἰς τὸ ἱερὸν. προσῆλθον αὐτῷ διδάσκοντι οἱ
そして 来た–時 彼が へ その 神殿に 来た 彼に 教えている–時 その
G2532 G2064 G0846 G1519 G3588 G2411 G4334 G0846 G1321 G3588

ἀρχιερεῖς καὶ οἱ πρεσβύτεροι τοῦ λαοῦ, λέγοντες, Ἐν ποίᾳ ἐξουσίᾳ
祭司長たちと そして その 長老たちが の 民の 言って 何の どのような 権威で
G0749 G2532 G3588 G4245 G3588 G2992 G3004 G1722 G4169 G1849

ταῦτα ποιεῖς? καὶ τίς σοι ἔδωκεν τὴν ἐξουσίαν ταύτην?
これらの–ことを しているのか そして 誰が あなたに 与えたのか この 権威を この
G3778 G4160 G2532 G5101 G4771 G1325 G3588 G1849 G3778

イエスが宮にはいられたとき、祭司長たちや民の長老たちが、その教えておられる所にきて言った、「何の権威によって、これらの事をするのですか。だれが、そうする権威を授けたのですか」。

24 ἀποκριθεὶς δὲ, ὁ Ἰησοῦς εἶπεν αὐτοῖς, Ἐρωτήσω ὑμᾶς κἀγὼ
答えて そして その イエスは 言った 彼らに 尋ねよう あなたがたに 私も–また
G0611 G1161 G3588 G2424 G3004 G0846 G2065 G4771 G2504

λόγον ἕνα, ὃν ἐὰν εἴπητέ μοι, κἀγὼ ὑμῖν ἐρῶ, ἐν
ことを 一つの それを もし 答えるなら 私に 私も–また あなたがたに 言おう 何の
G3056 G1520 G3739 G1437 G3004 G1473 G2504 G4771 G2046 G1722

ποίᾳ ἐξουσίᾳ ταῦτα ποιῶ.
どのような 権威で これらの–ことを しているか
G4169 G1849 G3778 G4160

そこでイエスは彼らに言われた、「わたしも一つだけ尋ねよう。あなたがたがそれに答えてくれたなら、わたしも、何の権威によってこれらの事をするのか、あなたがたに言おう。

25 τὸ その G3588 βάπτισμα バプテスマは G0908 τὸ その G3588 Ἰωάννου, ヨハネの G2491 πόθεν どこから G4159 ἦν? であったか G1510 ἐξ から G1537 οὐρανοῦ, 天から G3772 ἢ それとも G2228 ἐξ から G1537

ἀνθρώπων? 人々から–か G0444 οἱ その G3588 δὲ そして G1161 διελογίζοντο 論じ–合った G1260 ἐν の–中で G1722 ἑαυτοῖς, 彼ら–自身で G1438 λέγοντες, 言って G3004 Ἐὰν もし G1437 εἴπωμεν, 言えば G3004

Ἐξ から G1537 οὐρανοῦ, 天から–と G3772 ἐρεῖ 言うだろう G2046 ἡμῖν, 私たちに G1473 Διὰ なぜ G1223 τί では G5101 οὖν それなら G3767 οὐκ なかったのか G3756 ἐπιστεύσατε 信じ G4100

αὐτῷ? 彼を G0846

ヨハネのバプテスマはどこからきたのであったか。天からであったか、人からであったか」。すると、彼らは互に論じて言った、「もし天からだと言えば、では、なぜ彼を信じなかったのか、とイエスは言うだろう。

26 ἐὰν もし G1437 δὲ また G1161 εἴπωμεν, 言えば G3004 Ἐξ から G1537 ἀνθρώπων, 人々から–と G0444 φοβούμεθα 恐れる G5399 τὸν その G3588 ὄχλον; 群衆を G3793 πάντες すべての–者が G3956

γὰρ なぜなら G1063 ὡς として G5613 προφήτην 預言者と G4396 ἔχουσιν みなしている G2192 τὸν その G3588 Ἰωάννην. ヨハネを G2491

しかし、もし人からだと言えば、群衆が恐ろしい。人々がみなヨハネを預言者と思っているのだから」。

27 καὶ そして G2532 ἀποκριθέντες 答えて G0611 τῷ その G3588 Ἰησοῦ, イエスに G2424 εἶπαν, 言った G3004 Οὐκ ない G3756 οἴδαμεν. わからない G1492 ἔφη 言った G5346 αὐτοῖς 彼らに G0846 καὶ また G2532

αὐτός, 彼–自身も G0846 Οὐδὲ ない G3761 ἐγὼ 私も G1473 λέγω 言わ G3004 ὑμῖν, あなたがたに G4771 ἐν 何の G1722 ποίᾳ どのような G4169 ἐξουσίᾳ 権威で G1849 ταῦτα これらの–ことを G3778

ποιῶ. しているか G4160

そこで彼らは、「わたしたちにはわかりません」と答えた。すると、イエスが言われた、「わたしも何の権威によってこれらの事をするのか、あなたがたに言うまい。

28 Τί 何を G5101 δὲ しかし G1161 ὑμῖν あなたがたは G4771 δοκεῖ? 思うか G1380 ἄνθρωπος ある–人が G0444 εἶχεν いた G2192 τέκνα 子どもが G5043 δύο, 二人 G1417 [καὶ] そして G2532 προσελθὼν 近づいて G4334

τῷ その G3588 πρώτῳ 最初の–者に G4413 εἶπεν, 言った G3004 Τέκνον, 子よ G5043 ὕπαγε 行きなさい G5217 σήμερον, 今日 G4594 ἐργάζου 働きなさい G2038 ἐν で G1722 τῷ その G3588 ἀμπελῶνι. ぶどう園で G0290

あなたがたはどう思うか。ある人にふたりの子があったが、兄のところに行って言った、『子よ、きょう、ぶどう園へ行って働いてくれ』。

29 ὁ δὲ ἀποκριθεὶς εἶπεν, ‹κύριε› ‹Οὐ θέλω; ὕστερον δὲ,
その しかし 答えて 言った はい いいえ 嫌です 後に-なって しかし
G3588 G1161 G0611 G3004 G2962 G3756 G2309 G5305 G1161

μεταμεληθεὶς› ἀπῆλθεν.
悔い改めて 行った
G3338 G0565

すると彼は『おとうさん、参ります』と答えたが、行かなかった。

30 προσελθὼν δὲ τῷ δευτέρῳ, εἶπεν ὡσαύτως. ὁ δὲ ἀποκριθεὶς
近づいて また その 二番目の-者に 言った 同じように その しかし 答えて
G4334 G1161 G3588 G1208 G3004 G5615 G3588 G1161 G0611

εἶπεν, ἐγώ κύριε, καὶ οὐκ ἀπῆλθεν.
言った 私が はい しかし なかった 行か
G3004 G1473 G2962 G2532 G3756 G0565

また弟のところにきて同じように言った。彼は『いやです』と答えたが、あとから心を変えて、出かけた。

31 τίς ἐκ τῶν δύο ἐποίησεν τὸ θέλημα τοῦ πατρός? λέγουσιν,
どちらが の その 二人の-うち 行ったか その 意志を の 父の 言う
G5101 G1537 G3588 G1417 G4160 G3588 G2307 G3588 G3962 G3004

Ὁ πρῶτος. λέγει αὐτοῖς ὁ Ἰησοῦς, Ἀμὴν λέγω ὑμῖν, ὅτι οἱ
その 最初の-者です 言う 彼らに その イエスは まことに 言う あなたがたに と その
G3588 G4413 G3004 G0846 G3588 G2424 G0281 G3004 G4771 G3754 G3588

τελῶναι καὶ αἱ πόρναι προάγουσιν ὑμᾶς εἰς τὴν βασιλείαν
取税人たちと そして その 遊女たちが 先に-行く あなたがたより へ その 王国に
G5057 G2532 G3588 G4204 G4254 G4771 G1519 G3588 G0932

τοῦ Θεοῦ.
の 神の
G3588 G2316

このふたりのうち、どちらが父の望みどおりにしたのか」。彼らは言った、「あとの者です」。イエスは言われた、「よく聞きなさい。取税人や遊女は、あなたがたより先に神の国にはいる。

32 ἦλθεν γὰρ Ἰωάννης πρὸς ὑμᾶς ἐν ὁδῷ δικαιοσύνης, καὶ
来た なぜなら ヨハネは へ あなたがたの-ところに で 道で 義の しかし
G2064 G1063 G2491 G4314 G4771 G1722 G3598 G1343 G2532

οὐκ ἐπιστεύσατε αὐτῷ, οἱ δὲ τελῶναι καὶ αἱ πόρναι
なかった 信じ 彼を その しかし 取税人たちと そして その 遊女たちは
G3756 G4100 G0846 G3588 G1161 G5057 G2532 G3588 G4204

ἐπίστευσαν αὐτῷ; ὑμεῖς δὲ, ἰδόντες, οὐδὲ μετεμελήθητε ὕστερον
信じた 彼を あなたがたは しかし 見ても ない 悔い改め-なかった 後に-なっても
G4100 G0846 G4771 G1161 G3708 G3761 G3338 G5305

τοῦ πιστεῦσαι αὐτῷ.
ために 信じる-ために 彼を
G3588 G4100 G0846

というのは、ヨハネがあなたがたのところにきて、義の道を説いたのに、あなたがたは彼を信じなかった。ところが、取税人や遊女は彼を信じた。あなたがたはそれを見たのに、あとになっても、心をいれ変えて彼を信じようとしなかった。

33 Ἄλλην παραβολὴν ἀκούσατε: Ἄνθρωπος ἦν, οἰκοδεσπότης, ὅστις
もう-一つの たとえを 聞きなさい ある-人が いた 家の-主人で その-者は
G0243 G3850 G0191 G0444 G1510 G3617 G3748

ἐφύτευσεν ἀμπελῶνα, καὶ φραγμὸν αὐτῷ περιέθηκεν, καὶ ὤρυξεν ἐν
植えた ぶどう園を そして 垣根を それに めぐらした そして 掘った の-中に
G5452 G0290 G2532 G5418 G0846 G4060 G2532 G3736 G1722

αὐτῷ ληνὸν, καὶ ᾠκοδόμησεν πύργον, καὶ ἐξέδετο αὐτὸν γεωργοῖς,
それの 酒搾りを そして 建てた やぐらを そして 貸し-出した それを 農夫たちに
G0846 G3025 G2532 G3618 G4444 G2532 G1554 G0846 G1092

καὶ ἀπεδήμησεν.
そして 旅に-出た
G2532 G0589

もう一つの譬を聞きなさい。ある所に、ひとりの家の主人がいたが、ぶどう園を造り、かきをめぐらし、その中に酒ぶねの穴を掘り、やぐらを立て、それを農夫たちに貸して、旅に出かけた。

34 ὅτε δὲ ἤγγισεν ὁ καιρὸς τῶν καρπῶν, ἀπέστειλεν τοὺς δούλους
する-時 そして 近づいた その 時が の 実の 遣わした その しもべたちを
G3753 G1161 G1448 G3588 G2540 G3588 G2590 G0649 G3588 G1401

αὐτοῦ πρὸς τοὺς γεωργοὺς, λαβεῖν τοὺς καρποὺς αὐτοῦ.
彼の へ その 農夫たちの-ところに 受け取る-ために その 実を 彼の
G0846 G4314 G3588 G1092 G2983 G3588 G2590 G0846

収穫の季節がきたので、その分け前を受け取ろうとして、僕たちを農夫のところへ送った。

35 καὶ λαβόντες οἱ γεωργοὶ τοὺς δούλους αὐτοῦ, ὃν μὲν
しかし つかまえて その 農夫たちは その しもべたちを 彼の ある-者は 一方では
G2532 G2983 G3588 G1092 G3588 G1401 G0846 G3739 G3303

ἔδειραν, ὃν δὲ ἀπέκτειναν, ὃν δὲ ἐλιθοβόλησαν.
打った ある-者は また 殺した ある-者は また 石で-打った
G1194 G3739 G1161 G0615 G3739 G1161 G3036

すると、農夫たちは、その僕たちをつかまえて、ひとりを袋だたきにし、ひとりを殺し、もうひとりを石で打ち殺した。

36 πάλιν ἀπέστειλεν ἄλλους δούλους, πλείονας τῶν πρώτων, καὶ
再び 遣わした 他の しもべたちを 多くの より 最初の-者たちより しかし
G3825 G0649 G0243 G1401 G4119 G3588 G4413 G2532

ἐποίησαν αὐτοῖς ὡσαύτως.
した 彼らに 同じように
G4160 G0846 G5615

また別に、前よりも多くの僕たちを送ったが、彼らをも同じようにあしらった。

37 ὕστερον δὲ, ἀπέστειλεν πρὸς αὐτοὺς τὸν υἱὸν αὐτοῦ, λέγων,
後に そして 遣わした へ 彼らの-ところに その 息子を 彼の 言って
G5305 G1161 G0649 G4314 G0846 G3588 G5207 G0846 G3004

Ἐντραπήσονται τὸν υἱόν μου.
敬うだろう その 息子を 私の
G1788 G3588 G5207 G1473

しかし、最後に、わたしの子は敬ってくれるだろうと思って、主人はその子を彼らの所につかわした。

38 οἱ δὲ γεωργοὶ ἰδόντες τὸν υἱὸν, εἶπον ἐν ἑαυτοῖς, Οὗτός
その しかし 農夫たちは 見て その 息子を 言った の–中で 彼ら–自身で この–者は
G3588 G1161 G1092 G3708 G3588 G5207 G3004 G1722 G1438 G3778

ἐστιν ὁ κληρονόμος; δεῦτε, ἀποκτείνωμεν αὐτὸν, καὶ σχῶμεν τὴν
である その 相続人だ さあ 殺そう 彼を そして 手に–入れよう その
G1510 G3588 G2818 G1205 G0615 G0846 G2532 G2192 G3588

κληρονομίαν αὐτοῦ.
相続財産を 彼の
G2817 G0846

すると農夫たちは、その子を見て互に言った、『あれはあと取りだ。さあ、これを殺して、その財産を手に入れよう』。

39 καὶ λαβόντες αὐτὸν, ἐξέβαλον ἔξω τοῦ ἀμπελῶνος καὶ ἀπέκτειναν.
そして つかまえて 彼を 追い–出した 外へ の ぶどう園の そして 殺した
G2532 G2983 G0846 G1544 G1854 G3588 G0290 G2532 G0615

そして彼をつかまえて、ぶどう園の外に引き出して殺した。

40 ὅταν οὖν ἔλθῃ ὁ κύριος τοῦ ἀμπελῶνος, τί ποιήσει τοῖς
する–時 それゆえ 来たら その 主人が の ぶどう園の 何を するだろうか その
G3752 G3767 G2064 G3588 G2962 G3588 G0290 G5101 G4160 G3588

γεωργοῖς ἐκείνοις?
農夫たちに あの
G1092 G1565

このぶどう園の主人が帰ってきたら、この農夫たちをどうするだろうか」。

41 λέγουσιν αὐτῷ, Κακοὺς κακῶς ἀπολέσει αὐτούς, καὶ τὸν ἀμπελῶνα
言う 彼に 悪い–者たちを 悪く 滅ぼす 彼らを そして その ぶどう園を
G3004 G0846 G2556 G2560 G0622 G0846 G2532 G3588 G0290

ἐκδώσεται ἄλλοις γεωργοῖς, οἵτινες ἀποδώσουσιν αὐτῷ τοὺς καρποὺς ἐν
貸し–出す 他の 農夫たちに その–者たちは 納める 彼に その 実を に
G1554 G0243 G1092 G3748 G0591 G0846 G3588 G2590 G1722

τοῖς καιροῖς αὐτῶν.
その 時期に それらの
G3588 G2540 G0846

彼らはイエスに言った、「悪人どもを、皆殺しにして、季節ごとに収穫を納めるほかの農夫たちに、そのぶどう園を貸し与えるでしょう」。

42 Λέγει αὐτοῖς ὁ Ἰησοῦς, Οὐδέποτε ἀνέγνωτε ἐν ταῖς γραφαῖς,
言う 彼らに その イエスは 一度も–ない 読んだことが–ないのか の–中で その 聖書の
G3004 G0846 G3588 G2424 G3763 G0314 G1722 G3588 G1124

Λίθον ὃν ἀπεδοκίμασαν οἱ οἰκοδομοῦντες, οὗτος ἐγενήθη εἰς κεφαλὴν
石を それを 退けた その 建てる–者たちが この–ものが なった の かしらの
G3037 G3739 G0593 G3588 G3618 G3778 G1096 G1519 G2776

γωνίας; παρὰ Κυρίου ἐγένετο αὕτη, καὶ ἔστιν θαυμαστὴ ἐν ὀφθαλμοῖς
隅の から 主の なされた これは そして ある 驚くべき–ことで の–中で 目に
G1137 G3844 G2962 G1096 G3778 G2532 G1510 G2298 G1722 G3788

ἡμῶν?
私たちの
G1473

イエスは彼らに言われた、「あなたがたは、聖書でまだ読んだことがないのか、『家造りらの捨てた石が隅のかしら石になった。これは主がなされたことで、わたしたちの目には不思議に見える』。

43 διὰ それゆえ G1223 τοῦτο この-ため G3778 λέγω 言う G3004 ὑμῖν, あなたがたに G4771 ὅτι と G3754 ἀρθήσεται 取り-去られる G0142 ἀφ’ から G0575 ὑμῶν あなたがたから G4771 ἡ その G3588 βασιλεία 神の-国は G0932 τοῦ の G3588 Θεοῦ, 神の G2316 καὶ そして G2532 δοθήσεται 与えられる G1325 ἔθνει 民に G1484 ποιοῦντι 作る G4160 τοὺς その G3588 καρποὺς 実を G2590 αὐτῆς. その G0846

それだから、あなたがたに言うが、神の国はあなたがたから取り上げられて、御国にふさわしい実を結ぶような異邦人に与えられるであろう。

44 καὶ そして G2532 ὁ その G3588 πεσὼν 落ち-者は G4098 ἐπὶ の-上に G1909 τὸν この G3588 λίθον 石の G3037 τοῦτον, この G3778 συνθλασθήσεται; 砕かれる G4917 ἐφ’ の-上に G1909 ὃν その G3739 δ’ しかし G1161 ἂν もし G0302 πέσῃ, 落ちたら G4098 λικμήσει 粉々に-する G3039 αὐτόν. 彼を G0846

またその石の上に落ちる者は打ち砕かれ、それがだれかの上に落ちかかるなら、その人はこなみじんにされるであろう」。

45 Καὶ そして G2532 ἀκούσαντες 聞いて G0191 οἱ その G3588 ἀρχιερεῖς 祭司長たちと G0749 καὶ そして G2532 οἱ その G3588 Φαρισαῖοι パリサイ人たちは G5330 τὰς その G3588 παραβολὰς たとえを G3850 αὐτοῦ, 彼の G0846 ἔγνωσαν 知った G1097 ὅτι と G3754 περὶ について G4012 αὐτῶν 自分たちの-ことを G0846 λέγει. 言っていると G3004

祭司長たちやパリサイ人たちがこの譬を聞いたとき、自分たちのことをさして言っておられることを悟ったので、

46 καὶ そして G2532 ζητοῦντες つかまえようと-して G2212 αὐτὸν 彼を G0846 κρατῆσαι, つかまえようと-した G2902 ἐφοβήθησαν 恐れた G5399 τοὺς その G3588 ὄχλους, 群衆を G3793 ἐπεὶ なぜなら G1893 εἰς として G1519 προφήτην 預言者と G4396 αὐτὸν 彼を G0846 εἶχον. みなしていた G2192

イエスを捕えようとしたが、群衆を恐れた。群衆はイエスを預言者だと思っていたからである。

Chapter 22

1 Καὶ そして G2532 ἀποκριθεὶς 答えて G0611 ὁ その G3588 Ἰησοῦς イエスは G2424 πάλιν 再び G3825 εἶπεν 言った G3004 ἐν で G1722 παραβολαῖς たとえで G3850 αὐτοῖς, 彼らに G0846 λέγων, 言って G3004

イエスはまた、譬で彼らに語って言われた、

2 Ὡμοιώθη たとえられた G3666 ἡ その G3588 βασιλεία 天の-国は G0932 τῶν の G3588 οὐρανῶν 天の G3772 ἀνθρώπῳ, 人に G0444 βασιλεῖ, 王に G0935 ὅστις その-者は G3748 ἐποίησεν 設けた G4160 γάμους 婚宴を G1062 τῷ その G3588 υἱῷ 息子の-ために G5207 αὐτοῦ, 彼の G0846

「天国は、ひとりの王がその王子のために、婚宴を催すようなものである。

3 καὶ そして G2532 ἀπέστειλεν 遣わした G0649 τοὺς その G3588 δούλους しもべたちを G1401 αὐτοῦ, 彼の G0846 καλέσαι 招く-ために G2564 τοὺς その G3588 κεκλημένους 招かれた-者たちを G2564 εἰς へ G1519 τοὺς その G3588 γάμους, 婚宴に G1062 καὶ しかし G2532 οὐκ なかった G3756 ἤθελον 望ま G2309 ἐλθεῖν. 来ることを G2064

王はその僕たちをつかわして、この婚宴に招かれていた人たちを呼ばせたが、その人たちはこようとはしなかった。

4 πάλιν 再び G3825 ἀπέστειλεν 遣わした G0649 ἄλλους 他の G0243 δούλους, しもべたちを G1401 λέγων, 言って G3004 Εἴπατε 言いなさい G3004 τοῖς その G3588 κεκλημένοις, 招かれた-者たちに G2564 Ἰδοὺ, 見よ G3708 τὸ その G3588 ἄριστόν 食事を G0712 μου 私の G1473 ἡτοίμακα, 準備した G2090 οἱ その G3588 ταῦροί 雄牛と G5022 μου, 私の G1473 καὶ そして G2532 τὰ その G3588 σιτιστὰ 肥えた-家畜は G4619 τεθυμένα, 屠られた G2380 καὶ そして G2532 πάντα すべてが G3956 ἕτοιμα; 準備が-できた G2092 δεῦτε さあ-来なさい G1205 εἰς へ G1519 τοὺς その G3588 γάμους. 婚宴に G1062

そこでまた、ほかの僕たちをつかわして言った、『招かれた人たちに言いなさい。食事の用意ができました。牛も肥えた獣もほふられて、すべての用意ができました。さあ、婚宴においでください』。

5 οἱ その G3588 δὲ しかし G1161 ἀμελήσαντες 気に-とめず G0272 ἀπῆλθον, 行って-しまった G0565 ὃς ある-者は G3739 μὲν 一方では G3303 εἰς へ G1519 τὸν その G3588 ἴδιον 自分の G2398 ἀγρόν, 畑に G0068 ὃς ある-者は G3739 δὲ また G1161 ἐπὶ へ G1909 τὴν その G3588 ἐμπορίαν 商売に G1711 αὐτοῦ. 彼の G0846

しかし、彼らは知らぬ顔をして、ひとりは自分の畑に、ひとりは自分の商売に出て行き、

6 οἱ その G3588 δὲ また G1161 λοιποὶ, 残りの-者たちは G3062 κρατήσαντες つかまえて G2902 τοὺς その G3588 δούλους しもべたちを G1401 αὐτοῦ, 彼の G0846 ὕβρισαν 辱めて G5195 καὶ そして G2532 ἀπέκτειναν. 殺した G0615

またほかの人々は、この僕たちをつかまえて侮辱を加えた上、殺してしまった。

7 ὁ その G3588 δὲ そして G1161 βασιλεὺς 王は G0935 ὠργίσθη, 怒った G3710 καὶ そして G2532 πέμψας 遣わして G3992 τὰ その G3588 στρατεύματα 軍隊を G4753 αὐτοῦ, 彼の G0846 ἀπώλεσεν 滅ぼした G0622 τοὺς その G3588 φονεῖς 殺人者たちを G5406 ἐκείνους, あの G1565 καὶ そして G2532 τὴν その G3588 πόλιν 都を G4172 αὐτῶν 彼らの G0846 ἐνέπρησεν. 焼いた G1714

そこで王は立腹し、軍隊を送ってそれらの人殺しどもを滅ぼし、その町を焼き払った。

8 τότε λέγει τοῖς δούλοις αὐτοῦ, Ὁ μὲν γάμος ἕτοιμός ἐστιν,
その–時 言う その しもべたちに 彼の その 確かに 婚宴は 準備が–できている である
G5119 G3004 G3588 G1401 G0846 G3588 G3303 G1062 G2092 G1510

οἱ δὲ κεκλημένοι οὐκ ἦσαν ἄξιοι;
その しかし 招かれた–者たちは なかった であった ふさわしく
G3588 G1161 G2564 G3756 G1510 G0514

それから僕たちに言った、『婚宴の用意はできているが、招かれていたのは、ふさわしくない人々であった。

9 πορεύεσθε οὖν ἐπὶ τὰς διεξόδους τῶν ὁδῶν, καὶ ὅσους ἐὰν
行きなさい それゆえ へ その 大通りへ の 道の そして できるだけ–多くの もし
G4198 G3767 G1909 G3588 G1327 G3588 G3598 G2532 G3745 G1437

εὕρητε, καλέσατε εἰς τοὺς γάμους.
見つけたら 招きなさい へ その 婚宴に
G2147 G2564 G1519 G3588 G1062

だから、町の大通りに出て行って、出会った人はだれでも婚宴に連れてきなさい』。

10 καὶ ἐξελθόντες, οἱ δοῦλοι ἐκεῖνοι εἰς τὰς ὁδοὺς, συνήγαγον πάντας
そして 出て–行って その しもべたちは それらの へ その 道へ 集めた すべてを
G2532 G1831 G3588 G1401 G1565 G1519 G3588 G3598 G4863 G3956

οὓς εὗρον, πονηρούς τε καὶ ἀγαθούς; καὶ ἐπλήσθη ὁ γάμος
その–者を 見つけた 悪い–者も また そして 善い–者も そして 満たされた その 婚宴は
G3739 G2147 G4190 G5037 G2532 G0018 G2532 G4130 G3588 G1062

ἀνακειμένων.
席に–ついた–者で
G0345

そこで、僕たちは道に出て行って、出会う人は、悪人でも善人でもみな集めてきたので、婚宴の席は客でいっぱいになった。

11 εἰσελθὼν δὲ ὁ βασιλεὺς θεάσασθαι τοὺς ἀνακειμένους, εἶδεν ἐκεῖ
入って そして その 王は 見る–ために その 席に–ついた–者たちを 見た そこに
G1525 G1161 G3588 G0935 G2300 G3588 G0345 G3708 G1563

ἄνθρωπον οὐκ ἐνδεδυμένον ἔνδυμα γάμου;
人が ない 着て–いない 衣を 婚宴の
G0444 G3756 G1746 G1742 G1062

王は客を迎えようとしてはいってきたが、そこに礼服をつけていないひとりの人を見て、

12 καὶ λέγει αὐτῷ, Ἑταῖρε, πῶς εἰσῆλθες ὧδε μὴ ἔχων ἔνδυμα
そして 言う 彼に 友よ どうして 入ったのか ここに ない 持たずに 衣を
G2532 G3004 G0846 G2083 G4459 G1525 G5602 G3361 G2192 G1742

γάμου? ὁ δὲ ἐφιμώθη.
婚宴の その そして 黙らされた
G1062 G3588 G1161 G5392

彼に言った、『友よ、どうしてあなたは礼服をつけないで、ここにはいってきたのですか』。しかし、彼は黙っていた。

13 τότε ὁ βασιλεὺς εἶπεν τοῖς διακόνοις, Δήσαντες αὐτοῦ, πόδας καὶ
その–時 その 王は 言った その 仕える–者たちに 縛って 彼の 足と そして
G5119 G3588 G0935 G3004 G3588 G1249 G1210 G0846 G4228 G2532

χεῖρας, ἐκβάλετε αὐτὸν εἰς τὸ σκότος τὸ ἐξώτερον; ἐκεῖ ἔσται ὁ
手を 投げ–出しなさい 彼を へ その 闇に その 外の そこで ある その
G5495 G1544 G0846 G1519 G3588 G4655 G3588 G1857 G1563 G1510 G3588

κλαυθμὸς καὶ ὁ βρυγμὸς τῶν ὀδόντων.
泣きと そして その 歯ぎしりが の 歯の
G2805 G2532 G3588 G1030 G3588 G3599

そこで、王はそばの者たちに言った、『この者の手足をしばって、外の暗やみにほうり出せ。そこで泣き叫んだり、歯がみをしたりするであろう』。

14 Πολλοὶ γάρ εἰσιν κλητοί, ὀλίγοι δὲ ἐκλεκτοί.
多くの–者は なぜなら いる 招かれた 少ない–者は しかし 選ばれた
G4183 G1063 G1510 G2822 G3641 G1161 G1588

招かれる者は多いが、選ばれる者は少ない」。

15 Τότε πορευθέντες, οἱ Φαρισαῖοι συμβούλιον ἔλαβον ὅπως αὐτὸν
その–時 行って その パリサイ人たちは 計画を 立てた どうにかして 彼を
G5119 G4198 G3588 G5330 G4824 G2983 G3704 G0846

παγιδεύσωσιν ἐν λόγῳ.
罠に–かけようと で 言葉で
G3802 G1722 G3056

そのときパリサイ人たちがきて、どうかしてイエスを言葉のわなにかけようと、相談をした。

16 καὶ ἀποστέλλουσιν αὐτῷ τοὺς μαθητὰς αὐτῶν, μετὰ τῶν Ἡρῳδιανῶν,
そして 遣わす 彼に その 弟子たちを 彼らの 共に その ヘロデ党の–者たちと
G2532 G0649 G0846 G3588 G3101 G0846 G3326 G3588 G2265

λέγοντες, Διδάσκαλε, οἴδαμεν ὅτι ἀληθὴς εἶ, καὶ τὴν ὁδὸν τοῦ
言って 先生よ 知っています と 真実な–方で あなたは そして その 道を の
G3004 G1320 G1492 G3754 G0227 G1510 G2532 G3588 G3598 G3588

Θεοῦ ἐν ἀληθείᾳ διδάσκεις, καὶ οὐ μέλει σοι περὶ οὐδενός,
神の で 真理で 教えている そして ない 気に–しない あなたは について 誰にも
G2316 G1722 G0225 G1321 G2532 G3756 G3199 G4771 G4012 G3762

οὐ γὰρ βλέπεις εἰς πρόσωπον ἀνθρώπων;
ない なぜなら 見ない を 顔を 人の
G3756 G1063 G0991 G1519 G4383 G0444

そして、彼らの弟子を、ヘロデ党の者たちと共に、イエスのもとにつかわして言わせた、「先生、わたしたちはあなたが真実なかたであって、真理に基いて神の道を教え、また、人に分け隔てをしないで、だれをもはばかられないことを知っています。

17 εἰπὸν οὖν ἡμῖν, τί σοι δοκεῖ? ἔξεστιν δοῦναι
言って–ください それゆえ 私たちに 何を あなたは 思いますか 許されているか 納めることが
G3004 G3767 G1473 G5101 G4771 G1380 G1832 G1325

κῆνσον Καίσαρι, ἢ οὔ?
税金を カイザルに それとも いいえ
G2778 G2541 G2228 G3756

それで、あなたはどう思われますか、答えてください。カイザルに税金を納めてよいでしょうか、いけないでしょうか」。

18 γνοὺς 見抜いて G1097 δὲ そして G1161 ὁ その G3588 Ἰησοῦς イエスは G2424 τὴν その G3588 πονηρίαν 悪意を G4189 αὐτῶν, 彼らの G0846 εἶπεν, 言った G3004 Τί なぜ G5101 με 私を G1473 πειράζετε, 試すのか G3985

ὑποκριταί? 偽善者たちよ G5273

イエスは彼らの悪意を知って言われた、「偽善者たちよ、なぜわたしをためそうとするのか。

19 ἐπιδείξατέ 見せなさい G1925 μοι 私に G1473 τὸ その G3588 νόμισμα 硬貨を G3546 τοῦ の G3588 κήνσου. 税金の G2778 οἱ その G3588 δὲ そして G1161 προσήνεγκαν 持って-来た G4374 αὐτῷ 彼に G0846

δηνάριον. ―-デナリオンを G1220

税に納める貨幣を見せなさい」。彼らはデナリ一つを持ってきた。

20 καὶ そして G2532 λέγει 言う G3004 αὐτοῖς, 彼らに G0846 Τίνος 誰の G5101 ἡ その G3588 εἰκὼν 像は G1504 αὕτη? これは G3778 καὶ そして G2532 ἡ その G3588 ἐπιγραφή? 銘は G1923

そこでイエスは言われた、「これは、だれの肖像、だれの記号か」。

21 λέγουσιν 言う G3004 ‹αὐτῷ›, 彼に G0846 Καίσαρος. カイザルの G2541 τότε その-時 G5119 λέγει 言う G3004 αὐτοῖς, 彼らに G0846 Ἀπόδοτε 納めなさい G0591 οὖν それゆえ G3767 τὰ その G3588

Καίσαρος カイザルの-ものは G2541 Καίσαρι, カイザルに G2541 καὶ そして G2532 τὰ その G3588 τοῦ の G3588 Θεοῦ 神の-ものは G2316 τῷ その G3588 Θεῷ. 神に G2316

彼らは「カイザルのです」と答えた。するとイエスは言われた、「それでは、カイザルのものはカイザルに、神のものは神に返しなさい」。

22 καὶ そして G2532 ἀκούσαντες 聞いて G0191 ἐθαύμασαν; 驚いた G2296 καὶ そして G2532 ἀφέντες 去って G0863 αὐτὸν 彼を G0846 ἀπῆλθαν. 行って-しまった G0565

彼らはこれを聞いて驚嘆し、イエスを残して立ち去った。

23 Ἐν その G1722 ἐκείνῃ その G1565 τῇ その G3588 ἡμέρᾳ 日に G2250 προσῆλθον 来た G4334 αὐτῷ 彼に G0846 Σαδδουκαῖοι, サドカイ人たちが G4523 λέγοντες 言って G3004 μὴ ない-と G3361 εἶναι ある G1510

ἀνάστασιν, 復活は G0386 καὶ そして G2532 ἐπηρώτησαν 尋ねた G1905 αὐτὸν, 彼に G0846

復活ということはないと主張していたサドカイ人たちが、その日、イエスのもとにきて質問した、

24 λέγοντες, Διδάσκαλε, Μωϋσῆς εἶπεν, Ἐάν τις ἀποθάνῃ μὴ ἔχων τέκνα,
言って 先生よ モーセは 言った もし 誰かが 死んだら ない 持たずに 子を
G3004 G1320 G3475 G3004 G1437 G5100 G0599 G3361 G2192 G5043

ἐπιγαμβρεύσει ὁ ἀδελφὸς αὐτοῦ τὴν γυναῖκα αὐτοῦ, καὶ ἀναστήσει σπέρμα
婚姻する その 兄弟が 彼の その 妻と 彼の そして 起こす 子孫を
G1918 G3588 G0080 G0846 G3588 G1135 G0846 G2532 G0450 G4690

τῷ ἀδελφῷ αὐτοῦ.
その 兄弟の-ために 彼の
G3588 G0080 G0846

「先生、モーセはこう言っています、『もし、ある人が子がなくて死んだなら、その弟は兄の妻をめとって、兄のために子をもうけねばならない』。

25 ἦσαν δὲ παρ' ἡμῖν ἑπτὰ ἀδελφοί; καὶ ὁ πρῶτος, γήμας,
いた そして の-中に 私たちの 七人の 兄弟が そして その 最初の-者は めとって
G1510 G1161 G3844 G1473 G2033 G0080 G2532 G3588 G4413 G1060

ἐτελεύτησεν, καὶ μὴ ἔχων σπέρμα, ἀφῆκεν τὴν γυναῖκα αὐτοῦ τῷ
死んだ そして ない 持たずに 子孫を 残した その 妻を 彼の その
G5053 G2532 G3361 G2192 G4690 G0863 G3588 G1135 G0846 G3588

ἀδελφῷ αὐτοῦ.
兄弟に 彼の
G0080 G0846

さて、わたしたちのところに七人の兄弟がありました。長男は妻をめとったが死んでしまい、そして子がなかったので、その妻を弟に残しました。

26 ὁμοίως καὶ ὁ δεύτερος, καὶ ὁ τρίτος, ἕως τῶν ἑπτά.
同様に そして その 二番目も そして その 三番目も まで その 七人まで
G3668 G2532 G3588 G1208 G2532 G3588 G5154 G2193 G3588 G2033

次男も三男も、ついに七人とも同じことになりました。

27 ὕστερον δὲ πάντων, ἀπέθανεν ἡ γυνή.
最後に そして すべての-後に 死んだ その 妻も
G5305 G1161 G3956 G0599 G3588 G1135

最後に、その女も死にました。

28 ἐν τῇ ἀναστάσει, οὖν, τίνος τῶν ἑπτὰ ἔσται γυνή? πάντες
で その 復活に-おいて それでは 誰の その 七人の-うち なるのか 妻に すべてが
G1722 G3588 G0386 G3767 G5101 G3588 G2033 G1510 G1135 G3956

γὰρ ἔσχον αὐτήν.
なぜなら 娶った 彼女を
G1063 G2192 G0846

すると復活の時には、この女は、七人のうちだれの妻なのでしょうか。みんながこの女を妻にしたのですが」。

29 ἀποκριθεὶς δὲ, ὁ Ἰησοῦς εἶπεν αὐτοῖς, Πλανᾶσθε, μὴ εἰδότες τὰς
答えて そして その イエスは 言った 彼らに 迷っている ない 知らずに その
G0611 G1161 G3588 G2424 G3004 G0846 G4105 G3361 G1492 G3588

γραφὰς, μηδὲ τὴν δύναμιν τοῦ Θεοῦ.
聖書も またない その 力も の 神の
G1124 G3366 G3588 G1411 G3588 G2316

イエスは答えて言われた、「あなたがたは聖書も神の力も知らないから、思い違いをしている。

30

ἐν	γὰρ	τῇ	ἀναστάσει,	οὔτε	γαμοῦσιν,	οὔτε	γαμίζονται,	ἀλλ’	ὡς
で	なぜなら	その	復活に–おいて	ない	めとらず	またない	嫁がず	しかし	ように
G1722	G1063	G3588	G0386	G3777	G1060	G3777	G1061	G0235	G5613

ἄγγελοι	‹θεοῦ›	ἐν	τῷ	οὐρανῷ	εἰσιν.
御使いの	神の	で	その	天に	いる
G0032	G2316	G1722	G3588	G3772	G1510

復活の時には、彼らはめとったり、とついだりすることはない。彼らは天にいる御使のようなものである。

31

περὶ	δὲ	τῆς	ἀναστάσεως	τῶν	νεκρῶν,	οὐκ	ἀνέγνωτε	τὸ
について	そして	その	復活の	の	死者の	ないのか	読んだことが	その
G4012	G1161	G3588	G0386	G3588	G3498	G3756	G0314	G3588

ῥηθὲν	ὑμῖν	ὑπὸ	τοῦ	Θεοῦ,	λέγοντος,
語られた–ことを	あなたがたに	によって	その	神に–よって	言っている
G2046	G4771	G5259	G3588	G2316	G3004

また、死人の復活については、神があなたがたに言われた言葉を読んだことがないのか。

32

Ἐγώ	εἰμι	ὁ	Θεὸς	Ἀβραὰμ	καὶ	ὁ	Θεὸς	Ἰσαὰκ	καὶ	ὁ	Θεὸς
私は	である	その	神	アブラハムの	そして	その	神	イサクの	そして	その	神
G1473	G1510	G3588	G2316	G0011	G2532	G3588	G2316	G2464	G2532	G3588	G2316

Ἰακώβ?	οὐκ	ἔστιν	ὁ	Θεὸς	νεκρῶν,	ἀλλὰ	ζώντων.
ヤコブの	ない	である	その	神は	死者の–神でなく	そうではなく	生きている–者の–神
G2384	G3756	G1510	G3588	G2316	G3498	G0235	G2198

『わたしはアブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神である』と書いてある。神は死んだ者の神ではなく、生きている者の神である」。

33

καὶ	ἀκούσαντες,	οἱ	ὄχλοι	ἐξεπλήσσοντο	ἐπὶ	τῇ	διδαχῇ	αὐτοῦ.
そして	聞いて	その	群衆は	驚いた	について	その	教えに	彼の
G2532	G0191	G3588	G3793	G1605	G1909	G3588	G1322	G0846

群衆はこれを聞いて、イエスの教に驚いた。

34

Οἱ	δὲ	Φαρισαῖοι,	ἀκούσαντες	ὅτι	ἐφίμωσεν	τοὺς	Σαδδουκαίους,
その	そして	パリサイ人たちは	聞いて	と	黙らせた	その	サドカイ人たちを
G3588	G1161	G5330	G0191	G3754	G5392	G3588	G4523

συνήχθησαν	ἐπὶ	τὸ	αὐτό,
集まった	へ	その	同じ–所に
G4863	G1909	G3588	G0846

さて、パリサイ人たちは、イエスがサドカイ人たちを言いこめられたと聞いて、一緒に集まった。

35

καὶ	ἐπηρώτησεν	εἷς	ἐξ	αὐτῶν,	νομικὸς,	πειράζων	αὐτόν,
そして	尋ねた	一人が	の	彼らの–中の	律法学者が	試して	彼を
G2532	G1905	G1520	G1537	G0846	G3544	G3985	G0846

そして彼らの中のひとりの律法学者が、イエスをためそうとして質問した、

36

Διδάσκαλε,	ποία	ἐντολὴ	μεγάλη	ἐν	τῷ	νόμῳ?
先生よ	どのような	戒めが	大きいのか	の–中で	その	律法の
G1320	G4169	G1785	G3173	G1722	G3588	G3551

「先生、律法の中で、どのいましめがいちばん大切なのですか」。

37 ὁ δὲ ἔφη αὐτῷ, Ἀγαπήσεις κύριον τὸν Θεόν σου ἐν ὅλῃ
その そして 言った 彼に 愛しなさい 主を その 神を あなたの で すべての
G3588 G1161 G5346 G0846 G0025 G2962 G3588 G2316 G4771 G1722 G3650

τῇ καρδίᾳ σου, καὶ ἐν ὅλῃ τῇ ψυχῇ σου, καὶ ἐν
その 心で あなたの そして で すべての その 魂で あなたの そして で
G3588 G2588 G4771 G2532 G1722 G3650 G3588 G5590 G4771 G2532 G1722

ὅλῃ τῇ διανοίᾳ σου.
すべての その 思いで あなたの
G3650 G3588 G1271 G4771

イエスは言われた、「『心をつくし、精神をつくし、思いをつくして、主なるあなたの神を愛せよ』。

38 αὕτη ἐστὶν ἡ μεγάλη καὶ πρώτη ἐντολή.
これが である その 大きな そして 第一の 戒めである
G3778 G1510 G3588 G3173 G2532 G4413 G1785

これがいちばん大切な、第一のいましめである。

39 δευτέρα ‹δὲ› ὁμοία αὐτῇ: Ἀγαπήσεις τὸν πλησίον σου ὡς σεαυτόν.
第二は そして 似た それに 愛しなさい その 隣人を あなたの ように 自分-自身の
G1208 G1161 G3664 G0846 G0025 G3588 G4139 G4771 G5613 G4572

第二もこれと同様である、『自分を愛するようにあなたの隣り人を愛せよ』。

40 ἐν ταύταις ταῖς δυσὶν ἐντολαῖς, ὅλος ὁ νόμος κρέμαται, καὶ
に この 二つの 二つの 戒めに すべての その 律法は かかっている そして
G1722 G3778 G3588 G1417 G1785 G3650 G3588 G3551 G2910 G2532

οἱ προφῆται.
その 預言者たちも
G3588 G4396

これらの二つのいましめに、律法全体と預言者とが、かかっている」。

41 Συνηγμένων δὲ τῶν Φαρισαίων, ἐπηρώτησεν αὐτοὺς ὁ Ἰησοῦς,
集まった-時 そして その パリサイ人たちが 尋ねた 彼らに その イエスは
G4863 G1161 G3588 G5330 G1905 G0846 G3588 G2424

パリサイ人たちが集まっていたとき、イエスは彼らにお尋ねになった、

42 λέγων, Τί ὑμῖν δοκεῖ περὶ τοῦ Χριστοῦ? τίνος υἱός ἐστιν?
言って 何を あなたがたは 思うか について その キリストについて 誰の 子か であるか
G3004 G5101 G4771 G1380 G4012 G3588 G5547 G5101 G5207 G1510

λέγουσιν αὐτῷ, Τοῦ Δαυίδ.
言う 彼に の ダビデの
G3004 G0846 G3588 G1138

「あなたがたはキリストをどう思うか。だれの子なのか」。彼らは「ダビデの子です」と答えた。

43 λέγει αὐτοῖς, Πῶς οὖν, Δαυὶδ ἐν Πνεύματι καλεῖ αὐτὸν
言う 彼らに では-どうして それなら ダビデは で 御霊に-よって 呼ぶのか 彼を
G3004 G0846 G4459 G3767 G1138 G1722 G4151 G2564 G0846

Κύριον, λέγων,
主と 言って
G2962 G3004

イエスは言われた、「それではどうして、ダビデが御霊に感じてキリストを主と呼んでいるのか。

44 Εἶπεν 言った G3004 Κύριος 主が G2962 τῷ その G3588 Κυρίῳ 主に G2962 μου, 私の G1473 Κάθου 座りなさい G2521 ἐκ に G1537 δεξιῶν 右に G1188 μου, 私の G1473 ἕως まで G2193 ἂν もし G0302 θῶ 置いたら G5087 τοὺς その G3588 ἐχθρούς 敵を G2190 σου あなたの G4771 ὑποκάτω 下に G5270 τῶν の G3588 ποδῶν 足の G4228 σου. あなたの G4771

すなわち『主はわが主に仰せになった、あなたの敵をあなたの足もとに置くときまでは、わたしの右に座していなさい』。

45 εἰ もし G1487 οὖν, それなら G3767 Δαυὶδ ダビデが G1138 καλεῖ 呼ぶのに G2564 αὐτὸν 彼を G0846 Κύριον, 主と G2962 πῶς どうして G4459 υἱὸς 子で G5207 αὐτοῦ 彼の G0846 ἐστιν? あるのか G1510

このように、ダビデ自身がキリストを主と呼んでいるなら、キリストはどうしてダビデの子であろうか」。

46 καὶ そして G2532 οὐδεὶς 誰も G3762 ἐδύνατο できなかった G1410 ἀποκριθῆναι 答えることが G0611 αὐτῷ 彼に G0846 λόγον, 言葉を G3056 οὐδὲ またない G3761 ἐτόλμησέν あえて G5111 τις 誰も G5100 ἀπ’ から G0575 ἐκείνης その G1565 τῆς その G3588 ἡμέρας 日から G2250 ἐπερωτῆσαι 尋ねることが G1905 αὐτὸν 彼に G0846 οὐκέτι. もはや G3765

イエスにひと言でも答えうる者は、なかったし、その日からもはや、進んでイエスに質問する者も、いなくなった。

Chapter 23

1 Τότε その–時 G5119 ὁ その G3588 Ἰησοῦς イエスは G2424 ἐλάλησεν 話した G2980 τοῖς その G3588 ὄχλοις 群衆と G3793 καὶ そして G2532 τοῖς その G3588 μαθηταῖς 弟子たちに G3101 αὐτοῦ, 彼の G0846

そのときイエスは、群衆と弟子たちとに語って言われた、

2 λέγων, 言って G3004 Ἐπὶ の–上に G1909 τῆς の G3588 Μωϋσέως モーセの G3475 καθέδρας 座に G2515 ἐκάθισαν 座っている G2523 οἱ その G3588 γραμματεῖς 律法学者たちと G1122 καὶ と G2532 οἱ その G3588 Φαρισαῖοι; パリサイ人たちは G5330

「律法学者とパリサイ人とは、モーセの座にすわっている。

3 πάντα すべての–ことを G3956 οὖν, それゆえ G3767 ὅσα 何でも G3745 ἐὰν もし G1437 εἴπωσιν 言うなら G3004 ὑμῖν あなたがたに G4771 ποιήσατε, 行いなさい G4160 καὶ そして G2532 τηρεῖτε. 守りなさい G5083 κατὰ に–従って G2596 δὲ しかし G1161 τὰ その G3588 ἔργα 行いには G2041 αὐτῶν, 彼らの G0846 μὴ しては–ならない G3361 ποιεῖτε. 従っては G4160 λέγουσιν 言う G3004 γὰρ, なぜなら G1063 καὶ しかし G2532 οὐ ない G3756 ποιοῦσιν. 行わ G4160

だから、彼らがあなたがたに言うことは、みな守って実行しなさい。しかし、彼らのすることには、ならうな。彼らは言うだけで、実行しないから。

4 δεσμεύουσιν 縛る G1195 δὲ そして G1161 φορτία 荷物を G5413 βαρέα 重い G0926 [καὶ そして G2532 δυσβάστακτα], 負い-がたい G1419 καὶ そして G2532 ἐπιτιθέασιν 載せる G2007 ἐπὶ の-上に G1909 τοὺς その G3588 ὤμους 肩に G5606 τῶν の G3588 ἀνθρώπων; 人々の G0444 αὐτοὶ 彼ら-自身は G0846 δὲ, しかし G1161 τῷ その G3588 δακτύλῳ 指で G1147 αὐτῶν, 彼らの G0846 οὐ ない G3756 θέλουσιν 望ま G2309 κινῆσαι 動かすことを G2795 αὐτά. それらを G0846

また、重い荷物をくくって人々の肩にのせるが、それを動かすために、自分では指一本も貸そうとはしない。

5 πάντα すべての G3956 δὲ そして G1161 τὰ その G3588 ἔργα 行いを G2041 αὐτῶν, 彼らの G0846 ποιοῦσιν する G4160 πρὸς ために G4314 τὸ その G3588 θεαθῆναι 見られる-ために G2300 τοῖς その G3588 ἀνθρώποις. 人々に G0444 πλατύνουσιν 広く-する G4115 γὰρ なぜなら G1063 τὰ その G3588 φυλακτήρια 経札を G5440 αὐτῶν, 彼らの G0846 καὶ そして G2532 μεγαλύνουσιν 大きく-する G3170 τὰ その G3588 κράσπεδα. ふさを G2899

そのすることは、すべて人に見せるためである。すなわち、彼らは経札を幅広くつくり、その衣のふさを大きくし、

6 φιλοῦσιν 好む G5368 δὲ そして G1161 τὴν その G3588 πρωτοκλισίαν 上座を G4411 ἐν で G1722 τοῖς その G3588 δείπνοις, 宴会の G1173 καὶ そして G2532 τὰς その G3588 πρωτοκαθεδρίας 上席を G4410 ἐν で G1722 ταῖς その G3588 συναγωγαῖς, 会堂の G4864

また、宴会の上座、会堂の上席を好み、

7 καὶ そして G2532 τοὺς その G3588 ἀσπασμοὺς 挨拶を G0783 ἐν で G1722 ταῖς その G3588 ἀγοραῖς, 市場で G0058 καὶ そして G2532 καλεῖσθαι 呼ばれることを G2564 ὑπὸ によって G5259 τῶν その G3588 ἀνθρώπων, 人々から G0444 Ῥαββί. ラビと G4461

広場であいさつされることや、人々から先生と呼ばれることを好んでいる。

8 ὑμεῖς あなたがたは G4771 δὲ しかし G1161 μὴ しては-ならない G3361 κληθῆτε 呼ばれては G2564 Ῥαββί; ラビと G4461 εἷς 一人 G1520 γάρ なぜなら G1063 ἐστιν である G1510 ὑμῶν あなたがたの G4771 ὁ その G3588 διδάσκαλος, 先生は G1320 πάντες すべて G3956 δὲ そして G1161 ὑμεῖς あなたがたは G4771 ἀδελφοί 兄弟で G0080 ἐστε. ある G1510

しかし、あなたがたは先生と呼ばれてはならない。あなたがたの先生は、ただひとりであって、あなたがたはみな兄弟なのだから。

9 καὶ そして G2532 | πατέρα 父と G3962 | μὴ しては–ならない G3361 | καλέσητε 呼んでは G2564 | ὑμῶν あなたがたの G4771 | ἐπὶ の–上に G1909 | τῆς その G3588 | γῆς; 地上で G1093 | εἷς 一人 G1520

γάρ なぜなら G1063 | ἐστιν である G1510 | ὑμῶν あなたがたの G4771 | ὁ その G3588 | Πατὴρ, 父は G3962 | ὁ その G3588 | οὐράνιος. 天の G3770

また、地上のだれをも、父と呼んではならない。あなたがたの父はただひとり、すなわち、天にいます父である。

10 μηδὲ またない G3366 | κληθῆτε 呼ばれては G2564 | καθηγηταί; 指導者と G2519 | ὅτι なぜなら G3754 | καθηγητὴς 指導者は G2519 | ὑμῶν あなたがたの G4771 | ἐστιν である G1510 | εἷς, 一人 G1520 | ὁ その G3588

Χριστός. キリストである G5547

また、あなたがたは教師と呼ばれてはならない。あなたがたの教師はただひとり、すなわち、キリストである。

11 ὁ その G3588 | δὲ そして G1161 | μείζων 最も–大きい–者は G3173 | ὑμῶν あなたがたの G4771 | ἔσται なる G1510 | ὑμῶν あなたがたの G4771 | διάκονος. 仕える者に G1249

そこで、あなたがたのうちでいちばん偉い者は、仕える人でなければならない。

12 Ὅστις 誰でも G3748 | δὲ そして G1161 | ὑψώσει 高ぶるなら G5312 | ἑαυτὸν, 自分–自身を G1438 | ταπεινωθήσεται; 低く–される G5013 | καὶ そして G2532 | ὅστις 誰でも G3748 | ταπεινώσει 低くするなら G5013

ἑαυτὸν, 自分–自身を G1438 | ὑψωθήσεται. 高められる G5312

だれでも自分を高くする者は低くされ、自分を低くする者は高くされるであろう。

13 Οὐαὶ わざわいだ G3759 | δὲ しかし G1161 | ὑμῖν, あなたがたに G4771 | γραμματεῖς 律法学者たちと G1122 | καὶ そして G2532 | Φαρισαῖοι, パリサイ人たちよ G5330 | ὑποκριταί! 偽善者たちよ G5273

ὅτι なぜなら G3754 | κλείετε 閉ざしている G2808 | τὴν その G3588 | βασιλείαν 天の–国を G0932 | τῶν の G3588 | οὐρανῶν 天の G3772 | ἔμπροσθεν の–前で G1715 | τῶν その G3588 | ἀνθρώπων; 人々の G0444

ὑμεῖς あなたがたは G4771 | γὰρ なぜなら G1063 | οὐκ ない G3756 | εἰσέρχεσθε, 入ら G1525 | οὐδὲ またない G3761 | τοὺς その G3588 | εἰσερχομένους 入ろうとする–者たちを G1525 | ἀφίετε 許さ G0863

εἰσελθεῖν. 入ることを G1525

偽善な律法学者、パリサイ人たちよ。あなたがたは、わざわいである。あなたがたは、天国を閉ざして人々をはいらせない。自分もはいらないし、はいろうとする人をはいらせもしない。〔

14 {Οὐαὶ ὑμῖν, γραμματεῖς καὶ Φαρισαῖοι, ὑποκριταί! ὅτι
わざわいだ あなたがたに 律法学者たちと そして パリサイ人たちよ 偽善者たちよ なぜなら
G3759 G4771 G1122 G2532 G5330 G5273 G3754

κατεσθίετε τὰς οἰκίας τῶν χηρῶν, καὶ προφάσει μακρὰ προσευχόμενοι.
食い-尽くす その 家を の やもめたちの そして 見せかけで 長い 祈っている
G2719 G3588 G3614 G3588 G5503 G2532 G4392 G3117 G4336

διὰ τοῦτο, λήψεσθε περισσότερον κρίμα}.
それゆえ この-ため 受ける より-大きな さばきを
G1223 G3778 G2983 G4053 G2917

偽善な律法学者、パリサイ人たちよ。あなたがたは、わざわいである。あなたがたは、やもめたちの家を食い倒し、見えのために長い祈をする。だから、もっときびしいさばきを受けるに違いない。〕

15 Οὐαὶ ὑμῖν, γραμματεῖς καὶ Φαρισαῖοι, ὑποκριταί! ὅτι
わざわいだ あなたがたに 律法学者たちと そして パリサイ人たちよ 偽善者たちよ なぜなら
G3759 G4771 G1122 G2532 G5330 G5273 G3754

περιάγετε τὴν θάλασσαν καὶ τὴν ξηρὰν ποιῆσαι ἕνα προσήλυτον, καὶ
巡る その 海と そして その 陸を 作る-ために 一人の 改宗者を そして
G4013 G3588 G2281 G2532 G3588 G3584 G4160 G1520 G4339 G2532

ὅταν γένηται, ποιεῖτε αὐτὸν υἱὸν γεέννης διπλότερον ὑμῶν.
する-時 なったら する 彼を 子に ゲヘナの 倍も あなたがたより
G3752 G1096 G4160 G0846 G5207 G1067 G1362 G4771

偽善な律法学者、パリサイ人たちよ。あなたがたは、わざわいである。あなたがたはひとりの改宗者をつくるために、海と陸とを巡り歩く。そして、つくったなら、彼を自分より倍もひどい地獄の子にする。

16 Οὐαὶ ὑμῖν, ὁδηγοὶ τυφλοὶ, οἱ λέγοντες, Ὃς ἂν ὀμόσῃ
わざわいだ あなたがたに 案内人たちよ 盲目の その 言う 誰でも もし 誓うなら
G3759 G4771 G3595 G5185 G3588 G3004 G3739 G0302 G3660

ἐν τῷ ναῷ, οὐδέν ἐστιν; ὃς δ' ἂν ὀμόσῃ ἐν τῷ
で その 神殿を-かけて 何でも-ない である 誰でも しかし もし 誓うなら で その
G1722 G3588 G3485 G3762 G1510 G3739 G1161 G0302 G3660 G1722 G3588

χρυσῷ τοῦ ναοῦ, ὀφείλει.
金を-かけて の 神殿の 束縛される
G5557 G3588 G3485 G3784

盲目な案内者たちよ。あなたがたは、わざわいである。あなたがたは言う、『神殿をさして誓うなら、そのままでよいが、神殿の黄金をさして誓うなら、果す責任がある』と。

17 μωροὶ καὶ τυφλοί! τίς γὰρ μείζων ἐστίν, ὁ χρυσὸς,
愚かな-者よ そして 盲目の-者よ どちらが なぜなら 大きいのか である その 金か
G3474 G2532 G5185 G5101 G1063 G3173 G1510 G3588 G5557

ἢ ὁ ναὸς, ὁ ἁγιάσας τὸν χρυσόν?
それとも その 神殿か その 聖く-した その 金を
G2228 G3588 G3485 G3588 G0037 G3588 G5557

愚かな盲目な人たちよ。黄金と、黄金を神聖にする神殿と、どちらが大事なのか。

18 καί, Ὃς ἂν ὀμόσῃ ἐν τῷ θυσιαστηρίῳ, οὐδέν ἐστιν; ὃς
そして 誰でも もし 誓うなら で その 祈壇を-かけて 何でも-ない である 誰でも
G2532 G3739 G0302 G3660 G1722 G3588 G2379 G3762 G1510 G3739

δ' ἂν ὀμόσῃ ἐν τῷ δώρῳ τῷ ἐπάνω αὐτοῦ, ὀφείλει.
しかし もし 誓うなら で その 供え物を-かけて その 上の その 束縛される
G1161 G0302 G3660 G1722 G3588 G1435 G3588 G1883 G0846 G3784

また、あなたがたは言う、『祭壇をさして誓うなら、そのままでよいが、その上の供え物をさして誓うなら、果す責任がある』と。

19 τυφλοί! τί γὰρ μεῖζον, τὸ δῶρον, ἢ τὸ θυσιαστήριον,
盲目の-者よ どちらが なぜなら 大きいのか その 供え物か それとも その 祈壇か
G5185 G5101 G1063 G3173 G3588 G1435 G2228 G3588 G2379

τὸ ἁγιάζον τὸ δῶρον?
その 聖く-する その 供え物を
G3588 G0037 G3588 G1435

盲目な人たちよ。供え物と供え物を神聖にする祭壇とどちらが大事なのか。

20 ὁ οὖν ὀμόσας ἐν τῷ θυσιαστηρίῳ, ὀμνύει ἐν αὐτῷ, καὶ
その それゆえ 誓った-者は で その 祈壇を-かけて 誓う で それと そして
G3588 G3767 G3660 G1722 G3588 G2379 G3660 G1722 G0846 G2532

ἐν πᾶσι τοῖς ἐπάνω αὐτοῦ.
で すべての その 上の-ものを-かけて その
G1722 G3956 G3588 G1883 G0846

祭壇をさして誓う者は、祭壇と、その上にあるすべての物とをさして誓うのである。

21 καὶ ὁ ὀμόσας ἐν τῷ ναῷ, ὀμνύει ἐν αὐτῷ, καὶ ἐν
そして その 誓った-者は で その 神殿を-かけて 誓う で それと そして で
G2532 G3588 G3660 G1722 G3588 G3485 G3660 G1722 G0846 G2532 G1722

τῷ κατοικοῦντι αὐτόν.
その 住まう-方を-かけて その-中に
G3588 G2730 G0846

神殿をさして誓う者は、神殿とその中に住んでおられるかたとをさして誓うのである。

22 καὶ ὁ ὀμόσας ἐν τῷ οὐρανῷ, ὀμνύει ἐν τῷ θρόνῳ τοῦ
そして その 誓った-者は で その 天を-かけて 誓う で その 御座と の
G2532 G3588 G3660 G1722 G3588 G3772 G3660 G1722 G3588 G2362 G3588

Θεοῦ, καὶ ἐν τῷ καθημένῳ ἐπάνω αὐτοῦ.
神の そして で その 座っておられる-方を-かけて の-上に その
G2316 G2532 G1722 G3588 G2521 G1883 G0846

また、天をさして誓う者は、神の御座とその上にすわっておられるかたとをさして誓うのである。

23 Οὐαὶ ὑμῖν, γραμματεῖς καὶ Φαρισαῖοι, ὑποκριταί! ὅτι
わざわいだ あなたがたに 律法学者たちと そして パリサイ人たちよ 偽善者たちよ なぜなら
G3759 G4771 G1122 G2532 G5330 G5273 G3754

ἀποδεκατοῦτε τὸ ἡδύοσμον, καὶ τὸ ἄνηθον, καὶ τὸ κύμινον; καὶ
十分の一を-納める その 薄荷の そして その イノンドの そして その クミンの しかし
G0586 G3588 G2238 G2532 G3588 G0432 G2532 G3588 G2951 G2532

ἀφήκατε τὰ βαρύτερα τοῦ νόμου: τὴν κρίσιν, καὶ τὸ ἔλεος,
等閑に-した その より-重要な-ことを の 律法の その 正義と そして その 憐れみと
G0863 G3588 G0926 G3588 G3551 G3588 G2920 G2532 G3588 G1656

καὶ τὴν πίστιν. ταῦτα δὲ ἔδει ποιῆσαι, κἀκεῖνα μὴ
そして その 信仰を これらを そして するべきであった 行うことを それらも-また ない
G2532 G3588 G4102 G3778 G1161 G1163 G4160 G2548 G3361

ἀφιέναι.
等閑にしては
G0863

偽善な律法学者、パリサイ人たちよ。あなたがたは、わざわいである。はっか、いのんど、クミンなどの薬味の十分の一を宮に納めておりながら、律法の中でもっと重要な、公平とあわれみと忠実とを見のがしている。それもしなければならないが、これも見のがしてはならない。

24 ὁδηγοὶ 案内人たちよ G3595 τυφλοί! 盲目の G5185 οἱ その G3588 διϋλίζοντες 漉し-取る G1368 τὸν その G3588 κώνωπα, 蚤を G2971 τὴν その G3588 δὲ しかし G1161 κάμηλον らくだを G2574 καταπίνοντες! 飲み-込む G2666

盲目な案内者たちよ。あなたがたは、ぶよはこしているが、らくだはのみこんでいる。

25 Οὐαὶ わざわいだ G3759 ὑμῖν, あなたがたに G4771 γραμματεῖς 律法学者たちと G1122 καὶ そして G2532 Φαρισαῖοι, パリサイ人たちよ G5330 ὑποκριταί! 偽善者たちよ G5273 ὅτι なぜなら G3754 καθαρίζετε 清める G2511 τὸ その G3588 ἔξωθεν 外側を G1855 τοῦ の G3588 ποτηρίου 杯の G4221 καὶ そして G2532 τῆς の G3588 παροψίδος; 皿の G3953 ἔσωθεν 内側は G2081 δὲ, しかし G1161 γέμουσιν 満ちている G1073 ἐξ の G1537 ἁρπαγῆς 貪欲と G0724 καὶ そして G2532 ἀκρασίας. 放縦の G0192

偽善な律法学者、パリサイ人たちよ。あなたがたは、わざわいである。杯と皿との外側はきよめるが、内側は貪欲と放縦とで満ちている。

26 Φαρισαῖε パリサイ人よ G5330 τυφλέ! 盲目の G5185 καθάρισον 清めなさい G2511 πρῶτον まず G4412 τὸ その G3588 ἐντὸς 内側を G1787 τοῦ の G3588 ποτηρίου 杯の G4221 ‹καὶ そして G2532 τῆς の G3588 παροψίδος›, 皿の G3953 ἵνα そうすれば G2443 γένηται なる G1096 καὶ また G2532 τὸ その G3588 ἐκτὸς 外側も G1622 αὐτοῦ それの G0846 καθαρόν. 清く G2513

盲目なパリサイ人よ。まず、杯の内側をきよめるがよい。そうすれば、外側も清くなるであろう。

27 Οὐαὶ わざわいだ G3759 ὑμῖν, あなたがたに G4771 γραμματεῖς 律法学者たちと G1122 καὶ そして G2532 Φαρισαῖοι, パリサイ人たちよ G5330 ὑποκριταί! 偽善者たちよ G5273 ὅτι なぜなら G3754 παρομοιάζετε 似ている G3945 τάφοις 墓に G5028 κεκονιαμένοις, 白く-塗られた G2867 οἵτινες それらは G3748 ἔξωθεν 外側は G1855 μὲν 確かに G3303 φαίνονται 見える G5316 ὡραῖοι. 美しく G5611 ἔσωθεν 内側は G2081 δὲ しかし G1161 γέμουσιν 満ちている G1073 ὀστέων 骨の G3747 νεκρῶν, 死者の G3498 καὶ そして G2532 πάσης すべての G3956 ἀκαθαρσίας. 汚れの G0167

偽善な律法学者、パリサイ人たちよ。あなたがたは、わざわいである。あなたがたは白く塗った墓に似ている。外側は美しく見えるが、内側は死人の骨や、あらゆる不潔なものでいっぱいである。

28 οὕτως このように G3779 καὶ, また G2532 ὑμεῖς あなたがたは G4771 ἔξωθεν 外側は G1855 μὲν 確かに G3303 φαίνεσθε 見える G5316 τοῖς その G3588 ἀνθρώποις 人々に G0444 δίκαιοι, 正しく G1342 ἔσωθεν 内側は G2081 δέ しかし G1161 ἐστε である G1510 μεστοὶ 満ちている G3324 ὑποκρίσεως 偽善の G5272 καὶ そして G2532 ἀνομίας. 不法の G0458

このようにあなたがたも、外側は人に正しく見えるが、内側は偽善と不法とでいっぱいである。

29 Οὐαὶ ὑμῖν, γραμματεῖς καὶ Φαρισαῖοι, ὑποκριταί! ὅτι
わざわいだ あなたがたに 律法学者たちと そして パリサイ人たちよ 偽善者たちよ なぜなら
G3759 G4771 G1122 G2532 G5330 G5273 G3754

οἰκοδομεῖτε τοὺς τάφους τῶν προφητῶν, καὶ κοσμεῖτε τὰ μνημεῖα τῶν
建てる その 墓を の 預言者たちの そして 飾る その 記念碑を の
G3618 G3588 G5028 G3588 G4396 G2532 G2885 G3588 G3419 G3588

δικαίων,
義人たちの
G1342

偽善な律法学者、パリサイ人たちよ。あなたがたは、わざわいである。あなたがたは預言者の墓を建て、義人の碑を飾り立てて、こう言っている、

30 καὶ λέγετε, Εἰ ἤμεθα ἐν ταῖς ἡμέραις τῶν πατέρων ἡμῶν,
そして 言う もし いたなら で その 日々に の 父祖たちの 私たちの
G2532 G3004 G1487 G1510 G1722 G3588 G2250 G3588 G3962 G1473

οὐκ ἂν ἤμεθα αὐτῶν κοινωνοὶ ἐν τῷ αἵματι τῶν προφητῶν.
なかったであろう もし いたなら 彼らの 仲間に で その 血の の 預言者たちの
G3756 G0302 G1510 G0846 G2844 G1722 G3588 G0129 G3588 G4396

『もしわたしたちが先祖の時代に生きていたなら、預言者の血を流すことに加わってはいなかっただろう』と。

31 ὥστε μαρτυρεῖτε ἑαυτοῖς, ὅτι υἱοί ἐστε τῶν φονευσάντων τοὺς
こうして 証明している 自分−自身に と 子孫であると である の 殺した−者たちの その
G5620 G3140 G1438 G3754 G5207 G1510 G3588 G5407 G3588

προφήτας.
預言者たちを
G4396

このようにして、あなたがたは預言者を殺した者の子孫であることを、自分で証明している。

32 καὶ ὑμεῖς, πληρώσατε τὸ μέτρον τῶν πατέρων ὑμῶν.
そして あなたがたも 満たしなさい その 秤を の 父祖たちの あなたがたの
G2532 G4771 G4137 G3588 G3358 G3588 G3962 G4771

あなたがたもまた先祖たちがした悪の枡目を満たすがよい。

33 ὄφεις, γεννήματα ἐχιδνῶν, πῶς φύγητε ἀπὸ τῆς κρίσεως τῆς γεέννης?
蛇よ 子孫よ まむしの どうして 逃れるのか から その さばきから その ゲヘナの
G3789 G1081 G2191 G4459 G5343 G0575 G3588 G2920 G3588 G1067

へびよ、まむしの子らよ、どうして地獄の刑罰をのがれることができようか。

34 διὰ τοῦτο, ἰδοὺ, ἐγὼ ἀποστέλλω πρὸς ὑμᾶς προφήτας
それゆえ この-ため 見よ 私は 遣わす へ あなたがたの-ところに 預言者たちと
G1223 G3778 G3708 G1473 G0649 G4314 G4771 G4396

καὶ σοφοὺς καὶ γραμματεῖς. ἐξ αὐτῶν ἀποκτενεῖτε καὶ
そして 知恵ある-者たちと そして 学者たちを の 彼らの-中の 殺す そして
G2532 G4680 G2532 G1122 G1537 G0846 G0615 G2532

σταυρώσετε, καὶ ἐξ αὐτῶν μαστιγώσετε ἐν ταῖς συναγωγαῖς
十字架に-つける そして の 彼らの-中の 鞭打つ で その 会堂で
G4717 G2532 G1537 G0846 G3146 G1722 G3588 G4864

ὑμῶν, καὶ διώξετε ἀπὸ πόλεως εἰς πόλιν;
あなたがたの そして 追い-かける から 都から へ 都へ
G4771 G2532 G1377 G0575 G4172 G1519 G4172

それだから、わたしは、預言者、知者、律法学者たちをあなたがたにつかわすが、そのうちのある者を殺し、また十字架につけ、そのある者を会堂でむち打ち、また町から町へと迫害して行くであろう。

35 ὅπως ἔλθῃ ἐφ’ ὑμᾶς πᾶν αἷμα δίκαιον ἐκχυννόμενον ἐπὶ
そうして 来る の-上に あなたがたの すべての 血が 義なる 流された の-上に
G3704 G2064 G1909 G4771 G3956 G0129 G1342 G1632 G1909

τῆς γῆς, ἀπὸ τοῦ αἵματος Ἅβελ τοῦ δικαίου, ἕως τοῦ αἵματος
その 地の から の 血から アベルの その 義人の まで の 血まで
G3588 G1093 G0575 G3588 G0129 G0006 G3588 G1342 G2193 G3588 G0129

Ζαχαρίου υἱοῦ Βαραχίου, ὃν ἐφονεύσατε μεταξὺ τοῦ ναοῦ καὶ τοῦ
ゼカリヤの 息子の バラキヤの その-者を 殺した の-間で その 神殿と そして その
G2197 G5207 G0914 G3739 G5407 G3342 G3588 G3485 G2532 G3588

θυσιαστηρίου.
祈壇の
G2379

こうして義人アベルの血から、聖所と祭壇との間であなたがたが殺したバラキヤの子ザカリヤの血に至るまで、地上に流された義人の血の報いが、ことごとくあなたがたに及ぶであろう。

36 ἀμὴν λέγω ὑμῖν, ἥξει ταῦτα πάντα ἐπὶ τὴν γενεὰν ταύτην.
まことに 言う あなたがたに 来る これらの-ことが すべて の-上に この 世代の この
G0281 G3004 G4771 G2240 G3778 G3956 G1909 G3588 G1074 G3778

よく言っておく。これらのことの報いは、みな今の時代に及ぶであろう。

37 Ἰερουσαλὴμ, Ἰερουσαλήμ, ἡ ἀποκτείνουσα τοὺς προφήτας καὶ λιθοβολοῦσα
エルサレムよ エルサレムよ その 殺す-者よ その 預言者たちを そして 石で-打つ-者よ
G2419 G2419 G3588 G0615 G3588 G4396 G2532 G3036

τοὺς ἀπεσταλμένους πρὸς αὐτήν! ποσάκις ἠθέλησα ἐπισυναγαγεῖν τὰ
その 遣わされた-者たちを へ そこに 何度 望んだ 集めることを その
G3588 G0649 G4314 G0846 G4212 G2309 G1996 G3588

τέκνα σου, ὃν τρόπον ὄρνις ἐπισυνάγει τὰ νοσσία αὐτῆς
子どもたちを あなたの その ように めんどりが 集める その ひなたちを その
G5043 G4771 G3739 G5158 G3733 G1996 G3588 G3556 G0846

ὑπὸ τὰς πτέρυγας, καὶ οὐκ ἠθελήσατε!
の-下に その 羽の しかし なかった 望ま
G5259 G3588 G4420 G2532 G3756 G2309

ああ、エルサレム、エルサレム、預言者たちを殺し、おまえにつかわされた人たちを石で打ち殺す者よ。ちょうど、めんどりが翼の下にそのひなを集めるように、わたしはおまえの子らを幾たび集めようとしたことであろう。それだのに、おまえたちは応じようとしなかった。

38	ἰδοὺ,	ἀφίεται	ὑμῖν	ὁ	οἶκος	ὑμῶν,	‹ἔρημος›!	
	見よ	残される	あなたがたに	その	家は	あなたがたの	荒れ果てた	
	G3708	G0863	G4771	G3588	G3624	G4771	G2048	

見よ、おまえたちの家は見捨てられてしまう。

39	λέγω	γὰρ	ὑμῖν,	οὐ	μή	με	ἴδητε	ἀπ’	ἄρτι	ἕως	ἂν
	言う	なぜなら	あなたがたに	決して	ない	私を	見ない	から	今から	まで	もし
	G3004	G1063	G4771	G3756	G3361	G1473	G3708	G0575	G0737	G2193	G0302

εἴπητε,	Εὐλογημένος	ὁ	ἐρχόμενος	ἐν	ὀνόματι	Κυρίου!	
言うまで	祝福–された	その	来る–者は	で	御名に–よって	主の	
G3004	G2127	G3588	G2064	G1722	G3686	G2962	

わたしは言っておく、『主の御名によってきたる者に、祝福あれ』とおまえたちが言う時までは、今後ふたたび、わたしに会うことはないであろう」。

Chapter 24

1	Καὶ	ἐξελθὼν	ὁ	Ἰησοῦς	ἀπὸ	τοῦ	ἱεροῦ,	ἐπορεύετο,	καὶ	προσῆλθον	
	そして	出て–行った	その	イエスは	から	その	神殿から	歩いて–いた	すると	近づいて–来た	
	G2532	G1831	G3588	G2424	G0575	G3588	G2411	G4198	G2532	G4334	

οἱ	μαθηταὶ	αὐτοῦ,	ἐπιδεῖξαι	αὐτῷ	τὰς	οἰκοδομὰς	τοῦ	ἱεροῦ.
その	弟子たちが	彼の	見せる–ために	彼に	その	建物を	の	神殿の
G3588	G3101	G0846	G1925	G0846	G3588	G3619	G3588	G2411

イエスが宮から出て行こうとしておられると、弟子たちは近寄ってきて、宮の建物にイエスの注意を促した。

2	ὁ	δὲ	ἀποκριθεὶς	εἶπεν	αὐτοῖς,	Οὐ	βλέπετε	ταῦτα		πάντα?	
	その	しかし	答えて	言った	彼らに	ないのか	見え	これらの–すべてが		すべて	
	G3588	G1161	G0611	G3004	G0846	G3756	G0991	G3778		G3956	

ἀμὴν	λέγω	ὑμῖν,	οὐ	μὴ	ἀφεθῇ	ὧδε	λίθος	ἐπὶ	λίθον,	ὃς	
まことに	言う	あなたがたに	決して	ない	残され	ここに	石が	の–上に	石の	それは	
G0281	G3004	G4771	G3756	G3361	G0863	G5602	G3037	G1909	G3037	G3739	

οὐ	καταλυθήσεται.
ない	崩されない–ことは
G3756	G2647

そこでイエスは彼らにむかって言われた、「あなたがたは、これらすべてのものを見ないか。よく言っておく。その石一つでもくずされずに、そこに他の石の上に残ることもなくなるであろう」。

3 Καθημένου δὲ αὐτοῦ ἐπὶ τοῦ ὄρους τῶν Ἐλαιῶν, προσῆλθον αὐτῷ
座っていた–時 そして 彼が の–上に その 山に の オリーブの 近づいて–来た 彼に
G2521 G1161 G0846 G1909 G3588 G3735 G3588 G1636 G4334 G0846

οἱ μαθηταὶ κατ’ ἰδίαν, λέγοντες, Εἰπὲ ἡμῖν, πότε ταῦτα
その 弟子たちが 別に ひそかに 言って 教えて–ください 私たちに いつ これらの–ことは
G3588 G3101 G2596 G2398 G3004 G3004 G1473 G4219 G3778

ἔσται? καὶ τί τὸ σημεῖον τῆς σῆς παρουσίας, καὶ συντελείας
起こるのか そして 何が その しるしか の あなたの 臨在の そして 終わりの
G1510 G2532 G5101 G3588 G4592 G3588 G4674 G3952 G2532 G4930

τοῦ αἰῶνος?
の 世の
G3588 G0165

またオリブ山ですわっておられると、弟子たちが、ひそかにみもとにきて言った、「どうぞお話しください。いつ、そんなことが起るのでしょうか。あなたがまたおいでになる時や、世の終りには、どんな前兆がありますか」。

4 καὶ ἀποκριθεὶς, ὁ Ἰησοῦς εἶπεν αὐτοῖς, Βλέπετε, μή τις
そして 答えて その イエスは 言った 彼らに 気を–つけなさい ない–ように 誰かが
G2532 G0611 G3588 G2424 G3004 G0846 G0991 G3361 G5100

ὑμᾶς πλανήσῃ.
あなたがたを 惑わさ
G4771 G4105

そこでイエスは答えて言われた、「人に惑わされないように気をつけなさい。

5 πολλοὶ γὰρ ἐλεύσονται ἐπὶ τῷ ὀνόματί μου, λέγοντες, Ἐγώ εἰμι
多くの–者が なぜなら 来る で その 名で 私の 言って 私が である
G4183 G1063 G2064 G1909 G3588 G3686 G1473 G3004 G1473 G1510

ὁ Χριστός; καὶ πολλοὺς πλανήσουσιν.
その キリストである–と そして 多くの–者を 惑わす
G3588 G5547 G2532 G4183 G4105

多くの者がわたしの名を名のって現れ、自分がキリストだと言って、多くの人を惑わすであろう。

6 μελλήσετε δὲ ἀκούειν πολέμους, καὶ ἀκοὰς πολέμων.
聞くであろう そして 聞くことを 戦争と そして 戦争の–うわさと 戦争の
G3195 G1161 G0191 G4171 G2532 G0189 G4171

ὁρᾶτε μὴ θροεῖσθε; δεῖ γὰρ γενέσθαι, ἀλλ’ οὔπω
気を–つけなさい ない–ように おそれては 必要が–ある なぜなら 起こることが しかし まだ–ない
G3708 G3361 G2360 G1163 G1063 G1096 G0235 G3768

ἐστὶν τὸ τέλος.
である その 終わりは
G1510 G3588 G5056

また、戦争と戦争のうわさとを聞くであろう。注意していなさい、あわててはいけない。それは起らねばならないが、まだ終りではない。

7 ἐγερθήσεται γὰρ ἔθνος ἐπὶ ἔθνος, καὶ βασιλεία ἐπὶ βασιλείαν;
立ち–上がる なぜなら 国民が に–対して 国民に そして 王国が に–対して 王国に
G1453 G1063 G1484 G1909 G1484 G2532 G0932 G1909 G0932

καὶ ἔσονται λιμοὶ καὶ σεισμοὶ κατὰ τόπους.
そして ある 飢饉と そして 地震が の–あちこちに 場所の
G2532 G1510 G3042 G2532 G4578 G2596 G5117

民は民に、国は国に敵対して立ち上がるであろう。またあちこちに、ききんが起り、また地震があるであろう。

8 πάντα δὲ ταῦτα ἀρχὴ ὠδίνων.
すべての しかし これらは 始まりである 産みの–苦しみの
G3956 G1161 G3778 G0746 G5604

しかし、すべてこれらは産みの苦しみの初めである。

9 τότε παραδώσουσιν ὑμᾶς εἰς θλῖψιν, καὶ ἀποκτενοῦσιν ὑμᾶς;
その–時 引き渡す あなたがたを へ 苦難に そして 殺す あなたがたを
G5119 G3860 G4771 G1519 G2347 G2532 G0615 G4771

καὶ ἔσεσθε μισούμενοι ὑπὸ πάντων τῶν ἐθνῶν, διὰ τὸ ὄνομά μου.
そして なる 憎まれて によって すべての その 国民に の–ために その 名の 私の
G2532 G1510 G3404 G5259 G3956 G3588 G1484 G1223 G3588 G3686 G1473

そのとき人々は、あなたがたを苦しみにあわせ、また殺すであろう。またあなたがたは、わたしの名のゆえにすべての民に憎まれるであろう。

10 καὶ τότε σκανδαλισθήσονται πολλοὶ, καὶ ἀλλήλους παραδώσουσιν, καὶ
そして その–時 つまずく 多くの–者が そして 互いに 引き渡し そして
G2532 G5119 G4624 G4183 G2532 G0240 G3860 G2532

μισήσουσιν ἀλλήλους;
憎み–合う 互いに
G3404 G0240

そのとき、多くの人がつまずき、また互に裏切り、憎み合うであろう。

11 καὶ πολλοὶ ψευδοπροφῆται ἐγερθήσονται, καὶ πλανήσουσιν πολλούς;
そして 多くの 偽預言者が 立ち–上がる そして 惑わす 多くの–者を
G2532 G4183 G5578 G1453 G2532 G4105 G4183

また多くのにせ預言者が起って、多くの人を惑わすであろう。

12 καὶ διὰ τὸ πληθυνθῆναι τὴν ἀνομίαν, ψυγήσεται ἡ ἀγάπη τῶν
そして の–ために その 増える その 不法が 冷える その 愛が の
G2532 G1223 G3588 G4129 G3588 G0458 G5594 G3588 G0026 G3588

πολλῶν;
多くの–者の
G4183

また不法がはびこるので、多くの人の愛が冷えるであろう。

13 ὁ δὲ ὑπομείνας εἰς τέλος, οὗτος σωθήσεται.
その しかし 耐え–忍んだ–者は まで 終わりまで この–者は 救われる
G3588 G1161 G5278 G1519 G5056 G3778 G4982

しかし、最後まで耐え忍ぶ者は救われる。

14 καὶ κηρυχθήσεται τοῦτο τὸ εὐαγγέλιον τῆς βασιλείας ἐν ὅλῃ τῇ
そして 宣べ–伝えられる この その 福音は の 御国の で すべての その
G2532 G2784 G3778 G3588 G2098 G3588 G0932 G1722 G3650 G3588

οἰκουμένῃ, εἰς μαρτύριον πᾶσιν τοῖς ἔθνεσιν; καὶ τότε ἥξει τὸ
世界に の–ために 証しとして すべての その 国民に そして その–時 来る その
G3625 G1519 G3142 G3956 G3588 G1484 G2532 G5119 G2240 G3588

τέλος.
終わりが
G5056

そしてこの御国の福音は、すべての民に対してあかしをするために、全世界に宣べ伝えられるであろう。そしてそれから最後が来るのである。

15 Ὅταν οὖν ἴδητε τὸ βδέλυγμα τῆς ἐρημώσεως, τὸ ῥηθὲν
する–時 それゆえ 見たら その 忌まわしい–ものが の 荒廃の その 語られた–ものが
G3752 G3767 G3708 G3588 G0946 G3588 G2050 G3588 G2046

διὰ Δανιὴλ τοῦ προφήτου, ἑστὸς ἐν τόπῳ ἁγίῳ -- ὁ
を–通して ダニエル その 預言者の 立っている に 場所に 聖なる その
G1223 G1158 G3588 G4396 G2476 G1722 G5117 G0040 G3588

ἀναγινώσκων νοείτω,
読む–者は 悟りなさい
G0314 G3539

預言者ダニエルによって言われた荒らす憎むべき者が、聖なる場所に立つのを見たならば（読者よ、悟れ）、

16 τότε οἱ ἐν τῇ Ἰουδαίᾳ, φευγέτωσαν εἰς τὰ ὄρη;
その–時 その に–いる その ユダヤに 逃げなさい へ その 山へ
G5119 G3588 G1722 G3588 G2449 G5343 G1519 G3588 G3735

そのとき、ユダヤにいる人々は山へ逃げよ。

17 ὁ ἐπὶ τοῦ δώματος, μὴ καταβάτω ἆραι τὰ ἐκ
その の–上に その 屋上の しては–ならない 降りては 取りに その–ものを の
G3588 G1909 G3588 G1430 G3361 G2597 G0142 G3588 G1537

τῆς οἰκίας αὐτοῦ;
その 家から 彼の
G3588 G3614 G0846

屋上にいる者は、家からものを取り出そうとして下におりるな。

18 καὶ ὁ ἐν τῷ ἀγρῷ, μὴ ἐπιστρεψάτω ὀπίσω ἆραι τὸ
そして その に–いる その 畑の しては–ならない 引き–返しては 後ろに 取りに その
G2532 G3588 G1722 G3588 G0068 G3361 G1994 G3694 G0142 G3588

ἱμάτιον αὐτοῦ.
上着を 彼の
G2440 G0846

畑にいる者は、上着を取りにあとへもどるな。

19 οὐαὶ δὲ ταῖς ἐν γαστρὶ ἐχούσαις, καὶ ταῖς θηλαζούσαις,
わざわいだ しかし その に 胎を 宿した–者たちと そして その 乳を–与える–者たちに
G3759 G1161 G3588 G1722 G1064 G2192 G2532 G3588 G2337

ἐν ἐκείναις ταῖς ἡμέραις.
で あの その 日々に
G1722 G1565 G3588 G2250

その日には、身重の女と乳飲み子をもつ女とは、不幸である。

20 προσεύχεσθε δὲ ἵνα μὴ γένηται ἡ φυγὴ
祈りなさい そして ように–と ない–ように ならない–ように その 逃れる–ことが
G4336 G1161 G2443 G3361 G1096 G3588 G5437

ὑμῶν χειμῶνος, μηδὲ σαββάτῳ.
あなたがたの 冬に またない 安息日に
G4771 G5494 G3366 G4521

あなたがたの逃げるのが、冬または安息日にならないように祈れ。

21 ἔσται γὰρ τότε θλῖψις, μεγάλη οἵα οὐ γέγονεν ἀπ’
ある なぜなら その–時 苦難が 大きな そのような–ものは なかった 起こったことが から
G1510 G1063 G5119 G2347 G3173 G3634 G3756 G1096 G0575

ἀρχῆς κόσμου ἕως τοῦ νῦν, οὐδ’ οὐ μὴ γένηται.
初めから 世界の まで その 今まで またない 決して ない 起こら
G0746 G2889 G2193 G3588 G3568 G3761 G3756 G3361 G1096

その時には、世の初めから現在に至るまで、かつてなく今後もないような大きな患難が起るからである。

22 καὶ εἰ μὴ ἐκολοβώθησαν αἱ ἡμέραι ἐκεῖναι, οὐκ ἂν
そして もし なかったら 短く–され その 日々が その なかったであろう もし
G2532 G1487 G3361 G2856 G3588 G2250 G1565 G3756 G0302

ἐσώθη πᾶσα σάρξ, διὰ δὲ τοὺς ἐκλεκτοὺς, κολοβωθήσονται αἱ
救われ すべての 肉は の–ために しかし その 選ばれた–者たちの 短く–される その
G4982 G3956 G4561 G1223 G1161 G3588 G1588 G2856 G3588

ἡμέραι ἐκεῖναι.
日々は その
G2250 G1565

もしその期間が縮められないなら、救われる者はひとりもないであろう。しかし、選民のためには、その期間が縮められるであろう。

23 τότε ἐάν τις ὑμῖν εἴπῃ, Ἰδοὺ, ὧδε ὁ Χριστός, ἢ
その–時 もし 誰かが あなたがたに 言ったら 見よ ここに その キリストが または
G5119 G1437 G5100 G4771 G3004 G3708 G5602 G3588 G5547 G2228

Ὧδε, μὴ πιστεύσητε.
ここに しては–ならない 信じては
G5602 G3361 G4100

そのとき、だれかがあなたがたに『見よ、ここにキリストがいる』、また、『あそこにいる』と言っても、それを信じるな。

24 ἐγερθήσονται γὰρ ψευδόχριστοι καὶ ψευδοπροφῆται, καὶ δώσουσιν
立ち–上がる なぜなら 偽キリストと そして 偽預言者が そして 行う
G1453 G1063 G5580 G2532 G5578 G2532 G1325

σημεῖα μεγάλα, καὶ τέρατα, ὥστε πλανῆσαι, εἰ δυνατὸν, καὶ τοὺς
しるしと 大きな そして 不思議を ほどに 惑わす もし 可能なら また その
G4592 G3173 G2532 G5059 G5620 G4105 G1487 G1415 G2532 G3588

ἐκλεκτούς.
選ばれた–者たちをも
G1588

にせキリストたちや、にせ預言者たちが起って、大いなるしるしと奇跡とを行い、できれば、選民をも惑わそうとするであろう。

25 ἰδοὺ, προείρηκα ὑμῖν.
見よ 前もって–言った あなたがたに
G3708 G4302 G4771

見よ、あなたがたに前もって言っておく。

26 ἐὰν οὖν εἴπωσιν ὑμῖν, Ἰδοὺ, ἐν τῇ ἐρήμῳ ἐστίν,
もし それゆえ 言ったら あなたがたに 見よ に-いる その 荒野に いる-と
G1437 G3767 G3004 G4771 G3708 G1722 G3588 G2048 G1510

μὴ ἐξέλθητε. Ἰδοὺ, ἐν τοῖς ταμείοις, μὴ πιστεύσητε.
しては-ならない 出て-行っては 見よ に-いる その 奥の-部屋に しては-ならない 信じては
G3361 G1831 G3708 G1722 G3588 G5009 G3361 G4100

だから、人々が『見よ、彼は荒野にいる』と言っても、出て行くな。また『見よ、へやの中にいる』と言っても、信じるな。

27 ὥσπερ γὰρ ἡ ἀστραπὴ ἐξέρχεται ἀπὸ ἀνατολῶν, καὶ φαίνεται ἕως
ちょうど なぜなら その 稲妻が 出る から 東から そして 輝く まで
G5618 G1063 G3588 G0796 G1831 G0575 G0395 G2532 G5316 G2193

δυσμῶν, οὕτως ἔσται ἡ παρουσία τοῦ Υἱοῦ τοῦ ἀνθρώπου.
西まで このように である その 臨在は の 人の-子の の 人の
G1424 G3779 G1510 G3588 G3952 G3588 G5207 G3588 G0444

ちょうど、いなずまが東から西にひらめき渡るように、人の子も現れるであろう。

28 ὅπου ἐὰν ᾖ τὸ πτῶμα, ἐκεῖ συναχθήσονται οἱ ἀετοί.
どこでも もし あるなら その 死体が そこに 集まる その 鷲が
G3699 G1437 G1510 G3588 G4430 G1563 G4863 G3588 G0105

死体のあるところには、はげたかが集まるものである。

29 Εὐθέως δὲ μετὰ τὴν θλῖψιν τῶν ἡμερῶν ἐκείνων, ὁ ἥλιος
ただちに そして の-後 その 苦難の の 日々の その その 太陽は
G2112 G1161 G3326 G3588 G2347 G3588 G2250 G1565 G3588 G2246

σκοτισθήσεται, καὶ ἡ σελήνη οὐ δώσει τὸ φέγγος αὐτῆς, καὶ οἱ
暗く-なる そして その 月は ない 与え その 光を その そして その
G4654 G2532 G3588 G4582 G3756 G1325 G3588 G5338 G0846 G2532 G3588

ἀστέρες πεσοῦνται ἀπὸ τοῦ οὐρανοῦ, καὶ αἱ δυνάμεις τῶν οὐρανῶν
星は 落ちる から その 天から そして その 力は の 天の
G0792 G4098 G0575 G3588 G3772 G2532 G3588 G1411 G3588 G3772

σαλευθήσονται.
揺り-動かされる
G4531

しかし、その時に起る患難の後、たちまち日は暗くなり、月はその光を放つことをやめ、星は空から落ち、天体は揺り動かされるであろう。

30 καὶ τότε φανήσεται τὸ σημεῖον τοῦ Υἱοῦ τοῦ ἀνθρώπου ἐν
そして その-時 現れる その しるしが の 人の-子の の 人の に
G2532 G5119 G5316 G3588 G4592 G3588 G5207 G3588 G0444 G1722

‹τῷ› οὐρανῷ, καὶ τότε κόψονται πᾶσαι αἱ φυλαὶ τῆς γῆς, καὶ
その 天に そして その-時 嘆く すべての その 民族が の 地の そして
G3588 G3772 G2532 G5119 G2875 G3956 G3588 G5443 G3588 G1093 G2532

ὄψονται τὸν Υἱὸν τοῦ ἀνθρώπου, ἐρχόμενον ἐπὶ τῶν νεφελῶν τοῦ
見る その 人の-子が の 人の 来る-のを の-上に その 雲の の
G3708 G3588 G5207 G3588 G0444 G2064 G1909 G3588 G3507 G3588

οὐρανοῦ μετὰ δυνάμεως καὶ δόξης πολλῆς.
天の と共に 力と そして 栄光と 大いなる
G3772 G3326 G1411 G2532 G1391 G4183

そのとき、人の子のしるしが天に現れるであろう。またそのとき、地のすべての民族は嘆き、そして力と大いなる栄光とをもって、人の子が天の雲に乗って来るのを、人々は見るであろう。

31 καὶ そして G2532 ἀποστελεῖ 遣わす G0649 τοὺς その G3588 ἀγγέλους 御使いたちを G0032 αὐτοῦ 彼の G0846 μετὰ と共に G3326 σάλπιγγος ラッパの G4536 μεγάλης, 大きな G3173 καὶ そして G2532
ἐπισυνάξουσιν 集める G1996 τοὺς その G3588 ἐκλεκτοὺς 選ばれた-者たちを G1588 αὐτοῦ, 彼の G0846 ἐκ から G1537 τῶν その G3588 τεσσάρων 四つの G5064 ἀνέμων, 風から G0417 ἀπ’ から G0575
ἄκρων 果てから G0206 οὐρανῶν, 天の G3772 ἕως まで G2193 ‹τῶν› その G3588 ἄκρων 果てまで G0206 αὐτῶν. その G0846

また、彼は大いなるラッパの音と共に御使たちをつかわして、天のはてからはてに至るまで、四方からその選民を呼び集めるであろう。

32 Ἀπὸ から G0575 δὲ そして G1161 τῆς の G3588 συκῆς, いちじくの-木から G4808 μάθετε 学びなさい G3129 τὴν その G3588 παραβολήν: たとえを G3850 ὅταν する-時 G3752 ἤδη すでに G2235 ὁ その G3588
κλάδος 枝が G2798 αὐτῆς その G0846 γένηται なったら G1096 ἁπαλὸς, 柔らかく G0527 καὶ そして G2532 τὰ その G3588 φύλλα 葉が G5444 ἐκφύῃ, 芽吹いたら G1631 γινώσκετε 知る G1097 ὅτι と G3754
ἐγγὺς 近い-と G1451 τὸ その G3588 θέρος. 夏が G2330

いちじくの木からこの譬を学びなさい。その枝が柔らかになり、葉が出るようになると、夏の近いことがわかる。

33 οὕτως このように G3779 καὶ また G2532 ὑμεῖς, あなたがたも G4771 ὅταν する-時 G3752 ἴδητε 見たら G3708 πάντα すべての G3956 ταῦτα, これらを G3778 γινώσκετε 知りなさい G1097 ὅτι と G3754 ἐγγύς 近い-と G1451
ἐστιν, である G1510 ἐπὶ の-そばに G1909 θύραις. 戸口の G2374

そのように、すべてこれらのことを見たならば、人の子が戸口まで近づいていると知りなさい。

34 ἀμὴν まことに G0281 λέγω 言う G3004 ὑμῖν, あなたがたに G4771 ὅτι と G3754 οὐ 決して G3756 μὴ ない G3361 παρέλθῃ 過ぎ-去ら G3928 ἡ この G3588 γενεὰ 世代は G1074 αὕτη, この G3778 ἕως まで G2193
ἂν もし G0302 πάντα すべての G3956 ταῦτα これらが G3778 γένηται. 起こるまで G1096

よく聞いておきなさい。これらの事が、ことごとく起るまでは、この時代は滅びることがない。

35 ὁ その G3588 οὐρανὸς 天と G3772 καὶ そして G2532 ἡ その G3588 γῆ 地は G1093 παρελεύσεται, 過ぎ-去る G3928 οἱ その G3588 δὲ しかし G1161 λόγοι 言葉は G3056 μου 私の G1473 οὐ 決して G3756
μὴ ない G3361 παρέλθωσιν. 過ぎ-去ら G3928

天地は滅びるであろう。しかしわたしの言葉は滅びることがない。

36 Περὶ δὲ τῆς ἡμέρας ἐκείνης καὶ ὥρας, οὐδεὶς οἶδεν, οὐδὲ οἱ
について しかし その 日と その そして 時は 誰も 知らない またない その
G4012 G1161 G3588 G2250 G1565 G2532 G5610 G3762 G1492 G3761 G3588

ἄγγελοι τῶν οὐρανῶν, οὐδὲ ὁ Υἱός, εἰ μὴ ὁ Πατὴρ
御使いたちも の 天の またない その 御子も ただ のみ その 父だけが
G0032 G3588 G3772 G3761 G3588 G5207 G1487 G3361 G3588 G3962

μόνος.
ただ-お一人
G3441

その日、その時は、だれも知らない。天の御使たちも、また子も知らない、ただ父だけが知っておられる。

37 ὥσπερ γὰρ αἱ ἡμέραι τοῦ Νῶε, οὕτως ἔσται ἡ παρουσία
ちょうど なぜなら その 日々の-ように の ノアの このように である その 臨在は
G5618 G1063 G3588 G2250 G3588 G3575 G3779 G1510 G3588 G3952

τοῦ Υἱοῦ τοῦ ἀνθρώπου.
の 人の-子の の 人の
G3588 G5207 G3588 G0444

人の子の現れるのも、ちょうどノアの時のようであろう。

38 ὡς γὰρ ἦσαν ἐν ταῖς ἡμέραις ἐκείναις, ταῖς πρὸ τοῦ
ように なぜなら いた で その 日々に その その の-前の その
G5613 G1063 G1510 G1722 G3588 G2250 G1565 G3588 G4253 G3588

κατακλυσμοῦ, τρώγοντες καὶ πίνοντες, γαμοῦντες καὶ γαμίζοντες, ἄχρι ἧς
洪水の 食べて そして 飲んで めとって そして 嫁がせて まで その
G2627 G5176 G2532 G4095 G1060 G2532 G1061 G0891 G3739

ἡμέρας εἰσῆλθεν Νῶε εἰς τὴν κιβωτόν.
日まで 入った ノアが へ その 箱舟に
G2250 G1525 G3575 G1519 G3588 G2787

すなわち、洪水の出る前、ノアが箱舟にはいる日まで、人々は食い、飲み、めとり、とつぎなどしていた。

39 καὶ οὐκ ἔγνωσαν, ἕως ἦλθεν ὁ κατακλυσμὸς καὶ ἦρεν
そして なかった 知ら まで 来た その 洪水が そして 流し-去った
G2532 G3756 G1097 G2193 G2064 G3588 G2627 G2532 G0142

ἅπαντας; οὕτως ἔσται καὶ ἡ παρουσία τοῦ Υἱοῦ τοῦ ἀνθρώπου.
すべてを このように である また その 臨在は の 人の-子の の 人の
G0537 G3779 G1510 G2532 G3588 G3952 G3588 G5207 G3588 G0444

そして洪水が襲ってきて、いっさいのものをさらって行くまで、彼らは気がつかなかった。人の子の現れるのも、そのようであろう。

40 τότε ἔσονται δύο ἐν τῷ ἀγρῷ; εἷς παραλαμβάνεται, καὶ εἷς
その-時 いる 二人が に その 畑に 一人は 取られる そして 一人は
G5119 G1510 G1417 G1722 G3588 G0068 G1520 G3880 G2532 G1520

ἀφίεται.
残される
G0863

そのとき、ふたりの者が畑にいると、ひとりは取り去られ、ひとりは取り残されるであろう。

41 δύο ἀλήθουσαι ἐν τῷ μύλῳ; μία παραλαμβάνεται, καὶ μία ἀφίεται.
二人が ひき-臼で に その 臼で 一人は 取られる そして 一人は 残される
G1417 G0229 G1722 G3588 G3458 G1520 G3880 G2532 G1520 G0863

ふたりの女がうすをひいていると、ひとりは取り去られ、ひとりは残されるであろう。

42 γρηγορεῖτε οὖν, ὅτι οὐκ οἴδατε ποίᾳ ἡμέρᾳ ὁ κύριος
目を-覚まして-いなさい それゆえ なぜなら ない 知ら どの 日に その 主が
G1127 G3767 G3754 G3756 G1492 G4169 G2250 G3588 G2962

ὑμῶν ἔρχεται.
あなたがたの 来るのか
G4771 G2064

だから、目をさましていなさい。いつの日にあなたがたの主がこられるのか、あなたがたには、わからないからである。

43 ἐκεῖνο δὲ γινώσκετε, ὅτι εἰ ᾔδει ὁ οἰκοδεσπότης, ποίᾳ
この-ことを そして 知りなさい と もし 知っていたら その 家の-主人が どの
G1565 G1161 G1097 G3754 G1487 G1492 G3588 G3617 G4169

φυλακῇ ὁ κλέπτης ἔρχεται, ἐγρηγόρησεν ἂν, καὶ οὐκ
夜更けに その 盗人が 来るのか 目を-覚まして-いたであろう もし そして なかったであろう
G5438 G3588 G2812 G2064 G1127 G0302 G2532 G3756

ἂν εἴασεν διορυχθῆναι τὴν οἰκίαν αὐτοῦ.
もし 許さ 掘り-破られることを その 家が 彼の
G0302 G1439 G1358 G3588 G3614 G0846

このことをわきまえているがよい。家の主人は、盗賊がいつごろ来るかわかっているなら、目をさましていて、自分の家に押し入ることを許さないであろう。

44 διὰ τοῦτο καὶ, ὑμεῖς γίνεσθε ἕτοιμοι, ὅτι ᾗ οὐ
それゆえ この-ため また あなたがたも なりなさい 備えある-者に なぜなら その ない
G1223 G3778 G2532 G4771 G1096 G2092 G3754 G3739 G3756

δοκεῖτε ὥρᾳ, ὁ Υἱὸς τοῦ ἀνθρώπου ἔρχεται.
思わない 時に その 人の-子は の 人の 来る
G1380 G5610 G3588 G5207 G3588 G0444 G2064

だから、あなたがたも用意をしていなさい。思いがけない時に人の子が来るからである。

45 Τίς ἄρα ἐστὶν ὁ πιστὸς δοῦλος, καὶ φρόνιμος, ὃν
誰が いったい であるのか その 忠実な しもべで そして 賢い その-者を
G5101 G0686 G1510 G3588 G4103 G1401 G2532 G5429 G3739

κατέστησεν ὁ κύριος ἐπὶ τῆς οἰκετείας αὐτοῦ, τοῦ δοῦναι
立てた その 主人が の-上に その 家の-者たちの 彼の ために 与える-ために
G2525 G3588 G2962 G1909 G3588 G3610 G0846 G3588 G1325

αὐτοῖς τὴν τροφὴν ἐν καιρῷ?
彼らに その 食べ物を に 時に
G0846 G3588 G5160 G1722 G2540

主人がその家の僕たちの上に立てて、時に応じて食物をそなえさせる忠実な思慮深い僕は、いったい、だれであろう。

46

μακάριος	ὁ	δοῦλος	ἐκεῖνος,	ὃν	ἐλθὼν,	ὁ	κύριος	αὐτοῦ	εὑρήσει
幸いである	その	しもべは	その	その-者を	来た-時	その	主人が	彼の	見つける
G3107	G3588	G1401	G1565	G3739	G2064	G3588	G2962	G0846	G2147

οὕτως	ποιοῦντα.
このように	している-のを
G3779	G4160

主人が帰ってきたとき、そのようにつとめているのを見られる僕は、さいわいである。

47

ἀμὴν	λέγω	ὑμῖν,	ὅτι	ἐπὶ	πᾶσιν	τοῖς	ὑπάρχουσιν	αὐτοῦ
まことに	言う	あなたがたに	と	の-上に	すべての	その	財産の	彼の
G0281	G3004	G4771	G3754	G1909	G3956	G3588	G5225	G0846

καταστήσει	αὐτόν.
立てる	彼を
G2525	G0846

よく言っておくが、主人は彼を立てて自分の全財産を管理させるであろう。

48

ἐὰν	δὲ,	εἴπῃ	ὁ	κακὸς	δοῦλος	ἐκεῖνος	ἐν	τῇ	καρδίᾳ	αὐτοῦ,
もし	しかし	言ったら	その	悪い	しもべが	その	の-中で	その	心の	彼の
G1437	G1161	G3004	G3588	G2556	G1401	G1565	G1722	G3588	G2588	G0846

Χρονίζει	μου	ὁ	κύριος,
遅れている	私の	その	主人は
G5549	G1473	G3588	G2962

もしそれが悪い僕であって、自分の主人は帰りがおそいと心の中で思い、

49

καὶ	ἄρξηται	τύπτειν	τοὺς	συνδούλους	αὐτοῦ,	ἐσθίῃ	δὲ	καὶ
そして	始めたら	打つことを	その	仲間の-しもべたちを	彼の	食べたり	また	そして
G2532	G0756	G5180	G3588	G4889	G0846	G2068	G1161	G2532

πίνῃ	μετὰ	τῶν	μεθυόντων,
飲んだり	と共に	その	酔っ払いたちと
G4095	G3326	G3588	G3184

その僕仲間をたたきはじめ、また酒飲み仲間と一緒に食べたり飲んだりしているなら、

50

ἥξει	ὁ	κύριος	τοῦ	δούλου	ἐκείνου	ἐν	ἡμέρᾳ	ᾗ	οὐ	προσδοκᾷ,
来る	その	主人が	その	しもべの	その	に	日に	その	ない	予期し
G2240	G3588	G2962	G3588	G1401	G1565	G1722	G2250	G3739	G3756	G4328

καὶ	ἐν	ὥρᾳ	ᾗ	οὐ	γινώσκει,
そして	に	時に	その	ない	知ら
G2532	G1722	G5610	G3739	G3756	G1097

その僕の主人は思いがけない日、気がつかない時に帰ってきて、

51

καὶ	διχοτομήσει	αὐτὸν,	καὶ	τὸ	μέρος	αὐτοῦ	μετὰ	τῶν	ὑποκριτῶν
そして	彼を-切り-裂き	彼を	そして	その	分け前を	彼の	と共に	その	偽善者たちと
G2532	G1371	G0846	G2532	G3588	G3313	G0846	G3326	G3588	G5273

θήσει;	ἐκεῖ	ἔσται	ὁ	κλαυθμὸς	καὶ	ὁ	βρυγμὸς	τῶν	ὀδόντων.
置く	そこで	ある	その	泣きと	そして	その	歯ぎしりが	の	歯の
G5087	G1563	G1510	G3588	G2805	G2532	G3588	G1030	G3588	G3599

彼を厳罰に処し、偽善者たちと同じ目にあわせるであろう。彼はそこで泣き叫んだり、歯がみをしたりするであろう。

Chapter 25

1 Τότε ὁμοιωθήσεται ἡ βασιλεία τῶν οὐρανῶν, δέκα παρθένοις,
その–時 たとえられる その 天の–国は の 天の 十人の おとめたちに
G5119 G3666 G3588 G0932 G3588 G3772 G1176 G3933

αἵτινες λαβοῦσαι τὰς λαμπάδας ἑαυτῶν, ἐξῆλθον εἰς ὑπάντησιν τοῦ
その–者たちは 取って その ともしびを 自分たちの 出て–行った へ 出迎えに の
G3748 G2983 G3588 G2985 G1438 G1831 G1519 G5222 G3588

νυμφίου.
花婿の
G3566

2 πέντε δὲ ἐξ αὐτῶν ἦσαν μωραὶ, καὶ πέντε φρόνιμοι.
五人は そして の–中の 彼女たちの であった 愚かで そして 五人は 賢かった
G4002 G1161 G1537 G0846 G1510 G3474 G2532 G4002 G5429

3 αἱ γὰρ μωραὶ, λαβοῦσαι τὰς λαμπάδας ‹αὐτῶν›, οὐκ ἔλαβον
その なぜなら 愚かな–者たちは 取って その ともしびを 自分たちの なかった 取ら
G3588 G1063 G3474 G2983 G3588 G2985 G0846 G3756 G2983

μεθ’ ἑαυτῶν ἔλαιον;
と共に 自分たちと 油を
G3326 G1438 G1637

4 αἱ δὲ φρόνιμοι ἔλαβον ἔλαιον ἐν τοῖς ἀγγείοις, μετὰ τῶν
その しかし 賢い–者たちは 取った 油を に その 器に と共に その
G3588 G1161 G5429 G2983 G1637 G1722 G3588 G0030 G3326 G3588

λαμπάδων ἑαυτῶν.
ともしびと 自分たちの
G2985 G1438

5 χρονίζοντος δὲ τοῦ νυμφίου, ἐνύσταξαν πᾶσαι καὶ ἐκάθευδον.
遅れていた–時 そして その 花婿が うとうと–した すべての–者が そして 眠った
G5549 G1161 G3588 G3566 G3573 G3956 G2532 G2518

6 μέσης δὲ νυκτὸς, κραυγὴ γέγονεν, Ἰδοὺ, ὁ νυμφίος! ἐξέρχεσθε
真夜中に そして 夜の 叫び–声が 起こった 見よ その 花婿だ 出て–行きなさい
G3319 G1161 G3571 G2906 G1096 G3708 G3588 G3566 G1831

εἰς ἀπάντησιν ‹αὐτοῦ›!
へ 出迎えに 彼の
G1519 G0529 G0846

7 τότε ἠγέρθησαν πᾶσαι αἱ παρθένοι ἐκεῖναι, καὶ ἐκόσμησαν τὰς
その–時 起きた すべての その おとめたちは その そして 整えた その
G5119 G1453 G3956 G3588 G3933 G1565 G2532 G2885 G3588

λαμπάδας ἑαυτῶν.
ともしびを 自分たちの
G2985 G1438

8 αἱ δὲ μωραὶ ταῖς φρονίμοις εἶπαν, Δότε ἡμῖν ἐκ τοῦ
その そして 愚かな-者たちは その 賢い-者たちに 言った ください 私たちに の その
G3588 G1161 G3474 G3588 G5429 G3004 G1325 G1473 G1537 G3588

ἐλαίου ὑμῶν, ὅτι αἱ λαμπάδες ἡμῶν σβέννυνται.
油を あなたがたの なぜなら その ともしびが 私たちの 消えかかっている
G1637 G4771 G3754 G3588 G2985 G1473 G4570

9 ἀπεκρίθησαν δὲ αἱ φρόνιμοι, λέγουσαι, Μή¦ποτε οὐ μὴ
答えた そして その 賢い-者たちは 言って おそらく ないであろう だろう
G0611 G1161 G3588 G5429 G3004 G3379 G3756 G3361

ἀρκέσῃ ἡμῖν καὶ ὑμῖν; πορεύεσθε μᾶλλον πρὸς τοὺς
足り 私たちにも また あなたがたにも 行きなさい むしろ へ その
G0714 G1473 G2532 G4771 G4198 G3123 G4314 G3588

πωλοῦντας, καὶ ἀγοράσατε ἑαυταῖς.
売る-者たちの-ところに そして 買いなさい 自分たちの-ために
G4453 G2532 G0059 G1438

10 ἀπερχομένων δὲ αὐτῶν ἀγοράσαι, ἦλθεν ὁ νυμφίος, καὶ αἱ
行っている-間に そして 彼女たちが 買いに 来た その 花婿が そして その
G0565 G1161 G0846 G0059 G2064 G3588 G3566 G2532 G3588

ἕτοιμοι εἰσῆλθον μετ' αὐτοῦ εἰς τοὺς γάμους; καὶ ἐκλείσθη ἡ
備えある-者たちは 入った と共に 彼と へ その 婚宴に そして 閉ざされた その
G2092 G1525 G3326 G0846 G1519 G3588 G1062 G2532 G2808 G3588

θύρα.
戸は
G2374

11 ὕστερον δὲ, ἔρχονται καὶ αἱ λοιπαὶ παρθένοι, λέγουσαι, Κύριε, κύριε,
後に-なって そして 来る また その 残りの おとめたちが 言って 主よ 主よ
G5305 G1161 G2064 G2532 G3588 G3062 G3933 G3004 G2962 G2962

ἄνοιξον ἡμῖν!
開けて-ください 私たちに
G0455 G1473

12 ὁ δὲ ἀποκριθεὶς εἶπεν, Ἀμὴν λέγω ὑμῖν, οὐκ οἶδα ὑμᾶς.
その しかし 答えて 言った まことに 言う あなたがたに ない 知ら あなたがたを
G3588 G1161 G0611 G3004 G0281 G3004 G4771 G3756 G1492 G4771

13 Γρηγορεῖτε οὖν, ὅτι οὐκ οἴδατε τὴν ἡμέραν, οὐδὲ τὴν
目を-覚まして-いなさい それゆえ なぜなら ない 知ら その 日も またない その
G1127 G3767 G3754 G3756 G1492 G3588 G2250 G3761 G3588

ὥραν, <ἐν ᾗ ὁ υἱὸς τοῦ ἀνθρώπου ἔρχεται>.
時も その その-時に その 人の-子が の 人の 来る
G5610 G1722 G3739 G3588 G5207 G3588 G0444 G2064

14 Ὥσπερ γὰρ ἄνθρωπος ἀποδημῶν ἐκάλεσεν τοὺς ἰδίους δούλους, καὶ
ちょうど なぜなら ある-人が 旅に-出る-時 呼んだ その 自分の しもべたちを そして
G5618 G1063 G0444 G0589 G2564 G3588 G2398 G1401 G2532

παρέδωκεν αὐτοῖς τὰ ὑπάρχοντα αὐτοῦ.
渡した 彼らに その 財産を 彼の
G3860 G0846 G3588 G5225 G0846

15 καὶ そして G2532 ᾧ その-者に G3739 μὲν 一方では G3303 ἔδωκεν 与えた G1325 πέντε 五-タラントを G4002 τάλαντα, タラントを G5007 ᾧ その-者に G3739 δὲ また G1161 δύο, 二を G1417

ᾧ その-者に G3739 δὲ また G1161 ἕν, 一を G1520 ἑκάστῳ それぞれに G1538 κατὰ に-応じて G2596 τὴν その G3588 ἰδίαν 自分の G2398 δύναμιν; 能力に G1411 καὶ そして G2532 ἀπεδήμησεν 旅に-出た G0589

Εὐθέως. すぐに G2112

16 πορευθεὶς, 行って G4198 ὁ その G3588 τὰ その G3588 πέντε 五-タラントを G4002 τάλαντα タラントを G5007 λαβὼν, 受け取った-者は G2983 ἠργάσατο 働いた G2038 ἐν で G1722

αὐτοῖς, それで G0846 καὶ そして G2532 ἐκέρδησεν 利益を-得た G2770 ἄλλα もう-五を G0243 πέντε. 五を G4002

17 ὡσαύτως, 同じように G5615 ὁ その G3588 τὰ その G3588 δύο, 二の-者も G1417 ἐκέρδησεν 利益を-得た G2770 ἄλλα もう-二を G0243 δύο. 二を G1417

18 ὁ その G3588 δὲ しかし G1161 τὸ その G3588 ἓν 一を G1520 λαβὼν, 受け取った-者は G2983 ἀπελθὼν 行って G0565 ὤρυξεν 掘った G3736 γῆν, 地を G1093 καὶ そして G2532 ἔκρυψεν 隠した G2928

τὸ その G3588 ἀργύριον 銀を G0694 τοῦ の G3588 κυρίου 主人の G2962 αὐτοῦ. 彼の G0846

19 μετὰ の-後 G3326 δὲ そして G1161 πολὺν 長い G4183 χρόνον, 時間の-後 G5550 ἔρχεται 来る G2064 ὁ その G3588 κύριος 主人が G2962 τῶν の G3588 δούλων しもべたちの G1401 ἐκείνων, その G1565

καὶ そして G2532 συναίρει 清算する G4868 λόγον 勘定を G3056 μετ’ と共に G3326 αὐτῶν. 彼らと G0846

20 καὶ そして G2532 προσελθὼν, 近づいて G4334 ὁ その G3588 τὰ その G3588 πέντε 五-タラントを G4002 τάλαντα タラントを G5007 λαβὼν, 受け取った-者は G2983 προσήνεγκεν 持って-来た G4374

ἄλλα もう-五を G0243 πέντε 五の G4002 τάλαντα, タラントを G5007 λέγων, 言って G3004 Κύριε, 主人よ G2962 πέντε 五-タラントを G4002 τάλαντά タラントを G5007 μοι 私に G1473 παρέδωκας; 渡しました G3860

ἴδε, 見てください G3708 ἄλλα もう-五の G0243 πέντε 五の G4002 τάλαντα タラントを G5007 ἐκέρδησα. 利益を-得ました G2770

21 ἔφη αὐτῷ ὁ κύριος αὐτοῦ, Εὖ, δοῦλε ἀγαθὲ καὶ πιστέ! ἐπὶ
言った 彼に その 主人は 彼の よく-やった しもべよ 善い そして 忠実な の-上に
G5346 G0846 G3588 G2962 G0846 G2095 G1401 G0018 G2532 G4103 G1909

ὀλίγα ἦς πιστός; ἐπὶ πολλῶν σε καταστήσω. εἴσελθε
少ない-ものに であった 忠実で の-上に 多くの-ものに おまえを 立てよう 入りなさい
G3641 G1510 G4103 G1909 G4183 G4771 G2525 G1525

εἰς τὴν χαρὰν τοῦ κυρίου σου
へ その 喜びに の 主人の あなたの
G1519 G3588 G5479 G3588 G2962 G4771

22 προσελθὼν ‹δὲ› καὶ, ὁ τὰ δύο τάλαντα εἶπεν, Κύριε,
近づいて また そして その その 二-タラントの-者は タラントの 言った 主人よ
G4334 G1161 G2532 G3588 G3588 G1417 G5007 G3004 G2962

δύο τάλαντά μοι παρέδωκας. ἴδε, ἄλλα δύο τάλαντα
二-タラントを タラントを 私に 渡しました 見てください もう-二の 二の タラントを
G1417 G5007 G1473 G3860 G3708 G0243 G1417 G5007

ἐκέρδησα
利益を-得ました
G2770

23 ἔφη αὐτῷ ὁ κύριος αὐτοῦ, Εὖ, δοῦλε ἀγαθὲ καὶ πιστέ! ἐπὶ
言った 彼に その 主人は 彼の よく-やった しもべよ 善い そして 忠実な の-上に
G5346 G0846 G3588 G2962 G0846 G2095 G1401 G0018 G2532 G4103 G1909

ὀλίγα ἦς πιστός; ἐπὶ πολλῶν σε καταστήσω. εἴσελθε
少ない-ものに であった 忠実で の-上に 多くの-ものに おまえを 立てよう 入りなさい
G3641 G1510 G4103 G1909 G4183 G4771 G2525 G1525

εἰς τὴν χαρὰν τοῦ κυρίου σου.
へ その 喜びに の 主人の あなたの
G1519 G3588 G5479 G3588 G2962 G4771

24 προσελθὼν δὲ καὶ, ὁ τὸ ἓν τάλαντον εἰληφὼς εἶπεν,
近づいて また そして その その 一-タラントを タラントを 受け取った-者は 言った
G4334 G1161 G2532 G3588 G3588 G1520 G5007 G2983 G3004

Κύριε, ἔγνων σε, ὅτι σκληρὸς εἶ ἄνθρωπος, θερίζων ὅπου
主人よ 知っていました あなたを と 厳しい である 人で 刈り-取る そこで
G2962 G1097 G4771 G3754 G4642 G1510 G0444 G2325 G3699

οὐκ ἔσπειρας, καὶ συνάγων ὅθεν οὐ διεσκόρπισας.
なかった 蒔か そして 集める そこから なかった 散らしもし
G3756 G4687 G2532 G4863 G3606 G3756 G1287

25 καὶ φοβηθεὶς, ἀπελθὼν, ἔκρυψα τὸ τάλαντόν σου ἐν τῇ γῇ.
そして 恐れて 行って 隠しました その タラントを あなたの に その 地に
G2532 G5399 G0565 G2928 G3588 G5007 G4771 G1722 G3588 G1093

ἴδε, ἔχεις τὸ σόν.
見てください 持っています その あなたの-ものを
G3708 G2192 G3588 G4674

26 ἀποκριθεὶς δὲ, ὁ κύριος αὐτοῦ εἶπεν αὐτῷ, Πονηρὲ δοῦλε καὶ
答えて そして その 主人は 彼の 言った 彼に 悪い しもべよ そして
G0611 G1161 G3588 G2962 G0846 G3004 G0846 G4190 G1401 G2532

ὀκνηρέ! ᾔδεις ὅτι θερίζω ὅπου οὐκ ἔσπειρα, καὶ συνάγω ὅθεν
怠けた 知っていた と 刈り-取ると そこで なかった 蒔か そして 集めると そこから
G3636 G1492 G3754 G2325 G3699 G3756 G4687 G2532 G4863 G3606

οὐ διεσκόρπισα.
なかった 散らしもし
G3756 G1287

27 ἔδει σε οὖν βαλεῖν τὰ ἀργύριά μου τοῖς τραπεζίταις,
すべきであった おまえは それゆえ 預けることを その 銀を 私の その 両替商に
G1163 G4771 G3767 G0906 G3588 G0694 G1473 G3588 G5133

καὶ ἐλθὼν, ἐγὼ ἐκομισάμην ἂν τὸ ἐμὸν σὺν τόκῳ.
そして 来て 私が 受け-取ったであろう もし その 私の-ものを と共に 利息と
G2532 G2064 G1473 G2865 G0302 G3588 G1699 G4862 G5110

28 ἄρατε οὖν ἀπ' αὐτοῦ τὸ τάλαντον, καὶ δότε τῷ
取りなさい それゆえ から 彼から その タラントを そして 与えなさい その
G0142 G3767 G0575 G0846 G3588 G5007 G2532 G1325 G3588

ἔχοντι τὰ δέκα τάλαντα.
持っている-者に その 十の タラントを
G2192 G3588 G1176 G5007

29 τῷ γὰρ ἔχοντι παντὶ δοθήσεται, καὶ περισσευθήσεται; τοῦ
その なぜなら 持っている-者には すべての 与えられる そして 溢れるほどに その
G3588 G1063 G2192 G3956 G1325 G2532 G4052 G3588

δὲ μὴ ἔχοντος, καὶ ὃ ἔχει ἀρθήσεται ἀπ' αὐτοῦ.
しかし ない 持たない-者からは また その 持っている-ものも 取り-去られる から 彼から
G1161 G3361 G2192 G2532 G3739 G2192 G0142 G0575 G0846

30 καὶ τὸν ἀχρεῖον δοῦλον, ἐκβάλετε εἰς τὸ σκότος τὸ
そして その 役に-立たない しもべを 投げ-出しなさい へ その 闇に その
G2532 G3588 G0888 G1401 G1544 G1519 G3588 G4655 G3588

ἐξώτερον; ἐκεῖ ἔσται ὁ κλαυθμὸς καὶ ὁ βρυγμὸς τῶν ὀδόντων.
外の そこで ある その 泣きと そして その 歯ぎしりが の 歯の
G1857 G1563 G1510 G3588 G2805 G2532 G3588 G1030 G3588 G3599

31 Ὅταν δὲ ἔλθῃ ὁ υἱὸς τοῦ ἀνθρώπου ἐν τῇ δόξῃ
する-時 そして 来たら その 人の-子が の 人の で その 栄光の-中に
G3752 G1161 G2064 G3588 G5207 G3588 G0444 G1722 G3588 G1391

αὐτοῦ, καὶ πάντες οἱ ἄγγελοι μετ' αὐτοῦ, τότε καθίσει ἐπὶ
彼の そして すべての その 御使いたちも と共に 彼と その-時 座る の-上に
G0846 G2532 G3956 G3588 G0032 G3326 G0846 G5119 G2523 G1909

θρόνου δόξης αὐτοῦ.
御座に 栄光の 彼の
G2362 G1391 G0846

32 καὶ συναχθήσονται ἔμπροσθεν αὐτοῦ πάντα τὰ ἔθνη; καὶ ἀφορίσει
そして 集められる の–前に 彼の すべての その 国民が そして 分ける
G2532 G4863 G1715 G0846 G3956 G3588 G1484 G2532 G0873

αὐτοὺς ἀπ’ ἀλλήλων, ὥσπερ ὁ ποιμὴν ἀφορίζει τὰ πρόβατα ἀπὸ
彼らを から 互いから ちょうど その 羊飼いが 分ける–ように その 羊を から
G0846 G0575 G0240 G5618 G3588 G4166 G0873 G3588 G4263 G0575

τῶν ἐρίφων.
その 山羊から
G3588 G2056

33 καὶ στήσει τὰ μὲν πρόβατα ἐκ δεξιῶν αὐτοῦ, τὰ δὲ ἐρίφια
そして 立たせる その 確かに 羊を に 右に 彼の その また 山羊を
G2532 G2476 G3588 G3303 G4263 G1537 G1188 G0846 G3588 G1161 G2055

ἐξ εὐωνύμων.
に 左に
G1537 G2176

34 τότε ἐρεῖ ὁ Βασιλεὺς τοῖς ἐκ δεξιῶν αὐτοῦ, Δεῦτε, οἱ
その–時 言う その 王が その の 右の–者たちに 彼の さあ–来なさい その
G5119 G2046 G3588 G0935 G3588 G1537 G1188 G0846 G1205 G3588

εὐλογημένοι τοῦ Πατρός μου, κληρονομήσατε τὴν ἡτοιμασμένην
祝福–された–者よ の 父の 私の 受け–継ぎなさい その 備えられた
G2127 G3588 G3962 G1473 G2816 G3588 G2090

ὑμῖν βασιλείαν ἀπὸ καταβολῆς κόσμου.
あなたがたの–ために 王国を から 初めから 世界の
G4771 G0932 G0575 G2602 G2889

35 ἐπείνασα γὰρ, καὶ ἐδώκατέ μοι φαγεῖν; ἐδίψησα, καὶ ἐποτίσατέ
空腹で–あった なぜなら そして 与えた 私に 食べ物を 渇いて–いた そして 飲ませた
G3983 G1063 G2532 G1325 G1473 G5315 G1372 G2532 G4222

με; ξένος ἤμην, καὶ συνηγάγετέ με;
私に 旅人で あった そして 迎え–入れた 私を
G1473 G3581 G1510 G2532 G4863 G1473

36 γυμνὸς, καὶ περιεβάλετέ με; ἠσθένησα, καὶ ἐπεσκέψασθέ με; ἐν
裸で そして 着せた 私に 病気で–あった そして 見舞った 私を に–いた
G1131 G2532 G4016 G1473 G0770 G2532 G1980 G1473 G1722

φυλακῇ ἤμην, καὶ ἤλθατε πρός με.
牢獄に あった そして 来た へ 私の–ところに
G5438 G1510 G2532 G2064 G4314 G1473

37 τότε ἀποκριθήσονται αὐτῷ οἱ δίκαιοι, λέγοντες, Κύριε, πότε σε
その–時 答える 彼に その 義人たちは 言って 主よ いつ あなたを
G5119 G0611 G0846 G3588 G1342 G3004 G2962 G4219 G4771

εἴδομεν πεινῶντα, καὶ ἐθρέψαμεν? ἢ διψῶντα, καὶ ἐποτίσαμεν?
見ましたか 空腹の–時に そして 食べさせましたか あるいは 渇いた–時に そして 飲ませましたか
G3708 G3983 G2532 G5142 G2228 G1372 G2532 G4222

38 πότε δέ σε εἴδομεν ξένον, καὶ συνηγάγομεν? ἢ γυμνὸν,
いつ また あなたを 見ましたか 旅人の-時に そして 迎え-入れましたか あるいは 裸の-時に
G4219 G1161 G4771 G3708 G3581 G2532 G4863 G2228 G1131

καὶ περιεβάλομεν?
そして 着せましたか
G2532 G4016

39 πότε δέ σε εἴδομεν ἀσθενοῦντα, ἢ ἐν φυλακῇ, καὶ
いつ また あなたを 見ましたか 病気の-時に あるいは に-いた 牢獄に そして
G4219 G1161 G4771 G3708 G0770 G2228 G1722 G5438 G2532

ἤλθομεν πρός σε?
行きましたか へ あなたの-ところに
G2064 G4314 G4771

40 καὶ ἀποκριθεὶς, ὁ Βασιλεὺς ἐρεῖ αὐτοῖς, Ἀμὴν λέγω ὑμῖν,
そして 答えて その 王は 言う 彼らに まことに 言う あなたがたに
G2532 G0611 G3588 G0935 G2046 G0846 G0281 G3004 G4771

ἐφ’ ὅσον ἐποιήσατε ἑνὶ τούτων τῶν ἀδελφῶν μου τῶν
に-対して どれだけ したことは 一人の これらの の 兄弟たちの 私の その
G1909 G3745 G4160 G1520 G3778 G3588 G0080 G1473 G3588

ἐλαχίστων, ἐμοὶ ἐποιήσατε.
最も-小さな-者の 私に したのである
G1646 G1473 G4160

41 τότε ἐρεῖ καὶ τοῖς ἐξ εὐωνύμων, Πορεύεσθε ἀπ’ ἐμοῦ, ‹οἱ›
その-時 言う また その の 左の-者たちに 行きなさい から 私から その
G5119 G2046 G2532 G3588 G1537 G2176 G4198 G0575 G1473 G3588

κατηραμένοι, εἰς τὸ πῦρ τὸ αἰώνιον, τὸ ἡτοιμασμένον τῷ διαβόλῳ
呪われた-者よ へ その 火に その 永遠の その 備えられた その 悪魔と
G2672 G1519 G3588 G4442 G3588 G0166 G3588 G2090 G3588 G1228

καὶ τοῖς ἀγγέλοις αὐτοῦ.
そして その 御使いたちの-ために 彼の
G2532 G3588 G0032 G0846

42 ἐπείνασα γὰρ, καὶ οὐκ ἐδώκατέ μοι φαγεῖν; (καὶ) ἐδίψησα,
空腹で-あった なぜなら そして なかった 与え 私に 食べ物を そして 渇いて-いた
G3983 G1063 G2532 G3756 G1325 G1473 G5315 G2532 G1372

καὶ οὐκ ἐποτίσατέ με;
そして なかった 飲ませ 私に
G2532 G3756 G4222 G1473

43 ξένος ἤμην, καὶ οὐ συνηγάγετέ με; γυμνὸς, καὶ οὐ περιεβάλετέ
旅人で あった そして なかった 迎え-入れ 私を 裸で そして なかった 着せ
G3581 G1510 G2532 G3756 G4863 G1473 G1131 G2532 G3756 G4016

με; ἀσθενὴς, καὶ ἐν φυλακῇ, καὶ οὐκ ἐπεσκέψασθέ με.
私に 病気で そして に-いた 牢獄に そして なかった 見舞わ 私を
G1473 G0772 G2532 G1722 G5438 G2532 G3756 G1980 G1473

44 τότε ἀποκριθήσονται καὶ αὐτοὶ, λέγοντες, Κύριε, πότε σε εἴδομεν
その–時 答える また 彼らも 言って 主よ いつ あなたを 見ましたか
G5119 G0611 G2532 G0846 G3004 G2962 G4219 G4771 G3708

πεινῶντα, ἢ διψῶντα, ἢ ξένον, ἢ γυμνὸν, ἢ
空腹の–時に あるいは 渇いた–時に あるいは 旅人の–時に あるいは 裸の–時に あるいは
G3983 G2228 G1372 G2228 G3581 G2228 G1131 G2228

ἀσθενῆ, ἢ ἐν φυλακῇ, καὶ οὐ διηκονήσαμέν σοι?
病気の–時に あるいは に–いた 牢獄に そして なかった 仕え あなたに
G0772 G2228 G1722 G5438 G2532 G3756 G1247 G4771

45 τότε ἀποκριθήσεται αὐτοῖς, λέγων, Ἀμὴν λέγω ὑμῖν, ἐφ’ ὅσον
その–時 答える 彼らに 言って まことに 言う あなたがたに に–対して どれだけ
G5119 G0611 G0846 G3004 G0281 G3004 G4771 G1909 G3745

οὐκ ἐποιήσατε ἑνὶ τούτων τῶν ἐλαχίστων, οὐδὲ ἐμοὶ
なかった しなかったことは 一人の これらの の 最も–小さな–者の またない 私にも
G3756 G4160 G1520 G3778 G3588 G1646 G3761 G1473

ἐποιήσατε.
しなかったのである
G4160

46 καὶ ἀπελεύσονται οὗτοι εἰς κόλασιν αἰώνιον; οἱ δὲ δίκαιοι
そして 行く これらの–者は へ 罰に 永遠の その しかし 義人たちは
G2532 G0565 G3778 G1519 G2851 G0166 G3588 G1161 G1342

εἰς ζωὴν αἰώνιον.
へ 命に 永遠の
G1519 G2222 G0166

Chapter 26

1 Καὶ ἐγένετο, ὅτε ἐτέλεσεν ὁ Ἰησοῦς πάντας τοὺς λόγους τούτους,
そして 起こった ～とき 語り終えた その イエスが すべての これらの 言葉を これらを
G2532 G1096 G3753 G5055 G3588 G2424 G3956 G3588 G3056 G3778

εἶπεν τοῖς μαθηταῖς αὐτοῦ,
言った その 弟子たちに 彼の
G3004 G3588 G3101 G0846

2 Οἴδατε ὅτι μετὰ δύο ἡμέρας τὸ πάσχα γίνεται, καὶ ὁ Υἱὸς
知っている ～ことを ～の後 二 日で その 過越が 来る そして その 人の子は
G1492 G3754 G3326 G1417 G2250 G3588 G3957 G1096 G2532 G3588 G5207

τοῦ ἀνθρώπου παραδίδοται εἰς τὸ σταυρωθῆναι.
その 人の 引き渡される ～のために その 十字架につけられる
G3588 G0444 G3860 G1519 G3588 G4717

3 Τότε συνήχθησαν οἱ ἀρχιερεῖς καὶ οἱ πρεσβύτεροι τοῦ λαοῦ
そのとき 集まった その 祭司長たちと そして その 長老たちが その 民の
G5119 G4863 G3588 G0749 G2532 G3588 G4245 G3588 G2992

εἰς τὴν αὐλὴν τοῦ ἀρχιερέως, τοῦ λεγομένου Καϊάφα,
～の中へ その 中庭に その 大祭司の その ～と呼ばれる カヤパの
G1519 G3588 G0833 G3588 G0749 G3588 G3004 G2533

4 καὶ そして G2532 συνεβουλεύσαντο, 相談した G4823 ἵνα ～ために G2443 τὸν その G3588 Ἰησοῦν イエスを G2424 δόλῳ 計略で G1388 κρατήσωσιν, 捕らえ G2902 καὶ そして G2532
ἀποκτείνωσιν; 殺そうと G0615

5 ἔλεγον 言っていた G3004 δέ, しかし G1161 Μὴ ～ではなく G3361 ἐν ～の間に G1722 τῇ その G3588 ἑορτῇ, 祭りの G1859 ἵνα ～ないように G2443 μὴ ～ない G3361 θόρυβος 騒ぎが G2351
γένηται 起こる G1096 ἐν ～の中で G1722 τῷ その G3588 λαῷ. 民の中で G2992

6 Τοῦ その G3588 δὲ さて G1161 Ἰησοῦ, イエスが G2424 γενομένου おられたとき G1096 ἐν ～に G1722 Βηθανίᾳ, ベタニヤに G0963 ἐν ～の G1722 οἰκίᾳ 家で G3614 Σίμωνος シモンの G4613 τοῦ その G3588
λεπροῦ, 重い皮膚病の人の G3015

7 προσῆλθεν 近づいた G4334 αὐτῷ 彼に G0846 γυνὴ, 一人の女が G1135 ἔχουσα 持って G2192 ἀλάβαστρον 石膏の壺を G0211 μύρου 香油の G3464 βαρυτίμου, 高価な G0927 καὶ そして G2532
κατέχεεν 注いだ G2708 ἐπὶ ～の上に G1909 τῆς その G3588 κεφαλῆς 頭に G2776 αὐτοῦ 彼の G0846 ἀνακειμένου. 食卓についていた G0345

8 ἰδόντες 見て G3708 δὲ, すると G1161 οἱ その G3588 μαθηταὶ 弟子たちは G3101 ἠγανάκτησαν, 憤った G0023 λέγοντες, 言って G3004 Εἰς 何の G1519 τί ための G5101 ἡ この G3588 ἀπώλεια 無駄遣いか G0684
αὕτη? これは G3778

9 ἐδύνατο できたのに G1410 γὰρ なぜなら G1063 τοῦτο これを G3778 πραθῆναι 売って G4097 πολλοῦ, 高い値で G4183 καὶ そして G2532 δοθῆναι 与える G1325 πτωχοῖς. 貧しい人々に G4434

10 γνοὺς 知って G1097 δὲ, すると G1161 ὁ その G3588 Ἰησοῦς イエスは G2424 εἶπεν 言った G3004 αὐτοῖς, 彼らに G0846 Τί なぜ G5101 κόπους 面倒を G2873 παρέχετε かけるのか G3930 τῇ この G3588 γυναικί? 女に G1135
ἔργον 良い G2041 γὰρ なぜなら G1063 καλὸν わざを G2570 ἠργάσατο 行った G2038 εἰς ～のために G1519 ἐμέ. わたしに G1473

11 πάντοτε いつも G3842 γὰρ なぜなら G1063 τοὺς その G3588 πτωχοὺς 貧しい人々を G4434 ἔχετε 持っている G2192 μεθ’ ～と共に G3326 ἑαυτῶν; あなたがたの G1438 ἐμὲ わたしを G1473 δὲ, しかし G1161
οὐ ～ない G3756 πάντοτε いつも G3842 ἔχετε. 持っている G2192

12 βαλοῦσα γὰρ αὕτη τὸ μύρον τοῦτο, ἐπὶ τοῦ σώματός μου,
注いだ なぜなら この女は この 香油を これを ～の上に その 体に わたしの
G0906 G1063 G3778 G3588 G3464 G3778 G1909 G3588 G4983 G1473

πρὸς τὸ ἐνταφιάσαι με ἐποίησεν.
～のために その 埋葬の–備えを わたしの した
G4314 G3588 G1779 G1473 G4160

13 ἀμὴν λέγω ὑμῖν, ὅπου ἐὰν κηρυχθῇ τὸ εὐαγγέλιον τοῦτο,
まことに 言う あなたがたに どこでも もし 宣べ伝えられる この 福音が これが
G0281 G3004 G4771 G3699 G1437 G2784 G3588 G2098 G3778

ἐν ὅλῳ τῷ κόσμῳ, λαληθήσεται καὶ ὃ ἐποίησεν αὕτη, εἰς
～の中で 全 その 世界で 語られるだろう また ～ことも 行った この女が ～のための
G1722 G3650 G3588 G2889 G2980 G2532 G3739 G4160 G3778 G1519

μνημόσυνον αὐτῆς.
記念として 彼女の
G3422 G0846

14 Τότε πορευθεὶς εἷς τῶν δώδεκα, ὁ λεγόμενος Ἰούδας Ἰσκαριώτης,
そのとき 行って 一人の その 十二人の その ～と呼ばれる ユダ イスカリオテは
G5119 G4198 G1520 G3588 G1427 G3588 G3004 G2455 G2469

πρὸς τοὺς ἀρχιερεῖς,
～のもとへ その 祭司長たちの
G4314 G3588 G0749

15 εἶπεν, Τί θέλετέ μοι δοῦναι, κἀγὼ ὑμῖν παραδώσω αὐτόν?
言った 何を くれるか わたしに 与える そうすれば私が あなたがたに 引き渡す 彼を
G3004 G5101 G2309 G1473 G1325 G2504 G4771 G3860 G0846

οἱ δὲ ἔστησαν αὐτῷ τριάκοντα ἀργύρια.
その すると 決めた 彼に 三十 銀貨を
G3588 G1161 G2476 G0846 G5144 G0694

16 καὶ ἀπὸ τότε, ἐζήτει εὐκαιρίαν ἵνα αὐτὸν παραδῷ.
そして ～から そのときから 探していた 良い機会を ～ために 彼を 引き渡す
G2532 G0575 G5119 G2212 G2120 G2443 G0846 G3860

17 Τῇ δὲ πρώτῃ τῶν ἀζύμων, προσῆλθον οἱ μαθηταὶ τῷ
その さて 最初の その 種なしパンの日に 来た その 弟子たちが その
G3588 G1161 G4413 G3588 G0106 G4334 G3588 G3101 G3588

Ἰησοῦ, λέγοντες, Ποῦ θέλεις ἑτοιμάσωμέν σοι φαγεῖν τὸ
イエスの–もとに 言って どこで お望みですか 用意しましょうか あなたのために 食べる その
G2424 G3004 G4226 G2309 G2090 G4771 G5315 G3588

πάσχα?
過越を
G3957

18 ὁ δὲ εἶπεν, Ὑπάγετε εἰς τὴν πόλιν πρὸς τὸν δεῖνα, καὶ
その すると 言った 行け ～の中へ その 町に ～のもとへ その ある人の そして
G3588 G1161 G3004 G5217 G1519 G3588 G4172 G4314 G3588 G1170 G2532

εἴπατε αὐτῷ, Ὁ Διδάσκαλος λέγει, Ὁ καιρός μου ἐγγύς ἐστιν;
言え 彼に その 先生が 言っている わたしの 時が わたしの 近い と
G3004 G0846 G3588 G1320 G3004 G3588 G2540 G1473 G1451 G1510

πρὸς σὲ ποιῶ τὸ πάσχα, μετὰ τῶν μαθητῶν μου.
～のもとで あなたの 行う その 過越を ～と共に わたしの 弟子たちと わたしの
G4314 G4771 G4160 G3588 G3957 G3326 G3588 G3101 G1473

19 καὶ ἐποίησαν οἱ μαθηταὶ ὡς συνέταξεν αὐτοῖς ὁ Ἰησοῦς, καὶ
そして 行った その 弟子たちは ～のように 命じた 彼らに その イエスが そして
G2532 G4160 G3588 G3101 G5613 G4929 G0846 G3588 G2424 G2532

ἡτοίμασαν τὸ πάσχα.
用意した その 過越を
G2090 G3588 G3957

20 Ὀψίας δὲ γενομένης, ἀνέκειτο μετὰ τῶν δώδεκα μαθητῶν.
夕方 さて なると 食卓についた ～と共に その 十二 弟子たちと
G3798 G1161 G1096 G0345 G3326 G3588 G1427 G3101

21 καὶ ἐσθιόντων αὐτῶν εἶπεν, Ἀμὴν λέγω ὑμῖν, ὅτι εἷς
そして 食事をしている–とき 彼らが 言った まことに 言う あなたがたに ～ことを 一人が
G2532 G2068 G0846 G3004 G0281 G3004 G4771 G3754 G1520

ἐξ ὑμῶν παραδώσει με.
～の中から あなたがたの 裏切るだろう わたしを
G1537 G4771 G3860 G1473

22 καὶ λυπούμενοι σφόδρα, ἤρξαντο λέγειν αὐτῷ, εἷς ἕκαστος, Μήτι ἐγώ
そして 深く悲しんで 非常に 始めた 言い 彼に 一人 一人が まさか わたしが
G2532 G3076 G4970 G0756 G3004 G0846 G1520 G1538 G3385 G1473

εἰμι, Κύριε?
ですか 主よ
G1510 G2962

23 ὁ δὲ ἀποκριθεὶς εἶπεν, Ὁ ἐμβάψας μετ’ ἐμοῦ τὴν χεῖρα
その すると 答えて 言った その 手を浸した者が ～と共に わたしと その 手を
G3588 G1161 G0611 G3004 G3588 G1686 G3326 G1473 G3588 G5495

ἐν τῷ τρυβλίῳ, οὗτός με παραδώσει.
～の中に その 鉢に その者が わたしを 裏切る
G1722 G3588 G5165 G3778 G1473 G3860

24 ὁ μὲν Υἱὸς τοῦ ἀνθρώπου ὑπάγει καθὼς γέγραπται περὶ
その 一方では 人の子は その 人の 去って行く ～のように 書かれている ～について
G3588 G3303 G5207 G3588 G0444 G5217 G2531 G1125 G4012

αὐτοῦ; οὐαὶ δὲ τῷ ἀνθρώπῳ ἐκείνῳ δι’ οὗ ὁ
彼について わざわいだ しかし その 人に その ～によって その者を通して その
G0846 G3759 G1161 G3588 G0444 G1565 G1223 G3739 G3588

Υἱὸς τοῦ ἀνθρώπου παραδίδοται. καλὸν ἦν αὐτῷ, εἰ οὐκ
人の子が その 人の 裏切られる 良かった であっただろう 彼にとって もし ～ない
G5207 G3588 G0444 G3860 G2570 G1510 G0846 G1487 G3756

ἐγεννήθη ὁ ἄνθρωπος ἐκεῖνος.
生まれなかった その 人が その者は
G1080 G3588 G0444 G1565

25 ἀποκριθεὶς δὲ Ἰούδας, ὁ παραδιδοὺς αὐτὸν, εἶπεν, Μήτι ἐγώ εἰμι,
答えて すると ユダが その 裏切る者が 彼を 言った まさか わたしが ですか
G0611 G1161 G2455 G3588 G3860 G0846 G3004 G3385 G1473 G1510

ῥαββί? λέγει αὐτῷ, Σὺ εἶπας.
先生 言った 彼に あなたが 言った通りだ
G4461 G3004 G0846 G4771 G3004

26 Ἐσθιόντων δὲ αὐτῶν, λαβὼν ὁ Ἰησοῦς ἄρτον, καὶ εὐλογήσας,
食事をしている–とき さて 彼らが 取り その イエスは パンを そして 祝福して
G2068 G1161 G0846 G2983 G3588 G2424 G0740 G2532 G2127

ἔκλασεν καὶ δοὺς τοῖς μαθηταῖς, εἶπεν, Λάβετε, φάγετε; τοῦτό ἐστιν
裂き そして 与えて その 弟子たちに 言った 取れ 食べよ これは ～である
G2806 G2532 G1325 G3588 G3101 G3004 G2983 G5315 G3778 G1510

τὸ σῶμά μου.
わたしの 体 である
G3588 G4983 G1473

27 καὶ λαβὼν ποτήριον, καὶ εὐχαριστήσας, ἔδωκεν αὐτοῖς, λέγων, Πίετε ἐξ
そして 取り 杯を そして 感謝して 与えた 彼らに 言って 飲め ～から
G2532 G2983 G4221 G2532 G2168 G1325 G0846 G3004 G4095 G1537

αὐτοῦ, πάντες.
これから みな
G0846 G3956

28 τοῦτο γάρ ἐστιν τὸ αἷμά μου, τῆς διαθήκης, τὸ περὶ
これは なぜなら ～である わたしの 血 わたしの その 契約の その ～のために
G3778 G1063 G1510 G3588 G0129 G1473 G3588 G1242 G3588 G4012

πολλῶν ἐκχυννόμενον, εἰς ἄφεσιν ἁμαρτιῶν.
多くの人の–ために 流される ～のための 罪の赦しの–ための 罪の
G4183 G1632 G1519 G0859 G0266

29 λέγω δὲ ὑμῖν, οὐ μὴ πίω, ἀπ’ ἄρτι, ἐκ τούτου τοῦ
言う しかし あなたがたに 決して ～ない 飲まない ～から 今から ～の この その
G3004 G1161 G4771 G3756 G3361 G4095 G0575 G0737 G1537 G3778 G3588

γενήματος τῆς ἀμπέλου, ἕως τῆς ἡμέρας ἐκείνης, ὅταν αὐτὸ πίνω
ぶどうの–実を その ぶどうの木の ～まで その 日に その ～とき それを 飲む
G1081 G3588 G0288 G2193 G3588 G2250 G1565 G3752 G0846 G4095

μεθ’ ὑμῶν καινὸν, ἐν τῇ βασιλείᾳ τοῦ Πατρός μου.
～と共に あなたがたと 新しく ～の中で その 御国で わたしの 父の わたしの
G3326 G4771 G2537 G1722 G3588 G0932 G3588 G3962 G1473

30 Καὶ ὑμνήσαντες, ἐξῆλθον εἰς τὸ ὄρος τῶν Ἐλαιῶν.
そして 賛美を歌って 出て行った ～へ その 山に その オリーブの
G2532 G5214 G1831 G1519 G3588 G3735 G3588 G1636

31 Τότε λέγει αὐτοῖς ὁ Ἰησοῦς, Πάντες ὑμεῖς σκανδαλισθήσεσθε
そのとき 言った 彼らに その イエスは みな あなたがたは つまずくだろう
G5119 G3004 G0846 G3588 G2424 G3956 G4771 G4624

ἐν ἐμοὶ ἐν τῇ νυκτὶ ταύτῃ. γέγραπται γάρ, Πατάξω τὸν
～において わたしに ～の この 夜に この 書かれている なぜなら 打つ その
G1722 G1473 G1722 G3588 G3571 G3778 G1125 G1063 G3960 G3588

ποιμένα, καὶ διασκορπισθήσονται τὰ πρόβατα τῆς ποίμνης.
羊飼いを すると 散らされる その 羊は その 群れの
G4166 G2532 G1287 G3588 G4263 G3588 G4167

32 μετὰ δὲ τὸ ἐγερθῆναί, με προάξω ὑμᾶς εἰς τὴν
～の後 しかし その よみがえった後 わたしは 先に行く あなたがたより ～へ その
G3326 G1161 G3588 G1453 G1473 G4254 G4771 G1519 G3588

Γαλιλαίαν.
ガリラヤへ
G1056

33 ἀποκριθεὶς δὲ, ὁ Πέτρος εἶπεν αὐτῷ, Εἰ πάντες σκανδαλισθήσονται
答えて すると その ペテロが 言った 彼に たとえ みなが つまずいても
G0611 G1161 G3588 G4074 G3004 G0846 G1487 G3956 G4624

ἐν σοί, ἐγὼ οὐδέποτε σκανδαλισθήσομαι.
～において あなたに わたしは 決して つまずかない
G1722 G4771 G1473 G3763 G4624

34 ἔφη αὐτῷ ὁ Ἰησοῦς, Ἀμὴν λέγω σοι, ὅτι ἐν ταύτῃ τῇ
言った 彼に その イエスは まことに 言う あなたに ～ことを ～の この その
G5346 G0846 G3588 G2424 G0281 G3004 G4771 G3754 G1722 G3778 G3588

νυκτὶ, πρὶν ἀλέκτορα φωνῆσαι, τρὶς ἀπαρνήσῃ με.
夜に ～の前に 鶏が 鳴く前に 三度 否む わたしを
G3571 G4250 G0220 G5455 G5151 G0533 G1473

35 λέγει αὐτῷ ὁ Πέτρος, Κἂν δέῃ με σὺν σοὶ
言った 彼に その ペテロは たとえ 必要が–あっても わたしが ～と共に あなたと
G3004 G0846 G3588 G4074 G2579 G1163 G1473 G4862 G4771

ἀποθανεῖν, οὐ μή σε ἀπαρνήσομαι. ὁμοίως καὶ, πάντες οἱ
死ぬ 決して ～ない あなたを 否まない 同じように また すべての その
G0599 G3756 G3361 G4771 G0533 G3668 G2532 G3956 G3588

μαθηταὶ εἶπαν.
弟子たちも 言った
G3101 G3004

36 Τότε ἔρχεται μετ’ αὐτῶν ὁ Ἰησοῦς, εἰς χωρίον λεγόμενον
そのとき 来た ～と共に 彼らと その イエスは ～へ 場所に ～と呼ばれる
G5119 G2064 G3326 G0846 G3588 G2424 G1519 G5564 G3004

Γεθσημανὶ, καὶ λέγει τοῖς μαθηταῖς, Καθίσατε αὐτοῦ, ἕως οὗ
ゲッセマネに そして 言った その 弟子たちに 座っていなさい ここに ～する間 その間
G1068 G2532 G3004 G3588 G3101 G2523 G0847 G2193 G3739

ἀπελθὼν ἐκεῖ, προσεύξωμαι.
行って あちらで 祈る
G0565 G1563 G4336

37 καὶ παραλαβὼν τὸν Πέτρον καὶ τοὺς δύο υἱοὺς Ζεβεδαίου, ἤρξατο
そして 連れて その ペテロと そして その 二人の 息子たちを ゼベダイの 始めた
G2532 G3880 G3588 G4074 G2532 G3588 G1417 G5207 G2199 G0756

λυπεῖσθαι καὶ ἀδημονεῖν.
悲しみ そして 苦しみを
G3076 G2532 G0085

38 τότε λέγει αὐτοῖς, Περίλυπός ἐστιν ἡ ψυχή μου, ἕως
そのとき 言った 彼らに 深く–悲しんでいる ～である わたしの 魂は わたしの 死ぬほどに
G5119 G3004 G0846 G4036 G1510 G3588 G5590 G1473 G2193

θανάτου; μείνατε ὧδε καὶ γρηγορεῖτε μετ’ ἐμοῦ.
死に至るまで とどまれ ここに そして 目を覚ましていよ ～と共に わたしと
G2288 G3306 G5602 G2532 G1127 G3326 G1473

39 καὶ προελθὼν μικρὸν, ἔπεσεν ἐπὶ πρόσωπον αὐτοῦ, προσευχόμενος,
そして 少し進んで 少し ひれ伏した ～の上に 顔を 彼の 祈って
G2532 G4281 G3398 G4098 G1909 G4383 G0846 G4336

καὶ λέγων, Πάτερ μου, εἰ δυνατόν ἐστιν, παρελθάτω ἀπ’
そして 言った 父よ わたしの もし できることなら ならば 過ぎ去らせてください ～から
G2532 G3004 G3962 G1473 G1487 G1415 G1510 G3928 G0575

ἐμοῦ τὸ ποτήριον τοῦτο. πλὴν οὐχ ὡς ἐγὼ
わたしから この 杯を この しかし ～ではなく ～のように わたしが
G1473 G3588 G4221 G3778 G4133 G3756 G5613 G1473

θέλω, ἀλλ’ ὡς σύ.
望むように–ではなく ～ではなく ～のように あなたが
G2309 G0235 G5613 G4771

40 καὶ そして G2532 | ἔρχεται 来た G2064 | πρὸς ～のもとに G4314 | τοὺς その G3588 | μαθητὰς 弟子たちの G3101 | καὶ すると G2532 | εὑρίσκει 見つけた G2147 | αὐτοὺς 彼らが G0846 | καθεύδοντας. 眠っていた G2518

καὶ そして G2532 | λέγει 言った G3004 | τῷ その G3588 | Πέτρῳ, ペテロに G4074 | Οὕτως このように G3779 | οὐκ ～ない G3756 | ἰσχύσατε できなかったのか G2480 | μίαν 一 G1520 | ὥραν 時間も G5610 | γρηγορῆσαι 目を覚まして G1127

μετ’ ～と共に G3326 | ἐμοῦ? わたしと G1473

41 γρηγορεῖτε 目を覚ましていよ G1127 | καὶ そして G2532 | προσεύχεσθε, 祈れ G4336 | ἵνα ～ないように G2443 | μὴ ～ない G3361 | εἰσέλθητε 陥る G1525 | εἰς ～の中に G1519

πειρασμόν. 誘惑に G3986 | τὸ その G3588 | μὲν 一方では G3303 | πνεῦμα 霊は G4151 | πρόθυμον, 意欲がある G4289 | ἡ しかし G3588 | δὲ 他方 G1161 | σὰρξ 肉体は G4561 | ἀσθενής. 弱い G0772

42 πάλιν 再び G3825 | ἐκ ～から G1537 | δευτέρου 二度目に G1208 | ἀπελθὼν, 去って G0565 | προσηύξατο, 祈った G4336 | λέγων, 言って G3004 | Πάτερ 父よ G3962 | μου, わたしの G1473 | εἰ もし G1487 | οὐ ～ない G3756

δύναται できない–ならば G1410 | τοῦτο この G3778 | παρελθεῖν, 過ぎ去ることが G3928 | ἐὰν ～ない限り G1437 | μὴ ～ない G3361 | αὐτὸ それを G0846 | πίω, 飲まなければ G4095 | γενηθήτω なされよ G1096

τὸ あなたの G3588 | θέλημά 御心が G2307 | σου. あなたの G4771

43 καὶ そして G2532 | ἐλθὼν 来て G2064 | πάλιν, 再び G3825 | εὗρεν 見つけた G2147 | αὐτοὺς 彼らが G0846 | καθεύδοντας. 眠っていた G2518 | ἦσαν なっていた G1510 | γὰρ なぜなら G1063 | αὐτῶν 彼らの G0846 | οἱ その G3588

ὀφθαλμοὶ 目が G3788 | βεβαρημένοι. 重くなっていた G0916

44 καὶ そして G2532 | ἀφεὶς 残して G0863 | αὐτοὺς 彼らを G0846 | πάλιν, 再び G3825 | ἀπελθὼν, 去って G0565 | προσηύξατο 祈った G4336 | ἐκ ～から G1537 | τρίτου, 三度目に G5154 | τὸν 同じ G3588 | αὐτὸν 同じ G0846

λόγον 言葉を G3056 | εἰπὼν 言って G3004 | πάλιν. 再び G3825

45 τότε そのとき G5119 | ἔρχεται 来た G2064 | πρὸς ～のもとに G4314 | τοὺς その G3588 | μαθητὰς 弟子たちの G3101 | καὶ そして G2532 | λέγει 言った G3004 | αὐτοῖς, 彼らに G0846 | Καθεύδετε 眠っているのか G2518

‹τὸ› その G3588 | λοιπὸν まだ G3063 | καὶ そして G2532 | ἀναπαύεσθε. 休んでいるのか G0373 | ἰδοὺ, 見よ G3708 | ἤγγικεν 近づいた G1448 | ἡ その G3588 | ὥρα, 時が G5610 | καὶ そして G2532 | ὁ その G3588 | Υἱὸς 人の子は G5207

τοῦ その G3588 | ἀνθρώπου 人の G0444 | παραδίδοται 引き渡される G3860 | εἰς ～の中へ G1519 | χεῖρας 手に G5495 | ἁμαρτωλῶν. 罪人たちの G0268

46 ἐγείρεσθε, ἄγωμεν! ἰδοὺ, ἤγγικεν ὁ παραδιδούς με!
起きよ 行こう 見よ 近づいた その 裏切る者が わたしを
G1453 G0071 G3708 G1448 G3588 G3860 G1473

47 Καὶ ἔτι αὐτοῦ λαλοῦντος ἰδοὺ, Ἰούδας, εἷς τῶν δώδεκα, ἦλθεν,
そして まだ 彼が 話しているとき 見よ ユダが 一人の その 十二人の 来た
G2532 G2089 G0846 G2980 G3708 G2455 G1520 G3588 G1427 G2064

καὶ μετ’ αὐτοῦ ὄχλος πολὺς, μετὰ μαχαιρῶν καὶ ξύλων, ἀπὸ τῶν
そして ～と共に 彼と 群衆が 大きな ～を持って 剣と そして 棒を ～から その
G2532 G3326 G0846 G3793 G4183 G3326 G3162 G2532 G3586 G0575 G3588

ἀρχιερέων καὶ πρεσβυτέρων τοῦ λαοῦ.
祭司長たちと そして 長老たちから その 民の
G0749 G2532 G4245 G3588 G2992

48 ὁ δὲ παραδιδοὺς αὐτὸν ἔδωκεν αὐτοῖς σημεῖον, λέγων, Ὃν
その さて 裏切る者は 彼を 与えた 彼らに 合図を 言って その
G3588 G1161 G3860 G0846 G1325 G0846 G4592 G3004 G3739

ἂν φιλήσω, αὐτός ἐστιν: κρατήσατε αὐτόν.
～を 接吻する者が その者 である 捕らえよ 彼を
G0302 G5368 G0846 G1510 G2902 G0846

49 καὶ εὐθέως προσελθὼν τῷ Ἰησοῦ, εἶπεν, Χαῖρε, ῥαββί, καὶ
そして すぐに 近づいて その イエスに 言った こんにちは 先生 そして
G2532 G2112 G4334 G3588 G2424 G3004 G5463 G4461 G2532

κατεφίλησεν αὐτόν.
口づけした 彼に
G2705 G0846

50 ὁ δὲ Ἰησοῦς εἶπεν αὐτῷ, Ἑταῖρε, ἐφ’ ὃ πάρει?
その すると イエスは 言った 彼に 友よ ～のために その目的の–ために 来たのか
G3588 G1161 G2424 G3004 G0846 G2083 G1909 G3739 G3918

τότε προσελθόντες, ἐπέβαλον τὰς χεῖρας ἐπὶ τὸν Ἰησοῦν, καὶ
そのとき 近づいて 手をかけた その 手を ～の上に その イエスに そして
G5119 G4334 G1911 G3588 G5495 G1909 G3588 G2424 G2532

ἐκράτησαν αὐτόν.
捕らえた 彼を
G2902 G0846

51 καὶ ἰδοὺ, εἷς τῶν μετὰ Ἰησοῦ, ἐκτείνας τὴν χεῖρα, ἀπέσπασεν
すると 見よ 一人の その ～と共にいた イエスと 手を伸ばして その 手を 引き抜いた
G2532 G3708 G1520 G3588 G3326 G2424 G1614 G3588 G5495 G0645

τὴν μάχαιραν αὐτοῦ, καὶ πατάξας τὸν δοῦλον τοῦ ἀρχιερέως, ἀφεῖλεν
その 剣を 彼の そして 打って その 僕の その 大祭司の 切り落とした
G3588 G3162 G0846 G2532 G3960 G3588 G1401 G3588 G0749 G0851

αὐτοῦ τὸ ὠτίον.
彼の その 耳を
G0846 G3588 G5621

52 τότε λέγει αὐτῷ ὁ Ἰησοῦς, Ἀπόστρεψον τὴν μάχαιράν σου
そのとき 言った 彼に その イエスは 戻せ あなたの 剣を あなたの
G5119 G3004 G0846 G3588 G2424 G0654 G3588 G3162 G4771

εἰς τὸν τόπον αὐτῆς; πάντες γὰρ οἱ λαβόντες μάχαιραν,
～の中へ その 元の場所へ その すべて なぜなら その 剣を取る者は 剣で
G1519 G3588 G5117 G0846 G3956 G1063 G3588 G2983 G3162

ἐν μαχαίρῃ ἀπολοῦνται.
～によって 剣で 滅びる
G1722 G3162 G0622

53 ἢ δοκεῖς ὅτι οὐ δύναμαι παρακαλέσαι τὸν Πατέρα μου,
それとも 思うか ～ことを ～ない できないと 願って わたしの 父に わたしの
G2228 G1380 G3754 G3756 G1410 G3870 G3588 G3962 G1473

καὶ παραστήσει μοι ἄρτι πλείω δώδεκα λεγιῶνας ἀγγέλων?
そうすれば 遣わすだろう わたしに 今すぐ ～以上の 十二 軍団の 御使いの
G2532 G3936 G1473 G0737 G4119 G1427 G3003 G0032

54 πῶς οὖν πληρωθῶσιν αἱ γραφαὶ, ὅτι οὕτως δεῖ γενέσθαι?
どのように では 成就するのか その 聖書が ～ことを このように 必ず なる
G4459 G3767 G4137 G3588 G1124 G3754 G3779 G1163 G1096

55 Ἐν ἐκείνῃ τῇ ὥρᾳ, εἶπεν ὁ Ἰησοῦς τοῖς ὄχλοις, Ὡς ἐπὶ
その その その 時に 言った その イエスは その 群衆に ～のように ～に対して
G1722 G1565 G3588 G5610 G3004 G3588 G2424 G3588 G3793 G5613 G1909

λῃστὴν ἐξήλθατε μετὰ μαχαιρῶν καὶ ξύλων συλλαβεῖν
強盗に–対するように 出て来たのか ～を持って 剣と そして 棒を–もって 捕らえるために
G3027 G1831 G3326 G3162 G2532 G3586 G4815

με? καθ’ ἡμέραν ἐν τῷ ἱερῷ, ἐκαθεζόμην διδάσκων, καὶ
わたしを 毎 日 ～の中で その 神殿で 座っていた 教えて それなのに
G1473 G2596 G2250 G1722 G3588 G2411 G2516 G1321 G2532

οὐκ ἐκρατήσατέ με.
～しなかった 捕らえなかった わたしを
G3756 G2902 G1473

56 Τοῦτο δὲ ὅλον γέγονεν, ἵνα πληρωθῶσιν αἱ γραφαὶ τῶν
この しかし すべての ことが起こった ～ために 成就するために その 聖書が その
G3778 G1161 G3650 G1096 G2443 G4137 G3588 G1124 G3588

προφητῶν. Τότε οἱ μαθηταὶ, πάντες ἀφέντες αὐτὸν, ἔφυγον.
預言者たちの そのとき その 弟子たちは みな 見捨てて 彼を 逃げた
G4396 G5119 G3588 G3101 G3956 G0863 G0846 G5343

57 Οἱ δὲ κρατήσαντες τὸν Ἰησοῦν ἀπήγαγον πρὸς Καϊάφαν, τὸν
その さて 捕らえた者たちは その イエスを 連れて行った ～のもとへ カヤパ その
G3588 G1161 G2902 G3588 G2424 G0520 G4314 G2533 G3588

ἀρχιερέα, ὅπου οἱ γραμματεῖς καὶ οἱ πρεσβύτεροι συνήχθησαν.
大祭司の–もとへ そこには その 律法学者たちと そして その 長老たちが 集まっていた
G0749 G3699 G3588 G1122 G2532 G3588 G4245 G4863

58 ὁ δὲ Πέτρος ἠκολούθει αὐτῷ ἀπὸ μακρόθεν, ἕως τῆς αὐλῆς τοῦ
その さて ペテロは ついて行った 彼に ～から 遠くから ～まで その 中庭まで その
G3588 G1161 G4074 G0190 G0846 G0575 G3113 G2193 G3588 G0833 G3588

ἀρχιερέως. καὶ εἰσελθὼν ἔσω, ἐκάθητο μετὰ τῶν ὑπηρετῶν ἰδεῖν
大祭司の そして 入って 中に 座っていた ～と共に その 下役たちと 見ようとして
G0749 G2532 G1525 G2080 G2521 G3326 G3588 G5257 G3708

τὸ τέλος.
その 結末を
G3588 G5056

59 Οἱ δὲ ἀρχιερεῖς καὶ τὸ συνέδριον ὅλον ἐζήτουν ψευδομαρτυρίαν
その さて 祭司長たちと そして その 議会は 全体が 探していた 偽証を
G3588 G1161 G0749 G2532 G3588 G4892 G3650 G2212 G5577

κατὰ τοῦ Ἰησοῦ, ὅπως αὐτὸν θανατώσωσιν,
～に対する その イエスに-対して ～ために 彼を 死刑にしようと
G2596 G3588 G2424 G3704 G0846 G2289

60 καὶ οὐχ εὗρον, πολλῶν προσελθόντων ψευδομαρτύρων. ὕστερον
しかし ～なかった 見つからなかった 多くの 来た-けれども 偽証者が ついに
G2532 G3756 G2147 G4183 G4334 G5575 G5305

δὲ, προσελθόντες δύο,
すると 進み出た 二人が
G1161 G4334 G1417

61 εἶπαν, Οὗτος ἔφη, Δύναμαι καταλῦσαι τὸν ναὸν τοῦ Θεοῦ, καὶ
言った この者は 言った できると 壊す-ことが その 神殿を その 神の そして
G3004 G3778 G5346 G1410 G2647 G3588 G3485 G3588 G2316 G2532

διὰ τριῶν ἡμερῶν οἰκοδομῆσαι.
～の間に 三 日の間に 建て直すと
G1223 G5140 G2250 G3618

62 καὶ ἀναστὰς, ὁ ἀρχιερεὺς εἶπεν αὐτῷ, Οὐδὲν ἀποκρίνῃ? τί
そして 立ち上がって その 大祭司は 言った 彼に 何も 答えないのか 何を
G2532 G0450 G3588 G0749 G3004 G0846 G3762 G0611 G5101

οὗτοί σου καταμαρτυροῦσιν?
この者たちが あなたに-対して 証言しているか
G3778 G4771 G2649

63 ὁ δὲ Ἰησοῦς ἐσιώπα. καὶ ὁ ἀρχιερεὺς εἶπεν αὐτῷ, Ἐξορκίζω
しかし その イエスは 黙っていた すると その 大祭司は 言った 彼に 誓わせる
G3588 G1161 G2424 G4623 G2532 G3588 G0749 G3004 G0846 G1844

σε κατὰ τοῦ Θεοῦ τοῦ ζῶντος, ἵνα ἡμῖν εἴπῃς εἰ
あなたに ～にかけて その 神に その 生ける ～ように 私たちに 言え ～かどうか
G4771 G2596 G3588 G2316 G3588 G2198 G2443 G1473 G3004 G1487

σὺ εἶ ὁ Χριστὸς, ὁ Υἱὸς τοῦ Θεοῦ.
あなたが ～であるか その キリスト その 神の子 その 神の
G4771 G1510 G3588 G5547 G3588 G5207 G3588 G2316

64 λέγει αὐτῷ ὁ Ἰησοῦς, Σὺ εἶπας. πλὴν λέγω ὑμῖν, ἀπ’
言った 彼に その イエスは あなたが 言った通りだ しかし 言う あなたがたに ～から
G3004 G0846 G3588 G2424 G4771 G3004 G4133 G3004 G4771 G0575

ἄρτι ὄψεσθε τὸν Υἱὸν τοῦ ἀνθρώπου, καθήμενον ἐκ δεξιῶν τῆς
今から 見るだろう その 人の子が その 人の 座っている ～から 右に その
G0737 G3708 G3588 G5207 G3588 G0444 G2521 G1537 G1188 G3588

δυνάμεως, καὶ ἐρχόμενον ἐπὶ τῶν νεφελῶν τοῦ οὐρανοῦ.
力の そして 来る ～の上に その 雲に-乗って その 天の
G1411 G2532 G2064 G1909 G3588 G3507 G3588 G3772

65 τότε ὁ ἀρχιερεὺς διέρρηξεν τὰ ἱμάτια αὐτοῦ, λέγων, Ἐβλασφήμησεν;
そのとき その 大祭司は 引き裂いた その 衣を 彼の 言って 冒瀆した
G5119 G3588 G0749 G1284 G3588 G2440 G0846 G3004 G0987

τί ἔτι χρείαν ἔχομεν μαρτύρων? ἴδε νῦν, ἠκούσατε τὴν
何の もはや 必要が-あるか 持っている 証人の 見よ 今 聞いた その
G5101 G2089 G5532 G2192 G3144 G3708 G3568 G0191 G3588

βλασφημίαν.
冒瀆を
G0988

66 τί ὑμῖν δοκεῖ? οἱ δὲ ἀποκριθέντες εἶπαν, Ἔνοχος θανάτου
何と あなたがたは 思うか その すると 答えて 言った 死に 値する
G5101 G4771 G1380 G3588 G1161 G0611 G3004 G1777 G2288

ἐστίν.
者である
G1510

67 Τότε ἐνέπτυσαν εἰς τὸ πρόσωπον αὐτοῦ, καὶ ἐκολάφισαν αὐτόν.
そのとき 唾を吐きかけた ～に その 顔に 彼の そして 拳で殴った 彼を
G5119 G1716 G1519 G3588 G4383 G0846 G2532 G2852 G0846

οἱ δὲ ἐράπισαν,
また ある者は 平手で打った
G3588 G1161 G4474

68 λέγοντες, Προφήτευσον ἡμῖν, Χριστέ, τίς ἐστιν ὁ παίσας σε?
言って 預言せよ 私たちに キリストよ 誰が ～であるか その 打った者は お前を
G3004 G4395 G1473 G5547 G5101 G1510 G3588 G3817 G4771

69 Ὁ δὲ Πέτρος ἐκάθητο ἔξω ἐν τῇ αὐλῇ, καὶ προσῆλθεν αὐτῷ
その さて ペテロは 座っていた 外で ～の中に その 中庭に そして 近づいた 彼に
G3588 G1161 G4074 G2521 G1854 G1722 G3588 G0833 G2532 G4334 G0846

μία παιδίσκη, λέγουσα, Καὶ σὺ ἦσθα μετὰ Ἰησοῦ τοῦ
一人の 女中が 言って ～もまた あなたも 一緒にいた ～と共に イエスと その
G1520 G3814 G3004 G2532 G4771 G1510 G3326 G2424 G3588

Γαλιλαίου.
ガリラヤ人の
G1057

70 ὁ δὲ ἠρνήσατο ἔμπροσθεν πάντων, λέγων, Οὐκ οἶδα τί
しかし その 否定した みなの前で すべての人の 言って ～ない 知らない 何を
G3588 G1161 G0720 G1715 G3956 G3004 G3756 G1492 G5101

λέγεις.
言っているのか
G3004

71 ἐξελθόντα δὲ εἰς τὸν πυλῶνα, εἶδεν αὐτὸν ἄλλη, καὶ λέγει
出て行った–とき すると ～へ その 門の–ところに 見た 彼を 別の女が そして 言った
G1831 G1161 G1519 G3588 G4440 G3708 G0846 G0243 G2532 G3004

τοῖς ἐκεῖ, Οὗτος ἦν μετὰ Ἰησοῦ τοῦ Ναζωραίου.
その そこにいる者たちに この者は 一緒にいた ～と共に イエスと その ナザレ人の
G3588 G1563 G3778 G1510 G3326 G2424 G3588 G3480

72 καὶ πάλιν ἠρνήσατο μετὰ ὅρκου, ὅτι Οὐκ οἶδα τὸν ἄνθρωπον.
そして 再び 否定した 誓って 誓いをもって ～と ～ない 知らない その 人を
G2532 G3825 G0720 G3326 G3727 G3754 G3756 G1492 G3588 G0444

73 μετὰ μικρὸν, δὲ προσελθόντες οἱ ἑστῶτες, εἶπον τῷ Πέτρῳ,
～の後 しばらくして すると 近づいて来た その 立っていた者たちが 言った その ペテロに
G3326 G3398 G1161 G4334 G3588 G2476 G3004 G3588 G4074

Ἀληθῶς καὶ, σὺ ἐξ αὐτῶν εἶ, καὶ γὰρ ἡ λαλιά
確かに ～もまた あなたも ～の 彼らの 一人だ なぜなら なぜなら その なまりが
G0230 G2532 G4771 G1537 G0846 G1510 G2532 G1063 G3588 G2981

σου δῆλόν σε ποιεῖ.
あなたの 明らかに あなたを している
G4771 G1212 G4771 G4160

74 τότε ἤρξατο καταθεματίζειν καὶ ὀμνύειν, ὅτι Οὐκ οἶδα τὸν
そのとき 始めた 呪いをかけて そして 誓って ～と ～ない 知らない その
G5119 G0756 G2653 G2532 G3660 G3754 G3756 G1492 G3588

ἄνθρωπον! καὶ εὐθέως ἀλέκτωρ ἐφώνησεν.
人を するとすぐに すぐに 鶏が 鳴いた
G0444 G2532 G2112 G0220 G5455

75 καὶ ἐμνήσθη ὁ Πέτρος τοῦ ῥήματος Ἰησοῦ, εἰρηκότος ὅτι, Πρὶν
そして 思い出した その ペテロは その 言葉を イエスの 言われた ～ことを ～の前に
G2532 G3403 G3588 G4074 G3588 G4487 G2424 G2046 G3754 G4250

ἀλέκτορα φωνῆσαι, τρὶς ἀπαρνήσῃ με. καὶ ἐξελθὼν ἔξω, ἔκλαυσεν
鶏が 鳴く前に 三度 否む わたしを そして 外に出て 外で 激しく泣いた
G0220 G5455 G5151 G0533 G1473 G2532 G1831 G1854 G2799

πικρῶς.
激しく
G4090

Chapter 27

1 Πρωΐας δὲ γενομένης, συμβούλιον ἔλαβον πάντες οἱ ἀρχιερεῖς καὶ
朝 さて になると 相談を 行った すべての その 祭司長たちと そして
G4405 G1161 G1096 G4824 G2983 G3956 G3588 G0749 G2532

οἱ πρεσβύτεροι τοῦ λαοῦ κατὰ τοῦ Ἰησοῦ, ὥστε θανατῶσαι αὐτόν;
その 長老たちが その 民の ～に対して その イエスに ～ために 死刑にする 彼を
G3588 G4245 G3588 G2992 G2596 G3588 G2424 G5620 G2289 G0846

2 καὶ δήσαντες αὐτὸν ἀπήγαγον καὶ παρέδωκαν Πιλάτῳ, τῷ ἡγεμόνι.
そして 縛って 彼を 連れて行き そして 引き渡した ピラトに その 総督に
G2532 G1210 G0846 G0520 G2532 G3860 G4091 G3588 G2232

3 Τότε ἰδὼν Ἰούδας ὁ παραδιδοὺς αὐτὸν ὅτι κατεκρίθη, μεταμεληθεὶς,
そのとき 見て ユダは その 裏切った者が 彼を ～ことを 有罪とされた 後悔して
G5119 G3708 G2455 G3588 G3860 G0846 G3754 G2632 G3338

ἔστρεψεν τὰ τριάκοντα ἀργύρια τοῖς ἀρχιερεῦσιν καὶ πρεσβυτέροις,
返した その 三十 銀貨を その 祭司長たちと そして 長老たちに
G4762 G3588 G5144 G0694 G3588 G0749 G2532 G4245

4 λέγων, Ἥμαρτον, παραδοὺς αἷμα ἀθῷον. οἱ δὲ εἶπαν, Τί πρὸς
言って 罪を犯した 引き渡して 血を 罪なき者の その すると 言った 何の ～関係がある
G3004 G0264 G3860 G0129 G0121 G3588 G1161 G3004 G5101 G4314

ἡμᾶς? σὺ ὄψῃ.
私たちに お前が 見るがよい
G1473 G4771 G3708

5 καὶ ῥίψας τὰ ἀργύρια εἰς τὸν ναὸν, ἀνεχώρησεν, καὶ ἀπελθὼν,
そして 投げ捨てて その 銀貨を ～の中に その 神殿に 立ち去り そして 行って
G2532 G4496 G3588 G0694 G1519 G3588 G3485 G0402 G2532 G0565

ἀπήγξατο.
首をつった
G0519

6 οἱ δὲ ἀρχιερεῖς, λαβόντες τὰ ἀργύρια εἶπαν, Οὐκ ἔξεστιν
その さて 祭司長たちは 取って その 銀貨を 言った ～ない 許されない
G3588 G1161 G0749 G2983 G3588 G0694 G3004 G3756 G1832

βαλεῖν αὐτὰ εἰς τὸν κορβανᾶν, ἐπεὶ τιμὴ αἵματός ἐστιν.
入れることは それを ～の中に その 神殿の金庫に なぜなら 代価 血の だからだ
G0906 G0846 G1519 G3588 G2878 G1893 G5092 G0129 G1510

7 συμβούλιον δὲ λαβόντες, ἠγόρασαν ἐξ αὐτῶν τὸν ἀγρὸν τοῦ κεραμέως,
相談して さて 行って 買った ～で それで その 畑を その 陶器師の
G4824 G1161 G2983 G0059 G1537 G0846 G3588 G0068 G3588 G2763

εἰς ταφὴν τοῖς ξένοις.
～のために 埋葬地として その 異邦人の
G1519 G5027 G3588 G3581

8 διὸ ἐκλήθη ὁ ἀγρὸς ἐκεῖνος, Ἀγρὸς αἵματος, ἕως τῆς σήμερον.
それゆえ 呼ばれた その 畑は それは 血の 畑と ～まで その 今日まで
G1352 G2564 G3588 G0068 G1565 G0068 G0129 G2193 G3588 G4594

9 τότε ἐπληρώθη τὸ ῥηθὲν διὰ Ἰερεμίου τοῦ προφήτου,
そのとき 成就した その 語られたことが ～を通して エレミヤ その 預言者を–通して
G5119 G4137 G3588 G2046 G1223 G2408 G3588 G4396

λέγοντος, Καὶ ἔλαβον τὰ τριάκοντα ἀργύρια, τὴν τιμὴν τοῦ τετιμημένου,
言う そして 取った その 三十 銀貨を その 値段を その 値づけられた者の
G3004 G2532 G2983 G3588 G5144 G0694 G3588 G5092 G3588 G5091

ὃν ἐτιμήσαντο ἀπὸ υἱῶν Ἰσραήλ,
その者を 値づけた ～から 息子たちが イスラエルの
G3739 G5091 G0575 G5207 G2474

10 καὶ ἔδωκαν αὐτὰ εἰς τὸν ἀγρὸν τοῦ κεραμέως, καθὰ συνέταξέν
そして 与えた それを ～のために その 畑の その 陶器師の ～のように 命じた
G2532 G1325 G0846 G1519 G3588 G0068 G3588 G2763 G2505 G4929

μοι Κύριος.
わたしに 主が
G1473 G2962

11 Ὁ δὲ Ἰησοῦς ἐστάθη ἔμπροσθεν τοῦ ἡγεμόνος; καὶ ἐπηρώτησεν αὐτὸν
その さて イエスは 立った 前に その 総督の すると 尋問した 彼に
G3588 G1161 G2424 G2476 G1715 G3588 G2232 G2532 G1905 G0846

ὁ ἡγεμὼν, λέγων, Σὺ εἶ ὁ Βασιλεὺς τῶν Ἰουδαίων? ὁ
その 総督が 言って あなたは ～であるか その 王 その ユダヤ人の その
G3588 G2232 G3004 G4771 G1510 G3588 G0935 G3588 G2453 G3588

δὲ Ἰησοῦς ἔφη, Σὺ λέγεις.
すると イエスは 言った あなたが 言う通りだ
G1161 G2424 G5346 G4771 G3004

12 καὶ ἐν τῷ κατηγορεῖσθαι αὐτὸν ὑπὸ τῶν ἀρχιερέων καὶ
そして ～の間に その 訴えられている–とき 彼が ～によって その 祭司長たちと そして
G2532 G1722 G3588 G2723 G0846 G5259 G3588 G0749 G2532

πρεσβυτέρων, οὐδὲν ἀπεκρίνατο.
長老たちに 何も 答えなかった
G4245 G3762 G0611

13 τότε λέγει αὐτῷ ὁ Πιλᾶτος, Οὐκ ἀκούεις πόσα σου
そのとき 言った 彼に その ピラトが ～ないのか 聞こえない どれほど あなたに–対して
G5119 G3004 G0846 G3588 G4091 G3756 G0191 G4214 G4771

καταμαρτυροῦσιν?
証言しているか
G2649

14 καὶ οὐκ ἀπεκρίθη αὐτῷ, πρὸς οὐδὲ ἓν ῥῆμα, ὥστε
しかし ～なかった 答えなかった 彼に ～に対して 一つの 一つの 言葉さえも そのため
G2532 G3756 G0611 G0846 G4314 G3761 G1520 G4487 G5620

θαυμάζειν τὸν ἡγεμόνα λίαν.
驚いた その 総督は 非常に
G2296 G3588 G2232 G3029

15 Κατὰ δὲ ἑορτὴν, εἰώθει ὁ ἡγεμὼν ἀπολύειν ἕνα τῷ ὄχλῳ
その さて 祭りのたびに 慣例としていた その 総督は 釈放する 一人の その 群衆に
G2596 G1161 G1859 G1486 G3588 G2232 G0630 G1520 G3588 G3793

δέσμιον, ὃν ἤθελον.
囚人を その者を 望んだ
G1198 G3739 G2309

16 εἶχον δὲ τότε δέσμιον ἐπίσημον, λεγόμενον ‹Ἰησοῦν› Βαραββᾶν.
持っていた さて そのとき 囚人を 名の知れた ～と呼ばれる イエス バラバを
G2192 G1161 G5119 G1198 G1978 G3004 G2424 G0912

17 συνηγμένων οὖν αὐτῶν, εἶπεν αὐτοῖς ὁ Πιλᾶτος, Τίνα θέλετε ἀπολύσω
集まっていた–とき そこで 彼らが 言った 彼らに その ピラトが 誰を 望むか 釈放する
G4863 G3767 G0846 G3004 G0846 G3588 G4091 G5101 G2309 G0630

ὑμῖν? ‹Ἰησοῦν τὸν› Βαραββᾶν, ἢ Ἰησοῦν, τὸν λεγόμενον Χριστόν?
あなたがたに イエス その バラバをか それとも イエスをか その ～と呼ばれる キリストを
G4771 G2424 G3588 G0912 G2228 G2424 G3588 G3004 G5547

18 ᾔδει γὰρ ὅτι διὰ φθόνον παρέδωκαν αὐτόν.
知っていた なぜなら ～ことを ～のために ねたみの–ために 引き渡したと 彼を
G1492 G1063 G3754 G1223 G5355 G3860 G0846

19 Καθημένου δὲ αὐτοῦ ἐπὶ τοῦ βήματος, ἀπέστειλεν πρὸς αὐτὸν
座っていた–とき さて 彼が ～の上に その 裁判の席に 遣わした ～のもとへ 彼に
G2521 G1161 G0846 G1909 G3588 G0968 G0649 G4314 G0846

ἡ γυνὴ αὐτοῦ, λέγουσα, Μηδὲν σοὶ καὶ τῷ δικαίῳ ἐκείνῳ; πολλὰ γὰρ
その 妻が 彼の 言って 何も–ないように あなたは そして その 正しい–人に その 多くの なぜなら
G3588 G1135 G0846 G3004 G3367 G4771 G2532 G3588 G1342 G1565 G4183 G1063

ἔπαθον σήμερον κατ’ ὄναρ, δι’ αὐτόν.
苦しんだ 今日 ～の中で 夢の中で ～のために 彼のために
G3958 G4594 G2596 G3677 G1223 G0846

20 Οἱ δὲ ἀρχιερεῖς καὶ οἱ πρεσβύτεροι ἔπεισαν τοὺς ὄχλους, ἵνα
その しかし 祭司長たちと そして その 長老たちは 説得した その 群衆を ～ように
G3588 G1161 G0749 G2532 G3588 G4245 G3982 G3588 G3793 G2443

αἰτήσωνται τὸν Βαραββᾶν, τὸν δὲ Ἰησοῦν ἀπολέσωσιν.
求めるように その バラバを その しかし イエスを 滅ぼすように
G0154 G3588 G0912 G3588 G1161 G2424 G0622

21 ἀποκριθεὶς δὲ, ὁ ἡγεμὼν εἶπεν αὐτοῖς, Τίνα θέλετε ἀπὸ τῶν δύο,
答えて すると その 総督は 言った 彼らに 誰を 望むか ～から この 二人の
G0611 G1161 G3588 G2232 G3004 G0846 G5101 G2309 G0575 G3588 G1417

ἀπολύσω ὑμῖν? οἱ δὲ εἶπαν, Τὸν Βαραββᾶν.
釈放する あなたがたに その すると 言った その バラバを
G0630 G4771 G3588 G1161 G3004 G3588 G0912

22 λέγει αὐτοῖς ὁ Πιλᾶτος, Τί οὖν ποιήσω Ἰησοῦν, τὸν λεγόμενον
言った 彼らに その ピラトが では どうするか するか イエスを その ～と呼ばれる
G3004 G0846 G3588 G4091 G5101 G3767 G4160 G2424 G3588 G3004

Χριστόν? λέγουσιν πάντες, Σταυρωθήτω.
キリストを 言った みなが 十字架につけよ
G5547 G3004 G3956 G4717

23 ὁ その G3588 δὲ しかし G1161 ἔφη, 言った G5346 Τί いったい G5101 γὰρ なぜなら G1063 κακὸν 何の-悪いことを G2556 ἐποίησεν? したのか G4160 οἱ その G3588 δὲ しかし G1161
περισσῶς ますます G4057 ἔκραζον, 叫んだ G2896 λέγοντες, 言って G3004 Σταυρωθήτω. 十字架につけよ G4717

24 ἰδὼν 見て G3708 δὲ さて G1161 ὁ その G3588 Πιλᾶτος ピラトは G4091 ὅτι ～ことを G3754 οὐδὲν 何も G3762 ὠφελεῖ, 役に立たないと G5623 ἀλλὰ むしろ G0235 μᾶλλον ますます G3123 θόρυβος 騒ぎが G2351
γίνεται, 起こると G1096 λαβὼν 取って G2983 ὕδωρ, 水を G5204 ἀπενίψατο 洗った G0633 τὰς その G3588 χεῖρας 手を G5495 ἀπέναντι ～の前で G0561 τοῦ その G3588 ὄχλου, 群衆の G3793 λέγων, 言って G3004
Ἀθῷός 無罪で-ある G0121 εἰμι である G1510 ἀπὸ ～において G0575 τοῦ この G3588 αἵματος 血に G0129 τούτου. この G3778 ὑμεῖς あなたがたが G4771 ὄψεσθε. 見るがよい G3708

25 καὶ すると G2532 ἀποκριθεὶς, 答えて G0611 πᾶς すべての G3956 ὁ その G3588 λαὸς 民は G2992 εἶπεν, 言った G3004 Τὸ その G3588 αἷμα 血は G0129 αὐτοῦ 彼の G0846 ἐφ’ ～の上に G1909 ἡμᾶς, 私たちの G1473
καὶ そして G2532 ἐπὶ ～の上に G1909 τὰ その G3588 τέκνα 子どもたちの G5043 ἡμῶν. 私たちの G1473

26 τότε そのとき G5119 ἀπέλυσεν 釈放した G0630 αὐτοῖς 彼らに G0846 τὸν その G3588 Βαραββᾶν; バラバを G0912 τὸν その G3588 δὲ しかし G1161 Ἰησοῦν イエスを G2424 φραγελλώσας, 鞭打って G5417
παρέδωκεν, 引き渡した G3860 ἵνα ～ために G2443 σταυρωθῇ. 十字架につけるために G4717

27 Τότε そのとき G5119 οἱ その G3588 στρατιῶται 兵士たちは G4757 τοῦ その G3588 ἡγεμόνος, 総督の G2232 παραλαβόντες 連れて G3880 τὸν その G3588 Ἰησοῦν イエスを G2424 εἰς ～の中に G1519
τὸ その G3588 πραιτώριον, 総督官邸に G4232 συνήγαγον 集めた G4863 ἐπ’ ～の上に G1909 αὐτὸν 彼の-まわりに G0846 ὅλην 全 G3650 τὴν その G3588 σπεῖραν; 部隊を G4686

28 καὶ そして G2532 ἐκδύσαντες 脱がせて G1562 αὐτὸν, 彼を G0846 χλαμύδα 紫の-外套を G5511 κοκκίνην; 紅い G2847 περιέθηκαν 着せた G4060 αὐτῷ. 彼に G0846

29 καὶ そして G2532 πλέξαντες 編んで G4120 στέφανον 冠を G4735 ἐξ ～から G1537 ἀκανθῶν, いばらの G0173 ἐπέθηκαν 置いた G2007 ἐπὶ ～の上に G1909 τῆς その G3588 κεφαλῆς 頭に G2776
αὐτοῦ; 彼の G0846 καὶ そして G2532 κάλαμον 葦を G2563 ἐν ～の中に G1722 τῇ その G3588 δεξιᾷ 右手に G1188 αὐτοῦ; 彼の G0846 καὶ そして G2532 γονυπετήσαντες ひざまずいて G1120
ἔμπροσθεν 前に G1715 αὐτοῦ, 彼の G0846 ἐνέπαιξαν あざけった G1702 αὐτῷ, 彼を G0846 λέγοντες, 言って G3004 Χαῖρε, こんにちは G5463 Βασιλεῦ 王よ G0935 τῶν その G3588 Ἰουδαίων! ユダヤ人の G2453

30 καὶ そして G2532 ἐμπτύσαντες 唾を吐きかけて G1716 εἰς ～に G1519 αὐτὸν, 彼に G0846 ἔλαβον 取って G2983 τὸν その G3588 κάλαμον, 葦を G2563 καὶ そして G2532 ἔτυπτον 打った G5180 εἰς ～を G1519 τὴν その G3588 κεφαλὴν 頭を G2776 αὐτοῦ. 彼の G0846

31 καὶ そして G2532 ὅτε ～とき G3753 ἐνέπαιξαν あざけって G1702 αὐτῷ, 彼を G0846 ἐξέδυσαν 脱がせて G1562 αὐτὸν 彼から G0846 τὴν その G3588 χλαμύδα, 外套を G5511 καὶ そして G2532 ἐνέδυσαν 着せた G1746 αὐτὸν 彼に G0846 τὰ その G3588 ἱμάτια 衣を G2440 αὐτοῦ; 彼の G0846 καὶ そして G2532 ἀπήγαγον 連れて行った G0520 αὐτὸν 彼を G0846 εἰς ～のために G1519 τὸ その G3588 σταυρῶσαι. 十字架につけるために G4717

32 Ἐξερχόμενοι 出て行く–とき G1831 δὲ, すると G1161 εὗρον 見つけた G2147 ἄνθρωπον 人を G0444 Κυρηναῖον, キレネ人の G2956 ὀνόματι 名は G3686 Σίμωνα. シモンを G4613 τοῦτον この者を G3778 ἠγγάρευσαν 強いた G0029 ἵνα ～ように G2443 ἄρῃ 運ぶ G0142 τὸν その G3588 σταυρὸν 十字架を G4716 αὐτοῦ. 彼の G0846

33 Καὶ そして G2532 ἐλθόντες 来て G2064 εἰς ～へ G1519 τόπον 場所に G5117 λεγόμενον ～と呼ばれる G3004 Γολγοθᾶ, ゴルゴタに G1115 ὅ それは G3739 ἐστιν, ～である G1510 κρανίου されこうべの G2898 τόπος, 場所と G5117 λεγόμενος. 呼ばれる G3004

34 ἔδωκαν 与えた G1325 αὐτῷ 彼に G0846 πιεῖν 飲むために G4095 οἶνον ぶどう酒を G3631 μετὰ ～と混ぜた G3326 χολῆς 苦いものと G5521 μεμιγμένον; 混ぜた G3396 καὶ しかし G2532 γευσάμενος, 味わって G1089 οὐκ ～なかった G3756 ἠθέλησεν 飲もうとしなかった G2309 πιεῖν. 飲むことを G4095

35 σταυρώσαντες 十字架につけて G4717 δὲ さて G1161 αὐτὸν, 彼を G0846 διεμερίσαντο 分けた G1266 τὰ その G3588 ἱμάτια 衣を G2440 αὐτοῦ, 彼の G0846 βάλλοντες 投げて G0906 κλῆρον; くじを G2819 {ἵνα ～ために G2443 πληρωθῇ 成就する G4137 τὸ その G3588 ῥηθὲν 語られたことが G2046 ὑπὸ ～によって G5259 τοῦ その G3588 προφήτου, 預言者によって G4396 Διεμερίσαντο 分けた G1266 τὰ わたしの G3588 ἱμάτιά 衣を G2440 μου わたしの G1473 ἑαυτοῖς, 彼らの間で G1438 καὶ そして G2532 ἐπὶ ～の上に G1909 τὸν わたしの G3588 ἱματισμόν 上着に G2441 μου わたしの G1473 ἔβαλον 投げた G0906 κλῆρον}. くじを G2819

36 καὶ καθήμενοι, ἐτήρουν αὐτὸν ἐκεῖ.
そして 座って 見張っていた 彼を そこで
G2532 G2521 G5083 G0846 G1563

37 καὶ ἐπέθηκαν ἐπάνω τῆς κεφαλῆς αὐτοῦ τὴν αἰτίαν αὐτοῦ γεγραμμένην:
そして 置いた 上に その 頭の 彼の その 罪状を 彼の 書かれた
G2532 G2007 G1883 G3588 G2776 G0846 G3588 G0156 G0846 G1125

Οὗτός ΕΣΤΙΝ ΙΗΣΟΥΣ, ὁ ΒΑΣΙΛΕΥΣ ΤΩΝ ΙΟΥΔΑΙΩΝ.
この者は ～である イエス その 王 その ユダヤ人の
G3778 G1510 G2424 G3588 G0935 G3588 G2453

38 Τότε σταυροῦνται σὺν αὐτῷ δύο λῃσταί, εἷς ἐκ δεξιῶν, καὶ
そのとき 十字架につけられた ～と共に 彼と 二人の 強盗が 一人は ～に 右に そして
G5119 G4717 G4862 G0846 G1417 G3027 G1520 G1537 G1188 G2532

εἷς ἐξ εὐωνύμων.
一人は ～に 左に
G1520 G1537 G2176

39 Οἱ δὲ παραπορευόμενοι ἐβλασφήμουν αὐτὸν, κινοῦντες τὰς κεφαλὰς αὐτῶν,
その さて 通りかかる者たちは ののしった 彼を 振って その 頭を 彼らの
G3588 G1161 G3899 G0987 G0846 G2795 G3588 G2776 G0846

40 καὶ λέγοντες, Ὁ καταλύων τὸν ναὸν καὶ ἐν τρισὶν ἡμέραις
そして 言って その 壊す者よ その 神殿を そして ～の中に 三 日で
G2532 G3004 G3588 G2647 G3588 G3485 G2532 G1722 G5140 G2250

οἰκοδομῶν, σῶσον σεαυτόν! εἰ Υἱὸς εἶ τοῦ Θεοῦ, καὶ κατάβηθι
建てる者よ 救え 自分を もし 神の子 であるなら その 神の そして 降りて来い
G3618 G4982 G4572 G1487 G5207 G1510 G3588 G2316 G2532 G2597

ἀπὸ τοῦ σταυροῦ!
～から その 十字架から
G0575 G3588 G4716

41 ὁμοίως ‹καὶ›, οἱ ἀρχιερεῖς, ἐμπαίζοντες, μετὰ τῶν γραμματέων καὶ
同じように また その 祭司長たちも あざけって ～と共に その 律法学者たちと そして
G3668 G2532 G3588 G0749 G1702 G3326 G3588 G1122 G2532

πρεσβυτέρων, ἔλεγον,
長老たちが 言った
G4245 G3004

42 Ἄλλους ἔσωσεν. ἑαυτὸν, οὐ δύναται σῶσαι. Βασιλεὺς Ἰσραήλ ἐστιν.
他人を 救った 自分を ～ない できない 救うことが 王 イスラエルの である
G0243 G4982 G1438 G3756 G1410 G4982 G0935 G2474 G1510

καταβάτω νῦν ἀπὸ τοῦ σταυροῦ, καὶ πιστεύσομεν ἐπ’ αὐτόν.
降りて来い 今 ～から その 十字架から そうすれば 信じる ～に 彼を
G2597 G3568 G0575 G3588 G4716 G2532 G4100 G1909 G0846

43 πέποιθεν ἐπὶ τὸν Θεόν. ῥυσάσθω νῦν εἰ θέλει αὐτόν. εἶπεν γὰρ,
信頼した ～に その 神に 救えばよい 今 もし 望むなら 彼を 言った なぜなら
G3982 G1909 G3588 G2316 G4506 G3568 G1487 G2309 G0846 G3004 G1063

ὅτι Θεοῦ εἰμι Υἱός.
～ことを 神の ～であると 子だと
G3754 G2316 G1510 G5207

44 τὸ δ' αὐτὸ καὶ οἱ λῃσταὶ, οἱ συσταυρωθέντες σὺν
同じ また 同じように そして その 強盗たちも その 共に十字架につけられた者が ～と共に
G3588 G1161 G0846 G2532 G3588 G3027 G3588 G4957 G4862

αὐτῷ, ὠνείδιζον αὐτόν.
彼と 罵った 彼を
G0846 G3679 G0846

45 Ἀπὸ δὲ ἕκτης ὥρας, σκότος ἐγένετο ἐπὶ πᾶσαν τὴν γῆν, ἕως
～から さて 六時から 時に 闇が 起こった ～の上に 全 その 地に ～まで
G0575 G1161 G1623 G5610 G4655 G1096 G1909 G3956 G3588 G1093 G2193

ὥρας ἐνάτης;
時の 九時まで
G5610 G1766

46 περὶ δὲ τὴν ἐνάτην ὥραν, ἀνεβόησεν ὁ Ἰησοῦς φωνῇ μεγάλῃ, λέγων,
～の頃に さて その 九 時頃に 叫んだ その イエスは 声で 大きな 言って
G4012 G1161 G3588 G1766 G5610 G0310 G3588 G2424 G5456 G3173 G3004

Ἠλὶ, ἠλὶ, λεμὰ σαβαχθάνι? τοῦτ' ἔστιν, Θεέ μου, θεέ μου, ἵνα
エリ エリ レマ サバクタニ これは ～である わが神よ わが神よ わが神よ わが神よ なぜ
G2241 G2241 G2982 G4518 G3778 G1510 G2316 G1473 G2316 G1473 G2443

τί με ἐγκατέλιπες?
なぜ わたしを 見捨てたのですか
G5101 G1473 G1459

47 τινὲς δὲ τῶν ἐκεῖ ἑστηκότων, ἀκούσαντες, ἔλεγον, ὅτι Ἠλίαν
ある者たちが すると その そこに 立っていた者の 聞いて 言っていた ～と エリヤを
G5100 G1161 G3588 G1563 G2476 G0191 G3004 G3754 G2243

φωνεῖ οὗτος.
呼んでいる この者は
G5455 G3778

48 καὶ εὐθέως, δραμὼν εἷς ἐξ αὐτῶν καὶ λαβὼν σπόγγον,
するとすぐに すぐに 走って 一人が ～の中から 彼らの そして 取って 海綿を
G2532 G2112 G5143 G1520 G1537 G0846 G2532 G2983 G4699

πλήσας τε ὄξους καὶ περιθεὶς καλάμῳ, ἐπότιζεν αὐτόν.
浸して そして 酸いぶどう酒に そして つけて 葦に 飲ませた 彼に
G4130 G5037 G3690 G2532 G4060 G2563 G4222 G0846

49 οἱ δὲ λοιποὶ ἔλεγον, Ἄφες; ἴδωμεν εἰ ἔρχεται Ἠλίας
その しかし 残りの者たちは 言った やめよ 見よう ～かどうか 来るか エリヤが
G3588 G1161 G3062 G3004 G0863 G3708 G1487 G2064 G2243

σώσων αὐτόν. (ἄλλος δὲ, λαβὼν λόγχην ἔνυξεν αὐτοῦ τὴν πλευράν, καὶ
救いに 彼を 別の しかし 取って 槍を 突いた 彼の その わき腹を すると
G4982 G0846 G0243 G1161 G2983 G3057 G3572 G0846 G3588 G4125 G2532

ἐξῆλθεν ὕδωρ καὶ αἷμα).
出た 水と そして 血が
G1831 G5204 G2532 G0129

50 ὁ δὲ Ἰησοῦς πάλιν, κράξας φωνῇ μεγάλῃ, ἀφῆκεν τὸ πνεῦμα.
その しかし イエスは 再び 叫んで 声で 大きな 渡した その 霊を
G3588 G1161 G2424 G3825 G2896 G5456 G3173 G0863 G3588 G4151

51 Καὶ ἰδοὺ, τὸ καταπέτασμα τοῦ ναοῦ ἐσχίσθη ἀπ’ ἄνωθεν ἕως κάτω,
すると 見よ その 幕が その 神殿の 裂けた ～から 上から ～まで 下まで
G2532 G3708 G3588 G2665 G3588 G3485 G4977 G0575 G0509 G2193 G2736

εἰς δύο; καὶ ἡ γῆ ἐσείσθη, καὶ αἱ πέτραι ἐσχίσθησαν,
～に 二つに そして その 地が 揺れた そして その 岩が 裂けた
G1519 G1417 G2532 G3588 G1093 G4579 G2532 G3588 G4073 G4977

52 καὶ τὰ μνημεῖα ἀνεῴχθησαν, καὶ πολλὰ σώματα τῶν κεκοιμημένων
そして その 墓が 開いた そして 多くの 体が その 眠っていた
G2532 G3588 G3419 G0455 G2532 G4183 G4983 G3588 G2837

ἁγίων ἠγέρθησαν,
聖なる者たちの よみがえった
G0040 G1453

53 καὶ ἐξελθόντες ἐκ τῶν μνημείων μετὰ τὴν ἔγερσιν αὐτοῦ, εἰσῆλθον
そして 出て来て ～から その 墓から ～の後 その 復活の後 彼の 入った
G2532 G1831 G1537 G3588 G3419 G3326 G3588 G1454 G0846 G1525

εἰς τὴν ἁγίαν πόλιν καὶ ἐνεφανίσθησαν πολλοῖς.
～の中に その 聖なる 都に そして 現れた 多くの人に
G1519 G3588 G0040 G4172 G2532 G1718 G4183

54 Ὁ δὲ ἑκατόνταρχος καὶ οἱ μετ’ αὐτοῦ τηροῦντες τὸν
その さて 百人隊長と そして その ～と共にいた 彼と 見張っていた者たちが その
G3588 G1161 G1543 G2532 G3588 G3326 G0846 G5083 G3588

Ἰησοῦν, ἰδόντες τὸν σεισμὸν καὶ τὰ γενόμενα, ἐφοβήθησαν σφόδρα,
イエスを 見て その 地震と そして その 起こったことを 恐れた 非常に
G2424 G3708 G3588 G4578 G2532 G3588 G1096 G5399 G4970

λέγοντες, Ἀληθῶς Θεοῦ Υἱὸς ἦν οὗτος.
言って まことに 神の 子で あった この方は
G3004 G0230 G2316 G5207 G1510 G3778

55 Ἦσαν δὲ ἐκεῖ γυναῖκες πολλαὶ ἀπὸ μακρόθεν, θεωροῦσαι, αἵτινες
いた さて そこに 女たちが 多くの ～から 遠くから 見ていた 彼女らは
G1510 G1161 G1563 G1135 G4183 G0575 G3113 G2334 G3748

ἠκολούθησαν τῷ Ἰησοῦ ἀπὸ τῆς Γαλιλαίας, διακονοῦσαι αὐτῷ,
ついて来た その イエスに ～から その ガリラヤから 仕えて 彼に
G0190 G3588 G2424 G0575 G3588 G1056 G1247 G0846

56 ἐν αἷς ἦν Μαρία ἡ Μαγδαληνή, καὶ Μαρία ἡ τοῦ
～の中に その中には いた マリヤ その マグダラの そして マリヤ その その
G1722 G3739 G1510 G3137 G3588 G3094 G2532 G3137 G3588 G3588

Ἰακώβου καὶ Ἰωσὴφ μήτηρ; καὶ ἡ μήτηρ τῶν υἱῶν Ζεβεδαίου.
ヤコブと そして ヨセフの 母 そして その 母 その 息子たちの ゼベダイの
G2385 G2532 G2501 G3384 G2532 G3588 G3384 G3588 G5207 G2199

57 Ὀψίας δὲ γενομένης, ἦλθεν ἄνθρωπος πλούσιος ἀπὸ Ἁριμαθαίας, τοὔνομα
夕方 さて になると 来た 人が 裕福な ～から アリマタヤの 名は
G3798 G1161 G1096 G2064 G0444 G4145 G0575 G0707 G5122

Ἰωσήφ, ὃς καὶ αὐτὸς ἐμαθητεύθη τῷ Ἰησοῦ.
ヨセフという この者は ～もまた 彼自身も 弟子となっていた その イエスの
G2501 G3739 G2532 G0846 G3100 G3588 G2424

58 οὗτος προσελθὼν τῷ Πιλάτῳ, ἠτήσατο τὸ σῶμα τοῦ Ἰησοῦ. τότε
この者は 近づいて その ピラトに 願い出た その 体を その イエスの そのとき
G3778 G4334 G3588 G4091 G0154 G3588 G4983 G3588 G2424 G5119

ὁ Πιλᾶτος ἐκέλευσεν ἀποδοθῆναι.
その ピラトは 命じた 引き渡すように
G3588 G4091 G2753 G0591

59 καὶ λαβὼν τὸ σῶμα, ὁ Ἰωσὴφ ἐνετύλιξεν αὐτὸ ἐν σινδόνι
そして 取って その 体を その ヨセフは 包んだ それを ～の中に 亜麻布で
G2532 G2983 G3588 G4983 G3588 G2501 G1794 G0846 G1722 G4616

καθαρᾷ,
清い
G2513

60 καὶ ἔθηκεν αὐτὸ ἐν τῷ καινῷ αὐτοῦ μνημείῳ, ὃ ἐλατόμησεν
そして 置いた それを ～の中に その 新しい 彼の 墓に それを 岩に掘った
G2532 G5087 G0846 G1722 G3588 G2537 G0846 G3419 G3739 G2998

ἐν τῇ πέτρᾳ; καὶ προσκυλίσας λίθον μέγαν τῇ θύρᾳ τοῦ μνημείου,
～の中に その 岩に そして 転がして 石を 大きな その 入口に その 墓の
G1722 G3588 G4073 G2532 G4351 G3037 G3173 G3588 G2374 G3588 G3419

ἀπῆλθεν.
立ち去った
G0565

61 Ἦν δὲ ἐκεῖ Μαριὰμ ἡ Μαγδαληνὴ, καὶ ἡ ἄλλη Μαρία,
いた さて そこに マリヤ その マグダラの-マリヤと そして その もう一人の マリヤが
G1510 G1161 G1563 G3137 G3588 G3094 G2532 G3588 G0243 G3137

καθήμεναι ἀπέναντι τοῦ τάφου.
座っていた 向かいに その 墓の
G2521 G0561 G3588 G5028

62 Τῇ δὲ ἐπαύριον, ἥτις ἐστὶν μετὰ τὴν Παρασκευήν, συνήχθησαν
その さて 翌日 それは ～である ～の後の その 準備の日の-後の 集まった
G3588 G1161 G1887 G3748 G1510 G3326 G3588 G3904 G4863

οἱ ἀρχιερεῖς καὶ οἱ Φαρισαῖοι πρὸς Πιλᾶτον,
その 祭司長たちと そして その ファリサイ人が ～のもとへ ピラトの
G3588 G0749 G2532 G3588 G5330 G4314 G4091

63 λέγοντες, Κύριε, ἐμνήσθημεν ὅτι ἐκεῖνος ὁ πλάνος εἶπεν ἔτι
言って 閣下 思い出しました ～ことを あの その 惑わす者が 言った まだ
G3004 G2962 G3403 G3754 G1565 G3588 G4108 G3004 G2089

ζῶν, Μετὰ τρεῖς ἡμέρας ἐγείρομαι.
生きていたとき ～の後 三 日後に よみがえると
G2198 G3326 G5140 G2250 G1453

64 κέλευσον οὖν ἀσφαλισθῆναι τὸν τάφον ἕως τῆς τρίτης ἡμέρας,
命じてください それゆえ 固めるように その 墓を ～まで その 三 日目まで
G2753 G3767 G0805 G3588 G5028 G2193 G3588 G5154 G2250

μή ποτε ἐλθόντες οἱ μαθηταὶ ‹αὐτοῦ›, κλέψωσιν αὐτὸν, καὶ εἴπωσιν
～ないように もし 来て その 弟子たちが 彼の 盗んで 彼を そして 言う
G3361 G4219 G2064 G3588 G3101 G0846 G2813 G0846 G2532 G3004

τῷ λαῷ, Ἠγέρθη ἀπὸ τῶν νεκρῶν; καὶ ἔσται ἡ ἐσχάτη
その 民に よみがえったと ～から その 死者の中から そうすれば なる その 最後の
G3588 G2992 G1453 G0575 G3588 G3498 G2532 G1510 G3588 G2078

πλάνη χείρων τῆς πρώτης.
欺きが 悪い その 最初のよりも
G4106 G5501 G3588 G4413

65 ἔφη αὐτοῖς ὁ Πιλᾶτος, Ἔχετε κουστωδίαν; ὑπάγετε ἀσφαλίσασθε
言った 彼らに その ピラトが 持っている 番兵を 行け 固めよ
G5346 G0846 G3588 G4091 G2192 G2892 G5217 G0805

ὡς οἴδατε.
～のように 知っているように
G5613 G1492

66 οἱ δὲ πορευθέντες, ἠσφαλίσαντο τὸν τάφον, σφραγίσαντες τὸν λίθον,
その さて 行って 固めた その 墓を 封印して その 石に
G3588 G1161 G4198 G0805 G3588 G5028 G4972 G3588 G3037

μετὰ τῆς κουστωδίας.
～と共に その 番兵と共に
G3326 G3588 G2892

Chapter 28

1 Ὀψὲ δὲ σαββάτων, τῇ ἐπιφωσκούσῃ εἰς μίαν σαββάτων, ἦλθεν
の–後 さて 安息日 その 明け–始める に–向かって 第一の 週の–日 来た
G3796 G1161 G4521 G3588 G2020 G1519 G1520 G4521 G2064

Μαριὰμ ἡ Μαγδαληνὴ καὶ ἡ ἄλλη Μαρία, θεωρῆσαι τὸν τάφον.
マリヤ – マグダラの と – もう一人の マリヤが 見に その 墓を
G3137 G3588 G3094 G2532 G3588 G0243 G3137 G2334 G3588 G5028

2 καὶ ἰδοὺ, σεισμὸς ἐγένετο μέγας; ἄγγελος γὰρ Κυρίου, καταβὰς ἐξ
すると 見よ 地震が 起こった 大きな 御使いが なぜなら 主の 降りて来て から
G2532 G3708 G4578 G1096 G3173 G0032 G1063 G2962 G2597 G1537

οὐρανοῦ, καὶ προσελθὼν, ἀπεκύλισεν τὸν λίθον, καὶ ἐκάθητο ἐπάνω
天 そして 近づいて 転がした その 石を そして 座っていた の–上に
G3772 G2532 G4334 G0617 G3588 G3037 G2532 G2521 G1883

αὐτοῦ.
その
G0846

3 ἦν δὲ ἡ εἰδέα αὐτοῦ ὡς ἀστραπὴ, καὶ τὸ ἔνδυμα αὐτοῦ
であった そして その 姿は 彼の のように 稲妻 そして その 衣は 彼の
G1510 G1161 G3588 G2397 G0846 G5613 G0796 G2532 G3588 G1742 G0846

λευκὸν ὡς χιών.
白く のように 雪
G3022 G5613 G5510

4 ἀπὸ δὲ τοῦ φόβου αὐτοῦ, ἐσείσθησαν οἱ τηροῦντες, καὶ
から そして その 恐怖の–ゆえに 彼への 震え上がった – 番兵たちは そして
G0575 G1161 G3588 G5401 G0846 G4579 G3588 G5083 G2532

ἐγενήθησαν ὡς νεκροί.
なった のように 死人の
G1096 G5613 G3498

5 ἀποκριθεὶς δὲ, ὁ ἄγγελος εἶπεν ταῖς γυναιξίν, Μὴ φοβεῖσθε
答えて そして – 御使いは 言った – 女たちに 恐れるな 恐れるな
G0611 G1161 G3588 G0032 G3004 G3588 G1135 G3361 G5399

ὑμεῖς; οἶδα γὰρ ὅτι Ἰησοῦν, τὸν ἐσταυρωμένον, ζητεῖτε.
あなたがたは 知っている なぜなら ことを イエスを その 十字架につけられた方を 捜している
G4771 G1492 G1063 G3754 G2424 G3588 G4717 G2212

6 οὐκ ἔστιν ὧδε, ἠγέρθη γὰρ, καθὼς εἶπεν. δεῦτε, ἴδετε
ここには おられない ここに よみがえられた なぜなら 言われた–通りに 言われた 来て 見よ
G3756 G1510 G5602 G1453 G1063 G2531 G3004 G1205 G3708

τὸν τόπον ὅπου ἔκειτο.
その 場所を –が 横たえられていた
G3588 G5117 G3699 G2749

7 καὶ ταχὺ πορευθεῖσαι, εἴπατε τοῖς μαθηταῖς αὐτοῦ, ὅτι Ἠγέρθη ἀπὸ
そして 急いで 行って 伝えよ その 弟子たちに 彼の と よみがえられた から
G2532 G5035 G4198 G3004 G3588 G3101 G0846 G3754 G1453 G0575

τῶν νεκρῶν; καὶ ἰδοὺ, προάγει ὑμᾶς εἰς τὴν Γαλιλαίαν; ἐκεῖ
– 死者の–中 そして 見よ 先に行かれる あなたがたを へ – ガリラヤ そこで
G3588 G3498 G2532 G3708 G4254 G4771 G1519 G3588 G1056 G1563

αὐτὸν ὄψεσθε. ἰδοὺ, εἶπον ὑμῖν.
彼に 会える 見よ 告げた あなたがたに
G0846 G3708 G3708 G3004 G4771

8 καὶ ἀπελθοῦσαι ταχὺ ἀπὸ τοῦ μνημείου, μετὰ φόβου καὶ χαρᾶς
そして 立ち去って 急いで から その 墓 とともに 恐れ と 喜びの
G2532 G0565 G5035 G0575 G3588 G3419 G3326 G5401 G2532 G5479

μεγάλης, ἔδραμον ἀπαγγεῖλαι τοῖς μαθηταῖς αὐτοῦ,
大きな 走って行った 知らせるために その 弟子たちに 彼の
G3173 G5143 G0518 G3588 G3101 G0846

9 <Ὡς 彼女たちが G5613 δὲ そして G1161 ἐπορεύοντο 行っていた G4198 ἀπαγγεῖλαι 知らせるために G0518 τοῖς その G3588 μαθηταῖς 弟子たちに G3101 αὐτοῦ>, 彼の G0846 καὶ すると G2532 ἰδοὺ, 見よ G3708

Ἰησοῦς イエスが G2424 ὑπήντησεν 出会われた G5221 αὐταῖς, 彼女たちに G0846 λέγων, 言われた G3004 Χαίρετε! 喜べ G5463 αἱ – G3588 δὲ そして G1161 προσελθοῦσαι, 近づいて G4334

ἐκράτησαν 抱きついた G2902 αὐτοῦ 彼の G0846 τοὺς その G3588 πόδας, 足に G4228 καὶ そして G2532 προσεκύνησαν ひれ伏した G4352 αὐτῷ. 彼に G0846

10 τότε その時 G5119 λέγει 言われた G3004 αὐταῖς 彼女たちに G0846 ὁ – G3588 Ἰησοῦς, イエスは G2424 Μὴ 恐れるな G3361 φοβεῖσθε. 恐れるな G5399 ὑπάγετε, 行って G5217 ἀπαγγείλατε 知らせよ G0518

τοῖς – G3588 ἀδελφοῖς 兄弟たちに G0080 μου わたしの G1473 ἵνα ために G2443 ἀπέλθωσιν 行くように G0565 εἰς へ G1519 τὴν – G3588 Γαλιλαίαν, ガリラヤ G1056 κἀκεῖ そこで G2546 με わたしに G1473

ὄψονται. 会える G3708

11 Πορευομένων 行く–途中 G4198 δὲ そして G1161 αὐτῶν, 彼女たちの G0846 ἰδού, 見よ G3708 τινες 何人かが G5100 τῆς – G3588 κουστωδίας, 番兵の G2892 ἐλθόντες 来て G2064 εἰς へ G1519

τὴν – G3588 πόλιν, 都に G4172 ἀπήγγειλαν 報告した G0518 τοῖς – G3588 ἀρχιερεῦσιν 祭司長たちに G0749 ἅπαντα すべての G0537 τὰ – G3588 γενόμενα. 起こったことを G1096

12 καὶ そして G2532 συναχθέντες 集まって G4863 μετὰ と–共に G3326 τῶν – G3588 πρεσβυτέρων, 長老たち G4245 συμβούλιόν 相談を G4824 τε して G5037 λαβόντες, 取って G2983

ἀργύρια 銀貨を G0694 ἱκανὰ 多くの G2425 ἔδωκαν 与えた G1325 τοῖς – G3588 στρατιώταις, 兵士たちに G4757

13 λέγοντες, 言って G3004 Εἴπατε 言え G3004 ὅτι と G3754 Οἱ – G3588 μαθηταὶ 弟子たちが G3101 αὐτοῦ, 彼の G0846 νυκτὸς 夜の–間に G3571 ἐλθόντες, 来て G2064 ἔκλεψαν 盗んだ G2813 αὐτὸν, 彼を G0846

ἡμῶν 我々が G1473 κοιμωμένων. 眠っている–間に G2837

14 καὶ そして G2532 ἐὰν もし G1437 ἀκουσθῇ 聞かれたら G0191 τοῦτο これが G3778 ἐπὶ のもとに G1909 τοῦ – G3588 ἡγεμόνος, 総督 G2232 ἡμεῖς 我々が G1473 πείσομεν 説得する G3982 ‹αὐτὸν›, 彼を G0846

καὶ そして G2532 ὑμᾶς あなたがたを G4771 ἀμερίμνους 心配のない者に G0275 ποιήσομεν. する G4160

15 οἱ – G3588 δὲ そして G1161 λαβόντες 受け取って G2983 ‹τὰ› – G3588 ἀργύρια, 銀貨を G0694 ἐποίησαν 行った G4160 ὡς の–通りに G5613 ἐδιδάχθησαν. 教えられた G1321 Καὶ そして G2532

διεφημίσθη 広まった G1310 ὁ この G3588 λόγος 話は G3056 οὗτος この G3778 παρὰ の–間で G3844 Ἰουδαίοις, ユダヤ人たち G2453 μέχρι まで G3360 τῆς – G3588 σήμερον 今日の G4594 ἡμέρας. 日 G2250

16 Οἱ – G3588 δὲ さて G1161 ἕνδεκα 十一人の G1733 μαθηταὶ 弟子たちは G3101 ἐπορεύθησαν 行った G4198 εἰς へ G1519 τὴν – G3588 Γαλιλαίαν, ガリラヤ G1056 εἰς へ G1519 τὸ その G3588

ὄρος 山 G3735 οὗ –に G3757 ἐτάξατο 定められた G5021 αὐτοῖς 彼らに G0846 ὁ – G3588 Ἰησοῦς. イエスが G2424

17 καὶ そして G2532 ἰδόντες 見て G3708 αὐτὸν 彼を G0846 προσεκύνησαν; ひれ伏した G4352 οἱ – G3588 δὲ しかし G1161 ἐδίστασαν. 疑った G1365

18 καὶ そして G2532 προσελθὼν, 近づいて G4334 ὁ – G3588 Ἰησοῦς イエスは G2424 ἐλάλησεν 語られた G2980 αὐτοῖς, 彼らに G0846 λέγων, 言われた G3004 Ἐδόθη 与えられた G1325 μοι わたしに G1473

πᾶσα すべての G3956 ἐξουσία 権威が G1849 ἐν に–おいて G1722 οὐρανῷ 天 G3772 καὶ と G2532 ἐπὶ の–上に G1909 τῆς – G3588 γῆς. 地 G1093

19 πορευθέντες 行って G4198 οὖν, それゆえ G3767 μαθητεύσατε 弟子としなさい G3100 πάντα すべての G3956 τὰ – G3588 ἔθνη, 国々の–民を G1484 βαπτίζοντες バプテスマを–授けつつ G0907

αὐτοὺς 彼らに G0846 εἰς に G1519 τὸ その G3588 ὄνομα 名 G3686 τοῦ –の G3588 Πατρὸς, 父 G3962 καὶ と G2532 τοῦ –の G3588 Υἱοῦ, 子 G5207 καὶ と G2532 τοῦ –の G3588 Ἁγίου 聖なる G0040

Πνεύματος; 御霊 G4151

20 διδάσκοντες 教えつつ G1321 αὐτοὺς 彼らに G0846 τηρεῖν 守るように G5083 πάντα すべての–ことを G3956 ὅσα 何でも G3745 ἐνετειλάμην 命じた G1781 ὑμῖν. あなたがたに G4771 καὶ そして G2532

ἰδοὺ, 見よ G3708 ἐγὼ わたしは G1473 μεθ’ と–共に G3326 ὑμῶν あなたがたの G4771 εἰμι いる G1510 πάσας すべての G3956 τὰς その G3588 ἡμέρας, 日々 G2250 ἕως まで G2193 τῆς – G3588

συντελείας 終わりの G4930 τοῦ – G3588 αἰῶνος. 世の G0165

Mark

Chapter 1

1 Ἀρχὴ τοῦ εὐαγγελίου Ἰησοῦ Χριστοῦ, Υἱοῦ Θεοῦ.
初め –の 福音 イエス キリストの 神の–御子の
G0746 G3588 G2098 G2424 G5547 G5207 G2316

神の子イエス・キリストの福音のはじめ。

2 Καθὼς γέγραπται ἐν τῷ Ἡσαΐᾳ τῷ προφήτῃ, Ἰδοὺ, ἀποστέλλω
ちょうど 書かれている–通り –に – イザヤ –の 預言者に 見よ わたしは–遣わす
G2531 G1125 G1722 G3588 G2268 G3588 G4396 G3708 G0649

τὸν ἄγγελόν μου πρὸ προσώπου σου, ὃς κατασκευάσει τὴν
– 使者を わたしの –の–前に 顔 あなたの その–者が 整える –
G3588 G0032 G1473 G4253 G4383 G4771 G3739 G2680 G3588

ὁδόν σου.
道を あなたの
G3598 G4771

預言者イザヤの書に、「見よ、わたしは使をあなたの先につかわし、あなたの道を整えさせるであろう。

3 φωνὴ βοῶντος ἐν τῇ ἐρήμῳ, Ἑτοιμάσατε τὴν ὁδὸν Κυρίου, εὐθείας
声が 叫ぶ–者の –で – 荒野 備えよ – 道を 主の まっすぐに
G5456 G0994 G1722 G3588 G2048 G2090 G3588 G3598 G2962 G2117

ποιεῖτε τὰς τρίβους αὐτοῦ.
せよ – 小道を 主の
G4160 G3588 G5147 G0846

荒野で呼ばわる者の声がする、『主の道を備えよ、その道筋をまっすぐにせよ』」と書いてあるように、

4 ἐγένετο Ἰωάννης, ὁ βαπτίζων ἐν τῇ ἐρήμῳ, [καὶ]
現れた ヨハネが – バプテスマを–授ける–者として –で – 荒野 そして
G1096 G2491 G3588 G0907 G1722 G3588 G2048 G2532

κηρύσσων βάπτισμα μετανοίας εἰς ἄφεσιν ἁμαρτιῶν.
宣べ伝えていた バプテスマを 悔い改めの –のための 赦し 罪の
G2784 G0908 G3341 G1519 G0859 G0266

バプテスマのヨハネが荒野に現れて、罪のゆるしを得させる悔改めのバプテスマを宣べ伝えていた。

5

καὶ	ἐξεπορεύετο	πρὸς	αὐτὸν	πᾶσα	ἡ	Ἰουδαία	χώρα,	καὶ	οἱ
そして	出て-行った	-へ	彼の-もとに	すべての	-	ユダヤの	地方と	また	-
G2532	G1607	G4314	G0846	G3956	G3588	G2449	G5561	G2532	G3588

Ἱεροσολυμῖται,	πάντες	καὶ	ἐβαπτίζοντο	ὑπ’	αὐτοῦ	ἐν	τῷ
エルサレムの-人々が	皆	そして	バプテスマを-受けていた	-によって	彼	-で	-
G2415	G3956	G2532	G0907	G5259	G0846	G1722	G3588

Ἰορδάνῃ	ποταμῷ,	ἐξομολογούμενοι	τὰς	ἁμαρτίας	αὐτῶν.
ヨルダン	川で	告白しながら	-	罪を	自分たちの
G2446	G4215	G1843	G3588	G0266	G0846

そこで、ユダヤ全土とエルサレムの全住民とが、彼のもとにぞくぞくと出て行って、自分の罪を告白し、ヨルダン川でヨハネからバプテスマを受けた。

6

καὶ	ἦν	ὁ	Ἰωάννης	ἐνδεδυμένος	τρίχας	καμήλου,	καὶ	ζώνην
そして	-であった	-	ヨハネは	身に-まとっていた	毛を	らくだの	また	帯を
G2532	G1510	G3588	G2491	G1746	G2359	G2574	G2532	G2223

δερματίνην	περὶ	τὴν	ὀσφὺν	αὐτοῦ;	καὶ	ἔσθων	ἀκρίδας	καὶ	μέλι	ἄγριον.
革の	-に	-	腰	彼の	そして	食べていた	いなごと	-	蜜を	野生の
G1193	G4012	G3588	G3751	G0846	G2532	G2068	G0200	G2532	G3192	G0066

このヨハネは、らくだの毛ごろもを身にまとい、腰に皮の帯をしめ、いなごと野蜜とを食物としていた。

7

καὶ	ἐκήρυσσεν,	λέγων,	Ἔρχεται	ὁ	ἰσχυρότερός	μου	ὀπίσω
そして	宣べ伝えていた	言って	来られる	-	わたしより-力ある-方が	わたしの	後から
G2532	G2784	G3004	G2064	G3588	G2478	G1473	G3694

μου,	οὗ	οὐκ	εἰμὶ	ἱκανὸς,	κύψας,	λῦσαι	τὸν	ἱμάντα	τῶν
わたしの	その-方の	-ない	わたしは	ふさわしく	かがんで	解く-ことさえ	-	履物の	-
G1473	G3739	G3756	G1510	G2425	G2955	G3089	G3588	G2438	G3588

ὑποδημάτων	αὐτοῦ.
紐を	その-方の
G5266	G0846

彼は宣べ伝えて言った、「わたしよりも力のあるかたが、あとからおいでになる。わたしはかがんで、そのくつのひもを解く値うちもない。

8

ἐγὼ	ἐβάπτισα	ὑμᾶς	ὕδατι;	αὐτὸς	δὲ	βαπτίσει
わたしは	バプテスマを-授けた	あなたがたに	水で	その-方は	しかし	バプテスマを-授ける
G1473	G0907	G4771	G5204	G0846	G1161	G0907

ὑμᾶς	‹ἐν›	Πνεύματι	Ἁγίῳ.
あなたがたに	-で	聖	霊
G4771	G1722	G4151	G0040

わたしは水でバプテスマを授けたが、このかたは、聖霊によってバプテスマをお授けになるであろう」。

9

Καὶ	ἐγένετο	ἐν	ἐκείναις	ταῖς	ἡμέραις,	ἦλθεν	Ἰησοῦς	ἀπὸ	Ναζαρὲτ	τῆς
そして	なった	-に	その	-	日々に	来られた	イエスが	-から	ナザレ	-の
G2532	G1096	G1722	G1565	G3588	G2250	G2064	G2424	G0575	G3478	G3588

Γαλιλαίας,	καὶ	ἐβαπτίσθη	εἰς	τὸν	Ἰορδάνην	ὑπὸ	Ἰωάννου.
ガリラヤの	そして	バプテスマを-受けた	-で	-	ヨルダン川で	-によって	ヨハネから
G1056	G2532	G0907	G1519	G3588	G2446	G5259	G2491

そのころ、イエスはガリラヤのナザレから出てきて、ヨルダン川で、ヨハネからバプテスマをお受けになった。

10 καὶ εὐθὺς ἀναβαίνων ἐκ τοῦ ὕδατος, εἶδεν σχιζομένους τοὺς
そして すぐに 上がって–来ると –から – 水 見た 裂けるのを –
G2532 G2112 G0305 G1537 G3588 G5204 G3708 G4977 G3588

οὐρανοὺς, καὶ τὸ Πνεῦμα ὡς περιστερὰν καταβαῖνον εἰς αὐτόν.
天が そして – 御霊が –のように 鳩 降って–来るのを –の–上に ご自分に
G3772 G2532 G3588 G4151 G5613 G4058 G2597 G1519 G0846

そして、水の中から上がられるとすぐ、天が裂けて、聖霊がはとのように自分に下って来るのを、ごらんになった。

11 καὶ φωνὴ ἐγένετο ἐκ τῶν οὐρανῶν, Σὺ εἶ ὁ Υἱός
そして 声が あった –から – 天 あなたは –である – わたしの–子
G2532 G5456 G1096 G1537 G3588 G3772 G4771 G1510 G3588 G5207

μου, ὁ ἀγαπητός, ἐν σοὶ εὐδόκησα.
わたしの – 愛する–者 –を あなた わたしは–喜ぶ
G1473 G3588 G0027 G1722 G4771 G2106

すると天から声があった、「あなたはわたしの愛する子、わたしの心にかなう者である」。

12 Καὶ εὐθὺς τὸ Πνεῦμα αὐτὸν ἐκβάλλει εἰς τὴν ἔρημον.
そして すぐに – 御霊が 彼を 追いやった –へ – 荒野に
G2532 G2112 G3588 G4151 G0846 G1544 G1519 G3588 G2048

それからすぐに、御霊がイエスを荒野に追いやった。

13 καὶ ἦν ἐν τῇ ἐρήμῳ τεσσεράκοντα ἡμέρας, πειραζόμενος ὑπὸ τοῦ
そして いた –で – 荒野に 四十 日間 誘惑されながら –によって –
G2532 G1510 G1722 G3588 G2048 G5062 G2250 G3985 G5259 G3588

Σατανᾶ, καὶ ἦν μετὰ τῶν θηρίων; καὶ οἱ ἄγγελοι διηκόνουν
サタンに そして いた –と–共に – 野獣たち そして – 御使いたちが 仕えていた
G4567 G2532 G1510 G3326 G3588 G2342 G2532 G3588 G0032 G1247

αὐτῷ.
彼に
G0846

イエスは四十日のあいだ荒野にいて、サタンの試みにあわれた。そして獣もそこにいたが、御使たちはイエスに仕えていた。

14 Καὶ μετὰ τὸ παραδοθῆναι τὸν Ἰωάννην, ἦλθεν ὁ Ἰησοῦς εἰς τὴν
さて –の–後 – 捕らえられた – ヨハネが 来られた – イエスは –へ –
G2532 G3326 G3588 G3860 G3588 G2491 G2064 G3588 G2424 G1519 G3588

Γαλιλαίαν, κηρύσσων τὸ εὐαγγέλιον τοῦ Θεοῦ,
ガリラヤに 宣べ伝えながら – 福音を –の 神の
G1056 G2784 G3588 G2098 G3588 G2316

ヨハネが捕えられた後、イエスはガリラヤに行き、神の福音を宣べ伝えて言われた、

15 καὶ λέγων, ὅτι Πεπλήρωται ὁ καιρὸς, καὶ ἤγγικεν ἡ βασιλεία
そして 言われた – 満ちた – 時が そして 近づいた – 神の–国が
G2532 G3004 G3754 G4137 G3588 G2540 G2532 G1448 G3588 G0932

τοῦ Θεοῦ; μετανοεῖτε, καὶ πιστεύετε ἐν τῷ εὐαγγελίῳ.
–の 神の 悔い改めよ そして 信じなさい –に – 福音を
G3588 G2316 G3340 G2532 G4100 G1722 G3588 G2098

「時は満ちた、神の国は近づいた。悔い改めて福音を信ぜよ」。

16 Καὶ παράγων παρὰ τὴν θάλασσαν τῆς Γαλιλαίας, εἶδεν Σίμωνα
そして 通りながら –のほとりを – ガリラヤの–海 –の ガリラヤの 見た シモンと
G2532 G3855 G3844 G3588 G2281 G3588 G1056 G3708 G4613

καὶ Ἀνδρέαν, τὸν ἀδελφὸν Σίμωνος, ἀμφιβάλλοντας ἐν τῇ θαλάσσῃ;
– アンデレを –の 兄弟 シモンの 網を–打っているのを –で – 海に
G2532 G0406 G3588 G0080 G4613 G0906 G1722 G3588 G2281

ἦσαν γὰρ ἁλιεῖς.
彼らは–であった なぜなら 漁師
G1510 G1063 G0231

さて、イエスはガリラヤの海べを歩いて行かれ、シモンとシモンの兄弟アンデレとが、海で網を打っているのをごらんになった。彼らは漁師であった。

17 καὶ εἶπεν αὐτοῖς ὁ Ἰησοῦς, Δεῦτε ὀπίσω μου, καὶ
そして 言われた 彼らに – イエスは 来なさい –の–後に わたし そうすれば
G2532 G3004 G0846 G3588 G2424 G1205 G3694 G1473 G2532

ποιήσω ὑμᾶς γενέσθαι ἁλιεῖς ἀνθρώπων.
わたしが–する あなたがたを なるように 漁る–者に 人を
G4160 G4771 G1096 G0231 G0444

イエスは彼らに言われた、「わたしについてきなさい。あなたがたを、人間をとる漁師にしてあげよう」。

18 καὶ εὐθὺς, ἀφέντες τὰ δίκτυα, ἠκολούθησαν αὐτῷ.
すると すぐに 捨てて – 網を 従った 彼に
G2532 G2112 G0863 G3588 G1350 G0190 G0846

すると、彼らはすぐに網を捨てて、イエスに従った。

19 Καὶ προβὰς ὀλίγον, εἶδεν Ἰάκωβον τὸν τοῦ Ζεβεδαίου, καὶ Ἰωάννην
そして 少し–進んで 行くと 見た ヤコブと –の–子 –の ゼベダイ また ヨハネを
G2532 G4260 G3641 G3708 G2385 G3588 G3588 G2199 G2532 G2491

τὸν ἀδελφὸν αὐτοῦ, καὶ αὐτοὺς ἐν τῷ πλοίῳ καταρτίζοντας τὰ
–の 兄弟 彼の そして 彼らが –で – 舟の–中で 繕っているのを –
G3588 G0080 G0846 G2532 G0846 G1722 G3588 G4143 G2675 G3588

δίκτυα.
網を
G1350

また少し進んで行かれると、ゼベダイの子ヤコブとその兄弟ヨハネとが、舟の中で網を繕っているのをごらんになった。

20 καὶ εὐθὺς ἐκάλεσεν αὐτούς; καὶ ἀφέντες τὸν πατέρα αὐτῶν Ζεβεδαῖον
そして すぐに 呼ばれた 彼らを すると 残して – 父 自分たちの ゼベダイを
G2532 G2112 G2564 G0846 G2532 G0863 G3588 G3962 G0846 G2199

ἐν τῷ πλοίῳ μετὰ τῶν μισθωτῶν, ἀπῆλθον ὀπίσω αὐτοῦ.
–に – 舟の–中に –と–共に – 雇い人たちと 行った –の–後に 彼
G1722 G3588 G4143 G3326 G3588 G3411 G0565 G3694 G0846

そこで、すぐ彼らをお招きになると、父ゼベダイを雇人たちと一緒に舟において、イエスのあとについて行った。

21 Καὶ εἰσπορεύονται εἰς Καφαρναούμ; καὶ εὐθὺς τοῖς σάββασιν, εἰσελθὼν
そして 入って-行く -に カペナウムに そして すぐに -の 安息日に 入って
G2532 G1531 G1519 G2584 G2532 G2112 G3588 G4521 G1525

εἰς τὴν συναγωγὴν, ἐδίδασκεν.
-に - 会堂に 教えていた
G1519 G3588 G4864 G1321

それから、彼らはカペナウムに行った。そして安息日にすぐ、イエスは会堂にはいって教えられた。

22 καὶ ἐξεπλήσσοντο ἐπὶ τῇ διδαχῇ αὐτοῦ; ἦν γὰρ διδάσκων
そして 驚いた -に - その-教えに 彼の -であった なぜなら 教えていた
G2532 G1605 G1909 G3588 G1322 G0846 G1510 G1063 G1321

αὐτοὺς ὡς ἐξουσίαν ἔχων, καὶ οὐχ ὡς οἱ γραμματεῖς.
彼らに -のように 権威を 持つ-者 そして -ない -のようでは - 律法学者たち
G0846 G5613 G1849 G2192 G2532 G3756 G5613 G3588 G1122

人々は、その教に驚いた。律法学者たちのようにではなく、権威ある者のように、教えられたからである。

23 Καὶ εὐθὺς ἦν ἐν τῇ συναγωγῇ αὐτῶν ἄνθρωπος ἐν
ちょうど-その-時 すぐに いた -に - 会堂 彼らの ひとりの-人が -に-つかれた
G2532 G2112 G1510 G1722 G3588 G4864 G0846 G0444 G1722

πνεύματι ἀκαθάρτῳ, καὶ ἀνέκραξεν,
霊 汚れた そして 叫んだ
G4151 G0169 G2532 G0349

ちょうどその時、けがれた霊につかれた者が会堂にいて、叫んで言った、

24 λέγων, Τί ἡμῖν καὶ σοί, Ἰησοῦ Ναζαρηνέ? ἦλθες
言って 何の-関わりが-あるのか 私たちに と あなたに イエスよ ナザレの 来たのか
G3004 G5101 G1473 G2532 G4771 G2424 G3479 G2064

ἀπολέσαι ἡμᾶς? οἶδά σε τίς εἶ, ὁ Ἅγιος τοῦ Θεοῦ!
滅ぼしに 私たちを 知っている あなたが 誰で-あるか - - 聖なる -の 神の-者よ
G0622 G1473 G1492 G4771 G5101 G1510 G3588 G0040 G3588 G2316

「ナザレのイエスよ、あなたはわたしたちとなんの係わりがあるのです。わたしたちを滅ぼしにこられたのですか。あなたがどなたであるか、わかっています。神の聖者です」。

25 καὶ ἐπετίμησεν αὐτῷ ὁ Ἰησοῦς, ‹λέγων›, Φιμώθητι, καὶ ἔξελθε ἐξ
すると しかった それに - イエスは 言って 黙れ そして 出て-行け -から
G2532 G2008 G0846 G3588 G2424 G3004 G5392 G2532 G1831 G1537

αὐτοῦ!
この-人から
G0846

イエスはこれをしかって、「黙れ、この人から出て行け」と言われた。

26 καὶ σπαράξαν αὐτὸν, τὸ πνεῦμα τὸ ἀκάθαρτον, καὶ φωνῆσαν
すると 引きつけさせて その-人を - 霊 - 汚れた-霊は そして 大声で-叫んで
G2532 G4682 G0846 G3588 G4151 G3588 G0169 G2532 G5455

φωνῇ μεγάλῃ, ἐξῆλθεν ἐξ αὐτοῦ.
声を-上げて 大きな 出て-行った -から その-人から
G5456 G3173 G1831 G1537 G0846

すると、けがれた霊は彼をひきつけさせ、大声をあげて、その人から出て行った。

27 καὶ そして G2532 | ἐθαμβήθησαν 驚いた G2284 | ἅπαντες, 皆が G0537 | ὥστε それで G5620 | συζητεῖν 論じ合った G4802 | ‹πρὸς› -に G4314 | ἑαυτοὺς, 互い G1438 | λέγοντας, 言って G3004 | Τί 何だ G5101

ἐστιν -であるか G1510 | τοῦτο これは G3778 | διδαχὴ 教え G1322 | καινή? 新しい G2537 | κατ’ -に-よって G2596 | ἐξουσίαν, 権威 G1849 | καὶ そして G2532 | τοῖς -に G3588 | πνεύμασι 霊 G4151 | τοῖς - G3588

ἀκαθάρτοις 汚れた G0169 | ἐπιτάσσει, 命じると G2004 | καὶ - G2532 | ὑπακούουσιν 従う G5219 | αὐτῷ! 彼に G0846

人々はみな驚きのあまり、互に論じて言った、「これは、いったい何事か。権威ある新しい教だ。けがれた霊にさえ命じられると、彼らは従うのだ」。

28 καὶ そして G2532 | ἐξῆλθεν 広まった G1831 | ἡ - G3588 | ἀκοὴ 評判が G0189 | αὐτοῦ 彼の G0846 | εὐθὺς, すぐに G2112 | πανταχοῦ 至る-所に G3837 | εἰς -へ G1519 | ὅλην 全 G3650 | τὴν - G3588 | περίχωρον 周辺の-地方 G4066

τῆς -の G3588 | Γαλιλαίας. ガリラヤの G1056

こうしてイエスのうわさは、たちまちガリラヤの全地方、いたる所にひろまった。

29 Καὶ そして G2532 | εὐθὺς, すぐに G2112 | ἐκ -から G1537 | τῆς - G3588 | συναγωγῆς 会堂 G4864 | ἐξελθόντες, 出て G1831 | ἦλθον 行った G2064 | εἰς -の G1519 | τὴν - G3588 | οἰκίαν 家に G3614

Σίμωνος シモンと G4613 | καὶ - G2532 | Ἀνδρέου, アンデレの G0406 | μετὰ -と-共に G3326 | Ἰακώβου ヤコブ G2385 | καὶ と G2532 | Ἰωάννου. ヨハネ G2491

それから会堂を出るとすぐ、ヤコブとヨハネとを連れて、シモンとアンデレとの家にはいって行かれた。

30 ἡ ところが G3588 | δὲ - G1161 | πενθερὰ しゅうとめが G3994 | Σίμωνος シモンの G4613 | κατέκειτο 寝ていた G2621 | πυρέσσουσα. 熱を-出して G4445 | καὶ そこで G2532 | εὐθὺς すぐに G2112 | λέγουσιν 話した G3004

αὐτῷ 彼に G0846 | περὶ -について G4012 | αὐτῆς. 彼女 G0846

ところが、シモンのしゅうとめが熱病で床についていたので、人々はさっそく、そのことをイエスに知らせた。

31 καὶ すると G2532 | προσελθὼν, 近づいて G4334 | ἤγειρεν 起こした G1453 | αὐτὴν, 彼女を G0846 | κρατήσας 手を-取って G2902 | τῆς -の G3588 | χειρός. 手を G5495 | καὶ すると G2532 | ἀφῆκεν 去った G0863

αὐτὴν 彼女から G0846 | ὁ - G3588 | πυρετός, 熱が G4446 | καὶ そして G2532 | διηκόνει もてなしていた G1247 | αὐτοῖς. 彼らを G0846

イエスは近寄り、その手をとって起されると、熱が引き、女は彼らをもてなした。

32 Ὀψίας δὲ γενομένης, ὅτε ἔδυ ὁ ἥλιος, ἔφερον πρὸς αὐτὸν
夕方に そして なると –のとき 沈んだ – 日が 連れて–来た –へ 彼の–もとに
G3798 G1161 G1096 G3753 G1416 G3588 G2246 G5342 G4314 G0846

πάντας τοὺς κακῶς ἔχοντας, καὶ τοὺς δαιμονιζομένους.
すべての – 病んでいる 人たちを また – 悪霊に–つかれた–人たちを
G3956 G3588 G2560 G2192 G2532 G3588 G1139

夕暮になり日が沈むと、人々は病人や悪霊につかれた者をみな、イエスのところに連れてきた。

33 καὶ ἦν ὅλη ἡ πόλις ἐπισυνηγμένη πρὸς τὴν θύραν.
そして –であった 全 – 町が 集まっていた –の–前に – 戸口に
G2532 G1510 G3650 G3588 G4172 G1996 G4314 G3588 G2374

こうして、町中の者が戸口に集まった。

34 καὶ ἐθεράπευσεν πολλοὺς κακῶς ἔχοντας ποικίλαις νόσοις, καὶ δαιμόνια
そして 癒した 多くの 病んでいる 人たちを さまざまな 病気の また 悪霊を
G2532 G2323 G4183 G2560 G2192 G4164 G3554 G2532 G1140

πολλὰ ἐξέβαλεν. καὶ οὐκ ἤφιεν λαλεῖν τὰ δαιμόνια, ὅτι
多く 追い出した そして –ない 許さなかった 語ることを – 悪霊たちに なぜなら
G4183 G1544 G2532 G3756 G0863 G2980 G3588 G1140 G3754

ᾔδεισαν αὐτόν (Χριστὸν εἶναι).
知っていたから 彼を キリスト であると
G1492 G0846 G5547 G1510

イエスは、さまざまの病をわずらっている多くの人々をいやし、また多くの悪霊を追い出された。また、悪霊どもに、物言うことをお許しにならなかった。彼らがイエスを知っていたからである。

35 Καὶ πρωΐ, ἔννυχα λίαν, ἀναστὰς, ἐξῆλθεν καὶ ἀπῆλθεν εἰς
そして 朝早く まだ–暗い–うちに 非常に 起きて 出て–行った そして 行った –に
G2532 G4404 G1773 G3029 G0450 G1831 G2532 G0565 G1519

ἔρημον τόπον, κἀκεῖ προσηύχετο.
寂しい 場所に そこで 祈っていた
G2048 G5117 G2546 G4336

朝はやく、夜の明けるよほど前に、イエスは起きて寂しい所へ出て行き、そこで祈っておられた。

36 καὶ κατεδίωξεν αὐτὸν Σίμων, καὶ οἱ – μετ’ αὐτοῦ;
そして 追いかけた 彼を シモンと – – –と–共にいる 彼の–者たちが
G2532 G2614 G0846 G4613 G2532 G3588 G3326 G0846

すると、シモンとその仲間とが、あとを追ってきた。

37 καὶ εὗρον αὐτὸν, καὶ λέγουσιν αὐτῷ, ὅτι Πάντες ζητοῦσίν σε!
そして 見つけて 彼に そして 言った 彼に – みんなが 探しています あなたを
G2532 G2147 G0846 G2532 G3004 G0846 G3754 G3956 G2212 G4771

そしてイエスを見つけて、「みんなが、あなたを捜しています」と言った。

38 καὶ λέγει αὐτοῖς, Ἄγωμεν ἀλλαχοῦ εἰς τὰς ἐχομένας κωμοπόλεις, ἵνα
すると 言われた 彼らに 行こう ほかの –へ –の 近くの 町々に –ために
G2532 G3004 G0846 G0071 G0237 G1519 G3588 G2192 G2969 G2443

καὶ ἐκεῖ κηρύξω; εἰς τοῦτο γὰρ ἐξῆλθον.
そこでも – 宣べ伝える –のために この–ため こそ わたしは–出て–来たのだ
G2532 G1563 G2784 G1519 G3778 G1063 G1831

イエスは彼らに言われた、「ほかの、附近の町々にみんなで行って、そこでも教を宣べ伝えよう。わたしはこのために出てきたのだから」。

39

καὶ	ἦλθεν,	κηρύσσων	εἰς	τὰς	συναγωγὰς	αὐτῶν,	εἰς	ὅλην	τὴν
そして	行かれた	宣べ伝えながら	–で	–	会堂	彼らの	–の	全	–
G2532	G2064	G2784	G1519	G3588	G4864	G0846	G1519	G3650	G3588

Γαλιλαίαν,	καὶ	τὰ	δαιμόνια	ἐκβάλλων.
ガリラヤ中で	そして	–	悪霊を	追い出していた
G1056	G2532	G3588	G1140	G1544

そして、ガリラヤ全地を巡りあるいて、諸会堂で教を宣べ伝え、また悪霊を追い出された。

40

Καὶ	ἔρχεται	πρὸς	αὐτὸν	λεπρὸς,	παρακαλῶν	αὐτὸν	καὶ
すると	来た	–の–もとに	彼	ツァラアトの–人が	懇願して	彼に	そして
G2532	G2064	G4314	G0846	G3015	G3870	G0846	G2532

γονυπετῶν,	[καὶ]	λέγων	αὐτῷ,	ὅτι	Ἐὰν	θέλῃς,	δύνασαί	με
ひざまずいて	そして	言った	彼に	–	もし	望まれるなら	できます	わたしを
G1120	G2532	G3004	G0846	G3754	G1437	G2309	G1410	G1473

καθαρίσαι.
清くすることが
G2511

ひとりのらい病人が、イエスのところに願いにきて、ひざまずいて言った、「みこころでしたら、きよめていただけるのですが」。

41

καὶ	σπλαγχνισθεὶς,	ἐκτείνας	τὴν	χεῖρα	αὐτοῦ,	ἥψατο,	καὶ	λέγει	αὐτῷ,
すると	深く–あわれんで	伸ばして	–	手を	ご自分の	触れた	そして	言われた	彼に
G2532	G4697	G1614	G3588	G5495	G0846	G0680	G2532	G3004	G0846

Θέλω,	καθαρίσθητι.
わたしは–望む	清くなれ
G2309	G2511

イエスは深くあわれみ、手を伸ばして彼にさわり、「そうしてあげよう、きよくなれ」と言われた。

42

καὶ	εὐθὺς	ἀπῆλθεν	ἀπ’	αὐτοῦ	ἡ	λέπρα,	καὶ	ἐκαθαρίσθη.
すると	すぐに	去った	–から	彼	–	ツァラアトが	そして	清くなった
G2532	G2112	G0565	G0575	G0846	G3588	G3014	G2532	G2511

すると、らい病が直ちに去って、その人はきよくなった。

43

καὶ	ἐμβριμησάμενος	αὐτῷ,	εὐθὺς	ἐξέβαλεν	αὐτόν,
そして	厳しく–戒めて	彼に	すぐに	送り出した	彼を
G2532	G1690	G0846	G2112	G1544	G0846

イエスは彼をきびしく戒めて、すぐにそこを去らせ、こう言い聞かせられた、

44

καὶ	λέγει	αὐτῷ,	Ὅρα	μηδενὶ	μηδὲν	εἴπῃς.	ἀλλὰ	ὕπαγε,	σεαυτὸν
そして	言われた	彼に	気をつけよ	誰にも	何も	言うな	しかし	行って	自分自身を
G2532	G3004	G0846	G3708	G3367	G3367	G3004	G0235	G5217	G4572

δεῖξον	τῷ	ἱερεῖ,	καὶ	προσένεγκε	περὶ	τοῦ	καθαρισμοῦ	σου,	ἃ
見せよ	–に	祭司に	そして	ささげよ	–のための	–	清めの	あなたの	–を
G1166	G3588	G2409	G2532	G4374	G4012	G3588	G2512	G4771	G3739

προσέταξεν	Μωϋσῆς,	εἰς	μαρτύριον	αὐτοῖς.
命じた–ものを	モーセが	–のための	証しとして	人々への
G4367	G3475	G1519	G3142	G0846

「何も人に話さないように、注意しなさい。ただ行って、自分のからだを祭司に見せ、それから、モーセが命じた物をあなたのきよめのためにささげて、人々に証明しなさい」。

45 ὁ しかし G3588 δὲ – G1161 ἐξελθὼν, 出て-行くと G1831 ἤρξατο 始めた G0756 κηρύσσειν 広く-宣べ伝え G2784 πολλὰ 多くを G4183 καὶ また G2532 διαφημίζειν 言い広めることを G1310 τὸν – G3588 λόγον, この-ことを G3056 ὥστε それで G5620 μηκέτι もはや G3371 αὐτὸν 彼が G0846 δύνασθαι できなく-なった G1410 φανερῶς 公に G5320 εἰς -に G1519 πόλιν 町 G4172 εἰσελθεῖν; 入ることが G1525 ἀλλ’ むしろ G0235 ἔξω 外の G1854 ἐπ’ -の G1909 ἐρήμοις 人里-離れた G2048 τόποις 場所に G5117 ἦν, いた G1510 καὶ それでも G2532 ἤρχοντο 来ていた G2064 πρὸς -の-もとに G4314 αὐτὸν 彼 G0846 πάντοθεν. 四方から G3840

しかし、彼は出て行って、自分の身に起ったことを盛んに語り、また言いひろめはじめたので、イエスはもはや表立っては町に、はいることができなくなり、外の寂しい所にとどまっておられた。しかし、人々は方々から、イエスのところにぞくぞくと集まってきた。

Chapter 2

1 Καὶ そして G2532 εἰσελθὼν 入って G1525 πάλιν 再び G3825 εἰς -に G1519 Καφαρναοὺμ カペナウムに G2584 δι’ -の-後 G1223 ἡμερῶν; 数日 G2250 ἠκούσθη 聞かれた G0191 ὅτι -と G3754 ἐν -の G1722 οἴκῳ 家に G3624 ἐστίν; いると G1510

幾日かたって、イエスがまたカペナウムにお帰りになったとき、家におられるというううわさが立ったので、

2 καὶ すると G2532 συνήχθησαν 集まった G4863 πολλοὶ, 多くの-人が G4183 ὥστε それで G5620 μηκέτι もはや G3371 χωρεῖν, 入りきれないほど G5562 μηδὲ -も-ない G3366 τὰ – G3588 πρὸς -の G4314 τὴν – G3588 θύραν; 戸口にさえ G2374 καὶ そして G2532 ἐλάλει 語っていた G2980 αὐτοῖς 彼らに G0846 τὸν – G3588 λόγον. 御言葉を G3056

多くの人々が集まってきて、もはや戸口のあたりまでも、すきまが無いほどになった。そして、イエスは御言を彼らに語っておられた。

3 καὶ すると G2532 ἔρχονται, 来た G2064 φέροντες 運んで G5342 πρὸς -の-もとに G4314 αὐτὸν 彼 G0846 παραλυτικὸν, 中風の-人を G3885 αἰρόμενον 担がれた G0142 ὑπὸ -によって G5259 τεσσάρων. 四人に G5064

すると、人々がひとりの中風の者を四人の人に運ばせて、イエスのところに連れてきた。

4 καὶ μὴ δυνάμενοι προσενέγκαι αὐτῷ διὰ τὸν ὄχλον, ἀπεστέγασαν
しかし –ない できなかった 近づけることが 彼に –のために – 群衆 剥がした
G2532 G3361 G1410 G4374 G0846 G1223 G3588 G3793 G0648

τὴν στέγην ὅπου ἦν, καὶ ἐξορύξαντες, χαλῶσι τὸν κράβαττον ὅπου ὁ
– 屋根を –の いる そして 穴を–開けて 降ろした – 寝床を –に –
G3588 G4721 G3699 G1510 G2532 G1846 G5465 G3588 G2895 G3699 G3588

παραλυτικὸς κατέκειτο.
中風の–人が 横たわっている
G3885 G2621

ところが、群衆のために近寄ることができないので、イエスのおられるあたりの屋根をはぎ、穴をあけて、中風の者を寝かせたまま、床をつりおろした。

5 καὶ ἰδὼν ὁ Ἰησοῦς τὴν πίστιν αὐτῶν, λέγει τῷ παραλυτικῷ,
すると 見て – イエスは – 信仰を 彼らの 言われた –の 中風の–人に
G2532 G3708 G3588 G2424 G3588 G4102 G0846 G3004 G3588 G3885

Τέκνον, ἀφίενταί σου αἱ ἁμαρτίαι.
子よ 赦される あなたの – 罪が
G5043 G0863 G4771 G3588 G0266

イエスは彼らの信仰を見て、中風の者に、「子よ、あなたの罪はゆるされた」と言われた。

6 ἦσαν δέ τινες τῶν γραμματέων ἐκεῖ καθήμενοι, καὶ διαλογιζόμενοι
いた ところが ある –の 律法学者たちが そこに 座って – 心の–中で–考えていた
G1510 G1161 G5100 G3588 G1122 G1563 G2521 G2532 G1260

ἐν ταῖς καρδίαις αὐτῶν,
–に – 心 自分たちの
G1722 G3588 G2588 G0846

ところが、そこに幾人かの律法学者がすわっていて、心の中で論じた、

7 Τί οὗτος οὕτως λαλεῖ? βλασφημεῖ! τίς δύναται ἀφιέναι ἁμαρτίας,
なぜ この–者は このように 語るのか 冒涜だ 誰が できるのか 赦すことが 罪を
G5101 G3778 G3779 G2980 G0987 G5101 G1410 G0863 G0266

εἰ μὴ εἷς, ὁ Θεός?
–のほか –ない 唯一の – 神
G1487 G3361 G1520 G3588 G2316

「この人は、なぜあんなことを言うのか。それは神をけがすことだ。神ひとりのほかに、だれが罪をゆるすことができるか」。

8 καὶ εὐθὺς, ἐπιγνοὺς ὁ Ἰησοῦς τῷ πνεύματι αὐτοῦ, ὅτι οὕτως
すると すぐに 見抜いて – イエスは –の 霊で ご自分の –と このように
G2532 G2112 G1921 G3588 G2424 G3588 G4151 G0846 G3754 G3779

διαλογίζονται ἐν ἑαυτοῖς, λέγει αὐτοῖς, Τί ταῦτα διαλογίζεσθε
論じていることを –の–中で 自分たち 言われた 彼らに なぜ このようなことを 論じるのか
G1260 G1722 G1438 G3004 G0846 G5101 G3778 G1260

ἐν ταῖς καρδίαις ὑμῶν?
–の–中で – 心 あなたがたの
G1722 G3588 G2588 G4771

イエスは、彼らが内心このように論じているのを、自分の心ですぐ見ぬいて、「なぜ、あなたがたは心の中でそんなことを論じているのか。

9

τί	ἐστιν	εὐκοπώτερον,	εἰπεῖν	τῷ	παραλυτικῷ,	Ἀφίενταί	σου	αἱ	ἁμαρτίαι,
どちらが	–であるか	易しい	言うことと	–に	中風の–人に	赦された	あなたの	–	罪は
G5101	G1510	G2123	G3004	G3588	G3885	G0863	G4771	G3588	G0266

ἢ	εἰπεῖν,	Ἔγειρε,	καὶ	ἆρον	τὸν	κράβαττόν	σου,	καὶ	περιπάτει?
それとも	言うこと	起きよ	そして	取り上げよ	–	寝床を	あなたの	そして	歩け
G2228	G3004	G1453	G2532	G0142	G3588	G2895	G4771	G2532	G4043

中風の者に、あなたの罪はゆるされた、と言うのと、起きよ、床を取りあげて歩け、と言うのと、どちらがたやすいか。

10

ἵνα	δὲ	εἰδῆτε	ὅτι	ἐξουσίαν	ἔχει	ὁ	Υἱὸς	τοῦ	ἀνθρώπου
–ために	しかし	知るように	–	権威を	持つことを	–	人の–子が	–の	人
G2443	G1161	G1492	G3754	G1849	G2192	G3588	G5207	G3588	G0444

«ἀφιέναι	ἁμαρτίας»	«ἐπὶ	τῆς	γῆς»--	λέγει	τῷ	παραλυτικῷ,	
赦す	罪を	–の–上で	–	地	言われた	–に	中風の–人に	
G0863	G0266	G1909	G3588	G1093	G3004	G3588	G3885	

しかし、人の子は地上で罪をゆるす権威をもっていることが、あなたがたにわかるために」と彼らに言い、中風の者にむかって、

11

Σοὶ	λέγω,	ἔγειρε,	ἆρον	τὸν	κράβαττόν	σου,	καὶ	ὕπαγε	εἰς
あなたに	言う	起きよ	取り上げよ	–	寝床を	あなたの	そして	帰りなさい	–へ
G4771	G3004	G1453	G0142	G3588	G2895	G4771	G2532	G5217	G1519

τὸν	οἶκόν	σου.	
–の	家	あなたの	
G3588	G3624	G4771	

「あなたに命じる。起きよ、床を取りあげて家に帰れ」と言われた。

12

καὶ	ἠγέρθη	καὶ	εὐθὺς,	ἄρας	τὸν	κράβαττον,	ἐξῆλθεν	ἔμπροσθεν	
すると	起き上がった	そして	すぐに	取り上げて	–	寝床を	出て–行った	–の–前を	
G2532	G1453	G2532	G2112	G0142	G3588	G2895	G1831	G1715	

πάντων,	ὥστε	ἐξίστασθαι	πάντας,	καὶ	δοξάζειν	τὸν	Θεὸν,	λέγοντας,	ὅτι	
皆	それで	驚いた	皆が	そして	ほめたたえた	–	神を	言って	–	
G3956	G5620	G1839	G3956	G2532	G1392	G3588	G2316	G3004	G3754	

Οὕτως	οὐδέποτε	εἴδομεν.
このようなことは	一度も–なかった	見たことが
G3779	G3763	G3708

すると彼は起きあがり、すぐに床を取りあげて、みんなの前を出て行ったので、一同は大いに驚き、神をあがめて、「こんな事は、まだ一度も見たことがない」と言った。

13

Καὶ	ἐξῆλθεν	πάλιν	παρὰ	τὴν	θάλασσαν,	καὶ	πᾶς	ὁ	ὄχλος
そして	出て–行かれた	再び	–の–ほとりに	–	海	すると	すべての	–	群衆が
G2532	G1831	G3825	G3844	G3588	G2281	G2532	G3956	G3588	G3793

ἤρχετο	πρὸς	αὐτόν,	καὶ	ἐδίδασκεν	αὐτούς.
来ていた	–の–もとに	彼	そして	教えていた	彼らを
G2064	G4314	G0846	G2532	G1321	G0846

イエスはまた海べに出て行かれると、多くの人々がみもとに集まってきたので、彼らを教えられた。

14 καὶ παράγων, εἶδεν Λευὶν τὸν τοῦ Ἁλφαίου, καθήμενον ἐπὶ τὸ
そして 通りながら 見た レビを –の–子 –の アルパヨの 座っているのを –の –
G2532 G3855 G3708 G3018 G3588 G3588 G0256 G2521 G1909 G3588

τελώνιον, καὶ λέγει αὐτῷ, Ἀκολούθει μοι. καὶ ἀναστὰς,
収税所に そして 言われた 彼に わたしに–従いなさい わたしに すると 立ち上がって
G5058 G2532 G3004 G0846 G0190 G1473 G2532 G0450

ἠκολούθησεν αὐτῷ.
従った 彼に
G0190 G0846

また途中で、アルパヨの子レビが収税所にすわっているのをごらんになって、「わたしに従ってきなさい」と言われた。すると彼は立ちあがって、イエスに従った。

15 Καὶ γίνεται κατακεῖσθαι αὐτὸν ἐν τῇ οἰκίᾳ αὐτοῦ, καὶ πολλοὶ
そして なった 食卓に–ついていると 彼が –の – 家で 彼の そして 多くの
G2532 G1096 G2621 G0846 G1722 G3588 G3614 G0846 G2532 G4183

τελῶναι καὶ ἁμαρτωλοὶ συνανέκειντο τῷ Ἰησοῦ καὶ τοῖς μαθηταῖς
取税人たちと – 罪人たちが 共に–食卓に–ついていた –と イエス そして –の 弟子たち
G5057 G2532 G0268 G4873 G3588 G2424 G2532 G3588 G3101

αὐτοῦ; ἦσαν γὰρ πολλοὶ, καὶ ἠκολούθουν αὐτῷ.
彼の いたからである なぜなら 多くの–者が – 従っていた 彼に
G0846 G1510 G1063 G4183 G2532 G0190 G0846

それから彼の家で、食事の席についておられたときのことである。多くの取税人や罪人たちも、イエスや弟子たちと共にその席に着いていた。こんな人たちが大ぜいいて、イエスに従ってきたのである。

16 καὶ οἱ γραμματεῖς, τῶν Φαρισαίων, ἰδόντες ὅτι ἐσθίει μετὰ
すると – 律法学者たちが –の パリサイ人の 見て – 食べていることを –と–共に
G2532 G3588 G1122 G3588 G5330 G3708 G3754 G2068 G3326

τῶν ἁμαρτωλῶν καὶ τελωνῶν, ἔλεγον τοῖς μαθηταῖς αὐτοῦ, Ὅτι μετὰ τῶν
– 罪人たちや – 取税人たち 言った –に 弟子たち 彼の なぜ –と–共に –
G3588 G0268 G2532 G5057 G3004 G3588 G3101 G0846 G3754 G3326 G3588

τελωνῶν καὶ ἁμαρτωλῶν ἐσθίει?
取税人たち や 罪人たちと 食べるのか
G5057 G2532 G0268 G2068

パリサイ派の律法学者たちは、イエスが罪人や取税人たちと食事を共にしておられるのを見て、弟子たちに言った、「なぜ、彼は取税人や罪人などと食事を共にするのか」。

17 καὶ ἀκούσας, ὁ Ἰησοῦς λέγει αὐτοῖς, ‹ὅτι› Οὐ χρείαν ἔχουσιν οἱ
すると 聞いて – イエスは 言われた 彼らに – –ない 必要 –は–ない –
G2532 G0191 G3588 G2424 G3004 G0846 G3754 G3756 G5532 G2192 G3588

ἰσχύοντες ἰατροῦ, ἀλλ’ οἱ κακῶς ἔχοντες. οὐκ ἦλθον καλέσαι
健やかな–者に 医者は むしろ – 病んで いる–者にこそ –ない わたしは–来た 招くために
G2480 G2395 G0235 G3588 G2560 G2192 G3756 G2064 G2564

δικαίους, ἀλλὰ ἁμαρτωλούς.
正しい–者を–では むしろ 罪人を
G1342 G0235 G0268

イエスはこれを聞いて言われた、「丈夫な人には医者はいらない。いるのは病人である。わたしがきたのは、義人を招くためではなく、罪人を招くためである」。

18 Καὶ ところで G2532 ἦσαν いた G1510 οἱ – G3588 μαθηταὶ 弟子たちと G3101 Ἰωάννου ヨハネの G2491 καὶ また G2532 οἱ – G3588 Φαρισαῖοι パリサイ人たちが G5330 νηστεύοντες. 断食していた G3522

καὶ そこで G2532 ἔρχονται 来て G2064 καὶ – G2532 λέγουσιν 言った G3004 αὐτῷ, 彼に G0846 Διὰ なぜ G1223 τί – G5101 οἱ – G3588 μαθηταὶ 弟子たちや G3101 Ἰωάννου, ヨハネの G2491 καὶ また G2532

οἱ – G3588 μαθηταὶ 弟子たちは G3101 τῶν –の G3588 Φαρισαίων, パリサイ人の G5330 νηστεύουσιν, 断食するのに G3522 οἱ – G3588 δὲ – G1161 σοὶ あなたの G4674 μαθηταὶ 弟子たちは G3101 οὐ –ない G3756

νηστεύουσιν? 断食しないのか G3522

ヨハネの弟子とパリサイ人とは、断食をしていた。そこで人々がきて、イエスに言った、「ヨハネの弟子たちとパリサイ人の弟子たちとが断食をしているのに、あなたの弟子たちは、なぜ断食をしないのですか」。

19 καὶ すると G2532 εἶπεν 言われた G3004 αὐτοῖς 彼らに G0846 ὁ – G3588 Ἰησοῦς, イエスは G2424 Μὴ –できるか G3361 δύνανται –だろうか G1410 οἱ – G3588 υἱοὶ 花婿の–友人たちが G5207

τοῦ –の G3588 νυμφῶνος, 婚礼の–部屋 G3567 ἐν –に G1722 ᾧ – G3739 ὁ – G3588 νυμφίος 花婿が G3566 μετ’ –と–共に G3326 αὐτῶν 彼ら G0846 ἐστιν, いる–間は G1510 νηστεύειν? 断食する G3522

ὅσον –の–限り G3745 χρόνον 時 G5550 ἔχουσιν いる G2192 τὸν –を G3588 νυμφίον 花婿 G3566 μετ’ –と–共に G3326 αὐτῶν, 彼ら G0846 οὐ –できない G3756 δύνανται –のだ G1410

νηστεύειν. 断食する–ことは G3522

するとイエスは言われた、「婚礼の客は、花婿が一緒にいるのに、断食ができるであろうか。花婿と一緒にいる間は、断食はできない。

20 ἐλεύσονται 来る G2064 δὲ しかし G1161 ἡμέραι 日が G2250 ὅταν –のとき G3752 ἀπαρθῇ 取り去られる G0522 ἀπ’ –から G0575 αὐτῶν 彼ら G0846 ὁ – G3588 νυμφίος, 花婿が G3566

καὶ その–とき G2532 τότε – G5119 νηστεύσουσιν 断食する G3522 ἐν –の G1722 ἐκείνῃ その G1565 τῇ – G3588 ἡμέρᾳ. 日に G2250

しかし、花婿が奪い去られる日が来る。その日には断食をするであろう。

21 Οὐδεὶς 誰も G3762 ἐπίβλημα 継ぎ布を G1915 ῥάκους 布きれの G4470 ἀγνάφου 縮んでいない G0046 ἐπιράπτει 縫い–つけない G1976 ἐπὶ –に G1909 ἱμάτιον 衣 G2440 παλαιόν; 古い G3820 εἰ もし G1487

δὲ – G1161 μή そうすれば G3361 αἴρει 引き裂く G0142 τὸ – G3588 πλήρωμα 当て布が G4138 ἀπ’ –から G0575 αὐτοῦ, それ G0846 τὸ – G3588 καινὸν 新しいものが G2537 τοῦ –から G3588

παλαιοῦ, 古い G3820 καὶ そして G2532 χεῖρον もっと–ひどい G5501 σχίσμα 破れが G4978 γίνεται. できる G1096

だれも、真新しい布ぎれを、古い着物に縫いつけはしない。もしそうすれば、新しいつぎは古い着物を引き破り、そして、破れがもっとひどくなる。

22	καὶ	οὐδεὶς	βάλλει	οἶνον	νέον	εἰς	ἀσκοὺς	παλαιούς;	εἰ	δὲ
また	誰も	入れない	ぶどう酒を	新しい	–に	革袋	古い	もし	–
G2532	G3762	G0906	G3631	G3501	G1519	G0779	G3820	G1487	G1161

μή,	ῥήξει	ὁ	οἶνος	τοὺς	ἀσκούς,	καὶ	ὁ	οἶνος	ἀπόλλυται,
そうすれば	破る	–	ぶどう酒が	–	革袋を	そして	–	ぶどう酒も	だめになる
G3361	G4486	G3588	G3631	G3588	G0779	G2532	G3588	G3631	G0622

καὶ	οἱ	ἀσκοί.	ἀλλὰ	οἶνον	νέον	εἰς	ἀσκοὺς	καινούς.
–	–	革袋も	むしろ	ぶどう酒は	新しい	–に	革袋	新しい
G2532	G3588	G0779	G0235	G3631	G3501	G1519	G0779	G2537

まただれも、新しいぶどう酒を古い皮袋に入れはしない。もしそうすれば、ぶどう酒は皮袋をはり裂き、そして、ぶどう酒も皮袋もむだになってしまう。〔だから、新しいぶどう酒は新しい皮袋に入れるべきである〕」。

23	Καὶ	ἐγένετο,	αὐτὸν	ἐν	τοῖς	σάββασιν	παραπορεύεσθαι	διὰ	τῶν
そして	起こった	彼が	–の	–	安息日に	通って–行くと	–を–通って	–
G2532	G1096	G0846	G1722	G3588	G4521	G3899	G1223	G3588

σπορίμων,	καὶ	οἱ	μαθηταὶ	αὐτοῦ	ἤρξαντο	ὁδὸν	ποιεῖν,	τίλλοντες	τοὺς
麦畑	すると	–	弟子たちが	彼の	始めた	道を	進みながら	摘んで	–
G4702	G2532	G3588	G3101	G0846	G0756	G3598	G4160	G5089	G3588

στάχυας.

穂を
G4719

ある安息日に、イエスは麦畑の中をとおって行かれた。そのとき弟子たちが、歩きながら穂をつみはじめた。

24	καὶ	οἱ	Φαρισαῖοι	ἔλεγον	αὐτῷ,	Ἴδε,	τί	ποιοῦσιν	τοῖς	σάββασιν
すると	–	パリサイ人たちが	言った	彼に	見よ	なぜ	しているのか	–の	安息日に
G2532	G3588	G5330	G3004	G0846	G3708	G5101	G4160	G3588	G4521

ὃ	οὐκ	ἔξεστιν?
–	許されないことを	–
G3739	G3756	G1832

すると、パリサイ人たちがイエスに言った、「いったい、彼らはなぜ、安息日にしてはならぬことをするのですか」。

25	καὶ	λέγει	αὐτοῖς,	Οὐδέποτε	ἀνέγνωτε	τί	ἐποίησεν	Δαυὶδ,	ὅτε
すると	言われた	彼らに	一度も–ないのか	読んだことが	何を	したか	ダビデが	–のとき
G2532	G3004	G0846	G3763	G0314	G5101	G4160	G1138	G3753

χρείαν	ἔσχεν	καὶ	ἐπείνασεν,	αὐτὸς	καὶ	οἱ	μετ’	αὐτοῦ?
必要に–なって	–	また	飢えた–とき	彼–自身と	–	–	–と–共にいる	彼の–者たちが
G5532	G2192	G2532	G3983	G0846	G2532	G3588	G3326	G0846

そこで彼らに言われた、「あなたがたは、ダビデとその供の者たちとが食物がなくて飢えたとき、ダビデが何をしたか、まだ読んだことがないのか。

26 πῶς εἰσῆλθεν εἰς τὸν οἶκον τοῦ Θεοῦ ἐπὶ Ἀβιαθὰρ ἀρχιερέως,
どのように 入った –に – 神の–家に –の 神の –の–時に アビアタル 大祭司の
G4459 G1525 G1519 G3588 G3624 G3588 G2316 G1909 G0008 G0749

καὶ τοὺς ἄρτους τῆς προθέσεως ἔφαγεν, οὓς οὐκ ἔξεστιν
そして – 供え–の–パンを – 供え物の 食べた それは 許されていない –
G2532 G3588 G0740 G3588 G4286 G5315 G3739 G3756 G1832

φαγεῖν, εἰ μὴ τοὺς ἱερεῖς. καὶ ἔδωκεν καὶ τοῖς σὺν
食べることは –の–ほか –ない – 祭司たち しかも 与えた – –に –と–共にいる
G5315 G1487 G3361 G3588 G2409 G2532 G1325 G2532 G3588 G4862

αὐτῷ οὖσιν?
彼 者たちにも
G0846 G1510

すなわち、大祭司アビアタルの時、神の家にはいって、祭司たちのほか食べてはならぬ供えのパンを、自分も食べ、また供の者たちにも与えたではないか」。

27 καὶ ἔλεγεν αὐτοῖς, Τὸ σάββατον διὰ τὸν ἄνθρωπον ἐγένετο,
そして 言われた 彼らに – 安息日は –の–ために – 人 造られた
G2532 G3004 G0846 G3588 G4521 G1223 G3588 G0444 G1096

καὶ οὐχ ὁ ἄνθρωπος διὰ τὸ σάββατον.
–であって –ない – 人が –の–ために – 安息日の–ために
G2532 G3756 G3588 G0444 G1223 G3588 G4521

また彼らに言われた、「安息日は人のためにあるもので、人が安息日のためにあるのではない。

28 ὥστε κύριός ἐστιν ὁ Υἱὸς τοῦ ἀνθρώπου καὶ τοῦ σαββάτου.
だから 主 –である – 人の–子は –の 人 –にも –の 安息日の
G5620 G2962 G1510 G3588 G5207 G3588 G0444 G2532 G3588 G4521

それだから、人の子は、安息日にもまた主なのである」。

Chapter 3

1 Καὶ εἰσῆλθεν πάλιν εἰς [τὴν] συναγωγήν, καὶ ἦν ἐκεῖ ἄνθρωπος,
そして 入った 再び ~に その 会堂–に そして いた そこに 人–が
G2532 G1525 G3825 G1519 G3588 G4864 G2532 G1510 G1563 G0444

ἐξηραμμένην ἔχων τὴν χεῖρα,
萎えた 持つ その 手–を
G3583 G2192 G3588 G5495

イエスがまた会堂にはいられると、そこに片手のなえた人がいた。

2 καὶ παρετήρουν αὐτὸν, εἰ τοῖς σάββασιν θεραπεύσει αὐτόν, ἵνα
そして 注視していた 彼–を ~かどうか その 安息日–に 癒す–か 彼–を ~ために
G2532 G3906 G0846 G1487 G3588 G4521 G2323 G0846 G2443

κατηγορήσωσιν αὐτοῦ.
訴える–ことが–できる–ように 彼–を
G2723 G0846

人々はイエスを訴えようと思って、安息日にその人をいやされるかどうかをうかがっていた。

3 καὶ λέγει τῷ ἀνθρώπῳ τῷ τὴν «χεῖρα ἔχοντι» ξηράν, Ἔγειρε
そして 言う その 人–に その (その) 手–を 持つ 萎えた 立ち上がれ
G2532 G3004 G3588 G0444 G3588 G3588 G5495 G2192 G3584 G1453

εἰς τὸ μέσον.
~の–中–へ その 真ん中–に
G1519 G3588 G3319

すると、イエスは片手のなえたその人に、「立って、中へ出てきなさい」と言い、

4 καὶ λέγει αὐτοῖς, Ἔξεστιν τοῖς σάββασιν ἀγαθὸν ποιῆσαι, ἢ
そして 言う 彼ら–に 許されている–か その 安息日–に 善–を–する–ことが それとも
G2532 G3004 G0846 G1832 G3588 G4521 G0015 G2228

κακοποιῆσαι? ψυχὴν σῶσαι, ἢ ἀποκτεῖναι? οἱ δὲ ἐσιώπων.
悪–を–する–ことが 命–を 救う–ことか それとも 殺す–ことか (彼らは) しかし 黙っていた
G2554 G5590 G4982 G2228 G0615 G3588 G1161 G4623

人々にむかって、「安息日に善を行うのと悪を行うのと、命を救うのと殺すのと、どちらがよいか」と言われた。彼らは黙っていた。

5 καὶ περιβλεψάμενος αὐτοὺς μετ’ ὀργῆς, συλλυπούμενος ἐπὶ τῇ
そして 見回して 彼ら–を ~と–共に 怒り–を 悲しみながら ~の–ゆえに その
G2532 G4017 G0846 G3326 G3709 G4818 G1909 G3588

πωρώσει τῆς καρδίας αὐτῶν, λέγει τῷ ἀνθρώπῳ, Ἔκτεινον τὴν χεῖρα
頑なさ–を (~の) 心–の 彼ら–の 言う その 人–に 伸ばせ その 手–を
G4457 G3588 G2588 G0846 G3004 G3588 G0444 G1614 G3588 G5495

(σου). καὶ ἐξέτεινεν, καὶ ἀπεκατεστάθη ἡ χεὶρ αὐτοῦ.
あなた–の すると 伸ばした そして 回復した その 手–は 彼–の
G4771 G2532 G1614 G2532 G0600 G3588 G5495 G0846

イエスは怒りを含んで彼らを見まわし、その心のかたくななのを嘆いて、その人に「手を伸ばしなさい」と言われた。そこで手を伸ばすと、その手は元どおりになった。

6 καὶ ἐξελθόντες, οἱ Φαρισαῖοι εὐθὺς μετὰ τῶν Ἡρῳδιανῶν
そして 出て行って (その) パリサイ人–たちは すぐに ~と (~の) ヘロデ党–の–者たち–と
G2532 G1831 G3588 G5330 G2112 G3326 G3588 G2265

συμβούλιον ἐδίδουν κατ’ αὐτοῦ, ὅπως αὐτὸν ἀπολέσωσιν.
相談–を していた ~に–対して 彼–の ~するため 彼–を 滅ぼそう–と
G4824 G1325 G2596 G0846 G3704 G0846 G0622

パリサイ人たちは出て行って、すぐにヘロデ党の者たちと、なんとかしてイエスを殺そうと相談しはじめた。

7 Καὶ ὁ Ἰησοῦς, μετὰ τῶν μαθητῶν αὐτοῦ, ἀνεχώρησεν πρὸς τὴν
そして (その) イエス–は ~と–共に (~の) 弟子–たち 彼–の 退いた ~へ その
G2532 G3588 G2424 G3326 G3588 G3101 G0846 G0402 G4314 G3588

θάλασσαν; καὶ πολὺ πλῆθος ἀπὸ τῆς Γαλιλαίας ἠκολούθησεν, καὶ ἀπὸ
海–の–方–へ すると 大きな 群衆–が ~から (~の) ガリラヤ–から 従った また ~から
G2281 G2532 G4183 G4128 G0575 G3588 G1056 G0190 G2532 G0575

τῆς Ἰουδαίας,
(~の) ユダヤ–から
G3588 G2449

それから、イエスは弟子たちと共に海べに退かれたが、ガリラヤからきたおびただしい群衆がついて行った。またユダヤから、

8 καὶ ἀπὸ Ἰεροσολύμων, καὶ ἀπὸ τῆς Ἰδουμαίας, καὶ πέραν τοῦ
また ~から エルサレム–から また ~から (~の) イドマヤ–から また ~の–向こう (~の)
G2532 G0575 G2414 G2532 G0575 G3588 G2401 G2532 G4008 G3588

Ἰορδάνου, καὶ περὶ Τύρον καὶ Σιδῶνα. πλῆθος πολύ, ἀκούοντες
ヨルダン–川–の また ~の–周り ツロ と シドン–から 群衆–が 大勢 聞いて
G2446 G2532 G4012 G5184 G2532 G4605 G4128 G4183 G0191

ὅσα ἐποίει, ἦλθον πρὸς αὐτόν.
どれほど 行っている–かを 来た ~の–もと–に 彼–の
G3745 G4160 G2064 G4314 G0846

エルサレムから、イドマヤから、更にヨルダンの向こうから、ツロ、シドンのあたりからも、おびただしい群衆が、そのなさっていることを聞いて、みもとにきた。

9 καὶ εἶπεν τοῖς μαθηταῖς αὐτοῦ, ἵνα πλοιάριον προσκαρτερῇ
そして 言った (~の) 弟子–たち–に 彼–の ~するよう 小舟–が 待機する–ように
G2532 G3004 G3588 G3101 G0846 G2443 G4142 G4342

αὐτῷ, διὰ τὸν ὄχλον, ἵνα μὴ θλίβωσιν αὐτόν.
彼–の–ため–に ~の–ため (~の) 群衆–の ~しないよう ~しない 押しつぶさ–ない–ように 彼–を
G0846 G1223 G3588 G3793 G2443 G3361 G2346 G0846

イエスは群衆が自分に押し迫るのを避けるために、小舟を用意しておけと、弟子たちに命じられた。

10 πολλοὺς γὰρ ἐθεράπευσεν, ὥστε ἐπιπίπτειν αὐτῷ, ἵνα αὐτοῦ
多く–の–者–を なぜなら 癒した–ので ~ほどに 殺到した 彼–に ~するため 彼–に
G4183 G1063 G2323 G5620 G1968 G0846 G2443 G0846

ἅψωνται, ὅσοι εἶχον μάστιγας;
触ろう–と ~する–すべて–の 持っていた 病い–を
G0680 G3745 G2192 G3148

それは、多くの人をいやされたので、病苦に悩む者は皆イエスにさわろうとして、押し寄せてきたからである。

11 καὶ τὰ πνεύματα τὰ ἀκάθαρτα, ὅταν αὐτὸν ἐθεώρουν, προσέπιπτον
すると (~の) 霊–たちは (~の) 汚れた ~する–とき 彼–を 見ると ひれ伏した
G2532 G3588 G4151 G3588 G0169 G3752 G0846 G2334 G4363

αὐτῷ, καὶ ἔκραζον, λέγοντα, ὅτι Σὺ εἶ ὁ Υἱὸς τοῦ Θεοῦ.
彼–に そして 叫んだ 言って (~と) あなた–は ~です (~の) 御子 (~の) 神–の
G0846 G2532 G2896 G3004 G3754 G4771 G1510 G3588 G5207 G3588 G2316

また、けがれた霊どもはイエスを見るごとに、みまえにひれ伏し、叫んで、「あなたこそ神の子です」と言った。

12 καὶ πολλὰ ἐπετίμα αὐτοῖς, ἵνα μὴ αὐτὸν φανερὸν ποιήσωσιν.
そして 強く 戒めた 彼ら–を ~しないよう ~しない 彼–を 知らせ ~ないように
G2532 G4183 G2008 G0846 G2443 G3361 G0846 G5318 G4160

イエスは御自身のことを人にあらわさないようにと、彼らをきびしく戒められた。

13 Καὶ ἀναβαίνει εἰς τὸ ὄρος, καὶ προσκαλεῖται οὓς ἤθελεν αὐτός;
そして 登る ~へ その 山–に そして 呼び寄せる ~する–者–を 望んだ 自ら
G2532 G0305 G1519 G3588 G3735 G2532 G4341 G3739 G2309 G0846

καὶ ἀπῆλθον πρὸς αὐτόν.
すると 行った ~の–もと–に 彼–の
G2532 G0565 G4314 G0846

さてイエスは山に登り、みこころにかなった者たちを呼び寄せられたので、彼らはみもとにきた。

14

καὶ	ἐποίησεν	δώδεκα	[οὓς,	καὶ	ἀποστόλους	ὠνόμασεν],	ἵνα
そして	任命した	十二-人-を	それら-を	また	使徒-と	名づけた	~するため
G2532	G4160	G1427	G3739	G2532	G0652	G3687	G2443

ὦσιν	μετ’	αὐτοῦ,	καὶ	ἵνα	ἀποστέλλῃ	αὐτοὺς	κηρύσσειν,
いる-ように	~と	彼-と-共-に	また	~するため	遣わす-ため	彼ら-を	宣べ伝える-ために
G1510	G3326	G0846	G2532	G2443	G0649	G0846	G2784

そこで十二人をお立てになった。彼らを自分のそばに置くためであり、さらに宣教につかわし、

15

καὶ	ἔχειν	ἐξουσίαν	ἐκβάλλειν	τὰ	δαιμόνια.
また	持つ-ように	権威-を	追い出す	(~の)	悪霊-たち-を
G2532	G2192	G1849	G1544	G3588	G1140

また悪霊を追い出す権威を持たせるためであった。

16

καὶ	ἐποίησεν	τοὺς	δώδεκα;	καὶ	ἐπέθηκεν	ὄνομα	τῷ	Σίμωνι:	Πέτρον;
そして	任命した	(~の)	十二-人-を	そして	つけた	名-を	(~の)	シモン-に	ペテロ-と
G2532	G4160	G3588	G1427	G2532	G2007	G3686	G3588	G4613	G4074

こうして、この十二人をお立てになった。そしてシモンにペテロという名をつけ、

17

καὶ	Ἰάκωβον	τὸν	τοῦ	Ζεβεδαίου,	καὶ	Ἰωάννην	τὸν	ἀδελφὸν	τοῦ
また	ヤコブ	(~の)	(~の)	ゼベダイ-の	また	ヨハネ	(~の)	兄弟	(~の)
G2532	G2385	G3588	G3588	G2199	G2532	G2491	G3588	G0080	G3588

Ἰακώβου;	καὶ	ἐπέθηκεν	αὐτοῖς	ὀνόματα	Βοανηργές,	ὅ	ἐστιν,	Υἱοὶ
ヤコブ-の	そして	つけた	彼ら-に	名-を	ボアネルゲ	それ-は	~である	雷-の
G2385	G2532	G2007	G0846	G3686	G0993	G3739	G1510	G5207

Βροντῆς;
子-ら
G1027

またゼベダイの子ヤコブと、ヤコブの兄弟ヨハネ、彼らにはボアネルゲ、すなわち、雷の子という名をつけられた。

18

καὶ	Ἀνδρέαν,	καὶ	Φίλιππον,	καὶ	Βαρθολομαῖον,	καὶ	Ματθαῖον,	καὶ	Θωμᾶν,
また	アンデレ	また	ピリポ	また	バルトロマイ	また	マタイ	また	トマス
G2532	G0406	G2532	G5376	G2532	G0918	G2532	G3156	G2532	G2381

καὶ	Ἰάκωβον	τὸν	τοῦ	Ἁλφαίου,	καὶ	Θαδδαῖον,	καὶ	Σίμωνα	τὸν
また	ヤコブ	(~の)	(~の)	アルパヨ-の	また	タダイ	また	シモン	(~の)
G2532	G2385	G3588	G3588	G0256	G2532	G2280	G2532	G4613	G3588

Καναναῖον,
カナン人-の
G2581

つぎにアンデレ、ピリポ、バルトロマイ、マタイ、トマス、アルパヨの子ヤコブ、タダイ、熱心党のシモン、

19

καὶ	Ἰούδαν	Ἰσκαριώθ,	ὃς	καὶ	παρέδωκεν	αὐτόν.
また	ユダ	イスカリオテ	彼-は	また	裏切った	彼-を
G2532	G2455	G2469	G3739	G2532	G3860	G0846

それからイスカリオテのユダ。このユダがイエスを裏切ったのである。イエスが家にはいられると、

20 Καὶ ἔρχεται εἰς οἶκον, καὶ συνέρχεται πάλιν ὁ ὄχλος, ὥστε μὴ
そして 来る ~に 家–に すると 集まった 再び (~の) 群衆–が ~ほどに ~ない
G2532 G2064 G1519 G3624 G2532 G4905 G3825 G3588 G3793 G5620 G3361

δύνασθαι αὐτοὺς μηδὲ ἄρτον φαγεῖν.
~できない 彼ら–は ~さえも パン–を 食べること–が
G1410 G0846 G3366 G0740 G5315

群衆がまた集まってきたので、一同は食事をする暇もないほどであった。

21 καὶ ἀκούσαντες, οἱ παρ’ αὐτοῦ ἐξῆλθον κρατῆσαι αὐτόν;
そして 聞いて (~の) (~の) 彼–の–身内–の者–が 出て行った 捕らえ–ようと 彼–を
G2532 G0191 G3588 G3844 G0846 G1831 G2902 G0846

ἔλεγον γὰρ, ὅτι ἐξέστη.
言っていた なぜなら (~と) 気が狂っている–と
G3004 G1063 G3754 G1839

身内の者たちはこの事を聞いて、イエスを取押えに出てきた。気が狂ったと思ったからである。

22 καὶ οἱ γραμματεῖς, οἱ ἀπὸ Ἱεροσολύμων καταβάντες, ἔλεγον, ὅτι
また (~の) 律法学者–たちは (~の) ~から エルサレム–から 下って–来た 言っていた (~と)
G2532 G3588 G1122 G3588 G0575 G2414 G2597 G3004 G3754

Βεελζεβοὺλ ἔχει; καὶ ὅτι ἐν τῷ ἄρχοντι τῶν δαιμονίων
ベルゼブル–に 取り憑かれている また (~と) ~によって (~の) 支配者–の (~の) 悪霊–たち–の
G0954 G2192 G2532 G3754 G1722 G3588 G0758 G3588 G1140

ἐκβάλλει τὰ δαιμόνια.
追い出している (~の) 悪霊–たち–を
G1544 G3588 G1140

また、エルサレムから下ってきた律法学者たちも、「彼はベルゼブルにとりつかれている」と言い、「悪霊どものかしらによって、悪霊どもを追い出しているのだ」とも言った。

23 καὶ προσκαλεσάμενος αὐτοὺς, ἐν παραβολαῖς ἔλεγεν αὐτοῖς, Πῶς
そして 呼び寄せて 彼ら–を ~で たとえ–で 話した 彼ら–に どうして
G2532 G4341 G0846 G1722 G3850 G3004 G0846 G4459

δύναται Σατανᾶς Σατανᾶν ἐκβάλλειν?
~できよう–か サタン–が サタン–を 追い出す–ことが
G1410 G4567 G4567 G1544

そこでイエスは彼らを呼び寄せ、譬をもって言われた、「どうして、サタンがサタンを追い出すことができようか。

24 καὶ ἐὰν βασιλεία ἐφ’ ἑαυτὴν μερισθῇ, οὐ δύναται σταθῆναι
もし ~ならば 王国–が ~に–対して 自ら–を 分裂する–なら ~ない ~できない 立つ–ことが
G2532 G1437 G0932 G1909 G1438 G3307 G3756 G1410 G2476

ἡ βασιλεία ἐκείνη.
その 王国–は その
G3588 G0932 G1565

もし国が内部で分れ争うなら、その国は立ち行かない。

25 καὶ ἐὰν οἰκία ἐφ’ ἑαυτὴν μερισθῇ, οὐ δυνήσεται ἡ οἰκία
もし ~ならば 家–が ~に–対して 自ら–を 分裂する–なら ~ない ~できない その 家–は
G2532 G1437 G3614 G1909 G1438 G3307 G3756 G1410 G3588 G3614

ἐκείνη σταθῆναι.
その 立つ–ことが
G1565 G2476

また、もし家が内わで分れ争うなら、その家は立ち行かないであろう。

26

καὶ	εἰ	ὁ	Σατανᾶς	ἀνέστη	ἐφ’	ἑαυτὸν	καὶ	ἐμερίσθη,
もし	~ならば	(~の)	サタン–が	立ち上がって	~に–対して	自ら–を	そして	分裂した–なら
G2532	G1487	G3588	G4567	G0450	G1909	G1438	G2532	G3307

οὐ	δύναται	στῆναι,	ἀλλὰ	τέλος	ἔχει.
~ない	~できない	立つ–ことが	むしろ	終わり–を	迎える
G3756	G1410	G2476	G0235	G5056	G2192

もしサタンが内部で対立し分争するなら、彼は立ち行けず、滅んでしまう。

27

ἀλλ’	οὐ	δύναται	οὐδεὶς,	εἰς	τὴν	οἰκίαν	τοῦ	ἰσχυροῦ,	εἰσελθὼν,
しかし	~ない	~できない	誰–も	~の–中–へ	(~の)	家–に	(~の)	強い–者–の	入って
G0235	G3756	G1410	G3762	G1519	G3588	G3614	G3588	G2478	G1525

τὰ	σκεύη	αὐτοῦ	διαρπάσαι,	ἐὰν	μὴ	πρῶτον	τὸν	ἰσχυρὸν
(~の)	持ち物–を	彼–の	奪い取る–ことは	~しない–限り	~ない	まず	(~の)	強い–者–を
G3588	G4632	G0846	G1283	G1437	G3361	G4412	G3588	G2478

δήσῃ.	καὶ	τότε	τὴν	οἰκίαν	αὐτοῦ	διαρπάσει.
縛ら–ない–限り	そう–すれば	その–とき	(~の)	家–を	彼–の	略奪できる
G1210	G2532	G5119	G3588	G3614	G0846	G1283

だれでも、まず強い人を縛りあげなければ、その人の家に押し入って家財を奪い取ることはできない。縛ってからはじめて、その家を略奪することができる。

28

Ἀμὴν	λέγω	ὑμῖν,	ὅτι	πάντα	ἀφεθήσεται	τοῖς	υἱοῖς	τῶν
まことに	言う	あなたがた–に	(~と)	すべて–の	赦される	(~の)	子ら–に	(~の)
G0281	G3004	G4771	G3754	G3956	G0863	G3588	G5207	G3588

ἀνθρώπων,	τὰ	ἁμαρτήματα	καὶ	αἱ	βλασφημίαι,	ὅσα	ἐὰν	βλασφημήσωσιν.
人–の	(~の)	罪–も	また	(~の)	冒涜–も	いかに	~しても	冒涜しても
G0444	G3588	G0265	G2532	G3588	G0988	G3745	G1437	G0987

よく言い聞かせておくが、人の子らには、その犯すすべての罪も神をけがす言葉も、ゆるされる。

29

ὃς	δ’	ἂν	βλασφημήσῃ	εἰς	τὸ	Πνεῦμα	τὸ	Ἅγιον,	οὐκ
しかし	(~する)	~する–者–は	冒涜する–なら	~に–対して	(~の)	御霊	(~の)	聖なる	~ない
G3739	G1161	G0302	G0987	G1519	G3588	G4151	G3588	G0040	G3756

ἔχει	ἄφεσιν	εἰς	τὸν	αἰῶνα,	ἀλλὰ	ἔνοχός	ἐστιν	αἰωνίου	ἁμαρτήματος--
持たない	赦し–を	~の–中–で	(~の)	永遠–に	むしろ	有罪–で	ある	永遠–の	罪–の
G2192	G0859	G1519	G3588	G0165	G0235	G1777	G1510	G0166	G0265

しかし、聖霊をけがす者は、いつまでもゆるされず、永遠の罪に定められる」。

30

ὅτι	ἔλεγον,	Πνεῦμα	ἀκάθαρτον	ἔχει.
なぜなら	言っていた–から	霊	汚れた	持っている–と
G3754	G3004	G4151	G0169	G2192

そう言われたのは、彼らが「イエスはけがれた霊につかれている」と言っていたからである。

31

Καὶ	ἔρχονται	ἡ	μήτηρ	αὐτοῦ,	καὶ	οἱ	ἀδελφοὶ	αὐτοῦ,	καὶ	ἔξω
すると	来る	(~の)	母–と	彼–の	また	(~の)	兄弟–たち–が	彼–の	そして	外–に
G2532	G2064	G3588	G3384	G0846	G2532	G3588	G0080	G0846	G2532	G1854

στήκοντες,	ἀπέστειλαν	πρὸς	αὐτὸν,	καλοῦντες	αὐτόν.
立って	送った	~の–もと–に	彼–の	呼んで	彼–を
G4739	G0649	G4314	G0846	G2564	G0846

さて、イエスの母と兄弟たちとがきて、外に立ち、人をやってイエスを呼ばせた。

32 καὶ そして G2532 | ἐκάθητο 座っていた G2521 | περὶ ~の-周り-に G4012 | αὐτὸν 彼 G0846 | ὄχλος. 群衆-が G3793 | καὶ すると G2532 | λέγουσιν 言う G3004 | αὐτῷ, 彼-に G0846 | Ἰδοὺ, 見よ G3708 | ἡ (~の) G3588 | μήτηρ 母上-と G3384 | σου, あなた-の G4771 | καὶ また G2532 | οἱ (~の) G3588 | ἀδελφοί 兄弟-たちと G0080 | σου, あなた-の G4771 | καὶ また G2532 | αἱ (~の) G3588 | ἀδελφαί 姉妹-たち-が G0079 | σου, あなた-の G4771 | ἔξω 外-で G1854 | ζητοῦσίν 探しています G2212 | σε. あなた-を G4771

ときに、群衆はイエスを囲んですわっていたが、「ごらんなさい。あなたの母上と兄弟、姉妹たちが、外であなたを尋ねておられます」と言った。

33 καὶ すると G2532 | ἀποκριθεὶς 答えて G0611 | αὐτοῖς, 彼ら-に G0846 | λέγει, 言う G3004 | Τίς 誰-が G5101 | ἐστιν ~です-か G1510 | ἡ (~の) G3588 | μήτηρ 母 G3384 | μου, わたし-の G1473 | καὶ また G2532 | οἱ (~の) G3588 | ἀδελφοί 兄弟-たちは G0080 | ‹μου›? わたし-の G1473

すると、イエスは彼らに答えて言われた、「わたしの母、わたしの兄弟とは、だれのことか」。

34 καὶ そして G2532 | περιβλεψάμενος 見回して G4017 | τοὺς (~の) G3588 | περὶ ~の-周り-に G4012 | αὐτὸν 彼 G0846 | κύκλῳ 輪になって G2945 | καθημένους, 座っている-者-たちを G2521 | λέγει, 言う G3004 | Ἴδε, 見よ G3708 | ἡ (~の) G3588 | μήτηρ 母 G3384 | μου, わたし-の G1473 | καὶ また G2532 | οἱ (~の) G3588 | ἀδελφοί 兄弟-たちは G0080 | μου! わたし-の G1473

そして、自分をとりかこんで、すわっている人々を見まわして、言われた、「ごらんなさい、ここにわたしの母、わたしの兄弟がいる。

35 ὃς (~する) G3739 | ‹γὰρ› なぜなら G1063 | ἂν ~する-者-は G0302 | ποιήσῃ 行う-なら G4160 | τὸ (~の) G3588 | θέλημα 御心-を G2307 | τοῦ (~の) G3588 | Θεοῦ, 神-の G2316 | οὗτος その-者-が G3778 | ἀδελφός 兄弟 G0080 | μου, わたし-の G1473 | καὶ また G2532 | ἀδελφὴ, 姉妹 G0079 | καὶ また G2532 | μήτηρ 母 G3384 | ἐστίν. である G1510

神のみこころを行う者はだれでも、わたしの兄弟、また姉妹、また母なのである」。

Chapter 4

1

Καὶ	πάλιν,	ἤρξατο	διδάσκειν	παρὰ	τὴν	θάλασσαν.	καὶ	συνάγεται
そして	再び	始めた	教える–ことを	~のそばで	(~の)	海–の	すると	集まった
G2532	G3825	G0756	G1321	G3844	G3588	G2281	G2532	G4863

πρὸς	αὐτὸν	ὄχλος	πλεῖστος,	ὥστε	αὐτὸν	εἰς	πλοῖον	ἐμβάντα,
~の–もと–に	彼	群衆–が	非常に–大きな	~ほどに	彼–は	~の–中–へ	舟–に	乗り込んで
G4314	G0846	G3793	G4118	G5620	G0846	G1519	G4143	G1684

καθῆσθαι	ἐν	τῇ	θαλάσσῃ,	καὶ	πᾶς	ὁ	ὄχλος	πρὸς	τὴν
座った	~の–上–に	(~の)	海–の	そして	すべて–の	(~の)	群衆–は	~に–面して	(~の)
G2521	G1722	G3588	G2281	G2532	G3956	G3588	G3793	G4314	G3588

θάλασσαν,	ἐπὶ	τῆς	γῆς	ἦσαν.
海–に	~の–上–に	(~の)	地–に	いた
G2281	G1909	G3588	G1093	G1510

イエスはまたも、海べで教えはじめられた。おびただしい群衆がみもとに集まったので、イエスは舟に乗ってすわったまま、海上におられ、群衆はみな海に沿って陸地にいた。

2

καὶ	ἐδίδασκεν	αὐτοὺς	ἐν	παραβολαῖς	πολλά,	καὶ	ἔλεγεν	αὐτοῖς,
そして	教えていた	彼ら–を	~で	たとえ–で	多く–の–こと–を	そして	言った	彼ら–に
G2532	G1321	G0846	G1722	G3850	G4183	G2532	G3004	G0846

ἐν	τῇ	διδαχῇ	αὐτοῦ,
~の中–で	(~の)	教え–の	彼–の
G1722	G3588	G1322	G0846

イエスは譬で多くの事を教えられたが、その教の中で彼らにこう言われた、

3

Ἀκούετε!	ἰδοὺ,	ἐξῆλθεν	ὁ	σπείρων	σπεῖραι.
聞きなさい	見よ	出て行った	(~の)	種–蒔く–者–が	蒔く–ために
G0191	G3708	G1831	G3588	G4687	G4687

「聞きなさい、種まきが種をまきに出て行った。

4

καὶ	ἐγένετο	ἐν	τῷ	σπείρειν,	ὃ	μὲν	ἔπεσεν	παρὰ	τὴν
すると	起こった	~の–際–に	(~の)	蒔く–とき	ある–もの–は	(一方)	落ちた	~の–そば–に	(~の)
G2532	G1096	G1722	G3588	G4687	G3739	G3303	G4098	G3844	G3588

ὁδόν,	καὶ	ἦλθεν	τὰ	πετεινὰ,	καὶ	κατέφαγεν	αὐτό.
道–の	すると	来た	(~の)	鳥–たち–が	そして	食い尽くした	それ–を
G3598	G2532	G2064	G3588	G4071	G2532	G2719	G0846

まいているうちに、道ばたに落ちた種があった。すると、鳥がきて食べてしまった。

5

καὶ	ἄλλο	ἔπεσεν	ἐπὶ	τὸ	πετρῶδες,	(καὶ)	ὅπου	οὐκ
また	別–の–もの–は	落ちた	~の–上–に	(~の)	岩地–に	(そして)	~する–ところ	~ない
G2532	G0243	G4098	G1909	G3588	G4075	G2532	G3699	G3756

εἶχεν	γῆν	πολλήν,	καὶ	εὐθὺς	ἐξανέτειλεν,	διὰ	τὸ	μὴ	ἔχειν
持たない	土–を	多く–の	そして	すぐに	芽を出した	~の–ゆえに	(~の)	~ない	持た–ない
G2192	G1093	G4183	G2532	G2112	G1816	G1223	G3588	G3361	G2192

βάθος	γῆς.
深さ–を	土–の
G0899	G1093

ほかの種は土の薄い石地に落ちた。そこは土が深くないので、すぐ芽を出したが、

6 καὶ そして G2532 | ὅτε ~した–とき G3753 | ἀνέτειλεν 昇った G0393 | ὁ (~の) G3588 | ἥλιος, 太陽–が G2246 | ἐκαυματίσθη, 焼かれた G2739 | καὶ そして G2532 | διὰ ~の–ゆえに G1223 | τὸ (~の) G3588 | μὴ ~ない G3361
ἔχειν 持た–ない G2192 | ῥίζαν, 根–を G4491 | ἐξηράνθη. 枯れた G3583

日が上ると焼けて、根がないために枯れてしまった。

7 καὶ また G2532 | ἄλλο 別–の–もの–は G0243 | ἔπεσεν 落ちた G4098 | εἰς ~の–中–に G1519 | τὰς (~の) G3588 | ἀκάνθας, いばら–の–中–に G0173 | καὶ すると G2532 | ἀνέβησαν 伸びた G0305 | αἱ (~の) G3588
ἄκανθαι, いばら–が G0173 | καὶ そして G2532 | συνέπνιξαν ふさいだ G4846 | αὐτό, それ–を G0846 | καὶ そして G2532 | καρπὸν 実–を G2590 | οὐκ ~ない G3756 | ἔδωκεν. 結ばなかった G1325

ほかの種はいばらの中に落ちた。すると、いばらが伸びて、ふさいでしまったので、実を結ばなかった。

8 καὶ また G2532 | ἄλλα 別–の–もの–は G0243 | ἔπεσεν 落ちた G4098 | εἰς ~の–上–に G1519 | τὴν (~の) G3588 | γῆν 土–に G1093 | τὴν (~の) G3588 | καλήν, 良い G2570 | καὶ そして G2532 | ἐδίδου 与えた G1325
καρπὸν, 実–を G2590 | ἀναβαίνοντα 成長して G0305 | καὶ そして G2532 | αὐξανόμενα, 増えて G0837 | καὶ そして G2532 | ἔφερεν もたらした G5342 | ἓν ある–もの–は G1520 | τριάκοντα, 三十–倍 G5144
καὶ また G2532 | ἓν ある–もの–は G1520 | ἑξήκοντα, 六十–倍 G1835 | καὶ また G2532 | ἓν ある–もの–は G1520 | ἑκατόν. 百–倍 G1540

ほかの種は良い地に落ちた。そしてはえて、育って、ますます実を結び、三十倍、六十倍、百倍にもなった」。

9 καὶ そして G2532 | ἔλεγεν, 言った G3004 | Ὃς (~する) G3739 | ἔχει 持つ G2192 | ὦτα 耳–を G3775 | ἀκούειν, 聞く–ための G0191 | ἀκουέτω. 聞きなさい G0191

そして言われた、「聞く耳のある者は聞くがよい」。

10 Καὶ そして G2532 | ὅτε ~した–とき G3753 | ἐγένετο ~なった G1096 | κατὰ ~の–状態–に G2596 | μόνας, 独り–で G3441 | ἠρώτων 尋ねた G2065 | αὐτὸν 彼–に G0846 | οἱ (~の) G3588 | περὶ ~の–周り–の G4012
αὐτὸν 彼 G0846 | σὺν ~と–共に G4862 | τοῖς (~の) G3588 | δώδεκα, 十二–人–が G1427 | τὰς (~の) G3588 | παραβολάς. たとえ–を G3850

イエスがひとりになられた時、そばにいた者たちが、十二弟子と共に、これらの譬について尋ねた。

11 καὶ そして G2532 | ἔλεγεν 言った G3004 | αὐτοῖς, 彼ら–に G0846 | Ὑμῖν あなたがた–には G4771 | τὸ (~の) G3588 | μυστήριον 奥義–が G3466 | δέδοται 与えられている G1325 | τῆς (~の) G3588 | βασιλείας 御国–の G0932
τοῦ (~の) G3588 | Θεοῦ. 神–の G2316 | ἐκείνοις あの–者–たち–には G1565 | δὲ しかし G1161 | τοῖς (~の) G3588 | ἔξω, 外–の G1854 | ἐν ~で G1722 | παραβολαῖς たとえ–で G3850 | τὰ (~の) G3588 | πάντα すべて–が G3956
γίνεται, なされる G1096

そこでイエスは言われた、「あなたがたには神の国の奥義が授けられているが、ほかの者たちには、すべてが譬で語られる。

12

ἵνα	βλέποντες,	βλέπωσιν	καὶ	μὴ	ἴδωσιν;	καὶ	ἀκούοντες,	ἀκούωσιν
~するため	見ながら	見ても	しかし	~ない	悟ら-ない	そして	聞きながら	聞いても
G2443	G0991	G0991	G2532	G3361	G3708	G2532	G0191	G0191

καὶ	μὴ	συνιῶσιν;	μήˌ	ποτε	ἐπιστρέψωσιν,	καὶ
しかし	~ない	理解し-ない	~しない-ように	いつか	立ち返って	そして
G2532	G3361	G4920	G3361	G4219	G1994	G2532

ἀφεθῇ	αὐτοῖς.
赦される-ことが-ない-ように	彼ら-に
G0863	G0846

それは『彼らは見るには見るが、認めず、聞くには聞くが、悟らず、悔い改めてゆるされることがない』ためである」。

13

καὶ	λέγει	αὐτοῖς,	Οὐκ	οἴδατε	τὴν	παραβολὴν	ταύτην?	καὶ
そして	言う	彼ら-に	~ない	わからない-のか	(~の)	たとえ-を	この	それでは
G2532	G3004	G0846	G3756	G1492	G3588	G3850	G3778	G2532

πῶς	πάσας	τὰς	παραβολὰς	γνώσεσθε?
どうして	すべて-の	(~の)	たとえ-を	わかるの-か
G4459	G3956	G3588	G3850	G1097

また彼らに言われた、「あなたがたはこの譬がわからないのか。それでは、どうしてすべての譬がわかるだろうか。

14

ὁ	σπείρων	τὸν	λόγον	σπείρει.
(~の)	種-蒔く-者-は	(~の)	御言葉-を	蒔く
G3588	G4687	G3588	G3056	G4687

種まきは御言をまくのである。

15

οὗτοι	δέ	εἰσιν	οἱ	παρὰ	τὴν	ὁδὸν,	ὅπου	σπείρεται
これら-の-者-は	(~は)	~である	(~の)	~の-そば-の	(~の)	道-の	~する-ところ	蒔かれる
G3778	G1161	G1510	G3588	G3844	G3588	G3598	G3699	G4687

ὁ	λόγος,	καὶ	ὅταν	ἀκούσωσιν,	εὐθὺς	ἔρχεται	ὁ	Σατανᾶς,	καὶ
(~の)	御言葉-が	そして	~する-とき	聞く-と	すぐに	来る	(~の)	サタン-が	そして
G3588	G3056	G2532	G3752	G0191	G2112	G2064	G3588	G4567	G2532

αἴρει	τὸν	λόγον	τὸν	ἐσπαρμένον	εἰς	αὐτούς.
取り去る	(~の)	御言葉-を	(~の)	蒔かれた	~の-中-に	彼ら-の
G0142	G3588	G3056	G3588	G4687	G1519	G0846

道ばたに御言がまかれたとは、こういう人たちのことである。すなわち、御言を聞くと、すぐにサタンがきて、彼らの中にまかれた御言を、奪って行くのである。

16

καὶ	οὗτοί	εἰσιν	ὁμοίως	οἱ	ἐπὶ	τὰ	πετρώδη	σπειρόμενοι,
また	これら-は	~である	同じように	(~の)	~の-上-の	(~の)	岩地-に	蒔かれた-もの
G2532	G3778	G1510	G3668	G3588	G1909	G3588	G4075	G4687

οἳ,	ὅταν	ἀκούσωσιν	τὸν	λόγον,	εὐθὺς	μετὰ	χαρᾶς
彼ら-は	~する-とき	聞く-と	(~の)	御言葉-を	すぐに	~と-共に	喜び-を-もって
G3739	G3752	G0191	G3588	G3056	G2112	G3326	G5479

λαμβάνουσιν	αὐτόν,
受け入れる	それ-を
G2983	G0846

同じように、石地にまかれたものとは、こういう人たちのことである。御言を聞くと、すぐに喜んで受けるが、

17

καὶ	οὐκ	ἔχουσιν	ῥίζαν	ἐν	ἑαυτοῖς,	ἀλλὰ	πρόσκαιροί	εἰσιν;	
しかし	~ない	持たない	根-を	~の-中-に	自分-たち-の	むしろ	一時的-な	~である	
G2532	G3756	G2192	G4491	G1722	G1438	G0235	G4340	G1510	

εἶτα	γενομένης	θλίψεως	ἢ	διωγμοῦ	διὰ	τὸν	λόγον,	εὐθὺς
それから	起こった-とき	苦難-や	あるいは	迫害-が	~の-ゆえに	(~の)	御言葉-の	すぐに
G1534	G1096	G2347	G2228	G1375	G1223	G3588	G3056	G2112

σκανδαλίζονται.
つまずく
G4624

自分の中に根がないので、しばらく続くだけである。そののち、御言のために困難や迫害が起ってくると、すぐつまずいてしまう。

18

καὶ	ἄλλοι	εἰσὶν	οἱ	εἰς	τὰς	ἀκάνθας	σπειρόμενοι.
また	別-の-者-たち-は	~である	(~の)	~の-中-の	(~の)	いばら-の-中-に	蒔かれた-もの
G2532	G0243	G1510	G3588	G1519	G3588	G0173	G4687

οὗτοί	εἰσιν	οἱ,	τὸν	λόγον	ἀκούσαντες,
これら-は	~である	(~の)	(~の)	御言葉-を	聞いた-者-たち
G3778	G1510	G3588	G3588	G3056	G0191

また、いばらの中にまかれたものとは、こういう人たちのことである。御言を聞くが、

19

καὶ	αἱ	μέριμναι	τοῦ	αἰῶνος,	καὶ	ἡ	ἀπάτη	τοῦ	πλούτου,	καὶ
しかし	(~の)	思い煩い-が	(~の)	この-世-の	また	(~の)	惑わし-が	(~の)	富-の	また
G2532	G3588	G3308	G3588	G0165	G2532	G3588	G0539	G3588	G4149	G2532

αἱ	περὶ	τὰ	λοιπὰ,	ἐπιθυμίαι	εἰσπορευόμεναι,	συμπνίγουσιν
(~の)	~に-ついて-の	(~の)	その他-の-こと-への	欲望-が	入り込んで	ふさぐ
G3588	G4012	G3588	G3062	G1939	G1531	G4846

τὸν	λόγον,	καὶ	ἄκαρπος	γίνεται.
(~の)	御言葉-を	そして	実を結ばない	ものとなる
G3588	G3056	G2532	G0175	G1096

世の心づかいと、富の惑わしと、その他いろいろな欲とがはいってきて、御言をふさぐので、実を結ばなくなる。

20

καὶ	ἐκεῖνοί	εἰσιν	οἱ	ἐπὶ	τὴν	γῆν	τὴν	καλὴν	σπαρέντες;	
また	あの-者-たち-は	~である	(~の)	~の-上-の	(~の)	土-に	(~の)	良い	蒔かれた-もの	
G2532	G1565	G1510	G3588	G1909	G3588	G1093	G3588	G2570	G4687	

οἵτινες	ἀκούουσιν	τὸν	λόγον	καὶ	παραδέχονται,	καὶ	καρποφοροῦσιν,
彼ら-は	聞いて	(~の)	御言葉-を	そして	受け入れ	そして	実を結ぶ
G3748	G0191	G3588	G3056	G2532	G3858	G2532	G2592

ἓν	τριάκοντα,	καὶ	ἓν	ἑξήκοντα,	καὶ	ἓν	ἑκατόν.		
ある-もの-は	三十-倍	また	ある-もの-は	六十-倍	また	ある-もの-は	百-倍		
G1520	G5144	G2532	G1520	G1835	G2532	G1520	G1540		

また、良い地にまかれたものとは、こういう人たちのことである。御言を聞いて受けいれ、三十倍、六十倍、百倍の実を結ぶのである」。

21 Καὶ そして G2532 | ἔλεγεν 言った G3004 | αὐτοῖς, 彼ら-に G0846 | ⸀ὅτι⸁ (~と) G3754 | Μήτι ~だろう-か G3385 | ἔρχεται 来る G2064 | ὁ (~の) G3588 | λύχνος 灯-が G3088 | ἵνα ~する-ため-に G2443

ὑπὸ ~の-下-に G5259 | τὸν (~の) G3588 | μόδιον 升-の G3426 | τεθῇ, 置かれる G5087 | ἢ あるいは G2228 | ὑπὸ ~の-下-に G5259 | τὴν (~の) G3588 | κλίνην? 寝台-の G2825 | οὐχ ~では-ない-か G3756

ἵνα ~する-ため-に G2443 | ἐπὶ ~の-上-に G1909 | τὴν (~の) G3588 | λυχνίαν 燭台-の G3087 | τεθῇ? 置かれる-のではないか G5087

また彼らに言われた、「ますの下や寝台の下に置くために、あかりを持ってくることがあろうか。燭台の上に置くためではないか。

22 οὐ なぜなら G3756 | γάρ (~は) G1063 | ἐστιν ~ない G1510 | ⸀τι⸁ 何-も G5101 | κρυπτὸν, 隠された-もの-は G2927 | ἐὰν ~しない-限り G1437 | μὴ ~ない G3361 | ἵνα ~する-ため-に G2443

φανερωθῇ, 明らかにされる G5319 | οὐδὲ ~も-ない G3761 | ἐγένετο 起こった G1096 | ἀπόκρυφον, 秘密-は G0614 | ἀλλ’ むしろ G0235 | ἵνα ~する-ため-に G2443 | ἔλθῃ 来る G2064 | εἰς ~の-中-へ G1519

φανερόν. 明るみ-に G5318

なんでも、隠されているもので、現れないものはなく、秘密にされているもので、明るみに出ないものはない。

23 εἴ もし G1487 | τις 誰か-が G5100 | ἔχει 持つ G2192 | ὦτα 耳-を G3775 | ἀκούειν, 聞く-ための G0191 | ἀκουέτω. 聞きなさい G0191

聞く耳のある者は聞くがよい」。

24 Καὶ そして G2532 | ἔλεγεν 言った G3004 | αὐτοῖς, 彼ら-に G0846 | Βλέπετε 気をつけなさい G0991 | τί 何-を G5101 | ἀκούετε: 聞く-か G0191 | ἐν ~で G1722 | ᾧ (~の) G3739 | μέτρῳ 量り-で G3358 | μετρεῖτε 量る G3354

μετρηθήσεται 量り返される G3354 | ὑμῖν, あなたがた-に G4771 | καὶ そして G2532 | προστεθήσεται 加えられる G4369 | ὑμῖν. あなたがた-に G4771

また彼らに言われた、「聞くことがらに注意しなさい。あなたがたの量るそのはかりで、自分にも量り与えられ、その上になお増し加えられるであろう。

25 ὃς なぜなら G3739 | γὰρ (~は) G1063 | ἔχει, 持つ-者-は G2192 | δοθήσεται 与えられる G1325 | αὐτῷ; 彼-に G0846 | καὶ しかし G2532 | ὃς (~する) G3739 | οὐκ ~ない G3756 | ἔχει, 持たない-者-は G2192

καὶ ~も-また G2532 | ὃ (~の) G3739 | ἔχει 持つ-もの-さえ G2192 | ἀρθήσεται 取り去られる G0142 | ἀπ’ ~から G0575 | αὐτοῦ. 彼-から G0846

だれでも、持っている人は更に与えられ、持っていない人は、持っているものまでも取り上げられるであろう」。

26 Καὶ そして G2532 | ἔλεγεν, 言った G3004 | Οὕτως このように G3779 | ἐστὶν ~である G1510 | ἡ (~の) G3588 | βασιλεία 御国-は G0932 | τοῦ (~の) G3588 | Θεοῦ, 神-の G2316 | ὡς ~のように G5613 | ἄνθρωπος 人-が G0444

βάλῃ 蒔く G0906 | τὸν (~の) G3588 | σπόρον 種-を G4703 | ἐπὶ ~の-上-に G1909 | τῆς (~の) G3588 | γῆς, 地-に G1093

また言われた、「神の国は、ある人が地に種をまくようなものである。

27 καὶ καθεύδῃ, καὶ ἐγείρηται νύκτα καὶ ἡμέραν, καὶ ὁ σπόρος
そして 眠り そして 起きる 夜–も また 昼–も そして (~の) 種–は
G2532 G2518 G2532 G1453 G3571 G2532 G2250 G2532 G3588 G4703

βλαστᾷ καὶ μηκύνηται; ὡς οὐκ οἶδεν αὐτός.
芽を出し そして 伸びる ~のように ~ない 知ら–ない 彼–自身–は
G0985 G2532 G3373 G5613 G3756 G1492 G0846

夜昼、寝起きしている間に、種は芽を出して育って行くが、どうしてそうなるのか、その人は知らない。

28 αὐτομάτη ἡ γῆ καρποφορεῖ-- πρῶτον χόρτον, εἶτα στάχυν, εἶτα
自ら (~の) 地–は 実を結ぶ まず 茎–を 次に 穂–を それから
G0844 G3588 G1093 G2592 G4412 G5528 G1534 G4719 G1534

πλήρης σῖτον ἐν τῷ στάχυϊ.
豊か–な 穀物–を ~の–中–に (~の) 穂–の
G4134 G4621 G1722 G3588 G4719

地はおのずから実を結ばせるもので、初めに芽、つぎに穂、つぎに穂の中に豊かな実ができる。

29 ὅταν δὲ παραδοῖ ὁ καρπός, εὐθὺς ἀποστέλλει τὸ δρέπανον,
~した–とき しかし 熟する–と (~の) 実–が すぐに 送る (~の) 鎌–を
G3752 G1161 G3860 G3588 G2590 G2112 G0649 G3588 G1407

ὅτι παρέστηκεν ὁ θερισμός.
なぜなら 来ている (~の) 収穫–が
G3754 G3936 G3588 G2326

実がいると、すぐにかまを入れる。刈入れ時がきたからである」。

30 Καὶ ἔλεγεν, Πῶς ὁμοιώσωμεν τὴν βασιλείαν τοῦ Θεοῦ? ἢ ἐν
そして 言った どのように たとえよう–か (~の) 御国–を (~の) 神–の あるいは ~で
G2532 G3004 G4459 G3666 G3588 G0932 G3588 G2316 G2228 G1722

τίνι αὐτὴν παραβολῇ θῶμεν?
どんな それ–を たとえ–で 示そう–か
G5101 G0846 G3850 G5087

また言われた、「神の国を何に比べようか。また、どんな譬で言いあらわそうか。

31 ὡς κόκκῳ σινάπεως, ὃς, ὅταν σπαρῇ ἐπὶ τῆς γῆς,
~のように 粒–に からし–の それ–は ~する–とき 蒔かれる–と ~の–上–に (~の) 地–に
G5613 G2848 G4615 G3739 G3752 G4687 G1909 G3588 G1093

μικρότερον ὂν πάντων τῶν σπερμάτων τῶν ἐπὶ τῆς γῆς,
最も–小さい ~である すべて–の (~の) 種–の–中–で (~の) ~の–上–の (~の) 地–の
G3398 G1510 G3956 G3588 G4690 G3588 G1909 G3588 G1093

それは一粒のからし種のようなものである。地にまかれる時には、地上のどんな種よりも小さいが、

32 καὶ ὅταν σπαρῇ, ἀναβαίνει, καὶ γίνεται μεῖζον πάντων τῶν
しかし ~する–とき 蒔かれる–と 成長し そして なる 最も–大きく すべて–の (~の)
G2532 G3752 G4687 G0305 G2532 G1096 G3173 G3956 G3588

λαχάνων, καὶ ποιεῖ κλάδους μεγάλους, ὥστε δύνασθαι ὑπὸ τὴν
野菜–の–中–で そして 作る 枝–を 大きな ~ほどに ~できる ~の–下–に (~の)
G3001 G2532 G4160 G2798 G3173 G5620 G1410 G5259 G3588

σκιὰν αὐτοῦ τὰ πετεινὰ τοῦ οὐρανοῦ κατασκηνοῦν.
陰–に その (~の) 鳥–たち–が (~の) 空–の 巣を作る
G4639 G0846 G3588 G4071 G3588 G3772 G2681

まかれると、成長してどんな野菜よりも大きくなり、大きな枝を張り、その陰に空の鳥が宿るほどになる」。

33

Καὶ	τοιαύταις	παραβολαῖς	πολλαῖς,	ἐλάλει	αὐτοῖς	τὸν	λόγον,	καθὼς
そして	このような	たとえ-で	多く-の	語った	彼ら-に	(~の)	御言葉-を	~に-応じて
G2532	G5108	G3850	G4183	G2980	G0846	G3588	G3056	G2531

ἠδύναντο	ἀκούειν,
~できた	聞く-ことが
G1410	G0191

イエスはこのような多くの譬で、人々の聞く力にしたがって、御言を語られた。

34

χωρὶς	δὲ	παραβολῆς	οὐκ,	ἐλάλει	αὐτοῖς;	κατ’	ἰδίαν
~なしに	しかし	たとえ-なしには	~ない	語ら-なかった	彼ら-に	~の-ところ-で	ひそか-に
G5565	G1161	G3850	G3756	G2980	G0846	G2596	G2398

δὲ	τοῖς	ἰδίοις	μαθηταῖς,	ἐπέλυεν	πάντα.
しかし	(~の)	自分-の	弟子-たち-に	説き明かした	すべて-を
G1161	G3588	G2398	G3101	G1956	G3956

譬によらないでは語られなかったが、自分の弟子たちには、ひそかにすべてのことを解き明かされた。

35

Καὶ	λέγει	αὐτοῖς,	ἐν	ἐκείνῃ	τῇ	ἡμέρᾳ,	ὀψίας	γενομένης,	Διέλθωμεν
そして	言う	彼ら-に	~に	あの	(~の)	日-に	夕方-に	なった-とき	渡ろう
G2532	G3004	G0846	G1722	G1565	G3588	G2250	G3798	G1096	G1330

εἰς	τὸ	πέραν.
~の	(~の)	向こう-岸-へ
G1519	G3588	G4008

さてその日、夕方になると、イエスは弟子たちに、「向こう岸へ渡ろう」と言われた。

36

καὶ	ἀφέντες	τὸν	ὄχλον,	παραλαμβάνουσιν	αὐτὸν	ὡς	ἦν	ἐν	τῷ
すると	離れて	(~の)	群衆-を	連れて行く	彼-を	~のまま	いた	~の-中-に	(~の)
G2532	G0863	G3588	G3793	G3880	G0846	G5613	G1510	G1722	G3588

πλοίῳ;	καὶ	ἄλλα	πλοῖα	ἦν	μετ’	αὐτοῦ.
舟-の	また	ほか-の	舟-が	いた	~と-共に	彼-と
G4143	G2532	G0243	G4143	G1510	G3326	G0846

そこで、彼らは群衆をあとに残し、イエスが舟に乗っておられるまま、乗り出した。ほかの舟も一緒に行った。

37

καὶ	γίνεται	λαῖλαψ	μεγάλη	ἀνέμου,	καὶ	τὰ	κύματα	ἐπέβαλλεν	εἰς
すると	起こった	嵐-が	大きな	風-の	そして	(~の)	波-が	打ち込んだ	~の-中-に
G2532	G1096	G2978	G3173	G0417	G2532	G3588	G2949	G1911	G1519

τὸ	πλοῖον,	ὥστε	ἤδη	γεμίζεσθαι	τὸ	πλοῖον.
(~の)	舟-に	~ほどに	すでに	いっぱいになる	(~の)	舟-が
G3588	G4143	G5620	G2235	G1072	G3588	G4143

すると、激しい突風が起り、波が舟の中に打ち込んできて、舟に満ちそうになった。

38

καὶ	αὐτὸς	ἦν	ἐν	τῇ	πρύμνῃ,	ἐπὶ	τὸ	προσκεφάλαιον
しかし	彼-は	いた	~の-中-に	(~の)	船尾-で	~の-上-に	(~の)	枕-に
G2532	G0846	G1510	G1722	G3588	G4403	G1909	G3588	G4344

καθεύδων.	καὶ	ἐγείρουσιν	αὐτὸν,	καὶ	λέγουσιν	αὐτῷ,	Διδάσκαλε,	οὐ
眠っていた	すると	起こす	彼-を	そして	言う	彼-に	先生	~ない
G2518	G2532	G1453	G0846	G2532	G3004	G0846	G1320	G3756

μέλει	σοι	ὅτι	ἀπολλύμεθα?
心配-しない-のですか	あなた-は	(~と)	滅びる-ことを
G3199	G4771	G3754	G0622

ところがイエス自身は、舳の方でまくらをして、眠っておられた。そこで、弟子たちはイエスをおこして、「先生、わたしどもがおぼれ死んでも、おかまいにならないのですか」と言った。

39	καὶ	διεγερθεὶς	ἐπετίμησεν	τῷ	ἀνέμῳ,	καὶ	εἶπεν	τῇ	θαλάσσῃ,	Σιώπα,	
	すると	起き上がって	叱った	(~の)	風-を	そして	言った	(~の)	海-に	黙れ	
	G2532	G1326	G2008	G3588	G0417	G2532	G3004	G3588	G2281	G4623	
	πεφίμωσο.	καὶ	ἐκόπασεν	ὁ	ἄνεμος,	καὶ	ἐγένετο	γαλήνη	μεγάλη.		
	静まれ	すると	やんだ	(~の)	風-は	そして	なった	凪-が	大きな		
	G5392	G2532	G2869	G3588	G0417	G2532	G1096	G1055	G3173		

イエスは起きあがって風をしかり、海にむかって、「静まれ、黙れ」と言われると、風はやんで、大なぎになった。

40	καὶ	εἶπεν	αὐτοῖς,	Τί	δειλοί	ἐστε,	οὔπω	ἔχετε	πίστιν?
	すると	言った	彼ら-に	なぜ	臆病-な	のです-か	まだ	持って-いない-のか	信仰-を
	G2532	G3004	G0846	G5101	G1169	G1510	G3768	G2192	G4102

イエスは彼らに言われた、「なぜ、そんなにこわがるのか。どうして信仰がないのか」。

41	καὶ	ἐφοβήθησαν	φόβον	μέγαν,	καὶ	ἔλεγον	πρὸς	ἀλλήλους,	Τίς	ἄρα
	すると	恐れた	恐れ-を	大きな	そして	言い合った	~に	互い-に	誰	いったい
	G2532	G5399	G5401	G3173	G2532	G3004	G4314	G0240	G5101	G0686
	οὗτός	ἐστιν,	ὅτι	καὶ	ὁ	ἄνεμος	καὶ	ἡ	θάλασσα	ὑπακούει
	この-方-は	~だろう	(~と)	~さえ	(~の)	風-も	また	(~の)	海-も	従う
	G3778	G1510	G3754	G2532	G3588	G0417	G2532	G3588	G2281	G5219
	αὐτῷ?									
	彼-に									
	G0846									

彼らは恐れおののいて、互に言った、「いったい、この方はだれだろう。風も海も従わせるとは」。

Chapter 5

1	Καὶ	ἦλθον	εἰς	τὸ	πέραν	τῆς	θαλάσσης,	εἰς	τὴν	χώραν
	そして	来た	~の-方-へ	(~の)	向こう-岸-に	(~の)	海-の	~の-中-へ	(~の)	地方-に
	G2532	G2064	G1519	G3588	G4008	G3588	G2281	G1519	G3588	G5561
	τῶν	Γερασηνῶν.								
	(~の)	ゲラサ人-の								
	G3588	G1086								

こうして彼らは海の向こう岸、ゲラサ人の地に着いた。

2	καὶ	ἐξελθόντος	αὐτοῦ	ἐκ	τοῦ	πλοίου,	εὐθὺς	ὑπήντησεν	αὐτῷ	ἐκ
	すると	出て-来た-とき	彼-が	~から	(~の)	舟-から	すぐに	出会った	彼-に	~から
	G2532	G1831	G0846	G1537	G3588	G4143	G2112	G5221	G0846	G1537
	τῶν	μνημείων	ἄνθρωπος	ἐν	πνεύματι	ἀκαθάρτῳ,				
	(~の)	墓場-から	人-が	~の-中-に	霊	汚れた				
	G3588	G3419	G0444	G1722	G4151	G0169				

それから、イエスが舟からあがられるとすぐに、けがれた霊につかれた人が墓場から出てきて、イエスに出会った。

3	ὃς	τὴν	κατοίκησιν	εἶχεν	ἐν	τοῖς	μνήμασιν.	καὶ	οὐδὲ	ἁλύσει
	彼-は	(~の)	住まい-を	持っていた	~の-中-に	(~の)	墓場-に	そして	~さえも	鎖-で
	G3739	G3588	G2731	G2192	G1722	G3588	G3418	G2532	G3761	G0254
	οὐκέτι,	οὐδεὶς	ἐδύνατο	αὐτὸν	δῆσαι,					
	もはや	誰-も	~できなかった	彼-を	縛る-ことが					
	G3765	G3762	G1410	G0846	G1210					

この人は墓場をすみかとしており、もはやだれも、鎖でさえも彼をつなぎとめて置けなかった。

4 διὰ ~の–ゆえに G1223 τὸ (~の) G3588 αὐτὸν 彼–が G0846 πολλάκις 何度–も G4178 πέδαις 足かせ–と G3976 καὶ そして G2532 ἁλύσεσιν 鎖–で G0254 δεδέσθαι, 縛られた–が G1210 καὶ しかし G2532

διεσπάσθαι 引きちぎった G1288 ὑπ’ ~によって G5259 αὐτοῦ 彼 G0846 τὰς (~の) G3588 ἁλύσεις, 鎖–を G0254 καὶ また G2532 τὰς (~の) G3588 πέδας 足かせ–を G3976 συντετρῖφθαι, 砕いた G4937 καὶ そして G2532

οὐδεὶς 誰–も G3762 ἴσχυεν ~できなかった G2480 αὐτὸν 彼–を G0846 δαμάσαι. 制する–ことが G1150

彼はたびたび足かせや鎖でつながれたが、鎖を引きちぎり、足かせを砕くので、だれも彼を押えつけることができなかったからである。

5 καὶ そして G2532 διὰ ~の–間–じゅう G1223 παντὸς 常–に G3956 νυκτὸς 夜–も G3571 καὶ また G2532 ἡμέρας 昼–も G2250 ἐν ~の–中–で G1722 τοῖς (~の) G3588 μνήμασιν 墓場–と G3418 καὶ また G2532

ἐν ~の–中–で G1722 τοῖς (~の) G3588 ὄρεσιν 山々–で G3735 ἦν, いた G1510 κράζων 叫び G2896 καὶ そして G2532 κατακόπτων 傷つけていた G2629 ἑαυτὸν 自分–を G1438 λίθοις. 石–で G3037

そして、夜昼たえまなく墓場や山で叫びつづけて、石で自分のからだを傷つけていた。

6 καὶ すると G2532 ἰδὼν 見て G3708 τὸν (~の) G3588 Ἰησοῦν イエス–を G2424 ἀπὸ ~から G0575 μακρόθεν, 遠く–から G3113 ἔδραμεν 走って来た G5143 καὶ そして G2532 προσεκύνησεν ひれ伏した G4352

αὐτόν. 彼–に G0846

ところが、この人がイエスを遠くから見て、走り寄って拝し、

7 καὶ そして G2532 κράξας 叫んで G2896 φωνῇ 声–で G5456 μεγάλῃ 大きな G3173 λέγει, 言う G3004 Τί 何–の G5101 ἐμοὶ わたし–と G1473 καὶ また G2532 σοί, あなた–に G4771 Ἰησοῦ, イエス G2424 Υἱὲ 御子 G5207

τοῦ (~の) G3588 Θεοῦ 神–の G2316 τοῦ (~の) G3588 Ὑψίστου? いと高き G5310 ὁρκίζω 誓わせます G3726 σε あなた–に G4771 τὸν (~の) G3588 Θεόν, 神–に–かけて G2316 μή ~しないで G3361 με わたし–を G1473

βασανίσῃς. 苦しめないで–ください G0928

大声で叫んで言った、「いと高き神の子イエスよ、あなたはわたしとなんの係わりがあるのです。神に誓ってお願いします。どうぞ、わたしを苦しめないでください」。

8 ἔλεγεν 言って–いた G3004 γὰρ なぜなら G1063 αὐτῷ, 彼–に G0846 Ἔξελθε, 出て–行け G1831 τὸ (~の) G3588 πνεῦμα 霊 G4151 τὸ (~の) G3588 ἀκάθαρτον, 汚れた G0169 ἐκ ~から G1537 τοῦ (~の) G3588

ἀνθρώπου! 人–から G0444

それは、イエスが、「けがれた霊よ、この人から出て行け」と言われたからである。

9

καὶ	ἐπηρώτα	αὐτόν,	Τί	ὄνομά	σοι?	καὶ	λέγει,	αὐτῷ,	Λεγιὼν
そして	尋ねた	彼-に	何-が	名前-は	あなた-の	すると	言う	彼-に	レギオン
G2532	G1905	G0846	G5101	G3686	G4771	G2532	G3004	G0846	G3003

ὄνομά	μοι,	ὅτι	πολλοί	ἐσμεν.
名前-は	わたし-の	なぜなら	大勢	~だから
G3686	G1473	G3754	G4183	G1510

また彼に、「なんという名前か」と尋ねられると、「レギオンと言います。大ぜいなのですから」と答えた。

10

καὶ	παρεκάλει	αὐτὸν	πολλὰ,	ἵνα	μὴ	αὐτὰ	ἀποστείλῃ	
そして	懇願した	彼-に	しきりに	~しない-ように	~しない	それら-を	送らない-ように	
G2532	G3870	G0846	G4183	G2443	G3361	G0846	G0649	

ἔξω	τῆς	χώρας.
~の-外-へ	(~の)	地方-の
G1854	G3588	G5561

そして、自分たちをこの土地から追い出さないようにと、しきりに願いつづけた。

11

ἦν	δὲ	ἐκεῖ,	πρὸς	τῷ	ὄρει,	ἀγέλη	χοίρων	μεγάλη	βοσκομένη;
いた	さて	そこ-に	~の-そば-に	(~の)	山-の	群れ-が	豚-の	大きな	飼われて-いた
G1510	G1161	G1563	G4314	G3588	G3735	G0034	G5519	G3173	G1006

さて、そこの山の中腹に、豚の大群が飼ってあった。

12

καὶ	παρεκάλεσαν	αὐτὸν,	λέγοντες,	Πέμψον	ἡμᾶς	εἰς	τοὺς	
すると	懇願した	彼-に	言って	送って-ください	わたしたち-を	~の-中-へ	(~の)	
G2532	G3870	G0846	G3004	G3992	G1473	G1519	G3588	

χοίρους,	ἵνα	εἰς	αὐτοὺς	εἰσέλθωμεν.	
豚-の	~する-ように	~の-中-に	それら-の	入ろう-と	
G5519	G2443	G1519	G0846	G1525	

霊はイエスに願って言った、「わたしどもを、豚にはいらせてください。その中へ送ってください」。

13

καὶ	ἐπέτρεψεν	αὐτοῖς.	καὶ	ἐξελθόντα,	τὰ	πνεύματα	τὰ	ἀκάθαρτα	
すると	許した	彼ら-に	そして	出て-行って	(~の)	霊-たち-は	(~の)	汚れた	
G2532	G2010	G0846	G2532	G1831	G3588	G4151	G3588	G0169	

εἰσῆλθον	εἰς	τοὺς	χοίρους,	καὶ	ὥρμησεν	ἡ	ἀγέλη	κατὰ	τοῦ
入った	~の-中-へ	(~の)	豚-の	すると	突進した	(~の)	群れ-は	~から	(~の)
G1525	G1519	G3588	G5519	G2532	G3729	G3588	G0034	G2596	G3588

κρημνοῦ	εἰς	τὴν	θάλασσαν,	ὡς	δισχίλιοι,	καὶ	ἐπνίγοντο	ἐν	τῇ
崖-から	~の-中-へ	(~の)	海-に	およそ	二千-匹	そして	溺れた	~の-中-で	(~の)
G2911	G1519	G3588	G2281	G5613	G1367	G2532	G4155	G1722	G3588

θαλάσσῃ.
海-で
G2281

イエスがお許しになったので、けがれた霊どもは出て行って、豚の中へはいり込んだ。すると、その群れは二千匹ばかりであったが、がけから海へなだれを打って駆け下り、海の中でおぼれ死んでしまった。

14 Καὶ οἱ βόσκοντες αὐτοὺς ἔφυγον, καὶ ἀπήγγειλαν εἰς
すると (~の) 飼っていた-者-たち-は それら-を 逃げた そして 知らせた ~の-中-へ
G2532 G3588 G1006 G0846 G5343 G2532 G0518 G1519

τὴν πόλιν καὶ εἰς τοὺς ἀγρούς. καὶ ἦλθον ἰδεῖν τί ἐστιν
(~の) 町-に また ~の-中-へ (~の) 野-に すると 来た 見る-ために 何-が ~である-か
G3588 G4172 G2532 G1519 G3588 G0068 G2532 G2064 G3708 G5101 G1510

τὸ γεγονός.
(~の) 起こった-ことを
G3588 G1096

豚を飼う者たちが逃げ出して、町や村にふれまわったので、人々は何事が起ったのかと見にきた。

15 καὶ ἔρχονται πρὸς τὸν Ἰησοῦν, καὶ θεωροῦσιν τὸν
そして 来る ~の-もと-に (~の) イエス-の そして 見る (~の)
G2532 G2064 G4314 G3588 G2424 G2532 G2334 G3588

δαιμονιζόμενον καθήμενον, ἱματισμένον καὶ σωφρονοῦντα, τὸν ἐσχηκότα
悪霊に-取り憑かれた-者-が 座って-いる 着物を-着て そして 正気に-なって (~の) 持って-いた
G1139 G2521 G2439 G2532 G4993 G3588 G2192

τὸν λεγιῶνα; καὶ ἐφοβήθησαν.
(~の) レギオン-を すると 恐れた
G3588 G3003 G2532 G5399

そして、イエスのところにきて、悪霊につかれた人が着物を着て、正気になってすわっており、それがレギオンを宿していた者であるのを見て、恐れた。

16 καὶ διηγήσαντο αὐτοῖς οἱ ἰδόντες, πῶς ἐγένετο τῷ
そして 伝えた 彼ら-に (~の) 見た-者-たち-が どのように 起こった-か (~の)
G2532 G1334 G0846 G3588 G3708 G4459 G1096 G3588

δαιμονιζομένῳ, καὶ περὶ τῶν χοίρων.
悪霊に-取り憑かれた-者-に また ~に-ついて (~の) 豚-の-ことを
G1139 G2532 G4012 G3588 G5519

また、それを見た人たちは、悪霊につかれた人の身に起った事と豚のこととを、彼らに話して聞かせた。

17 καὶ ἤρξαντο παρακαλεῖν αὐτὸν ἀπελθεῖν ἀπὸ τῶν ὁρίων αὐτῶν.
すると 始めた 懇願する-ことを 彼-に 去る-ように ~から (~の) 境界-から 彼ら-の
G2532 G0756 G3870 G0846 G0565 G0575 G3588 G3725 G0846

そこで、人々はイエスに、この地方から出て行っていただきたいと、頼みはじめた。

18 καὶ ἐμβαίνοντος αὐτοῦ εἰς τὸ πλοῖον, παρεκάλει αὐτὸν ὁ
すると 乗り込む-とき 彼-が ~の-中-に (~の) 舟-に 懇願した 彼-に (~の)
G2532 G1684 G0846 G1519 G3588 G4143 G3870 G0846 G3588

δαιμονισθεὶς, ἵνα μετ' αὐτοῦ ᾖ.
悪霊に-取り憑かれた-者-が ~する-ように ~と-共に 彼-と いたい-と
G1139 G2443 G3326 G0846 G1510

イエスが舟に乗ろうとされると、悪霊につかれていた人がお供をしたいと願い出た。

19 καὶ (しかし G2532) οὐκ (~なかった G3756) ἀφῆκεν (許さ-なかった G0863) αὐτόν, (彼-を G0846) ἀλλὰ (むしろ G0235) λέγει (言う G3004) αὐτῷ, (彼-に G0846) Ὕπαγε (行きなさい G5217) εἰς (~の-中-へ G1519) τὸν (~の) G3588
οἶκόν (家-に G3624) σου, (あなた-の G4771) πρὸς (~の-もと-へ G4314) τοὺς (~の) G3588 σούς, (あなた-の-家族-の G4674) καὶ (そして G2532) ἀπάγγειλον (告げなさい G0518) αὐτοῖς (彼ら-に G0846) ὅσα (どれほど G3745)
ὁ (~の) G3588 Κύριός (主-が G2962) σοι (あなた-に G4771) πεποίηκεν, (して-くださった-かを G4160) καὶ (そして G2532) ἠλέησέν (あわれんで-くださった G1653) σε. (あなた-を G4771)

しかし、イエスはお許しにならないで、彼に言われた、「あなたの家族のもとに帰って、主がどんなに大きなことをしてくださったか、またどんなにあわれんでくださったか、それを知らせなさい」。

20 καὶ (すると G2532) ἀπῆλθεν (去って行った G0565) καὶ (そして G2532) ἤρξατο (始めた G0756) κηρύσσειν (宣べ伝える-ことを G2784) ἐν (~の-中-で G1722) τῇ (~の) G3588 Δεκαπόλει, (デカポリス-で G1179)
ὅσα (どれほど G3745) ἐποίησεν (して-くださった-か G4160) αὐτῷ (彼-に G0846) ὁ (~の) G3588 Ἰησοῦς; (イエス-が G2424) καὶ (すると G2532) πάντες (すべて-の-者-が G3956) ἐθαύμαζον. (驚いた G2296)

そこで、彼は立ち去り、そして自分にイエスがしてくださったことを、ことごとくデカポリスの地方に言いひろめ出したので、人々はみな驚き怪しんだ。

21 Καὶ (そして G2532) διαπεράσαντος (渡った-とき G1276) τοῦ (~の) G3588 Ἰησοῦ (イエス-が G2424) ἐν (~の-中-で G1722) τῷ (~の) G3588 πλοίῳ (舟-で G4143) πάλιν (再び G3825) εἰς (~の-方-へ G1519) τὸ (~の) G3588
πέραν, (向こう-岸-に G4008) συνήχθη (集まった G4863) ὄχλος (群衆-が G3793) πολὺς (大勢 G4183) ἐπ' (~の-もと-に G1909) αὐτόν, (彼-の G0846) καὶ (そして G2532) ἦν (いた G1510) παρὰ (~の-そば-に G3844) τὴν (~の) G3588
θάλασσαν. (海-の G2281)

イエスがまた舟で向こう岸へ渡られると、大ぜいの群衆がみもとに集まってきた。イエスは海べにおられた。

22 καὶ (すると G2532) ἔρχεται (来る G2064) εἷς (一人-の G1520) τῶν (~の) G3588 ἀρχισυναγώγων, (会堂-管理者-が G0752) ὀνόματι (名前-は G3686) Ἰάϊρος, (ヤイロ G2383) καὶ (そして G2532) ἰδὼν (見て G3708) αὐτὸν, (彼-を G0846)
πίπτει (ひれ伏す G4098) πρὸς (~の-もと-に G4314) τοὺς (~の) G3588 πόδας (足-に G4228) αὐτοῦ, (彼-の G0846)

そこへ、会堂司のひとりであるヤイロという者がきて、イエスを見かけるとその足もとにひれ伏し、

23 καὶ (そして G2532) παρακαλεῖ (懇願する G3870) αὐτὸν (彼-に G0846) πολλὰ, (しきりに G4183) λέγων (言って G3004) ὅτι, (~と) G3754 Τὸ (~の) G3588 θυγάτριόν (小さな-娘-が G2365) μου (わたし-の G1473) ἐσχάτως (瀕死-の G2079)
ἔχει. (状態-です G2192) ἵνα, (どうか G2443) ἐλθὼν, (来て G2064) ἐπιθῇς (置いて-ください G2007) τὰς (~の) G3588 χεῖρας (手-を G5495) αὐτῇ, (彼女-の-上-に G0846) ἵνα (~する-ように G2443)
σωθῇ, (救われる-ように G4982) καὶ (そして G2532) ζήσῃ. (生きる-ように G2198)

しきりに願って言った、「わたしの幼い娘が死にかかっています。どうぞ、その子がなおって助かりますように、おいでになって、手をおいてやってください」。

24 καὶ (すると G2532) ἀπῆλθεν (出かけた G0565) μετ’ (~と-共に G3326) αὐτοῦ, (彼-と G0846) καὶ (そして G2532) ἠκολούθει (従って-いた G0190) αὐτῷ (彼-に G0846) ὄχλος (群衆-が G3793) πολύς, (大勢 G4183) καὶ (そして G2532)
συνέθλιβον (押し合っていた G4918) αὐτόν. (彼-を G0846)

そこで、イエスは彼と一緒に出かけられた。大ぜいの群衆もイエスに押し迫りながら、ついて行った。

25 Καὶ (すると G2532) γυνὴ, (女-が G1135) οὖσα (いた G1510) ἐν (~の-状態-に G1722) ῥύσει (流れ G4511) αἵματος (血-の G0129) δώδεκα (十二 G1427) ἔτη, (年-間 G2094)

さてここに、十二年間も長血をわずらっている女がいた。

26 καὶ (そして G2532) πολλὰ (多く G4183) παθοῦσα (苦しんだ G3958) ὑπὸ (~の-もと-で G5259) πολλῶν (多く-の G4183) ἰατρῶν, (医者-たち-の G2395) καὶ (そして G2532) δαπανήσασα (費やした G1159) τὰ (~の) (G3588)
παρ’ (~の) (G3844) αὐτῆς (彼女-の G0846) πάντα, (すべて-を G3956) καὶ (しかし G2532) μηδὲν (何-も G3367) ὠφεληθεῖσα, (益を-受けなかった G5623) ἀλλὰ (むしろ G0235) μᾶλλον (ますます G3123) εἰς (~の-方-に G1519) τὸ (~の) (G3588)
χεῖρον (悪い G5501) ἐλθοῦσα-- (なった G2064)

多くの医者にかかって、さんざん苦しめられ、その持ち物をみな費してしまったが、なんのかいもないばかりか、かえってますます悪くなる一方であった。

27 ἀκούσασα (聞いて G0191) τὰ (~の) (G3588) περὶ (~に-ついて G4012) τοῦ (~の) (G3588) Ἰησοῦ, (イエス-の-こと-を G2424) ἐλθοῦσα (来て G2064) ἐν (~の-中-で G1722) τῷ (~の) (G3588)
ὄχλῳ (群衆-の-中-で G3793) ὄπισθεν, (後ろ-から G3693) ἥψατο (触った G0680) τοῦ (~の) (G3588) ἱματίου (衣-に G2440) αὐτοῦ. (彼-の G0846)

この女がイエスのことを聞いて、群衆の中にまぎれ込み、うしろから、み衣にさわった。

28 ἔλεγεν (言って-いた G3004) γὰρ (なぜなら G1063) ὅτι, (~と G3754) Ἐὰν (もし G1437) ἅψωμαι (触れ-れば G0680) κἂν (せめて G2579) τῶν (~の) (G3588) ἱματίων (衣-に G2440) αὐτοῦ, (彼-の G0846)
σωθήσομαι. (救われる-だろう G4982)

それは、せめて、み衣にでもさわれば、なおしていただけるだろうと、思っていたからである。

29 καὶ (すると G2532) εὐθὺς (すぐに G2112) ἐξηράνθη (乾いた G3583) ἡ (~の) (G3588) πηγὴ (源-が G4077) τοῦ (~の) (G3588) αἵματος (血-の G0129) αὐτῆς, (彼女-の G0846) καὶ (そして G2532) ἔγνω (知った G1097) τῷ (~の) (G3588)
σώματι (体-で G4983) ὅτι (~と G3754) ἴαται (癒された-と G2390) ἀπὸ (~から G0575) τῆς (~の) (G3588) μάστιγος. (病い-から G3148)

すると、血の元がすぐにかわき、女は病気がなおったことを、その身に感じた。

30 καὶ εὐθὺς ὁ Ἰησοῦς, ἐπιγνοὺς ἐν ἑαυτῷ τὴν ἐξ αὐτοῦ
すると すぐに (~の) イエス-は 悟って ~の-中-で 自分-自身 (~の) ~から 自分
G2532 G2112 G3588 G2424 G1921 G1722 G1438 G3588 G1537 G0846

δύναμιν ἐξελθοῦσαν, ἐπιστραφεὶς ἐν τῷ ὄχλῳ, ἔλεγεν, Τίς μου
力-が 出て-行った-ことを 振り向いて ~の-中-で (~の) 群衆-の 言った 誰-が わたし-の
G1411 G1831 G1994 G1722 G3588 G3793 G3004 G5101 G1473

ἥψατο τῶν ἱματίων?
触った-のか (~の) 衣-に
G0680 G3588 G2440

イエスはすぐ、自分の内から力が出て行ったことに気づかれて、群衆の中で振り向き、「わたしの着物にさわったのはだれか」と言われた。

31 καὶ ἔλεγον αὐτῷ οἱ μαθηταὶ αὐτοῦ, Βλέπεις τὸν ὄχλον
すると 言った 彼-に (~の) 弟子-たち-が 彼-の ご覧-になって (~の) 群衆-が
G2532 G3004 G0846 G3588 G3101 G0846 G0991 G3588 G3793

συνθλίβοντά σε, καὶ λέγεις, Τίς μου ἥψατο?
押し合っている-のを あなた-に それなのに 言われる-のですか 誰-が わたし-に 触った-のか-と
G4918 G4771 G2532 G3004 G5101 G1473 G0680

そこで弟子たちが言った、「ごらんのとおり、群衆があなたに押し迫っていますのに、だれがさわったかと、おっしゃるのですか」。

32 καὶ περιεβλέπετο ἰδεῖν τὴν τοῦτο ποιήσασαν.
しかし 見回して-いた 見よう-と (~の) この-ことを した-者-を
G2532 G4017 G3708 G3588 G3778 G4160

しかし、イエスはさわった者を見つけようとして、見まわしておられた。

33 ἡ δὲ γυνὴ, φοβηθεῖσα καὶ τρέμουσα, εἰδυῖα ὃ γέγονεν αὐτῇ,
(~の) しかし 女-は 恐れて そして 震えながら 知って (~の) 起こった-ことを 自分-に
G3588 G1161 G1135 G5399 G2532 G5141 G1492 G3739 G1096 G0846

ἦλθεν καὶ προσέπεσεν αὐτῷ, καὶ εἶπεν αὐτῷ πᾶσαν τὴν ἀλήθειαν.
来て そして ひれ伏した 彼-に そして 話した 彼-に すべて-の (~の) 真実-を
G2064 G2532 G4363 G0846 G2532 G3004 G0846 G3956 G3588 G0225

その女は自分の身に起ったことを知って、恐れおののきながら進み出て、みまえにひれ伏して、すべてありのままを申し上げた。

34 ὁ δὲ εἶπεν αὐτῇ, Θυγάτηρ, ἡ πίστις σου σέσωκέν σε;
(~の) すると 言った 彼女-に 娘-よ (~の) 信仰-が あなた-の 救った あなた-を
G3588 G1161 G3004 G0846 G2364 G3588 G4102 G4771 G4982 G4771

ὕπαγε εἰς εἰρήνην, καὶ ἴσθι ὑγιὴς ἀπὸ τῆς μάστιγός σου.
行きなさい ~の-中-へ 平安-に そして ~であり-なさい 健やか-で ~から (~の) 病い-から あなた-の
G5217 G1519 G1515 G2532 G1510 G5199 G0575 G3588 G3148 G4771

イエスはその女に言われた、「娘よ、あなたの信仰があなたを救ったのです。安心して行きなさい。すっかりなおって、達者でいなさい」。

35 Ἔτι αὐτοῦ λαλοῦντος, ἔρχονται ἀπὸ τοῦ ἀρχισυναγώγου, λέγοντες,
まだ 彼–が 話して–いると 来る ~から (~の) 会堂–管理者–の–もと–から 言って
G2089 G0846 G2980 G2064 G0575 G3588 G0752 G3004

ὅτι Ἡ θυγάτηρ σου ἀπέθανεν; τί ἔτι σκύλλεις τὸν
(~と) (~の) 娘–は あなた–の 亡くなりました なぜ まだ わずらわせる–のですか (~の)
G3754 G3588 G2364 G4771 G0599 G5101 G2089 G4660 G3588

διδάσκαλον?
先生–を
G1320

イエスが、まだ話しておられるうちに、会堂司の家から人々がきて言った、「あなたの娘はなくなりました。このうえ、先生を煩わすには及びますまい」。

36 ὁ δὲ Ἰησοῦς, παρακούσας τὸν λόγον λαλούμενον, λέγει τῷ
(~の) しかし イエス–は 聞き流して (~の) 言葉–を 語られた 言う (~の)
G3588 G1161 G2424 G3878 G3588 G3056 G2980 G3004 G3588

ἀρχισυναγώγῳ, Μὴ φοβοῦ; μόνον πίστευε.
会堂–管理者–に ~しないで 恐れないで ただ 信じなさい
G0752 G3361 G5399 G3440 G4100

イエスはその話している言葉を聞き流して、会堂司に言われた、「恐れることはない。ただ信じなさい」。

37 καὶ οὐκ ἀφῆκεν οὐδένα μετ’ αὐτοῦ συνακολουθῆσαι, εἰ
そして ~なかった 許さ–なかった 誰–も ~と–共に 彼 ついて–来る–ことを ~を–除いて
G2532 G3756 G0863 G3762 G3326 G0846 G4870 G1487

μὴ τὸν Πέτρον καὶ Ἰάκωβον καὶ Ἰωάννην τὸν ἀδελφὸν Ἰακώβου.
(~なかった) (~の) ペテロ–と また ヤコブ–と また ヨハネ (~の) 兄弟 ヤコブ–の
G3361 G3588 G4074 G2532 G2385 G2532 G2491 G3588 G0080 G2385

そしてペテロ、ヤコブ、ヤコブの兄弟ヨハネのほかは、ついて来ることを、だれにもお許しにならなかった。

38 καὶ ἔρχονται εἰς τὸν οἶκον τοῦ ἀρχισυναγώγου, καὶ θεωρεῖ
すると 来る ~の–中–に (~の) 家–に (~の) 会堂–管理者–の そして 見る
G2532 G2064 G1519 G3588 G3624 G3588 G0752 G2532 G2334

θόρυβον, καὶ κλαίοντας καὶ ἀλαλάζοντας πολλά.
騒ぎ–を また 泣いて–いる–者–と また 嘆いて–いる–者–が 大いに
G2351 G2532 G2799 G2532 G0214 G4183

彼らが会堂司の家に着くと、イエスは人々が大声で泣いたり、叫んだりして、騒いでいるのをごらんになり、

39 καὶ εἰσελθὼν λέγει αὐτοῖς, Τί θορυβεῖσθε καὶ κλαίετε? τὸ
すると 入って 言う 彼ら–に なぜ 騒いで–いる–のか また 泣いて–いる–のか (~の)
G2532 G1525 G3004 G0846 G5101 G2350 G2532 G2799 G3588

παιδίον οὐκ ἀπέθανεν, ἀλλὰ καθεύδει.
子ども–は ~ない 死んで–いない むしろ 眠って–いる
G3813 G3756 G0599 G0235 G2518

内にはいって、彼らに言われた、「なぜ泣き騒いでいるのか。子供は死んだのではない。眠っているだけである」。

40	καὶ	κατεγέλων	αὐτοῦ.	αὐτὸς	δὲ	ἐκβαλὼν	πάντας,	παραλαμβάνει	τὸν
すると	あざ笑った	彼-を	しかし	彼-は	追い出して	すべて-を	連れて-行く	(~の)
G2532	G2606	G0846	G0846	G1161	G1544	G3956	G3880	G3588

πατέρα	τοῦ	παιδίου,	καὶ	τὴν	μητέρα,	καὶ	τοὺς	μετ’	αὐτοῦ,	καὶ
父-と	(~の)	子ども-の	また	(~の)	母-と	また	(~の)	~と-共-に-いた	彼-と	そして
G3962	G3588	G3813	G2532	G3588	G3384	G2532	G3588	G3326	G0846	G2532

εἰσπορεύεται	ὅπου	ἦν	τὸ	παιδίον.
入って-行く	~する-ところ-に	いた	(~の)	子ども-が
G1531	G3699	G1510	G3588	G3813

人々はイエスをあざ笑った。しかし、イエスはみんなの者を外に出し、子供の父母と供の者たちだけを連れて、子供のいる所にはいって行かれた。

41	καὶ	κρατήσας	τῆς	χειρὸς	τοῦ	παιδίου,	λέγει	αὐτῇ,	Ταλιθὰ,	κούμ;	ὅ
そして	握って	(~の)	手-を	(~の)	子ども-の	言う	彼女-に	タリタ	クミ	それ-は
G2532	G2902	G3588	G5495	G3588	G3813	G3004	G0846	G5008	G2891	G3739

ἐστιν,	μεθερμηνευόμενον,	Τὸ	κοράσιον,	σοὶ	λέγω,	ἔγειρε!
~である	訳すると	(~の)	少女-よ	あなた-に	言う	起きなさい
G1510	G3177	G3588	G2877	G4771	G3004	G1453

そして子供の手を取って、「タリタ、クミ」と言われた。それは、「少女よ、さあ、起きなさい」という意味である。

42	καὶ	εὐθὺς	ἀνέστη	τὸ	κοράσιον	καὶ	περιεπάτει,	ἦν	γὰρ
すると	すぐに	起き上がった	(~の)	少女-は	そして	歩き回った	~であった	なぜなら
G2532	G2112	G0450	G3588	G2877	G2532	G4043	G1510	G1063

ἐτῶν	δώδεκα.	καὶ	ἐξέστησαν	εὐθὺς	ἐκστάσει	μεγάλῃ.
歳-の	十二	すると	驚いた	すぐに	驚き-に	大きな
G2094	G1427	G2532	G1839	G2112	G1611	G3173

すると、少女はすぐに起き上がって、歩き出した。十二歳にもなっていたからである。彼らはたちまち非常な驚きに打たれた。

43	καὶ	διεστείλατο	αὐτοῖς	πολλὰ	ἵνα	μηδεὶς	γνοῖ	τοῦτο;
そして	命じた	彼ら-に	厳しく	~しない-ように	誰-にも	知らせない-ように	この-ことを
G2532	G1291	G0846	G4183	G2443	G3367	G1097	G3778

καὶ	εἶπεν	δοθῆναι	αὐτῇ	φαγεῖν.
そして	言った	与える-ように	彼女-に	食べ物-を
G2532	G3004	G1325	G0846	G5315

イエスは、だれにもこの事を知らすなと、きびしく彼らに命じ、また、少女に食物を与えるようにと言われた。

Chapter 6

1	Καὶ	ἐξῆλθεν	ἐκεῖθεν,	καὶ	ἔρχεται	εἰς	τὴν	πατρίδα	αὐτοῦ;	καὶ
そして	出て-行った	そこ-から	そして	来る	~の-中-へ	(~の)	故郷-に	彼-の	そして
G2532	G1831	G1564	G2532	G2064	G1519	G3588	G3968	G0846	G2532

ἀκολουθοῦσιν	αὐτῷ	οἱ	μαθηταὶ	αὐτοῦ.
従って-来る	彼-に	(~の)	弟子-たち-が	彼-の
G0190	G0846	G3588	G3101	G0846

イエスはそこを去って、郷里に行かれたが、弟子たちも従って行った。

2

καὶ	γενομένου	σαββάτου,	ἤρξατο	διδάσκειν	ἐν	τῇ	συναγωγῇ;	καὶ
そして	なった–とき	安息日–に	始めた	教える–ことを	~の–中–で	(~の)	会堂–で	すると
G2532	G1096	G4521	G0756	G1321	G1722	G3588	G4864	G2532

οἱ	πολλοὶ	ἀκούοντες	ἐξεπλήσσοντο,	λέγοντες,	Πόθεν	τούτῳ	ταῦτα,
(~の)	多く–の–者–が	聞いて	驚いた	言って	どこ–から	この–者–に	これら–が
G3588	G4183	G0191	G1605	G3004	G4159	G3778	G3778

καὶ	τίς	ἡ	σοφία	ἡ	δοθεῖσα	τούτῳ,	καὶ	αἱ	δυνάμεις,
また	何–か	(~の)	知恵–は	(~の)	与えられた	この–者–に	また	(~の)	力ある–わざ–が
G2532	G5101	G3588	G4678	G3588	G1325	G3778	G2532	G3588	G1411

τοιαῦται	διὰ	τῶν	χειρῶν	αὐτοῦ	γινόμεναι?
このような	~を–通じて	(~の)	手–を–通じて	彼–の	なされる–とは
G5108	G1223	G3588	G5495	G0846	G1096

そして、安息日になったので、会堂で教えはじめられた。それを聞いた多くの人々は、驚いて言った、「この人は、これらのことをどこで習ってきたのか。また、この人の授かった知恵はどうだろう。このような力あるわざがその手で行われているのは、どうしてか。

3

οὐχ	οὗτός	ἐστιν	ὁ	τέκτων?	ὁ	υἱὸς	τῆς	Μαρίας,	καὶ
~ではない–か	この–者–は	~である	(~の)	大工–ではないか	(~の)	息子	(~の)	マリヤ–の	また
G3756	G3778	G1510	G3588	G5045	G3588	G5207	G3588	G3137	G2532

ἀδελφὸς	Ἰακώβου	καὶ	Ἰωσῆτος	καὶ	Ἰούδα	καὶ	Σίμωνος?	καὶ	οὐκ
兄弟	ヤコブ–と	また	ヨセ–と	また	ユダ–と	また	シモン–の	また	~ではない
G0080	G2385	G2532	G2500	G2532	G2455	G2532	G4613	G2532	G3756

εἰσὶν	αἱ	ἀδελφαὶ	αὐτοῦ	ὧδε	πρὸς	ἡμᾶς?	καὶ
~である–か	(~の)	姉妹–たち–も	彼–の	ここ–に	~の–もと–に	わたしたち–の	すると
G1510	G3588	G0079	G0846	G5602	G4314	G1473	G2532

ἐσκανδαλίζοντο	ἐν	αὐτῷ.
つまずいていた	~の–こと–で	彼–の
G4624	G1722	G0846

この人は大工ではないか。マリヤのむすこで、ヤコブ、ヨセ、ユダ、シモンの兄弟ではないか。またその姉妹たちも、ここにわたしたちと一緒にいるではないか」。こうして彼らはイエスにつまずいた。

4

καὶ	ἔλεγεν	αὐτοῖς	ὁ	Ἰησοῦς,	ὅτι	Οὐκ	ἔστιν	προφήτης
すると	言っていた	彼ら–に	(~の)	イエス–は	(~と)	~ない	~ではない	預言者–は
G2532	G3004	G0846	G3588	G2424	G3754	G3756	G1510	G4396

ἄτιμος,	εἰ	μὴ	ἐν	τῇ	πατρίδι	αὐτοῦ,	καὶ	ἐν
軽んじられない	~を–除いて	(ない)	~の–中–で	(~の)	故郷–の–中–で	彼–の	また	~の–中–で
G0820	G1487	G3361	G1722	G3588	G3968	G0846	G2532	G1722

τοῖς	συγγενεῦσιν	αὐτοῦ,	καὶ	ἐν	τῇ	οἰκίᾳ	αὐτοῦ.
(~の)	親族–の–中–で	彼–の	また	~の–中–で	(~の)	家–の–中–で	彼–の
G3588	G4773	G0846	G2532	G1722	G3588	G3614	G0846

イエスは言われた、「預言者は、自分の郷里、親族、家以外では、どこででも敬われないことはない」。

5

καὶ	οὐκ	ἐδύνατο	ἐκεῖ	ποιῆσαι	οὐδεμίαν	δύναμιν,
そして	~できなかった	(なかった)	そこ–で	行う–ことが	何–の–力ある–わざ–も	(なかった)
G2532	G3756	G1410	G1563	G4160	G3762	G1411

εἰ	μὴ	ὀλίγοις	ἀρρώστοις,	ἐπιθεὶς	τὰς	χεῖρας,	ἐθεράπευσεν.
~を–除いて	(なかった)	わずか–の	病人–に	置いて	(~の)	手–を	癒した
G1487	G3361	G3641	G0732	G2007	G3588	G5495	G2323

そして、そこでは力あるわざを一つもすることができず、ただ少数の病人に手をおいていやされただけであった。

6

καὶ	ἐθαύμαζεν	διὰ	τὴν	ἀπιστίαν	αὐτῶν.	Καὶ	περιῆγεν	τὰς
そして	驚いた	~の-ゆえに	(~の)	不信仰-の-ゆえに	彼ら-の	そして	巡って-いた	(~の)
G2532	G2296	G1223	G3588	G0570	G0846	G2532	G4013	G3588

κώμας	κύκλῳ,	διδάσκων.
村々-を	周り-の	教えながら
G2968	G2945	G1321

そして、彼らの不信仰を驚き怪しまれた。それからイエスは、附近の村々を巡りあるいて教えられた。

7

Καὶ	προσκαλεῖται	τοὺς	δώδεκα,	καὶ	ἤρξατο	αὐτοὺς	ἀποστέλλειν	δύο
そして	呼び寄せる	(~の)	十二-人-を	そして	始めた	彼ら-を	遣わす-ことを	二-人
G2532	G4341	G3588	G1427	G2532	G0756	G0846	G0649	G1417

δύο,	καὶ	ἐδίδου	αὐτοῖς	ἐξουσίαν	τῶν	πνευμάτων	τῶν	ἀκαθάρτων.
ずつ	そして	与えた	彼ら-に	権威-を	(~の)	霊-に-対する	(~の)	汚れた
G1417	G2532	G1325	G0846	G1849	G3588	G4151	G3588	G0169

また十二弟子を呼び寄せ、ふたりずつつかわすことにして、彼らにけがれた霊を制する権威を与え、

8

καὶ	παρήγγειλεν	αὐτοῖς	ἵνα	μηδὲν	αἴρωσιν	εἰς	ὁδὸν,
そして	命じた	彼ら-に	~する-ように	何-も	持た-ない-ように	~の-ため-に	旅-の
G2532	G3853	G0846	G2443	G3367	G0142	G1519	G3598

εἰ	μὴ	ῥάβδον	μόνον;	μὴ	ἄρτον,	μὴ	πήραν,	μὴ	εἰς	τὴν
~を-除いて	(ない)	杖-だけ	(だけ)	~ない	パン-も	~ない	袋-も	~ない	~の-中-に	(~の)
G1487	G3361	G4464	G3440	G3361	G0740	G3361	G4082	G3361	G1519	G3588

ζώνην	χαλκόν;
帯-の	銅貨-も
G2223	G5475

また旅のために、つえ一本のほかには何も持たないように、パンも、袋も、帯の中に銭も持たず、

9

ἀλλὰ	ὑποδεδεμένους	σανδάλια,	καὶ	μὴ	ἐνδύσησθε	δύο	χιτῶνας.
しかし	履いて	サンダル-を	そして	~ない	着ては-ならない	二-枚-の	下着-を
G0235	G5265	G4547	G2532	G3361	G1746	G1417	G5509

ただわらじをはくだけで、下着も二枚は着ないように命じられた。

10

καὶ	ἔλεγεν	αὐτοῖς,	Ὅπου	ἐὰν	εἰσέλθητε	εἰς	οἰκίαν,	ἐκεῖ
そして	言った	彼ら-に	どこ-でも	~した-なら	入った-なら	~の-中-に	家-に	そこ-に
G2532	G3004	G0846	G3699	G1437	G1525	G1519	G3614	G1563

μένετε	ἕως	ἂν	ἐξέλθητε	ἐκεῖθεν.
とどまりなさい	~まで	(~するまで)	出る-まで	そこ-から
G3306	G2193	G0302	G1831	G1564

そして彼らに言われた、「どこへ行っても、家にはいったなら、その土地を去るまでは、そこにとどまっていなさい。

11

καὶ	ὃς	ἂν	τόπος	μὴ	δέξηται	ὑμᾶς,	μηδὲ	ἀκούσωσιν
そして	(~する)	(~する)	場所–が	~ない	受け入れ–ない	あなたがた–を	~も–ない	聞か–ない
G2532	G3739	G0302	G5117	G3361	G1209	G4771	G3366	G0191

ὑμῶν,	ἐκπορευόμενοι	ἐκεῖθεν,	ἐκτινάξατε	τὸν	χοῦν	τὸν	ὑποκάτω
あなたがた–の	出て–行って	そこ–から	振り落としなさい	(~の)	ちり–を	(~の)	~の–下–の
G4771	G1607	G1564	G1621	G3588	G5522	G3588	G5270

τῶν	ποδῶν	ὑμῶν,	εἰς	μαρτύριον	αὐτοῖς.	<Ἀμὴν	λέγω	ὑμῖν,
(~の)	足–の	あなたがた–の	~の–ため–に	証し–として	彼ら–に	まことに	言う	あなたがた–に
G3588	G4228	G4771	G1519	G3142	G0846	G0281	G3004	G4771

ἀνεκτότερον	ἔσται	Σοδόμοις	ἢ	Γομόρροις	ἐν	ἡμέρᾳ	κρίσεως,
耐えやすい–だろう	~だろう	ソドム–に	あるいは	ゴモラ–に	~の–日–に	(~の)	裁き–の
G0414	G1510	G4670	G2228	G1116	G1722	G2250	G2920

ἢ	τῇ	πόλει	ἐκείνῃ>.
よりも	(~の)	町–にとって	その
G2228	G3588	G4172	G1565

また、あなたがたを迎えず、あなたがたの話を聞きもしない所があったなら、そこから出て行くとき、彼らに対する抗議のしるしに、足の裏のちりを払い落しなさい」。

12

Καὶ	ἐξελθόντες,	ἐκήρυξαν	ἵνα	μετανοῶσιν.
そして	出て–行って	宣べた	~する–ように	悔い改める–ように–と
G2532	G1831	G2784	G2443	G3340

そこで、彼らは出て行って、悔改めを宣べ伝え、

13

καὶ	δαιμόνια	πολλὰ	ἐξέβαλλον,	καὶ	ἤλειφον	ἐλαίῳ	πολλοὺς	ἀρρώστους
そして	悪霊–を	多く–の	追い出した	そして	油を–塗った	油–で	多く–の	病人–に
G2532	G1140	G4183	G1544	G2532	G0218	G1637	G4183	G0732

καὶ	ἐθεράπευον.
そして	癒した
G2532	G2323

多くの悪霊を追い出し、大ぜいの病人に油をぬっていやした。

14

Καὶ	ἤκουσεν	ὁ	βασιλεὺς	Ἡρῴδης;	φανερὸν	γὰρ	ἐγένετο	τὸ	ὄνομα
そして	聞いた	(~の)	王	ヘロデ–は	知れ渡った	なぜなら	なった	(~の)	名–が
G2532	G0191	G3588	G0935	G2264	G5318	G1063	G1096	G3588	G3686

αὐτοῦ.	καὶ	ἔλεγον,	ὅτι	Ἰωάννης	ὁ	Βαπτίζων	ἐγήγερται	ἐκ
彼–の	すると	言っていた	(~と)	ヨハネ	(~の)	バプテスマ–が	よみがえった	~から
G0846	G2532	G3004	G3754	G2491	G3588	G0907	G1453	G1537

νεκρῶν,	καὶ	διὰ	τοῦτο	ἐνεργοῦσιν	αἱ	δυνάμεις	ἐν
死者–の–中–から	それゆえ	~の–ゆえに	(~の)	働いて–いる	(~の)	力ある–わざ–が	~の–中–に
G3498	G2532	G1223	G3778	G1754	G3588	G1411	G1722

αὐτῷ.
彼–の
G0846

さて、イエスの名が知れわたって、ヘロデ王の耳にはいった。ある人々は「バプテスマのヨハネが、死人の中からよみがえってきたのだ。それで、あのような力が彼のうちに働いているのだ」と言い、

15 ἄλλοι δὲ ἔλεγον, ὅτι Ἠλίας ἐστίν; ἄλλοι δὲ
ほか-の-者-は しかし 言っていた (~と) エリヤ-である (~と) ほか-の-者-は しかし
G0243 G1161 G3004 G3754 G2243 G1510 G0243 G1161

ἔλεγον, ὅτι προφήτης, ὡς εἷς τῶν προφητῶν.
言っていた (~と) 預言者-である ~のような 一人-の (~の) 預言者-の
G3004 G3754 G4396 G5613 G1520 G3588 G4396

他の人々は「彼はエリヤだ」と言い、また他の人々は「昔の預言者のような預言者だ」と言った。

16 ἀκούσας δὲ, ὁ Ἡρῴδης ἔλεγεν, Ὃν ἐγὼ ἀπεκεφάλισα, Ἰωάννην--
聞いて しかし (~の) ヘロデ-は 言った (~の) わたし-が 斬首した ヨハネ-が
G0191 G1161 G3588 G2264 G3004 G3739 G1473 G0607 G2491

οὗτος ἠγέρθη!
この-者-が よみがえった
G3778 G1453

ところが、ヘロデはこれを聞いて、「わたしが首を切ったあのヨハネがよみがえったのだ」と言った。

17 Αὐτὸς γὰρ ὁ Ἡρῴδης, ἀποστείλας, ἐκράτησεν τὸν Ἰωάννην, καὶ
彼-自身 なぜなら (~の) ヘロデ-が 人を-遣わして 捕らえた (~の) ヨハネ-を そして
G0846 G1063 G3588 G2264 G0649 G2902 G3588 G2491 G2532

ἔδησεν αὐτὸν ἐν φυλακῇ, διὰ Ἡρῳδιάδα, τὴν γυναῖκα Φιλίππου
縛った 彼-を ~の-中-に 牢獄-に ~の-ゆえに ヘロディア-の (~の) 妻 ピリポ-の
G1210 G0846 G1722 G5438 G1223 G2266 G3588 G1135 G5376

τοῦ ἀδελφοῦ αὐτοῦ, ὅτι αὐτὴν ἐγάμησεν.
(~の) 兄弟 彼-の なぜなら 彼女-を 婚った-から
G3588 G0080 G0846 G3754 G0846 G1060

このヘロデは、自分の兄弟ピリポの妻ヘロデヤをめとったが、そのことで、人をつかわし、ヨハネを捕えて獄につないだ。

18 ἔλεγεν γὰρ ὁ Ἰωάννης τῷ Ἡρῴδῃ, ὅτι Οὐκ ἔξεστίν
言って-いた なぜなら (~の) ヨハネ-が (~の) ヘロデ-に (~と) ~ない 許されて-いない
G3004 G1063 G3588 G2491 G3588 G2264 G3754 G3756 G1832

σοι ἔχειν τὴν γυναῖκα τοῦ ἀδελφοῦ σου.
あなた-は めとる-ことは (~の) 妻-を (~の) 兄弟-の あなた-の
G4771 G2192 G3588 G1135 G3588 G0080 G4771

それは、ヨハネがヘロデに、「兄弟の妻をめとるのは、よろしくない」と言ったからである。

19 ἡ δὲ Ἡρῳδιὰς ἐνεῖχεν αὐτῷ, καὶ ἤθελεν αὐτὸν ἀποκτεῖναι,
(~の) しかし ヘロディア-は 恨んで-いた 彼-を そして 望んで-いた 彼-を 殺す-ことを
G3588 G1161 G2266 G1758 G0846 G2532 G2309 G0846 G0615

καὶ οὐκ ἠδύνατο:
しかし ~なかった ~でき-なかった
G2532 G3756 G1410

そこで、ヘロデヤはヨハネを恨み、彼を殺そうと思っていたが、できないでいた。

20 ὁ (~の) G3588 γὰρ なぜなら G1063 Ἡρῴδης ヘロデ–は G2264 ἐφοβεῖτο 恐れて–いた G5399 τὸν (~の) G3588 Ἰωάννην, ヨハネ–を G2491 εἰδὼς 知って–いた G1492 αὐτὸν 彼–が G0846 ἄνδρα 人 G0435
δίκαιον 正しい G1342 καὶ また G2532 ἅγιον, 聖なる G0040 καὶ そして G2532 συνετήρει 守って–いた G4933 αὐτόν. 彼–を G0846 καὶ そして G2532 ἀκούσας 聞いて G0191 αὐτοῦ, 彼–の–ことを G0846
πολλὰ 多く–の–ことを G4183 ἠπόρει, 当惑して–いた G0639 καὶ そして G2532 ἡδέως 喜んで G2234 αὐτοῦ 彼–の–ことを G0846 ἤκουεν. 聞いて–いた G0191

それはヘロデが、ヨハネは正しくて聖なる人であることを知って、彼を恐れ、彼に保護を加え、またその教を聞いて非常に悩みながらも、なお喜んで聞いていたからである。

21 Καὶ そして G2532 γενομένης なった–とき G1096 ἡμέρας 日–が G2250 εὐκαίρου, ちょうど–良い G2121 ὅτε ~した–とき G3753 Ἡρῴδης ヘロデ–が G2264 τοῖς (~の) G3588 γενεσίοις 誕生日–の–祝い–に G1077
αὐτοῦ 彼–の G0846 δεῖπνον 宴会–を G1173 ἐποίησεν, 開いた G4160 τοῖς (~の) G3588 μεγιστᾶσιν 高官–たち–と G3175 αὐτοῦ, 彼–の G0846 καὶ また G2532 τοῖς (~の) G3588 χιλιάρχοις, 千人–隊–長–たち–と G5506
καὶ また G2532 τοῖς (~の) G3588 πρώτοις 有力者–たち–と G4413 τῆς (~の) G3588 Γαλιλαίας. ガリラヤ–の G1056

ところが、よい機会がきた。ヘロデは自分の誕生日の祝に、高官や将校やガリラヤの重立った人たちを招いて宴会を催したが、

22 καὶ すると G2532 εἰσελθούσης 入って–来て G1525 τῆς (~の) G3588 θυγατρὸς 娘 G2364 αὐτῆς 彼女–の G0846 τῆς (~の) G3588 Ἡρῳδιάδος, ヘロディア–の G2266 καὶ そして G2532 ὀρχησαμένης, 踊って G3738
ἤρεσεν 喜ばせた G0700 τῷ (~の) G3588 Ἡρῴδῃ ヘロデ–と G2264 καὶ また G2532 τοῖς (~の) G3588 συνανακειμένοις. 同席–していた–者–たち–を G4873 «ὁ (~の) G3588 δὲ すると G1161 βασιλεὺς» 王–が G0935
εἶπεν 言った G3004 τῷ (~の) G3588 κορασίῳ, 少女–に G2877 Αἴτησόν 求めなさい G0154 με わたし–に G1473 ὃ (~の) G3739 ἐὰν ~したら G1437 θέλῃς, 望む–もの–を G2309 καὶ そして G2532 δώσω 与えよう G1325
σοι. あなた–に G4771

そこへ、このヘロデヤの娘がはいってきて舞をまい、ヘロデをはじめ列座の人たちを喜ばせた。そこで王はこの少女に「ほしいものはなんでも言いなさい。あなたにあげるから」と言い、

23 καὶ そして G2532 ὤμοσεν 誓った G3660 αὐτῇ, 彼女–に G0846 [πολλά] 大いに G4183 Ὅ¦τι 何–でも G3754 ἐάν ~したら G1437 με わたし–に G1473 αἰτήσῃς, 求める–なら G0154 δώσω 与えよう G1325
σοι, あなた–に G4771 ἕως ~まで G2193 ἡμίσους 半分–まで G2255 τῆς (~の) G3588 βασιλείας 御国–の G0932 μου. わたし–の G1473

さらに「ほしければ、この国の半分でもあげよう」と誓って言った。

24 καὶ
すると
G2532
ἐξελθοῦσα,
出て-行って
G1831
εἶπεν
言った
G3004
τῇ
(~の)
G3588
μητρὶ
母-に
G3384
αὐτῆς,
彼女-の
G0846
Τί
何-を
G5101
αἰτήσωμαι?
求めましょう-か
G0154
ἡ
(~の)
G3588
δὲ
すると
G1161
εἶπεν,
言った
G3004
Τὴν
(~の)
G3588
κεφαλὴν
頭-を
G2776
Ἰωάννου
ヨハネ-の
G2491
τοῦ
(~の)
G3588
Βαπτίζοντος.
バプテスマ-の
G0907

そこで少女は座をはずして、母に「何をお願いしましょうか」と尋ねると、母は「バプテスマのヨハネの首を」と答えた。

25 καὶ
そして
G2532
εἰσελθοῦσα
入って-来て
G1525
εὐθὺς
すぐに
G2112
μετὰ
~と-共に
G3326
σπουδῆς
急いで
G4710
πρὸς
~の-もと-に
G4314
τὸν
(~の)
G3588
βασιλέα,
王-の
G0935
ἠτήσατο,
求めた
G0154
λέγουσα,
言って
G3004
Θέλω
望みます
G2309
ἵνα
~する-ように
G2443
ἐξαυτῆς
今-すぐに
G1824
δῷς
与えて-ください
G1325
μοι
わたし-に
G1473
ἐπὶ
~の-上-に
G1909
πίνακι
盆-の
G4094
τὴν
(~の)
G3588
κεφαλὴν
頭-を
G2776
Ἰωάννου
ヨハネ-の
G2491
τοῦ
(~の)
G3588
Βαπτιστοῦ.
バプテスマ-の
G0910

するとすぐ、少女は急いで王のところに行って願った、「今すぐに、バプテスマのヨハネの首を盆にのせて、それをいただきとうございます」。

26 καὶ
すると
G2532
περίλυπος
深く-悲しみ
G4036
γενόμενος
なって
G1096
ὁ
(~の)
G3588
βασιλεὺς,
王-は
G0935
διὰ
~の-ゆえに
G1223
τοὺς
(~の)
G3588
ὅρκους
誓い-の-ゆえに
G3727
καὶ
また
G2532
τοὺς
(~の)
G3588
ἀνακειμένους,
同席-していた-者-たち-の-ゆえに
G0345
οὐκ
~なかった
G3756
ἠθέλησεν
望ま-なかった
G2309
ἀθετῆσαι
断る-ことを
G0114
αὐτήν.
彼女-を
G0846

王は非常に困ったが、いったん誓ったのと、また列座の人たちの手前、少女の願いを退けることを好まなかった。

27 καὶ
そして
G2532
εὐθὺς
すぐに
G2112
ἀποστείλας
遣わして
G0649
ὁ
(~の)
G3588
βασιλεὺς
王-は
G0935
σπεκουλάτορα,
護衛兵-を
G4688
ἐπέταξεν
命じた
G2004
ἐνέγκαι
持って-来る-ように
G5342
τὴν
(~の)
G3588
κεφαλὴν
頭-を
G2776
αὐτοῦ.
彼-の
G0846
καὶ
そして
G2532
ἀπελθὼν,
行って
G0565
ἀπεκεφάλισεν
斬首した
G0607
αὐτὸν
彼-を
G0846
ἐν
~の-中-で
G1722
τῇ
(~の)
G3588
φυλακῇ,
牢獄-で
G5438

そこで、王はすぐに衛兵をつかわし、ヨハネの首を持って来るように命じた。衛兵は出て行き、獄中でヨハネの首を切り、

28 καὶ
そして
G2532
ἤνεγκεν
持って-来た
G5342
τὴν
(~の)
G3588
κεφαλὴν
頭-を
G2776
αὐτοῦ
彼-の
G0846
ἐπὶ
~の-上-に
G1909
πίνακι,
盆-の
G4094
καὶ
そして
G2532
ἔδωκεν
与えた
G1325
αὐτὴν
それ-を
G0846
τῷ
(~の)
G3588
κορασίῳ,
少女-に
G2877
καὶ
そして
G2532
τὸ
(~の)
G3588
κοράσιον
少女-は
G2877
ἔδωκεν
与えた
G1325
αὐτὴν
それ-を
G0846
τῇ
(~の)
G3588
μητρὶ
母-に
G3384
αὐτῆς.
彼女-の
G0846

盆にのせて持ってきて少女に与え、少女はそれを母にわたした。

29 καὶ そして G2532 ἀκούσαντες, 聞いて G0191 οἱ (~の) G3588 μαθηταὶ 弟子-たち-が G3101 αὐτοῦ 彼-の G0846 ἦλθον, 来た G2064 καὶ そして G2532 ἦραν 取り上げた G0142 τὸ (~の) G3588 πτῶμα 遺体-を G4430 αὐτοῦ, 彼-の G0846 καὶ そして G2532 ἔθηκαν 納めた G5087 αὐτὸ それ-を G0846 ἐν ~の-中-に G1722 μνημείῳ. 墓-に G3419

ヨハネの弟子たちはこのことを聞き、その死体を引き取りにきて、墓に納めた。

30 Καὶ そして G2532 συνάγονται 集まる G4863 οἱ (~の) G3588 ἀπόστολοι 使徒-たち-が G0652 πρὸς ~の-もと-に G4314 τὸν (~の) G3588 Ἰησοῦν, イエス-の G2424 καὶ そして G2532 ἀπήγγειλαν 報告した G0518 αὐτῷ 彼-に G0846 πάντα, すべて-を G3956 ὅσα どれほど G3745 ἐποίησαν 行った-かを G4160 καὶ また G2532 ὅσα どれほど G3745 ἐδίδαξαν. 教えた-かを G1321

さて、使徒たちはイエスのもとに集まってきて、自分たちがしたことや教えたことを、みな報告した。

31 καὶ すると G2532 λέγει 言う G3004 αὐτοῖς, 彼ら-に G0846 Δεῦτε さあ G1205 ὑμεῖς あなたがた-自身 G4771 αὐτοὶ 自ら G0846 κατ’ ~の-ところ-に G2596 ἰδίαν ひそか-に G2398 εἰς ~の-中-へ G1519 ἔρημον 寂しい G2048 τόπον, 場所-に G5117 καὶ そして G2532 ἀναπαύσασθε 休みなさい G0373 ὀλίγον. 少し G3641 ἦσαν いた G1510 γὰρ なぜなら G1063 οἱ (~の) G3588 ἐρχόμενοι 来る-者-と G2064 καὶ また G2532 οἱ (~の) G3588 ὑπάγοντες 行く-者-が G5217 πολλοί, 多く G4183 καὶ そして G2532 οὐδὲ ~さえも G3761 φαγεῖν 食べる-こと G5315 εὐκαίρουν. 暇-が-なかった G2119

するとイエスは彼らに言われた、「さあ、あなたがたは、人を避けて寂しい所へ行って、しばらく休むがよい」。それは、出入りする人が多くて、食事をする暇もなかったからである。

32 καὶ そして G2532 ἀπῆλθον 出かけた G0565 ἐν ~の-中-で G1722 τῷ (~の) G3588 πλοίῳ 舟-で G4143 εἰς ~の-中-へ G1519 ἔρημον 寂しい G2048 τόπον 場所-に G5117 κατ’ ~の-ところ-に G2596 ἰδίαν. ひそか-に G2398

そこで彼らは人を避け、舟に乗って寂しい所へ行った。

33 καὶ すると G2532 εἶδον 見た G3708 αὐτοὺς 彼ら-が G0846 ὑπάγοντας, 行く-のを G5217 καὶ そして G2532 ἐπέγνωσαν 気づいた G1921 πολλοί, 多く-の-者-が G4183 καὶ そして G2532 πεζῇ 徒歩-で G3979 ἀπὸ ~から G0575 πασῶν すべて-の G3956 τῶν (~の) G3588 πόλεων 町々-から G4172 συνέδραμον 走って-集まった G4936 ἐκεῖ, そこ-に G1563 καὶ そして G2532 προῆλθον 先に-着いた G4281 αὐτούς, 彼ら-より G0846

ところが、多くの人々は彼らが出かけて行くのを見、それと気づいて、方々の町々からそこへ、一せいに駆けつけ、彼らより先に着いた。

34 Καὶ そして G2532 | ἐξελθὼν, 出て–来て G1831 | εἶδεν 見た G3708 | πολὺν 大きな G4183 | ὄχλον, 群衆–を G3793 | καὶ そして G2532 | ἐσπλαγχνίσθη 憐れんだ G4697 | ἐπ’ ~の–上–に G1909 | αὐτοὺς, 彼ら–を G0846

ὅτι なぜなら G3754 | ἦσαν いた G1510 | ὡς ~のように G5613 | πρόβατα 羊–のように G4263 | μὴ ~ない G3361 | ἔχοντα 持た–ない G2192 | ποιμένα. 羊飼い–を G4166 | καὶ そして G2532 | ἤρξατο 始めた G0756

διδάσκειν 教える–ことを G1321 | αὐτοὺς 彼ら–に G0846 | πολλά. 多く–の–こと–を G4183

イエスは舟から上がって大ぜいの群衆をごらんになり、飼う者のない羊のようなその有様を深くあわれんで、いろいろと教えはじめられた。

35 Καὶ そして G2532 | ἤδη すでに G2235 | ὥρας 時–が G5610 | πολλῆς 過ぎ–て G4183 | γενομένης, なった–とき G1096 | προσελθόντες, 近づいて–来て G4334 | αὐτῷ, 彼–に G0846 | οἱ (~の) G3588 | μαθηταὶ 弟子–たち–が G3101

αὐτοῦ 彼–の G0846 | ἔλεγον, 言った G3004 | ὅτι (~と) G3754 | Ἔρημός 寂しい–です G2048 | ἐστιν ~である G1510 | ὁ (~の) G3588 | τόπος, 場所–は G5117 | καὶ そして G2532 | ἤδη すでに G2235 | ὥρα 時–が G5610

πολλή; 過ぎ–ています G4183

ところが、はや時もおそくなったので、弟子たちはイエスのもとにきて言った、「ここは寂しい所でもあり、もう時もおそくなりました。

36 ἀπόλυσον 解放して–ください G0630 | αὐτούς, 彼ら–を G0846 | ἵνα ~する–ように G2443 | ἀπελθόντες 行って G0565 | εἰς ~の–中–へ G1519 | τοὺς (~の) G3588 | κύκλῳ 周り–の G2945 | ἀγροὺς 野–と G0068

καὶ また G2532 | κώμας, 村–に G2968 | ἀγοράσωσιν 買う–ように G0059 | ἑαυτοῖς 自分–たち–の–ために G1438 | τί 何–か G5101 | φάγωσιν. 食べる–もの–を G5315

みんなを解散させ、めいめいで何か食べる物を買いに、まわりの部落や村々へ行かせてください」。

37 ὁ (~の) G3588 | δὲ しかし G1161 | ἀποκριθεὶς, 答えて G0611 | εἶπεν 言った G3004 | αὐτοῖς, 彼ら–に G0846 | Δότε 与えなさい G1325 | αὐτοῖς 彼ら–に G0846 | ὑμεῖς あなたがた–が G4771

φαγεῖν. 食べる–もの–を G5315 | καὶ すると G2532 | λέγουσιν 言う G3004 | αὐτῷ, 彼–に G0846 | Ἀπελθόντες, 行って G0565 | ἀγοράσωμεν 買いましょう–か G0059 | δηναρίων デナリ–の G1220 | διακοσίων 二百 G1250

ἄρτους, パン–を G0740 | καὶ そして G2532 | δώσομεν 与えましょう–か G1325 | αὐτοῖς 彼ら–に G0846 | φαγεῖν? 食べる–もの–を G5315

イエスは答えて言われた、「あなたがたの手で食物をやりなさい」。弟子たちは言った、「わたしたちが二百デナリものパンを買ってきて、みんなに食べさせるのですか」。

38 ὁ (~の) G3588 | δὲ しかし G1161 | λέγει 言う G3004 | αὐτοῖς, 彼ら–に G0846 | Πόσους いくつ G4214 | ἔχετε 持って–いる–のか G2192 | ἄρτους? パン–を G0740 | ὑπάγετε, 行って G5217 | ἴδετε. 見て–きなさい G3708

καὶ すると G2532 | γνόντες, 知って G1097 | λέγουσιν, 言う G3004 | Πέντε, 五–つ G4002 | καὶ また G2532 | δύο 二–匹–の G1417 | ἰχθύας. 魚–を G2486

するとイエスは言われた、「パンは幾つあるか。見てきなさい」。彼らは確かめてきて、「五つあります。それに魚が二ひき」と言った。

39 καὶ ἐπέταξεν αὐτοῖς ἀνακλῖναι πάντας, συμπόσια συμπόσια ἐπὶ
すると 命じた 彼ら-に 座らせる-ように すべて-を 組-ごと 組-ごと-に ~の-上-に
G2532 G2004 G0846 G0347 G3956 G4849 G4849 G1909

τῷ χλωρῷ χόρτῳ.
(~の) 青い 草-の-上-に
G3588 G5515 G5528

そこでイエスは、みんなを組々に分けて、青草の上にすわらせるように命じられた。

40 καὶ ἀνέπεσαν πρασιαὶ πρασιαί, κατὰ ἑκατὸν καὶ κατὰ πεντήκοντα.
すると 座った 列-ごと 列-ごと-に ~ずつ 百-人 また ~ずつ 五十-人
G2532 G0377 G4237 G4237 G2596 G1540 G2532 G2596 G4004

人々は、あるいは百人ずつ、あるいは五十人ずつ、列をつくってすわった。

41 καὶ λαβὼν τοὺς πέντε ἄρτους καὶ τοὺς δύο ἰχθύας, ἀναβλέψας
すると 取って (~の) 五-つ-の パン-と また (~の) 二-匹-の 魚-を 見上げて
G2532 G2983 G3588 G4002 G0740 G2532 G3588 G1417 G2486 G0308

εἰς τὸν οὐρανὸν, εὐλόγησεν καὶ κατέκλασεν τοὺς ἄρτους, καὶ ἐδίδου
~の-方-へ (~の) 天-を 祝福した そして 裂いた (~の) パン-を そして 与えた
G1519 G3588 G3772 G2127 G2532 G2622 G3588 G0740 G2532 G1325

τοῖς μαθηταῖς ‹αὐτοῦ›, ἵνα παρατιθῶσιν αὐτοῖς. καὶ τοὺς δύο
(~の) 弟子-たち-に 彼-の ~する-ように 配る-ように 彼ら-に また (~の) 二-匹-の
G3588 G3101 G0846 G2443 G3908 G0846 G2532 G3588 G1417

ἰχθύας ἐμέρισεν πᾶσιν.
魚-も 分けた すべて-の-者-に
G2486 G3307 G3956

それから、イエスは五つのパンと二ひきの魚とを手に取り、天を仰いでそれを祝福し、パンをさき、弟子たちにわたして配らせ、また、二ひきの魚もみんなにお分けになった。

42 καὶ ἔφαγον πάντες, καὶ ἐχορτάσθησαν.
すると 食べた すべて-が そして 満腹に-なった
G2532 G5315 G3956 G2532 G5526

みんなの者は食べて満腹した。

43 καὶ ἦραν κλάσματα δώδεκα κοφίνων πληρώματα, καὶ ἀπὸ τῶν
すると 拾い-集めた かけら-を 十二 かご-の いっぱい また ~から (~の)
G2532 G0142 G2801 G1427 G2894 G4138 G2532 G0575 G3588

ἰχθύων.
魚-から-も
G2486

そこで、パンくずや魚の残りを集めると、十二のかごにいっぱいになった。

44 καὶ ἦσαν οἱ φαγόντες τοὺς ἄρτους, πεντακισχίλιοι ἄνδρες.
そして いた (~の) 食べた-者-は (~の) パン-を 五千-人-の 男-であった
G2532 G1510 G3588 G5315 G3588 G0740 G4000 G0435

パンを食べた者は男五千人であった。

45 Καὶ そして G2532 εὐθὺς すぐに G2112 ἠνάγκασεν 促した G0315 τοὺς (~の) G3588 μαθητὰς 弟子–たち–を G3101 αὐτοῦ 彼–の G0846 ἐμβῆναι 乗り込む–ように G1684 εἰς ~の–中–に G1519 τὸ (~の) G3588 πλοῖον, 舟–に G4143 καὶ そして G2532 προάγειν 先に–行く–ように G4254 εἰς ~の–方–へ G1519 τὸ (~の) G3588 πέραν, 向こう–岸–へ G4008 πρὸς ~の–方–へ G4314 Βηθσαϊδάν, ベトサイダ–の G0966 ἕως ~の–間–に G2193 αὐτὸς 彼–自身–が G0846 ἀπολύει 解放する G0630 τὸν (~の) G3588 ὄχλον. 群衆–を G3793

それからすぐ、イエスは自分で群衆を解散させておられる間に、しいて弟子たちを舟に乗り込ませ、向こう岸のベツサイダへ先におやりになった。

46 καὶ そして G2532 ἀποταξάμενος 別れを–告げて G0657 αὐτοῖς, 彼ら–に G0846 ἀπῆλθεν 去った G0565 εἰς ~の–上–に G1519 τὸ (~の) G3588 ὄρος 山–に G3735 προσεύξασθαι. 祈る–ために G4336

そして群衆に別れてから、祈るために山へ退かれた。

47 καὶ そして G2532 ὀψίας 夕方–に G3798 γενομένης, なった–とき G1096 ἦν いた G1510 τὸ (~の) G3588 πλοῖον 舟–は G4143 ἐν ~の–中–に G1722 μέσῳ 真ん中–に G3319 τῆς (~の) G3588 θαλάσσης, 海–の G2281 καὶ そして G2532 αὐτὸς 彼–は G0846 μόνος 独り–で G3441 ἐπὶ ~の–上–に G1909 τῆς (~の) G3588 γῆς. 地–に G1093

夕方になったとき、舟は海のまん中に出ており、イエスだけが陸地におられた。

48 καὶ そして G2532 ἰδὼν 見て G3708 αὐτοὺς 彼ら–が G0846 βασανιζομένους 苦しみながら G0928 ἐν ~の–中–で G1722 τῷ (~の) G3588 ἐλαύνειν, 漕ぐ–こと–に G1643 ἦν いた G1510 γὰρ なぜなら G1063 ὁ (~の) G3588 ἄνεμος 風–が G0417 ἐναντίος 逆–であった G1727 αὐτοῖς. 彼ら–に G0846 περὶ ~の–頃–に G4012 τετάρτην 第四 G5067 φυλακὴν 夜–番–の G5438 τῆς (~の) G3588 νυκτὸς 夜–の G3571 ἔρχεται 来る G2064 πρὸς ~の–もと–に G4314 αὐτοὺς, 彼ら–の G0846 περιπατῶν 歩いて G4043 ἐπὶ ~の–上–を G1909 τῆς (~の) G3588 θαλάσσης, 海–の G2281 καὶ そして G2532 ἤθελεν 望んで–いた G2309 παρελθεῖν 通り–過ぎる–ことを G3928 αὐτούς. 彼ら–を G0846

ところが逆風が吹いていたために、弟子たちがこぎ悩んでいるのをごらんになって、夜明けの四時ごろ、海の上を歩いて彼らに近づき、そのそばを通り過ぎようとされた。

49 οἱ (~の) G3588 δὲ しかし G1161 ἰδόντες 見て G3708 αὐτὸν 彼–が G0846 ἐπὶ ~の–上–を G1909 τῆς (~の) G3588 θαλάσσης 海–の G2281 περιπατοῦντα, 歩いて–いる–のを G4043 ἔδοξαν 思った G1380 ὅτι (~と) G3754 φάντασμά 幽霊–である G5326 ἐστιν, (~と) G1510 καὶ そして G2532 ἀνέκραξαν. 叫んだ G0349

彼らはイエスが海の上を歩いておられるのを見て、幽霊だと思い、大声で叫んだ。

50

πάντες	γὰρ	αὐτὸν	εἶδον,	καὶ	ἐταράχθησαν.	ὁ	δὲ	εὐθὺς
すべて–の–者–が	なぜなら	彼–を	見た	そして	おびえた	(~の)	しかし	すぐに
G3956	G1063	G0846	G3708	G2532	G5015	G3588	G1161	G2112

ἐλάλησεν	μετ’	αὐτῶν,	καὶ	λέγει	αὐτοῖς,	Θαρσεῖτε;	ἐγώ	εἰμι;
語りかけた	~と	彼ら–に	そして	言う	彼ら–に	安心しなさい	わたし–です	(~である)
G2980	G3326	G0846	G2532	G3004	G0846	G2293	G1473	G1510

μὴ	φοβεῖσθε.
~しないで	恐れないで
G3361	G5399

みんなの者がそれを見て、おじ恐れたからである。しかし、イエスはすぐ彼らに声をかけ、「しっかりするのだ。わたしである。恐れることはない」と言われた。

51

καὶ	ἀνέβη	πρὸς	αὐτοὺς	εἰς	τὸ	πλοῖον,	καὶ	ἐκόπασεν	ὁ
そして	上った	~の–もと–に	彼ら–の	~の–中–に	(~の)	舟–に	そして	やんだ	(~の)
G2532	G0305	G4314	G0846	G1519	G3588	G4143	G2532	G2869	G3588

ἄνεμος.	καὶ	λίαν	ἐκ	περισσοῦ	ἐν	ἑαυτοῖς	ἐξίσταντο,
風–は	そして	非常に	~の–中–から	極めて	~の–中–で	自分–たち–の	驚いて–いた
G0417	G2532	G3029	G1537	G4053	G1722	G1438	G1839

そして、彼らの舟に乗り込まれると、風はやんだ。彼らは心の中で、非常に驚いた。

52

οὐ	γὰρ	συνῆκαν	ἐπὶ	τοῖς	ἄρτοις,	ἀλλ’	ἦν	αὐτῶν
~なかった	なぜなら	理解し–なかった	~に–ついて	(~の)	パン–の–こと–を	むしろ	いた	彼ら–の
G3756	G1063	G4920	G1909	G3588	G0740	G0235	G1510	G0846

ἡ	καρδία	πεπωρωμένη.
(~の)	心–は	かたくな–に–なって–いた
G3588	G2588	G4456

先のパンのことを悟らず、その心が鈍くなっていたからである。

53

Καὶ	διαπεράσαντες	ἐπὶ	τὴν	γῆν,	ἦλθον	εἰς	Γεννησαρὲτ,	καὶ
そして	渡って	~の–方–に	(~の)	地–に	来た	~の–中–に	ゲネサレト–に	そして
G2532	G1276	G1909	G3588	G1093	G2064	G1519	G1082	G2532

προσωρμίσθησαν.
岸に–ついた
G4358

彼らは海を渡り、ゲネサレの地に着いて舟をつないだ。

54

καὶ	ἐξελθόντων	αὐτῶν	ἐκ	τοῦ	πλοίου,	εὐθὺς	ἐπιγνόντες	αὐτὸν,
すると	出て–来た–とき	彼ら–が	~から	(~の)	舟–から	すぐに	気づいて	彼–を
G2532	G1831	G0846	G1537	G3588	G4143	G2112	G1921	G0846

そして舟からあがると、人々はすぐイエスと知って、

55

περιέδραμον	ὅλην	τὴν	χώραν	ἐκείνην,	καὶ	ἤρξαντο	ἐπὶ	τοῖς
走り回った	あの–全体–の	(~の)	地方–を	その	そして	始めた	~の–上–に	(~の)
G4063	G3650	G3588	G5561	G1565	G2532	G0756	G1909	G3588

κραβάττοις	τοὺς	κακῶς	ἔχοντας	περιφέρειν,	ὅπου	ἤκουον	ὅτι	ἐστίν.
床–の–上–に	(~の)	患って–いる	者–たち–を	運ぶ–ことを	~する–ところ	聞いた	(~と)	いる–と
G2895	G3588	G2560	G2192	G4064	G3699	G0191	G3754	G1510

その地方をあまねく駆けめぐり、イエスがおられると聞けば、どこへでも病人を床にのせて運びはじめた。

56 καὶ そして G2532 | ὅπου どこ-でも G3699 | ἂν (~する) G0302 | εἰσεπορεύετο 入って-行った G1531 | εἰς ~の-中-に G1519 | κώμας 村-に G2968 | ἢ あるいは G2228 | εἰς ~の-中-に G1519 | πόλεις 町-に G4172

ἢ あるいは G2228 | εἰς ~の-中-に G1519 | ἀγροὺς, 野-に G0068 | ἐν ~の-中-に G1722 | ταῖς (~の) G3588 | ἀγοραῖς 広場-に G0058 | ἐτίθεσαν 置いて-いた G5087 | τοὺς (~の) G3588

ἀσθενοῦντας, 患って-いる-者-たち-を G0770 | καὶ そして G2532 | παρεκάλουν 懇願して-いた G3870 | αὐτὸν 彼-に G0846 | ἵνα ~する-ように G2443 | κἂν せめて G2579 | τοῦ (~の) G3588 | κρασπέδου ふさ-に G2899

τοῦ (~の) G3588 | ἱματίου 衣-の G2440 | αὐτοῦ 彼-の G0846 | ἅψωνται; 触れたい-と G0680 | καὶ すると G2532 | ὅσοι ~する-すべて-の-者-が G3745 | ἂν (~する) G0302 | ἥψαντο 触った G0680 | αὐτοῦ 彼-に G0846

ἐσῴζοντο.
救われた
G4982

そして、村でも町でも部落でも、イエスがはいって行かれる所では、病人たちをその広場におき、せめてその上着のふさにでも、さわらせてやっていただきたいと、お願いした。そしてさわった者は皆いやされた。

Chapter 7

1 Καὶ そして G2532 | συνάγονται 集まる G4863 | πρὸς ~の-もと-に G4314 | αὐτὸν 彼 G0846 | οἱ (~の) G3588 | Φαρισαῖοι パリサイ人-と G5330 | καί また G2532 | τινες ある-者-たち-が G5100 | τῶν (~の) G3588

γραμματέων, 律法学者-の G1122 | ἐλθόντες 来て G2064 | ἀπὸ ~から G0575 | Ἱεροσολύμων; エルサレム-から G2414

さて、パリサイ人と、ある律法学者たちとが、エルサレムからきて、イエスのもとに集まった。

2 καὶ そして G2532 | ἰδόντες 見て G3708 | τινὰς ある-者-が G5100 | τῶν (~の) G3588 | μαθητῶν 弟子-たち-の G3101 | αὐτοῦ 彼-の G0846 | ὅτι (~と) G3754 | κοιναῖς 汚れた G2839 | χερσίν, 手-で G5495 | τοῦτ’ すなわち G3778

ἔστιν (~は) G1510 | ἀνίπτοις, 洗わない G0449 | ἐσθίουσιν 食べて-いる-と G2068 | τοὺς (~の) G3588 | ἄρτους, パン-を G0740

そして弟子たちのうちに、不浄な手、すなわち洗わない手で、パンを食べている者があるのを見た。

3 οἱ (~の) G3588 | γὰρ なぜなら G1063 | Φαρισαῖοι パリサイ人-と G5330 | καὶ また G2532 | πάντες すべて-の G3956 | οἱ (~の) G3588 | Ἰουδαῖοι, ユダヤ人-は G2453 | ἐὰν ~しない-限り G1437 | μὴ ~ない G3361

πυγμῇ こぶし-で G4435 | νίψωνται 洗わ-ない-限り G3538 | τὰς (~の) G3588 | χεῖρας, 手-を G5495 | οὐκ ~ない G3756 | ἐσθίουσιν, 食べ-ない G2068 | κρατοῦντες 守って G2902 | τὴν (~の) G3588 | παράδοσιν 言い伝え-を G3862

τῶν (~の) G3588 | πρεσβυτέρων; 長老-たち-の G4245

もともと、パリサイ人をはじめユダヤ人はみな、昔の人の言伝えをかたく守って、念入りに手を洗ってからでないと、食事をしない。

4	καὶ	ἀπ’	ἀγορᾶς,	ἐὰν	μὴ	βαπτίσωνται	οὐκ	ἐσθίουσιν;	καὶ
	また	~から	市場-から	~しない-限り	~ない	身を-洗わ-ない-限り	~ない	食べ-ない	また
	G2532	G0575	G0058	G1437	G3361	G0907	G3756	G2068	G2532

ἄλλα	πολλά	ἐστιν	ἃ	παρέλαβον	κρατεῖν,	βαπτισμοὺς	ποτηρίων
ほか-の	多く-の-こと-が	ある	(~の)	受け-継いで	守る-こと-を	洗い-を	杯-の
G0243	G4183	G1510	G3739	G3880	G2902	G0909	G4221

καὶ	ξεστῶν	καὶ	χαλκίων	‹καὶ	κλινῶν›.
また	水差し-の	また	銅器-の	また	寝台-の
G2532	G3582	G2532	G5473	G2532	G2825

また市場から帰ったときには、身を清めてからでないと、食事をせず、なおそのほかにも、杯、鉢、銅器を洗うことなど、昔から受けついでかたく守っている事が、たくさんあった。

5	καὶ	ἐπερωτῶσιν	αὐτὸν	οἱ	Φαρισαῖοι	καὶ	οἱ	γραμματεῖς,	Διὰ	τί
	そして	尋ねる	彼-に	(~の)	パリサイ人-と	また	(~の)	律法学者-たち-が	なぜ	(~か)
	G2532	G1905	G0846	G3588	G5330	G2532	G3588	G1122	G1223	G5101

οὐ	περιπατοῦσιν	οἱ	μαθηταί	σου	κατὰ	τὴν	παράδοσιν	τῶν
~ない	歩ま-ない-のか	(~の)	弟子-たち-は	あなた-の	~に-従って	(~の)	言い伝え-に	(~の)
G3756	G4043	G3588	G3101	G4771	G2596	G3588	G3862	G3588

πρεσβυτέρων,	ἀλλὰ	κοιναῖς	χερσὶν	ἐσθίουσιν	τὸν	ἄρτον?
長老-たち-の	むしろ	汚れた	手-で	食べて-いる	(~の)	パン-を
G4245	G0235	G2839	G5495	G2068	G3588	G0740

そこで、パリサイ人と律法学者たちとは、イエスに尋ねた、「なぜ、あなたの弟子たちは、昔の人の言伝えに従って歩まないで、不浄な手でパンを食べるのですか」。

6	ὁ	δὲ	εἶπεν	αὐτοῖς,	Καλῶς	ἐπροφήτευσεν	Ἡσαΐας	περὶ	ὑμῶν
	(~の)	しかし	言った	彼ら-に	見事-に	預言した	イザヤ-が	~に-ついて	あなたがた-の
	G3588	G1161	G3004	G0846	G2573	G4395	G2268	G4012	G4771

τῶν	ὑποκριτῶν,	ὡς	γέγραπται,	ὅτι	Οὗτος	ὁ	λαὸς	τοῖς	χείλεσίν
(~の)	偽善者-たち	~のように	書かれて-いる	(~と)	この	(~の)	民-は	(~の)	唇-で
G3588	G5273	G5613	G1125	G3754	G3778	G3588	G2992	G3588	G5491

με	τιμᾷ,	ἡ	δὲ	καρδία	αὐτῶν	πόρρω	ἀπέχει	ἀπ’	ἐμοῦ.
わたし-を	敬う	(~の)	しかし	心-は	彼ら-の	遠く	離れて-いる	~から	わたし-から
G1473	G5091	G3588	G1161	G2588	G0846	G4206	G0568	G0575	G1473

イエスは言われた、「イザヤは、あなたがた偽善者について、こう書いているが、それは適切な預言である、『この民は、口さきではわたしを敬うが、その心はわたしから遠く離れている。

7	μάτην	δὲ	σέβονταί	με,	διδάσκοντες	διδασκαλίας	ἐντάλματα	ἀνθρώπων.
	むなしく	しかし	崇めて-いる	わたし-を	教えて	教え-として	戒め-を	人-の
	G3155	G1161	G4576	G1473	G1321	G1319	G1778	G0444

人間のいましめを教として教え、無意味にわたしを拝んでいる』。

8 ἀφέντες τὴν ἐντολὴν τοῦ Θεοῦ, κρατεῖτε τὴν παράδοσιν τῶν ἀνθρώπων,
捨てて (~の) 戒め–を (~の) 神–の 守って–いる (~の) 言い伝え–を (~の) 人–の
G0863 G3588 G1785 G3588 G2316 G2902 G3588 G3862 G3588 G0444

<βαπτισμοὺς ξεστῶν καὶ ποτηρίων, καὶ ἄλλα παρόμοια τοιαῦτα
洗い–を 水差し–の また 杯–の また ほか–の 似た–ような このような
G0909 G3582 G2532 G4221 G2532 G0243 G3946 G5108

πολλὰ ποιεῖτε>.
多く–の–こと–を して–いる
G4183 G4160

あなたがたは、神のいましめをさしおいて、人間の言伝えを固執している」。

9 καὶ ἔλεγεν αὐτοῖς, Καλῶς ἀθετεῖτε τὴν ἐντολὴν τοῦ Θεοῦ, ἵνα
そして 言った 彼ら–に 見事–に 退けて–いる (~の) 戒め–を (~の) 神–の ~する–ために
G2532 G3004 G0846 G2573 G0114 G3588 G1785 G3588 G2316 G2443

τὴν παράδοσιν ὑμῶν τηρήσητε.
(~の) 言い伝え–を あなたがた–の 守ろう–と
G3588 G3862 G4771 G5083

また、言われた、「あなたがたは、自分たちの言伝えを守るために、よくも神のいましめを捨てたものだ。

10 Μωϋσῆς γὰρ εἶπεν, Τίμα τὸν πατέρα σου καὶ τὴν μητέρα
モーセ–は なぜなら 言った 敬え (~の) 父–を あなた–の また (~の) 母–を
G3475 G1063 G3004 G5091 G3588 G3962 G4771 G2532 G3588 G3384

σου; καί, Ὁ κακολογῶν πατέρα ἢ μητέρα θανάτῳ
あなた–の また (~する) 悪く–言う–者–は 父–を あるいは 母–を 死–によって
G4771 G2532 G3588 G2551 G3962 G2228 G3384 G2288

τελευτάτω.
死ぬ–べきである
G5053

モーセは言ったではないか、『父と母とを敬え』、また『父または母をののしる者は、必ず死に定められる』と。

11 ὑμεῖς δὲ λέγετε, Ἐὰν εἴπῃ ἄνθρωπος τῷ πατρὶ ἢ τῇ
しかし あなたがた–は しかし 言う ~したら 人–が 言う–なら (~の) 父–に あるいは
G4771 G1161 G3004 G1437 G3004 G0444 G3588 G3962 G2228 G3588

μητρί, Κορβᾶν, ὅ ἐστιν, Δῶρον, ὃ ἐὰν ἐξ ἐμοῦ ὠφεληθῇς--
(~の) 母–に コルバン それ–は ~である 供え物 (~の) ~したら ~から わたし–から
G3384 G2878 G3739 G1510 G1435 G3739 G1437 G1537 G1473 G5623

それだのに、あなたがたは、もし人が父または母にむかって、あなたに差上げるはずのこのものはコルバン、すなわち、供え物ですと言えば、それでよいとして、

12 οὐκέτι ἀφίετε αὐτὸν οὐδὲν ποιῆσαι τῷ πατρὶ ἢ τῇ μητρί,
もはや 許さ–ない 彼–に 何–も する–ことを (~の) 父–に あるいは (~の) 母–に
G3765 G0863 G0846 G3762 G4160 G3588 G3962 G2228 G3588 G3384

その人は父母に対して、もう何もしないで済むのだと言っている。

13 ἀκυροῦντες τὸν λόγον τοῦ Θεοῦ τῇ παραδόσει ὑμῶν ᾗ
無効に–して (~の) 御言葉–を (~の) 神–の (~の) 言い伝え–によって あなたがた–の (~の)
G0208 G3588 G3056 G3588 G2316 G3588 G3862 G4771 G3739

παρεδώκατε. καὶ παρόμοια τοιαῦτα πολλὰ ποιεῖτε.
伝えた また 似た–ような このような 多く–の–こと–を して–いる
G3860 G2532 G3946 G5108 G4183 G4160

こうしてあなたがたは、自分たちが受けついだ言伝えによって、神の言を無にしている。また、このような事をしばしばおこなっている」。

14 Καὶ προσκαλεσάμενος πάλιν τὸν ὄχλον, ἔλεγεν αὐτοῖς, Ἀκούσατέ
そして 呼び寄せて 再び (~の) 群衆-を 言った 彼ら-に 聞きなさい
G2532 G4341 G3825 G3588 G3793 G3004 G0846 G0191

μου, πάντες, καὶ σύνετε:
わたし-の-ことを すべて-の-者よ そして 理解しなさい
G1473 G3956 G2532 G4920

それから、イエスは再び群衆を呼び寄せて言われた、「あなたがたはみんな、わたしの言うことを聞いて悟るがよい。

15 οὐδέν ἐστιν ἔξωθεν τοῦ ἀνθρώπου εἰσπορευόμενον εἰς αὐτὸν, ὃ
何-も ~ない ~の-外-から (~の) 人-の 入って-来る-もの-が ~の-中-へ 彼-の (~の)
G3762 G1510 G1855 G3588 G0444 G1531 G1519 G0846 G3739

δύναται κοινῶσαι αὐτόν; ἀλλὰ τὰ ἐκ τοῦ ἀνθρώπου ἐκπορευόμενά,
~できない 汚す-ことは 彼-を むしろ (~の) ~から (~の) 人-から 出て-来る-もの-が
G1410 G2840 G0846 G0235 G3588 G1537 G3588 G0444 G1607

ἐστιν τὰ κοινοῦντα τὸν ἄνθρωπον.
~である (~の) 汚す-もの-が (~の) 人-を
G1510 G3588 G2840 G3588 G0444

すべて外から人の中にはいって、人をけがしうるものはない。かえって、人の中から出てくるものが、人をけがすのである。〔

16 <Εἴ τις ἔχει ὦτα ἀκούειν, ἀκουέτω>.
もし 誰-か-が 持つ 耳-を 聞く-ための 聞きなさい
G1487 G5100 G2192 G3775 G0191 G0191

聞く耳のある者は聞くがよい〕」。

17 Καὶ ὅτε εἰσῆλθεν εἰς οἶκον ἀπὸ τοῦ ὄχλου, ἐπηρώτων
そして ~した-とき 入った ~の-中-に 家-に ~から (~の) 群衆-から-離れて 尋ねた
G2532 G3753 G1525 G1519 G3624 G0575 G3588 G3793 G1905

αὐτὸν οἱ μαθηταὶ αὐτοῦ τὴν παραβολήν.
彼-に (~の) 弟子-たち-が 彼-の (~の) たとえ-を
G0846 G3588 G3101 G0846 G3588 G3850

イエスが群衆を離れて家にはいられると、弟子たちはこの譬について尋ねた。

18 καὶ λέγει αὐτοῖς, Οὕτως καὶ ὑμεῖς ἀσύνετοί ἐστε? οὐ
すると 言う 彼ら-に このように ~も-また あなたがた-も 理解がない ~です-か ~ない
G2532 G3004 G0846 G3779 G2532 G4771 G0801 G1510 G3756

νοεῖτε ὅτι πᾶν τὸ ἔξωθεν εἰσπορευόμενον εἰς τὸν
わから-ない-のか (~と) すべて-の (~の) 外-から 入って-来る-もの-が ~の-中-に (~の)
G3539 G3754 G3956 G3588 G1855 G1531 G1519 G3588

ἄνθρωπον, οὐ δύναται αὐτὸν κοινῶσαι?
人-の ~ない ~できない 彼-を 汚す-ことは
G0444 G3756 G1410 G0846 G2840

すると、言われた、「あなたがたも、そんなに鈍いのか。すべて、外から人の中にはいって来るものは、人を汚し得ないことが、わからないのか。

19 ὅτι なぜなら G3754 οὐκ ~ない G3756 εἰσπορεύεται 入ら–ない G1531 αὐτοῦ 彼–の G0846 εἰς ~の–中–に G1519 τὴν (~の) G3588 καρδίαν, 心–に G2588 ἀλλ’ むしろ G0235 εἰς ~の–中–に G1519 τὴν (~の) G3588 κοιλίαν, 腹–に G2836 καὶ そして G2532 εἰς ~の–中–へ G1519 τὸν (~の) G3588 ἀφεδρῶνα 便所–へ G0856 ἐκπορεύεται. 出て–行く G1607 καθαρίζων 清める–ものとして G2511 πάντα すべて–の G3956 τὰ (~の) G3588 βρώματα. 食べ物–を G1033

それは人の心の中にはいるのではなく、腹の中にはいり、そして、外に出て行くだけである」。イエスはこのように、どんな食物でもきよいものとされた。

20 ἔλεγεν 言った G3004 δὲ, しかし G1161 ὅτι (~と) G3754 Τὸ (~の) G3588 ἐκ ~から G1537 τοῦ (~の) G3588 ἀνθρώπου 人–から G0444 ἐκπορευόμενον, 出て–来る–もの–が G1607 ἐκεῖνο それ–が G1565 κοινοῖ 汚す G2840 τὸν (~の) G3588 ἄνθρωπον. 人–を G0444

さらに言われた、「人から出て来るもの、それが人をけがすのである。

21 ἔσωθεν 内–から G2081 γὰρ なぜなら G1063 ἐκ ~から G1537 τῆς (~の) G3588 καρδίας 心–から G2588 τῶν (~の) G3588 ἀνθρώπων 人–の G0444 οἱ (~の) G3588 διαλογισμοὶ 思い–が G1261 οἱ (~の) G3588 κακοὶ 悪い G2556 ἐκπορεύονται, 出て–来る G1607 πορνεῖαι, 淫行 G4202 κλοπαί, 盗み G2829 φόνοι, 殺人 G5408 μοιχεῖαι, 姦淫 G3430

すなわち内部から、人の心の中から、悪い思いが出て来る。不品行、盗み、殺人、

22 πλεονεξίαι, 貪欲 G4124 πονηρίαι, 悪意 G4189 δόλος, 欺き G1388 ἀσέλγεια, 放縦 G0766 ὀφθαλμὸς, 目 G3788 πονηρός, 妬む G4190 βλασφημία, 冒涜 G0988 ὑπερηφανία, 傲慢 G5243 ἀφροσύνη. 愚かさ G0877

姦淫、貪欲、邪悪、欺き、好色、妬み、誹り、高慢、愚痴。

23 πάντα すべて–の G3956 ταῦτα これら–の G3778 τὰ (~の) G3588 πονηρὰ 悪い–もの–は G4190 ἔσωθεν 内–から G2081 ἐκπορεύεται, 出て–来る G1607 καὶ そして G2532 κοινοῖ 汚す G2840 τὸν (~の) G3588 ἄνθρωπον. 人–を G0444

これらの悪はすべて内部から出てきて、人をけがすのである」。

24 Ἐκεῖθεν δὲ ἀναστὰς, ἀπῆλθεν εἰς τὰ ὅρια Τύρου (καὶ
そこ–から しかし 立ち上がって 去った ~の–中–へ (~の) 地域–に ツロ–の (また)
G1564 G1161 G0450 G0565 G1519 G3588 G3725 G5184 G2532

Σιδῶνος). Καὶ εἰσελθὼν εἰς οἰκίαν, οὐδένα ἤθελεν γνῶναι,
シドン–の そして 入って ~の–中–に 家–に 誰–にも 望ま–なかった 知られる–ことを
G4605 G2532 G1525 G1519 G3614 G3762 G2309 G1097

καὶ οὐκ ἠδυνήθη λαθεῖν.
しかし ~なかった ~でき–なかった 隠れる–ことが
G2532 G3756 G1410 G2990

さて、イエスは、そこを立ち去って、ツロの地方に行かれた。そして、だれにも知れないように、家の中にはいられたが、隠れていることができなかった。

25 ἀλλ’ εὐθὺς ἀκούσασα γυνὴ περὶ αὐτοῦ, ἧς εἶχεν τὸ
しかし すぐに 聞いて 女–が ~に–ついて 彼–の–こと–を 彼女–の 持って–いた (~の)
G0235 G2112 G0191 G1135 G4012 G0846 G3739 G2192 G3588

θυγάτριον αὐτῆς πνεῦμα ἀκάθαρτον, ἐλθοῦσα, προσέπεσεν πρὸς τοὺς
小さな–娘–が 彼女–の 霊–を 汚れた 来て ひれ伏した ~の–もと–に (~の)
G2365 G0846 G4151 G0169 G2064 G4363 G4314 G3588

πόδας αὐτοῦ,
足–に 彼–の
G4228 G0846

そして、けがれた霊につかれた幼い娘をもつ女が、イエスのことをすぐ聞きつけてきて、その足もとにひれ伏した。

26 ἡ δὲ γυνὴ ἦν Ἑλληνίς, Συροφοινίκισσα τῷ γένει, καὶ
(~の) しかし 女–は いた ギリシャ人–で シロ・フェニキヤ人 (~の) 生まれ–の そして
G3588 G1161 G1135 G1510 G1674 G4949 G3588 G1085 G2532

ἠρώτα αὐτὸν ἵνα τὸ δαιμόνιον ἐκβάλῃ ἐκ τῆς θυγατρὸς
願った 彼–に ~する–ように (~の) 悪霊–を 追い出す–ように ~から (~の) 娘–から
G2065 G0846 G2443 G3588 G1140 G1544 G1537 G3588 G2364

αὐτῆς.
彼女–の
G0846

この女はギリシヤ人で、スロ・フェニキヤの生れであった。そして、娘から悪霊を追い出してくださいとお願いした。

27 καὶ ἔλεγεν αὐτῇ, Ἄφες πρῶτον χορτασθῆναι τὰ τέκνα; οὐ
すると 言った 彼女–に まず 最初–に 満たされる–ように (~の) 子ども–たち–が ~ない
G2532 G3004 G0846 G0863 G4412 G5526 G3588 G5043 G3756

γάρ ἐστιν καλὸν λαβεῖν τὸν ἄρτον τῶν τέκνων, καὶ τοῖς
なぜなら 良く–ない 良く–ない 取って (~の) パン–を (~の) 子ども–たち–の そして (~の)
G1063 G1510 G2570 G2983 G3588 G0740 G3588 G5043 G2532 G3588

κυναρίοις βαλεῖν.
小犬–に 投げる–ことは
G2952 G0906

イエスは女に言われた、「まず子供たちに十分食べさすべきである。子供たちのパンを取って小犬に投げてやるのは、よろしくない」。

28 ἡ (~の) G3588 δὲ しかし G1161 ἀπεκρίθη 答えて G0611 καὶ そして G2532 λέγει 言う G3004 αὐτῷ, 彼–に G0846 Ναί, そうです G3483 Κύριε; 主–よ G2962 καὶ しかし G2532 τὰ (~の) G3588 κυνάρια 小犬–たち–も G2952

ὑποκάτω ~の–下–で G5270 τῆς (~の) G3588 τραπέζης 食卓–の G5132 ἐσθίουσιν 食べる G2068 ἀπὸ ~から G0575 τῶν (~の) G3588 ψιχίων パン–くず–を G5589 τῶν (~の) G3588 παιδίων. 子ども–たち–の G3813

すると、女は答えて言った、「主よ、お言葉どおりです。でも、食卓の下にいる小犬も、子供たちのパンくずは、いただきます」。

29 καὶ すると G2532 εἶπεν 言った G3004 αὐτῇ, 彼女–に G0846 Διὰ ~の–ゆえに G1223 τοῦτον この G3778 τὸν (~の) G3588 λόγον, 言葉–の G3056 ὕπαγε; 行きなさい G5217 ἐξελήλυθεν 出て–行った G1831 ἐκ ~から G1537

τῆς (~の) G3588 θυγατρός 娘–から G2364 σου あなた–の G4771 τὸ (~の) G3588 δαιμόνιον. 悪霊–は G1140

そこでイエスは言われた、「その言葉で、じゅうぶんである。お帰りなさい。悪霊は娘から出てしまった」。

30 καὶ すると G2532 ἀπελθοῦσα 帰って G0565 εἰς ~の–中–に G1519 τὸν (~の) G3588 οἶκον 家–に G3624 αὐτῆς, 彼女–の G0846 εὗρεν 見つけた G2147 τὸ (~の) G3588 παιδίον 子ども–が G3813

βεβλημένον 横たわって–いる G0906 ἐπὶ ~の–上–に G1909 τὴν (~の) G3588 κλίνην, 寝台–に G2825 καὶ そして G2532 τὸ (~の) G3588 δαιμόνιον 悪霊–は G1140 ἐξεληλυθός. 出て–行って–いた G1831

そこで、女が家に帰ってみると、その子は床の上に寝ており、悪霊は出てしまっていた。

31 Καὶ そして G2532 πάλιν 再び G3825 ἐξελθὼν 出て G1831 ἐκ ~から G1537 τῶν (~の) G3588 ὁρίων 地域–から G3725 Τύρου, ツロ–の G5184 ἦλθεν 来た G2064 διὰ ~を–通って G1223

Σιδῶνος, シドン–を–通って G4605 εἰς ~の–方–へ G1519 τὴν (~の) G3588 θάλασσαν 海–に G2281 τῆς (~の) G3588 Γαλιλαίας, ガリラヤ–の G1056 ἀνὰ ~の–中–を G0303 μέσον 真ん中–を G3319 τῶν (~の) G3588

ὁρίων 地域–の G3725 Δεκαπόλεως. デカポリス–の G1179

それから、イエスはまたツロの地方を去り、シドンを経てデカポリス地方を通りぬけ、ガリラヤの海べにこられた。

32 Καὶ そして G2532 φέρουσιν 連れて–来る G5342 αὐτῷ 彼–に G0846 κωφὸν 耳の–聞こえない–者–を G2974 καὶ また G2532 μογιλάλον, どもりがち–の G3424 καὶ そして G2532 παρακαλοῦσιν 懇願する G3870

αὐτὸν 彼–に G0846 ἵνα ~する–ように G2443 ἐπιθῇ 置く–ように G2007 αὐτῷ 彼–の–上–に G0846 τὴν (~の) G3588 χεῖρα. 手–を G5495

すると人々は、耳が聞えず口のきけない人を、みもとに連れてきて、手を置いてやっていただきたいとお願いした。

33 καὶ ἀπολαβόμενος αὐτὸν ἀπὸ τοῦ ὄχλου κατ’ ἰδίαν,
そして 連れ出して 彼-を ~から (~の) 群衆-から-離れて ~の-ところ-に ひそか-に
G2532 G0618 G0846 G0575 G3588 G3793 G2596 G2398

ἔβαλεν τοὺς δακτύλους αὐτοῦ εἰς τὰ ὦτα αὐτοῦ, καὶ πτύσας,
入れた (~の) 指-を 彼-の ~の-中-に (~の) 耳-に 彼-の そして 唐を-つけて
G0906 G3588 G1147 G0846 G1519 G3588 G3775 G0846 G2532 G4429

ἥψατο τῆς γλώσσης αὐτοῦ,
触った (~の) 舌-に 彼-の
G0680 G3588 G1100 G0846

そこで、イエスは彼ひとりを群衆の中から連れ出し、その両耳に指をさし入れ、それから、つばきでその舌を潤し、

34 καὶ ἀναβλέψας εἰς τὸν οὐρανὸν ἐστέναξεν, καὶ λέγει αὐτῷ, Ἐφφαθά,
そして 見上げて ~の-方-へ (~の) 天-を 嘆いた そして 言う 彼-に エファタ
G2532 G0308 G1519 G3588 G3772 G4727 G2532 G3004 G0846 G2188

ὅ ἐστιν, Διανοίχθητι.
それ-は ~である 開け
G3739 G1510 G1272

天を仰いでため息をつき、その人に「エパタ」と言われた。これは「開けよ」という意味である。

35 καὶ «ἠνοίγησαν αὐτοῦ αἱ ἀκοαί, καὶ» εὐθὺς ἐλύθη ὁ δεσμὸς τῆς
すると 開いた 彼-の (~の) 耳-が そして すぐに 解けた (~の) 束縛-が (~の)
G2532 G0455 G0846 G3588 G0189 G2532 G2112 G3089 G3588 G1199 G3588

γλώσσης αὐτοῦ, καὶ ἐλάλει ὀρθῶς.
舌-の 彼-の そして 話した 正しく
G1100 G0846 G2532 G2980 G3723

すると彼の耳が開け、その舌のもつれもすぐ解けて、はっきりと話すようになった。

36 καὶ διεστείλατο αὐτοῖς ἵνα μηδενὶ λέγωσιν. ὅσον δὲ
そして 命じた 彼ら-に ~する-ように 誰-にも 言わない-ように けれども しかし
G2532 G1291 G0846 G2443 G3367 G3004 G3745 G1161

αὐτοῖς διεστέλλετο αὐτοὶ, μᾶλλον περισσότερον ἐκήρυσσον.
彼ら-に 命じれば-命じる-ほど 彼ら-は いっそう ますます 宣べ-伝えた
G0846 G1291 G0846 G3123 G4053 G2784

イエスは、この事をだれにも言ってはならぬと、人々に口止めをされたが、口止めをすればするほど、かえって、ますます言いひろめた。

37 καὶ ὑπερπερισσῶς ἐξεπλήσσοντο, λέγοντες, Καλῶς πάντα πεποίηκεν: καὶ
そして この-上-なく 驚いた 言って 見事-に すべて-を して-くださった ~も
G2532 G5249 G1605 G3004 G2573 G3956 G4160 G2532

τοὺς κωφοὺς ποιεῖ ἀκούειν, καὶ [τοὺς]
(~の) 耳の-聞こえない-者-を 聞こえる-ように-し 聞こえる-ように また (~の)
G3588 G2974 G4160 G0191 G2532 G3588

ἀλάλους λαλεῖν.
口の-きけない-者-を 話す-ように-した
G0216 G2980

彼らは、ひとかたならず驚いて言った、「このかたのなさった事は、何もかも、すばらしい。耳の聞えない者を聞えるようにしてやり、口のきけない者をきけるようにしておやりになった」。

Chapter 8

1 Ἐν ἐκείναις ταῖς ἡμέραις πάλιν, πολλοῦ ὄχλου ὄντος, καὶ μὴ
その–ころ あの (~の) 日々–に 再び 大–勢の 群衆–が いて そして 何も
G1722 G1565 G3588 G2250 G3825 G4183 G3793 G1510 G2532 G3361

ἐχόντων τί φάγωσιν, προσκαλεσάμενος τοὺς μαθητὰς, λέγει
持って–いなかった–ので 何–を 食べる–か 呼び–寄せて (~を) 弟子–たちを 言われた
G2192 G5101 G5315 G4341 G3588 G3101 G3004

αὐτοῖς,
彼ら–に
G0846

そのころ、また大ぜいの群衆が集まっていたが、何も食べるものがなかったので、イエスは弟子たちを呼び寄せて言われた、

2 Σπλαγχνίζομαι ἐπὶ τὸν ὄχλον, ὅτι ἤδη ἡμέραι τρεῖς προσμένουσίν
深く–憐れむ (~を) (~の) 群衆–を なぜなら すでに 日 三 とどまっている
G4697 G1909 G3588 G3793 G3754 G2235 G2250 G5140 G4357

μοι, καὶ οὐκ ἔχουσιν τί φάγωσιν.
わたし–の–もとに そして 何も 持って–いない 何–を 食べる–か
G1473 G2532 G3756 G2192 G5101 G5315

「この群衆がかわいそうである。もう三日間もわたしと一緒にいるのに、何も食べるものがない。

3 καὶ ἐὰν ἀπολύσω αὐτοὺς νήστεις εἰς οἶκον αὐτῶν, ἐκλυθήσονται
そして もし 帰らせたら 彼ら–を 空腹–の–まま (~へ) 家–に 彼ら–の 途中–で–倒れる–だろう
G2532 G1437 G0630 G0846 G3523 G1519 G3624 G0846 G1590

ἐν τῇ ὁδῷ. καί τινες αὐτῶν ἀπὸ μακρόθεν ἥκασιν.
(~の) (~の) 道–で また ある–者–たちは 彼ら–の–中で (~から) 遠く–から 来て–いる
G1722 G3588 G3598 G2532 G5100 G0846 G0575 G3113 G2240

もし、彼らを空腹のまま家に帰らせるなら、途中で弱り切ってしまうであろう。それに、なかには遠くからきている者もある」。

4 καὶ ἀπεκρίθησαν αὐτῷ οἱ μαθηταὶ αὐτοῦ ὅτι, Πόθεν τούτους
すると 答えた 主–に (~の) 弟子–たちは 主–の (言った) どこ–から この–人々–を
G2532 G0611 G0846 G3588 G3101 G0846 G3754 G4159 G3778

δυνήσεταί τις ὧδε χορτάσαι ἄρτων ἐπ’ ἐρημίας?
できる–だろう–か 誰–が ここ–で 満足–させる–ほどの パン–で (~で) 荒野–で
G1410 G5100 G5602 G5526 G0740 G1909 G2047

弟子たちは答えた、「こんな荒野で、どこからパンを手に入れて、これらの人々にじゅうぶん食べさせることができましょうか」。

5 καὶ ἠρώτα αὐτούς, Πόσους ἔχετε ἄρτους? οἱ δὲ εἶπαν, Ἑπτά.
すると 尋ねた 彼ら–に いくつ 持って–いるか パン–を (~は) すると 言った 七つ
G2532 G2065 G0846 G4214 G2192 G0740 G3588 G1161 G3004 G2033

イエスが弟子たちに、「パンはいくつあるか」と尋ねられると、「七つあります」と答えた。

6	καὶ	παραγγέλλει	τῷ	ὄχλῳ	ἀναπεσεῖν	ἐπὶ	τῆς	γῆς.	καὶ	λαβὼν
そして	命じた	(~に)	群衆-に	座る-ように-と	(~の)	(~の)	地-の-上に	そして	取って
G2532	G3853	G3588	G3793	G0377	G1909	G3588	G1093	G2532	G2983

τοὺς	ἑπτὰ	ἄρτους,	εὐχαριστήσας,	ἔκλασεν	καὶ	ἐδίδου	τοῖς	μαθηταῖς	αὐτοῦ,
(~を)	七つ-の	パン-を	感謝-して	裂いて	そして	渡した	(~に)	弟子-たちに	主-の
G3588	G2033	G0740	G2168	G2806	G2532	G1325	G3588	G3101	G0846

ἵνα	παρατιθῶσιν.	καὶ	παρέθηκαν	τῷ	ὄχλῳ.
(~ために)	配る-ため-に	そして	配った	(~に)	群衆-に
G2443	G3908	G2532	G3908	G3588	G3793

そこでイエスは群衆に地にすわるように命じられた。そして七つのパンを取り、感謝してこれをさき、人々に配るように弟子たちに渡されると、弟子たちはそれを群衆に配った。

7	καὶ	εἶχον	ἰχθύδια	ὀλίγα.	καὶ	εὐλογήσας	αὐτὰ,	εἶπεν	καὶ	ταῦτα
また	持って-いた	小魚-を	少し	そして	祝福-して	それら-を	言った	また	これら-も
G2532	G2192	G2485	G3641	G2532	G2127	G0846	G3004	G2532	G3778

παρατιθέναι.

配る-ように-と
G3908

また小さい魚が少しばかりあったので、祝福して、それをも人々に配るようにと言われた。

8	καὶ	ἔφαγον	καὶ	ἐχορτάσθησαν.	καὶ	ἦραν	περισσεύματα	κλασμάτων
そして	食べて	そして	満腹-した	そして	集めた	余った	パン-くず-の
G2532	G5315	G2532	G5526	G2532	G0142	G4051	G2801

ἑπτὰ	σπυρίδας.
七つ-の	かご-を
G2033	G4711

彼らは食べて満腹した。そして残ったパンくずを集めると、七かごになった。

9	ἦσαν	δὲ	ὡς	τετρακισχίλιοι.	καὶ	ἀπέλυσεν	αὐτούς.
いた	そして	およそ	四千-人	そして	帰らせた	彼ら-を
G1510	G1161	G5613	G5070	G2532	G0630	G0846

人々の数はおよそ四千人であった。それからイエスは彼らを解散させ、

10	Καὶ	εὐθὺς	ἐμβὰς	εἰς	τὸ	πλοῖον	μετὰ	τῶν	μαθητῶν	αὐτοῦ,
そして	すぐ-に	乗り込んで	(~に)	(~の)	舟-に	(~と-共に)	(~の)	弟子-たちと	主-の
G2532	G2112	G1684	G1519	G3588	G4143	G3326	G3588	G3101	G0846

ἦλθεν	εἰς	τὰ	μέρη	Δαλμανουθά.
行った	(~へ)	(~の)	地方-へ	ダルマヌタ-の
G2064	G1519	G3588	G3313	G1148

すぐ弟子たちと共に舟に乗って、ダルマヌタの地方へ行かれた。

11	Καὶ	ἐξῆλθον	οἱ	Φαρισαῖοι	καὶ	ἤρξαντο	συζητεῖν	αὐτῷ,
すると	出て-来て	(~が)	パリサイ-人-たちが	そして	始めた	論争-する-ことを	主-と
G2532	G1831	G3588	G5330	G2532	G0756	G4802	G0846

ζητοῦντες	παρ’	αὐτοῦ	σημεῖον	ἀπὸ	τοῦ	οὐρανοῦ,	πειράζοντες	αὐτόν.
求めて	(~から)	主-から	しるし-を	(~から)	(~の)	天-から-の	試みて	主-を
G2212	G3844	G0846	G4592	G0575	G3588	G3772	G3985	G0846

パリサイ人たちが出てきて、イエスを試みようとして議論をしかけ、天からのしるしを求めた。

12

καὶ	ἀναστενάξας	τῷ	πνεύματι	αὐτοῦ	λέγει,	Τί	ἡ	γενεὰ	αὕτη
そして	深く-嘆息-して	(~の)	霊-の-中で	主-の	言われた	なぜ	(~の)	世代-は	この
G2532	G0389	G3588	G4151	G0846	G3004	G5101	G3588	G1074	G3778

ζητεῖ	σημεῖον?	ἀμὴν	λέγω	ὑμῖν,	εἰ	δοθήσεται	τῇ	γενεᾷ
求める-のか	しるし-を	まことに	言う	あなたがた-に	決して	与えられない	(~の)	世代-に-は
G2212	G4592	G0281	G3004	G4771	G1487	G1325	G3588	G1074

ταύτῃ	σημεῖον.
この	しるし-は
G3778	G4592

イエスは、心の中で深く嘆息して言われた、「なぜ、今の時代はしるしを求めるのだろう。よく言い聞かせておくが、しるしは今の時代には決して与えられない」。

13

καὶ	ἀφεὶς	αὐτοὺς,	πάλιν	ἐμβὰς	ἀπῆλθεν	εἰς	τὸ	πέραν.
そして	彼ら-を-残して	彼ら-を	再び	乗り込んで	去って-行った	(~へ)	(~の)	向こう-岸-へ
G2532	G0863	G0846	G3825	G1684	G0565	G1519	G3588	G4008

そして、イエスは彼らをあとに残し、また舟に乗って向こう岸へ行かれた。

14

Καὶ	ἐπελάθοντο	λαβεῖν	ἄρτους,	καὶ	εἰ	μὴ	ἕνα
ところが	忘れて-いた	持って-来る-ことを	パン-を	そして	(~の)	ほかには	一つ-の
G2532	G1950	G2983	G0740	G2532	G1487	G3361	G1520

ἄρτον	οὐκ	εἶχον	μεθ’	ἑαυτῶν	ἐν	τῷ	πλοίῳ.
パン-しか	(~ない)	持って-いなかった	(~と-共に)	自分-たちと	(~の)	(~の)	舟-の-中に
G0740	G3756	G2192	G3326	G1438	G1722	G3588	G4143

弟子たちはパンを持って来るのを忘れていたので、舟の中にはパン一つしか持ち合わせがなかった。

15

καὶ	διεστέλλετο	αὐτοῖς,	λέγων,	Ὁρᾶτε,	βλέπετε	ἀπὸ	τῆς	ζύμης	τῶν
すると	戒めて	彼ら-に	言われた	気を-つけよ	注意-せよ	(~に)	(~の)	パン種-に	(~の)
G2532	G1291	G0846	G3004	G3708	G0991	G0575	G3588	G2219	G3588

Φαρισαίων,	καὶ	τῆς	ζύμης	Ἡρῴδου.
パリサイ-人-たちの	また	(~の)	パン種-に	ヘロデ-の
G5330	G2532	G3588	G2219	G2264

そのとき、イエスは彼らを戒めて、「パリサイ人のパン種とヘロデのパン種とを、よくよく警戒せよ」と言われた。

16

καὶ	διελογίζοντο	πρὸς	ἀλλήλους,	ὅτι	ἄρτους	οὐκ	ἔχουσιν.
すると	論じ-合って-いた	(~に)	互い-に	(言った)	パン-を	(~ない)	持って-いない-から-だ
G2532	G1260	G4314	G0240	G3754	G0740	G3756	G2192

弟子たちは、これは自分たちがパンを持っていないためであろうと、互に論じ合った。

17

καὶ	γνοὺς,	λέγει	αὐτοῖς,	Τί	διαλογίζεσθε	ὅτι	ἄρτους	οὐκ
そして	知って	言われた	彼ら-に	なぜ	論じ-合って-いるのか	(~と)	パン-を	(~ない)
G2532	G1097	G3004	G0846	G5101	G1260	G3754	G0740	G3756

ἔχετε?	οὔπω	νοεῖτε	οὐδὲ	συνίετε?	πεπωρωμένην	ἔχετε
持って-いないと	まだ	分からない-のか	また	悟らない-のか	かたくな-に-なった	持って-いるのか
G2192	G3768	G3539	G3761	G4920	G4456	G2192

τὴν	καρδίαν	ὑμῶν?
(~の)	心-を	あなたがた-の
G3588	G2588	G4771

イエスはそれと知って、彼らに言われた、「なぜ、パンがないからだと論じ合っているのか。まだわからないのか、悟らないのか。あなたがたの心は鈍くなっているのか。

18	ὀφθαλμοὺς	ἔχοντες,	οὐ	βλέπετε?	καὶ	ὦτα	ἔχοντες,	οὐκ	ἀκούετε?	καὶ
	目–を	持って–いながら	(~ない)	見えない–のか	そして	耳–を	持って–いながら	(~ない)	聞こえない–のか	そして
	G3788	G2192	G3756	G0991	G2532	G3775	G2192	G3756	G0191	G2532

οὐ	μνημονεύετε?		
(~ない)	覚えて–いない–のか		
G3756	G3421		

目があっても見えないのか。耳があっても聞えないのか。まだ思い出さないのか。

19	ὅτε	τοὺς	πέντε	ἄρτους	ἔκλασα	εἰς	τοὺς	πεντακισχιλίους,	πόσους	κοφίνους
	(~の–とき)	(~の)	五つ–の	パン–を	裂いた–とき	(~の)	(~の)	五千–人–に	いくつ–の	かご–に
	G3753	G3588	G4002	G0740	G2806	G1519	G3588	G4000	G4214	G2894

κλασμάτων	πλήρεις	ἤρατε?	λέγουσιν	αὐτῷ,	Δώδεκα.
パン–くず–が	いっぱいに	集めた–か	言った	主–に	十二
G2801	G4134	G0142	G3004	G0846	G1427

五つのパンをさいて五千人に分けたとき、拾い集めたパンくずは、幾つのかごになったか」。弟子たちは答えた、「十二かごです」。

20	ὅτε	‹καὶ›	τοὺς	ἑπτὰ	εἰς	τοὺς	τετρακισχιλίους,	πόσων	σπυρίδων
	(~の–とき)	また	(~の)	七つ–を	(~の)	(~の)	四千–人–に	いくつ–の	かご–に
	G3753	G2532	G3588	G2033	G1519	G3588	G5070	G4214	G4711

πληρώματα	κλασμάτων	ἤρατε?	καὶ	λέγουσιν	‹αὐτῷ›,	Ἑπτά.
いっぱいに	パン–くず–を	集めた–か	すると	言った	主–に	七つ
G4138	G2801	G0142	G2532	G3004	G0846	G2033

「七つのパンを四千人に分けたときには、パンくずを幾つのかごに拾い集めたか」。「七かごです」と答えた。

21	καὶ	ἔλεγεν	αὐτοῖς,	Οὔπω	συνίετε?
	そして	言われた	彼ら–に	まだ	悟らない–のか
	G2532	G3004	G0846	G3768	G4920

そこでイエスは彼らに言われた、「まだ悟らないのか」。

22	Καὶ	ἔρχονται	εἰς	Βηθσαϊδάν;	Καὶ	φέρουσιν	αὐτῷ	τυφλὸν,	καὶ
	そして	来た	(~に)	ベツサイダ–に	すると	連れて–来た	主–の–もとに	目–の–見えない–人–を	そして
	G2532	G2064	G1519	G0966	G2532	G5342	G0846	G5185	G2532

παρακαλοῦσιν	αὐτὸν	ἵνα	αὐτοῦ	ἅψηται.	
懇願–した	主–に	(~ように)	その–人–に	触れて–くださる–ように–と	
G3870	G0846	G2443	G0846	G0680	

そのうちに、彼らはベツサイダに着いた。すると人々が、ひとりの盲人を連れてきて、さわってやっていただきたいとお願いした。

23	καὶ	ἐπιλαβόμενος	τῆς	χειρὸς	τοῦ	τυφλοῦ,	ἐξήνεγκεν	αὐτὸν	ἔξω
	そして	手–を–取って	(~の)	手–を	(~の)	目–の–見えない–人–の	連れ–出した	彼–を	外–へ
	G2532	G1949	G3588	G5495	G3588	G5185	G1627	G0846	G1854

τῆς	κώμης,	καὶ	πτύσας	εἰς	τὰ	ὄμματα	αὐτοῦ,	ἐπιθεὶς	τὰς
(~の)	村–の	そして	唾–を–つけて	(~に)	(~の)	両目–に	彼–の	手–を–置いて	(~の)
G3588	G2968	G2532	G4429	G1519	G3588	G3659	G0846	G2007	G3588

χεῖρας	αὐτῷ,	ἐπηρώτα	αὐτόν	Εἴ	τι	βλέπεις.
両手–を	彼–に	尋ねた	彼–に	何–か	(~を)	見える–か–と
G5495	G0846	G1905	G0846	G1487	G5100	G0991

イエスはこの盲人の手をとって、村の外に連れ出し、その両方の目につばきをつけ、両手を彼に当てて、「何か見えるか」と尋ねられた。

24 καὶ (すると G2532) ἀναβλέψας (見上げて G0308) ἔλεγεν, (言った G3004) Βλέπω (見える G0991) τοὺς (~を) G3588 ἀνθρώπους, (人々–が G0444) ὅτι (しかし G3754) ὡς (~のように) G5613 δένδρα (木–の–ように G1186)
ὁρῶ (見える G3708) περιπατοῦντας. (歩いて–いる–のが G4043)

すると彼は顔を上げて言った、「人が見えます。木のように見えます。歩いているようです」。

25 εἶτα (それ–から G1534) πάλιν (再び G3825) ἐπέθηκεν (置いた G2007) τὰς (~の) G3588 χεῖρας (両手–を G5495) ἐπὶ (~の–上に) G1909 τοὺς (~の) G3588 ὀφθαλμοὺς (両目–の–上に G3788) αὐτοῦ, (彼–の G0846) καὶ (すると G2532)
διέβλεψεν (はっきり–見えた G1227) καὶ (そして G2532) ἀπεκατέστη, (回復–した G0600) καὶ (そして G2532) ἐνέβλεπεν (見え–始めた G1689) τηλαυγῶς (はっきり–と G5081) ἅπαντα. (すべて–が G0537)

それから、イエスが再び目の上に両手を当てられると、盲人は見つめているうちに、なおってきて、すべてのものがはっきりと見えだした。

26 καὶ (そして G2532) ἀπέστειλεν (送り–帰した G0649) αὐτὸν (彼–を G0846) εἰς (~へ) G1519 οἶκον (家–へ G3624) αὐτοῦ, (彼–の G0846) λέγων, (言って G3004) Μηδὲ (~も–ない) G3366 εἰς (~に) G1519 τὴν (~の) G3588 κώμην (村–に G2968)
εἰσέλθῃς, (入って–は–ならない G1525) <μηδὲ (また G3366) εἴπῃς (話しては–ならない G3004) τινὶ (誰–にも G5100) ἐν (~の) G1722 τῇ (~の) G3588 κώμῃ>. (村–で G2968)

そこでイエスは、「村にはいってはいけない」と言って、彼を家に帰された。

27 Καὶ (そして G2532) ἐξῆλθεν (出て–行かれた G1831) ὁ (~は) G3588 Ἰησοῦς (イエス–は G2424) καὶ (と G2532) οἱ (~の) G3588 μαθηταὶ (弟子–たちは G3101) αὐτοῦ (主–の G0846) εἰς (~へ) G1519 τὰς (~の) G3588
κώμας (村々–へ G2968) Καισαρείας (カイサリヤ G2542) τῆς (~の) G3588 Φιλίππου. (ピリポ–の G5376) καὶ (そして G2532) ἐν (~で) G1722 τῇ (~の) G3588 ὁδῷ (道–の–途中–で G3598) ἐπηρώτα (尋ねた G1905) τοὺς (~に) G3588
μαθητὰς (弟子–たちに G3101) αὐτοῦ, (主–の G0846) λέγων (言って G3004) αὐτοῖς, (彼ら–に G0846) Τίνα (誰–だ–と G5101) με (わたし–を G1473) λέγουσιν (言って–いるか G3004) οἱ (~は) G3588 ἄνθρωποι (人々–は G0444)
εἶναι? ((わたし–が)–である–と G1510)

さて、イエスは弟子たちとピリポ・カイザリヤの村々へ出かけられたが、その途中で、弟子たちに尋ねて言われた、「人々は、わたしをだれと言っているか」。

28 οἱ (~は) G3588 δὲ (すると G1161) εἶπαν (言った G3004) αὐτῷ, (主–に G0846) λέγοντες (言って G3004) ὅτι, ((答えた) G3754) Ἰωάννην (ヨハネ G2491) τὸν (~の) G3588 Βαπτιστήν, (バプテスマ–の(ヨハネ–だと) G0910)
καὶ (また G2532) ἄλλοι, (他–の–者–たちは G0243) Ἠλίαν; (エリヤ(だと) G2243) ἄλλοι (他–の–者–たちは G0243) δὲ, (また G1161) ὅτι ((言った) G3754) εἷς (一人–の G1520) τῶν (~の) G3588 προφητῶν. (預言者(だと) G4396)

彼らは答えて言った、「バプテスマのヨハネだと、言っています。また、エリヤだと言い、また、預言者のひとりだと言っている者もあります」。

29

καὶ	αὐτὸς	ἐπηρώτα	αὐτούς,	Ὑμεῖς	δὲ,	τίνα	με	λέγετε
そして	主-ご自身-が	尋ねた	彼ら-に	あなたがた-は	では	誰-だ-と	わたし-を	言う-のか
G2532	G0846	G1905	G0846	G4771	G1161	G5101	G1473	G3004

εἶναι?	ἀποκριθεὶς,	ὁ	Πέτρος	λέγει	αὐτῷ,	Σὺ	εἶ	ὁ
(わたし-が)-である-と	答えて	(~は)	ペテロ-が	言った	主-に	あなた-は	(~で)-ある	(~の)
G1510	G0611	G3588	G4074	G3004	G0846	G4771	G1510	G3588

Χριστός.
キリスト-です
G5547

そこでイエスは彼らに尋ねられた、「それでは、あなたがたはわたしをだれと言うか」。ペテロが答えて言った、「あなたこそキリストです」。

30

καὶ	ἐπετίμησεν	αὐτοῖς	ἵνα	μηδενὶ	λέγωσιν	περὶ	αὐτοῦ.
そして	戒めた	彼ら-に	(~ように)	誰-にも	言わない-ように-と	(~について)	主-について
G2532	G2008	G0846	G2443	G3367	G3004	G4012	G0846

するとイエスは、自分のことをだれにも言ってはいけないと、彼らを戒められた。

31

Καὶ	ἤρξατο	διδάσκειν	αὐτοὺς	ὅτι	δεῖ	τὸν	Υἱὸν	τοῦ	ἀνθρώπου
そして	始めた	教える-ことを	彼ら-に	(~と)	必ず	(~が)	人-の-子-は	(~の)	人-の
G2532	G0756	G1321	G0846	G3754	G1163	G3588	G5207	G3588	G0444

πολλὰ	παθεῖν,	καὶ	ἀποδοκιμασθῆναι	ὑπὸ	τῶν	πρεσβυτέρων	καὶ
多く-の-苦しみ-を	受け	そして	退けられ	(~に-よって)	(~の)	長老-たちや	また
G4183	G3958	G2532	G0593	G5259	G3588	G4245	G2532

τῶν	ἀρχιερέων	καὶ	τῶν	γραμματέων,	καὶ	ἀποκτανθῆναι,	καὶ
(~の)	祭司-長-たちや	また	(~の)	律法-学者-たちに-よって	そして	殺され	そして
G3588	G0749	G2532	G3588	G1122	G2532	G0615	G2532

μετὰ	τρεῖς	ἡμέρας	ἀναστῆναι.
(~の-後に)	三	日-の-後に	よみがえる-と
G3326	G5140	G2250	G0450

それから、人の子は必ず多くの苦しみを受け、長老、祭司長、律法学者たちに捨てられ、また殺され、そして三日の後によみがえるべきことを、彼らに教えはじめ、

32

καὶ	παρρησίᾳ	τὸν	λόγον	ἐλάλει.	καὶ	προσλαβόμενος	ὁ	Πέτρος
そして	公然-と	(~の)	言葉-を	語った	すると	脇-に-連れて	(~は)	ペテロ-が
G2532	G3954	G3588	G3056	G2980	G2532	G4355	G3588	G4074

αὐτὸν,	ἤρξατο	ἐπιτιμᾶν	αὐτῷ.
主-を	始めた	いさめる-ことを	主-を
G0846	G0756	G2008	G0846

しかもあからさまに、この事を話された。すると、ペテロはイエスをわきへ引き寄せて、いさめはじめたので、

33

ὁ	δὲ	ἐπιστραφεὶς	καὶ	ἰδὼν	τοὺς	μαθητὰς	αὐτοῦ,	ἐπετίμησεν
(~は)	しかし	振り-向いて	そして	見て	(~の)	弟子-たちを	主-の	叱った
G3588	G1161	G1994	G2532	G3708	G3588	G3101	G0846	G2008

Πέτρῳ,	καὶ	λέγει,	Ὕπαγε	ὀπίσω	μου,	Σατανᾶ,	ὅτι	οὐ
ペテロ-を	そして	言われた	退け	後ろ-に	わたし-の	サタン-よ	なぜなら	(~ない)
G4074	G2532	G3004	G5217	G3694	G1473	G4567	G3754	G3756

φρονεῖς	τὰ	τοῦ	Θεοῦ,	ἀλλὰ	τὰ	τῶν	ἀνθρώπων.
思って-いない	(~の-こと-を)	(~の)	神-の-ことを	むしろ	(~の-こと-を)	(~の)	人間-の-ことを
G5426	G3588	G3588	G2316	G0235	G3588	G3588	G0444

イエスは振り返って、弟子たちを見ながら、ペテロをしかって言われた、「サタンよ、引きさがれ。あなたは神のことを思わないで、人のことを思っている」。

34

Καὶ	προσκαλεσάμενος	τὸν	ὄχλον	σὺν	τοῖς	μαθηταῖς	αὐτοῦ,
そして	呼び-寄せて	(~を)	群衆-を	(~と-共に)	(~の)	弟子-たちと-共に	主-の
G2532	G4341	G3588	G3793	G4862	G3588	G3101	G0846

εἶπεν	αὐτοῖς,	Εἴ	τις	θέλει	ὀπίσω	μου	ἐλθεῖν,
言われた	彼ら-に	もし	誰-でも	望む-なら	後-に	わたし-の	従って-来る-ことを
G3004	G0846	G1487	G5100	G2309	G3694	G1473	G2064

ἀπαρνησάσθω	ἑαυτὸν,	καὶ	ἀράτω	τὸν	σταυρὸν	αὐτοῦ,	καὶ
自分-を-捨て	自分-自身-を	そして	負い-なさい	(~の)	十字架-を	自分-の	そして
G0533	G1438	G2532	G0142	G3588	G4716	G0846	G2532

ἀκολουθείτω	μοι.
従い-なさい	わたし-に
G0190	G1473

それから群衆を弟子たちと一緒に呼び寄せて、彼らに言われた、「だれでもわたしについてきたいと思うなら、自分を捨て、自分の十字架を負うて、わたしに従ってきなさい。

35

ὃς	γὰρ	ἐὰν	θέλῃ	τὴν	ψυχὴν	αὐτοῦ	σῶσαι,	ἀπολέσει	αὐτήν,
(~は)	なぜなら	もし	望む-なら	(~の)	命-を	自分-の	救おう-と	失う-だろう	それ-を
G3739	G1063	G1437	G2309	G3588	G5590	G0846	G4982	G0622	G0846

ὃς	δ’	ἂν	ἀπολέσει	τὴν	ψυχὴν	αὐτοῦ	ἕνεκεν	ἐμοῦ
しかし(~は)	また	(~なら)	失う-者-は	(~の)	命-を	自分-の	(~の-ゆえに)	わたし-の-ゆえに
G3739	G1161	G0302	G0622	G3588	G5590	G0846	G1752	G1473

καὶ	τοῦ	εὐαγγελίου,	σώσει	αὐτήν.
また	(~の)	福音-の-ゆえに	救う-だろう	それ-を
G2532	G3588	G2098	G4982	G0846

自分の命を救おうと思う者はそれを失い、わたしのため、また福音のために、自分の命を失う者は、それを救うであろう。

36

τί	γὰρ	ὠφελεῖ	ἄνθρωπον	κερδῆσαι	τὸν	κόσμον	ὅλον	καὶ
何-の	なぜなら	益-が-あるだろう-か	人-が	得て-も	(~の)	世界-を	全	しかし
G5101	G1063	G5623	G0444	G2770	G3588	G2889	G3650	G2532

ζημιωθῆναι	τὴν	ψυχὴν	αὐτοῦ?
損なう-なら	(~の)	命-を	自分-の
G2210	G3588	G5590	G0846

人が全世界をもうけても、自分の命を損したら、なんの得になろうか。

37

τί	γὰρ	δοῖ	ἄνθρωπος	ἀντάλλαγμα	τῆς	ψυχῆς	αὐτοῦ?
何-を	なぜなら	与える-だろうか	人-が	代価-として	(~の)	命-の	自分-の
G5101	G1063	G1325	G0444	G0465	G3588	G5590	G0846

また、人はどんな代価を払って、その命を買いもどすことができようか。

38

ὃς	γὰρ	ἐὰν	ἐπαισχυνθῇ	με	καὶ	τοὺς	ἐμοὺς	λόγους	ἐν	τῇ
(~は)	なぜなら	もし	恥じる–なら	わたし–を	また	(~の)	わたし–の	言葉–を	(~の)	(~の)
G3739	G1063	G1437	G1870	G1473	G2532	G3588	G1699	G3056	G1722	G3588

γενεᾷ	ταύτῃ,	τῇ	μοιχαλίδι	καὶ	ἁμαρτωλῷ,	καὶ	ὁ	Υἱὸς
世代–の–中で	この	(~の)	姦淫–の	また	罪深い	(~も–また)	(~は)	人–の–子–も
G1074	G3778	G3588	G3428	G2532	G0268	G2532	G3588	G5207

τοῦ	ἀνθρώπου	ἐπαισχυνθήσεται	αὐτὸν	ὅταν	ἔλθῃ	ἐν	τῇ
(~の)	人–の	恥じる–だろう	その–者–を	(~の–とき)	来る–とき	(~の)	(~の)
G3588	G0444	G1870	G0846	G3752	G2064	G1722	G3588

δόξῃ	τοῦ	Πατρὸς	αὐτοῦ,	μετὰ	τῶν	ἀγγέλων	τῶν	ἁγίων.
栄光–の–中に	(~の)	父–の	主–の	(~と–共に)	(~の)	御使い–たちと–共に	(~の)	聖なる
G1391	G3588	G3962	G0846	G3326	G3588	G0032	G3588	G0040

邪悪で罪深いこの時代にあって、わたしとわたしの言葉とを恥じる者に対しては、人の子もまた、父の栄光のうちに聖なる御使たちと共に来るときに、その者を恥じるであろう」。

Chapter 9

1

καὶ	ἔλεγεν	αὐτοῖς,	Ἀμὴν	λέγω	ὑμῖν,	ὅτι	εἰσίν	τινες
そして	言われた	彼らに	まことに	わたしは–言う	あなたがたに	こう	いる	ある–者たちが
G2532	G3004	G0846	G0281	G3004	G4771	G3754	G1510	G5100

ὧδε	τῶν	ἑστηκότων,	οἵτινες	οὐ	μὴ	γεύσωνται	θανάτου,	ἕως
ここに	この	立っている–者の–中に	その–者たちは	決して	ない	味わわない	死を	まで
G5602	G3588	G2476	G3748	G3756	G3361	G1089	G2288	G2193

ἂν	ἴδωσιν	τὴν	βασιλείαν	τοῦ	Θεοῦ	ἐληλυθυῖαν	ἐν	δυνάμει.
必ず	見る	その	御国が	この	神の	来ているのを	うちに	力の
G0302	G3708	G3588	G0932	G3588	G2316	G2064	G1722	G1411

また、彼らに言われた、「よく聞いておくがよい。神の国が力をもって来るのを見るまでは、決して死を味わわない者が、ここに立っている者の中にいる」。

2

Καὶ	μετὰ	ἡμέρας	ἓξ,	παραλαμβάνει	ὁ	Ἰησοῦς,	τὸν	Πέτρον	καὶ	τὸν
そして	後	日の	六	連れて–行った	その	イエスは	その	ペテロと	そして	その
G2532	G3326	G2250	G1803	G3880	G3588	G2424	G3588	G4074	G2532	G3588

Ἰάκωβον	καὶ	[τὸν]	Ἰωάννην,	καὶ	ἀναφέρει	αὐτοὺς	εἰς	ὄρος	ὑψηλὸν
ヤコブと	そして	その	ヨハネを	そして	導いた	彼らを	へ	山の	高い
G2385	G2532	G3588	G2491	G2532	G0399	G0846	G1519	G3735	G5308

κατ’	ἰδίαν	μόνους.	καὶ	μετεμορφώθη	ἔμπροσθεν	αὐτῶν;
ところで	自分たちだけの	ただ–彼らだけで	そして	変貌された	前で	彼らの
G2596	G2398	G3441	G2532	G3339	G1715	G0846

六日の後、イエスは、ただペテロ、ヤコブ、ヨハネだけを連れて、高い山に登られた。ところが、彼らの目の前でイエスの姿が変り、

3

καὶ	τὰ	ἱμάτια	αὐτοῦ	ἐγένετο	στίλβοντα	λευκὰ	λίαν,	οἷα
そして	その	衣は	彼の	なった	輝く	白い	非常に	このような–ものは
G2532	G3588	G2440	G0846	G1096	G4744	G3022	G3029	G3634

γναφεὺς	ἐπὶ	τῆς	γῆς	οὐ	δύναται	οὕτως	λευκᾶναι.
漂白する–者が	この	その	地上で	決して	できない	これほど	白くすることは
G1102	G1909	G3588	G1093	G3756	G1410	G3779	G3021

その衣は真白く輝き、どんな布さらしでも、それほどに白くすることはできないくらいになった。

4

καὶ	ὤφθη	αὐτοῖς	Ἠλίας	σὺν	Μωϋσεῖ,	καὶ	ἦσαν	συλλαλοῦντες	τῷ
そして	現れた	彼らに	エリヤが	共に	モーセと	そして	いた	語り-合っていた	その
G2532	G3708	G0846	G2243	G4862	G3475	G2532	G1510	G4814	G3588

Ἰησοῦ.
イエスと
G2424

すると、エリヤがモーセと共に彼らに現れて、イエスと語り合っていた。

5

καὶ	ἀποκριθεὶς,	ὁ	Πέτρος	λέγει	τῷ	Ἰησοῦ,	Ῥαββί,	καλόν	ἐστιν
そして	答えて	その	ペテロは	言った	その	イエスに	先生	良い-ことです	です
G2532	G0611	G3588	G4074	G3004	G3588	G2424	G4461	G2570	G1510

ἡμᾶς	ὧδε	εἶναι.	καὶ	ποιήσωμεν	τρεῖς	σκηνάς,	σοὶ	μίαν,	καὶ
私たちが	ここに	いることは	そして	造りましょう	三つの	幕屋を	あなたに	一つ	そして
G1473	G5602	G1510	G2532	G4160	G5140	G4633	G4771	G1520	G2532

Μωϋσεῖ	μίαν,	καὶ	Ἠλίᾳ	μίαν.
モーセに	一つ	そして	エリヤに	一つ
G3475	G1520	G2532	G2243	G1520

ペテロはイエスにむかって言った、「先生、わたしたちがここにいるのは、すばらしいことです。それで、わたしたちは小屋を三つ建てましょう。一つはあなたのために、一つはモーセのために、一つはエリヤのために」。

6

οὐ	γὰρ	ᾔδει	τί	ἀποκριθῇ;	ἔκφοβοι	γὰρ	ἐγένοντο.
なかった	なぜなら	知らなかった	何と	答えるべきか	おびえていた	なぜなら	彼らは
G3756	G1063	G1492	G5101	G0611	G1630	G1063	G1096

そう言ったのは、みんなの者が非常に恐れていたので、ペテロは何を言ってよいか、わからなかったからである。

7

καὶ	ἐγένετο	νεφέλη	ἐπισκιάζουσα	αὐτοῖς,	καὶ	ἐγένετο	φωνὴ	ἐκ	τῆς
すると	現れた	雲が	覆う	彼らを	そして	あった	声が	から	その
G2532	G1096	G3507	G1982	G0846	G2532	G1096	G5456	G1537	G3588

νεφέλης,	Οὗτός	ἐστιν	ὁ	Υἱός	μου,	ὁ	ἀγαπητός:	ἀκούετε	αὐτοῦ.
雲の	これは	である	その	子	わたしの	その	愛する	聞きなさい	彼に
G3507	G3778	G1510	G3588	G5207	G1473	G3588	G0027	G0191	G0846

すると、雲がわき起って彼らをおおった。そして、その雲の中から声があった、「これはわたしの愛する子である。これに聞け」。

8

καὶ	ἐξάπινα,	περιβλεψάμενοι,	οὐκέτι	οὐδένα	εἶδον	ἀλλὰ	τὸν	Ἰησοῦν
すると	突然	見回すと	もはや	誰も	見なかった	ただ	その	イエスだけが
G2532	G1819	G4017	G3765	G3762	G3708	G0235	G3588	G2424

μόνον.	μεθ’	ἑαυτῶν,
ひとりで	共に	自分たちと
G3440	G3326	G1438

彼らは急いで見まわしたが、もはやだれも見えず、ただイエスだけが、自分たちと一緒におられた。

9 Καὶ καταβαινόντων αὐτῶν ἐκ τοῦ ὄρους, διεστείλατο αὐτοῖς ἵνα μηδενὶ
そして 降りて-来る-とき 彼らが から その 山を 命じた 彼らに こう 誰にも
G2532 G2597 G0846 G1537 G3588 G3735 G1291 G0846 G2443 G3367

ἃ εἶδον διηγήσωνται, εἰ μὴ ὅταν ὁ Υἱὸς τοῦ ἀνθρώπου
見たことを 見た 話さないようにと ただし ない とき その 人の-子が この 人の
G3739 G3708 G1334 G1487 G3361 G3752 G3588 G5207 G3588 G0444

ἐκ νεκρῶν ἀναστῇ.
から 死者の-中から 復活する-までは
G1537 G3498 G0450

一同が山を下って来るとき、イエスは「人の子が死人の中からよみがえるまでは、いま見たことをだれにも話してはならない」と、彼らに命じられた。

10 καὶ τὸν λόγον ἐκράτησαν πρὸς ἑαυτοὺς, συζητοῦντες τί ἐστιν
そして その 言葉を 心に-留めた 互いに 自分たちの-間で 論じ-合っていた 何であるか とは
G2532 G3588 G3056 G2902 G4314 G1438 G4802 G5101 G1510

τὸ ἐκ νεκρῶν ἀναστῆναι.
この からの 死者 復活するということが
G3588 G1537 G3498 G0450

彼らはこの言葉を心にとめ、死人の中からよみがえるとはどういうことかと、互に論じ合った。

11 καὶ ἐπηρώτων αὐτὸν, λέγοντες Ὅτι, λέγουσιν οἱ γραμματεῖς, ὅτι
そして 尋ねていた 彼に 言って こう 言っている その 律法学者たちは こう
G2532 G1905 G0846 G3004 G3754 G3004 G3588 G1122 G3754

Ἠλίαν δεῖ ἐλθεῖν πρῶτον?
エリヤが ねばならない 来なければ まず
G2243 G1163 G2064 G4412

そしてイエスに尋ねた、「なぜ、律法学者たちは、エリヤが先に来るはずだと言っているのですか」。

12 ὁ δὲ ἔφη αὐτοῖς, Ἠλίας μὲν ἐλθὼν πρῶτον, ἀποκαθιστάνει
その方は しかし 言われた 彼らに エリヤは 確かに 来て まず 回復させる
G3588 G1161 G5346 G0846 G2243 G3303 G2064 G4412 G0600

πάντα; καὶ πῶς γέγραπται ἐπὶ τὸν Υἱὸν τοῦ ἀνθρώπου, ἵνα
すべてを では どうして 書かれている について その 人の-子が この 人の こう
G3956 G2532 G4459 G1125 G1909 G3588 G5207 G3588 G0444 G2443

πολλὰ πάθῃ καὶ ἐξουδενηθῇ?
多くの-ことを 苦しみ そして 蔑まれると
G4183 G3958 G2532 G1847

イエスは言われた、「確かに、エリヤが先にきて、万事を元どおりに改める。しかし、人の子について、彼が多くの苦しみを受け、かつ恥ずかしめられると、書いてあるのはなぜか。

13 ἀλλὰ λέγω ὑμῖν, ὅτι καὶ Ἠλίας ἐλήλυθεν, καὶ ἐποίησαν
しかし わたしは-言う あなたがたに こう 実に エリヤは すでに-来た そして した
G0235 G3004 G4771 G3754 G2532 G2243 G2064 G2532 G4160

αὐτῷ ὅσα ἤθελον, καθὼς γέγραπται ἐπ' αὐτόν.
彼に 何でも 望んだ-ことを ちょうど 書かれている-とおりに について 彼の
G0846 G3745 G2309 G2531 G1125 G1909 G0846

しかしあなたがたに言っておく、エリヤはすでにきたのだ。そして彼について書いてあるように、人々は自分かって
に彼をあしらった」。

14 Καὶ ἐλθόντες πρὸς τοὺς μαθητὰς, εἶδον ὄχλον πολὺν περὶ αὐτοὺς,
そして 来て-みると のところに その 弟子たちの 見た 群衆が 大きな の-周りに 彼らの
G2532 G2064 G4314 G3588 G3101 G3708 G3793 G4183 G4012 G0846

καὶ γραμματεῖς συζητοῦντας πρὸς αὐτούς.
また 律法学者たちが 論じ-合っているのを と 彼らと
G2532 G1122 G4802 G4314 G0846

さて、彼らがほかの弟子たちの所にきて見ると、大ぜいの群衆が弟子たちを取り囲み、そして律法学者たちが彼らと
論じ合っていた。

15 καὶ εὐθὺς πᾶς ὁ ὄχλος, ἰδόντες αὐτὸν, ἐξεθαμβήθησαν, καὶ
すると すぐに すべての その 群衆は 見て 彼を 非常に-驚いた そして
G2532 G2112 G3956 G3588 G3793 G3708 G0846 G1568 G2532

προστρέχοντες, ἠσπάζοντο αὐτόν.
走り-寄って 挨拶した 彼に
G4370 G0782 G0846

群衆はみな、すぐイエスを見つけて、非常に驚き、駆け寄ってきて、あいさつをした。

16 καὶ ἐπηρώτησεν αὐτούς, Τί συζητεῖτε πρὸς αὐτούς?
そして 尋ねた 彼らに 何を 論じ-合っているのか と 彼らに
G2532 G1905 G0846 G5101 G4802 G4314 G0848

イエスが彼らに、「あなたがたは彼らと何を論じているのか」と尋ねられると、

17 καὶ ἀπεκρίθη αὐτῷ, εἷς ἐκ τοῦ ὄχλου, Διδάσκαλε,
すると 答えた 彼に 一人の-者が から その 群衆の-中から 先生
G2532 G0611 G0846 G1520 G1537 G3588 G3793 G1320

ἤνεγκα τὸν υἱόν μου πρὸς σέ, ἔχοντα πνεῦμα
連れて-来ました その 息子を 私の のところに あなたの 取り-つかれている 霊に
G5342 G3588 G5207 G1473 G4314 G4771 G2192 G4151

ἄλαλον;
口が-きけない
G0216

群衆のひとりが答えた、「先生、おしの霊につかれているわたしのむすこを、こちらに連れて参りました。

18 καὶ ὅπου ἐὰν αὐτὸν καταλάβῃ, ῥήσσει αὐτόν; καὶ ἀφρίζει, καὶ
そして どこで でも 彼を 捕らえると 引き-倒す 彼を そして 泡を-吹き そして
G2532 G3699 G1437 G0846 G2638 G4486 G0846 G2532 G0875 G2532

τρίζει τοὺς ὀδόντας, καὶ ξηραίνεται. καὶ εἶπα τοῖς μαθηταῖς
歯を-食いしばり その 歯を そして 体が-こわばる そこで 頼んだ その 弟子たちに
G5149 G3588 G3599 G2532 G3583 G2532 G3004 G3588 G3101

σου, ἵνα αὐτὸ ἐκβάλωσιν, καὶ οὐκ ἴσχυσαν.
あなたの こう それを 追い-出すようにと しかし できなかった できなかった
G4771 G2443 G0846 G1544 G2532 G3756 G2480

霊がこのむすこにとりつきますと、どこででも彼を引き倒し、それから彼はあわを吹き、歯をくいしばり、からだを
こわばらせてしまいます。それでお弟子たちに、この霊を追い出してくださるように願いましたが、できませんでした」。

19 ὁ その方は G3588 δὲ すると G1161 ἀποκριθεὶς 答えて G0611 αὐτοῖς 彼らに G0846 λέγει, 言われた G3004 Ὦ ああ G5599 γενεὰ 世代よ G1074 ἄπιστος! 信仰の-ない G0571 ἕως いつ-まで G2193 πότε いつまで G4219 πρὸς と-共に G4314 ὑμᾶς あなたがたと G4771 ἔσομαι? いなければ-ならないのか G1510 ἕως いつ-まで G2193 πότε いつまで G4219 ἀνέξομαι 忍ばなければ-ならないのか G0430 ὑμῶν? あなたがたを G4771 φέρετε 連れて-来なさい G5342 αὐτὸν 彼を G0846 πρός のところへ G4314 με. わたしの G1473

イエスは答えて言われた、「ああ、なんという不信仰な時代であろう。いつまで、わたしはあなたがたと一緒におられようか。いつまで、あなたがたに我慢ができようか。その子をわたしの所に連れてきなさい」。

20 καὶ そこで G2532 ἤνεγκαν 連れて-来た G5342 αὐτὸν 彼を G0846 πρὸς のところに G4314 αὐτόν. 彼の G0846 καὶ すると G2532 ἰδὼν 見るなり G3708 αὐτὸν, 彼を G0846 τὸ その G3588 πνεῦμα 霊は G4151 εὐθὺς すぐに G2112 συνεσπάραξεν ひきつけさせた G4952 αὐτόν, 彼を G0846 καὶ, そして G2532 πεσὼν 倒れて G4098 ἐπὶ 上に G1909 τῆς その G3588 γῆς, 地面の G1093 ἐκυλίετο, 転がり-回った G2947 ἀφρίζων. 泡を-吹きながら G0875

そこで人々は、その子をみもとに連れてきた。霊がイエスを見るや否や、その子をひきつけさせたので、子は地に倒れ、あわを吹きながらころげまわった。

21 καὶ そして G2532 ἐπηρώτησεν 尋ねた G1905 τὸν その G3588 πατέρα 父親に G3962 αὐτοῦ, 彼の G0846 Πόσος どの-くらいの G4214 χρόνος 時が G5550 ἐστὶν あるか G1510 ὡς から G5613 τοῦτο このように G3778 γέγονεν なったのは G1096 αὐτῷ? 彼に G0846 ὁ その人は G3588 δὲ すると G1161 εἶπεν, 言った G3004 Ἐκ から G1537 παιδιόθεν. 幼い-時から G3812

そこで、イエスが父親に「いつごろから、こんなになったのか」と尋ねられると、父親は答えた、「幼い時からです。

22 καὶ そして G2532 πολλάκις 何度も G4178 καὶ また G2532 εἰς の-中に G1519 πῦρ, 火の G4442 αὐτὸν 彼を G0846 ἔβαλεν, 投げ-込んだ G0906 καὶ また G2532 εἰς の-中に G1519 ὕδατα, 水の G5204 ἵνα こう G2443 ἀπολέσῃ 殺そうと-した G0622 αὐτόν. 彼を G0846 ἀλλ’ しかし G0235 εἴ もし G1487 τι 何か G5100 δύνῃ, できるなら G1410 βοήθησον 助けて-ください G0997 ἡμῖν, 私たちを G1473 σπλαγχνισθεὶς 憐れんで G4697 ἐφ’ ください G1909 ἡμᾶς. 私たちを G1473

霊はたびたび、この子を火の中、水の中に投げ入れて、殺そうとしました。しかしできますれば、わたしどもをあわれんでお助けください」。

23 ὁ その方は G3588 δὲ すると G1161 Ἰησοῦς イエスは G2424 εἶπεν 言われた G3004 αὐτῷ, 彼に G0846 Τὸ この G3588 Εἰ もし G1487 δύνῃ, できるなら-と-言うが G1410 πάντα すべてが G3956 δυνατὰ 可能である G1415 τῷ この G3588 πιστεύοντι. 信じる-者には G4100

イエスは彼に言われた、「もしできれば、と言うのか。信ずる者には、どんな事でもできる」。

24 εὐθὺς すぐに G2112 κράξας, 叫んで G2896 ὁ その G3588 πατὴρ 子供の-父親は G3962 τοῦ その G3588 παιδίου 子供の G3813 ἔλεγεν, 言った G3004 Πιστεύω, 信じます G4100 βοήθει 助けて-ください G0997 μου 私の G1473 τῇ この G3588 ἀπιστίᾳ! 不信仰を G0570

その子の父親はすぐ叫んで言った、「信じます。不信仰なわたしを、お助けください」。

25 ἰδὼν 見て G3708 δὲ すると G1161 ὁ その G3588 Ἰησοῦς, イエスは G2424 ὅτι こう G3754 ἐπισυντρέχει 走り-寄って-来るのを G1998 ὄχλος, 群衆が G3793 ἐπετίμησεν 叱った G2008 τῷ その G3588 πνεύματι 霊を G4151 τῷ この G3588 ἀκαθάρτῳ, 汚れた G0169 λέγων 言って G3004 αὐτῷ, それに G0846 Τὸ この G3588 ἄλαλον 口の-きけない G0216 καὶ また G2532 κωφὸν 耳の-聞こえない G2974 πνεῦμα, 霊よ G4151 ἐγὼ わたしが G1473 ἐπιτάσσω 命じる G2004 σοι, おまえに G4771 ἔξελθε 出て-行け G1831 ἐξ から G1537 αὐτοῦ, 彼の G0846 καὶ そして G2532 μηκέτι 二度と G3371 εἰσέλθῃς 入るな G1525 εἰς の-中に G1519 αὐτόν. 彼の G0846

イエスは群衆が駆け寄って来るのをごらんになって、けがれた霊をしかって言われた、「おしとつんぼの霊よ、わたしがおまえに命じる。この子から出て行け。二度と、はいって来るな」。

26 καὶ すると G2532 κράξας, 叫び G2896 καὶ また G2532 πολλὰ 激しく G4183 σπαράξας, 引きつけさせて G4682 ἐξῆλθεν; 出て-行った G1831 καὶ すると G2532 ἐγένετο なった G1096 ὡσεὶ まるで G5616 νεκρὸς, 死人の-ようになった G3498 ὥστε それで G5620 τοὺς その G3588 πολλοὺς 多くの-者が G4183 λέγειν 言った G3004 ὅτι こう G3754 ἀπέθανεν. 死んだ-と G0599

すると霊は叫び声をあげ、激しく引きつけさせて出て行った。その子は死人のようになったので、多くの人は、死んだのだと言った。

27 ὁ しかし G3588 δὲ その G1161 Ἰησοῦς, イエスは G2424 κρατήσας つかんで G2902 τῆς その G3588 χειρὸς 手を G5495 αὐτοῦ, 彼の G0846 ἤγειρεν 起こした G1453 αὐτόν, 彼を G0846 καὶ すると G2532 ἀνέστη. 立ち-上がった G0450

しかし、イエスが手を取って起されると、その子は立ち上がった。

28

καὶ	εἰσελθόντος	αὐτοῦ	εἰς	οἶκον,	οἱ	μαθηταὶ	αὐτοῦ	κατ’	ἰδίαν
そして	入ると	彼が	の–中に	家の	その	弟子たちが	彼の	ひそかに	だけで
G2532	G1525	G0846	G1519	G3624	G3588	G3101	G0846	G2596	G2398

ἐπηρώτων	αὐτόν,	Ὅτι	ἡμεῖς	οὐκ	ἠδυνήθημεν	ἐκβαλεῖν	αὐτό?
尋ねた	彼に	なぜ	私たちは	できなかった	できなかったのか	追い–出すことが	それを
G1905	G0846	G3754	G1473	G3756	G1410	G1544	G0846

家にはいられたとき、弟子たちはひそかにお尋ねした、「わたしたちは、どうして霊を追い出せなかったのですか」。

29

καὶ	εἶπεν	αὐτοῖς,	Τοῦτο	τὸ	γένος	ἐν	οὐδενὶ	δύναται
すると	言われた	彼らに	この	この	種類は	によって	何によっても	できない
G2532	G3004	G0846	G3778	G3588	G1085	G1722	G3762	G1410

ἐξελθεῖν,	εἰ	μὴ	ἐν	προσευχῇ.
出て–行かせることは	ただし	ない	による	祈りに–よってだけ
G1831	G1487	G3361	G1722	G4335

すると、イエスは言われた、「このたぐいは、祈によらなければ、どうしても追い出すことはできない」。

30

Κἀκεῖθεν,	ἐξελθόντες,	παρεπορεύοντο	διὰ	τῆς	Γαλιλαίας;	καὶ	οὐκ
そこから	出て	通り–過ぎて–行った	を–通って	その	ガリラヤを	しかし	望まなかった
G2547	G1831	G3899	G1223	G3588	G1056	G2532	G3756

ἤθελεν,	ἵνα	τις	γνοῖ,
望まなかった	こう	誰にも	知られることを
G2309	G2443	G5100	G1097

それから彼らはそこを立ち去り、ガリラヤをとおって行ったが、イエスは人に気づかれるのを好まれなかった。

31

ἐδίδασκεν	γὰρ	τοὺς	μαθητὰς	αὐτοῦ,	καὶ	ἔλεγεν	αὐτοῖς,	ὅτι	Ὁ
教えていた	なぜなら	その	弟子たちに	彼の	そして	言っていた	彼らに	こう	その
G1321	G1063	G3588	G3101	G0846	G2532	G3004	G0846	G3754	G3588

Υἱὸς	τοῦ	ἀνθρώπου	παραδίδοται	εἰς	χεῖρας	ἀνθρώπων,	καὶ
人の–子は	この	人の	引き–渡される	の–中に	手に	人々の	そして
G5207	G3588	G0444	G3860	G1519	G5495	G0444	G2532

ἀποκτενοῦσιν	αὐτόν;	καὶ	ἀποκτανθεὶς,	μετὰ	τρεῖς	ἡμέρας	ἀναστήσεται.
殺される	彼を	しかし	殺されてから	後に	三	日の	復活する
G0615	G0846	G2532	G0615	G3326	G5140	G2250	G0450

それは、イエスが弟子たちに教えて、「人の子は人々の手にわたされ、彼らに殺され、殺されてから三日の後によみがえるであろう」と言っておられたからである。

32

οἱ	δὲ	ἠγνόουν	τὸ	ῥῆμα,	καὶ	ἐφοβοῦντο	αὐτὸν	ἐπερωτῆσαι.
しかし	その	理解できなかった	この	言葉を	そして	恐れていた	彼に	尋ねることを
G3588	G1161	G0050	G3588	G4487	G2532	G5399	G0846	G1905

しかし、彼らはイエスの言われたことを悟らず、また尋ねるのを恐れていた。

33

Καὶ	ἦλθον	εἰς	Καφαρναούμ;	Καὶ	ἐν	τῇ	οἰκίᾳ	γενόμενος,	ἐπηρώτα
そして	来た	に	カペナウムに	そして	の–中で	その	家の	いた–とき	尋ねた
G2532	G2064	G1519	G2584	G2532	G1722	G3588	G3614	G1096	G1905

αὐτούς,	Τί	ἐν	τῇ	ὁδῷ	διελογίζεσθε?
彼らに	何を	途中で	その	道の	論じ–合っていたのか
G0846	G5101	G1722	G3588	G3598	G1260

それから彼らはカペナウムにきた。そして家におられるとき、イエスは弟子たちに尋ねられた、「あなたがたは途中で何を論じていたのか」。

34	οἱ	δὲ	ἐσιώπων,	πρὸς	ἀλλήλους	γὰρ	διελέχθησαν	ἐν	τῇ	ὁδῷ,
	しかし	その	黙っていた	互いに	互いに	なぜなら	議論していた	途中で	その	道の
	G3588	G1161	G4623	G4314	G0240	G1063	G1256	G1722	G3588	G3598

τίς	μείζων.	
誰が	最も–偉いかと	
G5101	G3173	

彼らは黙っていた。それは途中で、だれが一ばん偉いかと、互に論じ合っていたからである。

35	καὶ	καθίσας,	ἐφώνησεν	τοὺς	δώδεκα,	καὶ	λέγει	αὐτοῖς,	Εἴ	τις
	そこで	座って	呼んだ	その	十二人を	そして	言われた	彼らに	もし	誰かが
	G2532	G2523	G5455	G3588	G1427	G2532	G3004	G0846	G1487	G5100

θέλει	πρῶτος	εἶναι,	ἔσται	πάντων	ἔσχατος	καὶ	
なりたいなら	第一の–者に	なりたいなら	なりなさい	すべての–者の	最後の–者に	そして	
G2309	G4413	G1510	G1510	G3956	G2078	G2532	

πάντων	διάκονος.
すべての–者の	仕える–者に
G3956	G1249

そこで、イエスはすわって十二弟子を呼び、そして言われた、「だれでも一ばん先になろうと思うならば、一ばんあとになり、みんなに仕える者とならねばならない」。

36	καὶ	λαβὼν	παιδίον,	ἔστησεν	αὐτὸ	ἐν	μέσῳ	αὐτῶν;	καὶ	
	そして	取って	子供を	立たせた	その–子を	の–中に	真ん中に	彼らの	そして	
	G2532	G2983	G3813	G2476	G0846	G1722	G3319	G0846	G2532	

ἐναγκαλισάμενος	αὐτὸ.	εἶπεν	αὐτοῖς,
抱き–上げて	その–子を	言われた	彼らに
G1723	G0846	G3004	G0846

そして、ひとりの幼な子をとりあげて、彼らのまん中に立たせ、それを抱いて言われた。

37	Ὃς	ἂν	ἓν	τῶν	τοιούτων	παιδίων	δέξηται	ἐπὶ	τῷ	ὀνόματί
	誰でも	もし	一人の	この	このような	子供を	受け–入れるなら	において	この	名の
	G3739	G0302	G1520	G3588	G5108	G3813	G1209	G1909	G3588	G3686

μου,	ἐμὲ	δέχεται;	καὶ	ὃς	ἂν	ἐμὲ	δέχηται,	
わたしの	わたしを	受け–入れるのであり	そして	誰でも	もし	わたしを	受け–入れるなら	
G1473	G1473	G1209	G2532	G3739	G0302	G1473	G1209	

οὐκ	ἐμὲ	δέχεται,	ἀλλὰ	τὸν	ἀποστείλαντά	με.
ではなく	わたしを	受け–入れるのは	ではなく	この	遣わされた–方を	わたしを
G3756	G1473	G1209	G0235	G3588	G0649	G1473

「だれでも、このような幼な子のひとりを、わたしの名のゆえに受けいれる者は、わたしを受けいれるのである。そして、わたしを受けいれる者は、わたしを受けいれるのではなく、わたしをおつかわしになったかたを受けいれるのである」。

38 Ἔφη αὐτῷ ὁ Ἰωάννης, Διδάσκαλε, εἴδομέν τινα ἐν τῷ ὀνόματί
言った 彼に その ヨハネが 先生 見ました ある–者が によって この 御名の
G5346 G0846 G3588 G2491 G1320 G3708 G5100 G1722 G3588 G3686

σου ἐκβάλλοντα δαιμόνια, ὃς οὐκ ἀκολουθεῖ ἡμῖν καὶ
あなたの 追い–出しているのを 悪霊を その–者は ない 従って–いない 私たちに それで
G4771 G1544 G1140 G3739 G3756 G0190 G1473 G2532

ἐκωλύομεν αὐτόν, ὅτι οὐκ ἠκολούθει ἡμῖν.
止めました 彼を なぜなら ない 従って–いなかった 私たちに
G2967 G0846 G3754 G3756 G0190 G1473

ヨハネがイエスに言った、「先生、わたしたちについてこない者が、あなたの名を使って悪霊を追い出しているのを見ましたが、その人はわたしたちについてこなかったので、やめさせました」。

39 ὁ δὲ Ἰησοῦς εἶπεν, Μὴ κωλύετε αὐτόν. οὐδεὶς
しかし その イエスは 言われた 止めては–ならない 止めては–ならない 彼を 誰も–いない
G3588 G1161 G2424 G3004 G3361 G2967 G0846 G3762

γάρ ἐστιν ὃς ποιήσει δύναμιν ἐπὶ τῷ ὀνόματί μου, καὶ
なぜなら いない 者は 行う–者で 力ある–わざを において この 名の わたしの すぐに
G1063 G1510 G3739 G4160 G1411 G1909 G3588 G3686 G1473 G2532

δυνήσεται ταχὺ κακολογῆσαί με.
できる すぐに 悪く–言うことは わたしを
G1410 G5035 G2551 G1473

イエスは言われた、「やめさせないがよい。だれでもわたしの名で力あるわざを行いながら、すぐそのあとで、わたしをそしることはできない。

40 ὃς γὰρ οὐκ ἔστιν καθ’ ἡμῶν, ὑπὲρ ἡμῶν ἐστιν.
なぜなら そのとおり ない 者は に–反して–いない 私たちに 味方で–ある 私たちの のである
G3739 G1063 G3756 G1510 G2596 G1473 G5228 G1473 G1510

わたしたちに反対しない者は、わたしたちの味方である。

41 Ὃς γὰρ ἂν ποτίσῃ ὑμᾶς ποτήριον ὕδατος, ἐν
なぜなら そのとおり もし 飲ませてくれるなら あなたがたに 一杯の 水の こうして
G3739 G1063 G0302 G4222 G4771 G4221 G5204 G1722

ὀνόματι ὅτι Χριστοῦ ἐστε, ἀμὴν λέγω ὑμῖν, ὅτι
御名の–ゆえに こう キリストの ものであるので まことに わたしは–言う あなたがたに こう
G3686 G3754 G5547 G1510 G0281 G3004 G4771 G3754

οὐ μὴ ἀπολέσῃ τὸν μισθὸν αὐτοῦ.
決して ない 失わない その 報いを その–者の
G3756 G3361 G0622 G3588 G3408 G0846

だれでも、キリストについている者だというので、あなたがたに水一杯でも飲ませてくれるものは、よく言っておくが、決してその報いからもれることはないであろう。

42 Καὶ ὃς ἂν σκανδαλίσῃ ἕνα τῶν μικρῶν τούτων τῶν
そして 誰でも もし つまずかせるなら 一人を この 小さい-者の これらの この
G2532 G3739 G0302 G4624 G1520 G3588 G3398 G3778 G3588

πιστευόντων ‹εἰς ἐμέ›, καλόν ἐστιν αὐτῷ μᾶλλον εἰ περίκειται
信じている-者の を わたしを 良い であろう その-者にとって むしろ もし かけられて
G4100 G1519 G1473 G2570 G1510 G0846 G3123 G1487 G4029

μύλος ὀνικὸς περὶ τὸν τράχηλον αὐτοῦ, καὶ βέβληται εἰς τὴν
石臼が 大きな の-周りに その 首の 彼の そして 投げ-込まれた-方が の-中に その
G3458 G3684 G4012 G3588 G5137 G0846 G2532 G0906 G1519 G3588

θάλασσαν.
海の
G2281

また、わたしを信じるこれらの小さい者のひとりをつまずかせる者は、大きなひきうすを首にかけられて海に投げ込まれた方が、はるかによい。

43 Καὶ ἐὰν σκανδαλίζῃ σε ἡ χείρ σου, ἀπόκοψον αὐτήν;
もし もし つまずかせるなら あなたを その 手が あなたの 切り-落としなさい それを
G2532 G1437 G4624 G4771 G3588 G5495 G4771 G0609 G0846

καλόν ἐστίν σε κυλλὸν εἰσελθεῖν εἰς τὴν ζωὴν, ἢ τὰς δύο
良い であろう あなたが 片手で 入る-方が の-中に その 命に よりも その 二つの
G2570 G1510 G4771 G2948 G1525 G1519 G3588 G2222 G2228 G3588 G1417

χεῖρας ἔχοντα, ἀπελθεῖν εἰς τὴν γέενναν, εἰς τὸ πῦρ τὸ ἄσβεστον,
手を 持って 行く-方が の-中に その ゲヘナに の-中に その 火の この 消えない
G5495 G2192 G0565 G1519 G3588 G1067 G1519 G3588 G4442 G3588 G0762

もし、あなたの片手が罪を犯させるなら、それを切り捨てなさい。両手がそろったままで地獄の消えない火の中に落ち込むよりは、かたわになって命に入る方がよい。〔

44 ‹ὅπου ὁ σκώληξ αὐτῶν οὐ τελευτᾷ, καὶ τὸ πῦρ οὐ σβέννυται›.
そこでは その うじ虫は 彼らの ない 死なない また その 火は ない 消えない
G3699 G3588 G4663 G0846 G3756 G5053 G2532 G3588 G4442 G3756 G4570

地獄では、うじがつきず、火も消えることがない。〕

45 καὶ ἐὰν ὁ πούς σου σκανδαλίζῃ σε, ἀπόκοψον αὐτόν;
もし もし その 足が あなたの つまずかせるなら あなたを 切り-落としなさい それを
G2532 G1437 G3588 G4228 G4771 G4624 G4771 G0609 G0846

καλόν ἐστίν σε εἰσελθεῖν εἰς τὴν ζωὴν χωλὸν, ἢ τοὺς δύο
良い であろう あなたが 入る-方が の-中に その 命に 片足で よりも その 二つの
G2570 G1510 G4771 G1525 G1519 G3588 G2222 G5560 G2228 G3588 G1417

πόδας, ἔχοντα βληθῆναι εἰς τὴν γέενναν, ‹εἰς τὸ πῦρ τὸ
足を 持って 投げ-込まれる-方が の-中に その ゲヘナに の-中に その 火の この
G4228 G2192 G0906 G1519 G3588 G1067 G1519 G3588 G4442 G3588

ἄσβεστον›,
消えない
G0762

もし、あなたの片足が罪を犯させるなら、それを切り捨てなさい。両足がそろったままで地獄に投げ入れられるよりは、片足で命に入る方がよい。〔

46 ‹ὅπου ὁ σκώληξ αὐτῶν οὐ τελευτᾷ, καὶ τὸ πῦρ οὐ σβέννυται›.
そこでは その うじ虫は 彼らの ない 死なない また その 火は ない 消えない
G3699 G3588 G4663 G0846 G3756 G5053 G2532 G3588 G4442 G3756 G4570

地獄では、うじがつきず、火も消えることがない。〕

47 καὶ もし G2532 ἐὰν もし G1437 ὁ その G3588 ὀφθαλμός 目が G3788 σου あなたの G4771 σκανδαλίζῃ つまずかせるなら G4624 σε, あなたを G4771 ἔκβαλε えぐり-出しなさい G1544

αὐτόν; それを G0846 καλόν 良い G2570 σέ あなたが G4771 ἐστιν であろう G1510 μονόφθαλμον 片目で G3442 εἰσελθεῖν 入る-方が G1525 εἰς の-中に G1519 τὴν その G3588 βασιλείαν 御国に G0932 τοῦ この G3588

Θεοῦ, 神の G2316 ἢ よりも G2228 δύο 二つの G1417 ὀφθαλμοὺς 目を G3788 ἔχοντα 持って G2192 βληθῆναι 投げ-込まれる-方が G0906 εἰς の-中に G1519 τὴν その G3588 γέενναν, ゲヘナに G1067

もし、あなたの片目が罪を犯させるなら、それを抜き出しなさい。両眼がそろったままで地獄に投げ入れられるよりは、片目になって神の国に入る方がよい。

48 ὅπου そこでは G3699 ὁ その G3588 σκώληξ うじ虫は G4663 αὐτῶν 彼らの G0846 οὐ ない G3756 τελευτᾷ, 死なず G5053 καὶ また G2532 τὸ その G3588 πῦρ 火は G4442 οὐ ない G3756 σβέννυται. 消えない G4570

地獄では、うじがつきず、火も消えることがない。

49 Πᾶς すべての-人は G3956 γὰρ なぜなら G1063 πυρὶ 火で G4442 ἁλισθήσεται, 塩づけにされる G0233 <καὶ また G2532 πᾶσα すべての G3956 θυσία いけにえは G2378 ἁλὶ 塩で G0251

ἁλισθήσεται>. 塩づけにされる G0233

人はすべて火で塩づけられねばならない。

50 καλὸν 良い-ものである G2570 τὸ この G3588 ἅλας, 塩は G0217 ἐὰν しかし-もし G1437 δὲ しかし G1161 τὸ その G3588 ἅλας 塩が G0217 ἄναλον 塩気を-失ったら G0358 γένηται, なったら G1096

ἐν 何で G1722 τίνι 何で G5101 αὐτὸ それに G0846 ἀρτύσετε? 味を-つけるのか G0741 ἔχετε 持ちなさい G2192 ἐν の-中に G1722 ἑαυτοῖς 自分たちの-中に G1438 ἅλα, 塩を G0217 καὶ そして G2532

εἰρηνεύετε 平和に-過ごしなさい G1514 ἐν において G1722 ἀλλήλοις. 互いに G0240

塩はよいものである。しかし、もしその塩の味がぬけたら、何によってその味が取りもどされようか。あなたがた自身の内に塩を持ちなさい。そして、互に和らぎなさい」。

Chapter 10

1 Καὶ そして G2532 ἐκεῖθεν そこから G1564 ἀναστὰς, 立ち-上がって G0450 ἔρχεται 来られた G2064 εἰς に G1519 τὰ その G3588 ὅρια 地方の G3725 τῆς この G3588 Ἰουδαίας, ユダヤの G2449 καὶ また G2532

πέραν 向こう-側の G4008 τοῦ この G3588 Ἰορδάνου. ヨルダンの G2446 καὶ すると G2532 συμπορεύονται 集まって-来た G4848 πάλιν 再び G3825 ὄχλοι 群衆が G3793 πρὸς のところに G4314 αὐτόν, 彼の G0846

καὶ そして G2532 ὡς いつものように G5613 εἰώθει 常に-していたように G1486 πάλιν 再び G3825 ἐδίδασκεν 教えておられた G1321 αὐτούς. 彼らを G0846

それから、イエスはそこを去って、ユダヤの地方とヨルダンの向こう側へ行かれたが、群衆がまた寄り集まったので、いつものように、また教えておられた。

2 Καὶ προσελθόντες, Φαρισαῖοι ἐπηρώτων αὐτὸν, εἰ ἔξεστιν ἀνδρὶ
すると 近づいて–来て パリサイ人たちが 尋ねた 彼に こう 許されるか 夫が
G2532 G4334 G5330 G1905 G0846 G1487 G1832 G0435

γυναῖκα ἀπολῦσαι, πειράζοντες αὐτόν.
妻を 離縁すること 試みて 彼を
G1135 G0630 G3985 G0846

そのとき、パリサイ人たちが近づいてきて、イエスを試みようとして質問した、「夫はその妻を出しても差しつかえないでしょうか」。

3 ὁ δὲ ἀποκριθεὶς, εἶπεν αὐτοῖς, Τί ὑμῖν ἐνετείλατο Μωϋσῆς?
その方は すると 答えて 言われた 彼らに 何を あなたがたに 命じたか モーセは
G3588 G1161 G0611 G3004 G0846 G5101 G4771 G1781 G3475

イエスは答えて言われた、「モーセはあなたがたになんと命じたか」。

4 οἱ δὲ εἶπαν, Ἐπέτρεψεν Μωϋσῆς βιβλίον ἀποστασίου γράψαι, καὶ
彼らは すると 言った 許した モーセは 書面を 離婚の 書いて そして
G3588 G1161 G3004 G2010 G3475 G0975 G0647 G1125 G2532

ἀπολῦσαι.
離縁することを
G0630

彼らは言った、「モーセは、離縁状を書いて妻を出すことを許しました」。

5 ὁ δὲ Ἰησοῦς εἶπεν αὐτοῖς, Πρὸς τὴν σκληροκαρδίαν ὑμῶν,
その方は すると イエスは 言われた 彼らに に–対して この 心の–頑なさに あなたがたの
G3588 G1161 G2424 G3004 G0846 G4314 G3588 G4641 G4771

ἔγραψεν ὑμῖν τὴν ἐντολὴν ταύτην;
書いた あなたがたに この 戒めを この
G1125 G4771 G3588 G1785 G3778

そこでイエスは言われた、「モーセはあなたがたの心が、かたくななので、あなたがたのためにこの定めを書いたのである。

6 ἀπὸ δὲ ἀρχῆς κτίσεως, ἄρσεν καὶ θῆλυ ἐποίησεν αὐτούς.
から しかし 初めから 創造の 男と そして 女に 造られた 彼らを
G0575 G1161 G0746 G2937 G0730 G2532 G2338 G4160 G0846

しかし、天地創造の初めから、『神は人を男と女とに造られた。

7 ἕνεκεν τούτου, καταλείψει ἄνθρωπος τὸν πατέρα αὐτοῦ καὶ τὴν
この–ゆえに この 離れる 人は その 父を 自分の そして その
G1752 G3778 G2641 G0444 G3588 G3962 G0846 G2532 G3588

μητέρα, ‹καὶ προσκολληθήσεται πρὸς τὴν γυναῖκα αὐτοῦ›,
母を そして 結び–合わされる と その 妻に 自分の
G3384 G2532 G4347 G4314 G3588 G1135 G0846

それゆえに、人はその父母を離れ、

8 καὶ ἔσονται οἱ δύο εἰς σάρκα μίαν; ὥστε οὐκέτι εἰσὶν δύο,
そして なる その 二人は と 肉に 一つの だから もはや ない 二人では
G2532 G1510 G3588 G1417 G1519 G4561 G1520 G5620 G3765 G1510 G1417

ἀλλὰ μία σάρξ.
そうではなく 一つの 肉である
G0235 G1520 G4561

ふたりの者は一体となるべきである』。彼らはもはや、ふたりではなく一体である。

9 ὃ οὖν ὁ Θεὸς συνέζευξεν, ἄνθρωπος μὴ χωριζέτω.
この それゆえ この 神が 合わせた-ものを 人が してはならない 離しては
G3739 G3767 G3588 G2316 G4801 G0444 G3361 G5563

だから、神が合わせられたものを、人は離してはならない」。

10 καὶ εἰς τὴν οἰκίαν πάλιν, οἱ μαθηταὶ περὶ τούτου ἐπηρώτων
そして の-中で その 家の 再び その 弟子たちが について この-ことを 尋ねた
G2532 G1519 G3588 G3614 G3825 G3588 G3101 G4012 G3778 G1905

αὐτόν.
彼に
G0846

家にはいってから、弟子たちはまたこのことについて尋ねた。

11 καὶ λέγει αὐτοῖς, Ὃς ἂν ἀπολύσῃ τὴν γυναῖκα αὐτοῦ, καὶ
すると 言われた 彼らに 誰でも もし 離縁して その 妻を 自分の そして
G2532 G3004 G0846 G3739 G0302 G0630 G3588 G1135 G0846 G2532

γαμήσῃ ἄλλην, μοιχᾶται ἐπ' αὐτήν.
めとるなら 他の-女を 姦淫を-犯す に-対して 彼女に
G1060 G0243 G3429 G1909 G0846

そこで、イエスは言われた、「だれでも、自分の妻を出して他の女をめとる者は、その妻に対して姦淫を行うのである。

12 καὶ ἐὰν αὐτὴ ἀπολύσασα τὸν ἄνδρα αὐτῆς, γαμήσῃ ἄλλον, μοιχᾶται.
また もし 彼女が 離縁して その 夫を 自分の めとるなら 他の-男を 姦淫を-犯す
G2532 G1437 G0846 G0630 G3588 G0435 G0846 G1060 G0243 G3429

また妻が、その夫と別れて他の男にとつぐならば、姦淫を行うのである」。

13 Καὶ προσέφερον αὐτῷ παιδία, ἵνα αὐτῶν ἅψηται. οἱ δὲ
すると 連れて-来た 彼に 子供たちを こう 彼らに 触れて-もらおうと しかし その
G2532 G4374 G0846 G3813 G2443 G0846 G0680 G3588 G1161

μαθηταὶ ἐπετίμησαν αὐτοῖς.
弟子たちは 叱った 彼らを
G3101 G2008 G0846

イエスにさわっていただくために、人々が幼な子らをみもとに連れてきた。ところが、弟子たちは彼らをたしなめた。

14 ἰδὼν δὲ, ὁ Ἰησοῦς ἠγανάκτησεν, καὶ εἶπεν αὐτοῖς, Ἄφετε τὰ
見て すると その イエスは 憤った そして 言われた 彼らに 許しなさい その
G3708 G1161 G3588 G2424 G0023 G2532 G3004 G0846 G0863 G3588

παιδία ἔρχεσθαι πρός με; μὴ κωλύετε αὐτά; τῶν γὰρ
子供たちが 来るのを のところに わたしの 妨げては 妨げては–ならない 彼らを この なぜなら
G3813 G2064 G4314 G1473 G3361 G2967 G0846 G3588 G1063

τοιούτων, ἐστὶν ἡ βασιλεία τοῦ Θεοῦ.
このような–者の ものである この 御国は この 神の
G5108 G1510 G3588 G0932 G3588 G2316

それを見てイエスは憤り、彼らに言われた、「幼な子らをわたしの所に来るままにしておきなさい。止めてはならない。神の国はこのような者の国である。

15 ἀμὴν λέγω ὑμῖν, ὃς ἂν μὴ δέξηται τὴν
まことに わたしは–言う あなたがたに 誰でも もし ない 受け–入れないなら その
G0281 G3004 G4771 G3739 G0302 G3361 G1209 G3588

βασιλείαν τοῦ Θεοῦ ὡς παιδίον, οὐ μὴ εἰσέλθῃ εἰς αὐτήν.
御国を この 神の のように 子供の 決して ない 入れない 中に そこに
G0932 G3588 G2316 G5613 G3813 G3756 G3361 G1525 G1519 G0846

よく聞いておくがよい。だれでも幼な子のように神の国を受けいれる者でなければ、そこにはいることは決してできない」。

16 καὶ ἐναγκαλισάμενος αὐτὰ, κατευλόγει, τιθεὶς τὰς χεῖρας ἐπ' αὐτά.
そして 抱き–上げて 彼らを 祝福された 置いて その 手を の–上に 彼らの
G2532 G1723 G0846 G2127 G5087 G3588 G5495 G1909 G0846

そして彼らを抱き、手をその上において祝福された。

17 Καὶ ἐκπορευομένου αὐτοῦ εἰς ὁδὸν, προσδραμὼν εἷς καὶ
そして 出て–行かれる–とき 彼が の–上に 道の 走り–寄って 一人の–者が そして
G2532 G1607 G0846 G1519 G3598 G4370 G1520 G2532

γονυπετήσας αὐτὸν, ἐπηρώτα αὐτόν, Διδάσκαλε ἀγαθέ, τί ποιήσω, ἵνα ζωὴν
ひざまずいて 彼に 尋ねた 彼に 先生 善い 何を すれば こう 命を
G1120 G0846 G1905 G0846 G1320 G0018 G5101 G4160 G2443 G2222

αἰώνιον κληρονομήσω?
永遠の 受け–継ぐのですか
G0166 G2816

イエスが道に出て行かれると、ひとりの人が走り寄り、みまえにひざまずいて尋ねた、「よき師よ、永遠の生命を受けるために、何をしたらよいでしょうか」。

18 ὁ δὲ Ἰησοῦς εἶπεν αὐτῷ, Τί με λέγεις ἀγαθόν? οὐδεὶς
その方は すると イエスは 言われた 彼に なぜ わたしを 呼ぶのか 善いと 誰も–いない
G3588 G1161 G2424 G3004 G0846 G5101 G1473 G3004 G0018 G3762

ἀγαθὸς, εἰ μὴ εἷς, ὁ Θεός.
善い–者は ただし ない 一人の この 神–以外は
G0018 G1487 G3361 G1520 G3588 G2316

イエスは言われた、「なぜわたしをよき者と言うのか。神ひとりのほかによい者はいない。

19 τὰς ἐντολὰς οἶδας: Μὴ φονεύσῃς; Μὴ μοιχεύσῃς;
その 戒めを 知っている してはならない 殺しては してはならない 姦淫しては
G3588 G1785 G1492 G3361 G5407 G3361 G3431

Μὴ κλέψῃς; Μὴ ψευδομαρτυρήσῃς; Μὴ ἀποστερήσῃς;
してはならない 盗んでは してはならない 偽証しては してはならない 奪い-取っては
G3361 G2813 G3361 G5576 G3361 G0650

Τίμα τὸν πατέρα σου, καὶ τὴν μητέρα.
敬いなさい その 父を あなたの そして その 母を
G5091 G3588 G3962 G4771 G2532 G3588 G3384

いましめはあなたの知っているとおりである。『殺すな、姦淫するな、盗むな、偽証を立てるな。欺き取るな。父と母とを敬え』」。

20 ὁ δὲ ἔφη αὐτῷ, Διδάσκαλε, ταῦτα πάντα ἐφυλαξάμην, ἐκ
その-人は すると 言った 彼に 先生 これらを すべて 守って-きました から
G3588 G1161 G5346 G0846 G1320 G3778 G3956 G5442 G1537

νεότητός μου.
若い-時 私の
G3503 G1473

すると、彼は言った、「先生、それらの事はみな、小さい時から守っております」。

21 ὁ δὲ Ἰησοῦς, ἐμβλέψας αὐτῷ, ἠγάπησεν αὐτὸν, καὶ εἶπεν αὐτῷ,
その方は すると イエスは 見つめて 彼を 愛して 彼を そして 言われた 彼に
G3588 G1161 G2424 G1689 G0846 G0025 G0846 G2532 G3004 G0846

Ἕν σε ὑστερεῖ: ὕπαγε, ὅσα ἔχεις πώλησον, καὶ
一つの-こと あなたに 足りない 行って 持っている-ものを 持っている 売りなさい そして
G1520 G4771 G5302 G5217 G3745 G2192 G4453 G2532

δὸς τοῖς πτωχοῖς, καὶ ἕξεις θησαυρὸν ἐν οὐρανῷ; καὶ
与えなさい その 貧しい-人々に そうすれば 得る 宝を の-中に 天に そして
G1325 G3588 G4434 G2532 G2192 G2344 G1722 G3772 G2532

δεῦρο, ἀκολούθει μοι,
来て 従いなさい わたしに
G1204 G0190 G1473

イエスは彼に目をとめ、いつくしんで言われた、「あなたに足りないことが一つある。帰って、持っているものをみな売り払って、貧しい人々に施しなさい。そうすれば、天に宝を持つようになろう。そして、わたしに従ってきなさい」。

22 ὁ δὲ, στυγνάσας ἐπὶ τῷ λόγῳ, ἀπῆλθεν λυπούμενος; ἦν
しかし その-人は 顔を-曇らせて について この 言葉の 去って-行った 悲しみ-ながら あった
G3588 G1161 G4768 G1909 G3588 G3056 G0565 G3076 G1510

γὰρ ἔχων κτήματα πολλά.
なぜなら 持っていた 財産を 多くの
G1063 G2192 G2933 G4183

すると、彼はこの言葉を聞いて、顔を曇らせ、悲しみながら立ち去った。たくさんの資産を持っていたからである。

23 Καὶ περιβλεψάμενος, ὁ Ἰησοῦς λέγει τοῖς μαθηταῖς αὐτοῦ, Πῶς
そして 見回して その イエスは 言われた その 弟子たちに 彼の 何と
G2532 G4017 G3588 G2424 G3004 G3588 G3101 G0846 G4459

δυσκόλως οἱ τὰ χρήματα ἔχοντες, εἰς τὴν βασιλείαν τοῦ Θεοῦ
難しく その この 富を 持つ–者が の–中に その 御国に この 神の
G1423 G3588 G3588 G5536 G2192 G1519 G3588 G0932 G3588 G2316

εἰσελεύσονται!
入ることか
G1525

それから、イエスは見まわして、弟子たちに言われた、「財産のある者が神の国にはいるのは、なんとむずかしいことであろう」。

24 οἱ δὲ μαθηταὶ ἐθαμβοῦντο ἐπὶ τοῖς λόγοις αὐτοῦ. ὁ δὲ
しかし その 弟子たちは 驚いた について その 言葉に 彼の その方は すると
G3588 G1161 G3101 G2284 G1909 G3588 G3056 G0846 G3588 G1161

Ἰησοῦς, πάλιν ἀποκριθεὶς, λέγει αὐτοῖς, Τέκνα, πῶς δύσκολόν ἐστιν
イエスは 再び 答えて 言われた 彼らに 子たちよ 何と 難しい–ことか である
G2424 G3825 G0611 G3004 G0846 G5043 G4459 G1422 G1510

εἰς τὴν βασιλείαν τοῦ Θεοῦ εἰσελθεῖν, <τοὺς πεποιθότας ἐπὶ χρήμασιν>!
の–中に その 御国に この 神の 入ることは この 頼る–者が に 富に
G1519 G3588 G0932 G3588 G2316 G1525 G3588 G3982 G1909 G5536

弟子たちはこの言葉に驚き怪しんだ。イエスは更に言われた、「子たちよ、神の国にはいるのは、なんとむずかしいことであろう。

25 εὐκοπώτερόν ἐστιν κάμηλον διὰ τῆς τρυμαλιᾶς τῆς ῥαφίδος διελθεῖν,
容易い である らくだが を–通って この 穴を この 針の 通る–方が
G2123 G1510 G2574 G1223 G3588 G5168 G3588 G4476 G1330

ἢ πλούσιον εἰς τὴν βασιλείαν τοῦ Θεοῦ εἰσελθεῖν.
よりも 富む–者が の–中に その 御国に この 神の 入るよりも
G2228 G4145 G1519 G3588 G0932 G3588 G2316 G1525

富んでいる者が神の国にはいるよりは、らくだが針の穴を通る方が、もっとやさしい」。

26 οἱ δὲ περισσῶς ἐξεπλήσσοντο, λέγοντες πρὸς ἑαυτούς, Καὶ τίς
彼らは すると 非常に 驚いた 言って 互いに 自分たちに では 誰が
G3588 G1161 G4057 G1605 G3004 G4314 G1438 G2532 G5101

δύναται σωθῆναι?
できるのか 救われることが
G1410 G4982

すると彼らはますます驚いて、互に言った、「それでは、だれが救われることができるのだろう」。

27 ἐμβλέψας αὐτοῖς, ὁ Ἰησοῦς λέγει, Παρὰ ἀνθρώποις ἀδύνατον, ἀλλ’ οὐ
見つめて 彼らを その イエスは 言われた には 人に 不可能だが しかし ない
G1689 G0846 G3588 G2424 G3004 G3844 G0444 G0102 G0235 G3756

παρὰ θεῷ; πάντα γὰρ δυνατὰ παρὰ τῷ θεῷ.
には 神に すべて なぜなら 可能である には この 神に
G3844 G2316 G3956 G1063 G1415 G3844 G3588 G2316

イエスは彼らを見つめて言われた、「人にはできないが、神にはできる。神はなんでもできるからである」。

28

Ἤρξατο	λέγειν	ὁ	Πέτρος	αὐτῷ,	Ἰδοὺ,	ἡμεῖς	ἀφήκαμεν	πάντα,
始めた	言い	その	ペテロが	彼に	ご覧-ください	私たちは	捨てました	すべてを
G0756	G3004	G3588	G4074	G0846	G3708	G1473	G0863	G3956

καὶ	ἠκολουθήκαμέν	σοι.	
そして	従って-きました	あなたに	
G2532	G0190	G4771	

ペテロがイエスに言い出した、「ごらんなさい、わたしたちはいっさいを捨てて、あなたに従って参りました」。

29

ἔφη	ὁ	Ἰησοῦς,	Ἀμὴν	λέγω	ὑμῖν,	οὐδείς	ἐστιν	ὃς
言われた	その	イエスは	まことに	わたしは-言う	あなたがたに	誰も-いない	いない	者は
G5346	G3588	G2424	G0281	G3004	G4771	G3762	G1510	G3739

ἀφῆκεν	οἰκίαν,	ἢ	ἀδελφοὺς,	ἢ	ἀδελφὰς,	ἢ	μητέρα,	ἢ
捨てた	家を	あるいは	兄弟たちを	あるいは	姉妹たちを	あるいは	母を	あるいは
G0863	G3614	G2228	G0080	G2228	G0079	G2228	G3384	G2228

πατέρα,	ἢ	τέκνα,	ἢ	ἀγροὺς,	ἕνεκεν	ἐμοῦ	καὶ	ἕνεκεν	τοῦ
父を	あるいは	子供たちを	あるいは	畑を	の-ために	わたしの	また	の-ために	この
G3962	G2228	G5043	G2228	G0068	G1752	G1473	G2532	G1752	G3588

εὐαγγελίου,
福音の
G2098

イエスは言われた、「よく聞いておくがよい。だれでもわたしのために、また福音のために、家、兄弟、姉妹、母、父、子、もしくは畑を捨てた者は、

30

ἐὰν	μὴ	λάβῃ	ἑκατονταπλασίονα	νῦν	ἐν	τῷ	καιρῷ	τούτῳ--
もし	ない	受けない-者は	百倍を	今	の-中に	この	時に	この
G1437	G3361	G2983	G1542	G3568	G1722	G3588	G2540	G3778

οἰκίας,	καὶ	ἀδελφοὺς,	καὶ	ἀδελφὰς,	καὶ	μητέρας,	καὶ	τέκνα.	καὶ
家を	また	兄弟たちを	また	姉妹たちを	また	母たちを	また	子供たちを	また
G3614	G2532	G0080	G2532	G0079	G2532	G3384	G2532	G5043	G2532

ἀγροὺς,	μετὰ	διωγμῶν--	καὶ	ἐν	τῷ	αἰῶνι	τῷ	ἐρχομένῳ,	ζωὴν
畑を	と-共に	迫害の	そして	の-中に	この	世に	この	来る-べき	命を
G0068	G3326	G1375	G2532	G1722	G3588	G0165	G3588	G2064	G2222

αἰώνιον.
永遠の
G0166

必ずその百倍を受ける。すなわち、今この時代では家、兄弟、姉妹、母、子および畑を迫害と共に受け、また、きたるべき世では永遠の生命を受ける。

31

πολλοὶ	δὲ	ἔσονται	πρῶτοι,	ἔσχατοι;	καὶ	οἱ	ἔσχατοι,	πρῶτοι.
多くの	しかし	なる	先の-者が	後に	そして	その	後の-者が	先に
G4183	G1161	G1510	G4413	G2078	G2532	G3588	G2078	G4413

しかし、多くの先の者はあとになり、あとの者は先になるであろう」。

32 ἦσαν δὲ ἐν τῇ ὁδῷ, ἀναβαίνοντες εἰς Ἰεροσόλυμα, καὶ
いた そして の-上を その 道の 上って-行きながら に エルサレムに そして
G1510 G1161 G1722 G3588 G3598 G0305 G1519 G2414 G2532

ἦν προάγων αὐτοὺς ὁ Ἰησοῦς, καὶ ἐθαμβοῦντο, οἱ δὲ
おられた 先に-立って 彼らに その イエスが すると 驚いていた その また
G1510 G4254 G0846 G3588 G2424 G2532 G2284 G3588 G1161

ἀκολουθοῦντες ἐφοβοῦντο. καὶ παραλαβὼν πάλιν τοὺς δώδεκα, ἤρξατο
従っていた-者たちは 恐れていた そして 連れて 再び その 十二人を 始められた
G0190 G5399 G2532 G3880 G3825 G3588 G1427 G0756

αὐτοῖς λέγειν τὰ μέλλοντα αὐτῷ συμβαίνειν:
彼らに 語る-ことを この 起ころうと-している-ことを 彼に 起こる-ことを
G0846 G3004 G3588 G3195 G0846 G4819

さて、一同はエルサレムへ上る途上にあったが、イエスが先頭に立って行かれたので、彼らは驚き怪しみ、従う者たちは恐れた。するとイエスはまた十二弟子を呼び寄せて、自分の身に起ろうとすることについて語りはじめられた、

33 ὅτι Ἰδοὺ, ἀναβαίνομεν εἰς Ἰεροσόλυμα, καὶ ὁ Υἱὸς τοῦ ἀνθρώπου
こう 見よ 上って-行く に エルサレムに すると その 人の-子は この 人の
G3754 G3708 G0305 G1519 G2414 G2532 G3588 G5207 G3588 G0444

παραδοθήσεται τοῖς ἀρχιερεῦσιν καὶ τοῖς γραμματεῦσιν, καὶ κατακρινοῦσιν
引き-渡される その 祭司長たちに また その 律法学者たちに そして 死刑を-宣告する
G3860 G3588 G0749 G2532 G3588 G1122 G2532 G2632

αὐτὸν θανάτῳ, καὶ παραδώσουσιν αὐτὸν τοῖς ἔθνεσιν.
彼に 死に そして 引き-渡す 彼を その 異邦人たちに
G0846 G2288 G2532 G3860 G0846 G3588 G1484

「見よ、わたしたちはエルサレムへ上って行くが、人の子は祭司長、律法学者たちの手に引きわたされる。そして彼らは死刑を宣告した上、彼を異邦人に引きわたすであろう。

34 καὶ ἐμπαίξουσιν αὐτῷ, καὶ ἐμπτύσουσιν αὐτῷ, καὶ μαστιγώσουσιν αὐτὸν,
そして 嘲る 彼を また 唾を-吐きかける 彼に また 鞭で-打つ 彼を
G2532 G1702 G0846 G2532 G1716 G0846 G2532 G3146 G0846

καὶ ἀποκτενοῦσιν, καὶ μετὰ τρεῖς ἡμέρας ἀναστήσεται.
そして 殺す しかし 後に 三 日の 復活する
G2532 G0615 G2532 G3326 G5140 G2250 G0450

また彼をあざけり、つばきをかけ、むち打ち、ついに殺してしまう。そして彼は三日の後によみがえるであろう」。

35 Καὶ προσπορεύονται αὐτῷ Ἰάκωβος καὶ Ἰωάννης, οἱ (δύο) υἱοὶ
すると 近づいて-来た 彼に ヤコブと そして ヨハネが その 二人の 息子たちが
G2532 G4365 G0846 G2385 G2532 G2491 G3588 G1417 G5207

Ζεβεδαίου, λέγοντες αὐτῷ, Διδάσκαλε, θέλομεν ἵνα ὃ ἐὰν αἰτήσωμέν
ゼベダイの 言って 彼に 先生 私たちは-望みます こう この 何でも 願う-ことを
G2199 G3004 G0846 G1320 G2309 G2443 G3739 G1437 G0154

σε, ποιήσῃς ἡμῖν.
あなたに して-くださるように 私たちに
G4771 G4160 G1473

さて、ゼベダイの子のヤコブとヨハネとがイエスのもとにきて言った、「先生、わたしたちがお頼みすることは、なんでもかなえてくださるようにお願いします」。

36 ὁ δὲ εἶπεν αὐτοῖς, Τί θέλετε με ποιήσω ὑμῖν?
その方は すると 言われた 彼らに 何を 望むのか わたしに して-ほしいのか あなたがたに
G3588 G1161 G3004 G0846 G5101 G2309 G1473 G4160 G4771

イエスは彼らに「何をしてほしいと、願うのか」と言われた。

37 οἱ 彼らは G3588 δὲ すると G1161 εἶπαν 言った G3004 αὐτῷ, 彼に G0846 Δὸς 与えて-ください G1325 ἡμῖν, 私たちに G1473 ἵνα こう G2443 εἷς 一人が G1520 σου あなたの G4771 ἐκ の G1537

δεξιῶν, 右に G1188 καὶ そして G2532 εἷς 一人が G1520 ἐξ の G1537 ἀριστερῶν, 左に G0710 καθίσωμεν 座れるように G2523 ἐν の-中で G1722 τῇ この G3588 δόξῃ 栄光の G1391 σου. あなたの G4771

すると彼らは言った、「栄光をお受けになるとき、ひとりをあなたの右に、ひとりを左にすわるようにしてください」。

38 ὁ その方は G3588 δὲ すると G1161 Ἰησοῦς イエスは G2424 εἶπεν 言われた G3004 αὐτοῖς, 彼らに G0846 Οὐκ わかっていない G3756 οἴδατε わかっていない G1492 τί 何を G5101

αἰτεῖσθε. 願っているのか G0154 δύνασθε できるか G1410 πιεῖν 飲むことが G4095 τὸ この G3588 ποτήριον 杯を G4221 ὃ この G3739 ἐγὼ わたしが G1473 πίνω, 飲む G4095 ἢ あるいは G2228 τὸ この G3588

βάπτισμα バプテスマを G0908 ὃ この G3739 ἐγὼ わたしが G1473 βαπτίζομαι 受ける G0907 βαπτισθῆναι? 受けることが G0907

イエスは言われた、「あなたがたは自分が何を求めているのか、わかっていない。あなたがたは、わたしが飲む杯を飲み、わたしが受けるバプテスマを受けることができるか」。

39 οἱ 彼らは G3588 δὲ すると G1161 εἶπαν 言った G3004 αὐτῷ, 彼に G0846 Δυνάμεθα. できます G1410 ὁ その方は G3588 δὲ すると G1161 Ἰησοῦς イエスは G2424 εἶπεν 言われた G3004 αὐτοῖς, 彼らに G0846

Τὸ この G3588 ποτήριον 杯を G4221 ὃ この G3739 ἐγὼ わたしが G1473 πίνω, 飲む G4095 πίεσθε; 飲む G4095 καὶ また G2532 τὸ この G3588 βάπτισμα バプテスマを G0908 ὃ この G3739 ἐγὼ わたしが G1473

βαπτίζομαι, 受ける G0907 βαπτισθήσεσθε; 受ける G0907

彼らは「できます」と答えた。するとイエスは言われた、「あなたがたは、わたしが飲む杯を飲み、わたしが受けるバプテスマを受けるであろう。

40 τὸ しかし G3588 δὲ その G1161 καθίσαι 座ること G2523 ἐκ の G1537 δεξιῶν 右に G1188 μου, わたしの G1473 ἢ あるいは G2228 ἐξ の G1537 εὐωνύμων, 左に G2176 οὐκ ではない G3756

ἔστιν ではない G1510 ἐμὸν わたしの G1699 δοῦναι, 与えることは G1325 ἀλλ’ ただし G0235 οἷς その G3739 ἡτοίμασται. 備えられた-者たちのもの G2090

しかし、わたしの右、左にすわらせることは、わたしのすることではなく、ただ備えられている人々だけに許されることである」。

41 Καὶ すると G2532 ἀκούσαντες, 聞いて G0191 οἱ その G3588 δέκα 十人は G1176 ἤρξαντο 始めた G0756 ἀγανακτεῖν 憤ることを G0023 περὶ について G4012 Ἰακώβου ヤコブと G2385 καὶ そして G2532

Ἰωάννου. ヨハネの-ことで G2491

十人の者はこれを聞いて、ヤコブとヨハネとのことで憤慨し出した。

42 καὶ προσκαλεσάμενος αὐτοὺς ὁ Ἰησοῦς λέγει αὐτοῖς, Οἴδατε ὅτι
そこで 呼び-寄せて 彼らを その イエスは 言われた 彼らに 知っている こう
G2532 G4341 G0846 G3588 G2424 G3004 G0846 G1492 G3754

οἱ δοκοῦντες ἄρχειν τῶν ἐθνῶν κατακυριεύουσιν αὐτῶν; καὶ οἱ
その 思われている 支配する-者たちは この 異邦人の 支配する 彼らを また その
G3588 G1380 G0757 G3588 G1484 G2634 G0846 G2532 G3588

μεγάλοι αὐτῶν κατεξουσιάζουσιν αὐτῶν.
偉い-者たちは 彼らの 権力を-振るう 彼らに
G3173 G0846 G2715 G0846

そこで、イエスは彼らを呼び寄せて言われた、「あなたがたの知っているとおり、異邦人の支配者と見られている人々は、その民を治め、また偉い人たちは、その民の上に権力をふるっている。

43 οὐχ οὕτως δέ ἐστιν ἐν ὑμῖν; ἀλλ’ ὃς ἂν θέλῃ
しかし そうでは ない ない の-中では あなたがたの むしろ 誰でも もし なりたい-なら
G3756 G3779 G1161 G1510 G1722 G4771 G0235 G3739 G0302 G2309

μέγας γενέσθαι ἐν ὑμῖν, ἔσται ὑμῶν διάκονος;
偉い-者に なりたいなら の-中で あなたがたの なりなさい あなたがたの 仕える-者に
G3173 G1096 G1722 G4771 G1510 G4771 G1249

しかし、あなたがたの間では、そうであってはならない。かえって、あなたがたの間で偉くなりたいと思う者は、仕える人となり、

44 καὶ ὃς ἂν θέλῃ ἐν ὑμῖν εἶναι πρῶτος,
また 誰でも もし なりたい-なら の-中で あなたがたの なりたいなら 第一の-者に
G2532 G3739 G0302 G2309 G1722 G4771 G1510 G4413

ἔσται πάντων δοῦλος.
なりなさい すべての-者の しもべに
G1510 G3956 G1401

あなたがたの間でかしらになりたいと思う者は、すべての人の僕とならねばならない。

45 καὶ γὰρ ὁ Υἱὸς τοῦ ἀνθρώπου οὐκ ἦλθεν διακονηθῆναι,
なぜなら 実に その 人の-子も この 人の ない 来たのは 仕えられる-ためではなく
G2532 G1063 G3588 G5207 G3588 G0444 G3756 G2064 G1247

ἀλλὰ διακονῆσαι, καὶ δοῦναι τὴν ψυχὴν αὐτοῦ λύτρον ἀντὶ
そうではなく 仕える-ために また 与える-ために その 命を 彼の 贖いとして の-代わりに
G0235 G1247 G2532 G1325 G3588 G5590 G0846 G3083 G0473

πολλῶν.
多くの-者の
G4183

人の子がきたのも、仕えられるためではなく、仕えるためであり、また多くの人のあがないとして、自分の命を与えるためである」。

46 Καὶ ἔρχονται εἰς Ἰεριχώ; Καὶ ἐκπορευομένου αὐτοῦ ἀπὸ Ἰεριχὼ, καὶ
そして 来た に エリコに そして 出て-行く-とき 彼が から エリコを また
G2532 G2064 G1519 G2410 G2532 G1607 G0846 G0575 G2410 G2532

τῶν μαθητῶν αὐτοῦ, καὶ ὄχλου ἱκανοῦ, ὁ υἱὸς Τιμαίου, Βαρτιμαῖος,
その 弟子たちと 彼の また 群衆の 大勢の その 息子の テマイの バルテマイが
G3588 G3101 G0846 G2532 G3793 G2425 G3588 G5207 G5090 G0924

τυφλὸς προσαίτης, ἐκάθητο παρὰ τὴν ὁδόν.
盲目の 物乞いの 座っていた の-そばに その 道の
G5185 G4319 G2521 G3844 G3588 G3598

それから、彼らはエリコにきた。そして、イエスが弟子たちや大ぜいの群衆と共にエリコから出かけられたとき、テマイの子、バルテマイという盲人のこじきが、道ばたにすわっていた。

47 καὶ ἀκούσας ὅτι Ἰησοῦς ὁ Ναζαρηνός ἐστιν, ἤρξατο κράζειν καὶ
すると 聞いて こう イエスが この ナザレの-方 であると 始めた 叫ぶ-ことを そして
G2532 G0191 G3754 G2424 G3588 G3479 G1510 G0756 G2896 G2532

λέγειν, Υἱὲ Δαυὶδ, Ἰησοῦ, ἐλέησόν με.
言った ダビデの-子よ ダビデの イエスよ 憐れんで-ください 私を
G3004 G5207 G1138 G2424 G1653 G1473

ところが、ナザレのイエスだと聞いて、彼は「ダビデの子イエスよ、わたしをあわれんでください」と叫び出した。

48 καὶ ἐπετίμων αὐτῷ πολλοὶ ἵνα σιωπήσῃ; ὁ δὲ πολλῷ μᾶλλον
すると 叱った 彼を 多くの-者が こう 黙るように-と しかし その ますます ますます
G2532 G2008 G0846 G4183 G2443 G4623 G3588 G1161 G4183 G3123

ἔκραζεν, Υἱὲ Δαυίδ, ἐλέησόν με.
叫んだ ダビデの-子よ ダビデの 憐れんで-ください 私を
G2896 G5207 G1138 G1653 G1473

多くの人々は彼をしかって黙らせようとしたが、彼はますます激しく叫びつづけた、「ダビデの子イエスよ、わたしをあわれんでください」。

49 καὶ στὰς, ὁ Ἰησοῦς εἶπεν Φωνήσατε αὐτόν. καὶ φωνοῦσιν
すると 立ち-止まって その イエスは 言われた 呼びなさい 彼を そこで 呼んだ
G2532 G2476 G3588 G2424 G3004 G5455 G0846 G2532 G5455

τὸν τυφλὸν, λέγοντες αὐτῷ, Θάρσει; ἔγειρε, φωνεῖ σε.
その 盲人を 言って 彼に 安心しなさい 立ちなさい 呼んで-おられる あなたを
G3588 G5185 G3004 G0846 G2293 G1453 G5455 G4771

イエスは立ちどまって「彼を呼べ」と命じられた。そこで、人々はその盲人を呼んで言った、「喜べ、立て、おまえを呼んでおられる」。

50 ὁ δὲ ἀποβαλὼν τὸ ἱμάτιον αὐτοῦ, ἀναπηδήσας, ἦλθεν πρὸς
すると その-人は 投げ-捨てて その 上着を 自分の 飛び-上がって 来た のところに
G3588 G1161 G0577 G3588 G2440 G0846 G1530 G2064 G4314

τὸν Ἰησοῦν.
その イエスの
G3588 G2424

そこで彼は上着を脱ぎ捨て、踊りあがってイエスのもとにきた。

51 καὶ
すると
G2532
ἀποκριθεὶς
答えて
G0611
αὐτῷ,
彼に
G0846
ὁ
その
G3588
Ἰησοῦς
イエスは
G2424
εἶπεν,
言われた
G3004
Τί
何を
G5101
σοι
あなたに
G4771
θέλεις
望むのか
G2309
ποιήσω?
して-ほしいのか
G4160
ὁ
すると
G3588
δὲ
その
G1161
τυφλὸς
盲人は
G5185
εἶπεν
言った
G3004
αὐτῷ,
彼に
G0846
Ραββουνι,
先生
G4462
ἵνα
こう
G2443
ἀναβλέψω.
見えるように-なりたいのです
G0308

イエスは彼にむかって言われた、「わたしに何をしてほしいのか」。その盲人は言った、「先生、見えるようになることです」。

52 καὶ
すると
G2532
ὁ
その
G3588
Ἰησοῦς
イエスは
G2424
εἶπεν
言われた
G3004
αὐτῷ,
彼に
G0846
Ὕπαγε,
行きなさい
G5217
ἡ
その
G3588
πίστις
信仰が
G4102
σου
あなたの
G4771
σέσωκέν
救った
G4982
σε.
あなたを
G4771
καὶ
すると
G2532
εὐθὺς
すぐに
G2112
ἀνέβλεψεν,
見えるように-なった
G0308
καὶ
そして
G2532
ἠκολούθει
従って-行った
G0190
αὐτῷ
彼に
G0846
ἐν
の-上を
G1722
τῇ
その
G3588
ὁδῷ.
道の
G3598

そこでイエスは言われた、「行け、あなたの信仰があなたを救った」。すると彼は、たちまち見えるようになり、イエスに従って行った。

Chapter 11

1 Καὶ
そして
G2532
ὅτε
とき
G3753
ἐγγίζουσιν
近づいた
G1448
εἰς
に
G1519
Ἱεροσόλυμα,
エルサレムに
G2414
εἰς
に
G1519
Βηθφαγὴ
ベトパゲと
G0967
καὶ
そして
G2532
Βηθανίαν,
ベタニヤに
G0963
πρὸς
の-近くの
G4314
τὸ
この
G3588
ὄρος
山の
G3735
τῶν
この
G3588
Ἐλαιῶν,
オリーブの
G1636
ἀποστέλλει
遣わした
G0649
δύο
二人の
G1417
τῶν
この
G3588
μαθητῶν
弟子たちを
G3101
αὐτοῦ,
彼の
G0846

さて、彼らがエルサレムに近づき、オリブの山に沿ったベテパゲ、ベタニヤの附近にきた時、イエスはふたりの弟子をつかわして言われた、

2 καὶ
そして
G2532
λέγει
言われた
G3004
αὐτοῖς,
彼らに
G0846
Ὑπάγετε
行きなさい
G5217
εἰς
に
G1519
τὴν
その
G3588
κώμην,
村に
G2968
τὴν
その
G3588
κατέναντι
向かいの
G2713
ὑμῶν,
あなたがたの
G4771
καὶ
すると
G2532
εὐθὺς,
すぐに
G2112
εἰσπορευόμενοι
入って-行って
G1531
εἰς
の-中に
G1519
αὐτὴν,
そこに
G0846
εὑρήσετε
見つける
G2147
πῶλον
子ろばが
G4454
δεδεμένον,
つながれている
G1210
ἐφ’
の-上に
G1909
ὃν
それの
G3739
οὐδεὶς
誰も
G3762
οὔπω
まだ
G3768
ἀνθρώπων
人の-中で
G0444
ἐκάθισεν;
乗ったことの-ない
G2523
λύσατε
ほどきなさい
G3089
αὐτὸν,
それを
G0846
καὶ
そして
G2532
φέρετε.
連れて-来なさい
G5342

「むこうの村へ行きなさい。そこにはいるとすぐ、まだだれも乗ったことのないろばの子が、つないであるのを見るであろう。それを解いて引いてきなさい。

3	καὶ	ἐάν	τις	ὑμῖν	εἴπῃ,	Τί	ποιεῖτε	τοῦτο?	εἴπατε,	‹ὅτι›
	そして	もし	誰かが	あなたがたに	言ったら	なぜ	しているのか	これを	言いなさい	こう
	G2532	G1437	G5100	G4771	G3004	G5101	G4160	G3778	G3004	G3754

Ὁ	Κύριος	αὐτοῦ	χρείαν	ἔχει,	καὶ	εὐθὺς	αὐτὸν	ἀποστέλλει	πάλιν	ὧδε.
その	主が	それを	必要と	している	そして	すぐに	それを	送り-返す	再び	ここに
G3588	G2962	G0846	G5532	G2192	G2532	G2112	G0846	G0649	G3825	G5602

もし、だれかがあなたがたに、なぜそんな事をするのかと言ったなら、主がお入り用なのです。またすぐ、ここへ返してくださいますと、言いなさい」。

4	καὶ	ἀπῆλθον,	καὶ	εὗρον	πῶλον	δεδεμένον	πρὸς	θύραν	ἔξω,
	そこで	行った	すると	見つけた	子ろばが	つながれているのを	の-そばの	戸口の	外に
	G2532	G0565	G2532	G2147	G4454	G1210	G4314	G2374	G1854

ἐπὶ	τοῦ	ἀμφόδου,	καὶ	λύουσιν	αὐτόν.
の-上に	その	通りの	そして	ほどいた	それを
G1909	G3588	G0296	G2532	G3089	G0846

そこで、彼らは出かけて行き、そして表通りの戸口に、ろばの子がつないであるのを見たので、それを解いた。

5	καί	τινες	τῶν	ἐκεῖ	ἑστηκότων	ἔλεγον	αὐτοῖς,	Τί	ποιεῖτε
	すると	ある-者たちが	その	そこに	立っていた	言った	彼らに	何を	しているのか
	G2532	G5100	G3588	G1563	G2476	G3004	G0846	G5101	G4160

λύοντες	τὸν	πῶλον?
ほどいて	その	子ろばを
G3089	G3588	G4454

すると、そこに立っていた人々が言った、「そのろばの子を解いて、どうするのか」。

6	οἱ	δὲ	εἶπαν	αὐτοῖς	καθὼς	εἶπεν	ὁ	Ἰησοῦς,	καὶ	ἀφῆκαν
	彼らは	すると	言った	彼らに	言われた-とおりに	言った	その	イエスが	すると	許した
	G3588	G1161	G3004	G0846	G2531	G3004	G3588	G2424	G2532	G0863

αὐτούς.
彼らを
G0846

弟子たちは、イエスが言われたとおり彼らに話したので、ゆるしてくれた。

7	καὶ	φέρουσιν	τὸν	πῶλον	πρὸς	τὸν	Ἰησοῦν,	καὶ	ἐπιβάλλουσιν
	そして	連れて-来た	その	子ろばを	のところに	その	イエスの	そして	かけた
	G2532	G5342	G3588	G4454	G4314	G3588	G2424	G2532	G1911

αὐτῷ	τὰ	ἱμάτια	αὐτῶν,	καὶ	ἐκάθισεν	ἐπ’	αὐτόν;
その-上に	その	衣を	自分たちの	すると	乗られた	の-上に	それの
G0846	G3588	G2440	G0846	G2532	G2523	G1909	G0846

そこで、弟子たちは、そのろばの子をイエスのところに引いてきて、自分たちの上着をそれに投げかけると、イエスはその上にお乗りになった。

8	καὶ	πολλοὶ	τὰ	ἱμάτια	αὐτῶν	ἔστρωσαν	εἰς	τὴν	ὁδόν,
	すると	多くの-者が	その	衣を	自分たちの	敷いた	の-上に	その	道の
	G2532	G4183	G3588	G2440	G0846	G4766	G1519	G3588	G3598

ἄλλοι	δὲ	στιβάδας	κόψαντες	ἐκ	τῶν	ἀγρῶν.	
他の-者たちは	また	葉の-ついた-枝を	切って	から	その	野から	
G0243	G1161	G4746	G2875	G1537	G3588	G0068	

すると多くの人々は自分たちの上着を道に敷き、また他の人々は葉のついた枝を野原から切ってきて敷いた。

9

καὶ	οἱ	προάγοντες	καὶ	οἱ	ἀκολουθοῦντες	ἔκραζον,	Ὡσαννά!
そして	その	先に-行く-者たちと	そして	その	後に-従う-者たちが	叫んでいた	ホサナ
G2532	G3588	G4254	G2532	G3588	G0190	G2896	G5614

Εὐλογημένος	ὁ	ἐρχόμενος	ἐν	ὀνόματι	Κυρίου!
祈りが-ある	その	来られる-方に	によって	御名の	主の
G2127	G3588	G2064	G1722	G3686	G2962

そして、前に行く者も、あとに従う者も共に叫びつづけた、「ホサナ、主の御名によってきたる者に、祝福あれ。

10

Εὐλογημένη	ἡ	ἐρχομένη	βασιλεία	τοῦ	πατρὸς	ἡμῶν,	Δαυίδ!	Ὡσαννὰ
祈りが-ある	その	来たるべき	御国に	この	父の	私たちの	ダビデの	ホサナ
G2127	G3588	G2064	G0932	G3588	G3962	G1473	G1138	G5614

ἐν	τοῖς	ὑψίστοις!
において	その	いと-高き-ところに
G1722	G3588	G5310

今きたる、われらの父ダビデの国に、祝福あれ。いと高き所に、ホサナ」。

11

Καὶ	εἰσῆλθεν	εἰς	Ἱεροσόλυμα,	εἰς	τὸ	ἱερόν;	καὶ,	περιβλεψάμενος
そして	入った	に	エルサレムに	に	その	神殿に	そして	見回して
G2532	G1525	G1519	G2414	G1519	G3588	G2411	G2532	G4017

πάντα,	ὀψὲ	ἤδη	οὔσης	τῆς	ὥρας,	ἐξῆλθεν	εἰς	Βηθανίαν,	μετὰ
すべてを	遅く	すでに	なっていたので	その	時が	出て-行った	に	ベタニヤに	と-共に
G3956	G3796	G2235	G1510	G3588	G5610	G1831	G1519	G0963	G3326

τῶν	δώδεκα.
その	十二人と
G3588	G1427

こうしてイエスはエルサレムに着き、宮にはいられた。そして、すべてのものを見まわった後、もはや時もおそくなっていたので、十二弟子と共にベタニヤに出て行かれた。

12

Καὶ	τῇ	ἐπαύριον,	ἐξελθόντων	αὐτῶν	ἀπὸ	Βηθανίας,	ἐπείνασεν.
そして	その	翌日	出て-来た-とき	彼らが	から	ベタニヤを	空腹に-なった
G2532	G3588	G1887	G1831	G0846	G0575	G0963	G3983

翌日、彼らがベタニヤから出かけてきたとき、イエスは空腹をおぼえられた。

13

καὶ	ἰδὼν	συκῆν	ἀπὸ	μακρόθεν,	ἔχουσαν	φύλλα,	ἦλθεν	εἰ
すると	見て	いちじくの-木が	から	遠くから	ついている	葉が	行った	もしかして
G2532	G3708	G4808	G0575	G3113	G2192	G5444	G2064	G1487

ἄρα	τι	εὑρήσει	ἐν	αὐτῇ.	καὶ	ἐλθὼν	ἐπ'	αὐτὴν,	οὐδὲν
きっと	何か	見つけるかと	の-上に	それの	しかし	来て-みると	の-ところに	それの	何も
G0687	G5100	G2147	G1722	G0846	G2532	G2064	G1909	G0846	G3762

εὗρεν,	εἰ	μὴ	φύλλα;	ὁ	γὰρ	καιρὸς	οὐκ	ἦν	σύκων.
見つけなかった	ただし	ない	葉以外は	この	なぜなら	季節では	なかった	なかった	いちじくの
G2147	G1487	G3361	G5444	G3588	G1063	G2540	G3756	G1510	G4810

そして、葉の茂ったいちじくの木を遠くからごらんになって、その木に何かありはしないかと近寄られたが、葉のほかは何も見当らなかった。いちじくの季節でなかったからである。

14 καὶ そこで G2532 ἀποκριθεὶς, 答えて G0611 εἶπεν 言われた G3004 αὐτῇ, それに G0846 Μηκέτι もはや–永遠に G3371 εἰς の–中で G1519 τὸν この G3588 αἰῶνα, 世の G0165 ἐκ から G1537 σοῦ おまえから G4771 μηδεὶς 誰も G3367 καρπὸν 実を G2590 φάγοι. 食べることが–ない–ように G5315 καὶ そして G2532 ἤκουον 聞いていた G0191 οἱ その G3588 μαθηταὶ 弟子たちは G3101 αὐτοῦ. 彼の G0846

そこで、イエスはその木にむかって、「今から後いつまでも、おまえの実を食べる者がないように」と言われた。弟子たちはこれを聞いていた。

15 Καὶ そして G2532 ἔρχονται 来た G2064 εἰς に G1519 Ἱεροσόλυμα; エルサレムに G2414 Καὶ そして G2532 εἰσελθὼν 入って G1525 εἰς の–中に G1519 τὸ その G3588 ἱερὸν, 神殿に G2411 ἤρξατο 始めた G0756 ἐκβάλλειν 追い–出す–ことを G1544 τοὺς その G3588 πωλοῦντας 売って–いる–者を G4453 καὶ また G2532 τοὺς その G3588 ἀγοράζοντας 買って–いる–者を G0059 ἐν の–中で G1722 τῷ その G3588 ἱερῷ; 神殿の G2411 καὶ また G2532 τὰς その G3588 τραπέζας 台を G5132 τῶν この G3588 κολλυβιστῶν, 両替商の G2855 καὶ また G2532 τὰς その G3588 καθέδρας 席を G2515 τῶν この G3588 πωλούντων 売って–いる–者の G4453 τὰς その G3588 περιστερὰς 鳩を G4058 κατέστρεψεν. ひっくり–返した G2690

それから、彼らはエルサレムにきた。イエスは宮に入り、宮の庭で売り買いしていた人々を追い出しはじめ、両替人の台や、はとを売る者の腰掛をくつがえし、

16 καὶ また G2532 οὐκ 許さなかった G3756 ἤφιεν 許さなかった G0863 ἵνα こう G2443 τις 誰かが G5100 διενέγκῃ 運ぶことを G1308 σκεῦος 器を G4632 διὰ を–通って G1223 τοῦ その G3588 ἱεροῦ. 神殿の G2411

また器ものを持って宮の庭を通り抜けるのをお許しにならなかった。

17 καὶ そして G2532 ἐδίδασκεν, 教えて G1321 καὶ そして G2532 ἔλεγεν 言っておられた G3004 αὐτοῖς, 彼らに G0846 Οὐ ないか G3756 γέγραπται, 書かれている G1125 ὅτι こう G3754 Ὁ この G3588 οἶκός 家は G3624 μου わたしの G1473 οἶκος 家と G3624 προσευχῆς 祈りの G4335 κληθήσεται 呼ばれる G2564 πᾶσιν すべての G3956 τοῖς その G3588 ἔθνεσιν? 国々に–とって G1484 ὑμεῖς しかし–あなたがたは G4771 δὲ それなのに G1161 πεποιήκατε してしまった G4160 αὐτὸν それを G0846 σπήλαιον 巣窟に G4693 λῃστῶν. 強盗の G3027

そして、彼らに教えて言われた、「『わたしの家は、すべての国民の祈の家ととなえらるべきである』と書いてあるではないか。それだのに、あなたがたはそれを強盗の巣にしてしまった」。

18 καὶ ἤκουσαν οἱ ἀρχιερεῖς, καὶ οἱ γραμματεῖς; καὶ ἐζήτουν
すると 聞いた その 祭司長たちと また その 律法学者たちは そして 探していた
G2532 G0191 G3588 G0749 G2532 G3588 G1122 G2532 G2212

πῶς αὐτὸν ἀπολέσωσιν; ἐφοβοῦντο γὰρ αὐτόν, πᾶς γὰρ ὁ
どうすれば 彼を 殺せるかを 恐れていた なぜなら 彼を すべての なぜなら その
G4459 G0846 G0622 G5399 G1063 G0846 G3956 G1063 G3588

ὄχλος ἐξεπλήσσετο ἐπὶ τῇ διδαχῇ αὐτοῦ.
群衆が 驚いていた について その 教えに 彼の
G3793 G1605 G1909 G3588 G1322 G0846

祭司長、律法学者たちはこれを聞いて、どうかしてイエスを殺そうと計った。彼らは、群衆がみなその教に感動していたので、イエスを恐れていたからである。

19 Καὶ ὅταν ὀψὲ ἐγένετο, ἐξεπορεύοντο ἔξω τῆς πόλεως.
そして とき 夕方に なった 出て-行った 外へ その 都の
G2532 G3752 G3796 G1096 G1607 G1854 G3588 G4172

夕方になると、イエスと弟子たちとは、いつものように都の外に出て行った。

20 Καὶ παραπορευόμενοι πρωΐ, εἶδον τὴν συκῆν ἐξηραμμένην ἐκ
そして 通り-過ぎる-とき 朝 見た その いちじくの-木が 枯れているのを から
G2532 G3899 G4404 G3708 G3588 G4808 G3583 G1537

ῥιζῶν.
根から
G4491

朝はやく道をとおっていると、彼らは先のいちじくが根元から枯れているのを見た。

21 καὶ ἀναμνησθεὶς, ὁ Πέτρος λέγει αὐτῷ, Ῥαββί, ἴδε, ἡ
すると 思い-出して その ペテロが 言った 彼に 先生 見て-ください その
G2532 G0363 G3588 G4074 G3004 G0846 G4461 G3708 G3588

συκῆ ἣν κατηράσω ἐξήρανται.
いちじくの-木が その 呪われた 枯れました
G4808 G3739 G2672 G3583

そこで、ペテロは思い出してイエスに言った、「先生、ごらんなさい。あなたがのろわれたいちじくが、枯れています」。

22 καὶ ἀποκριθεὶς, ὁ Ἰησοῦς λέγει αὐτοῖς, Ἔχετε πίστιν θεοῦ.
すると 答えて その イエスは 言われた 彼らに 持ちなさい 信仰を 神の
G2532 G0611 G3588 G2424 G3004 G0846 G2192 G4102 G2316

イエスは答えて言われた、「神を信じなさい。

23 ἀμὴν λέγω ὑμῖν, ὅτι ὃς ἂν εἴπῃ τῷ ὄρει τούτῳ,
まことに わたしは-言う あなたがたに こう 誰でも もし 言うなら この 山に この
G0281 G3004 G4771 G3754 G3739 G0302 G3004 G3588 G3735 G3778

Ἄρθητι καὶ βλήθητι εἰς τὴν θάλασσαν, καὶ μὴ διακριθῇ, ἐν
動け そして 投げ-込まれよ の-中に その 海に そして ない 疑わないなら の-中で
G0142 G2532 G0906 G1519 G3588 G2281 G2532 G3361 G1252 G1722

τῇ καρδίᾳ αὐτοῦ, ἀλλὰ πιστεύῃ ὅτι ὃ λαλεῖ γίνεται, ἔσται
その 心の 自分の そうではなく 信じるなら こう この 言う-ことが 起こると そうなる
G3588 G2588 G0846 G0235 G4100 G3754 G3739 G2980 G1096 G1510

αὐτῷ.
その-人に
G0846

よく聞いておくがよい。だれでもこの山に、動き出して、海の中にはいれと言い、その言ったことは必ず成ると、心に疑わないで信じるなら、そのとおりに成るであろう。

24 διὰ だから G1223 τοῦτο これゆえに G3778 λέγω わたしは-言う G3004 ὑμῖν, あなたがたに G4771 πάντα すべての-ことを G3956 ὅσα 何でも G3745 προσεύχεσθε 祈り G4336 καὶ そして G2532

αἰτεῖσθε, 願う-とき G0154 πιστεύετε 信じなさい G4100 ὅτι こう G3754 ἐλάβετε, 受けたと G2983 καὶ そうすれば G2532 ἔσται そうなる G1510 ὑμῖν. あなたがたに G4771

そこで、あなたがたに言うが、なんでも祈り求めることは、すでにかなえられたと信じなさい。そうすれば、そのとおりになるであろう。

25 καὶ そして G2532 ὅταν とき G3752 στήκετε 立って G4739 προσευχόμενοι, 祈って-いる-とき G4336 ἀφίετε 赦しなさい G0863 εἴ もし G1487 τι 何か G5100 ἔχετε 持っているなら G2192 κατά に-対して G2596

τινος, 誰かに G5100 ἵνα こう G2443 καὶ また G2532 ὁ その G3588 Πατὴρ 父も G3962 ὑμῶν, あなたがたの G4771 ὁ この G3588 ἐν の-中の G1722 τοῖς その G3588 οὐρανοῖς, 天に-おられる G3772

ἀφῇ 赦して-くださる G0863 ὑμῖν あなたがたを G4771 τὰ その G3588 παραπτώματα 過ちを G3900 ὑμῶν. あなたがたの G4771

また立って祈るとき、だれかに対して、何か恨み事があるならば、ゆるしてやりなさい。そうすれば、天にいますあなたがたの父も、あなたがたのあやまちを、ゆるしてくださるであろう。〔

26 <Εἰ しかし-もし G1487 δὲ その G1161 ὑμεῖς あなたがたが G4771 οὐκ ない G3756 ἀφίετε, 赦さないなら G0863 οὐδὲ また-ない G3761 ὁ その G3588 πατὴρ 父も G3962 ὑμῶν あなたがたの G4771

ὁ この G3588 ἐν の-中の G1722 τοῖς その G3588 οὐρανοῖς, 天に-おられる G3772 ἀφήσει 赦さない G0863 τὰ その G3588 παραπτώματα 過ちを G3900 ὑμῶν>. あなたがたの G4771

もしゆるさないならば、天にいますあなたがたの父も、あなたがたのあやまちを、ゆるしてくださらないであろう〕」。

27 Καὶ そして G2532 ἔρχονται 来た G2064 πάλιν 再び G3825 εἰς に G1519 Ἱεροσόλυμα. エルサレムに G2414 καὶ そして G2532 ἐν の-中で G1722 τῷ その G3588 ἱερῷ, 神殿の G2411

περιπατοῦντος 歩いて-おられる-とき G4043 αὐτοῦ, 彼が G0846 ἔρχονται 来た G2064 πρὸς のところに G4314 αὐτὸν 彼の G0846 οἱ その G3588 ἀρχιερεῖς 祭司長たちと G0749 καὶ また G2532 οἱ その G3588

γραμματεῖς 律法学者たちと G1122 καὶ また G2532 οἱ その G3588 πρεσβύτεροι. 長老たちが G4245

彼らはまたエルサレムにきた。そして、イエスが宮の内を歩いておられると、祭司長、律法学者、長老たちが、みもとにきて言った、

28 καὶ ἔλεγον αὐτῷ, Ἐν ποίᾳ ἐξουσίᾳ ταῦτα ποιεῖς?
そして 言っていた 彼に どのような どのような 権威で これらの-ことを しているのか
G2532 G3004 G0846 G1722 G4169 G1849 G3778 G4160

ἢ, τίς σοι ἔδωκεν τὴν ἐξουσίαν ταύτην, ἵνα ταῦτα
あるいは 誰が あなたに 与えたのか この 権威を この こう これらの-ことを
G2228 G5101 G4771 G1325 G3588 G1849 G3778 G2443 G3778

ποιῇς?
するために
G4160

「何の権威によってこれらの事をするのですか。だれが、そうする権威を授けたのですか」。

29 ὁ δὲ Ἰησοῦς εἶπεν αὐτοῖς, Ἐπερωτήσω ὑμᾶς ἕνα λόγον,
その方は すると イエスは 言われた 彼らに 尋ねよう あなたがたに 一つの ことを
G3588 G1161 G2424 G3004 G0846 G1905 G4771 G1520 G3056

καὶ ἀποκρίθητέ μοι, καὶ ἐρῶ ὑμῖν ἐν ποίᾳ ἐξουσίᾳ
そして 答えなさい わたしに そうすれば 言おう あなたがたに どのような どのような 権威で
G2532 G0611 G1473 G2532 G2046 G4771 G1722 G4169 G1849

ταῦτα ποιῶ.
これらの-ことを しているかを
G3778 G4160

そこで、イエスは彼らに言われた、「一つだけ尋ねよう。それに答えてほしい。そうしたら、何の権威によって、わたしがこれらの事をするのか、あなたがたに言おう。

30 τὸ βάπτισμα τὸ Ἰωάννου, ἐξ οὐρανοῦ ἦν, ἢ ἐξ
この バプテスマは この ヨハネの からの 天からの ものか それとも からの
G3588 G0908 G3588 G2491 G1537 G3772 G1510 G2228 G1537

ἀνθρώπων? ἀποκρίθητέ μοι.
人からの-ものか 答えなさい わたしに
G0444 G0611 G1473

ヨハネのバプテスマは天からであったか、人からであったか、答えなさい」。

31 καὶ διελογίζοντο πρὸς ἑαυτοὺς, λέγοντες, ‹Τί εἴπωμεν›? Ἐὰν εἴπωμεν,
すると 論じ-合っていた 互いに 自分たちに 言って 何と 言おうか もし 言うなら
G2532 G1260 G4314 G1438 G3004 G5101 G3004 G1437 G3004

Ἐξ οὐρανοῦ, ἐρεῖ, Διὰ τί οὖν οὐκ ἐπιστεύσατε αὐτῷ?
からと 天から 言うだろう では-なぜ なぜ それなら ない 信じなかったのか 彼を
G1537 G3772 G2046 G1223 G5101 G3767 G3756 G4100 G0846

すると、彼らは互に論じて言った、「もし天からだと言えば、では、なぜ彼を信じなかったのか、とイエスは言うだろう。

32 ἀλλὰ εἴπωμεν, Ἐξ ἀνθρώπων, ἐφοβοῦντο τὸν ὄχλον; ἅπαντες γὰρ
しかし 言おうか からと 人から 恐れた その 群衆を すべての-者が なぜなら
G0235 G3004 G1537 G0444 G5399 G3588 G3793 G0537 G1063

εἶχον τὸν Ἰωάννην ὄντως ὅτι προφήτης ἦν.
思っていた その ヨハネを 本当に こう 預言者で あったと
G2192 G3588 G2491 G3689 G3754 G4396 G1510

しかし、人からだと言えば……」。彼らは群衆を恐れていた。人々が皆、ヨハネを預言者だとほんとうに思っていたからである。

33									
καὶ	ἀποκριθέντες	τῷ	Ἰησοῦ,	λέγουσιν,	Οὐκ	οἴδαμεν.	καὶ	ὁ
そこで	答えて	その	イエスに	言った	わからない	わからない	すると	その
G2532	G0611	G3588	G2424	G3004	G3756	G1492	G2532	G3588

Ἰησοῦς	λέγει	αὐτοῖς,	Οὐδὲ	ἐγὼ	λέγω	ὑμῖν	ἐν	ποίᾳ
イエスは	言われた	彼らに	また-ない	わたしも	言わない	あなたがたに	どのような	どのような
G2424	G3004	G0846	G3761	G1473	G3004	G4771	G1722	G4169

ἐξουσίᾳ	ταῦτα	ποιῶ.
権威で	これらの-ことを	しているかを
G1849	G3778	G4160

それで彼らは「わたしたちにはわかりません」と答えた。するとイエスは言われた、「わたしも何の権威によってこれらの事をするのか、あなたがたに言うまい」。

Chapter 12

1									
Καὶ	ἤρξατο	αὐτοῖς	ἐν	παραβολαῖς	λαλεῖν,	ἀμπελῶνα	ἄνθρωπος
そして	始めた	彼らに	で	たとえで	語る-ことを	ぶどう園を	ある-人が
G2532	G0756	G0846	G1722	G3850	G2980	G0290	G0444

ἐφύτευσεν,	καὶ	περιέθηκεν	φραγμὸν,	καὶ	ὤρυξεν	ὑπολήνιον,	καὶ
植えた	そして	巻いた	垣根を	そして	掘った	酒ぶねを	そして
G5452	G2532	G4060	G5418	G2532	G3736	G5276	G2532

ᾠκοδόμησεν	πύργον,	καὶ	ἐξέδετο	αὐτὸν	γεωργοῖς,	καὶ	ἀπεδήμησεν.
建てた	やぐらを	そして	貸した	それを	農夫たちに	そして	旅に-出た
G3618	G4444	G2532	G1554	G0846	G1092	G2532	G0589

そこでイエスは譬で彼らに語り出された、「ある人がぶどう園を造り、垣をめぐらし、また酒ぶねの穴を掘り、やぐらを立て、それを農夫たちに貸して、旅に出かけた。

2									
καὶ	ἀπέστειλεν	πρὸς	τοὺς	γεωργοὺς	τῷ	καιρῷ	δοῦλον,	ἵνα	παρὰ
そして	遣わした	のところに	その	農夫たちの	その	時に	しもべを	こう	から
G2532	G0649	G4314	G3588	G1092	G3588	G2540	G1401	G2443	G3844

τῶν	γεωργῶν	λάβῃ	ἀπὸ	τῶν	καρπῶν	τοῦ	ἀμπελῶνος.
その	農夫たちから	受け-取る-ために	から	その	実の	この	ぶどう園の
G3588	G1092	G2983	G0575	G3588	G2590	G3588	G0290

季節になったので、農夫たちのところへ、ひとりの僕を送って、ぶどう園の収穫の分け前を取り立てさせようとした。

3							
καὶ	λαβόντες	αὐτὸν,	ἔδειραν,	καὶ	ἀπέστειλαν	κενόν.
しかし	捕らえて	彼を	打ち	そして	追い-返した	空手で
G2532	G2983	G0846	G1194	G2532	G0649	G2756

すると、彼らはその僕をつかまえて、袋だたきにし、から手で帰らせた。

4									
καὶ	πάλιν	ἀπέστειλεν	πρὸς	αὐτοὺς	ἄλλον	δοῦλον,	κἀκεῖνον	ἐκεφαλίωσαν,
そこで	再び	遣わした	のところに	彼らの	別の	しもべを	その-者も	頭を-殴って
G2532	G3825	G0649	G4314	G0846	G0243	G1401	G2548	G2775

καὶ	ἠτίμασαν.
そして	辱めた
G2532	G0818

また他の僕を送ったが、その頭をなぐって侮辱した。

5 καὶ そして G2532 ἄλλον 別の-者を G0243 ἀπέστειλεν, 遣わした G0649 κἀκεῖνον その-者も G2548 ἀπέκτειναν; 殺した G0615 καὶ また G2532 πολλοὺς 多くの G4183 ἄλλους, 他の-者たちも G0243

οὓς その-者たちを G3739 μὲν 一方では G3303 δέροντες, 打ち G1194 οὓς その-者たちを G3739 δὲ また G1161 ἀποκτέννοντες. 殺した G0615

そこでまた他の者を送ったが、今度はそれを殺してしまった。そのほか、なお大ぜいの者を送ったが、彼らを打ったり、殺したりした。

6 ἔτι まだ G2089 ἕνα 一人の G1520 εἶχεν いた G2192 υἱὸν 息子が G5207 ἀγαπητόν, 愛する G0027 ἀπέστειλεν 遣わした G0649 αὐτὸν 彼を G0846 ἔσχατον 最後に G2078 πρὸς のところに G4314 αὐτοὺς, 彼らの G0846

λέγων, 言って G3004 ὅτι こう G3754 Ἐντραπήσονται 敬うだろう G1788 τὸν その G3588 υἱόν 息子を G5207 μου. 私の G1473

ここに、もうひとりの者がいた。それは彼の愛子であった。自分の子は敬ってくれるだろうと思って、最後に彼をつかわした。

7 ἐκεῖνοι しかし-その G1565 δὲ その G1161 οἱ この G3588 γεωργοὶ 農夫たちは G1092 πρὸς 互いに G4314 ἑαυτοὺς 自分たちに G1438 εἶπαν 言った G3004 ὅτι, こう G3754 Οὗτός この-者は G3778 ἐστιν である G1510

ὁ その G3588 κληρονόμος: 跡取りだ G2818 δεῦτε, さあ G1205 ἀποκτείνωμεν 殺そう G0615 αὐτόν, 彼を G0846 καὶ そうすれば G2532 ἡμῶν 私たちの G1473 ἔσται ものになる G1510 ἡ その G3588

κληρονομία.
相続財産が
G2817

すると、農夫たちは『あれはあと取りだ。さあ、これを殺してしまおう。そうしたら、その財産はわれわれのものになるのだ』と話し合い、

8 καὶ そして G2532 λαβόντες, 捕らえて G2983 ἀπέκτειναν 殺した G0615 αὐτόν, 彼を G0846 καὶ そして G2532 ἐξέβαλον 投げ-捨てた G1544 αὐτὸν 彼を G0846 ἔξω 外に G1854 τοῦ その G3588

ἀμπελῶνος.
ぶどう園の
G0290

彼をつかまえて殺し、ぶどう園の外に投げ捨てた。

9 τί 何を G5101 [οὖν] それでは G3767 ποιήσει するだろうか G4160 ὁ その G3588 κύριος 主人は G2962 τοῦ この G3588 ἀμπελῶνος? ぶどう園の G0290 ἐλεύσεται 来て G2064 καὶ そして G2532

ἀπολέσει 滅ぼす G0622 τοὺς その G3588 γεωργούς, 農夫たちを G1092 καὶ そして G2532 δώσει 与える G1325 τὸν その G3588 ἀμπελῶνα ぶどう園を G0290 ἄλλοις. 他の-者たちに G0243

このぶどう園の主人は、どうするだろうか。彼は出てきて、農夫たちを殺し、ぶどう園を他の人々に与えるであろう。

10 οὐδὲ τὴν γραφὴν ταύτην ἀνέγνωτε? Λίθον ὃν ἀπεδοκίμασαν οἱ
ないのか この 聖書を この 読んだことが 石を この 捨てた その
G3761 G3588 G1124 G3778 G0314 G3037 G3739 G0593 G3588

οἰκοδομοῦντες, οὗτος ἐγενήθη εἰς κεφαλὴν γωνίας;
建てる–者たちが これが なった と 要の 隅の–石に
G3618 G3778 G1096 G1519 G2776 G1137

あなたがたは、この聖書の句を読んだことがないのか。『家造りらの捨てた石が隅のかしら石になった。

11 παρὰ Κυρίου ἐγένετο αὕτη, καὶ ἔστιν θαυμαστὴ ἐν ὀφθαλμοῖς
からの 主からの 起こった これは そして である 不思議な–こと の–中で 目には
G3844 G2962 G1096 G3778 G2532 G1510 G2298 G1722 G3788

ἡμῶν.
私たちの
G1473

これは主がなされたことで、わたしたちの目には不思議に見える』」。

12 Καὶ ἐζήτουν αὐτὸν κρατῆσαι, καὶ ἐφοβήθησαν τὸν ὄχλον; ἔγνωσαν
そこで 探していた 彼を 捕らえる–ことを しかし 恐れた その 群衆を 知っていた
G2532 G2212 G0846 G2902 G2532 G5399 G3588 G3793 G1097

γὰρ ὅτι πρὸς αὐτοὺς τὴν παραβολὴν εἶπεν. καὶ ἀφέντες αὐτὸν,
なぜなら こう に–対して 自分たちに その たとえを 言ったと そこで 残して 彼を
G1063 G3754 G4314 G0846 G3588 G3850 G3004 G2532 G0863 G0846

ἀπῆλθον.
去って–行った
G0565

彼らはいまの譬が、自分たちに当てて語られたことを悟ったので、イエスを捕えようとしたが、群衆を恐れた。そしてイエスをそこに残して立ち去った。

13 Καὶ ἀποστέλλουσιν πρὸς αὐτόν τινας τῶν Φαρισαίων, καὶ τῶν
そして 遣わした のところに 彼の ある–者たちを この パリサイ人の また この
G2532 G0649 G4314 G0846 G5100 G3588 G5330 G2532 G3588

Ἡρῳδιανῶν, ἵνα αὐτὸν ἀγρεύσωσιν λόγῳ.
ヘロデ党の–者を こう 彼を わなに–かける–ために 言葉で
G2265 G2443 G0846 G0064 G3056

さて、人々はパリサイ人やヘロデ党の者を数人、イエスのもとにつかわして、その言葉じりを捕えようとした。

14 καὶ ἐλθόντες, λέγουσιν αὐτῷ, Διδάσκαλε, οἴδαμεν ὅτι ἀληθὴς εἶ,
そして 来て 言った 彼に 先生 知っています こう 真実な-方だと あなたは
G2532 G2064 G3004 G0846 G1320 G1492 G3754 G0227 G1510

καὶ οὐ μέλει σοι περὶ οὐδενός; οὐ γὰρ βλέπεις εἰς
そして ない 気にしない あなたは について 誰も ない なぜなら 見ない を
G2532 G3756 G3199 G4771 G4012 G3762 G3756 G1063 G0991 G1519

πρόσωπον ἀνθρώπων, ἀλλ’ ἐπ’ ἀληθείας τὴν ὁδὸν τοῦ Θεοῦ
人の-顔を 人の そうではなく によって 真理に その 道を この 神の
G4383 G0444 G0235 G1909 G0225 G3588 G3598 G3588 G2316

διδάσκεις. ἔξεστιν δοῦναι κῆνσον Καίσαρι ἢ οὔ, δῶμεν
教えている 許されるか 納めること 税を カイザルに それとも ないのか 納めるべきか
G1321 G1832 G1325 G2778 G2541 G2228 G3756 G1325

ἢ μὴ δῶμεν?
それとも ない 納めない-べきか
G2228 G3361 G1325

彼らはきてイエスに言った、「先生、わたしたちはあなたが真実なかたで、だれをも、はばかられないことを知っています。あなたは人に分け隔てをなさらないで、真理に基いて神の道を教えてくださいます。ところで、カイザルに税金を納めてよいでしょうか、いけないでしょうか。納めるべきでしょうか、納めてはならないのでしょうか」。

15 ὁ δὲ εἰδὼς αὐτῶν τὴν ὑπόκρισιν, εἶπεν αὐτοῖς, Τί με
その方は すると 見抜いて 彼らの その 偽善を 言われた 彼らに なぜ わたしを
G3588 G1161 G1492 G0846 G3588 G5272 G3004 G0846 G5101 G1473

πειράζετε? φέρετέ μοι δηνάριον, ἵνα ἴδω.
試すのか 持って-来なさい わたしに デナリオンを こう 見よう
G3985 G5342 G1473 G1220 G2443 G3708

イエスは彼らの偽善を見抜いて言われた、「なぜわたしをためそうとするのか。デナリを持ってきて見せなさい」。

16 οἱ δὲ ἤνεγκαν. καὶ λέγει αὐτοῖς, Τίνος ἡ εἰκὼν αὕτη, καὶ
彼らは すると 持って-来た そして 言われた 彼らに 誰の この 像は これは そして
G3588 G1161 G5342 G2532 G3004 G0846 G5101 G3588 G1504 G3778 G2532

ἡ ἐπιγραφή? οἱ δὲ εἶπαν αὐτῷ, Καίσαρος.
この 銘は 彼らは すると 言った 彼に カイザルの
G3588 G1923 G3588 G1161 G3004 G0846 G2541

彼らはそれを持ってきた。そこでイエスは言われた、「これは、だれの肖像、だれの記号か」。彼らは「カイザルのです」と答えた。

17 ὁ δὲ Ἰησοῦς εἶπεν αὐτοῖς, Τὰ Καίσαρος, ἀπόδοτε Καίσαρι,
その方は すると イエスは 言われた 彼らに この カイザルの-ものは 返しなさい カイザルに
G3588 G1161 G2424 G3004 G0846 G3588 G2541 G0591 G2541

καὶ τὰ τοῦ Θεοῦ, τῷ Θεῷ. καὶ ἐξεθαύμαζον ἐπ’ αὐτῷ.
そして この この 神の-ものは この 神に すると 非常に-驚いた について 彼に
G2532 G3588 G3588 G2316 G3588 G2316 G2532 G2296 G1909 G0846

するとイエスは言われた、「カイザルのものはカイザルに、神のものは神に返しなさい」。彼らはイエスに驚嘆した。

18 Καὶ ἔρχονται Σαδδουκαῖοι πρὸς αὐτόν, οἵτινες λέγουσιν ἀνάστασιν
すると 来た サドカイ人たちが のところに 彼の その–者たちは 言っている 復活は
G2532 G2064 G4523 G4314 G0846 G3748 G3004 G0386

μὴ εἶναι. καὶ ἐπηρώτων αὐτὸν, λέγοντες,
ないと ないと そして 尋ねていた 彼に 言って
G3361 G1510 G2532 G1905 G0846 G3004

復活ということはないと主張していたサドカイ人たちが、イエスのもとにきて質問した、

19 Διδάσκαλε, Μωϋσῆς ἔγραψεν ἡμῖν, ὅτι ἐάν τινος ἀδελφὸς ἀποθάνῃ,
先生 モーセは 書いた 私たちに こう もし ある–者の 兄弟が 死ねば
G1320 G3475 G1125 G1473 G3754 G1437 G5100 G0080 G0599

καὶ καταλίπῃ γυναῖκα, καὶ μὴ ἀφῇ τέκνον, ἵνα λάβῃ ὁ
そして 残すなら 妻を しかし ない 残さないなら 子供を こう めとるべきである その
G2532 G2641 G1135 G2532 G3361 G0863 G5043 G2443 G2983 G3588

ἀδελφὸς αὐτοῦ, τὴν γυναῖκα, καὶ ἐξαναστήσῃ σπέρμα τῷ ἀδελφῷ
兄弟が 彼の その 妻を そして 起こすべきである 子孫を その 兄弟の–ために
G0080 G0846 G3588 G1135 G2532 G1817 G4690 G3588 G0080

αὐτοῦ.
彼の
G0846

「先生、モーセは、わたしたちのためにこう書いています、『もし、ある人の兄が死んで、その残された妻に、子がない場合には、弟はこの女をめとって、兄のために子をもうけねばならない』。

20 ἑπτὰ ἀδελφοὶ ἦσαν; καὶ ὁ πρῶτος ἔλαβεν γυναῖκα, καὶ,
七人の 兄弟が いた そして その 第一の–者が めとった 妻を そして
G2033 G0080 G1510 G2532 G3588 G4413 G2983 G1135 G2532

ἀποθνήσκων, οὐκ ἀφῆκεν σπέρμα;
死ぬ–とき ない 残さなかった 子孫を
G0599 G3756 G0863 G4690

ここに、七人の兄弟がいました。長男は妻をめとりましたが、子がなくて死に、

21 καὶ ὁ δεύτερος ἔλαβεν αὐτήν, καὶ ἀπέθανεν, μὴ καταλιπὼν σπέρμα;
そして その 第二の–者が めとった 彼女を そして 死んだ ない 残さずに 子孫を
G2532 G3588 G1208 G2983 G0846 G2532 G0599 G3361 G2641 G4690

καὶ ὁ τρίτος ὡσαύτως.
そして その 第三の–者も 同様に
G2532 G3588 G5154 G5615

次男がその女をめとって、また子をもうけずに死に、三男も同様でした。

22 καὶ οἱ ἑπτὰ οὐκ ἀφῆκαν σπέρμα. ἔσχατον πάντων καὶ, ἡ
そして その 七人とも ない 残さなかった 子孫を 最後に すべての–後に また その
G2532 G3588 G2033 G3756 G0863 G4690 G2078 G3956 G2532 G3588

γυνὴ ἀπέθανεν.
妻も 死んだ
G1135 G0599

こうして、七人ともみな子孫を残しませんでした。最後にその女も死にました。

23 ἐν τῇ ἀναστάσει, ὅταν ἀναστῶσιν, τίνος αὐτῶν ἔσται γυνή? οἱ
の–中で その 復活の ∥ とき 復活するとき 誰の 彼らの–中で なるのか 妻に この
G1722 G3588 G0386 G3752 G0450 G5101 G0846 G1510 G1135 G3588

γὰρ ἑπτὰ ἔσχον αὐτὴν γυναῖκα.
なぜなら 七人とも めとった 彼女を 妻として
G1063 G2033 G2192 G0846 G1135

復活のとき、彼らが皆よみがえった場合、この女はだれの妻なのでしょうか。七人とも彼女を妻にしたのですが」。

24 ἔφη αὐτοῖς ὁ Ἰησοῦς, Οὐ διὰ τοῦτο πλανᾶσθε, μὴ
言われた 彼らに その イエスは ∥ ではないのか その–ために これの 迷っているのは ない
G5346 G0846 G3588 G2424 G3756 G1223 G3778 G4105 G3361

εἰδότες τὰς γραφὰς, μηδὲ τὴν δύναμιν τοῦ Θεοῦ?
知らないので その 聖書も また–ない その 力も この 神の
G1492 G3588 G1124 G3366 G3588 G1411 G3588 G2316

イエスは言われた、「あなたがたがそんな思い違いをしているのは、聖書も神の力も知らないからではないか。

25 ὅταν γὰρ ἐκ νεκρῶν ἀναστῶσιν, οὔτε γαμοῦσιν, οὔτε
とき なぜなら から 死者の–中から ∥ 復活するとき もない めとることも もない
G3752 G1063 G1537 G3498 G0450 G3777 G1060 G3777

γαμίζονται; ἀλλ’ εἰσὶν ὡς ἄγγελοι ἐν τοῖς οὐρανοῖς.
とつがれることも そうではなく である のように 御使いの の–中の その 天の
G1061 G0235 G1510 G5613 G0032 G1722 G3588 G3772

彼らが死人の中からよみがえるときには、めとったり、とついだりすることはない。彼らは天にいる御使のようなものである。

26 περὶ δὲ τῶν νεκρῶν, ὅτι ἐγείρονται, οὐκ ἀνέγνωτε ἐν τῇ
について しかし この 死者の ∥ こう よみがえることを ないか 読んだことが の–中の この
G4012 G1161 G3588 G3498 G3754 G1453 G3756 G0314 G1722 G3588

βίβλῳ Μωϋσέως, ἐπὶ τοῦ Βάτου, πῶς εἶπεν αὐτῷ ὁ Θεὸς,
書の モーセの ∥ において この 柴の–箇所で どのように 言われたか 彼に その 神が
G0976 G3475 G1909 G3588 G0942 G4459 G3004 G0846 G3588 G2316

λέγων, Ἐγὼ ὁ Θεὸς Ἀβραὰμ, καὶ ‹ὁ› Θεὸς Ἰσαὰκ, καὶ ‹ὁ›
言って わたしは この 神である ∥ アブラハムの また この 神である ∥ イサクの また この
G3004 G1473 G3588 G2316 G0011 G2532 G3588 G2316 G2464 G2532 G3588

Θεὸς Ἰακώβ?
神である ヤコブの
G2316 G2384

死人がよみがえることについては、モーセの書の柴の篇で、神がモーセに仰せられた言葉を読んだことがないのか。『わたしはアブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神である』とあるではないか。

27 οὐκ ἔστιν Θεὸς νεκρῶν, ἀλλὰ ζώντων. πολὺ πλανᾶσθε.
ではない ではない 神は 死者の ∥ そうではなく 生きている–者の 大いに 迷っている
G3756 G1510 G2316 G3498 G0235 G2198 G4183 G4105

神は死んだ者の神ではなく、生きている者の神である。あなたがたは非常な思い違いをしている」。

28 Καὶ προσελθὼν, εἷς τῶν γραμματέων, ἀκούσας αὐτῶν συζητούντων,
すると 近づいて-来て 一人の その 律法学者が 聞いて 彼らが 論じ-合っているのを
G2532 G4334 G1520 G3588 G1122 G0191 G0846 G4802

ἰδὼν ὅτι καλῶς ἀπεκρίθη αὐτοῖς, ἐπηρώτησεν αὐτόν, Ποία ἐστὶν ἐντολὴ
見て こう 立派に 答えたのを 彼らに 尋ねた 彼に どの である か 戒めが
G3708 G3754 G2573 G0611 G0846 G1905 G0846 G4169 G1510 G1785

πρώτη πάντων?
第一の すべての-中で
G4413 G3956

ひとりの律法学者がきて、彼らが互に論じ合っているのを聞き、またイエスが巧みに答えられたのを認めて、イエスに質問した、「すべてのいましめの中で、どれが第一のものですか」。

29 ἀπεκρίθη ὁ, Ἰησοῦς ὅτι Πρώτη ἐστίν, Ἄκουε Ἰσραήλ: Κύριος ὁ
答えられた その イエスは こう 第一は これである 聞け イスラエルよ 主は この
G0611 G3588 G2424 G3754 G4413 G1510 G0191 G2474 G2962 G3588

Θεὸς ἡμῶν Κύριος εἷς ἐστιν
神は 私たちの 主は 唯一の である
G2316 G1473 G2962 G1520 G1510

イエスは答えられた、「第一のいましめはこれである、『イスラエルよ、聞け。主なるわたしたちの神は、ただひとりの主である。

30 καὶ ἀγαπήσεις Κύριον τὸν Θεόν σου, ἐξ ὅλης τῆς καρδίας
そして 愛しなさい 主を その 神を あなたの から すべての その 心を-もって
G2532 G0025 G2962 G3588 G2316 G4771 G1537 G3650 G3588 G2588

σου, καὶ ἐξ ὅλης τῆς ψυχῆς σου, καὶ ἐξ ὅλης τῆς
あなたの また から すべての その 魂を-もって あなたの また から すべての その
G4771 G2532 G1537 G3650 G3588 G5590 G4771 G2532 G1537 G3650 G3588

διανοίας σου, καὶ ἐξ ὅλης τῆς ἰσχύος σου.
思いを-もって あなたの また から すべての その 力を-もって あなたの
G1271 G4771 G2532 G1537 G3650 G3588 G2479 G4771

心をつくし、精神をつくし、思いをつくし、力をつくして、主なるあなたの神を愛せよ』。

31 δευτέρα αὕτη: Ἀγαπήσεις τὸν πλησίον σου ὡς σεαυτόν.
第二は これである 愛しなさい その 隣人を あなたの のように 自分の
G1208 G3778 G0025 G3588 G4139 G4771 G5613 G4572

μείζων τούτων ἄλλη ἐντολὴ οὐκ ἔστιν.
これより-大きな これらより 他の 戒めは ない ない
G3173 G3778 G0243 G1785 G3756 G1510

第二はこれである、『自分を愛するようにあなたの隣り人を愛せよ』。これより大事ないましめは、ほかにない」。

32 καὶ εἶπεν αὐτῷ ὁ γραμματεύς, Καλῶς, Διδάσκαλε, ἐπ' ἀληθείας
すると 言った 彼に その 律法学者は そのとおりです 先生 によって 真理に
G2532 G3004 G0846 G3588 G1122 G2573 G1320 G1909 G0225

εἶπες ὅτι εἷς ἐστιν, καὶ οὐκ ἔστιν ἄλλος πλὴν αὐτοῦ;
言われました こう 唯一であり そうであり そして ない ない 他に 以外には 彼以外には
G3004 G3754 G1520 G1510 G2532 G3756 G1510 G0243 G4133 G0846

そこで、この律法学者はイエスに言った、「先生、仰せのとおりです、『神はひとりであって、そのほかに神はない』と言われたのは、ほんとうです。

33 καὶ τὸ ἀγαπᾶν αὐτὸν ἐξ ὅλης τῆς καρδίας, καὶ ἐξ ὅλης
そして この 愛することが 彼を から すべての その 心から また から すべての
G2532 G3588 G0025 G0846 G1537 G3650 G3588 G2588 G2532 G1537 G3650

τῆς συνέσεως, καὶ ἐξ ὅλης τῆς ἰσχύος; καὶ τὸ ἀγαπᾶν τὸν
その 機知から また から すべての その 力から また この 愛することが その
G3588 G4907 G2532 G1537 G3650 G3588 G2479 G2532 G3588 G0025 G3588

πλησίον ὡς ἑαυτὸν, περισσότερόν ἐστιν πάντων τῶν ὁλοκαυτωμάτων καὶ
隣人を のように 自分の まさる である すべての その 燔祈よりも また
G4139 G5613 G1438 G4053 G1510 G3956 G3588 G3646 G2532

θυσιῶν.
いけにえよりも
G2378

また『心をつくし、知恵をつくし、力をつくして神を愛し、また自分を愛するように隣り人を愛する』ということは、すべての燔祭や犠牲よりも、はるかに大事なことです」。

34 καὶ ὁ Ἰησοῦς, ἰδὼν αὐτὸν ὅτι νουνεχῶς ἀπεκρίθη, εἶπεν αὐτῷ,
すると その イエスは 見て 彼が こう 賢く 答えたのを 言われた 彼に
G2532 G3588 G2424 G3708 G0846 G3754 G3562 G0611 G3004 G0846

Οὐ μακρὰν εἶ ἀπὸ τῆς βασιλείας τοῦ Θεοῦ. καὶ οὐδεὶς
遠くはない 遠くはない あなたは から その 御国から この 神の そして 誰も
G3756 G3112 G1510 G0575 G3588 G0932 G3588 G2316 G2532 G3762

οὐκέτι ἐτόλμα αὐτὸν ἐπερωτῆσαι.
もはや あえて 彼に 尋ねる-者は-いなかった
G3765 G5111 G0846 G1905

イエスは、彼が適切な答をしたのを見て言われた、「あなたは神の国から遠くない」。それから後は、イエスにあえて問う者はなかった。

35 Καὶ ἀποκριθεὶς, ὁ Ἰησοῦς ἔλεγεν διδάσκων ἐν τῷ ἱερῷ,
そして 答えて その イエスは 言っておられた 教えて の-中で その 神殿で
G2532 G0611 G3588 G2424 G3004 G1321 G1722 G3588 G2411

Πῶς λέγουσιν οἱ γραμματεῖς ὅτι ὁ Χριστὸς, υἱὸς Δαυίδ
どうして 言っているのか その 律法学者たちは こう その キリストは 子であると ダビデの
G4459 G3004 G3588 G1122 G3754 G3588 G5547 G5207 G1138

ἐστιν?
であると
G1510

イエスが宮で教えておられたとき、こう言われた、「律法学者たちは、どうしてキリストをダビデの子だと言うのか。

36 αὐτὸς Δαυὶδ εἶπεν ἐν τῷ Πνεύματι τῷ Ἁγίῳ, Εἶπεν Κύριος τῷ
自ら ダビデが 言った によって この 御霊に この 聖なる 言われた 主が この
G0846 G1138 G3004 G1722 G3588 G4151 G3588 G0040 G3004 G2962 G3588

Κυρίῳ μου, Κάθου ἐκ δεξιῶν μου, ἕως ἂν θῶ τοὺς ἐχθρούς
主に 私の 座りなさい の 右に わたしの まで 必ず 置く その 敵を
G2962 G1473 G2521 G1537 G1188 G1473 G2193 G0302 G5087 G3588 G2190

σου ὑποκάτω τῶν ποδῶν σου.
あなたの の-下に その 足の あなたの
G4771 G5270 G3588 G4228 G4771

ダビデ自身が聖霊に感じて言った、『主はわが主に仰せになった、あなたの敵をあなたの足もとに置くときまでは、わたしの右に座していなさい』。

37 αὐτὸς Δαυὶδ λέγει αὐτὸν Κύριον, καὶ πόθεν αὐτοῦ ἐστιν υἱός?
自ら ダビデが 呼んでいる 彼を 主と では どこから 彼の であるのか 子であると
G0846 G1138 G3004 G0846 G2962 G2532 G4159 G0846 G1510 G5207

Καὶ ὁ πολὺς ὄχλος ἤκουεν αὐτοῦ ἡδέως.
そして その 大きな 群衆は 聞いていた 彼の–話を 喜んで
G2532 G3588 G4183 G3793 G0191 G0846 G2234

このように、ダビデ自身がキリストを主と呼んでいる。それなら、どうしてキリストはダビデの子であろうか」。大ぜいの群衆は、喜んでイエスに耳を傾けていた。

38 Καὶ ἐν τῇ διδαχῇ αὐτοῦ, ἔλεγεν, Βλέπετε ἀπὸ τῶν
そして の–中で その 教えの 彼の 言っておられた 気をつけなさい に その
G2532 G1722 G3588 G1322 G0846 G3004 G0991 G0575 G3588

γραμματέων, τῶν θελόντων ἐν στολαῖς περιπατεῖν, καὶ ἀσπασμοὺς ἐν
律法学者たちに その 望んでいる で 長い–衣で 歩き–回ることを また 挨拶を の–中で
G1122 G3588 G2309 G1722 G4749 G4043 G2532 G0783 G1722

ταῖς ἀγοραῖς,
その 広場で
G3588 G0058

イエスはその教の中で言われた、「律法学者に気をつけなさい。彼らは長い衣を着て歩くことや、広場であいさつされることや、

39 καὶ πρωτοκαθεδρίας ἐν ταῖς συναγωγαῖς, καὶ πρωτοκλισίας ἐν τοῖς
また 上席を の–中で その 会堂で また 上席を の–中で その
G2532 G4410 G1722 G3588 G4864 G2532 G4411 G1722 G3588

δείπνοις;
宴会で
G1173

また会堂の上席、宴会の上座を好んでいる。

40 οἱ κατεσθίοντες τὰς οἰκίας τῶν χηρῶν, καὶ προφάσει, μακρὰ
その–者たちは 食い–尽くしている その 家を その やもめたちの また 見せかけに 長い
G3588 G2719 G3588 G3614 G3588 G5503 G2532 G4392 G3117

προσευχόμενοι. οὗτοι λήμψονται περισσότερον κρίμα.
祈っている この–者たちは 受ける より–重い 裁きを
G4336 G3778 G2983 G4053 G2917

また、やもめたちの家を食い倒し、見えのために長い祈をする。彼らはもっときびしいさばきを受けるであろう」。

41 Καὶ καθίσας κατέναντι τοῦ γαζοφυλακίου, ἐθεώρει πῶς ὁ ὄχλος
そして 座って 向かいに この 賠物箱の 見て–おられた どのように その 群衆が
G2532 G2523 G2713 G3588 G1049 G2334 G4459 G3588 G3793

βάλλει χαλκὸν εἰς τὸ γαζοφυλάκιον; καὶ πολλοὶ πλούσιοι ἔβαλλον
入れているか 銭を の–中に その 賠物箱の すると 多くの 裕福な–者が 入れていた
G0906 G5475 G1519 G3588 G1049 G2532 G4183 G4145 G0906

πολλά.
多くを
G4183

イエスは、さいせん箱にむかってすわり、群衆がその箱に金を投げ入れる様子を見ておられた。多くの金持は、たくさんの金を投げ入れていた。

42 καὶ ἐλθοῦσα μία χήρα πτωχὴ ἔβαλεν λεπτὰ δύο, ὅ ἐστιν
すると 来て 一人の やもめが 貧しい 入れた 小銭を 二枚の これは である
G2532 G2064 G1520 G5503 G4434 G0906 G3016 G1417 G3739 G1510

κοδράντης.
一コドラントである
G2835

ところが、ひとりの貧しいやもめがきて、レプタ二つを入れた。それは一コドラントに当る。

43 καὶ προσκαλεσάμενος τοὺς μαθητὰς αὐτοῦ, εἶπεν αὐτοῖς, Ἀμὴν
そこで 呼び-寄せて その 弟子たちを 彼の 言われた 彼らに まことに
G2532 G4341 G3588 G3101 G0846 G3004 G0846 G0281

λέγω ὑμῖν, ὅτι ἡ χήρα αὕτη ἡ πτωχὴ, πλεῖον
わたしは-言う あなたがたに こう この やもめは この この 貧しい より-多くを
G3004 G4771 G3754 G3588 G5503 G3778 G3588 G4434 G4119

πάντων ἔβαλεν τῶν βαλλόντων εἰς τὸ γαζοφυλάκιον.
すべての-者より 入れた その 入れた-者の-中で の-中に その 賠物箱に
G3956 G0906 G3588 G0906 G1519 G3588 G1049

そこで、イエスは弟子たちを呼び寄せて言われた、「よく聞きなさい。あの貧しいやもめは、さいせん箱に投げ入れている人たちの中で、だれよりもたくさん入れたのだ。

44 πάντες γὰρ ἐκ τοῦ περισσεύοντος αὐτοῖς ἔβαλον, αὕτη
すべての-者は なぜなら から その 余っている-ものから 自分たちの 入れた しかし-彼女は
G3956 G1063 G1537 G3588 G4052 G0846 G0906 G3778

δὲ, ἐκ τῆς ὑστερήσεως αὐτῆς, πάντα ὅσα εἶχεν ἔβαλεν,
その方は から その 乏しさの-中から 自分の すべてを 持っていた-ものを 持っていた 入れた
G1161 G1537 G3588 G5304 G0846 G3956 G3745 G2192 G0906

ὅλον τὸν βίον αὐτῆς.
全部の その 生活を 自分の
G3650 G3588 G0979 G0846

みんなの者はありあまる中から投げ入れたが、あの婦人はその乏しい中から、あらゆる持ち物、その生活費全部を入れたからである」。

Chapter 13

1 Καὶ ἐκπορευομένου αὐτοῦ ἐκ τοῦ ἱεροῦ, λέγει αὐτῷ εἷς τῶν
そして 出て行く-とき 彼が から その 神殿から 言う 彼に 一人の その
G2532 G1607 G0846 G1537 G3588 G2411 G3004 G0846 G1520 G3588

μαθητῶν αὐτοῦ, Διδάσκαλε, ἴδε ποταποὶ λίθοι καὶ ποταπαὶ οἰκοδομαί!
弟子の 彼の 先生よ 見てください 何という 石だろう そして 何という 建物だろう
G3101 G0846 G1320 G3708 G4217 G3037 G2532 G4217 G3619

イエスが宮から出て行かれるとき、弟子のひとりが言った、「先生、ごらんなさい。なんという見事な石、なんという立派な建物でしょう」。

2	καὶ	ὁ	Ἰησοῦς	εἶπεν	αὐτῷ,	Βλέπεις	ταύτας	τὰς	μεγάλας	οἰκοδομάς?
すると	その	イエスは	言った	彼に	見えるか	これらの	その	大きな	建物が
G2532	G3588	G2424	G3004	G0846	G0991	G3778	G3588	G3173	G3619

οὐ	μὴ	ἀφεθῇ	‹ὧδε›	λίθος	ἐπὶ	λίθον,	ὃς	οὐ	μὴ	καταλυθῇ.
決して	ない	残されない	ここに	石が	の上に	石の	それが	決して	ない	壊されないことは
G3756	G3361	G0863	G5602	G3037	G1909	G3037	G3739	G3756	G3361	G2647

イエスは言われた、「あなたは、これらの大きな建物をながめているのか。その石一つでもくずされないままで、他の石の上に残ることもなくなるであろう」。

3	Καὶ	καθημένου	αὐτοῦ	εἰς	τὸ	ὄρος	τῶν	Ἐλαιῶν,	κατέναντι	τοῦ
そして	座っている–とき	彼が	に	その	山の	の	オリーブの	向かいに	その
G2532	G2521	G0846	G1519	G3588	G3735	G3588	G1636	G2713	G3588

ἱεροῦ,	ἐπηρώτα	αὐτὸν	κατ’	ἰδίαν	Πέτρος	καὶ	Ἰάκωβος	καὶ	Ἰωάννης	καὶ
神殿の	尋ねた	彼に	で	ひそかに	ペテロと	また	ヤコブと	また	ヨハネと	また
G2411	G1905	G0846	G2596	G2398	G4074	G2532	G2385	G2532	G2491	G2532

Ἀνδρέας,

アンデレが
G0406

またオリブ山で、宮にむかってすわっておられると、ペテロ、ヤコブ、ヨハネ、アンデレが、ひそかにお尋ねした。

4	Εἰπὸν	ἡμῖν,	πότε	ταῦτα	ἔσται?	καὶ	τί	τὸ	σημεῖον
教えてください	私たちに	いつ	これらのことが	あるのか	そして	何が	その	しるしなのか
G3004	G1473	G4219	G3778	G1510	G2532	G5101	G3588	G4592

ὅταν	μέλλῃ	ταῦτα	συντελεῖσθαι	πάντα?
とき	ようとする	これらのことが	成就し	すべて
G3752	G3195	G3778	G4931	G3956

「わたしたちにお話しください。いつ、そんなことが起るのでしょうか。またそんなことがことごとく成就するような場合には、どんな前兆がありますか」。

5	ὁ	δὲ	Ἰησοῦς	ἤρξατο	λέγειν	αὐτοῖς,	Βλέπετε,	μή	τις
その	そして	イエスは	始めた	語ることを	彼らに	気をつけよ	ないように	誰かが
G3588	G1161	G2424	G0756	G3004	G0846	G0991	G3361	G5100

ὑμᾶς	πλανήσῃ.
あなたがたを	惑わすことが
G4771	G4105

そこで、イエスは話しはじめられた、「人に惑わされないように気をつけなさい。

6	πολλοὶ	ἐλεύσονται	ἐπὶ	τῷ	ὀνόματί	μου,	λέγοντες,	ὅτι	Ἐγώ
多くの–人が	来る	によって	その	名に	私の	言って	こう	私が
G4183	G2064	G1909	G3588	G3686	G1473	G3004	G3754	G1473

εἰμι,	καὶ	πολλοὺς	πλανήσουσιν.
それであると	そして	多くの–人を	惑わす
G1510	G2532	G4183	G4105

多くの者がわたしの名を名のって現れ、自分がそれだと言って、多くの人を惑わすであろう。

7	ὅταν	δὲ	ἀκούσητε	πολέμους,	καὶ	ἀκοὰς	πολέμων,	μὴ	θροεῖσθε;
とき	そして	聞いたなら	戦争を	また	戦争の–噴を	戦争の	ない	恐れるな
G3752	G1161	G0191	G4171	G2532	G0189	G4171	G3361	G2360

δεῖ	γενέσθαι,	ἀλλ’	οὔπω	τὸ	τέλος.
ねばならない	起こることが	しかし	まだ	その	終わりではない
G1163	G1096	G0235	G3768	G3588	G5056

また、戦争と戦争のうわさとを聞くときにも、あわてるな。それは起らねばならないが、まだ終りではない。

8 ἐγερθήσεται γὰρ ἔθνος ἐπ’ ἔθνος, καὶ βασιλεία ἐπὶ βασιλείαν;
起こる なぜなら 国が に対して 国に また 王国が に対して 王国に
G1453 G1063 G1484 G1909 G1484 G2532 G0932 G1909 G0932

ἔσονται σεισμοὶ κατὰ τόπους, ἔσονται λιμοί. ἀρχὴ ὠδίνων
ある 地震が あちこちに 場所に ある 飢饉が 始まりである 産みの-苦しみの
G1510 G4578 G2596 G5117 G1510 G3042 G0746 G5604

ταῦτα.
これらは
G3778

民は民に、国は国に敵対して立ち上がるであろう。またあちこちに地震があり、またききんが起るであろう。これらは産みの苦しみの初めである。

9 Βλέπετε δὲ ὑμεῖς ἑαυτούς; παραδώσουσιν ὑμᾶς εἰς συνέδρια
気をつけよ そして あなたがたは 自分自身に 引き渡す あなたがたを へ 議会に
G0991 G1161 G4771 G1438 G3860 G4771 G1519 G4892

καὶ εἰς συναγωγὰς; δαρήσεσθε, καὶ ἐπὶ ἡγεμόνων καὶ βασιλέων
そして で 会堂で 打たれる そして の前に 総督や また 王の-前に
G2532 G1519 G4864 G1194 G2532 G1909 G2232 G2532 G0935

σταθήσεσθε, ἕνεκεν ἐμοῦ, εἰς μαρτύριον αὐτοῖς.
立たされる のゆえに 私の のための 証しの 彼らへの
G2476 G1752 G1473 G1519 G3142 G0846

あなたがたは自分で気をつけていなさい。あなたがたは、わたしのために、衆議所に引きわたされ、会堂で打たれ、長官たちや王たちの前に立たされ、彼らに対してあかしをさせられるであろう。

10 καὶ εἰς πάντα τὰ ἔθνη πρῶτον δεῖ κηρυχθῆναι τὸ
そして に すべての その 国々に まず ねばならない 宣べ伝えられることが その
G2532 G1519 G3956 G3588 G1484 G4412 G1163 G2784 G3588

εὐαγγέλιον.
福音が
G2098

こうして、福音はまずすべての民に宣べ伝えられねばならない。

11 καὶ ὅταν ἄγωσιν ὑμᾶς, παραδιδόντες, μὴ προμεριμνᾶτε τί
そして とき 連れて行って あなたがたを 引き渡して ない 前もって-思い悩むな 何を
G2532 G3752 G0071 G4771 G3860 G3361 G4305 G5101

λαλήσητε, ἀλλ’ ὃ ἐὰν δοθῇ ὑμῖν, ἐν ἐκείνῃ τῇ ὥρᾳ,
語るかを むしろ ことを もし 与えられたなら あなたがたに に その その 時に
G2980 G0235 G3739 G1437 G1325 G4771 G1722 G1565 G3588 G5610

τοῦτο λαλεῖτε; οὐ γάρ ἐστε ὑμεῖς οἱ λαλοῦντες, ἀλλὰ τὸ
それを 語れ ない なぜなら ではない あなたがたが その 語る-者ではなく むしろ その
G3778 G2980 G3756 G1063 G1510 G4771 G3588 G2980 G0235 G3588

Πνεῦμα τὸ Ἅγιον.
御霊が その 聖なる
G4151 G3588 G0040

そして、人々があなたがたを連れて行って引きわたすとき、何を言おうかと、前もって心配するな。その場合、自分に示されることを語るがよい。語る者はあなたがた自身ではなくて、聖霊である。

12

καὶ	παραδώσει	ἀδελφὸς,	ἀδελφὸν	εἰς	θάνατον,	καὶ	πατὴρ,	τέκνον;	καὶ
そして	引き渡す	兄弟が	兄弟を	へ	死に	また	父が	子を	そして
G2532	G3860	G0080	G0080	G1519	G2288	G2532	G3962	G5043	G2532

ἐπαναστήσονται	τέκνα	ἐπὶ	γονεῖς,	καὶ	θανατώσουσιν	αὐτούς.
反逆する	子供が	に対して	親に	そして	殺す	彼らを
G1881	G5043	G1909	G1118	G2532	G2289	G0846

また兄弟は兄弟を、父は子を殺すために渡し、子は両親に逆らって立ち、彼らを殺させるであろう。

13

καὶ	ἔσεσθε	μισούμενοι	ὑπὸ	πάντων	διὰ	τὸ	ὄνομά	μου;	ὁ
そして	なる	憎まれる–者に	によって	すべての–人に	のゆえに	その	名の	私の	しかし
G2532	G1510	G3404	G5259	G3956	G1223	G3588	G3686	G1473	G3588

δὲ	ὑπομείνας	εἰς	τέλος,	οὗτος	σωθήσεται.
その	耐え忍んだ–者は	まで	終わりまで	その人は	救われる
G1161	G5278	G1519	G5056	G3778	G4982

また、あなたがたはわたしの名のゆえに、すべての人に憎まれるであろう。しかし、最後まで耐え忍ぶ者は救われる。

14

Ὅταν	δὲ	ἴδητε	τὸ	βδέλυγμα	τῆς	ἐρημώσεως,	<τὸ	ῥηθὲν
とき	そして	見たなら	その	忌まわしい–ものを	の	荒廃の	その	語られた
G3752	G1161	G3708	G3588	G0946	G3588	G2050	G3588	G2046

ὑπὸ	Δανιὴλ	τοῦ	προφήτου>,	ἑστηκότα	ὅπου	οὐ	δεῖ,	ὁ
によって	ダニエル	その	預言者の	立っている	そこに	ない	あるべきで	その
G5259	G1158	G3588	G4396	G2476	G3699	G3756	G1163	G3588

ἀναγινώσκων	νοείτω,	τότε	οἱ	ἐν	τῇ	Ἰουδαίᾳ,	φευγέτωσαν	εἰς
読む–者は	悟れ	そのとき	その	の中の	その	ユダヤにいる–人は	逃げよ	へ
G0314	G3539	G5119	G3588	G1722	G3588	G2449	G5343	G1519

τὰ	ὄρη,
その	山へ
G3588	G3735

荒らす憎むべきものが、立ってはならぬ所に立つのを見たならば（読者よ、悟れ）、そのとき、ユダヤにいる人々は山へ逃げよ。

15

ὁ	[δὲ]	ἐπὶ	τοῦ	δώματος,	μὴ	καταβάτω,	μηδὲ	εἰσελθάτω	τι
その	また	の上にいる	その	屋根の	ない	降りるな	また	入るな	何かを
G3588	G1161	G1909	G3588	G1430	G3361	G2597	G3366	G1525	G5100

ἆραι	ἐκ	τῆς	οἰκίας	αὐτοῦ;
取りに	から	その	家から	自分の
G0142	G1537	G3588	G3614	G0846

屋上にいる者は、下におりるな。また家から物を取り出そうとして内にはいるな。

16

καὶ	ὁ	εἰς	τὸν	ἀγρὸν,	μὴ	ἐπιστρεψάτω	εἰς	τὰ	ὀπίσω,	ἆραι
そして	その	にいる	その	畑に	ない	引き返すな	へ	その	後ろへ	取りに
G2532	G3588	G1519	G3588	G0068	G3361	G1994	G1519	G3588	G3694	G0142

τὸ	ἱμάτιον	αὐτοῦ.
その	上着を	自分の
G3588	G2440	G0846

畑にいる者は、上着を取りにあとへもどるな。

17 οὐαὶ δὲ ταῖς ἐν γαστρὶ ἐχούσαις, καὶ ταῖς θηλαζούσαις,
わざわいだ そして その の中の 胎の 持っている-者に また その 乳を-飲ませている者に
G3759 G1161 G3588 G1722 G1064 G2192 G2532 G3588 G2337

ἐν ἐκείναις ταῖς ἡμέραις!
に それらの その 日々には
G1722 G1565 G3588 G2250

その日には、身重の女と乳飲み子をもつ女とは、不幸である。

18 προσεύχεσθε δὲ ἵνα μὴ γένηται χειμῶνος,
祈れ そして ように ないように ならないことが 冬に
G4336 G1161 G2443 G3361 G1096 G5494

この事が冬おこらぬように祈れ。

19 ἔσονται γὰρ αἱ ἡμέραι ἐκεῖναι θλῖψις, οἵα οὐ γέγονεν τοιαύτη,
なる なぜなら その 日々は それらの 苦難の そのような ない なかった そのような
G1510 G1063 G3588 G2250 G1565 G2347 G3634 G3756 G1096 G5108

ἀπ' ἀρχῆς κτίσεως, ἣν ἔκτισεν ὁ Θεὸς, ἕως τοῦ νῦν-- καὶ οὐ
から 初めの 創造の それを 創造した その 神が まで その 今まで そして 決して
G0575 G0746 G2937 G3739 G2936 G3588 G2316 G2193 G3588 G3568 G2532 G3756

μὴ γένηται.
ない ないであろう
G3361 G1096

その日には、神が万物を造られた創造の初めから現在に至るまで、かつてなく今後もないような患難が起るからである。

20 καὶ εἰ μὴ ἐκολόβωσεν Κύριος τὰς ἡμέρας, οὐκ ἂν
そして もし ない 短くしていなかったなら 主が その 日々を ない なかったであろう
G2532 G1487 G3361 G2856 G2962 G3588 G2250 G3756 G0302

ἐσώθη πᾶσα σάρξ; ἀλλὰ διὰ τοὺς ἐκλεκτοὺς οὓς ἐξελέξατο,
救われる者が すべての 肉は しかし のために その 選ばれた-人の その人々を 選んだ
G4982 G3956 G4561 G0235 G1223 G3588 G1588 G3739 G1586

ἐκολόβωσεν τὰς ἡμέρας.
短くした その 日々を
G2856 G3588 G2250

もし主がその期間を縮めてくださらないなら、救われる者はひとりもないであろう。しかし、選ばれた選民のために、その期間を縮めてくださったのである。

21 καὶ τότε ἐάν τις ὑμῖν εἴπῃ, Ἴδε, ὧδε ὁ
そして そのとき もし 誰かが あなたがたに 言ったなら 見よ ここに その
G2532 G5119 G1437 G5100 G4771 G3004 G3708 G5602 G3588

Χριστός, Ἴδε, ἐκεῖ, μὴ πιστεύετε.
キリストがいると 見よ あそこにいると ない 信じるな
G5547 G3708 G1563 G3361 G4100

そのとき、だれかがあなたがたに『見よ、ここにキリストがいる』、『見よ、あそこにいる』と言っても、それを信じるな。

22 ἐγερθήσονται γὰρ ψευδόχριστοι καὶ ψευδοπροφῆται, καὶ δώσουσιν σημεῖα
起こる なぜなら 偽キリストや また 偽預言者が そして 行う しるしや
G1453 G1063 G5580 G2532 G5578 G2532 G1325 G4592

καὶ τέρατα, πρὸς τὸ ἀποπλανᾶν εἰ δυνατὸν, τοὺς ἐκλεκτούς.
また 不思議を ために その 惑わすために もし できるなら その 選ばれた-人をも
G2532 G5059 G4314 G3588 G0635 G1487 G1415 G3588 G1588

にせキリストたちや、にせ預言者たちが起って、しるしと奇跡とを行い、できれば、選民をも惑わそうとするであろう。

23 ὑμεῖς δὲ βλέπετε; προείρηκα ὑμῖν πάντα.
あなたがたは そして 気をつけよ 前もって-言った あなたがたに すべてを
G4771 G1161 G0991 G4302 G4771 G3956

だから、気をつけていなさい。いっさいの事を、あなたがたに前もって言っておく。

24 Ἀλλὰ ἐν ἐκείναις ταῖς ἡμέραις, μετὰ τὴν θλῖψιν ἐκείνην, ὁ ἥλιος
しかし に それらの その 日々に の後に その 苦難の その その 太陽は
G0235 G1722 G1565 G3588 G2250 G3326 G3588 G2347 G1565 G3588 G2246

σκοτισθήσεται, καὶ ἡ σελήνη οὐ δώσει τὸ φέγγος αὐτῆς;
暗くなる そして その 月は ない 与えない その 光を その
G4654 G2532 G3588 G4582 G3756 G1325 G3588 G5338 G0846

その日には、この患難の後、日は暗くなり、月はその光を放つことをやめ、

25 καὶ οἱ ἀστέρες ἔσονται ἐκ τοῦ οὐρανοῦ πίπτοντες, καὶ αἱ
そして その 星が なる から その 天から 落ちて そして その
G2532 G3588 G0792 G1510 G1537 G3588 G3772 G4098 G2532 G3588

δυνάμεις αἱ ἐν τοῖς οὐρανοῖς σαλευθήσονται.
力が その の中の その 天の 揺るがされる
G1411 G3588 G1722 G3588 G3772 G4531

星は空から落ち、天体は揺り動かされるであろう。

26 καὶ τότε ὄψονται τὸν Υἱὸν τοῦ ἀνθρώπου ἐρχόμενον ἐν
そして そのとき 見る その 人の-子が の 人の 来るのを の中で
G2532 G5119 G3708 G3588 G5207 G3588 G0444 G2064 G1722

νεφέλαις, μετὰ δυνάμεως πολλῆς καὶ δόξης;
雲の と共に 力と 大いなる また 栄光と
G3507 G3326 G1411 G4183 G2532 G1391

そのとき、大いなる力と栄光とをもって、人の子が雲に乗って来るのを、人々は見るであろう。

27 καὶ τότε ἀποστελεῖ τοὺς ἀγγέλους, καὶ ἐπισυνάξει τοὺς ἐκλεκτοὺς
そして そのとき 遣わす その 御使いを そして 集める その 選ばれた-人を
G2532 G5119 G0649 G3588 G0032 G2532 G1996 G3588 G1588

αὐτοῦ, ἐκ τῶν τεσσάρων ἀνέμων, ἀπ’ ἄκρου γῆς ἕως ἄκρου οὐρανοῦ.
主の から その 四つの 風の から 果ての 地の まで 果ての 天まで
G0846 G1537 G3588 G5064 G0417 G0575 G0206 G1093 G2193 G0206 G3772

そのとき、彼は御使たちをつかわして、地のはてから天のはてまで、四方からその選民を呼び集めるであろう。

28 Ἀπὸ δὲ τῆς συκῆς, μάθετε τὴν παραβολήν: ὅταν ἤδη ὁ
から さて その いちじくの-木から 学べ その たとえを ∥ とき もう その
G0575 G1161 G3588 G4808 G3129 G3588 G3850 G3752 G2235 G3588

κλάδος αὐτῆς ἁπαλὸς γένηται, καὶ ἐκφύῃ τὰ φύλλα, γινώσκετε ὅτι
枝が その 柔らかく なったなら そして 葉が-出たなら その 葉が 知る こう
G2798 G0846 G0527 G1096 G2532 G1631 G3588 G5444 G1097 G3754

ἐγγὺς τὸ θέρος ἐστίν.
近いと その 夏が であると
G1451 G3588 G2330 G1510

いちじくの木からこの譬を学びなさい。その枝が柔らかになり、葉が出るようになると、夏の近いことがわかる。

29 οὕτως καὶ ὑμεῖς, ὅταν ἴδητε ταῦτα γινόμενα, γινώσκετε ὅτι
このように また あなたがたも ∥ とき 見たなら これらのことが 起こるのを 知れ こう
G3779 G2532 G4771 G3752 G3708 G3778 G1096 G1097 G3754

ἐγγύς ἐστιν, ἐπὶ θύραις.
近いと であると に 戸口の-ところに
G1451 G1510 G1909 G2374

そのように、これらの事が起るのを見たならば、人の子が戸口まで近づいていると知りなさい。

30 ἀμὴν λέγω ὑμῖν, ὅτι οὐ μὴ παρέλθῃ ἡ γενεὰ αὕτη, ∥
まことに 言う あなたがたに こう 決して ない 過ぎ去らない この 世代は この
G0281 G3004 G4771 G3754 G3756 G3361 G3928 G3588 G1074 G3778

μέχρις οὗ ταῦτα πάντα γένηται.
までは その これらのことが すべて 起こるまでは
G3360 G3739 G3778 G3956 G1096

よく聞いておきなさい。これらの事が、ことごとく起るまでは、この時代は滅びることがない。

31 ὁ οὐρανὸς καὶ ἡ γῆ παρελεύσονται, οἱ δὲ λόγοι μου οὐ
その 天と また その 地は 過ぎ去る しかし その 言葉は 私の 決して
G3588 G3772 G2532 G3588 G1093 G3928 G3588 G1161 G3056 G1473 G3756

‹μὴ› παρελεύσονται.
ない 過ぎ去らない
G3361 G3928

天地は滅びるであろう。しかしわたしの言葉は滅びることがない。

32 Περὶ δὲ τῆς ἡμέρας ἐκείνης, ἢ τῆς ὥρας, οὐδεὶς οἶδεν; οὐδὲ
について しかし その 日の その あるいは その 時の 誰も 知らない ない
G4012 G1161 G3588 G2250 G1565 G2228 G3588 G5610 G3762 G1492 G3761

οἱ ἄγγελοι ἐν οὐρανῷ, οὐδὲ ὁ Υἱός, εἰ μὴ ὁ Πατήρ.
その 御使いも の中の 天の また その 子も ただ のみ その 父だけが
G3588 G0032 G1722 G3772 G3761 G3588 G5207 G1487 G3361 G3588 G3962

その日、その時は、だれも知らない。天にいる御使たちも、また子も知らない、ただ父だけが知っておられる。

33 Βλέπετε, ἀγρυπνεῖτε; οὐκ οἴδατε γὰρ πότε ὁ καιρός ἐστιν.
気をつけよ 目を-覚ましていよ ない 知らない なぜなら いつ その 時が であるか
G0991 G0069 G3756 G1492 G1063 G4219 G3588 G2540 G1510

気をつけて、目をさましていなさい。その時がいつであるか、あなたがたにはわからないからである。

34 ὡς ἄνθρωπος ἀπόδημος, ἀφεὶς τὴν οἰκίαν αὐτοῦ, καὶ δοὺς τοῖς
のように 人が 旅に–出る 残して その 家を 自分の そして 与えて その
G5613 G0444 G0590 G0863 G3588 G3614 G0846 G2532 G1325 G3588

δούλοις αὐτοῦ τὴν ἐξουσίαν, ἑκάστῳ τὸ ἔργον αὐτοῦ, καὶ τῷ θυρωρῷ
僕たちに 自分の その 権威を それぞれに その 仕事を その人の そして その 門番に
G1401 G0846 G3588 G1849 G1538 G3588 G2041 G0846 G2532 G3588 G2377

ἐνετείλατο ἵνα γρηγορῇ.
命じた ように 目を–覚ましているようにと
G1781 G2443 G1127

それはちょうど、旅に立つ人が家を出るに当り、その僕たちに、それぞれ仕事を割り当てて責任をもたせ、門番には目をさましておれと、命じるようなものである。

35 γρηγορεῖτε οὖν-- οὐκ οἴδατε γὰρ, πότε ὁ κύριος τῆς οἰκίας
目を–覚ましていよ だから ない 知らない なぜなら いつ その 主人が の 家の
G1127 G3767 G3756 G1492 G1063 G4219 G3588 G2962 G3588 G3614

ἔρχεται: ἢ ὀψὲ, ἢ μεσονύκτιον, ἢ ἀλεκτοροφωνίας, ἢ
来るか あるいは 夕方に あるいは 真夜中に あるいは 鶏の–鳥く頃に あるいは
G2064 G2228 G3796 G2228 G3317 G2228 G0219 G2228

πρωΐ;
明け方に
G4404

だから、目をさましていなさい。いつ、家の主人が帰って来るのか、夕方か、夜中か、にわとりの鳴くころか、明け方か、わからないからである。

36 μὴ ἐλθὼν ἐξαίφνης, εὕρῃ ὑμᾶς καθεύδοντας.
ないように 来て 突然に 見つけることが あなたがたが 眠っているのを
G3361 G2064 G1810 G2147 G4771 G2518

あるいは急に帰ってきて、あなたがたの眠っているところを見つけるかも知れない。

37 ὃ δὲ ὑμῖν λέγω, πᾶσιν λέγω, γρηγορεῖτε!
ことを そして あなたがたに 言う すべての–人に 言う 目を–覚ましていよ
G3739 G1161 G4771 G3004 G3956 G3004 G1127

目をさましていなさい。わたしがあなたがたに言うこの言葉は、すべての人々に言うのである」。

Chapter 14

1 Ἦν δὲ τὸ πάσχα, καὶ τὰ ἄζυμα, μετὰ δύο
ていた そして その 過越の–祭りと また その 種入れぬ–パンの–祭りが の後 二
G1510 G1161 G3588 G3957 G2532 G3588 G0106 G3326 G1417

ἡμέρας. καὶ ἐζήτουν οἱ ἀρχιερεῖς καὶ οἱ γραμματεῖς, πῶς αὐτὸν
日に そして 探していた その 祭司長たちと また その 律法学者が どうして 彼を
G2250 G2532 G2212 G3588 G0749 G2532 G3588 G1122 G4459 G0846

ἐν δόλῳ κρατήσαντες, ἀποκτείνωσιν.
によって 計略で 捕らえて 殺そうかと
G1722 G1388 G2902 G0615

さて、過越と除酵との祭の二日前になった。祭司長たちや律法学者たちは、策略をもってイエスを捕えたうえ、なんとかして殺そうと計っていた。

2 ἔλεγον γάρ, Μὴ ἐν τῇ ἑορτῇ, μή᾽ ποτε ἔσται
言っていた なぜなら ない に その 祭りの–時には ないように ないように 起こると
G3004 G1063 G3361 G1722 G3588 G1859 G3361 G4219 G1510

θόρυβος τοῦ λαοῦ.
騒ぎが の 民の
G2351 G3588 G2992

彼らは、「祭の間はいけない。民衆が騒ぎを起すかも知れない」と言っていた。

3 Καὶ ὄντος αὐτοῦ ἐν Βηθανίᾳ, ἐν τῇ οἰκίᾳ Σίμωνος τοῦ
そして いる–とき 彼が に ベタニヤに の中の その 家の シモンの その
G2532 G1510 G0846 G1722 G0963 G1722 G3588 G3614 G4613 G3588

λεπροῦ, κατακειμένου αὐτοῦ, ἦλθεν γυνὴ ἔχουσα ἀλάβαστρον μύρου
ツァラアト患者の 食卓に–ついているとき 彼が 来た 女が 持って 石膏の–壷を 香油の
G3015 G2621 G0846 G2064 G1135 G2192 G0211 G3464

νάρδου πιστικῆς πολυτελοῦς; συντρίψασα τὴν ἀλάβαστρον, κατέχεεν αὐτοῦ τῆς
ナルドの 純粋の 高価な 割って その 石膏の–壷を 注いだ 彼の の
G3487 G4101 G4185 G4937 G3588 G0211 G2708 G0846 G3588

κεφαλῆς.
頭に
G2776

イエスがベタニヤで、らい病人シモンの家にいて、食卓についておられたとき、ひとりの女が、非常に高価で純粋なナルドの香油が入れてある石膏のつぼを持ってきて、それをこわし、香油をイエスの頭に注ぎかけた。

4 ἦσαν δέ τινες ἀγανακτοῦντες πρὸς ἑαυτούς, Εἰς τί ἡ
いた しかし ある–人が 怒って に向かって 互いに 何の–ために 何の この
G1510 G1161 G5100 G0023 G4314 G1438 G1519 G5101 G3588

ἀπώλεια αὕτη τοῦ μύρου γέγονεν?
無駄使いが この の 香油の あったのか
G0684 G3778 G3588 G3464 G1096

すると、ある人々が憤って互に言った、「なんのために香油をこんなにむだにするのか。

5 ἠδύνατο γὰρ τοῦτο τὸ μύρον πραθῆναι ἐπάνω δηναρίων τριακοσίων,
できた なぜなら この その 香油は 売れたのに 以上の デナリの 三百
G1410 G1063 G3778 G3588 G3464 G4097 G1883 G1220 G5145

καὶ δοθῆναι τοῖς πτωχοῖς. καὶ ἐνεβριμῶντο αὐτῇ.
そして 与えられたのに その 貧しい–人に そして 叱った 彼女を
G2532 G1325 G3588 G4434 G2532 G1690 G0846

この香油を三百デナリ以上にでも売って、貧しい人たちに施すことができたのに」。そして女をきびしくとがめた。

6 ὁ δὲ Ἰησοῦς εἶπεν, Ἄφετε αὐτήν; τί αὐτῇ κόπους παρέχετε?
しかし その イエスは 言った やめよ 彼女を なぜ 彼女に 困らせることを するのか
G3588 G1161 G2424 G3004 G0863 G0846 G5101 G0846 G2873 G3930

καλὸν ἔργον ἠργάσατο ἐν ἐμοί.
良い 行いを したのだ に対して 私に
G2570 G2041 G2038 G1722 G1473

するとイエスは言われた、「するままにさせておきなさい。なぜ女を困らせるのか。わたしによい事をしてくれたのだ。

7 πάντοτε γὰρ τοὺς πτωχοὺς ἔχετε μεθ’ ἑαυτῶν, καὶ ὅταν θέλητε
いつも なぜなら その 貧しい-人を 持っている 共に 自分たちと そして とき 望むなら
G3842 G1063 G3588 G4434 G2192 G3326 G1438 G2532 G3752 G2309

δύνασθε αὐτοῖς (πάντοτε) εὖ ποιῆσαι; ἐμὲ δὲ οὐ πάντοτε ἔχετε.
できる 彼らに いつでも 善く することが 私を しかし ない いつも 持っていない
G1410 G0846 G3842 G2095 G4160 G1473 G1161 G3756 G3842 G2192

貧しい人たちはいつもあなたがたと一緒にいるから、したいときにはいつでも、よい事をしてやれる。しかし、わたしはあなたがたといつも一緒にいるわけではない。

8 ὃ ἔσχεν ἐποίησεν. προέλαβεν μυρίσαι τὸ σῶμά μου εἰς τὸν
ことを できる した 先立って 塗ったのだ その 体に 私の のために その
G3739 G2192 G4160 G4301 G3462 G3588 G4983 G1473 G1519 G3588

ἐνταφιασμόν.
埋葬の
G1780

この女はできる限りの事をしたのだ。すなわち、わたしのからだに油を注いで、あらかじめ葬りの用意をしてくれたのである。

9 ἀμὴν δὲ λέγω ὑμῖν, ὅπου ἐὰν κηρυχθῇ τὸ εὐαγγέλιον
まことに そして 言う あなたがたに どこでも もし 宣べ伝えられるなら その 福音が
G0281 G1161 G3004 G4771 G3699 G1437 G2784 G3588 G2098

εἰς ὅλον τὸν κόσμον, καὶ ὃ ἐποίησεν αὕτη, λαληθήσεται εἰς
に 全 その 世界に また こども した 彼女が 語られる のために
G1519 G3650 G3588 G2889 G2532 G3739 G4160 G3778 G2980 G1519

μνημόσυνον αὐτῆς.
記念の 彼女の
G3422 G0846

よく聞きなさい。全世界のどこででも、福音が宣べ伝えられる所では、この女のした事も記念として語られるであろう」。

10 Καὶ Ἰούδας Ἰσκαριὼθ, ὁ εἷς τῶν δώδεκα, ἀπῆλθεν πρὸς τοὺς
そして ユダは イスカリオテの その 一人である の 十二人の 行った のもとへ その
G2532 G2455 G2469 G3588 G1520 G3588 G1427 G0565 G4314 G3588

ἀρχιερεῖς, ἵνα αὐτὸν παραδοῖ αὐτοῖς.
祭司長の ために 彼を 引き渡そうと 彼らに
G0749 G2443 G0846 G3860 G0846

ときに、十二弟子のひとりイスカリオテのユダは、イエスを祭司長たちに引きわたそうとして、彼らの所へ行った。

11 οἱ δὲ ἀκούσαντες ἐχάρησαν, καὶ ἐπηγγείλαντο αὐτῷ ἀργύριον δοῦναι.
その すると 聞いて 喜んだ そして 約束した 彼に 金を 与えると
G3588 G1161 G0191 G5463 G2532 G1861 G0846 G0694 G1325

καὶ ἐζήτει πῶς αὐτὸν εὐκαίρως παραδοῖ.
そして 探していた どうして 彼を 良い-機会に 引き渡そうかと
G2532 G2212 G4459 G0846 G2122 G3860

彼らはこれを聞いて喜び、金を与えることを約束した。そこでユダは、どうかしてイエスを引きわたそうと、機会をねらっていた。

12 Καὶ そして G2532 τῇ その G3588 πρώτῃ 最初の G4413 ἡμέρᾳ 日に G2250 τῶν の G3588 ἀζύμων, 種入れぬ-パンの G0106 ὅτε とき G3753 τὸ その G3588 πάσχα 過越の-小羊を G3957 ἔθυον, 屠った G2380

λέγουσιν 言う G3004 αὐτῷ 彼に G0846 οἱ その G3588 μαθηταὶ 弟子たちが G3101 αὐτοῦ, 彼の G0846 Ποῦ どこで G4226 θέλεις 望まれますか G2309 ἀπελθόντες, 行って G0565

ἑτοιμάσωμεν 準備しましょうか G2090 ἵνα ために G2443 φάγῃς 食べることを G5315 τὸ その G3588 πάσχα? 過越の-食事を G3957

除酵祭の第一日、すなわち過越の小羊をほふる日に、弟子たちがイエスに尋ねた、「わたしたちは、過越の食事をなさる用意を、どこへ行ってしたらよいでしょうか」。

13 καὶ そして G2532 ἀποστέλλει 遣わす G0649 δύο 二人を G1417 τῶν の G3588 μαθητῶν 弟子の G3101 αὐτοῦ, 彼の G0846 καὶ そして G2532 λέγει 言う G3004 αὐτοῖς, 彼らに G0846 Ὑπάγετε 行け G5217

εἰς へ G1519 τὴν その G3588 πόλιν, 町に G4172 καὶ すると G2532 ἀπαντήσει 出会う G0528 ὑμῖν あなたがたに G4771 ἄνθρωπος, 人が G0444 κεράμιον 水がめを G2765 ὕδατος 水の G5204

βαστάζων. 運んでいる G0941 ἀκολουθήσατε 従いなさい G0190 αὐτῷ. 彼に G0846

そこで、イエスはふたりの弟子を使いに出して言われた、「市内に行くと、水がめを持っている男に出会うであろう。その人について行きなさい。

14 καὶ そして G2532 ὅπου どこでも G3699 ἐὰν もし G1437 εἰσέλθῃ, 入ったなら G1525 εἴπατε 言え G3004 τῷ その G3588 οἰκοδεσπότῃ, 家の-主人に G3617 ὅτι こう G3754 Ὁ その G3588 Διδάσκαλος 先生が G1320

λέγει, 言われる G3004 Ποῦ どこに G4226 ἐστιν あるか G1510 τὸ その G3588 κατάλυμά 客間は G2646 μου, 私の G1473 ὅπου そこで G3699 τὸ その G3588 πάσχα 過越の-食事を G3957 μετὰ 共に G3326 τῶν その G3588

μαθητῶν 弟子たちと G3101 μου 私の G1473 φάγω? 食べるのか G5315

そして、その人がはいって行く家の主人に言いなさい、『弟子たちと一緒に過越の食事をする座敷はどこか、と先生が言っておられます』。

15 καὶ すると G2532 αὐτὸς 彼が G0846 ὑμῖν あなたがたに G4771 δείξει 見せる G1166 ἀνάγαιον 二階の-大きな-部屋を G0508 μέγα, 大きな G3173 ἐστρωμένον 整えられた G4766 ἕτοιμον. 準備のできた G2092

καὶ そして G2532 ἐκεῖ そこで G1563 ἑτοιμάσατε 準備せよ G2090 ἡμῖν. 私たちのために G1473

するとその主人は、席を整えて用意された二階の広間を見せてくれるから、そこにわたしたちのために用意をしなさい」。

16 καὶ そして G2532 ἐξῆλθον 出て行った G1831 οἱ その G3588 μαθηταὶ, 弟子たちは G3101 καὶ そして G2532 ἦλθον 来た G2064 εἰς へ G1519 τὴν その G3588 πόλιν, 町に G4172 καὶ そして G2532 εὗρον 見つけた G2147
καθὼς のように G2531 εἶπεν 言った G3004 αὐτοῖς, 彼らに G0846 καὶ そして G2532 ἡτοίμασαν 準備した G2090 τὸ その G3588 πάσχα. 過越の-食事を G3957

弟子たちは出かけて市内に行って見ると、イエスが言われたとおりであったので、過越の食事の用意をした。

17 Καὶ そして G2532 ὀψίας 夕方に G3798 γενομένης, なって G1096 ἔρχεται 来る G2064 μετὰ 共に G3326 τῶν その G3588 δώδεκα. 十二人と G1427

夕方になって、イエスは十二弟子と一緒にそこに行かれた。

18 καὶ そして G2532 ἀνακειμένων 食卓に-ついているとき G0345 αὐτῶν, 彼らが G0846 καὶ そして G2532 ἐσθιόντων, 食べているとき G2068 ὁ その G3588 Ἰησοῦς イエスは G2424 εἶπεν, 言った G3004
Ἀμὴν まことに G0281 λέγω 言う G3004 ὑμῖν, あなたがたに G4771 ὅτι こう G3754 εἷς 一人が G1520 ἐξ の中の G1537 ὑμῶν あなたがたの G4771 παραδώσει 引き渡す G3860 με, 私を G1473 ὁ その G3588
ἐσθίων 食べている-者が G2068 μετ’ 共に G3326 ἐμοῦ. 私と G1473

そして、一同が席について食事をしているとき言われた、「特にあなたがたに言っておくが、あなたがたの中のひとりで、わたしと一緒に食事をしている者が、わたしを裏切ろうとしている」。

19 ἤρξαντο 始めた G0756 λυπεῖσθαι, 悲しむことを G3076 καὶ そして G2532 λέγειν 言うことを G3004 αὐτῷ, 彼に G0846 εἷς 一人 G1520 κατὰ ずつ G2596 εἷς, 一人 G1520 Μήτι まさか G3385 ἐγώ? 私ですか G1473

弟子たちは心配して、ひとりびとり「まさか、わたしではないでしょう」と言い出した。

20 ὁ しかし G3588 δὲ その G1161 εἶπεν 言った G3004 αὐτοῖς, 彼らに G0846 Εἷς 一人である G1520 τῶν の G3588 δώδεκα, 十二人の G1427 ὁ その G3588 ἐμβαπτόμενος 浸している-者が G1686 μετ’ 共に G3326
ἐμοῦ 私と G1473 εἰς の中に G1519 τὸ その G3588 (ἓν) 一つの G1520 τρύβλιον. 鉢に G5165

イエスは言われた、「十二人の中のひとりで、わたしと一緒に同じ鉢にパンをひたしている者が、それである。

21 ὅτι なぜなら G3754 ὁ その G3588 μὲν たしかに G3303 Υἱὸς 人の-子は G5207 τοῦ の G3588 ἀνθρώπου 人の G0444 ὑπάγει, 行く G5217 καθὼς のように G2531 γέγραπται 書かれている G1125
περὶ について G4012 αὐτοῦ; 彼の G0846 οὐαὶ わざわいだ G3759 δὲ しかし G1161 τῷ その G3588 ἀνθρώπῳ 人には G0444 ἐκείνῳ その G1565 δι’ によって G1223 οὗ その人の G3739 ὁ その G3588
Υἱὸς 人の-子が G5207 τοῦ の G3588 ἀνθρώπου 人の G0444 παραδίδοται; 引き渡される G3860 καλὸν 良かったのに G2570 αὐτῷ 彼には G0846 εἰ もし G1487 οὐκ ない G3756 ἐγεννήθη 生まれて G1080
ὁ その G3588 ἄνθρωπος 人が G0444 ἐκεῖνος. その G1565

たしかに人の子は、自分について書いてあるとおりに去って行く。しかし、人の子を裏切るその人は、わざわいである。その人は生れなかった方が、彼のためによかったであろう」。

22

Καὶ	ἐσθιόντων	αὐτῶν,	λαβὼν	ἄρτον,	εὐλογήσας,	ἔκλασεν,	καὶ	ἔδωκεν
そして	食べている–とき	彼らが	取って	パンを	祝福して	裂いた	そして	与えた
G2532	G2068	G0846	G2983	G0740	G2127	G2806	G2532	G1325

αὐτοῖς,	καὶ	εἶπεν,	Λάβετε,	τοῦτό	ἐστιν	τὸ	σῶμά	μου.
彼らに	そして	言った	取りなさい	これは	である	その	体である	私の
G0846	G2532	G3004	G2983	G3778	G1510	G3588	G4983	G1473

一同が食事をしているとき、イエスはパンを取り、祝福してこれをさき、弟子たちに与えて言われた、「取れ、これはわたしのからだである」。

23

καὶ	λαβὼν	ποτήριον,	εὐχαριστήσας	ἔδωκεν	αὐτοῖς,	καὶ	ἔπιον	ἐξ	αὐτοῦ
そして	取って	杯を	感謝して	与えた	彼らに	そして	飲んだ	から	それから
G2532	G2983	G4221	G2168	G1325	G0846	G2532	G4095	G1537	G0846

πάντες.
皆が
G3956

また杯を取り、感謝して彼らに与えられると、一同はその杯から飲んだ。

24

καὶ	εἶπεν	αὐτοῖς,	Τοῦτό	ἐστιν	τὸ	αἷμά	μου	τῆς	διαθήκης,	τὸ
そして	言った	彼らに	これは	である	その	血である	私の	の	契約の	それは
G2532	G3004	G0846	G3778	G1510	G3588	G0129	G1473	G3588	G1242	G3588

ἐκχυννόμενον	ὑπὲρ	πολλῶν.
流される	のために	多くの–人の
G1632	G5228	G4183

イエスはまた言われた、「これは、多くの人のために流すわたしの契約の血である。

25

ἀμὴν	λέγω	ὑμῖν,	ὅτι	οὐκέτι	οὐ	μὴ	πίω	ἐκ	τοῦ
まことに	言う	あなたがたに	こう	もはや	決して	ない	飲まない	から	その
G0281	G3004	G4771	G3754	G3765	G3756	G3361	G4095	G1537	G3588

γενήματος	τῆς	ἀμπέλου,	ἕως	τῆς	ἡμέρας	ἐκείνης	ὅταν	αὐτὸ	πίνω	καινὸν,
実りの	の	ぶどうの	まで	その	日まで	その	とき	それを	飲む	新しく
G1081	G3588	G0288	G2193	G3588	G2250	G1565	G3752	G0846	G4095	G2537

ἐν	τῇ	βασιλείᾳ	τοῦ	Θεοῦ.
において	その	神の–国で	の	神の
G1722	G3588	G0932	G3588	G2316

あなたがたによく言っておく。神の国で新しく飲むその日までは、わたしは決して二度と、ぶどうの実から造ったものを飲むことをしない」。

26

Καὶ	ὑμνήσαντες,	ἐξῆλθον	εἰς	τὸ	ὄρος	τῶν	Ἐλαιῶν.
そして	讃美の–歌を–歌って	出て行った	へ	その	山の	の	オリーブの
G2532	G5214	G1831	G1519	G3588	G3735	G3588	G1636

彼らは、さんびを歌った後、オリブ山へ出かけて行った。

27 Καὶ λέγει αὐτοῖς ὁ Ἰησοῦς, ὅτι Πάντες σκανδαλισθήσεσθε <ἐν ἐμοὶ
そして 言う 彼らに その イエスは こう 皆が つまずく について 私に
G2532 G3004 G0846 G3588 G2424 G3754 G3956 G4624 G1722 G1473

ἐν τῇ νυκτὶ ταύτῃ>; ὅτι γέγραπται, Πατάξω τὸν ποιμένα, καὶ τὰ
に その 夜に この なぜなら 書かれている 打つ その 羊飼いを すると その
G1722 G3588 G3571 G3778 G3754 G1125 G3960 G3588 G4166 G2532 G3588

πρόβατα διασκορπισθήσονται.
羊は 散らされる
G4263 G1287

そのとき、イエスは弟子たちに言われた、「あなたがたは皆、わたしにつまずくであろう。『わたしは羊飼を打つ。そして、羊は散らされるであろう』と書いてあるからである。

28 ἀλλὰ μετὰ τὸ ἐγερθῆναί με, προάξω ὑμᾶς εἰς τὴν Γαλιλαίαν.
しかし の後 その よみがえった-後 私が 先に-行く あなたがたの へ その ガリラヤに
G0235 G3326 G3588 G1453 G1473 G4254 G4771 G1519 G3588 G1056

しかしわたしは、よみがえってから、あなたがたより先にガリラヤへ行くであろう」。

29 ὁ δὲ Πέτρος ἔφη αὐτῷ, Εἰ καὶ πάντες σκανδαλισθήσονται, ἀλλ’
しかし その ペテロは 言った 彼に たとえ また 皆が つまずいても しかし
G3588 G1161 G4074 G5346 G0846 G1487 G2532 G3956 G4624 G0235

οὐκ ἐγώ.
ない 私は
G3756 G1473

するとペテロはイエスに言った、「たとい、みんなの者がつまずいても、わたしはつまずきません」。

30 καὶ λέγει αὐτῷ ὁ Ἰησοῦς, Ἀμὴν λέγω σοι, ὅτι σὺ σήμερον,
すると 言う 彼に その イエスは まことに 言う あなたに こう あなたは 今日
G2532 G3004 G0846 G3588 G2424 G0281 G3004 G4771 G3754 G4771 G4594

ταύτῃ τῇ νυκτὶ, πρὶν ἢ δὶς ἀλέκτορα φωνῆσαι, τρίς με ἀπαρνήσῃ.
この その 夜に 前に ないうちに 二度 雄鶏が 鳥く前に 三度 私を 否認する
G3778 G3588 G3571 G4250 G2228 G1364 G0220 G5455 G5151 G1473 G0533

イエスは言われた、「あなたによく言っておく。きょう、今夜、にわとりが二度鳴く前に、そう言うあなたが、三度わたしを知らないと言うだろう」。

31 ὁ δὲ ἐκπερισσῶς ἐλάλει, Ἐὰν δέῃ, με συναποθανεῖν σοι,
しかし その 激しく 言った たとえ ねばならなくても 私が 共に-死ぬことが あなたと
G3588 G1161 G4057 G2980 G1437 G1163 G1473 G4880 G4771

οὐ μή σε ἀπαρνήσομαι. ὡσαύτως δὲ καὶ πάντες ἔλεγον.
決して ない あなたを 否認しない 同様に そして また 皆が 言った
G3756 G3361 G4771 G0533 G5615 G1161 G2532 G3956 G3004

ペテロは力をこめて言った、「たといあなたと一緒に死なねばならなくなっても、あなたを知らないなどとは、決して申しません」。みんなの者もまた、同じようなことを言った。

32 Καὶ ἔρχονται εἰς χωρίον, οὗ τὸ ὄνομα Γεθσημανί; καὶ λέγει
そして 来る へ 場所に その その 名は ゲッセマネという そして 言う
G2532 G2064 G1519 G5564 G3739 G3588 G3686 G1068 G2532 G3004

τοῖς μαθηταῖς αὐτοῦ, Καθίσατε ὧδε, ἕως προσεύξωμαι.
その 弟子たちに 彼の 座っていよ ここに の間 祈る
G3588 G3101 G0846 G2523 G5602 G2193 G4336

さて、一同はゲツセマネという所にきた。そしてイエスは弟子たちに言われた、「わたしが祈っている間、ここにすわっていなさい」。

33 καὶ παραλαμβάνει τὸν Πέτρον καὶ τὸν Ἰάκωβον καὶ τὸν Ἰωάννην
そして 連れて行く その ペテロと また その ヤコブと また その ヨハネを
G2532 G3880 G3588 G4074 G2532 G3588 G2385 G2532 G3588 G2491

μετ' αὐτοῦ; καὶ ἤρξατο ἐκθαμβεῖσθαι καὶ ἀδημονεῖν.
共に 自分と そして 始めた 恐れおののくことを そして 苦悶えることを
G3326 G0846 G2532 G0756 G1568 G2532 G0085

そしてペテロ、ヤコブ、ヨハネを一緒に連れて行かれたが、恐れおののき、また悩みはじめて、彼らに言われた、

34 καὶ λέγει αὐτοῖς, Περίλυπός ἐστιν ἡ ψυχή μου, ἕως θανάτου; μείνατε
そして 言う 彼らに 深く-悲しい である その 魂が 私の まで 死ぬほどに とどまれ
G2532 G3004 G0846 G4036 G1510 G3588 G5590 G1473 G2193 G2288 G3306

ὧδε καὶ γρηγορεῖτε.
ここに そして 目を-覚ましていよ
G5602 G2532 G1127

「わたしは悲しみのあまり死ぬほどである。ここに待っていて、目をさましていなさい」。

35 καὶ προελθὼν μικρὸν ἔπιπτεν ἐπὶ τῆς γῆς, καὶ προσηύχετο ἵνα,
そして 進んで 少し ひれ伏した の上に その 地に そして 祈った ように
G2532 G4281 G3398 G4098 G1909 G3588 G1093 G2532 G4336 G2443

εἰ δυνατόν ἐστιν, παρέλθῃ ἀπ' αὐτοῦ ἡ ὥρα.
もし 可能で あるなら 過ぎ去るように から 自分から この 時が
G1487 G1415 G1510 G3928 G0575 G0846 G3588 G5610

そして少し進んで行き、地にひれ伏し、もしできることなら、この時を過ぎ去らせてくださるようにと祈りつづけ、そして言われた、

36 καὶ ἔλεγεν, Ἀββᾶ, ὁ Πατήρ, πάντα δυνατά σοι;
そして 言った アバよ その 父よ すべてのことが 可能である あなたには
G2532 G3004 G0005 G3588 G3962 G3956 G1415 G4771

παρένεγκε τὸ ποτήριον τοῦτο ἀπ' ἐμοῦ; ἀλλ' οὐ τί ἐγὼ
過ぎ去らせてください この 杯を この から 私から しかし ない ことではなく 私が
G3911 G3588 G4221 G3778 G0575 G1473 G0235 G3756 G5101 G1473

θέλω, ἀλλὰ τί σύ.
望む むしろ ことを あなたが
G2309 G0235 G5101 G4771

「アバ、父よ、あなたには、できないことはありません。どうか、この杯をわたしから取りのけてください。しかし、わたしの思いではなく、みこころのままになさってください」。

37 καὶ ἔρχεται καὶ εὑρίσκει αὐτοὺς καθεύδοντας. καὶ λέγει τῷ Πέτρῳ
そして 来る すると 見つける 彼らが 眠っているのを そして 言う その ペテロに
G2532 G2064 G2532 G2147 G0846 G2518 G2532 G3004 G3588 G4074

Σίμων, καθεύδεις? οὐκ ἴσχυσας μίαν ὥραν γρηγορῆσαι?
シモンよ 眠っているのか できなかったのか できなかった 一 時間も 目を-覚ましていることが
G4613 G2518 G3756 G2480 G1520 G5610 G1127

それから、きてごらんになると、弟子たちが眠っていたので、ペテロに言われた、「シモンよ、眠っているのか、ひと時も目をさましていることができなかったのか。

38 γρηγορεῖτε καὶ προσεύχεσθε, ἵνα μὴ ἔλθητε εἰς
目を-覚ましていよ そして 祈れ ように ないように 入らないように へ
G1127 G2532 G4336 G2443 G3361 G2064 G1519

πειρασμόν. τὸ μὲν πνεῦμα πρόθυμον, ἡ δὲ σὰρξ ἀσθενής.
誘惑に その たしかに 霊は 熱心である しかし その 肉体は 弱い
G3986 G3588 G3303 G4151 G4289 G3588 G1161 G4561 G0772

誘惑に陥らないように、目をさまして祈っていなさい。心は熱しているが、肉体が弱いのである」。

39 καὶ πάλιν ἀπελθὼν, προσηύξατο, τὸν αὐτὸν λόγον εἰπών.
そして 再び 行って 祈った その 同じ 言葉を 言って
G2532 G3825 G0565 G4336 G3588 G0846 G3056 G3004

また離れて行って同じ言葉で祈られた。

40 καὶ πάλιν ἐλθὼν, εὗρεν αὐτοὺς καθεύδοντας. ἦσαν γὰρ αὐτῶν οἱ
そして 再び 来て 見つけた 彼らが 眠っているのを ていた なぜなら 彼らの その
G2532 G3825 G2064 G2147 G0846 G2518 G1510 G1063 G0846 G3588

ὀφθαλμοὶ καταβαρυνόμενοι; καὶ οὐκ ᾔδεισαν τί ἀποκριθῶσιν αὐτῷ.
目が 重く-なっていた そして ない 知らなかった 何を 答えるべきかを 彼に
G3788 G2599 G2532 G3756 G1492 G5101 G0611 G0846

またきてごらんになると、彼らはまだ眠っていた。その目が重くなっていたのである。そして、彼らはどうお答えしてよいか、わからなかった。

41 καὶ ἔρχεται τὸ τρίτον, καὶ λέγει αὐτοῖς, Καθεύδετε τὸ λοιπὸν
そして 来る その 三度目に そして 言う 彼らに 眠っているのか まだ 休んで
G2532 G2064 G3588 G5154 G2532 G3004 G0846 G2518 G3588 G3063

καὶ ἀναπαύεσθε. ἀπέχει; ἦλθεν ἡ ὥρα; ἰδοὺ, παραδίδοται ὁ Υἱὸς
そして 休んでいるのか もう-十分だ 来た その 時が 見よ 引き渡される その 人の-子が
G2532 G0373 G0568 G2064 G3588 G5610 G3708 G3860 G3588 G5207

τοῦ ἀνθρώπου, εἰς τὰς χεῖρας τῶν ἁμαρτωλῶν.
の 人の の中に その 手の の 罪人の
G3588 G0444 G1519 G3588 G5495 G3588 G0268

三度目にきて言われた、「まだ眠っているのか、休んでいるのか。もうそれでよかろう。時がきた。見よ、人の子は罪人らの手に渡されるのだ。

42 ἐγείρεσθε, ἄγωμεν; ἰδοὺ, ὁ παραδιδούς με ἤγγικεν!
起ちよ 行こう 見よ その 引き渡す-者が 私を 近づいた
G1453 G0071 G3708 G3588 G3860 G1473 G1448

立て、さあ行こう。見よ、わたしを裏切る者が近づいてきた」。

43 Καὶ εὐθὺς ἔτι αὐτοῦ λαλοῦντος, παραγίνεται ὁ Ἰούδας, εἷς
そして すぐに まだ 彼が 語っている-とき 現れる その ユダが 一人である
G2532 G2112 G2089 G0846 G2980 G3854 G3588 G2455 G1520

τῶν δώδεκα, καὶ μετ’ αὐτοῦ ὄχλος, μετὰ μαχαιρῶν καὶ ξύλων, παρὰ
の 十二人の そして 共に 彼と 群衆が 持って 剣と また 棒を から
G3588 G1427 G2532 G3326 G0846 G3793 G3326 G3162 G2532 G3586 G3844

τῶν ἀρχιερέων καὶ τῶν γραμματέων καὶ τῶν πρεσβυτέρων.
その 祭司長や また その 律法学者や また その 長老からの
G3588 G0749 G2532 G3588 G1122 G2532 G3588 G4245

そしてすぐ、イエスがまだ話しておられるうちに、十二弟子のひとりのユダが進みよってきた。また祭司長、律法学者、長老たちから送られた群衆も、剣と棒とを持って彼についてきた。

44

δεδώκει	δὲ	ὁ	παραδιδοὺς	αὐτὸν	σύσσημον	αὐτοῖς,	λέγων:	Ὃν	ἂν
与えていた	そして	その	引き渡す-者が	彼を	合図を	彼らに	言って	その人を	私が
G1325	G1161	G3588	G3860	G0846	G4953	G0846	G3004	G3739	G0302

φιλήσω,	αὐτός	ἐστιν;	κρατήσατε	αὐτὸν,	καὶ	ἀπάγετε	ἀσφαλῶς.
口づけしたなら	その人が	それである	捕らえよ	彼を	そして	連れて行け	しっかりと
G5368	G0846	G1510	G2902	G0846	G2532	G0520	G0806

イエスを裏切る者は、あらかじめ彼らに合図をしておいた、「わたしの接吻する者が、その人だ。その人をつかまえて、まちがいなく引ひっぱって行け」。

45

καὶ	ἐλθὼν,	εὐθὺς	προσελθὼν	αὐτῷ,	λέγει,	Ῥαββί,	καὶ	κατεφίλησεν	αὐτόν.
すると	来て	すぐに	近づいて	彼に	言う	先生	そして	口づけした	彼に
G2532	G2064	G2112	G4334	G0846	G3004	G4461	G2532	G2705	G0846

彼は来るとすぐ、イエスに近寄り、「先生」と言って接吻した。

46

οἱ	δὲ	ἐπέβαλαν	τὰς	χεῖρας	αὐτῷ,	καὶ	ἐκράτησαν	αὐτόν.
その	すると	かけた	その	手を	彼に	そして	捕らえた	彼を
G3588	G1161	G1911	G3588	G5495	G0846	G2532	G2902	G0846

人々はイエスに手をかけてつかまえた。

47

εἷς	δέ,	τις	τῶν	παρεστηκότων,	σπασάμενος	τὴν	μάχαιραν,	ἔπαισεν
一人が	しかし	ある	の	立っていた-人の	拝いて	その	剣を	打った
G1520	G1161	G5100	G3588	G3936	G4685	G3588	G3162	G3817

τὸν	δοῦλον	τοῦ	ἀρχιερέως,	καὶ	ἀφεῖλεν	αὐτοῦ	τὸ	ὠτάριον.
その	僕を	の	大祭司の	そして	切り落とした	彼の	その	耳を
G3588	G1401	G3588	G0749	G2532	G0851	G0846	G3588	G5621

すると、イエスのそばに立っていた者のひとりが、剣を抜いて大祭司の僕に切りかかり、その片耳を切り落した。

48

καὶ	ἀποκριθεὶς,	ὁ	Ἰησοῦς	εἶπεν	αὐτοῖς,	Ὡς	ἐπὶ	λῃστὴν
そして	答えて	その	イエスは	言った	彼らに	のように	に対して	強盗に
G2532	G0611	G3588	G2424	G3004	G0846	G5613	G1909	G3027

ἐξήλθατε	μετὰ	μαχαιρῶν	καὶ	ξύλων	συλλαβεῖν	με?
出て来たのか	持って	剣と	また	棒を	捕らえるために	私を
G1831	G3326	G3162	G2532	G3586	G4815	G1473

イエスは彼らにむかって言われた、「あなたがたは強盗にむかうように、剣や棒を持ってわたしを捕えにきたのか。

49

καθ’	ἡμέραν	ἤμην	πρὸς	ὑμᾶς	ἐν	τῷ	ἱερῷ	διδάσκων,	καὶ	οὐκ
毎	日	いた	のもとで	あなたがたの	に	その	神殿で	教えて	そして	ない
G2596	G2250	G1510	G4314	G4771	G1722	G3588	G2411	G1321	G2532	G3756

ἐκρατήσατέ	με.	ἀλλ’	ἵνα	πληρωθῶσιν	αἱ	γραφαί.
捕らえなかった	私を	しかし	ように	成就する	その	聖書が
G2902	G1473	G0235	G2443	G4137	G3588	G1124

わたしは毎日あなたがたと一緒に宮にいて教えていたのに、わたしをつかまえはしなかった。しかし聖書の言葉は成就されねばならない」。

50

καὶ	ἀφέντες	αὐτὸν,	ἔφυγον	πάντες.
すると	捨てて	彼を	逃げた	皆が
G2532	G0863	G0846	G5343	G3956

弟子たちは皆イエスを見捨てて逃げ去った。

51 Καὶ νεανίσκος τις συνηκολούθει αὐτῷ, περιβεβλημένος σινδόνα ἐπὶ
そして 若者が ある 従っていた 彼に まとって 亜麻布を の上に
G2532 G3495 G5100 G4870 G0846 G4016 G4616 G1909

γυμνοῦ; καὶ κρατοῦσιν αὐτόν,
裸の すると 捕らえる 彼を
G1131 G2532 G2902 G0846

ときに、ある若者が身に亜麻布をまとって、イエスのあとについて行ったが、人々が彼をつかまえようとしたので、

52 ὁ δὲ, καταλιπὼν τὴν σινδόνα, γυμνὸς ἔφυγεν.
しかし 彼は 捨てて その 亜麻布を 裸で 逃げた
G3588 G1161 G2641 G3588 G4616 G1131 G5343

その亜麻布を捨てて、裸で逃げて行った。

53 Καὶ ἀπήγαγον τὸν Ἰησοῦν πρὸς τὸν ἀρχιερέα. καὶ συνέρχονται
そして 連れて行った その イエスを のもとへ その 大祭司の そして 集まってくる
G2532 G0520 G3588 G2424 G4314 G3588 G0749 G2532 G4905

πάντες οἱ ἀρχιερεῖς, καὶ οἱ πρεσβύτεροι, καὶ οἱ γραμματεῖς.
皆が その 祭司長や また その 長老や また その 律法学者が
G3956 G3588 G0749 G2532 G3588 G4245 G2532 G3588 G1122

それから、イエスを大祭司のところに連れて行くと、祭司長、長老、律法学者たちがみな集まってきた。

54 καὶ ὁ Πέτρος ἀπὸ μακρόθεν ἠκολούθησεν αὐτῷ, ἕως ἔσω εἰς τὴν
そして その ペテロは から 遠くから 従った 彼に まで の中の の中の その
G2532 G3588 G4074 G0575 G3113 G0190 G0846 G2193 G2080 G1519 G3588

αὐλὴν τοῦ ἀρχιερέως; καὶ ἦν συνκαθήμενος μετὰ τῶν ὑπηρετῶν, καὶ
中庭に の 大祭司の そして いた 座って 共に その 下役たちと そして
G0833 G3588 G0749 G2532 G1510 G4775 G3326 G3588 G5257 G2532

θερμαινόμενος πρὸς τὸ φῶς.
暖まっていた のほとりで その 火の
G2328 G4314 G3588 G5457

ペテロは遠くからイエスについて行って、大祭司の中庭まではいり込み、その下役どもにまじってすわり、火にあたっていた。

55 Οἱ δὲ ἀρχιερεῖς καὶ ὅλον τὸ συνέδριον ἐζήτουν κατὰ τοῦ
その すると 祭司長と また 全 その 議会が 探していた に対する その
G3588 G1161 G0749 G2532 G3650 G3588 G4892 G2212 G2596 G3588

Ἰησοῦ μαρτυρίαν, εἰς τὸ θανατῶσαι αὐτόν, καὶ οὐχ
イエスに–対する 証拠を ために その 殺すために 彼を しかし ない
G2424 G3141 G1519 G3588 G2289 G0846 G2532 G3756

ηὕρισκον.
見つけられなかった
G2147

さて、祭司長たちと全議会とは、イエスを死刑にするために、イエスに不利な証拠を見つけようとしたが、得られなかった。

56 πολλοὶ γὰρ ἐψευδομαρτύρουν κατ’ αὐτοῦ, καὶ ἴσαι αἱ
多くの–人が なぜなら 偽証した に対して 彼に しかし 一致した その
G4183 G1063 G5576 G2596 G0846 G2532 G2470 G3588

μαρτυρίαι οὐκ ἦσαν.
証言は ない なかった
G3141 G3756 G1510

多くの者がイエスに対して偽証を立てたが、その証言が合わなかったからである。

57 καί τινες ἀναστάντες, ἐψευδομαρτύρουν κατ’ αὐτοῦ, λέγοντες,
すると ある–人が 立ち上がって 偽証した に対して 彼に 言って
G2532 G5100 G0450 G5576 G2596 G0846 G3004

ついに、ある人々が立ちあがり、イエスに対して偽証を立てて言った、

58 ὅτι Ἡμεῖς ἠκούσαμεν αὐτοῦ λέγοντος, ὅτι Ἐγὼ καταλύσω τὸν ναὸν
こう 私たちは 聞いた 彼が 言っているのを こう 私が 壊す この 神殿を
G3754 G1473 G0191 G0846 G3004 G3754 G1473 G2647 G3588 G3485

τοῦτον, τὸν χειροποίητον, καὶ διὰ τριῶν ἡμερῶν ἄλλον, ἀχειροποίητον,
この その 手で–造った そして を通して 三 日で 別の 手で–造らない
G3778 G3588 G5499 G2532 G1223 G5140 G2250 G0243 G0886

οἰκοδομήσω.
建てると
G3618

「わたしたちはこの人が『わたしは手で造ったこの神殿を打ちこわし、三日の後に手で造られない別の神殿を建てるのだ』と言うのを聞きました」。

59 καὶ οὐδὲ οὕτως ἴση ἦν ἡ μαρτυρία αὐτῶν.
しかし また こうしても 一致した なかった その 証言は 彼らの
G2532 G3761 G3779 G2470 G1510 G3588 G3141 G0846

しかし、このような証言も互に合わなかった。

60 καὶ ἀναστὰς ὁ ἀρχιερεὺς εἰς μέσον, ἐπηρώτησεν τὸν Ἰησοῦν,
すると 立ち上がって その 大祭司が の中に 真ん中に 尋ねた その イエスに
G2532 G0450 G3588 G0749 G1519 G3319 G1905 G3588 G2424

λέγων, Οὐκ ἀποκρίνῃ οὐδέν? τί οὗτοί σου καταμαρτυροῦσιν?
言って ないのか 答え 何も 何を この–人たちが あなたに 証言しているのか
G3004 G3756 G0611 G3762 G5101 G3778 G4771 G2649

そこで大祭司が立ちあがって、まん中に進み、イエスに聞きただして言った、「何も答えないのか。これらの人々があなたに対して不利な証言を申し立てているが、どうなのか」。

61 ὁ δὲ ἐσιώπα, καὶ οὐκ ἀπεκρίνατο οὐδέν. πάλιν ὁ ἀρχιερεὺς
しかし その 黙っていた そして ない 答えなかった 何も 再び その 大祭司が
G3588 G1161 G4623 G2532 G3756 G0611 G3762 G3825 G3588 G0749

ἐπηρώτα αὐτὸν, καὶ λέγει αὐτῷ, Σὺ εἶ ὁ Χριστὸς, ὁ Υἱὸς
尋ねた 彼に そして 言う 彼に あなたは であるか その キリスト その 子
G1905 G0846 G2532 G3004 G0846 G4771 G1510 G3588 G5547 G3588 G5207

τοῦ Εὐλογητοῦ?
の 祝福された–方の
G3588 G2128

しかし、イエスは黙っていて、何もお答えにならなかった。大祭司は再び聞きただして言った、「あなたは、ほむべき者の子、キリストであるか」。

62 ὁ しかし G3588 δὲ その G1161 Ἰησοῦς イエスは G2424 εἶπεν, 言った G3004 Ἐγώ 私が G1473 εἰμι. それである G1510 καὶ そして G2532 ὄψεσθε 見る G3708 τὸν その G3588 Υἱὸν 人の-子が G5207 τοῦ の G3588
ἀνθρώπου 人の G0444 ἐκ の右に G1537 δεξιῶν 右の G1188 καθήμενον 座っているのを G2521 τῆς の G3588 δυνάμεως, 力の G1411 καὶ そして G2532 ἐρχόμενον 来るのを G2064 μετὰ 共に G3326 τῶν その G3588
νεφελῶν 雲の G3507 τοῦ の G3588 οὐρανοῦ. 天の G3772

イエスは言われた、「わたしがそれである。あなたがたは人の子が力ある者の右に座し、天の雲に乗って来るのを見るであろう」。

63 ὁ その G3588 δὲ すると G1161 ἀρχιερεὺς, 大祭司は G0749 διαρρήξας 引き裂いて G1284 τοὺς その G3588 χιτῶνας 衣を G5509 αὐτοῦ, 自分の G0846 λέγει, 言う G3004 Τί 何の G5101 ἔτι まだ G2089 χρείαν 必要が G5532
ἔχομεν あるのか G2192 μαρτύρων? 証人の G3144

すると、大祭司はその衣を引き裂いて言った、「どうして、これ以上、証人の必要があろう。

64 ἠκούσατε 聞いた G0191 τῆς その G3588 βλασφημίας. 冒涜を G0988 τί どう G5101 ὑμῖν あなたがたには G4771 φαίνεται? 思うか G5316 οἱ その G3588 δὲ すると G1161 πάντες 皆が G3956
κατέκριναν 有罪と-定めた G2632 αὐτὸν, 彼を G0846 ἔνοχον 死に-値する G1777 εἶναι であると G1510 θανάτου. 死の G2288

あなたがたはこのけがし言を聞いた。あなたがたの意見はどうか」。すると、彼らは皆、イエスを死に当るものと断定した。

65 Καὶ そして G2532 ἤρξαντό 始めた G0756 τινες ある-人が G5100 ἐμπτύειν 唐を-吐きかけることを G1716 αὐτῷ, 彼に G0846 καὶ そして G2532 περικαλύπτειν 覆い隠すことを G4028 αὐτοῦ 彼の G0846
τὸ その G3588 πρόσωπον, 顔を G4383 καὶ そして G2532 κολαφίζειν 殴ることを G2852 αὐτὸν, 彼を G0846 καὶ そして G2532 λέγειν 言うことを G3004 αὐτῷ, 彼に G0846 Προφήτευσον! 預言せよ G4395
καὶ そして G2532 οἱ その G3588 ὑπηρέται 下役たちが G5257 ῥαπίσμασιν 平手打ちで G4475 αὐτὸν 彼を G0846 ἔλαβον. 取った G2983

そして、ある者はイエスにつばきをかけ、目隠しをし、こぶしでたたいて、「言いあててみよ」と言いはじめた。また下役どもはイエスを引きとって、手のひらでたたいた。

66 Καὶ そして G2532 ὄντος いる-とき G1510 τοῦ その G3588 Πέτρου ペテロが G4074 κάτω, 下に G2736 ἐν の中の G1722 τῇ その G3588 αὐλῇ, 中庭に G0833 ἔρχεται 来る G2064 μία 一人の G1520 τῶν の G3588
παιδισκῶν 女中の G3814 τοῦ の G3588 ἀρχιερέως, 大祭司の G0749

ペテロは下で中庭にいたが、大祭司の女中のひとりがきて、

67 καὶ ἰδοῦσα τὸν Πέτρον θερμαινόμενον, ἐμβλέψασα αὐτῷ, λέγει, Καὶ
すると 見て その ペテロが 暖まっているのを 見つめて 彼に 言う また
G2532 G3708 G3588 G4074 G2328 G1689 G0846 G3004 G2532

σὺ μετὰ τοῦ Ναζαρηνοῦ ἦσθα-- τοῦ Ἰησοῦ.
あなたも 共に その ナザレの いた その イエスと
G4771 G3326 G3588 G3479 G1510 G3588 G2424

ペテロが火にあたっているのを見ると、彼を見つめて、「あなたもあのナザレ人イエスと一緒だった」と言った。

68 ὁ δὲ ἠρνήσατο, λέγων, Οὔτε οἶδα, οὔτε ἐπίσταμαι σὺ τί
しかし その 否認した 言って 知らない 知らない また わからない あなたが 何を
G3588 G1161 G0720 G3004 G3777 G1492 G3777 G1987 G4771 G5101

λέγεις. καὶ ἐξῆλθεν ἔξω εἰς τὸ προαύλιον; ‹καὶ ἀλέκτωρ
言っているのか そして 出て行った 外に へ その 前庭に すると 雄鶏が
G3004 G2532 G1831 G1854 G1519 G3588 G4259 G2532 G0220

ἐφώνησεν›.
鳥いた
G5455

するとペテロはそれを打ち消して、「わたしは知らない。あなたの言うことがなんの事か、わからない」と言って、庭口の方に出て行った。

69 καὶ ἡ παιδίσκη, ἰδοῦσα αὐτὸν, ἤρξατο πάλιν λέγειν τοῖς παρεστῶσιν,
そして その 女中が 見て 彼を 始めた 再び 言うことを その 立っている–人に
G2532 G3588 G3814 G3708 G0846 G0756 G3825 G3004 G3588 G3936

ὅτι Οὗτος ἐξ αὐτῶν ἐστιν.
こう この人は の中の 彼らの である
G3754 G3778 G1537 G0846 G1510

ところが、先の女中が彼を見て、そばに立っていた人々に、またもや「この人はあの仲間のひとりです」と言いだした。

70 ὁ δὲ πάλιν ἠρνεῖτο. καὶ μετὰ μικρὸν, πάλιν οἱ παρεστῶτες
しかし その 再び 否認した すると の後 少しして 再び その 立っている–人が
G3588 G1161 G3825 G0720 G2532 G3326 G3398 G3825 G3588 G3936

ἔλεγον τῷ Πέτρῳ, Ἀληθῶς ἐξ αὐτῶν εἶ, καὶ γὰρ Γαλιλαῖος
言った その ペテロに 本当に の中の 彼らの である また なぜなら ガリラヤ人である
G3004 G3588 G4074 G0230 G1537 G0846 G1510 G2532 G1063 G1057

εἶ, ‹καὶ ἡ λαλιά σου ὁμοιάζει›.
である また その 言葉が あなたの 似ている
G1510 G2532 G3588 G2981 G4771 G3662

ペテロは再びそれを打ち消した。しばらくして、そばに立っていた人たちがまたペテロに言った、「確かにあなたは彼らの仲間だ。あなたもガリラヤ人だから」。

71 ὁ δὲ ἤρξατο ἀναθεματίζειν καὶ ὀμνύναι, ὅτι Οὐκ οἶδα
しかし その 始めた 呪いを–かけることを そして 誓うことを こう 知らない 知らない
G3588 G1161 G0756 G0332 G2532 G3660 G3754 G3756 G1492

τὸν ἄνθρωπον τοῦτον, ὃν λέγετε!
その 人を この その人を 言っている
G3588 G0444 G3778 G3739 G3004

しかし、彼は、「あなたがたの話しているその人のことは何も知らない」と言い張って、激しく誓いはじめた。

72 καὶ εὐθὺς ἐκ δευτέρου ἀλέκτωρ ἐφώνησεν. καὶ ἀνεμνήσθη ὁ
すると すぐに のから 二度目に 雄鶏が 鳥いた すると 思い出した その
G2532 G2112 G1537 G1208 G0220 G5455 G2532 G0363 G3588

Πέτρος τὸ ῥῆμα ὡς εἶπεν αὐτῷ ὁ Ἰησοῦς, ὅτι Πρὶν ἀλέκτορα
ペテロは その 言葉を のように 言った 彼に その イエスが こう 前に 雄鶏が
G4074 G3588 G4487 G5613 G3004 G0846 G3588 G2424 G3754 G4250 G0220

δὶς φωνῆσαι, τρίς με ἀπαρνήσῃ; καὶ ἐπιβαλὼν, ἔκλαιεν.
二度 鳥く前に 三度 私を 否認すると そして 投げ伏して 泣いた
G1364 G5455 G5151 G1473 G0533 G2532 G1911 G2799

するとすぐ、にわとりが二度目に鳴いた。ペテロは、「にわとりが二度鳴く前に、三度わたしを知らないと言うであろう」と言われたイエスの言葉を思い出し、そして思いかえして泣きつづけた。

Chapter 15

1 Καὶ εὐθὺς πρωΐ, συμβούλιον ποιήσαντες οἱ ἀρχιερεῖς, μετὰ τῶν
そして ただちに 朝–早く 相談を 行って – 祭司長たちは と–共に –
G2532 G2112 G4404 G4824 G4160 G3588 G0749 G3326 G3588

πρεσβυτέρων, καὶ γραμματέων, καὶ ὅλον τὸ συνέδριον, δήσαντες τὸν
長老たち と 律法学者たち と 全体の その 議会 縛って その
G4245 G2532 G1122 G2532 G3650 G3588 G4892 G1210 G3588

Ἰησοῦν, ἀπήνεγκαν, καὶ παρέδωκαν Πιλάτῳ.
イエスを 連れて行って そして 引き渡した ピラトに
G2424 G0667 G2532 G3860 G4091

夜が明けるとすぐ、祭司長たちは長老、律法学者たち、および全議会と協議をこらした末、イエスを縛って引き出し、ピラトに渡した。

2 καὶ ἐπηρώτησεν αὐτὸν ὁ Πιλᾶτος, Σὺ εἶ ὁ Βασιλεὺς τῶν
そして 尋ねた 彼に – ピラトは あなたが であるか – 王 –
G2532 G1905 G0846 G3588 G4091 G4771 G1510 G3588 G0935 G3588

Ἰουδαίων? ὁ δὲ ἀποκριθεὶς αὐτῷ, λέγει, Σὺ λέγεις.
ユダヤ人の – そして 答えて 彼に 言った あなたが 言う–通りだ
G2453 G3588 G1161 G0611 G0846 G3004 G4771 G3004

ピラトはイエスに尋ねた、「あなたがユダヤ人の王であるか」。イエスは、「そのとおりである」とお答えになった。

3 καὶ κατηγόρουν αὐτοῦ οἱ ἀρχιερεῖς πολλά.
そして 訴えていた 彼を – 祭司長たちは 多くのことを
G2532 G2723 G0846 G3588 G0749 G4183

そこで祭司長たちは、イエスのことをいろいろと訴えた。

4 ὁ δὲ Πιλᾶτος πάλιν ἐπηρώτα αὐτὸν, λέγων, Οὐκ ἀποκρίνῃ οὐδέν?
– そして ピラトは 再び 尋ねた 彼に 言って 何も 答えないのか 何も
G3588 G1161 G4091 G3825 G1905 G0846 G3004 G3756 G0611 G3762

ἴδε, πόσα σου κατηγοροῦσιν!
見よ どれほど–多く あなたを 訴えているか
G3708 G4214 G4771 G2723

ピラトはもう一度イエスに尋ねた、「何も答えないのか。見よ、あなたに対してあんなにまで次々に訴えているではないか」。

5	ὁ	δὲ	Ἰησοῦς	οὐκέτι	οὐδὲν	ἀπεκρίθη,	ὥστε	θαυμάζειν	τὸν
	–	そして	イエスは	もはや	何も	答えなかった	そのため	驚くほどであった	その
	G3588	G1161	G2424	G3765	G3762	G0611	G5620	G2296	G3588

Πιλᾶτον.		
ピラトは		
G4091		

しかし、イエスはピラトが不思議に思うほどに、もう何もお答えにならなかった。

6	Κατὰ	δὲ	ἑορτὴν,	ἀπέλυεν	αὐτοῖς	ἕνα	δέσμιον,	ὃν	παρῃτοῦντο.
	–の–毎に	そして	祭り	釈放していた	彼らに	一人の	囚人を	–を	要求した
	G2596	G1161	G1859	G0630	G0846	G1520	G1198	G3739	G3868

さて、祭のたびごとに、ピラトは人々が願い出る囚人ひとりを、ゆるしてやることにしていた。

7	ἦν	δὲ	ὁ	λεγόμενος	Βαραββᾶς,	μετὰ	τῶν	στασιαστῶν	δεδεμένος,
	いた	そして	–	呼ばれる	バラバが	と–共に	–	暴動者たちの	縛られて
	G1510	G1161	G3588	G3004	G0912	G3326	G3588	G4955	G1210

οἵτινες	ἐν	τῇ	στάσει	φόνον	πεποιήκεισαν.
–らは	に–おいて	その	暴動で	殺人を	犯していた
G3748	G1722	G3588	G4714	G5408	G4160

ここに、暴動を起し人殺しをしてつながれていた暴徒の中に、バラバという者がいた。

8	καὶ	ἀναβὰς,	ὁ	ὄχλος	ἤρξατο	αἰτεῖσθαι	καθὼς	ἐποίει	αὐτοῖς,
	そして	上って来て	その	群衆は	始めた	求めることを	の–通りに	していた	彼らに
	G2532	G0305	G3588	G3793	G0756	G0154	G2531	G4160	G0846

群衆が押しかけてきて、いつものとおりにしてほしいと要求しはじめたので、

9	ὁ	δὲ	Πιλᾶτος	ἀπεκρίθη	αὐτοῖς,	λέγων,	Θέλετε	ἀπολύσω	ὑμῖν
	–	そして	ピラトは	答えた	彼らに	言って	望むか	釈放することを	あなたがたに
	G3588	G1161	G4091	G0611	G0846	G3004	G2309	G0630	G4771

τὸν	Βασιλέα	τῶν	Ἰουδαίων?
その	王を	–	ユダヤ人の
G3588	G0935	G3588	G2453

ピラトは彼らにむかって、「おまえたちはユダヤ人の王をゆるしてもらいたいのか」と言った。

10	ἐγίνωσκεν	γὰρ	ὅτι	διὰ	φθόνον	παραδεδώκεισαν	αὐτὸν	οἱ	
	知っていた	なぜなら	ことを	の–ために	ねたみ	引き渡していた	彼を	–	
	G1097	G1063	G3754	G1223	G5355	G3860	G0846	G3588	

ἀρχιερεῖς.		
祭司長たちが		
G0749		

それは、祭司長たちがイエスを引きわたしたのは、ねたみのためであることが、ピラトにわかっていたからである。

11	οἱ	δὲ	ἀρχιερεῖς	ἀνέσεισαν	τὸν	ὄχλον,	ἵνα	μᾶλλον	τὸν	Βαραββᾶν
	–	しかし	祭司長たちは	扇動した	その	群衆を	ために	むしろ	その	バラバを
	G3588	G1161	G0749	G0383	G3588	G3793	G2443	G3123	G3588	G0912

ἀπολύσῃ	αὐτοῖς.	
釈放するように	彼らに	
G0630	G0846	

しかし祭司長たちは、バラバの方をゆるしてもらうように、群衆を煽動した。

12 ὁ – G3588 δὲ そして G1161 Πιλᾶτος ピラトは G4091 πάλιν 再び G3825 ἀποκριθεὶς, 答えて G0611 ἔλεγεν 言った G3004 αὐτοῖς, 彼らに G0846 Τί では G5101 οὖν それなら G3767 ‹θέλετε› 望むか G2309

ποιήσω どうしようか G4160 ὃν –を G3739 λέγετε 呼ぶ G3004 τὸν その G3588 Βασιλέα 王と G0935 τῶν – G3588 Ἰουδαίων? ユダヤ人の G2453

そこでピラトはまた彼らに言った、「それでは、おまえたちがユダヤ人の王と呼んでいるあの人は、どうしたらよいか」。

13 οἱ – G3588 δὲ そして G1161 πάλιν 再び G3825 ἔκραξαν, 叫んだ G2896 Σταύρωσον 十字架につけよ G4717 αὐτόν! 彼を G0846

彼らは、また叫んだ、「十字架につけよ」。

14 ὁ – G3588 δὲ そして G1161 Πιλᾶτος ピラトは G4091 ἔλεγεν 言った G3004 αὐτοῖς, 彼らに G0846 Τί 何の G5101 γὰρ なぜなら G1063 ἐποίησεν 行ったか G4160 κακόν? 悪いことを G2556 οἱ – G3588

δὲ そして G1161 περισσῶς ますます G4057 ἔκραξαν, 叫んだ G2896 Σταύρωσον 十字架につけよ G4717 αὐτόν! 彼を G0846

ピラトは言った、「あの人は、いったい、どんな悪事をしたのか」。すると、彼らは一そう激しく叫んで、「十字架につけよ」と言った。

15 ὁ – G3588 δὲ そして G1161 Πιλᾶτος, ピラトは G4091 βουλόμενος 望んで G1014 τῷ その G3588 ὄχλῳ 群衆を G3793 τὸ その G3588 ἱκανὸν 十分なことを G2425 ποιῆσαι, するために G4160

ἀπέλυσεν 釈放した G0630 αὐτοῖς 彼らに G0846 τὸν その G3588 Βαραββᾶν, バラバを G0912 καὶ そして G2532 παρέδωκεν 引き渡した G3860 τὸν その G3588 Ἰησοῦν, イエスを G2424 φραγελλώσας, 鼻打ちして G5417

ἵνα ために G2443 σταυρωθῇ. 十字架につけられる G4717

それで、ピラトは群衆を満足させようと思って、バラバをゆるしてやり、イエスをむち打ったのち、十字架につけるために引きわたした。

16 Οἱ – G3588 δὲ そして G1161 στρατιῶται 兵士たちは G4757 ἀπήγαγον 連れて行った G0520 αὐτὸν 彼を G0846 ἔσω の–中に G2080 τῆς その G3588 αὐλῆς, 中庭 G0833 ὅ それは G3739 ἐστιν である G1510

Πραιτώριον, 総督官邸 G4232 καὶ そして G2532 συνκαλοῦσιν 呼び集めた G4779 ὅλην 全体の G3650 τὴν その G3588 σπεῖραν. 軍隊を G4686

兵士たちはイエスを、邸宅、すなわち総督官邸の内に連れて行き、全部隊を呼び集めた。

17 καὶ そして G2532 ἐνδιδύσκουσιν 着せた G1737 αὐτὸν 彼に G0846 πορφύραν, 紫の–衣を G4209 καὶ そして G2532 περιτιθέασιν かぶせた G4060 αὐτῷ, 彼に G0846 πλέξαντες, 編んで G4120

ἀκάνθινον 茨の G0174 στέφανον, 冠を G4735

そしてイエスに紫の衣を着せ、いばらの冠を編んでかぶらせ、

18 καὶ ἤρξαντο ἀσπάζεσθαι αὐτόν, Χαῖρε, Βασιλεῦ τῶν Ἰουδαίων!
そして 始めた 挨拶することを 彼に 万歳 王よ – ユダヤ人の
G2532 G0756 G0782 G0846 G5463 G0935 G3588 G2453

「ユダヤ人の王、ばんざい」と言って敬礼をしはじめた。

19 καὶ ἔτυπτον αὐτοῦ τὴν κεφαλὴν καλάμῳ, καὶ ἐνέπτυον αὐτῷ; καὶ, τιθέντες τὰ γόνατα, προσεκύνουν αὐτῷ.
そして 打っていた 彼の その 頭を 葦で そして 唾を–吐いていた 彼に そして ひざまずいて その ひざを ひれ伏していた 彼に
G2532 G5180 G0846 G3588 G2776 G2563 G2532 G1716 G0846 G2532 G5087 G3588 G1119 G4352 G0846

また、葦の棒でその頭をたたき、つばきをかけ、ひざまずいて拝んだりした。

20 καὶ ὅτε ἐνέπαιξαν αὐτῷ, ἐξέδυσαν αὐτὸν τὴν πορφύραν, καὶ ἐνέδυσαν αὐτὸν τὰ ἱμάτια αὐτοῦ; ‹ἵδια› Καὶ ἐξάγουσιν αὐτόν, ἵνα σταυρώσωσιν αὐτόν.
そして とき 嘲った 彼を 脱がせた 彼から その 紫の–衣を そして 着せた 彼に その 衣を 彼の 自分の そして 連れ出した 彼を ために 十字架につける 彼を
G2532 G3753 G1702 G0846 G1562 G0846 G3588 G4209 G2532 G1746 G0846 G3588 G2440 G0846 G2398 G2532 G1806 G0846 G2443 G4717 G0846

こうして、イエスを嘲弄したあげく、紫の衣をはぎとり、元の上着を着せた。それから、彼らはイエスを十字架につけるために引き出した。

21 καὶ ἀγγαρεύουσιν, παράγοντά τινα, Σίμωνα Κυρηναῖον, ἐρχόμενον ἀπ’ ἀγροῦ, τὸν πατέρα Ἀλεξάνδρου καὶ Ῥούφου, ἵνα ἄρῃ τὸν σταυρὸν αὐτοῦ.
そして 強いた 通りかかった ある シモンという クレネ人を 来ていた から 畑 その 父 アレキサンドロスの と ルポスの ために 運ぶように その 十字架を 彼の
G2532 G0029 G3855 G5100 G4613 G2956 G2064 G0575 G0068 G3588 G3962 G0223 G2532 G4504 G2443 G0142 G3588 G4716 G0846

そこへ、アレキサンデルとルポスとの父シモンというクレネ人が、郊外からきて通りかかったので、人々はイエスの十字架を無理に負わせた。

22 καὶ φέρουσιν αὐτὸν ἐπὶ τὸν Γολγοθᾶν, τόπον ὅ ἐστιν μεθερμηνευόμενον, Κρανίου τόπος.
そして 運んだ 彼を の–上へ その ゴルゴタという 場所 それは である 訳すと どくろの 場所
G2532 G5342 G0846 G1909 G3588 G1115 G5117 G3739 G1510 G3177 G2898 G5117

そしてイエスをゴルゴタ、その意味は、されこうべ、という所に連れて行った。

23 καὶ ἐδίδουν αὐτῷ, ἐσμυρνισμένον, οἶνον; ὃς δὲ οὐκ
そして 与えていた 彼に 没薬を-混ぜた ぶどう酒を しかし そして 受けなかった
G2532 G1325 G0846 G4669 G3631 G3739 G1161 G3756

ἔλαβεν.
受けなかった
G2983

そしてイエスに、没薬をまぜたぶどう酒をさし出したが、お受けにならなかった。

24 καὶ σταυροῦσιν αὐτὸν, καὶ διαμερίζονται τὰ ἱμάτια αὐτοῦ, βάλλοντες
そして 十字架につけた 彼を そして 分けていた その 衣を 彼の くじを-引いて
G2532 G4717 G0846 G2532 G1266 G3588 G2440 G0846 G0906

κλῆρον ἐπ' αὐτὰ, τίς τί ἄρῃ.
くじを の-上に それらに 誰が 何を 取るか
G2819 G1909 G0846 G5101 G5101 G0142

それから、イエスを十字架につけた。そしてくじを引いて、だれが何を取るかを定めたうえ、イエスの着物を分けた。

25 ἦν δὲ ὥρα τρίτη, καὶ ἐσταύρωσαν αὐτόν.
であった そして 時は 第三の そして 十字架につけた 彼を
G1510 G1161 G5610 G5154 G2532 G4717 G0846

イエスを十字架につけたのは、朝の九時ごろであった。

26 καὶ ἦν ἡ ἐπιγραφὴ τῆς αἰτίας αὐτοῦ ἐπιγεγραμμένη, Ὁ ΒΑΣΙΛΕΥΣ
そして あった その 罪状は その 訴因の 彼の 書かれていた - 王
G2532 G1510 G3588 G1923 G3588 G0156 G0846 G1924 G3588 G0935

ΤΩΝ ΙΟΥΔΑΙΩΝ.
- ユダヤ人の
G3588 G2453

イエスの罪状書きには「ユダヤ人の王」と、しるしてあった。

27 Καὶ σὺν αὐτῷ σταυροῦσιν δύο λῃστάς, ἕνα ἐκ δεξιῶν, καὶ
そして と-共に 彼と 十字架につけた 二人の 強盗を 一人を から 右に そして
G2532 G4862 G0846 G4717 G1417 G3027 G1520 G1537 G1188 G2532

ἕνα ἐξ εὐωνύμων αὐτοῦ.
一人を から 左に 彼の
G1520 G1537 G2176 G0846

また、イエスと共にふたりの強盗を、ひとりを右に、ひとりを左に、十字架につけた。〔

28 <Καὶ ἐπληρώθη ἡ γραφὴ ἡ λέγουσα, Καὶ μετὰ ἀνόμων
そして 成就した その 聖書は - 言う そして と-共に 不法な者たちの
G2532 G4137 G3588 G1124 G3588 G3004 G2532 G3326 G0459

ἐλογίσθη>.
数えられた
G3049

こうして「彼は罪人たちのひとりに数えられた」と書いてある言葉が成就したのである。〕

29 Καὶ そして G2532 | οἱ – G3588 | παραπορευόμενοι 通りかかる者たちは G3899 | ἐβλασφήμουν ののしっていた G0987 | αὐτὸν, 彼を G0846 | κινοῦντες 振って G2795 | τὰς その G3588 | κεφαλὰς 頭を G2776

αὐτῶν, 彼らの G0846 | καὶ そして G2532 | λέγοντες, 言って G3004 | Οὐὰ, やい G3758 | ὁ よ G3588 | καταλύων 壊す者 G2647 | τὸν その G3588 | ναὸν 神殿を G3485 | καὶ そして G2532 | οἰκοδομῶν 建てる者 G3618

ἐν に–おいて G1722 | τρισὶν 三の G5140 | ἡμέραις, 日で G2250

そこを通りかかった者たちは、頭を振りながら、イエスをののしって言った、「ああ、神殿を打ちこわして三日のうちに建てる者よ、

30 σῶσον 救え G4982 | σεαυτὸν, 自分–自身を G4572 | καταβὰς 降りて来て G2597 | ἀπὸ から G0575 | τοῦ その G3588 | σταυροῦ! 十字架 G4716

十字架からおりてきて自分を救え」。

31 ὁμοίως 同様に G3668 | καὶ また G2532 | οἱ – G3588 | ἀρχιερεῖς, 祭司長たちは G0749 | ἐμπαίζοντες 嘲って G1702 | πρὸς に–対して G4314 | ἀλλήλους, 互いに G0240 | μετὰ と–共に G3326 | τῶν – G3588

γραμματέων, 律法学者たち G1122 | ἔλεγον, 言った G3004 | Ἄλλους 他人を G0243 | ἔσωσεν, 救った G4982 | ἑαυτὸν 自分–自身を G1438 | οὐ –は G3756 | δύναται できない G1410 | σῶσαι. 救うことが G4982

祭司長たちも同じように、律法学者たちと一緒になって、かわるがわる嘲弄して言った、「他人を救ったが、自分自身を救うことができない。

32 ὁ – G3588 | Χριστὸς, キリスト G5547 | ὁ – G3588 | Βασιλεὺς 王 G0935 | Ἰσραὴλ: イスラエルの G2474 | καταβάτω 降りて–来よ G2597 | νῦν 今 G3568 | ἀπὸ から G0575 | τοῦ その G3588 | σταυροῦ, 十字架 G4716

ἵνα ために G2443 | ἴδωμεν 見て G3708 | καὶ そして G2532 | πιστεύσωμεν! 信じよう G4100 | καὶ そして G2532 | οἱ – G3588 | συνεσταυρωμένοι 共に–十字架につけられた者たちも G4957 | σὺν と–共に G4862

αὐτῷ 彼と G0846 | ὠνείδιζον 罵っていた G3679 | αὐτόν. 彼を G0846

イスラエルの王キリスト、いま十字架からおりてみるがよい。それを見たら信じよう」。また、一緒に十字架につけられた者たちも、イエスをののしった。

33 Καὶ そして G2532 | γενομένης なって G1096 | ὥρας 時は G5610 | ἕκτης, 第六の G1623 | σκότος 闇が G4655 | ἐγένετο 起こった G1096 | ἐφ’ の–上に G1909 | ὅλην 全体の G3650 | τὴν その G3588 | γῆν, 地 G1093 | ἕως まで G2193

ὥρας 時の G5610 | ἐνάτης; 第九の G1766

昼の十二時になると、全地は暗くなって、三時に及んだ。

34 καὶ τῇ ἐνάτῃ ὥρᾳ, ἐβόησεν ὁ Ἰησοῦς φωνῇ μεγάλῃ, Ἐλωΐ, Ἐλωΐ,
そして その 第九の 時に 叫んだ – イエスは 声で 大きな エロイ エロイ
G2532 G3588 G1766 G5610 G0994 G3588 G2424 G5456 G3173 G1682 G1682

λεμὰ σαβαχθάνι? ὅ ἐστιν μεθερμηνευόμενον, Ὁ Θεός μου, ὁ Θεός
レマ サバクタニ それは である 訳すと – わが–神 よ – わが–神
G2982 G4518 G3739 G1510 G3177 G3588 G2316 G1473 G3588 G2316

μου, εἰς τί ἐγκατέλιπές με?
よ に–対して 何の–ために 見捨てたのか わたしを
G1473 G1519 G5101 G1459 G1473

そして三時に、イエスは大声で、「エロイ、エロイ、ラマ、サバクタニ」と叫ばれた。それは「わが神、わが神、どうしてわたしをお見捨てになったのですか」という意味である。

35 καί τινες τῶν παρεστηκότων, ἀκούσαντες, ἔλεγον, Ἴδε, Ἠλίαν
そして ある者たちは – そばに–立っていた 聞いて 言った 見よ エリヤを
G2532 G5100 G3588 G3936 G0191 G3004 G3708 G2243

φωνεῖ.
呼んでいる
G5455

すると、そばに立っていたある人々が、これを聞いて言った、「そら、エリヤを呼んでいる」。

36 δραμὼν δέ τις, καὶ γεμίσας σπόγγον ὄξους, περιθεὶς καλάμῳ,
走って行って そして ある者が そして 満たして 海綿を 酢で つけて 葦に
G5143 G1161 G5100 G2532 G1072 G4699 G3690 G4060 G2563

ἐπότιζεν αὐτόν, λέγων, Ἄφετε, ἴδωμεν εἰ ἔρχεται Ἠλίας καθελεῖν
飲ませていた 彼に 言って 放っておけ 見よう か 来るか エリヤが 降ろすために
G4222 G0846 G3004 G0863 G3708 G1487 G2064 G2243 G2507

αὐτόν.
彼を
G0846

ひとりの人が走って行き、海綿に酢いぶどう酒を含ませて葦の棒につけ、イエスに飲ませようとして言った、「待て、エリヤが彼をおろしに来るかどうか、見ていよう」。

37 ὁ δὲ Ἰησοῦς, ἀφεὶς φωνὴν μεγάλην, ἐξέπνευσεν.
– そして イエスは 発して 声を 大きな 息を–引き取られた
G3588 G1161 G2424 G0863 G5456 G3173 G1606

イエスは声高く叫んで、ついに息をひきとられた。

38 Καὶ τὸ καταπέτασμα τοῦ ναοῦ ἐσχίσθη εἰς δύο, ἀπ’ ἄνωθεν ἕως
そして その 幕は –の 神殿 裂けた に 二つに から 上から まで
G2532 G3588 G2665 G3588 G3485 G4977 G1519 G1417 G0575 G0509 G2193

κάτω.
下まで
G2736

そのとき、神殿の幕が上から下まで真二つに裂けた。

39 Ἰδὼν δὲ, ὁ κεντυρίων ὁ παρεστηκὼς ἐξ ἐναντίας αὐτοῦ, ὅτι
見て そして – 百人隊長は – そばに–立っていた から 向かいの 彼の ことを
G3708 G1161 G3588 G2760 G3588 G3936 G1537 G1727 G0846 G3754

οὕτως ἐξέπνευσεν, εἶπεν, Ἀληθῶς οὗτος ὁ ἄνθρωπος Υἱὸς Θεοῦ
このように 息を–引き取られた 言った まことに この – 人は 子 神の
G3779 G1606 G3004 G0230 G3778 G3588 G0444 G5207 G2316

ἦν!
であった
G1510

イエスにむかって立っていた百卒長は、このようにして息をひきとられたのを見て言った、「まことに、この人は神の子であった」。

40 Ἦσαν δὲ καὶ γυναῖκες ἀπὸ μακρόθεν θεωροῦσαι, ἐν αἷς καὶ
いた そして また 女たちが から 遠くから 見ていた の–中に その また
G1510 G1161 G2532 G1135 G0575 G3113 G2334 G1722 G3739 G2532

Μαρία ἡ Μαγδαληνὴ, καὶ Μαρία ἡ Ἰακώβου τοῦ μικροῦ καὶ
マリヤ – マグダラの と マリヤ – ヤコブの – 小さいほうの と
G3137 G3588 G3094 G2532 G3137 G3588 G2385 G3588 G3398 G2532

Ἰωσῆτος μήτηρ, καὶ Σαλώμη;
ヨセの 母 と サロメ
G2500 G3384 G2532 G4539

また、遠くの方から見ている女たちもいた。その中には、マグダラのマリヤ、小ヤコブとヨセとの母マリヤ、またサロメがいた。

41 αἳ, ὅτε ἦν ἐν τῇ Γαλιλαίᾳ, ἠκολούθουν αὐτῷ καὶ διηκόνουν
–らは とき おられた に–おいて その ガリラヤ 従っていた 彼に そして 仕えていた
G3739 G3753 G1510 G1722 G3588 G1056 G0190 G0846 G2532 G1247

αὐτῷ; καὶ ἄλλαι πολλαὶ, αἱ συναναβᾶσαι αὐτῷ εἰς Ἱεροσόλυμα.
彼に そして 他の 多くの – 共に–上って来た 彼と へ エルサレム
G0846 G2532 G0243 G4183 G3588 G4872 G0846 G1519 G2414

彼らはイエスがガリラヤにおられたとき、そのあとに従って仕えた女たちであった。なおそのほか、イエスと共にエルサレムに上ってきた多くの女たちもいた。

42 Καὶ ἤδη ὀψίας γενομένης, ἐπεὶ ἦν Παρασκευή, ὅ ἐστιν
そして もう 夕方の なって なぜなら であった 準備の–日 それは である
G2532 G2235 G3798 G1096 G1893 G1510 G3904 G3739 G1510

προσάββατον,
安息日の–前日
G4315

さて、すでに夕がたになったが、その日は準備の日、すなわち安息日の前日であったので、

43 ἐλθὼν Ἰωσὴφ ὁ ἀπὸ Ἁριμαθαίας, εὐσχήμων βουλευτής, ὃς καὶ
来て ヨセフは – からの アリマタヤ 尊い 議員 –は また
G2064 G2501 G3588 G0575 G0707 G2158 G1010 G3739 G2532

αὐτὸς ἦν προσδεχόμενος τὴν βασιλείαν τοῦ Θεοῦ. τολμήσας,
彼–自身も であった 待ち–望んでいた その 御国を –の 神 勇気を–出して
G0846 G1510 G4327 G3588 G0932 G3588 G2316 G5111

εἰσῆλθεν πρὸς τὸν Πιλᾶτον καὶ ᾐτήσατο τὸ σῶμα τοῦ Ἰησοῦ.
入って行った の–もとに – ピラト そして 求めた その 体を –の イエス
G1525 G4314 G3588 G4091 G2532 G0154 G3588 G4983 G3588 G2424

アリマタヤのヨセフが大胆にもピラトの所へ行き、イエスのからだの引取りかたを願った。彼は地位の高い議員であって、彼自身、神の国を待ち望んでいる人であった。

44 ὁ – G3588 | δὲ そして G1161 | Πιλᾶτος ピラトは G4091 | ἐθαύμασεν 驚いた G2296 | εἰ か G1487 | ἤδη もう G2235 | τέθνηκεν. 死んでいたのか G2348 | καὶ そして G2532 | προσκαλεσάμενος 呼び-寄せて G4341

τὸν その G3588 | κεντυρίωνα, 百人隊長を G2760 | ἐπηρώτησεν 尋ねた G1905 | αὐτὸν 彼に G0846 | εἰ か G1487 | πάλαι とうに G3819 | ἀπέθανεν. 死んだのか G0599

ピラトは、イエスがもはや死んでしまったのかと不審に思い、百卒長を呼んで、もう死んだのかと尋ねた。

45 καὶ そして G2532 | γνοὺς 知って G1097 | ἀπὸ から G0575 | τοῦ その G3588 | κεντυρίωνος, 百人隊長 G2760 | ἐδωρήσατο 与えた G1433 | τὸ その G3588 | πτῶμα 遺体を G4430 | τῷ -に G3588 | Ἰωσήφ. ヨセフ G2501

そして、百卒長から確かめた上、死体をヨセフに渡した。

46 καὶ そして G2532 | ἀγοράσας 買って G0059 | σινδόνα, 亜麻布を G4616 | καθελὼν 降ろして G2507 | αὐτὸν, 彼を G0846 | ἐνείλησεν 包んだ G1750 | τῇ その G3588 | σινδόνι, 亜麻布で G4616 | καὶ そして G2532 | ἔθηκεν 置いた G5087

αὐτὸν 彼を G0846 | ἐν に-おいて G1722 | μνημείῳ, 墓に G3419 | ὃ それは G3739 | ἦν であった G1510 | λελατομημένον 岩から-切り出された G2998 | ἐκ から G1537 | πέτρας. 岩 G4073 | καὶ そして G2532

προσεκύλισεν 転がした G4351 | λίθον 石を G3037 | ἐπὶ の-上に G1909 | τὴν その G3588 | θύραν 入り口に G2374 | τοῦ -の G3588 | μνημείου. 墓 G3419

そこで、ヨセフは亜麻布を買い求め、イエスをとりおろして、その亜麻布に包み、岩を掘って造った墓に納め、墓の入口に石をころがしておいた。

47 ἡ – G3588 | δὲ そして G1161 | Μαρία マリヤ G3137 | ἡ – G3588 | Μαγδαληνὴ, マグダラの G3094 | καὶ と G2532 | Μαρία マリヤ G3137 | ἡ – G3588 | Ἰωσῆτος ヨセの G2500 | ἐθεώρουν 見ていた G2334

ποῦ どこに G4225 | τέθειται. 置かれたかを G5087

マグダラのマリヤとヨセの母マリヤとは、イエスが納められた場所を見とどけた。

Chapter 16

1 Καὶ そして G2532 | διαγενομένου 過ぎて G1230 | τοῦ その G3588 | σαββάτου, 安息日が G4521 | (ἡ) – G3588 | Μαρία マリヤ G3137 | ἡ – G3588 | Μαγδαληνὴ, マグダラの G3094 | καὶ と G2532 | Μαρία マリヤ G3137

ἡ – G3588 | τοῦ – G3588 | Ἰακώβου, ヤコブの G2385 | καὶ と G2532 | Σαλώμη, サロメは G4539 | ἠγόρασαν 買った G0059 | ἀρώματα, 香料を G0759 | ἵνα ために G2443 | ἐλθοῦσαι, 行って G2064

ἀλείψωσιν 塗る G0218 | αὐτόν. 彼に G0846

さて、安息日が終ったので、マグダラのマリヤとヤコブの母マリヤとサロメとが、行ってイエスに塗るために、香料を買い求めた。

2 καὶ そして G2532 λίαν 非常に G3029 πρωῒ 早く G4404 τῇ その G3588 μιᾷ 第一の G1520 τῶν – G3588 σαββάτων, 週の–日に G4521 ἔρχονται 来た G2064 ἐπὶ の–上に G1909 τὸ その G3588 μνημεῖον, 墓に G3419

ἀνατείλαντος 昇って G0393 τοῦ その G3588 ἡλίου. 太陽が G2246

そして週の初めの日に、早朝、日の出のころ墓に行った。

3 καὶ そして G2532 ἔλεγον 言っていた G3004 πρὸς に–対して G4314 ἑαυτάς, 互いに G1438 Τίς 誰が G5101 ἀποκυλίσει 転がしてくれるか G0617 ἡμῖν 私たちに G1473 τὸν その G3588 λίθον 石を G3037 ἐκ から G1537

τῆς その G3588 θύρας 入り口の G2374 τοῦ –の G3588 μνημείου? 墓 G3419

そして、彼らは「だれが、わたしたちのために、墓の入口から石をころがしてくれるのでしょうか」と話し合っていた。

4 καὶ そして G2532 ἀναβλέψασαι 見上げると G0308 θεωροῦσιν 見た G2334 ὅτι ことを G3754 ἀποκεκύλισται 転がされていた G0617 ὁ その G3588 λίθος; 石が G3037 ἦν であった G1510 γὰρ なぜなら G1063

μέγας 大きかった G3173 σφόδρα. 非常に G4970

ところが、目をあげて見ると、石はすでにころがしてあった。この石は非常に大きかった。

5 καὶ そして G2532 εἰσελθοῦσαι 入って G1525 εἰς に G1519 τὸ その G3588 μνημεῖον, 墓に G3419 εἶδον 見た G3708 νεανίσκον 若者が G3495 καθήμενον 座っているのを G2521 ἐν に–おいて G1722

τοῖς その G3588 δεξιοῖς, 右側に G1188 περιβεβλημένον まとった G4016 στολὴν 衣を G4749 λευκήν, 白い G3022 καὶ そして G2532 ἐξεθαμβήθησαν. 驚いた G1568

墓の中にはいると、右手に真白な長い衣を着た若者がすわっているのを見て、非常に驚いた。

6 ὁ – G3588 δὲ そして G1161 λέγει 言った G3004 αὐταῖς, 彼女たちに G0846 Μὴ 驚くな G3361 ἐκθαμβεῖσθε. 驚くな G1568 Ἰησοῦν イエスを G2424 ζητεῖτε, 捜している G2212 τὸν その G3588

Ναζαρηνὸν, ナザレの–方 G3479 τὸν その G3588 ἐσταυρωμένον. 十字架につけられた–方を G4717 ἠγέρθη! よみがえられた G1453 οὐκ ここには G3756 ἔστιν おられない G1510 ὧδε; ここに G5602 ἴδε 見よ G3708

ὁ – G3588 τόπος 場所は G5117 ὅπου –に G3699 ἔθηκαν 置いた G5087 αὐτόν. 彼を G0846

するとこの若者は言った、「驚くことはない。あなたがたは十字架につけられたナザレ人イエスを捜しているのであろうが、イエスはよみがえって、ここにはおられない。ごらんなさい、ここがお納めした場所である。

7 ἀλλὰ ὑπάγετε, εἴπατε τοῖς μαθηταῖς αὐτοῦ, καὶ τῷ Πέτρῳ, ὅτι
しかし 行って 伝えよ - 弟子たちに 彼の と -に ペテロ ことを
G0235 G5217 G3004 G3588 G3101 G0846 G2532 G3588 G4074 G3754

Προάγει ὑμᾶς εἰς τὴν Γαλιλαίαν; ἐκεῖ αὐτὸν ὄψεσθε, καθὼς
先に行かれる あなたがたを へ - ガリラヤ そこで 彼に 会える の-通りに
G4254 G4771 G1519 G3588 G1056 G1563 G0846 G3708 G2531

εἶπεν ὑμῖν.
言われた あなたがたに
G3004 G4771

今から弟子たちとペテロとの所へ行って、こう伝えなさい。イエスはあなたがたより先にガリラヤへ行かれる。かねて、あなたがたに言われたとおり、そこでお会いできるであろう、と」。

8 καὶ ἐξελθοῦσαι, ἔφυγον ἀπὸ τοῦ μνημείου. εἶχεν γὰρ αὐτὰς
そして 出て行って 逃げた から その 墓 持っていた なぜなら 彼女たちを
G2532 G1831 G5343 G0575 G3588 G3419 G2192 G1063 G0846

τρόμος καὶ ἔκστασις, καὶ οὐδενὶ οὐδὲν εἶπαν; ἐφοβοῦντο γάρ.
戦きが と 驚きが そして 誰にも 何も 言わなかった 恐れていた なぜなら
G5156 G2532 G1611 G2532 G3762 G3762 G3004 G5399 G1063

女たちはおののき恐れながら、墓から出て逃げ去った。そして、人には何も言わなかった。恐ろしかったからである。〔

9 «Ἀναστὰς δὲ πρωῒ πρώτῃ σαββάτου, ἐφάνη πρῶτον Μαρίᾳ τῇ
よみがえって そして 早く 第一の 週の-日に 現れた 最初に マリヤに -
G0450 G1161 G4404 G4413 G4521 G5316 G4412 G3137 G3588

Μαγδαληνῇ, παρ' ἧς ἐκβεβλήκει ἑπτὰ δαιμόνια.
マグダラの から - 追い-出していた 七つの 悪霊を
G3094 G3844 G3739 G1544 G2033 G1140

週の初めの日の朝早く、イエスはよみがえって、まずマグダラのマリヤに御自身をあらわされた。イエスは以前に、この女から七つの悪霊を追い出されたことがある。

10 ἐκείνη πορευθεῖσα, ἀπήγγειλεν τοῖς μετ' αὐτοῦ γενομένοις, πενθοῦσι
彼女は 行って 知らせた - と-共にいた 彼の 者たちに 悲しんでいる
G1565 G4198 G0518 G3588 G3326 G0846 G1096 G3996

καὶ κλαίουσιν.
そして 泣いている
G2532 G2799

マリヤは、イエスと一緒にいた人々が泣き悲しんでいる所に行って、それを知らせた。

11 κἀκεῖνοι, ἀκούσαντες ὅτι ζῇ καὶ ἐθεάθη ὑπ' αὐτῆς,
しかし-彼らは 聞いて ことを 生きていると そして 見られたと に-よって 彼女
G2548 G0191 G3754 G2198 G2532 G2300 G5259 G0846

ἠπίστησαν.
信じなかった
G0569

彼らは、イエスが生きておられる事と、彼女に御自身をあらわされた事とを聞いたが、信じなかった。

12 Μετὰ δὲ ταῦτα, δυσὶν ἐξ αὐτῶν περιπατοῦσιν, ἐφανερώθη
の–後 そして これらの–ことの 二人の から 彼らの–中の 歩いている 現れた
G3326 G1161 G3778 G1417 G1537 G0846 G4043 G5319

ἐν ἑτέρᾳ μορφῇ, πορευομένοις εἰς ἀγρόν;
に–おいて 異なる 姿で 行っている へ 田舎
G1722 G2087 G3444 G4198 G1519 G0068

この後、そのうちのふたりが、いなかの方へ歩いていると、イエスはちがった姿で御自身をあらわされた。

13 κἀκεῖνοι, ἀπελθόντες, ἀπήγγειλαν τοῖς λοιποῖς; οὐδὲ ἐκείνοις
しかし–彼らも 行って 知らせた – 残りの–者たちに も–また 彼らを
G2548 G0565 G0518 G3588 G3062 G3761 G1565

ἐπίστευσαν.
信じなかった
G4100

このふたりも、ほかの人々の所に行って話したが、彼らはその話を信じなかった。

14 Ὕστερον δὲ ἀνακειμένοις αὐτοῖς, τοῖς ἕνδεκα ἐφανερώθη, καὶ
後に そして 食卓に–ついている 彼らに – 十一人の 現れた そして
G5305 G1161 G0345 G0846 G3588 G1733 G5319 G2532

ὠνείδισεν τὴν ἀπιστίαν αὐτῶν καὶ σκληροκαρδίαν-- ὅτι τοῖς θεασαμένους
責めた その 不信仰を 彼らの と かたくなな–心を ことを – 見た–者たちに
G3679 G3588 G0570 G0846 G2532 G4641 G3754 G3588 G2300

αὐτὸν ἐγηγερμένον (ἐκ νεκρῶν), οὐκ ἐπίστευσαν.
彼を よみがえられた から 死者の–中 –を 信じなかった
G0846 G1453 G1537 G3498 G3756 G4100

その後、イエスは十一弟子が食卓についているところに現れ、彼らの不信仰と、心のかたくななことをお責めになった。彼らは、よみがえられたイエスを見た人々の言うことを、信じなかったからである。

15 καὶ εἶπεν αὐτοῖς, Πορευθέντες εἰς τὸν κόσμον ἅπαντα, κηρύξατε τὸ
そして 言われた 彼らに 行って へ その 世界に すべての 宣べ–伝えよ その
G2532 G3004 G0846 G4198 G1519 G3588 G2889 G0537 G2784 G3588

εὐαγγέλιον πάσῃ τῇ κτίσει.
福音を すべての その 被造物に
G2098 G3956 G3588 G2937

そして彼らに言われた、「全世界に出て行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えよ。

16 ὁ πιστεύσας, καὶ βαπτισθεὶς, σωθήσεται, ὁ δὲ ἀπιστήσας
– 信じて そして バプテスマを–受けた者は 救われる – しかし 信じない–者は
G3588 G4100 G2532 G0907 G4982 G3588 G1161 G0569

κατακριθήσεται.
裁かれる
G2632

信じてバプテスマを受ける者は救われる。しかし、不信仰の者は罪に定められる。

17 σημεῖα δὲ τοῖς πιστεύσασιν ταῦτα; παρακολουθήσει ἐν τῷ
しるしは そして – 信じた–者たちに これらが 伴う に–おいて その
G4592 G1161 G3588 G4100 G3778 G5023 G1722 G3588

ὀνόματί μου δαιμόνια ἐκβαλοῦσιν; γλώσσαις λαλήσουσιν καιναῖς;
名 わたしの 悪霊を 追い–出す 異言で 語る 新しい
G3686 G1473 G1140 G1544 G1100 G2980 G2537

信じる者には、このようなしるしが伴う。すなわち、彼らはわたしの名で悪霊を追い出し、新しい言葉を語り、

18 [και ἐν ταῖς χερσὶν] ὄφεις ἀροῦσιν; κἂν θανάσιμόν τι πίωσιν,
そして に–おいて – 手で 蛇を つかむ たとえ 死を–もたらす 何か 飲んでも
G2532 G1722 G3588 G5495 G3789 G0142 G2579 G2286 G5100 G4095

οὐ μὴ αὐτοὺς βλάψῃ; ἐπὶ ἀρρώστους, χεῖρας ἐπιθήσουσιν, καὶ καλῶς
決して 決して 彼らを 害さない の–上に 病人に 手を 置く そして 良く
G3756 G3361 G0846 G0984 G1909 G0732 G5495 G2007 G2532 G2573

ἕξουσιν.
なる
G2192

へびをつかむであろう。また、毒を飲んでも、決して害を受けない。病人に手をおけば、いやされる」。

19 Ὁ μὲν οὖν Κύριος Ἰησοῦς, μετὰ τὸ λαλῆσαι αὐτοῖς,
– 一方では それゆえ 主 イエスは の–後 その 語り–終えて 彼らに
G3588 G3303 G3767 G2962 G2424 G3326 G3588 G2980 G0846

ἀνελήμφθη εἰς τὸν οὐρανὸν, καὶ ἐκάθισεν ἐκ δεξιῶν τοῦ Θεοῦ.
引き–上げられた へ その 天 そして 座られた から 右の –の 神
G0353 G1519 G3588 G3772 G2532 G2523 G1537 G1188 G3588 G2316

主イエスは彼らに語り終ってから、天にあげられ、神の右にすわられた。

20 ἐκεῖνοι δὲ ἐξελθόντες, ἐκήρυξαν πανταχοῦ, τοῦ Κυρίου συνεργοῦντος, καὶ
彼らは そして 出て行って 宣べ–伝えた 至る所で –の 主が 共に–働き そして
G1565 G1161 G1831 G2784 G3837 G3588 G2962 G4903 G2532

τὸν λόγον βεβαιοῦντος διὰ τῶν ἐπακολουθούντων σημείων»□. «[πάντα δὲ
その 言葉を 確かに–して に–よって – 伴う しるしの すべての そして
G3588 G3056 G0950 G1223 G3588 G1872 G4592 G3956 G1161

τὰ παρηγγελμένα τοῖς περὶ τὸν Πέτρον συντόμως ἐξήγγειλαν, μετὰ
– 命じられたことを – に–ついての その ペテロに 簡潔に 告げ–知らせた の–後
G3588 G3853 G3588 G4012 G3588 G4074 G4935 G1804 G3326

δὲ ταῦτα. καὶ αὐτὸς ὁ Ἰησοῦς ἀπὸ, ἀνατολῆς καὶ ἄχρι
そして これらの–ことの そして 彼–自身 – イエスは から 東の と まで
G1161 G3778 G2532 G0846 G3588 G2424 G0575 G0395 G2532 G0891

δύσεως, ἐξαπέστειλεν δι’ αὐτῶν, τὸ ἱερὸν καὶ ἄφθαρτον κήρυγμα τῆς
西の 遣わした に–よって 彼ら その 聖なる そして 朝ちない 宣教を –の
G1424 G1821 G1223 G0846 G3588 G2413 G2532 G0862 G2782 G3588

αἰωνίου σωτηρίας. ἀμήν]».
永遠の 救い アーメン
G0166 G4991 G0281

弟子たちは出て行って、至る所で福音を宣べ伝えた。主も彼らと共に働き、御言に伴うしるしをもって、その確かなことをお示しになった。〕

Luke

Chapter 1

1 Ἐπειδήπερ πολλοὶ ἐπεχείρησαν ἀνατάξασθαι διήγησιν, περὶ τῶν
それゆえに 多くの–者が 試みた 記述–する–ことを 物語を について その
G1895 G4183 G2021 G0392 G1335 G4012 G3588

πεπληροφορημένων ἐν ἡμῖν πραγμάτων,
成就–された の–中で 私たちの 出来事を
G4135 G1722 G1473 G4229

わたしたちの間に成就された出来事を、最初から親しく見た人々であって、

2 καθὼς παρέδοσαν ἡμῖν, οἱ ἀπ’ ἀρχῆς, αὐτόπται καὶ
ちょうど 伝えた 私たちに その 初めから–の 始まりから 目撃者であり そして
G2531 G3860 G1473 G3588 G0575 G0746 G0845 G2532

ὑπηρέται γενόμενοι τοῦ λόγου,
奉仕者と なった–者たちが その 御言葉の
G5257 G1096 G3588 G3056

御言に仕えた人々が伝えたとおり物語に書き連ねようと、多くの人が手を着けましたが、

3 ἔδοξε κἀμοὶ, παρηκολουθηκότι ἄνωθεν πᾶσιν, ἀκριβῶς, καθεξῆς
良い–と–思えた 私にも 調べ–尽くした–者として 初め–から すべてを 正確に 順序–正しく
G1380 G2504 G3877 G0509 G3956 G0199 G2517

σοι γράψαι, κράτιστε Θεόφιλε,
あなたに 書くことが 尊い テオフィロスよ
G4771 G1125 G2903 G2321

テオピロ閣下よ、わたしもすべての事を初めから詳しく調べていますので、ここに、それを順序正しく書きつづって、閣下に献じることにしました。

4 ἵνα ἐπιγνῷς, περὶ ὧν κατηχήθης, λόγων, τὴν ἀσφάλειαν.
あなたが 確かに–知る–ため について それらの 教えられた 言葉の その 確実さを
G2443 G1921 G4012 G3739 G2727 G3056 G3588 G0803

すでにお聞きになっている事が確実であることを、これによって十分に知っていただきたいためであります。

5 Ἐγένετο ἐν ταῖς ἡμέραις Ἡρῴδου βασιλέως τῆς Ἰουδαίας ἱερεύς τις,
起こった の–時に その 日々に ヘロデ–の 王の その ユダヤの 祭司が ある
G1096 G1722 G3588 G2250 G2264 G0935 G3588 G2449 G2409 G5100

ὀνόματι Ζαχαρίας, ἐξ ἐφημερίας Ἀβιά, καὶ γυνὴ αὐτῷ ἐκ τῶν
名は ザカリアスという から–の 組の アビアの そして 妻が 彼には の–中の その
G3686 G2197 G1537 G2183 G0007 G2532 G1135 G0846 G1537 G3588

θυγατέρων Ἀαρών, καὶ τὸ ὄνομα αὐτῆς Ἐλισάβετ.
娘たちの アアロンの そして その 名は 彼女の エリサベツ
G2364 G0002 G2532 G3588 G3686 G0846 G1665

ユダヤの王ヘロデの世に、アビヤの組の祭司で名をザカリヤという者がいた。その妻はアロン家の娘のひとりで、名をエリサベツといった。

6

ἦσαν	δὲ	δίκαιοι	ἀμφότεροι	ἐναντίον	τοῦ	Θεοῦ,	πορευόμενοι	ἐν	πάσαις
であった	さて	正しく	二人-とも	の-前に	その	神の	歩んで	おり	すべての
G1510	G1161	G1342	G0297	G1726	G3588	G2316	G4198	G1722	G3956

ταῖς	ἐντολαῖς	καὶ	δικαιώμασιν	τοῦ	Κυρίου	ἄμεμπτοι.
その	戒めと	そして	定めに	その	主の	非の-打ち-どころ-なく
G3588	G1785	G2532	G1345	G3588	G2962	G0273

ふたりとも神のみまえに正しい人であって、主の戒めと定めとを、みな落度なく行っていた。

7

καὶ	οὐκ	ἦν	αὐτοῖς	τέκνον,	καθότι	ἦν	ἡ	Ἐλισάβετ	στεῖρα,
そして	なかった	いた	彼らには	子が	なぜなら	であった	その	エリサベツは	不妊-で
G2532	G3756	G1510	G0846	G5043	G2530	G1510	G3588	G1665	G4723

καὶ	ἀμφότεροι	προβεβηκότες	ἐν	ταῖς	ἡμέραις	αὐτῶν	ἦσαν.
そして	二人-とも	年-老いて-いた	の-中で	その	日々の	彼らの	いた
G2532	G0297	G4260	G1722	G3588	G2250	G0846	G1510

ところが、エリサベツは不妊の女であったため、彼らには子がなく、そしてふたりともすでに年老いていた。

8

Ἐγένετο	δὲ	ἐν	τῷ	ἱερατεύειν	αὐτὸν,	ἐν	τῇ	τάξει	τῆς
起こった	さて	の-時に	その	祭司-の-務め-を-する	彼が	おり	その	順番で	その
G1096	G1161	G1722	G3588	G2407	G0846	G1722	G3588	G5010	G3588

ἐφημερίας	αὐτοῦ	ἔναντι	τοῦ	Θεοῦ,
組の	彼の	の-前で	その	神の
G2183	G0846	G1725	G3588	G2316

さてザカリヤは、その組が当番になり神のみまえに祭司の務をしていたとき、

9

κατὰ	τὸ	ἔθος	τῆς	ἱερατείας,	ἔλαχε	τοῦ	θυμιᾶσαι,	εἰσελθὼν
に-従って	その	慣例に	その	祭司-職の	くじ-に-当たった	ことの	香を-たく	入って
G2596	G3588	G1485	G3588	G2405	G2975	G3588	G2370	G1525

εἰς	τὸν	ναὸν	τοῦ	Κυρίου.
へ	その	神殿に	その	主の
G1519	G3588	G3485	G3588	G2962

祭司職の慣例に従ってくじを引いたところ、主の聖所にはいって香をたくことになった。

10

καὶ	πᾶν	τὸ	πλῆθος	ἦν	τοῦ	λαοῦ	προσευχόμενον	ἔξω	τῇ	ὥρᾳ
そして	すべての	その	群衆は	いた	その	民の	祈って	外で	その	時間に
G2532	G3956	G3588	G4128	G1510	G3588	G2992	G4336	G1854	G3588	G5610

τοῦ	θυμιάματος.
その	香の
G3588	G2368

香をたいている間、多くの民衆はみな外で祈っていた。

11

ὤφθη	δὲ	αὐτῷ	ἄγγελος	Κυρίου,	ἑστὼς	ἐκ	δεξιῶν	τοῦ	θυσιαστηρίου
現れた	すると	彼に	御使いが	主の	立って-いた	の	右に	その	祭壇の
G3708	G1161	G0846	G0032	G2962	G2476	G1537	G1188	G3588	G2379

τοῦ	θυμιάματος.
その	香の
G3588	G2368

すると主の御使が現れて、香壇の右に立った。

12 καὶ ἐταράχθη Ζαχαρίας ἰδών, καὶ φόβος ἐπέπεσεν ἐπ' αὐτόν.
そして 動揺した ザカリアスは 見て そして 恐れが 襲った の-上に 彼を
G2532 G5015 G2197 G3708 G2532 G5401 G1968 G1909 G0846

ザカリヤはこれを見て、おじ惑い、恐怖の念に襲われた。

13 εἶπεν δὲ πρὸς αὐτὸν ὁ ἄγγελος, Μὴ φοβοῦ, Ζαχαρία, διότι εἰσηκούσθη ἡ δέησίς σου, καὶ ἡ γυνή σου Ἐλισάβετ γεννήσει υἱόν σοι, καὶ καλέσεις τὸ ὄνομα αὐτοῦ Ἰωάννην.
言った そして に 彼に その 御使いは 恐れる-な 恐れるな ザカリアスよ なぜなら 聞き-入れ-られた その 願いは あなたの そして その 妻 あなたの エリサベツは 産む-だろう 息子を あなたに そして 名づけなさい その 名を 彼の ヨハネスと
G3004 G1161 G4314 G0846 G3588 G0032 G3361 G5399 G2197 G1360 G1522 G3588 G1162 G4771 G2532 G3588 G1135 G4771 G1665 G1080 G5207 G4771 G2532 G2564 G3588 G3686 G0846 G2491

そこで御使が彼に言った、「恐れるな、ザカリヤよ、あなたの祈が聞きいれられたのだ。あなたの妻エリサベツは男の子を産むであろう。その子をヨハネと名づけなさい。

14 καὶ ἔσται χαρά σοι καὶ ἀγαλλίασις, καὶ πολλοὶ ἐπὶ τῇ γενέσει αὐτοῦ χαρήσονται;
そして なる-だろう 喜びが あなたに そして 大きな-喜びが そして 多くの-者が に その 誕生を 彼の 喜ぶ-だろう
G2532 G1510 G5479 G4771 G2532 G0020 G2532 G4183 G1909 G3588 G1078 G0846 G5463

彼はあなたに喜びと楽しみとをもたらし、多くの人々もその誕生を喜ぶであろう。

15 ἔσται γὰρ μέγας ἐνώπιον ‹τοῦ› Κυρίου; καὶ οἶνον καὶ σίκερα οὐ μὴ πίῃ, καὶ Πνεύματος Ἁγίου πλησθήσεται ἔτι ἐκ κοιλίας μητρὸς αὐτοῦ.
なる-だろう なぜなら 偉大な-者に の-前に その 主の そして ぶどう-酒を また 強い-酒を 決して 決して 飲まない そして 聖霊に 聖なる 満たされる すでに から 母の-胎の 母の 彼の
G1510 G1063 G3173 G1799 G3588 G2962 G2532 G3631 G2532 G4608 G3756 G3361 G4095 G2532 G4151 G0040 G4130 G2089 G1537 G2836 G3384 G0846

彼は主のみまえに大いなる者となり、ぶどう酒や強い酒をいっさい飲まず、母の胎内にいる時からすでに聖霊に満たされており、

16 καὶ πολλοὺς τῶν υἱῶν Ἰσραὴλ ἐπιστρέψει ἐπὶ Κύριον, τὸν Θεὸν αὐτῶν.
そして 多くの その 子らを イスラエルの 立ち-返らせる へ 主に その 神に 彼らの
G2532 G4183 G3588 G5207 G2474 G1994 G1909 G2962 G3588 G2316 G0846

そして、イスラエルの多くの子らを、主なる彼らの神に立ち帰らせるであろう。

17 καὶ そして G2532 | αὐτὸς 彼は G0846 | προελεύσεται 先に-行く G4281 | ἐνώπιον の-前を G1799 | αὐτοῦ 彼の G0846 | ἐν おいて G1722 | πνεύματι 霊と G4151 | καὶ そして G2532 | δυνάμει 力で G1411
Ἠλίου, エリヤの G2243 | ἐπιστρέψαι 向けさせ G1994 | καρδίας 心を G2588 | πατέρων 父たちの G3962 | ἐπὶ へ G1909 | τέκνα, 子らに G5043 | καὶ また G2532 | ἀπειθεῖς 不従順-な-者を G0545 | ἐν の-中の G1722
φρονήσει 思慮に G5428 | δικαίων, 正しい-者の G1342 | ἑτοιμάσαι 備える-ために G2090 | Κυρίῳ 主の-ために G2962 | λαὸν 民を G2992 | κατεσκευασμένον. 整えられた G2680

彼はエリヤの霊と力とをもって、みまえに先立って行き、父の心を子に向けさせ、逆らう者に義人の思いを持たせて、整えられた民を主に備えるであろう」。

18 καὶ すると G2532 | εἶπεν 言った G3004 | Ζαχαρίας ザカリアスは G2197 | πρὸς に G4314 | τὸν その G3588 | ἄγγελον, 御使いに G0032 | Κατὰ 何-によって G2596 | τί 何を G5101 | γνώσομαι 知る-だろうか G1097
τοῦτο? このことを G3778 | ἐγὼ 私は G1473 | γάρ なぜなら G1063 | εἰμι である G1510 | πρεσβύτης, 老人-で G4246 | καὶ また G2532 | ἡ その G3588 | γυνή 妻も G1135 | μου 私の G1473 | προβεβηκυῖα 年-を-重ねて-いる G4260
ἐν において G1722 | ταῖς その G3588 | ἡμέραις 日々の G2250 | αὐτῆς. 彼女の G0846

するとザカリヤは御使に言った、「どうしてそんな事が、わたしにわかるでしょうか。わたしは老人ですし、妻も年をとっています」。

19 καὶ すると G2532 | ἀποκριθεὶς, 答えて G0611 | ὁ その G3588 | ἄγγελος 御使いは G0032 | εἶπεν 言った G3004 | αὐτῷ, 彼に G0846 | Ἐγώ 私は G1473 | εἰμι である G1510 | Γαβριὴλ, ガブリエルで G1043 | ὁ その G3588
παρεστηκὼς 立っている-者 G3936 | ἐνώπιον の-前に G1799 | τοῦ その G3588 | Θεοῦ, 神の G2316 | καὶ そして G2532 | ἀπεστάλην 遣わされた G0649 | λαλῆσαι 語る-ために G2980 | πρὸς に G4314 | σὲ, あなたに G4771 | καὶ そして G2532
εὐαγγελίσασθαί 良い-知らせ-を-伝える-ために G2097 | σοι あなたに G4771 | ταῦτα. これらのことを G3778

御使が答えて言った、「わたしは神のみまえに立つガブリエルであって、この喜ばしい知らせをあなたに語り伝えるために、つかわされたものである。

20 καὶ そして G2532 | ἰδοὺ, 見よ G3708 | ἔσῃ なる-だろう G1510 | σιωπῶν, 黙って-いる-者に G4623 | καὶ そして G2532 | μὴ できない G3361 | δυνάμενος ことが G1410 | λαλῆσαι 話す G2980 | ἄχρι まで G0891
ἧς その G3739 | ἡμέρας 日が G2250 | γένηται 起こる G1096 | ταῦτα, これらのことが G3778 | ἀνθ’ の-代わりに G0473 | ὧν その G3739 | οὐκ なかった G3756 | ἐπίστευσας 信じ G4100 | τοῖς その G3588
λόγοις 言葉を G3056 | μου, 私の G1473 | οἵτινες それらは G3748 | πληρωθήσονται 成就する G4137 | εἰς に G1519 | τὸν その G3588 | καιρὸν 時に G2540 | αὐτῶν. それらの G0846

時が来れば成就するわたしの言葉を信じなかったから、あなたはおしになり、この事の起る日まで、ものが言えなくなる」。

21 καὶ そして G2532 | ἦν いた G1510 | ὁ その G3588 | λαὸς 民は G2992 | προσδοκῶν 待って-いた G4328 | τὸν その G3588 | Ζαχαρίαν, ザカリアスを G2197 | καὶ そして G2532 | ἐθαύμαζον 不思議に-思った G2296 | ἐν が G1722
τῷ その G3588 | χρονίζειν 遅れている-ことを G5549 | ἐν の-中で G1722 | τῷ その G3588 | ναῷ 神殿に G3485 | αὐτόν. 彼が G0846

民衆はザカリヤを待っていたので、彼が聖所内で暇どっているのを不思議に思っていた。

22 ἐξελθὼν 出て-来た-が G1831 | δὲ, しかし G1161 | οὐκ できなかった G3756 | ἐδύνατο ことが G1410 | λαλῆσαι 話す G2980 | αὐτοῖς, 彼らに G0846 | καὶ そして G2532 | ἐπέγνωσαν 悟った G1921 | ὅτι ことを G3754
ὀπτασίαν 幻を G3701 | ἑώρακεν 見た G3708 | ἐν の-中で G1722 | τῷ その G3588 | ναῷ. 神殿で G3485 | καὶ そして G2532 | αὐτὸς 彼は G0846 | ἦν いた G1510 | διανεύων 身振り-し G1269 | αὐτοῖς, 彼らに G0846 | καὶ そして G2532
διέμενεν なお-も G1265 | κωφός. 口が-きけなかった G2974

ついに彼は出てきたが、物が言えなかったので、人々は彼が聖所内でまぼろしを見たのだと悟った。彼は彼らに合図をするだけで、引きつづき、おしのままでいた。

23 καὶ そして G2532 | ἐγένετο, 起こった G1096 | ὡς とき G5613 | ἐπλήσθησαν 満ちた G4130 | αἱ その G3588 | ἡμέραι 日々が G2250 | τῆς その G3588 | λειτουργίας 務めの G3009 | αὐτοῦ, 彼の G0846 | ἀπῆλθεν 去った G0565
εἰς へ G1519 | τὸν その G3588 | οἶκον 家に G3624 | αὐτοῦ. 彼の G0846

それから務の期日が終ったので、家に帰った。

24 Μετὰ その-後 G3326 | δὲ さて G1161 | ταύτας これらの G3778 | τὰς その G3588 | ἡμέρας 日々の G2250 | συνέλαβεν 身ごもった G4815 | Ἐλισάβετ エリサベツは G1665 | ἡ その G3588 | γυνὴ 妻は G1135 | αὐτοῦ, 彼の G0846
καὶ そして G2532 | περιέκρυβεν 身を-隠した G4032 | ἑαυτὴν 自分-自身を G1438 | μῆνας 月 G3376 | πέντε, 五か月 G4002 | λέγουσα, 言って G3004

そののち、妻エリサベツはみごもり、五か月のあいだ引きこもっていたが、

25 ὅτι こう G3754 | Οὕτως このように G3779 | μοι 私に G1473 | πεποίηκεν なさった G4160 | Κύριος, 主は G2962 | ἐν の-うちに G1722 | ἡμέραις 日々に G2250 | αἷς ことを G3739 | ἐπεῖδεν, 顧みて G1896
ἀφελεῖν 取り-去る-ため G0851 | ὄνειδός 恥辱を G3681 | μου 私の G1473 | ἐν の-間で G1722 | ἀνθρώποις. 人々の G0444

「主は、今わたしを心にかけてくださって、人々の間からわたしの恥を取り除くために、こうしてくださいました」と言った。

26 Ἐν さて G1722 | δὲ また G1161 | τῷ その G3588 | μηνὶ 月の G3376 | τῷ その G3588 | ἕκτῳ, 六か月-目に G1623 | ἀπεστάλη 遣わされた G0649 | ὁ その G3588 | ἄγγελος 御使い G0032 | Γαβριὴλ ガブリエルが G1043 | ἀπὸ から G0575
τοῦ その G3588 | Θεοῦ 神から G2316 | εἰς へ G1519 | πόλιν 町に G4172 | τῆς その G3588 | Γαλιλαίας, ガリラヤの G1056 | ᾗ その G3739 | ὄνομα 名は G3686 | Ναζαρὲθ, ナザレツという G3478

六か月目に、御使ガブリエルが、神からつかわされて、ナザレというガリラヤの町の一処女のもとにきた。

27 πρὸς παρθένον ἐμνηστευμένην ἀνδρὶ, ᾧ ὄνομα Ἰωσὴφ, ἐξ οἴκου
へ おとめの-もとに いいなづけの 男に その 名は ヨセフという の-出の 家の
G4314 G3933 G3423 G0435 G3739 G3686 G2501 G1537 G3624

Δαυὶδ; καὶ τὸ ὄνομα τῆς παρθένου Μαριάμ.
ダビデの そして その 名は その おとめの マリアム
G1138 G2532 G3588 G3686 G3588 G3933 G3137

この処女はダビデ家の出であるヨセフという人のいいなづけになっていて、名をマリヤといった。

28 καὶ εἰσελθὼν πρὸς αὐτὴν, εἶπεν, Χαῖρε, κεχαριτωμένη! ὁ Κύριος
そして 入って-来て の-もとに 彼女の 言った おめでとう 恵まれた-方よ その 主が
G2532 G1525 G4314 G0846 G3004 G5463 G5487 G3588 G2962

μετὰ σοῦ. <εὐλογημένη σὺ ἐν γυναιξίν>
と-ともに あなたと 祝福-された あなたは の-中で 女たちの
G3326 G4771 G2127 G4771 G1722 G1135

御使がマリヤのところにきて言った、「恵まれた女よ、おめでとう、主があなたと共におられます」。

29 ἡ δὲ ἐπὶ τῷ λόγῳ διεταράχθη, καὶ διελογίζετο ποταπὸς
その しかし に-ついて その 言葉に 心を-乱した そして 思い-巡らした どのような
G3588 G1161 G1909 G3588 G3056 G1298 G2532 G1260 G4217

εἴη ὁ ἀσπασμὸς οὗτος.
であるか この 挨拶は これは
G1510 G3588 G0783 G3778

この言葉にマリヤはひどく胸騒ぎがして、このあいさつはなんの事であろうかと、思いめぐらしていた。

30 καὶ εἶπεν ὁ ἄγγελος αὐτῇ, Μὴ φοβοῦ, Μαριάμ; εὗρες γὰρ
すると 言った その 御使いは 彼女に 恐れる-な 恐れるな マリアムよ 見出した のだから
G2532 G3004 G3588 G0032 G0846 G3361 G5399 G3137 G2147 G1063

χάριν παρὰ τῷ Θεῷ;
恵みを の-もとで その 神の
G5485 G3844 G3588 G2316

すると御使が言った、「恐れるな、マリヤよ、あなたは神から恵みをいただいているのです。

31 καὶ ἰδοὺ, συλλήμψῃ ἐν γαστρὶ, καὶ τέξῃ υἱόν, καὶ καλέσεις
そして 見よ 身ごもる の-中に 胎に そして 産む 息子を そして 名づけなさい
G2532 G3708 G4815 G1722 G1064 G2532 G5088 G5207 G2532 G2564

τὸ ὄνομα αὐτοῦ Ἰησοῦν.
その 名を 彼の イエスと
G3588 G3686 G0846 G2424

見よ、あなたはみごもって男の子を産むでしょう。その子をイエスと名づけなさい。

32 οὗτος ἔσται μέγας, καὶ Υἱὸς Ὑψίστου κληθήσεται; καὶ δώσει
この-方は なる 偉大-で そして 御子と いと-高き-方の 呼ばれる そして 与える
G3778 G1510 G3173 G2532 G5207 G5310 G2564 G2532 G1325

αὐτῷ Κύριος ὁ Θεὸς τὸν θρόνον Δαυὶδ, τοῦ πατρὸς αὐτοῦ;
彼に 主なる その 神は その 王座を ダビデの その 父の 彼の
G0846 G2962 G3588 G2316 G3588 G2362 G1138 G3588 G3962 G0846

彼は大いなる者となり、いと高き者の子と、となえられるでしょう。そして、主なる神は彼に父ダビデの王座をお与えになり、

33 καὶ そして G2532 | βασιλεύσει 支配する G0936 | ἐπὶ を–治め G1909 | τὸν その G3588 | οἶκον 家を G3624 | Ἰακὼβ, ヤコブの G2384 | εἰς 永遠に G1519 | τοὺς その G3588 | αἰῶνας; 限りなく G0165 | καὶ そして G2532 | τῆς その G3588

βασιλείας 王国に G0932 | αὐτοῦ, 彼の G0846 | οὐκ ない G3756 | ἔσται であろう G1510 | τέλος. 終わりは G5056

彼はとこしえにヤコブの家を支配し、その支配は限りなく続くでしょう」。

34 εἶπεν 言った G3004 | δὲ すると G1161 | Μαριὰμ マリアムは G3137 | πρὸς に G4314 | τὸν その G3588 | ἄγγελον, 御使いに G0032 | Πῶς どうして G4459 | ἔσται あり–えましょうか G1510 | τοῦτο, このことが G3778

ἐπεὶ のだから G1893 | ἄνδρα 男を G0435 | οὐ まだ G3756 | γινώσκω? 知りません G1097

そこでマリヤは御使に言った、「どうして、そんな事があり得ましょうか。わたしにはまだ夫がありませんのに」。

35 καὶ すると G2532 | ἀποκριθεὶς, 答えて G0611 | ὁ その G3588 | ἄγγελος 御使いは G0032 | εἶπεν 言った G3004 | αὐτῇ, 彼女に G0846 | Πνεῦμα 聖霊が G4151 | Ἅγιον 聖なる G0040 | ἐπελεύσεται 臨む G1904 | ἐπὶ の–上に G1909

σέ, あなたの G4771 | καὶ そして G2532 | δύναμις 力が G1411 | Ὑψίστου いと–高き–方の G5310 | ἐπισκιάσει 覆う G1982 | σοι; あなたを G4771 | διὸ それゆえ G1352 | καὶ また G2532 | τὸ その G3588

γεννώμενον 生まれる–者は G1080 | ἅγιον 聖なる–者 G0040 | κληθήσεται 呼ばれる G2564 | Υἱὸς 神の–御子と G5207 | Θεοῦ. 神の G2316

御使が答えて言った、「聖霊があなたに臨み、いと高き者の力があなたをおおうでしょう。それゆえに、生れ出る子は聖なるものであり、神の子と、となえられるでしょう。

36 καὶ そして G2532 | ἰδοὺ, 見よ G3708 | Ἐλισάβετ, エリサベツも G1665 | ἡ その G3588 | συγγενίς 親族の G4773 | σου, あなたの G4771 | καὶ もまた G2532 | αὐτὴ 彼女も G0846 | συνείληφεν 身ごもった G4815 | υἱὸν 息子を G5207

ἐν の–中に G1722 | γήρει 老齢の G1094 | αὐτῆς, 彼女の G0846 | καὶ そして G2532 | οὗτος これが G3778 | μὴν もう G3376 | ἕκτος 六か月–目 G1623 | ἐστὶν である G1510 | αὐτῇ 彼女にとって G0846 | τῇ その G3588

καλουμένῃ と–呼ばれる G2564 | στείρᾳ. 不妊の–女に G4723

あなたの親族エリサベツも老年ながら子を宿しています。不妊の女といわれていたのに、はや六か月になっています。

37 ὅτι なぜなら G3754 | οὐκ ない G3756 | ἀδυνατήσει 不可能–ではない G0101 | παρὰ に G3844 | τοῦ その G3588 | Θεοῦ 神には G2316 | πᾶν すべての G3956 | ῥῆμα. ことは G4487

神には、なんでもできないことはありません」。

38 εἶπεν 言った G3004 δὲ すると G1161 Μαριάμ, マリアムは G3137 Ἰδοὺ, ご覧ください G3708 ἡ その G3588 δούλη 女奴隷です G1399 Κυρίου; 主の G2962 γένοιτό なります-ように G1096 μοι 私に G1473
κατὰ に-従って G2596 τὸ その G3588 ῥῆμά お言葉の G4487 σου. あなたの G4771 καὶ そして G2532 ἀπῆλθεν 去った G0565 ἀπ' から G0575 αὐτῆς 彼女から G0846 ὁ その G3588 ἄγγελος. 御使いは G0032

そこでマリヤが言った、「わたしは主のはしためです。お言葉どおりこの身に成りますように」。そして御使は彼女から離れて行った。

39 Ἀναστᾶσα 立ち-上がって G0450 δὲ, そして G1161 Μαριὰμ マリアムは G3137 ἐν の-うちに G1722 ταῖς その G3588 ἡμέραις 日々の G2250 ταύταις, この G3778 ἐπορεύθη 旅立った G4198 εἰς へ G1519
τὴν その G3588 ὀρεινὴν 山地に G3714 μετὰ と-ともに G3326 σπουδῆς, 急いで G4710 εἰς へ G1519 πόλιν 町に G4172 Ἰούδα, ユダの G2448

そのころ、マリヤは立って、大急ぎで山里へむかいユダの町に行き、

40 καὶ そして G2532 εἰσῆλθεν 入った G1525 εἰς へ G1519 τὸν その G3588 οἶκον 家に G3624 Ζαχαρίου, ザカリアスの G2197 καὶ そして G2532 ἠσπάσατο 挨拶した G0782 τὴν その G3588 Ἐλισάβετ. エリサベツに G1665

ザカリヤの家にはいってエリサベツにあいさつした。

41 καὶ すると G2532 ἐγένετο, 起こった G1096 ὡς とき G5613 ἤκουσεν 聞いた G0191 τὸν その G3588 ἀσπασμὸν 挨拶を G0783 τῆς その G3588 Μαρίας マリアムの G3137 ἡ その G3588 Ἐλισάβετ, エリサベツが G1665
ἐσκίρτησεν 踊った G4640 τὸ その G3588 βρέφος 胎児が G1025 ἐν の-中で G1722 τῇ その G3588 κοιλίᾳ 胎の G2836 αὐτῆς; 彼女の G0846 καὶ そして G2532 ἐπλήσθη 満たされた G4130 Πνεύματος 聖霊に G4151
Ἁγίου 聖なる G0040 ἡ その G3588 Ἐλισάβετ, エリサベツは G1665

エリサベツがマリヤのあいさつを聞いたとき、その子が胎内でおどった。エリサベツは聖霊に満たされ、

42 καὶ そして G2532 ἀνεφώνησεν 声-を-上げた G0400 κραυγῇ 叫びの G2906 μεγάλῃ, 大きな G3173 καὶ そして G2532 εἶπεν, 言った G3004 Εὐλογημένη 祝福-された G2127 σὺ あなたは G4771 ἐν の-中で G1722
γυναιξίν, 女たちの G1135 καὶ そして G2532 εὐλογημένος 祝福-された G2127 ὁ その G3588 καρπὸς 実も G2590 τῆς その G3588 κοιλίας 胎の G2836 σου. あなたの G4771

声高く叫んで言った、「あなたは女の中で祝福されたかた、あなたの胎の実も祝福されています。

43 καὶ そして G2532 πόθεν どこから G4159 μοι 私に G1473 τοῦτο, このことが G3778 ἵνα 来る-のか G2443 ἔλθῃ 来る G2064 ἡ その G3588 μήτηρ 母が G3384 τοῦ その G3588 Κυρίου 主の G2962 μου 私の G1473
πρὸς の-もとへ G4314 ἐμέ? 私の G1473

主の母上がわたしのところにきてくださるとは、なんという光栄でしょう。

44 ἰδοὺ 見よ G3708 γὰρ, というのも G1063 ὡς ように G5613 ἐγένετο 起こった G1096 ἡ その G3588 φωνὴ 声が G5456 τοῦ その G3588 ἀσπασμοῦ 挨拶の G0783 σου あなたの G4771 εἰς に G1519 τὰ その G3588

ὦτά 耳に G3775 μου, 私の G1473 ἐσκίρτησεν 踊った G4640 ἐν の-中で G1722 ἀγαλλιάσει 喜びに G0020 τὸ その G3588 βρέφος 胎児は G1025 ἐν の-中で G1722 τῇ その G3588 κοιλίᾳ 胎の G2836 μου; 私の G1473

ごらんなさい。あなたのあいさつの声がわたしの耳にはいったとき、子供が胎内で喜びおどりました。

45 καὶ そして G2532 μακαρία 幸いな G3107 ἡ その G3588 πιστεύσασα, 信じた-方 G4100 ὅτι なぜなら G3754 ἔσται ある G1510 τελείωσις 成就が G5050 τοῖς その G3588 λελαλημένοις 語られた-ことの G2980

αὐτῇ 彼女に G0846 παρὰ の-もとから G3844 Κυρίου. 主からの G2962

主のお語りになったことが必ず成就すると信じた女は、なんとさいわいなことでしょう」。

46 Καὶ そして G2532 εἶπεν 言った G3004 Μαριάμ, マリアムは G3137 Μεγαλύνει ほめ-たたえる G3170 ἡ その G3588 ψυχή 魂は G5590 μου 私の G1473 τὸν その G3588 Κύριον, 主を G2962

するとマリヤは言った、「わたしの魂は主をあがめ、

47 καὶ そして G2532 ἠγαλλίασεν 喜んだ G0021 τὸ その G3588 πνεῦμά 霊は G4151 μου 私の G1473 ἐπὶ に-ついて G1909 τῷ その G3588 Θεῷ, 神を G2316 τῷ その G3588 Σωτῆρί 救い主を G4990 μου. 私の G1473

わたしの霊は救主なる神をたたえます。

48 ὅτι なぜなら G3754 ἐπέβλεψεν 顧みた G1914 ἐπὶ を G1909 τὴν その G3588 ταπείνωσιν 低い-身分を G5014 τῆς その G3588 δούλης 女奴隷の G1399 αὐτοῦ; ご自分の G0846 ἰδοὺ 見よ G3708 γὰρ, というのも G1063

ἀπὸ 今-から G0575 τοῦ その G3588 νῦν 後 G3568 μακαριοῦσίν 幸い-と-呼ぶ G3106 με 私を G1473 πᾶσαι すべての G3956 αἱ その G3588 γενεαί. 世代が G1074

この卑しい女をさえ、心にかけてくださいました。今からのち代々の人々は、わたしをさいわいな女と言うでしょう、

49 ὅτι なぜなら G3754 ἐποίησέν なさった G4160 μοι 私に G1473 μεγάλα 偉大な-ことを G3173 ὁ その G3588 δυνατός, 力-ある-方は G1415 καὶ そして G2532 ἅγιον 聖なる G0040 τὸ その G3588 ὄνομα 御名は G3686

αὐτοῦ. その方の G0846

力あるかたが、わたしに大きな事をしてくださったからです。そのみ名はきよく、

50 καὶ そして G2532 τὸ その G3588 ἔλεος あわれみは G1656 αὐτοῦ その方の G0846 εἰς へ G1519 γενεὰς 代々に G1074 καὶ そして G2532 γενεὰς, 限りなく G1074 τοῖς の-上に G3588 φοβουμένοις 畏れる-者の G5399

αὐτόν. その方を G0846

そのあわれみは、代々限りなく主をかしこみ恐れる者に及びます。

51 Ἐποίησεν 行った G4160 κράτος 力-ある-わざを G2904 ἐν で G1722 βραχίονι 御腕で G1023 αὐτοῦ, ご自分の G0846 διεσκόρπισεν 散らした G1287 ὑπερηφάνους 高慢な-者たちを G5244 διανοίᾳ 思いにおける G1271 καρδίας 心の G2588 αὐτῶν. 彼らの G0846

主はみ腕をもって力をふるい、心の思いのおごり高ぶる者を追い散らし、

52 καθεῖλεν 引き-下ろした G2507 δυνάστας 権力-者たちを G1413 ἀπὸ から G0575 θρόνων, 王座から G2362 καὶ そして G2532 ὕψωσεν 高く-上げた G5312 ταπεινούς. 低い-者たちを G5011

権力ある者を王座から引きおろし、卑しい者を引き上げ、

53 πεινῶντας 飢えた-者たちを G3983 ἐνέπλησεν 満たした G1705 ἀγαθῶν, 良い-もので G0018 καὶ そして G2532 πλουτοῦντας 富む-者たちを G4147 ἐξαπέστειλεν 送り-出した G1821 κενούς. 空手で G2756

飢えている者を良いもので飽かせ、富んでいる者を空腹のまま帰らせなさいます。

54 ἀντελάβετο 助けた G0482 Ἰσραὴλ イスラエルを G2474 παιδὸς しもべの G3816 αὐτοῦ, ご自分の G0846 μνησθῆναι 思い-起こして G3403 ἐλέους, あわれみを G1656

主は、あわれみをお忘れにならず、その僕イスラエルを助けてくださいました、

55 καθὼς ように G2531 ἐλάλησεν 語った G2980 πρὸς に G4314 τοὺς その G3588 πατέρας 先祖たちに G3962 ἡμῶν, 私たちの G1473 τῷ その G3588 Ἀβραὰμ アブラハムと G0011 καὶ そして G2532 τῷ その G3588 σπέρματι 子孫に G4690 αὐτοῦ, 彼の G0846 εἰς 永遠に G1519 τὸν その G3588 αἰῶνα. 限りなく G0165

わたしたちの父祖アブラハムとその子孫とをとこしえにあわれむと約束なさったとおりに」。

56 Ἔμεινεν とどまった G3306 δὲ そして G1161 Μαριὰμ マリアムは G3137 σὺν と-ともに G4862 αὐτῇ 彼女と G0846 ὡς 約 G5613 μῆνας 月 G3376 τρεῖς, 三か月 G5140 καὶ そして G2532 ὑπέστρεψεν 帰った G5290 εἰς へ G1519 τὸν その G3588 οἶκον 家に G3624 αὐτῆς. 自分の G0846

マリヤは、エリサベツのところに三か月ほど滞在してから、家に帰った。

57 Τῇ その G3588 δὲ さて G1161 Ἐλισάβετ エリサベツに G1665 ἐπλήσθη 満ちた G4130 ὁ その G3588 χρόνος, 時が G5550 τοῦ ことの G3588 τεκεῖν 産む G5088 αὐτήν, 彼女が G0846 καὶ そして G2532 ἐγέννησεν 産んだ G1080 υἱόν. 息子を G5207

さてエリサベツは月が満ちて、男の子を産んだ。

58 καὶ ἤκουσαν οἱ περίοικοι καὶ οἱ συγγενεῖς αὐτῆς, ὅτι
そして 聞いた その 近所の–人たちと そして その 親族は 彼女の ことを
G2532 G0191 G3588 G4040 G2532 G3588 G4773 G0846 G3754

ἐμεγάλυνεν Κύριος τὸ ἔλεος αὐτοῦ μετ’ αὐτῆς, καὶ συνέχαιρον
大きく–した 主が その あわれみを ご自分の と–ともに 彼女と そして 共に–喜んだ
G3170 G2962 G3588 G1656 G0846 G3326 G0846 G2532 G4796

αὐτῇ.
彼女と
G0846

近所の人々や親族は、主が大きなあわれみを彼女におかけになったことを聞いて、共どもに喜んだ。

59 Καὶ ἐγένετο ἐν τῇ ἡμέρᾳ τῇ ὀγδόῃ, ἦλθον περιτεμεῖν τὸ
そして 起こった の–時に その 八日–目に その 八日–目に 来た 割礼–する–ために その
G2532 G1096 G1722 G3588 G2250 G3588 G3590 G2064 G4059 G3588

παιδίον, καὶ ἐκάλουν αὐτὸ ἐπὶ τῷ ὀνόματι τοῦ πατρὸς
幼子を そして 名づけよう–と–した その子を に–ちなんで その 名に その 父の
G3813 G2532 G2564 G0846 G1909 G3588 G3686 G3588 G3962

αὐτοῦ, Ζαχαρίαν.
彼の ザカリアスと
G0846 G2197

八日目になったので、幼な子に割礼をするために人々がきて、父の名にちなんでザカリヤという名にしようとした。

60 καὶ ἀποκριθεῖσα, ἡ μήτηρ αὐτοῦ εἶπεν, Οὐχί ἀλλὰ; κληθήσεται
しかし 答えて その 母は 彼の 言った いいえ そうではなく 呼ばれる
G2532 G0611 G3588 G3384 G0846 G3004 G3780 G0235 G2564

Ἰωάννης.
ヨハネスと
G2491

ところが、母親は、「いいえ、ヨハネという名にしなくてはいけません」と言った。

61 καὶ εἶπαν πρὸς αὐτὴν, ὅτι Οὐδείς ἐστιν ἐκ τῆς συγγενείας
すると 言った に 彼女に ことを 誰も–いない いる の–中には その 親族の
G2532 G3004 G4314 G0846 G3754 G3762 G1510 G1537 G3588 G4772

σου, ὃς καλεῖται τῷ ὀνόματι τούτῳ.
あなたの その 呼ばれて–いる–者は その 名で この
G4771 G3739 G2564 G3588 G3686 G3778

人々は、「あなたの親族の中には、そういう名のついた者は、ひとりもいません」と彼女に言った。

62 ἐνένευον δὲ τῷ πατρὶ αὐτοῦ, τὸ τί ἂν θέλοι
身振り–で–示した すると その 父に 彼の 何と 何と かと 望むか
G1770 G1161 G3588 G3962 G0846 G3588 G5101 G0302 G2309

καλεῖσθαι αὐτό.
名づけられる–ことを その子を
G2564 G0846

そして父親に、どんな名にしたいのですかと、合図で尋ねた。

63 καὶ
すると
G2532
αἰτήσας
求めて
G0154
πινακίδιον,
書き板を
G4093
ἔγραψεν,
書いた
G1125
λέγων,
言って
G3004
Ἰωάννης
ヨハネスが
G2491
ἐστὶν
である
G1510
ὄνομα
名は
G3686
αὐτοῦ.
彼の
G0846
καὶ
すると
G2532
ἐθαύμασαν
驚いた
G2296
πάντες.
皆が
G3956

ザカリヤは書板を持ってこさせて、それに「その名はヨハネ」と書いたので、みんなの者は不思議に思った。

64 ἀνεῴχθη
開かれた
G0455
δὲ
すると
G1161
τὸ
その
G3588
στόμα
口が
G4750
αὐτοῦ
彼の
G0846
παραχρῆμα,
直ちに
G3916
καὶ
そして
G2532
ἡ
その
G3588
γλῶσσα
舌も
G1100
αὐτοῦ,
彼の
G0846
καὶ
そして
G2532
ἐλάλει,
語り-始めた
G2980
εὐλογῶν
ほめ-たたえて
G2127
τὸν
その
G3588
Θεόν.
神を
G2316

すると、立ちどころにザカリヤの口が開けて舌がゆるみ、語り出して神をほめたたえた。

65 Καὶ
そして
G2532
ἐγένετο
起こった
G1096
ἐπὶ
の-上に
G1909
πάντας
すべての
G3956
φόβος,
恐れが
G5401
τοὺς
その
G3588
περιοικοῦντας
周りに-住む-者たちに
G4039
αὐτούς;
彼らの
G0846
καὶ
そして
G2532
ἐν
の-中で
G1722
ὅλῃ
すべての
G3650
τῇ
その
G3588
ὀρεινῇ
山地の
G3714
τῆς
その
G3588
Ἰουδαίας
ユダヤの
G2449
διελαλεῖτο
語り-伝えられた
G1255
πάντα
すべての
G3956
τὰ,
その
G3588
ῥήματα
出来事は
G4487
ταῦτα.
これらの
G3778

近所の人々はみな恐れをいだき、またユダヤの山里の至るところに、これらの事がことごとく語り伝えられたので、

66 καὶ
そして
G2532
ἔθεντο
心に-留めた
G5087
πάντες
すべての
G3956
οἱ
その
G3588
ἀκούσαντες,
聞いた-者は
G0191
ἐν
の-中に
G1722
τῇ
その
G3588
καρδίᾳ
心の
G2588
αὐτῶν,
彼らの
G0846
λέγοντες,
言って
G3004
Τί
一体
G5101
ἄρα
何に
G0686
τὸ
この
G3588
παιδίον
子は
G3813
τοῦτο
この
G3778
ἔσται?
なる-のだろうか
G1510
καὶ
そして
G2532
γὰρ
まことに
G1063
χεὶρ
御手が
G5495
Κυρίου
主の
G2962
ἦν
あった
G1510
μετ'
と-ともに
G3326
αὐτοῦ.
彼と
G0846

聞く者たちは皆それを心に留めて、「この子は、いったい、どんな者になるだろう」と語り合った。主のみ手が彼と共にあった。

67 Καὶ
そして
G2532
Ζαχαρίας,
ザカリアスは
G2197
ὁ
その
G3588
πατὴρ
父は
G3962
αὐτοῦ,
彼の
G0846
ἐπλήσθη
満たされた
G4130
Πνεύματος
聖霊に
G4151
Ἁγίου,
聖なる
G0040
καὶ
そして
G2532
ἐπροφήτευσεν,
預言した
G4395
λέγων,
言って
G3004

父ザカリヤは聖霊に満たされ、預言して言った、

68 Εὐλογητὸς Κύριος ὁ Θεὸς τοῦ Ἰσραήλ, ὅτι ἐπεσκέψατο καὶ
ほむ–べき–かな 主 その 神は その イスラエルの なぜなら 訪れた そして
G2128 G2962 G3588 G2316 G3588 G2474 G3754 G1980 G2532

ἐποίησεν λύτρωσιν τῷ λαῷ αὐτοῦ,
行った 贖いを その 民の–ために ご自分の
G4160 G3085 G3588 G2992 G0846

「主なるイスラエルの神は、ほむべきかな。神はその民を顧みてこれをあがない、

69 καὶ ἤγειρεν κέρας σωτηρίας ἡμῖν, ἐν οἴκῳ Δαυὶδ παιδὸς αὐτοῦ;
そして 起こした 角を 救いの 私たちに の–中に 家に ダビデの しもべの ご自分の
G2532 G1453 G2768 G4991 G1473 G1722 G3624 G1138 G3816 G0846

わたしたちのために救の角を僕ダビデの家にお立てになった。

70 καθὼς ἐλάλησεν διὰ στόματος τῶν ἁγίων ἀπ’ αἰῶνος προφητῶν
ように 語った を–通して 口を その 聖なる 昔–からの 永遠の 預言者たちの
G2531 G2980 G1223 G4750 G3588 G0040 G0575 G0165 G4396

αὐτοῦ,
ご自分の
G0846

古くから、聖なる預言者たちの口によってお語りになったように、

71 σωτηρίαν ἐξ ἐχθρῶν ἡμῶν, καὶ ἐκ χειρὸς πάντων τῶν μισούντων
救いを からの 敵からの 私たちの そして からの 手からの すべての その 憎む–者たちの
G4991 G1537 G2190 G1473 G2532 G1537 G5495 G3956 G3588 G3404

ἡμᾶς;
私たちを
G1473

わたしたちを敵から、またすべてわたしたちを憎む者の手から、救い出すためである。

72 ποιῆσαι ἔλεος μετὰ τῶν πατέρων ἡμῶν, καὶ μνησθῆναι
行う–ために あわれみを と–ともに その 先祖たちに 私たちの そして 思い–起こす–ために
G4160 G1656 G3326 G3588 G3962 G1473 G2532 G3403

διαθήκης ἁγίας αὐτοῦ,
契約を 聖なる ご自分の
G1242 G0040 G0846

こうして、神はわたしたちの父祖たちにあわれみをかけ、その聖なる契約、

73 ὅρκον ὃν ὤμοσεν πρὸς Ἀβραὰμ, τὸν πατέρα ἡμῶν, τοῦ δοῦναι
誓いを その 誓った に アブラハムに その 父に 私たちの ことの 与える
G3727 G3739 G3660 G4314 G0011 G3588 G3962 G1473 G3588 G1325

ἡμῖν,
私たちに
G1473

すなわち、父祖アブラハムにお立てになった誓いをおぼえて、

74 ἀφόβως, ἐκ χειρὸς ἐχθρῶν ῥυσθέντας, λατρεύειν αὐτῷ,
恐れ–なく から 手から 敵の 救い–出されて 仕える–ことを その方に
G0870 G1537 G5495 G2190 G4506 G3000 G0846

わたしたちを敵の手から救い出し、

75 ἐν において G1722 | ὁσιότητι 聖さと G3742 | καὶ そして G2532 | δικαιοσύνῃ 義の–中で G1343 | ἐνώπιον の–前で G1799 | αὐτοῦ, その方の G0846 | πάσαις すべての G3956 | ταῖς その G3588 | ἡμέραις 日々を G2250

ἡμῶν. 私たちの G1473

生きている限り、きよく正しく、みまえに恐れなく仕えさせてくださるのである。

76 Καὶ そして G2532 | σὺ あなたは G4771 | δέ, また G1161 | παιδίον, 幼子よ G3813 | προφήτης 預言者と G4396 | Ὑψίστου いと–高き–方の G5310 | κληθήσῃ; 呼ばれる G2564 | προπορεύσῃ 先に–行く G4313

γὰρ のだから G1063 | ἐνώπιον の–前を G1799 | Κυρίου, 主の G2962 | ἑτοιμάσαι 備える–ために G2090 | ὁδοὺς 道を G3598 | αὐτοῦ; その方の G0846

幼な子よ、あなたは、いと高き者の預言者と呼ばれるであろう。主のみまえに先立って行き、その道を備え、

77 τοῦ ことの G3588 | δοῦναι 与える–ために G1325 | γνῶσιν 知識を G1108 | σωτηρίας 救いの G4991 | τῷ その G3588 | λαῷ 民に G2992 | αὐτοῦ, その方の G0846 | ἐν の–中で G1722 | ἀφέσει 赦しによる G0859

ἁμαρτιῶν 罪の G0266 | αὐτῶν, 彼らの G0846

罪のゆるしによる救をその民に知らせるのであるから。

78 διὰ を–通して G1223 | σπλάγχνα 深い–あわれみの G4698 | ἐλέους あわれみの G1656 | Θεοῦ 神の G2316 | ἡμῶν, 私たちの G1473 | ἐν それ–によって G1722 | οἷς その G3739 | ἐπισκέψεται 訪れる G1980

ἡμᾶς 私たちを G1473 | ἀνατολὴ 日の–出が G0395 | ἐξ からの G1537 | ὕψους, 高き–所からの G5311

これはわたしたちの神のあわれみ深いみこころによる。また、そのあわれみによって、日の光が上からわたしたちに臨み、

79 ἐπιφᾶναι 照らす–ために G2014 | τοῖς の–中の G3588 | ἐν の–中に G1722 | σκότει 暗闇に G4655 | καὶ そして G2532 | σκιᾷ 影に G4639 | θανάτου 死の G2288 | καθημένοις; 座す–者たちに G2521 | τοῦ ことの G3588

κατευθῦναι 導く–ために G2720 | τοὺς その G3588 | πόδας 足を G4228 | ἡμῶν, 私たちの G1473 | εἰς へ G1519 | ὁδὸν 道へ G3598 | εἰρήνης. 平和の G1515

暗黒と死の陰とに住む者を照し、わたしたちの足を平和の道へ導くであろう」。

80 Τὸ その G3588 | δὲ さて G1161 | παιδίον 幼子は G3813 | ηὔξανεν 成長し G0837 | καὶ そして G2532 | ἐκραταιοῦτο 強く–なった G2901 | πνεύματι; 霊に–おいて G4151 | καὶ そして G2532 | ἦν いた G1510 | ἐν の–中に G1722

ταῖς その G3588 | ἐρήμοις 荒野に G2048 | ἕως まで G2193 | ἡμέρας 日の G2250 | ἀναδείξεως 公の–現れの G0323 | αὐτοῦ 彼の G0846 | πρὸς への G4314 | τὸν その G3588 | Ἰσραήλ. イスラエルへの G2474

幼な子は成長し、その霊も強くなり、そしてイスラエルに現れる日まで、荒野にいた。

Chapter 2

1 Ἐγένετο 起こった G1096 δὲ さて G1161 ἐν の–時に G1722 ταῖς その G3588 ἡμέραις 日々に G2250 ἐκείναις, それらの G1565 ἐξῆλθεν 出た G1831 δόγμα 勅令が G1378 παρὰ から G3844 Καίσαρος カエサル G2541 Αὐγούστου, アウグストゥスの G0828 ἀπογράφεσθαι 登録–する–ように G0583 πᾶσαν すべての G3956 τὴν その G3588 οἰκουμένην; 世界を G3625

そのころ、全世界の人口調査をせよとの勅令が、皇帝アウグストから出た。

2 αὕτη この G3778 ἀπογραφὴ 登録は G0582 πρώτη, 最初の G4413 ἐγένετο 起こった G1096 ἡγεμονεύοντος 総督–で–あった–時に G2230 τῆς その G3588 Συρίας シリアの G4947 Κυρηνίου. キュレニオスが G2958

これは、クレニオがシリヤの総督であった時に行われた最初の人口調査であった。

3 καὶ そして G2532 ἐπορεύοντο 行った G4198 πάντες すべての–者が G3956 ἀπογράφεσθαι, 登録–する–ために G0583 ἕκαστος 各自が G1538 εἰς へ G1519 τὴν その G3588 ἑαυτοῦ 自分の G1438 πόλιν: 町へ G4172

人々はみな登録をするために、それぞれ自分の町へ帰って行った。

4 Ἀνέβη 上った G0305 δὲ また G1161 καὶ そして G2532 Ἰωσὴφ, ヨセフも G2501 ἀπὸ から G0575 τῆς その G3588 Γαλιλαίας ガリラヤから G1056 ἐκ の–中の G1537 πόλεως 町の G4172 Ναζαρὲθ, ナザレツから G3478 εἰς へ G1519 τὴν その G3588 Ἰουδαίαν, ユダヤへ G2449 εἰς へ G1519 πόλιν 町に G4172 Δαυὶδ, ダビデの G1138 ἥτις それは G3748 καλεῖται 呼ばれる G2564 Βηθλεέμ, ベツレヘムと G0965 διὰ ために G1223 τὸ その G3588 εἶναι である G1510 αὐτὸν 彼が G0846 ἐξ の–出の G1537 οἴκου 家の G3624 καὶ そして G2532 πατριᾶς 家系の G3965 Δαυίδ-- ダビデの G1138

ヨセフもダビデの家系であり、またその血統であったので、ガリラヤの町ナザレを出て、ユダヤのベツレヘムというダビデの町へ上って行った。

5 ἀπογράψασθαι 登録–する–ために G0583 σὺν と–ともに G4862 Μαριὰμ, マリアムと G3137 τῇ その G3588 ἐμνηστευμένῃ いいなづけの G3423 αὐτῷ, 彼の G0846 οὔσῃ であった G1510 ἐγκύῳ. 身重の G1471

それは、すでに身重になっていたいいなづけの妻マリヤと共に、登録をするためであった。

6 Ἐγένετο 起こった G1096 δὲ さて G1161 ἐν の–時に G1722 τῷ その G3588 εἶναι いる G1510 αὐτοὺς 彼らが G0846 ἐκεῖ, そこに G1563 ἐπλήσθησαν 満ちた G4130 αἱ その G3588 ἡμέραι 日々が G2250 τοῦ ことの G3588 τεκεῖν 産む G5088 αὐτήν. 彼女が G0846

ところが、彼らがベツレヘムに滞在している間に、マリヤは月が満ちて、

7 καὶ ἔτεκεν τὸν υἱὸν αὐτῆς, τὸν πρωτότοκον, καὶ ἐσπαργάνωσεν αὐτὸν,
そして 産んだ その 息子を 彼女の その 初子を そして 布で-包んだ 彼を
G2532 G5088 G3588 G5207 G0846 G3588 G4416 G2532 G4683 G0846

καὶ ἀνέκλινεν αὐτὸν ἐν φάτνῃ, διότι οὐκ ἦν αὐτοῖς τόπος
そして 寝かせた 彼を の-中に 飼葉桶に なぜなら なかった いた 彼らに 場所が
G2532 G0347 G0846 G1722 G5336 G1360 G3756 G1510 G0846 G5117

ἐν τῷ καταλύματι.
の-中に その 宿屋に
G1722 G3588 G2646

初子を産み、布にくるんで、飼葉おけの中に寝かせた。客間には彼らのいる余地がなかったからである。

8 Καὶ ποιμένες ἦσαν ἐν τῇ χώρᾳ τῇ αὐτῇ, ἀγραυλοῦντες καὶ
そして 羊飼いたちが いた の-中に その 地方の その 同じ 野宿-して そして
G2532 G4166 G1510 G1722 G3588 G5561 G3588 G0846 G0063 G2532

φυλάσσοντες φυλακὰς τῆς νυκτὸς ἐπὶ τὴν ποίμνην αὐτῶν;
守って-いた 夜番を その 夜の の-上に その 群れの 彼らの
G5442 G5438 G3588 G3571 G1909 G3588 G4167 G0846

さて、この地方で羊飼たちが夜、野宿しながら羊の群れの番をしていた。

9 καὶ ἄγγελος Κυρίου ἐπέστη αὐτοῖς, καὶ δόξα Κυρίου περιέλαμψεν
すると 御使いが 主の 立った 彼らの-前に そして 栄光が 主の 照り-輝いた
G2532 G0032 G2962 G2186 G0846 G2532 G1391 G2962 G4034

αὐτούς, καὶ ἐφοβήθησαν φόβον μέγαν.
彼らを そして 恐れた 恐れを 大いなる
G0846 G2532 G5399 G5401 G3173

すると主の御使が現れ、主の栄光が彼らをめぐり照したので、彼らは非常に恐れた。

10 καὶ εἶπεν αὐτοῖς ὁ ἄγγελος, Μὴ φοβεῖσθε; ἰδοὺ γὰρ,
すると 言った 彼らに その 御使いは 恐れる-な 恐れるな 見よ なぜなら
G2532 G3004 G0846 G3588 G0032 G3361 G5399 G3708 G1063

εὐαγγελίζομαι ὑμῖν χαρὰν μεγάλην, ἥτις ἔσται παντὶ τῷ λαῷ;
良い-知らせ-を-伝える あなたがたに 喜びを 大きな それは なる すべての その 民に
G2097 G4771 G5479 G3173 G3748 G1510 G3956 G3588 G2992

御使は言った、「恐れるな。見よ、すべての民に与えられる大きな喜びを、あなたがたに伝える。

11 ὅτι ἐτέχθη ὑμῖν σήμερον Σωτήρ, ὅς ἐστιν Χριστὸς Κύριος,
こと-を 生まれた あなたがたに 今日 救い主が その-方は である キリスト 主で
G3754 G5088 G4771 G4594 G4990 G3739 G1510 G5547 G2962

ἐν πόλει Δαυίδ.
の-中の 町で ダビデの
G1722 G4172 G1138

きょうダビデの町に、あなたがたのために救主がお生れになった。このかたこそ主なるキリストである。

12 καὶ τοῦτο ὑμῖν ‹τὸ› σημεῖον: εὑρήσετε βρέφος ἐσπαργανωμένον,
そして これが あなたがたへの その しるしである 見つける 幼子を 布に-包まれた
G2532 G3778 G4771 G3588 G4592 G2147 G1025 G4683

καὶ κείμενον ἐν φάτνῃ.
そして 横たわる の-中に 飼葉桶に
G2532 G2749 G1722 G5336

あなたがたは、幼な子が布にくるまって飼葉おけの中に寝かしてあるのを見るであろう。それが、あなたがたに与えられるしるしである」。

13 καὶ ἐξαίφνης ἐγένετο σὺν τῷ ἀγγέλῳ πλῆθος στρατιᾶς οὐρανίου,
すると 突然に 現れた と-ともに その 御使いと 大勢の 軍勢が 天の
G2532 G1810 G1096 G4862 G3588 G0032 G4128 G4756 G3770

αἰνούντων τὸν Θεὸν, καὶ λεγόντων,
賛美-する-者たちの その 神を そして 言って
G0134 G3588 G2316 G2532 G3004

するとたちまち、おびただしい天の軍勢が現れ、御使と一緒になって神をさんびして言った、

14 Δόξα ἐν ὑψίστοις Θεῷ, καὶ ἐπὶ γῆς εἰρήνη ἐν
栄光が の-中に いと-高き-ところに 神に そして の-上に 地の 平和が の-中に
G1391 G1722 G5310 G2316 G2532 G1909 G1093 G1515 G1722

ἀνθρώποις, εὐδοκίας!
人々に み心に-かなう-者への
G0444 G2107

「いと高きところでは、神に栄光があるように、地の上では、み心にかなう人々に平和があるように」。

15 Καὶ ἐγένετο, ὡς ἀπῆλθον ἀπ' αὐτῶν εἰς τὸν οὐρανὸν οἱ
そして 起こった ∥ とき 去った から 彼らから へ その 天に その
G2532 G1096 G5613 G0565 G0575 G0846 G1519 G3588 G3772 G3588

ἄγγελοι, οἱ ποιμένες ἐλάλουν πρὸς ἀλλήλους, Διέλθωμεν δὴ ἕως
御使いたちが その 羊飼いたちは 語り-合った に 互いに 行こう さあ まで
G0032 G3588 G4166 G2980 G4314 G0240 G1330 G1211 G2193

Βηθλεὲμ, καὶ ἴδωμεν τὸ ῥῆμα τοῦτο τὸ γεγονὸς, ὃ ὁ Κύριος
ベツレヘムへ そして 見よう その 出来事を この その 起こった ∥ ことを その 主が
G0965 G2532 G3708 G3588 G4487 G3778 G3588 G1096 G3739 G3588 G2962

ἐγνώρισεν ἡμῖν.
知らせた 私たちに
G1107 G1473

御使たちが彼らを離れて天に帰ったとき、羊飼たちは「さあ、ベツレヘムへ行って、主がお知らせ下さったその出来事を見てこようではないか」と、互に語り合った。

16 καὶ ἦλθαν σπεύσαντες, καὶ ἀνεῦραν τήν τε Μαριὰμ καὶ τὸν
そして 来た 急いで そして 見つけ-出した その すなわち マリアムと そして その
G2532 G2064 G4692 G2532 G0429 G3588 G5037 G3137 G2532 G3588

Ἰωσὴφ, καὶ τὸ βρέφος, κείμενον ἐν τῇ φάτνῃ.
ヨセフを そして その 幼子を 横たわっている の-中に その 飼葉桶に
G2501 G2532 G3588 G1025 G2749 G1722 G3588 G5336

そして急いで行って、マリヤとヨセフ、また飼葉おけに寝かしてある幼な子を捜しあてた。

17 ἰδόντες δὲ, ἐγνώρισαν περὶ τοῦ ῥήματος τοῦ λαληθέντος αὐτοῖς,
見て そして 知らせた について その 言葉の その 語られた 彼らに
G3708 G1161 G1107 G4012 G3588 G4487 G3588 G2980 G0846

περὶ τοῦ παιδίου τούτου.
について その 幼子の この
G4012 G3588 G3813 G3778

彼らに会った上で、この子について自分たちに告げ知らされた事を、人々に伝えた。

18

καὶ	πάντες	οἱ	ἀκούσαντες,	ἐθαύμασαν	περὶ	τῶν	λαληθέντων	ὑπὸ
そして	すべての	その	聞いた-者は	驚いた	について	その	語られた-ことに	から
G2532	G3956	G3588	G0191	G2296	G4012	G3588	G2980	G5259

τῶν	ποιμένων	πρὸς	αὐτούς.
その	羊飼いたちから	に	彼らに
G3588	G4166	G4314	G0846

人々はみな、羊飼たちが話してくれたことを聞いて、不思議に思った。

19

ἡ	δὲ	Μαρία	πάντα	συνετήρει	τὰ	ῥήματα	ταῦτα,	συμβάλλουσα
その	しかし	マリアは	すべてを	心に-留めた	その	言葉を	これらの	思い-巡らして
G3588	G1161	G3137	G3956	G4933	G3588	G4487	G3778	G4820

ἐν	τῇ	καρδίᾳ	αὐτῆς.
の-中で	その	心の	彼女の
G1722	G3588	G2588	G0846

しかし、マリヤはこれらの事をことごとく心に留めて、思いめぐらしていた。

20

καὶ	ὑπέστρεψαν	οἱ	ποιμένες,	δοξάζοντες	καὶ	αἰνοῦντες	τὸν	Θεὸν
そして	帰った	その	羊飼いたちは	ほめ-たたえ	そして	賛美-しつつ	その	神を
G2532	G5290	G3588	G4166	G1392	G2532	G0134	G3588	G2316

ἐπὶ	πᾶσιν	οἷς	ἤκουσαν	καὶ	εἶδον,	καθὼς	ἐλαλήθη	πρὸς	αὐτούς.
について	すべてに	ことの	聞いた	そして	見た	ように	語られた	に	彼らに
G1909	G3956	G3739	G0191	G2532	G3708	G2531	G2980	G4314	G0846

羊飼たちは、見聞きしたことが何もかも自分たちに語られたとおりであったので、神をあがめ、またさんびしながら帰って行った。

21

Καὶ	ὅτε	ἐπλήσθησαν	ἡμέραι	ὀκτὼ	τοῦ	περιτεμεῖν	αὐτόν,	καὶ	ἐκλήθη
そして	とき	満ちた	日々が	八	ことの	割礼-する	彼を	また	名づけ-られた
G2532	G3753	G4130	G2250	G3638	G3588	G4059	G0846	G2532	G2564

τὸ	ὄνομα	αὐτοῦ	Ἰησοῦς,	τὸ	κληθὲν	ὑπὸ	τοῦ	ἀγγέλου	πρὸ	τοῦ
その	名が	彼の	イエスと	その	名づけ-られた	から	その	御使いから	の-前に	その
G3588	G3686	G0846	G2424	G3588	G2564	G5259	G3588	G0032	G4253	G3588

συλλημφθῆναι	αὐτὸν	ἐν	τῇ	κοιλίᾳ.
身ごもる	彼が	の-中に	その	胎に
G4815	G0846	G1722	G3588	G2836

八日が過ぎ、割礼をほどこす時となったので、受胎のまえに御使が告げたとおり、幼な子をイエスと名づけた。

22

Καὶ	ὅτε	ἐπλήσθησαν	αἱ	ἡμέραι	τοῦ	καθαρισμοῦ	αὐτῶν	κατὰ	τὸν
そして	とき	満ちた	その	日々が	ことの	きよめの	彼らの	に-従って	その
G2532	G3753	G4130	G3588	G2250	G3588	G2512	G0846	G2596	G3588

νόμον	Μωϋσέως,	ἀνήγαγον	αὐτὸν	εἰς	Ἱεροσόλυμα,	παραστῆσαι	τῷ	Κυρίῳ,
律法に	モーセの	連れ-上った	彼を	へ	エルサレムに	ささげる-ために	その	主に
G3551	G3475	G0321	G0846	G1519	G2414	G3936	G3588	G2962

それから、モーセの律法による彼らのきよめの期間が過ぎたとき、両親は幼な子を連れてエルサレムへ上った。

23 καθὼς γέγραπται ἐν νόμῳ Κυρίου, ὅτι Πᾶν ἄρσεν διανοῖγον
ように 書かれて-いる の-中に 律法に 主の こと-を すべて-の 男の子が 開く
G2531 G1125 G1722 G3551 G2962 G3754 G3956 G0730 G1272

μήτραν ἅγιον τῷ Κυρίῳ κληθήσεται;
胎を 聖なる-者 その 主に 呼ばれる
G3388 G0040 G3588 G2962 G2564

それは主の律法に「母の胎を初めて開く男の子はみな、主に聖別された者と、となえられねばならない」と書いてあるとおり、幼な子を主にささげるためであり、

24 καὶ τοῦ δοῦναι θυσίαν, κατὰ τὸ εἰρημένον ἐν τῷ
そして ことの ささげる-ために 犠牲を に-従って その 言われて-いる の-中で その
G2532 G3588 G1325 G2378 G2596 G3588 G2046 G1722 G3588

νόμῳ Κυρίου, ζεῦγος τρυγόνων, ἢ δύο νοσσοὺς περιστερῶν.
律法に 主の 一つがいの 山鳩を あるいは 二羽の 雛の 鳩の
G3551 G2962 G2201 G5167 G2228 G1417 G3502 G4058

また同じ主の律法に、「山ばと一つがい、または、家ばとのひな二羽」と定めてあるのに従って、犠牲をささげるためであった。

25 Καὶ ἰδοὺ, ἄνθρωπος ἦν ἐν Ἰερουσαλὴμ, ᾧ ὄνομα Συμεών;
そして 見よ 人が いた の-中に エルサレムに その 名は シメオンと-いう
G2532 G3708 G0444 G1510 G1722 G2419 G3739 G3686 G4826

καὶ ὁ ἄνθρωπος οὗτος δίκαιος καὶ εὐλαβής, προσδεχόμενος παράκλησιν
そして この 人は この 正しく そして 敬虔-で 待ち-望んでいた 慰めを
G2532 G3588 G0444 G3778 G1342 G2532 G2126 G4327 G3874

τοῦ Ἰσραήλ, καὶ Πνεῦμα ἦν Ἅγιον ἐπ' αὐτόν.
その イスラエルの そして 聖霊が あった 聖なる の-上に 彼の
G3588 G2474 G2532 G4151 G1510 G0040 G1909 G0846

その時、エルサレムにシメオンという名の人がいた。この人は正しい信仰深い人で、イスラエルの慰められるのを待ち望んでいた。また聖霊が彼に宿っていた。

26 καὶ ἦν αὐτῷ κεχρηματισμένον ὑπὸ τοῦ Πνεύματος τοῦ Ἁγίου, μὴ
そして あった 彼に 告げ-られて-いた から その 聖霊から その 聖なる ない
G2532 G1510 G0846 G5537 G5259 G3588 G4151 G3588 G0040 G3361

ἰδεῖν θάνατον πρὶν ἢ ἂν ἴδῃ τὸν Χριστὸν Κυρίου.
見る-こと 死を 先に ない-うちは まだ 見る その キリストを 主の
G3708 G2288 G4250 G2228 G0302 G3708 G3588 G5547 G2962

そして主のつかわす救主に会うまでは死ぬことはないと、聖霊の示しを受けていた。

27 καὶ ἦλθεν ἐν τῷ Πνεύματι εἰς τὸ ἱερόν; καὶ ἐν τῷ
そして 来た の-中で その 聖霊に-導かれ へ その 宮に そして の-時に その
G2532 G2064 G1722 G3588 G4151 G1519 G3588 G2411 G2532 G1722 G3588

εἰσαγαγεῖν τοὺς γονεῖς τὸ παιδίον Ἰησοῦν, τοῦ ποιῆσαι αὐτοὺς κατὰ
連れて-来た その 両親が その 幼子の イエスを ことの 行う-ため 彼らが に-従って
G1521 G3588 G1118 G3588 G3813 G2424 G3588 G4160 G0846 G2596

τὸ εἰθισμένον τοῦ νόμου περὶ αὐτοῦ,
その 慣わしの その 律法の について 彼について
G3588 G1480 G3588 G3551 G4012 G0846

この人が御霊に感じて宮にはいった。すると律法に定めてあることを行うため、両親もその子イエスを連れてはいってきたので、

28

καὶ	αὐτὸς	ἐδέξατο	αὐτὸ	εἰς	τὰς	ἀγκάλας,	καὶ	εὐλόγησεν	τὸν
すると	彼は	受けた	その子を	の-中に	その	腕に	そして	ほめ-たたえた	その
G2532	G0846	G1209	G0846	G1519	G3588	G0043	G2532	G2127	G3588

Θεὸν,	καὶ	εἶπεν,
神を	そして	言った
G2316	G2532	G3004

シメオンは幼な子を腕に抱き、神をほめたたえて言った、

29

Νῦν	ἀπολύεις	τὸν	δοῦλόν	σου,	Δέσποτα,	κατὰ	τὸ	ῥῆμά
今	お許し-くださる	その	しもべを	あなたの	主よ	に-従って	その	お言葉の
G3568	G0630	G3588	G1401	G4771	G1203	G2596	G3588	G4487

σου,	ἐν	εἰρήνῃ;
あなたの	の-中で	平安の
G4771	G1722	G1515

「主よ、今こそ、あなたはみ言葉のとおりにこの僕を安らかに去らせてくださいます、

30

ὅτι	εἶδον	οἱ	ὀφθαλμοί	μου	τὸ	σωτήριόν	σου,
なぜなら	見た	その	目が	私の	その	救いを	あなたの
G3754	G3708	G3588	G3788	G1473	G3588	G4992	G4771

わたしの目が今あなたの救を見たのですから。

31

ὃ	ἡτοίμασας	κατὰ	πρόσωπον	πάντων	τῶν	λαῶν,
ことを	備えた	の-前で	顔の	すべての	その	民の
G3739	G2090	G2596	G4383	G3956	G3588	G2992

この救はあなたが万民のまえにお備えになったもので、

32

φῶς	εἰς	ἀποκάλυψιν	ἐθνῶν,	καὶ	δόξαν	λαοῦ	σου,	Ἰσραήλ.
光を	への	啓示の-ために	異邦人への	そして	栄光を	民の	あなたの	イスラエルの
G5457	G1519	G0602	G1484	G2532	G1391	G2992	G4771	G2474

異邦人を照す啓示の光、み民イスラエルの栄光であります」。

33

καὶ	ἦν	ὁ	πατὴρ	αὐτοῦ,	καὶ	ἡ	μήτηρ,	θαυμάζοντες	ἐπὶ	τοῖς
そして	いた	その	父は	彼の	そして	その	母は	驚いて-いた	について	その
G2532	G1510	G3588	G3962	G0846	G2532	G3588	G3384	G2296	G1909	G3588

λαλουμένοις	περὶ	αὐτοῦ.
語られて-いる-ことに	について	彼について
G2980	G4012	G0846

父と母とは幼な子についてこのように語られたことを、不思議に思った。

34

καὶ	εὐλόγησεν	αὐτοὺς	Συμεὼν,	καὶ	εἶπεν	πρὸς	Μαριὰμ	τὴν	μητέρα
そして	祝福-した	彼らを	シメオンは	そして	言った	に	マリアムに	その	母に
G2532	G2127	G0846	G4826	G2532	G3004	G4314	G3137	G3588	G3384

αὐτοῦ,	Ἰδοὺ,	οὗτος	κεῖται	εἰς	πτῶσιν	καὶ	ἀνάστασιν
彼の	見よ	この-方は	定められて-いる	への	倒れと	そして	起き上がりの-ために
G0846	G3708	G3778	G2749	G1519	G4431	G2532	G0386

πολλῶν	ἐν	τῷ	Ἰσραὴλ,	καὶ	εἰς	σημεῖον	ἀντιλεγόμενον;
多くの-者の	の-中で	その	イスラエルの	そして	として	しるしと	反対-される
G4183	G1722	G3588	G2474	G2532	G1519	G4592	G0483

するとシメオンは彼らを祝し、そして母マリヤに言った、「ごらんなさい、この幼な子は、イスラエルの多くの人を倒れさせたり立ちあがらせたりするために、また反対を受けるしるしとして、定められています。――

35 καὶ また G2532 | σοῦ あなた G4771 | δὲ そして G1161 | αὐτῆς 自身の G0846 | τὴν その G3588 | ψυχὴν 魂を G5590 | διελεύσεται 貫く G1330 | ῥομφαία; 剣が G4501 | ὅπως こうして G3704 | ἂν まだ G0302

ἀποκαλυφθῶσιν あらわに–される G0601 | ἐκ から G1537 | πολλῶν 多くの G4183 | καρδιῶν 心の G2588 | διαλογισμοί. 思いが G1261

そして、あなた自身もつるぎで胸を刺し貫かれるでしょう。――それは多くの人の心にある思いが、現れるようになるためです」。

36 Καὶ そして G2532 | ἦν いた G1510 | Ἄννα, アンナという G0451 | προφῆτις, 女預言者が G4398 | θυγάτηρ 娘で G2364 | Φανουήλ, パヌエルの G5323 | ἐκ の–出の G1537 | φυλῆς 部族の G5443 | Ἀσήρ. アセルの G0768

αὕτη この–人は G3778 | προβεβηκυῖα 年–老いて–いた G4260 | ἐν の–中で G1722 | ἡμέραις 日々の G2250 | πολλαῖς, 多くの G4183 | ζήσασα 暮らし G2198 | μετὰ と–ともに G3326 | ἀνδρὸς 夫と G0435 | ἔτη 年 G2094

ἑπτὰ 七 G2033 | ἀπὸ から G0575 | τῆς その G3588 | παρθενίας おとめの–時から G3932 | αὐτῆς, 彼女の G0846

また、アセル族のパヌエルの娘で、アンナという女預言者がいた。彼女は非常に年をとっていた。むすめ時代にとついで、七年間だけ夫と共に住み、

37 καὶ そして G2532 | αὐτὴ 彼女は G0846 | χήρα, やもめで G5503 | ἕως まで G2193 | ἐτῶν 年の G2094 | ὀγδοήκοντα 八十 G3589 | τεσσάρων, 四の G5064 | ἣ 彼女は G3739 | οὐκ ない G3756 | ἀφίστατο 離れ–なかった G0868

τοῦ その G3588 | ἱεροῦ, 宮から G2411 | νηστείαις 断食と G3521 | καὶ そして G2532 | δεήσεσιν 祈りで G1162 | λατρεύουσα 仕え–ていた G3000 | νύκτα 夜も G3571 | καὶ そして G2532 | ἡμέραν. 昼も G2250

その後やもめぐらしをし、八十四歳になっていた。そして宮を離れずに夜も昼も断食と祈とをもって神に仕えていた。

38 καὶ そして G2532 | αὐτῇ 彼女に G0846 | τῇ その G3588 | ὥρᾳ 時に G5610 | ἐπιστᾶσα, 近づいて G2186 | ἀνθωμολογεῖτο 感謝–を–ささげた G0437 | τῷ その G3588 | Θεῷ, 神に G2316 | καὶ そして G2532 | ἐλάλει 語った G2980

περὶ について G4012 | αὐτοῦ, 彼について G0846 | πᾶσιν すべての G3956 | τοῖς その G3588 | προσδεχομένοις 待ち–望んで–いた–者たちに G4327 | λύτρωσιν 贖いを G3085 | Ἰερουσαλήμ. エルサレムの G2419

この老女も、ちょうどそのとき近寄ってきて、神に感謝をささげ、そしてこの幼な子のことを、エルサレムの救を待ち望んでいるすべての人々に語りきかせた。

39 Καὶ そして G2532 | ὡς とき G5613 | ἐτέλεσαν 終えた G5055 | πάντα すべてを G3956 | τὰ その G3588 | κατὰ に–従って G2596 | τὸν その G3588 | νόμον 律法に G3551 | Κυρίου, 主の G2962 | ἐπέστρεψαν 帰った G1994

εἰς へ G1519 | τὴν その G3588 | Γαλιλαίαν, ガリラヤへ G1056 | εἰς へ G1519 | πόλιν 町に G4172 | ἑαυτῶν, 自分たちの G1438 | Ναζαρέθ. ナザレツへ G3478

両親は主の律法どおりすべての事をすませたので、ガリラヤへむかい、自分の町ナザレに帰った。

40 Τὸ δὲ παιδίον ηὔξανεν καὶ ἐκραταιοῦτο, πληρούμενον σοφίᾳ, καὶ
その さて 幼子は 成長し そして 強く-なった 満たされ 知恵に そして
G3588 G1161 G3813 G0837 G2532 G2901 G4137 G4678 G2532

χάρις Θεοῦ ἦν ἐπ' αὐτό.
恵みが 神の あった の-上に その子の
G5485 G2316 G1510 G1909 G0846

幼な子は、ますます成長して強くなり、知恵に満ち、そして神の恵みがその上にあった。

41 Καὶ ἐπορεύοντο οἱ γονεῖς αὐτοῦ κατ' ἔτος εἰς Ἰερουσαλὴμ τῇ ἑορτῇ
そして 行った その 両親は 彼の 毎 年 へ エルサレムへ その 祭りに
G2532 G4198 G3588 G1118 G0846 G2596 G2094 G1519 G2419 G3588 G1859

τοῦ πάσχα.
その 過越の
G3588 G3957

さて、イエスの両親は、過越の祭には毎年エルサレムへ上っていた。

42 Καὶ ὅτε ἐγένετο ἐτῶν δώδεκα, ἀναβαινόντων αὐτῶν, κατὰ τὸ ἔθος
そして とき なった 歳の 十二 上って-行った 彼らが に-従って その 慣わしに
G2532 G3753 G1096 G2094 G1427 G0305 G0846 G2596 G3588 G1485

τῆς ἑορτῆς,
その 祭りの
G3588 G1859

イエスが十二歳になった時も、慣例に従って祭のために上京した。

43 καὶ τελειωσάντων τὰς ἡμέρας, ἐν τῷ ὑποστρέφειν αὐτοὺς, ὑπέμεινεν
そして 終えて その 日々を の-時に その 帰る 彼らが とどまった
G2532 G5048 G3588 G2250 G1722 G3588 G5290 G0846 G5278

Ἰησοῦς ὁ παῖς ἐν Ἰερουσαλήμ. καὶ οὐκ ἔγνωσαν οἱ γονεῖς
イエスは その 少年は の-中に エルサレムに しかし なかった 知ら その 両親は
G2424 G3588 G3816 G1722 G2419 G2532 G3756 G1097 G3588 G1118

αὐτοῦ.
彼の
G0846

ところが、祭が終って帰るとき、少年イエスはエルサレムに居残っておられたが、両親はそれに気づかなかった。

44 νομίσαντες δὲ αὐτὸν εἶναι ἐν τῇ συνοδίᾳ, ἦλθον ἡμέρας ὁδὸν,
思って しかし 彼が いると の-中に その 一行の 来た 日の 道のりを
G3543 G1161 G0846 G1510 G1722 G3588 G4923 G2064 G2250 G3598

καὶ ἀνεζήτουν αὐτὸν ἐν τοῖς συγγενεῦσιν, καὶ τοῖς γνωστοῖς:
そして 探した 彼を の-中で その 親族と そして その 知人の
G2532 G0327 G0846 G1722 G3588 G4773 G2532 G3588 G1110

そして道連れの中にいることと思いこんで、一日路を行ってしまい、それから、親族や知人の中を捜しはじめたが、

45 καὶ μὴ εὑρόντες, ὑπέστρεψαν εἰς Ἰερουσαλὴμ, ἀναζητοῦντες αὐτόν.
そして ない 見つけ 帰った へ エルサレムへ 探し-ながら 彼を
G2532 G3361 G2147 G5290 G1519 G2419 G0327 G0846

見つからないので、捜しまわりながらエルサレムへ引返した。

46 καὶ ἐγένετο μετὰ ἡμέρας τρεῖς, εὗρον αὐτὸν ἐν τῷ ἱερῷ,
そして 起こった の-後に 日の 三 見つけた 彼を の-中で その 宮で
G2532 G1096 G3326 G2250 G5140 G2147 G0846 G1722 G3588 G2411

καθεζόμενον ἐν μέσῳ τῶν διδασκάλων, καὶ ἀκούοντα αὐτῶν καὶ
座って の-真ん中で の-中の その 教師たちの そして 聞き 彼らに また
G2516 G1722 G3319 G3588 G1320 G2532 G0191 G0846 G2532

ἐπερωτῶντα αὐτούς.
質問-して-いた 彼らに
G1905 G0846

そして三日の後に、イエスが宮の中で教師たちのまん中にすわって、彼らの話を聞いたり質問したりしておられるのを見つけた。

47 ἐξίσταντο δὲ πάντες οἱ ἀκούοντες αὐτοῦ ἐπὶ τῇ συνέσει
驚嘆-して-いた そして すべての その 聞いて-いた-者は 彼の について その 理解と
G1839 G1161 G3956 G3588 G0191 G0846 G1909 G3588 G4907

καὶ ταῖς ἀποκρίσεσιν αὐτοῦ.
そして その 受け答えに 彼の
G2532 G3588 G0612 G0846

聞く人々はみな、イエスの賢さやその答に驚嘆していた。

48 καὶ ἰδόντες αὐτὸν, ἐξεπλάγησαν, καὶ εἶπεν πρὸς αὐτὸν ἡ μήτηρ
そして 見て 彼を 驚いた そして 言った に 彼に その 母は
G2532 G3708 G0846 G1605 G2532 G3004 G4314 G0846 G3588 G3384

αὐτοῦ, Τέκνον τί ἐποίησας ἡμῖν οὕτως? ἰδοὺ, ὁ πατήρ σου
彼の 子よ なぜ したの 私たちに こんな-ことを 見よ その 父と あなたの
G0846 G5043 G5101 G4160 G1473 G3779 G3708 G3588 G3962 G4771

κἀγὼ, ὀδυνώμενοι, ἐζητοῦμέν σε.
私は 心配-しながら 探して-いた あなたを
G2504 G3600 G2212 G4771

両親はこれを見て驚き、そして母が彼に言った、「どうしてこんな事をしてくれたのです。ごらんなさい、おとう様もわたしも心配して、あなたを捜していたのです」。

49 καὶ εἶπεν πρὸς αὐτούς, Τί ὅτι ἐζητεῖτέ με? οὐκ ᾔδειτε
すると 言った に 彼らに なぜ ことを 探した-の 私を ない 知ら-なかったのか
G2532 G3004 G4314 G0846 G5101 G3754 G2212 G1473 G3756 G1492

ὅτι ἐν τοῖς τοῦ Πατρός μου δεῖ εἶναί με?
ことを の-中に その その 父の 私の いなけ-ればならない いる 私が
G3754 G1722 G3588 G3588 G3962 G1473 G1163 G1510 G1473

するとイエスは言われた、「どうしてお捜しになったのですか。わたしが自分の父の家にいるはずのことを、ご存じなかったのですか」。

50 καὶ αὐτοὶ οὐ συνῆκαν τὸ ῥῆμα ὃ ἐλάλησεν αὐτοῖς.
しかし 彼ら-は ない 理解-しなかった その 言葉を それを 語った 彼らに
G2532 G0846 G3756 G4920 G3588 G4487 G3739 G2980 G0846

しかし、両親はその語られた言葉を悟ることができなかった。

51 καὶ
そして
G2532
κατέβη
下って-行った
G2597
μετ’
と-ともに
G3326
αὐτῶν
彼らと
G0846
καὶ
そして
G2532
ἦλθεν
来た
G2064
εἰς
へ
G1519
Ναζαρὲθ,
ナザレツに
G3478
καὶ
そして
G2532
ἦν
いた
G1510
ὑποτασσόμενος
従って-いた
G5293
αὐτοῖς.
彼らに
G0846
καὶ
そして
G2532
ἡ
その
G3588
μήτηρ
母は
G3384
αὐτοῦ
彼の
G0846
διετήρει
心に-留めた
G1301
πάντα
すべてを
G3956
τὰ
その
G3588
ῥήματα
言葉を
G4487
‹ταῦτα›
これらの
G3778
ἐν
の-中に
G1722
τῇ
その
G3588
καρδίᾳ
心の
G2588
αὐτῆς.
彼女の
G0846

それからイエスは両親と一緒にナザレに下って行き、彼らにお仕えになった。母はこれらの事をみな心に留めていた。

52 Καὶ
そして
G2532
Ἰησοῦς
イエスは
G2424
προέκοπτεν
成長-した
G4298
ἐν
の-中で
G1722
τῇ
その
G3588
σοφίᾳ
知恵と
G4678
καὶ
そして
G2532
ἡλικίᾳ,
年齢と
G2244
καὶ
そして
G2532
χάριτι
恵みに
G5485
παρὰ
の-前で
G3844
Θεῷ
神と
G2316
καὶ
そして
G2532
ἀνθρώποις.
人々の
G0444

イエスはますます知恵が加わり、背たけも伸び、そして神と人から愛された。

Chapter 3

1 Ἐν
～に
G1722
ἔτει
年
G2094
δὲ
さて
G1161
πεντεκαιδεκάτῳ
第十五の
G4003
τῆς
その
G3588
ἡγεμονίας
治世の
G2231
Τιβερίου
テベリオ
G5086
Καίσαρος,
カイサルの
G2541
ἡγεμονεύοντος
総督であった
G2230
Ποντίου
ポンテオ
G4194
Πιλάτου
ピラトが
G4091
τῆς
その
G3588
Ἰουδαίας,
ユダヤの
G2449
καὶ
そして
G2532
τετρααρχοῦντος
領主であった
G5075
τῆς
その
G3588
Γαλιλαίας
ガリラヤの
G1056
Ἡρῴδου,
ヘロデが
G2264
Φιλίππου
ピリポ
G5376
δὲ
また
G1161
τοῦ
その
G3588
ἀδελφοῦ
兄弟
G0080
αὐτοῦ
彼の
G0846
τετρααρχοῦντος
領主であった
G5075
τῆς
その
G3588
Ἰτουραίας
イトリヤ
G2484
καὶ
と
G2532
Τραχωνίτιδος
テラコニテ
G5139
χώρας,
地方の
G5561
καὶ
そして
G2532
Λυσανίου
ルサニヤが
G3078
τῆς
その
G3588
Ἀβιληνῆς
アビレネの
G0009
τετρααρχοῦντος,
領主であった
G5075

皇帝テベリオ在位の第十五年、ポンテオ・ピラトがユダヤの総督、ヘロデがガリラヤの領主、その兄弟ピリポがイツリヤ・テラコニテ地方の領主、ルサニヤがアビレネの領主、

2 ἐπὶ
～の-時に
G1909
ἀρχιερέως
大祭司
G0749
Ἅννα
アンナス
G0452
καὶ
と
G2532
Καϊάφα,
カヤパの
G2533
ἐγένετο
臨んだ
G1096
ῥῆμα
言葉が
G4487
Θεοῦ
神の
G2316
ἐπὶ
～に
G1909
Ἰωάννην,
ヨハネに
G2491
τὸν
その
G3588
Ζαχαρίου
ザカリヤの
G2197
υἱὸν,
子に
G5207
ἐν
～で
G1722
τῇ
その
G3588
ἐρήμῳ.
荒野で
G2048

アンナスとカヤパとが大祭司であったとき、神の言が荒野でザカリヤの子ヨハネに臨んだ。

3 καὶ そして G2532 | ἦλθεν 来た G2064 | εἰς ～へ G1519 | πᾶσαν すべての G3956 | τὴν その G3588 | περίχωρον 周辺–地域に G4066 | τοῦ その G3588 | Ἰορδάνου, ヨルダンの G2446 | κηρύσσων 宣べ伝えた G2784

βάπτισμα バプテスマを G0908 | μετανοίας 悔い改めの G3341 | εἰς ～のための G1519 | ἄφεσιν 赦しの G0859 | ἁμαρτιῶν; 罪の G0266

彼はヨルダンのほとりの全地方に行って、罪のゆるしを得させる悔改めのバプテスマを宣べ伝えた。

4 ὡς ～のように G5613 | γέγραπται 書かれている G1125 | ἐν ～に G1722 | βίβλῳ 書に G0976 | λόγων 言葉の G3056 | Ἡσαΐου イザヤ G2268 | τοῦ その G3588 | προφήτου, 預言者の G4396 | Φωνὴ 声が G5456

βοῶντος 叫ぶ–者の G0994 | ἐν ～で G1722 | τῇ その G3588 | ἐρήμῳ, 荒野で G2048 | Ἑτοιμάσατε 備えよ G2090 | τὴν その G3588 | ὁδὸν 道を G3598 | Κυρίου; 主の G2962 | εὐθείας まっすぐに G2117 | ποιεῖτε せよ G4160

τὰς その G3588 | τρίβους 小道を G5147 | αὐτοῦ. 彼の G0846

それは、預言者イザヤの言葉の書に書いてあるとおりである。すなわち「荒野で呼ばわる者の声がする、『主の道を備えよ、その道筋をまっすぐにせよ』。

5 πᾶσα すべての G3956 | φάραγξ 谷は G5327 | πληρωθήσεται, 埋められる G4137 | καὶ そして G2532 | πᾶν すべての G3956 | ὄρος 山 G3735 | καὶ と G2532 | βουνὸς 丘は G1015 | ταπεινωθήσεται; 低くされる G5013

καὶ そして G2532 | ἔσται なる G1510 | τὰ その G3588 | σκολιὰ 曲がった–所は G4646 | εἰς ～に G1519 | εὐθείαν, まっすぐな–所に G2117 | καὶ そして G2532 | αἱ その G3588 | τραχεῖαι でこぼこな–道は G5138 | εἰς ～に G1519

ὁδοὺς 道に G3598 | λείας; 平らな G3006

すべての谷は埋められ、すべての山と丘とは、平らにされ、曲ったところはまっすぐに、わるい道はならされ、

6 καὶ そして G2532 | ὄψεται 見る G3708 | πᾶσα すべての G3956 | σὰρξ 肉なる–者は G4561 | τὸ その G3588 | σωτήριον 救いを G4992 | τοῦ その G3588 | Θεοῦ. 神の G2316

人はみな神の救を見るであろう」。

7 Ἔλεγεν 言った G3004 | οὖν それゆえ G3767 | τοῖς その G3588 | ἐκπορευομένοις 出て–来た G1607 | ὄχλοις 群衆に G3793 | βαπτισθῆναι バプテスマを–受けに G0907 | ὑπ’ ～から G5259 | αὐτοῦ, 彼から G0846

Γεννήματα まむしの G1081 | ἐχιδνῶν, 子孫よ G2191 | τίς だれが G5101 | ὑπέδειξεν 教えたのか G5263 | ὑμῖν あなたがたに G4771 | φυγεῖν 逃れることを G5343 | ἀπὸ ～から G0575 | τῆς その G3588 | μελλούσης 来たるべき G3195

ὀργῆς? 怒りから G3709

さて、ヨハネは、彼からバプテスマを受けようとして出てきた群衆にむかって言った、「まむしの子らよ、迫ってきている神の怒りから、のがれられると、おまえたちにだれが教えたのか。

8 ποιήσατε 結べ G4160 οὖν だから G3767 καρποὺς 実を G2590 ἀξίους ふさわしい G0514 τῆς その G3588 μετανοίας; 悔い改めに G3341 καὶ そして G2532 μὴ ～するな G3361 ἄρξησθε 始めるな G0756

λέγειν 言うことを G3004 ἐν ～の-中で G1722 ἑαυτοῖς, 自分たちの-中で G1438 Πατέρα 父を G3962 ἔχομεν 持っている G2192 τὸν その G3588 Ἀβραάμ; アブラハムを G0011 λέγω 言う G3004 γὰρ なぜなら G1063

ὑμῖν, あなたがたに G4771 ὅτι ～と G3754 δύναται できる G1410 ὁ その G3588 Θεὸς 神は G2316 ἐκ ～から G1537 τῶν これらの G3588 λίθων 石から G3037 τούτων, これらの G3778 ἐγεῖραι 起こすことを G1453

τέκνα 子孫を G5043 τῷ その G3588 Ἀβραάμ. アブラハムの G0011

だから、悔改めにふさわしい実を結べ。自分たちの父にはアブラハムがあるなどと、心の中で思ってもみるな。おまえたちに言っておく。神はこれらの石ころからでも、アブラハムの子を起すことができるのだ。

9 ἤδη すでに G2235 δὲ また G1161 καὶ さらに G2532 ἡ その G3588 ἀξίνη 斧は G0513 πρὸς ～に G4314 τὴν その G3588 ῥίζαν 根に G4491 τῶν その G3588 δένδρων 木々の G1186 κεῖται; 置かれている G2749

πᾶν すべての G3956 οὖν だから G3767 δένδρον 木で G1186 μὴ ～ない G3361 ποιοῦν 結ばない G4160 καρπὸν 実を G2590 καλὸν, 良い G2570 ἐκκόπτεται 切り倒され G1581 καὶ そして G2532 εἰς ～の-中に G1519

πῦρ 火の-中に G4442 βάλλεται. 投げ込まれる G0906

斧がすでに木の根もとに置かれている。だから、良い実を結ばない木はことごとく切られて、火の中に投げ込まれるのだ」。

10 Καὶ そして G2532 ἐπηρώτων 尋ねた G1905 αὐτὸν 彼に G0846 οἱ その G3588 ὄχλοι, 群衆は G3793 λέγοντες, 言って G3004 Τί 何を G5101 οὖν では G3767 ποιήσωμεν? すべきか G4160

そこで群衆が彼に、「それでは、わたしたちは何をすればよいのですか」と尋ねた。

11 ἀποκριθεὶς 答えて G0611 δὲ, そして G1161 ἔλεγεν 言った G3004 αὐτοῖς, 彼らに G0846 Ὁ その G3588 ἔχων 持つ-者は G2192 δύο 二つの G1417 χιτῶνας 下着を G5509 μεταδότω 分け与えよ G3330 τῷ その G3588

μὴ 持た-ない G3361 ἔχοντι; 者に G2192 καὶ そして G2532 ὁ その G3588 ἔχων 持つ-者は G2192 βρώματα 食べ物を G1033 ὁμοίως 同じように G3668 ποιείτω. するように G4160

彼は答えて言った、「下着を二枚もっている者は、持たない者に分けてやりなさい。食物を持っている者も同様にしなさい」。

12 ἦλθον 来た G2064 δὲ また G1161 καὶ さらに G2532 τελῶναι 取税人たちも G5057 βαπτισθῆναι, バプテスマを-受けに G0907 καὶ そして G2532 εἶπαν 言った G3004 πρὸς ～に G4314 αὐτόν, 彼に G0846

Διδάσκαλε, 先生 G1320 τί 何を G5101 ποιήσωμεν? すべきか G4160

取税人もバプテスマを受けにきて、彼に言った、「先生、わたしたちは何をすればよいのですか」。

13 ὁ δὲ εἶπεν πρὸς αὐτούς, Μηδὲν πλέον παρὰ τὸ
その しかし 言った ～に 彼らに 何も-余分に 多く ～を-超えて その
G3588 G1161 G3004 G4314 G0846 G3367 G4119 G3844 G3588

διατεταγμένον ὑμῖν πράσσετε.
定められた-ものより あなたがたに 取り立てるな
G1299 G4771 G4238

彼らに言った、「きまっているもの以上に取り立ててはいけない」。

14 ἐπηρώτων δὲ αὐτὸν καὶ στρατευόμενοι, λέγοντες, Τί ποιήσωμεν καὶ
尋ねた また 彼に さらに 兵士たちも 言って 何を すべきか さらに
G1905 G1161 G0846 G2532 G4754 G3004 G5101 G4160 G2532

ἡμεῖς? καὶ εἶπεν αὐτοῖς, Μηδένα διασείσητε μηδὲ συκοφαντήσητε, καὶ
私たちも そして 言った 彼らに だれも 脅し取るな また だまし取るな そして
G1473 G2532 G3004 G0846 G3367 G1286 G3366 G4811 G2532

ἀρκεῖσθε τοῖς ὀψωνίοις ὑμῶν.
満足せよ その 給与に あなたがたの
G0714 G3588 G3800 G4771

兵卒たちもたずねて言った、「では、わたしたちは何をすればよいのですか」。彼は言った、「人をおどかしたり、だまし取ったりしてはいけない。自分の給与で満足していなさい」。

15 Προσδοκῶντος δὲ τοῦ λαοῦ, καὶ διαλογιζομένων πάντων ἐν ταῖς
期待していた さて その 民は そして 思い巡らしていた すべての-者が ～の-中で その
G4328 G1161 G3588 G2992 G2532 G1260 G3956 G1722 G3588

καρδίαις αὐτῶν περὶ τοῦ Ἰωάννου, μή ποτε αὐτὸς εἴη
心の-中で 彼らの ～について その ヨハネについて もしかすると ひょっとして 彼が であるか
G2588 G0846 G4012 G3588 G2491 G3361 G4219 G0846 G1510

ὁ Χριστός,
その キリストでは
G3588 G5547

民衆は救主を待ち望んでいたので、みな心の中でヨハネのことを、もしかしたらこの人がそれではなかろうかと考えていた。

16 ἀπεκρίνατο λέγων πᾶσιν ὁ Ἰωάννης, Ἐγὼ μὲν ὕδατι
答えた 言って すべての-者に その ヨハネは 私は 一方では 水で
G0611 G3004 G3956 G3588 G2491 G1473 G3303 G5204

βαπτίζω ὑμᾶς, ἔρχεται δὲ ὁ ἰσχυρότερός μου, οὗ
バプテスマを-授ける あなたがたに 来られる しかし その より-力ある-方が 私よりも その-方の
G0907 G4771 G2064 G1161 G3588 G2478 G1473 G3739

οὐκ εἰμὶ ἱκανὸς λῦσαι τὸν ἱμάντα τῶν ὑποδημάτων αὐτοῦ;
～ない 私は ふさわしく 解くことさえ その 履物の-ひもを その 履物の 彼の
G3756 G1510 G2425 G3089 G3588 G2438 G3588 G5266 G0846

αὐτὸς ὑμᾶς βαπτίσει ἐν Πνεύματι Ἁγίῳ, καὶ πυρί;
その-方は あなたがたに バプテスマを-授ける ～で 聖 霊と そして 火で
G0846 G4771 G0907 G1722 G4151 G0040 G2532 G4442

そこでヨハネはみんなの者にむかって言った、「わたしは水でおまえたちにバプテスマを授けるが、わたしよりも力のあるかたが、おいでになる。わたしには、そのくつのひもを解く値うちもない。このかたは、聖霊と火とによっておまえたちにバプテスマをお授けになるであろう。

17 οὗ その-方の G3739 | τὸ その G3588 | πτύον 箕は G4425 | ἐν ～に G1722 | τῇ その G3588 | χειρὶ 手に G5495 | αὐτοῦ; 彼の G0846 | διακαθᾶραι 隅々まで-清める G1245 | τὴν その G3588 | ἅλωνα 打ち場を G0257
αὐτοῦ, 彼の G0846 | καὶ そして G2532 | συναγαγεῖν 集める G4863 | τὸν その G3588 | σῖτον 麦を G4621 | εἰς ～の-中に G1519 | τὴν その G3588 | ἀποθήκην 倉の-中に G0596 | αὐτοῦ, 彼の G0846 | τὸ しかし G3588 | δὲ その G1161
ἄχυρον もみ殻は G0892 | κατακαύσει 焼き尽くす G2618 | πυρὶ 火で G4442 | ἀσβέστῳ. 消えない G0762

また、箕を手に持って、打ち場の麦をふるい分け、麦は倉に納め、からは消えない火で焼き捨てるであろう」。

18 Πολλὰ 多くの G4183 | μὲν 実に G3303 | οὖν こうして G3767 | καὶ また G2532 | ἕτερα 他の-ことも G2087 | παρακαλῶν, 勧めながら G3870 | εὐηγγελίζετο 福音を-宣べ伝えた G2097 | τὸν その G3588 | λαόν. 民に G2992

こうしてヨハネはほかにもなお、さまざまの勧めをして、民衆に教を説いた。

19 ὁ その G3588 | δὲ しかし G1161 | Ἡρῴδης ヘロデは G2264 | ὁ その G3588 | τετραάρχης, 領主は G5076 | ἐλεγχόμενος 咎められて G1651 | ὑπ’ ～から G5259 | αὐτοῦ 彼から G0846 | περὶ ～について G4012
Ἡρῳδιάδος, ヘロデヤについて G2266 | τῆς その G3588 | γυναικὸς 妻 G1135 | τοῦ その G3588 | ἀδελφοῦ 兄弟の G0080 | αὐτοῦ, 彼の G0846 | καὶ また G2532 | περὶ ～について G4012 | πάντων すべての G3956
ὧν ～のことで G3739 | ἐποίησεν 行った G4160 | πονηρῶν 悪い-ことを G4190 | ὁ その G3588 | Ἡρῴδης, ヘロデは G2264

ところが領主ヘロデは、兄弟の妻ヘロデヤのことで、また自分がしたあらゆる悪事について、ヨハネから非難されていたので、

20 προσέθηκεν 加えた G4369 | καὶ さらに G2532 | τοῦτο このことを G3778 | ἐπὶ ～に G1909 | πᾶσιν すべてに G3956 | ‹καὶ›: すなわち G2532 | κατέκλεισεν 閉じ込めた G2623 | τὸν その G3588 | Ἰωάννην ヨハネを G2491
ἐν ～の-中に G1722 | φυλακῇ. 牢の-中に G5438

彼を獄に閉じ込めて、いろいろな悪事の上に、もう一つこの悪事を重ねた。

21 Ἐγένετο 起こった G1096 | δὲ さて G1161 | ἐν ～の-時に G1722 | τῷ その G3588 | βαπτισθῆναι, バプテスマを-受けた-時 G0907 | ἅπαντα すべての G0537 | τὸν その G3588 | λαὸν, 民が G2992 | καὶ そして G2532
Ἰησοῦ イエスも G2424 | βαπτισθέντος, バプテスマを-受け G0907 | καὶ そして G2532 | προσευχομένου, 祈っていると G4336 | ἀνεῳχθῆναι 開かれた G0455 | τὸν その G3588 | οὐρανὸν, 天が G3772

さて、民衆がみなバプテスマを受けたとき、イエスもバプテスマを受けて祈っておられると、天が開けて、

22 καὶ καταβῆναι τὸ Πνεῦμα τὸ Ἅγιον σωματικῷ εἴδει, ὡς περιστερὰν,
そして 降りて–来た その 御霊が その 聖なる 体の–ような 姿で まるで 鳩の–ように
G2532 G2597 G3588 G4151 G3588 G0040 G4984 G1491 G5613 G4058

ἐπ’ αὐτόν, καὶ φωνὴν ἐξ οὐρανοῦ γενέσθαι, Σὺ εἶ ὁ
〜の–上に 彼の–上に そして 声が 〜から 天から あった あなたは である その
G1909 G0846 G2532 G5456 G1537 G3772 G1096 G4771 G1510 G3588

Υἱός μου, ὁ ἀγαπητός; ἐν σοὶ εὐδόκησα.
わが–子 わたしの その 愛する–者 〜を–もって あなたを わたしは–喜ぶ
G5207 G1473 G3588 G0027 G1722 G4771 G2106

聖霊がはとのような姿をとってイエスの上に下り、そして天から声がした、「あなたはわたしの愛する子、わたしの心にかなう者である」。

23 Καὶ αὐτὸς ἦν Ἰησοῦς ἀρχόμενος ὡσεὶ ἐτῶν τριάκοντα, ὢν υἱός,
そして 彼自身 であった イエスは 始めた–時 およそ 歳の 三十 であった 子
G2532 G0846 G1510 G2424 G0756 G5616 G2094 G5144 G1510 G5207

ὡς ἐνομίζετο, Ἰωσὴφ, τοῦ Ἡλὶ,
〜と 思われていた ヨセフの その エリの
G5613 G3543 G2501 G3588 G2242

イエスが宣教をはじめられたのは、年およそ三十歳の時であって、人々の考えによれば、ヨセフの子であった。ヨセフはヘリの子、

24 τοῦ Ματθὰτ, τοῦ Λευὶ, τοῦ Μελχὶ, τοῦ Ἰανναὶ, τοῦ Ἰωσὴφ,
その マタテの その レビの その メルキの その ヤンナイの その ヨセフの
G3588 G3158 G3588 G3017 G3588 G3197 G3588 G2388 G3588 G2501

それから、さかのぼって、マタテ、レビ、メルキ、ヤンナイ、ヨセフ、

25 τοῦ Ματταθίου, τοῦ Ἀμὼς, τοῦ Ναοὺμ, τοῦ Ἑσλὶ, τοῦ Ναγγαὶ,
その マタテヤの その アモスの その ナホムの その エスリの その ナガイの
G3588 G3161 G3588 G0301 G3588 G3486 G3588 G2069 G3588 G3477

マタテヤ、アモス、ナホム、エスリ、ナンガイ、

26 τοῦ Μαὰθ, τοῦ Ματταθίου, τοῦ Σεμεῖν, τοῦ Ἰωσὴχ, τοῦ Ἰωδὰ,
その マアテの その マタテヤの その セメインの その ヨセクの その ヨダの
G3588 G3092 G3588 G3161 G3588 G4584 G3588 G2501 G3588 G2448

マハテ、マタテヤ、シメイ、ヨセク、ヨダ、

27 τοῦ Ἰωανὰν, τοῦ Ῥησὰ, τοῦ Ζοροβάβελ τοῦ Σαλαθιὴλ, τοῦ Νηρὶ,
その ヨハナンの その レサの その ゾロバベルの その サラテルの その ネリの
G3588 G2490 G3588 G4488 G3588 G2216 G3588 G4528 G3588 G3518

ヨハナン、レサ、ゾロバベル、サラテル、ネリ、

28 τοῦ Μελχὶ, τοῦ Ἀδδὶ, τοῦ Κωσὰμ, τοῦ Ἐλμαδὰμ, τοῦ Ἢρ,
その メルキの その アデの その コサムの その エルマダムの その エルの
G3588 G3197 G3588 G0078 G3588 G2973 G3588 G1678 G3588 G2262

メルキ、アデイ、コサム、エルマダム、エル、

29 τοῦ Ἰησοῦ, τοῦ Ἐλιέζερ, τοῦ Ἰωρὶμ, τοῦ Ματθὰτ, τοῦ Λευὶ,
その ヨシュアの その エリエゼルの その ヨリムの その マタテの その レビの
G3588 G2424 G3588 G1663 G3588 G2497 G3588 G3158 G3588 G3017

ヨシュア、エリエゼル、ヨリム、マタテ、レビ、

30

τοῦ	Συμεὼν,	τοῦ	Ἰούδα,	τοῦ	Ἰωσὴφ,	τοῦ	Ἰωνὰμ,	τοῦ	Ἐλιακὶμ,
その	シメオンの	その	ユダの	その	ヨセフの	その	ヨナムの	その	エリヤキムの
G3588	G4826	G3588	G2455	G3588	G2501	G3588	G2494	G3588	G1662

シメオン、ユダ、ヨセフ、ヨナム、エリヤキム、

31

τοῦ	Μελεὰ,	τοῦ	Μεννὰ,	τοῦ	Ματταθὰ,	τοῦ	Ναθὰμ,	τοῦ	Δαυὶδ,
その	メレヤの	その	メンナの	その	マタタの	その	ナタンの	その	ダビデの
G3588	G3190	G3588	G3104	G3588	G3160	G3588	G3481	G3588	G1138

メレヤ、メナ、マタタ、ナタン、ダビデ、

32

τοῦ	Ἰεσσαὶ,	τοῦ	Ἰωβὴδ,	τοῦ	Βοὸς,	τοῦ	Σαλὰ,	τοῦ	Ναασσὼν,
その	エッサイの	その	オベデの	その	ボアズの	その	サラの	その	ナアソンの
G3588	G2421	G3588	G5601	G3588	G1003	G3588	G4527	G3588	G3476

エッサイ、オベデ、ボアズ、サラ、ナアソン、

33

τοῦ	Ἀμιναδὰβ,	τοῦ	Ἀδμὶν,	τοῦ	Ἀρνὶ,	τοῦ	Ἑσρὼμ,	τοῦ	Φαρὲς,
その	アミナダブの	その	アデミンの	その	アルニの	その	ヘスロンの	その	パレスの
G3588	G0284	G3588	G0689	G3588	G0689	G3588	G2074	G3588	G5329

τοῦ	Ἰούδα,
その	ユダの
G3588	G2455

アミナダブ、アデミン、アルニ、エスロン、パレス、ユダ、

34

τοῦ	Ἰακὼβ,	τοῦ	Ἰσαὰκ,	τοῦ	Ἀβραὰμ,	τοῦ	Θάρα,	τοῦ	Ναχὼρ,
その	ヤコブの	その	イサクの	その	アブラハムの	その	テラの	その	ナホルの
G3588	G2384	G3588	G2464	G3588	G0011	G3588	G2291	G3588	G3493

ヤコブ、イサク、アブラハム、テラ、ナホル、

35

τοῦ	Σεροὺχ,	τοῦ	Ῥαγαῦ,	τοῦ	Φάλεκ,	τοῦ	Ἔβερ,	τοῦ	Σαλὰ,
その	セルグの	その	ラガウの	その	パレグの	その	エベルの	その	サラの
G3588	G4562	G3588	G4466	G3588	G5317	G3588	G1443	G3588	G4527

セルグ、レウ、ペレグ、エベル、サラ、

36

τοῦ	Καϊνὰμ,	τοῦ	Ἀρφαξὰδ,	τοῦ	Σὴμ,	τοῦ	Νῶε,	τοῦ	Λάμεχ,
その	カイナンの	その	アルパクサデの	その	セムの	その	ノアの	その	ラメクの
G3588	G2536	G3588	G0742	G3588	G4590	G3588	G3575	G3588	G2984

カイナン、アルパクサデ、セム、ノア、ラメク、

37

τοῦ	Μαθουσαλὰ,	τοῦ	Ἑνὼχ,	τοῦ	Ἰάρετ,	τοῦ	Μαλελεὴλ,	τοῦ	Καϊνὰμ,
その	メトセラの	その	エノクの	その	ヤレデの	その	マハラレルの	その	カイナンの
G3588	G3103	G3588	G1802	G3588	G2391	G3588	G3121	G3588	G2536

メトセラ、エノク、ヤレデ、マハラレル、カイナン、

38

τοῦ	Ἐνὼς,	τοῦ	Σὴθ,	τοῦ	Ἀδὰμ,	τοῦ	Θεοῦ.		
その	エノシュの	その	セツの	その	アダムの	その	神の		
G3588	G1800	G3588	G4589	G3588	G0076	G3588	G2316		

エノス、セツ、アダム、そして神にいたる。

Chapter 4

1 Ἰησοῦς δὲ, πλήρης Πνεύματος Ἁγίου, ὑπέστρεψεν ἀπὸ τοῦ Ἰορδάνου,
イエスは そして 満ちて 霊の 聖なる 帰った から その ヨルダンから
G2424 G1161 G4134 G4151 G0040 G5290 G0575 G3588 G2446

καὶ ἤγετο ἐν τῷ Πνεύματι ἐν τῇ ἐρήμῳ.
そして 導かれた によって その 御霊に へ その 荒野に
G2532 G0071 G1722 G3588 G4151 G1722 G3588 G2048

さて、イエスは聖霊に満ちてヨルダン川から帰り、

2 ἡμέρας τεσσεράκοντα πειραζόμενος ὑπὸ τοῦ διαβόλου; Καὶ οὐκ
日々 四十 試みられて によって その 悪魔に そして 何も
G2250 G5062 G3985 G5259 G3588 G1228 G2532 G3756

ἔφαγεν οὐδὲν ἐν ταῖς ἡμέραις ἐκείναις, καὶ συντελεσθεισῶν αὐτῶν,
食べなかった 何も の間 その 日々の それらの そして 終わった–とき それらが
G5315 G3762 G1722 G3588 G2250 G1565 G2532 G4931 G0846

ἐπείνασεν.
飢えた
G3983

荒野を四十日のあいだ御霊にひきまわされて、悪魔の試みにあわれた。そのあいだ何も食べず、その日数がつきると、空腹になられた。

3 εἶπεν δὲ αὐτῷ ὁ διάβολος, Εἰ Υἱὸς εἶ τοῦ Θεοῦ, εἰπὲ
言った そして 彼に その 悪魔が もし 子 であるなら の 神の 命じよ
G3004 G1161 G0846 G3588 G1228 G1487 G5207 G1510 G3588 G2316 G3004

τῷ λίθῳ τούτῳ, ἵνα γένηται ἄρτος.
この 石に この なるように なれと パンに
G3588 G3037 G3778 G2443 G1096 G0740

そこで悪魔が言った、「もしあなたが神の子であるなら、この石に、パンになれと命じてごらんなさい」。

4 καὶ ἀπεκρίθη πρὸς αὐτὸν ὁ Ἰησοῦς, Γέγραπται, ὅτι Οὐκ ἐπ’
そして 答えた に向かって 彼に その イエスは 書かれている こう ない によって
G2532 G0611 G4314 G0846 G3588 G2424 G1125 G3754 G3756 G1909

ἄρτῳ μόνῳ ζήσεται ὁ ἄνθρωπος, <ἀλλ’ ἐπὶ παντὶ ῥήματι θεοῦ>.
パン だけでは 生きる その 人は しかし によって すべての 御言葉で 神の
G0740 G3441 G2198 G3588 G0444 G0235 G1909 G3956 G4487 G2316

イエスは答えて言われた、「『人はパンだけで生きるものではない』と書いてある」。

5 Καὶ ἀναγαγὼν αὐτὸν <ὁ διάβολος εἰς ὄρος ὑψηλὸν>, ἔδειξεν αὐτῷ
そして 連れ上げて 彼を その 悪魔は へ 山の 高い 見せた 彼に
G2532 G0321 G0846 G3588 G1228 G1519 G3735 G5308 G1166 G0846

πάσας τὰς βασιλείας τῆς οἰκουμένης ἐν στιγμῇ χρόνου.
すべての その 王国を の 世界の の内に 一瞬の 時の
G3956 G3588 G0932 G3588 G3625 G1722 G4743 G5550

それから、悪魔はイエスを高い所へ連れて行き、またたくまに世界のすべての国々を見せて

6 καὶ εἶπεν αὐτῷ ὁ διάβολος, Σοὶ δώσω τὴν ἐξουσίαν ταύτην
そして 言った 彼に その 悪魔は あなたに 与えよう この 権威を この
G2532 G3004 G0846 G3588 G1228 G4771 G1325 G3588 G1849 G3778

ἅπασαν, καὶ τὴν δόξαν αὐτῶν; ὅτι ἐμοὶ παραδέδοται, καὶ ᾧ
すべての そして その 栄光を それらの なぜなら 私に 渡されており そして 誰にでも
G0537 G2532 G3588 G1391 G0846 G3754 G1473 G3860 G2532 G3739

ἐὰν θέλω, δίδωμι αὐτήν.
もし 望むなら 与える それを
G1437 G2309 G1325 G0846

言った、「これらの国々の権威と栄華とをみんな、あなたにあげましょう。それらはわたしに任せられていて、だれでも好きな人にあげてよいのですから。

7 σὺ οὖν, ἐὰν προσκυνήσῃς ἐνώπιον ἐμοῦ, ἔσται σοῦ πᾶσα.
あなたが だから もし ひれ伏すなら 前に 私の なる あなたの すべてが
G4771 G3767 G1437 G4352 G1799 G1473 G1510 G4771 G3956

それで、もしあなたがわたしの前にひざまずくなら、これを全部あなたのものにしてあげましょう」。

8 καὶ ἀποκριθεὶς, ὁ Ἰησοῦς εἶπεν αὐτῷ, Γέγραπται, Προσκυνήσεις «Κύριον
そして 答えて その イエスは 言った 彼に 書かれている 礼拝せよ 主を
G2532 G0611 G3588 G2424 G3004 G0846 G1125 G4352 G2962

τὸν Θεόν σου», καὶ αὐτῷ μόνῳ λατρεύσεις.
その 神を あなたの そして 主に だけに 仕えよ
G3588 G2316 G4771 G2532 G0846 G3441 G3000

イエスは答えて言われた、「『主なるあなたの神を拝し、ただ神にのみ仕えよ』と書いてある」。

9 Ἤγαγεν δὲ αὐτὸν εἰς Ἰερουσαλὴμ, καὶ ἔστησεν ἐπὶ τὸ πτερύγιον
連れて行った そして 彼を へ エルサレムに そして 立たせた の上に その 頂に
G0071 G1161 G0846 G1519 G2419 G2532 G2476 G1909 G3588 G4419

τοῦ ἱεροῦ, καὶ εἶπεν αὐτῷ, Εἰ Υἱὸς εἶ τοῦ Θεοῦ, βάλε
の 神殿の そして 言った 彼に もし 子 であるなら の 神の 投げよ
G3588 G2411 G2532 G3004 G0846 G1487 G5207 G1510 G3588 G2316 G0906

σεαυτὸν ἐντεῦθεν κάτω;
自分自身を ここから 下に
G4572 G1782 G2736

それから悪魔はイエスをエルサレムに連れて行き、宮の頂上に立たせて言った、「もしあなたが神の子であるなら、ここから下へ飛びおりてごらんなさい。

10 γέγραπται γὰρ, ὅτι τοῖς ἀγγέλοις αὐτοῦ ἐντελεῖται περὶ σοῦ,
書かれている なぜなら こう その 御使いたちに 主の 命じる について あなたを
G1125 G1063 G3754 G3588 G0032 G0846 G1781 G4012 G4771

τοῦ διαφυλάξαι σε;
ために 守るように あなたを
G3588 G1314 G4771

『神はあなたのために、御使たちに命じてあなたを守らせるであろう』とあり、

11 καὶ ὅτι ἐπὶ χειρῶν ἀροῦσίν σε, μή ποτε προσκόψῃς πρὸς
そして こう の上で 手の 支える あなたを 決して ないように 打ちつけ に
G2532 G3754 G1909 G5495 G0142 G4771 G3361 G4219 G4350 G4314

λίθον τὸν πόδα σου.
石に その 足を あなたの
G3037 G3588 G4228 G4771

また、『あなたの足が石に打ちつけられないように、彼らはあなたを手でささえるであろう』とも書いてあります」。

12	καὶ	ἀποκριθεὶς,	εἶπεν	αὐτῷ	ὁ	Ἰησοῦς,	ὅτι	Εἴρηται,	Οὐκ
そして	答えて	言った	彼に	その	イエスは	こう	言われている	ない
G2532	G0611	G3004	G0846	G3588	G2424	G3754	G2046	G3756

ἐκπειράσεις	Κύριον	τὸν	Θεόν	σου.
試みては–ならない	主を	その	神を	あなたの
G1598	G2962	G3588	G2316	G4771

イエスは答えて言われた、「『主なるあなたの神を試みてはならない』と言われている」。

13	Καὶ	συντελέσας	πάντα	πειρασμὸν,	ὁ	διάβολος	ἀπέστη	ἀπ’	αὐτοῦ	ἄχρι
そして	終えて	すべての	誘惑を	その	悪魔は	離れた	から	彼から	まで
G2532	G4931	G3956	G3986	G3588	G1228	G0868	G0575	G0846	G0891

καιροῦ.

時の–来るまで
G2540

悪魔はあらゆる試みをしつくして、一時イエスを離れた。

14	Καὶ	ὑπέστρεψεν	ὁ	Ἰησοῦς	ἐν	τῇ	δυνάμει	τοῦ	Πνεύματος	εἰς
そして	帰った	その	イエスは	の内に	その	力の	の	御霊の	へ
G2532	G5290	G3588	G2424	G1722	G3588	G1411	G3588	G4151	G1519

τὴν	Γαλιλαίαν;	καὶ	φήμη	ἐξῆλθεν	καθ’	ὅλης	τῆς	περιχώρου,	περὶ
その	ガリラヤに	そして	評判が	広まった	を通じて	全	その	周辺–地方に	について
G3588	G1056	G2532	G5345	G1831	G2596	G3650	G3588	G4066	G4012

αὐτοῦ.

彼の
G0846

それからイエスは御霊の力に満ちあふれてガリラヤへ帰られると、そのうわさがその地方全体にひろまった。

15	καὶ	αὐτὸς	ἐδίδασκεν	ἐν	ταῖς	συναγωγαῖς	αὐτῶν,	δοξαζόμενος	ὑπὸ
そして	彼は	教えていた	で	その	会堂で	彼らの	たたえられて	に
G2532	G0846	G1321	G1722	G3588	G4864	G0846	G1392	G5259

πάντων.

すべての–人に
G3956

イエスは諸会堂で教え、みんなの者から尊敬をお受けになった。

16	Καὶ	ἦλθεν	εἰς	Ναζαρά,	οὗ	ἦν	τεθραμμένος;	καὶ	εἰσῆλθεν	κατὰ
そして	来た	へ	ナザレに	そこで	ていた	育てられ	そして	入った	に従い
G2532	G2064	G1519	G3478	G3757	G1510	G5142	G2532	G1525	G2596

τὸ	εἰωθὸς	αὐτῷ,	ἐν	τῇ	ἡμέρᾳ	τῶν	σαββάτων,	εἰς	τὴν	συναγωγήν,
その	習慣に	自分の	に	その	日に	の	安息日の	へ	その	会堂に
G3588	G1486	G0846	G1722	G3588	G2250	G3588	G4521	G1519	G3588	G4864

καὶ	ἀνέστη	ἀναγνῶναι.
そして	立ち上がった	朗読するために
G2532	G0450	G0314

それからお育ちになったナザレに行き、安息日にいつものように会堂にはいり、聖書を朗読しようとして立たれた。

17 καὶ ἐπεδόθη αὐτῷ βιβλίον τοῦ προφήτου Ἡσαΐου, καὶ ἀναπτύξας τὸ
そして 手渡された 彼に 書巻が の 預言者 イザヤの そして 開いて その
G2532 G1929 G0846 G0975 G3588 G4396 G2268 G2532 G0380 G3588

βιβλίον, εὗρεν τὸν τόπον οὗ ἦν γεγραμμένον,
書巻を 見つけた その 箇所を そこに あった 書かれて
G0975 G2147 G3588 G5117 G3739 G1510 G1125

すると預言者イザヤの書が手渡されたので、その書を開いて、こう書いてある所を出された、

18 Πνεῦμα Κυρίου ἐπ’ ἐμέ, οὗ εἵνεκεν ἔχρισέν με εὐαγγελίσασθαι
霊が 主の の上に 私に そのゆえに ために 油を–注がれた 私に 福音を–伝えるために
G4151 G2962 G1909 G1473 G3739 G1752 G5548 G1473 G2097

πτωχοῖς. ἀπέσταλκέν με <ἰάσασθαι τοὺς συντετριμμένους τὴν καρδίαν>,
貧しい–人々に 遣わされた 私を いやすために その 打ち砕かれた その 心の–者を
G4434 G0649 G1473 G2390 G3588 G4937 G3588 G2588

κηρῦξαι αἰχμαλώτοις ἄφεσιν, καὶ τυφλοῖς ἀνάβλεψιν, ἀποστεῖλαι
宣べ伝えるために 捕らわれ人に 解放を そして 目の–見えない人に 視力の–回復を 送り出すために
G2784 G0164 G0859 G2532 G5185 G0309 G0649

τεθραυσμένους ἐν ἀφέσει,
虐げられた–者を の内に 自由に
G2352 G1722 G0859

「主の御霊がわたしに宿っている。貧しい人々に福音を宣べ伝えさせるために、わたしを聖別してくださったからである。主はわたしをつかわして、囚人が解放され、盲人の目が開かれることを告げ知らせ、打ちひしがれている者に自由を得させ、

19 κηρῦξαι ἐνιαυτὸν Κυρίου δεκτόν.
宣べ伝えるために 年を 主の 恵みの
G2784 G1763 G2962 G1184

主のめぐみの年を告げ知らせるのである」。

20 καὶ πτύξας τὸ βιβλίον, ἀποδοὺς τῷ ὑπηρέτῃ, ἐκάθισεν, καὶ
そして 巻いて その 書巻を 返して その 係の–者に 座った そして
G2532 G4428 G3588 G0975 G0591 G3588 G5257 G2523 G2532

πάντων οἱ ὀφθαλμοὶ ἐν τῇ συναγωγῇ ἦσαν ἀτενίζοντες αὐτῷ.
すべての–人の その 目が の中で その 会堂の あった 見つめて 彼を
G3956 G3588 G3788 G1722 G3588 G4864 G1510 G0816 G0846

イエスは聖書を巻いて係りの者に返し、席に着かれると、会堂にいるみんなの者の目がイエスに注がれた。

21 ἤρξατο δὲ λέγειν πρὸς αὐτοὺς, ὅτι Σήμερον πεπλήρωται ἡ
始めた そして 語ることを に向かって 彼らに こう 今日 成就した この
G0756 G1161 G3004 G4314 G0846 G3754 G4594 G4137 G3588

γραφὴ αὕτη, ἐν τοῖς ὠσὶν ὑμῶν.
聖書が この の中で あなたがたの 耳の中で あなたがたの
G1124 G3778 G1722 G3588 G3775 G4771

そこでイエスは、「この聖句は、あなたがたが耳にしたこの日に成就した」と説きはじめられた。

22 καὶ πάντες ἐμαρτύρουν αὐτῷ, καὶ ἐθαύμαζον ἐπὶ τοῖς λόγοις
そして すべての–人が 証言した 彼について そして 驚いた について その 言葉に
G2532 G3956 G3140 G0846 G2532 G2296 G1909 G3588 G3056

τῆς χάριτος τοῖς ἐκπορευομένοις ἐκ τοῦ στόματος αὐτοῦ; καὶ ἔλεγον,
の 恵みの その 出てくる から その 口から 彼の そして 言った
G3588 G5485 G3588 G1607 G1537 G3588 G4750 G0846 G2532 G3004

Οὐχὶ υἱός ἐστιν Ἰωσὴφ οὗτος?
ではないか 息子 である ヨセフの この–人は
G3780 G5207 G1510 G2501 G3778

すると、彼らはみなイエスをほめ、またその口から出て来るめぐみの言葉に感嘆して言った、「この人はヨセフの子ではないか」。

23 καὶ εἶπεν πρὸς αὐτούς, Πάντως ἐρεῖτέ μοι τὴν παραβολὴν ταύτην,
そして 言った に向かって 彼らに きっと 言うだろう 私に この たとえを この
G2532 G3004 G4314 G0846 G3843 G2046 G1473 G3588 G3850 G3778

Ἰατρέ θεράπευσον σεαυτόν; ὅσα ἠκούσαμεν γενόμενα εἰς τὴν
医者よ いやせ 自分–自身を すべてのことを 聞いた 行われたと で その
G2395 G2323 G4572 G3745 G0191 G1096 G1519 G3588

Καφαρναοὺμ, ποίησον καὶ ὧδε ἐν τῇ πατρίδι σου.
カペナウムで せよ また ここでも で あなたの 故郷で あなたの
G2584 G4160 G2532 G5602 G1722 G3588 G3968 G4771

そこで彼らに言われた、「あなたがたは、きっと『医者よ、自分自身をいやせ』ということわざを引いて、カペナウムで行われたと聞いていた事を、あなたの郷里のこの地でもしてくれ、と言うであろう」。

24 εἶπεν δέ, Ἀμὴν λέγω ὑμῖν, ὅτι οὐδεὶς προφήτης δεκτός ἐστιν
言った しかし まことに 言う あなたがたに こう 誰も 預言者は 受け入れられ ない
G3004 G1161 G0281 G3004 G4771 G3754 G3762 G4396 G1184 G1510

ἐν τῇ πατρίδι αὐτοῦ.
で その 故郷では 自分の
G1722 G3588 G3968 G0846

それから言われた、「よく言っておく。預言者は、自分の郷里では歓迎されないものである。

25 ἐπ’ ἀληθείας δὲ λέγω ὑμῖν, πολλαὶ χῆραι ἦσαν ἐν ταῖς
まことに 真実に しかし 言う あなたがたに 多くの やもめが いた に その
G1909 G0225 G1161 G3004 G4771 G4183 G5503 G1510 G1722 G3588

ἡμέραις Ἠλίου ἐν τῷ Ἰσραήλ, ὅτε ἐκλείσθη ὁ οὐρανὸς ἐπὶ ἔτη
日々に エリヤの で その イスラエルに とき 閉ざされた その 天が の間 年
G2250 G2243 G1722 G3588 G2474 G3753 G2808 G3588 G3772 G1909 G2094

τρία καὶ μῆνας ἕξ, ὡς ἐγένετο λιμὸς μέγας ἐπὶ πᾶσαν τὴν γῆν;
三 と 月 六 ように なった 飢饉が 大きな に すべての その 地に
G5140 G2532 G3376 G1803 G5613 G1096 G3042 G3173 G1909 G3956 G3588 G1093

よく聞いておきなさい。エリヤの時代に、三年六か月にわたって天が閉じ、イスラエル全土に大ききんがあった際、そこには多くのやもめがいたのに、

26 καὶ πρὸς οὐδεμίαν αὐτῶν ἐπέμφθη Ἠλίας, εἰ μὴ εἰς
しかし へ 誰のところにも 彼女たちの 遣わされなかった エリヤは ただ のみ へ
G2532 G4314 G3762 G0846 G3992 G2243 G1487 G3361 G1519

Σάρεπτα τῆς Σιδωνίας, πρὸς γυναῖκα, χήραν.
サレプタの の シドンの のところへ 女の やもめの
G4558 G3588 G4606 G4314 G1135 G5503

エリヤはそのうちのだれにもつかわされないで、ただシドンのサレプタにいるひとりのやもめにだけつかわされた。

27 καὶ そして G2532 πολλοὶ 多くの G4183 λεπροὶ ツァラアト患者が G3015 ἦσαν いた G1510 ἐν に G1722 τῷ その G3588 Ἰσραὴλ, イスラエルに G2474 ἐπὶ の時代に G1909 Ἐλισαίου エリシャ G1666 τοῦ その G3588 προφήτου, 預言者の G4396 καὶ しかし G2532 οὐδεὶς 誰も G3762 αὐτῶν 彼らの G0846 ἐκαθαρίσθη, きよめられなかった G2511 εἰ ただ G1487 μὴ のみ G3361 Ναιμὰν ナアマン G3497 ὁ その G3588 Σύρος. シリア人だけ G4948

また預言者エリシャの時代に、イスラエルには多くのらい病人がいたのに、そのうちのひとりもきよめられないで、ただシリヤのナアマンだけがきよめられた」。

28 καὶ そして G2532 ἐπλήσθησαν 満ちた G4130 πάντες すべての-人が G3956 θυμοῦ 怒りに G2372 ἐν で G1722 τῇ その G3588 συναγωγῇ, 会堂で G4864 ἀκούοντες 聞いて G0191 ταῦτα; これらのことを G3778

会堂にいた者たちはこれを聞いて、みな憤りに満ち、

29 καὶ そして G2532 ἀναστάντες, 立ち上がって G0450 ἐξέβαλον 追い出した G1544 αὐτὸν 彼を G0846 ἔξω 外に G1854 τῆς の G3588 πόλεως, 町の G4172 καὶ そして G2532 ἤγαγον 連れて行った G0071 αὐτὸν 彼を G0846 ἕως まで G2193 ὀφρύος 崖の G3790 τοῦ の G3588 ὄρους 山の G3735 ἐφ’ の上の G1909 οὗ その G3739 ἡ その G3588 πόλις 町が G4172 ᾠκοδόμητο 建てられていた G3618 αὐτῶν, 彼らの G0846 ὥστε ために G5620 κατακρημνίσαι 突き落とそうと G2630 αὐτόν; 彼を G0846

立ち上がってイエスを町の外へ追い出し、その町が建っている丘のがけまでひっぱって行って、突き落そうとした。

30 αὐτὸς しかし-彼は G0846 δὲ, そして G1161 διελθὼν 通り抜けて G1330 διὰ を通って G1223 μέσου 真ん中を G3319 αὐτῶν, 彼らの G0846 ἐπορεύετο. 去って行った G4198

しかし、イエスは彼らのまん中を通り抜けて、去って行かれた。

31 Καὶ そして G2532 κατῆλθεν 下って行った G2718 εἰς へ G1519 Καφαρναοὺμ, カペナウムに G2584 πόλιν 町 G4172 τῆς の G3588 Γαλιλαίας, ガリラヤの G1056 καὶ そして G2532 ἦν ていた G1510 διδάσκων 教え G1321 αὐτοὺς 彼らを G0846 ἐν に G1722 τοῖς その G3588 σάββασιν. 安息日に G4521

それから、イエスはガリラヤの町カペナウムに下って行かれた。そして安息日になると、人々をお教えになったが、

32 καὶ そして G2532 ἐξεπλήσσοντο 驚いた G1605 ἐπὶ について G1909 τῇ その G3588 διδαχῇ 教えに G1322 αὐτοῦ, 彼の G0846 ὅτι なぜなら G3754 ἐν に G1722 ἐξουσίᾳ 権威を-もって G1849

ἦν あった G1510 ὁ その G3588 λόγος 言葉は G3056 αὐτοῦ. 彼の G0846

その言葉に権威があったので、彼らはその教に驚いた。

33 καὶ そして G2532 ἐν の中に G1722 τῇ その G3588 συναγωγῇ 会堂に G4864 ἦν いた G1510 ἄνθρωπος 人が G0444 ἔχων 持っている G2192 πνεῦμα 霊を G4151 δαιμονίου 悪霊の G1140

ἀκαθάρτου; 汚れた G0169 καὶ そして G2532 ἀνέκραξεν 叫んだ G0349 φωνῇ 声で G5456 μεγάλῃ, 大きな G3173

すると、汚れた悪霊につかれた人が会堂にいて、大声で叫び出した、

34 Ἔα! ああ G1436 τί 何の G5101 ἡμῖν 私たちに G1473 καὶ と G2532 σοί, あなたに G4771 Ἰησοῦ, イエスよ G2424 Ναζαρηνέ? ナザレの G3479 ἦλθες 来たのか G2064 ἀπολέσαι 滅ぼしに G0622 ἡμᾶς? 私たちを G1473

οἶδά 知っている G1492 σε あなたを G4771 τίς 誰か G5101 εἶ, であるか G1510 ὁ その G3588 Ἅγιος 聖なる-者 G0040 τοῦ の G3588 Θεοῦ. 神の G2316

「ああ、ナザレのイエスよ、あなたはわたしたちとなんの係わりがあるのです。わたしたちを滅ぼしにこられたのですか。あなたがどなたであるか、わかっています。神の聖者です」。

35 καὶ そして G2532 ἐπετίμησεν 叱った G2008 αὐτῷ それを G0846 ὁ その G3588 Ἰησοῦς, イエスは G2424 λέγων, 言って G3004 Φιμώθητι, 黙れ G5392 καὶ そして G2532 ἔξελθε 出て行け G1831 ἀπ' から G0575

αὐτοῦ! 彼から G0846 καὶ すると G2532 ῥίψαν 投げ倒して G4496 αὐτὸν 彼を G0846 τὸ その G3588 δαιμόνιον 悪霊は G1140 εἰς の中で G1519 τὸ その G3588 μέσον, 真ん中で G3319 ἐξῆλθεν 出て行った G1831

ἀπ' から G0575 αὐτοῦ, 彼から G0846 μηδὲν 何も G3367 βλάψαν 傷つけずに G0984 αὐτόν. 彼を G0846

イエスはこれをしかって、「黙れ、この人から出て行け」と言われた。すると悪霊は彼を人なかに投げ倒し、傷は負わせずに、その人から出て行った。

36 καὶ そして G2532 ἐγένετο 生じた G1096 θάμβος 驚きが G2285 ἐπὶ に G1909 πάντας, すべての-人に G3956 καὶ そして G2532 συνελάλουν 語り合った G4814 πρὸς に向かって G4314 ἀλλήλους, 互いに G0240

λέγοντες, 言って G3004 Τίς 何だ G5101 ὁ この G3588 λόγος 言葉は G3056 οὗτος, これは G3778 ὅτι なぜなら G3754 ἐν で G1722 ἐξουσίᾳ 権威と G1849 καὶ そして G2532 δυνάμει 力で G1411 ἐπιτάσσει 命じると G2004

τοῖς その G3588 ἀκαθάρτοις 汚れた G0169 πνεύμασιν, 霊に G4151 καὶ すると G2532 ἐξέρχονται? 出て行く G1831

みんなの者は驚いて、互に語り合って言った、「これは、いったい、なんという言葉だろう。権威と力とをもって汚れた霊に命じられると、彼らは出て行くのだ」。

37 καὶ そして G2532 ἐξεπορεύετο 広まっていった G1607 ἦχος 評判が G2279 περὶ について G4012 αὐτοῦ 彼の G0846 εἰς へ G1519 πάντα すべての G3956 τόπον 場所に G5117 τῆς の G3588 περιχώρου. 周辺-地方の G4066

こうしてイエスの評判が、その地方のいたる所にひろまっていった。

38 Ἀναστὰς 立ち上がって G0450 δὲ そして G1161 ἀπὸ から G0575 τῆς その G3588 συναγωγῆς, 会堂から G4864 εἰσῆλθεν 入った G1525 εἰς へ G1519 τὴν その G3588 οἰκίαν 家に G3614 Σίμωνος. シモンの G4613

πενθερὰ しゅうとめは G3994 δὲ そして G1161 τοῦ の G3588 Σίμωνος シモンの G4613 ἦν ていた G1510 συνεχομένη 苦しめられ G4912 πυρετῷ 熱に G4446 μεγάλῳ; ひどい G3173 καὶ そして G2532

ἠρώτησαν 頼んだ G2065 αὐτὸν 彼に G0846 περὶ について G4012 αὐτῆς. 彼女の G0846

イエスは会堂を出てシモンの家におはいりになった。ところがシモンのしゅうとめが高い熱を病んでいたので、人々は彼女のためにイエスにお願いした。

39 καὶ そして G2532 ἐπιστὰς 近づいて G2186 ἐπάνω の上に G1883 αὐτῆς, 彼女に G0846 ἐπετίμησεν 叱った G2008 τῷ その G3588 πυρετῷ, 熱を G4446 καὶ すると G2532 ἀφῆκεν 去った G0863 αὐτήν; 彼女から G0846

παραχρῆμα 直ちに G3916 δὲ そして G1161 ἀναστᾶσα, 起き上がって G0450 διηκόνει もてなした G1247 αὐτοῖς. 彼らを G0846

そこで、イエスはそのまくらもとに立って、熱が引くように命じられると、熱は引き、女はすぐに起き上がって、彼らをもてなした。

40 Δύνοντος 沈む-とき G1416 δὲ そして G1161 τοῦ の G3588 ἡλίου, 日が G2246 ἅπαντες すべての G0537 ὅσοι ところの G3745 εἶχον 抱えている-人々が G2192 ἀσθενοῦντας 病人を G0770

νόσοις 病の G3554 ποικίλαις, さまざまな G4164 ἤγαγον 連れて来た G0071 αὐτοὺς 彼らを G0846 πρὸς のもとへ G4314 αὐτόν, 彼の G0846 ὁ その G3588 δὲ そして G1161 ἑνὶ 一人 G1520 ἑκάστῳ 一人に G1538

αὐτῶν, 彼らの G0846 τὰς その G3588 χεῖρας 手を G5495 ἐπιτιθεὶς, 置いて G2007 ἐθεράπευεν いやした G2323 αὐτούς; 彼らを G0846

日が暮れると、いろいろな病気になやむ者をかかえている人々が、皆それをイエスのところに連れてきたので、そのひとりびとりに手を置いて、おいやしになった。

41 ἐξήρχετο 出て行った G1831 δὲ また G1161 καὶ また G2532 δαιμόνια 悪霊も G1140 ἀπὸ から G0575 πολλῶν, 多くの-人から G4183 κραυγάζοντα 叫んで G2905 καὶ そして G2532 λέγοντα, 言って G3004

ὅτι こう G3754 Σὺ あなたは G4771 εἶ である G1510 ὁ その G3588 Υἱὸς 子 G5207 τοῦ の G3588 Θεοῦ. 神の G2316 καὶ しかし G2532 ἐπιτιμῶν, 叱って G2008 οὐκ ない G3756 εἴα 許さなかった G1439

αὐτὰ それらに G0846 λαλεῖν, 語ることを G2980 ὅτι なぜなら G3754 ᾔδεισαν 知っていた G1492 τὸν その G3588 Χριστὸν キリスト G5547 αὐτὸν 彼が G0846 εἶναι. であると G1510

悪霊も「あなたこそ神の子です」と叫びながら多くの人々から出ていった。しかし、イエスは彼らを戒めて、物を言うことをお許しにならなかった。彼らがイエスはキリストだと知っていたからである。

42 Γενομένης δὲ ἡμέρας, ἐξελθὼν, ἐπορεύθη εἰς ἔρημον τόπον, καὶ οἱ
なった-とき そして 朝に 出て行って 行った へ 寂しい 場所に すると その
G1096 G1161 G2250 G1831 G4198 G1519 G2048 G5117 G2532 G3588

ὄχλοι ἐπεζήτουν αὐτόν, καὶ ἦλθον ἕως αὐτοῦ καὶ κατεῖχον αὐτὸν,
群衆が 捜していた 彼を そして 来た まで 彼の-ところに そして 引き止めた 彼を
G3793 G1934 G0846 G2532 G2064 G2193 G0846 G2532 G2722 G0846

τοῦ μὴ πορεύεσθαι ἀπ' αὐτῶν.
ために ないように 去って-行か から 彼らから
G3588 G3361 G4198 G0575 G0846

夜が明けると、イエスは寂しい所へ出て行かれたが、群衆が捜しまわって、みもとに集まり、自分たちから離れて行かれないようにと、引き止めた。

43 ὁ δὲ εἶπεν πρὸς αὐτοὺς, ὅτι Καὶ ταῖς ἑτέραις πόλεσιν
しかし 彼は 言った に向かって 彼らに こう また その 他の 町々にも
G3588 G1161 G3004 G4314 G0846 G3754 G2532 G3588 G2087 G4172

εὐαγγελίσασθαί με δεῖ, τὴν βασιλείαν τοῦ Θεοῦ; ὅτι ἐπὶ
福音を-伝え 私は ねばならない その 神の-国の の 神の なぜなら ために
G2097 G1473 G1163 G3588 G0932 G3588 G2316 G3754 G1909

τοῦτο ἀπεστάλην.
このために 遣わされた
G3778 G0649

しかしイエスは、「わたしは、ほかの町々にも神の国の福音を宣べ伝えねばならない。自分はそのためにつかわされたのである」と言われた。

44 καὶ ἦν κηρύσσων εἰς τὰς συναγωγὰς τῆς Ἰουδαίας.
そして ていた 宣べ伝え で その 会堂で の ユダヤの
G2532 G1510 G2784 G1519 G3588 G4864 G3588 G2449

そして、ユダヤの諸会堂で教を説かれた。

Chapter 5

1 Ἐγένετο δὲ ἐν τῷ, τὸν ὄχλον ἐπικεῖσθαι αὐτῷ καὶ ἀκούειν τὸν
あった そして に そのとき その 群衆が 押し寄せて 彼に そして 聞くために その
G1096 G1161 G1722 G3588 G3588 G3793 G1945 G0846 G2532 G0191 G3588

λόγον τοῦ Θεοῦ, καὶ αὐτὸς ἦν ἑστὼς παρὰ τὴν λίμνην Γεννησαρέτ:
言葉を の 神の そして 彼は ていた 立って のほとりに その 湖の ゲネサレの
G3056 G3588 G2316 G2532 G0846 G1510 G2476 G3844 G3588 G3041 G1082

さて、群衆が神の言を聞こうとして押し寄せてきたとき、イエスはゲネサレ湖畔に立っておられたが、

2 καὶ εἶδεν πλοῖα δύο, ἑστῶτα παρὰ τὴν λίμνην, οἱ δὲ
すると 見た 舟を 二そうの 止まっている のほとりに その 湖の その しかし
G2532 G3708 G4143 G1417 G2476 G3844 G3588 G3041 G3588 G1161

ἁλιεῖς ἀπ' αὐτῶν ἀποβάντες, ἔπλυνον τὰ δίκτυα.
漁師たちが から それらから 降りて 洗っていた その 網を
G0231 G0575 G0846 G0576 G4150 G3588 G1350

そこに二そうの小舟が寄せてあるのをごらんになった。漁師たちは、舟からおりて網を洗っていた。

3

ἐμβὰς	δὲ	εἰς	ἓν	τῶν	πλοίων,	ὃ	ἦν	Σίμωνος,	ἠρώτησεν
乗り込んで	そして	へ	一つの	の	舟に	それは	であった	シモンの	頼んだ
G1684	G1161	G1519	G1520	G3588	G4143	G3739	G1510	G4613	G2065

αὐτὸν	ἀπὸ	τῆς	γῆς	ἐπαναγαγεῖν	ὀλίγον.	καθίσας	δὲ,	ἐκ	τοῦ	πλοίου
彼に	から	その	岸から	漕ぎ出すように	少し	座って	そして	から	その	舟から
G0846	G0575	G3588	G1093	G1877	G3641	G2523	G1161	G1537	G3588	G4143

ἐδίδασκεν	τοὺς	ὄχλους.
教えた	その	群衆を
G1321	G3588	G3793

その一そうはシモンの舟であったが、イエスはそれに乗り込み、シモンに頼んで岸から少しこぎ出させ、そしてすわって、舟の中から群衆にお教えになった。

4

ὡς	δὲ	ἐπαύσατο	λαλῶν,	εἶπεν	πρὸς	τὸν	Σίμωνα,	Ἐπανάγαγε	εἰς
すると	そして	やめたとき	語ることを	言った	に向かって	その	シモンに	漕ぎ出せ	へ
G5613	G1161	G3973	G2980	G3004	G4314	G3588	G4613	G1877	G1519

τὸ	βάθος	καὶ	χαλάσατε	τὰ	δίκτυα	ὑμῶν	εἰς	ἄγραν.
その	深みに	そして	下ろせ	その	網を	あなたがたの	ための	漁のために
G3588	G0899	G2532	G5465	G3588	G1350	G4771	G1519	G0061

話がすむと、シモンに「沖へこぎ出し、網をおろして漁をしてみなさい」と言われた。

5

καὶ	ἀποκριθεὶς,	Σίμων	εἶπεν,	Ἐπιστάτα,	δι’	ὅλης	νυκτὸς	κοπιάσαντες,
すると	答えて	シモンは	言った	先生よ	を通して	一晩	夜	苦労して
G2532	G0611	G4613	G3004	G1988	G1223	G3650	G3571	G2872

οὐδὲν	ἐλάβομεν,	ἐπὶ	δὲ	τῷ	ῥήματί	σου,	χαλάσω	τὰ	δίκτυα.
何も	獲れなかった	しかし	ゆえに	その	お言葉に	あなたの	下ろします	その	網を
G3762	G2983	G1909	G1161	G3588	G4487	G4771	G5465	G3588	G1350

シモンは答えて言った、「先生、わたしたちは夜通し働きましたが、何も取れませんでした。しかし、お言葉ですから、網をおろしてみましょう」。

6

καὶ	τοῦτο	ποιήσαντες,	συνέκλεισαν	πλῆθος	ἰχθύων	πολύ;	διερρήσσετο	δὲ
そして	こうして	したところ	囲い込んだ	大量の	魚の	多くの	破れかけた	そして
G2532	G3778	G4160	G4788	G4128	G2486	G4183	G1284	G1161

τὰ	δίκτυα	αὐτῶν.
その	網が	彼らの
G3588	G1350	G0846

そしてそのとおりにしたところ、おびただしい魚の群れがはいって、網が破れそうになった。

7

καὶ	κατένευσαν	τοῖς	μετόχοις	ἐν	τῷ	ἑτέρῳ	πλοίῳ,	τοῦ	ἐλθόντας,
そして	合図した	その	仲間に	の中の	その	もう一つの	舟の	ために	来て
G2532	G2656	G3588	G3353	G1722	G3588	G2087	G4143	G3588	G2064

συλλαβέσθαι	αὐτοῖς;	καὶ	ἦλθον,	καὶ	ἔπλησαν	ἀμφότερα	τὰ	πλοῖα,	ὥστε
手伝うように	彼らに	すると	来て	そして	満たした	両方の	その	舟を	ほどに
G4815	G0846	G2532	G2064	G2532	G4130	G0297	G3588	G4143	G5620

βυθίζεσθαι	αὐτά.
沈みそうに–なるまで	それらが
G1036	G0846

そこで、もう一そうの舟にいた仲間に、加勢に来るよう合図をしたので、彼らがきて魚を両方の舟いっぱいに入れた。そのために、舟が沈みそうになった。

8

ἰδὼν	δὲ,	Σίμων	Πέτρος	προσέπεσεν	τοῖς	γόνασιν	Ἰησοῦ,	λέγων,	
見て	そして	シモン	ペテロは	ひれ伏した	の	膝もとに	イエスの	言って	
G3708	G1161	G4613	G4074	G4363	G3588	G1119	G2424	G3004	

Ἔξελθε	ἀπ’	ἐμοῦ,	ὅτι	ἀνὴρ	ἁμαρτωλός	εἰμι,	Κύριε.	
離れてください	から	私から	なぜなら	男で	罪深い	あります	主よ	
G1831	G0575	G1473	G3754	G0435	G0268	G1510	G2962	

これを見てシモン・ペテロは、イエスのひざもとにひれ伏して言った、「主よ、わたしから離れてください。わたしは罪深い者です」。

9

θάμβος	γὰρ	περιέσχεν	αὐτὸν,	καὶ	πάντας	τοὺς	σὺν	αὐτῷ,	ἐπὶ
驚きが	なぜなら	包んだ	彼を	そして	すべての	その	共にいる	彼と	について
G2285	G1063	G4023	G0846	G2532	G3956	G3588	G4862	G0846	G1909

τῇ	ἄγρᾳ	τῶν	ἰχθύων	ὧν	συνέλαβον;	
その	漁獲に	の	魚の	それらの	獲れた	
G3588	G0061	G3588	G2486	G3739	G4815	

彼も一緒にいた者たちもみな、取れた魚がおびただしいのに驚いたからである。

10

ὁμοίως	δὲ	καὶ	Ἰάκωβον	καὶ	Ἰωάννην,	υἱοὺς	Ζεβεδαίου,	οἳ	ἦσαν
同様に	また	また	ヤコブと	また	ヨハネも	息子である	ゼベダイの	彼らは	であった
G3668	G1161	G2532	G2385	G2532	G2491	G5207	G2199	G3739	G1510

κοινωνοὶ	τῷ	Σίμωνι.	καὶ	εἶπεν	πρὸς	τὸν	Σίμωνα,	ὁ	Ἰησοῦς,
仲間	の	シモンの	そして	言った	に向かって	その	シモンに	その	イエスは
G2844	G3588	G4613	G2532	G3004	G4314	G3588	G4613	G3588	G2424

Μὴ	φοβοῦ;	ἀπὸ	τοῦ	νῦν	ἀνθρώπους	ἔσῃ	ζωγρῶν.
ない	恐れるな	から	その	今から	人を	なる	獲る–者に
G3361	G5399	G0575	G3588	G3568	G0444	G1510	G2221

シモンの仲間であったゼベダイの子ヤコブとヨハネも、同様であった。すると、イエスがシモンに言われた、「恐れることはない。今からあなたは人間をとる漁師になるのだ」。

11

καὶ	καταγαγόντες	τὰ	πλοῖα	ἐπὶ	τὴν	γῆν,	ἀφέντες	πάντα,	ἠκολούθησαν
そして	引き上げて	その	舟を	に	その	岸に	捨てて	すべてを	従った
G2532	G2609	G3588	G4143	G1909	G3588	G1093	G0863	G3956	G0190

αὐτῷ.
彼に
G0846

そこで彼らは舟を陸に引き上げ、いっさいを捨ててイエスに従った。

12 Καὶ そして G2532 ἐγένετο あった G1096 ἐν に G1722 τῷ そのとき G3588 εἶναι いる G1510 αὐτὸν 彼が G0846 ἐν の中の G1722 μιᾷ ある G1520 τῶν の G3588 πόλεων, 町に G4172 καὶ すると G2532 ἰδοὺ, 見よ G3708 ἀνὴρ 男が G0435 πλήρης 満ちた G4134 λέπρας, ツァラアトに G3014 ἰδὼν 見て G3708 δὲ そして G1161 τὸν その G3588 Ἰησοῦν, イエスを G2424 πεσὼν ひれ伏して G4098 ἐπὶ に G1909 πρόσωπον, 顔を G4383 ἐδεήθη 懇願した G1189 αὐτοῦ, 彼に G0846 λέγων, 言って G3004 Κύριε, 主よ G2962 ἐὰν もし G1437 θέλῃς, 望まれるなら G2309 δύνασαί できます G1410 με 私を G1473 καθαρίσαι. きよめることが G2511

イエスがある町におられた時、全身らい病になっている人がそこにいた。イエスを見ると、顔を地に伏せて願って言った、「主よ、みこころでしたら、きよめていただけるのですが」。

13 καὶ そして G2532 ἐκτείνας 伸ばして G1614 τὴν その G3588 χεῖρα, 手を G5495 ἥψατο 触れた G0680 αὐτοῦ, 彼に G0846 λέγων, 言って G3004 Θέλω; 望む G2309 καθαρίσθητι! きよくなれ G2511 καὶ すると G2532 εὐθέως すぐに G2112 ἡ その G3588 λέπρα ツァラアトが G3014 ἀπῆλθεν 去った G0565 ἀπ’ から G0575 αὐτοῦ. 彼から G0846

イエスは手を伸ばして彼にさわり、「そうしてあげよう、きよくなれ」と言われた。すると、らい病がただちに去ってしまった。

14 καὶ そして G2532 αὐτὸς 彼は G0846 παρήγγειλεν 命じた G3853 αὐτῷ 彼に G0846 μηδενὶ 誰にも G3367 εἰπεῖν; 言わないように G3004 ἀλλὰ しかし G0235 ἀπελθὼν, 行って G0565 δεῖξον 見せよ G1166 σεαυτὸν 自分自身を G4572 τῷ その G3588 ἱερεῖ, 祭司に G2409 καὶ そして G2532 προσένεγκε 捧げよ G4374 περὶ について G4012 τοῦ その G3588 καθαρισμοῦ きよめの G2512 σου, あなたの G4771 καθὼς のように G2531 προσέταξεν 命じた G4367 Μωϋσῆς, モーセが G3475 εἰς のための G1519 μαρτύριον 証しの G3142 αὐτοῖς. 彼らへの G0846

イエスは、だれにも話さないようにと彼に言い聞かせ、「ただ行って自分のからだを祭司に見せ、それからあなたのきよめのため、モーセが命じたとおりのささげ物をして、人々に証明しなさい」とお命じになった。

15 διήρχετο 広まっていった G1330 δὲ しかし G1161 μᾶλλον ますます G3123 ὁ その G3588 λόγος 評判が G3056 περὶ について G4012 αὐτοῦ; 彼の G0846 καὶ そして G2532 συνήρχοντο 集まって来た G4905 ὄχλοι 群衆が G3793 πολλοὶ 多くの G4183 ἀκούειν, 聞くために G0191 καὶ そして G2532 θεραπεύεσθαι いやされるために G2323 ἀπὸ から G0575 τῶν その G3588 ἀσθενειῶν 病気から G0769 αὐτῶν. 彼らの G0846

しかし、イエスの評判はますますひろまって行き、おびただしい群衆が、教を聞いたり、病気をなおしてもらったりするために、集まってきた。

16 αὐτὸς しかし–彼は G0846 δὲ そして G1161 ἦν ていた G1510 ὑποχωρῶν 退いて G5298 ἐν に G1722 ταῖς その G3588 ἐρήμοις 荒野に G2048 καὶ そして G2532 προσευχόμενος. 祈っていた G4336

しかしイエスは、寂しい所に退いて祈っておられた。

17 Καὶ そして G2532 ἐγένετο あった G1096 ἐν の中の G1722 μιᾷ ある G1520 τῶν の G3588 ἡμερῶν 日のこと G2250 καὶ そして G2532 αὐτὸς 彼は G0846 ἦν ていた G1510 διδάσκων, 教えて G1321 καὶ そして G2532
ἦσαν いた G1510 καθήμενοι 座っていた G2521 Φαρισαῖοι パリサイ人と G5330 καὶ そして G2532 νομοδιδάσκαλοι, 律法の-教師が G3547 οἳ 彼らは G3739 ἦσαν ていた G1510 ἐληλυθότες 来て G2064 ἐκ から G1537
πάσης すべての G3956 κώμης 村々の G2968 τῆς の G3588 Γαλιλαίας, ガリラヤや G1056 καὶ また G2532 Ἰουδαίας, ユダヤや G2449 καὶ また G2532 Ἰερουσαλήμ. エルサレムから G2419 καὶ そして G2532 δύναμις 力が G1411
Κυρίου 主の G2962 ἦν あった G1510 εἰς ための G1519 τὸ ために G3588 ἰᾶσθαι いやす G2390 αὐτόν. 彼を G0846

ある日のこと、イエスが教えておられると、ガリラヤやユダヤの方々の村から、またエルサレムからきたパリサイ人や律法学者たちが、そこにすわっていた。主の力が働いて、イエスは人々をいやされた。

18 καὶ すると G2532 ἰδοὺ, 見よ G3708 ἄνδρες 人々が G0435 φέροντες 運んで G5342 ἐπὶ の上に G1909 κλίνης 床に G2825 ἄνθρωπον 人を G0444 ὃς その人は G3739 ἦν であった G1510
παραλελυμένος, 中風の G3886 καὶ そして G2532 ἐζήτουν 求めていた G2212 αὐτὸν 彼を G0846 εἰσενεγκεῖν, 運び入れて G1533 καὶ そして G2532 θεῖναι 置こうと G5087 [αὐτὸν] 彼を G0846 ἐνώπιον の前に G1799
αὐτοῦ. イエスの G0846

その時、ある人々が、ひとりの中風をわずらっている人を床にのせたまま連れてきて、家の中に運び入れ、イエスの前に置こうとした。

19 καὶ しかし G2532 μὴ ない G3361 εὑρόντες 見つけられず G2147 ποίας どのように G4169 εἰσενέγκωσιν 運び入れるかを G1533 αὐτὸν 彼を G0846 διὰ のために G1223 τὸν その G3588 ὄχλον, 群衆の G3793
ἀναβάντες 上って G0305 ἐπὶ に G1909 τὸ その G3588 δῶμα, 屋根に G1430 διὰ を通して G1223 τῶν その G3588 κεράμων 瓦を G2766 καθῆκαν つり下ろした G2524 αὐτὸν, 彼を G0846 σὺν と共に G4862
τῷ その G3588 κλινιδίῳ 小さな-床と G2826 εἰς への G1519 τὸ その G3588 μέσον 真ん中に G3319 ἔμπροσθεν の前の G1715 τοῦ の G3588 Ἰησοῦ. イエスの G2424

ところが、群衆のためにどうしても運び入れる方法がなかったので、屋根にのぼり、瓦をはいで、病人を床ごと群衆のまん中につりおろして、イエスの前においた。

20 καὶ そして G2532 ἰδὼν 見て G3708 τὴν その G3588 πίστιν 信仰を G4102 αὐτῶν, 彼らの G0846 εἶπεν, 言った G3004 Ἄνθρωπε, 人よ G0444 ἀφέωνταί 赦された G0863 σοι あなたに G4771 αἱ その G3588
ἁμαρτίαι 罪が G0266 σου. あなたの G4771

イエスは彼らの信仰を見て、「人よ、あなたの罪はゆるされた」と言われた。

21 καὶ ἤρξαντο διαλογίζεσθαι οἱ γραμματεῖς καὶ οἱ Φαρισαῖοι, λέγοντες,
すると 始めた 論じることを その 律法学者と また その パリサイ人が 言って
G2532 G0756 G1260 G3588 G1122 G2532 G3588 G5330 G3004

Τίς ἐστιν οὗτος ὃς λαλεῖ βλασφημίας? τίς δύναται ἁμαρτίας
誰だ である この者は この者は 語る 冒涜を 誰が できるのか 罪を
G5101 G1510 G3778 G3739 G2980 G0988 G5101 G1410 G0266

ἀφεῖναι, εἰ μὴ μόνος ὁ Θεός?
赦すことが ただ のみ ただ その 神だけが
G0863 G1487 G3361 G3441 G3588 G2316

すると律法学者とパリサイ人たちとは、「神を汚すことを言うこの人は、いったい、何者だ。神おひとりのほかに、だれが罪をゆるすことができるか」と言って論じはじめた。

22 ἐπιγνοὺς δὲ ὁ Ἰησοῦς τοὺς διαλογισμοὺς αὐτῶν, ἀποκριθεὶς, εἶπεν
知って そして その イエスは その 考えを 彼らの 答えて 言った
G1921 G1161 G3588 G2424 G3588 G1261 G0846 G0611 G3004

πρὸς αὐτούς, Τί διαλογίζεσθε ἐν ταῖς καρδίαις ὑμῶν?
に向かって 彼らに 何を 論じているのか の中で その 心の あなたがたの
G4314 G0846 G5101 G1260 G1722 G3588 G2588 G4771

イエスは彼らの論議を見ぬいて、「あなたがたは心の中で何を論じているのか。

23 τί ἐστιν εὐκοπώτερον, εἰπεῖν, Ἀφέωνταί σοι αἱ ἁμαρτίαι σου,
どちらが である たやすいか 言うことが 赦された あなたに その 罪は あなたの
G5101 G1510 G2123 G3004 G0863 G4771 G3588 G0266 G4771

ἢ εἰπεῖν, Ἔγειρε καὶ περιπάτει?
それとも 言うことが 起きよ そして 歩け
G2228 G3004 G1453 G2532 G4043

あなたの罪はゆるされたと言うのと、起きて歩けと言うのと、どちらがたやすいか。

24 ἵνα δὲ εἰδῆτε ὅτι ὁ Υἱὸς τοῦ ἀνθρώπου ἐξουσίαν ἔχει
しかし ために 知るために こう その 人の–子が の 人の 権威を 持つことを
G2443 G1161 G1492 G3754 G3588 G5207 G3588 G0444 G1849 G2192

ἐπὶ τῆς γῆς ἀφιέναι ἁμαρτίας... εἶπεν τῷ παραλελυμένῳ, Σοὶ λέγω,
の上で この 地の–上で 赦す 罪を 言った その 中風の–人に あなたに 言う
G1909 G3588 G1093 G0863 G0266 G3004 G3588 G3886 G4771 G3004

ἔγειρε, καὶ ἆρας τὸ κλινίδιόν σου, πορεύου εἰς τὸν οἶκόν σου.
起きよ そして 取り上げて その 床を あなたの 行け へ その 家に あなたの
G1453 G2532 G0142 G3588 G2826 G4771 G4198 G1519 G3588 G3624 G4771

しかし、人の子は地上で罪をゆるす権威を持っていることが、あなたがたにわかるために」と彼らに対して言い、中風の者にむかって、「あなたに命じる。起きよ、床を取り上げて家に帰れ」と言われた。

25 καὶ παραχρῆμα ἀναστὰς ἐνώπιον αὐτῶν, ἆρας ἐφ’ ὃ κατέκειτο,
すると 直ちに 立ち上がって の前で 彼らの 取り上げて の上の その 横たわっていた
G2532 G3916 G0450 G1799 G0846 G0142 G1909 G3739 G2621

ἀπῆλθεν εἰς τὸν οἶκον αὐτοῦ, δοξάζων τὸν Θεόν.
去って行った へ その 家に 自分の たたえながら その 神を
G0565 G1519 G3588 G3624 G0846 G1392 G3588 G2316

すると病人は即座にみんなの前で起きあがり、寝ていた床を取りあげて、神をあがめながら家に帰って行った。

26 καὶ ἔκστασις ἔλαβεν ἅπαντας, καὶ ἐδόξαζον τὸν Θεόν, καὶ
すると 驚きが とらえた すべての-人を そして たたえた その 神を そして
G2532 G1611 G2983 G0537 G2532 G1392 G3588 G2316 G2532

ἐπλήσθησαν φόβου, λέγοντες, ὅτι Εἴδομεν παράδοξα σήμερον.
満たされた 畏れに 言って こう 見た 驚くべき-ことを 今日
G4130 G5401 G3004 G3754 G3708 G3861 G4594

みんなの者は驚嘆してしまった。そして神をあがめ、おそれに満たされて、「きょうは驚くべきことを見た」と言った。

27 Καὶ μετὰ ταῦτα ἐξῆλθεν, καὶ ἐθεάσατο τελώνην, ὀνόματι Λευὶν,
そして の後で これらの 出て行って そして 見た 取税人を 名を レビという
G2532 G3326 G3778 G1831 G2532 G2300 G5057 G3686 G3018

καθήμενον ἐπὶ τὸ τελώνιον, καὶ εἶπεν αὐτῷ, Ἀκολούθει μοι.
座っている に その 収税所に そして 言った 彼に 従いなさい 私に
G2521 G1909 G3588 G5058 G2532 G3004 G0846 G0190 G1473

そののち、イエスが出て行かれると、レビという名の取税人が収税所にすわっているのを見て、「わたしに従ってきなさい」と言われた。

28 καὶ καταλιπὼν πάντα, ἀναστὰς, ἠκολούθει αὐτῷ.
そして 捨てて すべてを 立ち上がって 従った 彼に
G2532 G2641 G3956 G0450 G0190 G0846

すると、彼はいっさいを捨てて立ちあがり、イエスに従ってきた。

29 Καὶ ἐποίησεν δοχὴν μεγάλην Λευὶς αὐτῷ ἐν τῇ οἰκίᾳ αὐτοῦ, καὶ
そして 催した 宴会を 大きな レビは 彼のために で その 家で 自分の そして
G2532 G4160 G1403 G3173 G3018 G0846 G1722 G3588 G3614 G0846 G2532

ἦν ὄχλος πολὺς τελωνῶν καὶ ἄλλων, οἳ ἦσαν μετ' αὐτῶν
いた 群衆が 多くの 取税人の や 他の-人々の 彼らは いた と共に 彼らと
G1510 G3793 G4183 G5057 G2532 G0243 G3739 G1510 G3326 G0846

κατακείμενοι.
食卓に-ついて
G2621

それから、レビは自分の家で、イエスのために盛大な宴会を催したが、取税人やそのほか大ぜいの人々が、共に食卓に着いていた。

30 καὶ ἐγόγγυζον οἱ Φαρισαῖοι καὶ οἱ γραμματεῖς αὐτῶν πρὸς τοὺς
すると つぶやいた その パリサイ人と また その 律法学者が 彼らの に向かって その
G2532 G1111 G3588 G5330 G2532 G3588 G1122 G0846 G4314 G3588

μαθητὰς αὐτοῦ, λέγοντες, Διὰ τί μετὰ τῶν τελωνῶν καὶ ἁμαρτωλῶν
弟子たちに 彼の 言って なぜ か と共に その 取税人や また 罪人と
G3101 G0846 G3004 G1223 G5101 G3326 G3588 G5057 G2532 G0268

ἐσθίετε καὶ πίνετε?
食べ また 飲むのか
G2068 G2532 G4095

ところが、パリサイ人やその律法学者たちが、イエスの弟子たちに対してつぶやいて言った、「どうしてあなたがたは、取税人や罪人などと飲食を共にするのか」。

31 καὶ そして G2532 ἀποκριθεὶς, 答えて G0611 ὁ その G3588 Ἰησοῦς イエスは G2424 εἶπεν 言った G3004 πρὸς に向かって G4314 αὐτούς, 彼らに G0846 Οὐ ない G3756 χρείαν 必要 G5532 ἔχουσιν ない G2192
οἱ その G3588 ὑγιαίνοντες 健康な-人には G5198 ἰατροῦ, 医者は G2395 ἀλλὰ むしろ G0235 οἱ その G3588 κακῶς 悪く G2560 ἔχοντες. している-人に G2192

イエスは答えて言われた、「健康な人には医者はいらない。いるのは病人である。

32 οὐκ ない G3756 ἐλήλυθα 来たのは G2064 καλέσαι 招くために G2564 δικαίους, 義人を G1342 ἀλλὰ むしろ G0235 ἁμαρτωλοὺς, 罪人を G0268 εἰς へと G1519 μετάνοιαν. 悔い改めに G3341

わたしがきたのは、義人を招くためではなく、罪人を招いて悔い改めさせるためである」。

33 Οἱ その G3588 δὲ すると G1161 εἶπαν 言った G3004 πρὸς に向かって G4314 αὐτόν, 彼に G0846 Οἱ その G3588 μαθηταὶ 弟子たちは G3101 Ἰωάννου ヨハネの G2491 νηστεύουσιν 断食する G3522
πυκνὰ, しばしば G4437 καὶ そして G2532 δεήσεις 祈りを G1162 ποιοῦνται, する G4160 ὁμοίως 同様に G3668 καὶ また G2532 οἱ その G3588 τῶν の G3588 Φαρισαίων; パリサイ人の G5330 οἱ しかし G3588
δὲ あなたの G1161 σοὶ あなたの G4674 ἐσθίουσιν 食べ G2068 καὶ また G2532 πίνουσιν? 飲んでいる G4095

また彼らはイエスに言った、「ヨハネの弟子たちは、しばしば断食をし、また祈をしており、パリサイ人の弟子たちもそうしているのに、あなたの弟子たちは食べたり飲んだりしています」。

34 ὁ しかし G3588 δὲ その G1161 Ἰησοῦς イエスは G2424 εἶπεν 言った G3004 πρὸς に向かって G4314 αὐτούς, 彼らに G0846 Μὴ できない G3361 δύνασθε できるか G1410 τοὺς その G3588 υἱοὺς 子らを G5207 τοῦ の G3588
νυμφῶνος 婚礼の-部屋の G3567 ἐν に G1722 ᾧ そこで G3739 ὁ その G3588 νυμφίος 花婿が G3566 μετ’ と共に G3326 αὐτῶν 彼らと G0846 ἐστιν, いる-間は G1510 ποιῆσαι させること G4160
νηστεῦσαι? 断食 G3522

するとイエスは言われた、「あなたがたは、花婿が一緒にいるのに、婚礼の客に断食をさせることができるであろうか。

35 ἐλεύσονται 来る G2064 δὲ しかし G1161 ἡμέραι 日が G2250 καὶ そして G2532 ὅταν そのとき G3752 ἀπαρθῇ 取り去られる G0522 ἀπ’ から G0575 αὐτῶν 彼らから G0846 ὁ その G3588 νυμφίος, 花婿が G3566
τότε そのとき G5119 νηστεύσουσιν 断食する G3522 ἐν に G1722 ἐκείναις それらの G1565 ταῖς その G3588 ἡμέραις. 日々に G2250

しかし、花婿が奪い去られる日が来る。その日には断食をするであろう」。

36 Ἔλεγεν δὲ καὶ παραβολὴν πρὸς αὐτοὺς, ὅτι Οὐδεὶς ἐπίβλημα ἀπὸ
語った また また たとえを に向かって 彼らに こう 誰も 布切れを から
G3004 G1161 G2532 G3850 G4314 G0846 G3754 G3762 G1915 G0575

ἱματίου καινοῦ σχίσας, ἐπιβάλλει ἐπὶ ἱμάτιον παλαιόν; εἰ δὲ
着物の 新しい 裂いて 当てない に 着物に 古い もし そうなら
G2440 G2537 G4977 G1911 G1909 G2440 G3820 G1487 G1161

μήγε καὶ τὸ καινὸν σχίσει, καὶ τῷ παλαιῷ οὐ
そうでなければ また その 新しい–ものも 裂き そして その 古い–ものに ない
G1490 G2532 G3588 G2537 G4977 G2532 G3588 G3820 G3756

συμφωνήσει, τὸ ἐπίβλημα τὸ ἀπὸ τοῦ καινοῦ.
合わない その 布切れは その からの その 新しい–ものからの
G4856 G3588 G1915 G3588 G0575 G3588 G2537

それからイエスはまた一つの譬を語られた、「だれも、新しい着物から布ぎれを切り取って、古い着物につぎを当てるものはない。もしそんなことをしたら、新しい着物を裂くことになるし、新しいのから取った布ぎれも古いのに合わないであろう。

37 καὶ οὐδεὶς βάλλει οἶνον νέον εἰς ἀσκοὺς παλαιούς; εἰ δὲ
そして 誰も 入れない ぶどう酒を 新しい に 革袋に 古い もし そうなら
G2532 G3762 G0906 G3631 G3501 G1519 G0779 G3820 G1487 G1161

μήγε ῥήξει ὁ οἶνος ὁ νέος τοὺς ἀσκούς, καὶ αὐτὸς
そうでなければ 裂く その ぶどう酒が その 新しい その 革袋を そして それ自体も
G1490 G4486 G3588 G3631 G3588 G3501 G3588 G0779 G2532 G0846

ἐκχυθήσεται, καὶ οἱ ἀσκοὶ ἀπολοῦνται;
こぼれ そして その 革袋も 駄目になる
G1632 G2532 G3588 G0779 G0622

まただれも、新しいぶどう酒を古い皮袋に入れはしない。もしそんなことをしたら、新しいぶどう酒は皮袋をはり裂き、そしてぶどう酒は流れ出るし、皮袋もむだになるであろう。

38 ἀλλὰ οἶνον νέον εἰς ἀσκοὺς καινοὺς βλητέον,
むしろ ぶどう酒は 新しい に 革袋に 新しい 入れるべきである
G0235 G3631 G3501 G1519 G0779 G2537 G0992

新しいぶどう酒は新しい皮袋に入れるべきである。

39 καὶ οὐδεὶς πιὼν παλαιὸν θέλει νέον; λέγει γάρ, Ὁ παλαιὸς
そして 誰も 飲んで 古いのを 望まない 新しいのを 言う なぜなら その 古いのが
G2532 G3762 G4095 G3820 G2309 G3501 G3004 G1063 G3588 G3820

χρηστός ἐστιν.
良い と
G5543 G1510

まただれも、古い酒を飲んでから、新しいのをほしがりはしない。『古いのが良い』と考えているからである」。

Chapter 6

1 Ἐγένετο δὲ ἐν σαββάτῳ διαπορεύεσθαι αὐτὸν διὰ σπορίμων; καὶ
あった そして に 安息日に 通り抜けること 彼が を通って 麦畑を すると
G1096 G1161 G1722 G4521 G1279 G0846 G1223 G4702 G2532

ἔτιλλον οἱ μαθηταὶ αὐτοῦ, καὶ ἤσθιον τοὺς στάχυας, ψώχοντες ταῖς
摘んでいた その 弟子たちが 彼の そして 食べていた その 穂を もみながら その
G5089 G3588 G3101 G0846 G2532 G2068 G3588 G4719 G5597 G3588

χερσίν.
手で
G5495

ある安息日にイエスが麦畑の中をとおって行かれたとき、弟子たちが穂をつみ、手でもみながら食べていた。

2 τινὲς δὲ τῶν Φαρισαίων εἶπαν, Τί ποιεῖτε ὃ οὐκ ἔξεστιν τοῖς
ある すると の パリサイ人が 言った なぜ するのか ことを ない 許されて その
G5100 G1161 G3588 G5330 G3004 G5101 G4160 G3739 G3756 G1832 G3588

σάββασιν?
安息日に
G4521

すると、あるパリサイ人たちが言った、「あなたがたはなぜ、安息日にしてはならぬことをするのか」。

3 καὶ ἀποκριθεὶς πρὸς αὐτοὺς, εἶπεν ὁ Ἰησοῦς, Οὐδὲ τοῦτο
そして 答えて に向かって 彼らに 言った その イエスは も これを
G2532 G0611 G4314 G0846 G3004 G3588 G2424 G3761 G3778

ἀνέγνωτε, ὃ ἐποίησεν Δαυὶδ, ὁπότε ἐπείνασεν αὐτὸς, καὶ οἱ
読まなかったのか ことを した ダビデが ときに 飢えた 彼自身が そして その
G0314 G3739 G4160 G1138 G3753 G3983 G0846 G2532 G3588

μετ’ αὐτοῦ ὄντες;
共にいる 彼と 者たちが
G3326 G0846 G1510

そこでイエスが答えて言われた、「あなたがたは、ダビデとその供の者たちとが飢えていたとき、ダビデのしたことについて、読んだことがないのか。

4 ὡς εἰσῆλθεν εἰς τὸν οἶκον τοῦ Θεοῦ, καὶ τοὺς ἄρτους τῆς
ように 入った へ その 家に の 神の そして その パンを の
G5613 G1525 G1519 G3588 G3624 G3588 G2316 G2532 G3588 G0740 G3588

προθέσεως λαβὼν, ἔφαγεν, καὶ ἔδωκεν τοῖς μετ’ αὐτοῦ, οὓς οὐκ
供えの 取って 食べた そして 与えた その 共にいる 彼と それを ない
G4286 G2983 G5315 G2532 G1325 G3588 G3326 G0846 G3739 G3756

ἔξεστιν φαγεῖν, εἰ μὴ μόνους τοὺς ἱερεῖς?
許されて 食べることが ただ だけ ただ その 祭司たちにのみ
G1832 G5315 G1487 G3361 G3441 G3588 G2409

すなわち、神の家にはいって、祭司たちのほかだれも食べてはならぬ供えのパンを取って食べ、また供の者たちにも与えたではないか」。

5 καὶ ἔλεγεν αὐτοῖς, Κύριός ἐστιν τοῦ σαββάτου ὁ Υἱὸς τοῦ
そして 言った 彼らに 主である である の 安息日の その 人の–子は の
G2532 G3004 G0846 G2962 G1510 G3588 G4521 G3588 G5207 G3588

ἀνθρώπου.
人の
G0444

また彼らに言われた、「人の子は安息日の主である」。

6 Ἐγένετο δὲ ἐν ἑτέρῳ σαββάτῳ, εἰσελθεῖν αὐτὸν εἰς τὴν συναγωγὴν
あった そして に 別の 安息日に 入ること 彼が へ その 会堂に
G1096 G1161 G1722 G2087 G4521 G1525 G0846 G1519 G3588 G4864

καὶ διδάσκειν; καὶ ἦν ἄνθρωπος ἐκεῖ, καὶ ἡ χεὶρ αὐτοῦ ἡ
そして 教えること すると いた 人が そこに そして その 手が 彼の その
G2532 G1321 G2532 G1510 G0444 G1563 G2532 G3588 G5495 G0846 G3588

δεξιὰ ἦν ξηρά.
右の ていた 萬えて
G1188 G1510 G3584

また、ほかの安息日に会堂にはいって教えておられたところ、そこに右手のなえた人がいた。

7 παρετηροῦντο δὲ αὐτὸν οἱ γραμματεῖς καὶ οἱ Φαρισαῖοι, εἰ
稿っていた そして 彼を その 律法学者と また その パリサイ人が かどうか
G3906 G1161 G0846 G3588 G1122 G2532 G3588 G5330 G1487

ἐν τῷ σαββάτῳ θεραπεύει, ἵνα εὕρωσιν κατηγορεῖν αὐτοῦ.
に その 安息日に いやすか ために 見つけるために 訴える–理由を 彼の
G1722 G3588 G4521 G2323 G2443 G2147 G2723 G0846

律法学者やパリサイ人たちは、イエスを訴える口実を見付けようと思って、安息日にいやされるかどうかをうかがっていた。

8 αὐτὸς δὲ ᾔδει τοὺς διαλογισμοὺς αὐτῶν, εἶπεν δὲ τῷ ἀνδρὶ
しかし–彼は そして 知っていた その 考えを 彼らの 言った そして その 男に
G0846 G1161 G1492 G3588 G1261 G0846 G3004 G1161 G3588 G0435

τῷ ξηρὰν ἔχοντι τὴν χεῖρα, Ἔγειρε, καὶ στῆθι εἰς τὸ μέσον.
その 萬えた 持っている その 手の 起きよ そして 立て に その 真ん中に
G3588 G3584 G2192 G3588 G5495 G1453 G2532 G2476 G1519 G3588 G3319

καὶ ἀναστὰς, ἔστη.
すると 立ち上がって 立った
G2532 G0450 G2476

イエスは彼らの思っていることを知って、その手のなえた人に、「起きて、まん中に立ちなさい」と言われると、起き上がって立った。

9 εἶπεν δὲ ὁ Ἰησοῦς πρὸς αὐτούς, Ἐπερωτῶ ὑμᾶς, εἰ
言った そして その イエスは に向かって 彼らに 尋ねる あなたがたに 許されているか
G3004 G1161 G3588 G2424 G4314 G0846 G1905 G4771 G1487

ἔξεστιν τῷ σαββάτῳ ἀγαθοποιῆσαι ἢ κακοποιῆσαι? ψυχὴν σῶσαι
許されて その 安息日に 善を–行うことが それとも 悪を–行うことが 命を 救うことが
G1832 G3588 G4521 G0015 G2228 G2554 G5590 G4982

ἢ ἀπολέσαι?
それとも 滅ぼすことが
G2228 G0622

そこでイエスは彼らにむかって言われた、「あなたがたに聞くが、安息日に善を行うのと悪を行うのと、命を救うのと殺すのと、どちらがよいか」。

10 καὶ περιβλεψάμενος πάντας αὐτοὺς, εἶπεν αὐτῷ, Ἔκτεινον τὴν χεῖρά
そして 見回して すべての 彼らを 言った 彼に 伸ばせ その 手を
G2532 G4017 G3956 G0846 G3004 G0846 G1614 G3588 G5495

σου. ὁ δὲ ἐποίησεν, καὶ ἀπεκατεστάθη ἡ χεὶρ αὐτοῦ.
あなたの その すると そうした すると 元に-戻った その 手が 彼の
G4771 G3588 G1161 G4160 G2532 G0600 G3588 G5495 G0846

そして彼ら一同を見まわして、その人に「手を伸ばしなさい」と言われた。そのとおりにすると、その手は元どおりになった。

11 αὐτοὶ δὲ ἐπλήσθησαν ἀνοίας, καὶ διελάλουν πρὸς ἀλλήλους τί
彼らは しかし 満たされた 狂気に そして 話し合った について 互いに 何を
G0846 G1161 G4130 G0454 G2532 G1255 G4314 G0240 G5101

ἂν ποιήσαιεν τῷ Ἰησοῦ.
いったい するべきかを その イエスに
G0302 G4160 G3588 G2424

そこで彼らは激しく怒って、イエスをどうかしてやろうと、互に話合いをはじめた。

12 Ἐγένετο δὲ ἐν ταῖς ἡμέραις ταύταις, ἐξελθεῖν αὐτὸν εἰς τὸ ὄρος
あった そして に その 日々に これらの 出て行くこと 彼が へ その 山に
G1096 G1161 G1722 G3588 G2250 G3778 G1831 G0846 G1519 G3588 G3735

προσεύξασθαι, καὶ ἦν διανυκτερεύων ἐν τῇ προσευχῇ τοῦ Θεοῦ.
祈るために そして ていた 夜を-明かして において その 祈りの-中で の 神への
G4336 G2532 G1510 G1273 G1722 G3588 G4335 G3588 G2316

このころ、イエスは祈るために山へ行き、夜を徹して神に祈られた。

13 καὶ ὅτε ἐγένετο ἡμέρα, προσεφώνησεν τοὺς μαθητὰς αὐτοῦ, καὶ
そして とき なった 朝に 呼び寄せた その 弟子たちを 彼の そして
G2532 G3753 G1096 G2250 G4377 G3588 G3101 G0846 G2532

ἐκλεξάμενος ἀπ' αὐτῶν δώδεκα, οὓς καὶ ἀποστόλους ὠνόμασεν;
選んで から 彼らの-中から 十二人を 彼らを また 使徒と 名づけた
G1586 G0575 G0846 G1427 G3739 G2532 G0652 G3687

夜が明けると、弟子たちを呼び寄せ、その中から十二人を選び出し、これに使徒という名をお与えになった。

14 Σίμωνα ὃν καὶ ὠνόμασεν Πέτρον, καὶ Ἀνδρέαν τὸν ἀδελφὸν αὐτοῦ;
シモンを 彼を また 名づけた ペテロと また アンデレを その 兄弟である 彼の
G4613 G3739 G2532 G3687 G4074 G2532 G0406 G3588 G0080 G0846

καὶ Ἰάκωβον καὶ Ἰωάννην; καὶ Φίλιππον καὶ Βαρθολομαῖον;
また ヤコブと また ヨハネを また ピリポと また バルトロマイを
G2532 G2385 G2532 G2491 G2532 G5376 G2532 G0918

すなわち、ペテロとも呼ばれたシモンとその兄弟アンデレ、ヤコブとヨハネ、ピリポとバルトロマイ、

15 καὶ Ματθαῖον καὶ Θωμᾶν; καὶ Ἰάκωβον Ἁλφαίου; καὶ Σίμωνα τὸν
また マタイと また トマスを また ヤコブ アルパヨの また シモン その
G2532 G3156 G2532 G2381 G2532 G2385 G0256 G2532 G4613 G3588

καλούμενον Ζηλωτὴν;
呼ばれる 熱心党と
G2564 G2207

マタイとトマス、アルパヨの子ヤコブと、熱心党と呼ばれたシモン、

16 καὶ Ἰούδαν Ἰακώβου; καὶ Ἰούδαν Ἰσκαριὼθ, ὃς ἐγένετο προδότης.
また ユダを ヤコブの また ユダ イスカリオテを 彼は なった 裏切り者に
G2532 G2455 G2385 G2532 G2455 G2469 G3739 G1096 G4273

ヤコブの子ユダ、それからイスカリオテのユダ。このユダが裏切者となったのである。

17 καὶ καταβὰς μετ’ αὐτῶν, ἔστη ἐπὶ τόπου πεδινοῦ, καὶ ὄχλος πολὺς
そして 下りて 共に 彼らと 立った の上に 場所の 平らな そして 群衆が 多くの
G2532 G2597 G3326 G0846 G2476 G1909 G5117 G3977 G2532 G3793 G4183

μαθητῶν αὐτοῦ, καὶ πλῆθος πολὺ τοῦ λαοῦ ἀπὸ πάσης τῆς Ἰουδαίας,
弟子たちの 彼の そして 大勢の 多くの その 民が から すべての その ユダヤや
G3101 G0846 G2532 G4128 G4183 G3588 G2992 G0575 G3956 G3588 G2449

καὶ Ἰερουσαλὴμ, καὶ τῆς παραλίου Τύρου, καὶ Σιδῶνος,
また エルサレムや また その 海岸の ティルスや また シドンから
G2532 G2419 G2532 G3588 G3882 G5184 G2532 G4605

そして、イエスは彼らと一緒に山を下って平地に立たれたが、大ぜいの弟子たちや、ユダヤ全土、エルサレム、ツロとシドンの海岸地方などからの大群衆が、

18 οἳ ἦλθον ἀκοῦσαι αὐτοῦ, καὶ ἰαθῆναι ἀπὸ τῶν νόσων αὐτῶν.
彼らは 来た 聞くために 彼の そして いやされるために から その 病気から 彼らの
G3739 G2064 G0191 G0846 G2532 G2390 G0575 G3588 G3554 G0846

καὶ οἱ ἐνοχλούμενοι ἀπὸ πνευμάτων ἀκαθάρτων ἐθεραπεύοντο.
また その 悩まされている–人々も から 霊の 汚れた いやされた
G2532 G3588 G1776 G0575 G4151 G0169 G2323

教を聞こうとし、また病気をなおしてもらおうとして、そこにきていた。そして汚れた霊に悩まされている者たちも、いやされた。

19 καὶ πᾶς ὁ ὄχλος ἐζήτουν ἅπτεσθαι αὐτοῦ; ὅτι δύναμις παρ’ αὐτοῦ ἐξήρχετο καὶ ἰᾶτο πάντας.
そして すべての その 群衆が 求めていた 触れることを 彼に なぜなら 力が から 彼から 出ていて そして いやしていた すべての–人を
G2532 G3956 G3588 G3793 G2212 G0680 G0846 G3754 G1411 G3844 G0846 G1831 G2532 G2390 G3956

また群衆はイエスにさわろうと努めた。それは力がイエスの内から出て、みんなの者を次々にいやしたからである。

20 Καὶ αὐτὸς, ἐπάρας τοὺς ὀφθαλμοὺς αὐτοῦ εἰς τοὺς μαθητὰς αὐτοῦ, ἔλεγεν, Μακάριοι οἱ πτωχοί, ὅτι ὑμετέρα ἐστὶν ἡ βασιλεία τοῦ Θεοῦ.
そして 彼は 上げて その 目を 自分の へ その 弟子たちに 彼の 言った 幸いである その 貧しい–人よ なぜなら あなたがたのものである である その 神の–国は の 神の
G2532 G0846 G1869 G3588 G3788 G0846 G1519 G3588 G3101 G0846 G3004 G3107 G3588 G4434 G3754 G5212 G1510 G3588 G0932 G3588 G2316

そのとき、イエスは目をあげ、弟子たちを見て言われた、「あなたがた貧しい人たちは、さいわいだ。神の国はあなたがたのものである。

21 μακάριοι οἱ πεινῶντες νῦν, ὅτι χορτασθήσεσθε. μακάριοι οἱ
幸いである その 飢えている–人よ 今 なぜなら 満たされる 幸いである その
G3107 G3588 G3983 G3568 G3754 G5526 G3107 G3588

κλαίοντες νῦν, ὅτι γελάσετε.
泣いている–人よ 今 なぜなら 笑う
G2799 G3568 G3754 G1070

あなたがたいま飢えている人たちは、さいわいだ。飽き足りるようになるからである。あなたがたいま泣いている人たちは、さいわいだ。笑うようになるからである。

22 μακάριοί ἐστε ὅταν μισήσωσιν ὑμᾶς οἱ ἄνθρωποι, καὶ ὅταν
幸いである あなたがたは とき 憧んだなら あなたがたを その 人々が そして とき
G3107 G1510 G3752 G3404 G4771 G3588 G0444 G2532 G3752

ἀφορίσωσιν ὑμᾶς, καὶ ὀνειδίσωσιν, καὶ ἐκβάλωσιν τὸ ὄνομα
除け者にしたなら あなたがたを そして けなしたなら そして 退けたなら その 名を
G0873 G4771 G2532 G3679 G2532 G1544 G3588 G3686

ὑμῶν ὡς πονηρὸν, ἕνεκα τοῦ Υἱοῦ τοῦ ἀνθρώπου;
あなたがたの として 悪いものと のゆえに その 人の–子の の 人の
G4771 G5613 G4190 G1752 G3588 G5207 G3588 G0444

人々があなたがたを憎むとき、また人の子のためにあなたがたを排斥し、ののしり、汚名を着せるときは、あなたがたはさいわいだ。

23 χάρητε ἐν ἐκείνῃ τῇ ἡμέρᾳ, καὶ σκιρτήσατε; ἰδοὺ γὰρ, ὁ μισθὸς
喜べ に その その 日に そして 踊れ 見よ なぜなら その 報いは
G5463 G1722 G1565 G3588 G2250 G2532 G4640 G3708 G1063 G3588 G3408

ὑμῶν πολὺς ἐν τῷ οὐρανῷ. κατὰ τὰ αὐτὰ γὰρ ἐποίουν
あなたがたの 大きい において その 天に に対して その 同じことを なぜなら した
G4771 G4183 G1722 G3588 G3772 G2596 G3588 G0846 G1063 G4160

τοῖς προφήταις οἱ πατέρες αὐτῶν.
その 預言者たちに その 先祖たちが 彼らの
G3588 G4396 G3588 G3962 G0846

その日には喜びおどれ。見よ、天においてあなたがたの受ける報いは大きいのだから。彼らの祖先も、預言者たちに対して同じことをしたのである。

24 Πλὴν οὐαὶ ὑμῖν τοῖς πλουσίοις, ὅτι ἀπέχετε τὴν παράκλησιν
しかし わざわいだ あなたがたに その 富める–人よ なぜなら 受けている その 慰めを
G4133 G3759 G4771 G3588 G4145 G3754 G0568 G3588 G3874

ὑμῶν.
あなたがたの
G4771

しかしあなたがた富んでいる人たちは、わざわいだ。慰めを受けてしまっているからである。

25 οὐαὶ ὑμῖν οἱ ἐμπεπλησμένοι νῦν, ὅτι πεινάσετε. οὐαί
わざわいだ あなたがたに その 満腹の–人よ 今 なぜなら 飢える わざわいだ
G3759 G4771 G3588 G1705 G3568 G3754 G3983 G3759

οἱ γελῶντες νῦν, ὅτι πενθήσετε καὶ κλαύσετε.
その 笑っている–人よ 今 なぜなら 悲しんで そして 泣く
G3588 G1070 G3568 G3754 G3996 G2532 G2799

あなたがた今満腹している人たちは、わざわいだ。飢えるようになるからである。あなたがた今笑っている人たちは、わざわいだ。悲しみ泣くようになるからである。

26 οὐαὶ わざわいだ G3759 ὅταν とき G3752 καλῶς良く G2573 ὑμᾶς あなたがたのことを G4771 εἴπωσιν 言ったなら G3004 πάντες すべての G3956 οἱ その G3588 ἄνθρωποι, 人々が G0444

κατὰ に対して G2596 τὰ その G3588 αὐτὰ 同じことを G0846 γὰρ なぜなら G1063 ἐποίουν した G4160 τοῖς その G3588 ψευδοπροφήταις 偽預言者たちに G5578 οἱ その G3588 πατέρες 先祖たちが G3962

αὐτῶν. 彼らの G0846

人が皆あなたがたをほめるときは、あなたがたはわざわいだ。彼らの祖先も、にせ預言者たちに対して同じことをしたのである。

27 Ἀλλὰ しかし G0235 ὑμῖν あなたがたに G4771 λέγω 言う G3004 τοῖς その G3588 ἀκούουσιν: 聞いている-者よ G0191 Ἀγαπᾶτε 愛せよ G0025 τοὺς その G3588 ἐχθροὺς 敵を G2190 ὑμῶν, あなたがたの G4771

καλῶς 善く G2573 ποιεῖτε せよ G4160 τοῖς その G3588 μισοῦσιν 憎んでいる-人に G3404 ὑμᾶς, あなたがたを G4771

しかし、聞いているあなたがたに言う。敵を愛し、憎む者に親切にせよ。

28 εὐλογεῖτε 祝福せよ G2127 τοὺς その G3588 καταρωμένους 呪っている-人を G2672 ὑμᾶς, あなたがたを G4771 προσεύχεσθε 祈れ G4336 περὶ のために G4012 τῶν その G3588

ἐπηρεαζόντων 虐げている-人の G1908 ὑμᾶς. あなたがたを G4771

のろう者を祝福し、はずかしめる者のために祈れ。

29 τῷ その G3588 τύπτοντί 打つ-人に G5180 σε あなたを G4771 ἐπὶ の上の G1909 τὴν その G3588 σιαγόνα, 頬を G4600 πάρεχε 差し出せ G3930 καὶ また G2532 τὴν その G3588 ἄλλην; 反対の-頬も G0243

καὶ そして G2532 ἀπὸ から G0575 τοῦ その G3588 αἴροντός 奪う-人から G0142 σου あなたの G4771 τὸ その G3588 ἱμάτιον, 上着を G2440 καὶ また G2532 τὸν その G3588 χιτῶνα 下着も G5509 μὴ ない G3361

κωλύσῃς. 拒むな G2967

あなたの頬を打つ者にはほかの頬をも向けてやり、あなたの上着を奪い取る者には下着をも拒むな。

30 παντὶ すべての G3956 αἰτοῦντί 求める-人に G0154 σε, あなたに G4771 δίδου; 与えよ G1325 καὶ そして G2532 ἀπὸ から G0575 τοῦ その G3588 αἴροντος 奪う-人から G0142 τὰ その G3588

σὰ, あなたのものを G4674 μὴ ない G3361 ἀπαίτει; 返せと-求めるな G0523

あなたに求める者には与えてやり、あなたの持ち物を奪う者からは取りもどそうとするな。

31 καὶ καθὼς θέλετε ἵνα ποιῶσιν ὑμῖν οἱ ἄνθρωποι,
そして のように 望むように することを してくれることを あなたがたに その 人々が
G2532 G2531 G2309 G2443 G4160 G4771 G3588 G0444

ποιεῖτε αὐτοῖς ὁμοίως.
せよ 彼らに 同じように
G4160 G0846 G3668

人々にしてほしいと、あなたがたの望むことを、人々にもそのとおりにせよ。

32 καὶ εἰ ἀγαπᾶτε τοὺς ἀγαπῶντας ὑμᾶς, ποία ὑμῖν χάρις
そして もし 愛すなら その 愛してくれる–人を あなたがたを 何の あなたがたに 感謝が
G2532 G1487 G0025 G3588 G0025 G4771 G4169 G4771 G5485

ἐστίν? καὶ γὰρ οἱ ἁμαρτωλοὶ τοὺς ἀγαπῶντας αὐτοὺς, ἀγαπῶσιν.
あるのか また なぜなら その 罪人でさえ その 愛してくれる–人を 自分を 愛する
G1510 G2532 G1063 G3588 G0268 G3588 G0025 G0846 G0025

自分を愛してくれる者を愛したからとて、どれほどの手柄になろうか。罪人でさえ、自分を愛してくれる者を愛している。

33 καὶ γὰρ, ἐὰν ἀγαθοποιῆτε τοὺς ἀγαθοποιοῦντας ὑμᾶς, ποία
また なぜなら もし 善いことをするなら その 善くしてくれる–人に あなたがたを 何の
G2532 G1063 G1437 G0015 G3588 G0015 G4771 G4169

ὑμῖν χάρις ἐστίν? καὶ οἱ ἁμαρτωλοὶ τὸ αὐτὸ ποιοῦσιν.
あなたがたに 感謝が あるのか また その 罪人でさえ その 同じことを する
G4771 G5485 G1510 G2532 G3588 G0268 G3588 G0846 G4160

自分によくしてくれる者によくしたとて、どれほどの手柄になろうか。罪人でさえ、それくらいの事はしている。

34 καὶ ἐὰν δανίσητε παρ’ ὧν ἐλπίζετε λαβεῖν, ποία ὑμῖν χάρις
そして もし 貸すなら から その 望む–人に 受け取ることを 何の あなたがたに 感謝が
G2532 G1437 G1155 G3844 G3739 G1679 G2983 G4169 G4771 G5485

ἐστίν? καὶ ἁμαρτωλοὶ ἁμαρτωλοῖς δανίζουσιν, ἵνα ἀπολάβωσιν τὰ
あるのか また 罪人でさえ 罪人に 貸す ために 受け取るために その
G1510 G2532 G0268 G0268 G1155 G2443 G0618 G3588

ἴσα.
同等のものを
G2470

また返してもらうつもりで貸したとて、どれほどの手柄になろうか。罪人でも、同じだけのものを返してもらおうとして、仲間に貸すのである。

35 πλὴν ἀγαπᾶτε τοὺς ἐχθροὺς ὑμῶν, καὶ ἀγαθοποιεῖτε, καὶ δανίζετε,
しかし 愛せよ その 敵を あなたがたの そして 善いことをせよ そして 貸せよ
G4133 G0025 G3588 G2190 G4771 G2532 G0015 G2532 G1155

μηδὲν ἀπελπίζοντες; καὶ ἔσται ὁ μισθὸς ὑμῶν πολύς, καὶ
何も 望まずに すると なる その 報いは あなたがたの 大きなものに そして
G3367 G0560 G2532 G1510 G3588 G3408 G4771 G4183 G2532

ἔσεσθε υἱοὶ Ὑψίστου; ὅτι αὐτὸς χρηστός ἐστιν ἐπὶ τοὺς
なる 子に いと高き–方の なぜなら 主は 恵み深い である に対して その
G1510 G5207 G5310 G3754 G0846 G5543 G1510 G1909 G3588

ἀχαρίστους καὶ πονηρούς.
感謝しない–人や また 悪い–人に
G0884 G2532 G4190

しかし、あなたがたは、敵を愛し、人によくしてやり、また何も当てにしないで貸してやれ。そうすれば受ける報いは大きく、あなたがたはいと高き者の子となるであろう。いと高き者は、恩を知らぬ者にも悪人にも、なさけ深いからである。

36	Γίνεσθε	οἰκτίρμονες,	καθὼς	[καὶ]	ὁ	Πατὴρ	ὑμῶν	οἰκτίρμων	ἐστίν.	
	なれ	憐れみ深い–者に	のように	また	その	父が	あなたがたの	憐れみ深い	である	
	G1096	G3629	G2531	G2532	G3588	G3962	G4771	G3629	G1510	

あなたがたの父なる神が慈悲深いように、あなたがたも慈悲深い者となれ。

37	καὶ	μὴ	κρίνετε,	καὶ	οὐ	μὴ	κριθῆτε;	καὶ	μὴ	καταδικάζετε,
	そして	ない	裁くな	すると	決して	ない	裁かれない	そして	ない	罪に定めるな
	G2532	G3361	G2919	G2532	G3756	G3361	G2919	G2532	G3361	G2613

καὶ	οὐ	μὴ	καταδικασθῆτε.	ἀπολύετε,	καὶ	ἀπολυθήσεσθε.
すると	決して	ない	罪に定められない	赦せよ	すると	赦される
G2532	G3756	G3361	G2613	G0630	G2532	G0630

人をさばくな。そうすれば、自分もさばかれることがないであろう。また人を罪に定めるな。そうすれば、自分も罪に定められることがないであろう。ゆるしてやれ。そうすれば、自分もゆるされるであろう。

38	δίδοτε,	καὶ	δοθήσεται	ὑμῖν.	μέτρον	καλὸν,	πεπιεσμένον,	σεσαλευμένον,		
	与えよ	すると	与えられる	あなたがたに	秤で	良い	押し込まれ	揺さぶられ		
	G1325	G2532	G1325	G4771	G3358	G2570	G4085	G4531		

ὑπερεκχυννόμενον,	δώσουσιν	εἰς	τὸν	κόλπον	ὑμῶν,	ᾧ	γὰρ	μέτρῳ	
あふれ出るほどの	与えられる	の中に	その	懐に	あなたがたの	その	なぜなら	秤で	
G5240	G1325	G1519	G3588	G2859	G4771	G3739	G1063	G3358	

μετρεῖτε,	ἀντιμετρηθήσεται	ὑμῖν.
量るなら	量り返される	あなたがたに
G3354	G0488	G4771

与えよ。そうすれば、自分にも与えられるであろう。人々はおし入れ、ゆすり入れ、あふれ出るまでに量をよくして、あなたがたのふところに入れてくれるであろう。あなたがたの量るその量りで、自分にも量りかえされるであろうから」。

39	Εἶπεν	δὲ	καὶ	παραβολὴν	αὐτοῖς,	Μήτι	δύναται	τυφλὸς,	τυφλὸν	ὁδηγεῖν?
	言った	また	また	たとえを	彼らに	まさか	できるか	盲人が	盲人を	導くことが
	G3004	G1161	G2532	G3850	G0846	G3385	G1410	G5185	G5185	G3594

οὐχὶ	ἀμφότεροι	εἰς	βόθυνον	ἐμπεσοῦνται?	
ではないか	両方とも	に	穴に	落ちる	
G3780	G0297	G1519	G0999	G1706	

イエスはまた一つの譬を語られた、「盲人は盲人の手引ができようか。ふたりとも穴に落ち込まないだろうか。

40	οὐκ	ἔστιν	μαθητὴς	ὑπὲρ	τὸν	διδάσκαλον;	κατηρτισμένος	δὲ		
	ない	である	弟子は	より–上では	その	師より	整えられた	しかし		
	G3756	G1510	G3101	G5228	G3588	G1320	G2675	G1161		

πᾶς	ἔσται,	ὡς	ὁ	διδάσκαλος	αὐτοῦ.	
すべての–者は	なる	のように	その	師の	自分の	
G3956	G1510	G5613	G3588	G1320	G0846	

弟子はその師以上のものではないが、修業をつめば、みなその師のようになろう。

41 Τί δὲ βλέπεις τὸ κάρφος τὸ ἐν τῷ ὀφθαλμῷ τοῦ ἀδελφοῦ
なぜ いったい 見るのか その ちりを その の中の その 目の-中の の 兄弟の
G5101 G1161 G0991 G3588 G2595 G3588 G1722 G3588 G3788 G3588 G0080

σου, τὴν δὲ δοκὸν τὴν ἐν τῷ ἰδίῳ, ὀφθαλμῷ οὐ κατανοεῖς?
あなたの その しかし 梁を その の中の その 自分の 目の-中の ない 気づかないのか
G4771 G3588 G1161 G1385 G3588 G1722 G3588 G2398 G3788 G3756 G2657

なぜ、兄弟の目にあるちりを見ながら、自分の目にある梁を認めないのか。

42 πῶς δύνασαι λέγειν τῷ ἀδελφῷ σου, Ἀδελφέ, ἄφες ἐκβάλω
どうして できるのか 言うことが その 兄弟に あなたの 兄弟よ 許してくれ 取り除かせて
G4459 G1410 G3004 G3588 G0080 G4771 G0080 G0863 G1544

τὸ κάρφος τὸ ἐν τῷ ὀφθαλμῷ σου, αὐτὸς τὴν ἐν τῷ
その ちりを その の中の その 目の-中の あなたの 自分は その の中の その
G3588 G2595 G3588 G1722 G3588 G3788 G4771 G0846 G3588 G1722 G3588

ὀφθαλμῷ σοῦ δοκὸν οὐ βλέπων? ὑποκριτά, ἔκβαλε πρῶτον τὴν δοκὸν
目の-中の 自分の 梁を ない 見えて 偽善者よ 取り除け まず その 梁を
G3788 G4771 G1385 G3756 G0991 G5273 G1544 G4412 G3588 G1385

ἐκ τοῦ ὀφθαλμοῦ σοῦ, καὶ τότε διαβλέψεις τὸ κάρφος τὸ
から その 目から 自分の そして それから はっきり-見える その ちりを その
G1537 G3588 G3788 G4771 G2532 G5119 G1227 G3588 G2595 G3588

ἐν τῷ ὀφθαλμῷ τοῦ ἀδελφοῦ σου ἐκβαλεῖν.
の中の その 目の-中の の 兄弟の あなたの 取り除くために
G1722 G3588 G3788 G3588 G0080 G4771 G1544

自分の目にある梁は見ないでいて、どうして兄弟にむかって、兄弟よ、あなたの目にあるちりを取らせてください、と言えようか。偽善者よ、まず自分の目から梁を取りのけるがよい、そうすれば、はっきり見えるようになって、兄弟の目にあるちりを取りのけることができるだろう。

43 Οὐ γάρ ἐστιν δένδρον καλὸν, ποιοῦν καρπὸν σαπρόν; οὐδὲ πάλιν
ない なぜなら ではない 木は 良い 実らせて 実を 悪い また 逆に
G3756 G1063 G1510 G1186 G2570 G4160 G2590 G4550 G3761 G3825

δένδρον σαπρὸν, ποιοῦν καρπὸν καλόν;
木は 悪い 実らせて 実を 良い
G1186 G4550 G4160 G2590 G2570

悪い実のなる良い木はないし、また良い実のなる悪い木もない。

44 ἕκαστον γὰρ δένδρον, ἐκ τοῦ ἰδίου καρποῦ, γινώσκεται. οὐ γὰρ
それぞれの なぜなら 木は から その 自分の 実によって 知られる ない なぜなら
G1538 G1063 G1186 G1537 G3588 G2398 G2590 G1097 G3756 G1063

ἐξ ἀκανθῶν συλλέγουσιν σῦκα, οὐδὲ ἐκ βάτου σταφυλὴν τρυγῶσιν.
から 茨から 摘まない いちじくを また から 藪から ぶどうを 摘まない
G1537 G0173 G4816 G4810 G3761 G1537 G0942 G4718 G5166

木はそれぞれ、その実でわかる。いばらからいちじくを取ることはないし、野ばらからぶどうを摘むこともない。

45 ὁ ἀγαθὸς ἄνθρωπος, ἐκ τοῦ ἀγαθοῦ θησαυροῦ τῆς καρδίας ‹αὐτοῦ›,
その 善い 人は から その 善い 倉から の 心の 自分の
G3588 G0018 G0444 G1537 G3588 G0018 G2344 G3588 G2588 G0846

προφέρει τὸ ἀγαθόν; καὶ ὁ πονηρὸς, ἐκ τοῦ πονηροῦ, προφέρει
出す その 善い–ものを そして その 悪い–人は から その 悪い–ものから 出す
G4393 G3588 G0018 G2532 G3588 G4190 G1537 G3588 G4190 G4393

τὸ πονηρόν. ἐκ γὰρ περισσεύματος καρδίας, λαλεῖ τὸ στόμα αὐτοῦ.
その 悪い–ものを から なぜなら 溢れから 心の 語る その 口が 彼の
G3588 G4190 G1537 G1063 G4051 G2588 G2980 G3588 G4750 G0846

善人は良い心の倉から良い物を取り出し、悪人は悪い倉から悪い物を取り出す。心からあふれ出ることを、口が語るものである。

46 Τί δέ με καλεῖτε Κύριε, κύριε, καὶ οὐ ποιεῖτε ἃ λέγω?
なぜ いったい 私を 呼ぶのか 主よ 主よと そして ない しないのか ことを 言う
G5101 G1161 G1473 G2564 G2962 G2962 G2532 G3756 G4160 G3739 G3004

わたしを主よ、主よ、と呼びながら、なぜわたしの言うことを行わないのか。

47 Πᾶς ὁ ἐρχόμενος πρός με, καὶ ἀκούων μου τῶν λόγων, καὶ
すべての その 来る–人が のもとへ 私の そして 聞いて 私の その 言葉を そして
G3956 G3588 G2064 G4314 G1473 G2532 G0191 G1473 G3588 G3056 G2532

ποιῶν αὐτούς, ὑποδείξω ὑμῖν τίνι ἐστὶν ὅμοιος.
行う–人に それらを 示そう あなたがたに 誰に であるか 似ているかを
G4160 G0846 G5263 G4771 G5101 G1510 G3664

わたしのもとにきて、わたしの言葉を聞いて行う者が、何に似ているか、あなたがたに教えよう。

48 ὅμοιός ἐστιν ἀνθρώπῳ οἰκοδομοῦντι οἰκίαν, ὃς ἔσκαψεν καὶ ἐβάθυνεν,
似ている である 人に 建てている 家を その人は 掘って そして 深くして
G3664 G1510 G0444 G3618 G3614 G3739 G4626 G2532 G0900

καὶ ἔθηκεν θεμέλιον ἐπὶ τὴν πέτραν; πλημμύρης δὲ γενομένης,
そして 置いた 土台を の上に その 岩の 洪水が そして 起こった–とき
G2532 G5087 G2310 G1909 G3588 G4073 G4132 G1161 G1096

προσέρηξεν ὁ ποταμὸς τῇ οἰκίᾳ ἐκείνῃ, καὶ οὐκ ἴσχυσεν σαλεῦσαι
打ちつけた その 川が その 家に その しかし ない できなかった 揺るがすことが
G4366 G3588 G4215 G3588 G3614 G1565 G2532 G3756 G2480 G4531

αὐτὴν, διὰ τὸ καλῶς οἰκοδομῆσθαι αὐτήν.
それを のために それが 良く 建てられていた それが
G0846 G1223 G3588 G2573 G3618 G0846

それは、地を深く掘り、岩の上に土台をすえて家を建てる人に似ている。洪水が出て激流がその家に押し寄せてきても、それを揺り動かすことはできない。よく建ててあるからである。

49 ὁ しかし G3588 δὲ その G1161 ἀκούσας, 聞いて G0191 καὶ そして G2532 μὴ ない G3361 ποιήσας, 行わなかった-人は G4160 ὅμοιός 似ている G3664 ἐστιν である G1510 ἀνθρώπῳ 人に G0444 οἰκοδομήσαντι 建てた G3618 οἰκίαν 家を G3614 ἐπὶ の上に G1909 τὴν その G3588 γῆν 地の G1093 χωρὶς なしに G5565 θεμελίου; 土台 G2310 ᾗ それに G3739 προσέρηξεν 打ちつけた G4366 ὁ その G3588 ποταμός, 川が G4215 καὶ すると G2532 εὐθὺς すぐに G2112 συνέπεσεν, 崩れた G4098 καὶ そして G2532 ἐγένετο なった G1096 τὸ その G3588 ῥῆγμα 崩壊は G4485 τῆς の G3588 οἰκίας 家の G3614 ἐκείνης, その G1565 μέγα. 大きかった G3173

しかし聞いても行わない人は、土台なしで、土の上に家を建てた人に似ている。激流がその家に押し寄せてきたら、たちまち倒れてしまい、その被害は大きいのである」。

Chapter 7

1 Ἐπειδὴ その後 G1894 ἐπλήρωσεν 満たした G4137 πάντα すべての G3956 τὰ その G3588 ῥήματα 言葉を G4487 αὐτοῦ, 彼の G0846 εἰς ～の中へ G1519 τὰς その G3588 ἀκοὰς 耳に G0189 τοῦ その G3588 λαοῦ, 民の G2992 εἰσῆλθεν 入った G1525 εἰς ～の中へ G1519 Καφαρναούμ. カペナウムに G2584

イエスはこれらの言葉をことごとく人々に聞かせてしまったのち、カペナウムに帰ってこられた。

2 Ἑκατοντάρχου 百人隊長の G1543 δέ ところで G1161 τινος ある G5100 δοῦλος, 僕が G1401 κακῶς ひどく G2560 ἔχων, 病んでいて G2192 ἤμελλεν まさに G3195 τελευτᾶν, 死にかけていた G5053 ὃς その者は G3739 ἦν であった G1510 αὐτῷ 彼にとって G0846 ἔντιμος. 大切な者 G1784

ところが、ある百卒長の頼みにしていた僕が、病気になって死にかかっていた。

3 ἀκούσας 聞いて G0191 δὲ そして G1161 περὶ ～について G4012 τοῦ その G3588 Ἰησοῦ, イエスの G2424 ἀπέστειλεν 遣わした G0649 πρὸς ～のもとへ G4314 αὐτὸν 彼の G0846 πρεσβυτέρους 長老たちを G4245 τῶν その G3588 Ἰουδαίων, ユダヤ人の G2453 ἐρωτῶν 願って G2065 αὐτὸν 彼に G0846 ὅπως ～するように G3704 ἐλθὼν, 来て G2064 διασώσῃ 救ってほしいと G1295 τὸν その G3588 δοῦλον 僕を G1401 αὐτοῦ. 彼の G0846

この百卒長はイエスのことを聞いて、ユダヤ人の長老たちをイエスのところにつかわし、自分の僕を助けにきてくださるようにと、お願いした。

4 οἱ (その者たちは G3588) δὲ (そして G1161) παραγενόμενοι (来て G3854) πρὸς (～のもとへ G4314) τὸν (その G3588) Ἰησοῦν, (イエスの G2424) παρεκάλουν (懇願した G3870) αὐτὸν (彼に G0846)
σπουδαίως, (熱心に G4709) λέγοντες, (言って G3004) ὅτι (～と G3754) ἄξιός (ふさわしい G0514) ἐστιν, (です G1510) ᾧ (あなたが–この方に G3739) παρέξῃ (与えてくださることを G3930)
τοῦτο; (これを G3778)

彼らはイエスのところにきて、熱心に願って言った、「あの人はそうしていただくねうちがございます。

5 ἀγαπᾷ (愛しています G0025) γὰρ (なぜなら G1063) τὸ (その G3588) ἔθνος (民族を G1484) ἡμῶν, (私たちの G1473) καὶ (そして G2532) τὴν (その G3588) συναγωγὴν (会堂を G4864) αὐτὸς (彼自身が G0846)
ᾠκοδόμησεν (建ててくれました G3618) ἡμῖν. (私たちのために G1473)

わたしたちの国民を愛し、わたしたちのために会堂を建ててくれたのです」。

6 ὁ (その G3588) δὲ (そこで G1161) Ἰησοῦς (イエスは G2424) ἐπορεύετο (出かけた G4198) σὺν (～と共に G4862) αὐτοῖς; (彼らと G0846) ἤδη (すでに G2235) δὲ, (しかし G1161) αὐτοῦ (彼が G0846) οὐ (まだ G3756)
μακρὰν (遠く G3112) ἀπέχοντος (離れていない時 G0568) ἀπὸ (～から G0575) τῆς (その G3588) οἰκίας, (家から G3614) ἔπεμψεν (遣わした G3992) φίλους (友人たちを G5384) ὁ (その G3588) ἑκατοντάρχης, (百人隊長は G1543)
λέγων (言って G3004) αὐτῷ, (彼に G0846) Κύριε, (主よ G2962) μὴ (どうか G3361) σκύλλου, (煩わさないでください G4660) οὐ (ない G3756) γὰρ (なぜなら G1063) ἱκανός (ふさわしく G2425) εἰμι, (ありません G1510)
ἵνα (～するには G2443) ὑπὸ (～の下に G5259) τὴν (その G3588) στέγην (屋根の G4721) μου (私の G1473) εἰσέλθῃς; (お入りいただくには G1525)

そこで、イエスは彼らと連れだってお出かけになった。ところが、その家からほど遠くないあたりまでこられたとき、百卒長は友だちを送ってイエスに言わせた、「主よ、どうぞ、ご足労くださいませんように。わたしの屋根の下にあなたをお入れする資格は、わたしにはございません。

7 διὸ (それゆえ G1352) οὐδὲ (～さえも G3761) ἐμαυτὸν (自分自身を G1683) ἠξίωσα (ふさわしいとは–思いませんでした G0515) πρὸς (～のもとへ G4314) σὲ (あなたの G4771) ἐλθεῖν; (参ることを G2064)
ἀλλὰ (ただ G0235) εἰπὲ (おっしゃってください G3004) λόγῳ, (言葉で G3056) καὶ (そうすれば G2532) ἰαθήτω (癒されます G2390) ὁ (その G3588) παῖς (僕は G3816) μου. (私の G1473)

それですから、自分でお迎えにあがるねうちさえないと思っていたのです。ただ、お言葉を下さい。そして、わたしの僕をなおしてください。

8 καὶ というのは G2532 γὰρ また G1063 ἐγὼ 私は G1473 ἄνθρωπός 人間です G0444 εἰμι ～である G1510 ὑπὸ ～の下に G5259 ἐξουσίαν 権威の G1849 τασσόμενος, 置かれた G5021 ἔχων 持っている G2192

ὑπ’ ～の下に G5259 ἐμαυτὸν 自分の G1683 στρατιώτας; 兵士たちを G4757 καὶ そして G2532 λέγω 言います G3004 τούτῳ, この者に G3778 Πορεύθητι, 行けと G4198 καὶ すると G2532 πορεύεται; 行きます G4198

καὶ また G2532 ἄλλῳ, 別の者に G0243 Ἔρχου, 来いと G2064 καὶ すると G2532 ἔρχεται; 来ます G2064 καὶ また G2532 τῷ その G3588 δούλῳ 僕に G1401 μου, 私の G1473 Ποίησον これをしろと G4160 τοῦτο, これを G3778

καὶ すると G2532 ποιεῖ. します G4160

わたしも権威の下に服している者ですが、わたしの下にも兵卒がいまして、ひとりの者に『行け』と言えば行き、ほかの者に『こい』と言えばきますし、また、僕に『これをせよ』と言えば、してくれるのです」。

9 ἀκούσας 聞いて G0191 δὲ そして G1161 ταῦτα, これらのことを G3778 ὁ その G3588 Ἰησοῦς イエスは G2424 ἐθαύμασεν 驚かれた G2296 αὐτόν; 彼のことを G0846 καὶ そして G2532 στραφεὶς 振り向いて G4762

τῷ その G3588 ἀκολουθοῦντι ついて来ている G0190 αὐτῷ 彼に G0846 ὄχλῳ, 群衆に G3793 εἶπεν, 言われた G3004 Λέγω わたしは–言う G3004 ὑμῖν, あなたがたに G4771 οὐδὲ ～ほどの G3761 ἐν ～の中でも G1722

τῷ この G3588 Ἰσραὴλ イスラエル G2474 τοσαύτην これほどの G5118 πίστιν 信仰を G4102 εὗρον. 見たことがない G2147

イエスはこれを聞いて非常に感心され、ついてきた群衆の方に振り向いて言われた、「あなたがたに言っておくが、これほどの信仰は、イスラエルの中でも見たことがない」。

10 καὶ そして G2532 ὑποστρέψαντες 戻った者たちは G5290 εἰς ～へ G1519 τὸν その G3588 οἶκον, 家に G3624 οἱ その G3588 πεμφθέντες, 遣わされた者たちは G3992 εὗρον 見つけた G2147 τὸν その G3588

δοῦλον 僕が G1401 ὑγιαίνοντα. 健やかであるのを G5198

使にきた者たちが家に帰ってみると、僕は元気になっていた。

11 Καὶ そして G2532 ἐγένετο 起こった G1096 ἐν ～の G1722 τῷ その G3588 ἑξῆς, 翌日 G1836 ἐπορεύθη 出かけた G4198 εἰς ～へ G1519 πόλιν 町に G4172 καλουμένην 呼ばれる G2564 Ναΐν, ナインへ G3484

καὶ そして G2532 συνεπορεύοντο 一緒に–行った G4848 αὐτῷ 彼と G0846 οἱ その G3588 μαθηταὶ 弟子たちと G3101 αὐτοῦ, 彼の G0846 καὶ また G2532 ὄχλος 群衆も G3793 πολύς. 大勢の G4183

そののち、間もなく、ナインという町へおいでになったが、弟子たちや大ぜいの群衆も一緒に行った。

12 ὡς δὲ ἤγγισεν τῇ πύλῃ τῆς πόλεως, καὶ ἰδοὺ,
するとちょうど そして 近づいた時 その 門に その 町の すると 見よ
G5613 G1161 G1448 G3588 G4439 G3588 G4172 G2532 G3708

ἐξεκομίζετο τεθνηκὼς, μονογενὴς υἱὸς τῇ μητρὶ αὐτοῦ; καὶ αὐτὴ
運び出されていた 死んだ者が ひとり子の 息子が その 母の 彼女の しかも 彼女は
G1580 G2348 G3439 G5207 G3588 G3384 G0846 G2532 G0846

ἦν χήρα. καὶ ὄχλος τῆς πόλεως, ἱκανὸς, ἦν σὺν αὐτῇ.
であった やもめ そして 群衆が その 町の 大勢の いた ～と共に 彼女と
G1510 G5503 G2532 G3793 G3588 G4172 G2425 G1510 G4862 G0846

町の門に近づかれると、ちょうど、あるやもめにとってひとりむすこであった者が死んだので、葬りに出すところであった。大ぜいの町の人たちが、その母につきそっていた。

13 καὶ ἰδὼν αὐτὴν, ὁ Κύριος ἐσπλαγχνίσθη ἐπ' αὐτῇ, καὶ εἶπεν
そして 見て 彼女を その 主は 深く-憐れまれ ～の上に 彼女を そして 言われた
G2532 G3708 G0846 G3588 G2962 G4697 G1909 G0846 G2532 G3004

αὐτῇ, Μὴ κλαῖε.
彼女に 泣かないで いなさい
G0846 G3361 G2799

主はこの婦人を見て深い同情を寄せられ、「泣かないでいなさい」と言われた。

14 καὶ προσελθὼν, ἥψατο τῆς σοροῦ; οἱ δὲ βαστάζοντες ἔστησαν.
そして 近づいて 触れた その 棺に すると その 担いでいた者たちは 立ち止まった
G2532 G4334 G0680 G3588 G4673 G3588 G1161 G0941 G2476

καὶ εἶπεν, Νεανίσκε, σοὶ λέγω, ἐγέρθητι!
そして 言われた 若者よ あなたに わたしは-言う 起きなさい
G2532 G3004 G3495 G4771 G3004 G1453

そして近寄って棺に手をかけられると、かついでいる者たちが立ち止まったので、「若者よ、さあ、起きなさい」と言われた。

15 καὶ ἀνεκάθισεν ὁ νεκρὸς, καὶ ἤρξατο λαλεῖν, καὶ ἔδωκεν αὐτὸν
すると 起き上がった その 死人が そして 話し始めた 語ることを そして 渡された 彼を
G2532 G0339 G3588 G3498 G2532 G0756 G2980 G2532 G1325 G0846

τῇ μητρὶ αὐτοῦ.
その 母に 彼の
G3588 G3384 G0846

すると、死人が起き上がって物を言い出した。イエスは彼をその母にお渡しになった。

16 ἔλαβεν δὲ φόβος πάντας, καὶ ἐδόξαζον τὸν Θεὸν, λέγοντες, ὅτι
捕らえた そして 恐れが すべての者を そして たたえた その 神を 言って ～と
G2983 G1161 G5401 G3956 G2532 G1392 G3588 G2316 G3754

Προφήτης μέγας ἠγέρθη ἐν ἡμῖν! καὶ ὅτι, Ἐπεσκέψατο ὁ
預言者が 偉大な 起こされた ～の中に 私たちの中に また ～と 顧みてくださった その
G4396 G3173 G1453 G1722 G1473 G2532 G3754 G1980 G3588

Θεὸς τὸν λαὸν αὐτοῦ!
神が その 民を ご自分の
G2316 G3588 G2992 G0846

人々はみな恐れをいだき、「大預言者がわたしたちの間に現れた」、また、「神はその民を顧みてくださった」と言って、神をほめたたえた。

17 καὶ ἐξῆλθεν ὁ λόγος οὗτος ἐν ὅλῃ τῇ Ἰουδαίᾳ περὶ
そして 広まった この 知らせは この ～の中で 全 その ユダヤと ～について
G2532 G1831 G3588 G3056 G3778 G1722 G3650 G3588 G2449 G4012

αὐτοῦ, καὶ πάσῃ τῇ περιχώρῳ.
彼についての また すべての その 周辺の地に
G0846 G2532 G3956 G3588 G4066

イエスについてのこの話は、ユダヤ全土およびその附近のいたる所にひろまった。

18 Καὶ ἀπήγγειλαν Ἰωάννῃ οἱ μαθηταὶ αὐτοῦ περὶ πάντων τούτων.
そして 知らせた ヨハネに その 弟子たちが 彼の ～について すべての これらのことを
G2532 G0518 G2491 G3588 G3101 G0846 G4012 G3956 G3778

ヨハネの弟子たちは、これらのことを全部彼に報告した。するとヨハネは弟子の中からふたりの者を呼んで、

19 καὶ προσκαλεσάμενος δύο τινὰς τῶν μαθητῶν αὐτοῦ, ὁ Ἰωάννης
そこで 呼び寄せて 二人の ある その 弟子たちの 彼の その ヨハネは
G2532 G4341 G1417 G5100 G3588 G3101 G0846 G3588 G2491

ἔπεμψεν πρὸς τὸν Κύριον, λέγων, Σὺ εἶ ὁ ἐρχόμενος? ἢ
遣わした ～のもとへ その 主の 言って あなたは ですか その 来るべき方 それとも
G3992 G4314 G3588 G2962 G3004 G4771 G1510 G3588 G2064 G2228

ἄλλον προσδοκῶμεν?
他の方を 待つべきですか
G0243 G4328

主のもとに送り、「『きたるべきかた』はあなたなのですか。それとも、ほかにだれかを待つべきでしょうか」と尋ねさせた。

20 παραγενόμενοι δὲ πρὸς αὐτὸν, οἱ ἄνδρες εἶπαν, Ἰωάννης ὁ
来て そして ～のもとへ 彼の その 人々は 言った ヨハネ その
G3854 G1161 G4314 G0846 G3588 G0435 G3004 G2491 G3588

Βαπτιστὴς ἀπέστειλεν ἡμᾶς πρὸς σὲ, λέγων, Σὺ εἶ ὁ
バプテスマの 遣わしました 私たちを ～のもとへ あなたの 言って あなたは ですか その
G0910 G0649 G1473 G4314 G4771 G3004 G4771 G1510 G3588

ἐρχόμενος? ἢ ἄλλον προσδοκῶμεν?
来るべき方 それとも 他の方を 待つべきですか
G2064 G2228 G0243 G4328

そこで、この人たちがイエスのもとにきて言った、「わたしたちはバプテスマのヨハネからの使ですが、『きたるべきかた』はあなたなのですか、それとも、ほかにだれかを待つべきでしょうか、とヨハネが尋ねています」。

21 ἐν ἐκείνῃ τῇ ὥρᾳ, ἐθεράπευσεν πολλοὺς ἀπὸ νόσων, καὶ μαστίγων,
その 同じ その 時に 癒された 多くの者を ～から 病から また 苦しみから
G1722 G1565 G3588 G5610 G2323 G4183 G0575 G3554 G2532 G3148

καὶ πνευμάτων πονηρῶν, καὶ τυφλοῖς πολλοῖς, ἐχαρίσατο
また 霊の 悪い そして 目の見えない者たちに 多くの 恵みとして–与えた
G2532 G4151 G4190 G2532 G5185 G4183 G5483

βλέπειν.
見えることを
G0991

そのとき、イエスはさまざまの病苦と悪霊とに悩む人々をいやし、また多くの盲人を見えるようにしておられたが、

22 καὶ ἀποκριθεὶς, εἶπεν αὐτοῖς, Πορευθέντες, ἀπαγγείλατε Ἰωάννῃ ἃ
そして 答えて 言われた 彼らに 行って 伝えなさい ヨハネに あなたがたが
G2532 G0611 G3004 G0846 G4198 G0518 G2491 G3739

εἴδετε καὶ ἠκούσατε: τυφλοὶ ἀναβλέπουσιν, χωλοὶ
見たことと また 聞いたことを 目の見えない者は 見えるようになり 足の不自由な者は
G3708 G2532 G0191 G5185 G0308 G5560

περιπατοῦσιν, λεπροὶ καθαρίζονται; καὶ κωφοὶ ἀκούουσιν,
歩き ツァラアトの者は 清められ そして 耳の聞こえない者は 聞こえるようになり
G4043 G3015 G2511 G2532 G2974 G0191

νεκροὶ ἐγείρονται, πτωχοὶ εὐαγγελίζονται.
死んだ者は 生き返り 貧しい者は 福音を–聞いている
G3498 G1453 G4434 G2097

答えて言われた、「行って、あなたがたが見聞きしたことを、ヨハネに報告しなさい。盲人は見え、足なえは歩き、らい病人はきよまり、耳しいは聞え、死人は生きかえり、貧しい人々は福音を聞かされている。

23 καὶ μακάριός ἐστιν ὃς ἐὰν μὴ σκανδαλισθῇ ἐν ἐμοί.
そして 幸いだ ～は その人は もし ～ない つまずかない者は ～について わたしに
G2532 G3107 G1510 G3739 G1437 G3361 G4624 G1722 G1473

わたしにつまずかない者は、さいわいである」。

24 Ἀπελθόντων δὲ τῶν ἀγγέλων, Ἰωάννου ἤρξατο λέγειν
去った後 そして その 使いたちの ヨハネについて 話し始められた 語ることを
G0565 G1161 G3588 G0032 G2491 G0756 G3004

πρὸς τοὺς ὄχλους περὶ Ἰωάννου: Τί ἐξήλθατε εἰς τὴν
～に向かって その 群衆に ～について ヨハネのことを 何を 出て行ったのか ～へ その
G4314 G3588 G3793 G4012 G2491 G5101 G1831 G1519 G3588

ἔρημον θεάσασθαι? κάλαμον ὑπὸ ἀνέμου σαλευόμενον?
荒野に 見に 葦を ～に 風に 揺れる
G2048 G2300 G2563 G5259 G0417 G4531

ヨハネの使が行ってしまうと、イエスはヨハネのことを群衆に語りはじめられた、「あなたがたは、何を見に荒野に出てきたのか。風に揺らぐ葦であるか。

25 ἀλλὰ τί ἐξήλθατε ἰδεῖν? ἄνθρωπον ἐν μαλακοῖς ἱματίοις
では 何を 出て行ったのか 見に 人を ～を着た 柔らかい 衣を
G0235 G5101 G1831 G3708 G0444 G1722 G3120 G2440

ἠμφιεσμένον? ἰδοὺ, οἱ ἐν ἱματισμῷ ἐνδόξῳ, καὶ τρυφῇ ὑπάρχοντες,
まとった 見よ その ～にいる 華やかな–衣を 栄華な また 贅沢の 中にいる者たちは
G0294 G3708 G3588 G1722 G2441 G1741 G2532 G5172 G5225

ἐν τοῖς βασιλείοις εἰσίν.
～の中の その 宮殿に いる
G1722 G3588 G0934 G1510

では、何を見に出てきたのか。柔らかい着物をまとった人か。きらびやかに着かざって、ぜいたくに暮している人々なら、宮殿にいる。

26 ἀλλὰ では G0235 τί 何を G5101 ἐξήλθατε 出て行ったのか G1831 ἰδεῖν? 見に G3708 προφήτην? 預言者を G4396 ναί, そうだ G3483 λέγω わたしは–言う G3004 ὑμῖν, あなたがたに G4771 καὶ 実に G2532 περισσότερον それ以上の者を G4053 προφήτου. 預言者よりも G4396

では、何を見に出てきたのか。預言者か。そうだ、あなたがたに言うが、預言者以上の者である。

27 οὗτός この人こそ G3778 ἐστιν ～である G1510 περὶ ～について G4012 οὗ その G3739 γέγραπται, 書かれている者 G1125 Ἰδοὺ, 見よ G3708 ἀποστέλλω わたしは–遣わす G0649 τὸν その G3588 ἄγγελόν 使いを G0032 μου わたしの G1473 πρὸ ～の前に G4253 προσώπου 顔の G4383 σου, あなたの G4771 ὃς その者が G3739 κατασκευάσει 整える G2680 τὴν その G3588 ὁδόν 道を G3598 σου あなたの G4771 ἔμπροσθέν ～の前に G1715 σου. あなたの G4771

『見よ、わたしは使をあなたの先につかわし、あなたの前に、道を整えさせるであろう』と書いてあるのは、この人のことである。

28 λέγω わたしは–言う G3004 ὑμῖν, あなたがたに G4771 μείζων より–偉大な者は G3173 ἐν ～の中で G1722 γεννητοῖς 女から–生まれた者の G1084 γυναικῶν 女たちの G1135 Ἰωάννου ヨハネよりも G2491 οὐδείς 誰もいない G3762 ἐστιν; いない G1510 ὁ しかし G3588 δὲ その G1161 μικρότερος 最も小さい者は G3398 ἐν ～において G1722 τῇ その G3588 βασιλείᾳ 御国の G0932 τοῦ その G3588 Θεοῦ, 神の G2316 μείζων より偉大である G3173 αὐτοῦ 彼よりも G0846 ἐστιν. いる G1510

あなたがたに言っておく。女の産んだ者の中で、ヨハネより大きい人物はいない。しかし、神の国で最も小さい者も、彼よりは大きい。

29 καὶ そして G2532 πᾶς すべての G3956 ὁ その G3588 λαὸς 民は G2992 ἀκούσας, 聞いて G0191 καὶ また G2532 οἱ その G3588 τελῶναι, 取税人たちも G5057 ἐδικαίωσαν 神を–正しいとした G1344 τὸν その G3588 Θεόν, 神を G2316 βαπτισθέντες 受けていたので G0907 τὸ その G3588 βάπτισμα 洗礼を G0908 Ἰωάννου; ヨハネの G2491

（これを聞いた民衆は皆、また取税人たちも、ヨハネのバプテスマを受けて神の正しいことを認めた。

30 οἱ しかし G3588 δὲ その G1161 Φαρισαῖοι パリサイ人たちと G5330 καὶ また G2532 οἱ その G3588 νομικοὶ, 律法学者たちは G3544 τὴν その G3588 βουλὴν 計画を G1012 τοῦ その G3588 Θεοῦ 神の G2316 ἠθέτησαν 退けた G0114 εἰς ～に対して G1519 ἑαυτούς, 自分たち自身の G1438 μὴ ～ない G3361 βαπτισθέντες 受けていなかったので G0907 ὑπ’ ～から G5259 αὐτοῦ. 彼からの G0846

しかし、パリサイ人と律法学者たちとは彼からバプテスマを受けないで、自分たちに対する神のみこころを無にした。）

31 Τίνι 何に G5101 οὖν それでは G3767 ὁμοιώσω たとえようか G3666 τοὺς その G3588 ἀνθρώπους 人々を G0444 τῆς この G3588 γενεᾶς 世代の G1074 ταύτης? この G3778 καὶ そして G2532 τίνι 何に G5101 εἰσὶν 似ているか G1510 ὅμοιοι? 似ているか G3664

だから今の時代の人々を何に比べようか。彼らは何に似ているか。

32 ὅμοιοί 似ている G3664 εἰσιν ～に G1510 παιδίοις 子供たちに G3813 τοῖς その G3588 ἐν ～の中で G1722 ἀγορᾷ 市場に G0058 καθημένοις, 座っている G2521 καὶ そして G2532 προσφωνοῦσιν 呼びかけている G4377 ἀλλήλοις 互いに G0240 ἃ, ～と G3739 λέγει, 言って G3004 Ηὐλήσαμεν 笛を吹いた G0832 ὑμῖν, あなたがたに G4771 καὶ でも G2532 οὐκ ～ない G3756 ὠρχήσασθε; 踊らなかった G3738 ἐθρηνήσαμεν, 嘆いた G2354 καὶ でも G2532 οὐκ ～ない G3756 ἐκλαύσατε. 泣かなかった G2799

それは子供たちが広場にすわって、互に呼びかけ、『わたしたちが笛を吹いたのに、あなたたちは踊ってくれなかった。弔いの歌を歌ったのに、泣いてくれなかった』と言うのに似ている。

33 ἐλήλυθεν 来た G2064 γὰρ なぜなら G1063 Ἰωάννης ヨハネは G2491 ὁ その G3588 Βαπτιστὴς, バプテスマのは G0910 μὴ ～ない G3361 ἐσθίων 食べず G2068 ἄρτον, パンを G0740 μήτε また G3383 πίνων 飲まず G4095 οἶνον, ぶどう酒を G3631 καὶ すると G2532 λέγετε, あなたがたは–言う G3004 Δαιμόνιον 悪霊に G1140 ἔχει. 取りつかれていると G2192

なぜなら、バプテスマのヨハネがきて、パンを食べることも、ぶどう酒を飲むこともしないと、あなたがたは、あれは悪霊につかれているのだ、と言い、

34 ἐλήλυθεν 来た G2064 ὁ その G3588 Υἱὸς 人の子は G5207 τοῦ その G3588 ἀνθρώπου, 人の G0444 ἐσθίων 食べて G2068 καὶ また G2532 πίνων, 飲んで G4095 καὶ すると G2532 λέγετε, あなたがたは–言う G3004 Ἰδοὺ, 見よ G3708 ἄνθρωπος, この人は G0444 φάγος 大食いで G5314 καὶ また G2532 οἰνοπότης, 大酒飲みで G3630 φίλος 友だ G5384 τελωνῶν 取税人や G5057 καὶ また G2532 ἁμαρτωλῶν; 罪人の G0268

また人の子がきて食べたり飲んだりしていると、見よ、あれは食をむさぼる者、大酒を飲む者、また取税人、罪人の仲間だ、と言う。

35 καὶ しかし G2532 ἐδικαιώθη 正しいとされた G1344 ἡ その G3588 σοφία 知恵は G4678 ἀπὸ ～によって G0575 πάντων すべての G3956 τῶν その G3588 τέκνων 子供たちに–よって G5043 αὐτῆς. その G0846

しかし、知恵の正しいことは、そのすべての子が証明する」。

36 Ἠρώτα 頼んだ G2065 δέ さて G1161 τις ある G5100 αὐτὸν 彼に G0846 τῶν その G3588 Φαρισαίων, パリサイ人の G5330 ἵνα ～するようにと G2443 φάγῃ 食事をしたいと G5315 μετ’ ～と共に G3326

αὐτοῦ, 彼と G0846 καὶ そして G2532 εἰσελθὼν 入って G1525 εἰς ～の中へ G1519 τὸν その G3588 οἶκον 家に G3624 τοῦ その G3588 Φαρισαίου, パリサイ人の G5330 κατεκλίθη; 食卓に–着いた G2625

あるパリサイ人がイエスに、食事を共にしたいと申し出たので、そのパリサイ人の家にはいって食卓に着かれた。

37 καὶ すると G2532 ἰδοὺ, 見よ G3708 γυνὴ 女が G1135 ἥτις その者は G3748 ἦν であった G1510 ἐν ～の中の G1722 τῇ その G3588 πόλει, 町で G4172 ἁμαρτωλός. 罪深い者 G0268 καὶ そして G2532

ἐπιγνοῦσα 知って G1921 ὅτι ～と G3754 κατάκειται 食卓に–着いていると G2621 ἐν ～の中の G1722 τῇ その G3588 οἰκίᾳ 家で G3614 τοῦ その G3588 Φαρισαίου, パリサイ人の G5330 κομίσασα 持ってきた G2865

ἀλάβαστρον 石膏の壺を G0211 μύρου, 香油の G3464

するとそのとき、その町で罪の女であったものが、パリサイ人の家で食卓に着いておられることを聞いて、香油が入れてある石膏のつぼを持ってきて、

38 καὶ そして G2532 στᾶσα 立って G2476 ὀπίσω 後ろに G3694 παρὰ ～のそばで G3844 τοὺς その G3588 πόδας 足に G4228 αὐτοῦ 彼の G0846 κλαίουσα, 泣きながら G2799 τοῖς その G3588 δάκρυσιν 涙で G1144

ἤρξατο 始めた G0756 βρέχειν ぬらすことを G1026 τοὺς その G3588 πόδας 足を G4228 αὐτοῦ, 彼の G0846 καὶ そして G2532 ταῖς その G3588 θριξὶν 髪の毛で G2359 τῆς その G3588 κεφαλῆς 頭の G2776 αὐτῆς, 彼女の G0846

ἐξέμασσεν, 拭いた G1591 καὶ そして G2532 κατεφίλει 口づけし続けた G2705 τοὺς その G3588 πόδας 足に G4228 αὐτοῦ, 彼の G0846 καὶ そして G2532 ἤλειφεν 塗った G0218 τῷ その G3588 μύρῳ. 香油を G3464

泣きながら、イエスのうしろでその足もとに寄り、まず涙でイエスの足をぬらし、自分の髪の毛でぬぐい、そして、その足に接吻して、香油を塗った。

39 ἰδὼν 見て G3708 δὲ すると G1161 ὁ その G3588 Φαρισαῖος, パリサイ人は G5330 ὁ その G3588 καλέσας 招いた者は G2564 αὐτὸν, 彼を G0846 εἶπεν 言った G3004 ἐν ～の中で G1722 ἑαυτῷ, 心の G1438

λέγων, 言って G3004 Οὗτος この人が G3778 εἰ もし G1487 ἦν であったなら G1510 (ὁ) (その) G3588 προφήτης, 預言者 G4396 ἐγίνωσκεν 知っていたはずだ G1097 ἂν であろうに G0302 τίς 誰か G5101

καὶ また G2532 ποταπὴ どのような G4217 ἡ この G3588 γυνὴ 女が G1135 ἥτις この G3748 ἅπτεται 触れているかを G0680 αὐτοῦ, 彼に G0846 ὅτι ～と G3754 ἁμαρτωλός 罪深い者だ G0268 ἐστιν. と G1510

イエスを招いたパリサイ人がそれを見て、心の中で言った、「もしこの人が預言者であるなら、自分にさわっている女がだれだか、どんな女かわかるはずだ。それは罪の女なのだから」。

40 καὶ そこで G2532 ἀποκριθεὶς, 答えて G0611 ὁ その G3588 Ἰησοῦς イエスは G2424 εἶπεν 言われた G3004 πρὸς ～に向かって G4314 αὐτόν, 彼に G0846 Σίμων, シモンよ G4613 ἔχω わたしには-ある G2192
σοί あなたに G4771 τι あることを G5100 εἰπεῖν. 言いたいことが G3004 ὁ すると G3588 δέ, 彼は G1161 Διδάσκαλε, 先生 G1320 εἰπέ, おっしゃってください G3004 φησίν. と-言った G5346

そこでイエスは彼にむかって言われた、「シモン、あなたに言うことがある」。彼は「先生、おっしゃってください」と言った。

41 δύο 二人の G1417 χρεοφειλέται 負債者が G5533 ἦσαν いた G1510 δανιστῇ 金貸しに G1157 τινι; ある G5100 ὁ その G3588 εἷς 一人は G1520 ὤφειλεν 負っていた G3784 δηνάρια デナリを G1220
πεντακόσια; 五百 G4001 ὁ もう G3588 δὲ 一方の G1161 ἕτερος, 他の者は G2087 πεντήκοντα. 五十 G4004

イエスが言われた、「ある金貸しに金をかりた人がふたりいたが、ひとりは五百デナリ、もうひとりは五十デナリを借りていた。

42 μὴ ～ない G3361 ἐχόντων 持っていないので G2192 αὐτῶν 彼らが G0846 ἀποδοῦναι, 返すものを G0591 ἀμφοτέροις 両方とも G0297 ἐχαρίσατο. 赦した G5483 τίς どちらが G5101 οὖν それでは G3767
αὐτῶν, 彼らの-うち G0846 πλεῖον より多く G4119 ἀγαπήσει 愛するか G0025 αὐτόν? 彼を G0846

ところが、返すことができなかったので、彼はふたり共ゆるしてやった。このふたりのうちで、どちらが彼を多く愛するだろうか」。

43 ἀποκριθεὶς, 答えて G0611 Σίμων シモンは G4613 εἶπεν, 言った G3004 Ὑπολαμβάνω 思います G5274 ὅτι ～と G3754 ᾧ ～を G3739 τὸ その G3588 πλεῖον より多く G4119 ἐχαρίσατο. 赦された方が G5483
ὁ すると G3588 δὲ その方は G1161 εἶπεν 言われた G3004 αὐτῷ, 彼に G0846 Ὀρθῶς 正しく G3723 ἔκρινας. 判断した G2919

シモンが答えて言った、「多くゆるしてもらったほうだと思います」。イエスが言われた、「あなたの判断は正しい」。

44 καὶ そして G2532 στραφεὶς 振り向いて G4762 πρὸς ～の方へ G4314 τὴν その G3588 γυναῖκα, 女に G1135 τῷ その G3588 Σίμωνι シモンに G4613 ἔφη, 言われた G5346 Βλέπεις 見えるか G0991 ταύτην この G3778
τὴν この G3588 γυναῖκα? 女を G1135 εἰσῆλθόν わたしが-入った G1525 σου あなたの G4771 εἰς ～の中へ G1519 τὴν その G3588 οἰκίαν; 家に G3614 ὕδωρ 水を G5204 μοι わたしに G1473
ἐπὶ ～のための G1909 πόδας 足の G4228 οὐκ ～ない G3756 ἔδωκας; くれなかった G1325 αὕτη しかし-この女は G3778 δὲ この女は G1161 τοῖς その G3588 δάκρυσιν 涙で G1144 ἔβρεξέν ぬらした G1026
μου わたしの G1473 τοὺς その G3588 πόδας, 足を G4228 καὶ そして G2532 ταῖς その G3588 θριξὶν 髪の毛で G2359 αὐτῆς 彼女の G0846 ἐξέμαξεν. 拭いた G1591

それから女の方に振り向いて、シモンに言われた、「この女を見ないか。わたしがあなたの家にはいってきた時に、あなたは足を洗う水をくれなかった。ところが、この女は涙でわたしの足をぬらし、髪の毛でふいてくれた。

45

φίλημά	μοι	οὐκ	ἔδωκας,	αὕτη	δὲ,	ἀφ’	ἧς
口づけを	わたしに	～ない	くれなかった	しかし–この女は	この女は	～した時から	その
G5370	G1473	G3756	G1325	G3778	G1161	G0575	G3739

εἰσῆλθον,	οὐ	διέλιπεν	καταφιλοῦσά	μου	τοὺς	πόδας.
入った時から	～ない	やめなかった	口づけし続けることを	わたしの	その	足に
G1525	G3756	G1257	G2705	G1473	G3588	G4228

あなたはわたしに接吻をしてくれなかったが、彼女はわたしが家にはいった時から、わたしの足に接吻をしてやまなかった。

46

ἐλαίῳ	τὴν	κεφαλήν	μου	οὐκ	ἤλειψας;	αὕτη	δὲ,	μύρῳ
油を	その	頭に	わたしの	～ない	塗らなかった	しかし–この女は	この女は	香油を
G1637	G3588	G2776	G1473	G3756	G0218	G3778	G1161	G3464

ἤλειψεν	τοὺς	πόδας	μου.
塗った	その	足に	わたしの
G0218	G3588	G4228	G1473

あなたはわたしの頭に油を塗ってくれなかったが、彼女はわたしの足に香油を塗ってくれた。

47

οὗ	χάριν	λέγω	σοι,	ἀφέωνται	αἱ	ἁμαρτίαι	αὐτῆς	αἱ
それゆえに	ゆえに	わたしは–言う	あなたに	赦された	その	罪が	彼女の	その
G3739	G5484	G3004	G4771	G0863	G3588	G0266	G0846	G3588

πολλαί;	ὅτι	ἠγάπησεν	πολύ;	ᾧ	δὲ	ὀλίγον	ἀφίεται,	ὀλίγον
多くの	それは	多く愛したからだ	多く	しかし	その	少しだけ	赦された者は	少しだけ
G4183	G3754	G0025	G4183	G3739	G1161	G3641	G0863	G3641

ἀγαπᾷ.
愛する
G0025

それであなたに言うが、この女は多く愛したから、その多くの罪はゆるされているのである。少しだけゆるされた者は、少しだけしか愛さない」。

48

εἶπεν	δὲ	αὐτῇ,	Ἀφέωνταί	σου	αἱ	ἁμαρτίαι.
そして–言われた	そして	彼女に	赦された	あなたの	その	罪は
G3004	G1161	G0846	G0863	G4771	G3588	G0266

そして女に、「あなたの罪はゆるされた」と言われた。

49

καὶ	ἤρξαντο	οἱ	συνανακείμενοι	λέγειν	ἐν	ἑαυτοῖς,	Τίς
すると	始めた	その	食卓に–いた者たちは	言うことを	～の中で	心の中で	この方は–誰だ
G2532	G0756	G3588	G4873	G3004	G1722	G1438	G5101

οὗτός	ἐστιν	ὃς	καὶ	ἁμαρτίας	ἀφίησιν?
この方は	～だ	この方は	～さえも	罪を	赦すとは
G3778	G1510	G3739	G2532	G0266	G0863

すると同席の者たちが心の中で言いはじめた、「罪をゆるすことさえするこの人は、いったい、何者だろう」。

50

εἶπεν	δὲ	πρὸς	τὴν	γυναῖκα,	Ἡ	πίστις	σου	σέσωκέν
しかし–言われた	そして	～に向かって	その	女に	その	信仰が	あなたの	救った
G3004	G1161	G4314	G3588	G1135	G3588	G4102	G4771	G4982

σε;	πορεύου	εἰς	εἰρήνην.
あなたを	行きなさい	～の中へ	平安に
G4771	G4198	G1519	G1515

しかし、イエスは女にむかって言われた、「あなたの信仰があなたを救ったのです。安心して行きなさい」。

Chapter 8

1 Καὶ そして G2532 ἐγένετο 起こった G1096 ἐν ～の G1722 τῷ その G3588 καθεξῆς, 後に G2517 καὶ また G2532 αὐτὸς 彼は G0846 διώδευεν 巡り歩いた G1353 κατὰ ～ごとに G2596 πόλιν 町を G4172 καὶ また G2532 κώμην, 村を G2968 κηρύσσων 宣べ伝え G2784 καὶ また G2532 εὐαγγελιζόμενος, 福音を-告げながら G2097 τὴν その G3588 βασιλείαν 御国を G0932 τοῦ その G3588 Θεοῦ. 神の G2316 καὶ そして G2532 οἱ その G3588 δώδεκα 十二人が G1427 σὺν ～と共に G4862 αὐτῷ, 彼と G0846

そののちイエスは、神の国の福音を説きまた伝えながら、町々村々を巡回し続けられたが、十二弟子もお供をした。

2 καὶ また G2532 γυναῖκές 女たちも G1135 τινες 何人かの G5100 αἳ その者たちは G3739 ἦσαν であった G1510 τεθεραπευμέναι 癒された者で G2323 ἀπὸ ～から G0575 πνευμάτων 霊の G4151 πονηρῶν 悪い G4190 καὶ また G2532 ἀσθενειῶν, 病から G0769 Μαρία マリヤ G3137 ἡ その G3588 καλουμένη 呼ばれる G2564 Μαγδαληνή, マグダラの G3094 ἀφ’ ～から G0575 ἧς その G3739 δαιμόνια 悪霊が G1140 ἑπτὰ 七つ G2033 ἐξεληλύθει; 出て行った者 G1831

また悪霊を追い出され病気をいやされた数名の婦人たち、すなわち、七つの悪霊を追い出してもらったマグダラと呼ばれるマリヤ、

3 καὶ また G2532 Ἰωάννα ヨハンナ G2489 γυνὴ 妻で G1135 Χουζᾶ, クーザの G5529 ἐπιτρόπου 管理人の G2012 Ἡρῴδου; ヘロデの G2264 καὶ また G2532 Σουσάννα, スザンナ G4677 καὶ また G2532 ἕτεραι 他の G2087 πολλαί, 多くの者たち G4183 αἵτινες その者たちは G3748 διηκόνουν 仕えていた G1247 αὐτοῖς 彼らに G0846 ἐκ ～から G1537 τῶν その G3588 ὑπαρχόντων 持ち物の G5225 αὐταῖς. 彼女たちの G0846

ヘロデの家令クーザの妻ヨハンナ、スザンナ、そのほか多くの婦人たちも一緒にいて、自分たちの持ち物をもって一行に奉仕した。

4 Συνιόντος 集まっていた G4896 δὲ そして G1161 ὄχλου 群衆が G3793 πολλοῦ, 大きな G4183 καὶ また G2532 τῶν その G3588 κατὰ ～ごとの G2596 πόλιν 町から G4172 ἐπιπορευομένων やって来る者たちが G1975 πρὸς ～のもとへ G4314 αὐτὸν, 彼の G0846 εἶπεν 言われた G3004 διὰ ～を通して G1223 παραβολῆς. たとえで G3850

さて、大ぜいの群衆が集まり、その上、町々からの人たちがイエスのところに、ぞくぞくと押し寄せてきたので、一つの譬で話をされた、

5 Ἐξῆλθεν ὁ σπείρων τοῦ σπεῖραι τὸν σπόρον αὐτοῦ; καὶ ἐν
出て行った その 種蒔く者が ～するために 蒔くために その 種を 彼の そして ～の
G1831 G3588 G4687 G3588 G4687 G3588 G4703 G0846 G2532 G1722

τῷ σπείρειν αὐτὸν, ὃ μὲν ἔπεσεν παρὰ τὴν ὁδόν, καὶ
その 蒔いている時に 彼が 一方で あるものは 落ちた ～のそばに その 道端に そして
G3588 G4687 G0846 G3739 G3303 G4098 G3844 G3588 G3598 G2532

κατεπατήθη, καὶ τὰ πετεινὰ τοῦ οὐρανοῦ κατέφαγεν αὐτό.
踏みつけられ そして その 鳥が その 空の 食い尽くした それを
G2662 G2532 G3588 G4071 G3588 G3772 G2719 G0846

「種まきが種をまきに出て行った。まいているうちに、ある種は道ばたに落ち、踏みつけられ、そして空の鳥に食べられてしまった。

6 καὶ ἕτερον κατέπεσεν ἐπὶ τὴν πέτραν, καὶ φυὲν ἐξηράνθη,
また 他のものは 落ちた ～の上に その 岩の上に すると 芽を出したが 枯れた
G2532 G2087 G2667 G1909 G3588 G4073 G2532 G5453 G3583

διὰ τὸ μὴ ἔχειν ἰκμάδα;
～のために その ～ない 持たない 潤いを
G1223 G3588 G3361 G2192 G2429

ほかの種は岩の上に落ち、はえはしたが水気がないので枯れてしまった。

7 καὶ ἕτερον ἔπεσεν ἐν μέσῳ τῶν ἀκανθῶν, καὶ συμφυεῖσαι, αἱ
また 他のものは 落ちた ～の中に 真ん中に その 茨の すると 一緒に-伸びて その
G2532 G2087 G4098 G1722 G3319 G3588 G0173 G2532 G4855 G3588

ἄκανθαι ἀπέπνιξαν αὐτό;
茨が 塞ぎ殺した それを
G0173 G0638 G0846

ほかの種は、いばらの間に落ちたので、いばらも一緒に茂ってきて、それをふさいでしまった。

8 καὶ ἕτερον ἔπεσεν εἰς τὴν γῆν τὴν ἀγαθήν, καὶ φυὲν,
また 他のものは 落ちた ～の中に その 良い-地に その 良い そして 育って
G2532 G2087 G4098 G1519 G3588 G1093 G3588 G0018 G2532 G5453

ἐποίησεν καρπὸν ἑκατονταπλασίονα. ταῦτα λέγων ἐφώνει, Ὁ ἔχων
生み出した 実を 百倍の これらのことを 言って 叫ばれた その 持つ者は
G4160 G2590 G1542 G3778 G3004 G5455 G3588 G2192

ὦτα ἀκούειν, ἀκουέτω.
耳を 聞く 聞きなさい
G3775 G0191 G0191

ところが、ほかの種は良い地に落ちたので、はえ育って百倍もの実を結んだ」。こう語られたのち、声をあげて「聞く耳のある者は聞くがよい」と言われた。

9 Ἐπηρώτων δὲ αὐτὸν οἱ μαθηταὶ αὐτοῦ, τίς αὕτη εἴη, ἡ
尋ねた そして 彼に その 弟子たちが 彼の 何か この であるかと その
G1905 G1161 G0846 G3588 G3101 G0846 G5101 G3778 G1510 G3588

παραβολή?
たとえは
G3850

弟子たちは、この譬はどういう意味でしょうか、とイエスに質問した。

10 ὁ (すると G3588) δὲ (その方は G1161) εἶπεν, (言われた G3004) Ὑμῖν (あなたがたには G4771) δέδοται (与えられている G1325) γνῶναι (知ることが G1097) τὰ (その G3588) μυστήρια (奥義を G3466) τῆς (その G3588) βασιλείας (御国の G0932) τοῦ (その G3588) Θεοῦ, (神の G2316) τοῖς (しかし G3588) δὲ (その G1161) λοιποῖς, (他の者たちには G3062) ἐν (～で G1722) παραβολαῖς; (たとえで G3850) ἵνα (～するために G2443) βλέποντες, (見ても G0991) μὴ (～ない G3361) βλέπωσιν; (見えず G0991) καὶ (また G2532) ἀκούοντες, (聞いても G0191) μὴ (～ない G3361) συνιῶσιν. (悟らないように G4920)

そこで言われた、「あなたがたには、神の国の奥義を知ることが許されているが、ほかの人たちには、見ても見えず、聞いても悟られないために、譬で話すのである。

11 ἔστιν (さて G1510) δὲ (その G1161) αὕτη (この G3778) ἡ (その G3588) παραβολή: (たとえは G3850) ὁ (その G3588) σπόρος (種は G4703) ἐστὶν (～である G1510) ὁ (その G3588) λόγος (言葉–である G3056) τοῦ (その G3588) Θεοῦ; (神の G2316)

この譬はこういう意味である。種は神の言である。

12 οἱ (そして G3588) δὲ (その G1161) παρὰ (～のそばの G3844) τὴν (その G3588) ὁδόν (道端のは G3598) εἰσιν (～である G1510) οἱ (その G3588) ἀκούσαντες; (聞いた者たち G0191) εἶτα (それから G1534) ἔρχεται (来る G2064) ὁ (その G3588) διάβολος (悪魔が G1228) καὶ (そして G2532) αἴρει (取り去る G0142) τὸν (その G3588) λόγον (言葉を G3056) ἀπὸ (～から G0575) τῆς (その G3588) καρδίας (心から G2588) αὐτῶν, (彼らの G0846) ἵνα (～するために G2443) μὴ (～ない G3361) πιστεύσαντες (信じて G4100) σωθῶσιν. (救われないように G4982)

道ばたに落ちたのは、聞いたのち、信じることも救われることもないように、悪魔によってその心から御言が奪い取られる人たちのことである。

13 οἱ (そして G3588) δὲ (その G1161) ἐπὶ (～の上の G1909) τῆς (その G3588) πέτρας, (岩の上のは G4073) οἳ (その者たちは G3739) ὅταν (～する時に G3752) ἀκούσωσιν, (聞くと G0191) μετὰ (～をもって G3326) χαρᾶς (喜びをもって G5479) δέχονται (受け入れる G1209) τὸν (その G3588) λόγον, (言葉を G3056) καὶ (しかし G2532) οὗτοι (この者たちは G3778) ῥίζαν (根を G4491) οὐκ (～ない G3756) ἔχουσιν, (持たない G2192) οἳ (その者たちは G3739) πρὸς (～の間 G4314) καιρὸν (しばらくの間 G2540) πιστεύουσιν, (信じるが G4100) καὶ (そして G2532) ἐν (～の G1722) καιρῷ (試練の–時に G2540) πειρασμοῦ (試みの G3986) ἀφίστανται. (離れ去る G0868)

岩の上に落ちたのは、御言を聞いた時には喜んで受けいれるが、根が無いので、しばらくは信じていても、試錬の時が来ると、信仰を捨てる人たちのことである。

14 τὸ δὲ εἰς τὰς ἀκάνθας πεσόν, οὗτοί εἰσιν οἱ
しかし その ～の中へ その 茨の中の 落ちたもの この者たちは ～である その
G3588 G1161 G1519 G3588 G0173 G4098 G3778 G1510 G3588

ἀκούσαντες, καὶ ὑπὸ μεριμνῶν, καὶ πλούτου, καὶ ἡδονῶν τοῦ βίου,
聞いた者たちで そして ～によって 思い煩いや また 富や また 快楽に その 生活の
G0191 G2532 G5259 G3308 G2532 G4149 G2532 G2237 G3588 G0979

πορευόμενοι συμπνίγονται, καὶ οὐ τελεσφοροῦσιν.
行きながら 塞がれて そして ～ない 実を結ばない
G4198 G4846 G2532 G3756 G5052

いばらの中に落ちたのは、聞いてから日を過ごすうちに、生活の心づかいや富や快楽にふさがれて、実の熟するまでにならない人たちのことである。

15 τὸ δὲ ἐν τῇ καλῇ γῇ, οὗτοί εἰσιν οἵτινες ἐν
しかし その ～の中の その 良い 地のは この者たちは ～である その者たちは ～をもって
G3588 G1161 G1722 G3588 G2570 G1093 G3778 G1510 G3748 G1722

καρδίᾳ καλῇ καὶ ἀγαθῇ, ἀκούσαντες τὸν λόγον κατέχουσιν, καὶ
心の 良い また 善い 聞いた者たちで その 言葉を 保って そして
G2588 G2570 G2532 G0018 G0191 G3588 G3056 G2722 G2532

καρποφοροῦσιν ἐν ὑπομονῇ.
実を結ぶ ～をもって 忍耐をもって
G2592 G1722 G5281

良い地に落ちたのは、御言を聞いたのち、これを正しい良い心でしっかりと守り、耐え忍んで実を結ぶに至る人たちのことである。

16 Οὐδεὶς δὲ λύχνον ἅψας, καλύπτει αὐτὸν σκεύει, ἢ ὑποκάτω κλίνης
誰も さて ともし火を ともして 覆わない それを 器で また ～の下に 寝台の
G3762 G1161 G3088 G0681 G2572 G0846 G4632 G2228 G5270 G2825

τίθησιν, ἀλλ’ ἐπὶ λυχνίας τίθησιν, ἵνα οἱ εἰσπορευόμενοι
置かない むしろ ～の上に 燭台の上に 置く ～するために その 入って来る者たちが
G5087 G0235 G1909 G3087 G5087 G2443 G3588 G1531

βλέπωσιν τὸ φῶς.
見えるように その 光を
G0991 G3588 G5457

だれもあかりをともして、それを何かの器でおおいかぶせたり、寝台の下に置いたりはしない。燭台の上に置いて、はいって来る人たちに光が見えるようにするのである。

17 οὐ γάρ ἐστιν κρυπτὸν ὃ οὐ φανερὸν γενήσεται;
～ない なぜなら ～ない 隠れたものは ～でないものは ～ない 明らかに ならないものはない
G3756 G1063 G1510 G2927 G3739 G3756 G5318 G1096

οὐδὲ ἀπόκρυφον ὃ οὐ μὴ γνωσθῇ, καὶ εἰς
また～ない 秘密のものは ～でないものは ～ない 決して 知られないものはなく そして ～の中へ
G3761 G0614 G3739 G3756 G3361 G1097 G2532 G1519

φανερὸν ἔλθῃ.
明るみに 出ないものはない
G5318 G2064

隠されているもので、あらわにならないものはなく、秘密にされているもので、ついには知られ、明るみに出されないものはない。

18 βλέπετε 気をつけなさい G0991 οὖν それゆえ G3767 πῶς どのように G4459 ἀκούετε: 聞くかを G0191 ὃς ～する者は G3739 ἂν ～でも G0302 γὰρ なぜなら G1063 ἔχῃ, 持つ者には G2192

δοθήσεται 与えられる G1325 αὐτῷ; 彼に G0846 καὶ しかし G2532 ὃς ～する者は G3739 ἂν ～でも G0302 μὴ ～ない G3361 ἔχῃ, 持たない者からは G2192 καὶ ～さえも G2532 ὃ ～のものも G3739

δοκεῖ 持っていると-思う G1380 ἔχειν 持っている G2192 ἀρθήσεται 取り去られる G0142 ἀπ’ ～から G0575 αὐτοῦ. 彼から G0846

だから、どう聞くかに注意するがよい。持っている人は更に与えられ、持っていない人は、持っていると思っているものまでも、取り上げられるであろう」。

19 Παρεγένετο さて-来た G3854 δὲ そして G1161 πρὸς ～のもとへ G4314 αὐτὸν 彼の G0846 ἡ その G3588 μήτηρ 母と G3384 καὶ また G2532 οἱ その G3588 ἀδελφοὶ 兄弟たちが G0080 αὐτοῦ, 彼の G0846

καὶ しかし G2532 οὐκ ～ない G3756 ἠδύναντο できなかった G1410 συντυχεῖν 会うことが G4940 αὐτῷ, 彼に G0846 διὰ ～のために G1223 τὸν その G3588 ὄχλον. 群衆のために G3793

さて、イエスの母と兄弟たちとがイエスのところにきたが、群衆のためそば近くに行くことができなかった。

20 ἀπηγγέλη 知らされた G0518 δὲ そして G1161 αὐτῷ, 彼に G0846 Ἡ その G3588 μήτηρ 母上と G3384 σου, あなたの G4771 καὶ また G2532 οἱ その G3588 ἀδελφοί 兄弟たちが G0080 σου, あなたの G4771

ἑστήκασιν 立っておられます G2476 ἔξω, 外に G1854 ἰδεῖν 見たいと G3708 θέλοντές 望んで G2309 σε. あなたを G4771

それで、だれかが「あなたの母上と兄弟がたが、お目にかかろうと思って、外に立っておられます」と取次いだ。

21 ὁ すると G3588 δὲ その方は G1161 ἀποκριθεὶς, 答えて G0611 εἶπεν 言われた G3004 πρὸς ～に向かって G4314 αὐτούς, 彼らに G0846 Μήτηρ わたしの-母と G3384 μου わたしの G1473 καὶ また G2532

ἀδελφοί 兄弟たちとは G0080 μου, わたしの G1473 οὗτοί この者たちだ G3778 εἰσιν ～である G1510 οἱ すなわち G3588 τὸν その G3588 λόγον 言葉を G3056 τοῦ その G3588 Θεοῦ 神の G2316 ἀκούοντες 聞いて G0191

καὶ そして G2532 ποιοῦντες. 行う者たちだ G4160

するとイエスは人々にむかって言われた、「神の御言を聞いて行う者こそ、わたしの母、わたしの兄弟なのである」。

22 Ἐγένετο δὲ, ἐν μιᾷ τῶν ἡμερῶν καὶ αὐτὸς ἐνέβη εἰς πλοῖον,
さて-起こった そして ～の ある その 日に そして 彼は 乗った ～の中に 舟に
G1096 G1161 G1722 G1520 G3588 G2250 G2532 G0846 G1684 G1519 G4143

καὶ οἱ μαθηταὶ αὐτοῦ, καὶ εἶπεν πρὸς αὐτούς, Διέλθωμεν εἰς
そして その 弟子たちも 彼の そして 言われた ～に向かって 彼らに 渡ろう ～へ
G2532 G3588 G3101 G0846 G2532 G3004 G4314 G0846 G1330 G1519

τὸ πέραν τῆς λίμνης. καὶ ἀνήχθησαν.
その 向こう岸へ その 湖の そして 出発した
G3588 G4008 G3588 G3041 G2532 G0321

ある日のこと、イエスは弟子たちと舟に乗り込み、「湖の向こう岸へ渡ろう」と言われたので、一同が船出した。

23 πλεόντων δὲ αὐτῶν, ἀφύπνωσεν. καὶ κατέβη λαῖλαψ ἀνέμου εἰς
航海している そして 彼らが 眠り込まれた すると 吹き降ろした 突風が 風の ～の中に
G4126 G1161 G0846 G0879 G2532 G2597 G2978 G0417 G1519

τὴν λίμνην, καὶ συνεπληροῦντο, καὶ ἐκινδύνευον.
その 湖に そして 水に-満ちてきて そして 危なくなった
G3588 G3041 G2532 G4845 G2532 G2793

渡って行く間に、イエスは眠ってしまわれた。すると突風が湖に吹きおろしてきたので、彼らは水をかぶって危険になった。

24 προσελθόντες δὲ, διήγειραν αὐτὸν, λέγοντες, Ἐπιστάτα, ἐπιστάτα, ἀπολλύμεθα!
近づいて そして 起こした 彼を 言って 先生 先生 滅びます
G4334 G1161 G1326 G0846 G3004 G1988 G1988 G0622

ὁ δὲ διεγερθεὶς, ἐπετίμησεν τῷ ἀνέμῳ καὶ τῷ κλύδωνι τοῦ
すると その方は 起き上がって 叱られた その 風と また その 荒波を その
G3588 G1161 G1326 G2008 G3588 G0417 G2532 G3588 G2830 G3588

ὕδατος, καὶ ἐπαύσαντο, καὶ ἐγένετο γαλήνη.
水の すると やんだ そして なった 凪に
G5204 G2532 G3973 G2532 G1096 G1055

そこで、みそばに寄ってきてイエスを起し、「先生、先生、わたしたちは死にそうです」と言った。イエスは起き上がって、風と荒浪とをおしかりになると、止んでなぎになった。

25 εἶπεν δὲ αὐτοῖς, Ποῦ ἡ πίστις ὑμῶν? φοβηθέντες δὲ,
言われた そして 彼らに どこにある その 信仰は あなたがたの 恐れて そして
G3004 G1161 G0846 G4226 G3588 G4102 G4771 G5399 G1161

ἐθαύμασαν, λέγοντες πρὸς ἀλλήλους, Τίς ἄρα οὗτός ἐστιν?
驚いた 言い合って ～に向かって 互いに いったい-誰だ 一体 この方は ～なのか
G2296 G3004 G4314 G0240 G5101 G0686 G3778 G1510

ὅτι καὶ τοῖς ἀνέμοις ἐπιτάσσει καὶ τῷ ὕδατι, καὶ ὑπακούουσιν
～と ～にさえ その 風にも 命じられ また その 水にも すると 従う
G3754 G2532 G3588 G0417 G2004 G2532 G3588 G5204 G2532 G5219

αὐτῷ?
この方に
G0846

イエスは彼らに言われた、「あなたがたの信仰は、どこにあるのか」。彼らは恐れ驚いて互に言い合った、「いったい、このかたはだれだろう。お命じになると、風も水も従うとは」。

26 Καὶ κατέπλευσαν εἰς τὴν χώραν τῶν Γερασηνῶν, ἥτις ἐστὶν
そして 着いた ～の中へ その 地方に その ゲラサ人の そこは ～である
G2532 G2668 G1519 G3588 G5561 G3588 G1086 G3748 G1510

ἀντιπέρα τῆς Γαλιλαίας.
向かい側 その ガリラヤの
G0495 G3588 G1056

それから、彼らはガリラヤの対岸、ゲラサ人の地に渡った。

27 ἐξελθόντι δὲ αὐτῷ ἐπὶ τὴν γῆν, ὑπήντησεν ἀνήρ τις ἐκ τῆς
降りた時 そして 彼が ～の上に その 陸に 出迎えた 男が ある ～から その
G1831 G1161 G0846 G1909 G3588 G1093 G5221 G0435 G5100 G1537 G3588

πόλεως, ἔχων δαιμόνια, καὶ χρόνῳ ἱκανῷ οὐκ ἐνεδύσατο ἱμάτιον,
町から 持っている 悪霊を そして 長い–間 長い ～ない 着ていなかった 衣を
G4172 G2192 G1140 G2532 G5550 G2425 G3756 G1746 G2440

καὶ ἐν οἰκίᾳ οὐκ ἔμενεν, ἀλλ’ ἐν τοῖς μνήμασιν.
また ～の中に 家に ～ない 住まなかった むしろ ～の中に その 墓場に
G2532 G1722 G3614 G3756 G3306 G0235 G1722 G3588 G3418

陸にあがられると、その町の人で、悪霊につかれて長いあいだ着物も着ず、家に居つかないで墓場にばかりいた人に、出会われた。

28 ἰδὼν δὲ τὸν Ἰησοῦν, ἀνακράξας προσέπεσεν αὐτῷ, καὶ φωνῇ μεγάλῃ
見て そして その イエスを 叫んで ひれ伏した 彼に そして 声で 大きな
G3708 G1161 G3588 G2424 G0349 G4363 G0846 G2532 G5456 G3173

εἶπεν, Τί ἐμοὶ καὶ σοί, Ἰησοῦ, Υἱὲ τοῦ Θεοῦ, τοῦ
言った 何の–関わりが わたしと そして あなたに イエスよ 子よ その 神の その
G3004 G5101 G1473 G2532 G4771 G2424 G5207 G3588 G2316 G3588

Ὑψίστου? δέομαί σου μή με βασανίσῃς!
いと高き お願いします あなたに どうか わたしを 苦しめないでください
G5310 G1189 G4771 G3361 G1473 G0928

この人がイエスを見て叫び出し、みまえにひれ伏して大声で言った、「いと高き神の子イエスよ、あなたはわたしとなんの係わりがあるのです。お願いです、わたしを苦しめないでください」。

29 παρήγγελλεν γὰρ τῷ πνεύματι τῷ ἀκαθάρτῳ ἐξελθεῖν ἀπὸ
なぜなら 命じていたのだ その 霊に その 汚れた 出て行くように ～から
G3853 G1063 G3588 G4151 G3588 G0169 G1831 G0575

τοῦ ἀνθρώπου. πολλοῖς γὰρ χρόνοις συνηρπάκει αὐτόν; καὶ ἐδεσμεύετο,
その 人から 多くの というのは 年月 捕らえていた 彼を そして 縛られていた
G3588 G0444 G4183 G1063 G5550 G4884 G0846 G2532 G1195

ἁλύσεσιν καὶ πέδαις φυλασσόμενος, καὶ διαρρήσσων τὰ δεσμὰ,
鎖で また 足かせで 監視されて しかし 引きちぎって その 縄を
G0254 G2532 G3976 G5442 G2532 G1284 G3588 G1199

ἠλαύνετο ὑπὸ τοῦ δαιμονίου εἰς τὰς ἐρήμους.
追いやられていた ～によって その 悪霊によって ～の中へ その 荒野へ
G1643 G5259 G3588 G1140 G1519 G3588 G2048

それは、イエスが汚れた霊に、その人から出て行け、とお命じになったからである。というのは、悪霊が何度も彼をひき捕えたので、彼は鎖と足かせとでつながれて看視されていたが、それを断ち切っては悪霊によって荒野へ追いやられていたのである。

30 ἐπηρώτησεν δὲ αὐτὸν ὁ Ἰησοῦς, Τί σοι ὄνομά ἐστιν? ὁ
尋ねた そして 彼に その イエスは 何という あなたの 名前か ～か すると
G1905 G1161 G0846 G3588 G2424 G5101 G4771 G3686 G1510 G3588

δὲ εἶπεν, Λεγιών, ὅτι εἰσῆλθεν δαιμόνια πολλὰ εἰς αὐτόν.
彼は 言った レギオン なぜなら 入っていた 悪霊が 多くの ～の中に 彼の中に
G1161 G3004 G3003 G3754 G1525 G1140 G4183 G1519 G0846

イエスは彼に「なんという名前か」とお尋ねになると、「レギオンと言います」と答えた。彼の中にたくさんの悪霊がはいり込んでいたからである。

31 καὶ παρεκάλουν αὐτὸν, ἵνα μὴ ἐπιτάξῃ αὐτοῖς εἰς τὴν
そして 懇願した 彼に ～するように ～ない 命じないように 彼らに ～の中へ その
G2532 G3870 G0846 G2443 G3361 G2004 G0846 G1519 G3588

ἄβυσσον ἀπελθεῖν.
底なしの淵へ 行くことを
G0012 G0565

悪霊どもは、底知れぬ所に落ちて行くことを自分たちにお命じにならぬようにと、イエスに願いつづけた。

32 ἦν δὲ ἐκεῖ ἀγέλη χοίρων ἱκανῶν βοσκομένη, ἐν τῷ ὄρει, καὶ
いた そして そこに 群れが 豚の 大きな 飼われている ～の その 山で そこで
G1510 G1161 G1563 G0034 G5519 G2425 G1006 G1722 G3588 G3735 G2532

παρεκάλεσαν αὐτὸν ἵνα ἐπιτρέψῃ αὐτοῖς εἰς ἐκείνους εἰσελθεῖν;
頼んだ 彼に ～するように 許してほしいと 彼らが ～の中に それらの中に 入ることを
G3870 G0846 G2443 G2010 G0846 G1519 G1565 G1525

καὶ ἐπέτρεψεν αὐτοῖς.
すると 許された 彼らに
G2532 G2010 G0846

ところが、そこの山べにおびただしい豚の群れが飼ってあったので、その豚の中へはいることを許していただきたいと、悪霊どもが願い出た。イエスはそれをお許しになった。

33 ἐξελθόντα δὲ τὰ δαιμόνια ἀπὸ τοῦ ἀνθρώπου, εἰσῆλθον εἰς τοὺς
出て行くと そして その 悪霊たちは ～から その 人から 入った ～の中に その
G1831 G1161 G3588 G1140 G0575 G3588 G0444 G1525 G1519 G3588

χοίρους, καὶ ὥρμησεν ἡ ἀγέλη κατὰ τοῦ κρημνοῦ, εἰς τὴν
豚の中に すると 突進した その 群れは ～を下って その 崖を ～の中に その
G5519 G2532 G3729 G3588 G0034 G2596 G3588 G2911 G1519 G3588

λίμνην, καὶ ἀπεπνίγη.
湖に そして 溺れ死んだ
G3041 G2532 G0638

そこで悪霊どもは、その人から出て豚の中へはいり込んだ。するとその群れは、がけから湖へなだれを打って駆け下り、おぼれ死んでしまった。

34 ἰδόντες δὲ οἱ βόσκοντες τὸ γεγονὸς, ἔφυγον, καὶ
見て そして その 飼っていた者たちは その 起こったことを 逃げた そして
G3708 G1161 G3588 G1006 G3588 G1096 G5343 G2532

ἀπήγγειλαν εἰς τὴν πόλιν καὶ εἰς τοὺς ἀγρούς.
伝えた ～の中へ その 町へと また ～の中へ その 畑へ
G0518 G1519 G3588 G4172 G2532 G1519 G3588 G0068

飼う者たちは、この出来事を見て逃げ出して、町や村里にふれまわった。

35 ἐξῆλθον 出て来た G1831 δὲ そして G1161 ἰδεῖν 見ようとして G3708 τὸ その G3588 γεγονὸς, 起こったことを G1096 καὶ そして G2532 ἦλθον 来た G2064 πρὸς ～のもとへ G4314 τὸν その G3588
Ἰησοῦν, イエスの G2424 καὶ すると G2532 εὗρον 見つけた G2147 καθήμενον 座っている G2521 τὸν その G3588 ἄνθρωπον 人が G0444 ἀφ’ ～から G0575 οὗ その G3739 τὰ その G3588 δαιμόνια 悪霊が G1140
ἐξῆλθεν, 出て行った G1831 ἱματισμένον 服を着て G2439 καὶ そして G2532 σωφρονοῦντα, 正気に戻って G4993 παρὰ ～のそばに G3844 τοὺς その G3588 πόδας 足もとに G4228 τοῦ その G3588 Ἰησοῦ. イエスの G2424
καὶ そして G2532 ἐφοβήθησαν. 恐れた G5399

人々はこの出来事を見に出てきた。そして、イエスのところにきて、悪霊を追い出してもらった人が着物を着て、正気になってイエスの足もとにすわっているのを見て、恐れた。

36 ἀπήγγειλαν 知らせた G0518 δὲ そして G1161 αὐτοῖς 彼らに G0846 οἱ その G3588 ἰδόντες, 見た者たちが G3708 πῶς どのように G4459 ἐσώθη 救われたかを G4982 ὁ その G3588
δαιμονισθείς. 悪霊に取りつかれた者が G1139

それを見た人たちは、この悪霊につかれていた者が救われた次第を、彼らに語り聞かせた。

37 καὶ すると G2532 ἠρώτησεν 頼んだ G2065 αὐτὸν 彼に G0846 ἅπαν すべての G0537 τὸ その G3588 πλῆθος 群衆が G4128 τῆς その G3588 περιχώρου 周辺の G4066 τῶν その G3588 Γερασηνῶν, ゲラサ人の G1086
ἀπελθεῖν 去ってほしいと G0565 ἀπ’ ～から G0575 αὐτῶν, 彼らから G0846 ὅτι なぜなら G3754 φόβῳ 恐れに G5401 μεγάλῳ 大きな G3173 συνείχοντο. 捕らわれていたから G4912 αὐτὸς そこで–彼は G0846
δὲ, その方は G1161 ἐμβὰς 乗って G1684 εἰς ～の中に G1519 πλοῖον, 舟に G4143 ὑπέστρεψεν. 戻られた G5290

それから、ゲラサの地方の民衆はこぞって、自分たちの所から立ち去ってくださるようにとイエスに頼んだ。彼らが非常な恐怖に襲われていたからである。そこで、イエスは舟に乗って帰りかけられた。

38 ἐδεῖτο 頼んだ G1189 δὲ そして G1161 αὐτοῦ 彼に G0846 ὁ その G3588 ἀνὴρ 男は G0435 ἀφ’ ～から G0575 οὗ その者から G3739 ἐξεληλύθει 出て行った G1831 τὰ その G3588 δαιμόνια, 悪霊が G1140
εἶναι いたいと G1510 σὺν ～と共に G4862 αὐτῷ. 彼と G0846 ἀπέλυσεν しかし–帰された G0630 δὲ そして G1161 αὐτὸν 彼を G0846 λέγων, 言って G3004

悪霊を追い出してもらった人は、お供をしたいと、しきりに願ったが、イエスはこう言って彼をお帰しになった。

39 Ὑπόστρεφε εἰς τὸν οἶκόν σου, καὶ διηγοῦ ὅσα σοι
帰りなさい ～の中へ その 家に あなたの そして 語りなさい どれほどのことを あなたに
G5290 G1519 G3588 G3624 G4771 G2532 G1334 G3745 G4771

ἐποίησεν ὁ Θεός. καὶ ἀπῆλθεν, καθ’ ὅλην τὴν πόλιν
してくださったか その 神が そこで 去って行った ～じゅう 全 その 町じゅうに
G4160 G3588 G2316 G2532 G0565 G2596 G3650 G3588 G4172

κηρύσσων ὅσα ἐποίησεν αὐτῷ ὁ Ἰησοῦς.
宣べ伝えた どれほどのことを してくださったか 彼に その イエスが
G2784 G3745 G4160 G0846 G3588 G2424

「家へ帰って、神があなたにどんなに大きなことをしてくださったか、語り聞かせなさい」。そこで彼は立ち去って、自分にイエスがして下さったことを、ことごとく町中に言いひろめた。

40 Ἐν δὲ τῷ ὑποστρέφειν τὸν Ἰησοῦν, ἀπεδέξατο αὐτὸν ὁ ὄχλος;
～の さて その 戻って来られた時 その イエスを 迎え入れた 彼を その 群衆が
G1722 G1161 G3588 G5290 G3588 G2424 G0588 G0846 G3588 G3793

ἦσαν γὰρ πάντες προσδοκῶντες αὐτόν.
いた というのは 皆が 待っていた 彼を
G1510 G1063 G3956 G4328 G0846

イエスが帰ってこられると、群衆は喜び迎えた。みんながイエスを待ちうけていたのである。

41 καὶ ἰδοὺ, ἦλθεν ἀνὴρ ᾧ ὄνομα Ἰάϊρος, καὶ οὗτος ἄρχων τῆς
すると 見よ 来た 男が その者の 名は ヤイロ そして この者は 会堂長 その
G2532 G3708 G2064 G0435 G3739 G3686 G2383 G2532 G3778 G0758 G3588

συναγωγῆς ὑπῆρχεν, καὶ πεσὼν παρὰ τοὺς πόδας ‹τοῦ› Ἰησοῦ,
会堂の であった そして ひれ伏して ～のそばに その 足もとに その イエスの
G4864 G5225 G2532 G4098 G3844 G3588 G4228 G3588 G2424

παρεκάλει αὐτὸν εἰσελθεῖν εἰς τὸν οἶκον αὐτοῦ,
懇願した 彼に 来てほしいと ～の中に その 家に 彼の
G3870 G0846 G1525 G1519 G3588 G3624 G0846

するとそこに、ヤイロという名の人がきた。この人は会堂司であった。イエスの足もとにひれ伏して、自分の家においでくださるようにと、しきりに願った。

42 ὅτι θυγάτηρ μονογενὴς ἦν αὐτῷ, ὡς ἐτῶν δώδεκα, καὶ αὐτὴ
なぜなら 娘が ひとり子の であった 彼には およそ 歳で 十二 しかも 彼女は
G3754 G2364 G3439 G1510 G0846 G5613 G2094 G1427 G2532 G0846

ἀπέθνῃσκεν. Ἐν δὲ τῷ ὑπάγειν αὐτὸν, οἱ ὄχλοι συνέπνιγον αὐτόν.
死にかけていた ～の そして その 行く途中 彼が その 群衆が 押し迫っていた 彼に
G0599 G1722 G1161 G3588 G5217 G0846 G3588 G3793 G4846 G0846

彼に十二歳ばかりになるひとり娘があったが、死にかけていた。ところが、イエスが出て行かれる途中、群衆が押し迫ってきた。

43 καὶ γυνὴ οὖσα ἐν ῥύσει αἵματος ἀπὸ ἐτῶν δώδεκα, ἥτις ‹ἰατροῖς
すると 女で あった ～の 流れに 血の ～から 年の 十二 この者は 医者に
G2532 G1135 G1510 G1722 G4511 G0129 G0575 G2094 G1427 G3748 G2395

προσαναλώσασα ὅλον τὸν βίον›, οὐκ ἴσχυσεν ἀπ’ οὐδενὸς
費やして 全 その 生活費を ～ない できなかった ～から 誰からも
G4321 G3650 G3588 G0979 G3756 G2480 G0575 G3762

θεραπευθῆναι,
癒されることが
G2323

ここに、十二年間も長血をわずらっていて、医者のために自分の身代をみな使い果してしまったが、だれにもなおしてもらえなかった女がいた。

44 προσελθοῦσα ὄπισθεν, ἥψατο τοῦ κρασπέδου τοῦ ἱματίου αὐτοῦ, καὶ
近づいて 後ろから 触れた その 房に その 衣の 彼の すると
G4334 G3693 G0680 G3588 G2899 G3588 G2440 G0846 G2532

παραχρῆμα ἔστη ἡ ῥύσις τοῦ αἵματος αὐτῆς.
たちまち 止まった その 流れが その 血の 彼女の
G3916 G2476 G3588 G4511 G3588 G0129 G0846

この女がうしろから近寄ってみ衣のふさにさわったところ、その長血がたちまち止まってしまった。

45 καὶ εἶπεν, ὁ Ἰησοῦς, Τίς ὁ ἁψάμενός μου? ἀρνουμένων δὲ
そして 言われた その イエスは 誰が その 触れた者は わたしに 皆が–否定する中 そこで
G2532 G3004 G3588 G2424 G5101 G3588 G0680 G1473 G0720 G1161

πάντων, εἶπεν ὁ Πέτρος, Ἐπιστάτα, οἱ ὄχλοι συνέχουσίν σε καὶ
すべての者が 言った その ペテロが 先生 その 群衆が 押し迫って あなたに また
G3956 G3004 G3588 G4074 G1988 G3588 G3793 G4912 G4771 G2532

ἀποθλίβουσιν, <καὶ λέγεις, Τίς ὁ ἁψάμενός μου>?
押しつぶしています それなのに あなたは–言われるのですか 誰が その 触れた者は わたしにと
G0598 G2532 G3004 G5100 G3588 G0680 G1473

イエスは言われた、「わたしにさわったのは、だれか」。人々はみな自分ではないと言ったので、ペテロが「先生、群衆があなたを取り囲んで、ひしめき合っているのです」と答えた。

46 ὁ δὲ Ἰησοῦς εἶπεν, Ἥψατό μού τις; ἐγὼ γὰρ ἔγνων
しかし その イエスは 言われた 触れた わたしに 誰かが わたしは なぜなら 感じた
G3588 G1161 G2424 G3004 G0680 G1473 G5100 G1473 G1063 G1097

δύναμιν ἐξεληλυθυῖαν ἀπ' ἐμοῦ.
力が 出て行ったのを ～から わたしから
G1411 G1831 G0575 G1473

しかしイエスは言われた、「だれかがわたしにさわった。力がわたしから出て行ったのを感じたのだ」。

47 ἰδοῦσα δὲ ἡ γυνὴ, ὅτι οὐκ ἔλαθεν, τρέμουσα ἦλθεν, καὶ
見て そして その 女は ～と ～ない 隠せないと知って 震えながら 来た そして
G3708 G1161 G3588 G1135 G3754 G3756 G2990 G5141 G2064 G2532

προσπεσοῦσα αὐτῷ, δι' ἣν αἰτίαν ἥψατο αὐτοῦ ἀπήγγειλεν, ἐνώπιον
ひれ伏して 彼に ～のゆえに その 理由を 触れた 彼に 告げた ～の前で
G4363 G0846 G1223 G3739 G0156 G0680 G0846 G0518 G1799

παντὸς τοῦ λαοῦ, καὶ ὡς ἰάθη παραχρῆμα.
すべての その 民の また ～と 癒されたことを たちまち
G3956 G3588 G2992 G2532 G5613 G2390 G3916

女は隠しきれないのを知って、震えながら進み出て、みまえにひれ伏し、イエスにさわった訳と、さわるとたちまちなおったこととを、みんなの前で話した。

48 ὁ δὲ εἶπεν αὐτῇ, Θυγάτηρ, ἡ πίστις σου σέσωκέν σε;
すると その方は 言われた 彼女に 娘よ その 信仰が あなたの 救った あなたを
G3588 G1161 G3004 G0846 G2364 G3588 G4102 G4771 G4982 G4771

πορεύου εἰς εἰρήνην.
行きなさい ～の中へ 平安に
G4198 G1519 G1515

そこでイエスが女に言われた、「娘よ、あなたの信仰があなたを救ったのです。安心して行きなさい」。

49 Ἔτι αὐτοῦ λαλοῦντος, ἔρχεταί τις παρὰ τοῦ ἀρχισυναγώγου, λέγων
まだ 彼が 話しておられる時 来た ある者が ～から その 会堂長のもとから 言って
G2089 G0846 G2980 G2064 G5100 G3844 G3588 G0752 G3004

ὅτι Τέθνηκεν ἡ θυγάτηρ σου; μηκέτι σκύλλε τὸν
～と 亡くなりました その 娘さんは あなたの もう 煩わさないでください その
G3754 G2348 G3588 G2364 G4771 G3371 G4660 G3588

Διδάσκαλον.
先生を
G1320

イエスがまだ話しておられるうちに、会堂司の家から人がきて、「お嬢さんはなくなられました。この上、先生を煩わすには及びません」と言った。

50 ὁ δὲ Ἰησοῦς ἀκούσας, ἀπεκρίθη αὐτῷ, Μὴ φοβοῦ; μόνον
しかし その イエスは 聞いて 答えられた 彼に 恐れるな 恐れないで ただ
G3588 G1161 G2424 G0191 G0611 G0846 G3361 G5399 G3440

πίστευσον, καὶ σωθήσεται.
信じなさい そうすれば 救われる
G4100 G2532 G4982

しかしイエスはこれを聞いて会堂司にむかって言われた、「恐れることはない。ただ信じなさい。娘は助かるのだ」。

51 ἐλθὼν δὲ εἰς τὴν οἰκίαν, οὐκ ἀφῆκεν εἰσελθεῖν τινα σὺν
来て そして ～の中に その 家に ～ない 許さなかった 入ることを 誰にも ～と共に
G2064 G1161 G1519 G3588 G3614 G3756 G0863 G1525 G5100 G4862

αὐτῷ, εἰ μὴ Πέτρον, καὶ Ἰωάννην, καὶ Ἰάκωβον, καὶ τὸν πατέρα
彼と ～を除いて ただ ペテロと また ヨハネと また ヤコブと また その 父と
G0846 G1487 G3361 G4074 G2532 G2491 G2532 G2385 G2532 G3588 G3962

τῆς παιδὸς, καὶ τὴν μητέρα.
その 子供の また その 母
G3588 G3816 G2532 G3588 G3384

それから家にはいられるとき、ペテロ、ヨハネ、ヤコブおよびその子の父母のほかは、だれも一緒にはいって来ることをお許しにならなかった。

52 ἔκλαιον δὲ πάντες καὶ ἐκόπτοντο αὐτήν. ὁ δὲ
泣いていた そして すべての者が また 嘆き悲しんでいた 彼女のために すると その方は
G2799 G1161 G3956 G2532 G2875 G0846 G3588 G1161

εἶπεν, Μὴ κλαίετε; οὐ ‹γὰρ› ἀπέθανεν, ἀλλὰ καθεύδει.
言われた 泣くな 泣かないで ～ない なぜなら 死んだのではない むしろ 眠っているのだ
G3004 G3361 G2799 G3756 G1063 G0599 G0235 G2518

人々はみな、娘のために泣き悲しんでいた。イエスは言われた、「泣くな、娘は死んだのではない。眠っているだけである」。

53 καὶ κατεγέλων αὐτοῦ, εἰδότες ὅτι ἀπέθανεν.
すると あざ笑った 彼を 知っていたから ～と 死んだことを
G2532 G2606 G0846 G1492 G3754 G0599

人々は娘が死んだことを知っていたので、イエスをあざ笑った。

54 αὐτὸς δὲ, κρατήσας τῆς χειρὸς αὐτῆς, ἐφώνησεν, λέγων, Ἡ παῖς, ἔγειρε!
しかし–彼は その方は 握って その 手を 彼女の 呼ばれた 言って その 子よ 起きなさい
G0846 G1161 G2902 G3588 G5495 G0846 G5455 G3004 G3588 G3816 G1453

イエスは娘の手を取って、呼びかけて言われた、「娘よ、起きなさい」。

55 καὶ ἐπέστρεψεν τὸ πνεῦμα αὐτῆς, καὶ ἀνέστη παραχρῆμα; καὶ διέταξεν αὐτῇ δοθῆναι φαγεῖν.
すると 戻った その 霊が 彼女の そして 立ち上がった たちまち そして 命じられた 彼女に 与えるように 食べ物を
G2532 G1994 G3588 G4151 G0846 G2532 G0450 G3916 G2532 G1299 G0846 G1325 G5315

するとその霊がもどってきて、娘は即座に立ち上がった。イエスは何か食べ物を与えるように、さしずをされた。

56 καὶ ἐξέστησαν οἱ γονεῖς αὐτῆς; ὁ δὲ παρήγγειλεν αὐτοῖς μηδενὶ εἰπεῖν τὸ γεγονός.
すると 驚いた その 両親は 彼女の しかし その方は 命じられた 彼らに 誰にも 言わないように その 起こったことを
G2532 G1839 G3588 G1118 G0846 G3588 G1161 G3853 G0846 G3367 G3004 G3588 G1096

両親は驚いてしまった。イエスはこの出来事をだれにも話さないようにと、彼らに命じられた。

Chapter 9

1 Συνκαλεσάμενος δὲ τοὺς δώδεκα, ἔδωκεν αὐτοῖς δύναμιν καὶ ἐξουσίαν ἐπὶ πάντα τὰ δαιμόνια, καὶ νόσους θεραπεύειν,
呼び集めて そして その 十二人を 与えた 彼らに 力と また 権威を ～の上に すべての その 悪霊に対する また 病を 癒す
G4779 G1161 G3588 G1427 G1325 G0846 G1411 G2532 G1849 G1909 G3956 G3588 G1140 G2532 G3554 G2323

それからイエスは十二弟子を呼び集めて、彼らにすべての悪霊を制し、病気をいやす力と権威とをお授けになった。

2 καὶ ἀπέστειλεν αὐτοὺς κηρύσσειν τὴν βασιλείαν τοῦ Θεοῦ, καὶ ἰᾶσθαι ‹τοὺς ἀσθενεῖς›.
そして 遣わした 彼らを 宣べ伝えるために その 御国を その 神の また 癒すために その 病人を
G2532 G0649 G0846 G2784 G3588 G0932 G3588 G2316 G2532 G2390 G3588 G0772

また神の国を宣べ伝え、かつ病気をなおすためにつかわして

3 καὶ εἶπεν πρὸς αὐτούς, Μηδὲν αἴρετε εἰς τὴν ὁδόν;
そして 言われた ～に向かって 彼らに 何も 持って行くな ～のために その 旅に
G2532 G3004 G4314 G0846 G3367 G0142 G1519 G3588 G3598

μήτε ῥάβδον, μήτε πήραν, μήτε ἄρτον, μήτε ἀργύριον, μήτε ἀνὰ δύο
～も 杖も ～も 袋も ～も パンも ～も 銀も ～も ～ずつ 二枚
G3383 G4464 G3383 G4082 G3383 G0740 G3383 G0694 G3383 G0303 G1417

χιτῶνας ἔχειν.
下着を 持つな
G5509 G2192

言われた、「旅のために何も携えるな。つえも袋もパンも銭も持たず、また下着も二枚は持つな。

4 καὶ εἰς ἣν ἂν οἰκίαν εἰσέλθητε, ἐκεῖ μένετε, καὶ ἐκεῖθεν
そして ～の中に その ～でも 家に 入ったなら そこに とどまりなさい そして そこから
G2532 G1519 G3739 G0302 G3614 G1525 G1563 G3306 G2532 G1564

ἐξέρχεσθε.
出て行きなさい
G1831

また、どこかの家にはいったら、そこに留まっておれ。そしてそこから出かけることにしなさい。

5 καὶ ὅσοι ἂν μὴ δέχωνται ὑμᾶς, ἐξερχόμενοι ἀπὸ
そして ～する者たちは ～でも ～ない 受け入れない者たちは あなたがたを 出て行く時 ～から
G2532 G3745 G0302 G3361 G1209 G4771 G1831 G0575

τῆς πόλεως ἐκείνης, τὸν κονιορτὸν ἀπὸ τῶν ποδῶν ὑμῶν
その 町から その その 塵を ～から その 足から あなたがたの
G3588 G4172 G1565 G3588 G2868 G0575 G3588 G4228 G4771

ἀποτινάσσετε, εἰς μαρτύριον ἐπ’ αὐτούς.
払い落としなさい ～のための 証しとして ～に対する 彼らに対する
G0660 G1519 G3142 G1909 G0846

だれもあなたがたを迎えるものがいなかったら、その町を出て行くとき、彼らに対する抗議のしるしに、足からちりを払い落しなさい」。

6 ἐξερχόμενοι δὲ, διήρχοντο κατὰ τὰς κώμας, εὐαγγελιζόμενοι καὶ
出て行って そして 巡り歩いた ～ごとに その 村々を 福音を–告げ また
G1831 G1161 G1330 G2596 G3588 G2968 G2097 G2532

θεραπεύοντες πανταχοῦ.
癒しながら 至るところで
G2323 G3837

弟子たちは出て行って、村々を巡り歩き、いたる所で福音を宣べ伝え、また病気をいやした。

7 Ἤκουσεν δὲ Ἡρῴδης ὁ τετραάρχης τὰ γινόμενα πάντα, καὶ
聞いた そして ヘロデは その 領主は その 起こっている すべてのことを そして
G0191 G1161 G2264 G3588 G5076 G3588 G1096 G3956 G2532

διηπόρει, διὰ τὸ λέγεσθαι ὑπό τινων, ὅτι Ἰωάννης
当惑した ～のために その 言われていた ～によって ある人々から ～と ヨハネが
G1280 G1223 G3588 G3004 G5259 G5100 G3754 G2491

ἠγέρθη ἐκ νεκρῶν;
よみがえった ～から 死者の中から
G1453 G1537 G3498

さて、領主ヘロデはいろいろな出来事を耳にして、あわて惑っていた。それは、ある人たちは、ヨハネが死人の中からよみがえったと言い、

8 ὑπό ～によって G5259 τινων ある人々から G5100 δὲ, また G1161 ὅτι ～と G3754 Ἠλίας エリヤが G2243 ἐφάνη; 現れた G5316 ἄλλων 他の人々から G0243 δὲ, また G1161 ὅτι ～と G3754

προφήτης, 預言者が G4396 τις ある G5100 τῶν その G3588 ἀρχαίων, 昔の G0744 ἀνέστη. よみがえった G0450

またある人たちは、エリヤが現れたと言い、またほかの人たちは、昔の預言者のひとりが復活したのだと言っていたからである。

9 εἶπεν 言った G3004 δὲ そして G1161 ‹ὁ› その G3588 Ἡρῴδης, ヘロデは G2264 Ἰωάννην ヨハネを G2491 ἐγὼ わたしは G1473 ἀπεκεφάλισα, 首をはねた G0607 τίς いったい–誰だ G5101 δέ では G1161

ἐστιν ～だ G1510 οὗτος この人は G3778 περὶ ～について G4012 οὗ その G3739 ἀκούω 聞く G0191 τοιαῦτα? このようなことを G5108 καὶ そこで G2532 ἐζήτει 探し求めた G2212 ἰδεῖν 見ることを G3708

αὐτόν. 彼を G0846

そこでヘロデが言った、「ヨハネはわたしがすでに首を切ったのだが、こうしてうわさされているこの人は、いったい、だれなのだろう」。そしてイエスに会ってみようと思っていた。

10 Καὶ そして G2532 ὑποστρέψαντες, 帰って来て G5290 οἱ その G3588 ἀπόστολοι 使徒たちは G0652 διηγήσαντο 語り告げた G1334 αὐτῷ 彼に G0846 ὅσα どれほどのことを G3745 ἐποίησαν. 行ったかを G4160

Καὶ そこで G2532 παραλαβὼν 連れて G3880 αὐτοὺς, 彼らを G0846 ὑπεχώρησεν 退かれた G5298 κατ’ ～へ G2596 ἰδίαν ひそかに G2398 εἰς ～への G1519 πόλιν 町に G4172 καλουμένην 呼ばれる G2564

Βηθσαϊδά. ベツサイダへ G0966

使徒たちは帰ってきて、自分たちのしたことをすべてイエスに話した。それからイエスは彼らを連れて、ベツサイダという町へひそかに退かれた。

11 οἱ しかし G3588 δὲ その G1161 ὄχλοι 群衆は G3793 γνόντες, 知って G1097 ἠκολούθησαν ついて行った G0190 αὐτῷ; 彼に G0846 καὶ そして G2532 ἀποδεξάμενος 迎え入れて G0588 αὐτοὺς, 彼らを G0846

ἐλάλει 語っておられた G2980 αὐτοῖς 彼らに G0846 περὶ ～について G4012 τῆς その G3588 βασιλείας 御国に–ついて G0932 τοῦ その G3588 Θεοῦ, 神の G2316 καὶ また G2532 τοὺς その G3588 χρείαν 必要の G5532

ἔχοντας ある者たちを G2192 θεραπείας 癒しの G2322 ἰᾶτο. 癒しておられた G2390

ところが群衆がそれと知って、ついてきたので、これを迎えて神の国のことを語り聞かせ、また治療を要する人たちをいやされた。

12 Ἡ δὲ ἡμέρα ἤρξατο κλίνειν, προσελθόντες δὲ οἱ δώδεκα εἶπαν
その そして 日が 始めた 傾くことを 近づいて そして その 十二人は 言った
G3588 G1161 G2250 G0756 G2827 G4334 G1161 G3588 G1427 G3004

αὐτῷ, Ἀπόλυσον τὸν ὄχλον, ἵνα πορευθέντες εἰς τὰς κύκλῳ
彼に 解き放ちなさい その 群衆を ～するために 行って ～の中へ その 周りの
G0846 G0630 G3588 G3793 G2443 G4198 G1519 G3588 G2945

κώμας καὶ ἀγροὺς καταλύσωσιν, καὶ εὕρωσιν ἐπισιτισμόν; ὅτι
村々や また 畑に 宿を取り また 食べ物を–見つけるように 食糧を なぜなら
G2968 G2532 G0068 G2647 G2532 G2147 G1979 G3754

ὧδε ἐν ἐρήμῳ τόπῳ ἐσμέν.
ここは ～の中の 寂しい 場所に いるのだから
G5602 G1722 G2048 G5117 G1510

それから日が傾きかけたので、十二弟子がイエスのもとにきて言った、「群衆を解散して、まわりの村々や部落へ行って宿を取り、食物を手にいれるようにさせてください。わたしたちはこんな寂しい所にきているのですから」。

13 εἶπεν δὲ πρὸς αὐτούς, Δότε αὐτοῖς φαγεῖν· ὑμεῖς. οἱ
言われた そして ～に向かって 彼らに 与えなさい 彼らに 食べ物を あなたがたが しかし
G3004 G1161 G4314 G0846 G1325 G0846 G5315 G4771 G3588

δὲ εἶπαν, Οὐκ εἰσὶν ἡμῖν πλεῖον ἢ ἄρτοι πέντε, καὶ
その 彼らは–言った ～ない ない 私たちには 以上の–ものは ～より パンが 五つの また
G1161 G3004 G3756 G1510 G1473 G4119 G2228 G0740 G4002 G2532

ἰχθύες δύο, εἰ μήτι πορευθέντες, ἡμεῖς ἀγοράσωμεν εἰς
魚が 二つ ～でなければ もしかして 行って 私たちが 買うのか ～のために
G2486 G1417 G1487 G3385 G4198 G1473 G0059 G1519

πάντα τὸν λαὸν τοῦτον βρώματα;
すべての その 民の–ために この 食べ物を
G3956 G3588 G2992 G3778 G1033

しかしイエスは言われた、「あなたがたの手で食物をやりなさい」。彼らは言った、「わたしたちにはパン五つと魚二ひきしかありません、この大ぜいの人のために食物を買いに行くかしなければ」。

14 ἦσαν γὰρ ὡσεὶ ἄνδρες πεντακισχίλιοι. εἶπεν δὲ πρὸς τοὺς
いた なぜなら およそ 男だけで 五千人 言われた そして ～に向かって その
G1510 G1063 G5616 G0435 G4000 G3004 G1161 G4314 G3588

μαθητὰς αὐτοῦ, Κατακλίνατε αὐτοὺς κλισίας ὡσεὶ ἀνὰ πεντήκοντα.
弟子たちに 彼の 座らせなさい 彼らを 組に–なって およそ ～ずつ 五十人ずつ
G3101 G0846 G2625 G0846 G2828 G5616 G0303 G4004

というのは、男が五千人ばかりもいたからである。しかしイエスは弟子たちに言われた、「人々をおおよそ五十人ずつの組にして、すわらせなさい」。

15 καὶ ἐποίησαν οὕτως, καὶ κατέκλιναν ἅπαντας.
そして そのようにした そのように そして 座らせた すべての者を
G2532 G4160 G3779 G2532 G2625 G0537

彼らはそのとおりにして、みんなをすわらせた。

16 λαβὼν δὲ τοὺς πέντε ἄρτους καὶ τοὺς δύο ἰχθύας, ἀναβλέψας
受け取って そして その 五つの パンと また その 二つの 魚を 見上げて
G2983 G1161 G3588 G4002 G0740 G2532 G3588 G1417 G2486 G0308

εἰς τὸν οὐρανὸν, εὐλόγησεν αὐτοὺς καὶ κατέκλασεν, καὶ ἐδίδου τοῖς
～の方を その 天を 祝福された それらを そして 裂かれた そして 渡し続けた その
G1519 G3588 G3772 G2127 G0846 G2532 G2622 G2532 G1325 G3588

μαθηταῖς παραθεῖναι τῷ ὄχλῳ.
弟子たちに 配るために その 群衆に
G3101 G3908 G3588 G3793

イエスは五つのパンと二ひきの魚とを手に取り、天を仰いでそれを祝福してさき、弟子たちにわたして群衆に配らせた。

17 καὶ ἔφαγον καὶ ἐχορτάσθησαν πάντες; καὶ ἤρθη τὸ περισσεῦσαν
そして 食べた そして 満腹した 皆が そして 取り上げられた その 余った
G2532 G5315 G2532 G5526 G3956 G2532 G0142 G3588 G4052

αὐτοῖς κλασμάτων, κόφινοι δώδεκα.
彼らの 欠片の 籠が 十二
G0846 G2801 G2894 G1427

みんなの者は食べて満腹した。そして、その余りくずを集めたら、十二かごあった。

18 Καὶ ἐγένετο ἐν τῷ εἶναι αὐτὸν προσευχόμενον κατὰ μόνας,
そして 起こった ～の その ～していた 彼が 祈っておられた時 ～で ひとりで
G2532 G1096 G1722 G3588 G1510 G0846 G4336 G2596 G3441

συνῆσαν αὐτῷ οἱ μαθηταί, καὶ ἐπηρώτησεν αὐτοὺς, λέγων, Τίνα με
一緒にいた 彼と その 弟子たちが そして 尋ねられた 彼らに 言って 誰と わたしを
G4895 G0846 G3588 G3101 G2532 G1905 G0846 G3004 G5101 G1473

«οἱ ὄχλοι» λέγουσιν εἶναι?
その 群衆は 言っているか ～であると
G3588 G3793 G3004 G1510

イエスがひとりで祈っておられたとき、弟子たちが近くにいたので、彼らに尋ねて言われた、「群衆はわたしをだれと言っているか」。

19 οἱ δὲ ἀποκριθέντες, εἶπαν, Ἰωάννην τὸν Βαπτιστήν; ἄλλοι
すると その 答えて 彼らは–言った ヨハネ その バプテスマの 他の者たちは
G3588 G1161 G0611 G3004 G2491 G3588 G0910 G0243

δὲ, Ἠλίαν; ἄλλοι δὲ, ὅτι προφήτης, τις τῶν ἀρχαίων, ἀνέστη.
しかし エリヤ 他の者たちは また ～と 預言者 ある その 昔の よみがえった
G1161 G2243 G0243 G1161 G3754 G4396 G5100 G3588 G0744 G0450

彼らは答えて言った、「バプテスマのヨハネだと、言っています。しかしほかの人たちは、エリヤだと言い、また昔の預言者のひとりが復活したのだと、言っている者もあります」。

20 εἶπεν δὲ αὐτοῖς, Ὑμεῖς δὲ, τίνα με λέγετε εἶναι? Πέτρος
言われた そして 彼らに あなたがたは では 誰と わたしを 言うのか ～であると ペテロが
G3004 G1161 G0846 G4771 G1161 G5101 G1473 G3004 G1510 G4074

δὲ ἀποκριθεὶς, εἶπεν, Τὸν Χριστὸν τοῦ Θεοῦ.
そして 答えて 言った その キリスト その 神の
G1161 G0611 G3004 G3588 G5547 G3588 G2316

彼らに言われた、「それでは、あなたがたはわたしをだれと言うか」。ペテロが答えて言った、「神のキリストです」。

21 ὁ δὲ ἐπιτιμήσας αὐτοῖς, παρήγγειλεν μηδενὶ λέγειν τοῦτο,
すると その方は 戒めて 彼らを 命じられた 誰にも 言わないようにと このことを
G3588 G1161 G2008 G0846 G3853 G3367 G3004 G3778

イエスは彼らを戒め、この事をだれにも言うなと命じ、そして言われた、

22 εἰπὼν ὅτι, Δεῖ τὸν Υἱὸν τοῦ ἀνθρώπου πολλὰ παθεῖν; καὶ
言って ～と 必ず その 人の子は その 人の 多くの 苦しみを-受け そして
G3004 G3754 G1163 G3588 G5207 G3588 G0444 G4183 G3958 G2532

ἀποδοκιμασθῆναι ἀπὸ τῶν πρεσβυτέρων, καὶ ἀρχιερέων, καὶ γραμματέων,
拒まれ ～から その 長老たちから また 祭司長たちから また 律法学者たちから
G0593 G0575 G3588 G4245 G2532 G0749 G2532 G1122

καὶ ἀποκτανθῆναι, καὶ τῇ τρίτῃ ἡμέρᾳ ἐγερθῆναι.
そして 殺され そして その 三日目に 日に よみがえる
G2532 G0615 G2532 G3588 G5154 G2250 G1453

「人の子は必ず多くの苦しみを受け、長老、祭司長、律法学者たちに捨てられ、また殺され、そして三日目によみがえる」。

23 Ἔλεγεν δὲ πρὸς πάντας, Εἴ τις θέλει ὀπίσω μου
言われた そして ～に向かって すべての者に もし 誰でも 望むなら ～の後に わたしの
G3004 G1161 G4314 G3956 G1487 G5100 G2309 G3694 G1473

ἔρχεσθαι, ἀρνησάσθω ἑαυτὸν, καὶ ἀράτω τὸν σταυρὸν αὐτοῦ καθ’
来ることを 否みなさい 自分自身を そして 負いなさい その 十字架を 自分の ～ごとに
G2064 G0720 G1438 G2532 G0142 G3588 G4716 G0846 G2596

ἡμέραν, καὶ ἀκολουθείτω μοι.
日々 そして 従いなさい わたしに
G2250 G2532 G0190 G1473

それから、みんなの者に言われた、「だれでもわたしについてきたいと思うなら、自分を捨て、日々自分の十字架を負うて、わたしに従ってきなさい。

24 ὃς γὰρ ἂν θέλῃ τὴν ψυχὴν αὐτοῦ σῶσαι, ἀπολέσει
～する者は なぜなら ～でも 望む者は その 命を 自分の 救おうとする者は 失うだろう
G3739 G1063 G0302 G2309 G3588 G5590 G0846 G4982 G0622

αὐτήν; ὃς δ’ ἂν ἀπολέσῃ τὴν ψυχὴν αὐτοῦ ἕνεκεν
それを しかし-～する者は しかし ～でも 失う者は その 命を 自分の ～のために
G0846 G3739 G1161 G0302 G0622 G3588 G5590 G0846 G1752

ἐμοῦ, οὗτος σώσει αὐτήν.
わたしのために この者は 救うだろう それを
G1473 G3778 G4982 G0846

自分の命を救おうと思う者はそれを失い、わたしのために自分の命を失う者は、それを救うであろう。

25 τί γὰρ ὠφελεῖται ἄνθρωπος, κερδήσας τὸν κόσμον ὅλον, ἑαυτὸν
何の なぜなら 益があるか 人に 得ても その 世界を 全 自分自身を
G5101 G1063 G5623 G0444 G2770 G3588 G2889 G3650 G1438

δὲ ἀπολέσας, ἢ ζημιωθείς?
しかし 失い あるいは 損なうなら
G1161 G0622 G2228 G2210

人が全世界をもうけても、自分自身を失いまたは損したら、なんの得になろうか。

26

ὃς	γὰρ	ἂν	ἐπαισχυνθῇ	με	καὶ	τοὺς	ἐμοὺς	λόγους,	τοῦτον
～する者は	なぜなら	～でも	恥じる者は	わたしと	また	その	わたしの	言葉を	この者を
G3739	G1063	G0302	G1870	G1473	G2532	G3588	G1699	G3056	G3778

ὁ	Υἱὸς	τοῦ	ἀνθρώπου	ἐπαισχυνθήσεται,	ὅταν	ἔλθῃ	ἐν	τῇ
その	人の子は	その	人の	恥じるだろう	～する時に	来る時に	～の中で	その
G3588	G5207	G3588	G0444	G1870	G3752	G2064	G1722	G3588

δόξῃ	αὐτοῦ,	καὶ	τοῦ	Πατρὸς,	καὶ	τῶν	ἁγίων	ἀγγέλων.
栄光の–中で	彼の	また	その	父の	また	その	聖なる	御使いたちの
G1391	G0846	G2532	G3588	G3962	G2532	G3588	G0040	G0032

わたしとわたしの言葉とを恥じる者に対しては、人の子もまた、自分の栄光と、父と聖なる御使との栄光のうちに現れて来るとき、その者を恥じるであろう。

27

λέγω	δὲ	ὑμῖν	ἀληθῶς,	εἰσίν	τινες	τῶν	αὐτοῦ
わたしは–言う	そして	あなたがたに	まことに	いる	ある者たちが	その	ここに
G3004	G1161	G4771	G0230	G1510	G5100	G3588	G0847

ἑστηκότων,	οἳ	οὐ	μὴ	γεύσωνται	θανάτου,	ἕως	ἂν
立っている者たちの中に	その者たちは	～ない	決して	味わわない	死を	～まで	～するまで
G2476	G3739	G3756	G3361	G1089	G2288	G2193	G0302

ἴδωσιν	τὴν	βασιλείαν	τοῦ	Θεοῦ.
見る	その	御国を	その	神の
G3708	G3588	G0932	G3588	G2316

よく聞いておくがよい、神の国を見るまでは、死を味わわない者が、ここに立っている者の中にいる」。

28

Ἐγένετο	δὲ	μετὰ	τοὺς	λόγους	τούτους,	ὡσεὶ	ἡμέραι	ὀκτὼ,	καὶ
さて–起こった	そして	～の後	その	言葉の	これらの	およそ	日が	八	そして
G1096	G1161	G3326	G3588	G3056	G3778	G5616	G2250	G3638	G2532

παραλαβὼν	Πέτρον	καὶ	Ἰωάννην	καὶ	Ἰάκωβον,	ἀνέβη	εἰς	τὸ	ὄρος
連れて	ペテロと	また	ヨハネと	また	ヤコブを	登られた	～の中へ	その	山に
G3880	G4074	G2532	G2491	G2532	G2385	G0305	G1519	G3588	G3735

προσεύξασθαι.
祈るために
G4336

これらのことを話された後、八日ほどたってから、イエスはペテロ、ヨハネ、ヤコブを連れて、祈るために山に登られた。

29

καὶ	ἐγένετο	ἐν	τῷ	προσεύχεσθαι	αὐτὸν,	τὸ	εἶδος	τοῦ	προσώπου
すると	起こった	～の	その	祈っておられる時に	彼が	その	姿が	その	顔の
G2532	G1096	G1722	G3588	G4336	G0846	G3588	G1491	G3588	G4383

αὐτοῦ	ἕτερον,	καὶ	ὁ	ἱματισμὸς	αὐτοῦ	λευκὸς	ἐξαστράπτων.
彼の	異なるものとなり	また	その	衣が	彼の	白く	輝いた
G0846	G2087	G2532	G3588	G2441	G0846	G3022	G1823

祈っておられる間に、み顔の様が変り、み衣がまばゆいほどに白く輝いた。

30

καὶ	ἰδοὺ,	ἄνδρες	δύο	συνελάλουν	αὐτῷ,	οἵτινες	ἦσαν	Μωϋσῆς	καὶ
すると	見よ	人が	二人	語り合っていた	彼と	その者たちは	であった	モーセと	また
G2532	G3708	G0435	G1417	G4814	G0846	G3748	G1510	G3475	G2532

Ἠλίας,	
エリヤ	
G2243	

すると見よ、ふたりの人がイエスと語り合っていた。それはモーセとエリヤであったが、

31

οἵ	ὀφθέντες	ἐν	δόξῃ,	ἔλεγον	τὴν	ἔξοδον	αὐτοῦ,	ἣν
その者たちは	現れて	～の中で	栄光の中で	語っていた	その	最期を	彼の	その
G3739	G3708	G1722	G1391	G3004	G3588	G1841	G0846	G3739

ἤμελλεν	πληροῦν	ἐν	Ἰερουσαλήμ.
まさに	成し遂げようとしていた	～において	エルサレムで
G3195	G4137	G1722	G2419

栄光の中に現れて、イエスがエルサレムで遂げようとする最後のことについて話していたのである。

32

ὁ	δὲ	Πέτρος	καὶ	οἱ	σὺν	αὐτῷ	ἦσαν	βεβαρημένοι	ὕπνῳ;
すると	その	ペテロと	また	その	～と共に	彼と	いた者たちは	重い-眠りに	眠りに
G3588	G1161	G4074	G2532	G3588	G4862	G0846	G1510	G0916	G5258

διαγρηγορήσαντες	δὲ	εἶδον	τὴν	δόξαν	αὐτοῦ,	καὶ	τοὺς	δύο	ἄνδρας	τοὺς
しかし-目を覚まして	そして	見た	その	栄光を	彼の	また	その	二人の	人を	その
G1235	G1161	G3708	G3588	G1391	G0846	G2532	G3588	G1417	G0435	G3588

συνεστῶτας	αὐτῷ.
共に-立っている	彼と
G4921	G0846

ペテロとその仲間の者たちとは熟睡していたが、目をさますと、イエスの栄光の姿と、共に立っているふたりの人とを見た。

33

καὶ	ἐγένετο	ἐν	τῷ	διαχωρίζεσθαι	αὐτοὺς	ἀπ’	αὐτοῦ,	εἶπεν	ὁ
そして	起こった	～の	その	離れようとする時に	彼らが	～から	彼から	言った	その
G2532	G1096	G1722	G3588	G1316	G0846	G0575	G0846	G3004	G3588

Πέτρος	πρὸς	τὸν	Ἰησοῦν,	Ἐπιστάτα,	καλόν	ἐστιν	ἡμᾶς	ὧδε
ペテロが	～に向かって	その	イエスに	先生	良い-ことです	～です	私たちが	ここに
G4074	G4314	G3588	G2424	G1988	G2570	G1510	G1473	G5602

εἶναι;	καὶ	ποιήσωμεν	σκηνὰς	τρεῖς,	μίαν	σοὶ,	καὶ	μίαν	Μωϋσεῖ,
いることは	そこで	造りましょう	幕屋を	三つ	一つは	あなたに	また	一つは	モーセに
G1510	G2532	G4160	G4633	G5140	G1520	G4771	G2532	G1520	G3475

καὶ	μίαν	Ἠλίᾳ;	μὴ	εἰδὼς	ὃ	λέγει.
また	一つは	エリヤに	～ない	知らずに	～を	自分が-言っていることを
G2532	G1520	G2243	G3361	G1492	G3739	G3004

このふたりがイエスを離れ去ろうとしたとき、ペテロは自分が何を言っているのかわからないで、イエスに言った、「先生、わたしたちがここにいるのは、すばらしいことです。それで、わたしたちは小屋を三つ建てましょう。一つはあなたのために、一つはモーセのために、一つはエリヤのために」。

34

ταῦτα	δὲ	αὐτοῦ	λέγοντος,	ἐγένετο	νεφέλη	καὶ	ἐπεσκίαζεν	αὐτούς;
これらのこと	すると	彼が	言っている時に	起こった	雲が	そして	覆い始めた	彼らを
G3778	G1161	G0846	G3004	G1096	G3507	G2532	G1982	G0846

ἐφοβήθησαν	δὲ	ἐν	τῷ	εἰσελθεῖν	αὐτοὺς	εἰς	τὴν	νεφέλην.
恐れた	そして	～の中に	その	入る時に	彼らが	～の中に	その	雲の中に
G5399	G1161	G1722	G3588	G1525	G0846	G1519	G3588	G3507

彼がこう言っている間に、雲がわき起って彼らをおおいはじめた。そしてその雲に囲まれたとき、彼らは恐れた。

35 καὶ φωνὴ ἐγένετο ἐκ τῆς νεφέλης, λέγουσα, Οὗτός ἐστιν ὁ Υἱός
すると 声が 起こった ～から その 雲の中から 言って この者は ～である その 子
G2532 G5456 G1096 G1537 G3588 G3507 G3004 G3778 G1510 G3588 G5207

μου, ὁ ἐκλελεγμένος; αὐτοῦ ἀκούετε.
わたしの その 選ばれた者 この方の 言うことを–聞きなさい
G1473 G3588 G1586 G0846 G0191

すると雲の中から声があった、「これはわたしの子、わたしの選んだ者である。これに聞け」。

36 καὶ ἐν τῷ γενέσθαι τὴν φωνήν, εὑρέθη Ἰησοῦς μόνος. καὶ
そして ～の その 声がした時 その 声が 見出された イエスだけが ひとりで そして
G2532 G1722 G3588 G1096 G3588 G5456 G2147 G2424 G3441 G2532

αὐτοὶ ἐσίγησαν, καὶ οὐδενὶ ἀπήγγειλαν ἐν ἐκείναις ταῖς ἡμέραις οὐδὲν
彼ら自身 黙っていた そして 誰にも 告げなかった ～の それらの その 日々に 何も
G0846 G4601 G2532 G3762 G0518 G1722 G1565 G3588 G2250 G3762

ὧν ἑώρακαν.
～のことを 見たことの
G3739 G3708

そして声が止んだとき、イエスがひとりだけになっておられた。弟子たちは沈黙を守って、自分たちが見たことについては、そのころだれにも話さなかった。

37 Ἐγένετο δὲ τῇ ἑξῆς ἡμέρᾳ, κατελθόντων αὐτῶν ἀπὸ τοῦ ὄρους,
さて–起こった そして その 次の 日に 降りて来た時 彼らが ～から その 山から
G1096 G1161 G3588 G1836 G2250 G2718 G0846 G0575 G3588 G3735

συνήντησεν αὐτῷ ὄχλος πολύς.
出迎えた 彼を 群衆が 大勢の
G4876 G0846 G3793 G4183

翌日、一同が山を降りて来ると、大ぜいの群衆がイエスを出迎えた。

38 καὶ ἰδοὺ, ἀνὴρ ἀπὸ τοῦ ὄχλου ἐβόησεν, λέγων, Διδάσκαλε,
すると 見よ 男が ～から その 群衆の中から 叫んだ 言って 先生
G2532 G3708 G0435 G0575 G3588 G3793 G0994 G3004 G1320

δέομαί σου ἐπιβλέψαι ἐπὶ τὸν υἱόν μου, ὅτι
お願いします あなたに 目を留めてください ～の上に その 息子に わたしの なぜなら
G1189 G4771 G1914 G1909 G3588 G5207 G1473 G3754

μονογενής μοί ἐστιν.
ひとり子 わたしにとって ～だ
G3439 G1473 G1510

すると突然、ある人が群衆の中から大声をあげて言った、「先生、お願いです。わたしのむすこを見てやってください。この子はわたしのひとりむすこですが、

39 καὶ ἰδοὺ, πνεῦμα λαμβάνει αὐτόν, καὶ ἐξαίφνης κράζει, καὶ σπαράσσει
すると 見よ 霊が 捕らえる 彼を すると 突然 叫び そして 引きつけさせる
G2532 G3708 G4151 G2983 G0846 G2532 G1810 G2896 G2532 G4682

αὐτὸν μετὰ ἀφροῦ, καὶ μόγις ἀποχωρεῖ ἀπ’ αὐτοῦ,
彼を ～と共に 泡を–吹きながら そして やっとのことで 離れ去る ～から 彼から
G0846 G3326 G0876 G2532 G3425 G0672 G0575 G0846

συντρῖβον αὐτόν.
打ち砕きながら 彼を
G4937 G0846

霊が取りつきますと、彼は急に叫び出すのです。それから、霊は彼をひきつけさせて、あわを吹かせ、彼を弱り果てさせて、なかなか出て行かないのです。

40 καὶ そして G2532 ἐδεήθην 頼んだ G1189 τῶν その G3588 μαθητῶν 弟子たちに G3101 σου, あなたの G4771 ἵνα ～するように G2443 ἐκβάλωσιν 追い出してほしいと G1544 αὐτό, それを G0846 καὶ しかし G2532 οὐκ ～ない G3756 ἠδυνήθησαν. できなかった G1410

それで、お弟子たちに、この霊を追い出してくださるように願いましたが、できませんでした」。

41 ἀποκριθεὶς 答えて G0611 δὲ, すると G1161 ὁ その G3588 Ἰησοῦς イエスは G2424 εἶπεν, 言われた G3004 Ὦ ああ G5599 γενεὰ 世代よ G1074 ἄπιστος 不信仰な G0571 καὶ また G2532 διεστραμμένη, 曲がった G1294 ἕως いつまで G2193 πότε いつまで G4219 ἔσομαι ～だろう G1510 πρὸς ～と共に G4314 ὑμᾶς あなたがたと G4771 καὶ また G2532 ἀνέξομαι 耐えなければならないのか G0430 ὑμῶν? あなたがたに G4771 προσάγαγε 連れて来なさい G4317 ὧδε ここに G5602 τὸν その G3588 υἱόν 息子を G5207 σου. あなたの G4771

イエスは答えて言われた、「ああ、なんという不信仰な、曲った時代であろう。いつまで、わたしはあなたがたと一緒におられようか、またあなたがたに我慢ができようか。あなたの子をここに連れてきなさい」。

42 ἔτι まだ G2089 δὲ すると G1161 προσερχομένου 近づいて来る時 G4334 αὐτοῦ, 彼が G0846 ἔρρηξεν 打ち倒した G4486 αὐτὸν 彼を G0846 τὸ その G3588 δαιμόνιον, 悪霊が G1140 καὶ そして G2532 συνεσπάραξεν. 引きつけさせた G4952 ἐπετίμησεν しかし-叱られた G2008 δὲ すると G1161 ὁ その G3588 Ἰησοῦς イエスは G2424 τῷ その G3588 πνεύματι 霊を G4151 τῷ その G3588 ἀκαθάρτῳ, 汚れた G0169 καὶ そして G2532 ἰάσατο 癒された G2390 τὸν その G3588 παῖδα, 子供を G3816 καὶ そして G2532 ἀπέδωκεν 返された G0591 αὐτὸν 彼を G0846 τῷ その G3588 πατρὶ 父に G3962 αὐτοῦ. 彼の G0846

ところが、その子がイエスのところに来る時にも、悪霊が彼を引き倒して、引きつけさせた。イエスはこの汚れた霊をしかりつけ、その子供をいやして、父親にお渡しになった。

43 ἐξεπλήσσοντο 驚嘆した G1605 δὲ すると G1161 πάντες 皆が G3956 ἐπὶ ～に G1909 τῇ その G3588 μεγαλειότητι 偉大さに G3168 τοῦ その G3588 Θεοῦ. 神の G2316 Πάντων すべての者が G3956 δὲ そして G1161 θαυμαζόντων 驚いている中 G2296 ἐπὶ ～に G1909 πᾶσιν すべてのことに G3956 οἷς その G3739 ἐποίει; 行っておられた G4160 εἶπεν 言われた G3004 πρὸς ～に向かって G4314 τοὺς その G3588 μαθητὰς 弟子たちに G3101 αὐτοῦ, 彼の G0846

人々はみな、神の偉大な力に非常に驚いた。みんなの者がイエスのしておられた数々の事を不思議に思っていると、弟子たちに言われた、

44 Θέσθε ὑμεῖς εἰς τὰ ὦτα ὑμῶν τοὺς λόγους
しっかり入れなさい あなたがたは ～の中に その 耳の中に あなたがたの その 言葉を
G5087 G4771 G1519 G3588 G3775 G4771 G3588 G3056

τούτους: ὁ γὰρ Υἱὸς τοῦ ἀνθρώπου μέλλει παραδίδοσθαι εἰς
これらの その なぜなら 人の子は その 人の まさに 渡されようとしている ～の中に
G3778 G3588 G1063 G5207 G3588 G0444 G3195 G3860 G1519

χεῖρας ἀνθρώπων.
手に 人々の
G5495 G0444

「あなたがたはこの言葉を耳におさめて置きなさい。人の子は人々の手に渡されようとしている」。

45 οἱ δὲ ἠγνόουν τὸ ῥῆμα τοῦτο, καὶ ἦν παρακεκαλυμμένον
しかし その 分からなかった その 言葉が この そして ～であった 隠されて-いた
G3588 G1161 G0050 G3588 G4487 G3778 G2532 G1510 G3871

ἀπ' αὐτῶν, ἵνα μὴ αἴσθωνται αὐτό. καὶ ἐφοβοῦντο ἐρωτῆσαι
～から 彼らから ～するために ～ない 悟らない-ように それを そして 恐れていた 尋ねることを
G0575 G0846 G2443 G3361 G0143 G0846 G2532 G5399 G2065

αὐτὸν περὶ τοῦ ῥήματος τούτου.
彼に ～について その 言葉に-ついて この
G0846 G4012 G3588 G4487 G3778

しかし、彼らはなんのことかわからなかった。それが彼らに隠されていて、悟ることができなかったのである。また彼らはそのことについて尋ねるのを恐れていた。

46 Εἰσῆλθεν δὲ διαλογισμὸς ἐν αὐτοῖς, τὸ, τίς ἂν εἴη
入り込んだ そして 議論が ～の中に 彼らの中に その 誰が ～か ～であるか
G1525 G1161 G1261 G1722 G0846 G3588 G5101 G0302 G1510

μείζων αὐτῶν.
最も大きいか 彼らの-中で
G3173 G0846

弟子たちの間に、彼らのうちでだれがいちばん偉いだろうかということで、議論がはじまった。

47 ὁ δὲ Ἰησοῦς εἰδὼς τὸν διαλογισμὸν τῆς καρδίας αὐτῶν,
すると その イエスは 知っていて その 議論を その 心の 彼らの
G3588 G1161 G2424 G1492 G3588 G1261 G3588 G2588 G0846

ἐπιλαβόμενος παιδίον, ἔστησεν αὐτὸ παρ' ἑαυτῷ,
取って 子供を 立たせられた その子を ～のそばに ご自身の
G1949 G3813 G2476 G0846 G3844 G1438

イエスは彼らの心の思いを見抜き、ひとりの幼な子を取りあげて自分のそばに立たせ、彼らに言われた、

48 καὶ そして G2532 εἶπεν 言われた G3004 αὐτοῖς, 彼らに G0846 Ὃς ～する者は G3739 ἐὰν もし G1437 δέξηται 受け入れる者は G1209 τοῦτο この G3778 τὸ この G3588 παιδίον 子供を G3813 ἐπὶ ～において G1909 τῷ その G3588 ὀνόματί 名に-おいて G3686 μου, わたしの G1473 ἐμὲ わたしを G1473 δέχεται; 受け入れる G1209 καὶ そして G2532 ὃς ～する者は G3739 ἂν ～でも G0302 ἐμὲ わたしを G1473 δέξηται, 受け入れる者は G1209 δέχεται 受け入れる G1209 τὸν その G3588 ἀποστείλαντά 遣わされた方を G0649 με. わたしを G1473 ὁ その G3588 γὰρ なぜなら G1063 μικρότερος 最も小さい者が G3398 ἐν ～の中で G1722 πᾶσιν すべての G3956 ὑμῖν あなたがたの-中で G4771 ὑπάρχων, いる者が G5225 οὗτός この者こそ G3778 ἐστιν ～である G1510 μέγας. 偉大である G3173

「だれでもこの幼な子をわたしの名のゆえに受けいれる者は、わたしを受けいれるのである。そしてわたしを受けいれる者は、わたしをおつかわしになったかたを受けいれるのである。あなたがたみんなの中でいちばん小さい者こそ、大きいのである」。

49 Ἀποκριθεὶς 答えて G0611 δὲ, すると G1161 ́ό́ その G3588 Ἰωάννης ヨハネは G2491 εἶπεν, 言った G3004 Ἐπιστάτα, 先生 G1988 εἴδομέν 見ました G3708 τινα ある者が G5100 ἐν ～において G1722 τῷ その G3588 ὀνόματί 名に-おいて G3686 σου あなたの G4771 ἐκβάλλοντα 追い出しているのを G1544 δαιμόνια, 悪霊を G1140 καὶ そして G2532 ἐκωλύομεν 止めました G2967 αὐτὸν, 彼を G0846 ὅτι なぜなら G3754 οὐκ ～ない G3756 ἀκολουθεῖ 従っていない G0190 μεθ’ ～と共に G3326 ἡμῶν. 私たちと G1473

するとヨハネが答えて言った、「先生、わたしたちはある人があなたの名を使って悪霊を追い出しているのを見ましたが、その人はわたしたちの仲間でないので、やめさせました」。

50 εἶπεν 言われた G3004 δὲ そして G1161 πρὸς ～に向かって G4314 αὐτὸν 彼に G0846 ‹ὁ› その G3588 Ἰησοῦς, イエスは G2424 Μὴ 止めるな G3361 κωλύετε; 止めてはならない G2967 ὃς ～する者は G3739 γὰρ なぜなら G1063 οὐκ ～ない G3756 ἔστιν ～でない者は G1510 καθ’ ～に対して G2596 ὑμῶν, あなたがたに G4771 ὑπὲρ ～のために G5228 ὑμῶν あなたがたの-味方だ G4771 ἐστιν. である G1510

イエスは彼に言われた、「やめさせないがよい。あなたがたに反対しない者は、あなたがたの味方なのである」。

51 Ἐγένετο さて-起こった G1096 δὲ そして G1161 ἐν ～の G1722 τῷ その G3588 συμπληροῦσθαι 満ちようとする時 G4845 τὰς その G3588 ἡμέρας 日々が G2250 τῆς その G3588 ἀναλήμψεως 天に-上げられる G0354 αὐτοῦ, 彼の G0846 καὶ そこで G2532 αὐτὸς 彼は G0846 τὸ その G3588 πρόσωπον 顔を G4383 ἐστήρισεν, 定められた G4741 τοῦ ～するために G3588 πορεύεσθαι 行くために G4198 εἰς ～の方へ G1519 Ἰερουσαλήμ エルサレムへ G2419

さて、イエスが天に上げられる日が近づいたので、エルサレムへ行こうと決意して、その方へ顔をむけられ、

52 καὶ ἀπέστειλεν ἀγγέλους πρὸ προσώπου αὐτοῦ. καὶ πορευθέντες,
そして 遣わされた 使いを ～の前に 顔の 彼の そして 行って
G2532 G0649 G0032 G4253 G4383 G0846 G2532 G4198

εἰσῆλθον εἰς κώμην Σαμαριτῶν, ὡς ἑτοιμάσαι αὐτῷ.
入った ～の中に 村に サマリヤ人の ～するように 準備するために 彼のために
G1525 G1519 G2968 G4541 G5613 G2090 G0846

自分に先立って使者たちをおつかわしになった。そして彼らがサマリヤ人の村へはいって行き、イエスのために準備をしようとしたところ、

53 καὶ οὐκ ἐδέξαντο αὐτόν, ὅτι τὸ πρόσωπον αὐτοῦ ἦν
しかし ～ない 受け入れなかった 彼を なぜなら その 顔が 彼の であった
G2532 G3756 G1209 G0846 G3754 G3588 G4383 G0846 G1510

πορευόμενον εἰς Ἰερουσαλήμ.
向かっていた ～の方に エルサレムに
G4198 G1519 G2419

村人は、エルサレムへむかって進んで行かれるというので、イエスを歓迎しようとはしなかった。

54 ἰδόντες δὲ, οἱ μαθηταὶ Ἰάκωβος καὶ Ἰωάννης εἶπαν, Κύριε, θέλεις
見て すると その 弟子たちの ヤコブと また ヨハネは 言った 主よ 望まれますか
G3708 G1161 G3588 G3101 G2385 G2532 G2491 G3004 G2962 G2309

εἴπωμεν πῦρ καταβῆναι ἀπὸ τοῦ οὐρανοῦ καὶ ἀναλῶσαι αὐτούς?
命じましょうか 火が 降るように ～から その 天から そして 滅ぼすように 彼らを
G3004 G4442 G2597 G0575 G3588 G3772 G2532 G0355 G0846

弟子のヤコブとヨハネとはそれを見て言った、「主よ、いかがでしょう。彼らを焼き払ってしまうように、天から火をよび求めましょうか」。

55 στραφεὶς δὲ, ἐπετίμησεν αὐτοῖς, <καὶ εἶπεν, Οὐκ οἴδατε οἵου
振り向いて すると 叱られた 彼らを そして 言われた ～ない 知らないのだ どのような
G4762 G1161 G2008 G0846 G2532 G3004 G3756 G1492 G3634

πνεύματός ἐστε ὑμεῖς>.
霊の ～であるか あなたがたは
G4151 G1510 G4771

イエスは振りかえって、彼らをおしかりになった。

56 <ὁ γὰρ υἱὸς τοῦ ἀνθρώπου οὐκ ἦλθεν, ψυχὰς ἀνθρώπων
その なぜなら 人の子は その 人の ～ない 来たのではない 命を 人々の
G3588 G1063 G5207 G3588 G0444 G3756 G2064 G5590 G0444

ἀπολέσαι, ἀλλὰ σῶσαι>. καὶ ἐπορεύθησαν εἰς ἑτέραν κώμην.
滅ぼすために むしろ 救うために そして 行かれた ～の中へ 別の 村へ
G0622 G0235 G4982 G2532 G4198 G1519 G2087 G2968

そして一同はほかの村へ行った。

57 Καὶ πορευομένων αὐτῶν ἐν τῇ ὁδῷ, εἶπέν τις πρὸς αὐτόν,
そして 歩いている時 彼らが ～の その 道で 言った ある者が ～に向かって 彼に
G2532 G4198 G0846 G1722 G3588 G3598 G3004 G5100 G4314 G0846

Ἀκολουθήσω σοι ὅπου ἐὰν ἀπέρχῃ.
従います あなたに どこへ ～でも 行かれるところへ
G0190 G4771 G3699 G1437 G0565

道を進んで行くと、ある人がイエスに言った、「あなたがおいでになる所ならどこへでも従ってまいります」。

58 καὶ εἶπεν αὐτῷ ὁ Ἰησοῦς, Αἱ ἀλώπεκες φωλεοὺς ἔχουσιν, καὶ τὰ
すると 言われた 彼に その イエスは その 狐には 穴が ある また その
G2532 G3004 G0846 G3588 G2424 G3588 G0258 G5454 G2192 G2532 G3588

πετεινὰ τοῦ οὐρανοῦ κατασκηνώσεις; ὁ δὲ Υἱὸς τοῦ ἀνθρώπου
鳥にも その 空の 巣がある しかし その 人の子には その 人の
G4071 G3588 G3772 G2682 G3588 G1161 G5207 G3588 G0444

οὐκ ἔχει ποῦ τὴν κεφαλὴν κλίνῃ.
〜ない 持たない どこにも その 頭を 横たえる–場所が
G3756 G2192 G4226 G3588 G2776 G2827

イエスはその人に言われた、「きつねには穴があり、空の鳥には巣がある。しかし、人の子にはまくらする所がない」。

59 Εἶπεν δὲ πρὸς ἕτερον, Ἀκολούθει μοι. ὁ δὲ εἶπεν,
言われた そして 〜に向かって 別の者に 従いなさい わたしに すると その者は 言った
G3004 G1161 G4314 G2087 G0190 G1473 G3588 G1161 G3004

‹Κύριε›, Ἐπίτρεψόν μοι πρῶτον, ἀπελθόντι, θάψαι τὸν πατέρα μου.
主よ 許してください わたしに まず 行って 葬ることを その 父を わたしの
G2962 G2010 G1473 G4412 G0565 G2290 G3588 G3962 G1473

またほかの人に、「わたしに従ってきなさい」と言われた。するとその人が言った、「まず、父を葬りに行かせてください」。

60 εἶπεν δὲ αὐτῷ, Ἄφες τοὺς νεκροὺς θάψαι τοὺς ἑαυτῶν
言われた そして 彼に 任せなさい その 死者に 葬らせなさい その 自分たちの
G3004 G1161 G0846 G0863 G3588 G3498 G2290 G3588 G1438

νεκρούς; σὺ δὲ, ἀπελθὼν, διάγγελλε τὴν βασιλείαν τοῦ
死者を しかし–あなたは あなたは 行って 告げ知らせなさい その 御国を その
G3498 G4771 G1161 G0565 G1229 G3588 G0932 G3588

Θεοῦ.
神の
G2316

彼に言われた、「その死人を葬ることは、死人に任せておくがよい。あなたは、出て行って神の国を告げひろめなさい」。

61 Εἶπεν δὲ καὶ ἕτερος, Ἀκολουθήσω σοι, Κύριε; πρῶτον δὲ
言った そして また 別の者も 従います あなたに 主よ まず しかし
G3004 G1161 G2532 G2087 G0190 G4771 G2962 G4412 G1161

ἐπίτρεψόν μοι ἀποτάξασθαι τοῖς εἰς τὸν οἶκόν μου.
許してください わたしに 別れを告げることを その 〜の中の その 家に–いる者たちに わたしの
G2010 G1473 G0657 G3588 G1519 G3588 G3624 G1473

またほかの人が言った、「主よ、従ってまいりますが、まず家の者に別れを言いに行かせてください」。

62 εἶπεν δὲ πρὸς αὐτὸν ὁ Ἰησοῦς, Οὐδεὶς ἐπιβαλὼν τὴν χεῖρα
言われた そして ～に向かって 彼に その イエスは 誰も 手をかけて その 手を
G3004 G1161 G4314 G0846 G3588 G2424 G3762 G1911 G3588 G5495

ἐπ’ ἄροτρον, καὶ βλέπων εἰς τὰ ὀπίσω, εὔθετός ἐστιν
～の上に 鋤に そして 振り返る者は ～の方を その 後ろを ふさわしくない ～でない
G1909 G0723 G2532 G0991 G1519 G3588 G3694 G2111 G1510

τῇ βασιλείᾳ τοῦ Θεοῦ
その 御国に その 神の
G3588 G0932 G3588 G2316

イエスは言われた、「手をすきにかけてから、うしろを見る者は、神の国にふさわしくないものである」。

Chapter 10

1 Μετὰ δὲ ταῦτα, ἀνέδειξεν ὁ Κύριος ‹καὶ› ἑτέρους ἑβδομήκοντα
その-後 そして これらの-事の 任命した その 主は また 他の 七十
G3326 G1161 G3778 G0322 G3588 G2962 G2532 G2087 G1440

‹δύο›, καὶ ἀπέστειλεν αὐτοὺς ἀνὰ δύο ‹δύο› πρὸ προσώπου αὐτοῦ,
二人を そして 遣わした 彼らを 二人-ずつ 二人 ずつ 先に 顔の ご自分の
G1417 G2532 G0649 G0846 G0303 G1417 G1417 G4253 G4383 G0846

εἰς πᾶσαν πόλιν καὶ τόπον οὗ ἤμελλεν αὐτὸς ἔρχεσθαι.
すべての すべての 町と そして 場所へ そこに 行こうと-していた ご自身が 行こうと-していた
G1519 G3956 G4172 G2532 G5117 G3739 G3195 G0846 G2064

その後、主は別に七十二人を選び、行こうとしておられたすべての町や村へ、ふたりずつ先におつかわしになった。

2 ἔλεγεν δὲ πρὸς αὐτούς, Ὁ μὲν θερισμὸς πολύς; οἱ δὲ ἐργάται
言った そして 彼らに 向かって その 確かに 収穫は 多い しかし その 働き人は
G3004 G1161 G4314 G0846 G3588 G3303 G2326 G4183 G3588 G1161 G2040

ὀλίγοι. δεήθητε οὖν τοῦ Κυρίου τοῦ θερισμοῦ, ὅπως ἐργάτας
少ない 願いなさい だから その 主に その 収穫の ように 働き人を
G3641 G1189 G3767 G3588 G2962 G3588 G2326 G3704 G2040

ἐκβάλῃ εἰς τὸν θερισμὸν αὐτοῦ.
送り出して-くださるよう その その 収穫に 主の
G1544 G1519 G3588 G2326 G0846

そのとき、彼らに言われた、「収穫は多いが、働き人が少ない。だから、収穫の主に願って、その収穫のために働き人を送り出すようにしてもらいなさい。

3 ὑπάγετε; ἰδοὺ, ἀποστέλλω ὑμᾶς ὡς ἄρνας ἐν μέσῳ
行きなさい 見よ わたしは-遣わす あなたがたを ちょうど 子羊の-ように 狼の 真ん中に
G5217 G3708 G0649 G4771 G5613 G0704 G1722 G3319

λύκων.
狼の
G3074

さあ、行きなさい。わたしがあなたがたをつかわすのは、小羊をおおかみの中に送るようなものである。

4 μὴ 持って–行くな G3361 βαστάζετε 持って–行くな G0941 βαλλάντιον, 財布を G0905 μὴ 持って–行くな G3361 πήραν, 袋を G4082 μὴ 持って–行くな G3361 ὑποδήματα; 履き物を G5266

καὶ そして G2532 μηδένα だれにも G3367 κατὰ 途中で G2596 τὴν 途中で G3588 ὁδὸν 道で G3598 ἀσπάσησθε. 挨拶するな G0782

財布も袋もくつも持って行くな。だれにも道であいさつするな。

5 εἰς どの G1519 ἣν その G3739 δ’ しかし G1161 ἂν でも G0302 εἰσέλθητε 入った G1525 οἰκίαν, 家に G3614 πρῶτον まず G4412 λέγετε 言いなさい G3004 Εἰρήνη 平安が G1515 τῷ この G3588 οἴκῳ 家に G3624

τούτῳ. あるように G3778

どこかの家にはいったら、まず『平安がこの家にあるように』と言いなさい。

6 καὶ そして G2532 ἐὰν もし G1437 ἐκεῖ そこに G1563 ᾖ いるなら G1510 υἱὸς 平安の–子が G5207 εἰρήνης, 平安の G1515 ἐπαναπαήσεται あなたがたの–平安は–留まる G1879 ἐπ’ その–上に G1909

αὐτὸν その人の G0846 ἡ あなたがたの G3588 εἰρήνη 平安は G1515 ὑμῶν; あなたがたの G4771 εἰ もし G1487 δὲ そうで–ないなら G1161 μή ge, ないなら G1490 ἐφ’ あなたがたに G1909

ὑμᾶς あなたがたに G4771 ἀνακάμψει. 戻って–来る G0344

もし平安の子がそこにおれば、あなたがたの祈る平安はその人の上にとどまるであろう。もしそうでなかったら、それはあなたがたの上に帰って来るであろう。

7 ἐν その G1722 αὐτῇ その G0846 δὲ そして G1161 τῇ 同じ G3588 οἰκίᾳ 家に G3614 μένετε, 留まりなさい G3306 ἐσθίοντες 食べ G2068 καὶ そして G2532 πίνοντες 飲みなさい G4095 τὰ そこで G3588

παρ’ 出された G3844 αὐτῶν; 物を G0846 ἄξιος ふさわしい G0514 γὰρ なぜなら G1063 ὁ その G3588 ἐργάτης 働き人は G2040 τοῦ その G3588 μισθοῦ 報酬に G3408 αὐτοῦ. ふさわしい G0846 μὴ 移るな G3361

μεταβαίνετε 移るな G3327 ἐξ 家から G1537 οἰκίας 家から G3614 εἰς 別の G1519 οἰκίαν. 家へ G3614

それで、その同じ家に留まっていて、家の人が出してくれるものを飲み食いしなさい。働き人がその報いを得るのは当然である。家から家へと渡り歩くな。

8 καὶ そして G2532 εἰς どの G1519 ἣν その G3739 ἂν でも G0302 πόλιν 町に G4172 εἰσέρχησθε, 入って G1525 καὶ そして G2532 δέχωνται 迎え–入れられたなら G1209 ὑμᾶς, あなたがたを G4771

ἐσθίετε 食べなさい G2068 τὰ そこで G3588 παρατιθέμενα 出された G3908 ὑμῖν. 物を G4771

どの町へはいっても、人々があなたがたを迎えてくれるなら、前に出されるものを食べなさい。

9 καὶ θεραπεύετε τοὺς ἐν αὐτῇ ἀσθενεῖς, καὶ λέγετε
そして 癒しなさい そこに–いる そこに–いる その–町の 病人を そして 言いなさい
G2532 G2323 G3588 G1722 G0846 G0772 G2532 G3004

αὐτοῖς, Ἤγγικεν ἐφ’ ὑμᾶς ἡ βασιλεία τοῦ Θεοῦ.
彼らに 近づいた あなたがたに あなたがたに その 神の–国が 神の 神の
G0846 G1448 G1909 G4771 G3588 G0932 G3588 G2316

そして、その町にいる病人をいやしてやり、『神の国はあなたがたに近づいた』と言いなさい。

10 εἰς ἣν δ’ ἂν πόλιν εἰσέλθητε, καὶ μὴ
しかし–どの その しかし でも 町に 入って そこで 迎え–入れ–ないなら
G1519 G3739 G1161 G0302 G4172 G1525 G2532 G3361

δέχωνται ὑμᾶς, ἐξελθόντες εἰς τὰς πλατείας αὐτῆς, εἴπατε,
迎え–入れ–ないなら あなたがたを 出て–行って その 広場に 広場に その–町の 言いなさい
G1209 G4771 G1831 G1519 G3588 G4113 G0846 G3004

しかし、どの町へはいっても、人々があなたがたを迎えない場合には、大通りに出て行って言いなさい、

11 Καὶ τὸν κονιορτὸν, τὸν κολληθέντα ἡμῖν ἐκ τῆς πόλεως
その その ちりさえも あなたがたの 付いた 私たちの あなたがたの この 町の
G2532 G3588 G2868 G3588 G2853 G1473 G1537 G3588 G4172

ὑμῶν εἰς τοὺς πόδας, ἀπομασσόμεθα ὑμῖν; πλὴν τοῦτο
あなたがたの 私たちの 足に 足に 拭い–落とす あなたがたに しかし このことを
G4771 G1519 G3588 G4228 G0631 G4771 G4133 G3778

γινώσκετε, ὅτι ἤγγικεν ἡ βασιλεία τοῦ Θεοῦ.
知りなさい すなわち 近づいた と 神の–国が 神の 神の
G1097 G3754 G1448 G3588 G0932 G3588 G2316

『わたしたちの足についているこの町のちりも、ぬぐい捨てて行く。しかし、神の国が近づいたことは、承知しているがよい』。

12 λέγω ὑμῖν, ὅτι Σοδόμοις ἐν τῇ ἡμέρᾳ ἐκείνῃ,
わたしは–言う あなたがたに すなわち ソドムの–方が その その 日に その
G3004 G4771 G3754 G4670 G1722 G3588 G2250 G1565

ἀνεκτότερον ἔσται ἢ τῇ πόλει ἐκείνῃ.
まだ–耐えやすい であろう その 町よりも あの
G0414 G1510 G2228 G3588 G4172 G1565

あなたがたに言っておく。その日には、この町よりもソドムの方が耐えやすいであろう。

13 Οὐαί σοι, Χοραζίν! οὐαί σοι, Βηθσαϊδά! ὅτι εἰ ἐν
わざわいだ おまえに コラジンよ わざわいだ おまえに ベツサイダよ もし もし ツロと
G3759 G4771 G5523 G3759 G4771 G0966 G3754 G1487 G1722

Τύρῳ καὶ Σιδῶνι ἐγενήθησαν αἱ δυνάμεις, αἱ γενόμεναι
ツロと そして シドンで 行われていたなら その 力ある–わざが あなたがたの–中で 行われた
G5184 G2532 G4605 G1096 G3588 G1411 G3588 G1096

ἐν ὑμῖν, πάλαι ἂν ἐν σάκκῳ καὶ
あなたがたの–中で あなたがたの–中で とうの–昔に 彼らは 荒布を–まとい 荒布を そして
G1722 G4771 G3819 G0302 G1722 G4526 G2532

σποδῷ καθήμενοι, μετενόησαν.
灰の–中に 座って 悔い改めた–であろう
G4700 G2521 G3340

わざわいだ、コラジンよ。わざわいだ、ベツサイダよ。おまえたちの中でなされた力あるわざが、もしツロとシドンでなされたなら、彼らはとうの昔に、荒布をまとい灰の中にすわって、悔い改めたであろう。

14 πλὴν Τύρῳ καὶ Σιδῶνι, ἀνεκτότερον ἔσται ἐν τῇ κρίσει
しかし ツロと そして シドンの–方が まだ–耐えやすい であろう その その 裁きにおいて
G4133 G5184 G2532 G4605 G0414 G1510 G1722 G3588 G2920

ἢ ὑμῖν.
あなたがたよりも あなたがたよりも
G2228 G4771

しかし、さばきの日には、ツロとシドンの方がおまえたちよりも、耐えやすいであろう。

15 καὶ σύ, Καφαρναούμ, μὴ ἕως οὐρανοῦ ὑψωθήσῃ, ἕως
そして おまえ カペナウムよ 天にまで 天にまで 天にまで 上げられるのか よみにまで
G2532 G4771 G2584 G3361 G2193 G3772 G5312 G2193

τοῦ ᾅδου καταβήσῃ.
よみにまで よみにまで 落とされる
G3588 G0086 G2597

ああ、カペナウムよ、おまえは天にまで上げられようとでもいうのか。黄泉にまで落されるであろう。

16 Ὁ ἀκούων ὑμῶν, ἐμοῦ ἀκούει; καὶ ὁ
あなたがたに 聞く–者は あなたがたの–言葉を わたしの–言葉を 聞く そして あなたがたを
G3588 G0191 G4771 G1473 G0191 G2532 G3588

ἀθετῶν ὑμᾶς, ἐμὲ ἀθετεῖ; ὁ δὲ ἐμὲ ἀθετῶν, ἀθετεῖ τὸν
拒む–者は あなたがたを わたしを 拒む しかし しかし わたしを 拒む–者は 拒む わたしを
G0114 G4771 G1473 G0114 G3588 G1161 G1473 G0114 G0114 G3588

ἀποστείλαντά με.
遣わされた–方を わたしを
G0649 G1473

あなたがたに聞き従う者は、わたしに聞き従うのであり、あなたがたを拒む者は、わたしを拒むのである。そしてわたしを拒む者は、わたしをおつかわしになったかたを拒むのである」。

17 Ὑπέστρεψαν δὲ οἱ ἑβδομήκοντα ‹δύο› μετὰ χαρᾶς, λέγοντες, Κύριε,
帰って–来た すると その 七十 二人は 喜びながら 喜びながら 言った 主よ
G5290 G1161 G3588 G1440 G1417 G3326 G5479 G3004 G2962

καὶ τὰ δαιμόνια ὑποτάσσεται ἡμῖν, ἐν τῷ ὀνόματί
悪霊–さえも 悪霊–さえも 悪霊–さえも 従います 私たちに あなたの あなたの 御名に–よって
G2532 G3588 G1140 G5293 G1473 G1722 G3588 G3686

σου.
あなたの
G4771

七十二人が喜んで帰ってきて言った、「主よ、あなたの名によっていたしますと、悪霊までがわたしたちに服従します」。

18 εἶπεν δὲ αὐτοῖς, Ἐθεώρουν τὸν Σατανᾶν ὡς ἀστραπὴν
言われた そして 彼らに わたしは–見ていた サタンが サタンが 稲妻の–ように 稲妻の–ように
G3004 G1161 G0846 G2334 G3588 G4567 G5613 G0796

ἐκ τοῦ οὐρανοῦ πεσόντα.
天から 天から 天から 落ちるのを
G1537 G3588 G3772 G4098

彼らに言われた、「わたしはサタンが電光のように天から落ちるのを見た。

19

ἰδοὺ,	δέδωκα	ὑμῖν	τὴν	ἐξουσίαν	τοῦ	πατεῖν	ἐπάνω	ὄφεων
見よ	わたしは–与えた	あなたがたに	その	権威を	蛇や	踏みつける	踏みつける	蛇や
G3708	G1325	G4771	G3588	G1849	G3588	G3961	G1883	G3789

καὶ	σκορπίων,	καὶ	ἐπὶ	πᾶσαν	τὴν	δύναμιν	τοῦ	ἐχθροῦ,	καὶ
そして	サソリを	そして	敵の	すべての	敵の	力に–打ち勝つ	敵の	敵の	そして
G2532	G4651	G2532	G1909	G3956	G3588	G1411	G3588	G2190	G2532

οὐδὲν	ὑμᾶς	οὐ	μὴ	ἀδικήσῃ.
何も	あなたがたを	決して	決して	害する–ことはない
G3762	G4771	G3756	G3361	G0091

わたしはあなたがたに、へびやさそりを踏みつけ、敵のあらゆる力に打ち勝つ権威を授けた。だから、あなたがたに害をおよぼす者はまったく無いであろう。

20

πλὴν	ἐν	τούτῳ	μὴ	χαίρετε,	ὅτι	τὰ	πνεύματα	ὑμῖν
しかし	このことで	このことで	喜ぶな	喜ぶな	すなわち	悪霊が	悪霊が	あなたがたに
G4133	G1722	G3778	G3361	G5463	G3754	G3588	G4151	G4771

ὑποτάσσεται;	χαίρετε	δὲ	ὅτι	τὰ	ὀνόματα	ὑμῶν
従うことを	むしろ–喜びなさい	むしろ	すなわち	あなたがたの	名が	あなたがたの
G5293	G5463	G1161	G3754	G3588	G3686	G4771

ἐνγέγραπται	ἐν	τοῖς	οὐρανοῖς.
記されて–いることを	天に	天に	天に
G1449	G1722	G3588	G3772

しかし、霊があなたがたに服従することを喜ぶな。むしろ、あなたがたの名が天にしるされていることを喜びなさい」。

21

Ἐν	αὐτῇ	τῇ	ὥρᾳ,	ἠγαλλιάσατο	[ἐν]	τῷ	Πνεύματι	τῷ
その	同じ	その	時に	喜び–踊られた	聖霊に–よって	聖霊に–よって	聖霊に–よって	聖なる
G1722	G0846	G3588	G5610	G0021	G1722	G3588	G4151	G3588

Ἁγίῳ,	καὶ	εἶπεν,	Ἐξομολογοῦμαί	σοι,	Πάτερ,	Κύριε	τοῦ	οὐρανοῦ	καὶ
聖なる	そして	言われた	感謝します	あなたに	父よ	天と	天と	天と	そして
G0040	G2532	G3004	G1843	G4771	G3962	G2962	G3588	G3772	G2532

τῆς	γῆς,	ὅτι	ἀπέκρυψας	ταῦτα	ἀπὸ	σοφῶν	καὶ
地の	地の	主よ	隠された	これらの–ことを	知恵–ある者や	知恵–ある者や	そして
G3588	G1093	G3754	G0613	G3778	G0575	G4680	G2532

συνετῶν,	καὶ	ἀπεκάλυψας	αὐτὰ	νηπίοις;	ναί,	ὁ	Πατήρ,	ὅτι	οὕτως
賢い者から	そして	現された	それらを	幼子たちに	はい	父よ	父よ	これは	このように
G4908	G2532	G0601	G0846	G3516	G3483	G3588	G3962	G3754	G3779

εὐδοκία	ἐγένετο	ἔμπροσθέν	σου.
御心に–かなうことでした	でした	御前に	あなたの
G2107	G1096	G1715	G4771

そのとき、イエスは聖霊によって喜びあふれて言われた、「天地の主なる父よ。あなたをほめたたえます。これらの事を知恵のある者や賢い者に隠して、幼な子にあらわしてくださいました。父よ、これはまことに、みこころにかなった事でした。

22 πάντα μοι παρεδόθη ὑπὸ τοῦ Πατρός μου, καὶ
すべてのことが わたしに 委ねられた 父に-よって わたしの 父に-よって わたしの そして
G3956 G1473 G3860 G5259 G3588 G3962 G1473 G2532

οὐδεὶς γινώσκει τίς ἐστιν ὁ Υἱὸς, εἰ μὴ ὁ Πατήρ;
だれも 知らない だれが である-か その 御子で-あるかを ただ ただ その 父の-ほかには
G3762 G1097 G5101 G1510 G3588 G5207 G1487 G3361 G3588 G3962

καὶ τίς ἐστιν ὁ Πατὴρ, εἰ μὴ ὁ Υἱὸς, καὶ ᾧ ἐὰν
また だれが である-か その 父で-あるかを ただ ただ その 御子と そして 御子が 望む
G2532 G5101 G1510 G3588 G3962 G1487 G3361 G3588 G5207 G2532 G3739 G1437

βούληται ὁ Υἱὸς ἀποκαλύψαι.
望む その 御子が 現そうと-する者の-ほかには
G1014 G3588 G5207 G0601

すべての事は父からわたしに任せられています。そして、子がだれであるかは、父のほか知っている者はありません。また父がだれであるかは、子と、父をあらわそうとして子が選んだ者とのほか、だれも知っている者はいません」。

23 Καὶ στραφεὶς πρὸς τοὺς μαθητὰς κατ' ἰδίαν, εἶπεν, Μακάριοι
そして 振り向いて 弟子たちに 弟子たちに 弟子たちに ひそかに ひそかに 言われた 幸いだ
G2532 G4762 G4314 G3588 G3101 G2596 G2398 G3004 G3107

οἱ ὀφθαλμοὶ οἱ βλέποντες ἃ βλέπετε!
あなたがたが 目は 見て-いる 見て-いる あなたがたが 見て-いるものを
G3588 G3788 G3588 G0991 G3739 G0991

それから弟子たちの方に振りむいて、ひそかに言われた、「あなたがたが見ていることを見る目は、さいわいである。

24 λέγω γὰρ ὑμῖν, ὅτι πολλοὶ προφῆται καὶ βασιλεῖς
なぜなら なぜなら あなたがたに-言う 多くの 多くの 預言者たちや そして 王たちが
G3004 G1063 G4771 G3754 G4183 G4396 G2532 G0935

ἠθέλησαν ἰδεῖν ἃ ὑμεῖς βλέπετε, καὶ
見たいと-望んだ 見たいと-望んだ あなたがたが あなたがたが 見て-いるものを しかし
G2309 G3708 G3739 G4771 G0991 G2532

οὐκ εἶδαν; καὶ ἀκοῦσαι ἃ
見ることが-できなかった 見ることが-できなかった また 聞きたいと-望んだ あなたがたが
G3756 G3708 G2532 G0191 G3739

ἀκούετε, καὶ οὐκ ἤκουσαν.
聞いて-いるものを しかし 聞くことが-できなかった 聞くことが-できなかった
G0191 G2532 G3756 G0191

あなたがたに言っておく。多くの預言者や王たちも、あなたがたの見ていることを見ようとしたが、見ることができず、あなたがたの聞いていることを聞こうとしたが、聞けなかったのである」。

25 Καὶ ἰδοὺ, νομικός τις ἀνέστη, ἐκπειράζων αὐτὸν, λέγων,
すると 見よ 律法の-専門家が ある 立ち上がって 試みて イエスを 言った
G2532 G3708 G3544 G5100 G0450 G1598 G0846 G3004

Διδάσκαλε, τί ποιήσας, ζωὴν αἰώνιον κληρονομήσω?
先生 何を すれば 永遠の 永遠の 命を-受け継げますか
G1320 G5101 G4160 G2222 G0166 G2816

するとそこへ、ある律法学者が現れ、イエスを試みようとして言った、「先生、何をしたら永遠の生命が受けられましょうか」。

26 ὁ δὲ εἶπεν πρὸς αὐτόν, Ἐν τῷ νόμῳ τί γέγραπται? πῶς ἀναγινώσκεις?

イエスは	そこで	言われた	彼に	向かって	律法には	律法には	律法には	何と	書いて-あるか	
G3588	G1161	G3004	G4314	G0846	G1722	G3588	G3551	G5101	G1125	
どう	読んで-いるか									
G4459	G0314									

彼に言われた、「律法にはなんと書いてあるか。あなたはどう読むか」。

27 ὁ δὲ ἀποκριθεὶς, εἶπεν, Ἀγαπήσεις Κύριον τὸν Θεόν σου, ἐξ ὅλης τῆς καρδίας σου, καὶ ἐν ὅλῃ τῇ ψυχῇ σου, καὶ ἐν ὅλῃ τῇ ἰσχύϊ σου, καὶ ἐν ὅλῃ τῇ διανοίᾳ σου; καὶ τὸν πλησίον σου ὡς σεαυτόν.

彼は	そこで	答えて	言った	愛せよ	主	あなたの	神を	あなたの	あなたの	すべての	あなたの	心を-尽くし	あなたの	そして	すべての	すべての	あなたの	魂を-尽くし	
G3588	G1161	G0611	G3004	G0025	G2962	G3588	G2316	G4771	G1537	G3650	G3588	G2588	G4771	G2532	G1722	G3650	G3588	G5590	
すべての	あなたの	力を-尽くし		あなたの	そして	すべての	すべての	あなたの	思いを-尽くして		あなたの	そして	隣人を		あなたの	自分-自身の-ように			
G3650	G3588	G2479		G4771	G2532	G1722	G3650	G3588	G1271		G4771	G2532	G4139		G4771	G5613			
自分-自身の-ように																			
G4572																			

彼は答えて言った、「『心をつくし、精神をつくし、力をつくし、思いをつくして、主なるあなたの神を愛せよ』。また、『自分を愛するように、あなたの隣り人を愛せよ』とあります」。

28 εἶπεν δὲ αὐτῷ, Ὀρθῶς ἀπεκρίθης. τοῦτο ποίει, καὶ ζήσῃ.

言われた	そして	彼に	正しく	答えた	それを	行いなさい	そうすれば	生きる
G3004	G1161	G0846	G3723	G0611	G3778	G4160	G2532	G2198

彼に言われた、「あなたの答は正しい。そのとおり行いなさい。そうすれば、いのちが得られる」。

29 ὁ δὲ θέλων δικαιῶσαι ἑαυτὸν, εἶπεν πρὸς τὸν Ἰησοῦν, Καὶ τίς ἐστίν μου πλησίον?

しかし	彼は	自分を-正当化-しようと	自分を-正当化-しようと	自分を	イエスに-言った	イエスに	イエスに	では	だれが	ですか	わたしの	隣人
G3588	G1161	G2309	G1344	G1438	G3004	G4314	G2424	G2532	G5101	G1510	G1473	G4139

すると彼は自分の立場を弁護しようと思って、イエスに言った、「では、わたしの隣り人とはだれのことですか」。

30 ὑπολαβὼν, ‹δὲ› ὁ Ἰησοῦς εἶπεν, Ἄνθρωπός τις κατέβαινεν
答えて そこで イエスは イエスは 言われた ある–人が ある 下って–行った
G5274 G1161 G3588 G2424 G3004 G0444 G5100 G2597

ἀπὸ Ἰερουσαλὴμ εἰς Ἰεριχὼ, καὶ λῃσταῖς περιέπεσεν, οἱ
エルサレムから エルサレムから エリコへ エリコへ そして 強盗たちに 襲われた 彼らは
G0575 G2419 G1519 G2410 G2532 G3027 G4045 G3739

καὶ ἐκδύσαντες αὐτὸν, καὶ πληγὰς ἐπιθέντες,
彼の–服を–はぎ取り 彼の–服を–はぎ取り 彼を そして 打ち傷を–負わせて 打ち傷を–負わせて
G2532 G1562 G0846 G2532 G4127 G2007

ἀπῆλθον, ἀφέντες ἡμιθανῆ.
立ち去った 半殺しに–して 半殺しに–して
G0565 G0863 G2253

イエスが答えて言われた、「ある人がエルサレムからエリコに下って行く途中、強盗どもが彼を襲い、その着物をはぎ取り、傷を負わせ、半殺しにしたまま、逃げ去った。

31 κατὰ συγκυρίαν δὲ ἱερεύς τις κατέβαινεν ἐν τῇ ὁδῷ ἐκείνῃ, καὶ
たまたま 偶然 ある 祭司が ある 下って–来た その 同じ 道を その そして
G2596 G4795 G1161 G2409 G5100 G2597 G1722 G3588 G3598 G1565 G2532

ἰδὼν αὐτὸν ἀντιπαρῆλθεν;
彼を–見たが 彼を 反対–側を–通り過ぎた
G3708 G0846 G0492

するとたまたま、ひとりの祭司がその道を下ってきたが、この人を見ると、向こう側を通って行った。

32 ὁμοίως δὲ καὶ Λευίτης [γενόμενος] κατὰ τὸν τόπον, ἐλθὼν καὶ
同様に また 一人の レビ人も その–場所に–来て その その 場所に–来て 来て そして
G3668 G1161 G2532 G3019 G1096 G2596 G3588 G5117 G2064 G2532

ἰδὼν, ἀντιπαρῆλθεν.
見たが 反対–側を–通り過ぎた
G3708 G0492

同様に、レビ人もこの場所にさしかかってきたが、彼を見ると向こう側を通って行った。

33 Σαμαρίτης δέ τις ὁδεύων ἦλθεν κατ’ αὐτὸν, καὶ
しかし–ある しかし ある 旅を–していた 来た その人の–そばに その人の–そばに そして
G4541 G1161 G5100 G3593 G2064 G2596 G0846 G2532

ἰδὼν ἐσπλαγχνίσθη,
見て 深く–憐れんだ
G3708 G4697

ところが、あるサマリヤ人が旅をしてこの人のところを通りかかり、彼を見て気の毒に思い、

34 καὶ προσελθὼν, κατέδησεν τὰ τραύματα αὐτοῦ, ἐπιχέων ἔλαιον καὶ
そして 近づいて 傷に–包帯を–した その 傷に 彼の 油と 油と そして
G2532 G4334 G2611 G3588 G5134 G0846 G2022 G1637 G2532

οἶνον; ἐπιβιβάσας δὲ αὐτὸν ἐπὶ τὸ ἴδιον κτῆνος,
ぶどう酒を–注いだ 自分の–家畜に–乗せて そして 彼を 宿屋に 宿屋に 自分の 家畜に
G3631 G1913 G1161 G0846 G1909 G3588 G2398 G2934

ἤγαγεν αὐτὸν εἰς πανδοχεῖον, καὶ ἐπεμελήθη αὐτοῦ.
連れて–行き 彼を 宿屋に 宿屋に そして 介抱した 彼を
G0071 G0846 G1519 G3829 G2532 G1959 G0846

近寄ってきてその傷にオリブ油とぶどう酒とを注いでほうたいをしてやり、自分の家畜に乗せ、宿屋に連れて行って介抱した。

35 καὶ そして G2532 ἐπὶ 翌日 G1909 τὴν 翌日 G3588 αὔριον, 翌日 G0839 ἐκβαλὼν 取り出して G1544 «δύο 二−デナリオンを G1417 δηνάρια»□, 二−デナリオンを G1220 ἔδωκεν 渡した G1325

τῷ 宿屋の−主人に G3588 πανδοχεῖ, 宿屋の−主人に G3830 καὶ そして G2532 εἶπεν, 言った G3004 Ἐπιμελήθητι この人を−介抱して−ください G1959 αὐτοῦ, この人を G0846 καὶ そして G2532 ὅ もし G3739

τι 余分に G5100 ἂν 使ったなら G0302 προσδαπανήσῃς, 使ったなら G4325 ἐγὼ わたしが G1473 ἐν 帰って−来た−時に G1722 τῷ 帰って−来た−時に G3588

ἐπανέρχεσθαί, 帰って−来た−時に G1880 με 帰って−来た−時に G1473 ἀποδώσω 返す G0591 σοι. あなたに G4771

翌日、デナリ二つを取り出して宿屋の主人に手渡し、『この人を見てやってください。費用がよけいにかかったら、帰りがけに、わたしが支払います』と言った。

36 τίς この−三人の−うち G5101 τούτων この G3778 τῶν 三人の−うち G3588 τριῶν 三人の−うち G5140 πλησίον 隣人に G4139 δοκεῖ 思うか G1380 σοι あなたは G4771 γεγονέναι, なったのは G1096

τοῦ 強盗に G3588 ἐμπεσόντος 襲われた G1706 εἰς 強盗に G1519 τοὺς 襲われた G3588 λῃστάς? 強盗に G3027

この三人のうち、だれが強盗に襲われた人の隣り人になったと思うか」。

37 ὁ 彼は G3588 δὲ そこで G1161 εἶπεν, 言った G3004 Ὁ その人に G3588 ποιήσας 行った G4160 τὸ その G3588 ἔλεος 憐れみを G1656 μετ’ 憐れみを G3326 αὐτοῦ. 彼に G0846 εἶπεν 言われた G3004 δὲ そして G1161

αὐτῷ 彼に G0846 ὁ イエスは G3588 Ἰησοῦς, イエスは G2424 Πορεύου 行きなさい G4198 καὶ そして G2532 σὺ あなたも G4771 ποίει 同じように−しなさい G4160 ὁμοίως. 同じように G3668

彼が言った、「その人に慈悲深い行いをした人です」。そこでイエスは言われた、「あなたも行って同じようにしなさい」。

38 Ἐν さて G1722 δὲ 彼らが G1161 τῷ 旅を−続けて−いると G3588 πορεύεσθαι 旅を−続けて−いると G4198 αὐτοὺς, 彼らが G0846 αὐτὸς イエスは G0846 εἰσῆλθεν 入られた G1525 εἰς ある G1519

κώμην 村に G2968 τινά; ある G5100 γυνὴ 一人の−女が G1135 δέ そして G1161 τις ある G5100 ὀνόματι マルタと−いう G3686 Μάρθα, マルタが G3136 ὑπεδέξατο 迎え−入れた G5264 αὐτὸν イエスを G0846 □εἰς 自分の G1519

τὴν 自分の G3588 οἰκίαν□. 家に G3614

一同が旅を続けているうちに、イエスがある村へはいられた。するとマルタという名の女がイエスを家に迎え入れた。

39 καὶ τῇδε ἦν ἀδελφὴ καλουμένη Μαριάμ, ἣ καὶ
そして 彼女には いた マリヤと-いう 呼ばれる マリヤと-いう 姉妹が 彼女は
G2532 G3592 G1510 G0079 G2564 G3137 G3739 G2532

παρακαθεσθεῖσα πρὸς τοὺς πόδας τοῦ Κυρίου, ἤκουεν τὸν λόγον
主の-足もとに-座り 主の 足もとに 足もとに 主の 主の 聞いて-いた その み言葉を
G3869 G4314 G3588 G4228 G3588 G2962 G0191 G3588 G3056

αὐτοῦ.
主の
G0846

この女にマリヤという妹がいたが、主の足もとにすわって、御言に聞き入っていた。

40 ἡ δὲ Μάρθα περιεσπᾶτο περὶ πολλὴν διακονίαν;
ところが マルタは マルタは もてなしで-忙しく-していた 多くの 多くの もてなしで
G3588 G1161 G3136 G4049 G4012 G4183 G1248

ἐπιστᾶσα δὲ, εἶπεν, Κύριε, οὐ μέλει σοι, ὅτι
近づいて-来て そして 言った 主よ 気に-なりませんか 気に-なりませんか あなたは わたしの
G2186 G1161 G3004 G2962 G3756 G3199 G4771 G3754

ἡ ἀδελφή μου μόνην με κατέλειπεν διακονεῖν?
わたしの 姉妹が わたしの わたし-だけに わたしを もてなしを-させて-いることが もてなしを
G3588 G0079 G1473 G3441 G1473 G2641 G1247

εἰπὲ οὖν αὐτῇ ἵνα μοι συναντιλάβηται!
言って-ください ですから 彼女に 手伝う-ように わたしを 手伝う-ように
G3004 G3767 G0846 G2443 G1473 G4878

ところが、マルタは接待のことで忙がしくて心をとりみだし、イエスのところにきて言った、「主よ、妹がわたしだけに接待をさせているのを、なんともお思いになりませんか。わたしの手伝いをするように妹におっしゃってください」。

41 ἀποκριθεὶς δὲ, εἶπεν αὐτῇ ὁ Κύριος, Μάρθα, Μάρθα, μεριμνᾷς
答えて 主は 言われた 彼女に 主は 主は マルタ マルタよ あなたは-思い煩い
G0611 G1161 G3004 G0846 G3588 G2962 G3136 G3136 G3309

καὶ θορυβάζῃ περὶ πολλά;
そして 心を-乱して-いる 多くの-ことに 多くの-ことに
G2532 G2350 G4012 G4183

主は答えて言われた、「マルタよ、マルタよ、あなたは多くのことに心を配って思いわずらっている。

42 ὀλίγων δέ ἐστιν χρεία; ἢ ἑνός Μαριὰμ γὰρ
しかし 必要な-ことは わずかで-ある 必要な-ことは いや 一つで-ある マリヤは なぜなら
G3641 G1161 G1510 G5532 G2228 G1520 G3137 G1063

τὴν ἀγαθὴν μερίδα ἐξελέξατο, ἥτις οὐκ ἀφαιρεθήσεται
その 良い 分を 選んだ それは 取り去られる-ことはない 取り去られる-ことはない
G3588 G0018 G3310 G1586 G3748 G3756 G0851

αὐτῆς.
彼女から
G0846

しかし、無くてならぬものは多くはない。いや、一つだけである。マリヤはその良い方を選んだのだ。そしてそれは、彼女から取り去ってはならないものである」。

Chapter 11

1 Καὶ ἐγένετο ἐν τῷ εἶναι αὐτὸν ἐν τόπῳ τινὶ προσευχόμενον,
そして あった ある その イエスが イエスが ある 場所で ある 祈って–おられた
G2532 G1096 G1722 G3588 G1510 G0846 G1722 G5117 G5100 G4336

ὡς ἐπαύσατο, εἶπέν τις τῶν μαθητῶν αὐτοῦ πρὸς αὐτόν, Κύριε,
祈り–終えると 終えると 言った ある 弟子の 弟子の 一人が イエスに イエスに 主よ
G5613 G3973 G3004 G5100 G3588 G3101 G0846 G4314 G0846 G2962

δίδαξον ἡμᾶς προσεύχεσθαι, καθὼς καὶ Ἰωάννης ἐδίδαξεν τοὺς
教えて–ください 私たちに 祈りを ちょうど ヨハネも ヨハネも 教えた–ように 自分の
G1321 G1473 G4336 G2531 G2532 G2491 G1321 G3588

μαθητὰς αὐτοῦ.
弟子たちに 自分の
G3101 G0846

また、イエスはある所で祈っておられたが、それが終ったとき、弟子のひとりが言った、「主よ、ヨハネがその弟子たちに教えたように、わたしたちにも祈ることを教えてください」。

2 εἶπεν δὲ αὐτοῖς, Ὅταν προσεύχησθε λέγετε, Πάτερ <ἡμῶν,
言われた そして 彼らに 祈る–時は 祈りなさい 言いなさい 父よ 私たちの
G3004 G1161 G0846 G3752 G4336 G3004 G3962 G1473

ὁ ἐν τοῖς οὐρανοῖς>, ἁγιασθήτω τὸ ὄνομά σου;
天に–おられる 天に 天に 天に–おられる 聖と–されますように あなたの 御名が あなたの
G3588 G1722 G3588 G3772 G0037 G3588 G3686 G4771

ἐλθέτω ἡ βασιλεία σου; <Γενηθήτω τὸ θέλημά σου,
来ます–ように あなたの 御国が あなたの 行われます–ように あなたの 御心が あなたの
G2064 G3588 G0932 G4771 G1096 G3588 G2307 G4771

ὡς ἐν οὐρανῷ, καὶ ἐπὶ τῆς γῆς>.
天に–おける–ように 天に 天に–おける–ように 地にも 地にも 地にも 地にも
G5613 G1722 G3772 G2532 G1909 G3588 G1093

そこで彼らに言われた、「祈るときには、こう言いなさい、『父よ、御名があがめられますように。御国がきますように。

3 τὸν ἄρτον ἡμῶν τὸν ἐπιούσιον, δίδου ἡμῖν τὸ καθ’
私たちの パンを 私たちの 日ごとの 日ごとの 与えて–ください 私たちに 日ごとの 日ごとの
G3588 G0740 G1473 G3588 G1967 G1325 G1473 G3588 G2596

ἡμέραν.
日ごとに
G2250

わたしたちの日ごとの食物を、日々お与えください。

4 καὶ ἄφες ἡμῖν τὰς ἁμαρτίας ἡμῶν, καὶ γὰρ
そして 赦して–ください 私たちに 私たちの 罪を 私たちの 私たちも なぜなら
G2532 G0863 G1473 G3588 G0266 G1473 G2532 G1063

αὐτοὶ ἀφίομεν παντὶ ὀφείλοντι ἡμῖν; καὶ μὴ
私たち自身 赦して–います すべての 私たちに–負いの–ある者を 私たちに そして 導かないで–ください
G0846 G0863 G3956 G3784 G1473 G2532 G3361

εἰσενέγκῃς ἡμᾶς εἰς πειρασμόν, <ἀλλὰ ῥῦσαι ἡμᾶς ἀπὸ
導かないで–ください 私たちを 試練に 試練に むしろ 救い–出して–ください 私たちを 悪より
G1533 G1473 G1519 G3986 G0235 G4506 G1473 G0575

τοῦ πονηροῦ>.
悪より 悪より
G3588 G4190

わたしたちに負債のある者を皆ゆるしますから、わたしたちの罪をもおゆるしください。わたしたちを試みに会わせないでください』」。

5 Καὶ εἶπεν πρὸς αὐτούς, Τίς ἐξ ὑμῶν ἕξει
そして 言われた 彼らに 彼らに あなたがたの–中で だれかが あなたがたの–中で 友人が–いて
G2532 G3004 G4314 G0846 G5101 G1537 G4771 G2192

φίλον, καὶ πορεύσεται πρὸς αὐτὸν μεσονυκτίου, καὶ
友人が そして 真夜中に その人の–ところへ その人の–ところへ 行って そして
G5384 G2532 G4198 G4314 G0846 G3317 G2532

εἴπῃ αὐτῷ, Φίλε, χρῆσόν μοι τρεῖς ἄρτους;
言うと–する 彼に 友よ 貸して–くれ わたしに 三つの パンを
G3004 G0846 G5384 G5531 G1473 G5140 G0740

そして彼らに言われた、「あなたがたのうちのだれかに、友人があるとして、その人のところへ真夜中に行き、『友よ、パンを三つ貸してください。

6 ἐπειδὴ φίλος μου παρεγένετο ἐξ ὁδοῦ
というのは 友人が わたしの 旅の–途中から–来たのに 旅の–途中から 旅の–途中から
G1894 G5384 G1473 G3854 G1537 G3598

πρός με, καὶ οὐκ ἔχω ὃ παραθήσω
わたしの–ところへ わたしの そして 出す–ものが–ない 持って–いない 出す–ものが 出す–ものが
G4314 G1473 G2532 G3756 G2192 G3739 G3908

αὐτῷ.
彼に
G0846

友だちが旅先からわたしのところに着いたのですが、何も出すものがありませんから』と言った場合、

7 κἀκεῖνος ἔσωθεν ἀποκριθεὶς, εἴπῃ, Μή μοι κόπους
すると–彼は 中から 答えて 言うと–する 迷惑を–かけないで–くれ わたしに 迷惑を
G2548 G2081 G0611 G3004 G3361 G1473 G2873

πάρεχε; ἤδη ἡ θύρα κέκλεισται, καὶ τὰ παιδία μου
かけないで–くれ もう 戸は 戸は 閉めて–ある そして 子どもたちも 子どもたちも わたしの
G3930 G2235 G3588 G2374 G2808 G2532 G3588 G3813 G1473

μετ’ ἐμοῦ εἰς τὴν κοίτην εἰσίν; οὐ δύναμαι ἀναστὰς,
わたしと–一緒に わたしと 床に 床に 床に いる 起き上がって できない 起き上がって
G3326 G1473 G1519 G3588 G2845 G1510 G3756 G1410 G0450

δοῦναί σοι.
あげることが あなたに
G1325 G4771

彼は内から、『面倒をかけないでくれ。もう戸は締めてしまったし、子供たちもわたしと一緒に床にはいっているので、いま起きて何もあげるわけにはいかない』と言うであろう。

8

λέγω	ὑμῖν,	εἰ	καὶ	οὐ		δώσει	αὐτῷ,
わたしは–言う	あなたがたに	たとえ	たとえ	友人だからと–いう–理由では		与えなくても	彼に
G3004	G4771	G1487	G2532	G3756		G1325	G0846

ἀναστὰς,	διὰ		τὸ	εἶναι	φίλον	αὐτοῦ,	διά
起き上がって	友人だからと–いう–理由では		その	が	友人だからと	彼の	しつこさの–ゆえに
G0450	G1223		G3588	G1510	G5384	G0846	G1223

γε	τὴν	ἀναίδειαν	αὐτοῦ,	ἐγερθεὶς	δώσει	αὐτῷ	ὅσων	χρῄζει.
その	その	しつこさの–ゆえに	彼の	起き上がって	与える	彼に	必要な–だけ	必要な–だけ
G1065	G3588	G0335	G0846	G1453	G1325	G0846	G3745	G5535

しかし、よく聞きなさい、友人だからというのでは起きて与えないが、しきりに願うので、起き上がって必要なものを出してくれるであろう。

9

Κἀγὼ	ὑμῖν	λέγω,	αἰτεῖτε,	καὶ	δοθήσεται	ὑμῖν;
だから–わたしも	あなたがたに	言う	求めなさい	そうすれば	与えられる	あなたがたに
G2504	G4771	G3004	G0154	G2532	G1325	G4771

ζητεῖτε,	καὶ	εὑρήσετε;	κρούετε,	καὶ	ἀνοιγήσεται	ὑμῖν.
探しなさい	そうすれば	見つかる	叩きなさい	そうすれば	開かれる	あなたがたに
G2212	G2532	G2147	G2925	G2532	G0455	G4771

そこでわたしはあなたがたに言う。求めよ、そうすれば、与えられるであろう。捜せ、そうすれば見いだすであろう。門をたたけ、そうすれば、あけてもらえるであろう。

10

πᾶς	γὰρ	ὁ	αἰτῶν	λαμβάνει;	καὶ	ὁ	ζητῶν	εὑρίσκει;
すべて	なぜなら	求める–者は	求める–者は	受ける	そして	探す–者は	探す–者は	見つける
G3956	G1063	G3588	G0154	G2983	G2532	G3588	G2212	G2147

καὶ	τῷ	κρούοντι	ἀνοιγήσεται.
そして	叩く–者には	叩く–者には	開かれる
G2532	G3588	G2925	G0455

すべて求める者は得、捜す者は見いだし、門をたたく者はあけてもらえるからである。

11

τίνα	δὲ	ἐξ	ὑμῶν	τὸν	πατέρα,	αἰτήσει
あなたがたの–中で	しかし	だれの	あなたがたの–中で	父に	父に	子が–魚を–求めたら
G5101	G1161	G1537	G4771	G3588	G3962	G0154

ὁ	υἱὸς	ἰχθύν,	καὶ	ἀντὶ	ἰχθύος,	ὄφιν	αὐτῷ	ἐπιδώσει?
その–子が	子が	魚を	魚の–代わりに	魚の–代わりに	魚の–代わりに	蛇を	彼に	渡すだろうか
G3588	G5207	G2486	G2532	G0473	G2486	G3789	G0846	G1929

あなたがたのうちで、父であるものは、その子が魚を求めるのに、魚の代りにへびを与えるだろうか。

12

ἢ	καὶ	αἰτήσει	ᾠόν,	ἐπιδώσει	αὐτῷ	σκορπίον?
また	卵を–求めたら	卵を–求めたら	卵を	渡すだろうか	彼に	サソリを
G2228	G2532	G0154	G5609	G1929	G0846	G4651

卵を求めるのに、さそりを与えるだろうか。

13 εἰ οὖν ὑμεῖς, πονηροὶ ὑπάρχοντες, οἴδατε δόματα
もし それなら あなたがたは 悪い–者で–ありながら 悪い–者で–ありながら 知って–いる 良い–物を
G1487 G3767 G4771 G4190 G5225 G1492 G1390

ἀγαθὰ διδόναι τοῖς τέκνοις ὑμῶν, πόσῳ μᾶλλον ὁ Πατὴρ ὁ ἐξ
良い 与えることを 自分の 子どもたちに 自分の まして まして 天の 父は 天の 天の
G0018 G1325 G3588 G5043 G4771 G4214 G3123 G3588 G3962 G3588 G1537

οὐρανοῦ, δώσει Πνεῦμα Ἅγιον τοῖς αἰτοῦσιν αὐτόν?
天からの 与えて–くださる 聖霊を 聖霊を 求める–者に 求める–者に 主に
G3772 G1325 G4151 G0040 G3588 G0154 G0846

このように、あなたがたは悪い者であっても、自分の子供には、良い贈り物をすることを知っているとすれば、天の父はなおさら、求めて来る者に聖霊を下さらないことがあろうか」。

14 Καὶ ἦν ἐκβάλλων δαιμόνιον, καὶ αὐτὸ ἦν κωφόν;
そして イエスは 追い出して–おられた 悪霊を そして それは であった 口の–きけない–悪霊
G2532 G1510 G1544 G1140 G2532 G0846 G1510 G2974

ἐγένετο δὲ τοῦ δαιμονίου ἐξελθόντος, ἐλάλησεν ὁ κωφός.
すると そして その 悪霊が 出て–行くと 話した その 口の–きけなかった–者が
G1096 G1161 G3588 G1140 G1831 G2980 G3588 G2974

καὶ ἐθαύμασαν οἱ ὄχλοι.
そして 驚いた その 群衆は
G2532 G2296 G3588 G3793

さて、イエスが悪霊を追い出しておられた。それは、おしの霊であった。悪霊が出て行くと、おしが物を言うようになったので、群衆は不思議に思った。

15 τινὲς δὲ ἐξ αὐτῶν εἶπον, Ἐν
しかし–ある しかし 彼らの–中の 彼らの 者たちは–言った ベルゼブルに–よって
G5100 G1161 G1537 G0846 G3004 G1722

Βεελζεβοὺλ τῷ ἄρχοντι τῶν δαιμονίων, ἐκβάλλει τὰ
ベルゼブルに–よって 悪霊の かしらに–よって 悪霊の 悪霊どもの 追い出して–いる 悪霊どもを
G0954 G3588 G0758 G3588 G1140 G1544 G3588

δαιμόνια.
悪霊どもを
G1140

その中のある人々が、「彼は悪霊のかしらベルゼブルによって、悪霊どもを追い出しているのだ」と言い、

16 ἕτεροι δὲ, πειράζοντες, σημεῖον ἐξ οὐρανοῦ ἐζήτουν παρ’
また–他の 者たちは 試みて しるしを 天からの 天からの 求めた イエスから
G2087 G1161 G3985 G4592 G1537 G3772 G2212 G3844

αὐτοῦ.
イエスから
G0846

またほかの人々は、イエスを試みようとして、天からのしるしを求めた。

17 αὐτὸς δὲ, εἰδὼς αὐτῶν τὰ διανοήματα εἶπεν αὐτοῖς,
イエスは しかし 彼らの–考えを–見抜いて 彼らの 考えを 考えを 言われた 彼らに
G0846 G1161 G1492 G0846 G3588 G1270 G3004 G0846

Πᾶσα βασιλεία ἐφ’ ἑαυτὴν διαμερισθεῖσα, ἐρημοῦται; καὶ οἶκος ἐπὶ οἶκον
すべての 国が 内部で 内部で 分裂すれば 荒れ果てる そして 家が 家に 家が
G3956 G0932 G1909 G1438 G1266 G2049 G2532 G3624 G1909 G3624

πίπτει.
倒れる
G4098

しかしイエスは、彼らの思いを見抜いて言われた、「おおよそ国が内部で分裂すれば自滅してしまい、また家が分れ争えば倒れてしまう。

18 εἰ δὲ καὶ ὁ Σατανᾶς ἐφ’ ἑαυτὸν διεμερίσθη, πῶς
もし サタンも サタンも サタンが サタンが 内部で 内部で 分裂したなら どうして
G1487 G1161 G2532 G3588 G4567 G1909 G1438 G1266 G4459

σταθήσεται ἡ βασιλεία αὐτοῦ? ὅτι λέγετε, ἐν
立ち–行くのか その 国は サタンの あなたがたは–言う あなたがたは–言う ベルゼブルに–よって
G2476 G3588 G0932 G0846 G3754 G3004 G1722

Βεελζεβοὺλ, ἐκβάλλειν με τὰ δαιμόνια.
ベルゼブルに–よって 追い出して–いると わたしが 悪霊どもを 悪霊どもを
G0954 G1544 G1473 G3588 G1140

そこでサタンも内部で分裂すれば、その国はどうして立ち行けよう。あなたがたはわたしがベルゼブルによって悪霊を追い出していると言うが、

19 εἰ δὲ ἐγὼ ἐν Βεελζεβοὺλ ἐκβάλλω
もし わたしが わたしが ベルゼブルに–よって ベルゼブルに–よって 追い出して–いるなら
G1487 G1161 G1473 G1722 G0954 G1544

τὰ δαιμόνια, οἱ υἱοὶ ὑμῶν, ἐν τίνι
悪霊どもを 悪霊どもを あなたがたの 子らは あなたがたの だれに–よって だれに–よって
G3588 G1140 G3588 G5207 G4771 G1722 G5101

ἐκβάλλουσιν? διὰ τοῦτο, αὐτοὶ ὑμῶν κριταὶ ἔσονται.
追い出して–いるのか だから だから 彼らこそ あなたがたの 裁き人と–なる なる
G1544 G1223 G3778 G0846 G4771 G2923 G1510

もしわたしがベルゼブルによって悪霊を追い出すとすれば、あなたがたの仲間はだれによって追い出すのであろうか。だから、彼らがあなたがたをさばく者となるであろう。

20 εἰ δὲ ἐν δακτύλῳ Θεοῦ, ἐγὼ ἐκβάλλω τὰ
しかし もし 神の–指に–よって 指に–よって 神の わたしが 追い出して–いるなら 悪霊どもを
G1487 G1161 G1722 G1147 G2316 G1473 G1544 G3588

δαιμόνια, ἄρα ἔφθασεν ἐφ’ ὑμᾶς ἡ βασιλεία τοῦ Θεοῦ.
悪霊どもを それなら 届いたのだ あなたがたに あなたがたに 神の 国が 神の 神の
G1140 G0686 G5348 G1909 G4771 G3588 G0932 G3588 G2316

しかし、わたしが神の指によって悪霊を追い出しているのなら、神の国はすでにあなたがたのところにきたのである。

21 ὅταν ὁ ἰσχυρὸς καθωπλισμένος, φυλάσσῃ τὴν ἑαυτοῦ αὐλήν,
強い–者が 強い–者が 強い–者が 武装して 守って–いれば 自分の 自分の 屋敷を
G3752 G3588 G2478 G2528 G5442 G3588 G1438 G0833

ἐν εἰρήνῃ ἐστὶν τὰ ὑπάρχοντα αὐτοῦ;
安全に 安全に ある その 財産は 彼の
G1722 G1515 G1510 G3588 G5225 G0846

強い人が十分に武装して自分の邸宅を守っている限り、その持ち物は安全である。

22 ἐπὰν δὲ ἰσχυρότερος αὐτοῦ, ἐπελθὼν, νικήσῃ αὐτόν, τὴν πανοπλίαν
しかし もし もっと–強い–者が 彼より 襲って–来て 打ち負かせば 彼を その 武具を
G1875 G1161 G2478 G0846 G1904 G3528 G0846 G3588 G3833

αὐτοῦ αἴρει, ἐφ’ ᾗ ἐπεποίθει, καὶ τὰ σκῦλα αὐτοῦ διαδίδωσιν.
彼の 取り上げる それに それに 頼って–いた そして その 戦利品を 彼の 分け–与える
G0846 G0142 G1909 G3739 G3982 G2532 G3588 G4661 G0846 G1239

しかし、もっと強い者が襲ってきて彼に打ち勝てば、その頼みにしていた武具を奪って、その分捕品を分けるのである。

23 Ὁ μὴ ὢν μετ’ ἐμοῦ, κατ’ ἐμοῦ ἐστιν; καὶ ὁ μὴ συνάγων μετ’ ἐμοῦ σκορπίζει.
わたしと–共に いない–者は いない–者は わたしに わたしと–共に わたしに の 敵で–ある そして わたしと 集めない–者は 集めない–者は わたしと–共に わたしと 散らす
G3588 G3361 G1510 G3326 G1473 G2596 G1473 G1510 G2532 G3588 G3361 G4863 G3326 G1473 G4650

わたしの味方でない者は、わたしに反対するものであり、わたしと共に集めない者は、散らすものである。

24 Ὅταν τὸ ἀκάθαρτον πνεῦμα ἐξέλθῃ ἀπὸ τοῦ ἀνθρώπου, διέρχεται δι’ ἀνύδρων τόπων, ζητοῦν ἀνάπαυσιν; καὶ μὴ εὑρίσκον [τότε] λέγει, Ὑποστρέψω εἰς τὸν οἶκόν μου, ὅθεν ἐξῆλθον.
汚れた 汚れた 汚れた 霊が 出て–行くと 人から 人から 人から さまよう 水の–ない 水の–ない 場所を 休みを–探して 休みを しかし 見つからないと 見つからないと その時 言う 戻ろう わたしの わたしの 家に わたしの 出て–きた 出て–きた
G3752 G3588 G0169 G4151 G1831 G0575 G3588 G0444 G1330 G1223 G0504 G5117 G2212 G0372 G2532 G3361 G2147 G5119 G3004 G5290 G1519 G3588 G3624 G1473 G3606 G1831

汚れた霊が人から出ると、休み場を求めて水の無い所を歩きまわるが、見つからないので、出てきた元の家に帰ろうと言って、

25 καὶ ἐλθὸν, εὑρίσκει (σχολάζοντα), σεσαρωμένον, καὶ κεκοσμημένον.
そして 来て–みると 見つける 空いて 掃除され そして 飾られて–いるのを
G2532 G2064 G2147 G4980 G4563 G2532 G2885

帰って見ると、その家はそうじがしてある上、飾りつけがしてあった。

26 τότε πορεύεται καὶ παραλαμβάνει ἕτερα πνεύματα πονηρότερα ἑαυτοῦ, ἑπτά, καὶ εἰσελθόντα, κατοικεῖ ἐκεῖ; καὶ γίνεται τὰ ἔσχατα τοῦ ἀνθρώπου ἐκείνου, χείρονα τῶν πρώτων.
そこで 出かけて–行って そして 連れて–来る 他の 霊を もっと–悪い 自分よりも 七つの そして 入って 住みつく そこに そして なる その 後の–状態は その 人の その 前よりも–悪く–なる 前よりも 前よりも
G5119 G4198 G2532 G3880 G2087 G4151 G4190 G1438 G2033 G2532 G1525 G2730 G1563 G2532 G1096 G3588 G2078 G3588 G0444 G1565 G5501 G3588 G4413

そこでまた出て行って、自分以上に悪い他の七つの霊を引き連れてきて中にはいり、そこに住み込む。そうすると、その人の後の状態は初めよりももっと悪くなるのである」。

27

Ἐγένετο	δὲ,	ἐν	τῷ	λέγειν	αὐτὸν
さて	イエスが	これらの–ことを	これらの–ことを	話して–おられると	イエスが
G1096	G1161	G1722	G3588	G3004	G0846

ταῦτα,	ἐπάρασά	τις	φωνὴν	γυνὴ	ἐκ	τοῦ	ὄχλου,	εἶπεν
これらの–ことを	声を–あげて	ある	声を	女が	群衆の–中から	群衆の	群衆の–中から	言った
G3778	G1869	G5100	G5456	G1135	G1537	G3588	G3793	G3004

αὐτῷ,	Μακαρία	ἡ	κοιλία	ἡ	βαστάσασά	σε,	καὶ	μαστοὶ
イエスに	幸いだ	あなたを–宿した	胎は	あなたを	宿した	あなたに	そして	乳房は
G0846	G3107	G3588	G2836	G3588	G0941	G4771	G2532	G3149

οὓς	ἐθήλασας.
あなたが	吸った
G3739	G2337

イエスがこう話しておられるとき、群衆の中からひとりの女が声を張りあげて言った、「あなたを宿した胎、あなたが吸われた乳房は、なんとめぐまれていることでしょう」。

28

αὐτὸς	δὲ	εἶπεν,	Μενοῦν,	μακάριοι	οἱ	ἀκούοντες	τὸν	λόγον
しかし–イエスは	しかし	言われた	いや–むしろ	幸いだ	神の	聞いて	神の	み言葉を
G0846	G1161	G3004	G3304	G3107	G3588	G0191	G3588	G3056

τοῦ	Θεοῦ	καὶ	φυλάσσοντες.
神の	神の	そして	守る–者は
G3588	G2316	G2532	G5442

しかしイエスは言われた、「いや、めぐまれているのは、むしろ、神の言を聞いてそれを守る人たちである」。

29

Τῶν	δὲ	ὄχλων,	ἐπαθροιζομένων	ἤρξατο	λέγειν,	Ἡ	γενεὰ	αὕτη,
群衆が	増えると	群衆が	集まって–来ると	言い–始めた	言い–始めた	この	世代は	この
G3588	G1161	G3793	G1865	G0756	G3004	G3588	G1074	G3778

γενεὰ	πονηρά	ἐστιν;	σημεῖον	ζητεῖ,	καὶ	σημεῖον	οὐ	δοθήσεται
悪い	悪い	世代で–ある	しるしを	求める	しかし	しるしは	与えられない	与えられない
G1074	G4190	G1510	G4592	G2212	G2532	G4592	G3756	G1325

αὐτῇ,	εἰ	μὴ	τὸ	σημεῖον	Ἰωνᾶ.
この–世代には	ただ	ただ	ヨナの	ヨナの	ヨナの–しるしの–ほかには
G0846	G1487	G3361	G3588	G4592	G2495

さて群衆が群がり集まったので、イエスは語り出された、「この時代は邪悪な時代である。それはしるしを求めるが、ヨナのしるしのほかには、なんのしるしも与えられないであろう。

30

καθὼς	γὰρ	ἐγένετο	(ὁ)	Ἰωνᾶς	τοῖς	Νινευίταις
ちょうど	なぜなら	ヨナが	ヨナが	ヨナが	ニネベの–人々にとって	ニネベの–人々にとって
G2531	G1063	G1096	G3588	G2495	G3588	G3536

σημεῖον,	οὕτως	ἔσται	καὶ	ὁ	Υἱὸς	τοῦ	ἀνθρώπου	τῇ
しるしと–なった–ように	そのように	なる	人の–子も	人の	子も	人の	人の	この
G4592	G3779	G1510	G2532	G3588	G5207	G3588	G0444	G3588

γενεᾷ	ταύτῃ.
世代にとって	この
G1074	G3778

というのは、ニネベの人々に対してヨナがしるしとなったように、人の子もこの時代に対してしるしとなるであろう。

31 βασίλισσα νότου ἐγερθήσεται ἐν τῇ κρίσει μετὰ τῶν ἀνδρῶν τῆς
南の 南の 女王が–立ち上がる その その 裁きの–時に この この 世代の この
G0938 G3558 G1453 G1722 G3588 G2920 G3326 G3588 G0435 G3588

γενεᾶς ταύτης, καὶ κατακρινεῖ αὐτούς; ὅτι ἦλθεν ἐκ τῶν
世代の この 人々と–共に 罪に–定める 彼らを なぜなら 彼女は–来た 地の–果てから 地の
G1074 G3778 G2532 G2632 G0846 G3754 G2064 G1537 G3588

περάτων τῆς γῆς ἀκοῦσαι τὴν σοφίαν Σολομῶνος, καὶ ἰδοὺ,
果てから 地の 地の 聞く–ために ソロモンの 知恵を ソロモンの そして–見よ 見よ
G4009 G3588 G1093 G0191 G3588 G4678 G4672 G2532 G3708

πλεῖον Σολομῶνος ὧδε.
ソロモンよりも–大いなる–者が ソロモンよりも ここに–いる
G4119 G4672 G5602

南の女王が、今の時代の人々と共にさばきの場に立って、彼らを罪に定めるであろう。なぜなら、彼女はソロモンの知恵を聞くために、地の果からはるばるきたからである。しかし見よ、ソロモンにまさる者がここにいる。

32 ἄνδρες Νινευῖται ἀναστήσονται ἐν τῇ κρίσει μετὰ τῆς γενεᾶς
ニネベの ニネベの 人々が–立ち上がる その その 裁きの–時に この この 世代と
G0435 G3536 G0450 G1722 G3588 G2920 G3326 G3588 G1074

ταύτης, καὶ κατακρινοῦσιν αὐτήν, ὅτι μετενόησαν εἰς τὸ
この 共に 罪に–定める この–世代を なぜなら 彼らは–悔い改めた ヨナの ヨナの
G3778 G2532 G2632 G0846 G3754 G3340 G1519 G3588

κήρυγμα Ἰωνᾶ; καὶ ἰδοὺ, πλεῖον Ἰωνᾶ ὧδε.
宣教に–よって ヨナの そして–見よ 見よ ヨナよりも–大いなる–者が ヨナよりも ここに–いる
G2782 G2495 G2532 G3708 G4119 G2495 G5602

ニネベの人々が、今の時代の人々と共にさばきの場に立って、彼らを罪に定めるであろう。なぜなら、ニネベの人々はヨナの宣教によって悔い改めたからである。しかし見よ、ヨナにまさる者がここにいる。

33 Οὐδεὶς λύχνον ἅψας, εἰς κρύπτην τίθησιν, οὐδὲ ὑπὸ τὸν
だれも ともしびを ともして 隠れた–場所に 隠れた–場所に 置かない また 桝の–下にも 桝の
G3762 G3088 G0681 G1519 G2926 G5087 G3761 G5259 G3588

μόδιον, ἀλλ’ ἐπὶ τὴν λυχνίαν, ἵνα
桝の–下にも そうではなく 燭台の–上に–置く 燭台の 燭台の–上に 入って–来る–人が
G3426 G0235 G1909 G3588 G3087 G2443

οἱ εἰσπορευόμενοι τὸ φέγγος βλέπωσιν.
入って–来る–人が 入って–来る–人が その 光を 見る–ために
G3588 G1531 G3588 G5338 G0991

だれもあかりをともして、それを穴倉の中や枡の下に置くことはしない。むしろはいって来る人たちに、そのあかりが見えるように、燭台の上におく。

34 ὁ λύχνος τοῦ σώματός ἐστιν ὁ ὀφθαλμός σου. ὅταν
あなたの ともしびは 体の 体の ともしびで-ある あなたの 目で-ある あなたの 目が
G3588 G3088 G3588 G4983 G1510 G3588 G3788 G4771 G3752

ὁ ὀφθαλμός σου ἁπλοῦς ᾖ, καὶ ὅλον τὸ σῶμά
あなたの 目が あなたの 澄んで-いれば 澄んで-いれば あなたの 全身も あなたの 体も
G3588 G3788 G4771 G0573 G1510 G2532 G3650 G3588 G4983

σου φωτεινόν ἐστιν; ἐπὰν δὲ πονηρὸς ᾖ, καὶ τὸ
あなたの 明るい 明るい しかし しかし 瀕って-いれば 瀕って-いれば あなたの あなたの
G4771 G5460 G1510 G1875 G1161 G4190 G1510 G2532 G3588

σῶμά σου σκοτεινόν.
体も あなたの 暗い
G4983 G4771 G4652

あなたの目は、からだのあかりである。あなたの目が澄んでおれば、全身も明るいが、目がわるければ、からだも暗い。

35 σκόπει οὖν, μὴ τὸ φῶς τὸ ἐν σοὶ
気を-つけなさい だから あなたの-内に-ある あなたの 光が あなたの 内に-ある あなたの
G4648 G3767 G3361 G3588 G5457 G3588 G1722 G4771

σκότος ἐστίν.
闇で-ないか 闇で-ないか
G4655 G1510

だから、あなたの内なる光が暗くならないように注意しなさい。

36 εἰ οὖν τὸ σῶμά σου ὅλον φωτεινόν, μὴ ἔχον μέρος
だから だから あなたの 体が あなたの 全体が 明るく 暗い-部分が 持って 部分を
G1487 G3767 G3588 G4983 G4771 G3650 G5460 G3361 G2192 G3313

τι σκοτεινόν, ἔσται φωτεινὸν ὅλον, ὡς ὅταν
少しも 暗い-部分が-ないなら 全体が-明るく-なる 明るく 全体が ちょうど ともしびが
G5100 G4652 G1510 G5460 G3650 G5613 G3752

ὁ λύχνος τῇ ἀστραπῇ φωτίζῃ σε.
ともしびが ともしびが その 輝きで 照らす-ように あなたを
G3588 G3088 G3588 G0796 G5461 G4771

もし、あなたのからだ全体が明るくて、暗い部分が少しもなければ、ちょうど、あかりが輝いてあなたを照す時のように、全身が明るくなるであろう」。

37 Ἐν δὲ τῷ λαλῆσαι, ἐρωτᾷ αὐτὸν Φαρισαῖος
話して-おられると その時 その 話して-おられると 招いた イエスを ある-パリサイ人が
G1722 G1161 G3588 G2980 G2065 G0846 G5330

ὅπως ἀριστήσῃ παρ' αὐτῷ, εἰσελθὼν δὲ ἀνέπεσεν.
食事を-する-ように 食事を 自分の-家で 自分の 入って イエスは 食卓に-着かれた
G3704 G0709 G3844 G0846 G1525 G1161 G0377

イエスが語っておられた時、あるパリサイ人が、自分の家で食事をしていただきたいと申し出たので、はいって食卓につかれた。

38 ὁ δὲ Φαρισαῖος, ἰδὼν, ἐθαύμασεν ὅτι οὐ
その パリサイ人は パリサイ人は 見て 驚いた 食事の-前に 洗わなかった-ことに
G3588 G1161 G5330 G3708 G2296 G3754 G3756

πρῶτον ἐβαπτίσθη πρὸ τοῦ ἀρίστου.
洗わなかった-ことに 洗わなかった 食事の-前に 食事の 食事の-前に
G4412 G0907 G4253 G3588 G0712

ところが、食前にまず洗うことをなさらなかったのを見て、そのパリサイ人が不思議に思った。

39 εἶπεν 言われた G3004 δὲ そして G1161 ὁ 主は G3588 Κύριος 主は G2962 πρὸς 彼に G4314 αὐτόν, 彼に G0846 Νῦν 今 G3568 ὑμεῖς あなたがた G4771 οἱ パリサイ人は G3588 Φαρισαῖοι, パリサイ人は G5330

τὸ 外側を G3588 ἔξωθεν 外側を G1855 τοῦ 杯や G3588 ποτηρίου 杯や G4221 καὶ そして G2532 τοῦ 皿の G3588 πίνακος 皿の G4094 καθαρίζετε, 清める G2511 τὸ しかし–内側は G3588 δὲ しかし G1161

ἔσωθεν 内側は G2081 ὑμῶν あなたがたの G4771 γέμει 欲と G1073 ἁρπαγῆς 欲と G0724 καὶ そして G2532 πονηρίας. 悪意で–満ちて–いる G4189

そこで主は彼に言われた、「いったい、あなたがたパリサイ人は、杯や盆の外側をきよめるが、あなたがたの内側は貪欲と邪悪とで満ちている。

40 ἄφρονες! 愚か者よ G0878 οὐχ 外側を–作った–方は G3756 ὁ 作った–方は G3588 ποιήσας 作った–方は G4160 τὸ 外側を G3588 ἔξωθεν, 外側を G1855 καὶ 内側も G2532 τὸ 内側も G3588

ἔσωθεν 内側も G2081 ἐποίησεν? 作ったのでは–ないか G4160

愚かな者たちよ、外側を造ったかたは、また内側も造られたではないか。

41 πλὴν それよりも G4133 τὰ 内に–ある–ものを G3588 ἐνόντα 内に–ある–ものを G1751 δότε 施しなさい G1325 ἐλεημοσύνην, 施しとして G1654 καὶ そうすれば G2532 ἰδοὺ, 見よ G3708

πάντα すべてが G3956 καθαρὰ 清く G2513 ὑμῖν あなたがたにとって G4771 ἐστιν. なる G1510

ただ、内側にあるものをきよめなさい。そうすれば、いっさいがあなたがたにとって、清いものとなる。

42 ἀλλὰ しかし G0235 οὐαὶ わざわいだ G3759 ὑμῖν あなたがたに G4771 τοῖς パリサイ人よ G3588 Φαρισαίοις, パリサイ人よ G5330 ὅτι あなたがたは–十分の一を–納める G3754

ἀποδεκατοῦτε 十分の一を–納める G0586 τὸ はっかや G3588 ἡδύοσμον, はっかや G2238 καὶ そして G2532 τὸ へんるだや G3588 πήγανον, へんるだや G4076 καὶ そして G2532 πᾶν あらゆる G3956

λάχανον; 野菜の G3001 καὶ しかし G2532 παρέρχεσθε 等閑に–して–いる G3928 τὴν 正義と G3588 κρίσιν 正義と G2920 καὶ そして G2532 τὴν 神への G3588 ἀγάπην 愛を G0026 τοῦ 神への G3588 Θεοῦ. 神への G2316

ταῦτα これらを G3778 δὲ その–上で G1161 ἔδει 行う–べきで–あった G1163 ποιῆσαι, 行う–べきで–あった G4160 κἀκεῖνα それらも G2548 μὴ おろそかに–しないで G3361

παρεῖναι. おろそかに–しないで G3935

しかし、あなた方パリサイ人は、わざわいである。はっか、うん香、あらゆる野菜などの十分の一を宮に納めておりながら、義と神に対する愛とをなおざりにしている。それもなおざりにはできないが、これは行わねばならない。

43 οὐαὶ ὑμῖν τοῖς Φαρισαίοις, ὅτι ἀγαπᾶτε τὴν
わざわいだ あなたがたに パリサイ人よ パリサイ人よ あなたがたは–好む 好む 会堂の
G3759 G4771 G3588 G5330 G3754 G0025 G3588

πρωτοκαθεδρίαν ἐν ταῖς συναγωγαῖς, καὶ τοὺς ἀσπασμοὺς ἐν
上座を 会堂での 会堂での 会堂での そして 広場での 挨拶を 広場での
G4410 G1722 G3588 G4864 G2532 G3588 G0783 G1722

ταῖς ἀγοραῖς.
広場での 広場での
G3588 G0058

あなたがたパリサイ人は、わざわいである。会堂の上席や広場での敬礼を好んでいる。

44 οὐαὶ ὑμῖν, ὅτι ἐστὲ ὡς τὰ μνημεῖα
わざわいだ あなたがたに あなたがたは–似て–いる あなたがたは ちょうど 見えない 墓の–ように
G3759 G4771 G3754 G1510 G5613 G3588 G3419

τὰ ἄδηλα, καὶ οἱ ἄνθρωποι οἱ περιπατοῦντες ἐπάνω
見えない 見えない そして その–上を 人々が その–上を 歩いて–いても 歩いて–いても
G3588 G0082 G2532 G3588 G0444 G3588 G4043 G1883

οὐκ οἴδασιν.
知らない 知らない
G3756 G1492

あなたがたは、わざわいである。人目につかない墓のようなものである。その上を歩いても人々は気づかないでいる」。

45 Ἀποκριθεὶς δέ, τις τῶν νομικῶν λέγει αὐτῷ,
答えて ある ある 律法の–専門家の 律法の–専門家の 一人が–言った イエスに
G0611 G1161 G5100 G3588 G3544 G3004 G0846

Διδάσκαλε, ταῦτα λέγων, καὶ ἡμᾶς ὑβρίζεις.
先生 そのように–言って 言って 私たちも 私たちも 侮辱して–います
G1320 G3778 G3004 G2532 G1473 G5195

ひとりの律法学者がイエスに答えて言った、「先生、そんなことを言われるのは、わたしたちまでも侮辱することです」。

46 ὁ δὲ εἶπεν, Καὶ ὑμῖν τοῖς νομικοῖς
イエスは そして 言われた あなたがたにも あなたがたにも 律法の–専門家よ 律法の–専門家よ
G3588 G1161 G3004 G2532 G4771 G3588 G3544

οὐαί! ὅτι φορτίζετε τοὺς ἀνθρώπους φορτία δυσβάστακτα,
わざわいだ あなたがたは–負わせる 負わせる 人々に 人々に 重荷を 担い–きれない
G3759 G3754 G5412 G3588 G0444 G5413 G1419

καὶ αὐτοὶ ἑνὶ τῶν δακτύλων ὑμῶν, οὐ προσψαύετε
しかし 自分たちは 一本の 指でさえ 指でさえ あなたがたの その–重荷に 触ろうとも–しない
G2532 G0846 G1520 G3588 G1147 G4771 G3756 G4379

τοῖς φορτίοις.
その 重荷に
G3588 G5413

そこで言われた、「あなたがた律法学者も、わざわいである。負い切れない重荷を人に負わせながら、自分ではその荷に指一本でも触れようとしない。

47 οὐαὶ ὑμῖν, ὅτι οἰκοδομεῖτε τὰ μνημεῖα
わざわいだ あなたがたに あなたがたは–建てる 建てる 預言者たちの 墓を
G3759 G4771 G3754 G3618 G3588 G3419

τῶν προφητῶν, οἱ δὲ πατέρες ὑμῶν ἀπέκτειναν αὐτούς.
預言者たちの 預言者たちの しかし あなたがたの 先祖たちが あなたがたの 殺した 彼らを
G3588 G4396 G3588 G1161 G3962 G4771 G0615 G0846

あなたがたは、わざわいである。預言者たちの碑を建てるが、しかし彼らを殺したのは、あなたがたの先祖であったのだ。

48 ἄρα μάρτυρές ἐστε, καὶ συνευδοκεῖτε τοῖς ἔργοις τῶν
これでは 証人で–あり 証人で–あり そして 賛成して–いる 先祖たちの 行いに 先祖たちの
G0686 G3144 G1510 G2532 G4909 G3588 G2041 G3588

πατέρων ὑμῶν; ὅτι αὐτοὶ μὲν ἀπέκτειναν αὐτοὺς; ὑμεῖς
先祖たちの あなたがたの なぜなら 彼らが 確かに 殺し 預言者たちを あなたがたは
G3962 G4771 G3754 G0846 G3303 G0615 G0846 G4771

δὲ οἰκοδομεῖτε.
その–墓を 建てて–いる
G1161 G3618

だから、あなたがたは、自分の先祖のしわざに同意する証人なのだ。先祖が彼らを殺し、あなたがたがその碑を建てるのだから。

49 διὰ τοῦτο καὶ ἡ σοφία τοῦ Θεοῦ εἶπεν, Ἀποστελῶ εἰς αὐτοὺς
だから だから 神の 神の 知恵も 神の 神の 言った わたしは–遣わす 彼らに 彼らに
G1223 G3778 G2532 G3588 G4678 G3588 G2316 G3004 G0649 G1519 G0846

προφήτας καὶ ἀποστόλους, καὶ ἐξ αὐτῶν ἀποκτενοῦσιν καὶ
預言者たちや そして 使徒たちを そして 彼らの–中の 彼らの 者を–殺し そして
G4396 G2532 G0652 G2532 G1537 G0846 G0615 G2532

διώξουσιν,
追害する
G1377

それゆえに、『神の知恵』も言っている、『わたしは預言者と使徒とを彼らにつかわすが、彼らはそのうちのある者を殺したり、迫害したりするであろう』。

50 ἵνα ἐκζητηθῇ τὸ αἷμα πάντων τῶν προφητῶν,
それは 問われる–ためで–ある すべての 血が すべての 預言者たちの 預言者たちの
G2443 G1567 G3588 G0129 G3956 G3588 G4396

τὸ ἐκκεχυμένον ἀπὸ καταβολῆς κόσμου, ἀπὸ τῆς
流されて–きた 流されて–きた 世の–初めから 世の–初めから 世の–初めから この–世代に この
G3588 G1632 G0575 G2602 G2889 G0575 G3588

γενεᾶς ταύτης,
世代に この–世代に
G1074 G3778

それで、アベルの血から祭壇と神殿との間で殺されたザカリヤの血に至るまで、世の初めから流されてきたすべての預言者の血について、この時代がその責任を問われる。

51 ἀπὸ αἵματος Ἅβελ, ἕως αἵματος Ζαχαρίου, τοῦ ἀπολομένου
アベルの 血から アベルの ゼカリヤの 血に–至るまで ゼカリヤの 彼は 殺された
G0575 G0129 G0006 G2193 G0129 G2197 G3588 G0622

μεταξὺ τοῦ θυσιαστηρίου καὶ τοῦ οἴκου; ναί, λέγω ὑμῖν,
祓壇と 祓壇と 祓壇と そして 神殿の 神殿の–間で そうだ わたしは–言う あなたがたに
G3342 G3588 G2379 G2532 G3588 G3624 G3483 G3004 G4771

ἐκζητηθήσεται ἀπὸ τῆς γενεᾶς ταύτης.
問われる この–世代に この 世代に この–世代に
G1567 G0575 G3588 G1074 G3778

そうだ、あなたがたに言っておく、この時代がその責任を問われるであろう。

52 οὐαὶ ὑμῖν τοῖς νομικοῖς, ὅτι ἤρατε
わざわいだ あなたがたに 律法の–専門家よ 律法の–専門家よ あなたがたは–取り上げた 取り上げた
G3759 G4771 G3588 G3544 G3754 G0142

τὴν κλεῖδα τῆς γνώσεως; αὐτοὶ οὐκ εἰσήλθατε, καὶ
知識の 鍵を 知識の 知識の 自分たちは 入らず 入らず そして
G3588 G2807 G3588 G1108 G0846 G3756 G1525 G2532

τοὺς εἰσερχομένους ἐκωλύσατε.
入ろうと–する–人々をも 入ろうと–する–人々をも 妨げた
G3588 G1525 G2967

あなたがた律法学者は、わざわいである。知識のかぎを取りあげて、自分がはいらないばかりか、はいろうとする人たちを妨げてきた」。

53 Κἀκεῖθεν ἐξελθόντος αὐτοῦ, ἤρξαντο οἱ γραμματεῖς καὶ
そこから–出ると 出ると イエスが 始めた 律法学者や 律法学者や そして
G2547 G1831 G0846 G0756 G3588 G1122 G2532

οἱ Φαρισαῖοι δεινῶς ἐνέχειν, καὶ ἀποστοματίζειν
パリサイ人たちが パリサイ人たちが 激しく 敵意を–抱き そして 問い–詰める–ようになった
G3588 G5330 G1171 G1758 G2532 G0653

αὐτὸν περὶ πλειόνων;
イエスを 様々な–ことに–ついて 様々な–ことに–ついて
G0846 G4012 G4119

イエスがそこを出て行かれると、律法学者やパリサイ人は、激しく詰め寄り、いろいろな事を問いかけて、

54 ἐνεδρεύοντες αὐτὸν θηρεῦσαί τι ἐκ τοῦ στόματος αὐτοῦ.
待ち–伏せて イエスを 捕らえようと–した 何かを その 口から 口から イエスの
G1748 G0846 G2340 G5100 G1537 G3588 G4750 G0846

イエスの口から何か言いがかりを得ようと、ねらいはじめた。

Chapter 12

1 Ἐν その–間に G1722 οἷς, その–間に G3739 ἐπισυναχθεισῶν 数万人の–群衆が–集まり G1996 τῶν 数万人の G3588 μυριάδων 数万人の–群衆が G3461 τοῦ 群衆の G3588 ὄχλου, 群衆が G3793 ὥστε 互いに G5620 καταπατεῖν 踏みつけ–合う–ほどに G2662 ἀλλήλους, 互いに G0240 ἤρξατο 言い–始めた G0756 λέγειν 言い–始めた G3004 πρὸς 弟子たちに G4314 τοὺς 弟子たちに G3588 μαθητὰς 弟子たちに G3101 αὐτοῦ 自分の G0846 πρῶτον, まず G4412 Προσέχετε 気を–つけなさい G4337 ἑαυτοῖς 自分–自身で G1438 ἀπὸ パリサイ人の G0575 τῆς パリサイ人の G3588 ζύμης パン種に G2219 ἥτις それは G3748 ἐστὶν すなわち G1510 ὑπόκρισις, 偽善で–ある G5272 τῶν パリサイ人の G3588 Φαρισαίων; パリサイ人の G5330

その間に、おびただしい群衆が、互に踏み合うほどに群がってきたが、イエスはまず弟子たちに語りはじめられた、「パリサイ人のパン種、すなわち彼らの偽善に気をつけなさい。

2 οὐδὲν 何も G3762 δὲ そもそも G1161 συγκεκαλυμμένον 覆い–隠されて–いるもので G4780 ἐστὶν, あるもので G1510 ὃ あらわに–されない–ものは–ない G3739 οὐκ ない G3756 ἀποκαλυφθήσεται, あらわに–されない–ものは–ない G0601 καὶ また G2532 κρυπτὸν 隠れた–もので G2927 ὃ 知られない–ものは–ない G3739 οὐ ない G3756 γνωσθήσεται; 知られない–ものは–ない G1097

おおいかぶされたもので、現れてこないものはなく、隠れているもので、知られてこないものはない。

3 ἀνθ’ だから G0473 ὧν だから G3739 ὅσα あなたがたが G3745 ἐν 暗闇の–中で G1722 τῇ 暗闇の G3588 σκοτίᾳ 暗闇の–中で G4653 εἴπατε, 言ったことは G3004 ἐν 光の–中で G1722 τῷ 光の G3588 φωτὶ 光の–中で G5457 ἀκουσθήσεται; 聞かれる G0191 καὶ また G2532 ὃ 奥の–部屋で G3739 πρὸς 耳に G4314 τὸ 耳に G3588 οὖς 耳に G3775 ἐλαλήσατε, ささやいたことは G2980 ἐν 屋根の–上から G1722 τοῖς 屋根の G3588 ταμείοις, 奥の–部屋で G5009 κηρυχθήσεται 宣べ–伝えられる G2784 ἐπὶ 屋根の–上から G1909 τῶν 屋根の G3588 δωμάτων. 屋根の–上から G1430

だから、あなたがたが暗やみで言ったことは、なんでもみな明るみで聞かれ、密室で耳にささやいたことは、屋根の上で言いひろめられるであろう。

4 Λέγω わたしは–言う G3004 δὲ そして G1161 ὑμῖν, あなたがたに G4771 τοῖς わたしの G3588 φίλοις 友よ G5384 μου, わたしの G1473 μὴ 恐れるな G3361 φοβηθῆτε 恐れるな G5399 ἀπὸ 体を G0575 τῶν 殺す–者を G3588 ἀποκτεινόντων 殺す–者を G0615 τὸ 体を G3588 σῶμα, 体を G4983 καὶ その–後は G2532 μετὰ その–後は G3326 ταῦτα その–後は G3778 μὴ それ–以上 G3361 ἐχόντων できない G2192 περισσότερόν 何も G4053 τι 何も G5100 ποιῆσαι. することが G4160

そこでわたしの友であるあなたがたに言うが、からだを殺しても、そのあとでそれ以上なにもできない者どもを恐れるな。

5

ὑποδείξω	δὲ	ὑμῖν	τίνα	φοβηθῆτε;	φοβήθητε	τὸν	μετὰ
教えよう	そして	あなたがたに	だれを	恐れるべきか	恐れなさい	殺した–後に	殺した–後に
G5263	G1161	G4771	G5101	G5399	G5399	G3588	G3326

τὸ	ἀποκτεῖναι,	ἔχοντα	ἐξουσίαν	ἐμβαλεῖν	εἰς	τὴν	γέενναν;
殺した–後に	殺した–後に	持って–おられる	権威を	投げ–入れる	ゲヘナに	ゲヘナに	ゲヘナに
G3588	G0615	G2192	G1849	G1685	G1519	G3588	G1067

ναί,	λέγω	ὑμῖν,	τοῦτον	φοβήθητε.
そうだ	わたしは–言う	あなたがたに	この–方を	恐れなさい
G3483	G3004	G4771	G3778	G5399

恐るべき者がだれであるか、教えてあげよう。殺したあとで、更に地獄に投げ込む権威のあるかたを恐れなさい。そうだ、あなたがたに言っておくが、そのかたを恐れなさい。

6

οὐχὶ	πέντε	στρουθία	πωλοῦνται	ἀσσαρίων	δύο,	καὶ	ἓν
五羽の	五羽の	雀は	売られる	二–アサリオンで	二–アサリオンで	それでも	一羽も
G3780	G4002	G4765	G4453	G0787	G1417	G2532	G1520

ἐξ	αὐτῶν	οὐκ	ἔστιν	ἐπιλελησμένον	ἐνώπιον	τοῦ
その–中の	その–中の	忘れられて–いない	忘れられて–いない	忘れられて–いない	神の–前に	神の
G1537	G0846	G3756	G1510	G1950	G1799	G3588

Θεοῦ.
神の
G2316

五羽のすずめは二アサリオンで売られているではないか。しかも、その一羽も神のみまえで忘れられてはいない。

7

ἀλλὰ	καὶ	αἱ	τρίχες	τῆς	κεφαλῆς	ὑμῶν	πᾶσαι
いや	あなたがたの	頭の	髪の–毛さえも	頭の	頭の	あなたがたの	すべて
G0235	G2532	G3588	G2359	G3588	G2776	G4771	G3956

ἠρίθμηνται.	μὴ	φοβεῖσθε,	πολλῶν	στρουθίων	διαφέρετε.
数えられて–いる	恐れるな	恐れるな	多くの	雀よりも	優れて–いる
G0705	G3361	G5399	G4183	G4765	G1308

その上、あなたがたの頭の毛までも、みな数えられている。恐れることはない。あなたがたは多くのすずめよりも、まさった者である。

8

λέγω	δὲ	ὑμῖν,	πᾶς	ὃς	ἂν	ὁμολογήσῃ
わたしは–言う	あなたがたに	あなたがたに	すべて	わたしを–人の–前で	認める–者は	認める–者は
G3004	G1161	G4771	G3956	G3739	G0302	G3670

ἐν	ἐμοὶ	ἔμπροσθεν	τῶν	ἀνθρώπων,	καὶ	ὁ	Υἱὸς	τοῦ
わたしを	わたしを	人の–前で	人々の	人々の–前で	人の–子もまた	人の	子もまた	人の
G1722	G1473	G1715	G3588	G0444	G2532	G3588	G5207	G3588

ἀνθρώπου	ὁμολογήσει,	ἐν	αὐτῷ	ἔμπροσθεν	τῶν
人の	認める	神の–御使いたちの–前で	その人を	神の–御使いたちの–前で	神の
G0444	G3670	G1722	G0846	G1715	G3588

ἀγγέλων	τοῦ	Θεοῦ;
御使いたちの–前で	神の	神の
G0032	G3588	G2316

そこで、あなたがたに言う。だれでも人の前でわたしを受けいれる者を、人の子も神の使たちの前で受けいれるであろう。

9 ὁ δὲ, ἀρνησάμενός με ἐνώπιον τῶν ἀνθρώπων, ἀπαρνηθήσεται
しかし わたしを 否認した–者は わたしを 人の–前で 人々の 人々の–前で 否認される
G3588 G1161 G0720 G1473 G1799 G3588 G0444 G0533

ἐνώπιον τῶν ἀγγέλων τοῦ Θεοῦ;
神の–御使いたちの–前で 神の 御使いたちの–前で 神の 神の
G1799 G3588 G0032 G3588 G2316

しかし、人の前でわたしを拒む者は、神の使たちの前で拒まれるであろう。

10 καὶ πᾶς ὃς ἐρεῖ λόγον εἰς τὸν Υἱὸν τοῦ
そして すべて 人の–子に–対して 言う–者は 言葉を 人の 人の 子に–対して 人の
G2532 G3956 G3739 G2046 G3056 G1519 G3588 G5207 G3588

ἀνθρώπου, ἀφεθήσεται αὐτῷ; τῷ δὲ εἰς τὸ Ἅγιον
人の–子に 赦される その人には しかし しかし 聖霊に–対して 聖なる 聖なる
G0444 G0863 G0846 G3588 G1161 G1519 G3588 G0040

Πνεῦμα βλασφημήσαντι, οὐκ ἀφεθήσεται.
聖霊に–対して 冒瀆した–者は 赦されない 赦されない
G4151 G0987 G3756 G0863

また、人の子に言い逆らう者はゆるされるであろうが、聖霊をけがす者は、ゆるされることはない。

11 ὅταν δὲ εἰσφέρωσιν ὑμᾶς ἐπὶ τὰς συναγωγὰς, καὶ
さて あなたがたが 連れて–行かれる–時に あなたがたを 会堂や 会堂や 会堂や そして
G3752 G1161 G1533 G4771 G1909 G3588 G4864 G2532

τὰς ἀρχὰς, καὶ τὰς ἐξουσίας, μὴ μεριμνήσητε πῶς
支配者や 支配者や そして 権威の–前に 権威の–前に 思い煩うな 思い煩うな どのように
G3588 G0746 G2532 G3588 G1849 G3361 G3309 G4459

ἢ τί ἀπολογήσησθε, ἢ τί εἴπητε;
または 何を 弁明するか または 何を 言うかを
G2228 G5101 G0626 G2228 G5101 G3004

あなたがたが会堂や役人や高官の前へひっぱられて行った場合には、何をどう弁明しようか、何を言おうかと心配しないがよい。

12 τὸ γὰρ Ἅγιον Πνεῦμα διδάξει ὑμᾶς ἐν αὐτῇ
なぜなら なぜなら 聖霊が 聖霊が 教えて–くださる あなたがたに まさに–その まさに–その
G3588 G1063 G0040 G4151 G1321 G4771 G1722 G0846

τῇ ὥρᾳ ἃ δεῖ εἰπεῖν.
その 時に 何を 言う–べきかを 言う–べきかを
G3588 G5610 G3739 G1163 G3004

言うべきことは、聖霊がその時に教えてくださるからである」。

13 Εἶπεν δέ τις ἐκ τοῦ ὄχλου αὐτῷ, Διδάσκαλε,
言った すると–ある ある 群衆の–中の 群衆の 群衆の–中の 人が–言った 先生
G3004 G1161 G5100 G1537 G3588 G3793 G0846 G1320

εἰπὲ τῷ ἀδελφῷ μου μερίσασθαι μετ’ ἐμοῦ τὴν
言って–ください わたしの 兄弟に わたしの 遺産を わたしと わたしと 分ける–ようにと
G3004 G3588 G0080 G1473 G3307 G3326 G1473 G3588

κληρονομίαν.
遺産を
G2817

群衆の中のひとりがイエスに言った、「先生、わたしの兄弟に、遺産を分けてくれるようにおっしゃってください」。

14 ὁ イエスは G3588 δὲ そして G1161 εἶπεν 言われた G3004 αὐτῷ, 彼に G0846 Ἄνθρωπε, 人よ G0444 τίς だれが G5101 με わたしを G1473 κατέστησεν 立てたのか G2525 κριτὴν 裁き人や G2923

ἢ または G2228 μεριστὴν 仲裁人として G3312 ἐφ’ あなたがたの-上に G1909 ὑμᾶς? あなたがたの-上に G4771

彼に言われた、「人よ、だれがわたしをあなたがたの裁判人または分配人に立てたのか」。

15 εἶπεν 言われた G3004 δὲ そして G1161 πρὸς 彼らに G4314 αὐτούς, 彼らに G0846 Ὁρᾶτε 気を-つけなさい G3708 καὶ そして G2532 φυλάσσεσθε 警戒しなさい G5442 ἀπὸ あらゆる G0575 πάσης あらゆる G3956

πλεονεξίας; 貪欲から G4124 ὅτι なぜなら G3754 οὐκ あふれるほど G3756 ἐν あふれるほど G1722 τῷ あふれるほど G3588 περισσεύειν 持って-いても G4052 τινὶ, 持って-いても G5100

ἡ その-人の G3588 ζωὴ 命は G2222 αὐτοῦ その-人の G0846 ἐστιν 存在しない G1510 ἐκ 財産の-中には G1537 τῶν 財産の G3588 ὑπαρχόντων 財産の-中には G5225 αὐτῷ. その-人の G0846

それから人々にむかって言われた、「あらゆる貪欲に対してよくよく警戒しなさい。たといたくさんの物を持っていても、人のいのちは、持ち物にはよらないのである」。

16 Εἶπεν そして-言われた G3004 δὲ そして G1161 παραβολὴν たとえを G3850 πρὸς 彼らに G4314 αὐτοὺς, 彼らに G0846 λέγων, 言って G3004 Ἀνθρώπου ある-金持ちの G0444 τινὸς ある G5100

πλουσίου 金持ちの G4145 εὐφόρησεν 豊作を-もたらした G2164 ἡ その G3588 χώρα. 畑が G5561

そこで一つの譬を語られた、「ある金持の畑が豊作であった。

17 καὶ そこで G2532 διελογίζετο 考えた G1260 ἐν 心の-中で G1722 ἑαυτῷ, 心の-中で G1438 λέγων, 言って G3004 Τί どう-しよう G5101 ποιήσω, どう-しよう G4160

ὅτι 積み上げる-場所が-ない G3754 οὐκ ない G3756 ἔχω 持って-いない G2192 ποῦ どこに G4226 συνάξω 集めようか G4863 τοὺς わたしの G3588 καρπούς 収穫を G2590 μου? わたしの G1473

そこで彼は心の中で、『どうしようか、わたしの作物をしまっておく所がないのだが』と思いめぐらして

18 καὶ そして G2532 εἶπεν, 言った G3004 Τοῦτο こう-しよう G3778 ποιήσω: こう-しよう G4160 καθελῶ 取り壊そう G2507 μου わたしの G1473 τὰς 倉を G3588 ἀποθήκας, 倉を G0596 καὶ そして G2532

μείζονας もっと-大きな G3173 οἰκοδομήσω, 倉を-建てよう G3618 καὶ そして G2532 συνάξω そこに-集めよう G4863 ἐκεῖ そこに G1563 πάντα すべての G3956 τὸν わたしの G3588 σῖτον, 穀物と G4621 καὶ そして G2532

τὰ わたしの G3588 ἀγαθά 財産を G0018 μου. わたしの G1473

言った、『こうしよう。わたしの倉を取りこわし、もっと大きいのを建てて、そこに穀物や食糧を全部しまい込もう。

19 καὶ ἐρῶ τῇ ψυχῇ μου, Ψυχή, ἔχεις πολλὰ ἀγαθὰ
そして 言おう わたしの 魂に わたしの 魂よ おまえは-持って-いる 多くの 良い-ものを
G2532 G2046 G3588 G5590 G1473 G5590 G2192 G4183 G0018

κείμενα εἰς ἔτη πολλά; ἀναπαύου; φάγε, πίε, εὐφραίνου.
蓄えて-ある 何年もの 何年もの 何年もの 休みなさい 食べなさい 飲みなさい 楽しみなさい
G2749 G1519 G2094 G4183 G0373 G5315 G4095 G2165

そして自分の魂に言おう。たましいよ、おまえには長年分の食糧がたくさんたくわえてある。さあ安心せよ、食え、飲め、楽しめ』。

20 εἶπεν δὲ αὐτῷ ὁ Θεός, Ἄφρων, ταύτῃ τῇ νυκτὶ, τὴν
しかし-言われた しかし 彼に 神は 神は 愚か者よ 今夜 今夜 今夜 おまえの
G3004 G1161 G0846 G3588 G2316 G0878 G3778 G3588 G3571 G3588

ψυχήν σου ἀπαιτοῦσιν ἀπὸ σοῦ; ἃ δὲ
魂は おまえの 取り立てられる おまえから おまえから おまえが-用意した-ものは そして
G5590 G4771 G0523 G0575 G4771 G3739 G1161

ἡτοίμασας, τίνι ἔσται?
用意した-ものは だれの-ものに なるのか
G2090 G5101 G1510

すると神が彼に言われた、『愚かな者よ、あなたの魂は今夜のうちにも取り去られるであろう。そしたら、あなたが用意した物は、だれのものになるのか』。

21 οὕτως ὁ θησαυρίζων ἑαυτῷ, καὶ μὴ εἰς
このように 自分の-ために 宝を-蓄えても 自分の-ために 神に-対して 富まない-者は 神に-対して
G3779 G3588 G2343 G1438 G2532 G3361 G1519

Θεὸν πλουτῶν.
神に-対して 富まない-者は
G2316 G4147

自分のために宝を積んで神に対して富まない者は、これと同じである」。

22 Εἶπεν δὲ πρὸς τοὺς μαθητὰς αὐτοῦ, Διὰ τοῦτο λέγω
言われた そして 弟子たちに 弟子たちに 弟子たちに 自分の だから だから わたしは-言う
G3004 G1161 G4314 G3588 G3101 G0846 G1223 G3778 G3004

ὑμῖν, μὴ μεριμνᾶτε τῇ ψυχῇ, τί φάγητε, μηδὲ
あなたがたに 思い煩うな 思い煩うな 命に-ついて 命に-ついて 何を 食べようかと また
G4771 G3361 G3309 G3588 G5590 G5101 G5315 G3366

τῷ σώματι (ὑμῶν), τί ἐνδύσησθε.
体に-ついて 体に-ついて あなたがたの 何を 着ようかと
G3588 G4983 G4771 G5101 G1746

それから弟子たちに言われた、「それだから、あなたがたに言っておく。何を食べようかと、命のことで思いわずらい、何を着ようかとからだのことで思いわずらうな。

23 ἡ γὰρ ψυχὴ πλεῖόν ἐστιν τῆς τροφῆς, καὶ
命は なぜなら 命は 食べ物よりも-大切で 大切で-あり 食べ物よりも 食べ物よりも また
G3588 G1063 G5590 G4119 G1510 G3588 G5160 G2532

τὸ σῶμα τοῦ ἐνδύματος.
体は 体は 着物よりも 着物よりも
G3588 G4983 G3588 G1742

命は食物にまさり、からだは着物にまさっている。

24 κατανοήσατε 考えて–みなさい G2657 τοὺς 烏を G3588 κόρακας, 烏を G2876 ὅτι 彼らは G3754 οὐ 種を–まかず G3756 σπείρουσιν, 種を–まかず G4687 οὐδὲ 刈り–入れも–しない G3761

θερίζουσιν, 刈り–入れも–しない G2325 οἷς 納屋も G3739 οὐκ 倉も G3756 ἔστιν ない G1510 ταμεῖον, 納屋も G5009 οὐδὲ 倉も G3761 ἀποθήκη, 倉も–ない G0596 καὶ それでも G2532 ὁ 神は G3588 Θεὸς 神は G2316

τρέφει 養って–くださる G5142 αὐτούς. 彼らを G0846 πόσῳ あなたがたは–はるかに G4214 μᾶλλον はるかに G3123 ὑμεῖς あなたがたは G4771 διαφέρετε 優れて–いる G1308 τῶν 鳥よりも G3588

πετεινῶν! 鳥よりも G4071

からすのことを考えて見よ。まくことも、刈ることもせず、また、納屋もなく倉もない。それだのに、神は彼らを養っていて下さる。あなたがたは鳥よりも、はるかにすぐれているではないか。

25 τίς あなたがたの–中で G5101 δὲ だれが G1161 ἐξ だれが G1537 ὑμῶν, あなたがたの–中で G4771 μεριμνῶν, 思い煩って G3309 δύναται できるのか G1410 ἐπὶ 寿命に G1909 τὴν 寿命に G3588

ἡλικίαν 寿命に G2244 αὐτοῦ 自分の G0846 προσθεῖναι 加えることが G4369 πῆχυν? –キュビトでも G4083

あなたがたのうち、だれが思いわずらったからとて、自分の寿命をわずかでも延ばすことができようか。

26 εἰ だから G1487 οὖν だから G3767 οὐδὲ 最も–小さなことさえ G3761 ἐλάχιστον 最も–小さなことさえ G1646 δύνασθε, できないのに G1410 τί なぜ G5101 περὶ 残りの–ことを G4012

τῶν 残りの G3588 λοιπῶν 残りの–ことを G3062 μεριμνᾶτε? 思い煩うのか G3309

そんな小さな事さえできないのに、どうしてほかのことを思いわずらうのか。

27 κατανοήσατε 考えて–みなさい G2657 τὰ 野の G3588 κρίνα, 百合を G2918 πῶς どのように G4459 ‹αὐξάνει; 育つか G0837 οὐ 労苦も–せず G3756 κοπιᾷ, 労苦も–せず G2872 οὐδὲ 紡ぎも–しない G3761

νήθει›; 紡ぎも–しない G3514 λέγω わたしは–言う G3004 δὲ しかし G1161 ὑμῖν, あなたがたに G4771 οὐδὲ ソロモンでさえ G3761 Σολομὼν ソロモンでさえ G4672 ἐν その G1722 πάσῃ すべての G3956

τῇ その G3588 δόξῃ 栄光の–中でも G1391 αὐτοῦ, ソロモンの G0846 περιεβάλετο 装わなかった G4016 ὡς これらの–一つほどにも G5613 ἓν 一つ G1520 τούτων. これらの–一つほどにも G3778

野の花のことを考えて見るがよい。紡ぎもせず、織りもしない。しかし、あなたがたに言うが、栄華をきわめた時のソロモンでさえ、この花の一つほどにも着飾ってはいなかった。

28 εἰ δὲ ἐν ἀγρῷ τὸν χόρτον, ὄντα σήμερον, καὶ αὔριον
しかし もし 野の 野の 草を 草を 今日-あって 今日-あって 明日は 明日は
G1487 G1161 G1722 G0068 G3588 G5528 G1510 G4594 G2532 G0839

εἰς κλίβανον βαλλόμενον, ὁ Θεὸς οὕτως ἀμφιέζει, πόσῳ
炎の-中に 炎の-中に 投げ-入れられるのに 神は 神は このように 装って-くださる まして
G1519 G2823 G0906 G3588 G2316 G3779 G0294 G4214

μᾶλλον ὑμᾶς, ὀλιγόπιστοι?
まして あなたがたは-なおさら 信仰の-薄い-者よ
G3123 G4771 G3640

きょうは野にあって、あすは炉に投げ入れられる草でさえ、神はこのように装って下さるのなら、あなたがたに、それ以上よくしてくださらないはずがあろうか。ああ、信仰の薄い者たちよ。

29 καὶ ὑμεῖς μὴ ζητεῖτε τί φάγητε, καὶ τί πίητε, καὶ
だから あなたがたは 求めるな 求めるな 何を 食べようか また 何を 飲もうかと そして
G2532 G4771 G3361 G2212 G5101 G5315 G2532 G5101 G4095 G2532

μὴ μετεωρίζεσθε;
思い-悩むな 思い-悩むな
G3361 G3349

あなたがたも、何を食べ、何を飲もうかと、あくせくするな、また気を使うな。

30 ταῦτα γὰρ πάντα τὰ ἔθνη τοῦ κόσμου ἐπιζητοῦσιν;
これらは なぜなら すべて この-世の 異邦人が この-世の この-世の 求める-ものだ
G3778 G1063 G3956 G3588 G1484 G3588 G2889 G1934

ὑμῶν δὲ ὁ Πατὴρ οἶδεν ὅτι χρῄζετε τούτων.
あなたがたの 父は 父は 父は 知って-おられる あなたがたが 必要と-して-いることを これらを
G4771 G1161 G3588 G3962 G1492 G3754 G5535 G3778

これらのものは皆、この世の異邦人が切に求めているものである。あなたがたの父は、これらのものがあなたがたに必要であることを、ご存じである。

31 πλὴν ζητεῖτε τὴν βασιλείαν αὐτοῦ, καὶ ταῦτα προστεθήσεται
ただ 求めなさい 神の 国を 神の そうすれば これらは 加えて-与えられる
G4133 G2212 G3588 G0932 G0846 G2532 G3778 G4369

ὑμῖν.
あなたがたに
G4771

ただ、御国を求めなさい。そうすれば、これらのものは添えて与えられるであろう。

32 Μὴ φοβοῦ, τὸ μικρὸν ποίμνιον, ὅτι εὐδόκησεν ὁ Πατὴρ
恐れるな 恐れるな 小さな 小さな 群れよ あなたがたの 喜んで-くださる 父は 父は
G3361 G5399 G3588 G3398 G4168 G3754 G2106 G3588 G3962

ὑμῶν, δοῦναι ὑμῖν τὴν βασιλείαν.
あなたがたの 与えることを あなたがたに 御国を 御国を
G4771 G1325 G4771 G3588 G0932

恐れるな、小さい群れよ。御国を下さることは、あなたがたの父のみこころなのである。

33 Πωλήσατε τὰ ὑπάρχοντα ὑμῶν, καὶ δότε ἐλεημοσύνην;
売りなさい あなたがたの 持ち物を あなたがたの そして 施しなさい 施しを
G4453 G3588 G5225 G4771 G2532 G1325 G1654

ποιήσατε ἑαυτοῖς βαλλάντια μὴ παλαιούμενα,
作りなさい 自分たちの–ために 古く–ならない–財布を 古く–ならない 古く–ならない
G4160 G1438 G0905 G3361 G3822

θησαυρὸν ἀνέκλειπτον ἐν τοῖς οὐρανοῖς, ὅπου κλέπτης οὐκ
尽きることの–ない–宝を 尽きることの–ない 天に 天に 天に そこでは 盗人も 近づかず
G2344 G0413 G1722 G3588 G3772 G3699 G2812 G3756

ἐγγίζει, οὐδὲ σὴς διαφθείρει.
近づかず 虫も 虫も 食い–荒らさない
G1448 G3761 G4597 G1311

自分の持ち物を売って、施しなさい。自分のために古びることのない財布をつくり、盗人も近寄らず、虫も食い破らない天に、尽きることのない宝をたくわえなさい。

34 ὅπου γάρ ἐστιν ὁ θησαυρὸς ὑμῶν, ἐκεῖ καὶ ἡ
なぜなら なぜなら ある あなたがたの 宝が あなたがたの そこに また あなたがたの
G3699 G1063 G1510 G3588 G2344 G4771 G1563 G2532 G3588

καρδία ὑμῶν ἔσται.
心も あなたがたの ある
G2588 G4771 G1510

あなたがたの宝のある所には、心もあるからである。

35 Ἔστωσαν ὑμῶν αἱ ὀσφύες περιεζωσμέναι, καὶ οἱ
帯を–締めて–いなさい あなたがたの 腰に 腰に 帯を–締めて そして ともしびを
G1510 G4771 G3588 G3751 G4024 G2532 G3588

λύχνοι καιόμενοι;
ともしびを 燈して–おきなさい
G3088 G2545

腰に帯をしめ、あかりをともしていなさい。

36 καὶ ὑμεῖς, ὅμοιοι ἀνθρώποις προσδεχομένοις τὸν κύριον ἑαυτῶν,
そして あなたがたは 似て–いなさい 待つ–人々に 待って–いる 自分の 主人を 自分たちの
G2532 G4771 G3664 G0444 G4327 G3588 G2962 G1438

πότε ἀναλύσῃ ἐκ τῶν γάμων, ἵνα ἐλθόντος καὶ
いつ 婚宴から–帰って–来るかを 婚宴から 婚宴から 婚宴から 主人が–来て 来て そして
G4219 G0360 G1537 G3588 G1062 G2443 G2064 G2532

κρούσαντος, εὐθέως ἀνοίξωσιν αὐτῷ.
叩いたら すぐに 開ける–ように 主人に
G2925 G2112 G0455 G0846

主人が婚宴から帰ってきて戸をたたくとき、すぐあけてあげようと待っている人のようにしていなさい。

37 μακάριοι οἱ δοῦλοι ἐκεῖνοι, οὓς ἐλθὼν, ὁ κύριος εὑρήσει
幸いだ その 僕たちは その 主人が–来た–時に 来た 主人が 主人が 見出す
G3107 G3588 G1401 G1565 G3739 G2064 G3588 G2962 G2147

γρηγοροῦντας. ἀμὴν λέγω ὑμῖν, ὅτι περιζώσεται καὶ
目を–覚まして–いるのを まことに わたしは–言う あなたがたに 主人は–自ら 帯を–締めて そして
G1127 G0281 G3004 G4771 G3754 G4024 G2532

ἀνακλινεῖ αὐτοὺς, καὶ παρελθὼν, διακονήσει αὐτοῖς.
食卓に–着かせ 彼らを そして 近づいて–来て 給仕する 彼らに
G0347 G0846 G2532 G3928 G1247 G0846

主人が帰ってきたとき、目を覚しているのを見られる僕たちは、さいわいである。よく言っておく。主人が帯をしめて僕たちを食卓につかせ、進み寄って給仕をしてくれるであろう。

38 κἂν ἐν τῇ δευτέρᾳ κἂν ἐν τῇ τρίτῃ φυλακῇ ἔλθῃ,
たとえ 第二の 第二の 第二の たとえ 第三の 第三の 第三の 夜警の–時に 来ても
G2579 G1722 G3588 G1208 G2579 G1722 G3588 G5154 G5438 G2064

καὶ εὕρῃ οὕτως, μακάριοί εἰσιν ἐκεῖνοι!
見出すなら 見出すなら そのように 幸いだ 幸いだ その–僕たちは
G2532 G2147 G3779 G3107 G1510 G1565

主人が夜中ごろ、あるいは夜明けごろに帰ってきても、そうしているのを見られるなら、その人たちはさいわいである。

39 τοῦτο δὲ γινώσκετε, ὅτι εἰ ᾔδει ὁ οἰκοδεσπότης ποίᾳ
しかし–これを しかし 知りなさい もし もし 知って–いたなら 家の 主人が 何時に
G3778 G1161 G1097 G3754 G1487 G1492 G3588 G3617 G4169

ὥρᾳ ὁ κλέπτης ἔρχεται, (ἐγρηγόρησεν) οὐκ ἂν,
何時に 盗人が 盗人が 来るかを 目を–覚まして–いただろう 許さなかった–だろう 許さなかった
G5610 G3588 G2812 G2064 G1127 G3756 G0302

(καὶ) ἀφῆκεν διορυχθῆναι τὸν οἶκον αὐτοῦ.
そして 許さなかった–だろう 破り–入られることを 自分の 家が 自分の
G2532 G0863 G1358 G3588 G3624 G0846

このことを、わきまえているがよい。家の主人は、盗賊がいつごろ来るかわかっているなら、自分の家に押し入らせはしないであろう。

40 καὶ ὑμεῖς γίνεσθε ἕτοιμοι; ὅτι ᾗ ὥρᾳ
だから あなたがたも 備えて–いなさい 備えて–いなさい なぜなら 思わない–時に 思わない–時に
G2532 G4771 G1096 G2092 G3754 G3739 G5610

οὐ δοκεῖτε, ὁ Υἱὸς τοῦ ἀνθρώπου ἔρχεται.
思わない–時に 思わない–時に 人の 子は 人の 人の 来る
G3756 G1380 G3588 G5207 G3588 G0444 G2064

あなたがたも用意していなさい。思いがけない時に人の子が来るからである」。

41 Εἶπεν δὲ ὁ Πέτρος, Κύριε, πρὸς ἡμᾶς τὴν παραβολὴν
そこで–言った そこで ペテロが ペテロが 主よ 私たちに 私たちに この たとえを
G3004 G1161 G3588 G4074 G2962 G4314 G1473 G3588 G3850

ταύτην λέγεις, ἢ καὶ πρὸς πάντας?
この 話して–おられるのか それとも すべての–人にも すべての 人にも
G3778 G3004 G2228 G2532 G4314 G3956

するとペテロが言った、「主よ、この譬を話しておられるのはわたしたちのためなのですか。それとも、みんなの者のためなのですか」。

42 καὶ そこで G2532 | εἶπεν 主は–言われた G3004 | ὁ 主は G3588 | Κύριος, 主は G2962 | Τίς では–だれが G5101 | ἄρα いったい G0686 | ἐστὶν 忠実で G1510 | ὁ 忠実で G3588 | πιστὸς 賢い G4103

οἰκονόμος 管理人なのか G3623 | ὁ その G3588 | φρόνιμος, 賢い G5429 | ὃν 主人が G3739 | καταστήσει 立てた G2525 | ὁ 主人が G3588 | κύριος 主人が G2962 | ἐπὶ 自分の–家の G1909 | τῆς 家の G3588

θεραπείας 召使いたちの–上に G2322 | αὐτοῦ, 自分の G0846 | τοῦ 時に–かなって G3588 | διδόναι 与える G1325 | ἐν 時に–かなって G1722 | καιρῷ 時に–かなって G2540 | τὸ 食糧を G3588

σιτομέτριον? 食糧を G4620

そこで主が言われた、「主人が、召使たちの上に立てて、時に応じて定めの食事をそなえさせる忠実な思慮深い家令は、いったいだれであろう。

43 μακάριος 幸いだ G3107 | ὁ その G3588 | δοῦλος 僕は G1401 | ἐκεῖνος その G1565 | ὃν 主人が–来た–時に G3739 | ἐλθὼν, 来た G2064 | ὁ 主人が G3588 | κύριος 主人が G2962 | αὐτοῦ 自分の G0846

εὑρήσει 見出す G2147 | ποιοῦντα そのように–して–いるのを G4160 | οὕτως. そのように–して–いるのを G3779

主人が帰ってきたとき、そのようにつとめているのを見られる僕は、さいわいである。

44 ἀληθῶς まことに G0230 | λέγω わたしは–言う G3004 | ὑμῖν, あなたがたに G4771 | ὅτι すべての G3754 | ἐπὶ すべての G1909 | πᾶσιν すべての G3956 | τοῖς 自分の G3588 | ὑπάρχουσιν 財産の–上に G5225

αὐτοῦ 自分の G0846 | καταστήσει 立てる G2525 | αὐτόν. 彼を G0846

よく言っておくが、主人はその僕を立てて自分の全財産を管理させるであろう。

45 ἐὰν しかし–もし G1437 | δὲ しかし G1161 | εἴπῃ 言うなら G3004 | ὁ その G3588 | δοῦλος 僕が G1401 | ἐκεῖνος, その G1565 | ἐν 心の–中で G1722 | τῇ 心の G3588 | καρδίᾳ 心の–中で G2588 | αὐτοῦ, 自分の G0846

Χρονίζει 主人の–帰りが–遅いと G5549 | ὁ 主人の G3588 | κύριός 主人の G2962 | μου わたしの G1473 | ἔρχεσθαι, 帰りが–遅いと G2064 | καὶ そして G2532 | ἄρξηται 始めるなら G0756 | τύπτειν 打つことを G5180

τοὺς 男の–僕や G3588 | παῖδας 男の–僕や G3816 | καὶ そして G2532 | τὰς 女の–僕を G3588 | παιδίσκας, 女の–僕を G3814 | ἐσθίειν 食べ G2068 | τε そして G5037 | καὶ そして G2532 | πίνειν 飲み G4095 | καὶ そして G2532

μεθύσκεσθαι, 酔うなら G3182

しかし、もしその僕が、主人の帰りがおそいと心の中で思い、男女の召使たちを打ちたたき、そして食べたり、飲んだりして酔いはじめるならば、

46

ἥξει	ὁ	κύριος	τοῦ	δούλου	ἐκείνου	ἐν	ἡμέρᾳ	ᾗ	οὐ	προσδοκᾷ,	καὶ
来る	その	主人が	その	僕の	その	思わない–日に	日に	思わない	知らない–時に	思わない	そして
G2240	G3588	G2962	G3588	G1401	G1565	G1722	G2250	G3739	G3756	G4328	G2532

ἐν	ὥρᾳ	ᾗ	οὐ	γινώσκει,	καὶ	διχοτομήσει	αὐτὸν,	καὶ	τὸ
知らない–時に	時に	知らない	知らない	知らない–時に	そして	彼を–切り裂き	彼を	そして	彼の–分け前を
G1722	G5610	G3739	G3756	G1097	G2532	G1371	G0846	G2532	G3588

μέρος	αὐτοῦ	μετὰ	τῶν	ἀπίστων	θήσει.
分け前を	彼の	不忠実な–者たちと–同じに–する	不忠実な	不忠実な–者たちと	同じに–する
G3313	G0846	G3326	G3588	G0571	G5087

その僕の主人は思いがけない日、気がつかない時に帰って来るであろう。そして、彼を厳罰に処して、不忠実なものたちと同じ目にあわせるであろう。

47

ἐκεῖνος	δὲ	ὁ	δοῦλος	ὁ	γνοὺς	τὸ	θέλημα	τοῦ	κυρίου
その	しかし	主人の–心を	僕で	知って–いながら	知って–いながら	主人の	心を	主人の	主人の
G1565	G1161	G3588	G1401	G3588	G1097	G3588	G2307	G3588	G2962

αὐτοῦ,	καὶ	μὴ	ἑτοιμάσας,	ἢ	ποιήσας	πρὸς	τὸ	θέλημα	αὐτοῦ,
自分の	用意も–せず	用意も–せず	用意も–せず	行わなかった–者は	行わなかった	主人の–心に	主人の	心に–かなうように	主人の
G0846	G2532	G3361	G2090	G2228	G4160	G4314	G3588	G2307	G0846

δαρήσεται	πολλάς;	
多く–打たれる	多く	
G1194	G4183	

主人のこころを知っていながら、それに従って用意もせず勤めもしなかった僕は、多くむち打たれるであろう。

48

ὁ	δὲ	μὴ	γνοὺς,	ποιήσας	δὲ	ἄξια	πληγῶν,
しかし	知らずに	知らずに	知らずに	打たれるに–ふさわしい–ことを–した–者は	しかし	ふさわしい	打たれるに
G3588	G1161	G3361	G1097	G4160	G1161	G0514	G4127

δαρήσεται	ὀλίγας.	παντὶ	δὲ	ᾧ	ἐδόθη	πολύ,	πολὺ
少なく–打たれる	少なく	多く–与えられた–者には	多く	与えられた–者には	与えられた	多く	多く
G1194	G3641	G3956	G1161	G3739	G1325	G4183	G4183

ζητηθήσεται	παρ’	αὐτοῦ;	καὶ	ᾧ	παρέθεντο	πολύ,
求められる	その人から	その人から	そして	多く–委ねられた–者には	委ねられた–者には	多く
G2212	G3844	G0846	G2532	G3739	G3908	G4183

περισσότερον	αἰτήσουσιν	αὐτόν.	
なお–多く	要求される	その人に	
G4053	G0154	G0846	

しかし、知らずに打たれるようなことをした者は、打たれ方が少ないだろう。多く与えられた者からは多く求められ、多く任せられた者からは更に多く要求されるのである。

49

Πῦρ	ἦλθον	βαλεῖν	ἐπὶ	τὴν	γῆν,	καὶ	τί	θέλω	εἰ
火を	わたしは–来た	投げる–ために	地に	地に	地に	そして	どんなにか	願う	もう
G4442	G2064	G0906	G1909	G3588	G1093	G2532	G5101	G2309	G1487

ἤδη	ἀνήφθη?
もう	燃えて–いたらと
G2235	G0381

わたしは、火を地上に投じるためにきたのだ。火がすでに燃えていたならと、わたしはどんなに願っていることか。

50

βάπτισμα	δὲ	ἔχω		βαπτισθῆναι,	καὶ	πῶς
バプテスマを	しかし	わたしは–受けねば–ならない		バプテスマを	そして	どれほど
G0908	G1161	G2192		G0907	G2532	G4459

συνέχομαι	ἕως	ὅτου	τελεσθῇ!
苦しんで–いることか	それが–成し–遂げられる	それが	成し–遂げられる–まで
G4912	G2193	G3755	G5055

しかし、わたしには受けねばならないバプテスマがある。そして、それを受けてしまうまでは、わたしはどんなにか苦しい思いをすることであろう。

51

δοκεῖτε	ὅτι	εἰρήνην	παρεγενόμην	δοῦναι	ἐν	τῇ	γῇ?	οὐχί,
思うか	わたしが	平安を	来たのは	もたらす–ために	地に	地に	地に	いいえ
G1380	G3754	G1515	G3854	G1325	G1722	G3588	G1093	G3780

λέγω	ὑμῖν,	ἀλλ’	ἢ	διαμερισμόν;
わたしは–言う	あなたがたに	むしろ	むしろ	分裂を
G3004	G4771	G0235	G2228	G1267

あなたがたは、わたしが平和をこの地上にもたらすためにきたと思っているのか。あなたがたに言っておく。そうではない。むしろ分裂である。

52

ἔσονται	γὰρ	ἀπὸ	τοῦ	νῦν,	πέντε	ἐν	ἑνὶ	οἴκῳ
これからは	なぜなら	今から	今から	今から	五人が	一つの	一つの	家の–中で
G1510	G1063	G0575	G3588	G3568	G4002	G1722	G1520	G3624

διαμεμερισμένοι,	τρεῖς	ἐπὶ	δυσὶν,	καὶ	δύο	ἐπὶ	τρισίν.
分かれる	三人が	二人に–対し	二人に–対し	そして	二人が	三人に–対する	三人に–対する
G1266	G5140	G1909	G1417	G2532	G1417	G1909	G5140

というのは、今から後は、一家の内で五人が相分れて、三人はふたりに、ふたりは三人に対立し、

53

διαμερισθήσονται	πατὴρ	ἐπὶ	υἱῷ,	καὶ	υἱὸς	ἐπὶ	πατρί,
分かれる	父が	息子に–対し	息子に–対し	息子が	息子が	父に–対し	父に–対し
G1266	G3962	G1909	G5207	G2532	G5207	G1909	G3962

μήτηρ	ἐπὶ	[τὴν]	θυγατέρα,	καὶ	θυγάτηρ	ἐπὶ	τὴν	μητέρα;	πενθερὰ
母が	娘に–対し	娘に	娘に–対し	娘が	娘が	母に–対し	母に	母に–対し	姑が
G3384	G1909	G3588	G2364	G2532	G2364	G1909	G3588	G3384	G3994

ἐπὶ	τὴν	νύμφην	αὐτῆς,	καὶ	νύμφη	ἐπὶ	τὴν	πενθεράν.
嫁に–対し	嫁に	嫁に–対し	自分の	嫁が	嫁が	姑に–対する	姑に	姑に–対する
G1909	G3588	G3565	G0846	G2532	G3565	G1909	G3588	G3994

また父は子に、子は父に、母は娘に、娘は母に、しゅうとめは嫁に、嫁はしゅうとめに、対立するであろう」。

54

Ἔλεγεν	δὲ	καὶ	τοῖς	ὄχλοις,	Ὅταν	ἴδητε	[τὴν]	νεφέλην	ἀνατέλλουσαν
言われた	また	また	群衆にも	群衆にも	西に	見えたら	雲が	雲が	立ち–上るのを
G3004	G1161	G2532	G3588	G3793	G3752	G3708	G3588	G3507	G0393

ἐπὶ	δυσμῶν,	εὐθέως	λέγετε	ὅτι,	Ὄμβρος	ἔρχεται;	καὶ	γίνεται
西に	西に	すぐに	言う	大雨が–来ると	大雨が	来ると	そして	その–とおりに–なる
G1909	G1424	G2112	G3004	G3754	G3655	G2064	G2532	G1096

οὕτως.
その–とおりに–なる
G3779

イエスはまた群衆に対しても言われた、「あなたがたは、雲が西に起るのを見るとすぐ、にわか雨がやって来る、と言う。果してそのとおりになる。

55	καὶ	ὅταν	νότον	πνέοντα,	λέγετε	ὅτι,		Καύσων	ἔσται;	καὶ
	また	南風が	南風が	吹くと	言う	暴風が–来ると		暴風が	来ると	そして
	G2532	G3752	G3558	G4154	G3004	G3754		G2742	G1510	G2532

γίνεται.
その–とおりに–なる
G1096

それから南風が吹くと、暑つくなるだろう、と言う。果してそのとおりになる。

56	ὑποκριταί!	τὸ	πρόσωπον	τῆς	γῆς	καὶ	τοῦ	οὐρανοῦ	οἴδατε
	偽善者よ	地と	外観は	地と	地と	そして	空の	空の	見分けることが–できる
	G5273	G3588	G4383	G3588	G1093	G2532	G3588	G3772	G1492

δοκιμάζειν,	τὸν	καιρὸν	δὲ	τοῦτον,	πῶς	οὐκ	‹οἴδατε›	
見分けることが	この–時を	この–時を	しかし	この	どうして	見分けることが	できないのか	
G1381	G3588	G2540	G1161	G3778	G4459	G3756	G1492	

δοκιμάζειν?
見分けることが
G1381

偽善者よ、あなたがたは天地の模様を見分けることを知りながら、どうして今の時代を見分けることができないのか。

57	Τί	δὲ	καὶ	ἀφ’	ἑαυτῶν,	οὐ	κρίνετε	τὸ
	なぜ	そして	また	自分–自身で	自分–自身で	正しいことを	判断しないのか	正しいことを
	G5101	G1161	G2532	G0575	G1438	G3756	G2919	G3588

δίκαιον?
正しいことを
G1342

また、あなたがたは、なぜ正しいことを自分で判断しないのか。

58	ὡς	γὰρ	ὑπάγεις	μετὰ	τοῦ	ἀντιδίκου	σου
	なぜなら	なぜなら	行く–時に	訴える–者と–共に	訴える–者と	訴える–者と	あなたの
	G5613	G1063	G5217	G3326	G3588	G0476	G4771

ἐπ’	ἄρχοντα,	ἐν	τῇ	ὁδῷ	δὸς	ἐργασίαν
役人の–ところへ	役人の–ところへ	途中で	途中で	道で	努力しなさい	努力しなさい
G1909	G0758	G1722	G3588	G3598	G1325	G2039

ἀπηλλάχθαι	ἀπ’	αὐτοῦ,	μή	ποτε	κατασύρῃ	σε
和解する–ように	彼から	彼から	さもないと	さもないと	引きずり–出される	あなたを
G0525	G0575	G0846	G3361	G4219	G2694	G4771

πρὸς	τὸν	κριτήν,	καὶ	ὁ	κριτής	σε	παραδώσει	τῷ	
裁判官の–前に	裁判官の	裁判官の–前に	そして	裁判官が	裁判官が	あなたを	引き渡す	役人に	
G4314	G3588	G2923	G2532	G3588	G2923	G4771	G3860	G3588	

πράκτορι,	καὶ	ὁ	πράκτωρ	σε	βαλεῖ	εἰς	φυλακήν.	
役人に	そして	役人が	役人が	あなたを	投げ–入れる	牢屋に	牢屋に	
G4233	G2532	G3588	G4233	G4771	G0906	G1519	G5438	

たとえば、あなたを訴える人と一緒に役人のところへ行くときには、途中でその人と和解するように努めるがよい。そうしないと、その人はあなたを裁判官のところへひっぱって行き、裁判官はあなたを獄吏に引き渡し、獄吏はあなたを獄に投げ込むであろう。

59	λέγω	σοι,	οὐ	μὴ	ἐξέλθῃς	ἐκεῖθεν	ἕως	καὶ	τὸ	ἔσχατον
	わたしは–言う	あなたに	決して	決して	出られない	そこから	最後の	最後の	最後の	最後の
	G3004	G4771	G3756	G3361	G1831	G1564	G2193	G2532	G3588	G2078

λεπτὸν	ἀποδῷς.
ーレプタまで	返す–までは
G3016	G0591

わたしは言って置く、最後の一レプタまでも支払ってしまうまでは、決してそこから出て来ることはできない」。

Chapter 13

1	Παρῆσαν	δέ	τινες	ἐν	αὐτῷ	τῷ	καιρῷ,	ἀπαγγέλλοντες	αὐτῷ	περὶ
	来ていた	さて	ある–人々が	その	同じ	その	時に	知らせた	彼に	について
	G3918	G1161	G5100	G1722	G0846	G3588	G2540	G0518	G0846	G4012

τῶν	Γαλιλαίων,	ὧν	τὸ	αἷμα	Πιλᾶτος	ἔμιξεν	μετὰ	τῶν	θυσιῶν
その	ガリラヤ人たちの	その	その	血を	ピラトが	混ぜた	共に	彼らの	いけにえと
G3588	G1057	G3739	G3588	G0129	G4091	G3396	G3326	G3588	G2378

αὐτῶν.	
彼らの	
G0846	

ちょうどその時、ある人々がきて、ピラトがガリラヤ人たちの血を流し、それを彼らの犠牲の血に混ぜたことを、イエスに知らせた。

2	καὶ	ἀποκριθεὶς,	εἶπεν	αὐτοῖς,	Δοκεῖτε	ὅτι	οἱ	Γαλιλαῖοι	οὗτοι,
	そして	答えて	言った	彼らに	思うか	と	この	ガリラヤ人たちが	これらの
	G2532	G0611	G3004	G0846	G1380	G3754	G3588	G1057	G3778

ἁμαρτωλοὶ	παρὰ	πάντας	τοὺς	Γαλιλαίους	ἐγένοντο,	ὅτι	ταῦτα	
罪人であったと	よりも	すべての	その	ガリラヤ人たちより	なったと	なぜなら	これらの–ことを	
G0268	G3844	G3956	G3588	G1057	G1096	G3754	G3778	

πεπόνθασιν?	
苦しんだから	
G3958	

そこでイエスは答えて言われた、「それらのガリラヤ人が、そのような災難にあったからといって、他のすべてのガリラヤ人以上に罪が深かったと思うのか。

3	οὐχί,	λέγω	ὑμῖν;	ἀλλ’	ἐὰν	μὴ	μετανοῆτε,	πάντες	ὁμοίως
	そうではない	言う	あなたがたに	しかし	もし	ない–なら	悔い改める	すべて	同様に
	G3780	G3004	G4771	G0235	G1437	G3361	G3340	G3956	G3668

ἀπολεῖσθε.	
滅びるであろう	
G0622	

あなたがたに言うが、そうではない。あなたがたも悔い改めなければ、みな同じように滅びるであろう。

4 ἢ ἐκεῖνοι οἱ δέκα◡ οκτὼ ἐφ’ οὓς ἔπεσεν ὁ πύργος ἐν
あるいは あの その 十 八人の–上に その 人々に 倒れた その やぐらが の中で
G2228 G1565 G3588 G1176 G3638 G1909 G3739 G4098 G3588 G4444 G1722

τῷ Σιλωὰμ, καὶ ἀπέκτεινεν αὐτούς: δοκεῖτε ὅτι αὐτοὶ ὀφειλέται
その シロアムで そして 殺した 彼らを 思うか と 彼らが 負債者であったと
G3588 G4611 G2532 G0615 G0846 G1380 G3754 G0846 G3781

ἐγένοντο παρὰ πάντας τοὺς ἀνθρώπους τοὺς κατοικοῦντας Ἰερουσαλήμ?
なったと よりも すべての その 人々 その 住んでいる エルサレムに
G1096 G3844 G3956 G3588 G0444 G3588 G2730 G2419

また、シロアムの塔が倒れたためにおし殺されたあの十八人は、エルサレムの他の全住民以上に罪の負債があったと思うか。

5 οὐχί, λέγω ὑμῖν; ἀλλ’ ἐὰν μὴ μετανοῆτε, πάντες ὡσαύτως
そうではない 言う あなたがたに しかし もし ない–なら 悔い改める すべて 同様に
G3780 G3004 G4771 G0235 G1437 G3361 G3340 G3956 G5615

ἀπολεῖσθε.
滅びるであろう
G0622

あなたがたに言うが、そうではない。あなたがたも悔い改めなければ、みな同じように滅びるであろう」。

6 Ἔλεγεν δὲ ταύτην τὴν παραβολήν: συκῆν εἶχέν τις
語った そして この その たとえを いちじくの–木を 持っていた ある–人が
G3004 G1161 G3778 G3588 G3850 G4808 G2192 G5100

πεφυτευμένην ἐν τῷ ἀμπελῶνι αὐτοῦ; καὶ ἦλθεν ζητῶν καρπὸν ἐν
植えられた の中に 自分の ぶどう園に 彼の そして 来て 求めた 実を その中に
G5452 G1722 G3588 G0290 G0846 G2532 G2064 G2212 G2590 G1722

αὐτῇ, καὶ οὐχ εὗρεν.
それに しかし なかった 見つけ
G0846 G2532 G3756 G2147

それから、この譬を語られた、「ある人が自分のぶどう園にいちじくの木を植えて置いたので、実を捜しにきたが見つからなかった。

7 εἶπεν δὲ πρὸς τὸν ἀμπελουργόν, Ἰδοὺ, τρία ἔτη ἀφ’ οὗ ἔρχομαι
言った そこで に その 園丁に 見よ 三 年 から その 来ている
G3004 G1161 G4314 G3588 G0289 G3708 G5140 G2094 G0575 G3739 G2064

ζητῶν καρπὸν ἐν τῇ συκῇ ταύτῃ, καὶ οὐχ εὑρίσκω. ἔκκοψον
求めて 実を この その いちじくの–木に この しかし なかった 見つけ 切り倒せ
G2212 G2590 G1722 G3588 G4808 G3778 G2532 G3756 G2147 G1581

[οὖν] αὐτήν, ἵνα◡ τί καὶ τὴν γῆν καταργεῖ?
それゆえ これを なぜ また さえも この 土地を 無駄にするのか
G3767 G0846 G2443 G5101 G2532 G3588 G1093 G2673

そこで園丁に言った、『わたしは三年間も実を求めて、このいちじくの木のところにきたのだが、いまだに見あたらない。その木を切り倒してしまえ。なんのために、土地をむだにふさがせて置くのか』。

8 ὁ δὲ ἀποκριθεὶς, λέγει αὐτῷ, Κύριε, ἄφες αὐτὴν καὶ
その しかし 答えて 言った 彼に 主よ そのままに–してください それを も
G3588 G1161 G0611 G3004 G0846 G2962 G0863 G0846 G2532

τοῦτο τὸ ἔτος, ἕως ὅτου σκάψω περὶ αὐτὴν, καὶ βάλω κόπρια,
この その 年も まで その 掘って 周りを それの そして 入れましょう 肥料を
G3778 G3588 G2094 G2193 G3755 G4626 G4012 G0846 G2532 G0906 G2874

すると園丁は答えて言った、『ご主人様、ことしも、そのままにして置いてください。そのまわりを掘って肥料をやって見ますから。

9 κἂν μὲν ποιήσῃ καρπὸν, εἰς τὸ μέλλον; εἰ δὲ μή ¦γε,
もし そうして 実を–結ぶなら 実を 次の その 年に もし しかし 結ばないなら
G2579 G3303 G4160 G2590 G1519 G3588 G3195 G1487 G1161 G1490

ἐκκόψεις αὐτήν.
切り倒すが–よい それを
G1581 G0846

それで来年実がなりましたら結構です。もしそれでもだめでしたら、切り倒してください』」。

10 ῏Ην δὲ διδάσκων ἐν μιᾷ τῶν συναγωγῶν ἐν τοῖς σάββασιν.
さて そして 教えておられた で ある の 会堂で の その 安息日に
G1510 G1161 G1321 G1722 G1520 G3588 G4864 G1722 G3588 G4521

安息日に、ある会堂で教えておられると、

11 καὶ ἰδοὺ, γυνὴ πνεῦμα ἔχουσα ἀσθενείας, ἔτη δέκα ◡ οκτώ. καὶ
すると 見よ ある–女が 霊に 取りつかれ 病気の 年 十 八 そして
G2532 G3708 G1135 G4151 G2192 G0769 G2094 G1176 G3638 G2532

ἦν συνκύπτουσα καὶ μὴ δυναμένη ἀνακύψαι εἰς τὸ
いた 腰が–曲がって そして なかった できなかった まっすぐに–なることが 全く その
G1510 G4794 G2532 G3361 G1410 G0352 G1519 G3588

παντελές.
完全に
G3838

そこに十八年間も病気の霊につかれ、かがんだままで、からだを伸ばすことの全くできない女がいた。

12 ἰδὼν δὲ αὐτὴν, ὁ Ἰησοῦς προσεφώνησεν καὶ εἶπεν αὐτῇ, Γύναι,
見て そして 彼女を その イエスは 呼び寄せて そして 言った 彼女に 女よ
G3708 G1161 G0846 G3588 G2424 G4377 G2532 G3004 G0846 G1135

ἀπολέλυσαι τῆς ἀσθενείας σου.
解放された あなたの 病気から あなたの
G0630 G3588 G0769 G4771

イエスはこの女を見て、呼びよせ、「女よ、あなたの病気はなおった」と言って、

13 καὶ ἐπέθηκεν αὐτῇ τὰς χεῖρας, καὶ παραχρῆμα ἀνωρθώθη, καὶ
そして 置いた 彼女に その 手を すると たちまち まっすぐに–なった そして
G2532 G2007 G0846 G3588 G5495 G2532 G3916 G0461 G2532

ἐδόξαζεν τὸν Θεόν.
ほめたたえた その 神を
G1392 G3588 G2316

手をその上に置かれた。すると立ちどころに、そのからだがまっすぐになり、そして神をたたえはじめた。

14 ἀποκριθεὶς δὲ ὁ ἀρχισυνάγωγος, ἀγανακτῶν ὅτι τῷ σαββάτῳ
答えて しかし その 会堂長は 憤って なぜなら その 安息日に
G0611 G1161 G3588 G0752 G0023 G3754 G3588 G4521

ἐθεράπευσεν ὁ Ἰησοῦς, ἔλεγεν τῷ ὄχλῳ, ὅτι Ἓξ ἡμέραι εἰσὶν, ἐν
いやした その イエスが 言った その 群衆に と 六 日 ある その中で
G2323 G3588 G2424 G3004 G3588 G3793 G3754 G1803 G2250 G1510 G1722

αἷς δεῖ ἐργάζεσθαι; ἐν αὐταῖς οὖν ἐρχόμενοι θεραπεύεσθε, καὶ
それらの すべき 働く その-日に それらの だから 来て いやされよ そして
G3739 G1163 G2038 G1722 G0846 G3767 G2064 G2323 G2532

μὴ τῇ ἡμέρᾳ τοῦ σαββάτου.
ではなく その 安息日に その 安息の
G3361 G3588 G2250 G3588 G4521

ところが会堂司は、イエスが安息日に病気をいやされたことを憤り、群衆にむかって言った、「働くべき日は六日ある。その間に、なおしてもらいにきなさい。安息日にはいけない」。

15 ἀπεκρίθη δὲ αὐτῷ ὁ Κύριος, καὶ εἶπεν, Ὑποκριταί! ἕκαστος
答えた そこで 彼に その 主は そして 言った 偽善者たちよ それぞれ
G0611 G1161 G0846 G3588 G2962 G2532 G3004 G5273 G1538

ὑμῶν τῷ σαββάτῳ οὐ λύει τὸν βοῦν αὐτοῦ, ἢ τὸν ὄνον,
あなたがたの その 安息日に ない-か 解く 自分の 牛を 自分の または 自分の ろばを
G4771 G3588 G4521 G3756 G3089 G3588 G1016 G0846 G2228 G3588 G3688

ἀπὸ τῆς φάτνης, καὶ ἀπαγαγὼν ποτίζει?
から その 飼い葉桶から そして 連れ出して 水を-飲ませるのか
G0575 G3588 G5336 G2532 G0520 G4222

主はこれに答えて言われた、「偽善者たちよ、あなたがたはだれでも、安息日であっても、自分の牛やろばを家畜小屋から解いて、水を飲ませに引き出してやるではないか。

16 ταύτην δὲ, θυγατέρα Ἀβραὰμ οὖσαν, ἣν ἔδησεν ὁ Σατανᾶς,
この-者を しかし アブラハムの-娘を アブラハムの である この 縛った その サタンが
G3778 G1161 G2364 G0011 G1510 G3739 G1210 G3588 G4567

ἰδοὺ, δέκα καὶ ὀκτὼ ἔτη, οὐκ ἔδει λυθῆναι ἀπὸ τοῦ δεσμοῦ
見よ 十 と 八 年も ない-べき-か べきで-あった 解かれる から この 束縛
G3708 G1176 G2532 G3638 G2094 G3756 G1163 G3089 G0575 G3588 G1199

τούτου τῇ ἡμέρᾳ τοῦ σαββάτου?
この その 安息日に の 安息の
G3778 G3588 G2250 G3588 G4521

それなら、十八年間もサタンに縛られていた、アブラハムの娘であるこの女を、安息日であっても、その束縛から解いてやるべきではなかったか」。

17 καὶ ταῦτα λέγοντος αὐτοῦ, κατῃσχύνοντο πάντες οἱ ἀντικείμενοι
そして これらの-ことを 言われると 彼の 恥じ入った すべての その 反対する-者たちは
G2532 G3778 G3004 G0846 G2617 G3956 G3588 G0480

αὐτῷ; καὶ πᾶς ὁ ὄχλος ἔχαιρεν ἐπὶ πᾶσιν τοῖς ἐνδόξοις τοῖς
彼に そして すべての その 群衆は 喜んだ に-ついて すべての その 栄光ある その
G0846 G2532 G3956 G3588 G3793 G5463 G1909 G3956 G3588 G1741 G3588

γινομένοις ὑπ’ αὐτοῦ.
なされた によって 彼の
G1096 G5259 G0846

こう言われたので、イエスに反対していた人たちはみな恥じ入った。そして群衆はこぞって、イエスがなされたすべてのすばらしいみわざを見て喜んだ。

18 Ἔλεγεν οὖν, Τίνι ὁμοία ἐστὶν ἡ βασιλεία τοῦ Θεοῦ? καὶ τίνι
言った それゆえ 何に 似ている だろうか その 神の–国は その 神の そして 何に
G3004 G3767 G5101 G3664 G1510 G3588 G0932 G3588 G2316 G2532 G5101

ὁμοιώσω αὐτήν?
たとえよう それを
G3666 G0846

そこで言われた、「神の国は何に似ているか。またそれを何にたとえようか。

19 ὁμοία ἐστὶν κόκκῳ σινάπεως, ὃν λαβὼν, ἄνθρωπος ἔβαλεν εἰς
似ている だろうか からし種に からしの それを 取って 人が まいた の中に
G3664 G1510 G2848 G4615 G3739 G2983 G0444 G0906 G1519

κῆπον ἑαυτοῦ; καὶ ηὔξησεν καὶ ἐγένετο εἰς δένδρον, καὶ τὰ
自分の–庭に 自分の すると 育って そして なった の 大きな–木に そして その
G2779 G1438 G2532 G0837 G2532 G1096 G1519 G1186 G2532 G3588

πετεινὰ τοῦ οὐρανοῦ κατεσκήνωσεν ἐν τοῖς κλάδοις αὐτοῦ.
空の–鳥が その 空の 宿った その その 枝に その
G4071 G3588 G3772 G2681 G1722 G3588 G2798 G0846

一粒のからし種のようなものである。ある人がそれを取って庭にまくと、育って木となり、空の鳥もその枝に宿るようになる」。

20 Καὶ πάλιν εἶπεν, Τίνι ὁμοιώσω τὴν βασιλείαν τοῦ Θεοῦ?
また 再び 言った 何に たとえよう その 神の–国を その 神の
G2532 G3825 G3004 G5101 G3666 G3588 G0932 G3588 G2316

また言われた、「神の国を何にたとえようか。

21 ὁμοία ἐστὶν ζύμῃ, ἣν λαβοῦσα, γυνὴ ἔκρυψεν εἰς ἀλεύρου
似ている だろうか パン種に それを 取って 女が 混ぜた の中に 粉の
G3664 G1510 G2219 G3739 G2983 G1135 G2928 G1519 G0224

σάτα τρία, ἕως οὗ ἐζυμώθη ὅλον.
三サトンの 三 まで ついに ふくらんだ 全体が
G4568 G5140 G2193 G3739 G2220 G3650

パン種のようなものである。女がそれを取って三斗の粉の中に混ぜると、全体がふくらんでくる」。

22 Καὶ διεπορεύετο κατὰ πόλεις καὶ κώμας, διδάσκων, καὶ πορείαν
そして 通り過ぎていた の 町々 や 村々を 教えながら そして 旅を
G2532 G1279 G2596 G4172 G2532 G2968 G1321 G2532 G4197

ποιούμενος εἰς Ἱεροσόλυμα.
しながら に–向かって エルサレムに
G4160 G1519 G2414

さてイエスは教えながら町々村々を通り過ぎ、エルサレムへと旅を続けられた。

23 Εἶπεν δέ τις αὐτῷ, Κύριε, εἰ ὀλίγοι οἱ σῳζόμενοι? ὁ
言った すると ある–人が 彼に 主よ か 少ない–のですか その 救われる–者は その
G3004 G1161 G5100 G0846 G2962 G1487 G3641 G3588 G4982 G3588

δὲ εἶπεν πρὸς αὐτούς,
そこで 言った に–向かって 彼らに
G1161 G3004 G4314 G0846

すると、ある人がイエスに、「主よ、救われる人は少ないのですか」と尋ねた。

24 Ἀγωνίζεσθε εἰσελθεῖν διὰ τῆς στενῆς θύρας; ὅτι πολλοί, λέγω
努めよ 入るために を–通って その 狭い 門から なぜなら 多くの–者が 言う
G0075 G1525 G1223 G3588 G4728 G2374 G3754 G4183 G3004

ὑμῖν, ζητήσουσιν εἰσελθεῖν, καὶ οὐκ ἰσχύσουσιν.
あなたがたに 求めるが 入ることを しかし ない できないであろう
G4771 G2212 G1525 G2532 G3756 G2480

そこでイエスは人々にむかって言われた、「狭い戸口からはいるように努めなさい。事実、はいろうとしても、はいれない人が多いのだから。

25 ἀφ’ οὗ ἂν ἐγερθῇ ὁ οἰκοδεσπότης, καὶ ἀποκλείσῃ τὴν θύραν,
その 後 に 立ち上がり その 家の–主人が そして 閉じるなら その 戸を
G0575 G3739 G0302 G1453 G3588 G3617 G2532 G0608 G3588 G2374

καὶ ἄρξησθε ἔξω ἑστάναι καὶ κρούειν τὴν θύραν, λέγοντες, Κύριε,
そして 始めるであろう 外に 立って そして たたいて その 戸を 言って 主よ
G2532 G0756 G1854 G2476 G2532 G2925 G3588 G2374 G3004 G2962

ἄνοιξον ἡμῖν; καὶ ἀποκριθεὶς, ἐρεῖ ὑμῖν, Οὐκ οἶδα
開けてください 私たちに すると 答えて 言うであろう あなたがたに ない 知らない
G0455 G1473 G2532 G0611 G2046 G4771 G3756 G1492

ὑμᾶς, πόθεν ἐστέ.
あなたがたを どこから 来たのか
G4771 G4159 G1510

家の主人が立って戸を閉じてしまってから、あなたがたが外に立ち戸をたたき始めて、『ご主人様、どうぞあけてください』と言っても、主人はそれに答えて、『あなたがたがどこからきた人なのか、わたしは知らない』と言うであろう。

26 τότε ἄρξεσθε λέγειν, Ἐφάγομεν ἐνώπιόν σου καὶ ἐπίομεν, καὶ
その–時 始めるであろう 言い 食べました 御前で あなたの そして 飲みました そして
G5119 G0756 G3004 G5315 G1799 G4771 G2532 G4095 G2532

ἐν ταῖς πλατείαις ἡμῶν ἐδίδαξας.
で 私たちの 広場で 私たちの 教えてくださいました
G1722 G3588 G4113 G1473 G1321

そのとき、『わたしたちはあなたとご一緒に飲み食いしました。また、あなたはわたしたちの大通りで教えてくださいました』と言い出しても、

27 καὶ ἐρεῖ, λέγων ὑμῖν, Οὐκ οἶδα [ὑμᾶς], πόθεν ἐστέ;
そして 言うであろう 言って あなたがたに ない 知らない あなたがたを どこから 来たのか
G2532 G2046 G3004 G4771 G3756 G1492 G4771 G4159 G1510

ἀπόστητε ἀπ’ ἐμοῦ, πάντες ἐργάται ἀδικίας.
離れよ から 私から すべての 不義を–行う 不義の
G0868 G0575 G1473 G3956 G2040 G0093

彼は、『あなたがたがどこからきた人なのか、わたしは知らない。悪事を働く者どもよ、みんな行ってしまえ』と言うであろう。

28 ἐκεῖ ἔσται ὁ κλαυθμὸς καὶ ὁ βρυγμὸς τῶν ὀδόντων, ὅταν
そこに あるであろう その 嘆きと と その 歯ぎしりが の 歯の その–時
G1563 G1510 G3588 G2805 G2532 G3588 G1030 G3588 G3599 G3752

ὄψησθε Ἀβραὰμ, καὶ Ἰσαὰκ, καὶ Ἰακὼβ, καὶ πάντας τοὺς προφήτας,
見るであろう アブラハムと と イサクと と ヤコブと と すべての その 預言者たちが
G3708 G0011 G2532 G2464 G2532 G2384 G2532 G3956 G3588 G4396

ἐν τῇ βασιλείᾳ τοῦ Θεοῦ; ὑμᾶς δὲ ἐκβαλλομένους ἔξω.
の中に その 神の–国に の 神の あなたがたは しかし 追い出される 外へ
G1722 G3588 G0932 G3588 G2316 G4771 G1161 G1544 G1854

あなたがたは、アブラハム、イサク、ヤコブやすべての預言者たちが、神の国にはいっているのに、自分たちは外に投げ出されることになれば、そこで泣き叫んだり、歯がみをしたりするであろう。

29 καὶ ἥξουσιν ἀπὸ ἀνατολῶν καὶ δυσμῶν, καὶ ἀπὸ βορρᾶ καὶ νότου,
そして 来るであろう から 東から と 西から そして から 北から と 南から
G2532 G2240 G0575 G0395 G2532 G1424 G2532 G0575 G1005 G2532 G3558

καὶ ἀνακλιθήσονται ἐν τῇ βασιλείᾳ τοῦ Θεοῦ.
そして 食卓に–つくであろう の中で その 神の–国で の 神の
G2532 G0347 G1722 G3588 G0932 G3588 G2316

それから人々が、東から西から、また南から北からきて、神の国で宴会の席につくであろう。

30 καὶ ἰδοὺ, εἰσὶν ἔσχατοι οἳ ἔσονται πρῶτοι, καὶ εἰσὶν πρῶτοι
そして 見よ いる 後の–者が その なるであろう 先の–者に そして いる 先の–者が
G2532 G3708 G1510 G2078 G3739 G1510 G4413 G2532 G1510 G4413

οἳ ἔσονται ἔσχατοι.
その なるであろう 後の–者に
G3739 G1510 G2078

こうしてあとのもので先になるものがあり、また、先のものであとになるものもある」。

31 Ἐν αὐτῇ τῇ ὥρᾳ προσῆλθάν τινες Φαρισαῖοι, λέγοντες αὐτῷ, Ἔξελθε
その 同じ その 時に 近づいて–来た ある パリサイ人たちが 言って 彼に 出て–行け
G1722 G0846 G3588 G5610 G4334 G5100 G5330 G3004 G0846 G1831

καὶ πορεύου ἐντεῦθεν, ὅτι Ἡρῴδης θέλει σε ἀποκτεῖναι.
そして 去れ ここから なぜなら ヘロデが 欲している あなたを 殺すことを
G2532 G4198 G1782 G3754 G2264 G2309 G4771 G0615

ちょうどその時、あるパリサイ人たちが、イエスに近寄ってきて言った、「ここから出て行きなさい。ヘロデがあなたを殺そうとしています」。

32 καὶ εἶπεν αὐτοῖς, Πορευθέντες εἴπατε τῇ ἀλώπεκι ταύτῃ, Ἰδοὺ, ἐκβάλλω
そして 言った 彼らに 行って 言え あの 狐に こう 見よ 追い出す
G2532 G3004 G0846 G4198 G3004 G3588 G0258 G3778 G3708 G1544

δαιμόνια, καὶ ἰάσεις ἀποτελῶ σήμερον καὶ αὔριον, καὶ τῇ τρίτῃ
悪霊を そして いやしを 行う 今日 と 明日 そして その 三日目に
G1140 G2532 G2392 G0658 G4594 G2532 G0839 G2532 G3588 G5154

τελειοῦμαι;
完成する
G5048

そこで彼らに言われた、「あのきつねのところへ行ってこう言え、『見よ、わたしはきょうもあすも悪霊を追い出し、また、病気をいやし、そして三日目にわざを終えるであろう。

33 πλὴν しかし G4133 δεῖ 必要がある G1163 με, 私は G1473 σήμερον 今日 G4594 καὶ と G2532 αὔριον 明日 G0839 καὶ と G2532 τῇ その G3588 ἐχομένῃ 次の-日 G2192 πορεύεσθαι; 進む-ことが G4198

ὅτι なぜなら G3754 οὐκ ない G3756 ἐνδέχεται ありえない G1735 προφήτην 預言者が G4396 ἀπολέσθαι 滅びることは G0622 ἔξω 外で G1854 Ἰερουσαλήμ. エルサレムの G2419

しかし、きょうもあすも、またその次の日も、わたしは進んで行かねばならない。預言者がエルサレム以外の地で死ぬことは、あり得ないからである』。

34 Ἰερουσαλὴμ, エルサレム G2419 Ἰερουσαλήμ, エルサレムよ G2419 ἡ その G3588 ἀποκτείνουσα 殺す-者よ G0615 τοὺς その G3588 προφήτας, 預言者たちを G4396 καὶ そして G2532 λιθοβολοῦσα 石で-打つ G3036

τοὺς その G3588 ἀπεσταλμένους 遣わされた-者たちを G0649 πρὸς に G4314 αὐτήν, 自分の-もとに G0846 ποσάκις 何度 G4212 ἠθέλησα 欲した G2309 ἐπισυνάξαι 集めることを G1996 τὰ あなたの G3588

τέκνα 子らを G5043 σου, あなたの G4771 ὃν その G3739 τρόπον ように G5158 ὄρνις めん鳥が G3733 τὴν 自分の G3588 ἑαυτῆς 自分の G1438 νοσσιὰν ひなを G3555 ὑπὸ の-もとに G5259 τὰς その G3588

πτέρυγας, 翼の G4420 καὶ しかし G2532 οὐκ なかった G3756 ἠθελήσατε. あなたがたは-望まなかった G2309

ああ、エルサレム、エルサレム、預言者たちを殺し、おまえにつかわされた人々を石で打ち殺す者よ。ちょうどめんどりが翼の下にひなを集めるように、わたしはおまえの子らを幾たび集めようとしたことであろう。それだのに、おまえたちは応じようとしなかった。

35 ἰδοὺ, 見よ G3708 ἀφίεται 残される G0863 ὑμῖν あなたがたに G4771 ὁ あなたがたの G3588 οἶκος 家が G3624 ὑμῶν. あなたがたの G4771 λέγω 言う G3004 δὲ そして G1161 ὑμῖν, あなたがたに G4771

οὐ 決して G3756 μὴ ない G3361 ἴδητέ 見ること-は G3708 με 私を G1473 ἕως まで G2193 ἥξει 来る G2240 ὅτε その-時 G3753 εἴπητε, 言う G3004 Εὐλογημένος 祝福された G2127 ὁ その G3588

ἐρχόμενος 来る-者は G2064 ἐν の中で G1722 ὀνόματι 主の-名に-よって G3686 Κυρίου. 主の G2962

見よ、おまえたちの家は見捨てられてしまう。わたしは言って置く、『主の名によってきたるものに、祝福あれ』とおまえたちが言う時の来るまでは、再びわたしに会うことはないであろう」。

Chapter 14

1 Καὶ ἐγένετο ἐν τῷ ἐλθεῖν αὐτὸν εἰς οἶκόν τινος τῶν ἀρχόντων
そして 起こった の中で その 行った–時 彼が の中に 家に ある その 指導者たちの
G2532 G1096 G1722 G3588 G2064 G0846 G1519 G3624 G5100 G3588 G0758

τῶν Φαρισαίων, σαββάτῳ φαγεῖν ἄρτον, καὶ αὐτοὶ ἦσαν παρατηρούμενοι
その パリサイ人の 安息日に 食べるために パンを すると 彼ら自身 いた じっと–見ていた
G3588 G5330 G4521 G5315 G0740 G2532 G0846 G1510 G3906

αὐτόν.
彼を
G0846

ある安息日のこと、食事をするために、あるパリサイ派のかしらの家にはいって行かれたが、人々はイエスの様子をうかがっていた。

2 καὶ ἰδοὺ, ἄνθρωπός τις ἦν ὑδρωπικὸς ἔμπροσθεν αὐτοῦ.
すると 見よ ある–人が ある いた 水腫の 前に 彼の
G2532 G3708 G0444 G5100 G1510 G5203 G1715 G0846

するとそこに、水腫をわずらっている人が、みまえにいた。

3 καὶ ἀποκριθεὶς, ὁ Ἰησοῦς εἶπεν πρὸς τοὺς νομικοὺς καὶ
そして 答えて その イエスは 言った に向かって その 律法学者たちと と
G2532 G0611 G3588 G2424 G3004 G4314 G3588 G3544 G2532

Φαρισαίους, λέγων, Ἔξεστιν τῷ σαββάτῳ θεραπεῦσαι ἢ οὔ?
パリサイ人たちに 言って 許される–か その 安息日に いやす–ことは か 否か
G5330 G3004 G1832 G3588 G4521 G2323 G2228 G3756

イエスは律法学者やパリサイ人たちにむかって言われた、「安息日に人をいやすのは、正しいことかどうか」。

4 οἱ δὲ ἡσύχασαν. καὶ ἐπιλαβόμενος, ἰάσατο αὐτὸν, καὶ ἀπέλυσεν.
その しかし 黙っていた すると 手を–取って いやした 彼を そして 帰らせた
G3588 G1161 G2270 G2532 G1949 G2390 G0846 G2532 G0630

彼らは黙っていた。そこでイエスはその人に手を置いていやしてやり、そしてお帰しになった。

5 καὶ πρὸς αὐτοὺς εἶπεν, Τίνος ὑμῶν υἱὸς ἢ βοῦς εἰς
そして に向かって 彼らに 言った 誰の あなたがたの 息子や また 牛が の中に
G2532 G4314 G0846 G3004 G5101 G4771 G5207 G2228 G1016 G1519

φρέαρ πεσεῖται, καὶ οὐκ εὐθέως ἀναspάσει αὐτὸν, ἐν ἡμέρᾳ τοῦ
井戸に 落ちたなら して ない–か すぐに 引き上げる それを の 安息–日に の
G5421 G4098 G2532 G3756 G2112 G0385 G0846 G1722 G2250 G3588

σαββάτου?
安息の
G4521

それから彼らに言われた、「あなたがたのうちで、自分のむすこか牛が井戸に落ち込んだなら、安息日だからといって、すぐに引き上げてやらない者がいるだろうか」。

6 καὶ οὐκ ἴσχυσαν ἀνταποκριθῆναι πρὸς ταῦτα.
すると なかった できなかった 答え–返すことが に向かって これらに
G2532 G3756 G2480 G0470 G4314 G3778

彼らはこれに対して返す言葉がなかった。

7 Ἔλεγεν δὲ πρὸς τοὺς κεκλημένους παραβολήν, ἐπέχων πῶς τὰς
語った そして に向かって その 招かれた-者たちに たとえを 気づいて どのように その
G3004 G1161 G4314 G3588 G2564 G3850 G1907 G4459 G3588

πρωτοκλισίας ἐξελέγοντο, λέγων πρὸς αὐτούς,
上席を 選んでいるのかを 言って に向かって 彼らに
G4411 G1586 G3004 G4314 G0846

客に招かれた者たちが上座を選んでいる様子をごらんになって、彼らに一つの譬を語られた。

8 Ὅταν κληθῇς ὑπό τινος εἰς γάμους, μὴ κατακλιθῇς εἰς τὴν
もし 招かれたなら によって 誰かに に 婚宴に するな 座るな の その
G3752 G2564 G5259 G5100 G1519 G1062 G3361 G2625 G1519 G3588

πρωτοκλισίαν, μήˎ ποτε ἐντιμότερός σου ᾖ κεκλημένος ὑπ' αὐτοῦ,
上席に もし かして もっと-尊い あなたより である 招かれた-者が によって 彼に
G4411 G3361 G4219 G1784 G4771 G1510 G2564 G5259 G0846

「婚宴に招かれたときには、上座につくな。あるいは、あなたよりも身分の高い人が招かれているかも知れない。

9 καὶ ἐλθὼν, ὁ σὲ καὶ αὐτὸν καλέσας, ἐρεῖ σοι, Δὸς
すると 来て その あなたと と 彼を 招いた-者が 言うだろう あなたに 譲りなさい
G2532 G2064 G3588 G4771 G2532 G0846 G2564 G2046 G4771 G1325

τούτῳ τόπον, καὶ τότε ἄρξῃ μετὰ αἰσχύνης τὸν ἔσχατον
この-者に 席を すると その-時 始めるだろう 恥を-もって 恥ずかしさの その 最後の
G3778 G5117 G2532 G5119 G0756 G3326 G0152 G3588 G2078

τόπον κατέχειν.
席を 占めることを
G5117 G2722

その場合、あなたとその人とを招いた者がきて、『このかたに座を譲ってください』と言うであろう。そのとき、あなたは恥じ入って末座につくことになるであろう。

10 ἀλλ' ὅταν κληθῇς, πορευθεὶς ἀνάπεσε εἰς τὸν ἔσχατον τόπον,
むしろ 招かれたら 招かれたなら 行って 座りなさい その その 最後の 席に
G0235 G3752 G2564 G4198 G0377 G1519 G3588 G2078 G5117

ἵνα ὅταν ἔλθῃ ὁ κεκληκώς σε, ἐρεῖ σοι, Φίλε,
そうすれば その-時 来る その 招いた-者が あなたに 言うだろう あなたに 友よ
G2443 G3752 G2064 G3588 G2564 G4771 G2046 G4771 G5384

προσανάβηθι ἀνώτερον. τότε ἔσται σοι δόξα ἐνώπιον πάντων τῶν
もっと-上に 上がりなさい そうすれば あるだろう あなたに 栄誉が 前で すべての その
G4320 G0511 G5119 G1510 G4771 G1391 G1799 G3956 G3588

συνανακειμένων σοι;
共に-食卓に-つく-者たちの あなたの
G4873 G4771

むしろ、招かれた場合には、末座に行ってすわりなさい。そうすれば、招いてくれた人がきて、『友よ、上座の方へお進みください』と言うであろう。そのとき、あなたは席を共にするみんなの前で、面目をほどこすことになるであろう。

11 ὅτι πᾶς ὁ ὑψῶν ἑαυτὸν ταπεινωθήσεται, καὶ ὁ ταπεινῶν
なぜなら すべて その 高ぶる-者は 自分を 低くされ そして その へりくだる-者は
G3754 G3956 G3588 G5312 G1438 G5013 G2532 G3588 G5013

ἑαυτὸν ὑψωθήσεται.
自分を 高くされるであろう
G1438 G5312

おおよそ、自分を高くする者は低くされ、自分を低くする者は高くされるであろう」。

12 Ἔλεγεν 語った G3004 δὲ そして G1161 καὶ また G2532 τῷ その G3588 κεκληκότι 招いた–者にも G2564 αὐτόν, 彼を G0846 Ὅταν もし G3752 ποιῇς 催す–なら G4160 ἄριστον 昼食や G0712 ἢ また G2228 δεῖπνον, 夕食を G1173 μὴ するな G3361 φώνει 招く–な G5455 τοὺς あなたの G3588 φίλους 友人たちを G5384 σου, あなたの G4771 μηδὲ また G3366 τοὺς あなたの G3588 ἀδελφούς 兄弟たちを G0080 σου, あなたの G4771 μηδὲ また G3366 τοὺς あなたの G3588 συγγενεῖς 親族たちを G4773 σου, あなたの G4771 μηδὲ また G3366 γείτονας 近所の G1069 πλουσίους, 富んだ–者たちを G4145 μήᵕ もし G3361 ποτε かして G4219 καὶ また G2532 αὐτοὶ 彼らも G0846 ἀντικαλέσωσίν 招き返して G0479 σε, あなたを G4771 καὶ そして G2532 γένηται なる G1096 ἀνταπόδομά 報い–が G0468 σοι; あなたに G4771

また、イエスは自分を招いた人に言われた、「午餐または晩餐の席を設ける場合には、友人、兄弟、親族、金持の隣り人などは呼ばぬがよい。恐らく彼らもあなたを招きかえし、それであなたは返礼を受けることになるから。

13 ἀλλ’ むしろ G0235 ὅταν もし G3752 δοχὴν 宴会を G1403 ποιῇς, 催す–なら G4160 κάλει 招け G2564 πτωχούς, 貧しい–者たちを G4434 ἀναπείρους, 体の–不自由な–者たちを G0376 χωλούς, 足の–不自由な–者たちを G5560 τυφλούς; 目の–見えない–者たちを G5185

むしろ、宴会を催す場合には、貧乏人、不具者、足なえ、盲人などを招くがよい。

14 καὶ そうすれば G2532 μακάριος 幸いである G3107 ἔσῃ; あなたは G1510 ὅτι なぜなら G3754 οὐκ ない G3756 ἔχουσιν 持って G2192 ἀνταποδοῦναί 報いる–ことが G0467 σοι; あなたに G4771 ἀνταποδοθήσεται 報いられる–であろう G0467 γάρ なぜなら G1063 σοι あなたに G4771 ἐν の中で G1722 τῇ その G3588 ἀναστάσει 復活の–時に G0386 τῶν その G3588 δικαίων. 義人たちの G1342

そうすれば、彼らは返礼ができないから、あなたはさいわいになるであろう。正しい人々の復活の際には、あなたは報いられるであろう」。

15 Ἀκούσας 聞いて G0191 δέ すると G1161 τις ある G5100 τῶν その G3588 συνανακειμένων 共に–食卓に–つく–者の G4873 ταῦτα, これらを G3778 εἶπεν 言った G3004 αὐτῷ, 彼に G0846 Μακάριος 幸いな G3107 ὅστις 誰でも G3748 φάγεται 食べる–であろう G5315 ἄρτον パンを G0740 ἐν の中で G1722 τῇ その G3588 βασιλείᾳ 神の–国で G0932 τοῦ の G3588 Θεοῦ. 神の G2316

列席者のひとりがこれを聞いてイエスに「神の国で食事をする人は、さいわいです」と言った。

16 ὁ その G3588 δὲ しかし G1161 εἶπεν 言った G3004 αὐτῷ, 彼に G0846 Ἄνθρωπός ある–人が G0444 τις ある G5100 ἐποίει 催した G4160 δεῖπνον 晩餐を G1173 μέγα, 大きな G3173 καὶ そして G2532 ἐκάλεσεν 招いた G2564 πολλούς. 多くの–者を G4183

そこでイエスが言われた、「ある人が盛大な晩餐会を催して、大ぜいの人を招いた。

17 καὶ そして G2532 ἀπέστειλεν 遣わした G0649 τὸν 自分の G3588 δοῦλον しもべを G1401 αὐτοῦ 自分の G0846 τῇ その G3588 ὥρᾳ 時に G5610 τοῦ その G3588 δείπνου, 晩餐の G1173 εἰπεῖν 言うために G3004

τοῖς その G3588 κεκλημένοις, 招かれた-者たちに G2564 Ἔρχεσθε, 来なさい G2064 ὅτι なぜなら G3754 ἤδη もう G2235 ἕτοιμά 用意が-できた G2092 ἐστιν. のだ G1510

晩餐の時刻になったので、招いておいた人たちのもとに僕を送って、『さあ、おいでください。もう準備ができましたから』と言わせた。

18 καὶ すると G2532 ἤρξαντο 始めた G0756 ἀπὸ 一様に G0575 μιᾶς 一つ-の G1520 πάντες みな G3956 παραιτεῖσθαι. 断り-始めた G3868 ὁ その G3588 πρῶτος 最初の-者は G4413 εἶπεν 言った G3004 αὐτῷ, 彼に G0846

Ἀγρὸν 畑を G0068 ἠγόρασα, 買った G0059 καὶ ので G2532 ἔχω 持っている G2192 ἀνάγκην 必要が G0318 ἐξελθὼν 出て-行って G1831 ἰδεῖν 見に G3708 αὐτόν; それを G0846 ἐρωτῶ 願う G2065 σε あなたに G4771

ἔχε 許して G2192 με 私を G1473 παρῃτημένον. 辞退させてほしい G3868

ところが、みんな一様に断りはじめた。最初の人は、『わたしは土地を買いましたので、行って見なければなりません。どうぞ、おゆるしください』と言った。

19 καὶ そして G2532 ἕτερος もう一人は G2087 εἶπεν, 言った G3004 Ζεύγη くびきの-牛を G2201 βοῶν 牛の G1016 ἠγόρασα 買った G0059 πέντε, 五つの G4002 καὶ そして G2532 πορεύομαι 行く

δοκιμάσαι 試しに G1381 αὐτά; それらを G0846 ἐρωτῶ 願う G2065 σε あなたに G4771 ἔχε 許して G2192 με 私を G1473 παρῃτημένον. 辞退させてほしい G3868

ほかの人は、『わたしは五対の牛を買いましたので、それをしらべに行くところです。どうぞ、おゆるしください』、

20 καὶ そして G2532 ἕτερος もう一人は G2087 εἶπεν, 言った G3004 Γυναῖκα 妻を G1135 ἔγημα, めとった G1060 καὶ だから G2532 διὰ この-ため G1223 τοῦτο この G3778 οὐ ない G3756 δύναμαι できない G1410

ἐλθεῖν. 行くことが G2064

もうひとりの人は、『わたしは妻をめとりましたので、参ることができません』と言った。

21 καὶ παραγενόμενος, ὁ δοῦλος ἀπήγγειλεν τῷ κυρίῳ αὐτοῦ ταῦτα.
そして 帰って-来た その しもべは 報告した その 主人に 自分の これらのことを
G2532 G3854 G3588 G1401 G0518 G3588 G2962 G0846 G3778

τότε ὀργισθεὶς, ὁ οἰκοδεσπότης εἶπεν τῷ δούλῳ αὐτοῦ, Ἔξελθε ταχέως
そこで 怒って その 家の-主人は 言った その しもべに 自分の 出て-行け 急いで
G5119 G3710 G3588 G3617 G3004 G3588 G1401 G0846 G1831 G5030

εἰς τὰς πλατείας καὶ ῥύμας τῆς πόλεως, καὶ τοὺς πτωχοὺς, καὶ
の中の その 通りや そして 路地に その 町の そして その 貧しい-者たちと そして
G1519 G3588 G4113 G2532 G4505 G3588 G4172 G2532 G3588 G4434 G2532

ἀναπείρους, καὶ τυφλοὺς, καὶ χωλοὺς, εἰσάγαγε
体の-不自由な-者たちと そして 目の-見えない-者たちと そして 足の-不自由な-者たちを 連れて-来い
G0376 G2532 G5185 G2532 G5560 G1521

ὧδε.
ここに
G5602

僕は帰ってきて、以上の事を主人に報告した。すると家の主人はおこって僕に言った、『いますぐに、町の大通りや小道へ行って、貧乏人、不具者、盲人、足なえなどを、ここへ連れてきなさい』。

22 καὶ εἶπεν ὁ δοῦλος, Κύριε, γέγονεν ὃ ἐπέταξας, καὶ ἔτι
すると 言った その しもべは 主よ なされました あなたが 命じた-ことは しかし まだ
G2532 G3004 G3588 G1401 G2962 G1096 G3739 G2004 G2532 G2089

τόπος ἐστίν.
場所が あります
G5117 G1510

僕は言った、『ご主人様、仰せのとおりにいたしましたが、まだ席がございます』。

23 καὶ εἶπεν ὁ κύριος πρὸς τὸν δοῦλον, Ἔξελθε εἰς τὰς ὁδοὺς
すると 言った その 主人は に向かって その しもべに 出て-行け の中の その 大路や
G2532 G3004 G3588 G2962 G4314 G3588 G1401 G1831 G1519 G3588 G3598

καὶ φραγμοὺς, καὶ ἀνάγκασον εἰσελθεῖν, ἵνα γεμισθῇ μου ὁ
そして 垣根に そして 無理にも 入らせよ そうして いっぱいにせよ 私の その
G2532 G5418 G2532 G0315 G1525 G2443 G1072 G1473 G3588

οἶκος;
家を
G3624

主人が僕に言った、『道やかきねのあたりに出て行って、この家がいっぱいになるように、人々を無理やりにひっぱってきなさい。

24 λέγω γὰρ ὑμῖν, ὅτι οὐδεὶς τῶν ἀνδρῶν ἐκείνων τῶν
言う なぜなら あなたがたに と 誰も その 人々の あの その
G3004 G1063 G4771 G3754 G3762 G3588 G0435 G1565 G3588

κεκλημένων, γεύσεταί μου τοῦ δείπνου.
招かれた-者たちの 味わう-ことは-ない 私の その 晩餐を
G2564 G1089 G1473 G3588 G1173

あなたがたに言って置くが、招かれた人で、わたしの晩餐にあずかる者はひとりもないであろう』」。

25 Συνεπορεύοντο δὲ αὐτῷ ὄχλοι πολλοί; καὶ στραφεὶς, εἶπεν πρὸς
共に-歩いていた すると 彼に 大勢の-群衆が 大勢の そして 振り向いて 言った に向かって
G4848 G1161 G0846 G3793 G4183 G2532 G4762 G3004 G4314

αὐτούς,
彼らに
G0846

大ぜいの群衆がついてきたので、イエスは彼らの方に向いて言われた、

26 Εἴ τις ἔρχεται πρός με, καὶ οὐ μισεῖ τὸν πατέρα
もし 誰でも 来る に 私の-もとに そして ない 憎まない-なら 自分の 父を
G1487 G5100 G2064 G4314 G1473 G2532 G3756 G3404 G3588 G3962

ἑαυτοῦ, καὶ τὴν μητέρα, καὶ τὴν γυναῖκα, καὶ τὰ τέκνα, καὶ
自分の と 自分の 母と と 自分の 妻と と 自分の 子どもたちと と
G1438 G2532 G3588 G3384 G2532 G3588 G1135 G2532 G3588 G5043 G2532

τοὺς ἀδελφοὺς, καὶ τὰς ἀδελφάς; ἔτι τε καὶ τὴν ψυχὴν
自分の 兄弟たちと と 自分の 姉妹たちを さらに そして また 自分の いのちさえも
G3588 G0080 G2532 G3588 G0079 G2089 G5037 G2532 G3588 G5590

ἑαυτοῦ, οὐ δύναται εἶναί μου μαθητής;
自分の ない できない なること-が 私の 弟子で-ある
G1438 G3756 G1410 G1510 G1473 G3101

「だれでも、父、母、妻、子、兄弟、姉妹、さらに自分の命までも捨てて、わたしのもとに来るのでなければ、わたしの弟子となることはできない。

27 ὅστις οὐ βαστάζει τὸν σταυρὸν ἑαυτοῦ, καὶ ἔρχεται ὀπίσω
誰でも ない 負わない-者は 自分の 十字架を 自分の そして 来る に-ついて
G3748 G3756 G0941 G3588 G4716 G1438 G2532 G2064 G3694

μου, οὐ δύναται εἶναί μου μαθητής.
私の-後に ない できない なること-が 私の 弟子で-ある
G1473 G3756 G1410 G1510 G1473 G3101

自分の十字架を負うてわたしについて来るものでなければ、わたしの弟子となることはできない。

28 Τίς γὰρ ἐξ ὑμῶν, θέλων πύργον οἰκοδομῆσαι, οὐχὶ
なぜなら 誰が の中から あなたがたの 望んで 塔を 建てようとして ない-だろうか
G5101 G1063 G1537 G4771 G2309 G4444 G3618 G3780

πρῶτον καθίσας, ψηφίζει τὴν δαπάνην, εἰ ἔχει εἰς ἀπαρτισμόν?
まず 座って 計算する その 費用を もし 持っているか に-十分な 完成する-ために
G4412 G2523 G5585 G3588 G1160 G1487 G2192 G1519 G0535

あなたがたのうちで、だれかが邸宅を建てようと思うなら、それを仕上げるのに足りるだけの金を持っているかどうかを見るため、まず、すわってその費用を計算しないだろうか。

29 ἵνα μή ποτε θέντος αὐτοῦ θεμέλιον, καὶ μὴ ἰσχύοντος
そうでなければ ない かして 据えた 彼が 土台を して しかし できず
G2443 G3361 G4219 G5087 G0846 G2310 G2532 G3361 G2480

ἐκτελέσαι, πάντες οἱ θεωροῦντες ἄρξωνται αὐτῷ ἐμπαίζειν,
完成する-ことが すべての その 見ている-者たちが 始めるだろう 彼を あざけることを
G1615 G3956 G3588 G2334 G0756 G0846 G1702

そうしないと、土台をすえただけで完成することができず、見ているみんなの人が、

30 λέγοντες ὅτι, Οὗτος ὁ ἄνθρωπος ἤρξατο οἰκοδομεῖν, καὶ οὐκ
言って と この その 人は 始めた 建てることを しかし なかった
G3004 G3754 G3778 G3588 G0444 G0756 G3618 G2532 G3756

ἴσχυσεν ἐκτελέσαι.
できなかった 完成する-ことが
G2480 G1615

『あの人は建てかけたが、仕上げができなかった』と言ってあざ笑うようになろう。

31 Ἢ τίς βασιλεὺς, πορευόμενος ἑτέρῳ βασιλεῖ συμβαλεῖν εἰς
あるいは どの 王が 出て-行って もう一人の 王と 戦う-ために の中で
G2228 G5101 G0935 G4198 G2087 G0935 G4820 G1519

πόλεμον, οὐχὶ καθίσας, πρῶτον βουλεύσεται εἰ δυνατός ἐστιν ἐν
戦い-に ない-だろうか 座って まず 考える もし できるか である-と の中で
G4171 G3780 G2523 G4412 G1011 G1487 G1415 G1510 G1722

δέκα χιλιάσιν, ὑπαντῆσαι τῷ μετὰ εἴκοσι χιλιάδων ἐρχομένῳ ἐπ'
一万の 兵で 迎え撃つ-ことが その の-率いる 二万の 兵を 向かって-来る-者に に
G1176 G5505 G5221 G3588 G3326 G1501 G5505 G2064 G1909

αὐτόν?
自分に
G0846

また、どんな王でも、ほかの王と戦いを交えるために出て行く場合には、まず座して、こちらの一万人をもって、二万人を率いて向かって来る敵に対抗できるかどうか、考えて見ないだろうか。

32 εἰ δὲ μή¦γε, ἔτι αὐτοῦ πόρρω ὄντος, πρεσβείαν ἀποστείλας,
もし そうで ないなら まだ その-者が 遠く いる-うちに 使節を 送って
G1487 G1161 G1490 G2089 G0846 G4206 G1510 G4242 G0649

ἐρωτᾷ τὰ πρὸς εἰρήνην.
求める その に-ついて 和平を
G2065 G3588 G4314 G1515

もし自分の力にあまれば、敵がまだ遠くにいるうちに、使者を送って、和を求めるであろう。

33 οὕτως οὖν πᾶς ἐξ ὑμῶν ὃς οὐκ ἀποτάσσεται πᾶσιν τοῖς
こうして だから すべて の中から あなたがたの 誰でも ない 捨てない-者は すべての その
G3779 G3767 G3956 G1537 G4771 G3739 G3756 G0657 G3956 G3588

ἑαυτοῦ ὑπάρχουσιν, οὐ δύναται εἶναί μου μαθητής.
自分の 持ち物を ない できない なること-が 私の 弟子で-ある
G1438 G5225 G3756 G1410 G1510 G1473 G3101

それと同じように、あなたがたのうちで、自分の財産をことごとく捨て切るものでなくては、わたしの弟子となることはできない。

34 Καλὸν οὖν τὸ ἅλας, ἐὰν δὲ καὶ τὸ ἅλας μωρανθῇ,
良い 確かに その 塩は しかし-もし そして また その 塩が 味を-失ったなら
G2570 G3767 G3588 G0217 G1437 G1161 G2532 G3588 G0217 G3471

ἐν τίνι ἀρτυθήσεται?
何を-もって 何で 味つけされるか
G1722 G5101 G0741

塩は良いものだ。しかし、塩もききめがなくなったら、何によって塩味が取りもどされようか。

35 οὔτε εἰς γῆν, οὔτε εἰς κοπρίαν εὔθετόν ἐστιν; ἔξω βάλλουσιν αὐτό.
ない に 土地にも ない に 肥やしにも 適して いない 外に 投げ捨てる それを
G3777 G1519 G1093 G3777 G1519 G2874 G2111 G1510 G1854 G0906 G0846

ὁ ἔχων ὦτα ἀκούειν, ἀκουέτω.
その 持つ-者は 耳を 聞く-ための 聞く-がよい
G3588 G2192 G3775 G0191 G0191

土にも肥料にも役立たず、外に投げ捨てられてしまう。聞く耳のあるものは聞くがよい」。

Chapter 15

1 Ἦσαν δὲ αὐτῷ ἐγγίζοντες πάντες οἱ τελῶναι καὶ οἱ ἁμαρτωλοὶ
いた さて 彼に 近づいて-来た すべての その 取税人たちと そして その 罪人たちが
G1510 G1161 G0846 G1448 G3956 G3588 G5057 G2532 G3588 G0268

ἀκούειν αὐτοῦ;
聞くために 彼の
G0191 G0846

さて、取税人や罪人たちが皆、イエスの話を聞こうとして近寄ってきた。

2 καὶ διεγόγγυζον οἵ τε Φαρισαῖοι καὶ οἱ γραμματεῖς, λέγοντες,
すると つぶやいた その そして パリサイ人たちと そして その 律法学者たちは 言って
G2532 G1234 G3588 G5037 G5330 G2532 G3588 G1122 G3004

ὅτι Οὗτος ἁμαρτωλοὺς προσδέχεται καὶ συνεσθίει αὐτοῖς.
と この-人は 罪人たちを 受け-入れて そして 共に-食事している 彼らと
G3754 G3778 G0268 G4327 G2532 G4906 G0846

するとパリサイ人や律法学者たちがつぶやいて、「この人は罪人たちを迎えて一緒に食事をしている」と言った。

3 εἶπεν δὲ πρὸς αὐτοὺς τὴν παραβολὴν ταύτην, λέγων,
語った そこで に向かって 彼らに この たとえを この 言って
G3004 G1161 G4314 G0846 G3588 G3850 G3778 G3004

そこでイエスは彼らに、この譬をお話しになった、

4 Τίς ἄνθρωπος ἐξ ὑμῶν, ἔχων ἑκατὸν πρόβατα, καὶ ἀπολέσας
どの 人が の中から あなたがたの 持って 百 匹の-羊を そして 失って
G5101 G0444 G1537 G4771 G2192 G1540 G4263 G2532 G0622

ἐξ αὐτῶν ἓν, οὐ καταλείπει τὰ ἐνενήκοντα ἐννέα ἐν τῇ
その中の それらの 一匹を ない-か 残す その 九十 九匹を の中に その
G1537 G0846 G1520 G3756 G2641 G3588 G1768 G1767 G1722 G3588

ἐρήμῳ, καὶ πορεύεται ἐπὶ τὸ ἀπολωλὸς, ἕως εὕρῃ αὐτό?
荒野に そして 行く の-後を その 失われた-ものの まで 見つける それを
G2048 G2532 G4198 G1909 G3588 G0622 G2193 G2147 G0846

「あなたがたのうちに、百匹の羊を持っている者がいたとする。その一匹がいなくなったら、九十九匹を野原に残しておいて、いなくなった一匹を見つけるまでは捜し歩かないであろうか。

5 καὶ εὑρὼν, ἐπιτίθησιν ἐπὶ τοὺς ὤμους αὐτοῦ, χαίρων.
そして 見つけたら 置く の-上に 自分の 肩に 自分の 喜びながら
G2532 G2147 G2007 G1909 G3588 G5606 G0846 G5463

そして見つけたら、喜んでそれを自分の肩に乗せ、

6 καὶ そして G2532 | ἐλθὼν 来て G2064 | εἰς の中に G1519 | τὸν 自分の G3588 | οἶκον, 家に G3624 | συνκαλεῖ 呼び-集める G4779 | τοὺς 自分の G3588 | φίλους 友人たちと G5384 | καὶ と G2532 | τοὺς 自分の G3588
γείτονας, 近所の-者たちを G1069 | λέγων 言って G3004 | αὐτοῖς, 彼らに G0846 | Συνχάρητέ 共に-喜んでください G4796 | μοι, 私と G1473 | ὅτι なぜなら G3754 | εὗρον 見つけた G2147 | τὸ 私の G3588
πρόβατόν 羊を G4263 | μου, 私の G1473 | τὸ その G3588 | ἀπολωλός! 失われた-ものを G0622

家に帰ってきて友人や隣り人を呼び集め、『わたしと一緒に喜んでください。いなくなった羊を見つけましたから』と言うであろう。

7 λέγω 言う G3004 | ὑμῖν あなたがたに G4771 | ὅτι と G3754 | οὕτως このように G3779 | χαρὰ 喜びが G5479 | ἐν の中に G1722 | τῷ その G3588 | οὐρανῷ 天に G3772 | ἔσται あるであろう G1510 | ἐπὶ に-ついて G1909
ἑνὶ 一人の G1520 | ἁμαρτωλῷ 罪人が G0268 | μετανοοῦντι, 悔い改めるなら G3340 | ἢ よりも G2228 | ἐπὶ に-ついての G1909 | ἐνενήκοντα 九十 G1768 | ἐννέα 九人の G1767 | δικαίοις, 義人たちよりも G1342
οἵτινες その G3748 | οὐ ない G3756 | χρείαν 必要を-持たない G5532 | ἔχουσιν 持っている G2192 | μετανοίας. 悔い改めの G3341

よく聞きなさい。それと同じように、罪人がひとりでも悔い改めるなら、悔改めを必要としない九十九人の正しい人のためにもまさる大きいよろこびが、天にあるであろう。

8 Ἢ あるいは G2228 | τίς どの G5101 | γυνὴ, 女が G1135 | δραχμὰς 銀貨を G1406 | ἔχουσα 持って G2192 | δέκα, 十 G1176 | ἐὰν もし G1437 | ἀπολέσῃ 失ったなら G0622 | δραχμὴν 銀貨を G1406 | μίαν, 一つの G1520
οὐχὶ ない-だろうか G3780 | ἅπτει ともす G0681 | λύχνον, あかりを G3088 | καὶ そして G2532 | σαροῖ 掃く G4563 | τὴν その G3588 | οἰκίαν, 家を G3614 | καὶ そして G2532 | ζητεῖ 探す G2212 | ἐπιμελῶς 念入りに G1960 | ἕως まで G2193
οὗ ついに G3739 | εὕρῃ? 見つける G2147

また、ある女が銀貨十枚を持っていて、もしその一枚をなくしたとすれば、彼女はあかりをつけて家中を掃き、それを見つけるまでは注意深く捜さないであろうか。

9 καὶ そして G2532 | εὑροῦσα, 見つけたら G2147 | συνκαλεῖ 呼び-集める G4779 | τὰς 自分の G3588 | φίλας 女友達と G5384 | καὶ と G2532 | γείτονας, 近所の-者たちを G1069 | λέγουσα, 言って G3004
Συνχάρητέ 共に-喜んでください G4796 | μοι, 私と G1473 | ὅτι なぜなら G3754 | εὗρον 見つけた G2147 | τὴν その G3588 | δραχμὴν 銀貨を G1406 | ἣν その G3739 | ἀπώλεσα. 失った-ものを G0622

そして、見つけたなら、女友だちや近所の女たちを呼び集めて、『わたしと一緒に喜んでください。なくした銀貨が見つかりましたから』と言うであろう。

10 οὕτως, λέγω ὑμῖν, γίνεται χαρὰ ἐνώπιον τῶν ἀγγέλων τοῦ Θεοῦ
このように 言う あなたがたに 生まれる 喜びが 前で その 御使いたちの その 神の
G3779 G3004 G4771 G1096 G5479 G1799 G3588 G0032 G3588 G2316

ἐπὶ ἑνὶ ἁμαρτωλῷ μετανοοῦντι.
に–ついて 一人の 罪人が 悔い改めるなら
G1909 G1520 G0268 G3340

よく聞きなさい。それと同じように、罪人がひとりでも悔い改めるなら、神の御使たちの前でよろこびがあるであろう」。

11 Εἶπεν δέ, Ἄνθρωπός τις εἶχεν δύο υἱούς.
言った そして ある–人が ある 持っていた 二人の 息子を
G3004 G1161 G0444 G5100 G2192 G1417 G5207

また言われた、「ある人に、ふたりのむすこがあった。

12 καὶ εἶπεν ὁ νεώτερος αὐτῶν τῷ πατρί, Πάτερ, δός μοι τὸ
そして 言った その 弟の–方は 彼らの その 父に 父よ ください 私に その
G2532 G3004 G3588 G3501 G0846 G3588 G3962 G3962 G1325 G1473 G3588

ἐπιβάλλον μέρος τῆς οὐσίας. ὁ δὲ διεῖλεν αὐτοῖς τὸν βίον.
私に–当たる 分け–前を その 財産の そこで そして 分けた 彼らに その 財産を
G1911 G3313 G3588 G3776 G3588 G1161 G1244 G0846 G3588 G0979

ところが、弟が父親に言った、『父よ、あなたの財産のうちでわたしがいただく分をください』。そこで、父はその身代をふたりに分けてやった。

13 καὶ μετ’ οὐ πολλὰς ἡμέρας, συναγαγὼν πάντα, ὁ νεώτερος
すると 後の それほど 多くの 日が–たたない–うちに 集めて すべてを その 弟の–方の
G2532 G3326 G3756 G4183 G2250 G4863 G3956 G3588 G3501

υἱὸς ἀπεδήμησεν εἰς χώραν μακράν, καὶ ἐκεῖ διεσκόρπισεν τὴν οὐσίαν
息子は 旅立った へ 国に 遠い そして そこで 使い–果たした 自分の 財産を
G5207 G0589 G1519 G5561 G3117 G2532 G1563 G1287 G3588 G3776

αὐτοῦ, ζῶν ἀσώτως.
自分の 生きて 放蕩に
G0846 G2198 G0811

それから幾日もたたないうちに、弟は自分のものを全部とりまとめて遠い所へ行き、そこで放蕩に身を持ちくずして財産を使い果した。

14 δαπανήσαντος δὲ αὐτοῦ πάντα, ἐγένετο λιμὸς ἰσχυρὰ κατὰ τὴν χώραν
使い–果たした すると 彼が すべてを 起こった 飢饉が 激しい その その 国に
G1159 G1161 G0846 G3956 G1096 G3042 G2478 G2596 G3588 G5561

ἐκείνην, καὶ αὐτὸς ἤρξατο ὑστερεῖσθαι.
あの そして 彼自身 始めた 困窮することを
G1565 G2532 G0846 G0756 G5302

何もかも浪費してしまったのち、その地方にひどいききんがあったので、彼は食べることにも窮しはじめた。

15 καὶ πορευθεὶς, ἐκολλήθη ἑνὶ τῶν πολιτῶν τῆς χώρας ἐκείνης, καὶ
そこで 行って 身を–寄せた 一人の その 市民に その 国の あの すると
G2532 G4198 G2853 G1520 G3588 G4177 G3588 G5561 G1565 G2532

ἔπεμψεν αὐτὸν εἰς τοὺς ἀγροὺς αὐτοῦ βόσκειν χοίρους.
遣わした 彼を へ 自分の 畑に 自分の 飼うために 豚を
G3992 G0846 G1519 G3588 G0068 G0846 G1006 G5519

そこで、その地方のある住民のところに行って身を寄せたところが、その人は彼を畑にやって豚を飼わせた。

16

καὶ	ἐπεθύμει	γεμίσαι	τὴν	κοιλίαν	αὐτοῦ	ἐκ	τῶν	κερατίων	ὧν
そして	望んだ	満たすことを	自分の	腹を	自分の	の中から	その	いなご豆で	それを
G2532	G1937	G1072	G3588	G2836	G0846	G1537	G3588	G2769	G3739

ἤσθιον	οἱ	χοῖροι;	καὶ	οὐδεὶς	ἐδίδου	αὐτῷ.
食べていた	その	豚が	しかし	誰も	与えなかった	彼に
G2068	G3588	G5519	G2532	G3762	G1325	G0846

彼は、豚の食べるいなご豆で腹を満たしたいと思うほどであったが、何もくれる人はなかった。

17

εἰς	ἑαυτὸν	δὲ	ἐλθὼν,	ἔφη,	Πόσοι	μίσθιοι	τοῦ	πατρός	μου
に	自分自身に	そこで	来て	言った	何人の	雇い人が	私の	父の	私の
G1519	G1438	G1161	G2064	G5346	G4214	G3407	G3588	G3962	G1473

περισσεύονται	ἄρτων,	ἐγὼ	δὲ	λιμῷ	ὧδε	ἀπόλλυμαι?
余っている	パンが	私は	しかし	飢えで	ここで	死ぬところだ
G4052	G0740	G1473	G1161	G3042	G5602	G0622

そこで彼は本心に立ちかえって言った、『父のところには食物のあり余っている雇人が大ぜいいるのに、わたしはここで飢えて死のうとしている。

18

ἀναστὰς,	πορεύσομαι	πρὸς	τὸν	πατέρα	μου,	καὶ	ἐρῶ	αὐτῷ,	Πάτερ,
起ち上がって	行こう	の-もとに	私の	父の	私の	そして	言おう	彼に	父よ
G0450	G4198	G4314	G3588	G3962	G1473	G2532	G2046	G0846	G3962

ἥμαρτον	εἰς	τὸν	οὐρανὸν	καὶ	ἐνώπιόν	σου;
罪を-犯した	に-対して	その	天と	そして	あなたの-前に	あなたの
G0264	G1519	G3588	G3772	G2532	G1799	G4771

立って、父のところへ帰って、こう言おう、父よ、わたしは天に対しても、あなたにむかっても、罪を犯しました。

19

οὐκέτι	εἰμὶ	ἄξιος	κληθῆναι	υἱός	σου.	ποίησόν	με	ὡς
もはや	ではない	ふさわしい	呼ばれる-のに	息子と	あなたの	してください	私を	のように
G3765	G1510	G0514	G2564	G5207	G4771	G4160	G1473	G5613

ἕνα	τῶν	μισθίων	σου.
一人の	その	雇い人の	あなたの
G1520	G3588	G3407	G4771

もう、あなたのむすこと呼ばれる資格はありません。どうぞ、雇人のひとり同様にしてください』。

20

καὶ	ἀναστὰς,	ἦλθεν	πρὸς	τὸν	πατέρα	ἑαυτοῦ.	ἔτι	δὲ	αὐτοῦ
そして	起ち上がって	行った	の-もとに	自分の	父の	自分の	まだ	そして	彼が
G2532	G0450	G2064	G4314	G3588	G3962	G1438	G2089	G1161	G0846

μακρὰν	ἀπέχοντος,	εἶδεν	αὐτὸν	ὁ	πατὴρ	αὐτοῦ,	καὶ	ἐσπλαγχνίσθη,
遠く	離れて-いる-時に	見た	彼を	その	父が	彼の	そして	憐れみに-打たれた
G3112	G0568	G3708	G0846	G3588	G3962	G0846	G2532	G4697

καὶ	δραμὼν,	ἐπέπεσεν	ἐπὶ	τὸν	τράχηλον	αὐτοῦ,	καὶ	κατεφίλησεν	αὐτόν.
そして	走って	抱きついた	の-上に	彼の	首に	彼の	そして	口づけした	彼に
G2532	G5143	G1968	G1909	G3588	G5137	G0846	G2532	G2705	G0846

そこで立って、父のところへ出かけた。まだ遠く離れていたのに、父は彼をみとめ、哀れに思って走り寄り、その首をだいて接吻した。

21 εἶπεν 言った G3004 δὲ しかし G1161 ὁ その G3588 υἱὸς 息子は G5207 αὐτῷ, 彼に G0846 Πάτερ, 父よ G3962 ἥμαρτον 罪を-犯した G0264 εἰς に-対して G1519 τὸν その G3588 οὐρανὸν 天と G3772

καὶ そして G2532 ἐνώπιόν あなたの-前に G1799 σου; あなたの G4771 οὐκέτι もはや G3765 εἰμὶ ではない G1510 ἄξιος ふさわしい G0514 κληθῆναι 呼ばれる-のに G2564 υἱός 息子と G5207 σου. あなたの G4771

(ποίησόν してください G4160 με 私を G1473 ὡς のように G5613 ἕνα 一人の G1520 τῶν その G3588 μισθίων 雇い人の G3407 σου). あなたの G4771

むすこは父に言った、『父よ、わたしは天に対しても、あなたにむかっても、罪を犯しました。もうあなたのむすこと呼ばれる資格はありません』。

22 εἶπεν 言った G3004 δὲ しかし G1161 ὁ その G3588 πατὴρ 父は G3962 πρὸς に向かって G4314 τοὺς 自分の G3588 δούλους しもべたちに G1401 αὐτοῦ, 自分の G0846 Ταχὺ 急いで G5035 ἐξενέγκατε 出しなさい G1627

στολὴν 最良の-衣を G4749 τὴν その G3588 πρώτην, 一番の G4413 καὶ そして G2532 ἐνδύσατε 着せなさい G1746 αὐτόν, 彼に G0846 καὶ そして G2532 δότε つけなさい G1325 δακτύλιον 指輪を G1146 εἰς に G1519

τὴν 彼の G3588 χεῖρα 手に G5495 αὐτοῦ, 彼の G0846 καὶ そして G2532 ὑποδήματα 履物を G5266 εἰς に G1519 τοὺς 彼の G3588 πόδας; 足に G4228

しかし父は僕たちに言いつけた、『さあ、早く、最上の着物を出してきてこの子に着せ、指輪を手にはめ、はきものを足にはかせなさい。

23 καὶ そして G2532 φέρετε 連れて-来なさい G5342 τὸν その G3588 μόσχον 子牛を G3448 τὸν その G3588 σιτευτόν, 肥えた G4618 θύσατε, ほふりなさい G2380 καὶ そして G2532 φαγόντες, 食べて G5315

εὐφρανθῶμεν. 祝おう G2165

また、肥えた子牛を引いてきてほふりなさい。食べて楽しもうではないか。

24 ὅτι なぜなら G3754 οὗτος この G3778 ὁ 私の G3588 υἱός 息子は G5207 μου 私の G1473 νεκρὸς 死んで-いた G3498 ἦν, いた G1510 καὶ そして G2532 ἀνέζησεν; 生き返った G0326 ἦν いた G1510

ἀπολωλὼς, 失われて-いた G0622 καὶ そして G2532 εὑρέθη. 見つかった G2147 καὶ すると G2532 ἤρξαντο 始めた G0756 εὐφραίνεσθαι. 祝いを-することを G2165

このむすこが死んでいたのに生き返り、いなくなっていたのに見つかったのだから』。それから祝宴がはじまった。

25 ἦν いた G1510 δὲ さて G1161 ὁ 彼の G3588 υἱὸς 兄の-方の-息子は G5207 αὐτοῦ, 彼の G0846 ὁ その G3588 πρεσβύτερος, 年上の G4245 ἐν に-いた G1722 ἀγρῷ; 畑に G0068 καὶ すると G2532

ὡς のように G5613 ἐρχόμενος, 来て G2064 ἤγγισεν 近づいた G1448 τῇ その G3588 οἰκίᾳ, 家に G3614 ἤκουσεν 聞こえた G0191 συμφωνίας 音楽と G4858 καὶ と G2532 χορῶν. 踊りが G5525

ところが、兄は畑にいたが、帰ってきて家に近づくと、音楽や踊りの音が聞えたので、

26 καὶ προσκαλεσάμενος ἕνα τῶν παίδων, ἐπυνθάνετο τί ἂν εἴη
そこで 呼んだ 一人の その しもべを 尋ねた 何が いったい あるのか
G2532 G4341 G1520 G3588 G3816 G4441 G5101 G0302 G1510

ταῦτα.
これらは
G3778

ひとりの僕を呼んで、『いったい、これは何事なのか』と尋ねた。

27 ὁ δὲ εἶπεν αὐτῷ ὅτι, Ὁ ἀδελφός σου ἥκει, καὶ
その そこで 言った 彼に と あなたの 弟が あなたの 帰って-きた すると
G3588 G1161 G3004 G0846 G3754 G3588 G0080 G4771 G2240 G2532

ἔθυσεν ὁ πατήρ σου τὸν μόσχον τὸν σιτευτόν, ὅτι ὑγιαίνοντα
ほふった あなたの 父は あなたの その 子牛を その 肥えた なぜなら 元気な
G2380 G3588 G3962 G4771 G3588 G3448 G3588 G4618 G3754 G5198

αὐτὸν ἀπέλαβεν.
彼を 取り-戻したから
G0846 G0618

僕は答えた、『あなたのご兄弟がお帰りになりました。無事に迎えたというので、父上が肥えた子牛をほふらせなさったのです』。

28 ὠργίσθη δὲ, καὶ οὐκ ἤθελεν εἰσελθεῖν. ὁ δὲ πατὴρ αὐτοῦ,
怒った しかし そして なかった 望まなかった 入ることを その そこで 父が 彼の
G3710 G1161 G2532 G3756 G2309 G1525 G3588 G1161 G3962 G0846

ἐξελθὼν, παρεκάλει αὐτόν.
出て-来て 頼んだ 彼に
G1831 G3870 G0846

兄はおこって家にはいろうとしなかったので、父が出てきてなだめると、

29 ὁ δὲ ἀποκριθεὶς, εἶπεν τῷ πατρὶ ‹αὐτοῦ›, Ἰδοὺ, τοσαῦτα ἔτη
その しかし 答えて 言った その 父に 自分の 見よ これほどの 年
G3588 G1161 G0611 G3004 G3588 G3962 G0846 G3708 G5118 G2094

δουλεύω σοι, καὶ οὐδέποτε ἐντολήν σου παρῆλθον, καὶ ἐμοὶ
仕えてきた あなたに そして 一度も 命令を あなたの 破らなかった それなのに 私に
G1398 G4771 G2532 G3763 G1785 G4771 G3928 G2532 G1473

οὐδέποτε ἔδωκας ἔριφον, ἵνα μετὰ τῶν φίλων μου
一度も くれなかった 子山羊さえ そうすれば 共に 私の 友人たちと 私の
G3763 G1325 G2056 G2443 G3326 G3588 G5384 G1473

εὐφρανθῶ.
祝いが-できたのに
G2165

兄は父にむかって言った、『わたしは何か年もあなたに仕えて、一度でもあなたの言いつけにそむいたことはなかったのに、友だちと楽しむために子やぎ一匹も下さったことはありません。

30 ὅτε δὲ ὁ υἱός σου οὗτος, ὁ καταφαγών σου τὸν
しかし とき あなたの 息子が あなたの この その 食い-つくした-者が あなたの その
G3753 G1161 G3588 G5207 G4771 G3778 G3588 G2719 G4771 G3588

βίον μετὰ πορνῶν, ἦλθεν, ἔθυσας αὐτῷ τὸν σιτευτὸν μόσχον!
財産を と共に 遊女たちと 来たのに ほふった 彼の-ために その 肥えた 子牛を
G0979 G3326 G4204 G2064 G2380 G0846 G3588 G4618 G3448

それだのに、遊女どもと一緒になって、あなたの身代を食いつぶしたこのあなたの子が帰ってくると、そのために肥えた子牛をほふりなさいました』。

31

ὁ	δὲ	εἶπεν	αὐτῷ,	Τέκνον,	σὺ	πάντοτε	μετ’	ἐμοῦ	εἶ,	καὶ
その	しかし	言った	彼に	わが子よ	あなたは	いつも	共に-いる	私と	である	そして
G3588	G1161	G3004	G0846	G5043	G4771	G3842	G3326	G1473	G1510	G2532

πάντα	τὰ	ἐμὰ,	σά	ἐστιν.
すべて	その	私の-ものは	あなたの-もの	である
G3956	G3588	G1699	G4674	G1510

すると父は言った、『子よ、あなたはいつもわたしと一緒にいるし、またわたしのものは全部あなたのものだ。

32

εὐφρανθῆναι	δὲ	καὶ	χαρῆναι	ἔδει,	ὅτι	ὁ	ἀδελφός	σου
祝ること	しかし	と	喜ぶこと	すべきであった	なぜなら	あなたの	弟は	あなたの
G2165	G1161	G2532	G5463	G1163	G3754	G3588	G0080	G4771

οὗτος,	νεκρὸς	ἦν,	καὶ	ἔζησεν;	καὶ	ἀπολωλὼς,	καὶ	εὑρέθη.
この	死んで-いた	いた	そして	生き返った	そして	失われて-いた	そして	見つかった
G3778	G3498	G1510	G2532	G2198	G2532	G0622	G2532	G2147

しかし、このあなたの弟は、死んでいたのに生き返り、いなくなっていたのに見つかったのだから、喜び祝うのはあたりまえである』」。

Chapter 16

1

Ἔλεγεν	δὲ	καὶ	πρὸς	τοὺς	μαθητάς,	Ἄνθρωπός	τις	ἦν	πλούσιος,
語った	そして	また	に向かって	その	弟子たちに	ある-人が	ある	いた	富んだ
G3004	G1161	G2532	G4314	G3588	G3101	G0444	G5100	G1510	G4145

ὃς	εἶχεν	οἰκονόμον,	καὶ	οὗτος	διεβλήθη	αὐτῷ	ὡς	διασκορπίζων
その	持っていた	管理人を	すると	この-者は	訴えられた	彼に	として	浪費している
G3739	G2192	G3623	G2532	G3778	G1225	G0846	G5613	G1287

τὰ	ὑπάρχοντα	αὐτοῦ.
その	財産を	彼の
G3588	G5225	G0846

イエスはまた、弟子たちに言われた、「ある金持のところにひとりの家令がいたが、彼は主人の財産を浪費していると、告げ口をする者があった。

2

καὶ	φωνήσας	αὐτὸν,	εἶπεν	αὐτῷ,	Τί	τοῦτο	ἀκούω	περὶ	σοῦ?
そこで	呼び出して	彼を	言った	彼に	何を	これは	聞いている	について	お前の
G2532	G5455	G0846	G3004	G0846	G5101	G3778	G0191	G4012	G4771

ἀπόδος	τὸν	λόγον	τῆς	οἰκονομίας	σου;	οὐ	γὰρ	δύνῃ	ἔτι
提出せよ	その	報告を	その	管理の	お前の	ない	なぜなら	できない	もう
G0591	G3588	G3056	G3588	G3622	G4771	G3756	G1063	G1410	G2089

οἰκονομεῖν.
管理することが
G3621

そこで主人は彼を呼んで言った、『あなたについて聞いていることがあるが、あれはどうなのか。あなたの会計報告を出しなさい。もう家令をさせて置くわけにはいかないから』。

3 εἶπεν δὲ ἐν ἑαυτῷ ὁ οἰκονόμος, Τί ποιήσω, ὅτι ὁ
言った そこで の中で 自分自身に その 管理人は 何を しようか なぜなら 私の
G3004 G1161 G1722 G1438 G3588 G3623 G5101 G4160 G3754 G3588

κύριός μου ἀφαιρεῖται τὴν οἰκονομίαν ἀπ' ἐμοῦ? σκάπτειν οὐκ ἰσχύω;
主人が 私の 取り上げる その 管理職を から 私から 掘ることは ない できない
G2962 G1473 G0851 G3588 G3622 G0575 G1473 G4626 G3756 G2480

ἐπαιτεῖν αἰσχύνομαι.
物乞いは 恥ずかしい
G1871 G0153

この家令は心の中で思った、『どうしようか。主人がわたしの職を取り上げようとしている。土を掘るには力がないし、物ごいするのは恥ずかしい。

4 ἔγνων τί ποιήσω, ἵνα ὅταν μεταστα θῶ ἐκ τῆς οἰκονομίας,
わかった 何を しよう そうすれば その-時 移されたら から その 管理職から
G1097 G5101 G4160 G2443 G3752 G3179 G1537 G3588 G3622

δέξωνταί με εἰς τοὺς οἴκους ἑαυτῶν.
受け-入れてくれる 私を の中に 自分たちの 家に 自分たちの
G1209 G1473 G1519 G3588 G3624 G1438

そうだ、わかった。こうしておけば、職をやめさせられる場合、人々がわたしをその家に迎えてくれるだろう』。

5 καὶ προσκαλεσάμενος ἕνα ἕκαστον τῶν χρεοφειλετῶν, τοῦ κυρίου ἑαυτοῦ,
そこで 呼び-寄せた 一人 一人ずつ その 負債者たちを その 主人の 自分の
G2532 G4341 G1520 G1538 G3588 G5533 G3588 G2962 G1438

ἔλεγεν τῷ πρώτῳ, Πόσον ὀφείλεις τῷ κυρίῳ μου?
言った その 最初の-者に いくら 借りている その 主人に 私の
G3004 G3588 G4413 G4214 G3784 G3588 G2962 G1473

それから彼は、主人の負債者をひとりびとり呼び出して、初めの人に、『あなたは、わたしの主人にどれだけ負債がありますか』と尋ねた。

6 ὁ δὲ εἶπεν, Ἑκατὸν βάτους ἐλαίου. ὁ δὲ εἶπεν αὐτῷ, Δέξαι
その すると 言った 百 バトの 油を その そこで 言った 彼に 受け-取れ
G3588 G1161 G3004 G1540 G0943 G1637 G3588 G1161 G3004 G0846 G1209

σου τὰ γράμματα καὶ, καθίσας ταχέως, γράψον πεντήκοντα.
お前の その 証書を そして 座って 急いで 書け 五十と
G4771 G3588 G1121 G2532 G2523 G5030 G1125 G4004

『油百樽です』と答えた。そこで家令が言った、『ここにあなたの証書がある。すぐそこにすわって、五十樽と書き変えなさい』。

7 ἔπειτα ἑτέρῳ εἶπεν, Σὺ δὲ πόσον ὀφείλεις? ὁ δὲ εἶπεν,
それから 別の-者に 言った お前は すると いくら 借りている その すると 言った
G1899 G2087 G3004 G4771 G1161 G4214 G3784 G3588 G1161 G3004

Ἑκατὸν κόρους σίτου. λέγει αὐτῷ, Δέξαι σου τὰ γράμματα καὶ
百 コルの 小麦を 言った 彼に 受け-取れ お前の その 証書を そして
G1540 G2884 G4621 G3004 G0846 G1209 G4771 G3588 G1121 G2532

γράψον ὀγδοήκοντα.
書け 八十と
G1125 G3589

次に、もうひとりに、『あなたの負債はどれだけですか』と尋ねると、『麦百石です』と答えた。これに対して、『ここに、あなたの証書があるが、八十石と書き変えなさい』と言った。

8 καὶ ἐπῄνεσεν ὁ κύριος τὸν οἰκονόμον τῆς ἀδικίας, ὅτι
すると ほめた その 主人は その 不正な-管理人を その 不正の なぜなら
G2532 G1867 G3588 G2962 G3588 G3623 G3588 G0093 G3754

φρονίμως ἐποίησεν. ὅτι οἱ υἱοὶ τοῦ αἰῶνος τούτου, φρονιμώτεροι
賢く 行ったからだ なぜなら その 子らは この 世の この より-賢い
G5430 G4160 G3754 G3588 G5207 G3588 G0165 G3778 G5429

ὑπὲρ τοὺς υἱοὺς τοῦ φωτὸς εἰς τὴν γενεὰν τὴν
よりも その 光の-子らより その 光の に-ついて その 自分たちの-世代には 自分たちの
G5228 G3588 G5207 G3588 G5457 G1519 G3588 G1074 G3588

ἑαυτῶν εἰσιν.
自分たちの である
G1438 G1510

ところが主人は、この不正な家令の利口なやり方をほめた。この世の子らはその時代に対しては、光の子らよりも利口である。

9 Καὶ ἐγὼ ὑμῖν λέγω, ἑαυτοῖς ποιήσατε φίλους ἐκ τοῦ
そこで 私は あなたがたに 言う 自分たちの-ために 作りなさい 友を から その
G2532 G1473 G4771 G3004 G1438 G4160 G5384 G1537 G3588

μαμωνᾶ τῆς ἀδικίας, ἵνα ὅταν ἐκλίπῃ, δέξωνται
不正の-富から その 不義の そうすれば その-時 尽きたら 受け-入れてくれるであろう
G3126 G3588 G0093 G2443 G3752 G1587 G1209

ὑμᾶς εἰς τὰς αἰωνίους σκηνάς.
あなたがたを の中に その 永遠の 住まいに
G4771 G1519 G3588 G0166 G4633

またあなたがたに言うが、不正の富を用いてでも、自分のために友だちをつくるがよい。そうすれば、富が無くなった場合、あなたがたを永遠のすまいに迎えてくれるであろう。

10 ὁ πιστὸς ἐν ἐλαχίστῳ, καὶ ἐν πολλῷ πιστός
その 忠実な-者は に-おいて 最も-小さい-ことに また に-おいて 多くの-ことにも 忠実で-ある
G3588 G4103 G1722 G1646 G2532 G1722 G4183 G4103

ἐστιν; καὶ ὁ ἐν ἐλαχίστῳ ἄδικος, καὶ ἐν
である そして その に-おいて 最も-小さい-ことに 不正な-者は また に-おいて
G1510 G2532 G3588 G1722 G1646 G0094 G2532 G1722

πολλῷ ἄδικός ἐστιν.
多くの-ことにも 不正で-ある である
G4183 G0094 G1510

小事に忠実な人は、大事にも忠実である。そして、小事に不忠実な人は大事にも不忠実である。

11 εἰ οὖν ἐν τῷ ἀδίκῳ μαμωνᾷ, πιστοὶ οὐκ ἐγένεσθε, τὸ
もし だから に-おいて その 不正の 富に 忠実で なかった ならなかった-なら その
G1487 G3767 G1722 G3588 G0094 G3126 G4103 G3756 G1096 G3588

ἀληθινὸν τίς ὑμῖν πιστεύσει?
真実の-ものを 誰が あなたがたに 任せるだろうか
G0228 G5101 G4771 G4100

だから、もしあなたがたが不正の富について忠実でなかったら、だれが真の富を任せるだろうか。

12 καὶ εἰ ἐν τῷ ἀλλοτρίῳ, πιστοὶ οὐκ ἐγένεσθε, τὸ
そして もし に-おいて その 他人の-ものに 忠実で なかった ならなかった-なら その
G2532 G1487 G1722 G3588 G0245 G4103 G3756 G1096 G3588

ὑμέτερον τίς δώσει ὑμῖν?
あなたがた自身の-ものを 誰が 与える あなたがたに
G5212 G5101 G1325 G4771

また、もしほかの人のものについて忠実でなかったら、だれがあなたがたのものを与えてくれようか。

13 Οὐδεὶς οἰκέτης δύναται δυσὶ κυρίοις δουλεύειν, ἢ γὰρ τὸν ἕνα
誰も しもべは できない 二人の 主人に 仕える-ことが なぜなら 必ず 一方を 一方の
G3762 G3610 G1410 G1417 G2962 G1398 G2228 G1063 G3588 G1520

μισήσει, καὶ τὸν ἕτερον ἀγαπήσει; ἢ ἑνὸς ἀνθέξεται, καὶ τοῦ
憎み もう 他方を 他方の 愛する あるいは 一方に 仕えて もう 他方を
G3404 G2532 G3588 G2087 G0025 G2228 G1520 G0472 G2532 G3588

ἑτέρου καταφρονήσει. οὐ δύνασθε Θεῷ δουλεύειν, καὶ μαμωνᾷ.
他方の 軽んじる ない できない 神と 仕える-ことが と 富に
G2087 G2706 G3756 G1410 G2316 G1398 G2532 G3126

どの僕でも、ふたりの主人に兼ね仕えることはできない。一方を憎んで他方を愛し、あるいは、一方に親しんで他方をうとんじるからである。あなたがたは、神と富とに兼ね仕えることはできない」。

14 Ἤκουον δὲ ταῦτα πάντα οἱ Φαρισαῖοι, φιλάργυροι ὑπάρχοντες,
聞いていた しかし これらを すべて その パリサイ人たちは 金好きで ありながら
G0191 G1161 G3778 G3956 G3588 G5330 G5366 G5225

καὶ ἐξεμυκτήριζον αὐτόν.
そして あざ笑った 彼を
G2532 G1592 G0846

欲の深いパリサイ人たちが、すべてこれらの言葉を聞いて、イエスをあざ笑った。

15 καὶ εἶπεν αὐτοῖς, Ὑμεῖς ἐστε οἱ δικαιοῦντες ἑαυτοὺς
そこで 言った 彼らに あなたがたは である その 正しいと-する-者たち 自分自身を
G2532 G3004 G0846 G4771 G1510 G3588 G1344 G1438

ἐνώπιον τῶν ἀνθρώπων, ὁ δὲ Θεὸς γινώσκει τὰς καρδίας ὑμῶν;
前で その 人々の その しかし 神は 知っておられる その 心を あなたがたの
G1799 G3588 G0444 G3588 G1161 G2316 G1097 G3588 G2588 G4771

ὅτι τὸ ἐν ἀνθρώποις ὑψηλὸν, βδέλυγμα ἐνώπιον τοῦ
なぜなら その に-おいて 人の-中で 高い-ものは 忌まわしい-ものである 前で その
G3754 G3588 G1722 G0444 G5308 G0946 G1799 G3588

Θεοῦ.
神の
G2316

そこで彼らにむかって言われた、「あなたがたは、人々の前で自分を正しいとする人たちである。しかし、神はあなたがたの心をご存じである。人々の間で尊ばれるものは、神のみまえでは忌みきらわれる。

16 Ὁ νόμος καὶ οἱ προφῆται μέχρι Ἰωάννου; ἀπὸ τότε ἡ
その 律法と と その 預言者たちは まで ヨハネまで それ–以来 その–時から その
G3588 G3551 G2532 G3588 G4396 G3360 G2491 G0575 G5119 G3588

βασιλεία τοῦ Θεοῦ εὐαγγελίζεται, καὶ πᾶς εἰς αὐτὴν
神の–国が その 神の 宣べ–伝えられている そして すべての–者が の中に それに
G0932 G3588 G2316 G2097 G2532 G3956 G1519 G0846

βιάζεται.
押し–入ろうとする
G0971

律法と預言者とはヨハネの時までのものである。それ以来、神の国が宣べ伝えられ、人々は皆これに突入している。

17 εὐκοπώτερον δέ ἐστιν τὸν οὐρανὸν καὶ τὴν γῆν παρελθεῖν, ἢ
より–たやすい しかし である その 天と と その 地が 過ぎ–去ることは よりも
G2123 G1161 G1510 G3588 G3772 G2532 G3588 G1093 G3928 G2228

τοῦ νόμου μίαν κεραίαν πεσεῖν.
その 律法の 一つの 画が 落ちることは
G3588 G3551 G1520 G2762 G4098

しかし、律法の一画が落ちるよりは、天地の滅びる方が、もっとたやすい。

18 Πᾶς ὁ ἀπολύων τὴν γυναῖκα αὐτοῦ, καὶ γαμῶν ἑτέραν,
すべて その 離縁する–者は 自分の 妻を 自分の そして めとる–なら 他の–女を
G3956 G3588 G0630 G3588 G1135 G0846 G2532 G1060 G2087

μοιχεύει. καὶ ὁ ἀπολελυμένην ἀπὸ ἀνδρὸς, γαμῶν, μοιχεύει.
姦淫を–犯す そして その 離縁された–女を から 夫から めとる–者も 姦淫を–犯す
G3431 G2532 G3588 G0630 G0575 G0435 G1060 G3431

すべて自分の妻を出して他の女をめとる者は、姦淫を行うものであり、また、夫から出された女をめとる者も、姦淫を行うものである。

19 Ἄνθρωπος δέ τις ἦν πλούσιος, καὶ ἐνεδιδύσκετο πορφύραν καὶ
ある–人が さて ある いた 富んだ そして 身に–つけていた 紫と と
G0444 G1161 G5100 G1510 G4145 G2532 G1737 G4209 G2532

βύσσον, εὐφραινόμενος καθ’ ἡμέραν λαμπρῶς.
上質の–亜麻を 楽しみながら 毎 日 贅沢に
G1040 G2165 G2596 G2250 G2988

ある金持がいた。彼は紫の衣や細布を着て、毎日ぜいたくに遊び暮していた。

20 πτωχὸς δέ τις ὀνόματι Λάζαρος, ἐβέβλητο πρὸς τὸν πυλῶνα αὐτοῦ,
貧しい–者が さて ある 名の ラザロが 置かれて–いた に 彼の 門の–前に 彼の
G4434 G1161 G5100 G3686 G2976 G0906 G4314 G3588 G4440 G0846

εἱλκωμένος,
でき物だらけで
G1669

ところが、ラザロという貧乏人が全身でき物でおおわれて、この金持の玄関の前にすわり、

21 καὶ そして G2532 ἐπιθυμῶν 望んだ G1937 χορτασθῆναι 満たされることを G5526 ἀπὸ から G0575 τῶν その G3588 πιπτόντων 落ちる-もので G4098 ἀπὸ から G0575 τῆς その G3588 τραπέζης 食卓から G5132 τοῦ その G3588 πλουσίου; 金持ちの G4145 ἀλλὰ それどころか G0235 καὶ また G2532 οἱ その G3588 κύνες 犬さえも G2965 ἐρχόμενοι 来て G2064 ἐπέλειχον なめた G0621 τὰ 彼の G3588 ἕλκη でき物を G1668 αὐτοῦ. 彼の G0846

その食卓から落ちるもので飢えをしのごうと望んでいた。その上、犬がきて彼のでき物をなめていた。

22 ἐγένετο 起こった G1096 δὲ さて G1161 ἀποθανεῖν 死ぬことが G0599 τὸν その G3588 πτωχὸν, 貧しい-者が G4434 καὶ そして G2532 ἀπενεχθῆναι 運ばれた G0667 αὐτὸν 彼が G0846 ὑπὸ によって G5259 τῶν その G3588 ἀγγέλων, 御使いたちによって G0032 εἰς の中に G1519 τὸν その G3588 κόλπον ふところに G2859 Ἀβραάμ. アブラハムの G0011 ἀπέθανεν 死んだ G0599 δὲ また G1161 καὶ また G2532 ὁ その G3588 πλούσιος, 金持ちも G4145 καὶ そして G2532 ἐτάφη. 葬られた G2290

この貧乏人がついに死に、御使たちに連れられてアブラハムのふところに送られた。金持も死んで葬られた。

23 καὶ そして G2532 ἐν の中で G1722 τῷ その G3588 ᾅδῃ 陰府で G0086 ἐπάρας 上げて G1869 τοὺς 自分の G3588 ὀφθαλμοὺς 目を G3788 αὐτοῦ, 自分の G0846 ὑπάρχων あって G5225 ἐν の中に G1722 βασάνοις, 苦しみの G0931 ὁρᾷ 見た G3708 Ἀβραὰμ アブラハムを G0011 ἀπὸ から G0575 μακρόθεν, 遠くから G3113 καὶ そして G2532 Λάζαρον ラザロを G2976 ἐν の中に G1722 τοῖς 彼の G3588 κόλποις ふところに G2859 αὐτοῦ. 彼の G0846

そして黄泉にいて苦しみながら、目をあげると、アブラハムとそのふところにいるラザロとが、はるかに見えた。

24 καὶ そして G2532 αὐτὸς 彼自身 G0846 φωνήσας 呼びかけて G5455 εἶπεν, 言った G3004 Πάτερ 父よ G3962 Ἀβραάμ, アブラハムよ G0011 ἐλέησόν 憐れんでください G1653 με, 私を G1473 καὶ そして G2532 πέμψον 遣わしてください G3992 Λάζαρον, ラザロを G2976 ἵνα そうすれば G2443 βάψῃ 浸す G0911 τὸ その G3588 ἄκρον 先を G0206 τοῦ 彼の G3588 δακτύλου 指の G1147 αὐτοῦ 彼の G0846 ὕδατος, 水に G5204 καὶ そして G2532 καταψύξῃ 冷やしてください G2711 τὴν 私の G3588 γλῶσσάν 舌を G1100 μου; 私の G1473 ὅτι なぜなら G3754 ὀδυνῶμαι 苦しんでいる G3600 ἐν の中で G1722 τῇ この G3588 φλογὶ 炎の G5395 ταύτῃ. この G3778

そこで声をあげて言った、『父、アブラハムよ、わたしをあわれんでください。ラザロをおつかわしになって、その指先を水でぬらし、わたしの舌を冷やさせてください。わたしはこの火炎の中で苦しみもだえています』。

25 εἶπεν 言った G3004 δὲ しかし G1161 Ἀβραάμ, アブラハムは G0011 Τέκνον, わが子よ G5043 μνήσθητι 思い出せ G3403 ὅτι と G3754 ἀπέλαβες 受けた G0618 τὰ お前の G3588 ἀγαθά 良い-ものを G0018

σου, お前の G4771 ἐν に-おいて G1722 τῇ お前の G3588 ζωῇ 生涯に G2222 σου, お前の G4771 καὶ そして G2532 Λάζαρος ラザロは G2976 ὁμοίως 同様に G3668 τὰ その G3588 κακά. 悪い-ものを G2556 νῦν 今 G3568

δὲ しかし G1161 ὧδε ここで G5602 παρακαλεῖται; 慰められている G3870 σὺ お前は G4771 δὲ しかし G1161 ὀδυνᾶσαι. 苦しんでいる G3600

アブラハムが言った、『子よ、思い出すがよい。あなたは生前よいものを受け、ラザロの方は悪いものを受けた。しかし今ここでは、彼は慰められ、あなたは苦しみもだえている。

26 καὶ そして G2532 ἐν において G1722 πᾶσι すべての G3956 τούτοις, これらの G3778 μεταξὺ 之間に G3342 ἡμῶν 私たちと G1473 καὶ と G2532 ὑμῶν お前たちの G4771 χάσμα 深い-溝が G5490 μέγα 大きな G3173

ἐστήρικται, 置かれている G4741 ὅπως それで G3704 οἱ その G3588 θέλοντες 望む-者が G2309 διαβῆναι 渡ることが G1224 ἔνθεν ここから G1759 πρὸς に G4314 ὑμᾶς お前たちの-もとに G4771 μὴ ない G3361

δύνωνται, できない G1410 μηδὲ また G3366 ἐκεῖθεν そこから G1564 πρὸς に G4314 ἡμᾶς 私たちの-もとに G1473 διαπερῶσιν. 渡って-来ることも G1276

そればかりか、わたしたちとあなたがたとの間には大きな淵がおいてあって、こちらからあなたがたの方へ渡ろうと思ってもできないし、そちらからわたしたちの方へ越えて来ることもできない』。

27 εἶπεν 言った G3004 δέ, そこで G1161 Ἐρωτῶ 願う G2065 σε あなたに G4771 οὖν, だから G3767 πάτερ, 父よ G3962 ἵνα そうすれば G2443 πέμψῃς 遣わしてください G3992 αὐτὸν 彼を G0846

εἰς の中に G1519 τὸν その G3588 οἶκον 家に G3624 τοῦ 私の G3588 πατρός 父の G3962 μου, 私の G1473

そこで金持が言った、『父よ、ではお願いします。わたしの父の家へラザロをつかわしてください。

28 ἔχω 持っている G2192 γὰρ なぜなら G1063 πέντε 五人の G4002 ἀδελφούς, 兄弟を G0080 ὅπως そうすれば G3704 διαμαρτύρηται 警告する G1263 αὐτοῖς, 彼らに G0846 ἵνα そうすれば G2443

μὴ ない G3361 καὶ また G2532 αὐτοὶ 彼らも G0846 ἔλθωσιν 来ない G2064 εἰς の中に G1519 τὸν この G3588 τόπον 場所に G5117 τοῦτον この G3778 τῆς その G3588 βασάνου. 苦しみの G0931

わたしに五人の兄弟がいますので、こんな苦しい所へ来ることがないように、彼らに警告していただきたいのです』。

29 λέγει 言った G3004 δὲ しかし G1161 Ἀβραάμ, アブラハムは G0011 Ἔχουσι 持っている G2192 Μωϋσέα モーセと G3475 καὶ と G2532 τοὺς その G3588 προφήτας: 預言者たちを G4396 ἀκουσάτωσαν 聞きなさい G0191

αὐτῶν. 彼らの G0846

アブラハムは言った、『彼らにはモーセと預言者とがある。それに聞くがよかろう』。

30 ὁ δὲ εἶπεν, Οὐχί, πάτερ Ἀβραάμ, ἀλλ’ ἐάν τις ἀπὸ
その しかし 言った いいえ 父よ アブラハムよ しかし もし 誰かが から
G3588 G1161 G3004 G3780 G3962 G0011 G0235 G1437 G5100 G0575

νεκρῶν πορευθῇ πρὸς αὐτοὺς, μετανοήσουσιν.
死者の–中から 行ったなら に 彼らの–もとに 悔い改めるだろう
G3498 G4198 G4314 G0846 G3340

金持が言った、『いえいえ、父アブラハムよ、もし死人の中からだれかが兄弟たちのところへ行ってくれましたら、彼らは悔い改めるでしょう』。

31 εἶπεν δὲ αὐτῷ, Εἰ Μωϋσέως καὶ τῶν προφητῶν οὐκ ἀκούουσιν,
言った しかし 彼に もし モーセと と その 預言者たちに ない 聞かない–なら
G3004 G1161 G0846 G1487 G3475 G2532 G3588 G4396 G3756 G0191

οὐδ’ ἐάν τις ἐκ νεκρῶν ἀναστῇ, πεισθήσονται.
ない たとえ 誰かが から 死者の–中から 復活しても 信じないであろう
G3761 G1437 G5100 G1537 G3498 G0450 G3982

アブラハムは言った、『もし彼らがモーセと預言者とに耳を傾けないなら、死人の中からよみがえってくる者があっても、彼らはその勧めを聞き入れはしないであろう』」。

Chapter 17

1 Εἶπεν δὲ πρὸς τοὺς μαθητὰς αὐτοῦ, Ἀνένδεκτόν ἐστιν τοῦ τὰ
言った そして に向かって その 弟子たちに 彼の 避けられない である その その
G3004 G1161 G4314 G3588 G3101 G0846 G0418 G1510 G3588 G3588

σκάνδαλα μὴ ἐλθεῖν, πλὴν οὐαὶ δι’ οὗ ἔρχεται!
つまずきが ない 来る–ことは しかし わざわいなるかな を–通して その–者の 来る
G4625 G3361 G2064 G4133 G3759 G1223 G3739 G2064

イエスは弟子たちに言われた、「罪の誘惑が来ることは避けられない。しかし、それをきたらせる者は、わざわいである。

2 λυσιτελεῖ αὐτῷ εἰ λίθος μυλικὸς περίκειται περὶ τὸν τράχηλον
ましである その–者には もし 石臼の–石が ひき臼の 掛けられて の–周りに 彼の 首の
G3081 G0846 G1487 G3037 G3457 G4029 G4012 G3588 G5137

αὐτοῦ, καὶ ἔρριπται εἰς τὴν θάλασσαν, ἢ ἵνα
彼の そして 投げ–込まれる–方が の中に その 海に よりも というのは
G0846 G2532 G4496 G1519 G3588 G2281 G2228 G2443

σκανδαλίσῃ τῶν μικρῶν τούτων ἕνα.
つまずかせることは この 小さい–者たちの これらの 一人を
G4624 G3588 G3398 G3778 G1520

これらの小さい者のひとりを罪に誘惑するよりは、むしろ、ひきうすを首にかけられて海に投げ入れられた方が、ましである。

3 προσέχετε ἑαυτοῖς: ἐὰν ἁμάρτῃ ὁ ἀδελφός σου, ἐπιτίμησον
気を–つけよ 自分自身に もし 罪を–犯したなら あなたの 兄弟が あなたの 戒めよ
G4337 G1438 G1437 G0264 G3588 G0080 G4771 G2008

αὐτῷ; καὶ ἐὰν μετανοήσῃ, ἄφες αὐτῷ.
彼を そして もし 悔い改めたなら 赦しよ 彼を
G0846 G2532 G1437 G3340 G0863 G0846

あなたがたは、自分で注意していなさい。もしあなたの兄弟が罪を犯すなら、彼をいさめなさい。そして悔い改めたら、ゆるしてやりなさい。

4

καὶ	ἐὰν	ἑπτάκις	τῆς	ἡμέρας	ἁμαρτήσῃ	εἰς	σὲ,	καὶ	ἑπτάκις	
そして	もし	七度	その	日に	罪を-犯しても	に-対して	あなたに	そして	七度	
G2532	G1437	G2034	G3588	G2250	G0264	G1519	G4771	G2532	G2034	

ἐπιστρέψῃ	πρὸς	σὲ,	λέγων	Μετανοῶ,	ἀφήσεις	αὐτῷ.
戻って-きて	に	あなたに	言って	悔い改めると	赦しなさい	彼を
G1994	G4314	G4771	G3004	G3340	G0863	G0846

もしあなたに対して一日に七度罪を犯し、そして七度『悔い改めます』と言ってあなたのところへ帰ってくれば、ゆるしてやるがよい」。

5

Καὶ	εἶπαν	οἱ	ἀπόστολοι	τῷ	Κυρίῳ,	Πρόσθες	ἡμῖν	πίστιν!	
すると	言った	その	使徒たちが	その	主に	加えてください	私たちに	信仰を	
G2532	G3004	G3588	G0652	G3588	G2962	G4369	G1473	G4102	

使徒たちは主に「わたしたちの信仰を増してください」と言った。

6

εἶπεν	δὲ	ὁ	Κύριος,	Εἰ	ἔχετε	πίστιν,	ὡς	κόκκον
言った	しかし	その	主は	もし	持っているなら	信仰を	のような	一粒の
G3004	G1161	G3588	G2962	G1487	G2192	G4102	G5613	G2848

σινάπεως,	ἐλέγετε	ἂν	τῇ	συκαμίνῳ	ταύτῃ,	Ἐκριζώθητι,	καὶ	
からしの-種ほどの	言えただろう	そうすれば	この	桑の-木に	この	引き-抜かれて	そして	
G4615	G3004	G0302	G3588	G4807	G3778	G1610	G2532	

φυτεύθητι	ἐν	τῇ	θαλάσσῃ,	καὶ	ὑπήκουσεν	ἂν	ὑμῖν.
植えられよ	の中に	その	海に	すると	従っただろう	というのに	あなたがたに
G5452	G1722	G3588	G2281	G2532	G5219	G0302	G4771

そこで主が言われた、「もし、からし種一粒ほどの信仰があるなら、この桑の木に、『抜け出して海に植われ』と言ったとしても、その言葉どおりになるであろう。

7

Τίς	δὲ	ἐξ	ὑμῶν	δοῦλον	ἔχων,	ἀροτριῶντα	ἢ	
しかし	さて	の中から	あなたがたの	しもべを	持っている-者が	耕している	あるいは	
G5101	G1161	G1537	G4771	G1401	G2192	G0722	G2228	

ποιμαίνοντα,	ὃς	εἰσελθόντι	ἐκ	τοῦ	ἀγροῦ,	ἐρεῖ	αὐτῷ	Εὐθέως,	
羊を-飼っている	その-者が	入って-来たら	から	その	畑から	言うだろうか	彼に	すぐに	
G4165	G3739	G1525	G1537	G3588	G0068	G2046	G0846	G2112	

παρελθὼν	ἀνάπεσε?
通って	座りなさいと
G3928	G0377

あなたがたのうちのだれかに、耕作か牧畜かをする僕があるとする。その僕が畑から帰って来たとき、彼に『すぐきて、食卓につきなさい』と言うだろうか。

8

ἀλλ’	οὐχὶ	ἐρεῖ	αὐτῷ,	Ἑτοίμασον	τί	δειπνήσω,	καὶ	
むしろ	ない-だろうか	言う	彼に	用意せよ	何か	食べる-ものを	そして	
G0235	G3780	G2046	G0846	G2090	G5101	G1172	G2532	

περιζωσάμενος,	διακόνει	μοι,	ἕως	φάγω	καὶ	πίω;	καὶ	μετὰ	
帯を-締めて	仕えよ	私に	まで	私が-食べ	そして	飲む-まで	そして	その-後で	
G4024	G1247	G1473	G2193	G5315	G2532	G4095	G2532	G3326	

ταῦτα	φάγεσαι	καὶ	πίεσαι	σύ?
これらの	食べよ	そして	飲め	お前は
G3778	G5315	G2532	G4095	G4771

かえって、『夕食の用意をしてくれ。そしてわたしが飲み食いをするあいだ、帯をしめて給仕をしなさい。そのあとで、飲み食いをするがよい』と、言うではないか。

9 μὴ ない–か G3361 ἔχει 持っているか G2192 χάριν 感謝を G5485 τῷ その G3588 δούλῳ, しもべに G1401 ὅτι なぜなら G3754 ἐποίησεν 行ったからといって G4160 τὰ その G3588 διαταχθέντα? 命じられた–ことを G1299

僕が命じられたことをしたからといって、主人は彼に感謝するだろうか。

10 οὕτως こうして G3779 καὶ また G2532 ὑμεῖς, あなたがたも G4771 ὅταν その–時 G3752 ποιήσητε 行ったなら G4160 πάντα すべての G3956 τὰ その G3588 διαταχθέντα 命じられた–ことを G1299 ὑμῖν, あなたがたに G4771 λέγετε, 言いなさい G3004 ὅτι と G3754 Δοῦλοι 役に–立たない G1401 ἀχρεῖοί 僕べで–ある G0888 ἐσμεν, である G1510 ὃ その G3739 ὠφείλομεν すべきで–あった–ことを G3784 ποιῆσαι する–ことを G4160 πεποιήκαμεν. したのだから G4160

同様にあなたがたも、命じられたことを皆してしまったとき、『わたしたちはふつつかな僕です。すべき事をしたに過ぎません』と言いなさい」。

11 Καὶ そして G2532 ἐγένετο 起こった G1096 ἐν の中で G1722 τῷ その G3588 πορεύεσθαι 旅する–途中で G4198 εἰς へ G1519 Ἰερουσαλὴμ, エルサレムへ G2419 καὶ そして G2532 αὐτὸς 彼は G0846 διήρχετο 通って–行った G1330 διὰ を–通って G1223 μέσον の–間を G3319 Σαμαρείας サマリヤと G4540 καὶ と G2532 Γαλιλαίας. ガリラヤの G1056

イエスはエルサレムへ行かれるとき、サマリヤとガリラヤとの間を通られた。

12 καὶ すると G2532 εἰσερχομένου 入ろうと–している–時に G1525 αὐτοῦ 彼が G0846 εἴς の中に G1519 τινα ある G5100 κώμην, 村に G2968 ἀπήντησαν 出会った G0528 [αὐτῷ] 彼に G0846 δέκα 十人の G1176 λεπροὶ, らい病人が G3015 ἄνδρες 男たちで G0435 οἳ 彼らは G3739 ἔστησαν 立ち–止まった G2476 πόρρωθεν. 遠くに G4207

そして、ある村にはいられると、十人のらい病人に出会われたが、彼らは遠くの方で立ちとどまり、

13 καὶ そして G2532 αὐτοὶ 彼らは G0846 ἦραν 上げた G0142 φωνὴν, 声を G5456 λέγοντες, 言って G3004 Ἰησοῦ. イエスよ G2424 Ἐπιστάτα, 先生よ G1988 ἐλέησον 憐れんでください G1653 ἡμᾶς. 私たちを G1473

声を張りあげて、「イエスさま、わたしたちをあわれんでください」と言った。

14 καὶ すると G2532 ἰδὼν, 見て G3708 εἶπεν 言った G3004 αὐτοῖς, 彼らに G0846 Πορευθέντες, 行って G4198 ἐπιδείξατε 見せなさい G1925 ἑαυτοὺς 自分たちを G1438 τοῖς その G3588 ἱερεῦσιν. 祢司たちに G2409 καὶ すると G2532 ἐγένετο 起こった G1096 ἐν の中で G1722 τῷ その G3588 ὑπάγειν 行く–途中で G5217 αὐτοὺς, 彼らは G0846 ἐκαθαρίσθησαν. 清められた G2511

イエスは彼らをごらんになって、「祭司たちのところに行って、からだを見せなさい」と言われた。そして、行く途中で彼らはきよめられた。

15

εἷς	δὲ	ἐξ	αὐτῶν,	ἰδὼν	ὅτι	ἰάθη,	ὑπέστρεψεν,	μετὰ	φωνῆς
一人が	しかし	の中の	彼らの	見て	と	いやされたのを	引き-返した	を-もって	声の
G1520	G1161	G1537	G0846	G3708	G3754	G2390	G5290	G3326	G5456

μεγάλης;	δοξάζων	τὸν	Θεόν,
大きな	讃美しながら	その	神を
G3173	G1392	G3588	G2316

そのうちのひとりは、自分がいやされたことを知り、大声で神をほめたたえながら帰ってきて、

16

καὶ	ἔπεσεν	ἐπὶ	πρόσωπον,	παρὰ	τοὺς	πόδας	αὐτοῦ,	εὐχαριστῶν
そして	ひれ伏した	の-上に	顔を	の-そばに	彼の	足の	彼の	感謝しながら
G2532	G4098	G1909	G4383	G3844	G3588	G4228	G0846	G2168

αὐτῷ;	καὶ	αὐτὸς	ἦν	Σαμαρίτης.
彼に	そして	彼は	いた	サマリヤ人で-あった
G0846	G2532	G0846	G1510	G4541

イエスの足もとにひれ伏して感謝した。これはサマリヤ人であった。

17

ἀποκριθεὶς	δὲ,	ὁ	Ἰησοῦς	εἶπεν,	Οὐχὶ	οἱ	δέκα	ἐκαθαρίσθησαν?	οἱ
答えて	しかし	その	イエスは	言った	ない-か	その	十人が	清められたのでは	その
G0611	G1161	G3588	G2424	G3004	G3780	G3588	G1176	G2511	G3588

δὲ	ἐννέα	ποῦ?
しかし	九人は	どこに
G1161	G1767	G4226

イエスは彼にむかって言われた、「きよめられたのは、十人ではなかったか。ほかの九人は、どこにいるのか。

18

οὐχ	εὑρέθησαν	ὑποστρέψαντες	δοῦναι	δόξαν	τῷ	Θεῷ,	εἰ
なかった-のか	見つからなかった	戻って-きて	与える-者が	栄光を	その	神に	の-他には
G3756	G2147	G5290	G1325	G1391	G3588	G2316	G1487

μὴ	ὁ	ἀλλογενὴς	οὗτος?
ない	この	異邦人	この
G3361	G3588	G0241	G3778

神をほめたたえるために帰ってきたものは、この他国人のほかにはいないのか」。

19

καὶ	εἶπεν	αὐτῷ,	Ἀναστὰς	πορεύου;	ἡ	πίστις	σου	σέσωκέν
そして	言った	彼に	起ち上がって	行きなさい	あなたの	信仰が	あなたの	救った
G2532	G3004	G0846	G0450	G4198	G3588	G4102	G4771	G4982

σε!
あなたを
G4771

それから、その人に言われた、「立って行きなさい。あなたの信仰があなたを救ったのだ」。

20 Ἐπερωτηθεὶς δὲ ὑπὸ τῶν Φαρισαίων, πότε ἔρχεται ἡ βασιλεία
尋ねられた さて によって その パリサイ人たちに いつ 来るのか その 神の–国は
G1905 G1161 G5259 G3588 G5330 G4219 G2064 G3588 G0932

τοῦ Θεοῦ, ἀπεκρίθη αὐτοῖς καὶ εἶπεν, Οὐκ ἔρχεται ἡ βασιλεία τοῦ
その 神の 答えた 彼らに そして 言った ない 来ない その 神の–国は その
G3588 G2316 G0611 G0846 G2532 G3004 G3756 G2064 G3588 G0932 G3588

Θεοῦ μετὰ παρατηρήσεως;
神の を–もって 目に–見える–しるしで
G2316 G3326 G3907

神の国はいつ来るのかと、パリサイ人が尋ねたので、イエスは答えて言われた、「神の国は、見られるかたちで来るものではない。

21 οὐδὲ ἐροῦσιν, Ἰδοὺ ὧδε, ἢ Ἐκεῖ; ἰδοὺ γὰρ, ἡ βασιλεία
また 言わない 見よ ここにとか か あそこにとか 見よ なぜなら その 神の–国は
G3761 G2046 G3708 G5602 G2228 G1563 G3708 G1063 G3588 G0932

τοῦ Θεοῦ ἐντὸς ὑμῶν ἐστιν.
その 神の の–内に あなたがたの あるのだ
G3588 G2316 G1787 G4771 G1510

また『見よ、ここにある』『あそこにある』などとも言えない。神の国は、実にあなたがたのただ中にあるのだ」。

22 Εἶπεν δὲ πρὸς τοὺς μαθητάς, Ἐλεύσονται ἡμέραι, ὅτε ἐπιθυμήσετε
言った そして に向かって その 弟子たちに 来るであろう 日々が その–時 望むだろう
G3004 G1161 G4314 G3588 G3101 G2064 G2250 G3753 G1937

μίαν τῶν ἡμερῶν τοῦ Υἱοῦ τοῦ ἀνθρώπου ἰδεῖν, καὶ οὐκ
一つの その 日々の その 人の–子の その 人の 見ることを しかし ない
G1520 G3588 G2250 G3588 G5207 G3588 G0444 G3708 G2532 G3756

ὄψεσθε.
見ないであろう
G3708

それから弟子たちに言われた、「あなたがたは、人の子の日を一日でも見たいと願っても見ることができない時が来るであろう。

23 καὶ ἐροῦσιν ὑμῖν, Ἰδοὺ ἐκεῖ; [ἢ] Ἰδοὺ ὧδε. μὴ
そして 言うだろう あなたがたに 見よ あそこにとか か 見よ ここにとか するな
G2532 G2046 G4771 G3708 G1563 G2228 G3708 G5602 G3361

ἀπέλθητε μηδὲ διώξητε.
行くな また 追いかけるな
G0565 G3366 G1377

人々はあなたがたに、『見よ、あそこに』『見よ、ここに』と言うだろう。しかし、そちらへ行くな、彼らのあとを追うな。

24 ὥσπερ γὰρ ἡ ἀστραπὴ ἀστράπτουσα ἐκ τῆς ὑπὸ τὸν οὐρανὸν
ちょうど なぜなら その 稲妻が 光って から その の–下の その 天の
G5618 G1063 G3588 G0796 G0797 G1537 G3588 G5259 G3588 G3772

εἰς τὴν ὑπ’ οὐρανὸν λάμπει, οὕτως ἔσται ὁ Υἱὸς τοῦ
の–下の その の–下の 天の 輝くように そのように あるだろう その 人の–子は その
G1519 G3588 G5259 G3772 G2989 G3779 G1510 G3588 G5207 G3588

ἀνθρώπου ἐν τῇ ἡμέρᾳ αὐτοῦ.
人の の中に 彼の 日に 彼の
G0444 G1722 G3588 G2250 G0846

いなずまが天の端からひかり出て天の端へとひらめき渡るように、人の子もその日には同じようであるだろう。

25 πρῶτον δὲ δεῖ αὐτὸν πολλὰ παθεῖν, καὶ ἀποδοκιμασθῆναι
しかし–まず しかし 必要が–ある 彼は 多くの–ことを 苦しみ そして 拒絶されることが
G4412 G1161 G1163 G0846 G4183 G3958 G2532 G0593

ἀπὸ τῆς γενεᾶς ταύτης.
から この 世代に この
G0575 G3588 G1074 G3778

しかし、彼はまず多くの苦しみを受け、またこの時代の人々に捨てられねばならない。

26 καὶ καθὼς ἐγένετο ἐν ταῖς ἡμέραις Νῶε, οὕτως ἔσται καὶ
そして ちょうど 起こった に その 日々に ノアの そのように あるだろう また
G2532 G2531 G1096 G1722 G3588 G2250 G3575 G3779 G1510 G2532

ἐν ταῖς ἡμέραις τοῦ Υἱοῦ τοῦ ἀνθρώπου.
の中に その 日々に その 人の–子の その 人の
G1722 G3588 G2250 G3588 G5207 G3588 G0444

そして、ノアの時にあったように、人の子の時にも同様なことが起るであろう。

27 ἤσθιον, ἔπινον, ἐγάμουν, ἐγαμίζοντο, ἄχρι ἧς ἡμέρας εἰσῆλθεν Νῶε εἰς
食べ 飲み めとり 嫁がせていた まで その 日まで 入った ノアが の中に
G2068 G4095 G1060 G1061 G0891 G3739 G2250 G1525 G3575 G1519

τὴν κιβωτόν, καὶ ἦλθεν ὁ κατακλυσμὸς καὶ ἀπώλεσεν πάντας.
その 箱船に すると 来た その 大洪水が そして 滅ぼした すべてを
G3588 G2787 G2532 G2064 G3588 G2627 G2532 G0622 G3956

ノアが箱舟にはいる日まで、人々は食い、飲み、めとり、とつぎなどしていたが、そこへ洪水が襲ってきて、彼らをことごとく滅ぼした。

28 ὁμοίως, καθὼς ἐγένετο ἐν ταῖς ἡμέραις Λώτ; ἤσθιον, ἔπινον, ἠγόραζον,
同様に ちょうど 起こった に その 日々に ロトの 食べ 飲み 買い
G3668 G2531 G1096 G1722 G3588 G2250 G3091 G2068 G4095 G0059

ἐπώλουν, ἐφύτευον, ᾠκοδόμουν;
売り 植え 建てていた
G4453 G5452 G3618

ロトの時にも同じようなことが起った。人々は食い、飲み、買い、売り、植え、建てなどしていたが、

29 ᾗ δὲ ἡμέρᾳ ἐξῆλθεν Λὼτ ἀπὸ Σοδόμων, ἔβρεξεν πῦρ καὶ θεῖον
その しかし 日に 出た ロトが から ソドムから 降った 火と と 硫黄が
G3739 G1161 G2250 G1831 G3091 G0575 G4670 G1026 G4442 G2532 G2303

ἀπ’ οὐρανοῦ καὶ ἀπώλεσεν πάντας.
から 天から そして 滅ぼした すべてを
G0575 G3772 G2532 G0622 G3956

ロトがソドムから出て行った日に、天から火と硫黄とが降ってきて、彼らをことごとく滅ぼした。

30 κατὰ τὰ αὐτὰ ἔσται ᾗ ἡμέρᾳ ὁ Υἱὸς τοῦ ἀνθρώπου
に–従って その 同じ–ことが あるだろう その 日に その 人の–子が その 人の
G2596 G3588 G0846 G1510 G3739 G2250 G3588 G5207 G3588 G0444

ἀποκαλύπτεται.
現れる
G0601

人の子が現れる日も、ちょうどそれと同様であろう。

31 ἐν その G1722 ἐκείνῃ あの G1565 τῇ その G3588 ἡμέρᾳ, 日に G2250 ὃς その-者が G3739 ἔσται いるなら G1510 ἐπὶ の-上に G1909 τοῦ その G3588 δώματος, 屋上に G1430 καὶ そして G2532 τὰ 彼の G3588
σκεύη 持ち物が G4632 αὐτοῦ 彼の G0846 ἐν の中に G1722 τῇ その G3588 οἰκίᾳ, 家に G3614 μὴ するな G3361 καταβάτω 降りるな G2597 ἆραι 取りに G0142 αὐτά; それらを G0846 καὶ そして G2532 ὁ その G3588
ἐν に-いる G1722 ἀγρῷ, 畑に G0068 ὁμοίως 同様に G3668 μὴ するな G3361 ἐπιστρεψάτω 戻るな G1994 εἰς へ G1519 τὰ その G3588 ὀπίσω. 後ろへ G3694

その日には、屋上にいる者は、自分の持ち物が家の中にあっても、取りにおりるな。畑にいる者も同じように、あとへもどるな。

32 μνημονεύετε 思い出せ G3421 τῆς その G3588 γυναικὸς ロトの-妻を G1135 Λώτ. ロトの G3091

ロトの妻のことを思い出しなさい。

33 ὃς その-者が G3739 ἐὰν もし G1437 ζητήσῃ 求めるなら G2212 τὴν 自分の G3588 ψυχὴν いのちを G5590 αὐτοῦ 自分の G0846 περιποιήσασθαι, 守ろうとするなら G4046 ἀπολέσει 失うであろう G0622 αὐτήν; それを G0846
ὃς その-者が G3739 δ’ しかし G1161 ἂν もし G0302 ἀπολέσῃ, 失うなら G0622 ζωογονήσει 生かすであろう G2225 αὐτήν. それを G0846

自分の命を救おうとするものは、それを失い、それを失うものは、保つのである。

34 λέγω 言う G3004 ὑμῖν, あなたがたに G4771 ταύτῃ あの G3778 τῇ その G3588 νυκτὶ 夜に G3571 ἔσονται いるだろう G1510 δύο 二人が G1417 ἐπὶ の-上に G1909 κλίνης 床の G2825 μιᾶς; 一つの G1520 ὁ その G3588
εἷς 一人は G1520 παραλημφθήσεται, 取られ G3880 καὶ そして G2532 ὁ その G3588 ἕτερος もう一人は G2087 ἀφεθήσεται. 残されるだろう G0863

あなたがたに言っておく。その夜、ふたりの男が一つ寝床にいるならば、ひとりは取り去られ、他のひとりは残されるであろう。

35 ἔσονται いるだろう G1510 δύο 二人の-女が G1417 ἀλήθουσαι 粉を-ひいている G0229 ἐπὶ の-上で G1909 τὸ その G3588 αὐτό; 同じ-ところで G0846 ἡ その G3588 μία 一人は G1520
παραλημφθήσεται, 取られ G3880 ἡ その G3588 δὲ しかし G1161 ἑτέρα もう一人は G2087 ἀφεθήσεται. 残されるだろう G0863

ふたりの女が一緒にうすをひいているならば、ひとりは取り去られ、他のひとりは残されるであろう。〔

36 {δύο 二人が G1417 ἔσονται いるだろう G1510 ἐν の中に G1722 τῷ その G3588 ἀγρῷ; 畑に G0068 ὁ その G3588 εἷς 一人は G1520 παραληφθήσεται, 取られ G3880 καὶ そして G2532 ὁ その G3588
ἕτερος もう一人は G2087 ἀφεθήσεται}. 残されるだろう G0863

ふたりの男が畑におれば、ひとりは取り去られ、他のひとりは残されるであろう〕」。

37 καὶ ἀποκριθέντες, λέγουσιν αὐτῷ, Ποῦ, Κύριε? ὁ δὲ εἶπεν αὐτοῖς,
すると 答えて 言った 彼に どこで 主よ その すると 言った 彼らに
G2532 G0611 G3004 G0846 G4226 G2962 G3588 G1161 G3004 G0846

Ὅπου τὸ σῶμα, ἐκεῖ καὶ οἱ ἀετοὶ ἐπισυναχθήσονται.
そこで その 死体が-ある-ところに そこに また その 鷲も 集まるであろう
G3699 G3588 G4983 G1563 G2532 G3588 G0105 G1996

弟子たちは「主よ、それはどこであるのですか」と尋ねた。するとイエスは言われた、「死体のある所には、またはげたかが集まるものである」。

Chapter 18

1 Ἔλεγεν δὲ παραβολὴν αὐτοῖς, πρὸς τὸ δεῖν πάντοτε
語った そして たとえを 彼らに に-ついて その 必要が-あることを いつも
G3004 G1161 G3850 G0846 G4314 G3588 G1163 G3842

προσεύχεσθαι αὐτοὺς, καὶ μὴ ἐνκακεῖν,
祈ること 彼らが そして ない 落胆しない-ことを
G4336 G0846 G2532 G3361 G1573

また、イエスは失望せずに常に祈るべきことを、人々に譬で教えられた。

2 λέγων, Κριτής τις ἦν, ἔν τινι πόλει, τὸν Θεὸν μὴ φοβούμενος,
言って ある-裁判官が ある いた の ある 町に その 神を ない 恐れない
G3004 G2923 G5100 G1510 G1722 G5100 G4172 G3588 G2316 G3361 G5399

καὶ ἄνθρωπον μὴ ἐντρεπόμενος.
そして 人をも ない 気に-しない
G2532 G0444 G3361 G1788

「ある町に、神を恐れず、人を人とも思わぬ裁判官がいた。

3 χήρα δὲ ἦν ἐν τῇ πόλει ἐκείνῃ, καὶ ἤρχετο πρὸς αὐτὸν,
ある-やもめが さて いた その その 町に あの そして 来ていた の-もとに 彼の
G5503 G1161 G1510 G1722 G3588 G4172 G1565 G2532 G2064 G4314 G0846

λέγουσα, Ἐκδίκησόν με ἀπὸ τοῦ ἀντιδίκου μου.
言って 裁いてください 私を から 私の 敵から 私の
G3004 G1556 G1473 G0575 G3588 G0476 G1473

ところが、その同じ町にひとりのやもめがいて、彼のもとにたびたびきて、『どうぞ、わたしを訴える者をさばいて、わたしを守ってください』と願いつづけた。

4 καὶ οὐκ ἤθελεν ἐπὶ χρόνον; μετὰ ταῦτα δὲ εἶπεν ἐν
すると なかった 望まなかった の-間 しばらくの その-後 これらの-後 しかし 言った の中で
G2532 G3756 G2309 G1909 G5550 G3326 G3778 G1161 G3004 G1722

ἑαυτῷ, Εἰ καὶ τὸν Θεὸν οὐ φοβοῦμαι, οὐδὲ ἄνθρωπον ἐντρέπομαι,
自分自身に たとえ ない-が その 神を ない 恐れない また 人をも 気に-しない
G1438 G1487 G2532 G3588 G2316 G3756 G5399 G3761 G0444 G1788

彼はしばらくの間きき入れないでいたが、そののち、心のうちで考えた、『わたしは神をも恐れず、人を人とも思わないが、

5 διά ただ G1223 γε 実に G1065 τὸ その G3588 παρέχειν 与えるから G3930 μοι 私に G1473 κόπον 面倒を G2873 τὴν この G3588 χήραν やもめは G5503 ταύτην, この G3778 ἐκδικήσω 裁こう G1556 αὐτήν, 彼女を G0846

ἵνα そうしなければ G2443 μὴ ない G3361 εἰς の G1519 τέλος 終わりまで G5056 ἐρχομένη, 来て G2064 ὑπωπιάζῃ 疲れ-果てさせる G5299 με. 私を G1473

このやもめがわたしに面倒をかけるから、彼女のためになる裁判をしてやろう。そうしたら、絶えずやってきてわたしを悩ますことがなくなるだろう』」。

6 Εἶπεν 言った G3004 δὲ すると G1161 ὁ その G3588 Κύριος, 主は G2962 Ἀκούσατε 聞け G0191 τί 何を G5101 ὁ その G3588 κριτὴς 不正の-裁判官が G2923 τῆς その G3588 ἀδικίας 不義の G0093

λέγει. 言っているかを G3004

そこで主は言われた、「この不義な裁判官の言っていることを聞いたか。

7 ὁ その G3588 δὲ しかし G1161 Θεὸς 神は G2316 οὐ どうして G3756 μὴ ない-だろうか G3361 ποιήσῃ 行わない-のか G4160 τὴν その G3588 ἐκδίκησιν 正義を G1557 τῶν その G3588

ἐκλεκτῶν 選ばれた-者たちの G1588 αὐτοῦ, 彼の G0846 τῶν その G3588 βοώντων 叫ぶ-者たちの G0994 αὐτῷ 彼に G0846 ἡμέρας 昼も G2250 καὶ と G2532 νυκτός, 夜も G3571 καὶ そして G2532

μακροθυμεῖ 忍耐しておられる G3114 ἐπ’ に-対して G1909 αὐτοῖς? 彼らに G0846

まして神は、日夜叫び求める選民のために、正しいさばきをしてくださらずに長い間そのままにしておかれることがあろうか。

8 λέγω 言う G3004 ὑμῖν, あなたがたに G4771 ὅτι と G3754 ποιήσει 行うであろう G4160 τὴν その G3588 ἐκδίκησιν 正義を G1557 αὐτῶν 彼らの G0846 ἐν に-おいて G1722 τάχει. 速やかに G5034

πλὴν しかし G4133 ὁ その G3588 Υἱὸς 人の-子は G5207 τοῦ その G3588 ἀνθρώπου 人の G0444 ἐλθὼν, 来た-時 G2064 ἆρα 果たして G0687 εὑρήσει 見いだすだろうか G2147 τὴν その G3588 πίστιν 信仰を G4102

ἐπὶ の-上に G1909 τῆς その G3588 γῆς? 地に G1093

あなたがたに言っておくが、神はすみやかにさばいてくださるであろう。しかし、人の子が来るとき、地上に信仰が見られるであろうか」。

9 Εἶπεν 語った G3004 δὲ そして G1161 καὶ また G2532 πρός に-向かって G4314 τινας ある G5100 τοὺς その G3588 πεποιθότας 信じている-者たちに G3982 ἐφ’ に-ついて G1909 ἑαυτοῖς 自分たちに G1438

ὅτι と G3754 εἰσὶν であると G1510 δίκαιοι 義しい G1342 καὶ そして G2532 ἐξουθενοῦντας 見下している G1848 τοὺς その G3588 λοιποὺς, 残りの-者たちを G3062 τὴν この G3588 παραβολὴν たとえを G3850

ταύτην: この G3778

自分を義人だと自任して他人を見下げている人たちに対して、イエスはまたこの譬をお話しになった。

10 Ἄνθρωποι 二人の–人が G0444 δύο 二人の G1417 ἀνέβησαν 上った G0305 εἰς に G1519 τὸ その G3588 ἱερὸν 神殿に G2411 προσεύξασθαι; 祈るために G4336 ὁ その G3588 εἷς 一人は G1520

Φαρισαῖος, パリサイ人で G5330 καὶ もう G2532 ὁ 一人の G3588 ἕτερος もう一人は G2087 τελώνης. 取税人で–あった G5057

「ふたりの人が祈るために宮に上った。そのひとりはパリサイ人であり、もうひとりは取税人であった。

11 ὁ その G3588 Φαρισαῖος, パリサイ人は G5330 σταθεὶς 立って G2476 ταῦτα これらの–ことを G3778 «πρὸς に–向かって G4314 ἑαυτὸν», 自分自身に G1438 προσηύχετο, 祈った G4336 Ὁ その G3588

Θεός, 神よ G2316 εὐχαριστῶ 感謝します G2168 σοι あなたに G4771 ὅτι と G3754 οὐκ ない G3756 εἰμὶ ではない G1510 ὥσπερ のような G5618 οἱ その G3588 λοιποὶ 残りの G3062 τῶν その G3588

ἀνθρώπων, 人々のように G0444 ἅρπαγες, 貪欲な–者 G0727 ἄδικοι, 不正な–者 G0094 μοιχοί, 姦淫を–犯す–者 G3432 ἢ また G2228 καὶ また G2532 ὡς のようにも G5613 οὗτος この G3778 ὁ その G3588

τελώνης. 取税人のようにも G5057

パリサイ人は立って、ひとりでこう祈った、『神よ、わたしはほかの人たちのような貪欲な者、不正な者、姦淫をする者ではなく、また、この取税人のような人間でもないことを感謝します。

12 νηστεύω 断食する G3522 δὶς 二度 G1364 τοῦ その G3588 σαββάτου; 週に G4521 ἀποδεκατῶ 十分の–一を–納める G0586 πάντα, すべての G3956 ὅσα ものを G3745 κτῶμαι. 得る G2932

わたしは一週に二度断食しており、全収入の十分の一をささげています』。

13 ὁ その G3588 δὲ しかし G1161 τελώνης, 取税人は G5057 μακρόθεν 遠くに G3113 ἑστὼς 立って G2476 οὐκ なかった G3756 ἤθελεν 望まなかった G2309 οὐδὲ また G3761 τοὺς 自分の G3588

ὀφθαλμοὺς 目を G3788 ἐπᾶραι 上げることさえ G1869 εἰς に G1519 τὸν その G3588 οὐρανόν, 天に G3772 ἀλλ’ むしろ G0235 ἔτυπτεν 打っていた G5180 τὸ 自分の G3588 στῆθος 胸を G4738

αὐτοῦ, 自分の G0846 λέγων 言って G3004 Ὁ, その G3588 Θεός, 神よ G2316 ἱλάσθητί 憐れんでください G2433 μοι, 私を G1473 τῷ その G3588 ἁμαρτωλῷ! 罪人を G0268

ところが、取税人は遠く離れて立ち、目を天にむけようともしないで、胸を打ちながら言った、『神様、罪人のわたしをおゆるしください』と。

14 λέγω 言う G3004 ὑμῖν, あなたがたに G4771 κατέβη 下った G2597 οὗτος この–者は G3778 δεδικαιωμένος 義と–されて G1344 εἰς へ G1519 τὸν 自分の G3588 οἶκον 家に G3624 αὐτοῦ, 自分の G0846

παρ’ の–代わりに G3844 ἐκεῖνον. あの–者よりも G1565 ὅτι なぜなら G3754 πᾶς すべて G3956 ὁ その G3588 ὑψῶν 高ぶる–者は G5312 ἑαυτὸν 自分を G1438 ταπεινωθήσεται; 低くされる G5013

ὁ その G3588 δὲ しかし G1161 ταπεινῶν へりくだる–者は G5013 ἑαυτὸν 自分を G1438 ὑψωθήσεται. 高くされるであろう G5312

あなたがたに言っておく。神に義とされて自分の家に帰ったのは、この取税人であって、あのパリサイ人ではなかった。おおよそ、自分を高くする者は低くされ、自分を低くする者は高くされるであろう」。

15 Προσέφερον 連れて–来た G4374 δὲ そして G1161 αὐτῷ 彼に G0846 καὶ また G2532 τὰ その G3588 βρέφη, 幼児たちも G1025 ἵνα そうすれば G2443 αὐτῶν 彼らに G0846 ἅπτηται; 触れるように G0680

ἰδόντες 見て G3708 δὲ, しかし G1161 οἱ その G3588 μαθηταὶ 弟子たちは G3101 ἐπετίμων 叱った G2008 αὐτοῖς. 彼らを G0846

イエスにさわっていただくために、人々が幼な子らをみもとに連れてきた。ところが、弟子たちはそれを見て、彼らをたしなめた。

16 ὁ その G3588 δὲ しかし G1161 Ἰησοῦς, イエスは G2424 προσεκαλέσατο 呼び–寄せた G4341 αὐτὰ, 彼らを G0846 λέγων, 言って G3004 Ἄφετε 許せ G0863 τὰ その G3588 παιδία 子どもたちが G3813

ἔρχεσθαι 来ることを G2064 πρός の–もとに G4314 με, 私の G1473 καὶ そして G2532 μὴ するな G3361 κωλύετε 妨げるな G2967 αὐτά; 彼らを G0846 τῶν その G3588 γὰρ なぜなら G1063 τοιούτων このような–者の G5108

ἐστὶν である G1510 ἡ その G3588 βασιλεία 神の–国は G0932 τοῦ その G3588 Θεοῦ. 神の G2316

するとイエスは幼な子らを呼び寄せて言われた、「幼な子らをわたしのところに来るままにしておきなさい、止めてはならない。神の国はこのような者の国である。

17 ἀμὴν まことに G0281 λέγω 言う G3004 ὑμῖν, あなたがたに G4771 ὃς その–者が G3739 ἂν もし G0302 μὴ ない–なら G3361 δέξηται 受け–入れない–なら G1209 τὴν その G3588

βασιλείαν 神の–国を G0932 τοῦ その G3588 Θεοῦ 神の G2316 ὡς のように G5613 παιδίον, 子どもの G3813 οὐ 決して G3756 μὴ ない G3361 εἰσέλθῃ 入れないであろう G1525 εἰς に G1519 αὐτήν. その中に G0846

よく聞いておくがよい。だれでも幼な子のように神の国を受けいれる者でなければ、そこにはいることは決してできない」。

18 Καὶ すると G2532 ἐπηρώτησέν 尋ねた G1905 τις ある G5100 αὐτὸν 彼に G0846 ἄρχων, 指導者が G0758 λέγων, 言って G3004 Διδάσκαλε 先生よ G1320 ἀγαθέ, 善い G0018 τί 何を G5101 ποιήσας, したら G4160

ζωὴν 永遠の–いのちを G2222 αἰώνιον 永遠の G0166 κληρονομήσω? 受け–継げるか G2816

また、ある役人がイエスに尋ねた、「よき師よ、何をしたら永遠の生命が受けられましょうか」。

19 εἶπεν 言った G3004 δὲ しかし G1161 αὐτῷ 彼に G0846 ὁ その G3588 Ἰησοῦς, イエスは G2424 Τί なぜ G5101 με 私を G1473 λέγεις 呼ぶのか G3004 ἀγαθόν? 善いと G0018 οὐδεὶς 誰も G3762 ἀγαθὸς, 善くは–ない G0018

εἰ ただ G1487 μὴ の–ほかには G3361 εἷς, 一人 G1520 ὁ その G3588 Θεός. 神だけで–ある G2316

イエスは言われた、「なぜわたしをよき者と言うのか。神ひとりのほかによい者はいない。

20 τὰς ἐντολὰς οἶδας: Μὴ μοιχεύσῃς; Μὴ φονεύσῃς; Μὴ κλέψῃς;
その 戒めを 知っている するな 姦淫を-犯すな するな 殺すな するな 盗むな
G3588 G1785 G1492 G3361 G3431 G3361 G5407 G3361 G2813

Μὴ ψευδομαρτυρήσῃς; Τίμα τὸν πατέρα σου, καὶ τὴν μητέρα.
するな 偽証を-立てるな 敬え あなたの 父を あなたの と あなたの 母を
G3361 G5576 G5091 G3588 G3962 G4771 G2532 G3588 G3384

いましめはあなたの知っているとおりである、『姦淫するな、殺すな、盗むな、偽証を立てるな、父と母とを敬え』」。

21 ὁ δὲ εἶπεν, Ταῦτα πάντα ἐφύλαξα ἐκ νεότητος ‹μου›.
その しかし 言った これらを すべて 守ってきた から 若い-時から 私の
G3588 G1161 G3004 G3778 G3956 G5442 G1537 G3503 G1473

すると彼は言った、「それらのことはみな、小さい時から守っております」。

22 ἀκούσας δὲ, ὁ Ἰησοῦς εἶπεν αὐτῷ, Ἔτι ἕν σοι λείπει:
聞いて しかし その イエスは 言った 彼に まだ 一つの-ことが あなたに 欠けている
G0191 G1161 G3588 G2424 G3004 G0846 G2089 G1520 G4771 G3007

πάντα, ὅσα ἔχεις, πώλησον, καὶ διάδος πτωχοῖς,
すべて 持っている-ものを 持っている 売りなさい そして 分け-与えなさい 貧しい-者たちに
G3956 G3745 G2192 G4453 G2532 G1239 G4434

καὶ ἕξεις θησαυρὸν ἐν τοῖς οὐρανοῖς; καὶ δεῦρο, ἀκολούθει μοι.
すると 得るであろう 宝を の中に その 天に そして さあ 従いなさい 私に
G2532 G2192 G2344 G1722 G3588 G3772 G2532 G1204 G0190 G1473

イエスはこれを聞いて言われた、「あなたのする事がまだ一つ残っている。持っているものをみな売り払って、貧しい人々に分けてやりなさい。そうすれば、天に宝を持つようになろう。そして、わたしに従ってきなさい」。

23 ὁ δὲ ἀκούσας ταῦτα, περίλυπος ἐγενήθη; ἦν γὰρ
その しかし 聞いて これらを 非常に-悲しく なった いた なぜなら
G3588 G1161 G0191 G3778 G4036 G1096 G1510 G1063

πλούσιος σφόδρα.
富んで-いたからである 非常に
G4145 G4970

彼はこの言葉を聞いて非常に悲しんだ。大金持であったからである。

24 ἰδὼν δὲ αὐτὸν, ὁ Ἰησοῦς [περίλυπον γενόμενον], εἶπεν, Πῶς
見て しかし 彼を その イエスは 非常に-悲しく なったのを 言った 何と
G3708 G1161 G0846 G3588 G2424 G4036 G1096 G3004 G4459

δυσκόλως οἱ τὰ χρήματα ἔχοντες, εἰς τὴν βασιλείαν τοῦ Θεοῦ
難しいことか その その 財産を 持つ-者が の中に その 神の-国に その 神の
G1423 G3588 G3588 G5536 G2192 G1519 G3588 G0932 G3588 G2316

εἰσπορεύονται.
入ることは
G1531

イエスは彼の様子を見て言われた、「財産のある者が神の国にはいるのはなんとむずかしいことであろう。

25 εὐκοπώτερον γάρ ἐστιν κάμηλον διὰ τρήματος βελόνης εἰσελθεῖν,
より-たやすい なぜなら である らくだが を-通って の-穴を 針の 入る-ことは
G2123 G1063 G1510 G2574 G1223 G5169 G0956 G1525

ἢ πλούσιον εἰς τὴν βασιλείαν τοῦ Θεοῦ εἰσελθεῖν.
よりも 富んだ-者が の中に その 神の-国に その 神の 入ることは
G2228 G4145 G1519 G3588 G0932 G3588 G2316 G1525

富んでいる者が神の国にはいるよりは、らくだが針の穴を通る方が、もっとやさしい」。

26 εἶπαν δὲ οἱ ἀκούσαντες, Καὶ τίς δύναται σωθῆναι?
言った しかし その 聞いた-者たちは それでは 誰が できるのか 救われる-ことが
G3004 G1161 G3588 G0191 G2532 G5101 G1410 G4982

これを聞いた人々が、「それでは、だれが救われることができるのですか」と尋ねると、

27 ὁ δὲ εἶπεν, Τὰ ἀδύνατα παρὰ ἀνθρώποις, δυνατὰ παρὰ
その しかし 言った その 不可能な-ことは に-おいて 人には 可能で-ある に-おいて
G3588 G1161 G3004 G3588 G0102 G3844 G0444 G1415 G3844

τῷ Θεῷ ἐστιν.
その 神には である
G3588 G2316 G1510

イエスは言われた、「人にはできない事も、神にはできる」。

28 Εἶπεν δὲ ὁ Πέτρος, Ἰδοὺ, ἡμεῖς ἀφέντες τὰ ἴδια
言った しかし その ペテロは 見よ 私たちは 捨てて 自分たちの-ものを 自分たちの
G3004 G1161 G3588 G4074 G3708 G1473 G0863 G3588 G2398

ἠκολουθήσαμέν σοι.
従って-きた あなたに
G0190 G4771

ペテロが言った、「ごらんなさい、わたしたちは自分のものを捨てて、あなたに従いました」。

29 ὁ δὲ εἶπεν αὐτοῖς, Ἀμὴν λέγω ὑμῖν, ὅτι οὐδείς ἐστιν
その しかし 言った 彼らに まことに 言う あなたがたに と 誰も いない
G3588 G1161 G3004 G0846 G0281 G3004 G4771 G3754 G3762 G1510

ὃς ἀφῆκεν οἰκίαν, ἢ γυναῖκα, ἢ ἀδελφοὺς, ἢ γονεῖς, ἢ
その-者が 捨てた-者は 家や また 妻や また 兄弟や また 両親や また
G3739 G0863 G3614 G2228 G1135 G2228 G0080 G2228 G1118 G2228

τέκνα, ἕνεκεν τῆς βασιλείας τοῦ Θεοῦ,
子どもを の-ために その 神の-国の その 神の
G5043 G1752 G3588 G0932 G3588 G2316

イエスは言われた、「よく聞いておくがよい。だれでも神の国のために、家、妻、兄弟、両親、子を捨てた者は、

30 ὃς οὐχὶ μὴ ἀπολάβῃ πολλαπλασίονα ἐν τῷ καιρῷ τούτῳ;
その-者が 必ず ない 受けるであろう 何倍もの-ものを の中で この 時に この
G3739 G3780 G3361 G0618 G4179 G1722 G3588 G2540 G3778

καὶ ἐν τῷ αἰῶνι τῷ ἐρχομένῳ, ζωὴν αἰώνιον.
そして の中で その 来たるべき その 世に 永遠の-いのちを 永遠の
G2532 G1722 G3588 G0165 G3588 G2064 G2222 G0166

必ずこの時代ではその幾倍もを受け、また、きたるべき世では永遠の生命を受けるのである」。

31 Παραλαβὼν δὲ τοὺς δώδεκα, εἶπεν πρὸς αὐτούς, Ἰδοὺ, ἀναβαίνομεν
連れて しかし その 十二人を 言った に向かって 彼らに 見よ 上る
G3880 G1161 G3588 G1427 G3004 G4314 G0846 G3708 G0305

εἰς Ἰερουσαλήμ, καὶ τελεσθήσεται πάντα τὰ γεγραμμένα διὰ
へ エルサレムへ すると 成就されるであろう すべての その 書かれた-ことが を-通して
G1519 G2419 G2532 G5055 G3956 G3588 G1125 G1223

τῶν προφητῶν τῷ Υἱῷ τοῦ ἀνθρώπου.
その 預言者たちによって その 人の-子に その 人の
G3588 G4396 G3588 G5207 G3588 G0444

イエスは十二弟子を呼び寄せて言われた、「見よ、わたしたちはエルサレムへ上って行くが、人の子について預言者たちがしるしたことは、すべて成就するであろう。

32 παραδοθήσεται γὰρ τοῖς ἔθνεσιν, καὶ ἐμπαιχθήσεται, καὶ
引き-渡されるであろう なぜなら その 異邦人に そして 嘲られ そして
G3860 G1063 G3588 G1484 G2532 G1702 G2532

ὑβρισθήσεται, καὶ ἐμπτυσθήσεται.
辱められ そして 唾きかけられる
G5195 G2532 G1716

人の子は異邦人に引きわたされ、あざけられ、はずかしめを受け、つばきをかけられ、

33 καὶ μαστιγώσαντες, ἀποκτενοῦσιν αὐτόν; καὶ τῇ ἡμέρᾳ τῇ τρίτῃ,
そして 鞭打ちにして 殺すであろう 彼を そして その 三日目に その 三日目の
G2532 G3146 G0615 G0846 G2532 G3588 G2250 G3588 G5154

ἀναστήσεται.
復活するであろう
G0450

また、むち打たれてから、ついに殺され、そして三日目によみがえるであろう」。

34 καὶ αὐτοὶ οὐδὲν τούτων συνῆκαν; καὶ ἦν τὸ ῥῆμα τοῦτο
しかし 彼らは 何も これらの 理解しなかった そして いた この 言葉は この
G2532 G0846 G3762 G3778 G4920 G2532 G1510 G3588 G4487 G3778

κεκρυμμένον ἀπ' αὐτῶν; καὶ οὐκ ἐγίνωσκον τὰ λεγόμενα.
隠されて-いた から 彼らから そして なかった わからなかった その 言われた-ことが
G2928 G0575 G0846 G2532 G3756 G1097 G3588 G3004

弟子たちには、これらのことが何一つわからなかった。この言葉が彼らに隠されていたので、イエスの言われた事が理解できなかった。

35 Ἐγένετο δὲ ἐν τῷ ἐγγίζειν αὐτὸν εἰς Ἰεριχὼ, τυφλός τις
起こった さて の中で その 近づいた-時 彼が に エリコに 盲目の-者が ある
G1096 G1161 G1722 G3588 G1448 G0846 G1519 G2410 G5185 G5100

ἐκάθητο παρὰ τὴν ὁδὸν, ἐπαιτῶν.
座っていた の-そばに その 道の 物乞いを-して
G2521 G3844 G3588 G3598 G1871

イエスがエリコに近づかれたとき、ある盲人が道ばたにすわって、物ごいをしていた。

36 ἀκούσας δὲ ὄχλου διαπορευομένου, ἐπυνθάνετο τί εἴη τοῦτο.
聞いて しかし 群衆が 通り-過ぎるのを 尋ねた 何が あるのか これは
G0191 G1161 G3793 G1279 G4441 G5101 G1510 G3778

群衆が通り過ぎる音を耳にして、彼は何事があるのかと尋ねた。

37 ἀπήγγειλαν 知らせた G0518 δὲ すると G1161 αὐτῷ 彼に G0846 ὅτι, と G3754 Ἰησοῦς イエス G2424 ὁ その G3588 Ναζωραῖος ナザレ人が G3480 παρέρχεται. 通り–過ぎると G3928

ところが、ナザレのイエスがお通りなのだと聞かされたので、

38 καὶ すると G2532 ἐβόησεν 叫んだ G0994 λέγων, 言って G3004 Ἰησοῦ, イエスよ G2424 υἱὲ ダビデの–子よ G5207 Δαυίδ, ダビデの G1138 ἐλέησόν 憐れんでください G1653 με. 私を G1473

声をあげて、「ダビデの子イエスよ、わたしをあわれんで下さい」と言った。

39 καὶ すると G2532 οἱ その G3588 προάγοντες 先に–行く–者たちは G4254 ἐπετίμων 叱った G2008 αὐτῷ, 彼に G0846 ἵνα そうすれば G2443 σιγήσῃ. 黙るようにと G4601 αὐτὸς 彼自身は G0846

δὲ しかし G1161 πολλῷ はるかに–激しく G4183 μᾶλλον もっと G3123 ἔκραζεν, 叫んだ G2896 Υἱὲ ダビデの–子よ G5207 Δαυίδ, ダビデの G1138 ἐλέησόν 憐れんでください G1653 με. 私を G1473

先頭に立つ人々が彼をしかって黙らせようとしたが、彼はますます激しく叫びつづけた、「ダビデの子よ、わたしをあわれんで下さい」。

40 σταθεὶς 立ち–止まり G2476 δὲ, しかし G1161 ὁ その G3588 Ἰησοῦς イエスは G2424 ἐκέλευσεν 命じた G2753 αὐτὸν 彼を G0846 ἀχθῆναι 連れて–来いと G0071 πρὸς の–もとに G4314 αὐτόν. 自分の G0846

ἐγγίσαντος 近づいた–時 G1448 δὲ, しかし G1161 αὐτοῦ 彼が G0846 ἐπηρώτησεν 尋ねた G1905 αὐτόν, 彼に G0846

そこでイエスは立ちどまって、その者を連れて来るように、とお命じになった。彼が近づいたとき、

41 Τί 何を G5101 σοι あなたに G4771 θέλεις 望むか G2309 ποιήσω? しようか G4160 ὁ その G3588 δὲ すると G1161 εἶπεν, 言った G3004 Κύριε, 主よ G2962 ἵνα そうすれば G2443 ἀναβλέψω. 見えるように G0308

「わたしに何をしてほしいのか」とおたずねになると、「主よ、見えるようになることです」と答えた。

42 καὶ すると G2532 ὁ その G3588 Ἰησοῦς イエスは G2424 εἶπεν 言った G3004 αὐτῷ, 彼に G0846 Ἀνάβλεψον; 見えるように–なれ G0308 ἡ あなたの G3588 πίστις 信仰が G4102 σου あなたの G4771

σέσωκέν 救った G4982 σε. あなたを G4771

そこでイエスは言われた、「見えるようになれ。あなたの信仰があなたを救った」。

43 καὶ すると G2532 παραχρῆμα たちまち G3916 ἀνέβλεψεν, 見えるように–なった G0308 καὶ そして G2532 ἠκολούθει 従った G0190 αὐτῷ, 彼に G0846 δοξάζων 讃美しながら G1392 τὸν その G3588

Θεόν. 神を G2316 καὶ すると G2532 πᾶς すべての G3956 ὁ その G3588 λαὸς, 民は G2992 ἰδὼν, 見て G3708 ἔδωκεν ささげた G1325 αἶνον 讃美を G0136 τῷ その G3588 Θεῷ. 神に G2316

すると彼は、たちまち見えるようになった。そして神をあがめながらイエスに従って行った。これを見て、人々はみな神をさんびした。

Chapter 19

1

Καὶ	εἰσελθὼν,	διήρχετο	τὴν	Ἰεριχώ.
そして	入って	通り過ぎていた	その	エリコを
G2532	G1525	G1330	G3588	G2410

さて、イエスはエリコにはいって、その町をお通りになった。

2

Καὶ	ἰδοὺ,	ἀνὴρ	ὀνόματι	καλούμενος	Ζακχαῖος,	καὶ	αὐτὸς	ἦν
そして	見よ	ある–人が	名を	呼ばれる	ザアカイ	そして	彼は	であった
G2532	G3708	G0435	G3686	G2564	G2195	G2532	G0846	G1510

ἀρχιτελώνης,	καὶ	αὐτὸς	πλούσιος.
取税人–の–頭	そして	彼は	富んでいた
G0754	G2532	G0846	G4145

ところが、そこにザアカイという名の人がいた。この人は取税人のかしらで、金持であった。

3

καὶ	ἐζήτει	ἰδεῖν	τὸν	Ἰησοῦν,	τίς	ἐστιν,	καὶ	οὐκ	ἠδύνατο
そして	求めていた	見ることを	その	イエスを	だれ	であるか	しかし	ない	できなかった
G2532	G2212	G3708	G3588	G2424	G5101	G1510	G2532	G3756	G1410

ἀπὸ	τοῦ	ὄχλου,	ὅτι	τῇ	ἡλικίᾳ	μικρὸς	ἦν.
ために	その	群衆の	なぜなら	その	背丈が	小さい	であった
G0575	G3588	G3793	G3754	G3588	G2244	G3398	G1510

彼は、イエスがどんな人か見たいと思っていたが、背が低かったので、群衆にさえぎられて見ることができなかった。

4

καὶ	προδραμὼν	εἰς	τὸ	ἔμπροσθεν	ἀνέβη	ἐπὶ	συκομορέαν,	ἵνα
そして	先に–走って	へ	その	前方に	登った	の–上に	いちじく桑–の–木に	ために
G2532	G4390	G1519	G3588	G1715	G0305	G1909	G4809	G2443

ἴδῃ	αὐτόν,	ὅτι	ἐκείνης	ἤμελλεν	διέρχεσθαι.
見ようと	彼を	なぜなら	そこを	通ろうと–していた	通り過ぎることを
G3708	G0846	G3754	G1565	G3195	G1330

それでイエスを見るために、前の方に走って行って、いちじく桑の木に登った。そこを通られるところだったからである。

5

καὶ	ὡς	ἦλθεν	ἐπὶ	τὸν	τόπον,	ἀναβλέψας,	ὁ	Ἰησοῦς	εἶπεν	πρὸς
そして	とき	来た	に	その	場所に	見上げて	冠詞	イエスは	言った	に–向かって
G2532	G5613	G2064	G1909	G3588	G5117	G0308	G3588	G2424	G3004	G4314

αὐτόν,	Ζακχαῖε,	σπεύσας	κατάβηθι;	σήμερον	γὰρ	ἐν	τῷ	οἴκῳ	σου
彼に	ザアカイよ	急いで	降りなさい	今日	なぜなら	の中の	その	家に	あなたの
G0846	G2195	G4692	G2597	G4594	G1063	G1722	G3588	G3624	G4771

δεῖ	με	μεῖναι.
必要がある	わたしが	留まることが
G1163	G1473	G3306

イエスは、その場所にこられたとき、上を見あげて言われた、「ザアカイよ、急いで下りてきなさい。きょう、あなたの家に泊まることにしているから」。

6

καὶ	σπεύσας,	κατέβη	καὶ	ὑπεδέξατο	αὐτὸν,	χαίρων.
そして	急いで	降りて来た	そして	迎え入れた	彼を	喜びながら
G2532	G4692	G2597	G2532	G5264	G0846	G5463

そこでザアカイは急いでおりてきて、よろこんでイエスを迎え入れた。

7 καὶ ἰδόντες, πάντες διεγόγγυζον, λέγοντες, ὅτι Παρὰ ἁμαρτωλῷ ἀνδρὶ
そして 見て すべての–人が つぶやいた 言って こう の–もとに 罪人の 人の
G2532 G3708 G3956 G1234 G3004 G3754 G3844 G0268 G0435

εἰσῆλθεν καταλῦσαι.
入った 泊まるために
G1525 G2647

人々はみな、これを見てつぶやき、「彼は罪人の家にはいって客となった」と言った。

8 σταθεὶς δὲ, Ζακχαῖος εἶπεν πρὸς τὸν Κύριον, Ἰδοὺ, τὰ
立ち上がって しかし ザアカイは 言った に–向かって その 主に ご覧ください その
G2476 G1161 G2195 G3004 G4314 G3588 G2962 G3708 G3588

ἡμίσιά μου τῶν ὑπαρχόντων, Κύριε, τοῖς πτωχοῖς δίδωμι, καὶ εἴ
半分を わたしの その 財産の 主よ その 貧しい–人々に 与えます そして もし
G2255 G1473 G3588 G5225 G2962 G3588 G4434 G1325 G2532 G1487

τινός τι ἐσυκοφάντησα, ἀποδίδωμι τετραπλοῦν.
だれかの–ものを 何か だまし取ったなら 返します 四倍にして
G5100 G5100 G4811 G0591 G5073

ザアカイは立って主に言った、「主よ、わたしは誓って自分の財産の半分を貧民に施します。また、もしだれかから不正な取立てをしていましたら、それを四倍にして返します」。

9 εἶπεν δὲ πρὸς αὐτὸν ὁ Ἰησοῦς, ὅτι Σήμερον σωτηρία τῷ οἴκῳ
言った そして に–向かって 彼に 冠詞 イエスは こう 今日 救いが この 家に
G3004 G1161 G4314 G0846 G3588 G2424 G3754 G4594 G4991 G3588 G3624

τούτῳ ἐγένετο, καθότι καὶ αὐτὸς υἱὸς Ἀβραάμ ἐστιν:
この 起こった なぜなら また 彼も 子 アブラハムの である
G3778 G1096 G2530 G2532 G0846 G5207 G0011 G1510

イエスは彼に言われた、「きょう、救がこの家にきた。この人もアブラハムの子なのだから。

10 ἦλθεν γὰρ ὁ Υἱὸς τοῦ ἀνθρώπου ζητῆσαι, καὶ σῶσαι τὸ
来た なぜなら 冠詞 人–の–子は その 人の 捜して そして 救うために その
G2064 G1063 G3588 G5207 G3588 G0444 G2212 G2532 G4982 G3588

ἀπολωλός.
失われた–ものを
G0622

人の子がきたのは、失われたものを尋ね出して救うためである」。

11 Ἀκουόντων δὲ αὐτῶν ταῦτα, προσθεὶς, εἶπεν παραβολὴν, διὰ
聞いている–間に そして 彼らが これらのことを 加えて 話した たとえを ために
G0191 G1161 G0846 G3778 G4369 G3004 G3850 G1223

τὸ ἐγγὺς εἶναι Ἰερουσαλὴμ αὐτὸν, καὶ δοκεῖν αὐτοὺς ὅτι
その 近くに いること エルサレムに 彼が そして 思っていたから 彼らが と
G3588 G1451 G1510 G2419 G0846 G2532 G1380 G0846 G3754

παραχρῆμα μέλλει ἡ βασιλεία τοῦ Θεοῦ ἀναφαίνεσθαι.
すぐに 現れようとしている その 神–の–国が その 神の 現れることを
G3916 G3195 G3588 G0932 G3588 G2316 G0398

人々がこれらの言葉を聞いているときに、イエスはなお一つの譬をお話しになった。それはエルサレムに近づいてこられたし、また人々が神の国はたちまち現れると思っていたためである。

12

εἶπεν	οὖν,	Ἄνθρωπός	τις	εὐγενὴς	ἐπορεύθη	εἰς	χώραν	μακρὰν,
言った	それゆえ	ある–人	ひとりの	高貴な	旅立った	へ	遠い–国へ	遠い
G3004	G3767	G0444	G5100	G2104	G4198	G1519	G5561	G3117

λαβεῖν	ἑαυτῷ	βασιλείαν	καὶ	ὑποστρέψαι.
受けるために	自分のために	王位を	そして	戻るために
G2983	G1438	G0932	G2532	G5290

それで言われた、「ある身分の高い人が、王位を受けて帰ってくるために遠い所へ旅立つことになった。

13

καλέσας	δὲ	δέκα	δούλους	ἑαυτοῦ,	ἔδωκεν	αὐτοῖς	δέκα	μνᾶς,	καὶ
呼び寄せて	そして	十人の	しもべたちを	自分の	与えた	彼らに	十	ミナを	そして
G2564	G1161	G1176	G1401	G1438	G1325	G0846	G1176	G3414	G2532

εἶπεν	πρὸς	αὐτούς,	Πραγματεύσασθε	ἐν	ᾧ	ἔρχομαι.
言った	に–向かって	彼らに	商売–しなさい	の–間に	わたしが	帰ってくるまで
G3004	G4314	G0846	G4231	G1722	G3739	G2064

そこで十人の僕を呼び十ミナを渡して言った、『わたしが帰って来るまで、これで商売をしなさい』。

14

οἱ	δὲ	πολῖται	αὐτοῦ	ἐμίσουν	αὐτόν,	καὶ	ἀπέστειλαν	πρεσβείαν
その	しかし	市民たちは	彼の	憎んでいた	彼を	そして	遣わした	使者を
G3588	G1161	G4177	G0846	G3404	G0846	G2532	G0649	G4242

ὀπίσω	αὐτοῦ,	λέγοντες,	Οὐ	θέλομεν	τοῦτον	βασιλεῦσαι	ἐφ’	ἡμᾶς.
後から	彼の	言って	ない	望まない	この–者が	王となることを	の–上に	私たちの
G3694	G0846	G3004	G3756	G2309	G3778	G0936	G1909	G1473

ところが、本国の住民は彼を憎んでいたので、あとから使者をおくって、『この人が王になるのをわれわれは望んでいない』と言わせた。

15

καὶ	ἐγένετο	ἐν	τῷ	ἐπανελθεῖν	αὐτὸν,	λαβόντα	τὴν	βασιλείαν,	καὶ
そして	起こった	のとき	その	帰ってきたとき	彼が	受けた	その	王位を	そして
G2532	G1096	G1722	G3588	G1880	G0846	G2983	G3588	G0932	G2532

εἶπεν	φωνηθῆναι	αὐτῷ	τοὺς	δούλους	τούτους	οἷς	δεδώκει	τὸ
命じた	呼び出すことを	彼のもとに	その	しもべたちを	これらの	に	与えていた	その
G3004	G5455	G0846	G3588	G1401	G3778	G3739	G1325	G3588

ἀργύριον,	ἵνα	γνοῖ	τίς	τί	διεπραγματεύσαντο.
銀を	ために	知ろうと	だれが	何を	もうけたかを
G0694	G2443	G1097	G5101	G5101	G1281

さて、彼が王位を受けて帰ってきたとき、だれがどんなもうけをしたかを知ろうとして、金を渡しておいた僕たちを呼んでこさせた。

16

παρεγένετο	δὲ	ὁ	πρῶτος,	λέγων,	Κύριε,	ἡ	μνᾶ	σου,	δέκα
来た	そして	その	最初の–者が	言って	主よ	その	ミナは	あなたの	十
G3854	G1161	G3588	G4413	G3004	G2962	G3588	G3414	G4771	G1176

προσηργάσατο	μνᾶς.
もうけました	ミナを
G4333	G3414

最初の者が進み出て言った、『ご主人様、あなたの一ミナで十ミナをもうけました』。

17 καὶ εἶπεν αὐτῷ, Εὖγε, ἀγαθὲ δοῦλε! ὅτι ἐν ἐλαχίστῳ,
そして 言った 彼に よくやった 良い しもべよ なぜなら において 最も–小さい–ことに
G2532 G3004 G0846 G2095 G0018 G1401 G3754 G1722 G1646

πιστὸς ἐγένου, ἴσθι ἐξουσίαν ἔχων ἐπάνω δέκα πόλεων.
忠実 であった 持ちなさい 権威を 持って の–上に 十の 町を
G4103 G1096 G1510 G1849 G2192 G1883 G1176 G4172

主人は言った、『よい僕よ、うまくやった。あなたは小さい事に忠実であったから、十の町を支配させる』。

18 καὶ ἦλθεν ὁ δεύτερος, λέγων, Ἡ μνᾶ σου, κύριε, ἐποίησεν
そして 来た その 第二の–者が 言って その ミナは あなたの 主よ もうけました
G2532 G2064 G3588 G1208 G3004 G3588 G3414 G4771 G2962 G4160

πέντε μνᾶς.
五 ミナを
G4002 G3414

次の者がきて言った、『ご主人様、あなたの一ミナで五ミナをつくりました』。

19 εἶπεν δὲ καὶ τούτῳ, Καὶ σὺ, ἐπάνω γίνου πέντε πόλεων.
言った そして また この–者に そして あなたも の–上に なりなさい 五つの 町の
G3004 G1161 G2532 G3778 G2532 G4771 G1883 G1096 G4002 G4172

そこでこの者にも、『では、あなたは五つの町のかしらになれ』と言った。

20 καὶ ὁ ἕτερος ἦλθεν, λέγων, Κύριε, ἰδοὺ ἡ μνᾶ σου,
そして その もう–一人の 来た 言って 主よ ご覧ください その ミナが あなたの
G2532 G3588 G2087 G2064 G3004 G2962 G3708 G3588 G3414 G4771

ἣν εἶχον ἀποκειμένην ἐν σουδαρίῳ.
これを 持っておりました しまっておいた の中の 布に
G3739 G2192 G0606 G1722 G4676

それから、もうひとりの者がきて言った、『ご主人様、さあ、ここにあなたの一ミナがあります。わたしはそれをふくさに包んで、しまっておきました。

21 ἐφοβούμην γάρ σε, ὅτι ἄνθρωπος αὐστηρὸς εἶ;
恐れていました なぜなら あなたを なぜなら 人 厳しい であるからです
G5399 G1063 G4771 G3754 G0444 G0840 G1510

αἴρεις ὃ οὐκ ἔθηκας, καὶ θερίζεις ὃ οὐκ ἔσπειρας.
取り立てます ものを ない 預けなかった そして 刈り取ります ものを ない 蒔かなかった
G0142 G3739 G3756 G5087 G2532 G2325 G3739 G3756 G4687

あなたはきびしい方で、おあずけにならなかったものを取りたて、おまきにならなかったものを刈る人なので、おそろしかったのです』。

22 λέγει αὐτῷ, Ἐκ τοῦ στόματός σου κρίνω σε, πονηρὲ δοῦλε;
言った 彼に から その 口 あなたの さばく あなたを 悪い しもべよ
G3004 G0846 G1537 G3588 G4750 G4771 G2919 G4771 G4190 G1401

ᾔδεις ὅτι ἐγὼ ἄνθρωπος αὐστηρός εἰμι, αἴρων ὃ οὐκ
知っていた と わたしが 人 厳しい であると 取り立てる ものを ない
G1492 G3754 G1473 G0444 G0840 G1510 G0142 G3739 G3756

ἔθηκα καὶ θερίζων ὃ οὐκ ἔσπειρα?
預けなかった そして 刈り取る ものを ない 蒔かなかったと
G5087 G2532 G2325 G3739 G3756 G4687

彼に言った、『悪い僕よ、わたしはあなたの言ったその言葉であなたをさばこう。わたしがきびしくて、あずけなかったものを取りたて、まかなかったものを刈る人間だと、知っているのか。

23 καὶ διὰ τί οὐκ ἔδωκάς μου τὸ ἀργύριον ἐπὶ τράπεζαν,
では なぜ ない のか 預けなかった わたしの その 銀を の-上に 銀行に
G2532 G1223 G5101 G3756 G1325 G1473 G3588 G0694 G1909 G5132

κἀγὼ ἐλθὼν, σὺν τόκῳ ἂν αὐτὸ ἔπραξα?
そうすれば-わたしが 来たとき と-ともに 利息を つけて それを 受け取ったのに
G2504 G2064 G4862 G5110 G0302 G0846 G4238

では、なぜわたしの金を銀行に入れなかったのか。そうすれば、わたしが帰ってきたとき、その金を利子と一緒に引き出したであろうに』。

24 καὶ τοῖς παρεστῶσιν εἶπεν, Ἄρατε ἀπ' αὐτοῦ τὴν μνᾶν, καὶ
そして その そばに-立っている者に 言った 取りなさい から 彼から その ミナを そして
G2532 G3588 G3936 G3004 G0142 G0575 G0846 G3588 G3414 G2532

δότε τῷ τὰς δέκα μνᾶς ἔχοντι.
与えなさい その その 十 ミナを 持っている者に
G1325 G3588 G3588 G1176 G3414 G2192

そして、そばに立っていた人々に、『その一ミナを彼から取り上げて、十ミナを持っている者に与えなさい』と言った。

25 καὶ εἶπαν αὐτῷ, Κύριε, ἔχει δέκα μνᾶς.
そして 言った 彼に 主よ 持っています 十 ミナを
G2532 G3004 G0846 G2962 G2192 G1176 G3414

彼らは言った、『ご主人様、あの人は既に十ミナを持っています』。

26 λέγω ὑμῖν, ὅτι παντὶ τῷ ἔχοντι δοθήσεται; ἀπὸ δὲ τοῦ
言う あなたがたに こう すべての その 持っている者には 与えられる から しかし その
G3004 G4771 G3754 G3956 G3588 G2192 G1325 G0575 G1161 G3588

μὴ ἔχοντος, καὶ ὃ ἔχει ἀρθήσεται.
ない 持っていない者からは も ものを 持っている 取り上げられる
G3361 G2192 G2532 G3739 G2192 G0142

『あなたがたに言うが、おおよそ持っている人には、なお与えられ、持っていない人からは、持っているものまでも取り上げられるであろう。

27 πλὴν τοὺς ἐχθρούς μου τούτους, τοὺς μὴ θελήσαντάς με
しかし その 敵たちを わたしの これらの その ない 望まなかった者たちを わたしが
G4133 G3588 G2190 G1473 G3778 G3588 G3361 G2309 G1473

βασιλεῦσαι ἐπ' αὐτοὺς, ἀγάγετε ὧδε καὶ κατασφάξατε αὐτοὺς
王となることを の-上に 彼らの 連れて来て ここに そして 殺しなさい 彼らを
G0936 G1909 G0846 G0071 G5602 G2532 G2695 G0846

ἔμπροσθέν μου.
の-前で わたしの
G1715 G1473

しかしわたしが王になることを好まなかったあの敵どもを、ここにひっぱってきて、わたしの前で打ち殺せ』」。

28 Καὶ εἰπὼν ταῦτα ἐπορεύετο ἔμπροσθεν, ἀναβαίνων εἰς
そして 言い終えて これらのことを 進んで行った 前を 上って行きながら へ
G2532 G3004 G3778 G4198 G1715 G0305 G1519

Ἰεροσόλυμα.
エルサレムへ
G2414

イエスはこれらのことを言ったのち、先頭に立ち、エルサレムへ上って行かれた。

29 Καὶ ἐγένετο ὡς ἤγγισεν εἰς Βηθφαγὴ καὶ Βηθανίαν, πρὸς τὸ ὄρος
そして なった とき 近づいた へ ベテパゲ と ベタニヤに 〜の近くの その 山
G2532 G1096 G5613 G1448 G1519 G0967 G2532 G0963 G4314 G3588 G3735

τὸ καλούμενον Ἐλαιῶν, ἀπέστειλεν δύο τῶν μαθητῶν,
その 呼ばれる オリーブ-の 遣わした 二人の その 弟子たちを
G3588 G2564 G1636 G0649 G1417 G3588 G3101

そしてオリブという山に沿ったベテパゲとベタニヤに近づかれたとき、ふたりの弟子をつかわして言われた、

30 λέγων, Ὑπάγετε εἰς τὴν κατέναντι κώμην, ἐν ᾗ εἰσπορευόμενοι
言って 行きなさい へ その 向かいの 村へ の中で それに 入ると
G3004 G5217 G1519 G3588 G2713 G2968 G1722 G3739 G1531

εὑρήσετε πῶλον δεδεμένον, ἐφ’ ὃν οὐδεὶς πώποτε ἀνθρώπων
見つけるだろう ろばの-子を つながれた 〜の-上に それに だれも まだ-一度も 人が
G2147 G4454 G1210 G1909 G3739 G3762 G4455 G0444

ἐκάθισεν; καὶ λύσαντες αὐτὸν, ἀγάγετε.
乗ったことがない そして 解いて それを 連れて来なさい
G2523 G2532 G3089 G0846 G0071

「向こうの村へ行きなさい。そこにはいったら、まだだれも乗ったことのないろばの子がつないであるのを見るであろう。それを解いて、引いてきなさい。

31 καὶ ἐάν τις ὑμᾶς ἐρωτᾷ, Διὰ τί λύετε? οὕτως
そして もし だれかが あなたがたに 尋ねたら なぜ こう 解くのかと このように
G2532 G1437 G5100 G4771 G2065 G1223 G5101 G3089 G3779

ἐρεῖτε, ὅτι Ὁ Κύριος αὐτοῦ, χρείαν ἔχει.
言いなさい こう その 主が それを 必要と しているからと
G2046 G3754 G3588 G2962 G0846 G5532 G2192

もしだれかが『なぜ解くのか』と問うたら、『主がお入り用なのです』と、そう言いなさい」。

32 ἀπελθόντες δὲ οἱ ἀπεσταλμένοι, εὗρον καθὼς εἶπεν αὐτοῖς.
出かけて行って すると その 遣わされた-者たちは 見つけた ちょうど 言われた 彼らに
G0565 G1161 G3588 G0649 G2147 G2531 G3004 G0846

そこで、つかわされた者たちが行って見ると、果して、言われたとおりであった。

33 λυόντων δὲ αὐτῶν τὸν πῶλον, εἶπαν οἱ κύριοι αὐτοῦ
解いている-間に そして 彼らが その ろばの-子を 言った その 持ち主たちは その
G3089 G1161 G0846 G3588 G4454 G3004 G3588 G2962 G0846

πρὸς αὐτούς, Τί λύετε τὸν πῶλον?
に-向かって 彼らに なぜ 解くのか その ろばの-子を
G4314 G0846 G5101 G3089 G3588 G4454

彼らが、そのろばの子を解いていると、その持ち主たちが、「なぜろばの子を解くのか」と言ったので、

34 οἱ δὲ εἶπαν, ὅτι Ὁ Κύριος αὐτοῦ χρείαν ἔχει.
彼らは そして 言った こう その 主が それを 必要と しているからと
G3588 G1161 G3004 G3754 G3588 G2962 G0846 G5532 G2192

「主がお入り用なのです」と答えた。

35 καὶ ἤγαγον αὐτὸν πρὸς τὸν Ἰησοῦν; καὶ ἐπιρίψαντες αὐτῶν
そして 連れて来た それを の–もとに その イエスのもとに そして 投げかけて 彼らの
G2532 G0071 G0846 G4314 G3588 G2424 G2532 G1977 G0846

τὰ ἱμάτια ἐπὶ τὸν πῶλον, ἐπεβίβασαν τὸν Ἰησοῦν.
その 上着を の–上に その ろばの–子に 乗せた その イエスを
G3588 G2440 G1909 G3588 G4454 G1913 G3588 G2424

そしてそれをイエスのところに引いてきて、その子ろばの上に自分たちの上着をかけてイエスをお乗せした。

36 πορευομένου δὲ αὐτοῦ, ὑπεστρώννυον τὰ ἱμάτια ἑαυτῶν ἐν τῇ
進んで行く–間に そして 彼が 敷いた その 上着を 自分たちの に その
G4198 G1161 G0846 G5291 G3588 G2440 G1438 G1722 G3588

ὁδῷ.
道に
G3598

そして進んで行かれると、人々は自分たちの上着を道に敷いた。

37 ἐγγίζοντος δὲ αὐτοῦ; ἤδη πρὸς τῇ καταβάσει τοῦ ὄρους τῶν
近づいた–とき そして 彼が すでに の–近くの その 下り坂に その 山の その
G1448 G1161 G0846 G2235 G4314 G3588 G2600 G3588 G3735 G3588

Ἐλαιῶν, ἤρξαντο ἅπαν τὸ πλῆθος τῶν μαθητῶν, χαίροντες, αἰνεῖν
オリーブの 始めた すべての その 群衆が その 弟子たちの 喜びながら 賛美することを
G1636 G0756 G0537 G3588 G4128 G3588 G3101 G5463 G0134

τὸν Θεὸν φωνῇ μεγάλῃ περὶ πασῶν ὧν εἶδον δυνάμεων,
その 神を 声で 大きな について すべての その 見た 力ある–わざの
G3588 G2316 G5456 G3173 G4012 G3956 G3739 G3708 G1411

いよいよオリブ山の下り道あたりに近づかれると、大ぜいの弟子たちはみな喜んで、彼らが見たすべての力あるみわざについて、声高らかに神をさんびして言いはじめた、

38 λέγοντες, Εὐλογημένος ὁ ἐρχόμενος ὁ Βασιλεὺς ἐν ὀνόματι Κυρίου.
言って 祝福された–方 その 来られる その 王が において 御名の 主の
G3004 G2127 G3588 G2064 G3588 G0935 G1722 G3686 G2962

ἐν οὐρανῷ εἰρήνη, καὶ δόξα ἐν ὑψίστοις.
において 天に 平和 そして 栄光 に いと–高き–ところに
G1722 G3772 G1515 G2532 G1391 G1722 G5310

「主の御名によってきたる王に、祝福あれ。天には平和、いと高きところには栄光あれ」。

39 καί τινες τῶν Φαρισαίων ἀπὸ τοῦ ὄχλου εἶπαν πρὸς
すると ある者たちが その パリサイ人の から その 群衆の–中から 言った に–向かって
G2532 G5100 G3588 G5330 G0575 G3588 G3793 G3004 G4314

αὐτόν, Διδάσκαλε, ἐπιτίμησον τοῖς μαθηταῖς σου.
彼に 先生 叱りなさい その 弟子たちを あなたの
G0846 G1320 G2008 G3588 G3101 G4771

ところが、群衆の中にいたあるパリサイ人たちがイエスに言った、「先生、あなたの弟子たちをおしかり下さい」。

40 καὶ ἀποκριθεὶς, εἶπεν, Λέγω ὑμῖν, ‹ὅτι› ἐὰν οὗτοι
そして 答えて 言った わたしは–言う あなたがたに こう もし この–者たちが
G2532 G0611 G3004 G3004 G4771 G3754 G1437 G3778

σιωπήσουσιν, οἱ λίθοι κράξουσιν.
黙れば その 石が 叫ぶだろう
G4623 G3588 G3037 G2896

答えて言われた、「あなたがたに言うが、もしこの人たちが黙れば、石が叫ぶであろう」。

41 Καὶ ὡς ἤγγισεν, ἰδὼν τὴν πόλιν, ἔκλαυσεν ἐπ' αὐτήν,
そして とき 近づいたとき 見て その 都を 泣いた の-上で それについて
G2532 G5613 G1448 G3708 G3588 G4172 G2799 G1909 G0846

いよいよ都の近くにきて、それが見えたとき、そのために泣いて言われた、

42 λέγων ὅτι, Εἰ ἔγνως, ἐν τῇ ἡμέρᾳ ταύτῃ, καὶ σὺ, τὰ
言って こう もし 知っていたなら に この 日に この も おまえも その
G3004 G3754 G1487 G1097 G1722 G3588 G2250 G3778 G2532 G4771 G3588

πρὸς εἰρήνην, νῦν δὲ ἐκρύβη ἀπὸ ὀφθαλμῶν σου.
の-ための 平和をもたらす-ことを しかし-今は しかし 隠された から 目から おまえの
G4314 G1515 G3568 G1161 G2928 G0575 G3788 G4771

「もしおまえも、この日に、平和をもたらす道を知ってさえいたら……しかし、それは今おまえの目に隠されている。

43 ὅτι ἥξουσιν ἡμέραι ἐπὶ σὲ καὶ παρεμβαλοῦσιν οἱ ἐχθροί
なぜなら 来るであろう 日が の-上に おまえに そして 築くであろう その 敵たちが
G3754 G2240 G2250 G1909 G4771 G2532 G3925 G3588 G2190

σου χάρακά σοι; καὶ περικυκλώσουσίν σε καὶ
おまえの 堡塁を おまえに-向かって そして 取り囲むであろう おまえを そして
G4771 G5482 G4771 G2532 G4033 G4771 G2532

συνέξουσίν σε πάντοθεν,
締め付けるであろう おまえを 四方から
G4912 G4771 G3840

いつかは、敵が周囲に塁を築き、おまえを取りかこんで、四方から押し迫り、

44 καὶ ἐδαφιοῦσίν σε καὶ τὰ τέκνα σου ἐν
そして 打ち倒すであろう おまえを そして その 子どもたちを おまえの の中の
G2532 G1474 G4771 G2532 G3588 G5043 G4771 G1722

σοί, καὶ οὐκ ἀφήσουσιν λίθον ἐπὶ λίθον ἐν σοί,
おまえの-中にいる そして ない 残さないであろう 石を の-上に 石の に おまえの-中に
G4771 G2532 G3756 G0863 G3037 G1909 G3037 G1722 G4771

ἀνθ' ὧν οὐκ ἔγνως τὸν καιρὸν τῆς ἐπισκοπῆς σου.
の-代わりに こう ない 知らなかった その 時を その 訪れの おまえの
G0473 G3739 G3756 G1097 G3588 G2540 G3588 G1984 G4771

おまえとその内にいる子らとを地に打ち倒し、城内の一つの石も他の石の上に残して置かない日が来るであろう。それは、おまえが神のおとずれの時を知らないでいたからである」。

45 Καὶ εἰσελθὼν εἰς τὸ ἱερὸν, ἤρξατο ἐκβάλλειν τοὺς πωλοῦντας,
そして 入って の中に その 神殿に 始めた 追い出すことを その 売っている-者たちを
G2532 G1525 G1519 G3588 G2411 G0756 G1544 G3588 G4453

それから宮にはいり、商売人たちを追い出しはじめて、

46 λέγων αὐτοῖς, Γέγραπται, Καὶ ἔσται ὁ οἶκός μου οἶκος
言って 彼らに 書かれている そして なるであろう わたしの 家は わたしの 家
G3004 G0846 G1125 G2532 G1510 G3588 G3624 G1473 G3624

προσευχῆς; ὑμεῖς δὲ αὐτὸν ἐποιήσατε σπήλαιον λῃστῶν.
祈りの あなたがたは しかし それを した 巣窟に 強盗の
G4335 G4771 G1161 G0846 G4160 G4693 G3027

彼らに言われた、「『わが家は祈の家であるべきだ』と書いてあるのに、あなたがたはそれを盗賊の巣にしてしまった」。

47

Καὶ	ἦν	διδάσκων	τὸ	καθ’	ἡμέραν	ἐν	τῷ	ἱερῷ;	οἱ	δὲ
そして	であった	教えていた	その	毎	日	の中で	その	神殿で	しかし–その	そして
G2532	G1510	G1321	G3588	G2596	G2250	G1722	G3588	G2411	G3588	G1161

ἀρχιερεῖς,	καὶ	οἱ	γραμματεῖς,	ἐζήτουν	αὐτὸν	ἀπολέσαι,	καὶ	οἱ
祭司長たちと	と	その	律法学者たちは	求めていた	彼を	殺すことを	また	その
G0749	G2532	G3588	G1122	G2212	G0846	G0622	G2532	G3588

πρῶτοι	τοῦ	λαοῦ,
おもだった–人たちも	その	民の
G4413	G3588	G2992

イエスは毎日、宮で教えておられた。祭司長、律法学者また民衆の重立った者たちはイエスを殺そうと思っていたが、

48

καὶ	οὐχ	εὕρισκον	τὸ	τί	ποιήσωσιν;	ὁ	λαὸς	γὰρ
しかし	ない	見つけることが–できなかった	その	何を	すべきかを	その	民は	なぜなら
G2532	G3756	G2147	G3588	G5101	G4160	G3588	G2992	G1063

ἅπας	ἐξεκρέματο	αὐτοῦ	ἀκούων.
みな	聞き入っていた	彼の–言葉に	聞きながら
G0537	G1582	G0846	G0191

民衆がみな熱心にイエスに耳を傾けていたので、手のくだしようがなかった。

Chapter 20

1

Καὶ	ἐγένετο	ἐν	μιᾷ	τῶν	ἡμερῶν,	διδάσκοντος	αὐτοῦ	τὸν	λαὸν	ἐν
そして	起こった	に	ある	その	日に	教えている–間に	彼が	その	民を	の中で
G2532	G1096	G1722	G1520	G3588	G2250	G1321	G0846	G3588	G2992	G1722

τῷ	ἱερῷ,	καὶ	εὐαγγελιζομένου,	ἐπέστησαν	οἱ	ἀρχιερεῖς	καὶ	οἱ
その	神殿で	そして	福音を–宣べ伝えていると	やって来た	その	祭司長たちと	と	その
G3588	G2411	G2532	G2097	G2186	G3588	G0749	G2532	G3588

γραμματεῖς	σὺν	τοῖς	πρεσβυτέροις.
律法学者たちが	と–ともに	その	長老たちと
G1122	G4862	G3588	G4245

ある日、イエスが宮で人々に教え、福音を宣べておられると、祭司長や律法学者たちが、長老たちと共に近寄ってきて、

2

καὶ	εἶπαν	λέγοντες,	πρὸς	αὐτόν,	Εἰπὸν	ἡμῖν	ἐν	ποίᾳ	ἐξουσίᾳ
そして	言った	言って	に–向かって	彼に	告げなさい	私たちに	に	どの	権威で
G2532	G3004	G3004	G4314	G0846	G3004	G1473	G1722	G4169	G1849

ταῦτα	ποιεῖς,	ἢ	τίς	ἐστιν	ὁ	δούς	σοι	τὴν	ἐξουσίαν
これらの–ことを	するのか	あるいは	だれ	である	冠詞	与えた	あなたに	この	権威を
G3778	G4160	G2228	G5101	G1510	G3588	G1325	G4771	G3588	G1849

ταύτην?
この
G3778

イエスに言った、「何の権威によってこれらの事をするのですか。そうする権威をあなたに与えたのはだれですか、わたしたちに言ってください」。

3

ἀποκριθεὶς	δὲ,	εἶπεν	πρὸς	αὐτούς,	Ἐρωτήσω	ὑμᾶς	κἀγὼ	λόγον,	
答えて	そして	言った	に–向かって	彼らに	尋ねよう	あなたがたに	わたしも	言葉を	
G0611	G1161	G3004	G4314	G0846	G2065	G4771	G2504	G3056	

καὶ	εἴπατέ	μοι:
そして	言いなさい	わたしに
G2532	G3004	G1473

そこで、イエスは答えて言われた、「わたしも、ひと言たずねよう。それに答えてほしい。

4

Τὸ	βάπτισμα	Ἰωάννου,	ἐξ	οὐρανοῦ	ἦν,	ἢ	ἐξ	ἀνθρώπων?	
冠詞	バプテスマは	ヨハネの	から	天から	であったか	あるいは	から	人から–であったか	
G3588	G0908	G2491	G1537	G3772	G1510	G2228	G1537	G0444	

ヨハネのバプテスマは、天からであったか、人からであったか」。

5

οἱ	δὲ	συνελογίσαντο	πρὸς	ἑαυτοὺς,	λέγοντες,	ὅτι	Ἐὰν	εἴπωμεν	Ἐξ
その	すると	論じ合った	の–間で	自分たちの	言って	こう	もし	言えば	から
G3588	G1161	G4817	G4314	G1438	G3004	G3754	G1437	G3004	G1537

οὐρανοῦ,	ἐρεῖ,	Διὰ	τί	οὐκ	ἐπιστεύσατε	αὐτῷ?
天から	言うだろう	なぜ	こう	ない	信じなかったのか–と	彼を
G3772	G2046	G1223	G5101	G3756	G4100	G0846

彼らは互に論じて言った、「もし天からだと言えば、では、なぜ彼を信じなかったのか、とイエスは言うだろう。

6

ἐὰν	δὲ	εἴπωμεν,	Ἐξ	ἀνθρώπων,	ὁ	λαὸς	ἅπας	καταλιθάσει
もし	しかし	言えば	から	人から–と	その	民は	みな	石で–打ち殺すだろう
G1437	G1161	G3004	G1537	G0444	G3588	G2992	G0537	G2642

ἡμᾶς;	πεπεισμένος	γάρ	ἐστιν	Ἰωάννην	προφήτην	εἶναι.
私たちを	確信している	なぜなら	からだ	ヨハネが	預言者	であることを
G1473	G3982	G1063	G1510	G2491	G4396	G1510

しかし、もし人からだと言えば、民衆はみな、ヨハネを預言者だと信じているから、わたしたちを石で打つだろう」。

7

καὶ	ἀπεκρίθησαν,	μὴ	εἰδέναι	πόθεν.
そして	答えた	ない	知ら–ないと	どこから–かを
G2532	G0611	G3361	G1492	G4159

それで彼らは「どこからか、知りません」と答えた。

8

καὶ	ὁ	Ἰησοῦς	εἶπεν	αὐτοῖς,	Οὐδὲ	ἐγὼ	λέγω	ὑμῖν	ἐν
そこで	冠詞	イエスは	言った	彼らに	わたし–も	わたしは	言わない	あなたがたに	に
G2532	G3588	G2424	G3004	G0846	G3761	G1473	G3004	G4771	G1722

ποίᾳ	ἐξουσίᾳ	ταῦτα		ποιῶ.
どの	権威で	これらの–ことを		するかを
G4169	G1849	G3778		G4160

イエスはこれに対して言われた、「わたしも何の権威によってこれらの事をするのか、あなたがたに言うまい」。

9 Ἤρξατο δὲ πρὸς τὸν λαὸν λέγειν τὴν παραβολὴν ταύτην: ἄνθρωπος [τις] ἐφύτευσεν ἀμπελῶνα, καὶ ἐξέδετο αὐτὸν γεωργοῖς, καὶ ἀπεδήμησεν χρόνους ἱκανούς.

始めた そして に-向かって その 民に 語る-ことを この たとえを この
G0756 G1161 G4314 G3588 G2992 G3004 G3588 G3850 G3778

ある-人が ひとりの 植えた ぶどう園を 貸し出した それを 農夫たちに そして 旅に出た 長い 期間
G0444 G5100 G5452 G0290 G2532 G1554 G0846 G1092 G2532 G0589 G5550 G2425

そこでイエスは次の譬を民衆に語り出された、「ある人がぶどう園を造って農夫たちに貸し、長い旅に出た。

10 καὶ καιρῷ, ἀπέστειλεν πρὸς τοὺς γεωργοὺς δοῦλον, ἵνα ἀπὸ τοῦ καρποῦ τοῦ ἀμπελῶνος δώσουσιν αὐτῷ. οἱ δὲ γεωργοὶ ἐξαπέστειλαν, αὐτὸν δείραντες, κενόν.

そして 時に 遣わした に-向かって その 農夫たちに しもべを ために から その 実を その ぶどう園の 渡す-ように 彼に その しかし 農夫たちは 追い返した 彼を 打って 空手で
G2532 G2540 G0649 G4314 G3588 G1092 G1401 G2443 G0575 G3588 G2590 G3588 G0290 G1325 G0846 G3588 G1161 G1092 G1821 G0846 G1194 G2756

季節になったので、農夫たちのところへ、ひとりの僕を送って、ぶどう園の収穫の分け前を出させようとした。ところが、農夫たちは、その僕を袋だたきにし、から手で帰らせた。

11 καὶ προσέθετο ἕτερον πέμψαι δοῦλον; οἱ δὲ κἀκεῖνον, δείραντες καὶ ἀτιμάσαντες, ἐξαπέστειλαν κενόν.

そして さらに-送った もう-一人の 送る-ことを しもべを しかし その その-者も 打って そして 辱めて 追い返した 空手で
G2532 G4369 G2087 G3992 G1401 G3588 G1161 G2548 G1194 G2532 G0818 G1821 G2756

そこで彼はもうひとりの僕を送った。彼らはその僕も袋だたきにし、侮辱を加えて、から手で帰らせた。

12 καὶ προσέθετο τρίτον πέμψαι; οἱ δὲ καὶ τοῦτον τραυματίσαντες, ἐξέβαλον.

そして さらに-送った 三人目を 送る-ことを しかし その また この-者も 傷つけて 追い出した
G2532 G4369 G5154 G3992 G3588 G1161 G2532 G3778 G5135 G1544

そこで更に三人目の者を送ったが、彼らはこの者も、傷を負わせて追い出した。

13 εἶπεν δὲ ὁ κύριος τοῦ ἀμπελῶνος, Τί ποιήσω? πέμψω τὸν υἱόν μου, τὸν ἀγαπητόν; ἴσως τοῦτον ἐντραπήσονται.

言った そして その 主人は その ぶどう園の 何を しよう 送ろう わたしの 息子を わたしの その 愛する おそらく この-者は 敬うだろう
G3004 G1161 G3588 G2962 G3588 G0290 G5101 G4160 G3992 G3588 G5207 G1473 G3588 G0027 G2481 G3778 G1788

ぶどう園の主人は言った、『どうしようか。そうだ、わたしの愛子をつかわそう。これなら、たぶん敬ってくれるだろう』。

14 ἰδόντες 見て G3708 δὲ しかし G1161 αὐτὸν, 彼を G0846 οἱ その G3588 γεωργοὶ 農夫たちは G1092 διελογίζοντο 論じ合った G1260 πρὸς の-間で G4314 ἀλλήλους, 互いに G0240 λέγοντες, 言って G3004

Οὗτός この-者は G3778 ἐστιν である G1510 ὁ その G3588 κληρονόμος; 相続人だ G2818 ἀποκτείνωμεν 殺そう G0615 αὐτόν, 彼を G0846 ἵνα ために G2443 ἡμῶν 私たちの G1473

γένηται ものと-なるように G1096 ἡ その G3588 κληρονομία. 遺産が G2817

ところが、農夫たちは彼を見ると、『あれはあと取りだ。あれを殺してしまおう。そうしたら、その財産はわれわれのものになるのだ』と互に話し合い、

15 καὶ そして G2532 ἐκβαλόντες 追い出して G1544 αὐτὸν 彼を G0846 ἔξω 外に G1854 τοῦ その G3588 ἀμπελῶνος, ぶどう園の G0290 ἀπέκτειναν. 殺した G0615 τί 何を G5101 οὖν それでは G3767

ποιήσει するだろうか G4160 αὐτοῖς 彼らに G0846 ὁ その G3588 κύριος 主人は G2962 τοῦ その G3588 ἀμπελῶνος? ぶどう園の G0290

彼をぶどう園の外に追い出して殺した。そのさい、ぶどう園の主人は、彼らをどうするだろうか。

16 ἐλεύσεται 来て G2064 καὶ そして G2532 ἀπολέσει 滅ぼすだろう G0622 τοὺς その G3588 γεωργοὺς 農夫たちを G1092 τούτους, これらの G3778 καὶ そして G2532 δώσει 与えるだろう G1325 τὸν その G3588

ἀμπελῶνα ぶどう園を G0290 ἄλλοις. 他の-者たちに G0243 ἀκούσαντες 聞いて G0191 δὲ すると G1161 εἶπαν, 言った G3004 Μὴ ない G3361 γένοιτο! そんなことが-あってはならない G1096

彼は出てきて、この農夫たちを殺し、ぶどう園を他の人々に与えるであろう」。人々はこれを聞いて、「そんなことがあってはなりません」と言った。

17 ὁ 冠詞 G3588 δὲ しかし G1161 ἐμβλέψας じっと-見つめて G1689 αὐτοῖς, 彼らを G0846 εἶπεν, 言った G3004 Τί 何 G5101 οὖν では G3767 ἐστιν であるか G1510 τὸ この G3588 γεγραμμένον 書かれていること G1125

τοῦτο, これは G3778 Λίθον 石を G3037 ὃν それを G3739 ἀπεδοκίμασαν 退けた G0593 οἱ その G3588 οἰκοδομοῦντες, 家を-建てる-者たちが G3618 οὗτος これが G3778 ἐγενήθη なった G1096 εἰς への G1519

κεφαλὴν 隅の-かしら石に G2776 γωνίας? 隅の G1137

そこで、イエスは彼らを見つめて言われた、「それでは、『家造りらの捨てた石が隅のかしら石になった』と書いてあるのは、どういうことか。

18 πᾶς すべて G3956 ὁ その G3588 πεσὼν 落ちた G4098 ἐπ’ の-上に G1909 ἐκεῖνον あの G1565 τὸν その G3588 λίθον 石に G3037 συνθλασθήσεται, 砕かれるだろう G4917 ἐφ’ の-上に G1909 ὃν それが G3739

δ’ しかし G1161 ἂν こう G0302 πέσῃ, 落ちれば G4098 λικμήσει 粉々に-するだろう G3039 αὐτόν. その-者を G0846

すべてその石の上に落ちる者は打ち砕かれ、それがだれかの上に落ちかかるなら、その人はこなみじんにされるであろう」。

19 Καὶ そして G2532 ἐζήτησαν 求めた G2212 οἱ その G3588 γραμματεῖς 律法学者たちと G1122 καὶ と G2532 οἱ その G3588 ἀρχιερεῖς 祭司長たちは G0749 ἐπιβαλεῖν 手を-かけることを G1911 ἐπ’ の-上に G1909 αὐτὸν 彼に G0846 τὰς その G3588 χεῖρας, 手を G5495 ἐν に G1722 αὐτῇ その-同じ G0846 τῇ その G3588 ὥρᾳ; 時に G5610 καὶ しかし G2532 ἐφοβήθησαν 恐れた G5399 τὸν その G3588 λαόν; 民を G2992 ἔγνωσαν 悟った G1097 γὰρ なぜなら G1063 ὅτι こう G3754 πρὸς に-向けて G4314 αὐτοὺς 自分たちに G0846 εἶπεν 言った-と G3004 τὴν この G3588 παραβολὴν たとえを G3850 ταύτην. この G3778

このとき、律法学者たちや祭司長たちはイエスに手をかけようと思ったが、民衆を恐れた。いまの譬が自分たちに当てて語られたのだと、悟ったからである。

20 Καὶ そして G2532 παρατηρήσαντες, 見張って G3906 ἀπέστειλαν 遣わした G0649 ἐνκαθέτους, 回し者を G1455 ὑποκρινομένους ふりをする G5271 ἑαυτοὺς 自分たちが G1438 δικαίους 正しい-者 G1342 εἶναι, である-と G1510 ἵνα ために G2443 ἐπιλάβωνται 捕らえるために G1949 αὐτοῦ 彼の G0846 λόγου, 言葉を G3056 ὥστε そうして G5620 παραδοῦναι 引き渡す-ために G3860 αὐτὸν 彼を G0846 τῇ その G3588 ἀρχῇ 支配と G0746 καὶ と G2532 τῇ その G3588 ἐξουσίᾳ 権威に G1849 τοῦ その G3588 ἡγεμόνος. 総督の G2232

そこで、彼らは機会をうかがい、義人を装うまわし者どもを送って、イエスを総督の支配と権威とに引き渡すため、その言葉じりを捕えさせようとした。

21 καὶ そして G2532 ἐπηρώτησαν 尋ねた G1905 αὐτὸν, 彼に G0846 λέγοντες, 言って G3004 Διδάσκαλε, 先生 G1320 οἴδαμεν 知っています G1492 ὅτι こう G3754 ὀρθῶς 正しく G3723 λέγεις 語り G3004 καὶ そして G2532 διδάσκεις, 教えている-と G1321 καὶ そして G2532 οὐ ない G3756 λαμβάνεις 偏り見ない G2983 πρόσωπον, 顔を G4383 ἀλλ’ むしろ G0235 ἐπ’ に-基づいて G1909 ἀληθείας 真理 G0225 τὴν その G3588 ὁδὸν 道を G3598 τοῦ その G3588 Θεοῦ 神の G2316 διδάσκεις. 教えている-と G1321

彼らは尋ねて言った、「先生、わたしたちは、あなたの語り教えられることが正しく、また、あなたは分け隔てをなさらず、真理に基いて神の道を教えておられることを、承知しています。

22 ἔξεστιν 正しいですか G1832 ἡμᾶς 私たちが G1473 Καίσαρι カイザルに G2541 φόρον 税を G5411 δοῦναι, 納めることは G1325 ἢ あるいは G2228 οὔ? 否か G3756

ところで、カイザルに貢を納めてよいでしょうか、いけないでしょうか」。

23 κατανοήσας 見抜いて G2657 δὲ しかし G1161 αὐτῶν 彼らの G0846 τὴν その G3588 πανουργίαν, 悪巧みを G3834 εἶπεν 言った G3004 πρὸς に-向かって G4314 αὐτούς, 彼らに G0846

イエスは彼らの悪巧みを見破って言われた、

24 Δείξατέ μοι δηνάριον: τίνος ἔχει εἰκόνα, καὶ ἐπιγραφήν? οἱ δὲ
見せなさい わたしに デナリオンを だれの ある 像と と 銘が 彼らは そして
G1166 G1473 G1220 G5101 G2192 G1504 G2532 G1923 G3588 G1161

εἶπαν, Καίσαρος.
言った カイザルの
G3004 G2541

「デナリを見せなさい。それにあるのは、だれの肖像、だれの記号なのか」。「カイザルのです」と、彼らが答えた。

25 ὁ δὲ εἶπεν πρὸς αὐτούς, Τοίνυν ἀπόδοτε τὰ
冠詞 するとイエスは 言った に–向かって 彼らに それなら 返しなさい その
G3588 G1161 G3004 G4314 G0846 G5106 G0591 G3588

Καίσαρος Καίσαρι, καὶ τὰ τοῦ Θεοῦ τῷ Θεῷ.
カイザルの–ものは カイザルに そして その その 神の–ものは その 神に
G2541 G2541 G2532 G3588 G3588 G2316 G3588 G2316

するとイエスは彼らに言われた、「それなら、カイザルのものはカイザルに、神のものは神に返しなさい」。

26 καὶ οὐκ ἴσχυσαν ἐπιλαβέσθαι αὐτοῦ ῥήματος ἐναντίον τοῦ λαοῦ; καὶ
そして ない できなかった 捕らえることが 彼の 言葉を の–前で その 民の そして
G2532 G3756 G2480 G1949 G0846 G4487 G1726 G3588 G2992 G2532

θαυμάσαντες ἐπὶ τῇ ἀποκρίσει αὐτοῦ, ἐσίγησαν.
驚いて に その 答えに 彼の 黙った
G2296 G1909 G3588 G0612 G0846 G4601

そこで彼らは、民衆の前でイエスの言葉じりを捕えることができず、その答に驚嘆して、黙ってしまった。

27 Προσελθόντες δέ τινες τῶν Σαδδουκαίων, οἱ ἀντιλέγοντες ἀνάστασιν
近づいて–来た そして ある者たち その サドカイ人の その 否定する 復活が
G4334 G1161 G5100 G3588 G4523 G3588 G0483 G0386

μὴ εἶναι, ἐπηρώτησαν αὐτὸν,
ない ある–と 尋ねた 彼に
G3361 G1510 G1905 G0846

復活ということはないと言い張っていたサドカイ人のある者たちが、イエスに近寄ってきて質問した、

28 λέγοντες, Διδάσκαλε, Μωϋσῆς ἔγραψεν ἡμῖν, ἐάν τινος ἀδελφὸς ἀποθάνῃ
言って 先生 モーセが 書きました 私たちに もし ある者の 兄弟が 死んだなら
G3004 G1320 G3475 G1125 G1473 G1437 G5100 G0080 G0599

ἔχων γυναῖκα, καὶ οὗτος ἄτεκνος ᾖ, ἵνα λάβῃ ὁ
持って 妻を そして この–者が 子なし であれば ように めとる–べきだ–と その
G2192 G1135 G2532 G3778 G0815 G1510 G2443 G2983 G3588

ἀδελφὸς αὐτοῦ τὴν γυναῖκα, καὶ ἐξαναστήσῃ σπέρμα τῷ ἀδελφῷ
兄弟が 彼の その 妻を そして 起こす–べきだ 子孫を その 兄弟の–ために
G0080 G0846 G3588 G1135 G2532 G1817 G4690 G3588 G0080

αὐτοῦ.
彼の
G0846

「先生、モーセは、わたしたちのためにこう書いています、『もしある人の兄が妻をめとり、子がなくて死んだなら、弟はこの女をめとって、兄のために子をもうけねばならない』。

29 ἑπτὰ οὖν ἀδελφοὶ ἦσαν; καὶ ὁ πρῶτος, λαβὼν γυναῖκα, ἀπέθανεν
七人の さて 兄弟が いた そして その 最初の–者が めとって 妻を 死んだ
G2033 G3767 G0080 G1510 G2532 G3588 G4413 G2983 G1135 G0599

ἄτεκνος;
子なしに
G0815

ところで、ここに七人の兄弟がいました。長男は妻をめとりましたが、子がなくて死に、

30 καὶ ὁ δεύτερος, <τὴν γυναῖκα, καὶ οὗτος ἀπέθανεν ἄτεκνος>;
そして その 二番目の–者が その 妻を そして この–者も 死んだ 子なしに
G2532 G3588 G1208 G3588 G1135 G2532 G3778 G0599 G0815

そして次男、三男と、次々に、その女をめとり、

31 καὶ ὁ τρίτος ἔλαβεν αὐτήν; ὡσαύτως δὲ καὶ οἱ ἑπτὰ,
そして その 三番目の–者も めとった 彼女を 同様に そして また その 七人とも
G2532 G3588 G5154 G2983 G0846 G5615 G1161 G2532 G3588 G2033

οὐ κατέλιπον τέκνα, καὶ ἀπέθανον.
ない 子を–残さず 子を そして 死んだ
G3756 G2641 G5043 G2532 G0599

七人とも同様に、子をもうけずに死にました。

32 ὕστερον καὶ ἡ γυνὴ ἀπέθανεν.
最後に また その 妻も 死んだ
G5305 G2532 G3588 G1135 G0599

のちに、その女も死にました。

33 ἡ γυνὴ οὖν, ἐν τῇ ἀναστάσει, τίνος αὐτῶν γίνεται γυνή? οἱ
その 妻は それでは に その 復活の–とき だれの 彼らの なるのか 妻に その
G3588 G1135 G3767 G1722 G3588 G0386 G5101 G0846 G1096 G1135 G3588

γὰρ ἑπτὰ ἔσχον αὐτὴν γυναῖκα.
なぜなら 七人とも めとった 彼女を 妻として
G1063 G2033 G2192 G0846 G1135

さて、復活の時には、この女は七人のうち、だれの妻になるのですか。七人とも彼女を妻にしたのですが」。

34 καὶ εἶπεν αὐτοῖς ὁ Ἰησοῦς, Οἱ υἱοὶ τοῦ αἰῶνος τούτου γαμοῦσιν
そして 言った 彼らに 冠詞 イエスは この 世の この 時代の この めとり
G2532 G3004 G0846 G3588 G2424 G3588 G5207 G3588 G0165 G3778 G1060

καὶ γαμίσκονται;
また とつがせられる
G2532 G1061

イエスは彼らに言われた、「この世の子らは、めとったり、とついだりするが、

35 οἱ δὲ καταξιωθέντες τοῦ αἰῶνος ἐκείνου τυχεῖν, καὶ
しかし その ふさわしいと–された–者たちは その 時代に あの あずかることに そして
G3588 G1161 G2661 G3588 G0165 G1565 G5177 G2532

τῆς ἀναστάσεως τῆς ἐκ νεκρῶν, οὔτε γαμοῦσιν οὔτε
その 復活に その からの 死者からの ない めとることも ない
G3588 G0386 G3588 G1537 G3498 G3777 G1060 G3777

γαμίζονται;
とつがせられることも–ない
G1061

かの世にはいって死人からの復活にあずかるにふさわしい者たちは、めとったり、とついだりすることはない。

36 οὐδὲ γὰρ ἀποθανεῖν ἔτι δύνανται: ἰσάγγελοι γάρ εἰσιν; καὶ
ない なぜなら 死ぬことも もう できない 御使いに–等しい なぜなら 者である そして
G3761 G1063 G0599 G2089 G1410 G2465 G1063 G1510 G2532

υἱοί εἰσιν Θεοῦ, τῆς ἀναστάσεως υἱοὶ ὄντες.
子ら である 神の その 復活の 子ら であるから
G5207 G1510 G2316 G3588 G0386 G5207 G1510

彼らは天使に等しいものであり、また復活にあずかるゆえに、神の子でもあるので、もう死ぬことはあり得ないからである。

37 ὅτι δὲ ἐγείρονται οἱ νεκροὶ, καὶ Μωϋσῆς ἐμήνυσεν ἐπὶ τῆς
しかし こう よみがえることは その 死者が また モーセも 示した に その
G3754 G1161 G1453 G3588 G3498 G2532 G3475 G3377 G1909 G3588

Βάτου, ὡς λέγει Κύριον τὸν Θεὸν Ἀβραὰμ, καὶ Θεὸν Ἰσαὰκ, καὶ
柴の–箇所で と 呼んでいる 主を その 神と アブラハムの また 神と イサクの また
G0942 G5613 G3004 G2962 G3588 G2316 G0011 G2532 G2316 G2464 G2532

Θεὸν Ἰακώβ;
神と ヤコブの
G2316 G2384

死人がよみがえることは、モーセも柴の篇で、主を『アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神』と呼んで、これを示した。

38 Θεὸς δὲ οὐκ ἔστιν νεκρῶν, ἀλλὰ ζώντων; πάντες γὰρ
神は しかし ない ではない 死者の むしろ 生きている–者の すべて なぜなら
G2316 G1161 G3756 G1510 G3498 G0235 G2198 G3956 G1063

αὐτῷ ζῶσιν.
彼に–とって 生きている–のだから
G0846 G2198

神は死んだ者の神ではなく、生きている者の神である。人はみな神に生きるものだからである」。

39 ἀποκριθέντες δέ, τινες τῶν γραμματέων εἶπαν, Διδάσκαλε, καλῶς
答えて すると ある者たち その 律法学者たちの 言った 先生 よく
G0611 G1161 G5100 G3588 G1122 G3004 G1320 G2573

εἶπας.
言われました
G3004

律法学者のうちのある人々が答えて言った、「先生、仰せのとおりです」。

40 οὐκέτι γὰρ ἐτόλμων ἐπερωτᾶν αὐτὸν οὐδέν.
もはや なぜなら あえて-しなかった 尋ねる-ことを 彼に 何も
G3765 G1063 G5111 G1905 G0846 G3762

彼らはそれ以上何もあえて問いかけようとしなかった。

41 Εἶπεν δὲ πρὸς αὐτούς, Πῶς λέγουσιν τὸν Χριστὸν εἶναι
言った そして に-向かって 彼らに どうして 言うのか その キリストが である-と
G3004 G1161 G4314 G0846 G4459 G3004 G3588 G5547 G1510

Δαυὶδ υἱόν?
ダビデの 子で
G1138 G5207

イエスは彼らに言われた、「どうして人々はキリストをダビデの子だと言うのか。

42 αὐτὸς γὰρ Δαυὶδ λέγει ἐν βίβλῳ ψαλμῶν, Εἶπεν Κύριος τῷ
なぜなら こう ダビデ-自身が 言っている に 詩篇の 書で 言った 主が その
G0846 G1063 G1138 G3004 G1722 G0976 G5568 G3004 G2962 G3588

Κυρίῳ μου, Κάθου ἐκ δεξιῶν μου,
主に-向かって わたしの 座りなさい の 右に わたしの
G2962 G1473 G2521 G1537 G1188 G1473

ダビデ自身が詩篇の中で言っている、『主はわが主に仰せになった、

43 ἕως ἂν θῶ τοὺς ἐχθρούς σου, ὑποπόδιον τῶν ποδῶν σου.
まで こう 置く その 敵を あなたの 足台として その 足の あなたの
G2193 G0302 G5087 G3588 G2190 G4771 G5286 G3588 G4228 G4771

あなたの敵をあなたの足台とする時までは、わたしの右に座していなさい』。

44 Δαυὶδ οὖν αὐτὸν Κύριον καλεῖ, καὶ πῶς αὐτοῦ υἱός ἐστιν?
ダビデが それでは 彼を 主と 呼んでいる では どうして 彼の 子 であるのか
G1138 G3767 G0846 G2962 G2564 G2532 G4459 G0846 G5207 G1510

このように、ダビデはキリストを主と呼んでいる。それなら、どうしてキリストはダビデの子であろうか」。

45 Ἀκούοντος δὲ παντὸς τοῦ λαοῦ, εἶπεν τοῖς μαθηταῖς [αὐτοῦ],
聞いている-間に そして すべての その 民が 言った その 弟子たちに 彼の
G0191 G1161 G3956 G3588 G2992 G3004 G3588 G3101 G0846

民衆がみな聞いているとき、イエスは弟子たちに言われた、

46 Προσέχετε ἀπὸ τῶν γραμματέων, τῶν θελόντων περιπατεῖν ἐν
気をつけなさい から その 律法学者たちに その 好む 歩き回る-ことを の中を
G4337 G0575 G3588 G1122 G3588 G2309 G4043 G1722

στολαῖς, καὶ φιλούντων ἀσπασμοὺς ἐν ταῖς ἀγοραῖς, καὶ πρωτοκαθεδρίας
長い-衣で そして 好む 挨拶を の中で その 広場で そして 上席を
G4749 G2532 G5368 G0783 G1722 G3588 G0058 G2532 G4410

ἐν ταῖς συναγωγαῖς, καὶ πρωτοκλισίας ἐν τοῖς δείπνοις;
の中で その 会堂で そして 上座を の中で その 宴会で
G1722 G3588 G4864 G2532 G4411 G1722 G3588 G1173

「律法学者に気をつけなさい。彼らは長い衣を着て歩くのを好み、広場での敬礼や会堂の上席や宴会の上座をよろこび、

47 οἱ 彼らは G3739 κατεσθίουσιν 食い尽くす G2719 τὰς その G3588 οἰκίας 家を G3614 τῶν その G3588 χηρῶν, やもめたちの G5503 καὶ そして G2532 προφάσει 見せかけに G4392 μακρὰ 長い G3117 προσεύχονται. 祈りをする G4336 οὗτοι この–者たちは G3778 λήμψονται 受けるだろう G2983 περισσότερον より–重い G4053 κρίμα. さばきを G2917

やもめたちの家を食い倒し、見えのために長い祈をする。彼らはもっときびしいさばきを受けるであろう」。

Chapter 21

1 Ἀναβλέψας 見上げて G0308 δὲ, そして G1161 εἶδεν 見た G3708 τοὺς その G3588 βάλλοντας 入れている G0906 εἰς の中に G1519 τὸ その G3588 γαζοφυλάκιον 賠物箱に G1049 τὰ その G3588 δῶρα 供え物を G1435 αὐτῶν 彼らの G0846 πλουσίους; 裕福な–人々が G4145

イエスは目をあげて、金持たちがさいせん箱に献金を投げ入れるのを見られ、

2 εἶδεν 見た G3708 δέ そして G1161 τινα ある G5100 χήραν やもめが G5503 πενιχρὰν, 貧しい G3998 βάλλουσαν 入れている G0906 ἐκεῖ そこに G1563 λεπτὰ レプタ–銅貨を G3016 δύο. 二枚 G1417

また、ある貧しいやもめが、レプタ二つを入れるのを見て

3 καὶ そして G2532 εἶπεν, 言った G3004 Ἀληθῶς まことに G0230 λέγω 言う G3004 ὑμῖν, あなたがたに G4771 ὅτι こう G3754 ἡ この G3588 χήρα やもめは G5503 αὕτη この G3778 «ἡ その G3588 πτωχὴ», 貧しい G4434 πλεῖον より–多く G4119 πάντων すべての–人より G3956 ἔβαλεν; 入れた G0906

言われた、「よく聞きなさい。あの貧しいやもめはだれよりもたくさん入れたのだ。

4 πάντες すべて G3956 γὰρ なぜなら G1063 οὗτοι この–人たちは G3778 ἐκ から G1537 τοῦ その G3588 περισσεύοντος 有り余る–中から G4052 αὐτοῖς 彼らの G0846 ἔβαλον 入れた G0906 εἰς へ G1519 τὰ その G3588 δῶρα; 供え物として G1435 αὕτη この–人は G3778 δὲ, しかし G1161 ἐκ から G1537 τοῦ その G3588 ὑστερήματος 乏しさの–中から G5303 αὐτῆς, 彼女の G0846 πάντα すべての G3956 τὸν その G3588 βίον 生活費を G0979 ὃν それを G3739 εἶχεν 持っていた G2192 ἔβαλεν. 入れた G0906

これらの人たちはみな、ありあまる中から献金を投げ入れたが、あの婦人は、その乏しい中から、持っている生活費全部を入れたからである」。

5 Καί そして G2532 τινων ある–者たちが G5100 λεγόντων 語っている–とき G3004 περὶ について G4012 τοῦ その G3588 ἱεροῦ, 神殿について G2411 ὅτι こう G3754 λίθοις 石で G3037 καλοῖς 美しい G2570 καὶ と G2532 ἀναθήμασιν 奉納物で G0334 κεκόσμηται, 飾られている–と G2885 εἶπεν, 言った G3004

ある人々が、見事な石と奉納物とで宮が飾られていることを話していたので、イエスは言われた、

6

Ταῦτα	ἃ	θεωρεῖτε,	ἐλεύσονται	ἡμέραι	ἐν	αἷς	οὐκ
これらの–ものは	それを	見ている	来るだろう	日が	に	その–時に	ない
G3778	G3739	G2334	G2064	G2250	G1722	G3739	G3756

ἀφεθήσεται	λίθος	ἐπὶ	λίθῳ	(ὧδε)	ὃς	οὐ	καταλυθήσεται.
残されないだろう	石が	の–上に	石の	ここに	それは	ない	崩されない–ものはない
G0863	G3037	G1909	G3037	G5602	G3739	G3756	G2647

「あなたがたはこれらのものをながめているが、その石一つでもくずされずに、他の石の上に残ることもなくなる日が、来るであろう」。

7

ἐπηρώτησαν	δὲ	αὐτὸν,	λέγοντες,	Διδάσκαλε,	πότε	οὖν	ταῦτα
尋ねた	そして	彼に	言って	先生	いつ	では	これらの–ことは
G1905	G1161	G0846	G3004	G1320	G4219	G3767	G3778

ἔσται,	καὶ	τί	τὸ	σημεῖον	ὅταν	μέλλῃ	ταῦτα
あるのですか	そして	何の	その	しるしが	とき	起ころうとする	これらの–ことが
G1510	G2532	G5101	G3588	G4592	G3752	G3195	G3778

γίνεσθαι?
起こるのですか
G1096

そこで彼らはたずねた、「先生、では、いつそんなことが起るのでしょうか。またそんなことが起るような場合には、どんな前兆がありますか」。

8

ὁ	δὲ	εἶπεν,	Βλέπετε	μὴ	πλανηθῆτε;	πολλοὶ	γὰρ
冠詞	すると	言った	気をつけなさい	ない	惑わされない–ように	多くの–者が	なぜなら
G3588	G1161	G3004	G0991	G3361	G4105	G4183	G1063

ἐλεύσονται	ἐπὶ	τῷ	ὀνόματί	μου,	λέγοντες,	Ἐγώ	εἰμι,	καί	Ὁ
来るだろう	において	その	名で	わたしの	言って	わたしが	それだ–と	また	その
G2064	G1909	G3588	G3686	G1473	G3004	G1473	G1510	G2532	G3588

καιρὸς	ἤγγικεν.	μὴ	πορευθῆτε	ὀπίσω	αὐτῶν.
時が	近づいた–と	ない	従ってはならない	の–後に	彼らの
G2540	G1448	G3361	G4198	G3694	G0846

イエスが言われた、「あなたがたは、惑わされないように気をつけなさい。多くの者がわたしの名を名のって現れ、自分がそれだとか、時が近づいたとか、言うであろう。彼らについて行くな。

9

ὅταν	δὲ	ἀκούσητε	πολέμους	καὶ	ἀκαταστασίας,	μὴ	πτοηθῆτε;
とき	すると	聞いたら	戦争と	と	騒乱を	ない	恐れてはならない
G3752	G1161	G0191	G4171	G2532	G0181	G3361	G4422

δεῖ	γὰρ	ταῦτα	γενέσθαι	πρῶτον,	ἀλλ’	οὐκ	εὐθέως	τὸ
必要がある	なぜなら	これらの–ことが	起こることが	まず	しかし	ない	すぐには	その
G1163	G1063	G3778	G1096	G4412	G0235	G3756	G2112	G3588

τέλος.
終わりではない
G5056

戦争と騒乱とのうわさを聞くときにも、おじ恐れるな。こうしたことはまず起らねばならないが、終りはすぐにはこない」。

10 Τότε ἔλεγεν αὐτοῖς, Ἐγερθήσεται ἔθνος ἐπ' ἔθνος, καὶ βασιλεία
それから 言った 彼らに 起こるだろう 民族が に–向かって 民族に また 国が
G5119 G3004 G0846 G1453 G1484 G1909 G1484 G2532 G0932

ἐπὶ βασιλείαν;
に–向かって 国に
G1909 G0932

それから彼らに言われた、「民は民に、国は国に敵対して立ち上がるであろう。

11 σεισμοί τε μεγάλοι, καὶ κατὰ τόπους λιμοὶ καὶ λοιμοὶ. ἔσονται
地震が また 大きな そして 各地に 場所ごとに 飢饉と そして 疫病が あるだろう
G4578 G5037 G3173 G2532 G2596 G5117 G3042 G2532 G3061 G1510

φόβητρά τε, καὶ «ἀπ' οὐρανοῦ» σημεῖα μεγάλα ἔσται.
恐ろしい–ことが また そして から 天から しるしが 大きな あるだろう
G5400 G5037 G2532 G0575 G3772 G4592 G3173 G1510

また大地震があり、あちこちに疫病やききんが起り、いろいろ恐ろしいことや天からの物すごい前兆があるであろう。

12 πρὸ δὲ τούτων πάντων, ἐπιβαλοῦσιν ἐφ' ὑμᾶς τὰς χεῖρας
前に しかし これらの–ことの すべての 置くだろう の–上に あなたがたに その 手を
G4253 G1161 G3778 G3956 G1911 G1909 G4771 G3588 G5495

αὐτῶν, καὶ διώξουσιν, παραδιδόντες εἰς τὰς συναγωγὰς καὶ φυλακάς,
彼らの そして 迫害するだろう 引き渡して へ その 会堂と と 牢獄に
G0846 G2532 G1377 G3860 G1519 G3588 G4864 G2532 G5438

ἀπαγομένους ἐπὶ βασιλεῖς καὶ ἡγεμόνας, ἕνεκεν τοῦ ὀνόματός μου.
連行されて の–前に 王たちと と 総督たちの–前に の–ゆえに その 名の わたしの
G0520 G1909 G0935 G2532 G2232 G1752 G3588 G3686 G1473

しかし、これらのあらゆる出来事のある前に、人々はあなたがたに手をかけて迫害をし、会堂や獄に引き渡し、わたしの名のゆえに王や総督の前にひっぱって行くであろう。

13 ἀποβήσεται ὑμῖν εἰς μαρτύριον.
なるだろう あなたがたにとって への 証しに
G0576 G4771 G1519 G3142

それは、あなたがたがあかしをする機会となるであろう。

14 θέτε οὖν ἐν ταῖς καρδίαις ὑμῶν, μὴ προμελετᾶν
定めなさい それゆえ の中に その 心の あなたがたの ない 前もって–準備しない–ことを
G5087 G3767 G1722 G3588 G2588 G4771 G3361 G4304

ἀπολογηθῆναι;
弁護するために
G0626

だから、どう答弁しようかと、前もって考えておかないことに心を決めなさい。

15 ἐγὼ γὰρ δώσω ὑμῖν στόμα καὶ σοφίαν, ᾗ οὐ
わたしが なぜなら 与えるからだ あなたがたに 口と そして 知恵を それに ない
G1473 G1063 G1325 G4771 G4750 G2532 G4678 G3739 G3756

δυνήσονται ἀντιστῆναι, ἢ ἀντειπεῖν, ἅπαντες οἱ ἀντικείμενοι
できないであろう 逆らうことが も 反論することが すべての その 敵対する–者たちは
G1410 G0436 G2228 G0483 G0537 G3588 G0480

ὑμῖν.
あなたがたに
G4771

あなたの反対者のだれもが抗弁も否定もできないような言葉と知恵とを、わたしが授けるから。

16 παραδοθήσεσθε δὲ καὶ ὑπὸ γονέων, καὶ ἀδελφῶν, καὶ συγγενῶν,
引き渡されるだろう そして また によって 親に と 兄弟に と 親族に
G3860 G1161 G2532 G5259 G1118 G2532 G0080 G2532 G4773

καὶ φίλων; καὶ θανατώσουσιν ἐξ ὑμῶν.
と 友人に そして 殺すだろう から あなたがたの–中から
G2532 G5384 G2532 G2289 G1537 G4771

しかし、あなたがたは両親、兄弟、親族、友人にさえ裏切られるであろう。また、あなたがたの中で殺されるものもあろう。

17 καὶ ἔσεσθε μισούμενοι ὑπὸ πάντων διὰ τὸ ὄνομά μου.
そして なるだろう 憎まれて によって すべての–人に の–ゆえに その 名の わたしの
G2532 G1510 G3404 G5259 G3956 G1223 G3588 G3686 G1473

また、わたしの名のゆえにすべての人に憎まれるであろう。

18 καὶ θρὶξ ἐκ τῆς κεφαλῆς ὑμῶν, οὐ μὴ ἀπόληται.
しかし 髪の–毛–一本も から その 頭の あなたがたの 決して ない 滅びない
G2532 G2359 G1537 G3588 G2776 G4771 G3756 G3361 G0622

しかし、あなたがたの髪の毛一すじでも失われることはない。

19 ἐν τῇ ὑπομονῇ ὑμῶν, κτήσασθε τὰς ψυχὰς ὑμῶν.
に その 忍耐によって あなたがたの 勝ち取りなさい その いのちを あなたがたの
G1722 G3588 G5281 G4771 G2932 G3588 G5590 G4771

あなたがたは耐え忍ぶことによって、自分の魂をかち取るであろう。

20 Ὅταν δὲ ἴδητε κυκλουμένην ὑπὸ στρατοπέδων Ἰερουσαλήμ, τότε
とき しかし 見たら 囲まれている によって 軍勢に エルサレムが その–とき
G3752 G1161 G3708 G2944 G5259 G4760 G2419 G5119

γνῶτε ὅτι ἤγγικεν ἡ ἐρήμωσις αὐτῆς.
知りなさい こう 近づいた–と その 荒廃が その
G1097 G3754 G1448 G3588 G2050 G0846

エルサレムが軍隊に包囲されるのを見たならば、そのときは、その滅亡が近づいたとさとりなさい。

21 τότε οἱ ἐν τῇ Ἰουδαίᾳ, φευγέτωσαν εἰς τὰ ὄρη; καὶ
その–とき その に–いる者は その ユダヤに 逃げなさい へ その 山へ そして
G5119 G3588 G1722 G3588 G2449 G5343 G1519 G3588 G3735 G2532

οἱ ἐν μέσῳ αὐτῆς, ἐκχωρείτωσαν; καὶ οἱ ἐν ταῖς
その の–中にいる者は その–真ん中に その 立ち去りなさい そして その に–いる者は その
G3588 G1722 G3319 G0846 G1633 G2532 G3588 G1722 G3588

χώραις, μὴ εἰσερχέσθωσαν εἰς αὐτήν;
田舎に ない 入ってはならない へ その中に
G5561 G3361 G1525 G1519 G0846

そのとき、ユダヤにいる人々は山へ逃げよ。市中にいる者は、そこから出て行くがよい。また、いなかにいる者は市内にはいってはいけない。

22 ὅτι ἡμέραι ἐκδικήσεως αὗταί εἰσιν, τοῦ πλησθῆναι πάντα τὰ
なぜなら 日が 報復の これらは である その 成就されるために すべての その
G3754 G2250 G1557 G3778 G1510 G3588 G4130 G3956 G3588

γεγραμμένα.
書かれている–ことが
G1125

それは、聖書にしるされたすべての事が実現する刑罰の日であるからだ。

23 οὐαὶ ταῖς ἐν γαστρὶ ἐχούσαις, καὶ ταῖς θηλαζούσαις, ἐν
わざわい その に 胎の中に 持つ-者と そして その 乳飲ませている-者に に
G3759 G3588 G1722 G1064 G2192 G2532 G3588 G2337 G1722

ἐκείναις ταῖς ἡμέραις; ἔσται γὰρ ἀνάγκη μεγάλη ἐπὶ τῆς γῆς, καὶ
その その 日には あるだろう なぜなら 苦難が 大きな の-上に その 地に そして
G1565 G3588 G2250 G1510 G1063 G0318 G3173 G1909 G3588 G1093 G2532

ὀργὴ τῷ λαῷ τούτῳ.
怒りが その 民に この
G3709 G3588 G2992 G3778

その日には、身重の女と乳飲み子をもつ女とは、不幸である。地上には大きな苦難があり、この民にはみ怒りが臨み、

24 καὶ πεσοῦνται στόματι μαχαίρης, καὶ αἰχμαλωτισθήσονται εἰς τὰ
そして 倒れるだろう 刃によって 剣の そして 捕囚とされるだろう へ その
G2532 G4098 G4750 G3162 G2532 G0163 G1519 G3588

ἔθνη; πάντα καὶ Ἰερουσαλὴμ ἔσται πατουμένη ὑπὸ ἐθνῶν, ἄχρι
諸国民に すべての そして エルサレムは なるだろう 踏みにじられて によって 異邦人に まで
G1484 G3956 G2532 G2419 G1510 G3961 G5259 G1484 G0891

οὗ πληρωθῶσιν (καὶ ἔσονται) καιροὶ ἐθνῶν.
それの 満たされる そして-あるだろう ある 時が 異邦人の
G3739 G4137 G2532 G1510 G2540 G1484

彼らはつるぎの刃に倒れ、また捕えられて諸国へ引きゆかれるであろう。そしてエルサレムは、異邦人の時期が満ちるまで、彼らに踏みにじられているであろう。

25 Καὶ ἔσονται σημεῖα ἐν ἡλίῳ, καὶ σελήνῃ, καὶ ἄστροις; καὶ ἐπὶ
そして あるだろう しるしが に 太陽に と 月に と 星に そして の-上に
G2532 G1510 G4592 G1722 G2246 G2532 G4582 G2532 G0798 G2532 G1909

τῆς γῆς συνοχὴ ἐθνῶν ἐν ἀπορίᾳ, ἤχους θαλάσσης καὶ σάλου,
その 地の 苦悩が 諸国民の において 当惑の-中で 響きの 海の そして 大波の
G3588 G1093 G4928 G1484 G1722 G0640 G2279 G2281 G2532 G4535

また日と月と星とに、しるしが現れるであろう。そして、地上では、諸国民が悩み、海と大波とのとどろきにおじ惑い、

26 ἀποψυχόντων ἀνθρώπων ἀπὸ φόβου καὶ προσδοκίας τῶν ἐπερχομένων τῇ
気を-失いながら 人々が から 恐れと と 予感の-ために その 迫り来る その
G0674 G0444 G0575 G5401 G2532 G4329 G3588 G1904 G3588

οἰκουμένῃ; αἱ γὰρ δυνάμεις τῶν οὐρανῶν σαλευθήσονται.
世界に その なぜなら 力が その 天の 揺り動かされるからだ
G3625 G3588 G1063 G1411 G3588 G3772 G4531

人々は世界に起ろうとする事を思い、恐怖と不安で気絶するであろう。もろもろの天体が揺り動かされるからである。

27 καὶ τότε ὄψονται τὸν Υἱὸν τοῦ ἀνθρώπου, ἐρχόμενον ἐν
そして その-とき 見るだろう その 人-の-子が その 人の 来るのを において
G2532 G5119 G3708 G3588 G5207 G3588 G0444 G2064 G1722

νεφέλῃ, μετὰ δυνάμεως καὶ δόξης πολλῆς.
雲に と-ともに 力と そして 栄光を-もって 大いなる
G3507 G3326 G1411 G2532 G1391 G4183

そのとき、大いなる力と栄光とをもって、人の子が雲に乗って来るのを、人々は見るであろう。

28

ἀρχομένων	δὲ	τούτων	γίνεσθαι,	ἀνακύψατε	καὶ	ἐπάρατε	τὰς
始まる–とき	しかし	これらの–ことが	起こることが	身を–起こしなさい	そして	上げなさい	その
G0756	G1161	G3778	G1096	G0352	G2532	G1869	G3588

κεφαλὰς	ὑμῶν,	διότι	ἐγγίζει	ἡ	ἀπολύτρωσις	ὑμῶν.
頭を	あなたがたの	なぜなら	近づいているからだ	その	贖いが	あなたがたの
G2776	G4771	G1360	G1448	G3588	G0629	G4771

これらの事が起りはじめたら、身を起し頭をもたげなさい。あなたがたの救が近づいているのだから」。

29

Καὶ	εἶπεν	παραβολὴν	αὐτοῖς:	Ἴδετε	τὴν	συκῆν	καὶ	πάντα	τὰ
そして	言った	たとえを	彼らに	見なさい	その	いちじくの–木と	と	すべての	その
G2532	G3004	G3850	G0846	G3708	G3588	G4808	G2532	G3956	G3588

δένδρα:
木を
G1186

それから一つの譬を話された、「いちじくの木を、またすべての木を見なさい。

30

ὅταν	προβάλωσιν	ἤδη,	βλέποντες	ἀφ’	ἑαυτῶν,	γινώσκετε	ὅτι	ἤδη	ἐγγὺς
とき	芽を–出したら	すでに	見て	から	自分たちで	知る	こう	すでに	近い–と
G3752	G4261	G2235	G0991	G0575	G1438	G1097	G3754	G2235	G1451

τὸ	θέρος	ἐστίν.
その	夏が	であると
G3588	G2330	G1510

はや芽を出せば、あなたがたはそれを見て、夏がすでに近いと、自分で気づくのである。

31

οὕτως	καὶ	ὑμεῖς,	ὅταν	ἴδητε	ταῦτα	γινόμενα,	γινώσκετε
このように	また	あなたがたも	とき	見たら	これらの–ことが	起こっているのを	知りなさい
G3779	G2532	G4771	G3752	G3708	G3778	G1096	G1097

ὅτι	ἐγγύς	ἐστιν	ἡ	βασιλεία	τοῦ	Θεοῦ.
こう	近い–と	である–と	その	神–の–国が	その	神の
G3754	G1451	G1510	G3588	G0932	G3588	G2316

このようにあなたがたも、これらの事が起るのを見たなら、神の国が近いのだとさとりなさい。

32

ἀμὴν	λέγω	ὑμῖν,	ὅτι	οὐ	μὴ	παρέλθῃ	ἡ	γενεὰ	αὕτη,	ἕως
まことに	言う	あなたがたに	こう	決して	ない	過ぎ去らない	この	世代は	この	まで
G0281	G3004	G4771	G3754	G3756	G3361	G3928	G3588	G1074	G3778	G2193

ἂν	πάντα	γένηται.
こう	すべての–ことが	起こる
G0302	G3956	G1096

よく聞いておきなさい。これらの事が、ことごとく起るまでは、この時代は滅びることがない。

33

ὁ	οὐρανὸς	καὶ	ἡ	γῆ	παρελεύσονται,	οἱ	δὲ	λόγοι
その	天と	と	その	地は	過ぎ去るだろう	しかし–わたしの	しかし	言葉は
G3588	G3772	G2532	G3588	G1093	G3928	G3588	G1161	G3056

μου	οὐ	μὴ	παρελεύσονται.
わたしの	決して	ない	過ぎ去らない
G1473	G3756	G3361	G3928

天地は滅びるであろう。しかしわたしの言葉は決して滅びることがない。

34 Προσέχετε δὲ ἑαυτοῖς, μή ποτε βαρηθῶσιν ὑμῶν
気をつけなさい そして 自分たちに-ついて ない-ように いつか 重くならない-ように あなたがたの
G4337 G1161 G1438 G3361 G4219 G0916 G4771

αἱ καρδίαι ἐν κραιπάλῃ, καὶ μέθῃ, καὶ μερίμναις βιωτικαῖς; καὶ
その 心が によって 深酒と と 泌酔と と 思い煩らいで 生活の そして
G3588 G2588 G1722 G2897 G2532 G3178 G2532 G3308 G0982 G2532

ἐπιστῇ ἐφ' ὑμᾶς αἰφνίδιος ἡ ἡμέρα ἐκείνη;
襲う-ことのない-ように の-上に あなたがたに 突然に その 日が その
G2186 G1909 G4771 G0160 G3588 G2250 G1565

あなたがたが放縦や、泥酔や、世の煩いのために心が鈍っているうちに、思いがけないとき、その日がわなのようにあなたがたを捕えることがないように、よく注意していなさい。

35 ὡς παγὶς ἐπεισελεύσεται γὰρ ἐπὶ πάντας τοὺς καθημένους ἐπὶ
ように 罠の 襲いかかるだろう なぜなら の-上に すべての その 住んでいる-者に の-上に
G5613 G3803 G1904 G1063 G1909 G3956 G3588 G2521 G1909

πρόσωπον πάσης τῆς γῆς.
全-地の すべての その 地の
G4383 G3956 G3588 G1093

その日は地の全面に住むすべての人に臨むのであるから。

36 ἀγρυπνεῖτε δὲ ἐν παντὶ καιρῷ, δεόμενοι ἵνα κατισχύσητε
目を-覚ましていなさい そして に あらゆる 時に 祈り求めて ために 勝り-得る-ように
G0069 G1161 G1722 G3956 G2540 G1189 G2443 G2729

ἐκφυγεῖν ταῦτα πάντα τὰ μέλλοντα γίνεσθαι, καὶ σταθῆναι
逃れることを これらの すべての その 起ころうとしている ことを そして 立つことを
G1628 G3778 G3956 G3588 G3195 G1096 G2532 G2476

ἔμπροσθεν τοῦ Υἱοῦ τοῦ ἀνθρώπου.
の-前に その 人-の-子の その 人の
G1715 G3588 G5207 G3588 G0444

これらの起ろうとしているすべての事からのがれて、人の子の前に立つことができるように、絶えず目をさまして祈っていなさい」。

37 Ἦν δὲ τὰς ἡμέρας ἐν τῷ ἱερῷ διδάσκων, τὰς δὲ νύκτας
であった そして その 日は に その 神殿で 教えていた その そして 夜は
G1510 G1161 G3588 G2250 G1722 G3588 G2411 G1321 G3588 G1161 G3571

ἐξερχόμενος, ηὐλίζετο εἰς τὸ ὄρος τὸ καλούμενον Ἐλαιῶν.
出て行って 過ごした に その 山で その 呼ばれる オリーブの
G1831 G0835 G1519 G3588 G3735 G3588 G2564 G1636

イエスは昼のあいだは宮で教え、夜には出て行ってオリブという山で夜をすごしておられた。

38 καὶ πᾶς ὁ λαὸς ὤρθριζεν πρὸς αὐτὸν ἐν τῷ ἱερῷ
そして すべての その 民は 朝早く-来ていた の-もとに 彼の に その 神殿で
G2532 G3956 G3588 G2992 G3719 G4314 G0846 G1722 G3588 G2411

ἀκούειν αὐτοῦ.
聞くために 彼の-言葉を
G0191 G0846

民衆はみな、み教を聞こうとして、いつも朝早く宮に行き、イエスのもとに集まった。

Chapter 22

1

Ἤγγιζεν	δὲ	ἡ	ἑορτὴ	τῶν	ἀζύμων,	ἡ	λεγομένη	Πάσχα.
近づいていた	そして	その	祭りが	その	種なし-パンの	その	呼ばれる	過越と
G1448	G1161	G3588	G1859	G3588	G0106	G3588	G3004	G3957

さて、過越といわれている除酵祭が近づいた。

2

καὶ	ἐζήτουν	οἱ	ἀρχιερεῖς	καὶ	οἱ	γραμματεῖς	τὸ	πῶς
そして	求めていた	その	祭司長たちと	と	その	律法学者たちが	その	どのように
G2532	G2212	G3588	G0749	G2532	G3588	G1122	G3588	G4459

ἀνέλωσιν	αὐτόν;	ἐφοβοῦντο	γὰρ	τὸν	λαόν.
殺そうか-と	彼を	恐れていた	なぜなら	その	民を
G0337	G0846	G5399	G1063	G3588	G2992

祭司長たちや律法学者たちは、どうかしてイエスを殺そうと計っていた。民衆を恐れていたからである。

3

Εἰσῆλθεν	δὲ	Σατανᾶς	εἰς	Ἰούδαν,	τὸν	καλούμενον	Ἰσκαριώτην,	ὄντα
入った	そして	サタンが	の-中に	ユダに	その	呼ばれる	イスカリオテと	である
G1525	G1161	G4567	G1519	G2455	G3588	G2564	G2469	G1510

ἐκ	τοῦ	ἀριθμοῦ	τῶν	δώδεκα.
からの	その	数の-中の	その	十二人の
G1537	G3588	G0706	G3588	G1427

そのとき、十二弟子のひとりで、イスカリオテと呼ばれていたユダに、サタンがはいった。

4

καὶ	ἀπελθὼν,	συνελάλησεν	τοῖς	ἀρχιερεῦσιν	καὶ	στρατηγοῖς,	τὸ	πῶς
そして	行って	話し合った	その	祭司長たちと	と	神殿-の-守衛に	その	どのように
G2532	G0565	G4814	G3588	G0749	G2532	G4755	G3588	G4459

αὐτοῖς	παραδῷ	αὐτόν.
彼らに	引き渡そうか-と	彼を
G0846	G3860	G0846

すなわち、彼は祭司長たちや宮守がしらたちのところへ行って、どうしてイエスを彼らに渡そうかと、その方法について協議した。

5

καὶ	ἐχάρησαν,	καὶ	συνέθεντο	αὐτῷ	ἀργύριον	δοῦναι.
そして	喜んだ	そして	合意した	彼に	銀を	与えることを
G2532	G5463	G2532	G4934	G0846	G0694	G1325

彼らは喜んで、ユダに金を与える取決めをした。

6

καὶ	ἐξωμολόγησεν,	καὶ	ἐζήτει	εὐκαιρίαν	τοῦ	παραδοῦναι	αὐτὸν	ἄτερ
そして	承諾した	そして	求めていた	機会を	その	引き渡す-ための	彼を	なしに
G2532	G1843	G2532	G2212	G2120	G3588	G3860	G0846	G0817

ὄχλου	αὐτοῖς.
群衆の	彼らに
G3793	G0846

ユダはそれを承諾した。そして、群衆のいないときにイエスを引き渡そうと、機会をねらっていた。

7 ῏Ηλθεν δὲ ἡ ἡμέρα τῶν ἀζύμων [ἐν] ᾗ ἔδει
来た そして その 日が その 種なし-パンの の その-日に 必要があった
G2064 G1161 G3588 G2250 G3588 G0106 G1722 G3739 G1163

θύεσθαι τὸ πάσχα.
ほふられる-べき その 過越の-小羊が
G2380 G3588 G3957

さて、過越の小羊をほふるべき除酵祭の日がきたので、

8 καὶ ἀπέστειλεν Πέτρον καὶ Ἰωάννην, εἰπών, Πορευθέντες ἑτοιμάσατε
そして 遣わした ペテロと と ヨハネを 言って 行って 準備しなさい
G2532 G0649 G4074 G2532 G2491 G3004 G4198 G2090

ἡμῖν τὸ πάσχα, ἵνα φάγωμεν.
私たちのために その 過越を ために 食べよう
G1473 G3588 G3957 G2443 G5315

イエスはペテロとヨハネとを使いに出して言われた、「行って、過越の食事ができるように準備をしなさい」。

9 οἱ δὲ εἶπαν αὐτῷ, Ποῦ θέλεις ἑτοιμάσωμεν?
その すると 言った 彼に どこに 望みますか 準備しましょうか
G3588 G1161 G3004 G0846 G4226 G2309 G2090

彼らは言った、「どこに準備をしたらよいのですか」。

10 ὁ δὲ εἶπεν αὐτοῖς, Ἰδοὺ, εἰσελθόντων ὑμῶν εἰς τὴν πόλιν,
冠詞 すると 言った 彼らに 見よ 入った-とき あなたがたが の中に その 町に
G3588 G1161 G3004 G0846 G3708 G1525 G4771 G1519 G3588 G4172

συναντήσει ὑμῖν ἄνθρωπος, κεράμιον ὕδατος βαστάζων; ἀκολουθήσατε
出会うだろう あなたがたに ある-人が 水がめを 水の 運んでいる ついて-行きなさい
G4876 G4771 G0444 G2765 G5204 G0941 G0190

αὐτῷ εἰς τὴν οἰκίαν εἰς ἣν εἰσπορεύεται;
彼に の中に その 家に に その 入る
G0846 G1519 G3588 G3614 G1519 G3739 G1531

イエスは言われた、「市内にはいったら、水がめを持っている男に出会うであろう。その人がはいる家までついて行って、

11 καὶ ἐρεῖτε τῷ οἰκοδεσπότῃ τῆς οἰκίας, Λέγει σοι ὁ
そして 言いなさい その 家の-主人に その 家の 言っている あなたに その
G2532 G2046 G3588 G3617 G3588 G3614 G3004 G4771 G3588

Διδάσκαλος, Ποῦ ἐστιν τὸ κατάλυμα, ὅπου τὸ πάσχα μετὰ τῶν
先生が どこに あるのか その 客室は そこで その 過越を と-ともに その
G1320 G4226 G1510 G3588 G2646 G3699 G3588 G3957 G3326 G3588

μαθητῶν μου φάγω?
弟子たちと わたしの 食べようか-と
G3101 G1473 G5315

その家の主人に言いなさい、『弟子たちと一緒に過越の食事をする座敷はどこか、と先生が言っておられます』。

12 κἀκεῖνος ὑμῖν δείξει ἀνάγαιον μέγα, ἐστρωμένον; ἐκεῖ
そうすれば-その-人は あなたがたに 見せるだろう 二階の-大きな 部屋を 整えられた そこで
G2548 G4771 G1166 G0508 G3173 G4766 G1563

ἑτοιμάσατε.
準備しなさい
G2090

すると、その主人は席の整えられた二階の広間を見せてくれるから、そこに用意をしなさい」。

13 ἀπελθόντες 出かけて行って G0565 δὲ, すると G1161 εὗρον 見つけた G2147 καθὼς ちょうど G2531 εἰρήκει 言われた G2046 αὐτοῖς; 彼らに G0846 καὶ そして G2532 ἡτοίμασαν 準備した G2090 τὸ その G3588

πάσχα.
過越を
G3957

弟子たちは出て行ってみると、イエスが言われたとおりであったので、過越の食事の用意をした。

14 Καὶ そして G2532 ὅτε とき G3753 ἐγένετο なった G1096 ἡ その G3588 ὥρα, 時が G5610 ἀνέπεσεν, 食卓に-ついた G0377 καὶ そして G2532 οἱ その G3588 ἀπόστολοι 使徒たちが G0652 σὺν と-ともに G4862

αὐτῷ.
彼と
G0846

時間になったので、イエスは食卓につかれ、使徒たちも共に席についた。

15 καὶ そして G2532 εἶπεν 言った G3004 πρὸς に-向かって G4314 αὐτούς, 彼らに G0846 Ἐπιθυμίᾳ 切に G1939 ἐπεθύμησα 望んだ G1937 τοῦτο この G3778 τὸ その G3588 πάσχα 過越を G3957

φαγεῖν 食べることを G5315 μεθ’ と-ともに G3326 ὑμῶν, あなたがたと G4771 πρὸ 前に G4253 τοῦ その G3588 με わたしが G1473 παθεῖν. 苦しみを-受ける G3958

イエスは彼らに言われた、「わたしは苦しみを受ける前に、あなたがたとこの過越の食事をしようと、切に望んでいた。

16 λέγω 言う G3004 γὰρ なぜなら G1063 ὑμῖν, あなたがたに G4771 ὅτι こう G3754 οὐκέτι もはや G3765 οὐ 決して G3756 μὴ ない G3361 φάγω 食べないだろう G5315 αὐτὸ, それを G0846 ἕως まで G2193

ὅτου その-時が G3755 πληρωθῇ 成就される G4137 ἐν において G1722 τῇ その G3588 βασιλείᾳ 神-の-国に G0932 τοῦ その G3588 Θεοῦ. 神の G2316

あなたがたに言って置くが、神の国で過越が成就する時までは、わたしは二度と、この過越の食事をすることはない」。

17 καὶ そして G2532 δεξάμενος 受け取って G1209 ποτήριον, 杯を G4221 εὐχαριστήσας 感謝して G2168 εἶπεν, 言った G3004 Λάβετε 受けなさい G2983 τοῦτο, これを G3778 καὶ そして G2532

διαμερίσατε 分け合いなさい G1266 εἰς の-間で G1519 ἑαυτούς. 自分たちの G1438

そして杯を取り、感謝して言われた、「これを取って、互に分けて飲め。

18 λέγω γὰρ ὑμῖν, [ὅτι] οὐ μὴ πίω ἀπὸ τοῦ νῦν
言う なぜなら あなたがたに こう 決して ない 飲まないだろう から その 今から
G3004 G1063 G4771 G3754 G3756 G3361 G4095 G0575 G3588 G3568

ἀπὸ τοῦ γενήματος τῆς ἀμπέλου, ἕως οὗ ἡ βασιλεία τοῦ Θεοῦ
からの その 実りからは その ぶどうの まで その その 神–の–国が その 神の
G0575 G3588 G1081 G3588 G0288 G2193 G3739 G3588 G0932 G3588 G2316

ἔλθῃ.
来る
G2064

あなたがたに言っておくが、今からのち神の国が来るまでは、わたしはぶどうの実から造ったものを、いっさい飲まない」。

19 καὶ λαβὼν ἄρτον, εὐχαριστήσας, ἔκλασεν, καὶ ἔδωκεν αὐτοῖς, λέγων, Τοῦτό
そして 取って パンを 感謝して 裂いた そして 与えた 彼らに 言って これは
G2532 G2983 G0740 G2168 G2806 G2532 G1325 G0846 G3004 G3778

ἐστιν τὸ σῶμά μου, τὸ ὑπὲρ ὑμῶν διδόμενον; τοῦτο
である わたしの 体である わたしの それは の–ために あなたがたの 与えられる これを
G1510 G3588 G4983 G1473 G3588 G5228 G4771 G1325 G3778

ποιεῖτε εἰς τὴν ἐμὴν ἀνάμνησιν.
行いなさい の–ために わたしの わたしの 記念の–ために
G4160 G1519 G3588 G1699 G0364

またパンを取り、感謝してこれをさき、弟子たちに与えて言われた、「これは、あなたがたのために与えるわたしのからだである。わたしを記念するため、このように行いなさい」。

20 καὶ τὸ ποτήριον ὡσαύτως μετὰ τὸ δειπνῆσαι, λέγων, Τοῦτο τὸ
また その 杯も 同様に の–後に その 食事の 言って この その
G2532 G3588 G4221 G5615 G3326 G3588 G1172 G3004 G3778 G3588

ποτήριον ἡ καινὴ διαθήκη ἐν τῷ αἵματί μου, τὸ ὑπὲρ
杯は その 新しい 契約である において わたしの 血による わたしの それは の–ために
G4221 G3588 G2537 G1242 G1722 G3588 G0129 G1473 G3588 G5228

ὑμῶν ἐκχυννόμενον.
あなたがたの 流される
G4771 G1632

食事ののち、杯も同じ様にして言われた、「この杯は、あなたがたのために流すわたしの血で立てられる新しい契約である。

21 πλὴν, ἰδοὺ, ἡ χεὶρ τοῦ παραδιδόντος με μετ’ ἐμοῦ ἐπὶ
しかし 見よ その 手が その 裏切る–者の わたしを と–ともに わたしの の–上に–ある
G4133 G3708 G3588 G5495 G3588 G3860 G1473 G3326 G1473 G1909

τῆς τραπέζης;
その 食卓の
G3588 G5132

しかし、そこに、わたしを裏切る者が、わたしと一緒に食卓に手を置いている。

22 ὅτι ὁ Υἱὸς μὲν τοῦ ἀνθρώπου, κατὰ τὸ ὡρισμένον
なぜなら その 人–の–子は 実に その 人の に–従って その 定められた–とおり
G3754 G3588 G5207 G3303 G3588 G0444 G2596 G3588 G3724

πορεύεται, πλὴν οὐαὶ τῷ ἀνθρώπῳ ἐκείνῳ, δι’ οὗ παραδίδοται.
行く しかし わざわいだ その 人には その に–よって その 裏切られる
G4198 G4133 G3759 G3588 G0444 G1565 G1223 G3739 G3860

人の子は定められたとおりに、去って行く。しかし人の子を裏切るその人は、わざわいである」。

23

καὶ	αὐτοὶ	ἤρξαντο	συζητεῖν	πρὸς	ἑαυτοὺς	τὸ,	τίς	ἄρα
そして	彼らは	始めた	論じ合うことを	の–間で	自分たちの	こう	だれが	一体
G2532	G0846	G0756	G4802	G4314	G1438	G3588	G5101	G0686

εἴη	ἐξ	αὐτῶν,	ὁ	τοῦτο	μέλλων	πράσσειν.
であろうか–と	から	彼らの–中で	その	この–ことを	しようとしている	行うことを
G1510	G1537	G0846	G3588	G3778	G3195	G4238

弟子たちは、自分たちのうちのだれが、そんな事をしようとしているのだろうと、互に論じはじめた。

24

Ἐγένετο	δὲ	καὶ	φιλονεικία	ἐν	αὐτοῖς	τὸ,	τίς	αὐτῶν
起こった	また	また	争いが	において	彼らの–間に	こう	だれが	彼らの–中で
G1096	G1161	G2532	G5379	G1722	G0846	G3588	G5101	G0846

δοκεῖ	εἶναι	μείζων.
思われるか	である–と	最も–大いなる–者
G1380	G1510	G3173

それから、自分たちの中でだれがいちばん偉いだろうかと言って、争論が彼らの間に、起った。

25

ὁ	δὲ	εἶπεν	αὐτοῖς,	Οἱ	βασιλεῖς	τῶν	ἐθνῶν	κυριεύουσιν	αὐτῶν,
冠詞	すると	言った	彼らに	その	王たちは	その	異邦人の	支配する	彼らを
G3588	G1161	G3004	G0846	G3588	G0935	G3588	G1484	G2961	G0846

καὶ	οἱ	ἐξουσιάζοντες	αὐτῶν,	εὐεργέται	καλοῦνται.
そして	その	権力を–振るう–者たちは	彼らの	恩人と	呼ばれる
G2532	G3588	G1850	G0846	G2110	G2564

そこでイエスが言われた、「異邦の王たちはその民の上に君臨し、また、権力をふるっている者たちは恩人と呼ばれる。

26

ὑμεῖς	δὲ	οὐχ	οὕτως;	ἀλλ’	ὁ	μείζων	ἐν
あなたがたは	しかし	ない	そうでは	むしろ	その	最も–大いなる–者は	において
G4771	G1161	G3756	G3779	G0235	G3588	G3173	G1722

ὑμῖν,	γινέσθω	ὡς	ὁ	νεώτερος;	καὶ	ὁ	ἡγούμενος,
あなたがたの–中で	なりなさい	のように	その	最も–若い–者の	そして	その	導く–者は
G4771	G1096	G5613	G3588	G3501	G2532	G3588	G2233

ὡς	ὁ	διακονῶν.
のように	その	仕える–者の
G5613	G3588	G1247

しかし、あなたがたは、そうであってはならない。かえって、あなたがたの中でいちばん偉い人はいちばん若い者のように、指導する人は仕える者のようになるべきである。

27

τίς	γὰρ	μείζων,	ὁ	ἀνακείμενος	ἢ	ὁ	διακονῶν?
だれが	なぜなら	より–大きいか	その	食卓に–つく–者か	あるいは	その	仕える–者か
G5101	G1063	G3173	G3588	G0345	G2228	G3588	G1247

οὐχὶ	ὁ	ἀνακείμενος?	ἐγὼ	δὲ	ἐν	μέσῳ	ὑμῶν
ないだろうか	その	食卓に–つく–者では	しかし–わたしは	しかし	の–中に	真ん中に	あなたがたの
G3780	G3588	G0345	G1473	G1161	G1722	G3319	G4771

εἰμι,	ὡς	ὁ	διακονῶν.
いる	のように	その	仕える–者
G1510	G5613	G3588	G1247

食卓につく人と給仕する者と、どちらが偉いのか。食卓につく人の方ではないか。しかし、わたしはあなたがたの中で、給仕をする者のようにしている。

28 ὑμεῖς δέ ἐστε οἱ διαμεμενηκότες μετ' ἐμοῦ, ἐν
あなたがたは しかし である その 留まり続けた–者たちである と–ともに わたしと において
G4771 G1161 G1510 G3588 G1265 G3326 G1473 G1722

τοῖς πειρασμοῖς μου.
わたしの 試練の わたしの
G3588 G3986 G1473

あなたがたは、わたしの試錬のあいだ、わたしと一緒に最後まで忍んでくれた人たちである。

29 κἀγὼ διατίθεμαι ὑμῖν, καθὼς διέθετό μοι ὁ Πατήρ
そして–わたしは 定める あなたがたに ちょうど 定めた わたしに わたしの 父が
G2504 G1303 G4771 G2531 G1303 G1473 G3588 G3962

μου, βασιλείαν;
わたしの 国を
G1473 G0932

それで、わたしの父が国の支配をわたしにゆだねてくださったように、わたしもそれをあなたがたにゆだね、

30 ἵνα ἔσθητε, καὶ πίνητε, ἐπὶ τῆς τραπέζης μου ἐν
ために 食べる–ように そして 飲む–ように の–上で わたしの 食卓で わたしの において
G2443 G2068 G2532 G4095 G1909 G3588 G5132 G1473 G1722

τῇ βασιλείᾳ μου; καὶ καθήσεσθε ἐπὶ θρόνων, τὰς δώδεκα φυλὰς
わたしの 国に わたしの そして 座るだろう の–上に 王座に その 十二の 部族を
G3588 G0932 G1473 G2532 G2521 G1909 G2362 G3588 G1427 G5443

κρίνοντες τοῦ Ἰσραήλ.
さばきながら その イスラエルの
G2919 G3588 G2474

わたしの国で食卓について飲み食いをさせ、また位に座してイスラエルの十二の部族をさばかせるであろう。

31 Σίμων, Σίμων, ἰδοὺ, ὁ Σατανᾶς ἐξῃτήσατο ὑμᾶς, τοῦ
シモン シモンよ 見よ その サタンが 求めた あなたがたを その
G4613 G4613 G3708 G3588 G4567 G1809 G4771 G3588

σινιάσαι ὡς τὸν σῖτον;
ふるいにかけるために のように その 麦を
G4617 G5613 G3588 G4621

シモン、シモン、見よ、サタンはあなたがたを麦のようにふるいにかけることを願って許された。

32 ἐγὼ δὲ ἐδεήθην περὶ σοῦ, ἵνα μὴ ἐκλίπῃ ἡ
わたしは しかし 祈った について あなたの–ために ために ない 絶えない–ように その
G1473 G1161 G1189 G4012 G4771 G2443 G3361 G1587 G3588

πίστις σου; καὶ σύ, ποτε ἐπιστρέψας, στήρισον τοὺς ἀδελφούς
信仰が あなたの そして あなたは いつか 立ち帰ったら 強めなさい その 兄弟たちを
G4102 G4771 G2532 G4771 G4218 G1994 G4741 G3588 G0080

σου.
あなたの
G4771

しかし、わたしはあなたの信仰がなくならないように、あなたのために祈った。それで、あなたが立ち直ったときには、兄弟たちを力づけてやりなさい」。

33

ὁ	δὲ	εἶπεν	αὐτῷ,	Κύριε,	μετὰ	σοῦ	ἕτοιμός	εἰμι	καὶ
冠詞	すると	言った	彼に	主よ	と-ともに	あなたと	用意が-あります	です	また
G3588	G1161	G3004	G0846	G2962	G3326	G4771	G2092	G1510	G2532

εἰς	φυλακὴν,	καὶ	εἰς	θάνατον	πορεύεσθαι.
へも	牢獄に	も	へも	死に	行く-ことも
G1519	G5438	G2532	G1519	G2288	G4198

シモンが言った、「主よ、わたしは獄にでも、また死に至るまでも、あなたとご一緒に行く覚悟です」。

34

ὁ	δὲ	εἶπεν,	Λέγω	σοι	Πέτρε,	οὐ	φωνήσει	σήμερον	ἀλέκτωρ,
冠詞	しかし	言った	言う	あなたに	ペテロよ	ない	鳴かないだろう	今日	雄鶏は
G3588	G1161	G3004	G3004	G4771	G4074	G3756	G5455	G4594	G0220

ἕως	τρίς	με	ἀπαρνήσῃ	⸀μὴ⸁	εἰδέναι.
まで	三度	わたしを	否定する	ない	知らない-と
G2193	G5151	G1473	G0533	G3361	G1492

するとイエスが言われた、「ペテロよ、あなたに言っておく。きょう、鶏が鳴くまでに、あなたは三度わたしを知らないと言うだろう」。

35

Καὶ	εἶπεν	αὐτοῖς,	Ὅτε	ἀπέστειλα	ὑμᾶς	ἄτερ	βαλλαντίου,	καὶ
そして	言った	彼らに	とき	遣わした	あなたがたを	なしに	財布なしに	と
G2532	G3004	G0846	G3753	G0649	G4771	G0817	G0905	G2532

πήρας,	καὶ	ὑποδημάτων,	μή	τινος	ὑστερήσατε?	οἱ	δὲ	εἶπαν,	Οὐθενός.
袋なしに	と	くつなしに	ない	何か	不足したか	彼らは	すると	言った	何も
G4082	G2532	G5266	G3361	G5100	G5302	G3588	G1161	G3004	G3762

そして彼らに言われた、「わたしが財布も袋もくつも持たせずにあなたがたをつかわしたとき、何かこまったことがあったか」。彼らは、「いいえ、何もありませんでした」と答えた。

36

εἶπεν	δὲ	αὐτοῖς,	Ἀλλὰ	νῦν	ὁ	ἔχων	βαλλάντιον	ἀράτω,
言った	そして	彼らに	しかし	今は	その	持っている-者は	財布を	取りなさい
G3004	G1161	G0846	G0235	G3568	G3588	G2192	G0905	G0142

ὁμοίως	καὶ	πήραν;	καὶ	ὁ	μὴ	ἔχων,	πωλησάτω	τὸ	ἱμάτιον
同様に	また	袋も	そして	その	ない	持っていない-者は	売りなさい	その	上着を
G3668	G2532	G4082	G2532	G3588	G3361	G2192	G4453	G3588	G2440

αὐτοῦ,	καὶ	ἀγορασάτω	μάχαιραν;
彼の	そして	買いなさい	剣を
G0846	G2532	G0059	G3162

そこで言われた、「しかし今は、財布のあるものは、それを持って行け。袋も同様に持って行け。また、つるぎのない者は、自分の上着を売って、それを買うがよい。

37

λέγω	γὰρ	ὑμῖν,	ὅτι	τοῦτο	τὸ	γεγραμμένον,	δεῖ
言う	なぜなら	あなたがたに	こう	この	その	書かれている-ことが	必要がある
G3004	G1063	G4771	G3754	G3778	G3588	G1125	G1163

τελεσθῆναι	ἐν	ἐμοί,	τό	Καὶ	μετὰ	ἀνόμων	ἐλογίσθη;
成就されることが	において	わたしに	そのことが	そして	と-ともに	不法な-者と	数えられた
G5055	G1722	G1473	G3588	G2532	G3326	G0459	G3049

καὶ	γὰρ	τὸ	περὶ	ἐμοῦ	τέλος	ἔχει.
また	なぜなら	その	に-ついての	わたしに	終わりを	迫っているからだ
G2532	G1063	G3588	G4012	G1473	G5056	G2192

あなたがたに言うが、『彼は罪人のひとりに数えられた』としるしてあることは、わたしの身に成しとげられねばならない。そうだ、わたしに係わることは成就している」。

38 οἱ δὲ εἶπαν, Κύριε, ἰδοὺ, μάχαιραι ὧδε δύο. ὁ δὲ εἶπεν
その すると 言った 主よ 見よ 剣が ここに 二振り 冠詞 すると 言った
G3588 G1161 G3004 G2962 G3708 G3162 G5602 G1417 G3588 G1161 G3004

αὐτοῖς, Ἱκανόν ἐστιν.
彼らに 十分である それは
G0846 G2425 G1510

弟子たちが言った、「主よ、ごらんなさい、ここにつるぎが二振りございます」。イエスは言われた、「それでよい」。

39 Καὶ ἐξελθὼν, ἐπορεύθη κατὰ τὸ ἔθος εἰς τὸ ὄρος τῶν Ἐλαιῶν;
そして 出て行って 行った に–従って その 習慣に へ その 山へ その オリーブの
G2532 G1831 G4198 G2596 G3588 G1485 G1519 G3588 G3735 G3588 G1636

ἠκολούθησαν δὲ αὐτῷ καὶ οἱ μαθηταί.
従った そして 彼に また その 弟子たちも
G0190 G1161 G0846 G2532 G3588 G3101

イエスは出て、いつものようにオリブ山に行かれると、弟子たちも従って行った。

40 γενόμενος δὲ ἐπὶ τοῦ τόπου, εἶπεν αὐτοῖς, Προσεύχεσθε μὴ
なった–とき そして に その 場所に 言った 彼らに 祈りなさい ない
G1096 G1161 G1909 G3588 G5117 G3004 G0846 G4336 G3361

εἰσελθεῖν εἰς πειρασμόν.
入らない–ように の中に 誘惑に
G1525 G1519 G3986

いつもの場所に着いてから、彼らに言われた、「誘惑に陥らないように祈りなさい」。

41 καὶ αὐτὸς ἀπεσπάσθη ἀπ’ αὐτῶν, ὡσεὶ λίθου βολήν, καὶ θεὶς
そして 彼自身は 離れた から 彼らから ほどの 石を–投げる 距離 そして 置いて
G2532 G0846 G0645 G0575 G0846 G5616 G3037 G1000 G2532 G5087

τὰ γόνατα, προσηύχετο,
その ひざを 祈っていた
G3588 G1119 G4336

そしてご自分は、石を投げてとどくほど離れたところへ退き、ひざまずいて、祈って言われた、

42 λέγων, Πάτερ, εἰ βούλει παρένεγκε τοῦτο τὸ ποτήριον ἀπ’
言って 父よ もし 望まれるなら 取り除いてください この その 杯を から
G3004 G3962 G1487 G1014 G3911 G3778 G3588 G4221 G0575

ἐμοῦ; πλὴν μὴ τὸ θέλημά μου, ἀλλὰ τὸ σὸν
わたしから しかし ない わたしの 意志ではなく わたしの むしろ その あなたの
G1473 G4133 G3361 G3588 G2307 G1473 G0235 G3588 G4674

γινέσθω.
なされますように
G1096

「父よ、みこころならば、どうぞ、この杯をわたしから取りのけてください。しかし、わたしの思いではなく、みこころが成るようにしてください」。

43 ὤφθη δὲ αὐτῷ ἄγγελος ἀπ’ (τοῦ) οὐρανοῦ, ἐνισχύων αὐτόν.
現れた そして 彼に 御使いが から その 天から 強めていた 彼を
G3708 G1161 G0846 G0032 G0575 G3588 G3772 G1765 G0846

そのとき、御使が天からあらわれてイエスを力づけた。

44 καὶ γενόμενος ἐν ἀγωνίᾳ, ἐκτενέστερον προσηύχετο. καὶ ἐγένετο ὁ
そして なって の中で 苦悶の いっそう-熱心に 祈っていた そして なった 彼の
G2532 G1096 G1722 G0074 G1617 G4336 G2532 G1096 G3588

ἱδρὼς αὐτοῦ ὡσεὶ θρόμβοι αἵματος, καταβαίνοντες ἐπὶ τὴν γῆν.
汗が 彼の ほどの しずくのような 血の 滴り落ちる の-上に その 地に
G2402 G0846 G5616 G2361 G0129 G2597 G1909 G3588 G1093

イエスは苦しみもだえて、ますます切に祈られた。そして、その汗が血のしたたりのように地に落ちた。

45 καὶ ἀναστὰς ἀπὸ τῆς προσευχῆς, ἐλθὼν πρὸς τοὺς μαθητὰς, εὗρεν
そして 立ち上がって から その 祈りから 来て の-もとに その 弟子たちの 見つけた
G2532 G0450 G0575 G3588 G4335 G2064 G4314 G3588 G3101 G2147

κοιμωμένους αὐτοὺς ἀπὸ τῆς λύπης,
眠っている 彼らが から その 悲しみの-ために
G2837 G0846 G0575 G3588 G3077

祈を終えて立ちあがり、弟子たちのところへ行かれると、彼らが悲しみのはて寝入っているのをごらんになって

46 καὶ εἶπεν αὐτοῖς, Τί καθεύδετε? ἀναστάντες προσεύχεσθε, ἵνα μὴ
そして 言った 彼らに なぜ 眠っているのか 起きて 祈りなさい ために ない
G2532 G3004 G0846 G5101 G2518 G0450 G4336 G2443 G3361

εἰσέλθητε εἰς πειρασμόν.
入らない-ように の中に 誘惑に
G1525 G1519 G3986

言われた、「なぜ眠っているのか。誘惑に陥らないように、起きて祈っていなさい」。

47 Ἔτι αὐτοῦ λαλοῦντος, ἰδοὺ, ὄχλος, καὶ ὁ λεγόμενος Ἰούδας, εἷς
まだ 彼が 話している-間に 見よ 群衆が そして その 呼ばれる ユダが ひとりの
G2089 G0846 G2980 G3708 G3793 G2532 G3588 G3004 G2455 G1520

τῶν δώδεκα, προήρχετο αὐτούς, καὶ ἤγγισεν τῷ Ἰησοῦ φιλῆσαι
その 十二人の 先に-立って 彼らの そして 近づいた その イエスに 口づけするために
G3588 G1427 G4281 G0846 G2532 G1448 G3588 G2424 G5368

αὐτόν.
彼に
G0846

イエスがまだそう言っておられるうちに、そこに群衆が現れ、十二弟子のひとりでユダという者が先頭に立って、イエスに接吻しようとして近づいてきた。

48 Ἰησοῦς δὲ εἶπεν αὐτῷ, Ἰούδα, φιλήματι τὸν Υἱὸν τοῦ ἀνθρώπου
イエスは しかし 言った 彼に ユダよ 接吻で その 人-の-子を その 人の
G2424 G1161 G3004 G0846 G2455 G5370 G3588 G5207 G3588 G0444

παραδίδως?
裏切るのか
G3860

そこでイエスは言われた、「ユダ、あなたは接吻をもって人の子を裏切るのか」。

49 ἰδόντες δὲ οἱ περὶ αὐτὸν τὸ ἐσόμενον,
見て そして その についての 彼の–まわりの–者たちが その 起ころうとしていることを
G3708 G1161 G3588 G4012 G0846 G3588 G1510

εἶπαν Κύριε, εἰ πατάξομεν ἐν μαχαίρῃ?
言った 主よ もし 打ちましょうか で 剣で
G3004 G2962 G1487 G3960 G1722 G3162

イエスのそばにいた人たちは、事のなりゆきを見て、「主よ、つるぎで切りつけてやりましょうか」と言って、

50 καὶ ἐπάταξεν εἷς τις ἐξ αὐτῶν τοῦ ἀρχιερέως, τὸν
そして 打った ある ひとりの–者が から 彼らの–中の その 大祭司の その
G2532 G3960 G1520 G5100 G1537 G0846 G3588 G0749 G3588

δοῦλον, καὶ ἀφεῖλεν τὸ οὖς, αὐτοῦ τὸ δεξιόν.
しもべを そして 切り落とした その 耳を 彼の その 右の
G1401 G2532 G0851 G3588 G3775 G0846 G3588 G1188

そのうちのひとりが、祭司長の僕に切りつけ、その右の耳を切り落した。

51 ἀποκριθεὶς δὲ, ὁ Ἰησοῦς εἶπεν, Ἐᾶτε ἕως τούτου! καὶ
答えて しかし 冠詞 イエスは 言った やめなさい ここまでだ これまでにしなさい そして
G0611 G1161 G3588 G2424 G3004 G1439 G2193 G3778 G2532

ἁψάμενος τοῦ ὠτίου, ἰάσατο αὐτόν.
触れて その 耳に 癒した 彼を
G0680 G3588 G5621 G2390 G0846

イエスはこれに対して言われた、「それだけでやめなさい」。そして、その僕の耳に手を触て、おいやしになった。

52 Εἶπεν δὲ Ἰησοῦς πρὸς τοὺς παραγενομένους ἐπ’ αὐτὸν,
言った そして イエスは に–向かって その やって来た–者たちに に–向かって 彼に
G3004 G1161 G2424 G4314 G3588 G3854 G1909 G0846

ἀρχιερεῖς, καὶ στρατηγοὺς τοῦ ἱεροῦ, καὶ πρεσβυτέρους, Ὡς ἐπὶ
祭司長たちと と 神殿の–守衛と その 神殿の と 長老たちに のように に–向かって
G0749 G2532 G4755 G3588 G2411 G2532 G4245 G5613 G1909

λῃστὴν ἐξήλθατε μετὰ μαχαιρῶν καὶ ξύλων?
強盗に 出て来たのか を–持って 剣と と 棒を
G3027 G1831 G3326 G3162 G2532 G3586

それから、自分にむかって来る祭司長、宮守がしら、長老たちに対して言われた、「あなたがたは、強盗にむかうように剣や棒を持って出てきたのか。

53 καθ’ ἡμέραν ὄντος μου μεθ’ ὑμῶν ἐν τῷ ἱερῷ, οὐκ
毎 日 いた–とき わたしが と–ともに あなたがたと の中に その 神殿に ない
G2596 G2250 G1510 G1473 G3326 G4771 G1722 G3588 G2411 G3756

ἐξετείνατε τὰς χεῖρας ἐπ’ ἐμέ; ἀλλ’ αὕτη ἐστὶν ὑμῶν ἡ
伸ばさなかった その 手を に–向かって わたしに しかし これが である あなたがたの その
G1614 G3588 G5495 G1909 G1473 G0235 G3778 G1510 G4771 G3588

ὥρα, καὶ ἡ ἐξουσία τοῦ σκότους.
時である そして その 権威の–時である その 闇の
G5610 G2532 G3588 G1849 G3588 G4655

毎日あなたがたと一緒に宮にいた時には、わたしに手をかけなかった。だが、今はあなたがたの時、また、やみの支配の時である」。

54 Συλλαβόντες δὲ αὐτὸν, ἤγαγον, καὶ εἰσήγαγον εἰς τὴν οἰκίαν τοῦ
捕らえて そして 彼を 連行した そして 連れて行った の中に その 家に その
G4815 G1161 G0846 G0071 G2532 G1521 G1519 G3588 G3614 G3588

ἀρχιερέως. ὁ δὲ Πέτρος ἠκολούθει μακρόθεν.
大祭司の 冠詞 そして ペテロは ついて行った 遠くから
G0749 G3588 G1161 G4074 G0190 G3113

それから人々はイエスを捕え、ひっぱって大祭司の邸宅へつれて行った。ペテロは遠くからついて行った。

55 περιαψάντων δὲ πῦρ ἐν μέσῳ τῆς αὐλῆς, καὶ συνκαθισάντων,
火を-たいて そして 火を の-中に 真ん中に その 中庭の そして 共に-座って
G0681 G1161 G4442 G1722 G3319 G3588 G0833 G2532 G4776

ἐκάθητο ὁ Πέτρος μέσος αὐτῶν.
座っていた 冠詞 ペテロは 真ん中に 彼らの
G2521 G3588 G4074 G3319 G0846

人々は中庭のまん中に火をたいて、一緒にすわっていたので、ペテロもその中にすわった。

56 ἰδοῦσα δὲ αὐτὸν, παιδίσκη τις καθήμενον πρὸς τὸ φῶς, καὶ
見て そして 彼を ある-女中が ある 座っている の-そばに その 火の そして
G3708 G1161 G0846 G3814 G5100 G2521 G4314 G3588 G5457 G2532

ἀτενίσασα αὐτῷ, εἶπεν, Καὶ οὗτος σὺν αὐτῷ ἦν.
じっと-見つめて 彼を 言った また この-人も と-ともに 彼と いた
G0816 G0846 G3004 G2532 G3778 G4862 G0846 G1510

すると、ある女中が、彼が火のそばにすわっているのを見、彼を見つめて、「この人もイエスと一緒にいました」と言った。

57 ὁ δὲ ἠρνήσατο, λέγων, Οὐκ οἶδα αὐτόν, γύναι.
冠詞 しかし 否定した 言って ない 知らない 彼を 女よ
G3588 G1161 G0720 G3004 G3756 G1492 G0846 G1135

ペテロはそれを打ち消して、「わたしはその人を知らない」と言った。

58 καὶ μετὰ βραχὺ, ἕτερος ἰδὼν αὐτὸν, ἔφη, Καὶ σὺ ἐξ
そして の-後に 少しして 別の-者が 見て 彼を 言った また おまえも からの
G2532 G3326 G1024 G2087 G3708 G0846 G5346 G2532 G4771 G1537

αὐτῶν εἶ. ὁ δὲ Πέτρος ἔφη, Ἄνθρωπε, οὐκ εἰμί.
彼らの-仲間だ である 冠詞 しかし ペテロは 言った 人よ ちがう のではない
G0846 G1510 G3588 G1161 G4074 G5346 G0444 G3756 G1510

しばらくして、ほかの人がペテロを見て言った、「あなたもあの仲間のひとりだ」。するとペテロは言った、「いや、それはちがう」。

59 καὶ διαστάσης ὡσεὶ ὥρας μιᾶς, ἄλλος τις διϊσχυρίζετο, λέγων,
そして 過ぎて ほどの 一時間 ひとつの また-別の-者が ある 強く-言い張った 言って
G2532 G1339 G5616 G5610 G1520 G0243 G5100 G1340 G3004

Ἐπ' ἀληθείας καὶ οὗτος μετ' αὐτοῦ ἦν; καὶ γὰρ Γαλιλαῖός
に 確かに また この-者も と-ともに 彼と いた そして なぜなら ガリラヤ人
G1909 G0225 G2532 G3778 G3326 G0846 G1510 G2532 G1063 G1057

ἐστιν.
であるからだ
G1510

約一時間たってから、またほかの者が言い張った、「たしかにこの人もイエスと一緒だった。この人もガリラヤ人なのだから」。

60

εἶπεν	δὲ	ὁ	Πέτρος,	Ἄνθρωπε,	οὐκ	οἶδα	ὃ	λέγεις.	καὶ
言った	しかし	冠詞	ペテロは	人よ	ない	知らない	ものを	言っているのか	そして
G3004	G1161	G3588	G4074	G0444	G3756	G1492	G3739	G3004	G2532

παραχρῆμα	ἔτι	λαλοῦντος	αὐτοῦ,	ἐφώνησεν	ἀλέκτωρ.
ただちに	まだ	話している–間に	彼が	鳴いた	雄鶏が
G3916	G2089	G2980	G0846	G5455	G0220

ペテロは言った、「あなたの言っていることは、わたしにわからない」。すると、彼がまだ言い終らぬうちに、たちまち、鶏が鳴いた。

61

καὶ	στραφεὶς,	ὁ	Κύριος	ἐνέβλεψεν	τῷ	Πέτρῳ;	καὶ	ὑπεμνήσθη	ὁ
そして	振り向いて	冠詞	主は	見つめた	その	ペテロを	そして	思い出した	冠詞
G2532	G4762	G3588	G2962	G1689	G3588	G4074	G2532	G5279	G3588

Πέτρος	τοῦ	λόγου	τοῦ	Κυρίου,	ὡς	εἶπεν	αὐτῷ,	ὅτι	Πρὶν	ἀλέκτορα
ペテロは	その	言葉を	その	主の	と	言った–ことを	彼に	こう	前に	雄鶏が
G4074	G3588	G3056	G3588	G2962	G5613	G3004	G0846	G3754	G4250	G0220

φωνῆσαι	σήμερον,	ἀπαρνήσῃ	με	τρίς.
鳴く	今日	否定するだろう	わたしを	三度
G5455	G4594	G0533	G1473	G5151

主は振りむいてペテロを見つめられた。そのときペテロは、「きょう、鶏が鳴く前に、三度わたしを知らないと言うであろう」と言われた主のお言葉を思い出した。

62

καὶ	ἐξελθὼν	ἔξω,	ἔκλαυσεν	πικρῶς.
そして	外に–出て	外に	泣いた	激しく
G2532	G1831	G1854	G2799	G4090

そして外へ出て、激しく泣いた。

63

Καὶ	οἱ	ἄνδρες	οἱ	συνέχοντες	αὐτὸν	ἐνέπαιζον	αὐτῷ,	δέροντες.
そして	その	男たちは	その	拘束している	彼を	嘲っていた	彼を	打ちながら
G2532	G3588	G0435	G3588	G4912	G0846	G1702	G0846	G1194

イエスを監視していた人たちは、イエスを嘲弄し、打ちたたき、

64

καὶ	περικαλύψαντες	αὐτὸν,	<ἔτυπτον	αὐτοῦ	τὸ	πρόσωπον,	καὶ>	ἐπηρώτων
そして	覆い隠して	彼を	打っていた	彼の	その	顔を	そして	尋ねていた
G2532	G4028	G0846	G5180	G0846	G3588	G4383	G2532	G1905

λέγοντες,	Προφήτευσον,	τίς	ἐστιν	ὁ	παίσας	σε?
言って	預言しろ	だれが	であるか	その	打った–者は	おまえを
G3004	G4395	G5101	G1510	G3588	G3817	G4771

目かくしをして、「言いあててみよ。打ったのは、だれか」ときいたりした。

65

καὶ	ἕτερα	πολλὰ	βλασφημοῦντες,	ἔλεγον	εἰς	αὐτόν.
そして	他にも	多くのことを	冒瀆しながら	言っていた	に–向かって	彼に
G2532	G2087	G4183	G0987	G3004	G1519	G0846

そのほか、いろいろな事を言って、イエスを愚弄した。

66 Καὶ ὡς ἐγένετο ἡμέρα, συνήχθη τὸ πρεσβυτέριον τοῦ λαοῦ, ἀρχιερεῖς
そして とき なった 日に 集まった その 長老会が その 民の 祭司長たち
G2532 G5613 G1096 G2250 G4863 G3588 G4244 G3588 G2992 G0749

τε καὶ γραμματεῖς, καὶ ἀπήγαγον αὐτὸν εἰς τὸ συνέδριον αὐτῶν,
と と 律法学者たちも そして 連れて行った 彼を へ その 議会に 彼らの
G5037 G2532 G1122 G2532 G0520 G0846 G1519 G3588 G4892 G0846

λέγοντες,
言って
G3004

夜が明けたとき、人民の長老、祭司長たち、律法学者たちが集まり、イエスを議会に引き出して言った、

67 Εἰ σὺ εἶ ὁ Χριστός, εἰπὸν ἡμῖν. εἶπεν δὲ
もし おまえが であるなら その キリストであるなら 言いなさい 私たちに 言った しかし
G1487 G4771 G1510 G3588 G5547 G3004 G1473 G3004 G1161

αὐτοῖς, Ἐὰν ὑμῖν εἴπω, οὐ μὴ πιστεύσητε;
彼らに もし あなたがたに 言っても 決して ない 信じないだろう
G0846 G1437 G4771 G3004 G3756 G3361 G4100

「あなたがキリストなら、そう言ってもらいたい」。イエスは言われた、「わたしが言っても、あなたがたは信じないだろう。

68 ἐὰν δὲ ἐρωτήσω, οὐ μὴ ἀποκριθῆτε.
もし そして 尋ねても 決して ない 答えないだろう
G1437 G1161 G2065 G3756 G3361 G0611

また、わたしがたずねても、答えないだろう。

69 ἀπὸ τοῦ νῦν δὲ ἔσται ὁ Υἱὸς τοῦ ἀνθρώπου καθήμενος
から その 今から しかし なるだろう その 人−の−子が その 人の 座っている
G0575 G3588 G3568 G1161 G1510 G3588 G5207 G3588 G0444 G2521

ἐκ δεξιῶν τῆς δυνάμεως τοῦ Θεοῦ.
の 右に その 力の その 神の
G1537 G1188 G3588 G1411 G3588 G2316

しかし、人の子は今からのち、全能の神の右に座するであろう」。

70 εἶπαν δὲ πάντες, Σὺ οὖν εἶ ὁ Υἱὸς τοῦ Θεοῦ? ὁ
言った すると みな おまえは では であるのか その 神−の−子 その 神の 冠詞
G3004 G1161 G3956 G4771 G3767 G1510 G3588 G5207 G3588 G2316 G3588

δὲ πρὸς αὐτοὺς ἔφη, Ὑμεῖς λέγετε ὅτι ἐγώ εἰμι.
すると に−向かって 彼らに 言った あなたがたが 言っている こう わたしが それである−と
G1161 G4314 G0846 G5346 G4771 G3004 G3754 G1473 G1510

彼らは言った、「では、あなたは神の子なのか」。イエスは言われた、「あなたがたの言うとおりである」。

71 οἱ δὲ εἶπαν, Τί ἔτι ἔχομεν μαρτυρίας χρείαν? αὐτοὶ
その すると 言った 何の これ以上 持っているのか 証言の 必要を 私たち自身
G3588 G1161 G3004 G5101 G2089 G2192 G3141 G5532 G0846

γὰρ ἠκούσαμεν, ἀπὸ τοῦ στόματος αὐτοῦ.
なぜなら 聞いたからだ から その 口から 彼の
G1063 G0191 G0575 G3588 G4750 G0846

すると彼らは言った、「これ以上、なんの証拠がいるか。われわれは直接彼の口から聞いたのだから」。

Chapter 23

1

Καὶ	ἀναστὰν	ἅπαν	τὸ	πλῆθος	αὐτῶν,	ἤγαγον	αὐτὸν	ἐπὶ	τὸν
そして	立ち上がり	全	その	群衆は	彼らの	連れて行った	彼を	～の–前に	その
G2532	G0450	G0537	G3588	G4128	G0846	G0071	G0846	G1909	G3588

Πιλᾶτον.
ピラトの–もとへ
G4091

群衆はみな立ちあがって、イエスをピラトのところへ連れて行った。

2

ἤρξαντο	δὲ	κατηγορεῖν	αὐτοῦ,	λέγοντες,	Τοῦτον	εὕραμεν
始めた	そして	訴えることを	彼を	言って	この–者が	我々は–見出した
G0756	G1161	G2723	G0846	G3004	G3778	G2147

διαστρέφοντα	τὸ	ἔθνος	ἡμῶν,	καὶ	κωλύοντα	φόρους	Καίσαρι	διδόναι,
惑わしている–のを	この	国民を	我々の	そして	禁じている	税金を	カエサルに	納めることを
G1294	G3588	G1484	G1473	G2532	G2967	G5411	G2541	G1325

καὶ	λέγοντα	ἑαυτὸν	Χριστὸν	βασιλέα	εἶναι.
そして	称している	自分自身を	キリスト	王	であると
G2532	G3004	G1438	G5547	G0935	G1510

そして訴え出て言った、「わたしたちは、この人が国民を惑わし、貢をカイザルに納めることを禁じ、また自分こそ王なるキリストだと、となえているところを目撃しました」。

3

ὁ	δὲ	Πιλᾶτος	ἠρώτησεν	αὐτὸν,	λέγων,	Σὺ	εἶ	ὁ	Βασιλεὺς
その	そこで	ピラトは	尋ねた	彼に	言って	あなたが	そうなのか	その	王
G3588	G1161	G4091	G2065	G0846	G3004	G4771	G1510	G3588	G0935

τῶν	Ἰουδαίων?	ὁ	δὲ	ἀποκριθεὶς	αὐτῷ,	ἔφη,	Σὺ	λέγεις.
～の	ユダヤ人の	その	すると	答えて	彼に	言った	あなたが	そう–言っている
G3588	G2453	G3588	G1161	G0611	G0846	G5346	G4771	G3004

ピラトはイエスに尋ねた、「あなたがユダヤ人の王であるか」。イエスは「そのとおりである」とお答えになった。

4

ὁ	δὲ	Πιλᾶτος	εἶπεν	πρὸς	τοὺς	ἀρχιερεῖς	καὶ	τοὺς	ὄχλους,	Οὐδὲν
その	そこで	ピラトは	言った	～に	その	祭司長たちと	そして	その	群衆に	何の
G3588	G1161	G4091	G3004	G4314	G3588	G0749	G2532	G3588	G3793	G3762

εὑρίσκω	αἴτιον	ἐν	τῷ	ἀνθρώπῳ	τούτῳ.
私は–見出さない	罪も	～において	この	人に	この
G2147	G0159	G1722	G3588	G0444	G3778

そこでピラトは祭司長たちと群衆とにむかって言った、「わたしはこの人になんの罪もみとめない」。

5

οἱ	δὲ	ἐπίσχυον,	λέγοντες,	ὅτι	Ἀνασείει	τὸν	λαὸν,
彼らは	しかし	ますます–強く–主張した	言って	～と	扇動している	その	民を
G3588	G1161	G2001	G3004	G3754	G0383	G3588	G2992

διδάσκων	καθ’	ὅλης	τῆς	Ἰουδαίας,	καὶ	ἀρξάμενος	ἀπὸ	τῆς	Γαλιλαίας
教えて	～中の	全	その	ユダヤで	しかも	始めて	～から	その	ガリラヤから
G1321	G2596	G3650	G3588	G2449	G2532	G0756	G0575	G3588	G1056

ἕως	ὧδε.
～まで	ここまで
G2193	G5602

ところが彼らは、ますます言いつのってやまなかった、「彼は、ガリラヤからはじめてこの所まで、ユダヤ全国にわたって教え、民衆を煽動しているのです」。

6 Πιλᾶτος δὲ ἀκούσας, ἐπηρώτησεν εἰ ὁ ἄνθρωπος Γαλιλαῖός ἐστιν;
ピラトは そこで 聞いて 尋ねた ～かどうか この 人が ガリラヤ人 であるか
G4091 G1161 G0191 G1905 G1487 G3588 G0444 G1057 G1510

ピラトはこれを聞いて、この人はガリラヤ人かと尋ね、

7 καὶ ἐπιγνοὺς ὅτι ἐκ τῆς ἐξουσίας Ἡρῴδου ἐστὶν, ἀνέπεμψεν αὐτὸν
そして 知って ～と ～の その 管轄-下に ヘロデの あると 送り返した 彼を
G2532 G1921 G3754 G1537 G3588 G1849 G2264 G1510 G0375 G0846

πρὸς Ἡρῴδην, ὄντα καὶ αὐτὸν ἐν Ἰεροσολύμοις ἐν ταύταις ταῖς
～の-もとへ ヘロデの-もとへ いた また 彼も ～に エルサレムに ～の これらの その
G4314 G2264 G1510 G2532 G0846 G1722 G2414 G1722 G3778 G3588

ἡμέραις.
日々に
G2250

そしてヘロデの支配下のものであることを確かめたので、ちょうどこのころ、ヘロデがエルサレムにいたのをさいわい、そちらへイエスを送りとどけた。

8 ὁ δὲ Ἡρῴδης, ἰδὼν τὸν Ἰησοῦν, ἐχάρη λίαν; ἦν γὰρ
その さて ヘロデは 見て その イエスを 非常に-喜んだ 大いに 彼は-いた なぜなら
G3588 G1161 G2264 G3708 G3588 G2424 G5463 G3029 G1510 G1063

ἐξ ἱκανῶν χρόνων θέλων ἰδεῖν αὐτὸν, διὰ τὸ ἀκούειν περὶ
～から 長い 時-以来 願って 会うことを 彼に ～のゆえに その 聞いていた ～について
G1537 G2425 G5550 G2309 G3708 G0846 G1223 G3588 G0191 G4012

αὐτοῦ; καὶ ἤλπιζέν τι σημεῖον ἰδεῖν ὑπ' αὐτοῦ γινόμενον.
彼について そして 期待していた 何か しるしを 見ることを ～によって 彼によって 行われるのを
G0846 G2532 G1679 G5100 G4592 G3708 G5259 G0846 G1096

ヘロデはイエスを見て非常に喜んだ。それは、かねてイエスのことを聞いていたので、会って見たいと長いあいだ思っていたし、またイエスが何か奇跡を行うのを見たいと望んでいたからである。

9 ἐπηρώτα δὲ αὐτὸν ἐν λόγοις ἱκανοῖς; αὐτὸς δὲ οὐδὲν ἀπεκρίνατο
尋ねた そして 彼に ～で 多くの-言葉で 多くの 彼は しかし 何も 答えなかった
G1905 G1161 G0846 G1722 G3056 G2425 G0846 G1161 G3762 G0611

αὐτῷ.
彼に
G0846

それで、いろいろと質問を試みたが、イエスは何もお答えにならなかった。

10 εἱστήκεισαν δὲ οἱ ἀρχιερεῖς καὶ οἱ γραμματεῖς, εὐτόνως
立っていた また その 祭司長たちと そして その 律法学者たちは 激しく
G2476 G1161 G3588 G0749 G2532 G3588 G1122 G2159

κατηγοροῦντες αὐτοῦ.
訴えていた 彼を
G2723 G0846

祭司長たちと律法学者たちとは立って、激しい語調でイエスを訴えた。

11 ἐξουθενήσας δὲ αὐτὸν, ‹καὶ› ὁ Ἡρῴδης σὺν τοῖς στρατεύμασιν
侮辱して そして 彼を また その ヘロデは ～とともに その 兵士たちと–ともに
G1848 G1161 G0846 G2532 G3588 G2264 G4862 G3588 G4753

αὐτοῦ, καὶ ἐμπαίξας, περιβαλὼν ἐσθῆτα λαμπρὰν, ἀνέπεμψεν αὐτὸν τῷ
彼の そして 嘲って 着せて 衣を 華やかな 送り返した 彼を その
G0846 G2532 G1702 G4016 G2066 G2986 G0375 G0846 G3588

Πιλάτῳ.
ピラトの–もとへ
G4091

またヘロデはその兵卒どもと一緒になって、イエスを侮辱したり嘲弄したりしたあげく、はなやかな着物を着せてピラトへ送りかえした。

12 ἐγένοντο δὲ φίλοι ὅ τε Ἡρῴδης καὶ ὁ Πιλᾶτος, ἐν αὐτῇ
なった そして 友となった その ～も ヘロデと そして その ピラトは ～の その
G1096 G1161 G5384 G3588 G5037 G2264 G2532 G3588 G4091 G1722 G0846

τῇ ἡμέρᾳ μετ’ ἀλλήλων; προϋπῆρχον γὰρ ἐν ἔχθρᾳ, ὄντες
その 日に 互いに 互いに 以前は–いた なぜなら ～の–中に 敵意の–中に あって
G3588 G2250 G3326 G0240 G4391 G1063 G1722 G2189 G1510

πρὸς αὐτούς.
互いに 互いに
G4314 G0848

ヘロデとピラトとは以前は互に敵視していたが、この日に親しい仲になった。

13 Πιλᾶτος δὲ, συνκαλεσάμενος τοὺς ἀρχιερεῖς, καὶ τοὺς ἄρχοντας, καὶ
ピラトは そこで 呼び集めて その 祭司長たちと そして その 指導者たちと そして
G4091 G1161 G4779 G3588 G0749 G2532 G3588 G0758 G2532

τὸν λαὸν,
その 民を
G3588 G2992

ピラトは、祭司長たちと役人たちと民衆とを、呼び集めて言った、

14 εἶπεν πρὸς αὐτούς, Προσηνέγκατέ μοι τὸν ἄνθρωπον τοῦτον,
言った ～に 彼らに あなたがたは–連れてきた 私の–もとに この 人を この
G3004 G4314 G0846 G4374 G1473 G3588 G0444 G3778

ὡς ἀποστρέφοντα τὸν λαόν; καὶ ἰδοὺ, ἐγὼ ἐνώπιον
～として 惑わしている–者として この 民を しかし 見よ 私は あなたがたの–前で
G5613 G0654 G3588 G2992 G2532 G3708 G1473 G1799

ὑμῶν ἀνακρίνας, οὐθὲν εὗρον ἐν τῷ ἀνθρώπῳ τούτῳ αἴτιον
あなたがたの 取り調べたが 何の 見出さなかった ～において この 人に この 罪を
G4771 G0350 G3762 G2147 G1722 G3588 G0444 G3778 G0159

ὧν κατηγορεῖτε κατ’ αὐτοῦ.
～のうち あなたがたが–訴える ～に対して 彼に–対して
G3739 G2723 G2596 G0846

「おまえたちは、この人を民衆を惑わすものとしてわたしのところに連れてきたので、おまえたちの面前でしらべたが、訴え出ているような罪は、この人に少しもみとめられなかった。

15 ἀλλ’ οὐδὲ Ἡρῴδης; ἀνέπεμψεν γὰρ αὐτὸν πρὸς ἡμᾶς. καὶ
しかも ～もまた ヘロデも 送り返した なぜなら 彼を ～の-もとに 我々の-もとに そして
G0235 G3761 G2264 G0375 G1063 G0846 G4314 G1473 G2532

ἰδοὺ, οὐδὲν ἄξιον θανάτου ἐστὶν πεπραγμένον αὐτῷ.
見よ 何も 値する-ことは 死に ～ない 行われて-いない 彼に
G3708 G3762 G0514 G2288 G1510 G4238 G0846

ヘロデもまたみとめなかった。現に彼はイエスをわれわれに送りかえしてきた。この人はなんら死に当るようなことはしていないのである。

16 παιδεύσας οὖν αὐτὸν, ἀπολύσω.
懲らしめて それゆえ 彼を 釈放しよう
G3811 G3767 G0846 G0630

だから、彼をむち打ってから、ゆるしてやることにしよう」。〔

17 <Ἀνάγκην δὲ εἶχεν ἀπολύειν αὐτοῖς κατὰ ἑορτὴν ἕνα>.
必要が しかし あった 釈放する 彼らに ～ごとに 祭りの 一人を
G0318 G1161 G2192 G0630 G0846 G2596 G1859 G1520

祭ごとにピラトがひとりの囚人をゆるしてやることになっていた。〕

18 ἀνέκραγον δὲ παμπληθεὶ, λέγοντες, Αἶρε τοῦτον, ἀπόλυσον δὲ ἡμῖν
叫んだ そして 一斉に 言って 除け この-者を 釈放せよ そして 我々に
G0349 G1161 G3826 G3004 G0142 G3778 G0630 G1161 G1473

τὸν Βαραββᾶν!
その バラバを
G3588 G0912

ところが、彼らはいっせいに叫んで言った、「その人を殺せ。バラバをゆるしてくれ」。

19 ὅστις ἦν διὰ στάσιν τινὰ γενομένην ἐν τῇ πόλει, καὶ
この-者は ～であった ～のゆえに 暴動と ある 起こった ～で その 都で そして
G3748 G1510 G1223 G4714 G5100 G1096 G1722 G3588 G4172 G2532

φόνον, βληθεὶς ἐν τῇ φυλακῇ.
殺人の-ゆえに 投げ込まれていた ～に その 獄に
G5408 G0906 G1722 G3588 G5438

このバラバは、都で起った暴動と殺人とのかどで、獄に投ぜられていた者である。

20 πάλιν δὲ ὁ Πιλᾶτος προσεφώνησεν αὐτοῖς, θέλων ἀπολῦσαι τὸν
再び そこで その ピラトは 呼びかけた 彼らに 望んで 釈放することを その
G3825 G1161 G3588 G4091 G4377 G0846 G2309 G0630 G3588

Ἰησοῦν.
イエスを
G2424

ピラトはイエスをゆるしてやりたいと思って、もう一度かれらに呼びかけた。

21 οἱ δὲ ἐπεφώνουν, λέγοντες, Σταύρου, σταύρου αὐτόν.
彼らは しかし 叫び続けた 言って 十字架に-つけよ 十字架に-つけよ 彼を
G3588 G1161 G2019 G3004 G4717 G4717 G0846

しかし彼らは、わめきたてて「十字架につけよ、彼を十字架につけよ」と言いつづけた。

22 ὁ δὲ τρίτον εἶπεν πρὸς αὐτούς, Τί γὰρ κακὸν
その すると 三度目に 言った ～に 彼らに いったい–何の なぜなら 悪いことを
G3588 G1161 G5154 G3004 G4314 G0846 G5101 G1063 G2556

ἐποίησεν οὗτος? οὐδὲν αἴτιον θανάτου εὗρον ἐν αὐτῷ.
したのか この–者が 何の 罪も 死に–値する 私は–見出さなかった ～において 彼に
G4160 G3778 G3762 G0159 G2288 G2147 G1722 G0846

παιδεύσας οὖν αὐτὸν, ἀπολύσω.
懲らしめて それゆえ 彼を 釈放しよう
G3811 G3767 G0846 G0630

ピラトは三度目に彼らにむかって言った、「では、この人は、いったい、どんな悪事をしたのか。彼には死に当る罪は全くみとめられなかった。だから、むち打ってから彼をゆるしてやることにしよう」。

23 οἱ δὲ ἐπέκειντο φωναῖς μεγάλαις, αἰτούμενοι αὐτὸν σταυρωθῆναι.
彼らは しかし 迫った 大声で 大きな 求めて 彼を 十字架に–つけるよう
G3588 G1161 G1945 G5456 G3173 G0154 G0846 G4717

καὶ κατίσχυον αἱ φωναὶ αὐτῶν, <καὶ τῶν ἀρχιερέων>.
そして 勝った その 声は 彼らの そして その 祭司長たちの
G2532 G2729 G3588 G5456 G0846 G2532 G3588 G0749

ところが、彼らは大声をあげて詰め寄り、イエスを十字架につけるように要求した。そして、その声が勝った。

24 καὶ Πιλᾶτος ἐπέκρινεν γενέσθαι τὸ αἴτημα αὐτῶν.
そして ピラトは 決定した かなえることを その 要求を 彼らの
G2532 G4091 G1948 G1096 G3588 G0155 G0846

ピラトはついに彼らの願いどおりにすることに決定した。

25 ἀπέλυσεν δὲ τὸν διὰ στάσιν καὶ φόνον βεβλημένον εἰς
釈放した そして その ～のゆえに 暴動と そして 殺人の–ゆえに 投げ込まれていた ～に
G0630 G1161 G3588 G1223 G4714 G2532 G5408 G0906 G1519

φυλακὴν, ὃν ᾐτοῦντο; τὸν δὲ Ἰησοῦν παρέδωκεν τῷ θελήματι
獄に ～を 彼らが–求めた–者を その しかし その イエスを 引き渡した その 意のままに
G5438 G3739 G0154 G3588 G1161 G2424 G3860 G3588 G2307

αὐτῶν.
彼らの
G0846

そして、暴動と殺人とのかどで獄に投ぜられた者の方を、彼らの要求に応じてゆるしてやり、イエスの方は彼らに引き渡して、その意のままにまかせた。

26 Καὶ ὡς ἀπήγαγον αὐτόν, ἐπιλαβόμενοι Σίμωνά, τινα Κυρηναῖον,
そして ～した–とき 連れて行った 彼を 捕らえて シモンという ある クレネ人を
G2532 G5613 G0520 G0846 G1949 G4613 G5100 G2956

ἐρχόμενον ἀπ’ ἀγροῦ, ἐπέθηκαν αὐτῷ τὸν σταυρὸν, φέρειν ὄπισθεν τοῦ
来ていた ～から 田舎から 負わせた 彼に その 十字架を 運ばせるため 後ろから その
G2064 G0575 G0068 G2007 G0846 G3588 G4716 G5342 G3693 G3588

Ἰησοῦ.
イエスの
G2424

彼らがイエスをひいてゆく途中、シモンというクレネ人が郊外から出てきたのを捕えて十字架を負わせ、それをになってイエスのあとから行かせた。

27

Ἠκολούθει	δὲ	αὐτῷ	πολὺ	πλῆθος	τοῦ	λαοῦ,	καὶ	γυναικῶν,	αἳ
従った	また	彼に	大勢の	群衆が	その	民の	そして	女たちの	彼女たちは
G0190	G1161	G0846	G4183	G4128	G3588	G2992	G2532	G1135	G3739

ἐκόπτοντο	καὶ	ἐθρήνουν	αὐτόν.
胸を-打ち	そして	嘆き悲しんだ	彼を
G2875	G2532	G2354	G0846

大ぜいの民衆と、悲しみ嘆いてやまない女たちの群れとが、イエスに従って行った。

28

στραφεὶς	δὲ	πρὸς	αὐτὰς,	‹ὁ›	Ἰησοῦς	εἶπεν,	Θυγατέρες	Ἰερουσαλήμ,
振り向いて	そして	～に	彼女たちに	その	イエスは	言った	娘たちよ	エルサレムの
G4762	G1161	G4314	G0846	G3588	G2424	G3004	G2364	G2419

μὴ	κλαίετε	ἐπ’	ἐμέ,	πλὴν	ἐφ’	ἑαυτὰς	κλαίετε,
～するな	泣くな	～のために	私のために	むしろ	～のために	自分自身の-ために	泣きなさい
G3361	G2799	G1909	G1473	G4133	G1909	G1438	G2799

καὶ	ἐπὶ	τὰ	τέκνα	ὑμῶν.
そして	～の-ために	その	子どもたちの-ために	あなたがたの
G2532	G1909	G3588	G5043	G4771

イエスは女たちの方に振りむいて言われた、「エルサレムの娘たちよ、わたしのために泣くな。むしろ、あなたがた自身のため、また自分の子供たちのために泣くがよい。

29

ὅτι	ἰδοὺ,	ἔρχονται	ἡμέραι	ἐν	αἷς	ἐροῦσιν,	Μακάριαι	αἱ
なぜなら	見よ	来る	日々が	～に	その-時に	人々は-言う	幸いだ	その
G3754	G3708	G2064	G2250	G1722	G3739	G2046	G3107	G3588

στεῖραι,	καὶ	αἱ	κοιλίαι	αἳ	οὐκ	ἐγέννησαν,	καὶ	μαστοὶ	οἳ
不妊の-女たちは	そして	その	胎は	その	～ない	産まなかった	そして	乳房は	その
G4723	G2532	G3588	G2836	G3739	G3756	G1080	G2532	G3149	G3739

οὐκ	ἔθρεψαν.
～ない	養わなかった
G3756	G5142

『不妊の女と子を産まなかった胎と、ふくませなかった乳房とは、さいわいだ』と言う日が、いまに来る。

30

τότε	ἄρξονται	λέγειν	τοῖς	ὄρεσιν,	Πέσετε	ἐφ’	ἡμᾶς;	καὶ
その-時	彼らは-始める	言うことを	その	山々に	倒れよ	我々の-上に	我々の-上に	そして
G5119	G0756	G3004	G3588	G3735	G4098	G1909	G1473	G2532

τοῖς	βουνοῖς,	Καλύψατε	ἡμᾶς:
その	丘に	覆い隠せ	我々を
G3588	G1015	G2572	G1473

そのとき、人々は山にむかって、われわれの上に倒れかかれと言い、また丘にむかって、われわれにおおいかぶされと言い出すであろう。

31

ὅτι	εἰ	ἐν	‹τῷ›	ὑγρῷ	ξύλῳ,	ταῦτα	ποιοῦσιν;	ἐν	τῷ
なぜなら	もし	～で	その	生木に	生木に	これらの-ことを	するなら	～で	その
G3754	G1487	G1722	G3588	G5200	G3586	G3778	G4160	G1722	G3588

ξηρῷ,	τί	γένηται?
枯れ木には	何が	起こるだろうか
G3584	G5101	G1096

もし、生木でさえもそうされるなら、枯木はどうされることであろう」。

32 Ἤγοντο δὲ καὶ ἕτεροι κακοῦργοι δύο, σὺν αὐτῷ
連れて行かれた また ～も 他の 犯罪人 二人も ～とともに 彼とともに
G0071 G1161 G2532 G2087 G2557 G1417 G4862 G0846

ἀναιρεθῆναι.
処刑されるため
G0337

さて、イエスと共に刑を受けるために、ほかにふたりの犯罪人も引かれていった。

33 Καὶ ὅτε ἦλθον ἐπὶ τὸν τόπον τὸν καλούμενον Κρανίον, ἐκεῖ
そして ～した–とき 来た ～に その 場所に その 呼ばれる されこうべ–と そこで
G2532 G3753 G2064 G1909 G3588 G5117 G3588 G2564 G2898 G1563

ἐσταύρωσαν αὐτὸν, καὶ τοὺς κακούργους, ὃν μὲν ἐκ δεξιῶν,
十字架に–つけた 彼を そして その 犯罪人たちを 一人は 一方では ～の 右に
G4717 G0846 G2532 G3588 G2557 G3739 G3303 G1537 G1188

ὃν δὲ ἐξ ἀριστερῶν.
もう–一人は 他方 ～の 左に
G3739 G1161 G1537 G0710

されこうべと呼ばれている所に着くと、人々はそこでイエスを十字架につけ、犯罪人たちも、ひとりは右に、ひとりは左に、十字架につけた。

34 ὁ δὲ Ἰησοῦς ἔλεγεν, Πάτερ, ἄφες αὐτοῖς, οὐ γὰρ
その そのとき イエスは 言った 父よ 赦してください 彼らを ～ない なぜなら
G3588 G1161 G2424 G3004 G3962 G0863 G0846 G3756 G1063

οἴδασιν τί ποιοῦσιν. διαμεριζόμενοι δὲ τὰ ἱμάτια αὐτοῦ,
知らない–のです 何を しているか 分け合って そして その 衣を 彼の
G1492 G5101 G4160 G1266 G1161 G3588 G2440 G0846

ἔβαλον κλήρους.
くじを–引いた くじを
G0906 G2819

そのとき、イエスは言われた、「父よ、彼らをおゆるしください。彼らは何をしているのか、わからずにいるのです」。人々はイエスの着物をくじ引きで分け合った。

35 καὶ εἱστήκει ὁ λαὸς θεωρῶν. ἐξεμυκτήριζον δὲ καὶ οἱ ἄρχοντες,
そして 立っていた その 民は 見ていた あざ笑った また ～も その 指導者たちも
G2532 G2476 G3588 G2992 G2334 G1592 G1161 G2532 G3588 G0758

λέγοντες, Ἄλλους ἔσωσεν, σωσάτω ἑαυτόν εἰ οὗτός ἐστιν ὁ
言って 他の–者たちを 救った 自分を–救え 自分を もし この–者が である–なら その
G3004 G0243 G4982 G4982 G1438 G1487 G3778 G1510 G3588

Χριστὸς, τοῦ Θεοῦ ὁ ἐκλεκτός.
キリスト その 神の その 選ばれた–者
G5547 G3588 G2316 G3588 G1588

民衆は立って見ていた。役人たちもあざ笑って言った、「彼は他人を救った。もし彼が神のキリスト、選ばれた者であるなら、自分自身を救うがよい」。

36 ἐνέπαιξαν δὲ αὐτῷ καὶ οἱ στρατιῶται, προσερχόμενοι, ὄξος προσφέροντες
嘲った また 彼を ～も その 兵士たちも 近づいて 酢を 差し出して
G1702 G1161 G0846 G2532 G3588 G4757 G4334 G3690 G4374

αὐτῷ,
彼に
G0846

兵卒どももイエスをののしり、近寄ってきて酢いぶどう酒をさし出して言った、

37 καὶ λέγοντες, Εἰ σὺ εἶ ὁ Βασιλεὺς τῶν Ἰουδαίων, σῶσον
そして 言って もし おまえが であるなら その 王 ～の ユダヤ人の 救え
G2532 G3004 G1487 G4771 G1510 G3588 G0935 G3588 G2453 G4982

σεαυτόν!
自分を
G4572

「あなたがユダヤ人の王なら、自分を救いなさい」。

38 ἦν δὲ καὶ ἐπιγραφὴ ἐπ’ αὐτῷ, Ὁ ΒΑΣΙΛΕΥΣ ΤΩΝ ΙΟΥΔΑΙΩΝ
あった また ～も 銘が ～の–上に 彼の–上に この ユダヤ人の ～の 王
G1510 G1161 G2532 G1923 G1909 G0846 G3588 G0935 G3588 G2453

οὗτος, {γράμμασιν Ἑλληνικοῖς καὶ Ρωμαϊκοῖς καὶ Ἑβραϊκοῖς}.
この–者は 文字で ギリシャ語と そして ラテン語と そして ヘブル語の
G3778 G1121 G1673 G2532 G4513 G2532 G1444

イエスの上には、「これはユダヤ人の王」と書いた札がかけてあった。

39 Εἷς δὲ τῶν κρεμασθέντων κακούργων, ἐβλασφήμει αὐτόν, ‹λέγων›,
一人の すると その 掛けられた 犯罪人の ののしった 彼を 言って
G1520 G1161 G3588 G2910 G2557 G0987 G0846 G3004

Οὐχὶ σὺ εἶ ὁ Χριστός? σῶσον σεαυτὸν καὶ ἡμᾶς!
おまえは–ではないか おまえが である その キリスト 救え 自分を そして 我々を
G3780 G4771 G1510 G3588 G5547 G4982 G4572 G2532 G1473

十字架にかけられた犯罪人のひとりが、「あなたはキリストではないか。それなら、自分を救い、またわれわれも救ってみよ」と、イエスに悪口を言いつづけた。

40 ἀποκριθεὶς δὲ, ὁ ἕτερος ἐπιτιμῶν αὐτῷ, ἔφη, Οὐδὲ φοβῇ
答えて しかし その もう一人は たしなめて 彼を 言った おまえも 恐れないのか
G0611 G1161 G3588 G2087 G2008 G0846 G5346 G3761 G5399

σὺ τὸν Θεόν, ὅτι ἐν τῷ αὐτῷ κρίματι εἶ?
おまえは その 神を ～なのに ～の その 同じ 刑罰の–もとに いるのに
G4771 G3588 G2316 G3754 G1722 G3588 G0846 G2917 G1510

もうひとりは、それをたしなめて言った、「おまえは同じ刑を受けていながら、神を恐れないのか。

41 καὶ ἡμεῖς μὲν δικαίως, ἄξια γὰρ ὧν ἐπράξαμεν
そして 我々は 一方では 当然だ 相応の なぜなら ～の 我々が–行ったことの
G2532 G1473 G3303 G1346 G0514 G1063 G3739 G4238

ἀπολαμβάνομεν; οὗτος δὲ οὐδὲν ἄτοπον ἔπραξεν.
報いを–受けている しかし–この–方は それに対して 何も 悪い–ことを していない
G0618 G3778 G1161 G3762 G0824 G4238

お互は自分のやった事のむくいを受けているのだから、こうなったのは当然だ。しかし、このかたは何も悪いことをしたのではない」。

42

καὶ	ἔλεγεν	Ἰησοῦ,	μνήσθητί	μου,	ὅταν	ἔλθῃς	εἰς	τὴν
そして	言った	イエスよ	思い出してください	私を	～する-とき	来られる-とき	～に	あなたの
G2532	G3004	G2424	G3403	G1473	G3752	G2064	G1519	G3588

βασιλείαν	σου!
御国に	あなたの
G0932	G4771

そして言った、「イエスよ、あなたが御国の権威をもっておいでになる時には、わたしを思い出してください」。

43

καὶ	εἶπεν	αὐτῷ,	Ἀμήν	σοι,	λέγω,	σήμερον	μετ’	ἐμοῦ
そして	言った	彼に	まことに	あなたに	言う	今日	～とともに	私とともに
G2532	G3004	G0846	G0281	G4771	G3004	G4594	G3326	G1473

ἔσῃ	ἐν	τῷ	Παραδείσῳ.
あなたは-いる	～に	その	楽園に
G1510	G1722	G3588	G3857

イエスは言われた、「よく言っておくが、あなたはきょう、わたしと一緒にパラダイスにいるであろう」。

44

Καὶ	ἦν	ἤδη	ὡσεὶ	ὥρα	ἕκτη,	καὶ	σκότος	ἐγένετο	ἐφ’	ὅλην
そして	すでに	もう	およそ	時は	第六の	そして	闇が	おおった	～の-上を	全
G2532	G1510	G2235	G5616	G5610	G1623	G2532	G4655	G1096	G1909	G3650

τὴν	γῆν	ἕως	ὥρας	ἐνάτης.
その	地を	～まで	時の	第九の
G3588	G1093	G2193	G5610	G1766

時はもう昼の十二時ごろであったが、太陽は光を失い、全地は暗くなって、三時に及んだ。

45

τοῦ	ἡλίου	ἐκλιπόντος,	ἐσχίσθη	δὲ	τὸ	καταπέτασμα	τοῦ	ναοῦ	μέσον.
その	太陽は	暗くなり	裂けた	そして	その	幕は	その	神殿の	真ん中から
G3588	G2246	G1587	G4977	G1161	G3588	G2665	G3588	G3485	G3319

そして聖所の幕がまん中から裂けた。

46

καὶ	φωνήσας	φωνῇ	μεγάλῃ,	ὁ	Ἰησοῦς	εἶπεν,	Πάτερ,	εἰς	χεῖράς	σου
そして	叫んで	声で	大きな	その	イエスは	言った	父よ	～に	御手に	あなたの
G2532	G5455	G5456	G3173	G3588	G2424	G3004	G3962	G1519	G5495	G4771

παρατίθεμαι	τὸ	πνεῦμά	μου.	τοῦτο	δὲ	εἰπὼν,	ἐξέπνευσεν.
委ねます	その	霊を	私の	こう	そして	言って	息を-引き取った
G3908	G3588	G4151	G1473	G3778	G1161	G3004	G1606

そのとき、イエスは声高く叫んで言われた、「父よ、わたしの霊をみ手にゆだねます」。こう言ってついに息を引きとられた。

47

ἰδὼν	δὲ	ὁ	ἑκατοντάρχης	τὸ	γενόμενον,	ἐδόξαζεν	τὸν	Θεὸν,
見て	すると	その	百人隊長は	その	起こったことを	神を-たたえた	その	神を
G3708	G1161	G3588	G1543	G3588	G1096	G1392	G3588	G2316

λέγων,	Ὄντως	ὁ	ἄνθρωπος	οὗτος	δίκαιος	ἦν.
言って	まことに	この	人は	この	正しい-人	であった
G3004	G3689	G3588	G0444	G3778	G1342	G1510

百卒長はこの有様を見て、神をあがめ、「ほんとうに、この人は正しい人であった」と言った。

48 καὶ そして G2532 | πάντες すべての G3956 | οἱ その G3588 | συμπαραγενόμενοι 集まって–来ていた G4836 | ὄχλοι 群衆は G3793 | ἐπὶ ～に G1909 | τὴν この G3588 | θεωρίαν 光景を G2335 | ταύτην, この G3778

θεωρήσαντες 見て G2334 | τὰ その G3588 | γενόμενα, 起こったことを G1096 | τύπτοντες 胸を–打ちながら G5180 | τὰ その G3588 | στήθη, 胸を G4738 | ὑπέστρεφον. 帰って行った G5290

この光景を見に集まってきた群衆も、これらの出来事を見て、みな胸を打ちながら帰って行った。

49 εἱστήκεισαν 立っていた G2476 | δὲ また G1161 | πάντες すべての G3956 | οἱ その G3588 | γνωστοὶ 知人たちは G1110 | αὐτῷ, 彼の G0846 | ἀπὸ ～から G0575 | μακρόθεν, 遠くから G3113 | καὶ そして G2532 | γυναῖκες, 女たちも G1135

αἱ その G3588 | συνακολουθοῦσαι 従って–来た G4870 | αὐτῷ 彼に G0846 | ἀπὸ ～から G0575 | τῆς その G3588 | Γαλιλαίας, ガリラヤから G1056 | ὁρῶσαι 見ていた G3708 | ταῦτα. これらのことを G3778

すべてイエスを知っていた者や、ガリラヤから従ってきた女たちも、遠い所に立って、これらのことを見ていた。

50 Καὶ そして G2532 | ἰδοὺ, 見よ G3708 | ἀνὴρ ある–人が G0435 | ὀνόματι 名を G3686 | Ἰωσὴφ, ヨセフ–という G2501 | βουλευτὴς, 議員で G1010 | ὑπάρχων あった G5225 | [καὶ] そして G2532 | ἀνὴρ 人で G0435

ἀγαθὸς 善良な G0018 | καὶ そして G2532 | δίκαιος, 正しい G1342

ここに、ヨセフという議員がいたが、善良で正しい人であった。

51 οὗτος この–人は G3778 | οὐκ ～なかった G3756 | ἦν ～なかった G1510 | συνκατατεθειμένος 同意して–いなかった G4784 | τῇ その G3588 | βουλῇ, 決議と G1012 | καὶ そして G2532 | τῇ その G3588 | πράξει 行為に G4234

αὐτῶν, 彼らの G0846 | ἀπὸ ～の–出身で G0575 | Ἁριμαθαίας, アリマタヤ G0707 | πόλεως ユダヤの–町の G4172 | τῶν ～の G3588 | Ἰουδαίων, ユダヤの G2453 | ὃς この–人は G3739 | προσεδέχετο 待ち望んでいた G4327

τὴν その G3588 | βασιλείαν 御国を G0932 | τοῦ その G3588 | Θεοῦ. 神の G2316

この人はユダヤの町アリマタヤの出身で、神の国を待ち望んでいた。彼は議会の議決や行動には賛成していなかった。

52 οὗτος この–人は G3778 | προσελθὼν 近づいて G4334 | τῷ その G3588 | Πιλάτῳ, ピラトの–もとに G4091 | ἠτήσατο 願い求めた G0154 | τὸ その G3588 | σῶμα 体を G4983 | τοῦ その G3588 | Ἰησοῦ. イエスの G2424

この人がピラトのところへ行って、イエスのからだの引取り方を願い出て、

53 καὶ そして G2532 | καθελὼν, 降ろして G2507 | ἐνετύλιξεν 包んだ G1794 | αὐτὸ それを G0846 | σινδόνι, 亜麻布で G4616 | καὶ そして G2532 | ἔθηκεν 納めた G5087 | αὐτὸν 彼を G0846 | ἐν ～に G1722 | μνήματι 墓に G3418

λαξευτῷ, 岩を–掘った G2991 | οὗ そこには G3739 | οὐκ まだ G3756 | ἦν ～なかった G1510 | οὐδεὶς だれも G3762 | οὔπω まだ G3768 | κείμενος. 葬られて–いなかった G2749

それを取りおろして亜麻布に包み、まだだれも葬ったことのない、岩を掘って造った墓に納めた。

54 καὶ そして G2532 | ἡμέρα その-日は G2250 | ἦν であった G1510 | Παρασκευῆς, 準備の-日 G3904 | καὶ そして G2532 | σάββατον 安息日が G4521 | ἐπέφωσκεν. 始まろうと-していた G2020

この日は準備の日であって、安息日が始まりかけていた。

55 Κατακολουθήσασαι 従って-来た G2628 | δὲ, そして G1161 | αἱ その G3588 | γυναῖκες 女たちは G1135 | αἵτινες ～であった G3748 | ἦσαν 彼女たちは G1510 | συνεληλυθυῖαι 一緒に-来ていた G4905 | ἐκ ～から G1537 | τῆς その G3588 | Γαλιλαίας ガリラヤから G1056 | αὐτῷ, 彼と-ともに G0846 | ἐθεάσαντο 見た G2300 | τὸ その G3588 | μνημεῖον 墓を G3419 | καὶ そして G2532 | ὡς どのように G5613 | ἐτέθη 納められたか G5087 | τὸ その G3588 | σῶμα 体が G4983 | αὐτοῦ. 彼の G0846

イエスと一緒にガリラヤからきた女たちは、あとについてきて、その墓を見、またイエスのからだが納められる様子を見とどけた。

56 ὑποστρέψασαι 帰って G5290 | δὲ, そして G1161 | ἡτοίμασαν 用意した G2090 | ἀρώματα 香料と G0759 | καὶ そして G2532 | μύρα, 香油を G3464 | Καὶ そして G2532 | τὸ その G3588 | μὲν 一方では G3303 | σάββατον 安息日には G4521 | ἡσύχασαν, 休んだ G2270 | κατὰ ～に-従って G2596 | τὴν その G3588 | ἐντολήν. 戒めに-従って G1785

そして帰って、香料と香油とを用意した。それからおきてに従って安息日を休んだ。

Chapter 24

1 τῇ その G3588 | δὲ さて G1161 | μιᾷ 週の-初めの-日に G1520 | τῶν その G3588 | σαββάτων, 安息日の-後 G4521 | ὄρθρου 朝-早く G3722 | βαθέως, 深い G0901 | ἐπὶ ～に G1909 | τὸ その G3588 | μνῆμα 墓に G3418 | ἦλθον, 来た G2064 | φέρουσαι 持って G5342 | ἃ ～を G3739 | ἡτοίμασαν 用意した G2090 | ἀρώματα, 香料を G0759

週の初めの日、夜明け前に、女たちは用意しておいた香料を携えて、墓に行った。

2 εὗρον 見出した G2147 | δὲ すると G1161 | τὸν その G3588 | λίθον 石が G3037 | ἀποκεκυλισμένον 転がされて-いるのを G0617 | ἀπὸ ～から G0575 | τοῦ その G3588 | μνημείου. 墓から G3419

ところが、石が墓からころがしてあるので、

3 εἰσελθοῦσαι 入って G1525 | δὲ, しかし G1161 | οὐχ ～なかった G3756 | εὗρον 見出さなかった G2147 | τὸ その G3588 | σῶμα 体を G4983 | τοῦ その G3588 | Κυρίου 主 G2962 | Ἰησοῦ. イエスの G2424

中にはいってみると、主イエスのからだが見当らなかった。

4 καὶ ἐγένετο ἐν τῷ ἀπορεῖσθαι αὐτὰς περὶ τούτου, καὶ
そして 起こった ～の その 当惑している 彼女たちが ～について このことについて そして
G2532 G1096 G1722 G3588 G0639 G0846 G4012 G3778 G2532

ἰδοὺ, ἄνδρες δύο ἐπέστησαν αὐταῖς, ἐν ἐσθῆτι ἀστραπτούσῃ.
見よ 二人の–人が 二人の 現れた 彼女たちに ～の 衣を–まとって 輝く
G3708 G0435 G1417 G2186 G0846 G1722 G2066 G0797

そのため途方にくれていると、見よ、輝いた衣を着たふたりの者が、彼らに現れた。

5 ἐμφόβων δὲ γενομένων αὐτῶν, καὶ κλινουσῶν τὰ πρόσωπα εἰς τὴν
恐れて そして なり 彼女たちは そして 伏せている その 顔を ～に その
G1719 G1161 G1096 G0846 G2532 G2827 G3588 G4383 G1519 G3588

γῆν, εἶπαν πρὸς αὐτάς, Τί ζητεῖτε τὸν ζῶντα μετὰ τῶν
地に 言った ～に 彼女たちに なぜ 求めるのか その 生きている–方を ～の–中に その
G1093 G3004 G4314 G0846 G5101 G2212 G3588 G2198 G3326 G3588

νεκρῶν?
死者の–中に
G3498

女たちは驚き恐れて、顔を地に伏せていると、このふたりの者が言った、「あなたがたは、なぜ生きた方を死人の中にたずねているのか。

6 οὐκ ἔστιν ὧδε, ἀλλὰ ἠγέρθη! μνήσθητε ὡς
～ではない ここには–いない ここには そうではなく よみがえられた 思い出しなさい どのように
G3756 G1510 G5602 G0235 G1453 G3403 G5613

ἐλάλησεν ὑμῖν, ἔτι ὢν ἐν τῇ Γαλιλαίᾳ,
話されたか あなたがたに まだ いた–とき ～に その ガリラヤに
G2980 G4771 G2089 G1510 G1722 G3588 G1056

そのかたは、ここにはおられない。よみがえられたのだ。まだガリラヤにおられたとき、あなたがたにお話しになったことを思い出しなさい。

7 λέγων τὸν Υἱὸν τοῦ ἀνθρώπου ὅτι, δεῖ παραδοθῆναι εἰς
言って その 人の–子は その 人の ～と 必ず 引き渡されねばならない ～に
G3004 G3588 G5207 G3588 G0444 G3754 G1163 G3860 G1519

χεῖρας ἀνθρώπων ἁμαρτωλῶν, καὶ σταυρωθῆναι, καὶ τῇ τρίτῃ ἡμέρᾳ
手に 人々の 罪人たちの そして 十字架に–つけられ そして その 第三の 日に
G5495 G0444 G0268 G2532 G4717 G2532 G3588 G5154 G2250

ἀναστῆναι.
よみがえらねばならないと
G0450

すなわち、人の子は必ず罪人らの手に渡され、十字架につけられ、そして三日目によみがえる、と仰せられたではないか」。

8 καὶ ἐμνήσθησαν τῶν ῥημάτων αὐτοῦ.
そして 思い出した その 言葉を 彼の
G2532 G3403 G3588 G4487 G0846

そこで女たちはその言葉を思い出し、

9 καὶ ὑποστρέψασαι ἀπὸ τοῦ μνημείου, ἀπήγγειλαν ταῦτα πάντα
そして 帰って ～から その 墓から 知らせた これらのことを すべてを
G2532 G5290 G0575 G3588 G3419 G0518 G3778 G3956

τοῖς ἕνδεκα, καὶ πᾶσιν τοῖς λοιποῖς.
その 十一人と そして すべての その 残りの-人々に
G3588 G1733 G2532 G3956 G3588 G3062

墓から帰って、これらいっさいのことを、十一弟子や、その他みんなの人に報告した。

10 ἦσαν δὲ ἡ Μαγδαληνὴ Μαρία, καὶ Ἰωάννα, καὶ Μαρία ἡ
いたのは それは その マグダラの マリヤと そして ヨハナと そして マリヤ その
G1510 G1161 G3588 G3094 G3137 G2532 G2489 G2532 G3137 G3588

Ἰακώβου, καὶ αἱ λοιπαὶ σὺν αὐταῖς, ἔλεγον πρὸς τοὺς
ヤコブの そして その 残りの-女たちも ～とともに 彼女たちとともに 話した ～に その
G2385 G2532 G3588 G3062 G4862 G0846 G3004 G4314 G3588

ἀποστόλους ταῦτα.
使徒たちに これらのことを
G0652 G3778

この女たちというのは、マグダラのマリヤ、ヨハンナ、およびヤコブの母マリヤであった。彼女たちと一緒にいたほかの女たちも、このことを使徒たちに話した。

11 καὶ ἐφάνησαν ἐνώπιον αὐτῶν ὡσεὶ λῆρος τὰ ῥήματα ταῦτα,
しかし 思われた ～の-前で 彼らの まるで たわごとのように その 言葉は これらの
G2532 G5316 G1799 G0846 G5616 G3026 G3588 G4487 G3778

καὶ ἠπίστουν αὐταῖς.
そして 信じなかった 彼女たちを
G2532 G0569 G0846

ところが、使徒たちには、それが愚かな話のように思われて、それを信じなかった。〔

12 Ὁ δὲ Πέτρος, ἀναστὰς ἔδραμεν ἐπὶ τὸ μνημεῖον, καὶ παρακύψας,
しかし その ペテロは 立ち上がり 走った ～へ その 墓へ そして かがみ込んで
G3588 G1161 G4074 G0450 G5143 G1909 G3588 G3419 G2532 G3879

βλέπει τὰ ὀθόνια μόνα, καὶ ἀπῆλθεν, πρὸς αὐτὸν θαυμάζων
見た その 亜麻布だけを だけを そして 帰った ～の-もとへ 自分の-もとへ 驚いて
G0991 G3588 G3608 G3441 G2532 G0565 G4314 G0848 G2296

τὸ γεγονός.
その 起こったことに
G3588 G1096

ペテロは立って墓へ走って行き、かがんで中を見ると、亜麻布だけがそこにあったので、事の次第を不思議に思いながら帰って行った。〕

13 Καὶ ἰδοὺ, δύο ἐξ αὐτῶν, ἐν αὐτῇ τῇ ἡμέρᾳ, ἦσαν
そして 見よ 二人が ～の-うちの 彼らの-うちの ～の その その 日に いた
G2532 G3708 G1417 G1537 G0846 G1722 G0846 G3588 G2250 G1510

πορευόμενοι εἰς κώμην ἀπέχουσαν, σταδίους ἑξήκοντα ἀπὸ Ἰερουσαλήμ,
歩いて-いた ～へ 村へ 離れた スタディオン 六十 ～から エルサレムから
G4198 G1519 G2968 G0568 G4712 G1835 G0575 G2419

ᾗ ὄνομα Ἐμμαοῦς;
その 名は エマオ
G3739 G3686 G1695

この日、ふたりの弟子が、エルサレムから七マイルばかり離れたエマオという村へ行きながら、

14

καὶ	αὐτοὶ	ὡμίλουν	πρὸς	ἀλλήλους	περὶ	πάντων	τῶν
そして	彼らは	話し合っていた	～について	互いに	～について	すべての	その
G2532	G0846	G3656	G4314	G0240	G4012	G3956	G3588

συμβεβηκότων	τούτων.
起こったことについて	これらの
G4819	G3778

このいっさいの出来事について互に語り合っていた。

15

καὶ	ἐγένετο,	ἐν	τῷ	ὁμιλεῖν	αὐτοὺς	καὶ	συζητεῖν,	καὶ	αὐτὸς
そして	起こった	～の	その	話し合い	彼らが	そして	議論していると	そして	その
G2532	G1096	G1722	G3588	G3656	G0846	G2532	G4802	G2532	G0846

Ἰησοῦς,	ἐγγίσας,	συνεπορεύετο	αὐτοῖς;
イエス–御自身が	近づいて	一緒に–歩んだ	彼らと
G2424	G1448	G4848	G0846

語り合い論じ合っていると、イエスご自身が近づいてきて、彼らと一緒に歩いて行かれた。

16

οἱ	δὲ	ὀφθαλμοὶ	αὐτῶν	ἐκρατοῦντο	τοῦ	μὴ	ἐπιγνῶναι
彼らの	しかし	目は	彼らの	遂えられていた	～の	～ないように	認識できないように
G3588	G1161	G3788	G0846	G2902	G3588	G3361	G1921

αὐτόν.	
彼を	
G0846	

しかし、彼らの目がさえぎられて、イエスを認めることができなかった。

17

εἶπεν	δὲ	πρὸς	αὐτούς,	Τίνες	οἱ	λόγοι	οὗτοι	οὓς	ἀντιβάλλετε
言った	そして	～に	彼らに	何の	その	話を	これらの	～を	交わしているのか
G3004	G1161	G4314	G0846	G5101	G3588	G3056	G3778	G3739	G0474

πρὸς	ἀλλήλους	περιπατοῦντες?	καὶ	ἐστάθησαν,	σκυθρωποί?
～について	互いに	歩きながら	すると	立ち止まった	暗い–顔で
G4314	G0240	G4043	G2532	G2476	G4659

イエスは彼らに言われた、「歩きながら互に語り合っているその話は、なんのことなのか」。彼らは悲しそうな顔をして立ちどまった。

18

ἀποκριθεὶς	δὲ,	εἷς	ὀνόματι	Κλεοπᾶς	εἶπεν	πρὸς	αὐτόν,	Σὺ
答えて	そして	一人の	名を	クレオパ–という	言った	～に	彼に	あなたは
G0611	G1161	G1520	G3686	G2810	G3004	G4314	G0846	G4771

μόνος	παροικεῖς	Ἰερουσαλὴμ?	καὶ	οὐκ	ἔγνως	τὰ	γενόμενα
ただ–一人	滞在しているのか	エルサレムに	そして	～ない	知らないのか	その	起こったことを
G3441	G3939	G2419	G2532	G3756	G1097	G3588	G1096

ἐν	αὐτῇ,	ἐν	ταῖς	ἡμέραις	ταύταις?
～に	そこで	～の	これらの	日々に	これらの
G1722	G0846	G1722	G3588	G2250	G3778

そのひとりのクレオパという者が、答えて言った、「あなたはエルサレムに泊まっていながら、あなただけが、この都でこのごろ起ったことをご存じないのですか」。

19 | καὶ | εἶπεν | αὐτοῖς, | Ποῖα? | οἱ | δὲ | εἶπαν | αὐτῷ, | Τὰ | περὶ
そして | 言った | 彼らに | 何のことを | 彼らは | すると | 言った | 彼に | その | ～についての
G2532 | G3004 | G0846 | G4169 | G3588 | G1161 | G3004 | G0846 | G3588 | G4012

Ἰησοῦ | τοῦ | Ναζαρηνοῦ, | ὃς | ἐγένετο | ἀνὴρ, | προφήτης | δυνατὸς | ἐν
イエス | その | ナザレ人の | この–方は | なった | 人で | 預言者で | 力ある | ～において
G2424 | G3588 | G3479 | G3739 | G1096 | G0435 | G4396 | G1415 | G1722

ἔργῳ, | καὶ | λόγῳ, | ἐναντίον | τοῦ | Θεοῦ | καὶ | παντὸς | τοῦ | λαοῦ;
業において | そして | 言葉において | ～の–前に | その | 神の–前に | そして | すべての | その | 民の–前に
G2041 | G2532 | G3056 | G1726 | G3588 | G2316 | G2532 | G3956 | G3588 | G2992

「それは、どんなことか」と言われると、彼らは言った、「ナザレのイエスのことです。あのかたは、神とすべての民衆との前で、わざにも言葉にも力ある預言者でしたが、

20 | ὅπως | τε | παρέδωκαν | αὐτὸν | οἱ | ἀρχιερεῖς, | καὶ | οἱ | ἄρχοντες
どのように | そして | 引き渡したか | 彼を | その | 祭司長たちと | そして | その | 指導者たちが
G3704 | G5037 | G3860 | G0846 | G3588 | G0749 | G2532 | G3588 | G0758

ἡμῶν, | εἰς | κρίμα | θανάτου, | καὶ | ἐσταύρωσαν | αὐτόν.
我々の | ～に | 死の–判決に | 死の | そして | 十字架に–つけた | 彼を
G1473 | G1519 | G2917 | G2288 | G2532 | G4717 | G0846

祭司長たちや役人たちが、死刑に処するために引き渡し、十字架につけたのです。

21 | ἡμεῖς | δὲ | ἠλπίζομεν | ὅτι | αὐτός | ἐστιν, | ὁ | μέλλων
我々は | しかし | 望んでいたのだが | ～と | この–方が | であると | その | ～するはずの
G1473 | G1161 | G1679 | G3754 | G0846 | G1510 | G3588 | G3195

λυτροῦσθαι | τὸν | Ἰσραήλ. | ἀλλά | γε | καὶ | σὺν | πᾶσιν
贖い–出すはずの | その | イスラエルを | しかし | それどころか | ～も | ～とともに | すべての
G3084 | G3588 | G2474 | G0235 | G1065 | G2532 | G4862 | G3956

τούτοις, | τρίτην | ταύτην | ἡμέραν | ἄγει, | ἀφ’ | οὗ | ταῦτα
これらのことに | 第三の | この | 日を | 過ごしている | ～から | ～の–ときから | これらのことが
G3778 | G5154 | G3778 | G2250 | G0071 | G0575 | G3739 | G3778

ἐγένετο.
起こって
G1096

わたしたちは、イスラエルを救うのはこの人であろうと、望みをかけていました。しかもその上に、この事が起ってから、きょうが三日目なのです。

22 | ἀλλὰ | καὶ | γυναῖκές | τινες | ἐξ | ἡμῶν | ἐξέστησαν | ἡμᾶς. | γενόμεναι
しかも | ～も | 女たちの | ある | ～の–うちの | 我々の–うちの | 驚かした | 我々を | 行って
G0235 | G2532 | G1135 | G5100 | G1537 | G1473 | G1839 | G1473 | G1096

ὀρθριναὶ | ἐπὶ | τὸ | μνημεῖον,
朝–早く | ～へ | その | 墓へ
G3720 | G1909 | G3588 | G3419

ところが、わたしたちの仲間である数人の女が、わたしたちを驚かせました。というのは、彼らが朝早く墓に行きますと、

23 | καὶ | μὴ | εὑροῦσαι | τὸ | σῶμα | αὐτοῦ, | ἦλθον | λέγουσαι | καὶ | ὀπτασίαν
そして | ～ない | 見出さないで | その | 体を | 彼の | 来て | 言って | ～も | 幻を
G2532 | G3361 | G2147 | G3588 | G4983 | G0846 | G2064 | G3004 | G2532 | G3701

ἀγγέλων | ἑωρακέναι, | οἳ | λέγουσιν | αὐτὸν | ζῆν.
御使いたちの | 見たと | その | 言っている | 彼が | 生きていると
G0032 | G3708 | G3739 | G3004 | G0846 | G2198

イエスのからだが見当らないので、帰ってきましたが、そのとき御使が現れて、『イエスは生きておられる』と告げたと申すのです。

24 καὶ そして G2532 ἀπῆλθόν 行った G0565 τινες ある-者たちが G5100 τῶν その G3588 σὺν ～とともにいる G4862 ἡμῖν 我々とともにいる G1473 ἐπὶ ～へ G1909 τὸ その G3588
μνημεῖον, 墓へ G3419 καὶ そして G2532 εὗρον 見出した G2147 οὕτως, その-とおりだった G3779 καθὼς ちょうど G2531 καὶ ～も G2532 αἱ その G3588 γυναῖκες 女たちが-言った-とおり G1135
εἶπον; 言った-とおり G3004 αὐτὸν しかし-彼を G0846 δὲ その G1161 οὐκ ～なかった G3756 εἶδον. 見なかった G3708

それで、わたしたちの仲間が数人、墓に行って見ますと、果して女たちが言ったとおりで、イエスは見当りませんでした」。

25 καὶ そして G2532 αὐτὸς 彼は G0846 εἶπεν 言った G3004 πρὸς ～に G4314 αὐτούς, 彼らに G0846 Ὦ ああ G5599 ἀνόητοι 愚かな G0453 καὶ そして G2532 βραδεῖς 遅い G1021 τῇ ～の G3588 καρδίᾳ 心の G2588
τοῦ ～の G3588 πιστεύειν 信じることにおいて G4100 ἐπὶ ～について G1909 πᾶσιν すべて G3956 οἷς ～を G3739 ἐλάλησαν 語ったことを G2980 οἱ その G3588 προφῆται. 預言者たちが G4396

そこでイエスが言われた、「ああ、愚かで心のにぶいため、預言者たちが説いたすべての事を信じられない者たちよ。

26 οὐχὶ ～ではなかったか G3780 ταῦτα これらのことを G3778 ἔδει 苦しまねばならなかったのか G1163 παθεῖν 苦しんで G3958 τὸν その G3588 Χριστὸν? キリストは G5547 καὶ そして G2532
εἰσελθεῖν 入ることを G1525 εἰς ～に G1519 τὴν その G3588 δόξαν 栄光に G1391 αὐτοῦ? 彼の G0846

キリストは必ず、これらの苦難を受けて、その栄光に入るはずではなかったのか」。

27 καὶ そして G2532 ἀρξάμενος 始めて G0756 ἀπὸ ～から G0575 Μωϋσέως モーセから G3475 καὶ そして G2532 ἀπὸ ～から G0575 πάντων すべての G3956 τῶν その G3588 προφητῶν, 預言者たちから G4396
διερμήνευσεν 説き-明かした G1329 αὐτοῖς 彼らに G0846 ἐν ～において G1722 πάσαις すべての G3956 ταῖς その G3588 γραφαῖς 聖書において G1124 τὰ その G3588 περὶ ～についての G4012
ἑαυτοῦ. 御自身についての G1438

こう言って、モーセやすべての預言者からはじめて、聖書全体にわたり、ご自身についてしるしてある事どもを、説きあかされた。

28 Καὶ そして G2532 ἤγγισαν 近づいた G1448 εἰς ～に G1519 τὴν その G3588 κώμην 村に G2968 οὗ そこに G3757 ἐπορεύοντο, 行こうとしていた G4198 καὶ そして G2532 αὐτὸς 彼は G0846
προσεποιήσατο ふりをした G4364 πορρώτερον もっと-先に G4206 πορεύεσθαι. 行こうとする G4198

それから、彼らは行こうとしていた村に近づいたが、イエスがなお先へ進み行かれる様子であった。

29

καὶ	παρεβιάσαντο	αὐτὸν,	λέγοντες,	Μεῖνον	μεθ’	ἡμῶν,			
そして	引き止めた	彼を	言って	とどまってください	～とともに	我々とともに			
G2532	G3849	G0846	G3004	G3306	G3326	G1473			
ὅτι	πρὸς	ἑσπέραν	ἐστὶν,	καὶ	κέκλικεν	ἤδη	ἡ	ἡμέρα.	καὶ
なぜなら	～に–近い	夕方に	なり	そして	傾いている	すでに	その	日が	そして
G3754	G4314	G2073	G1510	G2532	G2827	G2235	G3588	G2250	G2532
εἰσῆλθεν	τοῦ	μεῖναι	σὺν	αὐτοῖς.					
入った	～のために	とどまるために	～とともに	彼らとともに					
G1525	G3588	G3306	G4862	G0846					

そこで、しいて引き止めて言った、「わたしたちと一緒にお泊まり下さい。もう夕暮になっており、日もはや傾いています」。イエスは、彼らと共に泊まるために、家にはいられた。

30

καὶ	ἐγένετο	ἐν	τῷ	κατακλιθῆναι	αὐτὸν	μετ’	αὐτῶν,	λαβὼν	τὸν
そして	起こった	～の	その	食卓に–着いた	彼が	～とともに	彼らとともに	取って	その
G2532	G1096	G1722	G3588	G2625	G0846	G3326	G0846	G2983	G3588
ἄρτον	εὐλόγησεν,	καὶ	κλάσας,	ἐπεδίδου	αὐτοῖς.				
パンを	祝福して	そして	裂いて	渡した	彼らに				
G0740	G2127	G2532	G2806	G1929	G0846				

一緒に食卓につかれたとき、パンを取り、祝福してさき、彼らに渡しておられるうちに、

31

αὐτῶν	δὲ	διηνοίχθησαν	οἱ	ὀφθαλμοὶ,	καὶ	ἐπέγνωσαν	αὐτόν.	καὶ	
彼らの	すると	開かれた	その	目が	そして	認識した	彼を	そして	
G0846	G1161	G1272	G3588	G3788	G2532	G1921	G0846	G2532	
αὐτὸς	ἄφαντος	ἐγένετο	ἀπ’	αὐτῶν.					
彼は	見えなくなった	なった	～から	彼らから					
G0846	G0855	G1096	G0575	G0846					

彼らの目が開けて、それがイエスであることがわかった。すると、み姿が見えなくなった。

32

καὶ	εἶπαν	πρὸς	ἀλλήλους,	Οὐχὶ	ἡ	καρδία	ἡμῶν	καιομένη	ἦν
そして	言った	～に	互いに	～ではなかったか	その	心が	我々の	燃えて–いた	いた
G2532	G3004	G4314	G0240	G3780	G3588	G2588	G1473	G2545	G1510
ἐν	ἡμῖν,	ὡς	ἐλάλει	ἡμῖν	ἐν	τῇ	ὁδῷ,	ὡς	
～の–うちに	我々の–うちに	～のとき	話された–とき	我々に	～で	その	道で	～のとき	
G1722	G1473	G5613	G2980	G1473	G1722	G3588	G3598	G5613	
διήνοιγεν	ἡμῖν	τὰς	γραφάς?						
開いてくださった	我々に	その	聖書を						
G1272	G1473	G3588	G1124						

彼らは互に言った、「道々お話しになったとき、また聖書を説き明してくださったとき、お互の心が内に燃えたではないか」。

33

Καὶ	ἀναστάντες	αὐτῇ	τῇ	ὥρᾳ,	ὑπέστρεψαν	εἰς	Ἰερουσαλήμ,	καὶ	εὗρον
そして	立ち上がって	その	その	時に	戻った	～へ	エルサレムへ	そして	見出した
G2532	G0450	G0846	G3588	G5610	G5290	G1519	G2419	G2532	G2147
ἠθροισμένους	τοὺς	ἕνδεκα	καὶ	τοὺς	σὺν	αὐτοῖς,			
集まっている	その	十一人と	そして	その	～とともにいる	彼らとともにいる			
G4867	G3588	G1733	G2532	G3588	G4862	G0846			

そして、すぐに立ってエルサレムに帰って見ると、十一弟子とその仲間が集まっていて、

34 λέγοντας, ὅτι ὄντως, ἠγέρθη ὁ Κύριος, καὶ ὤφθη Σίμωνι.
言っていた ～と まことに よみがえられた その 主が そして 現れた シモンに
G3004 G3754 G3689 G1453 G3588 G2962 G2532 G3708 G4613

「主は、ほんとうによみがえって、シモンに現れなさった」と言っていた。

35 καὶ αὐτοὶ ἐξηγοῦντο τὰ ἐν τῇ ὁδῷ, καὶ ὡς ἐγνώσθη
そして 彼らは 話した その ～の–ことを その 道での そして どのように 知られたかを
G2532 G0846 G1834 G3588 G1722 G3588 G3598 G2532 G5613 G1097

αὐτοῖς ἐν τῇ κλάσει τοῦ ἄρτου.
彼らに ～において その 裂くことに–おいて その パンを
G0846 G1722 G3588 G2800 G3588 G0740

そこでふたりの者は、途中であったことや、パンをおさきになる様子でイエスだとわかったことなどを話した。

36 Ταῦτα δὲ αὐτῶν λαλούντων, αὐτὸς ἔστη ἐν μέσῳ αὐτῶν καὶ
これらのことを しかし 彼らが 話していると 彼は 立った ～の 真ん中に 彼らの そして
G3778 G1161 G0846 G2980 G0846 G2476 G1722 G3319 G0846 G2532

λέγει αὐτοῖς, Εἰρήνη ὑμῖν.
言った 彼らに 平安が あなたがたに
G3004 G0846 G1515 G4771

こう話していると、イエスが彼らの中にお立ちになった。〔そして「やすかれ」と言われた。〕

37 πτοηθέντες δὲ, καὶ ἔμφοβοι γενόμενοι, ἐδόκουν πνεῦμα θεωρεῖν.
驚いて しかし そして 恐れて なって 思った 霊を 見ていると
G4422 G1161 G2532 G1719 G1096 G1380 G4151 G2334

彼らは恐れ驚いて、霊を見ているのだと思った。

38 καὶ εἶπεν αὐτοῖς, Τί τεταραγμένοι ἐστέ? καὶ διὰ τί
そして 言った 彼らに なぜ 動揺しているのか あなたがたは そして なぜ ～の
G2532 G3004 G0846 G5101 G5015 G1510 G2532 G1223 G5101

διαλογισμοὶ ἀναβαίνουσιν ἐν τῇ καρδίᾳ ὑμῶν?
疑いが 浮かぶのか ～に その 心に あなたがたの
G1261 G0305 G1722 G3588 G2588 G4771

そこでイエスが言われた、「なぜおじ惑っているのか。どうして心に疑いを起すのか。

39 ἴδετε τὰς χεῖράς μου καὶ τοὺς πόδας μου, ὅτι ἐγώ εἰμι
見なさい その 手を 私の そして その 足を 私の ～と 私 である
G3708 G3588 G5495 G1473 G2532 G3588 G4228 G1473 G3754 G1473 G1510

αὐτός. ψηλαφήσατέ με καὶ ἴδετε, ὅτι πνεῦμα σάρκα καὶ ὀστέα
その–ものだ 触ってみなさい 私に そして 見なさい ～と 霊は 肉も そして 骨も
G0846 G5584 G1473 G2532 G3708 G3754 G4151 G4561 G2532 G3747

οὐκ ἔχει, καθὼς ἐμὲ θεωρεῖτε ἔχοντα.
～ない 持たない ちょうど 私が あなたがたが–見るとおり 持っているのを
G3756 G2192 G2531 G1473 G2334 G2192

わたしの手や足を見なさい。まさしくわたしなのだ。さわって見なさい。霊には肉や骨はないが、あなたがたが見るとおり、わたしにはあるのだ」。〔

40 καὶ τοῦτο εἰπὼν, ἔδειξεν αὐτοῖς τὰς χεῖρας καὶ τοὺς πόδας.
そして こう 言って 見せた 彼らに その 手と そして その 足を
G2532 G3778 G3004 G1166 G0846 G3588 G5495 G2532 G3588 G4228

こう言って、手と足とをお見せになった。〕

41 ἔτι δὲ, ἀπιστούντων αὐτῶν ἀπὸ τῆς χαρᾶς καὶ θαυμαζόντων,
まだ しかし 信じきれない-でいる 彼らが ～から その 喜びから そして 驚いているので
G2089 G1161 G0569 G0846 G0575 G3588 G5479 G2532 G2296

εἶπεν αὐτοῖς, Ἔχετέ τι βρώσιμον ἐνθάδε?
言った 彼らに 持っているか 何か 食べ物を ここに
G3004 G0846 G2192 G5100 G1034 G1759

彼らは喜びのあまり、まだ信じられないで不思議に思っていると、イエスが「ここに何か食物があるか」と言われた。

42 οἱ δὲ ἐπέδωκαν αὐτῷ ἰχθύος ὀπτοῦ μέρος.
彼らは すると 渡した 彼に 魚の 焼いた 一切れを
G3588 G1161 G1929 G0846 G2486 G3702 G3313

彼らが焼いた魚の一きれをさしあげると、

43 καὶ λαβὼν, ἐνώπιον αὐτῶν ἔφαγεν.
そして 受け取って 彼らの-前で 彼らの 食べた
G2532 G2983 G1799 G0846 G5315

イエスはそれを取って、みんなの前で食べられた。

44 Εἶπεν δὲ πρὸς αὐτούς, Οὗτοι οἱ λόγοι μου, οὓς ἐλάλησα πρὸς
言った そして ～に 彼らに これらが その 言葉である 私の ～を 私が-話した ～に
G3004 G1161 G4314 G0846 G3778 G3588 G3056 G1473 G3739 G2980 G4314

ὑμᾶς ἔτι ὢν σὺν ὑμῖν, ὅτι δεῖ πληρωθῆναι
あなたがたに まだ いた-とき ～とともに あなたがたとともに ～と 必ず 成就されねばならない
G4771 G2089 G1510 G4862 G4771 G3754 G1163 G4137

πάντα τὰ γεγραμμένα ἐν τῷ νόμῳ Μωϋσέως, καὶ τοῖς
すべてのことが その 書かれていることが ～に その モーセの-律法と モーセの そして その
G3956 G3588 G1125 G1722 G3588 G3551 G3475 G2532 G3588

προφήταις καὶ ψαλμοῖς περὶ ἐμοῦ.
預言者たちと そして 詩篇において ～について 私について
G4396 G2532 G5568 G4012 G1473

それから彼らに対して言われた、「わたしが以前あなたがたと一緒にいた時分に話して聞かせた言葉は、こうであった。すなわち、モーセの律法と預言書と詩篇とに、わたしについて書いてあることは、必ずことごとく成就する」。

45 τότε διήνοιξεν αὐτῶν τὸν νοῦν τοῦ συνιέναι τὰς γραφάς,
その-時 開いた 彼らの その 心を ～のために 理解するために その 聖書を
G5119 G1272 G0846 G3588 G3563 G3588 G4920 G3588 G1124

そこでイエスは、聖書を悟らせるために彼らの心を開いて

46 καὶ εἶπεν αὐτοῖς, ὅτι οὕτως γέγραπται, παθεῖν τὸν
そして 言った 彼らに ～と このように 書かれている 苦しまねばならないと その
G2532 G3004 G0846 G3754 G3779 G1125 G3958 G3588

Χριστὸν, καὶ ἀναστῆναι ἐκ νεκρῶν τῇ τρίτῃ ἡμέρᾳ;
キリストは そして よみがえらねばならないと ～から 死者の-中から その 第三の 日に
G5547 G2532 G0450 G1537 G3498 G3588 G5154 G2250

言われた、「こう、しるしてある。キリストは苦しみを受けて、三日目に死人の中からよみがえる。

47 καὶ κηρυχθῆναι ἐπὶ τῷ ὀνόματι αὐτοῦ μετάνοιαν εἰς
そして 宣べ伝えられねばならないと ～において その 名に-おいて 彼の 悔い改めと ～への
G2532 G2784 G1909 G3588 G3686 G0846 G3341 G1519

ἄφεσιν ἁμαρτιῶν, εἰς πάντα τὰ ἔθνη, ἀρξάμενοι ἀπὸ Ἰερουσαλήμ.
罪の-赦しを 罪の ～へ すべての その 国々へ 始めて ～から エルサレムから
G0859 G0266 G1519 G3956 G3588 G1484 G0756 G0575 G2419

そして、その名によって罪のゆるしを得させる悔改めが、エルサレムからはじまって、もろもろの国民に宣べ伝えられる。

48 ὑμεῖς ‹ἐστε› μάρτυρες τούτων.
あなたがたは である 証人 これらのことの
G4771 G1510 G3144 G3778

あなたがたは、これらの事の証人である。

49 καὶ ἰδοὺ, ἐγὼ ἐξαποστέλλω τὴν ἐπαγγελίαν τοῦ Πατρός μου ἐφ’
そして 見よ 私は 遣わす その 約束を その 父の 私の ～の-上に
G2532 G3708 G1473 G0649 G3588 G1860 G3588 G3962 G1473 G1909

ὑμᾶς; ὑμεῖς δὲ καθίσατε ἐν τῇ πόλει, ἕως οὗ
あなたがたの-上に あなたがたは しかし とどまりなさい ～に その 都に ～まで ～の-とき
G4771 G4771 G1161 G2523 G1722 G3588 G4172 G2193 G3739

ἐνδύσησθε ἐξ ὕψους δύναμιν.
着せられる-まで ～からの 高きところからの 力を
G1746 G1537 G5311 G1411

見よ、わたしの父が約束されたものを、あなたがたに贈る。だから、上から力を授けられるまでは、あなたがたは都にとどまっていなさい」。

50 Ἐξήγαγεν δὲ αὐτοὺς [ἔξω], ἕως πρὸς Βηθανίαν, καὶ
導き出した そして 彼らを 外へ ～まで ～の-近くまで ベタニヤの-近くまで そして
G1806 G1161 G0846 G1854 G2193 G4314 G0963 G2532

ἐπάρας τὰς χεῖρας αὐτοῦ, εὐλόγησεν αὐτούς.
上げて その 手を 彼の 祝福した 彼らを
G1869 G3588 G5495 G0846 G2127 G0846

それから、イエスは彼らをベタニヤの近くまで連れて行き、手をあげて彼らを祝福された。

51 καὶ ἐγένετο ἐν τῷ εὐλογεῖν αὐτὸν αὐτοὺς, διέστη ἀπ’ αὐτῶν
そして 起こった ～の その 祝福している-最中に 彼が 彼らを 離れた ～から 彼らから
G2532 G1096 G1722 G3588 G2127 G0846 G0846 G1339 G0575 G0846

καὶ, ἀνεφέρετο εἰς τὸν οὐρανόν.
そして 上げられた ～へ その 天へ
G2532 G0399 G1519 G3588 G3772

祝福しておられるうちに、彼らを離れて、〔天にあげられた。〕

52 καὶ αὐτοὶ προσκυνήσαντες αὐτὸν, ὑπέστρεψαν εἰς Ἰερουσαλὴμ μετὰ
そして 彼らは 拝んで 彼を 戻った ～へ エルサレムへ ～とともに
G2532 G0846 G4352 G0846 G5290 G1519 G2419 G3326

χαρᾶς μεγάλης.
喜びとともに 大きな
G5479 G3173

彼らは〔イエスを拝し、〕非常な喜びをもってエルサレムに帰り、

53	καὶ	ἦσαν	διὰ	παντὸς	ἐν	τῷ	ἱερῷ,	εὐλογοῦντες	τὸν	Θεόν.
	そして	いた	いつも	絶えず	～に	その	神殿に	讃美していた	その	神を
	G2532	G1510	G1223	G3956	G1722	G3588	G2411	G2127	G3588	G2316

絶えず宮にいて、神をほめたたえていた。

John

Chapter 1

1

Ἐν	ἀρχῇ	ἦν	ὁ	Λόγος,	καὶ	ὁ	Λόγος	ἦν	πρὸς	τὸν	Θεόν,
はじめに	原初に	あった	その	ことば	そして	その	ことばは	あった	共に	その	神と
G1722	G0746	G1510	G3588	G3056	G2532	G3588	G3056	G1510	G4314	G3588	G2316

καὶ	Θεὸς	ἦν	ὁ	Λόγος.
そして	神で	あった	その	ことばは
G2532	G2316	G1510	G3588	G3056

初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった。

2

Οὗτος	ἦν	ἐν	ἀρχῇ	πρὸς	τὸν	Θεόν.
この-方は	あった	はじめに	原初に	共に	その	神と
G3778	G1510	G1722	G0746	G4314	G3588	G2316

この言は初めに神と共にあった。

3

πάντα	δι’	αὐτοῦ	ἐγένετο,	καὶ	χωρὶς	αὐτοῦ	ἐγένετο	οὐδὲ
すべての-ものは	通して	この-方を	造られた	そして	なしには	この-方	造られたものは	何-一つ
G3956	G1223	G0846	G1096	G2532	G5565	G0846	G1096	G3761

ἕν	ὃ	γέγονεν.
一つも	なかった-ものは	存在しなかった
G1520	G3739	G1096

すべてのものは、これによってできた。できたもののうち、一つとしてこれによらないものはなかった。

4

ἐν	αὐτῷ	ζωὴ	ἦν,	καὶ	ἡ	ζωὴ	ἦν	τὸ	φῶς
この-方の-中に	この-方に	いのちが	あった	そして	その	いのちは	あった	その	光
G1722	G0846	G2222	G1510	G2532	G3588	G2222	G1510	G3588	G5457

τῶν	ἀνθρώπων.
すべての	人々の
G3588	G0444

この言に命があった。そしてこの命は人の光であった。

5

καὶ	τὸ	φῶς	ἐν	τῇ	σκοτίᾳ	φαίνει,	καὶ	ἡ	σκοτία	αὐτὸ
そして	その	光は	中で	その	闇の	輝いている	そして	その	闇は	それを
G2532	G3588	G5457	G1722	G3588	G4653	G5316	G2532	G3588	G4653	G0846

οὐ	κατέλαβεν.
理解-しなかった	打ち勝てなかった
G3756	G2638

光はやみの中に輝いている。そして、やみはこれに勝たなかった。

6 Ἐγένετο ἄνθρωπος ἀπεσταλμένος παρὰ Θεοῦ, ὄνομα αὐτῷ Ἰωάννης.
現れた 一人の–人が 遣わされた 神から 神から 名を その–人の ヨハネ
G1096 G0444 G0649 G3844 G2316 G3686 G0846 G2491

ここにひとりの人があって、神からつかわされていた。その名をヨハネと言った。

7 οὗτος ἦλθεν εἰς μαρτυρίαν, ἵνα μαρτυρήσῃ περὶ τοῦ φωτός,
この–人は 来た ために 証しの するために 証しを–する ついて その 光に
G3778 G2064 G1519 G3141 G2443 G3140 G4012 G3588 G5457

ἵνα πάντες πιστεύσωσιν δι’ αὐτοῦ.
すべての–人が すべての 信じる–ように 通して この–人を
G2443 G3956 G4100 G1223 G0846

この人はあかしのためにきた。光についてあかしをし、彼によってすべての人が信じるためである。

8 οὐκ ἦν ἐκεῖνος τὸ φῶς, ἀλλ’ ἵνα μαρτυρήσῃ περὶ τοῦ
ではなかった あった あの–人は その 光 しかし ために 証しする ついて その
G3756 G1510 G1565 G3588 G5457 G0235 G2443 G3140 G4012 G3588

φωτός.
光に
G5457

彼は光ではなく、ただ、光についてあかしをするためにきたのである。

9 Ἦν τὸ φῶς τὸ ἀληθινὸν, ὃ φωτίζει πάντα ἄνθρωπον, ἐρχόμενον
あった その 光は その まことの すべての 照らす すべての 人を 来る–方
G1510 G3588 G5457 G3588 G0228 G3739 G5461 G3956 G0444 G2064

εἰς τὸν κόσμον.
この その 世に
G1519 G3588 G2889

すべての人を照すまことの光があって、世にきた。

10 ἐν τῷ κόσμῳ ἦν, καὶ ὁ κόσμος δι’ αὐτοῦ ἐγένετο, καὶ
この–世に その 世に いた そして この 世は 通して この–方を 造られた しかし
G1722 G3588 G2889 G1510 G2532 G3588 G2889 G1223 G0846 G1096 G2532

ὁ κόσμος αὐτὸν οὐκ ἔγνω.
この 世は この–方を 知ら–なかった 認めなかった
G3588 G2889 G0846 G3756 G1097

彼は世にいた。そして、世は彼によってできたのであるが、世は彼を知らずにいた。

11 εἰς τὰ ἴδια ἦλθεν, καὶ οἱ ἴδιοι αὐτὸν οὐ
ご自分の その 民の–もとに 来た しかし ご自分の 民は この–方を 受け入れ–なかった
G1519 G3588 G2398 G2064 G2532 G3588 G2398 G0846 G3756

παρέλαβον;
受け入れなかった
G3880

彼は自分のところにきたのに、自分の民は彼を受けいれなかった。

12 ὅσοι δὲ ἔλαβον αὐτόν, ἔδωκεν αὐτοῖς ἐξουσίαν,
受け入れた–者たち しかし 受け入れた この–方を 与えた その–人々に 権威を
G3745 G1161 G2983 G0846 G1325 G0846 G1849

τέκνα Θεοῦ γενέσθαι, τοῖς πιστεύουσιν εἰς τὸ ὄνομα αὐτοῦ,
神の–子どもと 神の なる すなわち 信じる–人々に 信じる その 御名を この–方の
G5043 G2316 G1096 G3588 G4100 G1519 G3588 G3686 G0846

しかし、彼を受けいれた者、すなわち、その名を信じた人々には、彼は神の子となる力を与えたのである。

13 οἳ οὐκ ἐξ αἱμάτων, οὐδὲ ἐκ θελήματος σαρκὸς, οὐδὲ
この–人々は ではなく から 血に–よって でもなく から 意志に–よって 肉の でもなく
G3739 G3756 G1537 G0129 G3761 G1537 G2307 G4561 G3761

ἐκ θελήματος ἀνδρὸς, ἀλλ’ ἐκ Θεοῦ ἐγεννήθησαν.
から 意志に–よって 人の ただ から 神 生まれた
G1537 G2307 G0435 G0235 G1537 G2316 G1080

それらの人は、血すじによらず、肉の欲によらず、また、人の欲にもよらず、ただ神によって生れたのである。

14 Καὶ ὁ Λόγος σὰρξ ἐγένετο, καὶ ἐσκήνωσεν ἐν ἡμῖν, καὶ
そして その ことばは 肉と なった そして 住んだ 中に 私たちの そして
G2532 G3588 G3056 G4561 G1096 G2532 G4637 G1722 G1473 G2532

ἐθεασάμεθα τὴν δόξαν αὐτοῦ, δόξαν ὡς μονογενοῦς παρὰ Πατρός,
見た その 栄光を この–方の 栄光を まさに ひとり子の 御父から–来た 父から
G2300 G3588 G1391 G0846 G1391 G5613 G3439 G3844 G3962

πλήρης χάριτος καὶ ἀληθείας.
満ちた 恵みと そして 真理の
G4134 G5485 G2532 G0225

そして言は肉体となり、わたしたちのうちに宿った。わたしたちはその栄光を見た。それは父のひとり子としての栄光であって、めぐみとまことに満ちていた。

15 Ἰωάννης μαρτυρεῖ περὶ αὐτοῦ, καὶ κέκραγεν, λέγων, Οὗτος ἦν
ヨハネは 証しして ついて この–方に そして 叫んで 言った この–方こそ であった
G2491 G3140 G4012 G0846 G2532 G2896 G3004 G3778 G1510

ὃν εἶπον, Ὁ ὀπίσω μου ἐρχόμενος, ἔμπροσθέν μου γέγονεν, ὅτι
私が 言った 私の 後から 私の 来る–方は 先に 私に おられた なぜなら
G3739 G3004 G3588 G3694 G1473 G2064 G1715 G1473 G1096 G3754

πρῶτός μου ἦν.
第一の–方 私より であった
G4413 G1473 G1510

ヨハネは彼についてあかしをし、叫んで言った、「『わたしのあとに来るかたは、わたしよりもすぐれたかたである。わたしよりも先におられたからである』とわたしが言ったのは、この人のことである」。

16 ὅτι ἐκ τοῦ πληρώματος αὐτοῦ, ἡμεῖς πάντες ἐλάβομεν
なぜなら から その 満ち溢れる–ものの–中から この–方の 私たちは 皆 受けた
G3754 G1537 G3588 G4138 G0846 G1473 G3956 G2983

καὶ χάριν ἀντὶ χάριτος.
すなわち 恵みに–加えて 恵みの–上に 恵みを
G2532 G5485 G0473 G5485

わたしたちすべての者は、その満ち満ちているものの中から受けて、めぐみにめぐみを加えられた。

17 ὅτι ὁ νόμος διὰ Μωϋσέως ἐδόθη; ἡ χάρις καὶ ἡ ἀλήθεια
律法は その 律法は を通して モーセ 与えられた その 恵みと そして その 真理は
G3754 G3588 G3551 G1223 G3475 G1325 G3588 G5485 G2532 G3588 G0225

διὰ Ἰησοῦ Χριστοῦ ἐγένετο.
を通して イエス キリスト 来た
G1223 G2424 G5547 G1096

律法はモーセをとおして与えられ、めぐみとまことは、イエス・キリストをとおしてきたのである。

18 Θεὸν οὐδεὶς ἑώρακεν πώποτε; μονογενὴς Θεὸς, ὁ ὢν
神を 誰も 見た-ことが-ない いまだかつて ひとり子の 神 すなわち おられる-方
G2316 G3762 G3708 G4455 G3439 G2316 G3588 G1510

εἰς τὸν κόλπον τοῦ Πατρὸς, ἐκεῖνος ἐξηγήσατο.
いる その ふところに その 父の この-方が 明らかに-された
G1519 G3588 G2859 G3588 G3962 G1565 G1834

神を見た者はまだひとりもいない。ただ父のふところにいるひとり子なる神だけが、神をあらわしたのである。

19 Καὶ αὕτη ἐστὶν ἡ μαρτυρία τοῦ Ἰωάννου, ὅτε ἀπέστειλαν πρὸς
そして これが である その 証し その ヨハネの その-時 遣わした に対して
G2532 G3778 G1510 G3588 G3141 G3588 G2491 G3753 G0649 G4314

αὐτὸν οἱ Ἰουδαῖοι ἐξ Ἰεροσολύμων, ἱερεῖς καὶ Λευίτας,
彼の-もとに その ユダヤ人たちが から エルサレムから 祭司たちと そして レビ人たちを
G0846 G3588 G2453 G1537 G2414 G2409 G2532 G3019

ἵνα ἐρωτήσωσιν αὐτόν, Σὺ τίς εἶ?
ために 尋ねる 彼に あなたは 誰 ですか
G2443 G2065 G0846 G4771 G5101 G1510

さて、ユダヤ人たちが、エルサレムから祭司たちやレビ人たちをヨハネのもとにつかわして、「あなたはどなたですか」と問わせたが、その時ヨハネが立てたあかしは、こうであった。

20 καὶ ὡμολόγησεν καὶ οὐκ ἠρνήσατο, καὶ ὡμολόγησεν ὅτι,
すると 彼は-告白した そして 否定-しなかった 否定しなかった そして 告白した 言って
G2532 G3670 G2532 G3756 G0720 G2532 G3670 G3754

Ἐγὼ οὐκ εἰμὶ ὁ Χριστός.
私は ではない ではない その キリスト
G1473 G3756 G1510 G3588 G5547

すなわち、彼は告白して否まず、「わたしはキリストではない」と告白した。

21 καὶ ἠρώτησαν αὐτόν, Τί οὖν? σὺ Ἠλίας εἶ? καὶ λέγει, Οὐκ
そして 尋ねた 彼に では 何か あなたは エリヤ ですか すると 言った 違う
G2532 G2065 G0846 G5101 G3767 G4771 G2243 G1510 G2532 G3004 G3756

εἰμί. Ὁ προφήτης εἶ σύ? καὶ ἀπεκρίθη, Οὔ.
違います あの 預言者 ですか あなたは すると 答えた いいえ
G1510 G3588 G4396 G1510 G4771 G2532 G0611 G3756

そこで、彼らは問うた、「それでは、どなたなのですか、あなたはエリヤですか」。彼は「いや、そうではない」と言った。「では、あの預言者ですか」。彼は「いいえ」と答えた。

22 εἶπαν οὖν αὐτῷ, Τίς εἶ? ἵνα ἀπόκρισιν δῶμεν τοῖς
そこで では 彼に あなたは–誰 ですか 私たちが 答えを 伝える–ために 遣わした
G3004 G3767 G0846 G5101 G1510 G2443 G0612 G1325 G3588

πέμψασιν ἡμᾶς: τί λέγεις περὶ σεαυτοῦ?
私たちを 人々に 何と 言い–ますか ついて あなた–自身に
G3992 G1473 G5101 G3004 G4012 G4572

そこで、彼らは言った、「あなたはどなたですか。わたしたちをつかわした人々に、答を持って行けるようにしていただきたい。あなた自身をだれだと考えるのですか」。

23 ἔφη, Ἐγὼ φωνὴ βοῶντος ἐν τῇ ἐρήμῳ, Εὐθύνατε τὴν ὁδὸν
彼は–言った 私は 声 叫ぶ–者の 荒野で その 荒野で まっすぐに–せよ その 道を
G5346 G1473 G5456 G0994 G1722 G3588 G2048 G2116 G3588 G3598

Κυρίου, καθὼς εἶπεν Ἡσαΐας ὁ προφήτης.
主の と–同じように 言った イザヤ その 預言者が
G2962 G2531 G3004 G2268 G3588 G4396

彼は言った、「わたしは、預言者イザヤが言ったように、『主の道をまっすぐにせよと荒野で呼ばわる者の声』である」。

24 Καὶ ἀπεσταλμένοι ἦσαν ἐκ τῶν Φαρισαίων.
さて 遣わされた–者たちは であった から その パリサイ人たちの
G2532 G0649 G1510 G1537 G3588 G5330

つかわされた人たちは、パリサイ人であった。

25 καὶ ἠρώτησαν αὐτὸν καὶ εἶπαν αὐτῷ, Τί οὖν βαπτίζεις,
そこで 尋ねた 彼に そして 言った 彼に では–なぜ では バプテスマを–授けるのか
G2532 G2065 G0846 G2532 G3004 G0846 G5101 G3767 G0907

εἰ σὺ οὐκ εἶ ὁ Χριστὸς, οὐδὲ Ἠλίας, οὐδὲ ὁ
もし あなたが ではない–なら ではない その キリストでも でもなく エリヤ でもなく あの
G1487 G4771 G3756 G1510 G3588 G5547 G3761 G2243 G3761 G3588

προφήτης?
預言者でも
G4396

彼らはヨハネに問うて言った、「では、あなたがキリストでもエリヤでもまたあの預言者でもないのなら、なぜバプテスマを授けるのですか」。

26 ἀπεκρίθη αὐτοῖς ὁ Ἰωάννης λέγων, Ἐγὼ βαπτίζω ἐν ὕδατι;
答えた 彼らに その ヨハネは 言って 私は バプテスマを–授ける 水で 水で
G0611 G0846 G3588 G2491 G3004 G1473 G0907 G1722 G5204

μέσος ὑμῶν ἔστηκεν ὃν ὑμεῖς οὐκ οἴδατε,
あなたがたの–真ん中に あなたがたの 立っている ある–方が あなたがたが 知らない 知らない–方が
G3319 G4771 G2476 G3739 G4771 G3756 G1492

ヨハネは彼らに答えて言った、「わたしは水でバプテスマを授けるが、あなたがたの知らないかたが、あなたがたの中に立っておられる。

27 ὁ ὀπίσω μου ἐρχόμενος, οὗ οὐκ εἰμὶ ἐγὼ ἄξιος,
私の 後から 私の 来る–方 その–方の ふさわしく–ない ふさわしく–ない 私は 値しない
G3588 G3694 G1473 G2064 G3739 G3756 G1510 G1473 G0514

ἵνα λύσω αὐτοῦ τὸν ἱμάντα τοῦ ὑποδήματος.
その 解く–ことさえ その–方の その 履物の その ひもを
G2443 G3089 G0846 G3588 G2438 G3588 G5266

それがわたしのあとにあとにおいでになる方であって、わたしはその人のくつのひもを解く値うちもない」。

28 Ταῦτα これらの–ことは G3778 ἐν で G1722 Βηθανίᾳ ベタニヤ G0963 ἐγένετο, 起こった G1096 πέραν 向こう側の G4008 τοῦ その G3588 Ἰορδάνου, ヨルダン川の G2446 ὅπου そこで G3699 ἦν いた G1510

ὁ その G3588 Ἰωάννης ヨハネが G2491 βαπτίζων. バプテスマを–授けていた G0907

これらのことは、ヨハネがバプテスマを授けていたヨルダンの向こうのベタニヤであったのである。

29 Τῇ その G3588 ἐπαύριον 翌日 G1887 βλέπει 見た G0991 τὸν その G3588 Ἰησοῦν イエスが G2424 ἐρχόμενον 来る–のを G2064 πρὸς ご自分の–もとに G4314 αὐτόν, 自分の–もとに G0846 καὶ そして G2532

λέγει, 言った G3004 Ἴδε 見よ G3708 ὁ その G3588 Ἀμνὸς 神の–子羊 G0286 τοῦ その G3588 Θεοῦ, 神の G2316 ὁ 取り除く–方 G3588 αἴρων 取り除く G0142 τὴν その G3588 ἁμαρτίαν 罪を G0266 τοῦ この G3588

κόσμου. 世の G2889

その翌日、ヨハネはイエスが自分の方にこられるのを見て言った、「見よ、世の罪を取り除く神の小羊。

30 οὗτός この–方こそ G3778 ἐστιν である G1510 ὑπὲρ について G5228 οὗ この–方について G3739 ἐγὼ 私が G1473 εἶπον, 言った G3004 Ὀπίσω 私の–後から G3694 μου 私の G1473 ἔρχεται 来る G2064

ἀνὴρ, 方が G0435 ὃς その–方は G3739 ἔμπροσθέν 先に G1715 μου 私に G1473 γέγονεν, おられた G1096 ὅτι なぜなら G3754 πρῶτός 第一の–方 G4413 μου 私より G1473 ἦν. であった G1510

『わたしのあとに来るかたは、わたしよりもすぐれたかたである。わたしよりも先におられたからである』とわたしが言ったのは、この人のことである。

31 κἀγὼ 私も G2504 οὐκ 知らなかった G3756 ᾔδειν 知らなかった G1492 αὐτόν; この–方を G0846 ἀλλ’ しかし G0235 ἵνα この–方が G2443 φανερωθῇ 明らかに–される–ために G5319 τῷ その G3588

Ἰσραὴλ, イスラエルに G2474 διὰ そのために G1223 τοῦτο, そのために G3778 ἦλθον 来た G2064 ἐγὼ 私は G1473 ἐν 水で G1722 ὕδατι 水で G5204 βαπτίζων. バプテスマを–授けて–いるのだ G0907

わたしはこのかたを知らなかった。しかし、このかたがイスラエルに現れてくださるそのことのために、わたしはきて、水でバプテスマを授けているのである」。

32 Καὶ そして G2532 ἐμαρτύρησεν 証しした G3140 Ἰωάννης ヨハネは G2491 λέγων, 言って G3004 ὅτι こう G3754 Τεθέαμαι 見た G2300 τὸ その G3588 Πνεῦμα, 御霊が G4151 καταβαῖνον 降って–来るのを G2597

ὡς 鳩の–ように G5613 περιστερὰν 鳩のように G4058 ἐξ から G1537 οὐρανοῦ, 天から G3772 καὶ そして G2532 ἔμεινεν とどまった G3306 ἐπ’ 上に G1909 αὐτόν. この–方の G0846

ヨハネはまたあかしをして言った、「わたしは、御霊がはとのように天から下って、彼の上にとどまるのを見た。

33 κἀγὼ οὐκ ἤδειν αὐτόν; ἀλλ’ ὁ πέμψας με
私も 知らなかった 知らなかった この–方を しかし その 遣わした–方が 私を
G2504 G3756 G1492 G0846 G0235 G3588 G3992 G1473

βαπτίζειν ἐν ὕδατι, ἐκεῖνός μοι εἶπεν, Ἐφ’ ὃν ἂν
バプテスマを–授けさせる–ために 水で 水で その–方が 私に 言った 上に その もし
G0907 G1722 G5204 G1565 G1473 G3004 G1909 G3739 G0302

ἴδῃς τὸ Πνεῦμα καταβαῖνον καὶ μένον ἐπ’ αὐτόν, οὗτός
見たなら その 御霊が 降って そして とどまる–のを 上に その–方の この–方こそ
G3708 G3588 G4151 G2597 G2532 G3306 G1909 G0846 G3778

ἐστιν ὁ βαπτίζων ἐν Πνεύματι Ἁγίῳ.
である その バプテスマを–授ける–方 で 聖霊 聖なる–霊で
G1510 G3588 G0907 G1722 G4151 G0040

わたしはこの人を知らなかった。しかし、水でバプテスマを授けるようにと、わたしをおつかわしになったそのかたが、わたしに言われた、『ある人の上に、御霊が下ってとどまるのを見たら、その人こそは、御霊によってバプテスマを授けるかたである』。

34 κἀγὼ ἑώρακα, καὶ μεμαρτύρηκα ὅτι οὗτός ἐστιν ὁ
そして–私は 見た そして 証しした この–方こそ この–方こそ である その
G2504 G3708 G2532 G3140 G3754 G3778 G1510 G3588

Υἱὸς τοῦ Θεοῦ.
神の–御子 その 神の
G5207 G3588 G2316

わたしはそれを見たので、このかたこそ神の子であると、あかしをしたのである」。

35 Τῇ ἐπαύριον πάλιν εἱστήκει ὁ Ἰωάννης, καὶ ἐκ τῶν μαθητῶν
その 翌日 再び 立っていた その ヨハネが そして から その 弟子たちの–うちの
G3588 G1887 G3825 G2476 G3588 G2491 G2532 G1537 G3588 G3101

αὐτοῦ δύο.
彼の 二人が
G0846 G1417

その翌日、ヨハネはまたふたりの弟子たちと一緒に立っていたが、

36 καὶ ἐμβλέψας τῷ Ἰησοῦ περιπατοῦντι, λέγει, Ἴδε ὁ Ἀμνὸς τοῦ
そして 見つめて その イエスが 歩いて–おられるのを 言った 見よ その 神の–子羊 その
G2532 G1689 G3588 G2424 G4043 G3004 G3708 G3588 G0286 G3588

Θεοῦ!
神の
G2316

イエスが歩いておられるのに目をとめて言った、「見よ、神の小羊」。

37 καὶ ἤκουσαν οἱ δύο μαθηταὶ αὐτοῦ λαλοῦντος, καὶ ἠκολούθησαν
すると 聞いた その 二人の 弟子たちは 彼が 語るのを そして 従った
G2532 G0191 G3588 G1417 G3101 G0846 G2980 G2532 G0190

τῷ Ἰησοῦ.
その イエスに
G3588 G2424

そのふたりの弟子は、ヨハネがそう言うのを聞いて、イエスについて行った。

38 στραφεὶς δὲ ὁ Ἰησοῦς, καὶ θεασάμενος αὐτοὺς ἀκολουθοῦντας, λέγει
振り向いた すると その イエスは そして 見て 彼らが ついて-来るのを 言った
G4762 G1161 G3588 G2424 G2532 G2300 G0846 G0190 G3004

αὐτοῖς, Τί ζητεῖτε? οἱ δὲ εἶπαν αὐτῷ, Ῥαββί -- ὃ λέγεται
彼らに 何を 求めているのか すると 彼らは 言った 主に ラビ それは 訳すと
G0846 G5101 G2212 G3588 G1161 G3004 G0846 G4461 G3739 G3004

μεθερμηνευόμενον, Διδάσκαλε -- ποῦ μένεις?
訳すと 先生-という-意味 どこに 泊まって-おられますか
G3177 G1320 G4226 G3306

イエスはふり向き、彼らがついてくるのを見て言われた、「何か願いがあるのか」。彼らは言った、「ラビ（訳して言えば、先生）どこにおとまりなのですか」。

39 λέγει αὐτοῖς, Ἔρχεσθε καὶ ὄψεσθε. ἦλθαν οὖν καὶ εἶδαν
言った 彼らに 来なさい そうすれば わかるでしょう そこで-行った それで そして 見た
G3004 G0846 G2064 G2532 G3708 G2064 G3767 G2532 G3708

ποῦ μένει; καὶ παρ' αὐτῷ ἔμειναν τὴν ἡμέραν ἐκείνην. ὥρα
どこに 泊まっているかを そして 共に この-方と 泊まった その 日 あの 時刻は
G4225 G3306 G2532 G3844 G0846 G3306 G3588 G2250 G1565 G5610

ἦν ὡς δεκάτη.
であった およそ 第十-時
G1510 G5613 G1182

イエスは彼らに言われた、「きてごらんなさい。そうしたらわかるだろう」。そこで彼らはついて行って、イエスの泊まっておられる所を見た。そして、その日はイエスのところに泊まった。時は午後四時ごろであった。

40 Ἦν Ἀνδρέας, ὁ ἀδελφὸς Σίμωνος Πέτρου, εἷς ἐκ τῶν δύο
であった アンデレは その 兄弟 シモンの ペテロの 一人 で その 二人の-うちの
G1510 G0406 G3588 G0080 G4613 G4074 G1520 G1537 G3588 G1417

τῶν ἀκουσάντων παρὰ Ἰωάννου, καὶ ἀκολουθησάντων αὐτῷ.
その 聞いて もとで ヨハネの そして 従った-者の イエスに
G3588 G0191 G3844 G2491 G2532 G0190 G0846

ヨハネから聞いて、イエスについて行ったふたりのうちのひとりは、シモン・ペテロの兄弟アンデレであった。

41 εὑρίσκει οὗτος πρῶτον τὸν ἀδελφὸν τὸν ἴδιον Σίμωνα, καὶ λέγει
見つけた この-人は 最初に 自分の 兄弟 自分の 自身の シモンを そして 言った
G2147 G3778 G4412 G3588 G0080 G3588 G2398 G4613 G2532 G3004

αὐτῷ, Εὑρήκαμεν τὸν Μεσσίαν, ὅ ἐστιν μεθερμηνευόμενον Χριστός.
彼に 私たちは-見つけた その メシヤを それは である 訳すと キリスト
G0846 G2147 G3588 G3323 G3739 G1510 G3177 G5547

彼はまず自分の兄弟シモンに出会って言った、「わたしたちはメシヤ（訳せば、キリスト）にいま出会った」。

42 ἤγαγεν αὐτὸν πρὸς τὸν Ἰησοῦν. ἐμβλέψας αὐτῷ, ὁ Ἰησοῦς εἶπεν,
連れて-行った 彼を のもとに その イエスの 見つめて 彼を その イエスは 言った
G0071 G0846 G4314 G3588 G2424 G1689 G0846 G3588 G2424 G3004

Σὺ εἶ Σίμων ὁ υἱὸς Ἰωάννου; σὺ κληθήσῃ Κηφᾶς, ὃ
あなたは である シモン その 息子 ヨハネの あなたは 呼ばれる-であろう ケファ それは
G4771 G1510 G4613 G3588 G5207 G2491 G4771 G2564 G2786 G3739

ἑρμηνεύεται Πέτρος.
訳すと ペテロ
G2059 G4074

そしてシモンをイエスのもとにつれてきた。イエスは彼に目をとめて言われた、「あなたはヨハネの子シモンである。あなたをケパ（訳せば、ペテロ）と呼ぶことにする」。

43

Τῇ	ἐπαύριον	ἠθέλησεν	ἐξελθεῖν	εἰς	τὴν	Γαλιλαίαν,	καὶ	εὑρίσκει
その	翌日	決心した	出発する-ことを	ために	その	ガリラヤへ	そして	見つけた
G3588	G1887	G2309	G1831	G1519	G3588	G1056	G2532	G2147

Φίλιππον.	καὶ	λέγει	αὐτῷ	ὁ	Ἰησοῦς,	Ἀκολούθει	μοι.
ピリポを	そして	言った	彼に	その	イエスは	わたしに-従いなさい	わたしに
G5376	G2532	G3004	G0846	G3588	G2424	G0190	G1473

その翌日、イエスはガリラヤに行こうとされたが、ピリポに出会って言われた、「わたしに従ってきなさい」。

44

ἦν	δὲ	ὁ	Φίλιππος	ἀπὸ	Βηθσαϊδά,	ἐκ	τῆς	πόλεως	Ἀνδρέου
であった	さて	その	ピリポは	から	ベツサイダ	その	その	町の	アンデレと
G1510	G1161	G3588	G5376	G0575	G0966	G1537	G3588	G4172	G0406

καὶ	Πέτρου.
そして	ペテロの
G2532	G4074

ピリポは、アンデレとペテロとの町ベツサイダの人であった。

45

εὑρίσκει	Φίλιππος	τὸν	Ναθαναὴλ,	καὶ	λέγει	αὐτῷ,	Ὃν	ἔγραψεν
見つけた	ピリポは	その	ナタナエルを	そして	言った	彼に	その-方を	書いた
G2147	G5376	G3588	G3482	G2532	G3004	G0846	G3739	G1125

Μωϋσῆς	ἐν	τῷ	νόμῳ	καὶ	οἱ	προφῆται,	εὑρήκαμεν,
モーセが	律法の-中で	その	律法の-中で	そして	その	預言者たちも	私たちは-見つけた
G3475	G1722	G3588	G3551	G2532	G3588	G4396	G2147

Ἰησοῦν	υἱὸν	τοῦ	Ἰωσὴφ,	τὸν	ἀπὸ	Ναζαρέτ.
イエスを	息子	その	ヨセフの	その	出身の	ナザレ
G2424	G5207	G3588	G2501	G3588	G0575	G3478

このピリポがナタナエルに出会って言った、「わたしたちは、モーセが律法の中にしるしており、預言者たちがしるしていた人、ヨセフの子、ナザレのイエスにいま出会った」。

46

καὶ	εἶπεν	αὐτῷ	Ναθαναήλ,	Ἐκ	Ναζαρὲτ	δύναταί	τι	ἀγαθὸν
すると	言った	彼に	ナタナエルは	ナザレから	ナザレから	何か-良い-ものが	何か	良いものが
G2532	G3004	G0846	G3482	G1537	G3478	G1410	G5100	G0018

εἶναι?	λέγει	αὐτῷ	ὁ	Φίλιππος,	Ἔρχου	καὶ	ἴδε.
あるだろうか	言った	彼に	その	ピリポは	来て	そして	見なさい
G1510	G3004	G0846	G3588	G5376	G2064	G2532	G3708

ナタナエルは彼に言った、「ナザレから、なんのよいものが出ようか」。ピリポは彼に言った、「きて見なさい」。

47

εἶδεν	‹ὁ›	Ἰησοῦς	τὸν	Ναθαναὴλ	ἐρχόμενον	πρὸς	αὐτὸν,	καὶ
見た	その	イエスは	その	ナタナエルが	来る-のを	ご自分の-もとに	自分のもとに	そして
G3708	G3588	G2424	G3588	G3482	G2064	G4314	G0846	G2532

λέγει	περὶ	αὐτοῦ,	Ἴδε	ἀληθῶς	Ἰσραηλίτης,	ἐν	ᾧ	δόλος
言った	について	彼に-ついて	見よ	真に	イスラエル人だ	この-人には	この-人には	偽りが
G3004	G4012	G0846	G3708	G0230	G2475	G1722	G3739	G1388

οὐκ	ἔστιν.
ない	ない
G3756	G1510

イエスはナタナエルが自分の方に来るのを見て、彼について言われた、「見よ、あの人こそ、ほんとうのイスラエル人である。その心には偽りがない」。

48 λέγει 言った G3004 αὐτῷ 彼に G0846 Ναθαναήλ, ナタナエルは G3482 Πόθεν どこから G4159 με 私を G1473 γινώσκεις? ご存じ-ですか G1097 ἀπεκρίθη 答えた G0611 Ἰησοῦς イエスは G2424 καὶ そして G2532
εἶπεν 言った G3004 αὐτῷ, 彼に G0846 Πρὸ 前に G4253 τοῦ その G3588 σε あなたを G4771 Φίλιππον ピリポが G5376 φωνῆσαι, 呼ぶ G5455 ὄντα あった-とき G1510 ὑπὸ 下に G5259 τὴν その G3588
συκῆν, いちじくの-木の G4808 εἶδόν 見た G3708 σε. あなたを G4771

ナタナエルは言った、「どうしてわたしをご存じなのですか」。イエスは答えて言われた、「ピリポがあなたを呼ぶ前に、わたしはあなたが、いちじくの木の下にいるのを見た」。

49 ἀπεκρίθη 答えた G0611 αὐτῷ 彼に G0846 Ναθαναήλ, ナタナエルは G3482 Ῥαββί, ラビ G4461 σὺ あなたは G4771 εἶ です G1510 ὁ その G3588 Υἱὸς 神の-御子 G5207 τοῦ その G3588 Θεοῦ, 神の G2316
σὺ あなたは G4771 Βασιλεὺς イスラエルの-王 G0935 εἶ です G1510 τοῦ その G3588 Ἰσραήλ. イスラエルの G2474

ナタナエルは答えた、「先生、あなたは神の子です。あなたはイスラエルの王です」。

50 ἀπεκρίθη 答えた G0611 Ἰησοῦς イエスは G2424 καὶ そして G2532 εἶπεν 言った G3004 αὐτῷ, 彼に G0846 Ὅτι 私が G3754 εἶπόν 言った-から G3004 σοι, あなたに G4771 ὅτι こう G3754 εἶδόν 見た G3708
σε あなたを G4771 ὑποκάτω 下で G5270 τῆς その G3588 συκῆς, いちじくの-木の G4808 πιστεύεις? 信じるのか G4100 μείζω もっと-大きな-ことを G3173 τούτων これらの-ことより G3778
ὄψῃ. 見るであろう G3708

イエスは答えて言われた、「あなたが、いちじくの木の下にいるのを見たと、わたしが言ったので信じるのか。これよりも、もっと大きなことを、あなたは見るであろう」。

51 καὶ そして G2532 λέγει 言った G3004 αὐτῷ, 彼に G0846 Ἀμὴν まことに G0281 ἀμὴν まことに G0281 λέγω 言う G3004 ὑμῖν, あなたがたに G4771 ὄψεσθε 見るであろう G3708 τὸν その G3588 οὐρανὸν 天が G3772
ἀνεῳγότα, 開けて G0455 καὶ そして G2532 τοὺς その G3588 ἀγγέλους 御使いたちが G0032 τοῦ その G3588 Θεοῦ 神の G2316 ἀναβαίνοντας 昇り G0305 καὶ そして G2532 καταβαίνοντας 降る-のを G2597
ἐπὶ 上に G1909 τὸν その G3588 Υἱὸν 人の-子の G5207 τοῦ その G3588 ἀνθρώπου. 人の-子の G0444

また言われた、「よくよくあなたがたに言っておく。天が開けて、神の御使たちが人の子の上に上り下りするのを、あなたがたは見るであろう」。

Chapter 2

1 Καὶ τῇ ἡμέρᾳ τῇ τρίτῃ γάμος ἐγένετο ἐν Κανὰ τῆς Γαλιλαίας,
そして その 日 その 三日-目に 婚宴が あった で カナ その ガリラヤの
G2532 G3588 G2250 G3588 G5154 G1062 G1096 G1722 G2580 G3588 G1056

καὶ ἦν ἡ μήτηρ τοῦ Ἰησοῦ ἐκεῖ.
そして いた その 母が その イエスの そこに
G2532 G1510 G3588 G3384 G3588 G2424 G1563

三日目にガリラヤのカナに婚礼があって、イエスの母がそこにいた。

2 ἐκλήθη δὲ καὶ ὁ Ἰησοῦς, καὶ οἱ μαθηταὶ αὐτοῦ, εἰς τὸν
招かれた また も その イエスも そして その 弟子たちも この-方の に その
G2564 G1161 G2532 G3588 G2424 G2532 G3588 G3101 G0846 G1519 G3588

γάμον.
婚宴に
G1062

イエスも弟子たちも、その婚礼に招かれた。

3 καὶ ὑστερήσαντος οἴνου, λέγει ἡ μήτηρ τοῦ Ἰησοῦ πρὸς αὐτόν,
そして 足りなく-なった ぶどう酒が 言った その 母が その イエスの に対して イエスに
G2532 G5302 G3631 G3004 G3588 G3384 G3588 G2424 G4314 G0846

Οἶνον οὐκ ἔχουσιν.
ぶどう酒が ありません ありません
G3631 G3756 G2192

ぶどう酒がなくなったので、母はイエスに言った、「ぶどう酒がなくなってしまいました」。

4 καὶ λέγει αὐτῇ ὁ Ἰησοῦς, Τί ἐμοὶ καὶ σοί, γύναι? οὔπω
すると 言った 母に その イエスは 何の 私と そして あなたとの 女の-方よ まだ
G2532 G3004 G0846 G3588 G2424 G5101 G1473 G2532 G4771 G1135 G3768

ἥκει ἡ ὥρα μου.
来て-いない 私の 時は 私の
G2240 G3588 G5610 G1473

イエスは母に言われた、「婦人よ、あなたは、わたしと、なんの係わりがありますか。わたしの時は、まだきていません」。

5 λέγει ἡ μήτηρ αὐτοῦ τοῖς διακόνοις, Ὅ τι ἂν
言った その 母は この-方の 給仕人たちに 給仕人たちに 何でも 何でも もし
G3004 G3588 G3384 G0846 G3588 G1249 G3739 G5100 G0302

λέγῃ ὑμῖν, ποιήσατε.
言う-ことを あなたがたに しなさい
G3004 G4771 G4160

母は僕たちに言った、「このかたが、あなたがたに言いつけることは、なんでもして下さい」。

6 ἦσαν δὲ ἐκεῖ λίθιναι, ὑδρίαι ἓξ, κατὰ τὸν καθαρισμὸν τῶν
あった さて そこに 石の 水がめが 六つ に従って その 清めの その
G1510 G1161 G1563 G3035 G5201 G1803 G2596 G3588 G2512 G3588

Ἰουδαίων, κείμεναι, χωροῦσαι ἀνὰ μετρητὰς δύο ἢ τρεῖς.
ユダヤ人の 置かれて-いた 入る それぞれ メトレタス 二つ から 三つ
G2453 G2749 G5562 G0303 G3355 G1417 G2228 G5140

そこには、ユダヤ人のきよめのならわしに従って、それぞれ四、五斗もはいる石の水がめが、六つ置いてあった。

7 λέγει 言った G3004 αὐτοῖς 彼らに G0846 ὁ その G3588 Ἰησοῦς, イエスは G2424 Γεμίσατε 満たしなさい G1072 τὰς その G3588 ὑδρίας 水がめを G5201 ὕδατος. 水で G5204 καὶ そこで G2532 ἐγέμισαν 満たした G1072

αὐτὰς それらを G0846 ἕως まで G2193 ἄνω. ふちまで G0507

イエスは彼らに「かめに水をいっぱい入れなさい」と言われたので、彼らは口のところまでいっぱいに入れた。

8 καὶ そして G2532 λέγει 言った G3004 αὐτοῖς, 彼らに G0846 Ἀντλήσατε くみなさい G0501 νῦν 今 G3568 καὶ そして G2532 φέρετε 持って-行きなさい G5342 τῷ のもとに G3588

ἀρχιτρικλίνῳ. 宴会の-世話人の G0755 οἱ すると G3588 δὲ 彼らは G1161 ἤνεγκαν. 持って-行った G5342

そこで彼らに言われた、「さあ、くんで、料理がしらのところに持って行きなさい」。すると、彼らは持って行った。

9 ὡς さて G5613 δὲ すると G1161 ἐγεύσατο 味わった G1089 ὁ その G3588 ἀρχιτρίκλινος, 宴会の-世話人が G0755 τὸ その G3588 ὕδωρ 水が G5204 οἶνον ぶどう酒に G3631 γεγενημένον, 変わった-ものを G1096

καὶ しかし G2532 οὐκ 知らなかった G3756 ᾔδει 知らなかった G1492 πόθεν どこから G4159 ἐστίν, 来たのか G1510 οἱ その G3588 δὲ しかし G1161 διάκονοι 給仕人たちは G1249 ᾔδεισαν 知っていた G1492

οἱ その G3588 ἠντληκότες 水を-くんだ-者たちは G0501 τὸ その G3588 ὕδωρ, 水を G5204 φωνεῖ 呼んだ G5455 τὸν その G3588 νυμφίον 花婿を G3566 ὁ その G3588 ἀρχιτρίκλινος, 宴会の-世話人は G0755

料理がしらは、ぶどう酒になった水をなめてみたが、それがどこからきたのか知らなかったので、（水をくんだ僕たちは知っていた）花婿を呼んで

10 καὶ そして G2532 λέγει 言った G3004 αὐτῷ, 彼に G0846 Πᾶς すべての G3956 ἄνθρωπος 人は G0444 πρῶτον 最初に G4412 τὸν その G3588 καλὸν 良い G2570 οἶνον ぶどう酒を G3631 τίθησιν, 出す G5087

καὶ そして G2532 ὅταν 酔った-後に G3752 μεθυσθῶσιν, 酔った後に G3184 τὸν その G3588 ἐλάσσω; 劣った-ものを G1640 σὺ あなたは G4771 τετήρηκας 取って-おいた G5083 τὸν その G3588 καλὸν 良い G2570

οἶνον ぶどう酒を G3631 ἕως まで G2193 ἄρτι. 今まで G0737

言った、「どんな人でも、初めによいぶどう酒を出して、酔いがまわったころにわるいのを出すものだ。それだのに、あなたはよいぶどう酒を今までとっておかれました」。

11 Ταύτην ἐποίησεν ἀρχὴν τῶν σημείων, ὁ Ἰησοῦς ἐν Κανὰ τῆς
これを 行った 始まりとして その しるしの その イエスは で カナ その
G3778 G4160 G0746 G3588 G4592 G3588 G2424 G1722 G2580 G3588

Γαλιλαίας, καὶ ἐφανέρωσεν τὴν δόξαν αὐτοῦ; καὶ ἐπίστευσαν εἰς
ガリラヤの そして 明らかに-した その 栄光を この-方の そして 信じた この-方に
G1056 G2532 G5319 G3588 G1391 G0846 G2532 G4100 G1519

αὐτὸν οἱ μαθηταὶ αὐτοῦ.
この-方を その 弟子たちは この-方の
G0846 G3588 G3101 G0846

イエスは、この最初のしるしをガリラヤのカナで行い、その栄光を現された。そして弟子たちはイエスを信じた。

12 Μετὰ τοῦτο κατέβη εἰς Καφαρναοὺμ, αὐτὸς καὶ ἡ μήτηρ αὐτοῦ
その-後 この後 下った に カファルナウムに この-方と そして その 母と この-方の
G3326 G3778 G2597 G1519 G2584 G0846 G2532 G3588 G3384 G0846

καὶ οἱ ἀδελφοὶ [αὐτοῦ], καὶ οἱ μαθηταὶ αὐτοῦ, καὶ ἐκεῖ
そして その 兄弟たちと この-方の そして その 弟子たちも この-方の そして そこに
G2532 G3588 G0080 G0846 G2532 G3588 G3101 G0846 G2532 G1563

ἔμειναν οὐ πολλὰς ἡμέρας.
泊まった それほど 多くの 日々では-なかった
G3306 G3756 G4183 G2250

そののち、イエスは、その母、兄弟たち、弟子たちと一緒に、カペナウムに下って、幾日かそこにとどまられた。

13 Καὶ ἐγγὺς ἦν τὸ πάσχα τῶν Ἰουδαίων, καὶ ἀνέβη εἰς
そして 近かった あった その 過越の-祭りが その ユダヤ人の そこで 上った に
G2532 G1451 G1510 G3588 G3957 G3588 G2453 G2532 G0305 G1519

Ἱεροσόλυμα ὁ Ἰησοῦς.
エルサレムに その イエスは
G2414 G3588 G2424

さて、ユダヤ人の過越の祭が近づいたので、イエスはエルサレムに上られた。

14 καὶ εὗρεν ἐν τῷ ἱερῷ τοὺς πωλοῦντας βόας καὶ πρόβατα
そして 見つけた 中で その 神殿の その 売って-いる-者たちを 牛と そして 羊と
G2532 G2147 G1722 G3588 G2411 G3588 G4453 G1016 G2532 G4263

καὶ περιστερὰς, καὶ τοὺς κερματιστὰς καθημένους.
そして 鳩を そして その 両替商たちが 座って-いるのを
G2532 G4058 G2532 G3588 G2773 G2521

そして牛、羊、はとを売る者や両替する者などが宮の庭にすわり込んでいるのをごらんになって、

15 καὶ ποιήσας φραγέλλιον ἐκ σχοινίων, πάντας ἐξέβαλεν ἐκ τοῦ ἱεροῦ,
そこで 作って 革の-むちを から 綴から すべてを 追い-出した から その 神殿から
G2532 G4160 G5416 G1537 G4979 G3956 G1544 G1537 G3588 G2411

τά τε πρόβατα καὶ τοὺς βόας; καὶ τῶν κολλυβιστῶν ἐξέχεεν τὰ
その も 羊も そして その 牛も そして その 両替商の こぼした その
G3588 G5037 G4263 G2532 G3588 G1016 G2532 G3588 G2855 G1632 G3588

κέρματα, καὶ τὰς τραπέζας ἀνέτρεψεν.
硬貨を そして その 台を ひっくり返した
G2772 G2532 G3588 G5132 G0396

なわでむちを造り、羊も牛もみな宮から追いだし、両替人の金を散らし、その台をひっくりかえし、

16									
καὶ	τοῖς	τὰς	περιστερὰς	πωλοῦσιν	εἶπεν,	Ἄρατε	ταῦτα	ἐντεῦθεν;
そして	その	その	鳩を	売って-いる-者たちに	言った	持ち-去れ	これらを	ここから
G2532	G3588	G3588	G4058	G4453	G3004	G0142	G3778	G1782

μὴ	ποιεῖτε	τὸν	οἶκον	τοῦ	Πατρός	μου	οἶκον	ἐμπορίου.
するな	するな	その	家を	その	父の	私の	家を	商売の
G3361	G4160	G3588	G3624	G3588	G3962	G1473	G3624	G1712

はとを売る人々には「これらのものを持って、ここから出て行け。わたしの父の家を商売の家とするな」と言われた。

17								
ἐμνήσθησαν	οἱ	μαθηταὶ	αὐτοῦ	ὅτι	γεγραμμένον	ἐστίν,
思い-出した	その	弟子たちは	この-方の	書かれて-いると	書かれている	書かれていると
G3403	G3588	G3101	G0846	G3754	G1125	G1510

Ὁ	ζῆλος	τοῦ	οἴκου	σου	καταφάγεταί	με.
その	熱心が	その	家の	あなたの	食い-尽くす	私を
G3588	G2205	G3588	G3624	G4771	G2719	G1473

弟子たちは、「あなたの家を思う熱心が、わたしを食いつくすであろう」と書いてあることを思い出した。

18								
ἀπεκρίθησαν	οὖν	οἱ	Ἰουδαῖοι	καὶ	εἶπαν	αὐτῷ,	Τί	σημεῖον
答えた	そこで	その	ユダヤ人たちは	そして	言った	イエスに	何の	しるしを
G0611	G3767	G3588	G2453	G2532	G3004	G0846	G5101	G4592

δεικνύεις	ἡμῖν,	ὅτι	ταῦτα	ποιεῖς?
見せるのか	私たちに	このような-ことを	このようなことを	するのか
G1166	G1473	G3754	G3778	G4160

そこで、ユダヤ人はイエスに言った、「こんなことをするからには、どんなしるしをわたしたちに見せてくれますか」。

19										
ἀπεκρίθη	Ἰησοῦς	καὶ	εἶπεν	αὐτοῖς,	Λύσατε	τὸν	ναὸν	τοῦτον,	καὶ
答えた	イエスは	そして	言った	彼らに	壊しなさい	この	神殿を	この	そうすれば
G0611	G2424	G2532	G3004	G0846	G3089	G3588	G3485	G3778	G2532

ἐν	τρισὶν	ἡμέραις	ἐγερῶ	αὐτόν.
で	三日	三日の-うちに	建て-直す	それを
G1722	G5140	G2250	G1453	G0846

イエスは彼らに答えて言われた、「この神殿をこわしたら、わたしは三日のうちに、それを起すであろう」。

20									
εἶπαν	οὖν	οἱ	Ἰουδαῖοι,	Τεσσεράκοντα	καὶ	ἓξ	ἔτεσιν,	οἰκοδομήθη
言った	そこで	その	ユダヤ人たちは	四十六	と	六	年かけて	建てられた
G3004	G3767	G3588	G2453	G5062	G2532	G1803	G2094	G3618

ὁ	ναὸς	οὗτος,	καὶ	σὺ	ἐν	τρισὶν	ἡμέραις	ἐγερεῖς	αὐτόν?
この	神殿は	この	それを	あなたが	で	三日	三日で	建てるのか	これを
G3588	G3485	G3778	G2532	G4771	G1722	G5140	G2250	G1453	G0846

そこで、ユダヤ人たちは言った、「この神殿を建てるのには、四十六年もかかっています。それだのに、あなたは三日のうちに、それを建てるのですか」。

21									
ἐκεῖνος	δὲ	ἔλεγεν	περὶ	τοῦ	ναοῦ	τοῦ	σώματος	αὐτοῦ.
しかし	しかし	言っていた	について	その	神殿について	すなわち	体という	ご自分の
G1565	G1161	G3004	G4012	G3588	G3485	G3588	G4983	G0846

イエスは自分のからだである神殿のことを言われたのである。

22 ὅτε ὃν ἠγέρθη ἐκ νεκρῶν, ἐμνήσθησαν οἱ μαθηταὶ αὐτοῦ
それで そこで 復活された–時 から 死者の–中から 思い出した その 弟子たちは この–方の
G3753 G3767 G1453 G1537 G3498 G3403 G3588 G3101 G0846

ὅτι τοῦτο ἔλεγεν, καὶ ἐπίστευσαν τῇ γραφῇ καὶ τῷ λόγῳ
このことを このことを 言っていたと そして 信じた その 聖書と そして その 言葉を
G3754 G3778 G3004 G2532 G4100 G3588 G1124 G2532 G3588 G3056

ὃν εἶπεν ὁ Ἰησοῦς.
その 言った その イエスが
G3739 G3004 G3588 G2424

それで、イエスが死人の中からよみがえったとき、弟子たちはイエスがこう言われたことを思い出して、聖書とイエスのこの言葉とを信じた。

23 Ὡς δὲ ἦν ἐν τοῖς Ἱεροσολύμοις ἐν τῷ πάσχα, ἐν
さて そして いた に その エルサレムに の その 過越の–祭りの–時に その
G5613 G1161 G1510 G1722 G3588 G2414 G1722 G3588 G3957 G1722

τῇ ἑορτῇ, πολλοὶ ἐπίστευσαν εἰς τὸ ὄνομα αὐτοῦ, θεωροῦντες
その 祭りの–時に 多くの–人が 信じた その その 御名を この–方の 見て
G3588 G1859 G4183 G4100 G1519 G3588 G3686 G0846 G2334

αὐτοῦ τὰ σημεῖα ἃ ἐποίει.
この–方の その しるしを その 行った–ものを
G0846 G3588 G4592 G3739 G4160

過越の祭の間、イエスがエルサレムに滞在しておられたとき、多くの人々は、その行われたしるしを見て、イエスの名を信じた。

24 αὐτὸς δὲ Ἰησοῦς οὐκ ἐπίστευεν αὐτὸν αὐτοῖς, διὰ τὸ
しかし しかし イエスは 任せなかった 任せなかった ご自身を 彼らに なぜなら その
G0846 G1161 G2424 G3756 G4100 G0848 G0846 G1223 G3588

αὐτὸν γινώσκειν πάντας.
ご自身で 知って–おられた すべての–人を
G0846 G1097 G3956

しかしイエスご自身は、彼らに自分をお任せにならなかった。それは、すべての人を知っておられ、

25 καὶ ὅτι οὐ χρείαν εἶχεν ἵνα τις μαρτυρήσῃ περὶ
そして なぜなら 必要が–なかった 必要が なかった 誰かが 誰かが 証しする–ことは について
G2532 G3754 G3756 G5532 G2192 G2443 G5100 G3140 G4012

τοῦ ἀνθρώπου, αὐτὸς γὰρ ἐγίνωσκεν τί ἦν ἐν τῷ
その 人について ご自身で なぜなら 知って–おられた 何が あるかを の–中に その
G3588 G0444 G0846 G1063 G1097 G5101 G1510 G1722 G3588

ἀνθρώπῳ.
人の
G0444

また人についてあかしする者を、必要とされなかったからである。それは、ご自身人の心の中にあることを知っておられたからである。

Chapter 3

1 Ἦν δὲ ἄνθρωπος ἐκ τῶν Φαρισαίων, Νικόδημος ὄνομα αὐτῷ,
いた さて 一人の–人が の–中に その パリサイ人の ニコデモという 名の 彼の
G1510 G1161 G0444 G1537 G3588 G5330 G3530 G3686 G0846

ἄρχων τῶν Ἰουδαίων;
指導者で その ユダヤ人の
G0758 G3588 G2453

パリサイ人のひとりで、その名をニコデモというユダヤ人の指導者があった。

2 οὗτος ἦλθεν πρὸς αὐτὸν νυκτὸς, καὶ εἶπεν αὐτῷ, Ῥαββί,
この–人は 来た のもとに イエスの 夜に そして 言った イエスに ラビ
G3778 G2064 G4314 G0846 G3571 G2532 G3004 G0846 G4461

οἴδαμεν ὅτι ἀπὸ Θεοῦ ἐλήλυθας, διδάσκαλος; οὐδεὶς γὰρ
私たちは–知っています あなたが から 神から 来られた–ことを 教師として 誰も なぜなら
G1492 G3754 G0575 G2316 G2064 G1320 G3762 G1063

δύναται ταῦτα τὰ σημεῖα ποιεῖν, ἃ σὺ ποιεῖς, ἐὰν
できない これらの その しるしを 行う–ことは あなたが あなたが 行う–ことを もし
G1410 G3778 G3588 G4592 G4160 G3739 G4771 G4160 G1437

μὴ ᾖ ὁ Θεὸς μετ’ αὐτοῦ.
でなければ いなければ その 神が 共に その–人と
G3361 G1510 G3588 G2316 G3326 G0846

この人が夜イエスのもとにきて言った、「先生、わたしたちはあなたが神からこられた教師であることを知っています。神がご一緒でないなら、あなたがなさっておられるようなしるしは、だれにもできはしません」。

3 ἀπεκρίθη Ἰησοῦς καὶ εἶπεν αὐτῷ, Ἀμὴν, ἀμὴν λέγω σοι, ἐὰν
答えた イエスは そして 言った 彼に まことに まことに 言う あなたに もし
G0611 G2424 G2532 G3004 G0846 G0281 G0281 G3004 G4771 G1437

μή τις γεννηθῇ ἄνωθεν, οὐ δύναται ἰδεῖν τὴν
でなければ ある–人が 生まれ–なければ 新たに できない できない 見る–ことは その
G3361 G5100 G1080 G0509 G3756 G1410 G3708 G3588

βασιλείαν τοῦ Θεοῦ.
御国を その 神の
G0932 G3588 G2316

イエスは答えて言われた、「よくよくあなたに言っておく。だれでも新しく生れなければ、神の国を見ることはできない」。

4 λέγει πρὸς αὐτὸν ὁ Νικόδημος, Πῶς δύναται ἄνθρωπος
言った に対して イエスに その ニコデモは どうして できるのか 人が
G3004 G4314 G0846 G3588 G3530 G4459 G1410 G0444

γεννηθῆναι, γέρων ὢν? μὴ δύναται εἰς τὴν κοιλίαν τῆς
生まれる–ことが 老人に–なって いるのに まさか できるのか に その 胎内に その
G1080 G1088 G1510 G3361 G1410 G1519 G3588 G2836 G3588

μητρὸς αὐτοῦ δεύτερον εἰσελθεῖν, καὶ γεννηθῆναι?
母の 自分の もう一度 入る–ことが そして 生まれる–ことが
G3384 G0846 G1208 G1525 G2532 G1080

ニコデモは言った、「人は年をとってから生れることが、どうしてできますか。もう一度、母の胎にはいって生れることができましょうか」。

5 ἀπεκρίθη (ὁ) Ἰησοῦς, Ἀμὴν ἀμὴν λέγω σοι, ἐὰν μή τις
答えた その イエスは まことに まことに 言う あなたに もし でなければ ある–人が
G0611 G3588 G2424 G0281 G0281 G3004 G4771 G1437 G3361 G5100

γεννηθῇ ἐξ ὕδατος καὶ Πνεύματος, οὐ δύναται εἰσελθεῖν εἰς
生まれ–なければ から 水と そして 御霊に–よって できない できない 入る–ことは に
G1080 G1537 G5204 G2532 G4151 G3756 G1410 G1525 G1519

τὴν βασιλείαν τοῦ Θεοῦ.
その 御国に その 神の
G3588 G0932 G3588 G2316

イエスは答えられた、「よくよくあなたに言っておく。だれでも、水と霊とから生れなければ、神の国にはいることはできない。

6 τὸ γεγεννημένον ἐκ τῆς σαρκὸς, σάρξ ἐστιν; καὶ τὸ γεγεννημένον
その 生まれた–ものは から その 肉から 肉で ある そして その 生まれた–ものは
G3588 G1080 G1537 G3588 G4561 G4561 G1510 G2532 G3588 G1080

ἐκ τοῦ Πνεύματος, πνεῦμά ἐστιν.
から その 御霊から 霊で ある
G1537 G3588 G4151 G4151 G1510

肉から生れる者は肉であり、霊から生れる者は霊である。

7 μὴ θαυμάσῃς ὅτι εἶπόν σοι, Δεῖ ὑμᾶς
驚いては–ならない 驚いてはならない 私が 言った–ことを あなたに 必要が–ある あなたがたは
G3361 G2296 G3754 G3004 G4771 G1163 G4771

γεννηθῆναι ἄνωθεν.
生まれ–なければ–ならない 新たに
G1080 G0509

あなたがたは新しく生れなければならないと、わたしが言ったからとて、不思議に思うには及ばない。

8 τὸ πνεῦμα ὅπου θέλει πνεῖ, καὶ τὴν φωνὴν αὐτοῦ ἀκούεις,
その 風は 思う–ところに 思う–ままに 吹く そして その 音を その 聞く
G3588 G4151 G3699 G2309 G4154 G2532 G3588 G5456 G0846 G0191

ἀλλ’ οὐκ οἶδας πόθεν ἔρχεται, καὶ ποῦ ὑπάγει; οὕτως ἐστὶν
しかし 知らない 知らない どこから 来るのか そして どこへ 行くのか このように である
G0235 G3756 G1492 G4159 G2064 G2532 G4226 G5217 G3779 G1510

πᾶς ὁ γεγεννημένος ἐκ τοῦ Πνεύματος.
すべての その 生まれた–者は から その 御霊から
G3956 G3588 G1080 G1537 G3588 G4151

風は思いのままに吹く。あなたはその音を聞くが、それがどこからきて、どこへ行くかは知らない。霊から生れる者もみな、それと同じである」。

9 ἀπεκρίθη Νικόδημος καὶ εἶπεν αὐτῷ, Πῶς δύναται ταῦτα
答えた ニコデモは そして 言った イエスに どうして できるのか これらの–ことが
G0611 G3530 G2532 G3004 G0846 G4459 G1410 G3778

γενέσθαι?
起こるのか
G1096

ニコデモはイエスに答えて言った、「どうして、そんなことがあり得ましょうか」。

10 ἀπεκρίθη Ἰησοῦς καὶ εἶπεν αὐτῷ, Σὺ εἶ ὁ διδάσκαλος τοῦ
答えた イエスは そして 言った 彼に あなたは である その 教師 その
G0611 G2424 G2532 G3004 G0846 G4771 G1510 G3588 G1320 G3588

Ἰσραὴλ, καὶ ταῦτα οὐ γινώσκεις?
イスラエルの それなのに これらの–ことを 知らないのか 知らないのか
G2474 G2532 G3778 G3756 G1097

イエスは彼に答えて言われた、「あなたはイスラエルの教師でありながら、これぐらいのことがわからないのか。

11 ἀμὴν ἀμὴν λέγω σοι, ὅτι ὃ οἴδαμεν λαλοῦμεν, καὶ
まことに まことに 言う あなたに 私たちは 知っている–ことを 知っている 語り そして
G0281 G0281 G3004 G4771 G3754 G3739 G1492 G2980 G2532

ὃ ἑωράκαμεν μαρτυροῦμεν; καὶ τὴν μαρτυρίαν ἡμῶν οὐ
見た–ことを 見た 証しする しかし 私たちの 証しを 私たちの 受け入れない
G3739 G3708 G3140 G2532 G3588 G3141 G1473 G3756

λαμβάνετε.
受け入れない
G2983

よくよく言っておく。わたしたちは自分の知っていることを語り、また自分の見たことをあかししているのに、あなたがたはわたしたちのあかしを受けいれない。

12 εἰ τὰ ἐπίγεια εἶπον ὑμῖν, καὶ οὐ πιστεύετε, πῶς
もし その 地上の–ことを 言って あなたがたに それでも 信じないのに 信じないのに どうして
G1487 G3588 G1919 G3004 G4771 G2532 G3756 G4100 G4459

ἐὰν εἴπω ὑμῖν τὰ ἐπουράνια, πιστεύσετε?
もし 言ったら あなたがたに その 天の–ことを 信じるのか
G1437 G3004 G4771 G3588 G2032 G4100

わたしが地上のことを語っているのに、あなたがたが信じないならば、天上のことを語った場合、どうしてそれを信じるだろうか。

13 καὶ οὐδεὶς ἀναβέβηκεν εἰς τὸν οὐρανὸν, εἰ μὴ ὁ ἐκ τοῦ
そして 誰も 昇った–者は–いない に その 天に ただ 除いて その から その
G2532 G3762 G0305 G1519 G3588 G3772 G1487 G3361 G3588 G1537 G3588

οὐρανοῦ καταβάς, ὁ Υἱὸς τοῦ ἀνθρώπου, <ὁ ὢν ἐν τῷ
天から 降って–来た–方 すなわち 人の–子 その 人の–子 この おられる に その
G3772 G2597 G3588 G5207 G3588 G0444 G3588 G1510 G1722 G3588

οὐρανῷ>.
天に
G3772

天から下ってきた者、すなわち人の子のほかには、だれも天に上った者はない。

14 καὶ καθὼς Μωϋσῆς ὕψωσεν τὸν ὄφιν ἐν τῇ ἐρήμῳ, οὕτως
そして ちょうど モーセが 上げた–ように その 蛇を 荒野で その 荒野で そのように
G2532 G2531 G3475 G5312 G3588 G3789 G1722 G3588 G2048 G3779

ὑψωθῆναι δεῖ τὸν Υἱὸν τοῦ ἀνθρώπου,
上げられねば–ならない 必要が–ある その 人の–子も その 人の–子も
G5312 G1163 G3588 G5207 G3588 G0444

そして、ちょうどモーセが荒野でへびを上げたように、人の子もまた上げられなければならない。

15 ἵνα すべての G2443 πᾶς すべて G3956 ὁ その G3588 πιστεύων 信じる–者が G4100 ἐν この–方に–あって G1722 αὐτῷ この–方に G0846 ἔχῃ 得る–ために G2192 ζωὴν 永遠の–いのちを G2222

αἰώνιον.
永遠の
G0166

それは彼を信じる者が、すべて永遠の命を得るためである」。

16 Οὕτως 実に G3779 γὰρ なぜなら G1063 ἠγάπησεν 愛された G0025 ὁ その G3588 Θεὸς 神は G2316 τὸν その G3588 κόσμον, 世を G2889 ὥστε それほどに G5620 τὸν その G3588 Υἱὸν, 御子を G5207 τὸν その G3588

μονογενῆ, ひとり子の G3439 ἔδωκεν, 与えた G1325 ἵνα すべての G2443 πᾶς すべて G3956 ὁ その G3588 πιστεύων 信じる–者が G4100 εἰς この–方を G1519 αὐτὸν, この–方を G0846 μὴ 滅びずに G3361

ἀπόληται, 滅びない–ように G0622 ἀλλ’ かえって G0235 ἔχῃ 得る–ために G2192 ζωὴν 永遠の–いのちを G2222 αἰώνιον. 永遠の G0166

神はそのひとり子を賜わったほどに、この世を愛して下さった。それは御子を信じる者がひとりも滅びないで、永遠の命を得るためである。

17 οὐ なぜなら G3756 γὰρ なぜなら G1063 ἀπέστειλεν 遣わしたのではない G0649 ὁ その G3588 Θεὸς 神は G2316 τὸν その G3588 Υἱὸν 御子を G5207 εἰς に G1519 τὸν その G3588 κόσμον, 世に G2889

ἵνα ために G2443 κρίνῃ 裁く G2919 τὸν その G3588 κόσμον, 世を G2889 ἀλλ’ そうではなく G0235 ἵνα ために G2443 σωθῇ 救われる G4982 ὁ その G3588 κόσμος 世が G2889 δι’ を通して G1223

αὐτοῦ.
この–方を
G0846

神が御子を世につかわされたのは、世をさばくためではなく、御子によって、この世が救われるためである。

18 ὁ その G3588 πιστεύων 信じる–者は G4100 εἰς この–方を G1519 αὐτὸν この–方を G0846 οὐ 裁かれない G3756 κρίνεται; 裁かれない G2919 ὁ しかし G3588 ‹δὲ› しかし G1161 μὴ 信じない G3361

πιστεύων, 信じない–者は G4100 ἤδη すでに G2235 κέκριται, 裁かれて–いる G2919 ὅτι なぜなら G3754 μὴ 信じて–こなかった G3361 πεπίστευκεν 信じてこなかった G4100 εἰς その G1519 τὸ その G3588

ὄνομα 御名を G3686 τοῦ その G3588 μονογενοῦς ひとり子の G3439 Υἱοῦ 御子の G5207 τοῦ その G3588 Θεοῦ. 神の G2316

彼を信じる者は、さばかれない。信じない者は、すでにさばかれている。神のひとり子の名を信じることをしないからである。

19 αὕτη δέ ἐστιν ἡ κρίσις, ὅτι τὸ φῶς ἐλήλυθεν εἰς τὸν
これが すなわち である その 裁き すなわち その 光が 来た に その
G3778 G1161 G1510 G3588 G2920 G3754 G3588 G5457 G2064 G1519 G3588

κόσμον, καὶ ἠγάπησαν οἱ ἄνθρωποι μᾶλλον τὸ σκότος, ἢ τὸ φῶς;
世に しかし 愛した その 人々は むしろ その 闇を よりも その 光を
G2889 G2532 G0025 G3588 G0444 G3123 G3588 G4655 G2228 G3588 G5457

ἦν γὰρ αὐτῶν πονηρὰ τὰ ἔργα.
なぜなら なぜなら 彼らの 悪い その 行いが
G1510 G1063 G0846 G4190 G3588 G2041

そのさばきというのは、光がこの世にきたのに、人々はそのおこないが悪いために、光よりもやみの方を愛したことである。

20 πᾶς γὰρ ὁ φαῦλα πράσσων, μισεῖ τὸ φῶς, καὶ οὐκ
すべての なぜなら その 悪い–ことを 行う–者は 憎む その 光を そして 来ない
G3956 G1063 G3588 G5337 G4238 G3404 G3588 G5457 G2532 G3756

ἔρχεται πρὸς τὸ φῶς, ἵνα μὴ ἐλεγχθῇ
来ない のもとに その 光の そのために 明らかに–されない–ように 明らかにされないように
G2064 G4314 G3588 G5457 G2443 G3361 G1651

τὰ ἔργα αὐτοῦ;
その 行いが その–人の
G3588 G2041 G0846

悪を行っている者はみな光を憎む。そして、そのおこないが明るみに出されるのを恐れて、光にこようとはしない。

21 ὁ δὲ ποιῶν τὴν ἀλήθειαν, ἔρχεται πρὸς τὸ φῶς,
その しかし 行う–者は その 真理を 来る のもとに その 光の
G3588 G1161 G4160 G3588 G0225 G2064 G4314 G3588 G5457

ἵνα φανερωθῇ αὐτοῦ τὰ ἔργα, ὅτι ἐν
明らかに–される–ために 明らかにされるために その–人の その 行いが なぜなら の–中で
G2443 G5319 G0846 G3588 G2041 G3754 G1722

Θεῷ ἐστιν εἰργασμένα.
神の–中で 行われた 行われた–ものだから
G2316 G1510 G2038

しかし、真理を行っている者は光に来る。その人のおこないの、神にあってなされたということが、明らかにされるためである。

22 Μετὰ ταῦτα ἦλθεν ὁ Ἰησοῦς, καὶ οἱ μαθηταὶ αὐτοῦ, εἰς τὴν
その–後 これらの後 来た その イエスと そして その 弟子たちは この–方の に その
G3326 G3778 G2064 G3588 G2424 G2532 G3588 G3101 G0846 G1519 G3588

Ἰουδαίαν γῆν; καὶ ἐκεῖ διέτριβεν μετ’ αὐτῶν, καὶ
ユダヤの–地に ユダヤの地に そして そこで 過ごした 共に 彼らと そして
G2453 G1093 G2532 G1563 G1304 G3326 G0846 G2532

ἐβάπτιζεν.
バプテスマを–授けていた
G0907

こののち、イエスは弟子たちとユダヤの地に行き、彼らと一緒にそこに滞在して、バプテスマを授けておられた。

23 ἦν δὲ καὶ ‹ὁ› Ἰωάννης βαπτίζων ἐν Αἰνὼν, ἐγγὺς τοῦ
いた また も その ヨハネも バプテスマを–授けていた で アイノンで 近くの その
G1510 G1161 G2532 G3588 G2491 G0907 G1722 G0137 G1451 G3588

Σαλείμ, ὅτι ὕδατα πολλὰ ἦν ἐκεῖ; καὶ παρεγίνοντο καὶ
サリムの なぜなら 水が 多く あった そこに そして 来て そして
G4530 G3754 G5204 G4183 G1510 G1563 G2532 G3854 G2532

ἐβαπτίζοντο.
バプテスマを–受けていた
G0907

ヨハネもサリムに近いアイノンで、バプテスマを授けていた。そこには水がたくさんあったからである。人々がぞくぞくとやってきてバプテスマを受けていた。

24 οὔπω γὰρ ἦν βεβλημένος εἰς τὴν φυλακὴν ‹ὁ› Ἰωάννης.
まだ なぜなら あった 投げ入れられて–いなかった に その 牢に その ヨハネは
G3768 G1063 G1510 G0906 G1519 G3588 G5438 G3588 G2491

そのとき、ヨハネはまだ獄に入れられてはいなかった。

25 Ἐγένετο οὖν ζήτησις ἐκ τῶν μαθητῶν Ἰωάννου, μετὰ Ἰουδαίου,
起こった そこで 議論が の–中から その 弟子たちの ヨハネの と ユダヤ人との–間で
G1096 G3767 G2214 G1537 G3588 G3101 G2491 G3326 G2453

περὶ καθαρισμοῦ.
ついて 清めに–ついて
G4012 G2512

ところが、ヨハネの弟子たちとひとりのユダヤ人との間に、きよめのことで争論が起った。

26 καὶ ἦλθον πρὸς τὸν Ἰωάννην καὶ εἶπαν αὐτῷ, Ῥαββί, ὃς ἦν
そして 来た のもとに その ヨハネの そして 言った ヨハネに ラビ その–方が いた
G2532 G2064 G4314 G3588 G2491 G2532 G3004 G0846 G4461 G3739 G1510

μετὰ σοῦ πέραν τοῦ Ἰορδάνου, ᾧ σὺ μεμαρτύρηκας, ἴδε
共に あなたと 向こう側の その ヨルダン川の その–方に あなたが 証しした 見よ
G3326 G4771 G4008 G3588 G2446 G3739 G4771 G3140 G3708

οὗτος βαπτίζει, καὶ πάντες ἔρχονται πρὸς αὐτόν.
この–方が バプテスマを–授けている そして すべての–人が 来て–いる のもとに この–方の
G3778 G0907 G2532 G3956 G2064 G4314 G0846

そこで彼らはヨハネのところにきて言った、「先生、ごらん下さい。ヨルダンの向こうであなたと一緒にいたことがあり、そして、あなたがあかしをしておられたあのかたが、バプテスマを授けており、皆の者が、そのかたのところへ出かけています」。

27 ἀπεκρίθη Ἰωάννης καὶ εἶπεν, Οὐ δύναται ἄνθρωπος λαμβάνειν, οὐδὲ
答えた ヨハネは そして 言った できない できない 人は 受ける–ことは 一つも
G0611 G2491 G2532 G3004 G3756 G1410 G0444 G2983 G3761

‹ἓν› ἐὰν μὴ ᾖ δεδομένον αὐτῷ ἐκ τοῦ οὐρανοῦ.
一つも もし でなければ いなければ 与えられた–もの その–人に から その 天から
G1520 G1437 G3361 G1510 G1325 G0846 G1537 G3588 G3772

ヨハネは答えて言った、「人は天から与えられなければ、何ものも受けることはできない。

28 αὐτοὶ ὑμεῖς μοι μαρτυρεῖτε, ὅτι εἶπον [ὅτι]
あなたがた あなたがた–自身が 私に 証しして–くれる 私が 言った–ことを 言った
G0846 G4771 G1473 G3140 G3754 G3004 G3754

Οὐκ εἰμὶ ἐγὼ ὁ Χριστός, ἀλλ’ ὅτι Ἀπεσταλμένος
私は–ではない ではない 私は その キリスト そうではなく そうではなく 遣わされた–者
G3756 G1510 G1473 G3588 G5547 G0235 G3754 G0649

εἰμὶ ἔμπροσθεν ἐκείνου.
である 先に あの–方の
G1510 G1715 G1565

『わたしはキリストではなく、そのかたよりも先につかわされた者である』と言ったことをあかししてくれるのは、あなたがた自身である。

29 Ὁ ἔχων τὴν νύμφην, νυμφίος ἐστίν; ὁ δὲ φίλος τοῦ νυμφίου,
その 持つ–者が その 花嫁を 花婿で ある しかし しかし 友人は その 花婿の
G3588 G2192 G3588 G3565 G3566 G1510 G3588 G1161 G5384 G3588 G3566

ὁ ἑστηκὼς καὶ ἀκούων αὐτοῦ, χαρᾷ χαίρει διὰ τὴν φωνὴν τοῦ
その 立って そして 聞いて その–方の 喜びで 喜ぶ その 声を–聞いて その
G3588 G2476 G2532 G0191 G0846 G5479 G5463 G1223 G3588 G5456 G3588

νυμφίου, αὕτη οὖν, ἡ χαρὰ ἡ ἐμὴ, πεπλήρωται.
花婿の この だから 私の 喜びは 私の 私の 満たされた
G3566 G3778 G3767 G3588 G5479 G3588 G1699 G4137

花嫁をもつ者は花婿である。花婿の友人は立って彼の声を聞き、その声を聞いて大いに喜ぶ。こうして、この喜びはわたしに満ち足りている。

30 ἐκεῖνον δεῖ αὐξάνειν, ἐμὲ δὲ ἐλαττοῦσθαι.
あの–方は 必要が–ある 増し–加わる–ことが 私は しかし 減る–ことが
G1565 G1163 G0837 G1473 G1161 G1642

彼は必ず栄え、わたしは衰える。

31 Ὁ ἄνωθεν ἐρχόμενος, ἐπάνω πάντων ἐστίν. ὁ ὢν ἐκ
その 上から 来る–方は 上に すべての–ものの おられる その 属する–者は から
G3588 G0509 G2064 G1883 G3956 G1510 G3588 G1510 G1537

τῆς γῆς, ἐκ τῆς γῆς ἐστιν, καὶ ἐκ τῆς γῆς λαλεῖ. ὁ ἐκ
その 地の その その 地の であり そして その その 地の–ことを 語る その から
G3588 G1093 G1537 G3588 G1093 G1510 G2532 G1537 G3588 G1093 G2980 G3588 G1537

τοῦ οὐρανοῦ ἐρχόμενος, ἐπάνω πάντων ἐστίν.
その 天から 来る–方は 上に すべての–ものの おられる
G3588 G3772 G2064 G1883 G3956 G1510

上から来る者は、すべてのものの上にある。地から出る者は、地に属する者であって、地のことを語る。天から来る者は、すべてのものの上にある。

32 ὃ ἑώρακεν καὶ ἤκουσεν, τοῦτο μαρτυρεῖ; καὶ τὴν μαρτυρίαν
見た–ことを 見た そして 聞いた–ことを それを 証しする しかし その 証しを
G3739 G3708 G2532 G0191 G3778 G3140 G2532 G3588 G3141

αὐτοῦ, οὐδεὶς λαμβάνει.
この–方の 誰も 受け入れない
G0846 G3762 G2983

彼はその見たところ、聞いたところをあかししているが、だれもそのあかしを受けいれない。

33 ὁ その G3588 λαβὼν 受け入れた–人は G2983 αὐτοῦ この–方の G0846 τὴν その G3588 μαρτυρίαν, 証しを G3141 ἐσφράγισεν, 証印を–押した G4972 ὅτι すなわち G3754 ὁ その G3588 Θεὸς 神は G2316

ἀληθής 真実で G0227 ἐστιν; あると G1510

しかし、そのあかしを受けいれる者は、神がまことであることを、たしかに認めたのである。

34 ὃν その–方を G3739 γὰρ なぜなら G1063 ἀπέστειλεν 遣わした G0649 ὁ その G3588 Θεὸς, 神が G2316 τὰ その G3588 ῥήματα 言葉を G4487 τοῦ その G3588 Θεοῦ 神の G2316 λαλεῖ; 語る G2980

οὐ なぜなら G3756 γὰρ なぜなら G1063 ἐκ 量りなく G1537 μέτρου, 量りなく G3358 δίδωσιν 与える G1325 τὸ その G3588 Πνεῦμα. 御霊を G4151

神がおつかわしになったかたは、神の言葉を語る。神は聖霊を限りなく賜うからである。

35 ὁ その G3588 Πατὴρ 父は G3962 ἀγαπᾷ 愛して–おられる G0025 τὸν その G3588 Υἱόν, 御子を G5207 καὶ そして G2532 πάντα すべてを G3956 δέδωκεν 与えた G1325 ἐν の–中に G1722 τῇ その G3588

χειρὶ 御手の G5495 αὐτοῦ. この–方の G0846

父は御子を愛して、万物をその手にお与えになった。

36 ὁ その G3588 πιστεύων 信じる–者は G4100 εἰς 御子を G1519 τὸν その G3588 Υἱὸν 御子を G5207 ἔχει 持つ G2192 ζωὴν 永遠の–いのちを G2222 αἰώνιον; 永遠の G0166 ὁ しかし G3588 δὲ しかし G1161

ἀπειθῶν 従わない–者は G0544 τῷ その G3588 Υἱῷ, 御子に G5207 οὐκ 見ない–であろう G3756 ὄψεται 見ないであろう G3708 ζωήν, いのちを G2222 ἀλλ’ かえって G0235 ἡ その G3588 ὀργὴ 怒りが G3709

τοῦ その G3588 Θεοῦ 神の G2316 μένει とどまる G3306 ἐπ’ 上に G1909 αὐτόν. その–人の G0846

御子を信じる者は永遠の命をもつ。御子に従わない者は、命にあずかることがないばかりか、神の怒りがその上にとどまるのである」。

Chapter 4

1 Ὡς さて G5613 οὖν そこで G3767 ἔγνω 知った G1097 ὁ その G3588 Ἰησοῦς, イエスは G2424 ὅτι ことを G3754 ἤκουσαν 聞いたと G0191 οἱ その G3588 Φαρισαῖοι, パリサイ人たちが G5330 ὅτι ことを G3754

Ἰησοῦς イエスが G2424 πλείονας より–多くの G4119 μαθητὰς 弟子を G3101 ποιεῖ 作り G4160 καὶ そして G2532 βαπτίζει バプテスマを–授けていると G0907 ἢ よりも G2228 Ἰωάννης, ヨハネ G2491

イエスが、ヨハネよりも多く弟子をつくり、またバプテスマを授けておられるということを、パリサイ人たちが聞き、それを主が知られたとき、

2

καίτοιγε	Ἰησοῦς	αὐτὸς	οὐκ	ἐβάπτιζεν,	ἀλλ’	οἱ	μαθηταὶ
もっとも	イエスは	ご自身では	授けて-いなかった	バプテスマを	そうではなく	その	弟子たちが
G2544	G2424	G0846	G3756	G0907	G0235	G3588	G3101

αὐτοῦ,
この-方の
G0846

（しかし、イエスみずからが、バプテスマをお授けになったのではなく、その弟子たちであった）

3

ἀφῆκεν	τὴν	Ἰουδαίαν,	καὶ	ἀπῆλθεν	πάλιν	εἰς	τὴν	Γαλιλαίαν.
去った	その	ユダヤを	そして	出発した	再び	に	その	ガリラヤへ
G0863	G3588	G2449	G2532	G0565	G3825	G1519	G3588	G1056

ユダヤを去って、またガリラヤへ行かれた。

4

Ἔδει	δὲ	αὐτὸν	διέρχεσθαι	διὰ	τῆς	Σαμαρείας.
必要が-あった	さて	この-方は	通る-ことが	通って	その	サマリヤを
G1163	G1161	G0846	G1330	G1223	G3588	G4540

しかし、イエスはサマリヤを通過しなければならなかった。

5

ἔρχεται	οὖν	εἰς	πόλιν	τῆς	Σαμαρείας	λεγομένην	Συχὰρ,	πλησίον	τοῦ
来た	そこで	に	町に	その	サマリヤの	呼ばれる	スカルという	近くの	その
G2064	G3767	G1519	G4172	G3588	G4540	G3004	G4965	G4139	G3588

χωρίου	ὃ	ἔδωκεν	Ἰακὼβ	‹τῷ›	Ἰωσὴφ,	τῷ	υἱῷ	αὐτοῦ.
土地の	その	与えた	ヤコブが	その	ヨセフに	その	息子	自分の
G5564	G3739	G1325	G2384	G3588	G2501	G3588	G5207	G0846

そこで、イエスはサマリヤのスカルという町においでになった。この町は、ヤコブがその子ヨセフに与えた土地の近くにあったが、

6

ἦν	δὲ	ἐκεῖ,	πηγὴ	τοῦ	Ἰακώβ;	ὁ	οὖν	Ἰησοῦς,	κεκοπιακὼς	ἐκ
あった	さて	そこに	井戸が	その	ヤコブの	その	そこで	イエスは	旅に-疲れて	から
G1510	G1161	G1563	G4077	G3588	G2384	G3588	G3767	G2424	G2872	G1537

τῆς	ὁδοιπορίας,	ἐκαθέζετο	οὕτως	ἐπὶ	τῇ	πηγῇ.	ὥρα	ἦν	ὡς
その	旅の	座った	そのまま	そばの	その	井戸の	時刻は	であった	およそ
G3588	G3597	G2516	G3779	G1909	G3588	G4077	G5610	G1510	G5613

ἕκτη.
第六-時
G1623

そこにヤコブの井戸があった。イエスは旅の疲れを覚えて、そのまま、この井戸のそばにすわっておられた。時は昼の十二時ごろであった。

7

ἔρχεται	γυνὴ	ἐκ	τῆς	Σαμαρείας	ἀντλῆσαι	ὕδωρ.	λέγει	αὐτῇ	ὁ	Ἰησοῦς,
来た	女が	から	その	サマリヤの	水を-くみに	水を	言った	女に	その	イエスは
G2064	G1135	G1537	G3588	G4540	G0501	G5204	G3004	G0846	G3588	G2424

Δός	μοι	πεῖν;
ください	私に	飲み物を
G1325	G1473	G4095

ひとりのサマリヤの女が水をくみにきたので、イエスはこの女に、「水を飲ませて下さい」と言われた。

8										
οἱ	γὰρ	μαθηταὶ	αὐτοῦ	ἀπεληλύθεισαν	εἰς	τὴν	πόλιν,	ἵνα	τροφὰς
その	なぜなら	弟子たちは	この–方の	出かけて–いた	に	その	町に	ために	食べ物を
G3588	G1063	G3101	G0846	G0565	G1519	G3588	G4172	G2443	G5160

ἀγοράσωσιν.
買う
G0059

弟子たちは食物を買いに町に行っていたのである。

9										
λέγει	οὖν	αὐτῷ	ἡ	γυνὴ	ἡ	Σαμαρῖτις,	Πῶς	σὺ	Ἰουδαῖος
言った	そこで	イエスに	その	女は	その	サマリヤの–女は	どうして	あなたは	ユダヤ人で
G3004	G3767	G0846	G3588	G1135	G3588	G4542	G4459	G4771	G2453

ὢν,	παρ’	ἐμοῦ	πεῖν	αἰτεῖς,	γυναικὸς	Σαμαρίτιδος	οὔσης?	οὐ
ありながら	私から	私から	飲み物を	求めるのか	女である	サマリヤの–女の	私に	なぜなら
G1510	G3844	G1473	G4095	G0154	G1135	G4542	G1510	G3756

γὰρ	συνχρῶνται	Ἰουδαῖοι	Σαμαρίταις.
なぜなら	交わらない	ユダヤ人は	サマリヤ人とは
G1063	G4798	G2453	G4541

すると、サマリヤの女はイエスに言った、「あなたはユダヤ人でありながら、どうしてサマリヤの女のわたしに、飲ませてくれとおっしゃるのですか」。これは、ユダヤ人はサマリヤ人と交際していなかったからである。

10									
ἀπεκρίθη	Ἰησοῦς	καὶ	εἶπεν	αὐτῇ,	Εἰ	ᾔδεις	τὴν	δωρεὰν	τοῦ
答えた	イエスは	そして	言った	女に	もし	知って–いたら	その	贈り物を	その
G0611	G2424	G2532	G3004	G0846	G1487	G1492	G3588	G1431	G3588

Θεοῦ,	καὶ	τίς	ἐστιν	ὁ	λέγων	σοι,	Δός	μοι	πεῖν,
神の	そして	誰が	であるか	その	言って–いる–者が	あなたに	くださいと	私に	飲み物をと
G2316	G2532	G5101	G1510	G3588	G3004	G4771	G1325	G1473	G4095

σὺ	ἂν	ᾔτησας	αὐτὸν,	καὶ	ἔδωκεν	ἄν	σοι
あなたの–ほうが	こそ	求めた–であろう	この–方に	そして	与えた–であろう	きっと	あなたに
G4771	G0302	G0154	G0846	G2532	G1325	G0302	G4771

ὕδωρ	ζῶν.
生きた–水を	生きた
G5204	G2198

イエスは答えて言われた、「もしあなたが神の賜物のことを知り、また、『水を飲ませてくれ』と言った者が、だれであるか知っていたならば、あなたの方から願い出て、その人から生ける水をもらったことであろう」。

11										
λέγει	αὐτῷ	‹ἡ	γυνή›,	Κύριε,	οὔτε	ἄντλημα	ἔχεις,	καὶ	τὸ
言った	イエスに	その	女は	主よ	くむ–ものも	くむものも	持って–いない	そして	その
G3004	G0846	G3588	G1135	G2962	G3777	G0502	G2192	G2532	G3588

φρέαρ	ἐστὶν	βαθύ;	πόθεν	οὖν	ἔχεις	τὸ	ὕδωρ	τὸ	ζῶν?
井戸は	である	深い	どこから	では	得るのか	その	水を	その	生きた
G5421	G1510	G0901	G4159	G3767	G2192	G3588	G5204	G3588	G2198

女はイエスに言った、「主よ、あなたは、くむ物をお持ちにならず、その上、井戸は深いのです。その生ける水を、どこから手に入れるのですか。

12 μὴ σὺ μείζων εἶ τοῦ πατρὸς ἡμῶν Ἰακώβ, ὃς ἔδωκεν
まさか あなたは 大きいのか ですか よりも 父より 私たちの ヤコブ その−人は 与えた
G3361 G4771 G3173 G1510 G3588 G3962 G1473 G2384 G3739 G1325

ἡμῖν τὸ φρέαρ, καὶ αὐτὸς ἐξ αὐτοῦ ἔπιεν, καὶ οἱ υἱοὶ
私たちに この 井戸を そして 自分も から これから 飲んだ そして その 息子たちも
G1473 G3588 G5421 G2532 G0846 G1537 G0846 G4095 G2532 G3588 G5207

αὐτοῦ, καὶ τὰ θρέμματα αὐτοῦ?
その人の そして その 家畜も その人の
G0846 G2532 G3588 G2353 G0846

あなたは、この井戸を下さったわたしたちの父ヤコブよりも、偉いかたなのですか。ヤコブ自身も飲み、その子らも、その家畜も、この井戸から飲んだのですが」。

13 ἀπεκρίθη Ἰησοῦς καὶ εἶπεν αὐτῇ, Πᾶς ὁ πίνων ἐκ τοῦ ὕδατος
答えた イエスは そして 言った 女に すべての その 飲む−者は この その 水を
G0611 G2424 G2532 G3004 G0846 G3956 G3588 G4095 G1537 G3588 G5204

τούτου, διψήσει πάλιν;
この 渇く−であろう 再び
G3778 G1372 G3825

イエスは女に答えて言われた、「この水を飲む者はだれでも、またかわくであろう。

14 ὃς δ’ ἂν πίῃ ἐκ τοῦ ὕδατος οὗ ἐγὼ δώσω αὐτῷ,
しかし しかし もし 飲む−ならば その その 水を その 私が 与える その−人に
G3739 G1161 G0302 G4095 G1537 G3588 G5204 G3739 G1473 G1325 G0846

οὐ μὴ διψήσει, εἰς τὸν αἰῶνα. ἀλλὰ τὸ ὕδωρ ὃ δώσω
決して 決して 渇かない−であろう 永遠に その 永遠に かえって その 水は その 与える
G3756 G3361 G1372 G1519 G3588 G0165 G0235 G3588 G5204 G3739 G1325

αὐτῷ γενήσεται ἐν αὐτῷ πηγὴ ὕδατος, ἁλλομένου εἰς
その−人の−中で なる−であろう その−人の−中で その人の中で 泉と 水の 湧き−出る 永遠の
G0846 G1096 G1722 G0846 G4077 G5204 G0242 G1519

ζωὴν αἰώνιον.
永遠の−いのちに−至る 永遠の
G2222 G0166

しかし、わたしが与える水を飲む者は、いつまでも、かわくことがないばかりか、わたしが与える水は、その人のうちで泉となり、永遠の命に至る水が、わきあがるであろう」。

15 λέγει πρὸς αὐτὸν ἡ γυνή, Κύριε, δός μοι τοῦτο τὸ ὕδωρ,
言った イエスに イエスに その 女は 主よ ください 私に その その 水を
G3004 G4314 G0846 G3588 G1135 G2962 G1325 G1473 G3778 G3588 G5204

ἵνα μὴ διψῶ, μηδὲ διέρχωμαι ἐνθάδε ἀντλεῖν.
渇かない−ように 渇かない 渇かないように 来なくても−よい−ように 来なくても ここまで くみに
G2443 G3361 G1372 G3366 G1330 G1759 G0501

女はイエスに言った、「主よ、わたしがかわくことがなく、また、ここにくみにこなくてもよいように、その水をわたしに下さい」。

16 λέγει αὐτῇ Ὕπαγε, φώνησον τὸν ἄνδρα, σου καὶ ἐλθὲ ἐνθάδε.
言った 女に 行って 呼びなさい あなたの 夫を あなたの そして 来なさい ここに
G3004 G0846 G5217 G5455 G3588 G0435 G4771 G2532 G2064 G1759

イエスは女に言われた、「あなたの夫を呼びに行って、ここに連れてきなさい」。

17 ἀπεκρίθη ἡ γυνὴ καὶ εἶπεν ‹αὐτῷ›, Οὐκ ἔχω ἄνδρα. λέγει αὐτῇ
答えた その 女は そして 言った イエスに いません いません 夫は 言った 女に
G0611 G3588 G1135 G2532 G3004 G0846 G3756 G2192 G0435 G3004 G0846

ὁ Ἰησοῦς, Καλῶς εἶπας ὅτι, Ἄνδρα οὐκ ἔχω;
その イエスは よく 言った こう 夫は いないと いないと
G3588 G2424 G2573 G3004 G3754 G0435 G3756 G2192

女は答えて言った、「わたしには夫はありません」。イエスは女に言われた、「夫がないと言ったのは、もっともだ。

18 πέντε γὰρ ἄνδρας ἔσχες, καὶ νῦν ὃν ἔχεις, οὐκ
五人の なぜなら 夫が いた そして 今 一緒に-いる-人は いる人は ではない
G4002 G1063 G0435 G2192 G2532 G3568 G3739 G2192 G3756

ἔστιν σου ἀνήρ; τοῦτο ἀληθὲς εἴρηκας.
ではない あなたの 夫では その-ことは 真実を 言った
G1510 G4771 G0435 G3778 G0227 G2046

あなたには五人の夫があったが、今のはあなたの夫ではない。あなたの言葉のとおりである」。

19 λέγει αὐτῷ ἡ γυνή, Κύριε, θεωρῶ ὅτι προφήτης εἶ σύ.
言った イエスに その 女は 主よ わかります あなたは 預言者で あると あなたは
G3004 G0846 G3588 G1135 G2962 G2334 G3754 G4396 G1510 G4771

女はイエスに言った、「主よ、わたしはあなたを預言者と見ます。

20 οἱ πατέρες ἡμῶν ἐν τῷ ὄρει τούτῳ προσεκύνησαν, καὶ
私たちの 先祖たちは 私たちの で この 山で この 礼拝した しかし
G3588 G3962 G1473 G1722 G3588 G3735 G3778 G4352 G2532

ὑμεῖς λέγετε ὅτι ἐν Ἱεροσολύμοις ἐστὶν ὁ τόπος ὅπου
あなたがたは 言う ことを で エルサレムで であると その 場所が そこで
G4771 G3004 G3754 G1722 G2414 G1510 G3588 G5117 G3699

προσκυνεῖν δεῖ.
礼拝する べきだと
G4352 G1163

わたしたちの先祖は、この山で礼拝をしたのですが、あなたがたは礼拝すべき場所は、エルサレムにあると言っています」。

21 λέγει αὐτῇ ὁ Ἰησοῦς, Πίστευέ μοι, γύναι, ὅτι ἔρχεται ὥρα,
言った 女に その イエスは 信じなさい 私を 女の-方よ 時が-来る 来る 時が
G3004 G0846 G3588 G2424 G4100 G1473 G1135 G3754 G2064 G5610

ὅτε οὔτε ἐν τῷ ὄρει τούτῳ, οὔτε ἐν Ἱεροσολύμοις,
その-時 でもなく で この 山でも この でもなく で エルサレムでも
G3753 G3777 G1722 G3588 G3735 G3778 G3777 G1722 G2414

προσκυνήσετε τῷ Πατρί.
礼拝する-であろう その 父を
G4352 G3588 G3962

イエスは女に言われた、「女よ、わたしの言うことを信じなさい。あなたがたが、この山でも、またエルサレムでもない所で、父を礼拝する時が来る。

22 ὑμεῖς あなたがたは G4771 προσκυνεῖτε 礼拝して-いる G4352 ὃ 知らない-ものを G3739 οὐκ 知らない G3756 οἴδατε; 知らないものを G1492 ἡμεῖς 私たちは G1473 προσκυνοῦμεν 礼拝して-いる G4352
ὃ 知っている-ものを G3739 οἴδαμεν; 知っている G1492 ὅτι なぜなら G3754 ἡ その G3588 σωτηρία 救いは G4991 ἐκ から G1537 τῶν その G3588 Ἰουδαίων ユダヤ人から G2453 ἐστίν. 来る G1510

あなたがたは自分の知らないものを拝んでいるが、わたしたちは知っているかたを礼拝している。救はユダヤ人から来るからである。

23 ἀλλὰ しかし G0235 ἔρχεται 来る G2064 ὥρα 時が G5610 καὶ そして G2532 νῦν 今 G3568 ἐστιν, である G1510 ὅτε その-時 G3753 οἱ まことの G3588 ἀληθινοὶ まことの G0228 προσκυνηταὶ 礼拝者たちは G4353
προσκυνήσουσιν 礼拝する-であろう G4352 τῷ その G3588 Πατρὶ 父を G3962 ἐν で G1722 πνεύματι 霊と G4151 καὶ そして G2532 ἀληθείᾳ; 真理を-もって G0225 καὶ 実に G2532 γὰρ なぜなら G1063 ὁ その G3588
Πατὴρ 父は G3962 τοιούτους このような-人を G5108 ζητεῖ, 求めて-おられる G2212 τοὺς その G3588 προσκυνοῦντας 礼拝する-人を G4352 αὐτόν. ご自分を G0846

しかし、まことの礼拝をする者たちが、霊とまこととをもって父を礼拝する時が来る。そうだ、今きている。父は、このような礼拝をする者たちを求めておられるからである。

24 Πνεῦμα 霊で-ある G4151 ὁ その G3588 Θεός, 神は G2316 καὶ そして G2532 τοὺς その G3588 προσκυνοῦντας 礼拝する-人は G4352 ‹αὐτὸν›, 神を G0846 ἐν で G1722 πνεύματι 霊と G4151 καὶ そして G2532
ἀληθείᾳ 真理を-もって G0225 δεῖ 礼拝-しなければ-ならない G1163 προσκυνεῖν. 礼拝しなければならない G4352

神は霊であるから、礼拝をする者も、霊とまこととをもって礼拝すべきである」。

25 λέγει 言った G3004 αὐτῷ イエスに G0846 ἡ その G3588 γυνή, 女は G1135 Οἶδα 知って-いる G1492 ὅτι ことを G3754 Μεσσίας メシヤが G3323 ἔρχεται, 来る-ことを G2064 ὁ その G3588 λεγόμενος 呼ばれる G3004
Χριστός; キリストと G5547 ὅταν その-方が G3752 ἔλθῃ 来た-ら G2064 ἐκεῖνος, 来たら G1565 ἀναγγελεῖ 告げる-であろう G0312 ἡμῖν 私たちに G1473 ἅπαντα. すべてを G0537

女はイエスに言った、「わたしは、キリストと呼ばれるメシヤがこられることを知っています。そのかたがこられたならば、わたしたちに、いっさいのことを知らせて下さるでしょう」。

26 λέγει 言った G3004 αὐτῇ 女に G0846 ὁ その G3588 Ἰησοῦς, イエスは G2424 Ἐγώ 私が G1473 εἰμι, それである G1510 ὁ あなたに G3588 λαλῶν 語って-いる G2980 σοι. あなたに G4771

イエスは女に言われた、「あなたと話をしているこのわたしが、それである」。

27 Καὶ ἐπὶ τούτῳ ἦλθαν οἱ μαθηταὶ αὐτοῦ, καὶ ἐθαύμαζον ὅτι
そして その–時 その時 来た その 弟子たちが この–方の そして 驚いた ことに
G2532 G1909 G3778 G2064 G3588 G3101 G0846 G2532 G2296 G3754

μετὰ γυναικὸς ἐλάλει; οὐδεὶς μέντοι εἶπεν, Τί
共に 女と 話して–おられる–ことに しかし–誰も しかし 言わなかった 何を
G3326 G1135 G2980 G3762 G3305 G3004 G5101

ζητεῖς? ἢ τί λαλεῖς μετ’ αὐτῆς?
求めて–おられるのか または なぜ 話して–おられるのか 共に この–女と
G2212 G2228 G5101 G2980 G3326 G0846

そのとき、弟子たちが帰って来て、イエスがひとりの女と話しておられるのを見て不思議に思ったが、しかし、「何を求めておられますか」とも、「何を彼女と話しておられるのですか」とも、尋ねる者はひとりもなかった。

28 ἀφῆκεν οὖν τὴν ὑδρίαν αὐτῆς ἡ γυνὴ, καὶ ἀπῆλθεν εἰς τὴν
置いた そこで その 水がめを 自分の その 女は そして 行った に その
G0863 G3767 G3588 G5201 G0846 G3588 G1135 G2532 G0565 G1519 G3588

πόλιν, καὶ λέγει τοῖς ἀνθρώποις,
町に そして 言った 人々に 人々に
G4172 G2532 G3004 G3588 G0444

この女は水がめをそのままそこに置いて町に行き、人々に言った、

29 Δεῦτε, ἴδετε ἄνθρωπον ὃς εἶπέν μοι πάντα ὅσα
来て 見て–ください 一人の–人を その–人は 言った 私に すべての–ことを すべて
G1205 G3708 G0444 G3739 G3004 G1473 G3956 G3745

ἐποίησα; μήτι οὗτός ἐστιν ὁ Χριστός?
私が–した–ことを もしかして この–方こそ である その キリストでは–ないか
G4160 G3385 G3778 G1510 G3588 G5547

「わたしのしたことを何もかも、言いあてた人がいます。さあ、見にきてごらんなさい。もしかしたら、この人がキリストかも知れません」。

30 ἐξῆλθον ἐκ τῆς πόλεως, καὶ ἤρχοντο πρὸς αὐτόν.
出て–きた から その 町から そして やって–来た のもとに イエスの
G1831 G1537 G3588 G4172 G2532 G2064 G4314 G0846

人々は町を出て、ぞくぞくとイエスのところへ行った。

31 Ἐν τῷ μεταξὺ ἠρώτων αὐτὸν οἱ μαθηταὶ, λέγοντες, Ῥαββί,
その–間に その 間に 頼んだ イエスに その 弟子たちは 言って ラビ
G1722 G3588 G3342 G2065 G0846 G3588 G3101 G3004 G4461

φάγε.
食べて–ください
G5315

その間に弟子たちはイエスに、「先生、召しあがってください」とすすめた。

32 ὁ δὲ εἶπεν αὐτοῖς, Ἐγὼ βρῶσιν ἔχω φαγεῖν, ἣν ὑμεῖς
しかし しかし 言った 彼らに 私には 食べ物が ある 食べる–ための それを あなたがたは
G3588 G1161 G3004 G0846 G1473 G1035 G2192 G5315 G3739 G4771

οὐκ οἴδατε.
知らない 知らない
G3756 G1492

ところが、イエスは言われた、「わたしには、あなたがたの知らない食物がある」。

33 ἔλεγον 言った G3004 οὖν そこで G3767 οἱ その G3588 μαθηταὶ 弟子たちは G3101 πρὸς お互いに G4314 ἀλλήλους, お互いに G0240 Μή まさか G3361 τις 誰かが G5100 ἤνεγκεν 持って-来たのか G5342

αὐτῷ この-方に G0846 φαγεῖν? 食べ物を G5315

そこで、弟子たちが互に言った、「だれかが、何か食べるものを持ってきてさしあげたのであろうか」。

34 λέγει 言った G3004 αὐτοῖς 彼らに G0846 ὁ その G3588 Ἰησοῦς, イエスは G2424 Ἐμὸν 私の G1699 βρῶμά 食べ物は G1033 ἐστιν である G1510 ἵνα 行う-こと G2443 ποιήσω 行うこと G4160 τὸ その G3588 θέλημα 御心を G2307

τοῦ その G3588 πέμψαντός 遣わした-方の G3992 με, 私を G1473 καὶ そして G2532 τελειώσω 成し-遂げる-こと G5048 αὐτοῦ その-方の G0846 τὸ その G3588 ἔργον. わざを G2041

イエスは彼らに言われた、「わたしの食物というのは、わたしをつかわされたかたのみこころを行い、そのみわざをなし遂げることである。

35 οὐχ あなたがたは G3756 ὑμεῖς あなたがたは G4771 λέγετε, 言う G3004 ὅτι ことを G3754 Ἔτι まだ G2089 τετράμηνός 四か月-あると G5072 ἐστιν ある G1510 καὶ そして G2532 ὁ その G3588

θερισμὸς 収穫が G2326 ἔρχεται? 来ると G2064 ἰδοὺ, 見よ G3708 λέγω 言う G3004 ὑμῖν, あなたがたに G4771 ἐπάρατε 上げなさい G1869 τοὺς あなたがたの G3588 ὀφθαλμοὺς 目を G3788

ὑμῶν, あなたがたの G4771 καὶ そして G2532 θεάσασθε 見なさい G2300 τὰς その G3588 χώρας, 畑を G5561 ὅτι すでに G3754 λευκαί 白く G3022 εἰσιν なって-いる G1510 πρὸς ために G4314 θερισμόν 収穫の G2326

ἤδη. すでに G2235

あなたがたは、刈入れ時が来るまでには、まだ四か月あると、言っているではないか。しかし、わたしはあなたがたに言う。目をあげて畑を見なさい。はや色づいて刈入れを待っている。

36 ὁ その G3588 θερίζων 刈り-取る-者は G2325 μισθὸν, 報酬を G3408 λαμβάνει 受ける G2983 καὶ そして G2532 συνάγει 集める G4863 καρπὸν 実を G2590 εἰς ために G1519 ζωὴν 永遠の-いのちの G2222

αἰώνιον, 永遠の G0166 ἵνα そうすれば G2443 ὁ その G3588 σπείρων 蒔く-者も G4687 ὁμοῦ 共に G3674 χαίρῃ, 喜ぶ G5463 καὶ そして G2532 ὁ その G3588 θερίζων. 刈り取る-者も G2325

刈る者は報酬を受けて、永遠の命に至る実を集めている。まく者も刈る者も、共々に喜ぶためである。

37 ἐν この-中で G1722 γὰρ なぜなら G1063 τούτῳ この中で G3778 ὁ その G3588 λόγος 言葉は G3056 ἐστὶν である G1510 ἀληθινὸς, まことの G0228 ὅτι すなわち G3754 ἄλλος 別の-者が G0243 ἐστὶν である G1510

ὁ その G3588 σπείρων, 蒔く者は G4687 καὶ そして G2532 ἄλλος 別の-者が G0243 ὁ その G3588 θερίζων. 刈り取る者は G2325

そこで、『ひとりがまき、ひとりが刈る』ということわざが、ほんとうのこととなる。

38 ἐγὼ ἀπέστειλα ὑμᾶς θερίζειν ὃ οὐχ ὑμεῖς
私は 遣わした あなたがたを 刈り取る–ために それを あなたがたが あなたがたが
G1473 G0649 G4771 G2325 G3739 G3756 G4771

κεκοπιάκατε; ἄλλοι κεκοπιάκασιν, καὶ ὑμεῖς εἰς τὸν
労苦したのでは–ない–ものを 別の–人々が 労苦した そして あなたがたは の–中に その
G2872 G0243 G2872 G2532 G4771 G1519 G3588

κόπον αὐτῶν εἰσεληλύθατε.
労苦の–実りの–中に その–人々の 入った
G2873 G0846 G1525

わたしは、あなたがたをつかわして、あなたがたがそのために労苦しなかったものを刈りとらせた。ほかの人々が労苦し、あなたがたは、彼らの労苦の実にあずかっているのである」。

39 Ἐκ δὲ τῆς πόλεως ἐκείνης, πολλοὶ ἐπίστευσαν εἰς αὐτὸν τῶν
その さて その 町の その 多くの 信じた この–方を この方を の–中から
G1537 G1161 G3588 G4172 G1565 G4183 G4100 G1519 G0846 G3588

Σαμαριτῶν, διὰ τὸν λόγον τῆς γυναικὸς μαρτυρούσης ὅτι, Εἶπέν
サマリヤ人の その その 言葉の–ゆえに その 女の 証しした こう 私に–言った
G4541 G1223 G3588 G3056 G3588 G1135 G3140 G3754 G3004

μοι πάντα ἃ ἐποίησα.
私に すべての–ことを 私が–した したことを
G1473 G3956 G3739 G4160

さて、この町からきた多くのサマリヤ人は、「この人は、わたしのしたことを何もかも言いあてた」とあかしした女の言葉によって、イエスを信じた。

40 ὡς οὖν ἦλθον πρὸς αὐτὸν οἱ Σαμαρῖται, ἠρώτων αὐτὸν
さて そこで 来た のもとに イエスの その サマリヤ人たちは 頼んだ イエスに
G5613 G3767 G2064 G4314 G0846 G3588 G4541 G2065 G0846

μεῖναι παρ’ αὐτοῖς, καὶ ἔμεινεν ἐκεῖ δύο ἡμέρας.
泊まる–ように 共に 自分たちと そして 泊まった そこに 二日間 二日間
G3306 G3844 G0846 G2532 G3306 G1563 G1417 G2250

そこで、サマリヤ人たちはイエスのもとにきて、自分たちのところに滞在していただきたいと願ったので、イエスはそこにふつか滞在された。

41 καὶ πολλῷ πλείους ἐπίστευσαν, διὰ τὸν λόγον αὐτοῦ;
そして はるかに–多くの 多くの–人が 信じた のために その 言葉の この–方の
G2532 G4183 G4119 G4100 G1223 G3588 G3056 G0846

そしてなお多くの人々が、イエスの言葉を聞いて信じた。

42 τῇ τε γυναικὶ ἔλεγον, ὅτι Οὐκέτι διὰ τὴν σὴν λαλιὰν
そして そして 女に 言った もはや もはや のために あなたの あなたの 話の–ために
G3588 G5037 G1135 G3004 G3754 G3765 G1223 G3588 G4674 G2981

πιστεύομεν; αὐτοὶ γὰρ ἀκηκόαμεν, καὶ οἴδαμεν ὅτι οὗτός
信じるのでは–ない 私たち–自身が なぜなら 聞いた そして 知って–いる ことを この–方こそ
G4100 G0846 G1063 G0191 G2532 G1492 G3754 G3778

ἐστιν ἀληθῶς ὁ Σωτὴρ τοῦ κόσμου,
であると まことに その 世の–救い主 その 世の
G1510 G0230 G3588 G4990 G3588 G2889

彼らは女に言った、「わたしたちが信じるのは、もうあなたが話してくれたからではない。自分自身で親しく聞いて、この人こそまことに世の救主であることが、わかったからである」。

43

Μετὰ	δὲ	τὰς	δύο	ἡμέρας,	ἐξῆλθεν	ἐκεῖθεν,	εἰς	τὴν	Γαλιλαίαν;
その-後	さて	その	二日-後	二日後	出発した	そこから	に	その	ガリラヤへ
G3326	G1161	G3588	G1417	G2250	G1831	G1564	G1519	G3588	G1056

ふつかの後に、イエスはここを去ってガリラヤへ行かれた。

44

αὐτὸς	γὰρ	Ἰησοῦς	ἐμαρτύρησεν,	ὅτι	προφήτης	ἐν	τῇ	ἰδίᾳ
ご自身で	なぜなら	イエスは	証しした	ことを	預言者は	自分の	その	自分の
G0846	G1063	G2424	G3140	G3754	G4396	G1722	G3588	G2398

πατρίδι,	τιμὴν	οὐκ	ἔχει.
故郷では	尊敬を	受けないと	受けない
G3968	G5092	G3756	G2192

イエスはみずからはっきり、「預言者は自分の故郷では敬われないものだ」と言われたのである。

45

ὅτε	οὖν	ἦλθεν	εἰς	τὴν	Γαλιλαίαν,	ἐδέξαντο	αὐτὸν	οἱ
そこで	そこで	来た	に	その	ガリラヤに	迎えた	この-方を	その
G3753	G3767	G2064	G1519	G3588	G1056	G1209	G0846	G3588

Γαλιλαῖοι,	πάντα	ἑωρακότες	ὅσα	ἐποίησεν	ἐν	Ἱεροσολύμοις,	ἐν
ガリラヤの-人々は	すべての-ことを	見た-ので	すべて	した-ことを	で	エルサレムで	で
G1057	G3956	G3708	G3745	G4160	G1722	G2414	G1722

τῇ	ἑορτῇ;	καὶ	αὐτοὶ	γὰρ	ἦλθον	εἰς	τὴν	ἑορτήν.
その	祭りの-時に	そして	自分たちも	なぜなら	来たので	に	その	祭りに
G3588	G1859	G2532	G0846	G1063	G2064	G1519	G3588	G1859

ガリラヤに着かれると、ガリラヤの人たちはイエスを歓迎した。それは、彼らも祭に行っていたので、その祭の時、イエスがエルサレムでなされたことをことごとく見ていたからである。

46

Ἦλθεν	οὖν	πάλιν	εἰς	τὴν	Κανὰ	τῆς	Γαλιλαίας,	ὅπου	ἐποίησεν	τὸ
来た	そこで	再び	に	その	カナ	その	ガリラヤの	そこで	変えた	その
G2064	G3767	G3825	G1519	G3588	G2580	G3588	G1056	G3699	G4160	G3588

ὕδωρ	οἶνον.	Καὶ	ἦν	τις	βασιλικὸς,	οὗ	ὁ	υἱὸς	ἠσθένει
水を	ぶどう酒に	さて	いた	ある	王の-役人が	その-人の	その	息子が	病気で-あった
G5204	G3631	G2532	G1510	G5100	G0937	G3739	G3588	G5207	G0770

ἐν	Καφαρναούμ.
で	カファルナウムで
G1722	G2584

イエスは、またガリラヤのカナに行かれた。そこは、かつて水をぶどう酒にかえられた所である。ところが、病気をしているむすこを持つある役人がカペナウムにいた。

47

οὗτος	ἀκούσας	ὅτι	Ἰησοῦς	ἥκει	ἐκ	τῆς	Ἰουδαίας	εἰς	τὴν
この-人は	聞いて	ことを	イエスが	来たと	から	その	ユダヤから	に	その
G3778	G0191	G3754	G2424	G2240	G1537	G3588	G2449	G1519	G3588

Γαλιλαίαν,	ἀπῆλθεν	πρὸς	αὐτὸν,	καὶ	ἠρώτα	ἵνα	καταβῇ,	καὶ
ガリラヤに	出かけた	のもとに	イエスの	そして	頼んだ	ために	下って-きて	そして
G1056	G0565	G4314	G0846	G2532	G2065	G2443	G2597	G2532

ἰάσηται	αὐτοῦ	τὸν	υἱόν;	ἤμελλεν	γὰρ	ἀποθνήσκειν.
癒して-くださいと	自分の	その	息子を	死ぬ-ところで-あった	なぜなら	死ぬところであった
G2390	G0846	G3588	G5207	G3195	G1063	G0599

この人が、ユダヤからガリラヤにイエスのきておられることを聞き、みもとにきて、カペナウムに下って、彼の子をなおしていただきたいと、願った。その子が死にかかっていたからである。

48	εἶπεν	οὖν	ὁ	Ἰησοῦς	πρὸς	αὐτόν,	Ἐὰν	μὴ	σημεῖα	καὶ	τέρατα
	言った	そこで	その	イエスは	彼に	彼に	もし	でなければ	しるしと	そして	不思議を
	G3004	G3767	G3588	G2424	G4314	G0846	G1437	G3361	G4592	G2532	G5059

ἴδητε,	οὐ	μὴ	πιστεύσητε.
見なければ	決して	決して	信じない-だろう
G3708	G3756	G3361	G4100

そこで、イエスは彼に言われた、「あなたがたは、しるしと奇跡とを見ない限り、決して信じないだろう」。

49	λέγει	πρὸς	αὐτὸν	ὁ	βασιλικός,	Κύριε,	κατάβηθι	πρὶν	ἀποθανεῖν
	言った	イエスに	イエスに	その	役人は	主よ	下って-きて-ください	前に	死ぬ
	G3004	G4314	G0846	G3588	G0937	G2962	G2597	G4250	G0599

τὸ	παιδίον	μου.
私の	子どもが	私の
G3588	G3813	G1473

この役人はイエスに言った、「主よ、どうぞ、子供が死なないうちにきて下さい」。

50	λέγει	αὐτῷ	ὁ	Ἰησοῦς,	Πορεύου,	ὁ	υἱός	σου	ζῇ.			
	言った	彼に	その	イエスは	行きなさい	あなたの	息子は	あなたの	生きて-いる			
	G3004	G0846	G3588	G2424	G4198	G3588	G5207	G4771	G2198			

ἐπίστευσεν	ὁ	ἄνθρωπος	τῷ	λόγῳ	ὃν	εἶπεν	αὐτῷ	ὁ	Ἰησοῦς,	καὶ
信じた	その	人は	その	言葉を	その	言った	自分に	その	イエスが	そして
G4100	G3588	G0444	G3588	G3056	G3739	G3004	G0846	G3588	G2424	G2532

ἐπορεύετο.
出かけた
G4198

イエスは彼に言われた、「お帰りなさい。あなたのむすこは助かるのだ」。彼は自分に言われたイエスの言葉を信じて帰って行った。

51	ἤδη	δὲ	αὐτοῦ	καταβαίνοντος,	οἱ	δοῦλοι	‹αὐτοῦ›	ὑπήντησαν	αὐτῷ,
	すでに	さて	この-方が	下って-いる-ときに	その	僕たちが	その-方の	出迎えた	彼に
	G2235	G1161	G0846	G2597	G3588	G1401	G0846	G5221	G0846

λέγοντες,	ὅτι	ὁ	παῖς	αὐτοῦ	ζῇ.
言って	ことを	その	子どもは	その-方の	生きて-いると
G3004	G3754	G3588	G3816	G0846	G2198

その下って行く途中、僕たちが彼に出会い、その子が助かったことを告げた。

52	ἐπύθετο	οὖν	τὴν	ὥραν	παρ’	αὐτῶν,	ἐν	ᾗ	κομψότερον	ἔσχεν.
	尋ねた	そこで	その	時刻を	から	彼らから	その	その	良く-なった	良くなった
	G4441	G3767	G3588	G5610	G3844	G0846	G1722	G3739	G2866	G2192

εἶπαν	οὖν	αὐτῷ	ὅτι,	Ἐχθὲς	ὥραν	ἑβδόμην,	ἀφῆκεν	αὐτὸν	ὁ
言った	そこで	彼に	こう	昨日の	第七-時に	第七時に	去った	その-子から	その
G3004	G3767	G0846	G3754	G5504	G5610	G1442	G0863	G0846	G3588

πυρετός.
熱が
G4446

そこで、彼は僕たちに、そのなおりはじめた時刻を尋ねてみたら、「きのうの午後一時に熱が引きました」と答えた。

53 ἔγνω 知った G1097 οὖν そこで G3767 ὁ その G3588 πατὴρ 父は G3962 ὅτι ことを G3754 [ἐν] その G1722 ἐκείνῃ その G1565 τῇ その G3588 ὥρᾳ 時刻に G5610 ἐν その G1722 ᾗ その G3739 εἶπεν 言った G3004 αὐτῷ 自分に G0846 ὁ その G3588 Ἰησοῦς, イエスが G2424 Ὁ あなたの G3588 υἱός 息子は G5207 σου あなたの G4771 ζῇ. 生きて-いると G2198 καὶ そこで G2532 ἐπίστευσεν 信じた G4100 αὐτὸς, 自分も G0846 καὶ そして G2532 ἡ その G3588 οἰκία 家族も G3614 αὐτοῦ その-人の G0846 ὅλη. みな G3650

それは、イエスが「あなたのむすこは助かるのだ」と言われたのと同じ時刻であったことを、この父は知って、彼自身もその家族一同も信じた。

54 Τοῦτο これは G3778 δὲ さて G1161 πάλιν 再び G3825 δεύτερον 二番目の G1208 σημεῖον しるしで G4592 ἐποίησεν 行った G4160 ὁ その G3588 Ἰησοῦς, イエスが G2424 ἐλθὼν 来て G2064 ἐκ から G1537 τῆς その G3588 Ἰουδαίας ユダヤから G2449 εἰς に G1519 τὴν その G3588 Γαλιλαίαν. ガリラヤに G1056

これは、イエスがユダヤからガリラヤにきてなされた第二のしるしである。

Chapter 5

1 Μετὰ その-後 G3326 ταῦτα これらの後 G3778 ἦν あった G1510 ἑορτὴ 祭りが G1859 τῶν その G3588 Ἰουδαίων, ユダヤ人の G2453 καὶ そして G2532 ἀνέβη 上った G0305 Ἰησοῦς イエスは G2424 εἰς に G1519 Ἱεροσόλυμα. エルサレムに G2414

こののち、ユダヤ人の祭があったので、イエスはエルサレムに上られた。

2 Ἔστιν ある G1510 δὲ さて G1161 ἐν に G1722 τοῖς その G3588 Ἱεροσολύμοις エルサレムに G2414 ἐπὶ そばの G1909 τῇ その G3588 προβατικῇ 羊の-門の G4262 κολυμβήθρα, 池が G2861 ἡ それは G3588 ἐπιλεγομένη 呼ばれる G1951 Ἑβραϊστὶ ヘブライ語で G1447 Βηθζαθά, ベテスダと G0964 πέντε 五つの G4002 στοὰς 回廊を G4745 ἔχουσα. 持って-いる G2192

エルサレムにある羊の門のそばに、ヘブル語でベテスダと呼ばれる池があった。そこには五つの廊があった。

3 ἐν その-中に G1722 ταύταις それらの中に G3778 κατέκειτο 横たわって-いた G2621 πλῆθος 大勢の G4128 τῶν その G3588 ἀσθενούντων, 病人が G0770 τυφλῶν, 盲人 G5185 χωλῶν, 足の-不自由な-者 G5560 ξηρῶν, 体の-不自由な-者 G3584 ἐκδεχομένων 待って-いた G1551 τὴν その G3588 τοῦ その G3588 ὕδατος 水の G5204 κίνησιν. 動きを G2796

その廊の中には、病人、盲人、足なえ、やせ衰えた者などが、大ぜいからだを横たえていた。〔彼らは水の動くのを待っていたのである。

4 ἄγγελος γὰρ κατὰ καιρὸν κατέβαινεν ἐν τῇ κολυμβήθρᾳ, καὶ
御使いが なぜなら 時々 時々 降って-きた に その 池に そして
G0032 G1063 G2596 G2540 G2597 G1722 G3588 G2861 G2532

ἐτάρασσε τὸ ὕδωρ. ὁ οὖν πρῶτος ἐμβὰς μετὰ τὴν ταραχὴν
かき-乱した その 水を そこで そこで 最初に 入った-者は の-後に その かき乱れの
G5015 G3588 G5204 G3588 G3767 G4413 G1684 G3326 G3588 G5016

τοῦ ὕδατος, ὑγιὴς ἐγίνετο, ᾧ δήποτε κατείχετο νοσήματι.
その 水の 健康に なった どのような どのような かかって-いた 病にも
G3588 G5204 G5199 G1096 G3739 G1221 G2722 G3553

それは、時々、主の御使がこの池に降りてきて水を動かすことがあるが、水が動いた時まっ先にはいる者は、どんな病気にかかっていても、いやされたからである。〕

5 ἦν δέ τις ἄνθρωπος ἐκεῖ, τριάκοντα καὶ ὀκτὼ ἔτη ἔχων ἐν
いた さて ある 人が そこに 三十八 と 八 年も 持って-いた の-中に
G1510 G1161 G5100 G0444 G1563 G5144 G2532 G3638 G2094 G2192 G1722

τῇ ἀσθενείᾳ αὐτοῦ.
その 病の 自分の
G3588 G0769 G0846

さて、そこに三十八年のあいだ、病気に悩んでいる人があった。

6 τοῦτον ἰδὼν ὁ Ἰησοῦς κατακείμενον, καὶ γνοὺς ὅτι πολὺν ἤδη
この-人を 見て その イエスは 横たわって-いるのを そして 知って ことを 長い すでに
G3778 G3708 G3588 G2424 G2621 G2532 G1097 G3754 G4183 G2235

χρόνον ἔχει, λέγει αὐτῷ, Θέλεις ὑγιὴς γενέσθαι?
時を 過ごして-いると 言った 彼に 健康に-なりたいか 健康に なりたいか
G5550 G2192 G3004 G0846 G2309 G5199 G1096

イエスはその人が横になっているのを見、また長い間わずらっていたのを知って、その人に「なおりたいのか」と言われた。

7 ἀπεκρίθη αὐτῷ ὁ ἀσθενῶν, Κύριε, ἄνθρωπον οὐκ ἔχω, ἵνα
答えた イエスに その 病人は 主よ 人が いないのです いない ために
G0611 G0846 G3588 G0770 G2962 G0444 G3756 G2192 G2443

ὅταν ταραχθῇ τὸ ὕδωρ, βάλῃ με εἰς τὴν κολυμβήθραν;
その-時に かき乱れた その 水が 入れて-くれる 私を に その 池に
G3752 G5015 G3588 G5204 G0906 G1473 G1519 G3588 G2861

ἐν ᾧ δὲ ἔρχομαι ἐγὼ, ἄλλος πρὸ ἐμοῦ καταβαίνει.
その-間に その間に しかし 行く-と 私が 別の-人が 先に 私より 入る
G1722 G3739 G1161 G2064 G1473 G0243 G4253 G1473 G2597

この病人はイエスに答えた、「主よ、水が動く時に、わたしを池の中に入れてくれる人がいません。わたしがはいりかけると、ほかの人が先に降りて行くのです」。

8 λέγει αὐτῷ ὁ Ἰησοῦς, Ἔγειρε, ἆρον τὸν κράβαττόν σου, καὶ
言った 彼に その イエスは 起きなさい 取りなさい あなたの 床を あなたの そして
G3004 G0846 G3588 G2424 G1453 G0142 G3588 G2895 G4771 G2532

περιπάτει.
歩きなさい
G4043

イエスは彼に言われた、「起きて、あなたの床を取りあげ、そして歩きなさい」。

9 καὶ εὐθέως ἐγένετο ὑγιὴς ὁ ἄνθρωπος, καὶ ἦρεν τὸν
すると たちまち 健康に-なった 健康に その 人は そして 取り-上げた 自分の
G2532 G2112 G1096 G5199 G3588 G0444 G2532 G0142 G3588

κράβαττον αὐτοῦ, καὶ περιεπάτει; Ἦν δὲ σάββατον ἐν ἐκείνῃ τῇ
床を 自分の そして 歩いた あった さて 安息日が であった その その
G2895 G0846 G2532 G4043 G1510 G1161 G4521 G1722 G1565 G3588

ἡμέρᾳ.
日は
G2250

すると、この人はすぐにいやされ、床をとりあげて歩いて行った。その日は安息日であった。

10 ἔλεγον οὖν οἱ Ἰουδαῖοι τῷ τεθεραπευμένῳ, Σάββατόν ἐστιν, καὶ
言った そこで その ユダヤ人たちは その 癒された-人に 安息日で ある そして
G3004 G3767 G3588 G2453 G3588 G2323 G4521 G1510 G2532

οὐκ ἔξεστίν σοι ἆραι τὸν κράβαττον [σου].
許されて-いない 許されていない あなたに 担ぐ-ことは その 床を あなたの
G3756 G1832 G4771 G0142 G3588 G2895 G4771

そこでユダヤ人たちは、そのいやされた人に言った、「きょうは安息日だ。床を取りあげるのは、よろしくない」。

11 ὃς δὲ ἀπεκρίθη αὐτοῖς, Ὁ ποιήσας με ὑγιῆ, ἐκεῖνός μοι
しかし しかし 答えた 彼らに 私を 健康に-した 私を 健康にした その-方が 私に
G3739 G1161 G0611 G0846 G3588 G4160 G1473 G5199 G1565 G1473

εἶπεν, Ἆρον τὸν κράβαττόν σου καὶ περιπάτει.
言った 取りなさい あなたの 床を あなたの そして 歩きなさいと
G3004 G0142 G3588 G2895 G4771 G2532 G4043

彼は答えた、「わたしをなおして下さったかたが、床を取りあげて歩けと、わたしに言われました」。

12 ἠρώτησαν ‹οὖν› αὐτόν, Τίς ἐστιν ὁ ἄνθρωπος ὁ εἰπών σοι,
尋ねた そこで 彼に 誰が であるか その 人は その 言った あなたに
G2065 G3767 G0846 G5101 G1510 G3588 G0444 G3588 G3004 G4771

Ἆρον καὶ περιπάτει?
取りなさい そして 歩きなさいと
G0142 G2532 G4043

彼らは尋ねた、「取りあげて歩けと言った人は、だれか」。

13 ὁ δὲ ἰαθεὶς οὐκ ᾔδει τίς ἐστιν, ὁ
しかし しかし 癒された-人は 知らなかった 知らなかった 誰で-あるか であるか なぜなら
G3588 G1161 G2390 G3756 G1492 G5101 G1510 G3588

γὰρ Ἰησοῦς ἐξένευσεν, ὄχλου ὄντος ἐν τῷ τόπῳ.
なぜなら イエスは 立ち-去って-いた 群衆が いたので その その 場所に
G1063 G2424 G1593 G3793 G1510 G1722 G3588 G5117

しかし、このいやされた人は、それがだれであるか知らなかった。群衆がその場にいたので、イエスはそっと出て行かれたからである。

14 Μετὰ ταῦτα εὑρίσκει αὐτὸν ὁ Ἰησοῦς ἐν τῷ ἱερῷ, καὶ εἶπεν
その-後 この後 見つけた 彼を その イエスは の-中で その 神殿の中で そして 言った
G3326 G3778 G2147 G0846 G3588 G2424 G1722 G3588 G2411 G2532 G3004

αὐτῷ, Ἴδε, ὑγιὴς γέγονας; μηκέτι ἁμάρτανε, ἵνα μὴ χεῖρόν
彼に 見よ 健康に なった もう 罪を-犯すな そうしなければ もっと 悪い-ことが
G0846 G3708 G5199 G1096 G3371 G0264 G2443 G3361 G5501

σοί τι γένηται.
あなたに 何か 起こる
G4771 G5100 G1096

そののち、イエスは宮でその人に出会ったので、彼に言われた、「ごらん、あなたはよくなった。もう罪を犯してはいけない。何かもっと悪いことが、あなたの身に起るかも知れないから」。

15 ἀπῆλθεν ὁ ἄνθρωπος, καὶ ἀνήγγειλεν τοῖς Ἰουδαίοις, ὅτι Ἰησοῦς
行った その 人は そして 知らせた その ユダヤ人たちに ことを イエスこそが
G0565 G3588 G0444 G2532 G0312 G3588 G2453 G3754 G2424

ἐστιν ὁ ποιήσας αὐτὸν ὑγιῆ.
であると その 健康に-した-方で 自分を 健康にした
G1510 G3588 G4160 G0846 G5199

彼は出て行って、自分をいやしたのはイエスであったと、ユダヤ人たちに告げた。

16 καὶ διὰ τοῦτο, ἐδίωκον οἱ Ἰουδαῖοι τὸν Ἰησοῦν, ὅτι
そして この-ために このために 追害した その ユダヤ人たちは その イエスを なぜなら
G2532 G1223 G3778 G1377 G3588 G2453 G3588 G2424 G3754

ταῦτα ἐποίει ἐν σαββάτῳ.
このような-ことを 行った に 安息日に
G3778 G4160 G1722 G4521

そのためユダヤ人たちは、安息日にこのようなことをしたと言って、イエスを責めた。

17 ὁ δὲ [Ἰησοῦς] ἀπεκρίνατο αὐτοῖς, Ὁ Πατήρ μου, ἕως ἄρτι
しかし しかし イエスは 答えた 彼らに 私の 父は 私の 今まで 今まで
G3588 G1161 G2424 G0611 G0846 G3588 G3962 G1473 G2193 G0737

ἐργάζεται, κἀγὼ ἐργάζομαι.
働いて-おられる 私も 働いて-いる
G2038 G2504 G2038

そこで、イエスは彼らに答えられた、「わたしの父は今に至るまで働いておられる。わたしも働くのである」。

18 διὰ τοῦτο οὖν, μᾶλλον ἐζήτουν αὐτὸν οἱ Ἰουδαῖοι
この-ために このために そこで いっそう 求めた イエスを その ユダヤ人たちは
G1223 G3778 G3767 G3123 G2212 G0846 G3588 G2453

ἀποκτεῖναι, ὅτι οὐ μόνον ἔλυεν τὸ σάββατον, ἀλλὰ
殺そうと なぜなら 破った-だけでなく だけでなく 破った その 安息日を それどころか
G0615 G3754 G3756 G3440 G3089 G3588 G4521 G0235

καὶ Πατέρα ἴδιον ἔλεγεν τὸν Θεόν, ἴσον ἑαυτὸν ποιῶν τῷ Θεῷ.
も 父と 自分の 呼んだ その 神を 等しく 自分を して-いた その 神と
G2532 G3962 G2398 G3004 G3588 G2316 G2470 G1438 G4160 G3588 G2316

このためにユダヤ人たちは、ますますイエスを殺そうと計るようになった。それは、イエスが安息日を破られたばかりではなく、神を自分の父と呼んで、自分を神と等しいものとされたからである。

19 Ἀπεκρίνατο οὖν ὁ Ἰησοῦς καὶ ἔλεγεν αὐτοῖς, Ἀμὴν ἀμὴν λέγω
答えた そこで その イエスは そして 言った 彼らに まことに まことに 言う
G0611 G3767 G3588 G2424 G2532 G3004 G0846 G0281 G0281 G3004

ὑμῖν, οὐ δύναται ὁ Υἱὸς ποιεῖν ἀφ’ ἑαυτοῦ οὐδὲν, ἐὰν
あなたがたに できない できない その 御子は 行う–ことが から 自分から 何も もし
G4771 G3756 G1410 G3588 G5207 G4160 G0575 G1438 G3762 G1437

μή τι βλέπῃ τὸν Πατέρα ποιοῦντα; ἃ γὰρ ἂν
でなければ 何かを 見なければ その 父が 行って–おられるのを その なぜなら もし
G3361 G5100 G0991 G3588 G3962 G4160 G3739 G1063 G0302

ἐκεῖνος ποιῇ, ταῦτα καὶ ὁ Υἱὸς ὁμοίως ποιεῖ.
父が 行う–ならば それを もまた その 御子も 同じように 行う
G1565 G4160 G3778 G2532 G3588 G5207 G3668 G4160

さて、イエスは彼らに答えて言われた、「よくよくあなたがたに言っておく。子は父のなさることを見てする以外に、自分からは何事もすることができない。父のなさることであればすべて、子もそのとおりにするのである。

20 ὁ γὰρ Πατὴρ φιλεῖ τὸν Υἱὸν, καὶ πάντα δείκνυσιν
なぜなら なぜなら 父は 愛して–おられる その 御子を そして すべてを 見せる
G3588 G1063 G3962 G5368 G3588 G5207 G2532 G3956 G1166

αὐτῷ ἃ αὐτὸς ποιεῖ; καὶ μείζονα τούτων δείξει
この–方に ご自分が ご自分が 行う–ことを そして もっと–大きな これらよりも 見せる–であろう
G0846 G3739 G0846 G4160 G2532 G3173 G3778 G1166

αὐτῷ ἔργα, ἵνα ὑμεῖς θαυμάζητε.
この–方に わざを あなたがたが あなたがたが 驚く–ように
G0846 G2041 G2443 G4771 G2296

なぜなら、父は子を愛して、みずからなさることは、すべて子にお示しになるからである。そして、それよりもなお大きなわざを、お示しになるであろう。あなたがたが、それによって不思議に思うためである。

21 ὥσπερ γὰρ ὁ Πατὴρ ἐγείρει τοὺς νεκροὺς καὶ ζωοποιεῖ,
ちょうど なぜなら その 父が よみがえらせる その 死人を そして 生かす–ように
G5618 G1063 G3588 G3962 G1453 G3588 G3498 G2532 G2227

οὕτως καὶ ὁ Υἱὸς οὓς θέλει, ζωοποιεῖ;
そのように もまた その 御子も 望む–者を 望む 生かす
G3779 G2532 G3588 G5207 G3739 G2309 G2227

すなわち、父が死人を起して命をお与えになるように、子もまた、そのこころにかなう人々に命を与えるであろう。

22 οὐδὲ γὰρ ὁ Πατὴρ κρίνει οὐδένα, ἀλλὰ τὴν κρίσιν πᾶσαν
実に なぜなら その 父は 裁かない 誰をも そうではなく その 裁きを すべての
G3761 G1063 G3588 G3962 G2919 G3762 G0235 G3588 G2920 G3956

δέδωκεν τῷ Υἱῷ,
与えた その 御子に
G1325 G3588 G5207

父はだれをもさばかない。さばきのことはすべて、子にゆだねられたからである。

23 ἵνα すべての–人が G2443 πάντες すべての人が G3956 τιμῶσι 敬う–ために G5091 τὸν その G3588 Υἱὸν, 御子を G5207 καθὼς ちょうど G2531 τιμῶσι 敬う–ように G5091 τὸν その G3588 Πατέρα. 父を G3962

ὁ その G3588 μὴ 敬わない–者は G3361 τιμῶν 敬わない G5091 τὸν その G3588 Υἱὸν, 御子を G5207 οὐ 敬わない G3756 τιμᾷ 敬わない G5091 τὸν その G3588 Πατέρα, 父を G3962 τὸν その G3588

πέμψαντα 遣わした G3992 αὐτόν. この–方を G0846

それは、すべての人が父を敬うと同様に、子を敬うためである。子を敬わない者は、子をつかわされた父をも敬わない。

24 ἀμὴν, まことに G0281 ἀμὴν まことに G0281 λέγω 言う G3004 ὑμῖν, あなたがたに G4771 ὅτι ことを G3754 ὁ その G3588 τὸν 私の G3588 λόγον 言葉を G3056 μου 私の G1473 ἀκούων, 聞いて G0191 καὶ そして G2532

πιστεύων 信じる–者は G4100 τῷ 遣わした–方を G3588 πέμψαντί 遣わした方を G3992 με, 私を G1473 ἔχει 持つ G2192 ζωὴν 永遠の–いのちを G2222 αἰώνιον, 永遠の G0166 καὶ そして G2532 εἰς 裁きに G1519

κρίσιν 裁きに G2920 οὐκ 入らない G3756 ἔρχεται, 入らない G2064 ἀλλὰ かえって G0235 μεταβέβηκεν 移った G3327 ἐκ から G1537 τοῦ その G3588 θανάτου 死から G2288 εἰς に G1519 τὴν その G3588

ζωήν. いのちに G2222

よくよくあなたがたに言っておく。わたしの言葉を聞いて、わたしをつかわされたかたを信じる者は、永遠の命を受け、またさばかれることがなく、死から命に移っているのである。

25 ἀμὴν まことに G0281 ἀμὴν まことに G0281 λέγω 言う G3004 ὑμῖν, あなたがたに G4771 ὅτι 時が–来る G3754 ἔρχεται 来る G2064 ὥρα, 時が G5610 καὶ そして G2532 νῦν 今 G3568 ἐστιν, である G1510

ὅτε その–時 G3753 οἱ その G3588 νεκροὶ 死んだ–者が G3498 ἀκούσουσιν 聞く–であろう G0191 τῆς その G3588 φωνῆς 声を G5456 τοῦ その G3588 Υἱοῦ 御子の G5207 τοῦ その G3588 Θεοῦ, 神の G2316 καὶ そして G2532

οἱ その G3588 ἀκούσαντες 聞いた–者は G0191 ζήσουσιν. 生きる–であろう G2198

よくよくあなたがたに言っておく。死んだ人たちが、神の子の声を聞く時が来る。今すでにきている。そして聞く人は生きるであろう。

26 ὥσπερ ちょうど G5618 γὰρ なぜなら G1063 ὁ その G3588 Πατὴρ 父が G3962 ἔχει 持って–おられる–ように G2192 ζωὴν いのちを G2222 ἐν ご自身の–中に G1722 ἑαυτῷ, ご自身の中に G1438

οὕτως そのように G3779 καὶ また G2532 τῷ その G3588 Υἱῷ 御子にも G5207 ἔδωκεν 与えた G1325 ζωὴν, いのちを G2222 ἔχειν 持つ–ことを G2192 ἐν ご自身の–中に G1722 ἑαυτῷ, ご自身の中に G1438

それは、父がご自分のうちに生命をお持ちになっていると同様に、子にもまた、自分のうちに生命を持つことをお許しになったからである。

27 καὶ そして G2532 ἐξουσίαν 権威を G1849 ἔδωκεν 与えた G1325 αὐτῷ, この–方に G0846 κρίσιν 裁きを G2920 ποιεῖν, 行う G4160 ὅτι なぜなら G3754 Υἱὸς 人の–子で G5207 ἀνθρώπου 人の子で G0444

ἐστίν.
あるから
G1510

そして子は人の子であるから、子にさばきを行う権威をお与えになった。

28 μὴ 驚いては–ならない G3361 θαυμάζετε 驚いてはならない G2296 τοῦτο, この–ことを G3778 ὅτι なぜなら G3754 ἔρχεται 来る G2064 ὥρα, 時が G5610 ἐν その–時に G1722 ᾗ その時に G3739

πάντες すべての G3956 οἱ その G3588 ἐν の–中に–いる G1722 τοῖς その G3588 μνημείοις 墓の中にいる–者が G3419 ἀκούσουσιν 聞く–であろう G0191 τῆς その G3588 φωνῆς 声を G5456 αὐτοῦ, この–方の G0846

このことを驚くには及ばない。墓の中にいる者たちがみな神の子の声を聞き、

29 καὶ そして G2532 ἐκπορεύσονται, 出て–くる–であろう G1607 οἱ その G3588 τὰ よい–ことを G3588 ἀγαθὰ よいことを G0018 ποιήσαντες, 行った–者は G4160 εἰς いのちの G1519 ἀνάστασιν 復活に G0386

ζωῆς; いのちの G2222 οἱ しかし G3588 ‹δὲ› しかし G1161 τὰ 悪い–ことを G3588 φαῦλα 悪いことを G5337 πράξαντες, 行った–者は G4238 εἰς 裁きの G1519 ἀνάστασιν 復活に G0386 κρίσεως. 裁きの G2920

善をおこなった人々は、生命を受けるためによみがえり、悪をおこなった人々は、さばきを受けるためによみがえって、それぞれ出てくる時が来るであろう。

30 Οὐ できない G3756 δύναμαι できない G1410 ἐγὼ 私は G1473 ποιεῖν 行う–ことが G4160 ἀπ’ から G0575 ἐμαυτοῦ 自分から G1683 οὐδέν; 何も G3762 καθὼς 聞いた–とおりに G2531

ἀκούω, 聞いたとおりに G0191 κρίνω; 裁く G2919 καὶ そして G2532 ἡ 私の G3588 κρίσις 裁きは G2920 ἡ 私の G3588 ἐμὴ 私の G1699 δικαία 正しい G1342 ἐστίν, である G1510 ὅτι なぜなら G3754 οὐ 求めない G3756

ζητῶ 求めない G2212 τὸ その G3588 θέλημα 心を G2307 τὸ その G3588 ἐμὸν, 私の G1699 ἀλλὰ そうではなく G0235 τὸ その G3588 θέλημα 心を G2307 τοῦ 遣わした–方の G3588 πέμψαντός 遣わした方の G3992

με.
私を
G1473

わたしは、自分からは何事もすることができない。ただ聞くままにさばくのである。そして、わたしのこのさばきは正しい。それは、わたし自身の考えでするのではなく、わたしをつかわされたかたの、み旨を求めているからである。

31 Ἐὰν もし G1437 ἐγὼ 私が G1473 μαρτυρῶ 証しする–なら G3140 περὶ ついて G4012 ἐμαυτοῦ, 自分について G1683 ἡ 私の G3588 μαρτυρία 証しは G3141 μου 私の G1473 οὐκ ではない G3756 ἔστιν ではない G1510

ἀληθής.
真実
G0227

もし、わたしが自分自身についてあかしをするならば、わたしのあかしはほんとうではない。

32 ἄλλος ἐστὶν ὁ μαρτυρῶν περὶ ἐμοῦ, καὶ οἶδα ὅτι
別の–方が いる その 証しする–方が ついて 私について そして 知って–いる ことを
G0243 G1510 G3588 G3140 G4012 G1473 G2532 G1492 G3754

ἀληθής ἐστιν ἡ μαρτυρία ἣν μαρτυρεῖ, περὶ ἐμοῦ.
真実で あると その 証しは その 証しする について 私について
G0227 G1510 G3588 G3141 G3739 G3140 G4012 G1473

わたしについてあかしをするかたはほかにあり、そして、その人がするあかしがほんとうであることを、わたしは知っている。

33 ὑμεῖς ἀπεστάλκατε πρὸς Ἰωάννην, καὶ μεμαρτύρηκεν τῇ ἀληθείᾳ.
あなたがたは 遣わした のもとに ヨハネの そして 証しした その 真理に
G4771 G0649 G4314 G2491 G2532 G3140 G3588 G0225

あなたがたはヨハネのもとへ人をつかわしたが、そのとき彼は真理についてあかしをした。

34 ἐγὼ δὲ οὐ παρὰ ἀνθρώπου τὴν μαρτυρίαν λαμβάνω, ἀλλὰ
私は しかし ではない から 人から その 証しを 受ける そうではなく
G1473 G1161 G3756 G3844 G0444 G3588 G3141 G2983 G0235

ταῦτα λέγω ἵνα ὑμεῖς σωθῆτε.
これらの–ことを 言う あなたがたが あなたがたが 救われる–ために
G3778 G3004 G2443 G4771 G4982

わたしは人からあかしを受けないが、このことを言うのは、あなたがたが救われるためである。

35 ἐκεῖνος ἦν ὁ λύχνος ὁ καιόμενος καὶ φαίνων; ὑμεῖς δὲ
あの–人は であった その ともしび その 燃えて そして 輝く あなたがたは しかし
G1565 G1510 G3588 G3088 G3588 G2545 G2532 G5316 G4771 G1161

ἠθελήσατε ἀγαλλιαθῆναι πρὸς ὥραν ἐν τῷ φωτὶ αὐτοῦ.
喜んだ 喜ぶ–ことを しばらく しばらくの間 の–中で その 光の中で その–人の
G2309 G0021 G4314 G5610 G1722 G3588 G5457 G0846

ヨハネは燃えて輝くあかりであった。あなたがたは、しばらくの間その光を喜び楽しもうとした。

36 ἐγὼ δὲ ἔχω τὴν μαρτυρίαν μείζω τοῦ Ἰωάννου. τὰ
私は しかし 持って–いる その 証しを もっと–大きな よりも ヨハネよりも その
G1473 G1161 G2192 G3588 G3141 G3173 G3588 G2491 G3588

γὰρ ἔργα ἃ δέδωκέν μοι ὁ Πατὴρ ἵνα τελειώσω
なぜなら わざを その 与えた 私に その 父が 成し–遂げる–ために 成し遂げるために
G1063 G2041 G3739 G1325 G1473 G3588 G3962 G2443 G5048

αὐτά, αὐτὰ τὰ ἔργα ἃ ποιῶ, μαρτυρεῖ περὶ ἐμοῦ, ὅτι
それらを それら その わざが 私が 行って–いる 証しして–いる について 私について ことを
G0846 G0846 G3588 G2041 G3739 G4160 G3140 G4012 G1473 G3754

ὁ Πατήρ με ἀπέσταλκεν.
その 父が 私を 遣わしたと
G3588 G3962 G1473 G0649

しかし、わたしには、ヨハネのあかしよりも、もっと力あるあかしがある。父がわたしに成就させようとしてお与えになったわざ、すなわち、今わたしがしているこのわざが、父のわたしをつかわされたことをあかししている。

37 καὶ ὁ πέμψας με, Πατὴρ ἐκεῖνος, μεμαρτύρηκεν περὶ ἐμοῦ.
そして その 遣わした 私を 父ご-自身が あの-方が 証しして-くださった について 私について
G2532 G3588 G3992 G1473 G3962 G1565 G3140 G4012 G1473

οὔτε φωνὴν αὐτοῦ πώποτε ἀκηκόατε, οὔτε εἶδος
聞いた-こともなく 声を その-方の 一度も 聞いたこともなく 見た-こともない 姿を
G3777 G5456 G0846 G4455 G0191 G3777 G1491

αὐτοῦ ἑωράκατε.
その-方の 見たこともない
G0846 G3708

また、わたしをつかわされた父も、ご自分でわたしについてあかしをされた。あなたがたは、まだそのみ声を聞いたこともなく、そのみ姿を見たこともない。

38 καὶ τὸν λόγον αὐτοῦ οὐκ ἔχετε ἐν ὑμῖν,
そして その 言葉を その-方の 持って-いない 持っていない の-中に あなたがたの中に
G2532 G3588 G3056 G0846 G3756 G2192 G1722 G4771

μένοντα ὅτι ὃν ἀπέστειλεν ἐκεῖνος, τούτῳ ὑμεῖς
とどまって-いる なぜなら その-方を 遣わした あの-方が この-方を あなたがたは
G3306 G3754 G3739 G0649 G1565 G3778 G4771

οὐ πιστεύετε.
信じて-いない 信じていない
G3756 G4100

また、神がつかわされた者を信じないから、神の御言はあなたがたのうちにとどまっていない。

39 ἐραυνᾶτε τὰς γραφάς, ὅτι ὑμεῖς δοκεῖτε ἐν αὐταῖς
調べて-いる その 聖書を なぜなら あなたがたは 思って-いる の-中に それらの中に
G2045 G3588 G1124 G3754 G4771 G1380 G1722 G0846

ζωὴν αἰώνιον ἔχειν, καὶ ἐκεῖναί εἰσιν αἱ μαρτυροῦσαι περὶ
永遠の-いのちを 永遠の 得ると しかし それらこそが である その 証しする-もの について
G2222 G0166 G2192 G2532 G1565 G1510 G3588 G3140 G4012

ἐμοῦ;
私について
G1473

あなたがたは、聖書の中に永遠の命があると思って調べているが、この聖書は、わたしについてあかしをするものである。

40 καὶ οὐ θέλετε ἐλθεῖν πρός με, ἵνα ζωὴν ἔχητε.
しかし 望まない 望まない 来る-ことを のもとに 私の ために いのちを 得る
G2532 G3756 G2309 G2064 G4314 G1473 G2443 G2222 G2192

しかも、あなたがたは、命を得るためにわたしのもとにこようともしない。

41 Δόξαν παρὰ ἀνθρώπων οὐ λαμβάνω;
栄光を から 人から 受けない 受けない
G1391 G3844 G0444 G3756 G2983

わたしは人からの誉を受けることはしない。

42 ἀλλὰ ἔγνωκα ὑμᾶς, ὅτι τὴν ἀγάπην τοῦ Θεοῦ οὐκ
しかし 知って-いる あなたがたを ことを その 愛を その 神の 持って-いないと
G0235 G1097 G4771 G3754 G3588 G0026 G3588 G2316 G3756

ἔχετε ἐν ἑαυτοῖς.
持っていない の-中に 自分たちの中に
G2192 G1722 G1438

しかし、あなたがたのうちには神を愛する愛がないことを知っている。

43

ἐγὼ	ἐλήλυθα	ἐν	τῷ	ὀνόματι	τοῦ	Πατρός	μου,	καὶ
私は	来た	の–名に–よって	その	御名によって	その	父の	私の	しかし
G1473	G2064	G1722	G3588	G3686	G3588	G3962	G1473	G2532

οὐ	λαμβάνετέ	με;	ἐὰν	ἄλλος	ἔλθῃ	ἐν	τῷ	ὀνόματι	τῷ
受け入れない	受け入れない	私を	もし	別の–人が	来たら	の–名で	その	御名で	その
G3756	G2983	G1473	G1437	G0243	G2064	G1722	G3588	G3686	G3588

ἰδίῳ,	ἐκεῖνον	λήμψεσθε.
自分の	その–人は	受け入れる–だろう
G2398	G1565	G2983

わたしは父の名によってきたのに、あなたがたはわたしを受けいれない。もし、ほかの人が彼自身の名によって来るならば、その人を受けいれるのであろう。

44

πῶς	δύνασθε	ὑμεῖς	πιστεῦσαι,	δόξαν	παρὰ	ἀλλήλων	λαμβάνοντες,
どうして	できるのか	あなたがたが	信じる–ことが	栄光を	から	お互いから	受けながら
G4459	G1410	G4771	G4100	G1391	G3844	G0240	G2983

καὶ	τὴν	δόξαν	τὴν	παρὰ	τοῦ	μόνου	Θεοῦ,	οὐ	ζητεῖτε?
そして	その	栄光を	その	から	その	唯一の	神からの	求めない	求めない
G2532	G3588	G1391	G3588	G3844	G3588	G3441	G2316	G3756	G2212

互に誉を受けながら、ただひとりの神からの誉を求めようとしないあなたがたは、どうして信じることができようか。

45

μὴ	δοκεῖτε	ὅτι	ἐγὼ	κατηγορήσω	ὑμῶν	πρὸς	τὸν
思っては–ならない	思ってはならない	ことを	私が	訴えると	あなたがたを	のもとで	その
G3361	G1380	G3754	G1473	G2723	G4771	G4314	G3588

Πατέρα.	ἔστιν	ὁ	κατηγορῶν	ὑμῶν,	Μωϋσῆς,	εἰς	ὃν	ὑμεῖς
父のもとで	いる	その	訴える–者は	あなたがたを	モーセ	に対して	その	あなたがたが
G3962	G1510	G3588	G2723	G4771	G3475	G1519	G3739	G4771

ἠλπίκατε.
望みを–置いて–いる
G1679

わたしがあなたがたのことを父に訴えると、考えてはいけない。あなたがたを訴える者は、あなたがたが頼みとしているモーセその人である。

46

εἰ	γὰρ	ἐπιστεύετε	Μωϋσεῖ,	ἐπιστεύετε	ἂν	ἐμοί;	περὶ	γὰρ
もし	なぜなら	信じて–いたなら	モーセを	信じた–であろう	きっと	私をも	について	なぜなら
G1487	G1063	G4100	G3475	G4100	G0302	G1473	G4012	G1063

ἐμοῦ	ἐκεῖνος	ἔγραψεν.
私について	あの–人は	書いた
G1473	G1565	G1125

もし、あなたがたがモーセを信じたならば、わたしをも信じたであろう。モーセは、わたしについて書いたのである。

47

εἰ	δὲ	τοῖς	ἐκείνου	γράμμασιν	οὐ	πιστεύετε,	πῶς	τοῖς
しかし	しかし	その	あの–人の	書いた–ものを	信じない–なら	信じないなら	どうして	私の
G1487	G1161	G3588	G1565	G1121	G3756	G4100	G4459	G3588

ἐμοῖς	ῥήμασιν,	πιστεύσετε?
私の	言葉を	信じるのか
G1699	G4487	G4100

しかし、モーセの書いたものを信じないならば、どうしてわたしの言葉を信じるだろうか」。

Chapter 6

1

Μετὰ	ταῦτα	ἀπῆλθεν	ὁ	Ἰησοῦς,	πέραν	τῆς	θαλάσσης	τῆς	Γαλιλαίας
この–後	これらの	行った	—	イエスは	向こう側へ	—	海の	—	ガリラヤの
G3326	G3778	G0565	G3588	G2424	G4008	G3588	G2281	G3588	G1056

τῆς	Τιβεριάδος,
すなわち	ティベリアの
G3588	G5085

そののち、イエスはガリラヤの海、すなわち、テベリヤ湖の向こう岸へ渡られた。

2

ἠκολούθει	δὲ	αὐτῷ	ὄχλος	πολύς,	ὅτι	ἐθεώρουν	τὰ	σημεῖα
ついて–来ていた	そして	彼に	群衆が	大勢の	なぜなら	見ていたからである	—	しるしを
G0190	G1161	G0846	G3793	G4183	G3754	G2334	G3588	G4592

ἃ	ἐποίει	ἐπὶ	τῶν	ἀσθενούντων.
それらの	行っていた	に–対する	—	病人たちに
G3739	G4160	G1909	G3588	G0770

すると、大ぜいの群衆がイエスについてきた。病人たちになさっていたしるしを見たからである。

3

ἀνῆλθεν	δὲ	εἰς	τὸ	ὄρος	Ἰησοῦς,	καὶ	ἐκεῖ	ἐκάθητο	μετὰ	τῶν
登った	そして	—	—	山に	イエスは	そして	そこで	座っていた	と–共に	—
G0424	G1161	G1519	G3588	G3735	G2424	G2532	G1563	G2521	G3326	G3588

μαθητῶν	αὐτοῦ.
弟子たち	彼の
G3101	G0846

イエスは山に登って、弟子たちと一緒にそこで座につかれた。

4

ἦν	δὲ	ἐγγὺς	τὸ	πάσχα,	ἡ	ἑορτὴ	τῶν	Ἰουδαίων.
であった	さて	近く	—	過越が	—	祭りは	—	ユダヤ人の
G1510	G1161	G1451	G3588	G3957	G3588	G1859	G3588	G2453

時に、ユダヤ人の祭である過越が間近になっていた。

5

ἐπάρας	οὖν	τοὺς	ὀφθαλμοὺς	ὁ	Ἰησοῦς,	καὶ	θεασάμενος	ὅτι
目を–上げて	それゆえ	—	目を	—	イエスは	そして	見て	—
G1869	G3767	G3588	G3788	G3588	G2424	G2532	G2300	G3754

πολὺς	ὄχλος	ἔρχεται	πρὸς	αὐτὸν,	λέγει	πρὸς	Φίλιππον,	Πόθεν	ἀγοράσωμεν
大勢の	群衆が	来るのを	—	自分のところに	言う	—	ピリポに	どこで	買おうか
G4183	G3793	G2064	G4314	G0846	G3004	G4314	G5376	G4159	G0059

ἄρτους	ἵνα	φάγωσιν	οὗτοι?
パンを	—	食べるために	この–人たちが
G0740	G2443	G5315	G3778

イエスは目をあげ、大ぜいの群衆が自分の方に集まって来るのを見て、ピリポに言われた、「どこからパンを買ってきて、この人々に食べさせようか」。

6

τοῦτο	δὲ	ἔλεγεν	πειράζων	αὐτόν;	αὐτὸς	γὰρ	ᾔδει	τί
これを	しかし	言った	試みて	彼を	彼自身	なぜなら	知っていた	何を
G3778	G1161	G3004	G3985	G0846	G0846	G1063	G1492	G5101

ἔμελλεν	ποιεῖν.
しようと–している	するかを
G3195	G4160

これはピリポをためそうとして言われたのであって、ご自分ではしようとすることを、よくご承知であった。

7 ἀπεκρίθη 答えた G0611 αὐτῷ 彼に G0846 ὁ — G3588 Φίλιππος, ピリポは G5376 Διακοσίων 二百の G1250 δηναρίων, デナリの G1220 ἄρτοι パンでも G0740 οὐκ ない G3756 ἀρκοῦσιν 足りない G0714

αὐτοῖς 彼らに G0846 ἵνα — G2443 ἕκαστος それぞれが G1538 βραχύ 少しでも G1024 τι 何か G5100 λάβῃ. 受けるには G2983

すると、ピリポはイエスに答えた、「二百デナリのパンがあっても、めいめいが少しずついただくにも足りますまい」。

8 λέγει 言う G3004 αὐτῷ 彼に G0846 εἷς 一人が G1520 ἐκ — G1537 τῶν — G3588 μαθητῶν 弟子たちの G3101 αὐτοῦ, 彼の G0846 Ἀνδρέας, アンデレが G0406 ὁ — G3588 ἀδελφὸς 兄弟で G0080

Σίμωνος シモンの G4613 Πέτρου, ペテロの G4074

弟子のひとり、シモン・ペテロの兄弟アンデレがイエスに言った、

9 Ἔστιν いる G1510 παιδάριον 少年が G3808 ὧδε, ここに G5602 ὃς その–子は G3739 ἔχει 持っている G2192 πέντε 五つの G4002 ἄρτους パンと G0740 κριθίνους, 大麦の G2916 καὶ そして G2532

δύο 二つの G1417 ὀψάρια; 魚を G3795 ἀλλὰ しかし G0235 ταῦτα これらは G3778 τί 何で G5101 ἐστιν あろうか G1510 εἰς — G1519 τοσούτους? これほど–多くの–人に G5118

「ここに、大麦のパン五つと、さかな二ひきとを持っている子供がいます。しかし、こんなに大ぜいの人では、それが何になりましょう」。

10 εἶπεν 言った G3004 ὁ — G3588 Ἰησοῦς, イエスは G2424 Ποιήσατε 座らせなさい G4160 τοὺς — G3588 ἀνθρώπους 人々を G0444 ἀναπεσεῖν. — G0377 ἦν あった G1510 δὲ さて G1161 χόρτος 草が G5528

πολὺς 多く G4183 ἐν — G1722 τῷ — G3588 τόπῳ; その–場所には G5117 ἀνέπεσαν 座った G0377 οὖν そこで G3767 οἱ — G3588 ἄνδρες, 男たちは G0435 τὸν — G3588 ἀριθμὸν 数で G0706 ὡς およそ G5613

πεντακισχίλιοι 五千人 G4000

イエスは「人々をすわらせなさい」と言われた。その場所には草が多かった。そこにすわった男の数は五千人ほどであった。

11 ἔλαβεν 取った G2983 οὖν そこで G3767 τοὺς — G3588 ἄρτους パンを G0740 ὁ — G3588 Ἰησοῦς, イエスは G2424 καὶ そして G2532 εὐχαριστήσας, 感謝して G2168 διέδωκεν 分け与えた G1239 τοῖς — G3588

ἀνακειμένοις; 食事している–者たちに G0345 ὁμοίως 同じく G3668 καὶ また G2532 ἐκ — G1537 τῶν — G3588 ὀψαρίων, 魚も G3795 ὅσον 欲しい–だけ G3745 ἤθελον. 彼らが–望んだ G2309

そこで、イエスはパンを取り、感謝してから、すわっている人々に分け与え、また、さかなをも同様にして、彼らの望むだけ分け与えられた。

12 ὡς そして G5613 | δὲ しかし G1161 | ἐνεπλήσθησαν, 満腹した–とき G1705 | λέγει 言う G3004 | τοῖς — G3588 | μαθηταῖς 弟子たちに G3101 | αὐτοῦ, 彼の G0846 | Συναγάγετε 集めなさい G4863 | τὰ — G3588

περισσεύσαντα 余った G4052 | κλάσματα, パン–くずを G2801 | ἵνα — G2443 | μή 何も G3361 | τι — G5100 | ἀπόληται. 無駄に–ならないように G0622

人々がじゅうぶんに食べたのち、イエスは弟子たちに言われた、「少しでもむだにならないように、パンくずのあまりを集めなさい」。

13 συνήγαγον 集めた G4863 | οὖν, そこで G3767 | καὶ そして G2532 | ἐγέμισαν いっぱいに–した G1072 | δώδεκα 十二の G1427 | κοφίνους かごを G2894 | κλασμάτων パン–くずで G2801 | ἐκ — G1537 | τῶν — G3588

πέντε 五つの G4002 | ἄρτων パンの G0740 | τῶν あの G3588 | κριθίνων, 大麦の G2916 | ἃ それらの G3739 | ἐπερίσσευσαν 余った–ものを G4052 | τοῖς — G3588 | βεβρωκόσιν. 食べた–者たちから G0977

そこで彼らが集めると、五つの大麦のパンを食べて残ったパンくずは、十二のかごにいっぱいになった。

14 Οἱ そこで G3588 | οὖν — G3767 | ἄνθρωποι, 人々は G0444 | ἰδόντες 見て G3708 | ὃ — G3739 | ἐποίησεν 行った G4160 | σημεῖον, しるしを G4592 | ἔλεγον, 言った G3004 | ὅτι — G3754 | Οὗτός この–方こそ G3778

ἐστιν である G1510 | ἀληθῶς まことに G0230 | ὁ — G3588 | προφήτης 預言者 G4396 | ὁ あの G3588 | ἐρχόμενος 来るべき G2064 | εἰς — G1519 | τὸν — G3588 | κόσμον. 世に G2889

人々はイエスのなさったこのしるしを見て、「ほんとうに、この人こそ世にきたるべき預言者である」と言った。

15 Ἰησοῦς イエスは G2424 | οὖν, それゆえ G3767 | γνοὺς 知って G1097 | ὅτι — G3754 | μέλλουσιν しようと–している G3195 | ἔρχεσθαι 来て G2064 | καὶ そして G2532 | ἁρπάζειν 連れ去ろうと G0726 | αὐτὸν, 自分を G0846

ἵνα — G2443 | ποιήσωσιν しようと G4160 | βασιλέα, 王に G0935 | ἀνεχώρησεν 退いた G0402 | πάλιν 再び G3825 | εἰς — G1519 | τὸ — G3588 | ὄρος 山に G3735 | αὐτὸς 自分 G0846 | μόνος. 一人で G3441

イエスは人々がきて、自分をとらえて王にしようとしていると知って、ただひとり、また山に退かれた。

16 Ὡς そして G5613 | δὲ しかし G1161 | ὀψία 夕方に G3798 | ἐγένετο, なった–とき G1096 | κατέβησαν 下りて–行った G2597 | οἱ — G3588 | μαθηταὶ 弟子たちは G3101 | αὐτοῦ 彼の G0846 | ἐπὶ — G1909 | τὴν — G3588

θάλασσαν, 海へ G2281

夕方になったとき、弟子たちは海べに下り、

17 καὶ そして G2532 | ἐμβάντες 舟に–乗って G1684 | εἰς — G1519 | πλοῖον, 舟に G4143 | ἤρχοντο 向かった G2064 | πέραν 向こう岸の G4008 | τῆς — G3588 | θαλάσσης 海を–渡って G2281 | εἰς — G1519

Καφαρναούμ. カペナウムへ G2584 | καὶ すでに G2532 | σκοτία 暗闇が G4653 | ἤδη すでに G2235 | ἐγεγόνει, なっていた G1096 | καὶ そして G2532 | οὔπω まだ G3768 | ἐληλύθει 来ていなかった G2064 | πρὸς — G4314

αὐτοὺς 彼らのところに G0846 | ὁ — G3588 | Ἰησοῦς. イエスは G2424

舟に乗って海を渡り、向こう岸のカペナウムに行きかけた。すでに暗くなっていたのに、イエスはまだ彼らのところにおいでにならなかった。

18

ἥ	τε	θάλασσα	ἀνέμου	μεγάλου	πνέοντος	διεγείρετο.
—	すると	海は	風が	大きな	吹いて	荒れ始めた
G3588	G5037	G2281	G0417	G3173	G4154	G1326

その上、強い風が吹いてきて、海は荒れ出した。

19

ἐληλακότες	οὖν	ὡς	σταδίους	εἴκοσι	πέντε	ἢ	τριάκοντα,	θεωροῦσιν	τὸν
漕いで	さて	約	スタディオン	二十五	五	か	三十ほど	見る	—
G1643	G3767	G5613	G4712	G1501	G4002	G2228	G5144	G2334	G3588

Ἰησοῦν	περιπατοῦντα	ἐπὶ	τῆς	θαλάσσης,	καὶ	ἐγγὺς	τοῦ	πλοίου
イエスが	歩いておられるのを	—	—	海の–上を	そして	近くに	—	舟の
G2424	G4043	G1909	G3588	G2281	G2532	G1451	G3588	G4143

γινόμενον,	καὶ	ἐφοβήθησαν.
来られるのを	すると	恐れた
G1096	G2532	G5399

四、五十丁こぎ出したとき、イエスが海の上を歩いて舟に近づいてこられるのを見て、彼らは恐れた。

20

ὁ	δὲ	λέγει	αὐτοῖς,	Ἐγώ	εἰμι;	μὴ	φοβεῖσθε.
—	しかし	言われる	彼らに	わたしで	ある	—	恐れるな
G3588	G1161	G3004	G0846	G1473	G1510	G3361	G5399

すると、イエスは彼らに言われた、「わたしだ、恐れることはない」。

21

ἤθελον	οὖν	λαβεῖν	αὐτὸν	εἰς	τὸ	πλοῖον,	καὶ	εὐθέως
喜んで	そこで	迎え入れようとした	彼を	—	—	舟に	するとすぐ	すぐに
G2309	G3767	G2983	G0846	G1519	G3588	G4143	G2532	G2112

ἐγένετο	τὸ	πλοῖον	ἐπὶ	τῆς	γῆς	εἰς	ἣν	ὑπῆγον.
着いた	—	舟は	—	—	陸地に	—	—	行こうとしていた–所に
G1096	G3588	G4143	G1909	G3588	G1093	G1519	G3739	G5217

そこで、彼らは喜んでイエスを舟に迎えようとした。すると舟は、すぐ、彼らが行こうとしていた地に着いた。

22

Τῇ	ἐπαύριον	ὁ	ὄχλος	ὁ	ἑστηκὼς	πέραν	τῆς	θαλάσσης,	εἶδον
—	翌日	—	群衆は	—	立っていた	向こう岸に	—	海の	見た
G3588	G1887	G3588	G3793	G3588	G2476	G4008	G3588	G2281	G3708

ὅτι	πλοιάριον	ἄλλο,	οὐκ	ἦν	ἐκεῖ	εἰ	μὴ	ἕν,	καὶ	ὅτι
—	小舟が	ほかに	なかった	そこには	そこに	—	—	—そうの–ほか	また	—
G3754	G4142	G0243	G3756	G1510	G1563	G1487	G3361	G1520	G2532	G3754

οὐ	συνεισῆλθεν	τοῖς	μαθηταῖς	αὐτοῦ,	ὁ	Ἰησοῦς	εἰς	τὸ	πλοῖον,
—	乗らなかった	—	弟子たちと–共に	—	—	イエスは	—	—	舟に
G3756	G4897	G3588	G3101	G0846	G3588	G2424	G1519	G3588	G4143

ἀλλὰ	μόνοι	οἱ	μαθηταὶ	αὐτοῦ	ἀπῆλθον;
ただ	だけで	—	弟子たち	彼の	行ったのだと
G0235	G3441	G3588	G3101	G0846	G0565

その翌日、海の向こう岸に立っていた群衆は、そこに小舟が一そうしかなく、またイエスは弟子たちと一緒に小舟にお乗りにならず、ただ弟子たちだけが船出したのを見た。

23 ἀλλὰ ἦλθεν πλοιάρια ἐκ Τιβεριάδος, ἐγγὺς τοῦ τόπου ὅπου ἔφαγον
しかし 来た 小舟が ― ティベリアから 近くに ― 場所の そこで 食べた
G0235 G2064 G4142 G1537 G5085 G1451 G3588 G5117 G3699 G5315

τὸν ἄρτον, εὐχαριστήσαντος τοῦ Κυρίου;
― パンを 主が–感謝した ― 主の
G3588 G0740 G2168 G3588 G2962

しかし、数そうの小舟がテベリヤからきて、主が感謝されたのちパンを人々に食べさせた場所に近づいた。

24 ὅτε οὖν εἶδεν ὁ ὄχλος ὅτι Ἰησοῦς οὐκ ἔστιν ἐκεῖ, οὐδὲ οἱ
見て そこで 分かった ― 群衆は ― イエスが いない ことを そこに また ―
G3753 G3767 G3708 G3588 G3793 G3754 G2424 G3756 G1510 G1563 G3761 G3588

μαθηταὶ αὐτοῦ, ἐνέβησαν αὐτοὶ εἰς τὰ πλοιάρια, καὶ ἦλθον εἰς
弟子たちも 彼の 乗った 彼ら–自身 ― ― 小舟に そして 来た ―
G3101 G0846 G1684 G0846 G1519 G3588 G4142 G2532 G2064 G1519

Καφαρναοὺμ, ζητοῦντες τὸν Ἰησοῦν.
カペナウムに 探しながら ― イエスを
G2584 G2212 G3588 G2424

群衆は、イエスも弟子たちもそこにいないと知って、それらの小舟に乗り、イエスをたずねてカペナウムに行った。

25 καὶ εὑρόντες αὐτὸν πέραν τῆς θαλάσσης, εἶπον αὐτῷ, Ῥαββί, πότε
そして 見つけて 彼を 向こう岸で ― 海の 言った 彼に 先生 いつ
G2532 G2147 G0846 G4008 G3588 G2281 G3004 G0846 G4461 G4219

ὧδε γέγονας?
ここに 来られましたか
G5602 G1096

そして、海の向こう岸でイエスに出会ったので言った、「先生、いつ、ここにおいでになったのですか」。

26 ἀπεκρίθη αὐτοῖς ὁ Ἰησοῦς καὶ εἶπεν, Ἀμὴν ἀμὴν λέγω ὑμῖν,
答えた 彼らに ― イエスは そして 言った まことに まことに 言う あなたがたに
G0611 G0846 G3588 G2424 G2532 G3004 G0281 G0281 G3004 G4771

ζητεῖτέ με, οὐχ ὅτι εἴδετε σημεῖα, ἀλλ’ ὅτι ἐφάγετε ἐκ
探している わたしを ではない ― 見たから しるしを そうではなく ― 食べて ―
G2212 G1473 G3756 G3754 G3708 G4592 G0235 G3754 G5315 G1537

τῶν ἄρτων καὶ ἐχορτάσθητε.
― パンを そして 満腹したからだ
G3588 G0740 G2532 G5526

イエスは答えて言われた、「よくよくあなたがたに言っておく。あなたがたがわたしを尋ねてきているのは、しるしを見たためではなく、パンを食べて満腹したからである。

27 ἐργάζεσθε μὴ τὴν βρῶσιν τὴν ἀπολλυμένην, ἀλλὰ τὴν
働きなさい ない — 食物の–ために — 滅びる そうではなく —
G2038 G3361 G3588 G1035 G3588 G0622 G0235 G3588

βρῶσιν τὴν μένουσαν εἰς ζωὴν αἰώνιον, ἣν ὁ Υἱὸς τοῦ
食物の–ために — 残る — 命へと 永遠の それを — 人の–子が —
G1035 G3588 G3306 G1519 G2222 G0166 G3739 G3588 G5207 G3588

ἀνθρώπου ὑμῖν δώσει; τοῦτον γὰρ ὁ Πατὴρ ἐσφράγισεν,
— あなたがたに 与えるであろう この–方に なぜなら — 父が 証印を–押された
G0444 G4771 G1325 G3778 G1063 G3588 G3962 G4972

ὁ Θεός.
すなわち 神が
G3588 G2316

朽ちる食物のためではなく、永遠の命に至る朽ちない食物のために働くがよい。これは人の子があなたがたに与えるものである。父なる神は、人の子にそれをゆだねられたのである」。

28 εἶπον οὖν πρὸς αὐτόν, Τί ποιῶμεν, ἵνα ἐργαζώμεθα τὰ ἔργα τοῦ
言った そこで — 彼に 何を すれば–よいか — 行うために 業を —
G3004 G3767 G4314 G0846 G5101 G4160 G2443 G2038 G3588 G2041 G3588

Θεοῦ?
神の
G2316

そこで、彼らはイエスに言った、「神のわざを行うために、わたしたちは何をしたらよいでしょうか」。

29 ἀπεκρίθη ‹ὁ› Ἰησοῦς καὶ εἶπεν αὐτοῖς, Τοῦτό ἐστιν τὸ ἔργον τοῦ
答えた — イエスは そして 言った 彼らに これが である — 業 —
G0611 G3588 G2424 G2532 G3004 G0846 G3778 G1510 G3588 G2041 G3588

Θεοῦ, ἵνα πιστεύητε εἰς ὃν ἀπέστειλεν ἐκεῖνος.
神の — 信じること — — 遣わされた–方を あの–方が
G2316 G2443 G4100 G1519 G3739 G0649 G1565

イエスは彼らに答えて言われた、「神がつかわされた者を信じることが、神のわざである」。

30 εἶπον οὖν αὐτῷ, Τί οὖν ποιεῖς σὺ σημεῖον, ἵνα ἴδωμεν καὶ
言った そこで 彼に 何の では 行うのか あなたは しるしを — 見て そして
G3004 G3767 G0846 G5101 G3767 G4160 G4771 G4592 G2443 G3708 G2532

πιστεύσωμέν σοι? τί ἐργάζῃ?
信じるために あなたを 何を 働くのか
G4100 G4771 G5101 G2038

彼らはイエスに言った、「わたしたちが見てあなたを信じるために、どんなしるしを行って下さいますか。どんなことをして下さいますか。

31 οἱ πατέρες ἡμῶν τὸ μάννα ἔφαγον ἐν τῇ ἐρήμῳ, καθώς
— 先祖たちは 私たちの — マナを 食べた — — 荒野で と–書いてある–通り
G3588 G3962 G1473 G3588 G3131 G5315 G1722 G3588 G2048 G2531

ἐστιν γεγραμμένον, Ἄρτον ἐκ τοῦ οὐρανοῦ ἔδωκεν αὐτοῖς φαγεῖν.
— 書かれている 天からの–パンを — — 天からの 与えた 彼らに 食べるために
G1510 G1125 G0740 G1537 G3588 G3772 G1325 G0846 G5315

わたしたちの先祖は荒野でマナを食べました。それは『天よりのパンを彼らに与えて食べさせた』と書いてあるとおりです」。

32 εἶπεν 言った G3004 οὖν そこで G3767 αὐτοῖς 彼らに G0846 ὁ — G3588 Ἰησοῦς, イエスは G2424 Ἀμὴν まことに G0281 ἀμὴν まことに G0281 λέγω 言う G3004 ὑμῖν, あなたがたに G4771 οὐ ではない G3756

Μωϋσῆς モーセが G3475 δέδωκεν 与えたのでは G1325 ὑμῖν あなたがたに G4771 τὸν — G3588 ἄρτον パンを G0740 ἐκ — G1537 τοῦ — G3588 οὐρανοῦ; 天からの G3772 ἀλλ’ そうではなく G0235 ὁ — G3588

Πατήρ 父が G3962 μου わたしの G1473 δίδωσιν 与えている G1325 ὑμῖν あなたがたに G4771 τὸν — G3588 ἄρτον パンを G0740 ἐκ — G1537 τοῦ — G3588 οὐρανοῦ 天からの G3772 τὸν — G3588

ἀληθινόν. まことの G0228

そこでイエスは彼らに言われた、「よくよく言っておく。天からのパンをあなたがたに与えたのは、モーセではない。天からのまことのパンをあなたがたに与えるのは、わたしの父なのである。

33 ὁ — G3588 γὰρ なぜなら G1063 ἄρτος パンは G0740 τοῦ — G3588 Θεοῦ 神の G2316 ἐστιν は G1510 ὁ — G3588 καταβαίνων 下って-来る-方 G2597 ἐκ — G1537 τοῦ — G3588 οὐρανοῦ, 天から G3772

καὶ そして G2532 ζωὴν 命を G2222 διδοὺς 与える G1325 τῷ — G3588 κόσμῳ. 世に G2889

神のパンは、天から下ってきて、この世に命を与えるものである」。

34 εἶπον 言った G3004 οὖν そこで G3767 πρὸς — G4314 αὐτόν, 彼に G0846 Κύριε, 主よ G2962 πάντοτε いつも G3842 δὸς 与えてください G1325 ἡμῖν 私たちに G1473 τὸν — G3588 ἄρτον パンを G0740

τοῦτον. この G3778

彼らはイエスに言った、「主よ、そのパンをいつもわたしたちに下さい」。

35 εἶπεν 言った G3004 αὐτοῖς 彼らに G0846 ὁ — G3588 Ἰησοῦς, イエスは G2424 Ἐγώ わたしが G1473 εἰμι である G1510 ὁ — G3588 ἄρτος パン G0740 τῆς — G3588 ζωῆς; 命の G2222 ὁ — G3588

ἐρχόμενος 来る-者は G2064 πρὸς — G4314 ἐμὲ, わたしのところに G1473 οὐ 決して G3756 μὴ — G3361 πεινάσῃ; 飢えない G3983 καὶ そして G2532 ὁ — G3588 πιστεύων 信じる-者は G4100 εἰς — G1519

ἐμὲ, わたしを G1473 οὐ 決して G3756 μὴ — G3361 διψήσει 渇かない G1372 πώποτε. いつまでも G4455

イエスは彼らに言われた、「わたしが命のパンである。わたしに来る者は決して飢えることがなく、わたしを信じる者は決してかわくことがない。

36 ἀλλ’ しかし G0235 εἶπον 言った G3004 ὑμῖν あなたがたに G4771 ὅτι — G3754 καὶ — G2532 ἑωράκατέ 見たのに G3708 με, わたしを G1473 καὶ それでも G2532 οὐ — G3756 πιστεύετε. 信じない G4100

しかし、あなたがたに言ったが、あなたがたはわたしを見たのに信じようとはしない。

37

Πᾶν	ὃ	δίδωσίν	μοι	ὁ	Πατὴρ,	πρὸς	ἐμὲ	ἥξει,	
すべて	—	与えてくださる–ものは	わたしに	—	父が	—	わたしのところに	来る	
G3956	G3739	G1325	G1473	G3588	G3962	G4314	G1473	G2240	

καὶ	τὸν	ἐρχόμενον	πρός	με,	οὐ	μὴ	ἐκβάλω	ἔξω.
そして	—	来る–者を	—	わたしは	決して	—	追い出さない	外に
G2532	G3588	G2064	G4314	G1473	G3756	G3361	G1544	G1854

父がわたしに与えて下さる者は皆、わたしに来るであろう。そして、わたしに来る者を決して拒みはしない。

38

ὅτι	καταβέβηκα	ἀπὸ	τοῦ	οὐρανοῦ,	οὐχ	ἵνα	ποιῶ	τὸ	θέλημα	τὸ
なぜなら	下って–来た	—	—	天から	ない	—	行うため	—	意志を	—
G3754	G2597	G0575	G3588	G3772	G3756	G2443	G4160	G3588	G2307	G3588

ἐμὸν,	ἀλλὰ	τὸ	θέλημα	τοῦ	πέμψαντός	με.
わたし–自身の	そうではなく	—	意志を	—	遣わされた–方の	わたしを
G1699	G0235	G3588	G2307	G3588	G3992	G1473

わたしが天から下ってきたのは、自分のこころのままを行うためではなく、わたしをつかわされたかたのみこころを行うためである。

39

τοῦτο	δέ	ἐστιν	τὸ	θέλημα	τοῦ	πέμψαντός	με,	ἵνα	πᾶν	ὃ
これが	そして	である	—	意志	—	遣わされた–方の	わたしを	—	すべて	—
G3778	G1161	G1510	G3588	G2307	G3588	G3992	G1473	G2443	G3956	G3739

δέδωκέν	μοι,	μὴ	ἀπολέσω	ἐξ	αὐτοῦ,	ἀλλὰ	
与えてくださった–ものを	わたしに	—	失わず	—	それの–うちから	むしろ	
G1325	G1473	G3361	G0622	G1537	G0846	G0235	

ἀναστήσω	αὐτὸ	ἐν	τῇ	ἐσχάτῃ	ἡμέρᾳ.
よみがえらせること	それを	—	—	終わりの	日に
G0450	G0846	G1722	G3588	G2078	G2250

わたしをつかわされたかたのみこころは、わたしに与えて下さった者を、わたしがひとりも失わずに、終りの日によみがえらせることである。

40

τοῦτο	γάρ	ἐστιν	τὸ	θέλημα	τοῦ	Πατρός	μου,	ἵνα	πᾶς	ὁ
これが	なぜなら	である	—	意志	—	父の	わたしの	—	すべての	—
G3778	G1063	G1510	G3588	G2307	G3588	G3962	G1473	G2443	G3956	G3588

θεωρῶν	τὸν	Υἱὸν,	καὶ	πιστεύων	εἰς	αὐτὸν,	ἔχῃ	ζωὴν	αἰώνιον;	καὶ
見る–者が	—	子を	そして	信じる–者が	—	彼を	持つこと	命を	永遠の	そして
G2334	G3588	G5207	G2532	G4100	G1519	G0846	G2192	G2222	G0166	G2532

ἀναστήσω	αὐτὸν	ἐγὼ,	ἐν	τῇ	ἐσχάτῃ	ἡμέρᾳ.
よみがえらせる	その–者を	わたしが	—	—	終わりの	日に
G0450	G0846	G1473	G1722	G3588	G2078	G2250

わたしの父のみこころは、子を見て信じる者が、ことごとく永遠の命を得ることなのである。そして、わたしはその人々を終りの日によみがえらせるであろう」。

41

Ἐγόγγυζον	οὖν	οἱ	Ἰουδαῖοι	περὶ	αὐτοῦ,	ὅτι	εἶπεν,	Ἐγώ	
つぶやいていた	そこで	—	ユダヤ人たちは	について	彼	—	言ったので	わたしが	
G1111	G3767	G3588	G2453	G4012	G0846	G3754	G3004	G1473	

εἰμι	ὁ	ἄρτος	ὁ	καταβὰς	ἐκ	τοῦ	οὐρανοῦ.
である	—	パン	—	下って–来た	—	—	天から
G1510	G3588	G0740	G3588	G2597	G1537	G3588	G3772

ユダヤ人らは、イエスが「わたしは天から下ってきたパンである」と言われたので、イエスについてつぶやき始めた。

42 καὶ そして G2532 ἔλεγον, 言っていた G3004 Οὐχ ではないか G3756 οὗτός この-人は G3778 ἐστιν — G1510 Ἰησοῦς イエス G2424 ὁ — G3588 υἱὸς 息子 G5207 Ἰωσήφ, ヨセフの G2501 οὗ — G3739
ἡμεῖς 私たちは G1473 οἴδαμεν 知っている G1492 τὸν — G3588 πατέρα 父と G3962 καὶ そして G2532 τὴν — G3588 μητέρα? 母を G3384 πῶς どうして G4459 νῦν 今 G3568 λέγει, 言うのか G3004 ὅτι — G3754
Ἐκ — G1537 τοῦ — G3588 οὐρανοῦ 天から G3772 καταβέβηκα? 下って-来たと G2597

そして言った、「これはヨセフの子イエスではないか。わたしたちはその父母を知っているではないか。わたしは天から下ってきたと、どうして今いうのか」。

43 ἀπεκρίθη 答えた G0611 Ἰησοῦς イエスは G2424 καὶ そして G2532 εἶπεν 言った G3004 αὐτοῖς, 彼らに G0846 Μὴ — G3361 γογγύζετε つぶやくな G1111 μετ’ 互いに G3326 ἀλλήλων. — G0240

イエスは彼らに答えて言われた、「互につぶやいてはいけない。

44 οὐδεὶς だれも G3762 δύναται できない G1410 ἐλθεῖν 来ることが G2064 πρός — G4314 με, わたしのところに G1473 ἐὰν もし G1437 μὴ なければ G3361 ὁ — G3588 Πατὴρ, 父が G3962 ὁ — G3588
πέμψας 遣わした G3992 με, わたしを G1473 ἑλκύσῃ 引き寄せ G1670 αὐτόν, その-人を G0846 κἀγὼ そして-わたしが G2504 ἀναστήσω よみがえらせる G0450 αὐτὸν その-人を G0846 ἐν — G1722 τῇ — G3588
ἐσχάτῃ 終わりの G2078 ἡμέρᾳ. 日に G2250

わたしをつかわされた父が引きよせて下さらなければ、だれもわたしに来ることはできない。わたしは、その人々を終りの日によみがえらせるであろう。

45 ἔστιν ある G1510 γεγραμμένον 書かれて G1125 ἐν — G1722 τοῖς — G3588 προφήταις, 預言者たちに G4396 Καὶ すなわち G2532 ἔσονται なる G1510 πάντες すべての-者は G3956 διδακτοὶ 教えられた G1318
Θεοῦ. 神に G2316 πᾶς すべて G3956 ὁ — G3588 ἀκούσας 聞いた-者は G0191 παρὰ — G3844 τοῦ — G3588 Πατρὸς 父から G3962 καὶ そして G2532 μαθὼν, 学んだ G3129 ἔρχεται 来る G2064 πρὸς — G4314
ἐμέ. わたしのところに G1473

預言者の書に、『彼らはみな神に教えられるであろう』と書いてある。父から聞いて学んだ者は、みなわたしに来るのである。

46 οὐχ ない G3756 ὅτι — G3754 τὸν — G3588 Πατέρα 父を G3962 ἑώρακέν 見た G3708 τις, 者は-いない G5100 εἰ — G1487 μὴ ただ G3361 ὁ — G3588 ὢν いる-方 G1510 παρὰ — G3844
τοῦ — G3588 Θεοῦ; 神のもとに G2316 οὗτος この-方が G3778 ἑώρακεν 見た G3708 τὸν — G3588 Πατέρα. 父を G3962

神から出た者のほかに、だれかが父を見たのではない。その者だけが父を見たのである。

47

ἀμὴν	ἀμὴν	λέγω	ὑμῖν,	ὁ	πιστεύων	ἔχει	ζωὴν	αἰώνιον.
まことに	まことに	言う	あなたがたに	—	信じる-者は	持っている	命を	永遠の
G0281	G0281	G3004	G4771	G3588	G4100	G2192	G2222	G0166

よくよくあなたがたに言っておく。信じる者には永遠の命がある。

48

ἐγώ	εἰμι	ὁ	ἄρτος	τῆς	ζωῆς.
わたしが	である	—	パン	—	命の
G1473	G1510	G3588	G0740	G3588	G2222

わたしは命のパンである。

49

οἱ	πατέρες	ὑμῶν	ἔφαγον	ἐν	τῇ	ἐρήμῳ	τὸ	μάννα,	καὶ
—	先祖たちは	あなたがたの	食べた	—	—	荒野で	—	マナを	そして
G3588	G3962	G4771	G5315	G1722	G3588	G2048	G3588	G3131	G2532

ἀπέθανον.
死んだ
G0599

あなたがたの先祖は荒野でマナを食べたが、死んでしまった。

50

οὗτός	ἐστιν	ὁ	ἄρτος	ὁ	ἐκ	τοῦ	οὐρανοῦ	καταβαίνων,	ἵνα	τις
これが	である	—	パン	—	—	—	天から	下って-来る	—	だれでも
G3778	G1510	G3588	G0740	G3588	G1537	G3588	G3772	G2597	G2443	G5100

ἐξ	αὐτοῦ	φάγῃ,	καὶ	μὴ	ἀποθάνῃ.
—	それを	食べれば	そして	—	死なない
G1537	G0846	G5315	G2532	G3361	G0599

しかし、天から下ってきたパンを食べる人は、決して死ぬことはない。

51

ἐγώ	εἰμι	ὁ	ἄρτος	ὁ	ζῶν,	ὁ	ἐκ	τοῦ	οὐρανοῦ	καταβάς;
わたしが	である	—	パン	—	生きている	—	—	—	天から	下って-来た
G1473	G1510	G3588	G0740	G3588	G2198	G3588	G1537	G3588	G3772	G2597

ἐάν	τις	φάγῃ	ἐκ	τούτου	τοῦ	ἄρτου,	ζήσει	εἰς	τὸν	αἰῶνα;	καὶ
もし	だれでも	食べるなら	—	この	—	パンを	生きる	—	—	永遠に	そして
G1437	G5100	G5315	G1537	G3778	G3588	G0740	G2198	G1519	G3588	G0165	G2532

ὁ	ἄρτος	δὲ	ὃν	ἐγὼ	δώσω,	ἡ	σάρξ	μού	ἐστιν,	ὑπὲρ	τῆς
—	パンは	すなわち	—	わたしが	与える	—	肉	わたしの	である	ために	—
G3588	G0740	G1161	G3739	G1473	G1325	G3588	G4561	G1473	G1510	G5228	G3588

τοῦ	κόσμου	ζωῆς.
—	世の	命の
G3588	G2889	G2222

わたしは天から下ってきた生きたパンである。それを食べる者は、いつまでも生きるであろう。わたしが与えるパンは、世の命のために与えるわたしの肉である」。

52

Ἐμάχοντο	οὖν	πρὸς	ἀλλήλους	οἱ	Ἰουδαῖοι,	λέγοντες,	Πῶς	δύναται
争い-始めた	そこで	—	互いに	—	ユダヤ人たちは	言って	どうして	できるのか
G3164	G3767	G4314	G0240	G3588	G2453	G3004	G4459	G1410

οὗτος	ἡμῖν	δοῦναι	τὴν	σάρκα	‹αὐτοῦ›	φαγεῖν?
この-者が	私たちに	与えること	—	肉を	彼の	食べる-ために
G3778	G1473	G1325	G3588	G4561	G0846	G5315

そこで、ユダヤ人らが互に論じて言った、「この人はどうして、自分の肉をわたしたちに与えて食べさせることができようか」。

53 εἶπεν 言った G3004 οὖν そこで G3767 αὐτοῖς 彼らに G0846 ὁ — G3588 Ἰησοῦς, イエスは G2424 Ἀμὴν まことに G0281 ἀμὴν まことに G0281 λέγω 言う G3004 ὑμῖν, あなたがたに G4771 ἐὰν もし G1437
μὴ なければ G3361 φάγητε 食べ G5315 τὴν — G3588 σάρκα 肉を G4561 τοῦ — G3588 Υἱοῦ 人の-子の G5207 τοῦ — G3588 ἀνθρώπου, — G0444 καὶ そして G2532 πίητε 飲まなければ G4095
αὐτοῦ 彼の G0846 τὸ — G3588 αἷμα, 血を G0129 οὐκ ない G3756 ἔχετε 持たない G2192 ζωὴν 命を G2222 ἐν — G1722 ἑαυτοῖς. 自分-自身の-うちに G1438

イエスは彼らに言われた、「よくよく言っておく。人の子の肉を食べず、また、その血を飲まなければ、あなたがたの内に命はない。

54 ὁ — G3588 τρώγων 食べる-者は G5176 μου わたしの G1473 τὴν — G3588 σάρκα, 肉を G4561 καὶ そして G2532 πίνων 飲む-者は G4095 μου わたしの G1473 τὸ — G3588 αἷμα, 血を G0129
ἔχει 持っている G2192 ζωὴν 命を G2222 αἰώνιον, 永遠の G0166 κἀγὼ そして-わたしが G2504 ἀναστήσω よみがえらせる G0450 αὐτὸν その-者を G0846 τῇ — G3588 ἐσχάτῃ 終わりの G2078 ἡμέρᾳ. 日に G2250

わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者には、永遠の命があり、わたしはその人を終りの日によみがえらせるであろう。

55 ἡ — G3588 γὰρ なぜなら G1063 σάρξ 肉は G4561 μου, わたしの G1473 ἀληθής まことの G0227 ἐστιν である G1510 βρῶσις, 食物 G1035 καὶ そして G2532 τὸ — G3588 αἷμά 血は G0129 μου, わたしの G1473
ἀληθής まことの G0227 ἐστιν である G1510 πόσις. 飲み物 G4213

わたしの肉はまことの食物、わたしの血はまことの飲み物である。

56 ὁ — G3588 τρώγων 食べる-者は G5176 μου わたしの G1473 τὴν — G3588 σάρκα, 肉を G4561 καὶ そして G2532 πίνων 飲む-者は G4095 μου わたしの G1473 τὸ — G3588 αἷμα, 血を G0129 ἐν — G1722
ἐμοὶ わたしの-うちに G1473 μένει, とどまる G3306 κἀγὼ そして-わたしも G2504 ἐν — G1722 αὐτῷ. その-者の-うちに G0846

わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者はわたしにおり、わたしもまたその人におる。

57 καθὼς ちょうど G2531 ἀπέστειλέν 遣わされた G0649 με わたしを G1473 ὁ — G3588 ζῶν 生きている G2198 Πατὴρ, 父が G3962 κἀγὼ そして-わたしも G2504 ζῶ 生きている G2198 διὰ — G1223
τὸν — G3588 Πατέρα, 父に-よって G3962 καὶ 同じく G2532 ὁ — G3588 τρώγων 食べる-者も G5176 με, わたしを G1473 κἀκεῖνος その-者も G2548 ζήσει 生きる G2198 δι’ — G1223
ἐμέ. わたしに-よって G1473

生ける父がわたしをつかわされ、また、わたしが父によって生きているように、わたしを食べる者もわたしによって生きるであろう。

58

οὗτός	ἐστιν	ὁ	ἄρτος	ὁ	ἐξ	οὐρανοῦ	καταβάς.	οὐ	καθὼς	
これが	である	—	パン	—	—	天から	下って–来た	ない	のとは–違う	
G3778	G1510	G3588	G0740	G3588	G1537	G3772	G2597	G3756	G2531	

ἔφαγον	οἱ	πατέρες	καὶ	ἀπέθανον.	ὁ	τρώγων	τοῦτον	τὸν	ἄρτον
食べて	—	先祖たちが	そして	死んだ	—	食べる–者は	この	—	パンを
G5315	G3588	G3962	G2532	G0599	G3588	G5176	G3778	G3588	G0740

ζήσει	εἰς	τὸν	αἰῶνα.
生きる	—	—	永遠に
G2198	G1519	G3588	G0165

天から下ってきたパンは、先祖たちが食べたが死んでしまったようなものではない。このパンを食べる者は、いつまでも生きるであろう」。

59

Ταῦτα	εἶπεν	ἐν	συναγωγῇ,	διδάσκων	ἐν	Καφαρναούμ.
これらのことを	言った	—	会堂で	教えながら	—	カペナウムで
G3778	G3004	G1722	G4864	G1321	G1722	G2584

これらのことは、イエスがカペナウムの会堂で教えておられたときに言われたものである。

60

Πολλοὶ	οὖν,	ἀκούσαντες,	ἐκ	τῶν	μαθητῶν	αὐτοῦ,	εἶπαν,	Σκληρός	ἐστιν	
多くの–者が	そこで	聞いて	—	—	弟子たちの	彼の	言った	ひどい	—	
G4183	G3767	G0191	G1537	G3588	G3101	G0846	G3004	G4642	G1510	

ὁ	λόγος	οὗτος;	τίς	δύναται	αὐτοῦ	ἀκούειν?
—	言葉だ	この	だれが	できようか	これに	聞くことが
G3588	G3056	G3778	G5101	G1410	G0846	G0191

弟子たちのうちの多くの者は、これを聞いて言った、「これは、ひどい言葉だ。だれがそんなことを聞いておられようか」。

61

εἰδὼς	δὲ	ὁ	Ἰησοῦς	ἐν	ἑαυτῷ,	ὅτι	γογγύζουσιν	περὶ	τούτου
知って	しかし	—	イエスは	—	心の–中で	—	つぶやいている	について	このことに
G1492	G1161	G3588	G2424	G1722	G1438	G3754	G1111	G4012	G3778

οἱ	μαθηταὶ	αὐτοῦ,	εἶπεν	αὐτοῖς,	Τοῦτο	ὑμᾶς	σκανδαλίζει?
—	弟子たちが	彼の	言った	彼らに	このことが	あなたがたを	つまずかせるのか
G3588	G3101	G0846	G3004	G0846	G3778	G4771	G4624

しかしイエスは、弟子たちがそのことでつぶやいているのを見破って、彼らに言われた、「このことがあなたがたのつまずきになるのか。

62

ἐὰν	οὖν	θεωρῆτε	τὸν	Υἱὸν	τοῦ	ἀνθρώπου,	ἀναβαίνοντα	ὅπου	ἦν	
もし	では	見たら	—	人の–子が	—	—	昇るのを	—	いた	
G1437	G3767	G2334	G3588	G5207	G3588	G0444	G0305	G3699	G1510	

τὸ	πρότερον?
—	以前に
G3588	G4386

それでは、もし人の子が前にいた所に上るのを見たら、どうなるのか。

63

τὸ	πνεῦμά	ἐστιν	τὸ	ζωοποιοῦν;	ἡ	σὰρξ	οὐκ	ὠφελεῖ	οὐδέν.	τὰ	
—	霊が	である	—	生かす–もの	—	肉は	—	益に–ならない	何も	—	
G3588	G4151	G1510	G3588	G2227	G3588	G4561	G3756	G5623	G3762	G3588	

ῥήματα	ἃ	ἐγὼ	λελάληκα	ὑμῖν,	πνεῦμά	ἐστιν,	καὶ	ζωή	ἐστιν.	
言葉は	—	わたしが	語った	あなたがたに	霊で	あり	そして	命	である	
G4487	G3739	G1473	G2980	G4771	G4151	G1510	G2532	G2222	G1510	

人を生かすものは霊であって、肉はなんの役にも立たない。わたしがあなたがたに話した言葉は霊であり、また命である。

64 ἀλλ’ しかし G0235 εἰσὶν いる G1510 ἐξ — G1537 ὑμῶν あなたがたの–中に G4771 τινες, ある–者たちが G5100 οἳ — G3739 οὐ — G3756 πιστεύουσιν. 信じない G4100 ᾔδει 知っていた G1492

γὰρ なぜなら G1063 ἐξ — G1537 ἀρχῆς 初めから G0746 ὁ — G3588 Ἰησοῦς, イエスは G2424 τίνες だれが G5101 εἰσὶν であるか G1510 οἱ — G3588 μὴ — G3361 πιστεύοντες, 信じない–者 G4100 καὶ また G2532

τίς だれが G5101 ἐστιν であるか G1510 ὁ — G3588 παραδώσων 裏切る–者 G3860 αὐτόν. 彼を G0846

しかし、あなたがたの中には信じない者がいる」。イエスは、初めから、だれが信じないか、また、だれが彼を裏切るかを知っておられたのである。

65 καὶ そして G2532 ἔλεγεν, 言った G3004 Διὰ この–ゆえに G1223 τοῦτο — G3778 εἴρηκα 言った G2046 ὑμῖν, あなたがたに G4771 ὅτι — G3754 οὐδεὶς だれも G3762 δύναται できない G1410

ἐλθεῖν 来ることが G2064 πρός — G4314 με, わたしのところに G1473 ἐὰν もし G1437 μὴ なければ G3361 ᾖ — G1510 δεδομένον 与えられて G1325 αὐτῷ その–者に G0846 ἐκ — G1537 τοῦ — G3588

Πατρός. 父から G3962

そしてイエスは言われた、「それだから、父が与えて下さった者でなければ、わたしに来ることはできないと、言ったのである」。

66 Ἐκ この–時から G1537 τούτου, — G3778 πολλοὶ 多くの–者が G4183 ‹ἐκ› — G1537 τῶν — G3588 μαθητῶν 弟子たちの G3101 αὐτοῦ 彼の G0846 ἀπῆλθον 去って–行った G0565 εἰς — G1519

τὰ — G3588 ὀπίσω, 後ろに G3694 καὶ そして G2532 οὐκέτι もはや G3765 μετ’ — G3326 αὐτοῦ 彼と G0846 περιεπάτουν. 歩かなかった G4043

それ以来、多くの弟子たちは去っていって、もはやイエスと行動を共にしなかった。

67 εἶπεν 言った G3004 οὖν そこで G3767 ὁ — G3588 Ἰησοῦς イエスは G2424 τοῖς — G3588 δώδεκα, 十二人に G1427 Μὴ — G3361 καὶ — G2532 ὑμεῖς あなたがたも G4771 θέλετε 望むのか G2309

ὑπάγειν? 去ることを G5217

そこでイエスは十二弟子に言われた、「あなたがたも去ろうとするのか」。

68 ἀπεκρίθη 答えた G0611 αὐτῷ 彼に G0846 Σίμων シモン・ G4613 Πέτρος, ペテロは G4074 Κύριε, 主よ G2962 πρὸς — G4314 τίνα だれの–ところに G5101 ἀπελευσόμεθα? 行きましょうか G0565

ῥήματα 言葉を G4487 ζωῆς 命の G2222 αἰωνίου 永遠の G0166 ἔχεις; 持っておられます G2192

シモン・ペテロが答えた、「主よ、わたしたちは、だれのところに行きましょう。永遠の命の言をもっているのはあなたです。

69 | καὶ | ἡμεῖς | πεπιστεύκαμεν, | καὶ | ἐγνώκαμεν | ὅτι | σὺ | εἶ | ὁ
そして | 私たちは | 信じてきました | また | 知っています | — | あなたこそ | — | —
G2532 | G1473 | G4100 | G2532 | G1097 | G3754 | G4771 | G1510 | G3588

Ἅγιος | τοῦ | Θεοῦ.
聖なる–方 | — | 神の
G0040 | G3588 | G2316

わたしたちは、あなたが神の聖者であることを信じ、また知っています」。

70 | ἀπεκρίθη | αὐτοῖς | ὁ | Ἰησοῦς, | Οὐκ | ἐγὼ | ὑμᾶς | τοὺς | δώδεκα
答えた | 彼らに | — | イエスは | ではないか | わたしが | あなたがた | — | 十二人を
G0611 | G0846 | G3588 | G2424 | G3756 | G1473 | G4771 | G3588 | G1427

ἐξελεξάμην, | καὶ | ἐξ | ὑμῶν | εἷς | διάβολός | ἐστιν?
選んだのでは | それでも | — | あなたがたの–うちの | 一人は | 悪魔 | である
G1586 | G2532 | G1537 | G4771 | G1520 | G1228 | G1510

イエスは彼らに答えられた、「あなたがた十二人を選んだのは、わたしではなかったか。それだのに、あなたがたのうちのひとりは悪魔である」。

71 | ἔλεγεν | δὲ | τὸν | Ἰούδαν | Σίμωνος | Ἰσκαριώτου; | οὗτος | γὰρ
言っていた | しかし | — | ユダ | シモンの–子 | イスカリオテの | この–者は | なぜなら
G3004 | G1161 | G3588 | G2455 | G4613 | G2469 | G3778 | G1063

ἔμελλεν | παραδιδόναι | αὐτόν, | εἷς | ἐκ | τῶν | δώδεκα.
しようと–していた | 裏切ろうと | 彼を | 一人で | — | — | 十二人の–中の
G3195 | G3860 | G0846 | G1520 | G1537 | G3588 | G1427

これは、イスカリオテのシモンの子ユダをさして言われたのである。このユダは、十二弟子のひとりでありながら、イエスを裏切ろうとしていた。

Chapter 7

1 | Καὶ | μετὰ | ταῦτα, | περιεπάτει | ὁ | Ἰησοῦς | ἐν | τῇ | Γαλιλαίᾳ; | οὐ
そして | この–後 | これらの | 歩いていた | — | イエスは | — | — | ガリラヤで | ない
G2532 | G3326 | G3778 | G4043 | G3588 | G2424 | G1722 | G3588 | G1056 | G3756

γὰρ | ἤθελεν | ἐν | τῇ | Ἰουδαίᾳ | περιπατεῖν, | ὅτι | ἐζήτουν | αὐτὸν | οἱ
なぜなら | 望まなかった | — | — | ユダヤで | 歩くことを | なぜなら | 求めていた | 彼を | —
G1063 | G2309 | G1722 | G3588 | G2449 | G4043 | G3754 | G2212 | G0846 | G3588

Ἰουδαῖοι | ἀποκτεῖναι.
ユダヤ人たちが | 殺そうと
G2453 | G0615

そののち、イエスはガリラヤを巡回しておられた。ユダヤ人たちが自分を殺そうとしていたので、ユダヤを巡回しようとはされなかった。

2 | ἦν | δὲ | ἐγγὺς | ἡ | ἑορτὴ | τῶν | Ἰουδαίων, | ἡ | σκηνοπηγία.
あった | さて | 近かった | — | 祭りが | — | ユダヤ人の | — | 仮庵の–祭りが
G1510 | G1161 | G1451 | G3588 | G1859 | G3588 | G2453 | G3588 | G4634

時に、ユダヤ人の仮庵の祭が近づいていた。

3 εἶπον οὖν πρὸς αὐτὸν οἱ ἀδελφοὶ αὐτοῦ, Μετάβηθι ἐντεῦθεν,
言った そこで ― 彼に ― 兄弟たちが 彼の ここから-去りなさい ―
G3004 G3767 G4314 G0846 G3588 G0080 G0846 G3327 G1782

καὶ ὕπαγε εἰς τὴν Ἰουδαίαν, ἵνα καὶ οἱ μαθηταί σου
そして 行きなさい ― ― ユダヤへ ― また ― 弟子たちが あなたの
G2532 G5217 G1519 G3588 G2449 G2443 G2532 G3588 G3101 G4771

θεωρήσουσιν «τὰ ἔργα» σοῦ ἃ ποιεῖς.
見るように ― わざを あなたの ― 行っている
G2334 G3588 G2041 G4771 G3739 G4160

そこで、イエスの兄弟たちがイエスに言った、「あなたがしておられるわざを弟子たちにも見せるために、ここを去りユダヤに行ってはいかがです。

4 οὐδεὶς γάρ τι ἐν κρυπτῷ ποιεῖ, καὶ ζητεῖ αὐτὸς ἐν παρρησίᾳ
だれも なぜなら 何かを ― 隠れて 行わない そして 求める 自ら ― 公に
G3762 G1063 G5100 G1722 G2927 G4160 G2532 G2212 G0846 G1722 G3954

εἶναι. εἰ ταῦτα ποιεῖς, φανέρωσον σεαυτὸν τῷ κόσμῳ.
あることを もし これらのことを 行うなら 現しなさい あなた-自身を ― 世に
G1510 G1487 G3778 G4160 G5319 G4572 G3588 G2889

自分を公けにあらわそうと思っている人で、隠れて仕事をするものはありません。あなたがこれらのことをするからには、自分をはっきりと世にあらわしなさい」。

5 οὐδὲ γὰρ οἱ ἀδελφοὶ αὐτοῦ ἐπίστευον εἰς αὐτόν.
さえも なぜなら ― 兄弟たちも 彼の 信じていなかった ― 彼を
G3761 G1063 G3588 G0080 G0846 G4100 G1519 G0846

こう言ったのは、兄弟たちもイエスを信じていなかったからである。

6 λέγει οὖν αὐτοῖς ὁ Ἰησοῦς, Ὁ καιρὸς ὁ ἐμὸς οὔπω πάρεστιν,
言った そこで 彼らに ― イエスは ― 時は ― わたしの まだ 来ていない
G3004 G3767 G0846 G3588 G2424 G3588 G2540 G3588 G1699 G3768 G3918

ὁ δὲ καιρὸς ὁ ὑμέτερος πάντοτέ ἐστιν ἕτοιμος.
― しかし 時は ― あなたがたの いつでも ― 備わっている
G3588 G1161 G2540 G3588 G5212 G3842 G1510 G2092

そこでイエスは彼らに言われた、「わたしの時はまだきていない。しかし、あなたがたの時はいつも備わっている。

7 οὐ δύναται ὁ κόσμος μισεῖν ὑμᾶς; ἐμὲ δὲ μισεῖ, ὅτι
ない できない ― 世は 憎むことが あなたがたを わたしを しかし 憎む なぜなら
G3756 G1410 G3588 G2889 G3404 G4771 G1473 G1161 G3404 G3754

ἐγὼ μαρτυρῶ περὶ αὐτοῦ, ὅτι τὰ ἔργα αὐτοῦ πονηρά ἐστιν.
わたしが 証しする について それ ということを ― わざが その 悪い ものである
G1473 G3140 G4012 G0846 G3754 G3588 G2041 G0846 G4190 G1510

世はあなたがたを憎み得ないが、わたしを憎んでいる。わたしが世のおこないの悪いことを、あかししているからである。

8 ὑμεῖς, ἀνάβητε εἰς τὴν ἑορτήν. ἐγὼ οὐκ ἀναβαίνω εἰς τὴν
あなたがたは 上りなさい ― ― 祭りに わたしは まだ 上らない ― ―
G4771 G0305 G1519 G3588 G1859 G1473 G3756 G0305 G1519 G3588

ἑορτὴν ταύτην, ὅτι ὁ ἐμὸς καιρὸς οὔπω πεπλήρωται.
祭りに この なぜなら ― わたしの 時が まだ 満ちていない
G1859 G3778 G3754 G3588 G1699 G2540 G3768 G4137

あなたがたこそ祭に行きなさい。わたしはこの祭には行かない。わたしの時はまだ満ちていないから」。

9 ταῦτα δὲ εἰπὼν αὐτὸς, ἔμεινεν ἐν τῇ Γαλιλαίᾳ.
これらのことを そして 言って 彼は とどまった ― ― ガリラヤに
G3778 G1161 G3004 G0846 G3306 G1722 G3588 G1056

彼らにこう言って、イエスはガリラヤにとどまっておられた。

10 Ὡς δὲ ἀνέβησαν οἱ ἀδελφοὶ αὐτοῦ εἰς τὴν ἑορτήν, τότε καὶ
けれども ― 上った ― 兄弟たちが 彼の ― ― 祭りに その-時 ―
G5613 G1161 G0305 G3588 G0080 G0846 G1519 G3588 G1859 G5119 G2532

αὐτὸς ἀνέβη, οὐ φανερῶς, ἀλλὰ ὡς ἐν κρυπτῷ.
彼も 上った ない 公にではなく むしろ ― ― ひそかに
G0846 G0305 G3756 G5320 G0235 G5613 G1722 G2927

しかし、兄弟たちが祭に行ったあとで、イエスも人目にたたぬように、ひそかに行かれた。

11 οἱ οὖν Ἰουδαῖοι ἐζήτουν αὐτὸν ἐν τῇ ἑορτῇ, καὶ ἔλεγον,
― それで ユダヤ人たちは 探していた 彼を ― ― 祭りで そして 言っていた
G3588 G3767 G2453 G2212 G0846 G1722 G3588 G1859 G2532 G3004

Ποῦ ἐστιν ἐκεῖνος?
どこに いるのか あの-者は
G4226 G1510 G1565

ユダヤ人らは祭の時に、「あの人はどこにいるのか」と言って、イエスを捜していた。

12 καὶ γογγυσμὸς περὶ αὐτοῦ ἦν πολὺς ἐν τοῖς ὄχλοις. οἱ
そして つぶやきが について 彼 あった 多くの ― ― 群衆の-中に ある-者たちは
G2532 G1112 G4012 G0846 G1510 G4183 G1722 G3588 G3793 G3588

μὲν ἔλεγον, ὅτι Ἀγαθός ἐστιν; ἄλλοι δὲ ἔλεγον, Οὔ; ἀλλὰ
― 言っていた ― 善い-人だ と ほかの-者たちは しかし 言っていた いいえ むしろ
G3303 G3004 G3754 G0018 G1510 G0243 G1161 G3004 G3756 G0235

πλανᾷ τὸν ὄχλον.
惑わしている ― 群衆を
G4105 G3588 G3793

群衆の中に、イエスについていろいろとうわさが立った。ある人々は、「あれはよい人だ」と言い、他の人々は、「いや、あれは群衆を惑わしている」と言った。

13 οὐδεὶς μέντοι παρρησίᾳ ἐλάλει περὶ αὐτοῦ, διὰ τὸν φόβον
だれも しかしながら 公に 語らなかった について 彼 のゆえに ― 恐れ
G3762 G3305 G3954 G2980 G4012 G0846 G1223 G3588 G5401

τῶν Ἰουδαίων.
― ユダヤ人たちへの
G3588 G2453

しかし、ユダヤ人らを恐れて、イエスのことを公然と口にする者はいなかった。

14 Ἤδη δὲ τῆς ἑορτῆς μεσούσης, ἀνέβη Ἰησοῦς εἰς τὸ ἱερὸν, καὶ
すでに さて ― 祭りの 半ばに 上った イエスは ― ― 宮に そして
G2235 G1161 G3588 G1859 G3322 G0305 G2424 G1519 G3588 G2411 G2532

ἐδίδασκεν.
教えていた
G1321

祭も半ばになってから、イエスは宮に上って教え始められた。

15 ἐθαύμαζον οὖν οἱ Ἰουδαῖοι, λέγοντες, Πῶς οὗτος γράμματα
驚いていた そこで — ユダヤ人たちは 言って どうして この–者は 学問を
G2296 G3767 G3588 G2453 G3004 G4459 G3778 G1121

οἶδεν, μὴ μεμαθηκώς?
知っているのか — 学んでいないのに
G1492 G3361 G3129

すると、ユダヤ人たちは驚いて言った、「この人は学問をしたこともないのに、どうして律法の知識をもっているのだろう」。

16 ἀπεκρίθη οὖν αὐτοῖς ‹ὁ› Ἰησοῦς καὶ εἶπεν, Ἡ ἐμὴ διδαχὴ οὐκ
答えた そこで 彼らに — イエスは そして 言った — わたしの 教えは ない
G0611 G3767 G0846 G3588 G2424 G2532 G3004 G3588 G1699 G1322 G3756

ἔστιν ἐμὴ, ἀλλὰ τοῦ πέμψαντός με.
— わたしのものではなく むしろ — 遣わされた–方の わたしを
G1510 G1699 G0235 G3588 G3992 G1473

そこでイエスは彼らに答えて言われた、「わたしの教はわたし自身の教ではなく、わたしをつかわされたかたの教である。

17 ἐάν τις θέλῃ τὸ θέλημα αὐτοῦ ποιεῖν, γνώσεται περὶ τῆς
もし だれかが 望むなら — みこころを その–方の 行うことを 知るだろう について —
G1437 G5100 G2309 G3588 G2307 G0846 G4160 G1097 G4012 G3588

διδαχῆς, πότερον ἐκ τοῦ Θεοῦ ἐστιν, ἢ ἐγὼ ἀπ’ ἐμαυτοῦ
この–教えが — から — 神 であるのか それとも わたしが から 自分自身
G1322 G4220 G1537 G3588 G2316 G1510 G2228 G1473 G0575 G1683

λαλῶ.
語っているのか
G2980

神のみこころを行おうと思う者であれば、だれでも、わたしの語っているこの教が神からのものか、それとも、わたし自身から出たものか、わかるであろう。

18 ὁ ἀφ’ ἑαυτοῦ λαλῶν, τὴν δόξαν τὴν ἰδίαν ζητεῖ; ὁ δὲ
— から 自分自身 語る–者は — 栄光を — 自分の 求める — しかし
G3588 G0575 G1438 G2980 G3588 G1391 G3588 G2398 G2212 G3588 G1161

ζητῶν τὴν δόξαν τοῦ πέμψαντος αὐτὸν, οὗτος ἀληθής ἐστιν, καὶ
求める–者は — 栄光を — 遣わされた–方の 彼を この–者は 真実であり — そして
G2212 G3588 G1391 G3588 G3992 G0846 G3778 G0227 G1510 G2532

ἀδικία ἐν αὐτῷ οὐκ ἔστιν.
不義は — 彼の–中に ない —
G0093 G1722 G0846 G3756 G1510

自分から出たことを語る者は、自分の栄光を求めるが、自分をつかわされたかたの栄光を求める者は真実であって、その人の内には偽りがない。

19 οὐ Μωϋσῆς δέδωκεν ὑμῖν τὸν νόμον, καὶ οὐδεὶς ἐξ
ではないか モーセが 与えた あなたがたに — 律法を しかし だれも —
G3756 G3475 G1325 G4771 G3588 G3551 G2532 G3762 G1537

ὑμῶν ποιεῖ τὸν νόμον? τί με ζητεῖτε ἀποκτεῖναι?
あなたがたのうち 守らない — 律法を なぜ わたしを 求めるのか 殺そうと
G4771 G4160 G3588 G3551 G5101 G1473 G2212 G0615

モーセはあなたがたに律法を与えたではないか。それだのに、あなたがたのうちには、その律法を行う者がひとりもない。あなたがたは、なぜわたしを殺そうと思っているのか」。

20 ἀπεκρίθη ὁ ὄχλος, Δαιμόνιον ἔχεις; τίς σε ζητεῖ
答えた — 群衆は 悪霊に 取りつかれている だれが あなたを 求めるのか
G0611 G3588 G3793 G1140 G2192 G5101 G4771 G2212

ἀποκτεῖναι?
殺そうと
G0615

群衆は答えた、「あなたは悪霊に取りつかれている。だれがあなたを殺そうと思っているものか」。

21 ἀπεκρίθη Ἰησοῦς καὶ εἶπεν αὐτοῖς, Ἓν ἔργον ἐποίησα, καὶ
答えた イエスは そして 言った 彼らに 一つの わざを わたしは-行った そして
G0611 G2424 G2532 G3004 G0846 G1520 G2041 G4160 G2532

πάντες θαυμάζετε.
すべての-人が 驚いている
G3956 G2296

イエスは彼らに答えて言われた、「わたしが一つのわざをしたところ、あなたがたは皆それを見て驚いている。

22 διὰ τοῦτο, Μωϋσῆς δέδωκεν ὑμῖν τὴν περιτομήν, οὐχ ὅτι
この-ゆえに — モーセが 与えた あなたがたに — 割礼を ないが —
G1223 G3778 G3475 G1325 G4771 G3588 G4061 G3756 G3754

ἐκ τοῦ Μωϋσέως ἐστὶν, ἀλλ’ ἐκ τῶν πατέρων, καὶ ἐν σαββάτῳ
から — モーセ ではなく むしろ から — 先祖たち そして — 安息日に
G1537 G3588 G3475 G1510 G0235 G1537 G3588 G3962 G2532 G1722 G4521

περιτέμνετε ἄνθρωπον.
割礼を-施す 人に
G4059 G0444

モーセはあなたがたに割礼を命じたので、（これは、実は、モーセから始まったのではなく、先祖たちから始まったものである）あなたがたは安息日にも人に割礼を施している。

23 εἰ περιτομὴν λαμβάνει (ὁ) ἄνθρωπος ἐν σαββάτῳ, ἵνα μὴ
もし 割礼を 受ける — 人が — 安息日に — —
G1487 G4061 G2983 G3588 G0444 G1722 G4521 G2443 G3361

λυθῇ ὁ νόμος Μωϋσέως, ἐμοὶ χολᾶτε ὅτι ὅλον ἄνθρωπον
破られないように — 律法が モーセの わたしに 怒るのか ということで 全身を 人の
G3089 G3588 G3551 G3475 G1473 G5520 G3754 G3650 G0444

ὑγιῆ ἐποίησα ἐν σαββάτῳ?
健やかに わたしが-した — 安息日に
G5199 G4160 G1722 G4521

もし、モーセの律法が破られないように、安息日であっても割礼を受けるのなら、安息日に人の全身を丈夫にしてやったからといって、どうして、そんなにおこるのか。

24 μὴ κρίνετε κατ’ ὄψιν, ἀλλὰ τὴν δικαίαν κρίσιν κρίνετε.
— さばいてはならない によって 外見 むしろ — 正しい さばきで さばきなさい
G3361 G2919 G2596 G3799 G0235 G3588 G1342 G2920 G2919

うわべで人をさばかないで、正しいさばきをするがよい」。

25 Ἔλεγον οὖν τινες ἐκ τῶν Ἱεροσολυμιτῶν, Οὐχ οὗτός
言っていた そこで ある–人々は — — エルサレムの–者たちの ではないか この–者は
G3004 G3767 G5100 G1537 G3588 G2415 G3756 G3778

ἐστιν ὃν ζητοῦσιν ἀποκτεῖναι?
— — 求めている 殺そうと
G1510 G3739 G2212 G0615

さて、エルサレムのある人たちが言った、「この人は人々が殺そうと思っている者ではないか。

26 καὶ ἴδε, παρρησίᾳ λαλεῖ, καὶ οὐδὲν αὐτῷ λέγουσιν Μήˌ ποτε.
そして 見よ 公に 語っている そして 何も 彼に 言わない まさか —
G2532 G3708 G3954 G2980 G2532 G3762 G0846 G3004 G3361 G4219

ἀληθῶς ἔγνωσαν οἱ ἄρχοντες, ὅτι οὗτός ἐστιν ὁ Χριστός?
本当に 知ったのか — 指導者たちは — この–者が である — キリスト
G0230 G1097 G3588 G0758 G3754 G3778 G1510 G3588 G5547

見よ、彼は公然と語っているのに、人々はこれに対して何も言わない。役人たちは、この人がキリストであることを、ほんとうに知っているのではなかろうか。

27 ἀλλὰ τοῦτον, οἴδαμεν πόθεν ἐστίν. ὁ δὲ Χριστὸς,
しかし この–者は わたしたちは–知っている どこから 来たか — しかし キリストは
G0235 G3778 G1492 G4159 G1510 G3588 G1161 G5547

ὅταν ἔρχηται, οὐδεὶς γινώσκει πόθεν ἐστίν.
来る–とき — だれも 知らない どこから 来るか
G3752 G2064 G3762 G1097 G4159 G1510

わたしたちはこの人がどこからきたのか知っている。しかし、キリストが現れる時には、どこから来るのか知っている者は、ひとりもいない」。

28 ἔκραξεν οὖν ἐν τῷ ἱερῷ διδάσκων ὁ Ἰησοῦς, καὶ λέγων, Κἀμὲ
叫んだ そこで — — 宮で 教えながら — イエスは そして 言った わたしを
G2896 G3767 G1722 G3588 G2411 G1321 G3588 G2424 G2532 G3004 G2504

οἴδατε, καὶ οἴδατε πόθεν εἰμί; καὶ ἀπ’ ἐμαυτοῦ οὐκ ἐλήλυθα,
知っており そして 知っている どこから 来たかを しかし から 自分自身 — 来たのではない
G1492 G2532 G1492 G4159 G1510 G2532 G0575 G1683 G3756 G2064

ἀλλ’ ἔστιν ἀληθινὸς ὁ πέμψας με, ὃν ὑμεῖς οὐκ
むしろ おられる 真実な–方が — 遣わされた わたしを その–方を あなたがたは —
G0235 G1510 G0228 G3588 G3992 G1473 G3739 G4771 G3756

οἴδατε.
知らない
G1492

イエスは宮の内で教えながら、叫んで言われた、「あなたがたは、わたしを知っており、また、わたしがどこからきたかも知っている。しかし、わたしは自分からきたのではない。わたしをつかわされたかたは真実であるが、あなたがたは、そのかたを知らない。

29 ἐγὼ οἶδα αὐτόν, ὅτι παρ’ αὐτοῦ εἰμι, κἀκεῖνός
わたしは 知っている その–方を なぜなら から その–方の–もと 来た そして–その–方が
G1473 G1492 G0846 G3754 G3844 G0846 G1510 G2548

με ἀπέστειλεν.
わたしを 遣わした
G1473 G0649

わたしは、そのかたを知っている。わたしはそのかたのもとからきた者で、そのかたがわたしをつかわされたのである」。

30 Ἐζήτουν οὖν αὐτὸν πιάσαι, καὶ οὐδεὶς ἐπέβαλεν ἐπ’ αὐτὸν τὴν
求めていた そこで 彼を 捕らえようと しかし だれも かけなかった — 彼に —
G2212 G3767 G0846 G4084 G2532 G3762 G1911 G1909 G0846 G3588

χεῖρα, ὅτι οὔπω ἐληλύθει ἡ ὥρα αὐτοῦ.
手を なぜなら まだ 来ていなかった — 時が 彼の
G5495 G3754 G3768 G2064 G3588 G5610 G0846

そこで人々はイエスを捕えようと計ったが、だれひとり手をかける者はなかった。イエスの時が、まだきていなかったからである。

31 Ἐκ τοῦ ὄχλου δὲ πολλοὶ ἐπίστευσαν εἰς αὐτόν, καὶ
— — 群衆の–中から しかし 多くの–者が 信じた — 彼を そして
G1537 G3588 G3793 G1161 G4183 G4100 G1519 G0846 G2532

ἔλεγον, Ὁ Χριστὸς, ὅταν ἔλθῃ, μὴ πλείονα σημεῖα ποιήσει
言っていた — キリストは 来る–とき — まさか もっと–多くの しるしを 行うだろうか
G3004 G3588 G5547 G3752 G2064 G3361 G4119 G4592 G4160

ὧν οὗτος ἐποίησεν?
よりも この–者が 行ったものより
G3739 G3778 G4160

しかし、群衆の中の多くの者が、イエスを信じて言った、「キリストがきても、この人が行ったよりも多くのしるしを行うだろうか」。

32 Ἤκουσαν οἱ Φαρισαῖοι τοῦ ὄχλου γογγύζοντος περὶ αὐτοῦ
聞いた — パリサイ人たちは — 群衆が つぶやいているのを について 彼
G0191 G3588 G5330 G3588 G3793 G1111 G4012 G0846

ταῦτα, καὶ ἀπέστειλαν οἱ ἀρχιερεῖς καὶ οἱ Φαρισαῖοι
これらのことを そして 遣わした — 祭司長たちと — — パリサイ人たちは
G3778 G2532 G0649 G3588 G0749 G2532 G3588 G5330

ὑπηρέτας, ἵνα πιάσωσιν αὐτόν.
下役たちを — 捕らえるために 彼を
G5257 G2443 G4084 G0846

群衆がイエスについてこのようなうわさをしているのを、パリサイ人たちは耳にした。そこで、祭司長たちやパリサイ人たちは、イエスを捕えようとして、下役どもをつかわした。

33 εἶπεν οὖν ὁ Ἰησοῦς, Ἔτι χρόνον μικρὸν μεθ’ ὑμῶν
言った そこで — イエスは もう–しばらく — 少しの–間 — あなたがたと–共に
G3004 G3767 G3588 G2424 G2089 G5550 G3398 G3326 G4771

εἰμι, καὶ ὑπάγω πρὸς τὸν πέμψαντά με.
わたしは–いる そして 行く — — 遣わされた–方のもとへ わたしを
G1510 G2532 G5217 G4314 G3588 G3992 G1473

イエスは言われた、「今しばらくの間、わたしはあなたがたと一緒にいて、それから、わたしをおつかわしになったかたのみもとに行く。

34 ζητήσετέ με, καὶ οὐχ εὑρήσετέ [με]; καὶ ὅπου
探すだろう わたしを しかし — 見つけられない わたしを そして わたしが–いる–ところに
G2212 G1473 G2532 G3756 G2147 G1473 G2532 G3699

εἰμὶ ἐγὼ ὑμεῖς οὐ δύνασθε ἐλθεῖν.
— — あなたがたは — 来ることが–できない —
G1510 G1473 G4771 G3756 G1410 G2064

あなたがたはわたしを捜すであろうが、見つけることはできない。そしてわたしのいる所に、あなたがたは来ることができない」。

35 εἶπον 言った G3004 οὖν そこで G3767 οἱ — G3588 Ἰουδαῖοι ユダヤ人たちは G2453 πρὸς — G4314 ἑαυτούς, 互いに G1438 Ποῦ どこへ G4226 οὗτος この–者は G3778 μέλλει 行こうとしている G3195 πορεύεσθαι — G4198 ὅτι のか G3754 ἡμεῖς わたしたちが G1473 οὐχ — G3756 εὑρήσομεν 見つけられないとは G2147 αὐτόν 彼を G0846 μὴ? まさか G3361 εἰς — G1519 τὴν — G3588 Διασπορὰν 離散の–地の G1290 τῶν — G3588 Ἑλλήνων ギリシア人の G1672 μέλλει 行こうとしている G3195 πορεύεσθαι, のか G4198 καὶ そして G2532 διδάσκειν 教えるのか G1321 τοὺς — G3588 Ἕλληνας? ギリシア人を G1672

そこでユダヤ人たちは互に言った、「わたしたちが見つけることができないというのは、どこへ行こうとしているのだろう。ギリシヤ人の中に離散している人たちのところにでも行って、ギリシヤ人を教えようというのだろうか。

36 τίς 何か G5101 ἐστιν — G1510 ὁ — G3588 λόγος この–言葉は G3056 οὗτος — G3778 ὃν — G3739 εἶπεν, 彼が–言った G3004 Ζητήσετέ 探すだろう G2212 με, わたしを G1473 καὶ しかし G2532 οὐχ — G3756 εὑρήσετέ 見つけられない G2147 [με]; わたしを G1473 καὶ そして G2532 ὅπου わたしが–いる–ところに G3699 εἰμὶ — G1510 ἐγὼ — G1473 ὑμεῖς あなたがたは G4771 οὐ — G3756 δύνασθε 来ることが–できない G1410 ἐλθεῖν? とは G2064

また、『わたしを捜すが、見つけることはできない。そしてわたしのいる所には来ることができないだろう』と言ったその言葉は、どういう意味だろう」。

37 Ἐν さて G1722 δὲ — G1161 τῇ — G3588 ἐσχάτῃ 最後の G2078 ἡμέρᾳ, 日に G2250 τῇ — G3588 μεγάλῃ, 大いなる G3173 τῆς — G3588 ἑορτῆς 祭りの G1859 εἱστήκει 立っていた G2476 ὁ — G3588 Ἰησοῦς, イエスは G2424 καὶ そして G2532 ἔκραξεν, 叫んだ G2896 λέγων, 言った G3004 Ἐάν もし G1437 τις だれでも G5100 διψᾷ, 渇くなら G1372 ἐρχέσθω 来なさい G2064 πρός — G4314 με わたしのところに G1473 καὶ そして G2532 πινέτω. 飲みなさい G4095

祭の終りの大事な日に、イエスは立って、叫んで言われた、「だれでもかわく者は、わたしのところにきて飲むがよい。

38 ὁ — G3588 πιστεύων 信じる–者は G4100 εἰς — G1519 ἐμέ, わたしを G1473 καθὼς のように G2531 εἶπεν 言った G3004 ἡ — G3588 γραφή, 聖書が G1124 ποταμοὶ 川々が G4215 ἐκ — G1537 τῆς — G3588 κοιλίας その–腹から G2836 αὐτοῦ — G0846 ῥεύσουσιν 流れ出るであろう G4482 ὕδατος 水の G5204 ζῶντος. 生きた G2198

わたしを信じる者は、聖書に書いてあるとおり、その腹から生ける水が川となって流れ出るであろう」。

39 τοῦτο δὲ εἶπεν περὶ τοῦ Πνεύματος, οὗ ἔμελλον λαμβάνειν οἱ
これは しかし 言った について ― 御霊の-ことで ― やがて 受ける ―
G3778 G1161 G3004 G4012 G3588 G4151 G3739 G3195 G2983 G3588

πιστεύσαντες εἰς αὐτόν; οὔπω γὰρ ἦν Πνεῦμα, ὅτι Ἰησοῦς
信じた-者たちが ― 彼を まだ なぜなら なかった 御霊は なぜなら イエスは
G4100 G1519 G0846 G3768 G1063 G1510 G4151 G3754 G2424

οὐδέπω ἐδοξάσθη.
まだ 栄光を-受けていなかった
G3764 G1392

これは、イエスを信じる人々が受けようとしている御霊をさして言われたのである。すなわち、イエスはまだ栄光を受けておられなかったので、御霊がまだ下っていなかったのである。

40 Ἐκ τοῦ ὄχλου οὖν, ἀκούσαντες τῶν λόγων τούτων, ἔλεγον (ὅτι),
― ― 群衆の-中から そこで 聞いて ― 言葉を これらの 言っていた ―
G1537 G3588 G3793 G3767 G0191 G3588 G3056 G3778 G3004 G3754

Οὗτός ἐστιν ἀληθῶς ὁ προφήτης.
この-方は ― まことに ― 預言者だ
G3778 G1510 G0230 G3588 G4396

群衆のある者がこれらの言葉を聞いて、「このかたは、ほんとうに、あの預言者である」と言い、

41 ἄλλοι ἔλεγον, Οὗτός ἐστιν ὁ Χριστός. οἱ δὲ
ほかの-者たちは 言っていた この-方は ― ― キリストだ ある-者たちは しかし
G0243 G3004 G3778 G1510 G3588 G5547 G3588 G1161

ἔλεγον, Μὴ γὰρ ἐκ τῆς Γαλιλαίας ὁ Χριστὸς ἔρχεται?
言っていた まさか ― から ― ガリラヤ ― キリストが 来るだろうか
G3004 G3361 G1063 G1537 G3588 G1056 G3588 G5547 G2064

ほかの人たちは「このかたはキリストである」と言い、また、ある人々は、「キリストはまさか、ガリラヤからは出てこないだろう。

42 οὐχ ἡ γραφὴ εἶπεν, ὅτι ἐκ τοῦ σπέρματος Δαυὶδ, καὶ ἀπὸ
ではないか ― 聖書が 言った ― から ― 子孫 ダビデの そして から
G3756 G3588 G1124 G3004 G3754 G1537 G3588 G4690 G1138 G2532 G0575

Βηθλεὲμ, τῆς κώμης ὅπου ἦν Δαυὶδ, ἔρχεται ὁ Χριστός?
ベツレヘム ― 村 ― いた ダビデが 来る ― キリストは
G0965 G3588 G2968 G3699 G1510 G1138 G2064 G3588 G5547

キリストは、ダビデの子孫から、またダビデのいたベツレヘムの村から出ると、聖書に書いてあるではないか」と言った。

43 σχίσμα οὖν ἐγένετο ἐν τῷ ὄχλῳ δι’ αὐτόν.
分裂が そこで 起こった ― ― 群衆の-中に のゆえに 彼
G4978 G3767 G1096 G1722 G3588 G3793 G1223 G0846

こうして、群衆の間にイエスのことで分争が生じた。

44 τινὲς δὲ ἤθελον ἐξ αὐτῶν πιάσαι αὐτόν, ἀλλ’ οὐδεὶς
ある-者たちは しかし 望んでいた ― 彼らの-中から 捕らえようと 彼を しかし だれも
G5100 G1161 G2309 G1537 G0846 G4084 G0846 G0235 G3762

ἐπέβαλεν ἐπ’ αὐτὸν τὰς χεῖρας.
かけなかった ― 彼に ― 手を
G1911 G1909 G0846 G3588 G5495

彼らのうちのある人々は、イエスを捕えようと思ったが、だれひとり手をかける者はなかった。

45 ⸀Ἦλθον 来た G2064 οὖν そこで G3767 οἱ — G3588 ὑπηρέται 下役たちは G5257 πρὸς のもとに G4314 τοὺς — G3588 ἀρχιερεῖς 祭司長たちと G0749 καὶ — G2532 Φαρισαίους, パリサイ人たちの G5330

καὶ すると G2532 εἶπον 言った G3004 αὐτοῖς 彼らに G0846 ἐκεῖνοι, あの–人たちが G1565 Διὰ なぜ G1223 τί — G5101 οὐκ — G3756 ἠγάγετε 連れて来なかったのか G0071 αὐτόν? 彼を G0846

さて、下役どもが祭司長たちやパリサイ人たちのところに帰ってきたので、彼らはその下役どもに言った、「なぜ、あの人を連れてこなかったのか」。

46 ἀπεκρίθησαν 答えた G0611 οἱ — G3588 ὑπηρέται, 下役たちは G5257 Οὐδέποτε 今まで–決して G3763 ἐλάλησεν 語ったことがない G2980 οὕτως このように G3779 ἄνθρωπος, 人は G0444

⸂ὡς のように G5613 οὗτος この G3778 λαλεῖ 語る G2980 ὁ — G3588 ἄνθρωπος⸃. 人は G0444

下役どもは答えた、「この人の語るように語った者は、これまでにありませんでした」。

47 ἀπεκρίθησαν 答えた G0611 οὖν そこで G3767 αὐτοῖς 彼らに G0846 οἱ — G3588 Φαρισαῖοι, パリサイ人たちは G5330 Μὴ まさか G3361 καὶ も G2532 ὑμεῖς あなたがたも G4771

πεπλάνησθε? 惑わされたのか G4105

パリサイ人たちが彼らに答えた、「あなたがたまでが、だまされているのではないか。

48 μή まさか G3361 τις だれか G5100 ἐκ から G1537 τῶν — G3588 ἀρχόντων 指導者たちの–中 G0758 ἐπίστευσεν 信じたか G4100 εἰς — G1519 αὐτὸν, 彼を G0846 ἢ あるいは G2228 ἐκ から G1537

τῶν — G3588 Φαρισαίων? パリサイ人たちの–中 G5330

役人たちやパリサイ人たちの中で、ひとりでも彼を信じた者があっただろうか。

49 ἀλλὰ しかし G0235 ὁ — G3588 ὄχλος この–群衆は G3793 οὗτος, — G3778 ὁ — G3588 μὴ — G3361 γινώσκων 知らない G1097 τὸν — G3588 νόμον, 律法を G3551 ἐπάρατοί 呪われている G1944

εἰσιν. — G1510

律法をわきまえないこの群衆は、のろわれている」。

50 λέγει 言った G3004 Νικόδημος ニコデモは G3530 πρὸς — G4314 αὐτούς, 彼らに G0846 ὁ — G3588 ἐλθὼν 来た G2064 πρὸς — G4314 αὐτὸν, 彼のもとに G0846 [τὸ] — G3588 πρότερον 以前 G4386

εἷς 一人の–者で G1520 ὢν — G1510 ἐξ — G1537 αὐτῶν, 彼らの–中の G0846

彼らの中のひとりで、以前にイエスに会いにきたことのあるニコデモが、彼らに言った、

51 Μὴ ὁ νόμος ἡμῶν κρίνει τὸν ἄνθρωπον, ἐὰν μὴ ἀκούσῃ
まさか — 律法が わたしたちの さばくのか — 人を もし — 聞かなければ
G3361 G3588 G3551 G1473 G2919 G3588 G0444 G1437 G3361 G0191

πρῶτον παρ’ αὐτοῦ, καὶ γνῷ τί ποιεῖ?
まず — その–人から そして 知らなければ 何を 行っているか
G4412 G3844 G0846 G2532 G1097 G5101 G4160

「わたしたちの律法によれば、まずその人の言い分を聞き、その人のしたことを知った上でなければ、さばくことをしないのではないか」。

52 ἀπεκρίθησαν καὶ εἶπαν αὐτῷ, Μὴ καὶ σὺ ἐκ τῆς Γαλιλαίας
答えて そして 言った 彼に まさか も あなたも から — ガリラヤ
G0611 G2532 G3004 G0846 G3361 G2532 G4771 G1537 G3588 G1056

εἶ? ἐραύνησον καὶ ἴδε, ὅτι ἐκ τῆς Γαλιλαίας προφήτης οὐκ
来たのか 調べなさい そして 見なさい — から — ガリラヤ 預言者は —
G1510 G2045 G2532 G3708 G3754 G1537 G3588 G1056 G4396 G3756

ἐγείρεται.
起こらない
G1453

彼らは答えて言った、「あなたもガリラヤ出なのか。よく調べてみなさい、ガリラヤからは預言者が出るものではないことが、わかるだろう」。〔

53 Καὶ ἐπορεύθησαν ἕκαστος εἰς τὸν οἶκον αὐτοῦ.
そして 帰った それぞれ — — 家に 自分の
G2532 G4198 G1538 G1519 G3588 G3624 G0846

そして、人々はおのおの家に帰って行った。

Chapter 8

1 Ἰησοῦς δὲ ἐπορεύθη εἰς τὸ ὄρος τῶν ἐλαιῶν.
イエスは しかし 行った — — 山へ — オリーブの
G2424 G1161 G4198 G1519 G3588 G3735 G3588 G1636

イエスはオリブ山に行かれた。

2 Ὄρθρου δὲ, πάλιν παρεγένετο εἰς τὸ ἱερόν, καὶ πᾶς ὁ λαὸς
明け方に さて 再び 来た — — 宮に そして すべての — 民が
G3722 G1161 G3825 G3854 G1519 G3588 G2411 G2532 G3956 G3588 G2992

ἤρχετο πρὸς αὐτόν; καὶ καθίσας ἐδίδασκεν αὐτούς.
来ていた — 彼のもとに そして 座って 教えていた 彼らを
G2064 G4314 G0846 G2532 G2523 G1321 G0846

朝早くまた宮にはいられると、人々が皆みもとに集まってきたので、イエスはすわって彼らを教えておられた。

3 ἄγουσιν δὲ οἱ γραμματεῖς καὶ οἱ Φαρισαῖοι πρὸς αὐτὸν
連れて来た さて — 律法学者たちと — — パリサイ人たちが — 彼のもとに
G0071 G1161 G3588 G1122 G2532 G3588 G5330 G4314 G0846

γυναῖκα ἐπὶ μοιχείᾳ κατειλημμένην, καὶ στήσαντες αὐτὴν ἐν μέσῳ,
女を — 姦淫で 捕らえられた そして 立たせて 彼女を — 真ん中に
G1135 G1909 G3430 G2638 G2532 G2476 G0846 G1722 G3319

すると、律法学者たちやパリサイ人たちが、姦淫をしている時につかまえられた女をひっぱってきて、中に立たせた上、イエスに言った、

4 λέγουσιν αὐτῷ, Διδάσκαλε, αὕτη ἡ γυνὴ κατείληπται ἐπ' αυτοφώρῳ,
言った 彼に 先生 この — 女は 捕らえられた — 現場で
G3004 G0846 G1320 G3778 G3588 G1135 G2638 G1909 G1888

μοιχευομένη.
姦淫の
G3431

「先生、この女は姦淫の場でつかまえられました。

5 ἐν δὲ τ�ῳ νόμῳ, Μωϋσῆς*□ ἡμῖν ἐνετείλατο τὰς τοιαύτας
— さて — 律法で モーセは わたしたちに 命じた — このような-者を
G1722 G1161 G3588 G3551 G3475 G1473 G1781 G3588 G5108

λιθάζειν; σὺ οὖν τί λέγεις?
石で-打つようにと あなたは それで 何と 言うか
G3034 G4771 G3767 G5101 G3004

モーセは律法の中で、こういう女を石で打ち殺せと命じましたが、あなたはどう思いますか」。

6 τοῦτο δὲ ἔλεγον, πειράζοντες αὐτόν ἵνα ἔχωσιν κατηγορεῖν αὐτοῦ.
これを しかし 言っていた 試みて 彼を — 持つために 訴える-ことを 彼を
G3778 G1161 G3004 G3985 G0846 G2443 G2192 G2723 G0846

ὁ δὲ Ἰησοῦς, κάτω κύψας, τῷ δακτύλῳ κατέγραφεν εἰς τὴν γῆν.
— しかし イエスは 下に かがんで — 指で 書いていた — — 地面に
G3588 G1161 G2424 G2736 G2955 G3588 G1147 G1125 G1519 G3588 G1093

彼らがそう言ったのは、イエスをためして、訴える口実を得るためであった。しかし、イエスは身をかがめて、指で地面に何か書いておられた。

7 ὡς δὲ ἐπέμενον ἐρωτῶντες αὐτόν, ἀνέκυψεν καὶ εἶπεν αὐτοῖς,
けれども — 続けていたので 問い続けて 彼に 身を-起こして そして 言った 彼らに
G5613 G1161 G1961 G2065 G0846 G0352 G2532 G3004 G0846

Ὁ ἀναμάρτητος ὑμῶν, πρῶτος □τὸν□ λίθον□ «ἐπ' αὐτῇ βαλέτω».
— 罪なき-者が あなたがたの-中の 最初に — 石を — 彼女に 投げなさい
G3588 G0361 G4771 G4413 G3588 G3037 G1909 G0846 G0906

彼らが問い続けるので、イエスは身を起して彼らに言われた、「あなたがたの中で罪のない者が、まずこの女に石を投げつけるがよい」。

8 καὶ πάλιν κάτω¦κύψας, ἔγραφεν εἰς τὴν γῆν.
そして 再び 下に-かがんで 書いていた — — 地面に
G2532 G3825 G2955 G1125 G1519 G3588 G1093

そしてまた身をかがめて、地面に物を書きつづけられた。

9 οἱ δὲ ἀκούσαντες, ⸀καὶ ὑπὸ τῆς συνειδήσεως ἐλεγχόμενοι⸁,
—
G3588
しかし
G1161
聞いて
G0191
そして
G2532
によって
G5259
—
G3588
良心に
G4893
責められて
G1651

ἐξήρχοντο εἷς καθ᾽ εἷς, ἀρξάμενοι ἀπὸ τῶν πρεσβυτέρων ⸀ἕως τῶν
出て行った
G1831
一人
G1520
また
G2596
一人と
G1520
始めて
G0756
から
G0575
—
G3588
年長者たち
G4245
から
G2193
—
G3588

ἐσχάτων⸁, καὶ κατελείφθη μόνος, ⸀ὁ Ἰησοῦς⸁ καὶ ἡ γυνὴ ἐν
最後まで
G2078
そして
G2532
残された
G2641
ただ一人
G3441
—
G3588
イエスだけが
G2424
そして
G2532
—
G3588
女が
G1135
—
G1722

μέσῳ οὖσα.
真ん中に
G3319
いた
G1510

これを聞くと、彼らは年寄から始めて、ひとりびとり出て行き、ついに、イエスだけになり、女は中にいたまま残された。

10 ἀνακύψας δὲ ὁ Ἰησοῦς, ⸀καὶ μηδένα θεασάμενος, πλὴν τὴς
身を-起こして
G0352
さて
G1161
—
G3588
イエスは
G2424
そして
G2532
だれも
G3367
見えなかったので
G2300
ただ
G4133
—
G3588

γυναικὸς⸁, εἶπεν αὐτῇ, ⸀Ἡ⸁ γύναι, ποῦ εἰσιν ⸀ἐκεῖνοι οἱ κατήγοροί
女だけを
G1135
言った
G3004
彼女に
G0846
—
G3588
女よ
G1135
どこに
G4226
いるのか
G1510
あの
G1565
—
G3739
訴える-者たちは
G2725

σου⸁? οὐδείς σε κατέκρινεν?
あなたの
G4771
だれも
G3762
あなたを
G4771
罰しなかったか
G2632

そこでイエスは身を起して女に言われた、「女よ、みんなはどこにいるか。あなたを罰する者はなかったのか」。

11 ἡ δὲ εἶπεν, Οὐδείς, κύριε. εἶπεν δὲ ⸀αὐτῇ⸁ ὁ Ἰησοῦς, Οὐδὲ
—
G3588
すると
G1161
言った
G3004
だれも
G3762
主よ
G2962
言った
G3004
そこで
G1161
彼女に
G0846
—
G3588
イエスは
G2424
わたしも
G3761

ἐγώ σε κατακρίνω; πορεύου, καὶ [ἀπὸ τοῦ νῦν] μηκέτι
—
G1473
あなたを
G4771
罰しない
G2632
行きなさい
G4198
そして
G2532
これからは
G0575
—
G3588
—
G3568
もはや
G3371

ἁμάρτανε.
罪を-犯してはならない
G0264

女は言った、「主よ、だれもございません」。イエスは言われた、「わたしもあなたを罰しない。お帰りなさい。今後はもう罪を犯さないように」。〕

12 Πάλιν οὖν αὐτοῖς ἐλάλησεν ὁ Ἰησοῦς, λέγων, Ἐγώ εἰμι τὸ φῶς
再び
G3825
そこで
G3767
彼らに
G0846
語った
G2980
—
G3588
イエスは
G2424
言って
G3004
わたしは
G1473
である
G1510
—
G3588
光
G5457

τοῦ κόσμου; ὁ ἀκολουθῶν ἐμοὶ οὐ μὴ περιπατήσῃ ἐν τῇ
—
G3588
世の
G2889
—
G3588
従う-者は
G0190
わたしに
G1473
決して
G3756
—
G3361
歩かない
G4043
—
G1722
—
G3588

σκοτίᾳ, ἀλλ᾽ ἕξει τὸ φῶς τῆς ζωῆς.
闇の-中を
G4653
むしろ
G0235
持つだろう
G2192
—
G3588
光を
G5457
—
G3588
命の
G2222

イエスは、また人々に語ってこう言われた、「わたしは世の光である。わたしに従って来る者は、やみのうちを歩くことがなく、命の光をもつであろう」。

13

εἶπον	οὖν	αὐτῷ	οἱ	Φαρισαῖοι,	Σὺ	περὶ	σεαυτοῦ	μαρτυρεῖς;
言った	そこで	彼に	—	パリサイ人たちは	あなたは	について	自分–自身	証ししている
G3004	G3767	G0846	G3588	G5330	G4771	G4012	G4572	G3140

ἡ	μαρτυρία	σου	οὐκ	ἔστιν	ἀληθής.
—	証しは	あなたの	ない	—	真実では
G3588	G3141	G4771	G3756	G1510	G0227

するとパリサイ人たちがイエスに言った、「あなたは、自分のことをあかししている。あなたのあかしは真実ではない」。

14

ἀπεκρίθη	Ἰησοῦς	καὶ	εἶπεν	αὐτοῖς,	Κἂν	ἐγὼ	μαρτυρῶ	περὶ
答えた	イエスは	そして	言った	彼らに	たとえ	わたしが	証しても	について
G0611	G2424	G2532	G3004	G0846	G2579	G1473	G3140	G4012

ἐμαυτοῦ,	ἀληθής	ἐστιν	ἡ	μαρτυρία	μου,	ὅτι	οἶδα	πόθεν
わたし–自身	真実である	—	—	証しは	わたしの	なぜなら	知っている	どこから
G1683	G0227	G1510	G3588	G3141	G1473	G3754	G1492	G4159

ἦλθον	καὶ	ποῦ	ὑπάγω.	ὑμεῖς	δὲ	οὐκ	οἴδατε	πόθεν	ἔρχομαι
来たか	そして	どこへ	行くかを	あなたがたは	しかし	—	知らない	どこから	来るか
G2064	G2532	G4226	G5217	G4771	G1161	G3756	G1492	G4159	G2064

ἢ	ποῦ	ὑπάγω.
また	どこへ	行くかを
G2228	G4226	G5217

イエスは彼らに答えて言われた、「たとい、わたしが自分のことをあかししても、わたしのあかしは真実である。それは、わたしがどこからきたのか、また、どこへ行くのかを知っているからである。しかし、あなたがたは、わたしがどこからきて、どこへ行くのかを知らない。

15

ὑμεῖς	κατὰ	τὴν	σάρκα	κρίνετε;	ἐγὼ	οὐ	κρίνω	οὐδένα.
あなたがたは	によって	—	肉	さばく	わたしは	—	さばかない	だれも
G4771	G2596	G3588	G4561	G2919	G1473	G3756	G2919	G3762

あなたがたは肉によって人をさばくが、わたしはだれもさばかない。

16

καὶ	ἐὰν	κρίνω	δὲ	ἐγώ,	ἡ	κρίσις	ἡ	ἐμὴ	ἀληθινή
そして	たとえ	さばいても	しかし	わたしが	—	さばきは	—	わたしの	真実である
G2532	G1437	G2919	G1161	G1473	G3588	G2920	G3588	G1699	G0228

ἐστιν,	ὅτι	μόνος	οὐκ	εἰμί,	ἀλλ’	ἐγὼ	καὶ	ὁ	πέμψας	με,
—	なぜなら	一人では	ない	—	むしろ	わたしと	そして	—	遣わされた–方	わたしを
G1510	G3754	G3441	G3756	G1510	G0235	G1473	G2532	G3588	G3992	G1473

‹πατήρ›.
父とが
G3962

しかし、もしわたしがさばくとすれば、わたしのさばきは正しい。なぜなら、わたしはひとりではなく、わたしをつかわされたかたが、わたしと一緒だからである。

17

καὶ	ἐν	τῷ	νόμῳ	δὲ	τῷ	ὑμετέρῳ	γέγραπται	ὅτι,	δύο
また	—	—	律法に	さて	—	あなたがたの	書かれている	—	二人の
G2532	G1722	G3588	G3551	G1161	G3588	G5212	G1125	G3754	G1417

ἀνθρώπων	ἡ	μαρτυρία	ἀληθής	ἐστιν.
人の	—	証しは	真実	である
G0444	G3588	G3141	G0227	G1510

あなたがたの律法には、ふたりによる証言は真実だと、書いてある。

18

ἐγώ	εἰμι	ὁ	μαρτυρῶν	περὶ	ἐμαυτοῦ,	καὶ	μαρτυρεῖ	περὶ
わたしが	である	—	証しする-者	について	わたし-自身	そして	証しする	について
G1473	G1510	G3588	G3140	G4012	G1683	G2532	G3140	G4012

ἐμοῦ	ὁ	πέμψας	με	Πατήρ.	
わたし	—	遣わされた	わたしを	父が	
G1473	G3588	G3992	G1473	G3962	

わたし自身のことをあかしするのは、わたしであるし、わたしをつかわされた父も、わたしのことをあかしして下さるのである」。

19

ἔλεγον	οὖν	αὐτῷ,	Ποῦ	ἐστιν	ὁ	Πατήρ	σου?	ἀπεκρίθη	Ἰησοῦς,
言っていた	そこで	彼に	どこに	いるのか	—	父は	あなたの	答えた	イエスは
G3004	G3767	G0846	G4226	G1510	G3588	G3962	G4771	G0611	G2424

Οὔτε	ἐμὲ	οἴδατε,	οὔτε	τὸν	Πατέρα	μου.	εἰ	ἐμὲ	ᾔδειτε,	καὶ
—	わたしを	知らず	—	—	父も	わたしの	もし	わたしを	知っていたなら	—
G3777	G1473	G1492	G3777	G3588	G3962	G1473	G1487	G1473	G1492	G2532

τὸν	Πατέρα	μου	ἂν	ᾔδειτε.
—	父も	わたしの	—	知っていただろう
G3588	G3962	G1473	G0302	G1492

すると、彼らはイエスに言った、「あなたの父はどこにいるのか」。イエスは答えられた、「あなたがたは、わたしをもわたしの父をも知っていない。もし、あなたがたがわたしを知っていたなら、わたしの父をも知っていたであろう」。

20

Ταῦτα	τὰ	ῥήματα	ἐλάλησεν	ἐν	τῷ	γαζοφυλακίῳ,	διδάσκων	ἐν	τῷ
これらの	—	言葉を	語った	—	—	賽銭箱の-そばで	教えながら	—	—
G3778	G3588	G4487	G2980	G1722	G3588	G1049	G1321	G1722	G3588

ἱερῷ;	καὶ	οὐδεὶς	ἐπίασεν	αὐτόν,	ὅτι	οὔπω	ἐληλύθει	ἡ	ὥρα
宮で	そして	だれも	捕らえなかった	彼を	なぜなら	まだ	来ていなかった	—	時が
G2411	G2532	G3762	G4084	G0846	G3754	G3768	G2064	G3588	G5610

αὐτοῦ.
彼の
G0846

イエスが宮の内で教えていた時、これらの言葉をさいせん箱のそばで語られたのであるが、イエスの時がまだきていなかったので、だれも捕える者がなかった。

21

Εἶπεν	οὖν	πάλιν	αὐτοῖς,	Ἐγὼ	ὑπάγω	καὶ	ζητήσετέ	με,	καὶ	ἐν
言った	そこで	再び	彼らに	わたしは	去る	そして	探すだろう	わたしを	そして	—
G3004	G3767	G3825	G0846	G1473	G5217	G2532	G2212	G1473	G2532	G1722

τῇ	ἁμαρτίᾳ	ὑμῶν	ἀποθανεῖσθε;	ὅπου	ἐγὼ	ὑπάγω,		
—	罪の-中で	あなたがたの	死ぬだろう	わたしが-いる-ところに	—	—		
G3588	G0266	G4771	G0599	G3699	G1473	G5217		

ὑμεῖς	οὐ	δύνασθε	ἐλθεῖν.	
あなたがたは	—	来ることが-できない	—	
G4771	G3756	G1410	G2064	

さて、また彼らに言われた、「わたしは去って行く。あなたがたはわたしを捜し求めるであろう。そして自分の罪のうちに死ぬであろう。わたしの行く所には、あなたがたは来ることができない」。

22 ἔλεγον 言っていた G3004 οὖν そこで G3767 οἱ ― G3588 Ἰουδαῖοι, ユダヤ人たちは G2453 Μήτι まさか G3385 ἀποκτενεῖ 自殺する G0615 ἑαυτὸν, のだろうか G1438 ὅτι ― G3754 λέγει, 言う G3004 Ὅπου ― G3699
ἐγὼ わたしが G1473 ὑπάγω 行く-ところに G5217 ὑμεῖς, あなたがたは G4771 οὐ ― G3756 δύνασθε 来ることが-できない G1410 ἐλθεῖν? と G2064

そこでユダヤ人たちは言った、「わたしの行く所に、あなたがたは来ることができないと、言ったのは、あるいは自殺でもしようとするつもりか」。

23 καὶ そして G2532 ἔλεγεν 言っていた G3004 αὐτοῖς, 彼らに G0846 Ὑμεῖς あなたがたは G4771 ἐκ ― G1537 τῶν ― G3588 κάτω 下から G2736 ἐστέ, である G1510 ἐγὼ わたしは G1473 ἐκ ― G1537 τῶν ― G3588
ἄνω 上から G0507 εἰμί; である G1510 ὑμεῖς あなたがたは G4771 ἐκ ― G1537 τούτου この G3778 τοῦ ― G3588 κόσμου 世の-者 G2889 ἐστέ, である G1510 ἐγὼ わたしは G1473 οὐκ ない G3756 εἰμὶ ― G1510
ἐκ ― G1537 τοῦ ― G3588 κόσμου 世の-者では G2889 τούτου. この G3778

イエスは彼らに言われた、「あなたがたは下から出た者だが、わたしは上からきた者である。あなたがたはこの世の者であるが、わたしはこの世の者ではない。

24 εἶπον 言った G3004 οὖν それゆえ G3767 ὑμῖν あなたがたに G4771 ὅτι ― G3754 ἀποθανεῖσθε 死ぬだろう G0599 ἐν ― G1722 ταῖς ― G3588 ἁμαρτίαις 罪の-中で G0266 ὑμῶν; あなたがたの G4771
ἐὰν もし G1437 γὰρ なぜなら G1063 μὴ ― G3361 πιστεύσητε 信じなければ G4100 ὅτι ― G3754 ἐγώ わたしが G1473 εἰμι, ある-ということを G1510 ἀποθανεῖσθε 死ぬだろう G0599 ἐν ― G1722
ταῖς ― G3588 ἁμαρτίαις 罪の-中で G0266 ὑμῶν. あなたがたの G4771

だからわたしは、あなたがたは自分の罪のうちに死ぬであろうと、言ったのである。もしわたしがそういう者であることをあなたがたが信じなければ、罪のうちに死ぬことになるからである」。

25 ἔλεγον 言っていた G3004 οὖν そこで G3767 αὐτῷ, 彼に G0846 Σὺ あなたは G4771 τίς だれ G5101 εἶ? なのか G1510 εἶπεν 言った G3004 αὐτοῖς 彼らに G0846 ὁ ― G3588 Ἰησοῦς, イエスは G2424 Τὴν ― G3588
ἀρχὴν 初めから G0746 ὅ¦τι ― G3754 καὶ まさに G2532 λαλῶ 語っている G2980 ὑμῖν. あなたがたに G4771

そこで彼らはイエスに言った、「あなたは、いったい、どういうかたですか」。イエスは彼らに言われた、「わたしがどういう者であるかは、初めからあなたがたに言っているではないか。

26 πολλὰ ἔχω περὶ ὑμῶν λαλεῖν, καὶ κρίνειν; ἀλλ’
多くの–ことを 持っている について あなたがたに–ついて 語り そして さばくことを しかし
G4183 G2192 G4012 G4771 G2980 G2532 G2919 G0235

ὁ πέμψας με ἀληθής ἐστιν, κἀγὼ ἃ ἤκουσα παρ’
— 遣わされた–方は わたしを 真実–であり — わたしは — 聞いたことを から
G3588 G3992 G1473 G0227 G1510 G2504 G3739 G0191 G3844

αὐτοῦ, ταῦτα λαλῶ εἰς τὸν κόσμον.
その–方 それらを 語る — — 世に
G0846 G3778 G2980 G1519 G3588 G2889

あなたがたについて、わたしの言うべきこと、さばくべきことが、たくさんある。しかし、わたしをつかわされたかたは真実なかたである。わたしは、そのかたから聞いたままを世にむかって語るのである」。

27 οὐκ ἔγνωσαν ὅτι τὸν Πατέρα αὐτοῖς ἔλεγεν.
— 悟らなかった — — 父の–ことを 彼らに 語っていたと
G3756 G1097 G3754 G3588 G3962 G0846 G3004

彼らは、イエスが父について話しておられたことを悟らなかった。

28 εἶπεν οὖν [αὐτοῖς] ὁ Ἰησοῦς, Ὅταν ὑψώσητε τὸν Υἱὸν τοῦ
言った そこで 彼らに — イエスは あなたがたが 上げる–とき — 人の–子を —
G3004 G3767 G0846 G3588 G2424 G3752 G5312 G3588 G5207 G3588

ἀνθρώπου, τότε γνώσεσθε ὅτι ἐγώ εἰμι, καὶ ἀπ’ ἐμαυτοῦ
— その–時 知るだろう — わたしが ある–ということを そして から 自分–自身
G0444 G5119 G1097 G3754 G1473 G1510 G2532 G0575 G1683

ποιῶ οὐδέν, ἀλλὰ καθὼς ἐδίδαξέν με ὁ Πατὴρ, ταῦτα λαλῶ.
行わない 何も むしろ のように 教えてくださった わたしに — 父が それらを 語る
G4160 G3762 G0235 G2531 G1321 G1473 G3588 G3962 G3778 G2980

そこでイエスは言われた、「あなたがたが人の子を上げてしまった後はじめて、わたしがそういう者であること、また、わたしは自分からは何もせず、ただ父が教えて下さったままを話していたことが、わかってくるであろう。

29 καὶ ὁ πέμψας με, μετ’ ἐμοῦ ἐστιν; οὐκ ἀφῆκέν
そして — 遣わされた–方は わたしを と–共に わたし おられる — 残されなかった
G2532 G3588 G3992 G1473 G3326 G1473 G1510 G3756 G0863

με μόνον, ὅτι ἐγὼ τὰ ἀρεστὰ αὐτῷ ποιῶ πάντοτε.
わたしを 一人に なぜなら わたしは — 喜ばれることを その–方に 行う いつも
G1473 G3441 G3754 G1473 G3588 G0701 G0846 G4160 G3842

わたしをつかわされたかたは、わたしと一緒におられる。わたしは、いつも神のみこころにかなうことをしているから、わたしをひとり置きざりになさることはない」。

30 Ταῦτα αὐτοῦ λαλοῦντος, πολλοὶ ἐπίστευσαν εἰς αὐτόν.
これらを 彼が 語っているとき 多くの–者が 信じた — 彼を
G3778 G0846 G2980 G4183 G4100 G1519 G0846

これらのことを語られたところ、多くの人々がイエスを信じた。

31 Ἔλεγεν οὖν ὁ Ἰησοῦς πρὸς τοὺς πεπιστευκότας αὐτῷ Ἰουδαίους,
言っていた そこで — イエスは に — 信じた 彼を ユダヤ人たちに
G3004 G3767 G3588 G2424 G4314 G3588 G4100 G0846 G2453

Ἐὰν ὑμεῖς μείνητε ἐν τῷ λόγῳ τῷ ἐμῷ, ἀληθῶς μαθηταί
もし あなたがたが とどまるなら — — 言葉に — わたしの まことに 弟子
G1437 G4771 G3306 G1722 G3588 G3056 G3588 G1699 G0230 G3101

μού ἐστε.
わたしの である
G1473 G1510

イエスは自分を信じたユダヤ人たちに言われた、「もしわたしの言葉のうちにとどまっておるなら、あなたがたは、ほんとうにわたしの弟子なのである。

32 καὶ γνώσεσθε τὴν ἀλήθειαν, καὶ ἡ ἀλήθεια ἐλευθερώσει ὑμᾶς.
そして 知るだろう — 真理を そして — 真理が 自由に-する あなたがたを
G2532 G1097 G3588 G0225 G2532 G3588 G0225 G1659 G4771

また真理を知るであろう。そして真理は、あなたがたに自由を得させるであろう」。

33 ἀπεκρίθησαν πρὸς αὐτόν, Σπέρμα Ἀβραάμ ἐσμεν, καὶ οὐδενὶ
答えた — 彼に 子孫 アブラハムの である そして だれにも
G0611 G4314 G0846 G4690 G0011 G1510 G2532 G3762

δεδουλεύκαμεν πώποτε; πῶς σὺ λέγεις ὅτι, Ἐλεύθεροι
奴隷に-なったことはない いまだかつて どうして あなたは 言うのか — 自由に
G1398 G4455 G4459 G4771 G3004 G3754 G1658

γενήσεσθε?
なるだろう-と
G1096

そこで、彼らはイエスに言った、「わたしたちはアブラハムの子孫であって、人の奴隷になったことなどは、一度もない。どうして、あなたがたに自由を得させるであろうと、言われるのか」。

34 ἀπεκρίθη αὐτοῖς ὁ Ἰησοῦς, Ἀμὴν ἀμὴν λέγω ὑμῖν, ὅτι πᾶς
答えた 彼らに — イエスは まことに まことに 言う あなたがたに — すべて
G0611 G0846 G3588 G2424 G0281 G0281 G3004 G4771 G3754 G3956

ὁ ποιῶν τὴν ἁμαρτίαν, δοῦλός ἐστιν τῆς ἁμαρτίας.
— 行う-者は — 罪を 奴隷 である — 罪の
G3588 G4160 G3588 G0266 G1401 G1510 G3588 G0266

イエスは彼らに答えられた、「よくよくあなたがたに言っておく。すべて罪を犯す者は罪の奴隷である。

35 ὁ δὲ δοῦλος οὐ μένει ἐν τῇ οἰκίᾳ εἰς τὸν αἰῶνα; ὁ
— さて 奴隷は — とどまらない — — 家に — — 永遠に —
G3588 G1161 G1401 G3756 G3306 G1722 G3588 G3614 G1519 G3588 G0165 G3588

υἱὸς μένει εἰς τὸν αἰῶνα.
子は とどまる — — 永遠に
G5207 G3306 G1519 G3588 G0165

そして、奴隷はいつまでも家にいる者ではない。しかし、子はいつまでもいる。

36 ἐὰν οὖν ὁ Υἱὸς ὑμᾶς ἐλευθερώσῃ, ὄντως ἐλεύθεροι ἔσεσθε.
もし それゆえ — 御子が あなたがたを 自由に-するなら 本当に 自由 になるだろう
G1437 G3767 G3588 G5207 G4771 G1659 G3689 G1658 G1510

だから、もし子があなたがたに自由を得させるならば、あなたがたは、ほんとうに自由な者となるのである。

37

οἶδα	ὅτι	σπέρμα	Ἀβραάμ	ἐστε;	ἀλλὰ	ζητεῖτέ	με	
知っている	—	子孫	アブラハムの	であることを	しかし	求めている	わたしを	
G1492	G3754	G4690	G0011	G1510	G0235	G2212	G1473	

ἀποκτεῖναι,	ὅτι	ὁ	λόγος	ὁ	ἐμὸς,	οὐ	χωρεῖ	ἐν	ὑμῖν.
殺そうと	なぜなら	—	言葉が	—	わたしの	—	入らない	—	あなたがたの–中に
G0615	G3754	G3588	G3056	G3588	G1699	G3756	G5562	G1722	G4771

わたしは、あなたがたがアブラハムの子孫であることを知っている。それだのに、あなたがたはわたしを殺そうとしている。わたしの言葉が、あなたがたのうちに根をおろしていないからである。

38

ἃ	ἐγὼ	ἑώρακα	παρὰ	τῷ	Πατρὶ,	λαλῶ;	καὶ	ὑμεῖς	οὖν
—	わたしが	見たことを	—	—	父のもとで	語る	そして	あなたがたも	それで
G3739	G1473	G3708	G3844	G3588	G3962	G2980	G2532	G4771	G3767

ἃ	ἠκούσατε	παρὰ	τοῦ	πατρὸς,	ποιεῖτε.	
—	聞いたことを	から	—	父	行っている	
G3739	G0191	G3844	G3588	G3962	G4160	

わたしはわたしの父のもとで見たことを語っているが、あなたがたは自分の父から聞いたことを行っている」。

39

ἀπεκρίθησαν	καὶ	εἶπαν	αὐτῷ,	Ὁ	πατὴρ	ἡμῶν	Ἀβραάμ	ἐστιν.	λέγει
答えて	そして	言った	彼に	—	父は	わたしたちの	アブラハム	である	言った
G0611	G2532	G3004	G0846	G3588	G3962	G1473	G0011	G1510	G3004

αὐτοῖς	ὁ	Ἰησοῦς,	Εἰ	τέκνα	τοῦ	Ἀβραάμ	ἐστε,	τὰ	ἔργα	τοῦ
彼らに	—	イエスは	もし	子ども	—	アブラハムの	であるなら	—	わざを	—
G0846	G3588	G2424	G1487	G5043	G3588	G0011	G1510	G3588	G2041	G3588

Ἀβραὰμ	ἐποιεῖτε;
アブラハムの	行うはずだ
G0011	G4160

彼らはイエスに答えて言った、「わたしたちの父はアブラハムである」。イエスは彼らに言われた、「もしアブラハムの子であるなら、アブラハムのわざをするがよい。

40

νῦν	δὲ	ζητεῖτέ	με	ἀποκτεῖναι,	ἄνθρωπον	ὃς	τὴν	ἀλήθειαν	
今	しかし	求めている	わたしを	殺そうと	人を	—	—	真理を	
G3568	G1161	G2212	G1473	G0615	G0444	G3739	G3588	G0225	

ὑμῖν	λελάληκα,	ἣν	ἤκουσα	παρὰ	τοῦ	Θεοῦ.	τοῦτο	Ἀβραὰμ	οὐκ	
あなたがたに	語った	—	聞いた	から	—	神	このことを	アブラハムは	—	
G4771	G2980	G3739	G0191	G3844	G3588	G2316	G3778	G0011	G3756	

ἐποίησεν.
しなかった
G4160

ところが今、神から聞いた真理をあなたがたに語ってきたこのわたしを、殺そうとしている。そんなことをアブラハムはしなかった。

41

ὑμεῖς	ποιεῖτε	τὰ	ἔργα	τοῦ	πατρὸς	ὑμῶν.	εἶπαν	[οὖν]	αὐτῷ,	
あなたがたは	行っている	—	わざを	—	父の	あなたがたの	言った	そこで	彼に	
G4771	G4160	G3588	G2041	G3588	G3962	G4771	G3004	G3767	G0846	

Ἡμεῖς	ἐκ	πορνείας	οὐ	γεγεννήμεθα;	ἕνα	Πατέρα	ἔχομεν,	τὸν	Θεόν.
わたしたちは	から	不品行	—	生まれていない	一人の	父を	持っている	—	神を
G1473	G1537	G4202	G3756	G1080	G1520	G3962	G2192	G3588	G2316

あなたがたは、あなたがたの父のわざを行っているのである」。彼らは言った、「わたしたちは、不品行の結果うまれた者ではない。わたしたちにはひとりの父がある。それは神である」。

42

εἶπεν	αὐτοῖς	ὁ	Ἰησοῦς,	Εἰ	ὁ	Θεὸς	Πατὴρ	ὑμῶν	ἦν,
言った	彼らに	—	イエスは	もし	—	神が	父	あなたがたの	であったなら
G3004	G0846	G3588	G2424	G1487	G3588	G2316	G3962	G4771	G1510

ἠγαπᾶτε	ἂν	ἐμέ,	ἐγὼ	γὰρ	ἐκ	τοῦ	Θεοῦ	ἐξῆλθον	καὶ
愛した-だろう	—	わたしを	わたしは	なぜなら	から	—	神	出て来て	そして
G0025	G0302	G1473	G1473	G1063	G1537	G3588	G2316	G1831	G2532

ἥκω;	οὐδὲ	γὰρ	ἀπ’	ἐμαυτοῦ	ἐλήλυθα,	ἀλλ’	ἐκεῖνός	με
ここに-いる	ない	なぜなら	から	自分-自身	来たのでは	むしろ	その-方が	わたしを
G2240	G3761	G1063	G0575	G1683	G2064	G0235	G1565	G1473

ἀπέστειλεν.
遣わした
G0649

イエスは彼らに言われた、「神があなたがたの父であるならば、あなたがたはわたしを愛するはずである。わたしは神から出た者、また神からきている者であるからだ。わたしは自分からきたのではなく、神からつかわされたのである。

43

διὰ	τί	τὴν	λαλιὰν	τὴν	ἐμὴν	οὐ	γινώσκετε?	ὅτι	οὐ
なぜ	—	—	語ることが	—	わたしの	—	分からないのか	なぜなら	—
G1223	G5101	G3588	G2981	G3588	G1699	G3756	G1097	G3754	G3756

δύνασθε	ἀκούειν	τὸν	λόγον	τὸν	ἐμόν.
聞くことが-できない	—	—	言葉を	—	わたしの
G1410	G0191	G3588	G3056	G3588	G1699

どうしてあなたがたは、わたしの話すことがわからないのか。あなたがたが、わたしの言葉を悟ることができないからである。

44

ὑμεῖς	ἐκ	τοῦ	πατρὸς	τοῦ	διαβόλου	ἐστὲ,	καὶ	τὰς	ἐπιθυμίας
あなたがたは	から	—	父	—	悪魔という	である	そして	—	欲望を
G4771	G1537	G3588	G3962	G3588	G1228	G1510	G2532	G3588	G1939

τοῦ	πατρὸς	ὑμῶν	θέλετε	ποιεῖν.	ἐκεῖνος	ἀνθρωποκτόνος	ἦν	ἀπ’
—	父の	あなたがたの	望んで	行おうとする	その者は	人殺し	であった	から
G3588	G3962	G4771	G2309	G4160	G1565	G0443	G1510	G0575

ἀρχῆς,	καὶ	ἐν	τῇ	ἀληθείᾳ	οὐκ	ἔστηκεν,	ὅτι	οὐκ	ἔστιν	ἀλήθεια
初め	そして	—	—	真理に	—	立たなかった	なぜなら	ない	—	真理が
G0746	G2532	G1722	G3588	G0225	G3756	G4739	G3754	G3756	G1510	G0225

ἐν	αὐτῷ.	ὅταν	λαλῇ	τὸ	ψεῦδος,	ἐκ	τῶν	ἰδίων	λαλεῖ;	ὅτι
—	彼の-中に	語る-とき	—	—	偽りを	から	—	自分自身	語る	なぜなら
G1722	G0846	G3752	G2980	G3588	G5579	G1537	G3588	G2398	G2980	G3754

ψεύστης	ἐστὶν,	καὶ	ὁ	πατὴρ	αὐτοῦ.
偽り者	であり	そして	—	偽りの-父	その-ものである
G5583	G1510	G2532	G3588	G3962	G0846

あなたがたは自分の父、すなわち、悪魔から出てきた者であって、その父の欲望どおりを行おうと思っている。彼は初めから、人殺しであって、真理に立つ者ではない。彼のうちには真理がないからである。彼が偽りを言うとき、いつも自分の本音をはいているのである。彼は偽り者であり、偽りの父であるからだ。

45

ἐγὼ	δὲ	ὅτι	τὴν	ἀλήθειαν	λέγω,	οὐ	πιστεύετέ	μοι!
わたしが	しかし	—	—	真理を	語るから	—	信じない	わたしを
G1473	G1161	G3754	G3588	G0225	G3004	G3756	G4100	G1473

しかし、わたしが真理を語っているので、あなたがたはわたしを信じようとしない。

46 τίς ἐξ ὑμῶν ἐλέγχει με περὶ ἁμαρτίας? εἰ
だれが — あなたがたの–中で 責められるか わたしを について 罪 もし
G5101 G1537 G4771 G1651 G1473 G4012 G0266 G1487

ἀλήθειαν λέγω, διὰ τί ὑμεῖς οὐ πιστεύετέ μοι?
真理を 語るなら なぜ — あなたがたは — 信じないのか わたしを
G0225 G3004 G1223 G5101 G4771 G3756 G4100 G1473

あなたがたのうち、だれがわたしに罪があると責めうるのか。わたしは真理を語っているのに、なぜあなたがたは、わたしを信じないのか。

47 ὁ ὢν ἐκ τοῦ Θεοῦ, τὰ ῥήματα τοῦ Θεοῦ ἀκούει; διὰ
— ある–者は — — 神から — 言葉を — 神の 聞く この–ゆえに
G3588 G1510 G1537 G3588 G2316 G3588 G4487 G3588 G2316 G0191 G1223

τοῦτο ὑμεῖς οὐκ ἀκούετε, ὅτι ἐκ τοῦ Θεοῦ, οὐκ ἐστέ.
— あなたがたは — 聞かない なぜなら — — 神から — ではない
G3778 G4771 G3756 G0191 G3754 G1537 G3588 G2316 G3756 G1510

神からきた者は神の言葉に聞き従うが、あなたがたが聞き従わないのは、神からきた者でないからである」。

48 Ἀπεκρίθησαν οἱ Ἰουδαῖοι καὶ εἶπαν αὐτῷ, Οὐ καλῶς λέγομεν
答えた — ユダヤ人たちは そして 言った 彼に — 正しく 言っている
G0611 G3588 G2453 G2532 G3004 G0846 G3756 G2573 G3004

ἡμεῖς ὅτι Σαμαρίτης εἶ σὺ, καὶ δαιμόνιον ἔχεις?
わたしたちが — サマリヤ人で あり あなたは そして 悪霊に 取りつかれていると
G1473 G3754 G4541 G1510 G4771 G2532 G1140 G2192

ユダヤ人たちはイエスに答えて言った、「あなたはサマリヤ人で、悪霊に取りつかれていると、わたしたちが言うのは、当然ではないか」。

49 ἀπεκρίθη Ἰησοῦς, Ἐγὼ δαιμόνιον οὐκ ἔχω; ἀλλὰ τιμῶ τὸν
答えた イエスは わたしは 悪霊に — 取りつかれていない むしろ 敬っている —
G0611 G2424 G1473 G1140 G3756 G2192 G0235 G5091 G3588

Πατέρα μου, καὶ ὑμεῖς ἀτιμάζετέ με.
父を わたしの そして あなたがたは 侮辱している わたしを
G3962 G1473 G2532 G4771 G0818 G1473

イエスは答えられた、「わたしは、悪霊に取りつかれているのではなくて、わたしの父を重んじているのだが、あなたがたはわたしを軽んじている。

50 ἐγὼ δὲ οὐ ζητῶ τὴν δόξαν μου; ἔστιν ὁ ζητῶν καὶ
わたしは しかし — 求めない — 栄光を わたしの おられる — 求め そして
G1473 G1161 G3756 G2212 G3588 G1391 G1473 G1510 G3588 G2212 G2532

κρίνων.
さばく–方が
G2919

わたしは自分の栄光を求めてはいない。それを求めるかたが別にある。そのかたは、またさばくかたである。

51 ἀμὴν ἀμὴν λέγω ὑμῖν, ἐάν τις τὸν ἐμὸν λόγον τηρήσῃ,
まことに まことに 言う あなたがたに もし だれでも — わたしの 言葉を 守るなら
G0281 G0281 G3004 G4771 G1437 G5100 G3588 G1699 G3056 G5083

θάνατον οὐ μὴ θεωρήσῃ, εἰς τὸν αἰῶνα.
死を 決して — 見ない — — 永遠に
G2288 G3756 G3361 G2334 G1519 G3588 G0165

よくよく言っておく。もし人がわたしの言葉を守るならば、その人はいつまでも死を見ることがないであろう」。

52	εἶπον	[οὖν]	αὐτῷ	οἱ	Ἰουδαῖοι,	Νῦν	ἐγνώκαμεν	ὅτι	δαιμόνιον
	言った	そこで	彼に	—	ユダヤ人たちは	今	分かった	—	悪霊に
	G3004	G3767	G0846	G3588	G2453	G3568	G1097	G3754	G1140

ἔχεις.	Ἀβραὰμ	ἀπέθανεν,	καὶ	οἱ	προφῆται,	καὶ	σὺ	λέγεις,	Ἐάν
取りつかれていると	アブラハムは	死んだ	そして	—	預言者たちも	それなのに	あなたは	言う	もし
G2192	G0011	G0599	G2532	G3588	G4396	G2532	G4771	G3004	G1437

τις	τὸν	λόγον	μου	τηρήσῃ,	οὐ	μὴ	γεύσηται	θανάτου,	εἰς
だれでも	—	言葉を	わたしの	守るなら	決して	—	味わわない	死を	—
G5100	G3588	G3056	G1473	G5083	G3756	G3361	G1089	G2288	G1519

τὸν	αἰῶνα.	
—	永遠に-と	
G3588	G0165	

ユダヤ人たちが言った、「あなたが悪霊に取りつかれていることが、今わかった。アブラハムは死に、預言者たちも死んでいる。それだのに、あなたは、わたしの言葉を守る者はいつまでも死を味わうことがないであろうと、言われる。

53	μὴ	σὺ	μείζων	εἶ	τοῦ	πατρὸς	ἡμῶν	Ἀβραάμ,	ὅστις
	まさか	あなたは	偉い	のか	—	父	わたしたちの	アブラハムよりも	その者は
	G3361	G4771	G3173	G1510	G3588	G3962	G1473	G0011	G3748

ἀπέθανεν?	καὶ	οἱ	προφῆται	ἀπέθανον!	τίνα	σεαυτὸν	ποιεῖς?	
死んだ	そして	—	預言者たちも	死んだ	だれに	自分-自身を	しているのか	
G0599	G2532	G3588	G4396	G0599	G5101	G4572	G4160	

あなたは、わたしたちの父アブラハムより偉いのだろうか。彼も死に、預言者たちも死んだではないか。あなたは、いったい、自分をだれと思っているのか」。

54	ἀπεκρίθη	Ἰησοῦς,	Ἐὰν	ἐγὼ	δοξάσω	ἐμαυτόν,	ἡ	δόξα	μου
	答えた	イエスは	もし	わたしが	栄光を-与えるなら	わたし-自身に	—	栄光は	わたしの
	G0611	G2424	G1437	G1473	G1392	G1683	G3588	G1391	G1473

οὐδέν	ἐστιν;	ἔστιν	ὁ	Πατήρ	μου	ὁ	δοξάζων	με,	ὃν
無い-ものである	—	おられる	—	父が	わたしの	—	栄光を-与える-方で	わたしに	その-方を
G3762	G1510	G1510	G3588	G3962	G1473	G3588	G1392	G1473	G3739

ὑμεῖς	λέγετε	ὅτι,	Θεὸς	ἡμῶν	ἐστιν.		
あなたがたは	言っている	—	神	わたしたちの	であると		
G4771	G3004	G3754	G2316	G1473	G1510		

イエスは答えられた、「わたしがもし自分に栄光を帰するなら、わたしの栄光は、むなしいものである。わたしに栄光を与えるかたは、わたしの父であって、あなたがたが自分の神だと言っているのは、そのかたのことである。

55	καὶ	οὐκ	ἐγνώκατε	αὐτόν,	ἐγὼ	δὲ	οἶδα	αὐτόν;	κἂν
	そして	—	知らなかった	その-方を	わたしは	しかし	知っている	その-方を	たとえ
	G2532	G3756	G1097	G0846	G1473	G1161	G1492	G0846	G2579

εἴπω	ὅτι	οὐκ	οἶδα	αὐτόν,	ἔσομαι	ὅμοιος	ὑμῖν,	ψεύστης.	ἀλλὰ
言っても	—	—	知らない	と	なるだろう	同じような	あなたがたと	偽り者に	しかし
G3004	G3754	G3756	G1492	G0846	G1510	G3664	G4771	G5583	G0235

οἶδα	αὐτὸν,	καὶ	τὸν	λόγον	αὐτοῦ	τηρῶ.	
知っている	その-方を	そして	—	言葉を	その-方の	守っている	
G1492	G0846	G2532	G3588	G3056	G0846	G5083	

あなたがたはその神を知っていないが、わたしは知っている。もしわたしが神を知らないと言うならば、あなたがたと同じような偽り者であろう。しかし、わたしはそのかたを知り、その御言を守っている。

56 Ἀβραὰμ ὁ πατὴρ ὑμῶν ἠγαλλιάσατο ἵνα ἴδῃ τὴν ἡμέραν
アブラハムは — 父 あなたがたの 喜んだ — 見ることを — 日を
G0011 G3588 G3962 G4771 G0021 G2443 G3708 G3588 G2250

τὴν ἐμήν, καὶ εἶδεν καὶ ἐχάρη.
— わたしの そして 見て そして 喜んだ
G3588 G1699 G2532 G3708 G2532 G5463

あなたがたの父アブラハムは、わたしのこの日を見ようとして楽しんでいた。そしてそれを見て喜んだ」。

57 εἶπον οὖν οἱ Ἰουδαῖοι πρὸς αὐτόν, Πεντήκοντα ἔτη οὔπω ἔχεις,
言った そこで — ユダヤ人たちは — 彼に 五十 歳 まだ ないのに
G3004 G3767 G3588 G2453 G4314 G0846 G4004 G2094 G3768 G2192

καὶ Ἀβραὰμ ἑώρακας?
それなのに アブラハムを 見たのか
G2532 G0011 G3708

そこでユダヤ人たちはイエスに言った、「あなたはまだ五十にもならないのに、アブラハムを見たのか」。

58 εἶπεν αὐτοῖς Ἰησοῦς, Ἀμὴν ἀμὴν λέγω ὑμῖν, πρὶν Ἀβραὰμ
言った 彼らに イエスは まことに まことに 言う あなたがたに 前に アブラハムが
G3004 G0846 G2424 G0281 G0281 G3004 G4771 G4250 G0011

γενέσθαι, ἐγὼ εἰμί.
生まれる わたしは ある
G1096 G1473 G1510

イエスは彼らに言われた、「よくよくあなたがたに言っておく。アブラハムの生れる前からわたしは、いるのである」。

59 ἦραν οὖν λίθους, ἵνα βάλωσιν ἐπ' αὐτόν; Ἰησοῦς δὲ ἐκρύβη,
拾い上げた そこで 石を — 投げつけようと — 彼に イエスは しかし 身を–隠し
G0142 G3767 G3037 G2443 G0906 G1909 G0846 G2424 G1161 G2928

καὶ ἐξῆλθεν ἐκ τοῦ ἱεροῦ, <διελθὼν διὰ μέσου αὐτῶν, καὶ
そして 出て行った — — 宮から 通り抜けて — 彼らの–真ん中を — そして
G2532 G1831 G1537 G3588 G2411 G1330 G1223 G3319 G0846 G2532

παρῆγεν οὕτως>.
去って行った そのまま
G3855 G3779

そこで彼らは石をとって、イエスに投げつけようとした。しかし、イエスは身を隠して、宮から出て行かれた。

Chapter 9

1 Καὶ παράγων, εἶδεν ἄνθρωπον τυφλὸν ἐκ γενετῆς.
そして 通りかかりに 見た 人を 盲目の — 生まれつきの
G2532 G3855 G3708 G0444 G5185 G1537 G1079

イエスが道をとおっておられるとき、生れつきの盲人を見られた。

2 καὶ ἠρώτησαν αὐτὸν οἱ μαθηταὶ αὐτοῦ λέγοντες, Ῥαββί, τίς
そして 尋ねた 彼に — 弟子たちが 彼の 言って 先生 だれが
G2532 G2065 G0846 G3588 G3101 G0846 G3004 G4461 G5101

ἥμαρτεν, οὗτος ἢ οἱ γονεῖς αὐτοῦ, ἵνα τυφλὸς γεννηθῇ?
罪を–犯したのか この–者が それとも — 両親が 彼の — 盲目に 生まれたのか
G0264 G3778 G2228 G3588 G1118 G0846 G2443 G5185 G1080

弟子たちはイエスに尋ねて言った、「先生、この人が生れつき盲人なのは、だれが罪を犯したためですか。本人ですか、それともその両親ですか」。

3 ἀπεκρίθη Ἰησοῦς, Οὔτε οὗτος ἥμαρτεν, οὔτε οἱ γονεῖς αὐτοῦ;
答えた イエスは — この–者が 罪を–犯したのでも ない — 両親がでも 彼の
G0611 G2424 G3777 G3778 G0264 G3777 G3588 G1118 G0846

ἀλλ’ ἵνα φανερωθῇ τὰ ἔργα τοῦ Θεοῦ ἐν αὐτῷ.
むしろ — 現れるために — わざが — 神の — 彼において
G0235 G2443 G5319 G3588 G2041 G3588 G2316 G1722 G0846

イエスは答えられた、「本人が罪を犯したのでもなく、また、その両親が犯したのでもない。ただ神のみわざが、彼の上に現れるためである。

4 ἡμᾶς δεῖ ἐργάζεσθαι τὰ ἔργα τοῦ πέμψαντός με,
わたしたちは ねばならない 行わなければ — わざを — 遣わされた–方の わたしを
G1473 G1163 G2038 G3588 G2041 G3588 G3992 G1473

ἕως ἡμέρα ἐστίν; ἔρχεται νὺξ, ὅτε οὐδεὶς δύναται ἐργάζεσθαι.
うちに 昼が ある 来る 夜が その–時 だれも できない 働くことが
G2193 G2250 G1510 G2064 G3571 G3753 G3762 G1410 G2038

わたしたちは、わたしをつかわされたかたのわざを、昼の間にしなければならない。夜が来る。すると、だれも働けなくなる。

5 ὅταν ἐν τῷ κόσμῳ ὦ, φῶς εἰμι τοῦ κόσμου.
いる–限り — — 世に — 光 である — 世の
G3752 G1722 G3588 G2889 G1510 G5457 G1510 G3588 G2889

わたしは、この世にいる間は、世の光である」。

6 ταῦτα εἰπὼν, ἔπτυσεν χαμαὶ, καὶ ἐποίησεν πηλὸν ἐκ τοῦ πτύσματος,
これらを 言って 唐を–吐いた 地面に そして 作った 泥を — — 唐で
G3778 G3004 G4429 G5476 G2532 G4160 G4081 G1537 G3588 G4427

καὶ ἐπέχρισεν αὐτοῦ τὸν πηλὸν ἐπὶ τοὺς ὀφθαλμούς.
そして 塗った 彼の — 泥を — — 目に
G2532 G2025 G0846 G3588 G4081 G1909 G3588 G3788

イエスはそう言って、地につばきをし、そのつばきで、どろをつくり、そのどろを盲人の目に塗って言われた、

7 καὶ εἶπεν αὐτῷ, Ὕπαγε, νίψαι εἰς τὴν κολυμβήθραν τοῦ Σιλωάμ,
そして 言った 彼に 行きなさい 洗いなさい — — 池で — シロアムの
G2532 G3004 G0846 G5217 G3538 G1519 G3588 G2861 G3588 G4611

ὃ ἑρμηνεύεται, Ἀπεσταλμένος. ἀπῆλθεν οὖν καὶ ἐνίψατο, καὶ ἦλθεν
それは 訳すると 遣わされた–者 行った そこで そして 洗って そして 来た
G3739 G2059 G0649 G0565 G3767 G2532 G3538 G2532 G2064

βλέπων.
見えるようになって
G0991

「シロアム（つかわされた者、の意）の池に行って洗いなさい」。そこで彼は行って洗った。そして見えるようになって、帰って行った。

8 Οἱ — G3588 οὖν そこで G3767 γείτονες, 近所の–人たちと G1069 καὶ そして G2532 οἱ — G3588 θεωροῦντες 見ていた–者たちは G2334 αὐτὸν 彼を G0846 τὸ — G3588 πρότερον, 以前 G4386

ὅτι — G3754 προσαίτης 物乞い G4319 ἦν, だったと G1510 ἔλεγον, 言っていた G3004 Οὐχ ではないか G3756 οὗτός この–者は G3778 ἐστιν — G1510 ὁ — G3588 καθήμενος 座って G2521 καὶ そして G2532

προσαιτῶν? 物乞いしていた G4319

近所の人々や、彼がもと、こじきであったのを見知っていた人々が言った、「この人は、すわってこじきをしていた者ではないか」。

9 ἄλλοι ある–者たちは G0243 ἔλεγον, 言っていた G3004 ὅτι — G3754 Οὗτός この–者だ G3778 ἐστιν, と G1510 ἄλλοι, ほかの–者たちは G0243 ἔλεγον, 言っていた G3004 Οὐχί, いいえ G3780 ἀλλὰ むしろ G0235

ὅμοιος 似ている G3664 αὐτῷ 彼に G0846 ἐστιν. だけだ G1510 ἐκεῖνος 彼は G1565 ἔλεγεν 言っていた G3004 ὅτι, — G3754 Ἐγώ わたし G1473 εἰμι である G1510

ある人々は「その人だ」と言い、他の人々は「いや、ただあの人に似ているだけだ」と言った。しかし、本人は「わたしがそれだ」と言った。

10 ἔλεγον 言っていた G3004 οὖν そこで G3767 αὐτῷ, 彼に G0846 Πῶς どうして G4459 οὖν それで G3767 ἠνεῴχθησάν 開かれたのか G0455 σου あなたの G4771 οἱ — G3588 ὀφθαλμοί? 目が G3788

そこで人々は彼に言った、「では、おまえの目はどうしてあいたのか」。

11 ἀπεκρίθη 答えた G0611 ἐκεῖνος, 彼は G1565 Ὁ — G3588 ἄνθρωπος 人で G0444 ὁ — G3588 λεγόμενος 呼ばれている G3004 Ἰησοῦς イエスという G2424 πηλὸν 泥を G4081 ἐποίησεν, 作って G4160

καὶ そして G2532 ἐπέχρισέν 塗った G2025 μου わたしの G1473 τοὺς — G3588 ὀφθαλμοὺς; 目に G3788 καὶ そして G2532 εἶπέν 言った G3004 μοι, わたしに G1473 ὅτι — G3754 Ὕπαγε 行きなさい G5217

εἰς — G1519 τὸν — G3588 Σιλωὰμ シロアムへ G4611 καὶ そして G2532 νίψαι. 洗いなさいと G3538 ἀπελθὼν 行って G0565 οὖν そこで G3767 καὶ そして G2532 νιψάμενος, 洗って G3538

ἀνέβλεψα. 見えるようになった G0308

彼は答えた、「イエスというかたが、どろをつくって、わたしの目に塗り、『シロアムに行って洗え』と言われました。それで、行って洗うと、見えるようになりました」。

12 καὶ そして G2532 εἶπαν 言った G3004 αὐτῷ, 彼に G0846 Ποῦ どこに G4226 ἐστιν いるのか G1510 ἐκεῖνος? その–者は G1565 λέγει, 言った G3004 Οὐκ — G3756 οἶδα. 知らない G1492

人々は彼に言った、「その人はどこにいるのか」。彼は「知りません」と答えた。

13 Ἄγουσιν αὐτὸν πρὸς τοὺς Φαρισαίους, τόν ποτε τυφλόν.
連れて行った 彼を — — パリサイ人たちのもとに — かつて 盲目だった–者を
G0071 G0846 G4314 G3588 G5330 G3588 G4218 G5185

人々は、もと盲人であったこの人を、パリサイ人たちのところにつれて行った。

14 ἦν δὲ σάββατον ἐν ᾗ ἡμέρᾳ τὸν πηλὸν ἐποίησεν ὁ Ἰησοῦς, καὶ ἀνέῳξεν αὐτοῦ τοὺς ὀφθαλμούς.
あった さて 安息日であった — その 日に — 泥を 作った — イエスが そして 開いた 彼の — 目を
G1510 G1161 G4521 G1722 G3739 G2250 G3588 G4081 G4160 G3588 G2424 G2532 G0455 G0846 G3588 G3788

イエスがどろをつくって彼の目をあけたのは、安息日であった。

15 πάλιν οὖν ἠρώτων αὐτὸν καὶ οἱ Φαρισαῖοι πῶς ἀνέβλεψεν. ὁ δὲ εἶπεν αὐτοῖς, Πηλὸν ἐπέθηκέν μου ἐπὶ τοὺς ὀφθαλμούς, καὶ ἐνιψάμην, καὶ βλέπω.
再び そこで 尋ねていた 彼に も — パリサイ人たちが どうして 見えるようになったのかを — すると 言った 彼らに 泥を 置いた わたしの — — 目に そして 洗って そして 見える
G3825 G3767 G2065 G0846 G2532 G3588 G5330 G4459 G0308 G3588 G1161 G3004 G0846 G4081 G2007 G1473 G1909 G3588 G3788 G2532 G3538 G2532 G0991

パリサイ人たちもまた、「どうして見えるようになったのか」、と彼に尋ねた。彼は答えた、「あのかたがわたしの目にどろを塗り、わたしがそれを洗い、そして見えるようになりました」。

16 ἔλεγον οὖν ἐκ τῶν Φαρισαίων τινές, Οὐκ ἔστιν οὗτος παρὰ Θεοῦ ὁ ἄνθρωπος, ὅτι τὸ σάββατον οὐ τηρεῖ. ἄλλοι [δὲ] ἔλεγον, Πῶς δύναται ἄνθρωπος ἁμαρτωλὸς τοιαῦτα σημεῖα ποιεῖν? καὶ σχίσμα ἦν ἐν αὐτοῖς.
言っていた そこで — — パリサイ人たちの–中の ある–者たちが ではない — この–者は からの 神 — 人では なぜなら — 安息日を — 守らない ほかの–者たちは しかし 言っていた どうして できるのか 人が 罪人の このような しるしを 行うことが そして 分裂が あった — 彼らの–中に
G3004 G3767 G1537 G3588 G5330 G5100 G3756 G1510 G3778 G3844 G2316 G3588 G0444 G3754 G3588 G4521 G3756 G5083 G0243 G1161 G3004 G4459 G1410 G0444 G0268 G5108 G4592 G4160 G2532 G4978 G1510 G1722 G0846

そこで、あるパリサイ人たちが言った、「その人は神からきた人ではない。安息日を守っていないのだから」。しかし、ほかの人々は言った、「罪のある人が、どうしてそのようなしるしを行うことができようか」。そして彼らの間に分争が生じた。

17 λέγουσιν οὖν τῷ τυφλῷ πάλιν, Τί σὺ λέγεις περὶ αὐτοῦ, ὅτι ἠνέῳξέν σου τοὺς ὀφθαλμούς? ὁ δὲ εἶπεν, ὅτι Προφήτης ἐστίν.
言った そこで — 盲目の–者に 再び 何と あなたは 言うのか について 彼 — 開いた あなたの — 目を — すると 言った — 預言者 である
G3004 G3767 G3588 G5185 G3825 G5101 G4771 G3004 G4012 G0846 G3754 G0455 G4771 G3588 G3788 G3588 G1161 G3004 G3754 G4396 G1510

そこで彼らは、もう一度この盲人に聞いた、「おまえの目をあけてくれたその人を、どう思うか」。「預言者だと思います」と彼は言った。

18 οὐκ — G3756 ἐπίστευσαν 信じなかった G4100 οὖν そこで G3767 οἱ — G3588 Ἰουδαῖοι ユダヤ人たちは G2453 περὶ について G4012 αὐτοῦ, 彼 G0846 ὅτι — G3754 ἦν あった G1510 τυφλὸς 盲目で G5185
καὶ そして G2532 ἀνέβλεψεν, 見えるようになったと G0308 ἕως まで G2193 ὅτου — G3755 ἐφώνησαν 呼んだ G5455 τοὺς — G3588 γονεῖς 両親を G1118 αὐτοῦ 彼の G0846 τοῦ — G3588
ἀναβλέψαντος.
見えるようになった–者の
G0308

ユダヤ人たちは、彼がもと盲人であったが見えるようになったことを、まだ信じなかった。ついに彼らは、目が見えるようになったこの人の両親を呼んで、

19 καὶ そして G2532 ἠρώτησαν 尋ねた G2065 αὐτοὺς 彼らに G0846 λέγοντες, 言って G3004 Οὗτός この–者が G3778 ἐστιν — G1510 ὁ — G3588 υἱὸς 息子 G5207 ὑμῶν, あなたがたの G4771 ὃν — G3739
ὑμεῖς あなたがたが G4771 λέγετε 言っている G3004 ὅτι — G3754 τυφλὸς 盲目で G5185 ἐγεννήθη? 生まれたという G1080 πῶς どうして G4459 οὖν それで G3767 βλέπει 見えるのか G0991 ἄρτι? 今 G0737

尋ねて言った、「これが、生れつき盲人であったと、おまえたちの言っているむすこか。それではどうして、いま目が見えるのか」。

20 ἀπεκρίθησαν 答えた G0611 οὖν そこで G3767 οἱ — G3588 γονεῖς 両親は G1118 αὐτοῦ 彼の G0846 καὶ そして G2532 εἶπαν, 言った G3004 Οἴδαμεν 知っている G1492 ὅτι — G3754 οὗτός この–者が G3778
ἐστιν — G1510 ὁ — G3588 υἱὸς 息子 G5207 ἡμῶν, わたしたちの G1473 καὶ そして G2532 ὅτι — G3754 τυφλὸς 盲目で G5185 ἐγεννήθη. 生まれたことを G1080

両親は答えて言った、「これがわたしどものむすこであること、また生れつき盲人であったことは存じています。

21 πῶς どうして G4459 δὲ しかし G1161 νῦν 今 G3568 βλέπει, 見えるのか G0991 οὐκ — G3756 οἴδαμεν, 知らない G1492 ἢ あるいは G2228 τίς だれが G5101 ἤνοιξεν 開いたのか G0455 αὐτοῦ 彼の G0846
τοὺς — G3588 ὀφθαλμοὺς, 目を G3788 ἡμεῖς わたしたちは G1473 οὐκ — G3756 οἴδαμεν; 知らない G1492 αὐτὸν 彼に G0846 ἐρωτήσατε; 尋ねなさい G2065 ἡλικίαν 年齢が G2244 ἔχει ある G2192
αὐτὸς; 彼には G0846 περὶ について G4012 ἑαυτοῦ, 自分–自身 G1438 λαλήσει. 語るだろう G2980

しかし、どうしていま見えるようになったのか、それは知りません。また、だれがその目をあけて下さったのかも知りません。あれに聞いて下さい。あれはもうおとなですから、自分のことは自分で話せるでしょう」。

22 ταῦτα εἶπαν οἱ γονεῖς αὐτοῦ, ὅτι ἐφοβοῦντο τοὺς Ἰουδαίους;
これらのことを 言った ― 両親は 彼の なぜなら 恐れていた ― ユダヤ人たちを
G3778 G3004 G3588 G1118 G0846 G3754 G5399 G3588 G2453

ἤδη γὰρ συνετέθειντο οἱ Ἰουδαῖοι, ἵνα ἐάν τις αὐτὸν
すでに なぜなら 決めていた ― ユダヤ人たちは ― もし だれかが 彼を
G2235 G1063 G4934 G3588 G2453 G2443 G1437 G5100 G0846

ὁμολογήσῃ Χριστόν, ἀποσυνάγωγος γένηται.
告白するなら キリストと 会堂から-追放 になると
G3670 G5547 G0656 G1096

両親はユダヤ人たちを恐れていたので、こう答えたのである。それは、もしイエスをキリストと告白する者があれば、会堂から追い出すことに、ユダヤ人たちが既に決めていたからである。

23 διὰ τοῦτο οἱ γονεῖς αὐτοῦ εἶπαν ὅτι, Ἡλικίαν ἔχει, αὐτὸν
この-ゆえに ― ― 両親は 彼の 言った ― 年齢が ある 彼に
G1223 G3778 G3588 G1118 G0846 G3004 G3754 G2244 G2192 G0846

ἐπερωτήσατε.
尋ねなさいと
G1905

彼の両親が「おとなですから、あれに聞いて下さい」と言ったのは、そのためであった。

24 Ἐφώνησαν οὖν τὸν ἄνθρωπον ἐκ δευτέρου ὃς ἦν τυφλὸς, καὶ
呼んだ そこで ― 人を ― 二度-目に ― あった 盲目だった そして
G5455 G3767 G3588 G0444 G1537 G1208 G3739 G1510 G5185 G2532

εἶπαν αὐτῷ, Δὸς δόξαν τῷ Θεῷ; ἡμεῖς οἴδαμεν ὅτι οὗτος ὁ
言った 彼に 与えなさい 栄光を ― 神に わたしたちは 知っている ― この ―
G3004 G0846 G1325 G1391 G3588 G2316 G1473 G1492 G3754 G3778 G3588

ἄνθρωπος ἁμαρτωλός ἐστιν.
人が 罪人 であることを
G0444 G0268 G1510

そこで彼らは、盲人であった人をもう一度呼んで言った、「神に栄光を帰するがよい。あの人が罪人であることは、わたしたちにはわかっている」。

25 ἀπεκρίθη οὖν ἐκεῖνος, Εἰ ἁμαρτωλός ἐστιν οὐκ οἶδα. ἓν οἶδα,
答えた そこで 彼は もし 罪人で あるか ― 知らない 一つ 知っている
G0611 G3767 G1565 G1487 G0268 G1510 G3756 G1492 G1520 G1492

ὅτι τυφλὸς ὢν, ἄρτι βλέπω.
― 盲目で あって 今 見えることを
G3754 G5185 G1510 G0737 G0991

すると彼は言った、「あのかたが罪人であるかどうか、わたしは知りません。ただ一つのことだけ知っています。わたしは盲であったが、今は見えるということです」。

26 εἶπον οὖν αὐτῷ, Τί ἐποίησέν σοι? πῶς ἤνοιξέν σου τοὺς
言った そこで 彼に 何を したのか あなたに どうして 開いたのか あなたの ―
G3004 G3767 G0846 G5101 G4160 G4771 G4459 G0455 G4771 G3588

ὀφθαλμούς?
目を
G3788

そこで彼らは言った、「その人はおまえに何をしたのか。どんなにしておまえの目をあけたのか」。

27 ἀπεκρίθη 答えた G0611 | αὐτοῖς, 彼らに G0846 | Εἶπον 言った G3004 | ὑμῖν あなたがたに G4771 | ἤδη, すでに G2235 | καὶ そして G2532 | οὐκ — G3756 | ἠκούσατε. 聞かなかった G0191 | τί なぜ G5101 | πάλιν 再び G3825

θέλετε 望むのか G2309 | ἀκούειν? 聞くことを G0191 | μὴ まさか G3361 | καὶ も G2532 | ὑμεῖς あなたがたも G4771 | θέλετε 望むのか G2309 | αὐτοῦ 彼の G0846 | μαθηταὶ 弟子に G3101 | γενέσθαι? なることを G1096

彼は答えた、「そのことはもう話してあげたのに、聞いてくれませんでした。なぜまた聞こうとするのですか。あなたがたも、あの人の弟子になりたいのですか」。

28 καὶ そして G2532 | ἐλοιδόρησαν 罵った G3058 | αὐτὸν, 彼を G0846 | καὶ そして G2532 | εἶπον, 言った G3004 | Σὺ あなたは G4771 | μαθητὴς 弟子だ G3101 | εἶ — G1510 | ἐκείνου; あの-者の G1565

ἡμεῖς わたしたちは G1473 | δὲ しかし G1161 | τοῦ — G3588 | Μωϋσέως モーセの G3475 | ἐσμὲν である G1510 | μαθηταί. 弟子 G3101

そこで彼らは彼をののしって言った、「おまえはあれの弟子だが、わたしたちはモーセの弟子だ。

29 ἡμεῖς わたしたちは G1473 | οἴδαμεν 知っている G1492 | ὅτι — G3754 | Μωϋσεῖ モーセに G3475 | λελάληκεν 語ったことを G2980 | ὁ — G3588 | Θεός; 神が G2316 | τοῦτον この-者については G3778 | δὲ しかし G1161

οὐκ — G3756 | οἴδαμεν 知らない G1492 | πόθεν どこから G4159 | ἐστίν. 来たのか G1510

モーセに神が語られたということは知っている。だが、あの人がどこからきた者か、わたしたちは知らぬ」。

30 ἀπεκρίθη 答えた G0611 | ὁ — G3588 | ἄνθρωπος その-人は G0444 | καὶ そして G2532 | εἶπεν 言った G3004 | αὐτοῖς, 彼らに G0846 | Ἐν ここにこそ G1722 | τούτῳ — G3778 | γὰρ なぜなら G1063 | τὸ — G3588

θαυμαστόν 驚くべきことが G2298 | ἐστιν, ある G1510 | ὅτι — G3754 | ὑμεῖς あなたがたが G4771 | οὐκ — G3756 | οἴδατε 知らない G1492 | πόθεν どこから G4159 | ἐστίν, 来たのか G1510 | καὶ それなのに G2532

ἤνοιξέν 開いた G0455 | μου わたしの G1473 | τοὺς — G3588 | ὀφθαλμούς. 目を G3788

そこで彼が答えて言った、「わたしの目をあけて下さったのに、そのかたがどこからきたか、ご存じないとは、不思議千万です。

31 οἴδαμεν 知っている G1492 | ὅτι — G3754 | «ὁ — G3588 | Θεὸς» 神は G2316 | ἁμαρτωλῶν 罪人たちの G0268 | οὐκ — G3756 | ἀκούει; 聞かない G0191 | ἀλλ’ しかし G0235 | ἐάν もし G1437 | τις だれかが G5100

θεοσεβὴς 神を-敬う-者で G2318 | ᾖ, あり G1510 | καὶ そして G2532 | τὸ — G3588 | θέλημα みこころを G2307 | αὐτοῦ その-方の G0846 | ποιῇ, 行うなら G4160 | τούτου その-人の G3778 | ἀκούει. 聞く G0191

わたしたちはこのことを知っています。神は罪人の言うことはお聞きいれになりませんが、神を敬い、そのみこころを行う人の言うことは、聞きいれて下さいます。

32

ἐκ	τοῦ	αἰῶνος	οὐκ	ἠκούσθη,	ὅτι	ἠνέῳξέν	τις	ὀφθαλμοὺς
—	—	世の–初めから	—	聞いたことがない	—	開いたと	だれかが	目を
G1537	G3588	G0165	G3756	G0191	G3754	G0455	G5100	G3788

τυφλοῦ	γεγεννημένου.
盲目の–者の	生まれつきの
G5185	G1080

生れつき盲であった者の目をあけた人があるということは、世界が始まって以来、聞いたことがありません。

33

εἰ	μὴ	ἦν	οὗτος	παρὰ	Θεοῦ,	οὐκ	ἠδύνατο
もし	—	あったのでなければ	この–者が	からの	神	—	できなかっただろう
G1487	G3361	G1510	G3778	G3844	G2316	G3756	G1410

ποιεῖν	οὐδέν.
行うことが	何も
G4160	G3762

もしあのかたが神からきた人でなかったら、何一つできなかったはずです」。

34

ἀπεκρίθησαν	καὶ	εἶπαν	αὐτῷ,	Ἐν	ἁμαρτίαις	σὺ	ἐγεννήθης	ὅλος,
答えて	そして	言った	彼に	—	罪の–中で	あなたは	生まれた	全くの
G0611	G2532	G3004	G0846	G1722	G0266	G4771	G1080	G3650

καὶ	σὺ	διδάσκεις	ἡμᾶς?	καὶ	ἐξέβαλον	αὐτὸν	ἔξω.
それなのに	あなたが	教えるのか	わたしたちを	そして	追い出した	彼を	外へ
G2532	G4771	G1321	G1473	G2532	G1544	G0846	G1854

これを聞いて彼らは言った、「おまえは全く罪の中に生れていながら、わたしたちを教えようとするのか」。そして彼を外へ追い出した。

35

Ἤκουσεν	Ἰησοῦς	ὅτι	ἐξέβαλον	αὐτὸν	ἔξω,	καὶ	εὑρὼν	αὐτὸν	εἶπεν,
聞いた	イエスは	—	追い出したことを	彼を	外に	そして	見つけて	彼に	言った
G0191	G2424	G3754	G1544	G0846	G1854	G2532	G2147	G0846	G3004

Σὺ	πιστεύεις	εἰς	τὸν	Υἱὸν	τοῦ	ἀνθρώπου?
あなたは	信じるか	—	—	人の–子を	—	—
G4771	G4100	G1519	G3588	G5207	G3588	G0444

イエスは、その人が外へ追い出されたことを聞かれた。そして彼に会って言われた、「あなたは人の子を信じるか」。

36

ἀπεκρίθη	ἐκεῖνος	καὶ	εἶπεν,	Καὶ	τίς	ἐστιν,	Κύριε,	ἵνα	πιστεύσω
答えた	彼は	そして	言った	そして	だれ	なのですか	主よ	—	信じます
G0611	G1565	G2532	G3004	G2532	G5101	G1510	G2962	G2443	G4100

εἰς	αὐτόν?
—	その–方を
G1519	G0846

彼は答えて言った、「主よ、それはどなたですか。そのかたを信じたいのですが」。

37

εἶπεν	αὐτῷ	ὁ	Ἰησοῦς,	Καὶ	ἑώρακας	αὐτὸν,	καὶ	ὁ	λαλῶν
言った	彼に	—	イエスは	—	見た	その–方を	そして	—	語っている–者が
G3004	G0846	G3588	G2424	G2532	G3708	G0846	G2532	G3588	G2980

μετὰ	σοῦ	ἐκεῖνός	ἐστιν.
と–共に	あなた	その–者	である
G3326	G4771	G1565	G1510

イエスは彼に言われた、「あなたは、もうその人に会っている。今あなたと話しているのが、その人である」。

38 ὁ δὲ ἔφη, Πιστεύω, Κύριε; καὶ προσεκύνησεν αὐτῷ.
— すると 言った 信じます 主よ そして ひれ伏した 彼に
G3588 G1161 G5346 G4100 G2962 G2532 G4352 G0846

すると彼は、「主よ、信じます」と言って、イエスを拝した。

39 καὶ εἶπεν ὁ Ἰησοῦς, Εἰς κρίμα ἐγὼ εἰς τὸν κόσμον τοῦτον
そして 言った — イエスは ために さばきの わたしは — — 世に この
G2532 G3004 G3588 G2424 G1519 G2917 G1473 G1519 G3588 G2889 G3778

ἦλθον, ἵνα οἱ μὴ βλέποντες, βλέπωσιν; καὶ οἱ βλέποντες, τυφλοὶ
来た — — — 見えない–者が 見えるようになり そして — 見える–者が 盲目に
G2064 G2443 G3588 G3361 G0991 G0991 G2532 G3588 G0991 G5185

γένωνται.
なるために
G1096

そこでイエスは言われた、「わたしがこの世にきたのは、さばくためである。すなわち、見えない人たちが見えるようになり、見える人たちが見えないようになるためである」。

40 ἤκουσαν ἐκ τῶν Φαρισαίων ταῦτα, οἱ μετ’ αὐτοῦ
聞いた — — パリサイ人たちの–中の これらのことを — と–共に 彼
G0191 G1537 G3588 G5330 G3778 G3588 G3326 G0846

ὄντες. καὶ εἶπον αὐτῷ, Μὴ καὶ ἡμεῖς τυφλοί ἐσμεν?
いた–者たちが そして 言った 彼に まさか も わたしたちも 盲目 なのか
G1510 G2532 G3004 G0846 G3361 G2532 G1473 G5185 G1510

そこにイエスと一緒にいたあるパリサイ人たちが、それを聞いてイエスに言った、「それでは、わたしたちも盲なのでしょうか」。

41 εἶπεν αὐτοῖς ὁ Ἰησοῦς, Εἰ τυφλοὶ ἦτε, οὐκ ἂν εἴχετε
言った 彼らに — イエスは もし 盲目で あったなら — — 持たなかっただろう
G3004 G0846 G3588 G2424 G1487 G5185 G1510 G3756 G0302 G2192

ἁμαρτίαν; νῦν δὲ λέγετε ὅτι, Βλέπομεν, ἡ ἁμαρτία ὑμῶν μένει.
罪を 今 しかし 言っている — 見えると — 罪は あなたがたの 残る
G0266 G3568 G1161 G3004 G3754 G0991 G3588 G0266 G4771 G3306

イエスは彼らに言われた、「もしあなたがたが盲人であったなら、罪はなかったであろう。しかし、今あなたがたが『見える』と言い張るところに、あなたがたの罪がある。

Chapter 10

1 Ἀμὴν ἀμὴν λέγω ὑμῖν, ὁ μὴ εἰσερχόμενος διὰ τῆς θύρας,
まことに まことに 言う あなたがたに — — 入らない–者が 通って — 門を
G0281 G0281 G3004 G4771 G3588 G3361 G1525 G1223 G3588 G2374

εἰς τὴν αὐλὴν τῶν προβάτων, ἀλλὰ ἀναβαίνων ἀλλαχόθεν, ἐκεῖνος
— — 囲いに — 羊の むしろ 登る–者は 別の–ところから その–者は
G1519 G3588 G0833 G3588 G4263 G0235 G0305 G0237 G1565

κλέπτης ἐστὶν καὶ λῃστής.
盗人であり — そして 強盗である
G2812 G1510 G2532 G3027

よくよくあなたがたに言っておく。羊の囲いにはいるのに、門からでなく、ほかの所からのりこえて来る者は、盗人であり、強盗である。

2

ὁ	δὲ	εἰσερχόμενος	διὰ	τῆς	θύρας,	ποιμήν	ἐστιν	τῶν	προβάτων.
—	しかし	入る–者は	通って	—	門を	羊飼いである	—	—	羊の
G3588	G1161	G1525	G1223	G3588	G2374	G4166	G1510	G3588	G4263

門からはいる者は、羊の羊飼である。

3

τούτῳ	ὁ	θυρωρὸς	ἀνοίγει,	καὶ	τὰ	πρόβατα	τῆς	φωνῆς	αὐτοῦ
この–者に	—	門番が	開く	そして	—	羊は	—	声を	彼の
G3778	G3588	G2377	G0455	G2532	G3588	G4263	G3588	G5456	G0846

ἀκούει,	καὶ	τὰ	ἴδια	πρόβατα	φωνεῖ	κατ’	ὄνομα,	καὶ	ἐξάγει	αὐτά.
聞く	そして	—	自分の	羊を	呼ぶ	それぞれ	名前で	そして	連れ出す	それらを
G0191	G2532	G3588	G2398	G4263	G5455	G2596	G3686	G2532	G1806	G0846

門番は彼のために門を開き、羊は彼の声を聞く。そして彼は自分の羊の名をよんで連れ出す。

4

ὅταν	τὰ	ἴδια	πάντα	ἐκβάλῃ	ἔμπροσθεν	αὐτῶν,	πορεύεται;	καὶ
すべて	—	自分の–羊を	—	出した–とき	先頭に–立って	それらの	進む	そして
G3752	G3588	G2398	G3956	G1544	G1715	G0846	G4198	G2532

τὰ	πρόβατα	αὐτῷ	ἀκολουθεῖ,	ὅτι	οἴδασιν	τὴν	φωνὴν	αὐτοῦ.
—	羊は	彼に	従う	なぜなら	知っている	—	声を	彼の
G3588	G4263	G0846	G0190	G3754	G1492	G3588	G5456	G0846

自分の羊をみな出してしまうと、彼は羊の先頭に立って行く。羊はその声を知っているので、彼について行くのである。

5

ἀλλοτρίῳ	δὲ	οὐ	μὴ	ἀκολουθήσουσιν,	ἀλλὰ	φεύξονται	ἀπ’	αὐτοῦ,
よその–者には	しかし	決して	—	従わない	むしろ	逃げる	—	その–者から
G0245	G1161	G3756	G3361	G0190	G0235	G5343	G0575	G0846

ὅτι	οὐκ	οἴδασιν	τῶν	ἀλλοτρίων	τὴν	φωνήν.
なぜなら	—	知らない	—	よその–者たちの	—	声を
G3754	G3756	G1492	G3588	G0245	G3588	G5456

ほかの人には、ついて行かないで逃げ去る。その人の声を知らないからである」。

6

Ταύτην	τὴν	παροιμίαν	εἶπεν	αὐτοῖς	ὁ	Ἰησοῦς;	ἐκεῖνοι	δὲ	οὐκ
この	—	たとえを	言った	彼らに	—	イエスは	あの–者たちは	しかし	—
G3778	G3588	G3942	G3004	G0846	G3588	G2424	G1565	G1161	G3756

ἔγνωσαν	τίνα	ἦν,	ἃ	ἐλάλει	αὐτοῖς.
悟らなかった	何であるか	—	—	語っていたことが	彼らに
G1097	G5101	G1510	G3739	G2980	G0846

イエスは彼らにこの比喩を話されたが、彼らは自分たちにお話しになっているのが何のことだか、わからなかった。

7

Εἶπεν	οὖν	πάλιν	‹αὐτοῖς›	ὁ	Ἰησοῦς,	Ἀμὴν	ἀμὴν	λέγω	ὑμῖν,
言った	そこで	再び	彼らに	—	イエスは	まことに	まことに	言う	あなたがたに
G3004	G3767	G3825	G0846	G3588	G2424	G0281	G0281	G3004	G4771

ὅτι	ἐγώ	εἰμι	ἡ	θύρα	τῶν	προβάτων.
—	わたしが	である	—	門	—	羊の
G3754	G1473	G1510	G3588	G2374	G3588	G4263

そこで、イエスはまた言われた、「よくよくあなたがたに言っておく。わたしは羊の門である。

8 πάντες ὅσοι ἦλθον πρὸ ἐμοῦ, κλέπται εἰσὶν καὶ λῃσταί; ἀλλ’
すべて 誰でも 来た–者は 前に わたしより 盗人であり ― そして 強盗である しかし
G3956 G3745 G2064 G4253 G1473 G2812 G1510 G2532 G3027 G0235

οὐκ ἤκουσαν αὐτῶν τὰ πρόβατα.
― 聞かなかった 彼らのことを ― 羊は
G3756 G0191 G0846 G3588 G4263

わたしよりも前にきた人は、みな盗人であり、強盗である。羊は彼らに聞き従わなかった。

9 ἐγώ εἰμι ἡ θύρα; δι’ ἐμοῦ ἐάν τις εἰσέλθῃ σωθήσεται,
わたしが である ― 門 ― わたしを–通って もし だれかが 入るなら 救われる
G1473 G1510 G3588 G2374 G1223 G1473 G1437 G5100 G1525 G4982

καὶ εἰσελεύσεται, καὶ ἐξελεύσεται, καὶ νομὴν εὑρήσει.
そして 入り そして 出て そして 牧草を 見つけるだろう
G2532 G1525 G2532 G1831 G2532 G3542 G2147

わたしは門である。わたしをとおってはいる者は救われ、また出入りし、牧草にありつくであろう。

10 ὁ κλέπτης οὐκ ἔρχεται εἰ μὴ ἵνα κλέψῃ, καὶ θύσῃ, καὶ
― 盗人は ― 来ない ― ― ― 盗み そして 屠り そして
G3588 G2812 G3756 G2064 G1487 G3361 G2443 G2813 G2532 G2380 G2532

ἀπολέσῃ. ἐγὼ ἦλθον ἵνα ζωὴν ἔχωσιν, καὶ περισσὸν ἔχωσιν.
滅ぼすため以外に わたしは 来た ― 命を 持つために そして 豊かに 持つために
G0622 G1473 G2064 G2443 G2222 G2192 G2532 G4053 G2192

盗人が来るのは、盗んだり、殺したり、滅ぼしたりするためにほかならない。わたしがきたのは、羊に命を得させ、豊かに得させるためである。

11 ἐγώ εἰμι ὁ ποιμὴν ὁ καλός. ὁ ποιμὴν ὁ καλὸς, τὴν
わたしが である ― 羊飼い ― 良い ― 羊飼いは ― 良い ―
G1473 G1510 G3588 G4166 G3588 G2570 G3588 G4166 G3588 G2570 G3588

ψυχὴν αὐτοῦ τίθησιν ὑπὲρ τῶν προβάτων:
命を 自分の 捨てる ために ― 羊の
G5590 G0846 G5087 G5228 G3588 G4263

わたしはよい羊飼である。よい羊飼は、羊のために命を捨てる。

12 ὁ μισθωτὸς καὶ οὐκ ὢν ποιμήν, οὗ οὐκ ἔστιν τὰ πρόβατα
― 雇い人は そして ない ― 羊飼いでは その–者の ない ― ― 羊が
G3588 G3411 G2532 G3756 G1510 G4166 G3739 G3756 G1510 G3588 G4263

ἴδια, θεωρεῖ τὸν λύκον ἐρχόμενον, καὶ ἀφίησιν τὰ πρόβατα, καὶ
自分の–ものでは 見る ― 狼が 来るのを そして 捨てる ― 羊を そして
G2398 G2334 G3588 G3074 G2064 G2532 G0863 G3588 G4263 G2532

φεύγει; καὶ ὁ λύκος ἁρπάζει αὐτὰ, καὶ σκορπίζει,
逃げる そして ― 狼が 奪い それらを そして 散らす
G5343 G2532 G3588 G3074 G0726 G0846 G2532 G4650

羊飼ではなく、羊が自分のものでもない雇人は、おおかみが来るのを見ると、羊をすてて逃げ去る。そして、おおかみは羊を奪い、また追い散らす。

13 ὅτι μισθωτός ἐστιν, καὶ οὐ μέλει αὐτῷ περὶ τῶν προβάτων.
なぜなら 雇い人 であり そして ― 気にかけない 彼は について ― 羊を
G3754 G3411 G1510 G2532 G3756 G3199 G0846 G4012 G3588 G4263

彼は雇人であって、羊のことを心にかけていないからである。

14

ἐγώ	εἰμι	ὁ	ποιμὴν	ὁ	καλός;	καὶ	γινώσκω	τὰ	ἐμὰ,
わたしが	である	—	羊飼い	—	良い	そして	知っている	—	わたしの-ものを
G1473	G1510	G3588	G4166	G3588	G2570	G2532	G1097	G3588	G1699

καὶ	γινώσκουσί	με	τὰ	ἐμά.
そして	知っている	わたしを	—	わたしの-ものは
G2532	G1097	G1473	G3588	G1699

わたしはよい羊飼であって、わたしの羊を知り、わたしの羊はまた、わたしを知っている。

15

καθὼς	γινώσκει	με	ὁ	Πατὴρ,	κἀγὼ	γινώσκω	τὸν	Πατέρα;	καὶ
のように	知っている	わたしを	—	父が	わたしも	知っている	—	父を	そして
G2531	G1097	G1473	G3588	G3962	G2504	G1097	G3588	G3962	G2532

τὴν	ψυχήν	μου	τίθημι	ὑπὲρ	τῶν	προβάτων.
—	命を	わたしの	捨てる	ために	—	羊の
G3588	G5590	G1473	G5087	G5228	G3588	G4263

それはちょうど、父がわたしを知っておられ、わたしが父を知っているのと同じである。そして、わたしは羊のために命を捨てるのである。

16

καὶ	ἄλλα	πρόβατα	ἔχω,	ἃ	οὐκ	ἔστιν	ἐκ	τῆς	αὐλῆς
そして	ほかの	羊も	持っている	それらは	ない	—	—	—	囲いの-ものでは
G2532	G0243	G4263	G2192	G3739	G3756	G1510	G1537	G3588	G0833

ταύτης;	κἀκεῖνα	δεῖ	με	ἀγαγεῖν,	καὶ	τῆς	φωνῆς	μου
この	それらも	導かねばならない	わたしが	—	そして	—	声を	わたしの
G3778	G2548	G1163	G1473	G0071	G2532	G3588	G5456	G1473

ἀκούσουσιν;	καὶ	γενήσονται	μία	ποίμνη,	εἷς	ποιμήν.
聞くだろう	そして	なるだろう	一つの	群れ	一人の	羊飼いに
G0191	G2532	G1096	G1520	G4167	G1520	G4166

わたしにはまた、この囲いにいない他の羊がある。わたしは彼らをも導かねばならない。彼らも、わたしの声に聞き従うであろう。そして、ついに一つの群れ、ひとりの羊飼となるであろう。

17

διὰ	τοῦτό,	με	ὁ	Πατὴρ	ἀγαπᾷ,	ὅτι	ἐγὼ	τίθημι
この-ゆえに	—	わたしを	—	父は	愛しておられる	なぜなら	わたしが	捨てる
G1223	G3778	G1473	G3588	G3962	G0025	G3754	G1473	G5087

τὴν	ψυχήν	μου,	ἵνα	πάλιν	λάβω	αὐτήν.
—	命を	わたしの	—	再び	受けるために	それを
G3588	G5590	G1473	G2443	G3825	G2983	G0846

父は、わたしが自分の命を捨てるから、わたしを愛して下さるのである。命を捨てるのは、それを再び得るためである。

18

οὐδεὶς	αἴρει	αὐτὴν	ἀπ’	ἐμοῦ,	ἀλλ’	ἐγὼ	τίθημι	αὐτὴν	ἀπ’
だれも	取らない	それを	—	わたしから	むしろ	わたしが	捨てる	それを	—
G3762	G0142	G0846	G0575	G1473	G0235	G1473	G5087	G0846	G0575

ἐμαυτοῦ.	ἐξουσίαν	ἔχω	θεῖναι	αὐτήν,	καὶ	ἐξουσίαν	ἔχω	πάλιν
自分-自身から	権威を	持っている	捨てる	それを	そして	権威を	持っている	再び
G1683	G1849	G2192	G5087	G0846	G2532	G1849	G2192	G3825

λαβεῖν	αὐτήν.	ταύτην	τὴν	ἐντολὴν	ἔλαβον	παρὰ	τοῦ	Πατρός	μου.
受ける	それを	この	—	命令を	受けた	から	—	父	わたしの
G2983	G0846	G3778	G3588	G1785	G2983	G3844	G3588	G3962	G1473

だれかが、わたしからそれを取り去るのではない。わたしが、自分からそれを捨てるのである。わたしには、それを捨てる力があり、またそれを受ける力もある。これはわたしの父から授かった定めである」。

19 Σχίσμα 分裂が G4978 πάλιν 再び G3825 ἐγένετο 起こった G1096 ἐν — G1722 τοῖς — G3588 Ἰουδαίοις, ユダヤ人たちの–中に G2453 διὰ のゆえに G1223 τοὺς — G3588 λόγους 言葉 G3056 τούτους; これらの G3778

これらの言葉を語られたため、ユダヤ人の間にまたも分争が生じた。

20 ἔλεγον 言っていた G3004 δὲ さて G1161 πολλοὶ 多くの–者が G4183 ἐξ — G1537 αὐτῶν, 彼らの–中から G0846 Δαιμόνιον 悪霊に G1140 ἔχει, 取りつかれている G2192 καὶ そして G2532 μαίνεται; 狂っている G3105 τί なぜ G5101 αὐτοῦ 彼のことを G0846 ἀκούετε? 聞くのか G0191

そのうちの多くの者が言った、「彼は悪霊に取りつかれて、気が狂っている。どうして、あなたがたはその言うことを聞くのか」。

21 ἄλλοι ほかの–者たちは G0243 ἔλεγον, 言っていた G3004 Ταῦτα これらの G3778 τὰ — G3588 ῥήματα 言葉は G4487 οὐκ ない G3756 ἔστιν — G1510 δαιμονιζομένου. 悪霊に–取りつかれた–者の–ものでは G1139 μὴ まさか G3361 δαιμόνιον 悪霊が G1140 δύναται できるのか G1410 τυφλῶν 盲目の–者の G5185 ὀφθαλμοὺς 目を G3788 ἀνοῖξαι? 開くことが G0455

他の人々は言った、「それは悪霊に取りつかれた者の言葉ではない。悪霊は盲人の目をあけることができようか」。

22 Ἐγένετο あった G1096 τότε その–時 G5119 τὰ — G3588 ἐνκαίνια, 宮きよめの–祭りが G1456 ἐν — G1722 τοῖς — G3588 Ἱεροσολύμοις. エルサレムで G2414 χειμὼν 冬 G5494 ἦν. だった G1510

そのころ、エルサレムで宮きよめの祭が行われた。時は冬であった。

23 καὶ そして G2532 περιεπάτει 歩いていた G4043 ὁ — G3588 Ἰησοῦς イエスは G2424 ἐν — G1722 τῷ — G3588 ἱερῷ, 宮で G2411 ἐν — G1722 τῇ — G3588 στοᾷ 廊で G4745 τοῦ — G3588 Σολομῶνος. ソロモンの G4672

イエスは、宮の中にあるソロモンの廊を歩いておられた。

24 ἐκύκλωσαν οὖν αὐτὸν οἱ Ἰουδαῖοι, καὶ ἔλεγον αὐτῷ, Ἕως πότε
囲んだ そこで 彼を ― ユダヤ人たちが そして 言っていた 彼に いつまで ―
G2944 G3767 G0846 G3588 G2453 G2532 G3004 G0846 G2193 G4219

τὴν ψυχὴν ἡμῶν αἴρεις? εἰ σὺ εἶ ὁ Χριστός, εἰπὲ
― 心を わたしたちの 悩ますのか もし あなたが であるなら ― キリスト 言いなさい
G3588 G5590 G1473 G0142 G1487 G4771 G1510 G3588 G5547 G3004

ἡμῖν παρρησίᾳ.
わたしたちに はっきりと
G1473 G3954

するとユダヤ人たちが、イエスを取り囲んで言った、「いつまでわたしたちを不安のままにしておくのか。あなたがキリストであるなら、そうとはっきり言っていただきたい」。

25 ἀπεκρίθη αὐτοῖς ὁ Ἰησοῦς, Εἶπον ὑμῖν, καὶ οὐ πιστεύετε. τὰ
答えた 彼らに ― イエスは 言った あなたがたに そして ― 信じない ―
G0611 G0846 G3588 G2424 G3004 G4771 G2532 G3756 G4100 G3588

ἔργα ἃ ἐγὼ ποιῶ ἐν τῷ ὀνόματι τοῦ Πατρός μου, ταῦτα
わざが ― わたしが 行う ― ― 名において ― 父の わたしの それらが
G2041 G3739 G1473 G4160 G1722 G3588 G3686 G3588 G3962 G1473 G3778

μαρτυρεῖ περὶ ἐμοῦ.
証ししている について わたし
G3140 G4012 G1473

イエスは彼らに答えられた、「わたしは話したのだが、あなたがたは信じようとしない。わたしの父の名によってしているすべてのわざが、わたしのことをあかししている。

26 ἀλλὰ ὑμεῖς οὐ πιστεύετε, ὅτι οὐκ ἐστὲ ἐκ τῶν προβάτων
しかし あなたがたは ― 信じない なぜなら ― ではない ― ― 羊の-中の
G0235 G4771 G3756 G4100 G3754 G3756 G1510 G1537 G3588 G4263

τῶν ἐμῶν.
― わたしの
G3588 G1699

あなたがたが信じないのは、わたしの羊でないからである。

27 τὰ πρόβατα τὰ ἐμὰ, τῆς φωνῆς μου ἀκούουσιν, κἀγὼ γινώσκω
― 羊は ― わたしの ― 声を わたしの 聞く わたしは 知っている
G3588 G4263 G3588 G1699 G3588 G5456 G1473 G0191 G2504 G1097

αὐτά, καὶ ἀκολουθοῦσίν μοι;
それらを そして 従う わたしに
G0846 G2532 G0190 G1473

わたしの羊はわたしの声に聞き従う。わたしは彼らを知っており、彼らはわたしについて来る。

28 κἀγὼ δίδωμι αὐτοῖς ζωὴν αἰώνιον; καὶ οὐ μὴ ἀπόλωνται, εἰς τὸν
わたしは 与える それらに 命を 永遠の そして 決して ― 滅びない ― ―
G2504 G1325 G0846 G2222 G0166 G2532 G3756 G3361 G0622 G1519 G3588

αἰῶνα, καὶ οὐχ ἁρπάσει τις αὐτὰ ἐκ τῆς χειρός μου.
永遠に そして ― 奪わない だれも それらを ― ― 手から わたしの
G0165 G2532 G3756 G0726 G5100 G0846 G1537 G3588 G5495 G1473

わたしは、彼らに永遠の命を与える。だから、彼らはいつまでも滅びることがなく、また、彼らをわたしの手から奪い去る者はない。

29	ὁ	Πατήρ	μου	ὃ	δέδωκέν	μοι,	πάντων	μεῖζόν	
	—	父が	わたしの	—	与えてくださった–ものは	わたしに	すべての–ものより	大きい	
	G3588	G3962	G1473	G3739	G1325	G1473	G3956	G3173	

ἐστιν,	καὶ	οὐδεὶς	δύναται	ἁρπάζειν	ἐκ	τῆς	χειρὸς	τοῦ	Πατρός.
—	そして	だれも	できない	奪うことが	—	—	手から	—	父の
G1510	G2532	G3762	G1410	G0726	G1537	G3588	G5495	G3588	G3962

わたしの父がわたしに下さったものは、すべてにまさるものである。そしてだれも父のみ手から、それを奪い取ることはできない。

30	ἐγὼ	καὶ	ὁ	Πατὴρ	ἕν	ἐσμεν.
	わたしと	—	—	父とは	—つ	である
	G1473	G2532	G3588	G3962	G1520	G1510

わたしと父とは一つである」。

31	Ἐβάστασαν	‹οὖν›	πάλιν	λίθους	οἱ	Ἰουδαῖοι,	ἵνα	λιθάσωσιν	αὐτόν.
	拾い上げた	そこで	再び	石を	—	ユダヤ人たちは	—	石で–打とうと	彼を
	G0941	G3767	G3825	G3037	G3588	G2453	G2443	G3034	G0846

そこでユダヤ人たちは、イエスを打ち殺そうとして、また石を取りあげた。

32	ἀπεκρίθη	αὐτοῖς	ὁ	Ἰησοῦς,	Πολλὰ	ἔργα	«ἔδειξα	ὑμῖν»	καλὰ	ἐκ
	答えた	彼らに	—	イエスは	多くの	わざを	見せた	あなたがたに	良い	から
	G0611	G0846	G3588	G2424	G4183	G2041	G1166	G4771	G2570	G1537

τοῦ	Πατρός;	διὰ	ποῖον	αὐτῶν	ἔργον,	ἐμὲ	λιθάζετε?	
—	父	どの	—	それらの–中の	わざの–ゆえに	わたしを	石で–打つのか	
G3588	G3962	G1223	G4169	G0846	G2041	G1473	G3034	

するとイエスは彼らに答えられた、「わたしは、父による多くのよいわざを、あなたがたに示した。その中のどのわざのために、わたしを石で打ち殺そうとするのか」。

33	ἀπεκρίθησαν	αὐτῷ	οἱ	Ἰουδαῖοι,	Περὶ	καλοῦ	ἔργου	οὐ
	答えた	彼に	—	ユダヤ人たちは	について	良い	わざの–ゆえに	—
	G0611	G0846	G3588	G2453	G4012	G2570	G2041	G3756

λιθάζομέν	σε,	ἀλλὰ	περὶ	βλασφημίας,	καὶ	ὅτι	σὺ,	ἄνθρωπος
石で–打たない	あなたを	むしろ	について	冒涜の–ゆえに	すなわち	—	あなたが	人で
G3034	G4771	G0235	G4012	G0988	G2532	G3754	G4771	G0444

ὢν,	ποιεῖς	σεαυτὸν	Θεόν.	
ありながら	する	自分–自身を	神と	
G1510	G4160	G4572	G2316	

ユダヤ人たちは答えた、「あなたを石で殺そうとするのは、よいわざをしたからではなく、神を汚したからである。また、あなたは人間であるのに、自分を神としているからである」。

34	ἀπεκρίθη	αὐτοῖς	ὁ	Ἰησοῦς,	Οὐκ	ἔστιν	γεγραμμένον	ἐν	τῷ	νόμῳ
	答えた	彼らに	—	イエスは	ではないか	—	書かれている	—	—	律法に
	G0611	G0846	G3588	G2424	G3756	G1510	G1125	G1722	G3588	G3551

ὑμῶν	ὅτι,	Ἐγὼ	εἶπα,	Θεοί	ἐστε?	
あなたがたの	—	わたしは	言った	神々	であると	
G4771	G3754	G1473	G3004	G2316	G1510	

イエスは彼らに答えられた、「あなたがたの律法に、『わたしは言う、あなたがたは神々である』と書いてあるではないか。

35

εἰ	ἐκείνους	εἶπεν	θεοὺς,	πρὸς	οὓς	ὁ	λόγος	τοῦ	Θεοῦ	ἐγένετο,
もし	あの–者たちを	言った	神々と	—	—	—	言葉が	—	神の	臨んだ
G1487	G1565	G3004	G2316	G4314	G3739	G3588	G3056	G3588	G2316	G1096

καὶ	οὐ	δύναται	λυθῆναι	ἡ	γραφή,
そして	—	できない	廃れることが	—	聖書は
G2532	G3756	G1410	G3089	G3588	G1124

神の言を託された人々が、神々といわれておるとすれば、（そして聖書の言は、すたることがあり得ない）

36

ὃν	ὁ	Πατὴρ	ἡγίασεν	καὶ	ἀπέστειλεν	εἰς	τὸν	κόσμον,	ὑμεῖς
その–者を	—	父が	聖めて	そして	遣わした	—	—	世に	あなたがたは
G3739	G3588	G3962	G0037	G2532	G0649	G1519	G3588	G2889	G4771

λέγετε	ὅτι,	Βλασφημεῖς,	ὅτι	εἶπον,	Υἱὸς	τοῦ	Θεοῦ	εἰμι?
言うのか	—	冒涜だと	—	言ったから	子	—	神の	であると
G3004	G3754	G0987	G3754	G3004	G5207	G3588	G2316	G1510

父が聖別して、世につかわされた者が、『わたしは神の子である』と言ったからとて、どうして『あなたは神を汚す者だ』と言うのか。

37

εἰ	οὐ	ποιῶ	τὰ	ἔργα	τοῦ	Πατρός	μου,	μὴ	πιστεύετέ
もし	—	行わないなら	—	わざを	—	父の	わたしの	—	信じるな
G1487	G3756	G4160	G3588	G2041	G3588	G3962	G1473	G3361	G4100

μοι.
わたしを
G1473

もしわたしが父のわざを行わないとすれば、わたしを信じなくてもよい。

38

εἰ	δὲ	ποιῶ,	κἂν	ἐμοὶ	μὴ	πιστεύητε,	τοῖς	ἔργοις	πιστεύετε,
もし	しかし	行うなら	たとえ	わたしを	—	信じなくても	—	わざを	信じなさい
G1487	G1161	G4160	G2579	G1473	G3361	G4100	G3588	G2041	G4100

ἵνα	γνῶτε,	καὶ	γινώσκητε	ὅτι	ἐν	ἐμοὶ	ὁ	Πατὴρ,	κἀγὼ
—	知り	そして	悟るために	—	—	わたしの–中に	—	父がおられ	わたしも
G2443	G1097	G2532	G1097	G3754	G1722	G1473	G3588	G3962	G2504

ἐν	τῷ	Πατρί.
—	—	父の–中にいることを
G1722	G3588	G3962

しかし、もし行っているなら、たといわたしを信じなくても、わたしのわざを信じるがよい。そうすれば、父がわたしにおり、また、わたしが父におることを知って悟るであろう」。

39

Ἐζήτουν	οὖν	αὐτὸν	πάλιν	πιάσαι,	καὶ	ἐξῆλθεν	ἐκ	τῆς	χειρὸς
求めていた	そこで	彼を	再び	捕らえようと	しかし	出て行った	—	—	手から
G2212	G3767	G0846	G3825	G4084	G2532	G1831	G1537	G3588	G5495

αὐτῶν,
彼らの
G0846

そこで、彼らはまたイエスを捕えようとしたが、イエスは彼らの手をのがれて、去って行かれた。

40 Καὶ そして G2532 ἀπῆλθεν 去った G0565 πάλιν 再び G3825 πέραν 向こう側へ G4008 τοῦ ― G3588 Ἰορδάνου, ヨルダンの G2446 εἰς ― G1519 τὸν ― G3588 τόπον 場所へ G5117 ὅπου そこで G3699 ἦν いた G1510
Ἰωάννης ヨハネが G2491 τὸ ― G3588 πρῶτον 最初に G4413 βαπτίζων. バプテスマを-していた G0907 καὶ そして G2532 ἔμεινεν とどまった G3306 ἐκεῖ. そこに G1563

さて、イエスはまたヨルダンの向こう岸、すなわち、ヨハネが初めにバプテスマを授けていた所に行き、そこに滞在しておられた。

41 καὶ そして G2532 πολλοὶ 多くの-者が G4183 ἦλθον 来た G2064 πρὸς ― G4314 αὐτὸν, 彼のもとに G0846 καὶ そして G2532 ἔλεγον, 言っていた G3004 ὅτι ― G3754 Ἰωάννης ヨハネは G2491 μὲν たしかに G3303
σημεῖον しるしを G4592 ἐποίησεν 行わなかった G4160 οὐδέν; 一つも G3762 πάντα すべて G3956 δὲ しかし G1161 ὅσα ― G3745 εἶπεν 言ったことが G3004 Ἰωάννης ヨハネが G2491 περὶ について G4012
τούτου, この-方 G3778 ἀληθῆ 真実 G0227 ἦν. であった G1510

多くの人々がイエスのところにきて、互に言った、「ヨハネはなんのしるしも行わなかったが、ヨハネがこのかたについて言ったことは、皆ほんとうであった」。

42 καὶ そして G2532 πολλοὶ 多くの-者が G4183 ἐπίστευσαν 信じた G4100 εἰς ― G1519 αὐτὸν 彼を G0846 ἐκεῖ. そこで G1563

そして、そこで多くの者がイエスを信じた。

Chapter 11

1 Ἦν いた G1510 δέ さて G1161 τις ある G5100 ἀσθενῶν, 病気の-者が G0770 Λάζαρος ラザロという G2976 ἀπὸ ～から G0575 Βηθανίας, ベタニヤの G0963 ἐκ ～の G1537 τῆς ― G3588 κώμης 村の G2968
Μαρίας, マリヤと G3137 καὶ そして G2532 Μάρθας, マルタの G3136 τῆς ― G3588 ἀδελφῆς 姉妹 G0079 αὐτῆς. 彼女の G0846

さて、ひとりの病人がいた。ラザロといい、マリヤとその姉妹マルタの村ベタニヤの人であった。

2 ἦν いた G1510 δὲ さて G1161 Μαριὰμ マリヤは G3137 ἡ ― G3588 ἀλείψασα 油を-塗った G0218 τὸν ― G3588 Κύριον 主に G2962 μύρῳ, 香油を G3464 καὶ そして G2532 ἐκμάξασα 拭いた G1591 τοὺς ― G3588
πόδας 足を G4228 αὐτοῦ 彼の G0846 ταῖς ― G3588 θριξὶν 髪で G2359 αὐτῆς, 彼女の G0846 ἧς その G3739 ὁ ― G3588 ἀδελφὸς 兄弟 G0080 Λάζαρος ラザロは G2976 ἠσθένει. 病気であった G0770

このマリヤは主に香油をぬり、自分の髪の毛で、主の足をふいた女であって、病気であったのは、彼女の兄弟ラザロであった。

3 ἀπέστειλαν οὖν αἱ ἀδελφαὶ πρὸς αὐτὸν, λέγουσαι, Κύριε, ἴδε,
遣わした そこで — 姉妹たちは ～へ 彼の–もとに 言って 主よ ご覧ください
G0649 G3767 G3588 G0079 G4314 G0846 G3004 G2962 G3708

ὃν φιλεῖς ἀσθενεῖ.
あなたが 愛する–者が 病気です
G3739 G5368 G0770

姉妹たちは人をイエスのもとにつかわして、「主よ、ただ今、あなたが愛しておられる者が病気をしています」と言わせた。

4 ἀκούσας δὲ, ὁ Ἰησοῦς εἶπεν, Αὕτη ἡ ἀσθένεια οὐκ ἔστιν
聞いて しかし — イエスは 言った この — 病気は ～ではない —
G0191 G1161 G3588 G2424 G3004 G3778 G3588 G0769 G3756 G1510

πρὸς θάνατον, ἀλλ’ ὑπὲρ τῆς δόξης τοῦ Θεοῦ, ἵνα δοξασθῇ
～に–至る 死に むしろ ～の–ための — 栄光の — 神の それは 栄光を–受けるため
G4314 G2288 G0235 G5228 G3588 G1391 G3588 G2316 G2443 G1392

ὁ Υἱὸς τοῦ Θεοῦ δι’ αὐτῆς.
— 御子が — 神の それを–通して —
G3588 G5207 G3588 G2316 G1223 G0846

イエスはそれを聞いて言われた、「この病気は死ぬほどのものではない。それは神の栄光のため、また、神の子がそれによって栄光を受けるためのものである」。

5 ἠγάπα δὲ ὁ Ἰησοῦς τὴν Μάρθαν, καὶ τὴν ἀδελφὴν αὐτῆς, καὶ
愛していた さて — イエスは — マルタと そして — 姉妹と 彼女の そして
G0025 G1161 G3588 G2424 G3588 G3136 G2532 G3588 G0079 G0846 G2532

τὸν Λάζαρον.
— ラザロを
G3588 G2976

イエスは、マルタとその姉妹とラザロとを愛しておられた。

6 ὡς οὖν ἤκουσεν ὅτι ἀσθενεῖ, τότε μὲν ἔμεινεν ἐν ᾧ
～した–とき そこで 聞いた ～と 病気であると その–時 一方では とどまった ～に その
G5613 G3767 G0191 G3754 G0770 G5119 G3303 G3306 G1722 G3739

ἦν τόπῳ, δύο ἡμέρας.
いた 場所に 二 日間
G1510 G5117 G1417 G2250

ラザロが病気であることを聞いてから、なおふつか、そのおられた所に滞在された。

7 ἔπειτα μετὰ τοῦτο λέγει τοῖς μαθηταῖς, Ἄγωμεν εἰς τὴν Ἰουδαίαν
その–後 ～の–後で これ 言う — 弟子たちに 行こう ～へ — ユダヤに
G1899 G3326 G3778 G3004 G3588 G3101 G0071 G1519 G3588 G2449

πάλιν.
再び
G3825

それから弟子たちに、「もう一度ユダヤに行こう」と言われた。

8 λέγουσιν αὐτῷ οἱ μαθηταί, Ῥαββί, νῦν ἐζήτουν σε λιθάσαι οἱ
言う 彼に — 弟子たちは ラビよ 今 求めていた あなたを 石で–打とうと —
G3004 G0846 G3588 G3101 G4461 G3568 G2212 G4771 G3034 G3588

Ἰουδαῖοι, καὶ πάλιν ὑπάγεις ἐκεῖ?
ユダヤ人たちが それなのに 再び 行くのですか そこへ
G2453 G2532 G3825 G5217 G1563

弟子たちは言った、「先生、ユダヤ人らが、さきほどもあなたを石で殺そうとしていましたのに、またそこに行かれるのですか」。

9 ἀπεκρίθη Ἰησοῦς, Οὐχὶ δώδεκα ὧραί εἰσιν τῆς ἡμέρας? ἐάν τις
答えた イエスは ～ではないか 十二 時間が ある ― 昼間に もし 誰かが
G0611 G2424 G3780 G1427 G5610 G1510 G3588 G2250 G1437 G5100

περιπατῇ ἐν τῇ ἡμέρᾳ, οὐ προσκόπτει, ὅτι τὸ φῶς τοῦ κόσμου
歩くなら ～に ― 昼間に ～ない つまずかない なぜなら ― 光を ― 世の
G4043 G1722 G3588 G2250 G3756 G4350 G3754 G3588 G5457 G3588 G2889

τούτου βλέπει;
この 見るから
G3778 G0991

イエスは答えられた、「一日には十二時間あるではないか。昼間あるけば、人はつまずくことはない。この世の光を見ているからである。

10 ἐὰν δέ τις περιπατῇ ἐν τῇ νυκτί, προσκόπτει, ὅτι τὸ φῶς
もし しかし 誰かが 歩くなら ～に ― 夜に つまずく なぜなら ― 光が
G1437 G1161 G5100 G4043 G1722 G3588 G3571 G4350 G3754 G3588 G5457

οὐκ ἔστιν ἐν αὐτῷ.
～ない ― ～に その–人に
G3756 G1510 G1722 G0846

しかし、夜あるけば、つまずく。その人のうちに、光がないからである」。

11 ταῦτα εἶπεν; καὶ μετὰ τοῦτο, λέγει αὐτοῖς, Λάζαρος ὁ φίλος
これらを 言った そして ～の–後で これ 言う 彼らに ラザロは ― 友人の
G3778 G3004 G2532 G3326 G3778 G3004 G0846 G2976 G3588 G5384

ἡμῶν κεκοίμηται; ἀλλὰ πορεύομαι ἵνα ἐξυπνίσω αὐτόν.
私たちの 眠っている しかし 行く 彼を 起こすために ―
G1473 G2837 G0235 G4198 G2443 G1852 G0846

そう言われたが、それからまた、彼らに言われた、「わたしたちの友ラザロが眠っている。わたしは彼を起しに行く」。

12 εἶπαν οὖν οἱ μαθηταὶ αὐτῷ, Κύριε, εἰ κεκοίμηται σωθήσεται.
言った そこで ― 弟子たちは 彼に 主よ もし 眠っているなら 治るでしょう
G3004 G3767 G3588 G3101 G0846 G2962 G1487 G2837 G4982

すると弟子たちは言った、「主よ、眠っているのでしたら、助かるでしょう」。

13 εἰρήκει δὲ ὁ Ἰησοῦς περὶ τοῦ θανάτου αὐτοῦ; ἐκεῖνοι δὲ
語っていた しかし ― イエスは ～について ― 死について 彼の 彼らは しかし
G2046 G1161 G3588 G2424 G4012 G3588 G2288 G0846 G1565 G1161

ἔδοξαν ὅτι περὶ τῆς κοιμήσεως τοῦ ὕπνου λέγει.
思った ～と ～について ― 眠りの ― 睡眠について 言っていると
G1380 G3754 G4012 G3588 G2838 G3588 G5258 G3004

イエスはラザロが死んだことを言われたのであるが、弟子たちは、眠って休んでいることをさして言われたのだと思った。

14 τότε οὖν εἶπεν αὐτοῖς ὁ Ἰησοῦς παρρησίᾳ, Λάζαρος ἀπέθανεν.
その–時 そこで 言った 彼らに ― イエスは はっきりと ラザロは 死んだ
G5119 G3767 G3004 G0846 G3588 G2424 G3954 G2976 G0599

するとイエスは、あからさまに彼らに言われた、「ラザロは死んだのだ。

15

καὶ	χαίρω	δι’	ὑμᾶς,	ἵνα	πιστεύσητε,	ὅτι	οὐκ
そして	喜ぶ	～の–ために	あなたがたの	あなたがたが	信じるために	～と	～なかった
G2532	G5463	G1223	G4771	G2443	G4100	G3754	G3756

ἤμην	ἐκεῖ.	ἀλλὰ	ἄγωμεν	πρὸς	αὐτόν.
いなかったことを	そこに	しかし	行こう	～へ	彼の–もとへ
G1510	G1563	G0235	G0071	G4314	G0846

そして、わたしがそこにいあわせなかったことを、あなたがたのために喜ぶ。それは、あなたがたが信じるようになるためである。では、彼のところに行こう」。

16

εἶπεν	οὖν	Θωμᾶς,	ὁ	λεγόμενος	Δίδυμος	τοῖς	συμμαθηταῖς,	Ἄγωμεν
言った	そこで	トマスが	—	呼ばれる	ディディモと	—	仲間の–弟子たちに	行こう
G3004	G3767	G2381	G3588	G3004	G1324	G3588	G4827	G0071

καὶ	ἡμεῖς,	ἵνα	ἀποθάνωμεν	μετ’	αὐτοῦ.
～も	私たちも	彼と–共に	死のう	—	彼と
G2532	G1473	G2443	G0599	G3326	G0846

するとデドモと呼ばれているトマスが、仲間の弟子たちに言った、「わたしたちも行って、先生と一緒に死のうではないか」。

17

Ἐλθὼν	οὖν,	ὁ	Ἰησοῦς	εὗρεν	αὐτὸν,	τέσσαρας	ἤδη	ἡμέρας	ἔχοντα
来て	そこで	—	イエスは	見つけた	彼が	四	すでに	日間	経っていたのを
G2064	G3767	G3588	G2424	G2147	G0846	G5064	G2235	G2250	G2192

ἐν	τῷ	μνημείῳ.
～に	—	墓に
G1722	G3588	G3419

さて、イエスが行ってごらんになると、ラザロはすでに四日間も墓の中に置かれていた。

18

ἦν	δὲ	‹ἡ›	Βηθανία	ἐγγὺς	τῶν	Ἰεροσολύμων,	ὡς	ἀπὸ	σταδίων
いた	さて	—	ベタニヤは	近くに	—	エルサレムの	およそ	～から	スタディオン
G1510	G1161	G3588	G0963	G1451	G3588	G2414	G5613	G0575	G4712

δεκαπέντε,
十五の–距離に
G1178

ベタニヤはエルサレムに近く、二十五丁ばかり離れたところにあった。

19

πολλοὶ	δὲ	ἐκ	τῶν	Ἰουδαίων	ἐληλύθεισαν	πρὸς	τὴν	Μάρθαν
多くの	さて	～の	—	ユダヤ人たちが	来ていた	～の–もとに	—	マルタと
G4183	G1161	G1537	G3588	G2453	G2064	G4314	G3588	G3136

καὶ	Μαριὰμ,	ἵνα	παραμυθήσωνται	αὐτὰς	περὶ	τοῦ	ἀδελφοῦ.
そして	マリヤの	彼女たちを	慰めるために	—	～について	—	兄弟の–ことで
G2532	G3137	G2443	G3888	G0846	G4012	G3588	G0080

大ぜいのユダヤ人が、その兄弟のことで、マルタとマリヤとを慰めようとしてきていた。

20

ἡ	οὖν	Μάρθα,	ὡς	ἤκουσεν	ὅτι	Ἰησοῦς	ἔρχεται,	ὑπήντησεν	αὐτῷ;
—	そこで	マルタは	～と	聞いて	～と	イエスが	来ると	出迎えた	彼を
G3588	G3767	G3136	G5613	G0191	G3754	G2424	G2064	G5221	G0846

Μαριὰμ	δὲ	ἐν	τῷ	οἴκῳ	ἐκαθέζετο.
マリヤは	しかし	～で	—	家で	座っていた
G3137	G1161	G1722	G3588	G3624	G2516

マルタはイエスがこられたと聞いて、出迎えに行ったが、マリヤは家ですわっていた。

21

εἶπεν	οὖν	ἡ	Μάρθα	πρὸς	‹τὸν›	Ἰησοῦν,	Κύριε,	εἰ	ἦς
言った	そこで	—	マルタは	～に	—	イエスに	主よ	もし	いてくださったなら
G3004	G3767	G3588	G3136	G4314	G3588	G2424	G2962	G1487	G1510

ὧδε,	οὐκ	ἂν	ἀπέθανεν	ὁ	ἀδελφός	μου.
ここに	～なかった	～だろう	死ななかった–でしょう	—	兄弟は	私の
G5602	G3756	G0302	G0599	G3588	G0080	G1473

マルタはイエスに言った、「主よ、もしあなたがここにいて下さったなら、わたしの兄弟は死ななかったでしょう。

22

[ἀλλὰ]	καὶ	νῦν	οἶδα,	ὅτι	ὅσα	ἂν	αἰτήσῃ	τὸν	Θεὸν,
しかし	また	今	知っています	～と	何でも	—	願うなら	—	神に
G0235	G2532	G3568	G1492	G3754	G3745	G0302	G0154	G3588	G2316

δώσει	σοι	ὁ	Θεός.
与えてくださると	あなたに	—	神が
G1325	G4771	G3588	G2316

しかし、あなたがどんなことをお願いになっても、神はかなえて下さることを、わたしは今でも存じています」。

23

λέγει	αὐτῇ	ὁ	Ἰησοῦς,	Ἀναστήσεται	ὁ	ἀδελφός	σου.
言う	彼女に	—	イエスは	よみがえる	—	兄弟は	あなたの
G3004	G0846	G3588	G2424	G0450	G3588	G0080	G4771

イエスはマルタに言われた、「あなたの兄弟はよみがえるであろう」。

24

λέγει	αὐτῷ	ἡ	Μάρθα,	Οἶδα	ὅτι	ἀναστήσεται,	ἐν	τῇ	ἀναστάσει,
言う	彼に	—	マルタは	知っています	～と	よみがえることを	～に	—	復活の–時に
G3004	G0846	G3588	G3136	G1492	G3754	G0450	G1722	G3588	G0386

ἐν	τῇ	ἐσχάτῃ	ἡμέρᾳ.
～の	—	終わりの	日に
G1722	G3588	G2078	G2250

マルタは言った、「終りの日のよみがえりの時よみがえることは、存じています」。

25

εἶπεν	αὐτῇ	ὁ	Ἰησοῦς,	Ἐγώ	εἰμι	ἡ	ἀνάστασις	καὶ	ἡ	ζωή;
言った	彼女に	—	イエスは	わたしは	である	—	復活であり	そして	—	命である
G3004	G0846	G3588	G2424	G1473	G1510	G3588	G0386	G2532	G3588	G2222

ὁ	πιστεύων	εἰς	ἐμὲ,	κἂν	ἀποθάνῃ,	ζήσεται;	
—	信じる–者は	～を	わたしを	たとい	死んでも	生きる	
G3588	G4100	G1519	G1473	G2579	G0599	G2198	

イエスは彼女に言われた、「わたしはよみがえりであり、命である。わたしを信じる者は、たとい死んでも生きる。

26

καὶ	πᾶς	ὁ	ζῶν	καὶ	πιστεύων	εἰς	ἐμὲ,	οὐ	μὴ	ἀποθάνῃ
そして	すべて	—	生きて	そして	信じる–者は	～を	わたしを	決して	—	死なない
G2532	G3956	G3588	G2198	G2532	G4100	G1519	G1473	G3756	G3361	G0599

εἰς,	τὸν	αἰῶνα.	πιστεύεις	τοῦτο?
～の	—	永遠に	信じるか	これを
G1519	G3588	G0165	G4100	G3778

また、生きていて、わたしを信じる者は、いつまでも死なない。あなたはこれを信じるか」。

27 λέγει αὐτῷ, Ναί, Κύριε; ἐγὼ πεπίστευκα ὅτι σὺ εἶ ὁ
言う 彼に はい 主よ わたしは 信じています ～と あなたこそ ― ―
G3004 G0846 G3483 G2962 G1473 G4100 G3754 G4771 G1510 G3588

Χριστὸς, ὁ Υἱὸς τοῦ Θεοῦ, ὁ εἰς τὸν κόσμον ἐρχόμενος.
キリストであり ― 御子であると ― 神の ― ～に ― 世に 来るべき-方
G5547 G3588 G5207 G3588 G2316 G3588 G1519 G3588 G2889 G2064

マルタはイエスに言った、「主よ、信じます。あなたがこの世にきたるべきキリスト、神の御子であると信じております」。

28 καὶ τοῦτο εἰποῦσα ἀπῆλθεν, καὶ ἐφώνησεν Μαριὰμ, τὴν ἀδελφὴν αὐτῆς,
そして これを 言って 去った そして 呼んだ マリヤを ― 姉妹の 彼女の
G2532 G3778 G3004 G0565 G2532 G5455 G3137 G3588 G0079 G0846

λάθρᾳ, εἰποῦσα, Ὁ Διδάσκαλος πάρεστιν, καὶ φωνεῖ σε.
ひそかに 言って ― 先生が 来ておられます そして 呼んでいます あなたを
G2977 G3004 G3588 G1320 G3918 G2532 G5455 G4771

マルタはこう言ってから、帰って姉妹のマリヤを呼び、「先生がおいでになって、あなたを呼んでおられます」と小声で言った。

29 ἐκείνη δὲ ὡς ἤκουσεν, ἠγέρθη ταχὺ καὶ ἤρχετο πρὸς αὐτόν.
彼女は さて ～と 聞いて 起き上がり 急いで そして 来た ～の-もとに 彼の
G1565 G1161 G5613 G0191 G1453 G5035 G2532 G2064 G4314 G0846

これを聞いたマリヤはすぐ立ち上がって、イエスのもとに行った。

30 οὔπω δὲ ἐληλύθει ὁ Ἰησοῦς εἰς τὴν κώμην, ἀλλ’ ἦν ἔτι
まだ さて 来ていなかった ― イエスは ～に ― 村に むしろ いた まだ
G3768 G1161 G2064 G3588 G2424 G1519 G3588 G2968 G0235 G1510 G2089

ἐν τῷ τόπῳ ὅπου ὑπήντησεν αὐτῷ ἡ Μάρθα.
～に ― 場所に ～で 出迎えた 彼を ― マルタが
G1722 G3588 G5117 G3699 G5221 G0846 G3588 G3136

イエスはまだ村に、はいってこられず、マルタがお迎えしたその場所におられた。

31 οἱ οὖν Ἰουδαῖοι οἱ ὄντες μετ’ αὐτῆς ἐν τῇ οἰκίᾳ
― そこで ユダヤ人たちは ― いた ～と 彼女と-共に ～で ― 家の-中に
G3588 G3767 G2453 G3588 G1510 G3326 G0846 G1722 G3588 G3614

καὶ παραμυθούμενοι αὐτήν, ἰδόντες τὴν Μαριὰμ ὅτι ταχέως ἀνέστη καὶ
そして 慰めていた 彼女を 見て ― マリヤが ～と 急いで 立ち上がり そして
G2532 G3888 G0846 G3708 G3588 G3137 G3754 G5030 G0450 G2532

ἐξῆλθεν, ἠκολούθησαν αὐτῇ, δόξαντες ὅτι ὑπάγει εἰς τὸ μνημεῖον,
出て-行ったのを ついて-行った 彼女に 思って ～と 行く ～へ ― 墓へ
G1831 G0190 G0846 G1380 G3754 G5217 G1519 G3588 G3419

ἵνα κλαύσῃ ἐκεῖ.
そこで 泣くために そこで
G2443 G2799 G1563

マリヤと一緒に家にいて彼女を慰めていたユダヤ人たちは、マリヤが急いで立ち上がって出て行くのを見て、彼女は墓に泣きに行くのであろうと思い、そのあとからついて行った。

32 ἡ οὖν Μαριὰμ, ὡς ἦλθεν ὅπου ἦν Ἰησοῦς, ἰδοῦσα αὐτὸν,
— そこで マリヤは ～した–とき 来て ～に いた イエスの–ところに 見て 彼を
G3588 G3767 G3137 G5613 G2064 G3699 G1510 G2424 G3708 G0846

ἔπεσεν αὐτοῦ πρὸς τοὺς πόδας, λέγουσα αὐτῷ, Κύριε, εἰ ἦς
ひれ伏した 彼の ～の — 足もとに 言って 彼に 主よ もし いてくださったなら
G4098 G0846 G4314 G3588 G4228 G3004 G0846 G2962 G1487 G1510

ὧδε, οὐκ ἄν μου ἀπέθανεν ὁ ἀδελφός.
ここに ～なかった ～だろう 私の 死ななかった–でしょう — 兄弟は
G5602 G3756 G0302 G1473 G0599 G3588 G0080

マリヤは、イエスのおられる所に行ってお目にかかり、その足もとにひれ伏して言った、「主よ、もしあなたがここにいて下さったなら、わたしの兄弟は死ななかったでしょう」。

33 Ἰησοῦς οὖν ὡς εἶδεν αὐτὴν κλαίουσαν, καὶ τοὺς συνελθόντας
イエスは そこで ～した–とき 見た 彼女が 泣いているのを そして — 共に–来た
G2424 G3767 G5613 G3708 G0846 G2799 G2532 G3588 G4905

αὐτῇ Ἰουδαίους κλαίοντας, ἐνεβριμήσατο τῷ πνεύματι, καὶ ἐτάραξεν
彼女と ユダヤ人たちも 泣いているのを 憤りを–覚え — 霊において そして 心を–騒がせた
G0846 G2453 G2799 G1690 G3588 G4151 G2532 G5015

ἑαυτόν.
自らを
G1438

イエスは、彼女が泣き、また、彼女と一緒にきたユダヤ人たちも泣いているのをごらんになり、激しく感動し、また心を騒がせ、そして言われた、

34 καὶ εἶπεν, Ποῦ τεθείκατε αὐτόν. λέγουσιν αὐτῷ, Κύριε, ἔρχου καὶ
そして 言った どこに 置いたのか 彼を 言う 彼に 主よ 来て そして
G2532 G3004 G4226 G5087 G0846 G3004 G0846 G2962 G2064 G2532

ἴδε.
ご覧ください
G3708

「彼をどこに置いたのか」。彼らはイエスに言った、「主よ、きて、ごらん下さい」。

35 ἐδάκρυσεν ὁ Ἰησοῦς.
涙を–流した — イエスは
G1145 G3588 G2424

イエスは涙を流された。

36 ἔλεγον οὖν οἱ Ἰουδαῖοι, Ἴδε πῶς ἐφίλει αὐτόν!
言った そこで — ユダヤ人たちは 見よ どんなに 愛していたことか 彼を
G3004 G3767 G3588 G2453 G3708 G4459 G5368 G0846

するとユダヤ人たちは言った、「ああ、なんと彼を愛しておられたことか」。

37 τινὲς δὲ ἐξ αὐτῶν εἶπαν, Οὐκ ἐδύνατο οὗτος ὁ
ある–者たちは しかし ～の中の 彼らの 言った ～できなかったのか できた この–者は —
G5100 G1161 G1537 G0846 G3004 G3756 G1410 G3778 G3588

ἀνοίξας τοὺς ὀφθαλμοὺς τοῦ τυφλοῦ, ποιῆσαι ἵνα καὶ οὗτος μὴ
開いた — 目を — 盲人の することが ～ために また この–者が ～ない
G0455 G3588 G3788 G3588 G5185 G4160 G2443 G2532 G3778 G3361

ἀποθάνῃ?
死なないようにと
G0599

しかし、彼らのある人たちは言った、「あの盲人の目をあけたこの人でも、ラザロを死なせないようには、できなかったのか」。

38 Ἰησοῦς οὖν πάλιν, ἐμβριμώμενος ἐν ἑαυτῷ, ἔρχεται εἰς τὸ
イエスは そこで 再び 憤りを-覚えながら ～で 自ら-の-内に 来る ～へ —
G2424 G3767 G3825 G1690 G1722 G1438 G2064 G1519 G3588

μνημεῖον. ἦν δὲ σπήλαιον, καὶ λίθος ἐπέκειτο ἐπ' αὐτῷ.
墓に あった さて 洞穴であり そして 石が 置かれていた ～の-上に それ
G3419 G1510 G1161 G4693 G2532 G3037 G1945 G1909 G0846

イエスはまた激しく感動して、墓にはいられた。それは洞穴であって、そこに石がはめてあった。

39 λέγει ὁ Ἰησοῦς, Ἄρατε τὸν λίθον. λέγει αὐτῷ ἡ ἀδελφὴ τοῦ
言う — イエスは 取りのけなさい — 石を 言う 彼に — 姉妹の —
G3004 G3588 G2424 G0142 G3588 G3037 G3004 G0846 G3588 G0079 G3588

τετελευτηκότος, Μάρθα, Κύριε, ἤδη ὄζει, τεταρταῖος γάρ ἐστιν.
亡くなった-者の マルタが 主よ もう 臭います 四日目 なぜなら ですから
G5053 G3136 G2962 G2235 G3605 G5066 G1063 G1510

イエスは言われた、「石を取りのけなさい」。死んだラザロの姉妹マルタが言った、「主よ、もう臭くなっております。四日もたっていますから」。

40 λέγει αὐτῇ ὁ Ἰησοῦς, Οὐκ εἶπόν σοι, ὅτι ἐὰν πιστεύσῃς,
言う 彼女に — イエスは 言わなかったか — あなたに ～と もし 信じるなら
G3004 G0846 G3588 G2424 G3756 G3004 G4771 G3754 G1437 G4100

ὄψῃ τὴν δόξαν τοῦ Θεοῦ.
見ると — 栄光を — 神の
G3708 G3588 G1391 G3588 G2316

イエスは彼女に言われた、「もし信じるなら神の栄光を見るであろうと、あなたに言ったではないか」。

41 ἦραν οὖν τὸν λίθον. ὁ δὲ Ἰησοῦς ἦρεν τοὺς ὀφθαλμοὺς ἄνω,
取りのけた そこで — 石を — さて イエスは 上げた — 目を 上に
G0142 G3767 G3588 G3037 G3588 G1161 G2424 G0142 G3588 G3788 G0507

καὶ εἶπεν, Πάτερ, εὐχαριστῶ σοι ὅτι ἤκουσάς μου.
そして 言った 父よ 感謝します あなたに ～と 聞いてくださったと わたしの
G2532 G3004 G3962 G2168 G4771 G3754 G0191 G1473

人々は石を取りのけた。すると、イエスは目を天にむけて言われた、「父よ、わたしの願いをお聞き下さったことを感謝します。

42 ἐγὼ δὲ ἤδειν ὅτι πάντοτέ μου ἀκούεις; ἀλλὰ
わたしは さて 知っていた ～と いつも わたしの 聞いてくださることを しかし
G1473 G1161 G1492 G3754 G3842 G1473 G0191 G0235

διὰ τὸν ὄχλον τὸν περιεστῶτα εἶπον, ἵνα πιστεύσωσιν ὅτι σύ
～の-ために — 群衆の — 周りに-立つ 言った 彼らが 信じるために ～と あなたが
G1223 G3588 G3793 G3588 G4026 G3004 G2443 G4100 G3754 G4771

με ἀπέστειλας.
わたしを 遣わしたと
G1473 G0649

あなたがいつでもわたしの願いを聞きいれて下さることを、よく知っています。しかし、こう申しますのは、そばに立っている人々に、あなたがわたしをつかわされたことを、信じさせるためであります」。

43 καὶ ταῦτα εἰπὼν, φωνῇ μεγάλῃ ἐκραύγασεν, Λάζαρε, δεῦρο ἔξω.
そして これらを 言って 声で 大きな 叫んだ ラザロよ 出て 来なさい
G2532 G3778 G3004 G5456 G3173 G2905 G2976 G1204 G1854

こう言いながら、大声で「ラザロよ、出てきなさい」と呼ばわれた。

44

ἐξῆλθεν	ὁ	τεθνηκὼς,	δεδεμένος	τοὺς	πόδας,	καὶ	τὰς	χεῖρας	κειρίαις,
出て-来た	—	死んでいた-者が	縛られて	—	足を	そして	—	手を	布で
G1831	G3588	G2348	G1210	G3588	G4228	G2532	G3588	G5495	G2750

καὶ	ἡ	ὄψις	αὐτοῦ	σουδαρίῳ	περιεδέδετο.	λέγει	αὐτοῖς,	ὁ	Ἰησοῦς
そして	—	顔は	彼の	布で	巻かれていた	言う	彼らに	—	イエスは
G2532	G3588	G3799	G0846	G4676	G4019	G3004	G0846	G3588	G2424

Λύσατε	αὐτὸν	καὶ	ἄφετε	αὐτὸν	ὑπάγειν.
解いて	彼を	そして	行かせなさい	彼を	—
G3089	G0846	G2532	G0863	G0846	G5217

すると、死人は手足を布でまかれ、顔も顔おおいで包まれたまま、出てきた。イエスは人々に言われた、「彼をほどいてやって、帰らせなさい」。

45

Πολλοὶ	οὖν	ἐκ	τῶν	Ἰουδαίων	οἱ	ἐλθόντες	πρὸς	τὴν
多くの	そこで	～の中の	—	ユダヤ人たちは	—	来ていた	～の-もとに	—
G4183	G3767	G1537	G3588	G2453	G3588	G2064	G4314	G3588

Μαριὰμ,	καὶ	θεασάμενοι	ἃ	ἐποίησεν,	ἐπίστευσαν	εἰς	αὐτόν;
マリヤの	そして	見た	—	行ったことを	信じた	～を	彼を
G3137	G2532	G2300	G3739	G4160	G4100	G1519	G0846

マリヤのところにきて、イエスのなさったことを見た多くのユダヤ人たちは、イエスを信じた。

46

τινὲς	δὲ	ἐξ	αὐτῶν	ἀπῆλθον	πρὸς	τοὺς	Φαρισαίους,
しかし-ある者たちは	さて	～の中の	彼らの	行った	～の-もとに	—	パリサイ人たちの
G5100	G1161	G1537	G0846	G0565	G4314	G3588	G5330

καὶ	εἶπαν	αὐτοῖς	ἃ	ἐποίησεν	Ἰησοῦς.
そして	告げた	彼らに	—	行ったことを	イエスが
G2532	G3004	G0846	G3739	G4160	G2424

しかし、そのうちの数人がパリサイ人たちのところに行って、イエスのされたことを告げた。

47

Συνήγαγον	οὖν	οἱ	ἀρχιερεῖς,	καὶ	οἱ	Φαρισαῖοι	συνέδριον,	καὶ
集めた	そこで	—	祭司長たちと	そして	—	パリサイ人たちは	議会を	そして
G4863	G3767	G3588	G0749	G2532	G3588	G5330	G4892	G2532

ἔλεγον,	Τί	ποιοῦμεν?	ὅτι	οὗτος	ὁ	ἄνθρωπος	πολλὰ	ποιεῖ	σημεῖα.
言った	どう	するのか	～なぜなら	この	—	人は	多くの	行っている	しるしを
G3004	G5101	G4160	G3754	G3778	G3588	G0444	G4183	G4160	G4592

そこで、祭司長たちとパリサイ人たちとは、議会を召集して言った、「この人が多くのしるしを行っているのに、お互は何をしているのだ。

48

ἐὰν	ἀφῶμεν	αὐτὸν	οὕτως,	πάντες	πιστεύσουσιν	εἰς	αὐτόν,	καὶ
もし	放っておくなら	彼を	このまま	すべての-人が	信じるだろう	～を	彼を	そして
G1437	G0863	G0846	G3779	G3956	G4100	G1519	G0846	G2532

ἐλεύσονται	οἱ	Ῥωμαῖοι,	καὶ	ἀροῦσιν	ἡμῶν	καὶ	τὸν	τόπον
来るだろう	—	ローマ人たちが	そして	取り-去るだろう	私たちの	～も	—	場所をも
G2064	G3588	G4514	G2532	G0142	G1473	G2532	G3588	G5117

καὶ	τὸ	ἔθνος.	
そして	—	民族をも	
G2532	G3588	G1484	

もしこのままにしておけば、みんなが彼を信じるようになるだろう。そのうえ、ローマ人がやってきて、わたしたちの土地も人民も奪ってしまうであろう」。

49	εἷς	δέ	τις	ἐξ	αὐτῶν,	Καϊάφας,	ἀρχιερεὺς	ὢν	τοῦ	ἐνιαυτοῦ
	一人の	しかし	ある	～の中の	彼らの	カヤパが	大祭司で	あった	―	年の
	G1520	G1161	G5100	G1537	G0846	G2533	G0749	G1510	G3588	G1763

ἐκείνου,	εἶπεν	αὐτοῖς,	Ὑμεῖς	οὐκ	οἴδατε	οὐδέν!	
その	言った	彼らに	あなたがたは	～ない	何も–わからない	―	
G1565	G3004	G0846	G4771	G3756	G1492	G3762	

彼らのうちのひとりで、その年の大祭司であったカヤパが、彼らに言った、「あなたがたは、何もわかっていないし、

50	οὐδὲ	λογίζεσθε	ὅτι	συμφέρει	ὑμῖν	ἵνα	εἷς	ἄνθρωπος		
	～ないのか	考えないのか	～と	有益であると	あなたがたにとって	～ために	一人の	人が		
	G3761	G3049	G3754	G4851	G4771	G2443	G1520	G0444		

ἀποθάνῃ	ὑπὲρ	τοῦ	λαοῦ,	καὶ	μὴ	ὅλον	τὸ	ἔθνος
死ぬ–ことが	～のために	―	民の–ために	そして	～ない	全体の	―	民族が
G0599	G5228	G3588	G2992	G2532	G3361	G3650	G3588	G1484

ἀπόληται.
滅びないためにと
G0622

ひとりの人が人民に代って死んで、全国民が滅びないようになるのがわたしたちにとって得だということを、考えてもいない」。

51	τοῦτο	δὲ	ἀφ’	ἑαυτοῦ	οὐκ	εἶπεν,	ἀλλὰ	ἀρχιερεὺς	ὢν
	これを	しかし	～から	自分自身から	～ない	言ったのではなく	むしろ	大祭司で	あった
	G3778	G1161	G0575	G1438	G3756	G3004	G0235	G0749	G1510

τοῦ	ἐνιαυτοῦ	ἐκείνου,	ἐπροφήτευσεν	ὅτι	ἔμελλεν	Ἰησοῦς	ἀποθνήσκειν	
―	年の	その	預言した	～と	やがて	イエスが	死のうとしていると	
G3588	G1763	G1565	G4395	G3754	G3195	G2424	G0599	

ὑπὲρ	τοῦ	ἔθνους;
～のために	―	民族の–ために
G5228	G3588	G1484

このことは彼が自分から言ったのではない。彼はこの年の大祭司であったので、預言をして、イエスが国民のために、

52	καὶ	οὐχ	ὑπὲρ	τοῦ	ἔθνους	μόνον,	ἀλλ’	ἵνα	καὶ
	そして	～だけでなく	～のために	―	民族の–ために	だけでなく	むしろ	～ために	また
	G2532	G3756	G5228	G3588	G1484	G3440	G0235	G2443	G2532

τὰ	τέκνα	τοῦ	Θεοῦ,	τὰ	διεσκορπισμένα,	συναγάγῃ	εἰς	ἕν.
―	子たちを	―	神の	―	散らされている	集めて	～に	一つにするため
G3588	G5043	G3588	G2316	G3588	G1287	G4863	G1519	G1520

ただ国民のためだけではなく、また散在している神の子らを一つに集めるために、死ぬことになっていると、言ったのである。

53	ἀπ’	ἐκείνης	οὖν	τῆς	ἡμέρας,	ἐβουλεύσαντο	ἵνα	ἀποκτείνωσιν	αὐτόν.
	～から	その	そこで	―	日から	相談した	～ために	殺そうと	彼を
	G0575	G1565	G3767	G3588	G2250	G1011	G2443	G0615	G0846

彼らはこの日からイエスを殺そうと相談した。

54 Ὁ οὖν Ἰησοῦς οὐκέτι παρρησίᾳ περιεπάτει ἐν τοῖς
— そこで イエスは もはや 公然と 歩くことを–しなかった ～の–中で —
G3588 G3767 G2424 G3765 G3954 G4043 G1722 G3588

Ἰουδαίοις, ἀλλὰ ἀπῆλθεν ἐκεῖθεν εἰς τὴν χώραν ἐγγὺς τῆς ἐρήμου, εἰς
ユダヤ人たちの むしろ 去った そこから ～へ — 地方へ 近くの — 荒野の ～の
G2453 G0235 G0565 G1564 G1519 G3588 G5561 G1451 G3588 G2048 G1519

Ἐφραὶμ λεγομένην πόλιν, κἀκεῖ ἔμεινεν μετὰ τῶν μαθητῶν.
エフライムと 呼ばれる 町に そこで とどまった ～と — 弟子たちと
G2187 G3004 G4172 G2546 G3306 G3326 G3588 G3101

そのためイエスは、もはや公然とユダヤ人の間を歩かないで、そこを出て、荒野に近い地方のエフライムという町に行かれ、そこに弟子たちと一緒に滞在しておられた。

55 Ἦν δὲ ἐγγὺς τὸ πάσχα τῶν Ἰουδαίων, καὶ ἀνέβησαν
あった さて 近かった — 過越の–祭りが — ユダヤ人たちの そして 上って–行った
G1510 G1161 G1451 G3588 G3957 G3588 G2453 G2532 G0305

πολλοὶ εἰς Ἰεροσόλυμα ἐκ τῆς χώρας πρὸ τοῦ πάσχα,
多くの–者が ～へ エルサレムへ ～から — 地方から ～の–前に — 過越の–祭りの
G4183 G1519 G2414 G1537 G3588 G5561 G4253 G3588 G3957

ἵνα ἁγνίσωσιν ἑαυτούς.
身を–清めるために — 自分自身を
G2443 G0048 G1438

さて、ユダヤ人の過越の祭が近づいたので、多くの人々は身をきよめるために、祭の前に、地方からエルサレムへ上った。

56 ἐζήτουν οὖν τὸν Ἰησοῦν, καὶ ἔλεγον μετ᾽ ἀλλήλων ἐν τῷ
探していた そこで — イエスを そして 言い–合っていた ～と 互いに ～で —
G2212 G3767 G3588 G2424 G2532 G3004 G3326 G0240 G1722 G3588

ἱερῷ ἑστηκότες, Τί δοκεῖ ὑμῖν, ὅτι οὐ μὴ ἔλθῃ εἰς τὴν
宮で 立って どう 思うか あなたがたは ～と 決して — 来ないだろうか ～に —
G2411 G2476 G5101 G1380 G4771 G3754 G3756 G3361 G2064 G1519 G3588

ἑορτήν?
祭りに
G1859

人々はイエスを捜し求め、宮の庭に立って互に言った、「あなたがたはどう思うか。イエスはこの祭にこないのだろうか」。

57 δεδώκεισαν δὲ οἱ ἀρχιερεῖς καὶ οἱ Φαρισαῖοι ἐντολὰς, ἵνα
出していた さて — 祭司長たちと そして — パリサイ人たちは 命令を もし
G1325 G1161 G3588 G0749 G2532 G3588 G5330 G1785 G2443

ἐάν τις γνῷ ποῦ ἐστιν, μηνύσῃ, ὅπως πιάσωσιν
～なら 誰かが 知ったなら どこに いるかを 知らせるようにと そうすれば 捕らえようとした
G1437 G5100 G1097 G4226 G1510 G3377 G3704 G4084

αὐτόν.
彼を
G0846

祭司長たちとパリサイ人たちとは、イエスを捕えようとして、そのいどころを知っている者があれば申し出よ、という指令を出していた。

Chapter 12

1 Ὁ — G3588 | οὖν そこで G3767 | Ἰησοῦς, イエスは G2424 | πρὸ ～の-前に G4253 | ἓξ 六 G1803 | ἡμερῶν 日 G2250 | τοῦ — G3588 | πάσχα, 過越の-祭りの G3957 | ἦλθεν 来た G2064 | εἰς ～へ G1519

Βηθανίαν, ベタニヤに G0963 | ὅπου ～のところ G3699 | ἦν いた G1510 | Λάζαρος, ラザロが G2976 | ὃν ～を G3739 | ἤγειρεν よみがえらせた G1453 | ἐκ ～から G1537 | νεκρῶν 死者の-中から G3498 | Ἰησοῦς. イエスが G2424

過越の祭の六日まえに、イエスはベタニヤに行かれた。そこは、イエスが死人の中からよみがえらせたラザロのいた所である。

2 ἐποίησαν 設けた G4160 | οὖν そこで G3767 | αὐτῷ 彼のために G0846 | δεῖπνον 晩餐を G1173 | ἐκεῖ, そこで G1563 | καὶ そして G2532 | ἡ — G3588 | Μάρθα マルタは G3136 | διηκόνει, 給仕した G1247 | ὁ — G3588

δὲ さて G1161 | Λάζαρος ラザロは G2976 | εἷς 一人で G1520 | ἦν, あった G1510 | ἐκ ～の中の G1537 | τῶν — G3588 | ἀνακειμένων 食卓に-ついていた-者たちの G0345 | σὺν ～と-共に G4862 | αὐτῷ. 彼と G0846

イエスのためにそこで夕食の用意がされ、マルタは給仕をしていた。イエスと一緒に食卓についていた者のうちに、ラザロも加わっていた。

3 ἡ — G3588 | οὖν そこで G3767 | Μαριὰμ, マリヤは G3137 | λαβοῦσα 取って G2983 | λίτραν 一リトラの G3046 | μύρου 香油を G3464 | νάρδου ナルドの G3487 | πιστικῆς, 純粋な G4101 | πολυτίμου, 高価な G4186

ἤλειψεν 塗った G0218 | τοὺς — G3588 | πόδας 足に G4228 | τοῦ — G3588 | Ἰησοῦ, イエスの G2424 | καὶ そして G2532 | ἐξέμαξεν 拭いた G1591 | ταῖς — G3588 | θριξὶν 髪で G2359 | αὐτῆς 彼女の G0846 | τοὺς — G3588

πόδας 足を G4228 | αὐτοῦ; 彼の G0846 | ἡ — G3588 | δὲ さて G1161 | οἰκία 家は G3614 | ἐπληρώθη 満ちた G4137 | ἐκ ～で G1537 | τῆς — G3588 | ὀσμῆς 香りで G3744 | τοῦ — G3588 | μύρου. 香油の G3464

その時、マリヤは高価で純粋なナルドの香油一斤を持ってきて、イエスの足にぬり、自分の髪の毛でそれをふいた。すると、香油のかおりが家にいっぱいになった。

4 λέγει 言う G3004 | δὲ さて G1161 | Ἰούδας ユダは G2455 | ὁ — G3588 | Ἰσκαριώτης, イスカリオテの G2469 | εἷς 一人の G1520 | [ἐκ] ～の G1537 | τῶν — G3588 | μαθητῶν 弟子たちの G3101 | αὐτοῦ, 彼の G0846 | ὁ — G3588

μέλλων やがて G3195 | αὐτὸν 彼を G0846 | παραδιδόναι, 裏切る-者が G3860

弟子のひとりで、イエスを裏切ろうとしていたイスカリオテのユダが言った、

5 Διὰ なぜ G1223 | τί — G5101 | τοῦτο この G3778 | τὸ — G3588 | μύρον 香油を G3464 | οὐκ ～なかったのか G3756 | ἐπράθη 売らなかったのか G4097 | τριακοσίων 三百 G5145 | δηναρίων, デナリで G1220

καὶ そして G2532 | ἐδόθη 与えられなかったのか G1325 | πτωχοῖς? 貧しい-人たちに G4434

「なぜこの香油を三百デナリに売って、貧しい人たちに、施さなかったのか」。

6 εἶπεν δὲ τοῦτο, οὐχ ὅτι περὶ τῶν πτωχῶν
言った さて これを ～ではなく ～のためではなく ～について ― 貧しい-人たちを
G3004 G1161 G3778 G3756 G3754 G4012 G3588 G4434

ἔμελεν αὐτῷ, ἀλλ’ ὅτι κλέπτης ἦν, καὶ τὸ
心配していたのではなく 彼に むしろ ～であったから 盗人で あった そして ―
G3199 G0846 G0235 G3754 G2812 G1510 G2532 G3588

γλωσσόκομον ἔχων, τὰ βαλλόμενα ἐβάσταζεν.
金入れを 持っていて ― 入れられた-ものを 盗んでいた
G1101 G2192 G3588 G0906 G0941

彼がこう言ったのは、貧しい人たちに対する思いやりがあったからではなく、自分が盗人であり、財布を預かっていて、その中身をごまかしていたからであった。

7 εἶπεν οὖν ὁ Ἰησοῦς, Ἄφες αὐτήν: ἵνα εἰς τὴν
言った そこで ― イエスは そのままに-しなさい 彼女を それは ～のために ―
G3004 G3767 G3588 G2424 G0863 G0846 G2443 G1519 G3588

ἡμέραν τοῦ ἐνταφιασμοῦ μου, τηρήσῃ αὐτό:
日の-ために ― 埋葬の わたしの 取っておかせなさい それを
G2250 G3588 G1780 G1473 G5083 G0846

イエスは言われた、「この女のするままにさせておきなさい。わたしの葬りの日のために、それをとっておいたのだから。

8 τοὺς πτωχοὺς γὰρ πάντοτε ἔχετε μεθ’ ἑαυτῶν; ἐμὲ δὲ
― 貧しい-人たちを なぜなら いつも いる ～と-共に 自分たちの わたしを しかし
G3588 G4434 G1063 G3842 G2192 G3326 G1438 G1473 G1161

οὐ πάντοτε ἔχετε.
～ない いつも いるわけではない
G3756 G3842 G2192

貧しい人たちはいつもあなたがたと共にいるが、わたしはいつも共にいるわけではない」。

9 Ἔγνω οὖν ὁ ὄχλος πολὺς ἐκ τῶν Ἰουδαίων, ὅτι ἐκεῖ ἐστιν;
知った そこで ― 群衆の 大きな ～の中の ― ユダヤ人たちが ～と そこに いると
G1097 G3767 G3588 G3793 G4183 G1537 G3588 G2453 G3754 G1563 G1510

καὶ ἦλθον, οὐ διὰ τὸν Ἰησοῦν μόνον, ἀλλ’ ἵνα
そして 来た ～のためだけでなく ～のために ― イエスの だけでなく むしろ ～ために
G2532 G2064 G3756 G1223 G3588 G2424 G3440 G0235 G2443

καὶ τὸν Λάζαρον ἴδωσιν, ὃν ἤγειρεν ἐκ νεκρῶν.
また ― ラザロを 見るために ～を よみがえらせた ～から 死者の-中から
G2532 G3588 G2976 G3708 G3739 G1453 G1537 G3498

大ぜいのユダヤ人たちが、そこにイエスのおられるのを知って、押しよせてきた。それはイエスに会うためだけではなく、イエスが死人のなかから、よみがえらせたラザロを見るためでもあった。

10 ἐβουλεύσαντο δὲ οἱ ἀρχιερεῖς, ἵνα καὶ τὸν Λάζαρον ἀποκτείνωσιν,
相談した さて ― 祭司長たちは ～ために また ― ラザロも 殺そうと
G1011 G1161 G3588 G0749 G2443 G2532 G3588 G2976 G0615

そこで祭司長たちは、ラザロも殺そうと相談した。

11 ὅτι なぜなら G3754 πολλοὶ 多くの G4183 δι’ ～の-ために G1223 αὐτὸν, 彼の G0846 ὑπῆγον 去って-いた G5217 τῶν ― G3588 Ἰουδαίων, ユダヤ人たちの G2453 καὶ そして G2532 ἐπίστευον 信じていた G4100 εἰς ～を G1519 τὸν ― G3588 Ἰησοῦν. イエスを G2424

それは、ラザロのことで、多くのユダヤ人が彼らを離れ去って、イエスを信じるに至ったからである。

12 Τῇ ― G3588 ἐπαύριον 翌日 G1887 ὁ ― G3588 ὄχλος, 群衆は G3793 πολὺς 大きな G4183 ὁ ― G3588 ἐλθὼν 来ていた G2064 εἰς ～へ G1519 τὴν ― G3588 ἑορτήν, 祭りに G1859 ἀκούσαντες 聞いて G0191 ὅτι ～と G3754 ἔρχεται 来ると G2064 ‹ὁ› ― G3588 Ἰησοῦς イエスが G2424 εἰς ～へ G1519 Ἰεροσόλυμα, エルサレムへ G2414

その翌日、祭にきていた大ぜいの群衆は、イエスがエルサレムにこられると聞いて、

13 ἔλαβον 取った G2983 τὰ ― G3588 βαΐα 棕櫚の-枝を G0902 τῶν ― G3588 φοινίκων なつめやしの G5404 καὶ そして G2532 ἐξῆλθον 出て-行った G1831 εἰς ～へ G1519 ὑπάντησιν 出迎えに G5222 αὐτῷ, 彼の G0846 καὶ そして G2532 ἐκραύγαζον, 叫んだ G2905 Ὡσαννά! ホサナ G5614 εὐλογημένος 祈りが-ある G2127 ὁ ― G3588 ἐρχόμενος 来る-方 G2064 ἐν ～で G1722 ὀνόματι 御名によって G3686 Κυρίου, 主の G2962 καὶ そして G2532 ὁ ― G3588 Βασιλεὺς 王よ G0935 τοῦ ― G3588 Ἰσραήλ! イスラエルの G2474

しゅろの枝を手にとり、迎えに出て行った。そして叫んだ、「ホサナ、主の御名によってきたる者に祝福あれ、イスラエルの王に」。

14 εὑρὼν 見つけて G2147 δὲ さて G1161 ὁ ― G3588 Ἰησοῦς イエスは G2424 ὀνάριον, 小ろばを G3678 ἐκάθισεν 乗った G2523 ἐπ’ ～の-上に G1909 αὐτό, それの G0846 καθώς ～のように G2531 ἐστιν ある G1510 γεγραμμένον, 書かれている-とおり G1125

イエスは、ろばの子を見つけて、その上に乗られた。それは

15 Μὴ ～ない G3361 φοβοῦ, 恐れるな G5399 θυγάτηρ 娘よ G2364 Σιών; シオンの G4622 ἰδοὺ, 見よ G3708 ὁ ― G3588 Βασιλεύς 王が G0935 σου あなたの G4771 ἔρχεται, 来る G2064 καθήμενος 座って G2521 ἐπὶ ～の-上に G1909 πῶλον ろばの-子に G4454 ὄνου. ろばの G3688

「シオンの娘よ、恐れるな。見よ、あなたの王がろばの子に乗っておいでになる」と書いてあるとおりであった。

16 Ταῦτα οὐκ ἔγνωσαν αὐτοῦ οἱ μαθηταὶ τὸ πρῶτον, ἀλλ’
これらを ～なかった 理解しなかった 彼の ― 弟子たちは ― 最初は しかし
G3778 G3756 G1097 G0846 G3588 G3101 G3588 G4413 G0235

ὅτε ἐδοξάσθη Ἰησοῦς, τότε ἐμνήσθησαν ὅτι ταῦτα ἦν
～した–とき 栄光を–受けた イエスが その–時 思い–出した ～と これらが あったと
G3753 G1392 G2424 G5119 G3403 G3754 G3778 G1510

ἐπ’ αὐτῷ γεγραμμένα, καὶ ταῦτα ἐποίησαν αὐτῷ.
～について 彼について 書かれていたと そして これらを 行ったと 彼に
G1909 G0846 G1125 G2532 G3778 G4160 G0846

弟子たちは初めにはこのことを悟らなかったが、イエスが栄光を受けられた時に、このことがイエスについて書かれてあり、またそのとおりに、人々がイエスに対してしたのだということを、思い起した。

17 Ἐμαρτύρει οὖν ὁ ὄχλος ὁ ὢν μετ’ αὐτοῦ, ὅτε τὸν
証していた そこで ― 群衆は ― いた ～と–共に 彼と ～した–とき ―
G3140 G3767 G3588 G3793 G3588 G1510 G3326 G0846 G3753 G3588

Λάζαρον ἐφώνησεν ἐκ τοῦ μνημείου, καὶ ἤγειρεν αὐτὸν ἐκ
ラザロを 呼んだ ～から ― 墓から そして よみがえらせた 彼を ～から
G2976 G5455 G1537 G3588 G3419 G2532 G1453 G0846 G1537

νεκρῶν.
死者の–中から
G3498

また、イエスがラザロを墓から呼び出して、死人の中からよみがえらせたとき、イエスと一緒にいた群衆が、そのあかしをした。

18 διὰ τοῦτο καὶ ὑπήντησεν αὐτῷ ὁ ὄχλος, ὅτι ἤκουσαν
～の–ために この–ことの また 出迎えた 彼を ― 群衆は なぜなら 聞いた
G1223 G3778 G2532 G5221 G0846 G3588 G3793 G3754 G0191

τοῦτο αὐτὸν πεποιηκέναι τὸ σημεῖον.
この 彼が 行ったと ― しるしを
G3778 G0846 G4160 G3588 G4592

群衆がイエスを迎えに出たのは、イエスがこのようなしるしを行われたことを、聞いていたからである。

19 οἱ οὖν Φαρισαῖοι εἶπαν πρὸς ἑαυτούς, Θεωρεῖτε ὅτι οὐκ
― そこで パリサイ人たちは 言った ～に 互いに 見よ ～と ～ない
G3588 G3767 G5330 G3004 G4314 G1438 G2334 G3754 G3756

ὠφελεῖτε οὐδέν? ἴδε, ὁ κόσμος ὀπίσω αὐτοῦ ἀπῆλθεν.
役に–立たない 何も 見よ ― 世が ～の–後に 彼の 行ってしまった
G5623 G3762 G3708 G3588 G2889 G3694 G0846 G0565

そこで、パリサイ人たちは互に言った、「何をしてもむだだった。世をあげて彼のあとを追って行ったではないか」。

20 Ἦσαν δὲ Ἕλληνές τινες, ἐκ τῶν ἀναβαινόντων ἵνα
いた さて ギリシヤ人たちが ある ～の中の ― 上って–来た ～ために
G1510 G1161 G1672 G5100 G1537 G3588 G0305 G2443

προσκυνήσωσιν, ἐν τῇ ἑορτῇ;
礼拝するために ～に ― 祭りに
G4352 G1722 G3588 G1859

祭で礼拝するために上ってきた人々のうちに、数人のギリシヤ人がいた。

21 οὗτοι 彼らは G3778 οὖν そこで G3767 προσῆλθον 近づいた G4334 Φιλίππῳ, ピリポに G5376 τῷ — G3588 ἀπὸ ～出身の G0575 Βηθσαϊδὰ ベツサイダの G0966 τῆς — G3588 Γαλιλαίας, ガリラヤの G1056

καὶ そして G2532 ἠρώτων 頼んだ G2065 αὐτὸν 彼に G0846 λέγοντες, 言って G3004 Κύριε, 主よ G2962 θέλομεν 会いたいのです G2309 τὸν — G3588 Ἰησοῦν イエスに G2424 ἰδεῖν. — G3708

彼らはガリラヤのベツサイダ出であるピリポのところにきて、「君よ、イエスにお目にかかりたいのですが」と言って頼んだ。

22 ἔρχεται 来る G2064 ὁ — G3588 Φίλιππος ピリポは G5376 καὶ そして G2532 λέγει 告げる G3004 τῷ — G3588 Ἀνδρέᾳ; アンデレに G0406 ἔρχεται 来る G2064 Ἀνδρέας アンデレと G0406 καὶ そして G2532

Φίλιππος ピリポは G5376 καὶ そして G2532 λέγουσιν 告げる G3004 τῷ — G3588 Ἰησοῦ. イエスに G2424

ピリポはアンデレのところに行ってそのことを話し、アンデレとピリポは、イエスのもとに行って伝えた。

23 ὁ — G3588 δὲ さて G1161 Ἰησοῦς イエスは G2424 ἀποκρίνεται 答える G0611 αὐτοῖς 彼らに G0846 λέγων, 言って G3004 Ἐλήλυθεν 来た G2064 ἡ — G3588 ὥρα 時が G5610 ἵνα ～ために G2443

δοξασθῇ 栄光を-受けるために G1392 ὁ — G3588 Υἱὸς 御子が G5207 τοῦ — G3588 ἀνθρώπου. 人の G0444

すると、イエスは答えて言われた、「人の子が栄光を受ける時がきた。

24 ἀμὴν まことに G0281 ἀμὴν まことに G0281 λέγω 言う G3004 ὑμῖν, あなたがたに G4771 ἐὰν もし G1437 μὴ ～ないなら G3361 ὁ — G3588 κόκκος 麦の-粒が G2848 τοῦ — G3588 σίτου, 小麦の G4621

πεσὼν 落ちて G4098 εἰς ～に G1519 τὴν — G3588 γῆν, 地に G1093 ἀποθάνῃ, 死なないなら G0599 αὐτὸς それ自身 G0846 μόνος ただ G3441 μένει; 残る G3306 ἐὰν しかし-もし G1437 δὲ さて G1161

ἀποθάνῃ, 死ぬなら G0599 πολὺν 多くの G4183 καρπὸν 実を G2590 φέρει. 結ぶ G5342

よくよくあなたがたに言っておく。一粒の麦が地に落ちて死ななければ、それはただ一粒のままである。しかし、もし死んだなら、豊かに実を結ぶようになる。

25 ὁ — G3588 φιλῶν 愛する-者は G5368 τὴν — G3588 ψυχὴν 命を G5590 αὐτοῦ, 自分の G0846 ἀπολλύει 失う G0622 αὐτήν, それを G0846 καὶ そして G2532 ὁ — G3588 μισῶν 憎む-者は G3404 τὴν — G3588

ψυχὴν 命を G5590 αὐτοῦ 自分の G0846 ἐν ～において G1722 τῷ — G3588 κόσμῳ 世において G2889 τούτῳ, この G3778 εἰς ～のために G1519 ζωὴν 永遠の-命へと G2222 αἰώνιον 永遠の G0166

φυλάξει 守る G5442 αὐτήν. それを G0846

自分の命を愛する者はそれを失い、この世で自分の命を憎む者は、それを保って永遠の命に至るであろう。

26

ἐὰν	ἐμοί	τις	διακονῇ,	ἐμοὶ	ἀκολουθείτω;	καὶ	ὅπου	εἰμὶ	ἐγὼ,
もし	わたしに	誰かが	仕えるなら	わたしに	従いなさい	そして	～に	いる	わたしが
G1437	G1473	G5100	G1247	G1473	G0190	G2532	G3699	G1510	G1473

ἐκεῖ	καὶ	ὁ	διάκονος	ὁ	ἐμὸς	ἔσται.	ἐάν	τις	ἐμοὶ	διακονῇ,
そこに	また	―	僕も	―	わたしの	いるだろう	もし	誰かが	わたしに	仕えるなら
G1563	G2532	G3588	G1249	G3588	G1699	G1510	G1437	G5100	G1473	G1247

τιμήσει	αὐτὸν	ὁ	Πατήρ.
尊ぶであろう	その-人を	―	父が
G5091	G0846	G3588	G3962

もしわたしに仕えようとする人があれば、その人はわたしに従って来るがよい。そうすれば、わたしのおる所に、わたしに仕える者もまた、おるであろう。もしわたしに仕えようとする人があれば、その人を父は重んじて下さるであろう。

27

νῦν	ἡ	ψυχή	μου	τετάρακται,	καὶ	τί	εἴπω?	Πάτερ,	σῶσόν
今	―	魂は	わたしの	騒いでいる	そして	何を	言おうか	父よ	救ってください
G3568	G3588	G5590	G1473	G5015	G2532	G5101	G3004	G3962	G4982

με	ἐκ	τῆς	ὥρας	ταύτης.	ἀλλὰ	διὰ	τοῦτο	ἦλθον	εἰς	τὴν
わたしを	～から	―	時から	この	しかし	～の-ために	この-ことの	来た	～に	―
G1473	G1537	G3588	G5610	G3778	G0235	G1223	G3778	G2064	G1519	G3588

ὥραν	ταύτην.
時に	この
G5610	G3778

今わたしは心が騒いでいる。わたしはなんと言おうか。父よ、この時からわたしをお救い下さい。しかし、わたしはこのために、この時に至ったのです。

28

Πάτερ,	δόξασόν	σου	τὸ	ὄνομα.	ἦλθεν	οὖν	φωνὴ	ἐκ	τοῦ
父よ	栄光を-与えてください	あなたの	―	御名に	来た	そこで	声が	～から	―
G3962	G1392	G4771	G3588	G3686	G2064	G3767	G5456	G1537	G3588

οὐρανοῦ,	Καὶ	ἐδόξασα,	καὶ	πάλιν	δοξάσω.
天から	既に	栄光を-与えた	そして	再び	栄光を-与える
G3772	G2532	G1392	G2532	G3825	G1392

父よ、み名があがめられますように」。すると天から声があった、「わたしはすでに栄光をあらわした。そして、更にそれをあらわすであろう」。

29

ὁ	οὖν	ὄχλος	ὁ	ἑστὼς	καὶ	ἀκούσας,	ἔλεγεν,	βροντὴν	γεγονέναι.
―	そこで	群衆は	―	立っていた	そして	聞いて	言った	雷が	鳴ったと
G3588	G3767	G3793	G3588	G2476	G2532	G0191	G3004	G1027	G1096

ἄλλοι	ἔλεγον,	Ἄγγελος	αὐτῷ	λελάληκεν.
他の-者たちは	言った	御使いが	彼に	語ったと
G0243	G3004	G0032	G0846	G2980

すると、そこに立っていた群衆がこれを聞いて、「雷がなったのだ」と言い、ほかの人たちは、「御使が彼に話しかけたのだ」と言った。

30

ἀπεκρίθη	Ἰησοῦς,	καὶ	εἶπεν	Οὐ	δι’	ἐμὲ,	ἡ	φωνὴ
答えた	イエスは	そして	言った	～ではない	～の-ためではなく	わたしの	―	声は
G0611	G2424	G2532	G3004	G3756	G1223	G1473	G3588	G5456

αὕτη	γέγονεν,	ἀλλὰ	δι’	ὑμᾶς.
この	来た	むしろ	～の-ために	あなたがたの
G3778	G1096	G0235	G1223	G4771

イエスは答えて言われた、「この声があったのは、わたしのためではなく、あなたがたのためである。

31 νῦν 今 G3568 | κρίσις 裁きが G2920 | ἐστὶν ある G1510 | τοῦ — G3588 | κόσμου 世の G2889 | τούτου; この G3778 | νῦν 今 G3568 | ὁ — G3588 | ἄρχων 支配者が G0758 | τοῦ — G3588 | κόσμου 世の G2889

τούτου この G3778 | ἐκβληθήσεται 追い-出される G1544 | ἔξω. 外に G1854

今はこの世がさばかれる時である。今こそこの世の君は追い出されるであろう。

32 κἀγὼ, そして-わたしは G2504 | ἐὰν もし G1437 | ὑψωθῶ 上げられるなら G5312 | ἐκ ～から G1537 | τῆς — G3588 | γῆς, 地から G1093 | πάντας すべての-人を G3956 | ἑλκύσω 引き-寄せる G1670 | πρὸς ～に G4314

ἐμαυτόν. わたしの-もとに G1683

そして、わたしがこの地から上げられる時には、すべての人をわたしのところに引きよせるであろう」。

33 τοῦτο これを G3778 | δὲ さて G1161 | ἔλεγεν, 言った G3004 | σημαίνων 示して G4591 | ποίῳ どのような G4169 | θανάτῳ 死によって G2288 | ἤμελλεν やがて G3195 | ἀποθνήσκειν. 死のうとしていることを G0599

イエスはこう言って、自分がどんな死に方で死のうとしていたかを、お示しになったのである。

34 ἀπεκρίθη 答えた G0611 | οὖν そこで G3767 | αὐτῷ 彼に G0846 | ὁ — G3588 | ὄχλος, 群衆は G3793 | Ἡμεῖς 私たちは G1473 | ἠκούσαμεν 聞いた G0191 | ἐκ ～から G1537 | τοῦ — G3588 | νόμου, 律法から G3551

ὅτι ～と G3754 | ὁ — G3588 | Χριστὸς キリストは G5547 | μένει とどまると G3306 | εἰς ～の G1519 | τὸν — G3588 | αἰῶνα, 永遠に G0165 | καὶ それなのに G2532 | πῶς なぜ G4459 | λέγεις 言うのか G3004 | σὺ あなたは G4771

ὅτι, ～と G3754 | δεῖ ～ねばならない G1163 | ὑψωθῆναι 上げられると G5312 | τὸν — G3588 | Υἱὸν 御子が G5207 | τοῦ — G3588 | ἀνθρώπου? 人の G0444 | τίς 誰ですか G5101 | ἐστιν である G1510 | οὗτος この G3778

ὁ — G3588 | Υἱὸς 御子は G5207 | τοῦ — G3588 | ἀνθρώπου? 人の G0444

すると群衆はイエスにむかって言った、「わたしたちは律法によって、キリストはいつまでも生きておいでになるのだ、と聞いていました。それだのに、どうして人の子は上げられねばならないと、言われるのですか。その人の子とは、だれのことですか」。

35 εἶπεν 言った G3004 | οὖν そこで G3767 | αὐτοῖς 彼らに G0846 | ὁ — G3588 | Ἰησοῦς, イエスは G2424 | Ἔτι まだ G2089 | μικρὸν 少しの-間 G3398 | χρόνον, — G5550 | τὸ — G3588 | φῶς 光は G5457 | ἐν ～の-中に G1722

ὑμῖν あなたがたの G4771 | ἐστιν. ある G1510 | περιπατεῖτε 歩きなさい G4043 | ὡς ～のある-うちに G5613 | τὸ — G3588 | φῶς 光が G5457 | ἔχετε, ある-うちに G2192 | ἵνα ～ない-ように G2443

μὴ — G3361 | σκοτία 闇が G4653 | ὑμᾶς あなたがたを G4771 | καταλάβῃ. 追い-つかない G2638 | καὶ そして G2532 | ὁ — G3588 | περιπατῶν 歩く-者は G4043 | ἐν ～の-中で G1722 | τῇ — G3588

σκοτίᾳ, 闇の-中で G4653 | οὐκ ～ない G3756 | οἶδεν 知らない G1492 | ποῦ どこへ G4226 | ὑπάγει. 行くのかを G5217

そこでイエスは彼らに言われた、「もうしばらくの間、光はあなたがたと一緒にここにある。光がある間に歩いて、やみに追いつかれないようにしなさい。やみの中を歩く者は、自分がどこへ行くのかわかっていない。

36	ὡς	τὸ	φῶς	ἔχετε,	πιστεύετε	εἰς	τὸ	φῶς,	ἵνα
	～のある–うちに	—	光が	ある–うちに	信じなさい	～を	—	光を	あなたがたが
	G5613	G3588	G5457	G2192	G4100	G1519	G3588	G5457	G2443

υἱοὶ	φωτὸς	γένησθε.	Ταῦτα	ἐλάλησεν	Ἰησοῦς,	καὶ	ἀπελθὼν,	ἐκρύβη
子となるために	光の	—	これらを	語った	イエスは	そして	去って	隠れた
G5207	G5457	G1096	G3778	G2980	G2424	G2532	G0565	G2928

ἀπ’	αὐτῶν.
～から	彼らから
G0575	G0846

光のある間に、光の子となるために、光を信じなさい」。イエスはこれらのことを話してから、そこを立ち去って、彼らから身をお隠しになった。

37	Τοσαῦτα	δὲ	αὐτοῦ	σημεῖα	πεποιηκότος	ἔμπροσθεν	αὐτῶν,	
	これほど–多くの	しかし	彼の	しるしを	行ったにも–かかわらず	～の–前で	彼らの	
	G5118	G1161	G0846	G4592	G4160	G1715	G0846	

οὐκ	ἐπίστευον	εἰς	αὐτόν,
～なかった	信じなかった	～を	彼を
G3756	G4100	G1519	G0846

このように多くのしるしを彼らの前でなさったが、彼らはイエスを信じなかった。

38	ἵνα	ὁ	λόγος	Ἡσαΐου	τοῦ	προφήτου	πληρωθῇ,	ὃν	εἶπεν,	Κύριε,
	～ために	—	言葉が	イザヤの	—	預言者の	成就するために	～を	言った	主よ
	G2443	G3588	G3056	G2268	G3588	G4396	G4137	G3739	G3004	G2962

τίς	ἐπίστευσεν	τῇ	ἀκοῇ	ἡμῶν?	καὶ	ὁ	βραχίων	Κυρίου	τίνι
誰が	信じたのですか	—	知らせを	私たちの	そして	—	御腕は	主の	誰に
G5101	G4100	G3588	G0189	G1473	G2532	G3588	G1023	G2962	G5101

ἀπεκαλύφθη?
現わされたのですか
G0601

それは、預言者イザヤの次の言葉が成就するためである、「主よ、わたしたちの説くところを、だれが信じたでしょうか。また、主のみ腕はだれに示されたでしょうか」。

39	διὰ	τοῦτο	οὐκ	ἠδύναντο	πιστεύειν,	ὅτι	πάλιν	εἶπεν
	～の–ために	この–ことの	～できなかった	—	信じることが	なぜなら	再び	言った
	G1223	G3778	G3756	G1410	G4100	G3754	G3825	G3004

Ἡσαΐας,
イザヤは
G2268

こういうわけで、彼らは信じることができなかった。イザヤはまた、こうも言った、

40 Τετύφλωκεν αὐτῶν τοὺς ὀφθαλμοὺς, καὶ ἐπώρωσεν αὐτῶν τὴν καρδίαν,
盲目に-した 彼らの ― 目を そして かたくなに-した 彼らの ― 心を
G5186 G0846 G3588 G3788 G2532 G4456 G0846 G3588 G2588

ἵνα μὴ ἴδωσιν τοῖς ὀφθαλμοῖς, καὶ νοήσωσιν τῇ καρδίᾳ,
～ない-ために ― 見ないために ― 目で そして 悟らないために ― 心で
G2443 G3361 G3708 G3588 G3788 G2532 G3539 G3588 G2588

καὶ στραφῶσιν, καὶ ἰάσομαι αὐτούς.
そして 立ち-返らないために そして 癒すことのない-ように 彼らを
G2532 G4762 G2532 G2390 G0846

「神は彼らの目をくらまし、心をかたくなになさった。それは、彼らが目で見ず、心で悟らず、悔い改めていやされることがないためである」。

41 ταῦτα εἶπεν Ἠσαΐας, ὅτι εἶδεν τὴν δόξαν αὐτοῦ, καὶ ἐλάλησεν
これらを 言った イザヤは なぜなら 見た ― 栄光を 彼の そして 語った
G3778 G3004 G2268 G3754 G3708 G3588 G1391 G0846 G2532 G2980

περὶ αὐτοῦ.
～について 彼について
G4012 G0846

イザヤがこう言ったのは、イエスの栄光を見たからであって、イエスのことを語ったのである。

42 ὅμως μέντοι καὶ ἐκ τῶν ἀρχόντων πολλοὶ ἐπίστευσαν εἰς αὐτόν,
しかし それでも また ～の中の ― 指導者たちの 多くの-者が 信じた ～を 彼を
G3676 G3305 G2532 G1537 G3588 G0758 G4183 G4100 G1519 G0846

ἀλλὰ διὰ τοὺς Φαρισαίους οὐχ ὡμολόγουν, ἵνα μὴ
しかし ～の-ために ― パリサイ人たちの ～なかった 告白しなかった ～ない-ために ―
G0235 G1223 G3588 G5330 G3756 G3670 G2443 G3361

ἀποσυνάγωγοι γένωνται;
会堂から-追放される-者に ならないために
G0656 G1096

しかし、役人たちの中にも、イエスを信じた者が多かったが、パリサイ人をはばかって、告白はしなかった。会堂から追い出されるのを恐れていたのである。

43 ἠγάπησαν γὰρ τὴν δόξαν τῶν ἀνθρώπων μᾶλλον ἤπερ τὴν δόξαν
愛した なぜなら ― 栄光を ― 人の むしろ ～よりも ― 栄光を
G0025 G1063 G3588 G1391 G3588 G0444 G3123 G2260 G3588 G1391

τοῦ Θεοῦ.
― 神の
G3588 G2316

彼らは神のほまれよりも、人のほまれを好んだからである。

44 Ἰησοῦς δὲ ἔκραξεν καὶ εἶπεν, Ὁ πιστεύων εἰς ἐμὲ, οὐ
イエスは さて 叫んで そして 言った ― 信じる-者は ～を わたしを ～ではない
G2424 G1161 G2896 G2532 G3004 G3588 G4100 G1519 G1473 G3756

πιστεύει εἰς ἐμὲ, ἀλλὰ εἰς τὸν πέμψαντά με;
信じるのではなく ～を わたしを むしろ ～を ― 遣わした-方を わたしを
G4100 G1519 G1473 G0235 G1519 G3588 G3992 G1473

イエスは大声で言われた、「わたしを信じる者は、わたしを信じるのではなく、わたしをつかわされたかたを信じるのであり、

45	καὶ	ὁ	θεωρῶν	ἐμὲ,	θεωρεῖ	τὸν	πέμψαντά	με.
そして	—	見る–者は	わたしを	見る	—	遣わした–方を	わたしを
G2532	G3588	G2334	G1473	G2334	G3588	G3992	G1473

また、わたしを見る者は、わたしをつかわされたかたを見るのである。

46	ἐγὼ	φῶς	εἰς	τὸν	κόσμον	ἐλήλυθα,	ἵνα	πᾶς	ὁ	πιστεύων
わたしは	光として	～に	—	世に	来た	～ために	すべて	—	信じる–者が
G1473	G5457	G1519	G3588	G2889	G2064	G2443	G3956	G3588	G4100

εἰς	ἐμὲ,	ἐν	τῇ	σκοτίᾳ	μὴ	μείνῃ.
～を	わたしを	～に	—	闇に	～ない	とどまらないために
G1519	G1473	G1722	G3588	G4653	G3361	G3306

わたしは光としてこの世にきた。それは、わたしを信じる者が、やみのうちにとどまらないようになるためである。

47	καὶ	ἐάν	τίς	μου	ἀκούσῃ	τῶν	ῥημάτων,	καὶ	μὴ	φυλάξῃ,
そして	もし	誰かが	わたしの	聞いて	—	言葉を	そして	～ない	守らなくても
G2532	G1437	G5100	G1473	G0191	G3588	G4487	G2532	G3361	G5442

ἐγὼ	οὐ	κρίνω	αὐτόν,	οὐ	γὰρ	ἦλθον	ἵνα	κρίνω
わたしは	～ない	裁かない	その–人を	～ない	なぜなら	来たのではない	～ために	裁くために
G1473	G3756	G2919	G0846	G3756	G1063	G2064	G2443	G2919

τὸν	κόσμον,	ἀλλ’	ἵνα	σώσω	τὸν	κόσμον.
—	世を	むしろ	～ために	救うために	—	世を
G3588	G2889	G0235	G2443	G4982	G3588	G2889

たとい、わたしの言うことを聞いてそれを守らない人があっても、わたしはその人をさばかない。わたしがきたのは、この世をさばくためではなく、この世を救うためである。

48	ὁ	ἀθετῶν	ἐμὲ	καὶ	μὴ	λαμβάνων	τὰ	ῥήματά	μου,
—	拒む–者が	わたしを	そして	～ない	受け入れない–者には	—	言葉を	わたしの
G3588	G0114	G1473	G2532	G3361	G2983	G3588	G4487	G1473

ἔχει	τὸν	κρίνοντα	αὐτόν:	ὁ	λόγος	ὃν	ἐλάλησα,	ἐκεῖνος	κρινεῖ	αὐτὸν
ある	—	裁く–者が	その–人を	—	言葉は	～を	語った	それが	裁く	その–人を
G2192	G3588	G2919	G0846	G3588	G3056	G3739	G2980	G1565	G2919	G0846

ἐν	τῇ	ἐσχάτῃ	ἡμέρᾳ.
～に	—	終わりの	日に
G1722	G3588	G2078	G2250

わたしを捨てて、わたしの言葉を受けいれない人には、その人をさばくものがある。わたしの語ったその言葉が、終りの日にその人をさばくであろう。

49	ὅτι	ἐγὼ	ἐξ	ἐμαυτοῦ	οὐκ	ἐλάλησα,	ἀλλ’	ὁ	πέμψας
なぜなら	わたしは	～から	自分自身から	～ない	語ったのではなく	むしろ	—	遣わした
G3754	G1473	G1537	G1683	G3756	G2980	G0235	G3588	G3992

με	Πατὴρ	αὐτός,	μοι	ἐντολὴν --	δέδωκεν	τί	εἴπω,	καὶ	τί
わたしを	父が	御自身	わたしに	命令を–与えた	—	何を	言うべきかと	そして	何を
G1473	G3962	G0846	G1473	G1785	G1325	G5101	G3004	G2532	G5101

λαλήσω.

語るべきかを
G2980

わたしは自分から語ったのではなく、わたしをつかわされた父ご自身が、わたしの言うべきこと、語るべきことをお命じになったのである。

50 καὶ そして G2532 | οἶδα 知っている G1492 | ὅτι ～と G3754 | ἡ — G3588 | ἐντολὴ 命令は G1785 | αὐτοῦ 彼の G0846 | ζωὴ 永遠の–命であると G2222 | αἰώνιός 永遠の G0166 | ἐστιν. — G1510 | ἃ — G3739

οὖν そこで G3767 | ἐγὼ わたしが G1473 | λαλῶ, 語ることは G2980 | καθὼς ～の–とおりに G2531 | εἴρηκέν 言われた G2046 | μοι わたしに G1473 | ὁ — G3588 | Πατήρ, 父が G3962 | οὕτως その–とおりに G3779

λαλῶ. 語る G2980

わたしは、この命令が永遠の命であることを知っている。それゆえに、わたしが語っていることは、わたしの父がわたしに仰せになったことを、そのまま語っているのである」。

Chapter 13

1 Πρὸ 前に G4253 | δὲ さて G1161 | τῆς その G3588 | ἑορτῆς 祭りの G1859 | τοῦ その G3588 | πάσχα, 過越の G3957 | εἰδὼς 知って G1492 | ὁ – G3588 | Ἰησοῦς イエスは G2424 | ὅτι –と G3754 | ἦλθεν 来た G2064 | αὐτοῦ ご自分の G0846

ἡ その G3588 | ὥρα, 時が G5610 | ἵνα –ために G2443 | μεταβῇ 移る G3327 | ἐκ –から G1537 | τοῦ この G3588 | κόσμου 世 G2889 | τούτου, –を G3778 | πρὸς –へと G4314 | τὸν その G3588 | Πατέρα, 父の–もとに G3962

ἀγαπήσας 愛して G0025 | τοὺς – G3588 | ἰδίους 自分の–者たちを G2398 | τοὺς – G3588 | ἐν –の G1722 | τῷ この G3588 | κόσμῳ, 世に–いる G2889 | εἰς 最後 G1519 | τέλος –まで G5056 | ἠγάπησεν 愛された G0025

αὐτούς. 彼らを G0846

過越の祭の前に、イエスは、この世を去って父のみもとに行くべき自分の時がきたことを知り、世にいる自分の者たちを愛して、彼らを最後まで愛し通された。

2 καὶ そして G2532 | δείπνου 夕食の G1173 | γινομένου, 間に G1096 | τοῦ その G3588 | διαβόλου 悪魔が G1228 | ἤδη すでに G2235 | βεβληκότος 入れていた G0906 | εἰς –の G1519 | τὴν その G3588 | καρδίαν 心に G2588

ἵνα –ように G2443 | παραδοῖ 裏切る G3860 | αὐτὸν, 彼を G0846 | Ἰούδας, ユダ G2455 | Σίμωνος シモンの–子 G4613 | Ἰσκαριώτου, イスカリオテの G2469

夕食のとき、悪魔はすでにシモンの子イスカリオテのユダの心に、イエスを裏切ろうとする思いを入れていたが、

3 εἰδὼς 知っていて G1492 | ὅτι –と G3754 | πάντα すべてを G3956 | ἔδωκεν 与えた G1325 | αὐτῷ 彼に G0846 | ὁ – G3588 | Πατὴρ 父が G3962 | εἰς その G1519 | τὰς – G3588 | χεῖρας, 手に G5495 | καὶ そして G2532

ὅτι –と G3754 | ἀπὸ –から G0575 | Θεοῦ 神 G2316 | ἐξῆλθεν 出て来て G1831 | καὶ また G2532 | πρὸς –へ G4314 | τὸν その G3588 | Θεὸν 神の–もとに G2316 | ὑπάγει, 帰って行く G5217

イエスは、父がすべてのものを自分の手にお与えになったこと、また、自分は神から出てきて、神にかえろうとしていることを思い、

4

ἐγείρεται	ἐκ	τοῦ	δείπνου,	καὶ	τίθησιν	τὰ	ἱμάτια,	καὶ	λαβὼν
立ち上がり	–から	その	夕食の–席を	そして	置かれた	その	上着を	そして	取って
G1453	G1537	G3588	G1173	G2532	G5087	G3588	G2440	G2532	G2983

λέντιον	διέζωσεν	ἑαυτόν.
手ぬぐいを	腰に–巻かれた	ご自身に
G3012	G1241	G1438

夕食の席から立ち上がって、上着を脱ぎ、手ぬぐいをとって腰に巻き、

5

εἶτα	βάλλει	ὕδωρ	εἰς	τὸν	νιπτῆρα,	καὶ	ἤρξατο	νίπτειν	τοὺς
それから	注いだ	水を	–の中に	その	たらいに	そして	始められた	洗うことを	その
G1534	G0906	G5204	G1519	G3588	G3537	G2532	G0756	G3538	G3588

πόδας	τῶν	μαθητῶν,	καὶ	ἐκμάσσειν	τῷ	λεντίῳ	ᾧ	ἦν	διεζωσμένος,
足を	–の	弟子たちの	そして	ぬぐうことを	その	手ぬぐいで	それで	–	腰に–巻いていた
G4228	G3588	G3101	G2532	G1591	G3588	G3012	G3739	G1510	G1241

それから水をたらいに入れて、弟子たちの足を洗い、腰に巻いた手ぬぐいでふき始められた。

6

ἔρχεται	οὖν	πρὸς	Σίμωνα	Πέτρον,	λέγει	αὐτῷ,	Κύριε,	σύ	μου
来られた	そこで	–の–もとに	シモン	ペテロの	言った	彼に	主よ	あなたが	私の
G2064	G3767	G4314	G4613	G4074	G3004	G0846	G2962	G4771	G1473

νίπτεις	τοὺς	πόδας?
洗うのですか	その	足を
G3538	G3588	G4228

こうして、シモン・ペテロの番になった。すると彼はイエスに、「主よ、あなたがわたしの足をお洗いになるのですか」と言った。

7

ἀπεκρίθη	Ἰησοῦς	καὶ	εἶπεν	αὐτῷ,	Ὃ	ἐγὼ	ποιῶ	σὺ	οὐκ
答えて	イエスは	そして	言われた	彼に	わたしが	–	していることを	あなたは	–ない
G0611	G2424	G2532	G3004	G0846	G3739	G1473	G4160	G4771	G3756

οἶδας	ἄρτι,	γνώσῃ	δὲ	μετὰ	ταῦτα.	
わからない	今は	わかるだろう	しかし	後で	これらのことを	
G1492	G0737	G1097	G1161	G3326	G3778	

イエスは彼に答えて言われた、「わたしのしていることは今あなたにはわからないが、あとでわかるようになるだろう」。

8

λέγει	αὐτῷ	Πέτρος,	Οὐ	μὴ	νίψῃς	μου	τοὺς	πόδας,	εἰς
言った	彼に	ペテロは	決して	–	洗わないでください	私の	–	足を	永遠に
G3004	G0846	G4074	G3756	G3361	G3538	G1473	G3588	G4228	G1519

τὸν	αἰῶνα.	ἀπεκρίθη	Ἰησοῦς	αὐτῷ,	Ἐὰν	μὴ	νίψω	σε,	οὐκ	ἔχεις
–	–	答えられた	イエスは	彼に	もし	–なければ	洗わ	あなたを	–ない	持たない
G3588	G0165	G0611	G2424	G0846	G1437	G3361	G3538	G4771	G3756	G2192

μέρος	μετ’	ἐμοῦ.	
分け前を	わたしと–共に	–	
G3313	G3326	G1473	

ペテロはイエスに言った、「わたしの足を決して洗わないで下さい」。イエスは彼に答えられた、「もしわたしがあなたの足を洗わないなら、あなたはわたしとなんの係わりもなくなる」。

9 λέγει αὐτῷ Σίμων Πέτρος, Κύριε, μὴ τοὺς πόδας μου μόνον, ἀλλὰ
言った 彼に シモン ペテロは 主よ –だけでなく – 足 私の –を むしろ
G3004 G0846 G4613 G4074 G2962 G3361 G3588 G4228 G1473 G3440 G0235

καὶ τὰς χεῖρας καὶ τὴν κεφαλήν.
–も その 手 そして その 頭も
G2532 G3588 G5495 G2532 G3588 G2776

シモン・ペテロはイエスに言った、「主よ、では、足だけではなく、どうぞ、手も頭も」。

10 λέγει αὐτῷ ‹ὁ› Ἰησοῦς, Ὁ λελουμένος οὐκ ἔχει χρείαν, εἰ
言われた 彼に – イエスは – 洗った–者は –する 必要が–ない – –ただ
G3004 G0846 G3588 G2424 G3588 G3068 G3756 G2192 G5532 G1487

μὴ τοὺς πόδας νίψασθαι, ἀλλ’ ἔστιν καθαρὸς ὅλος; καὶ ὑμεῖς
– その 足を 洗う–以外は むしろ –である きよい 全身が そして あなたがたは
G3361 G3588 G4228 G3538 G0235 G1510 G2513 G3650 G2532 G4771

καθαροί ἐστε, ἀλλ’ οὐχὶ πάντες.
きよい –である しかし –ではない すべてが
G2513 G1510 G0235 G3780 G3956

イエスは彼に言われた、「すでにからだを洗った者は、足のほかは洗う必要がない。全身がきれいなのだから。あなたがたはきれいなのだ。しかし、みんながそうなのではない」。

11 ᾔδει γὰρ τὸν παραδιδόντα αὐτόν; διὰ τοῦτο εἶπεν ὅτι,
知っていた なぜなら その 裏切る–者を 彼を –のために この–こと 言われた –と
G1492 G1063 G3588 G3860 G0846 G1223 G3778 G3004 G3754

Οὐχὶ πάντες καθαροί ἐστε.
–ではない すべてが きよい –である–と
G3780 G3956 G2513 G1510

イエスは自分を裏切る者を知っておられた。それで、「みんながきれいなのではない」と言われたのである。

12 Ὅτε οὖν ἔνιψεν τοὺς πόδας αὐτῶν, καὶ ἔλαβεν τὰ ἱμάτια
–のとき こうして 洗った 彼らの 足を – そして 取られた ご自分の 上着を
G3753 G3767 G3538 G3588 G4228 G0846 G2532 G2983 G3588 G2440

αὐτοῦ, καὶ ἀνέπεσεν πάλιν, εἶπεν αὐτοῖς, Γινώσκετε τί πεποίηκα
– そして 席に–つかれて 再び 言われた 彼らに わかるか 何を わたしがした–ことが
G0846 G2532 G0377 G3825 G3004 G0846 G1097 G5101 G4160

ὑμῖν?
あなたがたに
G4771

こうして彼らの足を洗ってから、上着をつけ、ふたたび席にもどって、彼らに言われた、「わたしがあなたがたにしたことがわかるか。

13 ὑμεῖς φωνεῖτέ με Ὁ Διδάσκαλος καὶ ὁ Κύριος, καὶ καλῶς
あなたがたは 呼んでいる わたしを – 先生 また – 主と そして 正しく
G4771 G5455 G1473 G3588 G1320 G2532 G3588 G2962 G2532 G2573

λέγετε, εἰμὶ γάρ.
言っている –である そのとおり
G3004 G1510 G1063

あなたがたはわたしを教師、また主と呼んでいる。そう言うのは正しい。わたしはそのとおりである。

14

εἰ	οὖν	ἐγὼ	ἔνιψα	ὑμῶν	τοὺς	πόδας,	ὁ	Κύριος	καὶ
もし	そうであるなら	わたしが	洗った	あなたがたの	–	足を	–	主	であり
G1487	G3767	G1473	G3538	G4771	G3588	G4228	G3588	G2962	G2532

ὁ	Διδάσκαλος,	καὶ	ὑμεῖς	ὀφείλετε	ἀλλήλων	νίπτειν	τοὺς	πόδας.
–	先生–であるのに	–も	あなたがたも	当然である	互いに	洗うのが	–	足を
G3588	G1320	G2532	G4771	G3784	G0240	G3538	G3588	G4228

しかし、主であり、また教師であるわたしが、あなたがたの足を洗ったからには、あなたがたもまた、互に足を洗い合うべきである。

15

ὑπόδειγμα	γὰρ	ἔδωκα	ὑμῖν,	ἵνα	καθὼς	ἐγὼ	ἐποίησα
模範を	なぜなら	与えた	あなたがたに	–ために	ちょうど	わたしが	した–ように
G5262	G1063	G1325	G4771	G2443	G2531	G1473	G4160

ὑμῖν,	καὶ	ὑμεῖς	ποιῆτε.
あなたがたに	–も	あなたがたも	するように
G4771	G2532	G4771	G4160

わたしがあなたがたにしたとおりに、あなたがたもするように、わたしは手本を示したのだ。

16

ἀμὴν	ἀμὴν	λέγω	ὑμῖν,	οὐκ	ἔστιν	δοῦλος	μείζων	τοῦ
まことに	まことに	言う	あなたがたに	–ではない	–	しもべは	大きく–ない	その
G0281	G0281	G3004	G4771	G3756	G1510	G1401	G3173	G3588

κυρίου	αὐτοῦ,	οὐδὲ	ἀπόστολος	μείζων	τοῦ	πέμψαντος	αὐτόν.
主人–より	–	また–ない	使いは	大きく–ない	–	遣わした–者–より	彼を
G2962	G0846	G3761	G0652	G3173	G3588	G3992	G0846

よくよくあなたがたに言っておく。僕はその主人にまさるものではなく、つかわされた者はつかわした者にまさるものではない。

17

εἰ	ταῦτα	οἴδατε,	μακάριοί	ἐστε	ἐὰν	ποιῆτε	αὐτά.
もし	これらのことを	知っているなら	幸いである	–	もし	行う–なら	それらを
G1487	G3778	G1492	G3107	G1510	G1437	G4160	G0846

もしこれらのことがわかっていて、それを行うなら、あなたがたはさいわいである。

18

οὐ	περὶ	πάντων	ὑμῶν	λέγω.	ἐγὼ	οἶδα	τίνας
–ない	–について	すべての	あなたがたの	言っているのではない	わたしは	知っている	だれを
G3756	G4012	G3956	G4771	G3004	G1473	G1492	G5101

ἐξελεξάμην,	ἀλλ’	ἵνα	ἡ	γραφὴ	πληρωθῇ,	Ὁ	τρώγων	μου	τὸν
選んだかを	しかし	–ために	その	聖書が	成就する	–	食べている–者が	わたしの	–
G1586	G0235	G2443	G3588	G1124	G4137	G3588	G5176	G1473	G3588

ἄρτον,	ἐπῆρεν	ἐπ’	ἐμὲ	τὴν	πτέρναν	αὐτοῦ.
パンを	あげた	わたしに–向かって	–	その	かかとを	自分の
G0740	G1869	G1909	G1473	G3588	G4418	G0846

あなたがた全部の者について、こう言っているのではない。わたしは自分が選んだ人たちを知っている。しかし、『わたしのパンを食べている者が、わたしにむかってそのかかとをあげた』とある聖書は成就されなければならない。

19

ἀπ’	ἄρτι	λέγω	ὑμῖν,	πρὸ	τοῦ	γενέσθαι,	ἵνα	πιστεύσητε	ὅταν
今から	–	言う	あなたがたに	前もって	–	なる–前に	–ために	信じる–ように	–のとき
G0575	G0737	G3004	G4771	G4253	G3588	G1096	G2443	G4100	G3752

γένηται,	ὅτι	ἐγώ	εἰμι.
なったとき	–と	わたしが	–であることを
G1096	G3754	G1473	G1510

そのことがまだ起らない今のうちに、あなたがたに言っておく。いよいよ事が起ったとき、わたしがそれであることを、あなたがたが信じるためである。

20

ἀμὴν	ἀμὴν	λέγω	ὑμῖν,	ὁ	λαμβάνων	ἄν	τινα
まことに	まことに	言う	あなたがたに	–	受け入れる–者は	–	だれでも
G0281	G0281	G3004	G4771	G3588	G2983	G0302	G5100

πέμψω,	ἐμὲ	λαμβάνει;	ὁ	δὲ	ἐμὲ	λαμβάνων,	λαμβάνει	τὸν
わたしが–遣わした	わたしを	受け入れる	–	また	わたしを	受け入れる–者は	受け入れる	–
G3992	G1473	G2983	G3588	G1161	G1473	G2983	G2983	G3588

πέμψαντά	με.
遣わされた–方を	わたしを
G3992	G1473

よくよくあなたがたに言っておく。わたしがつかわす者を受けいれる者は、わたしを受けいれるのである。わたしを受けいれる者は、わたしをつかわされたかたを、受けいれるのである」。

21

Ταῦτα	εἰπὼν,	‹ὁ›	Ἰησοῦς	ἐταράχθη	τῷ	πνεύματι,	καὶ
これらのことを	言った–後	–	イエスは	心が–騒ぎ	–	霊に–おいて	そして
G3778	G3004	G3588	G2424	G5015	G3588	G4151	G2532

ἐμαρτύρησεν	καὶ	εἶπεν,	Ἀμὴν	ἀμὴν	λέγω	ὑμῖν,	ὅτι	εἷς	ἐξ
証しして	–	言われた	まことに	まことに	言う	あなたがたに	–と	一人が	–の中の
G3140	G2532	G3004	G0281	G0281	G3004	G4771	G3754	G1520	G1537

ὑμῶν	παραδώσει	με.
あなたがたの	裏切る	わたしを
G4771	G3860	G1473

イエスがこれらのことを言われた後、その心が騒ぎ、おごそかに言われた、「よくよくあなたがたに言っておく。あなたがたのうちのひとりが、わたしを裏切ろうとしている」。

22

ἔβλεπον	εἰς	ἀλλήλους	οἱ	μαθηταὶ,	ἀπορούμενοι	περὶ	τίνος
見つめ合った	–	互いに	–	弟子たちは	当惑して	だれの–ことを	–
G0991	G1519	G0240	G3588	G3101	G0639	G4012	G5101

λέγει.
言っているのかと
G3004

弟子たちはだれのことを言われたのか察しかねて、互に顔を見合わせた。

23

ἦν	ἀνακείμενος	εἷς	ἐκ	τῶν	μαθητῶν	αὐτοῦ,	ἐν	τῷ	κόλπῳ
横たわっていた	–	一人が	–の中の	–	弟子たちの	–	–の	その	胸に
G1510	G0345	G1520	G1537	G3588	G3101	G0846	G1722	G3588	G2859

τοῦ	Ἰησοῦ,	ὃν	ἠγάπα	ὁ	Ἰησοῦς.
–	イエスの	その–者を	愛していた	–	イエスは
G3588	G2424	G3739	G0025	G3588	G2424

弟子たちのひとりで、イエスの愛しておられた者が、み胸に近く席についていた。

24

νεύει	οὖν	τούτῳ	Σίμων	Πέτρος,	καὶ	λέγει	αὐτῷ,	πυθέσθαι	τίς
合図した	そこで	この–人に	シモン	ペテロは	そして	言った	彼に	尋ねて–くれと	だれ
G3506	G3767	G3778	G4613	G4074	G2532	G3004	G0846	G4441	G5101

‹ἂν›	εἴη	περὶ	οὗ	λέγει?
–	であるかを	–について	だれの–ことを	言っているのか
G0302	G1510	G4012	G3739	G3004

そこで、シモン・ペテロは彼に合図をして言った、「だれのことをおっしゃったのか、知らせてくれ」。

25 ἀναπεσὼν [οὖν] ἐκεῖνος οὕτως ἐπὶ τὸ στῆθος τοῦ Ἰησοῦ, λέγει
身を-寄せて - その-者は そのように -の上に その 胸 -の イエスの 言った
G0377 G3767 G1565 G3779 G1909 G3588 G4738 G3588 G2424 G3004

αὐτῷ, Κύριε, τίς ἐστιν?
彼に 主よ だれ ですか
G0846 G2962 G5101 G1510

その弟子はそのままイエスの胸によりかかって、「主よ、だれのことですか」と尋ねると、

26 ἀποκρίνεται οὖν ὁ Ἰησοῦς, Ἐκεῖνός ἐστιν ᾧ ἐγὼ, βάψω τὸ
答えられた - - イエスは その-者は -である -に わたしが ひたして その
G0611 G3767 G3588 G2424 G1565 G1510 G3739 G1473 G0911 G3588

ψωμίον, καὶ δώσω. αὐτῷ βάψας οὖν τὸ ψωμίον, λαμβάνει
一切れ-のパンを そして 与える 彼に ひたして それから その 一切れ-のパンを 取って
G5596 G2532 G1325 G0846 G0911 G3767 G3588 G5596 G2983

καὶ δίδωσιν Ἰούδᾳ, Σίμωνος Ἰσκαριώτου.
そして 与えた ユダに シモンの-子 イスカリオテの
G2532 G1325 G2455 G4613 G2469

イエスは答えられた、「わたしが一きれの食物をひたして与える者が、それである」。そして、一きれの食物をひたしてとり上げ、シモンの子イスカリオテのユダにお与えになった。

27 καὶ μετὰ τὸ ψωμίον, τότε εἰσῆλθεν εἰς ἐκεῖνον ὁ
そして その-後 その 一切れ-のパンの その-とき 入った -の中に その-者に -
G2532 G3326 G3588 G5596 G5119 G1525 G1519 G1565 G3588

Σατανᾶς. λέγει οὖν αὐτῷ ‹ὁ› Ἰησοῦς, Ὃ ποιεῖς,
サタンが 言われた そこで 彼に - イエスは あなたが しようとしていることを
G4567 G3004 G3767 G0846 G3588 G2424 G3739 G4160

ποίησον τάχιον.
すぐに-しなさい -
G4160 G5032

この一きれの食物を受けるやいなや、サタンがユダにはいった。そこでイエスは彼に言われた、「しようとしていることを、今すぐするがよい」。

28 τοῦτο δὲ οὐδεὶς ἔγνω, τῶν ἀνακειμένων, πρὸς τί εἶπεν
しかし - だれも わからなかった -の 席に-いた者は 何の-ため - 言われたのかを
G3778 G1161 G3762 G1097 G3588 G0345 G4314 G5101 G3004

αὐτῷ;
彼に
G0846

席を共にしていた者のうち、なぜユダにこう言われたのか、わかっていた者はひとりもなかった。

29 τινὲς γὰρ ἐδόκουν, ἐπεὶ τὸ γλωσσόκομον εἶχεν Ἰούδας, ὅτι
ある-者たちは というのは 思った -ので その 金入れを 持っていた ユダが -と
G5100 G1063 G1380 G1893 G3588 G1101 G2192 G2455 G3754

λέγει αὐτῷ ‹ὁ› Ἰησοῦς, Ἀγόρασον ὧν χρείαν ἔχομεν, εἰς
言われたのだと 彼に - イエスが 買いなさい -で 必要な-ものを -がある -のために
G3004 G0846 G3588 G2424 G0059 G3739 G5532 G2192 G1519

τὴν ἑορτήν; ἢ τοῖς πτωχοῖς, ἵνα τι δῷ.
その 祭りの あるいは -の 貧しい-人々に 何か -を 施すようにと
G3588 G1859 G2228 G3588 G4434 G2443 G5100 G1325

ある人々は、ユダが金入れをあずかっていたので、イエスが彼に、「祭のために必要なものを買え」と言われたか、あるいは、貧しい者に何か施させようとされたのだと思っていた。

30 λαβὼν οὖν τὸ ψωμίον, ἐκεῖνος ἐξῆλθεν εὐθύς; ἦν δὲ
受け取って そこで その 一切れ–のパンを その–者は 出て行った すぐに –だった さて
G2983 G3767 G3588 G5596 G1565 G1831 G2112 G1510 G1161

νύξ.
夜
G3571

ユダは一きれの食物を受けると、すぐに出て行った。時は夜であった。

31 Ὅτε οὖν ἐξῆλθεν, λέγει Ἰησοῦς, Νῦν ἐδοξάσθη ὁ Υἱὸς
出て行った–とき こうして – 言われた イエスは 今 栄光を–受けた – 人の子は
G3753 G3767 G1831 G3004 G2424 G3568 G1392 G3588 G5207

τοῦ ἀνθρώπου, καὶ ὁ Θεὸς ἐδοξάσθη ἐν αὐτῷ.
– – そして – 神は 栄光を–受けた –において 彼に–おいて
G3588 G0444 G2532 G3588 G2316 G1392 G1722 G0846

さて、彼が出て行くと、イエスは言われた、「今や人の子は栄光を受けた。神もまた彼によって栄光をお受けになった。

32 εἰ ὁ Θεὸς ἐδοξάσθη ἐν αὐτῷ, καὶ ὁ Θεὸς
もし – 神が 栄光を–受けたなら –において 彼に–おいて –もまた – 神は
G1487 G3588 G2316 G1392 G1722 G0846 G2532 G3588 G2316

δοξάσει αὐτὸν ἐν αὐτῷ, καὶ εὐθὺς δοξάσει
栄光を–お与えになる 彼に –において ご自身に–おいて そして すぐに 栄光を–お与えになる
G1392 G0846 G1722 G0848 G2532 G2112 G1392

αὐτόν.
彼を
G0846

彼によって栄光をお受けになったのなら、神ご自身も彼に栄光をお授けになるであろう。すぐにもお授けになるであろう。

33 τεκνία, ἔτι μικρὸν μεθ’ ὑμῶν εἰμι. ζητήσετέ με;
子どもたちよ もう しばらくの–間 あなたがたと – わたしは–いる 捜すだろう わたしを
G5040 G2089 G3398 G3326 G4771 G1510 G2212 G1473

καὶ, καθὼς εἶπον τοῖς Ἰουδαίοις, ὅτι Ὅπου ἐγὼ ὑπάγω,
そして ちょうど 言った–ように –に ユダヤ人たちに –と わたしが – 行くところに
G2532 G2531 G3004 G3588 G2453 G3754 G3699 G1473 G5217

ὑμεῖς οὐ δύνασθε ἐλθεῖν; καὶ ὑμῖν λέγω ἄρτι.
あなたがたは –ない 来ることが–できない –と –と あなたがたにも 言う 今
G4771 G3756 G1410 G2064 G2532 G4771 G3004 G0737

子たちよ、わたしはまだしばらく、あなたがたと一緒にいる。あなたがたはわたしを捜すだろうが、すでにユダヤ人たちに言ったとおり、今あなたがたにも言う、『あなたがたはわたしの行く所に来ることはできない』。

34 ἐντολὴν καινὴν δίδωμι ὑμῖν, ἵνα ἀγαπᾶτε ἀλλήλους; καθὼς
戒めを 新しい 与える あなたがたに –ように 愛し合いなさい 互いに ちょうど
G1785 G2537 G1325 G4771 G2443 G0025 G0240 G2531

ἠγάπησα ὑμᾶς, ἵνα καὶ ὑμεῖς ἀγαπᾶτε ἀλλήλους.
わたしが–愛した–ように あなたがたを –ように –も あなたがたも 愛し合いなさい 互いに
G0025 G4771 G2443 G2532 G4771 G0025 G0240

わたしは、新しいいましめをあなたがたに与える、互に愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互に愛し合いなさい。

35 ἐν –によって G1722 | τούτῳ このことに G3778 | γνώσονται 知るだろう G1097 | πάντες すべての–人が G3956 | ὅτι –と G3754 | ἐμοὶ わたしの G1699 | μαθηταί 弟子である G3101 | ἐστε, –ことを G1510 | ἐὰν もし G1437

ἀγάπην 愛を G0026 | ἔχητε 持つなら G2192 | ἐν – G1722 | ἀλλήλοις. 互いに G0240

互に愛し合うならば、それによって、あなたがたがわたしの弟子であることを、すべての者が認めるであろう」。

36 Λέγει 言った G3004 | αὐτῷ 彼に G0846 | Σίμων シモン G4613 | Πέτρος, ペテロが G4074 | Κύριε, 主よ G2962 | ποῦ どこへ G4226 | ὑπάγεις? 行かれるのですか G5217 | ἀπεκρίθη 答えられた G0611 | [αὐτῷ] 彼に G0846

Ἰησοῦς, イエスは G2424 | Ὅπου わたしが G3699 | ὑπάγω, 行くところに G5217 | οὐ –できない G3756 | δύνασαί – G1410 | μοι わたしに G1473 | νῦν 今は G3568 | ἀκολουθῆσαι; ついて来ることが G0190

ἀκολουθήσεις ついて来る–だろう G0190 | δὲ しかし G1161 | ὕστερον. 後で G5305

シモン・ペテロがイエスに言った、「主よ、どこへおいでになるのですか」。イエスは答えられた、「あなたはわたしの行くところに、今はついて来ることはできない。しかし、あとになってから、ついて来ることになろう」。

37 λέγει 言った G3004 | αὐτῷ 彼に G0846 | ‹ὁ› – G3588 | Πέτρος, ペテロは G4074 | Κύριε, 主よ G2962 | διὰ なぜ G1223 | τί – G5101 | οὐ –できないの G3756 | δύναμαί – G1410 | σοι あなたに G4771

ἀκολουθῆσαι ついて行くことが G0190 | ἄρτι? 今 G0737 | τὴν その G3588 | ψυχήν いのちを G5590 | μου 私の G1473 | ὑπὲρ あなたの–ために G5228 | σοῦ – G4771 | θήσω. 捨てます G5087

ペテロはイエスに言った、「主よ、なぜ、今あなたについて行くことができないのですか。あなたのためには、命も捨てます」。

38 ἀποκρίνεται 答えられた G0611 | Ἰησοῦς, イエスは G2424 | Τὴν あなたの G3588 | ψυχήν いのちを G5590 | σου – G4771 | ὑπὲρ わたしの–ために G5228 | ἐμοῦ – G1473 | θήσεις? 捨てるのか G5087 | ἀμὴν まことに G0281

ἀμὴν まことに G0281 | λέγω 言う G3004 | σοι, あなたに G4771 | οὐ 決して G3756 | μὴ – G3361 | ἀλέκτωρ 鶏が G0220 | φωνήσῃ, 鳴く–まで G5455 | ἕως –に G2193 | οὗ – G3739 | ἀρνήσῃ わたしを–否む G0720 | με – G1473

τρίς. 三度 G5151

イエスは答えられた、「わたしのために命を捨てると言うのか。よくよくあなたに言っておく。鶏が鳴く前に、あなたはわたしを三度知らないと言うであろう」。

Chapter 14

1 Μὴ ταρασσέσθω ὑμῶν ἡ καρδία; πιστεύετε εἰς τὸν Θεόν, καὶ
–ない 騒がせるな あなたがたの その 心を 信じなさい –を その 神を また
G3361 G5015 G4771 G3588 G2588 G4100 G1519 G3588 G2316 G2532

εἰς ἐμὲ πιστεύετε.
–を わたしを 信じなさい
G1519 G1473 G4100

「あなたがたは、心を騒がせないがよい。神を信じ、またわたしを信じなさい。

2 ἐν τῇ οἰκίᾳ τοῦ Πατρός μου, μοναὶ πολλαί εἰσιν; εἰ δὲ
–の中に その 家には – 父の わたしの 住まいが 多く ある もし –
G1722 G3588 G3614 G3588 G3962 G1473 G3438 G4183 G1510 G1487 G1161

μή, εἶπον ἂν ὑμῖν ὅτι, πορεύομαι ἑτοιμάσαι τόπον
なければ 言っただろう – あなたがたに –と 行って 備える 場所を
G3361 G3004 G0302 G4771 G3754 G4198 G2090 G5117

ὑμῖν?
あなたがたのために
G4771

わたしの父の家には、すまいがたくさんある。もしなかったならば、わたしはそう言っておいたであろう。あなたがたのために、場所を用意しに行くのだから。

3 καὶ ἐὰν πορευθῶ καὶ ἑτοιμάσω τόπον ὑμῖν, πάλιν ἔρχομαι καὶ
そして もし 行って そして 備えたなら 場所を あなたがたに 再び 来て そして
G2532 G1437 G4198 G2532 G2090 G5117 G4771 G3825 G2064 G2532

παραλήμψομαι ὑμᾶς πρὸς ἐμαυτόν, ἵνα ὅπου εἰμὶ ἐγὼ,
迎え入れる あなたがたを –のもとへ わたし自身の –ために わたしが–いる – –
G3880 G4771 G4314 G1683 G2443 G3699 G1510 G1473

καὶ ὑμεῖς ἦτε.
– あなたがたも いるように
G2532 G4771 G1510

そして、行って、場所の用意ができたならば、またきて、あなたがたをわたしのところに迎えよう。わたしのおる所にあなたがたもおらせるためである。

4 καὶ ὅπου ἐγὼ ὑπάγω, οἴδατε τὴν ὁδόν.
そして わたしが–行く – –ところを 知っている その 道を
G2532 G3699 G1473 G5217 G1492 G3588 G3598

わたしがどこへ行くのか、その道はあなたがたにわかっている」。

5 Λέγει αὐτῷ Θωμᾶς, Κύριε, οὐκ οἴδαμεν ποῦ ὑπάγεις; πῶς
言った 彼に トマスは 主よ –ない わかりません どこに 行かれるのか どうして
G3004 G0846 G2381 G2962 G3756 G1492 G4226 G5217 G4459

δυνάμεθα τὴν ὁδὸν ‹εἰδέναι›?
できるでしょうか その 道を 知ることが
G1410 G3588 G3598 G1492

トマスはイエスに言った、「主よ、どこへおいでになるのか、わたしたちにはわかりません。どうしてその道がわかるでしょう」。

6	λέγει	αὐτῷ	‹ὁ›	Ἰησοῦς,	Ἐγώ	εἰμι	ἡ	ὁδὸς,	καὶ	ἡ	ἀλήθεια,
	言われた	彼に	–	イエスは	わたしは	–である	その	道であり	また	その	真理であり
	G3004	G0846	G3588	G2424	G1473	G1510	G3588	G3598	G2532	G3588	G0225

καὶ	ἡ	ζωή.	οὐδεὶς	ἔρχεται	πρὸς	τὸν	Πατέρα,	εἰ	μὴ		
また	その	いのちである	だれも	来ない	–のもとへ	その	父の	–以外	–		
G2532	G3588	G2222	G3762	G2064	G4314	G3588	G3962	G1487	G3361		

δι’	ἐμοῦ.
わたしを–通して	–
G1223	G1473

イエスは彼に言われた、「わたしは道であり、真理であり、命である。だれでもわたしによらないでは、父のみもとに行くことはできない。

7	εἰ	ἐγνώκειτέ	με,	καὶ	τὸν	Πατέρα	μου	‹ἂν	ᾔδειτε›;	
	もし	わたしを–知っていたなら	–	–も	–	父を	わたしの	–	知っていたであろう	
	G1487	G1097	G1473	G2532	G3588	G3962	G1473	G0302	G1492	

ἀπ’	ἄρτι	γινώσκετε	αὐτὸν,	καὶ	ἑωράκατε	‹αὐτόν›.	
今から	–	知っている	その–方を	そして	見た	その–方を	
G0575	G0737	G1097	G0846	G2532	G3708	G0846	

もしあなたがたがわたしを知っていたならば、わたしの父をも知ったであろう。しかし、今は父を知っており、またすでに父を見たのである」。

8	Λέγει	αὐτῷ	Φίλιππος,	Κύριε,	δεῖξον	ἡμῖν	τὸν	Πατέρα,	καὶ
	言った	彼に	ピリポは	主よ	見せてください	わたしたちに	その	父を	そうすれば
	G3004	G0846	G5376	G2962	G1166	G1473	G3588	G3962	G2532

ἀρκεῖ	ἡμῖν.	
十分です	わたしたちには	
G0714	G1473	

ピリポはイエスに言った、「主よ、わたしたちに父を示して下さい。そうして下されば、わたしたちは満足します」。

9	λέγει	αὐτῷ	ὁ	Ἰησοῦς,	Τοσούτῳ	χρόνῳ	μεθ’	ὑμῶν	εἰμι,	
	言われた	彼に	–	イエスは	これほど–長い	時を	あなたがたと–共に	–	いるのに	
	G3004	G0846	G3588	G2424	G5118	G5550	G3326	G4771	G1510	

καὶ	οὐκ	ἔγνωκάς	με,	Φίλιππε?	ὁ	ἑωρακὼς	ἐμὲ,			
そして	まだ	わかっていないのか	わたしを	ピリポよ	–	わたしを–見た–者は	–			
G2532	G3756	G1097	G1473	G5376	G3588	G3708	G1473			

ἑώρακεν	τὸν	Πατέρα;	πῶς	σὺ	λέγεις,	Δεῖξον	ἡμῖν	τὸν	
見たのである	その	父を	どうして	あなたは	言うのか	見せてください	わたしたちに	その	
G3708	G3588	G3962	G4459	G4771	G3004	G1166	G1473	G3588	

Πατέρα?
父をと
G3962

イエスは彼に言われた、「ピリポよ、こんなに長くあなたがたと一緒にいるのに、わたしがわかっていないのか。わたしを見た者は、父を見たのである。どうして、わたしたちに父を示してほしいと、言うのか。

10

οὐ	πιστεύεις	ὅτι	ἐγὼ	ἐν	τῷ	Πατρὶ,	καὶ	ὁ	Πατὴρ	ἐν
–ないのか	信じ	–と	わたしが	–の中に	その	父の	そして	その	父が	–の中に
G3756	G4100	G3754	G1473	G1722	G3588	G3962	G2532	G3588	G3962	G1722

ἐμοί	ἐστιν?	τὰ	ῥήματα	ἃ	ἐγὼ	λέγω	ὑμῖν,	ἀπ’	ἐμαυτοῦ	οὐ
わたし	いると	その	言葉を	–	わたしが	語る	あなたがたに	–から	わたし自身	–でなく
G1473	G1510	G3588	G4487	G3739	G1473	G3004	G4771	G0575	G1683	G3756

λαλῶ;	ὁ	δὲ	Πατὴρ	ἐν	ἐμοὶ	μένων,	ποιεῖ	τὰ	ἔργα	αὐτοῦ.
語るのでは	その	しかし	父が	–の中に	わたし	おられて	行われる	その	わざを	ご自身の
G2980	G3588	G1161	G3962	G1722	G1473	G3306	G4160	G3588	G2041	G0846

わたしが父におり、父がわたしにおられることをあなたは信じないのか。わたしがあなたがたに話している言葉は、自分から話しているのではない。父がわたしのうちにおられて、みわざをなさっているのである。

11

πιστεύετέ	μοι	ὅτι	ἐγὼ	ἐν	τῷ	Πατρὶ,	καὶ	ὁ	Πατὴρ	ἐν
信じなさい	わたしを	–と	わたしが	–の中に	その	父の	そして	その	父が	–の中に
G4100	G1473	G3754	G1473	G1722	G3588	G3962	G2532	G3588	G3962	G1722

ἐμοί;	εἰ	δὲ	μή	διὰ	τὰ	ἔργα	αὐτὰ,	πιστεύετε.
わたしの	もし	–	–でなくとも	–のゆえに	その	わざ	そのもの	信じなさい
G1473	G1487	G1161	G3361	G1223	G3588	G2041	G0846	G4100

わたしが父におり、父がわたしにおられることを信じなさい。もしそれが信じられないならば、わざそのものによって信じなさい。

12

ἀμὴν	ἀμὴν	λέγω	ὑμῖν,	ὁ	πιστεύων	εἰς	ἐμὲ,	τὰ	ἔργα
まことに	まことに	言う	あなたがたに	–	信じる–者は	–を	わたしを	その	わざを
G0281	G0281	G3004	G4771	G3588	G4100	G1519	G1473	G3588	G2041

ἃ	ἐγὼ	ποιῶ,	κἀκεῖνος	ποιήσει,	καὶ	μείζονα	τούτων	ποιήσει,
–	わたしが	行う	その–者も	行う–だろう	そして	さらに–大きな	これらより	行う–だろう
G3739	G1473	G4160	G2548	G4160	G2532	G3173	G3778	G4160

ὅτι	ἐγὼ	πρὸς	τὸν	Πατέρα	πορεύομαι.
なぜなら	わたしが	–のもとへ	その	父	行くからである
G3754	G1473	G4314	G3588	G3962	G4198

よくよくあなたがたに言っておく。わたしを信じる者は、またわたしのしているわざをするであろう。そればかりか、もっと大きいわざをするであろう。わたしが父のみもとに行くからである。

13

καὶ	ὅ¦τι	ἂν	αἰτήσητε	ἐν	τῷ	ὀνόματί	μου,	τοῦτο	ποιήσω,
そして	何でも	–	求める–なら	–の	その	名に–よって	わたしの	それを	行う
G2532	G3754	G0302	G0154	G1722	G3588	G3686	G1473	G3778	G4160

ἵνα	δοξασθῇ	ὁ	Πατὴρ	ἐν	τῷ	Υἱῷ.
–ために	あがめられる–ように	その	父が	–において	その	子に
G2443	G1392	G3588	G3962	G1722	G3588	G5207

わたしの名によって願うことは、なんでもかなえてあげよう。父が子によって栄光をお受けになるためである。

14

ἐάν	τι	αἰτήσητέ	με	ἐν	τῷ	ὀνόματί	μου,	ἐγὼ	ποιήσω.
もし	何かを	求める–なら	わたしに	–の	その	名に–よって	わたしの	わたしが	行う
G1437	G5100	G0154	G1473	G1722	G3588	G3686	G1473	G1473	G4160

何事でもわたしの名によって願うならば、わたしはそれをかなえてあげよう。

15

Ἐὰν	ἀγαπᾶτέ	με,	τὰς	ἐντολὰς	τὰς	ἐμὰς	τηρήσετε.
もし	愛する–なら	わたしを	その	戒めを	–	わたしの	守るだろう
G1437	G0025	G1473	G3588	G1785	G3588	G1699	G5083

もしあなたがたがわたしを愛するならば、わたしのいましめを守るべきである。

16 κἀγὼ そして–わたしは G2504 ἐρωτήσω 願う G2065 τὸν その G3588 Πατέρα, 父に G3962 καὶ すると G2532 ἄλλον もう–一人の G0243 Παράκλητον 助け主を G3875 δώσει 与えてくださる G1325
ὑμῖν, あなたがたに G4771 ἵνα –ために G2443 ᾖ⍰ いる–ように G1510 «μεθ’ あなたがたと–共に G3326 ὑμῶν, – G4771 εἰς いつまでも G1519 τὸν – G3588 αἰῶνα», – G0165

わたしは父にお願いしよう。そうすれば、父は別に助け主を送って、いつまでもあなたがたと共におらせて下さるであろう。

17 τὸ その G3588 Πνεῦμα 御霊 G4151 τῆς –の G3588 ἀληθείας, 真理の G0225 ὃ – G3739 ὁ – G3588 κόσμος 世は G2889 οὐ –ない G3756 δύναται –こと–が–でき G1410 λαβεῖν, 受ける G2983
ὅτι なぜなら G3754 οὐ –ない G3756 θεωρεῖ 見 G2334 αὐτὸ, その–方を G0846 οὐδὲ また–ない G3761 γινώσκει. 知ら G1097 ὑμεῖς あなたがたは G4771 γινώσκετε 知っている G1097 αὐτό, その–方を G0846
ὅτι なぜなら G3754 παρ’ あなたがたの–そばに G3844 ὑμῖν – G4771 μένει, おられ G3306 καὶ また G2532 ἐν あなたがたの–中に G1722 ὑμῖν – G4771 ἔσται. いるからである G1510

それは真理の御霊である。この世はそれを見ようともせず、知ろうともしないので、それを受けることができない。あなたがたはそれを知っている。なぜなら、それはあなたがたと共におり、またあなたがたのうちにいるからである。

18 οὐκ –ない G3756 ἀφήσω 残さない G0863 ὑμᾶς あなたがたを G4771 ὀρφανούς; 孤児には G3737 ἔρχομαι 来る G2064 πρὸς –のもとに G4314 ὑμᾶς. あなたがたの G4771

わたしはあなたがたを捨てて孤児とはしない。あなたがたのところに帰って来る。

19 ἔτι もう G2089 μικρὸν しばらくすると G3398 καὶ – G2532 ὁ – G3588 κόσμος 世は G2889 με わたしを G1473 οὐκέτι もはや G3765 θεωρεῖ, 見ない G2334 ὑμεῖς あなたがたは G4771 δὲ しかし G1161
θεωρεῖτέ 見る G2334 με; わたしを G1473 ὅτι なぜなら G3754 ἐγὼ わたしが G1473 ζῶ, 生きるので G2198 καὶ –も G2532 ὑμεῖς あなたがたも G4771 ζήσετε. 生きるからである G2198

もうしばらくしたら、世はもはやわたしを見なくなるだろう。しかし、あなたがたはわたしを見る。わたしが生きるので、あなたがたも生きるからである。

20 ἐν –の G1722 ἐκείνῃ その G1565 τῇ – G3588 ἡμέρᾳ 日に G2250 γνώσεσθε 知るだろう G1097 ὑμεῖς あなたがたは G4771 ὅτι –と G3754 ἐγὼ わたしが G1473 ἐν –の中に G1722 τῷ その G3588 Πατρί 父 G3962
μου, わたしの G1473 καὶ そして G2532 ὑμεῖς あなたがたが G4771 ἐν –の中に G1722 ἐμοὶ, わたし G1473 κἀγὼ そして–わたしが G2504 ἐν –の中に G1722 ὑμῖν. あなたがたの G4771

その日には、わたしはわたしの父におり、あなたがたはわたしにおり、また、わたしがあなたがたにおることが、わかるであろう。

21

ὁ	ἔχων	τὰς	ἐντολάς	μου	καὶ	τηρῶν	αὐτὰς,	ἐκεῖνός
–	持っている–者は	その	戒めを	わたしの	そして	守る	それを	その–者こそ
G3588	G2192	G3588	G1785	G1473	G2532	G5083	G0846	G1565

ἐστιν	ὁ	ἀγαπῶν	με;	ὁ	δὲ	ἀγαπῶν	με,
–である	–	わたしを–愛する–者	–	–	そして	わたしを–愛する–者は	–
G1510	G3588	G0025	G1473	G3588	G1161	G0025	G1473

ἀγαπηθήσεται	ὑπὸ	τοῦ	Πατρός	μου;	κἀγὼ	ἀγαπήσω	αὐτὸν,	καὶ
愛される	–に	その	父	わたしの	そして–わたしも	愛して	その–者を	そして
G0025	G5259	G3588	G3962	G1473	G2504	G0025	G0846	G2532

ἐμφανίσω	αὐτῷ	ἐμαυτόν.
現す	その–者に	わたし自身を
G1718	G0846	G1683

わたしのいましめを心にいだいてこれを守る者は、わたしを愛する者である。わたしを愛する者は、わたしの父に愛されるであろう。わたしもその人を愛し、その人にわたし自身をあらわすであろう」。

22

Λέγει	αὐτῷ	Ἰούδας,	οὐχ	ὁ	Ἰσκαριώτης,	Κύριε,	καὶ	τί
言った	彼に	ユダ	–ではない	–	イスカリオテの	主よ	–	どうして
G3004	G0846	G2455	G3756	G3588	G2469	G2962	G2532	G5101

γέγονεν	ὅτι	ἡμῖν	μέλλεις	ἐμφανίζειν	σεαυτὸν,	καὶ	οὐχὶ
なったのですか	–と	わたしたちに	しようとしている	現す	ご自身を	そして	–ではなく
G1096	G3754	G1473	G3195	G1718	G4572	G2532	G3780

τῷ	κόσμῳ?
その	世にですか
G3588	G2889

イスカリオテでない方のユダがイエスに言った、「主よ、あなたご自身をわたしたちにあらわそうとして、世にはあらわそうとされないのはなぜですか」。

23

ἀπεκρίθη	Ἰησοῦς	καὶ	εἶπεν	αὐτῷ,	Ἐάν	τις	ἀγαπᾷ	με,	τὸν
答えて	イエスは	そして	言われた	彼に	もし	だれかが	愛する–なら	わたしを	その
G0611	G2424	G2532	G3004	G0846	G1437	G5100	G0025	G1473	G3588

λόγον	μου	τηρήσει,	καὶ	ὁ	Πατήρ	μου	ἀγαπήσει	αὐτόν,	καὶ
言葉を	わたしの	守り	そして	–	父が	わたしの	愛し	その–者を	そして
G3056	G1473	G5083	G2532	G3588	G3962	G1473	G0025	G0846	G2532

πρὸς	αὐτὸν	ἐλευσόμεθα,	καὶ	μονὴν	παρ’	αὐτῷ	ποιησόμεθα.
–のもとに	その–者	来て	そして	住まいを	その–者の–そばに	–	造るだろう
G4314	G0846	G2064	G2532	G3438	G3844	G0846	G4160

イエスは彼に答えて言われた、「もしだれでもわたしを愛するならば、わたしの言葉を守るであろう。そして、わたしの父はその人を愛し、また、わたしたちはその人のところに行って、その人と一緒に住むであろう。

24

ὁ	μὴ	ἀγαπῶν	με,	τοὺς	λόγους	μου	οὐ	τηρεῖ;	καὶ	ὁ
–	–ない	わたしを–愛さ	–者は	–	言葉を	わたしの	–ない	守ら	そして	その
G3588	G3361	G0025	G1473	G3588	G3056	G1473	G3756	G5083	G2532	G3588

λόγος	ὃν	ἀκούετε,	οὐκ	ἔστιν	ἐμὸς,	ἀλλὰ	τοῦ	πέμψαντός
言葉は	–	あなたがたが–聞いている	–ない	–では	わたしの	むしろ	–	わたしを–遣わした
G3056	G3739	G0191	G3756	G1510	G1699	G0235	G3588	G3992

με	Πατρός.
–	父の
G1473	G3962

わたしを愛さない者はわたしの言葉を守らない。あなたがたが聞いている言葉は、わたしの言葉ではなく、わたしをつかわされた父の言葉である。

25

Ταῦτα	λελάληκα	ὑμῖν,	παρ’	ὑμῖν	μένων;
これらのことを	語った	あなたがたに	あなたがたの–そばに	–	いる–間に
G3778	G2980	G4771	G3844	G4771	G3306

これらのことは、あなたがたと一緒にいた時、すでに語ったことである。

26

ὁ	δὲ	Παράκλητος,	τὸ	Πνεῦμα	τὸ	Ἅγιον,	ὃ	πέμψει	ὁ
–	しかし	助け主は	すなわち	聖	–	霊	–	遣わされる	–
G3588	G1161	G3875	G3588	G4151	G3588	G0040	G3739	G3992	G3588

Πατὴρ	ἐν	τῷ	ὀνόματί	μου,	ἐκεῖνος	ὑμᾶς	διδάξει	πάντα,	καὶ
父が	–の	その	名に–よって	わたしの	その–方が	あなたがたに	教え	すべてを	そして
G3962	G1722	G3588	G3686	G1473	G1565	G4771	G1321	G3956	G2532

ὑπομνήσει	ὑμᾶς	πάντα	ἃ	εἶπον	ὑμῖν	ἐγώ.
思い起こさせる	あなたがたに	すべてを	–	わたしが–言った	あなたがたに	–
G5279	G4771	G3956	G3739	G3004	G4771	G1473

しかし、助け主、すなわち、父がわたしの名によってつかわされる聖霊は、あなたがたにすべてのことを教え、またわたしが話しておいたことを、ことごとく思い起させるであろう。

27

Εἰρήνην	ἀφίημι	ὑμῖν;	εἰρήνην	τὴν	ἐμὴν	δίδωμι	ὑμῖν;	οὐ
平安を	残す	あなたがたに	平安を	–	わたしの	与える	あなたがたに	–ように
G1515	G0863	G4771	G1515	G3588	G1699	G1325	G4771	G3756

καθὼς	ὁ	κόσμος	δίδωσιν,	ἐγὼ	δίδωμι	ὑμῖν.	μὴ
–	–	世が	与えるの–では–なく	わたしは	与える	あなたがたに	–するな
G2531	G3588	G2889	G1325	G1473	G1325	G4771	G3361

ταρασσέσθω	ὑμῶν	ἡ	καρδία,	μηδὲ	δειλιάτω.
騒がせるな	あなたがたの	その	心を	また	恐れるな
G5015	G4771	G3588	G2588	G3366	G1168

わたしは平安をあなたがたに残して行く。わたしの平安をあなたがたに与える。わたしが与えるのは、世が与えるようなものとは異なる。あなたがたは心を騒がせるな、またおじけるな。

28

ἠκούσατε	ὅτι	ἐγὼ	εἶπον	ὑμῖν,	Ὑπάγω	καὶ	ἔρχομαι	πρὸς
聞いた	–と	わたしが	言った	あなたがたに	去って–行き	そして	来ると	–のもとに
G0191	G3754	G1473	G3004	G4771	G5217	G2532	G2064	G4314

ὑμᾶς.	εἰ	ἠγαπᾶτέ	με,	ἐχάρητε	ἄν	ὅτι	πορεύομαι
あなたがたの	もし	わたしを–愛している–なら	–	喜んだ–だろう	–	–と	行く
G4771	G1487	G0025	G1473	G5463	G0302	G3754	G4198

πρὸς	τὸν	Πατέρα,	ὅτι	ὁ	Πατὴρ	μείζων	μού	ἐστιν.
–のもとへ	その	父の	なぜなら	–	父は	大きい	わたし–より	–からである
G4314	G3588	G3962	G3754	G3588	G3962	G3173	G1473	G1510

『わたしは去って行くが、またあなたがたのところに帰って来る』と、わたしが言ったのを、あなたがたは聞いている。もしわたしを愛しているなら、わたしが父のもとに行くのを喜んでくれるであろう。父がわたしより大きいかたであるからである。

29

καὶ	νῦν	εἴρηκα	ὑμῖν	πρὶν	γενέσθαι,	ἵνα	ὅταν	γένηται,
そして	今	言った	あなたがたに	前もって	なる–前に	–ために	–のとき	なったとき
G2532	G3568	G2046	G4771	G4250	G1096	G2443	G3752	G1096

πιστεύσητε.
信じるように
G4100

今わたしは、そのことが起らない先にあなたがたに語った。それは、事が起った時にあなたがたが信じるためである。

30 οὐκέτι もはや G3765 πολλὰ 多くは G4183 λαλήσω 語らない G2980 μεθ’ あなたがたと G3326 ὑμῶν; – G4771 ἔρχεται 来る G2064 γὰρ なぜなら G1063 ὁ – G3588 τοῦ この–世の G3588 κόσμου – G2889
ἄρχων, 支配者が G0758 καὶ しかし G2532 ἐν –の中に G1722 ἐμοὶ わたし G1473 οὐκ – G3756 ἔχει 持っていない G2192 οὐδέν; 何も G3762

わたしはもはや、あなたがたに、多くを語るまい。この世の君が来るからである。だが、彼はわたしに対して、なんの力もない。

31 ἀλλ’ しかし G0235 ἵνα –ために G2443 γνῷ 知る G1097 ὁ – G3588 κόσμος, 世が G2889 ὅτι –と G3754 ἀγαπῶ わたしが–愛する G0025 τὸν その G3588 Πατέρα, 父を G3962 καὶ そして G2532
καθὼς ちょうど G2531 ἐνετείλατο 命じられた G1781 (ἔδωκέν) – G1325 μοι わたしに G1473 ὁ – G3588 Πατὴρ, 父が G3962 οὕτως そのように G3779 ποιῶ. 行う G4160 Ἐγείρεσθε, 立ちなさい G1453
ἄγωμεν 行こう G0071 ἐντεῦθεν. ここから G1782

しかし、わたしが父を愛していることを世が知るように、わたしは父がお命じになったとおりのことを行うのである。立て。さあ、ここから出かけて行こう。

Chapter 15

1 Ἐγώ わたしは G1473 εἰμι –である G1510 ἡ その G3588 ἄμπελος ぶどうの–木 G0288 ἡ – G3588 ἀληθινή, まことの G0228 καὶ そして G2532 ὁ – G3588 Πατήρ 父は G3962 μου, わたしの G1473 ὁ – G3588
γεωργός 農夫である G1092 ἐστιν. – G1510

わたしはまことのぶどうの木、わたしの父は農夫である。

2 πᾶν すべての G3956 κλῆμα 枝で G2814 ἐν –の中に–ある G1722 ἐμοὶ わたし G1473 μὴ –ない G3361 φέρον 実を–結ば G5342 καρπὸν, – G2590 αἴρει 取り除かれる G0142 αὐτό; それを G0846
καὶ そして G2532 πᾶν すべての G3956 τὸ – G3588 καρπὸν 実を G2590 φέρον, 結ぶ–ものは G5342 καθαίρει 清められる G2508 αὐτὸ, それを G0846 ἵνα –ために G2443 καρπὸν 実を G2590 πλείονα もっと–多く G4119
φέρῃ. 結ぶ–ように G5342

わたしにつながっている枝で実を結ばないものは、父がすべてこれをとりのぞき、実を結ぶものは、もっと豊かに実らせるために、手入れしてこれをきれいになさるのである。

3 ἤδη ὑμεῖς καθαροί ἐστε, διὰ τὸν λόγον ὃν λελάληκα
すでに あなたがたは きよい –である –のゆえに その 言葉 – わたしが–語った
G2235 G4771 G2513 G1510 G1223 G3588 G3056 G3739 G2980

ὑμῖν.
あなたがたに
G4771

あなたがたは、わたしが語った言葉によって既にきよくされている。

4 μείνατε ἐν ἐμοί, κἀγὼ ἐν ὑμῖν. καθὼς τὸ
とどまりなさい –の中に わたし そうすれば–わたしも –の中に あなたがた ちょうど その
G3306 G1722 G1473 G2504 G1722 G4771 G2531 G3588

κλῆμα οὐ δύναται καρπὸν φέρειν ἀφ’ ἑαυτοῦ, ἐὰν μὴ
枝が –ない –でき 実を 結ぶことが –から–離れては 自分自身 –なければ –
G2814 G3756 G1410 G2590 G5342 G0575 G1438 G1437 G3361

μένῃ ἐν τῇ ἀμπέλῳ, οὕτως οὐδὲ ὑμεῖς, ἐὰν μὴ
とどまら –の中に その ぶどうの–木に そのように –できない あなたがたも –なければ –
G3306 G1722 G3588 G0288 G3779 G3761 G4771 G1437 G3361

ἐν ἐμοὶ μένητε.
–の中に わたし とどまらないなら
G1722 G1473 G3306

わたしにつながっていなさい。そうすれば、わたしはあなたがたとつながっていよう。枝がぶどうの木につながっていなければ、自分だけでは実を結ぶことができないように、あなたがたもわたしにつながっていなければ実を結ぶことができない。

5 ἐγώ εἰμι ἡ ἄμπελος; ὑμεῖς τὰ κλήματα. ὁ μένων
わたしは –である その ぶどうの–木 あなたがたは その 枝である – とどまる–者は
G1473 G1510 G3588 G0288 G4771 G3588 G2814 G3588 G3306

ἐν ἐμοὶ, κἀγὼ ἐν αὐτῷ, οὗτος φέρει καρπὸν πολύν; ὅτι
–の中に わたし そうすれば–わたしも –の中に その–者 この–人は 結ぶ 実を 豊かに なぜなら
G1722 G1473 G2504 G1722 G0846 G3778 G5342 G2590 G4183 G3754

χωρὶς ἐμοῦ οὐ δύνασθε ποιεῖν οὐδέν.
離れては わたしから –ない –でき 行うことが 何も
G5565 G1473 G3756 G1410 G4160 G3762

わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。もし人がわたしにつながっており、またわたしがその人とつながっておれば、その人は実を豊かに結ぶようになる。わたしから離れては、あなたがたは何一つできないからである。

6 ἐὰν μή τις μένῃ ἐν ἐμοί, ἐβλήθη ἔξω ὡς τὸ
もし –ないなら だれかが とどまら –の中に わたし 投げ捨てられる 外に ちょうど –
G1437 G3361 G5100 G3306 G1722 G1473 G0906 G1854 G5613 G3588

κλῆμα, καὶ ἐξηράνθη, καὶ συνάγουσιν αὐτὰ, καὶ εἰς τὸ πῦρ
枝のように そして 枯れる そして 集める それらを そして –の中に その 火
G2814 G2532 G3583 G2532 G4863 G0846 G2532 G1519 G3588 G4442

βάλλουσιν, καὶ καίεται.
投げ入れる そして 燃える
G0906 G2532 G2545

人がわたしにつながっていないならば、枝のように外に投げすてられて枯れる。人々はそれをかき集め、火に投げ入れて、焼いてしまうのである。

7 ἐὰν μείνητε ἐν ἐμοὶ, καὶ τὰ ῥήματά μου ἐν ὑμῖν
もし とどまる–なら –の中に わたし そして わたしの 言葉が – –の中に あなたがた
G1437 G3306 G1722 G1473 G2532 G3588 G4487 G1473 G1722 G4771

μείνῃ, ὃ ἐὰν θέλητε, αἰτήσασθε, καὶ γενήσεται ὑμῖν.
とどまるなら 何でも – 望む–なら 求めなさい そうすれば かなえられる あなたがたに
G3306 G3739 G1437 G2309 G0154 G2532 G1096 G4771

あなたがたがわたしにつながっており、わたしの言葉があなたがたにとどまっているならば、なんでも望むものを求めるがよい。そうすれば、与えられるであろう。

8 ἐν τούτῳ ἐδοξάσθη ὁ Πατήρ μου, ἵνα καρπὸν πολὺν
–によって このことに 栄光を–受ける – 父は わたしの –ために 実を 豊かに
G1722 G3778 G1392 G3588 G3962 G1473 G2443 G2590 G4183

φέρητε, καὶ γένησθε ἐμοὶ μαθηταί.
結ぶなら そして なるだろう わたしの 弟子に
G5342 G2532 G1096 G1699 G3101

あなたがたが実を豊かに結び、そしてわたしの弟子となるならば、それによって、わたしの父は栄光をお受けになるであろう。

9 καθὼς ἠγάπησέν με ὁ Πατήρ, κἀγὼ ὑμᾶς ἠγάπησα.
ちょうど 愛された わたしを – 父が わたしも あなたがたを 愛した
G2531 G0025 G1473 G3588 G3962 G2504 G4771 G0025

μείνατε ἐν τῇ ἀγάπῃ τῇ ἐμῇ.
とどまりなさい –の中に その 愛 – わたしの
G3306 G1722 G3588 G0026 G3588 G1699

父がわたしを愛されたように、わたしもあなたがたを愛したのである。わたしの愛のうちにいなさい。

10 ἐὰν τὰς ἐντολάς μου τηρήσητε, μενεῖτε ἐν τῇ ἀγάπῃ μου,
もし – 戒めを わたしの 守る–なら とどまるだろう –の中に その 愛 わたしの
G1437 G3588 G1785 G1473 G5083 G3306 G1722 G3588 G0026 G1473

καθὼς ἐγὼ, «τοῦ Πατρός μου» «τὰς ἐντολὰς», τετήρηκα, καὶ
ちょうど わたしが – 父の わたしの – 戒めを 守って そして
G2531 G1473 G3588 G3962 G1473 G3588 G1785 G5083 G2532

μένω αὐτοῦ ἐν τῇ ἀγάπῃ.
とどまっている その–方の – その 愛の–中に
G3306 G0846 G1722 G3588 G0026

もしわたしのいましめを守るならば、あなたがたはわたしの愛のうちにおるのである。それはわたしがわたしの父のいましめを守ったので、その愛のうちにおるのと同じである。

11 Ταῦτα λελάληκα ὑμῖν, ἵνα ἡ χαρὰ ἡ ἐμὴ ἐν
これらのことを 語った あなたがたに –ために – 喜びが – わたしの –の中に
G3778 G2980 G4771 G2443 G3588 G5479 G3588 G1699 G1722

ὑμῖν ᾖ, καὶ ἡ χαρὰ ὑμῶν πληρωθῇ.
あなたがた あり そして – 喜びが あなたがたの 満たされる–ために
G4771 G1510 G2532 G3588 G5479 G4771 G4137

わたしがこれらのことを話したのは、わたしの喜びがあなたがたのうちにも宿るため、また、あなたがたの喜びが満ちあふれるためである。

12 αὕτη ἐστὶν ἡ ἐντολὴ ἡ ἐμὴ, ἵνα ἀγαπᾶτε ἀλλήλους,
これが –である その 戒めである – わたしの –ために 愛し合いなさい 互いに
G3778 G1510 G3588 G1785 G3588 G1699 G2443 G0025 G0240

καθὼς ἠγάπησα ὑμᾶς.
ちょうど わたしが–愛した–ように あなたがたを
G2531 G0025 G4771

わたしのいましめは、これである。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互に愛し合いなさい。

13 μείζονα ταύτης ἀγάπην οὐδεὶς ἔχει, ἵνα τις τὴν ψυχὴν αὐτοῦ
これより–大きな この 愛は だれも 持たない –と ある–者が その いのちを 自分の
G3173 G3778 G0026 G3762 G2192 G2443 G5100 G3588 G5590 G0846

θῇ ὑπὲρ τῶν φίλων αὐτοῦ.
捨てる –のために その 友人たちの 自分の
G5087 G5228 G3588 G5384 G0846

人がその友のために自分の命を捨てること、これよりも大きな愛はない。

14 ὑμεῖς φίλοι μού ἐστε, ἐὰν ποιῆτε ἃ ἐγὼ ἐντέλλομαι
あなたがたは 友である わたしの – もし 行う–なら – わたしが 命じることを
G4771 G5384 G1473 G1510 G1437 G4160 G3739 G1473 G1781

ὑμῖν.
あなたがたに
G4771

あなたがたにわたしが命じることを行うならば、あなたがたはわたしの友である。

15 οὐκέτι λέγω ὑμᾶς δούλους, ὅτι ὁ δοῦλος οὐκ οἶδεν τί
もはや 呼ばない あなたがたを しもべとは なぜなら – しもべは –ない 知ら 何を
G3765 G3004 G4771 G1401 G3754 G3588 G1401 G3756 G1492 G5101

ποιεῖ αὐτοῦ ὁ κύριος. ὑμᾶς δὲ εἴρηκα φίλους, ὅτι πάντα
行うか その – 主人が あなたがたを しかし 呼んだ 友と なぜなら すべてのことを
G4160 G0846 G3588 G2962 G4771 G1161 G2046 G5384 G3754 G3956

ἃ ἤκουσα παρὰ τοῦ Πατρός μου, ἐγνώρισα ὑμῖν.
– わたしが–聞いた –から – 父 わたしの 知らせた あなたがたに
G3739 G0191 G3844 G3588 G3962 G1473 G1107 G4771

わたしはもう、あなたがたを僕とは呼ばない。僕は主人のしていることを知らないからである。わたしはあなたがたを友と呼んだ。わたしの父から聞いたことを皆、あなたがたに知らせたからである。

16 οὐχ ὑμεῖς με ἐξελέξασθε, ἀλλ’ ἐγὼ ἐξελεξάμην ὑμᾶς,
–ない あなたがたが わたしを 選んだのでは むしろ わたしが 選んだ あなたがたを
G3756 G4771 G1473 G1586 G0235 G1473 G1586 G4771

καὶ ἔθηκα ὑμᾶς, ἵνα ὑμεῖς ὑπάγητε καὶ καρπὸν φέρητε,
そして 任命した あなたがたを –ために あなたがたが 出て行き そして 実を 結び
G2532 G5087 G4771 G2443 G4771 G5217 G2532 G2590 G5342

καὶ ὁ καρπὸς ὑμῶν μένῃ; ἵνα ὅ¦τι ἂν αἰτήσητε τὸν
そして その 実が あなたがたの 残る–ために –ために 何でも – 求める–なら –
G2532 G3588 G2590 G4771 G3306 G2443 G3754 G0302 G0154 G3588

Πατέρα ἐν τῷ ὀνόματί μου, δῷ ὑμῖν.
父に –の その 名に–よって わたしの 与える–ように あなたがたに
G3962 G1722 G3588 G3686 G1473 G1325 G4771

あなたがたがわたしを選んだのではない。わたしがあなたがたを選んだのである。そして、あなたがたを立てた。それは、あなたがたが行って実をむすび、その実がいつまでも残るためであり、また、あなたがたがわたしの名によって父に求めるものはなんでも、父が与えて下さるためである。

17

ταῦτα	ἐντέλλομαι	ὑμῖν,	ἵνα	ἀγαπᾶτε	ἀλλήλους.
これらのことを	命じる	あなたがたに	–ために	愛し合いなさい	互いに
G3778	G1781	G4771	G2443	G0025	G0240

これらのことを命じるのは、あなたがたが互に愛し合うためである。

18

Εἰ	ὁ	κόσμος	ὑμᾶς	μισεῖ,	γινώσκετε	ὅτι	ἐμὲ	πρῶτον
もし	–	世が	あなたがたを	憎むなら	知りなさい	–と	わたしを	先に
G1487	G3588	G2889	G4771	G3404	G1097	G3754	G1473	G4412

ὑμῶν	μεμίσηκεν.
あなたがたよりも	憎んだことを
G4771	G3404

もしこの世があなたがたを憎むならば、あなたがたよりも先にわたしを憎んだことを、知っておくがよい。

19

εἰ	ἐκ	τοῦ	κόσμου	ἦτε,	ὁ	κόσμος	ἂν	τὸ	ἴδιον
もし	–のもの	–	世	であったなら	–	世は	–	その	自分の–ものを
G1487	G1537	G3588	G2889	G1510	G3588	G2889	G0302	G3588	G2398

ἐφίλει;	ὅτι	δὲ	ἐκ	τοῦ	κόσμου	οὐκ	ἐστέ,	ἀλλ’	ἐγὼ
愛しただろう	しかし	–	–のもの	–	世	–ではない	–	むしろ	わたしが
G5368	G3754	G1161	G1537	G3588	G2889	G3756	G1510	G0235	G1473

ἐξελεξάμην	ὑμᾶς	ἐκ	τοῦ	κόσμου,	διὰ	τοῦτο	μισεῖ	ὑμᾶς
選んだ	あなたがたを	–から	その	世	–のゆえに	このこと	憎む	あなたがたを
G1586	G4771	G1537	G3588	G2889	G1223	G3778	G3404	G4771

ὁ	κόσμος.
–	世は
G3588	G2889

もしあなたがたがこの世から出たものであったなら、この世は、あなたがたを自分のものとして愛したであろう。しかし、あなたがたはこの世のものではない。かえって、わたしがあなたがたをこの世から選び出したのである。だから、この世はあなたがたを憎むのである。

20

μνημονεύετε	τοῦ	λόγου	οὗ	ἐγὼ	εἶπον	ὑμῖν,	Οὐκ	ἔστιν	δοῦλος
思い出しなさい	その	言葉を	–	わたしが	言った	あなたがたに	–ない	–	しもべは
G3421	G3588	G3056	G3739	G1473	G3004	G4771	G3756	G1510	G1401

μείζων	τοῦ	κυρίου	αὐτοῦ.	εἰ	ἐμὲ	ἐδίωξαν,	καὶ	ὑμᾶς
大きく–ない	その	主人–より	–	もし	わたしを	迫害したなら	–も	あなたがたをも
G3173	G3588	G2962	G0846	G1487	G1473	G1377	G2532	G4771

διώξουσιν;	εἰ	τὸν	λόγον	μου	ἐτήρησαν,	καὶ	τὸν	ὑμέτερον
迫害するだろう	もし	わたしの	言葉を	–	守ったなら	–も	–	あなたがたのも
G1377	G1487	G3588	G3056	G1473	G5083	G2532	G3588	G5212

τηρήσουσιν.
守るだろう
G5083

わたしがあなたがたに『僕はその主人にまさるものではない』と言ったことを、おぼえていなさい。もし人々がわたしを迫害したなら、あなたがたをも迫害するであろう。また、もし彼らがわたしの言葉を守っていたなら、あなたがたの言葉をも守るであろう。

21

ἀλλὰ	ταῦτα	πάντα	ποιήσουσιν	εἰς	ὑμᾶς	διὰ	τὸ	ὄνομά
しかし	これらのことを	すべて	行うだろう	–に対して	あなたがた	–のゆえに	その	名
G0235	G3778	G3956	G4160	G1519	G4771	G1223	G3588	G3686

μου,	ὅτι	οὐκ	οἴδασιν	τὸν	πέμψαντά	με.
わたしの	なぜなら	–ない	知ら	–	わたしを–遣わした–方を	–
G1473	G3754	G3756	G1492	G3588	G3992	G1473

彼らはわたしの名のゆえに、あなたがたに対してすべてそれらのことをするであろう。それは、わたしをつかわされたかたを彼らが知らないからである。

22

εἰ	μὴ	ἦλθον	καὶ	ἐλάλησα	αὐτοῖς,	ἁμαρτίαν	οὐκ	εἴχοσαν;
もし	–なければ	来て	そして	語ったので	彼らに	罪を	–なかっただろう	持た
G1487	G3361	G2064	G2532	G2980	G0846	G0266	G3756	G2192

νῦν	δὲ	πρόφασιν	οὐκ	ἔχουσιν	περὶ	τῆς	ἁμαρτίας	αὐτῶν.
今は	しかし	言い訳が	–ない	持た	–について	その	罪の	自分たちの
G3568	G1161	G4392	G3756	G2192	G4012	G3588	G0266	G0846

もしわたしがきて彼らに語らなかったならば、彼らは罪を犯さないですんだであろう。しかし今となっては、彼らには、その罪について言いのがれる道がない。

23

ὁ	ἐμὲ	μισῶν,	καὶ	τὸν	Πατέρα	μου	μισεῖ.	
–	わたしを	憎む–者は	–も	–	父を	わたしの	憎む	
G3588	G1473	G3404	G2532	G3588	G3962	G1473	G3404	

わたしを憎む者は、わたしの父をも憎む。

24

εἰ	τὰ	ἔργα	μὴ	ἐποίησα	ἐν	αὐτοῖς,	ἃ	οὐδεὶς	ἄλλος
もし	–	わざを	–なければ	行わ	–の中で	彼ら	–	だれも	他の–人が
G1487	G3588	G2041	G3361	G4160	G1722	G0846	G3739	G3762	G0243

ἐποίησεν,	ἁμαρτίαν	οὐκ	εἴχοσαν;	νῦν	δὲ	καὶ	ἑωράκασιν,	καὶ	
行わなかった	罪を	–なかっただろう	持た	今は	しかし	–も	見たのに	そして	
G4160	G0266	G3756	G2192	G3568	G1161	G2532	G3708	G2532	

μεμισήκασιν,	καὶ	ἐμὲ	καὶ	τὸν	Πατέρα --	μου.	
憎んだ	–も	わたしをも	–も	–	父–をも	わたしの	
G3404	G2532	G1473	G2532	G3588	G3962	G1473	

もし、ほかのだれもがしなかったようなわざを、わたしが彼らの間でしなかったならば、彼らは罪を犯さないですんだであろう。しかし事実、彼らはわたしとわたしの父とを見て、憎んだのである。

25

ἀλλ’	ἵνα	πληρωθῇ	ὁ	λόγος	ὁ	ἐν	τῷ	νόμῳ	αὐτῶν
しかし	–ために	成就する	–	言葉が	–	–の中に	その	律法	彼らの
G0235	G2443	G4137	G3588	G3056	G3588	G1722	G3588	G3551	G0846

γεγραμμένος	ὅτι,	Ἐμίσησάν	με	δωρεάν.	
書かれている	–と	憎んだ	わたしを	理由も–なく	
G1125	G3754	G3404	G1473	G1432	

それは、『彼らは理由なしにわたしを憎んだ』と書いてある彼らの律法の言葉が成就するためである。

26 Ὅταν ἔλθῃ ὁ Παράκλητος, ὃν ἐγὼ πέμψω ὑμῖν παρὰ τοῦ
–とき 来る – 助け主が – わたしが 遣わす あなたがたに –から その
G3752 G2064 G3588 G3875 G3739 G1473 G3992 G4771 G3844 G3588

Πατρός, τὸ Πνεῦμα τῆς ἀληθείας, ὃ παρὰ τοῦ Πατρὸς
父の–もとから – 御霊を –の 真理の – –から その 父の–もとから
G3962 G3588 G4151 G3588 G0225 G3739 G3844 G3588 G3962

ἐκπορεύεται, ἐκεῖνος μαρτυρήσει περὶ ἐμοῦ.
出る その–方が 証しする –について わたし
G1607 G1565 G3140 G4012 G1473

わたしが父のみもとからあなたがたにつかわそうとしている助け主、すなわち、父のみもとから来る真理の御霊が下る時、それはわたしについてあかしをするであろう。

27 καὶ ὑμεῖς δὲ μαρτυρεῖτε, ὅτι ἀπ’ ἀρχῆς μετ’ ἐμοῦ
–もまた あなたがたも – 証しする なぜなら 初めから – わたしと–共に –
G2532 G4771 G1161 G3140 G3754 G0575 G0746 G3326 G1473

ἐστε.
いるからである
G1510

あなたがたも、初めからわたしと一緒にいたのであるから、あかしをするのである。

Chapter 16

1 Ταῦτα λελάληκα ὑμῖν ἵνα μὴ σκανδαλισθῆτε.
これらのことを 語った あなたがたに –ために –ない つまずかない–ように
G3778 G2980 G4771 G2443 G3361 G4624

わたしがこれらのことを語ったのは、あなたがたがつまずくことのないためである。

2 ἀποσυναγώγους ποιήσουσιν ὑμᾶς; ἀλλ’ ἔρχεται ὥρα, ἵνα
会堂から–追い出すだろう – あなたがたを それどころか 来る 時が –に
G0656 G4160 G4771 G0235 G2064 G5610 G2443

πᾶς ὁ ἀποκτείνας ὑμᾶς, δόξῃ λατρείαν προσφέρειν τῷ Θεῷ;
すべての – 殺す–者が あなたがたを 思う 礼拝を ささげていると –に 神に
G3956 G3588 G0615 G4771 G1380 G2999 G4374 G3588 G2316

人々はあなたがたを会堂から追い出すであろう。更にあなたがたを殺す者がみな、それによって自分たちは神に仕えているのだと思う時が来るであろう。

3 καὶ ταῦτα ποιήσουσιν, ὅτι οὐκ ἔγνωσαν τὸν Πατέρα, οὐδὲ
そして これらのことを 行うだろう なぜなら –ない 知ら その 父を また–ない
G2532 G3778 G4160 G3754 G3756 G1097 G3588 G3962 G3761

ἐμέ.
わたしをも
G1473

彼らがそのようなことをするのは、父をもわたしをも知らないからである。

4 ἀλλὰ ταῦτα λελάληκα ὑμῖν, ἵνα ὅταν ἔλθῃ ἡ ὥρα
しかし これらのことを 語った あなたがたに –ために –のとき 来た その 時が
G0235 G3778 G2980 G4771 G2443 G3752 G2064 G3588 G5610

αὐτῶν, μνημονεύητε αὐτῶν, ὅτι ἐγὼ εἶπον ὑμῖν.
それらの 思い出す–ために それらを –と わたしが 言ったことを あなたがたに
G0846 G3421 G0846 G3754 G1473 G3004 G4771

ταῦτα δὲ ὑμῖν ἐξ ἀρχῆς οὐκ εἶπον, ὅτι
しかし–これらのことを – あなたがたに –から 初め –なかった 言わ なぜなら
G3778 G1161 G4771 G1537 G0746 G3756 G3004 G3754

μεθ’ ὑμῶν ἤμην.
あなたがたと–共に – いたからである
G3326 G4771 G1510

わたしがあなたがたにこれらのことを言ったのは、彼らの時がきた場合、わたしが彼らについて言ったことを、思い起させるためである。これらのことを初めから言わなかったのは、わたしがあなたがたと一緒にいたからである。

5 νῦν δὲ ὑπάγω πρὸς τὸν πέμψαντά με, καὶ οὐδεὶς
今 しかし 行く –のもとへ – わたしを–遣わした–方 – しかも だれも
G3568 G1161 G5217 G4314 G3588 G3992 G1473 G2532 G3762

ἐξ ὑμῶν ἐρωτᾷ με, Ποῦ ὑπάγεις?
–の中から あなたがた 尋ねない わたしに どこに 行くのですかと
G1537 G4771 G2065 G1473 G4226 G5217

けれども今わたしは、わたしをつかわされたかたのところに行こうとしている。しかし、あなたがたのうち、だれも『どこへ行くのか』と尋ねる者はない。

6 ἀλλ’ ὅτι ταῦτα λελάληκα ὑμῖν, ἡ λύπη πεπλήρωκεν
しかし –ので これらのことを 語った あなたがたに – 悲しみが 満たした
G0235 G3754 G3778 G2980 G4771 G3588 G3077 G4137

ὑμῶν τὴν καρδίαν.
あなたがたの その 心を
G4771 G3588 G2588

かえって、わたしがこれらのことを言ったために、あなたがたの心は憂いで満たされている。

7 ἀλλ’ ἐγὼ τὴν ἀλήθειαν λέγω ὑμῖν, συμφέρει ὑμῖν ἵνα
しかし わたしは その 真理を 言う あなたがたに 益である あなたがたにとって –ために
G0235 G1473 G3588 G0225 G3004 G4771 G4851 G4771 G2443

ἐγὼ ἀπέλθω; ἐὰν γὰρ μὴ ἀπέλθω, ὁ Παράκλητος οὐ μὴ
わたしが 去るのが もし なぜなら –なければ 去ら – 助け主は 決して –
G1473 G0565 G1437 G1063 G3361 G0565 G3588 G3875 G3756 G3361

ἔλθῃ πρὸς ὑμᾶς; ἐὰν δὲ πορευθῶ, πέμψω αὐτὸν πρὸς
来ない –のもとに あなたがた もし しかし 行ったなら 遣わす その–方を –のもとに
G2064 G4314 G4771 G1437 G1161 G4198 G3992 G0846 G4314

ὑμᾶς.
あなたがた
G4771

しかし、わたしはほんとうのことをあなたがたに言うが、わたしが去って行くことは、あなたがたの益になるのだ。わたしが去って行かなければ、あなたがたのところに助け主はこないであろう。もし行けば、それをあなたがたにつかわそう。

8	καὶ	ἐλθὼν,	ἐκεῖνος	ἐλέγξει	τὸν	κόσμον	περὶ	ἁμαρτίας,	καὶ
そして	来て	その–方は	明らかにする	–	世に	–について	罪の	また
G2532	G2064	G1565	G1651	G3588	G2889	G4012	G0266	G2532

περὶ	δικαιοσύνης,	καὶ	περὶ	κρίσεως:
–について	義の	また	–について	裁きの
G4012	G1343	G2532	G4012	G2920

それがきたら、罪と義とさばきとについて、世の人の目を開くであろう。

9	περὶ	ἁμαρτίας	μέν,	ὅτι	οὐ	πιστεύουσιν	εἰς	ἐμέ;
–について	罪	一方では	–と	–ない	信じ	–を	わたし
G4012	G0266	G3303	G3754	G3756	G4100	G1519	G1473

罪についてと言ったのは、彼らがわたしを信じないからである。

10	περὶ	δικαιοσύνης	δέ,	ὅτι	πρὸς	τὸν	Πατέρα	ὑπάγω,	καὶ	οὐκέτι
–について	義	他方では	–と	–のもとへ	その	父	行くので	そして	もはや
G4012	G1343	G1161	G3754	G4314	G3588	G3962	G5217	G2532	G3765

θεωρεῖτέ	με;
見なくなる	わたしを
G2334	G1473

義についてと言ったのは、わたしが父のみもとに行き、あなたがたは、もはやわたしを見なくなるからである。

11	περὶ	δὲ	κρίσεως,	ὅτι	ὁ	ἄρχων	τοῦ	κόσμου	τούτου
–について	また	裁きの	–と	–	支配者が	その–世の	–	この
G4012	G1161	G2920	G3754	G3588	G0758	G3588	G2889	G3778

κέκριται.

裁かれたからである
G2919

さばきについてと言ったのは、この世の君がさばかれるからである。

12	Ἔτι	πολλὰ	ἔχω	ὑμῖν	λέγειν,	ἀλλ’	οὐ	δύνασθε
なお	多くのことを	持っている	あなたがたに	言うべきことを	しかし	–ない	–でき
G2089	G4183	G2192	G4771	G3004	G0235	G3756	G1410

βαστάζειν	ἄρτι.
耐えることが	今は
G0941	G0737

わたしには、あなたがたに言うべきことがまだ多くあるが、あなたがたは今はそれに堪えられない。

13	ὅταν	δὲ	ἔλθῃ	ἐκεῖνος,	τὸ	Πνεῦμα	τῆς	ἀληθείας,	ὁδηγήσει	ὑμᾶς
–のとき	しかし	来る	その–方が	–	御霊が	–の	真理の	導く	あなたがたを
G3752	G1161	G2064	G1565	G3588	G4151	G3588	G0225	G3594	G4771

ἐν	τῇ	ἀληθείᾳ	πάσῃ;	οὐ	γὰρ	λαλήσει	ἀφ’	ἑαυτοῦ,	ἀλλ’
–へと	その	真理	すべての	–ない	なぜなら	語らない	–から	自分自身	むしろ
G1722	G3588	G0225	G3956	G3756	G1063	G2980	G0575	G1438	G0235

ὅσα	ἀκούσει,	λαλήσει;	καὶ	τὰ	ἐρχόμενα	ἀναγγελεῖ	ὑμῖν.
聖いたことを	–	語る	そして	その	来るべきことを	告げる	あなたがたに
G3745	G0191	G2980	G2532	G3588	G2064	G0312	G4771

けれども真理の御霊が来る時には、あなたがたをあらゆる真理に導いてくれるであろう。それは自分から語るのではなく、その聞くところを語り、きたるべき事をあなたがたに知らせるであろう。

14 ἐκεῖνος ἐμὲ δοξάσει, ὅτι ἐκ τοῦ ἐμοῦ λήμψεται,
その–方は わたしを 栄光を–あらわす なぜなら –から – わたしの–ものを 受けて
G1565 G1473 G1392 G3754 G1537 G3588 G1699 G2983

καὶ ἀναγγελεῖ ὑμῖν.
そして 告げる あなたがたに
G2532 G0312 G4771

御霊はわたしに栄光を得させるであろう。わたしのものを受けて、それをあなたがたに知らせるからである。

15 πάντα ὅσα ἔχει ὁ Πατὴρ, ἐμά ἐστιν; διὰ
すべてのものを – 持っている – 父は わたしのものである – –のゆえに
G3956 G3745 G2192 G3588 G3962 G1699 G1510 G1223

τοῦτο, εἶπον ὅτι ἐκ τοῦ ἐμοῦ λαμβάνει, καὶ ἀναγγελεῖ
このこと 言った –と –から – わたしの–ものを 受けて そして 告げると
G3778 G3004 G3754 G1537 G3588 G1699 G2983 G2532 G0312

ὑμῖν.
あなたがたに
G4771

父がお持ちになっているものはみな、わたしのものである。御霊はわたしのものを受けて、それをあなたがたに知らせるのだと、わたしが言ったのは、そのためである。

16 Μικρὸν καὶ οὐκέτι θεωρεῖτέ με; καὶ πάλιν μικρὸν
しばらくすると そうすれば もはや 見なくなる わたしを そして また しばらくすると
G3398 G2532 G3765 G2334 G1473 G2532 G3825 G3398

καὶ ὄψεσθέ με, <ὅτι ὑπάγω πρὸς τὸν πατέρα>.
そうすれば 見るだろう わたしを なぜなら 行く –のもとへ その 父
G2532 G3708 G1473 G3754 G5217 G4314 G3588 G3962

しばらくすれば、あなたがたはもうわたしを見なくなる。しかし、またしばらくすれば、わたしに会えるであろう」。

17 Εἶπαν οὖν ἐκ τῶν μαθητῶν αὐτοῦ πρὸς ἀλλήλους, Τί
言った そこで –の中から – 弟子たちの その–方の –に対して 互いに 何であるか
G3004 G3767 G1537 G3588 G3101 G0846 G4314 G0240 G5101

ἐστιν τοῦτο ὃ λέγει ἡμῖν, Μικρὸν καὶ οὐ θεωρεῖτέ με; καὶ
– これは – 言う わたしたちに しばらくすれば そうすれば –ない 見 わたしを そして
G1510 G3778 G3739 G3004 G1473 G3398 G2532 G3756 G2334 G1473 G2532

πάλιν μικρὸν καὶ ὄψεσθέ με? καί Ὅτι ὑπάγω
また しばらくして そうすれば 見るだろう わたしをと そして –と 行く
G3825 G3398 G2532 G3708 G1473 G2532 G3754 G5217

πρὸς τὸν Πατέρα?
–のもとへ その 父のと
G4314 G3588 G3962

そこで、弟子たちのうちのある者は互に言い合った、「『しばらくすれば、わたしを見なくなる。またしばらくすれば、わたしに会えるであろう』と言われ、『わたしの父のところに行く』と言われたのは、いったい、どういうことなのであろう」。

18 ἔλεγον οὖν, Τοῦτο «τί ἐστιν» ὃ λέγει, τὸ μικρόν? οὐκ
言っていた そこで これ–は 何 であるか – 言う この しばらくとは –ない
G3004 G3767 G3778 G5101 G1510 G3739 G3004 G3588 G3398 G3756

οἴδαμεν τί λαλεῖ.
わから 何を 語っているのか
G1492 G5101 G2980

彼らはまた言った、「『しばらくすれば』と言われるのは、どういうことか。わたしたちには、その言葉の意味がわからない」。

19 ἔγνω [ὁ] Ἰησοῦς ὅτι ἤθελον αὐτὸν ἐρωτᾶν, καὶ εἶπεν αὐτοῖς,
知って – イエスは –と 尋ねたいと 彼に –思っていることを そして 言われた 彼らに
G1097 G3588 G2424 G3754 G2309 G0846 G2065 G2532 G3004 G0846

Περὶ τούτου ζητεῖτε μετ’ ἀλλήλων, ὅτι εἶπον, Μικρὸν
–について このこと 譬い合っているのか –で 互いに –と わたしが–言った しばらくすれば
G4012 G3778 G2212 G3326 G0240 G3754 G3004 G3398

καὶ οὐ θεωρεῖτέ με; καὶ πάλιν, μικρὸν καὶ ὄψεσθέ
そうすれば –ない 見 わたしを そして また しばらくして そうすれば 見るだろう
G2532 G3756 G2334 G1473 G2532 G3825 G3398 G2532 G3708

με?
わたしをと
G1473

イエスは、彼らが尋ねたがっていることに気がついて、彼らに言われた、「しばらくすればわたしを見なくなる、またしばらくすればわたしに会えるであろうと、わたしが言ったことで、互に論じ合っているのか。

20 ἀμὴν ἀμὴν λέγω ὑμῖν, ὅτι κλαύσετε καὶ θρηνήσετε ὑμεῖς,
まことに まことに 言う あなたがたに –と 泣き そして 嘆くだろう あなたがたは
G0281 G0281 G3004 G4771 G3754 G2799 G2532 G2354 G4771

ὁ δὲ κόσμος χαρήσεται; ὑμεῖς λυπηθήσεσθε, ἀλλ’ ἡ λύπη
– しかし 世は 喜ぶだろう あなたがたは 悲しむだろう しかし その 悲しみは
G3588 G1161 G2889 G5463 G4771 G3076 G0235 G3588 G3077

ὑμῶν εἰς χαρὰν γενήσεται.
あなたがたの –へと 喜び 変わるだろう
G4771 G1519 G5479 G1096

よくよくあなたがたに言っておく。あなたがたは泣き悲しむが、この世は喜ぶであろう。あなたがたは憂えているが、その憂いは喜びに変るであろう。

21 ἡ γυνὴ ὅταν τίκτῃ, λύπην ἔχει, ὅτι ἦλθεν ἡ ὥρα αὐτῆς;
– 女は –のとき 産む 苦しみを 持つ なぜなら 来た その 時が 彼女の
G3588 G1135 G3752 G5088 G3077 G2192 G3754 G2064 G3588 G5610 G0846

ὅταν δὲ γεννήσῃ τὸ παιδίον, οὐκέτι μνημονεύει τῆς θλίψεως,
しかし–のとき – 産んだら その 子を もはや 覚えていない その 苦しみを
G3752 G1161 G1080 G3588 G3813 G3765 G3421 G3588 G2347

διὰ τὴν χαρὰν, ὅτι ἐγεννήθη ἄνθρωπος εἰς τὸν κόσμον.
–のゆえに その 喜び –と 生まれた 人が –の中に その 世
G1223 G3588 G5479 G3754 G1080 G0444 G1519 G3588 G2889

女が子を産む場合には、その時がきたというので、不安を感じる。しかし、子を産んでしまえば、もはやその苦しみをおぼえてはいない。ひとりの人がこの世に生れた、という喜びがあるためである。

22 καὶ ὑμεῖς οὖν, νῦν μὲν λύπην ἔχετε; πάλιν δὲ ὄψομαι
–も あなたがたも そこで 今は 一方では 悲しみを 持っている しかし–再び – 会う
G2532 G4771 G3767 G3568 G3303 G3077 G2192 G3825 G1161 G3708

ὑμᾶς, καὶ χαρήσεται ὑμῶν ἡ καρδία, καὶ τὴν χαρὰν
あなたがたに そして 喜ぶだろう あなたがたの その 心は そして その 喜びを
G4771 G2532 G5463 G4771 G3588 G2588 G2532 G3588 G5479

ὑμῶν, οὐδεὶς αἴρει ἀφ’ ὑμῶν.
あなたがたの だれも 奪わない –から あなたがた
G4771 G3762 G0142 G0575 G4771

このように、あなたがたにも今は不安がある。しかし、わたしは再びあなたがたと会うであろう。そして、あなたがたの心は喜びに満たされるであろう。その喜びをあなたがたから取り去る者はいない。

23 καὶ ἐν ἐκείνῃ τῇ ἡμέρᾳ, ἐμὲ οὐκ ἐρωτήσετε οὐδέν. ἀμὴν
そして –の その – 日に わたしに –ない 尋ね 何も まことに
G2532 G1722 G1565 G3588 G2250 G1473 G3756 G2065 G3762 G0281

ἀμὴν λέγω ὑμῖν, ἄν τι αἰτήσητε, τὸν Πατέρα «δώσει
まことに 言う あなたがたに 何でも –を 求める–なら – 父に 与えてくださる
G0281 G3004 G4771 G0302 G5100 G0154 G3588 G3962 G1325

ὑμῖν»□, «ἐν τῷ ὀνόματί μου».
あなたがたに –の その 名に–よって わたしの
G4771 G1722 G3588 G3686 G1473

その日には、あなたがたがわたしに問うことは、何もないであろう。よくよくあなたがたに言っておく。あなたがたが父に求めるものはなんでも、わたしの名によって下さるであろう。

24 ἕως ἄρτι οὐκ ἠτήσατε οὐδὲν ἐν τῷ ὀνόματί μου. αἰτεῖτε,
今まで – –なかった 求め 何も –の その 名に–よって わたしの 求めなさい
G2193 G0737 G3756 G0154 G3762 G1722 G3588 G3686 G1473 G0154

καὶ λήμψεσθε, ἵνα ἡ χαρὰ ὑμῶν ᾖ πεπληρωμένη.
そうすれば 受けるだろう –ために その 喜びが あなたがたの –である 満たされた–もの
G2532 G2983 G2443 G3588 G5479 G4771 G1510 G4137

今までは、あなたがたはわたしの名によって求めたことはなかった。求めなさい、そうすれば、与えられるであろう。そして、あなたがたの喜びが満ちあふれるであろう。

25 Ταῦτα ἐν παροιμίαις λελάληκα ὑμῖν; ἔρχεται ὥρα ὅτε οὐκέτι
これらのことを –で たとえで 語った あなたがたに 来る 時が –のとき もはや
G3778 G1722 G3942 G2980 G4771 G2064 G5610 G3753 G3765

ἐν παροιμίαις λαλήσω ὑμῖν, ἀλλὰ παρρησίᾳ, περὶ τοῦ Πατρὸς
–で たとえで 語らない あなたがたに むしろ はっきりと –について その 父の–ことを
G1722 G3942 G2980 G4771 G0235 G3954 G4012 G3588 G3962

ἀπαγγελῶ ὑμῖν.
告げる あなたがたに
G0518 G4771

わたしはこれらのことを比喩で話したが、もはや比喩では話さないで、あからさまに、父のことをあなたがたに話してきかせる時が来るであろう。

26 ἐν ἐκείνῃ τῇ ἡμέρᾳ, ἐν τῷ ὀνόματί μου αἰτήσεσθε; καὶ οὐ
–の その – 日に –の その 名に–よって わたしの 求めるだろう そして –と
G1722 G1565 G3588 G2250 G1722 G3588 G3686 G1473 G0154 G2532 G3756

λέγω ὑμῖν, ὅτι ἐγὼ ἐρωτήσω τὸν Πατέρα περὶ ὑμῶν,
言わない あなたがたに –と わたしが 願うと その 父に –について あなたがた
G3004 G4771 G3754 G1473 G2065 G3588 G3962 G4012 G4771

その日には、あなたがたは、わたしの名によって求めるであろう。わたしは、あなたがたのために父に願ってあげようとは言うまい。

27 αὐτὸς γὰρ ὁ Πατὴρ φιλεῖ ὑμᾶς, ὅτι ὑμεῖς
その–方が なぜなら その 父が 愛しておられる あなたがたを なぜなら あなたがたが
G0846 G1063 G3588 G3962 G5368 G4771 G3754 G4771

ἐμὲ πεφιλήκατε, καὶ πεπιστεύκατε ὅτι ἐγὼ παρὰ τοῦ Θεοῦ
わたしを 愛し そして 信じた –と わたしが –から – 神の–もとから
G1473 G5368 G2532 G4100 G3754 G1473 G3844 G3588 G2316

ἐξῆλθον.
出て来たことを
G1831

父ご自身があなたがたを愛しておいでになるからである。それは、あなたがたがわたしを愛したため、また、わたしが神のみもとからきたことを信じたためである。

28 ἐξῆλθον ἐκ τοῦ Πατρὸς, καὶ ἐλήλυθα εἰς τὸν κόσμον; πάλιν ἀφίημι
出て来た –から その 父の–もと そして 来た –の中に その 世 再び 去る
G1831 G1537 G3588 G3962 G2532 G2064 G1519 G3588 G2889 G3825 G0863

τὸν κόσμον, καὶ πορεύομαι πρὸς τὸν Πατέρα.
その 世を そして 行く –のもとへ その 父の
G3588 G2889 G2532 G4198 G4314 G3588 G3962

わたしは父から出てこの世にきたが、またこの世を去って、父のみもとに行くのである」。

29 Λέγουσιν οἱ μαθηταὶ αὐτοῦ, Ἴδε, νῦν ἐν παρρησίᾳ λαλεῖς, καὶ
言った – 弟子たちは その–方の 見よ 今 –で はっきりと 語っている そして
G3004 G3588 G3101 G0846 G3708 G3568 G1722 G3954 G2980 G2532

παροιμίαν οὐδεμίαν λέγεις.
たとえを 一つも 使っていない
G3942 G3762 G3004

弟子たちは言った、「今はあからさまにお話しになって、少しも比喩ではお話しになりません。

30 νῦν οἴδαμεν ὅτι οἶδας πάντα, καὶ οὐ χρείαν ἔχεις, ἵνα
今 わかる –と ご存じである すべてを そして –ない 必要が – –ように
G3568 G1492 G3754 G1492 G3956 G2532 G3756 G5532 G2192 G2443

τίς σε ἐρωτᾷ. ἐν τούτῳ πιστεύομεν, ὅτι ἀπὸ Θεοῦ
だれかが あなたに 尋ねる –によって このことに 信じる –と –から 神の–もとから
G5100 G4771 G2065 G1722 G3778 G4100 G3754 G0575 G2316

ἐξῆλθες.
出て来たことを
G1831

あなたはすべてのことをご存じであり、だれもあなたにお尋ねする必要のないことが、今わかりました。このことによって、わたしたちはあなたが神からこられたかたであると信じます」。

31 ἀπεκρίθη αὐτοῖς Ἰησοῦς, Ἄρτι πιστεύετε?
答えられた 彼らに イエスは 今 信じるのか
G0611 G0846 G2424 G0737 G4100

イエスは答えられた、「あなたがたは今信じているのか。

32 ἰδοὺ, ἔρχεται ὥρα, καὶ ἐλήλυθεν, ἵνα σκορπισθῆτε, ἕκαστος εἰς τὰ
見よ 来る 時が もう 来ている –ために 散らされる–ために それぞれ –へと 自分の
G3708 G2064 G5610 G2532 G2064 G2443 G4650 G1538 G1519 G3588

ἴδια, κἀμὲ μόνον ἀφῆτε; καὶ οὐκ εἰμὶ μόνος, ὅτι ὁ
–ところ そして–わたしを 一人 残して–行く しかし –ではない – 一人 なぜなら –
G2398 G2504 G3441 G0863 G2532 G3756 G1510 G3441 G3754 G3588

Πατὴρ μετ’ ἐμοῦ ἐστιν.
父が わたしと–共に – おられる
G3962 G3326 G1473 G1510

見よ、あなたがたは散らされて、それぞれ自分の家に帰り、わたしをひとりだけ残す時が来るであろう。いや、すでにきている。しかし、わたしはひとりでいるのではない。父がわたしと一緒におられるのである。

33 ταῦτα λελάληκα ὑμῖν, ἵνα ἐν ἐμοὶ εἰρήνην ἔχητε.
これらのことを 語った あなたがたに –ために –の中に わたし 平安を 持つ–ために
G3778 G2980 G4771 G2443 G1722 G1473 G1515 G2192

ἐν τῷ κόσμῳ θλῖψιν ἔχετε. ἀλλὰ θαρσεῖτε; ἐγὼ νενίκηκα τὸν
–の中では その 世 苦難を 持つ しかし 勇気を–出しなさい わたしは 打ち勝った その
G1722 G3588 G2889 G2347 G2192 G0235 G2293 G1473 G3528 G3588

κόσμον.
世に
G2889

これらのことをあなたがたに話したのは、わたしにあって平安を得るためである。あなたがたは、この世ではなやみがある。しかし、勇気を出しなさい。わたしはすでに世に勝っている」。

Chapter 17

1 Ταῦτα ἐλάλησεν Ἰησοῦς, καὶ ἐπάρας τοὺς ὀφθαλμοὺς αὐτοῦ εἰς
これらのことを 語った イエスは そして 上げて その 目を 自分の –へと
G3778 G2980 G2424 G2532 G1869 G3588 G3788 G0846 G1519

τὸν οὐρανὸν, εἶπεν, Πάτερ, ἐλήλυθεν ἡ ὥρα; δόξασόν σου
その 天に 言われた 父よ 来た その 時が 栄光を–お与えください あなたの
G3588 G3772 G3004 G3962 G2064 G3588 G5610 G1392 G4771

τὸν Υἱόν, ἵνα ὁ Υἱὸς δοξάσῃ σέ.
その 子に –ために – 子が 栄光を–あらわす あなたを
G3588 G5207 G2443 G3588 G5207 G1392 G4771

これらのことを語り終えると、イエスは天を見あげて言われた、「父よ、時がきました。あなたの子があなたの栄光をあらわすように、子の栄光をあらわして下さい。

2

καθὼς	ἔδωκας	αὐτῷ	ἐξουσίαν	πάσης	σαρκός,	ἵνα	πᾶν	ὃ
ちょうど	与えられた	彼に	権威を	すべての	肉の–上に	–ために	すべての–者に	–
G2531	G1325	G0846	G1849	G3956	G4561	G2443	G3956	G3739

δέδωκας	αὐτῷ,	δώσῃ	αὐτοῖς	ζωὴν	αἰώνιον.
与えられた	彼に	与える–ために	彼らに	永遠の	いのちを
G1325	G0846	G1325	G0846	G2222	G0166

あなたは、子に賜わったすべての者に、永遠の命を授けさせるため、万民を支配する権威を子にお与えになったのですから。

3

αὕτη	δέ	ἐστιν	ἡ	αἰώνιος	ζωὴ,	ἵνα	γινώσκωσιν	σὲ,	τὸν
これが	すなわち	–である	その	永遠の	いのちとは	–とは	知ること	あなたを	その
G3778	G1161	G1510	G3588	G0166	G2222	G2443	G1097	G4771	G3588

μόνον	ἀληθινὸν	Θεὸν,	καὶ	ὃν	ἀπέστειλας,	Ἰησοῦν	Χριστόν.
唯一の	まことの	神を	そして	–	遣わされた	イエス	キリストを
G3441	G0228	G2316	G2532	G3739	G0649	G2424	G5547

永遠の命とは、唯一の、まことの神でいますあなたと、また、あなたがつかわされたイエス・キリストとを知ることであります。

4

ἐγώ	σε	ἐδόξασα	ἐπὶ	τῆς	γῆς,	τὸ	ἔργον	τελειώσας,
わたしは	あなたを	栄光を–あらわした	–の上で	その	地	その–わざを	–	成し遂げて
G1473	G4771	G1392	G1909	G3588	G1093	G3588	G2041	G5048

ὃ	δέδωκάς	μοι	ἵνα	ποιήσω.
–	与えられた	わたしに	–ために	行う
G3739	G1325	G1473	G2443	G4160

わたしは、わたしにさせるためにお授けになったわざをなし遂げて、地上であなたの栄光をあらわしました。

5

καὶ	νῦν	δόξασόν	με	σύ,	Πάτερ,	παρὰ	σεαυτῷ,
そして	今	栄光を–お与えください	わたしに	あなたが	父よ	ご自身の–もとで	–
G2532	G3568	G1392	G1473	G4771	G3962	G3844	G4572

τῇ	δόξῃ	ᾗ	εἶχον	πρὸ	τοῦ	τὸν	κόσμον,	εἶναι	παρὰ	σοί.
その	栄光で	–	持っていた	–前に	その	–	世が–ある	–	あなたの–もとで	–
G3588	G1391	G3739	G2192	G4253	G3588	G3588	G2889	G1510	G3844	G4771

父よ、世が造られる前に、わたしがみそばで持っていた栄光で、今み前にわたしを輝かせて下さい。

6

Ἐφανέρωσά	σου	τὸ	ὄνομα	τοῖς	ἀνθρώποις	οὓς	ἔδωκάς	μοι	ἐκ
現した	あなたの	その	名を	–に	人々に	–	与えられた	わたしに	–から
G5319	G4771	G3588	G3686	G3588	G0444	G3739	G1325	G1473	G1537

τοῦ	κόσμου.	σοὶ	ἦσαν,	κἀμοὶ	αὐτοὺς	ἔδωκας,	καὶ
その	世	あなたの–ものであった	–	そして–わたしに	彼らを	与えられた	そして
G3588	G2889	G4674	G1510	G2504	G0846	G1325	G2532

τὸν	λόγον	σου	τετήρηκαν.
あなたの	言葉を	–	守った
G3588	G3056	G4771	G5083

わたしは、あなたが世から選んでわたしに賜わった人々に、み名をあらわしました。彼らはあなたのものでありましたが、わたしに下さいました。そして、彼らはあなたの言葉を守りました。

7 νῦν ἔγνωκαν ὅτι πάντα ὅσα δέδωκάς μοι, παρὰ
今 知った –と すべての–ものが – 与えられた わたしに –からのものであることを
G3568 G1097 G3754 G3956 G3745 G1325 G1473 G3844

σοῦ εἰσιν;
あなた –
G4771 G1510

いま彼らは、わたしに賜わったものはすべて、あなたから出たものであることを知りました。

8 ὅτι τὰ ῥήματα ἃ ἔδωκάς μοι, δέδωκα αὐτοῖς, καὶ αὐτοὶ
なぜなら その 言葉を – 与えられた わたしに 与えた 彼らに そして 彼らは
G3754 G3588 G4487 G3739 G1325 G1473 G1325 G0846 G2532 G0846

ἔλαβον, καὶ ἔγνωσαν ἀληθῶς ὅτι παρὰ σοῦ ἐξῆλθον; καὶ
受け入れた そして 知った まことに –と –から あなたの–もと 出て来たことを そして
G2983 G2532 G1097 G0230 G3754 G3844 G4771 G1831 G2532

ἐπίστευσαν ὅτι σύ με ἀπέστειλας.
信じた –と あなたが わたしを 遣わされたことを
G4100 G3754 G4771 G1473 G0649

なぜなら、わたしはあなたからいただいた言葉を彼らに与え、そして彼らはそれを受け、わたしがあなたから出たものであることをほんとうに知り、また、あなたがわたしをつかわされたことを信じるに至ったからです。

9 Ἐγὼ περὶ αὐτῶν ἐρωτῶ. οὐ περὶ τοῦ κόσμου ἐρωτῶ,
わたしは –について 彼ら 願う –については–ない – その–世 – 願うのでは
G1473 G4012 G0846 G2065 G3756 G4012 G3588 G2889 G2065

ἀλλὰ περὶ ὧν δέδωκάς μοι, ὅτι σοί εἰσιν.
むしろ –について – 与えられた–者たち わたしに なぜなら あなたの–ものである –
G0235 G4012 G3739 G1325 G1473 G3754 G4674 G1510

わたしは彼らのためにお願いします。わたしがお願いするのは、この世のためにではなく、あなたがわたしに賜わった者たちのためです。彼らはあなたのものなのです。

10 καὶ τὰ ἐμὰ πάντα, σά ἐστιν; καὶ τὰ
そして – わたしの–ものは–すべて – あなたの–ものであり – そして –
G2532 G3588 G1699 G3956 G4674 G1510 G2532 G3588

σὰ, ἐμά; καὶ δεδόξασμαι ἐν αὐτοῖς.
あなたの–ものは わたしの–もの そして 栄光を–受けた –において 彼ら
G4674 G1699 G2532 G1392 G1722 G0846

わたしのものは皆あなたのもの、あなたのものはわたしのものです。そして、わたしは彼らによって栄光を受けました。

11 καὶ οὐκέτι εἰμὶ ἐν τῷ κόσμῳ, καὶ αὐτοὶ ἐν τῷ κόσμῳ
そして もはや –ない –の中に その 世 そして 彼らは –の中に その 世
G2532 G3765 G1510 G1722 G3588 G2889 G2532 G0846 G1722 G3588 G2889

εἰσίν, κἀγὼ πρὸς σὲ ἔρχομαι. Πάτερ ἅγιε, τήρησον αὐτοὺς
いる そして–わたしは –のもとへ あなた 行く 父よ 聖なる 守ってください 彼らを
G1510 G2504 G4314 G4771 G2064 G3962 G0040 G5083 G0846

ἐν τῷ ὀνόματί σου, ᾧ δέδωκάς μοι, ἵνα ὦσιν ἓν,
–の中に その 名に–よって あなたの – 与えられた わたしに –ために –である–ように 一つ
G1722 G3588 G3686 G4771 G3739 G1325 G1473 G2443 G1510 G1520

καθὼς ἡμεῖς.
ちょうど わたしたちのように
G2531 G1473

わたしはもうこの世にはいなくなりますが、彼らはこの世に残っており、わたしはみもとに参ります。聖なる父よ、わたしに賜わった御名によって彼らを守って下さい。それはわたしたちが一つであるように、彼らも一つになるためであります。

12 ὅτε ἤμην μετ’ αὐτῶν, ἐγὼ ἐτήρουν αὐτοὺς ἐν τῷ
–のとき 共に–いた 彼らと–共に – わたしが 守っていた 彼らを –の中に その
G3753 G1510 G3326 G0846 G1473 G5083 G0846 G1722 G3588

ὀνόματί σου, ᾧ δέδωκάς μοι. καὶ ἐφύλαξα, καὶ οὐδεὶς ἐξ
名に–よって あなたの – 与えられた わたしに そして 保護した そして だれも –の中から
G3686 G4771 G3739 G1325 G1473 G2532 G5442 G2532 G3762 G1537

αὐτῶν ἀπώλετο, εἰ μὴ ὁ υἱὸς τῆς ἀπωλείας, ἵνα ἡ γραφὴ
彼ら 滅びなかった ただ – その 子が –の 滅びの –ために その 聖書が
G0846 G0622 G1487 G3361 G3588 G5207 G3588 G0684 G2443 G3588 G1124

πληρωθῇ.
成就する
G4137

わたしが彼らと一緒にいた間は、あなたからいただいた御名によって彼らを守り、また保護してまいりました。彼らのうち、だれも滅びず、ただ滅びの子だけが滅びました。それは聖書が成就するためでした。

13 νῦν δὲ πρὸς σὲ ἔρχομαι; καὶ ταῦτα λαλῶ ἐν τῷ
今 しかし –のもとへ あなた 行く そして これらのことを 語る –の中で その
G3568 G1161 G4314 G4771 G2064 G2532 G3778 G2980 G1722 G3588

κόσμῳ, ἵνα ἔχωσιν τὴν χαρὰν τὴν ἐμὴν πεπληρωμένην ἐν
世 –ために 持つ–ように – 喜びを – わたしの 満たされた –の中に
G2889 G2443 G2192 G3588 G5479 G3588 G1699 G4137 G1722

ἑαυτοῖς.
自分たち
G1438

今わたしはみもとに参ります。そして世にいる間にこれらのことを語るのは、わたしの喜びが彼らのうちに満ちあふれるためであります。

14 ἐγὼ δέδωκα αὐτοῖς τὸν λόγον σου, καὶ ὁ κόσμος ἐμίσησεν
わたしは 与えた 彼らに あなたの 言葉を – そして – 世は 憎んだ
G1473 G1325 G0846 G3588 G3056 G4771 G2532 G3588 G2889 G3404

αὐτούς, ὅτι οὐκ εἰσὶν ἐκ τοῦ κόσμου, καθὼς ἐγὼ οὐκ
彼らを なぜなら –ない –では –のもの その 世 ちょうど わたしが –ないのと–同じく
G0846 G3754 G3756 G1510 G1537 G3588 G2889 G2531 G1473 G3756

εἰμὶ ἐκ τοῦ κόσμου.
–では –のもの その 世
G1510 G1537 G3588 G2889

わたしは彼らに御言を与えましたが、世は彼らを憎みました。わたしが世のものでないように、彼らも世のものではないからです。

15 οὐκ ἐρωτῶ ἵνα ἄρῃς αὐτοὺς ἐκ τοῦ κόσμου, ἀλλ’ ἵνα
–ない 願わ –ために 取り去る 彼らを –から その 世 むしろ –ために
G3756 G2065 G2443 G0142 G0846 G1537 G3588 G2889 G0235 G2443

τηρήσῃς αὐτοὺς ἐκ τοῦ πονηροῦ.
守ってください 彼らを –から その 悪き–者
G5083 G0846 G1537 G3588 G4190

わたしがお願いするのは、彼らを世から取り去ることではなく、彼らを悪しき者から守って下さることであります。

16

ἐκ	τοῦ	κόσμου	οὐκ	εἰσὶν,	καθὼς	ἐγὼ	οὐκ	εἰμὶ
–のもの	その	世	–ではない	–	ちょうど	わたしが	–ではないのと–同じく	–
G1537	G3588	G2889	G3756	G1510	G2531	G1473	G3756	G1510

ἐκ	τοῦ	κόσμου.
–のもの	その	世
G1537	G3588	G2889

わたしが世のものでないように、彼らも世のものではありません。

17

ἁγίασον	αὐτοὺς	ἐν	τῇ	ἀληθείᾳ;	ὁ	λόγος	ὁ	σὸς	ἀλήθειά
聖めてください	彼らを	–によって	その	真理	–	言葉は	–	あなたの	真理である
G0037	G0846	G1722	G3588	G0225	G3588	G3056	G3588	G4674	G0225

ἐστιν.
–
G1510

真理によって彼らを聖別して下さい。あなたの御言は真理であります。

18

καθὼς	ἐμὲ	ἀπέστειλας	εἰς	τὸν	κόσμον,	κἀγὼ	ἀπέστειλα	αὐτοὺς
ちょうど	わたしを	遣わされた	–の中に	その	世	わたしも	遣わした	彼らを
G2531	G1473	G0649	G1519	G3588	G2889	G2504	G0649	G0846

εἰς	τὸν	κόσμον;
–の中に	その	世
G1519	G3588	G2889

あなたがわたしを世につかわされたように、わたしも彼らを世につかわしました。

19

καὶ	ὑπὲρ	αὐτῶν	ἐγὼ	ἁγιάζω	ἐμαυτόν,	ἵνα	ὦσιν	καὶ
そして	–のために	彼ら	わたしは	聖める	わたし自身を	–ために	–である–ように	–も
G2532	G5228	G0846	G1473	G0037	G1683	G2443	G1510	G2532

αὐτοὶ	ἡγιασμένοι	ἐν	ἀληθείᾳ.
彼らも	聖められた–者	–において	真理
G0846	G0037	G1722	G0225

また彼らが真理によって聖別されるように、彼らのためわたし自身を聖別いたします。

20

Οὐ	περὶ	τούτων	δὲ	ἐρωτῶ	μόνον,	ἀλλὰ	καὶ	περὶ
–ではない	–について	これらの–者たち	しかし	願うのは	だけ	むしろ	–も	–について
G3756	G4012	G3778	G1161	G2065	G3440	G0235	G2532	G4012

τῶν	πιστευόντων	διὰ	τοῦ	λόγου	αὐτῶν	εἰς	ἐμέ --
その	信じる–者たち	–を通して	その	言葉	彼らの	–を	わたし
G3588	G4100	G1223	G3588	G3056	G0846	G1519	G1473

わたしは彼らのためばかりではなく、彼らの言葉を聞いてわたしを信じている人々のためにも、お願いいたします。

21

ἵνα	πάντες	ἓν	ὦσιν,	καθὼς	σύ,	πάτερ,	ἐν	ἐμοὶ,
–ために	すべてが	一つ	であるように	ちょうど	あなたが	父よ	–の中に	わたし
G2443	G3956	G1520	G1510	G2531	G4771	G3962	G1722	G1473

κἀγὼ	ἐν	σοί,	ἵνα	καὶ	αὐτοὶ	ἐν	ἡμῖν	ὦσιν,
そして–わたしが	–の中に	あなた	–ために	–も	彼らも	–の中に	わたしたち	いる–ように
G2504	G1722	G4771	G2443	G2532	G0846	G1722	G1473	G1510

ἵνα	ὁ	κόσμος	πιστεύῃ	ὅτι	σύ	με	ἀπέστειλας.
–ために	–	世が	信じる–ために	–と	あなたが	わたしを	遣わされたことを
G2443	G3588	G2889	G4100	G3754	G4771	G1473	G0649

父よ、それは、あなたがわたしのうちにおられ、わたしがあなたのうちにいるように、みんなの者が一つとなるためであります。すなわち、彼らをもわたしたちのうちにおらせるためであり、それによって、あなたがわたしをおつかわしになったことを、世が信じるようになるためであります。

22

κἀγὼ	τὴν	δόξαν	ἣν	δέδωκάς	μοι,	δέδωκα	αὐτοῖς,	ἵνα	
そして–わたしは	その	栄光を	–	与えられた	わたしに	与えた	彼らに	–ために	
G2504	G3588	G1391	G3739	G1325	G1473	G1325	G0846	G2443	

ὦσιν	ἓν,	καθὼς	ἡμεῖς	ἕν:
–である–ように	一つ	ちょうど	わたしたちが	一つであるように
G1510	G1520	G2531	G1473	G1520

わたしは、あなたからいただいた栄光を彼らにも与えました。それは、わたしたちが一つであるように、彼らも一つになるためであります。

23

ἐγὼ	ἐν	αὐτοῖς,	καὶ	σὺ	ἐν	ἐμοί,	ἵνα	ὦσιν
わたしが	–の中に	彼ら	そして	あなたが	–の中に	わたし	–ために	–である–ように
G1473	G1722	G0846	G2532	G4771	G1722	G1473	G2443	G1510

τετελειωμένοι	εἰς	ἕν,	ἵνα	γινώσκῃ	ὁ	κόσμος	ὅτι	σύ	με
完全に–された–者	–へと	一つ	–ために	知る–ために	–	世が	–と	あなたが	わたしを
G5048	G1519	G1520	G2443	G1097	G3588	G2889	G3754	G4771	G1473

ἀπέστειλας,	καὶ	ἠγάπησας	αὐτοὺς	καθὼς	ἐμὲ	ἠγάπησας.
遣わし	そして	愛したことを	彼らを	ちょうど	わたしを	愛したように
G0649	G2532	G0025	G0846	G2531	G1473	G0025

わたしが彼らにおり、あなたがわたしにいますのは、彼らが完全に一つとなるためであり、また、あなたがわたしをつかわし、わたしを愛されたように、彼らをお愛しになったことを、世が知るためであります。

24

πάτερ,	ὃ	δέδωκάς	μοι,	θέλω	ἵνα	ὅπου	εἰμὶ	ἐγὼ,
父よ	–	与えられた–者を	わたしに	願う	–ために	わたしが–いる	–	–ところに
G3962	G3739	G1325	G1473	G2309	G2443	G3699	G1510	G1473

κἀκεῖνοι	ὦσιν	μετ’	ἐμοῦ,	ἵνα	θεωρῶσιν	τὴν	δόξαν	τὴν	
彼らも	いる–ように	わたしと–共に	–	–ために	見る–ように	その	栄光を	–	
G2548	G1510	G3326	G1473	G2443	G2334	G3588	G1391	G3588	

ἐμὴν,	ἣν	δέδωκάς	μοι	ὅτι	ἠγάπησάς	με	πρὸ	καταβολῆς
わたしの	–	与えられた	わたしに	なぜなら	愛された	わたしを	–前に	世の–基
G1699	G3739	G1325	G1473	G3754	G0025	G1473	G4253	G2602

κόσμου.
–
G2889

父よ、あなたがわたしに賜わった人々が、わたしのいる所に一緒にいるようにして下さい。天地が造られる前からわたしを愛して下さって、わたしに賜わった栄光を、彼らに見させて下さい。

25

Πάτερ	δίκαιε,	καὶ	ὁ	κόσμος	σε	οὐκ	ἔγνω,	ἐγὼ	δέ
父よ	義なる	–も	–	世は	あなたを	–なかった	知ら	わたしは	しかし
G3962	G1342	G2532	G3588	G2889	G4771	G3756	G1097	G1473	G1161

σε	ἔγνων,	καὶ	οὗτοι	ἔγνωσαν	ὅτι	σύ	με	ἀπέστειλας.
あなたを	知った	そして	この–者たちは	知った	–と	あなたが	わたしを	遣わされたことを
G4771	G1097	G2532	G3778	G1097	G3754	G4771	G1473	G0649

正しい父よ、この世はあなたを知っていません。しかし、わたしはあなたを知り、また彼らも、あなたがわたしをおつかわしになったことを知っています。

26	καὶ	ἐγνώρισα	αὐτοῖς	τὸ	ὄνομά	σου,	καὶ	γνωρίσω,	ἵνα	ἡ
	そして	知らせた	彼らに	あなたの	名を	–	そして	知らせるだろう	–ために	その
	G2532	G1107	G0846	G3588	G3686	G4771	G2532	G1107	G2443	G3588

ἀγάπη	ἣν	ἠγάπησάς	με,	ἐν	αὐτοῖς	ᾖ,	κἀγὼ	ἐν
愛が	–	愛された	わたしを	–の中に	彼ら	ある–ために	そして–わたしも	–の中に
G0026	G3739	G0025	G1473	G1722	G0846	G1510	G2504	G1722

αὐτοῖς.
彼ら
G0846

そしてわたしは彼らに御名を知らせました。またこれからも知らせましょう。それは、あなたがわたしを愛して下さったその愛が彼らのうちにあり、またわたしも彼らのうちにおるためであります」。

Chapter 18

1	Ταῦτα	εἰπὼν,	Ἰησοῦς	ἐξῆλθεν	σὺν	τοῖς	μαθηταῖς	αὐτοῦ	πέραν
	これらの–ことを	言って	イエスは	出て–行った	共に	その	弟子たちと	彼の	向こう–側へ
	G3778	G3004	G2424	G1831	G4862	G3588	G3101	G0846	G4008

τοῦ	χειμάρρου	τοῦ	Κέδρων,	ὅπου	ἦν	κῆπος,	εἰς	ὃν	εἰσῆλθεν
その	冬の–川	の	キデロンの	そこに	あった	園が	その–中へ	それに	入った
G3588	G5493	G3588	G2748	G3699	G1510	G2779	G1519	G3739	G1525

αὐτὸς,	καὶ	οἱ	μαθηταὶ	αὐτοῦ.
彼自身と	そして	その	弟子たちも	彼の
G0846	G2532	G3588	G3101	G0846

イエスはこれらのことを語り終えて、弟子たちと一緒にケデロンの谷の向こうへ行かれた。そこには園があって、イエスは弟子たちと一緒にその中にはいられた。

2	ᾔδει	δὲ	καὶ	Ἰούδας,	ὁ	παραδιδοὺς	αὐτὸν,	τὸν	τόπον,	ὅτι
	知っていた	さて	また	ユダも	その	裏切る–者が	彼を	その	場所を	なぜなら
	G1492	G1161	G2532	G2455	G3588	G3860	G0846	G3588	G5117	G3754

πολλάκις	συνήχθη	Ἰησοῦς	ἐκεῖ,	μετὰ	τῶν	μαθητῶν	αὐτοῦ.
しばしば	集まった	イエスが	そこで	共に	その	弟子たちと	彼の
G4178	G4863	G2424	G1563	G3326	G3588	G3101	G0846

イエスを裏切ったユダは、その所をよく知っていた。イエスと弟子たちとがたびたびそこで集まったことがあるからである。

3	ὁ	οὖν	Ἰούδας,	λαβὼν	τὴν	σπεῖραν,	καὶ	ἐκ	τῶν	ἀρχιερέων
	その	それゆえ	ユダは	率いて	その	一隊の–兵を	そして	から	その	祭司長たちと
	G3588	G3767	G2455	G2983	G3588	G4686	G2532	G1537	G3588	G0749

καὶ	ἐκ	τῶν	Φαρισαίων	ὑπηρέτας,	ἔρχεται	ἐκεῖ	μετὰ	φανῶν,	καὶ
また	から	その	パリサイ人たちの	下役たちを	来る	そこへ	持って	たいまつと	そして
G2532	G1537	G3588	G5330	G5257	G2064	G1563	G3326	G5322	G2532

λαμπάδων,	καὶ	ὅπλων.
ともし火と	また	武器を
G2985	G2532	G3696

さてユダは、一隊の兵卒と祭司長やパリサイ人たちの送った下役どもを引き連れ、たいまつやあかりや武器を持って、そこへやってきた。

4 Ἰησοῦς οὖν εἰδὼς πάντα τὰ ἐρχόμενα ἐπ’ αὐτὸν, ἐξῆλθεν καὶ
イエスは そこで 知って すべての その 来ることを 自分の-上に 彼に 出て-行き そして
G2424 G3767 G1492 G3956 G3588 G2064 G1909 G0846 G1831 G2532

λέγει αὐτοῖς, Τίνα ζητεῖτε?
言う 彼らに 誰を 捜しているのか
G3004 G0846 G5101 G2212

しかしイエスは、自分の身に起ろうとすることをことごとく承知しておられ、進み出て彼らに言われた、「だれを捜しているのか」。

5 ἀπεκρίθησαν αὐτῷ, Ἰησοῦν τὸν Ναζωραῖον. λέγει αὐτοῖς, Ἐγώ
答えた 彼に ナザレの-イエスを その ナザレ人を 言う 彼らに わたしが
G0611 G0846 G2424 G3588 G3480 G3004 G0846 G1473

εἰμι. εἱστήκει δὲ καὶ Ἰούδας, ὁ παραδιδοὺς αὐτὸν, μετ’ αὐτῶν.
それである 立っていた また そして ユダも その 裏切る-者が 彼を 共に 彼らと
G1510 G2476 G1161 G2532 G2455 G3588 G3860 G0846 G3326 G0846

彼らは「ナザレのイエスを」と答えた。イエスは彼らに言われた、「わたしが、それである」。イエスを裏切ったユダも、彼らと一緒に立っていた。

6 ὡς οὖν εἶπεν αὐτοῖς, Ἐγώ εἰμι, ἀπῆλθον εἰς τὰ ὀπίσω,
すると そこで 言った 彼らに わたしが それである-と 退いた へ その 後ろに
G5613 G3767 G3004 G0846 G1473 G1510 G0565 G1519 G3588 G3694

καὶ ἔπεσαν χαμαί.
そして 倒れた 地に
G2532 G4098 G5476

イエスが彼らに「わたしが、それである」と言われたとき、彼らはうしろに引きさがって地に倒れた。

7 πάλιν οὖν ἐπηρώτησεν αὐτούς, Τίνα ζητεῖτε? οἱ δὲ εἶπαν,
再び そこで 尋ねた 彼らに 誰を 捜しているのか 彼らは そして 言った
G3825 G3767 G1905 G0846 G5101 G2212 G3588 G1161 G3004

Ἰησοῦν τὸν Ναζωραῖον.
ナザレの-イエスを その ナザレ人を
G2424 G3588 G3480

そこでまた彼らに、「だれを捜しているのか」とお尋ねになると、彼らは「ナザレのイエスを」と言った。

8 ἀπεκρίθη Ἰησοῦς, Εἶπον ὑμῖν ὅτι ἐγώ εἰμι. εἰ οὖν
答えた イエスは 言った あなたがたに と わたしが それである もし それゆえ
G0611 G2424 G3004 G4771 G3754 G1473 G1510 G1487 G3767

ἐμὲ ζητεῖτε, ἄφετε τούτους ὑπάγειν;
わたしを 捜しているなら 去らせよ この-者たちを 行くように
G1473 G2212 G0863 G3778 G5217

イエスは答えられた、「わたしがそれであると、言ったではないか。わたしを捜しているのなら、この人たちを去らせてもらいたい」。

9 ἵνα πληρωθῇ ὁ λόγος ὃν εἶπεν ὅτι, Οὓς δέδωκάς
こうして 成就する その 言葉が その 言った ところの あなたが わたしに-与えた
G2443 G4137 G3588 G3056 G3739 G3004 G3754 G3739 G1325

μοι, οὐκ ἀπώλεσα ἐξ αὐτῶν οὐδένα.
者たちの 一人も 失わなかった その-中から 彼らの 誰も
G1473 G3756 G0622 G1537 G0846 G3762

それは、「あなたが与えて下さった人たちの中のひとりも、わたしは失わなかった」とイエスの言われた言葉が、成就するためである。

10 Σίμων シモン G4613 οὖν そこで G3767 Πέτρος, ペテロは G4074 ἔχων 持っていた G2192 μάχαιραν, 剣を G3162 εἵλκυσεν それを-抜き G1670 αὐτὴν, それを G0846 καὶ そして G2532 ἔπαισεν 打った G3817 τὸν その G3588 τοῦ の G3588 ἀρχιερέως 大祭司の G0749 δοῦλον, 僕を G1401 καὶ そして G2532 ἀπέκοψεν 切り-落とした G0609 αὐτοῦ 彼の G0846 τὸ その G3588 ὠτάριον 耳を G5621 τὸ その G3588 δεξιόν. 右の G1188 ἦν であった G1510 δὲ さて G1161 ὄνομα 名は G3686 τῷ その G3588 δούλῳ, 僕の G1401 Μάλχος. マルコス G3124

シモン・ペテロは剣を持っていたが、それを抜いて、大祭司の僕に切りかかり、その右の耳を切り落した。その僕の名はマルコスであった。

11 εἶπεν 言った G3004 οὖν そこで G3767 ὁ その G3588 Ἰησοῦς イエスは G2424 τῷ その G3588 Πέτρῳ, ペテロに G4074 Βάλε 納めよ G0906 τὴν その G3588 μάχαιραν 剣を G3162 εἰς その-中に G1519 τὴν その G3588 θήκην; 鞘に G2336 τὸ その G3588 ποτήριον 杯を G4221 ὃ それを G3739 δέδωκέν 与えた G1325 μοι わたしに G1473 ὁ その G3588 Πατήρ, 父が G3962 οὐ 決して G3756 μὴ ない G3361 πίω 飲まないか G4095 αὐτό? それを G0846

すると、イエスはペテロに言われた、「剣をさやに納めなさい。父がわたしに下さった杯は、飲むべきではないか」。

12 Ἡ その G3588 οὖν そこで G3767 σπεῖρα, 一隊の-兵と G4686 καὶ そして G2532 ὁ その G3588 χιλίαρχος, 千人の-隊長と G5506 καὶ また G2532 οἱ その G3588 ὑπηρέται 下役たちは G5257 τῶν の G3588 Ἰουδαίων, ユダヤ人たちの G2453 συνέλαβον 捕らえた G4815 τὸν その G3588 Ἰησοῦν, イエスを G2424 καὶ そして G2532 ἔδησαν 縛った G1210 αὐτὸν; 彼を G0846

それから一隊の兵卒やその千卒長やユダヤ人の下役どもが、イエスを捕え、縛りあげて、

13 καὶ そして G2532 ἤγαγον 連れて-行った G0071 πρὸς へ G4314 Ἄνναν アンナスの-もとへ G0452 πρῶτον; まず G4412 ἦν であった G1510 γὰρ なぜなら G1063 πενθερὸς 義父で G3995 τοῦ の G3588 Καϊάφα, カヤパの G2533 ὃς 彼は G3739 ἦν であった G1510 ἀρχιερεὺς 大祭司 G0749 τοῦ その G3588 ἐνιαυτοῦ 年の G1763 ἐκείνου. あの G1565

まずアンナスのところに引き連れて行った。彼はその年の大祭司カヤパのしゅうとであった。

14 ἦν であった G1510 δὲ さて G1161 Καϊάφας カヤパは G2533 ὁ その G3588 συμβουλεύσας 助言した-者で G4823 τοῖς その G3588 Ἰουδαίοις, ユダヤ人たちに G2453 ὅτι と G3754 συμφέρει 有益である G4851 ἕνα 一人の G1520 ἄνθρωπον 人が G0444 ἀποθανεῖν 死ぬことが G0599 ὑπὲρ ために G5228 τοῦ その G3588 λαοῦ. 民の G2992

カヤパは前に、ひとりの人が民のために死ぬのはよいことだと、ユダヤ人に助言した者であった。

15 Ἠκολούθει δὲ τῷ Ἰησοῦ. Σίμων Πέτρος καὶ ἄλλος μαθητής, ὁ
従った さて その イエスに シモン ペテロと また もう-一人の 弟子が その
G0190 G1161 G3588 G2424 G4613 G4074 G2532 G0243 G3101 G3588

δὲ μαθητὴς ἐκεῖνος ἦν γνωστὸς τῷ ἀρχιερεῖ, καὶ συνεισῆλθεν τῷ
しかし 弟子は あの であった 知人で の 大祭司の そして 一緒に-入った の
G1161 G3101 G1565 G1510 G1110 G3588 G0749 G2532 G4897 G3588

Ἰησοῦ εἰς τὴν αὐλὴν τοῦ ἀρχιερέως.
イエスと へ その 中庭に の 大祭司の
G2424 G1519 G3588 G0833 G3588 G0749

シモン・ペテロともうひとりの弟子とが、イエスについて行った。この弟子は大祭司の知り合いであったので、イエスと一緒に大祭司の中庭にはいった。

16 ὁ δὲ Πέτρος εἱστήκει πρὸς τῇ θύρᾳ ἔξω. ἐξῆλθεν οὖν
しかし その ペテロは 立っていた で その 門の-ところに 外に 出て-行った そこで
G3588 G1161 G4074 G2476 G4314 G3588 G2374 G1854 G1831 G3767

ὁ μαθητὴς ὁ ἄλλος, ὁ γνωστὸς τοῦ ἀρχιερέως, καὶ εἶπεν τῇ
その 弟子は その もう-一人の その 知り合いの の 大祭司の そして 言った その
G3588 G3101 G3588 G0243 G3588 G1110 G3588 G0749 G2532 G3004 G3588

θυρωρῷ, καὶ εἰσήγαγεν τὸν Πέτρον.
門番の-女に そして 入れた その ペテロを
G2377 G2532 G1521 G3588 G4074

しかし、ペテロは外で戸口に立っていた。すると大祭司の知り合いであるその弟子が、外に出て行って門番の女に話し、ペテロを内に入れてやった。

17 λέγει οὖν τῷ Πέτρῳ ἡ παιδίσκη, ἡ θυρωρός, Μὴ καὶ σὺ,
言う そこで その ペテロに その 女中が その 門番の まさか また あなたも
G3004 G3767 G3588 G4074 G3588 G3814 G3588 G2377 G3361 G2532 G4771

ἐκ τῶν μαθητῶν εἶ τοῦ ἀνθρώπου τούτου? λέγει ἐκεῖνος, Οὐκ
の その 弟子たちの ではないか の 人の この 言う 彼は 違う
G1537 G3588 G3101 G1510 G3588 G0444 G3778 G3004 G1565 G3756

εἰμί.
そうではない
G1510

すると、この門番の女がペテロに言った、「あなたも、あの人の弟子のひとりではありませんか」。ペテロは「いや、そうではない」と答えた。

18 εἱστήκεισαν δὲ οἱ δοῦλοι καὶ οἱ ὑπηρέται, ἀνθρακιὰν πεποιηκότες --
立っていた また その 僕たちと そして その 下役たちが 炭火を おこして
G2476 G1161 G3588 G1401 G2532 G3588 G5257 G0439 G4160

ὅτι ψῦχος ἦν -- καὶ ἐθερμαίνοντο. ἦν δὲ καὶ ὁ Πέτρος
なぜなら 寒さが あったので そして 暖まっていた いた また そして その ペテロも
G3754 G5592 G1510 G2532 G2328 G1510 G1161 G2532 G3588 G4074

μετ’ αὐτῶν ἑστὼς, καὶ θερμαινόμενος.
共に 彼らと 立って そして 暖まっていた
G3326 G0846 G2476 G2532 G2328

僕や下役どもは、寒い時であったので、炭火をおこし、そこに立ってあたっていた。ペテロもまた彼らに交じり、立ってあたっていた。

19 Ὁ その G3588 οὖν そこで G3767 ἀρχιερεὺς 大祭司は G0749 ἠρώτησεν 尋ねた G2065 τὸν その G3588 Ἰησοῦν イエスに G2424 περὶ について G4012 τῶν その G3588 μαθητῶν 弟子たちの-ことと G3101

αὐτοῦ, 彼の G0846 καὶ そして G2532 περὶ について G4012 τῆς その G3588 διδαχῆς 教えを G1322 αὐτοῦ. 彼の G0846

大祭司はイエスに、弟子たちのことやイエスの教のことを尋ねた。

20 ἀπεκρίθη 答えた G0611 αὐτῷ 彼に G0846 Ἰησοῦς, イエスは G2424 Ἐγὼ わたしは G1473 παρρησίᾳ 公に G3954 λελάληκα 語った G2980 τῷ その G3588 κόσμῳ; 世に G2889 ἐγὼ わたしは G1473

πάντοτε いつも G3842 ἐδίδαξα 教えた G1321 ἐν で G1722 συναγωγῇ 会堂と G4864 καὶ そして G2532 ἐν で G1722 τῷ その G3588 ἱερῷ, 宮で G2411 ὅπου そこで G3699 πάντες すべての G3956 οἱ の G3588

Ἰουδαῖοι ユダヤ人たちが G2453 συνέρχονται, 集まる-所で G4905 καὶ そして G2532 ἐν で G1722 κρυπτῷ 隠れた-所では G2927 ἐλάλησα 語った G2980 οὐδέν. 何も-ない G3762

イエスは答えられた、「わたしはこの世に対して公然と語ってきた。すべてのユダヤ人が集まる会堂や宮で、いつも教えていた。何事も隠れて語ったことはない。

21 τί なぜ G5101 με わたしに G1473 ἐρωτᾷς? 尋ねるのか G2065 ἐρώτησον 尋ねよ G2065 τοὺς その G3588 ἀκηκοότας 聞いた-者たちに G0191 τί 何を G5101 ἐλάλησα 語ったか G2980 αὐτοῖς; 彼らに G0846

ἴδε, 見よ G3708 οὗτοι この-人たちは G3778 οἴδασιν 知っている G1492 ἃ ことを G3739 εἶπον 言った G3004 ἐγώ. わたしが G1473

なぜ、わたしに尋ねるのか。わたしが彼らに語ったことは、それを聞いた人々に尋ねるがよい。わたしの言ったことは、彼らが知っているのだから」。

22 ταῦτα これらの-ことを G3778 δὲ しかし G1161 αὐτοῦ 彼が G0846 εἰπόντος, 言ったとき G3004 εἷς 一人の G1520 παρεστηκὼς そばに-立っていた G3936 τῶν の G3588 ὑπηρετῶν 下役たちの G5257

ἔδωκεν 打った G1325 ῥάπισμα 平手で G4475 τῷ その G3588 Ἰησοῦ, イエスを G2424 εἰπών, 言って G3004 Οὕτως そのように G3779 ἀποκρίνῃ 答えるのか G0611 τῷ その G3588 ἀρχιερεῖ? 大祭司に G0749

イエスがこう言われると、そこに立っていた下役のひとりが、「大祭司にむかって、そのような答をするのか」と言って、平手でイエスを打った。

23 ἀπεκρίθη 答えた G0611 αὐτῷ 彼に G0846 Ἰησοῦς, イエスは G2424 Εἰ もし G1487 κακῶς 悪く G2560 ἐλάλησα, 語ったなら G2980 μαρτύρησον 証言せよ G3140 περὶ について G4012 τοῦ その G3588

κακοῦ; 悪いことを G2556 εἰ もし G1487 δὲ しかし G1161 καλῶς, 正しく G2573 τί なぜ G5101 με わたしを G1473 δέρεις? 打つのか G1194

イエスは答えられた、「もしわたしが何か悪いことを言ったのなら、その悪い理由を言いなさい。しかし、正しいことを言ったのなら、なぜわたしを打つのか」。

24 ἀπέστειλεν 送った G0649 οὖν そこで G3767 αὐτὸν 彼を G0846 ὁ その G3588 Ἅννας, アンナスは G0452 δεδεμένον, 縛ったまま G1210 πρὸς へ G4314 Καϊάφαν カヤパの-もとへ G2533 τὸν その G3588 ἀρχιερέα. 大祭司の G0749

それからアンナスは、イエスを縛ったまま大祭司カヤパのところへ送った。

25 Ἦν いた G1510 δὲ さて G1161 Σίμων シモン G4613 Πέτρος ペテロは G4074 ἑστὼς 立って G2476 καὶ そして G2532 θερμαινόμενος. 暖まっていた G2328 εἶπον 言った G3004 οὖν そこで G3767 αὐτῷ, 彼に G0846 Μὴ まさか G3361 καὶ また G2532 σὺ あなたも G4771 ἐκ の G1537 τῶν その G3588 μαθητῶν 弟子たちの G3101 αὐτοῦ 彼の G0846 εἶ? ではないか G1510 ἠρνήσατο 否定した G0720 ἐκεῖνος, 彼は G1565 καὶ そして G2532 εἶπεν, 言った G3004 Οὐκ 違う G3756 εἰμί. そうではない G1510

シモン・ペテロは、立って火にあたっていた。すると人々が彼に言った、「あなたも、あの人の弟子のひとりではないか」。彼はそれをうち消して、「いや、そうではない」と言った。

26 λέγει 言う G3004 εἷς 一人の G1520 ἐκ の G1537 τῶν その G3588 δούλων 僕たちの G1401 τοῦ の G3588 ἀρχιερέως, 大祭司の G0749 συγγενὴς 親戚で G4773 ὢν あった G1510 οὗ その G3739 ἀπέκοψεν 切り-落とした G0609 Πέτρος ペテロが G4074 τὸ その G3588 ὠτίον, 耳を G5621 Οὐκ わたしは G3756 ἐγώ 確かに G1473 σε あなたを G4771 εἶδον 見たではないか G1492 ἐν で G1722 τῷ その G3588 κήπῳ 園で G2779 μετ' 共に G3326 αὐτοῦ? 彼と G0846

大祭司の僕のひとりで、ペテロに耳を切りおとされた人の親族の者が言った、「あなたが園であの人と一緒にいるのを、わたしは見たではないか」。

27 πάλιν 再び G3825 οὖν そこで G3767 ἠρνήσατο 否定した G0720 Πέτρος, ペテロは G4074 καὶ すると G2532 εὐθέως すぐに G2112 ἀλέκτωρ 鶏が G0220 ἐφώνησεν. 鳴いた G5455

ペテロはまたそれを打ち消した。するとすぐに、鶏が鳴いた。

28 Ἄγουσιν 連れて-行く G0071 οὖν そこで G3767 τὸν その G3588 Ἰησοῦν イエスを G2424 ἀπὸ から G0575 τοῦ の G3588 Καϊάφα カヤパの-もとから G2533 εἰς へ G1519 τὸ その G3588 πραιτώριον. 総督官邸へ G4232 ἦν であった G1510 δὲ さて G1161 πρωΐ. 朝であった G4404 καὶ しかし G2532 αὐτοὶ 彼ら-自身は G0846 οὐκ なかった G3756 εἰσῆλθον 入ら G1525 εἰς へ G1519 τὸ その G3588 πραιτώριον, 総督官邸に G4232 ἵνα ために G2443 μὴ ない G3361 μιανθῶσιν, 汚れないように G3392 ἀλλὰ むしろ G0235 φάγωσιν 食べるため G5315 τὸ その G3588 πάσχα. 過越の-食事を G3957

それから人々は、イエスをカヤパのところから官邸につれて行った。時は夜明けであった。彼らは、けがれを受けないで過越の食事ができるように、官邸にはいらなかった。

29 ἐξῆλθεν 出て–来た G1831 οὖν そこで G3767 ὁ その G3588 Πιλᾶτος ピラトは G4091 ἔξω 外へ G1854 πρὸς に G4314 αὐτοὺς, 彼らの–もとへ G0846 καὶ そして G2532 φησίν, 言う G5346 Τίνα どんな G5101

κατηγορίαν 訴えを G2724 φέρετε 持って–来るのか G5342 ‹κατὰ› に–対して G2596 τοῦ の G3588 ἀνθρώπου 人の G0444 τούτου? この G3778

そこで、ピラトは彼らのところに出てきて言った、「あなたがたは、この人に対してどんな訴えを起すのか」。

30 ἀπεκρίθησαν 答えて G0611 καὶ そして G2532 εἶπαν 言った G3004 αὐτῷ, 彼に G0846 Εἰ もし G1487 μὴ ない G3361 ἦν であった G1510 οὗτος この–者が G3778 κακὸν, 悪を G2556 ποιῶν 行う–者で G4160

οὐκ なかった G3756 ἄν であろう G0302 σοι あなたに G4771 παρεδώκαμεν 引き渡さ G3860 αὐτόν. 彼を G0846

彼らはピラトに答えて言った、「もしこの人が悪事をはたらかなかったなら、あなたに引き渡すようなことはしなかったでしょう」。

31 εἶπεν 言った G3004 οὖν そこで G3767 αὐτοῖς 彼らに G0846 ὁ その G3588 Πιλᾶτος, ピラトは G4091 Λάβετε 連れて–行き G2983 αὐτὸν 彼を G0846 ὑμεῖς, あなたがたが G4771 καὶ そして G2532 κατὰ に–従って G2596

τὸν その G3588 νόμον 律法に G3551 ὑμῶν, あなたがたの G4771 κρίνατε 裁け G2919 αὐτόν. 彼を G0846 εἶπον 言った G3004 αὐτῷ 彼に G0846 οἱ その G3588 Ἰουδαῖοι, ユダヤ人たちは G2453

Ἡμῖν わたしたちには G1473 οὐκ ない G3756 ἔξεστιν 許されていない G1832 ἀποκτεῖναι 殺すことは G0615 οὐδένα; 誰も G3762

そこでピラトは彼らに言った、「あなたがたは彼を引き取って、自分たちの律法でさばくがよい」。ユダヤ人らは彼に言った、「わたしたちには、人を死刑にする権限がありません」。

32 ἵνα こうして G2443 ὁ その G3588 λόγος 言葉が G3056 τοῦ の G3588 Ἰησοῦ イエスの G2424 πληρωθῇ, 成就する G4137 ὃν その G3739 εἶπεν, 言った G3004 σημαίνων 示して G4591 ποίῳ どのような G4169

θανάτῳ 死で G2288 ἤμελλεν ようとしていた G3195 ἀποθνήσκειν. 死のうとして G0599

これは、ご自身がどんな死にかたをしようとしているかを示すために言われたイエスの言葉が、成就するためである。

33 Εἰσῆλθεν 入った G1525 οὖν そこで G3767 πάλιν 再び G3825 εἰς へ G1519 τὸ その G3588 πραιτώριον 総督官邸に G4232 ὁ その G3588 Πιλᾶτος, ピラトは G4091 καὶ そして G2532 ἐφώνησεν 呼んだ G5455

τὸν その G3588 Ἰησοῦν, イエスを G2424 καὶ そして G2532 εἶπεν 言った G3004 αὐτῷ, 彼に G0846 Σὺ あなたが G4771 εἶ であるのか G1510 ὁ その G3588 Βασιλεὺς 王 G0935 τῶν の G3588

Ἰουδαίων? ユダヤ人たちの G2453

さて、ピラトはまた官邸にはいり、イエスを呼び出して言った、「あなたは、ユダヤ人の王であるか」。

34 ἀπεκρίθη Ἰησοῦς, Ἀπὸ σεαυτοῦ σὺ τοῦτο λέγεις, ἢ ἄλλοι
答えた イエスは から あなた–自身から あなたは これを 言うのか それとも 他の–人が
G0611 G2424 G0575 G4572 G4771 G3778 G3004 G2228 G0243

εἶπόν σοι περὶ ἐμοῦ?
あなたに–言ったのか あなたに について わたしの–ことを
G3004 G4771 G4012 G1473

イエスは答えられた、「あなたがそう言うのは、自分の考えからか。それともほかの人々が、わたしのことをあなたにそう言ったのか」。

35 ἀπεκρίθη ὁ Πιλᾶτος, Μήτι ἐγὼ Ἰουδαῖός εἰμι? τὸ ἔθνος τὸ
答えた その ピラトは まさか わたしが ユダヤ人 であろうか その 民族が その
G0611 G3588 G4091 G3385 G1473 G2453 G1510 G3588 G1484 G3588

σὸν, καὶ οἱ ἀρχιερεῖς, παρέδωκάν σε ἐμοί. τί ἐποίησας?
あなたの そして その 祭司長たちが 引き渡した あなたを わたしに 何を したのか
G4674 G2532 G3588 G0749 G3860 G4771 G1473 G5101 G4160

ピラトは答えた、「わたしはユダヤ人なのか。あなたの同族や祭司長たちが、あなたをわたしに引き渡したのだ。あなたは、いったい、何をしたのか」。

36 ἀπεκρίθη Ἰησοῦς, Ἡ βασιλεία ἡ ἐμὴ, οὐκ ἔστιν ἐκ τοῦ
答えた イエスは わたしの 王国は その わたしの ではない のもの の この
G0611 G2424 G3588 G0932 G3588 G1699 G3756 G1510 G1537 G3588

κόσμου τούτου; εἰ ἐκ τοῦ κόσμου τούτου, ἦν ἡ βασιλεία ἡ
世の この もし の この 世の ものなら であったなら その 王国が その
G2889 G3778 G1487 G1537 G3588 G2889 G3778 G1510 G3588 G0932 G3588

ἐμή, οἱ ὑπηρέται ἂν «οἱ ἐμοὶ ἠγωνίζοντο» ἵνα μὴ
わたしの その 家来たちが であろう その わたしの 戦ったであろう ために ない
G1699 G3588 G5257 G0302 G3588 G1699 G0075 G2443 G3361

παραδοθῶ τοῖς Ἰουδαίοις. νῦν δὲ ἡ βασιλεία ἡ
引き渡されないように その ユダヤ人たちに しかし–今 しかし わたしの 王国は その
G3860 G3588 G2453 G3568 G1161 G3588 G0932 G3588

ἐμὴ οὐκ ἔστιν ἐντεῦθεν.
わたしの ではない のもの ここからの
G1699 G3756 G1510 G1782

イエスは答えられた、「わたしの国はこの世のものではない。もしわたしの国がこの世のものであれば、わたしに従っている者たちは、わたしをユダヤ人に渡さないように戦ったであろう。しかし事実、わたしの国はこの世のものではない」。

37 εἶπεν 言った G3004 οὖν そこで G3767 αὐτῷ 彼に G0846 ὁ その G3588 Πιλᾶτος, ピラトは G4091 Οὐκοῦν それでは G3766 βασιλεὺς 王 G0935 εἶ であるのか G1510 σύ? あなたは G4771 ἀπεκρίθη 答えた G0611
ὁ その G3588 Ἰησοῦς, イエスは G2424 Σὺ あなたが G4771 λέγεις 言う G3004 ὅτι と G3754 βασιλεύς 王 G0935 εἰμι である-と G1510 ἐγὼ. わたしが G1473 εἰς ために G1519 τοῦτο この-ことの G3778
γεγέννημαι, 生まれた G1080 καὶ そして G2532 εἰς ために G1519 τοῦτο この-ことの G3778 ἐλήλυθα 来た G2064 εἰς へ G1519 τὸν この G3588 κόσμον, 世に G2889 ἵνα ために G2443
μαρτυρήσω 証しするために G3140 τῇ その G3588 ἀληθείᾳ. 真理に G0225 πᾶς すべての G3956 ὁ その G3588 ὢν ある G1510 ἐκ の G1537 τῆς その G3588 ἀληθείας, 真理から-出た-者は G0225 ἀκούει 聞く G0191
μου わたしの G1473 τῆς その G3588 φωνῆς. 声を G5456

そこでピラトはイエスに言った、「それでは、あなたは王なのだな」。イエスは答えられた、「あなたの言うとおり、わたしは王である。わたしは真理についてあかしをするために生れ、また、そのためにこの世にきたのである。だれでも真理につく者は、わたしの声に耳を傾ける」。

38 λέγει 言う G3004 αὐτῷ 彼に G0846 ὁ その G3588 Πιλᾶτος, ピラトは G4091 Τί 何が G5101 ἐστιν であるか G1510 ἀλήθεια? 真理とは G0225 Καὶ そして G2532 τοῦτο これを G3778 εἰπὼν, 言って G3004 πάλιν 再び G3825
ἐξῆλθεν 出て-行った G1831 πρὸς に G4314 τοὺς その G3588 Ἰουδαίους, ユダヤ人たちの-もとへ G2453 καὶ そして G2532 λέγει 言う G3004 αὐτοῖς, 彼らに G0846 Ἐγὼ わたしは G1473 οὐδεμίαν 何の G3762
εὑρίσκω 見つけない G2147 ἐν に G1722 αὐτῷ 彼に G0846 αἰτίαν. 罪も G0156

ピラトはイエスに言った、「真理とは何か」。こう言って、彼はまたユダヤ人の所に出て行き、彼らに言った、「わたしには、この人になんの罪も見いだせない。

39 ἔστιν ある G1510 δὲ しかし G1161 συνήθεια 慣習が G4914 ὑμῖν, あなたがたには G4771 ἵνα ために G2443 ἕνα 一人を G1520 ἀπολύσω 釈放する G0630 ὑμῖν, あなたがたに G4771 ἐν で G1722
τῷ その G3588 πάσχα; 過越の-祭りに G3957 βούλεσθε 望むのか G1014 οὖν それゆえ G3767 ἀπολύσω 釈放しようか G0630 ὑμῖν あなたがたに G4771 τὸν その G3588 Βασιλέα 王を G0935 τῶν の G3588
Ἰουδαίων? ユダヤ人たちの G2453

過越の時には、わたしがあなたがたのために、ひとりの人を許してやるのが、あなたがたのしきたりになっている。ついては、あなたがたは、このユダヤ人の王を許してもらいたいのか」。

40 ἐκραύγασαν 叫んだ G2905 οὖν そこで G3767 πάλιν 再び G3825 λέγοντες, 言って G3004 Μὴ この-者では-なく G3361 τοῦτον, この-者ではなく G3778 ἀλλὰ むしろ G0235 τὸν その G3588
Βαραββᾶν! バラバを G0912 ἦν であった G1510 δὲ しかし G1161 ὁ その G3588 Βαραββᾶς バラバは G0912 λῃστής. 強盗で G3027

すると彼らは、また叫んで「その人ではなく、バラバを」と言った。このバラバは強盗であった。

Chapter 19

1 Τότε οὖν ἔλαβεν ὁ Πιλᾶτος τὸν Ἰησοῦν, καὶ ἐμαστίγωσεν.
そのとき そこで 取った その ピラトは その イエスを そして むち打った
G5119 G3767 G2983 G3588 G4091 G3588 G2424 G2532 G3146

2 καὶ οἱ στρατιῶται, πλέξαντες στέφανον ἐξ ἀκανθῶν, ἐπέθηκαν αὐτοῦ
そして その 兵士たちは 編んで 冠を から いばらの かぶせた 彼の
G2532 G3588 G4757 G4120 G4735 G1537 G0173 G2007 G0846

τῇ κεφαλῇ, καὶ ἱμάτιον πορφυροῦν περιέβαλον αὐτόν,
その 頭に そして 衣を 紫の 着せた 彼に
G3588 G2776 G2532 G2440 G4210 G4016 G0846

3 καὶ ἤρχοντο πρὸς αὐτὸν καὶ ἔλεγον, Χαῖρε, ὁ Βασιλεὺς τῶν
そして 来ては に 彼の-もとに そして 言った 万歳 その 王よ の
G2532 G2064 G4314 G0846 G2532 G3004 G5463 G3588 G0935 G3588

Ἰουδαίων! καὶ ἐδίδοσαν αὐτῷ ῥαπίσματα.
ユダヤ人たちの そして 加えた 彼に 平手打ちを
G2453 G2532 G1325 G0846 G4475

4 Καὶ ἐξῆλθεν πάλιν ἔξω ὁ Πιλᾶτος, καὶ λέγει αὐτοῖς, Ἴδε, ἄγω
そして 出て-来た 再び 外へ その ピラトは そして 言う 彼らに 見よ 連れて-来る
G2532 G1831 G3825 G1854 G3588 G4091 G2532 G3004 G0846 G3708 G0071

ὑμῖν αὐτὸν ἔξω, ἵνα γνῶτε ὅτι οὐδεμίαν αἰτίαν εὑρίσκω ἐν
あなたがたに 彼を 外に ために 知るように と 何の 罪も 見つけない に
G4771 G0846 G1854 G2443 G1097 G3754 G3762 G0156 G2147 G1722

αὐτῷ.
彼に
G0846

5 ἐξῆλθεν οὖν ὁ Ἰησοῦς ἔξω, φορῶν τὸν ἀκάνθινον στέφανον καὶ
出て-来た そこで その イエスは 外に 身に-つけて その いばらの 冠と そして
G1831 G3767 G3588 G2424 G1854 G5409 G3588 G0174 G4735 G2532

τὸ πορφυροῦν ἱμάτιον; καὶ λέγει αὐτοῖς, Ἰδοὺ ὁ ἄνθρωπος!
その 紫の 衣を そして 言う 彼らに 見よ その 人を
G3588 G4210 G2440 G2532 G3004 G0846 G3708 G3588 G0444

6 ὅτε οὖν εἶδον αὐτὸν οἱ ἀρχιερεῖς, καὶ οἱ ὑπηρέται, ἐκραύγασαν
とき そこで 見た 彼を その 祭司長たちと そして その 下役たちは 叫んだ
G3753 G3767 G3708 G0846 G3588 G0749 G2532 G3588 G5257 G2905

λέγοντες, Σταύρωσον! σταύρωσον! λέγει αὐτοῖς ὁ Πιλᾶτος, Λάβετε αὐτὸν
言って 十字架に-つけよ 十字架に-つけよ 言う 彼らに その ピラトは 連れて-行き 彼を
G3004 G4717 G4717 G3004 G0846 G3588 G4091 G2983 G0846

ὑμεῖς καὶ σταυρώσατε; ἐγὼ γὰρ οὐχ εὑρίσκω ἐν αὐτῷ αἰτίαν.
あなたがたが そして 十字架に-つけよ わたしは なぜなら ない 見つけ に 彼に 罪を
G4771 G2532 G4717 G1473 G1063 G3756 G2147 G1722 G0846 G0156

7 ἀπεκρίθησαν 答えた G0611 αὐτῷ 彼に G0846 οἱ その G3588 Ἰουδαῖοι, ユダヤ人たちは G2453 Ἡμεῖς わたしたちには G1473 νόμον 律法が G3551 ἔχομεν, ある G2192 καὶ そして G2532
κατὰ に–従えば G2596 τὸν その G3588 νόμον, 律法に G3551 ὀφείλει 当然 G3784 ἀποθανεῖν, 死ぬべきである G0599 ὅτι なぜなら G3754 Υἱὸν 子と G5207 Θεοῦ 神の G2316 ἑαυτὸν 自分–自身を G1438
ἐποίησεν. 称したから G4160

8 Ὅτε とき G3753 οὖν そこで G3767 ἤκουσεν 聞いた G0191 ὁ その G3588 Πιλᾶτος ピラトは G4091 τοῦτον この G3778 τὸν その G3588 λόγον, 言葉を G3056 μᾶλλον ますます G3123 ἐφοβήθη. 恐れた G5399

9 καὶ そして G2532 εἰσῆλθεν 入った G1525 εἰς へ G1519 τὸ その G3588 πραιτώριον 総督官邸に G4232 πάλιν, 再び G3825 καὶ そして G2532 λέγει 言う G3004 τῷ その G3588 Ἰησοῦ, イエスに G2424 Πόθεν どこから G4159
εἶ であるのか G1510 σύ? あなたは G4771 ὁ しかし G3588 δὲ その G1161 Ἰησοῦς イエスは G2424 ἀπόκρισιν 答えを G0612 οὐκ ない G3756 ἔδωκεν 与え G1325 αὐτῷ. 彼に G0846

10 λέγει 言う G3004 οὖν そこで G3767 αὐτῷ 彼に G0846 ὁ その G3588 Πιλᾶτος, ピラトは G4091 Ἐμοὶ わたしに G1473 οὐ ない G3756 λαλεῖς? 話さないのか G2980 οὐκ ない G3756 οἶδας 知らないのか G1492
ὅτι と G3754 ἐξουσίαν 権威を G1849 ἔχω 持っている G2192 ἀπολῦσαί 釈放する G0630 σε, あなたを G4771 καὶ また G2532 ἐξουσίαν 権威を G1849 ἔχω 持っている G2192 σταυρῶσαί 十字架に–つける G4717
σε? あなたを G4771

11 ἀπεκρίθη 答えた G0611 ‹αὐτῷ› 彼に G0846 Ἰησοῦς, イエスは G2424 Οὐκ なかった G3756 εἶχες 持って–いなかった G2192 ἐξουσίαν 権威を G1849 κατ’ に–対する G2596 ἐμοῦ わたしに G1473
οὐδεμίαν, 何の–権威も G3762 εἰ もし G1487 μὴ ない G3361 ἦν であった G1510 δεδομένον 与えられて–いなければ G1325 σοι あなたに G4771 ἄνωθεν. 上から G0509 διὰ それゆえ G1223
τοῦτο, この–ことの G3778 ὁ その G3588 παραδούς 引き渡した–者は G3860 μέ わたしを G1473 σοι, あなたに G4771 μείζονα より–大きな G3173 ἁμαρτίαν 罪を G0266 ἔχει. 持っている G2192

12 ἐκ から G1537 τούτου この–ことの G3778 ὁ その G3588 Πιλᾶτος ピラトは G4091 ἐζήτει 求めていた G2212 ἀπολῦσαι 釈放しようと G0630 αὐτόν; 彼を G0846 οἱ しかし G3588 δὲ その G1161

Ἰουδαῖοι ユダヤ人たちは G2453 ἐκραύγασαν, 叫んだ G2905 λέγοντες, 言って G3004 Ἐὰν もし G1437 τοῦτον この–者を G3778 ἀπολύσῃς, 釈放するなら G0630 οὐκ ではない G3756 εἶ である G1510 φίλος 友 G5384

τοῦ の G3588 Καίσαρος. カイサルの G2541 πᾶς すべての G3956 ὁ その G3588 βασιλέα 王と G0935 ἑαυτὸν 自分–自身を G1438 ποιῶν, 称する–者は G4160 ἀντιλέγει 逆らう G0483 τῷ その G3588

Καίσαρι. カイサルに G2541

13 Ὁ その G3588 οὖν そこで G3767 Πιλᾶτος, ピラトは G4091 ἀκούσας 聞いて G0191 τῶν の G3588 λόγων 言葉を G3056 τούτων, これらの G3778 ἤγαγεν 連れ–出した G0071 ἔξω 外に G1854 τὸν その G3588

Ἰησοῦν, イエスを G2424 καὶ そして G2532 ἐκάθισεν 座った G2523 ἐπὶ の–上に G1909 βήματος, 裁判の–席に G0968 εἰς の G1519 τόπον 場所で G5117 λεγόμενον 呼ばれる G3004 Λιθόστρωτον; 敷石 G3038

Ἑβραϊστὶ, ヘブライ語で G1447 δὲ, しかし G1161 Γαββαθα: ガバタ G1042

14 ἦν であった G1510 δὲ さて G1161 Παρασκευὴ 備え–の–日 G3904 τοῦ の G3588 πάσχα; 過越の G3957 ὥρα 時は G5610 ἦν であった G1510 ὡς およそ G5613 ἕκτη. 第六時 G1623 καὶ そして G2532 λέγει 言う G3004

τοῖς その G3588 Ἰουδαίοις, ユダヤ人たちに G2453 Ἴδε 見よ G3708 ὁ その G3588 Βασιλεὺς 王を G0935 ὑμῶν! あなたがたの G4771

15 ἐκραύγασαν, 叫んだ G2905 οὖν そこで G3767 ἐκεῖνοι あの–者たちは G1565 Ἆρον, 除け G0142 ἆρον! 除け G0142 σταύρωσον 十字架に–つけよ G4717 αὐτόν! 彼を G0846 λέγει 言う G3004 αὐτοῖς 彼らに G0846

ὁ その G3588 Πιλᾶτος, ピラトは G4091 Τὸν その G3588 Βασιλέα 王を G0935 ὑμῶν あなたがたの G4771 σταυρώσω? 十字架に–つけようか G4717 ἀπεκρίθησαν 答えた G0611 οἱ その G3588

ἀρχιερεῖς, 祭司長たちは G0749 Οὐκ ない G3756 ἔχομεν 持って–いない G2192 βασιλέα, 王を G0935 εἰ 以外に G1487 μὴ ない G3361 Καίσαρα. カイサルの–ほかに G2541

16 τότε そのとき G5119 οὖν そこで G3767 παρέδωκεν 引き渡した G3860 αὐτὸν 彼を G0846 αὐτοῖς, 彼らに G0846 ἵνα ために G2443 σταυρωθῇ. 十字架に–つけられるように G4717 Παρέλαβον 引き取った G3880

οὖν そこで G3767 τὸν その G3588 Ἰησοῦν. イエスを G2424

17 καὶ そして G2532 βαστάζων 背負って G0941 ἑαυτῷ 自ら G1438 τὸν その G3588 σταυρὸν, 十字架を G4716 ἐξῆλθεν 出て-行った G1831 εἰς へ G1519 τὸν その G3588 λεγόμενον 呼ばれる G3004
Κρανίου, されこうべの G2898 τόπον, 場所へ G5117 ὃ それは G3739 λέγεται, 呼ばれる G3004 Ἑβραϊστὶ, ヘブライ語で G1447 Γολγοθᾶ; ゴルゴタ G1115

18 ὅπου そこで G3699 αὐτὸν 彼を G0846 ἐσταύρωσαν, 十字架に-つけた G4717 καὶ そして G2532 μετ’ 共に G3326 αὐτοῦ 彼と G0846 ἄλλους 他の G0243 δύο, 二人を G1417 ἐντεῦθεν こちら-側と G1782 καὶ そして G2532
ἐντεῦθεν, あちら-側に G1782 μέσον 真ん中に G3319 δὲ しかし G1161 τὸν その G3588 Ἰησοῦν. イエスを G2424

19 ἔγραψεν 書いた G1125 δὲ また G1161 καὶ そして G2532 τίτλον 罪状書きを G5102 ὁ その G3588 Πιλᾶτος, ピラトは G4091 καὶ そして G2532 ἔθηκεν 置いた G5087 ἐπὶ の-上に G1909 τοῦ その G3588
σταυροῦ. 十字架の G4716 ἦν であった G1510 δὲ さて G1161 γεγραμμένον, 書かれていた G1125 ΙΗΣΟΥΣ イエス G2424 ὁ その G3588 ΝΑΖΩΡΑΙΟΣ, ナザレ人 G3480 ὁ その G3588 ΒΑΣΙΛΕΥΣ 王 G0935
ΤΩΝ の G3588 ΙΟΥΔΑΙΩΝ. ユダヤ人たちの G2453

20 τοῦτον この G3778 οὖν そこで G3767 τὸν その G3588 τίτλον 罪状書きを G5102 πολλοὶ 多くの G4183 ἀνέγνωσαν 読んだ G0314 τῶν の G3588 Ἰουδαίων, ユダヤ人たちの G2453 ὅτι なぜなら G3754
ἐγγὺς 近かった G1451 ἦν であった G1510 ὁ その G3588 τόπος, 場所は G5117 τῆς その G3588 πόλεως, 町に G4172 ὅπου そこで G3699 ἐσταυρώθη 十字架に-つけられた G4717 ὁ その G3588 Ἰησοῦς; イエスが G2424
καὶ そして G2532 ἦν であった G1510 γεγραμμένον 書かれていた G1125 Ἑβραϊστί, ヘブライ語と G1447 Ῥωμαϊστί, ラテン語と G4515 Ἑλληνιστί. ギリシア語で G1676

21 ἔλεγον 言った G3004 οὖν そこで G3767 τῷ その G3588 Πιλάτῳ ピラトに G4091 οἱ その G3588 ἀρχιερεῖς 祭司長たちは G0749 τῶν の G3588 Ἰουδαίων, ユダヤ人たちの G2453 Μὴ ない G3361 γράφε, 書くな G1125
Ὁ その G3588 Βασιλεὺς 王 G0935 τῶν の G3588 Ἰουδαίων, ユダヤ人たちの-と G2453 ἀλλ’ むしろ G0235 ὅτι と G3754 ἐκεῖνος あの-者が G1565 εἶπεν, 言った G3004 Βασιλεύς 王 G0935
εἰμι. である-と G1510 «τῶν の G3588 Ἰουδαίων» ユダヤ人たちの G2453

22 ἀπεκρίθη 答えた G0611 ὁ その G3588 Πιλᾶτος, ピラトは G4091 Ὃ わたしが G3739 γέγραφα, 書いたことは G1125 γέγραφα. 書いたことだ G1125

23 Οἱ οὖν στρατιῶται, ὅτε ἐσταύρωσαν τὸν Ἰησοῦν, ἔλαβον τὰ ἱμάτια
その そこで 兵士たちは とき 十字架に–つけた その イエスを 取った その 衣を
G3588 G3767 G4757 G3753 G4717 G3588 G2424 G2983 G3588 G2440

αὐτοῦ, καὶ ἐποίησαν τέσσαρα μέρη, ἑκάστῳ στρατιώτῃ μέρος, καὶ τὸν
彼の そして 分けた 四つの 部分に それぞれの 兵士に 一つ–ずつ そして その
G0846 G2532 G4160 G5064 G3313 G1538 G4757 G3313 G2532 G3588

χιτῶνα. ἦν δὲ ὁ χιτὼν ἄραφος, ἐκ τῶν ἄνωθεν ὑφαντὸς
下着を であった さて その 下着は 縫い目–なしで から の 上から 織られた
G5509 G1510 G1161 G3588 G5509 G0729 G1537 G3588 G0509 G5307

δι’ ὅλου.
を–通して 全体
G1223 G3650

24 εἶπαν οὖν πρὸς ἀλλήλους, Μὴ σχίσωμεν αὐτόν, ἀλλὰ λάχωμεν περὶ
言った そこで に 互いに ない 裂かないで それを むしろ くじを–引こう について
G3004 G3767 G4314 G0240 G3361 G4977 G0846 G0235 G2975 G4012

αὐτοῦ, τίνος ἔσται; ἵνα ἡ γραφὴ πληρωθῇ, ‹ἡ λέγουσα›,
それの 誰の–ものに なるか こうして その 聖書が 成就する その 言う
G0846 G5101 G1510 G2443 G3588 G1124 G4137 G3588 G3004

Διεμερίσαντο τὰ ἱμάτιά μου ἑαυτοῖς, καὶ ἐπὶ τὸν ἱματισμόν
分け–合った その 衣を わたしの 自分たちの–ために そして の–上に その 着物の
G1266 G3588 G2440 G1473 G1438 G2532 G1909 G3588 G2441

μου ἔβαλον κλῆρον. Οἱ μὲν οὖν στρατιῶται ταῦτα ἐποίησαν.
わたしの 投げた くじを その 一方 そこで 兵士たちは これらの–ことを 行った
G1473 G0906 G2819 G3588 G3303 G3767 G4757 G3778 G4160

25 εἱστήκεισαν δὲ παρὰ τῷ σταυρῷ τοῦ Ἰησοῦ, ἡ μήτηρ αὐτοῦ, καὶ
立っていた さて のそばに その 十字架の の イエスの その 母と 彼の そして
G2476 G1161 G3844 G3588 G4716 G3588 G2424 G3588 G3384 G0846 G2532

ἡ ἀδελφὴ τῆς μητρὸς αὐτοῦ, Μαρία ἡ τοῦ Κλωπᾶ, καὶ Μαρία ἡ
その 姉妹と の 母の 彼の マリヤ その の クロパの そして マリヤ その
G3588 G0079 G3588 G3384 G0846 G3137 G3588 G3588 G2832 G2532 G3137 G3588

Μαγδαληνή.
マグダレネ
G3094

26 Ἰησοῦς οὖν, ἰδὼν τὴν μητέρα, καὶ τὸν μαθητὴν παρεστῶτα, ὃν
イエスは そこで 見て その 母を そして その 弟子を そばに–立っている その
G2424 G3767 G3708 G3588 G3384 G2532 G3588 G3101 G3936 G3739

ἠγάπα, λέγει τῇ μητρί, Γύναι, ἴδε, ὁ υἱός σου.
愛していた 言う その 母に 婦人よ 見よ その 息子を あなたの
G0025 G3004 G3588 G3384 G1135 G3708 G3588 G5207 G4771

27 εἶτα λέγει τῷ μαθητῇ, Ἴδε ἡ μήτηρ σου. καὶ ἀπ’ ἐκείνης
それから 言う その 弟子に 見よ その 母を あなたの そして から あの
G1534 G3004 G3588 G3101 G3708 G3588 G3384 G4771 G2532 G0575 G1565

τῆς ὥρας ἔλαβεν ὁ μαθητὴς αὐτὴν, εἰς τὰ ἴδια.
その 時から 引き取った その 弟子は 彼女を へ その 自分の–家に
G3588 G5610 G2983 G3588 G3101 G0846 G1519 G3588 G2398

28 Μετὰ τοῦτο, εἰδὼς ὁ Ἰησοῦς ὅτι ἤδη πάντα τετέλεσται, ἵνα
後に この-ことの 知って その イエスは と すでに すべてが 成し遂げられた ために
G3326 G3778 G1492 G3588 G2424 G3754 G2235 G3956 G5055 G2443

τελειωθῇ ἡ γραφὴ, λέγει, Διψῶ.
完成するために その 聖書が 言う 渇く
G5048 G3588 G1124 G3004 G1372

29 σκεῦος ἔκειτο. ὄξους μεστόν; σπόγγον οὖν μεστὸν τοῦ ὄξους, ὑσσώπῳ
器が 置いてあった 酢の 満ちた 海綿を そこで 満たした の 酢で ヒソプに
G4632 G2749 G3690 G3324 G4699 G3767 G3324 G3588 G3690 G5301

περιθέντες, προσήνεγκαν αὐτοῦ τῷ στόματι.
つけて 差し-出した 彼の その 口に
G4060 G4374 G0846 G3588 G4750

30 ὅτε οὖν ἔλαβεν τὸ ὄξος ὁ Ἰησοῦς, εἶπεν, Τετέλεσται; καὶ κλίνας
とき そこで 受けた その 酢を その イエスは 言った 成し遂げられた そして 傾けて
G3753 G3767 G2983 G3588 G3690 G3588 G2424 G3004 G5055 G2532 G2827

τὴν κεφαλὴν, παρέδωκεν τὸ πνεῦμα.
その 頭を 渡した その 霊を
G3588 G2776 G3860 G3588 G4151

31 Οἱ οὖν Ἰουδαῖοι, ἐπεὶ Παρασκευὴ ἦν, ἵνα μὴ μείνῃ
その そこで ユダヤ人たちは ので 備え-の-日 であった ために ない 残らないように
G3588 G3767 G2453 G1893 G3904 G1510 G2443 G3361 G3306

ἐπὶ τοῦ σταυροῦ τὰ σώματα ἐν τῷ σαββάτῳ-- ἦν γὰρ
の-上に その 十字架の その 体が に その 安息日に であった なぜなら
G1909 G3588 G4716 G3588 G4983 G1722 G3588 G4521 G1510 G1063

μεγάλη ἡ ἡμέρα ἐκείνου τοῦ σαββάτου-- ἠρώτησαν τὸν Πιλᾶτον ἵνα
大いなる その 日は あの の 安息日の 願った その ピラトに ために
G3173 G3588 G2250 G1565 G3588 G4521 G2065 G3588 G4091 G2443

κατεαγῶσιν αὐτῶν τὰ σκέλη, καὶ ἀρθῶσιν.
折られるように 彼らの その 足を そして 取り除かれるように
G2608 G0846 G3588 G4628 G2532 G0142

32 ἦλθον οὖν οἱ στρατιῶται, καὶ τοῦ μὲν πρώτου κατέαξαν τὰ
来た そこで その 兵士たちは そして の 一方 最初の-者の 折った その
G2064 G3767 G3588 G4757 G2532 G3588 G3303 G4413 G2608 G3588

σκέλη, καὶ τοῦ ἄλλου τοῦ συσταυρωθέντος αὐτῷ;
足を そして の もう-一人の の 共に-十字架に-つけられた-者の 彼と
G4628 G2532 G3588 G0243 G3588 G4957 G0846

33 ἐπὶ δὲ τὸν Ἰησοῦν ἐλθόντες, ὡς εἶδον ἤδη αὐτὸν τεθνηκότα,
に しかし その イエスの-もとに 来て すると 見た すでに 彼が 死んでいるのを
G1909 G1161 G3588 G2424 G2064 G5613 G3708 G2235 G0846 G2348

οὐ κατέαξαν αὐτοῦ τὰ σκέλη.
なかった 折ら 彼の その 足を
G3756 G2608 G0846 G3588 G4628

34 ἀλλ’ εἷς τῶν στρατιωτῶν λόγχῃ αὐτοῦ τὴν πλευρὰν ἔνυξεν, καὶ
しかし 一人の の 兵士たちの 槍で 彼の その わき腹を 刺した すると
G0235 G1520 G3588 G4757 G3057 G0846 G3588 G4125 G3572 G2532

ἐξῆλθεν εὐθὺς αἷμα καὶ ὕδωρ.
出て–来た すぐに 血と そして 水が
G1831 G2112 G0129 G2532 G5204

35 καὶ ὁ ἑωρακὼς μεμαρτύρηκεν, καὶ ἀληθινὴ αὐτοῦ ἐστιν ἡ μαρτυρία,
そして その 見た–者が 証しした そして 真実で 彼の ある その 証しは
G2532 G3588 G3708 G3140 G2532 G0228 G0846 G1510 G3588 G3141

καὶ ἐκεῖνος οἶδεν ὅτι ἀληθῆ λέγει, ἵνα καὶ ὑμεῖς πιστεύητε.
そして 彼は 知っている と 真実を 言っている ために また あなたがたも 信じるように
G2532 G1565 G1492 G3754 G0227 G3004 G2443 G2532 G4771 G4100

36 ἐγένετο γὰρ ταῦτα ἵνα ἡ γραφὴ πληρωθῇ, Ὀστοῦν οὐ
起こった なぜなら これらの–ことは ために その 聖書が 成就するために 骨は ない
G1096 G1063 G3778 G2443 G3588 G1124 G4137 G3747 G3756

συντριβήσεται αὐτοῦ.
折られ 彼の
G4937 G0846

37 καὶ πάλιν ἑτέρα γραφὴ λέγει, Ὄψονται εἰς ὃν ἐξεκέντησαν.
そして また 別の 聖書は 言う 見るであろう を その 刺した–者を
G2532 G3825 G2087 G1124 G3004 G3708 G1519 G3739 G1574

38 Μετὰ δὲ ταῦτα, ἠρώτησεν τὸν Πιλᾶτον Ἰωσὴφ [ὁ] ἀπὸ
後に さて これらの–ことの 願った その ピラトに ヨセフが その から
G3326 G1161 G3778 G2065 G3588 G4091 G2501 G3588 G0575

Ἁριμαθαίας -- ὢν μαθητὴς τοῦ Ἰησοῦ, κεκρυμμένος δὲ διὰ τὸν
アリマタヤの であった 弟子で の イエスの 隠れた しかし のために その
G0707 G1510 G3101 G3588 G2424 G2928 G1161 G1223 G3588

φόβον τῶν Ἰουδαίων -- ἵνα ἄρῃ τὸ σῶμα τοῦ Ἰησοῦ: καὶ
恐れの の ユダヤ人たちの ために 取り降ろすように その 体を の イエスの そして
G5401 G3588 G2453 G2443 G0142 G3588 G4983 G3588 G2424 G2532

ἐπέτρεψεν ὁ Πιλᾶτος. ἦλθεν οὖν καὶ ἦρεν τὸ σῶμα αὐτοῦ.
許した その ピラトは 来た そこで そして 取り降ろした その 体を 彼の
G2010 G3588 G4091 G2064 G3767 G2532 G0142 G3588 G4983 G0846

39 ἦλθεν δὲ καὶ Νικόδημος, ὁ ἐλθὼν πρὸς αὐτὸν νυκτὸς τὸ
来た また そして ニコデモも その 来た に 彼の–もとに 夜に その
G2064 G1161 G2532 G3530 G3588 G2064 G4314 G0846 G3571 G3588

πρῶτον, φέρων μίγμα σμύρνης καὶ ἀλόης, ὡς λίτρας ἑκατόν.
最初に 持って–来た 混ぜ合わせたものを 没薬と そして 沈香の およそ リトラ 百の
G4413 G5342 G3395 G4666 G2532 G0250 G5613 G3046 G1540

40 ἔλαβον οὖν τὸ σῶμα τοῦ Ἰησοῦ, καὶ ἔδησαν αὐτὸ ὀθονίοις, μετὰ
取った そこで その 体を の イエスの そして 巻いた それを 亜麻布で と共に
G2983 G3767 G3588 G4983 G3588 G2424 G2532 G1210 G0846 G3608 G3326

τῶν ἀρωμάτων, καθὼς ἔθος ἐστὶν τοῖς Ἰουδαίοις ἐνταφιάζειν.
その 香料と ように 習慣で ある その ユダヤ人たちの 埋葬する
G3588 G0759 G2531 G1485 G1510 G3588 G2453 G1779

41 ἦν δὲ ἐν τῷ τόπῳ ὅπου ἐσταυρώθη κῆπος, καὶ ἐν τῷ
あった さて に その 場所に そこで 十字架に-つけられた 園が そして に その
G1510 G1161 G1722 G3588 G5117 G3699 G4717 G2779 G2532 G1722 G3588

κήπῳ μνημεῖον καινόν, ἐν ᾧ οὐδέπω οὐδεὶς ἦν τεθειμένος.
園に 墓が 新しい に それに まだ 誰も なかった 葬られて
G2779 G3419 G2537 G1722 G3739 G3764 G3762 G1510 G5087

42 ἐκεῖ οὖν, διὰ τὴν Παρασκευὴν τῶν Ἰουδαίων, ὅτι ἐγγὺς
そこに そこで のために その 備え-の-日の の ユダヤ人たちの なぜなら 近かった
G1563 G3767 G1223 G3588 G3904 G3588 G2453 G3754 G1451

ἦν τὸ μνημεῖον, ἔθηκαν τὸν Ἰησοῦν.
であった その 墓は 葬った その イエスを
G1510 G3588 G3419 G5087 G3588 G2424

Chapter 20

1 Τῇ δὲ μιᾷ τῶν σαββάτων, Μαρία ἡ Μαγδαληνὴ ἔρχεται πρωΐ,
その さて 第一の-日に の 週の マリヤ その マグダレネは 来る 朝早く
G3588 G1161 G1520 G3588 G4521 G3137 G3588 G3094 G2064 G4404

σκοτίας ἔτι οὔσης, εἰς τὸ μνημεῖον, καὶ βλέπει τὸν λίθον ἠρμένον
暗い-うちに まだ あった へ その 墓に そして 見る その 石が 取り除かれて
G4653 G2089 G1510 G1519 G3588 G3419 G2532 G0991 G3588 G3037 G0142

ἐκ τοῦ μνημείου.
から その 墓から
G1537 G3588 G3419

さて、一週の初めの日に、朝早くまだ暗いうちに、マグダラのマリヤが墓に行くと、墓から石がとりのけてあるのを見た。

2 τρέχει οὖν καὶ ἔρχεται πρὸς Σίμωνα Πέτρον, καὶ πρὸς τὸν ἄλλον
走る そこで そして 来る に シモン ペテロと そして に その もう-一人の
G5143 G3767 G2532 G2064 G4314 G4613 G4074 G2532 G4314 G3588 G0243

μαθητὴν ὃν ἐφίλει ὁ Ἰησοῦς, καὶ λέγει αὐτοῖς, Ἦραν τὸν
弟子の-もとへ その 愛していた その イエスが そして 言う 彼らに 取り去った その
G3101 G3739 G5368 G3588 G2424 G2532 G3004 G0846 G0142 G3588

Κύριον ἐκ τοῦ μνημείου, καὶ οὐκ οἴδαμεν ποῦ ἔθηκαν αὐτόν.
主を から その 墓から そして ない 分から どこに 置いたのか 彼を
G2962 G1537 G3588 G3419 G2532 G3756 G1492 G4226 G5087 G0846

そこで走って、シモン・ペテロとイエスが愛しておられた、もうひとりの弟子のところへ行って、彼らに言った、「だれかが、主を墓から取り去りました。どこへ置いたのか、わかりません」。

3 Ἐξῆλθεν οὖν ὁ Πέτρος καὶ ὁ ἄλλος μαθητής, καὶ ἤρχοντο
出て-行った そこで その ペテロと そして その もう-一人の 弟子は そして 向かった
G1831 G3767 G3588 G4074 G2532 G3588 G0243 G3101 G2532 G2064

εἰς τὸ μνημεῖον.
へ その 墓に
G1519 G3588 G3419

そこでペテロともうひとりの弟子は出かけて、墓へむかって行った。

4 ἔτρεχον δὲ οἱ δύο ὁμοῦ, καὶ ὁ ἄλλος μαθητὴς προέδραμεν
走っていた さて その 二人は 一緒に そして その もう-一人の 弟子が 先に-走った
G5143 G1161 G3588 G1417 G3674 G2532 G3588 G0243 G3101 G4390

τάχιον τοῦ Πέτρου, καὶ ἦλθεν πρῶτος εἰς τὸ μνημεῖον.
速く の ペテロより そして 来た 先に へ その 墓に
G5032 G3588 G4074 G2532 G2064 G4413 G1519 G3588 G3419

ふたりは一緒に走り出したが、そのもうひとりの弟子の方が、ペテロよりも早く走って先に墓に着き、

5 καὶ παρακύψας, βλέπει κείμενα τὰ ὀθόνια; οὐ μέντοι εἰσῆλθεν.
そして 身を-かがめて 見る 置いてある その 亜麻布を なかった しかし 入ら
G2532 G3879 G0991 G2749 G3588 G3608 G3756 G3305 G1525

そして身をかがめてみると、亜麻布がそこに置いてあるのを見たが、中へははいらなかった。

6 ἔρχεται οὖν καὶ Σίμων Πέτρος ἀκολουθῶν αὐτῷ, καὶ εἰσῆλθεν εἰς τὸ
来る そこで また シモン ペテロが 後に-ついて 彼に そして 入った へ その
G2064 G3767 G2532 G4613 G4074 G0190 G0846 G2532 G1525 G1519 G3588

μνημεῖον, καὶ θεωρεῖ τὰ ὀθόνια κείμενα,
墓に そして 見る その 亜麻布が 置いてあるのを
G3419 G2532 G2334 G3588 G3608 G2749

シモン・ペテロも続いてきて、墓の中にはいった。彼は亜麻布がそこに置いてあるのを見たが、

7 καὶ τὸ σουδάριον, ὃ ἦν ἐπὶ τῆς κεφαλῆς αὐτοῦ, οὐ μετὰ
そして その 顔覆いは それは あった の-上に その 頭の 彼の ない と共に
G2532 G3588 G4676 G3739 G1510 G1909 G3588 G2776 G0846 G3756 G3326

τῶν ὀθονίων κείμενον, ἀλλὰ χωρὶς ἐντετυλιγμένον εἰς ἕνα τόπον.
その 亜麻布と 置いて むしろ 別に 巻かれていた に 一つの 場所に
G3588 G3608 G2749 G0235 G5565 G1794 G1519 G1520 G5117

イエスの頭に巻いてあった布は亜麻布のそばにはなくて、はなれた別の場所にくるめてあった。

8 τότε οὖν εἰσῆλθεν καὶ ὁ ἄλλος μαθητὴς, ὁ ἐλθὼν πρῶτος
そのとき そこで 入った また その もう-一人の 弟子も その 来た 先に
G5119 G3767 G1525 G2532 G3588 G0243 G3101 G3588 G2064 G4413

εἰς τὸ μνημεῖον, καὶ εἶδεν καὶ ἐπίστευσεν;
へ その 墓に そして 見て そして 信じた
G1519 G3588 G3419 G2532 G3708 G2532 G4100

すると、先に墓に着いたもうひとりの弟子もはいってきて、これを見て信じた。

9 οὐδέπω γὰρ ᾔδεισαν τὴν γραφὴν, ὅτι δεῖ αὐτὸν ἐκ νεκρῶν
まだ なぜなら 知らなかった その 聖書を と 必ず 彼が から 死者の-中から
G3764 G1063 G1492 G3588 G1124 G3754 G1163 G0846 G1537 G3498

ἀναστῆναι.
よみがえる-ことを
G0450

しかし、彼らは死人のうちからイエスがよみがえるべきことをしるした聖句を、まだ悟っていなかった。

10 ἀπῆλθον οὖν πάλιν πρὸς αὐτοὺς οἱ μαθηταί.
去った そこで 再び に 自分たちの-もとへ その 弟子たちは
G0565 G3767 G3825 G4314 G0848 G3588 G3101

それから、ふたりの弟子たちは自分の家に帰って行った。

11 Μαρία δὲ εἱστήκει πρὸς τῷ μνημείῳ ἔξω κλαίουσα. ὡς οὖν
マリヤは しかし 立っていた で その 墓の-ところに 外に 泣いていた すると そこで
G3137 G1161 G2476 G4314 G3588 G3419 G1854 G2799 G5613 G3767

ἔκλαιεν, παρέκυψεν εἰς τὸ μνημεῖον,
泣いていたとき 身を-かがめて に その 墓の-中を-見た
G2799 G3879 G1519 G3588 G3419

しかし、マリヤは墓の外に立って泣いていた。そして泣きながら、身をかがめて墓の中をのぞくと、

12 καὶ θεωρεῖ δύο ἀγγέλους ἐν λευκοῖς καθεζομένους, ἕνα πρὸς
すると 見る 二人の 御使いが に 白い-衣を-着て 座っていた 一人は の-ところに
G2532 G2334 G1417 G0032 G1722 G3022 G2516 G1520 G4314

τῇ κεφαλῇ, καὶ ἕνα πρὸς τοῖς ποσίν, ὅπου ἔκειτο τὸ σῶμα
その 頭の そして 一人は の-ところに その 足の そこに 置かれていた その 体が
G3588 G2776 G2532 G1520 G4314 G3588 G4228 G3699 G2749 G3588 G4983

τοῦ Ἰησοῦ.
の イエスの
G3588 G2424

白い衣を着たふたりの御使が、イエスの死体のおかれていた場所に、ひとりは頭の方に、ひとりは足の方に、すわっているのを見た。

13 καὶ λέγουσιν αὐτῇ ἐκεῖνοι, Γύναι, τί κλαίεις? λέγει αὐτοῖς, ὅτι
そして 言う 彼女に あの-者たちは 婦人よ なぜ 泣いているのか 言う 彼らに と
G2532 G3004 G0846 G1565 G1135 G5101 G2799 G3004 G0846 G3754

Ἦραν τὸν Κύριόν μου, καὶ οὐκ οἶδα ποῦ ἔθηκαν αὐτόν.
取り去った その 主を わたしの そして ない 分から どこに 置いたのか 彼を
G0142 G3588 G2962 G1473 G2532 G3756 G1492 G4226 G5087 G0846

すると、彼らはマリヤに、「女よ、なぜ泣いているのか」と言った。マリヤは彼らに言った、「だれかが、わたしの主を取り去りました。そして、どこに置いたのか、わからないのです」。

14 ταῦτα εἰποῦσα, ἐστράφη εἰς τὰ ὀπίσω, καὶ θεωρεῖ τὸν Ἰησοῦν
これらの-ことを 言って 振り向いた へ その 後ろに すると 見る その イエスが
G3778 G3004 G4762 G1519 G3588 G3694 G2532 G2334 G3588 G2424

ἑστῶτα, καὶ οὐκ ᾔδει ὅτι Ἰησοῦς ἐστιν.
立っているのを しかし なかった 知ら と イエス であることを
G2476 G2532 G3756 G1492 G3754 G2424 G1510

そう言って、うしろをふり向くと、そこにイエスが立っておられるのを見た。しかし、それがイエスであることに気がつかなかった。

15 λέγει αὐτῇ Ἰησοῦς, Γύναι, τί κλαίεις? τίνα ζητεῖς? ἐκείνη
言う 彼女に イエスは 婦人よ なぜ 泣いているのか 誰を 捜しているのか 彼女は
G3004 G0846 G2424 G1135 G5101 G2799 G5101 G2212 G1565

δοκοῦσα ὅτι ὁ κηπουρός ἐστιν, λέγει αὐτῷ, Κύριε, εἰ σὺ
思って と その 園丁 であると 言う 彼に 主よ もし あなたが
G1380 G3754 G3588 G2780 G1510 G3004 G0846 G2962 G1487 G4771

ἐβάστασας αὐτόν, εἰπέ μοι ποῦ ἔθηκας αὐτόν, κἀγὼ αὐτὸν
運び-去ったなら 彼を 言ってください わたしに どこに 置いたのか 彼を わたしが 彼を
G0941 G0846 G3004 G1473 G4226 G5087 G0846 G2504 G0846

ἀρῶ.
引き取ろう
G0142

イエスは女に言われた、「女よ、なぜ泣いているのか。だれを捜しているのか」。マリヤは、その人が園の番人だと思って言った、「もしあなたが、あのかたを移したのでしたら、どこへ置いたのか、どうぞ、おっしゃって下さい。わたしがそのかたを引き取ります」。

16 λέγει αὐτῇ Ἰησοῦς, Μαριάμ. στραφεῖσα ἐκείνη λέγει αὐτῷ Ἑβραϊστί,
言う 彼女に イエスは マリヤよ 振り向いた 彼女は 言う 彼に ヘブライ語で
G3004 G0846 G2424 G3137 G4762 G1565 G3004 G0846 G1447

Ραββουνι, ὃ λέγεται, Διδάσκαλε.
ラボニ それは 意味する 先生
G4462 G3739 G3004 G1320

イエスは彼女に「マリヤよ」と言われた。マリヤはふり返って、イエスにむかってヘブル語で「ラボニ」と言った。それは、先生という意味である。

17 λέγει αὐτῇ Ἰησοῦς, Μή μου ἅπτου, οὔπω γὰρ ἀναβέβηκα πρὸς
言う 彼女に イエスは ない わたしに 触れるな まだ なぜなら 昇っていない に
G3004 G0846 G2424 G3361 G1473 G0680 G3768 G1063 G0305 G4314

τὸν Πατέρα; πορεύου δὲ πρὸς τοὺς ἀδελφούς μου, καὶ
その 父の-もとに 行きなさい しかし に その 兄弟たちの-もとに わたしの そして
G3588 G3962 G4198 G1161 G4314 G3588 G0080 G1473 G2532

εἰπὲ αὐτοῖς, Ἀναβαίνω πρὸς τὸν Πατέρα μου, καὶ Πατέρα
言いなさい 彼らに 昇る に その 父の-もとに わたしの そして 父の-もとに
G3004 G0846 G0305 G4314 G3588 G3962 G1473 G2532 G3962

ὑμῶν, καὶ Θεόν μου, καὶ Θεὸν ὑμῶν.
あなたがたの そして 神の-もとに わたしの そして 神の-もとに あなたがたの
G4771 G2532 G2316 G1473 G2532 G2316 G4771

イエスは彼女に言われた、「わたしにさわってはいけない。わたしは、まだ父のみもとに上っていないのだから。ただ、わたしの兄弟たちの所に行って、『わたしは、わたしの父またあなたがたの父であって、わたしの神またあなたがたの神であられるかたのみもとへ上って行く』と、彼らに伝えなさい」。

18 ἔρχεται Μαριὰμ ἡ Μαγδαληνὴ ἀγγέλλουσα τοῖς μαθηταῖς ὅτι, Ἑώρακα
来る マリヤ その マグダレネは 告げて その 弟子たちに と 見ました
G2064 G3137 G3588 G3094 G0518 G3588 G3101 G3754 G3708

τὸν Κύριον, καὶ ταῦτα εἶπεν αὐτῇ.
その 主を そして これらの-ことを 言われた 彼女に
G3588 G2962 G2532 G3778 G3004 G0846

マグダラのマリヤは弟子たちのところに行って、自分が主に会ったこと、またイエスがこれこれのことを自分に仰せになったことを、報告した。

19 Οὔσης οὖν ὀψίας τῇ ἡμέρᾳ ἐκείνῃ, τῇ μιᾷ σαββάτων, καὶ τῶν,
なった そこで 夕方に その 日の あの その 第一の-日 週の そして の
G1510 G3767 G3798 G3588 G2250 G1565 G3588 G1520 G4521 G2532 G3588

θυρῶν κεκλεισμένων, ὅπου ἦσαν οἱ μαθηταὶ, διὰ τὸν φόβον τῶν
戸が 閉められていた そこで いた その 弟子たちが のために その 恐れの の
G2374 G2808 G3699 G1510 G3588 G3101 G1223 G3588 G5401 G3588

Ἰουδαίων, ἦλθεν ὁ Ἰησοῦς καὶ ἔστη εἰς τὸ μέσον, καὶ λέγει
ユダヤ人たちの 来た その イエスは そして 立った に その 真ん中に そして 言う
G2453 G2064 G3588 G2424 G2532 G2476 G1519 G3588 G3319 G2532 G3004

αὐτοῖς, Εἰρήνη ὑμῖν.
彼らに 平安が あなたがたに
G0846 G1515 G4771

その日、すなわち、一週の初めの日の夕方、弟子たちはユダヤ人をおそれて、自分たちのおる所の戸をみなしめていると、イエスがはいってきて、彼らの中に立ち、「安かれ」と言われた。

20 καὶ τοῦτο εἰπὼν, ἔδειξεν καὶ τὰς χεῖρας καὶ τὴν πλευρὰν αὐτοῖς.
そして これを 言って 見せた そして その 手と そして その わき腹を 彼らに
G2532 G3778 G3004 G1166 G2532 G3588 G5495 G2532 G3588 G4125 G0846

ἐχάρησαν οὖν οἱ μαθηταὶ, ἰδόντες τὸν Κύριον.
喜んだ そこで その 弟子たちは 見て その 主を
G5463 G3767 G3588 G3101 G3708 G3588 G2962

そう言って、手とわきとを、彼らにお見せになった。弟子たちは主を見て喜んだ。

21 εἶπεν οὖν αὐτοῖς ὁ Ἰησοῦς πάλιν, Εἰρήνη ὑμῖν; καθὼς ἀπέσταλκέν
言った そこで 彼らに その イエスは 再び 平安が あなたがたに ように 遣わした
G3004 G3767 G0846 G3588 G2424 G3825 G1515 G4771 G2531 G0649

με ὁ Πατήρ, κἀγὼ πέμπω ὑμᾶς.
わたしを その 父が わたしも 遣わす あなたがたを
G1473 G3588 G3962 G2504 G3992 G4771

イエスはまた彼らに言われた、「安かれ。父がわたしをおつかわしになったように、わたしもまたあなたがたをつかわす」。

22 καὶ τοῦτο εἰπὼν ἐνεφύσησεν, καὶ λέγει αὐτοῖς, Λάβετε Πνεῦμα Ἅγιον.
そして これを 言って 息を-吹きかけた そして 言う 彼らに 受けよ 聖霊を 聖なる
G2532 G3778 G3004 G1720 G2532 G3004 G0846 G2983 G4151 G0040

そう言って、彼らに息を吹きかけて仰せになった、「聖霊を受けよ。

23 ἄν τινων ἀφῆτε τὰς ἁμαρτίας, ἀφέωνται αὐτοῖς; ἄν τινων
もし ある-者の 赦すなら その 罪を 赦される 彼らに もし ある-者の
G0302 G5100 G0863 G3588 G0266 G0863 G0846 G0302 G5100

κρατῆτε, κεκράτηνται.
留めるなら 留められる
G2902 G2902

あなたがたがゆるす罪は、だれの罪でもゆるされ、あなたがたがゆるさずにおく罪は、そのまま残るであろう」。

24 Θωμᾶς δὲ, εἷς ἐκ τῶν δώδεκα, ὁ λεγόμενος Δίδυμος, οὐκ
トマスは しかし 一人で の その 十二人の その 呼ばれる ディデュモスは いなかった
G2381 G1161 G1520 G1537 G3588 G1427 G3588 G3004 G1324 G3756

ἦν μετ’ αὐτῶν ὅτε ἦλθεν Ἰησοῦς.
である 共に 彼らと ときに 来た イエスが
G1510 G3326 G0846 G3753 G2064 G2424

十二弟子のひとりで、デドモと呼ばれているトマスは、イエスがこられたとき、彼らと一緒にいなかった。

25 ἔλεγον οὖν αὐτῷ οἱ ἄλλοι μαθηταί, Ἑωράκαμεν τὸν Κύριον. ὁ δὲ
言った そこで 彼に その 他の 弟子たちは 見ました その 主を しかし その
G3004 G3767 G0846 G3588 G0243 G3101 G3708 G3588 G2962 G3588 G1161

εἶπεν αὐτοῖς, Ἐὰν μὴ ἴδω ἐν ταῖς χερσὶν αὐτοῦ τὸν τύπον τῶν ἥλων,
言った 彼らに もし ない 見 に その 手に 彼の その 跡を の 釘の
G3004 G0846 G1437 G3361 G3708 G1722 G3588 G5495 G0846 G3588 G5179 G3588 G2247

καὶ βάλω τὸν δάκτυλόν μου εἰς τὸν τύπον τῶν ἥλων, καὶ βάλω
そして 入れ その 指を わたしの に その 跡に の 釘の そして 入れ
G2532 G0906 G3588 G1147 G1473 G1519 G3588 G5179 G3588 G2247 G2532 G0906

μου τὴν χεῖρα εἰς τὴν πλευρὰν αὐτοῦ, οὐ μὴ πιστεύσω.
わたしの その 手を に その わき腹に 彼の 決して ない 信じない
G1473 G3588 G5495 G1519 G3588 G4125 G0846 G3756 G3361 G4100

ほかの弟子たちが、彼に「わたしたちは主にお目にかかった」と言うと、トマスは彼らに言った、「わたしは、その手に釘あとを見、わたしの指をその釘あとにさし入れ、また、わたしの手をそのわきにさし入れてみなければ、決して信じない」。

26 Καὶ μεθ’ ἡμέρας ὀκτὼ πάλιν ἦσαν ἔσω οἱ μαθηταὶ αὐτοῦ, καὶ
そして 後に 日 八 再び いた 中に その 弟子たちが 彼の そして
G2532 G3326 G2250 G3638 G3825 G1510 G2080 G3588 G3101 G0846 G2532

Θωμᾶς μετ’ αὐτῶν. ἔρχεται ὁ Ἰησοῦς, τῶν θυρῶν κεκλεισμένων, καὶ
トマスも 共に 彼らと 来る その イエスは の 戸が 閉められていたが そして
G2381 G3326 G0846 G2064 G3588 G2424 G3588 G2374 G2808 G2532

ἔστη εἰς τὸ μέσον, καὶ εἶπεν, Εἰρήνη ὑμῖν.
立った に その 真ん中に そして 言った 平安が あなたがたに
G2476 G1519 G3588 G3319 G2532 G3004 G1515 G4771

八日ののち、イエスの弟子たちはまた家の内におり、トマスも一緒にいた。戸はみな閉ざされていたが、イエスがはいってこられ、中に立って「安かれ」と言われた。

27 εἶτα λέγει τῷ Θωμᾷ, Φέρε τὸν δάκτυλόν σου ὧδε, καὶ
それから 言う その トマスに 伸ばしなさい その 指を あなたの ここに そして
G1534 G3004 G3588 G2381 G5342 G3588 G1147 G4771 G5602 G2532

ἴδε τὰς χεῖράς μου; καὶ φέρε τὴν χεῖρά σου, καὶ βάλε
見よ その 手を わたしの そして 伸ばしなさい その 手を あなたの そして 入れよ
G3708 G3588 G5495 G1473 G2532 G5342 G3588 G5495 G4771 G2532 G0906

εἰς τὴν πλευράν μου; καὶ μὴ γίνου ἄπιστος, ἀλλὰ πιστός.
に その わき腹に わたしの そして ない なるな 不信仰に むしろ 信じる-者に
G1519 G3588 G4125 G1473 G2532 G3361 G1096 G0571 G0235 G4103

それからトマスに言われた、「あなたの指をここにつけて、わたしの手を見なさい。手をのばしてわたしのわきにさし入れてみなさい。信じない者にならないで、信じる者になりなさい」。

28 ἀπεκρίθη Θωμᾶς καὶ εἶπεν αὐτῷ, Ὁ Κύριός μου καὶ ὁ Θεός μου!
答えた トマスは そして 言った 彼に その 主よ わたしの そして その 神よ わたしの
G0611 G2381 G2532 G3004 G0846 G3588 G2962 G1473 G2532 G3588 G2316 G1473

トマスはイエスに答えて言った、「わが主よ、わが神よ」。

29 λέγει αὐτῷ ὁ Ἰησοῦς, Ὅτι ἑώρακάς με, πεπίστευκας; μακάριοι οἱ μὴ ἰδόντες, καὶ πιστεύσαντες.
言う 彼に その イエスは なぜなら 見た わたしを 信じたのか 幸いである その ないで 見 そして 信じた-者たちは
G3004 G0846 G3588 G2424 G3754 G3708 G1473 G4100 G3107 G3588 G3361 G3708 G2532 G4100

イエスは彼に言われた、「あなたはわたしを見たので信じたのか。見ないで信ずる者は、さいわいである」。

30 Πολλὰ μὲν οὖν καὶ ἄλλα σημεῖα ἐποίησεν ὁ Ἰησοῦς ἐνώπιον τῶν μαθητῶν [αὐτοῦ], ἃ οὐκ ἔστιν γεγραμμένα ἐν τῷ βιβλίῳ τούτῳ;
多くの 一方 そこで また 他の しるしを 行った その イエスは の-前で その 弟子たちの 彼の それらは ない である 書かれて に この 書物に この
G4183 G3303 G3767 G2532 G0243 G4592 G4160 G3588 G2424 G1799 G3588 G3101 G0846 G3739 G3756 G1510 G1125 G1722 G3588 G0975 G3778

イエスは、この書に書かれていないしるしを、ほかにも多く、弟子たちの前で行われた。

31 ταῦτα δὲ γέγραπται, ἵνα πιστεύητε ὅτι Ἰησοῦς ἐστιν ὁ Χριστὸς, ὁ Υἱὸς τοῦ Θεοῦ, καὶ ἵνα πιστεύοντες, ζωὴν ἔχητε ἐν τῷ ὀνόματι αὐτοῦ.
これらの-ことは しかし 書かれた ために 信じるように と イエスが である その キリスト その 子で の 神の そして ために 信じて 命を 持つように に その 名に-よって 彼の
G3778 G1161 G1125 G2443 G4100 G3754 G2424 G1510 G3588 G5547 G3588 G5207 G3588 G2316 G2532 G2443 G4100 G2222 G2192 G1722 G3588 G3686 G0846

しかし、これらのことを書いたのは、あなたがたがイエスは神の子キリストであると信じるためであり、また、そう信じて、イエスの名によって命を得るためである。

Chapter 21

1 Μετὰ ταῦτα, ἐφανέρωσεν ἑαυτὸν πάλιν ‹ὁ› Ἰησοῦς τοῖς μαθηταῖς, ἐπὶ τῆς θαλάσσης τῆς Τιβεριάδος. ἐφανέρωσεν δὲ οὕτως:
後に これらの-事の 現された ご自身を 再び その イエスは その 弟子たちに で の 海の-ほとりで の テベリヤの 現された さて このように
G3326 G3778 G5319 G1438 G3825 G3588 G2424 G3588 G3101 G1909 G3588 G2281 G3588 G5085 G5319 G1161 G3779

そののち、イエスはテベリヤの海べで、ご自身をまた弟子たちにあらわされた。そのあらわされた次第は、こうである。

2 ἦσαν ὁμοῦ; Σίμων Πέτρος; καὶ Θωμᾶς ὁ λεγόμενος Δίδυμος; καὶ
いた 一緒に シモン ペテロと そして トマス その 呼ばれる デドモと そして
G1510 G3674 G4613 G4074 G2532 G2381 G3588 G3004 G1324 G2532

Ναθαναὴλ ὁ ἀπὸ Κανᾶ τῆς Γαλιλαίας; καὶ οἱ τοῦ Ζεβεδαίου;
ナタナエル その から カナの の ガリラヤの そして その の ゼベダイの-子らと
G3482 G3588 G0575 G2580 G3588 G1056 G2532 G3588 G3588 G2199

καὶ ἄλλοι ἐκ τῶν μαθητῶν αὐτοῦ, δύο.
そして 他の から の 弟子たちの-うち 彼の 二人が
G2532 G0243 G1537 G3588 G3101 G0846 G1417

シモン・ペテロが、デドモと呼ばれているトマス、ガリラヤのカナのナタナエル、ゼベダイの子らや、ほかのふたりの弟子たちと一緒にいた時のことである。

3 λέγει αὐτοῖς Σίμων Πέτρος, Ὑπάγω ἁλιεύειν. λέγουσιν αὐτῷ, Ἐρχόμεθα καὶ
言う 彼らに シモン ペテロが 行く 漁に 言う 彼に 行く も
G3004 G0846 G4613 G4074 G5217 G0232 G3004 G0846 G2064 G2532

ἡμεῖς σὺν σοί. ἐξῆλθον καὶ ἐνέβησαν εἰς τὸ πλοῖον, καὶ ἐν
私たちも と-共に あなたと 出て行き そして 乗り込んだ に その 舟に しかし に
G1473 G4862 G4771 G1831 G2532 G1684 G1519 G3588 G4143 G2532 G1722

ἐκείνῃ τῇ νυκτὶ ἐπίασαν οὐδέν.
その の 夜には 捕らえなかった 何も
G1565 G3588 G3571 G4084 G3762

シモン・ペテロは彼らに「わたしは漁に行くのだ」と言うと、彼らは「わたしたちも一緒に行こう」と言った。彼らは出て行って舟に乗った。しかし、その夜はなんの獲物もなかった。

4 πρωΐας δὲ ἤδη γενομένης, ἔστη Ἰησοῦς εἰς τὸν αἰγιαλόν; οὐ μέντοι
朝が さて もう なると 立った イエスが に その 岸辺に ない しかし
G4405 G1161 G2235 G1096 G2476 G2424 G1519 G3588 G0123 G3756 G3305

ᾔδεισαν οἱ μαθηταὶ ὅτι Ἰησοῦς ἐστιν.
知らなかった その 弟子たちは と イエスで-ある ことを
G1492 G3588 G3101 G3754 G2424 G1510

夜が明けたころ、イエスが岸に立っておられた。しかし弟子たちはそれがイエスだとは知らなかった。

5 λέγει οὖν αὐτοῖς ‹ὁ› Ἰησοῦς, Παιδία, μή τι προσφάγιον ἔχετε?
言う そこで 彼らに その イエスは 子たちよ ない 何か おかずは ある か
G3004 G3767 G0846 G3588 G2424 G3813 G3361 G5100 G4371 G2192

ἀπεκρίθησαν αὐτῷ, Οὔ.
答えた 彼に ないと
G0611 G0846 G3756

イエスは彼らに言われた、「子たちよ、何か食べるものがあるか」。彼らは「ありません」と答えた。

6 ὁ δὲ εἶπεν αὐτοῖς, Βάλετε εἰς τὰ δεξιὰ μέρη τοῦ πλοίου τὸ
その すると 言った 彼らに 投げなさい に の 右側に 部分に の 舟の その
G3588 G1161 G3004 G0846 G0906 G1519 G3588 G1188 G3313 G3588 G4143 G3588

δίκτυον, καὶ εὑρήσετε. ἔβαλον οὖν, καὶ οὐκέτι αὐτὸ ἑλκύσαι
網を そうすれば 見つかる 投げた そこで すると もはや それを 引き上げること
G1350 G2532 G2147 G0906 G3767 G2532 G3765 G0846 G1670

ἴσχυον, ἀπὸ τοῦ πλήθους τῶν ἰχθύων.
できなかった ゆえに の 多さの の 魚の
G2480 G0575 G3588 G4128 G3588 G2486

すると、イエスは彼らに言われた、「舟の右の方に網をおろして見なさい。そうすれば、何かとれるだろう」。彼らは網をおろすと、魚が多くとれたので、それを引き上げることができなかった。

7	λέγει	οὖν	ὁ	μαθητὴς	ἐκεῖνος	ὃν	ἠγάπα	ὁ	Ἰησοῦς	τῷ	Πέτρῳ,
	言う	そこで	その	弟子は	あの	その	愛していた	その	イエスが	に	ペテロに
	G3004	G3767	G3588	G3101	G1565	G3739	G0025	G3588	G2424	G3588	G4074

Ὁ	Κύριός	ἐστιν.	Σίμων	οὖν	Πέτρος,	ἀκούσας	ὅτι	ὁ	Κύριός	ἐστιν,
それは	主で	ある	シモン	そこで	ペテロは	聞いて	と	それは	主で–ある	ことを
G3588	G2962	G1510	G4613	G3767	G4074	G0191	G3754	G3588	G2962	G1510

τὸν	ἐπενδύτην	διεζώσατο,	ἦν	γὰρ	γυμνός,	καὶ	ἔβαλεν	ἑαυτὸν
その	上着を	まとった	いた	なぜなら	裸であった	そして	飛び込んだ	自分自身を
G3588	G1903	G1241	G1510	G1063	G1131	G2532	G0906	G1438

εἰς	τὴν	θάλασσαν.
に	その	海に
G1519	G3588	G2281

イエスの愛しておられた弟子が、ペテロに「あれは主だ」と言った。シモン・ペテロは主であると聞いて、裸になっていたため、上着をまとって海にとびこんだ。

8	οἱ	δὲ	ἄλλοι	μαθηταὶ	τῷ	πλοιαρίῳ	ἦλθον,	οὐ	γὰρ	ἦσαν	μακρὰν
	その	しかし	他の	弟子たちは	その	小舟で	来た	ない	なぜなら	いた	遠くに
	G3588	G1161	G0243	G3101	G3588	G4142	G2064	G3756	G1063	G1510	G3112

ἀπὸ	τῆς	γῆς,	ἀλλὰ	ὡς	ἀπὸ	πηχῶν	διακοσίων,	σύροντες	τὸ
から	の	陸から	ただ	およそ	の	キュビトの	二百ほど	引きずりながら	その
G0575	G3588	G1093	G0235	G5613	G0575	G4083	G1250	G4951	G3588

δίκτυον	τῶν	ἰχθύων.
網を	の	魚の
G1350	G3588	G2486

しかし、ほかの弟子たちは舟に乗ったまま、魚のはいっている網を引きながら帰って行った。陸からはあまり遠くない五十間ほどの所にいたからである。

9	ὡς	οὖν	ἀπέβησαν	εἰς	τὴν	γῆν,	βλέπουσιν	ἀνθρακιὰν	κειμένην,	καὶ
	とき	さて	上がると	に	その	陸に	見る	炭火を	置かれた	そして
	G5613	G3767	G0576	G1519	G3588	G1093	G0991	G0439	G2749	G2532

ὀψάριον	ἐπικείμενον,	καὶ	ἄρτον.
魚が	のせてあり	そして	パンも
G3795	G1945	G2532	G0740

彼らが陸に上って見ると、炭火がおこしてあって、その上に魚がのせてあり、またそこにパンがあった。

10	λέγει	αὐτοῖς	ὁ	Ἰησοῦς,	Ἐνέγκατε	ἀπὸ	τῶν	ὀψαρίων	ὧν	ἐπιάσατε
	言う	彼らに	その	イエスは	持って来なさい	から	の	魚を	その	捕った
	G3004	G0846	G3588	G2424	G5342	G0575	G3588	G3795	G3739	G4084

νῦν.
今
G3568

イエスは彼らに言われた、「今とった魚を少し持ってきなさい」。

11 ἀνέβη ‹οὖν› Σίμων Πέτρος, καὶ εἵλκυσεν τὸ δίκτυον εἰς τὴν γῆν,
上がった そこで シモン ペテロは そして 引き上げた その 網を に その 陸に
G0305 G3767 G4613 G4074 G2532 G1670 G3588 G1350 G1519 G3588 G1093

μεστὸν ἰχθύων μεγάλων, ἑκατὸν πεντήκοντα τριῶν; καὶ τοσούτων
いっぱいの 魚で 大きな 百 五十 三匹の そして それほど–多くても
G3324 G2486 G3173 G1540 G4004 G5140 G2532 G5118

ὄντων, οὐκ ἐσχίσθη τὸ δίκτυον.
あったのに なかった 裂けなかった その 網は
G1510 G3756 G4977 G3588 G1350

シモン・ペテロが行って、網を陸へ引き上げると、百五十三びきの大きな魚でいっぱいになっていた。そんなに多かったが、網はさけないでいた。

12 λέγει αὐτοῖς ὁ Ἰησοῦς, Δεῦτε ἀριστήσατε. οὐδεὶς ‹δὲ›
言う 彼らに その イエスは 来なさい 朝の–食事を–しなさい 誰も しかし
G3004 G0846 G3588 G2424 G1205 G0709 G3762 G1161

ἐτόλμα τῶν μαθητῶν ἐξετάσαι αὐτόν, Σὺ τίς εἶ?
あえてしなかった の 弟子たちの–うち 尋ねることを 彼に あなたは 誰ですか と
G5111 G3588 G3101 G1833 G0846 G4771 G5101 G1510

εἰδότες ὅτι ὁ Κύριός ἐστιν.
知っていた と それは 主で あると
G1492 G3754 G3588 G2962 G1510

イエスは彼らに言われた、「さあ、朝の食事をしなさい」。弟子たちは、主であることがわかっていたので、だれも「あなたはどなたですか」と進んで尋ねる者がなかった。

13 ἔρχεται ‹ὁ› Ἰησοῦς καὶ λαμβάνει τὸν ἄρτον καὶ δίδωσιν αὐτοῖς, καὶ
来る その イエスは そして 取る その パンを そして 与える 彼らに また
G2064 G3588 G2424 G2532 G2983 G3588 G0740 G2532 G1325 G0846 G2532

τὸ ὀψάριον ὁμοίως.
その 魚も 同じように
G3588 G3795 G3668

イエスはそこにきて、パンをとり彼らに与え、また魚も同じようにされた。

14 τοῦτο ἤδη τρίτον ἐφανερώθη ‹ὁ› Ἰησοῦς τοῖς μαθηταῖς, ἐγερθεὶς
これは もう 三度目で–あった 現れた その イエスが その 弟子たちに よみがえった
G3778 G2235 G5154 G5319 G3588 G2424 G3588 G3101 G1453

ἐκ νεκρῶν.
から 死者の–中から
G1537 G3498

イエスが死人の中からよみがえったのち、弟子たちにあらわれたのは、これで既に三度目である。

15 Ὅτε οὖν ἠρίστησαν, λέγει τῷ Σίμωνι Πέτρῳ ὁ Ἰησοῦς, Σίμων
とき さて 食事を–終えると 言う に シモン ペテロに その イエスは シモン
G3753 G3767 G0709 G3004 G3588 G4613 G4074 G3588 G2424 G4613

Ἰωάννου, ἀγαπᾷς με πλέον τούτων? λέγει αὐτῷ, Ναί,
ヨハネの–子よ 愛するか わたしを より–以上に これらの–者たちよりも 言う 彼に はい
G2491 G0025 G1473 G4119 G3778 G3004 G0846 G3483

Κύριε; σὺ οἶδας ὅτι φιλῶ σε. λέγει αὐτῷ, Βόσκε τὰ
主よ あなたは 知っている と 慕っている あなたを 言う 彼に 養いなさい その
G2962 G4771 G1492 G3754 G5368 G4771 G3004 G0846 G1006 G3588

ἀρνία μου.
子羊たちを わたしの
G0721 G1473

彼らが食事をすませると、イエスはシモン・ペテロに言われた、「ヨハネの子シモンよ、あなたはこの人たちが愛する以上に、わたしを愛するか」。ペテロは言った、「主よ、そうです。わたしがあなたを愛することは、あなたがご存じです」。イエスは彼に「わたしの小羊を養いなさい」と言われた。

16 λέγει αὐτῷ πάλιν δεύτερον, Σίμων Ἰωάννου, ἀγαπᾷς με? λέγει αὐτῷ,
言う 彼に 再び 二度目に シモン ヨハネの–子よ 愛するか わたしを 言う 彼に
G3004 G0846 G3825 G1208 G4613 G2491 G0025 G1473 G3004 G0846

Ναί, Κύριε; σὺ οἶδας ὅτι φιλῶ σε. λέγει αὐτῷ, Ποίμαινε
はい 主よ あなたは 知っている と 慕っている あなたを 言う 彼に 牧しなさい
G3483 G2962 G4771 G1492 G3754 G5368 G4771 G3004 G0846 G4165

τὰ πρόβατά μου.
その 羊たちを わたしの
G3588 G4263 G1473

またもう一度彼に言われた、「ヨハネの子シモンよ、わたしを愛するか」。彼はイエスに言った、「主よ、そうです。わたしがあなたを愛することは、あなたがご存じです」。イエスは彼に言われた、「わたしの羊を飼いなさい」。

17 λέγει αὐτῷ τὸ τρίτον, Σίμων Ἰωάννου, φιλεῖς με? ἐλυπήθη ὁ
言う 彼に の 三度目に シモン ヨハネの–子よ 慕っているか わたしを 悲しんだ その
G3004 G0846 G3588 G5154 G4613 G2491 G5368 G1473 G3076 G3588

Πέτρος ὅτι εἶπεν αὐτῷ τὸ τρίτον, Φιλεῖς με? καὶ εἶπεν αὐτῷ,
ペテロは と 言った 彼に の 三度目に 慕っているかと わたしを そして 言った 彼に
G4074 G3754 G3004 G0846 G3588 G5154 G5368 G1473 G2532 G3004 G0846

Κύριε, πάντα σὺ οἶδας; σὺ γινώσκεις ὅτι φιλῶ σε. λέγει
主よ すべてを あなたは ご存知です あなたは 知っている と 慕っている あなたを 言う
G2962 G3956 G4771 G1492 G4771 G1097 G3754 G5368 G4771 G3004

αὐτῷ ‹ὁ› Ἰησοῦς, Βόσκε τὰ πρόβατά μου.
彼に その イエスは 養いなさい その 羊たちを わたしの
G0846 G3588 G2424 G1006 G3588 G4263 G1473

イエスは三度目に言われた、「ヨハネの子シモンよ、わたしを愛するか」。ペテロは「わたしを愛するか」とイエスが三度も言われたので、心をいためてイエスに言った、「主よ、あなたはすべてをご存じです。わたしがあなたを愛していることは、おわかりになっています」。イエスは彼に言われた、「わたしの羊を養いなさい。

18 ἀμὴν ἀμὴν λέγω σοι, ὅτε ἦς νεώτερος, ἐζώννυες σεαυτὸν,
まことに まことに 言う あなたに とき あった 若かった–とき 帯を–締めた 自分で
G0281 G0281 G3004 G4771 G3753 G1510 G3501 G2224 G4572

καὶ περιεπάτεις ὅπου ἤθελες; ὅταν δὲ γηράσῃς, ἐκτενεῖς τὰς
そして 歩いた どこでも 望む–ところへ とき しかし 年を–取ると 伸ばす その
G2532 G4043 G3699 G2309 G3752 G1161 G1095 G1614 G3588

χεῖράς σου, καὶ ἄλλος ζώσει σε, καὶ οἴσει ὅπου οὐ
手を あなたの そして 他の–者が 帯を–締め あなたに そして 連れて行く どこへ ない
G5495 G4771 G2532 G0243 G2224 G4771 G2532 G5342 G3699 G3756

θέλεις.
望まない–ところへ
G2309

よくよくあなたに言っておく。あなたが若かった時には、自分で帯をしめて、思いのままに歩きまわっていた。しかし年をとってからは、自分の手をのばすことになろう。そして、ほかの人があなたに帯を結びつけ、行きたくない所へ連れて行くであろう」。

19 τοῦτο δὲ εἶπεν σημαίνων ποίῳ θανάτῳ δοξάσει τὸν Θεόν.
これは さて 言った 示すため どのような 死で 栄光を–あらわすか その 神に
G3778 G1161 G3004 G4591 G4169 G2288 G1392 G3588 G2316

καὶ τοῦτο εἰπὼν, λέγει αὐτῷ, Ἀκολούθει μοι.
そして これを 言って 言う 彼に 従いなさい わたしに
G2532 G3778 G3004 G3004 G0846 G0190 G1473

これは、ペテロがどんな死に方で、神の栄光をあらわすかを示すために、お話しになったのである。こう話してから、「わたしに従ってきなさい」と言われた。

20 ἐπιστραφεὶς, ὁ Πέτρος βλέπει τὸν μαθητὴν ὃν ἠγάπα ὁ Ἰησοῦς
振り向いて その ペテロは 見る その 弟子が その 愛していた その イエスが
G1994 G3588 G4074 G0991 G3588 G3101 G3739 G0025 G3588 G2424

ἀκολουθοῦντα, ὃς καὶ ἀνέπεσεν ἐν τῷ δείπνῳ ἐπὶ τὸ στῆθος
ついて来るのを 彼は また 身を–寄せた で の 晩餐の–とき に その 胸に
G0190 G3739 G2532 G0377 G1722 G3588 G1173 G1909 G3588 G4738

αὐτοῦ, καὶ εἶπεν, Κύριε, τίς ἐστιν ὁ παραδιδούς σε?
彼の そして 言った 主よ 誰ですか は その 裏切る–者は あなたを
G0846 G2532 G3004 G2962 G5101 G1510 G3588 G3860 G4771

ペテロはふり返ると、イエスの愛しておられた弟子がついて来るのを見た。この弟子は、あの夕食のときイエスの胸近くに寄りかかって、「主よ、あなたを裏切る者は、だれなのですか」と尋ねた人である。

21 τοῦτον οὖν ἰδὼν, ὁ Πέτρος λέγει τῷ Ἰησοῦ, Κύριε, οὗτος δὲ
この者は そこで 見て その ペテロは 言う に イエスに 主よ この者は では
G3778 G3767 G3708 G3588 G4074 G3004 G3588 G2424 G2962 G3778 G1161

τί?
どうなるのですか
G5101

ペテロはこの弟子を見て、イエスに言った、「主よ、この人はどうなのですか」。

22 λέγει αὐτῷ ὁ Ἰησοῦς, Ἐὰν αὐτὸν θέλω μένειν ἕως
言う 彼に その イエスは もし 彼が わたしが–望む とどまることを まで
G3004 G0846 G3588 G2424 G1437 G0846 G2309 G3306 G2193

ἔρχομαι, τί πρὸς σέ? σύ μοι ἀκολούθει!
わたしが–来る 何か に あなたに–とって あなたは わたしに 従いなさい
G2064 G5101 G4314 G4771 G4771 G1473 G0190

イエスは彼に言われた、「たとい、わたしの来る時まで彼が生き残っていることを、わたしが望んだとしても、あなたにはなんの係わりがあるか。あなたは、わたしに従ってきなさい」。

23 ἐξῆλθεν οὖν οὗτος ὁ λόγος εἰς τοὺς ἀδελφοὺς, ὅτι ὁ μαθητὴς
広まった そこで この の 言葉が に の 兄弟たちの–間に と その 弟子は
G1831 G3767 G3778 G3588 G3056 G1519 G3588 G0080 G3754 G3588 G3101

ἐκεῖνος, οὐκ ἀποθνήσκει. οὐκ εἶπεν δὲ αὐτῷ ὁ Ἰησοῦς, ὅτι
あの ない 死なないと ない 言った–のではない しかし 彼に その イエスは と
G1565 G3756 G0599 G3756 G3004 G1161 G0846 G3588 G2424 G3754

οὐκ ἀποθνήσκει; ἀλλ’, Ἐὰν αὐτὸν θέλω μένειν ἕως ἔρχομαι,
ない 死なないとは ただ もし 彼が わたしが–望む とどまることを まで わたしが–来る
G3756 G0599 G0235 G1437 G0846 G2309 G3306 G2193 G2064

τί πρὸς σέ?
何か に あなたに–とって
G5101 G4314 G4771

こういうわけで、この弟子は死ぬことがないというううわさが、兄弟たちの間にひろまった。しかし、イエスは彼が死ぬことはないと言われたのではなく、ただ「たとい、わたしの来る時まで彼が生き残っていることを、わたしが望んだとしても、あなたにはなんの係わりがあるか」と言われただけである。

24 Οὗτός ἐστιν ὁ μαθητὴς ὁ μαρτυρῶν περὶ τούτων, καὶ
この者は である その 弟子で その 証しする–者 について これらの–事について そして
G3778 G1510 G3588 G3101 G3588 G3140 G4012 G3778 G2532

ὁ γράψας ταῦτα: καὶ οἴδαμεν ὅτι ἀληθὴς αὐτοῦ ἡ
その 書いた–者で–ある これらの–事を そして 知っている と 真実で–ある 彼の その
G3588 G1125 G3778 G2532 G1492 G3754 G0227 G0846 G3588

μαρτυρία ἐστίν.
証しは ことを
G3141 G1510

これらの事についてあかしをし、またこれらの事を書いたのは、この弟子である。そして彼のあかしが真実であることを、わたしたちは知っている。

25 Ἔστιν δὲ καὶ ἄλλα πολλὰ ἃ ἐποίησεν ὁ Ἰησοῦς, ἅτινα ἐὰν
ある さて また 他にも 多くの–事が それを 行った その イエスは それらを もし
G1510 G1161 G2532 G0243 G4183 G3739 G4160 G3588 G2424 G3748 G1437

γράφηται καθ’ ἕν, οὐδ’ αὐτὸν οἶμαι τὸν κόσμον χωρήσειν τὰ
書き記すなら 一つ 一つずつ でさえ そのもの 思う その 世界も 収めきれない その
G1125 G2596 G1520 G3761 G0846 G3633 G3588 G2889 G5562 G3588

γραφόμενα βιβλία.
書かれた 書物を
G1125 G0975

イエスのなさったことは、このほかにまだ数多くある。もしいちいち書きつけるならば、世界もその書かれた文書を収めきれないであろうと思う。

Acts

Chapter 1

1

Τὸν	μὲν	πρῶτον	λόγον	ἐποιησάμην	περὶ	πάντων,	ὦ
その	まず	最初の	記録を	私は–書きました	すべての–ことについて	—	おお
G3588	G3303	G4413	G3056	G4160	G4012	G3956	G5599

Θεόφιλε,	ὧν	ἤρξατο	ὁ	Ἰησοῦς	ποιεῖν	τε	καὶ	διδάσκειν,
テオフィロよ	イエスが	始められた	—	イエスが	行い	また	そして	教えられた–こと
G2321	G3739	G0756	G3588	G2424	G4160	G5037	G2532	G1321

テオピロよ、わたしは先に第一巻を著わして、イエスが行い、また教えはじめてから、

2

ἄχρι	ἧς	ἡμέρας,	ἐντειλάμενος	τοῖς	ἀποστόλοις,	διὰ	Πνεύματος	Ἁγίου,
その–日まで	—	—	命じられてから	—	使徒たちに	聖	霊を–通して	—
G0891	G3739	G2250	G1781	G3588	G0652	G1223	G4151	G0040

οὓς	ἐξελέξατο,	ἀνελήμφθη.
彼が	選ばれた	天に–上げられました
G3739	G1586	G0353

お選びになった使徒たちに、聖霊によって命じたのち、天に上げられた日までのことを、ことごとくしるした。

3

οἷς	καὶ	παρέστησεν	ἑαυτὸν	ζῶντα,	μετὰ	τὸ
彼らに	また	ご自身を–示されました	—	生きて–おられることを	苦しみを–受けた	—
G3739	G2532	G3936	G1438	G2198	G3326	G3588

παθεῖν	αὐτὸν,	ἐν	πολλοῖς	τεκμηρίοις,	δι’	ἡμερῶν	τεσσεράκοντα,
後に	—	多くの	—	確かな–証拠をもって	四十	日の–間	—
G3958	G0846	G1722	G4183	G5039	G1223	G2250	G5062

ὀπτανόμενος	αὐτοῖς,	καὶ	λέγων	τὰ	περὶ	τῆς	βασιλείας	τοῦ	Θεοῦ:
彼らに–現れ	—	そして	語られました	—	神の	—	国に–ついて	—	—
G3700	G0846	G2532	G3004	G3588	G4012	G3588	G0932	G3588	G2316

イエスは苦難を受けたのち、自分の生きていることを数々の確かな証拠によって示し、四十日にわたってたびたび彼らに現れて、神の国のことを語られた。

4

καὶ	συναλιζόμενος,	παρήγγειλεν	αὐτοῖς	ἀπὸ	Ἰεροσολύμων
そして	共に–食事をしながら	命じられました	彼らに	エルサレムから	—
G2532	G4871	G3853	G0846	G0575	G2414

μὴ	χωρίζεσθαι,	ἀλλὰ	περιμένειν	τὴν	ἐπαγγελίαν	τοῦ	Πατρὸς,	ἣν
離れないように	—	むしろ	待ちなさいと	父の	約束を	—	—	それを
G3361	G5563	G0235	G4037	G3588	G1860	G3588	G3962	G3739

ἠκούσατέ	μου.
あなたがたは–聞きました	私から
G0191	G1473

そして食事を共にしているとき、彼らにお命じになった、「エルサレムから離れないで、かねてわたしから聞いていた父の約束を待っているがよい。

5 ὅτι なぜなら G3754 Ἰωάννης ヨハネは G2491 μὲν 確かに G3303 ἐβάπτισεν 洗礼を-施しました G0907 ὕδατι; 水で G5204 ὑμεῖς しかし-あなたがたは G4771 δὲ — G1161 ἐν 聖 G1722 Πνεύματι 霊で G4151 βαπτισθήσεσθε 洗礼を-受けます G0907 Ἁγίῳ, — G0040 οὐ 多くない G3756 μετὰ — G3326 πολλὰς — G4183 ταύτας これらの G3778 ἡμέρας. 日の-後に G2250

すなわち、ヨハネは水でバプテスマを授けたが、あなたがたは間もなく聖霊によって、バプテスマを授けられるであろう」。

6 Οἱ さて G3588 μὲν — G3303 οὖν — G3767 συνελθόντες, 集まった-者たちは G4905 ἠρώτων 尋ねました G2065 αὐτὸν, イエスに G0846 λέγοντες, 言って G3004 Κύριε, 主よ G2962 εἰ この G1487 ἐν — G1722 τῷ — G3588 χρόνῳ 時に G5550 τούτῳ, — G3778 ἀποκαθιστάνεις 回復されるのですか G0600 τὴν — G3588 βασιλείαν 王国を G0932 τῷ — G3588 Ἰσραήλ? イスラエルに G2474

さて、弟子たちが一緒に集まったとき、イエスに問うて言った、「主よ、イスラエルのために国を復興なさるのは、この時なのですか」。

7 εἶπεν 言われました G3004 ‹δὲ› そして G1161 πρὸς 彼らに G4314 αὐτούς, — G0846 Οὐχ あなたがたが G3756 ὑμῶν — G4771 ἐστιν 知ることは-できません G1510 γνῶναι — G1097 χρόνους 時や G5550 ἢ また G2228 καιροὺς, 時期を G2540 οὓς 父が G3739 ὁ — G3588 Πατὴρ — G3962 ἔθετο 定められた G5087 ἐν ご自身の G1722 τῇ — G3588 ἰδίᾳ — G2398 ἐξουσίᾳ. 権威の-うちに G1849

彼らに言われた、「時期や場合は、父がご自分の権威によって定めておられるのであって、あなたがたの知る限りではない。

8 ἀλλὰ しかし G0235 λήμψεσθε あなたがたは-受けます G2983 δύναμιν, 力を G1411 ἐπελθόντος 臨む-時に G1904 τοῦ — G3588 Ἁγίου 聖なる G0040 Πνεύματος 霊が G4151 ἐφ’ あなたがたの-上に G1909 ὑμᾶς, — G4771 καὶ そして G2532 ἔσεσθέ なります G1510 μου 私の G1473 μάρτυρες, 証人と G3144 ἔν エルサレムで G1722 τε また G5037 Ἰερουσαλὴμ, — G2419 καὶ そして G2532 ἐν すべての G1722 πάσῃ — G3956 τῇ — G3588 Ἰουδαίᾳ, ユダヤで G2449 καὶ そして G2532 Σαμαρείᾳ, サマリアで G4540 καὶ そして G2532 ἕως 地の G2193 ἐσχάτου 果てに-まで G2078 τῆς — G3588 γῆς. — G1093

ただ、聖霊があなたがたにくだる時、あなたがたは力を受けて、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、さらに地のはてまで、わたしの証人となるであろう」。

9 καὶ ταῦτα εἰπὼν, βλεπόντων αὐτῶν, ἐπήρθη, καὶ
そして これらの–ことを 言われてから 見ている 彼らの–前で 引き上げられました そして
G2532 G3778 G3004 G0991 G0846 G1869 G2532

νεφέλη ὑπέλαβεν αὐτὸν ἀπὸ τῶν ὀφθαλμῶν αὐτῶν.
雲が イエスを–覆い ー 彼らの ー 目から 見えなく–なりました
G3507 G5274 G0846 G0575 G3588 G3788 G0846

こう言い終ると、イエスは彼らの見ている前で天に上げられ、雲に迎えられて、その姿が見えなくなった。

10 καὶ ὡς ἀτενίζοντες ἦσαν, εἰς τὸν οὐρανὸν, πορευομένου αὐτοῦ,
そして じっと 見つめて–いると ー 天を ー ー 上って–行かれる イエスを
G2532 G5613 G0816 G1510 G1519 G3588 G3772 G4198 G0846

καὶ ἰδοὺ ἄνδρες δύο παρειστήκεισαν αὐτοῖς, ἐν ἐσθήσεσι
すると–見よ ー 二人の ー 人が–そばに–立っていました 彼らの 白い 衣を
G2532 G3708 G0435 G1417 G3936 G0846 G1722 G2066

λευκαῖς,
着て
G3022

イエスの上って行かれるとき、彼らが天を見つめていると、見よ、白い衣を着たふたりの人が、彼らのそばに立っていて

11 οἳ καὶ εἶπαν, Ἄνδρες, Γαλιλαῖοι, τί ἑστήκατε βλέποντες
その人たちは また 言いました ガリラヤの 人たちよ なぜ 立って 見ているのですか
G3739 G2532 G3004 G0435 G1057 G5101 G2476 G0991

εἰς τὸν οὐρανόν? οὗτος ὁ Ἰησοῦς, ὁ ἀναλημφθεὶς ἀφ’ ὑμῶν
天を ー ー この ー イエスは ー 天に–上げられた あなたがたから ー
G1519 G3588 G3772 G3778 G3588 G2424 G3588 G0353 G0575 G4771

εἰς τὸν οὐρανὸν, οὕτως ἐλεύσεται ὃν τρόπον ἐθεάσασθε αὐτὸν
天に ー ー 同じように 来られます あなたがたが 見た–ように ー イエスが
G1519 G3588 G3772 G3779 G2064 G3739 G5158 G2300 G0846

πορευόμενον εἰς τὸν οὐρανόν.
天に–行かれるのを ー ー ー
G4198 G1519 G3588 G3772

言った、「ガリラヤの人たちよ、なぜ天を仰いで立っているのか。あなたがたを離れて天に上げられたこのイエスは、天に上って行かれるのをあなたがたが見たのと同じ有様で、またおいでになるであろう」。

12 Τότε ὑπέστρεψαν εἰς Ἰερουσαλὴμ ἀπὸ ὄρους τοῦ
それから 彼らは–戻りました エルサレムに ー オリーブと 呼ばれる ー
G5119 G5290 G1519 G2419 G0575 G3735 G3588

καλουμένου Ἐλαιῶνος, ὅ ἐστιν ἐγγὺς Ἰερουσαλὴμ, σαββάτου ἔχον
ー 山から それは 近くに–あります ー エルサレムの 安息日に–歩ける ほどの
G2564 G1638 G3739 G1510 G1451 G2419 G4521 G2192

ὁδόν.
距離です
G3598

それから彼らは、オリブという山を下ってエルサレムに帰った。この山はエルサレムに近く、安息日に許されている距離のところにある。

13 καὶ そして G2532 ὅτε 着くと G3753 εἰσῆλθον 入りました G1525 εἰς 二階の G1519 τὸ ― G3588 ὑπερῷον, 部屋に G5253 ἀνέβησαν 上がりました G0305 οὗ そこに G3757 ἦσαν 泊まっていた G1510

καταμένοντες ― G2650 ὅ ペテロ G3588 τε と G5037 Πέτρος ― G4074 καὶ そして G2532 Ἰωάννης, ヨハネ G2491 καὶ そして G2532 Ἰάκωβος ヤコブ G2385 καὶ そして G2532 Ἀνδρέας, アンデレ G0406

Φίλιππος ピリポ G5376 καὶ そして G2532 Θωμᾶς, トマス G2381 Βαρθολομαῖος バルトロマイ G0918 καὶ そして G2532 Μαθθαῖος, マタイ G3156 Ἰάκωβος アルパヨの-子 G2385 Ἁλφαίου, ― G0256

καὶ ヤコブ G2532 Σίμων そして G4613 ὁ シモン G3588 Ζηλωτὴς, ― G2207 καὶ 熱心党員 G2532 Ἰούδας そして G2455 Ἰακώβου. ヤコブの-子-ユダ G2385

彼らは、市内に行って、その泊まっていた屋上の間にあがった。その人たちは、ペテロ、ヨハネ、ヤコブ、アンデレ、ピリポとトマス、バルトロマイとマタイ、アルパヨの子ヤコブと熱心党のシモンとヤコブの子ユダとであった。

14 οὗτοι この人たちは G3778 πάντες みな G3956 ἦσαν 心を-一つにして G1510 προσκαρτεροῦντες ― G4342 ὁμοθυμαδὸν ― G3661 τῇ 祈りに G3588

προσευχῇ, 専念していました G4335 σὺν 女たちや G4862 γυναιξὶν, ― G1135 καὶ イエスの G2532 Μαριὰμ 母 G3137 τῇ ― G3588 μητρὶ マリアと G3384 τοῦ ― G3588 Ἰησοῦ, ― G2424 καὶ そして G2532

σὺν イエスの G4862 τοῖς ― G3588 ἀδελφοῖς 兄弟たちと-共に G0080 αὐτοῦ. ― G0846

彼らはみな、婦人たち、特にイエスの母マリヤ、およびイエスの兄弟たちと共に、心を合わせて、ひたすら祈をしていた。

15 Καὶ そして G2532 ἐν その G1722 ταῖς ― G3588 ἡμέραις 日々に G2250 ταύταις, ― G3778 ἀναστὰς 立ち上がった G0450 Πέτρος ペテロは G4074 ἐν 兄弟たちの G1722 μέσῳ 真ん中で G3319 τῶν ― G3588

ἀδελφῶν, ― G0080 εἶπεν, 言いました G3004 ἦν 集まった G1510 τε ― G5037 ὄχλος 人々は G3793 ὀνομάτων ― G3686 ἐπὶ 全部で G1909 τὸ ― G3588 αὐτὸ, ― G0846 ὡσεὶ 約 G5616 ἑκατὸν 百 G1540

εἴκοσι, 二十人-でした G1501

そのころ、百二十名ばかりの人々が、一団となって集まっていたが、ペテロはこれらの兄弟たちの中に立って言った、

16 Ἄνδρες, 兄弟たちよ G0435 ἀδελφοί, ― G0080 ἔδει 成就する-必要が-ありました G1163 πληρωθῆναι ― G4137 τὴν ― G3588 γραφὴν, 聖書が G1124 ἣν 聖 G3739

προεῖπεν 霊が G4277 τὸ ― G3588 Πνεῦμα ― G4151 τὸ 聖なる G3588 Ἅγιον, ― G0040 διὰ ダビデの G1223 στόματος 口を-通して G4750 Δαυὶδ, ― G1138 περὶ ユダに-ついて G4012

Ἰούδα, ― G2455 τοῦ ― G3588 γενομένου 予告された G1096 ὁδηγοῦ 道案内と-なった G3595 τοῖς 者の G3588 συλλαβοῦσιν イエスを-捕らえた G4815 Ἰησοῦν; ― G2424

「兄弟たちよ、イエスを捕えた者たちの手びきになったユダについては、聖霊がダビデの口をとおして預言したその言葉は、成就しなければならなかった。

17

ὅτι	κατηριθμημένος	ἦν	ἐν	ἡμῖν,	καὶ	ἔλαχεν	τὸν
なぜなら	数えられていました	—	私たちの-中に	—	そして	受けていました	この
G3754	G2674	G1510	G1722	G1473	G2532	G2975	G3588

κλῆρον	τῆς	διακονίας	ταύτης.
務めの	—	—	分け前を
G2819	G3588	G1248	G3778

彼はわたしたちの仲間に加えられ、この務を授かっていた者であった。（

18

οὗτος	μὲν	οὖν	ἐκτήσατο	χωρίον	ἐκ	μισθοῦ	τῆς	ἀδικίας,	καὶ
この-人は	実に	—	手に-入れました	土地を	不正の	報酬で	—	—	そして
G3778	G3303	G3767	G2932	G5564	G1537	G3408	G3588	G0093	G2532

πρηνὴς	γενόμενος,	ἐλάκησεν	μέσος,	καὶ	ἐξεχύθη	πάντα	τὰ
まっさかさまに	落ちて	体が-裂け	真ん中から	そして	流れ出ました	すべての	—
G4248	G1096	G2997	G3319	G2532	G1632	G3956	G3588

σπλάγχνα	αὐτοῦ.
内臓が	彼の
G4698	G0846

彼は不義の報酬で、ある地所を手に入れたが、そこへまっさかさまに落ちて、腹がまん中から引き裂け、はらわたがみな流れ出てしまった。

19

καὶ	γνωστὸν	ἐγένετο	πᾶσι	τοῖς	κατοικοῦσιν	Ἰερουσαλήμ,	ὥστε
そして	知られました	—	すべての	—	エルサレムに-住む	—	人々に
G2532	G1110	G1096	G3956	G3588	G2730	G2419	G5620

κληθῆναι	τὸ	χωρίον	ἐκεῖνο	τῇ	ἰδίᾳ	διαλέκτῳ	αὐτῶν	Ἀκελδαμάχ,
そこで-呼ばれました	その	土地は	—	彼らの	—	言葉で	—	アケルダマ
G2564	G3588	G5564	G1565	G3588	G2398	G1258	G0846	G0184

τοῦτ’	ἔστιν,	Χωρίον	αἵματος.
すなわち	—	血の	地と
G3778	G1510	G5564	G0129

そして、この事はエルサレムの全住民に知れわたり、そこで、この地所が彼らの国語でアケルダマと呼ばれるようになった。「血の地所」との意である。）

20

γέγραπται	γὰρ	ἐν	βίβλῳ	Ψαλμῶν,	Γενηθήτω	ἡ	ἔπαυλις	αὐτοῦ
記されています	なぜなら	詩篇の	書に	—	荒れ果てよ	彼の	住まいは	—
G1125	G1063	G1722	G0976	G5568	G1096	G3588	G1886	G0846

ἔρημος,	καὶ	μὴ	ἔστω	ὁ	κατοικῶν	ἐν	αὐτῇ;	καί,	Τὴν
—	そして	住む-者が	いなく-なれ	—	—	そこに	—	また	彼の
G2048	G2532	G3361	G1510	G3588	G2730	G1722	G0846	G2532	G3588

ἐπισκοπὴν	αὐτοῦ	λαβέτω	ἕτερος.
監督の-職を	—	他の者が-受けよ	—
G1984	G0846	G2983	G2087

詩篇に、『その屋敷は荒れ果てよ、そこにはひとりも住む者がいなくなれ』と書いてあり、また『その職は、ほかの者に取らせよ』とあるとおりである。

21 δεῖ ですから G1163 οὖν — G3767 τῶν 私たちと G3588 συνελθόντων 共にいた G4905 ἡμῖν — G1473 ἀνδρῶν, 人々の-中から G0435 ἐν すべての G1722 παντὶ — G3956 χρόνῳ 期間 G5550 ᾧ 主 G3739

εἰσῆλθεν イエスが-来られ G1525 καὶ そして G2532 ἐξῆλθεν 去られた G1831 ἐφ’ 私たちの-間を G1909 ἡμᾶς — G1473 ὁ — G3588 Κύριος — G2962 Ἰησοῦς, — G2424

そういうわけで、主イエスがわたしたちの間にゆききされた期間中、

22 ἀρξάμενος 始まり G0756 ἀπὸ ヨハネの G0575 τοῦ — G3588 βαπτίσματος 洗礼から G0908 Ἰωάννου — G2491 ἕως 天に-上げられた G2193 τῆς — G3588 ἡμέρας 日まで G2250 ἧς — G3739

ἀνελήμφθη — G0353 ἀφ’ 私たちから G0575 ἡμῶν, — G1473 μάρτυρα 復活の G3144 τῆς — G3588 ἀναστάσεως — G0386 αὐτοῦ 証人と G0846 σὺν 私たちと-共に G4862 ἡμῖν, — G1473

γενέσθαι なる-べき G1096 ἕνα 一人を G1520 τούτων. 選ばねば-なりません G3778

すなわち、ヨハネのバプテスマの時から始まって、わたしたちを離れて天に上げられた日に至るまで、始終わたしたちと行動を共にした人たちのうち、だれかひとりが、わたしたちに加わって主の復活の証人にならねばならない」。

23 Καὶ そこで G2532 ἔστησαν 二人を-立てました G2476 δύο, — G1417 Ἰωσὴφ ヨセフ G2501 τὸν — G3588 καλούμενον バルサバとも G2564 Βαρσαββᾶν, 呼ばれる G0923 ὃς — G3739 ἐπεκλήθη 別名は G1941

Ἰοῦστος, ユストス G2459 καὶ と G2532 Ματθίαν. マッティアを G3159

そこで一同は、バルサバと呼ばれ、またの名をユストというヨセフと、マッテヤとのふたりを立て、

24 καὶ そして G2532 προσευξάμενοι, 祈って G4336 εἶπαν, 言いました G3004 Σὺ あなたは G4771 Κύριε, 主よ G2962 καρδιογνῶστα すべての-人の-心を-ご存じです G2589 πάντων, — G3956

ἀνάδειξον 示してください G0322 ὃν あなたが-選ばれた G3739 ἐξελέξω, — G1586 ἐκ この G1537 τούτων — G3778 τῶν — G3588 δύο 二人の-うち G1417 ἕνα, 一人を G1520

祈って言った、「すべての人の心をご存じである主よ。このふたりのうちのどちらを選んで、

25 λαβεῖν 受ける-ために G2983 τὸν この G3588 τόπον — G5117 τῆς 務めと G3588 διακονίας — G1248 ταύτης — G3778 καὶ 使徒の G2532 ἀποστολῆς, 職を G0651 ἀφ’ ユダが G0575 ἧς — G3739

παρέβη 離れて-行った G3845 Ἰούδας, — G2455 πορευθῆναι 自分の G4198 εἰς — G1519 τὸν — G3588 τόπον 場所に G5117 τὸν — G3588 ἴδιον. — G2398

ユダがこの使徒の職務から落ちて、自分の行くべきところへ行ったそのあとを継がせなさいますか、お示し下さい」。

26 καὶ そして G2532 ἔδωκαν くじを-引きました G1325 κλήρους — G2819 αὐτοῖς, すると G0846 καὶ — G2532 ἔπεσεν くじは-当たりました G4098 ὁ — G3588 κλῆρος — G2819

ἐπὶ マッティアに G1909 Ματθίαν, — G3159 καὶ そして G2532 συνκατεψηφίσθη 加えられました G4785 μετὰ 十一人の G3326 τῶν — G3588 ἕνδεκα — G1733 ἀποστόλων. 使徒たちと-共に G0652

それから、ふたりのためにくじを引いたところ、マッテヤに当ったので、この人が十一人の使徒たちに加えられることになった。

Chapter 2

1

Καὶ	ἐν	τῷ	συμπληροῦσθαι	τὴν	ἡμέραν	τῆς	Πεντηκοστῆς,	ἦσαν
そして	—	—	満ちた-とき	—	五旬節の-日が	—	—	いました
G2532	G1722	G3588	G4845	G3588	G2250	G3588	G4005	G1510

πάντες	ὁμοῦ	ἐπὶ	τὸ	αὐτό.
みな	共に	一つの	—	場所に
G3956	G3674	G1909	G3588	G0846

五旬節の日がきて、みんなの者が一緒に集まっていると、

2

καὶ	ἐγένετο	ἄφνω	ἐκ	τοῦ	οὐρανοῦ	ἦχος,	ὥσπερ	φερομένης	πνοῆς
すると	起こりました	突然	天から	—	—	響きが	あたかも	吹きつける	風の
G2532	G1096	G0869	G1537	G3588	G3772	G2279	G5618	G5342	G4157

βιαίας,	καὶ	ἐπλήρωσεν	ὅλον	τὸν	οἶκον	οὗ	ἦσαν	καθήμενοι.
激しい	そして	満たしました	家-全体を	—	—	そこに	彼らが	座っていた
G0972	G2532	G4137	G3650	G3588	G3624	G3757	G1510	G2521

突然、激しい風が吹いてきたような音が天から起ってきて、一同がすわっていた家いっぱいに響きわたった。

3

καὶ	ὤφθησαν	αὐτοῖς	διαμεριζόμεναι	γλῶσσαι	ὡσεὶ	πυρός,	καὶ
そして	現れました	彼らに	分かれた	舌が	まるで	火の-ように	そして
G2532	G3708	G0846	G1266	G1100	G5616	G4442	G2532

ἐκάθισεν	ἐφ’	ἕνα	ἕκαστον	αὐτῶν.
とどまりました	一人	—	ひとりの-上に	彼らの
G2523	G1909	G1520	G1538	G0846

また、舌のようなものが、炎のように分れて現れ、ひとりびとりの上にとどまった。

4

καὶ	ἐπλήσθησαν	πάντες	Πνεύματος	Ἁγίου,	καὶ	ἤρξαντο	λαλεῖν	ἑτέραις
そして	満たされました	みな	聖	霊に	そして	始めました	語ることを	異なる
G2532	G4130	G3956	G4151	G0040	G2532	G0756	G2980	G2087

γλώσσαις,	καθὼς	τὸ	Πνεῦμα	ἐδίδου	ἀποφθέγγεσθαι	αὐτοῖς.
言語で	御霊が	—	—	与えられた-ままに	語る-ことを	彼らに
G1100	G2531	G3588	G4151	G1325	G0669	G0846

すると、一同は聖霊に満たされ、御霊が語らせるままに、いろいろの他国の言葉で語り出した。

5

Ἦσαν	δὲ	εἰς	Ἰερουσαλὴμ	κατοικοῦντες	Ἰουδαῖοι,	ἄνδρες	εὐλαβεῖς
いました	さて	エルサレムに	—	住んでいる	ユダヤ人たちが	敬虔な	—
G1510	G1161	G1519	G2419	G2730	G2453	G0435	G2126

ἀπὸ	παντὸς	ἔθνους	τῶν	ὑπὸ	τὸν	οὐρανόν.
あらゆる	—	国から-来た	—	天の-下の	—	—
G0575	G3956	G1484	G3588	G5259	G3588	G3772

さて、エルサレムには、天下のあらゆる国々から、信仰深いユダヤ人たちがきて住んでいたが、

6 γενομένης δὲ τῆς φωνῆς ταύτης, συνῆλθεν τὸ πλῆθος καὶ
この — — 物音が–すると — 群衆が–集まり — — そして
G1096 G1161 G3588 G5456 G3778 G4905 G3588 G4128 G2532

συνεχύθη, ὅτι ἤκουον εἷς ἕκαστος τῇ ἰδίᾳ διαλέκτῳ λαλούντων
当惑しました なぜなら 聞いたのです 一人 ひとりが 自分の — 国の–言葉で 語っている–のを
G4797 G3754 G0191 G1520 G1538 G3588 G2398 G1258 G2980

αὐτῶν.
彼らが
G0846

この物音に大ぜいの人が集まってきて、彼らの生れ故郷の国語で、使徒たちが話しているのを、だれもかれも聞いてあっけに取られた。

7 ἐξίσταντο δὲ καὶ ἐθαύμαζον, λέγοντες, Οὐχ ἰδοὺ πάντες οὗτοί
驚き そして — 不思議がって 言いました 見よ — この–人たちは–みな —
G1839 G1161 G2532 G2296 G3004 G3756 G3708 G3956 G3778

εἰσιν, οἱ λαλοῦντες, Γαλιλαῖοι?
ではないか — 語っている ガリラヤ人
G1510 G3588 G2980 G1057

そして驚き怪しんで言った、「見よ、いま話しているこの人たちは、皆ガリラヤ人ではないか。

8 καὶ πῶς ἡμεῖς ἀκούομεν ἕκαστος τῇ ἰδίᾳ διαλέκτῳ ἡμῶν,
なのに–どうして — 私たちは 聞いているのか それぞれ 自分の — 国の–言葉で —
G2532 G4459 G1473 G0191 G1538 G3588 G2398 G1258 G1473

ἐν ᾗ ἐγεννήθημεν?
生まれた — —
G1722 G3739 G1080

それだのに、わたしたちがそれぞれ、生れ故郷の国語を彼らから聞かされるとは、いったい、どうしたことか。

9 Πάρθοι, καὶ Μῆδοι, καὶ Ἐλαμῖται; καὶ οἱ κατοικοῦντες τὴν
パルテヤ人 そして メディア人 そして エラム人 また — 住んでいる–者たち —
G3934 G2532 G3370 G2532 G1639 G2532 G3588 G2730 G3588

Μεσοποταμίαν, Ἰουδαίαν, τε καὶ Καππαδοκίαν, Πόντον καὶ τὴν Ἀσίαν;
メソポタミヤに ユダヤに また — カパドキアに ポントスに そして — アジアに
G3318 G2449 G5037 G2532 G2587 G4195 G2532 G3588 G0773

わたしたちの中には、パルテヤ人、メジヤ人、エラム人もおれば、メソポタミヤ、ユダヤ、カパドキヤ、ポントとアジヤ、

10 Φρυγίαν τε καὶ Παμφυλίαν, Αἴγυπτον καὶ τὰ μέρη τῆς Λιβύης
フリギアに また — パンフリアに エジプトに そして — 地方の — リビアの
G5435 G5037 G2532 G3828 G0125 G2532 G3588 G3313 G3588 G3033

τῆς κατὰ Κυρήνην, καὶ οἱ ἐπιδημοῦντες Ῥωμαῖοι;
— クレネに–近い — また — 滞在している ローマ人
G3588 G2596 G2957 G2532 G3588 G1927 G4514

フルギヤとパンフリヤ、エジプトとクレネに近いリビヤ地方などに住む者もいるし、またローマ人で旅にきている者、

11 Ἰουδαῖοί τε καὶ προσήλυτοι, Κρῆτες καὶ Ἄραβες, ἀκούομεν
ユダヤ人 また ― 改宗者 クレタ人 そして アラビア人も 聞いています
G2453 G5037 G2532 G4339 G2912 G2532 G0690 G0191

λαλούντων αὐτῶν, ταῖς ἡμετέραις γλώσσαις, τὰ μεγαλεῖα τοῦ Θεοῦ?
語っている–のを 彼らが 私たちの ― 言葉で 神の 大いなる–御業を ― ―
G2980 G0846 G3588 G2251 G1100 G3588 G3167 G3588 G2316

ユダヤ人と改宗者、クレテ人とアラビヤ人もいるのだが、あの人々がわたしたちの国語で、神の大きな働きを述べるのを聞くとは、どうしたことか」。

12 ἐξίσταντο δὲ πάντες, καὶ διηπόρουν, ἄλλος πρὸς ἄλλον λέγοντες, Τί
みな ― 驚き そして 当惑して 互いに ― ― 言いました これは
G1839 G1161 G3956 G2532 G1280 G0243 G4314 G0243 G3004 G5101

θέλει τοῦτο εἶναι?
いったい ― 何なのか
G2309 G3778 G1510

みんなの者は驚き惑って、互に言い合った、「これは、いったい、どういうわけなのだろう」。

13 ἕτεροι δὲ διαχλευάζοντες ἔλεγον, ὅτι Γλεύκους μεμεστωμένοι
しかし ― あざけって 言う–者もいました ― 甘い–ぶどう酒に 酔っている–のだ
G2087 G1161 G5512 G3004 G3754 G1098 G3325

εἰσίν.
―
G1510

しかし、ほかの人たちはあざ笑って、「あの人たちは新しい酒で酔っているのだ」と言った。

14 Σταθεὶς δὲ ὁ Πέτρος σὺν τοῖς ἕνδεκα, ἐπῆρεν τὴν φωνὴν
立ち上がりました すると ― ペテロが 十一人と ― 共に 声を–上げて ― ―
G2476 G1161 G3588 G4074 G4862 G3588 G1733 G1869 G3588 G5456

αὐτοῦ, καὶ ἀπεφθέγξατο αὐτοῖς, Ἄνδρες Ἰουδαῖοι, καὶ οἱ
― そして 語りました 彼らに ユダヤの ― 人たちよ–そして ―
G0846 G2532 G0669 G0846 G0435 G2453 G2532 G3588

κατοικοῦντες Ἰερουσαλὴμ πάντες, τοῦτο ὑμῖν γνωστὸν
エルサレムに–住む ― すべての–方々よ このことを あなたがたに 知って–いただきたい
G2730 G2419 G3956 G3778 G4771 G1110

ἔστω, καὶ ἐνωτίσασθε τὰ ῥήματά μου:
― そして 耳を–傾けてください 私の 言葉に ―
G1510 G2532 G1801 G3588 G4487 G1473

そこで、ペテロが十一人の者と共に立ちあがり、声をあげて人々に語りかけた。「ユダヤの人たち、ならびにエルサレムに住むすべてのかたがた、どうか、この事を知っていただきたい。わたしの言うことに耳を傾けていただきたい。

15 οὐ γὰρ ὡς ὑμεῖς ὑπολαμβάνετε, οὗτοι
この–人たちは ― あなたがたが ― 思っている–ように ―
G3756 G1063 G5613 G4771 G5274 G3778

μεθύουσιν, ἔστιν γὰρ ὥρα τρίτη τῆς ἡμέρας;
酔っている–のでは–ありません なぜなら ― 朝の 九時 ― なのです
G3184 G1510 G1063 G5610 G5154 G3588 G2250

今は朝の九時であるから、この人たちは、あなたがたが思っているように、酒に酔っているのではない。

16

ἀλλὰ	τοῦτό	ἐστιν	τὸ	εἰρημένον	διὰ	τοῦ	προφήτου	Ἰωήλ,
むしろ	これは	—	—	預言された-ことです	預言者	—	—	ヨエルを-通して
G0235	G3778	G1510	G3588	G2046	G1223	G3588	G4396	G2493

そうではなく、これは預言者ヨエルが預言していたことに外ならないのである。すなわち、

17

Καὶ	ἔσται	ἐν	ταῖς	ἐσχάταις	ἡμέραις,	λέγει	ὁ	Θεός,	ἐκχεῶ
そして	起こります	終わりの	—	—	日々に	言われる	—	神は	注ぎます
G2532	G1510	G1722	G3588	G2078	G2250	G3004	G3588	G2316	G1632

ἀπὸ	τοῦ	Πνεύματός	μου	ἐπὶ	πᾶσαν	σάρκα;	καὶ	προφητεύσουσιν
わたしの	—	霊を	—	すべての	—	人の-上に	すると	預言します
G0575	G3588	G4151	G1473	G1909	G3956	G4561	G2532	G4395

οἱ	υἱοὶ	ὑμῶν,	καὶ	αἱ	θυγατέρες	ὑμῶν;	καὶ	οἱ
あなたがたの	息子たちは	—	そして	あなたがたの	娘たちも	—	そして	あなたがたの
G3588	G5207	G4771	G2532	G3588	G2364	G4771	G2532	G3588

νεανίσκοι	ὑμῶν	ὁράσεις	ὄψονται,	καὶ	οἱ	πρεσβύτεροι	ὑμῶν	ἐνυπνίοις
若者たちは	—	幻を	見ます	そして	あなたがたの	長老たちは	—	夢を
G3495	G4771	G3706	G3708	G2532	G3588	G4245	G4771	G1798

ἐνυπνιασθήσονται;
見ます
G1797

『神がこう仰せになる。終りの時には、わたしの霊をすべての人に注ごう。そして、あなたがたのむすこ娘は預言をし、若者たちは幻を見、老人たちは夢を見るであろう。

18

καί‿	γε	ἐπὶ	τοὺς	δούλους	μου,	καὶ	ἐπὶ	τὰς
まことに	—	わたしの	—	しもべたちにも	—	そして	わたしの	—
G2532	G1065	G1909	G3588	G1401	G1473	G2532	G1909	G3588

δούλας	μου,	ἐν	ταῖς	ἡμέραις	ἐκείναις,	ἐκχεῶ	ἀπὸ	τοῦ	Πνεύματός
はしためたちにも	—	その	—	日々に	—	注ぎます	わたしの	—	霊を
G1399	G1473	G1722	G3588	G2250	G1565	G1632	G0575	G3588	G4151

μου,	καὶ	προφητεύσουσιν;
—	すると	預言します
G1473	G2532	G4395

その時には、わたしの男女の僕たちにもわたしの霊を注ごう。そして彼らも預言をするであろう。

19

καὶ	δώσω	τέρατα	ἐν	τῷ	οὐρανῷ	ἄνω,	καὶ	σημεῖα	ἐπὶ
そして	わたしは-示します	不思議を	上の	—	天に	—	そして	しるしを	下の
G2532	G1325	G5059	G1722	G3588	G3772	G0507	G2532	G4592	G1909

τῆς	γῆς	κάτω,	αἷμα	καὶ	πῦρ	καὶ	ἀτμίδα	καπνοῦ.
—	地に	—	血と	—	火と	—	煙の	立ちのぼりを
G3588	G1093	G2736	G0129	G2532	G4442	G2532	G0822	G2586

また、上では、天に奇跡を見せ、下では、地にしるしを、すなわち、血と火と立ちこめる煙とを、見せるであろう。

20

ὁ	ἥλιος	μεταστραφήσεται	εἰς	σκότος,	καὶ	ἡ	σελήνη	εἰς	αἷμα,
—	太陽は	変わります	闇に	—	そして	—	月は	血に	—
G3588	G2246	G3344	G1519	G4655	G2532	G3588	G4582	G1519	G0129

πρὶν	‹ἢ›	ἐλθεῖν	ἡμέραν	Κυρίου	τὴν,	μεγάλην	καὶ	ἐπιφανῆ.
来る-前に	—	—	主の	—	偉大で	—	—	輝かしい-日が
G4250	G2228	G2064	G2250	G2962	G3588	G3173	G2532	G2016

主の大いなる輝かしい日が来る前に、日はやみに月は血に変るであろう。

21 καὶ そして G2532 | ἔσται, こうなります G1510 | πᾶς すべて G3956 | ὃς — G3739 | ἐὰν — G1437 | ἐπικαλέσηται 主の-名を-呼び求める G1941 | τὸ — G3588 | ὄνομα — G3686 | Κυρίου — G2962

σωθήσεται.
者は-救われます
G4982

そのとき、主の名を呼び求める者は、みな救われるであろう』。

22 Ἄνδρες, イスラエルの G0435 | Ἰσραηλῖται, 人たちよ G2475 | ἀκούσατε 聞いてください G0191 | τοὺς この G3588 | λόγους 言葉を G3056 | τούτους: — G3778 | Ἰησοῦν ナザレの G2424 | τὸν — G3588

Ναζωραῖον, — G3480 | ἄνδρα イエスは-人であり G0435 | ἀποδεδειγμένον 神から-認められた-方です G0584 | ἀπὸ — G0575 | τοῦ — G3588 | Θεοῦ — G2316 | εἰς あなたがたの-ために G1519

ὑμᾶς — G4771 | δυνάμεσι 力ある-業と G1411 | καὶ — G2532 | τέρασι 不思議と G5059 | καὶ — G2532 | σημείοις, しるしを-もって G4592 | οἷς それらを G3739 | ἐποίησεν 行われました G4160

δι’ イエスを-通して G1223 | αὐτοῦ — G0846 | ὁ — G3588 | Θεὸς 神が G2316 | ἐν あなたがたの G1722 | μέσῳ ただ中で G3319 | ὑμῶν, — G4771 | καθὼς あなたがた G2531 | αὐτοὶ 自身が G0846

οἴδατε.
知っている-通り
G1492

イスラエルの人たちよ、今わたしの語ることを聞きなさい。あなたがたがよく知っているとおり、ナザレ人イエスは、神が彼をとおして、あなたがたの中で行われた数々の力あるわざと奇跡としるしとにより、神からつかわされた者であることを、あなたがたに示されたかたであった。

23 τοῦτον, この-方を G3778 | τῇ 定められた G3588 | ὡρισμένῃ — G3724 | βουλῇ ご計画と G1012 | καὶ — G2532 | προγνώσει 予知に-よって G4268 | τοῦ — G3588 | Θεοῦ, 神の G2316 | ἔκδοτον 引き渡し G1560

διὰ 不法な-者たちの G1223 | χειρὸς 手に-よって G5495 | ἀνόμων, — G0459 | προσπήξαντες 十字架に-つけて G4362 | ἀνείλατε. 殺しました G0337

このイエスが渡されたのは神の定めた計画と予知とによるのであるが、あなたがたは彼を不法の人々の手で十字架につけて殺した。

24 ὃν この-方を G3739 | ὁ — G3588 | Θεὸς 神は G2316 | ἀνέστησεν, よみがえらせました G0450 | λύσας 解いて G3089 | τὰς 死の G3588 | ὠδῖνας 苦しみを G5604 | τοῦ — G3588 | θανάτου, — G2288

καθότι なぜなら G2530 | οὐκ あり得なかった-のです G3756 | ἦν — G1510 | δυνατὸν — G1415 | κρατεῖσθαι 捕らえられる-ことは G2902 | αὐτὸν イエスが G0846 | ὑπ’ 死に G5259 | αὐτοῦ. — G0846

神はこのイエスを死の苦しみから解き放って、よみがえらせたのである。イエスが死に支配されているはずはなかったからである。

25

Δαυὶδ	γὰρ	λέγει	εἰς	αὐτόν,	Προορώμην	τὸν	Κύριον
ダビデは	なぜなら	言っています	イエスに-ついて	—	わたしは-見ていた	主を	—
G1138	G1063	G3004	G1519	G0846	G4308	G3588	G2962

ἐνώπιόν	μου	διὰ	παντός,	ὅτι	ἐκ	δεξιῶν	μού	ἐστιν,	ἵνα
わたしの-前に	—	いつも	—	主が	わたしの	右に	—	おられるから	わたしは
G1799	G1473	G1223	G3956	G3754	G1537	G1188	G1473	G1510	G2443

μὴ	σαλευθῶ.
揺るがされ-ません	—
G3361	G4531

ダビデはイエスについてこう言っている、『わたしは常に目の前に主を見た。主は、わたしが動かされないため、わたしの右にいて下さるからである。

26

διὰ	τοῦτο	ηὐφράνθη	μου	«ἡ	καρδία»,	καὶ	ἠγαλλιάσατο	ἡ
それゆえ	—	喜びました	わたしの	—	心は	そして	喜び-躍りました	わたしの
G1223	G3778	G2165	G1473	G3588	G2588	G2532	G0021	G3588

γλῶσσά	μου;	ἔτι	δὲ,	καὶ	ἡ	σάρξ	μου	κατασκηνώσει	ἐπ’
舌は	—	さらに	また	わたしの	—	肉体も	—	住みます	望みの-うちに
G1100	G1473	G2089	G1161	G2532	G3588	G4561	G1473	G2681	G1909

ἐλπίδι,
—
G1680

それゆえ、わたしの心は楽しみ、わたしの舌はよろこび歌った。わたしの肉体もまた、望みに生きるであろう。

27

ὅτι	οὐκ	ἐνκαταλείψεις	τὴν	ψυχήν	μου	εἰς	ᾅδην,	οὐδὲ
なぜなら	あなたは-捨てません	—	わたしの	魂を	—	陰府に	—	また
G3754	G3756	G1459	G3588	G5590	G1473	G1519	G0086	G3761

δώσεις	τὸν	Ὅσιόν	σου	ἰδεῖν	διαφθοράν.
お与えに-なりません	あなたの	聖なる-者が	—	見ることを	朽ち果てるのを
G1325	G3588	G3741	G4771	G3708	G1312

あなたは、わたしの魂を黄泉に捨ておくことをせず、あなたの聖者が朽ち果てるのを、お許しにならないであろう。

28

ἐγνώρισάς	μοι	ὁδοὺς	ζωῆς;	πληρώσεις	με
あなたは-示されました	わたしに	命の-道を	—	あなたは-満たしてくださいます	わたしを
G1107	G1473	G3598	G2222	G4137	G1473

εὐφροσύνης	μετὰ	τοῦ	προσώπου	σου.
喜びで	あなたの	—	御前で	—
G2167	G3326	G3588	G4383	G4771

あなたは、いのちの道をわたしに示し、み前にあって、わたしを喜びで満たして下さるであろう』。

29 Ἄνδρες, ἀδελφοί, ἐξὸν εἰπεῖν μετὰ παρρησίας πρὸς ὑμᾶς,
兄弟たちよ ― はっきりと 言わせて-ください ― ― あなたがたに ―
G0435 G0080 G1832 G3004 G3326 G3954 G4314 G4771

περὶ τοῦ πατριάρχου Δαυὶδ, ὅτι καὶ ἐτελεύτησεν καὶ ἐτάφη,
族長 ― ― ダビデに-ついて 彼は ― 死に そして 葬られました
G4012 G3588 G3966 G1138 G3754 G2532 G5053 G2532 G2290

καὶ τὸ μνῆμα αὐτοῦ ἔστιν ἐν ἡμῖν ἄχρι τῆς ἡμέρας
そして 彼の 墓は ― あります 私たちの-中に ― 今日に-至るまで ― ―
G2532 G3588 G3418 G0846 G1510 G1722 G1473 G0891 G3588 G2250

ταύτης.
―
G3778

兄弟たちよ、族長ダビデについては、わたしはあなたがたにむかって大胆に言うことができる。彼は死んで葬られ、現にその墓が今日に至るまで、わたしたちの間に残っている。

30 προφήτης οὖν ὑπάρχων, καὶ εἰδὼς ὅτι ὅρκῳ
預言者で-あった-ので ― ― そして 知っていたのです 神が 誓いを-もって
G4396 G3767 G5225 G2532 G1492 G3754 G3727

ὤμοσεν αὐτῷ ὁ Θεὸς, ἐκ καρποῦ τῆς ὀσφύος αὐτοῦ,
誓われた-ことを ダビデに ― ― 彼の 子孫の-中から ― ― ―
G3660 G0846 G3588 G2316 G1537 G2590 G3588 G3751 G0846

καθίσαι ἐπὶ τὸν θρόνον αὐτοῦ.
座らせると 彼の ― 王座に ―
G2523 G1909 G3588 G2362 G0846

彼は預言者であって、『その子孫のひとりを王位につかせよう』と、神が堅く彼に誓われたことを認めていたので、

31 προϊδὼν, ἐλάλησεν περὶ τῆς ἀναστάσεως τοῦ Χριστοῦ, ὅτι
先を-見て 語りました キリストの ― 復活に-ついて ― ― ―
G4308 G2980 G4012 G3588 G0386 G3588 G5547 G3754

οὔτε ἐνκατελείφθη εἰς ᾅδην, οὔτε ἡ σὰρξ αὐτοῦ εἶδεν
捨てられ-なかった ― 陰府に ― また その 肉体は ― 見なかった
G3777 G1459 G1519 G0086 G3777 G3588 G4561 G0846 G3708

διαφθοράν.
朽ち果てることを
G1312

キリストの復活をあらかじめ知って、『彼は黄泉に捨ておかれることがなく、またその肉体が朽ち果てることもない』と語ったのである。

32 τοῦτον τὸν Ἰησοῦν ἀνέστησεν ὁ Θεός, οὗ πάντες ἡμεῖς ἐσμεν
この ― イエスを よみがえらせました ― 神が その すべての 私たちは 証人です
G3778 G3588 G2424 G0450 G3588 G2316 G3739 G3956 G1473 G1510

μάρτυρες.
―
G3144

このイエスを、神はよみがえらせた。そして、わたしたちは皆その証人なのである。

33 τῇ δεξιᾷ οὖν τοῦ Θεοῦ ὑψωθεὶς, τήν τε ἐπαγγελίαν τοῦ Πνεύματος
神の 右に ― ― ― 上げられ 聖 なる 霊の–約束を ― ―
G3588 G1188 G3767 G3588 G2316 G5312 G3588 G5037 G1860 G3588 G4151

τοῦ Ἁγίου, λαβὼν παρὰ τοῦ Πατρὸς, ἐξέχεεν τοῦτο ὃ ὑμεῖς καὶ
― ― 受けて 父から ― ― 注ぎました これを あなたがたが ― ―
G3588 G0040 G2983 G3844 G3588 G3962 G1632 G3778 G3739 G4771 G2532

βλέπετε καὶ ἀκούετε.
見て そして 聞いている–ものを
G0991 G2532 G0191

それで、イエスは神の右に上げられ、父から約束の聖霊を受けて、それをわたしたちに注がれたのである。このことは、あなたがたが現に見聞きしているとおりである。

34 οὐ γὰρ Δαυὶδ ἀνέβη εἰς τοὺς οὐρανούς, λέγει
ダビデは なぜなら ― 上りませんでした 天に ― ― しかし–彼は–言っています
G3756 G1063 G1138 G0305 G1519 G3588 G3772 G3004

δὲ αὐτός, Εἶπεν ‹ὁ› Κύριος τῷ Κυρίῳ μου, Κάθου ἐκ δεξιῶν
― ― 言われた ― 主は わたしの 主に ― 座りなさい わたしの 右に
G1161 G0846 G3004 G3588 G2962 G3588 G2962 G1473 G2521 G1537 G1188

μου,
―
G1473

ダビデが天に上ったのではない。彼自身こう言っている、『主はわが主に仰せになった、

35 ἕως ἂν θῶ τοὺς ἐχθρούς σου, ὑποπόδιον τῶν ποδῶν
わたしが–置くまで ― ― あなたの 敵を ― 足台と–して あなたの 足の
G2193 G0302 G5087 G3588 G2190 G4771 G5286 G3588 G4228

σου.
―
G4771

あなたの敵をあなたの足台にするまでは、わたしの右に座していなさい』。

36 ἀσφαλῶς οὖν γινωσκέτω πᾶς οἶκος Ἰσραὴλ, ὅτι καὶ Κύριον
確かに ― 知りなさい イスラエルの すべての–家よ ― 神が ― 主と–し
G0806 G3767 G1097 G3956 G3624 G2474 G3754 G2532 G2962

αὐτὸν, καὶ Χριστὸν ἐποίησεν ὁ Θεός, τοῦτον τὸν Ἰησοῦν
― また キリストと–された ― ― ― この ― イエスを
G0846 G2532 G5547 G4160 G3588 G2316 G3778 G3588 G2424

ὃν ὑμεῖς ἐσταυρώσατε.
あなたがたが ― 十字架に–つけた
G3739 G4771 G4717

だから、イスラエルの全家は、この事をしかと知っておくがよい。あなたがたが十字架につけたこのイエスを、神は、主またキリストとしてお立てになったのである」。

37 Ἀκούσαντες δὲ κατενύγησαν τὴν καρδίαν, εἶπόν τε πρὸς τὸν
聞いた–人々は — 心を–刺されて — — 言いました — ペテロと —
G0191 G1161 G2660 G3588 G2588 G3004 G5037 G4314 G3588

Πέτρον καὶ τοὺς λοιποὺς ἀποστόλους, Τί ποιήσωμεν, ἄνδρες,
— そして ほかの — 使徒たちに どう すれば–よいのですか 兄弟たちよ
G4074 G2532 G3588 G3062 G0652 G5101 G4160 G0435

ἀδελφοί?
—
G0080

人々はこれを聞いて、強く心を刺され、ペテロやほかの使徒たちに、「兄弟たちよ、わたしたちは、どうしたらよいのでしょうか」と言った。

38 Πέτρος δὲ πρὸς αὐτούς, Μετανοήσατε, [φησίν], καὶ βαπτισθήτω,
ペテロは — 彼らに — 悔い改めなさい と–言いました そして 洗礼を–受けなさい
G4074 G1161 G4314 G0846 G3340 G5346 G2532 G0907

ἕκαστος ὑμῶν, ἐπὶ τῷ ὀνόματι Ἰησοῦ Χριστοῦ, εἰς
あなたがた–一人ひとり — イエス — — — キリストの–名に–よって 罪の
G1538 G4771 G1909 G3588 G3686 G2424 G5547 G1519

ἄφεσιν τῶν ἁμαρτιῶν ὑμῶν, καὶ λήμψεσθε τὴν δωρεὰν τοῦ Ἁγίου
赦しの–ために — — — すると 受けます 聖 霊の — —
G0859 G3588 G0266 G4771 G2532 G2983 G3588 G1431 G3588 G0040

Πνεύματος.
賜物を
G4151

すると、ペテロが答えた、「悔い改めなさい。そして、あなたがたひとりびとりが罪のゆるしを得るために、イエス・キリストの名によって、バプテスマを受けなさい。そうすれば、あなたがたは聖霊の賜物を受けるであろう。

39 ὑμῖν γάρ ἐστιν ἡ ἐπαγγελία, καὶ τοῖς τέκνοις
あなたがたに なぜなら — この 約束が–あります そして あなたがたの 子どもたちに
G4771 G1063 G1510 G3588 G1860 G2532 G3588 G5043

ὑμῶν, καὶ πᾶσιν τοῖς εἰς μακρὰν, ὅσους ἂν προσκαλέσηται
— そして 遠く–離れた — — すべての–者にも — — 主である
G4771 G2532 G3956 G3588 G1519 G3117 G3745 G0302 G4341

Κύριος, ὁ Θεὸς ἡμῶν.
— 私たちの 神が 召される–限り
G2962 G3588 G2316 G1473

この約束は、われらの主なる神の召しにあずかるすべての者、すなわちあなたがたと、あなたがたの子らと、遠くの者一同とに、与えられているものである」。

40 ἑτέροις τε λόγοις πλείοσιν διεμαρτύρατο, καὶ παρεκάλει αὐτοὺς, λέγων,
他にも — 多くの 言葉で 証しし そして 勧めました 彼らを 言って
G2087 G5037 G3056 G4119 G1263 G2532 G3870 G0846 G3004

Σώθητε ἀπὸ τῆς γενεᾶς τῆς σκολιᾶς ταύτης.
救われなさい この — 曲がった — — 時代から
G4982 G0575 G3588 G1074 G3588 G4646 G3778

ペテロは、ほかになお多くの言葉であかしをなし、人々に「この曲った時代から救われよ」と言って勧めた。

41 οἱ μὲν οὖν ἀποδεξάμενοι τὸν λόγον αὐτοῦ ἐβαπτίσθησαν; καὶ
その — — 言葉を–受け入れた — — 人々は 洗礼を–受けました そして
G3588 G3303 G3767 G0588 G3588 G3056 G0846 G0907 G2532

προσετέθησαν ἐν τῇ ἡμέρᾳ ἐκείνῃ, ψυχαὶ ὡσεὶ τρισχίλιαι.
加えられました その — 日に — 約–三千 — 人が
G4369 G1722 G3588 G2250 G1565 G5590 G5616 G5153

そこで、彼の勧めの言葉を受けいれた者たちは、バプテスマを受けたが、その日、仲間に加わったものが三千人ほどあった。

42 ἦσαν δὲ προσκαρτεροῦντες τῇ διδαχῇ τῶν ἀποστόλων, καὶ τῇ
そして — 専念していました 使徒たちの 教えに — — そして 交わりに
G1510 G1161 G4342 G3588 G1322 G3588 G0652 G2532 G3588

κοινωνίᾳ, τῇ κλάσει τοῦ ἄρτου, καὶ ταῖς προσευχαῖς.
— パンを 裂く–ことに — — そして 祈りに —
G2842 G3588 G2800 G3588 G0740 G2532 G3588 G4335

そして一同はひたすら、使徒たちの教を守り、信徒の交わりをなし、共にパンをさき、祈をしていた。

43 Ἐγίνετο δὲ πάσῃ ψυχῇ φόβος, πολλά τε τέρατα καὶ σημεῖα,
起こりました そして すべての 人に 畏れが 多くの — 不思議と — しるしが
G1096 G1161 G3956 G5590 G5401 G4183 G5037 G5059 G2532 G4592

διὰ τῶν ἀποστόλων ἐγίνετο.
使徒たちを–通して — — 行われました
G1223 G3588 G0652 G1096

みんなの者におそれの念が生じ、多くの奇跡としるしとが、使徒たちによって、次々に行われた。

44 πάντες δὲ οἱ πιστεύοντες ‹ἦσαν› ἐπὶ τὸ αὐτὸ, ‹καὶ›
信じた–者は–みな — — — 共に–いて — — — すべての–ものを
G3956 G1161 G3588 G4100 G1510 G1909 G3588 G0846 G2532

εἶχον ἅπαντα κοινά;
持っていました — 共有で
G2192 G0537 G2839

信者たちはみな一緒にいて、いっさいの物を共有にし、

45 καὶ τὰ κτήματα καὶ τὰς ὑπάρξεις ἐπίπρασκον, καὶ διεμέριζον
そして 財産や — — 持ち物を — 売って そして 分け与えました
G2532 G3588 G2933 G2532 G3588 G5223 G4097 G2532 G1266

αὐτὰ πᾶσιν, καθότι ἄν τις χρείαν εἶχεν.
それらを すべての–人に 必要に — 応じて — —
G0846 G3956 G2530 G0302 G5100 G5532 G2192

資産や持ち物を売っては、必要に応じてみんなの者に分け与えた。

46 καθ’ ἡμέραν τε προσκαρτεροῦντες ὁμοθυμαδὸν ἐν τῷ ἱερῷ,
毎日 — — 心を–一つにして — — — 神殿に–集まり
G2596 G2250 G5037 G4342 G3661 G1722 G3588 G2411

κλῶντές τε κατ’ οἶκον ἄρτον, μετελάμβανον τροφῆς ἐν ἀγαλλιάσει
家々で — — パンを–裂き 食事を–共にしました — 喜びと —
G2806 G5037 G2596 G3624 G0740 G3335 G5160 G1722 G0020

καὶ ἀφελότητι καρδίας,
— 真心を–もって —
G2532 G0858 G2588

そして日々心を一つにして、絶えず宮もうでをなし、家ではパンをさき、よろこびと、まごころとをもって、食事を共にし、

47 αἰνοῦντες 神を-賛美し G0134 τὸν — G3588 Θεὸν, — G2316 καὶ そして G2532 ἔχοντες 好意を-得ていました G2192 χάριν — G5485 πρὸς すべての G4314 ὅλον — G3650 τὸν — G3588 λαόν. 民から G2992

ὁ そして G3588 δὲ — G1161 Κύριος 主は G2962 προσετίθει 加えていかれました G4369 τοὺς 救われる G3588 σῳζομένους 人々を G4982 καθ’ 日々 G2596 ἡμέραν — G2250 ἐπὶ 彼らの G1909 τὸ — G3588

αὐτό. 群れに G0846

神をさんびし、すべての人に好意を持たれていた。そして主は、救われる者を日々仲間に加えて下さったのである。

Chapter 3

1 Πέτρος ペテロと G4074 δὲ — G1161 καὶ — G2532 Ἰωάννης ヨハネは G2491 ἀνέβαινον 上って-行きました G0305 εἰς 神殿に G1519 τὸ — G3588 ἱερὸν — G2411 ἐπὶ, 祈りの G1909 τὴν — G3588

ὥραν 時間に G5610 τῆς — G3588 προσευχῆς, — G4335 τὴν 午後 G3588 ἐνάτην. 三時の G1766

さて、ペテロとヨハネとが、午後三時の祈のときに宮に上ろうとしていると、

2 καί すると G2532 τις ある G5100 ἀνὴρ, 人が G0435 χωλὸς 足の-不自由な G5560 ἐκ 母の G1537 κοιλίας 胎内から G2836 μητρὸς — G3384 αὐτοῦ — G0846 ὑπάρχων, — G5225

ἐβαστάζετο, 運ばれて-きました G0941 ὃν その人を G3739 ἐτίθουν 置いていました G5087 καθ’ 毎日 G2596 ἡμέραν — G2250 πρὸς 神殿の G4314 τὴν — G3588 θύραν 門の-そばに G2374 τοῦ — G3588

ἱεροῦ, — G2411 τὴν 美しい-門と G3588 λεγομένην 呼ばれる G3004 Ὡραίαν, — G5611 τοῦ 施しを G3588 αἰτεῖν 求める-ために G0154 ἐλεημοσύνην — G1654 παρὰ 神殿に G3844 τῶν — G3588

εἰσπορευομένων 入る-人々から G1531 εἰς — G1519 τὸ — G3588 ἱερόν; — G2411

生れながら足のきかない男が、かかえられてきた。この男は、宮もうでに来る人々に施しをこうため、毎日、「美しの門」と呼ばれる宮の門のところに、置かれていた者である。

3 ὃς その人は G3739 ἰδὼν 見て G3708 Πέτρον ペテロと G4074 καὶ — G2532 Ἰωάννην ヨハネが G2491 μέλλοντας 入ろうと-しているのを G3195 εἰσιέναι — G1524 εἰς 神殿に G1519 τὸ — G3588

ἱερὸν, — G2411 ἠρώτα 求めました G2065 ἐλεημοσύνην 施しを G1654 λαβεῖν. もらおうと G2983

彼は、ペテロとヨハネとが、宮にはいって行こうとしているのを見て、施しをこうた。

4

ἀτενίσας	δὲ	Πέτρος	εἰς	αὐτὸν,	σὺν	τῷ	Ἰωάννῃ,	εἶπεν,	
見つめて	—	ペテロは	その人を	—	ヨハネと–共に	—	—	言いました	
G0816	G1161	G4074	G1519	G0846	G4862	G3588	G2491	G3004	

Βλέψον	εἰς	ἡμᾶς.	
私たちを–見なさい	—	—	
G0991	G1519	G1473	

ペテロとヨハネとは彼をじっと見て、「わたしたちを見なさい」と言った。

5

ὁ	δὲ	ἐπεῖχεν	αὐτοῖς,	προσδοκῶν	τι	παρ’	αὐτῶν	λαβεῖν.
その人は	—	注目しました	彼らに	何か	—	もらえると	—	期待して
G3588	G1161	G1907	G0846	G4328	G5100	G3844	G0846	G2983

彼は何かもらえるのだろうと期待して、ふたりに注目していると、

6

εἶπεν	δὲ	Πέτρος,	Ἀργύριον	καὶ	χρυσίον	οὐχ		ὑπάρχει
しかし–言いました	—	ペテロは	銀も	—	金も	私には–ありません		—
G3004	G1161	G4074	G0694	G2532	G5553	G3756		G5225

μοι,	ὃ	δὲ	ἔχω,	τοῦτό	σοι	δίδωμι:	ἐν	τῷ	ὀνόματι
—	しかし	—	持っている–ものを	あなたに	—	与えます	ナザレの	—	—
G1473	G3739	G1161	G2192	G3778	G4771	G1325	G1722	G3588	G3686

Ἰησοῦ	Χριστοῦ	τοῦ	Ναζωραίου,	[ἔγειρε	καὶ]	περιπάτει!
イエス	キリストの–名に–よって	—	—	起き上がって	そして	歩きなさい
G2424	G5547	G3588	G3480	G1453	G2532	G4043

ペテロが言った、「金銀はわたしには無い。しかし、わたしにあるものをあげよう。ナザレ人イエス・キリストの名によって歩きなさい」。

7

καὶ	πιάσας	αὐτὸν	τῆς	δεξιᾶς	χειρὸς,	ἤγειρεν	αὐτόν;	παραχρῆμα	δὲ	
そして	つかみ	その人の	右の	—	手を	起こしました	—	たちまち	—	
G2532	G4084	G0846	G3588	G1188	G5495	G1453	G0846	G3916	G1161	

ἐστερεώθησαν	αἱ	βάσεις	αὐτοῦ,	καὶ	τὰ	σφυδρά.	
強くなりました	その人の	足と	—	そして	—	くるぶしが	
G4732	G3588	G0939	G0846	G2532	G3588	G4974	

こう言って彼の右手を取って起してやると、足と、くるぶしとが、立ちどころに強くなって、

8

καὶ	ἐξαλλόμενος,	ἔστη	καὶ	περιεπάτει,	καὶ	εἰσῆλθεν	σὺν	αὐτοῖς	
そして	跳り–上がって	立ち	そして	歩きました	そして	入りました	彼らと–共に	—	
G2532	G1814	G2476	G2532	G4043	G2532	G1525	G4862	G0846	

εἰς	τὸ	ἱερὸν,	περιπατῶν,	καὶ	ἁλλόμενος,	καὶ	αἰνῶν	τὸν	Θεόν.	
神殿に	—	—	歩きながら	そして	跳りながら	そして	賛美していました	—	神を	
G1519	G3588	G2411	G4043	G2532	G0242	G2532	G0134	G3588	G2316	

踊りあがって立ち、歩き出した。そして、歩き回ったり踊ったりして神をさんびしながら、彼らと共に宮にはいって行った。

9

καὶ	εἶδεν	πᾶς	ὁ	λαὸς	αὐτὸν	περιπατοῦντα	καὶ	
そして	見ました	すべての	—	民が	その人が	歩いて	そして	
G2532	G3708	G3956	G3588	G2992	G0846	G4043	G2532	

αἰνοῦντα	τὸν	Θεόν.	
神を–賛美しているのを	—	—	
G0134	G3588	G2316	

民衆はみな、彼が歩き回り、また神をさんびしているのを見、

10 ἐπεγίνωσκον δὲ αὐτὸν, ὅτι οὗτος ἦν ὁ πρὸς τὴν
そして–気づきました — その人が 美しい–門の–そばに — — — — —
G1921 G1161 G0846 G3754 G3778 G1510 G3588 G4314 G3588

ἐλεημοσύνην καθήμενος ἐπὶ τῇ Ὡραίᾳ Πύλῃ τοῦ ἱεροῦ; καὶ
施しを–求めて 座っていた–者だと — — — — 神殿の — そして
G1654 G2521 G1909 G3588 G5611 G4439 G3588 G2411 G2532

ἐπλήσθησαν θάμβους καὶ ἐκστάσεως ἐπὶ τῷ συμβεβηκότι αὐτῷ.
満たされました 驚きと — 滋天で その人に — 起こった–ことに–ついて —
G4130 G2285 G2532 G1611 G1909 G3588 G4819 G0846

これが宮の「美しの門」のそばにすわって、施しをこうていた者であると知り、彼の身に起ったことについて、驚き怪しんだ。

11 Κρατοῦντος δὲ αὐτοῦ τὸν Πέτρον καὶ τὸν Ἰωάννην,
その人が — — ペテロと — — — ヨハネに–しがみつくと
G2902 G1161 G0846 G3588 G4074 G2532 G3588 G2491

συνέδραμεν πᾶς ὁ λαὸς πρὸς αὐτοὺς ἐπὶ τῇ στοᾷ τῇ
駆け–寄りました すべての — 民が 彼らの–もとに — ソロモンの — 廈と —
G4936 G3956 G3588 G2992 G4314 G0846 G1909 G3588 G4745 G3588

καλουμένῃ Σολομῶντος, ἔκθαμβοι.
呼ばれる–場所で —
G2564 G4672 G1569 非常に–驚いて

彼がなおもペテロとヨハネとにつきまとっているとき、人々は皆ひどく驚いて、「ソロモンの廊」と呼ばれる柱廊にいた彼らのところに駆け集まってきた。

12 ἰδὼν δὲ, ὁ Πέτρος ἀπεκρίνατο πρὸς τὸν λαόν, Ἄνδρες, Ἰσραηλῖται,
見て — — ペテロは 答えました 民に — — イスラエルの 人たちよ
G3708 G1161 G3588 G4074 G0611 G4314 G3588 G2992 G0435 G2475

τί θαυμάζετε ἐπὶ τούτῳ? ἢ ἡμῖν τί ἀτενίζετε, ὡς
なぜ 驚くのですか このことに — または 私たちを なぜ 見つめるのですか まるで
G5101 G2296 G1909 G3778 G2228 G1473 G5101 G0816 G5613

ἰδίᾳ δυνάμει ἢ εὐσεβείᾳ πεποιηκόσιν τοῦ περιπατεῖν αὐτόν?
自分の 力や または 敬虔さに–よって 歩かせたかの–ように — — この人を
G2398 G1411 G2228 G2150 G4160 G3588 G4043 G0846

ペテロはこれを見て、人々にむかって言った、「イスラエルの人たちよ、なぜこの事を不思議に思うのか。また、わたしたちが自分の力や信心で、あの人を歩かせたかのように、なぜわたしたちを見つめているのか。

13 ὁ Θεὸς Ἀβραὰμ, καὶ [ὁ θεὸς] Ἰσαὰκ, καὶ [ὁ
アブラハムの–神 — — そして — イサクの–神 — そして —
G3588 G2316 G0011 G2532 G3588 G2316 G2464 G2532 G3588

θεὸς] Ἰακώβ, ὁ Θεὸς τῶν πατέρων ἡμῶν, ἐδόξασεν τὸν
ヤコブの–神 — 私たちの 先祖の — — 神が 栄光を–与えました その
G2316 G2384 G3588 G2316 G3588 G3962 G1473 G1392 G3588

Παῖδα αὐτοῦ, Ἰησοῦν, ὃν ὑμεῖς μὲν παρεδώκατε, καὶ ἠρνήσασθε
僕 — イエスに あなたがたが — 実に 引き渡し そして 否認しました
G3816 G0846 G2424 G3739 G4771 G3303 G3860 G2532 G0720

κατὰ πρόσωπον Πιλάτου, κρίναντος ἐκείνου ἀπολύειν.
ピラトの–前で — — ピラトが–釈放すると — 決めたのに
G2596 G4383 G4091 G2919 G1565 G0630

アブラハム、イサク、ヤコブの神、わたしたちの先祖の神は、その僕イエスに栄光を賜わったのであるが、あなたがたは、このイエスを引き渡し、ピラトがゆるすことに決めていたのに、それを彼の面前で拒んだ。

14 ὑμεῖς δὲ τὸν Ἅγιον καὶ Δίκαιον ἠρνήσασθε, καὶ ἠτήσασθε
あなたがたは — 聖なる — そして 正しい-方を 否認し そして 求めました
G4771 G1161 G3588 G0040 G2532 G1342 G0720 G2532 G0154

ἄνδρα, φονέα χαρισθῆναι ὑμῖν;
人殺しを — 釈放することを あなたがたに
G0435 G5406 G5483 G4771

あなたがたは、この聖なる正しいかたを拒んで、人殺しの男をゆるすように要求し、

15 τὸν δὲ Ἀρχηγὸν τῆς ζωῆς ἀπεκτείνατε, ὃν ὁ Θεὸς
しかし — 命の-創始者を — — 殺しました しかし — 神は
G3588 G1161 G0747 G3588 G2222 G0615 G3739 G3588 G2316

ἤγειρεν ἐκ νεκρῶν. οὗ ἡμεῖς μάρτυρές ἐσμεν.
よみがえらせました 死者の-中から — そのことの 私たちは 証人 です
G1453 G1537 G3498 G3739 G1473 G3144 G1510

いのちの君を殺してしまった。しかし、神はこのイエスを死人の中から、よみがえらせた。わたしたちは、その事の証人である。

16 καὶ ἐπὶ τῇ πίστει τοῦ ὀνόματος αὐτοῦ, τοῦτον ὃν
そして イエスの-名への — 信仰に-よって — — — この人を あなたがたが
G2532 G1909 G3588 G4102 G3588 G3686 G0846 G3778 G3739

θεωρεῖτε καὶ οἴδατε ἐστερέωσεν; τὸ ὄνομα αὐτοῦ, καὶ
見て そして 知っている-この人を 強くしました イエスの 名が — そして
G2334 G2532 G1492 G4732 G3588 G3686 G0846 G2532

ἡ πίστις ἡ δι’ αὐτοῦ, ἔδωκεν αὐτῷ τὴν ὁλοκληρίαν
イエスを-通しての 信仰が — — — 与えました この人に この 完全な-健康を
G3588 G4102 G3588 G1223 G0846 G1325 G0846 G3588 G3647

ταύτην, ἀπέναντι πάντων ὑμῶν.
— あなたがた-みなの — 前で
G3778 G0561 G3956 G4771

そして、イエスの名が、それを信じる信仰のゆえに、あなたがたのいま見て知っているこの人を、強くしたのであり、イエスによる信仰が、彼をあなたがた一同の前で、このとおり完全にいやしたのである。

17 καὶ νῦν, ἀδελφοί, οἶδα ὅτι κατὰ ἄγνοιαν ἐπράξατε,
さて 今 兄弟たちよ 私は-知っています あなたがたが 知らずに — 行ったことを
G2532 G3568 G0080 G1492 G3754 G2596 G0052 G4238

ὥσπερ καὶ οἱ ἄρχοντες ὑμῶν;
あなたがたの — — 指導者たちも-同様に —
G5618 G2532 G3588 G0758 G4771

さて、兄弟たちよ、あなたがたは知らずにあのような事をしたのであり、あなたがたの指導者たちとても同様であったことは、わたしにわかっている。

18 ὁ δὲ Θεὸς ἃ προκατήγγειλεν διὰ στόματος πάντων
しかし — 神は すべての 予告された-ことを — 預言者たちの-口を-通して —
G3588 G1161 G2316 G3739 G4293 G1223 G4750 G3956

τῶν προφητῶν, παθεῖν τὸν Χριστὸν αὐτοῦ, ἐπλήρωσεν οὕτως.
— — キリストが-苦しまれると — — — 成就させました このように
G3588 G4396 G3958 G3588 G5547 G0846 G4137 G3779

神はあらゆる預言者の口をとおして、キリストの受難を予告しておられたが、それをこのように成就なさったのである。

19	μετανοήσατε	οὖν	καὶ	ἐπιστρέψατε,	πρὸς	τὸ	ἐξαλειφθῆναι	
	悔い改めなさい	ですから	そして	立ち返りなさい	あなたがたの	—	罪が–拭い–去られる–ために	
	G3340	G3767	G2532	G1994	G4314	G3588	G1813	

ὑμῶν	τὰς	ἁμαρτίας,	
—	—	—	
G4771	G3588	G0266	

だから、自分の罪をぬぐい去っていただくために、悔い改めて本心に立ちかえりなさい。

20	ὅπως	ἂν	ἔλθωσιν	καιροὶ	ἀναψύξεως	ἀπὸ	προσώπου	τοῦ	Κυρίου,
	そうすれば	—	来ます	慶いの–時が	—	主の	御前から	—	—
	G3704	G0302	G2064	G2540	G0403	G0575	G4383	G3588	G2962

καὶ	ἀποστείλῃ	τὸν	προκεχειρισμένον	ὑμῖν,	Χριστὸν	Ἰησοῦν.	
そして	遣わされます	あなたがたの–ために	定められた	—	キリスト	イエスを	
G2532	G0649	G3588	G4400	G4771	G5547	G2424	

それは、主のみ前から慰めの時がきて、あなたがたのためにあらかじめ定めてあったキリストなるイエスを、神がつかわして下さるためである。

21	ὃν	δεῖ	οὐρανὸν	μὲν	δέξασθαι,	ἄχρι	χρόνων
	イエスは	確かに	天に	—	留まらねば–なりません	すべての–ものが	—
	G3739	G1163	G3772	G3303	G1209	G0891	G5550

ἀποκαταστάσεως	πάντων,	ὧν	ἐλάλησεν	ὁ	Θεὸς	διὰ		
回復される–時まで	—	そのことに–ついて	語られました	—	神が	聖なる		
G0605	G3956	G3739	G2980	G3588	G2316	G1223		

στόματος	τῶν	ἁγίων	ἀπ’	αἰῶνος	αὐτοῦ	προφητῶν.	
預言者たちの–口を–通して	—	—	昔から	—	—	—	
G4750	G3588	G0040	G0575	G0165	G0846	G4396	

このイエスは、神が聖なる預言者たちの口をとおして、昔から預言しておられた万物更新の時まで、天にとどめておかれねばならなかった。

22	Μωϋσῆς	μὲν	εἶπεν,	ὅτι	Προφήτην	ὑμῖν	ἀναστήσει	Κύριος
	モーセは	確かに	言いました	あなたがたの–ために	預言者を	—	起こされます	主である
	G3475	G3303	G3004	G3754	G4396	G4771	G0450	G2962

ὁ	Θεὸς	[ὑμῶν]	ἐκ	τῶν	ἀδελφῶν	ὑμῶν,	ὡς	ἐμέ:	
—	神が	—	あなたがたの	—	兄弟たちの–中から	—	私の–ような	—	
G3588	G2316	G4771	G1537	G3588	G0080	G4771	G5613	G1473	

αὐτοῦ	ἀκούσεσθε	κατὰ	πάντα,	ὅσα	ἂν	λαλήσῃ	
その–預言者に	耳を–傾けなさい	すべての–ことに–ついて	—	—	—	語られることを	
G0846	G0191	G2596	G3956	G3745	G0302	G2980	

πρὸς	ὑμᾶς.	
あなたがたに	—	
G4314	G4771	

モーセは言った、『主なる神は、わたしをお立てになったように、あなたがたの兄弟の中から、ひとりの預言者をお立てになるであろう。その預言者があなたがたに語ることには、ことごとく聞きしたがいなさい。

23 ἔσται δὲ πᾶσα ψυχὴ ἥτις, ἐὰν μὴ ἀκούσῃ τοῦ
こうなります そして すべての 魂は その–預言者に — 聞き–従わない–なら — —
G1510 G1161 G3956 G5590 G3748 G1437 G3361 G0191 G3588

προφήτου ἐκείνου, ἐξολεθρευθήσεται ἐκ τοῦ λαοῦ.
— — 滅ぼされます 民の–中から — —
G4396 G1565 G1842 G1537 G3588 G2992

彼に聞きしたがわない者は、みな民の中から滅ぼし去られるであろう』。

24 καὶ πάντες δὲ οἱ προφῆται ἀπὸ Σαμουὴλ, καὶ τῶν
また すべての — — 預言者たちは サムエルから — その 後の–人々も
G2532 G3956 G1161 G3588 G4396 G0575 G4545 G2532 G3588

καθεξῆς, ὅσοι ἐλάλησαν, καὶ κατήγγειλαν τὰς ἡμέρας ταύτας.
— 語った 者は–みな この 日々に–ついて — — 告げ–知らせました
G2517 G3745 G2980 G2532 G2605 G3588 G2250 G3778

サムエルをはじめ、その後つづいて語ったほどの預言者はみな、この時のことを予告した。

25 ὑμεῖς ἐστε οἱ υἱοὶ τῶν προφητῶν, καὶ τῆς διαθήκης ἧς
あなたがたは 子です 預言者たちの — — — そして 契約の — 神が
G4771 G1510 G3588 G5207 G3588 G4396 G2532 G3588 G1242 G3739

«ὁ Θεὸς» διέθετο πρὸς τοὺς πατέρας ὑμῶν, λέγων πρὸς
— — 結ばれた 私たちの — 先祖たちと — アブラハムに–言われました —
G3588 G2316 G1303 G4314 G3588 G3962 G4771 G3004 G4314

Ἀβραάμ, Καὶ ἐν τῷ σπέρματί σου ἐνευλογηθήσονται πᾶσαι αἱ
— そして あなたの — 子孫に–よって — 祝福されます 地の —
G0011 G2532 G1722 G3588 G4690 G4771 G1757 G3956 G3588

πατριαὶ τῆς γῆς.
すべての–氏族が — —
G3965 G3588 G1093

あなたがたは預言者の子であり、神があなたがたの先祖たちと結ばれた契約の子である。神はアブラハムに対して、『地上の諸民族は、あなたの子孫によって祝福を受けるであろう』と仰せられた。

26 ὑμῖν πρῶτον, ἀναστήσας ὁ Θεὸς τὸν Παῖδα αὐτοῦ, ἀπέστειλεν
あなたがたに–まず — 起こして — 神は その 僕 — 遣わされました
G4771 G4412 G0450 G3588 G2316 G3588 G3816 G0846 G0649

αὐτὸν, εὐλογοῦντα ὑμᾶς ἐν τῷ ἀποστρέφειν
イエスを 祝福してくださる–ために あなたがたを それぞれが — 立ち返る–ことに–よって
G0846 G2127 G4771 G1722 G3588 G0654

ἕκαστον ἀπὸ τῶν πονηριῶν ὑμῶν.
— あなたがたの — 悪から —
G1538 G0575 G3588 G4189 G4771

神がまずあなたがたのために、その僕を立てて、おつかわしになったのは、あなたがたひとりびとりを、悪から立ちかえらせて、祝福にあずからせるためなのである」。

Chapter 4

1

Λαλούντων	δὲ	αὐτῶν	πρὸς	τὸν	λαὸν,	ἐπέστησαν	αὐτοῖς	οἱ	ἱερεῖς,	
語っている–とき	しかし	彼らが	～に	その	民に	近づいて–来た	彼らに	その	祭司たちと	
G2980	G1161	G0846	G4314	G3588	G2992	G2186	G0846	G3588	G2409	

καὶ	ὁ	στρατηγὸς	τοῦ	ἱεροῦ,	καὶ	οἱ	Σαδδουκαῖοι,
そして	その	宮の–守衛長と	その	神殿の	そして	その	サドカイ人たちが
G2532	G3588	G4755	G3588	G2411	G2532	G3588	G4523

彼らが人々にこのように語っているあいだに、祭司たち、宮守がしら、サドカイ人たちが近寄ってきて、

2

διαπονούμενοι	διὰ	τὸ	διδάσκειν	αὐτοὺς	τὸν	λαὸν,	καὶ	
苛立って	～の–ゆえに	その	教えることを	彼らが	その	民に	そして	
G1278	G1223	G3588	G1321	G0846	G3588	G2992	G2532	

καταγγέλλειν	ἐν	τῷ	Ἰησοῦ	τὴν	ἀνάστασιν,	τὴν	ἐκ	
宣べ伝えることを	～において	その	イエスに–おける	その	復活を	すなわち	～からの	
G2605	G1722	G3588	G2424	G3588	G0386	G3588	G1537	

νεκρῶν;	
死者–からの	
G3498	

彼らが人々に教を説き、イエス自身に起った死人の復活を宣伝しているのに気をいら立て、

3

καὶ	ἐπέβαλον	αὐτοῖς	τὰς	χεῖρας,	καὶ	ἔθεντο	εἰς	τήρησιν	εἰς	τὴν
そして	手を–かけた	彼らに	その	手を	そして	入れた	～に	留置場に	～まで	その
G2532	G1911	G0846	G3588	G5495	G2532	G5087	G1519	G5084	G1519	G3588

αὔριον;	ἦν	γὰρ	ἑσπέρα	ἤδη.
翌日まで	であった	なぜなら	夕方	すでに
G0839	G1510	G1063	G2073	G2235

彼らに手をかけて捕え、はや日が暮れていたので、翌朝まで留置しておいた。

4

πολλοὶ	δὲ	τῶν	ἀκουσάντων	τὸν	λόγον,	ἐπίστευσαν,	καὶ	ἐγενήθη	‹ὁ›
多くの	しかし	その	聞いた–者たちの	その	言葉を	信じた	そして	なった	その
G4183	G1161	G3588	G0191	G3588	G3056	G4100	G2532	G1096	G3588

ἀριθμὸς	τῶν	ἀνδρῶν	ὡς	χιλιάδες	πέντε.
数は	その	人々の	およそ	五	千に
G0706	G3588	G0435	G5613	G5505	G4002

しかし、彼らの話を聞いた多くの人たちは信じた。そして、その男の数が五千人ほどになった。

5

Ἐγένετο	δὲ	ἐπὶ	τὴν	αὔριον	συναχθῆναι	αὐτῶν	τοὺς	ἄρχοντας	καὶ
起こった	そして	～に	その	翌日	集められた	彼らの	その	支配者たちと	そして
G1096	G1161	G1909	G3588	G0839	G4863	G0846	G3588	G0758	G2532

τοὺς	πρεσβυτέρους	καὶ	τοὺς	γραμματεῖς	ἐν	Ἰερουσαλήμ,	
その	長老たちと	そして	その	律法学者たちが	～で	エルサレムに	
G3588	G4245	G2532	G3588	G1122	G1722	G2419	

明くる日、役人、長老、律法学者たちが、エルサレムに召集された。

6

καὶ	Ἅννας	ὁ	ἀρχιερεὺς,	καὶ	Καϊάφας,	καὶ	Ἰωάννης,	καὶ	
そして	アンナスは	その	大祭司と	そして	カヤパと	そして	ヨハネと	そして	
G2532	G0452	G3588	G0749	G2532	G2533	G2532	G2491	G2532	

Ἀλέξανδρος,	καὶ	ὅσοι	ἦσαν	ἐκ	γένους	ἀρχιερατικοῦ.	
アレキサンデルと	そして	すべて–の–者たち	であった	～の	家系の	大祭司の	
G0223	G2532	G3745	G1510	G1537	G1085	G0748	

大祭司アンナスをはじめ、カヤパ、ヨハネ、アレキサンデル、そのほか大祭司の一族もみな集まった。

7

καὶ	στήσαντες	αὐτοὺς	ἐν	τῷ	μέσῳ,	ἐπυνθάνοντο,	Ἐν	ποίᾳ
そして	立たせて	彼らを	～の	その	真ん中に	尋ねた	～の	いかなる
G2532	G2476	G0846	G1722	G3588	G3319	G4441	G1722	G4169

δυνάμει	ἢ	ἐν	ποίῳ	ὀνόματι	ἐποιήσατε	τοῦτο	ὑμεῖς?
力に-よって	あるいは	～の	いかなる	名に-よって	行ったのか	これを	あなたがたは
G1411	G2228	G1722	G4169	G3686	G4160	G3778	G4771

そして、そのまん中に使徒たちを立たせて尋問した、「あなたがたは、いったい、なんの権威、また、だれの名によって、このことをしたのか」。

8

τότε	Πέτρος,	πλησθεὶς	Πνεύματος	Ἁγίου,	εἶπεν	πρὸς	αὐτούς,	Ἄρχοντες
そのとき	ペテロは	満たされて	聖	霊に	言った	～に	彼らに	民の
G5119	G4074	G4130	G4151	G0040	G3004	G4314	G0846	G0758

τοῦ	λαοῦ	καὶ	πρεσβύτεροι,
その	指導者たちと	そして	長老たちよ
G3588	G2992	G2532	G4245

その時、ペテロが聖霊に満たされて言った、「民の役人たち、ならびに長老たちよ、

9

εἰ	ἡμεῖς	σήμερον	ἀνακρινόμεθα,	ἐπὶ	εὐεργεσίᾳ	ἀνθρώπου
もし	わたしたちが	今日	取り調べられて-いるなら	～について	善い-行いの	人の
G1487	G1473	G4594	G0350	G1909	G2108	G0444

ἀσθενοῦς,	ἐν	τίνι	οὗτος	σέσωσται,
病んだ	～に-おいて	何に-よって	この-者が	救われたのか
G0772	G1722	G5101	G3778	G4982

わたしたちが、きょう、取調べを受けているのは、病人に対してした良いわざについてであり、この人がどうしていやされたかについてであるなら、

10

γνωστὸν	ἔστω	πᾶσιν	ὑμῖν,	καὶ	παντὶ	τῷ	λαῷ	Ἰσραὴλ,
知られるように	あれ	すべての	あなたがたに	そして	すべての	その	民に	イスラエルの
G1110	G1510	G3956	G4771	G2532	G3956	G3588	G2992	G2474

ὅτι	ἐν	τῷ	ὀνόματι	Ἰησοῦ	Χριστοῦ	τοῦ	Ναζωραίου,	ὃν
すなわち	～の	その	名に-よって	イエス	キリストの	その	ナザレの	その-方を
G3754	G1722	G3588	G3686	G2424	G5547	G3588	G3480	G3739

ὑμεῖς	ἐσταυρώσατε,	ὃν	ὁ	Θεὸς	ἤγειρεν	ἐκ	νεκρῶν,
あなたがたが	十字架に-つけた	その-方を	（冠詞）	神が	よみがえらせた	～から	死者-から
G4771	G4717	G3739	G3588	G2316	G1453	G1537	G3498

ἐν	τούτῳ	οὗτος	παρέστηκεν	ἐνώπιον	ὑμῶν	ὑγιής.
～に-おいて	この-方に-よって	この-者が	立っている	～の-前に	あなたがたの	健やかに
G1722	G3778	G3778	G3936	G1799	G4771	G5199

あなたがたご一同も、またイスラエルの人々全体も、知っていてもらいたい。この人が元気になってみんなの前に立っているのは、ひとえに、あなたがたが十字架につけて殺したのを、神が死人の中からよみがえらせたナザレ人イエス・キリストの御名によるのである。

11

οὗτός	ἐστιν	ὁ	λίθος	ὁ	ἐξουθενηθεὶς	ὑφ’	ὑμῶν,	τῶν
この-方こそ	である	その	石	すなわち	退けられた	～に-よって	あなたがたに	すなわち
G3778	G1510	G3588	G3037	G3588	G1848	G5259	G4771	G3588

οἰκοδόμων,	ὁ	γενόμενος	εἰς	κεφαλὴν	γωνίας.
建てる-者たちに	それが	なった	～と	かしら	隅の
G3618	G3588	G1096	G1519	G2776	G1137

このイエスこそは『あなたがた家造りらに捨てられたが、隅のかしら石となった石』なのである。

12										
καὶ	οὐκ	ἔστιν	ἐν	ἄλλῳ	οὐδενὶ	ἡ	σωτηρία,	οὐδὲ	γὰρ
そして	ない	ある	～に	他の-何者にも	誰にも	（冠詞）	救いは	もない	なぜなら
G2532	G3756	G1510	G1722	G0243	G3762	G3588	G4991	G3761	G1063

ὄνομά	ἐστιν	ἕτερον	ὑπὸ	τὸν	οὐρανὸν,	τὸ	δεδομένον	ἐν
名は	ない	ほかの	～の-もとに	その	天の-下に	（冠詞）	与えられた	～の-中に
G3686	G1510	G2087	G5259	G3588	G3772	G3588	G1325	G1722

ἀνθρώποις,	ἐν	ᾧ	δεῖ	σωθῆναι	ἡμᾶς.
人々の	～に-おいて	それに-よって	必要である	救われることが	わたしたちが
G0444	G1722	G3739	G1163	G4982	G1473

この人による以外に救はない。わたしたちを救いうる名は、これを別にしては、天下のだれにも与えられていないからである」。

13									
Θεωροῦντες	δὲ	τὴν	τοῦ	Πέτρου	παρρησίαν,	καὶ	Ἰωάννου,	καὶ
見て	そして	その	（冠詞）	ペテロの	大胆さを	そして	ヨハネの	そして
G2334	G1161	G3588	G3588	G4074	G3954	G2532	G2491	G2532

καταλαβόμενοι	ὅτι	ἄνθρωποι	ἀγράμματοί	εἰσιν,	καὶ	ἰδιῶται,	ἐθαύμαζον.
理解して	～と	人々で	無学な	であると	そして	普通の	驚いた
G2638	G3754	G0444	G0062	G1510	G2532	G2399	G2296

ἐπεγίνωσκόν	τε	αὐτοὺς,	ὅτι	σὺν	τῷ	Ἰησοῦ	ἦσαν.
知った	そして	彼らを	～と	～と-共に	その	イエスと	いたと
G1921	G5037	G0846	G3754	G4862	G3588	G2424	G1510

人々はペテロとヨハネとの大胆な話しぶりを見、また同時に、ふたりが無学な、ただの人たちであることを知って、不思議に思った。そして彼らがイエスと共にいた者であることを認め、

14									
τόν	τε	ἄνθρωπον	βλέποντες	σὺν	αὐτοῖς	ἑστῶτα,	τὸν	τεθεραπευμένον,
その	また	人を	見て	～と-共に	彼らと	立っている	その	いやされた
G3588	G5037	G0444	G0991	G4862	G0846	G2476	G3588	G2323

οὐδὲν	εἶχον	ἀντειπεῖν.
何も	持たなかった	反論することを
G3762	G2192	G0483

かつ、彼らにいやされた者がそのそばに立っているのを見ては、まったく返す言葉がなかった。

15									
κελεύσαντες	δὲ	αὐτοὺς	ἔξω	τοῦ	συνεδρίου	ἀπελθεῖν,	συνέβαλλον	πρὸς
命じて	しかし	彼らを	外へ	その	議会から	出て-行くように	相談した	互いに
G2753	G1161	G0846	G1854	G3588	G4892	G0565	G4820	G4314

| |
---|
ἀλλήλους, |
互いに |
G0240 |

そこで、ふたりに議会から退場するように命じてから、互に協議をつづけて

16										
λέγοντες,	Τί	ποιήσωμεν	τοῖς	ἀνθρώποις	τούτοις?	ὅτι	μὲν	γὰρ
言って	何を	しようか	この	人々に	これらの	実に	一方では	なぜなら
G3004	G5101	G4160	G3588	G0444	G3778	G3754	G3303	G1063

γνωστὸν	σημεῖον	γέγονεν	δι’	αὐτῶν,	πᾶσιν	τοῖς	κατοικοῦσιν	Ἰερουσαλὴμ
明らかな	しるしが	なされた	～を-通して	彼らを	すべての	その	住んでいる	エルサレムに
G1110	G4592	G1096	G1223	G0846	G3956	G3588	G2730	G2419

φανερόν,	καὶ	οὐ	δυνάμεθα	ἀρνεῖσθαι.
明白で	そして	できない	わたしたちは	否定することが
G5318	G2532	G3756	G1410	G0720

言った、「あの人たちを、どうしたらよかろうか。彼らによって著しいしるしが行われたことは、エルサレムの住民全体に知れわたっているので、否定しようもない。

17 ἀλλ’ しかし G0235 ἵνα ～の-ために G2443 μὴ ない-ように G3361 ἐπὶ ～の-上に G1909 πλεῖον さらに G4119 διανεμηθῇ 広がらない-ように G1268 εἰς ～に G1519 τὸν その G3588 λαόν, 民の-中に G2992

ἀπειλησώμεθα 脅そう G0546 αὐτοῖς 彼らに G0846 μηκέτι もはや G3371 λαλεῖν 語らない-ように G2980 ἐπὶ ～の G1909 τῷ この G3588 ὀνόματι 名に-よって G3686 τούτῳ この G3778 μηδενὶ 誰にも G3367

ἀνθρώπων. 人々に G0444

ただ、これ以上このことが民衆の間にひろまらないように、今後はこの名によって、いっさいだれにも語ってはいけないと、おどしてやろうではないか」。

18 καὶ そして G2532 καλέσαντες 呼び出して G2564 αὐτοὺς, 彼らを G0846 παρήγγειλαν 命じた G3853 ‹τὸ› （冠詞） G3588 καθόλου 全く G2527 μὴ ～ない G3361 φθέγγεσθαι 語ることも G5350 μηδὲ ～も G3366

διδάσκειν, 教えることも G1321 ἐπὶ ～の G1909 τῷ その G3588 ὀνόματι 名に-よって G3686 τοῦ （冠詞） G3588 Ἰησοῦ. イエスの G2424

そこで、ふたりを呼び入れて、イエスの名によって語ることも説くことも、いっさい相成らぬと言いわたした。

19 ὁ （冠詞） G3588 δὲ しかし G1161 Πέτρος ペテロと G4074 καὶ そして G2532 Ἰωάννης, ヨハネは G2491 ἀποκριθέντες, 答えて G0611 εἶπον 言った G3004 πρὸς ～に G4314 αὐτούς, 彼らに G0846 Εἰ もし G1487

δίκαιόν 正しい G1342 ἐστιν ことか G1510 ἐνώπιον ～の-前で G1799 τοῦ （冠詞） G3588 Θεοῦ 神の G2316 ὑμῶν あなたがたの-言うことを G4771 ἀκούειν, 聞くのが G0191 μᾶλλον むしろ G3123

ἢ ～よりも G2228 τοῦ （冠詞） G3588 Θεοῦ, 神の G2316 κρίνατε; 判断-しなさい G2919

ペテロとヨハネとは、これに対して言った、「神に聞き従うよりも、あなたがたに聞き従う方が、神の前に正しいかどうか、判断してもらいたい。

20 οὐ できない G3756 δυνάμεθα わたしたちには G1410 γὰρ なぜなら G1063 ἡμεῖς, わたしたちは G1473 ἃ ～を G3739 εἴδαμεν 見た-ことと G3708 καὶ そして G2532 ἠκούσαμεν, 聞いた-ことを G0191

μὴ 語らない-ことは G3361 λαλεῖν. 語らないことは G2980

わたしたちとしては、自分の見たこと聞いたことを、語らないわけにはいかない」。

21

οἱ	δὲ	προσαπειλησάμενοι	ἀπέλυσαν	αὐτούς,	μηδὲν	εὑρίσκοντες	τὸ	
彼らは	そして	さらに-脅して	釈放した	彼らを	何も	見いだせず	（冠詞）	
G3588	G1161	G4324	G0630	G0846	G3367	G2147	G3588	

πῶς	κολάσωνται	αὐτούς,	διὰ	τὸν	λαόν,	ὅτι	πάντες
どのように	罰するかを	彼らを	～の-ゆえに	その	民	なぜなら	すべての-者が
G4459	G2849	G0846	G1223	G3588	G2992	G3754	G3956

ἐδόξαζον	τὸν	Θεὸν	ἐπὶ	τῷ	γεγονότι;	
神を-賛美していた	（冠詞）	神を	～に-ついて	その	起こった-ことで	
G1392	G3588	G2316	G1909	G3588	G1096	

そこで、彼らはふたりを更におどしたうえ、ゆるしてやった。みんなの者が、この出来事のために、神をあがめていたので、その人々の手前、ふたりを罰するすべがなかったからである。

22

ἐτῶν	γὰρ	ἦν	πλειόνων	τεσσεράκοντα,	ὁ	ἄνθρωπος	ἐφ’	ὃν
年は	なぜなら	であった	～以上の	四十	その	人は	～の-上に	その
G2094	G1063	G1510	G4119	G5062	G3588	G0444	G1909	G3739

γεγόνει	τὸ	σημεῖον	τοῦτο,	τῆς	ἰάσεως.	
起こった	この	しるしの	この	（冠詞）	いやしの	
G1096	G3588	G4592	G3778	G3588	G2392	

そのしるしによっていやされたのは、四十歳あまりの人であった。

23

Ἀπολυθέντες	δὲ,	ἦλθον	πρὸς	τοὺς	ἰδίους,	καὶ	ἀπήγγειλαν	
釈放されて	そして	来た	～の-ところへ	自分-たちの	仲間の-もとへ	そして	伝えた	
G0630	G1161	G2064	G4314	G3588	G2398	G2532	G0518	

ὅσα	πρὸς	αὐτοὺς	οἱ	ἀρχιερεῖς	καὶ	οἱ	πρεσβύτεροι	εἶπαν.
すべて-の-こと	～に	彼らに	その	祭司長たちと	そして	その	長老たちが	言った-ことを
G3745	G4314	G0846	G3588	G0749	G2532	G3588	G4245	G3004

ふたりはゆるされてから、仲間の者たちのところに帰って、祭司長たちや長老たちが言ったいっさいのことを報告した。

24

οἱ	δὲ	ἀκούσαντες,	ὁμοθυμαδὸν	ἦραν	φωνὴν	πρὸς	τὸν	Θεὸν,	καὶ
彼らは	そして	聞いて	心を-合わせて	声を-上げた	声を	～に	その	神に	そして
G3588	G1161	G0191	G3661	G0142	G5456	G4314	G3588	G2316	G2532

εἶπαν,	Δέσποτα,	σὺ	ὁ	ποιήσας	τὸν	οὐρανὸν,	καὶ	τὴν	γῆν,	καὶ
言った	主よ	あなたが	（冠詞）	造られた	その	天と	そして	その	地と	そして
G3004	G1203	G4771	G3588	G4160	G3588	G3772	G2532	G3588	G1093	G2532

τὴν	θάλασσαν,	καὶ	πάντα	τὰ	ἐν	αὐτοῖς,	
その	海と	そして	すべて-の	その	～の-中の	それら-の-中の-ものを	
G3588	G2281	G2532	G3956	G3588	G1722	G0846	

一同はこれを聞くと、口をそろえて、神にむかい声をあげて言った、「天と地と海と、その中のすべてのものとの造りぬしなる主よ。

25

ὁ	τοῦ,	πατρὸς	ἡμῶν,	διὰ	Πνεύματος	Ἁγίου	στόματος	
（冠詞）	わたしたちの	父の	わたしたちの	～を-通して	御霊に-より	聖なる	口を-もって	
G3588	G3588	G3962	G1473	G1223	G4151	G0040	G4750	

Δαυὶδ	παιδός	σου	εἰπών,	Ἵνα	τί	ἐφρύαξαν	ἔθνη,	καὶ	
ダビデの	しもべ	あなたの	言われた	なぜ	～のか	荒れ狂ったのか	異邦人たちは	そして	
G1138	G3816	G4771	G3004	G2443	G5101	G5433	G1484	G2532	

λαοὶ	ἐμελέτησαν	κενά?
人々は	企んだのか	むなしい-ことを
G2992	G3191	G2756

あなたは、わたしたちの先祖、あなたの僕ダビデの口をとおして、聖霊によって、こう仰せになりました、『なぜ、異邦人らは、騒ぎ立ち、もろもろの民は、むなしいことを図り、

26 παρέστησαν 立ち上がった G3936 | οἱ その G3588 | βασιλεῖς 王たちは G0935 | τῆς その G3588 | γῆς, 地の G1093 | καὶ そして G2532 | οἱ その G3588 | ἄρχοντες 支配者たちは G0758 | συνήχθησαν 集まった G4863 | ἐπὶ, 共に G1909

τὸ （冠詞） G3588 | αὐτὸ 同じ G0846 | κατὰ ～に-逆らい G2596 | τοῦ （冠詞） G3588 | Κυρίου, 主に G2962 | καὶ そして G2532 | κατὰ ～に-逆らい G2596 | τοῦ （冠詞） G3588 | Χριστοῦ キリストに G5547

αὐτοῦ. その G0846

地上の王たちは、立ちかまえ、支配者たちは、党を組んで、主とそのキリストとに逆らったのか』。

27 συνήχθησαν 集まった G4863 | γὰρ まことに G1063 | ἐπ’ ～の-上に G1909 | ἀληθείας, 真実に G0225 | ἐν ～の G1722 | τῇ この G3588 | πόλει 町に G4172 | ταύτῃ, この G3778 | ἐπὶ ～に-逆らい G1909

τὸν （冠詞） G3588 | ἅγιον 聖なる G0040 | Παῖδά しもべ G3816 | σου あなたの G4771 | Ἰησοῦν, イエスに G2424 | ὃν その-方を G3739 | ἔχρισας, あなたが-油注いだ G5548 | Ἡρῴδης ヘロデも G2264 | τε また G5037

καὶ そして G2532 | Πόντιος ポンテオ G4194 | Πιλᾶτος, ピラトも G4091 | σὺν ～と-共に G4862 | ἔθνεσιν 異邦人たちと G1484 | καὶ そして G2532 | λαοῖς 民 G2992 | Ἰσραήλ, イスラエルの G2474

まことに、ヘロデとポンテオ・ピラトとは、異邦人らやイスラエルの民と一緒になって、この都に集まり、あなたから油を注がれた聖なる僕イエスに逆らい、

28 ποιῆσαι 行う-ために G4160 | ὅσα すべて-の-こと G3745 | ἡ （冠詞） G3588 | χείρ 御手と G5495 | σου, あなたの G4771 | καὶ そして G2532 | ἡ （冠詞） G3588 | βουλὴ ご計画が G1012 | [σου] あなたの G4771

προώρισεν 予め-定めた G4309 | γενέσθαι. 成ることを G1096

み手とみ旨とによって、あらかじめ定められていたことを、なし遂げたのです。

29 καὶ そして G2532 | τὰ （冠詞） G3588 | νῦν, 今 G3568 | Κύριε, 主よ G2962 | ἔπιδε 目を-留めて-ください G1896 | ἐπὶ ～に G1909 | τὰς その G3588 | ἀπειλὰς 脅しに G0547 | αὐτῶν, 彼らの G0846 | καὶ そして G2532

δὸς 与えて-ください G1325 | τοῖς あなたの G3588 | δούλοις しもべたちに G1401 | σου, あなたの G4771 | μετὰ ～を-もって G3326 | παρρησίας 大胆さの G3954 | πάσης すべての G3956 | λαλεῖν 語ることを G2980

τὸν あなたの G3588 | λόγον 言葉を G3056 | σου, あなたの G4771

主よ、いま、彼らの脅迫に目をとめ、僕たちに、思い切って大胆に御言葉を語らせて下さい。

30 ἐν τῷ τὴν χεῖρά ‹σου›, ἐκτείνειν σε εἰς ἴασιν,
～の–中で その あなたの 御手を あなたの 伸ばして あなたが ～の–ために いやしの
G1722 G3588 G3588 G5495 G4771 G1614 G4771 G1519 G2392

καὶ σημεῖα καὶ τέρατα γίνεσθαι, διὰ τοῦ ὀνόματος τοῦ
そして しるしと そして 不思議が 行われる–ように ～を–通して その 名に–よって （冠詞）
G2532 G4592 G2532 G5059 G1096 G1223 G3588 G3686 G3588

ἁγίου Παιδός σου, Ἰησοῦ.
聖なる しもべ あなたの イエスの
G0040 G3816 G4771 G2424

そしてみ手を伸ばしていやしをなし、聖なる僕イエスの名によって、しるしと奇跡とを行わせて下さい」。

31 καὶ δεηθέντων αὐτῶν, ἐσαλεύθη ὁ τόπος ἐν ᾧ ἦσαν
そして 祈り–終えると 彼らの 揺れ動いた その 場所が ～の–中で そこで 彼らが
G2532 G1189 G0846 G4531 G3588 G5117 G1722 G3739 G1510

συνηγμένοι, καὶ ἐπλήσθησαν ἅπαντες τοῦ Ἁγίου Πνεύματος, καὶ ἐλάλουν
集まっていた そして 満たされた 皆が （冠詞） 聖なる 御霊に そして 語った
G4863 G2532 G4130 G0537 G3588 G0040 G4151 G2532 G2980

τὸν λόγον τοῦ Θεοῦ μετὰ παρρησίας.
その 言葉を （冠詞） 神の 大胆に 大胆に
G3588 G3056 G3588 G2316 G3326 G3954

彼らが祈り終えると、その集まっていた場所が揺れ動き、一同は聖霊に満たされて、大胆に神の言を語り出した。

32 Τοῦ δὲ πλήθους τῶν πιστευσάντων, ἦν καρδία καὶ ψυχὴ μία,
その そして 群れの その 信じた–者たちの であった 心も そして 魂も 一つ
G3588 G1161 G4128 G3588 G4100 G1510 G2588 G2532 G5590 G1520

καὶ οὐδὲ εἷς τι τῶν ὑπαρχόντων αὐτῷ, ἔλεγεν ἴδιον
そして 一人も ～ない 何かを その 持ち物の 自分の 言う–者は–いなかった 自分の–もの
G2532 G3761 G1520 G5100 G3588 G5225 G0846 G3004 G2398

εἶναι, ἀλλ’ ἦν αὐτοῖς πάντα κοινά.
であると かえって であった 彼らに–とって すべてが 共有であった
G1510 G0235 G1510 G0846 G3956 G2839

信じた者の群れは、心を一つにし思いを一つにして、だれひとりその持ち物を自分のものだと主張する者がなく、いっさいの物を共有にしていた。

33 καὶ δυνάμει μεγάλῃ, ἀπεδίδουν τὸ μαρτύριον οἱ ἀπόστολοι «τοῦ Κυρίου
そして 力に 大きな 証しした その 証しを その 使徒たちは その 主
G2532 G1411 G3173 G0591 G3588 G3142 G3588 G0652 G3588 G2962

Ἰησοῦ» «τῆς ἀναστάσεως»; χάρις τε μεγάλη ἦν ἐπὶ πάντας αὐτούς.
イエスの その 復活を 恵みが そして 大きな あった ～の–上に すべての 彼らの
G2424 G3588 G0386 G5485 G5037 G3173 G1510 G1909 G3956 G0846

使徒たちは主イエスの復活について、非常に力強くあかしをした。そして大きなめぐみが、彼ら一同に注がれた。

34 οὐδὲ γὰρ ἐνδεής τις ἦν ἐν αὐτοῖς; ὅσοι
なかった なぜなら 乏しい–者は 一人も いなかった ～の–中に 彼らの ～の–者は–みな
G3761 G1063 G1729 G5100 G1510 G1722 G0846 G3745

γὰρ κτήτορες χωρίων ἢ οἰκιῶν, ὑπῆρχον πωλοῦντες, ἔφερον τὰς
なぜなら 持ち主たちは 土地や あるいは 家の 売って 売る–者は 持って–来て その
G1063 G2935 G5564 G2228 G3614 G5225 G4453 G5342 G3588

τιμὰς τῶν πιπρασκομένων,
代金を その 売った–物の
G5092 G3588 G4097

彼らの中に乏しい者は、ひとりもいなかった。地所や家屋を持っている人たちは、それを売り、売った物の代金をもってきて、

35 καὶ ἐτίθουν παρὰ τοὺς πόδας τῶν ἀποστόλων; διεδίδετο δὲ
そして 置いた ～の–もとに その 足もとに その 使徒たちの 分配された そして
G2532 G5087 G3844 G3588 G4228 G3588 G0652 G1239 G1161

ἑκάστῳ καθότι ἄν τις χρείαν εἶχεν.
各自に ～に–応じて （～すれば） だれかが 必要を 持っていた
G1538 G2530 G0302 G5100 G5532 G2192

使徒たちの足もとに置いた。そしてそれぞれの必要に応じて、だれにでも分け与えられた。

36 Ἰωσὴφ δὲ ὁ ἐπικληθεὶς Βαρνάβας, ἀπὸ τῶν ἀποστόλων ὅ ἐστιν,
ヨセフは そして その 呼ばれた バルナバと ～から その 使徒たちから これは である
G2501 G1161 G3588 G1941 G0921 G0575 G3588 G0652 G3739 G1510

μεθερμηνευόμενον, Υἱὸς παρακλήσεως, Λευίτης, Κύπριος τῷ γένει,
訳すと 慰めの 子 レビ人で キプロス （冠詞） 出身の
G3177 G5207 G3874 G3019 G2953 G3588 G1085

クプロ生れのレビ人で、使徒たちにバルナバ（「慰めの子」との意）と呼ばれていたヨセフは、

37 ὑπάρχοντος αὐτῷ ἀγροῦ, πωλήσας, ἤνεγκεν τὸ χρῆμα καὶ ἔθηκεν
所有する 彼に 畑が–あったので 売って 持って–来て その 代金を そして 置いた
G5225 G0846 G0068 G4453 G5342 G3588 G5536 G2532 G5087

πρὸς τοὺς πόδας τῶν ἀποστόλων.
～の–もとに その 足もとに その 使徒たちの
G4314 G3588 G4228 G3588 G0652

自分の所有する畑を売り、その代金をもってきて、使徒たちの足もとに置いた。

Chapter 5

1 Ἀνὴρ δέ τις, Ἀνανίας ὀνόματι, σὺν Σαπφίρῃ, τῇ γυναικὶ αὐτοῦ,
ある しかし 人が アナニヤ という–名の ～と–共に サッピラ その 妻と 彼の
G0435 G1161 G5100 G0367 G3686 G4862 G4551 G3588 G1135 G0846

ἐπώλησεν κτῆμα,
売った 所有地を
G4453 G2933

ところが、アナニヤという人とその妻サッピラとは共に資産を売ったが、

2 καὶ ἐνοσφίσατο ἀπὸ τῆς τιμῆς, συνειδυίης καὶ τῆς γυναικός, καὶ
そして 隠し-取った ～から その 代金の 知って-いた また その 妻も そして
G2532 G3557 G0575 G3588 G5092 G4894 G2532 G3588 G1135 G2532

ἐνέγκας μέρος τι, παρὰ τοὺς πόδας τῶν ἀποστόλων ἔθηκεν.
持って-来て 一部を ある ～の-もとに その 足もとに その 使徒たちの 置いた
G5342 G3313 G5100 G3844 G3588 G4228 G3588 G0652 G5087

共謀して、その代金をごまかし、一部だけを持ってきて、使徒たちの足もとに置いた。

3 εἶπεν δὲ ὁ Πέτρος, Ἀνανία, διὰ τί ἐπλήρωσεν ὁ
言った しかし （冠詞） ペテロは アナニヤよ なぜ ～のか 満たした-のか （冠詞）
G3004 G1161 G3588 G4074 G0367 G1223 G5101 G4137 G3588

Σατανᾶς τὴν καρδίαν σου, ψεύσασθαί σε τὸ Πνεῦμα τὸ Ἅγιον,
サタンが その 心を あなたの 偽る-ように あなたが （冠詞） 御霊に （冠詞） 聖なる
G4567 G3588 G2588 G4771 G5574 G4771 G3588 G4151 G3588 G0040

καὶ νοσφίσασθαι ἀπὸ τῆς τιμῆς τοῦ χωρίου?
そして 隠し-取る-ように ～から その 代金の その 土地の
G2532 G3557 G0575 G3588 G5092 G3588 G5564

そこで、ペテロが言った、「アナニヤよ、どうしてあなたは、自分の心をサタンに奪われて、聖霊を欺き、地所の代金をごまかしたのか。

4 οὐχὶ μένον σοὶ ἔμενεν? καὶ πραθὲν, ἐν τῇ
残っていたなら 残して-おけば あなたの-ものでは なかったか そして 売った-あとも ～の その
G3780 G3306 G4771 G3306 G2532 G4097 G1722 G3588

σῇ ἐξουσίᾳ ὑπῆρχεν? τί ὅτι ἔθου ἐν τῇ καρδίᾳ
あなたの 権限の-中に あった-ではないか なぜ ～のか 企てたのか ～の-中に その 心の
G4674 G1849 G5225 G5101 G3754 G5087 G1722 G3588 G2588

σου, τὸ πρᾶγμα τοῦτο? οὐκ ἐψεύσω ἀνθρώποις, ἀλλὰ
あなたの この ことを この 偽った-のではない あなたは 人に-ではなく そうではなく
G4771 G3588 G4229 G3778 G3756 G5574 G0444 G0235

τῷ （冠詞） Θεῷ.
神に
G3588 G2316

売らずに残しておけば、あなたのものであり、売ってしまっても、あなたの自由になったはずではないか。どうして、こんなことをする気になったのか。あなたは人を欺いたのではなくて、神を欺いたのだ」。

5 ἀκούων δὲ ὁ Ἀνανίας τοὺς λόγους τούτους, πεσὼν, ἐξέψυξεν.
聞いている-と すると （冠詞） アナニヤは この 言葉を これらの 倒れて 息絶えた
G0191 G1161 G3588 G0367 G3588 G3056 G3778 G4098 G1634

καὶ ἐγένετο φόβος μέγας ἐπὶ πάντας τοὺς ἀκούοντας.
そして 起こった 恐れが 大きな ～の-上に すべての その 聞く-者たちに
G2532 G1096 G5401 G3173 G1909 G3956 G3588 G0191

アナニヤはこの言葉を聞いているうちに、倒れて息が絶えた。このことを伝え聞いた人々は、みな非常なおそれを感じた。

6 ἀναστάντες δὲ, οἱ νεώτεροι συνέστειλαν αὐτὸν, καὶ ἐξενέγκαντες, ἔθαψαν.
立ち上がって そして その 若者たちが 包んだ 彼を そして 運び-出して 葬った
G0450 G1161 G3588 G3501 G4958 G0846 G2532 G1627 G2290

それから、若者たちが立って、その死体を包み、運び出して葬った。

7 Ἐγένετο 起こった G1096 δὲ すると G1161 ὡς およそ G5613 ὡρῶν 時間の G5610 τριῶν 三 G5140 διάστημα, 間隔の-あと G1292 καὶ そして G2532 ἡ その G3588 γυνὴ 妻が G1135 αὐτοῦ, 彼の G0846 μὴ ～ない G3361

εἰδυῖα 知らずに G1492 τὸ その G3588 γεγονὸς, 起こった-ことを G1096 εἰσῆλθεν. 入って-来た G1525

三時間ばかりたってから、たまたま彼の妻が、この出来事を知らずに、はいってきた。

8 ἀπεκρίθη 答えた G0611 δὲ すると G1161 πρὸς ～に G4314 αὐτὴν 彼女に G0846 Πέτρος, ペテロが G4074 Εἰπέ 答え-なさい G3004 μοι わたしに G1473 εἰ ～かどうか G1487 τοσούτου, これだけの-額で G5118

τὸ その G3588 χωρίον 土地を G5564 ἀπέδοσθε? 売ったのか G0591 ἡ （冠詞） G3588 δὲ すると G1161 εἶπεν, 彼女は-言った G3004 Ναί, はい G3483 τοσούτου. その-額で G5118

そこで、ペテロが彼女にむかって言った、「あの地所は、これこれの値段で売ったのか。そのとおりか」。彼女は「そうです、その値段です」と答えた。

9 ὁ （冠詞） G3588 δὲ すると G1161 Πέτρος ペテロは G4074 πρὸς ～に G4314 αὐτήν, 彼女に G0846 Τί なぜ G5101 ὅτι ～のか G3754 συνεφωνήθη 申し-合わせたのか G4856 ὑμῖν あなたがたは G4771

πειράσαι 試みる-ために G3985 τὸ （冠詞） G3588 Πνεῦμα 御霊を G4151 Κυρίου? 主の G2962 ἰδοὺ, 見よ G3708 οἱ その G3588 πόδες 足が G4228 τῶν その G3588 θαψάντων 葬った-者たちの G2290 τὸν その G3588

ἄνδρα 夫を G0435 σου あなたの G4771 ἐπὶ ～の-ところに G1909 τῇ その G3588 θύρᾳ, 戸口に G2374 καὶ そして G2532 ἐξοίσουσίν 運び-出すであろう G1627 σε. あなたを G4771

ペテロは言った、「あなたがたふたりが、心を合わせて主の御霊を試みるとは、何事であるか。見よ、あなたの夫を葬った人たちの足が、そこの門口にきている。あなたも運び出されるであろう」。

10 ἔπεσεν 倒れた G4098 δὲ すると G1161 παραχρῆμα たちまち G3916 πρὸς ～の-もとに G4314 τοὺς 彼の G3588 πόδας 足もとに G4228 αὐτοῦ, 彼の G0846 καὶ そして G2532 ἐξέψυξεν. 息絶えた G1634

εἰσελθόντες 入って-来た G1525 δὲ, すると G1161 οἱ その G3588 νεανίσκοι 若者たちが G3495 εὗρον 見つけた G2147 αὐτὴν 彼女を G0846 νεκράν; 死んだ G3498 καὶ そして G2532 ἐξενέγκαντες, 運び-出して G1627

ἔθαψαν 葬った G2290 πρὸς ～の-そばに G4314 τὸν その G3588 ἄνδρα 夫の G0435 αὐτῆς. 彼女の G0846

すると女は、たちまち彼の足もとに倒れて、息が絶えた。そこに若者たちがはいってきて、女が死んでしまっているのを見、それを運び出してその夫のそばに葬った。

11 Καὶ そして G2532 ἐγένετο 起こった G1096 φόβος 恐れが G5401 μέγας 大きな G3173 ἐφ’ ～の-上に G1909 ὅλην 全 G3650 τὴν その G3588 ἐκκλησίαν, 教会に G1577 καὶ そして G2532 ἐπὶ ～の-上に G1909

πάντας すべての G3956 τοὺς その G3588 ἀκούοντας 聞く-者たちに G0191 ταῦτα. これらの-ことを G3778

教会全体ならびにこれを伝え聞いた人たちは、みな非常なおそれを感じた。

12 Διὰ δὲ τῶν χειρῶν τῶν ἀποστόλων ἐγίνετο σημεῖα, καὶ
～を–通して そして その 手を–通して その 使徒たちの 行われた しるしと そして
G1223 G1161 G3588 G5495 G3588 G0652 G1096 G4592 G2532

τέρατα πολλὰ, ἐν τῷ λαῷ; καὶ ἦσαν ὁμοθυμαδὸν, ἅπαντες ἐν τῇ
不思議が 多くの ～の–中で その 民の そして いた 心を–合わせて 皆が ～で その
G5059 G4183 G1722 G3588 G2992 G2532 G1510 G3661 G0537 G1722 G3588

στοᾷ Σολομῶντος,
廊に ソロモンの
G4745 G4672

そのころ、多くのしるしと奇跡とが、次々に使徒たちの手により人々の中で行われた。そして、一同は心を一つにして、ソロモンの廊に集まっていた。

13 τῶν δὲ λοιπῶν, οὐδεὶς ἐτόλμα κολλᾶσθαι αὐτοῖς, ἀλλ’
その しかし ほかの–者たちは だれも あえて–しなかった 加わろうと 彼らに しかし
G3588 G1161 G3062 G3762 G5111 G2853 G0846 G0235

ἐμεγάλυνεν αὐτοὺς ὁ λαός;
あがめた 彼らを その 民は
G3170 G0846 G3588 G2992

ほかの者たちは、だれひとり、その交わりに入ろうとはしなかったが、民衆は彼らを尊敬していた。

14 μᾶλλον δὲ προσετίθεντο πιστεύοντες τῷ Κυρίῳ, πλήθη ἀνδρῶν τε,
ますます しかし 加えられた 信じる （冠詞） 主に 多くの 男たちと そして
G3123 G1161 G4369 G4100 G3588 G2962 G4128 G0435 G5037

καὶ γυναικῶν;
そして 女たちが
G2532 G1135

しかし、主を信じて仲間に加わる者が、男女とも、ますます多くなってきた。

15 ὥστε καὶ εἰς τὰς πλατείας ἐκφέρειν τοὺς ἀσθενεῖς, καὶ τιθέναι
それで また ～に その 通りに 運び–出して その 病人たちを そして 載せた
G5620 G2532 G1519 G3588 G4113 G1627 G3588 G0772 G2532 G5087

ἐπὶ κλιναρίων καὶ κραβάττων, ἵνα ἐρχομένου Πέτρου, κἂν ἡ
～の–上に 寝台や そして 担架に ～の–ために 来る ペテロの せめて その
G1909 G2826 G2532 G2895 G2443 G2064 G4074 G2579 G3588

σκιὰ ἐπισκιάσῃ τινὶ αὐτῶν.
影が 覆うように だれかに 彼らの
G4639 G1982 G5100 G0846

ついには、病人を大通りに運び出し、寝台や寝床の上に置いて、ペテロが通るとき、彼の影なりと、そのうちのだれかにかかるようにしたほどであった。

16 συνήρχετο δὲ καὶ τὸ πλῆθος, τῶν πέριξ πόλεων Ἱερουσαλήμ,
集まって–来た また さらに その 群衆が その 周囲の 町々から エルサレムに
G4905 G1161 G2532 G3588 G4128 G3588 G4038 G4172 G2419

φέροντες ἀσθενεῖς, καὶ ὀχλουμένους ὑπὸ πνευμάτων ἀκαθάρτων,
運んで–来て 病人たちや そして 苦しめられている–者たちを ～に 霊に 汚れた
G5342 G0772 G2532 G3791 G5259 G4151 G0169

οἵτινες ἐθεραπεύοντο ἅπαντες.
彼らは–皆 いやされた 皆
G3748 G2323 G0537

またエルサレム附近の町々からも、大ぜいの人が、病人や汚れた霊に苦しめられている人たちを引き連れて、集まってきたが、その全部の者が、ひとり残らずいやされた。

17 Ἀναστὰς 立ち上がって G0450 δὲ しかし G1161 ὁ （冠詞） G3588 ἀρχιερεὺς, 大祭司は G0749 καὶ そして G2532 πάντες すべての G3956 οἱ その G3588 σὺν ～と-共に G4862

αὐτῷ, 彼と-いる-者たち G0846 ἡ すなわち G3588 οὖσα である G1510 αἵρεσις 分派の G0139 τῶν その G3588 Σαδδουκαίων, サドカイ人の G4523 ἐπλήσθησαν 満たされた G4130 ζήλου, ねたみに G2205

そこで、大祭司とその仲間の者、すなわち、サドカイ派の人たちが、みな嫉妬の念に満たされて立ちあがり、

18 καὶ そして G2532 ἐπέβαλον 手を-かけた G1911 τὰς その G3588 χεῖρας 手を G5495 ἐπὶ ～の-上に G1909 τοὺς その G3588 ἀποστόλους, 使徒たちに G0652 καὶ そして G2532 ἔθεντο 入れた G5087 αὐτοὺς 彼らを G0846

ἐν ～に G1722 τηρήσει 留置場に G5084 δημοσίᾳ. 公の G1219

使徒たちに手をかけて捕え、公共の留置場に入れた。

19 Ἄγγελος 御使いが G0032 δὲ しかし G1161 Κυρίου, 主の G2962 διὰ ～を-通して G1223 νυκτὸς, 夜に G3571 ἤνοιξε 開いた G0455 τὰς その G3588 θύρας 扉を G2374 τῆς その G3588 φυλακῆς, 牢の G5438

ἐξαγαγών 連れ-出して G1806 τε そして G5037 αὐτοὺς, 彼らを G0846 εἶπεν, 言った G3004

ところが夜、主の使が獄の戸を開き、彼らを連れ出して言った、

20 Πορεύεσθε, 行きなさい G4198 καὶ そして G2532 σταθέντες, 立って G2476 λαλεῖτε 語りなさい G2980 ἐν ～で G1722 τῷ その G3588 ἱερῷ 神殿で G2411 τῷ その G3588 λαῷ 民に G2992 πάντα すべての G3956

τὰ その G3588 ῥήματα 言葉を G4487 τῆς その G3588 Ζωῆς 命の G2222 ταύτης. この G3778

「さあ行きなさい。そして、宮の庭に立ち、この命の言葉を漏れなく、人々に語りなさい」。

21 ἀκούσαντες 聞いて G0191 δὲ, そして G1161 εἰσῆλθον 入った G1525 ὑπὸ ～の-ころに G5259 τὸν その G3588 ὄρθρον 夜明けに G3722 εἰς ～に G1519 τὸ その G3588 ἱερὸν, 神殿に G2411 καὶ そして G2532

ἐδίδασκον. 教え-始めた G1321 Παραγενόμενος 到着した G3854 δὲ すると G1161 ὁ （冠詞） G3588 ἀρχιερεὺς 大祭司と G0749 καὶ そして G2532 οἱ その G3588 σὺν ～と-共に G4862

αὐτῷ, 彼と-いる-者たちは G0846 συνεκάλεσαν 召集した G4779 τὸ その G3588 συνέδριον 議会と G4892 καὶ そして G2532 πᾶσαν すべての G3956 τὴν その G3588 γερουσίαν 長老会を G1087 τῶν その G3588

υἱῶν 子らの G5207 Ἰσραήλ, イスラエルの G2474 καὶ そして G2532 ἀπέστειλαν 遣わした G0649 εἰς ～に G1519 τὸ その G3588 δεσμωτήριον 牢に G1201 ἀχθῆναι 連れて-来る-ように G0071

αὐτούς. 彼らを G0846

彼らはこれを聞き、夜明けごろ宮にはいって教えはじめた。一方では、大祭司とその仲間の者とが、集まってきて、議会とイスラエル人の長老一同とを召集し、使徒たちを引き出してこさせるために、人を獄につかわした。

22

οἱ	δὲ	παραγενόμενοι,	ὑπηρέται	οὐχ	εὗρον	αὐτοὺς	ἐν
（冠詞）	しかし	到着した	役人たちは	～でない	見つけなかった	彼らを	～の-中に
G3588	G1161	G3854	G5257	G3756	G2147	G0846	G1722

τῇ	φυλακῇ;	ἀναστρέψαντες	δὲ	ἀπήγγειλαν,
その	牢に	引き返して	そして	報告した
G3588	G5438	G0390	G1161	G0518

そこで、下役どもが行って見ると、使徒たちが獄にいないので、引き返して報告した、

23

λέγοντες	ὅτι,	Τὸ	δεσμωτήριον	εὕρομεν	κεκλεισμένον,	ἐν	πάσῃ
言って	～と	その	牢は	見つけました	閉じられて-いて	～の-中で	すべての
G3004	G3754	G3588	G1201	G2147	G2808	G1722	G3956

ἀσφαλείᾳ,	καὶ	τοὺς	φύλακας	ἑστῶτας	ἐπὶ	τῶν	θυρῶν;	ἀνοίξαντες
安全に	そして	その	番兵たちが	立っていた	～の-前に	その	扉の	開けて-みると
G0803	G2532	G3588	G5441	G2476	G1909	G3588	G2374	G0455

δὲ,	ἔσω	οὐδένα	εὕρομεν.
しかし	中に	だれも	見つからなかった
G1161	G2080	G3762	G2147

「獄には、しっかりと錠がかけてあり、戸口には、番人が立っていました。ところが、あけて見たら、中にはだれもいませんでした」。

24

ὡς	δὲ	ἤκουσαν	τοὺς	λόγους	τούτους,	ὅ	τε	στρατηγὸς	τοῦ	ἱεροῦ	καὶ	οἱ	ἀρχιερεῖς	διηπόρουν	περὶ	αὐτῶν,	τί	ἂν	γένοιτο	τοῦτο.
～のとき	そして	聞いた	この	言葉を	これらの	（冠詞）	その	宮の-守衛長と	その	神殿の	そして	その	祭司長たちは	途方に-暮れた	～について	彼らの-ことで	何が	（～であろうか）	なるだろうか-と	これは
G5613	G1161	G0191	G3588	G3056	G3778	G3588	G5037	G4755	G3588	G2411	G2532	G3588	G0749	G1280	G4012	G0846	G5101	G0302	G1096	G3778

宮守がしらと祭司長たちとは、この報告を聞いて、これは、いったい、どんな事になるのだろうと、あわて惑っていた。

25

παραγενόμενος	δέ,	τις	ἀπήγγειλεν	αὐτοῖς,	ὅτι	Ἰδοὺ,	οἱ	ἄνδρες
来て	すると	ある-者が	知らせた	彼らに	～と	見よ	その	人たちが
G3854	G1161	G5100	G0518	G0846	G3754	G3708	G3588	G0435

οὓς	ἔθεσθε	ἐν	τῇ	φυλακῇ	εἰσὶν	ἐν	τῷ	ἱερῷ,	ἑστῶτες
～の-者たちを	入れた	～の-中に	その	牢に	いる	～の-中で	その	神殿に	立って
G3739	G5087	G1722	G3588	G5438	G1510	G1722	G3588	G2411	G2476

καὶ	διδάσκοντες	τὸν	λαόν!
そして	教えている	その	民を
G2532	G1321	G3588	G2992

そこへ、ある人がきて知らせた、「行ってごらんなさい。あなたがたが獄に入れたあの人たちが、宮の庭に立って、民衆を教えています」。

26 Τότε ἀπελθὼν, ὁ στρατηγὸς σὺν τοῖς ὑπηρέταις ἦγεν αὐτούς,
そこで 出かけて （冠詞） 守衛長が ～と–共に その 役人たちと 連れて–来た 彼らを
G5119 G0565 G3588 G4755 G4862 G3588 G5257 G0071 G0846

οὐ μετὰ βίας, ἐφοβοῦντο γὰρ τὸν λαόν μὴ
～ではなく ～を–もって 力ずくで 恐れた–からである なぜなら その 民を ～しないように
G3756 G3326 G0970 G5399 G1063 G3588 G2992 G3361

λιθασθῶσιν.
石打ちに–されることを
G3034

そこで宮守がしらが、下役どもと一緒に出かけて行って、使徒たちを連れてきた。しかし、人々に石で打ち殺されるのを恐れて、手荒なことはせず、

27 ἀγαγόντες δὲ αὐτοὺς, ἔστησαν ἐν τῷ συνεδρίῳ. καὶ ἐπηρώτησεν
連れて–来て そして 彼らを 立たせた ～の–中で その 議会に そして 尋ねた
G0071 G1161 G0846 G2476 G1722 G3588 G4892 G2532 G1905

αὐτοὺς ὁ ἀρχιερεὺς,
彼らに （冠詞） 大祭司は
G0846 G3588 G0749

彼らを連れてきて、議会の中に立たせた。すると、大祭司が問うて

28 λέγων, [οὐ] Παραγγελίᾳ παρηγγείλαμεν ὑμῖν μὴ
言って （～ではない） 厳しく 命じた–のではないか あなたがたに ～ないように
G3004 G3756 G3852 G3853 G4771 G3361

διδάσκειν ἐπὶ τῷ ὀνόματι τούτῳ? καὶ ἰδοὺ, πεπληρώκατε τὴν
教えるなと ～の この 名に–よって この しかし 見よ 満たした その
G1321 G1909 G3588 G3686 G3778 G2532 G3708 G4137 G3588

Ἰερουσαλὴμ τῆς διδαχῆς ὑμῶν, καὶ βούλεσθε ἐπαγαγεῖν ἐφ’
エルサレムを その 教えで あなたがたの そして つもりなのか もたらす ～の–上に
G2419 G3588 G1322 G4771 G2532 G1014 G1863 G1909

ἡμᾶς τὸ αἷμα τοῦ ἀνθρώπου τούτου.
わたしたちに その 血を その 人の この
G1473 G3588 G0129 G3588 G0444 G3778

言った、「あの名を使って教えてはならないと、きびしく命じておいたではないか。それだのに、なんという事だ。エルサレム中にあなたがたの教を、はんらんさせている。あなたがたは確かに、あの人の血の責任をわたしたちに負わせようと、たくらんでいるのだ」。

29 ἀποκριθεὶς δὲ, Πέτρος καὶ οἱ ἀπόστολοι εἶπαν, Πειθαρχεῖν
答えて すると ペテロと そして その 使徒たちは 言った 従わなければ–ならない
G0611 G1161 G4074 G2532 G3588 G0652 G3004 G3980

δεῖ Θεῷ, μᾶλλον ἢ ἀνθρώποις.
～しなければ–ならない 神に むしろ ～よりも 人間に
G1163 G2316 G3123 G2228 G0444

これに対して、ペテロをはじめ使徒たちは言った、「人間に従うよりは、神に従うべきである。

30 ὁ Θεὸς τῶν πατέρων ἡμῶν ἤγειρεν Ἰησοῦν, ὃν
（冠詞） 神は その 先祖たちの わたしたちの よみがえらせた イエスを その–方を
G3588 G2316 G3588 G3962 G1473 G1453 G2424 G3739

ὑμεῖς διεχειρίσασθε, κρεμάσαντες ἐπὶ ξύλου.
あなたがたが 殺した 木に ～に かけて
G4771 G1315 G2910 G1909 G3586

わたしたちの先祖の神は、あなたがたが木にかけて殺したイエスをよみがえらせ、

31 τοῦτον ὁ Θεὸς, Ἀρχηγὸν καὶ Σωτῆρα, ὕψωσεν, τῇ δεξιᾷ
この-方を （冠詞） 神は 導き手-また そして 救い主として 高くされた その 右に
G3778 G3588 G2316 G0747 G2532 G4990 G5312 G3588 G1188

αὐτοῦ, τοῦ δοῦναι μετάνοιαν τῷ Ἰσραὴλ, καὶ ἄφεσιν
ご自分の ～の-ために 与える-ために 悔い改めを （冠詞） イスラエルに そして 罪の-赦しを
G0846 G3588 G1325 G3341 G3588 G2474 G2532 G0859

ἁμαρτιῶν.
罪の
G0266

そして、イスラエルを悔い改めさせてこれに罪のゆるしを与えるために、このイエスを導き手とし救主として、ご自身の右に上げられたのである。

32 καὶ ἡμεῖς ἐσμεν μάρτυρες τῶν ῥημάτων τούτων, καὶ τὸ
そして わたしたちは である 証人 その 事柄の これらの そして （冠詞）
G2532 G1473 G1510 G3144 G3588 G4487 G3778 G2532 G3588

Πνεῦμα τὸ Ἅγιον, ὃ ἔδωκεν ὁ Θεὸς τοῖς πειθαρχοῦσιν αὐτῷ.
御霊も （冠詞） 聖なる その-方を 与えた （冠詞） 神が その 従う-者たちに 神に
G4151 G3588 G0040 G3739 G1325 G3588 G2316 G3588 G3980 G0846

わたしたちはこれらの事の証人である。神がご自身に従う者に賜わった聖霊もまた、その証人である」。

33 οἱ δὲ ἀκούσαντες, διεπρίοντο, καὶ ἐβούλοντο ἀνελεῖν αὐτούς.
（冠詞） すると 聞いて 激怒した そして 望んだ 殺そうと 彼らを
G3588 G1161 G0191 G1282 G2532 G1014 G0337 G0846

これを聞いた者たちは、激しい怒りのあまり、使徒たちを殺そうと思った。

34 Ἀναστὰς δέ τις ἐν τῷ συνεδρίῳ, Φαρισαῖος, ὀνόματι
立ち上がった すると ある ～の-中で その 議会で パリサイ人で 名を
G0450 G1161 G5100 G1722 G3588 G4892 G5330 G3686

Γαμαλιήλ, νομοδιδάσκαλος, τίμιος παντὶ τῷ λαῷ, ἐκέλευσεν ἔξω
ガマリエルという 律法学者が 尊敬されている すべての その 民に 命じた 外に
G1059 G3547 G5093 G3956 G3588 G2992 G2753 G1854

βραχὺ τοὺς ἀνθρώπους ποιῆσαι.
しばらく その 人たちを 出す-ように
G1024 G3588 G0444 G4160

ところが、国民全体に尊敬されていた律法学者ガマリエルというパリサイ人が、議会で立って、使徒たちをしばらくのあいだ外に出すように要求してから、

35 εἶπέν τε πρὸς αὐτούς, Ἄνδρες, Ἰσραηλῖται, προσέχετε ἑαυτοῖς
言った そして ～に 彼らに 人々よ イスラエルの-者たちよ 注意-しなさい 自ら
G3004 G5037 G4314 G0846 G0435 G2475 G4337 G1438

ἐπὶ τοῖς ἀνθρώποις τούτοις, τί μέλλετε πράσσειν;
～について この 人々に-ついて これらの 何を しようと-しているか 行うのか
G1909 G3588 G0444 G3778 G5101 G3195 G4238

一同にむかって言った、「イスラエルの諸君、あの人たちをどう扱うか、よく気をつけるがよい。

36 πρὸ γὰρ τούτων τῶν ἡμερῶν ἀνέστη Θευδᾶς, λέγων εἶναί
～の–前に なぜなら これらの その 日々の–前に 現れた テウダスが 自称して ～であると
G4253 G1063 G3778 G3588 G2250 G0450 G2333 G3004 G1510

τινα ἑαυτόν, ᾧ προσεκλίθη, ἀνδρῶν ἀριθμὸς, ὡς τετρακοσίων; ὃς
何者かで 自分を 彼に 従った 人々の 数が およそ 四百 彼は
G5100 G1438 G3739 G4346 G0435 G0706 G5613 G5071 G3739

ἀνῃρέθη, καὶ πάντες, ὅσοι ἐπείθοντο αὐτῷ, διελύθησαν καὶ ἐγένοντο
殺された そして すべての ～の–者たち 従った 彼に 散らされた そして なった
G0337 G2532 G3956 G3745 G3982 G0846 G1262 G2532 G1096

εἰς οὐδέν.
～と 無に
G1519 G3762

先ごろ、チゥダが起って、自分を何か偉い者のように言いふらしたため、彼に従った男の数が、四百人ほどもあったが、結局、彼は殺されてしまい、従った者もみな四散して、全く跡方もなくなっている。

37 μετὰ τοῦτον, ἀνέστη Ἰούδας ὁ Γαλιλαῖος ἐν ταῖς ἡμέραις τῆς
～の–後に この–者の 現れた ユダスが （冠詞） ガリラヤの ～の その 日々に その
G3326 G3778 G0450 G2455 G3588 G1057 G1722 G3588 G2250 G3588

ἀπογραφῆς, καὶ ἀπέστησεν λαὸν ὀπίσω αὐτοῦ; κἀκεῖνος ἀπώλετο, καὶ
住民登録の そして 引き–離した 民を ～の–後ろに 自分の 彼もまた 滅びた そして
G0582 G2532 G0868 G2992 G3694 G0846 G2548 G0622 G2532

πάντες ὅσοι ἐπείθοντο αὐτῷ διεσκορπίσθησαν.
すべての ～の–者たち 従った 彼に 散らされた
G3956 G3745 G3982 G0846 G1287

そののち、人口調査の時に、ガリラヤ人ユダが民衆を率いて反乱を起したが、この人も滅び、従った者もみな散らされてしまった。

38 καὶ τὰ νῦν λέγω ὑμῖν, ἀπόστητε ἀπὸ τῶν ἀνθρώπων τούτων,
そして （冠詞） 今 言う あなたがたに 離れ–なさい ～から この 人々から これらの
G2532 G3588 G3568 G3004 G4771 G0868 G0575 G3588 G0444 G3778

καὶ ἄφετε αὐτούς, ὅτι ἐὰν ᾖ ἐξ ἀνθρώπων,
そして 放って–おきなさい 彼らを もし ～であれば である–ならば ～から 人間から
G2532 G0863 G0846 G3754 G1437 G1510 G1537 G0444

ἡ βουλὴ αὕτη ἢ τὸ ἔργον τοῦτο, καταλυθήσεται;
（冠詞） 計画が この あるいは この 業が この 滅びるであろう
G3588 G1012 G3778 G2228 G3588 G2041 G3778 G2647

そこで、この際、諸君に申し上げる。あの人たちから手を引いて、そのなすままにしておきなさい。その企てや、しわざが、人間から出たものなら、自滅するだろう。

39 εἰ δὲ ἐκ Θεοῦ ἐστιν, οὐ δυνήσεσθε καταλῦσαι αὐτούς,
しかし もし ～から 神から であるなら ～ない できない–であろう 滅ぼすことは 彼らを
G1487 G1161 G1537 G2316 G1510 G3756 G1410 G2647 G0846

μήˎ ποτε καὶ θεομάχοι εὑρεθῆτε.
～しないように もしかすると ～さえも 神に–逆らう–者と 見いだされるであろう
G3361 G4219 G2532 G2314 G2147

しかし、もし神から出たものなら、あの人たちを滅ぼすことはできまい。まかり違えば、諸君は神を敵にまわすことになるかも知れない」。そこで彼らはその勧告にしたがい、

40 ἐπείσθησαν δὲ αὐτῷ; καὶ προσκαλεσάμενοι τοὺς ἀποστόλους, δείραντες,
説得された すると 彼に そして 呼び-寄せて その 使徒たちを 鞭打って
G3982 G1161 G0846 G2532 G4341 G3588 G0652 G1194

παρήγγειλαν μὴ λαλεῖν ἐπὶ τῷ ὀνόματι τοῦ Ἰησοῦ, καὶ
命じた ～ないように 語るなと ～の この 名に-よって （冠詞） イエスの そして
G3853 G3361 G2980 G1909 G3588 G3686 G3588 G2424 G2532

ἀπέλυσαν.
釈放した
G0630

使徒たちを呼び入れて、むち打ったのち、今後イエスの名によって語ることは相成らぬと言いわたして、ゆるしてやった。

41 Οἱ μὲν οὖν ἐπορεύοντο, χαίροντες, ἀπὸ προσώπου τοῦ συνεδρίου,
彼らは 実に それゆえ 去って-行った 喜びながら ～から 御前を その 議会の
G3588 G3303 G3767 G4198 G5463 G0575 G4892 G3588 G4892

ὅτι κατηξιώθησαν ὑπὲρ τοῦ Ὀνόματος ἀτιμασθῆναι.
～と ふさわしいと-された ～の-ために その 御名の-ために 辱められることが
G3754 G2661 G5228 G3588 G3686 G0818

使徒たちは、御名のために恥を加えられるに足る者とされたことを喜びながら、議会から出てきた。

42 πᾶσάν τε ἡμέραν, ἐν τῷ ἱερῷ καὶ κατ’ οἶκον, οὐκ
すべての また 日ごとに ～で その 神殿で そして ～の 家々で やめ-なかった
G3956 G5037 G2250 G1722 G3588 G2411 G2532 G2596 G3624 G3756

ἐπαύοντο διδάσκοντες καὶ εὐαγγελιζόμενοι τὸν Χριστὸν Ἰησοῦν.
止めなかった 教えることと そして 福音を-宣べ伝えることを （冠詞） キリスト イエスを
G3973 G1321 G2532 G2097 G3588 G5547 G2424

そして、毎日、宮や家で、イエスがキリストであることを、引きつづき教えたり宣べ伝えたりした。

Chapter 6

1 Ἐν δὲ ταῖς ἡμέραις ταύταις, πληθυνόντων τῶν μαθητῶν, ἐγένετο
～の そして その 日々に これらの 増えている-とき その 弟子たちが 起こった
G1722 G1161 G3588 G2250 G3778 G4129 G3588 G3101 G1096

γογγυσμὸς τῶν Ἑλληνιστῶν πρὸς τοὺς Ἑβραίους, ὅτι
不満が その ギリシャ語を-話す-者たちの ～に-対して その ヘブライ人たちに ～と
G1112 G3588 G1675 G4314 G3588 G1445 G3754

παρεθεωροῦντο ἐν τῇ διακονίᾳ τῇ καθημερινῇ, αἱ χῆραι
見落とされていた ～の その 日々の-世話に-おいて その 日ごとの その やもめたちが
G3865 G1722 G3588 G1248 G3588 G2522 G3588 G5503

αὐτῶν.
彼らの
G0846

そのころ、弟子の数がふえてくるにつれて、ギリシヤ語を使うユダヤ人たちから、ヘブル語を使うユダヤ人たちに対して、自分たちのやもめらが、日々の配給で、おろそかにされがちだと、苦情を申し立てた。

2 προσκαλεσάμενοι δὲ οἱ δώδεκα, τὸ πλῆθος τῶν μαθητῶν, εἶπαν,
呼び-集めて すると その 十二人は その 群れを その 弟子たちの 言った
G4341 G1161 G3588 G1427 G3588 G4128 G3588 G3101 G3004

Οὐκ ἀρεστόν ἐστιν ἡμᾶς, καταλείψαντας τὸν λόγον τοῦ
ふさわしく-ない ふさわしい ことである わたしたちが おろそかにして その 言葉を (冠詞)
G3756 G0701 G1510 G1473 G2641 G3588 G3056 G3588

Θεοῦ, διακονεῖν τραπέζαις.
神の 仕える-ために 食卓に
G2316 G1247 G5132

そこで、十二使徒は弟子全体を呼び集めて言った、「わたしたちが神の言をさしおいて、食卓のことに携わるのはおもしろくない。

3 ἐπισκέψασθε δέ, ἀδελφοί, ἄνδρας ἐξ ὑμῶν μαρτυρουμένους,
選び出し-なさい それゆえ 兄弟たちよ 人を ～の-中から あなたがたの 良い-評判の
G1980 G1161 G0080 G0435 G1537 G4771 G3140

ἑπτὰ πλήρεις Πνεύματος, καὶ σοφίας, οὓς καταστήσομεν ἐπὶ τῆς
七 満たされた 御霊と そして 知恵に その-者たちを 立てよう ～の-上に この
G2033 G4134 G4151 G2532 G4678 G3739 G2525 G1909 G3588

χρείας ταύτης.
務めの この
G5532 G3778

そこで、兄弟たちよ、あなたがたの中から、御霊と知恵とに満ちた、評判のよい人たち七人を捜し出してほしい。その人たちにこの仕事をまかせ、

4 ἡμεῖς δὲ τῇ προσευχῇ καὶ τῇ διακονίᾳ τοῦ λόγου
わたしたちは そして (冠詞) 祈りと そして (冠詞) み言葉の-奉仕に (冠詞) 言葉の
G1473 G1161 G3588 G4335 G2532 G3588 G1248 G3588 G3056

προσκαρτερήσομεν.
専念-しよう
G4342

わたしたちは、もっぱら祈と御言のご用に当ることにしよう」。

5 καὶ ἤρεσεν ὁ λόγος ἐνώπιον παντὸς τοῦ πλήθους; καὶ ἐξελέξαντο
そして 喜ばれた この 言葉は ～の-前で すべての その 群れに そして 選んだ
G2532 G0700 G3588 G3056 G1799 G3956 G3588 G4128 G2532 G1586

Στέφανον, ἄνδρα πλήρης πίστεως καὶ Πνεύματος Ἁγίου, καὶ Φίλιππον, καὶ
ステパノを 人で 満ちた 信仰と そして 聖 霊の そして ピリポと そして
G4736 G0435 G4134 G4102 G2532 G4151 G0040 G2532 G5376 G2532

Πρόχορον, καὶ Νικάνορα, καὶ Τίμωνα, καὶ Παρμενᾶν, καὶ Νικόλαον
プロコロと そして ニカノルと そして テモンと そして パルメナと そして ニコラオを
G4402 G2532 G3527 G2532 G5096 G2532 G3937 G2532 G3532

προσήλυτον Ἀντιοχέα,
改宗者で アンテオケの
G4339 G0491

この提案は会衆一同の賛成するところとなった。そして信仰と聖霊とに満ちた人ステパノ、それからピリポ、プロコロ、ニカノル、テモン、パルメナ、およびアンテオケの改宗者ニコラオを選び出して、

6 οὓς ἔστησαν ἐνώπιον τῶν ἀποστόλων; καὶ προσευξάμενοι, ἐπέθηκαν
彼らを 立たせた ～の-前に その 使徒たちの そして 祈って 手を-置いた
G3739 G2476 G1799 G3588 G0652 G2532 G4336 G2007

αὐτοῖς τὰς χεῖρας.
彼らに その 手を
G0846 G3588 G5495

使徒たちの前に立たせた。すると、使徒たちは祈って手を彼らの上においた。

7 Καὶ ὁ λόγος τοῦ Θεοῦ ηὔξανεν, καὶ ἐπληθύνετο ὁ
そして （冠詞） 言葉は （冠詞） 神の 増え-続けた そして 増えた （冠詞）
G2532 G3588 G3056 G3588 G2316 G0837 G2532 G4129 G3588

ἀριθμὸς τῶν μαθητῶν ἐν Ἰερουσαλὴμ σφόδρα; πολύς τε ὄχλος τῶν
数は その 弟子たちの ～で エルサレムで 大いに 多くの また 群れの その
G0706 G3588 G3101 G1722 G2419 G4970 G4183 G5037 G3793 G3588

ἱερέων ὑπήκουον τῇ πίστει.
祭司たちが 従った その 信仰に
G2409 G5219 G3588 G4102

こうして神の言は、ますますひろまり、エルサレムにおける弟子の数が、非常にふえていき、祭司たちも多数、信仰を受けいれるようになった。

8 Στέφανος δὲ, πλήρης χάριτος καὶ δυνάμεως, ἐποίει τέρατα καὶ σημεῖα
ステパノは そして 満ちて 恵みと そして 力に 行った 不思議と そして しるしを
G4736 G1161 G4134 G5485 G2532 G1411 G4160 G5059 G2532 G4592

μεγάλα ἐν τῷ λαῷ.
大きな ～の-中で その 民の
G3173 G1722 G3588 G2992

さて、ステパノは恵みと力とに満ちて、民衆の中で、めざましい奇跡としるしとを行っていた。

9 ἀνέστησαν δέ τινες τῶν ἐκ τῆς συναγωγῆς τῆς λεγομένης
立ち上がった すると ある者たちが その ～の その 会堂の その 呼ばれる
G0450 G1161 G5100 G3588 G1537 G3588 G4864 G3588 G3004

Λιβερτίνων, καὶ Κυρηναίων, καὶ Ἀλεξανδρέων, καὶ τῶν ἀπὸ
リベルテンの そして キレネ人の そして アレキサンドリア人の そして その ～からの
G3032 G2532 G2956 G2532 G0221 G2532 G3588 G0575

Κιλικίας, καὶ Ἀσίας, συζητοῦντες τῷ Στεφάνῳ.
キリキヤと そして アジアの 論争した （冠詞） ステパノと
G2791 G2532 G0773 G4802 G3588 G4736

すると、いわゆる「リベルテン」の会堂に属する人々、クレネ人、アレキサンドリヤ人、キリキヤやアジヤからきた人々などが立って、ステパノと議論したが、

10 καὶ οὐκ ἴσχυον ἀντιστῆναι τῇ σοφίᾳ καὶ τῷ Πνεύματι
そして できなかった 彼らは 対抗する-ことが その 知恵と そして その 御霊に
G2532 G3756 G2480 G0436 G3588 G4678 G2532 G3588 G4151

ᾧ ἐλάλει.
それによって 語っていた
G3739 G2980

彼は知恵と御霊とで語っていたので、それに対抗できなかった。

11 τότε ὑπέβαλον ἄνδρας, λέγοντας, ὅτι Ἀκηκόαμεν αὐτοῦ λαλοῦντος
そこで ひそかに-教唆した 人々を 言わせた ～と 聞いた 彼が 語る
G5119 G5260 G0435 G3004 G3754 G0191 G0846 G2980

ῥήματα βλάσφημα εἰς Μωϋσῆν καὶ τὸν Θεόν.
言葉を 冒瀆的な ～に-対する モーセと そして （冠詞） 神に
G4487 G0989 G1519 G3475 G2532 G3588 G2316

そこで、彼らは人々をそそのかして、「わたしたちは、彼がモーセと神とを汚す言葉を吐くのを聞いた」と言わせた。

12 συνεκίνησάν τε τὸν λαὸν, καὶ τοὺς πρεσβυτέρους, καὶ τοὺς
扇動した そして その 民と そして その 長老たちと そして その
G4787 G5037 G3588 G2992 G2532 G3588 G4245 G2532 G3588

γραμματεῖς, καὶ ἐπιστάντες, συνήρπασαν αὐτὸν, καὶ ἤγαγον εἰς τὸ
律法学者たちを そして 近づいて 捕えた 彼を そして 連れて-行った ～に その
G1122 G2532 G2186 G4884 G0846 G2532 G0071 G1519 G3588

συνέδριον,
議会に
G4892

その上、民衆や長老たちや律法学者たちを煽動し、彼を襲って捕えさせ、議会にひっぱってこさせた。

13 ἔστησάν τε μάρτυρας ψευδεῖς, λέγοντας, Ὁ ἄνθρωπος οὗτος, οὐ
立てた そして 証人を 偽りの 言わせた この 人は この やめない
G2476 G5037 G3144 G5571 G3004 G3588 G0444 G3778 G3756

παύεται λαλῶν ῥήματα κατὰ τοῦ τόπου τοῦ ἁγίου [τούτου], καὶ
やめない 語ることを 言葉を ～に-逆らう その 場所に この 聖なる この そして
G3973 G2980 G4487 G2596 G3588 G5117 G3588 G0040 G3778 G2532

τοῦ νόμου;
その 律法に
G3588 G3551

それから、偽りの証人たちを立てて言わせた、「この人は、この聖所と律法とに逆らう言葉を吐いて、どうしても、やめようとはしません。

14 ἀκηκόαμεν γὰρ αὐτοῦ λέγοντος, ὅτι Ἰησοῦς ὁ Ναζωραῖος οὗτος,
なぜなら 聞いた 彼が 言うのを ～と イエスが その ナザレの この
G0191 G1063 G0846 G3004 G3754 G2424 G3588 G3480 G3778

καταλύσει τὸν τόπον τοῦτον, καὶ ἀλλάξει τὰ ἔθη ἃ
壊す-であろう この 場所を この そして 変える-であろう その 慣わしを それらを
G2647 G3588 G5117 G3778 G2532 G0236 G3588 G1485 G3739

παρέδωκεν ἡμῖν Μωϋσῆς.
伝えた わたしたちに モーセが
G3860 G1473 G3475

『あのナザレ人イエスは、この聖所を打ちこわし、モーセがわたしたちに伝えた慣例を変えてしまうだろう』などと、彼が言うのを、わたしたちは聞きました」。

15 καὶ そして G2532 ἀτενίσαντες 見つめて G0816 εἰς ～を G1519 αὐτὸν, 彼を G0846 πάντες すべての G3956 οἱ その G3588 καθεζόμενοι 座っている G2516 ἐν ～の-中で G1722 τῷ その G3588 συνεδρίῳ 議会に G4892 εἶδον 見た G3708 τὸ その G3588 πρόσωπον 顔が G4383 αὐτοῦ 彼の G0846 ὡσεὶ まるで G5616 πρόσωπον 顔の-ように G4383 ἀγγέλου. 御使いの G0032

議会で席についていた人たちは皆、ステパノに目を注いだが、彼の顔は、ちょうど天使の顔のように見えた。

Chapter 7

1 Εἶπεν 言った G3004 δὲ すると G1161 ὁ （冠詞） G3588 ἀρχιερεύς, 大祭司が G0749 Εἰ ～かどうか G1487 ταῦτα これらの-ことは G3778 οὕτως その-とおり G3779 ἔχει? あるのか G2192

大祭司は「そのとおりか」と尋ねた。

2 ὁ （冠詞） G3588 δὲ すると G1161 ἔφη, 彼は-言った G5346 Ἄνδρες, 人々よ G0435 ἀδελφοὶ, 兄弟と G0080 καὶ そして G2532 πατέρες, 父たちよ G3962 ἀκούσατε! 聞いて-ください G0191 Ὁ その G3588 Θεὸς 神は G2316 τῆς その G3588 δόξης 栄光の G1391 ὤφθη 現れた G3708 τῷ （冠詞） G3588 πατρὶ 父に G3962 ἡμῶν わたしたちの G1473 Ἀβραὰμ, アブラハムに G0011 ὄντι いた-とき G1510 ἐν ～に G1722 τῇ その G3588 Μεσοποταμίᾳ, メソポタミヤに G3318 πρὶν 前に G4250 ἢ （～の前に） G2228 κατοικῆσαι 住む G2730 αὐτὸν 彼が G0846 ἐν ～に G1722 Χαρράν, ハランに G5488

そこで、ステパノが言った、「兄弟たち、父たちよ、お聞き下さい。わたしたちの父祖アブラハムが、カランに住む前、まだメソポタミヤにいたとき、栄光の神が彼に現れて

3 καὶ そして G2532 εἶπεν 言った G3004 πρὸς ～に G4314 αὐτόν, 彼に G0846 Ἔξελθε 出て-行け G1831 ἐκ ～から G1537 τῆς その G3588 γῆς 地から G1093 σου, あなたの G4771 καὶ そして G2532 ‹ἐκ› ～から G1537 τῆς その G3588 συγγενείας 親族から G4772 σου, あなたの G4771 καὶ そして G2532 δεῦρο 来なさい G1204 εἰς ～へ G1519 τὴν その G3588 γῆν 地へ G1093 ἣν そこを G3739 ἄν （いつか） G0302 σοι あなたに G4771 δείξω. 示そう G1166

仰せになった、『あなたの土地と親族から離れて、あなたにさし示す地に行きなさい』。

4 τότε そこで G5119 ἐξελθὼν 出て G1831 ἐκ ～から G1537 γῆς 地から G1093 Χαλδαίων, カルデヤ人の G5466 κατῴκησεν 住んだ G2730 ἐν ～に G1722 Χαρράν, ハランに G5488 κἀκεῖθεν そして-そこから G2547 μετὰ ～の-後 G3326 τὸ （冠詞） G3588 ἀποθανεῖν 死んだ-後に G0599 τὸν その G3588 πατέρα 父が G3962 αὐτοῦ, 彼の G0846 μετῴκισεν 移した G3351 αὐτὸν 彼を G0846 εἰς ～へ G1519 τὴν この G3588 γῆν 地へ G1093 ταύτην, この G3778 εἰς ～へ G1519 ἣν そこへ G3739 ὑμεῖς あなたがたが G4771 νῦν 今 G3568 κατοικεῖτε. 住んでいる G2730

そこで、アブラハムはカルデヤ人の地を出て、カランに住んだ。そして、彼の父が死んだのち、神は彼をそこから、今あなたがたの住んでいるこの地に移住させたが、

5	καὶ	οὐκ	ἔδωκεν	αὐτῷ	κληρονομίαν	ἐν	αὐτῇ,	οὐδὲ	βῆμα	
	そして	与えなかった	彼に	与えなかった	相続の-地を	～の-中に	そこに	～もない	一歩の	
	G2532	G3756	G1325	G0846	G2817	G1722	G0846	G3761	G0968	

ποδός;	καὶ	ἐπηγγείλατο	δοῦναι	αὐτῷ	εἰς	κατάσχεσιν	αὐτὴν,	καὶ	τῷ
足の	しかし	約束した	与えると	彼に	～として	所有地として	それを	そして	（冠詞）
G4228	G2532	G1861	G1325	G0846	G1519	G2697	G0846	G2532	G3588

σπέρματι	αὐτοῦ	μετ’	αὐτόν,	οὐκ	ὄντος	αὐτῷ	τέκνου.
子孫に	彼の	～の-後に	彼の	いなかった	いなかった	彼に	子が
G4690	G0846	G3326	G0846	G3756	G1510	G0846	G5043

そこでは、遺産となるものは何一つ、一歩の幅の土地すらも、与えられなかった。ただ、その地を所領として授けようとの約束を、彼と、そして彼にはまだ子がなかったのに、その子孫とに与えられたのである。

6	ἐλάλησεν	δὲ	οὕτως	ὁ	Θεὸς:	ὅτι	ἔσται	τὸ	σπέρμα	αὐτοῦ
	語った	そして	このように	（冠詞）	神は	～と	あるであろう	その	子孫は	彼の
	G2980	G1161	G3779	G3588	G2316	G3754	G1510	G3588	G4690	G0846

πάροικον	ἐν	γῇ	ἀλλοτρίᾳ,	καὶ	δουλώσουσιν	αὐτὸ,	καὶ	
寄留者となる	～の	地で	他国の	そして	奴隷に-する-であろう	それを	そして	
G3941	G1722	G1093	G0245	G2532	G1402	G0846	G2532	

κακώσουσιν	ἔτη	τετρακόσια;
苦しめる-であろう	年の-間	四百
G2559	G2094	G5071

神はこう仰せになった、『彼の子孫は他国に身を寄せるであろう。そして、そこで四百年のあいだ、奴隷にされて虐待を受けるであろう』。

7	καὶ	τὸ	ἔθνος	ᾧ	ἐὰν	δουλεύσουσιν,	κρινῶ	ἐγώ,	ὁ	Θεὸς
	そして	その	国民を	それに	たとえ	奴隷に-するなら	裁く	わたしがと	（冠詞）	神は
	G2532	G3588	G1484	G3739	G1437	G1398	G2919	G1473	G3588	G2316

εἶπεν;	καὶ	μετὰ	ταῦτα	ἐξελεύσονται,	καὶ	λατρεύσουσίν	μοι	ἐν	
言った	そして	その-後	これらの-後	出て-来る-であろう	そして	仕える-であろう	わたしに	～の	
G3004	G2532	G3326	G3778	G1831	G2532	G3000	G1473	G1722	

τῷ	τόπῳ	τούτῳ.
この	場所で	この
G3588	G5117	G3778

それから、さらに仰せになった、『彼らを奴隷にする国民を、わたしはさばくであろう。その後、彼らはそこからのがれ出て、この場所でわたしを礼拝するであろう』。

8	καὶ	ἔδωκεν	αὐτῷ	διαθήκην	περιτομῆς;	καὶ	οὕτως	ἐγέννησεν	τὸν	
	そして	与えた	彼に	契約を	割礼の	そして	そのように	生んだ	（冠詞）	
	G2532	G1325	G0846	G1242	G4061	G2532	G3779	G1080	G3588	

Ἰσαὰκ,	καὶ	περιέτεμεν	αὐτὸν	τῇ	ἡμέρᾳ	τῇ	ὀγδόῃ;	καὶ	Ἰσαὰκ	
イサクを	そして	割礼した	彼を	（冠詞）	日に	（冠詞）	八日目の	そして	イサクは	
G2464	G2532	G4059	G0846	G3588	G2250	G3588	G3590	G2532	G2464	

τὸν	Ἰακώβ,	καὶ	Ἰακὼβ	τοὺς	δώδεκα	πατριάρχας.	
（冠詞）	ヤコブを	そして	ヤコブは	その	十二人の	族長たちを	
G3588	G2384	G2532	G2384	G3588	G1427	G3966	

そして、神はアブラハムに、割礼の契約をお与えになった。こうして、彼はイサクの父となり、これに八日目に割礼を施し、それから、イサクはヤコブの父となり、ヤコブは十二人の族長たちの父となった。

9 Καὶ そして G2532 | οἱ その G3588 | πατριάρχαι, 族長たちは G3966 | ζηλώσαντες ねたんで G2206 | τὸν （冠詞） G3588 | Ἰωσὴφ, ヨセフを G2501 | ἀπέδοντο 売った G0591 | εἰς ～へ G1519 | Αἴγυπτον. エジプトへ G0125

καὶ そして G2532 | ἦν いた G1510 | ὁ （冠詞） G3588 | Θεὸς 神は G2316 | μετ’ ～と–共に G3326 | αὐτοῦ, 彼と G0846

族長たちは、ヨセフをねたんで、エジプトに売りとばした。しかし、神は彼と共にいまして、

10 καὶ そして G2532 | ἐξείλατο 救い–出した G1807 | αὐτὸν 彼を G0846 | ἐκ ～から G1537 | πασῶν すべての G3956 | τῶν その G3588 | θλίψεων 苦難から G2347 | αὐτοῦ; 彼の G0846 | καὶ そして G2532 | ἔδωκεν 与えた G1325

αὐτῷ 彼に G0846 | χάριν 恵みと G5485 | καὶ そして G2532 | σοφίαν 知恵を G4678 | ἐναντίον ～の–前で G1726 | Φαραὼ, ファラオの G5328 | βασιλέως 王の G0935 | Αἰγύπτου; エジプトの G0125 | καὶ そして G2532

κατέστησεν 立てた G2525 | αὐτὸν 彼を G0846 | ἡγούμενον 指導者として G2233 | ἐπ’ ～の–上に G1909 | Αἴγυπτον, エジプトの G0125 | καὶ そして G2532 | [ἐφ’] ～の–上に G1909 | ὅλον 全 G3650 | τὸν その G3588 | οἶκον 家の G3624

αὐτοῦ. 彼の G0846

あらゆる苦難から彼を救い出し、エジプト王パロの前で恵みを与え、知恵をあらわさせた。そこで、パロは彼を宰相の任につかせ、エジプトならびに王家全体の支配に当らせた。

11 ἦλθεν 来た G2064 | δὲ すると G1161 | λιμὸς 飢饉が G3042 | ἐφ’ ～の–上に G1909 | ὅλην 全 G3650 | τὴν その G3588 | Αἴγυπτον エジプトと G0125 | καὶ そして G2532 | Χανάαν, カナンに G5477 | καὶ そして G2532 | θλῖψις 苦難が G2347

μεγάλη, 大きな G3173 | καὶ そして G2532 | οὐχ 見つけなかった G3756 | ηὕρισκον 見つけられなかった G2147 | χορτάσματα 食料を G5527 | οἱ その G3588 | πατέρες 父たちは G3962 | ἡμῶν. わたしたちの G1473

時に、エジプトとカナンとの全土にわたって、ききんが起り、大きな苦難が襲ってきて、わたしたちの先祖たちは、食物が得られなくなった。

12 ἀκούσας 聞いて G0191 | δὲ すると G1161 | Ἰακὼβ, ヤコブは G2384 | ὄντα あると G1510 | σιτία 穀物が G4621 | εἰς ～に G1519 | Αἴγυπτον, エジプトに G0125 | ἐξαπέστειλεν 遣わした G1821 | τοὺς その G3588 | πατέρας 父たちを G3962

ἡμῶν わたしたちの G1473 | πρῶτον; 最初に G4412

ヤコブは、エジプトには食糧があると聞いて、初めに先祖たちをつかわしたが、

13 καὶ そして G2532 | ἐν ～の G1722 | τῷ その G3588 | δευτέρῳ, 二度目に G1208 | ἀνεγνωρίσθη 知られた G0319 | Ἰωσὴφ ヨセフが G2501 | τοῖς その G3588 | ἀδελφοῖς 兄弟たちに G0080 | αὐτοῦ, 彼の G0846 | καὶ そして G2532

φανερὸν 明らかに–なった G5318 | ἐγένετο なった G1096 | τῷ （冠詞） G3588 | Φαραὼ ファラオに G5328 | τὸ その G3588 | γένος 家族が G1085 | [τοῦ] （冠詞） G3588 | Ἰωσήφ. ヨセフの G2501

二回目の時に、ヨセフが兄弟たちに、自分の身の上を打ち明けたので、彼の親族関係がパロに知れてきた。

14 ἀποστείλας δὲ, Ἰωσὴφ μετεκαλέσατο Ἰακὼβ, τὸν πατέρα αὐτοῦ, καὶ
遣わして そして ヨセフは 呼び-寄せた ヤコブを その 父と 彼の そして
G0649 G1161 G2501 G3333 G2384 G3588 G3962 G0846 G2532

πᾶσαν τὴν συγγένειαν, ἐν ψυχαῖς ἑβδομήκοντα πέντε.
すべての その 親族を ～の 魂で 七十 五の
G3956 G3588 G4772 G1722 G5590 G1440 G4002

ヨセフは使をやって、父ヤコブと七十五人にのぼる親族一同とを招いた。

15 καὶ κατέβη Ἰακὼβ εἰς Αἴγυπτον καὶ ἐτελεύτησεν, αὐτὸς καὶ οἱ
そして 下った ヤコブは ～へ エジプトへ そして 死んだ 彼も そして その
G2532 G2597 G2384 G1519 G0125 G2532 G5053 G0846 G2532 G3588

πατέρες ἡμῶν,
父たちも わたしたちの
G3962 G1473

こうして、ヤコブはエジプトに下り、彼自身も先祖たちもそこで死に、

16 καὶ μετετέθησαν εἰς Συχὲμ, καὶ ἐτέθησαν ἐν τῷ μνήματι, ᾧ
そして 移された ～へ シケムへ そして 納められた ～の-中に その 墓に それを
G2532 G3346 G1519 G4966 G2532 G5087 G1722 G3588 G3418 G3739

ὠνήσατο Ἀβραὰμ τιμῆς ἀργυρίου παρὰ τῶν υἱῶν Ἐμμὼρ ἐν Συχέμ.
買った アブラハムが 代金の 銀の ～から その 息子たちの ハモルの ～の シケムの
G5608 G0011 G5092 G0694 G3844 G3588 G5207 G1697 G1722 G4966

それから彼らは、シケムに移されて、かねてアブラハムがいくらかの金を出してこの地のハモルの子らから買っておいた墓に、葬られた。

17 Καθὼς δὲ ἤγγιζεν ὁ χρόνος τῆς ἐπαγγελίας, ἧς ὡμολόγησεν
近づいた-とき しかし 近づいた その 時が その 約束の それを 誓った
G2531 G1161 G1448 G3588 G5550 G3588 G1860 G3739 G3670

ὁ Θεὸς τῷ Ἀβραάμ, ηὔξησεν ὁ λαὸς καὶ ἐπληθύνθη ἐν
（冠詞） 神が （冠詞） アブラハムに 増えた その 民は そして 増えた ～で
G3588 G2316 G3588 G0011 G0837 G3588 G2992 G2532 G4129 G1722

Αἰγύπτῳ,
エジプトで
G0125

神がアブラハムに対して立てられた約束の時期が近づくにつれ、民はふえてエジプト全土にひろがった。

18 ἄχρι οὗ ἀνέστη βασιλεὺς ἕτερος ἐπ' Αἴγυπτον, ὃς οὐκ
～まで ～の-とき 立った 王が 別の ～の-上に エジプトの その-者は 知らなかった
G0891 G3739 G0450 G0935 G2087 G1909 G0125 G3739 G3756

ᾔδει τὸν Ἰωσήφ.
知らなかった （冠詞） ヨセフを
G1492 G3588 G2501

やがて、ヨセフのことを知らない別な王が、エジプトに起った。

19 οὗτος κατασοφισάμενος τὸ γένος ἡμῶν, ἐκάκωσεν τοὺς πατέρας
この–者は 策略を–用いて その 民族に–対して わたしたちの 苦しめた その 父たちを
G3778 G2686 G3588 G1085 G1473 G2559 G3588 G3962

[ἡμῶν], τοῦ ποιεῖν τὰ βρέφη ἔκθετα αὐτῶν, εἰς
わたしたちの ～の–ために させる–ために その 乳児を 捨て–させた 彼らの ～の–ために
G1473 G3588 G4160 G3588 G1025 G1570 G0846 G1519

τὸ μὴ ζωογονεῖσθαι.
（冠詞） ～ない–ために 生かして–おかない
G3588 G3361 G2225

この王は、わたしたちの同族に対し策略をめぐらして、先祖たちを虐待し、その幼な子らを生かしておかないように捨てさせた。

20 Ἐν ᾧ καιρῷ ἐγεννήθη Μωϋσῆς, καὶ ἦν ἀστεῖος τῷ Θεῷ; ὃς
～の その 時に 生まれた モーセが そして あった 美しかった （冠詞） 神に 彼は
G1722 G3739 G2540 G1080 G3475 G2532 G1510 G0791 G3588 G2316 G3739

ἀνετράφη μῆνας τρεῖς ἐν τῷ οἴκῳ τοῦ πατρός.
育てられた 月の–間 三 ～の その 家で その 父の
G0397 G3376 G5140 G1722 G3588 G3624 G3588 G3962

モーセが生れたのは、ちょうどこのころのことである。彼はまれに見る美しい子であった。三か月の間は、父の家で育てられたが、

21 ἐκτεθέντος δὲ αὐτοῦ, ἀνείλατο αὐτὸν ἡ θυγάτηρ Φαραὼ, καὶ
捨てられた–とき すると 彼の 拾い–上げた 彼を その 娘が ファラオの そして
G1620 G1161 G0846 G0337 G0846 G3588 G2364 G5328 G2532

ἀνεθρέψατο αὐτὸν ἑαυτῇ εἰς υἱόν.
育てた 彼を 自分の–ために ～として 息子として
G0397 G0846 G1438 G1519 G5207

そののち捨てられたのを、パロの娘が拾いあげて、自分の子として育てた。

22 καὶ ἐπαιδεύθη Μωϋσῆς [ἐν] πάσῃ σοφίᾳ Αἰγυπτίων; ἦν δὲ
そして 教育された モーセは ～に–おいて すべての 知恵に エジプト人の あった そして
G2532 G3811 G3475 G1722 G3956 G4678 G0124 G1510 G1161

δυνατὸς ἐν λόγοις καὶ ἔργοις αὐτοῦ.
力ある–者であった ～に–おいて 言葉と そして 行いに 彼の
G1415 G1722 G3056 G2532 G2041 G0846

モーセはエジプト人のあらゆる学問を教え込まれ、言葉にもわざにも、力があった。

23 Ὡς δὲ ἐπληροῦτο αὐτῷ τεσσερακονταέτης χρόνος, ἀνέβη ἐπὶ τὴν
～の–とき すると 満ちてきた 彼に 四十年の 時が 上った ～の–上に その
G5613 G1161 G4137 G0846 G5063 G5550 G0305 G1909 G3588

καρδίαν αὐτοῦ, ἐπισκέψασθαι τοὺς ἀδελφοὺς αὐτοῦ, τοὺς υἱοὺς Ἰσραήλ;
心に 彼の 訪ねる–ことが その 兄弟たちを 彼の その 息子たちを イスラエルの
G2588 G0846 G1980 G3588 G0080 G0846 G3588 G5207 G2474

四十歳になった時、モーセは自分の兄弟であるイスラエル人たちのために尽すことを、思い立った。

24 καὶ ἰδών τινα ἀδικούμενον, ἠμύνατο, καὶ ἐποίησεν ἐκδίκησιν
そして 見て ある–者が 不当に–扱われているのを 守った そして 行った 復讐を
G2532 G3708 G5100 G0091 G0292 G2532 G4160 G1557

τῷ καταπονουμένῳ, πατάξας τὸν Αἰγύπτιον.
その 押しつぶされている–者の–ために 打ち–殺して その エジプト人を
G3588 G2669 G3960 G3588 G0124

ところが、そのひとりがいじめられているのを見て、これをかばい、虐待されているその人のために、相手のエジプト人を撃って仕返しをした。

25 ἐνόμιζεν 思った G3543 δὲ, そして G1161 συνιέναι 理解する–と G4920 τοὺς その G3588 ἀδελφοὺς 兄弟たちが G0080 [αὐτοῦ], 彼の G0846 ὅτι ～と G3754 ὁ （冠詞） G3588 Θεὸς 神が G2316

διὰ ～を–通して G1223 χειρὸς 手を–通して G5495 αὐτοῦ 彼の G0846 δίδωσιν 与えると G1325 σωτηρίαν 救いを G4991 αὐτοῖς. 彼らに G0846 οἱ しかし G3588 δὲ 彼らは G1161 οὐ ～でなかった G3756

συνῆκαν. 理解しなかった G4920

彼は、自分の手によって神が兄弟たちを救って下さることを、みんなが悟るものと思っていたが、実際はそれを悟らなかったのである。

26 τῇ その G3588 τε そして G5037 ἐπιούσῃ 次の G1966 ἡμέρᾳ, 日に G2250 ὤφθη 現れた G3708 αὐτοῖς 彼らに G0846 μαχομένοις, 争っている–者たちに G3164 καὶ そして G2532 συνήλλασσεν 仲裁しようとした G4900

αὐτοὺς 彼らを G0846 εἰς ～に G1519 εἰρήνην, 平和に G1515 εἰπών, 言って G3004 Ἄνδρες, 人々よ G0435 ἀδελφοί 兄弟である G0080 ἐστε. あなたがたは G1510 ἱνα◡ なぜ G2443 τί ～のか G5101

ἀδικεῖτε 不正を–行うのか G0091 ἀλλήλους? 互いに G0240

翌日モーセは、彼らが争い合っているところに現れ、仲裁しようとして言った、『まて、君たちは兄弟同志ではないか。どうして互に傷つけ合っているのか』。

27 ὁ （冠詞） G3588 δὲ しかし G1161 ἀδικῶν 不正を–行っている G0091 τὸν その G3588 πλησίον 隣人を G4139 ἀπώσατο 押し–のけた G0683 αὐτὸν, 彼を G0846 εἰπών, 言って G3004 Τίς 誰が G5101

σε あなたを G4771 κατέστησεν, 立てたのか G2525 ἄρχοντα 指導者と G0758 καὶ そして G2532 δικαστὴν 裁判人として G1348 ἐφ’ ～の–上に G1909 ἡμῶν? わたしたちの G1473

すると、仲間をいじめていた者が、モーセを突き飛ばして言った、『だれが、君をわれわれの支配者や裁判人にしたのか。

28 μὴ まさか G3361 ἀνελεῖν 殺そうと G0337 με わたしを G1473 σὺ あなたは G4771 θέλεις, 望んでいるのか G2309 ὃν ちょうど G3739 τρόπον やり方で G5158 ἀνεῖλες 殺した G0337 ἐχθὲς 昨日 G5504

τὸν その G3588 Αἰγύπτιον? エジプト人を G0124

君は、きのう、エジプト人を殺したように、わたしも殺そうと思っているのか』。

29 ἔφυγεν 逃げた G5343 δὲ すると G1161 Μωϋσῆς モーセは G3475 ἐν ～の G1722 τῷ この G3588 λόγῳ 言葉に–よって G3056 τούτῳ, この G3778 καὶ そして G2532 ἐγένετο なった G1096 πάροικος 寄留者に G3941

ἐν ～の G1722 γῇ 地で G1093 Μαδιάμ, ミデャンの G3099 οὗ そこで G3757 ἐγέννησεν 生んだ G1080 υἱοὺς 息子を G5207 δύο. 二人の G1417

モーセは、この言葉を聞いて逃げ、ミデアンの地に身を寄せ、そこで男の子ふたりをもうけた。

30 Καὶ πληρωθέντων ἐτῶν τεσσεράκοντα, ὤφθη αὐτῷ ἐν τῇ ἐρήμῳ τοῦ
そして 満ちて 年の 四十 現れた 彼に ～の その 荒野で その
G2532 G4137 G2094 G5062 G3708 G0846 G1722 G3588 G2048 G3588

ὄρους Σινᾶ, ἄγγελος ἐν φλογὶ πυρὸς βάτου.
山の シナイの 御使いが ～の–中に 炎の 火の 柴の
G3735 G4614 G0032 G1722 G5395 G4442 G0942

四十年たった時、シナイ山の荒野において、御使が柴の燃える炎の中でモーセに現れた。

31 ὁ δὲ Μωϋσῆς ἰδὼν, ἐθαύμαζεν τὸ ὅραμα; προσερχομένου δὲ
（冠詞） すると モーセは 見て 驚いた その 幻に 近づく–とき すると
G3588 G1161 G3475 G3708 G2296 G3588 G3705 G4334 G1161

αὐτοῦ κατανοῆσαι, ἐγένετο φωνὴ Κυρίου:
彼が よく–見ようと きた 声が 主の
G0846 G2657 G1096 G5456 G2962

彼はこの光景を見て不思議に思い、それを見きわめるために近寄ったところ、主の声が聞えてきた、

32 Ἐγὼ ὁ Θεὸς τῶν πατέρων σου, ὁ Θεὸς Ἀβραὰμ, καὶ
わたしは （冠詞） 神である その 父たちの あなたの （冠詞） 神 アブラハムの そして
G1473 G3588 G2316 G3588 G3962 G4771 G3588 G2316 G0011 G2532

Ἰσαὰκ, καὶ Ἰακώβ. ἔντρομος δὲ, γενόμενος Μωϋσῆς, οὐκ
イサクの そして ヤコブの 震えて すると なって モーセは あえて–しなかった
G2464 G2532 G2384 G1790 G1161 G1096 G3475 G3756

ἐτόλμα κατανοῆσαι.
あえてしなかった 見る–ことを
G5111 G2657

『わたしは、あなたの先祖たちの神、アブラハム、イサク、ヤコブの神である』。モーセは恐れおののいて、もうそれを見る勇気もなくなった。

33 εἶπεν δὲ αὐτῷ ὁ Κύριος, Λῦσον τὸ ὑπόδημα τῶν ποδῶν
言った すると 彼に （冠詞） 主は 脱ぎなさい その 履物を その 足から
G3004 G1161 G0846 G3588 G2962 G3089 G3588 G5266 G3588 G4228

σου, ὁ γὰρ τόπος ἐφ’ ᾧ ἕστηκας, γῆ ἁγία ἐστίν.
あなたの なぜなら その 場所は ～の–上に そこに 立っている 地は 聖なる である
G4771 G3588 G1063 G5117 G1909 G3739 G2476 G1093 G0040 G1510

すると、主が彼に言われた、『あなたの足から、くつを脱ぎなさい。あなたの立っているこの場所は、聖なる地である。

34 ἰδὼν, εἶδον τὴν κάκωσιν τοῦ λαοῦ μου τοῦ ἐν Αἰγύπτῳ, καὶ
確かに 見た その 苦しみを その 民の わたしの その ～に–いる エジプトに そして
G3708 G3708 G3588 G2561 G3588 G2992 G1473 G3588 G1722 G0125 G2532

τοῦ στεναγμοῦ αὐτοῦ ἤκουσα, καὶ κατέβην ἐξελέσθαι αὐτούς; καὶ νῦν
その 叫びを 彼らの 聞いた そして 降りて–来た 救う–ために 彼らを そして 今
G3588 G4726 G0846 G0191 G2532 G2597 G1807 G0846 G2532 G3568

δεῦρο, ἀποστείλω σε εἰς Αἴγυπτον.
来なさい 遣わそう あなたを ～へ エジプトへ
G1204 G0649 G4771 G1519 G0125

わたしは、エジプトにいるわたしの民が虐待されている有様を確かに見とどけ、その苦悩のうめき声を聞いたので、彼らを救い出すために下ってきたのである。さあ、今あなたをエジプトにつかわそう』。

35 Τοῦτον τὸν Μωϋσῆν, ὃν ἠρνήσαντο, εἰπόντες, Τίς σε κατέστησεν
この その モーセを その-者を 拒んだ 言って 誰が あなたを 立てたのか
G3778 G3588 G3475 G3739 G0720 G3004 G5101 G4771 G2525

ἄρχοντα καὶ δικαστήν? τοῦτον ὁ Θεὸς καὶ ἄρχοντα καὶ
指導者と そして 裁判人として この-方を （冠詞） 神が また 指導者と そして
G0758 G2532 G1348 G3778 G3588 G2316 G2532 G0758 G2532

λυτρωτὴν ἀπέσταλκεν, σὺν χειρὶ ἀγγέλου τοῦ ὀφθέντος αὐτῷ ἐν τῇ
贖い主として 遣わした ～の 手と-共に 御使いの その 現れた 彼に ～の その
G3086 G0649 G4862 G5495 G0032 G3588 G3708 G0846 G1722 G3588

βάτῳ.
柴の-中で
G0942

こうして、『だれが、君を支配者や裁判人にしたのか』と言って排斥されたこのモーセを、神は、柴の中で彼に現れた御使の手によって、支配者、解放者として、おつかわしになったのである。

36 οὗτος ἐξήγαγεν αὐτοὺς, ποιήσας τέρατα καὶ σημεῖα ἐν γῇ
この-者が 導き-出した 彼らを 行って 不思議と そして しるしを ～の 地で
G3778 G1806 G0846 G4160 G5059 G2532 G4592 G1722 G1093

Αἰγύπτῳ, καὶ ἐν Ἐρυθρᾷ Θαλάσσῃ, καὶ ἐν τῇ ἐρήμῳ ἔτη
エジプトの そして ～の 紅 海で そして ～の その 荒野で 年の-間
G0125 G2532 G1722 G2063 G2281 G2532 G1722 G3588 G2048 G2094

τεσσεράκοντα.
四十
G5062

この人が、人々を導き出して、エジプトの地においても、紅海においても、また四十年のあいだ荒野においても、奇跡としるしとを行ったのである。

37 οὗτός ἐστιν ὁ Μωϋσῆς ὁ εἴπας τοῖς υἱοῖς Ἰσραήλ,
この-者こそ である その モーセである （冠詞） 言った その 子らに イスラエルの
G3778 G1510 G3588 G3475 G3588 G3004 G3588 G5207 G2474

Προφήτην ὑμῖν ἀναστήσει ὁ Θεὸς, ἐκ τῶν ἀδελφῶν
預言者を あなたがたに 起こす-であろう （冠詞） 神が ～から その 兄弟たちの-中から
G4396 G4771 G0450 G3588 G2316 G1537 G3588 G0080

ὑμῶν, ὡς ἐμέ,
あなたがたの わたしの-ような わたしの
G4771 G5613 G1473

この人が、イスラエル人たちに、『神はわたしをお立てになったように、あなたがたの兄弟たちの中から、ひとりの預言者をお立てになるであろう』と言ったモーセである。

38 οὗτός ἐστιν ὁ γενόμενος ἐν τῇ ἐκκλησίᾳ ἐν τῇ ἐρήμῳ,
この-者こそ である その いた ～の その 会衆の-中に ～の その 荒野で
G3778 G1510 G3588 G1096 G1722 G3588 G1577 G1722 G3588 G2048

μετὰ τοῦ ἀγγέλου τοῦ λαλοῦντος αὐτῷ ἐν τῷ ὄρει Σινᾶ, καὶ
～と-共に その 御使いと その 語った 彼に ～の その 山で シナイの そして
G3326 G3588 G0032 G3588 G2980 G0846 G1722 G3588 G3735 G4614 G2532

τῶν πατέρων ἡμῶν. ὃς ἐδέξατο λόγια ζῶντα δοῦναι ἡμῖν,
その 父たちと わたしたちの 彼は 受けた み言葉を 生きた 与える-ために わたしたちに
G3588 G3962 G1473 G3739 G1209 G3051 G2198 G1325 G1473

この人が、シナイ山で、彼に語りかけた御使や先祖たちと共に、荒野における集会にいて、生ける御言葉を授かり、それをあなたがたに伝えたのである。

39

ᾧ	οὐκ	ἠθέλησαν	ὑπήκοοι	γενέσθαι	οἱ	πατέρες	ἡμῶν,	
それに	～なかった	望まなかった	従順な–者に	なることを	その	父たちは	わたしたちの	
G3739	G3756	G2309	G5255	G1096	G3588	G3962	G1473	

ἀλλὰ	ἀπώσαντο,	καὶ	ἐστράφησαν	ἐν	ταῖς	καρδίαις	αὐτῶν	εἰς
かえって	退けて	そして	向き–変えた	～の–中で	その	心の	彼らの	～へ
G0235	G0683	G2532	G4762	G1722	G3588	G2588	G0846	G1519

Αἴγυπτον,
エジプトへ
G0125

ところが、先祖たちは彼に従おうとはせず、かえって彼を退け、心の中でエジプトにあこがれて、

40

εἰπόντες	τῷ	Ἀαρών,	Ποίησον	ἡμῖν	θεοὺς	οἳ	προπορεύσονται	
言って	（冠詞）	アロンに	造れ	わたしたちに	神々を	それらが	先に–行く–であろう	
G3004	G3588	G0002	G4160	G1473	G2316	G3739	G4313	

ἡμῶν.	ὁ	γὰρ	Μωϋσῆς	οὗτος,	ὃς	ἐξήγαγεν	ἡμᾶς	ἐκ
わたしたちの	なぜなら	その	モーセは	この	その–者が	導き–出した	わたしたちを	～から
G1473	G3588	G1063	G3475	G3778	G3739	G1806	G1473	G1537

γῆς	Αἰγύπτου,	οὐκ	οἴδαμεν	τί	ἐγένετο	αὐτῷ.	
地から	エジプトの	知らない	わたしたちは	何が	起こったのか	彼に	
G1093	G0125	G3756	G1492	G5101	G1096	G0846	

『わたしたちを導いてくれる神々を造って下さい。わたしたちをエジプトの地から導いてきたあのモーセがどうなったのか、わかりませんから』とアロンに言った。

41

καὶ	ἐμοσχοποίησαν	ἐν	ταῖς	ἡμέραις	ἐκείναις,	καὶ	ἀνήγαγον	θυσίαν
そして	子牛を–造った	～の	その	日々に	それらの	そして	ささげた	いけにえを
G2532	G3447	G1722	G3588	G2250	G1565	G2532	G0321	G2378

τῷ	εἰδώλῳ,	καὶ	εὐφραίνοντο	ἐν	τοῖς	ἔργοις	τῶν	χειρῶν	αὐτῶν.
その	偶像に	そして	楽しんだ	～の	その	業に	その	手の	彼らの
G3588	G1497	G2532	G2165	G1722	G3588	G2041	G3588	G5495	G0846

そのころ、彼らは子牛の像を造り、その偶像に供え物をささげ、自分たちの手で造ったものを祭ってうち興じていた。

42

ἔστρεψεν	δὲ	ὁ	Θεὸς,	καὶ	παρέδωκεν	αὐτοὺς	λατρεύειν	τῇ
向き–変えた	すると	（冠詞）	神は	そして	渡した	彼らを	仕える–ために	その
G4762	G1161	G3588	G2316	G2532	G3860	G0846	G3000	G3588

στρατιᾷ	τοῦ	οὐρανοῦ,	καθὼς	γέγραπται	ἐν	βίβλῳ	τῶν	προφητῶν:	
軍勢に	その	天の	その–ように	書かれて–いる	～の	書に	その	預言者たちの	
G4756	G3588	G3772	G2531	G1125	G1722	G0976	G3588	G4396	

Μὴ	σφάγια	καὶ	θυσίας	προσηνέγκατέ	μοι,	ἔτη	τεσσεράκοντα	ἐν	
まさか	ほふり物と	そして	いけにえを	ささげたのか	わたしに	年の–間	四十	～の	
G3361	G4968	G2532	G2378	G4374	G1473	G2094	G5062	G1722	

τῇ	ἐρήμῳ,	οἶκος	Ἰσραήλ?
その	荒野で	家よ	イスラエルの
G3588	G2048	G3624	G2474

そこで、神は顔をそむけ、彼らを天の星を拝むままに任せられた。預言者の書にこう書いてあるとおりである、『イスラエルの家よ、四十年のあいだ荒野にいた時に、いけにえと供え物とを、わたしにささげたことがあったか。

43

καὶ	ἀνελάβετε	τὴν	σκηνὴν	τοῦ	Μολὸχ,	καὶ	τὸ	ἄστρον	τοῦ	θεοῦ
そして	担い-上げた	その	幕屋を	その	モロクの	そして	その	星を	その	神の
G2532	G0353	G3588	G4633	G3588	G3434	G2532	G3588	G0798	G3588	G2316

[ὑμῶν]	Ῥαιφάν,	τοὺς	τύπους	οὓς	ἐποιήσατε	προσκυνεῖν	αὐτοῖς;	καὶ
あなたがたの	レファンの	その	像を	それらを	造った	拝む-ために	それらを	そして
G4771	G4481	G3588	G5179	G3739	G4160	G4352	G0846	G2532

μετοικιῶ	ὑμᾶς	ἐπέκεινα	Βαβυλῶνος.
移す-であろう	あなたがたを	彼方へ	バビロンの
G3351	G4771	G1900	G0897

あなたがたは、モロクの幕屋やロンパの星の神を、かつぎ回った。それらは、拝むために自分で造った偶像に過ぎぬ。だからわたしは、あなたがたをバビロンのかなたへ、移してしまうであろう』。

44

Ἡ	σκηνὴ	τοῦ	μαρτυρίου	ἦν	τοῖς	πατράσιν	ἡμῶν	ἐν	τῇ
（冠詞）	幕屋は	その	証しの	あった	その	父たちに	わたしたちの	～の	その
G3588	G4633	G3588	G3142	G1510	G3588	G3962	G1473	G1722	G3588

ἐρήμῳ,	καθὼς	διετάξατο	ὁ	λαλῶν	τῷ	Μωϋσῇ,	ποιῆσαι	αὐτὴν
荒野に	その-ように	命じた	（冠詞）	語った-方が	（冠詞）	モーセに	造る-ように	それを
G2048	G2531	G1299	G3588	G2980	G3588	G3475	G4160	G0846

κατὰ	τὸν	τύπον	ὃν	ἑωράκει,
～に-従って	その	型に	それを	見た
G2596	G3588	G5179	G3739	G3708

わたしたちの先祖には、荒野にあかしの幕屋があった。それは、見たままの型にしたがって造るようにと、モーセに語ったかたのご命令どおりに造ったものである。

45

ἣν	καὶ	εἰσήγαγον,	διαδεξάμενοι,	οἱ	πατέρες	ἡμῶν,	μετὰ	Ἰησοῦ
それを	また	持ち-込んだ	受け-継いで	その	父たちは	わたしたちの	～と-共に	ヨシュアと
G3739	G2532	G1521	G1237	G3588	G3962	G1473	G3326	G2424

ἐν	τῇ	κατασχέσει	τῶν	ἐθνῶν,	ὧν	ἐξῶσεν	ὁ	Θεὸς	ἀπὸ
～の	その	占領の-中に	その	異邦人の	それらを	追い-出した	（冠詞）	神が	～から
G1722	G3588	G2697	G3588	G1484	G3739	G1856	G3588	G2316	G0575

προσώπου	τῶν	πατέρων	ἡμῶν,	ἕως	τῶν	ἡμερῶν	Δαυίδ,
御前から	その	父たちの	わたしたちの	～まで	その	日々の	ダビデの
G4383	G3588	G3962	G1473	G2193	G3588	G2250	G1138

この幕屋は、わたしたちの先祖が、ヨシュアに率いられ、神によって諸民族を彼らの前から追い払い、その所領をのり取ったときに、そこに持ち込まれ、次々に受け継がれて、ダビデの時代に及んだものである。

46

ὃς	εὗρεν	χάριν	ἐνώπιον	τοῦ	Θεοῦ,	καὶ	ᾐτήσατο	εὑρεῖν
彼は	見いだした	恵みを	～の-前で	（冠詞）	神の	そして	願った	見いだす-ことを
G3739	G2147	G5485	G1799	G3588	G2316	G2532	G0154	G2147

σκήνωμα	τῷ	οἴκῳ	Ἰακώβ.
住まいを	（冠詞）	家の-ために	ヤコブの
G4638	G3588	G3624	G2384

ダビデは、神の恵みをこうむり、そして、ヤコブの神のために宮を造営したいと願った。

47

Σολομῶν	δὲ	οἰκοδόμησεν	αὐτῷ	οἶκον.
ソロモンが	しかし	建てた	神の-ために	家を
G4672	G1161	G3618	G0846	G3624

けれども、じっさいにその宮を建てたのは、ソロモンであった。

48 ἀλλ’ しかし G0235 | οὐχ ～ではない G3756 | ὁ その G3588 | Ὕψιστος いと高き-方は G5310 | ἐν ～に G1722 | χειροποιήτοις 手で-作った-ものには G5499 | κατοικεῖ; 住まない G2730 | καθὼς その-ように G2531

ὁ （冠詞） G3588 | προφήτης 預言者が G4396 | λέγει, 言っている G3004

しかし、いと高き者は、手で造った家の内にはお住みにならない。預言者が言っているとおりである、

49 Ὁ （冠詞） G3588 | οὐρανός 天は G3772 | μοι わたしの G1473 | θρόνος, 王座であり G2362 | ἡ （冠詞） G3588 | δὲ そして G1161 | γῆ 地は G1093 | ὑποπόδιον 足台である G5286 | τῶν その G3588 | ποδῶν 足の G4228

μου. わたしの G1473 | ποῖον どのような G4169 | οἶκον 家を G3624 | οἰκοδομήσετέ 建てるのか G3618 | μοι? わたしに G1473 | λέγει 言う G3004 | Κύριος, 主は G2962 | ἢ, あるいは G2228 | τίς どこが G5101

τόπος 場所なのか G5117 | τῆς その G3588 | καταπαύσεώς 休みの G2663 | μου? わたしの G1473

『主が仰せられる、どんな家をわたしのために建てるのか。わたしのいこいの場所は、どれか。天はわたしの王座、地はわたしの足台である。

50 οὐχὶ ではないか G3780 | ἡ （冠詞） G3588 | χείρ 手が G5495 | μου わたしの G1473 | ἐποίησεν 造ったのではないか G4160 | ταῦτα これらを G3778 | πάντα? すべて G3956

これは皆わたしの手が造ったものではないか』。

51 Σκληροτράχηλοι 強情な G4644 | καὶ そして G2532 | ἀπερίτμητοι 割礼の-ない G0564 | καρδίαις 心と G2588 | καὶ そして G2532 | τοῖς その G3588 | ὠσίν, 耳の G3775 | ὑμεῖς あなたがたは G4771 | ἀεὶ いつも G0104

τῷ （冠詞） G3588 | Πνεύματι 御霊に G4151 | τῷ （冠詞） G3588 | Ἁγίῳ 聖なる G0040 | ἀντιπίπτετε; 逆らっている G0496 | ὡς ちょうど G5613 | οἱ その G3588 | πατέρες 父たちの-ように G3962

ὑμῶν, あなたがたの G4771 | καὶ その-ように G2532 | ὑμεῖς. あなたがたも G4771

ああ、強情で、心にも耳にも割礼のない人たちよ。あなたがたは、いつも聖霊に逆らっている。それは、あなたがたの先祖たちと同じである。

52 τίνα 誰を G5101 | τῶν その G3588 | προφητῶν 預言者の-中で G4396 | οὐκ 迫害しなかったのか G3756 | ἐδίωξαν 迫害しなかった G1377 | οἱ その G3588 | πατέρες 父たちは G3962 | ὑμῶν? あなたがたの G4771

καὶ そして G2532 | ἀπέκτειναν 殺した G0615 | τοὺς その G3588 | προκαταγγείλαντας 予め-告げた-者たちを G4293 | περὶ ～に-ついて G4012 | τῆς その G3588 | ἐλεύσεως 来臨の G1660 | τοῦ その G3588

Δικαίου, 義なる-方の G1342 | οὗ その-方の G3739 | νῦν 今 G3568 | ὑμεῖς あなたがたは G4771 | προδόται 裏切り者と G4273 | καὶ そして G2532 | φονεῖς 殺人者に G5406 | ἐγένεσθε! なった G1096

いったい、あなたがたの先祖が迫害しなかった預言者が、ひとりでもいたか。彼らは正しいかたの来ることを予告した人たちを殺し、今やあなたがたは、その正しいかたを裏切る者、また殺す者となった。

53

οἵτινες	ἐλάβετε	τὸν	νόμον	εἰς	διαταγὰς	ἀγγέλων,	καὶ
その–者たちよ	受けた	その	律法を	～として	御使いたちの–定めとして	御使いたちの	そして
G3748	G2983	G3588	G3551	G1519	G1296	G0032	G2532

οὐκ	ἐφυλάξατε.
守らなかった	守らなかった
G3756	G5442

あなたがたは、御使たちによって伝えられた律法を受けたのに、それを守ることをしなかった」。

54

Ἀκούοντες	δὲ	ταῦτα	διεπρίοντο	ταῖς	καρδίαις	αὐτῶν,	καὶ	ἔβρυχον
聞いて	すると	これらを	激怒した	その	心の–中で	彼らの	そして	歯ぎしり–した
G0191	G1161	G3778	G1282	G3588	G2588	G0846	G2532	G1031

τοὺς	ὀδόντας	ἐπ’	αὐτόν.
その	歯を	～に–対して	彼に
G3588	G3599	G1909	G0846

人々はこれを聞いて、心の底から激しく怒り、ステパノにむかって、歯ぎしりをした。

55

ὑπάρχων	δὲ	πλήρης	Πνεύματος	Ἁγίου,	ἀτενίσας	εἰς	τὸν	οὐρανὸν,	εἶδεν
満ちて–いた	そして	満ちて	聖	霊に	見つめて	～を	その	天を	見た
G5225	G1161	G4134	G4151	G0040	G0816	G1519	G3588	G3772	G3708

δόξαν	Θεοῦ,	καὶ	Ἰησοῦν	ἑστῶτα	ἐκ	δεξιῶν	τοῦ	Θεοῦ,
栄光を	神の	そして	イエスが	立って–いるのを	～の	右に	（冠詞）	神の
G1391	G2316	G2532	G2424	G2476	G1537	G1188	G3588	G2316

しかし、彼は聖霊に満たされて、天を見つめていると、神の栄光が現れ、イエスが神の右に立っておられるのが見えた。

56

καὶ	εἶπεν,	Ἰδοὺ,	θεωρῶ	τοὺς	οὐρανοὺς	διηνοιγμένους,	καὶ	τὸν	Υἱὸν
そして	言った	見よ	見える	その	天が	開かれて–いるのが	そして	その	人の–子が
G2532	G3004	G3708	G2334	G3588	G3772	G1272	G2532	G3588	G5207

τοῦ	ἀνθρώπου	ἐκ	δεξιῶν	ἑστῶτα	τοῦ	Θεοῦ.
（冠詞）	人の	～の	右に	立って–いるのが	（冠詞）	神の
G3588	G0444	G1537	G1188	G2476	G3588	G2316

そこで、彼は「ああ、天が開けて、人の子が神の右に立っておいでになるのが見える」と言った。

57

κράξαντες	δὲ	φωνῇ	μεγάλῃ,	συνέσχον	τὰ	ὦτα	αὐτῶν,	καὶ	ὥρμησαν
叫んで	すると	声で	大きな	ふさいだ	その	耳を	彼らの	そして	突進した
G2896	G1161	G5456	G3173	G4912	G3588	G3775	G0846	G2532	G3729

ὁμοθυμαδὸν	ἐπ’	αὐτόν.
一つに–なって	～に–向かって	彼に
G3661	G1909	G0846

人々は大声で叫びながら、耳をおおい、ステパノを目がけて、いっせいに殺到し、

58 καὶ そして G2532 ἐκβαλόντες 追い-出して G1544 ἔξω 外へ G1854 τῆς その G3588 πόλεως, 町の G4172 ἐλιθοβόλουν. 石を-投げた G3036 καὶ そして G2532 οἱ その G3588 μάρτυρες 証人たちは G3144 ἀπέθεντο 置いた G0659 τὰ その G3588 ἱμάτια 衣服を G2440 αὐτῶν, 彼らの G0846 παρὰ ～の-そばに G3844 τοὺς その G3588 πόδας 足もとに G4228 νεανίου 若者の G3494 καλουμένου 名の G2564 Σαύλου. サウロの G4569

彼を市外に引き出して、石で打った。これに立ち合った人たちは、自分の上着を脱いで、サウロという若者の足もとに置いた。

59 καὶ そして G2532 ἐλιθοβόλουν 石を-投げた G3036 τὸν （冠詞） G3588 Στέφανον, ステパノに G4736 ἐπικαλούμενον 呼び-求めて G1941 καὶ そして G2532 λέγοντα, 言って G3004 Κύριε 主よ G2962 Ἰησοῦ, イエスよ G2424 δέξαι 受けて-ください G1209 τὸ わたしの G3588 πνεῦμά 霊を G4151 μου. わたしの G1473

こうして、彼らがステパノに石を投げつけている間、ステパノは祈りつづけて言った、「主イエスよ、わたしの霊をお受け下さい」。

60 θεὶς ひざまずいて G5087 δὲ そして G1161 τὰ （冠詞） G3588 γόνατα, ひざを G1119 ἔκραξεν 叫んだ G2896 φωνῇ 声で G5456 μεγάλῃ, 大きな G3173 Κύριε, 主よ G2962 μὴ 立てないで-ください G3361 στήσῃς 立てないでください G2476 αὐτοῖς 彼らに G0846 ταύτην この G3778 τὴν その G3588 ἁμαρτίαν. 罪を G0266 καὶ そして G2532 τοῦτο この-ことを G3778 εἰπὼν, 言って G3004 ἐκοιμήθη. 眠りに-ついた G2837

そして、ひざまずいて、大声で叫んだ、「主よ、どうぞ、この罪を彼らに負わせないで下さい」。こう言って、彼は眠りについた。

Chapter 8

1 Σαῦλος サウロは G4569 δὲ そして G1161 ἦν いた G1510 συνευδοκῶν 同意して G4909 τῇ その G3588 ἀναιρέσει 殺害に G0336 αὐτοῦ. 彼の G0846 Ἐγένετο 起こった G1096 δὲ そして G1161 ἐν その G1722 ἐκείνῃ あの G1565 τῇ その G3588 ἡμέρᾳ, 日に G2250 διωγμὸς 迫害が G1375 μέγας 大きな G3173 ἐπὶ に-対する G1909 τὴν その G3588 ἐκκλησίαν 教会に G1577 τὴν その G3588 ἐν の-中の G1722 Ἱεροσολύμοις. エルサレム G2414 πάντες すべての-者は G3956 δὲ そして G1161 διεσπάρησαν 散らされた G1289 κατὰ に-わたる G2596 τὰς その G3588 χώρας 地方の G5561 τῆς の G3588 Ἰουδαίας ユダヤ G2449 καὶ と G2532 Σαμαρείας, サマリヤ G4540 πλὴν ただし G4133 τῶν の G3588 ἀποστόλων. 使徒たち-以外は G0652

サウロは、ステパノを殺すことに賛成していた。その日、エルサレムの教会に対して大迫害が起り、使徒以外の者はことごとく、ユダヤとサマリヤとの地方に散らされて行った。

2

συνεκόμισαν	δὲ	τὸν	Στέφανον	ἄνδρες	εὐλαβεῖς,	καὶ	ἐποίησαν
葬った	そして	その	ステパノを	敬虔な–人々が	信仰深い	そして	行った
G4792	G1161	G3588	G4736	G0435	G2126	G2532	G4160

κοπετὸν	μέγαν	ἐπ’	αὐτῷ.
嘆きを	大いなる	の–上に	彼
G2870	G3173	G1909	G0846

信仰深い人たちはステパノを葬り、彼のために胸を打って、非常に悲しんだ。

3

Σαῦλος	δὲ	ἐλυμαίνετο	τὴν	ἐκκλησίαν,	κατὰ	τοὺς	οἴκους	εἰσπορευόμενος,
サウロは	しかし	荒らしていた	その	教会を	の–中の	その	家々に	入り込んで
G4569	G1161	G3075	G3588	G1577	G2596	G3588	G3624	G1531

σύρων	τε	ἄνδρας	καὶ	γυναῖκας,	παρεδίδου	εἰς	φυλακήν.
引きずり出して	そして	男たちも	そして	女たちも	引き渡していた	へ	牢獄
G4951	G5037	G0435	G2532	G1135	G3860	G1519	G5438

ところが、サウロは家々に押し入って、男や女を引きずり出し、次々に獄に渡して、教会を荒し回った。

4

Οἱ	μὲν	οὖν	διασπαρέντες	διῆλθον,	εὐαγγελιζόμενοι,	τὸν	λόγον.
その	一方では	それゆえ	散らされた–者たちは	巡り歩いた	福音を–宣べ伝えながら	その	言葉を
G3588	G3303	G3767	G1289	G1330	G2097	G3588	G3056

さて、散らされて行った人たちは、御言を宣べ伝えながら、めぐり歩いた。

5

Φίλιππος	δὲ,	κατελθὼν	εἰς	τὴν	πόλιν	τῆς	Σαμαρείας,	ἐκήρυσσεν	αὐτοῖς
ピリポは	そして	下って	へ	その	町の	の	サマリヤ	宣べ伝えた	彼らに
G5376	G1161	G2718	G1519	G3588	G4172	G3588	G4540	G2784	G0846

τὸν	Χριστόν.
その	キリストを
G3588	G5547

ピリポはサマリヤの町に下って行き、人々にキリストを宣べはじめた。

6

προσεῖχον	δὲ	οἱ	ὄχλοι	τοῖς	λεγομένοις	ὑπὸ	τοῦ	Φιλίππου
注意を–払っていた	そして	その	群衆は	に	語られた–ことに	によって	の	ピリポ
G4337	G1161	G3588	G3793	G3588	G3004	G5259	G3588	G5376

ὁμοθυμαδὸν,	ἐν	τῷ	ἀκούειν	αὐτοὺς	καὶ	βλέπειν	τὰ	σημεῖα	ἃ
心–一つにして	の–中で	その	聞き	彼らが	そして	見て	その	しるしを	を
G3661	G1722	G3588	G0191	G0846	G2532	G0991	G3588	G4592	G3739

ἐποίει.
彼が–行っていた
G4160

群衆はピリポの話を聞き、その行っていたしるしを見て、こぞって彼の語ることに耳を傾けた。

7 πολλοὶ γὰρ τῶν ἐχόντων πνεύματα ἀκάθαρτα, βοῶντα φωνῇ
多くの なぜなら の 取り憑かれた–者たちの 霊は 汚れた 叫びながら 声で
G4183 G1063 G3588 G2192 G4151 G0169 G0994 G5456

μεγάλῃ, ἐξήρχοντο; πολλοὶ δὲ, παραλελυμένοι καὶ χωλοὶ,
大きな 出て–行った 多くの また 中風の–者たちや そして 足の–不自由な–者たちが
G3173 G1831 G4183 G1161 G3886 G2532 G5560

ἐθεραπεύθησαν.
いやされた
G2323

汚れた霊につかれた多くの人々からは、その霊が大声でわめきながら出て行くし、また、多くの中風をわずらっている者や、足のきかない者がいやされたからである。

8 ἐγένετο δὲ πολλὴ χαρὰ ἐν τῇ πόλει ἐκείνῃ.
あった そして 大きな 喜びが に その 町に あの
G1096 G1161 G4183 G5479 G1722 G3588 G4172 G1565

それで、この町では人々が、大変なよろこびかたであった。

9 Ἀνὴρ δέ τις, ὀνόματι Σίμων, προϋπῆρχεν ἐν τῇ πόλει μαγεύων,
ある–人が さて いた 名は シモン 以前から–いた の–中で その 町に 魔術を–行い
G0435 G1161 G5100 G3686 G4613 G4391 G1722 G3588 G4172 G3096

καὶ ἐξιστάνων τὸ ἔθνος τῆς Σαμαρείας, λέγων εἶναί τινα ἑαυτὸν
そして 驚かせていた その 民を の サマリヤ 言って であると 何か 自分が
G2532 G1839 G3588 G1484 G3588 G4540 G3004 G1510 G5100 G1438

μέγαν.
偉大な–者
G3173

さて、この町に以前からシモンという人がいた。彼は魔術を行ってサマリヤの人たちを驚かし、自分をさも偉い者のように言いふらしていた。

10 ᾧ προσεῖχον πάντες, ἀπὸ μικροῦ ἕως μεγάλου, λέγοντες,
に 注意を–払っていた すべての–者が から 小さい–者から まで 大きい–者まで 言って
G3739 G4337 G3956 G0575 G3398 G2193 G3173 G3004

Οὗτός ἐστιν ἡ δύναμις τοῦ Θεοῦ ἡ καλουμένη Μεγάλη.
この–者こそ である その 力 の 神の その 呼ばれる 偉大な–力
G3778 G1510 G3588 G1411 G3588 G2316 G3588 G2564 G3173

それで、小さい者から大きい者にいたるまで皆、彼について行き、「この人こそは『大能』と呼ばれる神の力である」と言っていた。

11 προσεῖχον δὲ αὐτῷ, διὰ τὸ ἱκανῷ χρόνῳ ταῖς μαγείαις,
注意を–払っていた そして 彼に ので その 長い 間 その 魔術で
G4337 G1161 G0846 G1223 G3588 G2425 G5550 G3588 G3095

ἐξεστακέναι αὐτούς.
驚かせて–いたから 彼らを
G1839 G0846

彼らがこの人について行ったのは、ながい間その魔術に驚かされていたためであった。

12 ὅτε δὲ ἐπίστευσαν τῷ Φιλίππῳ, εὐαγγελιζομένῳ περὶ τῆς βασιλείας
しかし そして 信じた–とき その ピリポが 福音を–宣べ伝える について の 御国の
G3753 G1161 G4100 G3588 G5376 G2097 G4012 G3588 G0932

τοῦ Θεοῦ, καὶ τοῦ ὀνόματος Ἰησοῦ Χριστοῦ, ἐβαπτίζοντο ἄνδρες τε
の 神 と の 名の イエス キリストの バプテスマを–受けた 男たちも そして
G3588 G2316 G2532 G3588 G3686 G2424 G5547 G0907 G0435 G5037

καὶ γυναῖκες.
また 女たちも
G2532 G1135

ところが、ピリポが神の国とイエス・キリストの名について宣べ伝えるに及んで、男も女も信じて、ぞくぞくとバプテスマを受けた。

13 ὁ δὲ Σίμων καὶ αὐτὸς ἐπίστευσεν, καὶ βαπτισθεὶς, ἦν
その そして シモン も 自身 信じた そして バプテスマを–受けて いた
G3588 G1161 G4613 G2532 G0846 G4100 G2532 G0907 G1510

προσκαρτερῶν τῷ Φιλίππῳ. θεωρῶν τε σημεῖα καὶ δυνάμεις μεγάλας
付き従い に ピリポ 見て そして しるしと また 力ある–わざの 大いなる
G4342 G3588 G5376 G2334 G5037 G4592 G2532 G1411 G3173

γινομένας, ἐξίστατο.
行われるのを 驚いていた
G1096 G1839

シモン自身も信じて、バプテスマを受け、それから、引きつづきピリポについて行った。そして、数々のしるしやめざましい奇跡が行われるのを見て、驚いていた。

14 Ἀκούσαντες δὲ οἱ ἐν Ἱεροσολύμοις ἀπόστολοι, ὅτι δέδεκται
聞いて そして その の–中の エルサレム 使徒たちは と 受け入れたことを
G0191 G1161 G3588 G1722 G2414 G0652 G3754 G1209

ἡ Σαμάρεια τὸν λόγον τοῦ Θεοῦ, ἀπέστειλαν πρὸς αὐτοὺς Πέτρον
その サマリヤが その 言葉を の 神の 遣わした へ 彼らの–もとに ペテロと
G3588 G4540 G3588 G3056 G3588 G2316 G0649 G4314 G0846 G4074

καὶ Ἰωάννην,
また ヨハネを
G2532 G2491

エルサレムにいる使徒たちは、サマリヤの人々が、神の言を受け入れたと聞いて、ペテロとヨハネとを、そこにつかわした。

15 οἵτινες καταβάντες, προσηύξαντο περὶ αὐτῶν, ὅπως λάβωσιν Πνεῦμα
彼らは 下って–行き 祈った の–ために 彼らの が–ように 受けるように 聖
G3748 G2597 G4336 G4012 G0846 G3704 G2983 G4151

Ἅγιον.
霊を
G0040

ふたりはサマリヤに下って行って、みんなが聖霊を受けるようにと、彼らのために祈った。

16 οὐδέπω γὰρ ἦν ἐπ’ οὐδενὶ. αὐτῶν ἐπιπεπτωκός, μόνον δὲ
まだ なぜなら なかった の–上に 誰にも 彼らの 降って–いなかった ただ しかし
G3764 G1063 G1510 G1909 G3762 G0846 G1968 G3440 G1161

βεβαπτισμένοι ὑπῆρχον εἰς τὸ ὄνομα τοῦ κυρίου Ἰησοῦ.
バプテスマを–受けて–いた だけ–であった の–中に その 名の の 主 イエスの
G0907 G5225 G1519 G3588 G3686 G3588 G2962 G2424

それは、彼らはただ主イエスの名によってバプテスマを受けていただけで、聖霊はまだだれにも下っていなかったからである。

17 τότε そのとき G5119 ἐπετίθεσαν 按手した G2007 τὰς その G3588 χεῖρας 手を G5495 ἐπ' の-上に G1909 αὐτούς, 彼らに G0846 καὶ すると G2532 ἐλάμβανον 受けた G2983 Πνεῦμα 聖 G4151 Ἅγιον. 霊を G0040

そこで、ふたりが手を彼らの上においたところ、彼らは聖霊を受けた。

18 ἰδὼν 見て G3708 δὲ そして G1161 ὁ その G3588 Σίμων, シモンは G4613 ὅτι と G3754 διὰ を-通して G1223 τῆς の G3588 ἐπιθέσεως 按手の G1936 τῶν の G3588 χειρῶν 手の G5495 τῶν の G3588 ἀποστόλων, 使徒たちの G0652 δίδοται 与えられる G1325 τὸ その G3588 Πνεῦμα, 御霊が G4151 προσήνεγκεν 差し出した G4374 αὐτοῖς 彼らに G0846 χρήματα, 金を G5536

シモンは、使徒たちが手をおいたために、御霊が人々に授けられたのを見て、金をさし出し、

19 λέγων, 言って G3004 Δότε 与えよ G1325 κἀμοὶ 私にも G2504 τὴν この G3588 ἐξουσίαν 権威を G1849 ταύτην, この G3778 ἵνα ために G2443 ᾧ 誰にでも G3739 ἐὰν もし G1437 ἐπιθῶ 手を-置けば G2007 τὰς その G3588 χεῖρας, 手を G5495 λαμβάνῃ 受けるように G2983 Πνεῦμα 聖 G4151 Ἅγιον. 霊を G0040

「わたしが手をおけばだれにでも聖霊が授けられるように、その力をわたしにも下さい」と言った。

20 Πέτρος ペテロは G4074 δὲ しかし G1161 εἶπεν 言った G3004 πρὸς に-向かって G4314 αὐτόν, 彼に G0846 Τὸ おまえの G3588 ἀργύριόν 銀は G0694 σου, おまえの G4771 σὺν と-共に G4862 σοὶ おまえ G4771 εἴη 滅びよ G1510 εἰς に-至れ G1519 ἀπώλειαν, 滅びに G0684 ὅτι なぜなら G3754 τὴν その G3588 δωρεὰν 賜物を G1431 τοῦ の G3588 Θεοῦ, 神の G2316 ἐνόμισας おまえは-思った G3543 διὰ によって G1223 χρημάτων 金で G5536 κτᾶσθαι. 得られると G2932

そこで、ペテロが彼に言った、「おまえの金は、おまえもろとも、うせてしまえ。神の賜物が、金で得られるなどと思っているのか。

21 οὐκ ない G3756 ἔστιν ある G1510 σοι おまえに G4771 μερὶς, 分け前は G3310 οὐδὲ また G3761 κλῆρος, 受け分も G2819 ἐν の-中に G1722 τῷ この G3588 λόγῳ 言葉の G3056 τούτῳ; この G3778 ἡ なぜなら G3588 γὰρ というのも G1063 καρδία 心が G2588 σου おまえの G4771 οὐκ ない G3756 ἔστιν 正しく G1510 εὐθεῖα まっすぐで G2117 ἔναντι の-前に G1725 τοῦ の G3588 Θεοῦ. 神 G2316

おまえの心が神の前に正しくないから、おまえは、とうてい、この事にあずかることができない。

22 μετανόησον οὖν ἀπὸ τῆς κακίας σου ταύτης, καὶ δεήθητι τοῦ
悔い改めよ だから から この 悪から おまえの この そして 願い求めよ に
G3340 G3767 G0575 G3588 G2549 G4771 G3778 G2532 G1189 G3588

Κυρίου, εἰ ἄρα ἀφεθήσεταί σοι ἡ ἐπίνοια τῆς καρδίας
主に もし あるいは 赦されるかも-しれない おまえに この 企みが の 心の
G2962 G1487 G0687 G0863 G4771 G3588 G1963 G3588 G2588

σου;
おまえの
G4771

だから、この悪事を悔いて、主に祈れ。そうすればあるいはそんな思いを心にいだいたことが、ゆるされるかも知れない。

23 εἰς γὰρ χολὴν πικρίας καὶ σύνδεσμον ἀδικίας, ὁρῶ σε
の-中に なぜなら 苦い 胆汁と そして 束縛の 不義の 私は-見る おまえが
G1519 G1063 G5521 G4088 G2532 G4886 G0093 G3708 G4771

ὄντα.
いることを
G1510

おまえには、まだ苦い胆汁があり、不義のなわ目がからみついている。それが、わたしにわかっている」。

24 ἀποκριθεὶς δὲ, ὁ Σίμων εἶπεν, Δεήθητε ὑμεῖς ὑπὲρ
答えて そして その シモンは 言った 祈ってください あなたがたが の-ために
G0611 G1161 G3588 G4613 G3004 G1189 G4771 G5228

ἐμοῦ, πρὸς τὸν Κύριον, ὅπως μηδὲν ἐπέλθῃ ἐπ' ἐμὲ ὧν
私の-ために に その 主に ように 何も 降りかからない-ように の-上に 私に の
G1473 G4314 G3588 G2962 G3704 G3367 G1904 G1909 G1473 G3739

εἰρήκατε.
あなたがたが-言った-ことが
G2046

シモンはこれを聞いて言った、「仰せのような事が、わたしの身に起らないように、どうぞ、わたしのために主に祈って下さい」。

25 Οἱ μὲν οὖν διαμαρτυράμενοι, καὶ λαλήσαντες τὸν λόγον τοῦ
彼らは 一方では それゆえ 証しして そして 語って その 言葉を の
G3588 G3303 G3767 G1263 G2532 G2980 G3588 G3056 G3588

Κυρίου, ὑπέστρεφον εἰς Ἱεροσόλυμα, πολλάς τε κώμας τῶν Σαμαριτῶν
主の 帰って-行った へ エルサレム 多くの そして 村々でも の サマリヤ人の
G2962 G5290 G1519 G2414 G4183 G5037 G2968 G3588 G4541

εὐηγγελίζοντο.
福音を-宣べ伝えた
G2097

使徒たちは力強くあかしをなし、また主の言を語った後、サマリヤ人の多くの村々に福音を宣べ伝えて、エルサレムに帰った。

26 Ἄγγελος δὲ Κυρίου ἐλάλησεν πρὸς Φίλιππον, λέγων, Ἀνάστηθι καὶ
御使いが そして 主の 語った に ピリポに 言って 立ち上がり そして
G0032 G1161 G2962 G2980 G4314 G5376 G3004 G0450 G2532

πορεύου κατὰ μεσημβρίαν, ἐπὶ τὴν ὁδὸν τὴν καταβαίνουσαν ἀπὸ
進んで–行け に–向かって 南の–方へ の–上の その 道を その 下っていく から
G4198 G2596 G3314 G1909 G3588 G3598 G3588 G2597 G0575

Ἰερουσαλὴμ εἰς Γάζαν; αὕτη ἐστὶν ἔρημος.
エルサレム へ ガザ これは である 荒野
G2419 G1519 G1048 G3778 G1510 G2048

しかし、主の使がピリポにむかって言った、「立って南方に行き、エルサレムからガザへ下る道に出なさい」（このガザは、今は荒れはてている）。

27 καὶ ἀναστὰς, ἐπορεύθη. καὶ ἰδοὺ, ἀνὴρ Αἰθίοψ, εὐνοῦχος, δυνάστης
そして 立ち上がり 出かけた すると 見よ ある–人 エチオピヤ人の 宦官で 高官
G2532 G0450 G4198 G2532 G3708 G0435 G0128 G2135 G1413

Κανδάκης, βασιλίσσης Αἰθιόπων, ὃς ἦν ἐπὶ πάσης τῆς γάζης
カンダケの 女王の エチオピヤ人の この–者は いた を–管理する すべての の 宝の
G2582 G0938 G0128 G3739 G1510 G1909 G3956 G3588 G1047

αὐτῆς, ὃς ἐληλύθει προσκυνήσων εἰς Ἰερουσαλήμ,
彼女の この–者は 来ていた 礼拝する–ために へ エルサレム
G0846 G3739 G2064 G4352 G1519 G2419

そこで、彼は立って出かけた。すると、ちょうど、エチオピヤ人の女王カンダケの高官で、女王の財宝全部を管理していた宦官であるエチオピヤ人が、礼拝のためエルサレムに上り、

28 ἦν τε ὑποστρέφων, καὶ καθήμενος ἐπὶ τοῦ ἅρματος αὐτοῦ, καὶ
そして また 帰る–途中で そして 座って の–上に その 馬車の 彼の そして
G1510 G5037 G5290 G2532 G2521 G1909 G3588 G0716 G0846 G2532

ἀνεγίνωσκεν τὸν προφήτην Ἡσαΐαν.
読んでいた その 預言者 イザヤを
G0314 G3588 G4396 G2268

その帰途についていたところであった。彼は自分の馬車に乗って、預言者イザヤの書を読んでいた。

29 εἶπεν δὲ τὸ Πνεῦμα τῷ Φιλίππῳ, Πρόσελθε καὶ κολλήθητι τῷ
言った そして その 御霊が に ピリポに 近づいて そして 付いて–行け に
G3004 G1161 G3588 G4151 G3588 G5376 G4334 G2532 G2853 G3588

ἅρματι τούτῳ.
馬車に この
G0716 G3778

御霊がピリポに「進み寄って、あの馬車に並んで行きなさい」と言った。

30 προσδραμὼν δὲ, ὁ Φίλιππος ἤκουσεν αὐτοῦ ἀναγινώσκοντος Ἡσαΐαν τὸν
走り寄って すると その ピリポは 聞いた 彼が 読んでいる イザヤ その
G4370 G1161 G3588 G5376 G0191 G0846 G0314 G2268 G3588

προφήτην, καὶ εἶπεν, Ἆρά γε γινώσκεις ἃ ἀναγινώσκεις?
預言者を そして 言った 果たして ほんとうに 理解して–いますか あなたが 読んでいる–ことを
G4396 G2532 G3004 G0686 G1065 G1097 G3739 G0314

そこでピリポが駆けて行くと、預言者イザヤの書を読んでいるその人の声が聞えたので、「あなたは、読んでいることが、おわかりですか」と尋ねた。

31 ὁ δὲ εἶπεν, Πῶς γὰρ ἂν δυναίμην ἐὰν μή
その-人は そして 言った どうして なぜなら ないか できよう もし-ない-なら でなければ
G3588 G1161 G3004 G4459 G1063 G0302 G1410 G1437 G3361

τις ὁδηγήσει με? παρεκάλεσέν τε τὸν Φίλιππον, ἀναβάντα, καθίσαι
誰かが 導いて-くれ 私を そして-頼んだ そして その ピリポに 乗って 座るように-と
G5100 G3594 G1473 G3870 G5037 G3588 G5376 G0305 G2523

σὺν αὐτῷ.
と-共に 自分
G4862 G0846

彼は「だれかが、手びきをしてくれなければ、どうしてわかりましょう」と答えた。そして、馬車に乗って一緒にすわるようにと、ピリポにすすめた。

32 ἡ δὲ περιοχὴ τῆς γραφῆς ἣν ἀνεγίνωσκεν ἦν αὕτη, Ὡς
その さて 箇所は の 聖書の を 読んでいた であった これ ように
G3588 G1161 G4042 G3588 G1124 G3739 G0314 G1510 G3778 G5613

πρόβατον ἐπὶ σφαγὴν ἤχθη, καὶ ὡς ἀμνὸς ἐναντίον τοῦ
羊が へ 屠り場に 引かれていった また ように 子羊が の-前で その
G4263 G1909 G4967 G0071 G2532 G5613 G0286 G1726 G3588

κείραντος αὐτὸν ἄφωνος, οὕτως οὐκ ἀνοίγει τὸ στόμα αὐτοῦ.
毛を-刈る-者の 彼 声を-出さない そのように ない 開か その 口を 彼の
G2751 G0846 G0880 G3779 G3756 G0455 G3588 G4750 G0846

彼が読んでいた聖書の箇所は、これであった、「彼は、ほふり場に引かれて行く羊のように、また、黙々として、毛を刈る者の前に立つ小羊のように、口を開かない。

33 Ἐν τῇ ταπεινώσει [αὐτοῦ], ἡ κρίσις αὐτοῦ ἤρθη. τὴν γενεὰν
の-中で その 卑しめの 彼の その 裁きが 彼の 取り去られた その 世代を
G1722 G3588 G5014 G0846 G3588 G2920 G0846 G0142 G3588 G1074

αὐτοῦ, τίς διηγήσεται? ὅτι αἴρεται ἀπὸ τῆς γῆς ἡ ζωὴ αὐτοῦ.
彼の 誰が 語り-得るか なぜなら 取り去られる から の 地の その 命が 彼の
G0846 G5101 G1334 G3754 G0142 G0575 G3588 G1093 G3588 G2222 G0846

彼は、いやしめられて、そのさばきも行われなかった。だれが、彼の子孫のことを語ることができようか、彼の命が地上から取り去られているからには」。

34 ἀποκριθεὶς δὲ, ὁ εὐνοῦχος τῷ Φιλίππῳ εἶπεν, Δέομαί σου,
答えて そして その 宦官は に ピリポに 言った お願い-します あなたに
G0611 G1161 G3588 G2135 G3588 G5376 G3004 G1189 G4771

περὶ τίνος ὁ προφήτης λέγει τοῦτο? περὶ ἑαυτοῦ, ἢ
について 誰の-ことを その 預言者は 語っている これを について 自分自身の-こと それとも
G4012 G5101 G3588 G4396 G3004 G3778 G4012 G1438 G2228

περὶ ἑτέρου τινός?
について ほかの ある-人の-こと
G4012 G2087 G5100

宦官はピリポにむかって言った、「お尋ねしますが、ここで預言者はだれのことを言っているのですか。自分のことですか、それとも、だれかほかの人のことですか」。

35 ἀνοίξας δὲ ὁ Φίλιππος τὸ στόμα αὐτοῦ, καὶ ἀρξάμενος ἀπὸ τῆς
開いて そして その ピリポは その 口を 彼の そして 始めて から この
G0455 G1161 G3588 G5376 G3588 G4750 G0846 G2532 G0756 G0575 G3588

γραφῆς ταύτης, εὐηγγελίσατο αὐτῷ, τὸν Ἰησοῦν.
聖書の–箇所 この 福音を–宣べ伝えた 彼に その イエスを
G1124 G3778 G2097 G0846 G3588 G2424

そこでピリポは口を開き、この聖句から説き起して、イエスのことを宣べ伝えた。

36 ὡς δὲ ἐπορεύοντο κατὰ τὴν ὁδόν, ἦλθον ἐπί τι
すると そして 進んで–行く–うちに に–沿って その 道を 来た の–近くに ある
G5613 G1161 G4198 G2596 G3588 G3598 G2064 G1909 G5100

ὕδωρ, καί φησιν ὁ εὐνοῦχος, Ἰδοὺ ὕδωρ; τί κωλύει με
水の–ある–所に すると 言った その 宦官は 見よ 水が–ある 何が 妨げるのか 私が
G5204 G2532 G5346 G3588 G2135 G3708 G5204 G5101 G2967 G1473

βαπτισθῆναι?
バプテスマを–受けることを
G0907

道を進んで行くうちに、水のある所にきたので、宦官が言った、「ここに水があります。わたしがバプテスマを受けるのに、なんのさしつかえがありますか」。〔

37 {εἶπε δὲ ὁ Φίλιππος, Εἰ πιστεύεις ἐξ ὅλης τῆς καρδίας,
言った そして その ピリポは もし 信じるなら から すべての その 心から
G2036 G1161 G3588 G5376 G1487 G4100 G1537 G3650 G3588 G2588

ἔξεστιν. ἀποκριθεὶς δὲ εἶπε, Πιστεύω τὸν υἱὸν τοῦ Θεοῦ εἶναι
よろしい 答えて そして 言った 私は–信じます その 御子が の 神の であると
G1832 G0611 G1161 G2036 G4100 G3588 G5207 G3588 G2316 G1511

τὸν Ἰησοῦν Χριστόν}.
その イエス キリストを
G3588 G2424 G5547

これに対して、ピリポは、「あなたがまごころから信じるなら、受けてさしつかえはありません」と言った。すると、彼は「わたしは、イエス・キリストを神の子と信じます」と答えた。〕

38 καὶ ἐκέλευσεν στῆναι τὸ ἅρμα. καὶ κατέβησαν, ἀμφότεροι εἰς τὸ
そして 命じて 止めさせた その 馬車を そして 降りた 二人とも の–中に その
G2532 G2753 G2476 G3588 G0716 G2532 G2597 G0297 G1519 G3588

ὕδωρ, ὅ τε Φίλιππος καὶ ὁ εὐνοῦχος, καὶ ἐβάπτισεν
水の–中に すなわち そして ピリポも そして その 宦官も そして バプテスマを–授けた
G5204 G3588 G5037 G5376 G2532 G3588 G2135 G2532 G0907

αὐτόν.
彼に
G0846

そこで車をとめさせ、ピリポと宦官と、ふたりとも、水の中に降りて行き、ピリポが宦官にバプテスマを授けた。

39 ὅτε δὲ ἀνέβησαν ἐκ τοῦ ὕδατος, Πνεῦμα Κυρίου ἥρπασεν τὸν
しかし そして 上がった–とき から の 水から 御霊が 主の 連れ去った その
G3753 G1161 G0305 G1537 G3588 G5204 G4151 G2962 G0726 G3588

Φίλιππον, καὶ οὐκ εἶδεν αὐτὸν οὐκέτι ὁ εὐνοῦχος; ἐπορεύετο
ピリポを そして もはや 見なかった 彼を もう その 宦官は 進んで–行った
G5376 G2532 G3756 G3708 G0846 G3765 G3588 G2135 G4198

γὰρ τὴν ὁδὸν αὐτοῦ, χαίρων.
なぜなら その 道を 自分の 喜びながら
G1063 G3588 G3598 G0846 G5463

ふたりが水から上がると、主の霊がピリポをさらって行ったので、宦官はもう彼を見ることができなかった。宦官はよろこびながら旅をつづけた。

40 Φίλιππος δὲ εὑρέθη εἰς Ἄζωτον, καὶ διερχόμενος, εὐηγγελίζετο
ピリポは すると 見いだされた に アゾトに そして 通り過ぎながら 福音を–宣べ伝えた
G5376 G1161 G2147 G1519 G0108 G2532 G1330 G2097

τὰς πόλεις πάσας, ἕως τοῦ ἐλθεῖν αὐτὸν εἰς Καισάρειαν.
その 町々を すべての まで の 着く 彼が に カイサリヤ
G3588 G4172 G3956 G2193 G3588 G2064 G0846 G1519 G2542

その後、ピリポはアゾトに姿をあらわして、町々をめぐり歩き、いたるところで福音を宣べ伝えて、ついにカイザリヤに着いた。

Chapter 9

1 Ὁ δὲ Σαῦλος, ἔτι ἐμπνέων ἀπειλῆς καὶ φόνου εἰς τοὺς
その さて サウロは なおも 息巻きながら 脅かしと そして 殺意を に–対して その
G3588 G1161 G4569 G2089 G1709 G0547 G2532 G5408 G1519 G3588

μαθητὰς τοῦ Κυρίου. προσελθὼν τῷ ἀρχιερεῖ,
弟子たちに の 主の 近づいて に 大祭司に
G3101 G3588 G2962 G4334 G3588 G0749

さてサウロは、なおも主の弟子たちに対する脅迫、殺害の息をはずませながら、大祭司のところに行って、

2 ἠτήσατο παρ’ αὐτοῦ ἐπιστολὰς εἰς Δαμασκὸν, πρὸς τὰς συναγωγάς, ὅπως
求めた から 彼から 書簡を への ダマスコへの への その 会堂への ために
G0154 G3844 G0846 G1992 G1519 G1154 G4314 G3588 G4864 G3704

ἐάν τινας εὕρῃ τῆς Ὁδοῦ, ὄντας ἄνδρας τε καὶ γυναῖκας,
もし ある–者を 見つけたら の この–道の いる 男でも そして また 女でも
G1437 G5100 G2147 G3588 G3598 G1510 G0435 G5037 G2532 G1135

δεδεμένους ἀγάγῃ εἰς Ἰερουσαλήμ.
縛って 連行する–ために へ エルサレム
G1210 G0071 G1519 G2419

ダマスコの諸会堂あての添書を求めた。それは、この道の者を見つけ次第、男女の別なく縛りあげて、エルサレムにひっぱって来るためであった。

3 Ἐν δὲ τῷ πορεύεσθαι, ἐγένετο αὐτὸν ἐγγίζειν τῇ Δαμασκῷ, ἐξαίφνης
さて その 旅の–途中 起こった 彼が 近づく–とき に ダマスコに 突然
G1722 G1161 G3588 G4198 G1096 G0846 G1448 G3588 G1154 G1810

τε αὐτὸν περιήστραψεν φῶς ἐκ τοῦ οὐρανοῦ.
そして 彼の–まわりを 照らした 光が から の 天から
G5037 G0846 G4015 G5457 G1537 G3588 G3772

ところが、道を急いでダマスコの近くにきたとき、突然、天から光がさして、彼をめぐり照した。

4

καὶ	πεσὼν	ἐπὶ	τὴν	γῆν,	ἤκουσεν	φωνὴν	λέγουσαν	αὐτῷ,	Σαοὺλ,
そして	倒れて	の-上に	その	地に	聞いた	声を	言う	彼に	サウロよ
G2532	G4098	G1909	G3588	G1093	G0191	G5456	G3004	G0846	G4549

Σαούλ,	τί	με	διώκεις?
サウロよ	なぜ	私を	迫害するのか
G4549	G5101	G1473	G1377

彼は地に倒れたが、その時「サウロ、サウロ、なぜわたしを迫害するのか」と呼びかける声を聞いた。

5

εἶπεν	δέ,	Τίς	εἶ,	Κύριε?	ὁ	δέ,	Ἐγώ	εἰμι	Ἰησοῦς,	ὃν
彼は-言った	そして	だれ	ですか	主よ	その-方は	そして	私は	である	イエス	を
G3004	G1161	G5101	G1510	G2962	G3588	G1161	G1473	G1510	G2424	G3739

σὺ	διώκεις.	{σκληρόν	σοι	πρὸς	κέντρα	λακτίζειν}.	{τρέμων
おまえが	迫害して-いる	突き棒に	おまえにとって	に-対して	突き棒に	蹴るのは-難しい	震えて
G4771	G1377	G4642	G4771	G4314	G2759	G2979	G5141

τε	καὶ	θαμβῶν	εἶπε	Κύριε	τί	με	θέλεις	ποιῆσαι}
そして	また	驚いて	言った	主よ	何を	私に	望まれますか	することを
G5037	G2532	G2284	G2036	G2962	G5101	G1473	G2309	G4160

そこで彼は「主よ、あなたは、どなたですか」と尋ねた。すると答があった、「わたしは、あなたが迫害しているイエスである。

6

ἀλλὰ	ἀνάστηθι	καὶ	εἴσελθε	εἰς	τὴν	πόλιν,	καὶ	λαληθήσεταί	σοι
しかし	立ち上がり	そして	入れ	へ	その	町に	そうすれば	告げられる	おまえに
G0235	G0450	G2532	G1525	G1519	G3588	G4172	G2532	G2980	G4771

ὅ	τί	σε	δεῖ	ποιεῖν.
それが	何を	おまえが	すべきか	する
G3739	G5101	G4771	G1163	G4160

さあ立って、町にはいって行きなさい。そうすれば、そこであなたのなすべき事が告げられるであろう」。

7

οἱ	δὲ	ἄνδρες	οἱ	συνοδεύοντες	αὐτῷ	εἱστήκεισαν	ἐνεοί,	ἀκούοντες
その	さて	人々は	その	同行して-いた	彼に	立って-いた	声も-出ずに	聞いて-いた
G3588	G1161	G0435	G3588	G4922	G0846	G2476	G1769	G0191

μὲν	τῆς	φωνῆς,	μηδένα	δὲ	θεωροῦντες.
たしかに	その	声を	誰も	しかし	見て-いなかった
G3303	G3588	G5456	G3367	G1161	G2334

サウロの同行者たちは物も言えずに立っていて、声だけは聞えたが、だれも見えなかった。

8

ἠγέρθη	δὲ	Σαῦλος	ἀπὸ	τῆς	γῆς,	ἀνεῳγμένων	δὲ	τῶν	ὀφθαλμῶν
起き上がった	そして	サウロは	から	その	地から	開いた-のに	しかし	その	目が
G1453	G1161	G4569	G0575	G3588	G1093	G0455	G1161	G3588	G3788

αὐτοῦ,	οὐδὲν	ἔβλεπεν.	χειραγωγοῦντες	δὲ	αὐτὸν,	εἰσήγαγον	εἰς
彼の	何も	見えなかった	手を-引いて	そして	彼を	連れて-行った	へ
G0846	G3762	G0991	G5496	G1161	G0846	G1521	G1519

Δαμασκόν.
ダマスコ
G1154

サウロは地から起き上がって目を開いてみたが、何も見えなかった。そこで人々は、彼の手を引いてダマスコへ連れて行った。

9 καὶ そして G2532 ἦν いた G1510 ἡμέρας 日を G2250 τρεῖς 三 G5140 μὴ ない G3361 βλέπων, 見えず G0991 καὶ そして G2532 οὐκ ない G3756 ἔφαγεν 食べず G5315 οὐδὲ また G3761 ἔπιεν. 飲まなかった G4095

彼は三日間、目が見えず、また食べることも飲むこともしなかった。

10 Ἦν いた G1510 δέ さて G1161 τις ある G5100 μαθητὴς 弟子が G3101 ἐν の-中に G1722 Δαμασκῷ, ダマスコに G1154 ὀνόματι 名は G3686 Ἀνανίας. アナニヤ G0367 καὶ そして G2532 εἶπεν 言った G3004 πρὸς に G4314 αὐτὸν 彼に G0846 ἐν の-中で G1722 ὁράματι 幻の-中で G3705 ὁ その G3588 Κύριος, 主は G2962 Ἀνανία. アナニヤよ G0367 ὁ その-人は G3588 δὲ そして G1161 εἶπεν, 言った G3004 Ἰδού, ここに G3708 ἐγώ, 私が-おります G1473 Κύριε. 主よ G2962

さて、ダマスコにアナニヤというひとりの弟子がいた。この人に主が幻の中に現れて、「アナニヤよ」とお呼びになった。彼は「主よ、わたしでございます」と答えた。

11 ὁ その G3588 δὲ そして G1161 Κύριος 主は G2962 πρὸς に G4314 αὐτόν, 彼に G0846 Ἀναστὰς, 立ち上がり G0450 πορεύθητι 行け G4198 ἐπὶ へ G1909 τὴν その G3588 ῥύμην 通りの G4505 τὴν その G3588 καλουμένην 呼ばれる G2564 Εὐθεῖαν, まっすぐと G2117 καὶ そして G2532 ζήτησον 探せ G2212 ἐν の-中の G1722 οἰκίᾳ ユダの-家で G3614 Ἰούδα ユダと-いう-人の G2455 Σαῦλον サウロと-いう G4569 ὀνόματι, 名の G3686 Ταρσέα. タルソ出身の-者を G5018 ἰδοὺ 見よ G3708 γὰρ なぜなら G1063 προσεύχεται, 祈って-いる G4336

そこで主が彼に言われた、「立って、『真すぐ』という名の路地に行き、ユダの家でサウロというタルソ人を尋ねなさい。彼はいま祈っている。

12 καὶ そして G2532 εἶδεν 見た G3708 ἄνδρα ある-人を G0435 ‹ἐν の-中で G1722 ὁράματι› 幻の-中で G3705 Ἀνανίαν アナニヤという G0367 ὀνόματι, 名の-者が G3686 εἰσελθόντα 入って-来て G1525 καὶ そして G2532 ἐπιθέντα 手を-置いて G2007 αὐτῷ 彼に G0846 [τὰς] その G3588 χεῖρας, 手を G5495 ὅπως ために G3704 ἀναβλέψῃ. 見えるように-なる G0308

彼はアナニヤという人がはいってきて、手を自分の上において再び見えるようにしてくれるのを、幻で見たのである」。

13 ἀπεκρίθη 答えた G0611 δὲ しかし G1161 Ἀνανίας, アナニヤは G0367 Κύριε, 主よ G2962 ἤκουσα 聞きました G0191 ἀπὸ から G0575 πολλῶν 多くの-人から G4183 περὶ について G4012 τοῦ の G3588 ἀνδρὸς この-人について G0435 τούτου, この G3778 ὅσα どれほど G3745 κακὰ 悪い-ことを G2556 τοῖς に G3588 ἁγίοις 聖なる-者たちに G0040 σου あなたの G4771 ἐποίησεν 行ったかを G4160 ἐν の-中で G1722 Ἰερουσαλήμ; エルサレムで G2419

アナニヤは答えた、「主よ、あの人がエルサレムで、どんなにひどい事をあなたの聖徒たちにしたかについては、多くの人たちから聞いています。

14 καὶ そして G2532 ὧδε ここでも G5602 ἔχει 持って-いる G2192 ἐξουσίαν 権威を G1849 παρὰ から G3844 τῶν の G3588 ἀρχιερέων, 祭司長たちから G0749 δῆσαι 縛る-ために G1210 πάντας すべての G3956 τοὺς その G3588 ἐπικαλουμένους 御名を-呼ぶ G1941 τὸ その G3588 ὄνομά 名を G3686 σου. あなたの G4771

そして彼はここでも、御名をとなえる者たちをみな捕縛する権を、祭司長たちから得てきているのです」。

15 εἶπεν 言った G3004 δὲ しかし G1161 πρὸς に G4314 αὐτὸν 彼に G0846 ὁ その G3588 Κύριος, 主は G2962 Πορεύου, 行け G4198 ὅτι なぜなら G3754 σκεῦος 器 G4632 ἐκλογῆς 選びの G1589 ἐστίν である G1510 μοι わたしにとって G1473 οὗτος, この-者は G3778 τοῦ の-ために G3588 βαστάσαι 運ぶ G0941 τὸ その G3588 ὄνομά 名を G3686 μου わたしの G1473 ἐνώπιον の-前に G1799 (τῶν) の G3588 ἐθνῶν, 異邦人たちの G1484 τε そして G5037 καὶ また G2532 βασιλέων, 王たちの G0935 υἱῶν 子らの G5207 τε そして G5037 Ἰσραήλ: イスラエルの G2474

しかし、主は仰せになった、「さあ、行きなさい。あの人は、異邦人たち、王たち、またイスラエルの子らにも、わたしの名を伝える器として、わたしが選んだ者である。

16 ἐγὼ わたしが G1473 γὰρ なぜなら G1063 ὑποδείξω 示す G5263 αὐτῷ 彼に G0846 ὅσα どれほど G3745 δεῖ ねばならないか G1163 αὐτὸν 彼が G0846 ὑπὲρ の-ために G5228 τοῦ の G3588 ὀνόματός 名の G3686 μου わたしの G1473 παθεῖν. 苦しまなければ G3958

わたしの名のために彼がどんなに苦しまなければならないかを、彼に知らせよう」。

17 Ἀπῆλθεν 出かけた G0565 δὲ そして G1161 Ἀνανίας, アナニヤは G0367 καὶ そして G2532 εἰσῆλθεν 入った G1525 εἰς に G1519 τὴν その G3588 οἰκίαν; 家に G3614 καὶ そして G2532 ἐπιθεὶς 手を-置いて G2007 ἐπ' の-上に G1909 αὐτὸν 彼に G0846 τὰς その G3588 χεῖρας 手を G5495 εἶπεν, 言った G3004 Σαοὺλ サウロよ G4549 ἀδελφέ, 兄弟よ G0080 ὁ その G3588 Κύριος 主が G2962 ἀπέσταλκέν 遣わした G0649 με, 私を G1473 Ἰησοῦς, イエスが G2424 ὁ その G3588 ὀφθείς 現れた-方 G3708 σοι おまえに G4771 ἐν の-上で G1722 τῇ その G3588 ὁδῷ, 道の G3598 ᾗ その G3739 ἤρχου, 来る-途中の G2064 ὅπως ために G3704 ἀναβλέψῃς 見えるように-なり G0308 καὶ そして G2532 πλησθῇς 満たされる-ために G4130 Πνεύματος 聖 G4151 Ἁγίου. 霊に G0040

そこでアナニヤは、出かけて行ってその家にはいり、手をサウロの上において言った、「兄弟サウロよ、あなたが来る途中で現れた主イエスは、あなたが再び見えるようになるため、そして聖霊に満たされるために、わたしをここにおつかわしになったのです」。

18 καὶ εὐθέως ἀπέπεσαν αὐτοῦ ἀπὸ τῶν ὀφθαλμῶν ὡς λεπίδες,
そして ただちに 落ちた 彼の から の 目から のような 鱗のような-ものが
G2532 G2112 G0634 G0846 G0575 G3588 G3788 G5613 G3013

ἀνέβλεψέν τε. καὶ ἀναστὰς, ἐβαπτίσθη;
見えるように-なり そして そして 立ち上がり バプテスマを-受けた
G0308 G5037 G2532 G0450 G0907

するとたちどころに、サウロの目から、うろこのようなものが落ちて、元どおり見えるようになった。そこで彼は立ってバプテスマを受け、

19 καὶ λαβὼν τροφὴν, ἐνίσχυσεν. Ἐγένετο δὲ μετὰ τῶν ἐν Δαμασκῷ
そして 受けて 食べ物を 強く-なった 過ごした そして と-共に の の-中の ダマスコの
G2532 G2983 G5160 G1765 G1096 G1161 G3326 G3588 G1722 G1154

μαθητῶν ἡμέρας τινὰς.
弟子たちと 日を 幾らか
G3101 G2250 G5100

また食事をとって元気を取りもどした。サウロは、ダマスコにいる弟子たちと共に数日間を過ごしてから、

20 καὶ εὐθέως ἐν ταῖς συναγωγαῖς ἐκήρυσσεν τὸν Ἰησοῦν, ὅτι οὗτός
そして ただちに の-中で その 会堂で 宣べ伝えた その イエスを と この-方こそ
G2532 G2112 G1722 G3588 G4864 G2784 G3588 G2424 G3754 G3778

ἐστιν ὁ Υἱὸς τοῦ Θεοῦ.
であると その 御子 の 神の
G1510 G3588 G5207 G3588 G2316

ただちに諸会堂でイエスのことを宣べ伝え、このイエスこそ神の子であると説きはじめた。

21 ἐξίσταντο δὲ πάντες οἱ ἀκούοντες, καὶ ἔλεγον,
驚いていた そして すべての その 聞いていた-者たちは そして 言っていた
G1839 G1161 G3956 G3588 G0191 G2532 G3004

Οὐχ οὗτός ἐστιν ὁ πορθήσας εἰς Ἰερουσαλὴμ τοὺς
この-人は-ではないか この-人は である その 滅ぼして-いた の-中で エルサレムで その
G3756 G3778 G1510 G3588 G4199 G1519 G2419 G3588

ἐπικαλουμένους τὸ ὄνομα τοῦτο? καὶ ὧδε εἰς τοῦτο ἐληλύθει,
御名を-呼ぶ その 名を この そして ここにも の-ために この-ために 来ていた
G1941 G3588 G3686 G3778 G2532 G5602 G1519 G3778 G2064

ἵνα δεδεμένους, αὐτοὺς ἀγάγῃ ἐπὶ τοὺς ἀρχιερεῖς.
ために 縛って 彼らを 連行する-ために へ その 祭司長たちの-もとへ
G2443 G1210 G0846 G0071 G1909 G3588 G0749

これを聞いた人たちはみな非常に驚いて言った、「あれは、エルサレムでこの名をとなえる者たちを苦しめた男ではないか。その上ここにやってきたのも、彼らを縛りあげて、祭司長たちのところへひっぱって行くためではなかったか」。

22 Σαῦλος δὲ μᾶλλον ἐνεδυναμοῦτο, καὶ συνέχυννεν ‹τοὺς› Ἰουδαίους
サウロは しかし ますます 強く-なって-いった そして 当惑させて-いた その ユダヤ人たちを
G4569 G1161 G3123 G1743 G2532 G4797 G3588 G2453

τοὺς κατοικοῦντας ἐν Δαμασκῷ, συμβιβάζων ὅτι οὗτός ἐστιν ὁ
その 住んで-いる の-中の ダマスコの 証明して と この-方こそ であると その
G3588 G2730 G1722 G1154 G4822 G3754 G3778 G1510 G3588

Χριστός.
キリスト
G5547

しかし、サウロはますます力が加わり、このイエスがキリストであることを論証して、ダマスコに住むユダヤ人たちを言い伏せた。

23 Ὡς δὲ ἐπληροῦντο ἡμέραι ἱκαναί, συνεβουλεύσαντο οἱ Ἰουδαῖοι
しかし そして 満たされた–とき 日々が 多くの 計画した その ユダヤ人たちは
G5613 G1161 G4137 G2250 G2425 G4823 G3588 G2453

ἀνελεῖν αὐτόν,
殺す–ことを 彼を
G0337 G0846

相当の日数がたったころ、ユダヤ人たちはサウロを殺す相談をした。

24 ἐγνώσθη δὲ τῷ Σαύλῳ ἡ ἐπιβουλὴ αὐτῶν. παρετηροῦντο δὲ καὶ
知られた しかし に サウロに その 計略が 彼らの 見張って–いた そして また
G1097 G1161 G3588 G4569 G3588 G1917 G0846 G3906 G1161 G2532

τὰς πύλας ἡμέρας τε καὶ νυκτὸς, ὅπως αὐτὸν ἀνέλωσιν;
その 門をも 日も そして また 夜も ために 彼を 殺す–ために
G3588 G4439 G2250 G5037 G2532 G3571 G3704 G0846 G0337

ところが、その陰謀が彼の知るところとなった。彼らはサウロを殺そうとして、夜昼、町の門を見守っていたのである。

25 λαβόντες δὲ οἱ μαθηταὶ αὐτοῦ νυκτὸς, διὰ τοῦ τείχους
取って しかし その 弟子たちは 彼の 夜に を–通して その 城壁を–通して
G2983 G1161 G3588 G3101 G0846 G3571 G1223 G3588 G5038

καθῆκαν αὐτὸν, χαλάσαντες ἐν σπυρίδι.
降ろした 彼を つり–下げて の–中に 籠の–中に
G2524 G0846 G5465 G1722 G4711

そこで彼の弟子たちが、夜の間に彼をかごに乗せて、町の城壁づたいにつりおろした。

26 Παραγενόμενος δὲ εἰς Ἰερουσαλὴμ, ἐπείραζεν κολλᾶσθαι τοῖς μαθηταῖς.
着いて しかし に エルサレムに 試みた 加わる–ことを に 弟子たちに
G3854 G1161 G1519 G2419 G3985 G2853 G3588 G3101

καὶ πάντες ἐφοβοῦντο αὐτόν, μὴ πιστεύοντες ὅτι ἐστὶν μαθητής.
しかし 皆 恐れて–いた 彼を ない 信じて と であると 弟子
G2532 G3956 G5399 G0846 G3361 G4100 G3754 G1510 G3101

サウロはエルサレムに着いて、弟子たちの仲間に加わろうと努めたが、みんなの者は彼を弟子だとは信じないで、恐れていた。

27 Βαρνάβας δὲ, ἐπιλαβόμενος αὐτὸν, ἤγαγεν πρὸς τοὺς ἀποστόλους;
バルナバは しかし 取って 彼を 連れて–行った へ その 使徒たちの–もとへ
G0921 G1161 G1949 G0846 G0071 G4314 G3588 G0652

καὶ διηγήσατο αὐτοῖς πῶς ἐν τῇ ὁδῷ εἶδεν τὸν Κύριον; καὶ
そして 語った 彼らに どのように の–上で その 道で 見たかを その 主を そして
G2532 G1334 G0846 G4459 G1722 G3588 G3598 G3708 G3588 G2962 G2532

ὅτι ἐλάλησεν αὐτῷ; καὶ πῶς ἐν Δαμασκῷ ἐπαρρησιάσατο ἐν
と 語ったことを 彼に そして どのように の–中で ダマスコで 大胆に–語ったかを の–中で
G3754 G2980 G0846 G2532 G4459 G1722 G1154 G3955 G1722

τῷ ὀνόματι ‹τοῦ› Ἰησοῦ.
その 名に–よって の イエスの
G3588 G3686 G3588 G2424

ところが、バルナバは彼の世話をして使徒たちのところへ連れて行き、途中で主が彼に現れて語りかけたことや、彼がダマスコでイエスの名で大胆に宣べ伝えた次第を、彼らに説明して聞かせた。

28 καὶ ἦν μετ' αὐτῶν, εἰσπορευόμενος καὶ ἐκπορευόμενος εἰς
そして いた と-共に 彼らと 出入りして また 出て-行き の-中で
G2532 G1510 G3326 G0846 G1531 G2532 G1607 G1519

Ἰερουσαλήμ, παρρησιαζόμενος ἐν τῷ ὀνόματι τοῦ Κυρίου.
エルサレムで 大胆に-語っていた の-中で その 名に-よって の 主の
G2419 G3955 G1722 G3588 G3686 G3588 G2962

それ以来、彼は使徒たちの仲間に加わり、エルサレムに出入りし、主の名によって大胆に語り、

29 ἐλάλει τε καὶ συνεζήτει πρὸς τοὺς Ἑλληνιστάς; οἱ
語って-いた そして また 議論して-いた と その ギリシャ語を-話す-ユダヤ人たちと しかし
G2980 G5037 G2532 G4802 G4314 G3588 G1675 G3588

δὲ ἐπεχείρουν ἀνελεῖν αὐτόν.
そして 企てて-いた 殺す-ことを 彼を
G1161 G2021 G0337 G0846

ギリシャ語を使うユダヤ人たちとしばしば語り合い、また論じ合った。しかし、彼らは彼を殺そうとねらっていた。

30 ἐπιγνόντες δὲ, οἱ ἀδελφοὶ κατήγαγον αὐτὸν εἰς Καισάρειαν, καὶ
知って そして その 兄弟たちは 連れて-行った 彼を へ カイサリヤへ そして
G1921 G1161 G3588 G0080 G2609 G0846 G1519 G2542 G2532

ἐξαπέστειλαν αὐτὸν εἰς Ταρσόν.
送り-出した 彼を へ タルソへ
G1821 G0846 G1519 G5019

兄弟たちはそれと知って、彼をカイザリヤに連れてくだり、タルソへ送り出した。

31 Ἡ μὲν οὖν ἐκκλησία καθ' ὅλης τῆς Ἰουδαίας, καὶ
その 一方では それゆえ 教会は の-全体に-わたる すべての の ユダヤ と
G3588 G3303 G3767 G1577 G2596 G3650 G3588 G2449 G2532

Γαλιλαίας, καὶ Σαμαρείας, εἶχεν εἰρήνην; οἰκοδομουμένη καὶ πορευομένη
ガリラヤ そして サマリヤ 持って-いた 平安を 建て-上げられ そして 歩んで-いた
G1056 G2532 G4540 G2192 G1515 G3618 G2532 G4198

τῷ φόβῳ τοῦ Κυρίου, καὶ τῇ παρακλήσει τοῦ Ἁγίου Πνεύματος
の-中で 畏れの-中で の 主の そして の 慰めに-よって の 聖 霊の
G3588 G5401 G3588 G2962 G2532 G3588 G3874 G3588 G0040 G4151

ἐπληθύνετο.
増えて-いった
G4129

こうして教会は、ユダヤ、ガリラヤ、サマリヤ全地方にわたって平安を保ち、基礎がかたまり、主をおそれ聖霊にはげまされて歩み、次第に信徒の数を増して行った。

32 Ἐγένετο δὲ Πέτρον, διερχόμενον διὰ πάντων, κατελθεῖν καὶ
起こった そして ペテロが 巡って-まわり を-通って すべての-ところを 下って-来た また
G1096 G1161 G4074 G1330 G1223 G3956 G2718 G2532

πρὸς τοὺς ἁγίους τοὺς κατοικοῦντας Λύδδα,
の-もとへ その 聖なる-者たちの その 住んで-いる リュダに
G4314 G3588 G0040 G3588 G2730 G3069

ペテロは方々をめぐり歩いたが、ルダに住む聖徒たちのところへも下って行った。

33 εὗρεν δὲ ἐκεῖ ἄνθρωπόν τινα, ὀνόματι Αἰνέαν, ἐξ ἐτῶν ὀκτὼ
見つけた そして そこで ある-人を ある 名は アイネア から 年の 八
G2147 G1161 G1563 G0444 G5100 G3686 G0132 G1537 G2094 G3638

κατακείμενον ἐπὶ κραβάττου, ὃς ἦν παραλελυμένος.
床に-伏して-いた の-上に 床に この-者は いた 中風の
G2621 G1909 G2895 G3739 G1510 G3886

そして、そこで、八年間も床についているアイネヤという人に会った。この人は中風であった。

34 καὶ εἶπεν αὐτῷ ὁ Πέτρος, Αἰνέα, ἰᾶταί σε Ἰησοῦς
そして 言った 彼に その ペテロは アイネアよ いやして-くださる おまえを イエス
G2532 G3004 G0846 G3588 G4074 G0132 G2390 G4771 G2424

Χριστός; ἀνάστηθι, καὶ στρῶσον σεαυτῷ. καὶ εὐθέως ἀνέστη.
キリストが 起き上がり そして 整えなさい 自分の-床を すると ただちに 起き上がった
G5547 G0450 G2532 G4766 G4572 G2532 G2112 G0450

ペテロが彼に言った、「アイネヤよ、イエス・キリストがあなたをいやして下さるのだ。起きなさい。そして床を取りあげなさい」。すると、彼はただちに起きあがった。

35 καὶ εἶδαν αὐτὸν, πάντες οἱ κατοικοῦντες Λύδδα καὶ τὸν
そして 見た 彼を すべての その 住んで-いる-者たちは リュダと そして その
G2532 G3708 G0846 G3956 G3588 G2730 G3069 G2532 G3588

Σαρῶνα, οἵτινες ἐπέστρεψαν ἐπὶ τὸν Κύριον.
シャロンの 彼らは 立ち返った へ その 主に
G4565 G3748 G1994 G1909 G3588 G2962

ルダとサロンに住む人たちは、みなそれを見て、主に帰依した。

36 Ἐν Ἰόππῃ δέ τις ἦν μαθήτρια, ὀνόματι Ταβιθά, ἣ
の-中に ヨッパに さて ある いた 女-弟子が 名は タビタ これは
G1722 G2445 G1161 G5100 G1510 G3102 G3686 G5000 G3739

διερμηνευομένη λέγεται Δορκάς. αὕτη ἦν πλήρης ἔργων ἀγαθῶν,
訳すと 呼ばれる ドルカス この-人は いた 満ちて-いた 良い-行いと 善い
G1329 G3004 G1393 G3778 G1510 G4134 G2041 G0018

καὶ ἐλεημοσυνῶν ὧν ἐποίει.
そして 施しの を 行って-いた
G2532 G1654 G3739 G4160

ヨッパにタビタ（これを訳すと、ドルカス、すなわち、かもしか）という女弟子がいた。数々のよい働きや施しをしていた婦人であった。

37 ἐγένετο δὲ, ἐν ταῖς ἡμέραις ἐκείναις, ἀσθενήσασαν, αὐτὴν ἀποθανεῖν.
起こった そして の-中に その 日々の-中で その 病気に-なって 彼女は 死んだ
G1096 G1161 G1722 G3588 G2250 G1565 G0770 G0846 G0599

λούσαντες δὲ ἔθηκαν ‹αὐτὴν› ἐν ὑπερῴῳ.
洗って そして 置いた 彼女を に 屋上の-部屋に
G3068 G1161 G5087 G0846 G1722 G5253

ところが、そのころ病気になって死んだので、人々はそのからだを洗って、屋上の間に安置した。

38 ἐγγὺς δὲ οὔσης Λύδδας τῇ Ἰόππῃ, οἱ μαθηταὶ, ἀκούσαντες ὅτι
近くに さて ある リュダが に ヨッパに その 弟子たちは 聞いて と
G1451 G1161 G1510 G3069 G3588 G2445 G3588 G3101 G0191 G3754

Πέτρος ἐστὶν ἐν αὐτῇ, ἀπέστειλαν δύο ἄνδρας πρὸς αὐτὸν,
ペテロが いると の–中に そこに 遣わした 二人の 人を に–向かって 彼の–もとへ
G4074 G1510 G1722 G0846 G0649 G1417 G0435 G4314 G0846

παρακαλοῦντες Μὴ ὀκνήσῃς διελθεῖν ἕως ἡμῶν.
願って どうか ためらわずに 来て–ください まで 私たちの–もとへ
G3870 G3361 G3635 G1330 G2193 G1473

ルダはヨッパに近かったので、弟子たちはペテロがルダにきていると聞き、ふたりの者を彼のもとにやって、「どうぞ、早くこちらにおいで下さい」と頼んだ。

39 ἀναστὰς δὲ, Πέτρος συνῆλθεν αὐτοῖς, ὃν παραγενόμενον, ἀνήγαγον
立ち上がって そして ペテロは 同行した 彼らと を 着いて 連れて–行った
G0450 G1161 G4074 G4905 G0846 G3739 G3854 G0321

εἰς τὸ ὑπερῷον. καὶ παρέστησαν αὐτῷ πᾶσαι αἱ χῆραι,
へ その 屋上の–部屋へ すると そばに–立った 彼に すべての その やもめたちが
G1519 G3588 G5253 G2532 G3936 G0846 G3956 G3588 G5503

κλαίουσαι καὶ ἐπιδεικνύμεναι χιτῶνας καὶ ἱμάτια ὅσα ἐποίει,
泣きながら そして 見せて–いた 下着や そして 上着を どれほどの 作って–いたかを
G2799 G2532 G1925 G5509 G2532 G2440 G3745 G4160

μετ’ αὐτῶν οὖσα, ἡ Δορκάς.
と–共に 彼らと いた–ときの その ドルカスが
G3326 G0846 G1510 G3588 G1393

そこでペテロは立って、ふたりの者に連れられてきた。彼が着くとすぐ、屋上の間に案内された。すると、やもめたちがみんな彼のそばに寄ってきて、ドルカスが生前つくった下着や上着の数々を、泣きながら見せるのであった。

40 ἐκβαλὼν δὲ ἔξω πάντας ὁ Πέτρος, καὶ θεὶς τὰ γόνατα,
追い–出して そして 外に 皆を その ペテロは そして 置いて その 膝を
G1544 G1161 G1854 G3956 G3588 G4074 G2532 G5087 G3588 G1119

προσηύξατο. καὶ ἐπιστρέψας πρὸς τὸ σῶμα εἶπεν, Ταβιθά, ἀνάστηθι!
祈った そして 向き直って へ その 体に–向かって 言った タビタよ 起きなさい
G4336 G2532 G1994 G4314 G3588 G4983 G3004 G5000 G0450

ἡ δὲ ἤνοιξεν τοὺς ὀφθαλμοὺς αὐτῆς, καὶ ἰδοῦσα τὸν Πέτρον,
すると–彼女は そして 開いた その 目を 彼女の そして 見て その ペテロを
G3588 G1161 G0455 G3588 G3788 G0846 G2532 G3708 G3588 G4074

ἀνεκάθισεν.
起き上がった
G0339

ペテロはみんなの者を外に出し、ひざまずいて祈った。それから死体の方に向いて、「タビタよ、起きなさい」と言った。すると彼女は目をあけ、ペテロを見て起きなおった。

41 δοὺς δὲ αὐτῇ χεῖρα, ἀνέστησεν αὐτήν. φωνήσας δὲ τοὺς ἁγίους
与えて そして 彼女に 手を 立たせた 彼女を 呼んで そして その 聖なる–者たちと
G1325 G1161 G0846 G5495 G0450 G0846 G5455 G1161 G3588 G0040

καὶ τὰς χήρας, παρέστησεν αὐτὴν ζῶσαν.
そして その やもめたちを 立たせた 彼女を 生きて–いる–まま
G2532 G3588 G5503 G3936 G0846 G2198

ペテロは彼女に手をかして立たせた。それから、聖徒たちや、やもめたちを呼び入れて、彼女が生きかえっているのを見せた。

42 γνωστὸν 知られた G1110 δὲ そして G1161 ἐγένετο ことが-起こった G2596 καθ’ の-全体に G3650 ὅλης すべての G3588 τῆς の G2445 Ἰόππης, ヨッパに G2532 καὶ そして G4100 ἐπίστευσαν 信じた

πολλοὶ 多くの-者が G4183 ἐπὶ を G1909 τὸν その G3588 Κύριον. 主を G2962

このことがヨッパ中に知れわたり、多くの人々が主を信じた。

43 Ἐγένετο 起こった G1096 δὲ, そして G1161 ἡμέρας 日を G2250 ἱκανὰς 多くの G2425 μεῖναι 滞在した G3306 ἐν の-中に G1722 Ἰόππῃ, ヨッパに G2445 παρά の-もとに G3844 τινι ある G5100 Σίμωνι, シモンという G4613

βυρσεῖ.
皮なめし-屋の
G1038

ペテロは、皮なめしシモンという人の家に泊まり、しばらくの間ヨッパに滞在した。

Chapter 10

1 Ἀνὴρ ある-人が G0435 δέ さて G1161 τις いた G5100 ἐν の-中に G1722 Καισαρείᾳ, カイサリヤに G2542 ὀνόματι 名は G3686 Κορνήλιος, コルネリウス G2883 ἑκατοντάρχης, 百人隊長で G1543 ἐκ からの G1537

σπείρης 部隊の G4686 τῆς その G3588 καλουμένης 呼ばれる G2564 Ἰταλικῆς, イタリヤ G2483

さて、カイザリヤにコルネリオという名の人がいた。イタリヤ隊と呼ばれた部隊の百卒長で、

2 εὐσεβὴς 敬虔で G2152 καὶ また G2532 φοβούμενος 畏れる G5399 τὸν その G3588 Θεὸν 神を G2316 σὺν と-共に G4862 παντὶ すべての G3956 τῷ その G3588 οἴκῳ 家の-者と G3624 αὐτοῦ, 彼の G0846

ποιῶν 施して-いた G4160 ἐλεημοσύνας 施しを G1654 πολλὰς 多くの G4183 τῷ に G3588 λαῷ, 民に G2992 καὶ そして G2532 δεόμενος 祈って-いた G1189 τοῦ に G3588 Θεοῦ 神に G2316 διὰ を-通して G1223

παντός.
常に
G3956

信心深く、家族一同と共に神を敬い、民に数々の施しをなし、絶えず神に祈をしていた。

3 εἶδεν 見た G3708 ἐν の-中で G1722 ὁράματι 幻の-中で G3705 φανερῶς, はっきりと G5320 ὡσεὶ およそ G5616 περὶ の-頃 G4012 ὥραν 時の G5610 ἐνάτην 第九 G1766 τῆς の G3588 ἡμέρας, 日の G2250

ἄγγελον 御使いが G0032 τοῦ の G3588 Θεοῦ 神の G2316 εἰσελθόντα 入って-来て G1525 πρὸς に G4314 αὐτὸν, 彼の-もとに G0846 καὶ そして G2532 εἰπόντα 言った G3004 αὐτῷ, 彼に G0846

Κορνήλιε!
コルネリウスよ
G2883

ある日の午後三時ごろ、神の使が彼のところにきて、「コルネリオよ」と呼ぶのを、幻ではっきり見た。

4

ὁ	δὲ,	ἀτενίσας	αὐτῷ,	καὶ	ἔμφοβος	γενόμενος,	εἶπεν,	Τί
その-人は	さて	見つめて	彼を	そして	恐れて	なって	言った	何でしょうか
G3588	G1161	G0816	G0846	G2532	G1719	G1096	G3004	G5101

ἐστιν,	Κύριε?	εἶπεν	δὲ	αὐτῷ,	Αἱ	προσευχαί	σου,	καὶ	αἱ
ですか	主よ	言った	すると	彼に	その	祈りと	おまえの	そして	その
G1510	G2962	G3004	G1161	G0846	G3588	G4335	G4771	G2532	G3588

ἐλεημοσύναι	σου,	ἀνέβησαν	εἰς	μνημόσυνον	ἔμπροσθεν	τοῦ	Θεοῦ.
施しは	おまえの	上った	へ	記念として	の-前に	の	神の
G1654	G4771	G0305	G1519	G3422	G1715	G3588	G2316

彼は御使を見つめていたが、恐ろしくなって、「主よ、なんでございますか」と言った。すると御使が言った、「あなたの祈や施しは神のみ前にとどいて、おぼえられている。

5

καὶ	νῦν	πέμψον	ἄνδρας	εἰς	Ἰόππην,	καὶ	μετάπεμψαι	Σίμωνά	τινα
そして	今	遣わせ	人々を	へ	ヨッパへ	そして	招け	シモンという	ある
G2532	G3568	G3992	G0435	G1519	G2445	G2532	G3343	G4613	G5100

ὃς	ἐπικαλεῖται	Πέτρος.	
この-者は	呼ばれる	ペテロ	
G3739	G1941	G4074	

ついては今、ヨッパに人をやって、ペテロと呼ばれるシモンという人を招きなさい。

6

οὗτος	ξενίζεται	παρά	τινι	Σίμωνι	βυρσεῖ,	ᾧ	ἐστιν
この-人は	泊まって-いる	の-もとに	ある	シモンという	皮なめし-屋の	この-者の	ある
G3778	G3579	G3844	G5100	G4613	G1038	G3739	G1510

οἰκία	παρὰ	θάλασσαν;	{οὗτος	λαλήσει	σοι	τί	σε	δεῖ	ποιεῖν}.
家が	の-そばに	海の	この-人が	語る	おまえに	何を	おまえが	すべきか	する
G3614	G3844	G2281	G3778	G2980	G4771	G5101	G4771	G1163	G4160

この人は、海べに家をもつ皮なめしシモンという者の客となっている」。

7

ὡς	δὲ	ἀπῆλθεν	ὁ	ἄγγελος	ὁ	λαλῶν	αὐτῷ,	φωνήσας	δύο
しかし	そして	去った	その	御使いが	その	語って-いた	彼に	呼んで	二人の
G5613	G1161	G0565	G3588	G0032	G3588	G2980	G0846	G5455	G1417

τῶν	οἰκετῶν,	καὶ	στρατιώτην	εὐσεβῆ	τῶν,	προσκαρτερούντων	αὐτῷ,
の	召使いと	そして	兵士を	敬虔な	の	仕えて-いる	彼に
G3588	G3610	G2532	G4757	G2152	G3588	G4342	G0846

このお告げをした御使が立ち去ったのち、コルネリオは、僕ふたりと、部下の中で信心深い兵卒ひとりとを呼び、

8

καὶ	ἐξηγησάμενος	ἅπαντα	αὐτοῖς,	ἀπέστειλεν	αὐτοὺς	εἰς	τὴν	Ἰόππην.
そして	説明して	すべてを	彼らに	遣わした	彼らを	へ	その	ヨッパへ
G2532	G1834	G0537	G0846	G0649	G0846	G1519	G3588	G2445

いっさいの事を説明して聞かせ、ヨッパへ送り出した。

9

Τῇ	δὲ	ἐπαύριον,	ὁδοιπορούντων	ἐκείνων	καὶ	τῇ	πόλει	ἐγγιζόντων,
その	そして	翌日	旅して-いる-とき	彼らが	そして	に	町に	近づく-とき
G3588	G1161	G1887	G3596	G1565	G2532	G3588	G4172	G1448

ἀνέβη	Πέτρος	ἐπὶ	τὸ	δῶμα	προσεύξασθαι,	περὶ	ὥραν	ἕκτην.
上った	ペテロは	へ	その	屋上に	祈る-ために	の-頃	時の	第六
G0305	G4074	G1909	G3588	G1430	G4336	G4012	G5610	G1623

翌日、この三人が旅をつづけて町の近くにきたころ、ペテロは祈をするため屋上にのぼった。時は昼の十二時ごろであった。

10 ἐγένετο 起こった G1096 δὲ そして G1161 πρόσπεινος, 空腹に-なって G4361 καὶ そして G2532 ἤθελεν 食べたかった G2309 γεύσασθαι, 食べる-ことを G1089 παρασκευαζόντων 準備して-いる-とき G3903 δὲ しかし G1161
αὐτῶν, 彼らの G0846 ἐγένετο 起こった G1096 ἐπ’ の-上に G1909 αὐτὸν 彼に G0846 ἔκστασις, 夢中が G1611

彼は空腹をおぼえて、何か食べたいと思った。そして、人々が食事の用意をしている間に、夢心地になった。

11 καὶ すると G2532 θεωρεῖ 見た G2334 τὸν その G3588 οὐρανὸν 天が G3772 ἀνεῳγμένον, 開いて-いるのを G0455 καὶ そして G2532 καταβαῖνον 降って-くる G2597 σκεῦός 器が G4632 τι, ある G5100
ὡς のような G5613 ὀθόνην 布のような G3607 μεγάλην, 大きな G3173 τέσσαρσιν 四つの G5064 ἀρχαῖς 隅を G0746 καθιέμενον つり-下げられて G2524 ἐπὶ へ G1909 τῆς その G3588 γῆς, 地へ G1093

すると、天が開け、大きな布のような入れ物が、四すみをつるされて、地上に降りて来るのを見た。

12 ἐν その-中に G1722 ᾧ その-中に G3739 ὑπῆρχεν いた G5225 πάντα あらゆる G3956 τὰ その G3588 τετράποδα, 四つ足の-ものが G5074 καὶ そして G2532 ἑρπετὰ 這う-ものが G2062 τῆς の G3588
γῆς, 地の G1093 καὶ そして G2532 πετεινὰ 空の-鳥が G4071 τοῦ の G3588 οὐρανοῦ. 天の G3772

その中には、地上の四つ足や這うもの、また空の鳥など、各種の生きものがはいっていた。

13 καὶ すると G2532 ἐγένετο 起こった G1096 φωνὴ 声が G5456 πρὸς に-向かって G4314 αὐτόν, 彼に G0846 Ἀναστάς, 立ち上がり G0450 Πέτρε, ペテロよ G4074 θῦσον 屠って G2380 καὶ そして G2532 φάγε! 食べよ G5315

そして声が彼に聞えてきた、「ペテロよ。立って、それらをほふって食べなさい」。

14 ὁ その-が G3588 δὲ しかし G1161 Πέτρος ペテロは G4074 εἶπεν, 言った G3004 Μηδαμῶς, 決して-そのような-ことは G3365 Κύριε; 主よ G2962 ὅτι なぜなら G3754 οὐδέποτε 一度も-ない G3763
ἔφαγον 食べた-ことが G5315 πᾶν あらゆる G3956 κοινὸν 汚れたものや G2839 καὶ そして G2532 ἀκάθαρτον. 不浄な-ものを G0169

ペテロは言った、「主よ、それはできません。わたしは今までに、清くないもの、汚れたものは、何一つ食べたことがありません」。

15 καὶ すると G2532 φωνὴ 声が G5456 πάλιν 再び G3825 ἐκ からの G1537 δευτέρου 二度目の G1208 πρὸς に-向かって G4314 αὐτόν, 彼に G0846 Ἃ それを G3739 ὁ その G3588 Θεὸς 神が G2316
ἐκαθάρισεν, 清めた-ものを G2511 σὺ おまえは G4771 μὴ ない G3361 κοίνου. 汚れていると-するな G2840

すると、声が二度目にかかってきた、「神がきよめたものを、清くないなどと言ってはならない」。

16 τοῦτο δὲ ἐγένετο ἐπὶ τρίς, καὶ εὐθὺς ἀνελήμφθη τὸ
この-ことが そして 起こった に-わたり 三度 すると ただちに 引き上げられた その
G3778 G1161 G1096 G1909 G5151 G2532 G2112 G0353 G3588

σκεῦος εἰς τὸν οὐρανόν.
器は へ その 天へ
G4632 G1519 G3588 G3772

こんなことが三度もあってから、その入れ物はすぐ天に引き上げられた。

17 Ὡς δὲ ἐν ἑαυτῷ διηπόρει ὁ Πέτρος, τί ἂν εἴη
さて そして の-中で 自分の-中で 当惑して-いた その ペテロが 何で あろうか であるのか
G5613 G1161 G1722 G1438 G1280 G3588 G4074 G5101 G0302 G1510

τὸ ὅραμα ὃ εἶδεν, ἰδοὺ, οἱ ἄνδρες οἱ ἀπεσταλμένοι ὑπὸ τοῦ
その 幻は を 見た 見よ その 人々が その 遣わされた によって の
G3588 G3705 G3739 G3708 G3708 G3588 G0435 G3588 G0649 G5259 G3588

Κορνηλίου, διερωτήσαντες τὴν οἰκίαν τοῦ Σίμωνος, ἐπέστησαν ἐπὶ τὸν
コルネリウスから 尋ねて その 家を の シモンの 立った の-前に その
G2883 G1331 G3588 G3614 G3588 G4613 G2186 G1909 G3588

πυλῶνα.
門の-前に
G4440

ペテロが、いま見た幻はなんの事だろうかと、ひとり思案にくれていると、ちょうどその時、コルネリオから送られた人たちが、シモンの家を尋ね当てて、その門口に立っていた。

18 καὶ φωνήσαντες, ἐπυνθάνοντο εἰ Σίμων ὁ ἐπικαλούμενος Πέτρος,
そして 呼んで 尋ねた かと シモンという その 呼ばれる ペテロは
G2532 G5455 G4441 G1487 G4613 G3588 G1941 G4074

ἐνθάδε ξενίζεται.
ここに 泊まって-いるか
G1759 G3579

そして声をかけて、「ペテロと呼ばれるシモンというかたが、こちらにお泊まりではございませんか」と尋ねた。

19 Τοῦ δὲ Πέτρου διενθυμουμένου περὶ τοῦ ὁράματος, εἶπεν ‹αὐτῷ›
その さて ペテロが 思い-巡らして-いた-とき について の 幻の-ことを 言った 彼に
G3588 G1161 G4074 G1760 G4012 G3588 G3705 G3004 G0846

τὸ Πνεῦμα, Ἰδοὺ, ἄνδρες [τρεῖς] ζητοῦντές σε;
その 御霊が 見よ 人々が 三人の 探して-いる おまえを
G3588 G4151 G3708 G0435 G5140 G2212 G4771

ペテロはなおも幻について、思いめぐらしていると、御霊が言った、「ごらんなさい、三人の人たちが、あなたを尋ねてきている。

20 ἀλλὰ ἀναστὰς κατάβηθι, καὶ πορεύου σὺν αὐτοῖς, μηδὲν
しかし 立ち上がって 降りて-行け そして 進んで-行け と-共に 彼らと 何も
G0235 G0450 G2597 G2532 G4198 G4862 G0846 G3367

διακρινόμενος, ὅτι ἐγὼ ἀπέσταλκα αὐτούς.
ためらわずに なぜなら 私が 遣わした 彼らを
G1252 G3754 G1473 G0649 G0846

さあ、立って下に降り、ためらわないで、彼らと一緒に出かけるがよい。わたしが彼らをよこしたのである」。

21 καταβὰς δὲ Πέτρος πρὸς τοὺς ἄνδρας, {τοῦς ἀπεσταλμένους ἀπὸ
降りて–行って そして ペテロは に–向かって その 人々に その 遣わされた から
G2597 G1161 G4074 G4314 G3588 G0435 G3588 G0649 G0575

τοῦ Κορνηλίου πρὸς αὐτόν}, εἶπεν, Ἰδοὺ, ἐγώ εἰμι ὃν
の コルネリウスから に–向かって 自分の–もとに 言った 見よ 私が である を
G3588 G2883 G4314 G0848 G3004 G3708 G1473 G1510 G3739

ζητεῖτε; τίς ἡ αἰτία δι’ ἣν πάρεστε?
探して–いるのか 何の その 理由で の–ために その 来たのか
G2212 G5101 G3588 G0156 G1223 G3739 G3918

そこでペテロは、その人たちのところに降りて行って言った、「わたしがお尋ねのペテロです。どんなご用でおいでになったのですか」。

22 οἱ δὲ εἶπαν, Κορνήλιος ἑκατοντάρχης, ἀνὴρ δίκαιος καὶ
その–人々は そして 言った コルネリウスは 百人隊長で 正しい–人で 義なる また
G3588 G1161 G3004 G2883 G1543 G0435 G1342 G2532

φοβούμενος τὸν Θεὸν, μαρτυρούμενός τε ὑπὸ ὅλου τοῦ ἔθνους τῶν
畏れる その 神を 証しされて–おり そして によって すべての の 民の の
G5399 G3588 G2316 G3140 G5037 G5259 G3650 G3588 G1484 G3588

Ἰουδαίων, ἐχρηματίσθη ὑπὸ ἀγγέλου ἁγίου, μεταπέμψασθαί σε εἰς
ユダヤ人の 告げを–受けた によって 聖なる–御使いから 聖なる 招く–ようにと あなたを へ
G2453 G5537 G5259 G0032 G0040 G3343 G4771 G1519

τὸν οἶκον αὐτοῦ, καὶ ἀκοῦσαι ῥήματα παρὰ σοῦ.
その 家に 彼の そして 聞く–ために 言葉を からの あなたからの
G3588 G3624 G0846 G2532 G0191 G4487 G3844 G4771

彼らは答えた、「正しい人で、神を敬い、ユダヤの全国民に好感を持たれている百卒長コルネリオが、あなたを家に招いてお話を伺うようにとのお告げを、聖なる御使から受けましたので、参りました」。

23 εἰσκαλεσάμενος οὖν αὐτοὺς ἐξένισεν. Τῇ δὲ ἐπαύριον ἀναστὰς,
招き–入れて それゆえ 彼らを もてなした その そして 翌日 立ち上がって
G1528 G3767 G0846 G3579 G3588 G1161 G1887 G0450

ἐξῆλθεν σὺν αὐτοῖς, καί τινες τῶν ἀδελφῶν τῶν ἀπὸ Ἰόππης
出かけた と–共に 彼らと そして ある の 兄弟たちの の からの ヨッパからの
G1831 G4862 G0846 G2532 G5100 G3588 G0080 G3588 G0575 G2445

συνῆλθον αὐτῷ.
同行した 彼に
G4905 G0846

そこで、ペテロは、彼らを迎えて泊まらせた。翌日、ペテロは立って、彼らと連れだって出発した。ヨッパの兄弟たち数人も一緒に行った。

24 τῇ δὲ ἐπαύριον, εἰσῆλθεν εἰς τὴν Καισάρειαν. ὁ δὲ
その そして 翌日 入った へ その カイサリヤに その–が そして
G3588 G1161 G1887 G1525 G1519 G3588 G2542 G3588 G1161

Κορνήλιος ἦν προσδοκῶν αὐτοὺς, συνκαλεσάμενος τοὺς συγγενεῖς αὐτοῦ
コルネリウスは いた 待って 彼らを 呼び–集めて その 親族と 彼の
G2883 G1510 G4328 G0846 G4779 G3588 G4773 G0846

καὶ τοὺς ἀναγκαίους φίλους.
そして その 親しい 友人たちを
G2532 G3588 G0316 G5384

その次の日に、一行はカイザリヤに着いた。コルネリオは親族や親しい友人たちを呼び集めて、待っていた。

25 Ὡς δὲ ἐγένετο τοῦ εἰσελθεῖν τὸν Πέτρον, συναντήσας αὐτῷ ὁ
しかし そして 起こった の 入る-とき その ペテロが 出迎えて 彼に その
G5613 G1161 G1096 G3588 G1525 G3588 G4074 G4876 G0846 G3588

Κορνήλιος, πεσὼν ἐπὶ τοὺς πόδας, προσεκύνησεν.
コルネリウスは ひれ伏して の-上に その 足もとに ひれ伏した
G2883 G4098 G1909 G3588 G4228 G4352

ペテロがいよいよ到着すると、コルネリオは出迎えて、彼の足もとにひれ伏して拝した。

26 ὁ δὲ Πέτρος ἤγειρεν αὐτὸν, λέγων, Ἀνάστηθι, καὶ ἐγὼ αὐτὸς
その-が しかし ペテロは 起こした 彼を 言って 立ちなさい また 私も 自身
G3588 G1161 G4074 G1453 G0846 G3004 G0450 G2532 G1473 G0846

ἄνθρωπός εἰμι.
人間 である
G0444 G1510

するとペテロは、彼を引き起して言った、「お立ちなさい。わたしも同じ人間です」。

27 καὶ συνομιλῶν αὐτῷ εἰσῆλθεν, καὶ εὑρίσκει συνεληλυθότας πολλούς.
そして 語らいながら 彼と 入った そして 見いだす 集まって-いる 多くの-人々を
G2532 G4926 G0846 G1525 G2532 G2147 G4905 G4183

それから共に話しながら、へやにはいって行くと、そこには、すでに大ぜいの人が集まっていた。

28 ἔφη τε πρὸς αὐτούς, Ὑμεῖς ἐπίστασθε ὡς ἀθέμιτόν
言った そして に-向かって 彼らに あなたがたは 知って-いる と 禁じられて-いる-ことを
G5346 G5037 G4314 G0846 G4771 G1987 G5613 G0111

ἐστιν ἀνδρὶ Ἰουδαίῳ κολλᾶσθαι ἢ προσέρχεσθαι ἀλλοφύλῳ.
であると 人にとって ユダヤ人にとって 交わる-ことや あるいは 近づく-ことが 異邦人に
G1510 G0435 G2453 G2853 G2228 G4334 G0246

κἀμοὶ ὁ, Θεὸς ἔδειξεν, μηδένα κοινὸν ἢ ἀκάθαρτον λέγειν
しかし-私に その 神が 示した だれも 汚れた-ものや あるいは 不浄な-ものと 言うなと
G2504 G3588 G2316 G1166 G3367 G2839 G2228 G0169 G3004

ἄνθρωπον.
人を
G0444

ペテロは彼らに言った、「あなたがたが知っているとおり、ユダヤ人が他国の人と交際したり、出入りしたりすることは、禁じられています。ところが、神は、どんな人間をも清くないとか、汚れているとか言ってはならないと、わたしにお示しになりました。

29 διὸ καὶ ἀναντιρρήτως ἦλθον, μεταπεμφθείς. πυνθάνομαι οὖν, Τίνι λόγῳ
それゆえ また ためらわずに 来た 招かれて そこで-尋ねる さて 何の 理由で
G1352 G2532 G0369 G2064 G3343 G4441 G3767 G5101 G3056

μετεπέμψασθέ με?
招いたのか 私を
G3343 G1473

お招きにあずかった時、少しもためらわずに参ったのは、そのためなのです。そこで伺いますが、どういうわけで、わたしを招いてくださったのですか」。

30 Καὶ そして G2532 ὁ その G3588 Κορνήλιος コルネリウスは G2883 ἔφη, 言った G5346 Ἀπὸ から G0575 τετάρτης 四日前 G5067 ἡμέρας, 日から G2250 μέχρι まで G3360 ταύτης この G3778 τῆς その G3588
ὥρας, 時まで G5610 ἤμην 私は-いた G1510 τὴν その G3588 ἐνάτην 第九 G1766 προσευχόμενος 祈って G4336 ἐν の-中で G1722 τῷ その G3588 οἴκῳ 家の-中で G3624 μου; 私の G1473 καὶ すると G2532
ἰδοὺ, 見よ G3708 ἀνὴρ ある-人が G0435 ἔστη 立った G2476 ἐνώπιόν の-前に G1799 μου 私の G1473 ἐν の-中で G1722 ἐσθῆτι 輝く-衣を-着て G2066 λαμπρᾷ, 輝く G2986

これに対してコルネリオが答えた、「四日前、ちょうどこの時刻に、わたしが自宅で午後三時の祈をしていますと、突然、輝いた衣を着た人が、前に立って申しました、

31 καὶ そして G2532 φησίν, 言った G5346 Κορνήλιε, コルネリウスよ G2883 εἰσηκούσθη 聞き届けられた G1522 σου おまえの G4771 ἡ その G3588 προσευχὴ 祈りは G4335 καὶ そして G2532 αἱ その G3588
ἐλεημοσύναι 施しは G1654 σου おまえの G4771 ἐμνήσθησαν 覚えられた G3403 ἐνώπιον の-前で G1799 τοῦ の G3588 Θεοῦ. 神の G2316

『コルネリオよ、あなたの祈は聞きいれられ、あなたの施しは神のみ前におぼえられている。

32 πέμψον 遣わせ G3992 οὖν だから G3767 εἰς へ G1519 Ἰόππην, ヨッパへ G2445 καὶ そして G2532 μετακάλεσαι 招け G3333 Σίμωνα, シモンを G4613 ὃς この-者は G3739 ἐπικαλεῖται 呼ばれる G1941
Πέτρος; ペテロ G4074 οὗτος この-人は G3778 ξενίζεται 泊まって-いる G3579 ἐν の-中に G1722 οἰκίᾳ シモンの-家に G3614 Σίμωνος, シモンの G4613 βυρσέως 皮なめし-屋の G1038 παρὰ の-そばに G3844
θάλασσαν; 海の G2281

そこでヨッパに人を送ってペテロと呼ばれるシモンを招きなさい。その人は皮なめしシモンの海沿いの家に泊まっている』。

33 ἐξαυτῆς ただちに G1824 οὖν それゆえ G3767 ἔπεμψα 遣わした G3992 πρὸς に G4314 σέ; あなたの-もとに G4771 σύ あなたは G4771 τε そして G5037 καλῶς よく G2573 ἐποίησας, して-くださった G4160
παραγενόμενος. 来て G3854 νῦν 今 G3568 οὖν, さて G3767 πάντες 皆 G3956 ἡμεῖς 私たちは G1473 ἐνώπιον の-前に G1799 τοῦ の G3588 Θεοῦ 神の G2316 πάρεσμεν, いる G3918
ἀκοῦσαι 聞く-ために G0191 πάντα すべての G3956 τὰ その G3588 προστεταγμένα 命じられた-ことを G4367 σοι あなたに G4771 ὑπὸ によって G5259 τοῦ の G3588 Κυρίου. 主から G2962

それで、早速あなたをお呼びしたのです。ようこそおいで下さいました。今わたしたちは、主があなたにお告げになったことを残らず伺おうとして、みな神のみ前にまかり出ているのです」。

34 Ἀνοίξας 開いて G0455 δὲ そして G1161 Πέτρος ペテロは G4074 τὸ その G3588 στόμα, 口を G4750 εἶπεν, 言った G3004 Ἐπ’ の-上に G1909 ἀληθείας 真実をもって G0225 καταλαμβάνομαι, 理解する G2638
ὅτι と G3754 οὐκ ない G3756 ἔστιν であると G1510 προσωπολήμπτης 偏り見る-方ではないと G4381 ὁ その G3588 Θεός, 神は G2316

そこでペテロは口を開いて言った、「神は人をかたよりみないかたで、

35 ἀλλ’ しかし G0235 ἐν の–中で G1722 παντὶ すべての G3956 ἔθνει, 国民の–中で G1484 ὁ その G3588 φοβούμενος 畏れる–者で G5399 αὐτὸν 神を G0846 καὶ そして G2532 ἐργαζόμενος 行う–者は G2038

δικαιοσύνην, 義を G1343 δεκτὸς 受け入れられる G1184 αὐτῷ 神に G0846 ἐστιν. である G1510

神を敬い義を行う者はどの国民でも受けいれて下さることが、ほんとうによくわかってきました。

36 τὸν その G3588 λόγον 言葉を G3056 ὃν を G3739 ἀπέστειλεν 遣わした G0649 τοῖς に G3588 υἱοῖς 子らに G5207 Ἰσραὴλ, イスラエルの G2474 εὐαγγελιζόμενος, 福音を–宣べ伝えて G2097 εἰρήνην 平和を G1515

διὰ を–通して G1223 Ἰησοῦ イエス G2424 Χριστοῦ: キリストを–通して G5547 οὗτός この–方こそ G3778 ἐστιν である G1510 πάντων すべての G3956 Κύριος, 主 G2962

あなたがたは、神がすべての者の主なるイエス・キリストによって平和の福音を宣べ伝えて、イスラエルの子らにお送り下さった御言をご存じでしょう。

37 ὑμεῖς あなたがたは G4771 οἴδατε 知って–いる G1492 τὸ その G3588 γενόμενον 起こった–ことを G1096 ῥῆμα ことを G4487 καθ’ の–全体に–わたる G2596 ὅλης すべての G3650 τῆς の G3588

Ἰουδαίας, ユダヤの G2449 ἀρξάμενος 始まって G0756 ἀπὸ から G0575 τῆς の G3588 Γαλιλαίας, ガリラヤから G1056 μετὰ の–後に G3326 τὸ その G3588 βάπτισμα バプテスマの–後に G0908 ὃ を G3739

ἐκήρυξεν 宣べ伝えた G2784 Ἰωάννης: ヨハネが G2491

それは、ヨハネがバプテスマを説いた後、ガリラヤから始まってユダヤ全土にひろまった福音を述べたものです。

38 Ἰησοῦν イエスを G2424 τὸν その G3588 ἀπὸ からの G0575 Ναζαρέθ, ナザレトからの G3478 ὡς どのように G5613 ἔχρισεν 油注いだ G5548 αὐτὸν 彼に G0846 ὁ その G3588 Θεὸς 神が G2316 Πνεύματι 聖 G4151

Ἁγίῳ 霊と G0040 καὶ そして G2532 δυνάμει; 力を–もって G1411 ὃς この–方は G3739 διῆλθεν 巡って–行った G1330 εὐεργετῶν 善を–行い G2109 καὶ そして G2532 ἰώμενος いやしながら G2390 πάντας すべての G3956

τοὺς その G3588 καταδυναστευομένους 虐げられて–いる–者たちを G2616 ὑπὸ によって G5259 τοῦ の G3588 διαβόλου, 悪魔に G1228 ὅτι なぜなら G3754 ὁ その G3588 Θεὸς 神が G2316 ἦν いた G1510

μετ’ と–共に G3326 αὐτοῦ. 彼と G0846

神はナザレのイエスに聖霊と力とを注がれました。このイエスは、神が共におられるので、よい働きをしながら、また悪魔に押えつけられている人々をことごとくいやしながら、巡回されました。

39 καὶ ἡμεῖς μάρτυρες πάντων ὧν ἐποίησεν ἔν τε τῇ χώρᾳ
そして 私たちは 証人である すべての その 行った–ことの の–中で そして その 地方で
G2532 G1473 G3144 G3956 G3739 G4160 G1722 G5037 G3588 G5561

τῶν Ἰουδαίων καὶ [ἐν] Ἰερουσαλήμ; ὃν καὶ ἀνεῖλαν, κρεμάσαντες ἐπὶ
の ユダヤ人の そして の–中の エルサレムの を また 殺した 掛けて の–上に
G3588 G2453 G2532 G1722 G2419 G3739 G2532 G0337 G2910 G1909

ξύλου.
木に
G3586

わたしたちは、イエスがこうしてユダヤ人の地やエルサレムでなさったすべてのことの証人であります。人々はこのイエスを木にかけて殺したのです。

40 τοῦτον ὁ Θεὸς ἤγειρεν ἐν τῇ τρίτῃ ἡμέρᾳ, καὶ ἔδωκεν
この–方を その 神は よみがえらせた の–中で その 三日目に 日に そして 与えた
G3778 G3588 G2316 G1453 G1722 G3588 G5154 G2250 G2532 G1325

αὐτὸν ἐμφανῆ γενέσθαι,
彼を 現れる–ことを なる–ことを
G0846 G1717 G1096

しかし神はイエスを三日目によみがえらせ、

41 οὐ παντὶ τῷ λαῷ, ἀλλὰ μάρτυσιν τοῖς προκεχειροτονημένοις
ない すべての その 民にではなく しかし 証人たちに その あらかじめ–選ばれた
G3756 G3956 G3588 G2992 G0235 G3144 G3588 G4401

ὑπὸ τοῦ Θεοῦ, ἡμῖν, οἵτινες συνεφάγομεν καὶ συνεπίομεν αὐτῷ
によって の 神によって 私たちに すなわち 共に–食べ そして 共に–飲んだ 彼と
G5259 G3588 G2316 G1473 G3748 G4906 G2532 G4844 G0846

μετὰ τὸ ἀναστῆναι αὐτὸν ἐκ νεκρῶν.
の–後に その よみがえる–ことの–後に 彼が から 死者の–中から
G3326 G3588 G0450 G0846 G1537 G3498

全部の人々にではなかったが、わたしたち証人としてあらかじめ選ばれた者たちに現れるようにして下さいました。わたしたちは、イエスが死人の中から復活された後、共に飲食しました。

42 καὶ παρήγγειλεν ἡμῖν κηρύξαι τῷ λαῷ, καὶ διαμαρτύρασθαι,
そして 命じた 私たちに 宣べ伝える–ようにと に 民に そして 証しする–ようにと
G2532 G3853 G1473 G2784 G3588 G2992 G2532 G1263

ὅτι οὗτός ἐστιν ὁ ὡρισμένος ὑπὸ τοῦ Θεοῦ Κριτὴς
と この–方こそ である その 定められた によって の 神によって 裁き主
G3754 G3778 G1510 G3588 G3724 G5259 G3588 G2316 G2923

ζώντων καὶ νεκρῶν.
生きて–いる–者と そして 死んだ–者の
G2198 G2532 G3498

それから、イエスご自身が生者と死者との審判者として神に定められたかたであることを、人々に宣べ伝え、またあかしするようにと、神はわたしたちにお命じになったのです。

43 τούτῳ πάντες οἱ προφῆται μαρτυροῦσιν, ἄφεσιν ἁμαρτιῶν λαβεῖν
この–方に すべての その 預言者たちが 証しして–いる 赦しを 罪の 受ける–ことを
G3778 G3956 G3588 G4396 G3140 G0859 G0266 G2983

διὰ τοῦ ὀνόματος αὐτοῦ πάντα τὸν πιστεύοντα εἰς αὐτόν.
を–通して の 名の 彼の すべての その 信じる–者が へ 彼を
G1223 G3588 G3686 G0846 G3956 G3588 G4100 G1519 G0846

預言者たちもみな、イエスを信じる者はことごとく、その名によって罪のゆるしが受けられると、あかしをしています」。

44 Ἔτι まだ G2089 λαλοῦντος 語って-いる-ときに G2980 τοῦ の G3588 Πέτρου ペテロが G4074 τὰ この G3588 ῥήματα 言葉を G4487 ταῦτα, これらの G3778 ἐπέπεσεν 降った G1968 τὸ その G3588 Πνεῦμα 御霊が G4151 τὸ その G3588 Ἅγιον 聖なる G0040 ἐπὶ の-上に G1909 πάντας すべての G3956 τοὺς その G3588 ἀκούοντας 聞いて-いる-者たちに G0191 τὸν その G3588 λόγον. 言葉を G3056

ペテロがこれらの言葉をまだ語り終えないうちに、それを聞いていたみんなの人たちに、聖霊がくだった。

45 καὶ そして G2532 ἐξέστησαν 驚いた G1839 οἱ その G3588 ἐκ からの G1537 περιτομῆς 割礼の G4061 πιστοὶ, 信者たちは G4103 ὅσοι どれだけの G3745 συνῆλθαν 同行して-きた G4905 τῷ に G3588 Πέτρῳ, ペテロと G4074 ὅτι とは G3754 καὶ また G2532 ἐπὶ の-上に G1909 τὰ その G3588 ἔθνη, 異邦人にも G1484 ἡ その G3588 δωρεὰ 賜物が G1431 τοῦ の G3588 Ἁγίου 聖 G0040 (τοῦ) の G3588 Πνεύματος 御霊の G4151 ἐκκέχυται. 注がれたことを G1632

割礼を受けている信者で、ペテロについてきた人たちは、異邦人たちにも聖霊の賜物が注がれたのを見て、驚いた。

46 ἤκουον 聞いて-いた G0191 γὰρ なぜなら G1063 αὐτῶν 彼らが G0846 λαλούντων 語るのを G2980 γλώσσαις, 異言で G1100 καὶ そして G2532 μεγαλυνόντων 崇めるのを G3170 τὸν その G3588 Θεόν. 神を G2316 τότε そのとき G5119 ἀπεκρίθη 答えた G0611 Πέτρος, ペテロは G4074

それは、彼らが異言を語って神をさんびしているのを聞いたからである。そこで、ペテロが言い出した、

47 Μήτι まさか G3385 τὸ その G3588 ὕδωρ 水を G5204 δύναται できるのか G1410 κωλῦσαί 拒む-ことが G2967 τις 誰かが G5100 τοῦ の G3588 μὴ ない G3361 βαπτισθῆναι バプテスマを-受ける-ことを G0907 τούτους, この-人々が G3778 οἵτινες この-人々は G3748 τὸ その G3588 Πνεῦμα 御霊を G4151 τὸ その G3588 Ἅγιον 聖なる G0040 ἔλαβον, 受けた G2983 ὡς ちょうど G5613 καὶ また G2532 ἡμεῖς? 私たちと-同じように G1473

「この人たちがわたしたちと同じように聖霊を受けたからには、彼らに水でバプテスマを授けるのを、だれがこばみ得ようか」。

48 προσέταξεν 命じた G4367 δὲ そして G1161 αὐτοὺς 彼らに G0846 ἐν の-中で G1722 τῷ その G3588 ὀνόματι 名に-よって G3686 Ἰησοῦ イエス G2424 Χριστοῦ キリストの G5547 βαπτισθῆναι. バプテスマを-受ける-ようにと G0907 τότε そのとき G5119 ἠρώτησαν 願った G2065 αὐτὸν 彼に G0846 ἐπιμεῖναι 滞在する-ようにと G1961 ἡμέρας 日を G2250 τινάς. 幾らか G5100

こう言って、ペテロはその人々に命じて、イエス・キリストの名によってバプテスマを受けさせた。それから、彼らはペテロに願って、なお数日のあいだ滞在してもらった。

Chapter 11

1

Ἤκουσαν	δὲ	οἱ	ἀπόστολοι	καὶ	οἱ	ἀδελφοὶ	οἱ	ὄντες	κατὰ
聞いた	さて	その	使徒たちと	また	その	兄弟たちは	その	いる	～の–各地に
G0191	G1161	G3588	G0652	G2532	G3588	G0080	G3588	G1510	G2596

τὴν	Ἰουδαίαν,	ὅτι	καὶ	τὰ	ἔθνη	ἐδέξαντο	τὸν	λόγον	τοῦ
その	ユダヤに	～ということを	また	その	異邦人たちも	受け入れた	その	言葉を	その
G3588	G2449	G3754	G2532	G3588	G1484	G1209	G3588	G3056	G3588

Θεοῦ.
神の
G2316

さて、異邦人たちも神の言を受けいれたということが、使徒たちやユダヤにいる兄弟たちに聞えてきた。

2

Ὅτε	δὲ	ἀνέβη	Πέτρος	εἰς	Ἰερουσαλήμ,	διεκρίνοντο	πρὸς	
～した–時	そして	上って–来た	ペテロが	～へ	エルサレムに	非難した	～に–対して	
G3753	G1161	G0305	G4074	G1519	G2419	G1252	G4314	

αὐτὸν	οἱ	ἐκ	περιτομῆς,
彼を	その	～の	割礼の–者たちが
G0846	G3588	G1537	G4061

そこでペテロがエルサレムに上ったとき、割礼を重んじる者たちが彼をとがめて言った、

3

λέγοντες	ὅτι,	Εἰσῆλθες,	πρὸς	ἄνδρας	ἀκροβυστίαν	ἔχοντας,	καὶ	
言って	～と	あなたは–入った	～の–もとに	人々の	無割礼を	持つ	そして	
G3004	G3754	G1525	G4314	G0435	G0203	G2192	G2532	

συνέφαγες	αὐτοῖς.
一緒に–食事をした	彼らと
G4906	G0846

「あなたは、割礼のない人たちのところに行って、食事を共にしたということだが」。

4

ἀρξάμενος	δὲ	Πέτρος,	ἐξετίθετο	αὐτοῖς	καθεξῆς	λέγων,
始めて	そこで	ペテロは	説明した	彼らに	順序–正しく	言った
G0756	G1161	G4074	G1620	G0846	G2517	G3004

そこでペテロは口を開いて、順序正しく説明して言った、

5

Ἐγὼ	ἤμην	ἐν	πόλει	Ἰόππῃ	προσευχόμενος,	καὶ	εἶδον	ἐν
私は	いた	～の–中で	町	ヨッパで	祈っていた	すると	見た	～の–中の
G1473	G1510	G1722	G4172	G2445	G4336	G2532	G3708	G1722

ἐκστάσει	ὅραμα,	καταβαῖνον	σκεῦός	τι	ὡς	ὀθόνην	μεγάλην,	
恍惚–状態で	幻を	降りて–来る	器が	ある	～のような	大きな–布の	大きな	
G1611	G3705	G2597	G4632	G5100	G5613	G3607	G3173	

τέσσαρσιν	ἀρχαῖς	καθιεμένην	ἐκ	τοῦ	οὐρανοῦ,	καὶ	ἦλθεν	ἄχρι
四つの	隅を–つかんで	つり–降ろされた	～から	その	天から	そして	来た	～まで
G5064	G0746	G2524	G1537	G3588	G3772	G2532	G2064	G0891

ἐμοῦ.
私の–もとに
G1473

「わたしがヨッパの町で祈っていると、夢心地になって幻を見た。大きな布のような入れ物が、四すみをつるされて、天から降りてきて、わたしのところにとどいた。

6 εἰς ～の-中を G1519 ἣν それを G3739 ἀτενίσας じっと-見つめて G0816 κατενόουν, よく-見ると G2657 καὶ そして G2532 εἶδον 見た G3708 τὰ その G3588 τετράποδα 四つ足の-獣と G5074 τῆς その G3588 γῆς, 地の G1093 καὶ また G2532 τὰ その G3588 θηρία, 野獣と G2342 καὶ また G2532 τὰ その G3588 ἑρπετὰ, 這う-ものと G2062 καὶ また G2532 τὰ その G3588 πετεινὰ 空の-鳥を G4071 τοῦ その G3588 οὐρανοῦ. 天の G3772

注意して見つめていると、地上の四つ足、野の獣、這うもの、空の鳥などが、はいっていた。

7 ἤκουσα 聞いた G0191 δὲ また G1161 καὶ さらに G2532 φωνῆς 声を G5456 λεγούσης 告げる G3004 μοι, 私に G1473 Ἀναστάς, 起きなさい G0450 Πέτρε, ペテロよ G4074 θῦσον 屠って G2380 καὶ そして G2532 φάγε. 食べなさい G5315

それから声がして、『ペテロよ、立って、それらをほふって食べなさい』と、わたしに言うのが聞えた。

8 εἶπον 言った G3004 δέ, しかし G1161 Μηδαμῶς, 決して-いけません G3365 Κύριε, 主よ G2962 ὅτι なぜなら G3754 κοινὸν 汚れた-ものや G2839 ἢ あるいは G2228 ἀκάθαρτον, 清くない-ものは G0169 οὐδέποτε 一度も G3763 εἰσῆλθεν 入ったことが-ない G1525 εἰς ～の-中に G1519 τὸ その G3588 στόμα 口に G4750 μου. 私の G1473

わたしは言った、『主よ、それはできません。わたしは今までに、清くないものや汚れたものを口に入れたことが一度もございません』。

9 ἀπεκρίθη 答えた G0611 δὲ すると G1161 «ἐκ ～から G1537 δευτέρου» 二度目に G1208 φωνὴ 声が G5456 ἐκ ～から G1537 τοῦ その G3588 οὐρανοῦ, 天から G3772 Ἃ ～ものを G3739 ὁ その G3588 Θεὸς 神が G2316 ἐκαθάρισεν, 清めたものを G2511 σὺ あなたは G4771 μὴ ～してはならない G3361 κοίνου. 汚してはならない G2840

すると、二度目に天から声がかかってきた、『神がきよめたものを、清くないなどと言ってはならない』。

10 τοῦτο これが G3778 δὲ そして G1161 ἐγένετο 起こった G1096 ἐπὶ ～まで G1909 τρίς, 三度 G5151 καὶ そして G2532 ἀνεσπάσθη 引き上げられた G0385 πάλιν 再び G3825 ἅπαντα すべてが G0537 εἰς ～へ G1519 τὸν その G3588 οὐρανόν. 天へ G3772

こんなことが三度もあってから、全部のものがまた天に引き上げられてしまった。

11 καὶ すると G2532 ἰδοὺ, 見よ G3708 ἐξαυτῆς すぐに G1824 τρεῖς 三人の G5140 ἄνδρες 人が G0435 ἐπέστησαν 来て-立った G2186 ἐπὶ ～の-前に G1909 τὴν その G3588 οἰκίαν 家に G3614 ἐν ～の-中に G1722 ᾗ その G3739 ἦμεν, 私たちが-いた G1510 ἀπεσταλμένοι 遣わされて G0649 ἀπὸ ～から G0575 Καισαρείας カイサリアから G2542 πρός ～の-もとへ G4314 με. 私の-もとへ G1473

ちょうどその時、カイザリヤからつかわされてきた三人の人が、わたしたちの泊まっていた家に着いた。

12 εἶπεν 言った G3004 δὲ すると G1161 τὸ その G3588 Πνεῦμά, 御霊が G4151 μοι 私に G1473 συνελθεῖν 一緒に-行くようにと G4905 αὐτοῖς, 彼らと G0846 μηδὲν 何も G3367 διακρίναντα. ためらわずに G1252

ἦλθον 行った G2064 δὲ そして G1161 σὺν ～と-共に G4862 ἐμοὶ 私と G1473 καὶ また G2532 οἱ この G3588 ἓξ 六人の G1803 ἀδελφοὶ 兄弟たちも G0080 οὗτοι, これらの G3778 καὶ そして G2532 εἰσήλθομεν 入った G1525

εἰς ～の-中に G1519 τὸν その G3588 οἶκον 家に G3624 τοῦ その G3588 ἀνδρός, 人の G0435

御霊がわたしに、ためらわずに彼らと共に行けと言ったので、ここにいる六人の兄弟たちも、わたしと一緒に出かけて行き、一同がその人の家にはいった。

13 ἀπήγγειλεν 告げた G0518 δὲ そして G1161 ἡμῖν 私たちに G1473 πῶς どのように G4459 εἶδεν 見た G3708 τὸν その G3588 ἄγγελον 御使いが G0032 ἐν ～の-中に G1722 τῷ その G3588 οἴκῳ 家の-中で G3624

αὐτοῦ, 彼の G0846 σταθέντα 立って G2476 καὶ そして G2532 εἰπόντα, 言ったかを G3004 Ἀπόστειλον 人を-遣わしなさい G0649 εἰς ～へ G1519 Ἰόππην, ヨッパへ G2445 καὶ そして G2532 μετάπεμψαι 招きなさい G3343

Σίμωνα, シモンを G4613 τὸν その G3588 ἐπικαλούμενον 呼ばれている G1941 Πέτρον, ペテロと G4074

すると彼はわたしたちに、御使が彼の家に現れて、『ヨッパに人をやって、ペテロと呼ばれるシモンを招きなさい。

14 ὃς その-人が G3739 λαλήσει 語るであろう G2980 ῥήματα 言葉を G4487 πρὸς ～に-対して G4314 σὲ, あなたに G4771 ἐν ～に-よって G1722 οἷς それに-よって G3739

σωθήσῃ 救われるであろう G4982 σὺ あなたと G4771 καὶ また G2532 πᾶς すべての G3956 ὁ その G3588 οἶκός 家族が G3624 σου. あなたの G4771

この人は、あなたとあなたの全家族とが救われる言葉を語って下さるであろう』と告げた次第を、話してくれた。

15 ἐν ～において G1722 δὲ そして G1161 τῷ その G3588 ἄρξασθαί 始めた-時に G0756 με 私が G1473 λαλεῖν, 語り G2980 ἐπέπεσεν 降った G1968 τὸ その G3588 Πνεῦμα 御霊が G4151 τὸ その G3588

Ἅγιον 聖なる G0040 ἐπ’ ～の-上に G1909 αὐτοὺς, 彼らの-上に G0846 ὥσπερ ちょうど G5618 καὶ 同じく G2532 ἐφ’ ～の-上に G1909 ἡμᾶς 私たちの-上にも G1473 ἐν ～において G1722 ἀρχῇ. 初めに G0746

そこでわたしが語り出したところ、聖霊が、ちょうど最初わたしたちの上にくだったと同じように、彼らの上にくだった。

16 ἐμνήσθην 思い出した G3403 δὲ そして G1161 τοῦ その G3588 ῥήματος 言葉を G4487 τοῦ その G3588 Κυρίου, 主の G2962 ὡς このように G5613 ἔλεγεν, 言われた G3004 Ἰωάννης ヨハネは G2491 μὲν 一方では G3303

ἐβάπτισεν バプテスマを-授けた G0907 ὕδατι, 水で G5204 ὑμεῖς あなたがたは G4771 δὲ しかし G1161 βαπτισθήσεσθε バプテスマを-受けるであろう G0907 ἐν ～において G1722

Πνεύματι 御霊で G4151 Ἁγίῳ. 聖なる G0040

その時わたしは、主が『ヨハネは水でバプテスマを授けたが、あなたがたは聖霊によってバプテスマを受けるであろう』と仰せになった言葉を思い出した。

17 εἰ οὖν τὴν ἴσην δωρεὰν ἔδωκεν αὐτοῖς ὁ Θεὸς, ὡς καὶ
もし それゆえ その 同じ 賜物を 与えたのなら 彼らに その 神が 同じように また
G1487 G3767 G3588 G2470 G1431 G1325 G0846 G3588 G2316 G5613 G2532

ἡμῖν, πιστεύσασιν ἐπὶ τὸν Κύριον Ἰησοῦν Χριστόν, ἐγὼ, τίς
私たちにも 信じた ～の-上に その 主 イエス キリストを 私は 何者であろうか
G1473 G4100 G1909 G3588 G2962 G2424 G5547 G1473 G5101

ἤμην, δυνατὸς κωλῦσαι τὸν Θεόν?
いったい できる-者か 妨げることが その 神を
G1510 G1415 G2967 G3588 G2316

このように、わたしたちが主イエス・キリストを信じた時に下さったのと同じ賜物を、神が彼らにもお与えになったとすれば、わたしのような者が、どうして神を妨げることができようか」。

18 ἀκούσαντες δὲ ταῦτα ἡσύχασαν, καὶ ἐδόξασαν τὸν Θεὸν,
聞いて すると これらのことを 静まった そして 栄光を-帰した その 神に
G0191 G1161 G3778 G2270 G2532 G1392 G3588 G2316

λέγοντες, Ἄρα καὶ τοῖς ἔθνεσιν ὁ Θεὸς τὴν μετάνοιαν εἰς
言って それでは やはり その 異邦人にも その 神は その 悔い改めを ～へ-至る
G3004 G0686 G2532 G3588 G1484 G3588 G2316 G3588 G3341 G1519

ζωὴν ἔδωκεν.
命に-至る 与えられたのだ
G2222 G1325

人々はこれを聞いて黙ってしまった。それから神をさんびして、「それでは神は、異邦人にも命にいたる悔改めをお与えになったのだ」と言った。

19 Οἱ μὲν οὖν διασπαρέντες ἀπὸ τῆς θλίψεως τῆς γενομένης
さて 一方 こうして 散らされた-者たちは ～から その 迫害の-ゆえに その 起こった
G3588 G3303 G3767 G1289 G0575 G3588 G2347 G3588 G1096

ἐπὶ Στεφάνῳ, διῆλθον ἕως Φοινίκης, καὶ Κύπρου, καὶ
～の-際に ステパノの-ことで 巡り歩いた ～まで フェニキヤと また キプロスと また
G1909 G4736 G1330 G2193 G5403 G2532 G2954 G2532

Ἀντιοχείας, μηδενὶ λαλοῦντες τὸν λόγον εἰ μὴ μόνον Ἰουδαίοις.
アンテオケまで 誰にも 語らず その 言葉を ～を-除いて ～しか ただ ユダヤ人にだけ
G0490 G3367 G2980 G3588 G3056 G1487 G3361 G3440 G2453

さて、ステパノのことで起った迫害のために散らされた人々は、ピニケ、クプロ、アンテオケまでも進んで行ったが、ユダヤ人以外の者には、だれにも御言を語っていなかった。

20 Ἦσαν δέ τινες ἐξ αὐτῶν ἄνδρες, Κύπριοι καὶ Κυρηναῖοι,
いた しかし ある ～の-中に 彼らの-中に 人々が キプロス人や また クレネ人で
G1510 G1161 G5100 G1537 G0846 G0435 G2953 G2532 G2956

οἵτινες ἐλθόντες εἰς Ἀντιόχειαν, ἐλάλουν καὶ πρὸς τοὺς
その-者たちは 来て ～へ アンテオケに 語った また ～に-対しても その
G3748 G2064 G1519 G0490 G2980 G2532 G4314 G3588

Ἕλληνιστάς, εὐαγγελιζόμενοι -- τὸν Κύριον Ἰησοῦν.
ギリシヤ語を話す-人々に 福音を-宣べ伝えた その 主 イエスを
G1675 G2097 G3588 G2962 G2424

ところが、その中に数人のクプロ人とクレネ人がいて、アンテオケに行ってからギリシヤ人にも呼びかけ、主イエスを宣べ伝えていた。

21 καὶ そして G2532 | ἦν あった G1510 | χεὶρ 手が G5495 | Κυρίου 主の G2962 | μετ’ ～と-共に G3326 | αὐτῶν; 彼らと-共に G0846 | πολύς 多くの G4183 | τε そして G5037 | ἀριθμὸς 数の G0706 | ὁ その G3588

πιστεύσας, 信じた-者が G4100 | ἐπέστρεψεν 立ち返った G1994 | ἐπὶ ～の-もとへ G1909 | τὸν その G3588 | Κύριον. 主の-もとへ G2962

そして、主のみ手が彼らと共にあったため、信じて主に帰依するものの数が多かった。

22 Ἠκούσθη 聞こえた G0191 | δὲ そして G1161 | ὁ この G3588 | λόγος 知らせが G3056 | εἰς ～の-中へ G1519 | τὰ その G3588 | ὦτα 耳に G3775 | τῆς その G3588 | ἐκκλησίας 教会の G1577 | τῆς その G3588 | οὔσης ある G1510

ἐν ～の-中の G1722 | Ἰερουσαλὴμ, エルサレムにある G2419 | περὶ ～について G4012 | αὐτῶν; 彼らについて G0846 | καὶ そこで G2532 | ἐξαπέστειλαν 遣わした G1821 | Βαρνάβαν バルナバを G0921

[διελθεῖν] 行かせた G1330 | ἕως ～まで G2193 | Ἀντιοχείας, アンテオケまで G0490

このうわさがエルサレムにある教会に伝わってきたので、教会はバルナバをアンテオケにつかわした。

23 ὃς 彼は G3739 | παραγενόμενος, 到着して G3854 | καὶ そして G2532 | ἰδὼν 見て G3708 | τὴν その G3588 | χάριν 恵みを G5485 | τὴν その G3588 | τοῦ その G3588 | Θεοῦ, 神の G2316 | ἐχάρη, 喜んだ G5463 | καὶ そして G2532

παρεκάλει 勧めた G3870 | πάντας すべての-人々に G3956 | τῇ その G3588 | προθέσει 心の-決意を-もって G4286 | τῆς その G3588 | καρδίας, 心の G2588 | προσμένειν とどまるようにと G4357 | (ἐν) ～に G1722

τῷ その G3588 | Κυρίῳ. 主に G2962

彼は、そこに着いて、神のめぐみを見てよろこび、主に対する信仰を揺るがない心で持ちつづけるようにと、みんなの者を励ました。

24 ὅτι なぜなら G3754 | ἦν であった G1510 | ἀνὴρ 善い-人 G0435 | ἀγαθὸς, 善い G0018 | καὶ そして G2532 | πλήρης 満ちた G4134 | Πνεύματος 御霊と G4151 | Ἁγίου, 聖なる G0040 | καὶ また G2532 | πίστεως. 信仰に G4102

καὶ そして G2532 | προσετέθη 加えられた G4369 | ὄχλος 多くの-人々が G3793 | ἱκανὸς 相当な G2425 | τῷ その G3588 | Κυρίῳ. 主に G2962

彼は聖霊と信仰とに満ちた立派な人であったからである。こうして主に加わる人々が、大ぜいになった。

25 ἐξῆλθεν 出かけた G1831 | δὲ そして G1161 | εἰς ～へ G1519 | Ταρσὸν タルソへ G5019 | ἀναζητῆσαι 捜しに G0327 | Σαῦλον, サウロを G4569

そこでバルナバはサウロを捜しにタルソへ出かけて行き、

26 καὶ εὑρὼν, ἤγαγεν εἰς Ἀντιόχειαν. ἐγένετο δὲ αὐτοῖς καὶ
そして 見つけて 連れて-来た ～へ アンテオケに なった そして 彼らにとって 実に
G2532 G2147 G0071 G1519 G0490 G1096 G1161 G0846 G2532

ἐνιαυτὸν ὅλον συναχθῆναι ἐν τῇ ἐκκλησίᾳ, καὶ διδάξαι ὄχλον
一年-間 まるまる 集められた ～において その 教会で そして 教えた 多くの-人々を
G1763 G3650 G4863 G1722 G3588 G1577 G2532 G1321 G3793

ἱκανόν. χρηματίσαι τε πρώτως ἐν Ἀντιοχείᾳ τοὺς μαθητὰς,
大勢の 呼ばれた そして 初めて ～において アンテオケで その 弟子たちが
G2425 G5537 G5037 G4413 G1722 G0490 G3588 G3101

Χριστιανούς.
キリスト者と
G5546

彼を見つけたうえ、アンテオケに連れて帰った。ふたりは、まる一年、ともどもに教会で集まりをし、大ぜいの人々を教えた。このアンテオケで初めて、弟子たちがクリスチャンと呼ばれるようになった。

27 Ἐν ταύταις δὲ ταῖς ἡμέραις, κατῆλθον ἀπὸ Ἱεροσολύμων προφῆται
～の この さて その 日々に 下って-来た ～から エルサレムから 預言者たちが
G1722 G3778 G1161 G3588 G2250 G2718 G0575 G2414 G4396

εἰς Ἀντιόχειαν.
～へ アンテオケへ
G1519 G0490

そのころ、預言者たちがエルサレムからアンテオケにくだってきた。

28 ἀναστὰς δὲ εἷς ἐξ αὐτῶν, ὀνόματι Ἄγαβος, ἐσήμανεν
立ち上がって すると 一人の ～の-中の 彼らの-中の 名を アガボスという 示した
G0450 G1161 G1520 G1537 G0846 G3686 G0013 G4591

διὰ τοῦ Πνεύματος, λιμὸν μεγάλην μέλλειν ἔσεσθαι ἐφ’
～を-通して その 御霊を-通して 飢饉が 大きな 起ころうとしている あるであろう ～の-上に
G1223 G3588 G4151 G3042 G3173 G3195 G1510 G1909

ὅλην τὴν οἰκουμένην-- ἥτις ἐγένετο ἐπὶ Κλαυδίου.
全 その 世界に それは 起こった ～の-時に クラウデオの-時に
G3650 G3588 G3625 G3748 G1096 G1909 G2804

その中のひとりであるアガボという者が立って、世界中に大ききんが起るだろうと、御霊によって預言したところ、果してそれがクラウデオ帝の時に起った。

29 τῶν δὲ μαθητῶν καθὼς εὐπορεῖτό τις, ὥρισαν ἕκαστος αὐτῶν,
その そこで 弟子たちは ～に-応じて 余裕の-ある それぞれ 決めた 各自が 彼らの
G3588 G1161 G3101 G2531 G2141 G5100 G3724 G1538 G0846

εἰς διακονίαν, πέμψαι τοῖς κατοικοῦσιν ἐν τῇ Ἰουδαίᾳ ἀδελφοῖς,
～の-ために 援助として 送ることを その 住んでいる ～の その ユダヤに 兄弟たちに
G1519 G1248 G3992 G3588 G2730 G1722 G3588 G2449 G0080

そこで弟子たちは、それぞれの力に応じて、ユダヤに住んでいる兄弟たちに援助を送ることに決めた。

30 ὃ καὶ ἐποίησαν, ἀποστείλαντες πρὸς τοὺς πρεσβυτέρους,
それを 実際に 実行した 送って ～の-もとへ その 長老たちの-もとへ
G3739 G2532 G4160 G0649 G4314 G3588 G4245

διὰ χειρὸς Βαρνάβα καὶ Σαύλου.
～の-手を-通して 手を-通して バルナバと また サウロの
G1223 G5495 G0921 G2532 G4569

そして、それをバルナバとサウロとの手に託して、長老たちに送りとどけた。

Chapter 12

1

Κατ’	ἐκεῖνον	δὲ	τὸν	καιρὸν,	ἐπέβαλεν	Ἡρῴδης	ὁ	βασιλεὺς	τὰς
~の–頃	あの	さて	その	時に	手を–伸ばした	ヘロデ–王が	その	王が	その
G2596	G1565	G1161	G3588	G2540	G1911	G2264	G3588	G0935	G3588

χεῖρας	κακῶσαί	τινας	τῶν	ἀπὸ	τῆς	ἐκκλησίας.
手を	苦しめるために	ある–者たちを	その	~から	その	教会の–者たちを
G5495	G2559	G5100	G3588	G0575	G3588	G1577

そのころ、ヘロデ王は教会のある者たちに圧迫の手をのばし、

2

ἀνεῖλεν	δὲ	Ἰάκωβον,	τὸν	ἀδελφὸν	Ἰωάννου,	μαχαίρῃ.
殺した	そして	ヤコブを	その	兄弟	ヨハネの	剣で
G0337	G1161	G2385	G3588	G0080	G2491	G3162

ヨハネの兄弟ヤコブをつるぎで切り殺した。

3

ἰδὼν	δὲ	ὅτι	ἀρεστόν	ἐστιν	τοῖς	Ἰουδαίοις,	προσέθετο	συλλαβεῖν
見て	すると	~ことを	喜ばしい	である	その	ユダヤ人に	さらに–した	捕らえることを
G3708	G1161	G3754	G0701	G1510	G3588	G2453	G4369	G4815

καὶ	Πέτρον.	ἦσαν	δὲ	[αἱ]	ἡμέραι	τῶν	ἀζύμων --
また	ペテロも	あった	そして	その	日々は	その	種なしパンの
G2532	G4074	G1510	G1161	G3588	G2250	G3588	G0106

そして、それがユダヤ人たちの意にかなったのを見て、さらにペテロをも捕えにかかった。それは除酵祭の時のことであった。

4

ὃν	καὶ	πιάσας,	ἔθετο	εἰς	φυλακήν,	παραδοὺς	τέσσαρσιν	τετραδίοις
彼を	また	捕らえて	入れた	~の–中に	牢に	引き渡して	四つの	四人–組の
G3739	G2532	G4084	G5087	G1519	G5438	G3860	G5064	G5069

στρατιωτῶν	φυλάσσειν	αὐτόν,	βουλόμενος	μετὰ	τὸ	πάσχα	ἀναγαγεῖν
兵士に	見張らせて	彼を	望んで	~の–後に	その	過越の–祭の	引き出そうと
G4757	G5442	G0846	G1014	G3326	G3588	G3957	G0321

αὐτὸν	τῷ	λαῷ.
彼を	その	民の–前に
G0846	G3588	G2992

ヘロデはペテロを捕えて獄に投じ、四人一組の兵卒四組に引き渡して、見張りをさせておいた。過越の祭のあとで、彼を民衆の前に引き出すつもりであったのである。

5

ὁ	μὲν	οὖν	Πέτρος	ἐτηρεῖτο	ἐν	τῇ	φυλακῇ;	προσευχὴ	δὲ
その	一方	こうして	ペテロは	監禁されていた	~の–中に	その	牢に	祈りが	しかし
G3588	G3303	G3767	G4074	G5083	G1722	G3588	G5438	G4335	G1161

ἦν	ἐκτενῶς	γινομένη	ὑπὸ	τῆς	ἐκκλησίας	πρὸς	τὸν	Θεὸν
あった	熱心に	なされていた	~によって	その	教会によって	~に–対して	その	神に
G1510	G1619	G1096	G5259	G3588	G1577	G4314	G3588	G2316

περὶ	αὐτοῦ.
~について	彼のために
G4012	G0846

こうして、ペテロは獄に入れられていた。教会では、彼のために熱心な祈が神にささげられた。

6

Ὅτε	δὲ	ἤμελλεν	προαγαγεῖν	αὐτὸν	ὁ	Ἡρῴδης,	τῇ	νυκτὶ	
~した–時	すると	しようとしていた	引き出す	彼を	その	ヘロデが	その	夜に	
G3753	G1161	G3195	G4254	G0846	G3588	G2264	G3588	G3571	

ἐκείνῃ,	ἦν	ὁ	Πέτρος	κοιμώμενος	μεταξὺ	δύο	στρατιωτῶν,	δεδεμένος	
あの	いた	その	ペテロは	眠っていた	~の–間で	二人の	兵士の–間で	縛られて	
G1565	G1510	G3588	G4074	G2837	G3342	G1417	G4757	G1210	

ἁλύσεσιν	δυσίν,	φύλακές	τε	πρὸ	τῆς	θύρας	ἐτήρουν	τὴν	φυλακήν.
鎖で	二つの	番兵たちも	また	~の–前で	その	戸の–前で	守っていた	その	牢を
G0254	G1417	G5441	G5037	G4253	G3588	G2374	G5083	G3588	G5438

ヘロデが彼を引き出そうとしていたその夜、ペテロは二重の鎖につながれ、ふたりの兵卒の間に置かれて眠っていた。番兵たちは戸口で獄を見張っていた。

7

καὶ	ἰδοὺ,	ἄγγελος	Κυρίου	ἐπέστη,	καὶ	φῶς	ἔλαμψεν	ἐν	τῷ
すると	見よ	御使いが	主の	現れた	そして	光が	輝いた	~の–中で	その
G2532	G3708	G0032	G2962	G2186	G2532	G5457	G2989	G1722	G3588

οἰκήματι.	πατάξας	δὲ	τὴν	πλευρὰν	τοῦ	Πέτρου,	ἤγειρεν	αὐτὸν,	λέγων,
房の–中で	叩いて	そして	その	脇腹を	その	ペテロの	起こした	彼を	言って
G3612	G3960	G1161	G3588	G4125	G3588	G4074	G1453	G0846	G3004

Ἀνάστα	ἐν	τάχει.	καὶ	ἐξέπεσαν	αὐτοῦ	αἱ	ἁλύσεις,	ἐκ	
急いで–起きなさい	~の–うちに	速やかに	すると	落ちた	彼の	その	鎖が	~から	
G0450	G1722	G5034	G2532	G1601	G0846	G3588	G0254	G1537	

τῶν	χειρῶν.
その	手から
G3588	G5495

すると、突然、主の使がそばに立ち、光が獄内を照した。そして御使はペテロのわき腹をつついて起し、「早く起きあがりなさい」と言った。すると鎖が彼の両手から、はずれ落ちた。

8

εἶπεν	δὲ	ὁ	ἄγγελος	πρὸς	αὐτόν,	Ζῶσαι,	καὶ	
言った	そして	その	御使いは	~に–対して	彼に	帯を–締めなさい	そして	
G3004	G1161	G3588	G0032	G4314	G0846	G2224	G2532	

ὑπόδησαι	τὰ	σανδάλιά	σου.	ἐποίησεν	δὲ	οὕτως.	καὶ	λέγει	
履き物を–履きなさい	その	サンダルを	あなたの	した	すると	その–通りに	そして	言った	
G5265	G3588	G4547	G4771	G4160	G1161	G3779	G2532	G3004	

αὐτῷ,	Περιβαλοῦ	τὸ	ἱμάτιόν	σου,	καὶ	ἀκολούθει	μοι.	
彼に	上着を–着なさい	その	上着を	あなたの	そして	ついて–来なさい	私に	
G0846	G4016	G3588	G2440	G4771	G2532	G0190	G1473	

御使が「帯をしめ、くつをはきなさい」と言ったので、彼はそのとおりにした。それから「上着を着て、ついてきなさい」と言われたので、

9

καὶ	ἐξελθὼν,	ἠκολούθει	καὶ	οὐκ	ᾔδει	ὅτι	ἀληθές	ἐστιν	
そして	出て	ついて–行った	しかし	~ない	知らなかった	~ことを	本当の	であると	
G2532	G1831	G0190	G2532	G3756	G1492	G3754	G0227	G1510	

τὸ	γινόμενον	διὰ	τοῦ	ἀγγέλου;	ἐδόκει	δὲ	ὅραμα	
その	起こっていること	~を–通して	その	御使いを–通して	思っていた	むしろ	幻を	
G3588	G1096	G1223	G3588	G0032	G1380	G1161	G3705	

βλέπειν.
見ていると
G0991

ペテロはついて出て行った。彼には御使のしわざが現実のこととは考えられず、ただ幻を見ているように思われた。

10 διελθόντες 通り過ぎて G1330 δὲ そして G1161 πρώτην 第一の G4413 φυλακὴν 番所と G5438 καὶ また G2532 δευτέραν, 第二の-番所を G1208 ἦλθαν 来た G2064 ἐπὶ ~の-前に G1909 τὴν その G3588 πύλην 門に G4439

τὴν その G3588 σιδηρᾶν 鉄の G4603 τὴν その G3588 φέρουσαν 通じる G5342 εἰς ~の-中へ G1519 τὴν その G3588 πόλιν, 町へ G4172 ἥτις それは G3748 αὐτομάτη ひとりでに G0844 ἠνοίγη 開いた G0455

αὐτοῖς; 彼らに G0846 καὶ そして G2532 ἐξελθόντες 出て G1831 προῆλθον 進んだ G4281 ῥύμην 通りを G4505 μίαν, 一つ G1520 καὶ すると G2532 εὐθέως すぐに G2112 ἀπέστη 離れた G0868 ὁ その G3588

ἄγγελος 御使いが G0032 ἀπ’ ~から G0575 αὐτοῦ. 彼から G0846

彼らは第一、第二の衛所を通りすぎて、町に抜ける鉄門のところに来ると、それがひとりでに開いたので、そこを出て一つの通路に進んだとたんに、御使は彼を離れ去った。

11 καὶ そして G2532 ὁ その G3588 Πέτρος ペテロは G4074 ἐν ~に-おいて G1722 ἑαυτῷ 自分-自身に G1438 γενόμενος, 戻って G1096 εἶπεν, 言った G3004 Νῦν 今 G3568 οἶδα 分かった G1492

ἀληθῶς 本当に G0230 ὅτι ~ことが G3754 ἐξαπέστειλεν 遣わされた G1821 ὁ その G3588 Κύριος, 主が G2962 τὸν その G3588 ἄγγελον 御使いを G0032 αὐτοῦ, その-方の G0846 καὶ そして G2532

ἐξείλατό 救い出してくださった G1807 με 私を G1473 ἐκ ~から G1537 χειρὸς 手から G5495 Ἡρῴδου, ヘロデの G2264 καὶ また G2532 πάσης すべての G3956 τῆς その G3588 προσδοκίας 期待から G4329

τοῦ その G3588 λαοῦ 民の G2992 τῶν その G3588 Ἰουδαίων. ユダヤ人の G2453

その時ペテロはわれにかえって言った、「今はじめて、ほんとうのことがわかった。主が御使をつかわして、ヘロデの手から、またユダヤ人たちの待ちもうけていたあらゆる災から、わたしを救い出して下さったのだ」。

12 συνιδών 悟って G4894 τε, そして G5037 ἦλθεν 来た G2064 ἐπὶ ~の-もとへ G1909 τὴν その G3588 οἰκίαν 家に G3614 τῆς その G3588 Μαρίας マリヤの G3137 τῆς その G3588 μητρὸς 母の G3384

Ἰωάννου, ヨハネの G2491 τοῦ その G3588 ἐπικαλουμένου 呼ばれている G1941 Μάρκου, マルコの G3138 οὗ そこでは G3757 ἦσαν いた G1510 ἱκανοὶ 大勢の-人が G2425 συνηθροισμένοι 集まって G4867

καὶ そして G2532 προσευχόμενοι. 祈っていた G4336

ペテロはこうとわかってから、マルコと呼ばれているヨハネの母マリヤの家に行った。その家には大ぜいの人が集まって祈っていた。

13 κρούσαντος 叩いた-時 G2925 δὲ すると G1161 αὐτοῦ 彼が G0846 τὴν その G3588 θύραν 戸を G2374 τοῦ その G3588 πυλῶνος, 門の G4440 προσῆλθεν 近づいた G4334 παιδίσκη 女中が G3814

ὑπακοῦσαι, 応答するために G5219 ὀνόματι 名を G3686 Ῥόδη. ロデという G4498

彼が門の戸をたたいたところ、ロダという女中が取次ぎに出てきたが、

14 καὶ そして G2532 | ἐπιγνοῦσα 気づいて G1921 | τὴν その G3588 | φωνὴν 声が G5456 | τοῦ その G3588 | Πέτρου, ペテロの G4074 | ἀπὸ ~のあまり G0575 | τῆς その G3588 | χαρᾶς 喜びの-あまり G5479

οὐκ ~しなかった G3756 | ἤνοιξεν 開けなかった G0455 | τὸν その G3588 | πυλῶνα, 門を G4440 | εἰσδραμοῦσα; 走って-入って G1532 | δὲ しかし G1161 | ἀπήγγειλεν 告げた G0518 | ἑστάναι 立っていると G2476

τὸν その G3588 | Πέτρον ペテロが G4074 | πρὸ ~の-前に G4253 | τοῦ その G3588 | πυλῶνος. 門の-前に G4440

ペテロの声だとわかると、喜びのあまり、門をあけもしないで家に駆け込み、ペテロが門口に立っていると報告した。

15 οἱ その G3588 | δὲ すると G1161 | πρὸς ~に-向かって G4314 | αὐτὴν 彼女に G0846 | εἶπαν, 言った G3004 | Μαίνῃ. あなたは-気が-おかしい G3105 | ἡ 彼女は G3588 | δὲ しかし G1161

διϊσχυρίζετο 主張し続けた G1340 | οὕτως その-通り G3779 | ἔχειν. であると G2192 | οἱ 彼らは G3588 | δὲ すると G1161 | ἔλεγον, 言った G3004 | Ὁ それは G3588 | ἄγγελός 御使い G0032 | ἐστιν であると G1510 | αὐτοῦ. 彼の G0846

人々は「あなたは気が狂っている」と言ったが、彼女は自分の言うことに間違いはないと、言い張った。そこで彼らは「それでは、ペテロの御使だろう」と言った。

16 ὁ その G3588 | δὲ しかし G1161 | Πέτρος ペテロは G4074 | ἐπέμενεν なおも-叩き続けた G1961 | κρούων; 叩き続けた G2925 | ἀνοίξαντες 開けてみると G0455 | δὲ そして G1161 | εἶδαν 見た G3708 | αὐτὸν, 彼を G0846

καὶ そして G2532 | ἐξέστησαν. 驚いた G1839

しかし、ペテロが門をたたきつづけるので、彼らがあけると、そこにペテロがいたのを見て驚いた。

17 κατασείσας 手を-振って G2678 | δὲ そして G1161 | αὐτοῖς 彼らに G0846 | τῇ その G3588 | χειρὶ 手で G5495 | σιγᾶν, 静まるように G4601 | διηγήσατο 語った G1334 | αὐτοῖς 彼らに G0846 | πῶς どのように G4459

ὁ その G3588 | Κύριος 主が G2962 | αὐτὸν 彼を G0846 | ἐξήγαγεν 導き出した G1806 | ἐκ ~から G1537 | τῆς その G3588 | φυλακῆς. 牢から G5438 | εἶπέν 言った G3004 | τε, そして G5037 | Ἀπαγγείλατε 知らせなさい G0518

Ἰακώβῳ ヤコブと G2385 | καὶ また G2532 | τοῖς その G3588 | ἀδελφοῖς 兄弟たちに G0080 | ταῦτα. これらのことを G3778 | καὶ そして G2532 | ἐξελθὼν, 出て行って G1831 | ἐπορεύθη 行った G4198 | εἰς ~へ G1519 | ἕτερον 別の G2087

τόπον. 場所へ G5117

ペテロは手を振って彼らを静め、主が獄から彼を連れ出して下さった次第を説明し、「このことを、ヤコブやほかの兄弟たちに伝えて下さい」と言い残して、どこかほかの所へ出て行った。

18 Γενομένης δὲ ἡμέρας, ἦν τάραχος οὐκ ὀλίγος ἐν τοῖς
なった–時 すると 夜が明けると あった 騒ぎが 少なからぬ 少なくない ~の–中で その
G1096 G1161 G2250 G1510 G5017 G3756 G3641 G1722 G3588

στρατιώταις, τί ἄρα ὁ Πέτρος ἐγένετο.
兵士たちの–中で いったい ~なのか その ペテロは どうなったのか
G4757 G5101 G0686 G3588 G4074 G1096

夜が明けると、兵卒たちの間に、ペテロはいったいどうなったのだろうと、大へんな騒ぎが起った。

19 Ἡρῴδης δὲ ἐπιζητήσας αὐτὸν, καὶ μὴ εὑρὼν, ἀνακρίνας τοὺς
ヘロデは そして 捜したが 彼を しかし ~しなかった 見つけられず 取り調べて その
G2264 G1161 G1934 G0846 G2532 G3361 G2147 G0350 G3588

φύλακας, ἐκέλευσεν ἀπαχθῆναι. καὶ κατελθὼν ἀπὸ τῆς Ἰουδαίας εἰς
番兵たちを 命じた 連れ去るように そして 下って行った ~から その ユダヤから ~へ
G5441 G2753 G0520 G2532 G2718 G0575 G3588 G2449 G1519

Καισάρειαν, διέτριβεν.
カイサリアへ 滞在していた
G2542 G1304

ヘロデはペテロを捜しても見つからないので、番兵たちを取り調べたうえ、彼らを死刑に処するように命じ、そして、ユダヤからカイザリヤにくだって行って、そこに滞在した。

20 Ἦν δὲ θυμομαχῶν Τυρίοις καὶ Σιδωνίοις; ὁμοθυμαδὸν δὲ
いた さて 怒っていた ツロの–人々と また シドンの–人々に 心を–一つにして すると
G1510 G1161 G2371 G5183 G2532 G4606 G3661 G1161

παρῆσαν πρὸς αὐτόν, καὶ πείσαντες Βλάστον -- τὸν ἐπὶ τοῦ
来ていた ~の–もとに 彼の–もとに そして 説得して ブラストを その ~の–上の その
G3918 G4314 G0846 G2532 G3982 G0986 G3588 G1909 G3588

κοιτῶνος τοῦ βασιλέως -- ᾐτοῦντο εἰρήνην, διὰ τὸ τρέφεσθαι αὐτῶν
寝室の–係の その 王の 求めた 和平を ~の–ゆえに その 養われていた 彼らの
G2846 G3588 G0935 G0154 G1515 G1223 G3588 G5142 G0846

τὴν χώραν ἀπὸ τῆς βασιλικῆς.
その 地方が ~から その 王の–領土から
G3588 G5561 G0575 G3588 G0937

さて、ツロとシドンとの人々は、ヘロデの怒りに触ていたので、一同うちそろって王をおとずれ、王の侍従官ブラストに取りいって、和解かたを依頼した。彼らの地方が、王の国から食糧を得ていたからである。

21 τακτῇ δὲ ἡμέρᾳ, ὁ Ἡρῴδης, ἐνδυσάμενος ἐσθῆτα βασιλικὴν, ‹καὶ›
定められた そして 日に その ヘロデは 身に–まとって 衣を 王の そして
G5002 G1161 G2250 G3588 G2264 G1746 G2066 G0937 G2532

καθίσας ἐπὶ τοῦ βήματος, ἐδημηγόρει πρὸς αὐτούς.
座って ~の–上に その 裁判–席に 演説した ~に–向かって 彼らに
G2523 G1909 G3588 G0968 G1215 G4314 G0846

定められた日に、ヘロデは王服をまとって王座にすわり、彼らにむかって演説をした。

22 ὁ δὲ δῆμος ἐπεφώνει, Θεοῦ φωνὴ, καὶ οὐκ ἀνθρώπου!
その すると 民衆が 叫んだ 神の 声だ であって ~ではない 人の–声ではない
G3588 G1161 G1218 G2019 G2316 G5456 G2532 G3756 G0444

集まった人々は、「これは神の声だ、人間の声ではない」と叫びつづけた。

23 παραχρῆμα すぐに G3916 δὲ すると G1161 ἐπάταξεν 打った G3960 αὐτὸν 彼を G0846 ἄγγελος 御使いが G0032 Κυρίου, 主の G2962 ἀνθ’ ~の-代わりに G0473 ὧν ~の-ゆえに G3739

οὐκ ~しなかった G3756 ἔδωκεν 帰さなかった G1325 τὴν その G3588 δόξαν 栄光を G1391 τῷ その G3588 Θεῷ, 神に G2316 καὶ そして G2532 γενόμενος なって G1096 σκωληκόβρωτος, 虫に-食われて G4662

ἐξέψυξεν. 息絶えた G1634

するとたちまち、主の使が彼を打った。神に栄光を帰することをしなかったからである。彼は虫にかまれて息が絶えてしまった。

24 Ὁ その G3588 δὲ しかし G1161 λόγος 言葉は G3056 τοῦ その G3588 θεοῦ 神の G2316 ηὔξανεν 成長し G0837 καὶ そして G2532 ἐπληθύνετο. 増え-広がった G4129

こうして、主の言はますます盛んにひろまって行った。

25 Βαρνάβας バルナバと G0921 δὲ そして G1161 καὶ また G2532 Σαῦλος サウロは G4569 ὑπέστρεψαν 帰った G5290 εἰς ~から G1519 Ἰερουσαλὴμ, エルサレムから G2419 πληρώσαντες 果たして G4137 τὴν その G3588

διακονίαν, 務めを G1248 συμπαραλαβόντες 連れて G4838 Ἰωάννην, ヨハネを G2491 τὸν その G3588 ἐπικληθέντα 呼ばれている G1941 Μάρκον. マルコと G3138

バルナバとサウロとは、その任務を果したのち、マルコと呼ばれていたヨハネを連れて、エルサレムから帰ってきた。

Chapter 13

1 Ἦσαν いた G1510 δὲ さて G1161 ἐν ~の-中に G1722 Ἀντιοχείᾳ, アンテオケには G0490 κατὰ ~に-おける G2596 τὴν その G3588 οὖσαν ある G1510 ἐκκλησίαν, 教会に G1577 προφῆται 預言者たちと G4396

καὶ また G2532 διδάσκαλοι, 教師たちが G1320 ὅ すなわち G3588 τε そして G5037 Βαρνάβας バルナバと G0921 καὶ また G2532 Συμεὼν, シメオンと G4826 ὁ その G3588 καλούμενος 呼ばれている G2564

Νίγερ, ニゲルと G3526 καὶ また G2532 Λούκιος ルキオと G3066 ὁ その G3588 Κυρηναῖος, クレネ人の G2956 Μαναήν マナエンと G3127 τε そして G5037 Ἡρῴδου ヘロデの G2264 τοῦ その G3588 τετραάρχου 領主の G5076

σύντροφος, 乳兄弟の G4939 καὶ また G2532 Σαῦλος. サウロが G4569

さて、アンテオケにある教会には、バルナバ、ニゲルと呼ばれるシメオン、クレネ人ルキオ、領主ヘロデの乳兄弟マナエン、およびサウロなどの預言者や教師がいた。

2 Λειτουργούντων δὲ αὐτῶν τῷ Κυρίῳ καὶ νηστευόντων, εἶπεν τὸ
仕えていた-時 すると 彼らが その 主に また 断食していた-時 言った その
G3008 G1161 G0846 G3588 G2962 G2532 G3522 G3004 G3588

Πνεῦμα τὸ Ἅγιον, Ἀφορίσατε δή μοι τὸν Βαρνάβαν καὶ Σαῦλον,
御霊が その 聖なる 聖別しなさい さあ わたしのために その バルナバと また サウロを
G4151 G3588 G0040 G0873 G1211 G1473 G3588 G0921 G2532 G4569

εἰς τὸ ἔργον ὃ προσκέκλημαι αὐτούς.
~のために その 働きのために その わたしが-召した 彼らを
G1519 G3588 G2041 G3739 G4341 G0846

一同が主に礼拝をささげ、断食をしていると、聖霊が「さあ、バルナバとサウロとを、わたしのために聖別して、彼らに授けておいた仕事に当らせなさい」と告げた。

3 τότε νηστεύσαντες, καὶ προσευξάμενοι, καὶ ἐπιθέντες τὰς χεῖρας αὐτοῖς,
その時 断食して また 祈って そして 手を-置いて その 手を 彼らに
G5119 G3522 G2532 G4336 G2532 G2007 G3588 G5495 G0846

ἀπέλυσαν.
送り出した
G0630

そこで一同は、断食と祈とをして、手をふたりの上においた後、出発させた。

4 Αὐτοὶ μὲν οὖν ἐκπεμφθέντες ὑπὸ τοῦ Ἁγίου Πνεύματος,
彼ら自身は 一方 こうして 送り出されて ~によって その 聖なる 御霊によって
G0846 G3303 G3767 G1599 G5259 G3588 G0040 G4151

κατῆλθον εἰς Σελεύκειαν. ἐκεῖθέν τε ἀπέπλευσαν εἰς Κύπρον.
下って-行った ~へ セルキヤへ そこから そして 船出した ~へ キプロスへ
G2718 G1519 G4581 G1564 G5037 G0636 G1519 G2954

ふたりは聖霊に送り出されて、セルキヤにくだり、そこから舟でクプロに渡った。

5 καὶ γενόμενοι ἐν Σαλαμῖνι, κατήγγελλον τὸν λόγον τοῦ Θεοῦ ἐν
そして 着いて ~の-中で サラミスで 宣べ伝えた その 言葉を その 神の ~の-中で
G2532 G1096 G1722 G4529 G2605 G3588 G3056 G3588 G2316 G1722

ταῖς συναγωγαῖς τῶν Ἰουδαίων. εἶχον δὲ καὶ Ἰωάννην ὑπηρέτην.
その 会堂で その ユダヤ人の 持っていた また さらに ヨハネを 助手として
G3588 G4864 G3588 G2453 G2192 G1161 G2532 G2491 G5257

そしてサラミスに着くと、ユダヤ人の諸会堂で神の言を宣べはじめた。彼らはヨハネを助け手として連れていた。

6 διελθόντες δὲ ὅλην τὴν νῆσον, ἄχρι Πάφου, εὗρον ἄνδρα-- τινὰ
通り過ぎて そして 全 その 島を ~まで パポスまで 見つけた ある-男を ある
G1330 G1161 G3650 G3588 G3520 G0891 G3974 G2147 G0435 G5100

μάγον, ψευδοπροφήτην, Ἰουδαῖον-- ᾧ ὄνομα Βαριησοῦ,
魔術師で 偽預言者の ユダヤ人を その 名は バルイエスという
G3097 G5578 G2453 G3739 G3686 G0919

島全体を巡回して、パポスまで行ったところ、そこでユダヤ人の魔術師、バルイエスというにせ預言者に出会った。

7 ὃς ἦν σὺν τῷ ἀνθυπάτῳ Σεργίῳ Παύλῳ, ἀνδρὶ συνετῷ. οὗτος
彼は いた ~と–共に その 総督 セルギオ パウロと 賢い 人物の この–人は
G3739 G1510 G4862 G3588 G0446 G4588 G3972 G0435 G4908 G3778

προσκαλεσάμενος Βαρνάβαν καὶ Σαῦλον, ἐπεζήτησεν ἀκοῦσαι τὸν λόγον τοῦ
呼び寄せて バルナバと また サウロを 求めた 聞くことを その 言葉を その
G4341 G0921 G2532 G4569 G1934 G0191 G3588 G3056 G3588

Θεοῦ.
神の
G2316

彼は地方総督セルギオ・パウロのところに出入りをしていた。この総督は賢明な人であって、バルナバとサウロとを招いて、神の言を聞こうとした。

8 ἀνθίστατο δὲ αὐτοῖς Ἐλύμας ὁ μάγος -- οὕτως γὰρ
対抗した しかし 彼らに エルマスが その 魔術師が そのように なぜなら
G0436 G1161 G0846 G1681 G3588 G3097 G3779 G1063

μεθερμηνεύεται τὸ ὄνομα αὐτοῦ -- ζητῶν διαστρέψαι τὸν ἀνθύπατον ἀπὸ
訳される その 名は 彼の 求めて そらそうとして その 総督を ~から
G3177 G3588 G3686 G0846 G2212 G1294 G3588 G0446 G0575

τῆς πίστεως.
その 信仰から
G3588 G4102

ところが魔術師エルマ（彼の名は「魔術師」との意）は、総督を信仰からそらそうとして、しきりにふたりの邪魔をした。

9 Σαῦλος δέ, ὁ καὶ Παῦλος, πλησθεὶς Πνεύματος Ἁγίου, ἀτενίσας
サウロは すなわち その また パウロは 満たされて 御霊に 聖なる じっと–見つめて
G4569 G1161 G3588 G2532 G3972 G4130 G4151 G0040 G0816

εἰς αὐτὸν,
~を 彼を
G1519 G0846

サウロ、またの名はパウロ、は聖霊に満たされ、彼をにらみつけて

10 εἶπεν, Ὦ πλήρης παντὸς δόλου καὶ πάσης ῥᾳδιουργίας, υἱὲ διαβόλου,
言った ああ 満ちた–者よ あらゆる 欺きと また あらゆる 悪巧みに 子よ 悪魔の
G3004 G5599 G4134 G3956 G1388 G2532 G3956 G4468 G5207 G1228

ἐχθρὲ πάσης δικαιοσύνης, οὐ παύσῃ διαστρέφων τὰς ὁδοὺς τοῦ
敵よ すべての 義の ~しないのか やめないのか 曲げることを その 道を その
G2190 G3956 G1343 G3756 G3973 G1294 G3588 G3598 G3588

Κυρίου τὰς εὐθείας?
主の その まっすぐな
G2962 G3588 G2117

言った、「ああ、あらゆる偽りと邪悪とでかたまっている悪魔の子よ、すべて正しいものの敵よ。主のまっすぐな道を曲げることを止めないのか。

11 καὶ νῦν ἰδοὺ, χεὶρ Κυρίου ἐπὶ σέ, καὶ ἔσῃ
そして 今 見よ 手が 主の ~の-上に あなたの-上に そして なるであろう
G2532 G3568 G3708 G5495 G2962 G1909 G4771 G2532 G1510

τυφλὸς, μὴ βλέπων τὸν ἥλιον ἄχρι καιροῦ. παραχρῆμα
目の-見えない者に ~しない 見ることが-できず その 太陽を ~まで しばらくの-間 たちまち
G5185 G3361 G0991 G3588 G2246 G0891 G2540 G3916

δὲ ἔπεσεν ἐπ’ αὐτὸν ἀχλὺς καὶ σκότος, καὶ περιάγων
すると 降りかかった ~の-上に 彼の-上に 霧と また 暗やみが そして さまよい-歩いて
G1161 G4098 G1909 G0846 G0887 G2532 G4655 G2532 G4013

ἐζήτει χειραγωγούς.
求めた 手を-引く人を
G2212 G5497

見よ、主のみ手がおまえの上に及んでいる。おまえは盲になって、当分、日の光が見えなくなるのだ」。たちまち、かすみとやみとが彼にかかったため、彼は手さぐりしながら、手を引いてくれる人を捜しまわった。

12 τότε ἰδὼν ὁ ἀνθύπατος τὸ γεγονὸς, ἐπίστευσεν, ἐκπλησσόμενος
その時 見て その 総督は その 起こったことを 信じた 驚いて
G5119 G3708 G3588 G0446 G3588 G1096 G4100 G1605

ἐπὶ τῇ διδαχῇ τοῦ Κυρίου.
~に-ついて その 教えに その 主の
G1909 G3588 G1322 G3588 G2962

総督はこの出来事を見て、主の教にすっかり驚き、そして信じた。

13 Ἀναχθέντες δὲ ἀπὸ τῆς Πάφου οἱ περὶ, Παῦλον ἦλθον εἰς
出航して さて ~から その パポスから その ~の-一行は パウロの 来た ~へ
G0321 G1161 G0575 G3588 G3974 G3588 G4012 G3972 G2064 G1519

Πέργην τῆς Παμφυλίας. Ἰωάννης δὲ ἀποχωρήσας ἀπ’ αὐτῶν, ὑπέστρεψεν
ペルガに その パンフリヤの ヨハネは しかし 離れて ~から 彼らから 帰った
G4011 G3588 G3828 G2491 G1161 G0672 G0575 G0846 G5290

εἰς Ἱεροσόλυμα.
~へ エルサレムへ
G1519 G2414

パウロとその一行は、パポスから船出して、パンフリヤのペルガに渡った。ここでヨハネは一行から身を引いて、エルサレムに帰ってしまった。

14 Αὐτοὶ δὲ, διελθόντες ἀπὸ τῆς Πέργης, παρεγένοντο εἰς Ἀντιόχειαν
彼ら-自身は そして 通り過ぎて ~から その ペルガから 到着した ~へ アンテオケへ
G0846 G1161 G1330 G0575 G3588 G4011 G3854 G1519 G0490

τὴν Πισιδίαν, καὶ εἰσελθόντες εἰς τὴν συναγωγὴν τῇ ἡμέρᾳ τῶν
その ピシデヤの そして 入って ~の-中に その 会堂に その 日に その
G3588 G4099 G2532 G1525 G1519 G3588 G4864 G3588 G2250 G3588

σαββάτων, ἐκάθισαν.
安息日の 座った
G4521 G2523

しかしふたりは、ペルガからさらに進んで、ピシデヤのアンテオケに行き、安息日に会堂にはいって席に着いた。

15 μετὰ ~の-後 G3326 δὲ すると G1161 τὴν その G3588 ἀνάγνωσιν 朗読の-後 G0320 τοῦ その G3588 νόμου 律法と G3551 καὶ また G2532 τῶν その G3588 προφητῶν, 預言者たちの G4396 ἀπέστειλαν 遣わした G0649

οἱ その G3588 ἀρχισυνάγωγοι 会堂の-司たちが G0752 πρὸς ~に-向かって G4314 αὐτοὺς, 彼らに G0846 λέγοντες, 言って G3004 Ἄνδρες, 人々よ G0435 ἀδελφοί, 兄弟たちよ G0080 εἴ もし G1487 τίς 何か G5100

ἐστιν ある-ならば G1510 ἐν ~の-中に G1722 ὑμῖν あなたがたの-中に G4771 λόγος 言葉が G3056 παρακλήσεως 勧めの G3874 πρὸς ~に-対して G4314 τὸν その G3588 λαόν, 民に-対して G2992

λέγετε.
語りなさい
G3004

律法と預言書の朗読があったのち、会堂司たちが彼らのところに人をつかわして、「兄弟たちよ、もしあなたがたのうち、どなたか、この人々に何か奨励の言葉がありましたら、どうぞお話し下さい」と言わせた。

16 ἀναστὰς 立ち上がって G0450 δὲ そして G1161 Παῦλος, パウロは G3972 καὶ そして G2532 κατασείσας 手を-振って G2678 τῇ その G3588 χειρὶ, 手で G5495 εἶπεν, 言った G3004 Ἄνδρες, 人々よ G0435

Ἰσραηλῖται, イスラエルの-人たちよ G2475 καὶ また G2532 οἱ その G3588 φοβούμενοι 神を-畏れる G5399 τὸν その G3588 Θεόν, 神を G2316 ἀκούσατε. 聞きなさい G0191

そこでパウロが立ちあがり、手を振りながら言った。「イスラエルの人たち、ならびに神を敬うかたがたよ、お聞き下さい。

17 ὁ その G3588 Θεὸς 神は G2316 τοῦ この G3588 λαοῦ 民の G2992 τούτου この G3778 Ἰσραὴλ イスラエルの G2474 ἐξελέξατο 選んだ G1586 τοὺς その G3588 πατέρας 父祖たちを G3962 ἡμῶν, 私たちの G1473

καὶ そして G2532 τὸν その G3588 λαὸν 民を G2992 ὕψωσεν 高めた G5312 ἐν ~の-中で G1722 τῇ その G3588 παροικίᾳ 寄留の-中で G3940 ἐν ~の-中の G1722 γῇ 地 G1093 Αἰγύπτου, エジプトの G0125 καὶ そして G2532

μετὰ ~と-共に G3326 βραχίονος 腕で G1023 ὑψηλοῦ, 高い G5308 ἐξήγαγεν 導き出した G1806 αὐτοὺς 彼らを G0846 ἐξ ~から G1537 αὐτῆς, そこから G0846

この民イスラエルの神は、わたしたちの先祖を選び、エジプトの地に滞在中、この民を大いなるものとし、み腕を高くさし上げて、彼らをその地から導き出された。

18 καί そして G2532 ὡς およそ G5613 τεσσερακονταετῆ 四十年の G5063 χρόνον 期間 G5550 ἐτροποφόρησεν 耐え忍んだ G5159 αὐτοὺς 彼らを G0846 ἐν ~の-中で G1722 τῇ その G3588

ἐρήμῳ,
荒野で
G2048

そして約四十年にわたって、荒野で彼らをはぐくみ、

19 καὶ そして G2532 καθελὼν 滅ぼして G2507 ἔθνη 民族を G1484 ἑπτὰ 七つの G2033 ἐν ~の-中の G1722 γῇ 地 G1093 Χανάαν, カナンの G5477 κατεκληρονόμησεν 相続させた G2624 τὴν その G3588 γῆν 地を G1093

αὐτῶν--
彼らの
G0846

カナンの地では七つの異民族を打ち滅ぼし、その地を彼らに譲り与えられた。

20 ὡς ἔτεσιν τετρακοσίοις καὶ πεντήκοντα. καὶ μετὰ ταῦτα, ἔδωκεν
およそ 年 四百 そして 五十年の-間に そして ~の-後に これらの-後に 与えた
G5613 G2094 G5071 G2532 G4004 G2532 G3326 G3778 G1325

κριτὰς ἕως Σαμουὴλ ‹τοῦ› προφήτου.
士師たちを ~まで サムエル その 預言者の-時まで
G2923 G2193 G4545 G3588 G4396

それらのことが約四百五十年の年月にわたった。その後、神はさばき人たちをおつかわしになり、預言者サムエルの時に及んだ。

21 κἀκεῖθεν ᾐτήσαντο βασιλέα, καὶ ἔδωκεν αὐτοῖς ὁ Θεὸς, τὸν Σαοὺλ
それから 求めた 王を すると 与えた 彼らに その 神は その サウルを
G2547 G0154 G0935 G2532 G1325 G0846 G3588 G2316 G3588 G4549

υἱὸν Κίς, ἄνδρα ἐκ φυλῆς Βενιαμίν, ἔτη τεσσεράκοντα.
息子 キスの 人で ~の 部族の ベニヤミンの 年 四十年の-間
G5207 G2797 G0435 G1537 G5443 G0958 G2094 G5062

その時、人々が王を要求したので、神はベニヤミン族の人、キスの子サウロを四十年間、彼らにおつかわしになった。

22 καὶ μεταστήσας αὐτὸν, ἤγειρεν τὸν Δαυὶδ αὐτοῖς εἰς βασιλέα,
そして 退けて 彼を 立てた その ダビデを 彼らのために ~として 王として
G2532 G3179 G0846 G1453 G3588 G1138 G0846 G1519 G0935

ᾧ καὶ εἶπεν μαρτυρήσας, Εὗρον Δαυὶδ τὸν τοῦ Ἰεσσαί,
その-人に また 言った 証しして 見いだした ダビデを その その エッサイの-子
G3739 G2532 G3004 G3140 G2147 G1138 G3588 G3588 G2421

ἄνδρα κατὰ τὴν καρδίαν μου, ὃς ποιήσει πάντα τὰ
人を ~に-かなう その 心に わたしの その-者は 行うであろう すべての その
G0435 G2596 G3588 G2588 G1473 G3739 G4160 G3956 G3588

θελήματά μου.
御心を わたしの
G2307 G1473

それから神はサウロを退け、ダビデを立てて王とされたが、彼についてあかしをして、『わたしはエッサイの子ダビデを見つけた。彼はわたしの心にかなった人で、わたしの思うところを、ことごとく実行してくれるであろう』と言われた。

23 τούτου ὁ Θεὸς, ἀπὸ τοῦ σπέρματος, κατ’ ἐπαγγελίαν, ἤγαγεν
この-者の その 神は ~から その 子孫から ~に-従って 約束に-従って もたらした
G3778 G3588 G2316 G0575 G3588 G4690 G2596 G1860 G0071

τῷ Ἰσραὴλ Σωτῆρα Ἰησοῦν,
その イスラエルに 救い主 イエスを
G3588 G2474 G4990 G2424

神は約束にしたがって、このダビデの子孫の中から救主イエスをイスラエルに送られたが、

24 προκηρύξαντος Ἰωάννου, πρὸ προσώπου, τῆς εἰσόδου αὐτοῦ, βάπτισμα
宣べ伝えた ヨハネが ~の-前に 来臨の-前に その 到来の その-方の バプテスマを
G4296 G2491 G4253 G4383 G3588 G1529 G0846 G0908

μετανοίας, παντὶ τῷ λαῷ Ἰσραήλ.
悔い改めの すべての その 民に イスラエルの
G3341 G3956 G3588 G2992 G2474

そのこられる前に、ヨハネがイスラエルのすべての民に悔改めのバプテスマを、あらかじめ宣べ伝えていた。

25 ὡς δὲ ἐπλήρου Ἰωάννης τὸν δρόμον, ἔλεγεν, Τί ἐμὲ
~した–時 すると 成し遂げようとしていた ヨハネは その 生涯を 言った 何者だと 私を
G5613 G1161 G4137 G2491 G3588 G1408 G3004 G5101 G1473

ὑπονοεῖτε εἶναι? οὐκ εἰμὶ ἐγώ, ἀλλ’ ἰδοὺ, ἔρχεται μετ’ ἐμὲ,
思っているのか あると ~ではない ではない 私は しかし 見よ 来る ~の–後に 私の–後に
G5282 G1510 G3756 G1510 G1473 G0235 G3708 G2064 G3326 G1473

οὗ οὐκ εἰμὶ ἄξιος τὸ ὑπόδημα τῶν ποδῶν λῦσαι.
その–方の ~でない ない ふさわしく その 履物を その 足の 解く–ことさえ
G3739 G3756 G1510 G0514 G3588 G5266 G3588 G4228 G3089

ヨハネはその一生の行程を終ろうとするに当って言った、『わたしは、あなたがたが考えているような者ではない。しかし、わたしのあとから来るかたがいる。わたしはそのくつを脱がせてあげる値うちもない』。

26 Ἄνδρες, ἀδελφοί, υἱοὶ γένους Ἀβραὰμ, καὶ οἱ ἐν ὑμῖν
人々よ 兄弟たちよ 子たちよ 子孫の アブラハムの また その ~の–中で あなたがたの–中で
G0435 G0080 G5207 G1085 G0011 G2532 G3588 G1722 G4771

φοβούμενοι τὸν Θεόν, ἡμῖν ὁ λόγος τῆς σωτηρίας ταύτης ἐξαπεστάλη.
神を–畏れる その 神を 私たちに この 言葉は この 救いの この 送られた
G5399 G3588 G2316 G1473 G3588 G3056 G3588 G4991 G3778 G1821

兄弟たち、アブラハムの子孫のかたがた、ならびに皆さんの中の神を敬う人たちよ。この救の言葉はわたしたちに送られたのである。

27 οἱ γὰρ κατοικοῦντες ἐν Ἰερουσαλὴμ καὶ οἱ ἄρχοντες αὐτῶν,
なぜなら まことに 住んでいる ~の–中に エルサレムに また その 指導者たちは 彼らの
G3588 G1063 G2730 G1722 G2419 G2532 G3588 G0758 G0846

τοῦτον ἀγνοήσαντες, καὶ τὰς φωνὰς τῶν προφητῶν, τὰς κατὰ πᾶν
この–方を 知らずに また その 声を その 預言者たちの その ~ごとに 毎
G3778 G0050 G2532 G3588 G5456 G3588 G4396 G3588 G2596 G3956

σάββατον ἀναγινωσκομένας, κρίναντες ἐπλήρωσαν.
安息日に 読まれている 裁いて 成就させた
G4521 G0314 G2919 G4137

エルサレムに住む人々やその指導者たちは、イエスを認めずに刑に処し、それによって、安息日ごとに読む預言者の言葉が成就した。

28 καὶ μηδεμίαν αἰτίαν θανάτου εὑρόντες, ἠτήσαντο Πιλᾶτον ἀναιρεθῆναι
そして 何の 理由も 死の 見いだせなかったが 求めた ピラトに 殺すことを
G2532 G3367 G0156 G2288 G2147 G0154 G4091 G0337

αὐτόν.
彼を
G0846

また、なんら死に当る理由が見いだせなかったのに、ピラトに強要してイエスを殺してしまった。

29 ὡς δὲ ἐτέλεσαν πάντα τὰ περὶ αὐτοῦ γεγραμμένα,
~した–時 そして 成し遂げた すべての その ~について 彼について 書かれていることを
G5613 G1161 G5055 G3956 G3588 G4012 G0846 G1125

καθελόντες ἀπὸ τοῦ ξύλου, ἔθηκαν εἰς μνημεῖον.
降ろして ~から その 木から 納めた ~の–中に 墓に
G2507 G0575 G3588 G3586 G5087 G1519 G3419

そして、イエスについて書いてあることを、皆なし遂げてから、人々はイエスを木から取りおろして墓に葬った。

30

ὁ	δὲ	Θεὸς	ἤγειρεν	αὐτὸν	ἐκ	νεκρῶν,
しかし	その	神は	よみがえらせた	彼を	~から	死者の-中から
G3588	G1161	G2316	G1453	G0846	G1537	G3498

しかし、神はイエスを死人の中から、よみがえらせたのである。

31

ὃς	ὤφθη	ἐπὶ	ἡμέρας	πλείους	τοῖς	συναναβᾶσιν	αὐτῷ	ἀπὸ	τῆς
その-方は	現れた	~の-間	日々	多くの	その	共に-上って来た	彼と	~から	その
G3739	G3708	G1909	G2250	G4119	G3588	G4872	G0846	G0575	G3588

Γαλιλαίας	εἰς	Ἰερουσαλήμ,	οἵτινες	νῦν	εἰσιν	μάρτυρες	αὐτοῦ	πρὸς
ガリラヤから	~へ	エルサレムへ	その-者たちは	今	である	証人で	彼の	~に-対する
G1056	G1519	G2419	G3748	G3568	G1510	G3144	G0846	G4314

τὸν	λαόν.
その	民に-対する
G3588	G2992

イエスは、ガリラヤからエルサレムへ一緒に上った人たちに、幾日ものあいだ現れ、そして、彼らは今や、人々に対してイエスの証人となっている。

32

καὶ	ἡμεῖς	ὑμᾶς	εὐαγγελιζόμεθα,	τὴν	πρὸς	τοὺς	πατέρας
そして	私たちは	あなたがたに	福音を-告げ知らせる	その	~に-対して	その	父祖たちに-対して
G2532	G1473	G4771	G2097	G3588	G4314	G3588	G3962

ἐπαγγελίαν	γενομένην,
約束を	なされた
G1860	G1096

わたしたちは、神が先祖たちに対してなされた約束を、ここに宣べ伝えているのである。

33

ὅτι	ταύτην	ὁ	Θεὸς	ἐκπεπλήρωκεν,	τοῖς	τέκνοις	[αὐτῶν]
~ということを	この-約束を	その	神が	成就された	その	子どもたちに	彼らの
G3754	G3778	G3588	G2316	G1603	G3588	G5043	G0846

ἡμῶν,	ἀναστήσας	Ἰησοῦν;	ὡς	καὶ	ἐν	τῷ	ψαλμῷ	γέγραπται
私たちに	よみがえらせて	イエスを	~のように	また	~の-中に	その	詩篇に	書かれている
G1473	G0450	G2424	G5613	G2532	G1722	G3588	G5568	G1125

τῷ	δευτέρῳ,	Υἱός	μου	εἶ	σύ,	ἐγὼ	σήμερον	γεγέννηκά	σε.
その	第二の	子で	わたしの	ある	あなたは	わたしは	今日	生んだ	あなたを
G3588	G1208	G5207	G1473	G1510	G4771	G1473	G4594	G1080	G4771

神は、イエスをよみがえらせて、わたしたち子孫にこの約束を、お果しになった。それは詩篇の第二篇にも、『あなたこそは、わたしの子。きょう、わたしはあなたを生んだ』と書いてあるとおりである。

34

ὅτι	δὲ	ἀνέστησεν	αὐτὸν	ἐκ	νεκρῶν,	μηκέτι	μέλλοντα
~ということを	すなわち	よみがえらせた	彼を	~から	死者の-中から	もはや	~しない
G3754	G1161	G0450	G0846	G1537	G3498	G3371	G3195

ὑποστρέφειν	εἰς	διαφθοράν,	οὕτως	εἴρηκεν:	ὅτι	Δώσω	ὑμῖν
帰ることなく	~へ	朽ちることに	このように	言われた	~ということを	与えよう	あなたがたに
G5290	G1519	G1312	G3779	G2046	G3754	G1325	G4771

τὰ	ὅσια	Δαυὶδ,	τὰ	πιστά.
その	聖なる	ダビデの	その	確かな-ものを
G3588	G3741	G1138	G3588	G4103

また、神がイエスを死人の中からよみがえらせて、いつまでも朽ち果てることのないものとされたことについては、『わたしは、ダビデに約束した確かな聖なる祝福を、あなたがたに授けよう』と言われた。

35

διότι	καὶ	ἐν	ἑτέρῳ	λέγει,	Οὐ	δώσεις	τὸν
それゆえ	また	~の-中で	別の-箇所で	言っている	~しない	与えないであろう	その
G1360	G2532	G1722	G2087	G3004	G3756	G1325	G3588

Ὅσιόν	σου	ἰδεῖν	διαφθοράν.
聖なる-者に	あなたの	見ることを	朽ちることを
G3741	G4771	G3708	G1312

だから、ほかの箇所でもこう言っておられる、『あなたの聖者が朽ち果てるようなことは、お許しにならないであろう』。

36

Δαυὶδ	μὲν,	γὰρ	ἰδίᾳ	γενεᾷ	ὑπηρετήσας	τῇ	τοῦ	Θεοῦ	βουλῇ,
ダビデは	まことに	なぜなら	自分の	時代に	仕えて	その	その	神の	御旨に
G1138	G3303	G1063	G2398	G1074	G5256	G3588	G3588	G2316	G1012

ἐκοιμήθη,	καὶ	προσετέθη	πρὸς	τοὺς	πατέρας	αὐτοῦ,	καὶ	εἶδεν
眠りについた	そして	加えられた	~の-もとに	その	父祖たちの-もとに	彼の	そして	見た
G2837	G2532	G4369	G4314	G3588	G3962	G0846	G2532	G3708

διαφθοράν.
朽ちることを
G1312

事実、ダビデは、その時代の人々に神のみ旨にしたがって仕えたが、やがて眠りにつき、先祖たちの中に加えられて、ついに朽ち果ててしまった。

37

ὃν	δὲ	ὁ	Θεὸς	ἤγειρεν	οὐκ	εἶδεν	διαφθοράν.
しかし	その	その	神が	よみがえらせた-方は	~しなかった	見なかった	朽ちることを
G3739	G1161	G3588	G2316	G1453	G3756	G3708	G1312

しかし、神がよみがえらせたかたは、朽ち果てることがなかったのである。

38

γνωστὸν	οὖν	ἔστω	ὑμῖν,	ἄνδρες,	ἀδελφοί,	ὅτι	διὰ
知られるように	それゆえ	あれ	あなたがたに	人々よ	兄弟たちよ	~ということを	~を-通して
G1110	G3767	G1510	G4771	G0435	G0080	G3754	G1223

τούτου,	ὑμῖν	ἄφεσις	ἁμαρτιῶν	καταγγέλλεται,
この-方を-通して	あなたがたに	罪の-赦しが	罪の	告げ知らされている
G3778	G4771	G0859	G0266	G2605

だから、兄弟たちよ、この事を承知しておくがよい。すなわち、このイエスによる罪のゆるしの福音が、今やあなたがたに宣べ伝えられている。そして、モーセの律法では義とされることができなかったすべての事についても、

39

καὶ	ἀπὸ	πάντων	ὧν	οὐκ	ἠδυνήθητε	ἐν	νόμῳ
そして	~から	すべてのことから	その	~できなかった	できなかった	~の-中で	律法に-よって
G2532	G0575	G3956	G3739	G3756	G1410	G1722	G3551

Μωϋσέως	δικαιωθῆναι,	ἐν	τούτῳ	πᾶς	ὁ	πιστεύων	δικαιοῦται.
モーセの	義とされることが	~の-中で	この-方にあって	すべての	その	信じる-者は	義とされる
G3475	G1344	G1722	G3778	G3956	G3588	G4100	G1344

信じる者はもれなく、イエスによって義とされるのである。

40

βλέπετε	οὖν,	μὴ	ἐπέλθῃ,	τὸ	εἰρημένον	ἐν	τοῖς
気をつけなさい	それゆえ	~しないように	来ないように	その	語られたことが	~の-中で	その
G0991	G3767	G3361	G1904	G3588	G2046	G1722	G3588

προφήταις:
預言者たちの-中で
G4396

だから預言者たちの書にかいてある次のようなことが、あなたがたの身に起らないように気をつけなさい。

41 Ἴδετε, 見よ G3708 οἱ その G3588 καταφρονηταί, 嘲る-者たちよ G2707 καὶ そして G2532 θαυμάσατε 驚き G2296 καὶ そして G2532 ἀφανίσθητε; 滅びよ G0853 ὅτι なぜなら G3754 ἔργον 業を G2041

ἐργάζομαι 行う G2038 ἐγὼ わたしは G1473 ἐν ~の-中で G1722 ταῖς その G3588 ἡμέραις 日々に G2250 ὑμῶν, あなたがたの G4771 ἔργον 業を G2041 ὃ その G3739 οὐ 決して G3756 μὴ ~しない G3361

πιστεύσητε, 信じないであろう G4100 ἐάν たとえ G1437 τις 誰かが G5100 ἐκδιηγῆται 詳しく-語っても G1555 ὑμῖν. あなたがたに G4771

『見よ、侮る者たちよ。驚け、そして滅び去れ。わたしは、あなたがたの時代に一つの事をする。それは、人がどんなに説明して聞かせても、あなたがたのとうてい信じないような事なのである』」。

42 Ἐξιόντων 出て行く-時 G1826 δὲ, すると G1161 αὐτῶν 彼らが G0846 παρεκάλουν 頼んだ G3870 εἰς ~の-ために G1519 τὸ その G3588 μεταξὺ 次の G3342 σάββατον, 安息日にも G4521

λαληθῆναι 語られるようにと G2980 αὐτοῖς 彼らに G0846 τὰ これらの G3588 ῥήματα 言葉を G4487 ταῦτα. これらの G3778

ふたりが会堂を出る時、人々は次の安息日にも、これと同じ話をしてくれるようにと、しきりに願った。

43 λυθείσης 散会した-時 G3089 δὲ, すると G1161 τῆς その G3588 συναγωγῆς, 会堂が G4864 ἠκολούθησαν 従った G0190 πολλοὶ 多くの G4183 τῶν その G3588 Ἰουδαίων ユダヤ人と G2453 καὶ また G2532

τῶν その G3588 σεβομένων 敬虔な G4576 προσηλύτων 改宗者たちが G4339 τῷ その G3588 Παύλῳ パウロと G3972 καὶ また G2532 τῷ その G3588 Βαρνάβᾳ, バルナバに G0921 οἵτινες その-者たちは G3748

προσλαλοῦντες 語りかけて G4354 αὐτοῖς 彼らに G0846 ἔπειθον 勧めた G3982 αὐτοὺς 彼らが G0846 προσμένειν とどまるようにと G4357 τῇ その G3588 χάριτι 恵みに G5485 τοῦ その G3588 Θεοῦ. 神の G2316

そして集会が終ってからも、大ぜいのユダヤ人や信心深い改宗者たちが、パウロとバルナバとについてきたので、ふたりは、彼らが引きつづき神のめぐみにとどまっているようにと、説きすすめた。

44 Τῷ その G3588 δὲ すると G1161 ἐρχομένῳ 次の G2064 σαββάτῳ, 安息日に G4521 σχεδὸν ほとんど G4975 πᾶσα すべての G3956 ἡ その G3588 πόλις 町が G4172 συνήχθη 集まった G4863 ἀκοῦσαι 聞くために G0191

τὸν その G3588 λόγον 言葉を G3056 τοῦ その G3588 κυρίου. 主の G2962

次の安息日には、ほとんど全市をあげて、神の言を聞きに集まってきた。

45 ἰδόντες 見て G3708 δὲ すると G1161 οἱ その G3588 Ἰουδαῖοι ユダヤ人たちは G2453 τοὺς その G3588 ὄχλους, 群衆を G3793 ἐπλήσθησαν 満たされた G4130 ζήλου, ねたみに G2205 καὶ そして G2532

ἀντέλεγον 反論した G0483 τοῖς その G3588 ὑπὸ ~によって G5259 Παύλου パウロによって G3972 λαλουμένοις, 語られたことに G2980 βλασφημοῦντες. ののしりながら G0987

するとユダヤ人たちは、その群衆を見てねたましく思い、パウロの語ることに口ぎたなく反対した。

46 παρρησιασάμενοί τε, ὁ Παῦλος καὶ ὁ Βαρνάβας εἶπαν, Ὑμῖν
大胆に-語って そして その パウロと また その バルナバは 言った あなたがたに
G3955 G5037 G3588 G3972 G2532 G3588 G0921 G3004 G4771

ἦν ἀναγκαῖον πρῶτον λαληθῆναι τὸν λόγον τοῦ Θεοῦ; ἐπειδὴ
あった 必要な 最初に 語られること その 言葉が その 神の あなたがたは
G1510 G0316 G4412 G2980 G3588 G3056 G3588 G2316 G1894

ἀπωθεῖσθε αὐτὸν, καὶ οὐκ ἀξίους κρίνετε ἑαυτοὺς τῆς αἰωνίου
退けて それを そして ~でない ふさわしい-者と 判断している 自分自身を その 永遠の
G0683 G0846 G2532 G3756 G0514 G2919 G1438 G3588 G0166

ζωῆς, ἰδοὺ, στρεφόμεθα εἰς τὰ ἔθνη.
命に 見よ 向かう ~へ その 異邦人に
G2222 G3708 G4762 G1519 G3588 G1484

パウロとバルナバとは大胆に語った、「神の言は、まず、あなたがたに語り伝えられなければならなかった。しかし、あなたがたはそれを退け、自分自身を永遠の命にふさわしからぬ者にしてしまったから、さあ、わたしたちはこれから方向をかえて、異邦人たちの方に行くのだ。

47 οὕτως γὰρ ἐντέταλται ἡμῖν ὁ Κύριος: Τέθεικά σε εἰς
このように なぜなら 命じられた 私たちに その 主が 置いた あなたを ~として
G3779 G1063 G1781 G1473 G3588 G2962 G5087 G4771 G1519

φῶς ἐθνῶν, τοῦ εἶναί σε εἰς σωτηρίαν ἕως ἐσχάτου
光として 異邦人の ~のために あるために あなたが ~のために 救いの-ために ~まで 果ての
G5457 G1484 G3588 G1510 G4771 G1519 G4991 G2193 G2078

τῆς γῆς.
その 地の
G3588 G1093

主はわたしたちに、こう命じておられる、『わたしは、あなたを立てて異邦人の光とした。あなたが地の果までも救をもたらすためである』」。

48 ἀκούοντα δὲ, τὰ ἔθνη ἔχαιρον, καὶ ἐδόξαζον τὸν λόγον τοῦ
聞いて すると その 異邦人たちは 喜んだ そして 讃えた その 言葉を その
G0191 G1161 G3588 G1484 G5463 G2532 G1392 G3588 G3056 G3588

Κυρίου, καὶ ἐπίστευσαν ὅσοι ἦσαν τεταγμένοι εἰς ζωὴν αἰώνιον.
主の そして 信じた ~だけの あった 定められていた ~のために 命に 永遠の
G2962 G2532 G4100 G3745 G1510 G5021 G1519 G2222 G0166

異邦人たちはこれを聞いてよろこび、主の御言をほめたたえてやまなかった。そして、永遠の命にあずかるように定められていた者は、みな信じた。

49 διεφέρετο δὲ ὁ λόγος τοῦ Κυρίου δι’ ὅλης τῆς χώρας.
広められた そして その 言葉は その 主の ~を-通して 全 その 地方に
G1308 G1161 G3588 G3056 G3588 G2962 G1223 G3650 G3588 G5561

こうして、主の御言はこの地方全体にひろまって行った。

50 οἱ δὲ Ἰουδαῖοι παρώτρυναν τὰς σεβομένας γυναῖκας τὰς
しかし その ユダヤ人たちは そそのかした その 敬虔な 婦人たちや その
G3588 G1161 G2453 G3951 G3588 G4576 G1135 G3588

εὐσχήμονας, καὶ τοὺς πρώτους τῆς πόλεως, καὶ ἐπήγειραν διωγμὸν
有力な また その おもだった その 町の-人たちを そして 起こした 迫害を
G2158 G2532 G3588 G4413 G3588 G4172 G2532 G1892 G1375

ἐπὶ τὸν Παῦλον καὶ Βαρνάβαν, καὶ ἐξέβαλον αὐτοὺς ἀπὸ τῶν
~に-対して その パウロと また バルナバに-対して そして 追い出した 彼らを ~から その
G1909 G3588 G3972 G2532 G0921 G2532 G1544 G0846 G0575 G3588

ὁρίων αὐτῶν,
地域から 彼らの
G3725 G0846

ところが、ユダヤ人たちは、信心深い貴婦人たちや町の有力者たちを煽動して、パウロとバルナバを迫害させ、ふたりをその地方から追い出させた。

51 οἱ δὲ ἐκτιναξάμενοι τὸν κονιορτὸν τῶν ποδῶν ἐπ' αὐτοὺς,
しかし その 払い落として その 塵を その 足の ~に-対して 彼らに-対して
G3588 G1161 G1621 G3588 G2868 G3588 G4228 G1909 G0846

ἦλθον εἰς Ἰκόνιον.
行った ~へ イコニオンへ
G2064 G1519 G2430

ふたりは、彼らに向けて足のちりを払い落して、イコニオムへ行った。

52 οἵ τε μαθηταὶ ἐπληροῦντο χαρᾶς καὶ Πνεύματος Ἁγίου.
その そして 弟子たちは 満たされていた 喜びと また 御霊に 聖なる
G3588 G5037 G3101 G4137 G5479 G2532 G4151 G0040

弟子たちは、ますます喜びと聖霊とに満たされていた。

Chapter 14

1 Ἐγένετο δὲ, ἐν Ἰκονίῳ κατὰ τὸ αὐτὸ εἰσελθεῖν αὐτοὺς
起こった さて ~の-中で イコニオンで ~に-従って その 同じ-ように 入った 彼らは
G1096 G1161 G1722 G2430 G2596 G3588 G0846 G1525 G0846

εἰς τὴν συναγωγὴν τῶν Ἰουδαίων, καὶ λαλῆσαι οὕτως ὥστε
~の-中に その 会堂に その ユダヤ人の そして 語った そのように その-結果
G1519 G3588 G4864 G3588 G2453 G2532 G2980 G3779 G5620

πιστεῦσαι, Ἰουδαίων τε καὶ Ἑλλήνων, πολὺ πλῆθος.
信じた ユダヤ人と そして また ギリシヤ人の 多くの 群衆が
G4100 G2453 G5037 G2532 G1672 G4183 G4128

ふたりは、イコニオムでも同じようにユダヤ人の会堂にはいって語った結果、ユダヤ人やギリシヤ人が大ぜい信じた。

2 οἱ δὲ ἀπειθήσαντες Ἰουδαῖοι ἐπήγειραν καὶ ἐκάκωσαν τὰς ψυχὰς
しかし その 従わなかった ユダヤ人たちは そそのかして また 悪くした その 心を
G3588 G1161 G0544 G2453 G1892 G2532 G2559 G3588 G5590

τῶν ἐθνῶν κατὰ τῶν ἀδελφῶν.
その 異邦人の ~に-対して その 兄弟たちに-対して
G3588 G1484 G2596 G3588 G0080

ところが、信じなかったユダヤ人たちは異邦人たちをそそのかして、兄弟たちに対して悪意をいだかせた。

3

ἱκανὸν	μὲν	οὖν	χρόνον	διέτριψαν,	παρρησιαζόμενοι,	ἐπὶ	τῷ	
相当な	一方	こうして	時間を	過ごした	大胆に–語って	~に–よって	その	
G2425	G3303	G3767	G5550	G1304	G3955	G1909	G3588	

Κυρίῳ,	τῷ	μαρτυροῦντι	ἐπὶ	τῷ	λόγῳ	τῆς	χάριτος	αὐτοῦ,
主に–よって	その	証ししている	~に–ついて	その	言葉に–ついて	その	恵みの	その–方の
G2962	G3588	G3140	G1909	G3588	G3056	G3588	G5485	G0846

διδόντι	σημεῖα	καὶ	τέρατα	γίνεσθαι,	διὰ	τῶν	χειρῶν	αὐτῶν.
与えて	しるしと	また	不思議が	起こるように	~を–通して	その	手を–通して	彼らの
G1325	G4592	G2532	G5059	G1096	G1223	G3588	G5495	G0846

それにもかかわらず、ふたりは長い期間をそこで過ごして、大胆に主のことを語った。主は、彼らの手によってしるしと奇跡とを行わせ、そのめぐみの言葉をあかしされた。

4

ἐσχίσθη	δὲ	τὸ	πλῆθος	τῆς	πόλεως;	καὶ	οἱ	μὲν	ἦσαν	σὺν
分かれた	すると	その	群衆は	その	町の	そして	ある–者は	一方	いた	~と–共に
G4977	G1161	G3588	G4128	G3588	G4172	G2532	G3588	G3303	G1510	G4862

τοῖς	Ἰουδαίοις,	οἱ	δὲ	σὺν	τοῖς	ἀποστόλοις.
その	ユダヤ人と	他の–者は	しかし	~と–共に	その	使徒たちと
G3588	G2453	G3588	G1161	G4862	G3588	G0652

そこで町の人々が二派に分れ、ある人たちはユダヤ人の側につき、ある人たちは使徒の側についた。

5

ὡς	δὲ	ἐγένετο	ὁρμὴ	τῶν	ἐθνῶν	τε	καὶ	Ἰουδαίων	σὺν,	τοῖς
~した–時	すると	起こった	襲撃が	その	異邦人と	そして	また	ユダヤ人が	~と–共に	その
G5613	G1161	G1096	G3730	G3588	G1484	G5037	G2532	G2453	G4862	G3588

ἄρχουσιν	αὐτῶν,	ὑβρίσαι	καὶ	λιθοβολῆσαι	αὐτούς,
指導者たちと	彼らの	辱めて	そして	石を–投げようと	彼らに
G0758	G0846	G5195	G2532	G3036	G0846

その時、異邦人やユダヤ人が役人たちと一緒になって反対運動を起し、使徒たちをはずかしめ、石で打とうとしたので、

6

συνιδόντες,	κατέφυγον	εἰς	τὰς	πόλεις	τῆς	Λυκαονίας,	Λύστραν,	καὶ	
惟って	逃げた	~へ	その	町へ	その	ルカオニヤの	ルストラと	また	
G4894	G2703	G1519	G3588	G4172	G3588	G3071	G3082	G2532	

Δέρβην,	καὶ	τὴν	περίχωρον,
デルベと	また	その	周辺の–地域に
G1191	G2532	G3588	G4066

ふたりはそれと気づいて、ルカオニヤの町々、ルステラ、デルベおよびその附近の地へのがれ、

7

κἀκεῖ	εὐαγγελιζόμενοι	ἦσαν.
そこでも	福音を–宣べ伝えて	いた
G2546	G2097	G1510

そこで引きつづき福音を伝えた。

8

Καί	τις	ἀνὴρ	ἀδύνατος,	ἐν	Λύστροις,	τοῖς	ποσὶν,	ἐκάθητο,
そして	ある	人が	力の–ない	~の–中に	ルストラに	その	足に	座っていた
G2532	G5100	G0435	G0102	G1722	G3082	G3588	G4228	G2521

χωλὸς	ἐκ	κοιλίας	μητρὸς	αὐτοῦ,	ὃς	οὐδέποτε	περιεπάτησεν.
足の–不自由な	~から	胎内から	母の	彼の	その–人は	一度も	歩いたことが–なかった
G5560	G1537	G2836	G3384	G0846	G3739	G3763	G4043

ところが、ルステラに足のきかない人が、すわっていた。彼は生れながらの足なえで、歩いた経験が全くなかった。

9 οὗτος ἤκουσεν τοῦ Παύλου λαλοῦντος, ὃς, ἀτενίσας αὐτῷ, καὶ
この–人は 聞いていた その パウロが 語るのを その–人を じっと–見つめて 彼を そして
G3778 G0191 G3588 G3972 G2980 G3739 G0816 G0846 G2532

ἰδὼν ὅτι ἔχει πίστιν τοῦ σωθῆναι,
見て ~ことを 持っていると 信仰を ~のための 救われるための
G3708 G3754 G2192 G4102 G3588 G4982

この人がパウロの語るのを聞いていたが、パウロは彼をじっと見て、いやされるほどの信仰が彼にあるのを認め、

10 εἶπεν μεγάλῃ φωνῇ, Ἀνάστηθι ἐπὶ τοὺς πόδας σου
言った 大きな 声で まっすぐに–立ちなさい ~の–上に その 足の–上に あなたの
G3004 G3173 G5456 G0450 G1909 G3588 G4228 G4771

ὀρθός! καὶ ἅλατο καὶ περιεπάτει.
まっすぐに すると 跳び上がって そして 歩き始めた
G3717 G2532 G0242 G2532 G4043

大声で「自分の足で、まっすぐに立ちなさい」と言った。すると彼は踊り上がって歩き出した。

11 οἵ τε ὄχλοι ἰδόντες ὃ ἐποίησεν Παῦλος, ἐπῆραν τὴν φωνὴν αὐτῶν
その そして 群衆は 見て それを 行った パウロが 上げた その 声を 彼らの
G3588 G5037 G3793 G3708 G3739 G4160 G3972 G1869 G3588 G5456 G0846

Λυκαονιστὶ λέγοντες, Οἱ θεοὶ, ὁμοιωθέντες ἀνθρώποις, κατέβησαν πρὸς
ルカオニヤ語で 言って その 神々が 似せて 人間に 降って–来た ~の–もとに
G3072 G3004 G3588 G2316 G3666 G0444 G2597 G4314

ἡμᾶς.
私たちの–もとに
G1473

群衆はパウロのしたことを見て、声を張りあげ、ルカオニヤの地方語で、「神々が人間の姿をとって、わたしたちのところにお下りになったのだ」と叫んだ。

12 ἐκάλουν τε τὸν Βαρνάβαν, Δία; τὸν δὲ Παῦλον, Ἑρμῆν, ἐπειδὴ
呼んだ そして その バルナバを ゼウスと その また パウロを ヘルメスと なぜなら
G2564 G5037 G3588 G0921 G2203 G3588 G1161 G3972 G2060 G1894

αὐτὸς ἦν ὁ ἡγούμενος τοῦ λόγου.
彼が であった その 導き手で その 言葉の
G0846 G1510 G3588 G2233 G3588 G3056

彼らはバルナバをゼウスと呼び、パウロはおもに語る人なので、彼をヘルメスと呼んだ。

13 ὅ τε ἱερεὺς τοῦ Διὸς, τοῦ ὄντος πρὸ τῆς πόλεως, ταύρους
その そして 祈司が その ゼウスの その ある ~の–前の その 町の–前の 雄牛と
G3588 G5037 G2409 G3588 G2203 G3588 G1510 G4253 G3588 G4172 G5022

καὶ στέμματα ἐπὶ τοὺς πυλῶνας ἐνέγκας, σὺν τοῖς ὄχλοις ἤθελεν
また 花飾りを ~の–もとに その 門の–もとに 持って–来て ~と–共に その 群衆と 望んだ
G2532 G4725 G1909 G3588 G4440 G5342 G4862 G3588 G3793 G2309

θύειν.
いけにえを–ささげることを
G2380

そして、郊外にあるゼウス神殿の祭司が、群衆と共に、ふたりに犠牲をささげようと思って、雄牛数頭と花輪とを門前に持ってきた。

14 ἀκούσαντες 聞いて G0191 δὲ しかし G1161 οἱ その G3588 ἀπόστολοι 使徒たち G0652 Βαρνάβας バルナバと G0921 καὶ また G2532 Παῦλος, パウロは G3972 διαρρήξαντες 引き裂いて G1284 τὰ その G3588 ἱμάτια 衣を G2440 αὐτῶν, 彼らの G0846 ἐξεπήδησαν 飛び出した G1530 εἰς ~の-中に G1519 τὸν その G3588 ὄχλον 群衆の-中に G3793 κράζοντες, 叫んで G2896

ふたりの使徒バルナバとパウロとは、これを聞いて自分の上着を引き裂き、群衆の中に飛び込んで行き、叫んで

15 καὶ そして G2532 λέγοντες, 言って G3004 Ἄνδρες, 人々よ G0435 τί なぜ G5101 ταῦτα これらのことを G3778 ποιεῖτε? するのか G4160 καὶ また G2532 ἡμεῖς 私たちも G1473 ὁμοιοπαθεῖς 同じ-思いの G3663 ἐσμεν である G1510 ὑμῖν あなたがたと-同じ G4771 ἄνθρωποι, 人間だ G0444 εὐαγγελιζόμενοι 福音を-宣べ伝えている G2097 ὑμᾶς あなたがたに G4771 ἀπὸ ~から G0575 τούτων これらの G3778 τῶν その G3588 ματαίων 空しい-ものから G3152 ἐπιστρέφειν 立ち返るようにと G1994 ἐπὶ ~の-もとへ G1909 θεὸν 神へ G2316 ζῶντα, 生ける G2198 ὃς その-方は G3739 ἐποίησεν 造った G4160 τὸν その G3588 οὐρανὸν, 天と G3772 καὶ また G2532 τὴν その G3588 γῆν, 地と G1093 καὶ また G2532 τὴν その G3588 θάλασσαν, 海と G2281 καὶ また G2532 πάντα すべての G3956 τὰ その G3588 ἐν ~の-中にある G1722 αὐτοῖς; それらの-中のものを G0846

言った、「皆さん、なぜこんな事をするのか。わたしたちとても、あなたがたと同じような人間である。そして、あなたがたがこのような愚にもつかぬものを捨てて、天と地と海と、その中のすべてのものをお造りになった生ける神に立ち帰るようにと、福音を説いているものである。

16 ὃς, その-方は G3739 ἐν ~の-中で G1722 ταῖς その G3588 παρῳχημέναις 過ぎ去った G3944 γενεαῖς, 時代に G1074 εἴασεν 許した G1439 πάντα すべての G3956 τὰ その G3588 ἔθνη 国々が G1484 πορεύεσθαι 歩むことを G4198 ταῖς その G3588 ὁδοῖς 道を G3598 αὐτῶν. 彼らの G0846

神は過ぎ去った時代には、すべての国々の人が、それぞれの道を行くままにしておかれたが、

17 καίτοι それでも G2543 οὐκ ~しなかった G3756 ἀμάρτυρον 証しなしに G0267 αὐτὸν 自分自身を G0848 ἀφῆκεν, しなかった G0863 ἀγαθουργῶν, 善を-行い G0014 οὐρανόθεν 天から G3771 ὑμῖν あなたがたに G4771 ὑετοὺς 雨を G5205 διδοὺς, 与えて G1325 καὶ また G2532 καιροὺς 季節を G2540 καρποφόρους, 実りの-豊かな G2593 ἐμπιπλῶν 満たして G1705 τροφῆς 食べ物で G5160 καὶ また G2532 εὐφροσύνης 喜びで G2167 τὰς その G3588 καρδίας 心を G2588 ὑμῶν. あなたがたの G4771

それでも、ご自分のことをあかししないでおられたわけではない。すなわち、あなたがたのために天から雨を降らせ、実りの季節を与え、食物と喜びとで、あなたがたの心を満たすなど、いろいろのめぐみをお与えになっているのである」。

18 καὶ ταῦτα λέγοντες, μόλις κατέπαυσαν τοὺς ὄχλους τοῦ
そして これらのことを 言っても かろうじて 止めた その 群衆が ~しないように
G2532 G3778 G3004 G3433 G2664 G3588 G3793 G3588

μὴ θύειν αὐτοῖς.
~しないように いけにえを-ささげることを 彼らに
G3361 G2380 G0846

こう言って、ふたりは、やっとのことで、群衆が自分たちに犠牲をささげるのを、思い止まらせた。

19 Ἐπῆλθαν δὲ ἀπὸ Ἀντιοχείας καὶ Ἰκονίου Ἰουδαῖοι, καὶ
やって-来た しかし ~から アンテオケと また イコニオンから ユダヤ人たちが そして
G1904 G1161 G0575 G0490 G2532 G2430 G2453 G2532

πείσαντες τοὺς ὄχλους, καὶ λιθάσαντες τὸν Παῦλον, ἔσυρον ἔξω τῆς
説得して その 群衆を そして 石を-投げて その パウロに 引きずった 外へ その
G3982 G3588 G3793 G2532 G3034 G3588 G3972 G4951 G1854 G3588

πόλεως, νομίζοντες αὐτὸν τεθνηκέναι.
町の-外へ 思って 彼が 死んだと
G4172 G3543 G0846 G2348

ところが、あるユダヤ人たちはアンテオケやイコニオムから押しかけてきて、群衆を仲間に引き入れたうえ、パウロを石で打ち、死んでしまったと思って、彼を町の外に引きずり出した。

20 κυκλωσάντων δὲ τῶν μαθητῶν αὐτὸν, ἀναστὰς, εἰσῆλθεν εἰς τὴν
囲んだ-時 すると その 弟子たちが 彼を 立ち上がって 入った ~の-中に その
G2944 G1161 G3588 G3101 G0846 G0450 G1525 G1519 G3588

πόλιν. Καὶ τῇ ἐπαύριον ἐξῆλθεν σὺν τῷ Βαρνάβᾳ εἰς Δέρβην.
町に そして その 翌日 出かけた ~と-共に その バルナバと ~へ デルベへ
G4172 G2532 G3588 G1887 G1831 G4862 G3588 G0921 G1519 G1191

しかし、弟子たちがパウロを取り囲んでいる間に、彼は起きあがって町にはいって行った。そして翌日には、バルナバと一緒にデルベにむかって出かけた。

21 Εὐαγγελισάμενοί τε τὴν πόλιν ἐκείνην, καὶ μαθητεύσαντες ἱκανοὺς,
福音を-宣べ伝えて そして その 町で その そして 弟子として 大勢の-人を
G2097 G5037 G3588 G4172 G1565 G2532 G3100 G2425

ὑπέστρεψαν εἰς τὴν Λύστραν, καὶ εἰς Ἰκόνιον, καὶ εἰς Ἀντιόχειαν,
帰った ~へ その ルストラへ また ~へ イコニオンへ また ~へ アンテオケへ
G5290 G1519 G3588 G3082 G2532 G1519 G2430 G2532 G1519 G0490

その町で福音を伝えて、大ぜいの人を弟子とした後、ルステラ、イコニオム、アンテオケの町々に帰って行き、

22 ἐπιστηρίζοντες τὰς ψυχὰς τῶν μαθητῶν, παρακαλοῦντες ἐμμένειν τῇ
強めて その 心を その 弟子たちの 勧めて とどまるようにと その
G1991 G3588 G5590 G3588 G3101 G3870 G1696 G3588

πίστει, καὶ ὅτι διὰ πολλῶν θλίψεων, δεῖ ἡμᾶς
信仰に そして ~ということを ~を-通して 多くの 患難を-通して ~しなければならない 私たちは
G4102 G2532 G3754 G1223 G4183 G2347 G1163 G1473

εἰσελθεῖν εἰς τὴν βασιλείαν τοῦ Θεοῦ.
入る ~の-中に その 御国に その 神の
G1525 G1519 G3588 G0932 G3588 G2316

弟子たちを力づけ、信仰を持ちつづけるようにと奨励し、「わたしたちが神の国にはいるのには、多くの苦難を経なければならない」と語った。

23 χειροτονήσαντες 任命して G5500 δὲ そして G1161 αὐτοῖς 彼らのために G0846 κατ’ ~ごとに G2596 ἐκκλησίαν 教会ごとに G1577 πρεσβυτέρους, 長老たちを G4245 προσευξάμενοι, 祈って G4336

μετὰ ~と–共に G3326 νηστειῶν 断食と–共に G3521 παρέθεντο 委ねた G3908 αὐτοὺς 彼らを G0846 τῷ その G3588 Κυρίῳ, 主に G2962 εἰς ~の–中に G1519 ὃν その–方の–中に G3739

πεπιστεύκεισαν. 信じていた G4100

また教会ごとに彼らのために長老たちを任命し、断食をして祈り、彼らをその信じている主にゆだねた。

24 καὶ そして G2532 διελθόντες 通り過ぎて G1330 τὴν その G3588 Πισιδίαν, ピシデヤを G4099 ἦλθον 来た G2064 εἰς ~へ G1519 τὴν その G3588 Παμφυλίαν, パンフリヤへ G3828

それから、ふたりはピシデヤを通過してパンフリヤにきたが、

25 καὶ そして G2532 λαλήσαντες 語って G2980 ἐν ~の–中で G1722 Πέργῃ ペルガで G4011 τὸν その G3588 λόγον, 言葉を G3056 κατέβησαν 下って–行った G2597 εἰς ~へ G1519 Ἀττάλειαν; アッタリアへ G0825

ペルガで御言を語った後、アタリヤにくだり、

26 κἀκεῖθεν そこから G2547 ἀπέπλευσαν 船出した G0636 εἰς ~へ G1519 Ἀντιόχειαν, アンテオケへ G0490 ὅθεν そこから G3606 ἦσαν あった G1510 παραδεδομένοι 委ねられていた G3860 τῇ その G3588 χάριτι 恵みに G5485

τοῦ その G3588 Θεοῦ, 神の G2316 εἰς ~のために G1519 τὸ その G3588 ἔργον 働きのために G2041 ὃ その G3739 ἐπλήρωσαν. 果たした G4137

そこから舟でアンテオケに帰った。彼らが今なし終った働きのために、神の祝福を受けて送り出されたのは、このアンテオケからであった。

27 Παραγενόμενοι 到着して G3854 δὲ そして G1161 καὶ また G2532 συναγαγόντες 集めて G4863 τὴν その G3588 ἐκκλησίαν, 教会を G1577 ἀνήγγελλον 報告した G0312 ὅσα どれほどの G3745

ἐποίησεν 行ったかを G4160 ὁ その G3588 Θεὸς 神が G2316 μετ’ ~と–共に G3326 αὐτῶν, 彼らと–共に G0846 καὶ また G2532 ὅτι ~ということを G3754 ἤνοιξεν 開いた G0455 τοῖς その G3588 ἔθνεσιν 異邦人に G1484

θύραν 扉を G2374 πίστεως. 信仰の G4102

彼らは到着早々、教会の人々を呼び集めて、神が彼らと共にいてして下さった数々のこと、また信仰の門を異邦人に開いて下さったことなどを、報告した。

28 διέτριβον 過ごしていた G1304 δὲ, そして G1161 χρόνον 時間を G5550 οὐκ 少なくない G3756 ὀλίγον, 少なくない G3641 σὺν ~と–共に G4862 τοῖς その G3588 μαθηταῖς. 弟子たちと G3101

そして、ふたりはしばらくの間、弟子たちと一緒に過ごした。

Chapter 15

1

Καί	τινες	κατελθόντες	ἀπὸ	τῆς	Ἰουδαίας,	ἐδίδασκον	τοὺς	ἀδελφοὺς,
そして	ある–人々が	下って–来て	~から	その	ユダヤから	教えていた	その	兄弟たちに
G2532	G5100	G2718	G0575	G3588	G2449	G1321	G3588	G0080

ὅτι	Ἐὰν	μὴ	περιτμηθῆτε	τῷ	ἔθει	τῷ	Μωϋσέως,
~ということを	もし	~しないなら	割礼を–受けないなら	その	慣習に–従って	その	モーセの
G3754	G1437	G3361	G4059	G3588	G1485	G3588	G3475

οὐ	δύνασθε	σωθῆναι.
~できない	できない	救われることが
G3756	G1410	G4982

さて、ある人たちがユダヤから下ってきて、兄弟たちに「あなたがたも、モーセの慣例にしたがって割礼を受けなければ、救われない」と、説いていた。

2

γενομένης	δὲ	στάσεως	καὶ	ζητήσεως	οὐκ	ὀλίγης	τῷ	Παύλῳ
起こった–時	すると	争いと	また	論争が	少なくない	少なくない	その	パウロと
G1096	G1161	G4714	G2532	G2214	G3756	G3641	G3588	G3972

καὶ	τῷ	Βαρνάβᾳ	πρὸς	αὐτοὺς,	ἔταξαν	ἀναβαίνειν,	Παῦλον	καὶ
また	その	バルナバに	~に–対して	彼らに–対して	定めた	上って–行くことを	パウロと	また
G2532	G3588	G0921	G4314	G0846	G5021	G0305	G3972	G2532

Βαρνάβαν,	καί	τινας	ἄλλους	ἐξ	αὐτῶν,	πρὸς	τοὺς	ἀποστόλους
バルナバと	また	ある	他の	~の–中から	彼らの–中から	~の–もとへ	その	使徒たちと
G0921	G2532	G5100	G0243	G1537	G0846	G4314	G3588	G0652

καὶ	πρεσβυτέρους,	εἰς	Ἰερουσαλὴμ,	περὶ	τοῦ	ζητήματος	τούτου.
また	長老たちの–もとへ	~へ	エルサレムへ	~について	この	問題について	この
G2532	G4245	G1519	G2419	G4012	G3588	G2213	G3778

そこで、パウロやバルナバと彼らとの間に、少なからぬ紛糾と争論とが生じたので、パウロ、バルナバそのほか数人の者がエルサレムに上り、使徒たちや長老たちと、この問題について協議することになった。

3

Οἱ	μὲν	οὖν	προπεμφθέντες	ὑπὸ	τῆς	ἐκκλησίας	διήρχοντο	τήν
さて	一方	こうして	見送られて	~によって	その	教会によって	通り過ぎた	その
G3588	G3303	G3767	G4311	G5259	G3588	G1577	G1330	G3588

τε	Φοινίκην	καὶ	Σαμάρειαν,	ἐκδιηγούμενοι	τὴν	ἐπιστροφὴν	τῶν	ἐθνῶν.
そして	フェニキヤと	また	サマリアを	詳しく–語って	その	回心を	その	異邦人の
G5037	G5403	G2532	G4540	G1555	G3588	G1995	G3588	G1484

καὶ	ἐποίουν	χαρὰν	μεγάλην	πᾶσιν	τοῖς	ἀδελφοῖς.
そして	もたらした	喜びを	大きな	すべての	その	兄弟たちに
G2532	G4160	G5479	G3173	G3956	G3588	G0080

彼らは教会の人々に見送られ、ピニケ、サマリヤをとおって、道すがら、異邦人たちの改宗の模様をくわしく説明し、すべての兄弟たちを大いに喜ばせた。

4 παραγενόμενοι 到着して G3854 δὲ すると G1161 εἰς ~へ G1519 Ἰεροσόλυμα, エルサレムに G2414 παρεδέχθησαν 迎えられた G3858 ἀπὸ ~によって G0575 τῆς その G3588 ἐκκλησίας 教会と G1577

καὶ また G2532 τῶν その G3588 ἀποστόλων 使徒たちと G0652 καὶ また G2532 τῶν その G3588 πρεσβυτέρων. 長老たちに G4245 ἀνήγγειλάν 報告した G0312 τε そして G5037 ὅσα どれほどのことを G3745

ὁ その G3588 Θεὸς 神が G2316 ἐποίησεν 行ったかを G4160 μετ’ ~と–共に G3326 αὐτῶν. 彼らと–共に G0846

エルサレムに着くと、彼らは教会と使徒たち、長老たちに迎えられて、神が彼らと共にいてなされたことを、ことごとく報告した。

5 Ἐξανέστησαν 立ち上がった G1817 δέ しかし G1161 τινες ある–人々が G5100 τῶν その G3588 ἀπὸ ~からの G0575 τῆς その G3588 αἱρέσεως 派の G0139 τῶν その G3588 Φαρισαίων パリサイ人の G5330

πεπιστευκότες, 信じている–者が G4100 λέγοντες, 言って G3004 ὅτι ~ということを G3754 δεῖ ~しなければならない G1163 περιτέμνειν 割礼を–施して G4059 αὐτοὺς, 彼らに G0846

παραγγέλλειν 命じて G3853 τε また G5037 τηρεῖν 守るように G5083 τὸν その G3588 νόμον 律法を G3551 Μωϋσέως. モーセの G3475

ところが、パリサイ派から信仰にはいってきた人たちが立って、「異邦人にも割礼を施し、またモーセの律法を守らせるべきである」と主張した。

6 Συνήχθησάν 集まった G4863 τε そして G5037 οἱ その G3588 ἀπόστολοι 使徒たちと G0652 καὶ また G2532 οἱ その G3588 πρεσβύτεροι, 長老たちが G4245 ἰδεῖν 調べるために G3708 περὶ ~について G4012

τοῦ この G3588 λόγου 問題について G3056 τούτου. この G3778

そこで、使徒たちや長老たちが、この問題について審議するために集まった。

7 Πολλῆς 多くの G4183 δὲ さて G1161 ζητήσεως 論争が G2214 γενομένης, 起こった–後 G1096 ἀναστὰς, 立ち上がって G0450 Πέτρος ペテロは G4074 εἶπεν 言った G3004 πρὸς ~に–向かって G4314 αὐτούς, 彼らに G0846

Ἄνδρες, 人々よ G0435 ἀδελφοί, 兄弟たちよ G0080 ὑμεῖς あなたがたは G4771 ἐπίστασθε 知っている G1987 ὅτι ~ことを G3754 ἀφ’ ~から G0575 ἡμερῶν 日々 G2250 ἀρχαίων, 初めの G0744 ἐν ~の–中で G1722

ὑμῖν, あなたがたの–中で G4771 ἐξελέξατο 選んだ G1586 ὁ その G3588 Θεὸς 神が G2316 διὰ ~を–通して G1223 τοῦ その G3588 στόματός 口を–通して G4750 μου, 私の G1473 ἀκοῦσαι 聞くことを G0191

τὰ その G3588 ἔθνη 異邦人が G1484 τὸν その G3588 λόγον 言葉を G3056 τοῦ その G3588 εὐαγγελίου, 福音の G2098 καὶ そして G2532 πιστεῦσαι. 信じるようにと G4100

激しい争論があった後、ペテロが立って言った、「兄弟たちよ、ご承知のとおり、異邦人がわたしの口から福音の言葉を聞いて信じるようにと、神は初めのころに、諸君の中からわたしをお選びになったのである。

8 καὶ ὁ καρδιογνώστης Θεὸς ἐμαρτύρησεν αὐτοῖς, δοὺς τὸ Πνεῦμα τὸ
そして その 心を-知る 神は 証しした 彼らに 与えて その 御霊を その
G2532 G3588 G2589 G2316 G3140 G0846 G1325 G3588 G4151 G3588

Ἅγιον, καθὼς καὶ ἡμῖν,
聖なる 同じように また 私たちにも
G0040 G2531 G2532 G1473

そして、人の心をご存じである神は、聖霊をわれわれに賜わったと同様に彼らにも賜わって、彼らに対してあかしをなし、

9 καὶ οὐθὲν διέκρινεν μεταξὺ ἡμῶν τε καὶ αὐτῶν, τῇ
そして 何も 区別しなかった ~の-間で 私たちと そして また 彼らとの-間で その
G2532 G3762 G1252 G3342 G1473 G5037 G2532 G0846 G3588

πίστει καθαρίσας τὰς καρδίας αὐτῶν.
信仰によって 清めて その 心を 彼らの
G4102 G2511 G3588 G2588 G0846

また、その信仰によって彼らの心をきよめ、われわれと彼らとの間に、なんの分けへだてもなさらなかった。

10 νῦν οὖν, τί πειράζετε τὸν Θεόν, ἐπιθεῖναι ζυγὸν ἐπὶ τὸν
今 それゆえ なぜ 試みるのか その 神を 置くことを くびきを ~の-上に その
G3568 G3767 G5101 G3985 G3588 G2316 G2007 G2218 G1909 G3588

τράχηλον τῶν μαθητῶν, ὃν οὔτε οἱ πατέρες ἡμῶν, οὔτε
首の-上に その 弟子たちの それを ~できなかった その 父祖たちも 私たちの ~できなかった
G5137 G3588 G3101 G3739 G3777 G3588 G3962 G1473 G3777

ἡμεῖς, ἰσχύσαμεν βαστάσαι?
私たちも できなかった 負うことが
G1473 G2480 G0941

しかるに、諸君はなぜ、今われわれの先祖もわれわれ自身も、負いきれなかったくびきをあの弟子たちの首にかけて、神を試みるのか。

11 ἀλλὰ διὰ τῆς χάριτος τοῦ Κυρίου Ἰησοῦ, πιστεύομεν σωθῆναι,
しかし ~を-通して その 恵みを-通して その 主 イエスの 信じている 救われると
G0235 G1223 G3588 G5485 G3588 G2962 G2424 G4100 G4982

καθ’ ὃν τρόπον κἀκεῖνοι.
~と-同じ その 仕方で 彼らもまた
G2596 G3739 G5158 G2548

確かに、主イエスのめぐみによって、われわれは救われるのだと信じるが、彼らとても同様である」。

12 Ἐσίγησεν δὲ πᾶν τὸ πλῆθος, καὶ ἤκουον Βαρνάβα καὶ Παύλου
黙った すると 全 その 群衆が そして 聞いていた バルナバと また パウロが
G4601 G1161 G3956 G3588 G4128 G2532 G0191 G0921 G2532 G3972

ἐξηγουμένων ὅσα ἐποίησεν ὁ Θεὸς, σημεῖα καὶ τέρατα, ἐν τοῖς
詳しく-語るのを どれほどの 行ったかを その 神が しるしと また 不思議を ~の-中で その
G1834 G3745 G4160 G3588 G2316 G4592 G2532 G5059 G1722 G3588

ἔθνεσιν δι’ αὐτῶν.
異邦人の-中で ~を-通して 彼らを-通して
G1484 G1223 G0846

すると、全会衆は黙ってしまった。それから、バルナバとパウロとが、彼らをとおして異邦人の間に神が行われた数々のしるしと奇跡のことを、説明するのを聞いた。

13 Μετὰ δὲ τὸ σιγῆσαι αὐτοὺς, ἀπεκρίθη Ἰάκωβος, λέγων, Ἄνδρες,
~の-後に そして その 黙った-後に 彼らが 答えた ヤコブが 言って 人々よ
G3326 G1161 G3588 G4601 G0846 G0611 G2385 G3004 G0435

ἀδελφοί, ἀκούσατέ μου.
兄弟たちよ 聞きなさい 私の-言葉を
G0080 G0191 G1473

ふたりが語り終えた後、ヤコブはそれに応じて述べた、「兄弟たちよ、わたしの意見を聞いていただきたい。

14 Συμεὼν ἐξηγήσατο καθὼς πρῶτον ὁ Θεὸς ἐπεσκέψατο, λαβεῖν
シメオンが 詳しく-語った どのように 初めに その 神が 訪れたか 取るために
G4826 G1834 G2531 G4412 G3588 G2316 G1980 G2983

ἐξ ἐθνῶν λαὸν, τῷ ὀνόματι αὐτοῦ.
~の-中から 異邦人の-中から 民を その 御名のために その-方の
G1537 G1484 G2992 G3588 G3686 G0846

神が初めに異邦人たちを顧みて、その中から御名を負う民を選び出された次第は、シメオンがすでに説明した。

15 καὶ τούτῳ συμφωνοῦσιν οἱ λόγοι τῶν προφητῶν, καθὼς γέγραπται:
そして これに 一致する その 言葉が その 預言者たちの ~のように 書かれている
G2532 G3778 G4856 G3588 G3056 G3588 G4396 G2531 G1125

預言者たちの言葉も、それと一致している。すなわち、こう書いてある、

16 Μετὰ ταῦτα ἀναστρέψω καὶ ἀνοικοδομήσω τὴν σκηνὴν Δαυὶδ τὴν
~の-後に これらの-後に 立ち返って そして 建て-直す その 幕屋を ダビデの その
G3326 G3778 G0390 G2532 G0456 G3588 G4633 G1138 G3588

πεπτωκυῖαν; καὶ τὰ κατεσκαμμένα αὐτῆς ἀνοικοδομήσω, καὶ ἀνορθώσω
倒れた そして その 崩れた-ものを それの 建て-直して そして 正しく-立てる
G4098 G2532 G3588 G2679 G0846 G0456 G2532 G0461

αὐτήν,
それを
G0846

『その後、わたしは帰ってきて、倒れたダビデの幕屋を建てかえ、くずれた箇所を修理し、それを立て直そう。

17 ὅπως ἂν ἐκζητήσωσιν οἱ κατάλοιποι τῶν ἀνθρώπων τὸν Κύριον,
~ために そうすれば 求めるであろう その 残りの-者たちが その 人々の その 主を
G3704 G0302 G1567 G3588 G2645 G3588 G0444 G3588 G2962

καὶ πάντα τὰ ἔθνη, ἐφ’ οὓς ἐπικέκληται τὸ ὄνομά μου
また すべての その 異邦人が ~の-上に 彼らの-上に 呼ばれている その 御名が わたしの
G2532 G3956 G3588 G1484 G1909 G3739 G1941 G3588 G3686 G1473

ἐπ’ αὐτούς, λέγει Κύριος, ποιῶν ταῦτα,
~の-上に 彼らの-上に 言われる 主が 行う これらのことを
G1909 G0846 G3004 G2962 G4160 G3778

残っている人々も、わたしの名を唱えているすべての異邦人も、主を尋ね求めるようになるためである。

18 γνωστὰ ἀπ’ αἰῶνος, <ἐστιν τῷ θεῷ πάντα τὰ ἔργα αὐτοῦ>.
知られている ~から 大昔から である その 神にとって すべての その 業は その-方の
G1110 G0575 G0165 G1510 G3588 G2316 G3956 G3588 G2041 G0846

世の初めからこれらの事を知らせておられる主が、こう仰せになった』。

19

διὸ	ἐγὼ	κρίνω	μὴ	παρενοχλεῖν	τοῖς,	ἀπὸ	τῶν
それゆえ	私は	判断する	~しないことを	悩ませないことを	その-者たちを	~から	その
G1352	G1473	G2919	G3361	G3926	G3588	G0575	G3588

ἐθνῶν,	ἐπιστρέφουσιν	ἐπὶ	τὸν	Θεόν;
異邦人から	立ち返る	~の-もとへ	その	神の-もとへ
G1484	G1994	G1909	G3588	G2316

そこで、わたしの意見では、異邦人の中から神に帰依している人たちに、わずらいをかけてはいけない。

20

ἀλλὰ	ἐπιστεῖλαι	αὐτοῖς	τοῦ	ἀπέχεσθαι	τῶν	ἀλισγημάτων	τῶν
しかし	書き送るべきである	彼らに	~するように	避けるように	その	汚れを	その
G0235	G1989	G0846	G3588	G0568	G3588	G0234	G3588

εἰδώλων,	καὶ	τῆς	πορνείας,	καὶ	‹τοῦ›	πνικτοῦ,	καὶ	τοῦ	αἵματος.
偶像の	また	その	不品行と	また	その	絞め殺した-ものと	また	その	血を
G1497	G2532	G3588	G4202	G2532	G3588	G4156	G2532	G3588	G0129

ただ、偶像に供えて汚れた物と、不品行と、絞め殺したものと、血とを、避けるようにと、彼らに書き送ることにしたい。

21

Μωϋσῆς	γὰρ	ἐκ	γενεῶν	ἀρχαίων,	κατὰ	πόλιν	τοὺς	κηρύσσοντας
モーセは	なぜなら	~から	代々	古くから	~ごとに	町ごとに	その	宣べる-者が
G3475	G1063	G1537	G1074	G0744	G2596	G4172	G3588	G2784

αὐτὸν,	ἔχει	ἐν	ταῖς	συναγωγαῖς,	κατὰ	πᾶν	σάββατον
彼を	持っている	~の-中で	その	会堂で	~ごとに	毎	安息日に
G0846	G2192	G1722	G3588	G4864	G2596	G3956	G4521

ἀναγινωσκόμενος.
読まれている
G0314

古い時代から、どの町にもモーセの律法を宣べ伝える者がいて、安息日ごとにそれを諸会堂で朗読するならわしであるから」。

22

Τότε	ἔδοξε	τοῖς	ἀποστόλοις	καὶ	τοῖς	πρεσβυτέροις,	σὺν	ὅλῃ
その時	良いと-思った	その	使徒たちと	また	その	長老たちが	~と-共に	全
G5119	G1380	G3588	G0652	G2532	G3588	G4245	G4862	G3650

τῇ	ἐκκλησίᾳ,	ἐκλεξαμένους	ἄνδρας	ἐξ	αὐτῶν,	πέμψαι	εἰς
その	教会と	選んで	人々を	~の-中から	彼らの-中から	送ることを	~へ
G3588	G1577	G1586	G0435	G1537	G0846	G3992	G1519

Ἀντιόχειαν,	σὺν	τῷ	Παύλῳ	καὶ	Βαρνάβᾳ:	Ἰούδαν	τὸν	καλούμενον
アンテオケへ	~と-共に	その	パウロと	また	バルナバと	ユダと	その	呼ばれている
G0490	G4862	G3588	G3972	G2532	G0921	G2455	G3588	G2564

Βαρσαββᾶν,	καὶ	Σιλᾶν,	ἄνδρας	ἡγουμένους	ἐν	τοῖς	ἀδελφοῖς,
バルサバと	また	シラスという	人々を	導き手である	~の-中の	その	兄弟たちの-中の
G0923	G2532	G4609	G0435	G2233	G1722	G3588	G0080

そこで、使徒たちや長老たちは、全教会と協議した末、お互の中から人々を選んで、パウロやバルナバと共に、アンテオケに派遣することに決めた。選ばれたのは、バルサバというユダとシラスとであったが、いずれも兄弟たちの間で重んじられていた人たちであった。

23 γράψαντες διὰ χειρὸς αὐτῶν, Οἱ ἀπόστολοι καὶ οἱ
書いて ~の–手によって 手によって 彼らの その 使徒たちと また その
G1125 G1223 G5495 G0846 G3588 G0652 G2532 G3588

πρεσβύτεροι, ἀδελφοὶ, τοῖς κατὰ τὴν Ἀντιόχειαν καὶ Συρίαν καὶ
長老たちと 兄弟たちから その ~に–ある その アンテオケと また シリアと また
G4245 G0080 G3588 G2596 G3588 G0490 G2532 G4947 G2532

Κιλικίαν: ἀδελφοῖς τοῖς ἐξ ἐθνῶν, χαίρειν.
キリキヤにある 兄弟たちへ その ~からの 異邦人からの 挨拶
G2791 G0080 G3588 G1537 G1484 G5463

この人たちに託された書面はこうである。「あなたがたの兄弟である使徒および長老たちから、アンテオケ、シリヤ、キリキヤにいる異邦人の兄弟がたに、あいさつを送る。

24 Ἐπειδὴ ἠκούσαμεν ὅτι τινὲς ἐξ ἡμῶν ‹ἐξελθόντες›,
~ので 聞いた ~ということを ある–人々が ~から 私たちの–中から 出て–行って
G1894 G0191 G3754 G5100 G1537 G1473 G1831

ἐτάραξαν ὑμᾶς λόγοις, ἀνασκευάζοντες τὰς ψυχὰς ὑμῶν, <λέγοντες
かき乱した あなたがたを 言葉で 動揺させて その 心を あなたがたの 言って
G5015 G4771 G3056 G0384 G3588 G5590 G4771 G3004

περιτέμνεσθαι καὶ τηρεῖν τὸν νόμον>, οἷς οὐ
割礼を–受けて そして 守るようにと その 律法を その–者たちに ~しなかった
G4059 G2532 G5083 G3588 G3551 G3739 G3756

διεστειλάμεθα;
命じなかった
G1291

こちらから行ったある者たちが、わたしたちからの指示もないのに、いろいろなことを言って、あなたがたを騒がせ、あなたがたの心を乱したと伝え聞いた。

25 ἔδοξεν ἡμῖν γενομένοις ὁμοθυμαδὸν, ἐκλεξαμένοις ἄνδρας, πέμψαι
良いと–思った 私たちが 集まって 心を–一つにして 選んで 人々を 送ることを
G1380 G1473 G1096 G3661 G1586 G0435 G3992

πρὸς ὑμᾶς, σὺν τοῖς ἀγαπητοῖς ἡμῶν, Βαρνάβᾳ καὶ
~の–もとへ あなたがたの–もとへ ~と–共に その 愛する 私たちの バルナバと また
G4314 G4771 G4862 G3588 G0027 G1473 G0921 G2532

Παύλῳ,
パウロと
G3972

そこで、わたしたちは人々を選んで、愛するバルナバおよびパウロと共に、あなたがたのもとに派遣することに、衆議一決した。

26 ἀνθρώποις παραδεδωκόσι τὰς ψυχὰς αὐτῶν, ὑπὲρ τοῦ ὀνόματος τοῦ
人々で 捨てた その 命を 彼らの ~のために その 御名のために その
G0444 G3860 G3588 G5590 G0846 G5228 G3588 G3686 G3588

Κυρίου ἡμῶν, Ἰησοῦ Χριστοῦ.
主 私たちの イエス キリストの
G2962 G1473 G2424 G5547

このふたりは、われらの主イエス・キリストの名のために、その命を投げ出した人々であるが、

27 ἀπεστάλκαμεν οὖν Ἰούδαν καὶ Σιλᾶν, καὶ αὐτοὺς διὰ
遣わした それゆえ ユダと また シラスを また 彼ら自身も ~を–通して
G0649 G3767 G2455 G2532 G4609 G2532 G0846 G1223

λόγου ἀπαγγέλλοντας τὰ αὐτά.
言葉を–通して 告げる その 同じことを
G3056 G0518 G3588 G0846

彼らと共に、ユダとシラスとを派遣する次第である。この人たちは、あなたがたに、同じ趣旨のことを、口頭でも伝えるであろう。

28 ἔδοξεν γὰρ τῷ Πνεύματι τῷ Ἁγίῳ καὶ ἡμῖν, μηδὲν πλέον
良いと–思った なぜなら その 御霊と その 聖なる また 私たちは 何も これ以上
G1380 G1063 G3588 G4151 G3588 G0040 G2532 G1473 G3367 G4119

ἐπιτίθεσθαι ὑμῖν βάρος, πλὴν τούτων τῶν ἐπάναγκες:
置かない あなたがたに 重荷を ただし これらの その 必要な–もの以外は
G2007 G4771 G0922 G4133 G3778 G3588 G1876

すなわち、聖霊とわたしたちとは、次の必要事項のほかは、どんな負担をも、あなたがたに負わせないことに決めた。

29 ἀπέχεσθαι εἰδωλοθύτων, καὶ αἵματος, καὶ πνικτῶν, καὶ πορνείας.
避けること 偶像に–ささげたものと また 血と また 絞め殺した–ものと また 不品行を
G0568 G1494 G2532 G0129 G2532 G4156 G2532 G4202

ἐξ ὧν διατηροῦντες ἑαυτοὺς, εὖ πράξετε. Ἔρρωσθε.
~から これらから 守って 自分自身を よく 行うであろう 平安あれ
G1537 G3739 G1301 G1438 G2095 G4238 G4517

それは、偶像に供えたものと、血と、絞め殺したものと、不品行とを、避けるということである。これらのものから遠ざかっておれば、それでよろしい。以上」。

30 Οἱ μὲν οὖν, ἀπολυθέντες, κατῆλθον εἰς Ἀντιόχειαν, καὶ
さて 一方 こうして 送り出されて 下って–行った ~へ アンテオケへ そして
G3588 G3303 G3767 G0630 G2718 G1519 G0490 G2532

συναγαγόντες τὸ πλῆθος, ἐπέδωκαν τὴν ἐπιστολήν.
集めて その 群衆を 渡した その 手紙を
G4863 G3588 G4128 G1929 G3588 G1992

さて、一行は人々に見送られて、アンテオケに下って行き、会衆を集めて、その書面を手渡した。

31 ἀναγνόντες δὲ, ἐχάρησαν ἐπὶ τῇ παρακλήσει.
読んで すると 喜んだ ~について その 励ましに
G0314 G1161 G5463 G1909 G3588 G3874

人々はそれを読んで、その勧めの言葉をよろこんだ。

32 Ἰούδας τε καὶ Σιλᾶς, καὶ αὐτοὶ προφῆται ὄντες, διὰ
ユダと そして また シラスも また 彼ら自身も 預言者で ありつつ ~を–通して
G2455 G5037 G2532 G4609 G2532 G0846 G4396 G1510 G1223

λόγου πολλοῦ, παρεκάλεσαν τοὺς ἀδελφοὺς, καὶ ἐπεστήριξαν.
言葉を–通して 多くの 励ました その 兄弟たちを そして 強めた
G3056 G4183 G3870 G3588 G0080 G2532 G1991

ユダとシラスとは共に預言者であったので、多くの言葉をもって兄弟たちを励まし、また力づけた。

33 ποιήσαντες δὲ χρόνον, ἀπελύθησαν μετ’ εἰρήνης ἀπὸ τῶν ἀδελφῶν,
過ごして すると 時間を 送り出された ~と–共に 平和と–共に ~から その 兄弟たちから
G4160 G1161 G5550 G0630 G3326 G1515 G0575 G3588 G0080

πρὸς τοὺς ἀποστείλαντας αὐτούς.
~の–もとへ その 遣わした–人々の–もとへ 彼らを
G4314 G3588 G0649 G0846

ふたりは、しばらくの時を、そこで過ごした後、兄弟たちから、旅の平安を祈られて、見送りを受け、自分らを派遣した人々のところに帰って行った。〔

34 {ἔδοξε δὲ τῷ Σίλᾳ ἐπιμεῖναι αὐτοῦ}.
良いと–思った しかし その シラスは とどまることを そこに
G1380 G1161 G3588 G4609 G1961 G0847

しかし、シラスだけは、引きつづきとどまることにした。〕

35 Παῦλος δὲ καὶ Βαρνάβας διέτριβον ἐν Ἀντιοχείᾳ, διδάσκοντες καὶ
パウロと しかし また バルナバは 滞在していた ~の–中で アンテオケで 教えて また
G3972 G1161 G2532 G0921 G1304 G1722 G0490 G1321 G2532

εὐαγγελιζόμενοι, μετὰ καὶ ἑτέρων πολλῶν, τὸν λόγον τοῦ Κυρίου.
福音を–宣べ伝えていた ~と–共に また 他の 多くの–人々と その 言葉を その 主の
G2097 G3326 G2532 G2087 G4183 G3588 G3056 G3588 G2962

パウロとバルナバとはアンテオケに滞在をつづけて、ほかの多くの人たちと共に、主の言葉を教えかつ宣べ伝えた。

36 Μετὰ δέ τινας ἡμέρας, εἶπεν πρὸς Βαρνάβαν, Παῦλος, Ἐπιστρέψαντες
~の–後 そして ある 日々の–後 言った ~に–向かって バルナバに パウロが 帰って
G3326 G1161 G5100 G2250 G3004 G4314 G0921 G3972 G1994

δὴ ἐπισκεψώμεθα τοὺς ἀδελφοὺς κατὰ πόλιν πᾶσαν, ἐν αἷς
さあ 訪ねよう その 兄弟たちを ~ごとに 町ごとに すべての ~の–中で そこで
G1211 G1980 G3588 G0080 G2596 G4172 G3956 G1722 G3739

κατηγγείλαμεν τὸν λόγον τοῦ Κυρίου, πῶς ἔχουσιν.
宣べ伝えた その 言葉を その 主の どう しているかを
G2605 G3588 G3056 G3588 G2962 G4459 G2192

幾日かの後、パウロはバルナバに言った、「さあ、前に主の言葉を伝えたすべての町々にいる兄弟たちを、また訪問して、みんながどうしているかを見てこようではないか」。

37 Βαρνάβας δὲ ἐβούλετο συμπαραλαβεῖν, καὶ τὸν Ἰωάννην τὸν καλούμενον
バルナバは しかし 望んだ 連れて–行くことを また その ヨハネも その 呼ばれている
G0921 G1161 G1014 G4838 G2532 G3588 G2491 G3588 G2564

Μάρκον;
マルコも
G3138

そこで、バルナバはマルコというヨハネも一緒に連れて行くつもりでいた。

38 Παῦλος δὲ ἠξίου, τὸν ἀποστάντα ἀπ’ αὐτῶν ἀπὸ Παμφυλίας,
パウロは しかし 思った その–人を 離れた ~から 彼らから ~の–時に パンフリヤの–時に
G3972 G1161 G0515 G3588 G0868 G0575 G0846 G0575 G3828

καὶ μὴ συνελθόντα αὐτοῖς εἰς τὸ ἔργον, μὴ
そして ~しなかった 共に–行かなかった 彼らと ~のために その 働きのために ~しないこと
G2532 G3361 G4905 G0846 G1519 G3588 G2041 G3361

συμπαραλαμβάνειν τοῦτον.
連れて–行かないことを この–人を
G4838 G3778

しかし、パウロは、前にパンフリヤで一行から離れて、働きを共にしなかったような者は、連れて行かないがよいと考えた。

39 ἐγένετο 起こった G1096 δὲ すると G1161 παροξυσμός, 激しい–争いが G3948 ὥστε その–結果 G5620 ἀποχωρισθῆναι 分かれた G0673 αὐτοὺς 彼らは G0846 ἀπ’ ~から G0575 ἀλλήλων. 互いに G0240 τόν その G3588

τε そして G5037 Βαρνάβαν, バルナバは G0921 παραλαβόντα 連れて G3880 τὸν その G3588 Μάρκον, マルコを G3138 ἐκπλεῦσαι 船出した G1602 εἰς ~へ G1519 Κύπρον; キプロスへ G2954

こうして激論が起り、その結果ふたりは互に別れ別れになり、バルナバはマルコを連れてクプロに渡って行き、

40 Παῦλος パウロは G3972 δὲ, しかし G1161 ἐπιλεξάμενος 選んで G1951 Σιλᾶν, シラスを G4609 ἐξῆλθεν, 出かけた G1831 παραδοθεὶς 委ねられて G3860 τῇ その G3588 χάριτι 恵みに G5485 τοῦ その G3588

Κυρίου 主の G2962 ὑπὸ ~によって G5259 τῶν その G3588 ἀδελφῶν. 兄弟たちによって G0080

パウロはシラスを選び、兄弟たちから主の恵みにゆだねられて、出発した。

41 διήρχετο 巡って–行った G1330 δὲ そして G1161 τὴν その G3588 Συρίαν シリアと G4947 καὶ また G2532 ‹τὴν› その G3588 Κιλικίαν, キリキヤを G2791 ἐπιστηρίζων 強めて G1991 τὰς その G3588

ἐκκλησίας. 諸教会を G1577

そしてパウロは、シリヤ、キリキヤの地方をとおって、諸教会を力づけた。

Chapter 16

1 Κατήντησεν 着いた G2658 δὲ さて G1161 καὶ また G2532 εἰς ~へ G1519 Δέρβην デルベへ G1191 καὶ また G2532 εἰς ~へ G1519 Λύστραν. ルストラへ G3082 καὶ すると G2532 ἰδοὺ, 見よ G3708 μαθητής 弟子が G3101

τις ある G5100 ἦν いた G1510 ἐκεῖ, そこに G1563 ὀνόματι 名を G3686 Τιμόθεος, テモテという G5095 υἱὸς 息子で G5207 γυναικὸς 女の G1135 Ἰουδαίας ユダヤ人の G2453 πιστῆς, 信仰深い G4103 πατρὸς 父は G3962

δὲ しかし G1161 Ἕλληνος, ギリシヤ人の G1672

それから、彼はデルベに行き、次にルステラに行った。そこにテモテという名の弟子がいた。信者のユダヤ婦人を母とし、ギリシヤ人を父としており、

2 ὃς この–人は G3739 ἐμαρτυρεῖτο 証しされていた G3140 ὑπὸ ~によって G5259 τῶν その G3588 ἐν ~に–いる G1722 Λύστροις ルストラと G3082 καὶ また G2532 Ἰκονίῳ イコニオンの G2430

ἀδελφῶν. 兄弟たちによって G0080

ルステラとイコニオムの兄弟たちの間で、評判のよい人物であった。

3 τοῦτον ἠθέλησεν ὁ Παῦλος σὺν αὐτῷ ἐξελθεῖν, καὶ λαβὼν,
この-人を 望んだ その パウロが ~と-共に 彼と 出かけることを そして 取って
G3778 G2309 G3588 G3972 G4862 G0846 G1831 G2532 G2983

περιέτεμεν αὐτὸν, διὰ τοὺς Ἰουδαίους τοὺς ὄντας ἐν τοῖς
割礼を-施した 彼に ~の-ゆえに その ユダヤ人の-ゆえに その いる ~の-中に その
G4059 G0846 G1223 G3588 G2453 G3588 G1510 G1722 G3588

τόποις ἐκείνοις; ᾔδεισαν γὰρ ἅπαντες, ὅτι Ἕλλην ὁ πατὴρ αὐτοῦ
場所に それらの 知っていた なぜなら 皆が ~ことを ギリシヤ人で その 父が 彼の
G5117 G1565 G1492 G1063 G0537 G3754 G1672 G3588 G3962 G0846

ὑπῆρχεν.
あったことを
G5225

パウロはこのテモテを連れて行きたかったので、その地方にいるユダヤ人の手前、まず彼に割礼を受けさせた。彼の父がギリシヤ人であることは、みんな知っていたからである。

4 Ὡς δὲ διεπορεύοντο τὰς πόλεις, παρεδίδοσαν αὐτοῖς φυλάσσειν, τὰ
~した-時 さて 巡って行った その 町々を 渡した 彼らに 守るように その
G5613 G1161 G1279 G3588 G4172 G3860 G0846 G5442 G3588

δόγματα τὰ κεκριμένα ὑπὸ τῶν ἀποστόλων καὶ πρεσβυτέρων τῶν
決定を その 定められた ~によって その 使徒たちと また 長老たちによって その
G1378 G3588 G2919 G5259 G3588 G0652 G2532 G4245 G3588

ἐν Ἱεροσολύμοις.
~に-いる エルサレムに-いる
G1722 G2414

それから彼らは通る町々で、エルサレムの使徒たちや長老たちの取り決めた事項を守るようにと、人々にそれを渡した。

5 Αἱ μὲν οὖν ἐκκλησίαι ἐστερεοῦντο τῇ πίστει, καὶ ἐπερίσσευον
その 一方 こうして 諸教会は 強められていた その 信仰において そして 増えていた
G3588 G3303 G3767 G1577 G4732 G3588 G4102 G2532 G4052

τῷ ἀριθμῷ καθ’ ἡμέραν.
その 数において ~ごとに 日ごとに
G3588 G0706 G2596 G2250

こうして、諸教会はその信仰を強められ、日ごとに数を増していった。

6 Διῆλθον δὲ τὴν Φρυγίαν, καὶ Γαλατικὴν χώραν, κωλυθέντες ὑπὸ τοῦ
巡った そして その フルギヤと また ガラテヤの 地方を 妨げられて ~によって その
G1330 G1161 G3588 G5435 G2532 G1054 G5561 G2967 G5259 G3588

Ἁγίου Πνεύματος λαλῆσαι τὸν λόγον ἐν τῇ Ἀσίᾳ,
聖なる 御霊によって 語ることを その 言葉を ~の-中で その アジアで
G0040 G4151 G2980 G3588 G3056 G1722 G3588 G0773

それから彼らは、アジヤで御言を語ることを聖霊に禁じられたので、フルギヤ・ガラテヤ地方をとおって行った。

7 ἐλθόντες δὲ κατὰ τὴν Μυσίαν, ἐπείραζον εἰς τὴν Βιθυνίαν
来て そして ~の-近くへ その ミュシアの-近くへ 試みた ~へ その ビテニヤへ
G2064 G1161 G2596 G3588 G3465 G3985 G1519 G3588 G0978

πορευθῆναι; καὶ οὐκ εἴασεν αὐτοὺς τὸ Πνεῦμα Ἰησοῦ;
行こうと しかし ~しなかった 許さなかった 彼らを その 御霊が イエスの
G4198 G2532 G3756 G1439 G0846 G3588 G4151 G2424

そして、ムシヤのあたりにきてから、ビテニヤに進んで行こうとしたところ、イエスの御霊がこれを許さなかった。

8 παρελθόντες δὲ τὴν Μυσίαν, κατέβησαν εἰς Τρῳάδα.
通り過ぎて そして その ミュシアを 下って-行った ~へ トロアスへ
G3928 G1161 G3588 G3465 G2597 G1519 G5174

それで、ムシヤを通過して、トロアスに下って行った。

9 καὶ ὅραμα διὰ [τῆς] νυκτὸς τῷ Παύλῳ ὤφθη: ἀνὴρ Μακεδών
すると 幻が ~の-間に その 夜の-間に その パウロに 現れた 人が マケドニアの
G2532 G3705 G1223 G3588 G3571 G3588 G3972 G3708 G0435 G3110

τις ἦν ἑστὼς, καὶ παρακαλῶν αὐτὸν, καὶ λέγων, Διαβὰς εἰς
ある いた 立って そして 頼んでいた 彼に そして 言って 渡って-来て ~へ
G5100 G1510 G2476 G2532 G3870 G0846 G2532 G3004 G1224 G1519

Μακεδονίαν, βοήθησον ἡμῖν.
マケドニアへ 助けてください 私たちを
G3109 G0997 G1473

ここで夜、パウロは一つの幻を見た。ひとりのマケドニヤ人が立って、「マケドニヤに渡ってきて、わたしたちを助けて下さい」と、彼に懇願するのであった。

10 ὡς δὲ τὸ ὅραμα εἶδεν, εὐθέως ἐζητήσαμεν ἐξελθεῖν εἰς
~した-時 すると その 幻を 見た-時 すぐに 求めた 出かけることを ~へ
G5613 G1161 G3588 G3705 G3708 G2112 G2212 G1831 G1519

Μακεδονίαν, συμβιβάζοντες ὅτι προσκέκληται ἡμᾶς ὁ Θεὸς
マケドニアへ 確信して ~ことを 召した 私たちを その 神が
G3109 G4822 G3754 G4341 G1473 G3588 G2316

εὐαγγελίσασθαι αὐτούς.
福音を-宣べ伝えるために 彼らに
G2097 G0846

パウロがこの幻を見た時、これは彼らに福音を伝えるために、神がわたしたちをお招きになったのだと確信して、わたしたちは、ただちにマケドニヤに渡って行くことにした。

11 Ἀναχθέντες δὲ ἀπὸ Τρῳάδος, εὐθυδρομήσαμεν εἰς Σαμοθρᾴκην, τῇ
出航して さて ~から トロアスから まっすぐ-航行した ~へ サモトラケへ その
G0321 G1161 G0575 G5174 G2113 G1519 G4543 G3588

δὲ ἐπιούσῃ, εἰς Νέαν Πόλιν,
そして 翌日 ~へ ネアポリスへ ネアポリスへ
G1161 G1966 G1519 G3501 G4172

そこで、わたしたちはトロアスから船出して、サモトラケに直航し、翌日ネアポリスに着いた。

12 κἀκεῖθεν εἰς Φιλίππους, ἥτις ἐστὶν πρώτη τῆς▯ μερίδος Μακεδονίας πόλις,
そこから ~へ ピリピへ そこは である 第一の その 地区の マケドニアの 町で
G2547 G1519 G5375 G3748 G1510 G4413 G3588 G3310 G3109 G4172

κολωνία. Ἦμεν δὲ ἐν ταύτῃ τῇ πόλει διατρίβοντες ἡμέρας τινάς.
植民地である いた さて ~の-中に この その 町に 滞在して 日々を ある
G2862 G1510 G1161 G1722 G3778 G3588 G4172 G1304 G2250 G5100

そこからピリピへ行った。これはマケドニヤのこの地方第一の町で、植民都市であった。わたしたちは、この町に数日間滞在した。

13 τῇ その G3588 τε そして G5037 ἡμέρᾳ 日に G2250 τῶν その G3588 σαββάτων, 安息日の G4521 ἐξήλθομεν 出た G1831 ἔξω 外に G1854 τῆς その G3588 πύλης, 門の-外に G4439 παρὰ ~の-そばに G3844

ποταμὸν, 川の-そばに G4215 οὗ そこで G3757 ἐνομίζομεν 思っていた G3543 προσευχὴν 祈りの-場が G4335 εἶναι, ある と G1510 καὶ そして G2532 καθίσαντες, 座って G2523 ἐλαλοῦμεν 語った G2980 ταῖς その G3588

συνελθούσαις 集まって-来た G4905 γυναιξίν. 女たちに G1135

ある安息日に、わたしたちは町の門を出て、祈り場があると思って、川のほとりに行った。そして、そこにすわり、集まってきた婦人たちに話をした。

14 καί そして G2532 τις ある G5100 γυνὴ, 女が G1135 ὀνόματι 名を G3686 Λυδία, ルデヤという G3070 πορφυρόπωλις 紫布の-商人で G4211 πόλεως 町の G4172 Θυατείρων, ティアテラの G2363

σεβομένη 敬虔な G4576 τὸν その G3588 Θεόν, 神を G2316 ἤκουεν; 聞いていた G0191 ἧς その-人の G3739 ὁ その G3588 Κύριος 主が G2962 διήνοιξεν 開いた G1272 τὴν その G3588 καρδίαν, 心を G2588

προσέχειν 心を-留めるために G4337 τοῖς その G3588 λαλουμένοις 語られていることに G2980 ὑπὸ ~によって G5259 ‹τοῦ› その G3588 Παύλου. パウロによって G3972

ところが、テアテラ市の紫布の商人で、神を敬うルデヤという婦人が聞いていた。主は彼女の心を開いて、パウロの語ることに耳を傾けさせた。

15 ὡς ~した-時 G5613 δὲ すると G1161 ἐβαπτίσθη, バプテスマを-受けた G0907 καὶ また G2532 ὁ その G3588 οἶκος 家族も G3624 αὐτῆς, 彼女の G0846 παρεκάλεσεν, 頼んだ G3870 λέγουσα, 言って G3004

Εἰ もし G1487 κεκρίκατέ 判断したのなら G2919 με 私を G1473 πιστὴν 忠実であると G4103 τῷ その G3588 Κυρίῳ 主に G2962 εἶναι, ある と G1510 εἰσελθόντες 入って G1525 εἰς ~の-中に G1519 τὸν その G3588

οἶκόν 家に G3624 μου, 私の G1473 μένετε. 泊まりなさい G3306 καὶ そして G2532 παρεβιάσατο 強く-勧めた G3849 ἡμᾶς. 私たちを G1473

そして、この婦人もその家族も、共にバプテスマを受けたが、その時、彼女は「もし、わたしを主を信じる者とお思いでしたら、どうぞ、わたしの家にきて泊まって下さい」と懇望し、しいてわたしたちをつれて行った。

16 Ἐγένετο 起こった G1096 δὲ, さて G1161 πορευομένων 行っている-時 G4198 ἡμῶν 私たちが G1473 εἰς ~の-ほうへ G1519 τὴν その G3588 προσευχὴν, 祈りの-場の-ほうへ G4335 παιδίσκην 女中が G3814

τινὰ, ある G5100 ἔχουσαν 持っている G2192 πνεῦμα 霊を G4151 Πύθωνα, 占いの G4436 ὑπαντῆσαι 出会った G5221 ἡμῖν, 私たちに G1473 ἥτις その-女は G3748 ἐργασίαν 利益を G2039 πολλὴν 多くの G4183

παρεῖχεν もたらしていた G3930 τοῖς その G3588 κυρίοις 主人たちに G2962 αὐτῆς 彼女の G0846 μαντευομένη. 占って G3132

ある時、わたしたちが、祈り場に行く途中、占いの霊につかれた女奴隷に出会った。彼女は占いをして、その主人たちに多くの利益を得させていた者である。

17 αὕτη, この–女は G3778 | κατακολουθοῦσα ついて–来て G2628 | τῷ その G3588 | Παύλῳ パウロと G3972 | καὶ また G2532 | ἡμῖν 私たちに G1473 | ἔκραζεν, 叫んだ G2896 | λέγουσα, 言って G3004 | Οὗτοι この G3778 | οἱ その G3588 | ἄνθρωποι 人々は G0444 | δοῦλοι 僕である G1401 | τοῦ その G3588 | Θεοῦ 神の G2316 | τοῦ その G3588 | Ὑψίστου いと–高き G5310 | εἰσίν, である G1510 | οἵτινες その–人々は G3748 | καταγγέλλουσιν 告げ–知らせている G2605 | ὑμῖν あなたがたに G4771 | ὁδὸν 道を G3598 | σωτηρίας. 救いの G4991

この女が、パウロやわたしたちのあとを追ってきては、「この人たちは、いと高き神の僕たちで、あなたがたに救の道を伝えるかただ」と、叫び出すのであった。

18 τοῦτο これを G3778 | δὲ さて G1161 | ἐποίει していた G4160 | ἐπὶ ~の–間 G1909 | πολλὰς 多くの G4183 | ἡμέρας. 日々の–間 G2250 | διαπονηθεὶς 惑まされて G1278 | δὲ, そこで G1161 | Παῦλος, パウロは G3972 | καὶ そして G2532 | ἐπιστρέψας 振り返って G1994 | τῷ その G3588 | πνεύματι, 霊に G4151 | εἶπεν, 言った G3004 | Παραγγέλλω 命じる G3853 | σοι お前に G4771 | ἐν ~に–おいて G1722 | ὀνόματι 御名において G3686 | Ἰησοῦ イエス G2424 | Χριστοῦ キリストの G5547 | ἐξελθεῖν 出て–行くように G1831 | ἀπ’ ~から G0575 | αὐτῆς. 彼女から G0846 | καὶ すると G2532 | ἐξῆλθεν 出て–行った G1831 | αὐτῇ その G0846 | τῇ その G3588 | ὥρᾳ. 時に G5610

そして、そんなことを幾日間もつづけていた。パウロは困りはてて、その霊にむかい「イエス・キリストの名によって命じる。その女から出て行け」と言った。すると、その瞬間に霊が女から出て行った。

19 Ἰδόντες 見て G3708 | δὲ すると G1161 | οἱ その G3588 | κύριοι 主人たちは G2962 | αὐτῆς, 彼女の G0846 | ὅτι ~ことを G3754 | ἐξῆλθεν 出て–行った G1831 | ἡ その G3588 | ἐλπὶς 望みが G1680 | τῆς その G3588 | ἐργασίας 利益の G2039 | αὐτῶν, 彼らの G0846 | ἐπιλαβόμενοι 捕らえて G1949 | τὸν その G3588 | Παῦλον パウロと G3972 | καὶ また G2532 | τὸν その G3588 | Σιλᾶν, シラスを G4609 | εἵλκυσαν 引きずった G1670 | εἰς ~の–中へ G1519 | τὴν その G3588 | ἀγορὰν 広場へ G0058 | ἐπὶ ~の–前に G1909 | τοὺς その G3588 | ἄρχοντας; 役人たちの–前に G0758

彼女の主人たちは、自分らの利益を得る望みが絶えたのを見て、パウロとシラスとを捕え、役人に引き渡すため広場に引きずって行った。

20 καὶ そして G2532 | προσαγαγόντες 連れて–行って G4317 | αὐτοὺς 彼らを G0846 | τοῖς その G3588 | στρατηγοῖς, 長官たちに G4755 | εἶπαν, 言った G3004 | Οὗτοι この G3778 | οἱ その G3588 | ἄνθρωποι 人々は G0444 | ἐκταράσσουσιν かき乱している G1613 | ἡμῶν 私たちの G1473 | τὴν その G3588 | πόλιν, 町を G4172 | Ἰουδαῖοι ユダヤ人であって G2453 | ὑπάρχοντες, ありつつ G5225

それから、ふたりを長官たちの前に引き出して訴えた、「この人たちはユダヤ人でありまして、わたしたちの町をかき乱し、

21 καὶ καταγγέλλουσιν ἔθη, ἃ οὐκ ἔξεστιν ἡμῖν παραδέχεσθαι
そして 宣べ伝えている 慣習を それを ~できない 許されない 私たちには 受け入れることも
G2532 G2605 G1485 G3739 G3756 G1832 G1473 G3858

οὐδὲ ποιεῖν, Ῥωμαίοις οὖσιν.
また 行うことも ローマ人で あるのに
G3761 G4160 G4514 G1510

わたしたちローマ人が、採用も実行もしてはならない風習を宣伝しているのです」。

22 καὶ συνεπέστη ὁ ὄχλος κατ’ αὐτῶν, καὶ οἱ στρατηγοὶ
そして 立ち上がった その 群衆が ~に-対して 彼らに-対して そして その 長官たちは
G2532 G4911 G3588 G3793 G2596 G0846 G2532 G3588 G4755

περιρήξαντες αὐτῶν τὰ ἱμάτια, ἐκέλευον ῥαβδίζειν.
引き裂いて 彼らの その 衣を 命じた 棒で-打つように
G4048 G0846 G3588 G2440 G2753 G4463

群衆もいっせいに立って、ふたりを責めたてたので、長官たちはふたりの上着をはぎ取り、むちで打つことを命じた。

23 πολλάς τε ἐπιθέντες αὐτοῖς πληγὰς, ἔβαλον εἰς φυλακήν, παραγγείλαντες
多くの そして 加えて 彼らに 打ち傷を 入れた ~の-中に 牢に 命じて
G4183 G5037 G2007 G0846 G4127 G0906 G1519 G5438 G3853

τῷ δεσμοφύλακι ἀσφαλῶς τηρεῖν αὐτούς.
その 獄守に しっかりと 守るように 彼らを
G3588 G1200 G0806 G5083 G0846

それで、ふたりに何度もむちを加えさせたのち、獄に入れ、獄吏にしっかり番をするようにと命じた。

24 ὃς παραγγελίαν τοιαύτην λαβὼν, ἔβαλεν αὐτοὺς εἰς τὴν ἐσωτέραν
その-人は 命令を そのような 受けて 入れた 彼らを ~の-中に その 奥の
G3739 G3852 G5108 G2983 G0906 G0846 G1519 G3588 G2082

φυλακὴν, καὶ τοὺς πόδας ἠσφαλίσατο αὐτῶν εἰς τὸ ξύλον.
牢に そして その 足を 固めた 彼らの ~の-中に その 足かせに
G5438 G2532 G3588 G4228 G0805 G0846 G1519 G3588 G3586

獄吏はこの厳命を受けたので、ふたりを奥の獄屋に入れ、その足に足かせをしっかとかけておいた。

25 Κατὰ δὲ τὸ μεσονύκτιον, Παῦλος καὶ Σιλᾶς, προσευχόμενοι, ὕμνουν
~の-頃 さて その 真夜中に パウロと また シラスは 祈って 讃美していた
G2596 G1161 G3588 G3317 G3972 G2532 G4609 G4336 G5214

τὸν Θεόν. ἐπηκροῶντο δὲ αὐτῶν οἱ δέσμιοι.
その 神を 聞いていた すると 彼らの-声を その 囚人たちが
G3588 G2316 G1874 G1161 G0846 G3588 G1198

真夜中ごろ、パウロとシラスとは、神に祈り、さんびを歌いつづけたが、囚人たちは耳をすまして聞きいっていた。

26 ἄφνω δὲ σεισμὸς ἐγένετο μέγας, ὥστε σαλευθῆναι τὰ θεμέλια τοῦ
突然 すると 地震が 起こった 大きな その-結果 揺れた その 土台が その
G0869 G1161 G4578 G1096 G3173 G5620 G4531 G3588 G2310 G3588

δεσμωτηρίου. ἠνεῴχθησαν δὲ παραχρῆμα αἱ θύραι πᾶσαι, καὶ
牢の 開いた すると たちまち その 戸が すべての そして
G1201 G0455 G1161 G3916 G3588 G2374 G3956 G2532

πάντων τὰ δεσμὰ ἀνέθη.
すべての-人の その 鎖が 解けた
G3956 G3588 G1199 G0447

ところが突然、大地震が起って、獄の土台が揺れ動き、戸は全部たちまち開いて、みんなの者の鎖が解けてしまった。

27 ἔξυπνος 目を-覚まして G1853 δὲ すると G1161 γενόμενος なった G1096 ὁ その G3588 δεσμοφύλαξ, 獄守は G1200 καὶ そして G2532 ἰδὼν 見て G3708 ἀνεῳγμένας 開いている G0455 τὰς その G3588

θύρας 戸が G2374 τῆς その G3588 φυλακῆς, 牢の G5438 σπασάμενος 拝いて G4685 τὴν その G3588 μάχαιραν, 剣を G3162 ἤμελλεν しようとしていた G3195 ἑαυτὸν 自分自身を G1438

ἀναιρεῖν, 殺すことを G0337 νομίζων 思って G3543 ἐκπεφευγέναι 逃げたと G1628 τοὺς その G3588 δεσμίους. 囚人たちが G1198

獄吏は目をさまし、獄の戸が開いてしまっているのを見て、囚人たちが逃げ出したものと思い、つるぎを抜いて自殺しかけた。

28 ἐφώνησεν 叫んだ G5455 δὲ しかし G1161 «‹ὁ› その G3588 Παῦλος»□, パウロが G3972 «μεγάλῃ 大きな G3173 φωνῇ», 声で G5456 λέγων, 言って G3004 Μηδὲν 何も G3367 πράξῃς してはならない G4238

σεαυτῷ 自分に G4572 κακόν; 悪いことを G2556 ἅπαντες 皆 G0537 γάρ なぜなら G1063 ἐσμεν いる G1510 ἐνθάδε. ここに G1759

そこでパウロは大声をあげて言った、「自害してはいけない。われわれは皆ひとり残らず、ここにいる」。

29 αἰτήσας 求めて G0154 δὲ すると G1161 φῶτα, 明かりを G5457 εἰσεπήδησεν, 飛び込んで G1530 καὶ そして G2532 ἔντρομος 震えて G1790 γενόμενος, なって G1096 προσέπεσεν ひれ伏した G4363 τῷ その G3588

Παύλῳ パウロと G3972 καὶ また G2532 ‹τῷ› その G3588 Σιλᾷ. シラスの-前に G4609

すると、獄吏は、あかりを手に入れた上、獄に駆け込んできて、おののきながらパウロとシラスの前にひれ伏した。

30 καὶ そして G2532 προαγαγὼν 連れ出して G4254 αὐτοὺς 彼らを G0846 ἔξω 外へ G1854 ἔφη, 言った G5346 Κύριοι, 旦那方よ G2962 τί 何を G5101 με 私は G1473 δεῖ しなければなりませんか G1163

ποιεῖν, することを G4160 ἵνα ~するために G2443 σωθῶ? 救われるために G4982

それから、ふたりを外に連れ出して言った、「先生がた、わたしは救われるために、何をすべきでしょうか」。

31 οἱ その G3588 δὲ すると G1161 εἶπαν, 言った G3004 Πίστευσον 信じなさい G4100 ἐπὶ ~の-上に G1909 τὸν その G3588 Κύριον 主 G2962 Ἰησοῦν, イエスを G2424 καὶ そうすれば G2532

σωθήσῃ, 救われるであろう G4982 σὺ あなたも G4771 καὶ また G2532 ὁ その G3588 οἶκός 家族も G3624 σου. あなたの G4771

ふたりが言った、「主イエスを信じなさい。そうしたら、あなたもあなたの家族も救われます」。

32 καὶ ἐλάλησαν αὐτῷ τὸν λόγον τοῦ κυρίου, σὺν πᾶσιν τοῖς ἐν
そして 語った 彼に その 言葉を その 主の ~と-共に すべての その ~に-いる
G2532 G2980 G0846 G3588 G3056 G3588 G2962 G4862 G3956 G3588 G1722

τῇ οἰκίᾳ αὐτοῦ.
その 家に-いる 彼の
G3588 G3614 G0846

それから、彼とその家族一同とに、神の言を語って聞かせた。

33 καὶ παραλαβὼν αὐτοὺς ἐν ἐκείνῃ τῇ ὥρᾳ τῆς νυκτὸς, ἔλουσεν
そして 連れて 彼らを ~の-中に その その 時に その 夜の 洗った
G2532 G3880 G0846 G1722 G1565 G3588 G5610 G3588 G3571 G3068

ἀπὸ τῶν πληγῶν; καὶ ἐβαπτίσθη, αὐτὸς καὶ οἱ αὐτοῦ πάντες
~から その 傷を そして バプテスマを-受けた 彼自身と また その 彼の 全員が
G0575 G3588 G4127 G2532 G0907 G0846 G2532 G3588 G0846 G3956

παραχρῆμα.
たちまち
G3916

彼は真夜中にもかかわらず、ふたりを引き取って、その打ち傷を洗ってやった。そして、その場で自分も家族も、ひとり残らずバプテスマを受け、

34 ἀναγαγών τε αὐτοὺς εἰς τὸν οἶκον, παρέθηκεν τράπεζαν, καὶ
上に-連れて行って そして 彼らを ~の-中へ その 家へ 出した 食卓を そして
G0321 G5037 G0846 G1519 G3588 G3624 G3908 G5132 G2532

ἠγαλλιάσατο πανοικεὶ, πεπιστευκὼς τῷ Θεῷ.
喜んだ 家中で 信じて その 神を
G0021 G3832 G4100 G3588 G2316

さらに、ふたりを自分の家に案内して食事のもてなしをし、神を信じる者となったことを、全家族と共に心から喜んだ。

35 Ἡμέρας δὲ γενομένης, ἀπέστειλαν οἱ στρατηγοὶ τοὺς ῥαβδούχους,
日が-明けると すると なった 遣わした その 長官たちが その 役人たちを
G2250 G1161 G1096 G0649 G3588 G4755 G3588 G4465

λέγοντες, Ἀπόλυσον τοὺς ἀνθρώπους ἐκείνους.
言って 釈放しなさい その 人々を それらの
G3004 G0630 G3588 G0444 G1565

夜が明けると、長官たちは警吏らをつかわして、「あの人たちを釈放せよ」と言わせた。

36 ἀπήγγειλεν δὲ ὁ δεσμοφύλαξ τοὺς λόγους τούτους πρὸς τὸν
告げた すると その 獄守は その 言葉を これらの ~に-向かって その
G0518 G1161 G3588 G1200 G3588 G3056 G3778 G4314 G3588

Παῦλον ὅτι, Ἀπέσταλκαν οἱ στρατηγοὶ, ἵνα ἀπολυθῆτε. νῦν
パウロに ~ということを 遣わした その 長官たちが ~するために 釈放されるために 今
G3972 G3754 G0649 G3588 G4755 G2443 G0630 G3568

οὖν ἐξελθόντες, πορεύεσθε ἐν εἰρήνῃ.
それゆえ 出て 行きなさい ~の-中で 平和の-中で
G3767 G1831 G4198 G1722 G1515

そこで、獄吏はこの言葉をパウロに伝えて言った、「長官たちが、あなたがたを釈放させるようにと、使をよこしました。さあ、出てきて、無事にお帰りなさい」。

37

ὁ	δὲ	Παῦλος	ἔφη	πρὸς	αὐτούς,	Δείραντες	ἡμᾶς	δημοσίᾳ
その	しかし	パウロは	言った	~に-向かって	彼らに	打った	私たちを	公に
G3588	G1161	G3972	G5346	G4314	G0846	G1194	G1473	G1219

ἀκατακρίτους,	ἀνθρώπους,	Ῥωμαίους	ὑπάρχοντας,	ἔβαλαν	εἰς	φυλακήν,
裁判なしに	人々を	ローマ市民である	ある	入れた	~の-中に	牢に
G0178	G0444	G4514	G5225	G0906	G1519	G5438

καὶ	νῦν	λάθρᾳ	ἡμᾶς	ἐκβάλλουσιν?	οὐ	γάρ;	ἀλλὰ	ἐλθόντες
そして	今	密かに	私たちを	追い出すのか	~ではない	そんなことが	そうではなく	来て
G2532	G3568	G2977	G1473	G1544	G3756	G1063	G0235	G2064

αὐτοὶ,	ἡμᾶς	ἐξαγαγέτωσαν.
自分たちで	私たちを	連れ出せ
G0846	G1473	G1806

ところが、パウロは警吏らに言った、「彼らは、ローマ人であるわれわれを、裁判にかけもせずに、公衆の前でむち打ったあげく、獄に入れてしまった。しかるに今になって、ひそかに、われわれを出そうとするのか。それは、いけない。彼ら自身がここにきて、われわれを連れ出すべきである」。

38

ἀπήγγειλαν	δὲ	τοῖς	στρατηγοῖς	οἱ	ῥαβδοῦχοι	τὰ	ῥήματα	ταῦτα.
告げた	すると	その	長官たちに	その	役人たちが	その	言葉を	これらの
G0518	G1161	G3588	G4755	G3588	G4465	G3588	G4487	G3778

ἐφοβήθησαν	δὲ,	ἀκούσαντες	ὅτι	Ῥωμαῖοί	εἰσιν.
恐れた	すると	聞いて	~ということを	ローマ市民であると	あると
G5399	G1161	G0191	G3754	G4514	G1510

警吏らはこの言葉を長官たちに報告した。すると長官たちは、ふたりがローマ人だと聞いて恐れ、

39

καὶ	ἐλθόντες,	παρεκάλεσαν	αὐτούς,	καὶ	ἐξαγαγόντες,	ἠρώτων	ἀπελθεῖν
そして	来て	詫びた	彼らに	そして	連れ出して	頼んだ	立ち去るようにと
G2532	G2064	G3870	G0846	G2532	G1806	G2065	G0565

ἀπὸ	τῆς	πόλεως.
~から	その	町から
G0575	G3588	G4172

自分でやってきてわびた上、ふたりを獄から連れ出し、町から立ち去るようにと頼んだ。

40

ἐξελθόντες	δὲ	ἀπὸ	τῆς	φυλακῆς,	εἰσῆλθον	πρὸς	τὴν	Λυδίαν;
出て	すると	~から	その	牢から	入った	~の-もとに	その	ルデヤの-もとに
G1831	G1161	G0575	G3588	G5438	G1525	G4314	G3588	G3070

καὶ	ἰδόντες,	παρεκάλεσαν	τοὺς	ἀδελφοὺς	καὶ	ἐξῆλθαν.
そして	会って	励ました	その	兄弟たちを	そして	出て-行った
G2532	G3708	G3870	G3588	G0080	G2532	G1831

ふたりは獄を出て、ルデヤの家に行った。そして、兄弟たちに会って勧めをなし、それから出かけた。

Chapter 17

1

Διοδεύσαντες	δὲ	τὴν	Ἀμφίπολιν	καὶ	τὴν	Ἀπολλωνίαν,	ἦλθον	εἰς
通過して	さて	その	アムピポリスを	そして	その	アポロニアを	来た	へ
G1353	G1161	G3588	G0295	G2532	G3588	G0624	G2064	G1519

Θεσσαλονίκην,	ὅπου	ἦν	συναγωγὴ	τῶν	Ἰουδαίων.
テサロニケに	そこには	あった	会堂が	その	ユダヤ人たちの
G2332	G3699	G1510	G4864	G3588	G2453

一行は、アムピポリスとアポロニヤとをとおって、テサロニケに行った。ここにはユダヤ人の会堂があった。

2

κατὰ	δὲ	τὸ	εἰωθὸς	τῷ	Παύλῳ,	εἰσῆλθεν	πρὸς	αὐτοὺς,	καὶ
に–従い	そして	その	慣例	その	パウロの	入って–行った	の–もとに	彼らの	そして
G2596	G1161	G3588	G1486	G3588	G3972	G1525	G4314	G0846	G2532

ἐπὶ	σάββατα	τρία,	διελέξατο	αὐτοῖς	ἀπὸ	τῶν	γραφῶν,
の–間	安息日	三つの	論じた	彼らに	から	その	聖書
G1909	G4521	G5140	G1256	G0846	G0575	G3588	G1124

パウロは例によって、その会堂にはいって行って、三つの安息日にわたり、聖書に基いて彼らと論じ、

3

διανοίγων	καὶ	παρατιθέμενος,	ὅτι	τὸν	Χριστὸν	ἔδει	παθεῖν,
説き–明かし	そして	示しながら	すなわち	その	キリストは	必要が–あった	苦しむ
G1272	G2532	G3908	G3754	G3588	G5547	G1163	G3958

καὶ	ἀναστῆναι	ἐκ	νεκρῶν,	καὶ	ὅτι	οὗτός	ἐστιν	ὁ	Χριστός
そして	復活する	から	死者の–中	そして	すなわち	この–方が	である	その	キリスト
G2532	G0450	G1537	G3498	G2532	G3754	G3778	G1510	G3588	G5547

ὁ	Ἰησοῦς,	ὃν	ἐγὼ	καταγγέλλω	ὑμῖν.
すなわち	イエスであると	この–方を	私が	宣べ–伝える	あなたがたに
G3588	G2424	G3739	G1473	G2605	G4771

キリストは必ず苦難を受け、そして死人の中からよみがえるべきこと、また「わたしがあなたがたに伝えているこのイエスこそは、キリストである」とのことを、説明もし論証もした。

4

καί	τινες	ἐξ	αὐτῶν	ἐπείσθησαν,	καὶ	προσεκληρώθησαν	τῷ
そして	ある者たちは	の–中から	彼らの	説得–された	そして	加わった	その
G2532	G5100	G1537	G0846	G3982	G2532	G4345	G3588

Παύλῳ	καὶ	τῷ	Σιλᾷ,	τῶν	τε	σεβομένων	Ἑλλήνων,	πλῆθος	πολὺ,
パウロと	そして	その	シラスに	その	また	敬虔な	ギリシア人たちの	大勢の	多くの
G3972	G2532	G3588	G4609	G3588	G5037	G4576	G1672	G4128	G4183

γυναικῶν	τε	τῶν	πρώτων	οὐκ	ὀλίγαι.
婦人たちの	また	その	おもだった	少なく–ない	数の
G1135	G5037	G3588	G4413	G3756	G3641

ある人たちは納得がいって、パウロとシラスにしたがった。その中には、信心深いギリシヤ人が多数あり、貴婦人たちも少なくなかった。

5

Ζηλώσαντες	δὲ	οἱ	Ἰουδαῖοι,	καὶ	προσλαβόμενοι	τῶν	ἀγοραίων
ねたんで	しかし	その	ユダヤ人たちは	そして	引き–入れて	その	市場の
G2206	G1161	G3588	G2453	G2532	G4355	G3588	G0060

ἄνδρας	τινὰς	πονηροὺς,	καὶ	ὀχλοποιήσαντες,	ἐθορύβουν	τὴν	πόλιν;	καὶ
男たちを	ある	悪い	そして	暴徒を–集めて	騒がせた	その	町を	そして
G0435	G5100	G4190	G2532	G3792	G2350	G3588	G4172	G2532

ἐπιστάντες	τῇ	οἰκίᾳ	Ἰάσονος,	ἐζήτουν	αὐτοὺς	προαγαγεῖν	εἰς	τὸν	δῆμον.
押し–かけて	その	家に	ヤソンの	探した	彼らを	引き–出そうと	へ	その	民衆の–前に
G2186	G3588	G3614	G2394	G2212	G0846	G4254	G1519	G3588	G1218

ところが、ユダヤ人たちは、それをねたんで、町をぶらついているならず者らを集めて暴動を起し、町を騒がせた。それからヤソンの家を襲い、ふたりを民衆の前にひっぱり出そうと、しきりに捜した。

6	μὴ	εὑρόντες	δὲ	αὐτοὺς,	ἔσυρον	Ἰάσονα	καί	τινας	ἀδελφοὺς	ἐπὶ
	ない	見つけて	しかし	彼らを	引きずった	ヤソンと	そして	ある	兄弟たちを	の–前に
	G3361	G2147	G1161	G0846	G4951	G2394	G2532	G5100	G0080	G1909

τοὺς	πολιτάρχας,	βοῶντες	ὅτι,	Οἱ	τὴν	οἰκουμένην	ἀναστατώσαντες,		
その	町の–役人たちの	叫んで	言った	この	その	世界を	騒がせた–者たちが		
G3588	G4173	G0994	G3754	G3588	G3588	G3625	G0387		

οὗτοι	καὶ	ἐνθάδε	πάρεισιν,	
この者たちが	また	ここにも	来ている	
G3778	G2532	G1759	G3918	

しかし、ふたりが見つからないので、ヤソンと兄弟たち数人を、市の当局者のところに引きずって行き、叫んで言った、「天下をかき回してきたこの人たちが、ここにもはいり込んでいます。

7	οὓς	ὑποδέδεκται	Ἰάσων;	καὶ	οὗτοι	πάντες,	ἀπέναντι	τῶν	
	この者たちを	迎え–入れた	ヤソンが	そして	この者たちは	みな	に–逆らって	その	
	G3739	G5264	G2394	G2532	G3778	G3956	G0561	G3588	

δογμάτων	Καίσαρος	πράσσουσι,	βασιλέα	ἕτερον	λέγοντες	εἶναι:	Ἰησοῦν.	
勅令	カイサルの	行っている	王が	別の	言って	いると	イエスという	
G1378	G2541	G4238	G0935	G2087	G3004	G1510	G2424	

その人たちをヤソンが自分の家に迎え入れました。この連中は、みなカイザルの詔勅にそむいて行動し、イエスという別の王がいるなどと言っています」。

8	ἐτάραξαν	δὲ	τὸν	ὄχλον,	καὶ	τοὺς	πολιτάρχας,	ἀκούοντας	ταῦτα.
	動揺–させた	そして	その	群衆を	そして	その	町の–役人たちを	聞いた	これらの–ことを
	G5015	G1161	G3588	G3793	G2532	G3588	G4173	G0191	G3778

これを聞いて、群衆と市の当局者は不安に感じた。

9	καὶ	λαβόντες	τὸ	ἱκανὸν	παρὰ	τοῦ	Ἰάσονος,	καὶ	τῶν
	そして	受け–取って	その	保証金を	から	その	ヤソンと	そして	その
	G2532	G2983	G3588	G2425	G3844	G3588	G2394	G2532	G3588

λοιπῶν	ἀπέλυσαν	αὐτούς.		
残りの–者たちから	釈放した	彼らを		
G3062	G0630	G0846		

そして、ヤソンやほかの者たちから、保証金を取った上、彼らを釈放した。

10	Οἱ	δὲ	ἀδελφοὶ	εὐθέως	διὰ	νυκτὸς	ἐξέπεμψαν	τόν	τε	Παῦλον
	その	すると	兄弟たちは	すぐに	を–通して	夜	送り–出した	その	すなわち	パウロと
	G3588	G1161	G0080	G2112	G1223	G3571	G1599	G3588	G5037	G3972

καὶ	τὸν	Σιλᾶν	εἰς	Βέροιαν;	οἵτινες	παραγενόμενοι,	εἰς	τὴν	συναγωγὴν
そして	その	シラスを	へ	ベレアに	彼らは	到着して	へ	その	会堂
G2532	G3588	G4609	G1519	G0960	G3748	G3854	G1519	G3588	G4864

τῶν	Ἰουδαίων	ἀπῆεσαν.	
の	ユダヤ人たちの	行った	
G3588	G2453	G0549	

そこで、兄弟たちはただちに、パウロとシラスとを、夜の間にベレヤへ送り出した。ふたりはベレヤに到着すると、ユダヤ人の会堂に行った。

11 οὗτοι δὲ ἦσαν εὐγενέστεροι τῶν ἐν Θεσσαλονίκῃ, οἵτινες
この人たちは さて であった 素直な–心の より の テサロニケの–者たち 彼らは
G3778 G1161 G1510 G2104 G3588 G1722 G2332 G3748

ἐδέξαντο τὸν λόγον μετὰ πάσης προθυμίας, τὸ καθ’ ἡμέραν,
受け–入れた その 御言葉を をもって すべての 熱心さ その 毎 日
G1209 G3588 G3056 G3326 G3956 G4288 G3588 G2596 G2250

ἀνακρίνοντες τὰς γραφὰς εἰ ἔχοι ταῦτα οὕτως.
調べながら その 聖書を かどうか であるか これらの–ことが その–通りに
G0350 G3588 G1124 G1487 G2192 G3778 G3779

ここにいるユダヤ人はテサロニケの者たちよりも素直であって、心から教を受けいれ、果してそのとおりかどうかを知ろうとして、日々聖書を調べていた。

12 πολλοὶ μὲν οὖν ἐξ αὐτῶν ἐπίστευσαν, καὶ τῶν Ἑλληνίδων
多くの–者が 一方では それゆえ の–中から 彼らの 信じた そして その ギリシア人の
G4183 G3303 G3767 G1537 G0846 G4100 G2532 G3588 G1674

γυναικῶν τῶν εὐσχημόνων, καὶ ἀνδρῶν, οὐκ ὀλίγοι.
婦人たちの その 身分の–高い そして 男たちも 少なく–ない 数の
G1135 G3588 G2158 G2532 G0435 G3756 G3641

そういうわけで、彼らのうちの多くの者が信者になった。また、ギリシヤの貴婦人や男子で信じた者も、少なくなかった。

13 Ὡς δὲ ἔγνωσαν οἱ ἀπὸ τῆς Θεσσαλονίκης Ἰουδαῖοι, ὅτι
ところが しかし 知った–とき その の その テサロニケの ユダヤ人たちは すなわち
G5613 G1161 G1097 G3588 G0575 G3588 G2332 G2453 G3754

καὶ ἐν τῇ Βεροίᾳ κατηγγέλη ὑπὸ τοῦ Παύλου ὁ λόγος
また で その ベレアでも 宣べ–伝えられたと によって その パウロ その 御言葉が
G2532 G1722 G3588 G0960 G2605 G5259 G3588 G3972 G3588 G3056

τοῦ Θεοῦ, ἦλθον κἀκεῖ, σαλεύοντες καὶ ταράσσοντες τοὺς ὄχλους.
の 神の やって–来た そこにも 揺り–動かし そして 騒がせながら その 群衆を
G3588 G2316 G2064 G2546 G4531 G2532 G5015 G3588 G3793

テサロニケのユダヤ人たちは、パウロがベレヤでも神の言を伝えていることを知り、そこにも押しかけてきて、群衆を煽動して騒がせた。

14 εὐθέως δὲ τότε, τὸν Παῦλον ἐξαπέστειλαν οἱ ἀδελφοὶ, πορεύεσθαι
すぐに すると その–時 その パウロを 送り–出した その 兄弟たちは 行くように
G2112 G1161 G5119 G3588 G3972 G1821 G3588 G0080 G4198

ἕως ἐπὶ τὴν θάλασσαν; ὑπέμεινάν τε ὅ τε Σιλᾶς καὶ ὁ
まで の–方へ その 海辺に とどまった が その すなわち シラスと そして その
G2193 G1909 G3588 G2281 G5278 G5037 G3588 G5037 G4609 G2532 G3588

Τιμόθεος ἐκεῖ.
テモテは そこに
G5095 G1563

そこで、兄弟たちは、ただちにパウロを送り出して、海べまで行かせ、シラスとテモテとはベレヤに居残った。

15 οἱ δὲ καθιστάνοντες τὸν Παῦλον ἤγαγον ἕως Ἀθηνῶν; καὶ
その さて 案内した–者たちは その パウロを 連れて–行った まで アテネに そして
G3588 G1161 G2525 G3588 G3972 G0071 G2193 G0116 G2532

λαβόντες ἐντολὴν πρὸς τὸν Σιλᾶν καὶ τὸν Τιμόθεον, ἵνα ὡς
受けて 指示を への その シラスと そして その テモテに すなわち できるだけ
G2983 G1785 G4314 G3588 G4609 G2532 G3588 G5095 G2443 G5613

τάχιστα ἔλθωσιν πρὸς αὐτὸν, ἐξῄεσαν.
早く 来るように–との の–もとへ 自分の 立ち–去った
G5033 G2064 G4314 G0846 G1826

パウロを案内した人たちは、彼をアテネまで連れて行き、テモテとシラスとになるべく早く来るようにとのパウロの伝言を受けて、帰った。

16 Ἐν δὲ ταῖς Ἀθήναις, ἐκδεχομένου αὐτοὺς τοῦ Παύλου, παρωξύνετο τὸ
さて しかし その アテネで 待っている–間 彼らを その パウロは 憤りを–感じた その
G1722 G1161 G3588 G0116 G1551 G0846 G3588 G3972 G3947 G3588

πνεῦμα αὐτοῦ ἐν αὐτῷ, θεωροῦντος κατείδωλον οὖσαν τὴν πόλιν.
霊が 彼の の–中で 彼の 見て 偶像で–満ちた であると その 町が
G4151 G0846 G1722 G0846 G2334 G2712 G1510 G3588 G4172

さて、パウロはアテネで彼らを待っている間に、市内に偶像がおびただしくあるのを見て、心に憤りを感じた。

17 διελέγετο μὲν οὖν ἐν τῇ συναγωγῇ τοῖς Ἰουδαίοις καὶ τοῖς
論じた 一方で それゆえ で その 会堂で その ユダヤ人たちと そして その
G1256 G3303 G3767 G1722 G3588 G4864 G3588 G2453 G2532 G3588

σεβομένοις, καὶ ἐν τῇ ἀγορᾷ κατὰ πᾶσαν ἡμέραν πρὸς τοὺς
敬虔な–者たちと そして で その 広場で 毎 すべての 日 に–向かって その
G4576 G2532 G1722 G3588 G0058 G2596 G3956 G2250 G4314 G3588

παρατυγχάνοντας.
居合わせた–者たちに
G3909

そこで彼は、会堂ではユダヤ人や信心深い人たちと論じ、広場では毎日そこで出会う人々を相手に論じた。

18 τινὲς δὲ καὶ τῶν Ἐπικουρείων καὶ Στοϊκῶν, φιλοσόφων,
ある者たちは さて また その エピクロス派と そして ストア派の 哲学者たちが
G5100 G1161 G2532 G3588 G1946 G2532 G4770 G5386

συνέβαλλον αὐτῷ. καί τινες ἔλεγον, Τί ἂν θέλοι ὁ
議論した 彼と そして ある者たちは 言った 何を いったい 言いたいのか この
G4820 G0846 G2532 G5100 G3004 G5101 G0302 G2309 G3588

σπερμολόγος οὗτος λέγειν? οἱ δέ, Ξένων δαιμονίων. δοκεῖ
おしゃべりは この者は 言おうと また ある者たちは 異国の 神々の ようだ
G4691 G3778 G3004 G3588 G1161 G3581 G1140 G1380

καταγγελεὺς εἶναι, ὅτι τὸν Ἰησοῦν καὶ τὴν ἀνάστασιν εὐηγγελίζετο.
宣伝者で あると なぜなら その イエスと そして その 復活を 宣べ–伝えていた–ので
G2604 G1510 G3754 G3588 G2424 G2532 G3588 G0386 G2097

また、エピクロス派やストア派の哲学者数人も、パウロと議論を戦わせていたが、その中のある者たちが言った、「このおしゃべりは、いったい、何を言おうとしているのか」。また、ほかの者たちは、「あれは、異国の神々を伝えようとしているらしい」と言った。パウロが、イエスと復活とを、宣べ伝えていたからであった。

19 ἐπιλαβόμενοί τε αὐτοῦ, ἐπὶ τὸν Ἄρειον πάγον ἤγαγον, λέγοντες,
捕らえて そして 彼を へ その アレオパゴスの 丘に 連れて-行き 言った
G1949 G5037 G0846 G1909 G3588 G0697 G0697 G0071 G3004

Δυνάμεθα γνῶναι τίς ἡ καινὴ αὕτη, ἡ ὑπὸ σοῦ λαλουμένη,
知ることが-できるか 知る 何か この 新しい この その によって あなたが 語られている
G1410 G1097 G5101 G3588 G2537 G3778 G3588 G5259 G4771 G2980

διδαχή?
教えは
G1322

そこで、彼らはパウロをアレオパゴスの評議所に連れて行って、「君の語っている新しい教がどんなものか、知らせてもらえまいか。

20 ξενίζοντα γάρ τινα εἰσφέρεις εἰς τὰς ἀκοὰς ἡμῶν.
奇異な なぜなら ある-ことを 持ち-込んでいる に その 耳 私たちの
G3579 G1063 G5100 G1533 G1519 G3588 G0189 G1473

βουλόμεθα οὖν γνῶναι τίνα θέλει ταῦτα εἶναι.
知りたいと-思う それゆえ 知る-ことを 何を 意味する これらの-ことは のかを
G1014 G3767 G1097 G5101 G2309 G3778 G1510

君がなんだか珍らしいことをわれわれに聞かせているので、それがなんの事なのか知りたいと思うのだ」と言った。

21 Ἀθηναῖοι δὲ πάντες, καὶ οἱ ἐπιδημοῦντες ξένοι, εἰς οὐδὲν
アテネ人たちは さて すべての そして その 滞在している 外国人たちは に 何も
G0117 G1161 G3956 G2532 G3588 G1927 G3581 G1519 G3762

ἕτερον ηὐκαίρουν, ἢ λέγειν τι, ἢ ἀκούειν τι
他の-ことに 時間を-費やさなかった あるいは 語ること 何か あるいは 聞くこと 何か
G2087 G2119 G2228 G3004 G5100 G2228 G0191 G5100

καινότερον.
より-新しい-ことを
G2537

いったい、アテネ人もそこに滞在している外国人もみな、何か耳新しいことを話したり聞いたりすることのみに、時を過ごしていたのである。

22 Σταθεὶς δὲ [ὁ] Παῦλος ἐν μέσῳ τοῦ Ἀρείου Πάγου, ἔφη,
立って そして その パウロは の 真ん中に その アレオパゴスの 丘の 言った
G2476 G1161 G3588 G3972 G1722 G3319 G3588 G0697 G0697 G5346

Ἄνδρες, Ἀθηναῖοι, κατὰ πάντα ὡς δεισιδαιμονεστέρους ὑμᾶς,
人々よ アテネの すべての-点で すべてに-おいて いかに 信仰-深い-者で-あるかを あなたがたが
G0435 G0117 G2596 G3956 G5613 G1174 G4771

θεωρῶ;
私は-見る
G2334

そこでパウロは、アレオパゴスの評議所のまん中に立って言った。「アテネの人たちよ、あなたがたは、あらゆる点において、すこぶる宗教心に富んでおられると、わたしは見ている。

23 διερχόμενος γὰρ καὶ ἀναθεωρῶν τὰ σεβάσματα ὑμῶν, εὗρον
通り–過ぎて なぜなら そして 見ながら その 崇拝の–対象を あなたがたの 見つけた
G1330 G1063 G2532 G0333 G3588 G4574 G4771 G2147

καὶ βωμὸν ἐν ᾧ ἐπεγέγραπτο, ΑΓΝΩΣΤΩ ΘΕΩ. ὃ οὖν ἀγνοοῦντες
また 祭壇を に それに 刻まれていた 知られざる 神に その それゆえ 知らずに
G2532 G1041 G1722 G3739 G1924 G0057 G2316 G3739 G3767 G0050

εὐσεβεῖτε, τοῦτο ἐγὼ καταγγέλλω ὑμῖν.
崇拝している–ものを これを 私が 宣べ–伝える あなたがたに
G2151 G3778 G1473 G2605 G4771

実は、わたしが道を通りながら、あなたがたの拝むいろいろなものを、よく見ているうちに、『知られない神に』と刻まれた祭壇もあるのに気がついた。そこで、あなたがたが知らずに拝んでいるものを、いま知らせてあげよう。

24 ὁ Θεὸς ὁ ποιήσας τὸν κόσμον καὶ πάντα τὰ ἐν αὐτῷ,
その 神は すなわち 造られた その 世界と そして すべての その の–中の それの
G3588 G2316 G3588 G4160 G3588 G2889 G2532 G3956 G3588 G1722 G0846

οὗτος οὐρανοῦ καὶ γῆς ὑπάρχων Κύριος, οὐκ ἐν χειροποιήτοις
この–方は 天と そして 地の であるところの 主であり ない の–中の 手で–造った
G3778 G3772 G2532 G1093 G5225 G2962 G3756 G1722 G5499

ναοῖς κατοικεῖ,
神殿に 住まない
G3485 G2730

この世界と、その中にある万物とを造った神は、天地の主であるのだから、手で造った宮などにはお住みにならない。

25 οὐδὲ ὑπὸ χειρῶν ἀνθρωπίνων θεραπεύεται, προσδεόμενός τινος,
また–ない によって 手で 人間の 仕えられるのでは–ない 何かを–必要と–する 何かを
G3761 G5259 G5495 G0442 G2323 G4326 G5100

αὐτὸς διδοὺς πᾶσι ζωὴν καὶ πνοὴν, καὶ τὰ πάντα;
自ら 与えている すべての–者に 命と そして 息と そして その すべてを
G0846 G1325 G3956 G2222 G2532 G4157 G2532 G3588 G3956

また、何か不足でもしておるかのように、人の手によって仕えられる必要もない。神は、すべての人々に命と息と万物とを与え、

26 ἐποίησέν τε ἐξ ἑνὸς πᾶν ἔθνος ἀνθρώπων, κατοικεῖν ἐπὶ
造った そして から 一人の–者 すべての 民族を 人々の 住まわせるため の–上に
G4160 G5037 G1537 G1520 G3956 G1484 G0444 G2730 G1909

παντὸς προσώπου τῆς γῆς, ὁρίσας προστεταγμένους καιροὺς καὶ τὰς
すべての 面 の 地の 定めて 定められた 時と そして その
G3956 G4383 G3588 G1093 G3724 G4367 G2540 G2532 G3588

ὁροθεσίας τῆς κατοικίας αὐτῶν,
境界を の 住まいの 彼らの
G3734 G3588 G2733 G0846

また、ひとりの人から、あらゆる民族を造り出して、地の全面に住まわせ、それぞれに時代を区分し、国土の境界を定めて下さったのである。

27 ζητεῖν τὸν Θεὸν, εἰ ἄρα γε ψηλαφήσειαν αὐτὸν, καὶ
求めるように その 神を もし あるいは まさに 手探りして 見つけ-出す-ように そして
G2212 G3588 G2316 G1487 G0687 G1065 G5584 G0846 G2532

εὕροιεν. καί γε, οὐ μακρὰν ἀπὸ ἑνὸς ἑκάστου ἡμῶν ὑπάρχοντα.
見つけるように 実に 実際に ない 遠く から の それぞれ 私たちの おられる
G2147 G2532 G1065 G3756 G3112 G0575 G1520 G1538 G1473 G5225

こうして、人々が熱心に追い求めて捜しさえすれば、神を見いだせるようにして下さった。事実、神はわれわれひとりびとりから遠く離れておいでになるのではない。

28 ἐν αὐτῷ γὰρ ζῶμεν καὶ κινούμεθα καὶ ἐσμέν; ὡς
の-中に この-方 なぜなら 私たちは-生き そして 動き そして 存在している ように
G1722 G0846 G1063 G2198 G2532 G2795 G2532 G1510 G5613

καί τινες τῶν καθ’ ὑμᾶς ποιητῶν εἰρήκασιν, Τοῦ γὰρ
また ある者たちが の の-中の あなたがたの 詩人たちも 言った この-方の なぜなら
G2532 G5100 G3588 G2596 G4771 G4163 G2046 G3588 G1063

καὶ γένος ἐσμέν.
また 子孫で あるのだと
G2532 G1085 G1510

われわれは神のうちに生き、動き、存在しているからである。あなたがたのある詩人たちも言ったように、『われわれも、確かにその子孫である』。

29 γένος οὖν ὑπάρχοντες τοῦ Θεοῦ, οὐκ ὀφείλομεν νομίζειν χρυσῷ,
子孫で それゆえ ある-ならば その 神の ない べきでは-ない 考える 金や
G1085 G3767 G5225 G3588 G2316 G3756 G3784 G3543 G5557

ἢ ἀργύρῳ, ἢ λίθῳ, χαράγματι, τέχνης καὶ ἐνθυμήσεως ἀνθρώπου,
あるいは 銀や あるいは 石の 彫刻 技術と そして 考案の 人間の
G2228 G0696 G2228 G3037 G5480 G5078 G2532 G1761 G0444

τὸ Θεῖον εἶναι ὅμοιον.
その 神性が であると 同じ
G3588 G2304 G1510 G3664

このように、われわれは神の子孫なのであるから、神たる者を、人間の技巧や空想で金や銀や石などに彫り付けたものと同じと、見なすべきではない。

30 τοὺς μὲν οὖν χρόνους τῆς ἀγνοίας ὑπεριδὼν ὁ Θεὸς, τὰ νῦν
その 一方では それゆえ 時代を の 無知の 見過ごした その 神は その 今
G3588 G3303 G3767 G5550 G3588 G0052 G5237 G3588 G2316 G3588 G3568

παραγγέλλει τοῖς ἀνθρώποις πάντας πανταχοῦ μετανοεῖν,
命じている その 人々に すべての-者が どこででも 悔い-改めるように
G3853 G3588 G0444 G3956 G3837 G3340

神は、このような無知の時代を、これまでは見過ごしにされていたが、今はどこにおる人でも、みな悔い改めなければならないことを命じておられる。

31 καθότι ἔστησεν ἡμέραν ἐν ᾗ μέλλει κρίνειν τὴν οἰκουμένην
なぜなら 定めた 日を に その–日に しようと–している 裁く その 世界を
G2530 G2476 G2250 G1722 G3739 G3195 G2919 G3588 G3625

ἐν δικαιοσύνῃ, ἐν ἀνδρὶ ᾧ ὥρισεν, πίστιν παρασχὼν
をもって 義 によって 一人の–人 この–方を 定めた 信仰を 与えて
G1722 G1343 G1722 G0435 G3739 G3724 G4102 G3930

πᾶσιν ἀναστήσας αὐτὸν ἐκ νεκρῶν.
すべての–者に 復活–させて この–方を から 死者の–中
G3956 G0450 G0846 G1537 G3498

神は、義をもってこの世界をさばくためその日を定め、お選びになったかたによってそれをなし遂げようとされている。すなわち、このかたを死人の中からよみがえらせ、その確証をすべての人に示されたのである」。

32 ἀκούσαντες δὲ ἀνάστασιν νεκρῶν, οἱ μὲν ἐχλεύαζον,
聞いて すると 復活と 死者の ある者たちは 一方で あざ笑った
G0191 G1161 G0386 G3498 G3588 G3303 G5512

οἱ δὲ εἶπαν, Ἀκουσόμεθά σου περὶ τούτου καὶ
しかし–ある者たちは 一方で 言った 聞こう あなたから について この–ことを また
G3588 G1161 G3004 G0191 G4771 G4012 G3778 G2532

πάλιν.
再び
G3825

死人のよみがえりのことを聞くと、ある者たちはあざ笑い、またある者たちは、「この事については、いずれまた聞くことにする」と言った。

33 οὕτως ὁ Παῦλος ἐξῆλθεν ἐκ μέσου αὐτῶν.
こうして その パウロは 出て–行った から 彼らの–中 彼らの
G3779 G3588 G3972 G1831 G1537 G3319 G0846

こうして、パウロは彼らの中から出て行った。

34 τινὲς δὲ ἄνδρες, κολληθέντες αὐτῷ, ἐπίστευσαν, ἐν οἷς καὶ
しかし–ある さて 人たちは 従って 彼に 信じた の–中には その–中に また
G5100 G1161 G0435 G2853 G0846 G4100 G1722 G3739 G2532

Διονύσιος ὁ Ἀρεοπαγίτης, καὶ γυνὴ ὀνόματι Δάμαρις, καὶ
デオヌシオという その アレオパゴスの–議員と そして 女性で 名を ダマリスと そして
G1354 G3588 G0698 G2532 G1135 G3686 G1152 G2532

ἕτεροι σὺν αὐτοῖς.
他の–者たちも と–共に 彼らと
G2087 G4862 G0846

しかし、彼にしたがって信じた者も、幾人かあった。その中には、アレオパゴスの裁判人デオヌシオとダマリスという女、また、その他の人々もいた。

Chapter 18

1 Μετὰ ταῦτα, χωρισθεὶς ἐκ τῶν Ἀθηνῶν, ἦλθεν εἰς Κόρινθον.
の–後 これらの 離れて から その アテネを 来た へ コリントに
G3326 G3778 G5563 G1537 G3588 G0116 G2064 G1519 G2882

その後、パウロはアテネを去ってコリントへ行った。

2 καὶ そして G2532 εὑρών 見つけて G2147 τινα ある G5100 Ἰουδαῖον, ユダヤ人を G2453 ὀνόματι 名を G3686 Ἀκύλαν アキラという G0207 Ποντικὸν ポントスの G4193 τῷ その G3588 γένει, 生まれの G1085

προσφάτως 最近 G4373 ἐληλυθότα 来た G2064 ἀπὸ から G0575 τῆς その G3588 Ἰταλίας, イタリア G2482 καὶ そして G2532 Πρίσκιλλαν プリスキラという G4252 γυναῖκα 妻と G1135 αὐτοῦ, 彼の G0846

διὰ なぜなら G1223 τὸ その G3588 διατεταχέναι 命じたので G1299 Κλαύδιον クラウディオが G2804 χωρίζεσθαι 立ち-去るように G5563 πάντας すべての G3956 τοὺς その G3588 Ἰουδαίους ユダヤ人たちが G2453

ἀπὸ から G0575 τῆς その G3588 Ῥώμης. ローマを G4516 προσῆλθεν 近づいた G4334 αὐτοῖς, 彼らに G0846

そこで、アクラというポント生れのユダヤ人と、その妻プリスキラとに出会った。クラウデオ帝が、すべてのユダヤ人をローマから退去させるようにと、命令したため、彼らは近ごろイタリヤから出てきたのである。

3 καὶ そして G2532 διὰ なぜなら G1223 τὸ その G3588 ὁμότεχνον 同じ-職業で G3673 εἶναι, あったので G1510 ἔμενεν とどまった G3306 παρ' の-もとに G3844 αὐτοῖς 彼らの G0846 καὶ そして G2532

ἠργάζετο; 働いていた G2038 ἦσαν であった G1510 γὰρ なぜなら G1063 σκηνοποιοὶ 天幕-造りで G4635 τῇ その G3588 τέχνῃ. 職業は G5078

パウロは彼らのところに行ったが、互に同業であったので、その家に住み込んで、一緒に仕事をした。天幕造りがその職業であった。

4 διελέγετο 論じた G1256 δὲ そして G1161 ἐν で G1722 τῇ その G3588 συναγωγῇ 会堂で G4864 κατὰ 毎 G2596 πᾶν すべての G3956 σάββατον. 安息日に G4521 ἔπειθέν 説得した G3982 τε そして G5037

Ἰουδαίους ユダヤ人たちと G2453 καὶ そして G2532 Ἕλληνας. ギリシア人たちを G1672

パウロは安息日ごとに会堂で論じては、ユダヤ人やギリシヤ人の説得に努めた。

5 Ὡς ところが G5613 δὲ しかし G1161 κατῆλθον 下って-来た G2718 ἀπὸ から G0575 τῆς その G3588 Μακεδονίας マケドニア G3109 ὅ その G3588 τε すなわち G5037 Σιλᾶς シラスと G4609 καὶ そして G2532

ὁ その G3588 Τιμόθεος, テモテが G5095 συνείχετο 専念した G4912 τῷ その G3588 λόγῳ 御言葉に G3056 ὁ その G3588 Παῦλος, パウロは G3972 διαμαρτυρόμενος 証ししながら G1263 τοῖς その G3588

Ἰουδαίοις, ユダヤ人たちに G2453 εἶναι であると G1510 τὸν その G3588 Χριστὸν キリストは G5547 Ἰησοῦν. イエスであると G2424

シラスとテモテが、マケドニヤから下ってきてからは、パウロは御言を伝えることに専念し、イエスがキリストであることを、ユダヤ人たちに力強くあかしした。

6 ἀντιτασσομένων δὲ αὐτῶν καὶ βλασφημούντων; ἐκτιναξάμενος τὰ ἱμάτια,
反対し しかし 彼らが そして 冠瀝したので 振り-払って その 衣を
G0498 G1161 G0846 G2532 G0987 G1621 G3588 G2440

εἶπεν πρὸς αὐτούς, Τὸ αἷμα ὑμῶν ἐπὶ τὴν κεφαλὴν ὑμῶν;
言った に-向かって 彼らに その 血は あなたがたの の-上に その 頭 あなたがたの
G3004 G4314 G0846 G3588 G0129 G4771 G1909 G3588 G2776 G4771

καθαρὸς ἐγώ. ἀπὸ τοῦ νῦν, εἰς τὰ ἔθνη πορεύσομαι.
清い 私は から その 今 へ その 異邦人たちの-もとへ 行く
G2513 G1473 G0575 G3588 G3568 G1519 G3588 G1484 G4198

しかし、彼らがこれに反抗してののしり続けたので、パウロは自分の上着を振りはらって、彼らに言った、「あなたがたの血は、あなたがた自身にかえれ。わたしには責任がない。今からわたしは異邦人の方に行く」。

7 καὶ μεταβὰς ἐκεῖθεν εἰσῆλθεν εἰς οἰκίαν τινὸς ὀνόματι Τιτίου
そして 移って そこから 入った の 家に ある-者の 名を テティオス
G2532 G3327 G1564 G1525 G1519 G3614 G5100 G3686 G5103

Ἰούστου, σεβομένου τὸν Θεόν, οὗ ἡ οἰκία ἦν συνομοροῦσα
ユストスという 敬虔な その 神を その-人の その 家は であった 隣接していた
G2459 G4576 G3588 G2316 G3739 G3588 G3614 G1510 G4927

τῇ συναγωγῇ.
その 会堂に
G3588 G4864

こう言って、彼はそこを去り、テテオ・ユストという神を敬う人の家に行った。その家は会堂と隣り合っていた。

8 Κρίσπος δὲ, ὁ ἀρχισυνάγωγος, ἐπίστευσεν τῷ Κυρίῳ, σὺν ὅλῳ τῷ
クリスポは さて その 会堂の-司で 信じた その 主を と-共に 全 その
G2921 G1161 G3588 G0752 G4100 G3588 G2962 G4862 G3650 G3588

οἴκῳ αὐτοῦ. καὶ πολλοὶ τῶν Κορινθίων ἀκούοντες, ἐπίστευον καὶ
家族 彼の そして 多くの その コリント人たちは 聞いて 信じた そして
G3624 G0846 G2532 G4183 G3588 G2881 G0191 G4100 G2532

ἐβαπτίζοντο.
バプテスマを-受けた
G0907

会堂司クリスポは、その家族一同と共に主を信じた。また多くのコリント人も、パウロの話を聞いて信じ、ぞくぞくとバプテスマを受けた。

9 Εἶπεν δὲ ὁ Κύριος ἐν νυκτὶ δι’ ὁράματος τῷ Παύλῳ, Μὴ
言った すると その 主が に 夜 を-通して 幻によって その パウロに するな
G3004 G1161 G3588 G2962 G1722 G3571 G1223 G3705 G3588 G3972 G3361

φοβοῦ, ἀλλὰ λάλει, καὶ μὴ σιωπήσῃς,
恐れるな そうではなく 語りなさい そして するな 黙っては-ならない
G5399 G0235 G2980 G2532 G3361 G4623

すると、ある夜、幻のうちに主がパウロに言われた、「恐れるな。語りつづけよ、黙っているな。

10 διότι ἐγώ εἰμι μετὰ σοῦ, καὶ οὐδεὶς ἐπιθήσεταί σοι τοῦ
なぜなら 私が いる と-共に あなたの そして 誰も 襲わない あなたに その
G1360 G1473 G1510 G3326 G4771 G2532 G3762 G2007 G4771 G3588

κακῶσαί σε, διότι λαός ἐστί μοι πολὺς ἐν τῇ πόλει ταύτῃ.
害を-加えるため あなたに なぜなら 民が いる 私には 多くの の-中に その 町に この
G2559 G4771 G1360 G2992 G1510 G1473 G4183 G1722 G3588 G4172 G3778

あなたには、わたしがついている。だれもあなたを襲って、危害を加えるようなことはない。この町には、わたしの民が大ぜいいる」。

11 Ἐκάθισεν δὲ ἐνιαυτὸν καὶ μῆνας ἓξ, διδάσκων ἐν αὐτοῖς τὸν
とどまった そして 一年 そして 六-か月 六 教えながら の-中で 彼らの その
G2523 G1161 G1763 G2532 G3376 G1803 G1321 G1722 G0846 G3588

λόγον τοῦ Θεοῦ.
御言葉を の 神の
G3056 G3588 G2316

パウロは一年六か月の間ここに腰をすえて、神の言を彼らの間に教えつづけた。

12 Γαλλίωνος δὲ ἀνθυπάτου ὄντος τῆς Ἀχαΐας, κατεπέστησαν ὁμοθυμαδὸν
ガリオが さて 総督で あった-時 の アカヤの 立ち-上がった 一斉に
G1058 G1161 G0446 G1510 G3588 G0882 G2721 G3661

οἱ Ἰουδαῖοι τῷ Παύλῳ, καὶ ἤγαγον αὐτὸν ἐπὶ τὸ
その ユダヤ人たちは その パウロに-対して そして 連れて-行った 彼を へ その
G3588 G2453 G3588 G3972 G2532 G0071 G0846 G1909 G3588

βῆμα,
裁判の-席に
G0968

ところが、ガリオがアカヤの総督であった時、ユダヤ人たちは一緒になってパウロを襲い、彼を法廷にひっぱって行って訴えた、

13 λέγοντες ὅτι, Παρὰ τὸν νόμον, ἀναπείθει οὗτος τοὺς ἀνθρώπους
言って すなわち に-反して その 律法に 説得している この者は その 人々を
G3004 G3754 G3844 G3588 G3551 G0374 G3778 G3588 G0444

σέβεσθαι τὸν Θεόν.
崇拝するように その 神を
G4576 G3588 G2316

「この人は、律法にそむいて神を拝むように、人々をそそのかしています」。

14 μέλλοντος δὲ τοῦ Παύλου ἀνοίγειν τὸ στόμα, εἶπεν ὁ
しようと-した-時 すると その パウロが 開こうと-した その 口を 言った その
G3195 G1161 G3588 G3972 G0455 G3588 G4750 G3004 G3588

Γαλλίων πρὸς τοὺς Ἰουδαίους, Εἰ μὲν ἦν ἀδίκημά τι,
ガリオは に-向かって その ユダヤ人たちに もし 一方では であったなら 不正な-行いが 何か
G1058 G4314 G3588 G2453 G1487 G3303 G1510 G0092 G5100

ἢ ῥᾳδιούργημα πονηρόν, ὦ Ἰουδαῖοι, κατὰ λόγον ἂν
あるいは 悪質な-犯罪が 悪い おお ユダヤ人たちよ に-応じて 道理に 当然
G2228 G4467 G4190 G5599 G2453 G2596 G3056 G0302

ἀνεσχόμην ὑμῶν;
聞いたであろう あなたがたの
G0430 G4771

パウロが口を開こうとすると、ガリオはユダヤ人たちに言った、「ユダヤ人諸君、何か不法行為とか、悪質の犯罪とかのことなら、わたしは当然、諸君の訴えを取り上げもしようが、

15 εἰ δὲ ζητήματά ἐστιν περὶ λόγου, καὶ ὀνομάτων, καὶ
しかし-もし さて 問題が であるなら に-ついて 言葉と そして 名称と そして
G1487 G1161 G2213 G1510 G4012 G3056 G2532 G3686 G2532

νόμου τοῦ καθ’ ὑμᾶς, ὄψεσθε αὐτοί; κριτὴς ἐγὼ
律法の その に-従う あなたがたの 自分たちで-見るがよい 自分たちで 裁判官に 私は
G3551 G3588 G2596 G4771 G3708 G0846 G2923 G1473

τούτων οὐ βούλομαι εἶναι.
これらの-ことの ない 望まない なる-ことを
G3778 G3756 G1014 G1510

これは諸君の言葉や名称や律法に関する問題なのだから、諸君みずから始末するがよかろう。わたしはそんな事の裁判人にはなりたくない」。

16 καὶ ἀπήλασεν αὐτοὺς ἀπὸ τοῦ βήματος.
そして 追い-払った 彼らを から その 裁判の-席から
G2532 G0556 G0846 G0575 G3588 G0968

こう言って、彼らを法廷から追いはらった。

17 ἐπιλαβόμενοι δὲ πάντες Σωσθένην, τὸν ἀρχισυνάγωγον, ἔτυπτον ἔμπροσθεν
捕らえて すると みな ソステネを その 会堂の-司を 打った の-前で
G1949 G1161 G3956 G4988 G3588 G0752 G5180 G1715

τοῦ βήματος. καὶ οὐδὲν τούτων τῷ Γαλλίωνι ἔμελεν.
その 裁判の-席の しかし 何も これらの-ことは その ガリオには 気に-しなかった
G3588 G0968 G2532 G3762 G3778 G3588 G1058 G3199

そこで、みんなの者は、会堂司ソステネを引き捕え、法廷の前で打ちたたいた。ガリオはそれに対して、そ知らぬ顔をしていた。

18 Ὁ δὲ Παῦλος, ἔτι προσμείνας ἡμέρας ἱκανὰς, τοῖς ἀδελφοῖς
さて しかし パウロは なお とどまって 日々 多くの その 兄弟たちに
G3588 G1161 G3972 G2089 G4357 G2250 G2425 G3588 G0080

ἀποταξάμενος, ἐξέπλει εἰς τὴν Συρίαν, καὶ σὺν αὐτῷ Πρίσκιλλα καὶ
別れを-告げて 航海した へ その シリアへ そして と-共に 彼の プリスキラと そして
G0657 G1602 G1519 G3588 G4947 G2532 G4862 G0846 G4252 G2532

Ἀκύλας, κειράμενος ἐν Κενχρεαῖς τὴν κεφαλήν; εἶχεν γὰρ εὐχήν.
アキラが-一緒で 剃って で ケンクレアで その 頭を 持っていた なぜなら 誓願を
G0207 G2751 G1722 G2747 G3588 G2776 G2192 G1063 G2171

さてパウロは、なお幾日ものあいだ滞在した後、兄弟たちに別れを告げて、シリヤへ向け出帆した。プリスキラとアクラも同行した。パウロは、かねてから、ある誓願を立てていたので、ケンクレヤで頭をそった。

19 κατήντησαν δὲ εἰς Ἔφεσον, κἀκείνους κατέλιπεν αὐτοῦ. αὐτὸς δὲ
到着した そして に エペソに そして-彼らを 残した そこに 自分は しかし
G2658 G1161 G1519 G2181 G2548 G2641 G0847 G0846 G1161

εἰσελθὼν εἰς τὴν συναγωγὴν, διελέξατο τοῖς Ἰουδαίοις.
入って へ その 会堂に 論じた その ユダヤ人たちと
G1525 G1519 G3588 G4864 G1256 G3588 G2453

一行がエペソに着くと、パウロはふたりをそこに残しておき、自分だけ会堂にはいって、ユダヤ人たちと論じた。

20 ἐρωτώντων δὲ αὐτῶν ἐπὶ πλείονα χρόνον μεῖναι, οὐκ
頼まれた しかし 彼らが の–間 より–長い 時間 とどまるようにと ない
G2065 G1161 G0846 G1909 G4119 G5550 G3306 G3756

ἐπένευσεν,
同意しなかった
G1962

人々は、パウロにもっと長いあいだ滞在するように願ったが、彼は聞きいれないで、

21 ἀλλὰ ἀποταξάμενος, καὶ εἰπών, <Δεῖ με πάντως, τὴν ἑορτὴν
そうではなく 別れを–告げて そして 言った 必要が–ある 私が 必ず その 祭りを
G0235 G0657 G2532 G3004 G1163 G1473 G3843 G3588 G1859

τὴν ἐρχομένην ποιῆσαι εἰς Ἱεροσόλυμα>; Πάλιν ἀνακάμψω πρὸς
その 来たる 守るために で エルサレムで 再び 戻って–来る へ
G3588 G2064 G4160 G1519 G2414 G3825 G0344 G4314

ὑμᾶς, τοῦ Θεοῦ θέλοντος. ἀνήχθη ἀπὸ τῆς Ἐφέσου.
あなたがたの–もとに その 神が 望まれるならば 出航した から その エペソを
G4771 G3588 G2316 G2309 G0321 G0575 G3588 G2181

「神のみこころなら、またあなたがたのところに帰ってこよう」と言って、別れを告げ、エペソから船出した。

22 καὶ κατελθὼν εἰς Καισάρειαν, ἀναβὰς καὶ ἀσπασάμενος τὴν ἐκκλησίαν,
そして 下って へ カイサリアに 上って そして 挨拶して その 教会に
G2532 G2718 G1519 G2542 G0305 G2532 G0782 G3588 G1577

κατέβη εἰς Ἀντιόχειαν.
下った へ アンティオケイアに
G2597 G1519 G0490

それから、カイザリヤで上陸してエルサレムに上り、教会にあいさつしてから、アンテオケに下って行った。

23 καὶ ποιήσας χρόνον τινὰ, ἐξῆλθεν, διερχόμενος καθεξῆς τὴν Γαλατικὴν
そして 過ごして 時を ある 出かけた 巡りながら 次々に その ガラテヤの
G2532 G4160 G5550 G5100 G1831 G1330 G2517 G3588 G1054

χώραν καὶ Φρυγίαν, στηρίζων πάντας τοὺς μαθητάς.
地方と そして フリギアを 強めながら すべての その 弟子たちを
G5561 G2532 G5435 G1991 G3956 G3588 G3101

そこにしばらくいてから、彼はまた出かけ、ガラテヤおよびフルギヤの地方を歴訪して、すべての弟子たちを力づけた。

24 Ἰουδαῖος δέ τις, Ἀπολλῶς ὀνόματι, Ἀλεξανδρεὺς τῷ γένει, ἀνὴρ
ユダヤ人で さて ある アポロという 名の アレクサンドリアの その 生まれの 人で
G2453 G1161 G5100 G0625 G3686 G0221 G3588 G1085 G0435

λόγιος, κατήντησεν εἰς Ἔφεσον. δυνατὸς ὢν ἐν ταῖς γραφαῖς.
雄弁な 到着した に エペソに 力の–ある であり に その 聖書に
G3052 G2658 G1519 G2181 G1415 G1510 G1722 G3588 G1124

さて、アレキサンデリヤ生れで、聖書に精通し、しかも、雄弁なアポロというユダヤ人が、エペソにきた。

25 οὗτος ἦν κατηχημένος τὴν ὁδὸν τοῦ Κυρίου. καὶ ζέων τῷ
この人は であった 教えられた その 道を の 主の そして 熱心で その
G3778 G1510 G2727 G3588 G3598 G3588 G2962 G2532 G2204 G3588

πνεύματι, ἐλάλει καὶ ἐδίδασκεν ἀκριβῶς τὰ περὶ τοῦ Ἰησοῦ,
霊において 語った そして 教えた 正確に その に-ついて その イエスの-ことを
G4151 G2980 G2532 G1321 G0199 G3588 G4012 G3588 G2424

ἐπιστάμενος μόνον τὸ βάπτισμα Ἰωάννου.
知っていた ただ その バプテスマだけを ヨハネの
G1987 G3440 G3588 G0908 G2491

この人は主の道に通じており、また、霊に燃えてイエスのことを詳しく語ったり教えたりしていたが、ただヨハネのバプテスマしか知っていなかった。

26 οὗτός τε ἤρξατο παρρησιάζεσθαι ἐν τῇ συναγωγῇ. ἀκούσαντες δὲ
この人は そして 始めた 大胆に-語ることを で その 会堂で 聞いて すると
G3778 G5037 G0756 G3955 G1722 G3588 G4864 G0191 G1161

αὐτοῦ, Πρίσκιλλα καὶ Ἀκύλας, προσελάβοντο αὐτὸν, καὶ ἀκριβέστερον
彼の-ことを プリスキラと そして アキラは 迎え-入れて 彼を そして より-正確に
G0846 G4252 G2532 G0207 G4355 G0846 G2532 G0199

αὐτῷ ἐξέθεντο τὴν ὁδὸν τοῦ Θεοῦ.
彼に 説明した その 道を の 神の
G0846 G1620 G3588 G3598 G3588 G2316

彼は会堂で大胆に語り始めた。それをプリスキラとアクラとが聞いて、彼を招きいれ、さらに詳しく神の道を解き聞かせた。

27 βουλομένου δὲ αὐτοῦ διελθεῖν εἰς τὴν Ἀχαΐαν, προτρεψάμενοι οἱ
望んだ-時 すると 彼が 渡ることを へ その アカヤに 勧めて その
G1014 G1161 G0846 G1330 G1519 G3588 G0882 G4389 G3588

ἀδελφοὶ ἔγραψαν τοῖς μαθηταῖς ἀποδέξασθαι αὐτόν, ὃς παραγενόμενος,
兄弟たちは 書いた その 弟子たちに 受け-入れるように 彼を 彼は 到着して
G0080 G1125 G3588 G3101 G0588 G0846 G3739 G3854

συνεβάλετο πολὺ τοῖς πεπιστευκόσιν διὰ τῆς χάριτος.
大いに-助けた 大いに その 信じた-者たちを を-通して その 恵み
G4820 G4183 G3588 G4100 G1223 G3588 G5485

それから、アポロがアカヤに渡りたいと思っていたので、兄弟たちは彼を励まし、先方の弟子たちに、彼をよく迎えるようにと、手紙を書き送った。彼は到着して、すでにめぐみによって信者になっていた人たちに、大いに力になった。

28 εὐτόνως γὰρ τοῖς Ἰουδαίοις διακατηλέγχετο δημοσίᾳ, ἐπιδεικνὺς διὰ
力強く なぜなら その ユダヤ人たちに 論駁した 公に 示しながら を-通して
G2159 G1063 G3588 G2453 G1246 G1219 G1925 G1223

τῶν γραφῶν εἶναι τὸν Χριστὸν Ἰησοῦν.
その 聖書によって であると その キリストは イエスであると
G3588 G1124 G1510 G3588 G5547 G2424

彼はイエスがキリストであることを、聖書に基いて示し、公然と、ユダヤ人たちを激しい語調で論破したからである。

Chapter 19

1 Ἐγένετο 起こった G1096 δὲ, さて G1161 ἐν ～の-間に G1722 τῷ その G3588 τὸν （冠詞） G3588 Ἀπολλῶ アポロが G0625 εἶναι いる G1510 ἐν ～に G1722 Κορίνθῳ, コリントに G2882 Παῦλον, パウロは G3972

διελθόντα 通って G1330 τὰ その G3588 ἀνωτερικὰ 上方の G0510 μέρη, 地方を G3313 ἐλθεῖν 来た G2064 εἰς ～へ G1519 Ἔφεσον, エペソに G2181 καὶ そして G2532 εὑρεῖν 見つけた G2147 τινας ある G5100

μαθητάς, 弟子たちを G3101

アポロがコリントにいた時、パウロは奥地をとおってエペソにきた。そして、ある弟子たちに出会って、

2 εἶπέν 言った G3004 τε そして G5037 πρὸς ～に G4314 αὐτούς, 彼らに G0846 Εἰ （疑問） G1487 Πνεῦμα 御霊を G4151 Ἅγιον 聖なる G0040 ἐλάβετε, 受けましたか G2983 πιστεύσαντες? 信じた-とき G4100

οἱ その G3588 δὲ しかし G1161 πρὸς ～に G4314 αὐτόν, 彼に G0846 Ἀλλ’ むしろ G0235 οὐδ’ ～さえも-ない G3761 εἰ （疑問） G1487 Πνεῦμα 御霊が G4151 Ἅγιον 聖なる G0040 ἔστιν, あるか-どうか G1510

ἠκούσαμεν. 聞いていません G0191

彼らに「あなたがたは、信仰にはいった時に、聖霊を受けたのか」と尋ねたところ、「いいえ、聖霊なるものがあることさえ、聞いたことがありません」と答えた。

3 εἶπέν 言った G3004 τε, そして G5037 Εἰς 何の G1519 τί 何の G5101 οὖν では G3767 ἐβαπτίσθητε? バプテスマを-受けましたか G0907 οἱ 彼らは G3588 δὲ そして G1161 εἶπαν, 答えた G3004 Εἰς ～への G1519

τὸ その G3588 Ἰωάννου ヨハネの G2491 βάπτισμα. バプテスマを G0908

「では、だれの名によってバプテスマを受けたのか」と彼がきくと、彼らは「ヨハネの名によるバプテスマを受けました」と答えた。

4 εἶπεν 言った G3004 δὲ そして G1161 Παῦλος, パウロは G3972 Ἰωάννης ヨハネは G2491 ἐβάπτισεν 授けた G0907 βάπτισμα バプテスマを G0908 μετανοίας, 悔い改めの G3341 τῷ その G3588 λαῷ 民に G2992

λέγων, 告げて G3004 εἰς ～を G1519 τὸν その G3588 ἐρχόμενον 来られる-方を G2064 μετ’ ～の-後に G3326 αὐτὸν, 自分の G0846 ἵνα ～ように G2443 πιστεύσωσιν, 信じるように G4100 τοῦτ’ すなわち G3778

ἔστιν, それは G1510 εἰς ～を G1519 τὸν （冠詞） G3588 Ἰησοῦν. イエスを G2424

そこで、パウロが言った、「ヨハネは悔改めのバプテスマを授けたが、それによって、自分のあとに来るかた、すなわち、イエスを信じるように、人々に勧めたのである」。

5 ἀκούσαντες 聞いて G0191 δὲ, そして G1161 ἐβαπτίσθησαν バプテスマを-受けた G0907 εἰς ～の-名に-おいて G1519 τὸ その G3588 ὄνομα 名に-おいて G3686 τοῦ （冠詞） G3588

Κυρίου 主 G2962 Ἰησοῦ. イエスの G2424

人々はこれを聞いて、主イエスの名によるバプテスマを受けた。

6

καὶ	ἐπιθέντος	αὐτοῖς	τοῦ	Παύλου	[τὰς]	χεῖρας,	ἦλθε	τὸ	Πνεῦμα
そして	置いた–とき	彼らに	（冠詞）	パウロが	（冠詞）	手を	来た	（冠詞）	御霊が
G2532	G2007	G0846	G3588	G3972	G3588	G5495	G2064	G3588	G4151

τὸ	Ἅγιον	ἐπ’	αὐτούς;	ἐλάλουν	τε	γλώσσαις	καὶ	ἐπροφήτευον.
（冠詞）	聖なる	～の–上に	彼らに	語り出した	そして	異言で	そして	預言した
G3588	G0040	G1909	G0846	G2980	G5037	G1100	G2532	G4395

そして、パウロが彼らの上に手をおくと、聖霊が彼らにくだり、それから彼らは異言を語ったり、預言をしたりし出した。

7

ἦσαν	δὲ	οἱ	πάντες	ἄνδρες	ὡσεὶ	δώδεκα.
いた	そして	その	すべての	男たちは	およそ	十二人であった
G1510	G1161	G3588	G3956	G0435	G5616	G1427

その人たちはみんなで十二人ほどであった。

8

Εἰσελθὼν	δὲ	εἰς	τὴν	συναγωγὴν,	ἐπαρρησιάζετο,	ἐπὶ	μῆνας	τρεῖς,
入って	そして	～に	その	会堂に	大胆に–語った	～の–間	月	三か月
G1525	G1161	G1519	G3588	G4864	G3955	G1909	G3376	G5140

διαλεγόμενος,	καὶ	πείθων	[τὰ]	περὶ	τῆς	βασιλείας	τοῦ	Θεοῦ.
論じ	そして	説得した	（冠詞）	～について	その	神の国に–ついて	（冠詞）	神の
G1256	G2532	G3982	G3588	G4012	G3588	G0932	G3588	G2316

それから、パウロは会堂にはいって、三か月のあいだ、大胆に神の国について論じ、また勧めをした。

9

ὡς	δέ	τινες	ἐσκληρύνοντο	καὶ	ἠπείθουν,	κακολογοῦντες	τὴν
しかし	ある者たちは	ある者たちは	かたくなになり	そして	信じなかった	悪く–言って	その
G5613	G1161	G5100	G4645	G2532	G0544	G2551	G3588

Ὁδὸν,	ἐνώπιον	τοῦ	πλήθους,	ἀποστὰς	ἀπ’	αὐτῶν,	ἀφώρισεν,	τοὺς
この–道を	～の–前で	その	群衆の	離れて	～から	彼らから	分けた	その
G3598	G1799	G3588	G4128	G0868	G0575	G0846	G0873	G3588

μαθητάς,	καθ’	ἡμέραν	διαλεγόμενος	ἐν	τῇ	σχολῇ	Τυράννου.
弟子たちを	毎	日	論じた	～の–中で	その	講堂で	ツラノの
G3101	G2596	G2250	G1256	G1722	G3588	G4981	G5181

ところが、ある人たちは心をかたくなにして、信じようとせず、会衆の前でこの道をあしざまに言ったので、彼は弟子たちを引き連れて、その人たちから離れ、ツラノの講堂で毎日論じた。

10

τοῦτο	δὲ	ἐγένετο	ἐπὶ	ἔτη	δύο,	ὥστε	πάντας	τοὺς	κατοικοῦντας
これは	そして	続いた	～の–間	年	二年	その–結果	すべての	（冠詞）	住む–者たちが
G3778	G1161	G1096	G1909	G2094	G1417	G5620	G3956	G3588	G2730

τὴν	Ἀσίαν	ἀκοῦσαι	τὸν	λόγον	τοῦ	Κυρίου,	Ἰουδαίους	τε	καὶ
（冠詞）	アジアに	聞いた	（冠詞）	言葉を	（冠詞）	主の	ユダヤ人も	（接続）	そして
G3588	G0773	G0191	G3588	G3056	G3588	G2962	G2453	G5037	G2532

Ἕλληνας.
ギリシヤ人も
G1672

それが二年間も続いたので、アジヤに住んでいる者は、ユダヤ人もギリシヤ人も皆、主の言を聞いた。

11 Δυνάμεις τε οὐ τὰς τυχούσας, ὁ Θεὸς ἐποίει διὰ
力ある-わざを また 普通-でない （冠詞） 普通-でない （冠詞） 神は 行った ～を-通して
G1411 G5037 G3756 G3588 G5177 G3588 G2316 G4160 G1223

τῶν χειρῶν Παύλου,
（冠詞） 手を パウロの
G3588 G5495 G3972

神は、パウロの手によって、異常な力あるわざを次々になされた。

12 ὥστε καὶ ἐπὶ τοὺς ἀσθενοῦντας ἀποφέρεσθαι ἀπὸ τοῦ
その-結果 さえも ～の-上に （冠詞） 病人たちに 持って-行かれた ～から （冠詞）
G5620 G2532 G1909 G3588 G0770 G0667 G0575 G3588

χρωτὸς αὐτοῦ σουδάρια ἢ σιμικίνθια, καὶ ἀπαλλάσσεσθαι ἀπ᾽ αὐτῶν
肌から 彼の 手ぬぐいや あるいは 前掛けが そして 去った ～から 彼らから
G5559 G0846 G4676 G2228 G4612 G2532 G0525 G0575 G0846

τὰς νόσους, τά τε πνεύματα τὰ πονηρὰ ἐκπορεύεσθαι.
（冠詞） 病気は （冠詞） また 悪霊たちも （冠詞） 悪い 出て-行った
G3588 G3554 G3588 G5037 G4151 G3588 G4190 G1607

たとえば、人々が、彼の身につけている手ぬぐいや前掛けを取って病人にあてると、その病気が除かれ、悪霊が出て行くのであった。

13 Ἐπεχείρησαν δέ τινες καὶ τῶν περιερχομένων Ἰουδαίων,
試みた しかし ある者たちが また （冠詞） 巡回する ユダヤ人の
G2021 G1161 G5100 G2532 G3588 G4022 G2453

ἐξορκιστῶν, ὀνομάζειν ἐπὶ τοὺς ἔχοντας τὰ πνεύματα τὰ
祓魔師たちが 唱えることを ～に-対して （冠詞） 持っている-者に （冠詞） 霊を （冠詞）
G1845 G3687 G1909 G3588 G2192 G3588 G4151 G3588

πονηρὰ, τὸ ὄνομα τοῦ Κυρίου Ἰησοῦ, λέγοντες, Ὁρκίζω ὑμᾶς,
悪い （冠詞） 名を （冠詞） 主 イエスの 言って 命じる おまえたちに
G4190 G3588 G3686 G3588 G2962 G2424 G3004 G3726 G4771

τὸν Ἰησοῦν, ὃν Παῦλος κηρύσσει.
（冠詞） イエスに-よって その パウロが 宣べ伝える
G3588 G2424 G3739 G3972 G2784

そこで、ユダヤ人のまじない師で、遍歴している者たちが、悪霊につかれている者にむかって、主イエスの名をとなえ、「パウロの宣べ伝えているイエスによって命じる。出て行け」と、ためしに言ってみた。

14 ἦσαν δέ τινος Σκευᾶ, Ἰουδαίου ἀρχιερέως, ἑπτὰ υἱοὶ, τοῦτο
いた そして ある スケワという ユダヤ人の 祭司長の 七人の 息子たちが これを
G1510 G1161 G5100 G4630 G2453 G0749 G2033 G5207 G3778

ποιοῦντες.
していた
G4160

ユダヤの祭司長スケワという者の七人のむすこたちも、そんなことをしていた。

15 ἀποκριθὲν 答えて G0611 δὲ, しかし G1161 τὸ その G3588 πνεῦμα 霊は G4151 τὸ （冠詞） G3588 πονηρὸν 悪い G4190 εἶπεν 言った G3004 αὐτοῖς 彼らに G0846 Τὸν, （冠詞） G3588 [μὲν] 一方では G3303
Ἰησοῦν イエスは G2424 γινώσκω, 知っている G1097 καὶ そして G2532 τὸν （冠詞） G3588 Παῦλον パウロも G3972 ἐπίσταμαι; よく-知っている G1987 ὑμεῖς おまえたちは G4771 δὲ, しかし G1161 τίνες 何者 G5101
ἐστέ? なのか G1510

すると悪霊がこれに対して言った、「イエスなら自分は知っている。パウロもわかっている。だが、おまえたちは、いったい何者だ」。

16 καὶ そして G2532 ἐφαλόμενος 飛びかかって G2177 ὁ その G3588 ἄνθρωπος 人は G0444 ἐπ’ ～に G1909 αὐτοὺς, 彼らに G0846 ἐν ～の-中の G1722 ᾧ その G3739 ἦν いた G1510 τὸ （冠詞） G3588
πνεῦμα 霊が G4151 τὸ （冠詞） G3588 πονηρὸν, 悪い G4190 κατακυριεύσας 打ち負かして G2634 ἀμφοτέρων, 両方を G0297 ἴσχυσεν 勝った G2480 κατ’ ～に-対して G2596 αὐτῶν, 彼らに G0846
ὥστε その-結果 G5620 γυμνοὺς 裸で G1131 καὶ そして G2532 τετραυματισμένους 傷を-負って G5135 ἐκφυγεῖν 逃げ出した G1628 ἐκ ～から G1537 τοῦ その G3588 οἴκου 家から G3624 ἐκείνου. その G1565

そして、悪霊につかれている人が、彼らに飛びかかり、みんなを押えつけて負かしたので、彼らは傷を負ったまま裸になって、その家を逃げ出した。

17 τοῦτο この-ことは G3778 δὲ そして G1161 ἐγένετο 知れ渡った G1096 γνωστὸν 知られた G1110 πᾶσιν すべての G3956 Ἰουδαίοις ユダヤ人にも G2453 τε （接続） G5037 καὶ そして G2532
Ἕλλησιν. ギリシヤ人にも G1672 τοῖς （冠詞） G3588 κατοικοῦσιν 住んでいる G2730 τὴν （冠詞） G3588 Ἔφεσον, エペソに G2181 καὶ そして G2532 ἐπέπεσεν 落ちた G1968 φόβος 恐れが G5401
ἐπὶ ～の-上に G1909 πάντας すべての G3956 αὐτούς, 彼らに G0846 καὶ そして G2532 ἐμεγαλύνετο あがめられた G3170 τὸ その G3588 ὄνομα 名が G3686 τοῦ （冠詞） G3588 Κυρίου 主 G2962 Ἰησοῦ. イエスの G2424

このことがエペソに住むすべてのユダヤ人やギリシヤ人に知れわたって、みんな恐怖に襲われ、そして、主イエスの名があがめられた。

18 πολλοί 多くの G4183 τε また G5037 τῶν （冠詞） G3588 πεπιστευκότων 信じた-者たちが G4100 ἤρχοντο, 来て G2064 ἐξομολογούμενοι 告白し G1843 καὶ そして G2532
ἀναγγέλλοντες 明らかにした G0312 τὰς （冠詞） G3588 πράξεις 行いを G4234 αὐτῶν. 自分たちの G0846

また信者になった者が大ぜいきて、自分の行為を打ちあけて告白した。

19

ἱκανοὶ	δὲ	τῶν	τὰ	περίεργα	πραξάντων,	συνενέγκαντες	τὰς
多くの	また	（冠詞）	（冠詞）	魔術を	行った–者たちが	集めて	（冠詞）
G2425	G1161	G3588	G3588	G4021	G4238	G4851	G3588

βίβλους,	κατέκαιον	ἐνώπιον	πάντων.	καὶ	συνεψήφισαν	τὰς	τιμὰς	αὐτῶν,
書物を	焼いた	～の–前で	すべての–人の	そして	計算した	（冠詞）	値段を	その
G0976	G2618	G1799	G3956	G2532	G4860	G3588	G5092	G0846

καὶ	εὗρον	ἀργυρίου	μυριάδας	πέντε.
そして	分かった	銀貨	五万の	五万
G2532	G2147	G0694	G3461	G4002

それから、魔術を行っていた多くの者が、魔術の本を持ち出してきては、みんなの前で焼き捨てた。その値段を総計したところ、銀五万にも上ることがわかった。

20

Οὕτως	κατὰ	κράτος	τοῦ	Κυρίου	ὁ	λόγος	ηὔξανεν	καὶ
このように	～に–従って	力強く	（冠詞）	主の	（冠詞）	言葉は	成長し	そして
G3779	G2596	G2904	G3588	G2962	G3588	G3056	G0837	G2532

ἴσχυεν.
力を–増した
G2480

このようにして、主の言はますます盛んにひろまり、また力を増し加えていった。

21

Ὡς	δὲ	ἐπληρώθη	ταῦτα,	ἔθετο	ὁ	Παῦλος	ἐν
これらが	そして	成し遂げられた–とき	これらの–こと	定めた	（冠詞）	パウロは	～の–中で
G5613	G1161	G4137	G3778	G5087	G3588	G3972	G1722

τῷ	πνεύματι,	διελθὼν	τὴν	Μακεδονίαν	καὶ	Ἀχαΐαν,	πορεύεσθαι	εἰς
その	霊に–おいて	通って	（冠詞）	マケドニアと	そして	アカイアを	行こうと	～へ
G3588	G4151	G1330	G3588	G3109	G2532	G0882	G4198	G1519

Ἰερουσόλυμα,	εἰπών,	ὅτι	Μετὰ	τὸ	γενέσθαι	με	ἐκεῖ,	δεῖ
エルサレムへ	言って	（引用）	～の–後	（冠詞）	なった	私が	そこに	～ねばならない
G2414	G3004	G3754	G3326	G3588	G1096	G1473	G1563	G1163

με	καὶ	Ῥώμην	ἰδεῖν.
私は	また	ローマをも	見なければならない
G1473	G2532	G4516	G3708

これらの事があった後、パウロは御霊に感じて、マケドニヤ、アカヤをとおって、エルサレムへ行く決心をした。そして言った、「わたしは、そこに行ったのち、ぜひローマをも見なければならない」。

22

ἀποστείλας	δὲ	εἰς	τὴν	Μακεδονίαν,	δύο	τῶν	διακονούντων	αὐτῷ,
遣わして	そして	～へ	（冠詞）	マケドニアへ	二人の	（冠詞）	仕える–者を	彼に
G0649	G1161	G1519	G3588	G3109	G1417	G3588	G1247	G0846

Τιμόθεον	καὶ	Ἔραστον,	αὐτὸς	ἐπέσχεν	χρόνον	εἰς	τὴν	Ἀσίαν.
テモテと	そして	エラストを	彼自身は	とどまった	しばらく	～に	（冠詞）	アジアに
G5095	G2532	G2037	G0846	G1907	G5550	G1519	G3588	G0773

そこで、自分に仕えている者の中から、テモテとエラストとのふたりを、まずマケドニヤに送り出し、パウロ自身は、なおしばらくアジヤにとどまった。

23

Ἐγένετο	δὲ,	κατὰ	τὸν	καιρὸν	ἐκεῖνον,	τάραχος	οὐκ	ὀλίγος
起こった	そして	その	（冠詞）	時に	その	騒動が	少なからぬ	少なくない
G1096	G1161	G2596	G3588	G2540	G1565	G5017	G3756	G3641

περὶ	τῆς	Ὁδοῦ.
～について	この	この–道に–ついて
G4012	G3588	G3598

そのころ、この道について容易ならぬ騒動が起った。

24 Δημήτριος γάρ τις ὀνόματι, ἀργυροκόπος, ποιῶν ναοὺς ἀργυροῦς
なぜなら なぜなら ある 名の 銀細工師で 作る 神殿の-模型を 銀の
G1216 G1063 G5100 G3686 G0695 G4160 G3485 G0693

Ἀρτέμιδος, παρείχετο τοῖς τεχνίταις οὐκ ὀλίγην ἐργασίαν;
アルテミスの もたらしていた その 職人たちに 少なくない 少なくない 利益を
G0735 G3930 G3588 G5079 G3756 G3641 G2039

そのいきさつは、こうである。デメテリオという銀細工人が、銀でアルテミス神殿の模型を造って、職人たちに少なからぬ利益を得させていた。

25 οὓς συναθροίσας, καὶ τοὺς περὶ τὰ τοιαῦτα ἐργάτας, εἶπεν,
彼らを 集めて そして （冠詞） ～に-関する その 同様の 職人たちを 言った
G3739 G4867 G2532 G3588 G4012 G3588 G5108 G2040 G3004

Ἄνδρες, ἐπίστασθε ὅτι ἐκ ταύτης τῆς ἐργασίας ἡ εὐπορία
皆さん 知っている-とおり （引用） ～から この （冠詞） 商売から （冠詞） 繁栄が
G0435 G1987 G3754 G1537 G3778 G3588 G2039 G3588 G2142

ἡμῖν ἐστιν.
私たちに あるのです
G1473 G1510

この男がその職人たちや、同類の仕事をしていた者たちを集めて言った、「諸君、われわれがこの仕事で、金もうけをしていることは、ご承知のとおりだ。

26 καὶ θεωρεῖτε καὶ ἀκούετε ὅτι οὐ μόνον
そして 見て また 聞いている-とおり （引用） ～だけ-でなく ～だけ-でなく
G2532 G2334 G2532 G0191 G3754 G3756 G3440

Ἐφέσου, ἀλλὰ σχεδὸν πάσης τῆς Ἀσίας, ὁ Παῦλος, οὗτος
エペソだけ-でなく むしろ ほとんど すべての （冠詞） アジア中で この パウロが この者が
G2181 G0235 G4975 G3956 G3588 G0773 G3588 G3972 G3778

πείσας, μετέστησεν ἱκανὸν ὄχλον, λέγων ὅτι οὐκ εἰσὶν θεοὶ,
説き伏せて 変えた 多くの 群衆を 言って （引用） ～ではない 神々ではない 神々は
G3982 G3179 G2425 G3793 G3004 G3754 G3756 G1510 G2316

οἱ διὰ χειρῶν γινόμενοι.
（冠詞） ～で 手で 造られたものは
G3588 G1223 G5495 G1096

しかるに、諸君の見聞きしているように、あのパウロが、手で造られたものは神様ではないなどと言って、エペソばかりか、ほとんどアジヤ全体にわたって、大ぜいの人々を説きつけて誤らせた。

27

οὐ	μόνον	δὲ	τοῦτο	κινδυνεύει	ἡμῖν,	τὸ	μέρος	εἰς
～だけ-でなく	～だけ-でなく	しかし	この-ことは	危険がある	私たちに	この	商売が	～に
G3756	G3440	G1161	G3778	G2793	G1473	G3588	G3313	G1519

ἀπελεγμὸν	ἐλθεῖν,	ἀλλὰ	καὶ	τὸ	τῆς	μεγάλης	θεᾶς	Ἀρτέμιδος	ἱερὸν,
評判を-失う	ことに	むしろ	また	（冠詞）	（冠詞）	偉大な	女神	アルテミスの	神殿さえも
G0557	G2064	G0235	G2532	G3588	G3588	G3173	G2299	G0735	G2411

εἰς	οὐθὲν	λογισθῆναι,	μέλλειν	τε	καὶ	καθαιρεῖσθαι	τῆς
～と	無と	見なされ	しようとしている	そして	また	引き降ろされる	その
G1519	G3762	G3049	G3195	G5037	G2532	G2507	G3588

μεγαλειότητος	αὐτῆς,	ἣν	ὅλη	ἡ	Ἀσία	καὶ	ἡ	οἰκουμένη
威光が	彼女の	その	全	（冠詞）	アジアと	そして	（冠詞）	全世界が
G3168	G0846	G3739	G3650	G3588	G0773	G2532	G3588	G3625

σέβεται.
崇拝している
G4576

これでは、お互の仕事に悪評が立つおそれがあるばかりか、大女神アルテミスの宮も軽んじられ、ひいては全アジヤ、いや全世界が拝んでいるこの大女神のご威光さえも、消えてしまいそうである」。

28

Ἀκούσαντες	δὲ,	καὶ	γενόμενοι	πλήρεις	θυμοῦ,	ἔκραζον	λέγοντες,	Μεγάλη
聞いて	そして	そして	なった	満ちた	怒りに	叫んだ	言って	偉大なるかな
G0191	G1161	G2532	G1096	G4134	G2372	G2896	G3004	G3173

ἡ	Ἄρτεμις	Ἐφεσίων.
（冠詞）	アルテミスは	エペソ人の
G3588	G0735	G2180

これを聞くと、人々は怒りに燃え、大声で「大いなるかな、エペソ人のアルテミス」と叫びつづけた。

29

καὶ	ἐπλήσθη	ἡ	πόλις	τῆς	συγχύσεως;	ὥρμησάν	τε	ὁμοθυμαδὸν
そして	満ちた	その	町は	（冠詞）	混乱に	突進した	そして	一斉に
G2532	G4130	G3588	G4172	G3588	G4799	G3729	G5037	G3661

εἰς	τὸ	θέατρον,	συναρπάσαντες	Γάϊον	καὶ	Ἀρίσταρχον,	Μακεδόνας,
～へ	その	劇場に	つかまえて	ガイオと	そして	アリスタルコを	マケドニア人で
G1519	G3588	G2302	G4884	G1050	G2532	G0708	G3110

συνεκδήμους	Παύλου.
パウロの-同行者	パウロの
G4898	G3972

そして、町中が大混乱に陥り、人々はパウロの道連れであるマケドニヤ人ガイオとアリスタルコとを捕えて、いっせいに劇場へなだれ込んだ。

30

Παύλου	δὲ,	βουλομένου	εἰσελθεῖν	εἰς	τὸν	δῆμον;	οὐκ
パウロは	しかし	望んで	入ろうと-した	～の-中に	その	民衆の-中に	～ない
G3972	G1161	G1014	G1525	G1519	G3588	G1218	G3756

εἴων	αὐτὸν	οἱ	μαθηταί,
許さなかった	彼を	（冠詞）	弟子たちは
G1439	G0846	G3588	G3101

パウロは群衆の中にはいって行こうとしたが、弟子たちがそれをさせなかった。

31 τινὲς δὲ καὶ τῶν Ἀσιαρχῶν, ὄντες αὐτῷ φίλοι, πέμψαντες
ある また ～も （冠詞） アジア州の–指導者たちも ～であった 彼の 友人で 使いを–送って
G5100 G1161 G2532 G3588 G0775 G1510 G0846 G5384 G3992

πρὸς αὐτὸν, παρεκάλουν μὴ δοῦναι ἑαυτὸν εἰς τὸ
～に 彼に 懇願した ～ないように 出て–行かないように 自らを ～の–中に その
G4314 G0846 G3870 G3361 G1325 G1438 G1519 G3588

θέατρον.
劇場に
G2302

アジヤ州の議員で、パウロの友人であった人たちも、彼に使をよこして、劇場にはいって行かないようにと、しきりに頼んだ。

32 ἄλλοι μὲν οὖν ἄλλο τι ἔκραζον; ἦν γὰρ ἡ
ある者たちは 一方では それゆえ 別の–ことを 何か 叫んでいた あった なぜなら その
G0243 G3303 G3767 G0243 G5100 G2896 G1510 G1063 G3588

ἐκκλησία συγκεχυμένη, καὶ οἱ πλείους οὐκ ᾔδεισαν τίνος
集会は 混乱しており そして （冠詞） 大多数は ～ない 知らなかった 何の–ために
G1577 G4797 G2532 G3588 G4119 G3756 G1492 G5101

ἕνεκα συνεληλύθεισαν.
何の–ために 集まったのか
G1752 G4905

中では、集会が混乱に陥ってしまって、ある者はこのことを、ほかの者はあのことを、どなりつづけていたので、大多数の者は、なんのために集まったのかも、わからないでいた。

33 ἐκ δὲ τοῦ ὄχλου συνεβίβασαν Ἀλέξανδρον, προβαλόντων αὐτὸν
～から そして その 群衆から 引き出した アレクサンドロを 押し出した 彼を
G1537 G1161 G3588 G3793 G4822 G0223 G4261 G0846

τῶν Ἰουδαίων. ὁ δὲ Ἀλέξανδρος, κατασείσας τὴν χεῖρα,
（冠詞） ユダヤ人たちが （冠詞） そして アレクサンドロは 手を–振って （冠詞） 手を
G3588 G2453 G3588 G1161 G0223 G2678 G3588 G5495

ἤθελεν ἀπολογεῖσθαι τῷ δήμῳ.
望んだ 弁明しようと その 民衆に
G2309 G0626 G3588 G1218

そこで、ユダヤ人たちが、前に押し出したアレキサンデルなる者を、群衆の中のある人たちが促したため、彼は手を振って、人々に弁明を試みようとした。

34 ἐπιγνόντες δὲ ὅτι Ἰουδαῖός ἐστιν, φωνὴ ἐγένετο μία ἐκ
知った–とき しかし （引用） ユダヤ人だと であると 声が 起こった 一つの ～から
G1921 G1161 G3754 G2453 G1510 G5456 G1096 G1520 G1537

πάντων, ὡς ἐπὶ ὥρας δύο κραζόντων, Μεγάλη ἡ
すべての–者から およそ ～の–間 時間 二時間 叫んだ 偉大なるかな （冠詞）
G3956 G5613 G1909 G5610 G1417 G2896 G3173 G3588

Ἄρτεμις Ἐφεσίων.
アルテミスは エペソ人の
G0735 G2180

ところが、彼がユダヤ人だとわかると、みんなの者がいっせいに「大いなるかな、エペソ人のアルテミス」と二時間ばかりも叫びつづけた。

35 καταστείλας δὲ ὁ γραμματεὺς τὸν ὄχλον, φησίν, Ἄνδρες, Ἐφέσιοι,
静めて そして その 書記官は その 群衆を 言った 皆さん エペソの-人たち
G2687 G1161 G3588 G1122 G3588 G3793 G5346 G0435 G2180

τίς γάρ ἐστιν ἀνθρώπων ὃς οὐ γινώσκει τὴν Ἐφεσίων
誰が いったい いるのか 人の-中に ～で-ない-者が ～ない 知らない （冠詞） エペソ人の
G5101 G1063 G1510 G0444 G3739 G3756 G1097 G3588 G2180

πόλιν νεωκόρον οὖσαν τῆς μεγάλης Ἀρτέμιδος, καὶ τοῦ
町が 守護者で-ある ～で-ある （冠詞） 偉大な アルテミスの そして （冠詞）
G4172 G3511 G1510 G3588 G3173 G0735 G2532 G3588

διοπετοῦς?
天から-降った-像の
G1356

ついに、市の書記役が群衆を押し静めて言った、「エペソの諸君、エペソ市が大女神アルテミスと、天くだったご神体との守護役であることを知らない者が、ひとりでもいるだろうか。

36 ἀναντιρρήτων οὖν ὄντων τούτων, δέον ἐστὶν ὑμᾶς
否定-できない それゆえ ことで-ある これらは あなたがたは-当然 ～である あなたがたは
G0368 G3767 G1510 G3778 G1163 G1510 G4771

κατεσταλμένους ὑπάρχειν, καὶ μηδὲν προπετὲς πράσσειν.
落ち着いて いなければならない そして 何も 軽率な-ことを しては-ならない
G2687 G5225 G2532 G3367 G4312 G4238

これは否定のできない事実であるから、諸君はよろしく静かにしているべきで、乱暴な行動は、いっさいしてはならない。

37 ἠγάγετε γὰρ τοὺς ἄνδρας τούτους, οὔτε ἱεροσύλους οὔτε
連れて-来た なぜなら この 人たちを これらの ～でも-なく 神殿-荒らし ～でも-なく
G0071 G1063 G3588 G0435 G3778 G3777 G2417 G3777

βλασφημοῦντας τὴν θεὸν ἡμῶν.
冒涜する-者でもなく （冠詞） 女神を 私たちの
G0987 G3588 G2316 G1473

諸君はこの人たちをここにひっぱってきたが、彼らは宮を荒す者でも、われわれの女神をそしる者でもない。

38 εἰ μὲν οὖν Δημήτριος καὶ οἱ σὺν αὐτῷ τεχνῖται
もし 一方で そうであれば デメテリオと そして （冠詞） 共に-いる 彼と 職人たちが
G1487 G3303 G3767 G1216 G2532 G3588 G4862 G0846 G5079

ἔχουσι, πρός τινα λόγον, ἀγοραῖοι ἄγονται, καὶ ἀνθύπατοί εἰσιν;
持っている-なら ～に-対する 誰かに 訴えを 法廷が 開かれている そして 総督たちも いる
G2192 G4314 G5100 G3056 G0060 G0071 G2532 G0446 G1510

ἐγκαλείτωσαν ἀλλήλοις.
訴えなさい 互いに
G1458 G0240

だから、もしデメテリオなりその職人仲間なりが、だれかに対して訴え事があるなら、裁判の日はあるし、総督もいるのだから、それぞれ訴え出るがよい。

39 εἰ δέ τι περαιτέρω ἐπιζητεῖτε, ἐν τῇ ἐννόμῳ ἐκκλησίᾳ
もし しかし 何か それ以上の-ことを 求めるなら ～で その 正式な 集会で
G1487 G1161 G5100 G4008 G1934 G1722 G3588 G1772 G1577

ἐπιλυθήσεται.
解決されるであろう
G1956

しかし、何かもっと要求したい事があれば、それは正式の議会で解決してもらうべきだ。

40 καὶ そして G2532 γὰρ 実に G1063 κινδυνεύομεν 危険が–ある G2793 ἐγκαλεῖσθαι 告発される G1458 στάσεως 暴動の G4714 περὶ ～について G4012 τῆς （冠詞） G3588 σήμερον, 今日の–ことで G4594 μηδενὸς 何の G3367 αἰτίου 理由も G0159 ὑπάρχοντος ない G5225 περὶ, ～について G4012 οὗ その G3739 οὐ ～ない G3756 δυνησόμεθα 説明–できない G1410 ἀποδοῦναι 説明する–ことが G0591 λόγον 弁明を G3056 περὶ ～について G4012 τῆς この G3588 συστροφῆς 騒動に–ついて G4963 ταύτης. この G3778

きょうの事件については、この騒ぎを弁護できるような理由が全くないのだから、われわれは治安をみだす罪に問われるおそれがある」。

41 καὶ そして G2532 ταῦτα これらの–ことを G3778 εἰπὼν, 言って G3004 ἀπέλυσεν 解散させた G0630 τὴν その G3588 ἐκκλησίαν. 集会を G1577

こう言って、彼はこの集会を解散させた。

Chapter 20

1 Μετὰ ～の–後 G3326 δὲ そして G1161 τὸ その G3588 παύσασθαι 騒ぎが–収まると G3973 τὸν その G3588 θόρυβον, 騒動を G2351 μεταπεμψάμενος 招き–寄せて G3343 ὁ その G3588 Παῦλος パウロは G3972 τοὺς その G3588 μαθητὰς, 弟子たちを G3101 καὶ そして G2532 παρακαλέσας 励まし G3870 ἀσπασάμενος, 別れの–挨拶をして G0782 ἐξῆλθεν 出発した G1831 πορεύεσθαι 旅立つ–ために G4198 εἰς ～へ G1519 Μακεδονίαν. マケドニアへ G3109

騒ぎがやんだ後、パウロは弟子たちを呼び集めて激励を与えた上、別れのあいさつを述べ、マケドニヤへ向かって出発した。

2 διελθὼν 通り–過ぎて G1330 δὲ そして G1161 τὰ その G3588 μέρη 地方を G3313 ἐκεῖνα, それらの G1565 καὶ そして G2532 παρακαλέσας 励まし G3870 αὐτοὺς 彼らを G0846 λόγῳ 言葉で G3056 πολλῷ, 多くの G4183 ἦλθεν 来た G2064 εἰς ～へ G1519 τὴν その G3588 Ἑλλάδα. ギリシアに G1671

そして、その地方をとおり、多くの言葉で人々を励ましたのち、ギリシヤにきた。

3 ποιήσας 過ごして G4160 τε そして G5037 μῆνας 月を G3376 τρεῖς, 三か月 G5140 γενομένης 起こった G1096 ἐπιβουλῆς 陰謀が G1917 αὐτῷ 彼に–対して G0846 ὑπὸ ～による G5259 τῶν その G3588 Ἰουδαίων, ユダヤ人たちの G2453 μέλλοντι しようとしていた G3195 ἀνάγεσθαι 出航する G0321 εἰς ～へ G1519 τὴν その G3588 Συρίαν, シリアに G4947 ἐγένετο 決めた G1096 γνώμης 判断で G1106 τοῦ その G3588 ὑποστρέφειν 引き返すことを G5290 διὰ ～を–通って G1223 Μακεδονίας. マケドニアを G3109

彼はそこで三か月を過ごした。それからシリヤへ向かって、船出しようとしていた矢先、彼に対するユダヤ人の陰謀が起ったので、マケドニヤを経由して帰ることに決した。

4 συνείπετο 同行していた G4902 δὲ そして G1161 αὐτῷ 彼に G0846 Σώπατρος ソパテロ G4986 Πύρρου, ピュロスの-子 G4450 Βεροιαῖος; ベレヤの-人 G0961 Θεσσαλονικέων テサロニケの-人では G2331

δὲ, そして G1161 Ἀρίσταρχος アリスタルコ G0708 καὶ と G2532 Σεκοῦνδος; セクンド G4580 καὶ また G2532 Γάϊος ガイオ G1050 Δερβαῖος デルベの-人 G1190 καὶ と G2532 Τιμόθεος; テモテ G5095

Ἀσιανοὶ アジアの-人では G0774 δὲ, そして G1161 Τυχικὸς テキコ G5190 καὶ と G2532 Τρόφιμος. トロフィモ G5161

プロの子であるエペソ人ソパテロ、テサロニケ人アリスタルコとセクンド、デルベ人ガイオ、それからテモテ、またアジヤ人テキコとトロピモがパウロの同行者であった。

5 οὗτοι 彼らは G3778 δὲ しかし G1161 προελθόντες, 先に-行って G4281 ἔμενον 待っていた G3306 ἡμᾶς 私たちを G1473 ἐν ～で G1722 Τρῳάδι; トロアスで G5174

この人たちは先発して、トロアスでわたしたちを待っていた。

6 ἡμεῖς 私たちは G1473 δὲ そして G1161 ἐξεπλεύσαμεν, 船出した G1602 μετὰ ～の-後 G3326 τὰς その G3588 ἡμέρας 日々の G2250 τῶν その G3588 ἀζύμων, 種なしパンの G0106 ἀπὸ ～から G0575

Φιλίππων, ピリピから G5375 καὶ そして G2532 ἤλθομεν 来た G2064 πρὸς ～の-もとに G4314 αὐτοὺς 彼らの G0846 εἰς ～へ G1519 τὴν その G3588 Τρῳάδα; トロアスに G5174 ἄχρι ～までに G0891 ἡμερῶν 日間の G2250

πέντε, 五日 G4002 ὅπου そこで G3699 διετρίψαμεν 滞在した G1304 ἡμέρας 日間 G2250 ἑπτά. 七日 G2033

わたしたちは、除酵祭が終ったのちに、ピリピから出帆し、五日かかってトロアスに到着して、彼らと落ち合い、そこに七日間滞在した。

7 Ἐν ～に G1722 δὲ さて G1161 τῇ その G3588 μιᾷ 第一の G1520 τῶν その G3588 σαββάτων, 週の-日に G4521 συνηγμένων 集まっていた G4863 ἡμῶν 私たちが G1473 κλάσαι 裂く-ために G2806 ἄρτον, パンを G0740

ὁ その G3588 Παῦλος パウロは G3972 διελέγετο 語った G1256 αὐτοῖς, 彼らに G0846 μέλλων しようとしていて G3195 ἐξιέναι 出発する G1826 τῇ その G3588 ἐπαύριον; 翌日に G1887 παρέτεινέν 延ばした G3905

τε そして G5037 τὸν その G3588 λόγον 話を G3056 μέχρι ～まで G3360 μεσονυκτίου. 真夜中まで G3317

週の初めの日に、わたしたちがパンをさくために集まった時、パウロは翌日出発することにしていたので、しきりに人々と語り合い、夜中まで語りつづけた。

8 ἦσαν あった G1510 δὲ そして G1161 λαμπάδες ともしびが G2985 ἱκαναὶ 多くの G2425 ἐν ～に G1722 τῷ その G3588 ὑπερῴῳ, 階上の-部屋に G5253 οὗ そこに G3757 ἦμεν 私たちは-いた G1510

συνηγμένοι. 集まっていた G4863

わたしたちが集まっていた屋上の間には、あかりがたくさんともしてあった。

9 καθεζόμενος 座っていた G2516 δέ すると G1161 τις ある G5100 νεανίας, 青年が G3494 ὀνόματι 名を G3686 Εὔτυχος, エウテュコスという G2161 ἐπὶ ～の-上に G1909 τῆς その G3588 θυρίδος, 窓に G2376 καταφερόμενος おそわれていた G2702 ὕπνῳ 眠りに G5258 βαθεῖ, 深い G0901 διαλεγομένου 語っている G1256 τοῦ その G3588 Παύλου パウロが G3972 ἐπὶ ～の-上に G1909 πλεῖον, さらに-長く G4119 κατενεχθεὶς 圧倒されて G2702 ἀπὸ ～から G0575 τοῦ その G3588 ὕπνου, 眠りから G5258 ἔπεσεν 落ちた G4098 ἀπὸ ～から G0575 τοῦ その G3588 τριστέγου 三階から G5152 κάτω, 下へ G2736 καὶ そして G2532 ἤρθη 起こされたが G0142 νεκρός. 死んでいた G3498

ユテコという若者が窓に腰をかけていたところ、パウロの話がながながと続くので、ひどく眠けがさしてきて、とうとうぐっすり寝入ってしまい、三階から下に落ちた。抱き起してみたら、もう死んでいた。

10 καταβὰς 降りて-行き G2597 δὲ, しかし G1161 ὁ その G3588 Παῦλος パウロは G3972 ἐπέπεσεν 身を-かがめて G1968 αὐτῷ, 彼の-上に G0846 καὶ そして G2532 συμπεριλαβὼν 抱き-かかえて G4843 εἶπεν, 言った G3004 Μὴ ～するな G3361 θορυβεῖσθε; 騒いでは-ならない G2350 ἡ その G3588 γὰρ なぜなら G1063 ψυχὴ いのちは G5590 αὐτοῦ, 彼の G0846 ἐν ～の-中に G1722 αὐτῷ 彼の-中に G0846 ἐστιν. ある G1510

そこでパウロは降りてきて、若者の上に身をかがめ、彼を抱きあげて、「騒ぐことはない。まだ命がある」と言った。

11 ἀναβὰς 上がって G0305 δὲ, そして G1161 καὶ そして G2532 κλάσας 裂いて G2806 τὸν その G3588 ἄρτον, パンを G0740 καὶ そして G2532 γευσάμενος, 食べて G1089 ἐφ’ ～の-間 G1909 ἱκανόν 長い-時間 G2425 τε そして G5037 ὁμιλήσας 語り-合って G3656 ἄχρι ～まで G0891 αὐγῆς, 夜明けまで G0827 οὕτως こうして G3779 ἐξῆλθεν. 出発した G1831

そして、また上がって行って、パンをさいて食べてから、明けがたまで長いあいだ人々と語り合って、ついに出発した。

12 ἤγαγον 連れて-来た G0071 δὲ そして G1161 τὸν その G3588 παῖδα 若者を G3816 ζῶντα, 生きている G2198 καὶ そして G2532 παρεκλήθησαν 慰められた G3870 οὐ 少なからず G3756 μετρίως. 大いに G3357

人々は生きかえった若者を連れかえり、ひとかたならず慰められた。

13 Ἡμεῖς 私たちは G1473 δὲ, さて G1161 προελθόντες 先に-行き G4281 ἐπὶ ～に G1909 τὸ その G3588 πλοῖον, 船に G4143 ἀνήχθημεν 出航した G0321 ἐπὶ ～へ G1909 τὴν その G3588 Ἄσσον, アソスへ G0789 ἐκεῖθεν そこから G1564 μέλλοντες しようとして G3195 ἀναλαμβάνειν 乗せる G0353 τὸν その G3588 Παῦλον. パウロを G3972 οὕτως こう G3779 γὰρ なぜなら G1063 διατεταγμένος, 手配していた G1299 ἦν 彼は G1510 μέλλων するつもりで G3195 αὐτὸς 彼自身が G0846 πεζεύειν. 徒歩で-行く G3978

さて、わたしたちは先に舟に乗り込み、アソスへ向かって出帆した。そこからパウロを舟に乗せて行くことにしていた。彼だけは陸路をとることに決めていたからである。

14

ὡς	δὲ	συνέβαλλεν	ἡμῖν	εἰς	τὴν	Ἄσσον,	ἀναλαβόντες	αὐτὸν,
そして	その時	合流した	私たちと	～で	その	アソスで	乗せて	彼を
G5613	G1161	G4820	G1473	G1519	G3588	G0789	G0353	G0846

ἤλθομεν	εἰς	Μιτυλήνην;
来た	～へ	ミティレネに
G2064	G1519	G3412

パウロがアソスで、わたしたちと落ち合った時、わたしたちは彼を舟に乗せてミテレネに行った。

15

κἀκεῖθεν	ἀποπλεύσαντες,	τῇ	ἐπιούσῃ	κατηντήσαμεν	ἄντικρυς	Χίου.	τῇ
そこから	船出して	その	翌日	到着した	～の-向かいに	キオスの	その
G2547	G0636	G3588	G1966	G2658	G0481	G5508	G3588

δὲ	ἑτέρᾳ	παρεβάλομεν	εἰς	Σάμον;	τῇ	δὲ	ἐχομένῃ	ἤλθομεν	εἰς
また	次の-日に	寄港した	～に	サモスに	その	そして	その-次の-日に	来た	～へ
G1161	G2087	G3846	G1519	G4544	G3588	G1161	G2192	G2064	G1519

Μίλητον.
ミレトスに
G3399

そこから出帆して、翌日キヨスの沖合にいたり、次の日にサモスに寄り、その翌日ミレトに着いた。

16

κεκρίκει	γὰρ	ὁ	Παῦλος	παραπλεῦσαι	τὴν	Ἔφεσον,	ὅπως	μὴ
決めていた	なぜなら	その	パウロは	通過する-ことを	その	エペソを	～しない-ように	ない
G2919	G1063	G3588	G3972	G3896	G3588	G2181	G3704	G3361

γένηται	αὐτῷ	χρονοτριβῆσαι	ἐν	τῇ	Ἀσίᾳ;	ἔσπευδεν	γὰρ,	εἰ
なる-ことが	彼に	時を-費やす-ことが	～で	その	アジアで	急いでいた	なぜなら	もし
G1096	G0846	G5551	G1722	G3588	G0773	G4692	G1063	G1487

δυνατὸν	εἴη	αὐτῷ,	τὴν	ἡμέραν	τῆς	Πεντηκοστῆς	γενέσθαι	εἰς
可能で	あれば	彼にとって	その	日に	その	五旬節の	いる-ことを	～に
G1415	G1510	G0846	G3588	G2250	G3588	G4005	G1096	G1519

Ἰεροσόλυμα.
エルサレムに
G2414

それは、パウロがアジヤで時間をとられないため、エペソには寄らないで続航することに決めていたからである。彼は、できればペンテコステの日には、エルサレムに着いていたかったので、旅を急いだわけである。

17

Ἀπὸ	δὲ	τῆς	Μιλήτου,	πέμψας	εἰς	Ἔφεσον,	μετεκαλέσατο	τοὺς
そして	さて	その	ミレトスから	遣わして	～へ	エペソへ	呼び寄せた	その
G0575	G1161	G3588	G3399	G3992	G1519	G2181	G3333	G3588

πρεσβυτέρους	τῆς	ἐκκλησίας.
長老たちを	その	教会の
G4245	G3588	G1577

そこでパウロは、ミレトからエペソに使をやって、教会の長老たちを呼び寄せた。

18 ὡς δὲ παρεγένοντο πρὸς αὐτὸν, εἶπεν αὐτοῖς, Ὑμεῖς
～した–とき そして やって–来ると ～の–もとに 彼の 言った 彼らに あなたがたは
G5613 G1161 G3854 G4314 G0846 G3004 G0846 G4771

ἐπίστασθε, ἀπὸ πρώτης ἡμέρας ἀφ’ ἧς ἐπέβην εἰς τὴν Ἀσίαν,
知っている ～から 最初の 日から ～以来 その 足を–踏み入れた ～に その アジアに
G1987 G0575 G4413 G2250 G0575 G3739 G1910 G1519 G3588 G0773

πῶς μεθ’ ὑμῶν τὸν πάντα χρόνον ἐγενόμην,
どのように ～と–共に あなたがたと その すべての 時を 過ごしたか
G4459 G3326 G4771 G3588 G3956 G5550 G1096

そして、彼のところに寄り集まってきた時、彼らに言った。「わたしが、アジヤの地に足を踏み入れた最初の日以来、いつもあなたがたとどんなふうに過ごしてきたか、よくご存じである。

19 δουλεύων τῷ Κυρίῳ μετὰ πάσης ταπεινοφροσύνης, καὶ δακρύων, καὶ
仕えて その 主に ～をもって すべての 謙遜と そして 涙と そして
G1398 G3588 G2962 G3326 G3956 G5012 G2532 G1144 G2532

πειρασμῶν, τῶν συμβάντων μοι ἐν ταῖς ἐπιβουλαῖς τῶν Ἰουδαίων;
試練の–中で その 降りかかった 私に ～における その 陰謀による その ユダヤ人たちの
G3986 G3588 G4819 G1473 G1722 G3588 G1917 G3588 G2453

すなわち、謙遜の限りをつくし、涙を流し、ユダヤ人の陰謀によってわたしの身に及んだ数々の試練の中にあって、主に仕えてきた。

20 ὡς οὐδὲν ὑπεστειλάμην τῶν συμφερόντων, τοῦ μὴ ἀναγγεῖλαι
どのように 何も 隠さなかった その 益になる–ことを その ない 伝える–ことを
G5613 G3762 G5288 G3588 G4851 G3588 G3361 G0312

ὑμῖν, καὶ διδάξαι ὑμᾶς δημοσίᾳ καὶ κατ’ οἴκους,
あなたがたに そして 教える–ことを あなたがたに 公に また ～ごとに 家々で
G4771 G2532 G1321 G4771 G1219 G2532 G2596 G3624

また、あなたがたの益になることは、公衆の前でも、また家々でも、すべてあますところなく話して聞かせ、また教え、

21 διαμαρτυρόμενος Ἰουδαίοις τε καὶ Ἕλλησιν, τὴν εἰς Θεὸν
証しして ユダヤ人にも また そして ギリシア人にも その ～への 神への
G1263 G2453 G5037 G2532 G1672 G3588 G1519 G2316

μετάνοιαν, καὶ πίστιν εἰς τὸν Κύριον ἡμῶν, Ἰησοῦν {Χριστόν}.
悔い改めと また 信仰を ～への その 主 私たちの イエス キリストへの
G3341 G2532 G4102 G1519 G3588 G2962 G1473 G2424 G5547

ユダヤ人にもギリシヤ人にも、神に対する悔改めと、わたしたちの主イエスに対する信仰とを、強く勧めてきたのである。

22 καὶ νῦν, ἰδοὺ, δεδεμένος ἐγὼ τῷ πνεύματι, πορεύομαι εἰς Ἰερουσαλήμ,
そして 今 見よ 縛られて 私は その 霊に 向かっている ～へ エルサレムへ
G2532 G3568 G3708 G1210 G1473 G3588 G4151 G4198 G1519 G2419

τὰ ἐν αὐτῇ συναντήσοντά μοι, μὴ εἰδώς;
その ～における そこで 起こる–ことを 私に ない 知らない
G3588 G1722 G0846 G4876 G1473 G3361 G1492

今や、わたしは御霊に迫られてエルサレムへ行く。あの都で、どんな事がわたしの身にふりかかって来るか、わたしにはわからない。

23 πλὴν ただ G4133 ὅτι ～ということを G3754 τὸ その G3588 Πνεῦμα 聖 G4151 τὸ その G3588 Ἅγιον 霊が G0040 κατὰ ～ごとに G2596 πόλιν 町ごとに G4172 διαμαρτύρεταί 証しする G1263

μοι, 私に G1473 λέγον 言って G3004 ὅτι ～と G3754 δεσμὰ 鎖と G1199 καὶ そして G2532 θλίψεις 苦難が G2347 με 私を G1473 μένουσιν. 待っていると G3306

ただ、聖霊が至るところの町々で、わたしにはっきり告げているのは、投獄と患難とが、わたしを待ちうけているということだ。

24 ἀλλ’ しかし G0235 οὐδενὸς 何も G3762 λόγου 気にかけず G3056 ποιοῦμαι 思わない G4160 τὴν その G3588 ψυχὴν いのちを G5590 τιμίαν 尊いものと G5093 ἐμαυτῷ, 自分-自身にとって G1683

ὡς ～のように G5613 τελειῶσαι 走り-終える-ために G5048 τὸν その G3588 δρόμον 走るべき-行程を G1408 μου, 私の G1473 καὶ そして G2532 τὴν その G3588 διακονίαν 務めを G1248 ἣν それを G3739

ἔλαβον 受けた G2983 παρὰ ～から G3844 τοῦ その G3588 Κυρίου 主 G2962 Ἰησοῦ, イエスから G2424 διαμαρτύρασθαι 証しする-ために G1263 τὸ その G3588 εὐαγγέλιον 福音を G2098 τῆς その G3588

χάριτος 恵みの G5485 τοῦ その G3588 Θεοῦ. 神の G2316

しかし、わたしは自分の行程を走り終え、主イエスから賜わった、神のめぐみの福音をあかしする任務を果し得さえしたら、このいのちは自分にとって、少しも惜しいとは思わない。

25 καὶ そして G2532 νῦν, 今 G3568 ἰδοὺ, 見よ G3708 ἐγὼ 私は G1473 οἶδα 知っている G1492 ὅτι ～と G3754 οὐκέτι もはや G3765 ὄψεσθε 見ない-であろう G3708 τὸ その G3588 πρόσωπόν 顔を G4383

μου, 私の G1473 ὑμεῖς あなたがたは G4771 πάντες, 皆 G3956 ἐν ～の-中を G1722 οἷς その-中を G3739 διῆλθον 巡り-歩いた G1330 κηρύσσων 宣べ伝えて G2784 τὴν その G3588 βασιλείαν. 御国を G0932

わたしはいま信じている、あなたがたの間を歩き回って御国を宣べ伝えたこのわたしの顔を、みんなが今後二度と見ることはあるまい。

26 διότι それゆえ G1360 μαρτύρομαι 証しする G3143 ὑμῖν あなたがたに G4771 ἐν ～に G1722 τῇ この G3588 σήμερον 今日の G4594 ἡμέρᾳ, 日に G2250 ὅτι ～と G3754 καθαρός 潔白である G2513 εἰμι 私は G1510

ἀπὸ ～から G0575 τοῦ その G3588 αἵματος 血について G0129 πάντων, すべての-人の G3956

だから、きょう、この日にあなたがたに断言しておく。わたしは、すべての人の血について、なんら責任がない。

27 οὐ ない G3756 γὰρ, なぜなら G1063 ὑπεστειλάμην ためらわなかった G5288 τοῦ その G3588 μὴ ない G3361 ἀναγγεῖλαι 伝える-ことを G0312 πᾶσαν すべての G3956 τὴν その G3588 βουλὴν ご計画を G1012 τοῦ その G3588

Θεοῦ 神の G2316 ὑμῖν. あなたがたに G4771

神のみ旨を皆あますところなく、あなたがたに伝えておいたからである。

28 προσέχετε ἑαυτοῖς καὶ παντὶ τῷ ποιμνίῳ, ἐν ᾧ
気をつけなさい あなたがた–自身と そして すべての その 群れに ～の–中で その–中で
G4337 G1438 G2532 G3956 G3588 G4168 G1722 G3739

ὑμᾶς τὸ Πνεῦμα τὸ Ἅγιον ἔθετο ἐπισκόπους, ποιμαίνειν τὴν
あなたがたを その 聖 その 霊が 立てた 監督者として 牧する–ために その
G4771 G3588 G4151 G3588 G0040 G5087 G1985 G4165 G3588

ἐκκλησίαν τοῦ Θεοῦ, ἣν περιεποιήσατο διὰ τοῦ αἵματος
教会を その 神の それを ご自身の–もので–買い取られた ～を–通して その 血を–もって
G1577 G3588 G2316 G3739 G4046 G1223 G3588 G0129

τοῦ ἰδίου.
ご自身の 御子の
G3588 G2398

どうか、あなたがた自身に気をつけ、また、すべての群れに気をくばっていただきたい。聖霊は、神が御子の血であがない取られた神の教会を牧させるために、あなたがたをその群れの監督者にお立てになったのである。

29 ἐγὼ οἶδα ὅτι εἰσελεύσονται μετὰ τὴν ἄφιξίν μου,
私は 知っている ～と 入り–込んで–来るだろう ～の–後に 私の 去った–後に 私の
G1473 G1492 G3754 G1525 G3326 G3588 G0867 G1473

λύκοι βαρεῖς, εἰς ὑμᾶς, μὴ φειδόμενοι τοῦ ποιμνίου,
凶暴な–狼が 貪欲な ～の–中に あなたがたの–中に ない 容赦しない その 群れを
G3074 G0926 G1519 G4771 G3361 G5339 G3588 G4168

わたしが去った後、狂暴なおおかみが、あなたがたの中にはいり込んできて、容赦なく群れを荒すようになることを、わたしは知っている。

30 καὶ ἐξ ὑμῶν αὐτῶν, ἀναστήσονται ἄνδρες λαλοῦντες
また ～から あなたがた–自身の–中から 彼ら–自身の 立ち上がるだろう 人々が 語る
G2532 G1537 G4771 G0846 G0450 G0435 G2980

διεστραμμένα, τοῦ ἀποσπᾶν τοὺς μαθητὰς ὀπίσω ἑαυτῶν.
曲がった–ことを その 引き離す–ために その 弟子たちを ～の–後に 自分–自身の–後に
G1294 G3588 G0645 G3588 G3101 G3694 G1438

また、あなたがた自身の中からも、いろいろ曲ったことを言って、弟子たちを自分の方に、ひっぱり込もうとする者らが起るであろう。

31 διὸ γρηγορεῖτε, μνημονεύοντες ὅτι τριετίαν, νύκτα καὶ ἡμέραν,
それゆえ 目を覚ましていなさい 覚えて ～と 三年間 夜も そして 昼も
G1352 G1127 G3421 G3754 G5148 G3571 G2532 G2250

οὐκ ἐπαυσάμην μετὰ δακρύων νουθετῶν ἕνα ἕκαστον.
ない やめなかった ～をもって 涙をもって 訓戒する–ことを 一人 一人を
G3756 G3973 G3326 G1144 G3560 G1520 G1538

だから、目をさましていなさい。そして、わたしが三年の間、夜も昼も涙をもって、あなたがたひとりびとりを絶えずさとしてきたことを、忘れないでほしい。

32 καὶ そして G2532 | τὰ 今 G3588 | νῦν ここに G3568 | παρατίθεμαι 委ねる G3908 | ὑμᾶς, あなたがたを G4771 | τῷ その G3588 | θεῷ, 神に G2316 | καὶ そして G2532 | τῷ その G3588 | λόγῳ 恵みの-言葉に G3056
τῆς その G3588 | χάριτος 恵みの G5485 | αὐτοῦ, 御方の G0846 | τῷ その G3588 | δυναμένῳ 力-ある G1410 | οἰκοδομῆσαι 建て上げ G3618 | καὶ そして G2532 | δοῦναι 与える G1325 | τὴν その G3588
κληρονομίαν 受け継ぐべき-ものを G2817 | ἐν ～の-中で G1722 | τοῖς その G3588 | ἡγιασμένοις 聖別された G0037 | πᾶσιν. すべての-者たちの-中で G3956

今わたしは、主とその恵みの言とに、あなたがたをゆだねる。御言には、あなたがたの徳をたて、聖別されたすべての人々と共に、御国をつがせる力がある。

33 ἀργυρίου 銀や G0694 | ἢ あるいは G2228 | χρυσίου 金や G5553 | ἢ あるいは G2228 | ἱματισμοῦ 衣服を G2441 | οὐδενὸς 誰の-ものも G3762 | ἐπεθύμησα. 欲しなかった G1937

わたしは、人の金や銀や衣服をほしがったことはない。

34 αὐτοὶ あなたがた-自身が G0846 | γινώσκετε 知っている G1097 | ὅτι ～と G3754 | ταῖς その G3588 | χρείαις 必要に G5532 | μου, 私の G1473 | καὶ そして G2532 | τοῖς その G3588 | οὖσιν いる-者たちの G1510
μετ’ ～と-共に G3326 | ἐμοῦ, 私と G1473 | ὑπηρέτησαν 仕えた G5256 | αἱ この G3588 | χεῖρες 両手が G5495 | αὗται. これらの G3778

あなたがた自身が知っているとおり、わたしのこの両手は、自分の生活のためにも、また一緒にいた人たちのためにも、働いてきたのだ。

35 πάντα すべての-ことにおいて G3956 | ὑπέδειξα 示した G5263 | ὑμῖν, あなたがたに G4771 | ὅτι ～と G3754 | οὕτως このように G3779 | κοπιῶντας 労苦して G2872
δεῖ ～しなければならない G1163 | ἀντιλαμβάνεσθαι 助ける-ことを G0482 | τῶν その G3588 | ἀσθενούντων, 弱い-者たちを G0770 | μνημονεύειν 覚える-ことを G3421 | τε また G5037 | τῶν その G3588
λόγων 言葉を G3056 | τοῦ その G3588 | Κυρίου 主 G2962 | Ἰησοῦ イエスの G2424 | ὅτι ～と G3754 | αὐτὸς ご自身が G0846 | εἶπεν, 言われた G3004 | Μακάριόν 幸いである G3107 | ἐστιν ～である G1510 | μᾶλλον, むしろ G3123
διδόναι 与える-ことは G1325 | ἢ ～よりも G2228 | λαμβάνειν. 受ける-ことよりも G2983

わたしは、あなたがたもこのように働いて、弱い者を助けなければならないこと、また『受けるよりは与える方が、さいわいである』と言われた主イエスの言葉を記憶しているべきことを、万事について教え示したのである」。

36 καὶ そして G2532 | ταῦτα これらの-ことを G3778 | εἰπὼν, 言って G3004 | θεὶς ひざまずいて G5087 | τὰ その G3588 | γόνατα 膝を G1119 | αὐτοῦ, 彼の G0846 | σὺν ～と-共に G4862 | πᾶσιν すべての G3956
αὐτοῖς 彼らと G0846 | προσηύξατο. 祈った G4336

こう言って、パウロは一同と共にひざまずいて祈った。

37 ἱκανὸς δὲ κλαυθμὸς ἐγένετο πάντων; καὶ ἐπιπεσόντες ἐπὶ τὸν
大きな そして 泣き声が 起こった 皆の そして 抱きついて ～の-上に その
G2425 G1161 G2805 G1096 G3956 G2532 G1968 G1909 G3588

τράχηλον τοῦ Παύλου, κατεφίλουν αὐτόν,
首に その パウロの 口づけした 彼に
G5137 G3588 G3972 G2705 G0846

みんなの者は、はげしく泣き悲しみ、パウロの首を抱いて、幾度も接吻し、

38 ὀδυνώμενοι μάλιστα ἐπὶ τῷ λόγῳ ᾧ εἰρήκει, ὅτι οὐκέτι
悲しんで 特に ～について その 言葉に その 彼が-語った ～と もはや
G3600 G3122 G1909 G3588 G3056 G3739 G2046 G3754 G3765

μέλλουσιν τὸ πρόσωπον αὐτοῦ θεωρεῖν. προέπεμπον δὲ αὐτὸν εἰς
～しない-であろう その 顔を 彼の 見る-ことが 見送った そして 彼を ～へ
G3195 G3588 G4383 G0846 G2334 G4311 G1161 G0846 G1519

τὸ πλοῖον.
その 船へ
G3588 G4143

もう二度と自分の顔を見ることはあるまいと彼が言ったので、特に心を痛めた。それから彼を舟まで見送った。

Chapter 21

1 Ὡς δὲ ἐγένετο ἀναχθῆναι ἡμᾶς, ἀποσπασθέντας ἀπ' αὐτῶν,
～した-とき そして 起こった 出航する-ことが 私たちが 引き離されて ～から 彼らから
G5613 G1161 G1096 G0321 G1473 G0645 G0575 G0846

εὐθυδρομήσαντες ἤλθομεν εἰς τὴν Κῶ, τῇ δὲ ἐξῆς εἰς τὴν
まっすぐ-航行して 来た ～へ その コスに その また 次の-日に ～へ その
G2113 G2064 G1519 G3588 G2972 G3588 G1161 G1836 G1519 G3588

Ῥόδον, κἀκεῖθεν εἰς Πάταρα.
ロドスに そこから ～へ パタラに
G4499 G2547 G1519 G3959

さて、わたしたちは人々と別れて船出してから、コスに直航し、次の日はロドスに、そこからパタラに着いた。

2 καὶ εὑρόντες πλοῖον διαπερῶν εἰς Φοινίκην, ἐπιβάντες, ἀνήχθημεν.
そして 見つけて 船を 渡る ～へ フェニキアへ 乗り込んで 出航した
G2532 G2147 G4143 G1276 G1519 G5403 G1910 G0321

ここでピニケ行きの舟を見つけたので、それに乗り込んで出帆した。

3 ἀναφάναντες δὲ τὴν Κύπρον, καὶ καταλιπόντες αὐτὴν εὐώνυμον,
見えてきて そして その キプロスを そして 後に-残して それを 左手に
G0398 G1161 G3588 G2954 G2532 G2641 G0846 G2176

ἐπλέομεν εἰς Συρίαν, καὶ κατήλθομεν εἰς Τύρον. ἐκεῖσε γὰρ τὸ
航行した ～へ シリアへ そして 着いた ～に ツロに そこで なぜなら その
G4126 G1519 G4947 G2532 G2718 G1519 G5184 G1566 G1063 G3588

πλοῖον ἦν ἀποφορτιζόμενον τὸν γόμον.
船は ～であった 荷を-降ろす その 積み荷を
G4143 G1510 G0670 G3588 G1117

やがてクプロが見えてきたが、それを左手にして通りすぎ、シリヤへ航行をつづけ、ツロに入港した。ここで積荷が陸上げされることになっていたからである。

4 ἀνευρόντες δὲ τοὺς μαθητὰς, ἐπεμείναμεν αὐτοῦ ἡμέρας ἑπτά; οἵτινες τῷ
見つけて そして その 弟子たちを 滞在した そこに 日間 七日 彼らは その
G0429 G1161 G3588 G3101 G1961 G0847 G2250 G2033 G3748 G3588

Παύλῳ ἔλεγον διὰ τοῦ Πνεύματος μὴ ἐπιβαίνειν εἰς
パウロに 言っていた ～を–通して その 御霊を–通して ない 足を–踏み入れる–ことを ～に
G3972 G3004 G1223 G3588 G4151 G3361 G1910 G1519

Ἰεροσόλυμα.
エルサレムに
G2414

わたしたちは、弟子たちを捜し出して、そこに七日間泊まった。ところが彼らは、御霊の示しを受けて、エルサレムには上って行かないようにと、しきりにパウロに注意した。

5 ὅτε δὲ ἐγένετο ἐξαρτίσαι ἡμᾶς τὰς ἡμέρας, ἐξελθόντες,
～した–とき そして 起こった 過ごし–終えた 私たちが その 日々を 出て–行き
G3753 G1161 G1096 G1822 G1473 G3588 G2250 G1831

ἐπορευόμεθα, προπεμπόντων ἡμᾶς πάντων σὺν γυναιξὶ καὶ τέκνοις,
旅立った 見送っていた 私たちを 皆が ～と–共に 妻たちと そして 子どもたちと
G4198 G4311 G1473 G3956 G4862 G1135 G2532 G5043

ἕως ἔξω τῆς πόλεως. καὶ θέντες τὰ γόνατα ἐπὶ τὸν αἰγιαλὸν,
～まで 外の その 町の そして ひざまずいて その 膝を ～の–上に その 浜辺で
G2193 G1854 G3588 G4172 G2532 G5087 G3588 G1119 G1909 G3588 G0123

προσευξάμενοι,
祈った
G4336

しかし、滞在期間が終った時、わたしたちはまた旅立つことにしたので、みんなの者は、妻や子供を引き連れて、町はずれまで、わたしたちを見送りにきてくれた。そこで、共に海岸にひざまずいて祈り、

6 ἀπησπασάμεθα ἀλλήλους. καὶ ἐνέβημεν εἰς τὸ πλοῖον; ἐκεῖνοι δὲ
別れの–挨拶をした 互いに そして 乗り込んだ ～に その 船に 彼らは そして
G0782 G0240 G2532 G0305 G1519 G3588 G4143 G1565 G1161

ὑπέστρεψαν εἰς τὰ ἴδια.
帰って–行った ～へ それぞれの 家へ
G5290 G1519 G3588 G2398

互に別れを告げた。それから、わたしたちは舟に乗り込み、彼らはそれぞれ自分の家に帰った。

7 Ἡμεῖς δὲ, τὸν πλοῦν διανύσαντες ἀπὸ Τύρου, κατηντήσαμεν εἰς
私たちは さて その 航海を 終えて ～から ツロから 到着した ～に
G1473 G1161 G3588 G4144 G1274 G0575 G5184 G2658 G1519

Πτολεμαΐδα, καὶ ἀσπασάμενοι τοὺς ἀδελφοὺς, ἐμείναμεν ἡμέραν μίαν
プトレマイスに そして 挨拶して その 兄弟たちに 滞在した 日 一日
G4424 G2532 G0782 G3588 G0080 G3306 G2250 G1520

παρ' αὐτοῖς.
～の–もとに 彼らの
G3844 G0846

わたしたちは、ツロからの航行を終ってトレマイに着き、そこの兄弟たちにあいさつをし、彼らのところに一日滞在した。

8

τῇ	δὲ	ἐπαύριον,	ἐξελθόντες,	ἤλθομεν	εἰς	Καισάρειαν;	καὶ	εἰσελθόντες	
その	そして	翌日	出て-行き	来た	～へ	カイサリアに	そして	入って	
G3588	G1161	G1887	G1831	G2064	G1519	G2542	G2532	G1525	

εἰς	τὸν	οἶκον	Φιλίππου	τοῦ	εὐαγγελιστοῦ,	ὄντος	ἐκ	τῶν	ἑπτὰ,
～の	その	家に	ピリポの	その	伝道者の	～である	～の-一人で	その	七人の
G1519	G3588	G3624	G5376	G3588	G2099	G1510	G1537	G3588	G2033

ἐμείναμεν	παρ’	αὐτῷ.	
滞在した	～の-もとに	彼の	
G3306	G3844	G0846	

翌日そこをたって、カイザリヤに着き、かの七人のひとりである伝道者ピリポの家に行き、そこに泊まった。

9

τούτῳ	δὲ	ἦσαν	θυγατέρες	τέσσαρες,	παρθένοι,	προφητεύουσαι.
この-人には	そして	いた	娘が	四人の	処女の	預言する
G3778	G1161	G1510	G2364	G5064	G3933	G4395

この人に四人の娘があったが、いずれも処女であって、預言をしていた。

10

Ἐπιμενόντων	δὲ	ἡμέρας	πλείους,	κατῆλθέν	τις	ἀπὸ	τῆς	Ἰουδαίας.	
滞在して-いる-間	そして	日間	さらに-多くの	下って-来た	ある	～から	その	ユダヤから	
G1961	G1161	G2250	G4119	G2718	G5100	G0575	G3588	G2449	

προφήτης,	ὀνόματι	Ἄγαβος;	
預言者が	名を	アガボという	
G4396	G3686	G0013	

幾日か滞在している間に、アガボという預言者がユダヤから下ってきた。

11

καὶ	ἐλθὼν	πρὸς	ἡμᾶς,	καὶ	ἄρας	τὴν	ζώνην	τοῦ	Παύλου,	δήσας	
そして	来て	～の-もとに	私たちの	そして	取って	その	帯を	その	パウロの	縛って	
G2532	G2064	G4314	G1473	G2532	G0142	G3588	G2223	G3588	G3972	G1210	

ἑαυτοῦ	τοὺς	πόδας	καὶ	τὰς	χεῖρας	εἶπεν,	Τάδε	λέγει	τὸ	Πνεῦμα	τὸ
自分の	その	足と	そして	その	手を	言った	こう	言う	その	聖	その
G1438	G3588	G4228	G2532	G3588	G5495	G3004	G3592	G3004	G3588	G4151	G3588

Ἅγιον,	Τὸν	ἄνδρα	οὗ	ἐστιν	ἡ	ζώνη	αὕτη,	οὕτως	δήσουσιν	ἐν	
霊は	その	人を	その	～である	この	帯の	この	このように	縛るであろう	～で	
G0040	G3588	G0435	G3739	G1510	G3588	G2223	G3778	G3779	G1210	G1722	

Ἰερουσαλὴμ	οἱ	Ἰουδαῖοι,	καὶ	παραδώσουσιν	εἰς	χεῖρας	ἐθνῶν.	
エルサレムで	その	ユダヤ人たちが	そして	引き渡すであろう	～の-中に	手の-中に	異邦人の	
G2419	G3588	G2453	G2532	G3860	G1519	G5495	G1484	

そして、わたしたちのところにきて、パウロの帯を取り、それで自分の手足を縛って言った、「聖霊がこうお告げになっている、『この帯の持ち主を、ユダヤ人たちがエルサレムでこのように縛って、異邦人の手に渡すであろう』」。

12

ὡς	δὲ	ἠκούσαμεν	ταῦτα,	παρεκαλοῦμεν	ἡμεῖς	τε	καὶ	
～した-とき	そして	聞いた	これらの-ことを	懇願した	私たちも	また	そして	
G5613	G1161	G0191	G3778	G3870	G1473	G5037	G2532	

οἱ	ἐντόπιοι,	τοῦ	μὴ	ἀναβαίνειν	αὐτὸν	εἰς	Ἰερουσαλήμ.	
その	地元の-人たちも	～しない-ように	ない	上って-行く-ことを	彼が	～へ	エルサレムへ	
G3588	G1786	G3588	G3361	G0305	G0846	G1519	G2419	

わたしたちはこれを聞いて、土地の人たちと一緒になって、エルサレムには上って行かないようにと、パウロに願い続けた。

13 τότε ἀπεκρίθη ὁ Παῦλος, Τί ποιεῖτε, κλαίοντες καὶ συνθρύπτοντές
すると 答えた その パウロは 何を しているのか 泣いて そして 砕いて
G5119 G0611 G3588 G3972 G5101 G4160 G2799 G2532 G4919

μου τὴν καρδίαν? ἐγὼ γὰρ οὐ μόνον δεθῆναι, ἀλλὰ καὶ
私の この 心を 私は なぜなら ない ～だけ–でなく 縛られる–ことに むしろ さらに
G1473 G3588 G2588 G1473 G1063 G3756 G3440 G1210 G0235 G2532

ἀποθανεῖν εἰς Ἰερουσαλὴμ, ἑτοίμως ἔχω, ὑπὲρ τοῦ ὀνόματος τοῦ
死ぬ–ことにも ～で エルサレムで 備えが ある ～の–ために その 御名の その
G0599 G1519 G2419 G2093 G2192 G5228 G3588 G3686 G3588

Κυρίου Ἰησοῦ.
主 イエスの
G2962 G2424

その時パウロは答えた、「あなたがたは、泣いたり、わたしの心をくじいたりして、いったい、どうしようとするのか。わたしは、主イエスの名のためなら、エルサレムで縛られるだけでなく、死ぬことをも覚悟しているのだ」。

14 μὴ πειθομένου δὲ αὐτοῦ, ἡσυχάσαμεν, εἰπόντες, Τοῦ Κυρίου τὸ
ない 説得できなかった–ので そして 彼を 静まった 言って その 主の その
G3361 G3982 G1161 G0846 G2270 G3004 G3588 G2962 G3588

θέλημα γινέσθω.
御心の ままに–なれ
G2307 G1096

こうして、パウロが勧告を聞きいれてくれないので、わたしたちは「主のみこころが行われますように」と言っただけで、それ以上、何も言わなかった。

15 Μετὰ δὲ τὰς ἡμέρας ταύτας, ἐπισκευασάμενοι ἀνεβαίνομεν εἰς
～の–後 そして その 日々の これらの 準備して 上って–行った ～へ
G3326 G1161 G3588 G2250 G3778 G0643 G0305 G1519

Ἰεροσόλυμα.
エルサレムへ
G2414

数日後、わたしたちは旅装を整えてエルサレムへ上って行った。

16 συνῆλθον δὲ καὶ τῶν μαθητῶν ἀπὸ Καισαρείας σὺν ἡμῖν,
同行した そして また その 弟子たちの–中から ～から カイサリアから ～と–共に 私たちと
G4905 G1161 G2532 G3588 G3101 G0575 G2542 G4862 G1473

ἄγοντες παρ’ ᾧ ξενισθῶμεν, Μνάσωνί τινι, Κυπρίῳ, ἀρχαίῳ
連れて–来て ～の–もとに その 宿泊する–ことになる ムナソン ある キプロスの–人 古くからの
G0071 G3844 G3739 G3579 G3416 G5100 G2953 G0744

μαθητῇ.
弟子の
G3101

カイザリヤの弟子たちも数人、わたしたちと同行して、古くからの弟子であるクプロ人マナソンの家に案内してくれた。わたしたちはその家に泊まることになっていたのである。

17 Γενομένων δὲ ἡμῶν εἰς, Ἰεροσόλυμα ἀσμένως ἀπεδέξαντο ἡμᾶς οἱ
到着した–とき そして 私たちが ～に エルサレムに 喜んで 迎え入れた 私たちを その
G1096 G1161 G1473 G1519 G2414 G0780 G0588 G1473 G3588

ἀδελφοί.
兄弟たちが
G0080

わたしたちがエルサレムに到着すると、兄弟たちは喜んで迎えてくれた。

18 τῇ δὲ ἐπιούσῃ, εἰσήει ὁ Παῦλος σὺν ἡμῖν πρὸς
その そして 翌日 入って–行った その パウロは ～と–共に 私たちと ～の–もとへ
G3588 G1161 G1966 G1524 G3588 G3972 G4862 G1473 G4314

Ἰάκωβον, πάντες τε παρεγένοντο οἱ πρεσβύτεροι.
ヤコブの すべての そして 来ていた その 長老たちが
G2385 G3956 G5037 G3854 G3588 G4245

翌日パウロはわたしたちを連れて、ヤコブを訪問しに行った。そこに長老たちがみな集まっていた。

19 καὶ ἀσπασάμενος αὐτοὺς ἐξηγεῖτο, καθ’ ἓν ἕκαστον, ὧν ἐποίησεν
そして 挨拶して 彼らに 報告した ～ごとに 一つ 一つ それらの 行われた
G2532 G0782 G0846 G1834 G2596 G1520 G1538 G3739 G4160

ὁ Θεὸς ἐν τοῖς ἔθνεσιν, διὰ τῆς διακονίας αὐτοῦ.
その 神が ～において その 異邦人の–中で ～を–通して その 務めを–通して 彼の
G3588 G2316 G1722 G3588 G1484 G1223 G3588 G1248 G0846

パウロは彼らにあいさつをした後、神が自分の働きをとおして、異邦人の間になさった事どもを一々説明した。

20 οἱ δὲ ἀκούσαντες, ἐδόξαζον τὸν Θεόν. εἶπόν τε αὐτῷ,
彼らは そして 聞いて 神を–たたえた その 神を 言った そして 彼に
G3588 G1161 G0191 G1392 G3588 G2316 G3004 G5037 G0846

Θεωρεῖς, ἀδελφέ, πόσαι μυριάδες εἰσὶν ἐν τοῖς Ἰουδαίοις τῶν
見てください 兄弟よ 何万もの 人々が いる ～の–中に その ユダヤ人の–中に その
G2334 G0080 G4214 G3461 G1510 G1722 G3588 G2453 G3588

πεπιστευκότων, καὶ πάντες ζηλωταὶ τοῦ νόμου ὑπάρχουσιν.
信じた–者たちが そして 皆 熱心な–者たちで その 律法に ～である
G4100 G2532 G3956 G2207 G3588 G3551 G5225

一同はこれを聞いて神をほめたたえ、そして彼に言った、「兄弟よ、ご承知のように、ユダヤ人の中で信者になった者が、数万にものぼっているが、みんな律法に熱心な人たちである。

21 κατηχήθησαν δὲ περὶ σοῦ, ὅτι ἀποστασίαν διδάσκεις, ἀπὸ
聞かされている しかし ～について あなたについて ～と 背教を 教えていると ～から
G2727 G1161 G4012 G4771 G3754 G0646 G1321 G0575

Μωϋσέως, τοὺς κατὰ τὰ ἔθνη πάντας Ἰουδαίους, λέγων μὴ
モーセから その ～の–間にいる その 異邦人の すべての ユダヤ人に 言って ない
G3475 G3588 G2596 G3588 G1484 G3956 G2453 G3004 G3361

περιτέμνειν αὐτοὺς τὰ τέκνα, μηδὲ τοῖς ἔθεσιν περιπατεῖν.
割礼を–施す–ことを 彼らの その 子どもたちに また–ない その 慣習に 従う–ことを
G4059 G0846 G3588 G5043 G3366 G3588 G1485 G4043

ところが、彼らが伝え聞いているところによれば、あなたは異邦人の中にいるユダヤ人一同に対して、子供に割礼を施すな、またユダヤの慣例にしたがうなと言って、モーセにそむくことを教えている、ということである。

22 τί οὖν ἐστιν? πάντως ἀκούσονται ὅτι ἐλήλυθας.
何を それでは ～であるか 必ず 聞く–であろう ～と あなたが–来たと
G5101 G3767 G1510 G3843 G0191 G3754 G2064

どうしたらよいか。あなたがここにきていることは、彼らもきっと聞き込むに違いない。

23 τοῦτο οὖν ποίησον ὅ σοι λέγομεν. εἰσὶν ἡμῖν ἄνδρες
この–ことを それゆえ 行いなさい それを あなたに 私たちが–言う いる 私たちには 人が
G3778 G3767 G4160 G3739 G4771 G3004 G1510 G1473 G0435

τέσσαρες, εὐχὴν ἔχοντες ἐφ’ ἑαυτῶν.
四人の 誓願を 持っている ～の–上に 自分たちの
G5064 G2171 G2192 G1909 G1438

ついては、今わたしたちが言うとおりのことをしなさい。わたしたちの中に、誓願を立てている者が四人いる。

24 τούτους παραλαβὼν, ἁγνίσθητι σὺν αὐτοῖς, καὶ δαπάνησον
この–人たちを 連れて 清めなさい ～と–共に 彼らと そして 費用を–出しなさい
G3778 G3880 G0048 G4862 G0846 G2532 G1159

ἐπ’ αὐτοῖς, ἵνα ξυρήσονται τὴν κεφαλήν; καὶ
～の–ために 彼らの–ために ～する–ために 頭を–剃る–ために その 頭を そうすれば
G1909 G0846 G2443 G3587 G3588 G2776 G2532

γνώσονται πάντες ὅτι ὧν κατήχηνται, περὶ σοῦ
知るであろう 皆が ～と それらの 聞かされている–ことは ～について あなたについて
G1097 G3956 G3754 G3739 G2727 G4012 G4771

οὐδέν ἐστιν, ἀλλὰ στοιχεῖς καὶ αὐτὸς, φυλάσσων τὸν νόμον.
何も–ない ～である むしろ 歩んでいる また あなた–自身も 守って その 律法を
G3762 G1510 G0235 G4748 G2532 G0846 G5442 G3588 G3551

この人たちを連れて行って、彼らと共にきよめを行い、また彼らの頭をそる費用を引き受けてやりなさい。そうすれば、あなたについて、うわさされていることは、根も葉もないことで、あなたは律法を守って、正しい生活をしていることが、みんなにわかるであろう。

25 περὶ δὲ τῶν πεπιστευκότων ἐθνῶν, ἡμεῖς ἐπεστείλαμεν,
～については しかし その 信じた 異邦人については 私たちは 書き送った
G4012 G1161 G3588 G4100 G1484 G1473 G1989

κρίναντες φυλάσσεσθαι αὐτοὺς, τό τε εἰδωλόθυτον, καὶ αἷμα, καὶ
決定して 守る–ように 彼らが その すなわち 偶像に–供えた–物と また 血と また
G2919 G5442 G0846 G3588 G5037 G1494 G2532 G0129 G2532

πνικτὸν, καὶ πορνείαν.
絞め殺した–物と また 淫行を
G4156 G2532 G4202

異邦人で信者になった人たちには、すでに手紙で、偶像に供えたものと、血と、絞め殺したものと、不品行とを、慎むようにとの決議が、わたしたちから知らせてある」。

26 τότε ὁ Παῦλος, παραλαβὼν τοὺς ἄνδρας, τῇ ἐχομένῃ ἡμέρᾳ, σὺν
すると その パウロは 連れて その 人たちを その 次の 日に ～と–共に
G5119 G3588 G3972 G3880 G3588 G0435 G3588 G2192 G2250 G4862

αὐτοῖς ἁγνισθεὶς, εἰσῄει εἰς τὸ ἱερόν, διαγγέλλων τὴν ἐκπλήρωσιν τῶν
彼らと 清めて 入って–行った ～に その 神殿に 届けて その 満了を その
G0846 G0048 G1524 G1519 G3588 G2411 G1229 G3588 G1604 G3588

ἡμερῶν τοῦ ἁγνισμοῦ, ἕως οὗ προσηνέχθη ὑπὲρ ἑνὸς ἑκάστου
日数の その 清めの ～まで その 捧げられる–時まで ～の–ために 一人 一人の
G2250 G3588 G0049 G2193 G3739 G4374 G5228 G1520 G1538

αὐτῶν ἡ προσφορά.
彼らの その 供え物が
G0846 G3588 G4376

そこでパウロは、その次の日に四人の者を連れて、彼らと共にきよめを受けてから宮にはいった。そしてきよめの期間が終って、ひとりびとりのために供え物をささげる時を報告しておいた。

27 Ὡς δὲ ἔμελλον αἱ ἑπτὰ ἡμέραι συντελεῖσθαι, οἱ ἀπὸ
～した–とき しかし しようとしていた その 七 日が 終わろうと その ～から来た
G5613 G1161 G3195 G3588 G2033 G2250 G4931 G3588 G0575

τῆς Ἀσίας Ἰουδαῖοι, θεασάμενοι αὐτὸν ἐν τῷ ἱερῷ, συνέχεον
その アジアから ユダヤ人たちが 見て 彼を ～の–中で その 神殿で かき乱した
G3588 G0773 G2453 G2300 G0846 G1722 G3588 G2411 G4797

πάντα τὸν ὄχλον, καὶ ἐπέβαλον ἐπ’ αὐτὸν τὰς χεῖρας,
すべての その 群衆を そして 手を–かけた ～の–上に 彼の その 手を
G3956 G3588 G3793 G2532 G1911 G1909 G0846 G3588 G5495

七日の期間が終ろうとしていた時、アジヤからきたユダヤ人たちが、宮の内でパウロを見かけて、群衆全体を煽動しはじめ、パウロに手をかけて叫び立てた、

28 κράζοντες, Ἄνδρες, Ἰσραηλῖται, βοηθεῖτε! οὗτός ἐστιν ὁ ἄνθρωπος
叫んで 人々よ イスラエルの–者たちよ 助けてくれ この–者が ～である その 人で
G2896 G0435 G2475 G0997 G3778 G1510 G3588 G0444

ὁ, κατὰ τοῦ λαοῦ, καὶ τοῦ νόμου, καὶ τοῦ τόπου τούτου.
その ～に–反して この 民と また この 律法と また この 場所に この
G3588 G2596 G3588 G2992 G2532 G3588 G3551 G2532 G3588 G5117 G3778

πάντας πανταχῇ διδάσκων; ἔτι τε καὶ Ἕλληνας εἰσήγαγεν
すべての–人に あらゆる–所で 教えている その–上 また さらに ギリシア人を 連れ入れた
G3956 G3837 G1321 G2089 G5037 G2532 G1672 G1521

εἰς τὸ ἱερὸν, καὶ κεκοίνωκεν τὸν ἅγιον τόπον τοῦτον.
～の–中に この 神殿に そして 汚した この 聖なる 場所を この
G1519 G3588 G2411 G2532 G2840 G3588 G0040 G5117 G3778

「イスラエルの人々よ、加勢にきてくれ。この人は、いたるところで民と律法とこの場所にそむくことを、みんなに教えている。その上に、ギリシヤ人を宮の内に連れ込んで、この神聖な場所を汚したのだ」。

29 ἦσαν γὰρ προεωρακότες Τρόφιμον τὸν Ἐφέσιον ἐν τῇ πόλει
～していた なぜなら 以前に–見ていた トロフィモを その エペソの–人の ～で その 町で
G1510 G1063 G4308 G5161 G3588 G2180 G1722 G3588 G4172

σὺν αὐτῷ, ὃν ἐνόμιζον ὅτι εἰς τὸ ἱερὸν εἰσήγαγεν
～と–共に 彼と その–者を 思い込んでいた ～と ～の–中に その 神殿の–中に 連れ入れたと
G4862 G0846 G3739 G3543 G3754 G1519 G3588 G2411 G1521

ὁ Παῦλος.
その パウロが
G3588 G3972

彼らは、前にエペソ人トロピモが、パウロと一緒に町を歩いていたのを見かけて、その人をパウロが宮の内に連れ込んだのだと思ったのである。

30 ἐκινήθη τε ἡ πόλις ὅλη, καὶ ἐγένετο συνδρομὴ τοῦ λαοῦ. καὶ
動揺した そして その 町は 全体が そして 起こった 殺到が その 民の そして
G2795 G5037 G3588 G4172 G3650 G2532 G1096 G4890 G3588 G2992 G2532

ἐπιλαβόμενοι τοῦ Παύλου, εἷλκον αὐτὸν ἔξω τοῦ ἱεροῦ, καὶ εὐθέως
つかんで その パウロを 引きずり出した 彼を 外へ その 神殿の そして すぐに
G1949 G3588 G3972 G1670 G0846 G1854 G3588 G2411 G2532 G2112

ἐκλείσθησαν αἱ θύραι.
閉ざされた その 門が
G2808 G3588 G2374

そこで、市全体が騒ぎ出し、民衆が駆け集まってきて、パウロを捕え、宮の外に引きずり出した。そして、すぐそのあとに宮の門が閉ざされた。

31 Ζητούντων 殺そうとしている–とき G2212 τε そして G5037 αὐτὸν 彼を G0846 ἀποκτεῖναι, 殺す G0615 ἀνέβη 上がった G0305 φάσις 知らせが G5334 τῷ その G3588 χιλιάρχῳ 千人隊長の–もとに G5506

τῆς その G3588 σπείρης, 大隊の G4686 ὅτι ～と G3754 ὅλη 全体が G3650 συγχύννεται 混乱している G4797 Ἰερουσαλήμ; エルサレムが G2419

彼らがパウロを殺そうとしていた時に、エルサレム全体が混乱状態に陥っているとの情報が、守備隊の千卒長にとどいた。

32 ὃς 彼は G3739 ἐξαυτῆς, 直ちに G1824 παραλαβὼν 連れて G3880 στρατιώτας 兵士たちと G4757 καὶ また G2532 ἑκατοντάρχας, 百人隊長たちを G1543 κατέδραμεν 駆け下った G2701 ἐπ’ ～の–ところへ G1909

αὐτούς. 彼らの G0846 οἱ 彼らは G3588 δὲ そして G1161 ἰδόντες 見ると G3708 τὸν その G3588 χιλίαρχον 千人隊長と G5506 καὶ また G2532 τοὺς その G3588 στρατιώτας, 兵士たちを G4757 ἐπαύσαντο やめた G3973

τύπτοντες 打つ–ことを G5180 τὸν その G3588 Παῦλον. パウロを G3972

そこで、彼はさっそく、兵卒や百卒長たちを率いて、その場に駆けつけた。人々は千卒長や兵卒たちを見て、パウロを打ちたたくのをやめた。

33 τότε すると G5119 ἐγγίσας, 近づいて G1448 ὁ その G3588 χιλίαρχος 千人隊長は G5506 ἐπελάβετο 捕らえた G1949 αὐτοῦ, 彼を G0846 καὶ そして G2532 ἐκέλευσεν 命じた G2753 δεθῆναι 縛られる–ことを G1210

ἁλύσεσι 鎖で G0254 δυσί, 二本の G1417 καὶ そして G2532 ἐπυνθάνετο 尋ねた G4441 τίς 誰で G5101 εἴη, あるか G1510 καὶ また G2532 τί 何を G5101 ἐστιν ～であるか G1510 πεποιηκώς. したのかと G4160

千卒長は近寄ってきてパウロを捕え、彼を二重の鎖で縛っておくように命じた上、パウロは何者か、また何をしたのか、と尋ねた。

34 ἄλλοι 他の–者たちは G0243 δὲ, しかし G1161 ἄλλο 別の G0243 τι, ことを G5100 ἐπεφώνουν 叫んでいた G2019 ἐν ～の–中で G1722 τῷ その G3588 ὄχλῳ. 群衆の–中で G3793 μὴ ない G3361

δυναμένου できなかった G1410 δὲ そして G1161 αὐτοῦ 彼が G0846 γνῶναι 知る–ことが G1097 τὸ その G3588 ἀσφαλὲς 確かな–ことを G0804 διὰ ～の–ために G1223 τὸν その G3588 θόρυβον, 騒動の–ために G2351

ἐκέλευσεν 命じた G2753 ἄγεσθαι 連行する–ことを G0071 αὐτὸν 彼を G0846 εἰς ～へ G1519 τὴν その G3588 παρεμβολήν. 兵営へ G3925

しかし、群衆がそれぞれ違ったことを叫びつづけるため、騒がしくて、確かなことがわからないので、彼はパウロを兵営に連れて行くように命じた。

35 ὅτε ～した–とき G3753 δὲ そして G1161 ἐγένετο 来た G1096 ἐπὶ ～の–上に G1909 τοὺς その G3588 ἀναβαθμούς, 階段の–上に G0304 συνέβη 起こった G4819 βαστάζεσθαι 担がれる–ことが G0941

αὐτὸν 彼が G0846 ὑπὸ ～によって G5259 τῶν その G3588 στρατιωτῶν, 兵士たちによって G4757 διὰ ～の–ために G1223 τὴν その G3588 βίαν 暴力の–ために G0970 τοῦ その G3588 ὄχλου. 群衆の G3793

パウロが階段にさしかかった時には、群衆の暴行を避けるため、兵卒たちにかつがれて行くという始末であった。

36

ἠκολούθει	γὰρ	τὸ	πλῆθος	τοῦ	λαοῦ,	κράζοντες,	Αἶρε	αὐτόν.
ついて–来ていた	なぜなら	その	大勢の	その	民が	叫んで	殺せ	あの–者を
G0190	G1063	G3588	G4128	G3588	G2992	G2896	G0142	G0846

大ぜいの民衆が「あれをやっつけてしまえ」と叫びながら、ついてきたからである。

37

Μέλλων	τε	εἰσάγεσθαι	εἰς	τὴν	παρεμβολὴν,	ὁ	Παῦλος
～しようとして–いた–とき	そして	入れられる	～の–中に	その	兵営に	その	パウロは
G3195	G5037	G1521	G1519	G3588	G3925	G3588	G3972

λέγει	τῷ	χιλιάρχῳ,	Εἰ	ἔξεστίν	μοι,	εἰπεῖν	τι	πρὸς	σέ?
言う	その	千人隊長に	もし	許される–なら	私に	言う–ことが	何かを	～に	あなたに
G3004	G3588	G5506	G1487	G1832	G1473	G3004	G5100	G4314	G4771

ὁ	δὲ	ἔφη,	Ἑλληνιστὶ	γινώσκεις?
その	すると	言った	ギリシア語を	知っているのか
G3588	G1161	G5346	G1676	G1097

パウロが兵営の中に連れて行かれようとした時、千卒長に、「ひと言あなたにお話してもよろしいですか」と尋ねると、千卒長が言った、「おまえはギリシヤ語が話せるのか。

38

οὐκ	ἄρα	σὺ	εἶ	ὁ	Αἰγύπτιος,	ὁ	πρὸ	τούτων	τῶν
ない	では	あなたは	～なのか	あの	エジプト人で	その	～の–前に	これらの	その
G3756	G0686	G4771	G1510	G3588	G0124	G3588	G4253	G3778	G3588

ἡμερῶν,	ἀναστατώσας	καὶ	ἐξαγαγὼν	εἰς	τὴν	ἔρημον	τοὺς	τετρακισχιλίους
日々の	扇動して	そして	連れ出した	～へ	その	荒野へ	その	四千人の
G2250	G0387	G2532	G1806	G1519	G3588	G2048	G3588	G5070

ἄνδρας	τῶν	σικαρίων?
人々を	その	暗殺者たちの
G0435	G3588	G4607

では、もしかおまえは、先ごろ反乱を起した後、四千人の刺客を引き連れて荒野へ逃げて行ったあのエジプト人ではないのか」。

39

εἶπεν	δὲ	ὁ	Παῦλος,	Ἐγὼ	ἄνθρωπος	μέν	εἰμι	Ἰουδαῖος	Ταρσεὺς,
言った	そして	その	パウロは	私は	人で	実に	～である	ユダヤ人で	タルソの–者
G3004	G1161	G3588	G3972	G1473	G0444	G3303	G1510	G2453	G5018

τῆς	Κιλικίας,	οὐκ	ἀσήμου	πόλεως	πολίτης.	δέομαι	δέ	σου,
その	キリキアの	ない	無名ではない	町の	市民である	お願いする	そして	あなたに
G3588	G2791	G3756	G0767	G4172	G4177	G1189	G1161	G4771

ἐπίτρεψόν	μοι	λαλῆσαι	πρὸς	τὸν	λαόν.
許してください	私に	話す–ことを	～に	その	民に
G2010	G1473	G2980	G4314	G3588	G2992

パウロは答えた、「わたしはタルソ生れのユダヤ人で、キリキヤのれっきとした都市の市民です。お願いですが、民衆に話をさせて下さい」。

40 ἐπιτρέψαντος δὲ αὐτοῦ, ὁ Παῦλος, ἑστὼς ἐπὶ τῶν ἀναβαθμῶν
許した–とき そして 彼が その パウロは 立って ～の–上に その 階段の–上に
G2010 G1161 G0846 G3588 G3972 G2476 G1909 G3588 G0304

κατέσεισεν τῇ χειρὶ τῷ λαῷ; πολλῆς δὲ σιγῆς γενομένης, προσεφώνησεν
手を–振った その 手で その 民に 大きな そして 静けさが 生じると 語りかけた
G2678 G3588 G5495 G3588 G2992 G4183 G1161 G4602 G1096 G4377

τῇ Ἑβραΐδι διαλέκτῳ, λέγων,
その ヘブライ語の 方言で 言って
G3588 G1446 G1258 G3004

千卒長が許してくれたので、パウロは階段の上に立ち、民衆にむかって手を振った。すると、一同がすっかり静粛になったので、パウロはヘブル語で話し出した。

Chapter 22

1 Ἄνδρες, ἀδελφοὶ, καὶ πατέρες, ἀκούσατέ μου τῆς πρὸς ὑμᾶς
人々よ 兄弟たちよ そして 父たちよ 聞いてください 私の この あなたがたへの ―
G0435 G0080 G2532 G3962 G0191 G1473 G3588 G4314 G4771

νυνὶ ἀπολογίας.
今の 弁明を
G3570 G0627

「兄弟たち、父たちよ、いま申し上げるわたしの弁明を聞いていただきたい」。

2 ἀκούσαντες δὲ ὅτι τῇ Ἑβραΐδι διαλέκτῳ προσεφώνει αὐτοῖς,
聞いて そして それが ― ヘブライ語の 言葉で 語りかけていると 彼らに
G0191 G1161 G3754 G3588 G1446 G1258 G4377 G0846

μᾶλλον παρέσχον ἡσυχίαν. καὶ φησίν,
いっそう 彼らは–保った 静けさを そして 彼は–言った
G3123 G3930 G2271 G2532 G5346

パウロが、ヘブル語でこう語りかけるのを聞いて、人々はますます静粛になった。

3 Ἐγώ εἰμι ἀνὴρ, Ἰουδαῖος, γεγεννημένος ἐν Ταρσῷ τῆς Κιλικίας,
私は です 人で ユダヤ人 生まれた ― タルソで ― キリキヤの
G1473 G1510 G0435 G2453 G1080 G1722 G5019 G3588 G2791

ἀνατεθραμμένος δὲ ἐν τῇ πόλει ταύτῃ, παρὰ τοὺς πόδας Γαμαλιήλ,
育てられた しかし ― この 町で ― 足もとで ― ― ガマリエルの
G0397 G1161 G1722 G3588 G4172 G3778 G3844 G3588 G4228 G1059

πεπαιδευμένος κατὰ ἀκρίβειαν τοῦ πατρῴου νόμου, ζηλωτὴς ὑπάρχων τοῦ
教育を–受けた ― 厳格さに–従い ― 先祖の 律法の 熱心な–者で あり ―
G3811 G2596 G0195 G3588 G3971 G3551 G2207 G5225 G3588

Θεοῦ, καθὼς πάντες ὑμεῖς ἐστε σήμερον;
神に–対して ちょうど 皆 あなたがたが あるように 今日
G2316 G2531 G3956 G4771 G1510 G4594

そこで彼は言葉をついで言った、「わたしはキリキヤのタルソで生れたユダヤ人であるが、この都で育てられ、ガマリエルのひざもとで先祖伝来の律法について、きびしい薫陶を受け、今日の皆さんと同じく神に対して熱心な者であった。

4 ὃς ταύτην τὴν Ὁδὸν ἐδίωξα ἄχρι θανάτου, δεσμεύων καὶ
私は この ― 道を 迫害しました ― 死に-至るまで 縛り上げ そして
G3739 G3778 G3588 G3598 G1377 G0891 G2288 G1195 G2532

παραδιδοὺς εἰς φυλακὰς, ἄνδρας τε καὶ γυναῖκας --
引き渡しました ― 牢獄に 男たちも ― そして 女たちも
G3860 G1519 G5438 G0435 G5037 G2532 G1135

そして、この道を迫害し、男であれ女であれ、縛りあげて獄に投じ、彼らを死に至らせた。

5 ὡς καὶ ὁ ἀρχιερεὺς μαρτυρεῖ μοι, καὶ πᾶν τὸ πρεσβυτέριον;
それは また ― 大祭司が 証言してくれます 私に そして 全 ― 長老会も
G5613 G2532 G3588 G0749 G3140 G1473 G2532 G3956 G3588 G4244

παρ' ὧν καὶ ἐπιστολὰς, δεξάμενος πρὸς τοὺς ἀδελφοὺς, εἰς
彼らから ― また 手紙を 受け取り ― ― 兄弟たちに宛てて ―
G3844 G3739 G2532 G1992 G1209 G4314 G3588 G0080 G1519

Δαμασκὸν ἐπορευόμην, ἄξων καὶ τοὺς ἐκεῖσε ὄντας, δεδεμένους
ダマスコへ 私は-向かいました 連行するために また ― そこに いる-者たちを 縛って
G1154 G4198 G0071 G2532 G3588 G1566 G1510 G1210

εἰς Ἰερουσαλὴμ, ἵνα τιμωρηθῶσιν.
― エルサレムへ ― 罰せられるように
G1519 G2419 G2443 G5097

このことは、大祭司も長老たち一同も、証明するところである。さらにわたしは、この人たちからダマスコの同志たちへあてた手紙をもらって、その地にいる者たちを縛りあげ、エルサレムにひっぱってきて、処罰するため、出かけて行った。

6 Ἐγένετο δέ μοι πορευομένῳ, καὶ ἐγγίζοντι τῇ Δαμασκῷ, περὶ
起こりました そして 私に 旅している-時 そして 近づいた-時 ― ダマスコに ―
G1096 G1161 G1473 G4198 G2532 G1448 G3588 G1154 G4012

μεσημβρίαν, ἐξαίφνης ἐκ τοῦ οὐρανοῦ περιαστράψαι φῶς ἱκανὸν περὶ
真昼ごろ 突然 ― ― 天から 輝いた 光が 大きな ―
G3314 G1810 G1537 G3588 G3772 G4015 G5457 G2425 G4012

ἐμέ.
私の-周りに
G1473

旅をつづけてダマスコの近くにきた時に、真昼ごろ、突然、つよい光が天からわたしをめぐり照した。

7 ἔπεσά τε εἰς τὸ ἔδαφος, καὶ ἤκουσα φωνῆς λεγούσης μοι,
私は-倒れました そして ― ― 地面に そして 聞きました 声が 言うのを 私に
G4098 G5037 G1519 G3588 G1475 G2532 G0191 G5456 G3004 G1473

Σαοὺλ, Σαούλ, τί με διώκεις?
サウロよ サウロよ なぜ 私を 迫害するのか
G4549 G4549 G5101 G1473 G1377

わたしは地に倒れた。そして、『サウロ、サウロ、なぜわたしを迫害するのか』と、呼びかける声を聞いた。

8 ἐγὼ δὲ ἀπεκρίθην, Τίς εἶ, Κύριε? εἶπέν τε πρὸς
私は そして 答えました どなたですか ― 主よ すると-言われました そして ―
G1473 G1161 G0611 G5101 G1510 G2962 G3004 G5037 G4314

ἐμέ, Ἐγώ εἰμι Ἰησοῦς ὁ Ναζωραῖος, ὃν σὺ διώκεις.
私に 私は である イエス ― ナザレの あなたが ― 迫害している-者だ
G1473 G1473 G1510 G2424 G3588 G3480 G3739 G4771 G1377

これに対してわたしは、『主よ、あなたはどなたですか』と言った。すると、その声が、『わたしは、あなたが迫害しているナザレ人イエスである』と答えた。

9	οἱ	δὲ	σὺν	ἐμοὶ	ὄντες,	τὸ	μὲν	φῶς	ἐθεάσαντο;	τὴν	δὲ
—	そして	—	私と–共にいた	者たちは	—	確かに	光を	見ましたが	—	しかし
G3588	G1161	G4862	G1473	G1510	G3588	G3303	G5457	G2300	G3588	G1161

φωνὴν,	οὐκ	ἤκουσαν	τοῦ,	λαλοῦντός	μοι.
声は	—	聞きませんでした	—	語っている–方の	私に
G5456	G3756	G0191	G3588	G2980	G1473

わたしと一緒にいた者たちは、その光は見たが、わたしに語りかけたかたの声は聞かなかった。

10	εἶπον	δέ,	Τί	ποιήσω,	Κύριε?	ὁ	δὲ	Κύριος	εἶπεν
私は–言いました	そして	何を	すべきでしょうか	主よ	すると	—	主は	言われました
G3004	G1161	G5101	G4160	G2962	G3588	G1161	G2962	G3004

πρός	με,	Ἀναστὰς	πορεύου	εἰς	Δαμασκόν,	κἀκεῖ	σοι	λαληθήσεται
—	私に	立ち上がって	行きなさい	—	ダマスコへ	そこで	あなたに	告げられるでしょう
G4314	G1473	G0450	G4198	G1519	G1154	G2546	G4771	G2980

περὶ	πάντων	ὧν	τέτακταί	σοι	ποιῆσαι.
—	すべての–ことについて	—	定められている	あなたが	なすべき
G4012	G3956	G3739	G5021	G4771	G4160

わたしが『主よ、わたしは何をしたらよいでしょうか』と尋ねたところ、主は言われた、『起きあがってダマスコに行きなさい。そうすれば、あなたがするように決めてある事が、すべてそこで告げられるであろう』。

11	ὡς	δὲ,	οὐκ	ἐνέβλεπον	ἀπὸ	τῆς	δόξης	τοῦ	φωτὸς	ἐκείνου,
しかし	—	—	見えませんでした	—	その	栄光の	—	光の–ために	あの
G5613	G1161	G3756	G1689	—	G0575	G3588	G1391	G3588	G5457	G1565

χειραγωγούμενος	ὑπὸ	τῶν	συνόντων	μοι,	ἦλθον	εἰς	Δαμασκόν.
手を–引かれて	—	—	同行していた–者たちに	私と	私は–来ました	—	ダマスコへ
G5496	G5259	G3588	G4895	G1473	G2064	G1519	G1154

わたしは、光の輝きで目がくらみ、何も見えなくなっていたので、連れの者たちに手を引かれながら、ダマスコに行った。

12	Ἀνανίας	δέ	τις,	ἀνὴρ	εὐλαβὴς	κατὰ	τὸν	νόμον,	μαρτυρούμενος
アナニヤという	ある	—	人が	敬虔な	—	—	律法に–従う	評判の–良い
G0367	G1161	G5100	G0435	G2126	G2596	G3588	G3551	G3140

ὑπὸ	πάντων	τῶν	κατοικούντων	Ἰουδαίων,
—	すべての	—	住んでいる	ユダヤ人たちに
G5259	G3956	G3588	G2730	G2453

すると、律法に忠実で、ダマスコ在住のユダヤ人全体に評判のよいアナニヤという人が、

13	ἐλθὼν	πρὸς	ἐμὲ	καὶ	ἐπιστὰς,	εἶπέν	μοι,	Σαοὺλ	ἀδελφέ,
来て	—	私のもとに	そして	そばに–立ち	言いました	私に	サウロよ	兄弟よ
G2064	G4314	G1473	G2532	G2186	G3004	G1473	G4549	G0080

ἀνάβλεψον.	κἀγὼ	αὐτῇ	τῇ	ὥρᾳ	ἀνέβλεψα	εἰς	αὐτόν.
見えるように–なりなさい	すると–私は	その	—	時に	見えるように–なりました	—	彼を
G0308	G2504	G0846	G3588	G5610	G0308	G1519	G0846

わたしのところにきて、そばに立ち、『兄弟サウロよ、見えるようになりなさい』と言った。するとその瞬間に、わたしの目が開いて、彼の姿が見えた。

14 ὁ — G3588 δὲ そして G1161 εἶπεν, 彼は–言いました G3004 Ὁ — G3588 Θεὸς 神は G2316 τῶν — G3588 πατέρων 先祖たちの G3962 ἡμῶν 私たちの G1473 προεχειρίσατό あなたを–選ばれました G4400
σε — G4771 γνῶναι 知るために G1097 τὸ — G3588 θέλημα 御心を G2307 αὐτοῦ, その方の G0846 καὶ そして G2532 ἰδεῖν 見るために G3708 τὸν — G3588 Δίκαιον, 義なる–方を G1342 καὶ そして G2532
ἀκοῦσαι 聞くために G0191 φωνὴν 声を G5456 ἐκ — G1537 τοῦ — G3588 στόματος 口から G4750 αὐτοῦ. その方の G0846

彼は言った、『わたしたちの先祖の神が、あなたを選んでみ旨を知らせ、かの義人を見させ、その口から声をお聞かせになった。

15 ὅτι なぜなら G3754 ἔσῃ あなたは–なるからです G1510 μάρτυς 証人と G3144 αὐτῷ その方の G0846 πρὸς — G4314 πάντας すべての G3956 ἀνθρώπους, 人々に–対して G0444 ὧν あなたが G3739
ἑώρακας 見たこと G3708 καὶ そして G2532 ἤκουσας. 聞いたことの G0191

それはあなたが、その見聞きした事につき、すべての人に対して、彼の証人になるためである。

16 καὶ そして G2532 νῦν 今 G3568 τί 何を G5101 μέλλεις? ためらうのですか G3195 ἀναστὰς, 立ち上がり G0450 βάπτισαι 洗礼を–受け G0907 καὶ そして G2532 ἀπόλουσαι 洗い–清めなさい G0628 τὰς — G3588
ἁμαρτίας 罪を G0266 σου, あなたの G4771 ἐπικαλεσάμενος 呼び求めて G1941 τὸ — G3588 ὄνομα 御名を G3686 αὐτοῦ. その方の G0846

そこで今、なんのためらうことがあろうか。すぐ立って、み名をとなえてバプテスマを受け、あなたの罪を洗い落しなさい』。

17 Ἐγένετο 起こりました G1096 δέ そして G1161 μοι, 私に G1473 ὑποστρέψαντι 戻った–時 G5290 εἰς — G1519 Ἰερουσαλὴμ, エルサレムに G2419 καὶ そして G2532 προσευχομένου 祈っている–時 G4336
μου 私が G1473 ἐν — G1722 τῷ — G3588 ἱερῷ, 神殿で G2411 γενέσθαι なりました G1096 με 私は G1473 ἐν — G1722 ἐκστάσει, 恍惚の–状態に G1611

それからわたしは、エルサレムに帰って宮で祈っているうちに、夢うつつになり、

18 καὶ そして G2532 ἰδεῖν 見ました G3708 αὐτὸν 主が G0846 λέγοντά 言っておられるのを G3004 μοι, 私に G1473 Σπεῦσον 急いで G4692 καὶ そして G2532 ἔξελθε 出なさい G1831 ἐν — G1722
τάχει 速やかに G5034 ἐξ — G1537 Ἰερουσαλήμ, エルサレムから G2419 διότι なぜなら G1360 οὐ — G3756 παραδέξονταί 受け入れないでしょう G3858 σου あなたの G4771 μαρτυρίαν 証しを G3141
περὶ — G4012 ἐμοῦ. 私についての G1473

主にまみえたが、主は言われた、『急いで、すぐにエルサレムを出て行きなさい。わたしについてのあなたのあかしを、人々が受けいれないから』。

19

κἀγὼ	εἶπον,	Κύριε,	αὐτοὶ	ἐπίστανται	ὅτι	ἐγὼ	ἤμην	φυλακίζων	
すると–私は	言いました	主よ	彼ら–自身が	知っています	—	私が	—	投獄し	
G2504	G3004	G2962	G0846	G1987	G3754	G1473	G1510	G5439	

καὶ	δέρων,	κατὰ	τὰς	συναγωγὰς,	τοὺς	πιστεύοντας	ἐπὶ	σέ.	
そして	打っていたことを	—	—	会堂ごとに	—	信じている–者たちを	—	あなたを	
G2532	G1194	G2596	G3588	G4864	G3588	G4100	G1909	G4771	

そこで、わたしが言った、『主よ、彼らは、わたしがいたるところの会堂で、あなたを信じる人々を獄に投じたり、むち打ったりしていたことを、知っています。

20

καὶ	ὅτε	ἐξεχύννετο	τὸ	αἷμα	Στεφάνου,	τοῦ	μάρτυρός	σου,	καὶ
そして	時に	流されていた	—	血が	ステパノの	—	証人である	あなたの	—
G2532	G3753	G1632	G3588	G0129	G4736	G3588	G3144	G4771	G2532

αὐτὸς	ἤμην	ἐφεστὼς,	καὶ	συνευδοκῶν,	καὶ	φυλάσσων	τὰ	ἱμάτια	
私–自身も	—	そばに–立ち	そして	同意し	そして	見張っていました	—	衣を	
G0846	G1510	G2186	G2532	G4909	G2532	G5442	G3588	G2440	

τῶν	ἀναιρούντων	αὐτόν.	
—	殺す–者たちの	彼を	
G3588	G0337	G0846	

また、あなたの証人ステパノの血が流された時も、わたしは立ち合っていてそれに賛成し、また彼を殺した人たちの上着の番をしていたのです』。

21

καὶ	εἶπεν	πρός	με,	Πορεύου,	ὅτι	ἐγὼ	εἰς	ἔθνη
すると	主は–言われました	—	私に	行きなさい	なぜなら	私が	—	異邦人の–もとへ
G2532	G3004	G4314	G1473	G4198	G3754	G1473	G1519	G1484

μακρὰν	ἐξαποστελῶ	σε.
遠くの	あなたを–遣わすからだ	—
G3112	G1821	G4771

すると、主がわたしに言われた、『行きなさい。わたしが、あなたを遠く異邦の民へつかわすのだ』」。

22

Ἤκουον	δὲ	αὐτοῦ	ἄχρι	τούτου	τοῦ	λόγου,	καὶ	ἐπῆραν	τὴν
聞いていました	そして	彼の–話を	—	この	—	言葉まで	すると	上げました	—
G0191	G1161	G0846	G0891	G3778	G3588	G3056	G2532	G1869	G3588

φωνὴν	αὐτῶν,	λέγοντες,	Αἶρε	ἀπὸ	τῆς	γῆς,	τὸν	τοιοῦτον.	οὐ
声を	彼らの	言って	除け	—	—	地上から	—	このような–者を	—
G5456	G0846	G3004	G0142	G0575	G3588	G1093	G3588	G5108	G3756

γὰρ	καθῆκεν	αὐτὸν	ζῆν!
なぜなら	ふさわしくない	彼が	生きるのは
G1063	G2520	G0846	G2198

彼の言葉をここまで聞いていた人々は、このとき、声を張りあげて言った、「こんな男は地上から取り除いてしまえ。生かしおくべきではない」。

23

κραυγαζόντων	τε	αὐτῶν,	καὶ	ῥιπτούντων	τὰ	ἱμάτια,	καὶ	κονιορτὸν	
叫びながら	そして	彼らが	そして	投げ捨てながら	—	衣を	そして	ちりを	
G2905	G5037	G0846	G2532	G4495	G3588	G2440	G2532	G2868	

βαλλόντων	εἰς	τὸν	ἀέρα.	
まき散らしながら	—	—	空中に	
G0906	G1519	G3588	G0109	

人々がこうわめき立てて、空中に上着を投げ、ちりをまき散らす始末であったので、

24 ἐκέλευσεν ὁ χιλίαρχος εἰσάγεσθαι αὐτὸν εἰς τὴν παρεμβολήν, εἶπας
命じました — 千人隊長は 連れて–行くように 彼を — — 兵営に 命じて
G2753 G3588 G5506 G1521 G0846 G1519 G3588 G3925 G3004

μάστιξιν ἀνετάζεσθαι αὐτὸν, ἵνα ἐπιγνῷ δι’ ἣν αἰτίαν οὕτως
むち打ちで 取り調べるように 彼を — 知るために — どのような 理由で このように
G3148 G0426 G0846 G2443 G1921 G1223 G3739 G0156 G3779

ἐπεφώνουν αὐτῷ.
叫んでいたのかを 彼に–対して
G2019 G0846

千卒長はパウロを兵営に引き入れるように命じ、どういうわけで、彼に対してこんなにわめき立てているのかを確かめるため、彼をむちの拷問にかけて、取り調べるように言いわたした。

25 ὡς δὲ προέτειναν αὐτὸν τοῖς ἱμᾶσιν, εἶπεν πρὸς τὸν
しかし そして 彼らが–縛った–時 彼を — 革ひもで 言いました — —
G5613 G1161 G4385 G0846 G3588 G2438 G3004 G4314 G3588

ἑστῶτα ἑκατόνταρχον, ὁ Παῦλος, Εἰ ἄνθρωπον, Ῥωμαῖον καὶ
そばに–立っている 百人隊長に — パウロは もし 人を ローマ市民で しかも
G2476 G1543 G3588 G3972 G1487 G0444 G4514 G2532

ἀκατάκριτον, ἔξεστιν ὑμῖν μαστίζειν?
裁判も–なしに 許されるのですか あなたがたに むち打つことが
G0178 G1832 G4771 G3147

彼らがむちを当てるため、彼を縛りつけていた時、パウロはそばに立っている百卒長に言った、「ローマの市民たる者を、裁判にかけもしないで、むち打ってよいのか」。

26 ἀκούσας δὲ ὁ ἑκατοντάρχης, προσελθὼν τῷ χιλιάρχῳ, ἀπήγγειλεν, λέγων,
聞いて すると — 百人隊長は 近づいて — 千人隊長に 報告しました 言って
G0191 G1161 G3588 G1543 G4334 G3588 G5506 G0518 G3004

Τί μέλλεις ποιεῖν? ὁ γὰρ ἄνθρωπος οὗτος Ῥωμαῖός
何を しようとしているのですか なさるのですか — なぜなら この–人は — ローマ市民
G5101 G3195 G4160 G3588 G1063 G0444 G3778 G4514

ἐστιν.
です
G1510

百卒長はこれを聞き、千卒長のところに行って報告し、そして言った、「どうなさいますか。あの人はローマの市民なのです」。

27 προσελθὼν δὲ, ὁ χιλίαρχος εἶπεν αὐτῷ, Λέγε μοι, σὺ
近づいて すると — 千人隊長は 言いました 彼に 教えてくれ 私に あなたは
G4334 G1161 G3588 G5506 G3004 G0846 G3004 G1473 G4771

Ῥωμαῖος εἶ? ὁ δὲ ἔφη, Ναί.
ローマ市民 なのか すると — 彼は–言いました はい
G4514 G1510 G3588 G1161 G5346 G3483

そこで、千卒長がパウロのところにきて言った、「わたしに言ってくれ。あなたはローマの市民なのか」。パウロは「そうです」と言った。

28 ἀπεκρίθη δὲ ὁ χιλίαρχος, Ἐγὼ πολλοῦ κεφαλαίου τὴν πολιτείαν ταύτην
答えました すると — 千人隊長は 私は 多額の 金を-払って この 市民権を —
G0611 G1161 G3588 G5506 G1473 G4183 G2774 G3588 G4174 G3778

ἐκτησάμην. ὁ δὲ Παῦλος ἔφη, Ἐγὼ δὲ καὶ γεγέννημαι.
手に-入れた すると — パウロは 言いました 私は しかし — 生まれながらの-市民です
G2932 G3588 G1161 G3972 G5346 G1473 G1161 G2532 G1080

これに対して千卒長が言った、「わたしはこの市民権を、多額の金で買い取ったのだ」。するとパウロは言った、「わたしは生れながらの市民です」。

29 εὐθέως οὖν ἀπέστησαν ἀπ' αὐτοῦ οἱ μέλλοντες αὐτὸν
すぐに それゆえ 離れました — 彼から — 取り調べようとしていた 彼を
G2112 G3767 G0868 G0575 G0846 G3588 G3195 G0846

ἀνετάζειν, καὶ ὁ χιλίαρχος δὲ ἐφοβήθη, ἐπιγνοὺς ὅτι Ῥωμαῖός
者たちは そして — 千人隊長も また 恐れました 知って — ローマ市民
G0426 G2532 G3588 G5506 G1161 G5399 G1921 G3754 G4514

ἐστιν, καὶ ὅτι αὐτὸν ἦν δεδεκώς.
であることを そして — 彼を — 縛っていたことを
G1510 G2532 G3754 G0846 G1510 G1210

そこで、パウロを取り調べようとしていた人たちは、ただちに彼から身を引いた。千卒長も、パウロがローマの市民であること、また、そういう人を縛っていたことがわかって、恐れた。

30 Τῇ δὲ ἐπαύριον, βουλόμενος γνῶναι τὸ ἀσφαλὲς, τὸ τί
— そして 翌日 望んで 知ることを — 確かなことを すなわち 何を
G3588 G1161 G1887 G1014 G1097 G3588 G0804 G3588 G5101

κατηγορεῖται ὑπὸ τῶν Ἰουδαίων, ἔλυσεν αὐτόν καὶ ἐκέλευσεν
訴えられているのか — — ユダヤ人たちから 解きました 彼を そして 命じました
G2723 G5259 G3588 G2453 G3089 G0846 G2532 G2753

συνελθεῖν τοὺς ἀρχιερεῖς καὶ πᾶν τὸ συνέδριον. καὶ καταγαγὼν τὸν
集まるように — 祭司長たちと そして 全 — 議会に そして 連れて-行き —
G4905 G3588 G0749 G2532 G3956 G3588 G4892 G2532 G2609 G3588

Παῦλον, ἔστησεν εἰς αὐτούς.
パウロを 立たせました — 彼らの-前に
G3972 G2476 G1519 G0846

翌日、彼は、ユダヤ人がなぜパウロを訴え出たのか、その真相を知ろうと思って彼を解いてやり、同時に祭司長たちと全議会とを召集させ、そこに彼を引き出して、彼らの前に立たせた。

Chapter 23

1 ἀτενίσας δὲ ‹ὁ› Παῦλος τῷ συνεδρίῳ, εἶπεν, Ἄνδρες, ἀδελφοί,
じっと-見つめて そして — パウロは — 議会を 言いました 人々よ 兄弟たちよ
G0816 G1161 G3588 G3972 G3588 G4892 G3004 G0435 G0080

ἐγὼ πάσῃ συνειδήσει ἀγαθῇ, πεπολίτευμαι τῷ Θεῷ ἄχρι ταύτης τῆς
私は すべての 良心を-もって 良い 歩んできました — 神の-前で — この —
G1473 G3956 G4893 G0018 G4176 G3588 G2316 G0891 G3778 G3588

ἡμέρας.
日まで
G2250

パウロは議会を見つめて言った、「兄弟たちよ、わたしは今日まで、神の前に、ひたすら明らかな良心にしたがって行動してきた」。

2 ὁ δὲ ἀρχιερεὺς Ἁνανίας ἐπέταξεν τοῖς παρεστῶσιν αὐτῷ,
すると — 大祭司 アナニヤは 命じました — そばに–立っている–者たちに 彼の
G3588 G1161 G0749 G0367 G2004 G3588 G3936 G0846

τύπτειν αὐτοῦ τὸ στόμα.
打つように 彼の — 口を
G5180 G0846 G3588 G4750

すると、大祭司アナニヤが、パウロのそばに立っている者たちに、彼の口を打てと命じた。

3 τότε ὁ Παῦλος πρὸς αὐτὸν εἶπεν, Τύπτειν σε μέλλει ὁ
その–時 — パウロは — 彼に 言いました 打つでしょう あなたを — —
G5119 G3588 G3972 G4314 G0846 G3004 G5180 G4771 G3195 G3588

Θεός, τοῖχε κεκονιαμένε! καὶ σὺ, κάθῃ κρίνων με κατὰ τὸν
神が 壁よ 白く–塗られた そして あなたは 座って 裁いている 私を — —
G2316 G5109 G2867 G2532 G4771 G2521 G2919 G1473 G2596 G3588

νόμον, καὶ παρανομῶν, κελεύεις με τύπτεσθαι?
律法に–従って しかし 律法に–違反して 命じるのですか 私を 打つことを
G3551 G2532 G3891 G2753 G1473 G5180

そのとき、パウロはアナニヤにむかって言った、「白く塗られた壁よ、神があなたを打つであろう。あなたは、律法にしたがって、わたしをさばくために座についているのに、律法にそむいて、わたしを打つことを命じるのか」。

4 οἱ δὲ παρεστῶτες εἶπαν, Τὸν ἀρχιερέα τοῦ Θεοῦ
— すると そばに–立っている–者たちは 言いました — 大祭司を — 神の
G3588 G1161 G3936 G3004 G3588 G0749 G3588 G2316

λοιδορεῖς?
侮辱するのか
G3058

すると、そばに立っている者たちが言った、「神の大祭司に対して無礼なことを言うのか」。

5 ἔφη τε ὁ Παῦλος, Οὐκ ᾔδειν, ἀδελφοί, ὅτι ἐστὶν
言いました すると — パウロは — 知りませんでした 兄弟たちよ — であると
G5346 G5037 G3588 G3972 G3756 G1492 G0080 G3754 G1510

ἀρχιερεύς; γέγραπται γὰρ, ὅτι Ἄρχοντα τοῦ λαοῦ σου, οὐκ
大祭司 書かれています なぜなら — 指導者を — 民の あなたの —
G0749 G1125 G1063 G3754 G0758 G3588 G2992 G4771 G3756

ἐρεῖς κακῶς.
悪く–言ってはならない —
G2046 G2560

パウロは言った、「兄弟たちよ、彼が大祭司だとは知らなかった。聖書に『民のかしらを悪く言ってはいけない』と、書いてあるのだった」。

6 γνοὺς δὲ ὁ Παῦλος, ὅτι τὸ ἓν μέρος ἐστὶν Σαδδουκαίων, τὸ
知って そして — パウロは — — 一方の 部分が であると サドカイ人 —
G1097 G1161 G3588 G3972 G3754 G3588 G1520 G3313 G1510 G4523 G3588

δὲ ἕτερον Φαρισαίων, ἔκραζεν ἐν τῷ συνεδρίῳ, Ἄνδρες, ἀδελφοί,
もう 一方が パリサイ人であると 叫びました — — 議会で 人々よ 兄弟たちよ
G1161 G2087 G5330 G2896 G1722 G3588 G4892 G0435 G0080

ἐγὼ Φαρισαῖός εἰμι, υἱὸς Φαρισαίων; περὶ ἐλπίδος καὶ ἀναστάσεως νεκρῶν
私は パリサイ人 です 息子 パリサイ人の — 望みと そして 復活に-ついて 死者の
G1473 G5330 G1510 G5207 G5330 G4012 G1680 G2532 G0386 G3498

‹ἐγὼ› κρίνομαι.
私は 裁かれているのです
G1473 G2919

パウロは、議員の一部がサドカイ人であり、一部はパリサイ人であるのを見て、議会の中で声を高めて言った、「兄弟たちよ、わたしはパリサイ人であり、パリサイ人の子である。わたしは、死人の復活の望みをいだいていることで、裁判を受けているのである」。

7 τοῦτο δὲ αὐτοῦ λαλοῦντος, ἐγένετο στάσις τῶν Φαρισαίων καὶ
これを そして 彼が 語った-時 起こりました 争いが — パリサイ人と そして
G3778 G1161 G0846 G2980 G1096 G4714 G3588 G5330 G2532

Σαδδουκαίων, καὶ ἐσχίσθη τὸ πλῆθος.
サドカイ人の-間に そして 分裂しました — 群衆は
G4523 G2532 G4977 G3588 G4128

彼がこう言ったところ、パリサイ人とサドカイ人との間に争論が生じ、会衆が相分れた。

8 Σαδδουκαῖοι ‹μὲν› γὰρ λέγουσιν μὴ εἶναι ἀνάστασιν, μήτε ἄγγελον,
サドカイ人は 一方では なぜなら 言います — ないと 復活は — 天使も
G4523 G3303 G1063 G3004 G3361 G1510 G0386 G3383 G0032

μήτε πνεῦμα; Φαρισαῖοι δὲ ὁμολογοῦσιν τὰ ἀμφότερα.
— 霊も パリサイ人は しかし 認めます — 両方とも
G3383 G4151 G5330 G1161 G3670 G3588 G0297

元来、サドカイ人は、復活とか天使とか霊とかは、いっさい存在しないと言い、パリサイ人は、それらは、みな存在すると主張している。

9 ἐγένετο δὲ κραυγὴ μεγάλη, καὶ, ἀναστάντες τινὲς τῶν γραμματέων
起こりました そして 叫び声が 大きな そして 立ち上がって ある — 律法学者たちが
G1096 G1161 G2906 G3173 G2532 G0450 G5100 G3588 G1122

τοῦ μέρους τῶν Φαρισαίων, διεμάχοντο, λέγοντες, Οὐδὲν κακὸν εὑρίσκομεν
— 側の — パリサイ人の 激しく-論じて 言いました 何も 悪い-ことを 見つけません
G3588 G3313 G3588 G5330 G1264 G3004 G3762 G2556 G2147

ἐν τῷ ἀνθρώπῳ τούτῳ. εἰ δὲ πνεῦμα ἐλάλησεν αὐτῷ, ἢ
— この 人に — もし — 霊が 語ったのなら 彼に あるいは
G1722 G3588 G0444 G3778 G1487 G1161 G4151 G2980 G0846 G2228

ἄγγελος? <μὴ θεομαχῶμεν>
天使が — 神に-逆らってはならない
G0032 G3361 G2313

そこで、大騒ぎとなった。パリサイ派のある律法学者たちが立って、強く主張して言った、「われわれは、この人には何も悪いことがないと思う。あるいは、霊か天使かが、彼に告げたのかも知れない」。

10 πολλῆς δὲ γινομένης στάσεως, φοβηθεὶς ὁ χιλίαρχος, μὴ
大きな そして なりつつある 争いに 恐れて — 千人隊長は —
G4183 G1161 G1096 G4714 G5399 G3588 G5506 G3361

διασπασθῇ ὁ Παῦλος ὑπ’ αὐτῶν, ἐκέλευσεν τὸ στράτευμα
引き裂かれることを — パウロが — 彼らに-よって 命じました — 軍隊が
G1288 G3588 G3972 G5259 G0846 G2753 G3588 G4753

καταβὰν, ἁρπάσαι αὐτὸν ἐκ μέσου αὐτῶν, ἄγειν τε εἰς
降りて-行き 救い出すように 彼を — 中から 彼らの 連れて-行くように そして —
G2597 G0726 G0846 G1537 G3319 G0846 G0071 G5037 G1519

τὴν παρεμβολήν.
— 兵営へ
G3588 G3925

こうして、争論が激しくなったので、千卒長は、パウロが彼らに引き裂かれるのを気づかって、兵卒どもに、降りて行ってパウロを彼らの中から力づくで引き出し、兵営に連れて来るように、命じた。

11 Τῇ δὲ ἐπιούσῃ νυκτὶ, ἐπιστὰς αὐτῷ, ὁ Κύριος εἶπεν,
— そして 次の 夜 そばに-立って 彼に — 主は 言われました
G3588 G1161 G1966 G3571 G2186 G0846 G3588 G2962 G3004

Θάρσει, ὡς γὰρ διεμαρτύρω τὰ περὶ ἐμοῦ εἰς Ἰερουσαλὴμ,
勇気を-出しなさい ように なぜなら 証しした — — 私について — エルサレムで
G2293 G5613 G1063 G1263 G3588 G4012 G1473 G1519 G2419

οὕτω σε δεῖ καὶ εἰς Ῥώμην μαρτυρῆσαι.
そのように あなたは なければならない また — ローマでも 証しし
G3779 G4771 G1163 G2532 G1519 G4516 G3140

その夜、主がパウロに臨んで言われた、「しっかりせよ。あなたは、エルサレムでわたしのことをあかししたように、ローマでもあかしをしなくてはならない」。

12 Γενομένης δὲ ἡμέρας, ποιήσαντες συστροφὴν, οἱ Ἰουδαῖοι ἀνεθεμάτισαν
なると そして 朝に 企てて 陰謀を — ユダヤ人たちは 誓いました
G1096 G1161 G2250 G4160 G4963 G3588 G2453 G0332

ἑαυτοὺς, λέγοντες μήτε φαγεῖν, μήτε πιεῖν, ἕως οὗ ἀποκτείνωσιν τὸν
自分たちに 言って — 食べない — 飲まないと するまで — 殺す —
G1438 G3004 G3383 G5315 G3383 G4095 G2193 G3739 G0615 G3588

Παῦλον.
パウロを
G3972

夜が明けると、ユダヤ人らは申し合わせをして、パウロを殺すまでは飲食をいっさい断つと、誓い合った。

13 ἦσαν δὲ πλείους τεσσεράκοντα, οἱ ταύτην τὴν συνωμοσίαν
いました そして 四十人-以上の — — この — 陰謀を
G1510 G1161 G4119 G5062 G3588 G3778 G3588 G4945

ποιησάμενοι,
企てた-者たちは
G4160

この陰謀に加わった者は、四十人あまりであった。

14 οἵτινες, προσελθόντες τοῖς ἀρχιερεῦσιν καὶ τοῖς πρεσβυτέροις, εἶπαν,
彼らは 近づいて — 祭司長たちと そして — 長老たちに 言いました
G3748 G4334 G3588 G0749 G2532 G3588 G4245 G3004

Ἀναθέματι ἀνεθεματίσαμεν ἑαυτοὺς, μηδενὸς γεύσασθαι, ἕως οὗ
呪いを–もって 私たちは–誓いました 自分たちに 何も 味わわないと するまで —
G0331 G0332 G1438 G3367 G1089 G2193 G3739

ἀποκτείνωμεν τὸν Παῦλον.
殺す — パウロを
G0615 G3588 G3972

彼らは、祭司長たちや長老たちのところに行って、こう言った。「われわれは、パウロを殺すまでは何も食べないと、堅く誓い合いました。

15 νῦν οὖν ὑμεῖς, ἐμφανίσατε τῷ χιλιάρχῳ σὺν τῷ συνεδρίῳ,
今 それゆえ あなたがたが 申し出てください — 千人隊長に — — 議会と–共に
G3568 G3767 G4771 G1718 G3588 G5506 G4862 G3588 G4892

ὅπως καταγάγῃ αὐτὸν εἰς ὑμᾶς, ὡς μέλλοντας
— 連れて–来るように 彼を — あなたがたの–もとへ — しようとする–かのように
G3704 G2609 G0846 G1519 G4771 G5613 G3195

διαγινώσκειν ἀκριβέστερον τὰ περὶ αὐτοῦ; ἡμεῖς δὲ, πρὸ τοῦ
詳しく–調べる より–正確に — — 彼について 私たちは しかし — —
G1231 G0199 G3588 G4012 G0846 G1473 G1161 G4253 G3588

ἐγγίσαι αὐτὸν, ἕτοιμοί ἐσμεν τοῦ ἀνελεῖν αὐτόν.
近づく–前に 彼が 用意が できています — 殺す 彼を
G1448 G0846 G2092 G1510 G3588 G0337 G0846

ついては、あなたがたは議会と組んで、彼のことでなお詳しく取調べをするように見せかけ、パウロをあなたがたのところに連れ出すように、千卒長に頼んで下さい。われわれとしては、パウロがそこにこないうちに殺してしまう手はずをしています」。

16 Ἀκούσας δὲ ὁ υἱὸς τῆς ἀδελφῆς Παύλου, τὴν ἐνέδραν,
聞いて そして — 息子は — 姉妹の パウロの — 待ち伏せを
G0191 G1161 G3588 G5207 G3588 G0079 G3972 G3588 G1747

παραγενόμενος καὶ εἰσελθὼν εἰς τὴν παρεμβολὴν, ἀπήγγειλεν τῷ Παύλῳ.
やって–来て そして 入り — — 兵営に 報告しました — パウロに
G3854 G2532 G1525 G1519 G3588 G3925 G0518 G3588 G3972

ところが、パウロの姉妹の子が、この待伏せのことを耳にし、兵営にはいって行って、パウロにそれを知らせた。

17 προσκαλεσάμενος δὲ ὁ Παῦλος ἕνα τῶν ἑκατονταρχῶν, ἔφη, Τὸν
呼んで すると — パウロは 一人の — 百人隊長を 言いました この
G4341 G1161 G3588 G3972 G1520 G3588 G1543 G5346 G3588

νεανίαν τοῦτον ἄπαγε πρὸς τὸν χιλίαρχον; ἔχει γὰρ
若者を — 連れて–行ってください — — 千人隊長の–もとへ 持っています なぜなら
G3494 G3778 G0520 G4314 G3588 G5506 G2192 G1063

ἀπαγγεῖλαί τι αὐτῷ.
知らせる–ことを 何か 彼に
G0518 G5100 G0846

そこでパウロは、百卒長のひとりを呼んで言った、「この若者を千卒長のところに連れて行ってください。何か報告することがあるようですから」。

18 ὁ そこで G3588 μὲν — G3303 οὖν — G3767 παραλαβὼν 連れて G3880 αὐτὸν, 彼を G0846 ἤγαγεν 導きました G0071 πρὸς — G4314 τὸν — G3588 χιλίαρχον, 千人隊長の-もとへ G5506 καὶ そして G2532
φησίν, 言いました G5346 Ὁ — G3588 δέσμιος 囚人 G1198 Παῦλος, パウロが G3972 προσκαλεσάμενός 私を-呼んで G4341 με, — G1473 ἠρώτησεν 頼みました G2065 τοῦτον この G3778 τὸν — G3588
νεανίσκον 若者を G3495 ἀγαγεῖν 連れて-行くように G0071 πρὸς — G4314 σέ, あなたの-もとへ G4771 ἔχοντά 持っている G2192 τι 何か G5100 λαλῆσαί 話す-ことを G2980 σοι. あなたに G4771

この百卒長は若者を連れて行き、千卒長に引きあわせて言った、「囚人のパウロが、この若者があなたに話したいことがあるので、あなたのところに連れて行ってくれるようにと、わたしを呼んで頼みました」。

19 ἐπιλαβόμενος 握って G1949 δὲ すると G1161 τῆς — G3588 χειρὸς 手を G5495 αὐτοῦ 彼の G0846 ὁ — G3588 χιλίαρχος, 千人隊長は G5506 καὶ そして G2532 ἀναχωρήσας 退いて G0402
κατ’ — G2596 ἰδίαν, ひそかに G2398 ἐπυνθάνετο, 尋ねました G4441 Τί 何が G5101 ἐστιν あるのか G1510 ὃ — G3739 ἔχεις あなたが G2192 ἀπαγγεῖλαί 知らせる-べき G0518 μοι? 私に G1473

そこで千卒長は、若者の手を取り、人のいないところへ連れて行って尋ねた、「わたしに話したいことというのは、何か」。

20 εἶπεν 彼は-言いました G3004 δὲ, すると G1161 ὅτι — G3754 Οἱ — G3588 Ἰουδαῖοι ユダヤ人たちが G2453 συνέθεντο 企てました G4934 τοῦ — G3588 ἐρωτῆσαί 頼むことを G2065 σε, あなたに G4771
ὅπως — G3704 αὔριον 明日 G0839 τὸν — G3588 Παῦλον, パウロを G3972 καταγάγῃς 連れて-来るように G2609 εἰς — G1519 τὸ — G3588 συνέδριον, 議会に G4892 ὡς — G5613
μέλλον しようとする-かのように G3195 τι 何か G5100 ἀκριβέστερον より-正確に G0199 πυνθάνεσθαι 調べることを G4441 περὶ — G4012 αὐτοῦ. 彼について G0846

若者が言った、「ユダヤ人たちが、パウロのことをもっと詳しく取調べをすると見せかけて、あす議会に彼を連れ出すように、あなたに頼むことに決めています。

21 σὺ あなたは G4771 οὖν だから G3767 μὴ — G3361 πεισθῇς 説き伏せられないでください G3982 αὐτοῖς. 彼らに G0846 ἐνεδρεύουσιν 待ち伏せしています G1748 γὰρ, なぜなら G1063
αὐτὸν, 彼を G0846 ἐξ — G1537 αὐτῶν 彼らの-うち G0846 ἄνδρες 四十人-以上の G0435 πλείους — G4119 τεσσεράκοντα, — G5062 οἵτινες — G3748 ἀνεθεμάτισαν 誓った G0332
ἑαυτοὺς, 自分たちに G1438 μήτε — G3383 φαγεῖν 食べない G5315 μήτε — G3383 πιεῖν, 飲まないと G4095 ἕως するまで G2193 οὗ — G3739 ἀνέλωσιν 殺す G0337 αὐτόν; 彼を G0846 καὶ そして G2532
νῦν 今 G3568 εἰσιν 彼らは G1510 ἕτοιμοι, 準備ができています G2092 προσδεχόμενοι 待ち受けています G4327 τὴν — G3588 ἀπὸ — G0575 σοῦ あなたからの G4771 ἐπαγγελίαν. 許可を G1860

どうぞ、彼らの頼みを取り上げないで下さい。四十人あまりの者が、パウロを待伏せしているのです。彼らは、パウロを殺すまでは飲食をいっさい断つと、堅く誓い合っています。そして、いま手はずをととのえて、あなたの許可を待っているところなのです」。

22 ὁ μὲν οὖν χιλίαρχος ἀπέλυσε τὸν νεανίσκον, παραγγείλας, μηδενὶ
そこで ― ― 千人隊長は 帰しました ― 若者を 命じて 誰にも
G3588 G3303 G3767 G5506 G0630 G3588 G3495 G3853 G3367

ἐκλαλῆσαι ὅτι ταῦτα ἐνεφάνισας πρὸς ἐμέ.
漏らさないようにと ― これらの–ことを 知らせた–ことを ― 私に
G1583 G3754 G3778 G1718 G4314 G1473

そこで千卒長は、「このことをわたしに知らせたことは、だれにも口外するな」と命じて、若者を帰した。

23 Καὶ προσκαλεσάμενός τινας δύο τῶν ἑκατονταρχῶν, εἶπεν, Ἑτοιμάσατε
そして 呼んで ある 二人の ― 百人隊長を 言いました 用意しなさい
G2532 G4341 G5100 G1417 G3588 G1543 G3004 G2090

στρατιώτας διακοσίους, ὅπως πορευθῶσιν ἕως Καισαρείας, καὶ ἱππεῖς
兵士を 二百人 ― 行軍する–ように まで カイサリアへ また 騎兵を
G4757 G1250 G3704 G4198 G2193 G2542 G2532 G2460

ἑβδομήκοντα, καὶ δεξιολάβους διακοσίους, ἀπὸ τρίτης ὥρας τῆς νυκτός.
七十人 また 槍兵を 二百人 ― 第三 時から ― 夜の
G1440 G2532 G1187 G1250 G0575 G5154 G5610 G3588 G3571

それから彼は、百卒長ふたりを呼んで言った、「歩兵二百名、騎兵七十名、槍兵二百名を、カイザリヤに向け出発できるように、今夜九時までに用意せよ。

24 κτήνη τε παραστῆσαι, ἵνα ἐπιβιβάσαντες τὸν Παῦλον, διασώσωσι
家畜も また 用意しなさい ― 乗せて ― パウロを 安全に–届けるように
G2934 G5037 G3936 G2443 G1913 G3588 G3972 G1295

πρὸς Φήλικα τὸν ἡγεμόνα,
― フェリクス ― 総督の–もとへ
G4314 G5344 G3588 G2232

また、パウロを乗せるために馬を用意して、彼を総督ペリクスのもとへ無事に連れて行け」。

25 γράψας ἐπιστολὴν, ἔχουσαν τὸν τύπον τοῦτον:
書きました 手紙を 持っている ― 内容は 次の–通りです
G1125 G1992 G2192 G3588 G5179 G3778

さらに彼は、次のような文面の手紙を書いた。

26 Κλαύδιος Λυσίας, τῷ κρατίστῳ ἡγεμόνι, Φήλικι, χαίρειν.
クラウディオス リュシアスが ― 閣下 総督 フェリクスに 挨拶を–申し上げます
G2804 G3079 G3588 G2903 G2232 G5344 G5463

「クラウデオ・ルシヤ、つつしんで総督ペリクス閣下の平安を祈ります。

27 Τὸν ἄνδρα τοῦτον, συλληφθέντα ὑπὸ τῶν Ἰουδαίων, καὶ
この 人は ― 捕らえられ ― ― ユダヤ人たちに そして
G3588 G0435 G3778 G4815 G5259 G3588 G2453 G2532

μέλλοντα ἀναιρεῖσθαι ὑπ’ αὐτῶν, ἐπιστὰς σὺν τῷ
殺されようと–していた–ところを ― ― 彼らに 駆けつけて ― ―
G3195 G0337 G5259 G0846 G2186 G4862 G3588

στρατεύματι, ἐξειλάμην, μαθὼν ὅτι Ῥωμαῖός ἐστιν.
軍隊と–共に 私が–救い出しました 知って ― ローマ市民 であることを
G4753 G1807 G3129 G3754 G4514 G1510

本人のパウロが、ユダヤ人らに捕えられ、まさに殺されようとしていたのを、彼のローマ市民であることを知ったので、わたしは兵卒たちを率いて行って、彼を救い出しました。

28 βουλόμενός τε ἐπιγνῶναι τὴν αἰτίαν δι’ ἣν ἐνεκάλουν αὐτῷ,
望んで そして 知ることを — 理由を — なぜ 訴えているのかを 彼を
G1014 G5037 G1921 G3588 G0156 G1223 G3739 G1458 G0846

κατήγαγον εἰς τὸ συνέδριον αὐτῶν,
私は–連れて–行きました — — 議会に 彼らの
G2609 G1519 G3588 G4892 G0846

それから、彼が訴えられた理由を知ろうと思い、彼を議会に連れて行きました。

29 ὃν εὗρον ἐγκαλούμενον περὶ ζητημάτων τοῦ νόμου αὐτῶν; μηδὲν
彼が 分かりました 訴えられているのは — 問題に–ついて — 律法の 彼らの 何も
G3739 G2147 G1458 G4012 G2213 G3588 G3551 G0846 G3367

δὲ ἄξιον θανάτου ἢ δεσμῶν. ἔχοντα ἔγκλημα,
しかし 値する 死や あるいは 投獄に 持つ 罪状はない–ことが
G1161 G0514 G2288 G2228 G1199 G2192 G1462

ところが、彼はユダヤ人の律法の問題で訴えられたものであり、なんら死刑または投獄に当る罪のないことがわかりました。

30 μηνυθείσης δέ μοι ἐπιβουλῆς εἰς τὸν ἄνδρα ἔσεσθαι, ἐξαυτῆς
知らされた–時 そして 私に 陰謀が — この 人に–対する あることが 直ちに
G3377 G1161 G1473 G1917 G1519 G3588 G0435 G1510 G1824

ἔπεμψα πρὸς σέ, παραγγείλας καὶ τοῖς κατηγόροις
私は–送りました — あなたの–もとへ 命じて また — 告発者たちにも
G3992 G4314 G4771 G3853 G2532 G3588 G2725

λέγειν [τὰ] πρὸς αὐτὸν ἐπὶ σοῦ.
述べるようにと — — 彼に–対する–ことを — あなたの–前で
G3004 G3588 G4314 G0846 G1909 G4771

しかし、この人に対して陰謀がめぐらされているとの報告がありましたので、わたしは取りあえず、彼を閣下のもとにお送りすることにし、訴える者たちには、閣下の前で、彼に対する申立てをするようにと、命じておきました」。

31 Οἱ μὲν οὖν στρατιῶται, κατὰ τὸ διατεταγμένον αὐτοῖς, ἀναλαβόντες
そこで — — 兵士たちは — — 命じられた–通りに 彼らに 連れて
G3588 G3303 G3767 G4757 G2596 G3588 G1299 G0846 G0353

τὸν Παῦλον, ἤγαγον διὰ νυκτὸς εἰς τὴν Ἀντιπατρίδα.
— パウロを 導きました — 夜の–うちに — — アンティパトリスへ
G3588 G3972 G0071 G1223 G3571 G1519 G3588 G0494

そこで歩兵たちは、命じられたとおりパウロを引き取って、夜の間にアンテパトリスまで連れて行き、

32 τῇ δὲ ἐπαύριον, ἐάσαντες τοὺς ἱππεῖς ἀπέρχεσθαι σὺν αὐτῷ,
— そして 翌日 残して — 騎兵たちを 行かせ — 彼と–共に
G3588 G1161 G1887 G1439 G3588 G2460 G0565 G4862 G0846

ὑπέστρεψαν εἰς τὴν παρεμβολήν --
彼らは–戻りました — — 兵営へ
G5290 G1519 G3588 G3925

翌日は、騎兵たちにパウロを護送させることにして、兵営に帰って行った。

33 οἵτινες 彼らは G3748 | εἰσελθόντες 入って G1525 | εἰς — G1519 | τὴν — G3588 | Καισάρειαν, カイサリアに G2542 | καὶ そして G2532 | ἀναδόντες 渡して G0325 | τὴν — G3588 | ἐπιστολὴν 手紙を G1992 | τῷ — G3588
ἡγεμόνι, 総督に G2232 | παρέστησαν 引き渡しました G3936 | καὶ また G2532 | τὸν — G3588 | Παῦλον パウロを G3972 | αὐτῷ. 彼に G0846

騎兵たちは、カイザリヤに着くと、手紙を総督に手渡し、さらにパウロを彼に引きあわせた。

34 ἀναγνοὺς 読んで G0314 | δὲ, そして G1161 | καὶ そして G2532 | ἐπερωτήσας 尋ねました G1905 | ἐκ — G1537 | ποίας どの G4169 | ἐπαρχείας 州の-出身かを G1885 | ἐστὶν, であるかと G1510 | καὶ そして G2532
πυθόμενος 知って G4441 | ὅτι — G3754 | ἀπὸ — G0575 | Κιλικίας, キリキヤ出身であると G2791

総督は手紙を読んでから、パウロに、どの州の者かと尋ね、キリキヤの出だと知って、

35 Διακούσομαί 十分に-聞きましょう G1251 | σου, あなたの-ことを G4771 | ἔφη, 彼は-言いました G5346 | ὅταν 時に G3752 | καὶ また G2532 | οἱ — G3588 | κατήγοροί 告発者たちも G2725
σου あなたの G4771 | παραγένωνται, 到着した G3854 | κελεύσας 命じて G2753 | ἐν — G1722 | τῷ — G3588 | πραιτωρίῳ ヘロデの-官邸で G4232 | τοῦ — G3588 | Ἡρῴδου — G2264
φυλάσσεσθαι 守るように G5442 | αὐτόν. 彼を G0846

「訴え人たちがきた時に、おまえを調べることにする」と言った。そして、ヘロデの官邸に彼を守っておくように命じた。

Chapter 24

1 Μετὰ 後 G3326 | δὲ そして G1161 | πέντε 五 G4002 | ἡμέρας, 日 G2250 | κατέβη 下って-来ました G2597 | ὁ — G3588 | ἀρχιερεὺς 大祭司 G0749 | Ἁνανίας, アナニヤが G0367 | μετὰ — G3326
πρεσβυτέρων 長老たちと G4245 | τινῶν, ある G5100 | καὶ そして G2532 | ῥήτορος 弁護士 G4489 | Τερτύλλου テルテロという G5061 | τινός, ある G5100 | οἵτινες 彼らは G3748 | ἐνεφάνισαν 訴えました G1718 | τῷ — G3588
ἡγεμόνι 総督に G2232 | κατὰ — G2596 | τοῦ — G3588 | Παύλου. パウロを G3972

五日の後、大祭司アナニヤは、長老数名と、テルトロという弁護人とを連れて下り、総督にパウロを訴え出た。

2 κληθέντος δὲ αὐτοῦ, ἤρξατο κατηγορεῖν ὁ Τέρτυλλος, λέγων, Πολλῆς
呼ばれた–時 そして 彼が 始めました 告発することを — テルテロは 言って 大いなる
G2564 G1161 G0846 G0756 G2723 G3588 G5061 G3004 G4183

εἰρήνης τυγχάνοντες διὰ σοῦ, καὶ διορθωμάτων γινομένων τῷ
平和を 得ており — あなたに–より そして 改革が 行われており —
G1515 G5177 G1223 G4771 G2532 G1357 G1096 G3588

ἔθνει, τούτῳ διὰ τῆς σῆς προνοίας,
この–民に — — — あなたの 先見の–明に–よって
G1484 G3778 G1223 G3588 G4674 G4307

パウロが呼び出されたので、テルトロは論告を始めた。「ペリクス閣下、わたしたちが、閣下のお陰でじゅうぶんに平和を楽しみ、またこの国が、ご配慮によって、

3 πάντῃ τε καὶ πανταχοῦ, ἀποδεχόμεθα, κράτιστε Φῆλιξ,
あらゆる–場所で そして また どこでも 感謝を–もって–受け入れます 閣下 フェリクスよ
G3839 G5037 G2532 G3837 G0588 G2903 G5344

μετὰ πάσης εὐχαριστίας.
— すべての 感謝を–もって
G3326 G3956 G2169

あらゆる方面に、またいたるところで改善されていることは、わたしたちの感謝してやまないところであります。

4 ἵνα δὲ μὴ ἐπὶ πλεῖόν σε ἐνκόπτω, παρακαλῶ
しかし — — これ–以上 多く あなたを わずらわせないように お願いします
G2443 G1161 G3361 G1909 G4119 G4771 G1465 G3870

ἀκοῦσαί σε ἡμῶν συντόμως, τῇ σῇ ἐπιεικείᾳ.
聞いてくださるように あなたが 私たちの–話を 簡潔に — あなたの 寛大さに–より
G0191 G4771 G1473 G4935 G3588 G4674 G1932

しかし、ご迷惑をかけないように、くどくどと述べずに、手短かに申し上げますから、どうぞ、忍んでお聞き取りのほど、お願いいたします。

5 εὑρόντες γὰρ τὸν ἄνδρα τοῦτον λοιμὸν, καὶ κινοῦντα
見つけました なぜなら この 人が — 疫病の–ような–者であると そして 起こしている
G2147 G1063 G3588 G0435 G3778 G3061 G2532 G2795

στάσεις πᾶσιν τοῖς Ἰουδαίοις τοῖς κατὰ τὴν οἰκουμένην, πρωτοστάτην
騒動を すべての — ユダヤ人の–間で — — — 世界中の 首謀者であり
G4714 G3956 G3588 G2453 G3588 G2596 G3588 G3625 G4414

τε τῆς τῶν Ναζωραίων αἱρέσεως;
そして — — ナザレ人の 分派の
G5037 G3588 G3588 G3480 G0139

さて、この男は、疫病のような人間で、世界中のすべてのユダヤ人の中に騒ぎを起している者であり、また、ナザレ人らの異端のかしらであります。

6 ὃς καὶ τὸ ἱερὸν ἐπείρασεν βεβηλῶσαι, ὃν καὶ ἐκρατήσαμεν.
彼は また — 神殿を 試みました 汚すことを 彼を そこで 私たちは–捕らえました
G3739 G2532 G3588 G2411 G3985 G0953 G3739 G2532 G2902

{καὶ κατὰ τὸν ἡμέτερον νόμον ἠθελήσαμεν κρίνειν};
そして — 私たちの — 律法に–従って 望みました 裁くことを
G2532 G2596 G3588 G2251 G3551 G2309 G2919

この者が宮までも汚そうとしていたので、わたしたちは彼を捕縛したのです。〔そして、律法にしたがって、さばこうとしていたところ、

7	{παρελθὼν	δὲ	Λυσίας,	ὁ	χιλιαρχος,	μετὰ	πολλῆς	βίας,	ἐκ	τῶν
	しかし–来て	そして	リュシアス	—	千人隊長が	—	大きな	武力で	—	—
	G3928	G1161	G3079	G3588	G5506	G3326	G4183	G0970	G1537	G3588

χειρῶν	ἡμῶν	ἀπήγαγε},
手から	私たちの	連れ–去りました
G5495	G1473	G0520

千卒長ルシヤが干渉して、彼を無理にわたしたちの手から引き離してしまい、

8	{κελεύσας	τοὺς	κατηγόρους	αὐτοῦ	ἔρχεσθαι	ἐπὶ	σέ};		παρ’	οὗ
	命じて	—	告発者たちに	彼の	来るように	—	あなたの–もとへ		—	彼から
	G2753	G3588	G2725	G0846	G2064	G1909	G4771		G3844	G3739

δυνήσῃ	αὐτὸς,	ἀνακρίνας	περὶ	πάντων		τούτων,	ἐπιγνῶναι	
できるでしょう	あなた–自身が	取り調べて	—	すべての–ことについて		これらの	知ることが	
G1410	G0846	G0350	G4012	G3956		G3778	G1921	

ὧν	ἡμεῖς	κατηγοροῦμεν	αὐτοῦ.	
—	私たちが	訴えている	彼を	
G3739	G1473	G2723	G0846	

彼を訴えた人たちには、閣下のところに来るようにと命じました。〕それで、閣下ご自身でお調べになれば、わたしたちが彼を訴え出た理由が、全部おわかりになるでしょう」。

9	συνεπέθεντο	δὲ	καὶ	οἱ	Ἰουδαῖοι,	φάσκοντες	ταῦτα	
	同意しました	そして	また	—	ユダヤ人たちも	主張して	これらの–ことは	
	G4934	G1161	G2532	G3588	G2453	G5335	G3778	

οὕτως	ἔχειν.	
その–通りであると	—	
G3779	G2192	

ユダヤ人たちも、この訴えに同調して、全くそのとおりだと言った。

10	Ἀπεκρίθη	τε	ὁ	Παῦλος,	νεύσαντος	αὐτῷ	τοῦ	ἡγεμόνος,	λέγειν,	
	答えました	すると	—	パウロは	うなずいた–時	彼に	—	総督が	話すようにと	
	G0611	G5037	G3588	G3972	G3506	G0846	G3588	G2232	G3004	

Ἐκ	πολλῶν	ἐτῶν,	ὄντα	σε	κριτὴν	τῷ	ἔθνει	τούτῳ,	
—	多くの	年に–わたって	あることを	あなたが	裁判官であると	—	この–民の	—	
G1537	G4183	G2094	G1510	G4771	G2923	G3588	G1484	G3778	

ἐπιστάμενος,	εὐθύμως	τὰ	περὶ	ἐμαυτοῦ	ἀπολογοῦμαι.	
知っており	喜んで	—	—	私–自身に–ついて	弁明します	
G1987	G2115	G3588	G4012	G1683	G0626	

そこで、総督が合図をして発言を促したので、パウロは答弁して言った。「閣下が、多年にわたり、この国民の裁判をつかさどっておられることを、よく承知していますので、わたしは喜んで、自分のことを弁明いたします。

11	δυναμένου	σου	ἐπιγνῶναι	ὅτι	οὐ	πλείους	εἰσίν	μοι	ἡμέραι
	できるのです	あなたが	確認することが	—	—	十二	であると	私には	日は
	G1410	G4771	G1921	G3754	G3756	G4119	G1510	G1473	G2250

δώδεκα,	ἀφ’	ἧς	ἀνέβην	προσκυνήσων	εἰς	Ἰερουσαλήμ.	
以上ではないと	—	—	私が–上った–時から	礼拝するために	—	エルサレムに	
G1427	G0575	G3739	G0305	G4352	G1519	G2419	

お調べになればわかるはずですが、わたしが礼拝をしにエルサレムに上ってから、まだ十二日そこそこにしかなりません。

12

καὶ	οὔτε	ἐν	τῷ	ἱερῷ	εὗρόν	με	πρός	τινα
そして	—	—	—	神殿で	見つけませんでした	私を	—	誰とも
G2532	G3777	G1722	G3588	G2411	G2147	G1473	G4314	G5100

διαλεγόμενον,	ἢ	ἐπίστασιν	ποιοῦντα	ὄχλου,	οὔτε	ἐν	ταῖς	
論争している–ところを	あるいは	騒ぎを	起こしている–ところを	群衆の	—	—	—	
G1256	G2228	G1999	G4160	G3793	G3777	G1722	G3588	

συναγωγαῖς,	οὔτε	κατὰ	τὴν	πόλιν.
会堂でも	—	—	—	町の–中でも
G4864	G3777	G2596	G3588	G4172

そして、宮の内でも、会堂内でも、あるいは市内でも、わたしがだれかと争論したり、群衆を煽動したりするのを見たものはありませんし、

13

οὐδὲ	παραστῆσαι	δύνανταί	σοι,	περὶ	ὧν	νυνὶ	κατηγοροῦσίν	μου.	
できません	証明することも	—	あなたに	—	—	今	告発している–ことを	私を	
G3761	G3936	G1410	G4771	G4012	G3739	G3570	G2723	G1473	

今わたしを訴え出ていることについて、閣下の前に、その証拠をあげうるものはありません。

14

ὁμολογῶ	δὲ	τοῦτό	σοι,	ὅτι	κατὰ	τὴν	Ὁδὸν	ἣν	λέγουσιν
認めます	しかし	これを	あなたに	—	—	—	道に–従って	彼らが	言う
G3670	G1161	G3778	G4771	G3754	G2596	G3588	G3598	G3739	G3004

αἵρεσιν,	οὕτως	λατρεύω	τῷ	πατρῴῳ	Θεῷ,	πιστεύων	πᾶσι	τοῖς	κατὰ
分派と	そのように	仕えています	—	先祖の	神に	信じて	すべて	—	—
G0139	G3779	G3000	G3588	G3971	G2316	G4100	G3956	G3588	G2596

τὸν	νόμον,	καὶ	τοῖς	ἐν	τοῖς	προφήταις,	γεγραμμένοις,	
—	律法に–書かれている–ことを	そして	—	—	—	預言者たちに	書かれている–ことを	
G3588	G3551	G2532	G3588	G1722	G3588	G4396	G1125	

ただ、わたしはこの事は認めます。わたしは、彼らが異端だとしている道にしたがって、わたしたちの先祖の神に仕え、律法の教えるところ、また預言者の書に書いてあることを、ことごとく信じ、

15

ἐλπίδα	ἔχων	εἰς	τὸν	Θεόν,	ἣν	καὶ	αὐτοὶ	οὗτοι
望みを	持っています	—	—	神に–対する	—	また	彼ら–自身も	この
G1680	G2192	G1519	G3588	G2316	G3739	G2532	G0846	G3778

προσδέχονται,	ἀνάστασιν	μέλλειν	ἔσεσθαι,	δικαίων	τε	καὶ	ἀδίκων.
受け入れている	復活が	あると	—	義人の	も	そして	不義な–者のも
G4327	G0386	G3195	G1510	G1342	G5037	G2532	G0094

また、正しい者も正しくない者も、やがてよみがえるとの希望を、神を仰いでいだいているものです。この希望は、彼ら自身も持っているのです。

16

ἐν	τούτῳ	καὶ	αὐτὸς	ἀσκῶ,	ἀπρόσκοπον	συνείδησιν		
この–ことにおいて	—	また	私–自身も	努めています	つまずきのない	良心を		
G1722	G3778	G2532	G0846	G0778	G0677	G4893		

ἔχειν	πρὸς	τὸν	Θεὸν	καὶ	τοὺς	ἀνθρώπους,	διὰ	παντός.
持つことを	—	—	神と	そして	—	人々に–対して	—	常に
G2192	G4314	G3588	G2316	G2532	G3588	G0444	G1223	G3956

わたしはまた、神に対しまた人に対して、良心に責められることのないように、常に努めています。

17 δι’ ἐτῶν δὲ πλειόνων, ἐλεημοσύνας ποιήσων εἰς τὸ ἔθνος μου,
— 年を–経て そして 多くの 施しを するために — — 民に 私の
G1223 G2094 G1161 G4119 G1654 G4160 G1519 G3588 G1484 G1473

παρεγενόμην, καὶ προσφοράς,
私は–来ました そして 供え物を–するために
G3854 G2532 G4376

さてわたしは、幾年ぶりかに帰ってきて、同胞に施しをし、また、供え物をしていました。

18 ἐν αἷς εὗρόν με ἡγνισμένον ἐν τῷ ἱερῷ, οὐ μετὰ
その–最中に — 見つけました 私を 清めを–受けて — — 神殿で — —
G1722 G3739 G2147 G1473 G0048 G1722 G3588 G2411 G3756 G3326

ὄχλου, οὐδὲ μετὰ θορύβου. τινὲς δὲ ἀπὸ τῆς Ἀσίας
群衆も–なく — — 騒ぎも–なく しかし–ある — — — アジアからの
G3793 G3761 G3326 G2351 G5101 G1161 G0575 G3588 G0773

Ἰουδαῖοι,
ユダヤ人たちが
G2453

そのとき、彼らはわたしが宮できよめを行っているのを見ただけであって、群衆もいず、騒動もなかったのです。

19 οὓς ἔδει ἐπὶ σοῦ παρεῖναι καὶ κατηγορεῖν, εἴ τι
彼らこそ べきでした — あなたの–前に 入庭して そして 告発することが もし 何か
G3739 G1163 G1909 G4771 G3918 G2532 G2723 G1487 G5100

ἔχοιεν πρὸς ἐμέ.
持っているなら — 私に–対して
G2192 G4314 G1473

ところが、アジヤからきた数人のユダヤ人が――彼らが、わたしに対して、何かとがめ立てをすることがあったなら、よろしく閣下の前にきて、訴えるべきでした。

20 ἢ αὐτοὶ οὗτοι εἰπάτωσαν, τί εὗρον ἀδίκημα, στάντος
あるいは 彼ら–自身が この 言うべきです 何の 見つけたのか 不正を 立っていた–時に
G2228 G0846 G3778 G3004 G5101 G2147 G0092 G2476

μου ἐπὶ τοῦ συνεδρίου --
私が — — 議会の–前で
G1473 G1909 G3588 G4892

あるいは、何かわたしに不正なことがあったなら、わたしが議会の前に立っていた時、彼らみずから、それを指摘すべきでした。

21 ἢ περὶ μιᾶς ταύτης φωνῆς, ἧς ἐκέκραξα ἐν αὐτοῖς
ただ — 一つの この 言葉に–ついてだけです — 私が–叫びました — 彼らの–中で
G2228 G4012 G1520 G3778 G5456 G3739 G2896 G1722 G0846

ἑστὼς ὅτι: Περὶ ἀναστάσεως νεκρῶν ἐγὼ κρίνομαι σήμερον ἐφ’
立って — — 復活に–ついて 死者の 私は 裁かれているのです 今日 —
G2476 G3754 G4012 G0386 G3498 G1473 G2919 G4594 G1909

ὑμῶν.
あなたがたの–前で
G4771

ただ、わたしは、彼らの中に立って、『わたしは、死人のよみがえりのことで、きょう、あなたがたの前でさばきを受けているのだ』と叫んだだけのことです」。

22 Ἀνεβάλετο 延期しました G0306 δὲ すると G1161 αὐτοὺς, 彼らを G0846 ὁ — G3588 Φῆλιξ, フェリクスは G5344 ἀκριβέστερον より−正確に G0199 εἰδὼς 知っていて G1492 τὰ — G3588 περὶ — G4012

τῆς この G3588 Ὁδοῦ, 道に−ついて G3598 εἶπας, 言って G3004 Ὅταν 時に G3752 Λυσίας リュシアス G3079 ὁ — G3588 χιλίαρχος 千人隊長が G5506 καταβῇ, 下って−来たら G2597 διαγνώσομαι 判断しましょう G1231

τὰ — G3588 καθ’ — G2596 ὑμᾶς, あなたがたの−件を G4771

ここでペリクスは、この道のことを相当わきまえていたので、「千卒長ルシヤが下って来るのを待って、おまえたちの事件を判決することにする」と言って、裁判を延期した。

23 διαταξάμενος 命じて G1299 τῷ — G3588 ἑκατοντάρχῃ 百人隊長に G1543 τηρεῖσθαι 守るように G5083 αὐτὸν, 彼を G0846 ἔχειν 持つように G2192 τε そして G5037 ἄνεσιν, 自由を G0425 καὶ そして G2532

μηδένα 誰も G3367 κωλύειν 妨げないように G2967 τῶν — G3588 ἰδίων 身内の−者が G2398 αὐτοῦ 彼の G0846 ὑπηρετεῖν 世話することを G5256 αὐτῷ. 彼に G0846

そして百卒長に、パウロを監禁するように、しかし彼を寛大に取り扱い、友人らが世話をするのを止めないようにと、命じた。

24 Μετὰ 後 G3326 δὲ そして G1161 ἡμέρας 数日 G2250 τινὰς, ある G5100 παραγενόμενος やって−来て G3854 ὁ — G3588 Φῆλιξ フェリクスは G5344 σὺν — G4862 Δρουσίλλῃ, ドルシラと−共に G1409

τῇ — G3588 ἰδίᾳ 自分の G2398 γυναικὶ, 妻で G1135 οὔσῃ である G1510 Ἰουδαίᾳ, ユダヤ人の G2453 μετεπέμψατο 呼び寄せました G3343 τὸν — G3588 Παῦλον, パウロを G3972 καὶ そして G2532 ἤκουσεν 聞きました G0191

αὐτοῦ 彼から G0846 περὶ — G4012 τῆς — G3588 εἰς — G1519 Χριστὸν キリスト G5547 Ἰησοῦν イエスへの G2424 πίστεως. 信仰に−ついて G4102

数日たってから、ペリクスは、ユダヤ人である妻ドルシラと一緒にきて、パウロを呼び出し、キリスト・イエスに対する信仰のことを、彼から聞いた。

25 διαλεγομένου 論じている−時 G1256 δὲ そして G1161 αὐτοῦ 彼が G0846 περὶ — G4012 δικαιοσύνης, 義に−ついて G1343 καὶ そして G2532 ἐγκρατείας, 節制に−ついて G1466 καὶ そして G2532 τοῦ — G3588

κρίματος; 裁きに−ついて G2917 τοῦ — G3588 μέλλοντος 来たるべき G3195 ἔμφοβος 恐れて G1719 γενόμενος, なって G1096 ὁ — G3588 Φῆλιξ フェリクスは G5344 ἀπεκρίθη, 答えました G0611 Τὸ — G3588

νῦν 今は G3568 ἔχον もう G2192 πορεύου; 行きなさい G4198 καιρὸν 機会が G2540 δὲ そして G1161 μεταλαβὼν, あれば G3335 μετακαλέσομαί 呼びましょう G3333 σε. あなたを G4771

そこで、パウロが、正義、節制、未来の審判などについて論じていると、ペリクスは不安を感じてきて、言った、「きょうはこれで帰るがよい。また、よい機会を得たら、呼び出すことにする」。

26 ἅμα καὶ, ἐλπίζων ὅτι χρήματα δοθήσεται αὐτῷ ὑπὸ τοῦ
同時に また 望んでいました ― 金が 与えられることを 自分に ― ―
G0260 G2532 G1679 G3754 G5536 G1325 G0846 G5259 G3588

Παύλου, διὸ καὶ πυκνότερον αὐτὸν μεταπεμπόμενος, ὡμίλει αὐτῷ.
パウロから それゆえ また しばしば 彼を 呼び寄せて 話しました 彼と
G3972 G1352 G2532 G4437 G0846 G3343 G3656 G0846

彼は、それと同時に、パウロから金をもらいたい下ごころがあったので、たびたびパウロを呼び出しては語り合った。

27 Διετίας δὲ πληρωθείσης, ἔλαβεν διάδοχον ὁ Φῆλιξ, Πόρκιον
二年が そして 過ぎて 受けました 後任を ― フェリクスは ポルキオ
G1333 G1161 G4137 G2983 G1240 G3588 G5344 G4201

Φῆστον; θέλων τε χάριτα καταθέσθαι τοῖς Ἰουδαίοις, ὁ Φῆλιξ
フェストを 望んで そして 好意を 得ようと ― ユダヤ人たちから ― フェリクスは
G5347 G2309 G5037 G5485 G2698 G3588 G2453 G3588 G5344

κατέλιπε τὸν Παῦλον δεδεμένον.
残しました ― パウロを 縛られたまま
G2641 G3588 G3972 G1210

さて、二か年たった時、ポルキオ・フェストが、ペリクスと交代して任についた。ペリクスは、ユダヤ人の歓心を買おうと思って、パウロを監禁したままにしておいた。

Chapter 25

1 Φῆστος οὖν ἐπιβὰς τῇ ἐπαρχείᾳ, μετὰ τρεῖς ἡμέρας ἀνέβη
フェストは そこで 着任して ― 州に 後 三 日 上って–行きました
G5347 G3767 G1910 G3588 G1885 G3326 G5140 G2250 G0305

εἰς Ἱεροσόλυμα ἀπὸ Καισαρείας.
― エルサレムへ ― カイサリアから
G1519 G2414 G0575 G2542

さて、フェストは、任地に着いてから三日の後、カイザリヤからエルサレムに上ったところ、

2 ἐνεφάνισάν τε αὐτῷ, οἱ ἀρχιερεῖς καὶ οἱ πρῶτοι τῶν
訴えました そして 彼に ― 祭司長たちと そして ― 主だった–者たちが ―
G1718 G5037 G0846 G3588 G0749 G2532 G3588 G4413 G3588

Ἰουδαίων, κατὰ τοῦ Παύλου, καὶ παρεκάλουν αὐτὸν,
ユダヤ人の ― ― パウロを そして 懇願しました 彼に
G2453 G2596 G3588 G3972 G2532 G3870 G0846

祭司長たちやユダヤ人の重立った者たちが、パウロを訴え出て、

3 αἰτούμενοι χάριν κατ’ αὐτοῦ -- ὅπως μεταπέμψηται αὐτὸν εἰς
求めて 好意を ― 彼に–対して ― 呼び寄せるように 彼を ―
G0154 G5485 G2596 G0846 G3704 G3343 G0846 G1519

Ἱερουσαλήμ -- ἐνέδραν ποιοῦντες, ἀνελεῖν αὐτὸν κατὰ τὴν ὁδόν.
エルサレムへ 待ち伏せを 企てて 殺すために 彼を ― ― 途中で
G2419 G1747 G4160 G0337 G0846 G2596 G3588 G3598

彼をエルサレムに呼び出すよう取り計らっていただきたいと、しきりに願った。彼らは途中で待ち伏せして、彼を殺す考えであった。

4 ὁ μὲν οὖν Φῆστος ἀπεκρίθη, τηρεῖσθαι τὸν Παῦλον εἰς
しかし ― ― フェストは 答えました 守られていると ― パウロは ―
G3588 G3303 G3767 G5347 G0611 G5083 G3588 G3972 G1519

Καισάρειαν, ἑαυτὸν δὲ μέλλειν ἐν τάχει ἐκπορεύεσθαι.
カイサリアで 自分は そして する–つもりだと ― すぐに 出発する
G2542 G1438 G1161 G3195 G1722 G5034 G1607

ところがフェストは、パウロがカイザリヤに監禁してあり、自分もすぐそこへ帰ることになっていると答え、

5 Οἱ οὖν ἐν ὑμῖν, φησίν, δυνατοὶ συνκαταβάντες,
― それゆえ ― あなたがたの–中の 彼は–言いました 有力な–者たちが 共に–下って–来て
G3588 G3767 G1722 G4771 G5346 G1415 G4782

εἴ τί ἐστιν ἐν τῷ ἀνδρὶ ἄτοπον, κατηγορείτωσαν αὐτοῦ.
もし 何か あるなら ― この 人に 不正な–ことが 告発しなさい 彼を
G1487 G5100 G1510 G1722 G3588 G0435 G0824 G2723 G0846

そして言った、「では、もしあの男に何か不都合なことがあるなら、おまえたちのうちの有力者らが、わたしと一緒に下って行って、訴えるがよかろう」。

6 Διατρίψας δὲ ἐν αὐτοῖς ἡμέρας, οὐ πλείους ὀκτὼ ἢ
過ごして そして ― 彼らの–もとで 日を ― 以上ではない 八 あるいは
G1304 G1161 G1722 G0846 G2250 G3756 G4119 G3638 G2228

δέκα, καταβὰς εἰς Καισάρειαν, τῇ ἐπαύριον καθίσας ἐπὶ τοῦ βήματος,
十 下って–行き ― カイサリアへ ― 翌日 座って ― ― 裁判の–席に
G1176 G2597 G1519 G2542 G3588 G1887 G2523 G1909 G3588 G0968

ἐκέλευσεν τὸν Παῦλον ἀχθῆναι.
命じました ― パウロを 連れて–来るように
G2753 G3588 G3972 G0071

フェストは、彼らのあいだに八日か十日ほど滞在した後、カイザリヤに下って行き、その翌日、裁判の席について、パウロを引き出すように命じた。

7 παραγενομένου δὲ αὐτοῦ, περιέστησαν αὐτὸν οἱ ἀπὸ Ἱεροσολύμων
到着した–時 そして 彼が 囲みました 彼を ― ― エルサレムから
G3854 G1161 G0846 G4026 G0846 G3588 G0575 G2414

καταβεβηκότες Ἰουδαῖοι, πολλὰ καὶ βαρέα αἰτιώματα καταφέροντες, ἃ
下って–来た ユダヤ人たちが 多くの そして 重い 告発を 突きつけて それらを
G2597 G2453 G4183 G2532 G0926 G0157 G2702 G3739

οὐκ ἴσχυον ἀποδεῖξαι.
― できませんでした 証明することが
G3756 G2480 G0584

パウロが姿をあらわすと、エルサレムから下ってきたユダヤ人たちが、彼を取りかこみ、彼に対してさまざまの重い罪状を申し立てたが、いずれもその証拠をあげることはできなかった。

8 τοῦ Παύλου ἀπολογουμένου ὅτι: Οὔτε εἰς τὸν νόμον τῶν
― パウロが 弁明して ― ― ― ― 律法に–対しても ―
G3588 G3972 G0626 G3754 G3777 G1519 G3588 G3551 G3588

Ἰουδαίων, οὔτε εἰς τὸ ἱερὸν, οὔτε εἰς Καίσαρά, τι
ユダヤ人の ― ― ― 神殿に–対しても ― ― カイサルに–対しても 何も
G2453 G3777 G1519 G3588 G2411 G3777 G1519 G2541 G5100

ἥμαρτον.
罪を–犯していません
G0264

パウロは「わたしは、ユダヤ人の律法に対しても、宮に対しても、またカイザルに対しても、なんら罪を犯したことはない」と弁明した。

9 ὁ しかし G3588 Φῆστος フェストは G5347 δὲ, ― G1161 θέλων 望んで G2309 τοῖς ― G3588 Ἰουδαίοις ユダヤ人たちから G2453 χάριν 好意を G5485 καταθέσθαι, 得ようと G2698 ἀποκριθεὶς 答えて G0611

τῷ ― G3588 Παύλῳ, パウロに G3972 εἶπεν, 言いました G3004 Θέλεις 望みますか G2309 εἰς ― G1519 Ἰεροσόλυμα, エルサレムへ G2414 ἀναβὰς, 上って G0305 ἐκεῖ そこで G1563 περὶ ― G4012

τούτων これらの–ことについて G3778 κριθῆναι 裁かれることを G2919 ἐπ’ ― G1909 ἐμοῦ? 私の–前で G1473

ところが、フェストはユダヤ人の歓心を買おうと思って、パウロにむかって言った、「おまえはエルサレムに上り、この事件に関し、わたしからそこで裁判を受けることを承知するか」。

10 εἶπεν 言いました G3004 δὲ すると G1161 ὁ ― G3588 Παῦλος, パウロは G3972 Ἑστὼς 立っています G2476 «ἐπὶ ― G1909 τοῦ ― G3588 βήματος 裁判の–席に G0968 Καίσαρος» カイサルの G2541 εἰμι, 私は G1510

οὗ ここで G3757 με 私は G1473 δεῖ 裁かれるべきです G1163 κρίνεσθαι. ― G2919 Ἰουδαίους ユダヤ人たちに G2453 οὐδὲν 何も G3762 ἠδίκησα, 不正を–しませんでした G0091 ὡς ように G5613

καὶ また G2532 σὺ あなたも G4771 κάλλιον より–よく G2566 ἐπιγινώσκεις. 知っている–通りです G1921

パウロは言った、「わたしは今、カイザルの法廷に立っています。わたしはこの法廷で裁判されるべきです。よくご承知のとおり、わたしはユダヤ人たちに、何も悪いことをしてはいません。

11 εἰ もし G1487 μὲν 確かに G3303 οὖν ― G3767 ἀδικῶ, 不正を–しているなら G0091 καὶ そして G2532 ἄξιον 値する G0514 θανάτου 死に G2288 πέπραχά ことを–行ったなら G4238 τι, 何か G5100

οὐ ― G3756 παραιτοῦμαι 拒みません G3868 τὸ ― G3588 ἀποθανεῖν; 死ぬことを G0599 εἰ しかし–もし G1487 δὲ ― G1161 οὐδέν 何も G3762 ἐστιν ないなら G1510 ὧν ― G3739

οὗτοι この–人たちが G3778 κατηγοροῦσίν 告発している–ことに G2723 μου, 私を G1473 οὐδείς 誰も G3762 με 私を G1473 δύναται できません G1410 αὐτοῖς 彼らに G0846 χαρίσασθαι. 引き渡すことは G5483

Καίσαρα カイサルに G2541 ἐπικαλοῦμαι! 上訴します G1941

もしわたしが悪いことをし、死に当るようなことをしているのなら、死を免れようとはしません。しかし、もし彼らの訴えることに、なんの根拠もないとすれば、だれもわたしを彼らに引き渡す権利はありません。わたしはカイザルに上訴します」。

12 τότε その–時 G5119 ὁ ― G3588 Φῆστος, フェストは G5347 συλλαλήσας 協議して G4814 μετὰ ― G3326 τοῦ ― G3588 συμβουλίου, 参議官たちと G4824 ἀπεκρίθη, 答えました G0611 Καίσαρα カイサルに G2541

ἐπικέκλησαι, 上訴したのだから G1941 ἐπὶ ― G1909 Καίσαρα カイサルの–もとへ G2541 πορεύσῃ! 行くでしょう G4198

そこでフェストは、陪席の者たちと協議したうえ答えた、「おまえはカイザルに上訴を申し出た。カイザルのところに行くがよい」。

13 Ἡμερῶν δὲ διαγενομένων τινῶν, Ἀγρίππας ὁ βασιλεὺς καὶ Βερνίκη
日が そして 過ぎて ある アグリッパ — 王と そして ベルニケが
G2250 G1161 G1230 G5100 G0067 G3588 G0935 G2532 G0959

κατήντησαν εἰς Καισάρειαν, ἀσπασάμενοι τὸν Φῆστον.
到着しました — カイサリアに 挨拶して — フェストに
G2658 G1519 G2542 G0782 G3588 G5347

数日たった後、アグリッパ王とベルニケとが、フェストに敬意を表するため、カイザリヤにきた。

14 ὡς δὲ πλείους ἡμέρας διέτριβον ἐκεῖ, ὁ Φῆστος τῷ βασιλεῖ
そして — 多くの 日を 過ごしている–時 そこで — フェストは — 王に
G5613 G1161 G4119 G2250 G1304 G1563 G3588 G5347 G3588 G0935

ἀνέθετο τὰ κατὰ τὸν Παῦλον, λέγων, Ἀνήρ τίς ἐστιν
伝えました — — — パウロの–件を 言って ある–人が — います
G0394 G3588 G2596 G3588 G3972 G3004 G0435 G5100 G1510

καταλελειμμένος ὑπὸ Φήλικος δέσμιος,
残された — フェリクスに–よって 囚人として
G2641 G5259 G5344 G1198

ふたりは、そこに何日間も滞在していたので、フェストは、パウロのことを王に話して言った、「ここに、ペリクスが囚人として残して行ったひとりの男がいる。

15 περὶ οὗ, γενομένου μου εἰς Ἱεροσόλυμα, ἐνεφάνισαν οἱ ἀρχιερεῖς
— 彼に–ついて 行った–時 私が — エルサレムに 訴えました — 祭司長たちと
G4012 G3739 G1096 G1473 G1519 G2414 G1718 G3588 G0749

καὶ οἱ πρεσβύτεροι τῶν Ἰουδαίων, αἰτούμενοι κατ' αὐτοῦ καταδίκην;
そして — 長老たちが — ユダヤ人の 求めて — 彼に–対する 有罪判決を
G2532 G3588 G4245 G3588 G2453 G0154 G2596 G0846 G2613

わたしがエルサレムに行った時、この男のことを、祭司長たちやユダヤ人の長老たちが、わたしに報告し、彼を罪に定めるようにと要求した。

16 πρὸς οὓς ἀπεκρίθην ὅτι, οὐκ ἔστιν ἔθος Ῥωμαίοις χαρίζεσθαί
— 彼らに 私は–答えました — — ないと 習慣では ローマ人の 引き渡すことは
G4314 G3739 G0611 G3754 G3756 G1510 G1485 G4514 G5483

τινα ἄνθρωπον πρὶν ἢ ὁ κατηγορούμενος, κατὰ πρόσωπον ἔχοι τοὺς
ある 人を 前に — — 告発されている–者が 直接 対面して 持つ —
G5100 G0444 G4250 G2228 G3588 G2723 G2596 G4383 G2192 G3588

κατηγόρους τόπον, τε ἀπολογίας λάβοι περὶ τοῦ ἐγκλήματος.
告発者たちと 機会を そして 弁明の 得るまでは — — 告発に–ついて
G2725 G5117 G5037 G0627 G2983 G4012 G3588 G1462

そこでわたしは、彼らに答えた、『訴えられた者が、訴えた者の前に立って、告訴に対し弁明する機会を与えられない前に、その人を見放してしまうのは、ローマ人の慣例にはないことである』。

17 συνελθόντων οὖν [αὐτῶν] ἐνθάδε, ἀναβολὴν μηδεμίαν ποιησάμενος, τῇ
集まった–時 そこで 彼らが ここに 遅れ 何も なく —
G4905 G3767 G0846 G1759 G0311 G3367 G4160 G3588

ἑξῆς καθίσας ἐπὶ τοῦ βήματος, ἐκέλευσα ἀχθῆναι τὸν ἄνδρα,
次の–日に 座って — — 裁判の–席に 私は–命じました 連れて–来るように その 人を
G1836 G2523 G1909 G3588 G0968 G2753 G0071 G3588 G0435

それで、彼らがここに集まってきた時、わたしは時をうつさず、次の日に裁判の席について、その男を引き出させた。

18 περὶ 彼に–ついて G4012 οὗ, — G3739 σταθέντες, 立って G2476 οἱ — G3588 κατήγοροι 告発者たちは G2725 οὐδεμίαν 何の G3762 αἰτίαν 罪状も G0156 ἔφερον, 持って–こなかったのです G5342

ὧν — G3739 ἐγὼ 私が G1473 ὑπενόουν 思っていたような G5282 πονηρῶν. 悪い–ことの G4190

訴えた者たちは立ち上がったが、わたしが推測していたような悪事は、彼について何一つ申し立てはしなかった。

19 ζητήματα 問題を G2213 δέ しかし G1161 τινα ある G5100 περὶ — G4012 τῆς 自分たちの G3588 ἰδίας — G2398 δεισιδαιμονίας, 宗教に–ついて G1175 εἶχον 持っていました G2192 πρὸς — G4314

αὐτὸν, 彼に–対して G0846 καὶ そして G2532 περί — G4012 τινος ある G5100 Ἰησοῦ イエスという G2424 τεθνηκότος, 死んだ–者に–ついて G2348 ὃν — G3739 ἔφασκεν 主張していました G5335 ὁ — G3588

Παῦλος パウロは G3972 ζῆν. 生きていると G2198

ただ、彼と争い合っているのは、彼ら自身の宗教に関し、また、死んでしまったのに生きているとパウロが主張しているイエスなる者に関する問題に過ぎない。

20 ἀπορούμενος 困って G0639 δὲ, そして G1161 ἐγὼ 私は G1473 τὴν この G3588 περὶ — G4012 τούτων これらの–ことに–ついての G3778 ζήτησιν 調査に G2214 ἔλεγον, 尋ねました G3004

εἰ もし G1487 βούλοιτο 望むなら G1014 πορεύεσθαι 行くことを G4198 εἰς — G1519 Ἱεροσόλυμα, エルサレムへ G2414 κἀκεῖ そして–そこで G2546 κρίνεσθαι 裁かれることを G2919 περὶ — G4012

τούτων. これらの–ことについて G3778

これらの問題を、どう取り扱ってよいかわからなかったので、わたしは彼に、『エルサレムに行って、これらの問題について、そこでさばいてもらいたくはないか』と尋ねてみた。

21 τοῦ しかし G3588 δὲ — G1161 Παύλου, パウロが G3972 ἐπικαλεσαμένου 上訴して G1941 τηρηθῆναι 守られるようにと G5083 αὐτὸν 自分が G0846 εἰς — G1519 τὴν — G3588 τοῦ — G3588

Σεβαστοῦ 皇帝の G4575 διάγνωσιν, 判決まで G1233 ἐκέλευσα 私は–命じました G2753 τηρεῖσθαι 守るように G5083 αὐτὸν, 彼を G0846 ἕως するまで G2193 οὗ — G3739 ἀναπέμψω 送る G0375

αὐτὸν 彼を G0846 πρὸς — G4314 Καίσαρα. カイサルの–もとへ G2541

ところがパウロは、皇帝の判決を受ける時まで、このまま自分をとどめておいてほしいと言うので、カイザルに彼を送りとどける時までとどめておくようにと、命じておいた」。

22 Ἀγρίππας δὲ πρὸς τὸν Φῆστον, Ἐβουλόμην καὶ αὐτὸς τοῦ
アグリッパは そして ― ― フェストに 私も–望んでいました ― 自分でも その
G0067 G1161 G4314 G3588 G5347 G1014 G2532 G0846 G3588

ἀνθρώπου ἀκοῦσαι. Αὔριον, φησίν, ἀκούσῃ αὐτοῦ.
人の–話を 聞くことを 明日 彼は–言いました 聞けるでしょう 彼の–話を
G0444 G0191 G0839 G5346 G0191 G0846

そこで、アグリッパがフェストに「わたしも、その人の言い分を聞いて見たい」と言ったので、フェストは、「では、あす彼から聞きとるようにしてあげよう」と答えた。

23 Τῇ οὖν ἐπαύριον, ἐλθόντος τοῦ Ἀγρίππα καὶ τῆς Βερνίκης, μετὰ
そこで ― 翌日 来て ― アグリッパと そして ― ベルニケが ―
G3588 G3767 G1887 G2064 G3588 G0067 G2532 G3588 G0959 G3326

πολλῆς φαντασίας, καὶ εἰσελθόντων εἰς τὸ ἀκροατήριον, σύν τε
大きな 威光を–もって そして 入って ― ― 謁見の–場に ― ともに
G4183 G5325 G2532 G1525 G1519 G3588 G0201 G4862 G5037

χιλιάρχοις καὶ ἀνδράσιν τοῖς κατ’ ἐξοχὴν τῆς πόλεως, καὶ κελεύσαντος
千人隊長たちや そして 人々と ― ― 著名な ― 町の そして 命じると
G5506 G2532 G0435 G3588 G2596 G1851 G3588 G4172 G2532 G2753

τοῦ Φήστου, ἤχθη ὁ Παῦλος.
― フェストが 連れて–来られました ― パウロが
G3588 G5347 G0071 G3588 G3972

翌日、アグリッパとベルニケとは、大いに威儀をととのえて、千卒長たちや市の重立った人たちと共に、引見所にはいってきた。すると、フェストの命によって、パウロがそこに引き出された。

24 καί φησιν ὁ Φῆστος, Ἀγρίππα βασιλεῦ, καὶ πάντες οἱ
そして 言いました ― フェストは アグリッパ 王よ そして すべての ―
G2532 G5346 G3588 G5347 G0067 G0935 G2532 G3956 G3588

συμπαρόντες ἡμῖν, ἄνδρες, θεωρεῖτε τοῦτον, περὶ οὗ ἅπαν τὸ
同席している 私たちと 人々よ ご覧ください この–者を 彼に–ついて ― すべての ―
G4840 G1473 G0435 G2334 G3778 G4012 G3739 G0537 G3588

πλῆθος τῶν Ἰουδαίων ἐνέτυχόν μοι, ἔν τε Ἱεροσολύμοις καὶ ἐνθάδε,
群衆が ― ユダヤ人の 訴えました 私に ― そして エルサレムでも また ここでも
G4128 G3588 G2453 G1793 G1473 G1722 G5037 G2414 G2532 G1759

βοῶντες μὴ δεῖν αὐτὸν ζῆν μηκέτι.
叫んで ― べきではないと 彼が 生きることは もはや
G0994 G3361 G1163 G0846 G2198 G3371

そこで、フェストが言った、「アグリッパ王、ならびにご臨席の諸君。ごらんになっているこの人物は、ユダヤ人たちがこぞって、エルサレムにおいても、また、この地においても、これ以上、生かしておくべきでないと叫んで、わたしに訴え出ている者である。

25 ἐγὼ δὲ, κατελαβόμην μηδὲν ἄξιον αὐτὸν θανάτου πεπραχέναι,
私は しかし 認めました 何も 値する 彼が 死に ことを–行っていないと
G1473 G1161 G2638 G3367 G0514 G0846 G2288 G4238

αὐτοῦ δὲ τούτου ἐπικαλεσαμένου τὸν Σεβαστὸν, ἔκρινα πέμπειν,
彼–自身が そして この–者が 上訴したので ― 皇帝に 私は–決めました 送ることを
G0846 G1161 G3778 G1941 G3588 G4575 G2919 G3992

しかし、彼は死に当ることは何もしていないと、わたしは見ているのだが、彼自身が皇帝に上訴すると言い出したので、彼をそちらへ送ることに決めた。

26	περὶ	οὗ,	ἀσφαλές	τι	γράψαι	τῷ	κυρίῳ,	οὐκ	ἔχω.	διὸ
	彼に–ついて	—	確かな	ことを	書くことが	—	主人に	—	ありません	それゆえ
	G4012	G3739	G0804	G5100	G1125	G3588	G2962	G3756	G2192	G1352

προήγαγον	αὐτὸν	ἐφ’	ὑμῶν,	καὶ	μάλιστα	ἐπὶ	σοῦ,		
連れて–来ました	彼を	—	あなたがたの–前に	そして	特に	—	あなたの–前に		
G4254	G0846	G1909	G4771	G2532	G3122	G1909	G4771		

βασιλεῦ	Ἀγρίππα,	ὅπως	τῆς	ἀνακρίσεως	γενομένης,	σχῶ	τί	γράψω.	
王よ	アグリッパ	—	—	取り調べが	行われた–後	得るために	何か	書くべき–ことを	
G0935	G0067	G3704	G3588	G0351	G1096	G2192	G5101	G1125	

ところが、彼について、主君に書きおくる確かなものが何もないので、わたしは、彼を諸君の前に、特に、アグリッパ王よ、あなたの前に引き出して、取調べをしたのち、上書すべき材料を得ようと思う。

27	ἄλογον	γάρ	μοι	δοκεῖ	πέμποντα	δέσμιον,	μὴ	καὶ	τὰς	κατ’
	不合理に	なぜなら	私には	思われます	送るのに	囚人を	—	また	—	—
	G0249	G1063	G1473	G1380	G3992	G1198	G3361	G2532	G3588	G2596

αὐτοῦ	αἰτίας	σημᾶναι.	
彼に–対する	罪状を	示さないことは	
G0846	G0156	G4591	

囚人を送るのに、その告訴の理由を示さないということは、不合理だと思えるからである」。

Chapter 26

1	Ἀγρίππας	δὲ	πρὸς	τὸν	Παῦλον	ἔφη,	Ἐπιτρέπεταί	σοι	ὑπὲρ	
	アグリッパは	そして	—	—	パウロに	言いました	許されています	あなたに	—	
	G0067	G1161	G4314	G3588	G3972	G5346	G2010	G4771	G5228	

σεαυτοῦ	λέγειν.	τότε	ὁ	Παῦλος,	ἐκτείνας	τὴν	χεῖρα,	ἀπελογεῖτο:	
自分の–ために	語ることが	その–時	—	パウロは	伸ばして	—	手を	弁明しました	
G4572	G3004	G5119	G3588	G3972	G1614	G3588	G5495	G0626	

アグリッパはパウロに、「おまえ自身のことを話してもよい」と言った。そこでパウロは、手をさし伸べて、弁明をし始めた。

2	Περὶ	πάντων	ὧν	ἐγκαλοῦμαι	ὑπὸ	Ἰουδαίων,	βασιλεῦ	Ἀγρίππα,	
	—	すべての–ことについて	—	告発されている	—	ユダヤ人たちに	王よ	アグリッパ	
	G4012	G3956	G3739	G1458	G5259	G2453	G0935	G0067	

ἡγημαι	ἐμαυτὸν	μακάριον	ἐπὶ	σοῦ,	μέλλων	σήμερον	ἀπολογεῖσθαι.	
思っています	私–自身を	幸いだと	—	あなたの–前で	これから	今日	弁明することを	
G2233	G1683	G3107	G1909	G4771	G3195	G4594	G0626	

「アグリッパ王よ、ユダヤ人たちから訴えられているすべての事に関して、きょう、あなたの前で弁明することになったのは、わたしのしあわせに思うところであります。

3	μάλιστα	γνώστην	ὄντα	σε	πάντων	τῶν	κατὰ	Ἰουδαίους	ἐθῶν,	τε
	特に	精通している	であると	あなたが	すべての	—	—	ユダヤ人の	慣習に	そして
	G3122	G1109	G1510	G4771	G3956	G3588	G2596	G2453	G1485	G5037

καὶ	ζητημάτων;	διὸ	δέομαι,	μακροθύμως	ἀκοῦσαί	μου.	
また	論争にも	それゆえ	お願いします	忍耐を–もって	聞いてくださるように	私の–話を	
G2532	G2213	G1352	G1189	G3116	G0191	G1473	

あなたは、ユダヤ人のあらゆる慣例や問題を、よく知り抜いておられるかたですから、わたしの申すことを、寛大なお心で聞いていただきたいのです。

4 Τὴν その G3588 | μὲν 確かに G3303 | οὖν — G3767 | βίωσίν 生き方を G0981 | μου, 私の G1473 | ‹τὴν› — G3588 | ἐκ — G1537 | νεότητος, 若い-時からの G3503 | τὴν その G3588 | ἀπ’ — G0575 | ἀρχῆς 初めから G0746

γενομένην 過ごした G1096 | ἐν — G1722 | τῷ — G3588 | ἔθνει 民の-中で G1484 | μου, 私の G1473 | ἔν — G1722 | τε そして G5037 | Ἱεροσολύμοις, エルサレムで G2414 | ἴσασι 知っています G1492 | πάντες すべての G3956

[οἱ] — G3588 | Ἰουδαῖοι, ユダヤ人たちが G2453

さて、わたしは若い時代には、初めから自国民の中で、またエルサレムで過ごしたのですが、そのころのわたしの生活ぶりは、ユダヤ人がみんなよく知っているところです。

5 προγινώσκοντές 知っている G4267 | με 私を G1473 | ἄνωθεν, 以前から G0509 | ἐὰν もし G1437 | θέλωσι 望むなら G2309 | μαρτυρεῖν, 証言することを G3140 | ὅτι — G3754 | κατὰ — G2596 | τὴν — G3588

ἀκριβεστάτην 最も-厳格な G0196 | αἱρεσιν 分派に-従い G0139 | τῆς — G3588 | ἡμετέρας 私たちの G2251 | θρησκείας, 宗教の G2356 | ἔζησα 私は-生きました G2198 | Φαρισαῖος. パリサイ人として G5330

彼らはわたしを初めから知っているので、証言しようと思えばできるのですが、わたしは、わたしたちの宗教の最も厳格な派にしたがって、パリサイ人としての生活をしていたのです。

6 καὶ そして G2532 | νῦν 今 G3568 | ἐπ’ — G1909 | ἐλπίδι 望みの-ゆえに G1680 | τῆς その G3588 | εἰς — G1519 | τοὺς — G3588 | πατέρας 先祖たちへの G3962 | ἡμῶν 私たちの G1473 | ἐπαγγελίας, 約束の G1860

γενομένης なされた G1096 | ὑπὸ — G5259 | τοῦ — G3588 | Θεοῦ, 神に-よって G2316 | ἕστηκα 私は-立っています G2476 | κρινόμενος, 裁かれて G2919

今わたしは、神がわたしたちの先祖に約束なさった希望をいだいているために、裁判を受けているのであります。

7 εἰς — G1519 | ἣν それに G3739 | τὸ — G3588 | δωδεκάφυλον 十二-部族が G1429 | ἡμῶν 私たちの G1473 | ἐν — G1722 | ἐκτενείᾳ, 熱心に G1616 | νύκτα 夜も G3571 | καὶ そして G2532 | ἡμέραν, 昼も G2250

λατρεῦον, 仕えて G3000 | ἐλπίζει 望んでいる G1679 | καταντῆσαι; 達することを G2658 | περὶ この G4012 | ἧς — G3739 | ἐλπίδος 望みの-ゆえに G1680 | ἐγκαλοῦμαι 私は-告発されています G1458 | ὑπὸ — G5259

Ἰουδαίων, ユダヤ人たちに G2453 | βασιλεῦ. 王よ G0935

わたしたちの十二の部族は、夜昼、熱心に神に仕えて、その約束を得ようと望んでいるのです。王よ、この希望のために、わたしはユダヤ人から訴えられています。

8 τί なぜ G5101 | ἄπιστον 信じがたいと G0571 | κρίνεται 判断されるのですか G2919 | παρ’ — G3844 | ὑμῖν, あなたがたの-間で G4771 | εἰ もし G1487 | ὁ — G3588 | Θεὸς 神が G2316 | νεκροὺς 死者を G3498

ἐγείρει? よみがえらせるなら G1453

神が死人をよみがえらせるということが、あなたがたには、どうして信じられないことと思えるのでしょうか。

9

ἐγὼ	μὲν	οὖν	ἔδοξα	ἐμαυτῷ	πρὸς	τὸ	ὄνομα	Ἰησοῦ	τοῦ
私は	確かに	—	思いました	自分に	—	その	名に-対して	イエス	—
G1473	G3303	G3767	G1380	G1683	G4314	G3588	G3686	G2424	G3588

Ναζωραίου,	δεῖν	πολλὰ	ἐναντία	πρᾶξαι.
ナザレの	すべきだと	多くの	敵対的な-ことを	行う
G3480	G1163	G4183	G1727	G4238

わたし自身も、以前には、ナザレ人イエスの名に逆らって反対の行動をすべきだと、思っていました。

10

ὃ	καὶ	ἐποίησα	ἐν	Ἰεροσολύμοις;	καὶ	πολλούς	τε	τῶν
それを	また	行いました	—	エルサレムで	そして	多くの	—	—
G3739	G2532	G4160	G1722	G2414	G2532	G4183	G5037	G3588

ἁγίων	ἐγὼ	ἐν	φυλακαῖς	κατέκλεισα,	τὴν	παρὰ	τῶν	ἀρχιερέων
聖なる-者たちを	私は	—	牢獄に	閉じ込めました	その	—	—	祭司長たちから
G0040	G1473	G1722	G5438	G2623	G3588	G3844	G3588	G0749

ἐξουσίαν	λαβών;	ἀναιρουμένων	τε	αὐτῶν,	κατήνεγκα	ψῆφον.
権威を	受けて	殺される-時には	そして	彼らの	私は-投じました	賛成の-票を
G1849	G2983	G0337	G5037	G0846	G2702	G5586

そしてわたしは、それをエルサレムで敢行し、祭司長たちから権限を与えられて、多くの聖徒たちを獄に閉じ込め、彼らが殺される時には、それに賛成の意を表しました。

11

καὶ	κατὰ	πάσας	τὰς	συναγωγὰς,	πολλάκις	τιμωρῶν	αὐτοὺς,	ἠνάγκαζον
そして	—	すべての	—	会堂で	しばしば	罰して	彼らを	強いました
G2532	G2596	G3956	G3588	G4864	G4178	G5097	G0846	G0315

βλασφημεῖν.	περισσῶς	τε	ἐμμαινόμενος	αὐτοῖς,	ἐδίωκον	ἕως	καὶ
冒瀆するようにと	非常に	そして	狂って	彼らに-対して	迫害しました	まで	また
G0987	G4057	G5037	G1693	G0846	G1377	G2193	G2532

εἰς	τὰς	ἔξω	πόλεις,
—	—	外の	町々までも
G1519	G3588	G1854	G4172

それから、いたるところの会堂で、しばしば彼らを罰して、無理やりに神をけがす言葉を言わせようとし、彼らに対してひどく荒れ狂い、ついに外国の町々にまで、迫害の手をのばすに至りました。

12

Ἐν	οἷς,	πορευόμενος	εἰς	τὴν	Δαμασκὸν,	μετ’	ἐξουσίας	καὶ
その-中で	—	旅している-時	—	—	ダマスコへ	—	権威と	そして
G1722	G3739	G4198	G1519	G3588	G1154	G3326	G1849	G2532

ἐπιτροπῆς	τῆς	τῶν	ἀρχιερέων,
委任を-もって	—	—	祭司長たちからの
G2011	G3588	G3588	G0749

こうして、わたしは、祭司長たちから権限と委任とを受けて、ダマスコに行ったのですが、

13

ἡμέρας	μέσης	κατὰ	τὴν	ὁδὸν	εἶδον,	βασιλεῦ,	οὐρανόθεν	ὑπὲρ,	τὴν
真昼に	—	—	—	道の-途中で	見ました	王よ	天から	—	—
G2250	G3319	G2596	G3588	G3598	G3708	G0935	G3771	G5228	G3588

λαμπρότητα	τοῦ	ἡλίου,	περιλάμψαν	με,	φῶς;	καὶ	τοὺς	σὺν	ἐμοὶ
輝きを-超える	—	太陽の	照らした	私を	光が	そして	—	—	私と-共に
G2987	G3588	G2246	G4034	G1473	G5457	G2532	G3588	G4862	G1473

πορευομένους.
旅している-者たちを
G4198

王よ、その途中、真昼に、光が天からさして来るのを見ました。それは、太陽よりも、もっと光り輝いて、わたしと同行者たちとをめぐり照しました。

14

πάντων	τε	καταπεσόντων	ἡμῶν	εἰς	τὴν	γῆν,	ἤκουσα	φωνὴν,
皆が	そして	倒れた-時	私たちが	—	—	地面に	聞きました	声が
G3956	G5037	G2667	G1473	G1519	G3588	G1093	G0191	G5456

λέγουσαν	πρός	με	τῇ	Ἑβραΐδι	διαλέκτῳ,	Σαοὺλ,	Σαούλ,	τί	με
言っているのを	—	私に	—	ヘブライ語の	言葉で	サウロよ	サウロよ	なぜ	私を
G3004	G4314	G1473	G3588	G1446	G1258	G4549	G4549	G5101	G1473

διώκεις?	σκληρόν	σοι	πρὸς	κέντρα	λακτίζειν.
迫害するのか	困難だ	あなたには	—	突き棒に-対して	蹴ることは
G1377	G4642	G4771	G4314	G2759	G2979

わたしたちはみな地に倒れましたが、その時ヘブル語でわたしにこう呼びかける声を聞きました、『サウロ、サウロ、なぜわたしを迫害するのか。とげのあるむちをければ、傷を負うだけである』。

15

ἐγὼ	δὲ	εἶπα,	Τίς	εἶ,	Κύριε?	ὁ	δὲ	Κύριος	εἶπεν,
私は	そして	言いました	どなたですか	—	主よ	すると	—	主は	言われました
G1473	G1161	G3004	G5101	G1510	G2962	G3588	G1161	G2962	G3004

Ἐγώ	εἰμι	Ἰησοῦς,	ὃν	σὺ	διώκεις.
私は	である	イエス	あなたが	—	迫害している-者だ
G1473	G1510	G2424	G3739	G4771	G1377

そこで、わたしが『主よ、あなたはどなたですか』と尋ねると、主は言われた、『わたしは、あなたが迫害しているイエスである。

16

ἀλλὰ	ἀνάστηθι,	καὶ	στῆθι	ἐπὶ	τοὺς	πόδας	σου;	εἰς
しかし	立ち上がりなさい	そして	立ちなさい	—	あなたの	足の-上に	—	—
G0235	G0450	G2532	G2476	G1909	G3588	G4228	G4771	G1519

τοῦτο	γὰρ,	ὤφθην	σοι,	προχειρίσασθαί	σε	ὑπηρέτην,	καὶ
この-ために	なぜなら	現れました	あなたに	任命するために	あなたを	仕え人として	そして
G3778	G1063	G3708	G4771	G4400	G4771	G5257	G2532

μάρτυρα,	ὧν	τε	εἰδές	με,	ὧν	τε	ὀφθήσομαί	σοι,
証人として	あなたが	そして	見た-ことの	私を	これから	そして	現れる-ことの	あなたに
G3144	G3739	G5037	G3708	G1473	G3739	G5037	G3708	G4771

さあ、起きあがって、自分の足で立ちなさい。わたしがあなたに現れたのは、あなたがわたしに会った事と、あなたに現れて示そうとしている事とをあかしし、これを伝える務に、あなたを任じるためである。

17

ἐξαιρούμενός	σε	ἐκ	τοῦ	λαοῦ	καὶ	ἐκ	τῶν	ἐθνῶν,	εἰς
救い-出して	あなたを	—	—	民から	そして	—	—	異邦人から	—
G1807	G4771	G1537	G3588	G2992	G2532	G1537	G3588	G1484	G1519

οὓς	ἐγὼ	ἀποστέλλω	σε,
彼らの-もとへ	私が	遣わす	あなたを
G3739	G1473	G0649	G4771

わたしは、この国民と異邦人との中から、あなたを救い出し、あらためてあなたを彼らにつかわすが、

18 ἀνοῖξαι ὀφθαλμοὺς αὐτῶν, τοῦ ἐπιστρέψαι ἀπὸ σκότους εἰς φῶς,
開くために 目を 彼らの ― 立ち帰らせるために ― 闇から ― 光へ
G0455 G3788 G0846 G3588 G1994 G0575 G4655 G1519 G5457

καὶ τῆς ἐξουσίας τοῦ Σατανᾶ ἐπὶ τὸν Θεόν, τοῦ λαβεῖν αὐτοὺς
そして ― 権威から ― サタンの ― ― 神の–もとへ ― 受けるために 彼らが
G2532 G3588 G1849 G3588 G4567 G1909 G3588 G2316 G3588 G2983 G0846

ἄφεσιν ἁμαρτιῶν, καὶ κλῆρον ἐν τοῖς ἡγιασμένοις πίστει
赦しと 罪の そして 受け継ぎを ― ― 聖められた–者たちの–中に 信仰に–よって
G0859 G0266 G2532 G2819 G1722 G3588 G0037 G4102

τῇ εἰς ἐμέ.
― ― 私への
G3588 G1519 G1473

それは、彼らの目を開き、彼らをやみから光へ、悪魔の支配から神のみもとへ帰らせ、また、彼らが罪のゆるしを得、わたしを信じる信仰によって、聖別された人々に加わるためである』。

19 Ὅθεν, βασιλεῦ Ἀγρίππα, οὐκ ἐγενόμην ἀπειθὴς τῇ οὐρανίῳ
そこで 王よ アグリッパ ― 私は–なりませんでした 従わない–者に ― 天からの
G3606 G0935 G0067 G3756 G1096 G0545 G3588 G3770

ὀπτασίᾳ;
幻に
G3701

それですから、アグリッパ王よ、わたしは天よりの啓示にそむかず、

20 ἀλλὰ τοῖς ἐν Δαμασκῷ πρῶτόν, τε καὶ Ἱεροσολύμοις
それどころか ― ― ダマスコで–まず 最初に そして それから エルサレムで
G0235 G3588 G1722 G1154 G4412 G5037 G2532 G2414

πᾶσάν, τε τὴν χώραν τῆς Ἰουδαίας, καὶ τοῖς ἔθνεσιν, ἀπήγγελλον
そして–すべての ― ― 地方で ― ユダヤの そして ― 異邦人に 告げました
G3956 G5037 G3588 G5561 G3588 G2449 G2532 G3588 G1484 G0518

μετανοεῖν καὶ ἐπιστρέφειν ἐπὶ τὸν Θεόν, ἄξια τῆς μετανοίας ἔργα
悔い改めて そして 立ち帰るように ― ― 神に ふさわしい ― 悔い改めに 行いを
G3340 G2532 G1994 G1909 G3588 G2316 G0514 G3588 G3341 G2041

πράσσοντας.
行うようにと
G4238

まず初めにダマスコにいる人々に、それからエルサレムにいる人々、さらにユダヤ全土、ならびに異邦人たちに、悔い改めて神に立ち帰り、悔改めにふさわしいわざを行うようにと、説き勧めました。

21 ἕνεκα τούτων, με Ἰουδαῖοι συλλαβόμενοι, [ὄντα] ἐν τῷ
これらの–ことの–ゆえに ― 私を ユダヤ人たちが 捕らえて いた–時に ― ―
G1752 G3778 G1473 G2453 G4815 G1510 G1722 G3588

ἱερῷ, ἐπειρῶντο διαχειρίσασθαι.
神殿で 試みました 殺すことを
G2411 G3987 G1315

そのために、ユダヤ人は、わたしを宮で引き捕えて殺そうとしたのです。

22 ἐπικουρίας οὖν τυχὼν τῆς ἀπὸ τοῦ Θεοῦ ἄχρι τῆς ἡμέρας ταύτης,
助けを それゆえ 得て ― ― ― 神からの この ― 日まで ―
G1947 G3767 G5177 G3588 G0575 G3588 G2316 G0891 G3588 G2250 G3778

ἕστηκα, μαρτυρόμενος μικρῷ τε καὶ μεγάλῳ, οὐδὲν
私は-立っています 証しして 小さな-者にも そして そして 大きな-者にも 何も
G2476 G3143 G3398 G5037 G2532 G3173 G3762

ἐκτὸς λέγων, ὧν τε οἱ προφῆται ἐλάλησαν μελλόντων γίνεσθαι,
以外の-ことを 語らず ― そして ― 預言者たちが 語った 起こると ―
G1622 G3004 G3739 G5037 G3588 G4396 G2980 G3195 G1096

καὶ Μωϋσῆς:
そして モーセも
G2532 G3475

しかし、わたしは今日に至るまで神の加護を受け、このように立って、小さい者にも大きい者にもあかしをなし、預言者たちやモーセが、今後起るべきだと語ったことを、そのまま述べてきました。

23 εἰ παθητὸς ὁ Χριστός; εἰ πρῶτος ἐξ ἀναστάσεως
すなわち 苦しみを-受けるか ― キリストが すなわち 最初に ― 復活から
G1487 G3805 G3588 G5547 G1487 G4413 G1537 G0386

νεκρῶν, φῶς μέλλει καταγγέλλειν τῷ τε λαῷ, καὶ τοῖς ἔθνεσιν.
死者の 光を 告げる ― ― そして 民にも そして ― 異邦人にも
G3498 G5457 G3195 G2605 G3588 G5037 G2992 G2532 G3588 G1484

すなわち、キリストが苦難を受けること、また、死人の中から最初によみがえって、この国民と異邦人とに、光を宣べ伝えるに至ることを、あかししたのです」。

24 Ταῦτα δὲ αὐτοῦ ἀπολογουμένου, ὁ Φῆστος μεγάλῃ τῇ φωνῇ
これらの-ことを そして 彼が 弁明している-時 ― フェストは 大きな ― 声で
G3778 G1161 G0846 G0626 G3588 G5347 G3173 G3588 G5456

φησιν, Μαίνῃ, Παῦλε! τὰ πολλά σε γράμματα, εἰς μανίαν
言いました 気が-狂っている パウロよ ― 多くの あなたを 学問が ― 狂気に
G5346 G3105 G3972 G3588 G4183 G4771 G1121 G1519 G3130

περιτρέπει!
追いやっている
G4062

パウロがこのように弁明をしていると、フェストは大声で言った、「パウロよ、おまえは気が狂っている。博学が、おまえを狂わせている」。

25 ὁ δὲ Παῦλος, Οὐ μαίνομαι, φησίν, κράτιστε Φῆστε,
しかし ― パウロは ― 狂っては-いません 言いました 閣下 フェストよ
G3588 G1161 G3972 G3756 G3105 G5346 G2903 G5347

ἀλλὰ ἀληθείας καὶ σωφροσύνης ῥήματα ἀποφθέγγομαι.
それどころか 真理の そして 健全な 言葉を 述べています
G0235 G0225 G2532 G4997 G4487 G0669

パウロが言った、「フェスト閣下よ、わたしは気が狂ってはいません。わたしは、まじめな真実の言葉を語っているだけです。

26 ἐπίσταται γὰρ περὶ τούτων ὁ βασιλεύς, πρὸς ὃν καὶ
知っています なぜなら ― これらの-ことに-ついて ― 王は ― その-方に また
G1987 G1063 G4012 G3778 G3588 G0935 G4314 G3739 G2532

παρρησιαζόμενος λαλῶ. λανθάνειν γὰρ αὐτὸν [τι] τούτων
大胆に 私は-語ります 隠れているとは なぜなら その-方に 何も これらの-ことが
G3955 G2980 G2990 G1063 G0846 G5100 G3778

οὐ. πείθομαι οὐθέν οὐ γάρ ἐστιν ἐν γωνίᾳ πεπραγμένον,
― 私は-信じます 何も ― なぜなら ないのです ― 片隠で 行われた-ことでは
G3756 G3982 G3762 G3756 G1063 G1510 G1722 G1137 G4238

τοῦτο.
これは
G3778

王はこれらのことをよく知っておられるので、王に対しても、率直に申し上げているのです。それは、片すみで行われたのではないのですから、一つとして、王が見のがされたことはないと信じます。

27 πιστεύεις, βασιλεῦ Ἀγρίππα, τοῖς προφήταις? οἶδα ὅτι πιστεύεις.
信じますか 王よ アグリッパ ― 預言者たちを 知っています ― 信じておられると
G4100 G0935 G0067 G3588 G4396 G1492 G3754 G4100

アグリッパ王よ、あなたは預言者を信じますか。信じておられると思います」。

28 ὁ δὲ Ἀγρίππας πρὸς τὸν Παῦλον, Ἐν ὀλίγῳ με
すると ― アグリッパは ― ― パウロに ― わずかの-ことで 私を
G3588 G1161 G0067 G4314 G3588 G3972 G1722 G3641 G1473

πείθεις Χριστιανὸν ποιῆσαι?
説得しようとするのか キリスト者に なるように
G3982 G5546 G4160

アグリッパがパウロに言った、「おまえは少し説いただけで、わたしをクリスチャンにしようとしている」。

29 ὁ δὲ Παῦλος, Εὐξαίμην ἂν τῷ Θεῷ, καὶ ἐν ὀλίγῳ καὶ
すると ― パウロは 祈ります ― ― 神に そして ― わずかであれ そして
G3588 G1161 G3972 G2172 G0302 G3588 G2316 G2532 G1722 G3641 G2532

ἐν μεγάλῳ, οὐ μόνον σὲ ἀλλὰ καὶ πάντας τοὺς
― 大いにであれ ― ただ あなただけでなく それどころか また すべての ―
G1722 G3173 G3756 G3440 G4771 G0235 G2532 G3956 G3588

ἀκούοντάς μου σήμερον, γενέσθαι τοιούτους ὁποῖος καὶ ἐγώ
聞いている-人々が 私の-話を 今日 なることを このような-者に 同じような-者に また 私が
G0191 G1473 G4594 G1096 G5108 G3697 G2532 G1473

εἰμι -- παρεκτὸς τῶν δεσμῶν τούτων.
である-ように 除いて この 鏈を ―
G1510 G3924 G3588 G1199 G3778

パウロが言った、「説くことが少しであろうと、多くであろうと、わたしが神に祈るのは、ただあなただけでなく、きょう、わたしの言葉を聞いた人もみな、わたしのようになって下さることです。このような鎖は別ですが」。

30 Ἀνέστη τε ὁ βασιλεὺς, καὶ ὁ ἡγεμὼν, ἥ τε Βερνίκη,
立ち上がりました そして ― 王と そして ― 総督と そして ― ベルニケと
G0450 G5037 G3588 G0935 G2532 G3588 G2232 G3588 G5037 G0959

καὶ οἱ συνκαθήμενοι αὐτοῖς,
そして ― 同席していた-者たちが 彼らと
G2532 G3588 G4775 G0846

それから、王も総督もベルニケも、また列席の人々も、みな立ちあがった。

31 καὶ ἀναχωρήσαντες ἐλάλουν πρὸς ἀλλήλους λέγοντες ὅτι, Οὐδὲν
そして 退いて 語り合いました ― 互いに 言って ― 何も
G2532 G0402 G2980 G4314 G0240 G3004 G3754 G3762

θανάτου, ἢ δεσμῶν ἄξιον ‹τι›, πράσσει ὁ ἄνθρωπος οὗτος.
死や あるいは 投獄に 値する ことを していない この 人は ―
G2288 G2228 G1199 G0514 G5100 G4238 G3588 G0444 G3778

退場してから、互に語り合って言った、「あの人は、死や投獄に当るようなことをしてはいない」。

32 Ἀγρίππας δὲ τῷ Φήστῳ ἔφη, Ἀπολελύσθαι ἐδύνατο ὁ
アグリッパは そして ― フェストに 言いました 釈放できたのに できました この
G0067 G1161 G3588 G5347 G5346 G0630 G1410 G3588

ἄνθρωπος οὗτος, εἰ μὴ ἐπεκέκλητο Καίσαρα.
人は ― もし ― 上訴していなければ カイサルに
G0444 G3778 G1487 G3361 G1941 G2541

そして、アグリッパがフェストに言った、「あの人は、カイザルに上訴していなかったら、ゆるされたであろうに」。

Chapter 27

1 Ὡς δὲ ἐκρίθη τοῦ ἀποπλεῖν ἡμᾶς εἰς τὴν Ἰταλίαν,
そして さて 決定された–とき この 出航すること 私たちが へ この イタリア
G5613 G1161 G2919 G3588 G0636 G1473 G1519 G3588 G2482

παρεδίδουν τόν τε Παῦλον καί τινας ἑτέρους δεσμώτας ἑκατοντάρχῃ,
引き渡した この そして パウロ–を と ある 他–の 囚人たち–を 百人隊長–に
G3860 G3588 G5037 G3972 G2532 G5100 G2087 G1202 G1543

ὀνόματι Ἰουλίῳ, σπείρης Σεβαστῆς.
名–は ユリウス 部隊–の 皇帝–の
G3686 G2457 G4686 G4575

さて、わたしたちが、舟でイタリヤに行くことが決まった時、パウロとそのほか数人の囚人とは、近衛隊の百卒長ユリアスに託された。

2 ἐπιβάντες δὲ πλοίῳ Ἀδραμυττηνῷ, μέλλοντι πλεῖν εἰς τοὺς κατὰ
乗り込んで そして 船–に アドラミティオン–の まさに–する 航海する へ この 沿って
G1910 G1161 G4143 G0098 G3195 G4126 G1519 G3588 G2596

τὴν Ἀσίαν τόπους, ἀνήχθημεν -- ὄντος σὺν ἡμῖν Ἀριστάρχου, Μακεδόνος
この アジア 場所–を 出航した いた 共–に 私たち–と アリスタルコ マケドニア人–の
G3588 G0773 G5117 G0321 G1510 G4862 G1473 G0708 G3110

Θεσσαλονικέως.
テサロニケ–の
G2331

そしてわたしたちは、アジヤ沿岸の各所に寄港することになっているアドラミテオの舟に乗り込んで、出帆した。テサロニケのマケドニヤ人アリスタルコも同行した。

3 τῇ この G3588 τε そして G5037 ἑτέρᾳ, 翌日 G2087 κατήχθημεν 着いた G2609 εἰς に G1519 Σιδῶνα. シドン G4605 φιλανθρώπως 親切-に G5364 τε そして G5037 ὁ この G3588 Ἰούλιος ユリウス-は G2457 τῷ この G3588 Παύλῳ パウロ-に G3972 χρησάμενος, 接して G5530 ἐπέτρεψεν 許した G2010 πρὸς の-もとに G4314 τοὺς この G3588 φίλους 友人たち G5384 πορευθέντι, 行って G4198 ἐπιμελείας 世話-を G1958 τυχεῖν. 受けることを G5177

次の日、シドンに入港したが、ユリアスは、パウロを親切に取り扱い、友人をおとずれてかんたいを受けることを、許した。

4 κἀκεῖθεν そこから G2547 ἀναχθέντες, 出航して G0321 ὑπεπλεύσαμεν 航行した G5284 τὴν この G3588 Κύπρον, キプロス-の-陰を G2954 διὰ ため-に G1223 τὸ この G3588 τοὺς この G3588 ἀνέμους 風-が G0417 εἶναι であった G1510 ἐναντίους. 逆風 G1727

それからわたしたちは、ここから船出したが、逆風にあったので、クプロの島かげを航行し、

5 τό この G3588 τε そして G5037 πέλαγος 外海-を G3989 τὸ この G3588 κατὰ 沿って G2596 τὴν この G3588 Κιλικίαν キリキア G2791 καὶ と G2532 Παμφυλίαν, パンフリア G3828 διαπλεύσαντες, 横切って G1277 κατήλθομεν 着いた G2718 εἰς に G1519 Μύρα ミュラ G3460 τῆς の G3588 Λυκίας. リキア G3073

キリキヤとパンフリヤの沖を過ぎて、ルキヤのミラに入港した。

6 Κἀκεῖ, そこで G2546 εὑρὼν 見つけた G2147 ὁ この G3588 ἑκατοντάρχης 百人隊長-は G1543 πλοῖον 船-を G4143 Ἀλεξανδρῖνον, アレクサンドリア-の G0222 πλέον 航行する G4126 εἰς へ G1519 τὴν この G3588 Ἰταλίαν, イタリア G2482 ἐνεβίβασεν 乗せた G1688 ἡμᾶς 私たち-を G1473 εἰς に G1519 αὐτό. それ G0846

そこに、イタリヤ行きのアレキサンドリヤの舟があったので、百卒長は、わたしたちをその舟に乗り込ませた。

7 ἐν 多く-の G1722 ἱκαναῖς かなり-の G2425 δὲ しかし G1161 ἡμέραις, 日々 G2250 βραδυπλοοῦντες 遅い-航行-で G1020 καὶ そして G2532 μόλις, やっと G3433 γενόμενοι 着いて G1096 κατὰ の-近く G2596 τὴν この G3588 Κνίδον, クニド G2834 μὴ ない G3361 προσεῶντος 許さなかった G4330 ἡμᾶς 私たち-を G1473 τοῦ この G3588 ἀνέμου, 風-が G0417 ὑπεπλεύσαμεν 航行した G5284 τὴν この G3588 Κρήτην, クレタ-の-陰を G2914 κατὰ の-沖 G2596 Σαλμώνην. サルモネ G4534

幾日ものあいだ、舟の進みがおそくて、わたしたちは、かろうじてクニドの沖合にきたが、風がわたしたちの行く手をはばむので、サルモネの沖、クレテの島かげを航行し、

8 μόλις τε παραλεγόμενοι αὐτὴν, ἤλθομεν εἰς τόπον τινὰ καλούμενον
やっと そして 沿って–進みながら そこ–を 着いた に 場所 ある 呼ばれる
G3433 G5037 G3881 G0846 G2064 G1519 G5117 G5100 G2564

Καλοὺς Λιμένας, ᾧ ἐγγὺς ἦν πόλις Λασαία.
良い 港 その 近く–に あった 町–が ラサヤ
G2570 G3040 G3739 G1451 G1510 G4172 G2996

その岸に沿って進み、かろうじて「良き港」と呼ばれる所に着いた。その近くにラサヤの町があった。

9 Ἱκανοῦ δὲ χρόνου διαγενομένου, καὶ ὄντος ἤδη ἐπισφαλοῦς τοῦ πλοὸς,
長い しかし 時間–が 過ぎて そして すでに もう 危険–な この 航海–が
G2425 G1161 G5550 G1230 G2532 G1510 G2235 G2000 G3588 G4144

διὰ τὸ καὶ τὴν Νηστείαν ἤδη παρεληλυθέναι, παρῄνει ὁ Παῦλος,
ため–に この また この 断食–の–日–も すでに 過ぎていた 忠告した この パウロ–は
G1223 G3588 G2532 G3588 G3521 G2235 G3928 G3867 G3588 G3972

長い時が経過し、断食期も過ぎてしまい、すでに航海が危険な季節になったので、パウロは人々に警告して言った、

10 λέγων αὐτοῖς, Ἄνδρες, θεωρῶ ὅτι μετὰ ὕβρεως καὶ πολλῆς ζημίας, οὐ
言って 彼ら–に 皆さん 私–は–見る と 共–に 損害 と 多く–の 損失–が ない
G3004 G0846 G0435 G2334 G3754 G3326 G5196 G2532 G4183 G2209 G3756

μόνον τοῦ φορτίου καὶ τοῦ πλοίου, ἀλλὰ καὶ τῶν ψυχῶν ἡμῶν,
だけ–で–なく この 積み荷 と この 船–の しかし また この 命–にも 私たち–の
G3440 G3588 G5413 G2532 G3588 G4143 G0235 G2532 G3588 G5590 G1473

μέλλειν ἔσεσθαι τὸν πλοῦν.
なるであろう なること–を この 航海–は
G3195 G1510 G3588 G4144

「皆さん、わたしの見るところでは、この航海では、積荷や船体ばかりでなく、われわれの生命にも、危害と大きな損失が及ぶであろう」。

11 ὁ δὲ ἑκατοντάρχης, τῷ κυβερνήτῃ καὶ τῷ ναυκλήρῳ μᾶλλον
この しかし 百人隊長–は この 船長 と この 船主–を むしろ
G3588 G1161 G1543 G3588 G2942 G2532 G3588 G3490 G3123

ἐπείθετο, ἢ τοῖς ὑπὸ Παύλου λεγομένοις.
信じた より–も この による パウロ 言われたこと–を
G3982 G2228 G3588 G5259 G3972 G3004

しかし百卒長は、パウロの意見よりも、船長や船主の方を信頼した。

12 ἀνευθέτου δὲ τοῦ λιμένος ὑπάρχοντος πρὸς παραχειμασίαν, οἱ πλείονες
不適当–な そして この 港–は であった–ので ため–の 越冬 この 大多数–が
G0428 G1161 G3588 G3040 G5225 G4314 G3915 G3588 G4119

ἔθεντο βουλὴν ἀναχθῆναι ἐκεῖθεν, εἴ πως δύναιντο, καταντήσαντες εἰς
決めた 計画–を 出航する–ことを そこから もし 何とか できるなら 到着して に
G5087 G1012 G0321 G1564 G1487 G4459 G1410 G2658 G1519

Φοίνικα, παραχειμάσαι, λιμένα τῆς Κρήτης, βλέποντα κατὰ λίβα καὶ κατὰ
フェニクス 越冬しようと 港 の クレタ 面した の–方 南西 と の–方
G5405 G3914 G3040 G3588 G2914 G0991 G2596 G3047 G2532 G2596

χῶρον.
北西
G5566

なお、この港は冬を過ごすのに適しないので、大多数の者は、ここから出て、できればなんとかして、南西と北西とに面しているクレテのピニクス港に行って、そこで冬を過ごしたいと主張した。

13 Ὑποπνεύσαντος δὲ νότου, δόξαντες τῆς προθέσεως κεκρατηκέναι, ἄραντες, ἆσσον παρελέγοντο τὴν Κρήτην.

吹いた–とき そして 南風–が 思って この 目的–を 達成したと 錨を–上げて 近く–を 航行した この クレタ–に–沿って
G5285 G1161 G3558 G1380 G3588 G4286 G2902 G0142 G0788 G3881 G3588 G2914

時に、南風が静かに吹いてきたので、彼らは、この時とばかりにいかりを上げて、クレテの岸に沿って航行した。

14 μετ’ οὐ πολὺ δὲ, ἔβαλεν κατ’ αὐτῆς ἄνεμος τυφωνικὸς, ὁ καλούμενος Εὐρακύλων.

間–も–なく ない 多く しかし 吹きつけた に それ 風–が 暴風–の その 呼ばれる ユーラクロン
G3326 G3756 G4183 G1161 G0906 G2596 G0846 G0417 G5189 G3588 G2564 G2148

すると間もなく、ユーラクロンと呼ばれる暴風が、島から吹きおろしてきた。

15 συναρπασθέντος δὲ τοῦ πλοίου, καὶ μὴ δυναμένου ἀντοφθαλμεῖν τῷ ἀνέμῳ, ἐπιδόντες ἐφερόμεθα.

巻き込まれた そして この 船–が そして ない できず 立ち向かうことが この 風–に 委ねて 流された
G4884 G1161 G3588 G4143 G2532 G3361 G1410 G0503 G3588 G0417 G1929 G5342

そのために、舟が流されて風に逆らうことができないので、わたしたちは吹き流されるままに任せた。

16 νησίον δέ τι ὑποδραμόντες, καλούμενον Καῦδα, ἰσχύσαμεν μόλις, περικρατεῖς γενέσθαι τῆς σκάφης;

島 しかし ある 走り込んで 呼ばれる カウダ やっと かろうじて 支配–を 得ることが–できた この 小舟–の
G3519 G1161 G5100 G5295 G2564 G2802 G2480 G3433 G4031 G1096 G3588 G4627

それから、クラウダという小島の陰に、はいり込んだので、わたしたちは、やっとのことで小舟を処置することができ、

17 ἣν ἄραντες, βοηθείαις ἐχρῶντο, ὑποζωννύντες τὸ πλοῖον. φοβούμενοί τε μὴ εἰς τὴν Σύρτιν ἐκπέσωσιν, χαλάσαντες τὸ σκεῦος, οὕτως ἐφέροντο.

それ–を 引き上げて 補強具–を 用いた 締めて この 船–を 恐れて また ない–ように に この シルティス–に 座礁すること–を 降ろして この 装具–を こうして 流された
G3739 G0142 G0996 G5530 G5269 G3588 G4143 G5399 G5037 G3361 G1519 G3588 G4950 G1601 G5465 G3588 G4632 G3779 G5342

それを舟に引き上げてから、綱で船体を巻きつけた。また、スルテスの洲に乗り上げるのを恐れ、帆をおろして流れるままにした。

18 σφοδρῶς δὲ χειμαζομένων ἡμῶν, τῇ ἐξῆς ἐκβολὴν ἐποιοῦντο,

激しく そして 嵐に–遭っている 私たち–の この 翌日 投げ荷–を 行った
G4971 G1161 G5492 G1473 G3588 G1836 G1546 G4160

わたしたちは、暴風にひどく悩まされつづけたので、次の日に、人々は積荷を捨てはじめ、

19 καὶ τῇ τρίτῃ, αὐτόχειρες τὴν σκευὴν τοῦ πλοίου ἔρριψαν.
そして この 三日目-に 自分-の-手で この 船具-を この 船-の 投げ捨てた
G2532 G3588 G5154 G0849 G3588 G4631 G3588 G4143 G4496

三日目には、船具までも、てずから投げすてた。

20 μήτε δὲ ἡλίου μήτε ἄστρων ἐπιφαινόντων ἐπὶ πλείονας ἡμέρας, χειμῶνός
ない そして 太陽-も ない 星-も 現れず の-間 多く-の 日々 嵐-が
G3383 G1161 G2246 G3383 G0798 G2014 G1909 G4119 G2250 G5494

τε οὐκ ὀλίγου ἐπικειμένου, λοιπὸν περιῃρεῖτο ἐλπὶς πᾶσα τοῦ, σῴζεσθαι
また ない 少なく のしかかり ついに 失われた 希望-は すべて-の この 助かる
G5037 G3756 G3641 G1945 G3063 G4014 G1680 G3956 G3588 G4982

ἡμᾶς.
私たち-が
G1473

幾日ものあいだ、太陽も星も見えず、暴風は激しく吹きすさぶので、わたしたちの助かる最後の望みもなくなった。

21 Πολλῆς τε ἀσιτίας ὑπαρχούσης, τότε σταθεὶς ὁ Παῦλος ἐν
長い そして 絶食-が 続いていた-とき そのとき 立ち上がって この パウロ-は の
G4183 G5037 G0776 G5225 G5119 G2476 G3588 G3972 G1722

μέσῳ αὐτῶν, εἶπεν, Ἔδει μέν, ὦ ἄνδρες, πειθαρχήσαντάς μοι, μὴ
真ん中-に 彼ら-の 言った すべきだった 実-に ああ 皆さん 従って 私-に ない
G3319 G0846 G3004 G1163 G3303 G5599 G0435 G3980 G1473 G3361

ἀνάγεσθαι ἀπὸ τῆς Κρήτης, κερδῆσαί τε τὴν ὕβριν ταύτην,
出航すべき-で-なかった から この クレタ-を 避ける-ことが そして この 損害 この
G0321 G0575 G3588 G2914 G2770 G5037 G3588 G5196 G3778

καὶ τὴν ζημίαν.
と この 損失-を
G2532 G3588 G2209

みんなの者は、長いあいだ食事もしないでいたが、その時、パウロが彼らの中に立って言った、「皆さん、あなたがたが、わたしの忠告を聞きいれて、クレテから出なかったら、このような危害や損失を被らなくてすんだはずであった。

22 καὶ τὰ νῦν, παραινῶ ὑμᾶς εὐθυμεῖν; ἀποβολὴ γὰρ
そして この 今 勧める あなたがた-に 元気-を-出しなさい 失われる-ことは なぜなら
G2532 G3588 G3568 G3867 G4771 G2114 G0580 G1063

ψυχῆς οὐδεμία ἔσται ἐξ ὑμῶν, πλὴν τοῦ πλοίου.
命-の 一つ-も ない-であろう から あなたがた-の ただ この 船-だけ
G5590 G3762 G1510 G1537 G4771 G4133 G3588 G4143

だが、この際、お勧めする。元気を出しなさい。舟が失われるだけで、あなたがたの中で生命を失うものは、ひとりもいないであろう。

23 παρέστη γάρ μοι ταύτῃ τῇ νυκτὶ τοῦ, Θεοῦ, οὗ εἰμι [ἐγώ] ᾧ
現れた なぜなら 私-に この この 夜 この 神-の その である 私-が その
G3936 G1063 G1473 G3778 G3588 G3571 G3588 G2316 G3739 G1510 G1473 G3739

καὶ λατρεύω, ἄγγελος,
また 仕える 御使い-が
G2532 G3000 G0032

昨夜、わたしが仕え、また拝んでいる神からの御使が、わたしのそばに立って言った、

24 λέγων, Μὴ φοβοῦ, Παῦλε; Καίσαρί σε δεῖ παραστῆναι.
言って ない 恐れるな パウロよ カイサル-の-前に あなた-は ねばならない 立つこと-が
G3004 G3361 G5399 G3972 G2541 G4771 G1163 G3936

καὶ ἰδοὺ, κεχάρισταί σοι ὁ Θεὸς, πάντας τοὺς πλέοντας μετὰ
そして 見よ 与えられた あなた-に この 神-は すべて-の この 航海する-者を 共-に
G2532 G3708 G5483 G4771 G3588 G2316 G3956 G3588 G4126 G3326

σοῦ.
あなた-と
G4771

『パウロよ、恐れるな。あなたは必ずカイザルの前に立たなければならない。たしかに神は、あなたと同船の者を、ことごとくあなたに賜わっている』。

25 διὸ εὐθυμεῖτε, ἄνδρες, πιστεύω γὰρ τῷ Θεῷ, ὅτι οὕτως
それゆえ 元気-を-出しなさい 皆さん 信じる なぜなら この 神-を と このように
G1352 G2114 G0435 G4100 G1063 G3588 G2316 G3754 G3779

ἔσται, καθ’ ὃν τρόπον λελάληταί μοι.
なる-と の-とおり その 仕方-で 語られた 私-に
G1510 G2596 G3739 G5158 G2980 G1473

だから、皆さん、元気を出しなさい。万事はわたしに告げられたとおりに成って行くと、わたしは、神かけて信じている。

26 εἰς νῆσον δέ τινα, δεῖ ἡμᾶς ἐκπεσεῖν.
に 島 しかし ある ねばならない 私たち-が 打ち上げられること
G1519 G3520 G1161 G5100 G1163 G1473 G1601

われわれは、どこかの島に打ちあげられるに相違ない」。

27 Ὡς δὲ τεσσαρεσκαιδεκάτη νὺξ ἐγένετο, διαφερομένων ἡμῶν ἐν τῷ
そして さて 十四-日目-の 夜-に なった 漂流していた 私たち-が の この
G5613 G1161 G5065 G3571 G1096 G1308 G1473 G1722 G3588

Ἀδρίᾳ. κατὰ μέσον τῆς νυκτὸς, ὑπενόουν οἱ ναῦται, προσάγειν
アドリア海 の-ころ 真夜中 の 夜-の 感じた この 水夫たち-は 近づいている-と
G0099 G2596 G3319 G3588 G3571 G5282 G3588 G3492 G4317

τινὰ αὐτοῖς χώραν,
ある 彼ら-に 陸地-が
G5100 G0846 G5561

わたしたちがアドリヤ海に漂ってから十四日目の夜になった時、真夜中ごろ、水夫らはどこかの陸地に近づいたように感じた。

28 καὶ βολίσαντες, εὗρον ὀργυιὰς εἴκοσι. βραχὺ δὲ διαστήσαντες, καὶ
そして 測深して 見つけた 尋-が 二十 少し そして 離れて また
G2532 G1001 G2147 G3712 G1501 G1024 G1161 G1339 G2532

πάλιν βολίσαντες, εὗρον ὀργυιὰς δεκαπέντε.
再び 測深して 見つけた 尋-が 十五
G3825 G1001 G2147 G3712 G1178

そこで、水の深さを測ってみたところ、二十ひろであることがわかった。それから少し進んで、もう一度測ってみたら、十五ひろであった。

29 φοβούμενοί τε μή που κατὰ τραχεῖς τόπους ἐκπέσωμεν, ἐκ
恐れて そして ない–ように どこか の 岩礁 場所–に 座礁しない–よう–に から
G5399 G5037 G3361 G4225 G2596 G5138 G5117 G1601 G1537

πρύμνης ῥίψαντες ἀγκύρας τέσσαρας, ἠύχοντο ἡμέραν γενέσθαι.
船尾 投げて 錨–を 四つ 祈った 夜明け–が 来ること–を
G4403 G4496 G0045 G5064 G2172 G2250 G1096

わたしたちが、万一暗礁に乗り上げては大変だと、人々は気づかって、ともから四つのいかりを投げおろし、夜の明けるのを待ちわびていた。

30 Τῶν δὲ ναυτῶν, ζητούντων φυγεῖν ἐκ τοῦ πλοίου, καὶ
この しかし 水夫たち–が 求めて 逃げること–を から この 船 そして
G3588 G1161 G3492 G2212 G5343 G1537 G3588 G4143 G2532

χαλασάντων τὴν σκάφην εἰς τὴν θάλασσαν, προφάσει ὡς ἐκ
降ろして この 小舟–を に この 海 口実–に かのよう–に から
G5465 G3588 G4627 G1519 G3588 G2281 G4392 G5613 G1537

πρῴρης, ἀγκύρας μελλόντων ἐκτείνειν,
船首 錨–を まさに–する 伸ばすと
G4408 G0045 G3195 G1614

その時、水夫らが舟から逃げ出そうと思って、へさきからいかりを投げおろすと見せかけ、小舟を海におろしていたので、

31 εἶπεν ὁ Παῦλος τῷ ἑκατοντάρχῃ καὶ τοῖς στρατιώταις, Ἐὰν μὴ
言った この パウロ–は この 百人隊長 と この 兵士たち–に もし ない
G3004 G3588 G3972 G3588 G1543 G2532 G3588 G4757 G1437 G3361

οὗτοι μείνωσιν ἐν τῷ πλοίῳ, ὑμεῖς σωθῆναι οὐ δύνασθε.
この–者たちが 留まるなら の この 船–に あなたがた–は 救われること–が ない できない
G3778 G3306 G1722 G3588 G4143 G4771 G4982 G3756 G1410

パウロは、百卒長や兵卒たちに言った、「あの人たちが、舟に残っていなければ、あなたがたは助からない」。

32 τότε ἀπέκοψαν οἱ στρατιῶται τὰ σχοινία τῆς σκάφης, καὶ εἴασαν
そのとき 切り落とした この 兵士たち–は この 綱–を この 小舟–の そして 放した
G5119 G0609 G3588 G4757 G3588 G4979 G3588 G4627 G2532 G1439

αὐτὴν ἐκπεσεῖν.
それ–を 流れていくの–に
G0846 G1601

そこで兵卒たちは、小舟の綱を断ち切って、その流れて行くままに任せた。

33 Ἄχρι δὲ οὗ ἡμέρα ἤμελλεν γίνεσθαι, παρεκάλει ὁ Παῦλος
まで さて この 夜明け–が 近づいた–とき 来る–まで 勧めた この パウロ–は
G0891 G1161 G3739 G2250 G3195 G1096 G3870 G3588 G3972

ἅπαντας, μεταλαβεῖν τροφῆς, λέγων, Τεσσαρεσκαιδεκάτην σήμερον ἡμέραν,
皆–に 取ること–を 食物–を 言って 十四–日–間 今日 日–を
G0537 G3335 G5160 G3004 G5065 G4594 G2250

προσδοκῶντες ἄσιτοι διατελεῖτε, μηθὲν προσλαβόμενοι.
待ち続けて 食べず–に 過ごしている 何–も 取らず–に
G4328 G0777 G1300 G3367 G4355

夜が明けかけたころ、パウロは一同の者に、食事をするように勧めて言った、「あなたがたが食事もせずに、見張りを続けてから、何も食べないで、きょうが十四日目に当る。

34

διὸ	παρακαλῶ	ὑμᾶς	μεταλαβεῖν	τροφῆς,	τοῦτο	γὰρ	πρὸς	τῆς
それゆえ	勧める	あなたがた–に	取ること–を	食物–を	これ–は	なぜなら	ため–の	この
G1352	G3870	G4771	G3335	G5160	G3778	G1063	G4314	G3588

ὑμετέρας	σωτηρίας	ὑπάρχει;	οὐδενὸς	γὰρ	ὑμῶν	θρὶξ	ἀπὸ
あなたがた–の	救い	である	一人–の	なぜなら	あなたがた–の	髪–の–毛–一本–も	から
G5212	G4991	G5225	G3762	G1063	G4771	G2359	G0575

τῆς	κεφαλῆς	ἀπολεῖται.
この	頭	失われない
G3588	G2776	G0622

だから、いま食事を取ることをお勧めする。それが、あなたがたを救うことになるのだから。たしかに髪の毛ひとすじでも、あなたがたの頭から失われることはないであろう」。

35

εἴπας	δὲ	ταῦτα,	καὶ	λαβὼν	ἄρτον,	εὐχαρίστησεν	τῷ	Θεῷ	ἐνώπιον
言って	そして	これら–を	そして	取って	パン–を	感謝した	この	神–に	の–前で
G3004	G1161	G3778	G2532	G2983	G0740	G2168	G3588	G2316	G1799

πάντων,	καὶ	κλάσας,	ἤρξατο	ἐσθίειν,
皆–の	そして	裂いて	始めた	食べること–を
G3956	G2532	G2806	G0756	G2068

彼はこう言って、パンを取り、みんなの前で神に感謝し、それをさいて食べはじめた。

36

εὔθυμοι	δὲ	γενόμενοι,	πάντες	καὶ	αὐτοὶ	προσελάβοντο	τροφῆς.
元気–に–なって	そして	なった	皆–も	また	自分たち–も	取った	食物–を
G2115	G1161	G1096	G3956	G2532	G0846	G4355	G5160

そこで、みんなの者も元気づいて食事をした。

37

ἤμεθα	δὲ	αἱ	πᾶσαι	ψυχαὶ	ἐν	τῷ	πλοίῳ,	διακόσιαι	ἑβδομήκοντα
いた	そして	この	すべて–の	人々–は	の	この	船–に	二百	七十
G1510	G1161	G3588	G3956	G5590	G1722	G3588	G4143	G1250	G1440

ἕξ.
六
G1803

舟にいたわたしたちは、合わせて二百七十六人であった。

38

κορεσθέντες	δὲ	τροφῆς,	ἐκούφιζον	τὸ	πλοῖον,	ἐκβαλλόμενοι	τὸν	σῖτον
満腹–に–なって	そして	食物–で	軽くした	この	船–を	投げ捨てて	この	小麦–を
G2880	G1161	G5160	G2893	G3588	G4143	G1544	G3588	G4621

εἰς	τὴν	θάλασσαν.
に	この	海
G1519	G3588	G2281

みんなの者は、じゅうぶんに食事をした後、穀物を海に投げすてて舟を軽くした。

39 Ὅτε δὲ ἡμέρα ἐγένετο, τὴν γῆν οὐκ ἐπεγίνωσκον; κόλπον δέ
とき さて 夜明け–に なった この 陸地–を ない 見分けられなかった 入り江 しかし
G3753 G1161 G2250 G1096 G3588 G1093 G3756 G1921 G2859 G1161

τινα κατενόουν, ἔχοντα αἰγιαλὸν, εἰς ὃν ἐβουλεύοντο, εἰ δύναιντο
ある 見つけた 持つ 浜–を に その 協議した もし できるなら
G5100 G2657 G2192 G0123 G1519 G3739 G1011 G1487 G1410

ἐξῶσαι τὸ πλοῖον.
乗り上げる–ことを この 船–を
G1856 G3588 G4143

夜が明けて、どこの土地かよくわからなかったが、砂浜のある入江が見えたので、できれば、それに舟を乗り入れようということになった。

40 καὶ τὰς ἀγκύρας περιελόντες, εἴων εἰς τὴν θάλασσαν, ἅμα ἀνέντες
そして この 錨–を 切り離して 放した に この 海 同時–に 緩めて
G2532 G3588 G0045 G4014 G1439 G1519 G3588 G2281 G0260 G0447

τὰς ζευκτηρίας τῶν πηδαλίων, καὶ ἐπάραντες τὸν ἀρτέμωνα τῇ
この 結び目–を この 舵–の そして 揚げて この 前帆–を この
G3588 G2202 G3588 G4079 G2532 G1869 G3588 G0736 G3588

πνεούσῃ, κατεῖχον εἰς τὸν αἰγιαλόν.
風–に–向けて 進んだ へ この 浜
G4154 G2722 G1519 G3588 G0123

そこで、いかりを切り離して海に捨て、同時にかじの綱をゆるめ、風に前の帆をあげて、砂浜にむかって進んだ。

41 περιπεσόντες δὲ εἰς τόπον διθάλασσον, ἐπέκειλαν τὴν ναῦν; καὶ ἡ
乗り上げて しかし に 場所 浅瀬–の 座礁させた この 船–を そして この
G4045 G1161 G1519 G5117 G1337 G2027 G3588 G3491 G2532 G3588

μὲν πρῷρα ἐρείσασα, ἔμεινεν ἀσάλευτος. ἡ δὲ πρύμνα ἐλύετο ὑπὸ
一方 船首–は めり込んで 止まった 動かず–に この しかし 船尾–は 壊れていた によって
G3303 G4408 G2043 G3306 G0761 G3588 G1161 G4403 G3089 G5259

τῆς βίας [τῶν κυμάτων].
この 力 この 波–の
G3588 G0970 G3588 G2949

ところが、潮流の流れ合う所に突き進んだため、舟を浅瀬に乗りあげてしまって、へさきがめり込んで動かなくなり、ともの方は激浪のためにこわされた。

42 Τῶν δὲ στρατιωτῶν, βουλὴ ἐγένετο ἵνα τοὺς δεσμώτας ἀποκτείνωσιν;
この そして 兵士たち–の 計画–が 生じた ため–に この 囚人たち–を 殺そうと
G3588 G1161 G4757 G1012 G1096 G2443 G3588 G1202 G0615

μή τις ἐκκολυμβήσας διαφύγῃ.
ない–ように 誰か–が 泳いで 逃げること–を
G3361 G5100 G1579 G1309

兵卒たちは、囚人らが泳いで逃げるおそれがあるので、殺してしまおうと図ったが、

43 ὁ この G3588 δὲ しかし G1161 ἑκατοντάρχης, 百人隊長–は G1543 βουλόμενος 望んで G1014 διασῶσαι 救うこと–を G1295 τὸν この G3588 Παῦλον, パウロ–を G3972 ἐκώλυσεν 妨げた G2967 αὐτοὺς 彼ら–を G0846 τοῦ この G3588 βουλήματος, 計画–から G1013 ἐκέλευσέν 命じた G2753 τε そして G5037 τοὺς この G3588 δυναμένους 泳げる–者が G1410 κολυμβᾶν, 泳いで G2860 ἀπορίψαντας 飛び込んで G0641 πρώτους, 最初–に G4413 ἐπὶ へ G1909 τὴν この G3588 γῆν 陸地–に G1093 ἐξιέναι; 出るよう–に G1826

百卒長は、パウロを救いたいと思うところから、その意図をしりぞけ、泳げる者はまず海に飛び込んで陸に行き、

44 καὶ そして G2532 τοὺς この G3588 λοιποὺς, 残り–の–者は G3062 οὓς ある–者は G3739 μὲν 一方 G3303 ἐπὶ の–上に G1909 σανίσιν, 板–の G4548 οὓς ある–者は G3739 δὲ また G1161 ἐπί の–上に G1909 τινων ある G5100 τῶν, この G3588 ἀπὸ から–の G0575 τοῦ この G3588 πλοίου; 船–の–物 G4143 καὶ そして G2532 οὕτως こうして G3779 ἐγένετο, 起こった G1096 πάντας 皆–が G3956 διασωθῆναι 救われた G1295 ἐπὶ へ G1909 τὴν この G3588 γῆν. 陸地 G1093

その他の者は、板や舟の破片に乗って行くように命じた。こうして、全部の者が上陸して救われたのであった。

Chapter 28

1 Καὶ そして G2532 διασωθέντες, 救われて G1295 τότε そのとき G5119 ἐπέγνωμεν 知った G1921 ὅτι と G3754 Μελίτη マルタ G3194 ἡ この G3588 νῆσος 島–は G3520 καλεῖται. 呼ばれていると G2564

わたしたちが、こうして救われてからわかったが、これはマルタと呼ばれる島であった。

2 οἵ この G3588 τε そして G5037 βάρβαροι 島民たち–は G0915 παρεῖχον 示した G3930 οὐ ない G3756 τὴν この G3588 τυχοῦσαν 普通–で–ない G5177 φιλανθρωπίαν 親切–を G5363 ἡμῖν; 私たち–に G1473 ἅψαντες 燃やして G0681 γὰρ なぜなら G1063 πυρὰν, 火–を G4443 προσελάβοντο 迎え入れた G4355 πάντας 皆–を G3956 ἡμᾶς, 私たち G1473 διὰ ため–に G1223 τὸν この G3588 ὑετὸν 雨 G5205 τὸν この G3588 ἐφεστῶτα, 降っている G2186 καὶ と G2532 διὰ ため–に G1223 τὸ この G3588 ψῦχος. 寒さ G5592

土地の人々は、わたしたちに並々ならぬ親切をあらわしてくれた。すなわち、降りしきる雨や寒さをしのぐために、火をたいてわたしたち一同をねぎらってくれたのである。

3 συστρέψαντος δὲ τοῦ Παύλου φρυγάνων τι πλῆθος, καὶ ἐπιθέντος
集めて さて この パウロ–が 柴–の ある 束–を そして 置いた–とき
G4962 G1161 G3588 G3972 G5434 G5100 G4128 G2532 G2007

ἐπὶ τὴν πυράν, ἔχιδνα ἀπὸ τῆς θέρμης ἐξελθοῦσα, καθῆψεν τῆς
の–上に この 火 まむし–が から この 熱 出てきて 噛みついた この
G1909 G3588 G4443 G2191 G0575 G3588 G2329 G1831 G2510 G3588

χειρὸς αὐτοῦ.
手–に 彼–の
G5495 G0846

そのとき、パウロはひとかかえの柴をたばねて火にくべたところ、熱気のためにまむしが出てきて、彼の手にかみついた。

4 ὡς δὲ, εἶδον οἱ βάρβαροι κρεμάμενον τὸ θηρίον ἐκ τῆς
とき さて 見た この 島民たち–は ぶら下がっている この 生き物–が から この
G5613 G1161 G3708 G3588 G0915 G2910 G3588 G2342 G1537 G3588

χειρὸς αὐτοῦ, πρὸς ἀλλήλους ἔλεγον, Πάντως φονεύς ἐστιν ὁ ἄνθρωπος
手 彼–の に 互い–に 言った きっと 人殺し–である である この 人–は
G5495 G0846 G4314 G0240 G3004 G3843 G5406 G1510 G3588 G0444

οὗτος, ὃν διασωθέντα ἐκ τῆς θαλάσσης, ἡ Δίκη ζῆν οὐκ
この その 救われたが から この 海 この 正義の女神–は 生きること–を ない
G3778 G3739 G1295 G1537 G3588 G2281 G3588 G1349 G2198 G3756

εἴασεν.
許さなかった
G1439

土地の人々は、この生きものがパウロの手からぶら下がっているのを見て、互に言った、「この人は、きっと人殺しに違いない。海からはのがれたが、ディケーの神様が彼を生かしてはおかないのだ」。

5 ὁ μὲν οὖν, ἀποτινάξας τὸ θηρίον εἰς τὸ πῦρ, ἔπαθεν
しかし 一方 さて 振り落として この 生き物–を に この 火 苦しまなかった
G3588 G3303 G3767 G0660 G3588 G2342 G1519 G3588 G4442 G3958

οὐδὲν κακόν.
何–も 悪いこと–は
G3762 G2556

ところがパウロは、まむしを火の中に振り落して、なんの害も被らなかった。

6 οἱ δὲ προσεδόκων αὐτὸν μέλλειν πίμπρασθαι, ἢ καταπίπτειν
この しかし 待っていた 彼–が まさに–する 腫れ上がること あるいは 倒れること
G3588 G1161 G4328 G0846 G3195 G4092 G2228 G2667

ἄφνω νεκρόν. ἐπὶ πολὺ δὲ, αὐτῶν προσδοκώντων καὶ θεωρούντων μηδὲν
突然 死んで 間–の 長く しかし 彼ら–が 待ち続けて そして 見ていても 何–も
G0869 G3498 G1909 G4183 G1161 G0846 G4328 G2532 G2334 G3367

ἄτοπον εἰς αὐτὸν γινόμενον, μεταβαλόμενοι, ἔλεγον αὐτὸν εἶναι θεόν.
異常–が に 彼 起こらなかった 変わって 言った 彼–は である–と 神
G0824 G1519 G0846 G1096 G3328 G3004 G0846 G1510 G2316

彼らは、彼が間もなくはれ上がるか、あるいは、たちまち倒れて死ぬだろうと、様子をうかがっていた。しかし、長い間うかがっていても、彼の身になんの変ったことも起らないのを見て、彼らは考えを変えて、「この人は神様だ」と言い出した。

7 Ἐν δὲ τοῖς περὶ τὸν τόπον ἐκεῖνον, ὑπῆρχεν χωρία τῷ
の–近くに さて この の–周り この 場所 その あった 土地–が この
G1722 G1161 G3588 G4012 G3588 G5117 G1565 G5225 G5564 G3588

πρώτῳ τῆς νήσου, ὀνόματι Ποπλίῳ, ὃς ἀναδεξάμενος ἡμᾶς ἡμέρας
第一–の–人 この 島–の 名–は ポプリオ その 迎え入れて 私たち–を 日–間
G4413 G3588 G3520 G3686 G4196 G3739 G0324 G1473 G2250

τρεῖς, φιλοφρόνως ἐξένισεν.
三 親切–に もてなした
G5140 G5390 G3579

さて、その場所の近くに、島の首長、ポプリオという人の所有地があった。彼は、そこにわたしたちを招待して、三日のあいだ親切にもてなしてくれた。

8 ἐγένετο δὲ, τὸν πατέρα τοῦ Ποπλίου, πυρετοῖς καὶ δυσεντερίῳ
起こった さて この 父–が この ポプリオ–の 熱 と 赤痢
G1096 G1161 G3588 G3962 G3588 G4196 G4446 G2532 G1420

συνεχόμενον, κατακεῖσθαι, πρὸς ὃν ὁ Παῦλος, εἰσελθὼν καὶ
苦しんで 床–に–伏せっていた の–もとに その この パウロ–は 入って そして
G4912 G2621 G4314 G3739 G3588 G3972 G1525 G2532

προσευξάμενος, ἐπιθεὶς τὰς χεῖρας αὐτῷ, ἰάσατο αὐτόν.
祈って 置いて この 手–を 彼–の–上に 癒した 彼–を
G4336 G2007 G3588 G5495 G0846 G2390 G0846

たまたま、ポプリオの父が赤痢をわずらい、高熱で床についていた。そこでパウロは、その人のところにはいって行って祈り、手を彼の上においていやしてやった。

9 τούτου δὲ γενομένου, καὶ οἱ λοιποὶ οἱ ἐν τῇ νήσῳ ἔχοντες
このこと–が そして 起こって また この 残り–の この の この 島–に 持っている
G3778 G1161 G1096 G2532 G3588 G3062 G3588 G1722 G3588 G3520 G2192

ἀσθενείας προσήρχοντο καὶ ἐθεραπεύοντο,
病気–を 来た そして 癒された
G0769 G4334 G2532 G2323

このことがあってから、ほかに病気をしている島の人たちが、ぞくぞくとやってきて、みないやされた。

10 οἳ καὶ πολλαῖς τιμαῖς ἐτίμησαν ἡμᾶς, καὶ ἀναγομένοις, ἐπέθεντο
その また 多く–の 贈り物–で 敬った 私たち–を そして 出航する–とき 積み込んだ
G3739 G2532 G4183 G5092 G5091 G1473 G2532 G0321 G2007

τὰ πρὸς τὰς χρείας.
この ため–の この 必要–な–もの–を
G3588 G4314 G3588 G5532

彼らはわたしたちを非常に尊敬し、出帆の時には、必要な品々を持ってきてくれた。

11 Μετὰ δὲ τρεῖς μῆνας, ἀνήχθημεν ἐν πλοίῳ παρακεχειμακότι ἐν τῇ
の–後 そして 三 月 出航した の 船–で 越冬した の この
G3326 G1161 G5140 G3376 G0321 G1722 G4143 G3914 G1722 G3588

νήσῳ, Ἀλεξανδρινῷ, παρασήμῳ Διοσκούροις.
島–で アレクサンドリア–の 船印–は ディオスクロイ
G3520 G0222 G3902 G1359

三か月たった後、わたしたちは、この島に冬ごもりをしていたデオスクリの船飾りのあるアレキサンドリヤの舟で、出帆した。

12 καὶ そして G2532 καταχθέντες 着いて G2609 εἰς に G1519 Συρακούσας, シュラクサイ G4946 ἐπεμείναμεν 滞在した G1961 ἡμέρας 日-間 G2250 τρεῖς, 三 G5140

そして、シラクサに寄港して三日のあいだ停泊し、

13 ὅθεν そこから G3606 περιελόντες, 廻って G4014 κατηντήσαμεν 着いた G2658 εἰς に G1519 Ῥήγιον. レギオン G4484 καὶ そして G2532 μετὰ の-後 G3326 μίαν 一 G1520 ἡμέραν, 日 G2250 ἐπιγενομένου 吹いて G1920 νότου, 南風-が G3558 δευτεραῖοι 二日目-に G1206 ἤλθομεν 着いた G2064 εἰς に G1519 Ποτιόλους, ポテオリ G4223

そこから進んでレギオンに行った。それから一日おいて、南風が吹いてきたのに乗じ、ふつか目にポテオリに着いた。

14 οὗ そこで G3757 εὑρόντες 見つけて G2147 ἀδελφοὺς, 兄弟たち-を G0080 παρεκλήθημεν 招かれた G3870 παρ’ の-もとに G3844 αὐτοῖς 彼ら G0846 ἐπιμεῖναι 滞在すること-を G1961 ἡμέρας 日-間 G2250 ἑπτά. 七 G2033 καὶ そして G2532 οὕτως こうして G3779 εἰς へ G1519 τὴν この G3588 Ῥώμην ローマ G4516 ἤλθαμεν. 着いた G2064

そこで兄弟たちに会い、勧められるまま、彼らのところに七日間も滞在した。それからわたしたちは、ついにローマに到着した。

15 κἀκεῖθεν そこから G2547 οἱ この G3588 ἀδελφοὶ, 兄弟たち-は G0080 ἀκούσαντες 聞いて G0191 τὰ この G3588 περὶ について G4012 ἡμῶν, 私たち G1473 ἦλθαν 来た G2064 εἰς へ G1519 ἀπάντησιν 迎え-に G0529 ἡμῖν 私たち-を G1473 ἄχρι まで G0891 Ἀππίου アッピウス-の G0675 Φόρου 市場 G5410 καὶ と G2532 Τριῶν 三つ-の G5140 Ταβερνῶν; 宿屋 G4999 οὓς その G3739 ἰδὼν 見て G3708 ὁ この G3588 Παῦλος, パウロ-は G3972 εὐχαριστήσας 感謝して G2168 τῷ この G3588 Θεῷ, 神-に G2316 ἔλαβε 得た G2983 θάρσος. 勇気-を G2294

ところが、兄弟たちは、わたしたちのことを聞いて、アピオ・ポロおよびトレス・タベルネまで出迎えてくれた。パウロは彼らに会って、神に感謝し勇み立った。

16 Ὅτε とき G3753 δὲ さて G1161 εἰσήλθομεν 入った G1525 εἰς に G1519 Ῥώμην, ローマ G4516 <ὁ この G3588 ἑκατόνταρχος 百人隊長-は G1543 παρέδωκεν 引き渡した G3860 τοὺς この G3588 δεσμίους 囚人たち-を G1198 τῷ この G3588 στρατοπεδάρχῃ>, 軍団長-に G4759 ἐπετράπη 許された G2010 τῷ この G3588 Παύλῳ パウロ-は G3972 μένειν 住むこと-を G3306 καθ’ の-もとに G2596 ἑαυτὸν, 自分-で G1438 σὺν 共-に G4862 τῷ この G3588 φυλάσσοντι 監視する G5442 αὐτὸν 彼-を G0846 στρατιώτῃ. 兵士 G4757

わたしたちがローマに着いた後、パウロは、ひとりの番兵をつけられ、ひとりで住むことを許された。

17 Ἐγένετο δὲ, μετὰ ἡμέρας τρεῖς συνκαλέσασθαι αὐτὸν τοὺς ὄντας τῶν
起こった さて の–後 日 三 呼び集めた 彼–は この いた この
G1096 G1161 G3326 G2250 G5140 G4779 G0846 G3588 G1510 G3588

Ἰουδαίων πρώτους. συνελθόντων δὲ αὐτῶν, ἔλεγεν πρὸς αὐτούς, Ἐγώ,
ユダヤ人–の 指導者たち–を 集まって さて 彼ら–が 言った に 彼ら 私–は
G2453 G4413 G4905 G1161 G0846 G3004 G4314 G0846 G1473

ἄνδρες, ἀδελφοί, οὐδὲν ἐναντίον ποιήσας τῷ λαῷ, ἢ τοῖς ἔθεσι
皆さん 兄弟たち 何–も 反すること–を していない–のに この 民 あるいは この 慣習
G0435 G0080 G3762 G1727 G4160 G3588 G2992 G2228 G3588 G1485

τοῖς πατρῴοις; δέσμιος ἐξ Ἱεροσολύμων παρεδόθην εἰς τὰς χεῖρας
この 先祖–の 囚人–として から エルサレム 引き渡された に この 手–の–中に
G3588 G3971 G1198 G1537 G2414 G3860 G1519 G3588 G5495

τῶν Ῥωμαίων,
この ローマ人
G3588 G4514

三日たってから、パウロは、重立ったユダヤ人たちを招いた。みんなの者が集まったとき、彼らに言った、「兄弟たちよ、わたしは、わが国民に対しても、あるいは先祖伝来の慣例に対しても、何一つそむく行為がなかったのに、エルサレムで囚人としてローマ人たちの手に引き渡された。

18 οἵτινες ἀνακρίναντές με, ἐβούλοντο ἀπολῦσαι, διὰ τὸ μηδεμίαν
その 取り調べて 私–を 望んだ 釈放すること–を ため–に この 何–も
G3748 G0350 G1473 G1014 G0630 G1223 G3588 G3367

αἰτίαν θανάτου ὑπάρχειν ἐν ἐμοί.
理由–が 死–の ない に 私
G0156 G2288 G5225 G1722 G1473

彼らはわたしを取り調べた結果、なんら死に当る罪状もないので、わたしを釈放しようと思ったのであるが、

19 ἀντιλεγόντων δὲ τῶν Ἰουδαίων, ἠναγκάσθην ἐπικαλέσασθαι Καίσαρα,
反対した–が しかし この ユダヤ人たち–が 余儀なくされた 上訴すること–を カイサル–に
G0483 G1161 G3588 G2453 G0315 G1941 G2541

οὐχ ὡς τοῦ ἔθνους μου ἔχων τι κατηγορεῖν.
ない–が かのよう–に この 民–の 私–の 持って 何か 訴えること–を
G3756 G5613 G3588 G1484 G1473 G2192 G5100 G2723

ユダヤ人たちがこれに反対したため、わたしはやむを得ず、カイザルに上訴するに至ったのである。しかしわたしは、わが同胞を訴えようなどとしているのではない。

20 διὰ ταύτην οὖν τὴν αἰτίαν παρεκάλεσα ὑμᾶς, ἰδεῖν καὶ
ため–に この それゆえ この 理由–で 招いた あなたがた–を 会うこと–と そして
G1223 G3778 G3767 G3588 G0156 G3870 G4771 G3708 G2532

προσλαλῆσαι; ἕνεκεν γὰρ τῆς ἐλπίδος τοῦ Ἰσραὴλ, τὴν ἅλυσιν ταύτην
話すこと–を ため–に なぜなら この 希望 この イスラエル–の この 鎖–を この
G4354 G1752 G1063 G3588 G1680 G3588 G2474 G3588 G0254 G3778

περίκειμαι.
身–に–つけている
G4029

こういうわけで、あなたがたに会って語り合いたいと願っていた。事実、わたしは、イスラエルのいだいている希望のゆえに、この鎖につながれているのである」。

21 οἱ δὲ πρὸς αὐτὸν εἶπαν, Ἡμεῖς οὔτε γράμματα περὶ σοῦ
この しかし に 彼 言った 私たち-は ない-も 手紙-を について あなた
G3588 G1161 G4314 G0846 G3004 G1473 G3777 G1121 G4012 G4771

ἐδεξάμεθα ἀπὸ τῆς Ἰουδαίας, οὔτε παραγενόμενός τις τῶν ἀδελφῶν
受け取っていない から この ユダヤ ない-も 来た 誰か-が この 兄弟たち-の
G1209 G0575 G3588 G2449 G3777 G3854 G5100 G3588 G0080

ἀπήγγειλεν, ἢ ἐλάλησέν τι περὶ σοῦ πονηρόν.
報告しなかった あるいは 話さなかった 何か について あなた 悪いこと-を
G0518 G2228 G2980 G5100 G4012 G4771 G4190

そこで彼らは、パウロに言った、「わたしたちは、ユダヤ人たちから、あなたについて、なんの文書も受け取っていないし、また、兄弟たちの中からここにきて、あなたについて不利な報告をしたり、悪口を言ったりした者もなかった。

22 ἀξιοῦμεν δὲ παρὰ σοῦ ἀκοῦσαι ἃ φρονεῖς, περὶ μὲν
望んでいる しかし から あなた 聞くこと-を あなた-が 考えていること-を について 実-に
G0515 G1161 G3844 G4771 G0191 G3739 G5426 G4012 G3303

γὰρ τῆς αἱρέσεως ταύτης, γνωστὸν ἡμῖν ἐστιν, ὅτι πανταχοῦ
なぜなら この 分派-は この 知られている 私たち-に である-と と あらゆる-ところで
G1063 G3588 G0139 G3778 G1110 G1473 G1510 G3754 G3837

ἀντιλέγεται.
反対されている
G0483

わたしたちは、あなたの考えていることを、直接あなたから聞くのが、正しいことだと思っている。実は、この宗派については、いたるところで反対のあることが、わたしたちの耳にもはいっている」。

23 Ταξάμενοι δὲ αὐτῷ ἡμέραν, ἦλθον πρὸς αὐτὸν εἰς τὴν ξενίαν
定めて さて 彼-に 日-を 来た の-もとに 彼 に この 宿所
G5021 G1161 G0846 G2250 G2064 G4314 G0846 G1519 G3588 G3578

πλείονες, οἷς ἐξετίθετο, διαμαρτυρόμενος τὴν βασιλείαν τοῦ Θεοῦ,
より-多く-の-人が その 説明した 証しして この 御国-を この 神-の
G4119 G3739 G1620 G1263 G3588 G0932 G3588 G2316

πείθων τε αὐτοὺς περὶ τοῦ Ἰησοῦ, ἀπό τε τοῦ νόμου Μωϋσέως,
説得して また 彼ら-に について この イエス から-も また この 律法 モーセ-の
G3982 G5037 G0846 G4012 G3588 G2424 G0575 G5037 G3588 G3551 G3475

καὶ τῶν προφητῶν, ἀπὸ πρωῒ ἕως ἑσπέρας.
と この 預言者たち-の から 朝 まで 夕方
G2532 G3588 G4396 G0575 G4404 G2193 G2073

そこで、日を定めて、大ぜいの人が、パウロの宿につめかけてきたので、朝から晩まで、パウロは語り続け、神の国のことをあかしし、またモーセの律法や預言者の書を引いて、イエスについて彼らの説得につとめた。

24 καὶ οἱ μὲν ἐπείθοντο τοῖς λεγομένοις; οἱ δὲ ἠπίστουν.
そして この 一方 説得された この 言われたこと-に この 他方 信じなかった
G2532 G3588 G3303 G3982 G3588 G3004 G3588 G1161 G0569

ある者はパウロの言うことを受けいれ、ある者は信じようともしなかった。

25 ἀσύμφωνοι δὲ ὄντες πρὸς ἀλλήλους, ἀπελύοντο; εἰπόντος τοῦ
一致しない-まま さて でありながら に 互い 去っていった 言った-とき この
G0800 G1161 G1510 G4314 G0240 G0630 G3004 G3588

Παύλου ῥῆμα ἓν ὅτι: Καλῶς τὸ Πνεῦμα τὸ Ἅγιον ἐλάλησεν διὰ
パウロ-が 言葉-を 一つ と 正しく この 御霊-は この 聖なる 語った を-通して
G3972 G4487 G1520 G3754 G2573 G3588 G4151 G3588 G0040 G2980 G1223

Ἡσαΐου τοῦ προφήτου πρὸς τοὺς πατέρας ὑμῶν,
イザヤ この 預言者-を に この 先祖たち あなたがた-の
G2268 G3588 G4396 G4314 G3588 G3962 G4771

互に意見が合わなくて、みんなの者が帰ろうとしていた時、パウロはひとこと述べて言った、「聖霊はよくも預言者イザヤによって、あなたがたの先祖に語ったものである。

26 λέγων, Πορεύθητι πρὸς τὸν λαὸν τοῦτον, καὶ εἰπόν, Ἀκοῇ ἀκούσετε,
言って 行け の-もとに この 民 この そして 言え 耳-で 聞く-が
G3004 G4198 G4314 G3588 G2992 G3778 G2532 G3004 G0189 G0191

καὶ οὐ μὴ συνῆτε; καὶ βλέποντες βλέψετε, καὶ οὐ μὴ ἴδητε.
そして ない 決して 悟らない そして 見て 見る-が そして ない 決して 見えない
G2532 G3756 G3361 G4920 G2532 G0991 G0991 G2532 G3756 G3361 G3708

『この民に行って言え、あなたがたは聞くには聞くが、決して悟らない。見るには見るが、決して認めない。

27 ἐπαχύνθη γὰρ ἡ καρδία τοῦ λαοῦ τούτου, καὶ τοῖς ὠσὶν βαρέως
太った なぜなら この 心-が この 民-の この そして この 耳-で 重く
G3975 G1063 G3588 G2588 G3588 G2992 G3778 G2532 G3588 G3775 G0917

ἤκουσαν, καὶ τοὺς ὀφθαλμοὺς αὐτῶν ἐκάμμυσαν, μή꞉ ποτε ἴδωσιν
聞いた そして この 目-を 彼ら-の 閉じた ない-ように いつか 見ること-を
G0191 G2532 G3588 G3788 G0846 G2576 G3361 G4219 G3708

τοῖς ὀφθαλμοῖς, καὶ τοῖς ὠσὶν ἀκούσωσιν, καὶ τῇ καρδίᾳ συνῶσιν,
この 目-で そして この 耳-で 聞くこと-を そして この 心-で 悟ること-を
G3588 G3788 G2532 G3588 G3775 G0191 G2532 G3588 G2588 G4920

καὶ ἐπιστρέψωσιν, καὶ ἰάσομαι αὐτούς.
そして 立ち返ること-を そして 癒そう 彼ら-を
G2532 G1994 G2532 G2390 G0846

この民の心は鈍くなり、その耳は聞えにくく、その目は閉じている。それは、彼らが目で見ず、耳で聞かず、心で悟らず、悔い改めていやされることがないためである』。

28 γνωστὸν οὖν ἔστω, ὑμῖν ὅτι τοῖς ἔθνεσιν ἀπεστάλη τοῦτο τὸ
知られよ それゆえ あれ あなたがた-に と この 異邦人-に 送られた この この
G1110 G3767 G1510 G4771 G3754 G3588 G1484 G0649 G3778 G3588

σωτήριον τοῦ Θεοῦ; αὐτοὶ καὶ ἀκούσονται!
救い-は この 神-の 彼ら-も また 聞くであろう
G4992 G3588 G2316 G0846 G2532 G0191

そこで、あなたがたは知っておくがよい。神のこの救の言葉は、異邦人に送られたのだ。彼らは、これに聞きしたがうであろう」。〔

29 <Καὶ ταῦτα αὐτοῦ εἰπόντος, ἀπῆλθον οἱ Ἰουδαῖοι, πολλὴν ἔχοντες
そして これら-を 彼-が 言った-とき 去った この ユダヤ人たち-は 多く-の 持って
G2532 G3778 G0846 G3004 G0565 G3588 G2453 G4183 G2192

ἐν ἑαυτοῖς συζήτησιν>.
の 自分たち-の-間に 議論-を
G1722 G1438 G4803

パウロがこれらのことを述べ終ると、ユダヤ人らは、互に論じ合いながら帰って行った。〕

30 Ἐνέμεινεν 住んだ G1696 δὲ さて G1161 διετίαν 二年-間 G1333 ὅλην まるまる G3650 ἐν の G1722 ἰδίῳ 自分-の G2398 μισθώματι, 借家-に G3410 καὶ そして G2532 ἀπεδέχετο 迎え入れた G0588

πάντας 皆-を G3956 τοὺς この G3588 εἰσπορευομένους 訪れてくる G1531 πρὸς の-もとに G4314 αὐτόν, 彼 G0846

パウロは、自分の借りた家に満二年のあいだ住んで、たずねて来る人々をみな迎え入れ、

31 κηρύσσων 宣べ伝えて G2784 τὴν この G3588 βασιλείαν 御国-を G0932 τοῦ この G3588 Θεοῦ, 神-の G2316 καὶ そして G2532 διδάσκων 教えて G1321 τὰ この G3588 περὶ について G4012 τοῦ この G3588

Κυρίου 主 G2962 Ἰησοῦ イエス G2424 Χριστοῦ, キリスト G5547 μετὰ を-もって G3326 πάσης すべて-の G3956 παρρησίας 大胆さ-で G3954 ἀκωλύτως. 妨げられず-に G0209

はばからず、また妨げられることもなく、神の国を宣べ伝え、主イエス・キリストのことを教えつづけた。

Romans

Chapter 1

1 Παῦλος, パウロ G3972 δοῦλος しもべ G1401 Χριστοῦ, キリスト G5547 Ἰησοῦ イエスの G2424 κλητὸς 召された G2822 ἀπόστολος, 使徒 G0652 ἀφωρισμένος 聖別された G0873 εἰς ために G1519

εὐαγγέλιον 福音 G2098 Θεοῦ, 神の G2316

キリスト・イエスの僕、神の福音のために選び別たれ、召されて使徒となったパウロから――

2 ὃ その G3739 προεπηγγείλατο, あらかじめ–約束された G4279 διὰ を–通して G1223 τῶν その G3588 προφητῶν 預言者たち G4396 αὐτοῦ, ご自身の G0846 ἐν の–中で G1722 γραφαῖς 聖書 G1124

ἁγίαις, 聖なる G0040

この福音は、神が、預言者たちにより、聖書の中で、あらかじめ約束されたものであって、

3 περὶ について G4012 τοῦ その G3588 Υἱοῦ 御子 G5207 αὐτοῦ, 神の G0846 τοῦ この方は G3588 γενομένου 生まれた G1096 ἐκ から G1537 σπέρματος 子孫 G4690 Δαυὶδ, ダビデの G1138 κατὰ に–従えば G2596

σάρκα, 肉 G4561

御子に関するものである。御子は、肉によればダビデの子孫から生れ、

4 τοῦ この方は G3588 ὁρισθέντος 定められた G3724 Υἱοῦ 御子 G5207 Θεοῦ 神の G2316 ἐν と G1722 δυνάμει, 力をもって G1411 κατὰ に–よれば G2596 πνεῦμα 御霊 G4151 ἁγιωσύνης, 聖さの G0042

ἐξ による G1537 ἀναστάσεως 復活 G0386 νεκρῶν, 死者たちからの G3498 Ἰησοῦ イエス G2424 Χριστοῦ, キリスト G5547 τοῦ すなわち G3588 Κυρίου 主 G2962 ἡμῶν; 私たちの G1473

聖なる霊によれば、死人からの復活により、御力をもって神の御子と定められた。これがわたしたちの主イエス・キリストである。

5 δι’ この方を–通して G1223 οὗ その方から G3739 ἐλάβομεν 私たちは–受けた G2983 χάριν 恵みと G5485 καὶ また G2532 ἀποστολὴν 使徒の–務めを G0651 εἰς へと G1519 ὑπακοὴν 信仰の–従順 G5218

πίστεως, 信仰の G4102 ἐν の–中で G1722 πᾶσιν すべての G3956 τοῖς その G3588 ἔθνεσιν, 異邦人たち G1484 ὑπὲρ のために G5228 τοῦ その G3588 ὀνόματος 御名 G3686 αὐτοῦ, 主の G0846

わたしたちは、その御名のために、すべての異邦人を信仰の従順に至らせるようにと、彼によって恵みと使徒の務とを受けたのであり、

6 ἐν οἷς ἐστε καὶ ὑμεῖς κλητοὶ Ἰησοῦ Χριστοῦ.
の–中に その中に いる また あなたがたも 召された–者たち イエス キリストの
G1722 G3739 G1510 G2532 G4771 G2822 G2424 G5547

あなたがたもまた、彼らの中にあって、召されてイエス・キリストに属する者となったのである――

7 πᾶσιν τοῖς οὖσιν ἐν Ῥώμῃ, ἀγαπητοῖς Θεοῦ, κλητοῖς ἁγίοις:
すべての その いる–者たちへ の–中の ローマに 愛されている 神に 召された 聖徒たちへ
G3956 G3588 G1510 G1722 G4516 G0027 G2316 G2822 G0040

χάρις ὑμῖν καὶ εἰρήνη, ἀπὸ Θεοῦ Πατρὸς ἡμῶν, καὶ Κυρίου Ἰησοῦ
恵みと あなたがたに そして 平安が から 神 父 私たちの と 主 イエス
G5485 G4771 G2532 G1515 G0575 G2316 G3962 G1473 G2532 G2962 G2424

Χριστοῦ.
キリスト
G5547

ローマにいる、神に愛され、召された聖徒一同へ。わたしたちの父なる神および主イエス・キリストから、恵みと平安とが、あなたがたにあるように。

8 Πρῶτον μὲν, εὐχαριστῶ τῷ Θεῷ μου, διὰ Ἰησοῦ Χριστοῦ, περὶ
まず 第一に 感謝します その 神に 私の を–通して イエス キリスト について
G4412 G3303 G2168 G3588 G2316 G1473 G1223 G2424 G5547 G4012

πάντων ὑμῶν, ὅτι ἡ πίστις ὑμῶν καταγγέλλεται ἐν
すべての あなたがたの–ことを なぜなら その 信仰が あなたがたの 宣べ–伝えられている の–中で
G3956 G4771 G3754 G3588 G4102 G4771 G2605 G1722

ὅλῳ τῷ κόσμῳ.
全 その 世界に
G3650 G3588 G2889

まず第一に、わたしは、あなたがたの信仰が全世界に言い伝えられていることを、イエス・キリストによって、あなたがた一同のために、わたしの神に感謝する。

9 μάρτυς γάρ μού ἐστιν ὁ Θεός, ᾧ λατρεύω ἐν τῷ
証人 なぜなら 私の である その 神が その方に 仕えている において 私の
G3144 G1063 G1473 G1510 G3588 G2316 G3739 G3000 G1722 G3588

πνεύματί μου ἐν τῷ εὐαγγελίῳ τοῦ Υἱοῦ αὐτοῦ, ὡς ἀδιαλείπτως
霊をもって 私の において その 福音 の 御子 神の どのように 絶えず
G4151 G1473 G1722 G3588 G2098 G3588 G5207 G0846 G5613 G0089

μνείαν ὑμῶν ποιοῦμαι,
覚えて あなたがたの–ことを いる
G3417 G4771 G4160

10 πάντοτε ἐπὶ τῶν προσευχῶν μου δεόμενος, εἴ πως ἤδη ποτὲ
いつも において 私の 祈りの–中で 私の 願いつつ もし 何とかして もう いつか
G3842 G1909 G3588 G4335 G1473 G1189 G1487 G4459 G2235 G4218

εὐοδωθήσομαι ἐν τῷ θελήματι τοῦ Θεοῦ, ἐλθεῖν πρὸς
道が–開かれて において その 御心 の 神の 行くことが–できるように へ
G2137 G1722 G3588 G2307 G3588 G2316 G2064 G4314

ὑμᾶς.
あなたがたの–もとに
G4771

わたしは、祈のたびごとに、絶えずあなたがたを覚え、いつかは御旨にかなって道が開かれ、どうにかして、あなたがたの所に行けるようにと願っている。このことについて、わたしのためにあかしをして下さるのは、わたしが霊により、御子の福音を宣べ伝えて仕えている神である。

11

ἐπιποθῶ	γὰρ	ἰδεῖν	ὑμᾶς,	ἵνα	τι	μεταδῶ	χάρισμα
切望している	なぜなら	会うことを	あなたがたに	それは	何か	分かち–合いたい	賜物を
G1971	G1063	G3708	G4771	G2443	G5100	G3330	G5486

ὑμῖν	πνευματικὸν,	εἰς	τὸ	στηριχθῆναι	ὑμᾶς;
あなたがたに	霊的な	ために	の	強められる	あなたがたが
G4771	G4152	G1519	G3588	G4741	G4771

わたしは、あなたがたに会うことを熱望している。あなたがたに霊の賜物を幾分でも分け与えて、力づけたいからである。

12

τοῦτο	δέ	ἐστιν,	συμπαρακληθῆναι	ἐν	ὑμῖν,	διὰ	τῆς
これは	すなわち	つまり	共に–励まし–合う–ため	の–中で	あなたがたと	を–通して	その
G3778	G1161	G1510	G4837	G1722	G4771	G1223	G3588

ἐν	ἀλλήλοις	πίστεως,	ὑμῶν	τε	καὶ	ἐμοῦ.
における	互いの	信仰	あなたがたの	と	また	私の
G1722	G0240	G4102	G4771	G5037	G2532	G1473

それは、あなたがたの中にいて、あなたがたとわたしとのお互の信仰によって、共に励まし合うためにほかならない。

13

οὐ	θέλω	δὲ	ὑμᾶς	ἀγνοεῖν,	ἀδελφοί,	ὅτι
ない	知らないで–ほしく	しかし	あなたがたに	知らないで–ほしくない	兄弟たちよ	ということを
G3756	G2309	G1161	G4771	G0050	G0080	G3754

πολλάκις	προεθέμην	ἐλθεῖν	πρὸς	ὑμᾶς,	καὶ	ἐκωλύθην,	ἄχρι	τοῦ
何度も	計画した	行くことを	へ	あなたがたの–もとに	しかし	妨げられた	まで	の
G4178	G4388	G2064	G4314	G4771	G2532	G2967	G0891	G3588

δεῦρο,	ἵνα	τινὰ	καρπὸν	σχῶ	καὶ	ἐν	ὑμῖν,	καθὼς
今に–至るまで	それは	何かの	実を	得るため	にも	の–中で	あなたがたの–間でも	ちょうど
G1204	G2443	G5100	G2590	G2192	G2532	G1722	G4771	G2531

καὶ	ἐν	τοῖς	λοιποῖς	ἔθνεσιν.
同様に	の–中で	その	他の	異邦人たちの–間でも
G2532	G1722	G3588	G3062	G1484

兄弟たちよ。このことを知らずにいてもらいたくない。わたしはほかの異邦人の間で得たように、あなたがたの間でも幾分かの実を得るために、あなたがたの所に行こうとしばしば企てたが、今まで妨げられてきた。

14

Ἕλλησίν	τε	καὶ	Βαρβάροις,	σοφοῖς	τε	καὶ	ἀνοήτοις,
ギリシア人にも	また	そして	未開人にも	知恵ある–者にも	また	そして	無知な–者にも
G1672	G5037	G2532	G0915	G4680	G5037	G2532	G0453

ὀφειλέτης	εἰμί.
負債のある–者	私は–である
G3781	G1510

わたしには、ギリシヤ人にも未開の人にも、賢い者にも無知な者にも、果すべき責任がある。

15

οὕτως	τὸ	κατ’	ἐμὲ,	πρόθυμον	καὶ	ὑμῖν	τοῖς
このように	の	私としては	私に–関する–限り	熱心に	また	あなたがたにも	その
G3779	G3588	G2596	G1473	G4289	G2532	G4771	G3588

ἐν	Ῥώμῃ,	εὐαγγελίσασθαι.
の中にいる	ローマに	福音を–宣べ–伝えたい
G1722	G4516	G2097

そこで、わたしとしての切なる願いは、ローマにいるあなたがたにも、福音を宣べ伝えることなのである。

16 οὐ ない G3756 γὰρ なぜなら G1063 ἐπαισχύνομαι 恥としない G1870 τὸ この G3588 εὐαγγέλιον, 福音を G2098 δύναμις 力 G1411 γὰρ まことに G1063 Θεοῦ 神の G2316 ἐστιν, それは-である G1510

εἰς へと-至る G1519 σωτηρίαν 救い G4991 παντὶ すべての G3956 τῷ その G3588 πιστεύοντι, 信じる-者に G4100 Ἰουδαίῳ ユダヤ人に G2453 τε まず G5037 πρῶτον 第一に G4412 καὶ そして-また G2532

Ἕλληνι.
ギリシア人にも
G1672

わたしは福音を恥としない。それは、ユダヤ人をはじめ、ギリシヤ人にも、すべて信じる者に、救を得させる神の力である。

17 δικαιοσύνη 義 G1343 γὰρ なぜなら G1063 Θεοῦ 神の G2316 ἐν が G1722 αὐτῷ その-中に G0846 ἀποκαλύπτεται, 啓示されている G0601 ἐκ から G1537 πίστεως 信仰 G4102 εἰς へと G1519

πίστιν; 信仰 G4102 καθὼς と-書かれている-通り G2531 γέγραπται, 書かれている G1125 Ὁ しかし G3588 δὲ 実に G1161 δίκαιος 義人は G1342 ἐκ から G1537 πίστεως 信仰に-よって G4102

ζήσεται.
生きる
G2198

神の義は、その福音の中に啓示され、信仰に始まり信仰に至らせる。これは、「信仰による義人は生きる」と書いてあるとおりである。

18 Ἀποκαλύπτεται 啓示されている G0601 γὰρ なぜなら G1063 ὀργὴ 怒りが G3709 Θεοῦ 神の G2316 ἀπ' から G0575 οὐρανοῦ, 天 G3772 ἐπὶ に-対して G1909 πᾶσαν すべての G3956 ἀσέβειαν 不敬虔と G0763

καὶ また G2532 ἀδικίαν 不義 G0093 ἀνθρώπων, 人々の G0444 τῶν その G3588 τὴν その G3588 ἀλήθειαν 真理を G0225 ἐν に-よって G1722 ἀδικίᾳ 不義 G0093 κατεχόντων, 抑えている-者たちの G2722

神の怒りは、不義をもって真理をはばもうとする人間のあらゆる不信心と不義とに対して、天から啓示される。

19 διότι なぜなら G1360 τὸ その G3588 γνωστὸν 知られていること G1110 τοῦ の G3588 Θεοῦ, 神について G2316 φανερόν 明らかに G5318 ἐστιν されている G1510 ἐν の-中に G1722 αὐτοῖς, 彼らの-間で G0846

ὁ その G3588 θεὸς 神が G2316 γὰρ なぜなら G1063 αὐτοῖς 彼らに G0846 ἐφανέρωσεν. 明らかに-された G5319

なぜなら、神について知りうる事がらは、彼らには明らかであり、神がそれを彼らに明らかにされたのである。

20 τὰ その G3588 γὰρ 実に G1063 ἀόρατα 見えない-性質 G0517 αὐτοῦ 神の G0846 ἀπὸ から G0575 κτίσεως 天地-創造 G2937 κόσμου, 世界の G2889 τοῖς によって G3588 ποιήμασιν, 造られた-もの G4161

νοούμενα, 理解されて G3539 καθορᾶται; はっきり-見える G2529 ἥ すなわち G3588 τε 実に G5037 ἀΐδιος 永遠の G0126 αὐτοῦ 神の G0846 δύναμις 力と G1411 καὶ また G2532 θειότης; 神性が G2305

εἰς そのため G1519 τὸ に G3588 εἶναι なる G1510 αὐτοὺς 彼らは G0846 ἀναπολογήτους. 弁解の-余地が-ない G0379

神の見えない性質、すなわち、神の永遠の力と神性とは、天地創造このかた、被造物において知られていて、明らかに認められるからである。したがって、彼らには弁解の余地がない。

21

διότι なぜなら G1360
γνόντες 知りながら G1097
τὸν その G3588
Θεὸν, 神を G2316
οὐχ ない G3756
ὡς として G5613
Θεὸν 神 G2316
ἐδόξασαν, あがめなかった G1392
ἢ また G2228
ηὐχαρίστησαν; 感謝しなかった G2168
ἀλλὰ かえって G0235
ἐματαιώθησαν むなしくなり G3154
ἐν において G1722
τοῖς その G3588
διαλογισμοῖς 考え G1261
αὐτῶν, 彼らの G0846
καὶ そして G2532
ἐσκοτίσθη 暗くなった G4654
ἡ その G3588
ἀσύνετος 愚かな G0801
αὐτῶν 彼らの G0846
καρδία: 心が G2588

なぜなら、彼らは神を知っていながら、神としてあがめず、感謝もせず、かえってその思いはむなしくなり、その無知な心は暗くなったからである。

22

φάσκοντες 自称して G5335
εἶναι いると G1510
σοφοὶ, 知者で G4680
ἐμωράνθησαν, 愚かに-なった G3471

彼らは自ら知者と称しながら、愚かになり、

23

καὶ そして G2532
ἤλλαξαν 取り-替えた G0236
τὴν その G3588
δόξαν 栄光を G1391
τοῦ の G3588
ἀφθάρτου 朽ちない G0862
Θεοῦ, 神の G2316
ἐν と G1722
ὁμοιώματι 似姿 G3667
εἰκόνος 像 G1504
φθαρτοῦ 朽ちる G5349
ἀνθρώπου, 人間や G0444
καὶ また G2532
πετεινῶν, 鳥や G4071
καὶ また G2532
τετραπόδων, 四つ足の-獣や G5074
καὶ また G2532
ἑρπετῶν. 這うものの G2062

不朽の神の栄光を変えて、朽ちる人間や鳥や獣や這うものの像に似せたのである。

24

Διὸ それゆえ G1352
παρέδωκεν 引き-渡された G3860
αὐτοὺς 彼らを G0846
ὁ その G3588
Θεὸς, 神は G2316
ἐν において G1722
ταῖς その G3588
ἐπιθυμίαις 欲望 G1939
τῶν の G3588
καρδιῶν 心の G2588
αὐτῶν, 彼らの G0846
εἰς へと G1519
ἀκαθαρσίαν, 汚れに G0167
τοῦ その G3588
ἀτιμάζεσθαι 辱められる-ために G0818
τὰ その G3588
σώματα 体が G4983
αὐτῶν 彼らの G0846
ἐν において G1722
αὐτοῖς; 互いに G0846

ゆえに、神は、彼らが心の欲情にかられ、自分のからだを互にはずかしめて、汚すままに任せられた。

25

οἵτινες 彼らは G3748
μετήλλαξαν 取り-替えた G3337
τὴν その G3588
ἀλήθειαν 真理を G0225
τοῦ の G3588
Θεοῦ 神の G2316
ἐν と G1722
τῷ その G3588
ψεύδει, 偽りに G5579
καὶ そして G2532
ἐσεβάσθησαν 崇め G4573
καὶ また G2532
ἐλάτρευσαν 仕えた G3000
τῇ その G3588
κτίσει 被造物に G2937
παρὰ よりも G3844
τὸν その G3588
Κτίσαντα, 造り主 G2936
ὅς この方は G3739
ἐστιν である G1510
εὐλογητὸς ほむべき-方 G2128
εἰς とこしえに G1519
τοὺς 永遠に G3588
αἰῶνας! わたる G0165
ἀμήν. アーメン G0281

彼らは神の真理を変えて虚偽とし、創造者の代りに被造物を拝み、これに仕えたのである。創造者こそ永遠にほむべきものである、アァメン。

26 Διὰ この-ために G1223 τοῦτο このこと G3778 παρέδωκεν 引き-渡された G3860 αὐτοὺς 彼らを G0846 ὁ その G3588 Θεὸς 神は G2316 εἰς へと G1519 πάθη 恥ずべき G3806 ἀτιμίας. 情欲に G0819 αἵ その G3588

τε 実に G5037 γὰρ なぜなら G1063 θήλειαι 女たちは G2338 αὐτῶν, 彼らの G0846 μετήλλαξαν 取り-替えた G3337 τὴν その G3588 φυσικὴν 自然な G5446 χρῆσιν, 関係を G5540 εἰς へと G1519 τὴν その G3588

παρὰ 自然に-反する-ものに G3844 φύσιν. 自然 G5449

それゆえ、神は彼らを恥ずべき情欲に任せられた。すなわち、彼らの中の女は、その自然の関係を不自然なものに代え、

27 ὁμοίως 同様に G3668 τε また G5037 καὶ 同じく G2532 οἱ その G3588 ἄρσενες, 男たちも G0730 ἀφέντες 捨てて G0863 τὴν その G3588 φυσικὴν 自然な G5446 χρῆσιν 関係を G5540 τῆς の G3588 θηλείας, 女との G2338

ἐξεκαύθησαν 燃え-上がった G1572 ἐν において G1722 τῇ その G3588 ὀρέξει 情欲 G3715 αὐτῶν 彼らの G0846 εἰς へと G1519 ἀλλήλους -- 互いに G0240 ἄρσενες 男が G0730 ἐν において G1722

ἄρσεσιν -- 男と G0730 τὴν その G3588 ἀσχημοσύνην 恥ずべき-行いを G0808 κατεργαζόμενοι, 行い G2716 καὶ そして G2532 τὴν その G3588 ἀντιμισθίαν 当然の-報いを G0489 ἣν その G3739

ἔδει 受ける-べき G1163 τῆς の G3588 πλάνης 迷い G4106 αὐτῶν, 彼らの G0846 ἐν において G1722 ἑαυτοῖς 自分-自身の-内に G1438 ἀπολαμβάνοντες. 受けている G0618

男もまた同じように女との自然の関係を捨てて、互にその情欲の炎を燃やし、男は男に対して恥ずべきことをなし、そしてその乱行の当然の報いを、身に受けたのである。

28 Καὶ そして G2532 καθὼς ちょうど G2531 οὐκ ない G3756 ἐδοκίμασαν, 認めなかった-ので G1381 τὸν その G3588 Θεὸν 神を G2316 ἔχειν 保つことを G2192 ἐν において G1722 ἐπιγνώσει, 知識の-中に G1922

παρέδωκεν 引き-渡された G3860 αὐτοὺς 彼らを G0846 ὁ その G3588 Θεὸς 神は G2316 εἰς へと G1519 ἀδόκιμον 堕落した G0096 νοῦν, 思いに G3563 ποιεῖν 行う-ために G4160 τὰ その G3588 μὴ ない G3361

καθήκοντα; ふさわしく-ない-ことを G2520

そして、彼らは神を認めることを正しいとしなかったので、神は彼らを正しからぬ思いにわたし、なすべからざる事をなすに任せられた。

29 πεπληρωμένους 満ちた G4137 πάσῃ あらゆる G3956 ἀδικίᾳ, 不義 G0093 πονηρίᾳ, 悪 G4189 πλεονεξίᾳ, 貪欲 G4124 κακίᾳ; 邪悪に G2549 μεστοὺς 満たされた G3324 φθόνου, ねたみ G5355

φόνου, 殺人 G5408 ἔριδος, 争い G2054 δόλου, 欺き G1388 κακοηθείας; 悪意に G2550 ψιθυριστάς, 陰口を-言う-者 G5588

すなわち、彼らは、あらゆる不義と悪と貪欲と悪意とにあふれ、ねたみと殺意と争いと詐欺と悪念とに満ち、また、ざん言する者、

30 καταλάλους, 中傷する–者 G2637 | θεοστυγεῖς, 神を–憎む–者 G2319 | ὑβριστάς, 暴慢な–者 G5197 | ὑπερηφάνους, 高ぶる–者 G5244 | ἀλαζόνας; 自慢する–者 G0213 | ἐφευρετὰς 悪事の–考案者 G2182 | κακῶν, 悪の G2556

γονεῦσιν 親に G1118 | ἀπειθεῖς; 逆らう–者 G0545

そしる者、神を憎む者、不遜な者、高慢な者、大言壮語する者、悪事をたくらむ者、親に逆らう者となり、

31 ἀσυνέτους, 分別の–ない–者 G0801 | ἀσυνθέτους, 約束を–守らない–者 G0802 | ἀστόργους, 情け–知らずの–者 G0794 | ἀνελεήμονας; あわれみの–ない–者 G0415

無知、不誠実、無情、無慈悲な者となっている。

32 οἵτινες 彼らは G3748 | τὸ その G3588 | δικαίωμα 定めを G1345 | τοῦ の G3588 | Θεοῦ 神の G2316 | ἐπιγνόντες, 知りながら G1921 | ὅτι すなわち G3754 | οἱ その G3588 | τὰ そのような G3588

τοιαῦτα そのような–ことを G5108 | πράσσοντες, 行う–者たちは G4238 | ἄξιοι ふさわしい G0514 | θανάτου 死に G2288 | εἰσίν, であると G1510 | οὐ ただ G3756 | μόνον だけ–ではなく G3440 | αὐτὰ それらを G0846

ποιοῦσιν, 行うだけ–でなく G4160 | ἀλλὰ さらに G0235 | καὶ また G2532 | συνευδοκοῦσιν 同意している G4909 | τοῖς その G3588 | πράσσουσιν. 行う–者たちにも G4238

彼らは、こうした事を行う者どもが死に価するという神の定めをよく知りながら、自らそれを行うばかりではなく、それを行う者どもを是認さえしている。

Chapter 2

1 Διὸ それゆえ G1352 | ἀναπολόγητος 弁解の–余地が–ない G0379 | εἶ, あなたは G1510 | ὦ おお G5599 | ἄνθρωπε, 人よ G0444 | πᾶς すべての G3956 | ὁ その G3588 | κρίνων, 裁く–者よ G2919 | ἐν において G1722

ᾧ その–ことによって G3739 | γὰρ なぜなら G1063 | κρίνεις 裁く G2919 | τὸν その G3588 | ἕτερον, 他人を G2087 | σεαυτὸν 自分–自身を G4572 | κατακρίνεις; 罪に–定めている G2632 | τὰ その G3588

γὰρ なぜなら G1063 | αὐτὰ 同じ–ことを G0846 | πράσσεις, 行っている G4238 | ὁ その G3588 | κρίνων. 裁く–者よ G2919

だから、ああ、すべて人をさばく者よ。あなたには弁解の余地がない。あなたは、他人をさばくことによって、自分自身を罪に定めている。さばくあなたも、同じことを行っているからである。

2 οἴδαμεν 知っている G1492 | δὲ しかし G1161 | ὅτι ということを G3754 | τὸ その G3588 | κρίμα 裁きは G2917 | τοῦ の G3588 | Θεοῦ 神の G2316 | ἐστιν である G1510 | κατὰ に–基づく G2596 | ἀλήθειαν, 真理 G0225

ἐπὶ に–対して G1909 | τοὺς その G3588 | τὰ そのような G3588 | τοιαῦτα そのような–ことを G5108 | πράσσοντας. 行う–者たちに G4238

わたしたちは、神のさばきが、このような事を行う者どもの上に正しく下ることを、知っている。

3

λογίζῃ	δὲ	τοῦτο,	ὦ	ἄνθρωπε,	ὁ	κρίνων	τοὺς	τὰ
思うのか	しかし	このことを	おお	人よ	その	裁く-者よ	その	そのような
G3049	G1161	G3778	G5599	G0444	G3588	G2919	G3588	G3588

τοιαῦτα	πράσσοντας,	καὶ	ποιῶν	αὐτά,	ὅτι	σὺ	ἐκφεύξῃ
そのような-ことを	行う-者たちを	そして	行いながら	それらを	ということを	あなたが	免れると
G5108	G4238	G2532	G4160	G0846	G3754	G4771	G1628

τὸ	κρίμα	τοῦ	Θεοῦ?
その	裁きを	の	神の
G3588	G2917	G3588	G2316

ああ、このような事を行う者どもをさばきながら、しかも自ら同じことを行う人よ。あなたは、神のさばきをのがれうると思うのか。

4

ἢ	τοῦ	πλούτου	τῆς	χρηστότητος	αὐτοῦ,	καὶ	τῆς	ἀνοχῆς,	καὶ	τῆς
それとも	その	豊かさを	の	慈愛と	神の	また	その	寛容と	また	その
G2228	G3588	G4149	G3588	G5544	G0846	G2532	G3588	G0463	G2532	G3588

μακροθυμίας	καταφρονεῖς,	ἀγνοῶν	ὅτι	τὸ	χρηστὸν	τοῦ	Θεοῦ,	εἰς
忍耐を	侮るのか	知らないのか	ということを	その	慈しみが	の	神の	へと
G3115	G2706	G0050	G3754	G3588	G5543	G3588	G2316	G1519

μετάνοιάν	σε	ἄγει?
悔い改め	あなたを	導いていると
G3341	G4771	G0071

それとも、神の慈愛があなたを悔改めに導くことも知らないで、その慈愛と忍耐と寛容との富を軽んじるのか。

5

κατὰ	δὲ	τὴν	σκληρότητά	σου,	καὶ	ἀμετανόητον	καρδίαν,
に-従えば	しかし	その	かたくなさと	あなたの	そして	悔い改めない	心に-よって
G2596	G1161	G3588	G4643	G4771	G2532	G0279	G2588

θησαυρίζεις	σεαυτῷ	ὀργὴν	ἐν	ἡμέρᾳ	ὀργῆς,	καὶ	ἀποκαλύψεως
積み-重ねている	自分-自身に	怒りを	の	日に	怒りの	そして	啓示
G2343	G4572	G3709	G1722	G2250	G3709	G2532	G0602

δικαιοκρισίας	τοῦ	Θεοῦ,
正しい-裁きの	の	神の
G1341	G3588	G2316

あなたのかたくなな、悔改めのない心のゆえに、あなたは、神の正しいさばきの現れる怒りの日のために神の怒りを、自分の身に積んでいるのである。

6

ὃς	ἀποδώσει	ἑκάστῳ,	κατὰ	τὰ	ἔργα	αὐτοῦ:
この方は	報いられる	各人に	に-応じて	その	行い	その人の
G3739	G0591	G1538	G2596	G3588	G2041	G0846

神は、おのおのに、そのわざにしたがって報いられる。

7

τοῖς	μὲν	καθ’	ὑπομονὴν	ἔργου	ἀγαθοῦ,	δόξαν	καὶ	τιμὴν	καὶ
その	一方で	に-よって	忍耐	行いの	善い	栄光と	また	誉れと	また
G3588	G3303	G2596	G5281	G2041	G0018	G1391	G2532	G5092	G2532

ἀφθαρσίαν	ζητοῦσιν,	ζωὴν	αἰώνιον;
不滅を	求める-者には	永遠の	命
G0861	G2212	G2222	G0166

すなわち、一方では、耐え忍んで善を行って、光栄とほまれと朽ちぬものとを求める人に、永遠のいのちが与えられ、

8 τοῖς しかし G3588 | δὲ 他方で G1161 | ἐξ から G1537 | ἐριθείας, 利己主義 G2052 | καὶ そして G2532 | ἀπειθοῦσι 逆らう-者には G0544 | τῇ その G3588 | ἀληθείᾳ, 真理に G0225 | πειθομένοις 従いながら G3982 | δὲ しかし G1161 | τῇ その G3588 | ἀδικίᾳ, 不義に G0093 | ὀργὴ 怒りと G3709 | καὶ また G2532 | θυμός; 憤りが G2372

他方では、党派心をいだき、真理に従わないで不義に従う人に、怒りと激しい憤りとが加えられる。

9 θλῖψις 苦悩と G2347 | καὶ また G2532 | στενοχωρία, 苦難が G4730 | ἐπὶ に-対して G1909 | πᾶσαν すべての G3956 | ψυχὴν 魂 G5590 | ἀνθρώπου 人の G0444 | τοῦ その G3588 | κατεργαζομένου 悪を-行う G2716 | τὸ その G3588 | κακόν, 悪を G2556 | Ἰουδαίου ユダヤ人に G2453 | τε まず G5037 | πρῶτον, 第一に G4412 | καὶ そして-また G2532 | Ἕλληνος; ギリシア人にも G1672

悪を行うすべての人には、ユダヤ人をはじめギリシヤ人にも、患難と苦悩とが与えられ、

10 δόξα 栄光と G1391 | δὲ, しかし G1161 | καὶ また G2532 | τιμὴ, 誉れと G5092 | καὶ また G2532 | εἰρήνη 平安が G1515 | παντὶ すべての G3956 | τῷ その G3588 | ἐργαζομένῳ 善を-行う-者に G2038 | τὸ その G3588 | ἀγαθόν, 善を G0018 | Ἰουδαίῳ ユダヤ人に G2453 | τε まず G5037 | πρῶτον, 第一に G4412 | καὶ そして-また G2532 | Ἕλληνι. ギリシア人にも G1672

善を行うすべての人には、ユダヤ人をはじめギリシヤ人にも、光栄とほまれと平安とが与えられる。

11 οὐ ない G3756 | γάρ なぜなら G1063 | ἐστιν ない G1510 | προσωπολημψία えこひいきは G4382 | παρὰ の-もとに G3844 | τῷ その G3588 | Θεῷ. 神には G2316

なぜなら、神には、かたより見ることがないからである。

12 Ὅσοι すべての G3745 | γὰρ なぜなら G1063 | ἀνόμως 律法なしに G0460 | ἥμαρτον, 罪を-犯した-者は G0264 | ἀνόμως 律法なしに G0460 | καὶ また G2532 | ἀπολοῦνται; 滅びる G0622 | καὶ そして G2532 | ὅσοι すべての G3745 | ἐν の-もとで G1722 | νόμῳ 律法 G3551 | ἥμαρτον, 罪を-犯した-者は G0264 | διὰ に-よって G1223 | νόμου 律法 G3551 | κριθήσονται, 裁かれる G2919

そのわけは、律法なしに罪を犯した者は、また律法なしに滅び、律法のもとで罪を犯した者は、律法によってさばかれる。

13 οὐ ない G3756 | γὰρ なぜなら G1063 | οἱ その G3588 | ἀκροαταὶ 聞く-者が G0202 | νόμου 律法の G3551 | δίκαιοι 義しいの-ではなく G1342 | παρὰ の-前に G3844 | τῷ その G3588 | Θεῷ, 神の G2316 | ἀλλ’ そうではなく G0235 | οἱ その G3588 | ποιηταὶ 行う-者が G4163 | νόμου 律法の G3551 | δικαιωθήσονται. 義と-される G1344

なぜなら、律法を聞く者が、神の前に義なるものではなく、律法を行う者が、義とされるからである。

14 ὅταν γὰρ ἔθνη, τὰ μὴ νόμον ἔχοντα, φύσει τὰ τοῦ
いつ なぜなら 異邦人が その ない 律法を 持たなくても 生まれつき その の
G3752 G1063 G1484 G3588 G3361 G3551 G2192 G5449 G3588 G3588

νόμου ποιῶσιν, οὗτοι νόμον μὴ ἔχοντες ἑαυτοῖς εἰσιν
律法の–ことを 行うなら これらの–人々は 律法を ない 持っていなくても 自分–自身が である
G3551 G4160 G3778 G3551 G3361 G2192 G1438 G1510

νόμος,
律法
G3551

すなわち、律法を持たない異邦人が、自然のままで、律法の命じる事を行うなら、たとい律法を持たなくても、彼らにとっては自分自身が律法なのである。

15 οἵτινες ἐνδείκνυνται τὸ ἔργον τοῦ νόμου, γραπτὸν ἐν ταῖς καρδίαις
彼らは 示している その 働きが の 律法の 書かれている–と に その 心に
G3748 G1731 G3588 G2041 G3588 G3551 G1123 G1722 G3588 G2588

αὐτῶν, συμμαρτυρούσης αὐτῶν τῆς συνειδήσεως, καὶ μεταξὺ ἀλλήλων, τῶν
彼らの 共に–証言している 彼らの その 良心も そして 互いの–間で 互いの その
G0846 G4828 G0846 G3588 G4893 G2532 G3342 G0240 G3588

λογισμῶν κατηγορούντων ἢ καὶ ἀπολογουμένων,
思いが 訴えたり または あるいは 弁護したり–して
G3053 G2723 G2228 G2532 G0626

彼らは律法の要求がその心にしるされていることを現し、そのことを彼らの良心も共にあかしをして、その判断が互にあるいは訴え、あるいは弁明し合うのである。

16 ἐν □ῇ□ ἡμέρᾳ, ‹ὅτε› κρίνει ὁ Θεὸς τὰ κρυπτὰ τῶν
において その 日に その時 裁かれる その 神が その 隠れた–ことを の
G1722 G3739 G2250 G3753 G2919 G3588 G2316 G3588 G2927 G3588

ἀνθρώπων, κατὰ τὸ εὐαγγέλιόν μου, διὰ Χριστοῦ Ἰησοῦ.
人々の に–従って その 福音 私の を–通して キリスト イエス
G0444 G2596 G3588 G2098 G1473 G1223 G5547 G2424

そして、これらのことは、わたしの福音によれば、神がキリスト・イエスによって人々の隠れた事がらをさばかれるその日に、明らかにされるであろう。

17 Εἰ δὲ σὺ Ἰουδαῖος ἐπονομάζῃ, καὶ ἐπαναπαύῃ νόμῳ, καὶ
もし しかし あなたが ユダヤ人と 名乗り そして 頼り 律法に そして
G1487 G1161 G4771 G2453 G2028 G2532 G1879 G3551 G2532

καυχᾶσαι ἐν Θεῷ;
誇り において 神に
G2744 G1722 G2316

もしあなたが、自らユダヤ人と称し、律法に安んじ、神を誇とし、

18 καὶ γινώσκεις τὸ θέλημα, καὶ δοκιμάζεις τὰ διαφέροντα, κατηχούμενος
そして 知っている その 御心を そして わきまえる その 優れた–ことを 教えられていて
G2532 G1097 G3588 G2307 G2532 G1381 G3588 G1308 G2727

ἐκ τοῦ νόμου;
から その 律法
G1537 G3588 G3551

御旨を知り、律法に教えられて、なすべきことをわきまえており、

19 πέποιθάς 確信している G3982 τε また G5037 σεαυτὸν 自分が G4572 ὁδηγὸν 導き–手 G3595 εἶναι, であると G1510 τυφλῶν, 盲人の G5185 φῶς 光 G5457 τῶν その G3588 ἐν の–中の G1722 σκότει, 暗闇の G4655

20 παιδευτὴν 教師 G3810 ἀφρόνων, 愚かな–者の G0878 διδάσκαλον 先生 G1320 νηπίων, 未熟な–者の G3516 ἔχοντα 持っていると G2192 τὴν その G3588 μόρφωσιν 形を G3446 τῆς の G3588 γνώσεως 知識と G1108 καὶ また G2532 τῆς その G3588 ἀληθείας 真理の G0225 ἐν における G1722 τῷ その G3588 νόμῳ-- 律法に G3551

さらに、知識と真理とが律法の中に形をとっているとして、自ら盲人の手引き、やみにおる者の光、愚かな者の導き手、幼な子の教師をもって任じているのなら、

21 ὁ その G3588 οὖν それなら G3767 διδάσκων 教える–者よ G1321 ἕτερον, 他人を G2087 σεαυτὸν 自分–自身を G4572 οὐ ない G3756 διδάσκεις? 教えないのか G1321 ὁ その G3588 κηρύσσων, 宣べる–者よ G2784 μὴ ない G3361 κλέπτειν, 盗むなと G2813 κλέπτεις? 盗むのか G2813

なぜ、人を教えて自分を教えないのか。盗むなと人に説いて、自らは盗むのか。

22 ὁ その G3588 λέγων 言う–者よ G3004 μὴ ない G3361 μοιχεύειν, 姦淫するなと G3431 μοιχεύεις? 姦淫するのか G3431 ὁ その G3588 βδελυσσόμενος 忌み–嫌う–者よ G0948 τὰ その G3588 εἴδωλα, 偶像を G1497 ἱεροσυλεῖς? 神殿を–汚すのか G2416

姦淫するなと言って、自らは姦淫するのか。偶像を忌みきらいながら、自らは宮の物をかすめるのか。

23 ὃς その G3739 ἐν において G1722 νόμῳ 律法を G3551 καυχᾶσαι, 誇りながら G2744 διὰ に–よって G1223 τῆς その G3588 παραβάσεως 違反 G3847 τοῦ の G3588 νόμου, 律法の G3551 τὸν その G3588 Θεὸν 神を G2316 ἀτιμάζεις? 辱めるのか G0818

律法を誇としながら、自らは律法に違反して、神を侮っているのか。

24 τὸ その G3588 γὰρ なぜなら G1063 ὄνομα 御名が G3686 τοῦ の G3588 Θεοῦ 神の G2316 δι’ に–よって G1223 ὑμᾶς あなたがたの–せいで G4771 βλασφημεῖται 汚されている G0987 ἐν の–中で G1722 τοῖς その G3588 ἔθνεσιν, 異邦人の–間で G1484 καθὼς と–書かれている–通り G2531 γέγραπται. 書かれている G1125

聖書に書いてあるとおり、「神の御名は、あなたがたのゆえに、異邦人の間で汚されている」。

25 περιτομὴ μὲν γὰρ ὠφελεῖ, ἐὰν νόμον πράσσῃς; ἐὰν δὲ παραβάτης
割礼は 確かに なぜなら 益がある もし 律法を 行うなら もし しかし 違反者
G4061 G3303 G1063 G5623 G1437 G3551 G4238 G1437 G1161 G3848

νόμου ᾖς, ἡ περιτομή σου, ἀκροβυστία γέγονεν.
律法の であるなら その 割礼は あなたの 無割礼に なっている
G3551 G1510 G3588 G4061 G4771 G0203 G1096

もし、あなたが律法を行うなら、なるほど、割礼は役に立とう。しかし、もし律法を犯すなら、あなたの割礼は無割礼となってしまう。

26 ἐὰν οὖν ἡ ἀκροβυστία, τὰ δικαιώματα τοῦ νόμου φυλάσσῃ, οὐχ
もし それなら その 無割礼の-者が その 定めを の 律法の 守るなら ないか
G1437 G3767 G3588 G0203 G3588 G1345 G3588 G3551 G5442 G3756

ἡ ἀκροβυστία αὐτοῦ, εἰς περιτομὴν λογισθήσεται?
その 無割礼が その人の として 割礼と みなされるのではないか
G3588 G0203 G0846 G1519 G4061 G3049

だから、もし無割礼の者が律法の規定を守るなら、その無割礼は割礼と見なされるではないか。

27 καὶ κρινεῖ ἡ ἐκ φύσεως ἀκροβυστία, τὸν νόμον, τελοῦσα,
そして 裁く その 生まれつきの 自然に-よる 無割礼の-者が その 律法を 守りながら
G2532 G2919 G3588 G1537 G5449 G0203 G3588 G3551 G5055

σὲ τὸν διὰ γράμματος καὶ περιτομῆς, παραβάτην νόμου?
あなたを その に-よって 文字と また 割礼を-持ちながら 違反者 律法の
G4771 G3588 G1223 G1121 G2532 G4061 G3848 G3551

かつ、生れながら無割礼の者であって律法を全うする者は、律法の文字と割礼とを持ちながら律法を犯しているあなたを、さばくのである。

28 οὐ γὰρ ὁ ἐν, τῷ φανερῷ Ἰουδαῖός ἐστιν; οὐδὲ ἡ
ない なぜなら その において その 外見上の ユダヤ人が ではない またない その
G3756 G1063 G3588 G1722 G3588 G5318 G2453 G1510 G3761 G3588

ἐν, τῷ φανερῷ ἐν σαρκὶ περιτομή;
における その 外見上の における 肉の 割礼ではない
G1722 G3588 G5318 G1722 G4561 G4061

というのは、外見上のユダヤ人がユダヤ人ではなく、また、外見上の肉における割礼が割礼でもない。

29 ἀλλ’ ὁ ἐν τῷ κρυπτῷ Ἰουδαῖος; καὶ περιτομὴ
そうではなく その における その 隠れた-ところの ユダヤ人であり そして 割礼は
G0235 G3588 G1722 G3588 G2927 G2453 G2532 G4061

καρδίας, ἐν πνεύματι, οὐ γράμματι; οὗ ὁ ἔπαινος οὐκ
心の における 霊に-よる ない 文字に-よるのではない その人の その 称賛は ない
G2588 G1722 G4151 G3756 G1121 G3739 G3588 G1868 G3756

ἐξ ἀνθρώπων, ἀλλ’ ἐκ τοῦ Θεοῦ.
から 人から-ではなく そうではなく から その 神から
G1537 G0444 G0235 G1537 G3588 G2316

かえって、隠れたユダヤ人がユダヤ人であり、また、文字によらず霊による心の割礼こそ割礼であって、そのほまれは人からではなく、神から来るのである。

Chapter 3

1 Τί οὖν τὸ περισσὸν τοῦ Ἰουδαίου? ἢ τίς ἡ ὠφέλεια
では それなら その 優れた-点は の ユダヤ人の または 何の その 益があるのか
G5101 G3767 G3588 G4053 G3588 G2453 G2228 G5101 G3588 G5622

τῆς περιτομῆς?
の 割礼に
G3588 G4061

では、ユダヤ人のすぐれている点は何か。また割礼の益は何か。

2 πολὺ κατὰ πάντα τρόπον, πρῶτον μὲν γὰρ ὅτι ἐπιστεύθησαν
多い において すべての 点で 第一に まず なぜなら ということを 委ねられた
G4183 G2596 G3956 G5158 G4412 G3303 G1063 G3754 G4100

τὰ λόγια τοῦ Θεοῦ.
その 御言葉が の 神の
G3588 G3051 G3588 G2316

それは、いろいろの点で数多くある。まず第一に、神の言が彼らにゆだねられたことである。

3 τί γάρ εἰ ἠπίστησάν τινες? μὴ ἡ ἀπιστία αὐτῶν,
何か なぜなら もし 信じなかった-者がいても ある-者が まさか その 不信仰が 彼らの
G5101 G1063 G1487 G0569 G5100 G3361 G3588 G0570 G0846

τὴν πίστιν τοῦ Θεοῦ καταργήσει?
その 誠実さを の 神の 無にするのか
G3588 G4102 G3588 G2316 G2673

すると、どうなるのか。もし、彼らのうちに不真実の者があったとしたら、その不真実によって、神の真実は無になるであろうか。

4 μὴ γένοιτο! γινέσθω δὲ ὁ Θεὸς ἀληθής, πᾶς δὲ
断じて そのような-ことは-ない としよう むしろ その 神は 真実であり すべての しかし
G3361 G1096 G1096 G1161 G3588 G2316 G0227 G3956 G1161

ἄνθρωπος ψεύστης, καθὼς γέγραπται, Ὅπως ἂν δικαιωθῇς
人は 偽り者である と-書かれている-通り 書かれている それは きっと 義と-される-ため
G0444 G5583 G2531 G1125 G3704 G0302 G1344

ἐν τοῖς λόγοις σου, καὶ νικήσεις ἐν τῷ κρίνεσθαί
において その 言葉に-おいて あなたの そして 勝つ-ため において その 裁かれる-時に
G1722 G3588 G3056 G4771 G2532 G3528 G1722 G3588 G2919

σε.
あなたが
G4771

断じてそうではない。あらゆる人を偽り者としても、神を真実なものとすべきである。それは、「あなたが言葉を述べるときは、義とせられ、あなたがさばきを受けるとき、勝利を得るため」と書いてあるとおりである。

5 εἰ δὲ ἡ ἀδικία ἡμῶν, Θεοῦ δικαιοσύνην συνίστησιν, τί
もし しかし その 不義が 私たちの 神の 義を 明らかに-するなら 何と
G1487 G1161 G3588 G0093 G1473 G2316 G1343 G4921 G5101

ἐροῦμεν? μὴ ἄδικος ὁ Θεὸς, ὁ ἐπιφέρων τὴν ὀργήν? κατὰ
言うのか まさか 不正である-のか その 神は その 下す その 怒りを に-従えば
G2046 G3361 G0094 G3588 G2316 G3588 G2018 G3588 G3709 G2596

ἄνθρωπον λέγω.
人間の 言い方で
G0444 G3004

しかし、もしわたしたちの不義が、神の義を明らかにするとしたら、なんと言うべきか。怒りを下す神は、不義であると言うのか（これは人間的な言い方ではある）。

6 μὴ 断じて G3361 | γένοιτο! そのような–ことは–ない G1096 | ἐπεὶ そうでなければ G1893 | πῶς どうして G4459 | κρινεῖ 裁くのか G2919 | ὁ その G3588 | Θεὸς 神は G2316 | τὸν その G3588 | κόσμον? 世界を G2889

断じてそうではない。もしそうであったら、神はこの世を、どうさばかれるだろうか。

7 εἰ もし G1487 | δὲ しかし G1161 | ἡ その G3588 | ἀλήθεια 真実が G0225 | τοῦ の G3588 | Θεοῦ, 神の G2316 | ἐν に–よって G1722 | τῷ その G3588 | ἐμῷ 私の G1699 | ψεύσματι, 偽りに–よって G5582 | ἐπερίσσευσεν 豊かに–なったのなら G4052 | εἰς へと G1519 | τὴν その G3588 | δόξαν 栄光 G1391 | αὐτοῦ, 神の G0846 | τί なぜ G5101 | ἔτι なお G2089 | κἀγὼ 私も G2504 | ὡς として G5613 | ἁμαρτωλὸς 罪人 G0268 | κρίνομαι? 裁かれるのか G2919

しかし、もし神の真実が、わたしの偽りによりいっそう明らかにされて、神の栄光となるなら、どうして、わたしはなおも罪人としてさばかれるのだろうか。

8 καὶ そして G2532 | μὴ, ないのか G3361 | καθὼς と–書かれている–通り G2531 | βλασφημούμεθα, 謗られている–ように G0987 | καὶ そして G2532 | καθώς と–いう–通り G2531 | φασίν 言う–者がいる G5346 | τινες ある–者は G5100 | ἡμᾶς 私たちが G1473 | λέγειν, 言うと G3004 | ὅτι すなわち G3754 | Ποιήσωμεν しよう G4160 | τὰ その G3588 | κακὰ, 悪を G2556 | ἵνα そうすれば G2443 | ἔλθῃ 来る G2064 | τὰ その G3588 | ἀγαθά? 善が G0018 | ὧν その–者たちの G3739 | τὸ その G3588 | κρίμα 裁きは G2917 | ἔνδικόν 正当で G1738 | ἐστιν. ある G1510

むしろ、「善をきたらせるために、わたしたちは悪をしようではないか」（わたしたちがそう言っていると、ある人々はそしっている）。彼らが罰せられるのは当然である。

9 Τί では G5101 | οὖν? どうなのか G3767 | προεχόμεθα? 優れているのか G4284 | οὐ いいえ G3756 | πάντως; 決して G3843 | προῃτιασάμεθα 先に–訴えた G4256 | γὰρ, なぜなら G1063 | Ἰουδαίους ユダヤ人も G2453 | τε また G5037 | καὶ そして G2532 | Ἕλληνας, ギリシア人も G1672 | πάντας すべてが G3956 | ὑφ’ の–もとに G5259 | ἁμαρτίαν 罪 G0266 | εἶναι. あると G1510

すると、どうなるのか。わたしたちには何かまさったところがあるのか。絶対にない。ユダヤ人もギリシヤ人も、ことごとく罪の下にあることを、わたしたちはすでに指摘した。

10 καθὼς と–書かれている–通り G2531 | γέγραπται, 書かれている G1125 | ὅτι すなわち G3754 | Οὐκ いない G3756 | ἔστιν いない G1510 | δίκαιος, 義人は G1342 | οὐδὲ 一人も G3761 | εἷς; 一人も G1520

次のように書いてある、「義人はいない、ひとりもいない。

11 οὐκ ἔστιν ὁ συνίων; οὐκ ἔστιν ὁ ἐκζητῶν τὸν Θεόν.
いない いない その 悟る–者は いない いない その 求める–者は その 神を
G3756 G1510 G3588 G4920 G3756 G1510 G3588 G1567 G3588 G2316

悟りのある人はいない、神を求める人はいない。

12 πάντες ἐξέκλιναν, ἅμα ἠχρεώθησαν; οὐκ ἔστιν ὁ ποιῶν
すべてが それて 共に 役に–立たなく–なった いない いない その 行う–者は
G3956 G1578 G0260 G0889 G3756 G1510 G3588 G4160

χρηστότητα, οὐκ ἔστιν ἕως ἑνός.
善を いない いない まで 一人も
G5544 G3756 G1510 G2193 G1520

すべての人は迷い出て、ことごとく無益なものになっている。善を行う者はいない、ひとりもいない。

13 τάφος ἀνεῳγμένος ὁ λάρυγξ αὐτῶν; ταῖς γλώσσαις αὐτῶν ἐδολιοῦσαν; ἰὸς
墓 開かれた である のど 彼らの その 舌で 彼らの 欺いていた 毒が
G5028 G0455 G3588 G2995 G0846 G3588 G1100 G0846 G1387 G2447

ἀσπίδων ὑπὸ τὰ χείλη αὐτῶν;
まむしの の–下に その 唇 彼らの
G0785 G5259 G3588 G5491 G0846

彼らののどは、開いた墓であり、彼らは、その舌で人を欺き、彼らのくちびるには、まむしの毒があり、

14 ὧν τὸ στόμα, ἀρᾶς καὶ πικρίας γέμει;
その–者たちの その 口は 呪いと また 苦さに 満ちている
G3739 G3588 G4750 G0685 G2532 G4088 G1073

彼らの口は、のろいと苦い言葉とで満ちている。

15 ὀξεῖς οἱ πόδες αὐτῶν, ἐκχέαι αἷμα;
速い その 足は 彼らの 流す–ために 血を
G3691 G3588 G4228 G0846 G1632 G0129

彼らの足は、血を流すのに速く、

16 σύντριμμα καὶ ταλαιπωρία ἐν ταῖς ὁδοῖς αὐτῶν;
破壊と また 悲惨が において その 道 彼らの
G4938 G2532 G5004 G1722 G3588 G3598 G0846

彼らの道には、破壊と悲惨とがある。

17 καὶ ὁδὸν εἰρήνης οὐκ ἔγνωσαν;
そして 道を 平安の ない 知らない
G2532 G3598 G1515 G3756 G1097

そして、彼らは平和の道を知らない。

18 οὐκ ἔστιν φόβος Θεοῦ ἀπέναντι τῶν ὀφθαλμῶν αὐτῶν.
ない ない 畑れが 神への の–前に その 目 彼らの
G3756 G1510 G5401 G2316 G0561 G3588 G3788 G0846

彼らの目の前には、神に対する恐れがない」。

19 Οἴδαμεν δὲ, ὅτι ὅσα ὁ νόμος λέγει, τοῖς ἐν τῷ
知っている しかし ということを すべての その 律法が 言うことは その の–下にいる その
G1492 G1161 G3754 G3745 G3588 G3551 G3004 G3588 G1722 G3588

νόμῳ λαλεῖ, ἵνα πᾶν στόμα φραγῇ, καὶ ὑπόδικος γένηται
律法 語っている それは すべての 口が ふさがれ そして 責任ある–者となる なる–ために
G3551 G2980 G2443 G3956 G4750 G5420 G2532 G5267 G1096

πᾶς ὁ κόσμος τῷ Θεῷ.
全 その 世界が その 神の–前に
G3956 G3588 G2889 G3588 G2316

さて、わたしたちが知っているように、すべて律法の言うところは、律法のもとにある者たちに対して語られている。それは、すべての口がふさがれ、全世界が神のさばきに服するためである。

20 διότι ἐξ ἔργων νόμου, οὐ δικαιωθήσεται πᾶσα σὰρξ ἐνώπιον
なぜなら から 行いに–よっては 律法の ない 義と–されない すべての 肉は の–前に
G1360 G1537 G2041 G3551 G3756 G1344 G3956 G4561 G1799

αὐτοῦ; διὰ γὰρ νόμου ἐπίγνωσις ἁμαρτίας.
神の に–よって なぜなら 律法 知ること 罪を
G0846 G1223 G1063 G3551 G1922 G0266

なぜなら、律法を行うことによっては、すべての人間は神の前に義とせられないからである。律法によっては、罪の自覚が生じるのみである。

21 Νυνὶ δὲ, χωρὶς νόμου, δικαιοσύνη Θεοῦ πεφανέρωται, μαρτυρουμένη
しかし–今や そして 離れて 律法から 義が 神の 現れた 証しされている
G3570 G1161 G5565 G3551 G1343 G2316 G5319 G3140

ὑπὸ τοῦ νόμου καὶ τῶν προφητῶν;
に–よって その 律法と また その 預言者たちに
G5259 G3588 G3551 G2532 G3588 G4396

しかし今や、神の義が、律法とは別に、しかも律法と預言者とによってあかしされて、現された。

22 δικαιοσύνη δὲ Θεοῦ διὰ πίστεως Ἰησοῦ Χριστοῦ, εἰς πάντας τοὺς
義が すなわち 神の を–通して 信仰 イエス キリストの へと すべての その
G1343 G1161 G2316 G1223 G4102 G2424 G5547 G1519 G3956 G3588

πιστεύοντας. οὐ γάρ ἐστιν διαστολή.
信じる–者に ない なぜなら ない 区別は
G4100 G3756 G1063 G1510 G1293

それは、イエス・キリストを信じる信仰による神の義であって、すべて信じる人に与えられるものである。そこにはなんらの差別もない。

23 πάντες γὰρ ἥμαρτον καὶ ὑστεροῦνται τῆς δόξης τοῦ Θεοῦ,
すべての–人が なぜなら 罪を–犯し そして 欠いている その 栄光に の 神の
G3956 G1063 G0264 G2532 G5302 G3588 G1391 G3588 G2316

すなわち、すべての人は罪を犯したため、神の栄光を受けられなくなっており、

24 δικαιούμενοι δωρεὰν τῇ αὐτοῦ χάριτι, διὰ τῆς ἀπολυτρώσεως
義と–されている 無償で その 神の 恵みに–よって を–通して その 贖い
G1344 G1432 G3588 G0846 G5485 G1223 G3588 G0629

τῆς ἐν Χριστῷ Ἰησοῦ,
その における キリスト イエスに–ある
G3588 G1722 G5547 G2424

彼らは、価なしに、神の恵みにより、キリスト・イエスによるあがないによって義とされるのである。

25 ὃν προέθετο ὁ Θεὸς ἱλαστήριον, διὰ [τῆς] πίστεως
この方を 立てられた その 神は なだめの–供え物として を–通して その 信仰に–よって
G3739 G4388 G3588 G2316 G2435 G1223 G3588 G4102

ἐν τῷ αὐτοῦ αἵματι, εἰς ἔνδειξιν τῆς δικαιοσύνης αὐτοῦ, διὰ
における その この方の 血に–よって へと 証明 その 義の 神の に–よって
G1722 G3588 G0846 G0129 G1519 G1732 G3588 G1343 G0846 G1223

τὴν πάρεσιν τῶν προγεγονότων ἁμαρτημάτων --
その 見過ごし その 以前の 罪
G3588 G3929 G3588 G4266 G0265

神はこのキリストを立てて、その血による、信仰をもって受くべきあがないの供え物とされた。それは神の義を示すためであった。すなわち、今までに犯された罪を、神は忍耐をもって見のがしておられたが、

26 ἐν τῇ ἀνοχῇ τοῦ Θεοῦ; πρὸς τὴν ἔνδειξιν τῆς δικαιοσύνης αὐτοῦ
における その 寛容 の 神の へと その 証明 その 義の 神の
G1722 G3588 G0463 G3588 G2316 G4314 G3588 G1732 G3588 G1343 G0846

ἐν τῷ νῦν καιρῷ, εἰς τὸ εἶναι αὐτὸν δίκαιον, καὶ
において その 今の 時に ために その である–こと 神が 義であり また
G1722 G3588 G3568 G2540 G1519 G3588 G1510 G0846 G1342 G2532

δικαιοῦντα τὸν ἐκ πίστεως Ἰησοῦ.
義とする–方である その からの 信仰 イエスの
G1344 G3588 G1537 G4102 G2424

それは、今の時に、神の義を示すためであった。こうして、神みずからが義となり、さらに、イエスを信じる者を義とされるのである。

27 Ποῦ οὖν ἡ καύχησις? ἐξεκλείσθη. διὰ ποίου νόμου?
どこに それなら その 誇りが–あるのか 退けられた どのような どのような 法に–よってか
G4226 G3767 G3588 G2746 G1576 G1223 G4169 G3551

τῶν ἔργων? οὐχί, ἀλλὰ διὰ νόμου πίστεως.
その 行いの いいえ そうではなく に–よって 法 信仰の
G3588 G2041 G3780 G0235 G1223 G3551 G4102

すると、どこにわたしたちの誇があるのか。全くない。なんの法則によってか。行いの法則によってか。そうではなく、信仰の法則によってである。

28 λογιζόμεθα γὰρ δικαιοῦσθαι πίστει ἄνθρωπον, χωρὶς ἔργων νόμου.
認める なぜなら 義と–されると 信仰に–よって 人は 離れて 行いから 律法の
G3049 G1063 G1344 G4102 G0444 G5565 G2041 G3551

わたしたちは、こう思う。人が義とされるのは、律法の行いによるのではなく、信仰によるのである。

29 ἢ Ἰουδαίων ὁ Θεὸς μόνον, οὐχὶ καὶ ἐθνῶν? ναὶ,
それとも ユダヤ人だけの その 神なのか だけの ではないのか また 異邦人の その–通り
G2228 G2453 G3588 G2316 G3440 G3780 G2532 G1484 G3483

καὶ ἐθνῶν,
また 異邦人の–神でもある
G2532 G1484

それとも、神はユダヤ人だけの神であろうか。また、異邦人の神であるのではないか。確かに、異邦人の神でもある。

30 εἴπερ
それは
G1512
εἷς
唯一の
G1520
ὁ
その
G3588
Θεός
神が
G2316
ὃς
その方が
G3739
δικαιώσει
義と-される
G1344
περιτομὴν
割礼の-者を
G4061
ἐκ
から
G1537
πίστεως,
信仰に-よって
G4102
καὶ
また
G2532
ἀκροβυστίαν
無割礼の-者をも
G0203
διὰ
を-通して
G1223
τῆς
その
G3588
πίστεως.
信仰
G4102

まことに、神は唯一であって、割礼のある者を信仰によって義とし、また、無割礼の者をも信仰のゆえに義とされるのである。

31 νόμον
律法を
G3551
οὖν
それなら
G3767
καταργοῦμεν
無にするのか
G2673
διὰ
に-よって
G1223
τῆς
その
G3588
πίστεως?
信仰
G4102
μὴ
断じて
G3361
γένοιτο!
そのような-ことは-ない
G1096
ἀλλὰ
そうではなく
G0235
νόμον
律法を
G3551
ἱστάνομεν.
確立する
G2476

すると、信仰のゆえに、わたしたちは律法を無効にするのであるか。断じてそうではない。かえって、それによって律法を確立するのである。

Chapter 4

1 Τί
では
G5101
οὖν
それなら
G3767
ἐροῦμεν,
言うのか
G2046
εὑρηκέναι
得たと
G2147
Ἀβραὰμ,
アブラハムが
G0011
τὸν
その
G3588
προπάτορα
祖先
G3962
ἡμῶν,
私たちの
G1473
κατὰ
に-従えば
G2596
σάρκα?
肉
G4561

それでは、肉によるわたしたちの先祖アブラハムの場合については、なんと言ったらよいか。

2 εἰ
もし
G1487
γὰρ
なぜなら
G1063
Ἀβραὰμ
アブラハムが
G0011
ἐξ
から
G1537
ἔργων
行いに-よって
G2041
ἐδικαιώθη,
義と-されたのなら
G1344
ἔχει
持つ
G2192
καύχημα,
誇りを
G2745
ἀλλ’
しかし
G0235
οὐ
ない
G3756
πρὸς
の-前には
G4314
Θεόν.
神の
G2316

もしアブラハムが、その行いによって義とされたのであれば、彼は誇ることができよう。しかし、神のみまえでは、できない。

3 τί
何と
G5101
γὰρ
なぜなら
G1063
ἡ
その
G3588
γραφὴ
聖書は
G1124
λέγει?
言うのか
G3004
Ἐπίστευσεν
信じた
G4100
δὲ
そして
G1161
Ἀβραὰμ
アブラハムは
G0011
τῷ
その
G3588
Θεῷ,
神を
G2316
καὶ
そして
G2532
ἐλογίσθη
認められた
G3049
αὐτῷ
彼に
G0846
εἰς
として
G1519
δικαιοσύνην.
義と
G1343

なぜなら、聖書はなんと言っているか、「アブラハムは神を信じた。それによって、彼は義と認められた」とある。

4 τῷ δὲ ἐργαζομένῳ, ὁ μισθὸς οὐ λογίζεται κατὰ χάριν,
その しかし 働く-者には その 報酬は ない みなされない に-従えば 恵み
G3588 G1161 G2038 G3588 G3408 G3756 G3049 G2596 G5485

ἀλλὰ κατὰ ὀφείλημα.
そうではなく に-従えば 当然の-報酬として
G0235 G2596 G3783

いったい、働く人に対する報酬は、恩恵としてではなく、当然の支払いとして認められる。

5 τῷ δὲ μὴ ἐργαζομένῳ, πιστεύοντι δὲ ἐπὶ τὸν δικαιοῦντα
その しかし ない 働かなくても 信じる-者には しかし に-対して その 義と-する-方を
G3588 G1161 G3361 G2038 G4100 G1161 G1909 G3588 G1344

τὸν ἀσεβῆ, λογίζεται ἡ πίστις αὐτοῦ εἰς δικαιοσύνην,
その 不敬虔な-者を 認められる その 信仰が その人の として 義と
G3588 G0765 G3049 G3588 G4102 G0846 G1519 G1343

しかし、働きはなくても、不信心な者を義とするかたを信じる人は、その信仰が義と認められるのである。

6 καθάπερ καὶ Δαυὶδ λέγει τὸν μακαρισμὸν τοῦ ἀνθρώπου ᾧ
ちょうど 同様に ダビデも 言っている その 幸いを の 人の その人に
G2509 G2532 G1138 G3004 G3588 G3108 G3588 G0444 G3739

ὁ Θεὸς λογίζεται δικαιοσύνην χωρὶς ἔργων:
その 神が 認められる 義を 離れて 行いから
G3588 G2316 G3049 G1343 G5565 G2041

ダビデもまた、行いがなくても神に義と認められた人の幸福について、次のように言っている、

7 Μακάριοι ὧν ἀφέθησαν αἱ ἀνομίαι, καὶ ὧν
幸いなるかな その-者たちは 赦された その 不法が そして その-者たちは
G3107 G3739 G0863 G3588 G0458 G2532 G3739

ἐπεκαλύφθησαν, αἱ ἁμαρτίαι;
覆われた その 罪が
G1943 G3588 G0266

「不法をゆるされ、罪をおおわれた人たちは、さいわいである。

8 μακάριος ἀνὴρ οὗ, οὐ μὴ λογίσηται Κύριος ἁμαρτίαν.
幸いなるかな 人は その人に 決してない 決して 数えない 主が 罪を
G3107 G0435 G3739 G3756 G3361 G3049 G2962 G0266

罪を主に認められない人は、さいわいである」。

9 ὁ μακαρισμὸς οὖν οὗτος, ἐπὶ τὴν περιτομὴν, ἢ καὶ
その 幸いは それなら この に-対して その 割礼の-者に それとも また
G3588 G3108 G3767 G3778 G1909 G3588 G4061 G2228 G2532

ἐπὶ τὴν ἀκροβυστίαν? λέγομεν γάρ, Ἐλογίσθη τῷ Ἀβραὰμ ἡ
に-対しても その 無割礼の-者にもか 言う なぜなら 認められた その アブラハムに その
G1909 G3588 G0203 G3004 G1063 G3049 G3588 G0011 G3588

πίστις εἰς δικαιοσύνην.
信仰が として 義と
G4102 G1519 G1343

さて、この幸福は、割礼の者だけが受けるのか。それとも、無割礼の者にも及ぶのか。わたしたちは言う、「アブラハムには、その信仰が義と認められた」のである。

10 πῶς どのように G4459 οὖν それなら G3767 ἐλογίσθη? 認められたのか G3049 ἐν において G1722 περιτομῇ 割礼の–ある–時か G4061 ὄντι, ある–時に G1510 ἢ それとも G2228 ἐν において G1722

ἀκροβυστίᾳ? 無割礼の–時か G0203 οὐκ ない G3756 ἐν において G1722 περιτομῇ, 割礼の–時ではなく G4061 ἀλλ’ そうではなく G0235 ἐν において G1722 ἀκροβυστίᾳ. 無割礼の–時に G0203

それでは、どういう場合にそう認められたのか。割礼を受けてからか、それとも受ける前か。割礼を受けてからではなく、無割礼の時であった。

11 καὶ そして G2532 σημεῖον しるしを G4592 ἔλαβεν 受けた G2983 περιτομῆς, 割礼の G4061 σφραγῖδα 印として G4973 τῆς その G3588 δικαιοσύνης 義の G1343 τῆς その G3588 πίστεως 信仰の G4102

τῆς その G3588 ἐν における G1722 τῇ その G3588 ἀκροβυστίᾳ, 無割礼の–時の G0203 εἰς ために G1519 τὸ その G3588 εἶναι なる–ために G1510 αὐτὸν 彼が G0846 πατέρα 父と G3962 πάντων すべての G3956

τῶν その G3588 πιστευόντων 信じる–者の G4100 δι’ を–通して G1223 ἀκροβυστίας, 無割礼の G0203 εἰς ために G1519 τὸ その G3588 λογισθῆναι 認められる–ために G3049 [καὶ] また G2532 αὐτοῖς 彼らにも G0846

τὴν その G3588 δικαιοσύνην; 義が G1343

そして、アブラハムは割礼というしるしを受けたが、それは、無割礼のままで信仰によって受けた義の証印であって、彼が、無割礼のままで信じて義とされるに至るすべての人の父となり、

12 καὶ また G2532 πατέρα 父となる–ために G3962 περιτομῆς, 割礼の G4061 τοῖς その G3588 οὐκ ない G3756 ἐκ からの G1537 περιτομῆς 割礼の–者だけに–ではなく G4061 μόνον, だけの G3440

ἀλλὰ そうではなく G0235 καὶ また G2532 τοῖς その G3588 στοιχοῦσιν 歩む–者にも G4748 τοῖς その G3588 ἴχνεσιν 足跡に G2487 τῆς その G3588 ἐν における G1722 ἀκροβυστίᾳ 無割礼の–時の G0203 πίστεως, 信仰の G4102

τοῦ その G3588 πατρὸς 父 G3962 ἡμῶν 私たちの G1473 Ἀβραάμ. アブラハムの G0011

かつ、割礼の者の父となるためなのである。割礼の者というのは、割礼を受けた者ばかりではなく、われらの父アブラハムが無割礼の時に持っていた信仰の足跡を踏む人々をもさすのである。

13 Οὐ ない G3756 γὰρ なぜなら G1063 διὰ に–よって G1223 νόμου 律法 G3551 ἡ その G3588 ἐπαγγελία 約束は G1860 τῷ その G3588 Ἀβραὰμ, アブラハムに G0011 ἢ または G2228 τῷ その G3588

σπέρματι 子孫に G4690 αὐτοῦ, 彼の G0846 τὸ その G3588 κληρονόμον 世継ぎ G2818 αὐτὸν 彼が G0846 εἶναι であるという G1510 κόσμου, 世界の G2889 ἀλλὰ そうではなく G0235 διὰ に–よって G1223

δικαιοσύνης 義の G1343 πίστεως. 信仰 G4102

なぜなら、世界を相続させるとの約束が、アブラハムとその子孫とに対してなされたのは、律法によるのではなく、信仰の義によるからである。

14 εἰ γὰρ οἱ ἐκ νόμου κληρονόμοι, κεκένωται ἡ πίστις, καὶ
もし なぜなら その からの 律法 世継ぎなら 空しく-なっている その 信仰は そして
G1487 G1063 G3588 G1537 G3551 G2818 G2758 G3588 G4102 G2532

κατήργηται ἡ ἐπαγγελία.
無に-されている その 約束は
G2673 G3588 G1860

もし、律法に立つ人々が相続人であるとすれば、信仰はむなしくなり、約束もまた無効になってしまう。

15 ὁ γὰρ νόμος ὀργὴν κατεργάζεται; οὗ δὲ οὐκ ἔστιν νόμος,
その なぜなら 律法は 怒りを もたらす ところが しかし ない ない 律法が
G3588 G1063 G3551 G3709 G2716 G3757 G1161 G3756 G1510 G3551

οὐδὲ παράβασις.
またない 違反も
G3761 G3847

いったい、律法は怒りを招くものであって、律法のないところには違反なるものはない。

16 Διὰ τοῦτο ἐκ πίστεως, ἵνα κατὰ χάριν, εἰς τὸ
この-ために このこと から 信仰に-よる それは に-従えば 恵み ために その
G1223 G3778 G1537 G4102 G2443 G2596 G5485 G1519 G3588

εἶναι βεβαίαν, τὴν ἐπαγγελίαν παντὶ τῷ σπέρματι, οὐ τῷ
である-ために 確かな-ものと その 約束が すべての その 子孫に ない その
G1510 G0949 G3588 G1860 G3956 G3588 G4690 G3756 G3588

ἐκ τοῦ νόμου μόνον, ἀλλὰ καὶ τῷ ἐκ πίστεως
からの その 律法の-者だけに-ではなく だけに そうではなく また その からの 信仰の
G1537 G3588 G3551 G3440 G0235 G2532 G3588 G1537 G4102

Ἀβραάμ, ὅς ἐστιν πατὴρ πάντων ἡμῶν,
アブラハムの-子孫にも この方は である 父 すべての 私たちの
G0011 G3739 G1510 G3962 G3956 G1473

このようなわけで、すべては信仰によるのである。それは恵みによるのであって、すべての子孫に、すなわち、律法に立つ者だけにではなく、アブラハムの信仰に従う者にも、この約束が保証されるのである。アブラハムは、神の前で、わたしたちすべての者の父であって、

17 καθὼς γέγραπται, ὅτι Πατέρα πολλῶν ἐθνῶν τέθεικά σε.
と-書かれている-通り 書かれている すなわち 父とした 多くの 国民の 立てた あなたを
G2531 G1125 G3754 G3962 G4183 G1484 G5087 G4771

κατέναντι οὗ ἐπίστευσεν Θεοῦ, τοῦ ζωοποιοῦντος τοὺς νεκροὺς, καὶ
の-前に その方の 信じた 神 その 生かす-方 その 死者を そして
G2713 G3739 G4100 G2316 G3588 G2227 G3588 G3498 G2532

καλοῦντος τὰ μὴ ὄντα ὡς ὄντα;
呼ぶ-方 その ない ものを あたかも あるかの-ように
G2564 G3588 G3361 G1510 G5613 G1510

「わたしは、あなたを立てて多くの国民の父とした」と書いてあるとおりである。彼はこの神、すなわち、死人を生かし、無から有を呼び出される神を信じたのである。

18 ὃς παρ’ ἐλπίδα, ἐπ’ ἐλπίδι ἐπίστευσεν, εἰς τὸ γενέσθαι αὐτὸν
彼は に–反して 望み において 望み 信じた ために その なる–ために 彼が
G3739 G3844 G1680 G1909 G1680 G4100 G1519 G3588 G1096 G0846

πατέρα πολλῶν ἐθνῶν, κατὰ τὸ εἰρημένον, Οὕτως ἔσται τὸ σπέρμα
父と 多くの 国民の に–従って その 言われた–とおり このように なる その 子孫は
G3962 G4183 G1484 G2596 G3588 G2046 G3779 G1510 G3588 G4690

σου.
あなたの
G4771

彼は望み得ないのに、なおも望みつつ信じた。そのために、「あなたの子孫はこうなるであろう」と言われているとおり、多くの国民の父となったのである。

19 καὶ μὴ ἀσθενήσας τῇ πίστει, κατενόησεν τὸ ἑαυτοῦ σῶμα [ἤδη]
そして ない 弱く–ならず その 信仰に–おいて 考えた その 自分の 体が すでに
G2532 G3361 G0770 G3588 G4102 G2657 G3588 G1438 G4983 G2235

νενεκρωμένον, ἑκατονταετής που ὑπάρχων, καὶ τὴν νέκρωσιν
死んだ–ように–なっていると 百歳ほどの ほど 者でありながら また その 死んだ–状態を
G3499 G1541 G4225 G5225 G2532 G3588 G3500

τῆς μήτρας Σάρρας,
の 胎 サラの
G3588 G3388 G4564

すなわち、およそ百歳となって、彼自身のからだが死んだ状態であり、また、サラの胎が不妊であるのを認めながらも、なお彼の信仰は弱らなかった。

20 εἰς δὲ τὴν ἐπαγγελίαν τοῦ Θεοῦ, οὐ διεκρίθη τῇ
に–対して しかし その 約束を の 神の ない 疑わなかった その
G1519 G1161 G3588 G1860 G3588 G2316 G3756 G1252 G3588

ἀπιστίᾳ, ἀλλὰ ἐνεδυναμώθη τῇ πίστει, δοὺς δόξαν τῷ Θεῷ,
不信仰に–よって かえって 強められた その 信仰に–よって 与えて 栄光を その 神に
G0570 G0235 G1743 G3588 G4102 G1325 G1391 G3588 G2316

彼は、神の約束を不信仰のゆえに疑うようなことはせず、かえって信仰によって強められ、栄光を神に帰し、

21 καὶ πληροφορηθεὶς ὅτι ὃ ἐπήγγελται, δυνατός ἐστιν
そして 確信して ということを その 約束された–ことを 力ある–方であると である
G2532 G4135 G3754 G3739 G1861 G1415 G1510

καὶ ποιῆσαι.
また 行う–ことも
G2532 G4160

神はその約束されたことを、また成就することができると確信した。

22 διὸ καὶ ἐλογίσθη αὐτῷ εἰς δικαιοσύνην.
それゆえ また 認められた 彼に として 義と
G1352 G2532 G3049 G0846 G1519 G1343

だから、彼は義と認められたのである。

23 Οὐκ ἐγράφη, δὲ δι’ αὐτὸν μόνον, ὅτι ἐλογίσθη
ない 書かれたのは しかし ために 彼の だけの–ために–ではなく ということが 認められたと
G3756 G1125 G1161 G1223 G0846 G3440 G3754 G3049

αὐτῷ,
彼に
G0846

しかし「義と認められた」と書いてあるのは、アブラハムのためだけではなく、

24 ἀλλὰ そうではなく G0235 καὶ また G2532 δι’ ために G1223 ἡμᾶς, 私たちの G1473 οἷς その–者たちに G3739 μέλλει やがて G3195 λογίζεσθαι, 認められる G3049 τοῖς その G3588

πιστεύουσιν 信じる–者たちに G4100 ἐπὶ に–対して G1909 τὸν その G3588 ἐγείραντα よみがえらせた–方を G1453 Ἰησοῦν, イエスを G2424 τὸν その G3588 Κύριον 主 G2962 ἡμῶν, 私たちの G1473 ἐκ から G1537

νεκρῶν, 死者の–中から G3498

わたしたちのためでもあって、わたしたちの主イエスを死人の中からよみがえらせたかたを信じるわたしたちも、義と認められるのである。

25 ὃς この方は G3739 παρεδόθη 引き–渡された G3860 διὰ の–ために G1223 τὰ その G3588 παραπτώματα 罪 G3900 ἡμῶν, 私たちの G1473 καὶ そして G2532 ἠγέρθη よみがえらせられた G1453

διὰ の–ために G1223 τὴν その G3588 δικαίωσιν 義認 G1347 ἡμῶν. 私たちの G1473

主は、わたしたちの罪過のために死に渡され、わたしたちが義とされるために、よみがえらされたのである。

Chapter 5

1 Δικαιωθέντες 義と–認められた–ので G1344 οὖν それゆえ G3767 ἐκ ～から G1537 πίστεως, 信仰–により G4102 εἰρήνην 平和を G1515 ἔχομεν 持っている G2192 πρὸς ～に–対して G4314 τὸν その G3588

Θεὸν, 神–に G2316 διὰ ～を–通して G1223 τοῦ その G3588 Κυρίου 主 G2962 ἡμῶν, 私たちの G1473 Ἰησοῦ イエス G2424 Χριστοῦ, キリスト G5547

このように、わたしたちは、信仰によって義とされたのだから、わたしたちの主イエス・キリストにより、神に対して平和を得ている。

2 δι’ ～を–通して G1223 οὗ その–方 G3739 καὶ また G2532 τὴν その G3588 προσαγωγὴν 導き–入れを G4318 ἐσχήκαμεν, 得た G2192 τῇ その G3588 πίστει, 信仰–により G4102 εἰς ～の–中へ G1519

τὴν この G3588 χάριν 恵み G5485 ταύτην, この–中に G3778 ἐν ～の–中に G1722 ᾗ そこに G3739 ἑστήκαμεν; 立っている G2476 καὶ そして G2532 καυχώμεθα 誇っている G2744 ἐπ’ ～の–上に G1909

ἐλπίδι 希望–をもって G1680 τῆς その G3588 δόξης 栄光–の G1391 τοῦ その G3588 Θεοῦ. 神–の G2316

わたしたちは、さらに彼により、いま立っているこの恵みに信仰によって導き入れられ、そして、神の栄光にあずかる希望をもって喜んでいる。

3 οὐ μόνον δέ, ἀλλὰ καὶ καυχώμεθα ἐν ταῖς θλίψεσιν,
～だけ-でなく ただ しかし むしろ また 誇っている ～の-中で その 苦難-の-中に
G3756 G3440 G1161 G0235 G2532 G2744 G1722 G3588 G2347

εἰδότες ὅτι ἡ θλῖψις, ὑπομονὴν κατεργάζεται;
知っている ～ということを その 苦難は 忍耐を 生み出す
G1492 G3754 G3588 G2347 G5281 G2716

それだけではなく、患難をも喜んでいる。なぜなら、患難は忍耐を生み出し、

4 ἡ δὲ ὑπομονὴ, δοκιμήν; ἡ δὲ δοκιμὴ, ἐλπίδα.
その そして 忍耐は 練達を その そして 練達は 希望を
G3588 G1161 G5281 G1382 G3588 G1161 G1382 G1680

忍耐は錬達を生み出し、錬達は希望を生み出すことを、知っているからである。

5 ἡ δὲ ἐλπὶς οὐ καταισχύνει, ὅτι ἡ ἀγάπη τοῦ Θεοῦ
その そして 希望は 決して 失望させない なぜなら その 愛-が その 神-の
G3588 G1161 G1680 G3756 G2617 G3754 G3588 G0026 G3588 G2316

ἐκκέχυται, ἐν ταῖς καρδίαις ἡμῶν, διὰ Πνεύματος Ἁγίου, τοῦ
注がれた ～の-中に その 心-に 私たちの ～を-通して 御霊 聖なる その
G1632 G1722 G3588 G2588 G1473 G1223 G4151 G0040 G3588

δοθέντος ἡμῖν.
与えられた 私たちに
G1325 G1473

そして、希望は失望に終ることはない。なぜなら、わたしたちに賜わっている聖霊によって、神の愛がわたしたちの心に注がれているからである。

6 ἔτι γὰρ Χριστὸς, ὄντων ἡμῶν ἀσθενῶν ἔτι, κατὰ καιρὸν
なお なぜなら キリストは あった-時 私たちが 弱かった まだ ～に-従い 定められた-時に
G2089 G1063 G5547 G1510 G1473 G0772 G2089 G2596 G2540

ὑπὲρ ἀσεβῶν ἀπέθανεν.
～の-ために 不敬虔な-者たちの 死んだ
G5228 G0765 G0599

わたしたちがまだ弱かったころ、キリストは、時いたって、不信心な者たちのために死んで下さったのである。

7 μόλις γὰρ ὑπὲρ δικαίου τις ἀποθανεῖται; ὑπὲρ γὰρ
ほとんど～ない なぜなら ～の-ために 正しい-人の 誰かが 死ぬだろう ～の-ために 確かに
G3433 G1063 G5228 G1342 G5100 G0599 G5228 G1063

τοῦ ἀγαθοῦ, τάχα τις καὶ τολμᾷ ἀποθανεῖν.
その 善い-人の-ために あるいは 誰かが さえも あえて 死のうとする
G3588 G0018 G5029 G5100 G2532 G5111 G0599

正しい人のために死ぬ者は、ほとんどいないであろう。善人のためには、進んで死ぬ者もあるいはいるであろう。

8 συνίστησιν δὲ τὴν ἑαυτοῦ ἀγάπην εἰς ἡμᾶς ὁ Θεὸς, ὅτι
示している しかし その ご自身の 愛を ～に-向けて 私たち-に その 神は なぜなら
G4921 G1161 G3588 G1438 G0026 G1519 G1473 G3588 G2316 G3754

ἔτι ἁμαρτωλῶν ὄντων ἡμῶν, Χριστὸς ὑπὲρ ἡμῶν ἀπέθανεν.
まだ 罪人-で あった-時 私たちが キリストは ～の-ために 私たちの 死んだ
G2089 G0268 G1510 G1473 G5547 G5228 G1473 G0599

しかし、まだ罪人であった時、わたしたちのためにキリストが死んで下さったことによって、神はわたしたちに対する愛を示されたのである。

9 πολλῷ οὖν μᾶλλον, δικαιωθέντες νῦν ἐν τῷ αἵματι αὐτοῦ,
はるかに それゆえ なおさら 義と–認められた–今 今 ～の–中で その 血–により その方の
G4183 G3767 G3123 G1344 G3568 G1722 G3588 G0129 G0846

σωθησόμεθα δι’ αὐτοῦ ἀπὸ τῆς ὀργῆς.
救われるだろう ～を–通して その方 ～から その 怒り–から
G4982 G1223 G0846 G0575 G3588 G3709

わたしたちは、キリストの血によって今は義とされているのだから、なおさら、彼によって神の怒りから救われるであろう。

10 εἰ γὰρ, ἐχθροὶ ὄντες, κατηλλάγημεν τῷ Θεῷ διὰ τοῦ
もし なぜなら 敵で あった–時 和解させられた その 神–と ～を–通して その
G1487 G1063 G2190 G1510 G2644 G3588 G2316 G1223 G3588

θανάτου τοῦ Υἱοῦ αὐτοῦ, πολλῷ μᾶλλον, καταλλαγέντες, σωθησόμεθα
死–により その 御子–の その方の はるかに なおさら 和解させられた–今 救われるだろう
G2288 G3588 G5207 G0846 G4183 G3123 G2644 G4982

ἐν τῇ ζωῇ αὐτοῦ.
～の–中で その いのち–により その方の
G1722 G3588 G2222 G0846

もし、わたしたちが敵であった時でさえ、御子の死によって神との和解を受けたとすれば、和解を受けている今は、なおさら、彼のいのちによって救われるであろう。

11 οὐ μόνον δέ, ἀλλὰ καὶ καυχώμενοι ἐν τῷ Θεῷ,
～だけ–でなく ただ しかし むしろ また 誇りつつ ～の–中で その 神–において
G3756 G3440 G1161 G0235 G2532 G2744 G1722 G3588 G2316

διὰ τοῦ Κυρίου ἡμῶν Ἰησοῦ Χριστοῦ, δι’ οὗ νῦν τὴν
～を–通して その 主 私たちの イエス キリスト ～を–通して その–方 今 その
G1223 G3588 G2962 G1473 G2424 G5547 G1223 G3739 G3568 G3588

καταλλαγὴν ἐλάβομεν.
和解を 受けた
G2643 G2983

そればかりではなく、わたしたちは、今や和解を得させて下さったわたしたちの主イエス・キリストによって、神を喜ぶのである。

12 Διὰ τοῦτο, ὥσπερ δι’ ἑνὸς ἀνθρώπου ἡ ἁμαρτία
それゆえ このことから ちょうど～のように ～を–通して 一人の 人–により その 罪が
G1223 G3778 G5618 G1223 G1520 G0444 G3588 G0266

εἰς τὸν κόσμον εἰσῆλθεν, καὶ διὰ τῆς ἁμαρτίας, ὁ θάνατος;
～の–中へ その 世界–に 入り そして ～を–通して その 罪–により その 死が
G1519 G3588 G2889 G1525 G2532 G1223 G3588 G0266 G3588 G2288

καὶ οὕτως εἰς πάντας ἀνθρώπους ὁ θάνατος διῆλθεν, ἐφ’ ᾧ
そして このように ～に すべての 人々–に その 死は 広がった その–上に それは
G2532 G3779 G1519 G3956 G0444 G3588 G2288 G1330 G1909 G3739

πάντες ἥμαρτον --
すべての–者が 罪を–犯した–からである
G3956 G0264

このようなわけで、ひとりの人によって、罪がこの世にはいり、また罪によって死がはいってきたように、こうして、すべての人が罪を犯したので、死が全人類にはいり込んだのである。

13 ἄχρι γὰρ νόμου, ἁμαρτία ἦν ἐν κόσμῳ; ἁμαρτία δὲ οὐκ
～まで なぜなら 律法–の 罪は あった ～の–中に 世界–に 罪は しかし ～ない
G0891 G1063 G3551 G0266 G1510 G1722 G2889 G0266 G1161 G3756

ἐλλογεῖται, μὴ ὄντος νόμου.
数えられない ～がない–時 存在する 律法–が
G1677 G3361 G1510 G3551

というのは、律法以前にも罪は世にあったが、律法がなければ、罪は罪として認められないのである。

14 ἀλλὰ ἐβασίλευσεν ὁ θάνατος ἀπὸ Ἀδὰμ μέχρι Μωϋσέως, καὶ
しかし 支配した その 死は ～から アダム–から ～まで モーセ–まで また
G0235 G0936 G3588 G2288 G0575 G0076 G3360 G3475 G2532

ἐπὶ τοὺς μὴ ἁμαρτήσαντας ἐπὶ τῷ ὁμοιώματι τῆς
～の–上に その ～ない 罪を–犯さなかった–者たちにも ～に–従って その かたち–に その
G1909 G3588 G3361 G0264 G1909 G3588 G3667 G3588

παραβάσεως Ἀδάμ, ὅς ἐστιν τύπος τοῦ μέλλοντος.
違反–の アダム–の その–者は である 型 その 来たるべき–方の
G3847 G0076 G3739 G1510 G5179 G3588 G3195

しかし、アダムからモーセまでの間においても、アダムの違反と同じような罪を犯さなかった者も、死の支配を免れなかった。このアダムは、きたるべき者の型である。

15 Ἀλλ’ οὐχ ὡς τὸ παράπτωμα, οὕτως καὶ τὸ χάρισμα. εἰ
しかし ～ではない ～のように その 違反 そのように また その 賜物–も もし
G0235 G3756 G5613 G3588 G3900 G3779 G2532 G3588 G5486 G1487

γὰρ τῷ τοῦ ἑνὸς, παραπτώματι, οἱ πολλοὶ ἀπέθανον, πολλῷ
なぜなら その その 一人の 違反–により その 多くの–者が 死んだなら はるかに
G1063 G3588 G3588 G1520 G3900 G3588 G4183 G0599 G4183

μᾶλλον ἡ χάρις τοῦ Θεοῦ, καὶ ἡ δωρεὰ ἐν χάριτι, τῇ
なおさら その 恵み–は その 神–の また その 賜物は ～の–中の 恵み–による その
G3123 G3588 G5485 G3588 G2316 G2532 G3588 G1431 G1722 G5485 G3588

τοῦ ἑνὸς ἀνθρώπου, Ἰησοῦ Χριστοῦ, εἰς τοὺς πολλοὺς ἐπερίσσευσεν.
その 一人の 人の イエス キリスト–の ～に その 多くの–者たちに あふれた
G3588 G1520 G0444 G2424 G5547 G1519 G3588 G4183 G4052

しかし、恵みの賜物は罪過の場合とは異なっている。すなわち、もしひとりの罪過のために多くの人が死んだとすれば、まして、神の恵みと、ひとりの人イエス・キリストの恵みによる賜物とは、さらに豊かに多くの人々に満ちあふれたはずではないか。

16 καὶ οὐχ ὡς δι’ ἑνὸς ἁμαρτήσαντος, τὸ δώρημα.
そして ～ではない ～のように ～を–通して 一人の 罪を–犯した–者による その 賜物–は
G2532 G3756 G5613 G1223 G1520 G0264 G3588 G1434

τὸ μὲν γὰρ κρίμα, ἐξ ἑνὸς εἰς κατάκριμα; τὸ
その 一方では なぜなら さばきは ～から 一つの–ことから ～に–至り 有罪–の–宣告に その
G3588 G3303 G1063 G2917 G1537 G1520 G1519 G2631 G3588

δὲ χάρισμα ἐκ πολλῶν παραπτωμάτων, εἰς δικαίωμα.
しかし 賜物は ～から 多くの 違反–から ～に–至り 義と–する–宣言に
G1161 G5486 G1537 G4183 G3900 G1519 G1345

かつ、この賜物は、ひとりの犯した罪の結果とは異なっている。なぜなら、さばきの場合は、ひとりの罪過から、罪に定めることになったが、恵みの場合には、多くの人の罪過から、義とする結果になるからである。

17 εἰ γὰρ, τῷ τοῦ ἑνὸς παραπτώματι, ὁ θάνατος ἐβασίλευσεν
もし なぜなら その その 一人の 違反-により その 死が 支配したなら
G1487 G1063 G3588 G3588 G1520 G3900 G3588 G2288 G0936

διὰ τοῦ ἑνός, πολλῷ μᾶλλον οἱ τὴν περισσείαν τῆς χάριτος,
~を-通して その 一人-により はるかに なおさら その その 豊かさを その 恵み-の
G1223 G3588 G1520 G4183 G3123 G3588 G3588 G4050 G3588 G5485

καὶ τῆς δωρεᾶς τῆς δικαιοσύνης λαμβάνοντες, ἐν ζωῇ
そして その 賜物-の その 義-の 受けている-者たちは ~の-中で いのち-において
G2532 G3588 G1431 G3588 G1343 G2983 G1722 G2222

βασιλεύσουσιν, διὰ τοῦ ἑνὸς, Ἰησοῦ Χριστοῦ.
支配するだろう ~を-通して その 一人の イエス キリスト
G0936 G1223 G3588 G1520 G2424 G5547

もし、ひとりの罪過によって、そのひとりをとおして死が支配するに至ったとすれば、まして、あふれるばかりの恵みと義の賜物とを受けている者たちは、ひとりのイエス・キリストをとおし、いのちにあって、さらに力強く支配するはずではないか。

18 Ἄρα οὖν, ὡς δι’ ἑνὸς παραπτώματος, εἰς πάντας
こうして それゆえ ~のように ~を-通して 一つの 違反-により ~に すべての
G0686 G3767 G5613 G1223 G1520 G3900 G1519 G3956

ἀνθρώπους εἰς κατάκριμα, οὕτως καὶ δι’ ἑνὸς δικαιώματος,
人々-に ~に-至り 有罪-の-宣告に そのように また ~を-通して 一つの 義-の-行い-により
G0444 G1519 G2631 G3779 G2532 G1223 G1520 G1345

εἰς πάντας ἀνθρώπους εἰς δικαίωσιν ζωῆς.
~に すべての 人々-に ~に-至り 義-の-宣言 いのち-の
G1519 G3956 G0444 G1519 G1347 G2222

このようなわけで、ひとりの罪過によってすべての人が罪に定められたように、ひとりの義なる行為によって、いのちを得させる義がすべての人に及ぶのである。

19 ὥσπερ γὰρ διὰ τῆς παρακοῆς τοῦ ἑνὸς ἀνθρώπου,
ちょうど~のように なぜなら ~を-通して その 不従順-により その 一人の 人-の
G5618 G1063 G1223 G3588 G3876 G3588 G1520 G0444

ἁμαρτωλοὶ κατεστάθησαν οἱ πολλοί, οὕτως καὶ διὰ τῆς
罪人-と されたように その 多くの-者が そのように また ~を-通して その
G0268 G2525 G3588 G4183 G3779 G2532 G1223 G3588

ὑπακοῆς τοῦ ἑνὸς, δίκαιοι κατασταθήσονται οἱ πολλοί.
従順-により その 一人の-方の 義-と されるだろう その 多くの-者が
G5218 G3588 G1520 G1342 G2525 G3588 G4183

すなわち、ひとりの人の不従順によって、多くの人が罪人とされたと同じように、ひとりの従順によって、多くの人が義人とされるのである。

20 νόμος δὲ παρεισῆλθεν, ἵνα πλεονάσῃ τὸ παράπτωμα; οὗ
律法は しかし 入り-込んだ ~するために 増し-加わるように その 違反が そこで
G3551 G1161 G3922 G2443 G4121 G3588 G3900 G3757

δὲ ἐπλεόνασεν ἡ ἁμαρτία, ὑπερεπερίσσευσεν ἡ χάρις,
しかし 増し-加わった その 罪が あふれるほど-増した その 恵みは
G1161 G4121 G3588 G0266 G5248 G3588 G5485

律法がはいり込んできたのは、罪過の増し加わるためである。しかし、罪の増し加わったところには、恵みもますます満ちあふれた。

21	ἵνα	ὥσπερ	ἐβασίλευσεν	ἡ	ἁμαρτία	ἐν	τῷ	θανάτῳ,	
	～するために	ちょうど～のように	支配した	その	罪が	～の–中で	その	死–において	
	G2443	G5618	G0936	G3588	G0266	G1722	G3588	G2288	

οὕτως	καὶ	ἡ	χάρις	βασιλεύσῃ	διὰ	δικαιοσύνης,	εἰς	ζωὴν	
そのように	また	その	恵みも	支配するように	～を–通して	義–により	～に–至り	いのち	
G3779	G2532	G3588	G5485	G0936	G1223	G1343	G1519	G2222	

αἰώνιον,	διὰ	Ἰησοῦ	Χριστοῦ	τοῦ	Κυρίου	ἡμῶν.
永遠の	～を–通して	イエス	キリスト	その	主	私たちの
G0166	G1223	G2424	G5547	G3588	G2962	G1473

それは、罪が死によって支配するに至ったように、恵みもまた義によって支配し、わたしたちの主イエス・キリストにより、永遠のいのちを得させるためである。

Chapter 6

1	Τί	οὖν	ἐροῦμεν?	ἐπιμένωμεν	τῇ	ἁμαρτίᾳ,	ἵνα	ἡ	χάρις
	何を	それでは	言おうか	とどまろうか	その	罪–に	～するために	その	恵みが
	G5101	G3767	G2046	G1961	G3588	G0266	G2443	G3588	G5485

πλεονάσῃ?
増すように
G4121

では、わたしたちは、なんと言おうか。恵みが増し加わるために、罪にとどまるべきであろうか。

2	μὴ	γένοιτο!	οἵτινες	ἀπεθάνομεν	τῇ	ἁμαρτίᾳ,	πῶς	ἔτι	ζήσομεν
	決して	そうではない	私たちは	死んだ	その	罪–に	どうして	なお	生きるのか
	G3361	G1096	G3748	G0599	G3588	G0266	G4459	G2089	G2198

ἐν	αὐτῇ?
～の–中で	それ–の
G1722	G0846

断じてそうではない。罪に対して死んだわたしたちが、どうして、なお、その中に生きておれるだろうか。

3	ἢ	ἀγνοεῖτε	ὅτι,	ὅσοι	ἐβαπτίσθημεν	εἰς	Χριστὸν	Ἰησοῦν,
	あるいは	知らないのか	～ということを	すべて	洗礼を–受けた	～の–中へ	キリスト	イエス–に
	G2228	G0050	G3754	G3745	G0907	G1519	G5547	G2424

εἰς	τὸν	θάνατον	αὐτοῦ	ἐβαπτίσθημεν?	
～の–中へ	その	死–の	その方の	洗礼を–受けた	
G1519	G3588	G2288	G0846	G0907	

それとも、あなたがたは知らないのか。キリスト・イエスにあずかるバプテスマを受けたわたしたちは、彼の死にあずかるバプテスマを受けたのである。

4 συνετάφημεν οὖν αὐτῷ, διὰ τοῦ βαπτίσματος εἰς τὸν
共に–葬られた それゆえ その方–と ～を–通して その 洗礼–により ～の–中へ その
G4916 G3767 G0846 G1223 G3588 G0908 G1519 G3588

θάνατον, ἵνα ὥσπερ ἠγέρθη Χριστὸς ἐκ νεκρῶν,
死–の–中に ～するために ちょうど～のように よみがえらされた キリストが ～から 死者–の–中から
G2288 G2443 G5618 G1453 G5547 G1537 G3498

διὰ τῆς δόξης τοῦ Πατρός, οὕτως καὶ ἡμεῖς ἐν
～を–通して その 栄光–により その 父–の そのように また 私たちも ～の–中で
G1223 G3588 G1391 G3588 G3962 G3779 G2532 G1473 G1722

καινότητι ζωῆς περιπατήσωμεν.
新しさ–の いのち–の 歩むように
G2538 G2222 G4043

すなわち、わたしたちは、その死にあずかるバプテスマによって、彼と共に葬られたのである。それは、キリストが父の栄光によって、死人の中からよみがえらされたように、わたしたちもまた、新しいいのちに生きるためである。

5 εἰ γὰρ σύμφυτοι γεγόναμεν τῷ ὁμοιώματι τοῦ θανάτου αὐτοῦ,
もし なぜなら 結ばれた–者と なった その かたち–に その 死–の その方の
G1487 G1063 G4854 G1096 G3588 G3667 G3588 G2288 G0846

ἀλλὰ καὶ τῆς ἀναστάσεως ἐσόμεθα;
きっと また その 復活–にも なるだろう
G0235 G2532 G3588 G0386 G1510

もしわたしたちが、彼に結びついてその死の様にひとしくなるなら、さらに、彼の復活の様にもひとしくなるであろう。

6 τοῦτο γινώσκοντες, ὅτι ὁ παλαιὸς ἡμῶν ἄνθρωπος
これを 知っている ～ということを その 古い 私たちの 人は
G3778 G1097 G3754 G3588 G3820 G1473 G0444

συνεσταυρώθη, ἵνα καταργηθῇ τὸ σῶμα τῆς ἁμαρτίας,
共に–十字架に–つけられた ～するために 滅ぼされるように その からだ–が その 罪–の
G4957 G2443 G2673 G3588 G4983 G3588 G0266

τοῦ μηκέτι δουλεύειν ἡμᾶς τῇ ἁμαρτίᾳ.
～するために もはや 仕えることが–ないように 私たちが その 罪–に
G3588 G3371 G1398 G1473 G3588 G0266

わたしたちは、この事を知っている。わたしたちの内の古き人はキリストと共に十字架につけられた。それは、この罪のからだが滅び、わたしたちがもはや、罪の奴隷となることがないためである。

7 ὁ γὰρ ἀποθανὼν, δεδικαίωται ἀπὸ τῆς ἁμαρτίας.
その なぜなら 死んだ–者は 解放されている ～から その 罪–から
G3588 G1063 G0599 G1344 G0575 G3588 G0266

それは、すでに死んだ者は、罪から解放されているからである。

8 εἰ δὲ ἀπεθάνομεν σὺν Χριστῷ, πιστεύομεν ὅτι καὶ
もし しかし 死んだなら ～と–共に キリスト–と 信じている ～ということを また
G1487 G1161 G0599 G4862 G5547 G4100 G3754 G2532

συζήσομεν αὐτῷ,
共に–生きるだろう その方–と
G4800 G0846

もしわたしたちが、キリストと共に死んだなら、また彼と共に生きることを信じる。

9

εἰδότες	ὅτι	Χριστὸς,	ἐγερθεὶς	ἐκ	νεκρῶν,	οὐκέτι
知っている	～ということを	キリストは	よみがえらされた	～から	死者-の-中から	もはや
G1492	G3754	G5547	G1453	G1537	G3498	G3765

ἀποθνῄσκει;	θάνατος	αὐτοῦ	οὐκέτι	κυριεύει.
死なない	死は	その方-を	もはや	支配しない
G0599	G2288	G0846	G3765	G2961

キリストは死人の中からよみがえらされて、もはや死ぬことがなく、死はもはや彼を支配しないことを、知っているからである。

10

ὃ	γὰρ	ἀπέθανεν,	τῇ	ἁμαρτίᾳ	ἀπέθανεν	ἐφάπαξ;	ὃ	δὲ
その方が	なぜなら	死んだ-のは	その	罪-に-対して	死んだ	ただ-一度	その方が	しかし
G3739	G1063	G0599	G3588	G0266	G0599	G2178	G3739	G1161

ζῇ,	ζῇ	τῷ	Θεῷ.
生きている-のは	生きている	その	神-に-対して
G2198	G2198	G3588	G2316

なぜなら、キリストが死んだのは、ただ一度罪に対して死んだのであり、キリストが生きるのは、神に生きるのだからである。

11

οὕτως	καὶ	ὑμεῖς,	λογίζεσθε	ἑαυτοὺς	εἶναι	νεκροὺς	μὲν	τῇ
このように	また	あなたがたも	考えなさい	自分自身を	である-と	死んだ-者	一方では	その
G3779	G2532	G4771	G3049	G1438	G1510	G3498	G3303	G3588

ἁμαρτίᾳ,	ζῶντας	δὲ	τῷ	Θεῷ,	ἐν	Χριστῷ	Ἰησοῦ.
罪-に-対しては	生きている-者	しかし	その	神-に-対して	～の-中で	キリスト	イエス-に
G0266	G2198	G1161	G3588	G2316	G1722	G5547	G2424

このように、あなたがた自身も、罪に対して死んだ者であり、キリスト・イエスにあって神に生きている者であることを、認むべきである。

12

Μὴ	οὖν	βασιλευέτω	ἡ	ἁμαρτία	ἐν	τῷ	θνητῷ	ὑμῶν
～するな	それゆえ	支配させるな	その	罪を	～の-中で	その	死ぬべき	あなたがたの
G3361	G3767	G0936	G3588	G0266	G1722	G3588	G2349	G4771

σώματι,	εἰς	τὸ	ὑπακούειν	ταῖς	ἐπιθυμίαις	αὐτοῦ.
からだ-に	～するために	その	従う-ことが-ないように	その	欲望-に	その-体の
G4983	G1519	G3588	G5219	G3588	G1939	G0846

だから、あなたがたの死ぬべきからだを罪の支配にゆだねて、その情欲に従わせることをせず、

13

μηδὲ	παριστάνετε	τὰ	μέλη	ὑμῶν,	ὅπλα	ἀδικίας	τῇ	ἁμαρτίᾳ,
また-ない	ささげるな	その	肢体を	あなたがたの	武器-として	不義-の	その	罪-に
G3366	G3936	G3588	G3196	G4771	G3696	G0093	G3588	G0266

ἀλλὰ	παραστήσατε	ἑαυτοὺς	τῷ	Θεῷ,	ὡσεὶ	ἐκ	νεκρῶν
むしろ	ささげなさい	自分自身を	その	神-に	あたかも	～から	死者-の-中から
G0235	G3936	G1438	G3588	G2316	G5616	G1537	G3498

ζῶντας,	καὶ	τὰ	μέλη	ὑμῶν,	ὅπλα	δικαιοσύνης	τῷ	Θεῷ.
生きている-者として	そして	その	肢体を	あなたがたの	武器-として	義-の	その	神-に
G2198	G2532	G3588	G3196	G4771	G3696	G1343	G3588	G2316

また、あなたがたの肢体を不義の武器として罪にささげてはならない。むしろ、死人の中から生かされた者として、自分自身を神にささげ、自分の肢体を義の武器として神にささげるがよい。

14 ἁμαρτία γὰρ ὑμῶν οὐ κυριεύσει, οὐ γάρ ἐστε
罪は なぜなら あなたがたを 決して 支配しないだろう ～ない なぜなら あなたがたは
G0266 G1063 G4771 G3756 G2961 G3756 G1063 G1510

ὑπὸ νόμον, ἀλλὰ ὑπὸ χάριν.
～の-もとに 律法-の そうではなく ～の-もとに 恵み-の
G5259 G3551 G0235 G5259 G5485

なぜなら、あなたがたは律法の下にあるのではなく、恵みの下にあるので、罪に支配されることはないからである。

15 Τί οὖν? ἁμαρτήσωμεν ὅτι οὐκ ἐσμὲν ὑπὸ νόμον, ἀλλὰ
何を それでは 罪を-犯そうか ～だから ～ない 私たちは ～の-もとに 律法-の そうではなく
G5101 G3767 G0264 G3754 G3756 G1510 G5259 G3551 G0235

ὑπὸ χάριν? μὴ γένοιτο!
～の-もとに 恵み-の 決して そうではない
G5259 G5485 G3361 G1096

それでは、どうなのか。律法の下にではなく、恵みの下にあるからといって、わたしたちは罪を犯すべきであろうか。断じてそうではない。

16 οὐκ οἴδατε ὅτι ᾧ παριστάνετε ἑαυτοὺς, δούλους εἰς
～ない 知っているのか ～ということを その方に ささげる 自分自身を しもべ-として ～に
G3756 G1492 G3754 G3739 G3936 G1438 G1401 G1519

ὑπακοήν, δοῦλοί ἐστε ᾧ ὑπακούετε -- ἤτοι ἁμαρτίας εἰς θάνατον,
従順-の しもべ である その方-の 従う すなわち 罪-の ～に-至る 死-の
G5218 G1401 G1510 G3739 G5219 G2273 G0266 G1519 G2288

ἢ ὑπακοῆς εἰς δικαιοσύνην?
あるいは 従順-の ～に-至る 義-の
G2228 G5218 G1519 G1343

あなたがたは知らないのか。あなたがた自身が、だれかの僕になって服従するなら、あなたがたは自分の服従するその者の僕であって、死に至る罪の僕ともなり、あるいは、義にいたる従順の僕ともなるのである。

17 χάρις δὲ τῷ Θεῷ, ὅτι ἦτε δοῦλοι τῆς ἁμαρτίας,
感謝 しかし その 神-に ～ということ あなたがたは-あった しもべ その 罪-の
G5485 G1161 G3588 G2316 G3754 G1510 G1401 G3588 G0266

ὑπηκούσατε δὲ ἐκ καρδίας, εἰς ὃν παρεδόθητε τύπον διδαχῆς.
従った しかし ～から 心-から ～に その ゆだねられた 型-の 教え-に
G5219 G1161 G1537 G2588 G1519 G3739 G3860 G5179 G1322

しかし、神は感謝すべきかな。あなたがたは罪の僕であったが、伝えられた教の基準に心から服従して、

18 ἐλευθερωθέντες δὲ ἀπὸ τῆς ἁμαρτίας, ἐδουλώθητε τῇ δικαιοσύνῃ.
解放されて そして ～から その 罪-から 仕える-者と-なった その 義-に
G1659 G1161 G0575 G3588 G0266 G1402 G3588 G1343

罪から解放され、義の僕となった。

19 ἀνθρώπινον λέγω, διὰ τὴν ἀσθένειαν τῆς σαρκὸς ὑμῶν.
人間的なことを 言っている ～のゆえに その 弱さ–の その 肉–の あなたがたの
G0442 G3004 G1223 G3588 G0769 G3588 G4561 G4771

ὥσπερ γὰρ παρεστήσατε τὰ μέλη ὑμῶν δοῦλα τῇ
ちょうど～のように なぜなら ささげた その 肢体を あなたがたの しもべ–として その
G5618 G1063 G3936 G3588 G3196 G4771 G1401 G3588

ἀκαθαρσίᾳ, καὶ τῇ ἀνομίᾳ εἰς τὴν ἀνομίαν, οὕτως νῦν
汚れ–に また その 不法–に ～に–至る その 不法–に そのように 今
G0167 G2532 G3588 G0458 G1519 G3588 G0458 G3779 G3568

παραστήσατε τὰ μέλη ὑμῶν, δοῦλα τῇ δικαιοσύνῃ εἰς
ささげなさい その 肢体を あなたがたの しもべ–として その 義–に ～に–至る
G3936 G3588 G3196 G4771 G1401 G3588 G1343 G1519

ἁγιασμόν.
聖化–に
G0038

わたしは人間的な言い方をするが、それは、あなたがたの肉の弱さのゆえである。あなたがたは、かつて自分の肢体を汚れと不法との僕としてささげて不法に陥ったように、今や自分の肢体を義の僕としてささげて、きよくならねばならない。

20 ὅτε γὰρ δοῦλοι ἦτε τῆς ἁμαρτίας, ἐλεύθεροι ἦτε τῇ
～した–時 なぜなら しもべ であった その 罪–の 自由で あった その
G3753 G1063 G1401 G1510 G3588 G0266 G1658 G1510 G3588

δικαιοσύνῃ.
義–から
G1343

あなたがたが罪の僕であった時は、義とは縁のない者であった。

21 τίνα οὖν καρπὸν εἴχετε τότε, ἐφ’ οἷς νῦν
どんな それでは 実を 持っていたか その–時 ～について それらについて 今
G5101 G3767 G2590 G2192 G5119 G1909 G3739 G3568

ἐπαισχύνεσθε? τὸ γὰρ τέλος ἐκείνων θάνατος.
恥じている その なぜなら 結末は それらの 死である
G1870 G3588 G1063 G5056 G1565 G2288

その時あなたがたは、どんな実を結んだのか。それは、今では恥とするようなものであった。それらのものの終極は、死である。

22 νυνὶ δέ, ἐλευθερωθέντες ἀπὸ τῆς ἁμαρτίας, δουλωθέντες δὲ τῷ
しかし–今 しかし 解放されて ～から その 罪–から 仕える–者と–なり そして その
G3570 G1161 G1659 G0575 G3588 G0266 G1402 G1161 G3588

Θεῷ, ἔχετε τὸν καρπὸν ὑμῶν εἰς ἁγιασμόν; τὸ δὲ τέλος
神–に 持っている その 実を あなたがたの ～に–至る 聖化–に その そして 結末は
G2316 G2192 G3588 G2590 G4771 G1519 G0038 G3588 G1161 G5056

ζωὴν αἰώνιον.
いのち 永遠の
G2222 G0166

しかし今や、あなたがたは罪から解放されて神に仕え、きよきに至る実を結んでいる。その終極は永遠のいのちである。

23	τὰ	γὰρ	ὀψώνια	τῆς	ἁμαρτίας	θάνατος;	τὸ	δὲ	χάρισμα	τοῦ	Θεοῦ,
	その	なぜなら	報酬は	その	罪-の	死である	その	しかし	賜物は	その	神-の
	G3588	G1063	G3800	G3588	G0266	G2288	G3588	G1161	G5486	G3588	G2316

ζωὴ	αἰώνιος	ἐν	Χριστῷ	Ἰησοῦ,	τῷ	Κυρίῳ	ἡμῶν.	
いのち	永遠の	～の-中で	キリスト	イエス	その	主	私たちの	
G2222	G0166	G1722	G5547	G2424	G3588	G2962	G1473	

罪の支払う報酬は死である。しかし神の賜物は、わたしたちの主キリスト・イエスにおける永遠のいのちである。

Chapter 7

1	Ἢ	ἀγνοεῖτε,	ἀδελφοί,	γινώσκουσιν	γὰρ	νόμον	λαλῶ,	ὅτι			
	あるいは	知らないのか	兄弟たちよ	知っている	なぜなら	律法を	語っている	～ということを			
	G2228	G0050	G0080	G1097	G1063	G3551	G2980	G3754			

ὁ	νόμος	κυριεύει	τοῦ	ἀνθρώπου	ἐφ’	ὅσον	χρόνον	ζῇ?
その	律法は	支配する	その	人-を	～の-間	～の-限り	時-の	生きている
G3588	G3551	G2961	G3588	G0444	G1909	G3745	G5550	G2198

それとも、兄弟たちよ。あなたがたは知らないのか。わたしは律法を知っている人々に語るのであるが、律法は人をその生きている期間だけ支配するものである。

2	ἡ	γὰρ	ὕπανδρος	γυνὴ,	τῷ	ζῶντι	ἀνδρὶ	δέδεται	νόμῳ;		
	その	なぜなら	婚姻している	女は	その	生きている	夫-に	縛られている	律法-により		
	G3588	G1063	G5220	G1135	G3588	G2198	G0435	G1210	G3551		

ἐὰν	δὲ	ἀποθάνῃ	ὁ	ἀνήρ,	κατήργηται	ἀπὸ	τοῦ	νόμου	τοῦ	ἀνδρός.
もし	しかし	死んだなら	その	夫が	解放される	～から	その	律法-から	その	夫-の
G1437	G1161	G0599	G3588	G0435	G2673	G0575	G3588	G3551	G3588	G0435

すなわち、夫のある女は、夫が生きている間は、律法によって彼につながれている。しかし、夫が死ねば、夫の律法から解放される。

3	ἄρα	οὖν,	ζῶντος	τοῦ	ἀνδρὸς,	μοιχαλὶς	χρηματίσει,	ἐὰν	γένηται		
	こうして	それゆえ	生きている-間	その	夫-が	姦婦-と	呼ばれるだろう	もし	なったなら		
	G0686	G3767	G2198	G3588	G0435	G3428	G5537	G1437	G1096		

ἀνδρὶ	ἑτέρῳ;	ἐὰν	δὲ	ἀποθάνῃ	ὁ	ἀνήρ,	ἐλευθέρα	ἐστὶν	ἀπὸ	τοῦ
夫-に	別の	もし	しかし	死んだなら	その	夫が	自由で	ある	～から	その
G0435	G2087	G1437	G1161	G0599	G3588	G0435	G1658	G1510	G0575	G3588

νόμου;	τοῦ	μὴ	εἶναι	αὐτὴν	μοιχαλίδα,	γενομένην	ἀνδρὶ	ἑτέρῳ.	
律法-から	その	～ない	であること	彼女が	姦婦-で	なっても	夫-に	別の	
G3551	G3588	G3361	G1510	G0846	G3428	G1096	G0435	G2087	

であるから、夫の生存中に他の男に行けば、その女は淫婦と呼ばれるが、もし夫が死ねば、その律法から解かれるので、他の男に行っても、淫婦とはならない。

4 ὥστε, ἀδελφοί μου, καὶ ὑμεῖς ἐθανατώθητε τῷ νόμῳ, διὰ
だから 兄弟たちよ 私の また あなたがたも 死んだ その 律法-に ～を-通して
G5620 G0080 G1473 G2532 G4771 G2289 G3588 G3551 G1223

τοῦ σώματος τοῦ Χριστοῦ, εἰς τὸ γενέσθαι ὑμᾶς ἑτέρῳ,
その からだ-により その キリスト-の ～するために その なるように あなたがたが 別の-方に
G3588 G4983 G3588 G5547 G1519 G3588 G1096 G4771 G2087

τῷ ἐκ νεκρῶν ἐγερθέντι, ἵνα καρποφορήσωμεν τῷ
その ～から 死者-の-中から よみがえらされた-方に ～するために 実を-結ぶように その
G3588 G1537 G3498 G1453 G2443 G2592 G3588

Θεῷ.
神-に
G2316

わたしの兄弟たちよ。このように、あなたがたも、キリストのからだをとおして、律法に対して死んだのである。それは、あなたがたが他の人、すなわち、死人の中からよみがえられたかたのものとなり、こうして、わたしたちが神のために実を結ぶに至るためなのである。

5 ὅτε γὰρ ἦμεν ἐν τῇ σαρκί, τὰ παθήματα τῶν ἁμαρτιῶν,
～した-時 なぜなら いた ～の-中に その 肉-に その 情欲-が その 罪-の
G3753 G1063 G1510 G1722 G3588 G4561 G3588 G3804 G3588 G0266

τὰ διὰ τοῦ νόμου, ἐνηργεῖτο ἐν τοῖς μέλεσιν ἡμῶν,
その ～を-通して その 律法-による 働いていた ～の-中で その 肢体-に 私たちの
G3588 G1223 G3588 G3551 G1754 G1722 G3588 G3196 G1473

εἰς τὸ καρποφορῆσαι τῷ θανάτῳ;
～するために その 実を-結ぶように その 死-に
G1519 G3588 G2592 G3588 G2288

というのは、わたしたちが肉にあった時には、律法による罪の欲情が、死のために実を結ばせようとして、わたしたちの肢体のうちに働いていた。

6 νυνὶ δὲ κατηργήθημεν ἀπὸ τοῦ νόμου, ἀποθανόντες ἐν
しかし-今 しかし 解放された ～から その 律法-から 死んで ～の-中で
G3570 G1161 G2673 G0575 G3588 G3551 G0599 G1722

ᾧ κατειχόμεθα, ὥστε δουλεύειν ἡμᾶς ἐν καινότητι πνεύματος,
その-中に 縛られていた それゆえ 仕えるように 私たちが ～の-中で 新しさ-の 霊-の
G3739 G2722 G5620 G1398 G1473 G1722 G2538 G4151

καὶ οὐ παλαιότητι γράμματος.
そして ～ない 古さ-の 文字-の
G2532 G3756 G3821 G1121

しかし今は、わたしたちをつないでいたものに対して死んだので、わたしたちは律法から解放され、その結果、古い文字によってではなく、新しい霊によって仕えているのである。

7 Τί οὖν ἐροῦμεν? ὁ νόμος ἁμαρτία? μὴ γένοιτο! ἀλλὰ τὴν
何を それでは 言おうか その 律法は 罪か 決して そうではない しかし その
G5101 G3767 G2046 G3588 G3551 G0266 G3361 G1096 G0235 G3588

ἁμαρτίαν οὐκ ἔγνων, εἰ μὴ διὰ νόμου; τήν τε
罪を ～ない 知らなかった もし ～なければ ～を–通して 律法–によらなければ その 実に
G0266 G3756 G1097 G1487 G3361 G1223 G3551 G3588 G5037

γὰρ ἐπιθυμίαν, οὐκ ᾔδειν, εἰ μὴ ὁ νόμος ἔλεγεν,
なぜなら 欲望を ～ない 知らなかった もし ～なければ その 律法が 言っていた
G1063 G1939 G3756 G1492 G1487 G3361 G3588 G3551 G3004

Οὐκ ἐπιθυμήσεις.
～するな むさぼるな
G3756 G1937

それでは、わたしたちは、なんと言おうか。律法は罪なのか。断じてそうではない。しかし、律法によらなければ、わたしは罪を知らなかったであろう。すなわち、もし律法が「むさぼるな」と言わなかったら、わたしはむさぼりなるものを知らなかったであろう。

8 ἀφορμὴν δὲ λαβοῦσα ἡ ἁμαρτία, διὰ τῆς ἐντολῆς, κατειργάσατο
きっかけを しかし 得て その 罪は ～を–通して その 戒め–により 生み出した
G0874 G1161 G2983 G3588 G0266 G1223 G3588 G1785 G2716

ἐν ἐμοὶ πᾶσαν ἐπιθυμίαν; χωρὶς γὰρ νόμου, ἁμαρτία
～の–中に 私–の–中に あらゆる 欲望を ～なしに なぜなら 律法–がなければ 罪は
G1722 G1473 G3956 G1939 G5565 G1063 G3551 G0266

νεκρά.
死んでいる
G3498

しかるに、罪は戒めによって機会を捕え、わたしの内に働いて、あらゆるむさぼりを起させた。すなわち、律法がなかったら、罪は死んでいるのである。

9 ἐγὼ δὲ ἔζων χωρὶς νόμου ποτέ; ἐλθούσης δὲ τῆς ἐντολῆς,
私は しかし 生きていた ～なしに 律法–なしに かつて 来た–時 しかし その 戒め–が
G1473 G1161 G2198 G5565 G3551 G4218 G2064 G1161 G3588 G1785

ἡ ἁμαρτία ἀνέζησεν, ἐγὼ δὲ ἀπέθανον.
その 罪は 生き返り 私は しかし 死んだ
G3588 G0266 G0326 G1473 G1161 G0599

わたしはかつては、律法なしに生きていたが、戒めが来るに及んで、罪は生き返り、

10 καὶ εὑρέθη μοι ἡ ἐντολὴ, ἡ εἰς ζωὴν, αὕτη εἰς
そして 見出された 私–に その 戒めが その ～に–至る いのち–への これが ～に–至る
G2532 G2147 G1473 G3588 G1785 G3588 G1519 G2222 G3778 G1519

θάνατον.
死–への
G2288

わたしは死んだ。そして、いのちに導くべき戒めそのものが、かえってわたしを死に導いて行くことがわかった。

11 ἡ γὰρ ἁμαρτία, ἀφορμὴν λαβοῦσα, διὰ τῆς ἐντολῆς,
その なぜなら 罪は きっかけを 得て ～を–通して その 戒め–により
G3588 G1063 G0266 G0874 G2983 G1223 G3588 G1785

ἐξηπάτησέν με, καὶ δι’ αὐτῆς ἀπέκτεινεν.
欺いた 私を そして ～を–通して それにより 殺した
G1818 G1473 G2532 G1223 G0846 G0615

なぜなら、罪は戒めによって機会を捕え、わたしを欺き、戒めによってわたしを殺したからである。

12 ὥστε だから G5620 ὁ その G3588 μὲν 一方では G3303 νόμος 律法は G3551 ἅγιος, 聖なる G0040 καὶ そして G2532 ἡ その G3588 ἐντολὴ 戒めは G1785 ἁγία, 聖なる G0040 καὶ そして G2532 δικαία, 正しく G1342 καὶ そして G2532 ἀγαθή. 善い G0018

このようなわけで、律法そのものは聖なるものであり、戒めも聖であって、正しく、かつ善なるものである。

13 Τὸ その G3588 οὖν それでは G3767 ἀγαθὸν, 善い-ものが G0018 ἐμοὶ 私-に G1473 ἐγένετο なったのか G1096 θάνατος? 死-に G2288 μὴ 決して G3361 γένοιτο! そうではない G1096 ἀλλὰ しかし G0235 ἡ その G3588 ἁμαρτία, 罪が G0266 ἵνα ～するために G2443 φανῇ 現れるように G5316 ἁμαρτία, 罪-として G0266 διὰ ～を-通して G1223 τοῦ その G3588 ἀγαθοῦ 善い-ものを G0018 μοι, 私-に G1473 κατεργαζομένη 生み出している G2716 θάνατον; 死を G2288 ἵνα ～するために G2443 γένηται なるように G1096 καθ’ ～を-超えて G2596 ὑπερβολὴν 極めて G5236 ἁμαρτωλὸς, 罪深く G0268 ἡ その G3588 ἁμαρτία 罪が G0266 διὰ ～を-通して G1223 τῆς その G3588 ἐντολῆς. 戒め-により G1785

では、善なるものが、わたしにとって死となったのか。断じてそうではない。それはむしろ、罪の罪たることが現れるための、罪のしわざである。すなわち、罪は、戒めによって、はなはだしく悪性なものとなるために、善なるものによってわたしを死に至らせたのである。

14 οἴδαμεν 知っている G1492 γὰρ なぜなら G1063 ὅτι ～ということを G3754 ὁ その G3588 νόμος 律法は G3551 πνευματικός 霊的で G4152 ἐστιν; ある G1510 ἐγὼ 私は G1473 δὲ しかし G1161 σάρκινός 肉的で G4560 εἰμι, ある G1510 πεπραμένος 売られた G4097 ὑπὸ ～の-もとに G5259 τὴν その G3588 ἁμαρτίαν. 罪-の G0266

わたしたちは、律法は霊的なものであると知っている。しかし、わたしは肉につける者であって、罪の下に売られているのである。

15 ὃ その-ことを G3739 γὰρ なぜなら G1063 κατεργάζομαι, 行っている G2716 οὐ ～ない G3756 γινώσκω; 理解していない G1097 οὐ ～ない G3756 γὰρ なぜなら G1063 ὃ その-ことを G3739 θέλω, 望む G2309 τοῦτο それを G3778 πράσσω; 行わない G4238 ἀλλ’ むしろ G0235 ὃ その-ことを G3739 μισῶ, 憎む G3404 τοῦτο それを G3778 ποιῶ. 行っている G4160

わたしは自分のしていることが、わからない。なぜなら、わたしは自分の欲する事は行わず、かえって自分の憎む事をしているからである。

16 εἰ もし G1487 δὲ しかし G1161 ὃ その-ことを G3739 οὐ ～ない G3756 θέλω, 望まない G2309 τοῦτο それを G3778 ποιῶ, 行うなら G4160 σύμφημι 同意している G4852 τῷ その G3588 νόμῳ, 律法-に G3551 ὅτι ～ということを G3754 καλός. 良い-と G2570

もし、自分の欲しない事をしているとすれば、わたしは律法が良いものであることを承認していることになる。

17

νυνὶ	δὲ,	οὐκέτι	ἐγὼ	κατεργάζομαι	αὐτὸ;	ἀλλὰ	ἡ	οἰκοῦσα
しかし–今	しかし	もはや	私が	行っている–のではない	それを	むしろ	その	住んでいる
G3570	G1161	G3765	G1473	G2716	G0846	G0235	G3588	G3611

ἐν	ἐμοὶ	ἁμαρτία.
～の–中に	私–の–中の	罪である
G1722	G1473	G0266

そこで、この事をしているのは、もはやわたしではなく、わたしの内に宿っている罪である。

18

οἶδα	γὰρ	ὅτι	οὐκ	οἰκεῖ	ἐν	ἐμοί,	τοῦτ’
知っている	なぜなら	～ということを	～ない	住んでいない	～の–中に	私–の–中に	すなわち
G1492	G1063	G3754	G3756	G1611	G1722	G1473	G3778

ἔστιν	ἐν	τῇ	σαρκί	μου --	ἀγαθόν --	τὸ	γὰρ	θέλειν	παράκειταί
それは	～の–中に	その	肉–の	私の	善い–ものは	その	なぜなら	望むことは	そばに–ある
G1510	G1722	G3588	G4561	G1473	G0018	G3588	G1063	G2309	G3873

μοι,	τὸ	δὲ	κατεργάζεσθαι	τὸ	καλὸν,	οὔ.
私–に	その	しかし	行うことが	その	良い–ことを	ない
G1473	G3588	G1161	G2716	G3588	G2570	G3756

わたしの内に、すなわち、わたしの肉の内には、善なるものが宿っていないことを、わたしは知っている。なぜなら、善をしようとする意志は、自分にあるが、それをする力がないからである。

19

οὐ	γὰρ	ὃ	θέλω,	ποιῶ	ἀγαθόν;	ἀλλὰ	ὃ	οὐ
～ない	なぜなら	その–ことを	望む	行わない	善い–ことを	むしろ	その–ことを	～ない
G3756	G1063	G3739	G2309	G4160	G0018	G0235	G3739	G3756

θέλω	κακὸν,	τοῦτο	πράσσω.
望まない	悪い–ことを	それを	行っている
G2309	G2556	G3778	G4238

すなわち、わたしの欲している善はしないで、欲していない悪は、これを行っている。

20

εἰ	δὲ	ὃ	οὐ	θέλω,	ἐγὼ	τοῦτο	ποιῶ,	οὐκέτι	ἐγὼ
もし	しかし	その–ことを	～ない	望まない	私が	それを	行うなら	もはや	私が
G1487	G1161	G3739	G3756	G2309	G1473	G3778	G4160	G3765	G1473

κατεργάζομαι	αὐτὸ,	ἀλλὰ	ἡ	οἰκοῦσα	ἐν	ἐμοὶ	ἁμαρτία.
行っている–のではない	それを	むしろ	その	住んでいる	～の–中に	私–の–中の	罪である
G2716	G0846	G0235	G3588	G3611	G1722	G1473	G0266

もし、欲しないことをしているとすれば、それをしているのは、もはやわたしではなく、わたしの内に宿っている罪である。

21

εὑρίσκω	ἄρα	τὸν	νόμον,	τῷ	θέλοντι	ἐμοὶ	ποιεῖν	τὸ	καλὸν,
見出す	こうして	その	法則を	その	望む	私が	行う–時に	その	良い–ことを
G2147	G0686	G3588	G3551	G3588	G2309	G1473	G4160	G3588	G2570

ὅτι	ἐμοὶ	τὸ	κακὸν	παράκειται.
～ということを	私–に	その	悪が	そばに–ある
G3754	G1473	G3588	G2556	G3873

そこで、善をしようと欲しているわたしに、悪がはいり込んでいるという法則があるのを見る。

22

συνήδομαι	γὰρ	τῷ	νόμῳ	τοῦ	Θεοῦ,	κατὰ	τὸν	ἔσω	ἄνθρωπον;
喜んでいる	なぜなら	その	律法–に	その	神–の	～に–従い	その	内なる	人–においては
G4913	G1063	G3588	G3551	G3588	G2316	G2596	G3588	G2080	G0444

すなわち、わたしは、内なる人としては神の律法を喜んでいるが、

23 βλέπω 見ている G0991 δὲ しかし G1161 ἕτερον 別の G2087 νόμον 法則を G3551 ἐν ～の–中に G1722 τοῖς その G3588 μέλεσίν 肢体–の–中に G3196 μου, 私の G1473 ἀντιστρατευόμενον 戦っている G0497
τῷ その G3588 νόμῳ 法則–に G3551 τοῦ その G3588 νοός 心–の G3563 μου, 私の G1473 καὶ そして G2532 αἰχμαλωτίζοντά 捕らえている G0163 με 私を G1473 ἐν ～の–中に G1722 τῷ その G3588
νόμῳ 法則–により G3551 τῆς その G3588 ἁμαρτίας, 罪–の G0266 τῷ その G3588 ὄντι ある G1510 ἐν ～の–中に G1722 τοῖς その G3588 μέλεσίν 肢体–の–中に G3196 μου. 私の G1473

わたしの肢体には別の律法があって、わたしの心の法則に対して戦いをいどみ、そして、肢体に存在する罪の法則の中に、わたしをとりこにしているのを見る。

24 Ταλαίπωρος 悲しい G5005 ἐγὼ 私は G1473 ἄνθρωπος! 人よ G0444 τίς 誰が G5101 με 私を G1473 ῥύσεται, 救い出すのか G4506 ἐκ ～から G1537 τοῦ その G3588 σώματος からだ–から G4983 τοῦ その G3588
θανάτου 死–の G2288 τούτου? この G3778

わたしは、なんというみじめな人間なのだろう。だれが、この死のからだから、わたしを救ってくれるだろうか。

25 χάρις 感謝 G5485 [δὲ] しかし G1161 τῷ その G3588 Θεῷ, 神–に G2316 διὰ ～を–通して G1223 Ἰησοῦ イエス G2424 Χριστοῦ キリスト G5547 τοῦ その G3588 Κυρίου 主 G2962 ἡμῶν! 私たちの G1473
ἄρα こうして G0686 οὖν, それゆえ G3767 αὐτὸς 自分自身 G0846 ἐγὼ, 私は G1473 τῷ その G3588 μὲν 一方では G3303 νοῒ 心–で G3563 δουλεύω 仕えている G1398 νόμῳ 律法–に G3551 Θεοῦ; 神–の G2316 τῇ その G3588
δὲ しかし G1161 σαρκὶ, 肉–では G4561 νόμῳ 律法–に G3551 ἁμαρτίας. 罪–の G0266

わたしたちの主イエス・キリストによって、神は感謝すべきかな。このようにして、わたし自身は、心では神の律法に仕えているが、肉では罪の律法に仕えているのである。

Chapter 8

1 Οὐδὲν 何も–ない G3762 ἄρα こうして G0686 νῦν 今 G3568 κατάκριμα 有罪–の–宣告は G2631 τοῖς その G3588 ἐν ～の–中に G1722 Χριστῷ キリスト G5547 Ἰησοῦ, イエス–に–ある–者には G2424
<μὴ ～ない G3361 κατὰ ～に–従い G2596 σάρκα 肉–に G4561 περιπατοῦσιν, 歩む–者ではなく G4043 ἀλλὰ そうではなく G0235 κατὰ ～に–従い G2596 πνεῦμα>. 霊–に G4151

こういうわけで、今やキリスト・イエスにある者は罪に定められることがない。

2 ὁ γὰρ νόμος τοῦ Πνεύματος τῆς ζωῆς, ἐν Χριστῷ
その なぜなら 法則–が その 御霊–の その いのち–の ～の–中で キリスト
G3588 G1063 G3551 G3588 G4151 G3588 G2222 G1722 G5547

Ἰησοῦ, ἠλευθέρωσέν σε ἀπὸ τοῦ νόμου τῆς ἁμαρτίας, καὶ
イエス–に–おける 解放した あなたを ～から その 法則–から その 罪–の そして
G2424 G1659 G4771 G0575 G3588 G3551 G3588 G0266 G2532

τοῦ θανάτου.
その 死–の
G3588 G2288

なぜなら、キリスト・イエスにあるいのちの御霊の法則は、罪と死との法則からあなたを解放したからである。

3 τὸ γὰρ ἀδύνατον τοῦ νόμου, ἐν ᾧ ἠσθένει διὰ
その なぜなら 不可能な–ことを その 律法–の ～の–中で それが 弱かった ～を–通して
G3588 G1063 G0102 G3588 G3551 G1722 G3739 G0770 G1223

τῆς σαρκός, ὁ Θεὸς, τὸν ἑαυτοῦ Υἱὸν πέμψας, ἐν ὁμοιώματι
その 肉–のゆえに その 神は その ご自身の 御子–を 遣わし ～の–中で かたち–に
G3588 G4561 G3588 G2316 G3588 G1438 G5207 G3992 G1722 G3667

σαρκὸς ἁμαρτίας, καὶ περὶ ἁμαρτίας, κατέκρινεν τὴν ἁμαρτίαν ἐν
肉–の 罪–の そして ～の–ために 罪–の 罪を–定めた その 罪–を ～の–中で
G4561 G0266 G2532 G4012 G0266 G2632 G3588 G0266 G1722

τῇ σαρκί,
その 肉–において
G3588 G4561

律法が肉により無力になっているためになし得なかった事を、神はなし遂げて下さった。すなわち、御子を、罪の肉の様で罪のためにつかわし、肉において罪を罰せられたのである。

4 ἵνα τὸ δικαίωμα τοῦ νόμου πληρωθῇ ἐν ἡμῖν,
～するために その 義–の–要求が その 律法–の 満たされるように ～の–中で 私たち–の–中に
G2443 G3588 G1345 G3588 G3551 G4137 G1722 G1473

τοῖς μὴ κατὰ σάρκα περιπατοῦσιν, ἀλλὰ κατὰ πνεῦμα.
その ～ない ～に–従い 肉–に 歩む–者ではなく そうではなく ～に–従い 霊–に
G3588 G3361 G2596 G4561 G4043 G0235 G2596 G4151

これは律法の要求が、肉によらず霊によって歩くわたしたちにおいて、満たされるためである。

5 οἱ γὰρ κατὰ σάρκα ὄντες, τὰ τῆς σαρκὸς φρονοῦσιν; οἱ
その なぜなら ～に–従い 肉–に ある–者は その その 肉–の–ことを 考える その
G3588 G1063 G2596 G4561 G1510 G3588 G3588 G4561 G5426 G3588

δὲ κατὰ πνεῦμα, τὰ τοῦ πνεύματος.
しかし ～に–従い 霊–に–ある–者は その その 霊–の–ことを
G1161 G2596 G4151 G3588 G3588 G4151

なぜなら、肉に従う者は肉のことを思い、霊に従う者は霊のことを思うからである。

6 τὸ γὰρ φρόνημα τῆς σαρκὸς θάνατος; τὸ δὲ φρόνημα τοῦ
その なぜなら 思い–は その 肉–の 死である その しかし 思い–は その
G3588 G1063 G5427 G3588 G4561 G2288 G3588 G1161 G5427 G3588

πνεύματος, ζωὴ καὶ εἰρήνη.
霊–の いのち そして 平和である
G4151 G2222 G2532 G1515

肉の思いは死であるが、霊の思いは、いのちと平安とである。

7

διότι	τὸ	φρόνημα	τῆς	σαρκὸς	ἔχθρα	εἰς	Θεόν;	τῷ	γὰρ
なぜなら	その	思い–は	その	肉–の	敵意	～に–対する	神–への	その	なぜなら
G1360	G3588	G5427	G3588	G4561	G2189	G1519	G2316	G3588	G1063

νόμῳ	τοῦ	Θεοῦ	οὐχ	ὑποτάσσεται;	οὐδὲ	γὰρ	δύναται.
律法–に	その	神–の	～ない	従わない	また	なぜなら	できない
G3551	G3588	G2316	G3756	G5293	G3761	G1063	G1410

なぜなら、肉の思いは神に敵するからである。すなわち、それは神の律法に従わず、否、従い得ないのである。

8

οἱ	δὲ	ἐν	σαρκὶ	ὄντες,	Θεῷ	ἀρέσαι	οὐ	δύνανται.
その	しかし	～の–中に	肉–の	ある–者は	神–に	喜ばせることが	～ない	できない
G3588	G1161	G1722	G4561	G1510	G2316	G0700	G3756	G1410

また、肉にある者は、神を喜ばせることができない。

9

Ὑμεῖς	δὲ	οὐκ	ἐστὲ	ἐν	σαρκὶ,	ἀλλὰ	ἐν	πνεύματι,
あなたがたは	しかし	～ない	ある–のは	～の–中に	肉–に	そうではなく	～の–中に	霊–に
G4771	G1161	G3756	G1510	G1722	G4561	G0235	G1722	G4151

εἴπερ	Πνεῦμα	Θεοῦ	οἰκεῖ	ἐν	ὑμῖν;	εἰ	δέ	τις
もし–本当に	御霊–が	神–の	住んでいるなら	～の–中に	あなたがた–の–中に	もし	しかし	誰かが
G1512	G4151	G2316	G3611	G1722	G4771	G1487	G1161	G5100

Πνεῦμα	Χριστοῦ	οὐκ	ἔχει,	οὗτος	οὐκ	ἔστιν	αὐτοῦ.
御霊–を	キリスト–の	～ない	持っていないなら	この–者は	～ない	ある–のではない	その方–の
G4151	G5547	G3756	G2192	G3778	G3756	G1510	G0846

しかし、神の御霊があなたがたの内に宿っているなら、あなたがたは肉におるのではなく、霊におるのである。もし、キリストの霊を持たない人がいるなら、その人はキリストのものではない。

10

εἰ	δὲ	Χριστὸς	ἐν	ὑμῖν,	τὸ	μὲν	σῶμα
もし	しかし	キリスト–が	～の–中に	あなたがた–の–中に–いるなら	その	一方では	からだ–は
G1487	G1161	G5547	G1722	G4771	G3588	G3303	G4983

νεκρὸν	διὰ	ἁμαρτίαν,	τὸ	δὲ	πνεῦμα	ζωὴ	διὰ	δικαιοσύνην.
死んだ	～の–ゆえに	罪–の	その	しかし	霊–は	いのち	～の–ゆえに	義–の
G3498	G1223	G0266	G3588	G1161	G4151	G2222	G1223	G1343

もし、キリストがあなたがたの内におられるなら、からだは罪のゆえに死んでいても、霊は義のゆえに生きているのである。

11

εἰ	δὲ	τὸ	Πνεῦμα	τοῦ	ἐγείραντος	τὸν	Ἰησοῦν	ἐκ	νεκρῶν
もし	しかし	その	御霊–が	その	よみがえらせた	その	イエス–を	～から	死者–の–中から
G1487	G1161	G3588	G4151	G3588	G1453	G3588	G2424	G1537	G3498

οἰκεῖ	ἐν	ὑμῖν,	ὁ	ἐγείρας	«ἐκ	νεκρῶν»□
住んでいるなら	～の–中に	あなたがた–の–中に	その	よみがえらせた	～から	死者–の–中から
G3611	G1722	G4771	G3588	G1453	G1537	G3498

Χριστὸν	Ἰησοῦν	ζωοποιήσει	καὶ	τὰ	θνητὰ	σώματα	ὑμῶν,	διὰ
キリスト	イエス–を	生かすだろう	また	その	死ぬべき	からだ–をも	あなたがたの	～を–通して
G5547	G2424	G2227	G2532	G3588	G2349	G4983	G4771	G1223

τοῦ	ἐνοικοῦντος	αὐτοῦ	Πνεύματος	ἐν	ὑμῖν.
その	住んでいる	その方の	御霊–により	～の–中に	あなたがた–の–中に
G3588	G1774	G0846	G4151	G1722	G4771

もし、イエスを死人の中からよみがえらせたかたの御霊が、あなたがたの内に宿っているなら、キリスト・イエスを死人の中からよみがえらせたかたは、あなたがたの内に宿っている御霊によって、あなたがたの死ぬべきからだをも、生かしてくださるであろう。

12 Ἄρα こうして G0686 οὖν, それゆえ G3767 ἀδελφοί, 兄弟たちよ G0080 ὀφειλέται 負い目-が-ある G3781 ἐσμέν, 私たちには G1510 οὐ ～ない G3756 τῇ その G3588 σαρκὶ, 肉-に-対してではなく G4561

τοῦ ～するために G3588 κατὰ ～に-従い G2596 σάρκα 肉-に G4561 ζῆν. 生きる-ことの G2198

それゆえに、兄弟たちよ。わたしたちは、果すべき責任を負っている者であるが、肉に従って生きる責任を肉に対して負っているのではない。

13 εἰ もし G1487 γὰρ なぜなら G1063 κατὰ ～に-従い G2596 σάρκα 肉-に G4561 ζῆτε, 生きるなら G2198 μέλλετε やがて G3195 ἀποθνήσκειν; 死ぬだろう G0599 εἰ もし G1487 δὲ しかし G1161

πνεύματι, 霊-により G4151 τὰς その G3588 πράξεις 行い-を G4234 τοῦ その G3588 σώματος からだ-の G4983 θανατοῦτε, 殺すなら G2289 ζήσεσθε. 生きるだろう G2198

なぜなら、もし、肉に従って生きるなら、あなたがたは死ぬ外はないからである。しかし、霊によってからだの働きを殺すなら、あなたがたは生きるであろう。

14 ὅσοι すべて G3745 γὰρ なぜなら G1063 Πνεύματι 御霊-に G4151 Θεοῦ 神-の G2316 ἄγονται, 導かれる-者は G0071 οὗτοι この-者たちは G3778 υἱοί 子 G5207 εἰσιν. である G1510 Θεοῦ 神-の G2316

すべて神の御霊に導かれている者は、すなわち、神の子である。

15 οὐ ～ない G3756 γὰρ なぜなら G1063 ἐλάβετε 受けた-のは G2983 πνεῦμα 霊-を G4151 δουλείας 奴隷-の G1397 πάλιν 再び G3825 εἰς ～に-至る G1519 φόβον, 恐れ-への G5401 ἀλλὰ そうではなく G0235

ἐλάβετε 受けた G2983 πνεῦμα 霊-を G4151 υἱοθεσίας, 子とする-の G5206 ἐν ～の-中で G1722 ᾧ それにより G3739 κράζομεν, 叫んでいる G2896 Ἀββᾶ! アバ G0005 ὁ その G3588 Πατήρ! 父よ G3962

あなたがたは再び恐れをいだかせる奴隷の霊を受けたのではなく、子たる身分を授ける霊を受けたのである。その霊によって、わたしたちは「アバ、父よ」と呼ぶのである。

16 αὐτὸ その G0846 τὸ その G3588 Πνεῦμα 御霊-が G4151 συμμαρτυρεῖ 証ししている G4828 τῷ その G3588 πνεύματι 霊-と-共に G4151 ἡμῶν, 私たちの G1473 ὅτι ～ということを G3754 ἐσμὲν 私たちは G1510

τέκνα 子ども G5043 Θεοῦ. 神-の G2316

御霊みずから、わたしたちの霊と共に、わたしたちが神の子であることをあかしして下さる。

17

εἰ	δὲ	τέκνα,	καὶ	κληρονόμοι:	κληρονόμοι	μὲν	Θεοῦ,		
もし	しかし	子ども–なら	また	相続人–である	相続人	一方では	神–の		
G1487	G1161	G5043	G2532	G2818	G2818	G3303	G2316		

συνκληρονόμοι	δὲ	Χριστοῦ;	εἴπερ	συμπάσχομεν,	ἵνα	καὶ	
共同–相続人	しかし	キリスト–の	もし–本当に	共に–苦しむなら	～するために	また	
G4789	G1161	G5547	G1512	G4841	G2443	G2532	

συνδοξασθῶμεν.
共に–栄光を–受けるために
G4888

もし子であれば、相続人でもある。神の相続人であって、キリストと栄光を共にするために苦難をも共にしている以上、キリストと共同の相続人なのである。

18

Λογίζομαι	γὰρ	ὅτι	οὐκ	ἄξια	τὰ	παθήματα	τοῦ	νῦν,	
考えている	なぜなら	～ということを	～ない	値しない	その	苦しみ–は	その	今–の	
G3049	G1063	G3754	G3756	G0514	G3588	G3804	G3588	G3568	

καιροῦ	πρὸς	τὴν	μέλλουσαν	δόξαν	ἀποκαλυφθῆναι	εἰς	ἡμᾶς.	
時–の	～に–比べて	その	やがて–来る	栄光–に	現される–べき	～に	私たち–に	
G2540	G4314	G3588	G3195	G1391	G0601	G1519	G1473	

わたしは思う。今のこの時の苦しみは、やがてわたしたちに現されようとする栄光に比べると、言うに足りない。

19

ἡ	γὰρ	ἀποκαραδοκία	τῆς	κτίσεως,	τὴν	ἀποκάλυψιν	τῶν	υἱῶν	τοῦ	
その	なぜなら	切なる–期待–は	その	被造物–の	その	現れ–を	その	子ら–の	その	
G3588	G1063	G0603	G3588	G2937	G3588	G0602	G3588	G5207	G3588	

Θεοῦ	ἀπεκδέχεται.
神–の	待ち望んでいる
G2316	G0553

被造物は、実に、切なる思いで神の子たちの出現を待ち望んでいる。

20

τῇ	γὰρ	ματαιότητι,	ἡ	κτίσις	ὑπετάγη,	οὐχ	ἑκοῦσα,	
その	なぜなら	虚無–に	その	被造物–は	服させられた	～ない	自ら–望んで–ではなく	
G3588	G1063	G3153	G3588	G2937	G5293	G3756	G1635	

ἀλλὰ	διὰ	τὸν	ὑποτάξαντα --	ἐφ’	ἐλπίδι,	
そうではなく	～を–通して	その	服させた–方–により	～の–上に	希望–をもって	
G0235	G1223	G3588	G5293	G1909	G1680	

なぜなら、被造物が虚無に服したのは、自分の意志によるのではなく、服従させたかたによるのであり、

21

ὅτι	καὶ	αὐτὴ	ἡ	κτίσις	ἐλευθερωθήσεται	ἀπὸ	τῆς	δουλείας	
～ということを	また	その	その	被造物–自体も	解放されるだろう	～から	その	束縛–から	
G3754	G2532	G0846	G3588	G2937	G1659	G0575	G3588	G1397	

τῆς	φθορᾶς,	εἰς	τὴν	ἐλευθερίαν	τῆς	δόξης	τῶν	τέκνων	τοῦ
その	朽ち–の	～の–中へ	その	自由–へ	その	栄光–の	その	子ども–たちの	その
G3588	G5356	G1519	G3588	G1657	G3588	G1391	G3588	G5043	G3588

Θεοῦ.
神–の
G2316

かつ、被造物自身にも、滅びのなわめから解放されて、神の子たちの栄光の自由に入る望みが残されているからである。

22 οἴδαμεν γὰρ ὅτι πᾶσα ἡ κτίσις συστενάζει καὶ
知っている なぜなら ～ということを すべての その 被造物-は 共に-うめいている そして
G1492 G1063 G3754 G3956 G3588 G2937 G4959 G2532

συνωδίνει ἄχρι τοῦ νῦν.
共に-産みの-苦しみをしている ～まで その 今-まで
G4944 G0891 G3588 G3568

実に、被造物全体が、今に至るまで、共にうめき共に産みの苦しみを続けていることを、わたしたちは知っている。

23 οὐ μόνον δέ, ἀλλὰ καὶ αὐτοὶ, τὴν ἀπαρχὴν τοῦ Πνεύματος
～だけ-でなく ただ しかし むしろ また 自ら その 初穂-を その 御霊-の
G3756 G3440 G1161 G0235 G2532 G0846 G3588 G0536 G3588 G4151

ἔχοντες, ἡμεῖς καὶ αὐτοὶ ἐν ἑαυτοῖς στενάζομεν, υἱοθεσίαν
持っている 私たち さえも 自ら ～の-中で 自分自身-の-中で うめいている 子とされること-を
G2192 G1473 G2532 G0846 G1722 G1438 G4727 G5206

ἀπεκδεχόμενοι, τὴν ἀπολύτρωσιν τοῦ σώματος ἡμῶν.
待ち望みつつ その 贖い-を その からだ-の 私たちの
G0553 G3588 G0629 G3588 G4983 G1473

それだけではなく、御霊の最初の実を持っているわたしたち自身も、心の内でうめきながら、子たる身分を授けられること、すなわち、からだのあがなわれることを待ち望んでいる。

24 τῇ γὰρ ἐλπίδι ἐσώθημεν; ἐλπὶς δὲ βλεπομένη, οὐκ
その なぜなら 希望-により 救われた 希望-は しかし 見えるなら ～ない
G3588 G1063 G1680 G4982 G1680 G1161 G0991 G3756

ἔστιν ἐλπίς; ὃ γὰρ βλέπει τις, τί ἐλπίζει?
ある-のではない 希望-ではない その-ことを なぜなら 見ている 者が なぜ 望むだろうか
G1510 G1680 G3739 G1063 G0991 G5101 G5101 G1679

わたしたちは、この望みによって救われているのである。しかし、目に見える望みは望みではない。なぜなら、現に見ている事を、どうして、なお望む人があろうか。

25 εἰ δὲ, ὃ οὐ βλέπομεν, ἐλπίζομεν, δι’ ὑπομονῆς
もし しかし その-ことを ～ない 見ていない 望んでいるなら ～を-通して 忍耐-をもって
G1487 G1161 G3739 G3756 G0991 G1679 G1223 G5281

ἀπεκδεχόμεθα.
待ち望んでいる
G0553

もし、わたしたちが見ないことを望むなら、わたしたちは忍耐して、それを待ち望むのである。

26 Ὡσαύτως δὲ καὶ, τὸ Πνεῦμα συναντιλαμβάνεται τῇ ἀσθενείᾳ ἡμῶν;
同様に しかし また その 御霊-は 助けてくださる その 弱さ-を 私たちの
G5615 G1161 G2532 G3588 G4151 G4878 G3588 G0769 G1473

τὸ γὰρ τί προσευξώμεθα καθὸ δεῖ, οὐκ οἴδαμεν, ἀλλὰ
その なぜなら 何を 祈るべきか ～の-ように ふさわしく ～ない 知らない しかし
G3588 G1063 G5101 G4336 G2526 G1163 G3756 G1492 G0235

αὐτὸ τὸ Πνεῦμα ὑπερεντυγχάνει, στεναγμοῖς ἀλαλήτοις.
その その 御霊-ご自身-が とりなしてくださる うめき-をもって 言い-表せない
G0846 G3588 G4151 G5241 G4726 G0215

御霊もまた同じように、弱いわたしたちを助けて下さる。なぜなら、わたしたちはどう祈ったらよいかわからないが、御霊みずから、言葉にあらわせない切なるうめきをもって、わたしたちのためにとりなして下さるからである。

27 ὁ δὲ ἐραυνῶν τὰς καρδίας, οἶδεν τί τὸ φρόνημα τοῦ
その しかし 探る-方は その 心-を 知っている 何が その 思い-であるかを その
G3588 G1161 G2045 G3588 G2588 G1492 G5101 G3588 G5427 G3588

Πνεύματος, ὅτι κατὰ Θεὸν, ἐντυγχάνει ὑπὲρ ἁγίων.
御霊-の ～ということを ～に-従い 神-に とりなしている ～の-ために 聖徒-たちの
G4151 G3754 G2596 G2316 G1793 G5228 G0040

そして、人の心を探り知るかたは、御霊の思うところがなんであるかを知っておられる。なぜなら、御霊は、聖徒のために、神の御旨にかなうとりなしをして下さるからである。

28 Οἴδαμεν δὲ ὅτι τοῖς ἀγαπῶσιν τὸν Θεὸν, πάντα
知っている しかし ～ということを その 愛する-者たちに その 神-を すべての-ことが
G1492 G1161 G3754 G3588 G0025 G3588 G2316 G3956

συνεργεῖ (ὁ θεὸς) εἰς ἀγαθόν, τοῖς κατὰ πρόθεσιν κλητοῖς οὖσιν.
共に-働く （その 神が） ～に-至る 善-に その ～に-従い ご計画-に 召された 者たち-に
G4903 G3588 G2316 G1519 G0018 G3588 G2596 G4286 G2822 G1510

神は、神を愛する者たち、すなわち、ご計画に従って召された者たちと共に働いて、万事を益となるようにして下さることを、わたしたちは知っている。

29 ὅτι οὓς προέγνω, καὶ προώρισεν συμμόρφους
～ということを その-者たちを あらかじめ-知り また あらかじめ-定めた 似た-者と-なるように
G3754 G3739 G4267 G2532 G4309 G4832

τῆς εἰκόνος τοῦ Υἱοῦ αὐτοῦ, εἰς τὸ εἶναι αὐτὸν
その かたち-に その 御子-の その方の ～するために その あるように その方が
G3588 G1504 G3588 G5207 G0846 G1519 G3588 G1510 G0846

πρωτότοκον ἐν πολλοῖς ἀδελφοῖς.
長子-で ～の-中で 多くの 兄弟-たちの-中での
G4416 G1722 G4183 G0080

神はあらかじめ知っておられる者たちを、更に御子のかたちに似たものとしようとして、あらかじめ定めて下さった。それは、御子を多くの兄弟の中で長子とならせるためであった。

30 οὓς δὲ προώρισεν, τούτους καὶ ἐκάλεσεν; καὶ οὓς
その-者たちを しかし あらかじめ-定めた この-者たちを また 召した そして その-者たちを
G3739 G1161 G4309 G3778 G2532 G2564 G2532 G3739

ἐκάλεσεν, τούτους καὶ ἐδικαίωσεν; οὓς δὲ ἐδικαίωσεν, τούτους
召した この-者たちを また 義と-認めた その-者たちを しかし 義と-認めた この-者たちを
G2564 G3778 G2532 G1344 G3739 G1161 G1344 G3778

καὶ ἐδόξασεν.
また 栄光を-与えた
G2532 G1392

そして、あらかじめ定めた者たちを更に召し、召した者たちを更に義とし、義とした者たちには、更に栄光を与えて下さったのである。

31 Τί οὖν ἐροῦμεν πρὸς ταῦτα? εἰ ὁ Θεὸς ὑπὲρ
何を それでは 言おうか ～に-対して これらの-ことに もし その 神-が ～の-味方なら
G5101 G3767 G2046 G4314 G3778 G1487 G3588 G2316 G5228

ἡμῶν, τίς καθ' ἡμῶν?
私たち-の 誰が ～に-逆らう 私たち-に
G1473 G5101 G2596 G1473

それでは、これらの事について、なんと言おうか。もし、神がわたしたちの味方であるなら、だれがわたしたちに敵し得ようか。

32 ὅς γε τοῦ ἰδίου Υἱοῦ οὐκ ἐφείσατο, ἀλλὰ ὑπὲρ
その方は 実に その ご自身の 御子-を ～ない 惜しまなかった むしろ ～の-ために
G3739 G1065 G3588 G2398 G5207 G3756 G5339 G0235 G5228

ἡμῶν πάντων παρέδωκεν αὐτόν, πῶς οὐχὶ καὶ σὺν
私たち-の すべて-の-ために 引き渡した その方-を どうして ～ない-だろうか また ～と-共に
G1473 G3956 G3860 G0846 G4459 G3780 G2532 G4862

αὐτῷ, τὰ πάντα ἡμῖν, χαρίσεται?
その方-と その すべて-のものを 私たち-に 与えてくださる
G0846 G3588 G3956 G1473 G5483

ご自身の御子をさえ惜しまないで、わたしたちすべての者のために死に渡されたかたが、どうして、御子のみならず万物をも賜わらないことがあろうか。

33 τίς ἐγκαλέσει κατὰ ἐκλεκτῶν Θεοῦ? Θεὸς ὁ δικαιῶν.
誰が 訴える-のか ～に-対して 選ばれた-者たちを 神-の 神-が その 義と-する
G5101 G1458 G2596 G1588 G2316 G2316 G3588 G1344

だれが、神の選ばれた者たちを訴えるのか。神は彼らを義とされるのである。

34 τίς ὁ κατακρινῶν? Χριστὸς Ἰησοῦς ὁ ἀποθανών, μᾶλλον δὲ
誰が その 罪に-定める-のか キリスト イエス-が その 死んだ-方 いや-むしろ しかし
G5101 G3588 G2632 G5547 G2424 G3588 G0599 G3123 G1161

ἐγερθείς ἐστιν ἐν δεξιᾷ (ἐκ νεκρῶν), ὅς ‹καί› ἐντυγχάνει
よみがえらされた-方 おられる ～の-中に 右-に （～から 死者-の-中から） その方は また とりなしている
G1453 G1510 G1722 G1188 G1537 G3498 G3739 G2532 G1793

τοῦ Θεοῦ, ὃς καὶ ὑπὲρ ἡμῶν.
その 神-の その方は また ～の-ために 私たち-の
G3588 G2316 G3739 G2532 G5228 G1473

だれが、わたしたちを罪に定めるのか。キリスト・イエスは、死んで、否、よみがえって、神の右に座し、また、わたしたちのためにとりなして下さるのである。

35 τίς ἡμᾶς χωρίσει ἀπὸ τῆς ἀγάπης τοῦ Χριστοῦ? θλῖψις, ἢ
誰が 私たち-を 引き離すのか ～から その 愛-から その キリスト-の 苦難か あるいは
G5101 G1473 G5563 G0575 G3588 G0026 G3588 G5547 G2347 G2228

στενοχωρία, ἢ διωγμὸς, ἢ λιμὸς, ἢ γυμνότης, ἢ κίνδυνος,
苦悩か あるいは 迫害か あるいは 飢えか あるいは 裸か あるいは 危険か
G4730 G2228 G1375 G2228 G3042 G2228 G1132 G2228 G2794

ἢ μάχαιρα?
あるいは 剣か
G2228 G3162

だれが、キリストの愛からわたしたちを離れさせるのか。患難か、苦悩か、迫害か、飢えか、裸か、危難か、剣か。

36 καθὼς γέγραπται, ὅτι Ἕνεκεν σοῦ, θανατούμεθα ὅλην τὴν
～の-ように 書かれている ～ということ ～の-ゆえに あなた-の 殺されている 一日 その
G2531 G1125 G3754 G1752 G4771 G2289 G3650 G3588

ἡμέραν; ἐλογίσθημεν ὡς πρόβατα σφαγῆς.
中-ずっと みなされた ～として 羊 屠殺-の
G2250 G3049 G5613 G4263 G4967

「わたしたちはあなたのために終日、死に定められており、ほふられる羊のように見られている」と書いてあるとおりである。

37 ἀλλ’ ἐν τούτοις πᾶσιν, ὑπερνικῶμεν διὰ τοῦ
しかし ～の–中で これらの すべて–の–中で 圧倒的に–勝っている ～を–通して その
G0235 G1722 G3778 G3956 G5245 G1223 G3588

ἀγαπήσαντος ἡμᾶς.
愛してくださった 私たち–を
G0025 G1473

しかし、わたしたちを愛して下さったかたによって、わたしたちは、これらすべての事において勝ち得て余りがある。

38 πέπεισμαι γὰρ ὅτι οὔτε θάνατος, οὔτε ζωὴ, οὔτε
確信している なぜなら ～ということを ～も–ない 死も ～も–ない いのちも ～も–ない
G3982 G1063 G3754 G3777 G2288 G3777 G2222 G3777

ἄγγελοι, οὔτε ἀρχαὶ, οὔτε ἐνεστῶτα, οὔτε μέλλοντα, οὔτε
御使いも ～も–ない 権力も ～も–ない 現在の–ものも ～も–ない 将来の–ものも ～も–ない
G0032 G3777 G0746 G3777 G1764 G3777 G3195 G3777

δυνάμεις,
力も
G1411

わたしは確信する。死も生も、天使も支配者も、現在のものも将来のものも、力あるものも、

39 οὔτε ὕψωμα, οὔτε βάθος, οὔτε τις κτίσις ἑτέρα, δυνήσεται
～も–ない 高さも ～も–ない 深さも ～も–ない どんな 被造物–も 他の できない
G3777 G5313 G3777 G0899 G3777 G5100 G2937 G2087 G1410

ἡμᾶς χωρίσαι ἀπὸ τῆς ἀγάπης τοῦ Θεοῦ, τῆς ἐν Χριστῷ
私たち–を 引き離すことが ～から その 愛–から その 神–の その ～の–中にある キリスト
G1473 G5563 G0575 G3588 G0026 G3588 G2316 G3588 G1722 G5547

Ἰησοῦ, τῷ Κυρίῳ ἡμῶν.
イエス その 主 私たちの
G2424 G3588 G2962 G1473

高いものも深いものも、その他どんな被造物も、わたしたちの主キリスト・イエスにおける神の愛から、わたしたちを引き離すことはできないのである。

Chapter 9

1 Ἀλήθειαν λέγω ἐν Χριστῷ. οὐ ψεύδομαι, συμμαρτυρούσης
真実を 言っている ～の–中で キリスト–に–おいて ～ない 偽っていない 証ししている
G0225 G3004 G1722 G5547 G3756 G5574 G4828

μοι τῆς συνειδήσεώς μου, ἐν Πνεύματι Ἁγίῳ,
私–に その 良心–が 私の ～の–中で 御霊 聖なる–により
G1473 G3588 G4893 G1473 G1722 G4151 G0040

わたしはキリストにあって真実を語る。偽りは言わない。わたしの良心も聖霊によって、わたしにこうあかしをしている。

2 ὅτι 〜ということを G3754 λύπη 悲しみ–が G3077 μοί 私–には G1473 ἐστιν ある G1510 μεγάλη, 大きな G3173 καὶ そして G2532 ἀδιάλειπτος 絶えない G0088 ὀδύνη 痛み–が G3601 τῇ その G3588

καρδίᾳ 心–に G2588 μου, 私の G1473

すなわち、わたしに大きな悲しみがあり、わたしの心に絶えざる痛みがある。

3 ηὐχόμην 願っていた G2172 γὰρ なぜなら G1063 ἀνάθεμα のろわれた–者 G0331 εἶναι であることを G1510 αὐτὸς, 自ら G0846 ἐγὼ 私自身が G1473 ἀπὸ 〜から G0575 τοῦ その G3588

Χριστοῦ キリスト–から G5547 ὑπὲρ 〜の–ために G5228 τῶν その G3588 ἀδελφῶν 兄弟–たちの G0080 μου, 私の G1473 τῶν その G3588 συγγενῶν 同胞–たちの G4773 μου, 私の G1473 κατὰ 〜に–従う G2596

σάρκα; 肉–による G4561

実際、わたしの兄弟、肉による同族のためなら、わたしのこの身がのろわれて、キリストから離されてもいとわない。

4 οἵτινές その–者たちは G3748 εἰσιν である G1510 Ἰσραηλῖται, イスラエル–人 G2475 ὧν その–者たちの G3739 ἡ その G3588 υἱοθεσία, 子とすること G5206 καὶ そして G2532 ἡ その G3588 δόξα, 栄光 G1391

καὶ そして G2532 αἱ その G3588 διαθῆκαι, 契約 G1242 καὶ そして G2532 ἡ その G3588 νομοθεσία, 律法 G3548 καὶ そして G2532 ἡ その G3588 λατρεία, 礼拝 G2999 καὶ そして G2532 αἱ その G3588

ἐπαγγελίαι; 約束–がある G1860

彼らはイスラエル人であって、子たる身分を授けられることも、栄光も、もろもろの契約も、律法を授けられることも、礼拝も、数々の約束も彼らのもの、

5 ὧν その–者たちの G3739 οἱ その G3588 πατέρες; 父祖–たちがあり G3962 καὶ そして G2532 ἐξ 〜から G1537 ὧν その–者たちから G3739 ὁ その G3588 Χριστὸς, キリスト–が G5547 τὸ その G3588

κατὰ 〜に–従えば G2596 σάρκα, 肉–に G4561 ὁ その G3588 ὢν おられる–方は G1510 ἐπὶ 〜の–上に G1909 πάντων すべて–の G3956 Θεὸς, 神であり G2316 εὐλογητὸς ほめたたえられる–べき方 G2128

εἰς 〜に–至る G1519 τοὺς その G3588 αἰῶνας! 世々–に G0165 ἀμήν. アーメン G0281

また父祖たちも彼らのものであり、肉によればキリストもまた彼らから出られたのである。万物の上にいます神は、永遠にほむべきかな、アァメン。

6 Οὐχ οἷον δὲ, ὅτι ἐκπέπτωκεν ὁ λόγος τοῦ Θεοῦ.
～ではない ～のように しかし ～ということ 落ちた その 言葉–が その 神–の
G3756 G3634 G1161 G3754 G1601 G3588 G3056 G3588 G2316

οὐ γὰρ πάντες οἱ ἐξ Ἰσραήλ, οὗτοι Ἰσραήλ.
～ない なぜなら すべての その ～から–出た イスラエル–からの この–者たちが イスラエル–ではない
G3756 G1063 G3956 G3588 G1537 G2474 G3778 G2474

しかし、神の言が無効になったというわけではない。なぜなら、イスラエルから出た者が全部イスラエルなのではなく、

7 οὐδ’ ὅτι εἰσὶν σπέρμα Ἀβραάμ. πάντες τέκνα; ἀλλ’,
また～ない ～だから である 子孫 アブラハム–の すべてが 子ども–ではない むしろ
G3761 G3754 G1510 G4690 G0011 G3956 G5043 G0235

Ἐν Ἰσαὰκ κληθήσεταί σοι σπέρμα.
～の–中で イサク–によって 呼ばれるだろう あなた–に 子孫–と
G1722 G2464 G2564 G4771 G4690

また、アブラハムの子孫だからといって、その全部が子であるのではないからである。かえって「イサクから出る者が、あなたの子孫と呼ばれるであろう」。

8 τοῦτ’ ἔστιν, οὐ τὰ τέκνα τῆς σαρκὸς, ταῦτα τέκνα τοῦ
すなわち それは ～ない その 子ども–が その 肉–の この–者たちが 子ども その
G3778 G1510 G3756 G3588 G5043 G3588 G4561 G3778 G5043 G3588

Θεοῦ; ἀλλὰ τὰ τέκνα τῆς ἐπαγγελίας λογίζεται εἰς σπέρμα.
神–の–ではない むしろ その 子ども–が その 約束–の 数えられている ～として 子孫–と
G2316 G0235 G3588 G5043 G3588 G1860 G3049 G1519 G4690

すなわち、肉の子がそのまま神の子なのではなく、むしろ約束の子が子孫として認められるのである。

9 ἐπαγγελίας γὰρ, ὁ λόγος οὗτος: Κατὰ τὸν καιρὸν τοῦτον,
約束–の なぜなら その 言葉–は これである ～の–時に その 時–に この
G1860 G1063 G3588 G3056 G3778 G2596 G3588 G2540 G3778

ἐλεύσομαι, καὶ ἔσται τῇ Σάρρᾳ υἱός.
来る そして あるだろう その サラ–に 息子–が
G2064 G2532 G1510 G3588 G4564 G5207

約束の言葉はこうである。「来年の今ごろ、わたしはまた来る。そして、サラに男子が与えられるであろう」。

10 οὐ μόνον δέ, ἀλλὰ καὶ Ῥεβέκκα, ἐξ ἑνὸς κοίτην, ἔχουσα
～だけ–でなく ただ しかし むしろ また リベカ–も ～から 一人–の 床を 持った
G3756 G3440 G1161 G0235 G2532 G4479 G1537 G1520 G2845 G2192

Ἰσαὰκ τοῦ πατρὸς ἡμῶν,
イサク その 父 私たちの
G2464 G3588 G3962 G1473

それぱかりではなく、ひとりの人、すなわち、わたしたちの父祖イサクによって受胎したリベカの場合も、また同様である。

11 μήπω γὰρ γεννηθέντων, μηδὲ πραξάντων τι ἀγαθὸν ἢ
まだ–〜ない なぜなら 生まれて–おらず また〜ない 行って–いない 何も 善い–ことも あるいは
G3380 G1063 G1080 G3366 G4238 G5100 G0018 G2228

φαῦλον, ἵνα ἡ, κατ’ ἐκλογὴν, πρόθεσις τοῦ Θεοῦ μένῃ,
悪い–ことも 〜するために その 〜に–従う 選び–による ご計画–が その 神–の 続くように
G5337 G2443 G3588 G2596 G1589 G4286 G3588 G2316 G3306

まだ子供らが生れもせず、善も悪もしない先に、神の選びの計画が、

12 οὐκ ἐξ ἔργων, ἀλλ’ ἐκ τοῦ καλοῦντος, ἐρρέθη αὐτῇ
〜ない 〜から 行い–から–ではなく むしろ 〜から その 召す–方から 言われた 彼女–に
G3756 G1537 G2041 G0235 G1537 G3588 G2564 G2046 G0846

ὅτι, Ὁ μείζων δουλεύσει τῷ ἐλάσσονι.
〜ということ その 年上の–者が 仕えるだろう その 年下の–者に
G3754 G3588 G3173 G1398 G3588 G1640

わざによらず、召したかたによって行われるために、「兄は弟に仕えるであろう」と、彼女に仰せられたのである。

13 καθὼς γέγραπται, Τὸν Ἰακὼβ ἠγάπησα, τὸν δὲ Ἠσαῦ ἐμίσησα.
〜の–ように 書かれている その ヤコブ–を 愛した その しかし エサウ–を 憎んだ
G2531 G1125 G3588 G2384 G0025 G3588 G1161 G2269 G3404

「わたしはヤコブを愛しエサウを憎んだ」と書いてあるとおりである。

14 Τί οὖν ἐροῦμεν? μὴ ἀδικία παρὰ τῷ θεῷ? μὴ
何を それでは 言おうか まさか 不義–が 〜の–もとに その 神–に–あるのか 決して
G5101 G3767 G2046 G3361 G0093 G3844 G3588 G2316 G3361

γένοιτο!
そうではない
G1096

では、わたしたちはなんと言おうか。神の側に不正があるのか。断じてそうではない。

15 τῷ Μωϋσεῖ γὰρ λέγει, Ἐλεήσω ὃν ἂν ἐλεῶ, καὶ
その モーセ–に なぜなら 言っている あわれむだろう その–者を その あわれむ そして
G3588 G3475 G1063 G3004 G1653 G3739 G0302 G1653 G2532

οἰκτιρήσω ὃν ἂν οἰκτίρω.
あわれみだろう その–者を その あわれむ
G3627 G3739 G0302 G3627

神はモーセに言われた、「わたしは自分のあわれもうとする者をあわれみ、いつくしもうとする者を、いつくしむ」。

16 ἄρα οὖν, οὐ τοῦ θέλοντος, οὐδὲ τοῦ τρέχοντος, ἀλλὰ
こうして それゆえ 〜ない その 望む–者にも また〜ない その 走る–者にも–よらず むしろ
G0686 G3767 G3756 G3588 G2309 G3761 G3588 G5143 G0235

τοῦ ἐλεῶντος Θεοῦ.
その あわれむ 神–による
G3588 G1653 G2316

ゆえに、それは人間の意志や努力によるのではなく、ただ神のあわれみによるのである。

17 λέγει γὰρ ἡ γραφὴ τῷ Φαραώ, ὅτι Εἰς αὐτὸ
言っている なぜなら その 聖書は その ファラオ-に ～ということ ～の-ために その
G3004 G1063 G3588 G1124 G3588 G5328 G3754 G1519 G0846

τοῦτο ἐξήγειρά σε, ὅπως ἐνδείξωμαι ἐν σοὶ τὴν
この 起こした あなたを ～するために 示すように ～の-中で あなた-において その
G3778 G1825 G4771 G3704 G1731 G1722 G4771 G3588

δύναμίν μου, καὶ ὅπως διαγγελῇ τὸ ὄνομά μου, ἐν
力-を 私の そして ～するために 宣べ-伝えられるように その 名-が 私の ～の-中で
G1411 G1473 G2532 G3704 G1229 G3588 G3686 G1473 G1722

πάσῃ τῇ γῇ.
すべての その 地-に
G3956 G3588 G1093

聖書はパロにこう言っている、「わたしがあなたを立てたのは、この事のためである。すなわち、あなたによってわたしの力をあらわし、また、わたしの名が全世界に言いひろめられるためである」。

18 ἄρα οὖν ὃν θέλει, ἐλεεῖ, ὃν δὲ θέλει, σκληρύνει.
こうして それゆえ その-者を 望む あわれみ その-者を しかし 望む かたくなにする
G0686 G3767 G3739 G2309 G1653 G3739 G1161 G2309 G4645

だから、神はそのあわれもうと思う者をあわれみ、かたくなにしようと思う者を、かたくなになさるのである。

19 Ἐρεῖς μοι οὖν, Τί ‹οὖν› ἔτι μέμφεται? τῷ γὰρ βουλήματι
言うだろう 私-に それでは なぜ それでは なお 責めるのか その なぜなら 御心-に
G2046 G1473 G3767 G5101 G3767 G2089 G3201 G3588 G1063 G1013

αὐτοῦ, τίς ἀνθέστηκεν?
その方の 誰が 逆らったのか
G0846 G5101 G0436

そこで、あなたは言うであろう、「なぜ神は、なおも人を責められるのか。だれが、神の意図に逆らい得ようか」。

20 ὦ ἄνθρωπε, μενοῦνγε, σὺ τίς εἶ ὁ ἀνταποκρινόμενος τῷ
おお 人よ いったい あなたは 誰であるか あるのか その 言い-返す-者が その
G5599 G0444 G3304 G4771 G5101 G1510 G3588 G0470 G3588

Θεῷ? μὴ ἐρεῖ τὸ πλάσμα, τῷ πλάσαντι, Τί με ἐποίησας
神-に まさか 言うだろうか その 造られた-ものが その 造った-方に なぜ 私を 作ったのか
G2316 G3361 G2046 G3588 G4110 G3588 G4111 G5101 G1473 G4160

οὕτως?
このように
G3779

ああ人よ。あなたは、神に言い逆らうとは、いったい、何者なのか。造られたものが造った者に向かって、「なぜ、わたしをこのように造ったのか」と言うことがあろうか。

21 ἢ οὐκ ἔχει ἐξουσίαν ὁ κεραμεὺς τοῦ πηλοῦ, ἐκ
あるいは ～ない 持っているのか 権利を その 陶器師は その 粘土-に-対して ～から
G2228 G3756 G2192 G1849 G3588 G2763 G3588 G4081 G1537

τοῦ αὐτοῦ φυράματος ποιῆσαι ὃ μὲν εἰς τιμὴν σκεῦος,
その 同じ 練り-粘土から 作ることが その-ものを 一方では ～に-至る 尊い-用途の 器-として
G3588 G0846 G5445 G4160 G3739 G3303 G1519 G5092 G4632

ὃ δὲ εἰς ἀτιμίαν?
その-ものを しかし ～に-至る 卑い-用途の
G3739 G1161 G1519 G0819

陶器を造る者は、同じ土くれから、一つを尊い器に、他を卑しい器に造りあげる権能がないのであろうか。

22

εἰ	δὲ	θέλων	ὁ	Θεὸς	ἐνδείξασθαι	τὴν	ὀργὴν,	καὶ	γνωρίσαι
もし	しかし	望んで	その	神が	示すことを	その	怒り-を	そして	知らせることを
G1487	G1161	G2309	G3588	G2316	G1731	G3588	G3709	G2532	G1107

τὸ	δυνατὸν	αὐτοῦ,	ἤνεγκεν	ἐν	πολλῇ	μακροθυμίᾳ,	σκεύη	ὀργῆς,
その	力-を	その方の	耐えたのなら	～の-中で	多くの	寛容-をもって	器-を	怒り-の
G3588	G1415	G0846	G5342	G1722	G4183	G3115	G4632	G3709

κατηρτισμένα	εἰς	ἀπώλειαν;
備えられた	～に-至る	滅び-に
G2675	G1519	G0684

もし、神が怒りをあらわし、かつ、ご自身の力を知らせようと思われつつも、滅びることになっている怒りの器を、大いなる寛容をもって忍ばれたとすれば、

23

καὶ	ἵνα	γνωρίσῃ	τὸν	πλοῦτον	τῆς	δόξης	αὐτοῦ,	ἐπὶ
そして	～するために	知らせるように	その	豊かさ-を	その	栄光-の	その方の	～の-上に
G2532	G2443	G1107	G3588	G4149	G3588	G1391	G0846	G1909

σκεύη	ἐλέους,	ἃ	προητοίμασεν	εἰς	δόξαν,
器-に	あわれみ-の	その-ものを	あらかじめ-備えた	～に-至る	栄光-に
G4632	G1656	G3739	G4282	G1519	G1391

かつ、栄光にあずからせるために、あらかじめ用意されたあわれみの器にご自身の栄光の富を知らせようとされたとすれば、どうであろうか。

24

οὓς	καὶ	ἐκάλεσεν,	ἡμᾶς	οὐ	μόνον	ἐξ	Ἰουδαίων,
その-者たちを	また	召した	私たち-を	～だけ-でなく	ただ	～から	ユダヤ-人から
G3739	G2532	G2564	G1473	G3756	G3440	G1537	G2453

ἀλλὰ	καὶ	ἐξ	ἐθνῶν?
そうではなく	また	～から	異邦-人からも
G0235	G2532	G1537	G1484

神は、このあわれみの器として、またわたしたちをも、ユダヤ人の中からだけではなく、異邦人の中からも召されたのである。

25

ὡς	καὶ	ἐν	τῷ	Ὡσηὲ	λέγει,	Καλέσω	τὸν	οὐ	λαόν
～の-ように	また	～の-中で	その	ホセア-に	言っている	呼ぶだろう	その	～ない	民-を
G5613	G2532	G1722	G3588	G5617	G3004	G2564	G3588	G3756	G2992

μου,	λαόν	μου;	καὶ	τὴν	οὐκ	ἠγαπημένην,	ἠγαπημένην.
私の	民-と	私の	そして	その	～ない	愛されなかった-者を	愛された-者と
G1473	G2992	G1473	G2532	G3588	G3756	G0025	G0025

それは、ホセアの書でも言われているとおりである、「わたしは、わたしの民でない者を、わたしの民と呼び、愛されなかった者を、愛される者と呼ぶであろう。

26

καὶ	ἔσται,	ἐν	τῷ	τόπῳ	οὗ	ἐρρέθη	αὐτοῖς,	Οὐ	λαός	μου
そして	あるだろう	～の-中で	その	場所-で	そこで	言われた	彼ら-に	～ない	民	私の
G2532	G1510	G1722	G3588	G5117	G3739	G2046	G0846	G3756	G2992	G1473

ὑμεῖς,	ἐκεῖ	κληθήσονται	υἱοὶ	Θεοῦ	ζῶντος.
あなたがたは	そこで	呼ばれるだろう	子	神-の	生きている-方の
G4771	G1563	G2564	G5207	G2316	G2198

あなたがたはわたしの民ではないと、彼らに言ったその場所で、彼らは生ける神の子らであると、呼ばれるであろう」。

27 Ἠσαΐας δὲ κράζει ὑπὲρ τοῦ Ἰσραήλ, Ἐὰν ᾖ
イザヤ-は しかし 叫んでいる ～に-ついて その イスラエル-に-ついて たとえ あるとしても
G2268 G1161 G2896 G5228 G3588 G2474 G1437 G1510

ὁ ἀριθμὸς τῶν υἱῶν Ἰσραὴλ, ὡς ἡ ἄμμος τῆς θαλάσσης,
その 数-が その 子ら-の イスラエル-の ～の-ように その 砂-の その 海-の
G3588 G0706 G3588 G5207 G2474 G5613 G3588 G0285 G3588 G2281

τὸ ὑπόλειμμα σωθήσεται.
その 残り-の-者が 救われるだろう
G3588 G5275 G4982

また、イザヤはイスラエルについて叫んでいる、「たとい、イスラエルの子らの数は、浜の砂のようであっても、救われるのは、残された者だけであろう。

28 λόγον γὰρ, συντελῶν καὶ συντέμνων, ποιήσει Κύριος ἐπὶ τῆς
言葉-を なぜなら 成し-遂げ そして 速やかに 行うだろう 主は ～の-上に その
G3056 G1063 G4931 G2532 G4932 G4160 G2962 G1909 G3588

γῆς.
地-の-上で
G1093

主は、御言をきびしくまたすみやかに、地上になしとげられるであろう」。

29 καὶ καθὼς προείρηκεν Ἠσαΐας, Εἰ μὴ Κύριος Σαβαὼθ
そして ～の-ように 予め-言った イザヤ-が もし ～なければ 主-が 万軍-の
G2532 G2531 G4302 G2268 G1487 G3361 G2962 G4519

ἐγκατέλιπεν ἡμῖν σπέρμα, ὡς Σόδομα ἂν ἐγενήθημεν, καὶ
残していなかったなら 私たち-に 子孫-を ～の-ように ソドム-の その なっただろう そして
G1459 G1473 G4690 G5613 G4670 G0302 G1096 G2532

ὡς Γόμορρα ἂν ὡμοιώθημεν.
～の-ように ゴモラ-の その 似ただろう
G5613 G1116 G0302 G3666

さらに、イザヤは預言した、「もし、万軍の主がわたしたちに子孫を残されなかったなら、わたしたちはソドムのようになり、ゴモラと同じようになったであろう」。

30 Τί οὖν ἐροῦμεν? ὅτι ἔθνη τὰ μὴ διώκοντα
何を それでは 言おうか ～ということを 異邦-人が その ～ない 追い求めなかった
G5101 G3767 G2046 G3754 G1484 G3588 G3361 G1377

δικαιοσύνην, κατέλαβεν δικαιοσύνην, δικαιοσύνην δὲ τὴν ἐκ πίστεως;
義-を 得た 義-を 義 しかし その ～から-の 信仰-からの
G1343 G2638 G1343 G1343 G1161 G3588 G1537 G4102

では、わたしたちはなんと言おうか。義を追い求めなかった異邦人は、義、すなわち、信仰による義を得た。

31 Ἰσραὴλ δὲ, διώκων νόμον δικαιοσύνης, εἰς νόμον οὐκ
イスラエル-は しかし 追い求めていた 律法-を 義-の ～に-至る 律法-に ～ない
G2474 G1161 G1377 G3551 G1343 G1519 G3551 G3756

ἔφθασεν.
達しなかった
G5348

しかし、義の律法を追い求めていたイスラエルは、その律法に達しなかった。

32 διὰ τί? ὅτι οὐκ ἐκ πίστεως, ἀλλ’ ὡς
～を–通して なぜか ～ということを ～ない ～から–の 信仰–から–ではなく むしろ ～の–ように
G1223 G5101 G3754 G3756 G1537 G4102 G0235 G5613

ἐξ ἔργων. προσέκοψαν τῷ λίθῳ τοῦ προσκόμματος,
～から–の 行い–からだと つまずいた その 石–に その つまずき–の
G1537 G2041 G4350 G3588 G3037 G3588 G4348

なぜであるか。信仰によらないで、行いによって得られるかのように、追い求めたからである。彼らは、つまずきの石につまずいたのである。

33 καθὼς γέγραπται, Ἰδοὺ τίθημι ἐν Σιὼν λίθον προσκόμματος,
～の–ように 書かれている 見よ 置く ～の–中に シオン–に 石–を つまずき–の
G2531 G1125 G3708 G5087 G1722 G4622 G3037 G4348

καὶ πέτραν σκανδάλου; καὶ ὁ πιστεύων ἐπ’ αὐτῷ, οὐ
そして 岩–を 妖げ–の そして その 信じる–者は ～の–上に その方–に 決して
G2532 G4073 G4625 G2532 G3588 G4100 G1909 G0846 G3756

καταισχυνθήσεται.
失望させられない
G2617

「見よ、わたしはシオンに、つまずきの石、さまたげの岩を置く。それにより頼む者は、失望に終ることがない」と書いてあるとおりである。

Chapter 10

1 Ἀδελφοί, ἡ μὲν εὐδοκία τῆς ἐμῆς καρδίας, καὶ ἡ δέησις πρὸς
兄弟たちよ その 実に 願い–は その 私の 心–の そして その 祈り–は ～に–対して
G0080 G3588 G3303 G2107 G3588 G1699 G2588 G2532 G3588 G1162 G4314

τὸν Θεὸν, ὑπὲρ αὐτῶν εἰς σωτηρίαν.
その 神–に ～の–ために 彼ら–の ～に–至る 救い–に
G3588 G2316 G5228 G0846 G1519 G4991

2 μαρτυρῶ γὰρ αὐτοῖς, ὅτι ζῆλον Θεοῦ ἔχουσιν, ἀλλ’ οὐ
証ししている なぜなら 彼ら–に ～ということを 熱心–を 神–への 持っている しかし ～ない
G3140 G1063 G0846 G3754 G2205 G2316 G2192 G0235 G3756

κατ’ ἐπίγνωσιν.
～に–従う 正しい–知識–に–基づいていない
G2596 G1922

3 ἀγνοοῦντες γὰρ τὴν τοῦ Θεοῦ δικαιοσύνην, καὶ τὴν ἰδίαν
知らないで なぜなら その その 神–の 義–を そして その 自分自身の
G0050 G1063 G3588 G3588 G2316 G1343 G2532 G3588 G2398

[δικαιοσύνην] ζητοῦντες στῆσαι, τῇ δικαιοσύνῃ τοῦ Θεοῦ, οὐχ
義–を 求めて 立てようとして その 義–に その 神–の ～ない
G1343 G2212 G2476 G3588 G1343 G3588 G2316 G3756

ὑπετάγησαν.
従わなかった
G5293

4 τέλος γὰρ νόμου Χριστὸς, εἰς δικαιοσύνην παντὶ τῷ
目標-は なぜなら 律法-の キリスト-である ～に-至る 義-に すべての その
G5056 G1063 G3551 G5547 G1519 G1343 G3956 G3588

πιστεύοντι.
信じる-者に
G4100

5 Μωϋσῆς γὰρ γράφει ὅτι τὴν δικαιοσύνην τὴν ἐκ ‹τοῦ›
モーセ-は なぜなら 書いている ～ということを その 義-を その ～から-の その
G3475 G1063 G1125 G3754 G3588 G1343 G3588 G1537 G3588

νόμου, [ὅτι] ὁ ποιήσας [αὐτὰ] ἄνθρωπος, ζήσεται ἐν
律法-からの ～ということ その 行った それらを 人は 生きるだろう ～の-中で
G3551 G3754 G3588 G4160 G0846 G0444 G2198 G1722

αὐτῇ.
それ-により
G0846

6 ἡ δὲ ἐκ πίστεως δικαιοσύνη, οὕτως λέγει: Μὴ εἴπῃς
その しかし ～から-の 信仰-からの 義-は このように 言っている ～するな 言うな
G3588 G1161 G1537 G4102 G1343 G3779 G3004 G3361 G3004

ἐν τῇ καρδίᾳ σου, Τίς ἀναβήσεται εἰς τὸν οὐρανόν? τοῦτ’
～の-中で その 心-の あなたの 誰が のぼるのか ～の-中へ その 天-に すなわち
G1722 G3588 G2588 G4771 G5101 G0305 G1519 G3588 G3772 G3778

ἔστιν, Χριστὸν καταγαγεῖν.
それは キリスト-を 降ろすこと
G1510 G5547 G2609

7 ἢ, Τίς καταβήσεται εἰς τὴν ἄβυσσον? τοῦτ’ ἔστιν, Χριστὸν
あるいは 誰が 降るのか ～の-中へ その 深淵-に すなわち それは キリスト-を
G2228 G5101 G2597 G1519 G3588 G0012 G3778 G1510 G5547

ἐκ νεκρῶν ἀναγαγεῖν.
～から 死者-の-中から 引き上げること
G1537 G3498 G0321

8 ἀλλὰ τί λέγει? Ἐγγύς σου τὸ ῥῆμά ἐστιν, ἐν τῷ
しかし 何と 言っているか 近く-に あなた-の その 言葉-は ある ～の-中に その
G0235 G5101 G3004 G1451 G4771 G3588 G4487 G1510 G1722 G3588

στόματί σου, καὶ ἐν τῇ καρδίᾳ σου; τοῦτ’ ἔστιν, τὸ
口-の-中に あなたの そして ～の-中に その 心-の-中に あなたの すなわち それは その
G4750 G4771 G2532 G1722 G3588 G2588 G4771 G3778 G1510 G3588

ῥῆμα τῆς πίστεως ὃ κηρύσσομεν,
言葉 その 信仰-の それを 宣べ-伝えている
G4487 G3588 G4102 G3739 G2784

9 ὅτι ἐὰν ὁμολογήσῃς (τὸ ῥῆμα) ἐν τῷ στόματί σου,
～ということを もし 告白するなら （その 言葉を） ～の–中で その 口–で あなたの
G3754 G1437 G3670 G3588 G4487 G1722 G3588 G4750 G4771

(ὅτι) Κύριον Ἰησοῦν, καὶ πιστεύσῃς ἐν τῇ καρδίᾳ σου,
（～ということ） 主–と イエス–を そして 信じるなら ～の–中で その 心–で あなたの
G3754 G2962 G2424 G2532 G4100 G1722 G3588 G2588 G4771

ὅτι ὁ Θεὸς αὐτὸν ἤγειρεν ἐκ νεκρῶν, σωθήσῃ.
～ということを その 神が その方を よみがえらせた ～から 死者–の–中から 救われるだろう
G3754 G3588 G2316 G0846 G1453 G1537 G3498 G4982

10 καρδίᾳ γὰρ πιστεύεται εἰς δικαιοσύνην; στόματι δὲ ὁμολογεῖται
心–で なぜなら 信じられる ～に–至る 義–に 口–で しかし 告白される
G2588 G1063 G4100 G1519 G1343 G4750 G1161 G3670

εἰς σωτηρίαν.
～に–至る 救い–に
G1519 G4991

11 λέγει γὰρ ἡ γραφή, Πᾶς ὁ πιστεύων ἐπ’ αὐτῷ οὐ
言っている なぜなら その 聖書は すべての その 信じる–者は ～の–上に その方–に 決して
G3004 G1063 G3588 G1124 G3956 G3588 G4100 G1909 G0846 G3756

καταισχυνθήσεται.
失望させられない
G2617

12 οὐ γάρ ἐστιν διαστολὴ Ἰουδαίου τε καὶ Ἕλληνος; ὁ
～ない なぜなら ある–のではない 区別–は ユダヤ–人の も そして ギリシア–人の その
G3756 G1063 G1510 G1293 G2453 G5037 G2532 G1672 G3588

γὰρ αὐτὸς Κύριος πάντων πλουτῶν εἰς πάντας τοὺς ἐπικαλουμένους
なぜなら 同じ 主–は すべて–の 豊かである ～に–対して すべての その 呼び–求める–者に
G1063 G0846 G2962 G3956 G4147 G1519 G3956 G3588 G1941

αὐτόν.
その方を
G0846

13 Πᾶς γὰρ, ὃς ἂν ἐπικαλέσηται τὸ ὄνομα Κυρίου, σωθήσεται.
すべての なぜなら その–者は その 呼び–求めるなら その 御名–を 主–の 救われるだろう
G3956 G1063 G3739 G0302 G1941 G3588 G3686 G2962 G4982

14 πῶς οὖν ἐπικαλέσωνται εἰς ὃν οὐκ ἐπίστευσαν? πῶς
どうして それでは 呼び–求めるのか ～に その–方を ～ない 信じて–いないのに どうして
G4459 G3767 G1941 G1519 G3739 G3756 G4100 G4459

δὲ πιστεύσωσιν οὗ οὐκ ἤκουσαν? πῶς δὲ ἀκούσωσιν,
しかし 信じるのか その–方を ～ない 聞いて–いないのに どうして しかし 聞くのか
G1161 G4100 G3739 G3756 G0191 G4459 G1161 G0191

χωρὶς κηρύσσοντος?
～なしに 宣べ–伝える–者が
G5565 G2784

15 πῶς δὲ κηρύξωσιν, ἐὰν μὴ ἀποσταλῶσιν? καθὼς γέγραπται,
どうして しかし 宣べ-伝えるのか もし ～なければ 遣わされなければ ～の-ように 書かれている
G4459 G1161 G2784 G1437 G3361 G0649 G2531 G1125

Ὡς ὡραῖοι οἱ πόδες <τῶν εὐαγγελιζομένων εἰρήνην> τῶν
なんと 美しいことか その 足-は （その 福音を-伝える-者たちの 平和-を） その
G5613 G5611 G3588 G4228 G3588 G2097 G1515 G3588

εὐαγγελιζομένων ‹τὰ› ἀγαθά!
福音を-伝える-者たちの その 善い-ものを
G2097 G3588 G0018

16 Ἀλλ’ οὐ πάντες ὑπήκουσαν τῷ εὐαγγελίῳ. Ἡσαΐας γὰρ
しかし ～ない すべての-者が 従った-わけではない その 福音-に イザヤ-は なぜなら
G0235 G3756 G3956 G5219 G3588 G2098 G2268 G1063

λέγει, Κύριε, τίς ἐπίστευσεν τῇ ἀκοῇ ἡμῶν?
言っている 主よ 誰が 信じたのか その 知らせ-を 私たちの
G3004 G2962 G5101 G4100 G3588 G0189 G1473

17 ἄρα ἡ πίστις ἐξ ἀκοῆς, ἡ δὲ ἀκοὴ διὰ
こうして その 信仰-は ～から 聞くこと-から その しかし 聞くこと-は ～を-通して
G0686 G3588 G4102 G1537 G0189 G3588 G1161 G0189 G1223

ῥήματος Χριστοῦ.
言葉-により キリスト-の
G4487 G5547

18 ἀλλὰ λέγω, μὴ οὐκ ἤκουσαν? μενοῦνγε, Εἰς πᾶσαν τὴν
しかし 言う まさか ～ない 聞かなかったのか そうではない ～の-中へ すべての その
G0235 G3004 G3361 G3756 G0191 G3304 G1519 G3956 G3588

γῆν, ἐξῆλθεν ὁ φθόγγος αὐτῶν; καὶ εἰς τὰ πέρατα τῆς
地-に 出て-行った その 声-が 彼らの そして ～の-中へ その 果て-まで その
G1093 G1831 G3588 G5353 G0846 G2532 G1519 G3588 G4009 G3588

οἰκουμένης, τὰ ῥήματα αὐτῶν.
世界-の その 言葉-が 彼らの
G3625 G3588 G4487 G0846

19 ἀλλὰ λέγω, μὴ Ἰσραὴλ οὐκ ἔγνω? πρῶτος, Μωϋσῆς λέγει,
しかし 言う まさか イスラエル-は ～ない 知らなかったのか まず モーセ-が 言っている
G0235 G3004 G3361 G2474 G3756 G1097 G4413 G3475 G3004

Ἐγὼ παραζηλώσω ὑμᾶς, ἐπ’ οὐκ ἔθνει; ἐπ’ ἔθνει
私が ネタませるだろう あなたがたを ～に-よって ～ない 民-に-よって ～に-よって 民-に-よって
G1473 G3863 G4771 G1909 G3756 G1484 G1909 G1484

ἀσυνέτῳ, παροργιῶ ὑμᾶς.
愚かな 怒らせるだろう あなたがたを
G0801 G3949 G4771

20 Ἡσαΐας δὲ ἀποτολμᾷ καὶ λέγει, Εὑρέθην ‹ἐν› τοῖς ἐμὲ μὴ
イザヤ-は しかし 大胆にも また 言っている 見出された ～に-よって その 私を ～ない
G2268 G1161 G0662 G2532 G3004 G2147 G1722 G3588 G1473 G3361

ζητοῦσιν; ἐμφανὴς ἐγενόμην, τοῖς ἐμὲ μὴ ἐπερωτῶσιν.
求めない-者たちに 現れた なった その 私を ～ない 問わない-者たちに
G2212 G1717 G1096 G3588 G1473 G3361 G1905

21 πρὸς 〜に–対して G4314 δὲ しかし G1161 τὸν その G3588 Ἰσραὴλ, イスラエル–に G2474 λέγει, 言っている G3004 Ὅλην 一日 G3650 τὴν その G3588 ἡμέραν, 中–ずっと G2250 ἐξεπέτασα 広げた G1600

τὰς その G3588 χεῖράς 手–を G5495 μου, 私の G1473 πρὸς 〜に–対して G4314 λαὸν 民–に G2992 ἀπειθοῦντα 従わない G0544 καὶ そして G2532 ἀντιλέγοντα. 逆らう G0483

Chapter 11

1 Λέγω わたしは–言う G3004 οὖν, それでは G3767 μὴ まさか G3361 ἀπώσατο 退けた–のか G0683 ὁ その G3588 Θεὸς 神は G2316 τὸν ご自身の G3588 λαὸν 民を G2992 αὐτοῦ? 彼の G0846 μὴ 決して G3361

γένοιτο! そうではない G1096 καὶ なぜなら G2532 γὰρ 実に G1063 ἐγὼ わたし G1473 Ἰσραηλίτης イスラエル人 G2475 εἰμί, である G1510 ἐκ その G1537 σπέρματος 子孫の G4690 Ἀβραάμ, アブラハムの G0011

φυλῆς 部族の G5443 Βενιαμίν. ベニヤミンの G0958

そこで、わたしは問う、「神はその民を捨てたのであろうか」。断じてそうではない。わたしもイスラエル人であり、アブラハムの子孫、ベニヤミン族の者である。

2 οὐκ 退けなかった G3756 ἀπώσατο 拒まなかった G0683 ὁ その G3588 Θεὸς, 神は G2316 τὸν ご自身の G3588 λαὸν 民を G2992 αὐτοῦ, 彼の G0846 ὃν その–者を G3739

προέγνω. あらかじめ–知った G4267 ἢ それとも G2228 οὐκ 知らないのか G3756 οἴδατε あなたがたは G1492 ἐν その中で G1722 Ἠλίᾳ エリヤの–箇所で G2243 τί 何と G5101

λέγει 言っているか G3004 ἡ その G3588 γραφή? 聖書が G1124 ὡς どのように G5613 ἐντυγχάνει 訴えたか G1793 τῷ その G3588 Θεῷ 神に G2316 κατὰ に–対して G2596 τοῦ その G3588

Ἰσραήλ, イスラエルを G2474

神は、あらかじめ知っておられたその民を、捨てることはされなかった。聖書がエリヤについてなんと言っているか、あなたがたは知らないのか。すなわち、彼はイスラエルを神に訴えてこう言った。

3 Κύριε, 主よ G2962 τοὺς あなたの G3588 προφήτας 預言者たちを G4396 σου あなたの G4771 ἀπέκτειναν; 殺しました G0615 τὰ あなたの G3588 θυσιαστήριά 祭壇を G2379 σου あなたの G4771

κατέσκαψαν; 倒しました G2679 κἀγὼ わたし–だけが G2504 ὑπελείφθην 残されました G5275 μόνος, ただ–一人で G3441 καὶ そして G2532 ζητοῦσιν 求めています G2212 τὴν わたしの G3588 ψυχήν 命を G5590

μου. わたしの G1473

「主よ、彼らはあなたの預言者たちを殺し、あなたの祭壇をこぼち、そして、わたしひとりが取り残されたのに、彼らはわたしのいのちをも求めています」。

4 ἀλλὰ τί λέγει αὐτῷ ὁ χρηματισμός? Κατέλιπον ἐμαυτῷ
しかし 何と 言っているか 彼に その 神の-御告げは 残しておいた わたしのために
G0235 G5101 G3004 G0846 G3588 G5538 G2641 G1683

ἑπτακισχιλίους ἄνδρας, οἵτινες οὐκ ἔκαμψαν γόνυ τῇ Βάαλ.
七千人の 男たちを その-者たちは ひざを かがめなかった ひざを その バアルに
G2035 G0435 G3748 G3756 G2578 G1119 G3588 G0896

しかし、彼に対する御告げはなんであったか、「バアルにひざをかがめなかった七千人を、わたしのために残しておいた」。

5 οὕτως οὖν καὶ, ἐν τῷ νῦν καιρῷ, λεῖμμα κατ' ἐκλογὴν
こうして それゆえ また この この 今の 時にも 残りの-者が に-よる 選びの
G3779 G3767 G2532 G1722 G3588 G3568 G2540 G3005 G2596 G1589

χάριτος γέγονεν.
恵みの 存在する
G5485 G1096

それと同じように、今の時にも、恵みの選びによって残された者がいる。

6 εἰ δὲ χάριτι, οὐκέτι ἐξ ἔργων; ἐπεὶ ἡ χάρις
もし しかし 恵みに-よるなら もはや 行いに よるのではない なぜなら その 恵みは
G1487 G1161 G5485 G3765 G1537 G2041 G1893 G3588 G5485

οὐκέτι γίνεται χάρις; <Εἰ δὲ ἐξ ἔργων, οὐκέτι ἐστὶν χάρις; ἐπεὶ
もはや ならない 恵みで もし しかし 行いに よるなら もはや ではない 恵みで なぜなら
G3765 G1096 G5485 G1487 G1161 G1537 G2041 G3765 G1510 G5485 G1893

τὸ ἔργον οὐκέτι ἐστὶν ἔργον>.
その 行いは もはや ではない 行いで
G3588 G2041 G3765 G1510 G2041

しかし、恵みによるのであれば、もはや行いによるのではない。そうでないと、恵みはもはや恵みでなくなるからである。

7 Τί οὖν? ὃ ἐπιζητεῖ Ἰσραήλ, τοῦτο οὐκ ἐπέτυχεν; ἡ
では どうなのか それを 求めている イスラエルは それを 得ることが できなかった しかし
G5101 G3767 G3739 G1934 G2474 G3778 G3756 G2013 G3588

δὲ ἐκλογὴ ἐπέτυχεν; οἱ δὲ λοιποὶ ἐπωρώθησαν,
その 選ばれた-者たちは 得た その 他の 残りの-者たちは かたくなにされた
G1161 G1589 G2013 G3588 G1161 G3062 G4456

では、どうなるのか。イスラエルはその追い求めているものを得ないで、ただ選ばれた者が、それを得た。そして、他の者たちはかたくなになった。

8 καθὼς γέγραπται, Ἔδωκεν αὐτοῖς ὁ Θεὸς πνεῦμα κατανύξεως,
記されている-とおり 書かれている 与えた 彼らに その 神は 鈍い-霊と 眠りの
G2531 G1125 G1325 G0846 G3588 G2316 G4151 G2659

ὀφθαλμοὺς τοῦ μὴ βλέπειν, καὶ ὦτα τοῦ μὴ ἀκούειν,
目を 見ることが できない ように そして 耳を 聞くことが できない ように
G3788 G3588 G3361 G0991 G2532 G3775 G3588 G3361 G0191

ἕως τῆς σήμερον ἡμέρας.
今日の この 今日の 日まで
G2193 G3588 G4594 G2250

「神は、彼らに鈍い心と、見えない目と、聞えない耳とを与えて、きょう、この日に及んでいる」と書いてあるとおりである。

9 καὶ そして G2532 Δαυὶδ ダビデは G1138 λέγει, 言った G3004 Γενηθήτω なるがよい G1096 ἡ 彼らの G3588 τράπεζα 食卓が G5132 αὐτῶν, 彼らの G0846 εἰς その G1519 παγίδα, 罠と G3803 καὶ そして G2532 εἰς その G1519 θήραν, 網と G2339 καὶ そして G2532 εἰς その G1519 σκάνδαλον, つまずきと G4625 καὶ そして G2532 εἰς その G1519 ἀνταπόδομα 報いと G0468 αὐτοῖς; 彼らへの G0846

ダビデもまた言っている、「彼らの食卓は、彼らのわなとなれ、網となれ、つまずきとなれ、報復となれ。

10 σκοτισθήτωσαν 暗くなるがよい G4654 οἱ 彼らの G3588 ὀφθαλμοὶ 目が G3788 αὐτῶν, 彼らの G0846 τοῦ 見ることが G3588 μὴ できない G3361 βλέπειν, ように G0991 καὶ そして G2532 τὸν 彼らの G3588 νῶτον 背を G3577 αὐτῶν, 彼らの G0846 διὰ いつも G1223 παντὸς 絶えず G3956 σύνκαμψον. 曲げよ G4781

彼らの目は、くらんで見えなくなれ、彼らの背は、いつまでも曲っておれ」。

11 Λέγω わたしは–言う G3004 οὖν, それでは G3767 μὴ まさか G3361 ἔπταισαν つまずいたのは G4417 ἵνα 倒れる–ためか G2443 πέσωσιν? なのか G4098 μὴ 決して G3361 γένοιτο! そうではない G1096 ἀλλὰ むしろ G0235 τῷ 彼らの G3588 αὐτῶν その G0846 παραπτώματι, 過ちに–よって G3900 ἡ その G3588 σωτηρία 救いが G4991 τοῖς その G3588 ἔθνεσιν, 異邦人に–来た G1484 εἰς 彼らに G1519 τὸ その G3588 παραζηλῶσαι ねたみを–起こさせるため G3863 αὐτούς. 彼らの G0846

そこで、わたしは問う、「彼らがつまずいたのは、倒れるためであったのか」。断じてそうではない。かえって、彼らの罪過によって、救が異邦人に及び、それによってイスラエルを奮起させるためである。

12 εἰ もし G1487 δὲ, しかし G1161 τὸ 彼らの G3588 παράπτωμα 過ちが G3900 αὐτῶν, 彼らの G0846 πλοῦτος 富と–なり G4149 κόσμου, 世界の G2889 καὶ そして G2532 τὸ 彼らの G3588 ἧττημα 失敗が G2275 αὐτῶν, 彼らの G0846 πλοῦτος 富と–なるなら G4149 ἐθνῶν, 異邦人の G1484 πόσῳ どれほど G4214 μᾶλλον さらに G3123 τὸ 彼らの G3588 πλήρωμα 完成は G4138 αὐτῶν? 彼らの G0846

しかし、もし、彼らの罪過が世の富となり、彼らの失敗が異邦人の富となったとすれば、まして彼らが全部救われたなら、どんなにかすばらしいことであろう。

13 Ὑμῖν あなたがたに G4771 δὲ しかし G1161 λέγω, わたしは–言う G3004 τοῖς その G3588 ἔθνεσιν, 異邦人よ G1484 ἐφ’ に–関して G1909 ὅσον いかに G3745 μὲν 実に G3303 οὖν それゆえ G3767 εἰμι わたしは G1510 ἐγὼ わたしが G1473 ἐθνῶν 異邦人の G1484 ἀπόστολος, 使徒で–ある–かぎり G0652 τὴν わたしの G3588 διακονίαν 務めを G1248 μου わたしの G1473 δοξάζω, 光栄と–する G1392

そこでわたしは、あなたがた異邦人に言う。わたし自身は異邦人の使徒なのであるから、わたしの務を光栄とし、

14 εἴ πως παραζηλώσω μου τὴν σάρκα, καὶ
もしかして 何とかして ねたみを-起こさせ わたしの 同胞の 肉を そして
G1487 G4459 G3863 G1473 G3588 G4561 G2532

σώσω τινὰς ἐξ αὐτῶν.
救うことが-できるように 幾人かを 彼らの-中から 彼らの
G4982 G5100 G1537 G0846

どうにかしてわたしの骨肉を奮起させ、彼らの幾人かを救おうと願っている。

15 εἰ γὰρ ἡ ἀποβολὴ αὐτῶν καταλλαγὴ κόσμου, τίς ἡ
なぜなら もし 彼らの 退けられることが 彼らの 和解と-なるなら 世界の 何が その
G1487 G1063 G3588 G0580 G0846 G2643 G2889 G5101 G3588

πρόσλημψις, εἰ μὴ ζωὴ ἐκ νεκρῶν?
受け入れは もし なければ 死者からの-命 からの 死者の
G4356 G1487 G3361 G2222 G1537 G3498

もし彼らの捨てられたことが世の和解となったとすれば、彼らの受けいれられることは、死人の中から生き返ることではないか。

16 εἰ δὲ ἡ ἀπαρχὴ ἁγία, καὶ τὸ φύραμα; καὶ εἰ ἡ
もし また その 初穂が 聖いなら こね-粉も その 聖い そして もし その
G1487 G1161 G3588 G0536 G0040 G2532 G3588 G5445 G2532 G1487 G3588

ῥίζα ἁγία, καὶ οἱ κλάδοι.
根が 聖いなら 枝も その 聖い
G4491 G0040 G2532 G3588 G2798

もし、麦粉の初穂がきよければ、そのかたまりもきよい。もし根がきよければ、その枝もきよい。

17 Εἰ δέ τινες τῶν κλάδων ἐξεκλάσθησαν, σὺ δὲ, ἀγριέλαιος
しかし もし いくつかの その 枝が 折られたなら あなたは しかし 野生の-オリーブで
G1487 G1161 G5100 G3588 G2798 G1575 G4771 G1161 G0065

ὢν, ἐνεκεντρίσθης ἐν αὐτοῖς, καὶ συνκοινωνὸς τῆς ῥίζης
ありながら 接ぎ木された その-中に 彼らの そして 共に-あずかる-者と-なった その 根の
G1510 G1461 G1722 G0846 G2532 G4791 G3588 G4491

τῆς πιότητος τῆς ἐλαίας ἐγένου,
その 豊かさの その オリーブの あなたは-なった
G3588 G4096 G3588 G1636 G1096

しかし、もしある枝が切り去られて、野生のオリブであるあなたがそれにつがれ、オリブの根の豊かな養分にあずかっているとすれば、

18 μὴ κατακαυχῶ τῶν κλάδων. εἰ δὲ κατακαυχᾶσαι, οὐ
誇っては-ならない 高ぶるな その 枝に-対して もし しかし 誇るなら あなたが
G3361 G2620 G3588 G2798 G1487 G1161 G2620 G3756

σὺ τὴν ῥίζαν βαστάζεις, ἀλλὰ ἡ ῥίζα σέ.
ではない その 根を 支えているのは むしろ その 根が あなたを-支えている
G4771 G3588 G4491 G0941 G0235 G3588 G4491 G4771

あなたはその枝に対して誇ってはならない。たとえ誇るとしても、あなたが根をささえているのではなく、根があなたをささえているのである。

19 ἐρεῖς οὖν, Ἐξεκλάσθησαν κλάδοι, ἵνα ἐγὼ
あなたは–言うだろう それでは 折られた 枝が わたしが–ために わたしが
G2046 G3767 G1575 G2798 G2443 G1473

ἐγκεντρισθῶ.
接ぎ木される
G1461

すると、あなたは、「枝が切り去られたのは、わたしがつがれるためであった」と言うであろう。

20 καλῶς; τῇ ἀπιστίᾳ ἐξεκλάσθησαν, σὺ δὲ τῇ πίστει
その–とおり その 不信仰に–よって 折られた あなたは しかし その 信仰に–よって
G2573 G3588 G0570 G1575 G4771 G1161 G3588 G4102

ἕστηκας. μὴ ὑψηλὰ φρόνει, ἀλλὰ φοβοῦ.
立っている 高ぶるな 高ぶるな 思うな むしろ 恐れよ
G2476 G3361 G5308 G5426 G0235 G5399

まさに、そのとおりである。彼らは不信仰のゆえに切り去られ、あなたは信仰のゆえに立っているのである。高ぶった思いをいだかないで、むしろ恐れなさい。

21 εἰ γὰρ ὁ Θεὸς τῶν κατὰ φύσιν κλάδων, οὐκ
なぜなら もし その 神が その 自然の 自然の 枝を 惜しまなかったのなら
G1487 G1063 G3588 G2316 G3588 G2596 G5449 G2798 G3756

ἐφείσατο, [μή πως] οὐδὲ σοῦ φείσεται.
惜しまなかった おそらく それなら まして あなたをも 惜しまないだろう
G5339 G3361 G4459 G3761 G4771 G5339

もし神が元木の枝を惜しまなかったとすれば、あなたを惜しむようなことはないであろう。

22 ἴδε οὖν χρηστότητα καὶ ἀποτομίαν Θεοῦ: ἐπὶ μὲν τοὺς
見よ それゆえ 慈愛と そして 厳しさを 神の に–対して 一方では その
G3708 G3767 G5544 G2532 G0663 G2316 G1909 G3303 G3588

πεσόντας, ἀποτομία; ἐπὶ δὲ σὲ, χρηστότης Θεοῦ, ἐὰν ἐπιμένῃς
倒れた–者たちには 厳しさ せど 他方 あなたには 慈愛が–ある 神の もし とどまるなら
G4098 G0663 G1909 G1161 G4771 G5544 G2316 G1437 G1961

τῇ χρηστότητι, ἐπεὶ καὶ σὺ ἐκκοπήσῃ.
その 慈愛に さもなければ また あなたも 切り–落とされる
G3588 G5544 G1893 G2532 G4771 G1581

神の慈愛と峻厳とを見よ。神の峻厳は倒れた者たちに向けられ、神の慈愛は、もしあなたがその慈愛にとどまっているなら、あなたに向けられる。そうでないと、あなたも切り取られるであろう。

23 κἀκεῖνοι δέ ἐὰν μὴ ἐπιμένωσιν τῇ ἀπιστίᾳ, ἐνκεντρισθήσονται;
また–彼らも しかし もし その とどまらないなら その 不信仰に 接ぎ木されるだろう
G2548 G1161 G1437 G3361 G1961 G3588 G0570 G1461

δυνατὸς γάρ ἐστιν ὁ Θεὸς πάλιν ἐνκεντρίσαι αὐτούς.
力が–ある なぜなら その その 神は 再び 接ぎ木する–力が–ある 彼らを
G1415 G1063 G1510 G3588 G2316 G3825 G1461 G0846

しかし彼らも、不信仰を続けなければ、つがれるであろう。神には彼らを再びつぐ力がある。

24 εἰ γὰρ σὺ, ἐκ τῆς κατὰ φύσιν ἐξεκόπης ἀγριελαίου,
なぜなら もし あなたが その その 自然の 自然の 切り-取られ 野生の-オリーブから
G1487 G1063 G4771 G1537 G3588 G2596 G5449 G1581 G0065

καὶ, παρὰ φύσιν, ἐνεκεντρίσθης εἰς καλλιέλαιον, πόσῳ μᾶλλον
そして 自然に-反して 自然に 接ぎ木されたのなら その 良い-オリーブに どれほど さらに
G2532 G3844 G5449 G1461 G1519 G2565 G4214 G3123

οὗτοι, οἱ κατὰ φύσιν, ἐνκεντρισθήσονται τῇ ἰδίᾳ ἐλαίᾳ?
この-者たちは その 自然の 自然の 接ぎ木されるだろう 元の 自分自身の オリーブに
G3778 G3588 G2596 G5449 G1461 G3588 G2398 G1636

なぜなら、もしあなたが自然のままの野生のオリブから切り取られ、自然の性質に反して良いオリブにつがれたとすれば、まして、これら自然のままの良い枝は、もっとたやすく、元のオリブにつがれないであろうか。

25 Οὐ γὰρ θέλω ὑμᾶς ἀγνοεῖν, ἀδελφοί,
知らずに-いてほしくない なぜなら わたしは-望む あなたがたが 知らずに-いることを 兄弟たちよ
G3756 G1063 G2309 G4771 G0050 G0080

τὸ μυστήριον τοῦτο, ἵνα μὴ ἦτε ἐν ἑαυτοῖς
この 奥義を この それは 自分自身を ならない-ために 自分自身の-中で 自分自身の
G3588 G3466 G3778 G2443 G3361 G1510 G1722 G1438

φρόνιμοι: ὅτι πώρωσις ἀπὸ μέρους τῷ Ἰσραὴλ γέγονεν,
賢い-と思わない すなわち かたくなが その-一部が 一部の その イスラエルに 起こった
G5429 G3754 G4457 G0575 G3313 G3588 G2474 G1096

ἄχρι οὗ τὸ πλήρωμα τῶν ἐθνῶν εἰσέλθῃ;
その-時まで その その 満ちた-数が その 異邦人の 入るまで
G0891 G3739 G3588 G4138 G3588 G1484 G1525

兄弟たちよ。あなたがたが知者だと自負することのないために、この奥義を知らないでいてもらいたくない。一部のイスラエル人がかたくなになったのは、異邦人が全部救われるに至る時までのことであって、

26 καὶ οὕτως πᾶς Ἰσραὴλ σωθήσεται, καθὼς γέγραπται, Ἥξει
そして こうして すべての イスラエルが 救われる 記されている-とおり 書かれている 来る
G2532 G3779 G3956 G2474 G4982 G2531 G1125 G2240

ἐκ Σιὼν ὁ Ῥυόμενος, ἀποστρέψει ἀσεβείας ἀπὸ Ἰακώβ.
その シオンから その 救う-方が 退ける 不敬虔を その ヤコブから
G1537 G4622 G3588 G4506 G0654 G0763 G0575 G2384

こうして、イスラエル人は、すべて救われるであろう。すなわち、次のように書いてある、「救う者がシオンからきて、ヤコブから不信心を追い払うであろう。

27 καὶ αὕτη αὐτοῖς, ἡ παρ’ ἐμοῦ διαθήκη, ὅταν ἀφέλωμαι
そして これが 彼らへの わたしの その わたしからの 契約である その-時 取り-除く
G2532 G3778 G0846 G3588 G3844 G1473 G1242 G3752 G0851

τὰς ἁμαρτίας αὐτῶν.
彼らの 罪を 彼らの
G3588 G0266 G0846

そして、これが、彼らの罪を除き去る時に、彼らに対して立てるわたしの契約である」。

28 κατὰ μὲν τὸ εὐαγγέλιον, ἐχθροὶ δι’ ὑμᾶς; κατὰ
に-関して 一方では その 福音に-関して 敵で-ある あなたがたの-ために あなたがたの せど
G2596 G3303 G3588 G2098 G2190 G1223 G4771 G2596

δὲ τὴν ἐκλογὴν, ἀγαπητοὶ διὰ τοὺς πατέρας.
他方 その 選びに-関して 愛されている その その 先祖たちの-ゆえに
G1161 G3588 G1589 G0027 G1223 G3588 G3962

福音について言えば、彼らは、あなたがたのゆえに、神の敵とされているが、選びについて言えば、父祖たちのゆえに、神に愛せられる者である。

29 ἀμεταμέλητα γὰρ τὰ χαρίσματα καὶ ἡ κλῆσις τοῦ Θεοῦ.
変わらない なぜなら その 賜物と そして その 召しは その 神の
G0278 G1063 G3588 G5486 G2532 G3588 G2821 G3588 G2316

神の賜物と召しとは、変えられることがない。

30 ὥσπερ γὰρ ὑμεῖς ποτε ἠπειθήσατε τῷ Θεῷ, νῦν
ちょうど–そのように なぜなら あなたがたが かつて 従わなかったのに その 神に 今は
G5618 G1063 G4771 G4218 G0544 G3588 G2316 G3568

δὲ ἠλεήθητε, τῇ τούτων ἀπειθείᾳ;
しかし あわれみを–受けた 彼らの この–者たちの 不従順に–よって
G1161 G1653 G3588 G3778 G0543

あなたがたが、かつては神に不従順であったが、今は彼らの不従順によってあわれみを受けたように、

31 οὕτως καὶ οὗτοι νῦν ἠπείθησαν, τῷ ὑμετέρῳ
こうして また この–者たちも 今 従わなかったのは あなたがたの あなたがたの
G3779 G2532 G3778 G3568 G0544 G3588 G5212

ἐλέει, ἵνα καὶ αὐτοὶ νῦν, ἐλεηθῶσιν.
あわれみに–よって それは また 彼ら自身が 今 あわれみを–受けるため
G1656 G2443 G2532 G0846 G3568 G1653

彼らも今は不従順になっているが、それは、あなたがたの受けたあわれみによって、彼ら自身も今あわれみを受けるためなのである。

32 συνέκλεισεν γὰρ, ὁ Θεὸς τοὺς πάντας εἰς ἀπείθειαν, ἵνα
閉じ–込めた なぜなら その 神は すべての すべての–人を その中に 不従順の中に それは
G4788 G1063 G3588 G2316 G3588 G3956 G1519 G0543 G2443

τοὺς πάντας ἐλεήσῃ.
すべての すべての–人に あわれむため
G3588 G3956 G1653

すなわち、神はすべての人をあわれむために、すべての人を不従順のなかに閉じ込めたのである。

33 Ὦ, βάθος πλούτου, καὶ σοφίας, καὶ γνώσεως Θεοῦ! ὡς ἀνεξεραύνητα
おお 深さよ 富の そして 知恵の そして 知識の 神の 何と 測り–知れない
G5599 G0899 G4149 G2532 G4678 G2532 G1108 G2316 G5613 G0419

τὰ κρίματα αὐτοῦ, καὶ ἀνεξιχνίαστοι αἱ ὁδοὶ αὐτοῦ!
その 裁きは 彼の そして たどり–着けない その 道は 彼の
G3588 G2917 G0846 G2532 G0421 G3588 G3598 G0846

ああ深いかな、神の知恵と知識との富は。そのさばきは窮めがたく、その道は測りがたい。

34 Τίς γὰρ ἔγνω νοῦν Κυρίου, ἢ τίς σύμβουλος αὐτοῦ ἐγένετο?
誰が なぜなら 知ったか 御心を 主の また 誰が 助言者と 彼の なったか
G5101 G1063 G1097 G3563 G2962 G2228 G5101 G4825 G0846 G1096

「だれが、主の心を知っていたか。だれが、主の計画にあずかったか。

35 ἢ τίς προέδωκεν αὐτῷ, καὶ ἀνταποδοθήσεται αὐτῷ?
また 誰が 先に–与えたか 彼に そして 報いを–受けるだろうか 彼に
G2228 G5101 G4272 G0846 G2532 G0467 G0846

また、だれが、まず主に与えて、その報いを受けるであろうか」。

36	ὅτι	ἐξ	αὐτοῦ,	καὶ	δι’	αὐτοῦ,	καὶ	εἰς	αὐτὸν,
	なぜなら	彼から	彼の	そして	彼を–通して	彼の	そして	彼に–向かって	彼の
	G3754	G1537	G0846	G2532	G1223	G0846	G2532	G1519	G0846

τὰ	πάντα.	αὐτῷ	ἡ	δόξα	εἰς	τοὺς	αἰῶνας!	ἀμήν.
すべての	ものが–ある	彼に	その	栄光が	その	永遠の	世々に–あるように	アーメン
G3588	G3956	G0846	G3588	G1391	G1519	G3588	G0165	G0281

万物は、神からいで、神によって成り、神に帰するのである。栄光がとこしえに神にあるように、アァメン。

Chapter 12

1	Παρακαλῶ	οὖν	ὑμᾶς,	ἀδελφοί,	διὰ	τῶν	οἰκτιρμῶν	τοῦ	Θεοῦ,
	勧める	それゆえ	あなたがたに	兄弟たちよ	その	その	あわれみに–よって	その	神の
	G3870	G3767	G4771	G0080	G1223	G3588	G3628	G3588	G2316

παραστῆσαι	τὰ	σώματα	ὑμῶν	θυσίαν	ζῶσαν,	ἁγίαν,	«τῷ	
ささげなさい	あなたがたの	体を	あなたがたの	生きた–いけにえとして	生きた	聖い	その	
G3936	G3588	G4983	G4771	G2378	G2198	G0040	G3588	

Θεῷ»□,	εὐάρεστον,	τὴν	λογικὴν	λατρείαν	ὑμῶν.	
神に	喜ばれる	あなたがたの	霊的な	礼拝と–して	あなたがたの	
G2316	G2101	G3588	G3050	G2999	G4771	

兄弟たちよ。そういうわけで、神のあわれみによってあなたがたに勧める。あなたがたのからだを、神に喜ばれる、生きた、聖なる供え物としてささげなさい。それが、あなたがたのなすべき霊的な礼拝である。

2	καὶ	μὴ	συσχηματίζεσθε	τῷ	αἰῶνι	τούτῳ,	ἀλλὰ	μεταμορφοῦσθε	τῇ
	そして	この–世に	同調するな	この	世に	この	むしろ	変えられなさい	その
	G2532	G3361	G4964	G3588	G0165	G3778	G0235	G3339	G3588

ἀνακαινώσει	τοῦ	νοός,	εἰς	τὸ	δοκιμάζειν	ὑμᾶς,	τί	τὸ
新たに–することに–よって	その	心を	その	その	わきまえる–ために	あなたがたが	何が	その
G0342	G3588	G3563	G1519	G3588	G1381	G4771	G5101	G3588

θέλημα	τοῦ	Θεοῦ,	τὸ	ἀγαθὸν,	καὶ	εὐάρεστον,	καὶ	τέλειον.
御心で–あるかを	その	神の	すなわち	良い	そして	喜ばれる	そして	完全な
G2307	G3588	G2316	G3588	G0018	G2532	G2101	G2532	G5046

あなたがたは、この世と妥協してはならない。むしろ、心を新たにすることによって、造りかえられ、何が神の御旨であるか、何が善であって、神に喜ばれ、かつ全きことであるかを、わきまえ知るべきである。

3	Λέγω	γὰρ	διὰ	τῆς	χάριτος	τῆς	δοθείσης	μοι,	παντὶ	τῷ
	言う	なぜなら	その	その	恵みに–よって	その	与えられた	わたしに	すべての	その
	G3004	G1063	G1223	G3588	G5485	G3588	G1325	G1473	G3956	G3588

ὄντι	ἐν	ὑμῖν,	μὴ	ὑπερφρονεῖν	παρ’	ὃ	δεῖ	
ある	その–中の	あなたがたの	思うな	高ぶるな	その–以上に	それ	思うべき–ことを	
G1510	G1722	G4771	G3361	G5252	G3844	G3739	G1163	

φρονεῖν;	ἀλλὰ	φρονεῖν	εἰς	τὸ	σωφρονεῖν,	ἑκάστῳ	ὡς	ὁ	Θεὸς
思うな	むしろ	思いなさい	その	その	慎みを–もって	おのおのに	その–ように	その	神が
G5426	G0235	G5426	G1519	G3588	G4993	G1538	G5613	G3588	G2316

ἐμέρισεν	μέτρον	πίστεως.
分け–与えた	量りの	信仰の
G3307	G3358	G4102

わたしは、自分に与えられた恵みによって、あなたがたひとりびとりに言う。思うべき限度を越えて思いあがることなく、むしろ、神が各自に分け与えられた信仰の量りにしたがって、慎み深く思うべきである。

4	καθάπερ	γὰρ,	ἐν	ἑνὶ	σώματι	πολλὰ	μέλη	ἔχομεν,	τὰ	δὲ
	ちょうど	なぜなら	一つの	一つの	体に	多くの	部分を	持っているが	その	しかし
	G2509	G1063	G1722	G1520	G4983	G4183	G3196	G2192	G3588	G1161

μέλη	πάντα	οὐ	τὴν	αὐτὴν	ἔχει	πρᾶξιν;
部分は	すべて	同じ	その	同じ	持たない	働きを
G3196	G3956	G3756	G3588	G0846	G2192	G4234

なぜなら、一つのからだにたくさんの肢体があるが、それらの肢体がみな同じ働きをしてはいないように、

5	οὕτως	οἱ	πολλοὶ,	ἓν	σῶμά	ἐσμεν	ἐν
	こうして	わたしたちは	多くの–者で–あるが	一つの	体で–ある	わたしたちは	その
	G3779	G3588	G4183	G1520	G4983	G1510	G1722

Χριστῷ;	τὸ	δὲ	καθ’,	εἷς	ἀλλήλων	μέλη,
キリストに–あって	しかし	個々に	互いに	一人一人が	互いの	部分で–ある
G5547	G3588	G1161	G2596	G1520	G0240	G3196

わたしたちも数は多いが、キリストにあって一つのからだであり、また各自は互に肢体だからである。

6	ἔχοντες	δὲ	χαρίσματα	κατὰ	τὴν	χάριν	τὴν	δοθεῖσαν	ἡμῖν
	持っている	しかし	賜物を	その	その	恵みに–よって	それぞれ	与えられた	わたしたちに
	G2192	G1161	G5486	G2596	G3588	G5485	G3588	G1325	G1473

διάφορα:	εἴτε	προφητείαν,	κατὰ	τὴν	ἀναλογίαν	τῆς	πίστεως;
異なる	もし	預言なら	その	その	割合に–応じて	その	信仰の
G1313	G1535	G4394	G2596	G3588	G0356	G3588	G4102

このように、わたしたちは与えられた恵みによって、それぞれ異なった賜物を持っているので、もし、それが預言であれば、信仰の程度に応じて預言をし、

7	εἴτε	διακονίαν,	ἐν	τῇ	διακονίᾳ;	εἴτε	ὁ	διδάσκων,	ἐν	τῇ
	もし	奉仕なら	その	その	奉仕に	もし	その	教える–者なら	その	その
	G1535	G1248	G1722	G3588	G1248	G1535	G3588	G1321	G1722	G3588

διδασκαλίᾳ;
教えに
G1319

奉仕であれば奉仕をし、また教える者であれば教え、

8	εἴτε	ὁ	παρακαλῶν,	ἐν	τῇ	παρακλήσει;	ὁ	μεταδιδοὺς,	ἐν
	もし	その	勧める–者なら	その	その	勧めに	分け–与える–者は	惜しみなく	その
	G1535	G3588	G3870	G1722	G3588	G3874	G3588	G3330	G1722

ἁπλότητι;	ὁ	προϊστάμενος,	ἐν	σπουδῇ;	ὁ	ἐλεῶν,	ἐν
惜しみなく	指導する–者は	熱心に	その	熱心に	あわれむ–者は	喜びを–もって	その
G0572	G3588	G4291	G1722	G4710	G3588	G1653	G1722

ἱλαρότητι.
喜びを–もって
G2432

勧めをする者であれば勧め、寄附する者は惜しみなく寄附し、指導する者は熱心に指導し、慈善をする者は快く慈善をすべきである。

9 ἡ ἀγάπη ἀνυπόκριτος. ἀποστυγοῦντες τὸ πονηρόν; κολλώμενοι τῷ
その 愛は 偽りの–ない 憎みなさい その 悪を 結びつきなさい その
G3588 G0026 G0505 G0655 G3588 G4190 G2853 G3588

ἀγαθῷ;
善に
G0018

愛には偽りがあってはならない。悪は憎み退け、善には親しみ結び、

10 τῇ φιλαδελφίᾳ εἰς, ἀλλήλους φιλόστοργοι; τῇ τιμῇ, ἀλλήλους
その 兄弟愛を–もって 互いに 互いに 心から–愛し その 尊敬を–もって 互いに
G3588 G5360 G1519 G0240 G5387 G3588 G5092 G0240

προηγούμενοι;
先に–立って
G4285

兄弟の愛をもって互にいつくしみ、進んで互に尊敬し合いなさい。

11 τῇ σπουδῇ, μὴ ὀκνηροί τῷ πνεύματι, ζέοντες; τῷ Κυρίῳ δουλεύοντες.
その 熱心に 怠らず 怠らず 霊に おいて 燃えよ その 主に 仕えなさい
G3588 G4710 G3361 G3636 G3588 G4151 G2204 G3588 G2962 G1398

熱心で、うむことなく、霊に燃え、主に仕え、

12 τῇ ἐλπίδι, χαίροντες; τῇ θλίψει, ὑπομένοντες; τῇ προσευχῇ,
その 望みに–おいて 喜び その 苦難に–おいて 耐え その 祈りに
G3588 G1680 G5463 G3588 G2347 G5278 G3588 G4335

προσκαρτεροῦντες.
たゆまず–励め
G4342

望みをいだいて喜び、患難に耐え、常に祈りなさい。

13 ταῖς χρείαις τῶν ἁγίων κοινωνοῦντες, τὴν φιλοξενίαν διώκοντες.
その 必要を 聖徒たちの 聖徒たちの 分かち–合い もてなしを もてなしを 努め–なさい
G3588 G5532 G3588 G0040 G2841 G3588 G5381 G1377

貧しい聖徒を助け、努めて旅人をもてなしなさい。

14 εὐλογεῖτε τοὺς διώκοντας [ὑμᾶς]; εὐλογεῖτε καὶ μὴ
祝福しなさい あなたがたを 迫害する–者を あなたがたを 祝福しなさい そして のろうな
G2127 G3588 G1377 G4771 G2127 G2532 G3361

καταρᾶσθε.
のろうな
G2672

あなたがたを迫害する者を祝福しなさい。祝福して、のろってはならない。

15 χαίρειν μετὰ χαιρόντων, κλαίειν μετὰ κλαιόντων;
喜びなさい 共に 喜ぶ–者と 泣きなさい 共に 泣く–者と
G5463 G3326 G5463 G2799 G3326 G2799

喜ぶ者と共に喜び、泣く者と共に泣きなさい。

16 τὸ αὐτὸ εἰς ἀλλήλους φρονοῦντες, μὴ τὰ ὑψηλὰ φρονοῦντες,
同じ 同じ–ことを 互いに 互いに 思いなさい 高ぶった 高ぶった ことを 思わず
G3588 G0846 G1519 G0240 G5426 G3361 G3588 G5308 G5426

ἀλλὰ τοῖς ταπεινοῖς συναπαγόμενοι. μὴ γίνεσθε φρόνιμοι παρ’ ἑαυτοῖς.
むしろ へりくだった 者に 合わせなさい 自分を なるな 賢い–者と 自分の 目に
G0235 G3588 G5011 G4879 G3361 G1096 G5429 G3844 G1438

互に思うことをひとつにし、高ぶった思いをいだかず、かえって低い者たちと交わるがよい。自分が知者だと思いあがってはならない。

17 μηδενὶ κακὸν ἀντὶ κακοῦ ἀποδιδόντες, προνοούμενοι καλὰ ἐνώπιον
だれにも 悪を 悪に–対して 悪の 返すな 心がけなさい 良い–ことを その–前で
G3367 G2556 G0473 G2556 G0591 G4306 G2570 G1799

πάντων ἀνθρώπων.
すべての 人の
G3956 G0444

だれに対しても悪をもって悪に報いず、すべての人に対して善を図りなさい。

18 εἰ δυνατόν τὸ ἐξ ὑμῶν, μετὰ πάντων ἀνθρώπων
もし できるなら その あなたがたの あなたがたの–側で すべての すべての 人と
G1487 G1415 G3588 G1537 G4771 G3326 G3956 G0444

εἰρηνεύοντες;
平和を–保ちなさい
G1514

あなたがたは、できる限りすべての人と平和に過ごしなさい。

19 μὴ ἑαυτοὺς ἐκδικοῦντες, ἀγαπητοί, ἀλλὰ δότε τόπον τῇ ὀργῇ;
自ら 自ら 復讐するな 愛する–者たちよ むしろ ゆだねなさい 場を その 怒りに
G3361 G1438 G1556 G0027 G0235 G1325 G5117 G3588 G3709

γέγραπται γάρ, Ἐμοὶ ἐκδίκησις. ἐγὼ ἀνταποδώσω, λέγει Κύριος.
書かれている なぜなら わたしに 復讐は–ある わたしが 報いる 言う 主が
G1125 G1063 G1473 G1557 G1473 G0467 G3004 G2962

愛する者たちよ。自分で復讐をしないで、むしろ、神の怒りに任せなさい。なぜなら、「主が言われる。復讐はわたしのすることである。わたし自身が報復する」と書いてあるからである。

20 ἀλλὰ ἐὰν πεινᾷ ὁ ἐχθρός σου, ψώμιζε αὐτόν; ἐὰν
むしろ もし 飢えているなら あなたの 敵が あなたの 食べさせなさい 彼を もし
G0235 G1437 G3983 G3588 G2190 G4771 G5595 G0846 G1437

διψᾷ, πότιζε αὐτόν; τοῦτο γὰρ ποιῶν, ἄνθρακας πυρὸς
渇いているなら 飲ませなさい 彼に こう–することで なぜなら することで 燃える–炭を 火の
G1372 G4222 G0846 G3778 G1063 G4160 G0440 G4442

σωρεύσεις ἐπὶ τὴν κεφαλὴν αὐτοῦ.
積む–ことに–なる その–上に 彼の 頭の–上に 彼の
G4987 G1909 G3588 G2776 G0846

むしろ、「もしあなたの敵が飢えるなら、彼に食わせ、かわくなら、彼に飲ませなさい。そうすることによって、あなたは彼の頭に燃えさかる炭火を積むことになるのである」。

21 μὴ νικῶ ὑπὸ τοῦ κακοῦ, ἀλλὰ νίκα ἐν τῷ ἀγαθῷ
負けるな 勝たれるな その その 悪に むしろ 打ち勝ちなさい その その 善で
G3361 G3528 G5259 G3588 G2556 G0235 G3528 G1722 G3588 G0018

τὸ κακόν.
その 悪に
G3588 G2556

悪に負けてはいけない。かえって、善をもって悪に勝ちなさい。

Chapter 13

1 Πᾶσα ψυχὴ ἐξουσίαις ὑπερεχούσαις ὑποτασσέσθω. οὐ γὰρ ἔστιν
すべての 人は 権威に 上に-ある 従いなさい ない なぜなら 存在しない
G3956 G5590 G1849 G5242 G5293 G3756 G1063 G1510

ἐξουσία, εἰ μὴ ὑπὸ Θεοῦ; αἱ δὲ οὖσαι ὑπὸ
権威は それが なければ 神からの-もので 神の その そして 存在する-ものは 神に-よって
G1849 G1487 G3361 G5259 G2316 G3588 G1161 G1510 G5259

Θεοῦ τεταγμέναι εἰσίν.
神の 定められた-もので ある
G2316 G5021 G1510

すべての人は、上に立つ権威に従うべきである。なぜなら、神によらない権威はなく、おおよそ存在している権威は、すべて神によって立てられたものだからである。

2 ὥστε ὁ ἀντιτασσόμενος τῇ ἐξουσίᾳ, τῇ τοῦ Θεοῦ διαταγῇ
それゆえ その 逆らう-者は その 権威に その その 神の 定めに
G5620 G3588 G0498 G3588 G1849 G3588 G3588 G2316 G1296

ἀνθέστηκεν; οἱ δὲ ἀνθεστηκότες, ἑαυτοῖς κρίμα λήμψονται.
逆らっている そして その 逆らう-者たちは 自らに 裁きを 受けるだろう
G0436 G3588 G1161 G0436 G1438 G2917 G2983

したがって、権威に逆らう者は、神の定めにそむく者である。そむく者は、自分の身にさばきを招くことになる。

3 οἱ γὰρ ἄρχοντες οὐκ εἰσὶν φόβος τῷ ἀγαθῷ ἔργῳ,
なぜなら その 支配者たちは 恐れでは-ない ない 恐れは その 善い 行いに-対して
G3588 G1063 G0758 G3756 G1510 G5401 G3588 G0018 G2041

ἀλλὰ τῷ κακῷ. θέλεις δὲ μὴ φοβεῖσθαι τὴν ἐξουσίαν? τὸ
むしろ その 悪い-行いに 望むか しかし 恐れない-ことを 恐れない その 権威を その
G0235 G3588 G2556 G2309 G1161 G3361 G5399 G3588 G1849 G3588

ἀγαθὸν ποίει, καὶ ἔξεις ἔπαινον ἐξ αὐτῆς.
善い-ことを 行いなさい そうすれば 得るだろう 称賛を それから それから
G0018 G4160 G2532 G2192 G1868 G1537 G0846

いったい、支配者たちは、善事をする者には恐怖でなく、悪事をする者にこそ恐怖である。あなたは権威を恐れないことを願うのか。それでは、善事をするがよい。そうすれば、彼からほめられるであろう。

4 Θεοῦ γὰρ διάκονός ἐστιν σοὶ, εἰς τὸ ἀγαθόν. ἐὰν δὲ
神の なぜなら 僕べで–ある それは あなたの–ために その その 善の–ために しかし もし
G2316 G1063 G1249 G1510 G4771 G1519 G3588 G0018 G1437 G1161

τὸ κακὸν ποιῇς, φοβοῦ; οὐ γὰρ εἰκῇ τὴν μάχαιραν
その 悪を 行うなら 恐れよ いたずらに なぜなら いたずらに その 剣を
G3588 G2556 G4160 G5399 G3756 G1063 G1500 G3588 G3162

φορεῖ: Θεοῦ γὰρ διάκονός ἐστιν, ἔκδικος εἰς ὀργὴν τῷ τὸ
帯びていない 神の なぜなら 僕べで–ある それは 復讐する–者で その 怒りを その その
G5409 G2316 G1063 G1249 G1510 G1558 G1519 G3709 G3588 G3588

κακὸν πράσσοντι.
悪を 行う–者に
G2556 G4238

彼は、あなたに益を与えるための神の僕なのである。しかし、もしあなたが悪事をすれば、恐れなければならない。彼はいたずらに剣を帯びているのではない。彼は神の僕であって、悪事を行う者に対しては、怒りをもって報いるからである。

5 διὸ ἀνάγκη ὑποτάσσεσθαι, οὐ μόνον διὰ τὴν
それゆえ 従わなければ–ならない 従わなければ–ならない ただ ただ その その
G1352 G0318 G5293 G3756 G3440 G1223 G3588

ὀργὴν, ἀλλὰ καὶ διὰ τὴν συνείδησιν.
怒りの–ためだけでなく むしろ また その その 良心の–ためにも
G3709 G0235 G2532 G1223 G3588 G4893

だから、ただ怒りをのがれるためだけではなく、良心のためにも従うべきである。

6 διὰ τοῦτο γὰρ, καὶ φόρους τελεῖτε; λειτουργοὶ γὰρ Θεοῦ
この–ために この なぜなら また 税を 納めている 仕える–者で–ある なぜなら 神の
G1223 G3778 G1063 G2532 G5411 G5055 G3011 G1063 G2316

εἰσιν, εἰς αὐτὸ τοῦτο προσκαρτεροῦντες.
彼らは その まさに この–ことに 励んでいる
G1510 G1519 G0846 G3778 G4342

あなたがたが貢を納めるのも、また同じ理由からである。彼らは神に仕える者として、もっぱらこの務に携わっているのである。

7 ἀπόδοτε πᾶσιν τὰς ὀφειλάς: τῷ τὸν φόρον, τὸν φόρον; τῷ
果たしなさい すべての–人に その 義務を その その 税を その 税を その
G0591 G3956 G3588 G3782 G3588 G3588 G5411 G3588 G5411 G3588

τὸ τέλος, τὸ τέλος; τῷ τὸν φόβον, τὸν φόβον; τῷ τὴν τιμὴν, τὴν
その 貢ぎを その 貢ぎを その その 恐れを その 恐れを その その 尊敬を その
G3588 G5056 G3588 G5056 G3588 G3588 G5401 G3588 G5401 G3588 G3588 G5092 G3588

τιμήν.
尊敬を
G5092

あなたがたは、彼らすべてに対して、義務を果しなさい。すなわち、貢を納むべき者には貢を納め、税を納むべき者には税を納め、恐るべき者は恐れ、敬うべき者は敬いなさい。

8 Μηδενὶ μηδὲν ὀφείλετε, εἰ μὴ τὸ ἀλλήλους: ἀγαπᾶν; ὁ
だれにも 何も 借りが–あるな ただ 除いて その 互いに–愛する 愛する–ことを なぜなら
G3367 G3367 G3784 G1487 G3361 G3588 G0240 G0025 G3588

γὰρ ἀγαπῶν τὸν ἕτερον, νόμον πεπλήρωκεν.
その 愛する–者は その 他の–人を 律法を 満たした
G1063 G0025 G3588 G2087 G3551 G4137

互に愛し合うことの外は、何人にも借りがあってはならない。人を愛する者は、律法を全うするのである。

9 τὸ γάρ, Οὐ μοιχεύσεις, Οὐ φονεύσεις, Οὐ κλέψεις, Οὐκ
すなわち なぜなら 姦淫するな 姦淫するな 殺すな 殺すな 盗むな 盗むな むさぼるな
G3588 G1063 G3756 G3431 G3756 G5407 G3756 G2813 G3756

ἐπιθυμήσεις, καὶ εἴ τις ἑτέρα ἐντολή, ἐν τῷ λόγῳ τούτῳ
むさぼるな そして もし 何か 他の 戔めが–あっても この この 言葉に この
G1937 G2532 G1487 G5100 G2087 G1785 G1722 G3588 G3056 G3778

ἀνακεφαλαιοῦται, ἐν τῷ: Ἀγαπήσεις τὸν πλησίον σου ὡς
要約される すなわち この 愛せよ あなたの 隣人を あなたの 自分の–ように
G0346 G1722 G3588 G0025 G3588 G4139 G4771 G5613

σεαυτόν.
自分の
G4572

「姦淫するな、殺すな、盗むな、むさぼるな」など、そのほかに、どんな戒めがあっても、結局「自分を愛するようにあなたの隣り人を愛せよ」というこの言葉に帰する。

10 ἡ ἀγάπη τῷ πλησίον κακὸν οὐκ ἐργάζεται; πλήρωμα οὖν νόμου
その 愛は その 隣人に 悪を 行わない 行わない 完成で–ある それゆえ 律法の
G3588 G0026 G3588 G4139 G2556 G3756 G2038 G4138 G3767 G3551

ἡ ἀγάπη.
その 愛は
G3588 G0026

愛は隣り人に害を加えることはない。だから、愛は律法を完成するものである。

11 Καὶ τοῦτο, εἰδότες τὸν καιρόν, ὅτι ὥρα ἤδη ὑμᾶς ἐξ
さらに これを 知って その 時を すなわち 時が–来た すでに あなたがたが その
G2532 G3778 G1492 G3588 G2540 G3754 G5610 G2235 G4771 G1537

ὕπνου ἐγερθῆναι; νῦν γὰρ ἐγγύτερον ἡμῶν ἡ σωτηρία,
眠りから 目覚める–時が 今や なぜなら 近い わたしたちの その 救いは
G5258 G1453 G3568 G1063 G1452 G1473 G3588 G4991

ἢ ὅτε ἐπιστεύσαμεν.
その–時よりも その 信じた
G2228 G3753 G4100

なお、あなたがたは時を知っているのだから、特に、この事を励まねばならない。すなわち、あなたがたの眠りからさめるべき時が、すでにきている。なぜなら今は、わたしたちの救が、初め信じた時よりも、もっと近づいているからである。

12 ἡ νὺξ προέκοψεν, ἡ δὲ ἡμέρα ἤγγικεν; ἀποθώμεθα οὖν τὰ
その 夜は 更けた その そして 昼が 近づいた 脱ぎ–捨てよう それゆえ その
G3588 G3571 G4298 G3588 G1161 G2250 G1448 G0659 G3767 G3588

ἔργα τοῦ σκότους, ἐνδυσώμεθα δὲ τὰ ὅπλα τοῦ φωτός.
行いを その 闇の 身に–つけよう そして その 武具を その 光の
G2041 G3588 G4655 G1746 G1161 G3588 G3696 G3588 G5457

夜はふけ、日が近づいている。それだから、わたしたちは、やみのわざを捨てて、光の武具を着けようではないか。

13 ὡς ἐν ἡμέρᾳ, εὐσχημόνως περιπατήσωμεν; μὴ κώμοις καὶ
その–ように その–中で 昼の 品位を–もって 歩もう その 酔いや そして
G5613 G1722 G2250 G2156 G4043 G3361 G2970 G2532

μέθαις, μὴ κοίταις καὶ ἀσελγείαις, μὴ ἔριδι καὶ ζήλῳ.
泥酔でなく その 好色や そして 放縦でなく その 争いや そして ねたみでなく
G3178 G3361 G2845 G2532 G0766 G3361 G2054 G2532 G2205

そして、宴楽と泥酔、淫乱と好色、争いとねたみを捨てて、昼歩くように、つつましく歩こうではないか。

14 ἀλλὰ ἐνδύσασθε τὸν Κύριον Ἰησοῦν Χριστόν, καὶ τῆς σαρκὸς
むしろ 身に–つけなさい その 主 イエス キリストを そして その 肉の
G0235 G1746 G3588 G2962 G2424 G5547 G2532 G3588 G4561

πρόνοιαν μὴ ποιεῖσθε, εἰς ἐπιθυμίας.
欲を 満たすな 満たすな その 欲の
G4307 G3361 G4160 G1519 G1939

あなたがたは、主イエス・キリストを着なさい。肉の欲を満たすことに心を向けてはならない。

Chapter 14

1 Τὸν δὲ ἀσθενοῦντα τῇ πίστει, προσλαμβάνεσθε, μὴ εἰς διακρίσεις
その しかし 弱い–者を その 信仰に 受け–入れなさい その その 議論の–ためでなく
G3588 G1161 G0770 G3588 G4102 G4355 G3361 G1519 G1253

διαλογισμῶν.
議論の
G1261

信仰の弱い者を受けいれなさい。ただ、意見を批評するためであってはならない。

2 ὃς μὲν πιστεύει φαγεῖν πάντα; ὁ δὲ ἀσθενῶν, λάχανα
ある–者は 一方では 信じている 食べて–よいと すべてを しかし その 弱い–者は 野菜だけを
G3739 G3303 G4100 G5315 G3956 G3588 G1161 G0770 G3001

ἐσθίει.
食べる
G2068

ある人は、何を食べてもさしつかえないと信じているが、弱い人は野菜だけを食べる。

3 ὁ ἐσθίων, τὸν μὴ ἐσθίοντα μὴ ἐξουθενείτω; ὁ
食べる–者は 食べる 食べない–者を 食べない 食べない 軽んじるな 軽んじるな また
G3588 G2068 G3588 G3361 G2068 G3361 G1848 G3588

δὲ μὴ ἐσθίων, τὸν ἐσθίοντα μὴ κρινέτω: ὁ Θεὸς γὰρ
その 食べない–者は 食べない 食べる–者を 食べる 裁くな 裁くな なぜなら 神が その
G1161 G3361 G2068 G3588 G2068 G3361 G2919 G3588 G2316 G1063

αὐτὸν προσελάβετο.
彼を 受け–入れた
G0846 G4355

食べる者は食べない者を軽んじてはならず、食べない者も食べる者をさばいてはならない。神は彼を受けいれて下さったのであるから。

4	σὺ	τίς	εἶ,	ὁ	κρίνων	ἀλλότριον	οἰκέτην?	τῷ	ἰδίῳ
あなたは	何者か	あなたは	他人の	裁く-者よ	他人の	僕べを	その	自分の
G4771	G5101	G1510	G3588	G2919	G0245	G3610	G3588	G2398

κυρίῳ,	στήκει	ἢ	πίπτει.	σταθήσεται	δέ;	δυνατεῖ	γὰρ	ὁ
主人に-対して	立つか	それとも	倒れるか	立たせられる	しかし	力が-ある	なぜなら	その
G2962	G4739	G2228	G4098	G2476	G1161	G1414	G1063	G3588

Κύριος	στῆσαι	αὐτόν.
主は	立たせる-力が-ある	彼を
G2962	G2476	G0846

他人の僕をさばくあなたは、いったい、何者であるか。彼が立つのも倒れるのも、その主人によるのである。しかし、彼は立つようになる。主は彼を立たせることができるからである。

5	ὃς	μὲν	γὰρ	κρίνει	ἡμέραν	παρ’	ἡμέραν;	ὃς	δὲ
ある-者は	一方では	なぜなら	重んじる	ある-日を	他の-日より	日より	ある-者は	他方
G3739	G3303	G1063	G2919	G2250	G3844	G2250	G3739	G1161

κρίνει	πᾶσαν	ἡμέραν.	ἕκαστος	ἐν	τῷ	ἰδίῳ	νοΐ,	πληροφορείσθω.
重んじる	すべての	日を	それぞれが	自分の	自分の	自分の	心の-中で	確信しなさい
G2919	G3956	G2250	G1538	G1722	G3588	G2398	G3563	G4135

また、ある人は、この日がかの日よりも大事であると考え、ほかの人はどの日も同じだと考える。各自はそれぞれ心の中で、確信を持っておるべきである。

6	ὁ	φρονῶν	τὴν	ἡμέραν,	Κυρίῳ	φρονεῖ;	<καὶ	ὁ	μὴ
その-日を	重んじる-者は	その	日を	主の-ために	重んじる	そして	その-日を	重んじない
G3588	G5426	G3588	G2250	G2962	G5426	G2532	G3588	G3361

φρονῶν | τὴν | ἡμέραν | κυρίῳ | οὐ | φρονεῖ> | ὁ | ἐσθίων, |
---|---|---|---|---|---|---|---|---
重んじない-者は | その | 日を | 主の-ために | 重んじない | 重んじない | 食べる-者は | 食べる |
G5426 | G3588 | G2250 | G2962 | G3756 | G5426 | G3588 | G2068 |

Κυρίῳ	ἐσθίει,	εὐχαριστεῖ	γὰρ	τῷ	Θεῷ;	καὶ	ὁ	μὴ
主の-ために	食べる	感謝する	なぜなら	その	神に	そして	食べない-者も	食べない
G2962	G2068	G2168	G1063	G3588	G2316	G2532	G3588	G3361

ἐσθίων,	Κυρίῳ	οὐκ	ἐσθίει,	καὶ	εὐχαριστεῖ	τῷ	Θεῷ.
食べない	主の-ために	食べないので	食べない	そして	感謝する	その	神に
G2068	G2962	G3756	G2068	G2532	G2168	G3588	G2316

日を重んじる者は、主のために重んじる。また食べる者も主のために食べる。神に感謝して食べるからである。食べない者も主のために食べない。そして、神に感謝する。

7	Οὐδεὶς	γὰρ	ἡμῶν	ἑαυτῷ	ζῇ,	καὶ	οὐδεὶς	ἑαυτῷ
だれも	なぜなら	わたしたちの-中で	自分の-ために	生きない	そして	だれも	自分の-ために
G3762	G1063	G1473	G1438	G2198	G2532	G3762	G1438

ἀποθνήσκει.

死なない
G0599

すなわち、わたしたちのうち、だれひとり自分のために生きる者はなく、だれひとり自分のために死ぬ者はない。

8 ἐάν τε γὰρ ζῶμεν, τῷ Κυρίῳ ζῶμεν; ἐάν τε ἀποθνήσκωμεν,
もし また なぜなら 生きるなら その 主の-ために 生きる もし また 死ぬなら
G1437 G5037 G1063 G2198 G3588 G2962 G2198 G1437 G5037 G0599

τῷ Κυρίῳ ἀποθνήσκομεν. ἐάν τε οὖν ζῶμεν, ἐάν τε
その 主の-ために 死ぬ それゆえ あるいは それゆえ 生きようと あるいは また
G3588 G2962 G0599 G1437 G5037 G3767 G2198 G1437 G5037

ἀποθνήσκωμεν, τοῦ Κυρίου ἐσμέν.
死のうと その 主の-もので ある
G0599 G3588 G2962 G1510

わたしたちは、生きるのも主のために生き、死ぬのも主のために死ぬ。だから、生きるにしても死ぬにしても、わたしたちは主のものなのである。

9 εἰς τοῦτο γὰρ, Χριστὸς ἀπέθανεν καὶ ἔζησεν, ἵνα καὶ
この-ために この なぜなら キリストは 死に そして よみがえった それは 死者と
G1519 G3778 G1063 G5547 G0599 G2532 G2198 G2443 G2532

νεκρῶν καὶ ζώντων κυριεύσῃ.
死者の そして 生ける-者の 主と-なるため
G3498 G2532 G2198 G2961

なぜなら、キリストは、死者と生者との主となるために、死んで生き返られたからである。

10 Σὺ δὲ, τί κρίνεις τὸν ἀδελφόν σου, ἢ καὶ σὺ τί
あなたは しかし なぜ 裁くのか あなたの 兄弟を あなたの また また あなたは なぜ
G4771 G1161 G5101 G2919 G3588 G0080 G4771 G2228 G2532 G4771 G5101

ἐξουθενεῖς τὸν ἀδελφόν σου? πάντες γὰρ παραστησόμεθα τῷ
軽んじるのか あなたの 兄弟を あなたの すべての-者が なぜなら 立つだろう その
G1848 G3588 G0080 G4771 G3956 G1063 G3936 G3588

βήματι τοῦ Θεοῦ.
裁きの-座の-前に その 神の
G0968 G3588 G2316

それだのに、あなたは、なぜ兄弟をさばくのか。あなたは、なぜ兄弟を軽んじるのか。わたしたちはみな、神のさばきの座の前に立つのである。

11 γέγραπται γάρ, Ζῶ ἐγώ, λέγει Κύριος, ὅτι ἐμοὶ κάμψει
書かれている なぜなら 生きている わたしは 言う 主が 必ず わたしに かがめる
G1125 G1063 G2198 G1473 G3004 G2962 G3754 G1473 G2578

πᾶν γόνυ, καὶ πᾶσα γλῶσσα ἐξομολογήσεται τῷ Θεῷ.
すべての ひざを そして すべての 舌が 告白する その 神に
G3956 G1119 G2532 G3956 G1100 G1843 G3588 G2316

すなわち、「主が言われる。わたしは生きている。すべてのひざは、わたしに対してかがみ、すべての舌は、神にさんびをささげるであろう」と書いてある。

12 ἄρα οὖν, ἕκαστος ἡμῶν περὶ ἑαυτοῦ, λόγον
それゆえ こうして それぞれが わたしたちの 自分-自身の-ことについて 自分自身の 申し-開きを
G0686 G3767 G1538 G1473 G4012 G1438 G3056

δώσει τῷ Θεῷ.
するだろう その 神に
G1325 G3588 G2316

だから、わたしたちひとりびとりは、神に対して自分の言いひらきをすべきである。

13 Μηκέτι οὖν ἀλλήλους κρίνωμεν; ἀλλὰ τοῦτο κρίνατε μᾶλλον,
もはや それゆえ 互いに 裁くのを-やめよう むしろ この-ことを 決めなさい むしろ
G3371 G3767 G0240 G2919 G0235 G3778 G2919 G3123

τὸ μὴ τιθέναι πρόσκομμα τῷ ἀδελφῷ, ἢ σκάνδαλον.
その 置かない-ことを 置かない つまずきを その 兄弟に また 妨げを
G3588 G3361 G5087 G4348 G3588 G0080 G2228 G4625

それゆえ、今後わたしたちは、互にさばき合うことをやめよう。むしろ、あなたがたは、妨げとなる物や、つまずきとなる物を兄弟の前に置かないことに、決めるがよい。

14 οἶδα καὶ πέπεισμαι ἐν Κυρίῳ Ἰησοῦ, ὅτι οὐδὲν
知っている そして 確信している その 主 イエスに-あって すなわち 何も
G1492 G2532 G3982 G1722 G2962 G2424 G3754 G3762

κοινὸν δι’ ἑαυτοῦ; εἰ μὴ τῷ λογιζομένῳ τι
汚れた-ものはない それ-自体は それ自体 ただ 除いて その 汚れていると-思う-者には 何かを
G2839 G1223 G1438 G1487 G3361 G3588 G3049 G5100

κοινὸν εἶναι, ἐκείνῳ κοινόν.
汚れた もので-ある その-人には 汚れている
G2839 G1510 G1565 G2839

わたしは、主イエスにあって知りかつ確信している。それ自体、汚れているものは一つもない。ただ、それが汚れていると考える人にだけ、汚れているのである。

15 εἰ γὰρ διὰ βρῶμα, ὁ ἀδελφός σου λυπεῖται, οὐκέτι
もし なぜなら 食べ物の-ことで 食べ物の あなたの 兄弟が あなたの 悲しむなら もはや
G1487 G1063 G1223 G1033 G3588 G0080 G4771 G3076 G3765

κατὰ ἀγάπην περιπατεῖς. μὴ τῷ βρώματί σου ἐκεῖνον ἀπόλλυε,
その 愛に-よって 歩いていない 滅ぼすな あなたの 食べ物で あなたの その-人を 滅ぼすな
G2596 G0026 G4043 G3361 G3588 G1033 G4771 G1565 G0622

ὑπὲρ οὗ Χριστὸς ἀπέθανεν.
その-ために その-人の キリストが 死んだ
G5228 G3739 G5547 G0599

もし食物のゆえに兄弟を苦しめるなら、あなたは、もはや愛によって歩いているのではない。あなたの食物によって、兄弟を滅ぼしてはならない。キリストは彼のためにも、死なれたのである。

16 μὴ βλασφημείσθω, οὖν, ὑμῶν τὸ ἀγαθόν.
悪く-言われるな 悪く-言われるな それゆえ あなたがたの その 善い-ものを
G3361 G0987 G3767 G4771 G3588 G0018

それだから、あなたがたにとって良い事が、そしりの種にならぬようにしなさい。

17 οὐ γάρ ἐστιν ἡ βασιλεία τοῦ Θεοῦ βρῶσις καὶ
ではない なぜなら それは その 御国は その 神の 食べる-ことや そして
G3756 G1063 G1510 G3588 G0932 G3588 G2316 G1035 G2532

πόσις; ἀλλὰ δικαιοσύνη, καὶ εἰρήνη, καὶ χαρὰ ἐν Πνεύματι
飲む-ことではなく むしろ 義と そして 平和と そして 喜びで-ある その 聖霊に
G4213 G0235 G1343 G2532 G1515 G2532 G5479 G1722 G4151

Ἁγίῳ.
聖なる
G0040

神の国は飲食ではなく、義と、平和と、聖霊における喜びとである。

18 ὁ γὰρ ἐν τούτῳ δουλεύων τῷ Χριστῷ εὐάρεστος τῷ
なぜなら その この–ことに この–ことに 仕える–者は その キリストに 喜ばれる その
G3588 G1063 G1722 G3778 G1398 G3588 G5547 G2101 G3588

Θεῷ, καὶ δόκιμος τοῖς ἀνθρώποις.
神に そして 認められる その 人々に
G2316 G2532 G1384 G3588 G0444

こうしてキリストに仕える者は、神に喜ばれ、かつ、人にも受けいれられるのである。

19 ἄρα οὖν, τὰ τῆς εἰρήνης διώκωμεν, καὶ τὰ τῆς
それゆえ こうして その その 平和の–ことを 追い–求めよう そして その 互いの
G0686 G3767 G3588 G3588 G1515 G1377 G2532 G3588 G3588

οἰκοδομῆς τῆς εἰς ἀλλήλους.
建て–上げの 互いの 互いへの 互いの
G3619 G3588 G1519 G0240

こういうわけで、平和に役立つことや、互の徳を高めることを、追い求めようではないか。

20 μὴ ἕνεκεν βρώματος, κατάλυε τὸ ἔργον τοῦ Θεοῦ. πάντα μὲν
壊すな 食べ物の–ために 食べ物の 壊すな その わざを その 神の すべては 確かに
G3361 G1752 G1033 G2647 G3588 G2041 G3588 G2316 G3956 G3303

καθαρά, ἀλλὰ κακὸν τῷ ἀνθρώπῳ, τῷ διὰ προσκόμματος
清い しかし 悪い–ことで–ある その 人には それが それに–よって つまずきを–与えて
G2513 G0235 G2556 G3588 G0444 G3588 G1223 G4348

ἐσθίοντι.
食べる–人には
G2068

食物のことで、神のみわざを破壊してはならない。すべての物はきよい。ただ、それを食べて人をつまずかせる者には、悪となる。

21 καλὸν τὸ μὴ φαγεῖν κρέα, μηδὲ πιεῖν οἶνον,
良い–ことである それは 食べない–ことである 食べない 肉を また 飲まない ぶどう酒を
G2570 G3588 G3361 G5315 G2907 G3366 G4095 G3631

μηδὲ ἐν ᾧ ὁ ἀδελφός σου προσκόπτει, ‹ἢ σκανδαλίζεται
また その–ことで その あなたの 兄弟が あなたの つまずく また は倒れる
G3366 G1722 G3739 G3588 G0080 G4771 G4350 G2228 G4624

ἢ ἀσθενεῖ›.
また 弱くなる
G2228 G0770

肉を食わず、酒を飲まず、そのほか兄弟をつまずかせないのは、良いことである。

22 σὺ πίστιν ἣν ἔχεις, κατὰ σεαυτὸν ἔχε ἐνώπιον τοῦ
あなたは 信仰を それを 持っている 自分の 自分自身の–中で 持ちなさい その–前で その
G4771 G4102 G3739 G2192 G2596 G4572 G2192 G1799 G3588

Θεοῦ. μακάριος ὁ μὴ κρίνων ἑαυτὸν ἐν ᾧ
神の 幸いで–ある その–人は 自分を 裁かない 自分自身を それを それ
G2316 G3107 G3588 G3361 G2919 G1438 G1722 G3739

δοκιμάζει.
良いと–認めることに–おいて
G1381

あなたの持っている信仰を、神のみまえに、自分自身に持っていなさい。自ら良いと定めたことについて、やましいと思わない人は、さいわいである。

23 ὁ しかし G3588 δὲ その G1161 διακρινόμενος, 疑う–者は G1252 ἐὰν もし G1437 φάγῃ, 食べるなら G5315 κατακέκριται, 罪に–定められる G2632 ὅτι なぜなら G3754 οὐκ 信仰から–ではなく G3756

ἐκ 信仰の G1537 πίστεως; 信仰から G4102 πᾶν すべての–ことは G3956 δὲ そして G1161 ὃ それが G3739 οὐκ 信仰から–でないなら G3756 ἐκ 信仰の G1537 πίστεως, 信仰から G4102

ἁμαρτία 罪で–ある G0266 ἐστίν. 罪である G1510

しかし、疑いながら食べる者は、信仰によらないから、罪に定められる。すべて信仰によらないことは、罪である。

Chapter 15

1 Ὀφείλομεν わたしたちは–義務が–ある G3784 δὲ, しかし G1161 ἡμεῖς わたしたち G1473 οἱ その G3588 δυνατοὶ, 強い–者は G1415 τὰ その G3588 ἀσθενήματα 弱さを G0771 τῶν その G3588

ἀδυνάτων 弱い–者の G0102 βαστάζειν, 担う–義務が–ある G0941 καὶ そして G2532 μὴ 自分を G3361 ἑαυτοῖς 自分自身を G1438 ἀρέσκειν. 喜ばせるな G0700

わたしたち強い者は、強くない者たちの弱さをになうべきであって、自分だけを喜ばせることをしてはならない。

2 ἕκαστος それぞれが G1538 ἡμῶν わたしたちの G1473 τῷ その G3588 πλησίον 隣人を G4139 ἀρεσκέτω, 喜ばせなさい G0700 εἰς その G1519 τὸ その G3588 ἀγαθὸν, 善の–ために G0018 πρὸς その G4314

οἰκοδομήν. 建て–上げの–ために G3619

わたしたちひとりびとりは、隣り人の徳を高めるために、その益を図って彼らを喜ばすべきである。

3 καὶ 実に G2532 γὰρ なぜなら G1063 ὁ その G3588 Χριστὸς キリストも G5547 οὐχ 自分を G3756 ἑαυτῷ 自分自身を G1438 ἤρεσεν; 喜ばせなかった G0700 ἀλλὰ, むしろ G0235

καθὼς 記されている–とおり G2531 γέγραπται, 書かれている G1125 Οἱ その G3588 ὀνειδισμοὶ そしりが G3680 τῶν その G3588 ὀνειδιζόντων そしる–者たちの G3679 σε, あなたを G4771

ἐπέπεσαν 降りかかった G1968 ἐπ’ わたしの–上に G1909 ἐμέ. わたしの G1473

キリストさえ、ご自身を喜ばせることはなさらなかった。むしろ「あなたをそしる者のそしりが、わたしに降りかかった」と書いてあるとおりであった。

4 ὅσα γὰρ προεγράφη, (πάντα) εἰς τὴν
すべての-ものは なぜなら 前もって-書かれた すべての-ものは わたしたちの わたしたちの
G3745 G1063 G4270 G3956 G1519 G3588

ἡμετέραν διδασκαλίαν ἐγράφη, ἵνα διὰ τῆς ὑπομονῆς καὶ διὰ τῆς
わたしたちの 教えの-ために 書かれた それは その その 忍耐と そして その その
G2251 G1319 G1125 G2443 G1223 G3588 G5281 G2532 G1223 G3588

παρακλήσεως τῶν γραφῶν, τὴν ἐλπίδα ἔχωμεν.
慰めとに-よる その 聖書の その 望みを 持つため
G3874 G3588 G1124 G3588 G1680 G2192

これまでに書かれた事がらは、すべてわたしたちの教のために書かれたのであって、それは聖書の与える忍耐と慰めとによって、望みをいだかせるためである。

5 ὁ δὲ Θεὸς τῆς ὑπομονῆς καὶ τῆς παρακλήσεως, δῴη
その そして 神が その 忍耐と そして その 慰めの 与えて-くださるように
G3588 G1161 G2316 G3588 G5281 G2532 G3588 G3874 G1325

ὑμῖν τὸ αὐτὸ φρονεῖν ἐν ἀλλήλοις, κατὰ Χριστὸν
あなたがたに 同じ 同じ-ことを 思う-ことを 互いの-中で 互いに その-ように キリスト
G4771 G3588 G0846 G5426 G1722 G0240 G2596 G5547

Ἰησοῦν,
イエスに
G2424

どうか、忍耐と慰めとの神が、あなたがたに、キリスト・イエスにならって互に同じ思いをいだかせ、

6 ἵνα ὁμοθυμαδὸν, ἐν ἑνὶ στόματι, δοξάζητε τὸν Θεὸν καὶ
それは 心を-合わせて 一つの 一つの 口で 賛美するため その 神を すなわち
G2443 G3661 G1722 G1520 G4750 G1392 G3588 G2316 G2532

Πατέρα τοῦ Κυρίου ἡμῶν, Ἰησοῦ Χριστοῦ.
父を その 主 わたしたちの イエス キリストの
G3962 G3588 G2962 G1473 G2424 G5547

こうして、心を一つにし、声を合わせて、わたしたちの主イエス・キリストの父なる神をあがめさせて下さるように。

7 Διὸ προσλαμβάνεσθε ἀλλήλους, καθὼς καὶ ὁ Χριστὸς προσελάβετο
それゆえ 受け-入れなさい 互いに その-とおり また その キリストも 受け-入れた
G1352 G4355 G0240 G2531 G2532 G3588 G5547 G4355

ὑμᾶς, εἰς δόξαν τοῦ Θεοῦ.
あなたがたを それは 栄光の-ため その 神の
G4771 G1519 G1391 G3588 G2316

こういうわけで、キリストもわたしたちを受けいれて下さったように、あなたがたも互に受けいれて、神の栄光をあらわすべきである。

8 λέγω γὰρ, Χριστὸν διάκονον γεγενῆσθαι περιτομῆς ὑπὲρ ἀληθείας
言う なぜなら キリストは 僕べと-なった 僕べと-なった 割礼の-者の その-ために 真理の
G3004 G1063 G5547 G1249 G1096 G4061 G5228 G0225

Θεοῦ, εἰς τὸ βεβαιῶσαι τὰς ἐπαγγελίας τῶν πατέρων,
神の それは その 確かにする-ため その 約束を その 先祖たちの
G2316 G1519 G3588 G0950 G3588 G1860 G3588 G3962

わたしは言う、キリストは神の真実を明らかにするために、割礼のある者の僕となられた。それは父祖たちの受けた約束を保証すると共に、

9 τὰ δὲ ἔθνη, ὑπὲρ ἐλέους, δοξάσαι τὸν Θεόν;
また そして 異邦人が その-ために あわれみの 賛美する-ため その 神を
G3588 G1161 G1484 G5228 G1656 G1392 G3588 G2316

καθὼς γέγραπται, Διὰ τοῦτο ἐξομολογήσομαί σοι ἐν
記されている-とおり 書かれている それゆえ それゆえ わたしは-告白する あなたに その-中で
G2531 G1125 G1223 G3778 G1843 G4771 G1722

ἔθνεσιν, καὶ τῷ ὀνόματί σου ψαλῶ.
異邦人の そして あなたの 御名に あなたの 讃美する
G1484 G2532 G3588 G3686 G4771 G5567

異邦人もあわれみを受けて神をあがめるようになるためである、「それゆえ、わたしは、異邦人の中であなたにさんびをささげ、また、御名をほめ歌う」と書いてあるとおりである。

10 καὶ πάλιν λέγει, Εὐφράνθητε ἔθνη, μετὰ τοῦ λαοῦ αὐτοῦ.
そして また 言う 喜びなさい 異邦人よ 共に その 民と 彼の
G2532 G3825 G3004 G2165 G1484 G3326 G3588 G2992 G0846

また、こう言っている、「異邦人よ、主の民と共に喜べ」。

11 καὶ πάλιν, Αἰνεῖτε πάντα τὰ ἔθνη, τὸν Κύριον; καὶ ἐπαινεσάτωσαν
そして また 賛美せよ すべての その 異邦人よ その 主を そして 讃えよ
G2532 G3825 G0134 G3956 G3588 G1484 G3588 G2962 G2532 G1867

αὐτὸν, πάντες οἱ λαοί.
彼を すべての その 民よ
G0846 G3956 G3588 G2992

また、「すべての異邦人よ、主をほめまつれ。もろもろの民よ、主をほめたたえよ」。

12 καὶ πάλιν, Ἡσαΐας λέγει, Ἔσται ἡ ῥίζα τοῦ Ἰεσσαί, καὶ ὁ
そして また イザヤは 言う 現れる その 根が その エッサイの そして その-方が
G2532 G3825 G2268 G3004 G1510 G3588 G4491 G3588 G2421 G2532 G3588

ἀνιστάμενος ἄρχειν ἐθνῶν; ἐπ' αὐτῷ ἔθνη ἐλπιοῦσιν.
立ち-上がる 治める-ために 異邦人を 彼に 彼に 異邦人は 望みを-置く
G0450 G0757 G1484 G1909 G0846 G1484 G1679

またイザヤは言っている、「エッサイの根から芽が出て、異邦人を治めるために立ち上がる者が来る。異邦人は彼に望みをおくであろう」。

13 Ὁ δὲ Θεὸς τῆς ἐλπίδος πληρώσαι ὑμᾶς πάσης χαρᾶς
その そして 神が その 望みの 満たして-くださるように あなたがたを すべての 喜びと
G3588 G1161 G2316 G3588 G1680 G4137 G4771 G3956 G5479

καὶ εἰρήνης, ἐν τῷ πιστεύειν; εἰς τὸ
そして 平和で 信じる-ことに-よって 信じる 信じる-ことに-よって それは その
G2532 G1515 G1722 G3588 G4100 G1519 G3588

περισσεύειν ὑμᾶς ἐν τῇ ἐλπίδι, ἐν δυνάμει Πνεύματος Ἁγίου.
あふれる-ために あなたがたが その-中で その 望みに その 力に-よって 聖霊の 聖なる
G4052 G4771 G1722 G3588 G1680 G1722 G1411 G4151 G0040

どうか、望みの神が、信仰から来るあらゆる喜びと平安とを、あなたがたに満たし、聖霊の力によって、あなたがたを、望みにあふれさせて下さるように。

14 Πέπεισμαι δέ, ἀδελφοί μου, καὶ αὐτὸς ἐγὼ περὶ
確信している しかし 兄弟たちよ わたしの また わたし–自身も わたし あなたがたに–ついて
G3982 G1161 G0080 G1473 G2532 G0846 G1473 G4012

ὑμῶν, ὅτι καὶ αὐτοὶ μεστοί ἐστε ἀγαθωσύνης,
あなたがたの すなわち また あなたがた–自身も 満ち–いる あなたがたは 善意で
G4771 G3754 G2532 G0846 G3324 G1510 G0019

πεπληρωμένοι πάσης τῆς γνώσεως, δυνάμενοι καὶ ἀλλήλους νουθετεῖν.
満たされて–いる すべての その 知識で できる また 互いに 戒め–合うことが
G4137 G3956 G3588 G1108 G1410 G2532 G0240 G3560

さて、わたしの兄弟たちよ。あなたがた自身が、善意にあふれ、あらゆる知恵に満たされ、そして互に訓戒し合う力のあることを、わたしは堅く信じている。

15 τολμηρότερον δὲ ἔγραψα ὑμῖν, ἀπὸ μέρους, ὡς ἐπαναμιμνήσκων
大胆に しかし 書いた あなたがたに 一部 一部 いわば 思い–起こさせる–ために
G5112 G1161 G1125 G4771 G0575 G3313 G5613 G1878

ὑμᾶς, διὰ τὴν χάριν τὴν δοθεῖσάν μοι ὑπὸ τοῦ Θεοῦ,
あなたがたに その その 恵みに–よって それは 与えられた わたしに その その 神から
G4771 G1223 G3588 G5485 G3588 G1325 G1473 G5259 G3588 G2316

しかし、わたしはあなたがたの記憶を新たにするために、ところどころ、かなり思いきって書いた。それは、神からわたしに賜わった恵みによって、書いたのである。

16 εἰς τὸ εἶναί με λειτουργὸν Χριστοῦ Ἰησοῦ εἰς τὰ
それは その わたしが–なるため わたしが 仕える–者と キリスト イエスの その その
G1519 G3588 G1510 G1473 G3011 G5547 G2424 G1519 G3588

ἔθνη, ἱερουργοῦντα τὸ εὐαγγέλιον τοῦ Θεοῦ, ἵνα γένηται ἡ
異邦人に–対して 祭司として–仕える その 福音を その 神の それは なる–ために その
G1484 G2418 G3588 G2098 G3588 G2316 G2443 G1096 G3588

προσφορὰ τῶν ἐθνῶν εὐπρόσδεκτος, ἡγιασμένη ἐν Πνεύματι Ἁγίῳ.
ささげ物が その 異邦人の 受け–入れられる 聖められた その 聖霊に–よって 聖なる
G4376 G3588 G1484 G2144 G0037 G1722 G4151 G0040

このように恵みを受けたのは、わたしが異邦人のためにキリスト・イエスに仕える者となり、神の福音のために祭司の役を勤め、こうして異邦人を、聖霊によってきよめられた、御旨にかなうささげ物とするためである。

17 ἔχω οὖν τὴν καύχησιν ἐν Χριστῷ Ἰησοῦ, τὰ
持っている それゆえ その 誇りを その–中に キリスト イエスに–あって その–ことに
G2192 G3767 G3588 G2746 G1722 G5547 G2424 G3588

πρὸς τὸν Θεόν.
その–ことに その 神への
G4314 G3588 G2316

だから、わたしは神への奉仕については、キリスト・イエスにあって誇りうるのである。

18 οὐ γὰρ τολμήσω τι λαλεῖν, ὧν οὐ
あえて–語らない なぜなら 語らない 何も 語るな それを キリストが–なさらなかった
G3756 G1063 G5111 G5100 G2980 G3739 G3756

κατειργάσατο Χριστὸς δι’ ἐμοῦ, εἰς ὑπακοὴν ἐθνῶν, λόγῳ
なさらなかった キリストが わたしを–通して わたしの それは 従順の–ために 異邦人の 言葉と
G2716 G5547 G1223 G1473 G1519 G5218 G1484 G3056

καὶ ἔργῳ,
そして 行いに–よって
G2532 G2041

わたしは、異邦人を従順にするために、キリストがわたしを用いて、言葉とわざ、

19 ἐν δυνάμει σημείων καὶ τεράτων, ἐν δυνάμει Πνεύματος [θεοῦ];
その 力に-よって しるしと そして 不思議の その 力に-よって 聖霊の 神の
G1722 G1411 G4592 G2532 G5059 G1722 G1411 G4151 G2316

ὥστε με ἀπὸ Ἰερουσαλὴμ, καὶ κύκλῳ μέχρι τοῦ
こうして わたしは エルサレムから エルサレムの そして 周りを-廻って イリュリコンまで その
G5620 G1473 G0575 G2419 G2532 G2945 G3360 G3588

Ἰλλυρικοῦ, πεπληρωκέναι τὸ εὐαγγέλιον τοῦ Χριστοῦ;
イリュリコンの 満たした その 福音を その キリストの
G2437 G4137 G3588 G2098 G3588 G5547

しるしと不思議との力、聖霊の力によって、働かせて下さったことの外には、あえて何も語ろうとは思わない。こうして、わたしはエルサレムから始まり、巡りめぐってイルリコに至るまで、キリストの福音を満たしてきた。

20 οὕτως δὲ φιλοτιμούμενον εὐαγγελίζεσθαι, οὐχ ὅπου
こうして しかし 志して-いる 福音を-伝えることを その-場所ではなく その
G3779 G1161 G5389 G2097 G3756 G3699

ὠνομάσθη Χριστός, ἵνα μὴ ἐπ’ ἀλλότριον θεμέλιον
キリストの-名が-知られた キリストの それは 他の-人の その-上に 他の-人の 土台の-上に
G3687 G5547 G2443 G3361 G1909 G0245 G2310

οἰκοδομῶ;
建てない-ために
G3618

その際、わたしの切に望んだところは、他人の土台の上に建てることをしないで、キリストの御名がまだ唱えられていない所に福音を宣べ伝えることであった。

21 ἀλλὰ καθὼς γέγραπται, Ὄψονται, «οἷς οὐκ
むしろ 記されている-とおり 書かれている 見るだろう その-人々が 知らされなかった
G0235 G2531 G1125 G3708 G3739 G3756

ἀνηγγέλη περὶ αὐτοῦ»; καὶ οἳ οὐκ ἀκηκόασιν,
知らされなかった 彼に-ついて 彼の そして その-人々が 聞かなかった 聞かなかった
G0312 G4012 G0846 G2532 G3739 G3756 G0191

συνήσουσιν.
悟るだろう
G4920

すなわち、「彼のことを宣べ伝えられていなかった人々が見、聞いていなかった人々が悟るであろう」と書いてあるとおりである。

22 Διὸ καὶ ἐνεκοπτόμην τὰ πολλὰ τοῦ ἐλθεῖν
それゆえ また 妙げられて-きた その 多くの-回 あなたがたの-もとへ 来る-ことを
G1352 G2532 G1465 G3588 G4183 G3588 G2064

πρὸς ὑμᾶς.
あなたがたの あなたがたの
G4314 G4771

こういうわけで、わたしはあなたがたの所に行くことを、たびたび妨げられてきた。

23 νυνὶ δὲ, μηκέτι τόπον ἔχων ἐν τοῖς κλίμασι τούτοις, ἐπιποθίαν
今や しかし もはや 場所が-なく 持ってなく この この 地域に この 切望を-持って
G3570 G1161 G3371 G5117 G2192 G1722 G3588 G2824 G3778 G1974

δὲ ἔχων τοῦ ἐλθεῖν πρὸς ὑμᾶς, ἀπὸ ἱκανῶν
しかし 持って あなたがたの-もとへ 来る-ことの あなたがたの あなたがたの すでに 多くの
G1161 G2192 G3588 G2064 G4314 G4771 G0575 G2425

ἐτῶν,
年から
G2094

しかし今では、この地方にはもはや働く余地がなく、かつイスパニヤに赴く場合、あなたがたの所に行くことを、多年、熱望していたので、――

24 ὡς ἂν πορεύωμαι εἰς τὴν Σπανίαν, ἐλπίζω γὰρ
その-時に その-時に 旅する-とき その その スペインへ 望んでいる なぜなら
G5613 G0302 G4198 G1519 G3588 G4681 G1679 G1063

διαπορευόμενος θεάσασθαι ὑμᾶς; καὶ ὑφ’ ὑμῶν
通りがかりに 会いたい あなたがたに そして あなたがたに-よって あなたがたの
G1279 G2300 G4771 G2532 G5259 G4771

προπεμφθῆναι ἐκεῖ, ἐὰν ὑμῶν πρῶτον ἀπὸ μέρους ἐμπλησθῶ.
送り-出して-もらいたい そこへ その-後に あなたがたの まず 十分に 十分に 満たされたい
G4311 G1563 G1437 G4771 G4412 G0575 G3313 G1705

その途中あなたがたに会い、まず幾分でもわたしの願いがあなたがたによって満たされたら、あなたがたに送られてそこへ行くことを、望んでいるのである。

25 νυνὶ δὲ πορεύομαι εἰς Ἰερουσαλὴμ, διακονῶν τοῖς ἁγίοις.
今は しかし 旅している その エルサレムへ 仕えて-いる その 聖徒たちに
G3570 G1161 G4198 G1519 G2419 G1247 G3588 G0040

しかし今の場合、聖徒たちに仕えるために、わたしはエルサレムに行こうとしている。

26 εὐδόκησαν γὰρ Μακεδονία καὶ Ἀχαΐα, κοινωνίαν τινὰ ποιήσασθαι εἰς
喜んだ なぜなら マケドニアと そして アカヤが 分かち-合いを ある することを その
G2106 G1063 G3109 G2532 G0882 G2842 G5100 G4160 G1519

τοὺς πτωχοὺς τῶν ἁγίων τῶν ἐν Ἰερουσαλήμ.
その 貧しい-者たちの-ために その 聖徒たちの その その-中の エルサレムの
G3588 G4434 G3588 G0040 G3588 G1722 G2419

なぜなら、マケドニヤとアカヤとの人々は、エルサレムにおる聖徒の中の貧しい人々を援助することに賛成したからである。

27 εὐδόκησαν γάρ, καὶ ὀφειλέται εἰσὶν αὐτῶν; εἰ γὰρ τοῖς
喜んだ なぜなら そして 負債者で-ある 彼らは 彼らの なぜなら もし 彼らの
G2106 G1063 G2532 G3781 G1510 G0846 G1487 G1063 G3588

πνευματικοῖς αὐτῶν ἐκοινώνησαν τὰ ἔθνη, ὀφείλουσιν καὶ ἐν τοῖς
霊的な-ものに 彼らの あずかったのなら その 異邦人が 義務が-ある また その その
G4152 G0846 G2841 G3588 G1484 G3784 G2532 G1722 G3588

σαρκικοῖς λειτουργῆσαι αὐτοῖς.
肉的な-もので 仕える-義務が-ある 彼らに
G4559 G3008 G0846

たしかに、彼らは賛成した。しかし同時に、彼らはかの人々に負債がある。というのは、もし異邦人が彼らの霊の物にあずかったとすれば、肉の物をもって彼らに仕えるのは、当然だからである。

28 τοῦτο この–ことを G3778 οὖν それゆえ G3767 ἐπιτελέσας, 果たして G2005 καὶ そして G2532 σφραγισάμενος 封印して G4972 αὐτοῖς 彼らに G0846 τὸν この G3588 καρπὸν 実りを G2590 τοῦτον, この G3778

ἀπελεύσομαι 出発する G0565 δι’ あなたがたを–経由して G1223 ὑμῶν あなたがたの G4771 εἰς その G1519 Σπανίαν. スペインへ G4681

そこでわたしは、この仕事を済ませて彼らにこの実を手渡した後、あなたがたの所をとおって、イスパニヤに行こうと思う。

29 οἶδα 知っている G1492 δὲ しかし G1161 ὅτι すなわち G3754 ἐρχόμενος 来る–とき G2064 πρὸς あなたがたの–もとへ G4314 ὑμᾶς, あなたがたの G4771 ἐν その G1722

πληρώματι 満ちた–祈福で G4138 εὐλογίας 祈福の G2129 Χριστοῦ キリストの G5547 ἐλεύσομαι. 来るだろう G2064

そしてあなたがたの所に行く時には、キリストの満ちあふれる祝福をもって行くことと、信じている。

30 Παρακαλῶ 勧める G3870 δὲ しかし G1161 ὑμᾶς, あなたがたに G4771 ἀδελφοί, 兄弟たちよ G0080 διὰ その G1223 τοῦ その G3588 Κυρίου 主 G2962 ἡμῶν, わたしたちの G1473 Ἰησοῦ イエス G2424

Χριστοῦ, キリストに–よって G5547 καὶ そして G2532 διὰ その G1223 τῆς その G3588 ἀγάπης 愛に–よって G0026 τοῦ その G3588 Πνεύματος, 聖霊の G4151 συναγωνίσασθαί 共に–戦って–ほしい G4865

μοι わたしと G1473 ἐν その–中で G1722 ταῖς その G3588 προσευχαῖς 祈りに–おいて G4335 ὑπὲρ わたしの–ために G5228 ἐμοῦ わたしの G1473 πρὸς その G4314 τὸν その G3588 Θεόν, 神に G2316

兄弟たちよ。わたしたちの主イエス・キストにより、かつ御霊の愛によって、あなたがたにお願いする。どうか、共に力をつくして、わたしのために神に祈ってほしい。

31 ἵνα それは G2443 ῥυσθῶ 救われる–ために G4506 ἀπὸ その G0575 τῶν その G3588 ἀπειθούντων 不従順な–者たちから G0544 ἐν その–中の G1722 τῇ その G3588 Ἰουδαίᾳ, ユダヤの G2449 καὶ そして G2532

ἡ わたしの G3588 διακονία 務めが G1248 μου, わたしの G1473 ἡ それが G3588 εἰς その G1519 Ἰερουσαλὴμ, エルサレムへの G2419 εὐπρόσδεκτος 受け–入れられる G2144 τοῖς その G3588 ἁγίοις 聖徒たちに G0040

γένηται; なる–ために G1096

すなわち、わたしがユダヤにおる不信の徒から救われ、そしてエルサレムに対するわたしの奉仕が聖徒たちに受けいれられるものとなるように、

32 ἵνα そして G2443 ἐν 喜びを–もって G1722 χαρᾷ, 喜びの G5479 ἐλθὼν 来て G2064 πρὸς あなたがたの–もとへ G4314 ὑμᾶς あなたがたの G4771 διὰ その G1223 θελήματος 御心に–よって G2307

Θεοῦ, 神の G2316 συναναπαύσωμαι 共に–憩いたい G4875 ὑμῖν. あなたがたと G4771

また、神の御旨により、喜びをもってあなたがたの所に行き、共になぐさめ合うことができるように祈ってもらいたい。

33

ὁ	δὲ	Θεὸς	τῆς	εἰρήνης	μετὰ	πάντων	ὑμῶν.	ἀμήν.
その	そして	神が	その	平和の	共に	すべての	あなたがたと–共に	アーメン
G3588	G1161	G2316	G3588	G1515	G3326	G3956	G4771	G0281

どうか、平和の神があなたがた一同と共にいますように、アァメン。

Chapter 16

1

Συνίστημι	δὲ	ὑμῖν	Φοίβην,	τὴν	ἀδελφὴν	ἡμῶν,	οὖσαν
紹介する	しかし	あなたがたに	フィベを	わたしたちの	姉妹を	わたしたちの	彼女は–また
G4921	G1161	G4771	G5402	G3588	G0079	G1473	G1510

‹καὶ›	διάκονον	τῆς	ἐκκλησίας	τῆς	ἐν	Κενχρεαῖς,
また	奉仕者で–ある	その	教会の	その	その–中の	ケンクレアの
G2532	G1249	G3588	G1577	G3588	G1722	G2747

ケンクレヤにある教会の執事、わたしたちの姉妹フィベを、あなたがたに紹介する。

2

ἵνα	αὐτὴν	προσδέξησθε	ἐν	Κυρίῳ,	ἀξίως	τῶν	ἁγίων,
それは	彼女を	受け–入れて–ほしい	その–中で	主に–あって	ふさわしく	その	聖徒たちに
G2443	G0846	G4327	G1722	G2962	G0516	G3588	G0040

καὶ	παραστῆτε	αὐτῇ	ἐν	ᾧ	ἂν	ὑμῶν	χρῄζῃ
そして	助けて–あげて–ほしい	彼女を	どんな–ことでも	それ	どんな	あなたがたの	必要と–する
G2532	G3936	G0846	G1722	G3739	G0302	G4771	G5535

πράγματι.	καὶ	γὰρ	αὐτὴ	προστάτις	πολλῶν	ἐγενήθη,	καὶ
ことでも	なぜなら	実に	彼女自身が	保護者と–なった	多くの–人の	なった	そして
G4229	G2532	G1063	G0846	G4368	G4183	G1096	G2532

ἐμοῦ	αὐτοῦ.
わたし–自身の	わたしの
G1473	G0846

どうか、聖徒たるにふさわしく、主にあって彼女を迎え、そして、彼女があなたがたにしてもらいたいことがあれば、何事でも、助けてあげてほしい。彼女は多くの人の援助者であり、またわたし自身の援助者でもあった。

3

Ἀσπάσασθε	Πρίσκαν	καὶ	Ἀκύλαν,	τοὺς	συνεργούς	μου
よろしく–言って–ほしい	プリスカと	そして	アキラに	わたしの	同労者で–ある	わたしの
G0782	G4251	G2532	G0207	G3588	G4904	G1473

ἐν	Χριστῷ	Ἰησοῦ --
その–中の	キリスト	イエスに–ある
G1722	G5547	G2424

キリスト・イエスにあるわたしの同労者プリスカとアクラとに、よろしく言ってほしい。

4

οἵτινες	ὑπὲρ	τῆς	ψυχῆς	μου,	τὸν	ἑαυτῶν
その–人たちは	わたしの–ために	わたしの	命の–ために	わたしの	自分たちの	自分たちの
G3748	G5228	G3588	G5590	G1473	G3588	G1438

τράχηλον	ὑπέθηκαν,	οἷς	οὐκ	ἐγὼ	μόνος	εὐχαριστῶ,	ἀλλὰ
首を	差し–出した	その–人たちに	わたし–だけでなく	わたし	だけでなく	感謝している	また
G5137	G5294	G3739	G3756	G1473	G3441	G2168	G0235

καὶ	πᾶσαι	αἱ	ἐκκλησίαι	τῶν	ἐθνῶν --
また	すべての	その	教会も	その	異邦人の
G2532	G3956	G3588	G1577	G3588	G1484

彼らは、わたしのいのちを救うために、自分の首をさえ差し出してくれたのである。彼らに対しては、わたしだけではなく、異邦人のすべての教会も、感謝している。

5 καὶ τὴν κατ’ οἶκον αὐτῶν ἐκκλησίαν. ἀσπάσασθε Ἐπαίνετον,
そして その その-家の 家の 彼らの 教会にも よろしく-言って-ほしい エパイネトスに
G2532 G3588 G2596 G3624 G0846 G1577 G0782 G1866

τὸν ἀγαπητόν μου, ὅς ἐστιν ἀπαρχὴ τῆς Ἀσίας εἰς
わたしの 愛する-者に わたしの 彼は ある 初穂で-ある その アシアの その
G3588 G0027 G1473 G3739 G1510 G0536 G3588 G0773 G1519

Χριστόν.
キリストの-ための
G5547

また、彼らの家の教会にも、よろしく。わたしの愛するエパネトに、よろしく言ってほしい。彼は、キリストにささげられたアジヤの初穂である。

6 ἀσπάσασθε Μαριάν, ἥτις πολλὰ ἐκοπίασεν εἰς
よろしく-言って-ほしい マリアに その-人は 多く 労苦した あなたがたの-ために
G0782 G3137 G3748 G4183 G2872 G1519

ὑμᾶς.
あなたがたの
G4771

あなたがたのために一方ならず労苦したマリヤに、よろしく言ってほしい。

7 ἀσπάσασθε Ἀνδρόνικον καὶ Ἰουνίαν, τοὺς συγγενεῖς μου
よろしく-言って-ほしい アンドロニコスと そして ユニアに わたしの 同胞で-あり わたしの
G0782 G0408 G2532 G2458 G3588 G4773 G1473

καὶ, συναιχμαλώτους μου, οἵτινές εἰσιν ἐπίσημοι ἐν τοῖς
そして 囚人仲間で-ある わたしの その-人たちは その 名高い-者である その-中で その
G2532 G4869 G1473 G3748 G1510 G1978 G1722 G3588

ἀποστόλοις, οἳ καὶ πρὸ ἐμοῦ γέγοναν ἐν
使徒たちの その-人たちは また わたし-よりも-前に わたしの なっていた その-中に
G0652 G3739 G2532 G4253 G1473 G1096 G1722

Χριστῷ.
キリストの
G5547

わたしの同族であって、わたしと一緒に投獄されたことのあるアンデロニコとユニアスとに、よろしく。彼らは使徒たちの間で評判がよく、かつ、わたしよりも先にキリストを信じた人々である。

8 ἀσπάσασθε Ἀμπλιᾶτον, τὸν ἀγαπητόν μου ἐν Κυρίῳ.
よろしく-言って-ほしい アンプリアトスに わたしの 愛する-者に わたしの その-中の 主に-ある
G0782 G0291 G3588 G0027 G1473 G1722 G2962

主にあって愛するアムプリアトに、よろしく。

9 ἀσπάσασθε Οὐρβανὸν, τὸν συνεργὸν ἡμῶν ἐν
よろしく-言って-ほしい ウルバノスに わたしたちの 同労者に わたしたちの その-中の
G0782 G3773 G3588 G4904 G1473 G1722

Χριστῷ, καὶ Στάχυν τὸν ἀγαπητόν μου.
キリストに-ある そして スタキュスに わたしの 愛する-者に わたしの
G5547 G2532 G4720 G3588 G0027 G1473

キリストにあるわたしたちの同労者ウルバノと、愛するスタキスとに、よろしく。

10 ἀσπάσασθε Ἀπελλῆν, τὸν δόκιμον ἐν Χριστῷ.
よろしく-言って-ほしい アペレスに その 認められた-者に その-中の キリストに-ある
G0782 G0559 G3588 G1384 G1722 G5547

ἀσπάσασθε τοὺς ἐκ τῶν Ἀριστοβούλου.
よろしく-言って-ほしい その その-家の その アリストブロスの-人たちに
G0782 G3588 G1537 G3588 G0711

キリストにあって錬達なアペレに、よろしく。アリストブロの家の人たちに、よろしく。

11 ἀσπάσασθε Ἡρῳδίωνα, τὸν συγγενῆ μου. ἀσπάσασθε
よろしく-言って-ほしい ヘロディオンに わたしの 同胞に わたしの よろしく-言って-ほしい
G0782 G2267 G3588 G4773 G1473 G0782

τοὺς ἐκ τῶν Ναρκίσσου, τοὺς ὄντας ἐν Κυρίῳ.
その その-家の その ナルキッソスの-人たちに その-人たちで ある その-中の 主に-ある
G3588 G1537 G3588 G3488 G3588 G1510 G1722 G2962

同族のヘロデオンに、よろしく。ナルキソの家の、主にある人たちに、よろしく。

12 ἀσπάσασθε Τρύφαιναν καὶ Τρυφῶσαν, τὰς κοπιώσας
よろしく-言って-ほしい トリュファイナと そして トリュフォサに その-人たちは 労苦している
G0782 G5170 G2532 G5173 G3588 G2872

ἐν Κυρίῳ. ἀσπάσασθε Περσίδα, τὴν ἀγαπητήν, ἥτις
その-中で 主に-あって よろしく-言って-ほしい ペルシスに 愛する-者に 愛する その-人は
G1722 G2962 G0782 G4069 G3588 G0027 G3748

πολλὰ ἐκοπίασεν ἐν Κυρίῳ.
多く 労苦した その-中で 主に-あって
G4183 G2872 G1722 G2962

主にあって労苦しているツルパナとツルポサとに、よろしく。主にあって一方ならず労苦した愛するペルシスに、よろしく。

13 ἀσπάσασθε Ῥοῦφον, τὸν ἐκλεκτὸν ἐν Κυρίῳ, καὶ τὴν
よろしく-言って-ほしい ルフォスに その 選ばれた-者に その-中の 主に-ある そして 彼の
G0782 G4504 G3588 G1588 G1722 G2962 G2532 G3588

μητέρα αὐτοῦ καὶ ἐμοῦ.
母に 彼の そして わたしの-母にも
G3384 G0846 G2532 G1473

主にあって選ばれたルポスと、彼の母とに、よろしく。彼の母は、わたしの母でもある。

14 ἀσπάσασθε Ἀσύνκριτον, Φλέγοντα, Ἑρμῆν, Πατρόβαν, Ἑρμᾶν,
よろしく-言って-ほしい アスンクリトスと フレゴンと ヘルメスと パトロバスと ヘルマスと
G0782 G0799 G5393 G2060 G3969 G2057

καὶ τοὺς σὺν αὐτοῖς ἀδελφούς,
そして その 共に-いる 彼らと 兄弟たちに
G2532 G3588 G4862 G0846 G0080

アスンクリト、フレゴン、ヘルメス、パトロバ、ヘルマスおよび彼らと一緒にいる兄弟たちに、よろしく。

15 ἀσπάσασθε Φιλόλογον καὶ Ἰουλίαν, Νηρέα καὶ τὴν ἀδελφὴν
よろしく-言って-ほしい フィロロゴスと そして ユリアと ネレウスと そして 彼の 姉妹と
G0782 G5378 G2532 G2456 G3517 G2532 G3588 G0079

αὐτοῦ, καὶ Ὄλυμπᾶν, καὶ τοὺς σὺν αὐτοῖς πάντας ἁγίους.
彼の そして オリュンパスと そして 共に-いる 共に 彼らと すべての 聖徒たちに
G0846 G2532 G3652 G2532 G3588 G4862 G0846 G3956 G0040

ピロロゴとユリヤとに、またネレオとその姉妹とに、オルンパに、また彼らと一緒にいるすべての聖徒たちに、よろしく言ってほしい。

16 ἀσπάσασθε ἀλλήλους ἐν φιλήματι ἁγίῳ. ἀσπάζονται ὑμᾶς,
よろしく-しなさい 互いに 聖なる 接吐で 聖なる よろしく-言っている あなたがたに
G0782 G0240 G1722 G5370 G0040 G0782 G4771

αἱ ἐκκλησίαι πᾶσαι τοῦ Χριστοῦ.
その 教会が すべての その キリストの
G3588 G1577 G3956 G3588 G5547

きよい接吻をもって、互にあいさつをかわしなさい。キリストのすべての教会から、あなたがたによろしく。

17 Παρακαλῶ δὲ ὑμᾶς, ἀδελφοί, σκοπεῖν τοὺς τὰς διχοστασίας
勧める しかし あなたがたに 兄弟たちよ 注意しなさい その-人たちに その 分裂と
G3870 G1161 G4771 G0080 G4648 G3588 G3588 G1370

καὶ τὰ σκάνδαλα παρὰ τὴν διδαχὴν ἣν ὑμεῖς ἐμάθετε,
そして その つまずきを それに-反して その 教えに それを あなたがたが 学んだ
G2532 G3588 G4625 G3844 G3588 G1322 G3739 G4771 G3129

ποιοῦντας; καὶ ἐκκλίνετε ἀπ' αὐτῶν.
起こす-者たちに そして 避けなさい 彼らから 彼らの
G4160 G2532 G1578 G0575 G0846

さて兄弟たちよ。あなたがたに勧告する。あなたがたが学んだ教にそむいて分裂を引き起し、つまずきを与える人々を警戒し、かつ彼らから遠ざかるがよい。

18 οἱ γὰρ τοιοῦτοι, τῷ Κυρίῳ ἡμῶν Χριστῷ, οὐ
なぜなら その そのような-者たちは わたしたちの 主 わたしたちの キリストに 仕えず
G3588 G1063 G5108 G3588 G2962 G1473 G5547 G3756

δουλεύουσιν, ἀλλὰ τῇ ἑαυτῶν κοιλίᾳ; καὶ διὰ τῆς
仕えていない むしろ 自分たちの 自分たちの 腹に-仕えている そして その その
G1398 G0235 G3588 G1438 G2836 G2532 G1223 G3588

χρηστολογίας καὶ εὐλογίας ἐξαπατῶσιν τὰς καρδίας τῶν ἀκάκων.
甘言と そして お世辞で 欺いている その 心を その 素直な-人たちの
G5542 G2532 G2129 G1818 G3588 G2588 G3588 G0172

なぜなら、こうした人々は、わたしたちの主キリストに仕えないで、自分の腹に仕え、そして甘言と美辞とをもって、純朴な人々の心を欺く者どもだからである。

19 ἡ γὰρ ὑμῶν ὑπακοὴ, εἰς πάντας ἀφίκετο.
あなたがたの なぜなら あなたがたの 従順は すべての-人に すべての 届いている
G3588 G1063 G4771 G5218 G1519 G3956 G0864

ἐφ’ ὑμῖν, οὖν χαίρω, θέλω δὲ ὑμᾶς
あなたがたの-ことで あなたがたの それゆえ 喜んでいる 望む しかし あなたがたが
G1909 G4771 G3767 G5463 G2309 G1161 G4771

σοφοὺς (μὲν) εἶναι, εἰς τὸ ἀγαθόν, ἀκεραίους δὲ εἰς
賢い-者で-あることを 実に あることを その その 善に-対して 純真な-者で しかし その
G4680 G3303 G1510 G1519 G3588 G0018 G0185 G1161 G1519

τὸ κακόν.
その 悪に-対して
G3588 G2556

あなたがたの従順は、すべての人々の耳に達しており、それをあなたがたのために喜んでいる。しかし、わたしの願うところは、あなたがたが善にさとく、悪には、うとくあってほしいことである。

20 ὁ δὲ Θεὸς τῆς εἰρήνης συντρίψει τὸν Σατανᾶν ὑπὸ τοὺς
その そして 神が その 平和の 砕くだろう その サタンを あなたがたの あなたがたの
G3588 G1161 G2316 G3588 G1515 G4937 G3588 G4567 G5259 G3588

πόδας ὑμῶν ἐν τάχει. Ἡ χάρις τοῦ Κυρίου ἡμῶν Ἰησοῦ
足の-下に あなたがたの やがて やがて その 恵みが その 主 わたしたちの イエス
G4228 G4771 G1722 G5034 G3588 G5485 G3588 G2962 G1473 G2424

‹Χριστοῦ› μεθ’ ὑμῶν.
キリストの あなたがたと-共に あなたがたの
G5547 G3326 G4771

平和の神は、サタンをすみやかにあなたがたの足の下に踏み砕くであろう。どうか、わたしたちの主イエスの恵みが、あなたがたと共にあるように。

21 Ἀσπάζεται ὑμᾶς Τιμόθεος, ὁ συνεργός μου, καὶ Λούκιος,
よろしく-言っている あなたがたに テモテが わたしの 同労者が わたしの そして ルキオスと
G0782 G4771 G5095 G3588 G4904 G1473 G2532 G3066

καὶ Ἰάσων, καὶ Σωσίπατρος, οἱ συγγενεῖς μου.
そして ヤソンと そして ソシパトロスが わたしの 同胞たちが わたしの
G2532 G2394 G2532 G4989 G3588 G4773 G1473

わたしの同労者テモテおよび同族のルキオ、ヤソン、ソシパテロから、あなたがたによろしく。

22 ἀσπάζομαι ὑμᾶς ἐγὼ, Τέρτιος, ὁ γράψας τὴν ἐπιστολὴν,
よろしく-言う あなたがたに わたし テルティオスが その 書いた-者が この 手紙を
G0782 G4771 G1473 G5060 G3588 G1125 G3588 G1992

ἐν Κυρίῳ.
その-中で 主に-あって
G1722 G2962

（この手紙を筆記したわたしテルテオも、主にあってあなたがたにあいさつの言葉をおくる。）

23 ἀσπάζεται ὑμᾶς Γάϊος, ὁ ξένος μου, καὶ ὅλης τῆς
よろしく–言っている あなたがたに ガイオスが わたしの 宿主が わたしの そして 全体の その
G0782 G4771 G1050 G3588 G3581 G1473 G2532 G3650 G3588

ἐκκλησίας. ἀσπάζεται ὑμᾶς Ἔραστος, ὁ οἰκονόμος τῆς πόλεως,
教会の よろしく–言っている あなたがたに エラストスが その 会計係が その 町の
G1577 G0782 G4771 G2037 G3588 G3623 G3588 G4172

καὶ Κούαρτος, ὁ ἀδελφός.
そして クアルトスが その 兄弟が
G2532 G2890 G3588 G0080

わたしと全教会との家主ガイオから、あなたがたによろしく。市の会計係エラストと兄弟クワルトから、あなたがたによろしく。〔

24 ‹Ἡ χάρις τοῦ κυρίου ἡμῶν, Ἰησοῦ Χριστοῦ, μετὰ πάντων
その 恵みが その 主 わたしたちの イエス キリストの すべての すべての
G3588 G5485 G3588 G2962 G1473 G2424 G5547 G3326 G3956

ὑμῶν. Ἀμήν›.
あなたがたと–共に アーメン
G4771 G0281

わたしたちの主イエス・キリストの恵みが、あなたがた一同と共にあるように、アァメン。〕

25 Τῷ δὲ δυναμένῳ ὑμᾶς στηρίξαι, κατὰ τὸ εὐαγγέλιόν
その–方に そして 強める–力が–ある あなたがたを 強める その–とおり その 福音と
G3588 G1161 G1410 G4771 G4741 G2596 G3588 G2098

μου, καὶ τὸ κήρυγμα Ἰησοῦ Χριστοῦ, κατὰ ἀποκάλυψιν μυστηρίου,
わたしの そして その 宣教と イエス キリストの その–とおり 啓示に–よる 奥義の
G1473 G2532 G3588 G2782 G2424 G5547 G2596 G0602 G3466

χρόνοις αἰωνίοις σεσιγημένου,
永遠の 永遠の 沈黙されて–きた
G5550 G0166 G4601

26 φανερωθέντος δὲ νῦν, διά τε γραφῶν προφητικῶν, κατ’
現された しかし 今や その そして 聖書に–よって 預言の その–とおり
G5319 G1161 G3568 G1223 G5037 G1124 G4397 G2596

ἐπιταγὴν τοῦ αἰωνίου Θεοῦ, εἰς ὑπακοὴν πίστεως, εἰς πάντα τὰ
命令に–よる その 永遠の 神の その 従順の–ために 信仰の それは すべての その
G2003 G3588 G0166 G2316 G1519 G5218 G4102 G1519 G3956 G3588

ἔθνη γνωρισθέντος.
異邦人に 知らされた
G1484 G1107

願わくは、わたしの福音とイエス・キリストの宣教とにより、かつ、長き世々にわたって、隠されていたが、今やあらわされ、預言の書をとおして、永遠の神の命令に従い、信仰の従順に至らせるために、もろもろの国人に告げ知らされた奥義の啓示によって、あなたがたを力づけることのできるかた、

27 μόνῳ σοφῷ Θεῷ, διὰ Ἰησοῦ Χριστοῦ, ᾧ ἡ δόξα εἰς
唯一の 知恵深い 神に その イエス キリストを–通して その–方に その 栄光が 永遠の
G3441 G4680 G2316 G1223 G2424 G5547 G3739 G3588 G1391 G1519

τοὺς αἰῶνας τῶν αἰώνων ἀμήν.
永遠の 世々に 世々の 世々の アーメン
G3588 G0165 G3588 G0165 G0281

すなわち、唯一の知恵深き神に、イエス・キリストにより、栄光が永遠より永遠にあるように、アァメン。

1 Corinthians

Chapter 1

1 Παῦλος, κλητὸς ἀπόστολος Χριστοῦ, Ἰησοῦ διὰ θελήματος Θεοῦ, καὶ
パウロ 召された 使徒 キリスト イエスの その 御心に–よる 神の そして
G3972 G2822 G0652 G5547 G2424 G1223 G2307 G2316 G2532

Σωσθένης, ὁ ἀδελφὸς,
ソステネス その 兄弟
G4988 G3588 G0080

神の御旨により召されてキリスト・イエスの使徒となったパウロと、兄弟ソステネから、

2 τῇ ἐκκλησίᾳ τοῦ Θεοῦ, «τῇ οὔσῃ ἐν Κορίνθῳ»□, «ἡγιασμένοις
その 教会に その 神の その ある その–中の コリントに 聖められた–者たちへ
G3588 G1577 G3588 G2316 G3588 G1510 G1722 G2882 G0037

ἐν Χριστῷ Ἰησοῦ», κλητοῖς ἁγίοις σὺν πᾶσιν τοῖς
その–中で キリスト イエスに–あって 召された 聖徒たちへ 共に すべての その
G1722 G5547 G2424 G2822 G0040 G4862 G3956 G3588

ἐπικαλουμένοις τὸ ὄνομα τοῦ Κυρίου ἡμῶν, Ἰησοῦ Χριστοῦ, ἐν
呼び–求める–者たちと その 御名を その 主 わたしたちの イエス キリストの あらゆる
G1941 G3588 G3686 G3588 G2962 G1473 G2424 G5547 G1722

παντὶ τόπῳ, αὐτῶν καὶ ἡμῶν.
あらゆる 場所で 彼らの そして わたしたちの
G3956 G5117 G0846 G2532 G1473

コリントにある神の教会、すなわち、わたしたちの主イエス・キリストの御名を至る所で呼び求めているすべての人々と共に、キリスト・イエスにあってきよめられ、聖徒として召されたかたがたへ。このキリストは、わたしたちの主であり、また彼らの主であられる。

3 χάρις ὑμῖν καὶ εἰρήνη, ἀπὸ Θεοῦ Πατρὸς ἡμῶν, καὶ Κυρίου
恵みと あなたがたに そして 平和が その 神 父 わたしたちの そして 主
G5485 G4771 G2532 G1515 G0575 G2316 G3962 G1473 G2532 G2962

Ἰησοῦ Χριστοῦ.
イエス キリストから
G2424 G5547

わたしたちの父なる神と主イエス・キリストから、恵みと平安とが、あなたがたにあるように。

4 Εὐχαριστῶ τῷ Θεῷ ‹μου› πάντοτε περὶ ὑμῶν, ἐπὶ
感謝する わたしの 神に わたしの いつも あなたがたの–ことで あなたがたの それは
G2168 G3588 G2316 G1473 G3842 G4012 G4771 G1909

τῇ χάριτι τοῦ Θεοῦ τῇ δοθείσῃ ὑμῖν ἐν Χριστῷ
その 恵みの–ゆえに その 神の それが 与えられた あなたがたに その–中で キリスト
G3588 G5485 G3588 G2316 G3588 G1325 G4771 G1722 G5547

Ἰησοῦ,
イエスに–あって
G2424

わたしは、あなたがたがキリスト・イエスにあって与えられた神の恵みを思って、いつも神に感謝している。

5 ὅτι ἐν παντὶ ἐπλουτίσθητε ἐν αὐτῷ, ἐν
すなわち あらゆる–ことに–おいて あらゆる 豊かに–された 彼に–おいて 彼の あらゆる
G3754 G1722 G3956 G4148 G1722 G0846 G1722

παντὶ λόγῳ καὶ πάσῃ γνώσει,
あらゆる 言葉と そして あらゆる 知識に
G3956 G3056 G2532 G3956 G1108

あなたがたはキリストにあって、すべてのことに、すなわち、すべての言葉にもすべての知識にも恵まれ、

6 καθὼς τὸ μαρτύριον τοῦ Χριστοῦ ἐβεβαιώθη ἐν
その–とおり その あかしが その キリストの 確かに–された あなたがたの–中で
G2531 G3588 G3142 G3588 G5547 G0950 G1722

ὑμῖν,
あなたがたの
G4771

キリストのためのあかしが、あなたがたのうちに確かなものとされ、

7 ὥστε ὑμᾶς μὴ ὑστερεῖσθαι, ἐν μηδενὶ χαρίσματι,
こうして あなたがたは 不足しない 不足しない 何の 何の 賜物にも
G5620 G4771 G3361 G5302 G1722 G3367 G5486

ἀπεκδεχομένους τὴν ἀποκάλυψιν τοῦ Κυρίου ἡμῶν, Ἰησοῦ Χριστοῦ;
待ち–望んでいる その 現れを その 主 わたしたちの イエス キリストの
G0553 G3588 G0602 G3588 G2962 G1473 G2424 G5547

こうして、あなたがたは恵みの賜物にいささかも欠けることがなく、わたしたちの主イエス・キリストの現れるのを待ち望んでいる。

8 ὃς καὶ βεβαιώσει ὑμᾶς ἕως τέλους, ἀνεγκλήτους
その–方が また 強めるだろう あなたがたを その–終わりまで 終わりの 責められない–者として
G3739 G2532 G0950 G4771 G2193 G5056 G0410

ἐν τῇ ἡμέρᾳ τοῦ Κυρίου ἡμῶν, Ἰησοῦ Χριστοῦ.
その その 日に その 主 わたしたちの イエス キリストの
G1722 G3588 G2250 G3588 G2962 G1473 G2424 G5547

主もまた、あなたがたを最後まで堅くささえて、わたしたちの主イエス・キリストの日に、責められるところのない者にして下さるであろう。

9 πιστὸς ὁ Θεὸς, δι’ οὗ ἐκλήθητε εἰς κοινωνίαν τοῦ
実在で–ある その 神は その–方を–通して その 召された それは 交わりに その
G4103 G3588 G2316 G1223 G3739 G2564 G1519 G2842 G3588

Υἱοῦ αὐτοῦ, Ἰησοῦ Χριστοῦ, τοῦ Κυρίου ἡμῶν.
御子の 彼の イエス キリスト その 主 わたしたちの
G5207 G0846 G2424 G5547 G3588 G2962 G1473

神は真実なかたである。あなたがたは神によって召され、御子、わたしたちの主イエス・キリストとの交わりに、はいらせていただいたのである。

10 Παρακαλῶ δὲ ὑμᾶς, ἀδελφοί, διὰ τοῦ ὀνόματος τοῦ Κυρίου
勧める しかし あなたがたに 兄弟たちよ その その 御名に-よって その 主
G3870 G1161 G4771 G0080 G1223 G3588 G3686 G3588 G2962

ἡμῶν, Ἰησοῦ Χριστοῦ, ἵνα τὸ αὐτὸ λέγητε πάντες, καὶ
わたしたちの イエス キリストの それは 同じ 同じ-ことを 言う-こと みなが そして
G1473 G2424 G5547 G2443 G3588 G0846 G3004 G3956 G2532

μὴ ᾖ ἐν ὑμῖν σχίσματα, ἦτε δὲ
なくなる-ように なくなる あなたがたの-中に あなたがたの 分裂が ある-ように むしろ
G3361 G1510 G1722 G4771 G4978 G1510 G1161

κατηρτισμένοι ἐν τῷ αὐτῷ νοῒ, καὶ ἐν τῇ αὐτῇ γνώμῃ.
一つに-される 同じ 同じ 同じ 心で そして 同じ 同じ 同じ 思いで
G2675 G1722 G3588 G0846 G3563 G2532 G1722 G3588 G0846 G1106

さて兄弟たちよ。わたしたちの主イエス・キリストの名によって、あなたがたに勧める。みな語ることを一つにし、お互の間に分争がないようにし、同じ心、同じ思いになって、堅く結び合っていてほしい。

11 ἐδηλώθη γάρ μοι περὶ ὑμῶν, ἀδελφοί μου,
知らされた なぜなら わたしに あなたがたの-ことが あなたがたの 兄弟たちよ わたしの
G1213 G1063 G1473 G4012 G4771 G0080 G1473

ὑπὸ τῶν Χλόης, ὅτι ἔριδες ἐν ὑμῖν
クロエの-家の-者たちから クロエの クロエの すなわち 争いが あなたがたの-中に あなたがたの
G5259 G3588 G5514 G3754 G2054 G1722 G4771

εἰσιν.
ある
G1510

わたしの兄弟たちよ。実は、クロエの家の者たちから、あなたがたの間に争いがあると聞かされている。

12 λέγω δὲ τοῦτο, ὅτι ἕκαστος ὑμῶν λέγει, Ἐγὼ μέν
言う すなわち この-ことを すなわち それぞれが あなたがたの 言っている わたしは 一方では
G3004 G1161 G3778 G3754 G1538 G4771 G3004 G1473 G3303

εἰμι Παύλου, Ἐγὼ δὲ Ἀπολλῶ, Ἐγὼ δὲ Κηφᾶ, Ἐγὼ δὲ
属する パウロに わたしは また アポロに わたしは また ケファに わたしは また
G1510 G3972 G1473 G1161 G0625 G1473 G1161 G2786 G1473 G1161

Χριστοῦ.
キリストに
G5547

はっきり言うと、あなたがたがそれぞれ、「わたしはパウロにつく」「わたしはアポロに」「わたしはケパに」「わたしはキリストに」と言い合っていることである。

13 μεμέρισται ὁ Χριστός? μὴ Παῦλος ἐσταυρώθη ὑπὲρ
分かれたのか その キリストは まさか パウロが 十字架に-つけられたのか あなたがたの-ために
G3307 G3588 G5547 G3361 G3972 G4717 G5228

ὑμῶν? ἢ εἰς τὸ ὄνομα Παύλου ἐβαπτίσθητε?
あなたがたの それとも その-名に-よって その 名の パウロの バプテスマを-受けたのか
G4771 G2228 G1519 G3588 G3686 G3972 G0907

キリストは、いくつにも分けられたのか。パウロは、あなたがたのために十字架につけられたことがあるのか。それとも、あなたがたは、パウロの名によってバプテスマを受けたのか。

14 εὐχαριστῶ [τῷ θεῷ] ὅτι οὐδένα ὑμῶν ἐβάπτισα, εἰ
感謝する その 神に すなわち だれも あなたがたの バプテスマを–授けなかった ただ
G2168 G3588 G2316 G3754 G3762 G4771 G0907 G1487

μὴ Κρίσπον καὶ Γάϊον,
除いて クリスポスと そして ガイオスに
G3361 G2921 G2532 G1050

わたしは感謝しているが、クリスポとガイオ以外には、あなたがたのうちのだれにも、バプテスマを授けたことがない。

15 ἵνα μή τις εἴπῃ ὅτι, εἰς τὸ ἐμὸν
それは だれも だれも 言えない–ために すなわち わたしの–名に–よって わたしの わたしの
G2443 G3361 G5100 G3004 G3754 G1519 G3588 G1699

ὄνομα, ἐβαπτίσθητε.
名に バプテスマを–受けたと
G3686 G0907

それはあなたがたがわたしの名によってバプテスマを受けたのだと、だれにも言われることのないためである。

16 ἐβάπτισα δὲ καὶ τὸν Στεφανᾶ οἶκον; λοιπὸν, οὐκ
バプテスマを–授けた また また その ステファナスの 家族にも それ以外は 知らない
G0907 G1161 G2532 G3588 G4734 G3624 G3063 G3756

οἶδα εἴ τινα ἄλλον ἐβάπτισα.
知らない もし 他の–誰かに 他の バプテスマを–授けたか
G1492 G1487 G5100 G0243 G0907

もっとも、ステパナの家の者たちには、バプテスマを授けたことがある。しかし、そのほかには、だれにも授けた覚えがない。

17 οὐ γὰρ ἀπέστειλέν με Χριστὸς βαπτίζειν,
なぜなら その 遣わしたのでは–ない わたしを キリストは バプテスマを–授けるためではなく
G3756 G1063 G0649 G1473 G5547 G0907

ἀλλὰ εὐαγγελίζεσθαι; οὐκ ἐν σοφίᾳ λόγου, ἵνα μὴ
むしろ 福音を–伝えるために それも その 知恵の 言葉では–なく それは 空しく–ならない–ために
G0235 G2097 G3756 G1722 G4678 G3056 G2443 G3361

κενωθῇ ὁ σταυρὸς τοῦ Χριστοῦ.
空しくならない その 十字架が その キリストの
G2758 G3588 G4716 G3588 G5547

いったい、キリストがわたしをつかわされたのは、バプテスマを授けるためではなく、福音を宣べ伝えるためであり、しかも知恵の言葉を用いずに宣べ伝えるためであった。それは、キリストの十字架が無力なものになってしまわないためなのである。

18 Ὁ λόγος γὰρ ὁ τοῦ σταυροῦ, τοῖς μὲν ἀπολλυμένοις
その 言葉は なぜなら その その 十字架の 滅びる–者には 一方では 滅びる–者には
G3588 G3056 G1063 G3588 G3588 G4716 G3588 G3303 G0622

μωρία ἐστίν; τοῖς δὲ σῳζομένοις, ἡμῖν, δύναμις
愚かさで–ある 愚かさである 救われる–者には せど 救われる–者には わたしたちには 神の–力で–ある
G3472 G1510 G3588 G1161 G4982 G1473 G1411

Θεοῦ ἐστιν.
神の 力である
G2316 G1510

十字架の言は、滅び行く者には愚かであるが、救にあずかるわたしたちには、神の力である。

19

γέγραπται	γάρ,	Ἀπολῶ	τὴν	σοφίαν	τῶν	σοφῶν,	καὶ	τὴν	σύνεσιν
書かれている	なぜなら	滅ぼす	その	知恵を	その	知恵ある-者の	そして	その	理解を
G1125	G1063	G0622	G3588	G4678	G3588	G4680	G2532	G3588	G4907

τῶν	συνετῶν	ἀθετήσω.
その	理解ある-者の	退ける
G3588	G4908	G0114

すなわち、聖書に、「わたしは知者の知恵を滅ぼし、賢い者の賢さをむなしいものにする」と書いてある。

20

ποῦ	σοφός?	ποῦ	γραμματεύς?	ποῦ	συζητητὴς	τοῦ
どこに-いるか	知恵ある-者は	どこに-いるか	学者は	どこに-いるか	論者は	この
G4226	G4680	G4226	G1122	G4226	G4804	G3588

αἰῶνος	τούτου?	οὐχὶ	ἐμώρανεν	ὁ	Θεὸς	τὴν	σοφίαν	τοῦ
世の	この	愚かに-したのではないか	愚かにした	その	神は	その	知恵を	この
G0165	G3778	G3780	G3471	G3588	G2316	G3588	G4678	G3588

κόσμου?
世の
G2889

知者はどこにいるか。学者はどこにいるか。この世の論者はどこにいるか。神はこの世の知恵を、愚かにされたではないか。

21

ἐπειδὴ	γὰρ,	ἐν	τῇ	σοφίᾳ	τοῦ	Θεοῦ,	οὐκ	ἔγνω	ὁ
なぜなら	実に	その-中で	その	知恵の-中で	その	神の	知らなかった	知らなかった	その
G1894	G1063	G1722	G3588	G4678	G3588	G2316	G3756	G1097	G3588

κόσμος	διὰ	τῆς	σοφίας	τὸν	Θεόν,	εὐδόκησεν	ὁ	Θεὸς,	διὰ	τῆς
世が	その	その	知恵を-通して	その	神を	喜んだ	その	神は	その	その
G2889	G1223	G3588	G4678	G3588	G2316	G2106	G3588	G2316	G1223	G3588

μωρίας	τοῦ	κηρύγματος,	σῶσαι	τοὺς	πιστεύοντας,
愚かさを-通して	その	宣教の	救う-ことを	その	信じる-者を
G3472	G3588	G2782	G4982	G3588	G4100

この世は、自分の知恵によって神を認めるに至らなかった。それは、神の知恵にかなっている。そこで神は、宣教の愚かさによって、信じる者を救うこととされたのである。

22

ἐπειδὴ	καὶ	Ἰουδαῖοι	σημεῖα	αἰτοῦσιν,	καὶ	Ἕλληνες	σοφίαν	ζητοῦσιν;
なぜなら	一方では	ユダヤ人は	しるしを	求め	そして	ギリシャ人は	知恵を	求める
G1894	G2532	G2453	G4592	G0154	G2532	G1672	G4678	G2212

ユダヤ人はしるしを請い、ギリシヤ人は知恵を求める。

23

ἡμεῖς	δὲ	κηρύσσομεν	Χριστὸν	ἐσταυρωμένον,	Ἰουδαίοις	μὲν
わたしたちは	しかし	宣べ-伝える	キリストを	十字架に-つけられた	ユダヤ人には	一方では
G1473	G1161	G2784	G5547	G4717	G2453	G3303

σκάνδαλον,	ἔθνεσιν	δὲ	μωρίαν;
つまずきで-あり	異邦人には	また	愚かさで-ある
G4625	G1484	G1161	G3472

しかしわたしたちは、十字架につけられたキリストを宣べ伝える。このキリストは、ユダヤ人にはつまずかせるもの、異邦人には愚かなものであるが、

24 αὐτοῖς δὲ τοῖς κλητοῖς, Ἰουδαίοις τε καὶ Ἕλλησιν,
しかし その 召された–者には 召された ユダヤ人にも また そして ギリシャ人にも
G0846 G1161 G3588 G2822 G2453 G5037 G2532 G1672

Χριστὸν Θεοῦ δύναμιν, καὶ Θεοῦ σοφίαν.
キリストは 神の 力で–あり そして 神の 知恵で–ある
G5547 G2316 G1411 G2532 G2316 G4678

召された者自身にとっては、ユダヤ人にもギリシヤ人にも、神の力、神の知恵たるキリストなのである。

25 ὅτι τὸ μωρὸν τοῦ Θεοῦ, σοφώτερον τῶν ἀνθρώπων ἐστίν,
なぜなら その 愚かな–ものは その 神の 人より–賢い 人よりも 人の 賢い
G3754 G3588 G3474 G3588 G2316 G4680 G3588 G0444 G1510

καὶ τὸ ἀσθενὲς τοῦ Θεοῦ, ἰσχυρότερον τῶν ἀνθρώπων.
そして その 弱い–ものは その 神の 人より–強い 人よりも 人の
G2532 G3588 G0772 G3588 G2316 G2478 G3588 G0444

神の愚かさは人よりも賢く、神の弱さは人よりも強いからである。

26 Βλέπετε γὰρ τὴν κλῆσιν ὑμῶν, ἀδελφοί, ὅτι οὐ
見なさい なぜなら あなたがたの 召しを あなたがたの 兄弟たちよ すなわち 多くはない
G0991 G1063 G3588 G2821 G4771 G0080 G3754 G3756

πολλοὶ σοφοὶ κατὰ σάρκα, οὐ πολλοὶ δυνατοί, οὐ
多くは 知恵ある–者は 肉に–よれば 肉の 多くはない 多くは 力ある–者は 多くはない
G4183 G4680 G2596 G4561 G3756 G4183 G1415 G3756

πολλοὶ εὐγενεῖς.
多くは 高貴な–者は
G4183 G2104

兄弟たちよ。あなたがたが召された時のことを考えてみるがよい。人間的には、知恵のある者が多くはなく、権力のある者も多くはなく、身分の高い者も多くはいない。

27 ἀλλὰ τὰ μωρὰ τοῦ κόσμου, ἐξελέξατο ὁ Θεός, ἵνα
むしろ その 愚かな–ものを この 世の 選んだ その 神は それは
G0235 G3588 G3474 G3588 G2889 G1586 G3588 G2316 G2443

καταισχύνῃ τοὺς σοφούς; καὶ τὰ ἀσθενῆ τοῦ κόσμου, ἐξελέξατο
恥じ入らせる–ため その 知恵ある–者を そして その 弱い–ものを この 世の 選んだ
G2617 G3588 G4680 G2532 G3588 G0772 G3588 G2889 G1586

ὁ Θεός, ἵνα καταισχύνῃ τὰ ἰσχυρά;
その 神は それは 恥じ入らせる–ため その 強い–ものを
G3588 G2316 G2443 G2617 G3588 G2478

それだのに神は、知者をはずかしめるために、この世の愚かな者を選び、強い者をはずかしめるために、この世の弱い者を選び、

28 καὶ τὰ ἀγενῆ τοῦ κόσμου, καὶ τὰ ἐξουθενημένα,
そして その 卓しくない–ものを この 世の そして その 軽んじられた–ものを
G2532 G3588 G0036 G3588 G2889 G2532 G3588 G1848

ἐξελέξατο ὁ Θεός, (καὶ) τὰ μὴ ὄντα, ἵνα
選んだ その 神は すなわち その 無きに–等しい–ものを 無きに–等しい それは
G1586 G3588 G2316 G2532 G3588 G3361 G1510 G2443

τὰ ὄντα καταργήσῃ,
ある–ものを ある 廃れさせる–ため
G3588 G1510 G2673

有力な者を無力な者にするために、この世で身分の低い者や軽んじられている者、すなわち、無きに等しい者を、あえて選ばれたのである。

29 ὅπως μὴ καυχήσηται πᾶσα σὰρξ ἐνώπιον τοῦ Θεοῦ.
それは 誰も 誇らない–ため すべての 肉なる–者が その–前で その 神の
G3704 G3361 G2744 G3956 G4561 G1799 G3588 G2316

それは、どんな人間でも、神のみまえに誇ることがないためである。

30 ἐξ αὐτοῦ δὲ, ὑμεῖς ἐστε ἐν Χριστῷ Ἰησοῦ, ὃς ἐγενήθη
彼から 彼の しかし あなたがたは ある その–中に キリスト イエスに その–方が なった
G1537 G0846 G1161 G4771 G1510 G1722 G5547 G2424 G3739 G1096

σοφία ἡμῖν ἀπὸ Θεοῦ, δικαιοσύνη τε καὶ ἁγιασμὸς, καὶ
知恵と わたしたちに–とって 神からの 神の 義と そして そして 聖めと そして
G4678 G1473 G0575 G2316 G1343 G5037 G2532 G0038 G2532

ἀπολύτρωσις;
贖いと
G0629

あなたがたがキリスト・イエスにあるのは、神によるのである。キリストは神に立てられて、わたしたちの知恵となり、義と聖とあがないとになられたのである。

31 ἵνα, καθὼς γέγραπται, Ὁ καυχώμενος, ἐν Κυρίῳ
それは 記されている–とおり 書かれている 誇る–者は 誇るなら その–中で 主に–あって
G2443 G2531 G1125 G3588 G2744 G1722 G2962

καυχάσθω.
誇りなさい
G2744

それは、「誇る者は主を誇れ」と書いてあるとおりである。

Chapter 2

1 Κἀγὼ, ἐλθὼν πρὸς ὑμᾶς, ἀδελφοί, ἦλθον οὐ καθ’
わたしも–また 来た–とき あなたがたの–もとへ あなたがたの 兄弟たちよ 来た それは 優れた
G2504 G2064 G4314 G4771 G0080 G2064 G3756 G2596

ὑπεροχὴν λόγου, ἢ σοφίας, καταγγέλλων ὑμῖν τὸ
優れた 言葉の また 知恵の–優れではなかった 告げ–知らせた あなたがたに その
G5247 G3056 G2228 G4678 G2605 G4771 G3588

μαρτύριον τοῦ Θεοῦ.
あかしを その 神の
G3142 G3588 G2316

兄弟たちよ。わたしもまた、あなたがたの所に行ったとき、神のあかしを宣べ伝えるのに、すぐれた言葉や知恵を用いなかった。

2 οὐ γὰρ ἔκρινά τι εἰδέναι ἐν ὑμῖν, εἰ μὴ
なぜなら その 決めた 何も 知らない–ことを あなたがたの–中で あなたがたの ただ 除いて
G3756 G1063 G2919 G5100 G1492 G1722 G4771 G1487 G3361

Ἰησοῦν Χριστὸν, καὶ τοῦτον ἐσταυρωμένον.
イエス キリストを そして しかも 十字架に–つけられた–方を
G2424 G5547 G2532 G3778 G4717

なぜなら、わたしはイエス・キリスト、しかも十字架につけられたキリスト以外のことは、あなたがたの間では何も知るまいと、決心したからである。

3 κἀγὼ, わたしも–また G2504 ἐν 弱さの–中で G1722 ἀσθενείᾳ, 弱さの G0769 καὶ そして G2532 ἐν 恐れの–中で G1722 φόβῳ, 恐れの G5401 καὶ そして G2532

ἐν おおきな–おののきの–中で G1722 τρόμῳ おののきの G5156 πολλῷ, おおきな G4183 ἐγενόμην あった G1096 πρὸς あなたがたの–もとに G4314 ὑμᾶς. あなたがたの G4771

わたしがあなたがたの所に行った時には、弱くかつ恐れ、ひどく不安であった。

4 καὶ そして G2532 ὁ わたしの G3588 λόγος 言葉も G3056 μου, わたしの G1473 καὶ そして G2532 τὸ わたしの G3588 κήρυγμά 宣教も G2782 μου わたしの G1473 οὐκ それは–なかった G3756

ἐν 説得力ある G1722 πειθοῖς 説得力ある G3981 σοφίας 知恵の G4678 λόγοις, 言葉では–なかった G3056 ἀλλ’ むしろ G0235 ἐν それは G1722 ἀποδείξει 証明に–よる–ものであった G0585

Πνεύματος 聖霊と G4151 καὶ そして G2532 δυνάμεως; 力の G1411

そして、わたしの言葉もわたしの宣教も、巧みな知恵の言葉によらないで、霊と力との証明によったのである。

5 ἵνα それは G2443 ἡ あなたがたの G3588 πίστις 信仰が G4102 ὑμῶν, あなたがたの G4771 μὴ 基づかない–ため G3361 ᾖ 基づかない G1510 ἐν 人の G1722 σοφίᾳ 知恵に G4678

ἀνθρώπων, 人の G0444 ἀλλ’ むしろ G0235 ἐν それは G1722 δυνάμει 力に–基づく G1411 Θεοῦ. 神の G2316

それは、あなたがたの信仰が人の知恵によらないで、神の力によるものとなるためであった。

6 Σοφίαν 知恵を G4678 δὲ しかし G1161 λαλοῦμεν 語っている G2980 ἐν その–中で G1722 τοῖς その G3588 τελείοις; 成熟した–者の G5046 σοφίαν 知恵では–あるが G4678 δὲ, それは G1161

οὐ それは–ない G3756 τοῦ この G3588 αἰῶνος 世の G0165 τούτου, この G3778 οὐδὲ また–ない G3761 τῶν この G3588 ἀρχόντων 支配者たちの G0758 τοῦ この G3588 αἰῶνος 世の G0165 τούτου, この G3778

τῶν その–者たちは G3588 καταργουμένων. 滅びる G2673

しかしわたしたちは、円熟している者の間では、知恵を語る。この知恵は、この世の者の知恵ではなく、この世の滅び行く支配者たちの知恵でもない。

7 ἀλλὰ むしろ G0235 λαλοῦμεν 語っている G2980 Θεοῦ 神の G2316 σοφίαν, 知恵を G4678 ἐν それは G1722 μυστηρίῳ, 奥義の–中に G3466 τὴν その G3588 ἀποκεκρυμμένην, 隠された G0613 ἣν それを G3739

προώρισεν あらかじめ–定めた G4309 ὁ その G3588 Θεὸς 神が G2316 πρὸ その–前に G4253 τῶν その G3588 αἰώνων, 世々の G0165 εἰς わたしたちの G1519 δόξαν 栄光の–ために G1391

ἡμῶν, わたしたちの G1473

むしろ、わたしたちが語るのは、隠された奥義としての神の知恵である。それは神が、わたしたちの受ける栄光のために、世の始まらぬ先から、あらかじめ定めておかれたものである。

8	ἣν	οὐδεὶς	τῶν	ἀρχόντων	τοῦ	αἰῶνος	τούτου,	ἔγνωκεν;	εἰ	γὰρ		
	それを	だれも	この	支配者たちの	この	世の	この	知らなかった	もし	なぜなら		
	G3739	G3762	G3588	G0758	G3588	G0165	G3778	G1097	G1487	G1063		
	ἔγνωσαν,	οὐκ	ἂν	τὸν	Κύριον	τῆς	δόξης	ἐσταύρωσαν,				
	知っていたなら	十字架に–つけなかった	その	その	主を	その	栄光の	十字架に–つけなかった				
	G1097	G3756	G0302	G3588	G2962	G3588	G1391	G4717				

この世の支配者たちのうちで、この知恵を知っていた者は、ひとりもいなかった。もし知っていたなら、栄光の主を十字架につけはしなかったであろう。

9	ἀλλὰ	καθὼς	γέγραπται,	Ἃ	ὀφθαλμὸς	οὐκ	εἶδεν,					
	むしろ	記されている–とおり	書かれている	それを	目が	見たことが–なく	見たことがない					
	G0235	G2531	G1125	G3739	G3788	G3756	G3708					
	καὶ	οὖς	οὐκ	ἤκουσεν,	καὶ	ἐπὶ	καρδίαν	ἀνθρώπου				
	そして	耳が	聞いたことが–なく	聞いたことがない	そして	人の	心に	人の				
	G2532	G3775	G3756	G0191	G2532	G1909	G2588	G0444				
	οὐκ	ἀνέβη,	ὅσα	ἡτοίμασεν	ὁ	Θεὸς	τοῖς	ἀγαπῶσιν				
	思い–浮かんだ	ことがない	それを	備えた	その	神が	愛する–者の–ために	愛する				
	G3756	G0305	G3745	G2090	G3588	G2316	G3588	G0025				
	αὐτόν--											
	彼を											
	G0846											

しかし、聖書に書いてあるとおり、「目がまだ見ず、耳がまだ聞かず、人の心に思い浮びもしなかったことを、神は、ご自分を愛する者たちのために備えられた」のである。

10	ἡμῖν	γὰρ	ἀπεκάλυψεν	ὁ	Θεὸς	διὰ	τοῦ	Πνεύματος.	τὸ	γὰρ		
	わたしたちに	しかし	啓示した	その	神は	その	その	聖霊を–通して	その	なぜなら		
	G1473	G1063	G0601	G3588	G2316	G1223	G3588	G4151	G3588	G1063		
	Πνεῦμα,	πάντα	ἐραυνᾷ,	καὶ	τὰ	βάθη	τοῦ	Θεοῦ.				
	聖霊は	すべてを	探る	また	その	深みをも	その	神の				
	G4151	G3956	G2045	G2532	G3588	G0899	G3588	G2316				

そして、それを神は、御霊によってわたしたちに啓示して下さったのである。御霊はすべてのものをきわめ、神の深みまでもきわめるのだからである。

11	τίς	γὰρ	οἶδεν	ἀνθρώπων	τὰ	τοῦ	ἀνθρώπου,	εἰ	μὴ	τὸ		
	誰が	なぜなら	知っているか	人の	その	その	人の–ことを	ただ	除いて	その		
	G5101	G1063	G1492	G0444	G3588	G3588	G0444	G1487	G3361	G3588		
	πνεῦμα	τοῦ	ἀνθρώπου	τὸ	ἐν	αὐτῷ?	οὕτως	καὶ	τὰ	τοῦ		
	霊が	その	人の	その–霊だけが	その–中に–ある	彼の	こうして	また	その	その		
	G4151	G3588	G0444	G3588	G1722	G0846	G3779	G2532	G3588	G3588		
	Θεοῦ	οὐδεὶς	ἔγνωκεν,	εἰ	μὴ	τὸ	Πνεῦμα	τοῦ	Θεοῦ.			
	神の–ことを	だれも	知らない	ただ	除いて	その	聖霊だけが	その	神の			
	G2316	G3762	G1097	G1487	G3361	G3588	G4151	G3588	G2316			

いったい、人間の思いは、その内にある人間の霊以外に、だれが知っていようか。それと同じように神の思いも、神の御霊以外には、知るものはない。

12 ἡμεῖς δὲ, οὐ τὸ πνεῦμα τοῦ κόσμου ἐλάβομεν, ἀλλὰ
わたしたちは しかし 受けなかった その 霊を この 世の 受けたのではなく むしろ
G1473 G1161 G3756 G3588 G4151 G3588 G2889 G2983 G0235

τὸ πνεῦμα τὸ ἐκ τοῦ Θεοῦ, ἵνα εἰδῶμεν τὰ ὑπὸ τοῦ
その 聖霊を その 神からの その 神の それは 知る-ために その-ことを 神から 神の
G3588 G4151 G3588 G1537 G3588 G2316 G2443 G1492 G3588 G5259 G3588

Θεοῦ χαρισθέντα ἡμῖν;
神に-よって 恵みとして-与えられた わたしたちに
G2316 G5483 G1473

ところが、わたしたちが受けたのは、この世の霊ではなく、神からの霊である。それによって、神から賜わった恵みを悟るためである。

13 ἃ καὶ λαλοῦμεν, οὐκ ἐν διδακτοῖς ἀνθρωπίνης σοφίας λόγοις,
それを また 語っている それは 人の 教える 人の 知恵の 言葉では-なく
G3739 G2532 G2980 G3756 G1722 G1318 G0442 G4678 G3056

ἀλλ’ ἐν διδακτοῖς Πνεύματος, πνευματικοῖς πνευματικὰ συνκρίνοντες.
むしろ それは 教える 聖霊の 霊的な-ことを 霊的な 解き-明かしている
G0235 G1722 G1318 G4151 G4152 G4152 G4793

この賜物について語るにも、わたしたちは人間の知恵が教える言葉を用いないで、御霊の教える言葉を用い、霊によって霊のことを解釈するのである。

14 ψυχικὸς δὲ ἄνθρωπος, οὐ δέχεται τὰ τοῦ
生まれながらの しかし 人は 受け-入れない 受け入れない その-ことを その
G5591 G1161 G0444 G3756 G1209 G3588 G3588

Πνεύματος τοῦ Θεοῦ; μωρία γὰρ αὐτῷ ἐστίν, καὶ οὐ
聖霊の その 神の 愚かさで-ある なぜなら 彼には 愚かさである そして 知ることが
G4151 G3588 G2316 G3472 G1063 G0846 G1510 G2532 G3756

δύναται γνῶναι, ὅτι πνευματικῶς ἀνακρίνεται.
できない 知ることが なぜなら 霊的に 判断される
G1410 G1097 G3754 G4153 G0350

生れながらの人は、神の御霊の賜物を受けいれない。それは彼には愚かなものだからである。また、御霊によって判断されるべきであるから、彼はそれを理解することができない。

15 ὁ δὲ πνευματικὸς, ἀνακρίνει τὰ πάντα; αὐτὸς δὲ ὑπ’
せど その 霊的な-人は 判断する すべての-ことを すべての 彼自身は せど だれにも
G3588 G1161 G4152 G0350 G3588 G3956 G0846 G1161 G5259

οὐδενὸς ἀνακρίνεται.
だれにも 判断されない
G3762 G0350

しかし、霊の人は、すべてのものを判断するが、自分自身はだれからも判断されることはない。

16 τίς γὰρ ἔγνω νοῦν Κυρίου? ὃς συμβιβάσει αὐτόν? ἡμεῖς
誰が なぜなら 知ったか 御心を 主の その-人が 教えるのか 彼に わたしたちは
G5101 G1063 G1097 G3563 G2962 G3739 G4822 G0846 G1473

δὲ νοῦν Χριστοῦ ἔχομεν.
しかし 御心を-持っている キリストの 持っている
G1161 G3563 G5547 G2192

「だれが主の思いを知って、彼を教えることができようか」。しかし、わたしたちはキリストの思いを持っている。

Chapter 3

1

Κἀγώ	ἀδελφοί,	οὐκ	ἠδυνήθην	λαλῆσαι	ὑμῖν	ὡς
そして–私は	兄弟たちよ	～ない	できなかった	語ることが	あなたがたに	～のように
G2504	G0080	G3756	G1410	G2980	G4771	G5613

πνευματικοῖς,	ἀλλ’	ὡς	σαρκίνοις;	ὡς	νηπίοις	ἐν	Χριστῷ.
霊的な–者たちに	しかし	～のように	肉的な–者たちに	～のように	幼子たちに	～における	キリスト
G4152	G0235	G5613	G4560	G5613	G3516	G1722	G5547

兄弟たちよ。わたしはあなたがたには、霊の人に対するように話すことができず、むしろ、肉に属する者、すなわち、キリストにある幼な子に話すように話した。

2

γάλα	ὑμᾶς	ἐπότισα;	οὐ	βρῶμα,	οὔπω	γὰρ	ἐδύνασθε,	Ἀλλ’
乳を	あなたがたに	飲ませた	～ではなく	固い–食物を	まだ	なぜなら	できなかった	しかし
G1051	G4771	G4222	G3756	G1033	G3768	G1063	G1410	G0235

οὐδὲ	ἔτι	νῦν	δύνασθε;
～もない	まだ	今も	できない
G3761	G2089	G3568	G1410

あなたがたに乳を飲ませて、堅い食物は与えなかった。食べる力が、まだあなたがたになかったからである。今になってもその力がない。

3

ἔτι	γὰρ	σαρκικοί	ἐστε.	ὅπου	γὰρ	ἐν	ὑμῖν	ζῆλος
まだ	なぜなら	肉的な–者	である	そこには	なぜなら	～の–うちに	あなたがたの	妬みと
G2089	G1063	G4559	G1510	G3699	G1063	G1722	G4771	G2205

καὶ	ἔρις,	οὐχὶ	σαρκικοί	ἐστε,	καὶ	κατὰ	ἄνθρωπον
そして	争いがある	～ではないか	肉的な–者	である	そして	～に–従って	人間の–やり方で
G2532	G2054	G3780	G4559	G1510	G2532	G2596	G0444

περιπατεῖτε?
歩んでいるのか
G4043

あなたがたはまだ、肉の人だからである。あなたがたの間に、ねたみや争いがあるのは、あなたがたが肉の人であって、普通の人間のように歩いているためではないか。

4

ὅταν	γὰρ	λέγῃ	τις,	Ἐγὼ	μέν	εἰμι	Παύλου,	ἕτερος
～する–時	なぜなら	言う	ある–者が	私は	一方では	～である	パウロに–属する	別の–者は
G3752	G1063	G3004	G5100	G1473	G3303	G1510	G3972	G2087

δέ,	Ἐγὼ	Ἀπολλῶ,	οὐκ	ἄνθρωποί	ἐστε?
また	私は	アポロに–属する	～ではないか	ただの–人間	ではないか
G1161	G1473	G0625	G3756	G0444	G1510

すなわち、ある人は「わたしはパウロに」と言い、ほかの人は「わたしはアポロに」と言っているようでは、あなたがたは普通の人間ではないか。

5 τί οὖν ἐστιν Ἀπολλῶς? τί δέ ἐστιν Παῦλος? διάκονοι
何 それでは ～であるか アポロは 何 また ～であるか パウロは 仕える-者たちであり
G5101 G3767 G1510 G0625 G5101 G1161 G1510 G3972 G1249

δι’ ὧν ἐπιστεύσατε, καὶ ἑκάστῳ ὡς ὁ Κύριος
～を-通して その-者たちを 信じた そして それぞれに ～のように その 主が
G1223 G3739 G4100 G2532 G1538 G5613 G3588 G2962

ἔδωκεν?
与えた
G1325

アポロは、いったい、何者か。また、パウロは何者か。あなたがたを信仰に導いた人にすぎない。しかもそれぞれ、主から与えられた分に応じて仕えているのである。

6 ἐγὼ ἐφύτευσα, Ἀπολλῶς ἐπότισεν; ἀλλὰ ὁ Θεὸς ηὔξανεν.
私は 植えた アポロは 水を-注いだ しかし その 神が 成長させた
G1473 G5452 G0625 G4222 G0235 G3588 G2316 G0837

わたしは植え、アポロは水をそそいだ。しかし成長させて下さるのは、神である。

7 ὥστε οὔτε ὁ φυτεύων ἐστίν τι, οὔτε ὁ ποτίζων;
だから ～でもなく その 植える-者は ～である 何かでは ～でもなく その 水を-注ぐ-者も
G5620 G3777 G3588 G5452 G1510 G5100 G3777 G3588 G4222

ἀλλ’ ὁ αὐξάνων Θεός.
しかし その 成長させる 神だけである
G0235 G3588 G0837 G2316

だから、植える者も水をそそぐ者も、ともに取るに足りない。大事なのは、成長させて下さる神のみである。

8 ὁ φυτεύων δὲ, καὶ ὁ ποτίζων, ἕν εἰσιν; ἕκαστος δὲ
その 植える-者と そして また その 水を-注ぐ-者は 一つ である しかし-各々は そして
G3588 G5452 G1161 G2532 G3588 G4222 G1520 G1510 G1538 G1161

τὸν ἴδιον μισθὸν λήμψεται, κατὰ τὸν ἴδιον κόπον.
自分の それぞれの 報酬を 受ける ～に-応じて 自分の それぞれの 労苦に
G3588 G2398 G3408 G2983 G2596 G3588 G2398 G2873

植える者と水をそそぐ者とは一つであって、それぞれその働きに応じて報酬を得るであろう。

9 Θεοῦ γάρ ἐσμεν συνεργοί; Θεοῦ γεώργιον, Θεοῦ οἰκοδομή ἐστε.
神の なぜなら 私たちは～である 同労者であり 神の 畑であり 神の 建物 である
G2316 G1063 G1510 G4904 G2316 G1091 G2316 G3619 G1510

わたしたちは神の同労者である。あなたがたは神の畑であり、神の建物である。

10 Κατὰ τὴν χάριν τοῦ Θεοῦ τὴν δοθεῖσάν μοι, ὡς σοφὸς
～に-よって その 恵みに その 神の その 与えられた 私に ～のように 知恵-ある
G2596 G3588 G5485 G3588 G2316 G3588 G1325 G1473 G5613 G4680

ἀρχιτέκτων θεμέλιον ἔθηκα, ἄλλος δὲ ἐποικοδομεῖ. ἕκαστος δὲ
建築家として 土台を 据えた 他の-者が そして その-上に-建てる 各々は しかし
G0753 G2310 G5087 G0243 G1161 G2026 G1538 G1161

βλεπέτω, πῶς ἐποικοδομεῖ.
注意-せよ どのように その-上に-建てるかを
G0991 G4459 G2026

神から賜わった恵みによって、わたしは熟練した建築師のように、土台をすえた。そして他の人がその上に家を建てるのである。しかし、どういうふうに建てるか、それぞれ気をつけるがよい。

11	θεμέλιον	γὰρ	ἄλλον,	οὐδεὶς	δύναται	θεῖναι,	παρὰ	τὸν	κείμενον,
	土台は	なぜなら	他の	誰も	できない	据えることが	～の-ほかに	その	据えられている
	G2310	G1063	G0243	G3762	G1410	G5087	G3844	G3588	G2749

ὅς	ἐστιν	Ἰησοῦς	Χριστός.
それは	～である	イエス	キリストである
G3739	G1510	G2424	G5547

なぜなら、すでにすえられている土台以外のものをすえることは、だれにもできない。そして、この土台はイエス・キリストである。

12	εἰ	δέ	τις	ἐποικοδομεῖ	ἐπὶ	τὸν	θεμέλιον	χρυσόν,	ἄργυρον,
	もし	そして	ある-者が	その-上に-建てるなら	～の-上に	この	土台の	金で	銀で
	G1487	G1161	G5100	G2026	G1909	G3588	G2310	G5557	G0696

λίθους	τιμίους,	ξύλα,	χόρτον,	καλάμην,
宝石で	高価な	木で	草で	藁で
G3037	G5093	G3586	G5528	G2562

この土台の上に、だれかが金、銀、宝石、木、草、または、わらを用いて建てるならば、

13	ἑκάστου	τὸ	ἔργον	φανερὸν	γενήσεται;	ἡ	γὰρ	ἡμέρα	δηλώσει,
	各々の	その	業は	明らかに	なる	その	なぜなら	日が	明らかにする
	G1538	G3588	G2041	G5318	G1096	G3588	G1063	G2250	G1213

ὅτι	ἐν	πυρὶ	ἀποκαλύπτεται;	καὶ	ἑκάστου	τὸ	ἔργον,	
なぜなら	～の-うちに	火で	現される	そして	各々の	その	業を	
G3754	G1722	G4442	G0601	G2532	G1538	G3588	G2041	

ὁποῖόν	ἐστιν,	τὸ	πῦρ	αὐτὸ	δοκιμάσει.	
どのような-ものか	であるかを	その	火が	それ自身が	試す	
G3697	G1510	G3588	G4442	G0846	G1381	

それぞれの仕事は、はっきりとわかってくる。すなわち、かの日は火の中に現れて、それを明らかにし、またその火は、それぞれの仕事がどんなものであるかを、ためすであろう。

14	εἴ	τινος	τὸ	ἔργον	μενεῖ,	ὃ	ἐποικοδόμησεν,	μισθὸν	λήμψεται.
	もし	ある-者の	その	業が	残るなら	それを	建てた-者は	報酬を	受ける
	G1487	G5100	G3588	G2041	G3306	G3739	G2026	G3408	G2983

もしある人の建てた仕事がそのまま残れば、その人は報酬を受けるが、

15	εἴ	τινος	τὸ	ἔργον	κατακαήσεται,	ζημιωθήσεται;	αὐτὸς	δὲ	
	もし	ある-者の	その	業が	焼けるなら	損失を-受ける	その-者-自身は	しかし	
	G1487	G5100	G3588	G2041	G2618	G2210	G0846	G1161	

σωθήσεται,	οὕτως	δὲ	ὡς	διὰ	πυρός.
救われる	このように	しかし	～のように	火を-通って	くぐるように
G4982	G3779	G1161	G5613	G1223	G4442

その仕事が焼けてしまえば、損失を被るであろう。しかし彼自身は、火の中をくぐってきた者のようにではあるが、救われるであろう。

16	Οὐκ	οἴδατε	ὅτι	ναὸς	Θεοῦ	ἐστε,	καὶ	τὸ	Πνεῦμα	τοῦ
	～ないか	知っている	～ということを	神殿	神の	である	そして	その	御霊が	その
	G3756	G1492	G3754	G3485	G2316	G1510	G2532	G3588	G4151	G3588

Θεοῦ	«ἐν	ὑμῖν»□	οἰκεῖ?
神の	～の-うちに	あなたがたの	住んでいる
G2316	G1722	G4771	G3611

あなたがたは神の宮であって、神の御霊が自分のうちに宿っていることを知らないのか。

17 εἴ τις τὸν ναὸν τοῦ Θεοῦ φθείρει, φθερεῖ τοῦτον ὁ Θεός;
もし ある–者が その 神殿を その 神の 汚すなら 滅ぼす この–者を その 神は
G1487 G5100 G3588 G3485 G3588 G2316 G5351 G5351 G3778 G3588 G2316

ὁ γὰρ ναὸς τοῦ Θεοῦ ἅγιός ἐστιν, οἵτινές ἐστε
その なぜなら 神殿は その 神の 聖なる–ものであり ～であり それが ～である
G3588 G1063 G3485 G3588 G2316 G0040 G1510 G3748 G1510

ὑμεῖς.
あなたがたである
G4771

もし人が、神の宮を破壊するなら、神はその人を滅ぼすであろう。なぜなら、神の宮は聖なるものであり、そして、あなたがたはその宮なのだからである。

18 Μηδεὶς ἑαυτὸν ἐξαπατάτω: εἴ τις δοκεῖ σοφὸς εἶναι
誰も 自分–自身を 欺いてはならない もし ある–者が 思うなら 知恵–ある 者であると
G3367 G1438 G1818 G1487 G5100 G1380 G4680 G1510

ἐν ὑμῖν, ἐν τῷ αἰῶνι τούτῳ, μωρὸς γενέσθω,
～において あなたがたの–中で ～における この 時代に この 愚かな–者と なれ
G1722 G4771 G1722 G3588 G0165 G3778 G3474 G1096

ἵνα γένηται σοφός.
そうすれば なるだろう 知恵–ある–者に
G2443 G1096 G4680

だれも自分を欺いてはならない。もしあなたがたのうちに、自分がこの世の知者だと思う人がいるなら、その人は知者になるために愚かになるがよい。

19 ἡ γὰρ σοφία τοῦ κόσμου τούτου, μωρία παρὰ τῷ Θεῷ ἐστιν.
その なぜなら 知恵は この 世の この 愚かさ ～の–前では その 神の である
G3588 G1063 G4678 G3588 G2889 G3778 G3472 G3844 G3588 G2316 G1510

γέγραπται γάρ, Ὁ δρασσόμενος τοὺς σοφοὺς ἐν τῇ
書かれている なぜなら その 捕らえる–方 その 知恵–ある–者たちを ～の–うちに 彼らの
G1125 G1063 G3588 G1405 G3588 G4680 G1722 G3588

πανουργίᾳ αὐτῶν.
策略の 中で
G3834 G0846

なぜなら、この世の知恵は、神の前では愚かなものだからである。「神は、知者たちをその悪知恵によって捕える」と書いてあり、

20 καὶ πάλιν, Κύριος γινώσκει τοὺς διαλογισμοὺς τῶν σοφῶν, ὅτι
また さらに 主は 知っている その 思い–計らいを その 知恵–ある–者たちの ～が
G2532 G3825 G2962 G1097 G3588 G1261 G3588 G4680 G3754

εἰσὶν μάταιοι.
～であると 空しいと
G1510 G3152

更にまた、「主は、知者たちの論議のむなしいことをご存じである」と書いてある。

21 ὥστε μηδεὶς καυχάσθω ἐν ἀνθρώποις; πάντα γὰρ
だから 誰も 誇ってはならない ～において 人間を すべてのものは なぜなら
G5620 G3367 G2744 G1722 G0444 G3956 G1063

ὑμῶν ἐστιν,
あなたがたの ものである
G4771 G1510

だから、だれも人間を誇ってはいけない。すべては、あなたがたのものなのである。

22 εἴτε Παῦλος, εἴτε Ἀπολλῶς, εἴτε Κηφᾶς, εἴτε κόσμος, εἴτε
～であれ パウロ ～であれ アポロ ～であれ ケファ ～であれ 世界 ～であれ
G1535 G3972 G1535 G0625 G1535 G2786 G1535 G2889 G1535

ζωὴ, εἴτε θάνατος, εἴτε ἐνεστῶτα, εἴτε μέλλοντα, πάντα
命 ～であれ 死 ～であれ 現在の–こと ～であれ 将来の–こと すべては
G2222 G1535 G2288 G1535 G1764 G1535 G3195 G3956

ὑμῶν;
あなたがたの–ものである
G4771

パウロも、アポロも、ケパも、世界も、生も、死も、現在のものも、将来のものも、ことごとく、あなたがたのものである。

23 ὑμεῖς δὲ Χριστοῦ; Χριστὸς δὲ Θεοῦ.
あなたがたは そして キリストの–もの キリストは そして 神の–ものである
G4771 G1161 G5547 G5547 G1161 G2316

そして、あなたがたはキリストのもの、キリストは神のものである。

Chapter 4

1 Οὕτως ἡμᾶς, λογιζέσθω ἄνθρωπος ὡς ὑπηρέτας Χριστοῦ, καὶ
このように 私たちを 見なせ 人は ～として キリストの–僕たち キリストの また
G3779 G1473 G3049 G0444 G5613 G5257 G5547 G2532

οἰκονόμους μυστηρίων Θεοῦ.
管理者として 奥義の 神の
G3623 G3466 G2316

このようなわけだから、人はわたしたちを、キリストに仕える者、神の奥義を管理している者と見るがよい。

2 ὧδε λοιπὸν, ζητεῖται ἐν τοῖς οἰκονόμοις, ἵνα πιστός τις
ここでは それに–加えて 求められる ～において その 管理者には ～が 忠実な 者であると
G5602 G3063 G2212 G1722 G3588 G3623 G2443 G4103 G5100

εὑρεθῇ.
見いだされることが
G2147

この場合、管理者に要求されているのは、忠実であることである。

3 ἐμοὶ δὲ εἰς ἐλάχιστόν ἐστιν, ἵνα ὑφ’ ὑμῶν
私にとって しかし ～は 最も–小さな–ことである ～である ～ことは ～によって あなたがたに
G1473 G1161 G1519 G1646 G1510 G2443 G5259 G4771

ἀνακριθῶ, ἢ ὑπὸ ἀνθρωπίνης ἡμέρας. ἀλλ’ οὐδὲ ἐμαυτὸν
裁かれること または ～による 人間の 裁きによること しかし ～もない 自分–自身を
G0350 G2228 G5259 G0442 G2250 G0235 G3761 G1683

ἀνακρίνω.
裁くことは
G0350

わたしはあなたがたにさばかれたり、人間の裁判にかけられたりしても、なんら意に介しない。いや、わたしは自分をさばくこともしない。

4 οὐδὲν γὰρ ἐμαυτῷ σύνοιδα, ἀλλ’ οὐκ ἐν τούτῳ
何も なぜなら 自分に やましい–思いはない しかし ～ない ～において このことで
G3762 G1063 G1683 G4894 G0235 G3756 G1722 G3778

δεδικαίωμαι; ὁ δὲ ἀνακρίνων με Κύριός ἐστιν.
義とされたのではない その しかし 裁く–方は 私を 主 である
G1344 G3588 G1161 G0350 G1473 G2962 G1510

わたしは自ら省みて、なんらやましいことはないが、それで義とされているわけではない。わたしをさばくかたは、主である。

5 ὥστε μὴ πρὸ καιροῦ, τι κρίνετε, ἕως ἂν ἔλθῃ ὁ
だから ～ないで 時の–前に 時の 何も 裁いてはならない ～まで ～が 来る その
G5620 G3361 G4253 G2540 G5100 G2919 G2193 G0302 G2064 G3588

Κύριος, ὃς καὶ φωτίσει τὰ κρυπτὰ τοῦ σκότους, καὶ
主が その–方が また 照らす その 隠された–ことを その 闇の そして
G2962 G3739 G2532 G5461 G3588 G2927 G3588 G4655 G2532

φανερώσει τὰς βουλὰς τῶν καρδιῶν; καὶ τότε ὁ ἔπαινος
明らかにする その 思いを その 心の そうすれば その–時に その 称賛が
G5319 G3588 G1012 G3588 G2588 G2532 G5119 G3588 G1868

γενήσεται ἑκάστῳ ἀπὸ τοῦ Θεοῦ.
与えられる 各々に ～から その 神から
G1096 G1538 G0575 G3588 G2316

だから、主がこられるまでは、何事についても、先走りをしてさばいてはいけない。主は暗い中に隠れていることを明るみに出し、心の中で企てられていることを、あらわにされるであろう。その時には、神からそれぞれほまれを受けるであろう。

6 Ταῦτα δέ, ἀδελφοί, μετεσχημάτισα εἰς ἐμαυτὸν καὶ Ἀπολλῶν,
これらの–ことを さて 兄弟たちよ 当てはめた ～に 私自身と そして アポロに
G3778 G1161 G0080 G3345 G1519 G1683 G2532 G0625

δι’ ὑμᾶς, ἵνα ἐν ἡμῖν μάθητε τό, Μὴ
～の–ために あなたがたの ～ように ～において 私たちによって 学ぶように ～ということを ～ない
G1223 G4771 G2443 G1722 G1473 G3129 G3588 G3361

ὑπὲρ ἃ γέγραπται, ἵνα μὴ εἷς, ὑπὲρ τοῦ ἑνὸς,
～を–超えて ～を 書かれている–ことを ～ように ～ない 一人が ～の–ために その 一人の
G5228 G3739 G1125 G2443 G3361 G1520 G5228 G3588 G1520

φυσιοῦσθε κατὰ τοῦ ἑτέρου.
高ぶらないように ～に–対して その 他の–者に
G5448 G2596 G3588 G2087

兄弟たちよ。これらのことをわたし自身とアポロとに当てはめて言って聞かせたが、それはあなたがたが、わたしたちを例にとって、「しるされている定めを越えない」ことを学び、ひとりの人をあがめ、ほかの人を見さげて高ぶることのないためである。

7

τίς	γάρ	σε	διακρίνει?	τί	δὲ	ἔχεις	ὃ	οὐκ
誰が	なぜなら	あなたを	区別するのか	何を	そして	持っているのか	～を	～ない
G5101	G1063	G4771	G1252	G5101	G1161	G2192	G3739	G3756

ἔλαβες?	εἰ	δὲ	καὶ	ἔλαβες,	τί	καυχᾶσαι	ὡς	μὴ
受けたのではない	もし	そして	また	受けたなら	なぜ	誇るのか	～のように	～ない
G2983	G1487	G1161	G2532	G2983	G5101	G2744	G5613	G3361

λαβών?
受けていないかのように
G2983

いったい、あなたを偉くしているのは、だれなのか。あなたの持っているもので、もらっていないものがあるか。もしもらっているなら、なぜもらっていないもののように誇るのか。

8

ἤδη	κεκορεσμένοι	ἐστέ;	ἤδη	ἐπλουτήσατε;	χωρὶς	ἡμῶν
もう	満足している	あなたがたは	もう	富んだ	私たち-なしに	私たちの
G2235	G2880	G1510	G2235	G4147	G5565	G1473

ἐβασιλεύσατε;	καὶ	ὄφελόν	γε	ἐβασιλεύσατε,	ἵνα	καὶ	ἡμεῖς
王となった	そして	どうか	実際に	王となったなら	そうすれば	また	私たちも
G0936	G2532	G3785	G1065	G0936	G2443	G2532	G1473

ὑμῖν	συμβασιλεύσωμεν.
あなたがたと-共に	共に-王となるのに
G4771	G4821

あなたがたは、すでに満腹しているのだ。すでに富み栄えているのだ。わたしたちを差しおいて、王になっているのだ。ああ、王になっていてくれたらと思う。そうであったなら、わたしたちも、あなたがたと共に王になれたであろう。

9

δοκῶ	γάρ,	ὁ	Θεὸς	ἡμᾶς	τοὺς	ἀποστόλους	ἐσχάτους	ἀπέδειξεν,
思う	なぜなら	その	神は	私たちを	その	使徒たちを	最後の-者として	示した
G1380	G1063	G3588	G2316	G1473	G3588	G0652	G2078	G0584

ὡς	ἐπιθανατίους,	ὅτι	θέατρον	ἐγενήθημεν	τῷ	κόσμῳ,	καὶ
～のように	死に-定められた-者のように	なぜなら	見世物と	なった	その	世にとって	また
G5613	G1935	G3754	G2302	G1096	G3588	G2889	G2532

ἀγγέλοις	καὶ	ἀνθρώποις.
御使いたちにとっても	また	人々にとっても
G0032	G2532	G0444

わたしはこう考える。神はわたしたち使徒を死刑囚のように、最後に出場する者として引き出し、こうしてわたしたちは、全世界に、天使にも人々にも見せ物にされたのだ。

10

ἡμεῖς	μωροὶ	διὰ	Χριστόν,	ὑμεῖς	δὲ	φρόνιμοι	ἐν
私たちは	愚かな-者	～の-ために	キリストの	あなたがたは	しかし	賢い-者	～において
G1473	G3474	G1223	G5547	G4771	G1161	G5429	G1722

Χριστῷ;	ἡμεῖς	ἀσθενεῖς,	ὑμεῖς	δὲ	ἰσχυροί;	ὑμεῖς	ἔνδοξοι,
キリストにあって	私たちは	弱い	あなたがたは	しかし	強い	あなたがたは	栄光-ある
G5547	G1473	G0772	G4771	G1161	G2478	G4771	G1741

ἡμεῖς	δὲ	ἄτιμοι.
私たちは	しかし	卓しい
G1473	G1161	G0820

わたしたちはキリストのゆえに愚かな者となり、あなたがたはキリストにあって賢い者となっている。わたしたちは弱いが、あなたがたは強い。あなたがたは尊ばれ、わたしたちは卑しめられている。

11 ἄχρι 今の G0891 | τῆς この G3588 | ἄρτι まさに G0737 | ὥρας, 時まで G5610 | καὶ また G2532 | πεινῶμεν 飢え G3983 | καὶ また G2532 | διψῶμεν, 渇き G1372 | καὶ また G2532 | γυμνιτεύομεν, 裸であり G1130 | καὶ また G2532

κολαφιζόμεθα, 打たれ G2852 | καὶ また G2532 | ἀστατοῦμεν, さまよっている G0790

今の今まで、わたしたちは飢え、かわき、裸にされ、打たれ、宿なしであり、

12 καὶ また G2532 | κοπιῶμεν, 労苦し G2872 | ἐργαζόμενοι 働きながら G2038 | ταῖς 自分の G3588 | ἰδίαις 自らの G2398 | χερσίν. 手で G5495 | λοιδορούμενοι, 罵られても G3058 | εὐλογοῦμεν; 祝福し G2127

διωκόμενοι, 迫害されても G1377 | ἀνεχόμεθα; 忍耐し G0430

苦労して自分の手で働いている。はずかしめられては祝福し、迫害されては耐え忍び、

13 δυσφημούμενοι, 中傷されても G1426 | παρακαλοῦμεν. 勧める G3870 | ὡς ～のように G5613 | περικαθάρματα 世の-ちりのように G4027 | τοῦ その G3588 | κόσμου 世の G2889 | ἐγενήθημεν, なった G1096

πάντων すべての G3956 | περίψημα かすのように G4067 | ἕως 今まで G2193 | ἄρτι. 今に-至るまで G0737

ののしられては優しい言葉をかけている。わたしたちは今に至るまで、この世のちりのように、人間のくずのようにされている。

14 Οὐκ ～ない G3756 | ἐντρέπων 恥ずかしめようとして G1788 | ὑμᾶς あなたがたを G4771 | γράφω 書いているのではない G1125 | ταῦτα, これらの-ことを G3778 | ἀλλ’ しかし G0235

ὡς ～のように G5613 | τέκνα 子供たちとして G5043 | μου 私の G1473 | ἀγαπητὰ, 愛する G0027 | νουθετῶν. 諫めている G3560

わたしがこのようなことを書くのは、あなたがたをはずかしめるためではなく、むしろ、わたしの愛児としてさとすためである。

15 ἐὰν たとえ G1437 | γὰρ なぜなら G1063 | μυρίους 無数の G3463 | παιδαγωγοὺς 養育係が G3807 | ἔχητε いても G2192 | ἐν ～において G1722 | Χριστῷ, キリストにあって G5547 | ἀλλ’ しかし G0235 | οὐ ～ない G3756

πολλοὺς 多くの G4183 | πατέρας; 父はいない G3962 | ἐν ～において G1722 | γὰρ なぜなら G1063 | Χριστῷ キリスト・イエスにあって G5547 | Ἰησοῦ, イエス G2424 | διὰ ～を-通して G1223 | τοῦ その G3588

εὐαγγελίου, 福音を G2098 | ἐγὼ 私が G1473 | ὑμᾶς あなたがたを G4771 | ἐγέννησα. 生んだ G1080

たといあなたがたに、キリストにある養育掛が一万人あったとしても、父が多くあるのではない。キリスト・イエスにあって、福音によりあなたがたを生んだのは、わたしなのである。

16 παρακαλῶ 勧める G3870 | οὖν それゆえ G3767 | ὑμᾶς, あなたがたに G4771 | μιμηταί 私の-模倣者に G3402 | μου 私の G1473 | γίνεσθε. なりなさい G1096

そこで、あなたがたに勧める。わたしにならう者となりなさい。

17

Διὰ	τοῦτο	□αὐτὸ□	ἔπεμψα	ὑμῖν	Τιμόθεον,	ὅς	ἐστίν
～の–ために	この–ことの	まさに	遣わした	あなたがたに	テモテを	その–者は	～である
G1223	G3778	G0846	G3992	G4771	G5095	G3739	G1510

μου	τέκνον,	ἀγαπητὸν	καὶ	πιστὸν	ἐν	Κυρίῳ,	ὃς	ὑμᾶς
私の	子であり	愛する	そして	忠実な	～において	主にあって	その–者が	あなたがたに
G1473	G5043	G0027	G2532	G4103	G1722	G2962	G3739	G4771

ἀναμνήσει	τὰς	ὁδούς	μου	τὰς	ἐν	Χριστῷ	Ἰησοῦ,
思い–起こさせる	その	道を	私の	その	～における	キリスト・イエス	イエスにある
G0363	G3588	G3598	G1473	G3588	G1722	G5547	G2424

καθὼς	πανταχοῦ	ἐν	πάσῃ	ἐκκλησίᾳ	διδάσκω.
～のように	あらゆる–所で	～における	すべての	教会で	教えている
G2531	G3837	G1722	G3956	G1577	G1321

このことのために、わたしは主にあって愛する忠実なわたしの子テモテを、あなたがたの所につかわした。彼は、キリスト・イエスにおけるわたしの生活のしかたを、わたしが至る所の教会で教えているとおりに、あなたがたに思い起させてくれるであろう。

18

ὡς	μὴ	ἐρχομένου	δέ	μου	πρὸς	ὑμᾶς,	ἐφυσιώθησάν
～のように	～ない	来ない	が	私が	～の–もとへ	あなたがたの	高ぶった
G5613	G3361	G2064	G1161	G1473	G4314	G4771	G5448

τινες.
ある–者たちが
G5100

しかしある人々は、わたしがあなたがたの所に来ることはあるまいとみて、高ぶっているということである。

19

ἐλεύσομαι	δὲ	ταχέως	πρὸς	ὑμᾶς,	ἐὰν	ὁ	Κύριος	θελήσῃ,
来る	しかし	すぐに	～の–もとへ	あなたがたの	もし	その	主が	望まれるなら
G2064	G1161	G5030	G4314	G4771	G1437	G3588	G2962	G2309

καὶ	γνώσομαι,	οὐ	τὸν	λόγον	τῶν	πεφυσιωμένων,	ἀλλὰ	τὴν
そして	知るだろう	～ではなく	その	言葉を	その	高ぶる–者たちの	そうではなく	その
G2532	G1097	G3756	G3588	G3056	G3588	G5448	G0235	G3588

δύναμιν.
力を
G1411

しかし主のみこころであれば、わたしはすぐにでもあなたがたの所に行って、高ぶっている者たちの言葉ではなく、その力を見せてもらおう。

20

οὐ	γὰρ	ἐν	λόγῳ	ἡ	βασιλεία	τοῦ	Θεοῦ,	ἀλλ’
～ない	なぜなら	～に–あるのではない	言葉に	その	御国は	その	神の	そうではなく
G3756	G1063	G1722	G3056	G3588	G0932	G3588	G2316	G0235

ἐν	δυνάμει.
～に–ある	力に
G1722	G1411

神の国は言葉ではなく、力である。

21 τί 何を G5101 θέλετε? 望むのか G2309 ἐν ～を–もって G1722 ῥάβδῳ 棒を G4464 ἔλθω 来るべきか G2064 πρὸς ～の–もとへ G4314 ὑμᾶς, あなたがたの G4771 ἢ それとも G2228

ἐν ～を–もって G1722 ἀγάπῃ, 愛と G0026 πνεύματί 御霊の G4151 τε また G5037 πραΰτητος? 柔和を–もって G4240

あなたがたは、どちらを望むのか。わたしがむちをもって、あなたがたの所に行くことか、それとも、愛と柔和な心とをもって行くことであるか。

Chapter 5

1 Ὅλως 実際に G3654 ἀκούεται 聞かれている G0191 ἐν ～の–中に G1722 ὑμῖν あなたがたの G4771 πορνεία, 淫行が G4202 καὶ それも G2532 τοιαύτη そのような G5108 πορνεία 淫行が G4202 ἥτις それは G3748

οὐδὲ ～さえない G3761 ἐν ～の–中にも G1722 τοῖς その G3588 ἔθνεσιν, 異邦人の–間にも G1484 ὥστε すなわち G5620 γυναῖκά 妻を G1135 τινα ある–者が G5100 τοῦ その G3588 πατρὸς 父の G3962

ἔχειν. めとっている G2192

現に聞くところによると、あなたがたの間に不品行な者があり、しかもその不品行は、異邦人の間にもないほどのもので、ある人がその父の妻と一緒に住んでいるということである。

2 καὶ それなのに G2532 ὑμεῖς あなたがたは G4771 πεφυσιωμένοι 高ぶっている G5448 ἐστέ, のか G1510 καὶ そうではなく G2532 οὐχὶ ～ではないのか G3780 μᾶλλον むしろ G3123

ἐπενθήσατε, 嘆き悲しむべきでは G3996 ἵνα ～ように G2443 ἀρθῇ 取り–除かれる G0142 ἐκ ～から G1537 μέσου 中から G3319 ὑμῶν あなたがたの G4771 ὁ, その–者が G3588 τὸ この G3588

ἔργον 行いを G2041 τοῦτο, この G3778 πράξας! した–者が G4238

それだのに、なお、あなたがたは高ぶっている。むしろ、そんな行いをしている者が、あなたがたの中から除かれねばならないことを思って、悲しむべきではないか。

3 ἐγὼ 私は G1473 μὲν, 一方では G3303 γάρ なぜなら G1063 ἀπὼν 体は–離れているが G0548 τῷ その G3588 σώματι, 体は G4983 παρὼν 共に–いる G3918 δὲ しかし G1161 τῷ その G3588

πνεύματι; 霊においては G4151 ἤδη すでに G2235 κέκρικα 裁いた G2919 ὡς ～のように G5613 παρὼν, 共に–いる–者として G3918 τὸν その–者を G3588 οὕτως このように G3779 τοῦτο このことを G3778

κατεργασάμενον. 行った–者を G2716

しかし、わたし自身としては、からだは離れていても、霊では一緒にいて、その場にいる者のように、そんな行いをした者を、すでにさばいてしまっている。

4 ἐν τῷ ὀνόματι τοῦ Κυρίου ‹ἡμῶν› Ἰησοῦ συναχθέντων
～において その 御名において その 主の 私たちの イエスの 集まった–とき
G1722 G3588 G3686 G3588 G2962 G1473 G2424 G4863

ὑμῶν, καὶ τοῦ ἐμοῦ πνεύματος, σὺν τῇ δυνάμει τοῦ Κυρίου
あなたがたが そして その 私の 霊と共に ～と–共に その 力を–もって その 主の
G4771 G2532 G3588 G1699 G4151 G4862 G3588 G1411 G3588 G2962

ἡμῶν Ἰησοῦ,
私たちの イエスの
G1473 G2424

すなわち、主イエスの名によって、あなたがたもわたしの霊も共に、わたしたちの主イエスの権威のもとに集まって、

5 παραδοῦναι τὸν τοιοῦτον τῷ Σατανᾷ εἰς ὄλεθρον τῆς σαρκός,
引き–渡せ そのような 者を その サタンに ～の–ために 滅びの その 肉の
G3860 G3588 G5108 G3588 G4567 G1519 G3639 G3588 G4561

ἵνα τὸ πνεῦμα σωθῇ ἐν τῇ ἡμέρᾳ τοῦ Κυρίου.
～ように その 霊が 救われる ～において その 日に その 主の
G2443 G3588 G4151 G4982 G1722 G3588 G2250 G3588 G2962

彼の肉が滅ぼされても、その霊が主のさばきの日に救われるように、彼をサタンに引き渡してしまったのである。

6 Οὐ καλὸν τὸ καύχημα ὑμῶν. οὐκ οἴδατε ὅτι
～ない 良いものではない その 誇りは あなたがたの ～ないのか 知っている ～ということを
G3756 G2570 G3588 G2745 G4771 G3756 G1492 G3754

μικρὰ ζύμη ὅλον τὸ φύραμα ζυμοῖ?
少しの パン種が 全体の その 塊を 膨らませるのを
G3398 G2219 G3650 G3588 G5445 G2220

あなたがたが誇っているのは、よろしくない。あなたがたは、少しのパン種が粉のかたまり全体をふくらませることを、知らないのか。

7 ἐκκαθάρατε τὴν παλαιὰν ζύμην, ἵνα ἦτε νέον φύραμα, καθώς
取り–除け その 古い パン種を ～ように あるように 新しい 塊として ～のように
G1571 G3588 G3820 G2219 G2443 G1510 G3501 G5445 G2531

ἐστε, ἄζυμοι. καὶ γὰρ τὸ πάσχα ἡμῶν ἐτύθη,
あるのだから 種なしの–パンで また なぜなら その 過越の–羊は 私たちの 屠られた
G1510 G0106 G2532 G1063 G3588 G3957 G1473 G2380

Χριστός.
キリストである
G5547

新しい粉のかたまりになるために、古いパン種を取り除きなさい。あなたがたは、事実パン種のない者なのだから。わたしたちの過越の小羊であるキリストは、すでにほふられたのだ。

8 ὥστε ἑορτάζωμεν, μὴ ἐν ζύμῃ παλαιᾷ, μηδὲ ἐν
だから 祈りを–祈ろう ～ない ～の–うちに パン種の 古い ～でもなく ～の–うちに
G5620 G1858 G3361 G1722 G2219 G3820 G3366 G1722

ζύμῃ κακίας καὶ πονηρίας, ἀλλ’ ἐν ἀζύμοις εἰλικρινείας
パン種の 悪意の そして 邪悪の ではなく ～の–うちに 種なしの–パンで 純真の
G2219 G2549 G2532 G4189 G0235 G1722 G0106 G1505

καὶ ἀληθείας.
そして 真実の
G2532 G0225

ゆえに、わたしたちは、古いパン種や、また悪意と邪悪とのパン種を用いずに、パン種のはいっていない純粋で真実なパンをもって、祭をしようではないか。

9 Ἔγραψα ὑμῖν ἐν τῇ ἐπιστολῇ, μὴ συναναμίγνυσθαι
書いた あなたがたに ～において その 手紙の–中で ～ないように 交わるなと
G1125 G4771 G1722 G3588 G1992 G3361 G4874

πόρνοις;
淫行をする–者たちと
G4205

わたしは前の手紙で、不品行な者たちと交際してはいけないと書いたが、

10 οὐ πάντως τοῖς πόρνοις τοῦ κόσμου τούτου, ἢ τοῖς
～ではない すべて その 淫行をする–者たちと この 世の この または その
G3756 G3843 G3588 G4205 G3588 G2889 G3778 G2228 G3588

πλεονέκταις καὶ ἅρπαξιν, ἢ εἰδωλολάτραις -- ἐπεὶ
貪欲な–者たちと そして 強奪する–者たちと または 偶像礁拝者たちと その場合
G4123 G2532 G0727 G2228 G1496 G1893

ὠφείλετε ἄρα ἐκ τοῦ κόσμου ἐξελθεῖν.
しなければならなかった 確かに ～から この 世から 出て–行くことになる
G3784 G0686 G1537 G3588 G2889 G1831

それは、この世の不品行な者、貪欲な者、略奪をする者、偶像礼拝をする者などと全然交際してはいけないと、言ったのではない。もしそうだとしたら、あなたがたはこの世から出て行かねばならないことになる。

11 νῦν δὲ, ἔγραψα ὑμῖν μὴ συναναμίγνυσθαι, ἐάν τις
今 しかし 書いたのは あなたがたに ～ないように 交わるなと もし ある–者が
G3568 G1161 G1125 G4771 G3361 G4874 G1437 G5100

ἀδελφὸς ὀνομαζόμενος, ᾖ πόρνος ἢ πλεονέκτης, ἢ
兄弟と 称されながら ～であるなら 淫行をする–者 または 貪欲な–者 または
G0080 G3687 G1510 G4205 G2228 G4123 G2228

εἰδωλολάτρης ἢ λοίδορος, ἢ μέθυσος, ἢ ἅρπαξ; τῷ
偶像礁拝者 または 悪口を–言う–者 または 酔っぱらい または 強奪する–者 そのような
G1496 G2228 G3060 G2228 G3183 G2228 G0727 G3588

τοιούτῳ μηδὲ συνεσθίειν.
者とは ～もない 共に–食事をするな
G5108 G3366 G4906

しかし、わたしが実際に書いたのは、兄弟と呼ばれる人で、不品行な者、貪欲な者、偶像礼拝をする者、人をそしる者、酒に酔う者、略奪をする者があれば、そんな人と交際をしてはいけない、食事を共にしてもいけない、ということであった。

12 τί γάρ μοι τοὺς ἔξω κρίνειν? οὐχὶ τοὺς ἔσω
何の なぜなら 私にとって その 外の–者を 裁くことが ～ではないのか その 内の–者を
G5101 G1063 G1473 G3588 G1854 G2919 G3780 G3588 G2080

ὑμεῖς κρίνετε?
あなたがたが 裁くのか
G4771 G2919

外の人たちをさばくのは、わたしのすることであろうか。あなたがたのさばくべき者は、内の人たちではないか。外の人たちは、神がさばくのである。

13 τοὺς δὲ ἔξω ὁ Θεὸς κρίνει. ἐξάρατε τὸν πονηρὸν ἐξ
その しかし 外の-者は その 神が 裁く 取り-除け その 悪い-者を ～から
G3588 G1161 G1854 G3588 G2316 G2919 G1808 G3588 G4190 G1537

ὑμῶν αὐτῶν.
あなたがたの 中から
G4771 G0846

その悪人を、あなたがたの中から除いてしまいなさい。

Chapter 6

1 Τολμᾷ τις ὑμῶν, πρᾶγμα ἔχων πρὸς τὸν ἕτερον,
あえてするのか ある-者が あなたがたの-中で 事件を 持って ～に-対して その 他の-者に
G5111 G5100 G4771 G4229 G2192 G4314 G3588 G2087

κρίνεσθαι ἐπὶ τῶν ἀδίκων, καὶ οὐχὶ ἐπὶ τῶν
訴えることを ～の-前で その 不正な-者たちの そして ～ではないのか ～の-前で その
G2919 G1909 G3588 G0094 G2532 G3780 G1909 G3588

ἁγίων?
聖徒たちの
G0040

あなたがたの中のひとりが、仲間の者と何か争いを起した場合、それを聖徒に訴えないで、正しくない者に訴え出るようなことをするのか。

2 ἢ οὐκ οἴδατε ὅτι οἱ ἅγιοι τὸν κόσμον κρινοῦσιν?
または ～ないのか 知っている ～ということを その 聖徒たちが その 世を 裁くと
G2228 G3756 G1492 G3754 G3588 G0040 G3588 G2889 G2919

καὶ εἰ ἐν ὑμῖν κρίνεται ὁ κόσμος, ἀνάξιοί
そして もし ～によって あなたがたによって 裁かれるなら その 世が ふさわしくないのか
G2532 G1487 G1722 G4771 G2919 G3588 G2889 G0370

ἐστε κριτηρίων ἐλαχίστων?
～である 小さな-裁きには 最も-小さな
G1510 G2922 G1646

それとも、聖徒は世をさばくものであることを、あなたがたは知らないのか。そして、世があなたがたによってさばかれるべきであるのに、きわめて小さい事件でもさばく力がないのか。

3 οὐκ οἴδατε ὅτι ἀγγέλους κρινοῦμεν? μήτιγε
～ないのか 知っている ～ということを 御使いたちを 裁くと ましてや
G3756 G1492 G3754 G0032 G2919 G3386

βιωτικά?
日常の-ことは
G0982

あなたがたは知らないのか、わたしたちは御使をさえさばく者である。ましてこの世の事件などは、いうまでもないではないか。

4 βιωτικὰ μὲν οὖν, κριτήρια ἐὰν ἔχητε, τοὺς
日常の-事柄について 一方では それでは 裁判を たとえ 持つなら その
G0982 G3303 G3767 G2922 G1437 G2192 G3588

ἐξουθενημένους ἐν τῇ ἐκκλησίᾳ! τούτους καθίζετε?
軽んじられている-者たちを ～において その 教会で この-者たちを 座らせるのか
G1848 G1722 G3588 G1577 G3778 G2523

それだのに、この世の事件が起ると、教会で軽んじられている人たちを、裁判の席につかせるのか。

5

πρὸς	ἐντροπὴν	ὑμῖν	λέγω.	οὕτως	οὐκ	ἔνι
～の-ために	恥ずかしめとして	あなたがたに	言う	このように	～ないのか	いないのか
G4314	G1791	G4771	G3004	G3779	G3756	G1762

ἐν	ὑμῖν	οὐδεὶς,	σοφὸς,	ὃς	δυνήσεται	διακρῖναι	ἀνὰ
～の-中に	あなたがたの	一人も	知恵-ある-者が	その-者が	できる	裁くことが	～の-間で
G1722	G4771	G3762	G4680	G3739	G1410	G1252	G0303

μέσον	τοῦ	ἀδελφοῦ	αὐτοῦ?
中で	その	兄弟の	その
G3319	G3588	G0080	G0846

わたしがこう言うのは、あなたがたをはずかしめるためである。いったい、あなたがたの中には、兄弟の間の争いを仲裁することができるほどの知者は、ひとりもいないのか。

6

ἀλλὰ	ἀδελφὸς	μετὰ	ἀδελφοῦ	κρίνεται,	καὶ	τοῦτο	ἐπὶ
それなのに	兄弟が	～と-共に	兄弟と	訴えている	そして	これを	～の-前で
G0235	G0080	G3326	G0080	G2919	G2532	G3778	G1909

ἀπίστων!
信じない-者たちの
G0571

しかるに、兄弟が兄弟を訴え、しかもそれを不信者の前に持ち出すのか。

7

ἤδη	μὲν	οὖν	ὅλως	ἥττημα	ὑμῖν	ἐστιν,	ὅτι
もう	一方では	それでは	そもそも	敗北である	あなたがたにとって	～である	～ということは
G2235	G3303	G3767	G3654	G2275	G4771	G1510	G3754

κρίματα	ἔχετε	μεθ’	ἑαυτῶν.	διὰ	τί	οὐχὶ	μᾶλλον
訴訟を	持っていること	～と-共に	互いに	なぜ	～ないのか	～ではないのか	むしろ
G2917	G2192	G3326	G1438	G1223	G5101	G3780	G3123

ἀδικεῖσθε?	διὰ	τί	οὐχὶ	μᾶλλον	ἀποστερεῖσθε?
不正を-受けるのは	なぜ	～ないのか	～ではないのか	むしろ	奪われるのは
G0091	G1223	G5101	G3780	G3123	G0650

そもそも、互に訴え合うこと自体が、すでにあなたがたの敗北なのだ。なぜ、むしろ不義を受けないのか。なぜ、むしろだまされていないのか。

8

ἀλλὰ	ὑμεῖς	ἀδικεῖτε	καὶ	ἀποστερεῖτε,	καὶ	τοῦτο	ἀδελφούς!
それなのに	あなたがたが	不正を-行い	そして	奪っている	そして	これを	兄弟たちに
G0235	G4771	G0091	G2532	G0650	G2532	G3778	G0080

しかるに、あなたがたは不義を働き、だまし取り、しかも兄弟に対してそうしているのである。

9

ἢ	οὐκ	οἴδατε	ὅτι	ἄδικοι	Θεοῦ	βασιλείαν	οὐ
または	～ないのか	知っている	～ということを	不正な-者は	神の	御国を	～ない
G2228	G3756	G1492	G3754	G0094	G2316	G0932	G3756

κληρονομήσουσιν?	μὴ	πλανᾶσθε:	οὔτε	πόρνοι,	οὔτε
受け-継がない	～ないで	惑わされてはならない	～でもなく	淫行をする-者も	～でもなく
G2816	G3361	G4105	G3777	G4205	G3777

εἰδωλολάτραι,	οὔτε	μοιχοὶ,	οὔτε	μαλακοὶ,	οὔτε	ἀρσενοκοῖται,
偶像礁拝者も	～でもなく	姦淫する-者も	～でもなく	女々しい-者も	～でもなく	男色をする-者も
G1496	G3777	G3432	G3777	G3120	G3777	G0733

それとも、正しくない者が神の国をつぐことはないのを、知らないのか。まちがってはいけない。不品行な者、偶像を礼拝する者、姦淫をする者、男娼となる者、男色をする者、盗む者、

10 οὔτε κλέπται, οὔτε πλεονέκται, οὐ μέθυσοι, οὐ λοίδοροι,
～でもなく 盗人も ～でもなく 貪欲な–者も ～ない 酔っぱらいも ～ない 悪口を–言う–者も
G3777 G2812 G3777 G4123 G3756 G3183 G3756 G3060

οὐχ ἅρπαγες, βασιλείαν Θεοῦ κληρονομήσουσιν.
～ない 強奪する–者も 御国を 神の 受け–継がない
G3756 G0727 G0932 G2316 G2816

貪欲な者、酒に酔う者、そしる者、略奪する者は、いずれも神の国をつぐことはないのである。

11 καὶ ταῦτά τινες ἦτε; ἀλλὰ ἀπελούσασθε, ἀλλὰ ἡγιάσθητε,
そして これらのことが ある–者たちは あった しかし 洗われた しかし 聖められた
G2532 G3778 G5100 G1510 G0235 G0628 G0235 G0037

ἀλλὰ ἐδικαιώθητε, ἐν τῷ ὀνόματι τοῦ Κυρίου (ἡμῶν) Ἰησοῦ
しかし 義とされた ～において その 御名において その 主の 私たちの イエス
G0235 G1344 G1722 G3588 G3686 G3588 G2962 G1473 G2424

Χριστοῦ, καὶ ἐν τῷ Πνεύματι τοῦ Θεοῦ ἡμῶν.
キリストの そして ～において その 御霊において その 神の 私たちの
G5547 G2532 G1722 G3588 G4151 G3588 G2316 G1473

あなたがたの中には、以前はそんな人もいた。しかし、あなたがたは、主イエス・キリストの名によって、またわたしたちの神の霊によって、洗われ、きよめられ、義とされたのである。

12 Πάντα μοι ἔξεστιν, ἀλλ’ οὐ πάντα συμφέρει; πάντα
すべてのことが 私には 許されている しかし ～ない すべてが 益にはならない すべてのことが
G3956 G1473 G1832 G0235 G3756 G3956 G4851 G3956

μοι ἔξεστιν, ἀλλ’ οὐκ ἐγὼ ἐξουσιασθήσομαι ὑπό τινος.
私には 許されている しかし ～ない 私は 支配されない ～によって 何ものにも
G1473 G1832 G0235 G3756 G1473 G1850 G5259 G5100

すべてのことは、わたしに許されている。しかし、すべてのことが益になるわけではない。すべてのことは、わたしに許されている。しかし、わたしは何ものにも支配されることはない。

13 τὰ βρώματα τῇ κοιλίᾳ. καὶ ἡ κοιλία τοῖς βρώμασιν; ὁ
その 食物は その 胃の–ためにある そして その 胃は その 食物の–ためにある その
G3588 G1033 G3588 G2836 G2532 G3588 G2836 G3588 G1033 G3588

δὲ Θεὸς καὶ ταύτην καὶ ταῦτα καταργήσει. τὸ δὲ σῶμα οὐ
しかし 神は また これも また それらも 無に–帰す その しかし 体は ～ではなく
G1161 G2316 G2532 G3778 G2532 G3778 G2673 G3588 G1161 G4983 G3756

τῇ πορνείᾳ, ἀλλὰ τῷ Κυρίῳ, καὶ ὁ Κύριος τῷ
その 淫行の–ためではなく そうではなく その 主の–ためにある そして その 主は その
G3588 G4202 G0235 G3588 G2962 G2532 G3588 G2962 G3588

σώματι.
体の–ためにある
G4983

食物は腹のため、腹は食物のためである。しかし神は、それもこれも滅ぼすであろう。からだは不品行のためではなく、主のためであり、主はからだのためである。

14 ὁ δὲ Θεὸς καὶ τὸν Κύριον ἤγειρεν, καὶ ἡμᾶς ἐξεγερεῖ,
その しかし 神は また その 主を よみがえらせた また 私たちをも よみがえらせる
G3588 G1161 G2316 G2532 G3588 G2962 G1453 G2532 G1473 G1825

διὰ τῆς δυνάμεως αὐτοῦ,
～を–通して その 力によって その
G1223 G3588 G1411 G0846

そして、神は主をよみがえらせたが、その力で、わたしたちをもよみがえらせて下さるであろう。

15 οὐκ οἴδατε ὅτι τὰ σώματα ὑμῶν μέλη Χριστοῦ ἐστιν? ἄρας οὖν τὰ μέλη τοῦ Χριστοῦ, ποιήσω πόρνης μέλη? μὴ γένοιτο!
～ないのか 知っている ～ということを その 体は あなたがたの 肢体 キリストの である 取り–上げて それでは その 肢体を その キリストの するのか 遊女の 肢体に 決して そうはならない
G3756 G1492 G3754 G3588 G4983 G4771 G3196 G5547 G1510 G0142 G3767 G3588 G3196 G3588 G5547 G4160 G4204 G3196 G3361 G1096

あなたがたは自分のからだがキリストの肢体であることを、知らないのか。それだのに、キリストの肢体を取って遊女の肢体としてよいのか。断じていけない。

16 ἢ οὐκ οἴδατε ὅτι ὁ κολλώμενος τῇ πόρνῃ, ἓν σῶμά ἐστιν? Ἔσονται γάρ, φησίν, οἱ δύο εἰς σάρκα μίαν.
または ～ないのか 知っている ～ということを その 結び–つく–者は その 遊女に 一つの 体 である なるだろう なぜなら 言われている その 二人は ～と–なる 肉体に 一つの
G2228 G3756 G1492 G3754 G3588 G2853 G3588 G4204 G1520 G4983 G1510 G1510 G1063 G5346 G3588 G1417 G1519 G4561 G1520

それとも、遊女につく者はそれと一つのからだになることを、知らないのか。「ふたりの者は一体となるべきである」とあるからである。

17 ὁ δὲ κολλώμενος τῷ Κυρίῳ, ἓν πνεῦμά ἐστιν.
その しかし 結び–つく–者は その 主に 一つの 霊 である
G3588 G1161 G2853 G3588 G2962 G1520 G4151 G1510

しかし主につく者は、主と一つの霊になるのである。

18 φεύγετε τὴν πορνείαν. πᾶν ἁμάρτημα, ὃ ἐὰν ποιήσῃ ἄνθρωπος, ἐκτὸς τοῦ σώματός ἐστιν, ὁ δὲ πορνεύων, εἰς τὸ ἴδιον σῶμα ἁμαρτάνει.
逃れよ その 淫行から すべての 罪は ～を たとえ 犯しても 人が 外に–ある その 体の ものである その しかし 淫行をする–者は ～に–対して その 自分の 体に 罪を–犯す
G5343 G3588 G4202 G3956 G0265 G3739 G1437 G4160 G0444 G1622 G3588 G4983 G1510 G3588 G1161 G4203 G1519 G3588 G2398 G4983 G0264

不品行を避けなさい。人の犯すすべての罪は、からだの外にある。しかし不品行をする者は、自分のからだに対して罪を犯すのである。

19 ἢ οὐκ οἴδατε ὅτι τὸ σῶμα ὑμῶν ναὸς τοῦ,
または ～ないのか 知っている ～ということを その 体は あなたがたの 神殿 その
G2228 G3756 G1492 G3754 G3588 G4983 G4771 G3485 G3588

ἐν ὑμῖν, ἁγίου πνεύματός, ἐστιν, οὗ ἔχετε ἀπὸ θεοῦ?
～の-うちにおられる あなたがたの 聖なる 御霊の である それを 受けた ～から 神から
G1722 G4771 G0040 G4151 G1510 G3739 G2192 G0575 G2316

καὶ οὐκ ἐστὲ ἑαυτῶν,
そして ～ではない ～である 自分の-ものではない
G2532 G3756 G1510 G1438

あなたがたは知らないのか。自分のからだは、神から受けて自分の内に宿っている聖霊の宮であって、あなたがたは、もはや自分自身のものではないのである。

20 ἠγοράσθητε γὰρ τιμῆς; δοξάσατε δὴ τὸν θεὸν ἐν τῷ
買い-取られた なぜなら 代価を-払って 栄光を-帰せ だから その 神に ～において その
G0059 G1063 G5092 G1392 G1211 G3588 G2316 G1722 G3588

σώματι ὑμῶν, <καὶ ἐν τῷ πνεύματι ὑμῶν, ἅτινά ἐστιν
体を-もって あなたがたの また ～において その 霊を-もって あなたがたの それらは ～である
G4983 G4771 G2532 G1722 G3588 G4151 G4771 G3748 G1510

τοῦ θεοῦ>.
その 神の-ものである
G3588 G2316

あなたがたは、代価を払って買いとられたのだ。それだから、自分のからだをもって、神の栄光をあらわしなさい。

Chapter 7

1 Περὶ δὲ ὧν ἐγράψατε: καλὸν ἀνθρώπῳ, γυναικὸς μὴ
～に-ついて さて ～の-ことを 書いた 良いことである 人にとって 女に ～ない
G4012 G1161 G3739 G1125 G2570 G0444 G1135 G3361

ἅπτεσθαι;
触れないことは
G0680

さて、あなたがたが書いてよこした事について答えると、男子は婦人にふれないがよい。

2 διὰ δὲ τὰς πορνείας, ἕκαστος τὴν ἑαυτοῦ γυναῖκα ἐχέτω, καὶ
～の-ために しかし その 淫行の 各々が 自分の 自分の 妻を 持つがよい そして
G1223 G1161 G3588 G4202 G1538 G3588 G1438 G1135 G2192 G2532

ἑκάστη τὸν ἴδιον ἄνδρα ἐχέτω.
各々の-女が 自分の 自分の 夫を 持つがよい
G1538 G3588 G2398 G0435 G2192

しかし、不品行に陥ることのないために、男子はそれぞれ自分の妻を持ち、婦人もそれぞれ自分の夫を持つがよい。

3 τῇ γυναικὶ, ὁ ἀνὴρ τὴν ὀφειλὴν ἀποδιδότω, ὁμοίως δὲ καὶ, ἡ
その 妻に その 夫は その 義務を 果たせ 同様に また そして その
G3588 G1135 G3588 G0435 G3588 G3782 G0591 G3668 G1161 G2532 G3588

γυνὴ τῷ ἀνδρί.
妻も その 夫に
G1135 G3588 G0435

夫は妻にその分を果し、妻も同様に夫にその分を果すべきである。

4 ἡ その G3588 γυνὴ, 妻は G1135 τοῦ 自分の G3588 ἰδίου 自分の G2398 σώματος 体を G4983 οὐκ ～ない G3756 ἐξουσιάζει, 支配しない G1850 ἀλλὰ そうではなく G0235 ὁ その G3588 ἀνήρ; 夫が G0435

ὁμοίως 同様に G3668 δὲ, また G1161 καὶ そして G2532 ὁ その G3588 ἀνὴρ, 夫も G0435 τοῦ 自分の G3588 ἰδίου 自分の G2398 σώματος 体を G4983 οὐκ ～ない G3756 ἐξουσιάζει, 支配しない G1850

ἀλλὰ そうではなく G0235 ἡ その G3588 γυνή. 妻が G1135

妻は自分のからだを自由にすることはできない。それができるのは夫である。夫も同様に自分のからだを自由にすることはできない。それができるのは妻である。

5 μὴ ～ないで G3361 ἀποστερεῖτε 拒んではならない G0650 ἀλλήλους, 互いに G0240 εἰ ただし G1487 μήτι ～の–ただし G3385 ἂν ～でないかぎり G0302 ἐκ ～から G1537

συμφώνου, 合意の–上で G4859 πρὸς ～の–ために G4314 καιρὸν, 時の G2540 ἵνα ～ように G2443 σχολάσητε 専念する G4980 τῇ その G3588 προσευχῇ; 祈りに G4335 καὶ そして G2532 πάλιν, 再び G3825

ἐπὶ ～に G1909 τὸ その G3588 αὐτὸ, 同じ–所に G0846 ἦτε, いるように G1510 ἵνα ～ように G2443 μὴ ～ない G3361 πειράζῃ 誘惑しないように G3985 ὑμᾶς あなたがたを G4771 ὁ その G3588

Σατανᾶς, サタンが G4567 διὰ ～の–ために G1223 τὴν その G3588 ἀκρασίαν 自制の–なさの G0192 ὑμῶν. あなたがたの G4771

互に拒んではいけない。ただし、合意の上で祈に専心するために、しばらく相別れ、それからまた一緒になることは、さしつかえない。そうでないと、自制力のないのに乗じて、サタンがあなたがたを誘惑するかも知れない。

6 τοῦτο これを G3778 δὲ しかし G1161 λέγω 言う G3004 κατὰ ～として G2596 συγγνώμην, 許しとして G4774 οὐ ～ではなく G3756 κατ’ ～として G2596 ἐπιταγήν. 命令としてではない G2003

以上のことは、譲歩のつもりで言うのであって、命令するのではない。

7 θέλω 望む G2309 δὲ しかし G1161 πάντας すべての G3956 ἀνθρώπους 人が G0444 εἶναι あるように G1510 ὡς ～のように G5613 καὶ また G2532 ἐμαυτόν. 私自身のように G1683 ἀλλὰ しかし G0235

ἕκαστος 各々が G1538 ἴδιον それぞれの G2398 ἔχει 持っている G2192 χάρισμα 賜物を G5486 ἐκ ～から G1537 Θεοῦ; 神から G2316 ὁ ある–者は G3588 μὲν 一方では G3303 οὕτως, このように G3779

ὁ ある–者は G3588 δὲ また G1161 οὕτως. そのように G3779

わたしとしては、みんなの者がわたし自身のようになってほしい。しかし、ひとりびとり神からそれぞれの賜物をいただいていて、ある人はこうしており、他の人はそうしている。

8 Λέγω δὲ τοῖς ἀγάμοις καὶ ταῖς χήραις, καλὸν αὐτοῖς
言う そして その 未婚の–者たちと そして その やもめたちに 良いことである 彼らにとって
G3004 G1161 G3588 G0022 G2532 G3588 G5503 G2570 G0846

ἐὰν μείνωσιν ὡς κἀγώ.
もし とどまるなら ～のように 私のように
G1437 G3306 G5613 G2504

次に、未婚者たちとやもめたちとに言うが、わたしのように、ひとりでおれば、それがいちばんよい。

9 εἰ δὲ οὐκ ἐγκρατεύονται, γαμησάτωσαν; κρεῖττον γάρ ἐστιν
もし しかし ～ない 自制できないなら 結婚しなさい 良い なぜなら ～である
G1487 G1161 G3756 G1467 G1060 G2909 G1063 G1510

γαμῆσαι, ἢ πυροῦσθαι.
結婚することは ～よりも 燃えることよりも
G1060 G2228 G4448

しかし、もし自制することができないなら、結婚するがよい。情の燃えるよりは、結婚する方が、よいからである。

10 τοῖς δὲ γεγαμηκόσιν παραγγέλλω -- οὐκ ἐγὼ, ἀλλὰ ὁ
その しかし 結婚した–者たちに 命じる ～ではなく 私が そうではなく その
G3588 G1161 G1060 G3853 G3756 G1473 G0235 G3588

Κύριος -- γυναῖκα ἀπὸ ἀνδρὸς μὴ χωρισθῆναι;
主が 妻は ～から 夫から ～ないで 別れてはならない
G2962 G1135 G0575 G0435 G3361 G5563

更に、結婚している者たちに命じる。命じるのは、わたしではなく主であるが、妻は夫から別れてはいけない。

11 ἐὰν δὲ καὶ χωρισθῇ, μενέτω ἄγαμος, ἢ τῷ ἀνδρὶ
もし しかし また 別れたなら とどまるがよい 未婚の–ままで または その 夫と
G1437 G1161 G2532 G5563 G3306 G0022 G2228 G3588 G0435

καταλλαγήτω; καὶ ἄνδρα γυναῖκα μὴ ἀφιέναι.
和解するがよい そして 夫は 妻を ～ないで 離してはならない
G2644 G2532 G0435 G1135 G3361 G0863

（しかし、万一別れているなら、結婚しないでいるか、それとも夫と和解するかしなさい）。また夫も妻と離婚してはならない。

12 τοῖς δὲ λοιποῖς λέγω -- ἐγώ οὐχ ὁ Κύριος -- εἴ
その しかし 残りの–者たちに 言う 私があって ～ではなく その 主がではない もし
G3588 G1161 G3062 G3004 G1473 G3756 G3588 G2962 G1487

τις ἀδελφὸς γυναῖκα ἔχει ἄπιστον, καὶ αὕτη συνευδοκεῖ
ある–者が 兄弟が 妻を 持っていて 信じない–者で そして 彼女が 同意するなら
G5100 G0080 G1135 G2192 G0571 G2532 G3778 G4909

οἰκεῖν μετ’ αὐτοῦ, μὴ ἀφιέτω αὐτήν.
住むことに ～と–共に 彼と ～ないで 離してはならない 彼女を
G3611 G3326 G0846 G3361 G0863 G0846

そのほかの人々に言う。これを言うのは、主ではなく、わたしである。ある兄弟に不信者の妻があり、そして共にいることを喜んでいる場合には、離婚してはいけない。

13 καὶ γυνὴ ‹εἴ› τις ἔχει ἄνδρα ἄπιστον, καὶ οὗτος
そして 妻が もし ある–者が 持っていて 夫を 信じない–者で そして 彼が
G2532 G1135 G1487 G5100 G2192 G0435 G0571 G2532 G3778

συνευδοκεῖ οἰκεῖν μετ’ αὐτῆς, μὴ ἀφιέτω τὸν ἄνδρα.
同意するなら 住むことに ～と–共に 彼女と ～ないで 離してはならない その 夫を
G4909 G3611 G3326 G0846 G3361 G0863 G3588 G0435

また、ある婦人の夫が不信者であり、そして共にいることを喜んでいる場合には、離婚してはいけない。

14 ἡγίασται γὰρ ὁ ἀνὴρ ὁ ἄπιστος, ἐν τῇ
聖められている なぜなら その 夫は その 信じない–者であるが ～に–よって その
G0037 G1063 G3588 G0435 G3588 G0571 G1722 G3588

γυναικί; καὶ ἡγίασται ἡ γυνὴ ἡ ἄπιστος, ἐν τῷ
妻によって そして 聖められている その 妻は その 信じない–者であるが ～に–よって その
G1135 G2532 G0037 G3588 G1135 G3588 G0571 G1722 G3588

ἀδελφῷ; ἐπεὶ ἄρα τὰ τέκνα ὑμῶν ἀκάθαρτά ἐστιν; νῦν
兄弟によって そうでなければ 実際 その 子供たちは あなたがたの 汚れた–者 である しかし–今
G0080 G1893 G0686 G3588 G5043 G4771 G0169 G1510 G3568

δὲ ἅγιά ἐστιν.
それでは 聖なる–者 である
G1161 G0040 G1510

なぜなら、不信者の夫は妻によってきよめられており、また、不信者の妻も夫によってきよめられているからである。もしそうでなければ、あなたがたの子は汚れていることになるが、実際はきよいではないか。

15 εἰ δὲ ὁ ἄπιστος χωρίζεται, χωριζέσθω; οὐ δεδούλωται ὁ
もし しかし その 信じない–者が 別れるなら 別れさせよ ～ない 束縛されていない その
G1487 G1161 G3588 G0571 G5563 G5563 G3756 G1402 G3588

ἀδελφὸς ἢ ἡ ἀδελφὴ ἐν τοῖς τοιούτοις. ἐν δὲ
兄弟は または その 姉妹は ～において そのような 場合には ～の–うちに それでは
G0080 G2228 G3588 G0079 G1722 G3588 G5108 G1722 G1161

εἰρήνῃ κέκληκεν ὑμᾶς ὁ Θεός.
平和に 招いた あなたがたを その 神は
G1515 G2564 G4771 G3588 G2316

しかし、もし不信者の方が離れて行くのなら、離れるままにしておくがよい。兄弟も姉妹も、こうした場合には、束縛されてはいない。神は、あなたがたを平和に暮させるために、召されたのである。

16 τί γὰρ οἶδας, γύναι, εἰ τὸν ἄνδρα σώσεις? ἢ τί
何を なぜなら 知っているのか 妻よ もし その 夫を 救うかどうか または 何を
G5101 G1063 G1492 G1135 G1487 G3588 G0435 G4982 G2228 G5101

οἶδας, ἄνερ, εἰ τὴν γυναῖκα σώσεις?
知っているのか 夫よ もし その 妻を 救うかどうか
G1492 G0435 G1487 G3588 G1135 G4982

なぜなら、妻よ、あなたが夫を救いうるかどうか、どうしてわかるか。また、夫よ、あなたも妻を救いうるかどうか、どうしてわかるか。

17 Εἰ μὴ ἑκάστῳ, ὡς ἐμέρισεν ὁ Κύριος, ἕκαστον ὡς
ただし ～でなければ 各々に ～のように 分け–与えた その 主が 各々を ～のように
G1487 G3361 G1538 G5613 G3307 G3588 G2962 G1538 G5613

κέκληκεν ὁ Θεός, οὕτως περιπατείτω; καὶ οὕτως ἐν ταῖς
招いた その 神が そのように 歩むがよい そして そのように ～において その
G2564 G3588 G2316 G3779 G4043 G2532 G3779 G1722 G3588

ἐκκλησίαις πάσαις διατάσσομαι.
教会すべてに すべての 定めている
G1577 G3956 G1299

ただ、各自は、主から賜わった分に応じ、また神に召されたままの状態にしたがって、歩むべきである。これが、すべての教会に対してわたしの命じるところである。

18 περιτετμημένος 割礼を-受けた-者が G4059 τις ある-者が G5100 ἐκλήθη, 招かれたなら G2564 μὴ ～ないで G3361 ἐπισπάσθω; 元に-戻してはならない G1986 ἐν ～に-おいて G1722

ἀκροβυστίᾳ 無割礼で G0203 κέκληταί 招かれたなら G2564 τις, ある-者が G5100 μὴ ～ないで G3361 περιτεμνέσθω. 割礼を-受けてはならない G4059

召されたとき割礼を受けていたら、その跡をなくそうとしないがよい。また、召されたとき割礼を受けていなかったら、割礼を受けようとしないがよい。

19 ἡ その G3588 περιτομὴ 割礼は G4061 οὐδέν 何でもない G3762 ἐστιν, である G1510 καὶ そして G2532 ἡ その G3588 ἀκροβυστία 無割礼も G0203 οὐδέν 何でもない G3762 ἐστιν, である G1510

ἀλλὰ そうではなく G0235 τήρησις 守ることが G5084 ἐντολῶν 戒めを G1785 Θεοῦ. 神の G2316

割礼があってもなくても、それは問題ではない。大事なのは、ただ神の戒めを守ることである。

20 ἕκαστος 各々が G1538 ἐν ～に-おいて G1722 τῇ その G3588 κλήσει 召しで G2821 ᾗ ～で G3739 ἐκλήθη, 招かれた G2564 ἐν ～に-おいて G1722 ταύτῃ それに G3778 μενέτω. とどまるがよい G3306

各自は、召されたままの状態にとどまっているべきである。

21 δοῦλος 奴隷として G1401 ἐκλήθης, 招かれたのか G2564 μή ～ないで G3361 σοι あなたに G4771 μελέτω; 気にするな G3199 ἀλλ’ しかし G0235 εἰ もし G1487 καὶ また G2532 δύνασαι できるなら G1410

ἐλεύθερος 自由に G1658 γενέσθαι, なることが G1096 μᾶλλον むしろ G3123 χρῆσαι. 用いるがよい G5530

召されたとき奴隷であっても、それを気にしないがよい。しかし、もし自由の身になりうるなら、むしろ自由になりなさい。

22 ὁ その G3588 γὰρ なぜなら G1063 ἐν ～に-おいて G1722 Κυρίῳ 主にあって G2962 κληθεὶς 招かれた G2564 δοῦλος, 奴隷は G1401 ἀπελεύθερος 解放された-者 G0558 Κυρίου 主の G2962 ἐστίν; である G1510

ὁμοίως 同様に G3668 ὁ その G3588 ἐλεύθερος 自由な-者として G1658 κληθεὶς, 招かれた-者は G2564 δοῦλός 奴隷 G1401 ἐστιν である G1510 Χριστοῦ. キリストの G5547

主にあって召された奴隷は、主によって自由人とされた者であり、また、召された自由人はキリストの奴隷なのである。

23 τιμῆς 代価を-払って G5092 ἠγοράσθητε; 買い-取られた G0059 μὴ ～ないで G3361 γίνεσθε なるな G1096 δοῦλοι 奴隷に G1401 ἀνθρώπων. 人間の G0444

あなたがたは、代価を払って買いとられたのだ。人の奴隷となってはいけない。

24 ἕκαστος ἐν ᾧ ἐκλήθη, ἀδελφοί, ἐν τούτῳ μενέτω
各々が ～に–おいて ～で 招かれた 兄弟たちよ ～に–おいて それに とどまるがよい
G1538 G1722 G3739 G2564 G0080 G1722 G3778 G3306

παρὰ Θεῷ.
～の–前で 神の
G3844 G2316

兄弟たちよ。各自は、その召されたままの状態で、神のみまえにいるべきである。

25 Περὶ δὲ τῶν παρθένων, ἐπιταγὴν Κυρίου οὐκ ἔχω; γνώμην
～に–ついて さて その 処女たちについて 命令を 主の ～ない 持っていない 意見を
G4012 G1161 G3588 G3933 G2003 G2962 G3756 G2192 G1106

δὲ δίδωμι, ὡς ἠλεημένος ὑπὸ Κυρίου, πιστὸς εἶναι.
しかし 述べる ～として 憐みを–受けた–者として ～に–よって 主によって 忠実な–者として ある
G1161 G1325 G5613 G1653 G5259 G2962 G4103 G1510

おとめのことについては、わたしは主の命令を受けてはいないが、主のあわれみにより信任を受けている者として、意見を述べよう。

26 Νομίζω οὖν τοῦτο καλὸν ὑπάρχειν, διὰ τὴν ἐνεστῶσαν ἀνάγκην,
思う それゆえ これが 良いと あることを ～の–ために その 現在の 困難の
G3543 G3767 G3778 G2570 G5225 G1223 G3588 G1764 G0318

ὅτι καλὸν ἀνθρώπῳ τὸ οὕτως εἶναι.
～ということを 良いと 人にとって その そのままで あることが
G3754 G2570 G0444 G3588 G3779 G1510

わたしはこう考える。現在迫っている危機のゆえに、人は現状にとどまっているがよい。

27 δέδεσαι γυναικί? μὴ ζήτει λύσιν. λέλυσαι ἀπὸ γυναικός?
縛られているのか 妻に ～ないで 求めるな 解くことを 解かれたのか ～から 妻から
G1210 G1135 G3361 G2212 G3080 G3089 G0575 G1135

μὴ ζήτει γυναῖκα.
～ないで 求めるな 妻を
G3361 G2212 G1135

もし妻に結ばれているなら、解こうとするな。妻に結ばれていないなら、妻を迎えようとするな。

28 ἐὰν δὲ καὶ γαμήσῃς, οὐχ ἥμαρτες; καὶ ἐὰν γήμῃ ἡ
たとえ しかし また 結婚しても ～ない 罪ではない そして たとえ 嫁いでも その
G1437 G1161 G2532 G1060 G3756 G0264 G2532 G1437 G1060 G3588

παρθένος, οὐχ ἥμαρτεν; θλῖψιν δὲ τῇ σαρκὶ ἕξουσιν οἱ
処女が ～ない 罪ではない 患難を しかし その 肉体において 受ける そのような
G3933 G3756 G0264 G2347 G1161 G3588 G4561 G2192 G3588

τοιοῦτοι; ἐγὼ δὲ ὑμῶν φείδομαι.
者たちは 私は しかし あなたがたを 惜しむ
G5108 G1473 G1161 G4771 G5339

しかし、たとい結婚しても、罪を犯すのではない。また、おとめが結婚しても、罪を犯すのではない。ただ、それらの人々はその身に苦難を受けるであろう。わたしは、あなたがたを、それからのがれさせたいのだ。

29 Τοῦτο δέ φημι, ἀδελφοί: ὁ καιρὸς συνεσταλμένος ἐστίν. τὸ
これを さて 言う 兄弟たちよ その 時は 縮められた-ものである ～である その
G3778 G1161 G5346 G0080 G3588 G2540 G4958 G1510 G3588

λοιπὸν ἵνα, καὶ οἱ ἔχοντες γυναῖκας, ὡς μὴ
残りは ～ように また その 持っている-者たちが 妻を ～のように ～ない
G3063 G2443 G2532 G3588 G2192 G1135 G5613 G3361

ἔχοντες ὦσιν;
持っていないかのように あるがよい
G2192 G1510

兄弟たちよ。わたしの言うことを聞いてほしい。時は縮まっている。今からは妻のある者はないもののように、

30 καὶ οἱ κλαίοντες, ὡς μὴ κλαίοντες; καὶ οἱ
そして その 泣く-者たちが ～のように ～ない 泣かないかのように そして その
G2532 G3588 G2799 G5613 G3361 G2799 G2532 G3588

χαίροντες, ὡς μὴ χαίροντες; καὶ οἱ ἀγοράζοντες, ὡς
喜ぶ-者たちが ～のように ～ない 喜ばないかのように そして その 買う-者たちが ～のように
G5463 G5613 G3361 G5463 G2532 G3588 G0059 G5613

μὴ κατέχοντες;
～ない 持たないかのように
G3361 G2722

泣く者は泣かないもののように、喜ぶ者は喜ばないもののように、買う者は持たないもののように、

31 καὶ οἱ χρώμενοι τὸν κόσμον, ὡς μὴ καταχρώμενοι;
そして その 用いる-者たちが この 世を ～のように ～ない 溝用しないかのように
G2532 G3588 G5530 G3588 G2889 G5613 G3361 G2710

παράγει γὰρ τὸ σχῆμα τοῦ κόσμου τούτου.
過ぎ-去る なぜなら この 姿は この 世の この
G3855 G1063 G3588 G4976 G3588 G2889 G3778

世と交渉のある者は、それに深入りしないようにすべきである。なぜなら、この世の有様は過ぎ去るからである。

32 θέλω δὲ ὑμᾶς ἀμερίμνους εἶναι. ὁ ἄγαμος μεριμνᾷ
望む しかし あなたがたが 思い-煩うことなく あるように その 未婚の-者は 心-配りする
G2309 G1161 G4771 G0275 G1510 G3588 G0022 G3309

τὰ τοῦ Κυρίου, πῶς ἀρέσῃ τῷ Κυρίῳ;
その その 主の-ことを どのように 喜ばせるかを その 主に
G3588 G3588 G2962 G4459 G0700 G3588 G2962

わたしはあなたがたが、思い煩わないようにしていてほしい。未婚の男子は主のことに心をくばって、どうかして主を喜ばせようとするが、

33 ὁ δὲ γαμήσας, μεριμνᾷ τὰ τοῦ κόσμου, πῶς ἀρέσῃ
その しかし 結婚した-者は 心-配りする その この 世の-ことを どのように 喜ばせるかを
G3588 G1161 G1060 G3309 G3588 G3588 G2889 G4459 G0700

τῇ γυναικί.
その 妻に
G3588 G1135

結婚している男子はこの世のことに心をくばって、どうかして妻を喜ばせようとして、その心が分れるのである。

34 καὶ μεμέρισται. καὶ ἡ γυνὴ ἡ ἄγαμος καὶ ἡ παρθένος,
そして 分かれている また その 未婚の-女と その 未婚の-女と そして その 処女は
G2532 G3307 G2532 G3588 G1135 G3588 G0022 G2532 G3588 G3933

μεριμνᾷ τὰ τοῦ Κυρίου, ἵνα ᾖ ἁγία, καὶ τῷ
心-配りする その その 主の-ことを ～ように あるように 聖なる-者で また その
G3309 G3588 G3588 G2962 G2443 G1510 G0040 G2532 G3588

σώματι καὶ τῷ πνεύματι; ἡ δὲ γαμήσασα, μεριμνᾷ τὰ τοῦ
体においても また その 霊においても その しかし 結婚した-女は 心-配りする その この
G4983 G2532 G3588 G4151 G3588 G1161 G1060 G3309 G3588 G3588

κόσμου, πῶς ἀρέσῃ τῷ ἀνδρί.
世の-ことを どのように 喜ばせるかを その 夫に
G2889 G4459 G0700 G3588 G0435

未婚の婦人とおとめとは、主のことに心をくばって、身も魂もきよくなろうとするが、結婚した婦人はこの世のことに心をくばって、どうかして夫を喜ばせようとする。

35 τοῦτο δὲ, πρὸς τὸ ὑμῶν αὐτῶν σύμφορον λέγω: οὐχ
これを さて ～の-ために その あなたがたの 自らの 益の-ために 言う ～ではなく
G3778 G1161 G4314 G3588 G4771 G0846 G4851 G3004 G3756

ἵνα βρόχον ὑμῖν ἐπιβάλω, ἀλλὰ πρὸς τὸ εὔσχημον,
～ように 羅を あなたがたに かけようとして そうではなく ～の-ために その 品位と
G2443 G1029 G4771 G1911 G0235 G4314 G3588 G2158

καὶ εὐπάρεδρον τῷ Κυρίῳ ἀπερισπάστως.
そして 専念とを-もって その 主に 妨げなく
G2532 G2145 G3588 G2962 G0563

わたしがこう言うのは、あなたがたの利益になると思うからであって、あなたがたを束縛するためではない。そうではなく、正しい生活を送って、余念なく主に奉仕させたいからである。

36 Εἰ δέ τις ἀσχημονεῖν ἐπὶ τὴν παρθένον αὐτοῦ
もし しかし ある-者が ふさわしくないと-思うなら ～に-対して その 処女に 彼の
G1487 G1161 G5100 G0807 G1909 G3588 G3933 G0846

νομίζει, ἐὰν ᾖ ὑπέρακμος, καὶ οὕτως ὀφείλει γίνεσθαι, ὃ
思うなら たとえ あるなら 年頑であり そして そのように なすべきであるなら なるがよい ～を
G3543 G1437 G1510 G5230 G2532 G3779 G3784 G1096 G3739

θέλει ποιείτω; οὐχ ἁμαρτάνει; γαμείτωσαν.
望むことを するがよい ～ない 罪ではない 結婚させるがよい
G2309 G4160 G3756 G0264 G1060

もしある人が、相手のおとめに対して、情熱をいだくようになった場合、それは適当でないと思いつつも、やむを得なければ、望みどおりにしてもよい。それは罪を犯すことではない。ふたりは結婚するがよい。

37 ὃς δὲ ἕστηκεν ἐν τῇ καρδίᾳ αὐτοῦ ἑδραῖος, μὴ
その-者が しかし 立っているなら ～に-おいて その 心に 彼の 堅く ～ない
G3739 G1161 G2476 G1722 G3588 G2588 G0846 G1476 G3361

ἔχων ἀνάγκην, ἐξουσίαν δὲ ἔχει περὶ τοῦ ἰδίου θελήματος,
持たず 必要を 権利を そして 持っているなら ～に-ついて その 自分の 意志の
G2192 G0318 G1849 G1161 G2192 G4012 G3588 G2398 G2307

καὶ τοῦτο κέκρικεν, ἐν τῇ ἰδίᾳ καρδίᾳ, τηρεῖν τὴν ἑαυτοῦ
そして これを 決めたなら ～に-おいて その 自分の 心に 守ることを その 自分の
G2532 G3778 G2919 G1722 G3588 G2398 G2588 G5083 G3588 G1438

παρθένον, καλῶς ποιήσει.
処女を よく 行う
G3933 G2573 G4160

しかし、彼が心の内で堅く決心していて、無理をしないで自分の思いを制することができ、その上で、相手のおとめをそのままにしておこうと、心の中で決めたなら、そうしてもよい。

38 ὥστε καὶ, ὁ γαμίζων τὴν ἑαυτοῦ παρθένον, καλῶς ποιεῖ; καὶ
だから また その 嫁がせる-者は その 自分の 処女を よく 行う そして
G5620 G2532 G3588 G1061 G3588 G1438 G3933 G2573 G4160 G2532

ὁ μὴ γαμίζων, κρεῖσσον ποιήσει.
その ～ない 嫁がせない-者は さらに-よく 行う
G3588 G3361 G1061 G2908 G4160

だから、相手のおとめと結婚することはさしつかえないが、結婚しない方がもっとよい。

39 Γυνὴ δέδεται ἐφ’ ὅσον χρόνον ζῇ ὁ ἀνὴρ αὐτῆς; ἐὰν δὲ
妻は 縛られている ～の-間 ～だけ 時を 生きている その 夫が 彼女の もし しかし
G1135 G1210 G1909 G3745 G5550 G2198 G3588 G0435 G0846 G1437 G1161

κοιμηθῇ ὁ ἀνήρ, ἐλευθέρα ἐστὶν ᾧ θέλει γαμηθῆναι, μόνον
眠ったなら その 夫が 自由な-者 である ～に 望む-者に 嫁ぐことができる ただし
G2837 G3588 G0435 G1658 G1510 G3739 G2309 G1060 G3440

ἐν Κυρίῳ.
～に-おいて 主にあって
G1722 G2962

妻は夫が生きている間は、その夫につながれている。夫が死ねば、望む人と結婚してもさしつかえないが、それは主にある者とに限る。

40 μακαριωτέρα δέ ἐστιν, ἐὰν οὕτως μείνῃ, κατὰ τὴν ἐμὴν
より-幸い しかし である もし そのままで とどまるなら ～に-よれば その 私の
G3107 G1161 G1510 G1437 G3779 G3306 G2596 G3588 G1699

γνώμην; δοκῶ δὲ κἀγὼ Πνεῦμα Θεοῦ ἔχειν.
意見では 思う しかし 私もまた 御霊を 神の 持っている
G1106 G1380 G1161 G2504 G4151 G2316 G2192

しかし、わたしの意見では、そのままでいたなら、もっと幸福である。わたしも神の霊を受けていると思う。

Chapter 8

1 Περὶ δὲ τῶν εἰδωλοθύτων, οἴδαμεν ὅτι, πάντες
～に–ついて さて その 偶像に–供えた–物について 知っている ～ということを すべての–者が
G4012 G1161 G3588 G1494 G1492 G3754 G3956

γνῶσιν ἔχομεν. ἡ γνῶσις φυσιοῖ, ἡ δὲ ἀγάπη οἰκοδομεῖ.
知識を 持っていると その 知識は 高ぶらせる その しかし 愛は 建て–上げる
G1108 G2192 G3588 G1108 G5448 G3588 G1161 G0026 G3618

偶像への供え物について答えると、「わたしたちはみな知識を持っている」ことは、わかっている。しかし、知識は人を誇らせ、愛は人の徳を高める。

2 εἴ τις δοκεῖ ἐγνωκέναι τι, οὔπω ἔγνω καθὼς δεῖ
もし ある–者が 思うなら 知ったと 何かを まだ 知っていない ～のように 知るべき
G1487 G5100 G1380 G1097 G5100 G3768 G1097 G2531 G1163

γνῶναι.
知ることを
G1097

もし人が、自分は何か知っていると思うなら、その人は、知らなければならないほどの事すら、まだ知っていない。

3 εἰ δέ τις ἀγαπᾷ τὸν Θεόν, οὗτος ἔγνωσται ὑπ’
もし しかし ある–者が 愛するなら その 神を この–者は 知られている ～に–よって
G1487 G1161 G5100 G0025 G3588 G2316 G3778 G1097 G5259

αὐτοῦ.
その–方によって
G0846

しかし、人が神を愛するなら、その人は神に知られているのである。

4 Περὶ τῆς βρώσεως οὖν τῶν εἰδωλοθύτων, οἴδαμεν
～に–ついて その 食べることについて それでは その 偶像に–供えた–物の 知っている
G4012 G3588 G1035 G3767 G3588 G1494 G1492

ὅτι οὐδὲν εἴδωλον ἐν κόσμῳ, καὶ ὅτι οὐδεὶς
～ということを 何でもない 偶像は ～に–おいて 世に そして ～ということを いない
G3754 G3762 G1497 G1722 G2889 G2532 G3754 G3762

Θεὸς, εἰ μὴ εἷς.
神は ～の–他には ～ない 唯一の–方
G2316 G1487 G3361 G1520

さて、偶像への供え物を食べることについては、わたしたちは、偶像なるものは実際は世に存在しないこと、また、唯一の神のほかには神がないことを、知っている。

5 καὶ γὰρ εἴπερ εἰσὶν λεγόμενοι θεοὶ, εἴτε ἐν
そして なぜなら たとえ あるとしても 言われる 神々が ～であれ ～に–おいて 天に
G2532 G1063 G1512 G1510 G3004 G2316 G1535 G1722 G3772

εἴτε ἐπὶ γῆς, ὥσπερ εἰσὶν θεοὶ πολλοὶ, καὶ κύριοι πολλοί,
～であれ ～に–おいて 地上に ～のように ある 神々が 多くの そして 主が 多く
G1535 G1909 G1093 G5618 G1510 G2316 G4183 G2532 G2962 G4183

というのは、たとい神々といわれるものが、あるいは天に、あるいは地にあるとしても、そして、多くの神、多くの主があるようではあるが、

6 ἀλλ’ ἡμῖν εἷς Θεὸς, ὁ Πατήρ, ἐξ οὗ τὰ
しかし 私たちには 唯一の 神がある その 父であり ～から その–方から その
G0235 G1473 G1520 G2316 G3588 G3962 G1537 G3739 G3588

πάντα, καὶ ἡμεῖς εἰς αὐτόν; καὶ εἷς Κύριος,
すべての–ものがあり そして 私たちは ～の–ために その–方のためにある そして 唯一の 主がある
G3956 G2532 G1473 G1519 G0846 G2532 G1520 G2962

Ἰησοῦς Χριστός, δι’ οὗ τὰ πάντα, καὶ ἡμεῖς
イエス キリストであり ～を–通して その–方を通して その すべての–ものがあり そして 私たちは
G2424 G5547 G1223 G3739 G3588 G3956 G2532 G1473

δι’ αὐτοῦ.
～を–通して その–方を通してある
G1223 G0846

わたしたちには、父なる唯一の神のみがいますのである。万物はこの神から出て、わたしたちもこの神に帰する。また、唯一の主イエス・キリストのみがいますのである。万物はこの主により、わたしたちもこの主によっている。

7 ἀλλ’ οὐκ ἐν πᾶσιν ἡ γνῶσις; τινὲς δὲ,
しかし ～ない ～に–おいて すべての–人に その 知識があるわけではない ある–者たちは しかし
G0235 G3756 G1722 G3956 G3588 G1108 G5100 G1161

τῇ συνηθείᾳ ἕως ἄρτι, τοῦ εἰδώλου, ὡς εἰδωλόθυτον
その 習慣によって 今まで 今に–至るまで その 偶像の ～として 偶像に–供えた–物として
G3588 G4914 G2193 G0737 G3588 G1497 G5613 G1494

ἐσθίουσιν, καὶ ἡ συνείδησις αὐτῶν, ἀσθενὴς οὖσα, μολύνεται.
食べる そして その 良心が 彼らの 弱い–ものであり ～であるので 汚される
G2068 G2532 G3588 G4893 G0846 G0772 G1510 G3435

しかし、この知識をすべての人が持っているのではない。ある人々は、偶像についての、これまでの習慣上、偶像への供え物として、それを食べるが、彼らの良心が、弱いために汚されるのである。

8 βρῶμα δὲ ἡμᾶς οὐ παραστήσει τῷ Θεῷ; οὔτε ἐὰν μὴ
食物は しかし 私たちを ～ない 近づけない その 神に ～でもなく たとえ ～ない
G1033 G1161 G1473 G3756 G3936 G3588 G2316 G3777 G1437 G3361

φάγωμεν, ὑστερούμεθα. οὔτε ἐὰν ‹μὴ› φάγωμεν, περισσεύομεν;
食べなくても 不足しない ～でもなく たとえ ～ない 食べても 増しない
G5315 G5302 G3777 G1437 G3361 G5315 G4052

食物は、わたしたちを神に導くものではない。食べなくても損はないし、食べても益にはならない。

9 βλέπετε δὲ, μή πως, ἡ ἐξουσία ὑμῶν αὕτη,
気を–つけるがよい しかし ～ないように どうか この 権利が あなたがたの この
G0991 G1161 G3361 G4459 G3588 G1849 G4771 G3778

πρόσκομμα γένηται τοῖς ἀσθενέσιν.
つまずきと ならないように その 弱い–者たちにとって
G4348 G1096 G3588 G0772

しかし、あなたがたのこの自由が、弱い者たちのつまずきにならないように、気をつけなさい。

10 ἐὰν γάρ, τις ἴδῃ σὲ, τὸν ἔχοντα γνῶσιν, ἐν
もし なぜなら ある–者が 見たなら あなたを その 知識を–持つ 者を ～に–おいて
G1437 G1063 G5100 G3708 G4771 G3588 G2192 G1108 G1722

εἰδωλείῳ κατακείμενον, οὐχὶ ἡ συνείδησις αὐτοῦ ἀσθενοῦς ὄντος,
偶像の–宮で 座っているのを ～ではないか その 良心が 彼の 弱い–者の ～であるので
G1493 G2621 G3780 G3588 G4893 G0846 G0772 G1510

οἰκοδομηθήσεται, εἰς τὸ τὰ εἰδωλόθυτα ἐσθίειν?
作り–上げられる ～の–ために その その 偶像に–供えた–物を 食べるように
G3618 G1519 G3588 G3588 G1494 G2068

なぜなら、ある人が、知識のあるあなたが偶像の宮で食事をしているのを見た場合、その人の良心が弱いため、それに「教育されて」、偶像への供え物を食べるようにならないだろうか。

11 ἀπόλλυται γὰρ ὁ ἀσθενῶν, ἐν τῇ σῇ γνώσει, ὁ
滅びる なぜなら その 弱い–者が ～に–よって その あなたの 知識によって その
G0622 G1063 G3588 G0770 G1722 G3588 G4674 G1108 G3588

ἀδελφὸς δι’ ὃν Χριστὸς ἀπέθανεν.
兄弟が ～の–ために その–者のために キリストが 死んだ
G0080 G1223 G3739 G5547 G0599

するとその弱い人は、あなたの知識によって滅びることになる。この弱い兄弟のためにも、キリストは死なれたのである。

12 οὕτως δὲ, ἁμαρτάνοντες εἰς τοὺς ἀδελφοὺς, καὶ τύπτοντες αὐτῶν
このように しかし 罪を–犯して ～に–対して その 兄弟たちに そして 傷つけて 彼らの
G3779 G1161 G0264 G1519 G3588 G0080 G2532 G5180 G0846

τὴν συνείδησιν ἀσθενοῦσαν, εἰς Χριστὸν ἁμαρτάνετε.
その 良心を 弱い–良心を ～に–対して キリストに 罪を–犯す
G3588 G4893 G0770 G1519 G5547 G0264

このようにあなたがたが、兄弟たちに対して罪を犯し、その弱い良心を痛めるのは、キリストに対して罪を犯すことなのである。

13 διόπερ εἰ βρῶμα σκανδαλίζει τὸν ἀδελφόν μου, οὐ μὴ φάγω
それゆえ もし 食物が つまずかせるなら その 兄弟を 私の 決して ～ない 食べない
G1355 G1487 G1033 G4624 G3588 G0080 G1473 G3756 G3361 G5315

κρέα εἰς τὸν αἰῶνα, ἵνα μὴ τὸν ἀδελφόν μου σκανδαλίσω.
肉を ～の–限り その 永遠に ～ように ～ない その 兄弟を 私の つまずかせないように
G2907 G1519 G3588 G0165 G2443 G3361 G3588 G0080 G1473 G4624

だから、もし食物がわたしの兄弟をつまずかせるなら、兄弟をつまずかせないために、わたしは永久に、断じて肉を食べることはしない。

Chapter 9

1 Οὐκ εἰμὶ ἐλεύθερος? οὐκ εἰμὶ ἀπόστολος? οὐχὶ Ἰησοῦν τὸν
ではないか 私は 自由な–者 ではないか 私は 使徒 確かに イエスを その
G3756 G1510 G1658 G3756 G1510 G0652 G3780 G2424 G3588

Κύριον ἡμῶν, ἑόρακα? οὐ τὸ ἔργον μου, ὑμεῖς ἐστε,
主 私たちの 見たではないか ではないか その 働きは 私の あなたがたこそ である
G2962 G1473 G3708 G3756 G3588 G2041 G1473 G4771 G1510

ἐν Κυρίῳ.
主に–あって 主に–あって
G1722 G2962

わたしは自由な者ではないか。使徒ではないか。わたしたちの主イエスを見たではないか。あなたがたは、主にあるわたしの働きの実ではないか。

2

εἰ	ἄλλοις	οὐκ	εἰμὶ	ἀπόστολος,	ἀλλά	γε	ὑμῖν	εἰμι;	
もし	他の人々には	ない	私が	使徒で	しかし	少なくとも	あなたがたには	そうである	
G1487	G0243	G3756	G1510	G0652	G0235	G1065	G4771	G1510	

ἡ	γὰρ	σφραγίς	μου	τῆς	ἀποστολῆς,	ὑμεῖς	ἐστε	ἐν	
その	なぜなら	証印は	私の	その	使徒職の	あなたがたこそ	である	主に-あって	
G3588	G1063	G4973	G1473	G3588	G0651	G4771	G1510	G1722	

Κυρίῳ.
主に-あって
G2962

わたしは、ほかの人に対しては使徒でないとしても、あなたがたには使徒である。あなたがたが主にあることは、わたしの使徒職の印なのである。

3

Ἡ	ἐμὴ	ἀπολογία	τοῖς	ἐμὲ	ἀνακρίνουσίν	ἐστιν	αὕτη:	
この	私の	弁明は	その	私を	問いただす-人々への	である	これである	
G3588	G1699	G0627	G3588	G1473	G0350	G1510	G3778	

わたしの批判者たちに対する弁明は、これである。

4

μὴ	οὐκ	ἔχομεν	ἐξουσίαν	φαγεῖν	καὶ	πεῖν?	
まさか	ないとは	持って-いる	権利を	食べ	また	飲む	
G3361	G3756	G2192	G1849	G5315	G2532	G4095	

わたしたちには、飲み食いをする権利がないのか。

5

μὴ	οὐκ	ἔχομεν	ἐξουσίαν	ἀδελφὴν,	γυναῖκα,	περιάγειν,	ὡς		
まさか	ないとは	持って-いる	権利を	信仰の-姉妹を	妻として	連れ歩く	同じように		
G3361	G3756	G2192	G1849	G0079	G1135	G4013	G5613		

καὶ	οἱ	λοιποὶ	ἀπόστολοι,	καὶ	οἱ	ἀδελφοὶ	τοῦ	Κυρίου,	καὶ	Κηφᾶς?
また	その	他の	使徒たちも	また	その	兄弟たちも	その	主の	また	ケファも
G2532	G3588	G3062	G0652	G2532	G3588	G0080	G3588	G2962	G2532	G2786

わたしたちには、ほかの使徒たちや主の兄弟たちやケパのように、信者である妻を連れて歩く権利がないのか。

6

ἢ	μόνος	ἐγὼ	καὶ	Βαρνάβας,	οὐκ	ἔχομεν	ἐξουσίαν	μὴ	
それとも	ただ	私と	そして	バルナバだけが	ない	持って-いる	権利を	しないで	
G2228	G3441	G1473	G2532	G0921	G3756	G2192	G1849	G3361	

ἐργάζεσθαι?
働く
G2038

それとも、わたしとバルナバとだけには、労働をせずにいる権利がないのか。

7

τίς	στρατεύεται	ἰδίοις	ὀψωνίοις	ποτέ?	τίς	φυτεύει	ἀμπελῶνα,	καὶ		
誰が	兵役に-つく	自分の	費用で	であろうか	誰が	ぶどう園を-植え	ぶどう園を	そして		
G5101	G4754	G2398	G3800	G4218	G5101	G5452	G0290	G2532		

τὸν	καρπὸν	αὐτοῦ	οὐκ	ἐσθίει?	ἢ	τίς	ποιμαίνει	ποίμνην,	καὶ	ἐκ
その	実を	その	食べない	であろうか	また	誰が	羊を-飼い	群れを	そして	その
G3588	G2590	G0846	G3756	G2068	G2228	G5101	G4165	G4167	G2532	G1537

τοῦ	γάλακτος	τῆς	ποίμνης,	οὐκ	ἐσθίει?
その	乳を	その	群れの	飲まない	であろうか
G3588	G1051	G3588	G4167	G3756	G2068

いったい、自分で費用を出して軍隊に加わる者があろうか。ぶどう畑を作っていて、その実を食べない者があろうか。また、羊を飼っていて、その乳を飲まない者があろうか。

8 μὴ κατὰ ἄνθρωπον, ταῦτα λαλῶ? ἢ καὶ ὁ
まさか 人間的な-考えで 人間的に これらのことを 語って-いるのか それとも また その
G3361 G2596 G0444 G3778 G2980 G2228 G2532 G3588

νόμος ταῦτα οὐ λέγει?
律法も これらのことを ではないか 言って-いる
G3551 G3778 G3756 G3004

わたしは、人間の考えでこう言うのではない。律法もまた、そのように言っているではないか。

9 ἐν γὰρ τῷ Μωϋσέως νόμῳ, γέγραπται, Οὐ κημώσεις βοῦν
実に なぜなら その モーセの 律法に 書かれている してはならない 口籠を-かける 牛に
G1722 G1063 G3588 G3475 G3551 G1125 G3756 G5392 G1016

ἀλοῶντα. μὴ τῶν βοῶν μέλει τῷ Θεῷ?
脱穀する まさか その 牛のことを 心配して-おられる その 神は
G0248 G3361 G3588 G1016 G3199 G3588 G2316

すなわち、モーセの律法に、「穀物をこなしている牛に、くつこをかけてはならない」と書いてある。神は、牛のことを心にかけておられるのだろうか。

10 ἢ δι' ἡμᾶς πάντως λέγει? δι'
それとも 私たちの-ために 私たちの-ために 確かに 語って-おられる 私たちの-ために
G2228 G1223 G1473 G3843 G3004 G1223

ἡμᾶς γὰρ ἐγράφη, ὅτι ὀφείλει, ἐπ' ἐλπίδι, ὁ
私たちの-ために なぜなら 書かれた すなわち 当然である 望みを-もって 望みを-もって その
G1473 G1063 G1125 G3754 G3784 G1909 G1680 G3588

ἀροτριῶν ἀροτριᾶν, καὶ ὁ ἀλοῶν, ἐπ' ἐλπίδι τοῦ
耕す者は 耕すべきであり また その 脱穀する者も 望みを-もって 望みを-もって その
G0722 G0722 G2532 G3588 G0248 G1909 G1680 G3588

μετέχειν.
分配に-あずかる
G3348

それとも、もっぱら、わたしたちのために言っておられるのか。もちろん、それはわたしたちのためにしるされたのである。すなわち、耕す者は望みをもって耕し、穀物をこなす者は、その分け前をもらう望みをもってこなすのである。

11 Εἰ ἡμεῖς ὑμῖν τὰ πνευματικὰ ἐσπείραμεν, μέγα εἰ ἡμεῖς,
もし 私たちが あなたがたに その 霊的なものを 蒔いたなら 大きなことか もし 私たちが
G1487 G1473 G4771 G3588 G4152 G4687 G3173 G1487 G1473

ὑμῶν τὰ σαρκικὰ θερίσομεν?
あなたがたの その 物質的なものを 刈り取っても
G4771 G3588 G4559 G2325

もしわたしたちが、あなたがたのために霊のものをまいたのなら、肉のものをあなたがたから刈りとるのは、行き過ぎだろうか。

12 εἰ ἄλλοι τῆς ὑμῶν ἐξουσίας μετέχουσιν, οὐ μᾶλλον
もし 他の人々が その あなたがたへの 権利を 受けて-いるなら ではないか なおさら
G1487 G0243 G3588 G4771 G1849 G3348 G3756 G3123

ἡμεῖς? ἀλλ’ οὐκ ἐχρησάμεθα τῇ ἐξουσίᾳ ταύτῃ; ἀλλὰ πάντα στέγομεν,
私たちは しかし まだ 用いなかった この 権利を この むしろ すべてを 耐え忍んで-いる
G1473 G0235 G3756 G5530 G3588 G1849 G3778 G0235 G3956 G4722

ἵνα μή τινα ἐνκοπὴν δῶμεν, τῷ εὐαγγελίῳ τοῦ Χριστοῦ.
ために 何の いかなる 妨げも 与えないように その 福音に その キリストの
G2443 G3361 G5100 G1464 G1325 G3588 G2098 G3588 G5547

もしほかの人々が、あなたがたに対するこの権利にあずかっているとすれば、わたしたちはなおさらのことではないか。しかしわたしたちは、この権利を利用せず、かえってキリストの福音の妨げにならないようにと、すべてのことを忍んでいる。

13 οὐκ οἴδατε ὅτι οἱ τὰ ἱερὰ ἐργαζόμενοι, τὰ ἐκ
ではないか 知って-いる すなわち その その 聖なるものに 仕える-者たちは その その
G3756 G1492 G3754 G3588 G3588 G2413 G2038 G3588 G1537

τοῦ ἱεροῦ ἐσθίουσιν; οἱ τῷ θυσιαστηρίῳ παρεδρεύοντες, τῷ
その 神殿から 食べて-いることを その その 祭壇に 仕える者たちは その
G3588 G2411 G2068 G3588 G3588 G2379 G4332 G3588

θυσιαστηρίῳ συμμερίζονται?
祭壇と 分かち合うことを
G2379 G4829

あなたがたは、宮仕えをしている人たちは宮から下がる物を食べ、祭壇に奉仕している人たちは祭壇の供え物の分け前にあずかることを、知らないのか。

14 οὕτως καὶ, ὁ Κύριος διέταξεν τοῖς τὸ εὐαγγέλιον καταγγέλλουσιν,
同じように また その 主は 命じられた その その 福音を 宣べ伝える者たちに
G3779 G2532 G3588 G2962 G1299 G3588 G3588 G2098 G2605

ἐκ τοῦ εὐαγγελίου ζῆν.
その その 福音によって 生活するようにと
G1537 G3588 G2098 G2198

それと同様に、主は、福音を宣べ伝えている者たちが福音によって生活すべきことを、定められたのである。

15 ἐγὼ δὲ οὐ κέχρημαι οὐδενὶ τούτων. οὐκ ἔγραψα δὲ,
しかし-私は しかし まだ 用いなかった 何一つ これらの-ものを ない 書いた また
G1473 G1161 G3756 G5530 G3762 G3778 G3756 G1125 G1161

ταῦτα ἵνα οὕτως γένηται ἐν ἐμοί; καλὸν γάρ
これらのことを ために そのように なるように 私に-対して 私に-対して 良い なぜなら
G3778 G2443 G3779 G1096 G1722 G1473 G2570 G1063

μοι μᾶλλον ἀποθανεῖν, ἢ τὸ καύχημά μου, οὐδεὶς κενώσει.
私にとって むしろ 死ぬ-ほうが よりも この 誇りを 私の 誰にも 無にさせない
G1473 G3123 G0599 G2228 G3588 G2745 G1473 G3762 G2758

しかしわたしは、これらの権利を一つも利用しなかった。また、自分がそうしてもらいたいから、このように書くのではない。そうされるよりは、死ぬ方がましである。わたしのこの誇は、何者にも奪い去られてはならないのだ。

16 ἐὰν γὰρ εὐαγγελίζωμαι, οὐκ ἔστιν μοι καύχημα; ἀνάγκη γάρ
もし なぜなら 福音を–宣べ伝えても ない それは 私にとって 誇りとは 必然が なぜなら
G1437 G1063 G2097 G3756 G1510 G1473 G2745 G0318 G1063

μοι ἐπίκειται; οὐαὶ γάρ μοί ἐστιν, ἐὰν μὴ εὐαγγελίσωμαι.
私に 課されて–いる わざわいだ なぜなら 私には である もし しない–なら 福音を–宣べ伝え
G1473 G1945 G3759 G1063 G1473 G1510 G1437 G3361 G2097

わたしが福音を宣べ伝えても、それは誇にはならない。なぜなら、わたしは、そうせずにはおれないからである。もし福音を宣べ伝えないなら、わたしはわざわいである。

17 εἰ γὰρ ἑκὼν τοῦτο πράσσω, μισθὸν ἔχω; εἰ δὲ
もし なぜなら 自ら–進んで このことを 行うなら 報酬を 受ける しかし–もし しかし
G1487 G1063 G1635 G3778 G4238 G3408 G2192 G1487 G1161

ἄκων, οἰκονομίαν πεπίστευμαι.
望まずとも 管理の–務めが 委ねられて–いる
G0210 G3622 G4100

進んでそれをすれば、報酬を受けるであろう。しかし、進んでしないとしても、それは、わたしにゆだねられた務なのである。

18 τίς οὖν μού ἐστιν ὁ μισθός? ἵνα εὐαγγελιζόμενος
では–何が それゆえ 私の である その 報酬は すなわち 福音を–宣べ伝えるとき
G5101 G3767 G1473 G1510 G3588 G3408 G2443 G2097

ἀδάπανον, θήσω τὸ εὐαγγέλιον, εἰς τὸ μὴ καταχρήσασθαι τῇ
無報酬で 提供する その 福音を ために その ない 乱用する この
G0077 G5087 G3588 G2098 G1519 G3588 G3361 G2710 G3588

ἐξουσίᾳ μου, ἐν τῷ εὐαγγελίῳ.
権利を 私の おける その 福音に–おける
G1849 G1473 G1722 G3588 G2098

それでは、その報酬はなんであるか。福音を宣べ伝えるのにそれを無代価で提供し、わたしが宣教者として持つ権利を利用しないことである。

19 Ἐλεύθερος γὰρ ὢν ἐκ πάντων, πᾶσιν ἐμαυτὸν
自由な–者で なぜなら ありながら すべての–人から すべての–人から すべての–人に 自分–自身を
G1658 G1063 G1510 G1537 G3956 G3956 G1683

ἐδούλωσα, ἵνα τοὺς πλείονας κερδήσω.
奴隷と–した ために その より–多くの–人々を 得るために
G1402 G2443 G3588 G4119 G2770

わたしは、すべての人に対して自由であるが、できるだけ多くの人を得るために、自ら進んですべての人の奴隷になった。

20 καὶ ἐγενόμην τοῖς Ἰουδαίοις, ὡς Ἰουδαῖος, ἵνα Ἰουδαίους κερδήσω;
そして なった その ユダヤ人には のような ユダヤ人の ために ユダヤ人を 得るために
G2532 G1096 G3588 G2453 G5613 G2453 G2443 G2453 G2770

τοῖς ὑπὸ νόμον, ὡς ὑπὸ νόμον, μὴ
その 律法の–下にある 律法の–下にある のような 律法の–下にある 律法の–下にある ない
G3588 G5259 G3551 G5613 G5259 G3551 G3361

ὢν αὐτὸς ὑπὸ νόμον, ἵνα τοὺς ὑπὸ
ありながらも 自分は 律法の–下に 律法の–下に ために その 律法の–下にある
G1510 G0846 G5259 G3551 G2443 G3588 G5259

νόμον κερδήσω;
律法の–下にある–人々を 得るために
G3551 G2770

ユダヤ人には、ユダヤ人のようになった。ユダヤ人を得るためである。律法の下にある人には、わたし自身は律法の下にはないが、律法の下にある者のようになった。律法の下にある人を得るためである。

21 τοῖς ἀνόμοις, ὡς ἄνομος, μὴ ὢν ἄνομος Θεοῦ, ἀλλ’
その 律法なき–者には のような 律法なき–者の ない のではなく 律法なき–者 神の むしろ
G3588 G0459 G5613 G0459 G3361 G1510 G0459 G2316 G0235

ἔννομος Χριστοῦ, ἵνα κερδάνω τοὺς ἀνόμους.
律法の–うちにある キリストの ために 得るため その 律法なき–人々を
G1772 G5547 G2443 G2770 G3588 G0459

律法のない人には――わたしは神の律法の外にあるのではなく、キリストの律法の中にあるのだが――律法のない人のようになった。律法のない人を得るためである。

22 ἐγενόμην τοῖς ἀσθενέσιν, ἀσθενής, ἵνα τοὺς ἀσθενεῖς κερδήσω. τοῖς
なった その 弱い–人々には 弱い–者と ために その 弱い–人々を 得るために その
G1096 G3588 G0772 G0772 G2443 G3588 G0772 G2770 G3588

πᾶσιν γέγονα πάντα, ἵνα πάντως, τινὰς σώσω.
すべての–人に なった すべての–もの ために 必ず ある–人々を 救うために
G3956 G1096 G3956 G2443 G3843 G5100 G4982

弱い人には弱い者になった。弱い人を得るためである。すべての人に対しては、すべての人のようになった。なんとかして幾人かを救うためである。

23 πάντα δὲ ποιῶ διὰ τὸ εὐαγγέλιον, ἵνα συνκοινωνὸς
すべてのことを しかし 行って–いる ために その 福音の ために 共に–あずかる者と
G3956 G1161 G4160 G1223 G3588 G2098 G2443 G4791

αὐτοῦ γένωμαι.
その なるために
G0846 G1096

福音のために、わたしはどんな事でもする。わたしも共に福音にあずかるためである。

24 Οὐκ οἴδατε, ὅτι οἱ ἐν σταδίῳ τρέχοντες, πάντες μὲν
ではないか 知って–いる すなわち その 競技場で 競技場で 走る者たちは すべて 一方では
G3756 G1492 G3754 G3588 G1722 G4712 G5143 G3956 G3303

τρέχουσιν, εἷς δὲ λαμβάνει τὸ βραβεῖον? οὕτως τρέχετε, ἵνα
走るが 一人だけが しかし 受ける その 賞を そのように 走りなさい ために
G5143 G1520 G1161 G2983 G3588 G1017 G3779 G5143 G2443

καταλάβητε.
勝ち取るように
G2638

あなたがたは知らないのか。競技場で走る者は、みな走りはするが、賞を得る者はひとりだけである。あなたがたも、賞を得るように走りなさい。

25 πᾶς すべて G3956 δὲ そして G1161 ὁ その G3588 ἀγωνιζόμενος, 競技する者は G0075 πάντα あらゆることに G3956 ἐγκρατεύεται; 節制する G1467 ἐκεῖνοι 彼らは G1565 μὲν 一方では G3303

οὖν, それゆえ G3767 ἵνα ために G2443 φθαρτὸν 朽ちる G5349 στέφανον 冠を G4735 λάβωσιν, 得るために G2983 ἡμεῖς しかし–私たちは G1473 δὲ しかし G1161 ἄφθαρτον. 朽ちない G0862

しかし、すべて競技をする者は、何ごとにも節制をする。彼らは朽ちる冠を得るためにそうするが、わたしたちは朽ちない冠を得るためにそうするのである。

26 ἐγὼ だから–私は G1473 τοίνυν そういう–わけで G5106 οὕτως このように G3779 τρέχω, 走って–いる G5143 ὡς ような G5613 οὐκ ない G3756 ἀδήλως; あてもなく G0084 οὕτως このように G3779

πυκτεύω, 拳闘して–いる G4438 ὡς ような G5613 οὐκ ない G3756 ἀέρα 空を G0109 δέρων. 打つ–ようには G1194

そこで、わたしは目標のはっきりしないような走り方をせず、空を打つような拳闘はしない。

27 ἀλλὰ むしろ G0235 ὑπωπιάζω 厳しく–鍛える G5299 μου 私の G1473 τὸ この G3588 σῶμα, 体を G4983 καὶ そして G2532 δουλαγωγῶ, 従わせて–いる G1396 μή ないように G3361 πως もしかして G4459

ἄλλοις 他の人々に G0243 κηρύξας, 宣べ伝えておきながら G2784 αὐτὸς 自分–自身が G0846 ἀδόκιμος 失格者に G0096 γένωμαι. ならないために G1096

すなわち、自分のからだを打ちたたいて服従させるのである。そうしないと、ほかの人に宣べ伝えておきながら、自分は失格者になるかも知れない。

Chapter 10

1 Οὐ しない G3756 θέλω 望む G2309 γὰρ なぜなら G1063 ὑμᾶς あなたがたが G4771 ἀγνοεῖν, 知らないことを G0050 ἀδελφοί, 兄弟たちよ G0080 ὅτι すなわち G3754 οἱ その G3588 πατέρες 先祖たちは G3962

ἡμῶν, 私たちの G1473 πάντες すべて G3956 ὑπὸ その–下に G5259 τὴν その G3588 νεφέλην 雲の G3507 ἦσαν, いた G1510 καὶ そして G2532 πάντες すべて G3956 διὰ 通って G1223 τῆς その G3588 θαλάσσης 海を G2281

διῆλθον, 渡った G1330

兄弟たちよ。このことを知らずにいてもらいたくない。わたしたちの先祖はみな雲の下におり、みな海を通り、

2 καὶ そして G2532 πάντες すべて G3956 εἰς その–中へ G1519 τὸν その G3588 Μωϋσῆν モーセに G3475 ἐβαπτίσαντο, バプテスマされた G0907 ἐν おける G1722 τῇ その G3588 νεφέλῃ, 雲の–中で G3507 καὶ また G2532

ἐν おける G1722 τῇ その G3588 θαλάσσῃ, 海の–中で G2281

みな雲の中、海の中で、モーセにつくバプテスマを受けた。

3

καὶ	πάντες	τὸ	αὐτὸ	πνευματικὸν	βρῶμα	ἔφαγον,	
そして	すべて	その	同じ	霊的な	食物を	食べた	
G2532	G3956	G3588	G0846	G4152	G1033	G5315	

また、みな同じ霊の食物を食べ、

4

καὶ	πάντες	τὸ	αὐτὸ	πνευματικὸν	ἔπιον	πόμα;	ἔπινον	γὰρ	ἐκ
そして	すべて	その	同じ	霊的な	飲んだ	飲み物を	飲んでいた	なぜなら	その
G2532	G3956	G3588	G0846	G4152	G4095	G4188	G4095	G1063	G1537

πνευματικῆς	ἀκολουθούσης	πέτρας,	ἡ	πέτρα	δὲ	ἦν	ὁ	Χριστός.
霊的な	伴う	岩から	その	岩は	しかし	であった	その	キリスト
G4152	G0190	G4073	G3588	G4073	G1161	G1510	G3588	G5547

みな同じ霊の飲み物を飲んだ。すなわち、彼らについてきた霊の岩から飲んだのであるが、この岩はキリストにほかならない。

5

ἀλλ’	οὐκ	ἐν	τοῖς	πλείοσιν	αὐτῶν,	εὐδόκησεν	ὁ	Θεός;	
しかし	ではなかった	おいて	その	大多数の-者に	彼らの	喜ばれなかった	その	神は	
G0235	G3756	G1722	G3588	G4119	G0846	G2106	G3588	G2316	

κατεστρώθησαν	γὰρ	ἐν	τῇ	ἐρήμῳ.	
倒された	なぜなら	おいて	その	荒野で	
G2693	G1063	G1722	G3588	G2048	

しかし、彼らの中の大多数は、神のみこころにかなわなかったので、荒野で滅ぼされてしまった。

6

Ταῦτα	δὲ,	τύποι	ἡμῶν	ἐγενήθησαν,	εἰς	τὸ	μὴ	εἶναι	
これらのことは	そして	戒めの-型と	私たちへの	なった	ために	その	しない	ように	
G3778	G1161	G5179	G1473	G1096	G1519	G3588	G3361	G1510	

ἡμᾶς,	ἐπιθυμητὰς	κακῶν,	καθὼς	κἀκεῖνοι	ἐπεθύμησαν.	
私たちが	貪る-者と	悪い-ものを	ちょうど	あの-人々も	貪った-ように	
G1473	G1938	G2556	G2531	G2548	G1937	

これらの出来事は、わたしたちに対する警告であって、彼らが悪をむさぼったように、わたしたちも悪をむさぼることのないためなのである。

7

μηδὲ	εἰδωλολάτραι	γίνεσθε,	καθώς	τινες	αὐτῶν;	ὥσπερ		
また	偶像-礼拝者に	なってはならない	ちょうど	ある-人々が	彼らの-うちの	まさに		
G3366	G1496	G1096	G2531	G5100	G0846	G5618		

γέγραπται,	Ἐκάθισεν	ὁ	λαὸς	φαγεῖν	καὶ	πεῖν,	καὶ	
書かれている-とおり	座った	その	民は	食べるために	また	飲むために	そして	
G1125	G2523	G3588	G2992	G5315	G2532	G4095	G2532	

ἀνέστησαν	παίζειν.	
立ち上がった	踊るために	
G0450	G3815	

だから、彼らの中のある者たちのように、偶像礼拝者になってはならない。すなわち、「民は座して飲み食いをし、また立って踊り戯れた」と書いてある。

8

μηδὲ	πορνεύωμεν,	καθώς	τινες	αὐτῶν	
また	淫らな-行いを-してはならない	ちょうど	ある-人々が	彼らの-うちの	
G3366	G4203	G2531	G5100	G0846	

ἐπόρνευσαν,	καὶ	ἔπεσαν	μιᾷ	ἡμέρᾳ	εἴκοσι	τρεῖς	χιλιάδες.	
淫らな-行いを-した-ように	そして	倒れた	一つの	日に	二万	三	千人が	
G4203	G2532	G4098	G1520	G2250	G1501	G5140	G5505	

また、ある者たちがしたように、わたしたちは不品行をしてはならない。不品行をしたため倒された者が、一日に二万三千人もあった。

9 μηδὲ ἐκπειράζωμεν τὸν Χριστόν, καθώς τινες αὐτῶν ἐπείρασαν,
また 試みてはならない その キリストを ちょうど ある-人々が 彼らの-うちの 試みた-ように
G3366 G1598 G3588 G5547 G2531 G5100 G0846 G3985

καὶ ὑπὸ τῶν ὄφεων ἀπώλλυντο.
そして よって その 蛇に 滅ぼされた
G2532 G5259 G3588 G3789 G0622

また、ある者たちがしたように、わたしたちは主を試みてはならない。主を試みた者は、へびに殺された。

10 μηδὲ γογγύζετε, καθάπερ τινὲς αὐτῶν ἐγόγγυσαν, καὶ
また つぶやいてはならない ちょうど ある-人々が 彼らの-うちの つぶやいた-ように そして
G3366 G1111 G2509 G5100 G0846 G1111 G2532

ἀπώλοντο ὑπὸ τοῦ ὀλοθρευτοῦ.
滅ぼされた よって その 滅ぼす-者に
G0622 G5259 G3588 G3644

また、ある者たちがつぶやいたように、つぶやいてはならない。つぶやいた者は、「死の使」に滅ぼされた。

11 ταῦτα δὲ τυπικῶς συνέβαινεν ἐκείνοις, ἐγράφη δὲ πρὸς
これらのことは そして 型として 起きた あの-人々に 書かれた しかし ための
G3778 G1161 G5179 G4819 G1565 G1125 G1161 G4314

νουθεσίαν ἡμῶν, εἰς οὓς τὰ τέλη τῶν αἰώνων κατήντηκεν.
訓戒として 私たちの に その-者たちに その 終わりが その 時代の 来ている
G3559 G1473 G1519 G3739 G3588 G5056 G3588 G0165 G2658

これらの事が彼らに起ったのは、他に対する警告としてであって、それが書かれたのは、世の終りに臨んでいるわたしたちに対する訓戒のためである。

12 Ὥστε ὁ δοκῶν ἑστάναι, βλεπέτω, μὴ
だから その 立っていると-思う-者は 立っていると 気をつけなさい しない-ように
G5620 G3588 G1380 G2476 G0991 G3361

πέσῃ.
倒れない-ように
G4098

だから、立っていると思う者は、倒れないように気をつけるがよい。

13 πειρασμὸς ὑμᾶς οὐκ εἴληφεν, εἰ μὴ ἀνθρώπινος; πιστὸς
試練は あなたがたを まだ 襲っていない もし しない 人間に-共通の-もの-以外は 真実な
G3986 G4771 G3756 G2983 G1487 G3361 G0442 G4103

δὲ ὁ Θεός, ὃς οὐκ ἐάσει ὑμᾶς πειρασθῆναι ὑπὲρ ὃ
しかし その 神は この-方は しない 許さない あなたがたが 試みられることを 超えて それを
G1161 G3588 G2316 G3739 G3756 G1439 G4771 G3985 G5228 G3739

δύνασθε, ἀλλὰ ποιήσει, σὺν τῷ πειρασμῷ, καὶ τὴν ἔκβασιν,
耐えられる-ことを むしろ 備えてくださる 共に その 試練と また その 逃れの-道をも
G1410 G0235 G4160 G4862 G3588 G3986 G2532 G3588 G1545

τοῦ δύνασθαι ὑπενεγκεῖν.
ために できる-ように 耐え忍ぶことが
G3588 G1410 G5297

あなたがたの会った試錬で、世の常でないものはない。神は真実である。あなたがたを耐えられないような試錬に会わせることはないばかりか、試錬と同時に、それに耐えられるように、のがれる道も備えて下さるのである。

14 Διόπερ, ἀγαπητοί μου, φεύγετε ἀπὸ τῆς εἰδωλολατρίας.
それゆえ 愛する–者たちよ 私の 逃げなさい から その 偶像–礼拝から
G1355 G0027 G1473 G5343 G0575 G3588 G1495

それだから、愛する者たちよ。偶像礼拝を避けなさい。

15 ὡς φρονίμοις λέγω; κρίνατε ὑμεῖς ὃ φημι.
ように 賢い–者たちに 語っている 判断しなさい あなたがた–自身が 何を 言っているかを
G5613 G5429 G3004 G2919 G4771 G3739 G5346

賢明なあなたがたに訴える。わたしの言うことを、自ら判断してみるがよい。

16 Τὸ ποτήριον τῆς εὐλογίας, ὃ εὐλογοῦμεν, οὐχὶ κοινωνία ἐστὶν
その 杯は その 祝福の それを 私たちが–祝福する ではないか 交わりで ある
G3588 G4221 G3588 G2129 G3739 G2127 G3780 G2842 G1510

τοῦ αἵματος τοῦ Χριστοῦ? τὸν ἄρτον ὃν κλῶμεν, οὐχὶ κοινωνία τοῦ
その 血との その キリストの その パンは それを 裂く ではないか 交わりで その
G3588 G0129 G3588 G5547 G3588 G0740 G3739 G2806 G3780 G2842 G3588

σώματος τοῦ Χριστοῦ ἐστιν?
体との その キリストの ある
G4983 G3588 G5547 G1510

わたしたちが祝福する祝福の杯、それはキリストの血にあずかることではないか。わたしたちがさくパン、それはキリストのからだにあずかることではないか。

17 ὅτι εἷς ἄρτος, ἓν σῶμα, οἱ πολλοί ἐσμεν; οἱ
なぜなら 一つの パンであり 一つの 体である その 多くの–者たちは 私たちである その
G3754 G1520 G0740 G1520 G4983 G3588 G4183 G1510 G3588

γὰρ πάντες, ἐκ τοῦ ἑνὸς ἄρτου, μετέχομεν.
なぜなら すべての–者が から その 一つの パンに あずかる
G1063 G3956 G1537 G3588 G1520 G0740 G3348

パンが一つであるから、わたしたちは多くいても、一つのからだなのである。みんなの者が一つのパンを共にいただくからである。

18 βλέπετε τὸν Ἰσραὴλ κατὰ σάρκα: οὐχ οἱ ἐσθίοντες τὰς
見なさい その イスラエルを による 肉に–よる ではないか その 食べる–者たちは その
G0991 G3588 G2474 G2596 G4561 G3756 G3588 G2068 G3588

θυσίας, κοινωνοὶ τοῦ θυσιαστηρίου εἰσίν?
犠牲を 交わりの–者で その 祭壇との ある
G2378 G2844 G3588 G2379 G1510

肉によるイスラエルを見るがよい。供え物を食べる人たちは、祭壇にあずかるのではないか。

19 τί οὖν φημι? ὅτι εἰδωλόθυτόν τί ἐστιν, ἢ ὅτι
何を それでは 言うのか すなわち 偶像に–供えた–物は 何か であるのか あるいは すなわち
G5101 G3767 G5346 G3754 G1494 G5100 G1510 G2228 G3754

εἴδωλόν τί ἐστιν?
偶像は 何か であるのか
G1497 G5100 G1510

すると、なんと言ったらよいか。偶像にささげる供え物は、何か意味があるのか。また、偶像は何かほんとうにあるものか。

20 ἀλλ’ ὅτι ἃ θύουσιν (τὰ ἔθνη) δαιμονίοις, καὶ οὐ
いや すなわち それらを 供える その 異邦人たちは 悪霊に であって ではなく
G0235 G3754 G3739 G2380 G3588 G1484 G1140 G2532 G3756

Θεῷ, θύουσιν. οὐ θέλω δὲ, ὑμᾶς κοινωνοὺς τῶν δαιμονίων
神に 供えている しない 望む しかし あなたがたが 仲間に その 悪霊たちの
G2316 G2380 G3756 G2309 G1161 G4771 G2844 G3588 G1140

γίνεσθαι.
なることを
G1096

そうではない。人々が供える物は、悪霊ども、すなわち、神ならぬ者に供えるのである。わたしは、あなたがたが悪霊の仲間になることを望まない。

21 οὐ δύνασθε ποτήριον Κυρίου πίνειν, καὶ ποτήριον δαιμονίων. οὐ
できない 飲む–ことは 杯を 主の 飲み また 杯を 悪霊の できない
G3756 G1410 G4221 G2962 G4095 G2532 G4221 G1140 G3756

δύνασθε τραπέζης Κυρίου μετέχειν, καὶ τραπέζης δαιμονίων.
あずかる–ことは 食卓に 主の あずかり また 食卓に 悪霊の
G1410 G5132 G2962 G3348 G2532 G5132 G1140

主の杯と悪霊どもの杯とを、同時に飲むことはできない。主の食卓と悪霊どもの食卓とに、同時にあずかることはできない。

22 ἢ, παραζηλοῦμεν τὸν Κύριον? μὴ ἰσχυρότεροι αὐτοῦ ἐσμεν?
それとも 妬ませるのか その 主を まさか 強い–者なのか 主より 私たちは
G2228 G3863 G3588 G2962 G3361 G2478 G0846 G1510

それとも、わたしたちは主のねたみを起そうとするのか。わたしたちは、主よりも強いのだろうか。

23 Πάντα ἔξεστιν, ἀλλ’ οὐ πάντα συμφέρει; πάντα
すべてのことは 許されている しかし ない すべてが 益に–なるわけではない すべてのことは
G3956 G1832 G0235 G3756 G3956 G4851 G3956

ἔξεστιν, ἀλλ’ οὐ πάντα οἰκοδομεῖ.
許されている しかし ない すべてが 建て上げるわけではない
G1832 G0235 G3756 G3956 G3618

すべてのことは許されている。しかし、すべてのことが益になるわけではない。すべてのことは許されている。しかし、すべてのことが人の徳を高めるのではない。

24 μηδεὶς τὸ ἑαυτοῦ ζητείτω, ἀλλὰ τὸ τοῦ ἑτέρου.
誰も その 自分の–ことを 求めてはならない むしろ その その 他の–人の–ことを
G3367 G3588 G1438 G2212 G0235 G3588 G3588 G2087

だれでも、自分の益を求めないで、ほかの人の益を求めるべきである。

25 Πᾶν τὸ ἐν μακέλλῳ πωλούμενον, ἐσθίετε; μηδὲν ἀνακρίνοντες
すべて その おいて 市場で 売られている–ものを 食べなさい 何も 問い–ただすことなく
G3956 G3588 G1722 G3111 G4453 G2068 G3367 G0350

διὰ τὴν συνείδησιν.
のために その 良心の–ために
G1223 G3588 G4893

すべて市場で売られている物は、いちいち良心に問うことをしないで、食べるがよい。

26 τοῦ Κυρίου γὰρ ἡ γῆ, καὶ τὸ πλήρωμα αὐτῆς.
その 主の-ものである なぜなら その 地は そして その 満ちる-ものも その
G3588 G2962 G1063 G3588 G1093 G2532 G3588 G4138 G0846

地とそれに満ちている物とは、主のものだからである。

27 εἴ τις καλεῖ ὑμᾶς τῶν ἀπίστων, καὶ θέλετε πορεύεσθαι,
もし 誰か 招くなら あなたがたを その 信じない-者で そして 望むなら 行くことを
G1487 G5100 G2564 G4771 G3588 G0571 G2532 G2309 G4198

πᾶν τὸ παρατιθέμενον ὑμῖν ἐσθίετε, μηδὲν ἀνακρίνοντες διὰ
すべて その 出された-ものを あなたがたに 食べなさい 何も 問い-ただすことなく のために
G3956 G3588 G3908 G4771 G2068 G3367 G0350 G1223

τὴν συνείδησιν.
その 良心の-ために
G3588 G4893

もしあなたがたが、不信者のだれかに招かれて、そこに行こうと思う場合、自分の前に出される物はなんでも、いちいち良心に問うことをしないで、食べるがよい。

28 ἐὰν δέ τις ὑμῖν εἴπῃ, Τοῦτο ἱερόθυτόν ἐστιν,
もし しかし 誰かが あなたがたに 言うなら これは 偶像に-供えた-物だと であると
G1437 G1161 G5100 G4771 G3004 G3778 G1494 G1510

μὴ ἐσθίετε, δι’ ἐκεῖνον τὸν μηνύσαντα, καὶ τὴν
してはならない 食べては-ならない のために その その 知らせた-者の-ために そして その
G3361 G2068 G1223 G1565 G3588 G3377 G2532 G3588

συνείδησιν; <Τοῦ γὰρ κυρίου ἡ γῆ, καὶ τὸ πλήρωμα
良心の-ために その なぜなら 主の-ものである その 地は そして その 満ちる-ものも
G4893 G3588 G1063 G2962 G3588 G1093 G2532 G3588 G4138

αὐτῆς>.
その
G0846

しかし、だれかがあなたがたに、これはささげ物の肉だと言ったなら、それを知らせてくれた人のために、また良心のために、食べないがよい。

29 συνείδησιν δὲ, λέγω, οὐχὶ τὴν ἑαυτοῦ, ἀλλὰ τὴν τοῦ
良心とは しかし 言う ではなく その 自分-自身の-ではなく むしろ その その
G4893 G1161 G3004 G3780 G3588 G1438 G0235 G3588 G3588

ἑτέρου; ἵνα◡ τί γὰρ ἡ ἐλευθερία μου κρίνεται ὑπὸ ἄλλης
他の-人の なぜ なのか なぜなら この 自由が 私の 裁かれるのか よって 他の-人の
G2087 G2443 G5101 G1063 G3588 G1657 G1473 G2919 G5259 G0243

συνειδήσεως?
良心に
G4893

良心と言ったのは、自分の良心ではなく、他人の良心のことである。なぜなら、わたしの自由が、どうして他人の良心によって左右されることがあろうか。

30 εἰ ἐγὼ χάριτι μετέχω, τί βλασφημοῦμαι, ὑπὲρ οὗ
もし 私が 感謝を–もって あずかるなら なぜ 非難されるのか について その–ことについて
G1487 G1473 G5485 G3348 G5101 G0987 G5228 G3739

ἐγὼ εὐχαριστῶ?
私が 感謝している
G1473 G2168

もしわたしが感謝して食べる場合、その感謝する物について、どうして人のそしりを受けるわけがあろうか。

31 Εἴτε οὖν ἐσθίετε, εἴτε πίνετε, εἴτε τι ποιεῖτε,
であれ それゆえ 食べるにしても であれ 飲むにしても であれ 何を するにしても
G1535 G3767 G2068 G1535 G4095 G1535 G5100 G4160

πάντα εἰς δόξαν Θεοῦ ποιεῖτε.
すべてのことを ために 栄光の–ために 神の 行いなさい
G3956 G1519 G1391 G2316 G4160

だから、飲むにも食べるにも、また何事をするにも、すべて神の栄光のためにすべきである。

32 ἀπρόσκοποι καὶ Ἰουδαίοις γίνεσθε, καὶ Ἕλλησιν, καὶ τῇ
つまずきを–与えない–者と にも ユダヤ人にも なりなさい にも ギリシヤ人にも にも その
G0677 G2532 G2453 G1096 G2532 G1672 G2532 G3588

ἐκκλησίᾳ τοῦ Θεοῦ.
教会にも その 神の
G1577 G3588 G2316

ユダヤ人にもギリシヤ人にも神の教会にも、つまずきになってはいけない。

33 καθὼς κἀγὼ πάντα, πᾶσιν ἀρέσκω; μὴ ζητῶν τὸ
ちょうど 私も–また すべてのことにおいて すべての–人を 喜ばせている しない 求める その
G2531 G2504 G3956 G3956 G0700 G3361 G2212 G3588

ἐμαυτοῦ σύμφορον, ἀλλὰ τὸ τῶν πολλῶν, ἵνα σωθῶσιν.
自分–自身の 利益を むしろ その その 多くの–人々の ために 救われるために
G1683 G4851 G0235 G3588 G3588 G4183 G2443 G4982

わたしもまた、何事にもすべての人に喜ばれるように努め、多くの人が救われるために、自分の益ではなく彼らの益を求めている。

Chapter 11

1 μιμηταί μου γίνεσθε, καθὼς κἀγὼ Χριστοῦ.
倣う–者と 私の なりなさい ちょうど 私もまた キリストの
G3402 G1473 G1096 G2531 G2504 G5547

わたしがキリストにならう者であるように、あなたがたもわたしにならう者になりなさい。

2 Ἐπαινῶ δὲ ὑμᾶς, ὅτι πάντα μου μέμνησθε; καὶ
ほめる さて あなたがたを なぜなら すべてのことにおいて 私の 覚えている そして
G1867 G1161 G4771 G3754 G3956 G1473 G3403 G2532

καθὼς παρέδωκα ὑμῖν, τὰς παραδόσεις κατέχετε.
ちょうど 伝えた あなたがたに その 言い伝えを 守っている
G2531 G3860 G4771 G3588 G3862 G2722

あなたがたが、何かにつけわたしを覚えていて、あなたがたに伝えたとおりに言伝えを守っているので、わたしは満足に思う。

3

Θέλω	δὲ	ὑμᾶς	εἰδέναι,	ὅτι	παντὸς	ἀνδρὸς	ἡ	κεφαλὴ,	ὁ
望む	しかし	あなたがたに	知ることを	すなわち	すべての	男の	その	かしらは	その
G2309	G1161	G4771	G1492	G3754	G3956	G0435	G3588	G2776	G3588

Χριστός	ἐστιν;	κεφαλὴ	δὲ	γυναικὸς	ὁ	ἀνήρ;	κεφαλὴ	δὲ	τοῦ
キリスト	である	かしらは	しかし	女の	その	男である	かしらは	また	その
G5547	G1510	G2776	G1161	G1135	G3588	G0435	G2776	G1161	G3588

Χριστοῦ,	ὁ	Θεός.
キリストの	その	神である
G5547	G3588	G2316

しかし、あなたがたに知っていてもらいたい。すべての男のかしらはキリストであり、女のかしらは男であり、キリストのかしらは神である。

4

πᾶς	ἀνὴρ	προσευχόμενος	ἢ	προφητεύων,	κατὰ	κεφαλῆς	ἔχων,
すべての	男が	祈りつつ	あるいは	預言しつつ	その-上に	頭の-上に	持つ-者は
G3956	G0435	G4336	G2228	G4395	G2596	G2776	G2192

καταισχύνει	τὴν	κεφαλὴν	αὐτοῦ.
辱める	その	頭を	自分の
G2617	G3588	G2776	G0846

祈をしたり預言をしたりする時、かしらに物をかぶる男は、そのかしらをはずかしめる者である。

5

πᾶσα	δὲ	γυνὴ	προσευχομένη	ἢ	προφητεύουσα,	ἀκατακαλύπτῳ	τῇ
すべての	しかし	女が	祈りつつ	あるいは	預言しつつ	覆いのない	その
G3956	G1161	G1135	G4336	G2228	G4395	G0177	G3588

κεφαλῇ,	καταισχύνει	τὴν	κεφαλὴν	αὐτῆς;	ἓν	γάρ	ἐστιν,	καὶ	τὸ
頭で	辱める	その	頭を	自分の	一つの	なぜなら	ことである	そして	その
G2776	G2617	G3588	G2776	G0846	G1520	G1063	G1510	G2532	G3588

αὐτὸ,	τῇ	ἐξυρημένῃ.
同じ	その	剃られた-者と
G0846	G3588	G3587

祈をしたり預言をしたりする時、かしらにおおいをかけない女は、そのかしらをはずかしめる者である。それは、髪をそったのとまったく同じだからである。

6

εἰ	γὰρ	οὐ	κατακαλύπτεται	γυνή,	καὶ	κειράσθω.	εἰ	δὲ
もし	なぜなら	しない	覆うなら	女が	それなら	切りなさい	もし	しかし
G1487	G1063	G3756	G2619	G1135	G2532	G2751	G1487	G1161

αἰσχρὸν	γυναικὶ	τὸ	κείρασθαι	ἢ	ξυρᾶσθαι,	κατακαλυπτέσθω.
恥ずかしい-ことなら	女にとって	その	切ること-や	あるいは	剃ることが	覆いなさい
G0150	G1135	G3588	G2751	G2228	G3587	G2619

もし女がおおいをかけないなら、髪を切ってしまうがよい。髪を切ったりそったりするのが、女にとって恥ずべきことであるなら、おおいをかけるべきである。

7

ἀνὴρ	μὲν	γὰρ	οὐκ	ὀφείλει	κατακαλύπτεσθαι	τὴν	κεφαλήν,	εἰκὼν
男は	一方では	なぜなら	しない	べきである	覆うことを	その	頭を	像であり
G0435	G3303	G1063	G3756	G3784	G2619	G3588	G2776	G1504

καὶ	δόξα	Θεοῦ	ὑπάρχων;	ἡ	γυνὴ	δὲ,	δόξα	ἀνδρός	ἐστιν.
そして	栄光で	神の	あるので	その	女は	しかし	栄光で	男の	ある
G2532	G1391	G2316	G5225	G3588	G1135	G1161	G1391	G0435	G1510

男は、神のかたちであり栄光であるから、かしらに物をかぶるべきではない。女は、また男の光栄である。

8

οὐ	γάρ	ἐστιν	ἀνὴρ	ἐκ	γυναικός,	ἀλλὰ	γυνὴ	ἐξ	ἀνδρός.
ではない	なぜなら	いる	男は	から	女から	むしろ	女が	から	男から
G3756	G1063	G1510	G0435	G1537	G1135	G0235	G1135	G1537	G0435

なぜなら、男が女から出たのではなく、女が男から出たのだからである。

9

καὶ	γὰρ	οὐκ	ἐκτίσθη	ἀνὴρ	διὰ	τὴν	γυναῖκα,	ἀλλὰ	γυνὴ	διὰ
また	なぜなら	ではない	造られた	男は	ために	その	女の-ために	むしろ	女が	ために
G2532	G1063	G3756	G2936	G0435	G1223	G3588	G1135	G0235	G1135	G1223

τὸν	ἄνδρα.
その	男の-ために
G3588	G0435

また、男は女のために造られたのではなく、女が男のために造られたのである。

10

διὰ	τοῦτο,	ὀφείλει	ἡ	γυνὴ	ἐξουσίαν	ἔχειν	ἐπὶ	τῆς	
この-ゆえに	このことの-ゆえに	べきである	その	女は	権威の-しるしを	持つ	上に	その	
G1223	G3778	G3784	G3588	G1135	G1849	G2192	G1909	G3588	

κεφαλῆς,	διὰ	τοὺς	ἀγγέλους.
頭の-上に	ゆえに	その	御使いたちの-ゆえに
G2776	G1223	G3588	G0032

それだから、女は、かしらに権威のしるしをかぶるべきである。それは天使たちのためでもある。

11

πλὴν,	οὔτε	γυνὴ	χωρὶς	ἀνδρὸς,	οὔτε	ἀνὴρ	χωρὶς	γυναικὸς,	ἐν	
しかし	でもなく	女が	離れて	男から	でもなく	男が	離れて	女から	おいて	
G4133	G3777	G1135	G5565	G0435	G3777	G0435	G5565	G1135	G1722	

Κυρίῳ.
主に-あって
G2962

ただ、主にあっては、男なしには女はないし、女なしには男はない。

12

ὥσπερ	γὰρ	ἡ	γυνὴ,	ἐκ	τοῦ	ἀνδρός;	οὕτως	καὶ	ὁ
ちょうど	なぜなら	その	女が	から	その	男から-出たように	同じように	また	その
G5618	G1063	G3588	G1135	G1537	G3588	G0435	G3779	G2532	G3588

ἀνὴρ	διὰ,	τῆς	γυναικός;	τὰ	δὲ	πάντα,	ἐκ	τοῦ	Θεοῦ.
男も	通して	その	女を-通して	その	しかし	すべてのものは	から	その	神から
G0435	G1223	G3588	G1135	G3588	G1161	G3956	G1537	G3588	G2316

それは、女が男から出たように、男もまた女から生れたからである。そして、すべてのものは神から出たのである。

13

ἐν	ὑμῖν	αὐτοῖς	κρίνατε:	πρέπον	ἐστὶν	γυναῖκα	ἀκατακάλυπτον,
おいて	あなたがたの	自ら	判断しなさい	ふさわしい	ことか	女が	覆いなしに
G1722	G4771	G0846	G2919	G4241	G1510	G1135	G0177

τῷ	Θεῷ	προσεύχεσθαι?
その	神に	祈ることが
G3588	G2316	G4336

あなたがた自身で判断してみるがよい。女がおおいをかけずに神に祈るのは、ふさわしいことだろうか。

14 οὐδὲ ἡ φύσις αὐτὴ διδάσκει ὑμᾶς, ὅτι ἀνὴρ μὲν
実に その 自然-そのものが それ自体 教えている あなたがたに すなわち 男が 一方では
G3761 G3588 G5449 G0846 G1321 G4771 G3754 G0435 G3303

ἐὰν κομᾷ, ἀτιμία αὐτῷ ἐστιν?
もし 長い-髪なら 恥で 彼にとって ある
G1437 G2863 G0819 G0846 G1510

自然そのものが教えているではないか。男に長い髪があれば彼の恥になり、

15 γυνὴ δὲ ἐὰν κομᾷ, δόξα αὐτῇ ἐστιν; ὅτι ἡ κόμη
女が しかし もし 長い-髪なら 栄光で 彼女にとって ある なぜなら その 髪は
G1135 G1161 G1437 G2863 G1391 G0846 G1510 G3754 G3588 G2864

ἀντὶ, περιβολαίου δέδοται αὐτῇ.
代わりに 覆いの-代わりに 与えられている 彼女に
G0473 G4018 G1325 G0846

女に長い髪があれば彼女の光栄になるのである。長い髪はおおいの代りに女に与えられているものだからである。

16 Εἰ δέ τις δοκεῖ φιλόνεικος εἶναι, ἡμεῖς τοιαύτην συνήθειαν οὐκ
しかし もし 誰かが 思うなら 争い好きで あると 私たちには そのような 慣習は ない
G1487 G1161 G5100 G1380 G5380 G1510 G1473 G5108 G4914 G3756

ἔχομεν, οὐδὲ αἱ ἐκκλησίαι τοῦ Θεοῦ.
持っていない もまた その 諸教会も その 神の
G2192 G3761 G3588 G1577 G3588 G2316

しかし、だれかがそれに反対の意見を持っていても、そんな風習はわたしたちにはなく、神の諸教会にもない。

17 Τοῦτο δὲ παραγγέλλων, οὐκ ἐπαινῶ, ὅτι οὐκ εἰς τὸ
この-ことを しかし 命じるにあたり しない ほめる なぜなら ではない ための その
G3778 G1161 G3853 G3756 G1867 G3754 G3756 G1519 G3588

κρεῖσσον, ἀλλὰ εἰς τὸ ἧσσον, συνέρχεσθε.
より-良い-ために むしろ ための その より-悪い-ために 集まっている
G2908 G0235 G1519 G3588 G2276 G4905

ところで、次のことを命じるについては、あなたがたをほめるわけにはいかない。というのは、あなたがたの集まりが利益にならないで、かえって損失になっているからである。

18 πρῶτον μὲν, γὰρ συνερχομένων ὑμῶν ἐν ἐκκλησίᾳ, ἀκούω
まず 一方では なぜなら 集まる-とき あなたがたが おいて 教会に 聞いている
G4412 G3303 G1063 G4905 G4771 G1722 G1577 G0191

σχίσματα ἐν ὑμῖν ὑπάρχειν, καὶ μέρος τι πιστεύω.
分裂が おいて あなたがたの-中に ある と そして ある-程度 ある-程度は 信じている
G4978 G1722 G4771 G5225 G2532 G3313 G5100 G4100

まず、あなたがたが教会に集まる時、お互の間に分争があることを、わたしは耳にしており、そしていくぶんか、それを信じている。

19 δεῖ γὰρ καὶ αἱρέσεις ἐν ὑμῖν εἶναι, ἵνα καὶ
必要である なぜなら また 分派が おいて あなたがたの-中に あることが ために また
G1163 G1063 G2532 G0139 G1722 G4771 G1510 G2443 G2532

οἱ δόκιμοι, φανεροὶ γένωνται ἐν ὑμῖν.
その 認められた-者たちが 明らかに なるために おいて あなたがたの-中で
G3588 G1384 G5318 G1096 G1722 G4771

たしかに、あなたがたの中でほんとうの者が明らかにされるためには、分派もなければなるまい。

20 Συνερχομένων οὖν ὑμῶν, ἐπὶ τὸ αὐτό, οὐκ ἔστιν κυριακὸν
集まる–とき それゆえ あなたがたが おいて その 一つ–所に ではない ない 主の
G4905 G3767 G4771 G1909 G3588 G0846 G3756 G1510 G2960

δεῖπνον φαγεῖν.
晩餐を 食べることは
G1173 G5315

そこで、あなたがたが一緒に集まるとき、主の晩餐を守ることができないでいる。

21 ἕκαστος γὰρ, τὸ ἴδιον δεῖπνον, προλαμβάνει ἐν τῷ φαγεῖν; καὶ
各自が なぜなら その 自分の 食事を 先に–取る おいて その 食べる–とき そして
G1538 G1063 G3588 G2398 G1173 G4301 G1722 G3588 G5315 G2532

ὃς μὲν πεινᾷ, ὃς δὲ μεθύει.
ある–者は 一方では 飢えている ある–者は しかし 酔っている
G3739 G3303 G3983 G3739 G1161 G3184

というのは、食事の際、各自が自分の晩餐をかってに先に食べるので、飢えている人があるかと思えば、酔っている人がある始末である。

22 μὴ γὰρ οἰκίας οὐκ ἔχετε, εἰς τὸ ἐσθίειν καὶ πίνειν?
まさか なぜなら 家を ない 持っていないのか ための その 食べたり また 飲んだり–する
G3361 G1063 G3614 G3756 G2192 G1519 G3588 G2068 G2532 G4095

ἢ τῆς ἐκκλησίας τοῦ Θεοῦ καταφρονεῖτε, καὶ καταισχύνετε τοὺς
それとも その 教会を その 神の 軽んじるのか そして 辱めるのか その
G2228 G3588 G1577 G3588 G2316 G2706 G2532 G2617 G3588

μὴ ἔχοντας? τί εἴπω ὑμῖν? ἐπαινέσω ὑμᾶς ἐν τούτῳ?
持たない 者たちを 何を 言おうか あなたがたに ほめようか あなたがたを において このことで
G3361 G2192 G5101 G3004 G4771 G1867 G4771 G1722 G3778

οὐκ ἐπαινῶ!
しない ほめない
G3756 G1867

あなたがたには、飲み食いをする家がないのか。それとも、神の教会を軽んじ、貧しい人々をはずかしめるのか。わたしはあなたがたに対して、なんと言おうか。あなたがたを、ほめようか。この事では、ほめるわけにはいかない。

23 ἐγὼ γὰρ παρέλαβον ἀπὸ τοῦ Κυρίου, ὃ καὶ παρέδωκα ὑμῖν:
私は なぜなら 受けた から その 主から それを また 伝えた あなたがたに
G1473 G1063 G3880 G0575 G3588 G2962 G3739 G2532 G3860 G4771

ὅτι ὁ Κύριος Ἰησοῦς ἐν τῇ νυκτὶ ᾗ παρεδίδετο, ἔλαβεν ἄρτον,
すなわち その 主 イエスは において その 夜に その 引き渡された 取った パンを
G3754 G3588 G2962 G2424 G1722 G3588 G3571 G3739 G3860 G2983 G0740

わたしは、主から受けたことを、また、あなたがたに伝えたのである。すなわち、主イエスは、渡される夜、パンをとり、

24 καὶ εὐχαριστήσας ἔκλασεν, καὶ εἶπεν, Τοῦτό μού ἐστιν τὸ σῶμα,
そして 感謝して 裂いた そして 言われた これは 私の である その 体で
G2532 G2168 G2806 G2532 G3004 G3778 G1473 G1510 G3588 G4983

τὸ ὑπὲρ ὑμῶν; τοῦτο ποιεῖτε εἰς τὴν ἐμὴν ἀνάμνησιν.
その ための あなたがたの–ための これを 行いなさい ための その 私の 記念として
G3588 G5228 G4771 G3778 G4160 G1519 G3588 G1699 G0364

感謝してこれをさき、そして言われた、「これはあなたがたのための、わたしのからだである。わたしを記念するため、このように行いなさい」。

25 ὡσαύτως καὶ, τὸ ποτήριον, μετὰ τὸ δειπνῆσαι, λέγων, Τοῦτο τὸ
同じように また その 杯も 後に その 食事の-後に 言って この その
G5615 G2532 G3588 G4221 G3326 G3588 G1172 G3004 G3778 G3588

ποτήριον ἡ καινὴ διαθήκη ἐστὶν, ἐν τῷ ἐμῷ αἵματι; τοῦτο ποιεῖτε,
杯は その 新しい 契約で ある おける その 私の 血に-おける これを 行いなさい
G4221 G3588 G2537 G1242 G1510 G1722 G3588 G1699 G0129 G3778 G4160

ὁσάκις ἐὰν πίνητε, εἰς τὴν ἐμὴν ἀνάμνησιν.
するたびに もし 飲む-ときは ための その 私の 記念として
G3740 G1437 G4095 G1519 G3588 G1699 G0364

食事ののち、杯をも同じようにして言われた、「この杯は、わたしの血による新しい契約である。飲むたびに、わたしの記念として、このように行いなさい」。

26 ὁσάκις γὰρ, ἐὰν ἐσθίητε τὸν ἄρτον τοῦτον, καὶ τὸ ποτήριον
するたびに なぜなら もし 食べ この パンを この そして この 杯を
G3740 G1063 G1437 G2068 G3588 G0740 G3778 G2532 G3588 G4221

πίνητε, τὸν θάνατον τοῦ Κυρίου καταγγέλλετε, ἄχρι οὗ ἔλθῃ.
飲むなら その 死を その 主の 告げ知らせる まで その 来られる-まで
G4095 G3588 G2288 G3588 G2962 G2605 G0891 G3739 G2064

だから、あなたがたは、このパンを食し、この杯を飲むごとに、それによって、主がこられる時に至るまで、主の死を告げ知らせるのである。

27 ὥστε ὃς ἂν ἐσθίῃ τὸν ἄρτον, ἢ πίνῃ τὸ ποτήριον
だから その-者が もし 食べるなら その パンを あるいは 飲むなら その 杯を
G5620 G3739 G0302 G2068 G3588 G0740 G2228 G4095 G3588 G4221

τοῦ Κυρίου ἀναξίως, ἔνοχος ἔσται τοῦ σώματος, καὶ τοῦ
その 主の ふさわしくなく 有罪-となる であろう その 体と また その
G3588 G2962 G0371 G1777 G1510 G3588 G4983 G2532 G3588

αἵματος τοῦ Κυρίου.
血に-対して その 主の
G0129 G3588 G2962

だから、ふさわしくないままでパンを食し主の杯を飲む者は、主のからだと血とを犯すのである。

28 δοκιμαζέτω δὲ ἄνθρωπος ἑαυτόν, καὶ οὕτως ἐκ τοῦ ἄρτου
吟味しなさい そして 人は 自分-自身を そして そのように その その パンから
G1381 G1161 G0444 G1438 G2532 G3779 G1537 G3588 G0740

ἐσθιέτω, καὶ ἐκ τοῦ ποτηρίου πινέτω.
食べなさい そして その その 杯から 飲みなさい
G2068 G2532 G1537 G3588 G4221 G4095

だれでもまず自分を吟味し、それからパンを食べ杯を飲むべきである。

29 ὁ γὰρ ἐσθίων καὶ πίνων κρίμα ἑαυτῷ, ἐσθίει καὶ πίνει,
その なぜなら 食べる-者が また 飲む-者が 裁きを 自分に-対する 食べ また 飲んでいる
G3588 G1063 G2068 G2532 G4095 G2917 G1438 G2068 G2532 G4095

μὴ διακρίνων τὸ σῶμα.
しない わきまえない-者は その 体を
G3361 G1252 G3588 G4983

主のからだをわきまえないで飲み食いする者は、その飲み食いによって自分にさばきを招くからである。

30 διὰ この–ゆえに G1223 τοῦτο, このことの–ゆえに G3778 ἐν おいて G1722 ὑμῖν あなたがたの–中に 多くの G4183 πολλοὶ 弱い–者や G0772 ἀσθενεῖς καὶ また G2532

ἄρρωστοι, 病気の–者がいる G0732 καὶ そして G2532 κοιμῶνται 眠って–いる–者も G2837 ἱκανοί. 少なくない G2425

あなたがたの中に、弱い者や病人が大ぜいおり、また眠った者も少なくないのは、そのためである。

31 εἰ もし G1487 δὲ しかし G1161 ἑαυτοὺς 自分–自身を G1438 διεκρίνομεν, わきまえるなら G1252 οὐκ しない G3756 ἂν であろう G0302 ἐκρινόμεθα. 裁かれない–であろう G2919

しかし、自分をよくわきまえておくならば、わたしたちはさばかれることはないであろう。

32 κρινόμενοι 裁かれる–とき G2919 δὲ しかし G1161 ὑπὸ よって G5259 τοῦ その G3588 Κυρίου, 主に G2962 παιδευόμεθα, 訓練される G3811 ἵνα ために G2443 μὴ しない–ように G3361 σὺν 共に G4862

τῷ その G3588 κόσμῳ 世と G2889 κατακριθῶμεν. 罰せられない–ために G2632

しかし、さばかれるとすれば、それは、この世と共に罪に定められないために、主の懲らしめを受けることなのである。

33 ὥστε, だから G5620 ἀδελφοί 兄弟たちよ G0080 μου, 私の G1473 συνερχόμενοι 集まる–とき G4905 εἰς ための G1519 τὸ その G3588 φαγεῖν, 食べるために G5315 ἀλλήλους 互いに G0240

ἐκδέχεσθε. 待ち合わせなさい G1551

それだから、兄弟たちよ。食事のために集まる時には、互に待ち合わせなさい。

34 εἴ もし G1487 τις 誰かが G5100 πεινᾷ, 飢えるなら G3983 ἐν おいて G1722 οἴκῳ 家で G3624 ἐσθιέτω, 食べなさい G2068 ἵνα ために G2443 μὴ しない–ように G3361 εἰς ための G1519

κρίμα 裁きのために G2917 συνέρχησθε; 集まらない–ように G4905 Τὰ その G3588 δὲ しかし G1161 λοιπὰ, 残りのことは G3062 ὡς ように G5613 ἂν たら G0302 ἔλθω, 行った–とき G2064

διατάξομαι. 整える–であろう G1299

もし空腹であったら、さばきを受けに集まることにならないため、家で食べるがよい。そのほかの事は、わたしが行った時に、定めることにしよう。

Chapter 12

1 Περὶ δὲ τῶν πνευματικῶν, ἀδελφοί, οὐ θέλω ὑμᾶς
について さて その 霊的な–賜物について 兄弟たちよ しない 望む あなたがたが
G4012 G1161 G3588 G4152 G0080 G3756 G2309 G4771

ἀγνοεῖν.
知らないことを
G0050

兄弟たちよ。霊の賜物については、次のことを知らずにいてもらいたくない。

2 Οἴδατε ὅτι ὅτε ἔθνη ἦτε, πρὸς τὰ εἴδωλα τὰ
知っている すなわち かつて 異邦人で あった–とき へと その 偶像に その
G1492 G3754 G3753 G1484 G1510 G4314 G3588 G1497 G3588

ἄφωνα, ὡς ἂν ἤγεσθε, ἀπαγόμενοι.
ものを–言えない ように まさに 導かれた 引き–連れられて
G0880 G5613 G0302 G0071 G0520

あなたがたがまだ異邦人であった時、誘われるまま、物の言えない偶像のところに引かれて行ったことは、あなたがたの承知しているとおりである。

3 διὸ γνωρίζω ὑμῖν, ὅτι οὐδεὶς, ἐν Πνεύματι Θεοῦ λαλῶν,
それゆえ 知らせる あなたがたに すなわち 誰も において 御霊に 神の 語る–者は
G1352 G1107 G4771 G3754 G3762 G1722 G4151 G2316 G2980

λέγει ΑΝΑΘΕΜΑ ΙΗΣΟΥΣ; καὶ οὐδεὶς δύναται εἰπεῖν, ΚΥΡΙΟΣ ΙΗΣΟΥΣ, εἰ
言わない 呪われよと イエスと また 誰も できない 言う–ことが 主と イエスと もし
G3004 G0331 G2424 G2532 G3762 G1410 G3004 G2962 G2424 G1487

μὴ ἐν Πνεύματι Ἁγίῳ.
しない において 御霊に 聖なる
G3361 G1722 G4151 G0040

そこで、あなたがたに言っておくが、神の霊によって語る者はだれも「イエスはのろわれよ」とは言わないし、また、聖霊によらなければ、だれも「イエスは主である」と言うことができない。

4 Διαιρέσεις δὲ χαρισμάτων εἰσίν, τὸ δὲ αὐτὸ Πνεῦμα;
さまざまな さて 賜物が ある その しかし 同じ 御霊である
G1243 G1161 G5486 G1510 G3588 G1161 G0846 G4151

霊の賜物は種々あるが、御霊は同じである。

5 καὶ διαιρέσεις διακονιῶν εἰσιν, καὶ ὁ αὐτὸς Κύριος;
また さまざまな 奉仕が ある しかし その 同じ 主である
G2532 G1243 G1248 G1510 G2532 G3588 G0846 G2962

務は種々あるが、主は同じである。

6 καὶ διαιρέσεις ἐνεργημάτων εἰσίν, (καὶ) ὁ δὲ αὐτὸς Θεός, ὁ
また さまざまな 働きが ある しかし その しかし 同じ 神が その
G2532 G1243 G1755 G1510 G2532 G3588 G1161 G0846 G2316 G3588

ἐνεργῶν τὰ πάντα, ἐν πᾶσιν.
働かせる その すべてを おいて すべての–人に
G1754 G3588 G3956 G1722 G3956

働きは種々あるが、すべてのものの中に働いてすべてのことをなさる神は、同じである。

7 ἑκάστῳ δὲ δίδοται ἡ φανέρωσις τοῦ Πνεύματος, πρὸς τὸ
各自に そして 与えられる その 現れが その 御霊の ための その
G1538 G1161 G1325 G3588 G5321 G3588 G4151 G4314 G3588

συμφέρον.
益の-ために
G4851

各自が御霊の現れを賜わっているのは、全体の益になるためである。

8 ᾧ μὲν γὰρ, διὰ τοῦ Πνεύματος, δίδοται λόγος
ある-者には 一方では なぜなら 通して その 御霊を-通して 与えられる 知恵の-言葉が
G3739 G3303 G1063 G1223 G3588 G4151 G1325 G3056

σοφίας; ἄλλῳ δὲ, λόγος γνώσεως, κατὰ τὸ αὐτὸ Πνεῦμα;
知恵の 他の-者には しかし 知識の-言葉が 知識の による その 同じ 御霊に-よって
G4678 G0243 G1161 G3056 G1108 G2596 G3588 G0846 G4151

すなわち、ある人には御霊によって知恵の言葉が与えられ、ほかの人には、同じ御霊によって知識の言、

9 ἑτέρῳ, πίστις, ἐν τῷ αὐτῷ Πνεύματι; ἄλλῳ δὲ, χαρίσματα
別の-者には 信仰が おいて その 同じ 御霊に-おいて 他の-者には しかし いやしの
G2087 G4102 G1722 G3588 G0846 G4151 G0243 G1161 G5486

ἰαμάτων, ἐν τῷ ἑνὶ Πνεύματι;
賜物が おいて その 一つの 御霊に-おいて
G2386 G1722 G3588 G1520 G4151

またほかの人には、同じ御霊によって信仰、またほかの人には、一つの御霊によっていやしの賜物、

10 ἄλλῳ δὲ, ἐνεργήματα δυνάμεων; ἄλλῳ δὲ, προφητεία; ἄλλῳ
他の-者には また 力ある わざが 他の-者には また 預言が 他の-者には
G0243 G1161 G1755 G1411 G0243 G1161 G4394 G0243

δὲ, διακρίσεις πνευμάτων; ἑτέρῳ, γένη γλωσσῶν; ἄλλῳ δὲ,
また 霊を-見分ける 力が 別の-者には さまざまな 異言が 他の-者には また
G1161 G1253 G4151 G2087 G1085 G1100 G0243 G1161

ἑρμηνεία γλωσσῶν.
異言の-解き明かしが 異言の
G2058 G1100

またほかの人には力あるわざ、またほかの人には預言、またほかの人には霊を見わける力、またほかの人には種々の異言、またほかの人には異言を解く力が、与えられている。

11 πάντα δὲ ταῦτα ἐνεργεῖ τὸ ἓν καὶ τὸ αὐτὸ Πνεῦμα,
すべての-ことを しかし これらの 働かせる その 一つの そして その 同じ 御霊が
G3956 G1161 G3778 G1754 G3588 G1520 G2532 G3588 G0846 G4151

διαιροῦν ἰδίᾳ ἑκάστῳ καθὼς βούλεται.
分け-与える それぞれに 各自に ちょうど 望む-ままに
G1244 G2398 G1538 G2531 G1014

すべてこれらのものは、一つの同じ御霊の働きであって、御霊は思いのままに、それらを各自に分け与えられるのである。

12 Καθάπερ γὰρ τὸ σῶμα ἕν ἐστιν, καὶ μέλη πολλὰ ἔχει, πάντα
ちょうど なぜなら その 体は 一つで ある そして 肢体を 多く 持つ すべての
G2509 G1063 G3588 G4983 G1520 G1510 G2532 G3196 G4183 G2192 G3956

δὲ τὰ μέλη τοῦ σώματος, πολλὰ ὄντα, ἕν ἐστιν σῶμα; οὕτως
しかし その 肢体は その 体の 多くが あっても 一つの である 体で 同じように
G1161 G3588 G3196 G3588 G4983 G4183 G1510 G1520 G1510 G4983 G3779

καὶ ὁ Χριστός.
また その キリストも
G2532 G3588 G5547

からだが一つであっても肢体は多くあり、また、からだのすべての肢体が多くあっても、からだは一つであるように、キリストの場合も同様である。

13 καὶ γὰρ, ἐν ἑνὶ Πνεύματι, ἡμεῖς πάντες εἰς ἓν σῶμα
また なぜなら おいて 一つの 御霊に-おいて 私たちは すべて その-中へ 一つの 体に
G2532 G1063 G1722 G1520 G4151 G1473 G3956 G1519 G1520 G4983

ἐβαπτίσθημεν, εἴτε Ἰουδαῖοι εἴτε Ἕλληνες, εἴτε δοῦλοι εἴτε ἐλεύθεροι,
バプテスマされた であれ ユダヤ人で であれ ギリシヤ人で であれ 奴隷で であれ 自由人で
G0907 G1535 G2453 G1535 G1672 G1535 G1401 G1535 G1658

καὶ πάντες ἓν Πνεῦμα ἐποτίσθημεν.
そして すべて 一つの 御霊を 飲ませられた
G2532 G3956 G1520 G4151 G4222

なぜなら、わたしたちは皆、ユダヤ人もギリシヤ人も、奴隷も自由人も、一つの御霊によって、一つのからだとなるようにバプテスマを受け、そして皆一つの御霊を飲んだからである。

14 καὶ γὰρ, τὸ σῶμα οὐκ ἔστιν ἓν μέλος, ἀλλὰ πολλά.
また なぜなら その 体は ではない ない 一つの 肢体では むしろ 多くの
G2532 G1063 G3588 G4983 G3756 G1510 G1520 G3196 G0235 G4183

実際、からだは一つの肢体だけではなく、多くのものからできている。

15 ἐὰν εἴπῃ ὁ πούς, Ὅτι οὐκ εἰμὶ χείρ, οὐκ εἰμὶ ἐκ
もし 言うなら その 足が すなわち ではない 私は 手だから ではない ない から
G1437 G3004 G3588 G4228 G3754 G3756 G1510 G5495 G3756 G1510 G1537

τοῦ σώματος: οὐ παρὰ τοῦτο, οὐκ ἔστιν ἐκ τοῦ
その 体の-一部では ではない にもかかわらず そのことにより ないのでは ない 属する その
G3588 G4983 G3756 G3844 G3778 G3756 G1510 G1537 G3588

σώματος.
体に
G4983

もし足が、わたしは手ではないから、からだに属していないと言っても、それで、からだに属さないわけではない。

16 καὶ ἐὰν εἴπῃ τὸ οὖς, Ὅτι οὐκ εἰμὶ ὀφθαλμός, οὐκ εἰμὶ
また もし 言うなら その 耳が すなわち ではない 私は 目だから ではない ない
G2532 G1437 G3004 G3588 G3775 G3754 G3756 G1510 G3788 G3756 G1510

ἐκ τοῦ σώματος: οὐ παρὰ τοῦτο, οὐκ ἔστιν ἐκ τοῦ
から その 体の-一部では ではない にもかかわらず そのことにより ないのでは ない 属する その
G1537 G3588 G4983 G3756 G3844 G3778 G3756 G1510 G1537 G3588

σώματος.
体に
G4983

また、もし耳が、わたしは目ではないから、からだに属していないと言っても、それで、からだに属さないわけではない。

17 εἰ ὅλον τὸ σῶμα ὀφθαλμός, ποῦ ἡ ἀκοή? εἰ ὅλον
もし 全体が その 体が 目なら どこに その 聞く-力が-あるか もし 全体が
G1487 G3650 G3588 G4983 G3788 G4226 G3588 G0189 G1487 G3650

ἀκοή, ποῦ ἡ ὄσφρησις?
聞く-力なら どこに その 嗅ぐ-力が-あるか
G0189 G4226 G3588 G3750

もしからだ全体が目だとすれば、どこで聞くのか。もし、からだ全体が耳だとすれば、どこでかぐのか。

18 νυνὶ δὲ, ὁ Θεὸς ἔθετο τὰ μέλη, ἓν ἕκαστον αὐτῶν ἐν
しかし-今 しかし その 神は 置かれた その 肢体を 一つ 一つ それらの おいて
G3570 G1161 G3588 G2316 G5087 G3588 G3196 G1520 G1538 G0846 G1722

τῷ σώματι, καθὼς ἠθέλησεν.
その 体の-中に ちょうど 望まれた-ように
G3588 G4983 G2531 G2309

そこで神は御旨のままに、肢体をそれぞれ、からだに備えられたのである。

19 εἰ δὲ ἦν τὰ πάντα ἓν μέλος, ποῦ τὸ σῶμα?
もし しかし あったなら その すべてが 一つの 肢体なら どこに その 体が-あるか
G1487 G1161 G1510 G3588 G3956 G1520 G3196 G4226 G3588 G4983

もし、すべてのものが一つの肢体なら、どこにからだがあるのか。

20 νῦν δὲ, πολλὰ μὲν μέλη, ἓν δὲ σῶμα.
しかし-今 実に 多くの 一方では 肢体が-あり 一つの しかし 体である
G3568 G1161 G4183 G3303 G3196 G1520 G1161 G4983

ところが実際、肢体は多くあるが、からだは一つなのである。

21 οὐ δύναται δὲ ὁ ὀφθαλμὸς εἰπεῖν τῇ χειρί, Χρείαν σου
できない 言う-ことは しかし その 目は 言う-ことは その 手に 必要は あなたの
G3756 G1410 G1161 G3588 G3788 G3004 G3588 G5495 G5532 G4771

οὐκ ἔχω; ἢ πάλιν ἡ κεφαλὴ τοῖς ποσίν, Χρείαν ὑμῶν οὐκ
ない 持たないと あるいは また その 頭が その 足に 必要は あなたがたの ない
G3756 G2192 G2228 G3825 G3588 G2776 G3588 G4228 G5532 G4771 G3756

ἔχω.
持たないと
G2192

目は手にむかって、「おまえはいらない」とは言えず、また頭は足にむかって、「おまえはいらない」とも言えない。

22 ἀλλὰ πολλῷ μᾶλλον, τὰ δοκοῦντα μέλη τοῦ σώματος ἀσθενέστερα
むしろ はるかに なおさら その 思われる 肢体で その 体の 弱い-ものが
G0235 G4183 G3123 G3588 G1380 G3196 G3588 G4983 G0772

ὑπάρχειν, ἀναγκαῖά ἐστιν;
ある-としても 必要で ある
G5225 G0316 G1510

そうではなく、むしろ、からだのうちで他よりも弱く見える肢体が、かえって必要なのであり、

23 καὶ ἃ δοκοῦμεν ἀτιμότερα εἶναι τοῦ σώματος, τούτοις
そして それらを 思う 尊くない-ものが ある-としても その 体の それらに
G2532 G3739 G1380 G0820 G1510 G3588 G4983 G3778

τιμὴν περισσοτέραν περιτίθεμεν; καὶ τὰ ἀσχήμονα ἡμῶν, εὐσχημοσύνην
尊さを より-豊かな 与える そして その 見苦しい 私たちの 品位を
G5092 G4053 G4060 G2532 G3588 G0809 G1473 G2157

περισσοτέραν ἔχει;
より-豊かに 持つ
G4053 G2192

からだのうちで、他よりも見劣りがすると思えるところに、ものを着せていっそう見よくする。麗しくない部分はいっそう麗しくするが、

24 τὰ δὲ εὐσχήμονα ἡμῶν, οὐ χρείαν ἔχει. ἀλλὰ ὁ θεὸς
その しかし 見栄えの-良い 私たちの ない 必要は 持たない むしろ その 神が
G3588 G1161 G2158 G1473 G3756 G5532 G2192 G0235 G3588 G2316

συνεκέρασεν τὸ σῶμα, τῷ ὑστερουμένῳ, περισσοτέραν δοὺς τιμήν,
調和させた その 体を その 劣る-ところに より-豊かな 与えて 尊さを
G4786 G3588 G4983 G3588 G5302 G4053 G1325 G5092

麗しい部分はそうする必要がない。神は劣っている部分をいっそう見よくして、からだに調和をお与えになったのである。

25 ἵνα μὴ ᾖ σχίσμα ἐν τῷ σώματι, ἀλλὰ τὸ αὐτὸ ὑπὲρ
ために しない ない-ように 分裂が おいて その 体に むしろ その 同じ ために
G2443 G3361 G1510 G4978 G1722 G3588 G4983 G0235 G3588 G0846 G5228

ἀλλήλων μεριμνῶσιν, τὰ μέλη.
互いの-ために 心を-配る その 肢体が
G0240 G3309 G3588 G3196

それは、からだの中に分裂がなく、それぞれの肢体が互にいたわり合うためなのである。

26 καὶ εἴτε πάσχει ἓν μέλος, συμπάσχει πάντα τὰ μέλη; εἴτε
そして であれ 苦しむ-なら 一つの 肢体が 共に-苦しむ すべての その 肢体も であれ
G2532 G1535 G3958 G1520 G3196 G4841 G3956 G3588 G3196 G1535

δοξάζεται [ἓν] μέλος, συνχαίρει πάντα τὰ μέλη.
栄光を-受ける-なら 一つの 肢体が 共に-喜ぶ すべての その 肢体も
G1392 G1520 G3196 G4796 G3956 G3588 G3196

もし一つの肢体が悩めば、ほかの肢体もみな共に悩み、一つの肢体が尊ばれると、ほかの肢体もみな共に喜ぶ。

27 ὑμεῖς δέ ἐστε σῶμα Χριστοῦ, καὶ μέλη ἐκ μέρους.
あなたがたは さて である 体で キリストの そして 肢体で それぞれの 部分の
G4771 G1161 G1510 G4983 G5547 G2532 G3196 G1537 G3313

あなたがたはキリストのからだであり、ひとりびとりはその肢体である。

28 Καὶ οὓς μὲν ἔθετο ὁ Θεὸς ἐν τῇ ἐκκλησίᾳ: πρῶτον,
そして それらの-者を まず 置かれた その 神は おいて その 教会に 第一に
G2532 G3739 G3303 G5087 G3588 G2316 G1722 G3588 G1577 G4412

ἀποστόλους; δεύτερον, προφήτας; τρίτον, διδασκάλους; ἔπειτα, δυνάμεις; ἔπειτα,
使徒として 第二に 預言者として 第三に 教師として 次に 力ある-わざ 次に
G0652 G1208 G4396 G5154 G1320 G1899 G1411 G1899

χαρίσματα ἰαμάτων; ἀντιλήμψεις; κυβερνήσεις; γένη γλωσσῶν.
いやしの 賜物 助ける-力 導く-力 さまざまな 異言
G5486 G2386 G0484 G2941 G1085 G1100

そして、神は教会の中で、人々を立てて、第一に使徒、第二に預言者、第三に教師とし、次に力あるわざを行う者、次にいやしの賜物を持つ者、また補助者、管理者、種々の異言を語る者をおかれた。

29 μὴ まさか G3361 πάντες すべてが G3956 ἀπόστολοι? 使徒か G0652 μὴ まさか G3361 πάντες すべてが G3956 προφῆται? 預言者か G4396 μὴ まさか G3361 πάντες すべてが G3956 διδάσκαλοι? 教師か G1320

μὴ まさか G3361 πάντες すべてが G3956 δυνάμεις? 力ある-わざか G1411

みんなが使徒だろうか。みんなが預言者だろうか。みんなが教師だろうか。みんなが力あるわざを行う者だろうか。

30 μὴ まさか G3361 πάντες すべてが G3956 χαρίσματα いやしの G5486 ἔχουσιν 賜物を-持つか G2192 ἰαμάτων? いやしの G2386 μὴ まさか G3361 πάντες すべてが G3956 γλώσσαις 異言で G1100

λαλοῦσιν? 語るか G2980 μὴ まさか G3361 πάντες すべてが G3956 διερμηνεύουσιν? 解き明かすか G1329

みんながいやしの賜物を持っているのだろうか。みんなが異言を語るのだろうか。みんなが異言を解くのだろうか。

31 ζηλοῦτε 熱心に-求めなさい G2206 δὲ しかし G1161 τὰ その G3588 χαρίσματα 賜物を G5486 τὰ その G3588 μείζονα, より-大きな G3173 Καὶ そして G2532 ἔτι, さらに G2089 καθ’ 最も-すぐれた G2596

ὑπερβολὴν 最も-すぐれた G5236 ὁδὸν, 道を G3598 ὑμῖν あなたがたに G4771 δείκνυμι. 示す G1166

だが、あなたがたは、更に大いなる賜物を得ようと熱心に努めなさい。そこで、わたしは最もすぐれた道をあなたがたに示そう。

Chapter 13

1 Ἐὰν たとえ G1437 ταῖς その G3588 γλώσσαις 言葉で G1100 τῶν その G3588 ἀνθρώπων 人間の G0444 λαλῶ, 語ろうとも G2980 καὶ また G2532 τῶν その G3588 ἀγγέλων, 御使いの G0032 ἀγάπην 愛を G0026

δὲ しかし G1161 μὴ 持たない G3361 ἔχω, 持たない-なら G2192 γέγονα なっている G1096 χαλκὸς 青銅の-ように G5475 ἠχῶν, 鳴り-響く G2278 ἢ あるいは G2228 κύμβαλον シンバルの-ように G2950

ἀλαλάζον. 鳴り-響く G0214

たといわたしが、人々の言葉や御使たちの言葉を語っても、もし愛がなければ、わたしは、やかましい鐘や騒がしい鐃鉢と同じである。

2 καὶ そして G2532 ἐὰν たとえ G1437 ἔχω 持っていても G2192 προφητείαν, 預言の-力を G4394 καὶ また G2532 εἰδῶ 知っていても G1492 τὰ その G3588 μυστήρια 奥義を G3466 πάντα, すべての G3956

καὶ また G2532 πᾶσαν すべての G3956 τὴν その G3588 γνῶσιν, 知識を G1108 καὶ また G2532 ἐὰν たとえ G1437 ἔχω 持っていても G2192 πᾶσαν すべての G3956 τὴν その G3588 πίστιν, 信仰を G4102 ὥστε ほどに G5620

ὄρη 山を G3735 μεθιστάναι, 動かす G3179 ἀγάπην 愛を G0026 δὲ しかし G1161 μὴ 持たない G3361 ἔχω, 持たない-なら G2192 οὐθέν 無に-等しい G3762 εἰμι. である G1510

たといまた、わたしに預言をする力があり、あらゆる奥義とあらゆる知識とに通じていても、また、山を移すほどの強い信仰があっても、もし愛がなければ、わたしは無に等しい。

3 καὶ そして G2532 ἐὰν たとえ G1437 ψωμίσω 分け-与えても G5595 πάντα すべての G3956 τὰ その G3588 ὑπάρχοντά 持ち物を G5225 μου, 私の G1473 καὶ そして G2532 ἐὰν たとえ G1437 παραδῶ 引き渡しても G3860

τὸ その G3588 σῶμά 体を G4983 μου, 私の G1473 ἵνα ために G2443 καυθήσομαι, 焼かれる-としても G2744 ἀγάπην 愛を G0026 δὲ しかし G1161 μὴ 持たない G3361 ἔχω, 持たない-なら G2192 οὐδὲν 何の G3762

ὠφελοῦμαι. 益も-ない G5623

たといまた、わたしが自分の全財産を人に施しても、また、自分のからだを焼かれるために渡しても、もし愛がなければ、いっさいは無益である。

4 Ἡ その G3588 ἀγάπη 愛は G0026 μακροθυμεῖ, 忍耐強く G3114 χρηστεύεται; 親切で-ある G5541 ἡ その G3588 ἀγάπη 愛は G0026 οὐ しない G3756 ζηλοῖ; 妬まない G2206 ἡ その G3588 ἀγάπη 愛は G0026

οὐ しない G3756 περπερεύεται, 自慢しない G4068 οὐ しない G3756 φυσιοῦται, 思い上がらない G5448

愛は寛容であり、愛は情深い。また、ねたむことをしない。愛は高ぶらない、誇らない、

5 οὐκ しない G3756 ἀσχημονεῖ; 不作法な-ふるまいを G0807 οὐ しない G3756 ζητεῖ 求めない G2212 τὰ その G3588 ἑαυτῆς, 自分の-ものを G1438 οὐ しない G3756 παροξύνεται, 怒らない G3947

οὐ しない G3756 λογίζεται 数えない G3049 τὸ その G3588 κακόν, 悪を G2556

不作法をしない、自分の利益を求めない、いらだたない、恨みをいだかない。

6 οὐ しない G3756 χαίρει 喜ばない G5463 ἐπὶ について G1909 τῇ その G3588 ἀδικίᾳ, 不義には G0093 συνχαίρει 共に-喜ぶ G4796 δὲ しかし G1161 τῇ その G3588 ἀληθείᾳ; 真理と G0225

不義を喜ばないで真理を喜ぶ。

7 πάντα すべてを G3956 στέγει, 耐え忍び G4722 πάντα すべてを G3956 πιστεύει, 信じ G4100 πάντα すべてを G3956 ἐλπίζει, 望み G1679 πάντα すべてを G3956 ὑπομένει. 忍耐する G5278

そして、すべてを忍び、すべてを信じ、すべてを望み、すべてを耐える。

8 Ἡ ἀγάπη οὐδέποτε πίπτει; εἴτε δὲ προφητεῖαι, καταργηθήσονται; εἴτε
その 愛は 決して 絶えない であれ しかし 預言は 廃れる であれ
G3588 G0026 G3763 G4098 G1535 G1161 G4394 G2673 G1535

γλῶσσαι, παύσονται; εἴτε γνῶσις καταργηθήσεται.
異言は 止む であれ 知識も 廃れる
G1100 G3973 G1535 G1108 G2673

愛はいつまでも絶えることがない。しかし、預言はすたれ、異言はやみ、知識はすたれるであろう。

9 ἐκ μέρους γὰρ, γινώσκομεν; καὶ ἐκ μέρους προφητεύομεν;
部分的に 部分的に なぜなら 知って-いる また 部分的に 部分的に 預言して-いる
G1537 G3313 G1063 G1097 G2532 G1537 G3313 G4395

なぜなら、わたしたちの知るところは一部分であり、預言するところも一部分にすぎない。

10 ὅταν δὲ ἔλθῃ τὸ τέλειον, τὸ ἐκ μέρους
しかし-いつか しかし 来るなら その 完全なものが その その 部分的なものは
G3752 G1161 G2064 G3588 G5046 G3588 G1537 G3313

καταργηθήσεται.
廃れる
G2673

全きものが来る時には、部分的なものはすたれる。

11 ὅτε ἤμην νήπιος, ἐλάλουν ὡς νήπιος, ἐφρόνουν ὡς νήπιος,
かつて あった 幼子で 語っていた ように 幼子の-ように 感じていた ように 幼子の-ように
G3753 G1510 G3516 G2980 G5613 G3516 G5426 G5613 G3516

ἐλογιζόμην ὡς νήπιος; ὅτε γέγονα ἀνήρ, κατήργηκα τὰ τοῦ
考えていた ように 幼子の-ように しかし-いつか なったので 大人に 捨てた その その
G3049 G5613 G3516 G3753 G1096 G0435 G2673 G3588 G3588

νηπίου.
幼子の-ものを
G3516

わたしたちが幼な子であった時には、幼な子らしく語り、幼な子らしく感じ、また、幼な子らしく考えていた。しかし、おとなとなった今は、幼な子らしいことを捨ててしまった。

12 βλέπομεν γὰρ ἄρτι, δι’ ἐσόπτρου ἐν αἰνίγματι; τότε δὲ,
見ている なぜなら 今は 通して 鏡を-通して おいて ぼんやりと しかし-いつか しかし
G0991 G1063 G0737 G1223 G2072 G1722 G0135 G5119 G1161

πρόσωπον πρὸς πρόσωπον; ἄρτι, γινώσκω ἐκ μέρους; τότε
顔と 向かい-合って 顔と 今は 知っている 部分的に 部分的に しかし-いつか
G4383 G4314 G4383 G0737 G1097 G1537 G3313 G5119

δὲ ἐπιγνώσομαι, καθὼς καὶ ἐπεγνώσθην.
しかし 知るであろう ちょうど また 知られた-ように
G1161 G1921 G2531 G2532 G1921

わたしたちは、今は、鏡に映して見るようにおぼろげに見ている。しかしその時には、顔と顔とを合わせて、見るであろう。わたしの知るところは、今は一部分にすぎない。しかしその時には、わたしが完全に知られているように、完全に知るであろう。

13 νυνὶ δὲ μένει πίστις, ἐλπίς, ἀγάπη, τὰ τρία ταῦτα;
しかし–今 しかし 残る 信仰と 望みと 愛と この 三つの–ものが これらである
G3570 G1161 G3306 G4102 G1680 G0026 G3588 G5140 G3778

μείζων δὲ τούτων ἡ ἀγάπη.
最も–大いなるは しかし これらの–中で その 愛である
G3173 G1161 G3778 G3588 G0026

このように、いつまでも存続するものは、信仰と希望と愛と、この三つである。このうちで最も大いなるものは、愛である。

Chapter 14

1 Διώκετε τὴν ἀγάπην; ζηλοῦτε δὲ τὰ πνευματικά, μᾶλλον δὲ
追い求めなさい その 愛を 熱心に–求めなさい そして その 霊的–賜物を むしろ 特に
G1377 G3588 G0026 G2206 G1161 G3588 G4152 G3123 G1161

ἵνα προφητεύητε.
ために 預言するように
G2443 G4395

愛を追い求めなさい。また、霊の賜物を、ことに預言することを、熱心に求めなさい。

2 ὁ γὰρ λαλῶν γλώσσῃ, οὐκ ἀνθρώποις λαλεῖ, ἀλλὰ Θεῷ;
その なぜなら 語る–者は 異言で ない 人々に 語るの–では そうではなく 神に
G3588 G1063 G2980 G1100 G3756 G0444 G2980 G0235 G2316

οὐδεὶς γὰρ ἀκούει; πνεύματι δὲ, λαλεῖ μυστήρια.
だれも なぜなら 聞かない 霊に–おいて しかし 語る 奥義を
G3762 G1063 G0191 G4151 G1161 G2980 G3466

異言を語る者は、人にむかって語るのではなく、神にむかって語るのである。それはだれにもわからない。彼はただ、霊によって奥義を語っているだけである。

3 ὁ δὲ προφητεύων, ἀνθρώποις λαλεῖ οἰκοδομὴν, καὶ παράκλησιν, καὶ
その しかし 預言する–者は 人々に 語る 建徳を そして 勧めを そして
G3588 G1161 G4395 G0444 G2980 G3619 G2532 G3874 G2532

παραμυθίαν.
慰めを
G3889

しかし預言をする者は、人に語ってその徳を高め、彼を励まし、慰めるのである。

4 ὁ λαλῶν γλώσσῃ, ἑαυτὸν οἰκοδομεῖ; ὁ δὲ προφητεύων, ἐκκλησίαν
その 語る–者は 異言で 自分–自身を 建て上げる その しかし 預言する–者は 教会を
G3588 G2980 G1100 G1438 G3618 G3588 G1161 G4395 G1577

οἰκοδομεῖ.
建て上げる
G3618

異言を語る者は自分だけの徳を高めるが、預言をする者は教会の徳を高める。

5	θέλω	δὲ,	πάντας	ὑμᾶς	λαλεῖν	γλώσσαις,	μᾶλλον	δὲ	ἵνα	
	わたしは–望む	そして	すべての	あなたがたが	語ることを	異言で	むしろ	しかし	ために	
	G2309	G1161	G3956	G4771	G2980	G1100	G3123	G1161	G2443	

προφητεύητε;	μείζων	δὲ	ὁ	προφητεύων,	ἢ	ὁ	λαλῶν	γλώσσαις,	
預言するように	より–大きい	しかし	その	預言する–者は	よりも	その	語る–者	異言で	
G4395	G3173	G1161	G3588	G4395	G2228	G3588	G2980	G1100	

ἐκτὸς	εἰ	μὴ	διερμηνεύῃ,	ἵνα	ἡ	ἐκκλησία	οἰκοδομὴν	λάβῃ.
ただし	もし	ない	解き明かすなら	ために	その	教会が	建徳を	受けるように
G1622	G1487	G3361	G1329	G2443	G3588	G1577	G3619	G2983

わたしは実際、あなたがたがひとり残らず異言を語ることを望むが、特に預言をしてもらいたい。教会の徳を高めるように異言を解かない限り、異言を語る者よりも、預言をする者の方がまさっている。

6	νῦν	δέ	ἀδελφοί,	ἐὰν	ἔλθω	πρὸς	ὑμᾶς	γλώσσαις	
	今	しかし	兄弟たちよ	もし	わたしが–来て	に–向かって	あなたがたの–もとに	異言で	
	G3568	G1161	G0080	G1437	G2064	G4314	G4771	G1100	

λαλῶν,	τί	ὑμᾶς	ὠφελήσω,	ἐὰν	μὴ	ὑμῖν	λαλήσω,	ἢ	
語るなら	何の	あなたがたに	益と–なろうか	もし	ない	あなたがたに	語らなければ	あるいは	
G2980	G5101	G4771	G5623	G1437	G3361	G4771	G2980	G2228	

ἐν	ἀποκαλύψει,	ἢ	ἐν	γνώσει,	ἢ	ἐν	προφητείᾳ,	ἢ	
による	啓示に	あるいは	による	知識に	あるいは	による	預言に	あるいは	
G1722	G0602	G2228	G1722	G1108	G2228	G1722	G4394	G2228	

‹ἐν›	διδαχῇ?
による	教えに
G1722	G1322

だから、兄弟たちよ。たといわたしがあなたがたの所に行って異言を語るとしても、啓示か知識か預言か教かを語らなければ、あなたがたに、なんの役に立つだろうか。

7	ὅμως	τὰ	ἄψυχα	φωνὴν	διδόντα,	εἴτε	αὐλὸς	εἴτε	κιθάρα,	ἐὰν
	同様に	その	命なき–ものが	音を	出しても	であれ	笛	であれ	琴	もし
	G3676	G3588	G0895	G5456	G1325	G1535	G0836	G1535	G2788	G1437

διαστολὴν	τοῖς	φθόγγοις	μὴ	δῷ,	πῶς	γνωσθήσεται	τὸ	
区別を	その	音に	ない	与えなければ	どうして	知られようか	その	
G1293	G3588	G5353	G3361	G1325	G4459	G1097	G3588	

αὐλούμενον	ἢ	τὸ	κιθαριζόμενον?	
吹かれている–ものか	あるいは	その	弾かれている–ものか	
G0832	G2228	G3588	G2789	

また、笛や立琴のような楽器でも、もしその音に変化がなければ、何を吹いているのか、弾いているのか、どうして知ることができようか。

8	καὶ	γὰρ	ἐὰν	ἄδηλον	σάλπιγξ	φωνὴν	δῷ,	τίς	παρασκευάσεται
	また	なぜなら	もし	不明瞭な	ラッパが	音を	出すなら	だれが	備えるだろうか
	G2532	G1063	G1437	G0082	G4536	G5456	G1325	G5101	G3903

εἰς	πόλεμον?
ための	戦いの
G1519	G4171

また、もしラッパがはっきりした音を出さないなら、だれが戦闘の準備をするだろうか。

9 οὕτως καὶ ὑμεῖς, διὰ τῆς γλώσσης ἐὰν μὴ εὔσημον λόγον
このように また あなたがたも を–通して その 舌の もし ない 明瞭な 言葉を
G3779 G2532 G4771 G1223 G3588 G1100 G1437 G3361 G2154 G3056

δῶτε, πῶς γνωσθήσεται τὸ λαλούμενον? ἔσεσθε
語らなければ どうして 知られようか その 語られている–ことが あなたがたは–なるだろう
G1325 G4459 G1097 G3588 G2980 G1510

γὰρ εἰς ἀέρα λαλοῦντες.
なぜなら に–向かって 空気に 語る–者と
G1063 G1519 G0109 G2980

それと同様に、もしあなたがたが異言ではっきりしない言葉を語れば、どうしてその語ることがわかるだろうか。それでは、空にむかって語っていることになる。

10 τοσαῦτα εἰ τύχοι, γένη φωνῶν εἰσιν ἐν κόσμῳ, καὶ οὐδὲν
これほど–多くの もし 偶然に 種類の 声が ある に 世に そして 何一つ
G5118 G1487 G5177 G1085 G5456 G1510 G1722 G2889 G2532 G3762

ἄφωνον.
意味のない–ものはない
G0880

世には多種多様の言葉があるだろうが、意味のないものは一つもない。

11 ἐὰν οὖν μὴ εἰδῶ τὴν δύναμιν τῆς φωνῆς,
もし それゆえ ない わたしが–知らなければ その 意味を その 声の
G1437 G3767 G3361 G1492 G3588 G1411 G3588 G5456

ἔσομαι τῷ λαλοῦντι βάρβαρος; καὶ ὁ λαλῶν, ἐν
わたしは–なるだろう その 語る–者に–とって 外国人に そして その 語る–者も に–おいて
G1510 G3588 G2980 G0915 G2532 G3588 G2980 G1722

ἐμοὶ βάρβαρος.
わたしに–とって 外国人に
G1473 G0915

もしその言葉の意味がわからないなら、語っている人にとっては、わたしは異国人であり、語っている人も、わたしにとっては異国人である。

12 οὕτως καὶ ὑμεῖς, ἐπεὶ ζηλωταί ἐστε πνευμάτων, πρὸς τὴν
このように また あなたがたも なので 熱心な–者 である 霊の–賜物の ための その
G3779 G2532 G4771 G1893 G2207 G1510 G4151 G4314 G3588

οἰκοδομὴν τῆς ἐκκλησίας, ζητεῖτε ἵνα περισσεύητε.
建徳を その 教会の 求めなさい ために 豊かに–なるように
G3619 G3588 G1577 G2212 G2443 G4052

だから、あなたがたも、霊の賜物を熱心に求めている以上は、教会の徳を高めるために、それを豊かにいただくように励むがよい。

13 Διὸ ὁ λαλῶν γλώσσῃ, προσευχέσθω ἵνα διερμηνεύῃ.
それゆえ その 語る–者は 異言で 祈りなさい ために 解き明かせるように
G1352 G3588 G2980 G1100 G4336 G2443 G1329

このようなわけであるから、異言を語る者は、自分でそれを解くことができるように祈りなさい。

14 ἐὰν γὰρ προσεύχωμαι γλώσσῃ, τὸ πνεῦμά μου προσεύχεται, ὁ
もし なぜなら わたしが–祈るなら 異言で その 霊は わたしの 祈る その
G1437 G1063 G4336 G1100 G3588 G4151 G1473 G4336 G3588

δὲ νοῦς μου ἄκαρπός ἐστιν.
しかし 知性は わたしの 実を–結ばない ものである
G1161 G3563 G1473 G0175 G1510

もしわたしが異言をもって祈るなら、わたしの霊は祈るが、知性は実を結ばないからである。

15 τί οὖν ἐστιν? προσεύξομαι τῷ πνεύματι; προσεύξομαι δὲ καὶ
何が それでは あるか わたしは–祈ろう その 霊で わたしは–祈ろう しかし また
G5101 G3767 G1510 G4336 G3588 G4151 G4336 G1161 G2532

τῷ νοΐ. ψαλῶ τῷ πνεύματι, ψαλῶ δὲ καὶ τῷ
その 知性でも わたしは–歌おう その 霊で わたしは–歌おう しかし また その
G3588 G3563 G5567 G3588 G4151 G5567 G1161 G2532 G3588

νοΐ.
知性でも
G3563

すると、どうしたらよいのか。わたしは霊で祈ると共に、知性でも祈ろう。霊でさんびを歌うと共に、知性でも歌おう。

16 ἐπεὶ ἐὰν εὐλογῇς [ἐν] πνεύματι, ὁ ἀναπληρῶν τὸν τόπον
なぜなら もし あなたが–祝福するなら において 霊で その 占める–者は その 席を
G1893 G1437 G2127 G1722 G4151 G3588 G0378 G3588 G5117

τοῦ ἰδιώτου, πῶς ἐρεῖ τὸ Ἀμήν, ἐπὶ τῇ σῇ
その 素人の どうして 言うだろうか その アーメンを に–対して その あなたの
G3588 G2399 G4459 G2046 G3588 G0281 G1909 G3588 G4674

εὐχαριστίᾳ, ἐπειδὴ τί λέγεις οὐκ οἶδεν?
感謝に なぜなら 何を あなたが–言うか ない 知らない–のだから
G2169 G1894 G5101 G3004 G3756 G1492

そうでないと、もしあなたが霊で祝福の言葉を唱えても、初心者の席にいる者は、あなたの感謝に対して、どうしてアァメンと言えようか。あなたが何を言っているのか、彼には通じない。

17 σὺ μὲν γὰρ καλῶς εὐχαριστεῖς, ἀλλ’ ὁ ἕτερος οὐκ
あなたは 確かに なぜなら よく 感謝している しかし その 他の–人は ない
G4771 G3303 G1063 G2573 G2168 G0235 G3588 G2087 G3756

οἰκοδομεῖται.
建て上げられない
G3618

感謝するのは結構だが、それで、ほかの人の徳を高めることにはならない。

18 εὐχαριστῶ τῷ Θεῷ, πάντων ὑμῶν μᾶλλον, γλώσσαις λαλῶ;
わたしは–感謝する その 神に すべての あなたがたよりも もっと 異言で わたしは–語る
G2168 G3588 G2316 G3956 G4771 G3123 G1100 G2980

わたしは、あなたがたのうちのだれよりも多く異言が語れることを、神に感謝する。

19 ἀλλὰ ἐν ἐκκλησίᾳ, θέλω πέντε λόγους τῷ νοΐ μου
しかし において 教会で わたしは–望む 五つの 言葉を その 知性で わたしの
G0235 G1722 G1577 G2309 G4002 G3056 G3588 G3563 G1473

λαλῆσαι, ἵνα καὶ ἄλλους κατηχήσω, ἢ μυρίους λόγους ἐν
語ることを ために また 他の–人々を 教えるために よりも 一万の 言葉を において
G2980 G2443 G2532 G0243 G2727 G2228 G3463 G3056 G1722

γλώσσῃ.
異言で
G1100

しかし教会では、一万の言葉を異言で語るよりも、ほかの人たちをも教えるために、むしろ五つの言葉を知性によって語る方が願わしい。

20 Ἀδελφοί, μὴ παιδία γίνεσθε ταῖς φρεσίν. ἀλλὰ τῇ κακίᾳ,
兄弟たちよ ない 子どもに なってはならない その 思いに–おいて しかし その 悪に–おいては
G0080 G3361 G3813 G1096 G3588 G5424 G0235 G3588 G2549

νηπιάζετε; ταῖς δὲ φρεσὶν, τέλειοι γίνεσθε.
幼子で–あれ その しかし 思いに–おいては 大人に なりなさい
G3515 G3588 G1161 G5424 G5046 G1096

兄弟たちよ。物の考えかたでは、子供となってはいけない。悪事については幼な子となるのはよいが、考えかたでは、おとなとなりなさい。

21 ἐν τῷ νόμῳ γέγραπται, ὅτι Ἐν ἑτερογλώσσοις, καὶ ἐν
において その 律法に 書かれている こう において 異なる–言語の–者たちと そして における
G1722 G3588 G3551 G1125 G3754 G1722 G2084 G2532 G1722

χείλεσιν ἑτέρων, λαλήσω τῷ λαῷ τούτῳ, καὶ οὐδ’
くちびるで 異なる–人々の わたしは–語ろう その 民に この しかし それでも–ない
G5491 G2087 G2980 G3588 G2992 G3778 G2532 G3761

οὕτως εἰσακούσονταί μου, λέγει Κύριος.
このようにしても 彼らは–聞き入れない わたしの–言葉を 言う 主は
G3779 G1522 G1473 G3004 G2962

律法にこう書いてある、「わたしは、異国の舌と異国のくちびるとで、この民に語るが、それでも、彼らはわたしに耳を傾けない、と主が仰せになる」。

22 ὥστε αἱ γλῶσσαι εἰς σημεῖόν εἰσιν, οὐ τοῖς πιστεύουσιν,
したがって その 異言は ための しるしで ある ない その 信じる–者たちに–ではなく
G5620 G3588 G1100 G1519 G4592 G1510 G3756 G3588 G4100

ἀλλὰ τοῖς ἀπίστοις; ἡ δὲ προφητεία, οὐ τοῖς
そうではなく その 信じない–者たちに その しかし 預言は ない その
G0235 G3588 G0571 G3588 G1161 G4394 G3756 G3588

ἀπίστοις, ἀλλὰ τοῖς πιστεύουσιν.
信じない–者たちに–ではなく そうではなく その 信じる–者たちに
G0571 G0235 G3588 G4100

このように、異言は信者のためではなく未信者のためのしるしであるが、預言は未信者のためではなく信者のためのしるしである。

23 Ἐὰν οὖν συνέλθῃ ἡ ἐκκλησία ὅλη, ἐπὶ τὸ αὐτὸ, καὶ
もし それゆえ 集まって その 教会が 全体で において その 同じ–場所に そして
G1437 G3767 G4905 G3588 G1577 G3650 G1909 G3588 G0846 G2532

πάντες λαλῶσιν γλώσσαις, εἰσέλθωσιν δὲ ἰδιῶται ἢ ἄπιστοι,
すべての–人が 語るなら 異言で 入って–来た そして 素人たちや あるいは 信じない–者たちが
G3956 G2980 G1100 G1525 G1161 G2399 G2228 G0571

οὐκ ἐροῦσιν ὅτι μαίνεσθε?
ない 彼らは–言うだろうか と あなたがたは–狂っていると
G3756 G2046 G3754 G3105

もし全教会が一緒に集まって、全員が異言を語っているところに、初心者か不信者かがはいってきたら、彼らはあなたがたを気違いだと言うだろう。

24 ἐὰν δὲ πάντες προφητεύωσιν, εἰσέλθῃ δέ τις ἄπιστος
もし しかし すべての–人が 預言するなら 入って–来て そして ある 信じない–者や
G1437 G1161 G3956 G4395 G1525 G1161 G5100 G0571

ἢ ἰδιώτης, ἐλέγχεται ὑπὸ πάντων, ἀνακρίνεται ὑπὸ
あるいは 素人が 明らかに–される によって すべての–人に 吟味される によって
G2228 G2399 G1651 G5259 G3956 G0350 G5259

πάντων,
すべての–人に
G3956

しかし、全員が預言をしているところに、不信者か初心者がはいってきたら、彼の良心はみんなの者に責められ、みんなの者にさばかれ、

25 τὰ κρυπτὰ τῆς καρδίας αὐτοῦ φανερὰ γίνεται, καὶ οὕτως
その 隠された–ことが その 心の 彼の 明らかに なる そして こうして
G3588 G2927 G3588 G2588 G0846 G5318 G1096 G2532 G3779

πεσὼν ἐπὶ πρόσωπον, προσκυνήσει τῷ Θεῷ, ἀπαγγέλλων ὅτι Ὄντως,
ひれ伏して の–上に 顔を 礼拝するだろう その 神を 告白して こう まことに
G4098 G1909 G4383 G4352 G3588 G2316 G0518 G3754 G3689

ὁ Θεὸς ἐν ὑμῖν ἐστιν.
その 神が の–中に あなたがたの おられる
G3588 G2316 G1722 G4771 G1510

その心の秘密があばかれ、その結果、ひれ伏して神を拝み、「まことに、神があなたがたのうちにいます」と告白するに至るであろう。

26 Τί οὖν ἐστιν, ἀδελφοί? ὅταν συνέρχησθε, ἕκαστος ψαλμὸν
何が それでは あるか 兄弟たちよ いつでも あなたがたが–集まるとき 各自が 詩篇を
G5101 G3767 G1510 G0080 G3752 G4905 G1538 G5568

ἔχει, διδαχὴν ἔχει, ἀποκάλυψιν ἔχει, γλῶσσαν ἔχει, ἑρμηνείαν
持っている 教えを 持っている 啓示を 持っている 異言を 持っている 解き明かしを
G2192 G1322 G2192 G0602 G2192 G1100 G2192 G2058

ἔχει. πάντα πρὸς οἰκοδομὴν γινέσθω.
持っている すべてが ための 建徳の なるように–せよ
G2192 G3956 G4314 G3619 G1096

すると、兄弟たちよ。どうしたらよいのか。あなたがたが一緒に集まる時、各自はさんびを歌い、教をなし、啓示を告げ、異言を語り、それを解くのであるが、すべては徳を高めるためにすべきである。

27 εἴτε γλώσσῃ τις λαλεῖ, κατὰ δύο ἢ τὸ πλεῖστον τρεῖς,
であれ 異言で ある–人が 語るなら に–従い 二人 あるいは その 多くて 三人
G1535 G1100 G5100 G2980 G2596 G1417 G2228 G3588 G4118 G5140

καὶ ἀνὰ μέρος, καὶ εἷς διερμηνευέτω.
そして に–おいて 順番に そして 一人が 解き明かしなさい
G2532 G0303 G3313 G2532 G1520 G1329

もし異言を語る者があれば、ふたりか、多くて三人の者が、順々に語り、そして、ひとりがそれを解くべきである。

28 ἐὰν δὲ μὴ ᾖ διερμηνευτής, σιγάτω ἐν ἐκκλησίᾳ; ἑαυτῷ
もし しかし ない なら 解き明かす–者が 黙りなさい において 教会では 自分–自身に
G1437 G1161 G3361 G1510 G1328 G4601 G1722 G1577 G1438

δὲ λαλείτω, καὶ τῷ Θεῷ.
そして 語りなさい そして その 神に
G1161 G2980 G2532 G3588 G2316

もし解く者がいない時には、教会では黙っていて、自分に対しまた神に対して語っているべきである。

29 προφῆται δὲ, δύο ἢ τρεῖς λαλείτωσαν, καὶ οἱ ἄλλοι
預言者たちは そして 二人 あるいは 三人が 語りなさい そして その 他の–者たちは
G4396 G1161 G1417 G2228 G5140 G2980 G2532 G3588 G0243

διακρινέτωσαν.
見分けなさい
G1252

預言をする者の場合にも、ふたりか三人かが語り、ほかの者はそれを吟味すべきである。

30 ἐὰν δὲ ἄλλῳ ἀποκαλυφθῇ καθημένῳ, ὁ πρῶτος σιγάτω.
もし しかし 別の–人に 啓示が–あったなら 座っている–者に その 最初の–者は 黙りなさい
G1437 G1161 G0243 G0601 G2521 G3588 G4413 G4601

しかし、席にいる他の者が啓示を受けた場合には、初めの者は黙るがよい。

31 δύνασθε γὰρ καθ’ ἕνα πάντες προφητεύειν, ἵνα πάντες
できる なぜなら に–従い 一人ずつ すべての–人が 預言することが ために すべての–人が
G1410 G1063 G2596 G1520 G3956 G4395 G2443 G3956

μανθάνωσιν, καὶ πάντες παρακαλῶνται.
学び そして すべての–人が 励まされるように
G3129 G2532 G3956 G3870

あなたがたは、みんなが学びみんなが勧めを受けるために、ひとりずつ残らず預言をすることができるのだから。

32 καὶ πνεύματα προφητῶν, προφήταις ὑποτάσσεται.
そして 霊は 預言者たちの 預言者たちに 従う
G2532 G4151 G4396 G4396 G5293

かつ、預言者の霊は預言者に服従するものである。

33 οὐ γάρ, ἐστιν ἀκαταστασίας ὁ Θεὸς, ἀλλὰ εἰρήνης.
ない なぜなら では–ない 無秩序の その 神は そうではなく 平和の–神である
G3756 G1063 G1510 G0181 G3588 G2316 G0235 G1515

Ὡς ἐν πάσαις ταῖς ἐκκλησίαις τῶν ἁγίων,
のように において すべての その 教会で その 聖徒たちの
G5613 G1722 G3956 G3588 G1577 G3588 G0040

神は無秩序の神ではなく、平和の神である。聖徒たちのすべての教会で行われているように、

34 αἱ γυναῖκες ἐν ταῖς ἐκκλησίαις σιγάτωσαν. οὐ γὰρ ἐπιτρέπεται
その 女性たちは において その 教会では 黙りなさい ない なぜなら 許されて–いない
G3588 G1135 G1722 G3588 G1577 G4601 G3756 G1063 G2010

αὐταῖς λαλεῖν; ἀλλὰ ὑποτασσέσθωσαν, καθὼς καὶ ὁ νόμος
彼女たちに 語ることは そうではなく 従いなさい のように また その 律法も
G0846 G2980 G0235 G5293 G2531 G2532 G3588 G3551

λέγει.
言っている
G3004

婦人たちは教会では黙っていなければならない。彼らは語ることが許されていない。だから、律法も命じているように、服従すべきである。

35 εἰ δέ τι μαθεῖν θέλουσιν, ἐν οἴκῳ τοὺς ἰδίους
もし しかし 何かを 学びたいなら 彼女たちが–望むなら において 家で その 自分の
G1487 G1161 G5100 G3129 G2309 G1722 G3624 G3588 G2398

ἄνδρας ἐπερωτάτωσαν; αἰσχρὸν γάρ ἐστιν γυναικὶ λαλεῖν ἐν
夫たちに 尋ねなさい 恥ずべき–ことで なぜなら ある 女性が 語ることは において
G0435 G1905 G0150 G1063 G1510 G1135 G2980 G1722

ἐκκλησίᾳ.
教会で
G1577

もし何か学びたいことがあれば、家で自分の夫に尋ねるがよい。教会で語るのは、婦人にとっては恥ずべきことである。

36 Ἢ ἀφ’ ὑμῶν ὁ λόγος τοῦ Θεοῦ ἐξῆλθεν? ἢ εἰς
それとも から あなたがたから その 言葉が その 神の 出たのか あるいは に
G2228 G0575 G4771 G3588 G3056 G3588 G2316 G1831 G2228 G1519

ὑμᾶς μόνους κατήντησεν?
あなたがただけに だけ 届いたのか
G4771 G3441 G2658

それとも、神の言はあなたがたのところから出たのか。あるいは、あなたがただけにきたのか。

37 Εἴ τις δοκεῖ προφήτης εἶναι, ἢ πνευματικός, ἐπιγινωσκέτω
もし だれかが 思うなら 預言者で あると あるいは 霊的な–者で–あると 認めなさい
G1487 G5100 G1380 G4396 G1510 G2228 G4152 G1921

ἃ γράφω ὑμῖν, ὅτι Κυρίου ἐστὶν ἐντολή.
これらの–ことを わたしが–書く あなたがたに それは 主の である 命令で
G3739 G1125 G4771 G3754 G2962 G1510 G1785

もしある人が、自分は預言者か霊の人であると思っているなら、わたしがあなたがたに書いていることは、主の命令だと認めるべきである。

38 εἰ δέ τις ἀγνοεῖ, ἀγνοεῖται.
もし しかし だれかが 知らないなら 知られない
G1487 G1161 G5100 G0050 G0050

もしそれを無視する者があれば、その人もまた無視される。

39 Ὥστε, ἀδελφοί μου, ζηλοῦτε τὸ προφητεύειν; καὶ τὸ
したがって 兄弟たちよ わたしの 熱心に–求めなさい その 預言することを そして その
G5620 G0080 G1473 G2206 G3588 G4395 G2532 G3588

λαλεῖν, μὴ κωλύετε, γλώσσαις.
語ることを ない 禁じては–ならない 異言で
G2980 G3361 G2967 G1100

わたしの兄弟たちよ。このようなわけだから、預言することを熱心に求めなさい。また、異言を語ることを妨げてはならない。

40 πάντα δὲ εὐσχημόνως καὶ κατὰ τάξιν γινέσθω.
すべてが しかし 品位–をもって そして に–従い 秩序に 行われるように–せよ
G3956 G1161 G2156 G2532 G2596 G5010 G1096

しかし、すべてのことを適宜に、かつ秩序を正して行うがよい。

Chapter 15

1 Γνωρίζω δὲ ὑμῖν; ἀδελφοί, τὸ εὐαγγέλιον, ὃ
わたしは–知らせる そして あなたがたに 兄弟たちよ その 福音を それを
G1107 G1161 G4771 G0080 G3588 G2098 G3739

εὐηγγελισάμην ὑμῖν; ὃ καὶ παρελάβετε, ἐν ᾧ καὶ
わたしが–宣べ伝えた あなたがたに それを また あなたがたは–受け入れた において それに また
G2097 G4771 G3739 G2532 G3880 G1722 G3739 G2532

ἑστήκατε,
立っている
G2476

兄弟たちよ。わたしが以前あなたがたに伝えた福音、あなたがたが受けいれ、それによって立ってきたあの福音を、思い起してもらいたい。

2 δι’ οὗ καὶ σῴζεσθε, τίνι λόγῳ εὐηγγελισάμην
を–通して それを また あなたがたは–救われる どのような 言葉で わたしが–宣べ伝えたか
G1223 G3739 G2532 G4982 G5101 G3056 G2097

ὑμῖν; εἰ κατέχετε, ἐκτὸς εἰ μὴ, εἰκῇ
あなたがたに もし あなたがたが–堅く保つなら ただし もし ない むなしく
G4771 G1487 G2722 G1622 G1487 G3361 G1500

ἐπιστεύσατε.
あなたがたが–信じたので–なければ
G4100

もしあなたがたが、いたずらに信じないで、わたしの宣べ伝えたとおりの言葉を固く守っておれば、この福音によって救われるのである。

3 παρέδωκα γὰρ ὑμῖν ἐν πρώτοις, ὃ καὶ
わたしは–伝えた なぜなら あなたがたに において 最も–重要な–こととして それを また
G3860 G1063 G4771 G1722 G4413 G3739 G2532

παρέλαβον, ὅτι Χριστὸς ἀπέθανεν ὑπὲρ τῶν ἁμαρτιῶν ἡμῶν,
わたしが–受けた–ことを すなわち キリストが 死んだと ために その 罪の わたしたちの
G3880 G3754 G5547 G0599 G5228 G3588 G0266 G1473

κατὰ τὰς γραφάς;
に–従い その 聖書に
G2596 G3588 G1124

わたしが最も大事なこととしてあなたがたに伝えたのは、わたし自身も受けたことであった。すなわちキリストが、聖書に書いてあるとおり、わたしたちの罪のために死んだこと、

4

καὶ	ὅτι	ἐτάφη;	καὶ	ὅτι	ἐγήγερται	τῇ	ἡμέρᾳ,	τῇ	τρίτῃ,
そして	こう	葬られた	そして	こう	よみがえらされた	その	日に	その	三日目に
G2532	G3754	G2290	G2532	G3754	G1453	G3588	G2250	G3588	G5154

κατὰ	τὰς	γραφάς;
に–従い	その	聖書に
G2596	G3588	G1124

そして葬られたこと、聖書に書いてあるとおり、三日目によみがえったこと、

5

καὶ	ὅτι	ὤφθη	Κηφᾷ,	εἶτα	τοῖς	δώδεκα.
そして	こう	現れた	ケファに	その後	その	十二人に
G2532	G3754	G3708	G2786	G1534	G3588	G1427

ケパに現れ、次に、十二人に現れたことである。

6

ἔπειτα	ὤφθη	ἐπάνω	πεντακοσίοις	ἀδελφοῖς	ἐφάπαξ,	ἐξ	ὧν	οἱ
その後	現れた	以上の	五百人の	兄弟たちに	一度に	から	そのうち	その
G1899	G3708	G1883	G4001	G0080	G2178	G1537	G3739	G3588

πλείονες	μένουσιν	ἕως	ἄρτι,	τινὲς	δὲ	ἐκοιμήθησαν.
大部分の–者は	生きている	まで	今	ある–者たちは	しかし	眠りについた
G4119	G3306	G2193	G0737	G5100	G1161	G2837

そののち、五百人以上の兄弟たちに、同時に現れた。その中にはすでに眠った者たちもいるが、大多数はいまなお生存している。

7

ἔπειτα	ὤφθη	Ἰακώβῳ;	εἶτα	τοῖς	ἀποστόλοις	πᾶσιν;
その後	現れた	ヤコブに	その後	その	使徒たちに	すべての
G1899	G3708	G2385	G1534	G3588	G0652	G3956

そののち、ヤコブに現れ、次に、すべての使徒たちに現れ、

8

ἔσχατον	δὲ	πάντων,	ὡσπερεὶ	τῷ	ἐκτρώματι,	ὤφθη	κἀμοί.
最後に	そして	すべての–中で	あたかも	その	未熟児の–ような–者に	現れた	わたしにも
G2078	G1161	G3956	G5619	G3588	G1626	G3708	G2504

そして最後に、いわば、月足らずに生れたようなわたしにも、現れたのである。

9

Ἐγὼ	γάρ	εἰμι	ὁ	ἐλάχιστος	τῶν	ἀποστόλων,	ὃς	οὐκ	εἰμὶ
わたしは	なぜなら	である	その	最も–小さい	その	使徒たちの	わたしは	ない	である
G1473	G1063	G1510	G3588	G1646	G3588	G0652	G3739	G3756	G1510

ἱκανὸς	καλεῖσθαι	ἀπόστολος,	διότι	ἐδίωξα	τὴν	ἐκκλησίαν	τοῦ
ふさわしい	呼ばれるに	使徒と	なぜなら	わたしは–迫害した	その	教会を	その
G2425	G2564	G0652	G1360	G1377	G3588	G1577	G3588

Θεοῦ.
神の
G2316

実際わたしは、神の教会を迫害したのであるから、使徒たちの中でいちばん小さい者であって、使徒と呼ばれる値うちのない者である。

10 χάριτι δὲ Θεοῦ, εἰμι ὅ εἰμι, καὶ ἡ
恵みに–よって しかし 神の わたしは–である ところの–者に わたしは–ある そして その
G5485 G1161 G2316 G1510 G3739 G1510 G2532 G3588

χάρις αὐτοῦ ἡ εἰς ἐμὲ, οὐ κενὴ ἐγενήθη, ἀλλὰ
恵みは その方の その に–対する わたしに ない むなしい–ものには ならなかった そうではなく
G5485 G0846 G3588 G1519 G1473 G3756 G2756 G1096 G0235

περισσότερον αὐτῶν πάντων ἐκοπίασα, οὐκ ἐγὼ δὲ, ἀλλὰ
より–多く 彼ら すべての–者よりも わたしは–労した ない わたしが しかし そうではなく
G4053 G0846 G3956 G2872 G3756 G1473 G1161 G0235

ἡ χάρις τοῦ Θεοῦ ‹ἡ› σὺν ἐμοί.
その 恵みが その 神の それが と–共に わたしと
G3588 G5485 G3588 G2316 G3588 G4862 G1473

しかし、神の恵みによって、わたしは今日あるを得ているのである。そして、わたしに賜わった神の恵みはむだにならず、むしろ、わたしは彼らの中のだれよりも多く働いてきた。しかしそれは、わたし自身ではなく、わたしと共にあった神の恵みである。

11 εἴτε οὖν ἐγὼ εἴτε ἐκεῖνοι, οὕτως κηρύσσομεν, καὶ
であれ それゆえ わたしで であれ 彼らで このように わたしたちは–宣べ伝えている そして
G1535 G3767 G1473 G1535 G1565 G3779 G2784 G2532

οὕτως ἐπιστεύσατε.
このように あなたがたは–信じた
G3779 G4100

とにかく、わたしにせよ彼らにせよ、そのように、わたしたちは宣べ伝えており、そのように、あなたがたは信じたのである。

12 Εἰ δὲ Χριστὸς κηρύσσεται, ὅτι ἐκ νεκρῶν ἐγήγερται,
もし しかし キリストが 宣べ伝えられている こう から 死者の–中から よみがえらされたと
G1487 G1161 G5547 G2784 G3754 G1537 G3498 G1453

πῶς λέγουσιν ἐν ὑμῖν τινες, ὅτι ἀνάστασις νεκρῶν οὐκ
どうして 言うのか の–中で あなたがたの ある–人たちは こう 復活は 死者の ない
G4459 G3004 G1722 G4771 G5100 G3754 G0386 G3498 G3756

ἔστιν?
ないと
G1510

さて、キリストは死人の中からよみがえったのだと宣べ伝えられているのに、あなたがたの中のある者が、死人の復活などはないと言っているのは、どうしたことか。

13 εἰ δὲ ἀνάστασις νεκρῶν οὐκ ἔστιν, οὐδὲ Χριστὸς
もし しかし 復活が 死者の ない ないなら また–ない キリストも
G1487 G1161 G0386 G3498 G3756 G1510 G3761 G5547

ἐγήγερται;
よみがえらされて–いない
G1453

もし死人の復活がないならば、キリストもよみがえらなかったであろう。

14 εἰ δὲ Χριστὸς οὐκ ἐγήγερται, κενὸν ἄρα [καὶ] τὸ
もし しかし キリストが ない よみがえらされて–いないなら むなしい そうすると また その
G1487 G1161 G5547 G3756 G1453 G2756 G0686 G2532 G3588

κήρυγμα ἡμῶν, κενὴ καὶ ἡ πίστις ὑμῶν.
宣教は わたしたちの むなしい また その 信仰も あなたがたの
G2782 G1473 G2756 G2532 G3588 G4102 G4771

もしキリストがよみがえらなかったとしたら、わたしたちの宣教はむなしく、あなたがたの信仰もまたむなしい。

15 εὑρισκόμεθα δὲ καὶ ψευδομάρτυρες τοῦ Θεοῦ; ὅτι
わたしたちは–見いだされる そして また 偽りの–証人として その 神の なぜなら
G2147 G1161 G2532 G5575 G3588 G2316 G3754

ἐμαρτυρήσαμεν κατὰ τοῦ Θεοῦ, ὅτι ἤγειρεν τὸν Χριστόν,
わたしたちは–証しした に–ついて その 神に–ついて こう よみがえらせたと その キリストを
G3140 G2596 G3588 G2316 G3754 G1453 G3588 G5547

ὃν οὐκ ἤγειρεν, εἴπερ ἄρα νεκροὶ οὐκ ἐγείρονται.
その–方を ない よみがえらせて–いない もし–本当に 実際に 死者たちが ない よみがえらないなら
G3739 G3756 G1453 G1512 G0686 G3498 G3756 G1453

すると、わたしたちは神にそむく偽証人にさえなるわけだ。なぜなら、万一死人がよみがえらないとしたら、わたしたちは神が実際よみがえらせなかったはずのキリストを、よみがえらせたと言って、神に反するあかしを立てたことになるからである。

16 εἰ γὰρ νεκροὶ οὐκ ἐγείρονται, οὐδὲ Χριστὸς
もし なぜなら 死者たちが ない よみがえらないなら また–ない キリストも
G1487 G1063 G3498 G3756 G1453 G3761 G5547

ἐγήγερται:
よみがえらされて–いない
G1453

もし死人がよみがえらないなら、キリストもよみがえらなかったであろう。

17 εἰ δὲ Χριστὸς οὐκ ἐγήγερται, ματαία ἡ πίστις
もし しかし キリストが ない よみがえらされて–いないなら むなしい その 信仰は
G1487 G1161 G5547 G3756 G1453 G3152 G3588 G4102

ὑμῶν (ἐστίν); ἔτι ἐστὲ ἐν ταῖς ἁμαρτίαις ὑμῶν.
あなたがたの である まだ あなたがたは–いる の–中に その 罪の あなたがたの
G4771 G1510 G2089 G1510 G1722 G3588 G0266 G4771

もしキリストがよみがえらなかったとすれば、あなたがたの信仰は空虚なものとなり、あなたがたは、いまなお罪の中にいることになろう。

18 ἄρα καὶ οἱ κοιμηθέντες ἐν Χριστῷ ἀπώλοντο.
そうすると また その 眠りについた–者たちも に–あって キリストに 滅びた
G0686 G2532 G3588 G2837 G1722 G5547 G0622

そうだとすると、キリストにあって眠った者たちは、滅んでしまったのである。

19 εἰ, ἐν τῇ ζωῇ ταύτῃ, ἐν Χριστῷ ἠλπικότες
もし において その 命に この において キリストに 望みを–置いている–者が
G1487 G1722 G3588 G2222 G3778 G1722 G5547 G1679

ἐσμὲν μόνον, ἐλεεινότεροι πάντων ἀνθρώπων ἐσμέν.
わたしたちで–あるなら ただ 最も–哀れな–者である すべての 人々の–中で わたしたちは–である
G1510 G3440 G1652 G3956 G0444 G1510

もしわたしたちが、この世の生活でキリストにあって単なる望みをいだいているだけだとすれば、わたしたちは、すべての人の中で最もあわれむべき存在となる。

20

Νυνὶ	δὲ	Χριστὸς	ἐγήγερται	ἐκ	νεκρῶν,	ἀπαρχὴ	τῶν
しかし–今や	実に	キリストは	よみがえらされた	から	死者の–中から	初穂として	その
G3570	G1161	G5547	G1453	G1537	G3498	G0536	G3588

κεκοιμημένων.
眠りについた–者たちの
G2837

しかし事実、キリストは眠っている者の初穂として、死人の中からよみがえったのである。

21

ἐπειδὴ	γὰρ	δι’	ἀνθρώπου	θάνατος,	καὶ	δι’	ἀνθρώπου
なぜなら	実に	を–通して	人に–よって	死が–来たので	また	を–通して	人に–よって
G1894	G1063	G1223	G0444	G2288	G2532	G1223	G0444

ἀνάστασις	νεκρῶν.
復活も	死者の
G0386	G3498

それは、死がひとりの人によってきたのだから、死人の復活もまた、ひとりの人によってこなければならない。

22

ὥσπερ	γὰρ	ἐν	τῷ	Ἀδὰμ	πάντες	ἀποθνήσκουσιν,	οὕτως
ちょうど	なぜなら	に–あって	その	アダムに	すべての–人が	死ぬように	そのように
G5618	G1063	G1722	G3588	G0076	G3956	G0599	G3779

καὶ	ἐν	τῷ	Χριστῷ,	πάντες	ζωοποιηθήσονται.
また	に–あって	その	キリストに	すべての–人が	生かされる
G2532	G1722	G3588	G5547	G3956	G2227

アダムにあってすべての人が死んでいるのと同じように、キリストにあってすべての人が生かされるのである。

23

Ἕκαστος	δὲ	ἐν	τῷ	ἰδίῳ	τάγματι:	ἀπαρχὴ	Χριστός,	ἔπειτα	οἱ
各自が	しかし	に–おいて	その	自分の	順序で	初穂は	キリスト	次に	その
G1538	G1161	G1722	G3588	G2398	G5001	G0536	G5547	G1899	G3588

τοῦ	Χριστοῦ,	ἐν	τῇ	παρουσίᾳ	αὐτοῦ,
その	キリストに	に–おいて	その	来臨の–時に	その方の
G3588	G5547	G1722	G3588	G3952	G0846

ただ、各自はそれぞれの順序に従わねばならない。最初はキリスト、次に、主の来臨に際してキリストに属する者たち、

24

εἶτα	τὸ	τέλος,	ὅταν	παραδιδῷ	τὴν	βασιλείαν	τῷ	Θεῷ	καὶ
それから	その	終わりが–来る	そのとき	引き渡す	その	王国を	その	神	そして
G1534	G3588	G5056	G3752	G3860	G3588	G0932	G3588	G2316	G2532

Πατρί;	ὅταν	καταργήσῃ	πᾶσαν	ἀρχὴν,	καὶ	πᾶσαν	ἐξουσίαν,	καὶ	δύναμιν.
父に	そのとき	廃する	すべての	支配を	そして	すべての	権威を	そして	力を
G3962	G3752	G2673	G3956	G0746	G2532	G3956	G1849	G2532	G1411

それから終末となって、その時に、キリストはすべての君たち、すべての権威と権力とを打ち滅ぼして、国を父なる神に渡されるのである。

25

δεῖ	γὰρ	αὐτὸν	βασιλεύειν,	ἄχρι	οὗ	θῇ	πάντας
必要である	なぜなら	その方が	王として–支配することが	まで	その–時	置くまで	すべての
G1163	G1063	G0846	G0936	G0891	G3739	G5087	G3956

τοὺς	ἐχθροὺς	ὑπὸ	τοὺς	πόδας	αὐτοῦ.
その	敵を	の–下に	その	足の	その方の
G3588	G2190	G5259	G3588	G4228	G0846

なぜなら、キリストはあらゆる敵をその足もとに置く時までは、支配を続けることになっているからである。

26 ἔσχατος ἐχθρὸς καταργεῖται ὁ θάνατος.
最後の 敵が 滅ぼされる それは 死である
G2078 G2190 G2673 G3588 G2288

最後の敵として滅ぼされるのが、死である。

27 πάντα γὰρ ὑπέταξεν, ὑπὸ τοὺς πόδας αὐτοῦ. ὅταν δὲ εἴπῃ
すべてを なぜなら 従わせた の-下に その 足の その方の そのとき しかし 言うとき
G3956 G1063 G5293 G5259 G3588 G4228 G0846 G3752 G1161 G3004

ὅτι πάντα ὑποτέτακται, δῆλον ὅτι ἐκτὸς τοῦ ὑποτάξαντος αὐτῷ
こう すべてが 従わされたと 明らかで-ある こう 除いて その 従わせた-方を その方に
G3754 G3956 G5293 G1212 G3754 G1622 G3588 G5293 G0846

τὰ πάντα.
その すべてを
G3588 G3956

「神は万物を彼の足もとに従わせた」からである。ところが、万物を従わせたと言われる時、万物を従わせたかたがそれに含まれていないことは、明らかである。

28 ὅταν δὲ ὑποταγῇ αὐτῷ τὰ πάντα, τότε καὶ αὐτὸς ὁ
そのとき しかし 従わされるとき その方に その すべてが そのとき また 御子-自らも その
G3752 G1161 G5293 G0846 G3588 G3956 G5119 G2532 G0846 G3588

Υἱὸς, ὑποταγήσεται τῷ ὑποτάξαντι αὐτῷ τὰ πάντα, ἵνα ᾖ
御子が 従う その 従わせた-方に その方に その すべてを ために であるように
G5207 G5293 G3588 G5293 G0846 G3588 G3956 G2443 G1510

ὁ Θεὸς [τὰ] πάντα ἐν πᾶσιν.
その 神が その すべてに-おいて に-おいて すべてに
G3588 G2316 G3588 G3956 G1722 G3956

そして、万物が神に従う時には、御子自身もまた、万物を従わせたそのかたに従うであろう。それは、神がすべての者にあって、すべてとなられるためである。

29 Ἐπεὶ τί ποιήσουσιν, οἱ βαπτιζόμενοι ὑπὲρ τῶν νεκρῶν?
それなら 何を するのか その バプテスマを-受ける-者たちは ために その 死者たちの
G1893 G5101 G4160 G3588 G0907 G5228 G3588 G3498

εἰ ὅλως νεκροὶ οὐκ ἐγείρονται, τί καὶ βαπτίζονται ὑπὲρ
もし 全く 死者たちが ない よみがえらないなら なぜ また バプテスマを-受けるのか ために
G1487 G3654 G3498 G3756 G1453 G5101 G2532 G0907 G5228

αὐτῶν?
彼らの
G0846

そうでないとすれば、死者のためにバプテスマを受ける人々は、なぜそれをするのだろうか。もし死者が全くよみがえらないとすれば、なぜ人々が死者のためにバプテスマを受けるのか。

30 τί καὶ, ἡμεῖς κινδυνεύομεν πᾶσαν ὥραν?
なぜ また わたしたちは 危険を-牲すのか すべての 時に
G5101 G2532 G1473 G2793 G3956 G5610

また、なんのために、わたしたちはいつも危険を冒しているのか。

31 καθ’ ἡμέραν ἀποθνῄσκω, νὴ τὴν ὑμετέραν καύχησιν, ἀδελφοί
毎 日 わたしは–死んでいる 誓って その あなたがたの 誇りに–かけて 兄弟たちよ
G2596 G2250 G0599 G3513 G3588 G5212 G2746 G0080

ἣν ἔχω ἐν Χριστῷ Ἰησοῦ, τῷ Κυρίῳ ἡμῶν.
それを わたしは–持っている に–おいて キリスト・ イエス その 主に–おいて わたしたちの
G3739 G2192 G1722 G5547 G2424 G3588 G2962 G1473

兄弟たちよ。わたしたちの主キリスト・イエスにあって、わたしがあなたがたにつき持っている誇にかけて言うが、わたしは日々死んでいるのである。

32 εἰ κατὰ ἄνθρωπον, ἐθηριομάχησα ἐν Ἐφέσῳ, τί μοι
もし に–従い 人間的な–動機で わたしが–獣と–戦ったなら に–おいて エフェソで 何の わたしに
G1487 G2596 G0444 G2341 G1722 G2181 G5101 G1473

τὸ ὄφελος? εἰ νεκροὶ οὐκ ἐγείρονται, φάγωμεν καὶ πίωμεν,
その 益が–あるか もし 死者たちが ない よみがえらないなら 食べよう そして 飲もう
G3588 G3786 G1487 G3498 G3756 G1453 G5315 G2532 G4095

αὔριον γὰρ ἀποθνήσκομεν.
明日 なぜなら わたしたちは–死ぬのだから
G0839 G1063 G0599

もし、わたしが人間の考えによってエペソで獣と戦ったとすれば、それはなんの役に立つのか。もし死人がよみがえらないのなら、「わたしたちは飲み食いしようではないか。あすもわからぬいのちなのだ」。

33 μὴ πλανᾶσθε: φθείρουσιν ἤθη χρηστὰ, ὁμιλίαι κακαί.
ない 惑わされては–ならない 扱う 品性を 良い 交わりが 悪い
G3361 G4105 G5351 G2239 G5543 G3657 G2556

まちがってはいけない。「悪い交わりは、良いならわしをそこなう」。

34 ἐκνήψατε δικαίως, καὶ μὴ ἁμαρτάνετε; ἀγνωσίαν γὰρ Θεοῦ,
目を–覚ましなさい 正しく そして ない 罪を–犯しては–ならない 無知を なぜなら 神の
G1594 G1346 G2532 G3361 G0264 G0056 G1063 G2316

τινες ἔχουσιν; πρὸς ἐντροπὴν ὑμῖν λαλῶ.
ある–人たちは 持っている ための 恥として あなたがたに わたしは–言う
G5100 G2192 G4314 G1791 G4771 G2980

目ざめて身を正し、罪を犯さないようにしなさい。あなたがたのうちには、神について無知な人々がいる。あなたがたをはずかしめるために、わたしはこう言うのだ。

35 Ἀλλὰ ἐρεῖ τις, Πῶς ἐγείρονται οἱ νεκροί? ποίῳ δὲ
しかし 言うだろう ある–人は どのように よみがえるのか その 死者たちは どのような そして
G0235 G2046 G5100 G4459 G1453 G3588 G3498 G4169 G1161

σώματι ἔρχονται?
からだで 来るのか
G4983 G2064

しかし、ある人は言うだろう。「どんなふうにして、死人がよみがえるのか。どんなからだをして来るのか」。

36 ἄφρων σὺ! ὃ σπείρεις, οὐ ζωοποιεῖται, ἐὰν μὴ
愚かな–者よ あなたは その あなたが–蒔くものは ない 生かされない もし ない
G0878 G4771 G3739 G4687 G3756 G2227 G1437 G3361

ἀποθάνῃ.
死ななければ
G0599

おろかな人である。あなたのまくものは、死ななければ、生かされないではないか。

37	καὶ	ὃ	σπείρεις,	οὐ	τὸ	σῶμα	τὸ	γενησόμενον	σπείρεις,
そして	その	あなたが–蒔くものは	ない	その	からだを	その	将来の	蒔くのではなく
G2532	G3739	G4687	G3756	G3588	G4983	G3588	G1096	G4687

ἀλλὰ	γυμνὸν	κόκκον,	εἰ	τύχοι	σίτου,	ἤ	τινος	τῶν	λοιπῶν.
そうではなく	裸の	種を	もし	たまたま	小麦の	あるいは	何かの	その	その他の
G0235	G1131	G2848	G1487	G5177	G4621	G2228	G5100	G3588	G3062

また、あなたのまくのは、やがて成るべきからだをまくのではない。麦であっても、ほかの種であっても、ただの種粒にすぎない。

38	ὁ	δὲ	Θεὸς	δίδωσιν	αὐτῷ	σῶμα,	καθὼς	ἠθέλησεν,	καὶ
その	しかし	神は	与える	それに	からだを	のように	望まれたとおりに	そして
G3588	G1161	G2316	G1325	G0846	G4983	G2531	G2309	G2532

ἑκάστῳ	τῶν	σπερμάτων,	ἴδιον	σῶμα.
それぞれの	その	種に	それぞれの	からだを
G1538	G3588	G4690	G2398	G4983

ところが、神はみこころのままに、これにからだを与え、その一つ一つの種にそれぞれのからだをお与えになる。

39	οὐ	πᾶσα	σὰρξ	ἡ	αὐτὴ	σάρξ,	ἀλλὰ	ἄλλη	μὲν
ない	すべての	肉が	その	同じ	肉ではない	そうではなく	別の–ものが	一方では
G3756	G3956	G4561	G3588	G0846	G4561	G0235	G0243	G3303

ἀνθρώπων,	ἄλλη	δὲ	σὰρξ	κτηνῶν,	ἄλλη	δὲ	σὰρξ	πτηνῶν.
人間の	別の–ものが	他方	肉は	家畜の	別の–ものが	他方	肉は	鳥の
G0444	G0243	G1161	G4561	G2934	G0243	G1161	G4561	G4421

ἄλλη	δὲ	ἰχθύων.
別の–ものが	他方	魚の
G0243	G1161	G2486

すべての肉が、同じ肉なのではない。人の肉があり、獣の肉があり、鳥の肉があり、魚の肉がある。

40	καὶ	σώματα	ἐπουράνια,	καὶ	σώματα	ἐπίγεια.	ἀλλὰ	ἑτέρα	μὲν
また	からだが–ある	天の	そして	からだが–ある	地の	しかし	異なる	一方では
G2532	G4983	G2032	G2532	G4983	G1919	G0235	G2087	G3303

ἡ	τῶν	ἐπουρανίων	δόξα,	ἑτέρα	δὲ	ἡ	τῶν	ἐπιγείων.
その	その	天の–ものの	栄光は	異なる	他方	その	その	地の–ものの
G3588	G3588	G2032	G1391	G2087	G1161	G3588	G3588	G1919

天に属するからだもあれば、地に属するからだもある。天に属するものの栄光は、地に属するものの栄光と違っている。

41	ἄλλη	δόξα	ἡλίου,	καὶ	ἄλλη	δόξα	σελήνης,	καὶ	ἄλλη	δόξα
別の	栄光が–ある	太陽の	そして	別の	栄光が–ある	月の	そして	別の	栄光が–ある
G0243	G1391	G2246	G2532	G0243	G1391	G4582	G2532	G0243	G1391

ἀστέρων;	ἀστὴρ	γὰρ	ἀστέρος	διαφέρει	ἐν	δόξῃ.
星々の	星は	なぜなら	星と	異なる	に–おいて	栄光に
G0792	G0792	G1063	G0792	G1308	G1722	G1391

日の栄光があり、月の栄光があり、星の栄光がある。また、この星とあの星との間に、栄光の差がある。

42 οὕτως καὶ ἡ ἀνάστασις τῶν νεκρῶν. σπείρεται ἐν φθορᾷ,
このように また その 復活も その 死者の 蒔かれる に–おいて 朽ちる–ものに
G3779 G2532 G3588 G0386 G3588 G3498 G4687 G1722 G5356

ἐγείρεται ἐν ἀφθαρσίᾳ.
よみがえる に–おいて 朽ちない–ものに
G1453 G1722 G0861

死人の復活も、また同様である。朽ちるものでまかれ、朽ちないものによみがえり、

43 σπείρεται ἐν ἀτιμίᾳ, ἐγείρεται ἐν δόξῃ. σπείρεται ἐν
蒔かれる に–おいて 卸しめに よみがえる に–おいて 栄光に 蒔かれる に–おいて
G4687 G1722 G0819 G1453 G1722 G1391 G4687 G1722

ἀσθενείᾳ, ἐγείρεται ἐν δυνάμει.
弱さに よみがえる に–おいて 力に
G0769 G1453 G1722 G1411

卑しいものでまかれ、栄光あるものによみがえり、弱いものでまかれ、強いものによみがえり、

44 σπείρεται σῶμα ψυχικόν, ἐγείρεται σῶμα πνευματικόν. Εἰ ἔστιν σῶμα
蒔かれる からだは 自然の よみがえる からだは 霊の もし あるなら からだが
G4687 G4983 G5591 G1453 G4983 G4152 G1487 G1510 G4983

ψυχικόν, ἔστιν καὶ πνευματικόν.
自然の ある また 霊の–からだも
G5591 G1510 G2532 G4152

肉のからだでまかれ、霊のからだによみがえるのである。肉のからだがあるのだから、霊のからだもあるわけである。

45 οὕτως καὶ γέγραπται, Ἐγένετο ὁ πρῶτος ἄνθρωπος Ἀδὰμ εἰς
このように また 書かれている なった その 最初の 人である アダムは に–とって
G3779 G2532 G1125 G1096 G3588 G4413 G0444 G0076 G1519

ψυχὴν ζῶσαν; ὁ ἔσχατος Ἀδὰμ εἰς πνεῦμα ζωοποιοῦν.
魂として 生きた–者に その 最後の アダムは に–とって 霊として 命を–与える–方に
G5590 G2198 G3588 G2078 G0076 G1519 G4151 G2227

聖書に「最初の人アダムは生きたものとなった」と書いてあるとおりである。しかし最後のアダムは命を与える霊となった。

46 ἀλλ’ οὐ πρῶτον τὸ πνευματικὸν, ἀλλὰ τὸ ψυχικόν, ἔπειτα
しかし ない 最初に その 霊の–ものでは そうではなく その 自然の–もので その後に
G0235 G3756 G4412 G3588 G4152 G0235 G3588 G5591 G1899

τὸ πνευματικόν.
その 霊の–ものが
G3588 G4152

最初にあったのは、霊のものではなく肉のものであって、その後に霊のものが来るのである。

47 ὁ πρῶτος ἄνθρωπος ἐκ γῆς, χοϊκός; ὁ δεύτερος ἄνθρωπος, ἐξ
その 最初の 人は から 地の 地の–者である その 第二の 人は から
G3588 G4413 G0444 G1537 G1093 G5517 G3588 G1208 G0444 G1537

οὐρανοῦ.
天の
G3772

第一の人は地から出て土に属し、第二の人は天から来る。

48 οἷος ὁ χοϊκός, τοιοῦτοι καὶ οἱ χοϊκοί; καὶ οἷος
のような その 地の–者は そのような–者で また その 地の–者たちも そして のような
G3634 G3588 G5517 G5108 G2532 G3588 G5517 G2532 G3634

ὁ ἐπουράνιος, τοιοῦτοι καὶ οἱ ἐπουράνιοι.
その 天の–者は そのような–者で また その 天の–者たちも
G3588 G2032 G5108 G2532 G3588 G2032

この土に属する人に、土に属している人々は等しく、この天に属する人に、天に属している人々は等しいのである。

49 καὶ καθὼς ἐφορέσαμεν τὴν εἰκόνα τοῦ χοϊκοῦ,
そして のように わたしたちが–帯びた その 像を その 地の–者の
G2532 G2531 G5409 G3588 G1504 G3588 G5517

φορέσομεν καὶ τὴν εἰκόνα τοῦ ἐπουρανίου.
わたしたちは–帯びるだろう また その 像を その 天の–者の
G5409 G2532 G3588 G1504 G3588 G2032

すなわち、わたしたちは、土に属している形をとっているのと同様に、また天に属している形をとるであろう。

50 Τοῦτο δέ φημι, ἀδελφοί, ὅτι σὰρξ καὶ αἷμα, βασιλείαν Θεοῦ
これを そして わたしは–言う 兄弟たちよ こう 肉と そして 血は 王国を 神の
G3778 G1161 G5346 G0080 G3754 G4561 G2532 G0129 G0932 G2316

κληρονομῆσαι οὐ δύναται, οὐδὲ ἡ φθορὰ, τὴν ἀφθαρσίαν
受け継ぐことが ない できない また–ない その 朽ちる–ものが その 朽ちない–ものを
G2816 G3756 G1410 G3761 G3588 G5356 G3588 G0861

κληρονομεῖ.
受け継がない
G2816

兄弟たちよ。わたしはこの事を言っておく。肉と血とは神の国を継ぐことができないし、朽ちるものは朽ちないものを継ぐことがない。

51 ἰδοὺ, μυστήριον ὑμῖν λέγω: πάντες οὐ κοιμηθησόμεθα,
見よ 奥義を あなたがたに わたしは–言う すべての–人が ない 眠りに–つくのではなく
G3708 G3466 G4771 G3004 G3956 G3756 G2837

πάντες δὲ ἀλλαγησόμεθα,
すべての–人が しかし 変えられる
G3956 G1161 G0236

ここで、あなたがたに奥義を告げよう。わたしたちすべては、眠り続けるのではない。終りのラッパの響きと共に、またたく間に、一瞬にして変えられる。

52 ἐν ἀτόμῳ, ἐν ῥιπῇ ὀφθαλμοῦ, ἐν τῇ ἐσχάτῃ σάλπιγγι;
に–おいて 一瞬に に–おいて またたきに 目の に–おいて その 最後の ラッパに
G1722 G0823 G1722 G4493 G3788 G1722 G3588 G2078 G4536

σαλπίσει γάρ, καὶ οἱ νεκροὶ ἐγερθήσονται ἄφθαρτοι, καὶ
ラッパが–鳴る なぜなら そして その 死者たちは よみがえらされる 朽ちない–者として そして
G4537 G1063 G2532 G3588 G3498 G1453 G0862 G2532

ἡμεῖς ἀλλαγησόμεθα.
わたしたちは 変えられる
G1473 G0236

というのは、ラッパが響いて、死人は朽ちない者によみがえらされ、わたしたちは変えられるのである。

53 δεῖ 必要である G1163 γὰρ なぜなら G1063 τὸ その G3588 φθαρτὸν 朽ちる-ものが G5349 τοῦτο, この G3778 ἐνδύσασθαι 着ることが G1746 ἀφθαρσίαν; 朽ちない-ものを G0861 καὶ そして G2532 τὸ その G3588 θνητὸν 死ぬべき-ものが G2349 τοῦτο, この G3778 ἐνδύσασθαι 着ることが G1746 ἀθανασίαν. 不死を G0110

なぜなら、この朽ちるものは必ず朽ちないものを着、この死ぬものは必ず死なないものを着ることになるからである。

54 ὅταν そのとき G3752 δὲ そして G1161 τὸ その G3588 φθαρτὸν 朽ちる-ものが G5349 τοῦτο この G3778 ἐνδύσηται 着るとき G1746 (τὴν) その G3588 ἀφθαρσίαν, 朽ちない-ものを G0861 καὶ そして G2532 τὸ その G3588 θνητὸν, 死ぬべき-ものが G2349 τοῦτο この G3778 ἐνδύσηται 着るとき G1746 ἀθανασίαν, 不死を G0110 τότε そのとき G5119 γενήσεται 実現する G1096 ὁ その G3588 λόγος 言葉が G3056 ὁ その G3588 γεγραμμένος: 書かれた G1125 Κατεπόθη 呑み込まれた G2666 ὁ その G3588 θάνατος 死は G2288 εἰς に-よって G1519 νῖκος. 勝利に G3534

この朽ちるものが朽ちないものを着、この死ぬものが死なないものを着るとき、聖書に書いてある言葉が成就するのである。

55 ποῦ どこに-あるか G4226 σου, おまえの G4771 θάνατε, 死よ G2288 τὸ その G3588 νῖκος? 勝利は G3534 ποῦ どこに-あるか G4226 σου, おまえの G4771 θάνατε, 死よ G2288 τὸ その G3588 κέντρον? とげは G2759

「死は勝利にのまれてしまった。死よ、おまえの勝利は、どこにあるのか。死よ、おまえのとげは、どこにあるのか」。

56 τὸ その G3588 δὲ しかし G1161 κέντρον とげは G2759 τοῦ その G3588 θανάτου 死の G2288 ἡ それは G3588 ἁμαρτία; 罪である G0266 ἡ その G3588 δὲ そして G1161 δύναμις 力は G1411 τῆς その G3588 ἁμαρτίας, 罪の G0266 ὁ それは G3588 νόμος; 律法である G3551

死のとげは罪である。罪の力は律法である。

57 τῷ その G3588 δὲ しかし G1161 Θεῷ 神に G2316 χάρις, 感謝あれ G5485 τῷ その G3588 διδόντι 与えてくださる-方に G1325 ἡμῖν わたしたちに G1473 τὸ その G3588 νῖκος, 勝利を G3534 διὰ を-通して G1223 τοῦ その G3588 Κυρίου 主の G2962 ἡμῶν, わたしたちの G1473 Ἰησοῦ イエス・ G2424 Χριστοῦ. キリストを G5547

しかし感謝すべきことには、神はわたしたちの主イエス・キリストによって、わたしたちに勝利を賜わったのである。

58 Ὥστε, ἀδελφοί μου ἀγαπητοί, ἑδραῖοι γίνεσθε,
したがって 兄弟たちよ わたしの 愛する–者たちよ 堅固な–者となり なりなさい
G5620 G0080 G1473 G0027 G1476 G1096

ἀμετακίνητοι, περισσεύοντες ἐν τῷ ἔργῳ τοῦ Κυρίου πάντοτε,
動かされない–者となり 豊かに–励みなさい に–おいて その 業に その 主の いつも
G0277 G4052 G1722 G3588 G2041 G3588 G2962 G3842

εἰδότες ὅτι ὁ κόπος ὑμῶν οὐκ ἔστιν κενὸς. ἐν
知って–おり こう その 労苦は あなたがたの ない では–ない むなしい–もので に–おいて
G1492 G3754 G3588 G2873 G4771 G3756 G1510 G2756 G1722

Κυρίῳ.
主に–おいて
G2962

だから、愛する兄弟たちよ。堅く立って動かされず、いつも全力を注いで主のわざに励みなさい。主にあっては、あなたがたの労苦がむだになることはないと、あなたがたは知っているからである。

Chapter 16

1 Περὶ δὲ τῆς λογείας τῆς εἰς τοὺς ἁγίους, ὥσπερ
に–ついて そして その 募金の その の–ための その 聖徒たちの のように
G4012 G1161 G3588 G3048 G3588 G1519 G3588 G0040 G5618

διέταξα ταῖς ἐκκλησίαις τῆς Γαλατίας, οὕτως καὶ ὑμεῖς
わたしが–指示した その 教会に その ガラテヤの そのように また あなたがたも
G1299 G3588 G1577 G3588 G1053 G3779 G2532 G4771

ποιήσατε.
しなさい
G4160

聖徒たちへの献金については、わたしはガラテヤの諸教会に命じておいたが、あなたがたもそのとおりにしなさい。

2 κατὰ μίαν σαββάτου, ἕκαστος ὑμῶν, παρ’ ἑαυτῷ
の–ごとに 最初の 週の–日に 各自が あなたがたの の–もとに 自分の
G2596 G1520 G4521 G1538 G4771 G3844 G1438

τιθέτω, θησαυρίζων ὅ¦τι ἐὰν εὐοδῶται, ἵνα μὴ ὅταν
取り–分けて–置きなさい 蓄えて どれだけ でも うまく–いっただけ ために ない そのとき
G5087 G2343 G3754 G1437 G2137 G2443 G3361 G3752

ἔλθω, τότε λογεῖαι γίνωνται.
わたしが–行ったときに そのときになって 募金が 行われることの–ないように
G2064 G5119 G3048 G1096

一週の初めの日ごとに、あなたがたはそれぞれ、いくらでも収入に応じて手もとにたくわえておき、わたしが着いた時になって初めて集めることのないようにしなさい。

3 ὅταν δὲ παραγένωμαι, οὓς ἐὰν δοκιμάσητε, δι’
そのとき そして わたしが–到着したら その–者たちを でも あなたがたが–認めた に–よる
G3752 G1161 G3854 G3739 G1437 G1381 G1223

ἐπιστολῶν τούτους πέμψω, ἀπενεγκεῖν τὴν χάριν ὑμῶν εἰς
手紙を–添えて これらの–者を わたしは–遣わそう 届けるために その 贈り物を あなたがたの へ
G1992 G3778 G3992 G0667 G3588 G5485 G4771 G1519

Ἰερουσαλήμ.
エルサレムに
G2419

わたしが到着したら、あなたがたが選んだ人々に手紙をつけ、あなたがたの贈り物を持たせて、エルサレムに送り出すことにしよう。

4 ἐὰν δὲ ἄξιον ᾖ τοῦ κἀμὲ πορεύεσθαι, σὺν ἐμοὶ
もし そして ふさわしいなら であるなら その わたしも 行くことが と–共に わたしと
G1437 G1161 G0514 G1510 G3588 G2504 G4198 G4862 G1473

πορεύσονται.
彼らは–行くだろう
G4198

もしわたしも行く方がよければ、一緒に行くことになろう。

5 Ἐλεύσομαι δὲ πρὸς ὑμᾶς, ὅταν Μακεδονίαν διέλθω;
わたしは–行こう そして に–向かって あなたがたの–もとに そのとき マケドニアを 通過した後
G2064 G1161 G4314 G4771 G3752 G3109 G1330

Μακεδονίαν γὰρ διέρχομαι.
マケドニアを なぜなら わたしは–通過する
G3109 G1063 G1330

わたしは、マケドニヤを通過してから、あなたがたのところに行くことになろう。マケドニヤは通過するだけだが、

6 πρὸς ὑμᾶς δὲ τυχὸν παραμενῶ, ἢ καὶ παραχειμάσω,
に–向かって あなたがたの–もとに そして おそらく とどまろう あるいは また 冬を–過ごそう
G4314 G4771 G1161 G5177 G3887 G2228 G2532 G3914

ἵνα ὑμεῖς, με προπέμψητε, οὗ ἐὰν πορεύωμαι.
ために あなたがたが わたしを 送り–出して–くれるように そこへ でも わたしが–行くところへ
G2443 G4771 G1473 G4311 G3757 G1437 G4198

あなたがたの所では、たぶん滞在するようになり、あるいは冬を過ごすかも知れない。そうなれば、わたしがどこへゆくにしても、あなたがたに送ってもらえるだろう。

7 οὐ θέλω γὰρ, ὑμᾶς ἄρτι ἐν παρόδῳ ἰδεῖν;
ない わたしは–望まない なぜなら あなたがたに 今 に–おいて 通りがかりに 会うことを
G3756 G2309 G1063 G4771 G0737 G1722 G3938 G3708

ἐλπίζω γὰρ, χρόνον τινὰ ἐπιμεῖναι πρὸς ὑμᾶς,
わたしは–望む なぜなら しばらくの–間 ある とどまることを に–向かって あなたがたの–もとに
G1679 G1063 G5550 G5100 G1961 G4314 G4771

ἐὰν ὁ Κύριος ἐπιτρέψῃ.
もし その 主が 許されるなら
G1437 G3588 G2962 G2010

わたしは今、あなたがたに旅のついでに会うことは好まない。もし主のお許しがあれば、しばらくあなたがたの所に滞在したいと望んでいる。

8 ἐπιμενῶ δὲ ἐν Ἐφέσῳ ἕως τῆς Πεντηκοστῆς.
わたしは–とどまろう しかし に–おいて エフェソに まで その 五旬祭まで
G1961 G1161 G1722 G2181 G2193 G3588 G4005

しかし五旬節までは、エペソに滞在するつもりだ。というのは、有力な働きの門がわたしのために大きく開かれているし、

9 θύρα γάρ μοι ἀνέῳγεν μεγάλη καὶ ἐνεργής, καὶ ἀντικείμενοι
門が なぜなら わたしに 開かれた 大きな そして 力強い そして 敵対する–者も
G2374 G1063 G1473 G0455 G3173 G2532 G1756 G2532 G0480

πολλοί.
多い
G4183

また敵対する者も多いからである。

10 Ἐὰν δὲ ἔλθῃ Τιμόθεος, βλέπετε ἵνα ἀφόβως γένηται πρὸς
もし そして 来たら テモテが 気をつけなさい ために 恐れなく 過ごせるように に–向かって
G1437 G1161 G2064 G5095 G0991 G2443 G0870 G1096 G4314

ὑμᾶς; τὸ γὰρ ἔργον Κυρίου ἐργάζεται, ὡς κἀγώ.
あなたがたの–もとで その なぜなら 業を 主の 行っている のように わたしも
G4771 G3588 G1063 G2041 G2962 G2038 G5613 G2504

もしテモテが着いたら、あなたがたの所で不安なしに過ごせるようにしてあげてほしい。彼はわたしと同様に、主のご用にあたっているのだから。

11 μή τις οὖν αὐτὸν ἐξουθενήσῃ; προπέμψατε δὲ αὐτὸν
ない だれも それゆえ 彼を 見くびっては–ならない 送り–出しなさい そして 彼を
G3361 G5100 G3767 G0846 G1848 G4311 G1161 G0846

ἐν εἰρήνῃ, ἵνα ἔλθῃ πρός με; ἐκδέχομαι
に–おいて 平和の–うちに ために 来るように に–向かって わたしの–もとに わたしは–待っている
G1722 G1515 G2443 G2064 G4314 G1473 G1551

γὰρ αὐτὸν, μετὰ τῶν ἀδελφῶν.
なぜなら 彼を と–共に その 兄弟たちと
G1063 G0846 G3326 G3588 G0080

だれも彼を軽んじてはいけない。そして、わたしの所に来るように、どうか彼を安らかに送り出してほしい。わたしは彼が兄弟たちと一緒に来るのを待っている。

12 Περὶ δὲ Ἀπολλῶ, τοῦ ἀδελφοῦ, πολλὰ παρεκάλεσα αὐτὸν, ἵνα
に–ついて そして アポロの その 兄弟の 大いに わたしは–勧めた 彼に ために
G4012 G1161 G0625 G3588 G0080 G4183 G3870 G0846 G2443

ἔλθῃ πρὸς ὑμᾶς μετὰ τῶν ἀδελφῶν; καὶ πάντως οὐκ
来るように に–向かって あなたがたの–もとに と–共に その 兄弟たちと そして 全く ない
G2064 G4314 G4771 G3326 G3588 G0080 G2532 G3843 G3756

ἦν θέλημα ἵνα νῦν ἔλθῃ; ἐλεύσεται δὲ ὅταν εὐκαιρήσῃ.
では–なかった 御心が ために 今 来ることは 来るだろう しかし そのとき 機会が–あれば
G1510 G2307 G2443 G3568 G2064 G2064 G1161 G3752 G2119

兄弟アポロについては、兄弟たちと一緒にあなたがたの所に行くように、たびたび勧めてみた。しかし彼には、今行く意志は、全くない。適当な機会があれば、行くだろう。

13 Γρηγορεῖτε; στήκετε ἐν τῇ πίστει, ἀνδρίζεσθε,
目を–覚ましていなさい 堅く–立ちなさい に–おいて その 信仰に 雄々しく–ありなさい
G1127 G4739 G1722 G3588 G4102 G0407

κραταιοῦσθε.
強く–ありなさい
G2901

目をさましていなさい。信仰に立ちなさい。男らしく、強くあってほしい。

14 πάντα ὑμῶν, ἐν ἀγάπῃ γινέσθω.
すべての–ことを あなたがたの に–おいて 愛の–うちに 行われるように–せよ
G3956 G4771 G1722 G0026 G1096

いっさいのことを、愛をもって行いなさい。

15 Παρακαλῶ δὲ ὑμᾶς, ἀδελφοί, οἴδατε τὴν οἰκίαν
わたしは–勧める そして あなたがたに 兄弟たちよ あなたがたは–知っている その 家族を
G3870 G1161 G4771 G0080 G1492 G3588 G3614

Στεφανᾶ, ὅτι ἐστὶν ἀπαρχὴ τῆς Ἀχαΐας, καὶ εἰς διακονίαν
ステファナの こう それは–である 初穂で その アカヤの そして の–ために 奉仕に
G4734 G3754 G1510 G0536 G3588 G0882 G2532 G1519 G1248

τοῖς ἁγίοις, ἔταξαν ἑαυτούς,
その 聖徒たちに 彼らは–尽くした 自分–自身を
G3588 G0040 G5021 G1438

兄弟たちよ。あなたがたに勧める。あなたがたが知っているように、ステパナの家はアカヤの初穂であって、彼らは身をもって聖徒に奉仕してくれた。

16 ἵνα καὶ ὑμεῖς ὑποτάσσησθε τοῖς τοιούτοις, καὶ παντὶ τῷ
ために また あなたがたも 従うように その このような–人々に そして すべての その
G2443 G2532 G4771 G5293 G3588 G5108 G2532 G3956 G3588

συνεργοῦντι καὶ κοπιῶντι.
協力する–者に そして 労苦する–者に
G4903 G2532 G2872

どうか、このような人々と、またすべて彼らと共に働き共に労する人々とに、従ってほしい。

17 χαίρω δὲ ἐπὶ τῇ παρουσίᾳ Στεφανᾶ, καὶ Φορτουνάτου,
わたしは–喜ぶ そして に–ついて その 到着を ステファナと そして フォルトゥナトスと
G5463 G1161 G1909 G3588 G3952 G4734 G2532 G5415

καὶ Ἀχαϊκοῦ; ὅτι τὸ ὑμέτερον ὑστέρημα, οὗτοι ἀνεπλήρωσαν.
そして アカイコスの なぜなら その あなたがたの 不足を この–人たちが 補った
G2532 G0883 G3754 G3588 G5212 G5303 G3778 G0378

わたしは、ステパナとポルトナトとアカイコとがきてくれたのを喜んでいる。彼らはあなたがたの足りない所を満たし、

18 ἀνέπαυσαν γὰρ τὸ ἐμὸν πνεῦμα καὶ τὸ ὑμῶν;
彼らは–休ませた なぜなら その わたしの 霊を そして その あなたがたの–霊をも
G0373 G1063 G3588 G1699 G4151 G2532 G3588 G4771

ἐπιγινώσκετε οὖν τοὺς τοιούτους.
認めなさい それゆえ その このような–人々を
G1921 G3767 G3588 G5108

わたしの心とあなたがたの心とを、安らかにしてくれた。こうした人々は、重んじなければならない。

19 Ἀσπάζονται ὑμᾶς, αἱ ἐκκλησίαι τῆς Ἀσίας. ἀσπάζεται ὑμᾶς
挨拶する あなたがたに その 教会が その アジアの 挨拶する あなたがたに
G0782 G4771 G3588 G1577 G3588 G0773 G0782 G4771

ἐν Κυρίῳ πολλὰ, Ἀκύλας καὶ Πρίσκα, σὺν τῇ, κατ’ οἶκον
に–おいて 主に–あって 大いに アキラと そして プリスカが と–共に その に–おける 家の
G1722 G2962 G4183 G0207 G2532 G4251 G4862 G3588 G2596 G3624

αὐτῶν, ἐκκλησίᾳ.
彼らの 教会とともに
G0846 G1577

アジヤの諸教会から、あなたがたによろしく。アクラとプリスカとその家の教会から、主にあって心からよろしく。

20 ἀσπάζονται ὑμᾶς, οἱ ἀδελφοὶ πάντες. Ἀσπάσασθε ἀλλήλους ἐν
挨拶する あなたがたに その 兄弟たちが すべての 挨拶しなさい 互いに に-よる
G0782 G4771 G3588 G0080 G3956 G0782 G0240 G1722

φιλήματι ἁγίῳ.
口づけで 聖なる
G5370 G0040

すべての兄弟たちから、よろしく。あなたがたも互に、きよい接吻をもってあいさつをかわしなさい。

21 Ὁ ἀσπασμὸς, τῇ ἐμῇ χειρὶ Παύλου.
その 挨拶は その わたしの 手で パウロの
G3588 G0783 G3588 G1699 G5495 G3972

ここでパウロが、手ずからあいさつをしるす。

22 εἴ τις οὐ φιλεῖ τὸν Κύριον, ἤτω ἀνάθεμα. Μαράνα θά!
もし だれかが ない 愛さないなら その 主を であれ のろわれよ マラナ・ タ
G1487 G5100 G3756 G5368 G3588 G2962 G1510 G0331 G3134 G3134

もし主を愛さない者があれば、のろわれよ。マラナ・タ（われらの主よ、きたりませ）。

23 ἡ χάρις τοῦ Κυρίου Ἰησοῦ μεθ’ ὑμῶν.
その 恵みが その 主 イエスの と-共に あなたがたに-あるように
G3588 G5485 G3588 G2962 G2424 G3326 G4771

主イエスの恵みが、あなたがたと共にあるように。

24 ἡ ἀγάπη μου, μετὰ πάντων ὑμῶν, ἐν Χριστῷ
その 愛が わたしの と-共に すべての あなたがたと に-おいて キリスト・
G3588 G0026 G1473 G3326 G3956 G4771 G1722 G5547

Ἰησοῦ. <Ἀμήν>.
イエスに-あるように アーメン
G2424 G0281

わたしの愛が、キリスト・イエスにあって、あなたがた一同と共にあるように。

2 Corinthians

Chapter 1

1	Παῦλος,	ἀπόστολος	Χριστοῦ	Ἰησοῦ	διὰ	θελήματος	Θεοῦ,	καὶ	Τιμόθεος,			
	パウロ	使徒	キリスト・	イエスの	に–よる	御心に–よる	神の	そして	テモテ			
	G3972	G0652	G5547	G2424	G1223	G2307	G2316	G2532	G5095			
	ὁ	ἀδελφὸς;	τῇ	ἐκκλησίᾳ	τοῦ	Θεοῦ	τῇ	οὔσῃ	ἐν	Κορίνθῳ,	σὺν	
	その	兄弟	その	教会に	その	神の	その	ある	に–おいて	コリントに	と–共に	
	G3588	G0080	G3588	G1577	G3588	G2316	G3588	G1510	G1722	G2882	G4862	
	τοῖς	ἁγίοις	πᾶσιν,	τοῖς	οὖσιν	ἐν	ὅλῃ	τῇ	Ἀχαΐᾳ.			
	その	聖徒たちと	すべての	その	いる	に–おいて	全体の	その	アカヤに			
	G3588	G0040	G3956	G3588	G1510	G1722	G3650	G3588	G0882			

神の御旨によりキリスト・イエスの使徒となったパウロと、兄弟テモテとから、コリントにある神の教会、ならびにアカヤ全土にいるすべての聖徒たちへ。

2	χάρις	ὑμῖν	καὶ	εἰρήνη,	ἀπὸ	Θεοῦ	Πατρὸς	ἡμῶν,	καὶ	Κυρίου		
	恵みが	あなたがたに	そして	平和が	から	神である	父	わたしたちの	そして	主		
	G5485	G4771	G2532	G1515	G0575	G2316	G3962	G1473	G2532	G2962		
	Ἰησοῦ	Χριστοῦ.										
	イエス・	キリストから										
	G2424	G5547										

わたしたちの父なる神と主イエス・キリストから、恵みと平安とが、あなたがたにあるように。

3	Εὐλογητὸς	ὁ	Θεὸς	καὶ	Πατὴρ	τοῦ	Κυρίου	ἡμῶν,	Ἰησοῦ	Χριστοῦ,		
	ほむべき–かな	その	神	そして	父	その	主	わたしたちの	イエス・	キリストの		
	G2128	G3588	G2316	G2532	G3962	G3588	G2962	G1473	G2424	G5547		
	ὁ	Πατὴρ	τῶν	οἰκτιρμῶν,	καὶ	Θεὸς	πάσης	παρακλήσεως;				
	その	父	その	憐れみの	そして	神	すべての	慰めの				
	G3588	G3962	G3588	G3628	G2532	G2316	G3956	G3874				

ほむべきかな、わたしたちの主イエス・キリストの父なる神、あわれみ深き父、慰めに満ちたる神。

4 ὁ παρακαλῶν ἡμᾶς ἐπὶ πάσῃ τῇ θλίψει
その 慰めて–くださる–方である わたしたちを に–おいて すべての その 患難に–おいて
G3588 G3870 G1473 G1909 G3956 G3588 G2347

ἡμῶν, εἰς τὸ δύνασθαι ἡμᾶς παρακαλεῖν τοὺς ἐν πάσῃ
わたしたちの ために その できるように わたしたちが 慰めることが その に–おける すべての
G1473 G1519 G3588 G1410 G1473 G3870 G3588 G1722 G3956

θλίψει, διὰ τῆς παρακλήσεως ἧς
患難の–中にある–人々を に–よる その 慰めに–よって それに–よって
G2347 G1223 G3588 G3874 G3739

παρακαλούμεθα αὐτοὶ ὑπὸ τοῦ Θεοῦ,
わたしたち自身が–慰められている わたしたち–自ら に–よって その 神に
G3870 G0846 G5259 G3588 G2316

神は、いかなる患難の中にいる時でもわたしたちを慰めて下さり、また、わたしたち自身も、神に慰めていただくその慰めをもって、あらゆる患難の中にある人々を慰めることができるようにして下さるのである。

5 ὅτι καθὼς περισσεύει τὰ παθήματα τοῦ Χριστοῦ εἰς ἡμᾶς,
なぜなら のように 豊かに–ある その 苦しみが その キリストの に–対して わたしたちに
G3754 G2531 G4052 G3588 G3804 G3588 G5547 G1519 G1473

οὕτως διὰ τοῦ Χριστοῦ, περισσεύει καὶ ἡ παράκλησις ἡμῶν.
そのように を–通して その キリストを 豊かに–ある また その 慰めも わたしたちの
G3779 G1223 G3588 G5547 G4052 G2532 G3588 G3874 G1473

それは、キリストの苦難がわたしたちに満ちあふれているように、わたしたちの受ける慰めもまた、キリストによって満ちあふれているからである。

6 εἴτε δὲ θλιβόμεθα, ὑπὲρ τῆς ὑμῶν παρακλήσεως
であれ そして わたしたちが–苦しめられるなら ための その あなたがたの 慰めと
G1535 G1161 G2346 G5228 G3588 G4771 G3874

καὶ σωτηρίας; εἴτε παρακαλούμεθα, ὑπὲρ τῆς ὑμῶν
そして 救いの であれ わたしたちが–慰められるなら ための その あなたがたの
G2532 G4991 G1535 G3870 G5228 G3588 G4771

παρακλήσεως, τῆς ἐνεργουμένης ἐν ὑπομονῇ τῶν αὐτῶν παθημάτων,
慰めの それは 働く に–おいて 忍耐に–よって その 同じ 苦しみの
G3874 G3588 G1754 G1722 G5281 G3588 G0846 G3804

ὧν καὶ ἡμεῖς πάσχομεν.
それを また わたしたちも 苦しんでいる
G3739 G2532 G1473 G3958

わたしたちが患難に会うなら、それはあなたがたの慰めと救とのためであり、慰めを受けるなら、それはあなたがたの慰めのためであって、その慰めは、わたしたちが受けているのと同じ苦難に耐えさせる力となるのである。

7 καὶ ἡ ἐλπὶς ἡμῶν βεβαία ὑπὲρ ὑμῶν, εἰδότες ὅτι
そして その 望みは わたしたちの 確かで–ある に–ついて あなたがたの 知って–おり こう
G2532 G3588 G1680 G1473 G0949 G5228 G4771 G1492 G3754

ὡς κοινωνοί ἐστε τῶν παθημάτων, οὕτως καὶ τῆς
のように 共に–あずかる–者で あなたがたが–である その 苦しみの そのように また その
G5613 G2844 G1510 G3588 G3804 G3779 G2532 G3588

παρακλήσεως.
慰めのも
G3874

だから、あなたがたに対していだいているわたしたちの望みは、動くことがない。あなたがたが、わたしたちと共に苦難にあずかっているように、慰めにも共にあずかっていることを知っているからである。

8 Οὐ γὰρ θέλομεν ὑμᾶς ἀγνοεῖν ἀδελφοί, ὑπὲρ
ない なぜなら わたしたちは–望まない あなたがたが 知らないことを 兄弟たちよ に–ついて
G3756 G1063 G2309 G4771 G0050 G0080 G5228

τῆς θλίψεως ἡμῶν τῆς γενομένης ἐν τῇ Ἀσίᾳ, ὅτι καθ’
その 患難の わたしたちの それは 起こった に–おいて その アジアで こう に–従い
G3588 G2347 G1473 G3588 G1096 G1722 G3588 G0773 G3754 G2596

ὑπερβολὴν ὑπὲρ δύναμιν, ἐβαρήθημεν, ὥστε ἐξαπορηθῆναι
極度に を–超えて 力を わたしたちは–押しつぶされた ほどに 絶望させる
G5236 G5228 G1411 G0916 G5620 G1820

ἡμᾶς καὶ τοῦ ζῆν.
わたしたちを また その 生きることさえ
G1473 G2532 G3588 G2198

兄弟たちよ。わたしたちがアジヤで会った患難を、知らずにいてもらいたくない。わたしたちは極度に、耐えられないほど圧迫されて、生きる望みをさえ失ってしまい、

9 ἀλλὰ αὐτοὶ ἐν ἑαυτοῖς, τὸ ἀπόκριμα τοῦ θανάτου
しかし わたしたち–自身 に–おいて 自分–自身の–中に その 宣告を その 死の
G0235 G0846 G1722 G1438 G3588 G0610 G3588 G2288

ἐσχήκαμεν, ἵνα μὴ πεποιθότες ὦμεν ἐφ’ ἑαυτοῖς,
受けた ために ない 信頼する–者として わたしたちが–あるのではなく に–対して 自分–自身に
G2192 G2443 G3361 G3982 G1510 G1909 G1438

ἀλλ’ ἐπὶ τῷ Θεῷ, τῷ ἐγείροντι τοὺς νεκρούς;
そうではなく に–対して その 神に その よみがえらせる–方に その 死者たちを
G0235 G1909 G3588 G2316 G3588 G1453 G3588 G3498

心のうちで死を覚悟し、自分自身を頼みとしないで、死人をよみがえらせて下さる神を頼みとするに至った。

10 ὃς ἐκ τηλικούτου θανάτου ἐρρύσατο ἡμᾶς, καὶ
その方は から これほどの 死から 救い–出してくださった わたしたちを そして
G3739 G1537 G5082 G2288 G4506 G1473 G2532

ῥύσεται; εἰς ὃν ἠλπίκαμεν, ὅτι καὶ ἔτι
救ってくださる に–対して その方に わたしたちは–望みを–置いている こう また これからも
G4506 G1519 G3739 G1679 G3754 G2532 G2089

ῥύσεται;
救ってくださると
G4506

神はこのような死の危険から、わたしたちを救い出して下さった、また救い出して下さるであろう。わたしたちは、神が今後も救い出して下さることを望んでいる。

11 συνυπουργούντων καὶ ὑμῶν ὑπὲρ ἡμῶν τῇ δεήσει, ἵνα
協力して–くださる–とき また あなたがたも ための わたしたちの その 祈りに–よって ために
G4943 G2532 G4771 G5228 G1473 G3588 G1162 G2443

ἐκ πολλῶν προσώπων, τὸ εἰς ἡμᾶς χάρισμα, διὰ
から 多くの 人々に–よって その に–対する わたしたちへの 賜物が を–通して
G1537 G4183 G4383 G3588 G1519 G1473 G5486 G1223

πολλῶν, εὐχαριστηθῇ ὑπὲρ ἡμῶν.
多くの–人に–よって 感謝されるように ために わたしたちの
G4183 G2168 G5228 G1473

そして、あなたがたもまた祈をもって、ともどもに、わたしたちを助けてくれるであろう。これは多くの人々の願いによりわたしたちに賜わった恵みについて、多くの人が感謝をささげるようになるためである。

12 Ἡ その G3588 | γὰρ なぜなら G1063 | καύχησις 誇りは G2746 | ἡμῶν わたしたちの G1473 | αὕτη これで G3778 | ἐστίν, ある G1510 | τὸ その G3588 | μαρτύριον 証しである G3142 | τῆς その G3588

συνειδήσεως 良心の G4893 | ἡμῶν, わたしたちの G1473 | ὅτι こう G3754 | ἐν に-おいて G1722 | ἁγιότητι 聖さと G0572 | καὶ そして G2532 | εἰλικρινείᾳ 純粋さで G1505 | τοῦ その G3588 | Θεοῦ, 神の G2316

[καὶ] そして G2532 | οὐκ ない G3756 | ἐν に-よる G1722 | σοφίᾳ 知恵に-よってではなく G4678 | σαρκικῇ, 肉的な G4559 | ἀλλ’ そうではなく G0235 | ἐν に-よる G1722 | χάριτι 恵みに-よって G5485

Θεοῦ, 神の G2316 | ἀνεστράφημεν わたしたちは-過ごした G0390 | ἐν に-おいて G1722 | τῷ その G3588 | κόσμῳ, 世に G2889 | περισσοτέρως 特に G4057 | δὲ そして G1161 | πρὸς に-向かって G4314

ὑμᾶς. あなたがたに G4771

さて、わたしたちがこの世で、ことにあなたがたに対し、人間の知恵によってではなく神の恵みによって、神の神聖と真実とによって行動してきたことは、実にわたしたちの誇であって、良心のあかしするところである。

13 οὐ ない G3756 | γὰρ なぜなら G1063 | ἄλλα 他の-ことを G0243 | γράφομεν わたしたちは-書いて-いない G1125 | ὑμῖν, あなたがたに G4771 | ἀλλ’ そうではなく G0235 | ἢ ただ G2228

ἃ それを G3739 | ἀναγινώσκετε, あなたがたが-読んでいること G0314 | ἢ あるいは G2228 | καὶ また G2532 | ἐπιγινώσκετε; 認めていることを G1921 | ἐλπίζω わたしは-望む G1679 | δὲ そして G1161

ὅτι こう G3754 | ἕως まで G2193 | τέλους 終わりまで G5056 | ἐπιγνώσεσθε, あなたがたが-認めることを G1921

わたしたちが書いていることは、あなたがたが読んで理解できないことではない。それを完全に理解してくれるように、わたしは希望する。

14 καθὼς のように G2531 | καὶ また G2532 | ἐπέγνωτε あなたがたが-認めた G1921 | ἡμᾶς わたしたちを G1473 | ἀπὸ から G0575 | μέρους, 部分的に G3313 | ὅτι こう G3754 | καύχημα 誇りで G2745

ὑμῶν あなたがたの G4771 | ἐσμεν, わたしたちは-である G1510 | καθάπερ ちょうど G2509 | καὶ また G2532 | ὑμεῖς あなたがたも G4771 | ἡμῶν, わたしたちの G1473 | ἐν に-おいて G1722 | τῇ その G3588

ἡμέρᾳ 日に G2250 | τοῦ その G3588 | Κυρίου 主 G2962 | ἡμῶν, わたしたちの G1473 | Ἰησοῦ. イエスの G2424

すでにある程度わたしたちを理解してくれているとおり、わたしたちの主イエスの日には、あなたがたがわたしたちの誇であるように、わたしたちもあなたがたの誇なのである。

15 Καὶ そして G2532 | ταύτῃ この G3778 | τῇ その G3588 | πεποιθήσει 確信を-もって G4006 | ἐβουλόμην わたしは-望んでいた G1014 | πρότερον, 先に G4386 | πρὸς に-向かって G4314

ὑμᾶς あなたがたの-もとに G4771 | ἐλθεῖν, 行くことを G2064 | ἵνα ために G2443 | δευτέραν 二度目の G1208 | χάριν 恵みを G5485 | σχῆτε; あなたがたが-受けるように G2192

この確信をもって、わたしたちはもう一度恵みを得させたいので、まずあなたがたの所に行き、

16

καὶ	δι’	ὑμῶν	διελθεῖν	εἰς	Μακεδονίαν,	καὶ	πάλιν	ἀπὸ
そして	を–通り	あなたがたを	通過して	へ	マケドニアに	そして	再び	から
G2532	G1223	G4771	G1330	G1519	G3109	G2532	G3825	G0575

Μακεδονίας	ἐλθεῖν	πρὸς	ὑμᾶς,	καὶ	ὑφ’	ὑμῶν	
マケドニアから	来ることを	に–向かって	あなたがたの–もとに	そして	に–よって	あなたがたに	
G3109	G2064	G4314	G4771	G2532	G5259	G4771	

προπεμφθῆναι	εἰς	τὴν	Ἰουδαίαν.
送り–出されることを	へ	その	ユダヤへ
G4311	G1519	G3588	G2449

それからそちらを通ってマケドニヤにおもむき、そして再びマケドニヤからあなたがたの所に帰り、あなたがたの見送りを受けてユダヤに行く計画を立てたのである。

17

τοῦτο	οὖν	βουλόμενος,	μήτι	ἄρα	τῇ	ἐλαφρίᾳ	ἐχρησάμην?	ἢ
これを	それゆえ	望んだ–とき	まさか	実際に	その	軽率さで	わたしは–行ったのか	あるいは
G3778	G3767	G1014	G3385	G0686	G3588	G1644	G5530	G2228

ἃ	βουλεύομαι,	κατὰ	σάρκα	βουλεύομαι,	ἵνα	ᾖ	
それを	わたしが–計画するのは	に–従って	肉に	わたしが–計画するのか	ために	あるように	
G3739	G1011	G2596	G4561	G1011	G2443	G1510	

παρ’	ἐμοὶ	τό	Ναί,	ναί,	καὶ	τὸ	Οὔ,	οὔ?
に–おいて	わたしに	その	はい	はいと	そして	その	いいえ	いいえが
G3844	G1473	G3588	G3483	G3483	G2532	G3588	G3756	G3756

この計画を立てたのは、軽率なことであったであろうか。それとも、自分の計画を肉の思いによって計画したため、わたしの「しかり、しかり」が同時に「否、否」であったのだろうか。

18

πιστὸς	δὲ	ὁ	Θεὸς,	ὅτι	ὁ	λόγος	ἡμῶν	ὁ	πρὸς
真実な–かな	しかし	その	神は	こう	その	言葉は	わたしたちの	それは	に–対する
G4103	G1161	G3588	G2316	G3754	G3588	G3056	G1473	G3588	G4314

ὑμᾶς,	οὐκ	ἔστιν	Ναί	καὶ	Οὔ.
あなたがたに	ない	では–ない	はいと	そして	いいえの–ものでは
G4771	G3756	G1510	G3483	G2532	G3756

神の真実にかけて言うが、あなたがたに対するわたしの言葉は、「しかり」と同時に「否」というようなものではない。

19

ὁ	τοῦ	Θεοῦ	γὰρ	Υἱὸς,	Χριστὸς	Ἰησοῦς,	ὁ	ἐν
その	その	神の	なぜなら	御子である	キリスト・	イエスは	その	に–おいて
G3588	G3588	G2316	G1063	G5207	G5547	G2424	G3588	G1722

ὑμῖν	δι’	ἡμῶν	κηρυχθείς,	δι’	ἐμοῦ,	καὶ		
あなたがたの–中で	を–通して	わたしたちに–よって	宣べ伝えられた–方は	を–通して	わたしと	そして		
G4771	G1223	G1473	G2784	G1223	G1473	G2532		

Σιλουανοῦ,	καὶ	Τιμοθέου,	οὐκ	ἐγένετο	Ναί	καὶ	Οὔ,	
シルワノと	そして	テモテに–よって	ない	では–なかった	はいと	そして	いいえの–ものではなく	
G4610	G2532	G5095	G3756	G1096	G3483	G2532	G3756	

ἀλλὰ	Ναί	ἐν	αὐτῷ	γέγονεν.
そうではなく	はいが	に–おいて	その方に	なった
G0235	G3483	G1722	G0846	G1096

なぜなら、わたしたち、すなわち、わたしとシルワノとテモテとが、あなたがたに宣べ伝えた神の子キリスト・イエスは、「しかり」となると同時に「否」となったのではない。そうではなく、「しかり」がイエスにおいて実現されたのである。

20 ὅσαι γὰρ ἐπαγγελίαι Θεοῦ, ἐν αὐτῷ τὸ Ναί. διὸ
どれほど なぜなら 約束が 神の に–おいて その方に その はいで–ある それゆえ
G3745 G1063 G1860 G2316 G1722 G0846 G3588 G3483 G1352

καὶ δι’ αὐτοῦ, τὸ Ἀμὴν, τῷ Θεῷ πρὸς δόξαν, δι’
また を–通して その方を その アーメンが その 神に ための 栄光の を–通して
G2532 G1223 G0846 G3588 G0281 G3588 G2316 G4314 G1391 G1223

ἡμῶν.
わたしたちに–よって
G1473

なぜなら、神の約束はことごとく、彼において「しかり」となったからである。だから、わたしたちは、彼によって「アァメン」と唱えて、神に栄光を帰するのである。

21 ὁ δὲ βεβαιῶν ἡμᾶς σὺν ὑμῖν εἰς Χριστὸν,
その そして 確かにして–くださる–方が わたしたちを と–共に あなたがたと へ キリストに
G3588 G1161 G0950 G1473 G4862 G4771 G1519 G5547

καὶ χρίσας ἡμᾶς, Θεός,
そして 油注ぎして–くださった–方が わたしたちに 神である
G2532 G5548 G1473 G2316

あなたがたと共にわたしたちを、キリストのうちに堅くささえ、油をそそいで下さったのは、神である。

22 ὁ καὶ σφραγισάμενος ἡμᾶς, καὶ δοὺς τὸν
その また 証印を–押して–くださった–方が わたしたちに そして 与えて–くださった–方が その
G3588 G2532 G4972 G1473 G2532 G1325 G3588

ἀρραβῶνα τοῦ Πνεύματος, ἐν ταῖς καρδίαις ἡμῶν.
保証を その 御霊の に–おいて その 心の–中に わたしたちの
G0728 G3588 G4151 G1722 G3588 G2588 G1473

神はまた、わたしたちに証印をおし、その保証として、わたしたちの心に御霊を賜わったのである。

23 Ἐγὼ δὲ, μάρτυρα τὸν Θεὸν ἐπικαλοῦμαι ἐπὶ τὴν ἐμὴν ψυχήν,
わたしは そして 証人として その 神を 呼び–求める に–かけて その わたしの 魂に
G1473 G1161 G3144 G3588 G2316 G1941 G1909 G3588 G1699 G5590

ὅτι φειδόμενος ὑμῶν, οὐκέτι ἦλθον εἰς Κόρινθον.
こう 惜しんで あなたがたを もはや わたしは–行かなかった へ コリントに
G3754 G5339 G4771 G3765 G2064 G1519 G2882

わたしは自分の魂をかけ、神を証人に呼び求めて言うが、わたしがコリントに行かないでいるのは、あなたがたに対して寛大でありたいためである。

24 οὐχ ὅτι κυριεύομεν ὑμῶν τῆς πίστεως, ἀλλὰ
ない こう わたしたちが–支配するのではない あなたがたの その 信仰を そうではなく
G3756 G3754 G2961 G4771 G3588 G4102 G0235

συνεργοί ἐσμεν τῆς χαρᾶς ὑμῶν; τῇ γὰρ πίστει
協力者で わたしたちは–である その 喜びの あなたがたの その なぜなら 信仰に–よって
G4904 G1510 G3588 G5479 G4771 G3588 G1063 G4102

ἑστήκατε.
あなたがたは–立っている
G2476

わたしたちは、あなたがたの信仰を支配する者ではなく、あなたがたの喜びのために共に働いている者にすぎない。あなたがたは、信仰に堅く立っているからである。

Chapter 2

1

ἔκρινα	γὰρ	ἐμαυτῷ	τοῦτο,	τὸ	μὴ	πάλιν	ἐν	λύπῃ	πρὸς
決めた	なぜなら	自分−自身に	このことを	すなわち	ない	再び	～の−中で	悲しみ	～へ
G2919	G1063	G1683	G3778	G3588	G3361	G3825	G1722	G3077	G4314

ὑμᾶς	ἐλθεῖν.
あなたがたの−もとに	行くことを
G4771	G2064

そこでわたしは、あなたがたの所に再び悲しみをもって行くことはすまいと、決心したのである。

2

εἰ	γὰρ	ἐγὼ	λυπῶ	ὑμᾶς,	καὶ	τίς	ὁ	εὐφραίνων
もし	なぜなら	わたしが	悲しませるなら	あなたがたを	それなら	誰が	その	喜ばせる−者は
G1487	G1063	G1473	G3076	G4771	G2532	G5101	G3588	G2165

με,	εἰ	μὴ	ὁ	λυπούμενος	ἐξ	ἐμοῦ?
わたしを	～でなければ	ない	その	悲しんでいる−者	～から	わたしによって
G1473	G1487	G3361	G3588	G3076	G1537	G1473

もしあなたがたを悲しませるとすれば、わたしが悲しませているその人以外に、だれがわたしを喜ばせてくれるのか。

3

καὶ	ἔγραψα	τοῦτο	αὐτὸ,	ἵνα	μὴ	ἐλθὼν,	λύπην
そして	書いた	この	まさに−そのことを	～するために	ない	行って	悲しみを
G2532	G1125	G3778	G0846	G2443	G3361	G2064	G3077

σχῶ	ἀφ’	ὧν	ἔδει	με	χαίρειν;	πεποιθὼς
受けることが	～から	その−人々から	わたしを−喜ばせるべき	わたしを	喜ばせる−人々から	確信して
G2192	G0575	G3739	G1163	G1473	G5463	G3982

ἐπὶ	πάντας	ὑμᾶς,	ὅτι	ἡ	ἐμὴ	χαρὰ	πάντων	ὑμῶν
～について	すべての	あなたがたに	～と	その	わたしの	喜びは	すべての	あなたがたの
G1909	G3956	G4771	G3754	G3588	G1699	G5479	G3956	G4771

ἐστιν.
喜びである
G1510

このような事を書いたのは、わたしが行く時、わたしを喜ばせてくれるはずの人々から、悲しい思いをさせられたくないためである。わたし自身の喜びはあなたがた全体の喜びであることを、あなたがたすべてについて確信しているからである。

4

ἐκ	γὰρ	πολλῆς	θλίψεως,	καὶ	συνοχῆς	καρδίας,	ἔγραψα	ὑμῖν,
～から	なぜなら	多くの	苦しみと	また	心の−苦悶から	心の	書いた	あなたがたに
G1537	G1063	G4183	G2347	G2532	G4928	G2588	G1125	G4771

διὰ	πολλῶν	δακρύων;	οὐχ	ἵνα	λυπηθῆτε,	ἀλλὰ	τὴν
多くの	多くの	涙を−もって	～ではない	～するために	悲しませるために	そうではなく	その
G1223	G4183	G1144	G3756	G2443	G3076	G0235	G3588

ἀγάπην	ἵνα	γνῶτε,	ἣν	ἔχω	περισσοτέρως	εἰς
愛を	～するために	知ってほしい	その−愛を	わたしが−持っている	あふれるほどに	～に−対する
G0026	G2443	G1097	G3739	G2192	G4057	G1519

ὑμᾶς.
あなたがたに
G4771

わたしは大きな患難と心の憂いの中から、多くの涙をもってあなたがたに書きおくった。それは、あなたがたを悲しませるためではなく、あなたがたに対してあふれるばかりにいだいているわたしの愛を、知ってもらうためであった。

5

Εἰ	δέ	τις	λελύπηκεν,	οὐκ	ἐμὲ	λελύπηκεν,	ἀλλὰ
もし	しかし	ある–人が	悲しませたなら	～ではない	わたしを	悲しませたのではなく	むしろ
G1487	G1161	G5100	G3076	G3756	G1473	G3076	G0235

ἀπὸ	μέρους,	ἵνα	μὴ	ἐπιβαρῶ	πάντας	ὑμᾶς.
ある–程度	部分的に	～しないために	ない	重荷を–負わせるために	すべての	あなたがたに
G0575	G3313	G2443	G3361	G1912	G3956	G4771

しかし、もしだれかが人を悲しませたとすれば、それはわたしを悲しませたのではなく、控え目に言うが、ある程度、あなたがた一同を悲しませたのである。

6

ἱκανὸν	τῷ	τοιούτῳ,	ἡ	ἐπιτιμία	αὕτη,	ἡ	ὑπὸ	τῶν
十分である	その	そのような–者には	この	処罰は	この	それは	～による	その
G2425	G3588	G5108	G3588	G2009	G3778	G3588	G5259	G3588

πλειόνων,
多数の–人々による
G4119

その人にとっては、多数の者から受けたあの処罰でもう十分なのだから、

7

ὥστε	τοὐναντίον	μᾶλλον	ὑμᾶς	χαρίσασθαι	καὶ	παρακαλέσαι,
それゆえ	かえって	むしろ	あなたがたは	赦すべきである	そして	慰めるべきである
G5620	G5121	G3123	G4771	G5483	G2532	G3870

μή	πως	τῇ	περισσοτέρᾳ	λύπῃ,	καταποθῇ	ὁ
～しないように	もしかして	その	過度の	悲しみによって	飲み込まれないように	その
G3361	G4459	G3588	G4053	G3077	G2666	G3588

τοιοῦτος.
そのような–者が
G5108

あなたがたはむしろ彼をゆるし、また慰めてやるべきである。そうしないと、その人はますます深い悲しみに沈むかも知れない。

8

διὸ	παρακαλῶ	ὑμᾶς,	κυρῶσαι	εἰς	αὐτὸν	ἀγάπην.
それゆえ	勧める	あなたがたに	確認することを	～に–対する	彼に	愛を
G1352	G3870	G4771	G2964	G1519	G0846	G0026

そこでわたしは、彼に対して愛を示すように、あなたがたに勧める。

9

εἰς	τοῦτο	γὰρ,	καὶ	ἔγραψα,	ἵνα	γνῶ	τὴν	δοκιμὴν
～のために	このことの	ために	また	書いた	～するために	知るために	その	真実さを
G1519	G3778	G1063	G2532	G1125	G2443	G1097	G3588	G1382

ὑμῶν,	εἰ	εἰς	πάντα	ὑπήκοοί	ἐστε.
あなたがたの	～かどうか	すべてに–おいて	すべてに	従順で	あるかどうかを
G4771	G1487	G1519	G3956	G5255	G1510

わたしが書きおくったのも、あなたがたがすべての事について従順であるかどうかを、ためすためにほかならなかった。

10 ᾧ δέ τι χαρίζεσθε, κἀγώ; καὶ γὰρ ἐγὼ;
誰かを そして 何かを 赦すなら わたしもまた なぜなら 実に わたしも
G3739 G1161 G5100 G5483 G2504 G2532 G1063 G1473

ὃ κεχάρισμαι, εἴ τι κεχάρισμαι, δι’ ὑμᾶς,
わたしが–赦したことは 赦した もし 何かを 赦したなら ～のために あなたがたのために
G3739 G5483 G1487 G5100 G5483 G1223 G4771

ἐν προσώπῳ Χριστοῦ;
～の–前で 御顔の–前で キリストの
G1722 G4383 G5547

もしあなたがたが、何かのことについて人をゆるすなら、わたしもまたゆるそう。そして、もしわたしが何かのことでゆるしたとすれば、それは、あなたがたのためにキリストのみまえでゆるしたのである。

11 ἵνα μὴ πλεονεκτηθῶμεν ὑπὸ τοῦ Σατανᾶ οὐ γὰρ
～しないために ない 出し抜かれないために ～によって その サタンに ～ない なぜなら
G2443 G3361 G4122 G5259 G3588 G4567 G3756 G1063

αὐτοῦ τὰ νοήματα ἀγνοοῦμεν.
彼の その 企みを 知らないわけではない
G0846 G3588 G3540 G0050

そうするのは、サタンに欺かれることのないためである。わたしたちは、彼の策略を知らないわけではない。

12 Ἐλθὼν δὲ εἰς τὴν Τρῳάδα εἰς τὸ εὐαγγέλιον τοῦ Χριστοῦ,
来た–とき さて ～へ その トロアスに ～のために その 福音の–ために その キリストの
G2064 G1161 G1519 G3588 G5174 G1519 G3588 G2098 G3588 G5547

καὶ θύρας μοι ἀνεῳγμένης ἐν Κυρίῳ,
そして 門が わたしに 開かれていたのに ～の–中で 主に–あって
G2532 G2374 G1473 G0455 G1722 G2962

さて、キリストの福音のためにトロアスに行ったとき、わたしのために主の門が開かれたにもかかわらず、

13 οὐκ ἔσχηκα ἄνεσιν τῷ πνεύματί μου, τῷ μὴ εὑρεῖν
～なかった 得られなかった 安らぎを その 霊に わたしの ～ので ない 見つけることが
G3756 G2192 G0425 G3588 G4151 G1473 G3588 G3361 G2147

με Τίτον τὸν ἀδελφόν μου; ἀλλὰ ἀποταξάμενος αὐτοῖς, ἐξῆλθον
わたしが テトスを その 兄弟 わたしの しかし 別れを–告げて 彼らに 出て行った
G1473 G5103 G3588 G0080 G1473 G0235 G0657 G0846 G1831

εἰς Μακεδονίαν.
～へ マケドニアへ
G1519 G3109

兄弟テトスに会えなかったので、わたしは気が気でなく、人々に別れて、マケドニヤに出かけて行った。

14 Τῷ δὲ Θεῷ χάρις, τῷ πάντοτε θριαμβεύοντι ἡμᾶς ἐν
しかし さて 神に 感謝する その–方は いつも 凱旋させてくださる わたしたちを ～の–中で
G3588 G1161 G2316 G5485 G3588 G3842 G2358 G1473 G1722

τῷ Χριστῷ, καὶ τὴν ὀσμὴν τῆς γνώσεως αὐτοῦ, φανεροῦντι
その キリストに–あって そして その 香りを その 知識の 彼の 広めてくださる
G3588 G5547 G2532 G3588 G3744 G3588 G1108 G0846 G5319

δι’ ἡμῶν ἐν παντὶ τόπῳ.
～を–通して わたしたちを–通して ～の–中で すべての 場所で
G1223 G1473 G1722 G3956 G5117

しかるに、神は感謝すべきかな。神はいつもわたしたちをキリストの凱旋に伴い行き、わたしたちをとおしてキリストを知る知識のかおりを、至る所に放って下さるのである。

15 ὅτι Χριστοῦ εὐωδία ἐσμὲν τῷ Θεῷ, ἐν τοῖς
なぜなら キリストの 良い-香りで ある その 神に-とって ～の-中で その
G3754 G5547 G2175 G1510 G3588 G2316 G1722 G3588

σωζομένοις, καὶ ἐν τοῖς ἀπολλυμένοις;
救われる-者たちの-中で また ～の-中で その 滅びる-者たちの-中でも
G4982 G2532 G1722 G3588 G0622

わたしたちは、救われる者にとっても滅びる者にとっても、神に対するキリストのかおりである。

16 οἷς μὲν, ὀσμὴ ἐκ θανάτου εἰς θάνατον, οἷς δὲ,
ある-者には 一方では 香りは ～から 死から ～へ 死への ある-者には 他方では
G3739 G3303 G3744 G1537 G2288 G1519 G2288 G3739 G1161

ὀσμὴ ἐκ ζωῆς εἰς ζωήν; καὶ πρὸς ταῦτα τίς ἱκανός?
香りは ～から 命から ～へ 命への そして ～に-対して これらのことに 誰が ふさわしいか
G3744 G1537 G2222 G1519 G2222 G2532 G4314 G3778 G5101 G2425

後者にとっては、死から死に至らせるかおりであり、前者にとっては、いのちからいのちに至らせるかおりである。いったい、このような任務に、だれが耐え得ようか。

17 οὐ γάρ ἐσμεν, ὡς οἱ πολλοὶ, καπηλεύοντες
～ない なぜなら わたしたちは ～のように その 多くの-者のように 売り物にする-者ではない
G3756 G1063 G1510 G5613 G3588 G4183 G2585

τὸν λόγον τοῦ Θεοῦ, ἀλλ’ ὡς ἐξ εἰλικρινείας, ἀλλ’ ὡς
その 言葉を その 神の そうではなく ～のように ～から 純粋さから むしろ ～のように
G3588 G3056 G3588 G2316 G0235 G5613 G1537 G1505 G0235 G5613

ἐκ Θεοῦ, κατέναντι Θεοῦ, ἐν Χριστῷ λαλοῦμεν.
～から 神から ～の-前で 神の ～の-中で キリストに-あって 語っている
G1537 G2316 G2713 G2316 G1722 G5547 G2980

しかし、わたしたちは、多くの人のように神の言を売物にせず、真心をこめて、神につかわされた者として神のみまえで、キリストにあって語るのである。

Chapter 3

1 Ἀρχόμεθα πάλιν ἑαυτοὺς συνιστάνειν? ἢ μὴ χρῄζομεν, ὥς
始めるのか 再び 自分-自身を 推薦することを あるいは まさか 必要とするのか ～のように
G0756 G3825 G1438 G4921 G2228 G3361 G5535 G5613

τινες, συστατικῶν ἐπιστολῶν πρὸς ὑμᾶς, ἢ ἐξ
ある-人々のように 推薦の 手紙を ～への あなたがたへの あるいは ～からの
G5100 G4956 G1992 G4314 G4771 G2228 G1537

ὑμῶν?
あなたがたからの
G4771

わたしたちは、またもや、自己推薦をし始めているのだろうか。それとも、ある人々のように、あなたがたにあてた、あるいは、あなたがたからの推薦状が必要なのだろうか。

2 ἡ ἐπιστολὴ ἡμῶν ὑμεῖς ἐστε, ἐνγεγραμμένη ἐν ταῖς
その 手紙は わたしたちの あなたがた–自身である である 書かれた ~の–中に その
G3588 G1992 G1473 G4771 G1510 G1449 G1722 G3588

καρδίαις ἡμῶν, γινωσκομένη καὶ ἀναγινωσκομένη ὑπὸ πάντων
心に わたしたちの 知られ そして 読まれている ~によって すべての
G2588 G1473 G1097 G2532 G0314 G5259 G3956

ἀνθρώπων;
人々に
G0444

わたしたちの推薦状は、あなたがたなのである。それは、わたしたちの心にしるされていて、すべての人に知られ、かつ読まれている。

3 φανερούμενοι ὅτι ἐστὲ ἐπιστολὴ Χριστοῦ, διακονηθεῖσα ὑφ’
明らかにされている ~と あなたがたは–である 手紙である キリストの 仕えられた ~によって
G5319 G3754 G1510 G1992 G5547 G1247 G5259

ἡμῶν; ἐνγεγραμμένη, οὐ μέλανι, ἀλλὰ Πνεύματι Θεοῦ
わたしたちによって 書かれた ~ではなく 墨で そうではなく 御霊で 神の
G1473 G1449 G3756 G3188 G0235 G4151 G2316

ζῶντος -- οὐκ ἐν πλαξὶν λιθίναις, ἀλλ’ ἐν πλαξὶν καρδίαις
生きている ~ではなく ~の–上に 板に 石の そうではなく ~の–上に 板に 心の
G2198 G3756 G1722 G4109 G3035 G0235 G1722 G4109 G2588

σαρκίναις.
肉の
G4560

そして、あなたがたは自分自身が、わたしたちから送られたキリストの手紙であって、墨によらず生ける神の霊によって書かれ、石の板にではなく人の心の板に書かれたものであることを、はっきりとあらわしている。

4 Πεποίθησιν δὲ τοιαύτην, ἔχομεν διὰ τοῦ Χριστοῦ πρὸς
確信を さて このような 持っている ~を–通して その キリストを–通して ~に–向かって
G4006 G1161 G5108 G2192 G1223 G3588 G5547 G4314

τὸν Θεόν.
その 神に
G3588 G2316

こうした確信を、わたしたちはキリストにより神に対していだいている。

5 οὐχ ὅτι ἀφ’ ἑαυτῶν ἱκανοί ἐσμεν, λογίσασθαί τι
~ではない ~と ~から 自分–自身から 十分 であるのではない 考えることが 何かを
G3756 G3754 G0575 G1438 G2425 G1510 G3049 G5100

ὡς ἐξ ἑαυτῶν, ἀλλ’ ἡ ἱκανότης ἡμῶν ἐκ τοῦ
~のように ~から 自分–自身から そうではなく その 十分さは わたしたちの ~から その
G5613 G1537 G1438 G0235 G3588 G2426 G1473 G1537 G3588

Θεοῦ,
神からである
G2316

もちろん、自分自身で事を定める力が自分にある、と言うのではない。わたしたちのこうした力は、神からきている。

6 ὃς καὶ ἱκάνωσεν ἡμᾶς διακόνους καινῆς διαθήκης; οὐ
その–方が また 十分な–者とした わたしたちを 奉仕者と 新しい 契約の ~ではなく
G3739 G2532 G2427 G1473 G1249 G2537 G1242 G3756

γράμματος, ἀλλὰ πνεύματος; τὸ γὰρ γράμμα ἀποκτέννει, τὸ δὲ
文字の そうではなく 霊の その なぜなら 文字は 殺す しかし 他方で
G1121 G0235 G4151 G3588 G1063 G1121 G0615 G3588 G1161

πνεῦμα ζωοποιεῖ.
霊は 生かす
G4151 G2227

神はわたしたちに力を与えて、新しい契約に仕える者とされたのである。それは、文字に仕える者ではなく、霊に仕える者である。文字は人を殺し、霊は人を生かす。

7 Εἰ δὲ ἡ διακονία τοῦ θανάτου, ἐν γράμμασιν ἐντετυπωμένη
もし さて その 務めが その 死の ~の–中で 文字で 刻まれた
G1487 G1161 G3588 G1248 G3588 G2288 G1722 G1121 G1795

λίθοις, ἐγενήθη ἐν δόξῃ, ὥστε μὴ δύνασθαι ἀτενίσαι, τοὺς
石に なった ~の–中で 栄光の–中で それゆえ ~ない できない–ほどに 見つめることが その
G3037 G1096 G1722 G1391 G5620 G3361 G1410 G0816 G3588

υἱοὺς Ἰσραὴλ εἰς τὸ πρόσωπον Μωϋσέως, διὰ τὴν δόξαν
子らが イスラエルの ~を その 顔を モーセの ~のゆえに その 栄光の–ゆえに
G5207 G2474 G1519 G3588 G4383 G3475 G1223 G3588 G1391

τοῦ προσώπου αὐτοῦ, τὴν καταργουμένην;
その 顔の 彼の その 消え去る–ものを
G3588 G4383 G0846 G3588 G2673

もし石に彫りつけた文字による死の務が栄光のうちに行われ、そのためイスラエルの子らは、モーセの顔の消え去るべき栄光のゆえに、その顔を見つめることができなかったとすれば、

8 πῶς οὐχὶ μᾶλλον, ἡ διακονία τοῦ πνεύματος ἔσται ἐν
どうして ~ではないか なおさら その 務めは その 御霊の あるだろう ~の–中で
G4459 G3780 G3123 G3588 G1248 G3588 G4151 G1510 G1722

δόξῃ?
栄光の–中に
G1391

まして霊の務は、はるかに栄光あるものではなかろうか。

9 εἰ γὰρ τῇ διακονία τῆς κατακρίσεως δόξα, πολλῷ μᾶλλον
もし なぜなら その 務めに その 罪定めの 栄光が–あったなら はるかに なおさら
G1487 G1063 G3588 G1248 G3588 G2633 G1391 G4183 G3123

περισσεύει ἡ διακονία τῆς δικαιοσύνης δόξῃ.
あふれる その 務めは その 義の 栄光において
G4052 G3588 G1248 G3588 G1343 G1391

もし罪を宣告する務が栄光あるものだとすれば、義を宣告する務は、はるかに栄光に満ちたものである。

10 καὶ γὰρ, οὐ δεδόξασται τὸ, δεδοξασμένον ἐν τούτῳ
実に なぜなら ~ない 栄光を–受けていない その 栄光を–受けた–ものも ~の–中で この
G2532 G1063 G3756 G1392 G3588 G1392 G1722 G3778

τῷ μέρει, εἵνεκεν τῆς ὑπερβαλλούσης δόξης.
その 点において ~のゆえに その 超え出る 栄光の–ゆえに
G3588 G3313 G1752 G3588 G5235 G1391

そして、すでに栄光を受けたものも、この場合、はるかにまさった栄光のまえに、その栄光を失ったのである。

11	εἰ	γὰρ	τὸ	καταργούμενον	διὰ	δόξης,	πολλῷ
	もし	なぜなら	その	消え去る-ものが	~を-通して	栄光を-通して-あったなら	はるかに
	G1487	G1063	G3588	G2673	G1223	G1391	G4183

μᾶλλον,	τὸ	μένον	ἐν	δόξῃ.	
なおさら	その	とどまる-ものは	~の-中に	栄光の-中に-ある	
G3123	G3588	G3306	G1722	G1391	

もし消え去るべきものが栄光をもって現れたのなら、まして永存すべきものは、もっと栄光のあるべきものである。

12	Ἔχοντες	οὖν	τοιαύτην	ἐλπίδα,	πολλῇ	παρρησίᾳ	χρώμεθα,
	持って	それゆえ	このような	希望を	大いなる	大胆さを-もって	用いる
	G2192	G3767	G5108	G1680	G4183	G3954	G5530

こうした望みをいだいているので、わたしたちは思いきって大胆に語り、

13	καὶ	οὐ	καθάπερ	Μωϋσῆς;	ἐτίθει	κάλυμμα	ἐπὶ	τὸ
	そして	~ない	~のように-ではなく	モーセが	置いていた	おおいを	~の-上に	その
	G2532	G3756	G2509	G3475	G5087	G2571	G1909	G3588

πρόσωπον	αὐτοῦ,	πρὸς	τὸ	μὴ	ἀτενίσαι	τοὺς	υἱοὺς	Ἰσραὴλ,
顔の-上に	彼の	~するために	その	~ない	見つめることが	その	子らが	イスラエルの
G4383	G0846	G4314	G3588	G3361	G0816	G3588	G5207	G2474

εἰς	τὸ	τέλος	τοῦ	καταργουμένου.
~を	その	終わりを	その	消え去る-ものの
G1519	G3588	G5056	G3588	G2673

そしてモーセが、消え去っていくものの最後をイスラエルの子らに見られまいとして、顔におおいをかけたようなことはしない。

14	ἀλλὰ	ἐπωρώθη	τὰ	νοήματα	αὐτῶν;	ἄχρι	γὰρ	τῆς	σήμερον	ἡμέρας,
	しかし	かたくなにされた	その	思いは	彼らの	~まで	なぜなら	その	今日の	日まで
	G0235	G4456	G3588	G3540	G0846	G0891	G1063	G3588	G4594	G2250

τὸ	αὐτὸ	κάλυμμα	ἐπὶ	τῇ	ἀναγνώσει	τῆς	παλαιᾶς	διαθήκης	μένει,
その	同じ	おおいが	~の-上に	その	朗読の-際に	その	古い	契約の	残っている
G3588	G0846	G2571	G1909	G3588	G0320	G3588	G3820	G1242	G3306

μὴ	ἀνακαλυπτόμενον,	ὅτι	ἐν	Χριστῷ	καταργεῖται.
~ない	取り除かれず-に	なぜなら	~の-中で	キリストに-あって	取り除かれるからである
G3361	G0343	G3754	G1722	G5547	G2673

実際、彼らの思いは鈍くなっていた。今日に至るまで、彼らが古い契約を朗読する場合、その同じおおいが取り去られないままで残っている。それは、キリストにあってはじめて取り除かれるのである。

15	ἀλλ’	ἕως	σήμερον,	ἡνίκα	ἂν	ἀναγινώσκηται	Μωϋσῆς,	κάλυμμα
	しかし	~まで	今日まで	~する-とき	いつでも	読まれる	モーセが	おおいが
	G0235	G2193	G4594	G2259	G0302	G0314	G3475	G2571

ἐπὶ	τὴν	καρδίαν	αὐτῶν	κεῖται.	
~の-上に	その	心の-上に	彼らの	かかっている	
G1909	G3588	G2588	G0846	G2749	

今日に至るもなお、モーセの書が朗読されるたびに、おおいが彼らの心にかかっている。

16	ἡνίκα	δὲ	ἐὰν	ἐπιστρέψῃ	πρὸς	Κύριον,	περιαιρεῖται	τὸ	κάλυμμα.
	~する-とき	しかし	もし	立ち返るなら	~に-向かって	主に	取り除かれる	その	おおいは
	G2259	G1161	G1437	G1994	G4314	G2962	G4014	G3588	G2571

しかし主に向く時には、そのおおいは取り除かれる。

17 ὁ その G3588 δὲ さて G1161 Κύριος 主は G2962 τὸ その G3588 Πνεῦμά 御霊で G4151 ἐστιν; ある G1510 οὗ そこに G3757 δὲ そして G1161 τὸ その G3588 Πνεῦμα 御霊が G4151 Κυρίου, 主の G2962

ἐλευθερία.
自由がある
G1657

主は霊である。そして、主の霊のあるところには、自由がある。

18 ἡμεῖς わたしたちは G1473 δὲ そして G1161 πάντες, みな G3956 ἀνακεκαλυμμένῳ おおいを-取られた G0343 προσώπῳ, 顔で G4383 τὴν その G3588 δόξαν 栄光を G1391 Κυρίου 主の G2962

κατοπτριζόμενοι, 映しながら G2734 τὴν その G3588 αὐτὴν 同じ G0846 εἰκόνα 姿に G1504 μεταμορφούμεθα, 変えられていく G3339 ἀπὸ ~から G0575 δόξης 栄光から G1391 εἰς ~へ G1519 δόξαν, 栄光へと G1391

καθάπερ ちょうど-~のように G2509 ἀπὸ ~から G0575 Κυρίου, 主の G2962 Πνεύματος. 御霊によって G4151

わたしたちはみな、顔おおいなしに、主の栄光を鏡に映すように見つつ、栄光から栄光へと、主と同じ姿に変えられていく。これは霊なる主の働きによるのである。

Chapter 4

1 Διὰ それゆえ G1223 τοῦτο, このことの-ゆえに G3778 ἔχοντες 持って G2192 τὴν その G3588 διακονίαν 務めを G1248 ταύτην, この G3778 καθὼς ~のように G2531

ἠλεήθημεν, あわれみを-受けたので G1653 οὐκ ~ない G3756 ἐγκακοῦμεν. 落胆しない G1573

このようにわたしたちは、あわれみを受けてこの務についているのだから、落胆せずに、

2 ἀλλὰ そうではなく G0235 ἀπειπάμεθα 捨てた G0550 τὰ その G3588 κρυπτὰ 隠れた G2927 τῆς その G3588 αἰσχύνης, 恥を G0152 μὴ ~ない G3361 περιπατοῦντες 歩まず G4043

ἐν ~の-中で G1722 πανουργίᾳ, 狡猾の-中で G3834 μηδὲ また~ない G3366 δολοῦντες 歪めず G1389 τὸν その G3588 λόγον 言葉を G3056 τοῦ その G3588 Θεοῦ; 神の G2316 ἀλλὰ そうではなく G0235 τῇ その G3588

φανερώσει 明らかにすることによって G5321 τῆς その G3588 ἀληθείας, 真理の G0225 συνιστάνοντες 推薦している G4921 ἑαυτοὺς 自分-自身を G1438 πρὸς ~に-対して G4314 πᾶσαν すべての G3956

συνείδησιν 良心に G4893 ἀνθρώπων 人々の G0444 ἐνώπιον ~の-前で G1799 τοῦ その G3588 Θεοῦ. 神の G2316

恥ずべき隠れたことを捨て去り、悪巧みによって歩かず、神の言を曲げず、真理を明らかにし、神のみまえに、すべての人の良心に自分を推薦するのである。

3 εἰ δὲ καὶ ἔστιν κεκαλυμμένον τὸ εὐαγγέλιον ἡμῶν, ἐν
もし しかし たとえ である おおわれているなら その 福音が わたしたちの ～の-中で
G1487 G1161 G2532 G1510 G2572 G3588 G2098 G1473 G1722

τοῖς ἀπολλυμένοις ἐστὶν κεκαλυμμένον;
その 滅びる-者たちの-中で おおわれている おおわれているのである
G3588 G0622 G1510 G2572

もしわたしたちの福音がおおわれているなら、滅びる者どもにとっておおわれているのである。

4 ἐν οἷς ὁ θεὸς τοῦ αἰῶνος τούτου, ἐτύφλωσεν τὰ νοήματα
～の-中で 彼らの-中で その 神が その 世の この 盲目にした その 思いを
G1722 G3739 G3588 G2316 G3588 G0165 G3778 G5186 G3588 G3540

τῶν ἀπίστων, εἰς τὸ μὴ αὐγάσαι τὸν φωτισμὸν τοῦ
その 不信者たちの ～するために その ～ない 輝かないために その 光が その
G3588 G0571 G1519 G3588 G3361 G0826 G3588 G5462 G3588

εὐαγγελίου τῆς δόξης τοῦ Χριστοῦ, ὅς ἐστιν εἰκὼν τοῦ Θεοῦ.
福音の その 栄光の その キリストの その-方は である かたち その 神の
G2098 G3588 G1391 G3588 G5547 G3739 G1510 G1504 G3588 G2316

彼らの場合、この世の神が不信の者たちの思いをくらませて、神のかたちであるキリストの栄光の福音の輝きを、見えなくしているのである。

5 οὐ γὰρ ἑαυτοὺς κηρύσσομεν, ἀλλὰ Χριστὸν Ἰησοῦν Κύριον;
～ない なぜなら 自分-自身を 宣べ伝えるのではない そうではなく キリスト・ イエスを 主として
G3756 G1063 G1438 G2784 G0235 G5547 G2424 G2962

ἑαυτοὺς δὲ, δούλους ὑμῶν, διὰ Ἰησοῦν.
自分-自身を そして 僕べとして あなたがたの ～のゆえに イエスの
G1438 G1161 G1401 G4771 G1223 G2424

しかし、わたしたちは自分自身を宣べ伝えるのではなく、主なるキリスト・イエスを宣べ伝える。わたしたち自身は、ただイエスのために働くあなたがたの僕にすぎない。

6 ὅτι ὁ Θεὸς, ὁ εἰπών, Ἐκ σκότους φῶς λάμψει, ὃς
なぜなら その 神が その-方が 言われた ～から 闇から 光が 輝くようにと その-方が
G3754 G3588 G2316 G3588 G3004 G1537 G4655 G5457 G2989 G3739

ἔλαμψεν ἐν ταῖς καρδίαις ἡμῶν, πρὸς φωτισμὸν τῆς γνώσεως
輝かせた ～の-中に その 心の-中に わたしたちの ～のために 光の-ために その 知識の
G2989 G1722 G3588 G2588 G1473 G4314 G5462 G3588 G1108

τῆς δόξης τοῦ Θεοῦ, ἐν προσώπῳ [Ἰησοῦ] Χριστοῦ.
その 栄光の その 神の ～の-中に 御顔の-中に イエス・ キリストの
G3588 G1391 G3588 G2316 G1722 G4383 G2424 G5547

「やみの中から光が照りいでよ」と仰せになった神は、キリストの顔に輝く神の栄光の知識を明らかにするために、わたしたちの心を照して下さったのである。

7 Ἔχομεν δὲ τὸν θησαυρὸν τοῦτον ἐν ὀστρακίνοις σκεύεσιν,
持っている しかし その 宝を この ～の-中に 土の 器の-中に
G2192 G1161 G3588 G2344 G3778 G1722 G3749 G4632

ἵνα ἡ ὑπερβολὴ τῆς δυνάμεως ᾖ τοῦ Θεοῦ, καὶ μὴ ἐξ ἡμῶν;
～するために その 超越した その 力が あるために その 神の そして ～ではなく ～から わたしたちからではない
G2443 G3588 G5236 G3588 G1411 G1510 G3588 G2316 G2532 G3361 G1537 G1473

しかしわたしたちは、この宝を土の器の中に持っている。その測り知れない力は神のものであって、わたしたちから出たものでないことが、あらわれるためである。

8 ἐν ～の–中で G1722 | παντὶ あらゆる–ことに G3956 | θλιβόμενοι, 苦しめられても G2346 | ἀλλ’ しかし G0235 | οὐ ～ない G3756 | στενοχωρούμενοι; 窘まらない G4729 | ἀπορούμενοι, 当惑しても G0639

ἀλλ’ しかし G0235 | οὐκ ～ない G3756 | ἐξαπορούμενοι; 絶望しない G1820

わたしたちは、四方から患難を受けても窮しない。途方にくれても行き詰まらない。

9 διωκόμενοι, 追われても G1377 | ἀλλ’ しかし G0235 | οὐκ ～ない G3756 | ἐγκαταλειπόμενοι; 見捨てられない G1459 | καταβαλλόμενοι, 打ち倒されても G2598 | ἀλλ’ しかし G0235 | οὐκ ～ない G3756

ἀπολλύμενοι; 滅びない G0622

迫害に会っても見捨てられない。倒されても滅びない。

10 πάντοτε いつも G3842 | τὴν その G3588 | νέκρωσιν 死を G3500 | τοῦ その G3588 | Ἰησοῦ, イエスの G2424 | ἐν ～の–中に G1722 | τῷ その G3588 | σώματι 体の–中に G4983 | περιφέροντες, 携えている G4064

ἵνα ～するために G2443 | καὶ また G2532 | ἡ その G3588 | ζωὴ 命が G2222 | τοῦ その G3588 | Ἰησοῦ, イエスの G2424 | ἐν ～の–中に G1722 | τῷ その G3588 | σώματι 体の–中に G4983 | ἡμῶν わたしたちの G1473

φανερωθῇ; 現れるために G5319

いつもイエスの死をこの身に負うている。それはまた、イエスのいのちが、この身に現れるためである。

11 ἀεὶ 常に G0104 | γὰρ, なぜなら G1063 | ἡμεῖς わたしたちは G1473 | οἱ その G3588 | ζῶντες, 生きている–者は G2198 | εἰς ～に G1519 | θάνατον 死に G2288 | παραδιδόμεθα 引き渡されている G3860

διὰ ～のゆえに G1223 | Ἰησοῦν, イエスの G2424 | ἵνα ～するために G2443 | καὶ また G2532 | ἡ その G3588 | ζωὴ 命が G2222 | τοῦ その G3588 | Ἰησοῦ イエスの G2424 | φανερωθῇ 現れるために G5319 | ἐν ～の–中に G1722

τῇ その G3588 | θνητῇ 死ぬべき G2349 | σαρκὶ 肉体の–中に G4561 | ἡμῶν. わたしたちの G1473

わたしたち生きている者は、イエスのために絶えず死に渡されているのである。それはイエスのいのちが、わたしたちの死ぬべき肉体に現れるためである。

12 ὥστε それゆえ G5620 | ὁ その G3588 | θάνατος 死は G2288 | ἐν ～の–中で G1722 | ἡμῖν わたしたちの–中で G1473 | ἐνεργεῖται, 働いている G1754 | ἡ しかし G3588 | δὲ 他方 G1161 | ζωὴ 命は G2222

ἐν ～の–中で G1722 | ὑμῖν. あなたがたの–中で G4771

こうして、死はわたしたちのうちに働き、いのちはあなたがたのうちに働くのである。

13 ἔχοντες δὲ τὸ αὐτὸ πνεῦμα τῆς πίστεως, κατὰ τὸ
持って しかし その 同じ 霊を その 信仰の ～に–従って その
G2192 G1161 G3588 G0846 G4151 G3588 G4102 G2596 G3588

γεγραμμένον, Ἐπίστευσα, διὸ ἐλάλησα; καὶ ἡμεῖς πιστεύομεν, διὸ
書かれている–とおり 信じた それゆえ 語った また わたしたちも 信じる それゆえ
G1125 G4100 G1352 G2980 G2532 G1473 G4100 G1352

καὶ λαλοῦμεν,
また 語る
G2532 G2980

「わたしは信じた。それゆえに語った」としるしてあるとおり、それと同じ信仰の霊を持っているので、わたしたちも信じている。それゆえに語るのである。

14 εἰδότες ὅτι ὁ ἐγείρας τὸν Κύριον Ἰησοῦν, καὶ ἡμᾶς
知っている ～と その 復活させた–方が その 主 イエスを また わたしたちをも
G1492 G3754 G3588 G1453 G3588 G2962 G2424 G2532 G1473

σὺν Ἰησοῦ ἐγερεῖ, καὶ παραστήσει σὺν ὑμῖν.
～と–共に イエスと–共に 復活させ そして 立たせてくださる ～と–共に あなたがたと–共に
G4862 G2424 G1453 G2532 G3936 G4862 G4771

それは、主イエスをよみがえらせたかたが、わたしたちをもイエスと共によみがえらせ、そして、あなたがたと共にみまえに立たせて下さることを、知っているからである。

15 τὰ γὰρ πάντα δι’ ὑμᾶς, ἵνα ἡ χάρις
その なぜなら すべては ～のために あなたがたのためである ～するために その 恵みが
G3588 G1063 G3956 G1223 G4771 G2443 G3588 G5485

πλεονάσασα διὰ τῶν πλειόνων, τὴν εὐχαριστίαν περισσεύσῃ εἰς
増し加わって ～を–通して その 多くの–人々を–通して その 感謝が あふれるために ～に
G4121 G1223 G3588 G4119 G3588 G2169 G4052 G1519

τὴν δόξαν τοῦ Θεοῦ.
その 栄光に その 神の
G3588 G1391 G3588 G2316

すべてのことは、あなたがたの益であって、恵みがますます多くの人に増し加わるにつれ、感謝が満ちあふれて、神の栄光となるのである。

16 Διὸ οὐκ ἐγκακοῦμεν; ἀλλ’ εἰ καὶ ὁ ἔξω ἡμῶν
それゆえ ～ない 落胆しない そうではなく もし たとえ その 外なる わたしたちの
G1352 G3756 G1573 G0235 G1487 G2532 G3588 G1854 G1473

ἄνθρωπος διαφθείρεται, ἀλλ’ ὁ ἔσω ἡμῶν ἀνακαινοῦται ἡμέρᾳ καὶ
人が 衰えても しかし その 内なる わたしたちの 新たにされる 日ごとに また
G0444 G1311 G0235 G3588 G2080 G1473 G0341 G2250 G2532

ἡμέρᾳ.
日ごとに
G2250

だから、わたしたちは落胆しない。たといわたしたちの外なる人は滅びても、内なる人は日ごとに新しくされていく。

17 τὸ γὰρ παραυτίκα ἐλαφρὸν τῆς θλίψεως ‹ἡμῶν›, καθ’
その なぜなら 今の–一時の 軽い その 苦難は わたしたちの ～に–応じて
G3588 G1063 G3910 G1645 G3588 G2347 G1473 G2596

ὑπερβολὴν εἰς ὑπερβολὴν. αἰώνιον βάρος δόξης, κατεργάζεται ἡμῖν,
超越した ～への 超越した 永遠の 重みの 栄光を もたらす わたしたちに
G5236 G1519 G5236 G0166 G0922 G1391 G2716 G1473

なぜなら、このしばらくの軽い患難は働いて、永遠の重い栄光を、あふれるばかりにわたしたちに得させるからである。

18 μὴ σκοπούντων ἡμῶν τὰ βλεπόμενα, ἀλλὰ τὰ μὴ
～ない 見ないで わたしたちが その 見える–ものを そうではなく その ～ない
G3361 G4648 G1473 G3588 G0991 G0235 G3588 G3361

βλεπόμενα; τὰ γὰρ βλεπόμενα πρόσκαιρα, τὰ δὲ μὴ
見えない–ものを その なぜなら 見える–ものは 一時的である しかし 他方 ～ない
G0991 G3588 G1063 G0991 G4340 G3588 G1161 G3361

βλεπόμενα, αἰώνια.
見えない–ものは 永遠である
G0991 G0166

わたしたちは、見えるものにではなく、見えないものに目を注ぐ。見えるものは一時的であり、見えないものは永遠につづくのである。

Chapter 5

1 οἴδαμεν γὰρ ὅτι ἐὰν ἡ ἐπίγειος ἡμῶν οἰκία τοῦ σκήνους
知っている なぜなら ～と もし その 地上の わたしたちの 家である その 幕屋の
G1492 G1063 G3754 G1437 G3588 G1919 G1473 G3614 G3588 G4636

καταλυθῇ, οἰκοδομὴν ἐκ Θεοῦ ἔχομεν, οἰκίαν ἀχειροποίητον, αἰώνιον
壊されるなら 建物を ～から 神からの 持っている 家を 手で–作らない 永遠の
G2647 G3619 G1537 G2316 G2192 G3614 G0886 G0166

ἐν τοῖς οὐρανοῖς.
～の–中に その 天に
G1722 G3588 G3772

わたしたちの住んでいる地上の幕屋がこわれると、神からいただく建物、すなわち天にある、人の手によらない永遠の家が備えてあることを、わたしたちは知っている。

2 καὶ γὰρ, ἐν τούτῳ στενάζομεν, τὸ οἰκητήριον ἡμῶν, τὸ
実に なぜなら ～の–中で この–中で うめいている その 住まいを わたしたちの その
G2532 G1063 G1722 G3778 G4727 G3588 G3613 G1473 G3588

ἐξ οὐρανοῦ ἐπενδύσασθαι ἐπιποθοῦντες.
～からの 天からの 着たいと 切に–願っている
G1537 G3772 G1902 G1971

そして、天から賜わるそのすみかを、上に着ようと切に望みながら、この幕屋の中で苦しみもだえている。

3 εἴ γε καὶ ἐνδυσάμενοι, οὐ γυμνοὶ εὑρεθησόμεθα.
もし 実際に たとえ 着たとしても ～ではない 裸で 見出されないであろう
G1487 G1065 G2532 G1746 G3756 G1131 G2147

それを着たなら、裸のままではいないことになろう。

4 καὶ γὰρ, οἱ ὄντες ἐν τῷ σκήνει, στενάζομεν,
実に なぜなら その いる–者たちは ～の–中に その 幕屋の–中に うめいている
G2532 G1063 G3588 G1510 G1722 G3588 G4636 G4727

βαρούμενοι; ἐφ’ ᾧ οὐ θέλομεν ἐκδύσασθαι, ἀλλ’
重荷を–負って ～のゆえに その–ゆえに ～ない 望まない 脱ぐことを そうではなく
G0916 G1909 G3739 G3756 G2309 G1562 G0235

ἐπενδύσασθαι, ἵνα καταποθῇ τὸ θνητὸν ὑπὸ τῆς
上に–着ることを ～するために 飲み込まれるために その 死ぬべき–ものが ～によって その
G1902 G2443 G2666 G3588 G2349 G5259 G3588

ζωῆς.
命によって
G2222

この幕屋の中にいるわたしたちは、重荷を負って苦しみもだえている。それを脱ごうと願うからではなく、その上に着ようと願うからであり、それによって、死ぬべきものがいのちにのまれてしまうためである。

5 ὁ δὲ κατεργασάμενος ἡμᾶς εἰς αὐτὸ τοῦτο,
その–方が さて 備えてくださった わたしたちを ～のために まさに–その このことのために
G3588 G1161 G2716 G1473 G1519 G0846 G3778

Θεός, ὁ δοὺς ἡμῖν τὸν ἀρραβῶνα τοῦ Πνεύματος.
神である その–方が 与えてくださった わたしたちに その 保証を その 御霊の
G2316 G3588 G1325 G1473 G3588 G0728 G3588 G4151

わたしたちを、この事にかなう者にして下さったのは、神である。そして、神はその保証として御霊をわたしたちに賜わったのである。

6 Θαρροῦντες οὖν πάντοτε, καὶ εἰδότες ὅτι, ἐνδημοῦντες ἐν τῷ
勇気を–持って それゆえ いつも そして 知っている ～と 住んでいる–とき ～の–中に その
G2292 G3767 G3842 G2532 G1492 G3754 G1736 G1722 G3588

σώματι, ἐκδημοῦμεν ἀπὸ τοῦ Κυρίου --
体の–中に 離れている ～から その 主から
G4983 G1553 G0575 G3588 G2962

だから、わたしたちはいつも心強い。そして、肉体を宿としている間は主から離れていることを、よく知っている。

7 διὰ πίστεως γὰρ περιπατοῦμεν, οὐ διὰ
～を–通して 信仰を–通して なぜなら 歩んでいる ～ではなく ～を–通して
G1223 G4102 G1063 G4043 G3756 G1223

εἴδους.
見える–ものを–通してではない
G1491

わたしたちは、見えるものによらないで、信仰によって歩いているのである。

8 θαρροῦμεν δὲ, καὶ εὐδοκοῦμεν, μᾶλλον ἐκδημῆσαι ἐκ τοῦ
勇気を–持っている そして また 喜んで むしろ 離れることを ～から その
G2292 G1161 G2532 G2106 G3123 G1553 G1537 G3588

σώματος, καὶ ἐνδημῆσαι πρὸς τὸν Κύριον.
体から そして 共に–いることを ～の–もとに その 主の–もとに
G4983 G2532 G1736 G4314 G3588 G2962

それで、わたしたちは心強い。そして、むしろ肉体から離れて主と共に住むことが、願わしいと思っている。

9	διὸ	καὶ	φιλοτιμούμεθα,	εἴτε	ἐνδημοῦντες	εἴτε	ἐκδημοῦντες,	
	それゆえ	また	努めている	～であれ	共に-いても	～であれ	離れていても	
	G1352	G2532	G5389	G1535	G1736	G1535	G1553	

εὐάρεστοι	αὐτῷ	εἶναι.
喜ばれる-者で	彼に	あることを
G2101	G0846	G1510

そういうわけだから、肉体を宿としているにしても、それから離れているにしても、ただ主に喜ばれる者となるのが、心からの願いである。

10	τοὺς	γὰρ	πάντας	ἡμᾶς,	φανερωθῆναι	δεῖ,	ἔμπροσθεν	τοῦ
	その	なぜなら	すべての	わたしたちは	現れねばならない	ねばならない	～の-前に	その
	G3588	G1063	G3956	G1473	G5319	G1163	G1715	G3588

βήματος	τοῦ	Χριστοῦ,	ἵνα	κομίσηται	ἕκαστος	τὰ	διὰ	
裁きの-座の-前に	その	キリストの	～するために	受けるために	各自が	その	～を-通して	
G0968	G3588	G5547	G2443	G2865	G1538	G3588	G1223	

τοῦ	σώματος,	πρὸς	ἃ	ἔπραξεν,	εἴτε	ἀγαθὸν	
その	体を-通して-行った	～に-応じて	行ったことに-応じて	行ったこと	～であれ	善であれ	
G3588	G4983	G4314	G3739	G4238	G1535	G0018	

εἴτε	φαῦλον.
～であれ	悪であれ
G1535	G5337

なぜなら、わたしたちは皆、キリストのさばきの座の前にあらわれ、善であれ悪であれ、自分の行ったことに応じて、それぞれ報いを受けねばならないからである。

11	Εἰδότες	οὖν	τὸν	φόβον	τοῦ	Κυρίου,	ἀνθρώπους	πείθομεν
	知っている	それゆえ	その	畏れを	その	主の	人々を	説得している
	G1492	G3767	G3588	G5401	G3588	G2962	G0444	G3982

Θεῷ.	δὲ	πεφανερώμεθα,	ἐλπίζω	δὲ	καὶ	ἐν	ταῖς	συνειδήσεσιν
神には	しかし	明らかにされている	望んでいる	そして	また	～の-中に	その	良心の-中に
G2316	G1161	G5319	G1679	G1161	G2532	G1722	G3588	G4893

ὑμῶν	πεφανερῶσθαι.
あなたがたの	明らかにされていることを
G4771	G5319

このようにわたしたちは、主の恐るべきことを知っているので、人々に説き勧める。わたしたちのことは、神のみまえには明らかになっている。さらに、あなたがたの良心にも明らかになるようにと望む。

12	οὐ	πάλιν	ἑαυτοὺς	συνιστάνομεν	ὑμῖν,	ἀλλὰ	ἀφορμὴν	διδόντες
	～ない	再び	自分-自身を	推薦しない	あなたがたに	そうではなく	機会を	与えている
	G3756	G3825	G1438	G4921	G4771	G0235	G0874	G1325

ὑμῖν	καυχήματος	ὑπὲρ	ἡμῶν,	ἵνα	ἔχητε	πρὸς	
あなたがたに	誇りの	～のために	わたしたちのために	～するために	持つために	～に-対して	
G4771	G2745	G5228	G1473	G2443	G2192	G4314	

τοὺς	ἐν	προσώπῳ	καυχωμένους,	καὶ	μὴ	ἐν		
その	～の-中で	外見で	誇る-者たちに-対して	そして	～ない	～の-中で		
G3588	G1722	G4383	G2744	G2532	G3361	G1722		

καρδίᾳ.
心の-中ではない-者に
G2588

わたしたちは、あなたがたに対して、またもや自己推薦をしようとするのではない。ただわたしたちを誇る機会を、あなたがたに持たせ、心を誇るのではなくうわべだけを誇る人々に答えうるようにさせたいのである。

13 εἴτε γὰρ ἐξέστημεν, Θεῷ; εἴτε σωφρονοῦμεν
～であれ なぜなら 我を–忘れたなら 神のためであり ～であれ 正気であるなら
G1535 G1063 G1839 G2316 G1535 G4993

ὑμῖν.
あなたがたのためである
G4771

もしわたしたちが、気が狂っているのなら、それは神のためであり、気が確かであるのなら、それはあなたがたのためである。

14 ἡ γὰρ ἀγάπη τοῦ Χριστοῦ συνέχει ἡμᾶς, κρίναντας τοῦτο,
その なぜなら 愛が その キリストの 駆り立てている わたしたちを 判断した このことを
G3588 G1063 G0026 G3588 G5547 G4912 G1473 G2919 G3778

ὅτι εἷς ὑπὲρ πάντων ἀπέθανεν, ἄρα οἱ πάντες
～と ひとりが ～のために すべての–人のために 死んだ それゆえ その すべての–人が
G3754 G1520 G5228 G3956 G0599 G0686 G3588 G3956

ἀπέθανον.
死んだのである
G0599

なぜなら、キリストの愛がわたしたちに強く迫っているからである。わたしたちはこう考えている。ひとりの人がすべての人のために死んだ以上、すべての人が死んだのである。

15 καὶ ὑπὲρ πάντων ἀπέθανεν, ἵνα οἱ ζῶντες,
そして ～のために すべての–人のために 死んだ ～するために その 生きている–者が
G2532 G5228 G3956 G0599 G2443 G3588 G2198

μηκέτι ἑαυτοῖς ζῶσιν, ἀλλὰ τῷ ὑπὲρ
もはや～ない 自分–自身のために 生きないために そうではなく その–方のために ～のために
G3371 G1438 G2198 G0235 G3588 G5228

αὐτῶν ἀποθανόντι, καὶ ἐγερθέντι.
彼らのために 死んで そして 復活した–方のために
G0846 G0599 G2532 G1453

そして、彼がすべての人のために死んだのは、生きている者がもはや自分のためにではなく、自分のために死んでよみがえったかたのために、生きるためである。

16 Ὥστε ἡμεῖς ἀπὸ τοῦ νῦν, οὐδένα οἴδαμεν κατὰ σάρκα.
それゆえ わたしたちは ～から その 今から 誰をも 知らない ～に–従って 肉に–従って
G5620 G1473 G0575 G3588 G3568 G3762 G1492 G2596 G4561

εἰ καὶ ἐγνώκαμεν κατὰ σάρκα Χριστόν, ἀλλὰ νῦν οὐκέτι
もし たとえ 知っていたとしても ～に–従って 肉に–従って キリストを しかし 今は もはや
G1487 G2532 G1097 G2596 G4561 G5547 G0235 G3568 G3765

γινώσκομεν.
知らない
G1097

それだから、わたしたちは今後、だれをも肉によって知ることはすまい。かつてはキリストを肉によって知っていたとしても、今はもうそのような知り方をすまい。

17 ὥστε εἴ τις ἐν Χριστῷ, καινὴ κτίσις. τὰ
それゆえ もし 誰かが ～の–中に キリストの–中に–あるなら 新しい 被造物である その
G5620 G1487 G5100 G1722 G5547 G2537 G2937 G3588

ἀρχαῖα παρῆλθεν; ἰδοὺ, γέγονεν καινά.
古い–ものは 過ぎ去った 見よ なった 新しい–ものに
G0744 G3928 G3708 G1096 G2537

だれでもキリストにあるならば、その人は新しく造られた者である。古いものは過ぎ去った、見よ、すべてが新しくなったのである。

18 τὰ δὲ πάντα ἐκ τοῦ Θεοῦ, τοῦ καταλλάξαντος
その しかし すべては ～から その 神からである その–方が 和解させてくださった
G3588 G1161 G3956 G1537 G3588 G2316 G3588 G2644

ἡμᾶς ἑαυτῷ, διὰ Χριστοῦ, καὶ δόντος ἡμῖν
わたしたちを 御自身に ～を–通して キリストを–通して そして 与えてくださった わたしたちに
G1473 G1438 G1223 G5547 G2532 G1325 G1473

τὴν διακονίαν τῆς καταλλαγῆς:
その 務めを その 和解の
G3588 G1248 G3588 G2643

しかし、すべてこれらの事は、神から出ている。神はキリストによって、わたしたちをご自分に和解させ、かつ和解の務をわたしたちに授けて下さった。

19 ὡς ὅτι Θεὸς ἦν ἐν Χριστῷ κόσμον καταλλάσσων
すなわち ～と 神が おられた ～の–中に キリストの–中に–あって 世界を 和解させていた
G5613 G3754 G2316 G1510 G1722 G5547 G2889 G2644

ἑαυτῷ, μὴ λογιζόμενος αὐτοῖς τὰ παραπτώματα αὐτῶν, καὶ θέμενος
御自身に ～ない 数えずに 彼らに その 過ちを 彼らの そして 置いてくださった
G1438 G3361 G3049 G0846 G3588 G3900 G0846 G2532 G5087

ἐν ἡμῖν τὸν λόγον τῆς καταλλαγῆς.
～の–中に わたしたちの–中に その 言葉を その 和解の
G1722 G1473 G3588 G3056 G3588 G2643

すなわち、神はキリストにおいて世をご自分に和解させ、その罪過の責任をこれに負わせることをしないで、わたしたちに和解の福音をゆだねられたのである。

20 Ὑπὲρ Χριστοῦ οὖν πρεσβεύομεν, ὡς τοῦ Θεοῦ
～のために キリストのために それゆえ 大使として–務めている ～のように その 神が
G5228 G5547 G3767 G4243 G5613 G3588 G2316

παρακαλοῦντος δι’ ἡμῶν. δεόμεθα ὑπὲρ Χριστοῦ:
勧めているかのように ～を–通して わたしたちを–通して 願う ～のために キリストのために
G3870 G1223 G1473 G1189 G5228 G5547

καταλλάγητε τῷ Θεῷ.
神と–和解しなさい その 神と
G2644 G3588 G2316

神がわたしたちをとおして勧めをなさるのであるから、わたしたちはキリストの使者なのである。そこで、キリストに代って願う、神の和解を受けなさい。

21 τὸν μὴ γνόντα ἁμαρτίαν, ὑπὲρ ἡμῶν ἁμαρτίαν
その-方を ～ない 知らなかった 罪を ～のために わたしたちのために 罪と
G3588 G3361 G1097 G0266 G5228 G1473 G0266

ἐποίησεν, ἵνα ἡμεῖς γενώμεθα δικαιοσύνη Θεοῦ ἐν αὐτῷ.
してくださった ～するために わたしたちが なるために 義と 神の ～の-中に 彼の-中に
G4160 G2443 G1473 G1096 G1343 G2316 G1722 G0846

神はわたしたちの罪のために、罪を知らないかたを罪とされた。それは、わたしたちが、彼にあって神の義となるためなのである。

Chapter 6

1 Συνεργοῦντες δὲ καὶ παρακαλοῦμεν, μὴ εἰς κενὸν τὴν χάριν τοῦ
協力して さて また 勧める ～ない ～に 空しく その 恵みを その
G4903 G1161 G2532 G3870 G3361 G1519 G2756 G3588 G5485 G3588

Θεοῦ δέξασθαι ὑμᾶς.
神の 受けることがないように あなたがたが
G2316 G1209 G4771

わたしたちはまた、神と共に働く者として、あなたがたに勧める。神の恵みをいたずらに受けてはならない。

2 λέγει γάρ, Καιρῷ δεκτῷ ἐπήκουσά σου, καὶ ἐν ἡμέρᾳ
言っている なぜなら 時に 恵みの 聞いた あなたの-願いを そして ～の-中に 日に
G3004 G1063 G2540 G1184 G1873 G4771 G2532 G1722 G2250

σωτηρίας ἐβοήθησά σοι. ἰδοὺ, νῦν καιρὸς εὐπρόσδεκτος; ἰδοὺ νῦν ἡμέρα
救いの 助けた あなたを 見よ 今 時である 恵みの-時である 見よ 今 日である
G4991 G0997 G4771 G3708 G3568 G2540 G2144 G3708 G3568 G2250

σωτηρίας.
救いの
G4991

神はこう言われる、「わたしは、恵みの時にあなたの願いを聞きいれ、救の日にあなたを助けた」。見よ、今は恵みの時、見よ、今は救の日である。

3 μηδεμίαν ἐν μηδενὶ διδόντες προσκοπήν, ἵνα μὴ
何の-~もない ～の-中で 何においても 与えない つまずきを ～しないために ～ない
G3367 G1722 G3367 G1325 G4349 G2443 G3361

μωμηθῇ ἡ διακονία.
非難されないために その 務めが
G3469 G3588 G1248

この務がそしりを招かないために、わたしたちはどんな事にも、人につまずきを与えないようにし、

4 ἀλλ’ ἐν παντὶ, συνιστάνοντες ἑαυτοὺς ὡς Θεοῦ
そうではなく ～の-中で すべてに-おいて 推薦している 自分-自身を ～として 神の
G0235 G1722 G3956 G4921 G1438 G5613 G2316

διάκονοι, ἐν ὑπομονῇ πολλῇ, ἐν θλίψεσιν, ἐν ἀνάγκαις,
奉仕者として ～の-中で 忍耐の-中で 多くの ～の-中で 苦難の-中で ～の-中で 困窮の-中で
G1249 G1722 G5281 G4183 G1722 G2347 G1722 G0318

ἐν στενοχωρίαις,
～の-中で 窘乏の-中で
G1722 G4730

かえって、あらゆる場合に、神の僕として、自分を人々にあらわしている。すなわち、極度の忍苦にも、患難にも、危機にも、行き詰まりにも、

5

ἐν	πληγαῖς,	ἐν	φυλακαῖς,	ἐν	ἀκαταστασίαις,	ἐν
～の–中で	打ち叩きの–中で	～の–中で	投獄の–中で	～の–中で	騒乱の–中で	～の–中で
G1722	G4127	G1722	G5438	G1722	G0181	G1722

κόποις,	ἐν	ἀγρυπνίαις,	ἐν	νηστείαις;
労苦の–中で	～の–中で	寝ずの–番の–中で	～の–中で	断食の–中で
G2873	G1722	G0070	G1722	G3521

むち打たれることにも、入獄にも、騒乱にも、労苦にも、徹夜にも、飢餓にも、

6

ἐν	ἁγνότητι,	ἐν	γνώσει,	ἐν	μακροθυμίᾳ,	ἐν
～の–中で	清さの–中で	～の–中で	知識の–中で	～の–中で	寛容の–中で	～の–中で
G1722	G0054	G1722	G1108	G1722	G3115	G1722

χρηστότητι,	ἐν	Πνεύματι	Ἁγίῳ,	ἐν	ἀγάπῃ	ἀνυποκρίτῳ;
慈愛の–中で	～の–中で	御霊の	聖なる	～の–中で	愛の–中で	偽りのない
G5544	G1722	G4151	G0040	G1722	G0026	G0505

真実と知識と寛容と、慈愛と聖霊と偽りのない愛と、

7

ἐν	λόγῳ	ἀληθείας,	ἐν	δυνάμει	Θεοῦ;	διὰ	τῶν
～の–中で	言葉の–中で	真理の	～の–中で	力の–中で	神の	～を–通して	その
G1722	G3056	G0225	G1722	G1411	G2316	G1223	G3588

ὅπλων	τῆς	δικαιοσύνης	τῶν	δεξιῶν	καὶ	ἀριστερῶν;
武具を–通して	その	義の	その	右の	そして	左の
G3696	G3588	G1343	G3588	G1188	G2532	G0710

真理の言葉と神の力とにより、左右に持っている義の武器により、

8

διὰ	δόξης	καὶ	ἀτιμίας,	διὰ	δυσφημίας	καὶ
～を–通して	栄光を–通して	そして	不名誉を–通して	～を–通して	悪評を–通して	そして
G1223	G1391	G2532	G0819	G1223	G1426	G2532

εὐφημίας;	ὡς	πλάνοι,	καὶ	ἀληθεῖς;
好評を–通して	～のように	惑わす–者のようで	しかし	真実な–者であり
G2162	G5613	G4108	G2532	G0227

ほめられても、そしられても、悪評を受けても、好評を博しても、神の僕として自分をあらわしている。わたしたちは、人を惑わしているようであるが、しかも真実であり、

9

ὡς	ἀγνοούμενοι,	καὶ	ἐπιγινωσκόμενοι;	ὡς	ἀποθνήσκοντες,
～のように	知られない–者のようで	しかし	知られている–者であり	～のように	死ぬ–者のようで
G5613	G0050	G2532	G1921	G5613	G0599

καὶ	ἰδοὺ,	ζῶμεν;	ὡς	παιδευόμενοι,	καὶ	μὴ
しかし	見よ	生きている	～のように	懲らしめられている–者のようで	しかし	～ない
G2532	G3708	G2198	G5613	G3811	G2532	G3361

θανατούμενοι;
死なない–者であり
G2289

人に知られていないようであるが、認められ、死にかかっているようであるが、見よ、生きており、懲らしめられているようであるが、殺されず、

10 ὡς λυπούμενοι, ἀεὶ δὲ χαίροντες; ὡς
〜のように 悲しんでいる–者のようで 常に しかし 喜んでいる–者であり 〜のように
G5613 G3076 G0104 G1161 G5463 G5613

πτωχοὶ, πολλοὺς δὲ πλουτίζοντες; ὡς μηδὲν
貧しい–者のようで 多くの–人を しかし 富ませている–者であり 〜のように 何も
G4434 G4183 G1161 G4148 G5613 G3367

ἔχοντες, καὶ πάντα κατέχοντες.
持たない–者のようで しかし すべてを 持っている–者である
G2192 G2532 G3956 G2722

悲しんでいるようであるが、常に喜んでおり、貧しいようであるが、多くの人を富ませ、何も持たないようであるが、すべての物を持っている。

11 Τὸ στόμα ἡμῶν ἀνέῳγεν πρὸς ὑμᾶς, Κορίνθιοι; ἡ
その 口は わたしたちの 開かれている 〜に–向かって あなたがたに コリントの–人々よ その
G3588 G4750 G1473 G0455 G4314 G4771 G2881 G3588

καρδία ἡμῶν πεπλάτυνται.
心は わたしたちの 広く–開かれている
G2588 G1473 G4115

コリントの人々よ。あなたがたに向かってわたしたちの口は開かれており、わたしたちの心は広くなっている。

12 οὐ στενοχωρεῖσθε ἐν ἡμῖν, στενοχωρεῖσθε δὲ ἐν
〜ない 窘まっていない 〜の–中で わたしたちの–中で 窘まっている しかし 〜の–中で
G3756 G4729 G1722 G1473 G4729 G1161 G1722

τοῖς σπλάγχνοις ὑμῶν;
その 心の–中で あなたがたの
G3588 G4698 G4771

あなたがたは、わたしたちに心をせばめられていたのではなく、自分で心をせばめていたのだ。

13 τὴν δὲ αὐτὴν ἀντιμισθίαν, ὡς τέκνοις λέγω, πλατύνθητε καὶ
その さて 同じ 報いを 〜のように 子どもに 言う 広く–開きなさい また
G3588 G1161 G0846 G0489 G5613 G5043 G3004 G4115 G2532

ὑμεῖς.
あなたがたも
G4771

わたしは子供たちに対するように言うが、どうかあなたがたの方でも心を広くして、わたしに応じてほしい。

14 Μὴ γίνεσθε ἑτεροζυγοῦντες ἀπίστοις; τίς γὰρ μετοχὴ
〜ない なりなさい 不釣り合いに–くびきを–共にする–者に 不信者と 何の なぜなら 共有が
G3361 G1096 G2086 G0571 G5101 G1063 G3352

δικαιοσύνῃ καὶ ἀνομίᾳ? ἢ τίς κοινωνία φωτὶ πρὸς σκότος?
義に と 不法とに あるいは 何の 交わりが 光に 〜と 闇とに
G1343 G2532 G0458 G2228 G5101 G2842 G5457 G4314 G4655

不信者と、つり合わないくびきを共にするな。義と不義となんの係わりがあるか。光とやみとなんの交わりがあるか。

15 τίς δὲ συμφώνησις Χριστοῦ πρὸς Βελιάρ? ἢ τίς μερὶς
何の そして 調和が キリストに 〜と ベリアルとに あるいは 何の 分け前が
G5101 G1161 G4857 G5547 G4314 G0955 G2228 G5101 G3310

πιστῷ μετὰ ἀπίστου?
信者に 〜と 不信者とに
G4103 G3326 G0571

キリストとベリアルとなんの調和があるか。信仰と不信仰となんの関係があるか。

16 τίς 何の G5101 δὲ そして G1161 συνκατάθεσις 一致が G4783 ναῷ 神殿に G3485 Θεοῦ 神の G2316 μετὰ ～と G3326 εἰδώλων? 偶像とに G1497 ἡμεῖς わたしたちは G1473 γὰρ なぜなら G1063

ναὸς 神殿である G3485 Θεοῦ 神の G2316 ἐσμεν, である G1510 ζῶντος, 生きている G2198 καθὼς ～のように G2531 εἶπεν 言われた G3004 ὁ その G3588 Θεὸς, 神が G2316 ὅτι ～と G3754 Ἐνοικήσω 住む G1774

ἐν ～の-中に G1722 αὐτοῖς, 彼らの-中に G0846 καὶ そして G2532 ἐμπεριπατήσω; 共に-歩む G1704 καὶ そして G2532 ἔσομαι なる G1510 αὐτῶν 彼らの G0846 Θεός, 神と G2316 καὶ そして G2532 αὐτοὶ 彼らは G0846

ἔσονταί なる G1510 μου わたしの G1473 λαός. 民と G2992

神の宮と偶像となんの一致があるか。わたしたちは、生ける神の宮である。神がこう仰せになっている、「わたしは彼らの間に住み、かつ出入りをするであろう。そして、わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となるであろう」。

17 διὸ それゆえ G1352 ἐξέλθατε 出て来なさい G1831 ἐκ ～から G1537 μέσου 中から G3319 αὐτῶν 彼らの G0846 καὶ そして G2532 ἀφορίσθητε, 分かれなさい G0873 λέγει 言われる G3004 Κύριος, 主が G2962

καὶ そして G2532 ἀκαθάρτου 汚れた-ものに G0169 μὴ ～ない G3361 ἅπτεσθε. 触れるな G0680 κἀγὼ そうすれば-わたしは G2504 εἰσδέξομαι 受け入れる G1523 ὑμᾶς; あなたがたを G4771

だから、「彼らの間から出て行き、彼らと分離せよ、と主は言われる。そして、汚れたものに触てはならない。触なければ、わたしはあなたがたを受けいれよう。

18 καὶ そして G2532 ἔσομαι なる G1510 ὑμῖν あなたがたにとって G4771 εἰς ～として G1519 Πατέρα, 父と G3962 καὶ そして G2532 ὑμεῖς あなたがたは G4771 ἔσεσθέ なる G1510

μοι わたしにとって G1473 εἰς ～として G1519 υἱοὺς 息子と G5207 καὶ そして G2532 θυγατέρας, 娘と G2364 λέγει 言われる G3004 Κύριος 主 G2962 Παντοκράτωρ. 全能者が G3841

そしてわたしは、あなたがたの父となり、あなたがたは、わたしのむすこ、むすめとなるであろう。全能の主が、こう言われる」。

Chapter 7

1 ταύτας これらの G3778 οὖν それゆえ G3767 ἔχοντες 持っている G2192 τὰς — G3588 ἐπαγγελίας, 約束を G1860 ἀγαπητοί, 愛する-者たちよ G0027 καθαρίσωμεν 清めましょう G2511 ἑαυτοὺς 自分自身を G1438

ἀπὸ ～から G0575 παντὸς すべての G3956 μολυσμοῦ 汚れから G3436 σαρκὸς 肉の G4561 καὶ そして G2532 πνεύματος, 霊の G4151 ἐπιτελοῦντες 完成しつつ G2005 ἁγιωσύνην 聖さを G0042

ἐν ～の-中で G1722 φόβῳ 畏れの G5401 Θεοῦ. 神の G2316

愛する者たちよ。わたしたちは、このような約束を与えられているのだから、肉と霊とのいっさいの汚れから自分をきよめ、神をおそれて全く清くなろうではないか。

2 Χωρήσατε ἡμᾶς; οὐδένα ἠδικήσαμεν, οὐδένα ἐφθείραμεν, οὐδένα
受け入れてください 私たちを 誰にも 不義を–行わず 誰をも 損なわず 誰からも
G5562 G1473 G3762 G0091 G3762 G5351 G3762

ἐπλεονεκτήσαμεν.
貪らなかった
G4122

どうか、わたしたちに心を開いてほしい。わたしたちは、だれにも不義をしたことがなく、だれをも破滅におとしいれたことがなく、だれからもだまし取ったことがない。

3 πρὸς κατάκρισιν οὐ λέγω; προείρηκα γὰρ, ὅτι ἐν ταῖς
～への 非難として ～ない 言っているのでは 前に–言った なぜなら ～ことを ～の–中に —
G4314 G2633 G3756 G3004 G4302 G1063 G3754 G1722 G3588

καρδίαις ἡμῶν ἐστε, εἰς τὸ συναποθανεῖν, καὶ συζῆν.
心の 私たちの あなたがたは–いる ～のために — 共に–死ぬ そして 共に–生きる
G2588 G1473 G1510 G1519 G3588 G4880 G2532 G4800

わたしは、責めるつもりでこう言うのではない。前にも言ったように、あなたがたはわたしの心のうちにいて、わたしたちと生死を共にしているのである。

4 πολλή μοι παρρησία πρὸς ὑμᾶς, πολλή μοι καύχησις
大きな 私には 大胆さが–ある ～に–対して あなたがたに 大いなる 私には 誇りが–ある
G4183 G1473 G3954 G4314 G4771 G4183 G1473 G2746

ὑπὲρ ὑμῶν; πεπλήρωμαι τῇ παρακλήσει; ὑπερπερισσεύομαι τῇ
～について あなたがたの 満たされている — 慰めで あふれるほどに–喜んでいる —
G5228 G4771 G4137 G3588 G3874 G5248 G3588

χαρᾷ ἐπὶ πάσῃ τῇ θλίψει ἡμῶν.
喜びで ～の–中にあって すべての — 苦難の 私たちの
G5479 G1909 G3956 G3588 G2347 G1473

わたしはあなたがたを大いに信頼し、大いに誇っている。また、あふれるばかり慰めを受け、あらゆる患難の中にあって喜びに満ちあふれている。

5 Καὶ γὰρ, ἐλθόντων ἡμῶν εἰς Μακεδονίαν, οὐδεμίαν ἔσχηκεν ἄνεσιν,
そして 実に 来た–時 私たちが ～へ マケドニアに 何の 得なかった 安らぎを
G2532 G1063 G2064 G1473 G1519 G3109 G3762 G2192 G0425

ἡ σὰρξ ἡμῶν; ἀλλ’ ἐν παντὶ θλιβόμενοι; ἔξωθεν μάχαι,
— 肉は 私たちの むしろ ～の–中で あらゆる–ことにおいて 苦しめられ 外からは 戦いが
G3588 G4561 G1473 G0235 G1722 G3956 G2346 G1855 G3163

ἔσωθεν φόβοι.
内からは 恐れが–あった
G2081 G5401

さて、マケドニヤに着いたとき、わたしたちの身に少しの休みもなく、さまざまの患難に会い、外には戦い、内には恐れがあった。

6 ἀλλ’ ὁ παρακαλῶν τοὺς ταπεινοὺς, παρεκάλεσεν ἡμᾶς, ὁ
しかし — 慰める–方 — 低くされた–者たちを 慰めてくださった 私たちを —
G0235 G3588 G3870 G3588 G5011 G3870 G1473 G3588

Θεὸς, ἐν τῇ παρουσίᾳ Τίτου,
神は ～による — 到来によって テトスの
G2316 G1722 G3588 G3952 G5103

しかるに、うちしおれている者を慰める神は、テトスの到来によって、わたしたちを慰めて下さった。

7

οὐ	μόνον	δὲ	ἐν	τῇ	παρουσίᾳ	αὐτοῦ,	ἀλλὰ	καὶ	ἐν
～ない	ただ	しかし	～における	—	到来だけでなく	彼の	むしろ	また	～における
G3756	G3440	G1161	G1722	G3588	G3952	G0846	G0235	G2532	G1722

τῇ	παρακλήσει	ᾗ	παρεκλήθη,	ἐφ’	ὑμῖν;	ἀναγγέλλων	ἡμῖν
—	慰めによっても	その	慰められた	～について	あなたがたについて	伝えてくれた	私たちに
G3588	G3874	G3739	G3870	G1909	G4771	G0312	G1473

τὴν	ὑμῶν	ἐπιπόθησιν,	τὸν	ὑμῶν	ὀδυρμόν,	τὸν	ὑμῶν
—	あなたがたの	慕い-求める-思いを	—	あなたがたの	嘆きを	—	あなたがたの
G3588	G4771	G1972	G3588	G4771	G3602	G3588	G4771

ζῆλον	ὑπὲρ	ἐμοῦ;	ὥστε	με	μᾶλλον	χαρῆναι.
熱心を	～のための	私のための	それで	私は	いっそう	喜んだ
G2205	G5228	G1473	G5620	G1473	G3123	G5463

ただ彼の到来によるばかりではなく、彼があなたがたから受けたその慰めをもって、慰めて下さった。すなわち、あなたがたがわたしを慕っていること、嘆いていること、またわたしに対して熱心であることを知らせてくれたので、わたしの喜びはいよいよ増し加わったのである。

8

ὅτι	εἰ	καὶ	ἐλύπησα	ὑμᾶς	ἐν	τῇ	ἐπιστολῇ,	οὐ
たとえ	もし	～であっても	悲しませた	あなたがたを	～によって	—	手紙で	～ない
G3754	G1487	G2532	G3076	G4771	G1722	G3588	G1992	G3756

μεταμέλομαι.	εἰ	καὶ	μετεμελόμην;	βλέπω	[γὰρ]	ὅτι	ἡ
後悔していない	たとえ	～であっても	後悔した-としても	わかる	なぜなら	～ことが	—
G3338	G1487	G2532	G3338	G0991	G1063	G3754	G3588

ἐπιστολὴ	ἐκείνη,	εἰ	καὶ	πρὸς	ὥραν,	ἐλύπησεν	ὑμᾶς.
手紙が	あの	たとえ	～であっても	～の-間	しばらく	悲しませた	あなたがたを
G1992	G1565	G1487	G2532	G4314	G5610	G3076	G4771

そこで、たとい、あの手紙であなたがたを悲しませたとしても、わたしはそれを悔いていない。あの手紙がしばらくの間ではあるが、あなたがたを悲しませたのを見て悔いたとしても、

9

νῦν	χαίρω,	οὐχ	ὅτι	ἐλυπήθητε,	ἀλλ’	ὅτι	ἐλυπήθητε
今	喜んでいる	～ないからではなく	～ことを	悲しんだ	むしろ	～ことを	悲しんだ-ことが
G3568	G5463	G3756	G3754	G3076	G0235	G3754	G3076

εἰς	μετάνοιαν;	ἐλυπήθητε	γὰρ	κατὰ	Θεόν,	ἵνα	ἐν
～へと	悔い改めへと-至った	悲しんだ	なぜなら	～に-従って	神に-従って	～ために	～において
G1519	G3341	G3076	G1063	G2596	G2316	G2443	G1722

μηδενὶ	ζημιωθῆτε	ἐξ	ἡμῶν.
何においても	損害を-受けない	～から	私たちから
G3367	G2210	G1537	G1473

今は喜んでいる。それは、あなたがたが悲しんだからではなく、悲しんで悔い改めるに至ったからである。あなたがたがそのように悲しんだのは、神のみこころに添うたことであって、わたしたちからはなんの損害も受けなかったのである。

10

ἡ	γὰρ,	κατὰ	Θεὸν	λύπη,	μετάνοιαν	εἰς	σωτηρίαν,
—	なぜなら	～に-従った	神に-従った	悲しみは	悔い改めを	～への	救いへの
G3588	G1063	G2596	G2316	G3077	G3341	G1519	G4991

ἀμεταμέλητον	ἐργάζεται;	ἡ	δὲ	τοῦ	κόσμου	λύπη,	θάνατον	κατεργάζεται.
後悔のない	もたらす	—	しかし	—	世の	悲しみは	死を	もたらす
G0278	G2038	G3588	G1161	G3588	G2889	G3077	G2288	G2716

神のみこころに添うた悲しみは、悔いのない救を得させる悔改めに導き、この世の悲しみは死をきたらせる。

11

ἰδοὺ	γὰρ,	αὐτὸ	τοῦτο	τὸ,	κατὰ	Θεὸν	λυπηθῆναι,	πόσην
見よ	なぜなら	まさに	この	—	～に–従って	神に–従って	悲しんだ–ことが	どれほどの
G3708	G1063	G0846	G3778	G3588	G2596	G2316	G3076	G4214

κατειργάσατο	ὑμῖν	σπουδήν,	ἀλλὰ	ἀπολογίαν,	ἀλλὰ	ἀγανάκτησιν,	ἀλλὰ
もたらしたか	あなたがたに	熱心さを	さらに	弁明を	さらに	憤りを	さらに
G2716	G4771	G4710	G0235	G0627	G0235	G0024	G0235

φόβον,	ἀλλὰ	ἐπιπόθησιν,	ἀλλὰ	ζῆλον,	ἀλλὰ	ἐκδίκησιν!	ἐν	παντὶ,
畏れを	さらに	慕い–求めを	さらに	熱意を	さらに	正義の–処罰を	～において	すべてにおいて
G5401	G0235	G1972	G0235	G2205	G0235	G1557	G1722	G3956

συνεστήσατε	ἑαυτοὺς	ἁγνοὺς	εἶναι,	τῷ	πράγματι.
証明した	あなたがた–自身を	潔白で–ある	～であると	—	この–件において
G4921	G1438	G0053	G1510	G3588	G4229

見よ、神のみこころに添うたその悲しみが、どんなにか熱情をあなたがたに起させたことか。また、弁明、義憤、恐れ、愛慕、熱意、それから処罰に至らせたことか。あなたがたはあの問題については、すべての点において潔白であることを証明したのである。

12

ἄρα	εἰ	καὶ	ἔγραψα	ὑμῖν,	οὐχ	ἕνεκεν	τοῦ
それゆえ	たとえ	～であっても	書いた	あなたがたに	～ない	～のために	—
G0686	G1487	G2532	G1125	G4771	G3756	G1752	G3588

ἀδικήσαντος,	(ἀλλ')	οὐδὲ	ἕνεκεν	τοῦ	ἀδικηθέντος,	ἀλλ’
不義を–行った–者の	（でもなく）	～でもなく	～のために	—	不義を–受けた–者の	むしろ
G0091	G0235	G3761	G1752	G3588	G0091	G0235

ἕνεκεν	τοῦ	φανερωθῆναι	τὴν	σπουδὴν	ὑμῶν,	τὴν	ὑπὲρ
～のために	—	明らかにされる	—	熱心さが	あなたがたの	—	～に–対する
G1752	G3588	G5319	G3588	G4710	G4771	G3588	G5228

ἡμῶν	πρὸς	ὑμᾶς	ἐνώπιον	τοῦ	Θεοῦ.
私たちに–対する	～の–前で	あなたがたの	～の–御前で	—	神の
G1473	G4314	G4771	G1799	G3588	G2316

だから、わたしがあなたがたに書きおくったのは、不義をした人のためでも、不義を受けた人のためでもなく、わたしたちに対するあなたがたの熱情が、神の前にあなたがたの間で明らかになるためである。

13

διὰ	τοῦτο,	παρακεκλήμεθα.	Ἐπὶ	δὲ	τῇ	παρακλήσει	ἡμῶν,
この–ゆえに	このことにより	慰められた	～に加えて	さらに	—	慰めに	私たちの
G1223	G3778	G3870	G1909	G1161	G3588	G3874	G1473

περισσοτέρως	μᾶλλον	ἐχάρημεν	ἐπὶ	τῇ	χαρᾷ	Τίτου,	ὅτι
ますます	いっそう	喜んだ	～について	—	喜びについて	テトスの	なぜなら
G4057	G3123	G5463	G1909	G3588	G5479	G5103	G3754

ἀναπέπαυται	τὸ	πνεῦμα	αὐτοῦ,	ἀπὸ	πάντων	ὑμῶν.
安らぎを–得た	—	霊が	彼の	～から	すべての	あなたがたから
G0373	G3588	G4151	G0846	G0575	G3956	G4771

こういうわけで、わたしたちは慰められたのである。これらの慰めの上にテトスの喜びが加わって、わたしたちはなおいっそう喜んだ。彼があなたがた一同によって安心させられたからである。

14 ὅτι εἴ τι αὐτῷ ὑπὲρ ὑμῶν κεκαύχημαι, οὐ
もし たとえ 何か 彼に ～について あなたがたについて 誇った–としても ～ない
G3754 G1487 G5100 G0846 G5228 G4771 G2744 G3756

κατῃσχύνθην; ἀλλ’ ὡς πάντα ἐν ἀληθείᾳ ἐλαλήσαμεν
恥を–かかなかった むしろ ～のように すべてを ～の–中で 真実を–もって 語った
G2617 G0235 G5613 G3956 G1722 G0225 G2980

ὑμῖν, οὕτως καὶ ἡ καύχησις ἡμῶν, ‹ἡ› ἐπὶ Τίτου,
あなたがたに そのように また — 誇りも 私たちの — ～についての テトスについての
G4771 G3779 G2532 G3588 G2746 G1473 G3588 G1909 G5103

ἀλήθεια ἐγενήθη.
真実と なった
G0225 G1096

そして、わたしは彼に対してあなたがたのことを少しく誇ったが、それはわたしの恥にならないですんだ。あなたがたにいっさいのことを真実に語ったように、テトスに対して誇ったことも真実となってきたのである。

15 καὶ τὰ σπλάγχνα αὐτοῦ περισσοτέρως εἰς ὑμᾶς ἐστιν,
そして — 深い–愛情は 彼の ますます ～に–向かって あなたがたに–向かって ある
G2532 G3588 G4698 G0846 G4057 G1519 G4771 G1510

ἀναμιμνῃσκομένου τὴν πάντων ὑμῶν ὑπακοήν, ὡς μετὰ φόβου
思い起こしながら — すべての あなたがたの 従順を いかに ～をもって 畏れと
G0363 G3588 G3956 G4771 G5218 G5613 G3326 G5401

καὶ τρόμου, ἐδέξασθε αὐτόν.
そして おののきを–もって 迎えた 彼を
G2532 G5156 G1209 G0846

また彼は、あなたがた一同が従順であって、おそれおののきつつ自分を迎えてくれたことを思い出して、ますます心をあなたがたの方に寄せている。

16 χαίρω ὅτι ἐν παντὶ θαρρῶ ἐν ὑμῖν.
喜んでいる なぜなら ～において すべてにおいて 信頼している ～において あなたがたを
G5463 G3754 G1722 G3956 G2292 G1722 G4771

わたしは、あなたがたに全く信頼することができて、喜んでいる。

Chapter 8

1 Γνωρίζομεν δὲ ὑμῖν, ἀδελφοί, τὴν χάριν τοῦ Θεοῦ, τὴν δεδομένην
知らせます さて あなたがたに 兄弟たちよ — 恵みを — 神の — 与えられた
G1107 G1161 G4771 G0080 G3588 G5485 G3588 G2316 G3588 G1325

ἐν ταῖς ἐκκλησίαις τῆς Μακεδονίας,
～の–中で — 教会に — マケドニアの
G1722 G3588 G1577 G3588 G3109

兄弟たちよ。わたしたちはここで、マケドニヤの諸教会に与えられた神の恵みを、あなたがたに知らせよう。

2 ὅτι ἐν πολλῇ δοκιμῇ θλίψεως, ἡ περισσεία τῆς χαρᾶς
すなわち ～の–中で 多くの 試練の 苦難の ― あふれる–喜びが ― 喜びの
G3754 G1722 G4183 G1382 G2347 G3588 G4050 G3588 G5479

αὐτῶν, καὶ ἡ κατὰ βάθους πτωχεία αὐτῶν, ἐπερίσσευσεν εἰς τὸ
彼らの そして ― ～に–至る 深い 貧しさが 彼らの あふれ出た ～へと ―
G0846 G2532 G3588 G2596 G0899 G4432 G0846 G4052 G1519 G3588

πλοῦτος τῆς ἁπλότητος αὐτῶν.
豊かな ― 惜しみなさの 彼らの
G4149 G3588 G0572 G0846

すなわち、彼らは、患難のために激しい試錬をうけたが、その満ちあふれる喜びは、極度の貧しさにもかかわらず、あふれ出て惜しみなく施す富となったのである。

3 ὅτι κατὰ δύναμιν, μαρτυρῶ, καὶ παρὰ δύναμιν, αὐθαίρετοι,
なぜなら ～に–応じて 力に 証しする そして ～を–超えて 力を 自発的に
G3754 G2596 G1411 G3140 G2532 G3844 G1411 G0830

わたしはあかしするが、彼らは力に応じて、否、力以上に施しをした。すなわち、自ら進んで、

4 μετὰ πολλῆς παρακλήσεως δεόμενοι ἡμῶν, τὴν χάριν καὶ τὴν
～を–もって 多くの 懇願を–もって 願い求めた 私たちに ― 恵みと そして ―
G3326 G4183 G3874 G1189 G1473 G3588 G5485 G2532 G3588

κοινωνίαν τῆς διακονίας τῆς εἰς τοὺς ἁγίους.
交わりを ― 奉仕の ― ～への ― 聖徒たちへの
G2842 G3588 G1248 G3588 G1519 G3588 G0040

聖徒たちへの奉仕に加わる恵みにあずかりたいと、わたしたちに熱心に願い出て、

5 καὶ οὐ καθὼς ἠλπίσαμεν, ἀλλ’ ἑαυτοὺς ἔδωκαν, πρῶτον τῷ
そして ～ない ～のように 期待した–通りでなく むしろ 自分自身を ささげた まず ―
G2532 G3756 G2531 G1679 G0235 G1438 G1325 G4412 G3588

Κυρίῳ, καὶ ἡμῖν, διὰ θελήματος Θεοῦ.
主に そして 私たちに ～を–通して 御心を–通して 神の
G2962 G2532 G1473 G1223 G2307 G2316

わたしたちの希望どおりにしたばかりか、自分自身をまず、神のみこころにしたがって、主にささげ、また、わたしたちにもささげたのである。

6 εἰς τὸ παρακαλέσαι ἡμᾶς Τίτον, ἵνα καθὼς προενήρξατο,
～のために ― 勧めた 私たちは テトスに ～ように ～のように 始めた–とおり
G1519 G3588 G3870 G1473 G5103 G2443 G2531 G4278

οὕτως καὶ ἐπιτελέσῃ εἰς ὑμᾶς καὶ, τὴν χάριν ταύτην.
そのように また 完成する–ように ～の–中で あなたがたの–中で また ― 恵みを この
G3779 G2532 G2005 G1519 G4771 G2532 G3588 G5485 G3778

そこで、この募金をテトスがあなたがたの所で、すでに始めた以上、またそれを完成するようにと、わたしたちは彼に勧めたのである。

7 ἀλλ’ ὥσπερ ἐν παντὶ περισσεύετε, πίστει, καὶ λόγῳ, καὶ
しかし ～のように ～の–中で すべてに–おいて あふれている 信仰に そして 言葉に そして
G0235 G5618 G1722 G3956 G4052 G4102 G2532 G3056 G2532

γνώσει, καὶ πάσῃ σπουδῇ, καὶ τῇ, ἐξ ἡμῶν ἐν
知識に そして あらゆる 熱心さに そして — ～から–出た 私たちから ～の–中にある
G1108 G2532 G3956 G4710 G2532 G3588 G1537 G1473 G1722

ὑμῖν, ἀγάπῃ, ἵνα καὶ, ἐν ταύτῃ τῇ χάριτι,
あなたがたの–中にある 愛に ～ように また ～の–中で この — 恵みにも
G4771 G0026 G2443 G2532 G1722 G3778 G3588 G5485

περισσεύητε.
あふれる–ように
G4052

さて、あなたがたがあらゆる事がらについて富んでいるように、すなわち、信仰にも言葉にも知識にも、あらゆる熱情にも、また、あなたがたに対するわたしたちの愛にも富んでいるように、この恵みのわざにも富んでほしい。

8 Οὐ κατ’ ἐπιταγὴν λέγω, ἀλλὰ διὰ τῆς ἑτέρων
～ない ～として 命令として 言っている–のではない むしろ ～を–通して — 他の–人々の
G3756 G2596 G2003 G3004 G0235 G1223 G3588 G2087

σπουδῆς, καὶ τὸ τῆς ὑμετέρας ἀγάπης γνήσιον, δοκιμάζων.
熱心さを–通して また — — あなたがたの 愛の 真実さを 確かめている
G4710 G2532 G3588 G3588 G5212 G0026 G1103 G1381

こう言っても、わたしは命令するのではない。ただ、他の人たちの熱情によって、あなたがたの愛の純真さをためそうとするのである。

9 γινώσκετε γὰρ τὴν χάριν τοῦ Κυρίου ἡμῶν Ἰησοῦ Χριστοῦ, ὅτι
知っている なぜなら — 恵みを — 主の 私たちの イエス キリストの すなわち
G1097 G1063 G3588 G5485 G3588 G2962 G1473 G2424 G5547 G3754

δι’ ὑμᾶς, ἐπτώχευσεν, πλούσιος ὤν, ἵνα
～の–ために あなたがたの–ために 貧しく–なられた 富んで–おられたのに ～であった ～ために
G1223 G4771 G4433 G4145 G1510 G2443

ὑμεῖς τῇ ἐκείνου πτωχείᾳ, πλουτήσητε.
あなたがたが — あの–方の 貧しさに–よって 富む–者と–なるために
G4771 G3588 G1565 G4432 G4147

あなたがたは、わたしたちの主イエス・キリストの恵みを知っている。すなわち、主は富んでおられたのに、あなたがたのために貧しくなられた。それは、あなたがたが、彼の貧しさによって富む者になるためである。

10 καὶ γνώμην ἐν τούτῳ δίδωμι, τοῦτο γὰρ ὑμῖν
そして 意見を ～において この–ことに–ついて 述べる これは なぜなら あなたがたに
G2532 G1106 G1722 G3778 G1325 G3778 G1063 G4771

συμφέρει, οἵτινες οὐ μόνον τὸ ποιῆσαι, ἀλλὰ καὶ τὸ
益になる あなたがたは ～ない ただ — 行う–ことだけでなく むしろ また —
G4851 G3748 G3756 G3440 G3588 G4160 G0235 G2532 G3588

θέλειν, προενήρξασθε ἀπὸ πέρυσι.
望む–ことも 先に–始めた ～から 昨年から
G2309 G4278 G0575 G4070

そこで、わたしは、この恵みのわざについて意見を述べよう。それがあなたがたの益になるからである。あなたがたはこの事を、昨年以来、他に先んじて実行したばかりではなく、それを願っていた。

11 νυνὶ δὲ καὶ τὸ ποιῆσαι ἐπιτελέσατε; ὅπως καθάπερ ἡ προθυμία
今 そこで また ― 行う–ことも 完成しなさい ～ように ちょうど ― 熱意が
G3570 G1161 G2532 G3588 G4160 G2005 G3704 G2509 G3588 G4288

τοῦ θέλειν, οὕτως καὶ τὸ ἐπιτελέσαι, ἐκ τοῦ ἔχειν.
― 望む–ことの そのように また ― 完成する–ように ～から ― 持っている–ものから
G3588 G2309 G3779 G2532 G3588 G2005 G1537 G3588 G2192

だから今、それをやりとげなさい。あなたがたが心から願っているように、持っているところに応じて、それをやりとげなさい。

12 εἰ γὰρ ἡ προθυμία πρόκειται, καθὸ ἐὰν ἔχῃ
もし なぜなら ― 熱意が あるなら ～に–応じて もし 持つ–ものに
G1487 G1063 G3588 G4288 G4295 G2526 G1437 G2192

εὐπρόσδεκτος, οὐ καθὸ οὐκ ἔχει.
受け入れ–られる ～ない ～に–応じて ～ない 持たない–ものに
G2144 G3756 G2526 G3756 G2192

もし心から願ってそうするなら、持たないところによらず、持っているところによって、神に受けいれられるのである。

13 οὐ γὰρ ἵνα ἄλλοις ἄνεσις, ὑμῖν θλῖψις; ἀλλ’
～ない なぜなら ～ために 他の–人々に 安らぎで あなたがたに 苦難では–ない むしろ
G3756 G1063 G2443 G0243 G0425 G4771 G2347 G0235

ἐξ ἰσότητος.
～に–よる 公平に–よる
G1537 G2471

それは、ほかの人々に楽をさせて、あなたがたに苦労をさせようとするのではなく、持ち物を等しくするためである。

14 ἐν τῷ νῦν καιρῷ, τὸ ὑμῶν περίσσευμα εἰς τὸ
～の–中で ― 今の 時に ― あなたがたの 余裕が ～に–向けて ―
G1722 G3588 G3568 G2540 G3588 G4771 G4051 G1519 G3588

ἐκείνων ὑστέρημα, ἵνα καὶ τὸ ἐκείνων περίσσευμα γένηται
あの–人たちの 不足に ～ために また ― あの–人たちの 余裕が なる–ように
G1565 G5303 G2443 G2532 G3588 G1565 G4051 G1096

εἰς τὸ ὑμῶν ὑστέρημα, ὅπως γένηται ἰσότης.
～に–向けて ― あなたがたの 不足に ～ように なる–ように 公平が
G1519 G3588 G4771 G5303 G1096 G2471

すなわち、今の場合は、あなたがたの余裕があの人たちの欠乏を補い、後には、彼らの余裕があなたがたの欠乏を補い、こうして等しくなるようにするのである。

15 καθὼς γέγραπται, Ὁ τὸ πολὺ, οὐκ ἐπλεόνασεν; καὶ ὁ
～のように 書かれている 多く ― 集めた–者も ～なかった 余らなかった そして 少なく
G2531 G1125 G3588 G3588 G4183 G3756 G4121 G2532 G3588

τὸ ὀλίγον, οὐκ ἠλαττόνησεν.
― 集めた–者も ～なかった 不足しなかった
G3588 G3641 G3756 G1641

それは「多く得た者も余ることがなく、少ししか得なかった者も足りないことはなかった」と書いてあるとおりである。

16 Χάρις δὲ τῷ Θεῷ, τῷ διδόντι τὴν αὐτὴν σπουδὴν ὑπὲρ
感謝 しかし 一 神に 一 与えてくださる 一 同じ 熱心さを ～のための
G5485 G1161 G3588 G2316 G3588 G1325 G3588 G0846 G4710 G5228

ὑμῶν, ἐν τῇ καρδίᾳ Τίτου.
あなたがたのための ～の-中に 一 心の-中に テトスの
G4771 G1722 G3588 G2588 G5103

わたしがあなたがたに対して持っている同じ熱情を、テトスの心にも与えて下さった神に感謝する。

17 ὅτι τὴν μὲν παράκλησιν ἐδέξατο, σπουδαιότερος δὲ ὑπάρχων,
なぜなら 一 一方で 勧めを 受け入れた さらに-熱心な-者として しかも ～であって
G3754 G3588 G3303 G3874 G1209 G4705 G1161 G5225

αὐθαίρετος ἐξῆλθεν πρὸς ὑμᾶς.
自発的に 出かけた ～へ あなたがたのもとへ
G0830 G1831 G4314 G4771

彼はわたしの勧めを受けいれ、そして更に熱心になって、自分から進んであなたがたのところに行った。

18 συνεπέμψαμεν δὲ μετ’ αὐτοῦ τὸν ἀδελφὸν, οὗ ὁ ἔπαινος
遣わした また ～と-共に 彼と-共に 一 兄弟を その 一 称賛は
G4842 G1161 G3326 G0846 G3588 G0080 G3739 G3588 G1868

ἐν τῷ εὐαγγελίῳ, διὰ πασῶν τῶν ἐκκλησιῶν;
～の-中で 一 福音において ～を-通じて すべての 一 教会に
G1722 G3588 G2098 G1223 G3956 G3588 G1577

わたしたちはまた、テトスと一緒に、ひとりの兄弟を送る。この兄弟が福音宣伝の上で得たほまれは、すべての教会に聞えているが、

19 οὐ μόνον δὲ, ἀλλὰ καὶ χειροτονηθεὶς ὑπὸ τῶν ἐκκλησιῶν
～ない ただ しかし さらに また 任命された ～に-よって 一 教会から
G3756 G3440 G1161 G0235 G2532 G5500 G5259 G3588 G1577

συνέκδημος ἡμῶν, σὺν τῇ χάριτι ταύτῃ, τῇ διακονουμένῃ
旅の-同行者として 私たちの ～と-共に 一 恵みと-共に この 一 仕えられる
G4898 G1473 G4862 G3588 G5485 G3778 G3588 G1247

ὑφ’ ἡμῶν, πρὸς τὴν, αὐτοῦ τοῦ Κυρίου, δόξαν,
～に-よって 私たちに-よって ～のために 一 主-ご自身の 一 主の 栄光の-ために
G5259 G1473 G4314 G3588 G0846 G3588 G2962 G1391

καὶ προθυμίαν ἡμῶν;
そして 熱意の-ために 私たちの
G2532 G4288 G1473

そのうえ、彼は、主ご自身の栄光があらわれるため、また、わたしたちの好意を示すために、骨を折って贈り物を集めているわたしたちの同伴者として、諸教会から選ばれたのである。

20 στελλόμενοι τοῦτο, μή τις ἡμᾶς μωμήσηται, ἐν
用心して この-ことに-ついて ～ない-ように 誰も 私たちを 非難しない-ように ～の-中で
G4724 G3778 G3361 G5100 G1473 G3469 G1722

τῇ ἁδρότητι ταύτῃ, τῇ διακονουμένῃ ὑφ’ ἡμῶν;
一 豊かな-献金の この 一 仕えている ～に-よって 私たちに-よって
G3588 G0100 G3778 G3588 G1247 G5259 G1473

そうしたのは、わたしたちが集めているこの寄附金のことについて、人にかれこれ言われるのを避けるためである。

21 προνοοῦμεν 心がけている G4306 γὰρ なぜなら G1063 καλὰ, 良い–ことを G2570 οὐ ～ない G3756 μόνον ただ G3440 ἐνώπιον ～の–御前で G1799 Κυρίου, 主の–御前だけでなく G2962 ἀλλὰ むしろ G0235

καὶ また G2532 ἐνώπιον ～の–前で G1799 ἀνθρώπων. 人々の–前でも G0444

わたしたちは、主のみまえばかりではなく、人の前でも公正であるように、気を配っているのである。

22 συνεπέμψαμεν 遣わした G4842 δὲ また G1161 αὐτοῖς 彼らと–共に G0846 τὸν ― G3588 ἀδελφὸν 兄弟を G0080 ἡμῶν, 私たちの G1473 ὃν その G3739 ἐδοκιμάσαμεν 確かめた G1381

ἐν ～の–中で G1722 πολλοῖς 多くの–ことにおいて G4183 πολλάκις しばしば G4178 σπουδαῖον 熱心な–者であると G4705 ὄντα, ～である G1510 νυνὶ 今は G3570 δὲ さらに G1161 πολὺ はるかに G4183

σπουδαιότερον いっそう–熱心な G4705 πεποιθήσει 信頼を–もって G4006 πολλῇ 大きな G4183 τῇ ― G3588 εἰς ～に–対する G1519 ὑμᾶς. あなたがたに–対する G4771

また、もうひとりの兄弟を彼らと一緒に送る。わたしたちは、多くの事について彼が熱心であったことを、たびたび認めた。彼は今、あなたがたを非常に信頼して、ますます熱心になっている。

23 εἴτε ～について G1535 ὑπὲρ ～のために G5228 Τίτου, テトスは G5103 κοινωνὸς 同労者で G2844 ἐμὸς 私の G1699 καὶ そして G2532 εἰς ～のための G1519 ὑμᾶς あなたがたのための G4771

συνεργός; 協力者です G4904 εἴτε また G1535 ἀδελφοὶ 兄弟たちは G0080 ἡμῶν, 私たちの G1473 ἀπόστολοι 使者であり G0652 ἐκκλησιῶν, 教会の G1577 δόξα 栄光です G1391 Χριστοῦ. キリストの G5547

テトスについて言えば、彼はわたしの仲間であり、あなたがたに対するわたしの協力者である。この兄弟たちについて言えば、彼らは諸教会の使者、キリストの栄光である。

24 τὴν ― G3588 οὖν それゆえ G3767 ἔνδειξιν 証拠を G1732 τῆς ― G3588 ἀγάπης 愛の G0026 ὑμῶν, あなたがたの G4771 καὶ そして G2532 ἡμῶν 私たちの G1473 καυχήσεως 誇りの G2746

ὑπὲρ ～についての G5228 ὑμῶν, あなたがたについての G4771 εἰς ～に–向かって G1519 αὐτοὺς 彼らに–向かって G0846 ἐνδεικνύμενοι, 示しなさい G1731 εἰς ～の–前で G1519

πρόσωπον 面前で G4383 τῶν ― G3588 ἐκκλησιῶν. 教会の G1577

だから、あなたがたの愛と、また、あなたがたについてわたしたちがいだいている誇とが、真実であることを、諸教会の前で彼らにあかししていただきたい。

Chapter 9

1 Περὶ μὲν γὰρ τῆς διακονίας τῆς εἰς τοὺς ἁγίους,
～について 一方では なぜなら 一 奉仕の 一 ～への 一 聖徒たちへの
G4012 G3303 G1063 G3588 G1248 G3588 G1519 G3588 G0040

περισσόν μοί ἐστιν τὸ γράφειν ὑμῖν.
余計な–ことである 私には ～である 一 書く–ことは あなたがたに
G4053 G1473 G1510 G3588 G1125 G4771

聖徒たちに対する援助については、いまさら、あなたがたに書きおくる必要はない。

2 οἶδα γὰρ τὴν προθυμίαν ὑμῶν, ἣν ὑπὲρ ὑμῶν
知っている なぜなら 一 熱意を あなたがたの その ～について あなたがたについて
G1492 G1063 G3588 G4288 G4771 G3739 G5228 G4771

καυχῶμαι Μακεδόσιν, ὅτι Ἀχαΐα παρεσκεύασται ἀπὸ πέρυσι,
誇っている マケドニアの–人々に すなわち アカイアは 準備が–できていると ～から 昨年から
G2744 G3110 G3754 G0882 G3903 G0575 G4070

καὶ τὸ ὑμῶν ζῆλος ἠρέθισεν τοὺς πλείονας.
そして 一 あなたがたの 熱意が 奏起させた 一 多くの–人々を
G2532 G3588 G4771 G2205 G2042 G3588 G4119

わたしは、あなたがたの好意を知っており、そのために、あなたがたのことをマケドニヤの人々に誇って、アカヤでは昨年以来、すでに準備をしているのだと言った。そして、あなたがたの熱心は、多くの人を奮起させたのである。

3 ἔπεμψα δὲ τοὺς ἀδελφούς, ἵνα μὴ τὸ καύχημα, ἡμῶν τὸ
遣わした さて 一 兄弟たちを ～ように ～ない–ように 一 誇りが 私たちの 一
G3992 G1161 G3588 G0080 G2443 G3361 G3588 G2745 G1473 G3588

ὑπὲρ ὑμῶν, κενωθῇ ἐν τῷ μέρει
～についての あなたがたについての 空しく–ならない–ように ～において 一 この–点において
G5228 G4771 G2758 G1722 G3588 G3313

τούτῳ, ἵνα καθὼς ἔλεγον, παρεσκευασμένοι ἦτε.
この ～ように ～のように 言った–とおり 準備が–できている あなたがたが–～である–ように
G3778 G2443 G2531 G3004 G3903 G1510

わたしが兄弟たちを送ることにしたのは、あなたがたについてわたしたちの誇ったことが、この場合むなしくならないで、わたしが言ったとおり準備していてもらいたいからである。

4 μή πως ἐὰν ἔλθωσιν σὺν ἐμοὶ Μακεδόνες, καὶ
～ない–ように 万一– もし 来た–時に ～と–共に 私と–共に マケドニアの–人々が そして
G3361 G4459 G1437 G2064 G4862 G1473 G3110 G2532

εὕρωσιν ὑμᾶς ἀπαρασκευάστους, καταισχυνθῶμεν ἡμεῖς, ἵνα
見つけたら あなたがたを 準備が–できていない–と 恥を–かくことになる 私たちが ～と
G2147 G4771 G0532 G2617 G1473 G2443

μὴ λέγωμεν ὑμεῖς, ἐν τῇ ὑποστάσει ταύτῃ.
～ない–ように 言わないが あなたがたも ～において 一 この–確信において この
G3361 G3004 G4771 G1722 G3588 G5287 G3778

そうでないと、万一マケドニヤ人がわたしと一緒に行って、準備ができていないのを見たら、あなたがたはもちろん、わたしたちも、かように信じきっていただけに、恥をかくことになろう。

5 ἀναγκαῖον 必要な–ことであると G0316 οὖν それゆえ G3767 ἡγησάμην, 思った G2233 παρακαλέσαι 勧める–ことを G3870 τοὺς — G3588 ἀδελφοὺς, 兄弟たちに G0080 ἵνα ～ように G2443

προέλθωσιν 先に–行く–ように G4281 εἰς ～へ G1519 ὑμᾶς, あなたがたのもとへ G4771 καὶ そして G2532 προκαταρτίσωσιν 前もって–整える–ように G4294 τὴν — G3588

προεπηγγελμένην 前もって–約束された G4279 εὐλογίαν 祝福の–献金を G2129 ὑμῶν あなたがたの G4771 ταύτην. この G3778 ἑτοίμην 用意が–できている–ように G2092

εἶναι ～である–ように G1510 οὕτως そのように G3779 ὡς ～として G5613 εὐλογίαν, 祝福として G2129 καὶ そして G2532 μὴ ～ない–ように G3361 ὡς ～として G5613

πλεονεξίαν. 惜しみとして–ではなく G4124

だから、わたしは兄弟たちを促して、あなたがたの所へ先に行かせ、以前あなたがたが約束していた贈り物の準備をさせておくことが必要だと思った。それをしぶりながらではなく、心をこめて用意していてほしい。

6 Τοῦτο これは G3778 δέ, さて G1161 ὁ — G3588 σπείρων 蓬く–者は G4687 φειδομένως, 惜しんで G5340 φειδομένως 惜しんで G5340 καὶ また G2532 θερίσει; 刈り取る G2325 καὶ そして G2532 ὁ — G3588

σπείρων 蓬く–者は G4687 ἐπ’ ～の–上に G1909 εὐλογίαις, 祝福を–もって G2129 ἐπ’ ～の–上に G1909 εὐλογίαις 祝福を–もって G2129 καὶ また G2532 θερίσει -- 刈り取る G2325

わたしの考えはこうである。少ししかまかない者は、少ししか刈り取らず、豊かにまく者は、豊かに刈り取ることになる。

7 ἕκαστος 各自が G1538 καθὼς ～のように G2531 προῄρηται 心に–決めた–とおりに G4255 τῇ — G3588 καρδίᾳ; 心に–従って G2588 μὴ ～ない–ように G3361 ἐκ ～から–出た G1537

λύπης, 悲しみから–でなく G3077 ἢ また G2228 ἐξ ～から–出た G1537 ἀνάγκης; 強制から–でなく G0318 ἱλαρὸν 喜んで–する G2431 γὰρ なぜなら G1063 δότην, 与える–者を G1395

ἀγαπᾷ 愛される G0025 ὁ — G3588 Θεός. 神は G2316

各自は惜しむ心からでなく、また、しいられてでもなく、自ら心で決めたとおりにすべきである。神は喜んで施す人を愛して下さるのである。

8 δυνατεῖ 可能である G1414 δὲ そして G1161 ὁ — G3588 Θεὸς, 神は G2316 πᾶσαν あらゆる G3956 χάριν 恵みを G5485 περισσεῦσαι あふれさせる–ことが G4052 εἰς ～に–向かって G1519

ὑμᾶς, あなたがたに–向かって G4771 ἵνα ～ように G2443 ἐν ～の–中で G1722 παντὶ, すべてに–おいて G3956 πάντοτε, いつも G3842 πᾶσαν あらゆる G3956 αὐτάρκειαν 満足を G0841

ἔχοντες, 持ちながら G2192 περισσεύητε あふれる–ように G4052 εἰς ～に–向かって G1519 πᾶν すべての G3956 ἔργον 良い–わざに G2041 ἀγαθόν. 良い G0018

神はあなたがたにあらゆる恵みを豊かに与え、あなたがたを常にすべてのことに満ち足らせ、すべての良いわざに富ませる力のあるかたなのである。

9 καθὼς 〜のように G2531 γέγραπται, 書かれている G1125 Ἐσκόρπισεν, 惜しみなく-与えた G4650 ἔδωκεν 与えた G1325 τοῖς — G3588 πένησιν, 貧しい-人々に G3993 ἡ — G3588 δικαιοσύνη 義は G1343

αὐτοῦ その-人の G0846 μένει とどまる G3306 εἰς 〜へと G1519 τὸν — G3588 αἰῶνα. 永遠に G0165

「彼は貧しい人たちに散らして与えた。その義は永遠に続くであろう」と書いてあるとおりである。

10 ὁ — G3588 δὲ さて G1161 ἐπιχορηγῶν 与える-方 G2023 σπόρον 種を G4703 τῷ — G3588 σπείροντι, 蒔く-者に G4687 καὶ そして G2532 ἄρτον パンを G0740 εἰς 〜のために G1519

βρῶσιν, 食物のために G1035 χορηγήσει 与えてくださる G5524 καὶ そして G2532 πληθυνεῖ 増してくださる G4129 τὸν — G3588 σπόρον 種を G4703 ὑμῶν, あなたがたの G4771 καὶ そして G2532

αὐξήσει 成長させてくださる G0837 τὰ — G3588 γενήματα 実りを G1081 τῆς — G3588 δικαιοσύνης 義の G1343 ὑμῶν -- あなたがたの G4771

種まく人に種と食べるためのパンとを備えて下さるかたは、あなたがたにも種を備え、それをふやし、そしてあなたがたの義の実を増して下さるのである。

11 ἐν 〜の-中で G1722 παντὶ すべてに-おいて G3956 πλουτιζόμενοι 豊かに-され G4148 εἰς 〜へと G1519 πᾶσαν あらゆる G3956 ἁπλότητα, 惜しみなさへと G0572 ἥτις それは G3748

κατεργάζεται, もたらす G2716 δι’ 〜を-通して G1223 ἡμῶν, 私たちを-通して G1473 εὐχαριστίαν 感謝を G2169 τῷ — G3588 Θεῷ. 神への G2316

こうして、あなたがたはすべてのことに豊かになって、惜しみなく施し、その施しはわたしたちの手によって行われ、神に感謝するに至るのである。

12 ὅτι なぜなら G3754 ἡ — G3588 διακονία 奉仕は G1248 τῆς — G3588 λειτουργίας 礼拝の G3009 ταύτης, この G3778 οὐ 〜ない G3756 μόνον ただ G3440 ἐστὶν 〜である G1510

προσαναπληροῦσα 満たす-だけでなく G4322 τὰ — G3588 ὑστερήματα 不足を G5303 τῶν — G3588 ἁγίων, 聖徒たちの G0040 ἀλλὰ むしろ G0235 καὶ また G2532 περισσεύουσα あふれている G4052

διὰ 〜を-通して G1223 πολλῶν 多くの G4183 εὐχαριστιῶν 感謝を-通して G2169 τῷ — G3588 Θεῷ; 神への G2316

なぜなら、この援助の働きは、聖徒たちの欠乏を補えだけではなく、神に対する多くの感謝によってますます豊かになるからである。

13 διὰ ～を–通して G1223 τῆς — G3588 δοκιμῆς 証しを–通して G1382 τῆς — G3588 διακονίας 奉仕の G1248 ταύτης, この G3778 δοξάζοντες 崇めている G1392 τὸν — G3588 Θεὸν 神を G2316

ἐπὶ ～について G1909 τῇ — G3588 ὑποταγῇ 従順について G5292 τῆς — G3588 ὁμολογίας 告白の G3671 ὑμῶν あなたがたの G4771 εἰς ～への G1519 τὸ — G3588 εὐαγγέλιον 福音への G2098

τοῦ — G3588 Χριστοῦ, キリストの G5547 καὶ そして G2532 ἁπλότητι 惜しみなさについて G0572 τῆς — G3588 κοινωνίας 交わりの G2842 εἰς ～への G1519 αὐτοὺς 彼らへの G0846 καὶ そして G2532 εἰς ～への G1519

πάντας;
すべての–人への
G3956

すなわち、この援助を行った結果として、あなたがたがキリストの福音の告白に対して従順であることや、彼らにも、すべての人にも、惜しみなく施しをしていることがわかってきて、彼らは神に栄光を帰し、

14 καὶ そして G2532 αὐτῶν 彼らの G0846 δεήσει 祈りにおいて G1162 ὑπὲρ ～のために G5228 ὑμῶν, あなたがたのために G4771 ἐπιποθούντων 慕い–求めている G1971 ὑμᾶς, あなたがたを G4771

διὰ ～の–ゆえに G1223 τὴν — G3588 ὑπερβάλλουσαν あふれる G5235 χάριν 恵みの–ゆえに G5485 τοῦ — G3588 Θεοῦ 神の G2316 ἐφ’ ～の–上にある G1909

ὑμῖν.
あなたがたの–上にある
G4771

そして、あなたがたに賜わったきわめて豊かな神の恵みのゆえに、あなたがたを慕い、あなたがたのために祈るのである。

15 Χάρις 感謝 G5485 τῷ — G3588 Θεῷ 神に G2316 ἐπὶ ～について G1909 τῇ — G3588 ἀνεκδιηγήτῳ 言い尽くし–がたい G0411 αὐτοῦ 神の G0846 δωρεᾷ! 贈り物の–ゆえに G1431

言いつくせない賜物のゆえに、神に感謝する。

Chapter 10

1 Αὐτὸς 実に G0846 δὲ さて G1161 ἐγὼ, 私 G1473 Παῦλος, パウロは G3972 παρακαλῶ 勧める G3870 ὑμᾶς あなたがたに G4771 διὰ ～を–通して G1223 τῆς — G3588 πραΰτητος 柔和と G4240

καὶ そして G2532 ἐπιεικείας 寛容を–通して G1932 τοῦ — G3588 Χριστοῦ, キリストの G5547 ὃς 私は G3739 κατὰ ～においては G2596 πρόσωπον 顔を–合わせては G4383 μὲν 一方で G3303 ταπεινὸς 謙虚だが G5011

ἐν ～の–中で G1722 ὑμῖν, あなたがたの–中で G4771 ἀπὼν 離れている–時は G0548 δὲ しかし G1161 θαρρῶ 大胆である G2292 εἰς ～に–対して G1519 ὑμᾶς. あなたがたに–対して G4771

さて、「あなたがたの間にいて面と向かってはおとなしいが、離れていると、気が強くなる」このパウロが、キリストの優しさ、寛大さをもって、あなたがたに勧める。

2 δέομαι δὲ τὸ, μὴ παρὼν, θαρρῆσαι τῇ
願う しかし ― ～ない–ように 出向いた–時に 大胆に–ならない–ように ―
G1189 G1161 G3588 G3361 G3918 G2292 G3588

πεποιθήσει ᾗ λογίζομαι, τολμῆσαι ἐπί τινας τοὺς λογιζομένους
確信を–もって その 思っている 挑む–ことを ～に–対して ある–人々に ― 思っている
G4006 G3739 G3049 G5111 G1909 G5100 G3588 G3049

ἡμᾶς, ὡς κατὰ σάρκα περιπατοῦντας.
私たちを ～のように ～に–従って 肉に–従って 歩んでいる–と
G1473 G5613 G2596 G4561 G4043

わたしたちを肉に従って歩いているかのように思っている人々に対しては、わたしは勇敢に行動するつもりであるが、あなたがたの所では、どうか、そのような思いきったことをしないですむようでありたい。

3 Ἐν σαρκὶ γὰρ περιπατοῦντες, οὐ κατὰ σάρκα
～の–中で 肉の–中で なぜなら 歩んでいるが ～ない ～に–従って 肉に–従って
G1722 G4561 G1063 G4043 G3756 G2596 G4561

στρατευόμεθα.
戦っている–のではない
G4754

わたしたちは、肉にあって歩いてはいるが、肉に従って戦っているのではない。

4 τὰ γὰρ ὅπλα τῆς στρατείας ἡμῶν οὐ σαρκικὰ, ἀλλὰ δυνατὰ
― なぜなら 武器は ― 戦いの 私たちの ～ない 肉的ではなく むしろ 力ある
G3588 G1063 G3696 G3588 G4752 G1473 G3756 G4559 G0235 G1415

τῷ Θεῷ πρὸς καθαίρεσιν ὀχυρωμάτων;
― 神に–よって ～のために 打ち–壊す–ために 要塞を
G3588 G2316 G4314 G2506 G3794

わたしたちの戦いの武器は、肉のものではなく、神のためには要塞をも破壊するほどの力あるものである。わたしたちはさまざまな議論を破り、

5 λογισμοὺς καθαιροῦντες, καὶ πᾶν ὕψωμα ἐπαιρόμενον κατὰ τῆς
議論を 打ち–壊し そして あらゆる 高ぶりを 立ち–上がる ～に–逆らって ―
G3053 G2507 G2532 G3956 G5313 G1869 G2596 G3588

γνώσεως τοῦ Θεοῦ, καὶ αἰχμαλωτίζοντες πᾶν νόημα εἰς τὴν
知識に–逆らって ― 神の そして 捕らえて あらゆる 思いを ～へと ―
G1108 G3588 G2316 G2532 G0163 G3956 G3540 G1519 G3588

ὑπακοὴν τοῦ Χριστοῦ;
従順へと ― キリストの
G5218 G3588 G5547

神の知恵に逆らって立てられたあらゆる障害物を打ちこわし、すべての思いをとりこにしてキリストに服従させ、

6 καὶ ἐν ἑτοίμῳ ἔχοντες, ἐκδικῆσαι πᾶσαν παρακοήν,
そして ～において 準備が–できて–いて 持っている 罰する–ことを あらゆる 不従順を
G2532 G1722 G2092 G2192 G1556 G3956 G3876

ὅταν πληρωθῇ ὑμῶν ἡ ὑπακοή.
～の–時に 満たされる あなたがたの ― 従順が
G3752 G4137 G4771 G3588 G5218

そして、あなたがたが完全に服従した時、すべて不従順な者を処罰しようと、用意しているのである。

7

Τὰ	κατὰ	πρόσωπον	βλέπετε.	εἴ	τις	πέποιθεν	ἑαυτῷ
—	～に–従って	外見に–従って	見なさい	もし	誰かが	確信しているなら	自分自身に
G3588	G2596	G4383	G0991	G1487	G5100	G3982	G1438

Χριστοῦ	εἶναι,	τοῦτο	λογιζέσθω	πάλιν	ἐφ’	ἑαυτοῦ,	ὅτι
キリストの–者で	あると	これを	考えなさい	もう一度	～に–ついて	自分自身に–ついて	すなわち
G5547	G1510	G3778	G3049	G3825	G1909	G1438	G3754

καθὼς	αὐτὸς	Χριστοῦ,	οὕτως	καὶ	ἡμεῖς.
～のように	その–人が	キリストの–者である–ように	そのように	また	私たちも–そうである
G2531	G0846	G5547	G3779	G2532	G1473

あなたがたは、うわべの事だけを見ている。もしある人が、キリストに属する者だと自任しているなら、その人はもう一度よく反省すべきである。その人がキリストに属する者であるように、わたしたちもそうである。

8

ἐάν	τε	γὰρ	περισσότερόν	τι,	καυχήσωμαι	περὶ	τῆς
たとえ	～であっても	なぜなら	いっそう	何か	誇った–としても	～について	—
G1437	G5037	G1063	G4053	G5100	G2744	G4012	G3588

ἐξουσίας	ἡμῶν,	ἧς	ἔδωκεν	ὁ	Κύριος	εἰς	οἰκοδομὴν,	καὶ
権威について	私たちの	その	与えた	—	主が	～のために	建て–上げの–ために	そして
G1849	G1473	G3739	G1325	G3588	G2962	G1519	G3619	G2532

οὐκ	εἰς	καθαίρεσιν	ὑμῶν,	οὐκ	αἰσχυνθήσομαι,
～ない	～のために	打ち–壊しの–ためではなく	あなたがたの	～ない	恥じない
G3756	G1519	G2506	G4771	G3756	G0153

たとい、あなたがたを倒すためではなく高めるために主からわたしたちに賜わった権威について、わたしがやや誇りすぎたとしても、恥にはなるまい。

9

ἵνα	μὴ	δόξω	ὡς	ἂν	ἐκφοβεῖν
～ように	～ない–ように	思われない–ように	～のように	～であるかのように	おびえさせる–ように
G2443	G3361	G1380	G5613	G0302	G1629

ὑμᾶς,	διὰ	τῶν	ἐπιστολῶν.
あなたがたを	～を–通して	—	手紙を–通して
G4771	G1223	G3588	G1992

ただ、わたしは、手紙であなたがたをおどしているのだと、思われたくはない。

10

ὅτι	Αἱ	ἐπιστολαὶ,	μέν	φησίν,	βαρεῖαι	καὶ	ἰσχυραί,	ἡ	δὲ
なぜなら	—	手紙は	一方では	言う	重くて	そして	力強いが	—	しかし
G3754	G3588	G1992	G3303	G5346	G0926	G2532	G2478	G3588	G1161

παρουσία	τοῦ	σώματος	ἀσθενὴς,	καὶ	ὁ	λόγος	ἐξουθενημένος.
実際の–姿は	—	体の	弱く	そして	—	言葉は	価値が–ない–と
G3952	G3588	G4983	G0772	G2532	G3588	G3056	G1848

人は言う、「彼の手紙は重味があって力強いが、会って見ると外見は弱々しく、話はつまらない」。

11

τοῦτο	λογιζέσθω	ὁ	τοιοῦτος,	ὅτι	οἷοί	ἐσμεν	τῷ
この–ことを	考えなさい	—	そのような–人は	すなわち	どのような–者で	あるか	—
G3778	G3049	G3588	G5108	G3754	G3634	G1510	G3588

λόγῳ	δι’	ἐπιστολῶν	ἀπόντες,	τοιοῦτοι	καὶ
言葉において	～を–通して	手紙を–通して	離れている–時に	そのような–者である	また
G3056	G1223	G1992	G0548	G5108	G2532

παρόντες	τῷ	ἔργῳ.
出向いている–時も	—	行いにおいても
G3918	G3588	G2041

そういう人は心得ているがよい。わたしたちは、離れていて書きおくる手紙の言葉どおりに、一緒にいる時でも同じようにふるまうのである。

12 Οὐ γὰρ τολμῶμεν ἐνκρῖναι, ἢ συνκρῖναι ἑαυτούς,
〜ない なぜなら あえてしない 同列に–並べる–ことを あるいは 比べる–ことを 自分自身を
G3756 G1063 G5111 G1469 G2228 G4793 G1438

τισιν τῶν ἑαυτοὺς συνιστανόντων; ἀλλὰ αὐτοὶ ἐν ἑαυτοῖς,
ある–人々と — 自分自身を 推薦する–人々と しかし 彼らは 〜の–中で 自分たちの–中で
G5100 G3588 G1438 G4921 G0235 G0846 G1722 G1438

ἑαυτοὺς μετροῦντες, καὶ συνκρίνοντες ἑαυτοὺς ἑαυτοῖς, οὐ συνιᾶσιν.
自分自身を 測り そして 比べて 自分自身を 自分たちと 〜ない 理解していない
G1438 G3354 G2532 G4793 G1438 G1438 G3756 G4920

わたしたちは、自己推薦をするような人々と自分を同列においたり比較したりはしない。彼らは仲間同志で互にはかり合ったり、互に比べ合ったりしているが、知恵のないしわざである。

13 ἡμεῖς δὲ οὐκ εἰς τὰ ἄμετρα καυχησόμεθα, ἀλλὰ κατὰ
私たちは しかし 〜ない 〜へと — 限度を–超えて 誇らない むしろ 〜に–従って
G1473 G1161 G3756 G1519 G3588 G0280 G2744 G0235 G2596

τὸ μέτρον τοῦ κανόνος, οὗ ἐμέρισεν ἡμῖν ὁ Θεὸς μέτρου,
— 尺度に–従って — 基準の その 割り当てた 私たちに — 神が 尺度の
G3588 G3358 G3588 G2583 G3739 G3307 G1473 G3588 G2316 G3358

ἐφικέσθαι ἄχρι καὶ ὑμῶν.
届く–ことができる 〜まで まさに あなたがたの–ところまで
G2185 G0891 G2532 G4771

しかし、わたしたちは限度をこえて誇るようなことはしない。むしろ、神が割り当てて下さった地域の限度内で誇るにすぎない。わたしはその限度にしたがって、あなたがたの所まで行ったのである。

14 οὐ γὰρ, ὡς μὴ ἐφικνούμενοι εἰς ὑμᾶς;
〜ない なぜなら 〜のように 〜ない 届かない–かのように 〜へ あなたがたへ
G3756 G1063 G5613 G3361 G2185 G1519 G4771

ὑπερεκτείνομεν ἑαυτούς, ἄχρι γὰρ καὶ ὑμῶν,
引き–伸ばしている–のではない 自分自身を 〜まで なぜなら まさに あなたがたの–ところまで
G5239 G1438 G0891 G1063 G2532 G4771

ἐφθάσαμεν ἐν τῷ εὐαγγελίῳ τοῦ Χριστοῦ;
届いた 〜において — 福音において — キリストの
G5348 G1722 G3588 G2098 G3588 G5547

わたしたちは、あなたがたの所まで行けない者であるかのように、むりに手を延ばしているのではない。事実、わたしたちが最初にキリストの福音を携えて、あなたがたの所までも行ったのである。

15 οὐκ εἰς τὰ ἄμετρα καυχώμενοι ἐν ἀλλοτρίοις κόποις; ἐλπίδα
〜ない 〜へと — 限度を–超えて 誇っていない 〜の–中で 他の–人の 労苦の–中で 希望を
G3756 G1519 G3588 G0280 G2744 G1722 G0245 G2873 G1680

δὲ ἔχοντες, αὐξανομένης τῆς πίστεως ὑμῶν, ἐν ὑμῖν
しかし 持ちつつ 成長するにつれて — 信仰が あなたがたの 〜の–中で あなたがたの–中で
G1161 G2192 G0837 G3588 G4102 G4771 G1722 G4771

μεγαλυνθῆναι κατὰ τὸν κανόνα ἡμῶν, εἰς περισσείαν,
大きく–なる–ことを 〜に–従って — 私たちの–基準に–従って 私たちの 〜へと あふれる–ほどに
G3170 G2596 G3588 G2583 G1473 G1519 G4050

わたしたちは限度をこえて、他人の働きを誇るようなことはしない。ただ、あなたがたの信仰が成長するにつれて、わたしたちの働きの範囲があなたがたの中でますます大きくなることを望んでいる。

16 εἰς τὰ ὑπερέκεινα ὑμῶν, εὐαγγελίσασθαι, οὐκ ἐν
〜へと ― 向こう側の あなたがたの–向こうの 福音を–宣べ–伝える–ために 〜ない 〜の–中で
G1519 G3588 G5238 G4771 G2097 G3756 G1722

ἀλλοτρίῳ κανόνι, εἰς τὰ ἕτοιμα καυχήσασθαι.
他の–人の 基準の–中で 〜について ― すでに–出来た–ことを 誇らない
G0245 G2583 G1519 G3588 G2092 G2744

こうして、わたしたちはほかの人の地域ですでになされていることを誇ることはせずに、あなたがたを越えたさきざきにまで、福音を宣べ伝えたい。

17 Ὁ δὲ καυχώμενος, ἐν Κυρίῳ καυχάσθω.
― しかし 誇る–者は 〜の–中で 主に–おいて 誇りなさい
G3588 G1161 G2744 G1722 G2962 G2744

誇る者は主を誇るべきである。

18 οὐ γὰρ ὁ ἑαυτὸν συνιστάνων, ἐκεῖνός ἐστιν δόκιμος,
〜ない なぜなら ― 自分自身を 推薦する–者が その–人が 〜ではない 認められた–者ではなく
G3756 G1063 G3588 G1438 G4921 G1565 G1510 G1384

ἀλλὰ ὃν ὁ Κύριος συνίστησιν.
むしろ その ― 主が 推薦する–者である
G0235 G3739 G3588 G2962 G4921

自分で自分を推薦する人ではなく、主に推薦される人こそ、確かな人なのである。

Chapter 11

1 Ὄφελον ἀνείχεσθέ μου μικρόν τι ἀφροσύνης; ἀλλὰ καὶ ἀνέχεσθέ
どうか 耐えてくれたら 私の 少しの ある 愚かさを 実に また 耐えてください
G3785 G0430 G1473 G3398 G5100 G0877 G0235 G2532 G0430

μου.
私の–ことを
G1473

わたしが少しばかり愚かなことを言うのを、どうか、忍んでほしい。もちろん忍んでくれるのだ。

2 ζηλῶ γὰρ ὑμᾶς Θεοῦ ζήλῳ; ἡρμοσάμην γὰρ
熱心に–思っている なぜなら あなたがたを 神の 熱心を–もって 婚約させた なぜなら
G2206 G1063 G4771 G2316 G2205 G0718 G1063

ὑμᾶς ἑνὶ ἀνδρὶ, παρθένον ἁγνὴν παραστῆσαι τῷ Χριστῷ.
あなたがたを ひとりの 夫に 清い–おとめとして 清い ささげる–ために ― キリストに
G4771 G1520 G0435 G3933 G0053 G3936 G3588 G5547

わたしは神の熱情をもって、あなたがたを熱愛している。あなたがたを、きよいおとめとして、ただひとりの男子キリストにささげるために、婚約させたのである。

3 φοβοῦμαι δὲ, μή πως ὡς ὁ ὄφις ἐξηπάτησεν Εὔαν
恐れる しかし ～ない–ように どうにかして ～のように ― 蛇が 欺いた エバを
G5399 G1161 G3361 G4459 G5613 G3588 G3789 G1818 G2096

ἐν τῇ πανουργίᾳ αὐτοῦ, φθαρῇ τὰ νοήματα ὑμῶν
～に–よって ― 狡猾さに–よって その 損なわれる–ことを ― 思いが あなたがたの
G1722 G3588 G3834 G0846 G5351 G3588 G3540 G4771

ἀπὸ τῆς ἁπλότητος, καὶ τῆς ἁγνότητος, τῆς εἰς ‹τὸν› Χριστόν.
～から ― 純真さと そして ― 清さから ― ～への ― キリストへの
G0575 G3588 G0572 G2532 G3588 G0054 G3588 G1519 G3588 G5547

ただ恐れるのは、エバがへびの悪巧みで誘惑されたように、あなたがたの思いが汚されて、キリストに対する純情と貞操とを失いはしないかということである。

4 εἰ μὲν γὰρ, ὁ ἐρχόμενος, ἄλλον Ἰησοῦν κηρύσσει, ὃν οὐκ
もし 一方では なぜなら ― 来る–者が 別の イエスを 宣べ–伝えるなら その ～ない
G1487 G3303 G1063 G3588 G2064 G0243 G2424 G2784 G3739 G3756

ἐκηρύξαμεν, ἢ πνεῦμα ἕτερον λαμβάνετε ὃ οὐκ ἐλάβετε,
私たちが–宣べなかった あるいは 御霊を 別の 受けるなら その ～ない 受けなかった
G2784 G2228 G4151 G2087 G2983 G3739 G3756 G2983

ἢ εὐαγγέλιον ἕτερον ὃ οὐκ ἐδέξασθε, καλῶς ἀνέχεσθε.
あるいは 福音を 別の その ～ない 受け入れなかった よくも 我慢するものだ
G2228 G2098 G2087 G3739 G3756 G1209 G2573 G0430

というのは、もしある人がきて、わたしたちが宣べ伝えもしなかったような異なるイエスを宣べ伝え、あるいは、あなたがたが受けたことのない違った霊を受け、あるいは、受けいれたことのない違った福音を聞く場合に、あなたがたはよくもそれを忍んでいる。

5 λογίζομαι γὰρ μηδὲν, ὑστερηκέναι τῶν ὑπερλίαν ἀποστόλων.
思う なぜなら 何も 劣っていない–と ― その–上なる 使徒たちに
G3049 G1063 G3367 G5302 G3588 G5228 G0652

事実、わたしは、あの大使徒たちにいささかも劣ってはいないと思う。

6 εἰ δὲ, καὶ ἰδιώτης τῷ λόγῳ, ἀλλ’ οὐ τῇ
たとえ しかし ～であっても 素人である ― 言葉においては しかし ～ない ―
G1487 G1161 G2532 G2399 G3588 G3056 G0235 G3756 G3588

γνώσει; ἀλλ’ ἐν παντὶ, φανερώσαντες ἐν
知識においては–そうではない むしろ ～の–中で すべての–中で 明らかにした ～の–中で
G1108 G0235 G1722 G3956 G5319 G1722

πᾶσιν εἰς ὑμᾶς.
すべてに–おいて ～に–対して あなたがたに–対して
G3956 G1519 G4771

たとい弁舌はつたなくても、知識はそうでない。わたしは、事ごとに、いろいろの場合に、あなたがたに対してそれを明らかにした。

7 Ἢ ἁμαρτίαν ἐποίησα, ἐμαυτὸν ταπεινῶν, ἵνα ὑμεῖς
あるいは 罪を 犯したのか 自分自身を 低くして ～ために あなたがたが
G2228 G0266 G4160 G1683 G5013 G2443 G4771

ὑψωθῆτε, ὅτι δωρεὰν τὸ τοῦ Θεοῦ εὐαγγέλιον εὐηγγελισάμην
高められる–ために なぜなら 無償で — — 神の 福音を 宣べ–伝えた
G5312 G3754 G1432 G3588 G3588 G2316 G2098 G2097

ὑμῖν?
あなたがたに
G4771

それとも、あなたがたを高めるために自分を低くして、神の福音を価なしにあなたがたに宣べ伝えたことが、罪になるのだろうか。

8 ἄλλας ἐκκλησίας ἐσύλησα, λαβὼν ὀψώνιον πρὸς τὴν ὑμῶν
他の 教会から 取った 受け取って 報酬を ～のために — あなたがたの
G0243 G1577 G4813 G2983 G3800 G4314 G3588 G4771

διακονίαν.
奉仕のために
G1248

わたしは他の諸教会をかすめたと言われながら得た金で、あなたがたに奉仕し、

9 καὶ παρὼν πρὸς ὑμᾶς καὶ ὑστερηθεὶς, οὐ
そして 出向いて ～の–もとで あなたがたの–もとで そして 不足しても ～なかった
G2532 G3918 G4314 G4771 G2532 G5302 G3756

κατενάρκησα οὐθενός; τὸ γὰρ ὑστέρημά μου, προσανεπλήρωσαν οἱ
重荷を–かけなかった 誰にも — なぜなら 不足を 私の 満たしてくれた —
G2655 G3762 G3588 G1063 G5303 G1473 G4322 G3588

ἀδελφοὶ ἐλθόντες ἀπὸ Μακεδονίας, καὶ ἐν παντὶ
兄弟たちが 来て ～から マケドニアから そして ～の–中で すべてに–おいて
G0080 G2064 G0575 G3109 G2532 G1722 G3956

ἀβαρῆ ἐμαυτὸν ὑμῖν ἐτήρησα, καὶ τηρήσω.
重荷を–かけない–者として 自分自身を あなたがたに 保った そして 保ち続ける
G0004 G1683 G4771 G5083 G2532 G5083

あなたがたの所にいて貧乏をした時にも、だれにも負担をかけたことはなかった。わたしの欠乏は、マケドニヤからきた兄弟たちが、補ってくれた。こうして、わたしはすべての事につき、あなたがたに重荷を負わせまいと努めてきたし、今後も努めよう。

10 ἔστιν ἀλήθεια Χριστοῦ ἐν ἐμοὶ, ὅτι ἡ καύχησις αὕτη, οὐ
ある 真実が キリストの ～の–中に 私の–中に すなわち — 誇りは この ～ない
G1510 G0225 G5547 G1722 G1473 G3754 G3588 G2746 G3778 G3756

φραγήσεται εἰς ἐμὲ, ἐν τοῖς κλίμασιν τῆς Ἀχαΐας.
ふさがれない ～において 私において ～の–中で — 地方において — アカイアの
G5420 G1519 G1473 G1722 G3588 G2824 G3588 G0882

わたしの内にあるキリストの真実にかけて言う、この誇がアカヤ地方で封じられるようなことは、決してない。

11 διὰ τί? ὅτι οὐκ ἀγαπῶ ὑμᾶς? ὁ
～の–ために なぜか ～からではない ～ない–からではない 愛していない あなたがたを —
G1223 G5101 G3754 G3756 G0025 G4771 G3588

Θεὸς οἶδεν!
神は 知っておられる
G2316 G1492

なぜであるか。わたしがあなたがたを愛していないからか。それは、神がご存じである。

12 Ὃ δὲ ποιῶ, καὶ ποιήσω, ἵνα ἐκκόψω τὴν
している–ことを さて 行っている そして 行い続ける ～ために 断ち–切る–ために —
G3739 G1161 G4160 G2532 G4160 G2443 G1581 G3588

ἀφορμὴν τῶν θελόντων ἀφορμήν, ἵνα ἐν ᾧ
口実を — 望んでいる–人々の 口実を ～ために ～の–中で その–ことについて
G0874 G3588 G2309 G0874 G2443 G1722 G3739

καυχῶνται, εὑρεθῶσιν καθὼς καὶ ἡμεῖς.
誇っているが 見出される–ように ～のように また 私たちと–同じであると
G2744 G2147 G2531 G2532 G1473

しかし、わたしは、現在していることを今後もしていこう。それは、わたしたちと同じように誇りうる立ち場を得ようと機会をねらっている者どもから、その機会を断ち切ってしまうためである。

13 οἱ γὰρ τοιοῦτοι ψευδαπόστολοι, ἐργάται δόλιοι,
— なぜなら そのような–者は 偽使徒であり 働き–人であり 欺く–者であり
G3588 G1063 G5108 G5570 G2040 G1386

μετασχηματιζόμενοι εἰς ἀποστόλους Χριστοῦ.
変装している ～へと 使徒に キリストの
G3345 G1519 G0652 G5547

こういう人々はにせ使徒、人をだます働き人であって、キリストの使徒に擬装しているにすぎないからである。

14 καὶ οὐ θαῦμα; αὐτὸς γὰρ ὁ Σατανᾶς μετασχηματίζεται
そして ～ない 驚く–ことではない 実に なぜなら — サタン自身が 変装する
G2532 G3756 G2295 G0846 G1063 G3588 G4567 G3345

εἰς ἄγγελον φωτός.
～へと 御使いに 光の
G1519 G0032 G5457

しかし、驚くには及ばない。サタンも光の天使に擬装するのだから。

15 οὐ μέγα οὖν, εἰ καὶ οἱ διάκονοι αὐτοῦ
～ない 大した–ことではない それゆえ たとえ ～であっても — 奉仕者たちも その
G3756 G3173 G3767 G1487 G2532 G3588 G1249 G0846

μετασχηματίζονται ὡς διάκονοι δικαιοσύνης, ὧν τὸ τέλος ἔσται,
変装する ～のように 奉仕者の–ように 義の その — 終わりは ～である
G3345 G5613 G1249 G1343 G3739 G3588 G5056 G1510

κατὰ τὰ ἔργα αὐτῶν.
～に–応じた — 行いに–応じた 彼らの
G2596 G3588 G2041 G0846

だから、たといサタンの手下どもが、義の奉仕者のように擬装したとしても、不思議ではない。彼らの最期は、そのしわざに合ったものとなろう。

16 Πάλιν λέγω, μή τίς με δόξῃ ἄφρονα εἶναι; εἰ δὲ
もう一度 言う ～ない–ように 誰も 私を 思わない–ように 愚かで あると もし しかし
G3825 G3004 G3361 G5100 G1473 G1380 G0878 G1510 G1487 G1161

μή ¦γε κἂν ὡς ἄφρονα δέξασθέ με, ἵνα κἀγὼ
そうでなければ せめて ～のように 愚かな–者として 受け入れなさい 私を ～ために 私もまた
G1490 G2579 G5613 G0878 G1209 G1473 G2443 G2504

μικρόν τι καυχήσωμαι.
少し ある 誇る–ために
G3398 G5100 G2744

繰り返して言うが、だれも、わたしを愚か者と思わないでほしい。もしそう思うなら、愚か者あつかいにされてもよいから、わたしにも、少し誇らせてほしい。

17 ὃ 語る–ことを G3739 λαλῶ, 語る G2980 οὐ ～ない G3756 κατὰ ～に–従って G2596 Κύριον 主に–従って G2962 λαλῶ, 語っている–のではなく G2980 ἀλλ’ むしろ G0235 ὡς ～のように G5613

ἐν ～の–中で G1722 ἀφροσύνῃ, 愚かさの–中で G0877 ἐν ～の–中で G1722 ταύτῃ この G3778 τῇ — G3588 ὑποστάσει 確信に–おいて G5287 τῆς — G3588 καυχήσεως. 誇りの G2746

いま言うことは、主によって言うのではなく、愚か者のように、自分の誇とするところを信じきって言うのである。

18 ἐπεὶ ～ので G1893 πολλοὶ 多くの–人が G4183 καυχῶνται 誇っている G2744 κατὰ ～に–従って G2596 τὴν — G3588 σάρκα, 肉に–従って G4561 κἀγὼ 私もまた G2504 καυχήσομαι. 誇ろう G2744

多くの人が肉によって誇っているから、わたしも誇ろう。

19 ἡδέως 喜んで G2234 γὰρ なぜなら G1063 ἀνέχεσθε 我慢する G0430 τῶν — G3588 ἀφρόνων, 愚かな–者たちを G0878 φρόνιμοι 賢い–者で–ありながら G5429 ὄντες! ～であって G1510

あなたがたは賢い人たちなのだから、喜んで愚か者を忍んでくれるだろう。

20 ἀνέχεσθε 我慢する G0430 γὰρ, なぜなら G1063 εἴ もし G1487 τις 誰かが G5100 ὑμᾶς あなたがたを G4771 καταδουλοῖ, 奴隷に–するなら G2615 εἴ もし G1487 τις 誰かが G5100

κατεσθίει, 食い–尽くすなら G2719 εἴ もし G1487 τις 誰かが G5100 λαμβάνει, 取るなら G2983 εἴ もし G1487 τις 誰かが G5100 ἐπαίρεται, 高ぶるなら G1869 εἴ もし G1487 τις 誰かが G5100 εἰς ～を G1519

πρόσωπον 顔を G4383 ὑμᾶς あなたがたの G4771 δέρει. 打つなら G1194

実際、あなたがたは奴隷にされても、食い倒されても、略奪されても、いばられても、顔をたたかれても、それを忍んでいる。

21 κατὰ ～について G2596 ἀτιμίαν 恥として G0819 λέγω, 言う G3004 ὡς ～のように G5613 ὅτι ～であるかのように G3754 ἡμεῖς 私たちは G1473 ἠσθενήκαμεν! 弱かった–と G0770 ἐν ～の–中で G1722

ᾧ どの–ことにおいても G3739 δ’ しかし G1161 ἄν ～であれ G0302 τις 誰かが G5100 τολμᾷ -- 大胆であるなら G5111 ἐν ～の–中で G1722 ἀφροσύνῃ 愚かさの–中で G0877 λέγω -- 言うが G3004

τολμῶ 大胆である G5111 κἀγώ. 私もまた G2504

言うのも恥ずかしいことだが、わたしたちは弱すぎたのだ。もしある人があえて誇るなら、わたしは愚か者になって言うが、わたしもあえて誇ろう。

22 Ἑβραῖοί ヘブライ人か G1445 εἰσιν? ～であるか G1510 κἀγώ. 私もそうである G2504 Ἰσραηλῖταί イスラエル人か G2475 εἰσιν? ～であるか G1510 κἀγώ. 私もそうである G2504 σπέρμα 子孫か G4690

Ἀβραάμ アブラハムの G0011 εἰσιν? ～であるか G1510 κἀγώ. 私もそうである G2504

彼らはヘブル人なのか。わたしもそうである。彼らはイスラエル人なのか。わたしもそうである。彼らはアブラハムの子孫なのか。わたしもそうである。

23 διάκονοι Χριστοῦ εἰσιν? παραφρονῶν λαλῶ, ὑπὲρ ἐγώ;
奉仕者か キリストの ～であるか 狂気のように 言うが それ-以上に 私が-そうである
G1249 G5547 G1510 G3912 G2980 G5228 G1473

ἐν κόποις περισσοτέρως, ἐν φυλακαῖς περισσοτέρως, ἐν
～の-中で 労苦に-おいて はるかに-多く ～の-中で 投獄に-おいて はるかに-多く ～の-中で
G1722 G2873 G4057 G1722 G5438 G4057 G1722

πληγαῖς ὑπερβαλλόντως, ἐν θανάτοις πολλάκις.
打ち-叩きに-おいて 極めて-多く ～の-中で 死の-危険に しばしば
G4127 G5234 G1722 G2288 G4178

彼らはキリストの僕なのか。わたしは気が狂ったようになって言う、わたしは彼ら以上にそうである。苦労したことはもっと多く、投獄されたこともっと多く、むち打たれたことは、はるかにおびただしく、死に面したこともしばしばあった。

24 ὑπὸ Ἰουδαίων, πεντάκις, τεσσεράκοντα παρὰ μίαν, ἔλαβον.
～から ユダヤ人から 五度 四十 ～を-引いて 一つ-を-引いた-打ちを 受けた
G5259 G2453 G3999 G5062 G3844 G1520 G2983

ユダヤ人から四十に一つ足りないむちを受けたことが五度、

25 τρὶς ἐραβδίσθην, ἅπαξ ἐλιθάσθην, τρὶς ἐναυάγησα, νυχθήμερον ἐν τῷ
三度 棒で-打たれ 一度 石を-投げられ 三度 難破し 一昨夜 ～の-中で —
G5151 G4463 G0530 G3034 G5151 G3489 G3574 G1722 G3588

βυθῷ πεποίηκα;
深みの-中で 過ごした
G1037 G4160

ローマ人にむちで打たれたことが三度、石で打たれたことが一度、難船したことが三度、そして、一昼夜、海の上を漂ったこともある。

26 ὁδοιπορίαις πολλάκις, κινδύνοις ποταμῶν, κινδύνοις λῃστῶν, κινδύνοις ἐκ
旅に-おいて しばしば 危険に-遍った 川の 危険に 盗賊の 危険に ～からの
G3597 G4178 G2794 G4215 G2794 G3027 G2794 G1537

γένους, κινδύνοις ἐξ ἐθνῶν, κινδύνοις ἐν πόλει, κινδύνοις
同胞からの 危険に ～からの 異邦人からの 危険に ～の-中で 町の-中で 危険に
G1085 G2794 G1537 G1484 G2794 G1722 G4172 G2794

ἐν ἐρημίᾳ, κινδύνοις ἐν θαλάσσῃ, κινδύνοις ἐν ψευδαδέλφοις;
～の-中で 荒野の-中で 危険に ～の-中で 海の-中で 危険に ～の-中で 偽兄弟の-中で
G1722 G2047 G2794 G1722 G2281 G2794 G1722 G5569

幾たびも旅をし、川の難、盗賊の難、同国民の難、異邦人の難、都会の難、荒野の難、海上の難、にせ兄弟の難に会い、

27 κόπῳ καὶ μόχθῳ, ἐν ἀγρυπνίαις πολλάκις, ἐν λιμῷ καὶ
労苦と そして 骨折りの-中で ～の-中で 寝ずの-夜に しばしば ～の-中で 飢えと そして
G2873 G2532 G3449 G1722 G0070 G4178 G1722 G3042 G2532

δίψει, ἐν νηστείαις πολλάκις, ἐν ψύχει καὶ γυμνότητι.
渇きの-中で ～の-中で 断食の-中で しばしば ～の-中で 寒さと そして 裸の-中で
G1373 G1722 G3521 G4178 G1722 G5592 G2532 G1132

労し苦しみ、たびたび眠られぬ夜を過ごし、飢えかわき、しばしば食物がなく、寒さに凍え、裸でいたこともあった。

28

χωρὶς	τῶν	παρεκτὸς,	ἡ	ἐπίστασίς	μοι	ἡ	καθ’	ἡμέραν,
～の-ほかに	—	それ以外にも	—	圧迫が-ある	私には	—	～に-従った	日々の
G5565	G3588	G3924	G3588	G1999	G1473	G3588	G2596	G2250

ἡ	μέριμνα	πασῶν	τῶν	ἐκκλησιῶν.
—	心配が	すべての	—	教会の
G3588	G3308	G3956	G3588	G1577

なおいろいろの事があった外に、日々わたしに迫って来る諸教会の心配ごとがある。

29

τίς	ἀσθενεῖ,	καὶ	οὐκ	ἀσθενῶ?	τίς	σκανδαλίζεται,	καὶ	οὐκ	ἐγὼ
誰が	弱るのか	そして	～ない	私が-弱らないか	誰が	つまずくのか	そして	～ない	私が
G5101	G0770	G2532	G3756	G0770	G5101	G4624	G2532	G3756	G1473

πυροῦμαι?
燃えないか
G4448

だれかが弱っているのに、わたしも弱らないでおれようか。だれかが罪を犯しているのに、わたしの心が燃えないでおれようか。

30

εἰ	καυχᾶσθαι	δεῖ,	τὰ	τῆς	ἀσθενείας	μου	καυχήσομαι.
もし	誇る-ならば	必要が-あるなら	—	—	弱さの-ことを	私の	誇ろう
G1487	G2744	G1163	G3588	G3588	G0769	G1473	G2744

もし誇らねばならないのなら、わたしは自分の弱さを誇ろう。

31

ὁ	Θεὸς	καὶ	Πατὴρ	τοῦ	Κυρίου	Ἰησοῦ,	οἶδεν,	ὁ	ὢν
—	神	そして	父は	—	主の	イエスの	知っておられる	—	～であられる
G3588	G2316	G2532	G3962	G3588	G2962	G2424	G1492	G3588	G1510

εὐλογητὸς	εἰς	τοὺς	αἰῶνας,	ὅτι	οὐ	ψεύδομαι.
ほめたたえられる-方は	～へと	—	世々に-まで	すなわち	～ない	偽っていない-ことを
G2128	G1519	G3588	G0165	G3754	G3756	G5574

永遠にほむべき、主イエス・キリストの父なる神は、わたしが偽りを言っていないことを、ご存じである。

32

ἐν	Δαμασκῷ	ὁ	ἐθνάρχης	Ἀρέτα	τοῦ	βασιλέως	ἐφρούρει	τὴν
～の-中で	ダマスコの-中で	—	総督が	アレタの	—	王の	見張っていた	—
G1722	G1154	G3588	G1481	G0702	G3588	G0935	G5432	G3588

πόλιν	Δαμασκηνῶν,	πιάσαι	με.
町を	ダマスコの-人々の	捕らえる-ために	私を
G4172	G1153	G4084	G1473

ダマスコでアレタ王の代官が、わたしを捕えるためにダマスコ人の町を監視したことがあったが、

33

καὶ	διὰ	θυρίδος	ἐν	σαργάνῃ,	ἐχαλάσθην	διὰ	τοῦ
そして	～を-通して	窓を-通して	～の-中で	籠の-中で	つり-降ろされた	～を-通して	—
G2532	G1223	G2376	G1722	G4553	G5465	G1223	G3588

τείχους,	καὶ	ἐξέφυγον	τὰς	χεῖρας	αὐτοῦ.
城壁を-通して	そして	逃れた	—	手から	彼の
G5038	G2532	G1628	G3588	G5495	G0846

その時わたしは窓から町の城壁づたいに、かごでつり降ろされて、彼の手からのがれた。

Chapter 12

1 Καυχᾶσθαι; δεῖ οὐ συμφέρον μέν. ἐλεύσομαι δὲ εἰς
誇る–ことが 必要である ～ない 益にならないが 一方では 移ろう しかし ～へと
G2744 G1163 G3756 G4851 G3303 G2064 G1161 G1519

ὀπτασίας καὶ ἀποκαλύψεις Κυρίου.
幻と そして 啓示へと 主の
G3701 G2532 G0602 G2962

わたしは誇らざるを得ないので、無益ではあろうが、主のまぼろしと啓示とについて語ろう。

2 οἶδα ἄνθρωπον ἐν Χριστῷ, πρὸ ἐτῶν δεκατεσσάρων--
知っている 人を ～の–中にある キリストの–中にある ～前 年 十四年–前に
G1492 G0444 G1722 G5547 G4253 G2094 G1180

εἴτε ἐν σώματι, οὐκ οἶδα, εἴτε ἐκτὸς τοῦ σώματος, οὐκ
～か ～の–中で 体の–中でか ～ない わからない ～か ～の–外で — 体の–外でか ～ない
G1535 G1722 G4983 G3756 G1492 G1535 G1622 G3588 G4983 G3756

οἶδα, ὁ Θεὸς οἶδεν-- ἁρπαγέντα τὸν τοιοῦτον ἕως τρίτου
わからない — 神が 知っておられる 引き–上げられた — その–人が ～まで 第三の
G1492 G3588 G2316 G1492 G0726 G3588 G5108 G2193 G5154

οὐρανοῦ.
天まで
G3772

わたしはキリストにあるひとりの人を知っている。この人は十四年前に第三の天にまで引き上げられた――それが、からだのままであったか、わたしは知らない。からだを離れてであったか、それも知らない。神がご存じである。

3 καὶ οἶδα τὸν τοιοῦτον ἄνθρωπον-- εἴτε ἐν σώματι εἴτε
そして 知っている — その–ような 人を ～か ～の–中で 体の–中でか ～か
G2532 G1492 G3588 G5108 G0444 G1535 G1722 G4983 G1535

χωρὶς τοῦ σώματος, οὐκ οἶδα, ὁ Θεὸς οἶδεν--
～なしに — 体–なしにか ～ない わからない — 神が 知っておられる
G5565 G3588 G4983 G3756 G1492 G3588 G2316 G1492

この人が――それが、からだのままであったか、からだを離れてであったか、わたしは知らない。神がご存じである――

4 ὅτι ἡρπάγη εἰς τὸν Παράδεισον, καὶ ἤκουσεν ἄρρητα
すなわち 引き–上げられた ～へと — パラダイスへと そして 聞いた 言い尽くし–がたい
G3754 G0726 G1519 G3588 G3857 G2532 G0191 G0731

ῥήματα, ἃ οὐκ ἐξὸν ἀνθρώπῳ λαλῆσαι.
言葉を その ～ない 許されない 人が 語る–ことが
G4487 G3739 G3756 G1832 G0444 G2980

パラダイスに引き上げられ、そして口に言い表わせない、人間が語ってはならない言葉を聞いたのを、わたしは知っている。

5 ὑπὲρ τοῦ τοιούτου, καυχήσομαι; ὑπὲρ δὲ ἐμαυτοῦ,
～について — その–ような–人について 誇ろう ～について しかし 自分自身については
G5228 G3588 G5108 G2744 G5228 G1161 G1683

οὐ καυχήσομαι, εἰ μὴ ἐν ταῖς ἀσθενείαις.
～ない 誇らない ～でなければ ～以外 ～の–中で — 弱さの–中で
G3756 G2744 G1487 G3361 G1722 G3588 G0769

わたしはこういう人について誇ろう。しかし、わたし自身については、自分の弱さ以外には誇ることをすまい。

6 ἐὰν γὰρ θελήσω καυχήσασθαι, οὐκ ἔσομαι ἄφρων; ἀλήθειαν
もし なぜなら 望むなら 誇る-ことを ～ない ～ではない 愚かではない 真実を
G1437 G1063 G2309 G2744 G3756 G1510 G0878 G0225

γὰρ ἐρῶ; φείδομαι δέ, μή τις εἰς ἐμὲ
なぜなら 語るのだから 控える しかし ～ない-ように 誰も ～について 私について
G1063 G2046 G5339 G1161 G3361 G5100 G1519 G1473

λογίσηται ὑπὲρ ὃ βλέπει με, ἢ ἀκούει ‹τι› ἐξ
思わない-ように ～を-超えて その-ことを 見る 私について または 聞く 何かを ～から
G3049 G5228 G3739 G0991 G1473 G2228 G0191 G5100 G1537

ἐμοῦ.
私から
G1473

もっとも、わたしが誇ろうとすれば、ほんとうの事を言うのだから、愚か者にはならないだろう。しかし、それはさし控えよう。わたしがすぐれた啓示を受けているので、わたしについて見たり聞いたりしている以上に、人に買いかぶられるかも知れないから。

7 καὶ τῇ ὑπερβολῇ τῶν ἀποκαλύψεων διὸ ἵνα μὴ
そして — 素晴らしさの-ゆえに — 啓示の それゆえ ～ために ～ない-ように
G2532 G3588 G5236 G3588 G0602 G1352 G2443 G3361

ὑπεραίρωμαι, ἐδόθη μοι σκόλοψ τῇ σαρκί, ἄγγελος Σατανᾶ, ἵνα
高慢に-ならない-ように 与えられた 私に とげが — 肉に 御使いが サタンの ～ために
G5229 G1325 G1473 G4647 G3588 G4561 G0032 G4567 G2443

με κολαφίζῃ, ἵνα μὴ ὑπεραίρωμαι.
私を 打つ-ために ～ために ～ない-ように 高慢に-ならない-ように
G1473 G2852 G2443 G3361 G5229

そこで、高慢にならないように、わたしの肉体に一つのとげが与えられた。それは、高慢にならないように、わたしを打つサタンの使なのである。

8 ὑπὲρ τούτου, τρὶς τὸν Κύριον παρεκάλεσα, ἵνα ἀποστῇ
～について この-ことについて 三度 — 主に 願った ～ように 離れる-ようにと
G5228 G3778 G5151 G3588 G2962 G3870 G2443 G0868

ἀπ’ ἐμοῦ,
～から 私から
G0575 G1473

このことについて、わたしは彼を離れ去らせて下さるようにと、三度も主に祈った。

9 καὶ εἴρηκέν μοι, Ἀρκεῖ σοι ἡ χάρις μου; ἡ γὰρ δύναμις
しかし 言われた 私に 十分である あなたに — 恵みは 私の — なぜなら 力は
G2532 G2046 G1473 G0714 G4771 G3588 G5485 G1473 G3588 G1063 G1411

ἐν ἀσθενείᾳ τελεῖται. Ἥδιστα οὖν μᾶλλον, καυχήσομαι ἐν ταῖς
～の-中で 弱さの-中で 完成する 最も-喜んで それゆえ むしろ 誇ろう ～の-中で —
G1722 G0769 G5055 G2236 G3767 G3123 G2744 G1722 G3588

ἀσθενείαις ‹μου›, ἵνα ἐπισκηνώσῃ ἐπ’ ἐμὲ ἡ δύναμις τοῦ
弱さの-中で 私の ～ために 宿る-ために ～の-上に 私の-上に — 力が —
G0769 G1473 G2443 G1981 G1909 G1473 G3588 G1411 G3588

Χριστοῦ.
キリストの
G5547

ところが、主が言われた、「わたしの恵みはあなたに対して十分である。わたしの力は弱いところに完全にあらわれる」。それだから、キリストの力がわたしに宿るように、むしろ、喜んで自分の弱さを誇ろう。

10 διὸ それゆえ G1352 | εὐδοκῶ 喜んでいる G2106 | ἐν ～の-中で G1722 | ἀσθενείαις, 弱さの-中で G0769 | ἐν ～の-中で G1722 | ὕβρεσιν, 侮辱の-中で G5196 | ἐν ～の-中で G1722 | ἀνάγκαις, 窮乏の-中で G0318

ἐν ～の-中で G1722 | διωγμοῖς, 迫害の-中で G1375 | καὶ そして G2532 | στενοχωρίαις 苦難の-中で G4730 | ὑπὲρ ～のために G5228 | Χριστοῦ; キリストのために G5547 | ὅταν ～の-時に G3752 | γὰρ なぜなら G1063

ἀσθενῶ, 弱い-時に G0770 | τότε その時 G5119 | δυνατός 強い-者 G1415 | εἰμι. である G1510

だから、わたしはキリストのためならば、弱さと、侮辱と、危機と、迫害と、行き詰まりとに甘んじよう。なぜなら、わたしが弱い時にこそ、わたしは強いからである。

11 Γέγονα なった G1096 | ἄφρων; 愚かに G0878 | ὑμεῖς あなたがたが G4771 | με 私を G1473 | ἠναγκάσατε. 強いた G0315 | ἐγὼ 私は G1473 | γὰρ なぜなら G1063 | ὤφειλον 推薦される-べきであった G3784

ὑφ’ ～に-よって G5259 | ὑμῶν あなたがたに-よって G4771 | συνίστασθαι; 推薦される-べきであった G4921 | οὐδὲν 何も G3762 | γὰρ なぜなら G1063 | ὑστέρησα 劣らなかった G5302 | τῶν — G3588

ὑπερλίαν その-上なる G5228 | ἀποστόλων, 使徒たちに G0652 | εἰ たとえ G1487 | καὶ ～であっても G2532 | οὐδέν 無に-等しい-者であっても G3762 | εἰμι. である G1510

わたしは愚か者となった。あなたがたが、むりにわたしをそうしてしまったのだ。実際は、あなたがたから推薦されるべきであった。というのは、たといわたしは取るに足りない者だとしても、あの大使徒たちにはなんら劣るところがないからである。

12 τὰ — G3588 | μὲν 実に G3303 | σημεῖα しるしは G4592 | τοῦ — G3588 | ἀποστόλου 使徒の G0652 | κατειργάσθη 行われた G2716 | ἐν ～の-中で G1722 | ὑμῖν あなたがたの-中で G4771

ἐν ～を-もって G1722 | πάσῃ あらゆる G3956 | ὑπομονῇ; 忍耐を-もって G5281 | σημείοις しるしと G4592 | τε, そして G5037 | καὶ そして G2532 | τέρασιν, 不思議と G5059 | καὶ そして G2532

δυνάμεσιν. 力ある-わざに-よって G1411

わたしは、使徒たるの実を、しるしと奇跡と力あるわざとにより、忍耐をつくして、あなたがたの間であらわしてきた。

13 τί 何が G5101 | γάρ なぜなら G1063 | ἐστιν あるのか G1510 | ὃ その-ことにおいて G3739 | ἡσσώθητε, 劣ったのか G2274 | ὑπὲρ ～よりも G5228 | τὰς — G3588 | λοιπὰς 他の G3062 | ἐκκλησίας, 教会よりも G1577

εἰ ～でなければ G1487 | μὴ ～以外 G3361 | ὅτι ～である G3754 | αὐτὸς 実に G0846 | ἐγὼ 私自身が G1473 | οὐ ～なかった G3756 | κατενάρκησα 重荷を-かけなかった G2655 | ὑμῶν? あなたがたに G4771

χαρίσασθέ 赦してください G5483 | μοι 私に G1473 | τὴν — G3588 | ἀδικίαν この-不義を G0093 | ταύτην! この G3778

いったい、あなたがたが他の教会よりも劣っている点は何か。ただ、このわたしがあなたがたに負担をかけなかったことだけではないか。この不義は、どうか、ゆるしてもらいたい。

14 Ἰδοὺ, 見よ G3708 τρίτον 三度-目の G5154 τοῦτο, これが G3778 ἑτοίμως 準備が-できている G2093 ἔχω ある G2192 ἐλθεῖν 行く-ために G2064 πρὸς ～へ G4314 ὑμᾶς, あなたがたのもとへ G4771

καὶ そして G2532 οὐ ～ない G3756 καταναρκήσω; 重荷を-かけない G2655 οὐ ～ない G3756 γὰρ なぜなら G1063 ζητῶ 求めていない G2212 τὰ — G3588 ὑμῶν, あなたがたの-ものを G4771

ἀλλὰ むしろ G0235 ὑμᾶς; あなたがたを G4771 οὐ ～ない G3756 γὰρ なぜなら G1063 ὀφείλει すべきではない G3784 τὰ — G3588 τέκνα 子どもたちが G5043 τοῖς — G3588 γονεῦσιν 親の-ために G1118

θησαυρίζειν, 蓄える-ことではなく G2343 ἀλλὰ むしろ G0235 οἱ — G3588 γονεῖς 親が G1118 τοῖς — G3588 τέκνοις. 子どもの-ために G5043

さて、わたしは今、三度目にあなたがたの所に行く用意をしている。しかし、負担はかけないつもりである。わたしの求めているのは、あなたがたの持ち物ではなく、あなたがた自身なのだから。いったい、子供は親のために財をたくわえて置く必要はなく、親が子供のためにたくわえて置くべきである。

15 ἐγὼ 私は G1473 δὲ さて G1161 ἥδιστα 最も-喜んで G2236 δαπανήσω, 費やし G1159 καὶ そして G2532 ἐκδαπανηθήσομαι, 費やし-尽くされる G1550 ὑπὲρ ～のために G5228 τῶν — G3588

ψυχῶν 魂のために G5590 ὑμῶν. あなたがたの G4771 εἰ たとえ G1487 περισσοτέρως いっそう G4057 ὑμᾶς あなたがたを G4771 ἀγαπῶν, 愛すれば G0025 ἧσσον より-少なく G2276

ἀγαπῶμαι? 愛されるのか G0025

そこでわたしは、あなたがたの魂のためには、大いに喜んで費用を使い、また、わたし自身をも使いつくそう。わたしがあなたがたを愛すれば愛するほど、あなたがたからますます愛されなくなるのであろうか。

16 Ἔστω それは-そうだとしても G1510 δέ, しかし G1161 ἐγὼ 私は G1473 οὐ ～なかった G3756 κατεβάρησα 重荷を-かけなかった G2599 ὑμᾶς; あなたがたに G4771 ἀλλὰ しかし G0235

ὑπάρχων ～であって G5225 πανοῦργος, 狡猾な-者であって G3835 δόλῳ 策略で G1388 ὑμᾶς あなたがたを G4771 ἔλαβον. 捕らえた-という G2983

わたしは、あなたがたに重荷を負わせなかったとしても、悪がしこくて、あなたがたからだまし取ったのだと、人は言う。

17 μή ～ない-か G3361 τινα 誰かを G5100 ὧν その G3739 ἀπέσταλκα 遣わした G0649 πρὸς ～へ G4314 ὑμᾶς, あなたがたへ G4771 δι’ ～を-通して G1223 αὐτοῦ その-人を-通して G0846

ἐπλεονέκτησα 貪ったのか G4122 ὑμᾶς? あなたがたから G4771

わたしは、あなたがたにつかわした人たちのうちのだれかをとおして、あなたがたからむさぼり取っただろうか。

18 παρεκάλεσα Τίτον, καὶ συναπέστειλα τὸν ἀδελφόν. μήτι ἐπλεονέκτησεν
勧めた テトスに そして 共に–遣わした ―(対格) 兄弟を まさか 貪ったのか
G3870 G5103 G2532 G4882 G3588 G0080 G3385 G4122

ὑμᾶς Τίτος? οὐ τῷ αὐτῷ Πνεύματι περιεπατήσαμεν? οὐ
あなたがたから テトスが ～ない–か ―(与格) 同じ 御霊に–よって 歩んだのではないか ～ない–か
G4771 G5103 G3756 G3588 G0846 G4151 G4043 G3756

τοῖς αὐτοῖς ἴχνεσιν?
― 同じ 足跡に–よって
G3588 G0846 G2487

わたしは、テトスに勧めてそちらに行かせ、また、かの兄弟を同行させた。テトスは、あなたがたからむさぼり取ったことがあろうか。わたしたちは、みな同じ心で歩いたではないか。同じ足並みで歩いたではないか。

19 Πάλαι δοκεῖτε ὅτι ὑμῖν ἀπολογούμεθα? κατέναντι Θεοῦ
以前から 思っているのか ～と あなたがたに 弁明している–と ～の–御前で 神の–御前で
G3819 G1380 G3754 G4771 G0626 G2713 G2316

ἐν Χριστῷ λαλοῦμεν; τὰ δὲ πάντα, ἀγαπητοί, ὑπὲρ
～の–中で キリストの–中で 語っている ―(対格) しかし すべては 愛する–者たちよ ～のために
G1722 G5547 G2980 G3588 G1161 G3956 G0027 G5228

τῆς ὑμῶν οἰκοδομῆς.
― あなたがたの 建て–上げの–ために
G3588 G4771 G3619

あなたがたは、わたしたちがあなたがたに対して弁明をしているのだと、今までずっと思ってきたであろう。しかし、わたしたちは、神のみまえでキリストにあって語っているのである。愛する者たちよ。これらすべてのことは、あなたがたの徳を高めるためなのである。

20 φοβοῦμαι γὰρ μή πως, ἐλθὼν, οὐχ οἵους θέλω,
恐れる なぜなら ～ない–ように どうにかして 行った–時に ～ない 望む–とおりの 望む
G5399 G1063 G3361 G4459 G2064 G3756 G3634 G2309

εὕρω ὑμᾶς, κἀγὼ εὑρεθῶ ὑμῖν
見出す–ことのない–ように あなたがたを 私もまた 見出される–ことのない–ように あなたがたに
G2147 G4771 G2504 G2147 G4771

οἷον οὐ θέλετε; μή πως ἔρις, ζῆλος, θυμοί,
望まない–者として ～ない–ように 望まない ～ない–ように どうにかして 争いが ねたみが 怒りが
G3634 G3756 G2309 G3361 G4459 G2054 G2205 G2372

ἐριθεῖαι, καταλαλιαί, ψιθυρισμοί, φυσιώσεις, ἀκαταστασίαι;
党派心が 悪口が ささやきが 思い–上がりが 無秩序が–ある–ことのない–ように
G2052 G2636 G5587 G5450 G0181

わたしは、こんな心配をしている。わたしが行ってみると、もしかしたら、あなたがたがわたしの願っているような者ではなく、わたしも、あなたがたの願っているような者でないことになりはすまいか。もしかしたら、争い、ねたみ、怒り、党派心、そしり、ざんげん、高慢、騒乱などがありはすまいか。

21 μὴ 〜ない–ように G3361 πάλιν 再び G3825 ἐλθόντος 行った–時に G2064 μου, 私が G1473 ταπεινώσῃ 低くされる G5013 με 私を G1473 ὁ — G3588 Θεός 神が G2316 μου 私の G1473 πρὸς 〜に–対して G4314 ὑμᾶς, あなたがたに–対して G4771 καὶ そして G2532 πενθήσω 嘆く–ことのない–ように G3996 πολλοὺς 多くの–人を G4183 τῶν — G3588 προημαρτηκότων, 以前に–罪を–犯した–人々を G4258 καὶ そして G2532 μὴ 〜ない G3361 μετανοησάντων 悔い改めなかった–人々を G3340 ἐπὶ 〜について G1909 τῇ — G3588 ἀκαθαρσίᾳ, 汚れと G0167 καὶ そして G2532 πορνείᾳ, 淫行と G4202 καὶ そして G2532 ἀσελγείᾳ, 好色について G0766 ᾗ その G3739 ἔπραξαν. 行った G4238

わたしが再びそちらに行った場合、わたしの神が、あなたがたの前でわたしに恥をかかせ、その上、多くの人が前に罪を犯していながら、その汚れと不品行と好色とを悔い改めていないので、わたしを悲しませることになりはすまいか。

Chapter 13

1 Τρίτον 三度目 G5154 τοῦτο このこと G3778 ἔρχομαι 私は–来ます G2064 πρὸς あなたがたの–もとに G4314 ὑμᾶς. あなたがたの G4771 ἐπὶ 〜の–口によって G1909 στόματος 口 G4750 δύο 二人の G1417 μαρτύρων 証人の G3144 καὶ あるいは G2532 τριῶν, 三人の G5140 σταθήσεται 確定される G2476 πᾶν すべての G3956 ῥῆμα. 事柄は G4487

わたしは今、三度目にあなたがたの所に行こうとしている。すべての事がらは、ふたりか三人の証人の証言によって確定する。

2 προείρηκα 私は–前もって–警告した G4302 καὶ そして G2532 προλέγω, 今も–警告する G4302 ὡς 〜のように G5613 παρὼν そこにいた–とき G3918 τὸ その G3588 δεύτερον, 二度目に G1208 καὶ そして G2532 ἀπὼν 離れている G0548 νῦν 今 G3568 τοῖς その G3588 προημαρτηκόσιν, 以前に–罪を–犯した–者たちに G4258 καὶ そして G2532 τοῖς その G3588 λοιποῖς 残りの G3062 πᾶσιν, すべての–者たちに G3956 ὅτι 言う G3754 ἐὰν もし G1437 ἔλθω 私が–再び–来たら G2064 εἰς 〜の–ために G1519 τὸ その G3588 πάλιν, 再び G3825 οὐ 決して G3756 φείσομαι. 容赦しない G5339

わたしは、前に罪を犯した者たちやその他のすべての人々に、二度目に滞在していたとき警告しておいたが、離れている今またあらかじめ言っておく。今度行った時には、決して容赦はしない。

3 ἐπεὶ なぜなら G1893 δοκιμὴν 証拠を G1382 ζητεῖτε, あなたがたは–求めている G2212 τοῦ その G3588 ἐν 私の–うちに–おられる G1722 ἐμοὶ 私の–うちに G1473 λαλοῦντος 語っておられる G2980 Χριστοῦ, キリストの G5547 ὃς その–方は G3739 εἰς あなたがたに–対して G1519 ὑμᾶς あなたがたに G4771 οὐκ 決して G3756 ἀσθενεῖ, 弱くはなく G0770 ἀλλὰ むしろ G0235 δυνατεῖ 力–強い G1414 ἐν あなたがたの–中で G1722 ὑμῖν. あなたがたの G4771

なぜなら、あなたがたが、キリストのわたしにあって語っておられるという証拠を求めているからである。キリストは、あなたがたに対して弱くはなく、あなたがたのうちにあって強い。

4

καὶ	γὰρ	ἐσταυρώθη	ἐξ	ἀσθενείας,	ἀλλὰ	ζῇ	ἐκ
まことに	なぜなら	十字架に–つけられた	～から	弱さの–ゆえに	しかし	生きておられる	～による
G2532	G1063	G4717	G1537	G0769	G0235	G2198	G1537

δυνάμεως	Θεοῦ;	καὶ	γὰρ	ἡμεῖς	ἀσθενοῦμεν	ἐν
力に–よって	神の	まことに	なぜなら	私たちも	弱い–者である	キリストの–うちに
G1411	G2316	G2532	G1063	G1473	G0770	G1722

αὐτῷ,	ἀλλὰ	ζήσομεν	σὺν	αὐτῷ	ἐκ	δυνάμεως
キリストと–ともに	しかし	生きるであろう	キリストと–ともに	キリストと	～による	力に–よって
G0846	G0235	G2198	G4862	G0846	G1537	G1411

Θεοῦ	εἰς	ὑμᾶς,
神の	～に–向かって	あなたがたに
G2316	G1519	G4771

すなわち、キリストは弱さのゆえに十字架につけられたが、神の力によって生きておられるのである。このように、わたしたちもキリストにあって弱い者であるが、あなたがたに対しては、神の力によって、キリストと共に生きるのである。

5

Ἑαυτοὺς	πειράζετε	εἰ	ἐστὲ	ἐν	τῇ	πίστει;
自分–自身を	吟味しなさい	～かどうか	あなたがたが–いるか	～の–中に	その	信仰の
G1438	G3985	G1487	G1510	G1722	G3588	G4102

ἑαυτοὺς	δοκιμάζετε.	ἢ	οὐκ	ἐπιγινώσκετε	ἑαυτοὺς,	ὅτι	Ἰησοῦς
自分–自身を	試しなさい	それとも	～ない	認識しないのか	自分–自身を	すなわち	イエス
G1438	G1381	G2228	G3756	G1921	G1438	G3754	G2424

Χριστὸς	ἐν	ὑμῖν,	εἰ	μήτι	ἀδόκιμοί	ἐστε?
キリストが	あなたがたの–うちに	あなたがたの–うちに	もし	あるいは	不–適格な–者	でなければ
G5547	G1722	G4771	G1487	G3385	G0096	G1510

あなたがたは、はたして信仰があるかどうか、自分を反省し、自分を吟味するがよい。それとも、イエス・キリストがあなたがたのうちにおられることを、悟らないのか。もし悟らなければ、あなたがたは、にせものとして見捨てられる。

6

ἐλπίζω	δὲ,	ὅτι	γνώσεσθε	ὅτι	ἡμεῖς	οὐκ
私は–望む	しかし	～ということを	あなたがたが–知ることを	すなわち	私たちが	決して
G1679	G1161	G3754	G1097	G3754	G1473	G3756

ἐσμὲν	ἀδόκιμοι.
～ではない	不–適格な–者
G1510	G0096

しかしわたしは、自分たちが見捨てられた者ではないことを、知っていてもらいたい。

7

εὐχόμεθα	δὲ	πρὸς	τὸν	Θεὸν,	μὴ	ποιῆσαι	ὑμᾶς
私たちは–祈る	そして	～に	その	神に	～ないように	行う–ことの	あなたがたが
G2172	G1161	G4314	G3588	G2316	G3361	G4160	G4771

κακὸν	μηδέν;	οὐχ	ἵνα	ἡμεῖς	δόκιμοι	φανῶμεν,	ἀλλ’
悪い–ことを	何も	～ではなく	～のために	私たちが	適格な–者と	見える–ためではなく	むしろ
G2556	G3367	G3756	G2443	G1473	G1384	G5316	G0235

ἵνα	ὑμεῖς	τὸ	καλὸν	ποιῆτε;	ἡμεῖς	δὲ	ὡς
～のために	あなたがたが	その	善い–ことを	行う–ためである	私たちは	たとえ	～のように
G2443	G4771	G3588	G2570	G4160	G1473	G1161	G5613

ἀδόκιμοι	ὦμεν.
不–適格な–者の	ようであっても
G0096	G1510

わたしたちは、あなたがたがどんな悪をも行わないようにと、神に祈る。それは、自分たちがほんとうの者であることを見せるためではなく、たといわたしたちが見捨てられた者のようになっても、あなたがたに良い行いをしてもらいたいためである。

8 οὐ ～ない G3756 γὰρ なぜなら G1063 δυνάμεθά 私たちは–できない G1410 τι 何も G5100 κατὰ ～に–逆らって G2596 τῆς その G3588 ἀληθείας, 真理に G0225 ἀλλὰ むしろ G0235 ὑπὲρ ～のために G5228

τῆς その G3588 ἀληθείας. 真理の G0225

わたしたちは、真理に逆らっては何をする力もなく、真理にしたがえば力がある。

9 χαίρομεν 喜ぶ G5463 γὰρ なぜなら G1063 ὅταν ～する–とき G3752 ἡμεῖς 私たちが G1473 ἀσθενῶμεν, 弱い–ときに G0770 ὑμεῖς あなたがたが G4771 δὲ しかし G1161 δυνατοὶ 強い–なら G1415

ἦτε. ありますように G1510 τοῦτο このことを G3778 καὶ: また G2532 εὐχόμεθα 私たちは–祈っている G2172 τὴν その G3588 ὑμῶν あなたがたの G4771 κατάρτισιν. 完全な–回復を G2676

わたしたちは、自分は弱くても、あなたがたが強ければ、それを喜ぶ。わたしたちが特に祈るのは、あなたがたが完全に良くなってくれることである。

10 Διὰ この–ために G1223 τοῦτο このことの G3778 ταῦτα, これらのことを G3778 ἀπὼν 離れている–間に G0548 γράφω, 私は–書いている G1125 ἵνα ～のために G2443

παρὼν, そこにいる–とき G3918 μὴ ～ないように G3361 ἀποτόμως 厳しく G0664 χρήσωμαι, 用いる–ことがないように G5530 κατὰ ～に–従って G2596 τὴν その G3588 ἐξουσίαν 権威を G1849

ἣν その G3739 ὁ ～が G3588 Κύριος 主が G2962 ἔδωκέν 与えてくださった G1325 μοι, 私に G1473 εἰς ～のために G1519 οἰκοδομὴν 建て–上げの–ためであり G3619 καὶ そして G2532

οὐκ ～ではなく G3756 εἰς ～のために G1519 καθαίρεσιν. 壊す–ためではない G2506

こういうわけで、離れていて以上のようなことを書いたのは、わたしがあなたがたの所に行ったとき、倒すためではなく高めるために主が授けて下さった権威を用いて、きびしい処置をする必要がないようにしたいためである。

11 Λοιπόν, 最後に G3063 ἀδελφοί, 兄弟たちよ G0080 χαίρετε. 喜びなさい G5463 καταρτίζεσθε; 完全に–なりなさい G2675 παρακαλεῖσθε; 励まし–合いなさい G3870 τὸ その G3588 αὐτὸ 同じ G0846

φρονεῖτε; 思いを–持ちなさい G5426 εἰρηνεύετε. 平和に–過ごしなさい G1514 καὶ そうすれば G2532 ὁ その G3588 Θεὸς 神 G2316 τῆς その G3588 ἀγάπης 愛と G0026 καὶ そして G2532 εἰρήνης 平和の G1515

ἔσται おられるであろう G1510 μεθ’ ～と–ともに G3326 ὑμῶν. あなたがたと G4771

最後に、兄弟たちよ。いつも喜びなさい。全き者となりなさい。互に励まし合いなさい。思いを一つにしなさい。平和に過ごしなさい。そうすれば、愛と平和の神があなたがたと共にいて下さるであろう。

12 Ἀσπάσασθε 挨拶しなさい G0782 ἀλλήλους 互いに G0240 ἐν ～をもって G1722 ἁγίῳ 聖なる G0040 φιλήματι. 口づけで G5370

きよい接吻をもって互にあいさつをかわしなさい。聖徒たち一同が、あなたがたによろしく。

13 Ἀσπάζονται ὑμᾶς, οἱ ἅγιοι πάντες.
挨拶する あなたがたに すべての 聖徒たちが みな
G0782 G4771 G3588 G0040 G3956

主イエス・キリストの恵みと、神の愛と、聖霊の交わりとが、あなたがた一同と共にあるように。

14 Ἡ χάρις τοῦ Κυρίου Ἰησοῦ Χριστοῦ, καὶ ἡ ἀγάπη τοῦ Θεοῦ,
その 恵み その 主 イエス キリストの そして その 愛 その 神の
G3588 G5485 G3588 G2962 G2424 G5547 G2532 G3588 G0026 G3588 G2316

καὶ ἡ κοινωνία τοῦ Ἁγίου Πνεύματος, μετὰ πάντων ὑμῶν.
そして その 交わりが その 聖なる 御霊の ～と–ともに すべての あなたがたと–ともに
G2532 G3588 G2842 G3588 G0040 G4151 G3326 G3956 G4771

<Ἀμήν>
アーメン
G0281

Galatians

Chapter 1

1 Παῦλος, ἀπόστολος, οὐκ ἀπ’ ἀνθρώπων, οὐδὲ δι’ ἀνθρώπου,
パウロ 使徒 ではなく ～から 人々の また～でもなく ～を通して 人の
G3972 G0652 G3756 G0575 G0444 G3761 G1223 G0444

ἀλλὰ διὰ Ἰησοῦ Χριστοῦ, καὶ Θεοῦ Πατρὸς, τοῦ ἐγείραντος
しかし ～を通して イエス キリストの そして 神の 父なる その よみがえらせた–方
G0235 G1223 G2424 G5547 G2532 G2316 G3962 G3588 G1453

αὐτὸν ἐκ νεκρῶν --
彼を ～から 死者の–中から
G0846 G1537 G3498

人々からでもなく、人によってでもなく、イエス・キリストと彼を死人の中からよみがえらせた父なる神とによって立てられた使徒パウロ、

2 καὶ οἱ, σὺν ἐμοὶ, πάντες ἀδελφοί; ταῖς ἐκκλησίαις τῆς
そして その ～と共にいる 私と すべての 兄弟たちから その 諸教会へ その
G2532 G3588 G4862 G1473 G3956 G0080 G3588 G1577 G3588

Γαλατίας.
ガラテヤの
G1053

ならびにわたしと共にいる兄弟たち一同から、ガラテヤの諸教会へ。

3 χάρις ὑμῖν καὶ εἰρήνη ἀπὸ Θεοῦ Πατρὸς ἡμῶν, «καὶ Κυρίου»
恵みが あなたがたに そして 平和が ～から 神 父なる 私たちの そして 主
G5485 G4771 G2532 G1515 G0575 G2316 G3962 G1473 G2532 G2962

Ἰησοῦ Χριστοῦ,
イエス キリストから
G2424 G5547

わたしたちの父なる神と主イエス・キリストから、恵みと平安とが、あなたがたにあるように。

4 τοῦ δόντος ἑαυτὸν ὑπὲρ τῶν ἁμαρτιῶν ἡμῶν, ὅπως ἐξέληται
その 与えた–方 ご自身を ～のために その 罪の 私たちの ～するために 救い出す
G3588 G1325 G1438 G5228 G3588 G0266 G1473 G3704 G1807

ἡμᾶς ἐκ τοῦ αἰῶνος τοῦ ἐνεστῶτος πονηροῦ, κατὰ τὸ θέλημα τοῦ
私たちを ～から この 時代の その 現在の 悪しき ～に従い その 御心に その
G1473 G1537 G3588 G0165 G3588 G1764 G4190 G2596 G3588 G2307 G3588

Θεοῦ καὶ Πατρὸς ἡμῶν;
神の そして 父なる 私たちの
G2316 G2532 G3962 G1473

キリストは、わたしたちの父なる神の御旨に従い、わたしたちを今の悪の世から救い出そうとして、ご自身をわたしたちの罪のためにささげられたのである。

5	ᾧ	ἡ	δόξα	εἰς	τοὺς	αἰῶνας,	τῶν	αἰώνων.	ἀμήν.
	その–方に	その	栄光が	～へと	その	永遠に	その	永遠の	アーメン
	G3739	G3588	G1391	G1519	G3588	G0165	G3588	G0165	G0281

栄光が世々限りなく神にあるように、アァメン。

6	Θαυμάζω	ὅτι	οὕτως	ταχέως,	μετατίθεσθε	ἀπὸ	τοῦ	καλέσαντος
	驚いている	～ということを	このように	すぐに	離れていく	～から	その	召された–方から
	G2296	G3754	G3779	G5030	G3346	G0575	G3588	G2564

ὑμᾶς	ἐν	χάριτι,	Χριστοῦ,	εἰς	ἕτερον	εὐαγγέλιον,
あなたがたを	～の中で	キリストの–恵みの	キリストの	～へと	異なる	福音へ
G4771	G1722	G5485	G5547	G1519	G2087	G2098

あなたがたがこんなにも早く、あなたがたをキリストの恵みの内へお招きになったかたから離れて、違った福音に落ちていくことが、わたしには不思議でならない。

7	ὃ	οὐκ	ἔστιν	ἄλλο,	εἰ	μή	τινές	εἰσιν	οἱ
	それは	～ではない	ある	別のもの	～でなければ	ない	ある者たちが	いる	その
	G3739	G3756	G1510	G0243	G1487	G3361	G5100	G1510	G3588

ταράσσοντες	ὑμᾶς,	καὶ	θέλοντες	μεταστρέψαι	τὸ	εὐαγγέλιον	τοῦ	
惑わしている	あなたがたを	そして	望んでいる	歪めることを	その	福音を	その	
G5015	G4771	G2532	G2309	G3344	G3588	G2098	G3588	

Χριστοῦ.	
キリストの	
G5547	

それは福音というべきものではなく、ただ、ある種の人々があなたがたをかき乱し、キリストの福音を曲げようとしているだけのことである。

8	ἀλλὰ	καὶ	ἐὰν	ἡμεῖς,	ἢ	ἄγγελος	ἐξ	οὐρανοῦ,	εὐαγγελίζηται
	しかし	たとえ	もし	私たちが	あるいは	御使いが	～から	天からの	宣べ伝えるなら
	G0235	G2532	G1437	G1473	G2228	G0032	G1537	G3772	G2097

ὑμῖν	παρ’	ὃ	εὐηγγελισάμεθα	ὑμῖν,	ἀνάθεμα	ἔστω!
あなたがたに	～に反して	～のものを	宣べ伝えた	あなたがたに	のろわれよ	あれ
G4771	G3844	G3739	G2097	G4771	G0331	G1510

しかし、たといわたしたちであろうと、天からの御使であろうと、わたしたちが宣べ伝えた福音に反することをあなたがたに宣べ伝えるなら、その人はのろわるべきである。

9	ὡς	προειρήκαμεν,	καὶ	ἄρτι	πάλιν	λέγω,	εἴ	τις	ὑμᾶς
	～のように	前に–言った	そして	今	再び	言う	もし	だれかが	あなたがたに
	G5613	G4302	G2532	G0737	G3825	G3004	G1487	G5100	G4771

εὐαγγελίζεται	παρ’	ὃ	παρελάβετε,	ἀνάθεμα	ἔστω!
宣べ伝えるなら	～に反して	～のものを	受けた	のろわれよ	あれ
G2097	G3844	G3739	G3880	G0331	G1510

わたしたちが前に言っておいたように、今わたしは重ねて言う。もしある人が、あなたがたの受けいれた福音に反することを宣べ伝えているなら、その人はのろわるべきである。

10 Ἄρτι γὰρ ἀνθρώπους πείθω, ἢ τὸν Θεόν? ἢ
今 なぜなら 人々を 説得しているのか それとも その 神を それとも
G0737 G1063 G0444 G3982 G2228 G3588 G2316 G2228

ζητῶ ἀνθρώποις ἀρέσκειν? εἰ ἔτι ἀνθρώποις ἤρεσκον,
求めているのか 人々に 喜ばれることを もし なおも 人々に 喜ばれていたなら
G2212 G0444 G0700 G1487 G2089 G0444 G0700

Χριστοῦ δοῦλος οὐκ ἂν ἤμην.
キリストの しもべ ではなかった であろう 私は
G5547 G1401 G3756 G0302 G1510

今わたしは、人に喜ばれようとしているのか、それとも、神に喜ばれようとしているのか。あるいは、人の歓心を買おうと努めているのか。もし、今もなお人の歓心を買おうとしているとすれば、わたしはキリストの僕ではあるまい。

11 γνωρίζω γὰρ ὑμῖν, ἀδελφοί, τὸ εὐαγγέλιον τὸ εὐαγγελισθὲν
知らせる なぜなら あなたがたに 兄弟たちよ その 福音は その 宣べ伝えられた
G1107 G1063 G4771 G0080 G3588 G2098 G3588 G2097

ὑπ’ ἐμοῦ, ὅτι οὐκ ἔστιν κατὰ ἄνθρωπον.
～によって 私に ～ということを ～ではない ある ～に従った 人の
G5259 G1473 G3754 G3756 G1510 G2596 G0444

兄弟たちよ。あなたがたに、はっきり言っておく。わたしが宣べ伝えた福音は人間によるものではない。

12 οὐδὲ γὰρ ἐγὼ παρὰ ἀνθρώπου παρέλαβον αὐτό, οὔτε
また～でもなく なぜなら 私は ～から 人から 受けた それを また～でもなく
G3761 G1063 G1473 G3844 G0444 G3880 G0846 G3777

ἐδιδάχθην, ἀλλὰ δι’ ἀποκαλύψεως Ἰησοῦ Χριστοῦ.
教えられた しかし ～を通して 啓示の イエス キリストの
G1321 G0235 G1223 G0602 G2424 G5547

わたしは、それを人間から受けたのでも教えられたのでもなく、ただイエス・キリストの啓示によったのである。

13 Ἠκούσατε γὰρ τὴν ἐμὴν ἀναστροφήν ποτε ἐν τῷ Ἰουδαϊσμῷ,
聞いた なぜなら その 私の 生き方を かつて ～の中での その ユダヤ教における
G0191 G1063 G3588 G1699 G0391 G4218 G1722 G3588 G2454

ὅτι καθ’ ὑπερβολὴν, ἐδίωκον τὴν ἐκκλησίαν τοῦ Θεοῦ, καὶ
～ということを ～を超えて 極度に 迫害していた その 教会を その 神の そして
G3754 G2596 G5236 G1377 G3588 G1577 G3588 G2316 G2532

ἐπόρθουν αὐτήν.
滅ぼしていた それを
G4199 G0846

ユダヤ教を信じていたころのわたしの行動については、あなたがたはすでによく聞いている。すなわち、わたしは激しく神の教会を迫害し、また荒しまわっていた。

14 καὶ προέκοπτον ἐν τῷ Ἰουδαϊσμῷ, ὑπὲρ πολλοὺς
そして 進んでいた ～において その ユダヤ教において ～を超えて 多くの
G2532 G4298 G1722 G3588 G2454 G5228 G4183

συνηλικιώτας ἐν τῷ γένει μου, περισσοτέρως ζηλωτὴς ὑπάρχων τῶν
同年代の者たちを ～の中で その 民族の 私の はるかに 熱心な者で あって その
G4915 G1722 G3588 G1085 G1473 G4057 G2207 G5225 G3588

πατρικῶν μου, παραδόσεων.
先祖からの 私の 伝承に
G3967 G1473 G3862

そして、同国人の中でわたしと同年輩の多くの者にまさってユダヤ教に精進し、先祖たちの言伝えに対して、だれよりもはるかに熱心であった。

15 Ὅτε δὲ εὐδόκησεν ὁ [θεὸς, ὁ] ἀφορίσας με ἐκ κοιλίας μητρός
しかし しかし 喜ばれた その 神が その 選び分けた 私を ～から 胎内から 母の
G3753 G1161 G2106 G3588 G2316 G3588 G0873 G1473 G1537 G2836 G3384

μου, καὶ καλέσας διὰ τῆς χάριτος αὐτοῦ,
私の そして 召した ～を通して その 恵みを通して 御自身の
G1473 G2532 G2564 G1223 G3588 G5485 G0846

ところが、母の胎内にある時からわたしを聖別し、み恵みをもってわたしをお召しになったかたが、

16 ἀποκαλύψαι τὸν Υἱὸν αὐτοῦ ἐν ἐμοὶ, ἵνα εὐαγγελίζωμαι αὐτὸν
啓示するために その 御子を 御自身の ～の中で 私に ～するために 宣べ伝える 彼を
G0601 G3588 G5207 G0846 G1722 G1473 G2443 G2097 G0846

ἐν τοῖς ἔθνεσιν, εὐθέως οὐ προσανεθέμην σαρκὶ καὶ αἵματι,
～の中で その 異邦人の-間で 直ちに ～しなかった 相談した 肉と そして 血に
G1722 G3588 G1484 G2112 G3756 G4323 G4561 G2532 G0129

異邦人の間に宣べ伝えさせるために、御子をわたしの内に啓示して下さった時、わたしは直ちに、血肉に相談もせず、

17 οὐδὲ ἀνῆλθον εἰς Ἱεροσόλυμα, πρὸς τοὺς πρὸ ἐμοῦ
また～でもなく 上って行った ～へ エルサレムへ ～のもとへ その ～の前の 私の
G3761 G0424 G1519 G2414 G4314 G3588 G4253 G1473

ἀποστόλους, ἀλλὰ ἀπῆλθον εἰς Ἀραβίαν, καὶ πάλιν ὑπέστρεψα εἰς
使徒たちの しかし 去って行った ～へ アラビヤへ そして 再び 戻った ～へ
G0652 G0235 G0565 G1519 G0688 G2532 G3825 G5290 G1519

Δαμασκόν.
ダマスコへ
G1154

また先輩の使徒たちに会うためにエルサレムにも上らず、アラビヤに出て行った。それから再びダマスコに帰った。

18 Ἔπειτα μετὰ τρία ἔτη, ἀνῆλθον εἰς Ἱεροσόλυμα, ἱστορῆσαι Κηφᾶν,
それから ～の後 三 年の-後 上って行った ～へ エルサレムへ 訪問するために ケパを
G1899 G3326 G5140 G2094 G0424 G1519 G2414 G2477 G2786

καὶ ἐπέμεινα πρὸς αὐτὸν ἡμέρας δεκαπέντε.
そして 滞在した ～のもとに 彼の 日間 十五
G2532 G1961 G4314 G0846 G2250 G1178

その後三年たってから、わたしはケパをたずねてエルサレムに上り、彼のもとに十五日間、滞在した。

19 ἕτερον δὲ τῶν ἀποστόλων οὐκ εἶδον, εἰ μὴ Ἰάκωβον,
他の しかし その 使徒たちには ～しなかった 会った ～でなければ ない ヤコブに
G2087 G1161 G3588 G0652 G3756 G3708 G1487 G3361 G2385

τὸν ἀδελφὸν τοῦ Κυρίου.
その 兄弟の その 主の
G3588 G0080 G3588 G2962

しかし、主の兄弟ヤコブ以外には、ほかのどの使徒にも会わなかった。

20 ἃ δὲ γράφω ὑμῖν, ἰδοὺ, ἐνώπιον τοῦ Θεοῦ, ὅτι
これらの–ことを さて 書いている あなたがたに 見よ ～の前で その 神の ～ということを
G3739 G1161 G1125 G4771 G3708 G1799 G3588 G2316 G3754

οὐ ψεύδομαι.
～ない 偽っている
G3756 G5574

ここに書いていることは、神のみまえで言うが、決して偽りではない。

21 ἔπειτα ἦλθον εἰς τὰ κλίματα τῆς Συρίας, καὶ τῆς Κιλικίας.
その後 行った ～へ その 地方へ その シリヤの そして その キリキヤの
G1899 G2064 G1519 G3588 G2824 G3588 G4947 G2532 G3588 G2791

その後、わたしはシリヤとキリキヤとの地方に行った。

22 ἤμην δὲ ἀγνοούμενος τῷ προσώπῳ ταῖς ἐκκλησίαις τῆς Ἰουδαίας,
であった しかし 知られていなかった その 顔は その 諸教会には その ユダヤの
G1510 G1161 G0050 G3588 G4383 G3588 G1577 G3588 G2449

ταῖς ἐν Χριστῷ,
その ～における キリストにある
G3588 G1722 G5547

しかし、キリストにあるユダヤの諸教会には、顔を知られていなかった。

23 μόνον δὲ ἀκούοντες ἦσαν, ὅτι Ὁ διώκων ἡμᾶς ποτε, νῦν
ただ しかし 聞いて いた ～ということを その 迫害していた者が 私たちを かつて 今は
G3440 G1161 G0191 G1510 G3754 G3588 G1377 G1473 G4218 G3568

εὐαγγελίζεται, τὴν πίστιν, ἣν ποτε ἐπόρθει.
宣べ伝えている その 信仰を かつて かつて 滅ぼそうとしていた
G2097 G3588 G4102 G3739 G4218 G4199

ただ彼らは、「かつて自分たちを迫害した者が、以前には撲滅しようとしていたその信仰を、今は宣べ伝えている」と聞き、

24 καὶ ἐδόξαζον ἐν ἐμοὶ τὸν Θεόν.
そして 栄光を帰していた ～において 私の–ことで その 神に
G2532 G1392 G1722 G1473 G3588 G2316

わたしのことで、神をほめたたえた。

Chapter 2

1 Ἔπειτα διὰ δεκατεσσάρων ἐτῶν, πάλιν ἀνέβην εἰς Ἱεροσόλυμα μετὰ
それから ～の後 十四 年の–後 再び 上って行った ～へ エルサレムへ ～と共に
G1899 G1223 G1180 G2094 G3825 G0305 G1519 G2414 G3326

Βαρνάβα, συμπαραλαβὼν καὶ Τίτον;
バルナバと 連れて行き また テトスも
G0921 G4838 G2532 G5103

その後十四年たってから、わたしはバルナバと一緒に、テトスをも連れて、再びエルサレムに上った。

2 ἀνέβην δὲ κατὰ ἀποκάλυψιν, καὶ ἀνεθέμην αὐτοῖς τὸ εὐαγγέλιον,
上って行った しかし ～に従い 啓示に そして 伝えた 彼らに その 福音を
G0305 G1161 G2596 G0602 G2532 G0394 G0846 G3588 G2098

ὃ κηρύσσω ἐν τοῖς ἔθνεσιν-- κατ' ἰδίαν δὲ τοῖς
それは 宣べ伝えている ～の中で その 異邦人の-間で ～に 個人的に しかし その
G3739 G2784 G1722 G3588 G1484 G2596 G2398 G1161 G3588

δοκοῦσιν-- μή πως εἰς κενὸν, τρέχω ἢ
重んじられている-人々に ～ないように もしかして ～のために 無駄に 走っている あるいは
G1380 G3361 G4459 G1519 G2756 G5143 G2228

ἔδραμον.
走った
G5143

そこに上ったのは、啓示によってである。そして、わたしが異邦人の間に宣べ伝えている福音を、人々に示し、「重だった人たち」には個人的に示した。それは、わたしが現に走っており、またすでに走ってきたことが、むだにならないためである。

3 ἀλλ' οὐδὲ Τίτος ὁ σὺν ἐμοί, Ἕλλην ὤν, ἠναγκάσθη
しかし ～さえも テトスは その ～と共にいる 私と ギリシャ人で あって 強いられなかった
G0235 G3761 G5103 G3588 G4862 G1473 G1672 G1510 G0315

περιτμηθῆναι.
割礼を受けることを
G4059

しかし、わたしが連れていたテトスでさえ、ギリシヤ人であったのに、割礼をしいられなかった。

4 διὰ δὲ τοὺς παρεισάκτους ψευδαδέλφους, οἵτινες παρεισῆλθον
～のために しかし その 忍び込んだ 偽兄弟たちの 彼らは 忍び込んで来た
G1223 G1161 G3588 G3920 G5569 G3748 G3922

κατασκοπῆσαι τὴν ἐλευθερίαν ἡμῶν, ἣν ἔχομεν ἐν Χριστῷ
探り出すために その 自由を 私たちの それを 持っている ～において キリスト
G2684 G3588 G1657 G1473 G3739 G2192 G1722 G5547

Ἰησοῦ, ἵνα ἡμᾶς καταδουλώσουσιν;
イエスにおいて ～するために 私たちを 奴隷にしようとした
G2424 G2443 G1473 G2615

それは、忍び込んできたにせ兄弟らがいたので――彼らが忍び込んできたのは、キリスト・イエスにあって持っているわたしたちの自由をねらって、わたしたちを奴隷にするためであった。

5 οἷς οὐδὲ πρὸς ὥραν εἴξαμεν τῇ ὑποταγῇ, ἵνα ἡ
彼らに ～しなかった ～に対して 一時も 屈服した その 服従に ～するために その
G3739 G3761 G4314 G5610 G1502 G3588 G5292 G2443 G3588

ἀλήθεια τοῦ εὐαγγελίου διαμείνῃ πρὸς ὑμᾶς.
真理が その 福音の 留まるように ～のために あなたがたの
G0225 G3588 G2098 G1265 G4314 G4771

わたしたちは、福音の真理があなたがたのもとに常にとどまっているように、瞬時も彼らの強要に屈服しなかった。

6 ἀπὸ δὲ τῶν δοκούντων εἶναί τι-- ὁποῖοί ποτε ἦσαν,
～から さて その 重んじられている–者たちから ある 何者かと どのような かつて であった
G0575 G1161 G3588 G1380 G1510 G5100 G3697 G4218 G1510

οὐδέν μοι διαφέρει, πρόσωπον, ὁ Θεὸς ἀνθρώπου οὐ λαμβάνει-- ἐμοὶ
何も 私には 違いはない 外見を その 神は 人の ～ない 受けない 私に
G3762 G1473 G1308 G4383 G3588 G2316 G0444 G3756 G2983 G1473

γὰρ οἱ δοκοῦντες οὐδὲν προσανέθεντο.
なぜなら その 重んじられている–者たちは 何も 加えなかった
G1063 G3588 G1380 G3762 G4323

そして、かの「重だった人たち」からは――彼らがどんな人であったにしても、それは、わたしには全く問題ではない。神は人を分け隔てなさらないのだから――事実、かの「重だった人たち」は、わたしに何も加えることをしなかった。

7 ἀλλὰ τοὐναντίον, ἰδόντες ὅτι πεπίστευμαι τὸ εὐαγγέλιον τῆς
しかし むしろ 見て ～ということを 委ねられている その 福音を その
G0235 G5121 G3708 G3754 G4100 G3588 G2098 G3588

ἀκροβυστίας, καθὼς Πέτρος τῆς περιτομῆς --
無割礼の–者への ちょうど–同じように ペテロが その 割礼の–者への
G0203 G2531 G4074 G3588 G4061

それどころか、彼らは、ペテロが割礼の者への福音をゆだねられているように、わたしには無割礼の者への福音がゆだねられていることを認め、

8 ὁ γὰρ ἐνεργήσας Πέτρῳ εἰς ἀποστολὴν τῆς περιτομῆς,
その なぜなら 働かれた–方が ペテロに ～のために 使徒職の–ために その 割礼の–者への
G3588 G1063 G1754 G4074 G1519 G0651 G3588 G4061

ἐνήργησεν καὶ ἐμοὶ εἰς τὰ ἔθνη --
働かれた また 私にも ～のために その 異邦人への
G1754 G2532 G1473 G1519 G3588 G1484

（というのは、ペテロに働きかけて割礼の者への使徒の務につかせたかたは、わたしにも働きかけて、異邦人につかわして下さったからである）、

9 καὶ γνόντες τὴν χάριν τὴν δοθεῖσάν μοι, Ἰάκωβος καὶ Κηφᾶς καὶ
そして 知って その 恵みを その 与えられた 私に ヤコブと そして ケパと そして
G2532 G1097 G3588 G5485 G3588 G1325 G1473 G2385 G2532 G2786 G2532

Ἰωάννης, οἱ δοκοῦντες στῦλοι εἶναι, δεξιὰς ἔδωκαν ἐμοὶ καὶ
ヨハネは その 重んじられている 柱と される 右の–手を 与えた 私と そして
G2491 G3588 G1380 G4769 G1510 G1188 G1325 G1473 G2532

Βαρνάβα, κοινωνίας, ἵνα ἡμεῖς εἰς τὰ ἔθνη; αὐτοὶ δὲ εἰς
バルナバに 交わりの ～するために 私たちは ～へ その 異邦人へ 彼らは そして ～へ
G0921 G2842 G2443 G1473 G1519 G3588 G1484 G0846 G1161 G1519

τὴν περιτομήν.
その 割礼の–者へ
G3588 G4061

かつ、わたしに賜わった恵みを知って、柱として重んじられているヤコブとケパとヨハネとは、わたしとバルナバとに、交わりの手を差し伸べた。そこで、わたしたちは異邦人に行き、彼らは割礼の者に行くことになったのである。

10 μόνον τῶν πτωχῶν ἵνα μνημονεύωμεν, ὃ καὶ ἐσπούδασα
ただ その 貧しい–人々を ～するために 覚えるように それを また 熱心に–努めた
G3440 G3588 G4434 G2443 G3421 G3739 G2532 G4704

αὐτὸ, τοῦτο ποιῆσαι.
まさに–その このことを 行うことを
G0846 G3778 G4160

ただ一つ、わたしたちが貧しい人々をかえりみるようにとのことであったが、わたしはもとより、この事のためにも大いに努めてきたのである。

11 Ὅτε δὲ ἦλθεν Κηφᾶς εἰς Ἀντιόχειαν, κατὰ πρόσωπον αὐτῷ
しかし しかし 来た ケパが ～へ アンティオキアに ～に対して 面と–向かって 彼に
G3753 G1161 G2064 G2786 G1519 G0490 G2596 G4383 G0846

ἀντέστην, ὅτι κατεγνωσμένος ἦν.
反対した なぜなら 非難されるべき であった
G0436 G3754 G2607 G1510

ところが、ケパがアンテオケにきたとき、彼に非難すべきことがあったので、わたしは面とむかって彼をなじった。

12 πρὸ τοῦ γὰρ, ἐλθεῖν τινας ἀπὸ Ἰακώβου, μετὰ τῶν
～の前に その なぜなら 来る ある人々が ～から ヤコブの–もとから ～と共に その
G4253 G3588 G1063 G2064 G5100 G0575 G2385 G3326 G3588

ἐθνῶν συνήσθιεν; ὅτε δὲ ἦλθον, ὑπέστελλεν καὶ ἀφώριζεν
異邦人たちと 食事をしていた しかし しかし 来た–とき 退いていた そして 離れていた
G1484 G4906 G3753 G1161 G2064 G5288 G2532 G0873

ἑαυτόν, φοβούμενος τοὺς ἐκ περιτομῆς.
自分自身を 恐れて その ～からの 割礼の–者たちを
G1438 G5399 G3588 G1537 G4061

というのは、ヤコブのもとからある人々が来るまでは、彼は異邦人と食を共にしていたのに、彼らがきてからは、割礼の者どもを恐れ、しだいに身を引いて離れて行ったからである。

13 καὶ συνυπεκρίθησαν αὐτῷ καὶ οἱ λοιποὶ Ἰουδαῖοι, ὥστε καὶ
そして 偽善を共にした 彼と また その 残りの ユダヤ人たちも その結果 さえも
G2532 G4942 G0846 G2532 G3588 G3062 G2453 G5620 G2532

Βαρνάβας συναπήχθη αὐτῶν τῇ ὑποκρίσει.
バルナバも 引き込まれた 彼らの その 偽善に
G0921 G4879 G0846 G3588 G5272

そして、ほかのユダヤ人たちも彼と共に偽善の行為をし、バルナバまでがそのような偽善に引きずり込まれた。

14 ἀλλ’ ὅτε εἶδον ὅτι οὐκ ὀρθοποδοῦσιν, πρὸς τὴν
しかし ～のとき 見た ～ということを ～ない 正しく歩んでいない ～に対して その
G0235 G3753 G3708 G3754 G3756 G3716 G4314 G3588

ἀλήθειαν τοῦ εὐαγγελίου, εἶπον τῷ Κηφᾷ ἔμπροσθεν πάντων, Εἰ σὺ,
真理に その 福音の 言った その ケパに ～の前で すべての–人の もし あなたが
G0225 G3588 G2098 G3004 G3588 G2786 G1715 G3956 G1487 G4771

Ἰουδαῖος ὑπάρχων, ἐθνικῶς καὶ οὐκ Ἰουδαϊκῶς ζῇς,
ユダヤ人で ありながら 異邦人のように そして ～なく ユダヤ人のようにではなく 生きているなら
G2453 G5225 G1483 G2532 G3756 G2452 G2198

πῶς τὰ ἔθνη ἀναγκάζεις ἰουδαΐζειν?
どうして その 異邦人たちに 強いるのか ユダヤ教に従うことを
G4459 G3588 G1484 G0315 G2450

彼らが福音の真理に従ってまっすぐに歩いていないのを見て、わたしは衆人の面前でケパに言った、「あなたは、ユダヤ人であるのに、自分自身はユダヤ人のように生活しないで、異邦人のように生活していながら、どうして異邦人にユダヤ人のようになることをしいるのか」。

15

Ἡμεῖς,	φύσει	Ἰουδαῖοι,	καὶ	οὐκ	ἐξ	ἐθνῶν	ἁμαρτωλοί,
私たちは	生まれながらの	ユダヤ人で	あって	～ではなく	～からの	異邦人からの	罪人では–ない
G1473	G5449	G2453	G2532	G3756	G1537	G1484	G0268

わたしたちは生れながらのユダヤ人であって、異邦人なる罪人ではないが、

16

εἰδότες	δὲ	ὅτι	οὐ	δικαιοῦται	ἄνθρωπος	ἐξ	ἔργων
知って	しかし	～ということを	～ない	義とされない	人は	～によって	行いによって
G1492	G1161	G3754	G3756	G1344	G0444	G1537	G2041

νόμου,	ἐὰν	μὴ	διὰ	πίστεως	Χριστοῦ	Ἰησοῦ;	καὶ	ἡμεῖς
律法の	～でなければ	ない	～を通して	信仰を–通して	キリスト	イエスの	そして	私たちも
G3551	G1437	G3361	G1223	G4102	G5547	G2424	G2532	G1473

εἰς	Χριστὸν	Ἰησοῦν	ἐπιστεύσαμεν,	ἵνα	δικαιωθῶμεν	ἐκ	πίστεως
～を	キリスト	イエスを	信じた	～するために	義とされるために	～によって	信仰によって
G1519	G5547	G2424	G4100	G2443	G1344	G1537	G4102

Χριστοῦ,	καὶ	οὐκ	ἐξ	ἔργων	νόμου;	ὅτι	ἐξ
キリストの	そして	～ではなく	～によって	行いによって	律法の	なぜなら	～によって
G5547	G2532	G3756	G1537	G2041	G3551	G3754	G1537

ἔργων	νόμου	οὐ	δικαιωθήσεται	πᾶσα	σάρξ.
行いによって	律法の	～ない	義とされない	すべての	肉は
G2041	G3551	G3756	G1344	G3956	G4561

人の義とされるのは律法の行いによるのではなく、ただキリスト・イエスを信じる信仰によることを認めて、わたしたちもキリスト・イエスを信じたのである。それは、律法の行いによるのではなく、キリストを信じる信仰によって義とされるためである。なぜなら、律法の行いによっては、だれひとり義とされることがないからである。

17

εἰ	δὲ	ζητοῦντες	δικαιωθῆναι	ἐν	Χριστῷ,	εὑρέθημεν	καὶ
もし	しかし	求めて	義とされることを	～において	キリストにおいて	見出されたなら	また
G1487	G1161	G2212	G1344	G1722	G5547	G2147	G2532

αὐτοὶ	ἁμαρτωλοί,	ἆρα	Χριστὸς	ἁμαρτίας	διάκονος?	μὴ	γένοιτο!
自ら	罪人であるなら	それでは	キリストは	罪の	仕え人なのか	決して	そうではない
G0846	G0268	G0686	G5547	G0266	G1249	G3361	G1096

しかし、キリストにあって義とされることを求めることによって、わたしたち自身が罪人であるとされるのなら、キリストは罪に仕える者なのであろうか。断じてそうではない。

18

εἰ	γὰρ	ἃ	κατέλυσα,	ταῦτα	πάλιν	οἰκοδομῶ,	παραβάτην
もし	なぜなら	～のものを	壊した	それらを	再び	建て上げるなら	違反者と
G1487	G1063	G3739	G2647	G3778	G3825	G3618	G3848

ἐμαυτὸν	συνιστάνω.
自分自身を	示すことになる
G1683	G4921

もしわたしが、いったん打ちこわしたものを、再び建てるとすれば、それこそ、自分が違反者であることを表明することになる。

19 ἐγὼ γὰρ, διὰ νόμου νόμῳ ἀπέθανον, ἵνα Θεῷ
私は なぜなら ～を通して 律法を–通して 律法に対して 死んだ ～するために 神に対して
G1473 G1063 G1223 G3551 G3551 G0599 G2443 G2316

ζήσω.
生きるために
G2198

わたしは、神に生きるために、律法によって律法に死んだ。わたしはキリストと共に十字架につけられた。

20 Χριστῷ συνεσταύρωμαι. ζῶ δὲ, οὐκέτι ἐγώ, ζῇ
キリストと–共に 十字架につけられた 生きている しかし もはや～ない 私が 生きておられる
G5547 G4957 G2198 G1161 G3765 G1473 G2198

δὲ ἐν ἐμοὶ Χριστός; ὃ δὲ νῦν ζῶ ἐν
そして ～の中に 私の–中に キリストが ～のものを しかし 今 生きている ～の中で
G1161 G1722 G1473 G5547 G3739 G1161 G3568 G2198 G1722

σαρκί, ἐν πίστει ζῶ, τῇ τοῦ Υἱοῦ τοῦ Θεοῦ, τοῦ
肉の–中で ～において 信仰において 生きている その その 御子の その 神の その
G4561 G1722 G4102 G2198 G3588 G3588 G5207 G3588 G2316 G3588

ἀγαπήσαντός με, καὶ παραδόντος ἑαυτὸν ὑπὲρ ἐμοῦ.
愛してくださった–方の 私を そして 渡された–方の ご自身を ～のために 私の–ために
G0025 G1473 G2532 G3860 G1438 G5228 G1473

生きているのは、もはや、わたしではない。キリストが、わたしのうちに生きておられるのである。しかし、わたしがいま肉にあって生きているのは、わたしを愛し、わたしのためにご自身をささげられた神の御子を信じる信仰によって、生きているのである。

21 Οὐκ ἀθετῶ τὴν χάριν τοῦ Θεοῦ; εἰ γὰρ διὰ νόμου
～しない 無にしない その 恵みを その 神の もし なぜなら ～を通して 律法を–通して
G3756 G0114 G3588 G5485 G3588 G2316 G1487 G1063 G1223 G3551

δικαιοσύνη, ἄρα Χριστὸς δωρεὰν ἀπέθανεν.
義が それでは キリストは 無駄に 死んだことになる
G1343 G0686 G5547 G1432 G0599

わたしは、神の恵みを無にはしない。もし、義が律法によって得られるとすれば、キリストの死はむだであったことになる。

Chapter 3

1 Ὦ ἀνόητοι Γαλάται! τίς ὑμᾶς ἐβάσκανεν, <τῇ ἀληθείᾳ μὴ
ああ 愚かな ガラテヤ人よ だれが あなたがたを 惑わしたのか その 真理に ～ない
G5599 G0453 G1052 G5101 G4771 G0940 G3588 G0225 G3361

πείθεσθαι> οἷς κατ’ ὀφθαλμοὺς, Ἰησοῦς Χριστὸς προεγράφη
従うことを その–人々の ～の–前で 目の–前で イエス キリストが 描き–出された
G3982 G3739 G2596 G3788 G2424 G5547 G4270

ἐσταυρωμένος?
十字架に–つけられた–方として
G4717

ああ、物わかりのわるいガラテヤ人よ。十字架につけられたイエス・キリストが、あなたがたの目の前に描き出されたのに、いったい、だれがあなたがたを惑わしたのか。

2

τοῦτο	μόνον	θέλω	μαθεῖν	ἀφ’	ὑμῶν:	ἐξ	ἔργων	νόμου
この	ただ	望む	学ぶことを	～から	あなたがたから	～によって	行いに-よって	律法の
G3778	G3440	G2309	G3129	G0575	G4771	G1537	G2041	G3551

τὸ	Πνεῦμα	ἐλάβετε,	ἢ	ἐξ	ἀκοῆς	πίστεως?
その	御霊を	受けたのか	それとも	～によって	聞くことに-よって	信仰の
G3588	G4151	G2983	G2228	G1537	G0189	G4102

わたしは、ただこの一つの事を、あなたがたに聞いてみたい。あなたがたが御霊を受けたのは、律法を行ったからか、それとも、聞いて信じたからか。

3

οὕτως	ἀνόητοί	ἐστε?	ἐναρξάμενοι	Πνεύματι,	νῦν	σαρκὶ	ἐπιτελεῖσθε?
このように	愚かな	のか	始めて	御霊で	今	肉で	完成するのか
G3779	G0453	G1510	G1728	G4151	G3568	G4561	G2005

あなたがたは、そんなに物わかりがわるいのか。御霊で始めたのに、今になって肉で仕上げるというのか。

4

τοσαῦτα	ἐπάθετε	εἰκῇ?	εἴ	γε	καὶ	εἰκῇ?
それほど	苦しんだのか	無駄に	もし	本当に	また	無駄に
G5118	G3958	G1500	G1487	G1065	G2532	G1500

あれほどの大きな経験をしたことは、むだであったのか。まさか、むだではあるまい。

5

ὁ	οὖν	ἐπιχορηγῶν	ὑμῖν	τὸ	Πνεῦμα,	καὶ	ἐνεργῶν
その	それゆえ	与えてくださる-方は	あなたがたに	その	御霊を	そして	働かせる-方は
G3588	G3767	G2023	G4771	G3588	G4151	G2532	G1754

δυνάμεις	ἐν	ὑμῖν,	ἐξ	ἔργων	νόμου	ἢ	ἐξ
力ある-業を	～の中で	あなたがたの-中で	～によって	行いに-よって	律法の	それとも	～によって
G1411	G1722	G4771	G1537	G2041	G3551	G2228	G1537

ἀκοῆς	πίστεως?
聞くことに-よって	信仰の
G0189	G4102

すると、あなたがたに御霊を賜い、力あるわざをあなたがたの間でなされたのは、律法を行ったからか、それとも、聞いて信じたからか。

6

καθὼς	Ἀβραὰμ	ἐπίστευσεν	τῷ	Θεῷ,	καὶ	ἐλογίσθη	αὐτῷ
ちょうど-同じように	アブラハムは	信じた	その	神を	そして	認められた	彼に
G2531	G0011	G4100	G3588	G2316	G2532	G3049	G0846

εἰς	δικαιοσύνην.
～として	義として
G1519	G1343

このように、アブラハムは「神を信じた。それによって、彼は義と認められた」のである。

7

Γινώσκετε	ἄρα	ὅτι	οἱ	ἐκ	πίστεως,	οὗτοι	υἱοί
知りなさい	だから	～ということを	その	～から	信仰による-者こそ	この者たちが	子孫で
G1097	G0686	G3754	G3588	G1537	G4102	G3778	G5207

εἰσιν	Ἀβραάμ.
ある	アブラハムの
G1510	G0011

だから、信仰による者こそアブラハムの子であることを、知るべきである。

8 προϊδοῦσα 見越して G4308 δὲ さて G1161 ἡ その G3588 γραφὴ, 聖書は G1124 ὅτι ～ということを G3754 ἐκ ～によって G1537 πίστεως 信仰に-よって G4102 δικαιοῖ 義とする G1344 τὰ その G3588
ἔθνη 異邦人を G1484 ὁ その G3588 Θεὸς, 神が G2316 προευηγγελίσατο あらかじめ-福音を-告げた G4283 τῷ その G3588 Ἀβραὰμ アブラハムに G0011 ὅτι: ～と G3754 Ἐνευλογηθήσονται 祝福される G1757
ἐν ～において G1722 σοὶ, あなたにおいて G4771 πάντα すべての G3956 τὰ その G3588 ἔθνη. 国民が G1484

聖書は、神が異邦人を信仰によって義とされることを、あらかじめ知って、アブラハムに、「あなたによって、すべての国民は祝福されるであろう」との良い知らせを、予告したのである。

9 ὥστε, したがって G5620 οἱ その G3588 ἐκ ～から G1537 πίστεως 信仰による-者は G4102 εὐλογοῦνται 祝福される G2127 σὺν ～と共に G4862 τῷ その G3588 πιστῷ 信仰の G4103 Ἀβραάμ. アブラハムと G0011

このように、信仰による者は、信仰の人アブラハムと共に、祝福を受けるのである。

10 Ὅσοι すべて G3745 γὰρ なぜなら G1063 ἐξ ～から G1537 ἔργων 行いに-よる G2041 νόμου 律法の G3551 εἰσὶν, 者は G1510 ὑπὸ ～の下に G5259 κατάραν 呪いの-下に G2671 εἰσίν. ある G1510
γέγραπται 書かれている G1125 γὰρ なぜなら G1063 ὅτι, ～と G3754 Ἐπικατάρατος 呪われよ G1944 πᾶς すべての G3956 ὃς ～の者は G3739 οὐκ ～ない G3756 ἐμμένει 留まらない G1696 πᾶσιν すべての G3956
τοῖς その G3588 γεγραμμένοις 書かれている-ことに G1125 ἐν ～の中の G1722 τῷ その G3588 βιβλίῳ 書物の-中の G0975 τοῦ その G3588 νόμου, 律法の G3551 τοῦ その G3588 ποιῆσαι 行う G4160
αὐτά. それらを G0846

いったい、律法の行いによる者は、皆のろいの下にある。「律法の書に書いてあるいっさいのことを守らず、これを行わない者は、皆のろわれる」と書いてあるからである。

11 ὅτι ～ということは G3754 δὲ さて G1161 ἐν ～において G1722 νόμῳ, 律法に-おいて G3551 οὐδεὶς だれも G3762 δικαιοῦται 義とされない G1344 παρὰ ～の前で G3844 τῷ その G3588
Θεῷ, 神の-前で G2316 δῆλον; 明らかである G1212 ὅτι, なぜなら G3754 Ὁ その G3588 δίκαιος 義人は G1342 ἐκ ～によって G1537 πίστεως 信仰に-よって G4102 ζήσεται. 生きる G2198

そこで、律法によっては、神のみまえに義とされる者はひとりもないことが、明らかである。なぜなら、「信仰による義人は生きる」からである。

12 ὁ その G3588 δὲ しかし G1161 νόμος 律法は G3551 οὐκ ～ではない G3756 ἔστιν ある G1510 ἐκ ～から G1537 πίστεως; 信仰からの-ものでは G4102 ἀλλ’, しかし G0235 Ὁ その G3588 ποιήσας 行った G4160
αὐτὰ それらを G0846 ζήσεται 生きる G2198 ἐν ～によって G1722 αὐτοῖς. それらに-よって G0846

律法は信仰に基いているものではない。かえって、「律法を行う者は律法によって生きる」のである。

13 Χριστὸς ἡμᾶς ἐξηγόρασεν ἐκ τῆς κατάρας τοῦ νόμου, γενόμενος
キリストは 私たちを 贖い-出した ～から その 呪いから その 律法の なって
G5547 G1473 G1805 G1537 G3588 G2671 G3588 G3551 G1096

ὑπὲρ ἡμῶν κατάρα, ὅτι γέγραπται, Ἐπικατάρατος πᾶς ὁ
～のために 私たちの-ために 呪いと なぜなら 書かれている 呪われよ すべて その
G5228 G1473 G2671 G3754 G1125 G1944 G3956 G3588

κρεμάμενος ἐπὶ ξύλου;
掛けられた ～の上に 木の-上に
G2910 G1909 G3586

キリストは、わたしたちのためにのろいとなって、わたしたちを律法ののろいからあがない出して下さった。聖書に、「木にかけられる者は、すべてのろわれる」と書いてある。

14 ἵνα εἰς τὰ ἔθνη ἡ εὐλογία τοῦ Ἀβραὰμ γένηται,
～するために ～へ その 異邦人に その 祝福が その アブラハムの 来るために
G2443 G1519 G3588 G1484 G3588 G2129 G3588 G0011 G1096

ἐν Ἰησοῦ Χριστῷ, ἵνα τὴν ἐπαγγελίαν τοῦ Πνεύματος
～において イエス キリストにおいて ～するために その 約束を その 御霊の
G1722 G2424 G5547 G2443 G3588 G1860 G3588 G4151

λάβωμεν, διὰ τῆς πίστεως.
受けるために ～を通して その 信仰を-通して
G2983 G1223 G3588 G4102

それは、アブラハムの受けた祝福が、イエス・キリストにあって異邦人に及ぶためであり、約束された御霊を、わたしたちが信仰によって受けるためである。

15 Ἀδελφοί, κατὰ ἄνθρωπον λέγω, ὅμως ἀνθρώπου κεκυρωμένην διαθήκην,
兄弟たちよ ～に従い 人間の-例えで 言う それでも 人間の 批准された 契約を
G0080 G2596 G0444 G3004 G3676 G0444 G2964 G1242

οὐδεὶς ἀθετεῖ, ἢ ἐπιδιατάσσεται.
だれも 無効にしない あるいは 付け加えない
G3762 G0114 G2228 G1928

兄弟たちよ。世のならわしを例にとって言おう。人間の遺言でさえ、いったん作成されたら、これを無効にしたり、これに付け加えたりすることは、だれにもできない。

16 τῷ δὲ Ἀβραὰμ ἐρρέθησαν αἱ ἐπαγγελίαι, καὶ τῷ σπέρματι αὐτοῦ;
その さて アブラハムに 語られた その 約束は そして その 子孫に 彼の
G3588 G1161 G0011 G2046 G3588 G1860 G2532 G3588 G4690 G0846

οὐ λέγει, Καὶ τοῖς σπέρμασιν, ὡς ἐπὶ πολλῶν;
～ない 言っていない そして その 子孫たちに-とは ～のように ～について 多くの-者について
G3756 G3004 G2532 G3588 G4690 G5613 G1909 G4183

ἀλλ’ ὡς ἐφ’ ἑνός, Καὶ τῷ σπέρματί σου, ὅς
しかし ～のように ～について 一つの-者について すなわち その 子孫に-と あなたの それは
G0235 G5613 G1909 G1520 G2532 G3588 G4690 G4771 G3739

ἐστιν Χριστός.
である キリストで-ある
G1510 G5547

さて、約束は、アブラハムと彼の子孫とに対してなされたのである。それは、多数をさして「子孫たちとに」と言わずに、ひとりをさして「あなたの子孫とに」と言っている。これは、キリストのことである。

17 τοῦτο δὲ λέγω, διαθήκην, προκεκυρωμένην ὑπὸ τοῦ Θεοῦ,
このことを さて 言う 契約を あらかじめ-批准された ～によって その 神に-よって
G3778 G1161 G3004 G1242 G4300 G5259 G3588 G2316

ὁ μετὰ τετρακόσια καὶ τριάκοντα ἔτη γεγονὼς, νόμος οὐκ
その ～の後 四百 と 三十 年の-後に 来た 律法は ～ない
G3588 G3326 G5071 G2532 G5144 G2094 G1096 G3551 G3756

ἀκυροῖ, εἰς τὸ καταργῆσαι τὴν ἐπαγγελίαν.
無効にしない ～するために その 廃棄するために その 約束を
G0208 G1519 G3588 G2673 G3588 G1860

わたしの言う意味は、こうである。神によってあらかじめ立てられた契約が、四百三十年の後にできた律法によって破棄されて、その約束がむなしくなるようなことはない。

18 εἰ γὰρ ἐκ νόμου ἡ κληρονομία, οὐκέτι ἐξ ἐπαγγελίας;
もし なぜなら ～から 律法から その 相続が もはや～でない ～から 約束から
G1487 G1063 G1537 G3551 G3588 G2817 G3765 G1537 G1860

τῷ δὲ Ἀβραὰμ δι’ ἐπαγγελίας, κεχάρισται ὁ Θεός.
その しかし アブラハムに ～を通して 約束を-通して 賜った その 神が
G3588 G1161 G0011 G1223 G1860 G5483 G3588 G2316

もし相続が、律法に基いてなされるとすれば、もはや約束に基いたものではない。ところが事実、神は約束によって、相続の恵みをアブラハムに賜わったのである。

19 Τί οὖν ὁ νόμος? τῶν παραβάσεων χάριν προσετέθη, ἄχρις οὗ
何か それでは その 律法は その 違反の ゆえに 加えられた ～まで その-方が
G5101 G3767 G3588 G3551 G3588 G3847 G5484 G4369 G0891 G3739

ἔλθῃ τὸ σπέρμα ᾧ ἐπήγγελται, διαταγεὶς δι’ ἀγγέλων
来る-まで その 子孫が その-方に 約束された 定められた ～を通して 御使いたちを-通して
G2064 G3588 G4690 G3739 G1861 G1299 G1223 G0032

ἐν χειρὶ μεσίτου.
～の中で 手の-中で 仲介者の
G1722 G5495 G3316

それでは、律法はなんであるか。それは違反を促すため、あとから加えられたのであって、約束されていた子孫が来るまで存続するだけのものであり、かつ、天使たちをとおし、仲介者の手によって制定されたものにすぎない。

20 ὁ δὲ μεσίτης ἑνὸς οὐκ ἔστιν; ὁ δὲ Θεὸς εἷς ἐστιν.
その さて 仲介者は 一方だけの-者では ～ない ない その しかし 神は 唯一で ある
G3588 G1161 G3316 G1520 G3756 G1510 G3588 G1161 G2316 G1520 G1510

仲介者なるものは、一方だけに属する者ではない。しかし、神はひとりである。

21 ὁ οὖν νόμος κατὰ τῶν ἐπαγγελιῶν τοῦ Θεοῦ? μὴ γένοιτο!
その それでは 律法は ～に反して その 約束に-反して その 神の 決して そうではない
G3588 G3767 G3551 G2596 G3588 G1860 G3588 G2316 G3361 G1096

εἰ γὰρ ἐδόθη νόμος ὁ δυνάμενος ζωοποιῆσαι, ὄντως ἐκ
もし なぜなら 与えられた 律法が その できる 命を-与える まことに ～によって
G1487 G1063 G1325 G3551 G3588 G1410 G2227 G3689 G1537

νόμου ἂν ἦν ἡ δικαιοσύνη;
律法に-よって ～であろう あった その 義が
G3551 G0302 G1510 G3588 G1343

では、律法は神の約束と相いれないものか。断じてそうではない。もし人を生かす力のある律法が与えられていたとすれば、義はたしかに律法によって実現されたであろう。

22 ἀλλὰ συνέκλεισεν ἡ γραφὴ τὰ πάντα ὑπὸ ἁμαρτίαν, ἵνα ἡ
しかし 閉じ込めた その 聖書は その すべてを ～の下に 罪の-下に ～するために その
G0235 G4788 G3588 G1124 G3588 G3956 G5259 G0266 G2443 G3588

ἐπαγγελία, ἐκ πίστεως Ἰησοῦ Χριστοῦ, δοθῇ τοῖς
約束が ～によって 信仰に-よって イエス キリストの 与えられるために その
G1860 G1537 G4102 G2424 G5547 G1325 G3588

πιστεύουσιν.
信じる-者たちに
G4100

しかし、約束が、信じる人々にイエス・キリストに対する信仰によって与えられるために、聖書はすべての人を罪の下に閉じ込めたのである。

23 Πρὸ τοῦ δὲ ἐλθεῖν τὴν πίστιν, ὑπὸ νόμον ἐφρουρούμεθα,
～の前に その しかし 来る その 信仰が ～の下に 律法の-下に 守られていた
G4253 G3588 G1161 G2064 G3588 G4102 G5259 G3551 G5432

συνκλειόμενοι εἰς τὴν μέλλουσαν πίστιν ἀποκαλυφθῆναι.
閉じ込められて ～へ向けて その やがて来る 信仰が 啓示されるまで
G4788 G1519 G3588 G3195 G4102 G0601

しかし、信仰が現れる前には、わたしたちは律法の下で監視されており、やがて啓示される信仰の時まで閉じ込められていた。

24 ὥστε ὁ νόμος, παιδαγωγὸς ἡμῶν γέγονεν, εἰς Χριστόν,
こうして その 律法は 養育係と 私たちの なった ～へ向けて キリストへの
G5620 G3588 G3551 G3807 G1473 G1096 G1519 G5547

ἵνα ἐκ πίστεως δικαιωθῶμεν.
～するために ～によって 信仰に-よって 義とされるために
G2443 G1537 G4102 G1344

このようにして律法は、信仰によって義とされるために、わたしたちをキリストに連れて行く養育掛となったのである。

25 ἐλθούσης δὲ τῆς πίστεως, οὐκέτι ὑπὸ παιδαγωγόν ἐσμεν;
来た しかし その 信仰が もはや～ない ～の下に 養育係の-下に いない
G2064 G1161 G3588 G4102 G3765 G5259 G3807 G1510

しかし、いったん信仰が現れた以上、わたしたちは、もはや養育掛のもとにはいない。

26 Πάντες γὰρ υἱοὶ Θεοῦ ἐστε, διὰ τῆς πίστεως ἐν
すべて なぜなら 神の-子で 神の ある ～を通して その 信仰を-通して ～において
G3956 G1063 G5207 G2316 G1510 G1223 G3588 G4102 G1722

Χριστῷ Ἰησοῦ.
キリスト イエスにおいて
G5547 G2424

あなたがたはみな、キリスト・イエスにある信仰によって、神の子なのである。

27 ὅσοι γὰρ εἰς Χριστὸν ἐβαπτίσθητε, Χριστὸν ἐνεδύσασθε.
すべて なぜなら ～の中へ キリストの-中へ バプテスマを-受けた キリストを 着た
G3745 G1063 G1519 G5547 G0907 G5547 G1746

キリストに合うバプテスマを受けたあなたがたは、皆キリストを着たのである。

28

οὐκ	ἔνι	Ἰουδαῖος	οὐδὲ	Ἕλλην;	οὐκ	ἔνι	δοῦλος	οὐδὲ
～ない	ない	ユダヤ人も	～もない	ギリシャ人も	～ない	ない	奴隷も	～もない
G3756	G1762	G2453	G3761	G1672	G3756	G1762	G1401	G3761

ἐλεύθερος;	οὐκ	ἔνι	ἄρσεν	καὶ	θῆλυ;	πάντες	γὰρ	ὑμεῖς	εἷς
自由人も	～ない	ない	男も	そして	女も	すべて	なぜなら	あなたがたは	一つで
G1658	G3756	G1762	G0730	G2532	G2338	G3956	G1063	G4771	G1520

ἐστε,	ἐν	Χριστῷ	Ἰησοῦ.
ある	～において	キリスト	イエスにおいて
G1510	G1722	G5547	G2424

もはや、ユダヤ人もギリシヤ人もなく、奴隷も自由人もなく、男も女もない。あなたがたは皆、キリスト・イエスにあって一つだからである。

29

εἰ	δὲ	ὑμεῖς	Χριστοῦ,	ἄρα	τοῦ	Ἀβραὰμ	σπέρμα	ἐστέ,
もし	さて	あなたがたが	キリストの–ものなら	それでは	その	アブラハムの	子孫で	ある
G1487	G1161	G4771	G5547	G0686	G3588	G0011	G4690	G1510

κατ’	ἐπαγγελίαν	κληρονόμοι.
～に従い	約束に–よる	相続人である
G2596	G1860	G2818

もしキリストのものであるなら、あなたがたはアブラハムの子孫であり、約束による相続人なのである。

Chapter 4

1

Λέγω	δέ,	ἐφ’	ὅσον	χρόνον	ὁ	κληρονόμος	νήπιός	ἐστιν,	οὐδὲν	διαφέρει
言う	さて	～の間	その	時の–間	その	相続人が	幼い	である	何も	変わらない
G3004	G1161	G1909	G3745	G5550	G3588	G2818	G3516	G1510	G3762	G1308

δούλου,	κύριος	πάντων	ὤν;
奴隷と	主人で	すべての–ものの	ありながら
G1401	G2962	G3956	G1510

わたしの言う意味は、こうである。相続人が子供である間は、全財産の持ち主でありながら、僕となんの差別もなく、

2

ἀλλὰ	ὑπὸ	ἐπιτρόπους	ἐστὶν,	καὶ	οἰκονόμους,	ἄχρι	τῆς	προθεσμίας
しかし	～の下に	後見人の–下に	ある	そして	管理人の–下に	～まで	その	定められた–時まで
G0235	G5259	G2012	G1510	G2532	G3623	G0891	G3588	G4287

τοῦ	πατρός.
その	父の
G3588	G3962

父親の定めた時期までは、管理人や後見人の監督の下に置かれているのである。

3

οὕτως	καὶ	ἡμεῖς,	ὅτε	ἦμεν	νήπιοι,	ὑπὸ	τὰ	στοιχεῖα	τοῦ
同じように	また	私たちも	～のとき	であった	幼かった	～の下に	その	請原理の–下に	その
G3779	G2532	G1473	G3753	G1510	G3516	G5259	G3588	G4747	G3588

κόσμου	ἤμεθα	δεδουλωμένοι.
世の	であった	奴隷に–されていた
G2889	G1510	G1402

それと同じく、わたしたちも子供であった時には、いわゆるこの世のもろもろの霊力の下に、縛られていた者であった。

4 ὅτε δὲ ἦλθεν τὸ πλήρωμα τοῦ χρόνου, ἐξαπέστειλεν ὁ Θεὸς τὸν
しかし さて 来た その 満ちる–時が その 時の 遣わした その 神は その
G3753 G1161 G2064 G3588 G4138 G3588 G5550 G1821 G3588 G2316 G3588

Υἱὸν αὐτοῦ, γενόμενον ἐκ γυναικός, γενόμενον ὑπὸ νόμον,
御子を 御自身の 生まれた ～から 女から 生まれた ～の下に 律法の–下に
G5207 G0846 G1096 G1537 G1135 G1096 G5259 G3551

しかし、時の満ちるに及んで、神は御子を女から生れさせ、律法の下に生れさせて、おつかわしになった。

5 ἵνα τοὺς ὑπὸ νόμον ἐξαγοράσῃ, ἵνα τὴν
～するために その ～の下にいる 律法の–下の–者を 贖い–出すために ～するために その
G2443 G3588 G5259 G3551 G1805 G2443 G3588

υἱοθεσίαν ἀπολάβωμεν.
子としての–身分を 受けるために
G5206 G0618

それは、律法の下にある者をあがない出すため、わたしたちに子たる身分を授けるためであった。

6 Ὅτι δέ ἐστε υἱοί, ἐξαπέστειλεν ὁ Θεὸς τὸ Πνεῦμα τοῦ Υἱοῦ
～ということを さて ある 子で 遣わした その 神は その 御霊を その 御子の
G3754 G1161 G1510 G5207 G1821 G3588 G2316 G3588 G4151 G3588 G5207

αὐτοῦ, εἰς τὰς καρδίας ἡμῶν, κρᾶζον, Ἀββᾶ! ὁ Πατήρ!
御自身の ～の中へ その 心の–中へ 私たちの 叫ばれる アバ その 父よと
G0846 G1519 G3588 G2588 G1473 G2896 G0005 G3588 G3962

このように、あなたがたは子であるのだから、神はわたしたちの心の中に、「アバ、父よ」と呼ぶ御子の霊を送って下さったのである。

7 ὥστε οὐκέτι εἶ δοῦλος, ἀλλὰ υἱός; εἰ δὲ υἱός, καὶ
こうして もはや～ない あなたは 奴隷ではない しかし 子である もし さて 子ならば また
G5620 G3765 G1510 G1401 G0235 G5207 G1487 G1161 G5207 G2532

κληρονόμος διὰ Θεοῦ.
相続人でもある ～を通して 神を–通して
G2818 G1223 G2316

したがって、あなたがたはもはや僕ではなく、子である。子である以上、また神による相続人である。

8 Ἀλλὰ τότε μὲν οὐκ εἰδότες Θεὸν, ἐδουλεύσατε τοῖς φύσει μὴ
しかし その時 一方では ～なく 知らずに 神を 仕えていた その 本質的には ～でない
G0235 G5119 G3303 G3756 G1492 G2316 G1398 G3588 G5449 G3361

οὖσιν θεοῖς;
ある 神々に
G1510 G2316

神を知らなかった当時、あなたがたは、本来神ならぬ神々の奴隷になっていた。

9 νῦν 今 G3568 δὲ, しかし G1161 γνόντες 知って G1097 Θεόν, 神を G2316 μᾶλλον むしろ G3123 δὲ さて G1161 γνωσθέντες 知られて G1097 ὑπὸ ～によって G5259 Θεοῦ, 神に-よって G2316 πῶς どうして G4459 ἐπιστρέφετε 立ち戻るのか G1994 πάλιν 再び G3825 ἐπὶ ～へ G1909 τὰ その G3588 ἀσθενῆ 弱い G0772 καὶ そして G2532 πτωχὰ 貧しい G4434 στοιχεῖα, 請原理へ G4747 οἷς それらに G3739 πάλιν 再び G3825 ἄνωθεν 新たに G0509 δουλεύειν 仕えることを G1398 θέλετε? 望むのか G2309

しかし、今では神を知っているのに、否、むしろ神に知られているのに、どうして、あの無力で貧弱な、もろもろの霊力に逆もどりして、またもや、新たにその奴隷になろうとするのか。

10 ἡμέρας 日を G2250 παρατηρεῖσθε, 守っている G3906 καὶ そして G2532 μῆνας, 月を G3376 καὶ そして G2532 καιροὺς, 季節を G2540 καὶ そして G2532 ἐνιαυτούς. 年を G1763

あなたがたは、日や月や季節や年などを守っている。

11 φοβοῦμαι 恐れている G5399 ὑμᾶς, あなたがたの-ことを G4771 μή ～ないように G3361 πως もしかして G4459 εἰκῇ 無駄に G1500 κεκοπίακα 労苦した G2872 εἰς ～のために G1519 ὑμᾶς. あなたがたの-ために G4771

わたしは、あなたがたのために努力してきたことが、あるいは、むだになったのではないかと、あなたがたのことが心配でならない。

12 Γίνεσθε なりなさい G1096 ὡς ～のように G5613 ἐγώ, 私のように G1473 ὅτι なぜなら G3754 κἀγὼ 私もまた G2504 ὡς ～のように G5613 ὑμεῖς, あなたがたのように G4771 ἀδελφοί; 兄弟たちよ G0080 δέομαι 願う G1189 ὑμῶν: あなたがたに G4771 οὐδέν 何も G3762 με 私を G1473 ἠδικήσατε. 害しなかった G0091

兄弟たちよ。お願いする。どうか、わたしのようになってほしい。わたしも、あなたがたのようになったのだから。あなたがたは、一度もわたしに対して不都合なことをしたことはない。

13 οἴδατε 知っている G1492 δὲ さて G1161 ὅτι ～ということを G3754 δι’ ～のために G1223 ἀσθένειαν 弱さの-ために G0769 τῆς その G3588 σαρκὸς, 肉体の G4561 εὐηγγελισάμην 宣べ伝えた G2097 ὑμῖν あなたがたに G4771 τὸ その G3588 πρότερον; 以前に G4386

あなたがたも知っているとおり、最初わたしがあなたがたに福音を伝えたのは、わたしの肉体が弱っていたためであった。

14

καὶ	τὸν	πειρασμὸν	ὑμῶν,	ἐν	τῇ	σαρκί	μου,	οὐκ	
そして	その	試みを	あなたがたの	～における	その	肉体に-おける	私の	～なかった	
G2532	G3588	G3986	G4771	G1722	G3588	G4561	G1473	G3756	

ἐξουθενήσατε,	οὐδὲ	ἐξεπτύσατε;	ἀλλὰ	ὡς	ἄγγελον	Θεοῦ,	ἐδέξασθέ	
蔑まなかった	～もなく	吐き捨てなかった	しかし	～のように	御使いのように	神の	迎えた	
G1848	G3761	G1609	G0235	G5613	G0032	G2316	G1209	

με,	ὡς	Χριστὸν	Ἰησοῦν.
私を	～のように	キリスト	イエスのように
G1473	G5613	G5547	G2424

そして、わたしの肉体にはあなたがたにとって試錬となるものがあったのに、それを卑しめもせず、またきらいもせず、かえってわたしを、神の使かキリスト・イエスかでもあるように、迎えてくれた。

15

ποῦ	οὖν	ὁ	μακαρισμὸς	ὑμῶν?	μαρτυρῶ	γὰρ,	ὑμῖν	
どこに	それでは	その	祝福は	あなたがたの	証言する	なぜなら	あなたがたに	
G4226	G3767	G3588	G3108	G4771	G3140	G1063	G4771	

ὅτι,	εἰ	δυνατὸν,	τοὺς	ὀφθαλμοὺς	ὑμῶν	ἐξορύξαντες,	ἐδώκατέ	
～ということを	もし	可能であれば	その	目を	あなたがたの	えぐり取って	与えた	
G3754	G1487	G1415	G3588	G3788	G4771	G1846	G1325	

μοι.	
私に	
G1473	

その時のあなたがたの感激は、今どこにあるのか。はっきり言うが、あなたがたは、できることなら、自分の目をえぐり出してでも、わたしにくれたかったのだ。

16

ὥστε	ἐχθρὸς	ὑμῶν	γέγονα,	ἀληθεύων	ὑμῖν?
それでは	敵に	あなたがたの	なったのか	真実を-語って	あなたがたに
G5620	G2190	G4771	G1096	G0226	G4771

それだのに、真理を語ったために、わたしはあなたがたの敵になったのか。

17

ζηλοῦσιν	ὑμᾶς	οὐ	καλῶς,	ἀλλὰ	ἐκκλεῖσαι	ὑμᾶς.	
熱心に-する	あなたがたを	～ない	良くない-やり方で	しかし	閉め出すことを	あなたがたを	
G2206	G4771	G3756	G2573	G0235	G1576	G4771	

θέλουσιν,	ἵνα	αὐτοὺς	ζηλοῦτε.
望んでいる	～するために	彼らを	慕うために
G2309	G2443	G0846	G2206

彼らがあなたがたに対して熱心なのは、善意からではない。むしろ、自分らに熱心にならせるために、あなたがたをわたしから引き離そうとしているのである。

18

καλὸν	δὲ	ζηλοῦσθαι	ἐν	καλῷ	πάντοτε,	καὶ		
良いことである	しかし	慕われることは	～において	良い-ことにおいて	いつも	そして		
G2570	G1161	G2206	G1722	G2570	G3842	G2532		

μὴ	μόνον	ἐν	τῷ	παρεῖναί,	με	πρὸς	ὑμᾶς.	
～ではなく	ただ	～のときに	その	共に-いる-ときに	私が	～のもとに	あなたがたの	
G3361	G3440	G1722	G3588	G3918	G1473	G4314	G4771	

わたしがあなたがたの所にいる時だけでなく、いつも、良いことについて熱心に慕われるのは、良いことである。

19 τέκνα μου, οὓς πάλιν ὠδίνω, μέχρις οὗ
子よ 私の その–人たちの–ために 再び 産みの–苦しみを–している ～まで その–時まで
G5043 G1473 G3739 G3825 G5605 G3360 G3739

μορφωθῇ Χριστὸς ἐν ὑμῖν --
形づくられる キリストが ～の中に あなたがたの–中に
G3445 G5547 G1722 G4771

ああ、わたしの幼な子たちよ。あなたがたの内にキリストの形ができるまでは、わたしは、またもや、あなたがたのために産みの苦しみをする。

20 ἤθελον δὲ παρεῖναι πρὸς ὑμᾶς ἄρτι, καὶ ἀλλάξαι τὴν
望んだ さて 共に–いることを ～のもとに あなたがたの 今 そして 変えることを その
G2309 G1161 G3918 G4314 G4771 G0737 G2532 G0236 G3588

φωνήν μου, ὅτι ἀποροῦμαι ἐν ὑμῖν.
言葉を 私の なぜなら 困惑している ～について あなたがたに–ついて
G5456 G1473 G3754 G0639 G1722 G4771

できることなら、わたしは今あなたがたの所にいて、語調を変えて話してみたい。わたしは、あなたがたのことで、途方にくれている。

21 Λέγετέ μοι, οἱ ὑπὸ νόμον θέλοντες εἶναι, τὸν νόμον
言いなさい 私に その ～の下に 律法の–下に 望んでいる–者よ いることを その 律法を
G3004 G1473 G3588 G5259 G3551 G2309 G1510 G3588 G3551

οὐκ ἀκούετε?
～ない 聞かないのか
G3756 G0191

律法の下にとどまっていたいと思う人たちよ。わたしに答えなさい。あなたがたは律法の言うところを聞かないのか。

22 γέγραπται γὰρ, ὅτι Ἀβραὰμ δύο υἱοὺς ἔσχεν; ἕνα ἐκ τῆς
書かれている なぜなら ～と アブラハムは 二人の 息子を 持った 一人は ～から その
G1125 G1063 G3754 G0011 G1417 G5207 G2192 G1520 G1537 G3588

παιδίσκης, καὶ ἕνα ἐκ τῆς ἐλευθέρας.
女奴隷から そして 一人は ～から その 自由の–女から
G3814 G2532 G1520 G1537 G3588 G1658

そのしるすところによると、アブラハムにふたりの子があったが、ひとりは女奴隷から、ひとりは自由の女から生れた。

23 ἀλλ’ ὁ μὲν ἐκ τῆς παιδίσκης, κατὰ σάρκα γεγέννηται;
しかし その 一方は ～から その 女奴隷からの–者は ～に従い 肉に–よって 生まれた
G0235 G3588 G3303 G1537 G3588 G3814 G2596 G4561 G1080

ὁ δὲ ἐκ τῆς ἐλευθέρας, δι’ τῆς ἐπαγγελίας --
その しかし ～から その 自由の–女からの–者は ～を通して その 約束を–通して
G3588 G1161 G1537 G3588 G1658 G1223 G3588 G1860

女奴隷の子は肉によって生れたのであり、自由の女の子は約束によって生れたのであった。

24 ἅτινά ἐστιν ἀλληγορούμενα: αὗται γάρ εἰσιν δύο διαθῆκαι,
これらの–ことは ある 比喩として–語られている これらは なぜなら ある 二つの 契約で
G3748 G1510 G0238 G3778 G1063 G1510 G1417 G1242

μία μὲν ἀπὸ ὄρους Σινᾶ, εἰς δουλείαν γεννῶσα, ἥτις ἐστὶν
一つは 一方は ～から 山から シナイ ～へと 奴隷の–身分へと 産む それは である
G1520 G3303 G0575 G3735 G4614 G1519 G1397 G1080 G3748 G1510

Ἁγάρ.
ハガルで–ある
G0028

さて、この物語は比喩としてみられる。すなわち、この女たちは二つの契約をさす。そのひとりはシナイ山から出て、奴隷となる者を産む。ハガルがそれである。

25 τὸ δὲ Ἁγὰρ Σινᾶ ὄρος ἐστὶν, ἐν τῇ Ἀραβίᾳ, συστοιχεῖ
その さて ハガルは シナイ 山で ある ～における その アラビヤにおける 対応する
G3588 G1161 G0028 G4614 G3735 G1510 G1722 G3588 G0688 G4960

δὲ τῇ νῦν Ἰερουσαλήμ, δουλεύει γὰρ μετὰ τῶν τέκνων
しかし その 今の エルサレムに 仕えている なぜなら ～と共に その 子どもたちと–共に
G1161 G3588 G3568 G2419 G1398 G1063 G3326 G3588 G5043

αὐτῆς;
彼女の
G0846

ハガルといえば、アラビヤではシナイ山のことで、今のエルサレムに当る。なぜなら、それは子たちと共に、奴隷となっているからである。

26 ἡ δὲ ἄνω Ἰερουσαλὴμ, ἐλευθέρα ἐστίν, ἥτις ἐστὶν μήτηρ ἡμῶν.
その しかし 上の エルサレムは 自由で ある それは である 母で–ある 私たちの
G3588 G1161 G0507 G2419 G1658 G1510 G3748 G1510 G3384 G1473

しかし、上なるエルサレムは、自由の女であって、わたしたちの母をさす。

27 γέγραπται γάρ, Εὐφράνθητι, στεῖρα ἡ οὐ τίκτουσα; ῥῆξον
書かれている なぜなら 喜べ 不妊の–女よ その ～ない 産まない–者よ 声を–上げよ
G1125 G1063 G2165 G4723 G3588 G3756 G5088 G4486

καὶ βόησον, ἡ οὐκ ὠδίνουσα; ὅτι πολλὰ τὰ τέκνα
そして 叫べ その ～ない 産みの–苦しみの–ない–者よ なぜなら 多くの その 子どもが
G2532 G0994 G3588 G3756 G5605 G3754 G4183 G3588 G5043

τῆς ἐρήμου μᾶλλον, ἢ τῆς ἐχούσης τὸν ἄνδρα.
その 孤独の–女の はるかに–多い ～よりも その 持つ–女の–よりも その 夫を
G3588 G2048 G3123 G2228 G3588 G2192 G3588 G0435

すなわち、こう書いてある、「喜べ、不妊の女よ。声をあげて喜べ、産みの苦しみを知らない女よ。ひとり者となっている女は多くの子を産み、その数は、夫ある女の子らよりも多い」。

28 ὑμεῖς δέ, ἀδελφοί, κατὰ Ἰσαὰκ, ἐπαγγελίας τέκνα ἐστέ.
あなたがたは さて 兄弟たちよ ～に従い イサクの–ように 約束の 子で ある
G4771 G1161 G0080 G2596 G2464 G1860 G5043 G1510

兄弟たちよ。あなたがたは、イサクのように、約束の子である。

29 ἀλλ’ ὥσπερ τότε ὁ κατὰ σάρκα γεννηθεὶς, ἐδίωκεν
しかし ちょうど–同じように その時 その ～に従い 肉に–従って 生まれた–者が 迫害した
G0235 G5618 G5119 G3588 G2596 G4561 G1080 G1377

τὸν κατὰ Πνεῦμα, οὕτως καὶ νῦν.
その ～に従い 御霊に–従っての–者を 同じように また 今も
G3588 G2596 G4151 G3779 G2532 G3568

しかし、その当時、肉によって生れた者が、霊によって生れた者を迫害したように、今でも同様である。

30 ἀλλὰ τί λέγει ἡ γραφή? Ἔκβαλε τὴν παιδίσκην καὶ τὸν υἱὸν
しかし 何と 言っている その 聖書は 追い–出せ その 女奴隷と そして その 息子を
G0235 G5101 G3004 G3588 G1124 G1544 G3588 G3814 G2532 G3588 G5207

αὐτῆς; οὐ γὰρ μὴ κληρονομήσει ὁ υἱὸς τῆς παιδίσκης,
彼女の ～ない なぜなら 決して～ない 相続しない その 息子は その 女奴隷の
G0846 G3756 G1063 G3361 G2816 G3588 G5207 G3588 G3814

μετὰ τοῦ υἱοῦ τῆς ἐλευθέρας.
～と共に その 息子と–共に その 自由の–女の
G3326 G3588 G5207 G3588 G1658

しかし、聖書はなんと言っているか。「女奴隷とその子とを追い出せ。女奴隷の子は、自由の女の子と共に相続をしてはならない」とある。

31 διό, ἀδελφοί, οὐκ ἐσμὲν παιδίσκης τέκνα, ἀλλὰ τῆς
それゆえ 兄弟たちよ ～ではない 私たちは 女奴隷の 子ではなく しかし その
G1352 G0080 G3756 G1510 G3814 G5043 G0235 G3588

ἐλευθέρας.
自由の–女の–子である
G1658

だから、兄弟たちよ。わたしたちは女奴隷の子ではなく、自由の女の子なのである。

Chapter 5

1 Τῇ ἐλευθερίᾳ, ἡμᾶς Χριστὸς ἠλευθέρωσεν; στήκετε, οὖν, καὶ μὴ
その 自由の–ために 私たちを キリストは 自由に–した 立ちなさい それゆえ そして ～ない
G3588 G1657 G1473 G5547 G1659 G4739 G3767 G2532 G3361

πάλιν ζυγῷ δουλείας ἐνέχεσθε.
再び くびきに 奴隷の つながれない–ように
G3825 G2218 G1397 G1758

自由を得させるために、キリストはわたしたちを解放して下さったのである。だから、堅く立って、二度と奴隷のくびきにつながれてはならない。

2 Ἴδε, ἐγὼ Παῦλος λέγω ὑμῖν, ὅτι ἐὰν περιτέμνησθε, Χριστὸς
見よ 私 パウロが 言う あなたがたに ～ということを もし 割礼を–受けるなら キリストは
G3708 G1473 G3972 G3004 G4771 G3754 G1437 G4059 G5547

ὑμᾶς οὐδὲν ὠφελήσει.
あなたがたに 何も 益にならない
G4771 G3762 G5623

見よ、このパウロがあなたがたに言う。もし割礼を受けるなら、キリストはあなたがたに用のないものになろう。

3

μαρτύρομαι	δὲ	πάλιν	παντὶ	ἀνθρώπῳ	περιτεμνομένῳ,	ὅτι
証言する	さて	再び	すべての	人に	割礼を–受ける–者に	～ということを
G3143	G1161	G3825	G3956	G0444	G4059	G3754

ὀφειλέτης	ἐστὶν,	ὅλον	τὸν	νόμον	ποιῆσαι.
義務が–ある	ある	全うする	その	律法を	行う
G3781	G1510	G3650	G3588	G3551	G4160

割礼を受けようとするすべての人たちに、もう一度言っておく。そういう人たちは、律法の全部を行う義務がある。

4

κατηργήθητε	ἀπὸ	Χριστοῦ,	οἵτινες	ἐν	νόμῳ	δικαιοῦσθε;
断たれた	～から	キリストから	その–人たちは	～において	律法に–おいて	義とされようとする
G2673	G0575	G5547	G3748	G1722	G3551	G1344

τῆς	χάριτος	ἐξεπέσατε.
その	恵みから	落ちた
G3588	G5485	G1601

律法によって義とされようとするあなたがたは、キリストから離れてしまっている。恵みから落ちている。

5

ἡμεῖς	γὰρ,	Πνεύματι,	ἐκ	πίστεως,	ἐλπίδα	δικαιοσύνης	ἀπεκδεχόμεθα.
私たちは	なぜなら	御霊に–よって	～から	信仰から	希望を	義の	待ち–望んでいる
G1473	G1063	G4151	G1537	G4102	G1680	G1343	G0553

わたしたちは、御霊の助けにより、信仰によって義とされる望みを強くいだいている。

6

ἐν	γὰρ	Χριστῷ	Ἰησοῦ,	οὔτε	περιτομή	τι	ἰσχύει,	οὔτε
～において	なぜなら	キリスト	イエスにおいて	～もなく	割礼も	何も	力がない	～もなく
G1722	G1063	G5547	G2424	G3777	G4061	G5100	G2480	G3777

ἀκροβυστία;	ἀλλὰ	πίστις	δι’	ἀγάπης	ἐνεργουμένη.
無割礼も	しかし	信仰が	～を通して	愛を–通して	働いている
G0203	G0235	G4102	G1223	G0026	G1754

キリスト・イエスにあっては、割礼があってもなくても、問題ではない。尊いのは、愛によって働く信仰だけである。

7

Ἐτρέχετε	καλῶς.	τίς	ὑμᾶς	ἐνέκοψεν,	‹τῇ›	ἀληθείᾳ	μὴ	πείθεσθαι?
走っていた	良く	だれが	あなたがたを	妨げたのか	その	真理に	～ない	従うことを
G5143	G2573	G5101	G4771	G1465	G3588	G0225	G3361	G3982

あなたがたはよく走り続けてきたのに、だれが邪魔をして、真理にそむかせたのか。

8

ἡ	πεισμονὴ	οὐκ	ἐκ	τοῦ	καλοῦντος	ὑμᾶς.
その	説得は	～からではない	～から	その	召された–方からの	あなたがたを
G3588	G3988	G3756	G1537	G3588	G2564	G4771

そのような勧誘は、あなたがたを召されたかたから出たものではない。

9

μικρὰ	ζύμη	ὅλον	τὸ	φύραμα	ζυμοῖ.
少しの	パン種が	全体の	その	練り粉を	膨らませる
G3398	G2219	G3650	G3588	G5445	G2220

少しのパン種でも、粉のかたまり全体をふくらませる。

10 ἐγὼ πέποιθα εἰς ὑμᾶς ἐν Κυρίῳ, ὅτι
私は 信頼している ～について あなたがたに–ついて ～において 主に–おいて ～ということを
G1473 G3982 G1519 G4771 G1722 G2962 G3754

οὐδὲν ἄλλο φρονήσετε. ὁ δὲ ταράσσων ὑμᾶς, βαστάσει τὸ
何も 他のことを 思わない その しかし 惑わしている–者は あなたがたを 負う その
G3762 G0243 G5426 G3588 G1161 G5015 G4771 G0941 G3588

κρίμα, ὅστις ἐὰν ᾖ.
裁きを その者が たとえ だれであっても
G2917 G3748 G1437 G1510

あなたがたはいささかもわたしと違った思いをいだくことはないと、主にあって信頼している。しかし、あなたがたを動揺させている者は、それがだれであろうと、さばきを受けるであろう。

11 Ἐγὼ δέ, ἀδελφοί, εἰ περιτομὴν ἔτι κηρύσσω, τί ἔτι
私は さて 兄弟たちよ もし 割礼を なおも 宣べ伝えているなら なぜ なおも
G1473 G1161 G0080 G1487 G4061 G2089 G2784 G5101 G2089

διώκομαι? ἄρα κατήργηται τὸ σκάνδαλον τοῦ σταυροῦ.
迫害されるのか それなら 廃された その つまずきは その 十字架の
G1377 G0686 G2673 G3588 G4625 G3588 G4716

兄弟たちよ。わたしがもし今でも割礼を宣べ伝えていたら、どうして、いまなお迫害されるはずがあろうか。そうしていたら、十字架のつまずきは、なくなっているであろう。

12 Ὄφελον καὶ ἀποκόψονται, οἱ ἀναστατοῦντες ὑμᾶς.
いっそのこと さえも 切り–落としてほしい その 騒がせている–者たちには あなたがたを
G3785 G2532 G0609 G3588 G0387 G4771

あなたがたの煽動者どもは、自ら不具になるがよかろう。

13 Ὑμεῖς γὰρ ἐπ’ ἐλευθερίᾳ ἐκλήθητε, ἀδελφοί; μόνον μὴ τὴν
あなたがたは なぜなら ～のために 自由の–ために 召された 兄弟たちよ ただ ～ない その
G4771 G1063 G1909 G1657 G2564 G0080 G3440 G3361 G3588

ἐλευθερίαν εἰς ἀφορμὴν τῇ σαρκί. ἀλλὰ διὰ τῆς ἀγάπης,
自由を ～への 口実への その 肉の しかし ～を通して その 愛を–通して
G1657 G1519 G0874 G3588 G4561 G0235 G1223 G3588 G0026

δουλεύετε ἀλλήλοις.
仕えなさい 互いに
G1398 G0240

兄弟たちよ。あなたがたが召されたのは、実に、自由を得るためである。ただ、その自由を、肉の働く機会としないで、愛をもって互に仕えなさい。

14 ὁ γὰρ πᾶς νόμος ἐν ἑνὶ λόγῳ πεπλήρωται ἐν
その なぜなら 全うする 律法は ～において 一つの 言葉に–おいて 全うされている ～において
G3588 G1063 G3956 G3551 G1722 G1520 G3056 G4137 G1722

τῷ: Ἀγαπήσεις τὸν πλησίον σου ὡς σεαυτόν.
その 愛せよ その 隣人を あなたの ～のように 自分自身の–ように
G3588 G0025 G3588 G4139 G4771 G5613 G4572

律法の全体は、「自分を愛するように、あなたの隣り人を愛せよ」というこの一句に尽きるからである。

15 εἰ δὲ ἀλλήλους δάκνετε καὶ κατεσθίετε, βλέπετε μὴ
もし しかし 互いを 噛み合い そして 食い合うなら 気をつけなさい ～ないように
G1487 G1161 G0240 G1143 G2532 G2719 G0991 G3361

ὑπ’ ἀλλήλων ἀναλωθῆτε.
～によって 互いに–よって 滅ぼされないように
G5259 G0240 G0355

気をつけるがよい。もし互にかみ合い、食い合っているなら、あなたがたは互に滅ぼされてしまうだろう。

16 Λέγω δέ, Πνεύματι περιπατεῖτε, καὶ ἐπιθυμίαν σαρκὸς οὐ, μὴ
言う さて 御霊に–よって 歩みなさい そうすれば 欲望を 肉の ～ない 決して
G3004 G1161 G4151 G4043 G2532 G1939 G4561 G3756 G3361

τελέσητε.
満たさない
G5055

わたしは命じる、御霊によって歩きなさい。そうすれば、決して肉の欲を満たすことはない。

17 ἡ γὰρ σὰρξ ἐπιθυμεῖ, κατὰ τοῦ Πνεύματος, τὸ δὲ Πνεῦμα
その なぜなら 肉は 欲する ～に反して その 御霊に–反して その しかし 御霊は
G3588 G1063 G4561 G1937 G2596 G3588 G4151 G3588 G1161 G4151

κατὰ τῆς σαρκός; ταῦτα γὰρ ἀλλήλοις ἀντίκειται, ἵνα μὴ
～に反して その 肉に–反して これらは なぜなら 互いに 対立している ～するために ～ない
G2596 G3588 G4561 G3778 G1063 G0240 G0480 G2443 G3361

ἃ ἐὰν θέλητε ταῦτα ποιῆτε.
～のものを たとえ 望んでも それらを 行わない
G3739 G1437 G2309 G3778 G4160

なぜなら、肉の欲するところは御霊に反し、また御霊の欲するところは肉に反するからである。こうして、二つのものは互に相さからい、その結果、あなたがたは自分でしようと思うことを、することができないようになる。

18 εἰ δὲ Πνεύματι ἄγεσθε, οὐκ ἐστὲ ὑπὸ νόμον.
もし しかし 御霊に–よって 導かれるなら ～ではない あなたがたは ～の下に 律法の–下に
G1487 G1161 G4151 G0071 G3756 G1510 G5259 G3551

もしあなたがたが御霊に導かれるなら、律法の下にはいない。

19 φανερὰ δέ ἐστιν τὰ ἔργα τῆς σαρκός, ἅτινά ἐστιν πορνεία,
明らかで さて ある その 行いは その 肉の それらは ある 淫行
G5318 G1161 G1510 G3588 G2041 G3588 G4561 G3748 G1510 G4202

ἀκαθαρσία, ἀσέλγεια,
汚れ 放縦
G0167 G0766

肉の働きは明白である。すなわち、不品行、汚れ、好色、

20 εἰδωλολατρία, φαρμακεία, ἔχθραι, ἔρις, ζῆλος, θυμοί, ἐριθεῖαι, διχοστασίαι,
偶像崇拝 魔術 敵意 争い 嫉妬 怒り 党派心 分裂
G1495 G5331 G2189 G2054 G2205 G2372 G2052 G1370

αἱρέσεις,
異端
G0139

偶像礼拝、まじない、敵意、争い、そねみ、怒り、党派心、分裂、分派、

21 φθόνοι, μέθαι, κῶμοι, καὶ τὰ ὅμοια τούτοις, ἃ
ねたみ 酔い 遊興 そして その 類似の–ものである これらの それらについて
G5355 G3178 G2970 G2532 G3588 G3664 G3778 G3739

προλέγω ὑμῖν, καθὼς προεῖπον, ὅτι οἱ τὰ
前もって–言う あなたがたに ちょうど–同じように 前に–言った ～ということを その その
G4302 G4771 G2531 G4302 G3754 G3588 G3588

τοιαῦτα πράσσοντες, βασιλείαν Θεοῦ οὐ κληρονομήσουσιν.
このような–ことを 行う–者たちは 御国を 神の ～ない 相続しない
G5108 G4238 G0932 G2316 G3756 G2816

ねたみ、泥酔、宴楽、および、そのたぐいである。わたしは以前も言ったように、今も前もって言っておく。このようなことを行う者は、神の国をつぐことがない。

22 ὁ δὲ καρπὸς τοῦ Πνεύματός ἐστιν ἀγάπη, χαρά, εἰρήνη, μακροθυμία,
その しかし 実は その 御霊の ある 愛 喜び 平和 寛容
G3588 G1161 G2590 G3588 G4151 G1510 G0026 G5479 G1515 G3115

χρηστότης, ἀγαθωσύνη, πίστις,
親切 善良 誠実
G5544 G0019 G4102

しかし、御霊の実は、愛、喜び、平和、寛容、慈愛、善意、忠実、

23 πραΰτης, ἐγκράτεια; κατὰ τῶν τοιούτων, οὐκ ἔστιν νόμος.
柔和 節制 ～に対して その これらの–ものに ～ない ある 律法は
G4240 G1466 G2596 G3588 G5108 G3756 G1510 G3551

柔和、自制であって、これらを否定する律法はない。

24 οἱ δὲ τοῦ Χριστοῦ Ἰησοῦ, τὴν σάρκα ἐσταύρωσαν, σὺν
その さて その キリストの イエスの–者たちは その 肉を 十字架に–つけた ～と共に
G3588 G1161 G3588 G5547 G2424 G3588 G4561 G4717 G4862

τοῖς παθήμασιν καὶ ταῖς ἐπιθυμίαις.
その 情欲と–共に そして その 欲望と–共に
G3588 G3804 G2532 G3588 G1939

キリスト・イエスに属する者は、自分の肉を、その情と欲と共に十字架につけてしまったのである。

25 Εἰ ζῶμεν Πνεύματι, Πνεύματι καὶ στοιχῶμεν.
もし 生きているなら 御霊に–よって 御霊に–よって また 歩もう
G1487 G2198 G4151 G4151 G2532 G4748

もしわたしたちが御霊によって生きるのなら、また御霊によって進もうではないか。

26 μὴ γινώμεθα κενόδοξοι, ἀλλήλους προκαλούμενοι, ἀλλήλοις
～ない ならない–ように 虚栄の–者に 互いを 挑発したり 互いを
G3361 G1096 G2755 G0240 G4292 G0240

φθονοῦντες.
ねたんだり–しない–ように
G5354

互にいどみ合い、互にねたみ合って、虚栄に生きてはならない。

Chapter 6

1 Ἀδελφοί, ἐὰν καὶ προλημφθῇ ἄνθρωπος ἔν τινι παραπτώματι, ὑμεῖς, οἱ πνευματικοὶ, καταρτίζετε τὸν τοιοῦτον ἐν πνεύματι πραΰτητος, σκοπῶν σεαυτόν, μὴ καὶ σὺ πειρασθῇς.

兄弟たちよ たとえ もし 捕らえられたなら 人が ～の中で 何かの 過ちに
G0080 G1437 G2532 G4301 G0444 G1722 G5100 G3900

あなたがたは その 霊的な–人たちよ 正しなさい その その–人を ～の中で 御霊の–中で
G4771 G3588 G4152 G2675 G3588 G5108 G1722 G4151

柔和の 気をつけて 自分自身を ～ないように また あなたも 誘惑されない–ように
G4240 G4648 G4572 G3361 G2532 G4771 G3985

兄弟たちよ。もしもある人が罪過に陥っていることがわかったなら、霊の人であるあなたがたは、柔和な心をもって、その人を正しなさい。それと同時に、もしか自分自身も誘惑に陥ることがありはしないかと、反省しなさい。

2 Ἀλλήλων τὰ βάρη βαστάζετε, καὶ οὕτως ἀναπληρώσετε τὸν νόμον τοῦ Χριστοῦ.

互いの その 重荷を 担いなさい そうすれば そのようにして 全うする その 律法を その キリストの
G0240 G3588 G0922 G0941 G2532 G3779 G0378 G3588 G3551 G3588 G5547

互に重荷を負い合いなさい。そうすれば、あなたがたはキリストの律法を全うするであろう。

3 εἰ γὰρ δοκεῖ τις εἶναί τι, μηδὲν ὤν, φρεναπατᾷ ἑαυτόν.

もし なぜなら 思うなら だれかが あると 何者かで 何もないのに ありながら 欺いている 自分自身を
G1487 G1063 G1380 G5100 G1510 G5100 G3367 G1510 G5422 G1438

もしある人が、事実そうでないのに、自分が何か偉い者であるように思っているとすれば、その人は自分を欺いているのである。

4 τὸ δὲ ἔργον ἑαυτοῦ δοκιμαζέτω ἕκαστος, καὶ τότε εἰς ἑαυτὸν μόνον, τὸ καύχημα ἕξει, καὶ οὐκ εἰς τὸν ἕτερον.

その しかし 行いを 自分自身の 吐めなさい 各自が そうすれば その時 ～に対して
G3588 G1161 G2041 G1438 G1381 G1538 G2532 G5119 G1519

自分自身に–対してのみ 自分だけに その 誇りを 持つ そして ～ではなく ～に対して その 他人に–対して
G1438 G3441 G3588 G2745 G2192 G2532 G3756 G1519 G3588 G2087

ひとりびとり、自分の行いを検討してみるがよい。そうすれば、自分だけには誇ることができても、ほかの人には誇れなくなるであろう。

5 ἕκαστος γὰρ τὸ ἴδιον, φορτίον βαστάσει.

各自が なぜなら その 自分の 荷物を 担う
G1538 G1063 G3588 G2398 G5413 G0941

人はそれぞれ、自分自身の重荷を負うべきである。

6

Κοινωνείτω	δὲ	ὁ	κατηχούμενος	τὸν	λόγον,	τῷ	κατηχοῦντι,
分かち合いなさい	さて	その	教えられている–者は	その	御言葉を	その	教えている–者と
G2841	G1161	G3588	G2727	G3588	G3056	G3588	G2727

ἐν	πᾶσιν	ἀγαθοῖς.
～において	すべての	良い–ものにおいて
G1722	G3956	G0018

御言を教えてもらう人は、教える人と、すべて良いものを分け合いなさい。

7

Μὴ	πλανᾶσθε;	Θεὸς	οὐ	μυκτηρίζεται;	ὃ	γὰρ	ἐὰν
～ない	惑わされない–ように	神は	～ない	侮ることは–できない	～のものを	なぜなら	たとえ
G3361	G4105	G2316	G3756	G3456	G3739	G1063	G1437

σπείρῃ	ἄνθρωπος,	τοῦτο	καὶ	θερίσει.
蒔いたなら	人が	それを	また	刈り取る
G4687	G0444	G3778	G2532	G2325

まちがってはいけない、神は侮られるようなかたではない。人は自分のまいたものを、刈り取ることになる。

8

ὅτι	ὁ	σπείρων	εἰς	τὴν	σάρκα	ἑαυτοῦ,	ἐκ	τῆς	σαρκὸς
なぜなら	その	蒔いている–者は	～へ	その	肉に	自分自身の	～から	その	肉から
G3754	G3588	G4687	G1519	G3588	G4561	G1438	G1537	G3588	G4561

θερίσει	φθοράν;	ὁ	δὲ	σπείρων	εἰς	τὸ	Πνεῦμα,	ἐκ	τοῦ
刈り取る	滅びを	その	しかし	蒔いている–者は	～へ	その	御霊に	～から	その
G2325	G5356	G3588	G1161	G4687	G1519	G3588	G4151	G1537	G3588

Πνεύματος	θερίσει	ζωὴν	αἰώνιον.
御霊から	刈り取る	命を	永遠の
G4151	G2325	G2222	G0166

すなわち、自分の肉にまく者は、肉から滅びを刈り取り、霊にまく者は、霊から永遠のいのちを刈り取るであろう。

9

τὸ	δὲ	καλὸν	ποιοῦντες,	μὴ	ἐνκακῶμεν;	καιρῷ	γὰρ
その	しかし	良い–ことを	行いて	～ない	落胆しない–ように	時に	なぜなら
G3588	G1161	G2570	G4160	G3361	G1573	G2540	G1063

ἰδίῳ,	θερίσομεν	μὴ	ἐκλυόμενοι.
定められた–時に	刈り取る	～ない	綾めて–いるなら
G2398	G2325	G3361	G1590

わたしたちは、善を行うことに、うみ疲れてはならない。たゆまないでいると、時が来れば刈り取るようになる。

10

Ἄρα	οὖν,	ὡς	καιρὸν	ἔχομεν,	ἐργαζώμεθα	τὸ	ἀγαθὸν
だから	それゆえ	～のように	機会を	持っている–間に	励もう	その	善い–ことを
G0686	G3767	G5613	G2540	G2192	G2038	G3588	G0018

πρὸς	πάντας,	μάλιστα	δὲ	πρὸς	τοὺς	οἰκείους	τῆς	πίστεως.
～に対して	すべての–人に	特に	さて	～に対して	その	家族に–対して	その	信仰の
G4314	G3956	G3122	G1161	G4314	G3588	G3609	G3588	G4102

だから、機会のあるごとに、だれに対しても、とくに信仰の仲間に対して、善を行おうではないか。

11

Ἴδετε	πηλίκοις	ὑμῖν	γράμμασιν	ἔγραψα	τῇ	ἐμῇ	χειρί.
見なさい	どれほど–大きな	あなたがたに	文字で	書いた	その	私の	手で
G3708	G4080	G4771	G1121	G1125	G3588	G1699	G5495

ごらんなさい。わたし自身いま筆をとって、こんなに大きい字で、あなたがたに書いていることを。

12 Ὅσοι θέλουσιν εὐπροσωπῆσαι ἐν σαρκί, οὗτοι ἀναγκάζουσιν
すべて 望んでいる 良く-見えることを ～において 肉に-おいて この-人たちが 強いている
G3745 G2309 G2146 G1722 G4561 G3778 G0315

ὑμᾶς περιτέμνεσθαι, μόνον ἵνα τῷ σταυρῷ τοῦ Χριστοῦ
あなたがたを 割礼を-受けることを ただ ～するために その 十字架の-ために その キリストの
G4771 G4059 G3440 G2443 G3588 G4716 G3588 G5547

(Ἰησοῦ) μὴ διώκωνται.
イエスの ～ない 迫害されない-ために
G2424 G3361 G1377

いったい、肉において見えを飾ろうとする者たちは、キリスト・イエスの十字架のゆえに、迫害を受けたくないばかりに、あなたがたにしいて割礼を受けさせようとする。

13 οὐδὲ γὰρ οἱ περιτεμνόμενοι αὐτοὶ νόμον φυλάσσουσιν;
～でさえもなく なぜなら その 割礼を-受けている-者たち自身 自ら 律法を 守っていない
G3761 G1063 G3588 G4059 G0846 G3551 G5442

ἀλλὰ θέλουσιν ὑμᾶς περιτέμνεσθαι, ἵνα ἐν τῇ
しかし 望んでいる あなたがたを 割礼を-受けることを ～するために ～において その
G0235 G2309 G4771 G4059 G2443 G1722 G3588

ὑμετέρᾳ σαρκὶ καυχήσωνται.
あなたがたの 肉に-おいて 誇るために
G5212 G4561 G2744

事実、割礼のあるもの自身が律法を守らず、ただ、あなたがたの肉について誇りたいために、割礼を受けさせようとしているのである。

14 ἐμοὶ δὲ, μὴ γένοιτο καυχᾶσθαι, εἰ μὴ ἐν τῷ
私には しかし 決して ～ない 誇ることは ～でなければ ない ～において その
G1473 G1161 G3361 G1096 G2744 G1487 G3361 G1722 G3588

σταυρῷ τοῦ Κυρίου ἡμῶν, Ἰησοῦ Χριστοῦ, δι’ οὗ ἐμοὶ
十字架に-おいて その 主 私たちの イエス キリストの ～を通して その-方を通して 私には
G4716 G3588 G2962 G1473 G2424 G5547 G1223 G3739 G1473

κόσμος ἐσταύρωται, κἀγὼ κόσμῳ.
世界は 十字架に-つけられた 私もまた 世界に
G2889 G4717 G2504 G2889

しかし、わたし自身には、わたしたちの主イエス・キリストの十字架以外に、誇とするものは、断じてあってはならない。この十字架につけられて、この世はわたしに対して死に、わたしもこの世に対して死んでしまったのである。

15 οὔτε γὰρ περιτομή τί ἐστιν, οὔτε ἀκροβυστία; ἀλλὰ καινὴ
～もなく なぜなら 割礼も 何も ない ～もなく 無割礼も しかし 新しい
G3777 G1063 G4061 G5100 G1510 G3777 G0203 G0235 G2537

κτίσις.
被造物で-ある
G2937

割礼のあるなしは問題ではなく、ただ、新しく造られることこそ、重要なのである。

16

καὶ	ὅσοι	τῷ	κανόνι	τούτῳ	στοιχήσουσιν,	εἰρήνη	ἐπ’	αὐτοὺς,	καὶ
そして	すべて	その	基準に	この	歩む–者に	平和が	～の上に	彼らの–上に	そして
G2532	G3745	G3588	G2583	G3778	G4748	G1515	G1909	G0846	G2532

ἔλεος;	καὶ	ἐπὶ	τὸν	Ἰσραὴλ	τοῦ	Θεοῦ.
憐れみが	そして	～の上にも	その	イスラエルの–上にも	その	神の
G1656	G2532	G1909	G3588	G2474	G3588	G2316

この法則に従って進む人々の上に、平和とあわれみとがあるように。また、神のイスラエルの上にあるように。

17

Τοῦ	λοιποῦ,	κόπους	μοι	μηδεὶς	παρεχέτω;	ἐγὼ	γὰρ	τὰ	στίγματα
その	今後	労苦を	私に	だれも	与えない–ように	私は	なぜなら	その	傷跡を
G3588	G3064	G2873	G1473	G3367	G3930	G1473	G1063	G3588	G4742

τοῦ	Ἰησοῦ,	ἐν	τῷ	σώματί	μου	βαστάζω.
その	イエスの	～において	その	体に–おいて	私の	担っている
G3588	G2424	G1722	G3588	G4983	G1473	G0941

だれも今後は、わたしに煩いをかけないでほしい。わたしは、イエスの焼き印を身に帯びているのだから。

18

Ἡ	χάρις	τοῦ	Κυρίου	ἡμῶν,	Ἰησοῦ	Χριστοῦ,	μετὰ	τοῦ	πνεύματος
その	恵みが	その	主	私たちの	イエス	キリストの	～と共に	その	霊と–共に
G3588	G5485	G3588	G2962	G1473	G2424	G5547	G3326	G3588	G4151

ὑμῶν,	ἀδελφοί.	ἀμήν.
あなたがたの	兄弟たちよ	アーメン
G4771	G0080	G0281

兄弟たちよ。わたしたちの主イエス・キリストの恵みが、あなたがたの霊と共にあるように、アァメン。

Ephesians

Chapter 1

1 Παῦλος, ἀπόστολος Χριστοῦ Ἰησοῦ διὰ θελήματος Θεοῦ, τοῖς ἁγίοις
パウロ 使徒 キリスト イエスの ～による 御心の 神の その 聖徒たちへ
G3972 G0652 G5547 G2424 G1223 G2307 G2316 G3588 G0040

τοῖς οὖσιν ἐν Ἐφέσῳ, καὶ πιστοῖς ἐν Χριστῷ Ἰησοῦ.
すなわち いる ～に エペソに そして 忠実な–者たちへ ～にある キリスト イエスに
G3588 G1510 G1722 G2181 G2532 G4103 G1722 G5547 G2424

神の御旨によるキリスト・イエスの使徒パウロから、エペソにいる、キリスト・イエスにあって忠実な聖徒たちへ。

2 χάρις ὑμῖν καὶ εἰρήνη ἀπὸ Θεοῦ Πατρὸς ἡμῶν καὶ Κυρίου
恵みが あなたがたに そして 平安が ～から 神 父なる 私たちの そして 主
G5485 G4771 G2532 G1515 G0575 G2316 G3962 G1473 G2532 G2962

Ἰησοῦ Χριστοῦ.
イエス キリストから
G2424 G5547

わたしたちの父なる神と主イエス・キリストから、恵みと平安とが、あなたがたにあるように。

3 Εὐλογητὸς ὁ Θεὸς καὶ Πατὴρ τοῦ Κυρίου ἡμῶν, Ἰησοῦ Χριστοῦ,
ほむべきかな その 神 そして 父 その 主 私たちの イエス キリストの
G2128 G3588 G2316 G2532 G3962 G3588 G2962 G1473 G2424 G5547

ὁ εὐλογήσας ἡμᾶς ἐν πάσῃ εὐλογίᾳ πνευματικῇ ἐν
その–方は 祝福してくださった 私たちを ～をもって あらゆる 祝福で 霊的な ～における
G3588 G2127 G1473 G1722 G3956 G2129 G4152 G1722

τοῖς ἐπουρανίοις ἐν Χριστῷ;
その 天上に ～にあって キリストに
G3588 G2032 G1722 G5547

ほむべきかな、わたしたちの主イエス・キリストの父なる神。神はキリストにあって、天上で霊のもろもろの祝福をもって、わたしたちを祝福し、

4 καθὼς ἐξελέξατο ἡμᾶς ἐν αὐτῷ πρὸ καταβολῆς
ちょうど～のように 選んでくださった 私たちを ～にあって 彼に ～の前に 創造の
G2531 G1586 G1473 G1722 G0846 G4253 G2602

κόσμου, εἶναι ἡμᾶς ἁγίους καὶ ἀμώμους κατενώπιον αὐτοῦ;
世界の ～であるように 私たちが 聖く そして 傷なき–者と 御前に 彼の
G2889 G1510 G1473 G0040 G2532 G0299 G2714 G0846

ἐν ἀγάπῃ,
～のうちに 愛を–もって
G1722 G0026

みまえにきよく傷のない者となるようにと、天地の造られる前から、キリストにあってわたしたちを選び、

5

προορίσας	ἡμᾶς	εἰς	υἱοθεσίαν	διὰ	Ἰησοῦ	Χριστοῦ,	εἰς
あらかじめ-定めて	私たちを	～へと	子とする-ことへ	～を通して	イエス	キリストを	～に向けて
G4309	G1473	G1519	G5206	G1223	G2424	G5547	G1519

αὐτόν,	κατὰ	τὴν	εὐδοκίαν	τοῦ	θελήματος	αὐτοῦ,
ご自身に	～に従って	その	喜ばしい-御心の	その	御心の	彼の
G0846	G2596	G3588	G2107	G3588	G2307	G0846

わたしたちに、イエス・キリストによって神の子たる身分を授けるようにと、御旨のよしとするところに従い、愛のうちにあらかじめ定めて下さったのである。

6

εἰς	ἔπαινον	δόξης	τῆς	χάριτος	αὐτοῦ,	ἧς	ἐχαρίτωσεν
～のために	賛美へと	栄光の	その	恵みの	彼の	その-恵みを	豊かに-与えてくださった
G1519	G1868	G1391	G3588	G5485	G0846	G3739	G5487

ἡμᾶς	ἐν	τῷ	Ἠγαπημένῳ;
私たちに	～において	その	愛する-者に
G1473	G1722	G3588	G0025

これは、その愛する御子によって賜わった栄光ある恵みを、わたしたちがほめたたえるためである。

7

ἐν	ᾧ	ἔχομεν	τὴν	ἀπολύτρωσιν	διὰ	τοῦ
～において	この-方にあって	私たちは-持っている	その	贖いを	～を通して	その
G1722	G3739	G2192	G3588	G0629	G1223	G3588

αἵματος	αὐτοῦ,	τὴν	ἄφεσιν	τῶν	παραπτωμάτων,	κατὰ	τὸ	πλοῦτος
血を	彼の	すなわち	罪の-赦しを	その	罪過の	～に従って	その	豊かさに
G0129	G0846	G3588	G0859	G3588	G3900	G2596	G3588	G4149

τῆς	χάριτος	αὐτοῦ;
その	恵みの	彼の
G3588	G5485	G0846

わたしたちは、御子にあって、神の豊かな恵みのゆえに、その血によるあがない、すなわち、罪過のゆるしを受けたのである。

8

ἧς	ἐπερίσσευσεν	εἰς	ἡμᾶς	ἐν	πάσῃ	σοφίᾳ	καὶ
その-恵みを	豊かに-注いでくださった	～に	私たちに	～をもって	あらゆる	知恵と	そして
G3739	G4052	G1519	G1473	G1722	G3956	G4678	G2532

φρονήσει;
思慮を-もって
G5428

神はその恵みをさらに増し加えて、あらゆる知恵と悟りとをわたしたちに賜わり、

9

γνωρίσας	ἡμῖν	τὸ	μυστήριον,	τοῦ	θελήματος	αὐτοῦ,	κατὰ	τὴν
知らせてくださり	私たちに	その	奥義を	その	御心の	彼の	～に従って	その
G1107	G1473	G3588	G3466	G3588	G2307	G0846	G2596	G3588

εὐδοκίαν	αὐτοῦ,	ἣν	προέθετο	ἐν	αὐτῷ,
喜ばしい-御心に	彼の	それを	あらかじめ-定められた	～において	彼に
G2107	G0846	G3739	G4388	G1722	G0846

御旨の奥義を、自らあらかじめ定められた計画に従って、わたしたちに示して下さったのである。

10 εἰς 〜のための G1519 | οἰκονομίαν 計画として G3622 | τοῦ その G3588 | πληρώματος 満ちる-時の G4138 | τῶν その G3588 | καιρῶν; 時が G2540 | ἀνακεφαλαιώσασθαι 一つに-まとめることを G0346 | τὰ その G3588

πάντα すべてのものを G3956 | ἐν 〜にあって G1722 | τῷ その G3588 | Χριστῷ, キリストに G5547 | τὰ すなわち G3588 | ἐπὶ 〜にある G1909 | τοῖς その G3588 | οὐρανοῖς, 天にあるものを G3772 | καὶ そして G2532

τὰ また G3588 | ἐπὶ 〜の上の G1909 | τῆς その G3588 | γῆς; 地にあるものを G1093

それは、時の満ちるに及んで実現されるご計画にほかならない。それによって、神は天にあるもの地にあるものを、ことごとく、キリストにあって一つに帰せしめようとされたのである。

11 ἐν 〜にあって G1722 | αὐτῷ, 彼に G0846 | ἐν 〜において G1722 | ᾧ この-方にあって G3739 | καὶ また G2532 | ἐκληρώθημεν, 相続者と-された G2820 | προορισθέντες あらかじめ-定められて G4309

κατὰ 〜に従って G2596 | πρόθεσιν 御計画に G4286 | τοῦ その G3588 | τὰ すべての-ことを G3588 | πάντα すべて G3956 | ἐνεργοῦντος, 働かせる-方の G1754 | κατὰ 〜に従い G2596 | τὴν その G3588 | βουλὴν 御旨の G1012

τοῦ その G3588 | θελήματος 御心の G2307 | αὐτοῦ; 彼の G0846

わたしたちは、御旨の欲するままにすべての事をなさるかたの目的の下に、キリストにあってあらかじめ定められ、神の民として選ばれたのである。

12 εἰς 〜するために G1519 | τὸ それは G3588 | εἶναι なるためである G1510 | ἡμᾶς, 私たちが G1473 | εἰς 〜のために G1519 | ἔπαινον 賛美と G1868 | δόξης 栄光の G1391 | αὐτοῦ; 彼の G0846 | τοὺς すなわち G3588

προηλπικότας 先に-望みを-置いた-者たち G4276 | ἐν 〜にあって G1722 | τῷ その G3588 | Χριστῷ; キリストに G5547

それは、早くからキリストに望みをおいているわたしたちが、神の栄光をほめたたえる者となるためである。

13 ἐν 〜において G1722 | ᾧ この-方にあって G3739 | καὶ また G2532 | ὑμεῖς, あなたがたも G4771 | ἀκούσαντες 聞いて G0191 | τὸν その G3588 | λόγον 言葉を G3056 | τῆς その G3588 | ἀληθείας, 真理の G0225

τὸ すなわち G3588 | εὐαγγέλιον 福音を G2098 | τῆς その G3588 | σωτηρίας 救いの G4991 | ὑμῶν, あなたがたの G4771 | ἐν 〜において G1722 | ᾧ この-方にあって G3739 | καὶ, また G2532

πιστεύσαντες, 信じて G4100 | ἐσφραγίσθητε 証印を-押された G4972 | τῷ その G3588 | Πνεύματι 御霊によって G4151 | τῆς その G3588 | ἐπαγγελίας, 約束の G1860 | τῷ すなわち G3588 | Ἁγίῳ; 聖なる G0040

あなたがたもまた、キリストにあって、真理の言葉、すなわち、あなたがたの救の福音を聞き、また、彼を信じた結果、約束された聖霊の証印をおされたのである。

14 ὅ この-御霊は G3739 | ἐστιν 〜である G1510 | ἀρραβὼν 保証 G0728 | τῆς その G3588 | κληρονομίας 受け継ぐ-ものの G2817 | ἡμῶν, 私たちの G1473 | εἰς 〜に向けての G1519 | ἀπολύτρωσιν 贖いの G0629

τῆς その G3588 | περιποιήσεως, 神の-所有と-されることの G4047 | εἰς 〜のために G1519 | ἔπαινον 賛美と G1868 | τῆς その G3588 | δόξης 栄光の G1391 | αὐτοῦ. 彼の G0846

この聖霊は、わたしたちが神の国をつぐことの保証であって、やがて神につける者が全くあがなわれ、神の栄光をほめたたえるに至るためである。

15 Διὰ τοῦτο, κἀγώ, ἀκούσας τὴν καθ’ ὑμᾶς πίστιν ἐν
この–ゆえに このことの 私もまた 聞いて その ～における あなたがたの 信仰を ～にある
G1223 G3778 G2504 G0191 G3588 G2596 G4771 G4102 G1722

τῷ Κυρίῳ Ἰησοῦ, καὶ τὴν ἀγάπην τὴν εἰς πάντας τοὺς
その 主 イエスへの そして その 愛を その ～に対する すべての その
G3588 G2962 G2424 G2532 G3588 G0026 G3588 G1519 G3956 G3588

ἁγίους,
聖徒たちへの
G0040

こういうわけで、わたしも、主イエスに対するあなたがたの信仰と、すべての聖徒に対する愛とを耳にし、

16 οὐ παύομαι εὐχαριστῶν ὑπὲρ ὑμῶν, μνείαν ποιούμενος ἐπὶ
絶えず やめない 感謝することを ～のために あなたがたの 覚えて 祈りを–ささげ ～において
G3756 G3973 G2168 G5228 G4771 G3417 G4160 G1909

τῶν προσευχῶν μου,
その 祈りの–中で 私の
G3588 G4335 G1473

わたしの祈のたびごとにあなたがたを覚えて、絶えずあなたがたのために感謝している。

17 ἵνα ὁ Θεὸς τοῦ Κυρίου ἡμῶν, Ἰησοῦ Χριστοῦ, ὁ Πατὴρ
～するように その 神が その 主 私たちの イエス キリストの すなわち 栄光の–父が
G2443 G3588 G2316 G3588 G2962 G1473 G2424 G5547 G3588 G3962

τῆς δόξης, δώῃ ὑμῖν πνεῦμα σοφίας καὶ ἀποκαλύψεως,
その 栄光の 与えてくださるように あなたがたに 御霊を 知恵と そして 啓示の
G3588 G1391 G1325 G4771 G4151 G4678 G2532 G0602

ἐν ἐπιγνώσει αὐτοῦ,
～における 深い–知識に 彼の
G1722 G1922 G0846

どうか、わたしたちの主イエス・キリストの神、栄光の父が、知恵と啓示との霊をあなたがたに賜わって神を認めさせ、

18 πεφωτισμένους τοὺς ὀφθαλμοὺς τῆς καρδίας ὑμῶν, εἰς τὸ
照らされた その 目が その 心の あなたがたの ～するために それは
G5461 G3588 G3788 G3588 G2588 G4771 G1519 G3588

εἰδέναι ὑμᾶς, τίς ἐστιν ἡ ἐλπὶς τῆς κλήσεως αὐτοῦ,
知るためである あなたがたが 何であるか ～であるか その 希望が その 召しの 彼の
G1492 G4771 G5101 G1510 G3588 G1680 G3588 G2821 G0846

τίς ὁ πλοῦτος τῆς δόξης τῆς κληρονομίας αὐτοῦ, ἐν τοῖς
何であるか その 豊かさが その 栄光の その 受け継ぐ–ものの 彼の ～における その
G5101 G3588 G4149 G3588 G1391 G3588 G2817 G0846 G1722 G3588

ἁγίοις,
聖徒たちの–中で
G0040

あなたがたの心の目を明らかにして下さるように、そして、あなたがたが神に召されていだいている望みがどんなものであるか、聖徒たちがつぐべき神の国がいかに栄光に富んだものであるか、

19

καὶ	τί	τὸ	ὑπερβάλλον	μέγεθος	τῆς	δυνάμεως	αὐτοῦ,	εἰς
そして	何であるか	その	超越した	偉大さが	その	力の	彼の	～に対する
G2532	G5101	G3588	G5235	G3174	G3588	G1411	G0846	G1519

ἡμᾶς,	τοὺς	πιστεύοντας	κατὰ	τὴν	ἐνέργειαν	τοῦ	κράτους	τῆς
私たちに	すなわち	信じる-者たちに	～に従って	その	働きに	その	力強い	その
G1473	G3588	G4100	G2596	G3588	G1753	G3588	G2904	G3588

ἰσχύος	αὐτοῦ,
力の	彼の
G2479	G0846

また、神の力強い活動によって働く力が、わたしたち信じる者にとっていかに絶大なものであるかを、あなたがたが知るに至るように、と祈っている。

20

ἣν	ἐνήργηκεν	ἐν	τῷ	Χριστῷ,	ἐγείρας	αὐτὸν	ἐκ
その-力を	働かせた	～において	その	キリストに	よみがえらせて	彼を	～から
G3739	G1754	G1722	G3588	G5547	G1453	G0846	G1537

νεκρῶν,	καὶ	καθίσας	ἐν	δεξιᾷ	αὐτοῦ,	ἐν	τοῖς	ἐπουρανίοις,
死者の-中から	そして	座らせた	～に	右の-座に	ご自身の	～における	その	天上に
G3498	G2532	G2523	G1722	G1188	G0846	G1722	G3588	G2032

神はその力をキリストのうちに働かせて、彼を死人の中からよみがえらせ、天上においてご自分の右に座せしめ、

21

ὑπεράνω	πάσης	ἀρχῆς,	καὶ	ἐξουσίας,	καὶ	δυνάμεως,	καὶ	κυριότητος,
はるか-上に	すべての	支配の	そして	権威の	そして	力の	そして	主権の
G5231	G3956	G0746	G2532	G1849	G2532	G1411	G2532	G2963

καὶ	παντὸς	ὀνόματος	ὀνομαζομένου,	οὐ	μόνον	ἐν	τῷ	αἰῶνι
そして	すべての	名の	名づけられる	～だけでなく	ただ	～において	この	世に
G2532	G3956	G3686	G3687	G3756	G3440	G1722	G3588	G0165

τούτῳ,	ἀλλὰ	καὶ	ἐν	τῷ	μέλλοντι;
この	しかし	また	～においても	その	来たるべき-世にも
G3778	G0235	G2532	G1722	G3588	G3195

彼を、すべての支配、権威、権力、権勢の上におき、また、この世ばかりでなくきたるべき世においても唱えられる、あらゆる名の上におかれたのである。

22

καὶ	πάντα	ὑπέταξεν	ὑπὸ	τοὺς	πόδας	αὐτοῦ,	καὶ	αὐτὸν	ἔδωκεν
そして	万物を	従わせた	～の下に	その	足の	彼の	そして	彼を	与えた
G2532	G3956	G5293	G5259	G3588	G4228	G0846	G2532	G0846	G1325

κεφαλὴν	ὑπὲρ	πάντα	τῇ	ἐκκλησίᾳ,
かしらとして	～を超えて	すべてのものの-上に	その	教会に
G2776	G5228	G3956	G3588	G1577

そして、万物をキリストの足の下に従わせ、彼を万物の上にかしらとして教会に与えられた。

23

ἥτις	ἐστὶν	τὸ	σῶμα	αὐτοῦ,	τὸ	πλήρωμα	τοῦ	τὰ
この-教会は	～である	その	からだ	彼の	すなわち	満ちあふれ	その	すべての-ものを
G3748	G1510	G3588	G4983	G0846	G3588	G4138	G3588	G3588

πάντα,	ἐν	πᾶσιν	πληρουμένου.
すべて	～において	すべてにおいて	満たす-方の
G3956	G1722	G3956	G4137

この教会はキリストのからだであって、すべてのものを、すべてのもののうちに満たしているかたが、満ちみちているものに、ほかならない。

Chapter 2

1

καὶ	ὑμᾶς,	ὄντας	νεκροὺς	τοῖς	παραπτώμασιν,	καὶ	ταῖς
そして	あなたがたを	～であったとき	死んでいた	その	罪過によって	そして	その
G2532	G4771	G1510	G3498	G3588	G3900	G2532	G3588

ἁμαρτίαις	ὑμῶν,
罪によって	あなたがたの
G0266	G4771

さてあなたがたは、先には自分の罪過と罪とによって死んでいた者であって、

2

ἐν	αἷς	ποτε	περιεπατήσατε,	κατὰ	τὸν	αἰῶνα,	τοῦ	κόσμου
～において	それらの–中で	かつて	歩んでいた	～に従って	その	時代に	その	世の
G1722	G3739	G4218	G4043	G2596	G3588	G0165	G3588	G2889

τούτου,	κατὰ	τὸν	ἄρχοντα	τῆς	ἐξουσίας	τοῦ	ἀέρος,	τοῦ	πνεύματος
この	～に従って	その	支配者に	その	権威の	その	空中の	すなわち	霊の
G3778	G2596	G3588	G0758	G3588	G1849	G3588	G0109	G3588	G4151

τοῦ	νῦν	ἐνεργοῦντος	ἐν	τοῖς	υἱοῖς	τῆς	ἀπειθείας;
その	今	働いている	～において	その	子らの–中に	その	不従順の
G3588	G3568	G1754	G1722	G3588	G5207	G3588	G0543

かつてはそれらの中で、この世のならわしに従い、空中の権をもつ君、すなわち、不従順の子らの中に今も働いている霊に従って、歩いていたのである。

3

ἐν	οἷς	καὶ	ἡμεῖς	πάντες	ἀνεστράφημέν	ποτε,	ἐν	ταῖς
～の中に	それらの–者たちの	また	私たちも	皆	生活していた	かつて	～の中で	その
G1722	G3739	G2532	G1473	G3956	G0390	G4218	G1722	G3588

ἐπιθυμίαις	τῆς	σαρκὸς,	ἡμῶν	ποιοῦντες	τὰ	θελήματα	τῆς	σαρκὸς,	καὶ
欲望に	その	肉の	私たちの	行って	その	望みの–ままに	その	肉の	そして
G1939	G3588	G4561	G1473	G4160	G3588	G2307	G3588	G4561	G2532

τῶν	διανοιῶν;	καὶ	ἤμεθα	τέκνα,	φύσει,	ὀργῆς,	ὡς	καὶ
その	思いの	そして	～であった	子ら	生まれながらにの	御怒りの	～のように	また
G3588	G1271	G2532	G1510	G5043	G5449	G3709	G5613	G2532

οἱ	λοιποί.
その	残りの–者たちと–同じく
G3588	G3062

また、わたしたちもみな、かつては彼らの中にいて、肉の欲に従って日を過ごし、肉とその思いとの欲するままを行い、ほかの人々と同じく、生れながらの怒りの子であった。

4

ὁ	δὲ	Θεὸς,	πλούσιος	ὢν	ἐν	ἐλέει,	διὰ	τὴν
しかし	しかし	神は	豊かであって	～である	～において	あわれみに	～のゆえに	その
G3588	G1161	G2316	G4145	G1510	G1722	G1656	G1223	G3588

πολλὴν	ἀγάπην	αὐτοῦ,	ἣν	ἠγάπησεν	ἡμᾶς,
大いなる	愛を–もって	彼の	その–愛で	愛してくださった	私たちを
G4183	G0026	G0846	G3739	G0025	G1473

しかるに、あわれみに富む神は、わたしたちを愛して下さったその大きな愛をもって、

5 καὶ そして G2532 ὄντας ～であったとき G1510 ἡμᾶς 私たちが G1473 νεκροὺς 死んでいた G3498 τοῖς その G3588 παραπτώμασιν, 罪過によって G3900 συνεζωοποίησεν 共に-生かしてくださった G4806

τῷ その G3588 Χριστῷ, キリストと-共に G5547 χάριτί 恵みによって G5485 ἐστε あなたがたは G1510 σεσῳσμένοι, 救われたのである G4982

罪過によって死んでいたわたしたちを、キリストと共に生かし――あなたがたの救われたのは、恵みによるのである

6 καὶ そして G2532 συνήγειρεν, 共に-よみがえらせ G4891 καὶ そして G2532 συνεκάθισεν 共に-座らせてくださった G4776 ἐν ～における G1722 τοῖς その G3588 ἐπουρανίοις, 天上に G2032

ἐν ～にあって G1722 Χριστῷ キリスト G5547 Ἰησοῦ, イエスに G2424

キリスト・イエスにあって、共によみがえらせ、共に天上で座につかせて下さったのである。

7 ἵνα ～するために G2443 ἐνδείξηται 示すために G1731 ἐν ～において G1722 τοῖς その G3588 αἰῶσιν, 来たるべき G0165 τοῖς その G3588 ἐπερχομένοις 世々において G1904 τὸ その G3588

ὑπερβάλλον 超越した G5235 πλοῦτος 豊かさを G4149 τῆς その G3588 χάριτος 恵みの G5485 αὐτοῦ, 彼の G0846 ἐν ～による G1722 χρηστότητι 慣い深さを G5544 ἐφ’ ～に対する G1909 ἡμᾶς 私たちに G1473

ἐν ～にあって G1722 Χριστῷ キリスト G5547 Ἰησοῦ. イエスに G2424

それは、キリスト・イエスにあってわたしたちに賜わった慈愛による神の恵みの絶大な富を、きたるべき世々に示すためであった。

8 τῇ その G3588 γὰρ なぜなら G1063 χάριτί 恵みによって G5485 ἐστε あなたがたは G1510 σεσῳσμένοι 救われたのである G4982 διὰ ～を通して G1223 πίστεως; 信仰を G4102 καὶ そして G2532

τοῦτο これは G3778 οὐκ ～ではない G3756 ἐξ ～からの G1537 ὑμῶν; あなたがたからの G4771 Θεοῦ 神の G2316 τὸ それは G3588 δῶρον -- 贈り物である G1435

あなたがたの救われたのは、実に、恵みにより、信仰によるのである。それは、あなたがた自身から出たものではなく、神の賜物である。

9 οὐκ ～ではない G3756 ἐξ ～からの G1537 ἔργων, 行いからの G2041 ἵνα ～しないために G2443 μή 誰も G3361 τις 誰かが G5100 καυχήσηται. 誇ることが-ないために G2744

決して行いによるのではない。それは、だれも誇ることがないためなのである。

10 αὐτοῦ γάρ ἐσμεν ποίημα, κτισθέντες ἐν Χριστῷ Ἰησοῦ
彼の なぜなら 私たちは–〜である 作品 造られた 〜にあって キリスト イエスに
G0846 G1063 G1510 G4161 G2936 G1722 G5547 G2424

ἐπὶ ἔργοις ἀγαθοῖς, οἷς προητοίμασεν ὁ Θεὸς,
〜のために 良い–行いの 良い それらを あらかじめ–備えてくださった その 神が
G1909 G2041 G0018 G3739 G4282 G3588 G2316

ἵνα ἐν αὐτοῖς περιπατήσωμεν.
〜するために 〜において それらの–中を 歩むために
G2443 G1722 G0846 G4043

わたしたちは神の作品であって、良い行いをするように、キリスト・イエスにあって造られたのである。神は、わたしたちが、良い行いをして日を過ごすようにと、あらかじめ備えて下さったのである。

11 Διὸ μνημονεύετε ὅτι ποτὲ ὑμεῖς τὰ ἔθνη ἐν
それゆえに 覚えていなさい 〜ということを かつて あなたがたは その 異邦人 〜において
G1352 G3421 G3754 G4218 G4771 G3588 G1484 G1722

σαρκί, οἱ λεγόμενοι ἀκροβυστία ὑπὸ τῆς λεγομένης περιτομῆς,
肉において すなわち 呼ばれていた 無割礼と 〜によって その 呼ばれる 割礼の–者たちに
G4561 G3588 G3004 G0203 G5259 G3588 G3004 G4061

ἐν σαρκὶ χειροποιήτου--
〜による 肉における 人の–手による
G1722 G4561 G5499

だから、記憶しておきなさい。あなたがたは以前には、肉によれば異邦人であって、手で行った肉の割礼ある者と称せられる人々からは、無割礼の者と呼ばれており、

12 ὅτι ἦτε, τῷ καιρῷ ἐκείνῳ χωρὶς Χριστοῦ,
〜であったことを あなたがたは–〜であった その 時に その 離れて キリストから
G3754 G1510 G3588 G2540 G1565 G5565 G5547

ἀπηλλοτριωμένοι τῆς πολιτείας τοῦ Ἰσραὴλ, καὶ ξένοι τῶν
疎外されて その 市民権から その イスラエルの そして よそ者であって その
G0526 G3588 G4174 G3588 G2474 G2532 G3581 G3588

διαθηκῶν τῆς ἐπαγγελίας, ἐλπίδα μὴ ἔχοντες, καὶ ἄθεοι ἐν
契約からも その 約束の 希望を 〜なく 持たず そして 神なき–者であった 〜において
G1242 G3588 G1860 G1680 G3361 G2192 G2532 G0112 G1722

τῷ κόσμῳ.
その 世に
G3588 G2889

またその当時は、キリストを知らず、イスラエルの国籍がなく、約束されたいろいろの契約に縁がなく、この世の中で希望もなく神もない者であった。

13 νυνὶ δὲ ἐν Χριστῷ Ἰησοῦ, ὑμεῖς οἵ ποτε ὄντες
しかし–今 しかし 〜にあって キリスト イエスに あなたがたは すなわち かつて 〜であった
G3570 G1161 G1722 G5547 G2424 G4771 G3588 G4218 G1510

μακρὰν, ἐγενήθητε ἐγγὺς ἐν τῷ αἵματι τοῦ Χριστοῦ.
遠くに 近くに–なった 近くに 〜によって その 血によって その キリストの
G3112 G1096 G1451 G1722 G3588 G0129 G3588 G5547

ところが、あなたがたは、このように以前は遠く離れていたが、今ではキリスト・イエスにあって、キリストの血によって近いものとなったのである。

14 Αὐτὸς γάρ ἐστιν ἡ εἰρήνη ἡμῶν, ὁ ποιήσας τὰ
彼ご自身が なぜなら ～である その 平安 私たちの その-方は 造ってくださった その
G0846 G1063 G1510 G3588 G1515 G1473 G3588 G4160 G3588

ἀμφότερα ἓν, καὶ τὸ μεσότοιχον τοῦ φραγμοῦ λύσας,
両者を 一つに そして その 隔ての-壁を その 槙の 壊してくださった
G0297 G1520 G2532 G3588 G3320 G3588 G5418 G3089

キリストはわたしたちの平和であって、二つのものを一つにし、敵意という隔ての中垣を取り除き、ご自分の肉によって、

15 τὴν ἔχθραν ἐν τῇ σαρκὶ αὐτοῦ, τὸν νόμον τῶν ἐντολῶν
その 敵意を ～において その 肉において 彼の その 律法を その 戒めの
G3588 G2189 G1722 G3588 G4561 G0846 G3588 G3551 G3588 G1785

ἐν δόγμασιν καταργήσας, ἵνα τοὺς δύο, κτίσῃ ἐν
～における 規定において 廃棄して ～するために その 二つを 造るために ～において
G1722 G1378 G2673 G2443 G3588 G1417 G2936 G1722

αὐτῷ, εἰς ἕνα καινὸν ἄνθρωπον, ποιῶν εἰρήνην;
ご自身において ～へと 一つの 新しい 人として 造って 平安を
G0848 G1519 G1520 G2537 G0444 G4160 G1515

数々の規定から成っている戒めの律法を廃棄したのである。それは、彼にあって、二つのものをひとりの新しい人に造りかえて平和をきたらせ、

16 καὶ ἀποκαταλλάξῃ τοὺς ἀμφοτέρους ἐν ἑνὶ σώματι τῷ Θεῷ,
そして 和解させるために その 両者を ～にあって 一つの からだにおいて その 神に
G2532 G0604 G3588 G0297 G1722 G1520 G4983 G3588 G2316

διὰ τοῦ σταυροῦ, ἀποκτείνας τὴν ἔχθραν ἐν αὐτῷ;
～を通して その 十字架を-通して 殺して その 敵意を ～において その-十字架において
G1223 G3588 G4716 G0615 G3588 G2189 G1722 G0846

十字架によって、二つのものを一つのからだとして神と和解させ、敵意を十字架にかけて滅ぼしてしまったのである。

17 καὶ ἐλθὼν εὐηγγελίσατο, εἰρήνην ὑμῖν τοῖς μακρὰν, καὶ
そして 来て 福音を-宣べた 平安を あなたがたに すなわち 遠くに-いた-者たちに そして
G2532 G2064 G2097 G1515 G4771 G3588 G3112 G2532

εἰρήνην τοῖς ἐγγύς.
平安を その 近くの-者たちにも
G1515 G3588 G1451

それから彼は、こられた上で、遠く離れているあなたがたに平和を宣べ伝え、また近くにいる者たちにも平和を宣べ伝えられたのである。

18 ὅτι δι’ αὐτοῦ ἔχομεν τὴν προσαγωγὴν οἱ ἀμφότεροι,
なぜなら ～を通して 彼を 私たちは-持っている その 近づきを すなわち 両者共に
G3754 G1223 G0846 G2192 G3588 G4318 G3588 G0297

ἐν ἑνὶ Πνεύματι, πρὸς τὸν Πατέρα.
～にあって 一つの 御霊によって ～に向かって その 父の-もとへ
G1722 G1520 G4151 G4314 G3588 G3962

というのは、彼によって、わたしたち両方の者が一つの御霊の中にあって、父のみもとに近づくことができるからである。

19 ἄρα οὖν οὐκέτι ἐστὲ ξένοι καὶ πάροικοι, ἀλλὰ
それゆえに それゆえに もはや あなたがたは–〜ではない よそ者 そして 寄留者ではなく しかし
G0686 G3767 G3765 G1510 G3581 G2532 G3941 G0235

ἐστὲ συμπολῖται τῶν ἁγίων καὶ οἰκεῖοι τοῦ Θεοῦ,
あなたがたは–〜である 同じ–市民 その 聖徒たちと そして 神の–家族 その 神の
G1510 G4847 G3588 G0040 G2532 G3609 G3588 G2316

そこであなたがたは、もはや異国人でも宿り人でもなく、聖徒たちと同じ国籍の者であり、神の家族なのである。

20 ἐποικοδομηθέντες ἐπὶ τῷ θεμελίῳ τῶν ἀποστόλων καὶ προφητῶν,
建てられて 〜の上に その 土台の–上に その 使徒たちと そして 預言者たちの
G2026 G1909 G3588 G2310 G3588 G0652 G2532 G4396

ὄντος ἀκρογωνιαίου αὐτοῦ Χριστοῦ Ἰησοῦ,
〜であって かしら–石である その キリスト イエスご自身が
G1510 G0204 G0846 G5547 G2424

またあなたがたは、使徒たちや預言者たちという土台の上に建てられたものであって、キリスト・イエスご自身が隅のかしら石である。

21 ἐν ᾧ πᾶσα οἰκοδομὴ, συναρμολογουμένη, αὔξει εἰς
〜において この–方にあって すべての 建物が 組み–合わされて 成長する 〜へと
G1722 G3739 G3956 G3619 G4883 G0837 G1519

ναὸν, ἅγιον ἐν Κυρίῳ,
神殿として 聖なる 〜における 主にあって
G3485 G0040 G1722 G2962

このキリストにあって、建物全体が組み合わされ、主にある聖なる宮に成長し、

22 ἐν ᾧ καὶ ὑμεῖς, συνοικοδομεῖσθε εἰς κατοικητήριον
〜にあって この–方にあって また あなたがたも 共に–建てられている 〜へと 住まいとして
G1722 G3739 G2532 G4771 G4925 G1519 G2732

τοῦ Θεοῦ, ἐν Πνεύματι.
その 神の 〜における 御霊にあって
G3588 G2316 G1722 G4151

そしてあなたがたも、主にあって共に建てられて、霊なる神のすまいとなるのである。

Chapter 3

1 Τούτου χάριν, ἐγὼ Παῦλος, ὁ δέσμιος τοῦ Χριστοῦ Ἰησοῦ,
この–ゆえに 〜のために 私 パウロは すなわち 囚人 その キリスト イエスの
G3778 G5484 G1473 G3972 G3588 G1198 G3588 G5547 G2424

ὑπὲρ ὑμῶν τῶν ἐθνῶν,
〜のために あなたがた その 異邦人の
G5228 G4771 G3588 G1484

こういうわけで、あなたがた異邦人のためにキリスト・イエスの囚人となっているこのパウロ――

2 εἴ γε ἠκούσατε τὴν οἰκονομίαν τῆς χάριτος τοῦ Θεοῦ, τῆς
もし 実に 聞いたならば その 管理の–任務を その 恵みの その 神の それは
G1487 G1065 G0191 G3588 G3622 G3588 G5485 G3588 G2316 G3588

δοθείσης μοι εἰς ὑμᾶς;
与えられた 私に 〜のために あなたがたの
G1325 G1473 G1519 G4771

わたしがあなたがたのために神から賜わった恵みの務について、あなたがたはたしかに聞いたであろう。

3 ὅτι すなわち G3754 κατὰ ～によって G2596 ἀποκάλυψιν 啓示によって G0602 ἐγνωρίσθη 知らされた G1107 μοι 私に G1473 τὸ その G3588 μυστήριον, 奥義が G3466 καθὼς ちょうど～のように G2531

προέγραψα 先に-書いた G4270 ἐν ～において G1722 ὀλίγῳ; 簡潔に G3641

すなわち、すでに簡単に書きおくったように、わたしは啓示によって奥義を知らされたのである。

4 πρὸς ～に対して G4314 ὃ それを G3739 δύνασθε, あなたがたは-できる G1410 ἀναγινώσκοντες, 読んで G0314 νοῆσαι 理解することが G3539 τὴν その G3588 σύνεσίν 理解を G4907

μου 私の G1473 ἐν ～における G1722 τῷ その G3588 μυστηρίῳ 奥義についての G3466 τοῦ その G3588 Χριστοῦ; キリストの G5547

あなたがたはそれを読めば、キリストの奥義をわたしがどう理解しているかがわかる。

5 ὃ それは G3739 ἑτέραις 他の G2087 γενεαῖς 世代において G1074 οὐκ ～なかった G3756 ἐγνωρίσθη 知らされ G1107 τοῖς その G3588 υἱοῖς 子らには G5207 τῶν その G3588 ἀνθρώπων, 人の G0444

ὡς ～のように G5613 νῦν 今 G3568 ἀπεκαλύφθη 啓示された G0601 τοῖς その G3588 ἁγίοις 聖なる G0040 ἀποστόλοις 使徒たちと G0652 αὐτοῦ, 彼の G0846 καὶ そして G2532 προφήταις; 預言者たちに G4396

ἐν ～によって G1722 Πνεύματι. 御霊によって G4151

この奥義は、いまは、御霊によって彼の聖なる使徒たちと預言者たちとに啓示されているが、前の時代には、人の子らに対して、そのように知らされてはいなかったのである。

6 εἶναι ～であること G1510 τὰ すなわち G3588 ἔθνη 異邦人が G1484 συνκληρονόμα, 共同の-相続人であり G4789 καὶ そして G2532 σύσσωμα, 共同の-からだであり G4954 καὶ そして G2532

συμμέτοχα 共同の-与り者である G4830 τῆς その G3588 ἐπαγγελίας 約束の G1860 ἐν ～にあって G1722 Χριστῷ キリスト G5547 Ἰησοῦ, イエスに G2424 διὰ ～を通して G1223 τοῦ その G3588

εὐαγγελίου; 福音を-通して G2098

それは、異邦人が、福音によりキリスト・イエスにあって、わたしたちと共に神の国をつぐ者となり、共に一つのからだとなり、共に約束にあずかる者となることである。

7 οὗ その-福音の G3739 ἐγενήθην 私は-なった G1096 διάκονος 仕え人と G1249 κατὰ ～に従って G2596 τὴν その G3588 δωρεὰν 贈り物に G1431 τῆς その G3588 χάριτος 恵みの G5485 τοῦ その G3588 Θεοῦ 神の G2316

τῆς, それは G3588 δοθείσης 与えられた G1325 μοι, 私に G1473 κατὰ ～に従って G2596 τὴν その G3588 ἐνέργειαν 働きに G1753 τῆς その G3588 δυνάμεως 力の G1411 αὐτοῦ. 彼の G0846

わたしは、神の力がわたしに働いて、自分に与えられた神の恵みの賜物により、福音の僕とされたのである。

8 ἐμοὶ, τῷ ἐλαχιστοτέρῳ πάντων ἁγίων, ἐδόθη ἡ χάρις αὕτη,
私に すなわち 最も-小さな-者に すべての 聖徒の-中で 与えられた この 恵みが この
G1473 G3588 G1647 G3956 G0040 G1325 G3588 G5485 G3778

τοῖς ἔθνεσιν εὐαγγελίσασθαι, τὸ ἀνεξιχνίαστον πλοῦτος τοῦ Χριστοῦ;
その 異邦人に 福音を-宣べ伝えること その 計り-知れない 豊かさを その キリストの
G3588 G1484 G2097 G3588 G0421 G4149 G3588 G5547

すなわち、聖徒たちのうちで最も小さい者であるわたしにこの恵みが与えられたが、それは、キリストの無尽蔵の富を異邦人に宣べ伝え、

9 καὶ φωτίσαι ‹πάντας›, τίς ἡ οἰκονομία τοῦ μυστηρίου,
そして 照らし-出すこと すべての-人に 何であるか その 計画が その 奥義の
G2532 G5461 G3956 G5101 G3588 G3622 G3588 G3466

τοῦ ἀποκεκρυμμένου ἀπὸ τῶν αἰώνων ἐν τῷ Θεῷ, τῷ
それは 隠されていた ～から その 世々から ～において その 神に すなわち
G3588 G0613 G0575 G3588 G0165 G1722 G3588 G2316 G3588

τὰ πάντα κτίσαντι,
すべての-ものを すべて 造られた-方に
G3588 G3956 G2936

更にまた、万物の造り主である神の中に世々隠されていた奥義にあずかる務がどんなものであるかを、明らかに示すためである。

10 ἵνα γνωρισθῇ νῦν ταῖς ἀρχαῖς καὶ ταῖς ἐξουσίαις ἐν
～するために 知られるために 今 その 支配たちと そして その 権威たちに ～における
G2443 G1107 G3568 G3588 G0746 G2532 G3588 G1849 G1722

τοῖς ἐπουρανίοις, διὰ τῆς ἐκκλησίας, ἡ πολυποίκιλος σοφία τοῦ
その 天上において ～を通して その 教会を-通して その 多様なる 知恵が その
G3588 G2032 G1223 G3588 G1577 G3588 G4182 G4678 G3588

Θεοῦ;
神の
G2316

それは今、天上にあるもろもろの支配や権威が、教会をとおして、神の多種多様な知恵を知るに至るためであって、

11 κατὰ πρόθεσιν τῶν αἰώνων, ἣν ἐποίησεν ἐν τῷ Χριστῷ
～に従って 御計画に その 永遠の それを 実行された ～において その キリスト
G2596 G4286 G3588 G0165 G3739 G4160 G1722 G3588 G5547

Ἰησοῦ, τῷ Κυρίῳ ἡμῶν,
イエス すなわち 主 私たちの
G2424 G3588 G2962 G1473

わたしたちの主キリスト・イエスにあって実現された神の永遠の目的にそうものである。

12 ἐν ᾧ ἔχομεν τὴν παρρησίαν καὶ προσαγωγὴν
～において この-方にあって 私たちは-持っている その 大胆さと そして 近づきを
G1722 G3739 G2192 G3588 G3954 G2532 G4318

ἐν πεποιθήσει, διὰ τῆς πίστεως αὐτοῦ.
～をもって 確信を-もって ～を通して その 信仰を 彼の
G1722 G4006 G1223 G3588 G4102 G0846

この主キリストにあって、わたしたちは、彼に対する信仰によって、確信をもって大胆に神に近づくことができるのである。

13 διὸ αἰτοῦμαι μὴ ἐνκακεῖν ἐν ταῖς θλίψεσίν μου
それゆえに 私は–願う ～しないように 落胆しないように ～における その 苦難において 私の
G1352 G0154 G3361 G1573 G1722 G3588 G2347 G1473

ὑπὲρ ὑμῶν, ἥτις ἐστὶν δόξα ὑμῶν.
～のための あなたがたの それは ～である 栄光 あなたがたの
G5228 G4771 G3748 G1510 G1391 G4771

だから、あなたがたのためにわたしが受けている患難を見て、落胆しないでいてもらいたい。わたしの患難は、あなたがたの光栄なのである。

14 Τούτου χάριν κάμπτω τὰ γόνατά μου πρὸς τὸν Πατέρα,
この–ゆえに ～のために 私は–ひざまずく その ひざを 私の ～に向かって その 父に
G3778 G5484 G2578 G3588 G1119 G1473 G4314 G3588 G3962

<τοῦ κυρίου ἡμῶν Ἰησοῦ χριστοῦ>,
その 主 私たちの イエス キリストの
G3588 G2962 G1473 G2424 G5547

こういうわけで、わたしはひざをかがめて、

15 ἐξ οὗ πᾶσα πατριὰ ἐν οὐρανοῖς καὶ ἐπὶ γῆς
～から その–方から すべての 家族が ～における 天に そして ～の上に 地に
G1537 G3739 G3956 G3965 G1722 G3772 G2532 G1909 G1093

ὀνομάζεται,
名づけられている
G3687

天上にあり地上にあって「父」と呼ばれているあらゆるものの源なる父に祈る。

16 ἵνα δῷ ὑμῖν κατὰ τὸ πλοῦτος τῆς δόξης
～するように 与えてくださるように あなたがたに ～に従って その 豊かさに その 栄光の
G2443 G1325 G4771 G2596 G3588 G4149 G3588 G1391

αὐτοῦ, δυνάμει, κραταιωθῆναι διὰ τοῦ Πνεύματος αὐτοῦ, εἰς τὸν
彼の 力をもって 強められることを ～を通して その 御霊によって 彼の ～において その
G0846 G1411 G2901 G1223 G3588 G4151 G0846 G1519 G3588

ἔσω ἄνθρωπον;
内なる 人において
G2080 G0444

どうか父が、その栄光の富にしたがい、御霊により、力をもってあなたがたの内なる人を強くして下さるように、

17 κατοικῆσαι τὸν Χριστὸν, διὰ τῆς πίστεως, ἐν ταῖς
住まわれるように その キリストが ～を通して その 信仰を–通して ～において その
G2730 G3588 G5547 G1223 G3588 G4102 G1722 G3588

καρδίαις ὑμῶν, ἐν ἀγάπῃ ἐρριζωμένοι καὶ τεθεμελιωμένοι,
心に あなたがたの ～において 愛に 根ざして そして 基づいて
G2588 G4771 G1722 G0026 G4492 G2532 G2311

また、信仰によって、キリストがあなたがたの心のうちに住み、あなたがたが愛に根ざし愛を基として生活することにより、

18 ἵνα ἐξισχύσητε καταλαβέσθαι σὺν πᾶσιν τοῖς
～するために 充分に–力を–得て 把握することが–できるように ～と共に すべての その
G2443 G1840 G2638 G4862 G3956 G3588

ἁγίοις, τί τὸ πλάτος, καὶ μῆκος, καὶ ὕψος, καὶ βάθος,
聖徒たちと–共に 何であるか その 幅と そして 長さと そして 高さと そして 深さが
G0040 G5101 G3588 G4114 G2532 G3372 G2532 G5311 G2532 G0899

すべての聖徒と共に、その広さ、長さ、高さ、深さを理解することができ、

19 γνῶναί τε τὴν, ὑπερβάλλουσαν τῆς γνώσεως, ἀγάπην τοῦ Χριστοῦ,
知ること また その 超越した その 知識を 愛を その キリストの
G1097 G5037 G3588 G5235 G3588 G1108 G0026 G3588 G5547

ἵνα πληρωθῆτε εἰς πᾶν τὸ πλήρωμα τοῦ Θεοῦ.
～するために 満たされるために ～に至るまで すべての その 満ちあふれに その 神の
G2443 G4137 G1519 G3956 G3588 G4138 G3588 G2316

また人知をはるかに越えたキリストの愛を知って、神に満ちているもののすべてをもって、あなたがたが満たされるように、と祈る。

20 Τῷ δὲ δυναμένῳ ὑπὲρ πάντα ποιῆσαι ὑπερεκπερισσοῦ
その さて おできになる–方 ～を超えて すべてのことを なすことが はるかに–豊かに
G3588 G1161 G1410 G5228 G3956 G4160 G5228

ὧν αἰτούμεθα ἢ νοοῦμεν, κατὰ τὴν δύναμιν τὴν
それらを–超えて 私たちが–願うものを または 思うものを ～に従って その 力に その
G3739 G0154 G2228 G3539 G2596 G3588 G1411 G3588

ἐνεργουμένην ἐν ἡμῖν;
働いている ～において 私たちの–内に
G1754 G1722 G1473

どうか、わたしたちのうちに働く力によって、わたしたちが求めまた思うところのいっさいを、はるかに越えてかなえて下さることができるかたに、

21 αὐτῷ ἡ δόξα ἐν τῇ ἐκκλησίᾳ καὶ ἐν Χριστῷ
彼に その 栄光が–あれ ～において その 教会において そして ～において キリスト
G0846 G3588 G1391 G1722 G3588 G1577 G2532 G1722 G5547

Ἰησοῦ, εἰς πάσας τὰς γενεὰς τοῦ αἰῶνος τῶν αἰώνων.
イエスにおいて ～に至るまで すべての その 世代の その 世の その 世々に至るまで
G2424 G1519 G3956 G3588 G1074 G3588 G0165 G3588 G0165

ἀμήν.
アーメン
G0281

教会により、また、キリスト・イエスによって、栄光が世々限りなくあるように、アァメン。

Chapter 4

1 Παρακαλῶ οὖν ὑμᾶς, ἐγὼ ὁ δέσμιος ἐν Κυρίῳ,
勧める それゆえに あなたがたに 私 すなわち 囚人である ～にある 主にある
G3870 G3767 G4771 G1473 G3588 G1198 G1722 G2962

ἀξίως περιπατῆσαι, τῆς κλήσεως ἧς ἐκλήθητε;
ふさわしく 歩むように その 召しに その–召しに 召された
G0516 G4043 G3588 G2821 G3739 G2564

さて、主にある囚人であるわたしは、あなたがたに勧める。あなたがたが召されたその召しにふさわしく歩き、

2

μετὰ	πάσης	ταπεινοφροσύνης	καὶ	πραΰτητος,	μετὰ	μακροθυμίας,
～をもって	あらゆる	謙遜と	そして	柔和と	～をもって	寛容を-もって
G3326	G3956	G5012	G2532	G4240	G3326	G3115

ἀνεχόμενοι	ἀλλήλων	ἐν	ἀγάπῃ;
耐え忍び	互いに	～において	愛において
G0430	G0240	G1722	G0026

できる限り謙虚で、かつ柔和であり、寛容を示し、愛をもって互に忍びあい、

3

σπουδάζοντες	τηρεῖν	τὴν	ἑνότητα	τοῦ	Πνεύματος,	ἐν	τῷ	συνδέσμῳ
努めて	保つように	その	一致を	その	御霊の	～による	その	絆によって
G4704	G5083	G3588	G1775	G3588	G4151	G1722	G3588	G4886

τῆς	εἰρήνης.
その	平安の
G3588	G1515

平和のきずなで結ばれて、聖霊による一致を守り続けるように努めなさい。

4

ἓν	σῶμα	καὶ	ἓν	Πνεῦμα,	καθὼς	καὶ	ἐκλήθητε	ἐν
一つの	からだ	そして	一つの	御霊	ちょうど～のように	また	召された	～において
G1520	G4983	G2532	G1520	G4151	G2531	G2532	G2564	G1722

μιᾷ	ἐλπίδι,	τῆς	κλήσεως	ὑμῶν --
一つの	希望に	その	召しの	あなたがたの
G1520	G1680	G3588	G2821	G4771

からだは一つ、御霊も一つである。あなたがたが召されたのは、一つの望みを目ざして召されたのと同様である。

5

εἷς	Κύριος,	μία	πίστις,	ἓν	βάπτισμα;
一人の	主	一つの	信仰	一つの	バプテスマ
G1520	G2962	G1520	G4102	G1520	G0908

主は一つ、信仰は一つ、バプテスマは一つ。

6

εἷς	Θεὸς	καὶ	Πατὴρ	πάντων,	ὁ	ἐπὶ	πάντων,	καὶ
一人の	神	そして	父	すべての-者の	その-方は	～の上に	すべての	そして
G1520	G2316	G2532	G3962	G3956	G3588	G1909	G3956	G2532

διὰ	πάντων,	καὶ	ἐν	πᾶσιν.
～を通して	すべての	そして	～の内に	すべての-内に
G1223	G3956	G2532	G1722	G3956

すべてのものの上にあり、すべてのものを貫き、すべてのものの内にいます、すべてのものの父なる神は一つである。

7

Ἑνὶ	δὲ	ἑκάστῳ	ἡμῶν	ἐδόθη	ἡ	χάρις,	κατὰ	τὸ
一人-一人に	しかし	それぞれに	私たちの	与えられた	その	恵みが	～に従って	その
G1520	G1161	G1538	G1473	G1325	G3588	G5485	G2596	G3588

μέτρον	τῆς	δωρεᾶς	τοῦ	Χριστοῦ.
分量に	その	贈り物の	その	キリストの
G3358	G3588	G1431	G3588	G5547

しかし、キリストから賜わる賜物のはかりに従って、わたしたちひとりびとりに、恵みが与えられている。

8 διὸ λέγει, Ἀναβὰς εἰς ὕψος, ἠχμαλώτευσεν αἰχμαλωσίαν, (καὶ)
それゆえに 言われている 上って ～へ 高き–所へ 捕らえた 捕虜を そして
G1352 G3004 G0305 G1519 G5311 G0162 G0161 G2532

ἔδωκεν δόματα τοῖς ἀνθρώποις.
与えた 贈り物を その 人々に
G1325 G1390 G3588 G0444

そこで、こう言われている、「彼は高いところに上った時、とりこを捕えて引き行き、人々に賜物を分け与えた」。

9 τὸ δὲ, Ἀνέβη, τί ἐστιν, εἰ μὴ ὅτι καὶ,
その さて 上ったとは 何であるか ～であるか ～でなければ ～でなく ～ということ また
G3588 G1161 G0305 G5101 G1510 G1487 G3361 G3754 G2532

κατέβη εἰς τὰ κατώτερα μέρη τῆς γῆς?
下ったということか ～へ その 下の 部分へ その 地の
G2597 G1519 G3588 G2737 G3313 G3588 G1093

さて「上った」と言う以上、また地下の低い底にも降りてこられたわけではないか。

10 ὁ καταβὰς, αὐτός ἐστιν καὶ ὁ ἀναβὰς ὑπεράνω πάντων
その 下った–方は その–方こそ ～である また その 上った–方でもある はるか–上に すべての
G3588 G2597 G0846 G1510 G2532 G3588 G0305 G5231 G3956

τῶν οὐρανῶν, ἵνα πληρώσῃ τὰ πάντα.
その 天を–超えて ～するために 満たすために すべての–ものを すべて
G3588 G3772 G2443 G4137 G3588 G3956

降りてこられた者自身は、同時に、あらゆるものに満ちるために、もろもろの天の上にまで上られたかたなのである。

11 καὶ αὐτὸς ἔδωκεν τοὺς μὲν ἀποστόλους, τοὺς δὲ προφήτας,
そして 彼ご自身が 与えた ある–者を 一方では 使徒として ある–者を また 預言者として
G2532 G0846 G1325 G3588 G3303 G0652 G3588 G1161 G4396

τοὺς δὲ εὐαγγελιστάς, τοὺς δὲ ποιμένας καὶ διδασκάλους,
ある–者を また 福音伝道者として ある–者を また 牧者として そして 教師として
G3588 G1161 G2099 G3588 G1161 G4166 G2532 G1320

そして彼は、ある人を使徒とし、ある人を預言者とし、ある人を伝道者とし、ある人を牧師、教師として、お立てになった。

12 πρὸς τὸν καταρτισμὸν τῶν ἁγίων; εἰς ἔργον διακονίας,
～のために その 整えの–ために その 聖徒たちの ～のために 動めとしての 奉仕の
G4314 G3588 G2677 G3588 G0040 G1519 G2041 G1248

εἰς οἰκοδομὴν τοῦ σώματος τοῦ Χριστοῦ,
～のために 建て上げの その からだの その キリストの
G1519 G3619 G3588 G4983 G3588 G5547

それは、聖徒たちをととのえて奉仕のわざをさせ、キリストのからだを建てさせ、

13 μέχρι καταντήσωμεν οἱ πάντες, εἰς τὴν ἑνότητα τῆς πίστεως καὶ
～まで 私たちが–達するまで その 皆が ～へと その 一致に その 信仰の そして
G3360 G2658 G3588 G3956 G1519 G3588 G1775 G3588 G4102 G2532

τῆς ἐπιγνώσεως τοῦ Υἱοῦ τοῦ Θεοῦ, εἰς ἄνδρα τέλειον, εἰς μέτρον
その 深い–知識の その 子の その 神の ～へと 成熟した–人へ 完全な ～へと 分量へ
G3588 G1922 G3588 G5207 G3588 G2316 G1519 G0435 G5046 G1519 G3358

ἡλικίας τοῦ πληρώματος τοῦ Χριστοῦ;
丈の その 満ちあふれの その キリストの
G2244 G3588 G4138 G3588 G5547

わたしたちすべての者が、神の子を信じる信仰の一致と彼を知る知識の一致とに到達し、全き人となり、ついに、キリストの満ちみちた徳の高さにまで至るためである。

14

ἵνα	μηκέτι	ὦμεν	νήπιοι,	κλυδωνιζόμενοι	καὶ
～するために	もはや	私たちが–～でないために	幼子	波に–揺さぶられ	そして
G2443	G3371	G1510	G3516	G2831	G2532

περιφερόμενοι	παντὶ	ἀνέμῳ	τῆς	διδασκαλίας,	ἐν	τῇ	κυβείᾳ
持ち–回されることなく	あらゆる	風に	その	教えの	～による	その	策略によって
G4064	G3956	G0417	G3588	G1319	G1722	G3588	G2940

τῶν	ἀνθρώπων,	ἐν	πανουργίᾳ	πρὸς	τὴν	μεθοδείαν	τῆς	πλάνης;
その	人々の	～による	狡猾さによって	～に向かう	その	計略に	その	惑わしの
G3588	G0444	G1722	G3834	G4314	G3588	G3180	G3588	G4106

こうして、わたしたちはもはや子供ではないので、だまし惑わす策略により、人々の悪巧みによって起る様々な教の風に吹きまわされたり、もてあそばれたりすることがなく、

15

ἀληθεύοντες	δὲ	ἐν	ἀγάπῃ,	αὐξήσωμεν	εἰς	αὐτὸν
真実を–語り	しかし	～において	愛において	成長しよう	～へと	彼に向かって
G0226	G1161	G1722	G0026	G0837	G1519	G0846

τὰ	πάντα,	ὅς	ἐστιν	ἡ	κεφαλή,	Χριστός;
すべての–ことにおいて	すべて	その–方は	～である	その	かしら	キリスト
G3588	G3956	G3739	G1510	G3588	G2776	G5547

愛にあって真理を語り、あらゆる点において成長し、かしらなるキリストに達するのである。

16

ἐξ	οὗ	πᾶν	τὸ	σῶμα,	συναρμολογούμενον	καὶ	συμβιβαζόμενον
～から	その–方から	すべての	その	からだが	組み–合わされ	そして	結び–合わされて
G1537	G3739	G3956	G3588	G4983	G4883	G2532	G4822

διὰ	πάσης	ἁφῆς	τῆς	ἐπιχορηγίας	κατ’,	ἐνέργειαν	ἐν
～を通して	あらゆる	節々の	その	支えの	～に従って	働きに	～における
G1223	G3956	G0860	G3588	G2024	G2596	G1753	G1722

μέτρῳ	ἑνὸς	ἑκάστου	μέρους,	τὴν	αὔξησιν	τοῦ	σώματος	ποιεῖται
分量において	一つ–一つの	それぞれの	部分の	その	成長を	その	からだの	生み–出す
G3358	G1520	G1538	G3313	G3588	G0838	G3588	G4983	G4160

εἰς	οἰκοδομὴν	ἑαυτοῦ	ἐν	ἀγάπῃ.
～へと	建て上げへ	自らの	～において	愛において
G1519	G3619	G1438	G1722	G0026

また、キリストを基として、全身はすべての節々の助けにより、しっかりと組み合わされ結び合わされ、それぞれの部分は分に応じて働き、からだを成長させ、愛のうちに育てられていくのである。

17

Τοῦτο	οὖν	λέγω,	καὶ	μαρτύρομαι	ἐν	Κυρίῳ,	μηκέτι
これを	それゆえに	私は–言う	そして	証しする	～において	主において	もはや
G3778	G3767	G3004	G2532	G3143	G1722	G2962	G3371

ὑμᾶς	περιπατεῖν	καθὼς	καὶ	τὰ	ἔθνη	περιπατεῖ,	ἐν
あなたがたは	歩むべきではない	～のように	また	その	異邦人が	歩むように	～の中に
G4771	G4043	G2531	G2532	G3588	G1484	G4043	G1722

ματαιότητι	τοῦ	νοὸς	αὐτῶν.
空しさの–中で	その	心の	彼らの
G3153	G3588	G3563	G0846

そこで、わたしは主にあっておごそかに勧める。あなたがたは今後、異邦人がむなしい心で歩いているように歩いてはならない。

18 ἐσκοτωμένοι τῇ διανοίᾳ, ὄντες ἀπηλλοτριωμένοι τῆς ζωῆς τοῦ
暗くなっている その 思いにおいて ～であって 疎外されて その いのちから その
G4656 G3588 G1271 G1510 G0526 G3588 G2222 G3588

Θεοῦ, διὰ τὴν ἄγνοιαν τὴν οὖσαν ἐν αὐτοῖς, διὰ
神の ～のゆえに その 無知の-ゆえに それは ～である ～にある 彼らの-中に ～のゆえに
G2316 G1223 G3588 G0052 G3588 G1510 G1722 G0846 G1223

τὴν πώρωσιν τῆς καρδίας αὐτῶν,
その かたくなさの-ゆえに その 心の 彼らの
G3588 G4457 G3588 G2588 G0846

彼らの知力は暗くなり、その内なる無知と心の硬化とにより、神のいのちから遠く離れ、

19 οἵτινες ἀπηλγηκότες, ἑαυτοὺς παρέδωκαν τῇ ἀσελγείᾳ, εἰς
その-者たちは 感覚を-失って 自らを 引き渡した その 放縦に ～のために
G3748 G0524 G1438 G3860 G3588 G0766 G1519

ἐργασίαν ἀκαθαρσίας, πάσης ἐν πλεονεξίᾳ.
行いとしての 汚れの あらゆる ～をもって 貪欲を-もって
G2039 G0167 G3956 G1722 G4124

自ら無感覚になって、ほしいままにあらゆる不潔な行いをして、放縦に身をゆだねている。

20 ὑμεῖς δὲ οὐχ οὕτως ἐμάθετε τὸν Χριστόν,
あなたがたは しかし ～ではなく そのようには 学んだのではない その キリストを
G4771 G1161 G3756 G3779 G3129 G3588 G5547

しかしあなたがたは、そのようにキリストに学んだのではなかった。

21 εἴ γε αὐτὸν ἠκούσατε καὶ ἐν αὐτῷ ἐδιδάχθητε,
もし 実に 彼のことを 聞いて そして ～において 彼において 教えられたのならば
G1487 G1065 G0846 G0191 G2532 G1722 G0846 G1321

καθώς ἐστιν ἀλήθεια ἐν τῷ Ἰησοῦ;
～のように ～である 真理が ～にある その イエスに
G2531 G1510 G0225 G1722 G3588 G2424

あなたがたはたしかに彼に聞き、彼にあって教えられて、イエスにある真理をそのまま学んだはずである。

22 ἀποθέσθαι ὑμᾶς, κατὰ τὴν προτέραν ἀναστροφὴν, τὸν
脱ぎ捨てるべきである あなたがたは ～に従って その 以前の 生き-方における その
G0659 G4771 G2596 G3588 G4386 G0391 G3588

παλαιὸν ἄνθρωπον, τὸν φθειρόμενον, κατὰ τὰς ἐπιθυμίας τῆς ἀπάτης;
古い 人を それは 滅びゆく ～に従って その 欲望に その 欺きの
G3820 G0444 G3588 G5351 G2596 G3588 G1939 G3588 G0539

すなわち、あなたがたは、以前の生活に属する、情欲に迷って滅び行く古き人を脱ぎ捨て、

23 ἀνανεοῦσθαι δὲ τῷ πνεύματι τοῦ νοὸς ὑμῶν;
新たにされるべきである しかし その 霊において その 心の あなたがたの
G0365 G1161 G3588 G4151 G3588 G3563 G4771

心の深みまで新たにされて、

24

καὶ	ἐνδύσασθαι	τὸν	καινὸν	ἄνθρωπον,	τὸν	κατὰ	Θεὸν	κτισθέντα
そして	着るべきである	その	新しい	人を	それは	～に従って	神に	造られた
G2532	G1746	G3588	G2537	G0444	G3588	G2596	G2316	G2936

ἐν	δικαιοσύνῃ	καὶ	ὁσιότητι	τῆς	ἀληθείας.
～において	義と	そして	聖さに	その	真理の
G1722	G1343	G2532	G3742	G3588	G0225

真の義と聖とをそなえた神にかたどって造られた新しき人を着るべきである。

25

Διὸ	ἀποθέμενοι	τὸ	ψεῦδος,	λαλεῖτε	ἀλήθειαν	ἕκαστος	μετὰ	τοῦ
それゆえに	捨て去って	その	偽りを	語りなさい	真実を	各自が	～と	その
G1352	G0659	G3588	G5579	G2980	G0225	G1538	G3326	G3588

πλησίον	αὐτοῦ,	ὅτι	ἐσμὲν	ἀλλήλων	μέλη.
隣人と	彼の	なぜなら	私たちは–～である	互いの	肢体
G4139	G0846	G3754	G1510	G0240	G3196

こういうわけだから、あなたがたは偽りを捨てて、おのおの隣り人に対して、真実を語りなさい。わたしたちは、お互に肢体なのであるから。

26

ὀργίζεσθε,	καὶ	μὴ	ἁμαρτάνετε;	ὁ	ἥλιος	μὴ	ἐπιδυέτω	ἐπὶ
怒っても	そして	～なく	罪を–犯すな	その	太陽が	～なく	沈まないように	～の上に
G3710	G2532	G3361	G0264	G3588	G2246	G3361	G1931	G1909

[τῷ]	παροργισμῷ	ὑμῶν,
その	怒りの–上に	あなたがたの
G3588	G3950	G4771

怒ることがあっても、罪を犯してはならない。憤ったままで、日が暮れるようであってはならない。

27

μηδὲ	δίδοτε	τόπον	τῷ	διαβόλῳ.
また–～ないように	与えるな	場所を	その	悪魔に
G3366	G1325	G5117	G3588	G1228

また、悪魔に機会を与えてはいけない。

28

ὁ	κλέπτων	μηκέτι	κλεπτέτω;	μᾶλλον	δὲ	κοπιάτω,
その	盗んでいた–者は	もはや	盗んではならない	むしろ	そうではなく	労して
G3588	G2813	G3371	G2813	G3123	G1161	G2872

ἐργαζόμενος	ταῖς	ἰδίαις	χερσὶν	τὸ	ἀγαθόν,	ἵνα	ἔχῃ
働きなさい	その	自分の	手で	その	良い–ことを	～するために	持つことが–できるように
G2038	G3588	G2398	G5495	G3588	G0018	G2443	G2192

μεταδιδόναι	τῷ	χρείαν	ἔχοντι.
分け–与えることが	その	必要を	持つ–者に
G3330	G3588	G5532	G2192

盗んだ者は、今後、盗んではならない。むしろ、貧しい人々に分け与えるようになるために、自分の手で正当な働きをしなさい。

29

πᾶς	λόγος	σαπρὸς	ἐκ	τοῦ	στόματος	ὑμῶν,	μὴ
すべての	言葉は	腐った	～から	その	口から	あなたがたの	～してはならない
G3956	G3056	G4550	G1537	G3588	G4750	G4771	G3361

ἐκπορευέσθω,	ἀλλὰ,	εἴ	τις	ἀγαθὸς,	πρὸς	οἰκοδομὴν	τῆς	χρείας,
出てはならない	しかし	もし	何か	良い–言葉があれば	～のために	建て上げの	その	必要の
G1607	G0235	G1487	G5100	G0018	G4314	G3619	G3588	G5532

ἵνα	δῷ	χάριν	τοῖς	ἀκούουσιν.
～するために	与えるために	恵みを	その	聞く–者たちに
G2443	G1325	G5485	G3588	G0191

悪い言葉をいっさい、あなたがたの口から出してはいけない。必要があれば、人の徳を高めるのに役立つような言葉を語って、聞いている者の益になるようにしなさい。

30	καὶ	μὴ	λυπεῖτε	τὸ	Πνεῦμα	τὸ	Ἅγιον	τοῦ	Θεοῦ,
	そして	～してはならない	悲しませてはならない	その	御霊を	その	聖なる	その	神の
	G2532	G3361	G3076	G3588	G4151	G3588	G0040	G3588	G2316

ἐν	ᾧ	ἐσφραγίσθητε	εἰς	ἡμέραν	ἀπολυτρώσεως.
～によって	その–御霊によって	証印を–押された	～に向けて	日の–ために	贖いの
G1722	G3739	G4972	G1519	G2250	G0629

神の聖霊を悲しませてはいけない。あなたがたは、あがないの日のために、聖霊の証印を受けたのである。

31	πᾶσα	πικρία,	καὶ	θυμὸς,	καὶ	ὀργὴ,	καὶ	κραυγὴ,	καὶ
	すべての	苦い–思いと	そして	激しい–怒りと	そして	怒りと	そして	叫びと	そして
	G3956	G4088	G2532	G2372	G2532	G3709	G2532	G2906	G2532

βλασφημία,	ἀρθήτω	ἀφ’	ὑμῶν,	σὺν	πάσῃ	κακίᾳ.	
悪口は	取り–除かれよ	～から	あなたがたから	～と共に	すべての	悪意と–共に	
G0988	G0142	G0575	G4771	G4862	G3956	G2549	

すべての無慈悲、憤り、怒り、騒ぎ、そしり、また、いっさいの悪意を捨て去りなさい。

32	γίνεσθε	δὲ	εἰς	ἀλλήλους	χρηστοί,	εὔσπλαγχνοι,	χαριζόμενοι	ἑαυτοῖς,
	なりなさい	しかし	～に対して	互いに	親切で	心–優しく	赦し–合いなさい	互いに
	G1096	G1161	G1519	G0240	G5543	G2155	G5483	G1438

καθὼς	καὶ	ὁ	Θεὸς	ἐν	Χριστῷ	ἐχαρίσατο	ὑμῖν.
～のように	また	その	神が	～において	キリストにおいて	赦してくださったように	あなたがたを
G2531	G2532	G3588	G2316	G1722	G5547	G5483	G4771

互に情深く、あわれみ深い者となり、神がキリストにあってあなたがたをゆるして下さったように、あなたがたも互にゆるし合いなさい。

Chapter 5

1	γίνεσθε	οὖν	μιμηταὶ	τοῦ	Θεοῦ,	ὡς	τέκνα	ἀγαπητά,
	なりなさい	それゆえに	見倣う–者と	その	神の	～のように	子どもたちとして	愛された
	G1096	G3767	G3402	G3588	G2316	G5613	G5043	G0027

こうして、あなたがたは、神に愛されている子供として、神にならう者になりなさい。

2	καὶ	περιπατεῖτε	ἐν	ἀγάπῃ,	καθὼς	καὶ	ὁ	Χριστὸς
	そして	歩みなさい	～において	愛において	～のように	また	その	キリストが
	G2532	G4043	G1722	G0026	G2531	G2532	G3588	G5547

ἠγάπησεν	ἡμᾶς,	καὶ	παρέδωκεν	ἑαυτὸν	ὑπὲρ	ἡμῶν,	προσφορὰν	
愛してくださった	私たちを	そして	引き渡した	ご自身を	～のために	私たちの	ささげ物として	
G0025	G1473	G2532	G3860	G1438	G5228	G1473	G4376	

καὶ	θυσίαν	τῷ	Θεῷ,	εἰς	ὀσμὴν	εὐωδίας.
そして	いけにえとして	その	神に	～として	かおりとして	芳しい
G2532	G2378	G3588	G2316	G1519	G3744	G2175

また愛のうちを歩きなさい。キリストもあなたがたを愛して下さって、わたしたちのために、ご自身を、神へのかんばしいかおりのささげ物、また、いけにえとしてささげられたのである。

3 Πορνεία δὲ, καὶ ἀκαθαρσία πᾶσα, ἢ πλεονεξία, μηδὲ
淫行と しかし そして 汚れは あらゆる または 貪欲は ～してはならない
G4202 G1161 G2532 G0167 G3956 G2228 G4124 G3366

ὀνομαζέσθω ἐν ὑμῖν, καθὼς πρέπει ἁγίοις;
口に-されてはならない ～において あなたがたの-間で ～のように ふさわしい 聖徒たちに
G3687 G1722 G4771 G2531 G4241 G0040

また、不品行といろいろな汚れや貪欲などを、聖徒にふさわしく、あなたがたの間では、口にすることさえしてはならない。

4 καὶ αἰσχρότης, καὶ μωρολογία, ἢ εὐτραπελία, ἃ οὐκ
そして 恥ない-ことと そして 愚かな-話と または 下品な-冒涜は それらは ～でない
G2532 G0151 G2532 G3473 G2228 G2160 G3739 G3756

ἀνῆκεν; ἀλλὰ μᾶλλον εὐχαριστία.
ふさわしくない しかし むしろ 感謝を
G0433 G0235 G3123 G2169

また、卑しい言葉と愚かな話やみだらな冗談を避けなさい。これらは、よろしくない事である。それよりは、むしろ感謝をささげなさい。

5 τοῦτο γὰρ ἴστε, γινώσκοντες ὅτι πᾶς πόρνος,
これを なぜなら 知っていなさい 認識して ～ということを すべての 淫行を-する-者と
G3778 G1063 G1492 G1097 G3754 G3956 G4205

ἢ ἀκάθαρτος, ἢ πλεονέκτης, ὅ ἐστιν εἰδωλολάτρης, οὐκ
または 汚れた-者と または 貪欲な-者は すなわち ～である 偶像崇拝者であって ～を持たない
G2228 G0169 G2228 G4123 G3739 G1510 G1496 G3756

ἔχει κληρονομίαν ἐν τῇ βασιλείᾳ τοῦ Χριστοῦ, καὶ Θεοῦ.
持たない 受け継ぐ-ものを ～における その 御国に その キリストの そして 神の
G2192 G2817 G1722 G3588 G0932 G3588 G5547 G2532 G2316

あなたがたは、よく知っておかねばならない。すべて不品行な者、汚れたことをする者、貪欲な者、すなわち、偶像を礼拝する者は、キリストと神との国をつぐことができない。

6 Μηδεὶς ὑμᾶς ἀπατάτω κενοῖς λόγοις; διὰ ταῦτα γὰρ
誰も あなたがたを 欺いてはならない 空しい 言葉で ～のゆえに これらのことの なぜなら
G3367 G4771 G0538 G2756 G3056 G1223 G3778 G1063

ἔρχεται ἡ ὀργὴ τοῦ Θεοῦ, ἐπὶ τοὺς υἱοὺς τῆς ἀπειθείας.
来る その 御怒りが その 神の ～の上に その 子らの-上に その 不従順の
G2064 G3588 G3709 G3588 G2316 G1909 G3588 G5207 G3588 G0543

あなたがたは、だれにも不誠実な言葉でだまされてはいけない。これらのことから、神の怒りは不従順の子らに下るのである。

7 μὴ οὖν γίνεσθε συμμέτοχοι αὐτῶν;
～しないように それゆえに なってはならない 仲間に 彼らの
G3361 G3767 G1096 G4830 G0846

だから、彼らの仲間になってはいけない。

8 ἦτε γάρ ποτε σκότος, νῦν δὲ, φῶς ἐν Κυρίῳ;
あなたがたは-～であった なぜなら かつて 闇 今は しかし 光 ～にある 主にある
G1510 G1063 G4218 G4655 G3568 G1161 G5457 G1722 G2962

ὡς τέκνα φωτὸς περιπατεῖτε--
～のように 子どもとして 光の 歩みなさい
G5613 G5043 G5457 G4043

あなたがたは、以前はやみであったが、今は主にあって光となっている。光の子らしく歩きなさい――

9

ὁ	γὰρ	καρπὸς	τοῦ	φωτὸς	ἐν	πάσῃ	ἀγαθωσύνῃ,	καὶ
その	なぜなら	実は	その	光の	～において	あらゆる	善さと	そして
G3588	G1063	G2590	G3588	G5457	G1722	G3956	G0019	G2532

δικαιοσύνῃ,	καὶ	ἀληθείᾳ--
義と	そして	真実において
G1343	G2532	G0225

光はあらゆる善意と正義と真実との実を結ばせるものである――

10

δοκιμάζοντες	τί	ἐστιν	εὐάρεστον	τῷ	Κυρίῳ.
見分けて	何が	～であるかを	喜ばれることか	その	主に
G1381	G5101	G1510	G2101	G3588	G2962

主に喜ばれるものがなんであるかを、わきまえ知りなさい。

11

καὶ	μὴ	συνκοινωνεῖτε	τοῖς	ἔργοις	τοῖς	ἀκάρποις	τοῦ
そして	～してはならない	加わってはならない	その	行いに	その	実を-結ばない	その
G2532	G3361	G4790	G3588	G2041	G3588	G0175	G3588

σκότους,	μᾶλλον	δὲ	καὶ	ἐλέγχετε;
闇の	むしろ	そうではなく	また	責めなさい
G4655	G3123	G1161	G2532	G1651

実を結ばないやみのわざに加わらないで、むしろ、それを指摘してやりなさい。

12

τὰ	γὰρ	κρυφῇ	γινόμενα	ὑπ'	αὐτῶν,	αἰσχρόν	ἐστιν
その	なぜなら	ひそかに	行われていることは	～によって	彼らによって	恋ずかしい	～である
G3588	G1063	G2931	G1096	G5259	G0846	G0150	G1510

καὶ	λέγειν.
～すらも	言うことも
G2532	G3004

彼らが隠れて行っていることは、口にするだけでも恥ずかしい事である。

13

τὰ	δὲ	πάντα	ἐλεγχόμενα	ὑπὸ	τοῦ	φωτὸς,	φανεροῦται	πᾶν
しかし	しかし	すべてのものは	責められると	～によって	その	光によって	明らかになる	すべて
G3588	G1161	G3956	G1651	G5259	G3588	G5457	G5319	G3956

γὰρ;	τὸ	φανερούμενον	φῶς	ἐστιν.
なぜなら	その	明らかにされるものは	光	である
G1063	G3588	G5319	G5457	G1510

しかし、光にさらされる時、すべてのものは、明らかになる。

14

διὸ	λέγει,	Ἔγειρε,	ὁ	καθεύδων,	καὶ	ἀνάστα	ἐκ	τῶν
それゆえに	言われている	目覚めよ	おお	眠っている-者よ	そして	立ち上がれ	～から	その
G1352	G3004	G1453	G3588	G2518	G2532	G0450	G1537	G3588

νεκρῶν,	καὶ	ἐπιφαύσει	σοι	ὁ	Χριστός.
死者の-中から	そうすれば	照らすであろう	あなたを	その	キリストが
G3498	G2532	G2017	G4771	G3588	G5547

明らかにされたものは皆、光となるのである。だから、こう書いてある、「眠っている者よ、起きなさい。死人のなかから、立ち上がりなさい。そうすれば、キリストがあなたを照すであろう」。

15 Βλέπετε οὖν ἀκριβῶς πῶς περιπατεῖτε, μὴ ὡς
気を−つけなさい それゆえに 注意深く どのように 歩むかを 〜でなく 〜のように
G0991 G3767 G0199 G4459 G4043 G3361 G5613

ἄσοφοι, ἀλλ’ ὡς σοφοί,
愚かな−者としてではなく しかし 〜のように 賢い−者として
G0781 G0235 G5613 G4680

そこで、あなたがたの歩きかたによく注意して、賢くない者のようにではなく、賢い者のように歩き、

16 ἐξαγοραζόμενοι τὸν καιρόν, ὅτι αἱ ἡμέραι πονηραί εἰσιν.
買い−取って その 時を なぜなら その 日々は 悪い 〜である
G1805 G3588 G2540 G3754 G3588 G2250 G4190 G1510

今の時を生かして用いなさい。今は悪い時代なのである。

17 διὰ τοῦτο, μὴ γίνεσθε ἄφρονες, ἀλλὰ συνίετε
この−ゆえに このことの 〜であってはならない なってはならない 愚かな−者に しかし 悟りなさい
G1223 G3778 G3361 G1096 G0878 G0235 G4920

τί τὸ θέλημα τοῦ Κυρίου.
何であるか その 御心が その 主の
G5101 G3588 G2307 G3588 G2962

だから、愚かな者にならないで、主の御旨がなんであるかを悟りなさい。

18 καὶ μὴ μεθύσκεσθε οἴνῳ, ἐν ᾧ ἐστιν ἀσωτία.
そして 〜してはならない 酔ってはならない 酒に 〜の中に その−中には 〜がある 放縦が
G2532 G3361 G3182 G3631 G1722 G3739 G1510 G0810

ἀλλὰ πληροῦσθε ἐν Πνεύματι,
しかし 満たされなさい 〜によって 御霊によって
G0235 G4137 G1722 G4151

酒に酔ってはいけない。それは乱行のもとである。むしろ御霊に満たされて、

19 λαλοῦντες ἑαυτοῖς [ἐν] ψαλμοῖς, καὶ ὕμνοις, καὶ ᾠδαῖς
語り−合いなさい 互いに 〜をもって 詩篇と そして 賛美と そして 歌で
G2980 G1438 G1722 G5568 G2532 G5215 G2532 G5603

πνευματικαῖς; ᾄδοντες καὶ ψάλλοντες τῇ καρδίᾳ ὑμῶν τῷ Κυρίῳ;
霊的な 歌いながら そして 奏でながら その 心において あなたがたの その 主に
G4152 G0103 G2532 G5567 G3588 G2588 G4771 G3588 G2962

詩とさんびと霊の歌とをもって語り合い、主にむかって心からさんびの歌をうたいなさい。

20 εὐχαριστοῦντες πάντοτε, ὑπὲρ πάντων, ἐν ὀνόματι τοῦ Κυρίου
感謝して いつも 〜のために すべてのことの 〜において 御名において その 主
G2168 G3842 G5228 G3956 G1722 G3686 G3588 G2962

ἡμῶν, Ἰησοῦ Χριστοῦ; τῷ Θεῷ καὶ Πατρί;
私たちの イエス キリストの その 神 そして 父に
G1473 G2424 G5547 G3588 G2316 G2532 G3962

そしてすべてのことにつき、いつも、わたしたちの主イエス・キリストの御名によって、父なる神に感謝し、

21 ὑποτασσόμενοι ἀλλήλοις ἐν φόβῳ Χριστοῦ.
従い−合いなさい 互いに 〜において 畏れにおいて キリストの
G5293 G0240 G1722 G5401 G5547

キリストに対する恐れの心をもって、互に仕え合うべきである。

22 Αἱ γυναῖκες, τοῖς ἰδίοις ἀνδράσιν, ὡς τῷ Κυρίῳ,
おお 妻たちよ その 自分の 夫に ～のように その 主に
G3588 G1135 G3588 G2398 G0435 G5613 G3588 G2962

妻たる者よ。主に仕えるように自分の夫に仕えなさい。

23 ὅτι ἀνήρ ἐστιν κεφαλὴ τῆς γυναικὸς, ὡς καὶ ὁ Χριστὸς
なぜなら 夫は ～である かしら その 妻の ～のように また その キリストが
G3754 G0435 G1510 G2776 G3588 G1135 G5613 G2532 G3588 G5547

κεφαλὴ τῆς ἐκκλησίας -- αὐτὸς σωτὴρ τοῦ σώματος.
かしらである その 教会の 彼ご自身が 救い主である その からだの
G2776 G3588 G1577 G0846 G4990 G3588 G4983

キリストが教会のかしらであって、自らは、からだなる教会の救主であられるように、夫は妻のかしらである。

24 ἀλλὰ ὡς ἡ ἐκκλησία ὑποτάσσεται τῷ Χριστῷ, οὕτως καὶ αἱ
しかし ～のように その 教会が 従うように その キリストに そのように また その
G0235 G5613 G3588 G1577 G5293 G3588 G5547 G3779 G2532 G3588

γυναῖκες τοῖς ἀνδράσιν ἐν παντί.
妻たちも その 夫に ～において すべてにおいて
G1135 G3588 G0435 G1722 G3956

そして教会がキリストに仕えるように、妻もすべてのことにおいて、夫に仕えるべきである。

25 Οἱ ἄνδρες, ἀγαπᾶτε τὰς γυναῖκας, καθὼς καὶ ὁ Χριστὸς ἠγάπησεν
おお 夫たちよ 愛しなさい その 妻たちを ～のように また その キリストが 愛した
G3588 G0435 G0025 G3588 G1135 G2531 G2532 G3588 G5547 G0025

τὴν ἐκκλησίαν, καὶ ἑαυτὸν παρέδωκεν ὑπὲρ αὐτῆς,
その 教会を そして ご自身を 引き渡した ～のために 彼女の
G3588 G1577 G2532 G1438 G3860 G5228 G0846

夫たる者よ。キリストが教会を愛してそのためにご自身をささげられたように、妻を愛しなさい。

26 ἵνα αὐτὴν ἁγιάσῃ, καθαρίσας τῷ λουτρῷ τοῦ ὕδατος ἐν
～するために 彼女を 聖めるために 清めて その 洗いで その 水の ～によって
G2443 G0846 G0037 G2511 G3588 G3067 G3588 G5204 G1722

ῥήματι,
御言葉によって
G4487

キリストがそうなさったのは、水で洗うことにより、言葉によって、教会をきよめて聖なるものとするためであり、

27 ἵνα παραστήσῃ αὐτὸς ἑαυτῷ ἔνδοξον, τὴν ἐκκλησίαν, μὴ
～するために 立たせるために 彼ご自身が ご自身の-前に 輝かしい その 教会を ～のない
G2443 G3936 G0846 G1438 G1741 G3588 G1577 G3361

ἔχουσαν σπίλον, ἢ ῥυτίδα, ἤ τι τῶν τοιούτων; ἀλλ’
持たない 染みも または しわも または 何か その そのような-ものも しかし
G2192 G4696 G2228 G4512 G2228 G5100 G3588 G5108 G0235

ἵνα ᾖ ἁγία καὶ ἄμωμος.
～するために あるために 聖く そして 傷なき-ものであるように
G2443 G1510 G0040 G2532 G0299

また、しみも、しわも、そのたぐいのものがいっさいなく、清くて傷のない栄光の姿の教会を、ご自分に迎えるためである。

28 οὕτως ὀφείλουσιν καὶ οἱ ἄνδρες ἀγαπᾶν τὰς ἑαυτῶν γυναῖκας,
そのように すべきである また その 夫たちも 愛すべきである その 自分の 妻たちを
G3779 G3784 G2532 G3588 G0435 G0025 G3588 G1438 G1135

ὡς τὰ ἑαυτῶν σώματα. ὁ ἀγαπῶν τὴν ἑαυτοῦ γυναῖκα,
〜のように その 自分の からだのように その 愛する-者は その 自分の 妻を
G5613 G3588 G1438 G4983 G3588 G0025 G3588 G1438 G1135

ἑαυτὸν ἀγαπᾷ.
自分自身を 愛するのである
G1438 G0025

それと同じく、夫も自分の妻を、自分のからだのように愛さねばならない。自分の妻を愛する者は、自分自身を愛するのである。

29 οὐδεὶς γάρ ποτε τὴν ἑαυτοῦ σάρκα ἐμίσησεν, ἀλλὰ ἐκτρέφει καὶ
誰も なぜなら かつて その 自分の 肉を 憎んだことはない しかし 養い そして
G3762 G1063 G4218 G3588 G1438 G4561 G3404 G0235 G1625 G2532

θάλπει αὐτήν, καθὼς καὶ ὁ Χριστὸς τὴν ἐκκλησίαν:
大切にする それを 〜のように また その キリストが その 教会を
G2282 G0846 G2531 G2532 G3588 G5547 G3588 G1577

自分自身を憎んだ者は、いまだかつて、ひとりもいない。かえって、キリストが教会になさったようにして、おのれを育て養うのが常である。

30 ὅτι μέλη ἐσμὲν τοῦ σώματος αὐτοῦ, <ἐκ τῆς σαρκὸς
なぜなら 肢体 私たちは-〜である その からだの 彼の 〜からの その 肉からであり
G3754 G3196 G1510 G3588 G4983 G0846 G1537 G3588 G4561

αὐτοῦ, καὶ ἐκ τῶν ὀστέων αὐτοῦ>.
彼の そして 〜からの その 骨からである 彼の
G0846 G2532 G1537 G3588 G3747 G0846

わたしたちは、キリストのからだの肢体なのである。

31 ἀντὶ τούτου, καταλείψει ἄνθρωπος τὸν πατέρα καὶ τὴν μητέρα,
この-ゆえに このことの 離れるであろう 人は その 父と そして その 母を
G0473 G3778 G2641 G0444 G3588 G3962 G2532 G3588 G3384

καὶ προσκολληθήσεται πρὸς τὴν γυναῖκα αὐτοῦ, καὶ ἔσονται οἱ
そして 結び-合うであろう 〜に向かって その 妻に 彼の そして なるであろう その
G2532 G4347 G4314 G3588 G1135 G0846 G2532 G1510 G3588

δύο εἰς σάρκα μίαν.
二人は 〜へと 肉として 一つの
G1417 G1519 G4561 G1520

「それゆえに、人は父母を離れてその妻と結ばれ、ふたりの者は一体となるべきである」。

32 τὸ μυστήριον τοῦτο μέγα ἐστίν; ἐγὼ δὲ λέγω εἰς Χριστὸν,
この 奥義は この 大いなる 〜である 私は しかし 言う 〜について キリストと
G3588 G3466 G3778 G3173 G1510 G1473 G1161 G3004 G1519 G5547

καὶ εἰς τὴν ἐκκλησίαν.
そして 〜について その 教会について
G2532 G1519 G3588 G1577

この奥義は大きい。それは、キリストと教会とをさしている。

33 πλὴν ただし G4133 καὶ また G2532 ὑμεῖς あなたがたも G4771 οἱ その G3588 καθ’ ～において G2596 ἕνα, 一人–一人 G1520 ἕκαστος 各自が G1538 τὴν その G3588 ἑαυτοῦ 自分の G1438 γυναῖκα, 妻を G1135

οὕτως そのように G3779 ἀγαπάτω 愛しなさい G0025 ὡς ～のように G5613 ἑαυτόν; 自分自身を G1438 ἡ そして G3588 δὲ また G1161 γυνὴ, 妻は G1135 ἵνα ～するように G2443 φοβῆται 敬うように G5399

τὸν その G3588 ἄνδρα. 夫を G0435

いずれにしても、あなたがたは、それぞれ、自分の妻を自分自身のように愛しなさい。妻もまた夫を敬いなさい。

Chapter 6

1 Τὰ おお G3588 τέκνα, 子どもたちよ G5043 ὑπακούετε 従いなさい G5219 τοῖς その G3588 γονεῦσιν 両親に G1118 ὑμῶν, あなたがたの G4771 ἐν ～にあって G1722 Κυρίῳ; 主にあって G2962 τοῦτο これは G3778

γάρ なぜなら G1063 ἐστιν ～である G1510 δίκαιον. 正しいこと G1342

子たる者よ。主にあって両親に従いなさい。これは正しいことである。

2 τίμα 敬いなさい G5091 τὸν その G3588 πατέρα 父と G3962 σου あなたの G4771 καὶ そして G2532 τὴν その G3588 μητέρα, 母を G3384 ἥτις これは G3748 ἐστὶν ～である G1510 ἐντολὴ 戒め G1785

πρώτη, 第一の G4413 ἐν ～を伴う G1722 ἐπαγγελίᾳ, 約束を–伴う G1860

「あなたの父と母とを敬え」。これが第一の戒めであって、次の約束がそれについている、

3 ἵνα ～するために G2443 εὖ 幸いが G2095 σοι あなたに G4771 γένηται, あるように G1096 καὶ そして G2532 ἔσῃ あなたが–～であるように G1510 μακροχρόνιος 長寿であるように G3118

ἐπὶ ～の上に G1909 τῆς その G3588 γῆς. 地の–上に G1093

「そうすれば、あなたは幸福になり、地上でながく生きながらえるであろう」。

4 Καὶ そして G2532 οἱ おお G3588 πατέρες, 父たちよ G3962 μὴ ～してはならない G3361 παροργίζετε 怒らせてはならない G3949 τὰ その G3588 τέκνα 子どもたちを G5043 ὑμῶν, あなたがたの G4771

ἀλλὰ しかし G0235 ἐκτρέφετε 育てなさい G1625 αὐτὰ 彼らを G0846 ἐν ～において G1722 παιδείᾳ 訓練と G3809 καὶ そして G2532 νουθεσίᾳ 戒めにおいて G3559 Κυρίου. 主の G2962

父たる者よ。子供をおこらせないで、主の薫陶と訓戒とによって、彼らを育てなさい。

5 Οἱ δοῦλοι, ὑπακούετε τοῖς κατὰ σάρκα κυρίοις μετὰ φόβου
おお 僕たちよ 従いなさい その ～における 肉における 主人に ～をもって 畏れと
G3588 G1401 G5219 G3588 G2596 G4561 G2962 G3326 G5401

καὶ τρόμου, ἐν ἁπλότητι τῆς καρδίας ὑμῶν, ὡς
そして おののきを–もって ～において 素直さにおいて その 心の あなたがたの ～のように
G2532 G5156 G1722 G0572 G3588 G2588 G4771 G5613

τῷ Χριστῷ;
その キリストに
G3588 G5547

僕たる者よ。キリストに従うように、恐れおののきつつ、真心をこめて、肉による主人に従いなさい。

6 μὴ κατ’ ὀφθαλμοδουλίαν ὡς ἀνθρωπάρεσκοι;
～でなく ～による 人の–目を–気にする–仕え方でなく ～のように 人に–媚びる–者としてでなく
G3361 G2596 G3787 G5613 G0441

ἀλλ’ ὡς δοῦλοι Χριστοῦ, ποιοῦντες τὸ θέλημα τοῦ Θεοῦ ἐκ
しかし ～のように 僕として キリストの 行って その 御心を その 神の ～から
G0235 G5613 G1401 G5547 G4160 G3588 G2307 G3588 G2316 G1537

ψυχῆς,
心から
G5590

人にへつらおうとして目先だけの勤めをするのでなく、キリストの僕として心から神の御旨を行い、

7 μετ’ εὐνοίας δουλεύοντες ὡς τῷ Κυρίῳ, καὶ οὐκ
～をもって 好意を–もって 仕えなさい ～のように その 主に そして ～でなく
G3326 G2133 G1398 G5613 G3588 G2962 G2532 G3756

ἀνθρώποις;
人にではなく
G0444

人にではなく主に仕えるように、快く仕えなさい。

8 εἰδότες ὅτι ἕκαστος, ἐάν τι ποιήσῃ ἀγαθόν, τοῦτο
知って ～ということを 各自が もし 何か 行うならば 良い–ことを それを
G1492 G3754 G1538 G1437 G5100 G4160 G0018 G3778

κομίσεται παρὰ Κυρίου, εἴτε δοῦλος εἴτε ἐλεύθερος.
受けるであろう ～から 主から ～であれ 僕であれ ～であれ 自由な–者であれ
G2865 G3844 G2962 G1535 G1401 G1535 G1658

あなたがたが知っているとおり、だれでも良いことを行えば、僕であれ、自由人であれ、それに相当する報いを、それぞれ主から受けるであろう。

9 Καὶ οἱ κύριοι, τὰ αὐτὰ, ποιεῖτε πρὸς αὐτούς, ἀνιέντες τὴν
そして おお 主人たちよ その 同じことを 行いなさい ～に対して 彼らに やめて その
G2532 G3588 G2962 G3588 G0846 G4160 G4314 G0846 G0447 G3588

ἀπειλήν, εἰδότες ὅτι καὶ αὐτῶν καὶ ὑμῶν ὁ Κύριός ἐστιν
脅しを 知って ～ということを また 彼らの そして あなたがたの その 主が おられる
G0547 G1492 G3754 G2532 G0846 G2532 G4771 G3588 G2962 G1510

ἐν οὐρανοῖς, καὶ προσωπολημψία οὐκ ἔστιν παρ’ αὐτῷ.
～に 天に そして かたよりは ～ない ～である ～において 彼において
G1722 G3772 G2532 G4382 G3756 G1510 G3844 G0846

主人たる者よ。僕たちに対して、同様にしなさい。おどすことを、してはならない。あなたがたが知っているとおり、彼らとあなたがたとの主は天にいますのであり、かつ人をかたより見ることをなさらないのである。

10 Τοῦ λοιποῦ, ἐνδυναμοῦσθε ἐν Κυρίῳ, καὶ ἐν τῷ
その 最後に 強められなさい ～にあって 主にあって そして ～にあって その
G3588 G3064 G1743 G1722 G2962 G2532 G1722 G3588

κράτει τῆς ἰσχύος αὐτοῦ.
力強さにあって その 力の 彼の
G2904 G3588 G2479 G0846

最後に言う。主にあって、その偉大な力によって、強くなりなさい。

11 ἐνδύσασθε τὴν πανοπλίαν τοῦ Θεοῦ, πρὸς τὸ δύνασθαι ὑμᾶς
着なさい その 武具一式を その 神の ～のために それは できるために あなたがたが
G1746 G3588 G3833 G3588 G2316 G4314 G3588 G1410 G4771

στῆναι πρὸς τὰς μεθοδείας τοῦ διαβόλου;
立つことが ～に対して その 策略に-対して その 悪魔の
G2476 G4314 G3588 G3180 G3588 G1228

悪魔の策略に対抗して立ちうるために、神の武具で身を固めなさい。

12 ὅτι οὐκ ἔστιν ἡμῖν ἡ πάλη πρὸς αἷμα καὶ
なぜなら ～ではない ～である 私たちの その 戦いは ～に対する 血と そして
G3754 G3756 G1510 G1473 G3588 G3823 G4314 G0129 G2532

σάρκα; ἀλλὰ πρὸς τὰς ἀρχάς, πρὸς τὰς ἐξουσίας,
肉に-対するのではない しかし ～に対する その 支配に ～に対する その 権威に
G4561 G0235 G4314 G3588 G0746 G4314 G3588 G1849

πρὸς τοὺς κοσμοκράτορας τοῦ σκότους τούτου, πρὸς τὰ πνευματικὰ
～に対する その 世の-支配者たちに その 闇の この ～に対する その 霊的な
G4314 G3588 G2888 G3588 G4655 G3778 G4314 G3588 G4152

τῆς πονηρίας ἐν τοῖς ἐπουρανίοις.
その 悪の ～における その 天上における
G3588 G4189 G1722 G3588 G2032

わたしたちの戦いは、血肉に対するものではなく、もろもろの支配と、権威と、やみの世の主権者、また天上にいる悪の霊に対する戦いである。

13 διὰ τοῦτο, ἀναλάβετε τὴν πανοπλίαν τοῦ Θεοῦ, ἵνα
この-ゆえに このことの 取りなさい その 武具一式を その 神の ～するために
G1223 G3778 G0353 G3588 G3833 G3588 G2316 G2443

δυνηθῆτε ἀντιστῆναι ἐν τῇ ἡμέρᾳ τῇ πονηρᾷ, καὶ ἅπαντα
できるために 立ち-向かうことが ～において その 日に その 悪い そして すべてを
G1410 G0436 G1722 G3588 G2250 G3588 G4190 G2532 G0537

κατεργασάμενοι, στῆναι.
成し-遂げて 立つことが
G2716 G2476

それだから、悪しき日にあたって、よく抵抗し、完全に勝ち抜いて、堅く立ちうるために、神の武具を身につけなさい。

14 στῆτε οὖν, περιζωσάμενοι τὴν ὀσφὺν ὑμῶν, ἐν ἀληθείᾳ,
立ちなさい それゆえに 帯を-締めて その 腰に あなたがたの ～をもって 真理を-もって
G2476 G3767 G4024 G3588 G3751 G4771 G1722 G0225

καὶ ἐνδυσάμενοι τὸν θώρακα τῆς δικαιοσύνης,
そして 着て その 胸当てを その 義の
G2532 G1746 G3588 G2382 G3588 G1343

すなわち、立って真理の帯を腰にしめ、正義の胸当を胸につけ、

15 καὶ ὑποδησάμενοι τοὺς πόδας ἐν ἑτοιμασίᾳ τοῦ εὐαγγελίου τῆς
そして 履いて その 足に ～をもって 備えを-もって その 福音の その
G2532 G5265 G3588 G4228 G1722 G2091 G3588 G2098 G3588

εἰρήνης.
平安の
G1515

平和の福音の備えを足にはき、

16 ἐν πᾶσιν, ἀναλαβόντες τὸν θυρεὸν τῆς πίστεως, ἐν
～において すべてにおいて 取って その 盾を その 信仰の ～によって
G1722 G3956 G0353 G3588 G2375 G3588 G4102 G1722

ᾧ δυνήσεσθε πάντα τὰ βέλη τοῦ πονηροῦ τὰ πεπυρωμένα,
その-盾によって できるであろう すべての その 矢を その 悪い-者の その 燃える
G3739 G1410 G3956 G3588 G0956 G3588 G4190 G3588 G4448

σβέσαι.
消すことが
G4570

その上に、信仰のたてを手に取りなさい。それをもって、悪しき者の放つ火の矢を消すことができるであろう。

17 καὶ τὴν περικεφαλαίαν τοῦ σωτηρίου δέξασθε, καὶ τὴν μάχαιραν τοῦ
そして その かぶとを その 救いの 受けなさい そして その 剣を その
G2532 G3588 G4030 G3588 G4992 G1209 G2532 G3588 G3162 G3588

Πνεύματος, ὅ ἐστιν ῥῆμα Θεοῦ;
御霊の それは ～である 御言葉 神の
G4151 G3739 G1510 G4487 G2316

また、救のかぶとをかぶり、御霊の剣、すなわち、神の言を取りなさい。

18 διὰ πάσης προσευχῆς καὶ δεήσεως, προσευχόμενοι ἐν παντὶ
～をもって あらゆる 祈りと そして 願いを-もって 祈りなさい ～において あらゆる
G1223 G3956 G4335 G2532 G1162 G4336 G1722 G3956

καιρῷ ἐν Πνεύματι, καὶ εἰς αὐτὸ, ἀγρυπνοῦντες ἐν
時に ～によって 御霊によって そして ～のために そのことの 目を-覚まして ～をもって
G2540 G1722 G4151 G2532 G1519 G0846 G0069 G1722

πάσῃ προσκαρτερήσει, καὶ δεήσει, περὶ πάντων τῶν ἁγίων;
あらゆる 忍耐を-もって そして 願いを-もって ～のために すべての その 聖徒たちの
G3956 G4343 G2532 G1162 G4012 G3956 G3588 G0040

絶えず祈と願いをし、どんな時でも御霊によって祈り、そのために目をさましてうむことがなく、すべての聖徒のために祈りつづけなさい。

19

καὶ	ὑπὲρ	ἐμοῦ,	ἵνα	μοι	δοθῇ	λόγος	ἐν
そして	～のために	私の	～するように	私に	与えられるように	言葉が	～において
G2532	G5228	G1473	G2443	G1473	G1325	G3056	G1722

ἀνοίξει	τοῦ	στόματός	μου,	ἐν	παρρησίᾳ	γνωρίσαι	τὸ
開く–ときに	その	口を	私の	～をもって	大胆さを–もって	知らせるために	その
G0457	G3588	G4750	G1473	G1722	G3954	G1107	G3588

μυστήριον	τοῦ	εὐαγγελίου,
奥義を	その	福音の
G3466	G3588	G2098

また、わたしが口を開くときに語るべき言葉を賜わり、大胆に福音の奥義を明らかに示しうるように、わたしのためにも祈ってほしい。

20

ὑπὲρ	οὗ	πρεσβεύω	ἐν	ἁλύσει,	ἵνα	ἐν
～のために	その–福音の	私は–大使である	～において	鎖に–つながれて	～するように	～において
G5228	G3739	G4243	G1722	G0254	G2443	G1722

αὐτῷ	παρρησιάσωμαι,	ὡς	δεῖ	με	λαλῆσαι.
それについて	大胆に–語ることが–できるように	～のように	すべきである	私が	語ることが
G0846	G3955	G5613	G1163	G1473	G2980

わたしはこの福音のための使節であり、そして鎖につながれているのであるが、つながれていても、語るべき時には大胆に語れるように祈ってほしい。

21

Ἵνα	δὲ	εἰδῆτε	καὶ	ὑμεῖς,	τὰ	κατ’	ἐμέ,	τί
～するために	さて	知るために	また	あなたがたも	その	～について	私について	何を
G2443	G1161	G1492	G2532	G4771	G3588	G2596	G1473	G5101

πράσσω,	πάντα	γνωρίσει	ὑμῖν	Τυχικὸς,	ὁ	ἀγαπητὸς	ἀδελφὸς,
しているか	すべてを	知らせるであろう	あなたがたに	ティキコが	その	愛する	兄弟
G4238	G3956	G1107	G4771	G5190	G3588	G0027	G0080

καὶ	πιστὸς	διάκονος	ἐν	Κυρίῳ;
そして	忠実な	仕え人	～にある	主にある
G2532	G4103	G1249	G1722	G2962

わたしがどういう様子か、何をしているかを、あなたがたに知ってもらうために、主にあって忠実に仕えている愛する兄弟テキコが、いっさいの事を報告するであろう。

22

ὃν	ἔπεμψα	πρὸς	ὑμᾶς	εἰς	αὐτὸ	τοῦτο,
彼を	私は–遣わした	～へ	あなたがたの–もとへ	～のために	まさに–この	この–ために
G3739	G3992	G4314	G4771	G1519	G0846	G3778

ἵνα	γνῶτε	τὰ	περὶ	ἡμῶν,	καὶ	παρακαλέσῃ	τὰς	καρδίας
～するために	知るために	その	～について	私たちについて	そして	励ますために	その	心を
G2443	G1097	G3588	G4012	G1473	G2532	G3870	G3588	G2588

ὑμῶν.
あなたがたの
G4771

彼をあなたがたのもとに送るのは、あなたがたがわたしたちの様子を知り、また彼によって心に励ましを受けるようになるためなのである。

23

Εἰρήνη	τοῖς	ἀδελφοῖς,	καὶ	ἀγάπη	μετὰ	πίστεως,	ἀπὸ	Θεοῦ	Πατρὸς,
平安が	その	兄弟たちに	そして	愛が	～と共に	信仰と–共に	～から	神	父から
G1515	G3588	G0080	G2532	G0026	G3326	G4102	G0575	G2316	G3962

καὶ	Κυρίου	Ἰησοῦ	Χριστοῦ.
そして	主	イエス	キリストから
G2532	G2962	G2424	G5547

父なる神とわたしたちの主イエス・キリストから平安ならびに信仰に伴う愛が、兄弟たちにあるように。

24

ἡ	χάρις	μετὰ	πάντων	τῶν	ἀγαπώντων	τὸν	Κύριον	ἡμῶν,
その	恵みが	～と共に	すべての	その	愛する–者たちと–共に	その	主	私たちの
G3588	G5485	G3326	G3956	G3588	G0025	G3588	G2962	G1473

Ἰησοῦν	Χριστὸν,	ἐν	ἀφθαρσίᾳ.
イエス	キリストを	～における	朝ちない–愛において
G2424	G5547	G1722	G0861

変らない真実をもって、わたしたちの主イエス・キリストを愛するすべての人々に、恵みがあるように。

Philippians

Chapter 1

1

Παῦλος	καὶ	Τιμόθεος,	δοῦλοι	Χριστοῦ	Ἰησοῦ;	πᾶσιν	τοῖς	ἁγίοις
パウロ	と	テモテ	しもべたち	キリスト	イエスの	すべての	その	聖徒たちへ
G3972	G2532	G5095	G1401	G5547	G2424	G3956	G3588	G0040

ἐν	Χριστῷ	Ἰησοῦ	τοῖς	οὖσιν	ἐν	Φιλίπποις,	σὺν	ἐπισκόποις
～に–ある	キリスト	イエスに–ある	その	いる	～に	ピリピに	～と–共に	監督たち
G1722	G5547	G2424	G3588	G1510	G1722	G5375	G4862	G1985

καὶ	διακόνοις:
と	執事たちへ
G2532	G1249

キリスト・イエスの僕たち、パウロとテモテから、ピリピにいる、キリスト・イエスにあるすべての聖徒たち、ならびに監督たちと執事たちへ。

2

χάρις	ὑμῖν	καὶ	εἰρήνη,	ἀπὸ	Θεοῦ	Πατρὸς	ἡμῶν,	καὶ	Κυρίου
恵みが	あなたがたに	と	平安が	～から	神	父	私たちの	と	主
G5485	G4771	G2532	G1515	G0575	G2316	G3962	G1473	G2532	G2962

Ἰησοῦ	Χριστοῦ.
イエス	キリストから
G2424	G5547

わたしたちの父なる神と主イエス・キリストから、恵みと平安とが、あなたがたにあるように。

3

Εὐχαριστῶ	τῷ	Θεῷ	μου	ἐπὶ	πάσῃ	τῇ	μνείᾳ	ὑμῶν,
感謝します	その	神に	私の	～について	すべての	その	記憶に–おいて	あなたがたの
G2168	G3588	G2316	G1473	G1909	G3956	G3588	G3417	G4771

わたしはあなたがたを思うたびごとに、わたしの神に感謝し、

4

πάντοτε	ἐν	πάσῃ	δεήσει	μου	ὑπὲρ	πάντων	ὑμῶν,
いつも	～の–中で	すべての	祈りに–おいて	私の	～の–ために	すべての	あなたがたの
G3842	G1722	G3956	G1162	G1473	G5228	G3956	G4771

μετὰ	χαρᾶς	τὴν	δέησιν	ποιούμενος,
～と–共に	喜びを–もって	その	祈りを	ささげています
G3326	G5479	G3588	G1162	G4160

あなたがた一同のために祈るとき、いつも喜びをもって祈り、

5

ἐπὶ	τῇ	κοινωνίᾳ	ὑμῶν	εἰς	τὸ	εὐαγγέλιον,	ἀπὸ
～に–関して	その	交わりの–ゆえに	あなたがたの	～の–ための	その	福音に–おける	～から
G1909	G3588	G2842	G4771	G1519	G3588	G2098	G0575

τῆς	πρώτης	ἡμέρας	ἄχρι	τοῦ	νῦν;
その	最初の	日から	～まで	その	今に–至るまで
G3588	G4413	G2250	G0891	G3588	G3568

あなたがたが最初の日から今日に至るまで、福音にあずかっていることを感謝している。

6

πεποιθὼς	αὐτὸ	τοῦτο,	ὅτι	ὁ	ἐναρξάμενος	ἐν	
確信しています	まさに	この–ことを	すなわち	その	始めてくださった–方が	～の–中に	
G3982	G0846	G3778	G3754	G3588	G1728	G1722	

ὑμῖν	ἔργον	ἀγαθὸν,	ἐπιτελέσει	ἄχρι	ἡμέρας	Χριστοῦ;	Ἰησοῦ
あなたがたの	良い–業を	良い	完成してくださる	～まで	日	キリスト	イエスの
G4771	G2041	G0018	G2005	G0891	G2250	G5547	G2424

そして、あなたがたのうちに良いわざを始められたかたが、キリスト・イエスの日までにそれを完成して下さるにちがいないと、確信している。

7

καθώς	ἐστιν	δίκαιον	ἐμοὶ	τοῦτο	φρονεῖν	ὑπὲρ	πάντων
～の–ように	ふさわしい	正しい–ことです	私が	この–ように	思うことは	～について	すべての
G2531	G1510	G1342	G1473	G3778	G5426	G5228	G3956

ὑμῶν,	διὰ	τὸ	ἔχειν	με	ἐν	τῇ	καρδίᾳ	ὑμᾶς;
あなたがたの–ことを	～の–ゆえに	その	持っている	私が	～の–中に	その	心に	あなたがたを
G4771	G1223	G3588	G2192	G1473	G1722	G3588	G2588	G4771

ἔν	τε	τοῖς	δεσμοῖς	μου,	καὶ	ἐν	τῇ	ἀπολογίᾳ	καὶ
～に–おいて	また	その	鎖の–中でも	私の	また	～に–おける	その	弁明と	そして
G1722	G5037	G3588	G1199	G1473	G2532	G1722	G3588	G0627	G2532

βεβαιώσει	τοῦ	εὐαγγελίου,	συνκοινωνούς	μου,	τῆς	χάριτος	πάντας
確証に–おいて	その	福音の	共に–あずかる–者たちで	私の	その	恵みに	すべて
G0951	G3588	G2098	G4791	G1473	G3588	G5485	G3956

ὑμᾶς	ὄντας.
あなたがたが	あるからです
G4771	G1510

わたしが、あなたがた一同のために、そう考えるのは当然である。それは、わたしが獄に捕われている時にも、福音を弁明し立証する時にも、あなたがたをみな、共に恵みにあずかる者として、わたしの心に深く留めているからである。

8

μάρτυς	γάρ	μου	ὁ	Θεός,	ὡς	ἐπιποθῶ	πάντας	ὑμᾶς
証人は	なぜなら	私の	まさに	神です	どれほど	慕っているか	すべての	あなたがたを
G3144	G1063	G1473	G3588	G2316	G5613	G1971	G3956	G4771

ἐν	σπλάγχνοις	Χριστοῦ	Ἰησοῦ.
～の–中で	深い–愛情を–もって	キリスト	イエスの
G1722	G4698	G5547	G2424

わたしがキリスト・イエスの熱愛をもって、どんなに深くあなたがた一同を思っていることか、それを証明して下さるかたは神である。

9

καὶ	τοῦτο	προσεύχομαι,	ἵνα	ἡ	ἀγάπη	ὑμῶν,	ἔτι	μᾶλλον
そして	この–ことを	祈っています	すなわち	その	愛が	あなたがたの	なお	いっそう
G2532	G3778	G4336	G2443	G3588	G0026	G4771	G2089	G3123

καὶ	μᾶλλον	περισσεύῃ,	ἐν	ἐπιγνώσει	καὶ	πάσῃ	αἰσθήσει,
ますます	ますます	豊かになるように	～に–おいて	知識と	あらゆる	すべての	識別力に–おいて
G2532	G3123	G4052	G1722	G1922	G2532	G3956	G0144

わたしはこう祈る。あなたがたの愛が、深い知識において、するどい感覚において、いよいよ増し加わり、

10 εἰς τὸ δοκιμάζειν ὑμᾶς τὰ διαφέροντα, ἵνα
～の–ために その 見分けることが–できるように あなたがたが その 優れた–ものを そして
G1519 G3588 G1381 G4771 G3588 G1308 G2443

ἦτε εἰλικρινεῖς καὶ ἀπρόσκοποι, εἰς ἡμέραν Χριστοῦ,
なるように 純真で そして 責められる–ところの–ない–者と ～に–向けて 日に キリストの
G1510 G1506 G2532 G0677 G1519 G2250 G5547

それによって、あなたがたが、何が重要であるかを判別することができ、キリストの日に備えて、純真で責められるところのないものとなり、

11 πεπληρωμένοι καρπὸν δικαιοσύνης, τὸν διὰ Ἰησοῦ Χριστοῦ,
満たされて 義の–実を 義の その ～を–通して イエス キリストによる
G4137 G2590 G1343 G3588 G1223 G2424 G5547

εἰς δόξαν καὶ ἔπαινον Θεοῦ.
～の–ために 栄光と そして 賛美の–ために 神の
G1519 G1391 G2532 G1868 G2316

イエス・キリストによる義の実に満たされて、神の栄光とほまれとをあらわすに至るように。

12 Γινώσκειν δὲ ὑμᾶς, βούλομαι, ἀδελφοί, ὅτι τὰ κατ’
知ってほしいのです さて あなたがたに 望みます 兄弟たちよ すなわち その ～に–関する
G1097 G1161 G4771 G1014 G0080 G3754 G3588 G2596

ἐμὲ, μᾶλλον εἰς προκοπὴν τοῦ εὐαγγελίου, ἐλήλυθεν;
私の–ことは むしろ ～の–ための 前進に その 福音の なったのです
G1473 G3123 G1519 G4297 G3588 G2098 G2064

さて、兄弟たちよ。わたしの身に起った事が、むしろ福音の前進に役立つようになったことを、あなたがたに知ってもらいたい。

13 ὥστε τοὺς δεσμούς μου, φανεροὺς, ἐν Χριστῷ, γενέσθαι
その–結果 その 鎖が 私の 明らかに ～に–おいて キリストに–ある–ものと なりました
G5620 G3588 G1199 G1473 G5318 G1722 G5547 G1096

ἐν ὅλῳ τῷ πραιτωρίῳ, καὶ τοῖς λοιποῖς πᾶσιν;
～に–おいて 全 その 親衛隊に そして その 他の すべての–人々に
G1722 G3650 G3588 G4232 G2532 G3588 G3062 G3956

すなわち、わたしが獄に捕われているのはキリストのためであることが、兵営全体にもそのほかのすべての人々にも明らかになり、

14 καὶ τοὺς πλείονας τῶν ἀδελφῶν, ἐν Κυρίῳ πεποιθότας τοῖς
そして その 多くの その 兄弟たちが ～に–おいて 主に–あって 確信を–得て その
G2532 G3588 G4119 G3588 G0080 G1722 G2962 G3982 G3588

δεσμοῖς μου, περισσοτέρως τολμᾶν ἀφόβως τὸν λόγον τοῦ Θεοῦ
鎖に–よって 私の ますます 大胆に 恐れなく その 言葉を その 神の
G1199 G1473 G4057 G5111 G0870 G3588 G3056 G3588 G2316

λαλεῖν.
語るようになりました
G2980

そして兄弟たちのうち多くの者は、わたしの入獄によって主にある確信を得、恐れることなく、ますます勇敢に、神の言を語るようになった。

15 Τινὲς μὲν, καὶ διὰ φθόνον καὶ ἔριν, τινὲς δὲ
ある–人たちは 一方では 実に ～から ねたみと そして 争いから ある–人たちは 他方では
G5100 G3303 G2532 G1223 G5355 G2532 G2054 G5100 G1161

καὶ δι’ εὐδοκίαν -- τὸν Χριστὸν κηρύσσουσιν.
また ～から 善意から その キリストを 宣べ伝えています
G2532 G1223 G2107 G3588 G5547 G2784

一方では、ねたみや闘争心からキリストを宣べ伝える者がおり、他方では善意からそうする者がいる。

16 οἱ μὲν ἐξ ἀγάπης, εἰδότες ὅτι εἰς ἀπολογίαν
一方の–人たちは すなわち ～から 愛から 知っていて すなわち ～の–ために 弁明の–ために
G3588 G3303 G1537 G0026 G1492 G3754 G1519 G0627

τοῦ εὐαγγελίου κεῖμαι;
その 福音の 置かれていることを
G3588 G2098 G2749

後者は、わたしが福音を弁明するために立てられていることを知り、愛の心でキリストを伝え、

17 οἱ δὲ ἐξ ἐριθείας τὸν Χριστὸν καταγγέλλουσιν,
他方の–人たちは しかし ～から 利己心から その キリストを 宣べ伝えています
G3588 G1161 G1537 G2052 G3588 G5547 G2605

οὐχ ἁγνῶς, οἰόμενοι θλῖψιν ἐγείρειν τοῖς δεσμοῖς μου.
純粋な–動機–からでは–なく 純粋に 思い込んで 苦しみを 加えようと その 鎖に 私の
G3756 G0055 G3633 G2347 G1453 G3588 G1199 G1473

前者は、わたしの入獄の苦しみに更に患難を加えようと思って、純真な心からではなく、党派心からそうしている。

18 τί γάρ? πλὴν ὅτι παντὶ τρόπῳ, εἴτε προφάσει εἴτε
何で–あろうか なぜなら ただ ～であれ あらゆる 方法で ～であれ 見せかけであれ ～であれ
G5101 G1063 G4133 G3754 G3956 G5158 G1535 G4392 G1535

ἀληθείᾳ, Χριστὸς καταγγέλλεται. καὶ ἐν τούτῳ χαίρω.
真実であれ キリストが 宣べ伝えられています そして この–ことに–おいて この–ことを 喜んでいます
G0225 G5547 G2605 G2532 G1722 G3778 G5463

ἀλλὰ, καὶ χαρήσομαι.
そして さらに 喜び–続けるでしょう
G0235 G2532 G5463

すると、どうなのか。見えからであるにしても、真実からであるにしても、要するに、伝えられているのはキリストなのだから、わたしはそれを喜んでいるし、また喜ぶであろう。

19 οἶδα γὰρ ὅτι τοῦτό μοι ἀποβήσεται εἰς
知っています なぜなら ～ということを この–ことが 私に–とって なる–ことを ～へと
G1492 G1063 G3754 G3778 G1473 G0576 G1519

σωτηρίαν, διὰ τῆς ὑμῶν δεήσεως, καὶ ἐπιχορηγίας τοῦ Πνεύματος
救いに ～を–通して その あなたがたの 祈りと そして 助けに–よって その 御霊の
G4991 G1223 G3588 G4771 G1162 G2532 G2024 G3588 G4151

Ἰησοῦ Χριστοῦ;
イエス キリストの
G2424 G5547

なぜなら、あなたがたの祈と、イエス・キリストの霊の助けとによって、この事がついには、わたしの救となることを知っているからである。

20 κατὰ τὴν ἀποκαραδοκίαν καὶ ἐλπίδα μου, ὅτι ἐν
～に–したがって その 切なる–期待と そして 希望の–とおり 私の すなわち 何–一つ
G2596 G3588 G0603 G2532 G1680 G1473 G3754 G1722

οὐδενὶ αἰσχυνθήσομαι, ἀλλ’ ἐν πάσῃ παρρησίᾳ, ὡς
何も 恥じることが–ない–ように かえって ～に–おいて あらゆる 大胆さを–もって いつものように
G3762 G0153 G0235 G1722 G3956 G3954 G5613

πάντοτε, καὶ νῦν, μεγαλυνθήσεται Χριστὸς ἐν τῷ σώματί μου,
いつも そして 今も あがめられるように キリストが ～に–おいて この 体に–おいて 私の
G3842 G2532 G3568 G3170 G5547 G1722 G3588 G4983 G1473

εἴτε διὰ ζωῆς εἴτε διὰ θανάτου.
～であれ ～に–よって 生に–よってであれ ～であれ ～に–よって 死に–よってであれ
G1535 G1223 G2222 G1535 G1223 G2288

そこで、わたしが切実な思いで待ち望むことは、わたしが、どんなことがあっても恥じることなく、かえって、いつものように今も、大胆に語ることによって、生きるにも死ぬにも、わたしの身によってキリストがあがめられることである。

21 Ἐμοὶ γὰρ, τὸ ζῆν Χριστὸς, καὶ τὸ ἀποθανεῖν,
私に–とっては なぜなら その 生きることは キリストであり そして その 死ぬことは
G1473 G1063 G3588 G2198 G5547 G2532 G3588 G0599

κέρδος.
益です
G2771

わたしにとっては、生きることはキリストであり、死ぬことは益である。

22 εἰ δὲ τὸ ζῆν ἐν σαρκί, τοῦτό μοι
もし しかし この 生きることが ～に–おいて 肉体に–おいてなら これは 私に–とって
G1487 G1161 G3588 G2198 G1722 G4561 G3778 G1473

καρπὸς ἔργου. καὶ τί αἱρήσομαι? οὐ γνωρίζω!
実を–結ぶ 働きです そして 何を 選ぶべきか ～ない わかりません
G2590 G2041 G2532 G5101 G0138 G3756 G1107

しかし、肉体において生きていることが、わたしにとっては実り多い働きになるのだとすれば、どちらを選んだらよいか、わたしにはわからない。

23 συνέχομαι δὲ ἐκ τῶν δύο, τὴν ἐπιθυμίαν ἔχων εἰς
板挟みに–なっています しかし ～の–間で その 二つの その 願いを 持っていて ～へ
G4912 G1161 G1537 G3588 G1417 G3588 G1939 G2192 G1519

τὸ ἀναλῦσαι, καὶ σὺν Χριστῷ εἶναι, πολλῷ γὰρ μᾶλλον
その 去って そして ～と–共に キリストと いることは はるかに なぜなら ずっと
G3588 G0360 G2532 G4862 G5547 G1510 G4183 G1063 G3123

κρεῖσσον;
良い–ことです
G2908

わたしは、これら二つのものの間に板ばさみになっている。わたしの願いを言えば、この世を去ってキリストと共にいることであり、実は、その方がはるかに望ましい。

24 τὸ δὲ ἐπιμένειν ‹ἐν› τῇ σαρκὶ, ἀναγκαιότερον δι’
しかし 一方 とどまることは ～に–おいて この 肉体に より–必要です ～の–ために
G3588 G1161 G1961 G1722 G3588 G4561 G0316 G1223

ὑμᾶς.
あなたがたの
G4771

しかし、肉体にとどまっていることは、あなたがたのためには、さらに必要である。

25 καὶ τοῦτο πεποιθὼς, οἶδα ὅτι μενῶ, καὶ
そして この–ことを 確信して 知っています ～ということを とどまり そして
G2532 G3778 G3982 G1492 G3754 G3306 G2532

παραμενῶ πᾶσιν ὑμῖν; εἰς τὴν ὑμῶν προκοπὴν καὶ
共に–とどまる–ことを すべての あなたがたと ～の–ために その あなたがたの 前進と そして
G3887 G3956 G4771 G1519 G3588 G4771 G4297 G2532

χαρὰν τῆς πίστεως;
喜びの–ために その 信仰の
G5479 G3588 G4102

こう確信しているので、わたしは生きながらえて、あなたがた一同のところにとどまり、あなたがたの信仰を進ませ、その喜びを得させようと思う。

26 ἵνα τὸ καύχημα ὑμῶν περισσεύῃ, ἐν Χριστῷ Ἰησοῦ,
それは その 誇りが あなたがたの あふれるように ～に–おいて キリスト イエスに–おいて
G2443 G3588 G2745 G4771 G4052 G1722 G5547 G2424

ἐν ἐμοὶ διὰ τῆς ἐμῆς παρουσίας πάλιν πρὸς
～に–おいて 私に–おいて ～を–通して その 私の 訪問を–通して 再び ～の–もとに
G1722 G1473 G1223 G3588 G1699 G3952 G3825 G4314

ὑμᾶς.
あなたがたの
G4771

そうなれば、わたしが再びあなたがたのところに行くので、あなたがたはわたしによってキリスト・イエスにある誇を増すことになろう。

27 Μόνον ἀξίως τοῦ εὐαγγελίου τοῦ Χριστοῦ πολιτεύεσθε, ἵνα εἴτε
ただ ふさわしく その 福音に その キリストの 生活しなさい そうすれば ～であれ
G3440 G0516 G3588 G2098 G3588 G5547 G4176 G2443 G1535

ἐλθὼν καὶ ἰδὼν ὑμᾶς, εἴτε ἀπὼν, ἀκούω τὰ
行って そして 見ても あなたがたを ～であれ 離れていても 聞く–ことが–できるように その
G2064 G2532 G3708 G4771 G1535 G0548 G0191 G3588

περὶ ὑμῶν, ὅτι στήκετε ἐν ἑνὶ πνεύματι,
～について あなたがたの–ことを すなわち 堅く–立っていると ～に–おいて 一つの 霊に–あって
G4012 G4771 G3754 G4739 G1722 G1520 G4151

μιᾷ ψυχῇ συναθλοῦντες, τῇ πίστει τοῦ εὐαγγελίου;
一つの 心で 共に–戦って その 信仰の–ために その 福音の
G1520 G5590 G4866 G3588 G4102 G3588 G2098

ただ、あなたがたはキリストの福音にふさわしく生活しなさい。そして、わたしが行ってあなたがたに会うにしても、離れているにしても、あなたがたが一つの霊によって堅く立ち、一つ心になって福音の信仰のために力を合わせて戦い、

28 καὶ μὴ πτυρόμενοι ἐν μηδενὶ ὑπὸ τῶν ἀντικειμένων,
そして 決して おびえることなく 何-一つ 何も ～に-よって その 反対する-者たちに
G2532 G3361 G4426 G1722 G3367 G5259 G3588 G0480

ἥτις ἐστὶν αὐτοῖς ἔνδειξις ἀπωλείας; ὑμῶν δὲ σωτηρίας,
これは ある 彼らに-とって しるしです 滅びの あなたがたに-とっては しかし 救いの
G3748 G1510 G0846 G1732 G0684 G4771 G1161 G4991

καὶ τοῦτο ἀπὸ Θεοῦ;
そして この-ことは ～から 神から-のものです
G2532 G3778 G0575 G2316

かつ、何事についても、敵対する者どもにろうばいさせられないでいる様子を、聞かせてほしい。このことは、彼らには滅びのしるし、あなたがたには救のしるしであって、それは神から来るのである。

29 ὅτι ὑμῖν ἐχαρίσθη τὸ ὑπὲρ Χριστοῦ, οὐ
なぜなら あなたがたに 与えられたのです その ～の-ために キリストの-ために ただ
G3754 G4771 G5483 G3588 G5228 G5547 G3756

μόνον τὸ εἰς αὐτὸν πιστεύειν, ἀλλὰ καὶ τὸ ὑπὲρ
～だけ-でなく その ～を 彼を 信じること-だけ-でなく むしろ また その ～の-ために
G3440 G3588 G1519 G0846 G4100 G0235 G2532 G3588 G5228

αὐτοῦ πάσχειν;
彼の-ために 苦しむ-ことも
G0846 G3958

あなたがたはキリストのために、ただ彼を信じることだけではなく、彼のために苦しむことをも賜わっている。

30 τὸν αὐτὸν ἀγῶνα ἔχοντες, οἷον εἴδετε ἐν ἐμοί, καὶ νῦν
その 同じ 戦いを 持っていて そのような 見た ～に-おいて 私に-おいて そして 今
G3588 G0846 G0073 G2192 G3634 G3708 G1722 G1473 G2532 G3568

ἀκούετε ἐν ἐμοί.
聞いている ～に-おいて 私に-おいて
G0191 G1722 G1473

あなたがたは、さきにわたしについて見、今またわたしについて聞いているのと同じ苦闘を、続けているのである。

Chapter 2

1 Εἴ τις οὖν παράκλησις ἐν Χριστῷ, εἴ τι
もし 何か それゆえ 励ましが ～に-おいて キリストに-あるなら もし 何か
G1487 G5100 G3767 G3874 G1722 G5547 G1487 G5100

παραμύθιον ἀγάπης, εἴ τις κοινωνία Πνεύματος, εἴ τις σπλάγχνα καὶ
慰めが 愛の もし 何か 交わりが 御霊の もし 何か 深い-愛情と そして
G3890 G0026 G1487 G5100 G2842 G4151 G1487 G5100 G4698 G2532

οἰκτιρμοί,
あわれみが-あるなら
G3628

そこで、あなたがたに、キリストによる勧め、愛の励まし、御霊の交わり、熱愛とあわれみとが、いくらかでもあるなら、

2 πληρώσατέ μου τὴν χαρὰν, ἵνα τὸ αὐτὸ φρονῆτε, τὴν αὐτὴν
満たしてください 私の その 喜びを すなわち 同じ 同じ 思いを–持ち 同じ 同じ
G4137 G1473 G3588 G5479 G2443 G3588 G0846 G5426 G3588 G0846

ἀγάπην ἔχοντες, σύμψυχοι, τὸ ἓν φρονοῦντες.
愛を 持ち 心を–一つにし 一つの 一つの 思いを–持ちなさい
G0026 G2192 G4861 G3588 G1520 G5426

どうか同じ思いとなり、同じ愛の心を持ち、心を合わせ、一つ思いになって、わたしの喜びを満たしてほしい。

3 μηδὲν κατ’ ἐριθείαν μηδὲ κατὰ κενοδοξίαν, ἀλλὰ τῇ
何事も ～に–よる 利己心からでなく また ～に–よる 虚栄からでなく かえって その
G3367 G2596 G2052 G3366 G2596 G2754 G0235 G3588

ταπεινοφροσύνῃ, ἀλλήλους ἡγούμενοι ὑπερέχοντας ἑαυτῶν,
謙遜の–心をもって 互いに 認めて 優れた–者と 自分より
G5012 G0240 G2233 G5242 G1438

何事も党派心や虚栄からするのでなく、へりくだった心をもって互に人を自分よりすぐれた者としなさい。

4 μὴ τὰ ἑαυτῶν, ἕκαστοι σκοποῦντες, ἀλλὰ καὶ τὰ
～ない その 自分自身の–ことだけでなく 各自が 気を–配りなさい かえって また その
G3361 G3588 G1438 G1538 G4648 G0235 G2532 G3588

ἑτέρων, ἕκαστοι.
他の–人の–ことにも 各自が
G2087 G1538

おのおの、自分のことばかりでなく、他人のことも考えなさい。

5 τοῦτο φρονεῖτε ἐν ὑμῖν, ὃ καὶ ἐν Χριστῷ
この–思いを 持ちなさい ～の–中に あなたがたの それは また ～に–おいての キリスト
G3778 G5426 G1722 G4771 G3739 G2532 G1722 G5547

Ἰησοῦ;
イエスの–思いです
G2424

キリスト・イエスにあっていだいているのと同じ思いを、あなたがたの間でも互に生かしなさい。

6 ὅς, ἐν μορφῇ Θεοῦ ὑπάρχων, οὐχ ἁρπαγμὸν
その–方は ～に–おいて 姿に–おいて 神の おられたが ～ではないと 奪い–取る–ものと
G3739 G1722 G3444 G2316 G5225 G3756 G0725

ἡγήσατο τὸ εἶναι ἴσα Θεῷ,
みなさらなかった その あることを 等しい–ものと 神と
G2233 G3588 G1510 G2470 G2316

キリストは、神のかたちであられたが、神と等しくあることを固守すべき事とは思わず、

7 ἀλλὰ ἑαυτὸν ἐκένωσεν, μορφὴν δούλου λαβών, ἐν ὁμοιώματι
かえって 自らを 空しくされた しもべの–姿を しもべの 取って ～に–おいて 似た–姿で
G0235 G1438 G2758 G3444 G1401 G2983 G1722 G3667

ἀνθρώπων γενόμενος.
人間の ならられた
G0444 G1096

かえって、おのれをむなしうして僕のかたちをとり、人間の姿になられた。その有様は人と異ならず、

8 καὶ σχήματι εὑρεθεὶς ὡς ἄνθρωπος, ἐταπείνωσεν ἑαυτὸν,
そして 姿に-おいて 見いだされて ～の-ように 人として へりくだされた 自らを
G2532 G4976 G2147 G5613 G0444 G5013 G1438

γενόμενος ὑπήκοος μέχρι θανάτου, θανάτου δὲ σταυροῦ.
なって 従順な-者と ～に-至るまで 死に 死 しかも 十字架の-死にまで
G1096 G5255 G3360 G2288 G2288 G1161 G4716

おのれを低くして、死に至るまで、しかも十字架の死に至るまで従順であられた。

9 διὸ καὶ ὁ Θεὸς αὐτὸν ὑπερύψωσεν, καὶ ἐχαρίσατο αὐτῷ τὸ
それゆえ また その 神は 彼を 高く-上げられた そして 与えられた 彼に その
G1352 G2532 G3588 G2316 G0846 G5251 G2532 G5483 G0846 G3588

ὄνομα τὸ ὑπὲρ πᾶν ὄνομα,
名を その ～を-超える すべての 名を
G3686 G3588 G5228 G3956 G3686

それゆえに、神は彼を高く引き上げ、すべての名にまさる名を彼に賜わった。

10 ἵνα ἐν τῷ ὀνόματι Ἰησοῦ πᾶν γόνυ κάμψῃ,
それは ～に-おいて その 名に-おいて イエスの すべての 膝が かがむようになる-ためです
G2443 G1722 G3588 G3686 G2424 G3956 G1119 G2578

ἐπουρανίων καὶ ἐπιγείων καὶ καταχθονίων,
天に-ある-もの と 地に-ある-もの と 地の-下に-ある-ものの
G2032 G2532 G1919 G2532 G2709

それは、イエスの御名によって、天上のもの、地上のもの、地下のものなど、あらゆるものがひざをかがめ、

11 καὶ πᾶσα γλῶσσα ἐξομολογήσηται ὅτι ΚΥΡΙΟΣ ΙΗΣΟΥΣ ΧΡΙΣΤΟΣ,
そして すべての 舌が 告白するように すなわち 主であると イエス キリストは
G2532 G3956 G1100 G1843 G3754 G2962 G2424 G5547

εἰς δόξαν Θεοῦ Πατρός.
～の-ために 栄光の-ために 神 父の
G1519 G1391 G2316 G3962

また、あらゆる舌が、「イエス・キリストは主である」と告白して、栄光を父なる神に帰するためである。

12 Ὥστε, ἀγαπητοί μου, καθὼς πάντοτε ὑπηκούσατε, μὴ ὡς
それゆえ 愛する-者たちよ 私の ～の-ように いつも 従ってきたように ただ ～の-ように
G5620 G0027 G1473 G2531 G3842 G5219 G3361 G5613

ἐν τῇ παρουσίᾳ μου μόνον, ἀλλὰ νῦν πολλῷ μᾶλλον
～に-おいて その 臨在の-時だけでなく 私の だけでなく かえって 今 はるかに もっと
G1722 G3588 G3952 G1473 G3440 G0235 G3568 G4183 G3123

ἐν τῇ ἀπουσίᾳ μου, μετὰ φόβου καὶ τρόμου τὴν
～に-おいて その 不在の-時にも 私の ～を-もって 恐れと そして おののきを-もって その
G1722 G3588 G0666 G1473 G3326 G5401 G2532 G5156 G3588

ἑαυτῶν σωτηρίαν κατεργάζεσθε.
自らの 救いを 達成しなさい
G1438 G4991 G2716

わたしの愛する者たちよ。そういうわけだから、あなたがたがいつも従順であったように、わたしが一緒にいる時だけでなく、いない今は、いっそう従順でいて、恐れおののいて自分の救の達成に努めなさい。

13 Θεὸς γάρ ἐστιν ὁ ἐνεργῶν ἐν ὑμῖν, καὶ τὸ
神が なぜなら ～である その 働かれる–方です ～の–中に あなたがたの ～も その
G2316 G1063 G1510 G3588 G1754 G1722 G4771 G2532 G3588

θέλειν καὶ τὸ ἐνεργεῖν, ὑπὲρ τῆς εὐδοκίας.
望むことも そして その 行うことも ～の–ために その 善意の–ために
G2309 G2532 G3588 G1754 G5228 G3588 G2107

あなたがたのうちに働きかけて、その願いを起させ、かつ実現に至らせるのは神であって、それは神のよしとされるところだからである。

14 πάντα ποιεῖτε χωρὶς γογγυσμῶν καὶ διαλογισμῶν,
すべての–ことを しなさい ～なしに つぶやきなしに そして 疑いなしに
G3956 G4160 G5565 G1112 G2532 G1261

すべてのことを、つぶやかず疑わないでしなさい。

15 ἵνα γένησθε ἄμεμπτοι καὶ ἀκέραιοι, τέκνα Θεοῦ,
そうすれば なるでしょう 非難の–ない–者と そして 純真な–者と 子どもたち 神の
G2443 G1096 G0273 G2532 G0185 G5043 G2316

ἄμωμα μέσον γενεᾶς σκολιᾶς καὶ διεστραμμένης, ἐν
傷のない–者として ～の–真ん中で 世代の 曲がった そして ねじ曲がった ～の–中で
G0299 G3319 G1074 G4646 G2532 G1294 G1722

οἷς φαίνεσθε ὡς φωστῆρες ἐν κόσμῳ,
その–人々の–中で 輝いています ～の–ように 星の–ように ～の–中で 世の–中で
G3739 G5316 G5613 G5458 G1722 G2889

それは、あなたがたが責められるところのない純真な者となり、曲った邪悪な時代のただ中にあって、傷のない神の子となるためである。あなたがたは、いのちの言葉を堅く持って、彼らの間で星のようにこの世に輝いている。

16 λόγον ζωῆς ἐπέχοντες, εἰς καύχημα ἐμοὶ εἰς ἡμέραν
いのちの–言葉を いのちの 保っています ～の–ための 誇りとして 私の ～の–ための 日に
G3056 G2222 G1907 G1519 G2745 G1473 G1519 G2250

Χριστοῦ, ὅτι οὐκ εἰς κενὸν ἔδραμον, οὐδὲ εἰς
キリストの すなわち ～ではなかったと ～の–ために 空しく 走ったのではなく また ～の–ために
G5547 G3754 G3756 G1519 G2756 G5143 G3761 G1519

κενὸν ἐκοπίασα.
空しく 労苦したのではなかったと
G2756 G2872

このようにして、キリストの日に、わたしは自分の走ったことがむだでなく、労したこともむだではなかったと誇ることができる。

17 Ἀλλὰ εἰ καὶ σπένδομαι ἐπὶ τῇ θυσίᾳ καὶ
たとえ もし もまた 注ぎ–出されているとしても ～の–上に その いけにえと そして
G0235 G1487 G2532 G4689 G1909 G3588 G2378 G2532

λειτουργίᾳ τῆς πίστεως ὑμῶν, χαίρω καὶ συνχαίρω πᾶσιν
奉仕の–上に その 信仰の あなたがたの 喜びます そして 共に–喜びます すべての
G3009 G3588 G4102 G4771 G5463 G2532 G4796 G3956

ὑμῖν.
あなたがたと
G4771

そして、たとい、あなたがたの信仰の供え物をささげる祭壇に、わたしの血をそそぐことがあっても、わたしは喜ぼう。あなたがた一同と共に喜ぼう。

18

τὸ	δὲ	αὐτὸ	καὶ	ὑμεῖς	χαίρετε,	καὶ	συνχαίρετέ	μοι.
同じ	また	同じ–ように	また	あなたがたも	喜びなさい	そして	共に–喜びなさい	私と
G3588	G1161	G0846	G2532	G4771	G5463	G2532	G4796	G1473

同じように、あなたがたも喜びなさい。わたしと共に喜びなさい。

19

Ἐλπίζω	δὲ	ἐν	Κυρίῳ	Ἰησοῦ,	Τιμόθεον	ταχέως	πέμψαι
望んでいます	さて	～に–おいて	主	イエスに–あって	テモテを	まもなく	遣わすことを
G1679	G1161	G1722	G2962	G2424	G5095	G5030	G3992

ὑμῖν,	ἵνα	κἀγὼ	εὐψυχῶ,	γνοὺς	τὰ	περὶ
あなたがたの–もとに	そうすれば	私もまた	励まされるでしょう	知って	その	～について
G4771	G2443	G2504	G2174	G1097	G3588	G4012

ὑμῶν.
あなたがたの–ことを
G4771

さて、わたしは、まもなくテモテをあなたがたのところに送りたいと、主イエスにあって願っている。それは、あなたがたの様子を知って、わたしも力づけられたいからである。

20

οὐδένα	γὰρ	ἔχω	ἰσόψυχον,	ὅστις	γνησίως	τὰ	περὶ
誰も	なぜなら	持っていません	同じ–心の–者を	彼のように	真実に	その	～について
G3762	G1063	G2192	G2473	G3748	G1104	G3588	G4012

ὑμῶν	μεριμνήσει.
あなたがたの–ことを	心配りする–人を
G4771	G3309

テモテのような心で、親身になってあなたがたのことを心配している者は、ほかにひとりもない。

21

οἱ	πάντες	γὰρ,	τὰ	ἑαυτῶν	ζητοῦσιν,	οὐ	τὰ
その	すべての–人が	なぜなら	その	自分自身の–ことを	求めています	それでは–なく	その
G3588	G3956	G1063	G3588	G1438	G2212	G3756	G3588

Χριστοῦ Ἰησοῦ.
キリスト　イエスの–ことを
G5547　G2424

人はみな、自分のことを求めるだけで、キリスト・イエスのことは求めていない。

22

τὴν	δὲ	δοκιμὴν	αὐτοῦ	γινώσκετε,	ὅτι,	ὡς
その	しかし	試された–品性を	彼の	あなたがたは–知っています	すなわち	～の–ように
G3588	G1161	G1382	G0846	G1097	G3754	G5613

πατρὶ	τέκνον,	σὺν	ἐμοὶ	ἐδούλευσεν,	εἰς	τὸ	εὐαγγέλιον.
父に–仕える	子のように	～と–共に	私と	仕えました	～の–ために	その	福音の–ために
G3962	G5043	G4862	G1473	G1398	G1519	G3588	G2098

しかし、テモテの錬達ぶりは、あなたがたの知っているとおりである。すなわち、子が父に対するようにして、わたしと一緒に福音に仕えてきたのである。

23

Τοῦτον	μὲν	οὖν	ἐλπίζω	πέμψαι,	ὡς	ἂν	ἀφίδω
この–人を	それゆえ	それだから	望んでいます	遣わすことを	～の–ように	～しだい	見届けたら
G3778	G3303	G3767	G1679	G3992	G5613	G0302	G0872

τὰ	περὶ	ἐμὲ,	ἐξαυτῆς.
その	～について	私の–ことを	ただちに
G3588	G4012	G1473	G1824

そこで、この人を、わたしの成行きがわかりしだい、すぐにでも、そちらへ送りたいと願っている。

24 πέποιθα 確信しています G3982 δὲ しかし G1161 ἐν ～に-おいて G1722 Κυρίῳ, 主に-あって G2962 ὅτι すなわち G3754 καὶ また G2532 αὐτὸς 私自身も G0846 ταχέως まもなく G5030

ἐλεύσομαι. 行くでしょう G2064

わたし自身もまもなく行けるものと、主にあって確信している。

25 ἀναγκαῖον 必要だと G0316 δὲ しかし G1161 ἡγησάμην, 思いました G2233 Ἐπαφρόδιτον, エパフロディトを G1891 τὸν その G3588 ἀδελφὸν 兄弟であり G0080 καὶ そして G2532 συνεργὸν 同労者であり G4904

καὶ そして G2532 συστρατιώτην 戦友である G4961 μου, 私の G1473 ὑμῶν あなたがたの G4771 δὲ そして G1161 ἀπόστολον 使者であり G0652 καὶ そして G2532 λειτουργὸν 奉仕者である G3011 τῆς その G3588

χρείας 必要の-ための G5532 μου, 私の G1473 πέμψαι 遣わすことを G3992 πρὸς ～の-もとに G4314 ὑμᾶς, あなたがたの G4771

しかし、さしあたり、わたしの同労者で戦友である兄弟、また、あなたがたの使者としてわたしの窮乏を補ってくれたエパフロデトを、あなたがたのもとに送り返すことが必要だと思っている。

26 ἐπειδὴ ～の-ゆえに G1894 ἐπιποθῶν 慕って G1971 ἦν いたからです G1510 πάντας すべての G3956 ὑμᾶς, あなたがたを G4771 (ἰδεῖν), 会いたいと G3708 καὶ そして G2532

ἀδημονῶν 心を-痛めていたのです G0085 διότι なぜなら G1360 ἠκούσατε あなたがたが-聞いたからです G0191 ὅτι すなわち G3754 ἠσθένησεν. 病気に-なったと G0770

彼は、あなたがた一同にしきりに会いたがっているからである。その上、自分の病気のことがあなたがたに聞えたので、彼は心苦しく思っている。

27 καὶ 実に G2532 γὰρ なぜなら G1063 ἠσθένησεν 病気に-なりました G0770 παραπλήσιον 死ぬ-ほど G3897 θανάτῳ, 死に G2288 ἀλλὰ しかし G0235 ὁ その G3588 Θεὸς 神が G2316 ἠλέησεν あわれまれた G1653

αὐτόν, 彼を G0846 οὐκ ただ G3756 αὐτὸν 彼を G0846 δὲ しかも G1161 μόνον, だけでなく G3441 ἀλλὰ かえって G0235 καὶ また G2532 ἐμέ, 私をも G1473 ἵνα そうでなければ G2443 μὴ ～ない G3361

λύπην 悲しみの-上に G3077 ἐπὶ ～の-上に G1909 λύπην 悲しみを G3077 σχῶ. 持つことになったでしょう G2192

彼は実に、ひん死の病気にかかったが、神は彼をあわれんで下さった。彼ばかりではなく、わたしをもあわれんで下さったので、わたしは悲しみに悲しみを重ねないですんだのである。

28 σπουδαιοτέρως いっそう-急いで G4708 οὖν それゆえ G3767 ἔπεμψα 遣わしました G3992 αὐτὸν, 彼を G0846 ἵνα そうすれば G2443 ἰδόντες 見て G3708 αὐτὸν 彼を G0846 πάλιν, 再び G3825

χαρῆτε, 喜びなさい G5463 κἀγὼ 私もまた G2504 ἀλυπότερος 心配が-減るでしょう G0253 ὦ. そうあるように G1510

そこで、大急ぎで彼を送り返す。これで、あなたがたは彼と再び会って喜び、わたしもまた、心配を和らげることができよう。

29 προσδέχεσθε 迎えなさい G4327 οὖν それゆえ G3767 αὐτὸν 彼を G0846 ἐν ～に-おいて G1722 Κυρίῳ 主に-あって G2962 μετὰ ～を-もって G3326 πάσης あらゆる G3956 χαρᾶς, 喜びを-もって G5479

καὶ そして G2532 τοὺς その G3588 τοιούτους このような-人々を ἐντίμους 尊い-者と G1784 ἔχετε, 扱いなさい G2192

こういうわけだから、大いに喜んで、主にあって彼を迎えてほしい。また、こうした人々は尊重せねばならない。

30 ὅτι なぜなら G3754 διὰ ～の-ために G1223 τὸ その G3588 ἔργον 業の-ために G2041 Χριστοῦ, キリストの G5547 μέχρι ～に-至るまで G3360 θανάτου 死に-近づいたのです G2288

ἤγγισεν, 近づいた G1448 παραβολευσάμενος 危険を-省みずに G3851 τῇ その G3588 ψυχῇ, いのちを G5590 ἵνα それは G2443 ἀναπληρώσῃ 満たす-ために G0378 τὸ その G3588 ὑμῶν あなたがたの G4771

ὑστέρημα, 不足を G5303 τῆς その G3588 πρός ～に-対する G4314 με 私に-対する G1473 λειτουργίας. 奉仕の G3009

彼は、わたしに対してあなたがたが奉仕のできなかった分を補おうとして、キリストのわざのために命をかけ、死ぬばかりになったのである。

Chapter 3

1 Τὸ その G3588 λοιπόν, 最後に G3063 ἀδελφοί 兄弟たちよ G0080 μου, 私の G1473 χαίρετε 喜びなさい G5463 ἐν ～に-おいて G1722 Κυρίῳ. 主に-あって G2962 τὰ 同じ G3588 αὐτὰ 同じ-ことを G0846

γράφειν 書くことは G1125 ὑμῖν, あなたがたに G4771 ἐμοὶ 私に-とっては G1473 μὲν 一方では G3303 οὐκ それは-ない G3756 ὀκνηρόν; 面倒では-なく G3636 ὑμῖν あなたがたに-とっては G4771

δὲ 他方 G1161 ἀσφαλές. 安全な-ことです G0804

最後に、わたしの兄弟たちよ。主にあって喜びなさい。さきに書いたのと同じことをここで繰り返すが、それは、わたしには煩らわしいことではなく、あなたがたには安全なことになる。

2 Βλέπετε 気をつけなさい G0991 τοὺς その G3588 κύνας; 犬たちに G2965 βλέπετε 気をつけなさい G0991 τοὺς その G3588 κακοὺς 悪い G2556 ἐργάτας; 働き-人たちに G2040 βλέπετε 気をつけなさい G0991

τὴν その G3588 κατατομήν. 切り-傷つける-者たちに G2699

あの犬どもを警戒しなさい。悪い働き人たちを警戒しなさい。肉に割礼の傷をつけている人たちを警戒しなさい。

3

ἡμεῖς	γάρ	ἐσμεν	ἡ	περιτομή,	οἱ	Πνεύματι	Θεοῦ	
私たちこそ	なぜなら	です	真の	割礼の–民なのです	その	御霊に–よって	神の	
G1473	G1063	G1510	G3588	G4061	G3588	G4151	G2316	

λατρεύοντες	καὶ	καυχώμενοι	ἐν	Χριστῷ	Ἰησοῦ,	καὶ	
仕えている–者であり	そして	誇っている–者です	～に–おいて	キリスト	イエスに–おいて	そして	
G3000	G2532	G2744	G1722	G5547	G2424	G2532	

οὐκ	ἐν	σαρκὶ	πεποιθότες,
～ではなく	～に–おいて	肉に	頼っていない–者です
G3756	G1722	G4561	G3982

神の霊によって礼拝をし、キリスト・イエスを誇とし、肉を頼みとしないわたしたちこそ、割礼の者である。

4

καίπερ	ἐγὼ	ἔχων	πεποίθησιν	καὶ	ἐν	σαρκί.	Εἴ	
たとえ	私が	持っていたとしても	確信を	また	～に–おいて	肉に–おいても	もし	
G2539	G1473	G2192	G4006	G2532	G1722	G4561	G1487	

τις	δοκεῖ	ἄλλος	πεποιθέναι	ἐν	σαρκί,	ἐγὼ	μᾶλλον:
誰かが	思うなら	他の–人が	頼れると	～に–おいて	肉に	私は	もっと–頼れます
G5100	G1380	G0243	G3982	G1722	G4561	G1473	G3123

もとより、肉の頼みなら、わたしにも無くはない。もし、だれかほかの人が肉を頼みとしていると言うなら、わたしはそれをもっと頼みとしている。

5

περιτομῇ,	ὀκταήμερος,	ἐκ	γένους	Ἰσραήλ,	φυλῆς	Βενιαμίν;	Ἑβραῖος	
割礼は	生後–八日目	～の–出身	民族は	イスラエル	部族は	ベニヤミン	ヘブライ人の–中の	
G4061	G3637	G1537	G1085	G2474	G5443	G0958	G1445	

ἐξ	Ἑβραίων;	κατὰ	νόμον,	Φαρισαῖος;
～の–出身	ヘブライ人	～に–関して	律法に–関しては	パリサイ人
G1537	G1445	G2596	G3551	G5330

わたしは八日目に割礼を受けた者、イスラエルの民族に属する者、ベニヤミン族の出身、ヘブル人の中のヘブル人、律法の上ではパリサイ人、

6

κατὰ	ζῆλος,	διώκων	τὴν	ἐκκλησίαν;	κατὰ	δικαιοσύνην	
～に–関して	熱心に–関しては	迫害した–者であり	その	教会を	～に–関して	義に–関しては	
G2596	G2205	G1377	G3588	G1577	G2596	G1343	

τὴν	ἐν	νόμῳ,	γενόμενος	ἄμεμπτος.
その	～に–おける	律法に–おける	なった	非難の–ない–者と
G3588	G1722	G3551	G1096	G0273

熱心の点では教会の迫害者、律法の義については落ち度のない者である。

7

Ἀλλὰ	ἅτινα	ἦν	μοι	κέρδη,	ταῦτα	ἥγημαι,	
しかし	あらゆる–ものが	であった	私に–とって	利益であった–ものを	これらを	みなしました	
G0235	G3748	G1510	G1473	G2771	G3778	G2233	

διὰ	τὸν	Χριστὸν,	ζημίαν.	
～の–ゆえに	その	キリストの–ゆえに	損失と	
G1223	G3588	G5547	G2209	

しかし、わたしにとって益であったこれらのものを、キリストのゆえに損と思うようになった。

8 ἀλλὰ μὲν◡, οὖν◡ γε, καὶ ἡγοῦμαι πάντα ζημίαν εἶναι
それどころか 実に さらに 確かに また みなしています すべての–ことを 損失と あると
G0235 G3303 G3767 G1065 G2532 G2233 G3956 G2209 G1510

διὰ τὸ ὑπερέχον τῆς γνώσεως Χριστοῦ Ἰησοῦ τοῦ Κυρίου μου, δι’ ὃν τὰ πάντα ἐζημιώθην, καὶ ἡγοῦμαι σκύβαλα, ἵνα Χριστὸν κερδήσω,
～の–ゆえに その 優れた その 知識の–ゆえに キリスト イエス その 主 私の ～の–ゆえに その–方の–ために その すべての–ものを 失いました そして みなしています ちりあくたと それは キリストを 得るためにです
G1223 G3588 G5242 G3588 G1108 G5547 G2424 G3588 G2962 G1473 G1223 G3739 G3588 G3956 G2210 G2532 G2233 G4657 G2443 G5547 G2770

わたしは、更に進んで、わたしの主キリスト・イエスを知る知識の絶大な価値のゆえに、いっさいのものを損と思っている。キリストのゆえに、わたしはすべてを失ったが、それらのものを、ふん土のように思っている。それは、わたしがキリストを得るためであり、

9 καὶ εὑρεθῶ ἐν αὐτῷ, μὴ ἔχων ἐμὴν δικαιοσύνην,
そして 見いだされるために ～に–おいて 彼の–中に 持たずに 持たずに 私自身の 義を
G2532 G2147 G1722 G0846 G3361 G2192 G1699 G1343

τὴν ἐκ νόμου, ἀλλὰ τὴν διὰ πίστεως Χριστοῦ, τὴν ἐκ Θεοῦ δικαιοσύνην, ἐπὶ τῇ πίστει;
その ～からの 律法からの かえって その ～を–通しての 信仰を–通しての キリストの その 神からの 義を–得るためです ～に–基づく その 信仰に–基づく
G3588 G1537 G3551 G0235 G3588 G1223 G4102 G5547 G3588 G1537 G2316 G1343 G1909 G3588 G4102

律法による自分の義ではなく、キリストを信じる信仰による義、すなわち、信仰に基く神からの義を受けて、キリストのうちに自分を見いだすようになるためである。

10 τοῦ γνῶναι αὐτὸν, καὶ τὴν δύναμιν τῆς ἀναστάσεως αὐτοῦ, καὶ [τὴν] κοινωνίαν [τῶν] παθημάτων αὐτοῦ, συμμορφιζόμενος τῷ θανάτῳ αὐτοῦ;
その 知ること 彼を そして その 力を その 復活の 彼の そして その 交わりを その 苦しみの 彼の 同じ–姿に–なって その 死に 彼の
G3588 G1097 G0846 G2532 G3588 G1411 G3588 G0386 G0846 G2532 G3588 G2842 G3588 G3804 G0846 G4833 G3588 G2288 G0846

すなわち、キリストとその復活の力とを知り、その苦難にあずかって、その死のさまとひとしくなり、

11 εἴ πως καταντήσω εἰς τὴν ἐξανάστασιν τὴν ἐκ νεκρῶν.
もし 何とかして 達したいのです ～へ その 復活に その ～からの 死者からの
G1487 G4459 G2658 G1519 G3588 G1815 G3588 G1537 G3498

なんとかして死人のうちからの復活に達したいのである。

12 οὐχ ὅτι ἤδη ἔλαβον, ἢ ἤδη τετελείωμαι;
～ではなく ～というのではなく すでに 得たとか また すでに 完全に–なったとか
G3756 G3754 G2235 G2983 G2228 G2235 G5048

διώκω δὲ, εἰ καὶ καταλάβω, ἐφ’ ᾧ καὶ κατελήμφθην, ὑπὸ Χριστοῦ Ἰησοῦ.
追い求めています しかし もし もまた 捕らえるために ～の–ために その–ために また 捕らえられたからです ～に–よって キリスト イエスに
G1377 G1161 G1487 G2532 G2638 G1909 G3739 G2532 G2638 G5259 G5547 G2424

わたしがすでにそれを得たとか、すでに完全な者になっているとか言うのではなく、ただ捕えようとして追い求めているのである。そうするのは、キリスト・イエスによって捕えられているからである。

13 ἀδελφοί, ἐγὼ ἐμαυτὸν οὐ λογίζομαι κατειληφέναι. ἓν δέ:
兄弟たちよ 私は 自分自身を まだ 思っていません 捕らえたとは 一つの–ことを しかし
G0080 G1473 G1683 G3756 G3049 G2638 G1520 G1161

τὰ μὲν ὀπίσω ἐπιλανθανόμενος, τοῖς δὲ ἔμπροσθεν
その 一方では 後ろの–ものを 忘れて その 他方では 前の–ものに–向かって
G3588 G3303 G3694 G1950 G3588 G1161 G1715

ἐπεκτεινόμενος,
身を–伸ばしています
G1901

兄弟たちよ。わたしはすでに捕えたとは思っていない。ただこの一事を努めている。すなわち、後のものを忘れ、前のものに向かってからだを伸ばしつつ、

14 κατὰ σκοπὸν διώκω εἰς τὸ βραβεῖον, τῆς
〜に–向かって 目標に–向かって 追い求めています 〜の–ために その 賞を–得るために その
G2596 G4649 G1377 G1519 G3588 G1017 G3588

ἄνω κλήσεως τοῦ Θεοῦ, ἐν Χριστῷ Ἰησοῦ.
上に–おける 召しの その 神の 〜に–おける キリスト イエスに–おける
G0507 G2821 G3588 G2316 G1722 G5547 G2424

目標を目ざして走り、キリスト・イエスにおいて上に召して下さる神の賞与を得ようと努めているのである。

15 Ὅσοι οὖν τέλειοι τοῦτο φρονῶμεν; καὶ εἴ τι
すべての それゆえ 成熟した–者は この–思いを 持ちましょう そして もし 何か
G3745 G3767 G5046 G3778 G5426 G2532 G1487 G5100

ἑτέρως φρονεῖτε, καὶ τοῦτο ὁ Θεὸς ὑμῖν
異なった–ことを 考えているなら それも–また その–ことを その 神が あなたがたに
G2088 G5426 G2532 G3778 G3588 G2316 G4771

ἀποκαλύψει.
明らかにしてくださるでしょう
G0601

だから、わたしたちの中で全き人たちは、そのように考えるべきである。しかし、あなたがたが違った考えを持っているなら、神はそのことも示して下さるであろう。

16 πλὴν εἰς ὃ ἐφθάσαμεν, τῷ αὐτῷ στοιχεῖν. <κανόνι
ただ 〜に–向かって その 達した–ところに–したがって その 同じ 歩みなさい 基準に–よって
G4133 G1519 G3739 G5348 G3588 G0846 G4748 G2583

τὸ αὐτὸ φρονεῖν>
同じ 同じ 思いを–持ちなさい
G3588 G0846 G5426

ただ、わたしたちは、達し得たところに従って進むべきである。

17 Συμμιμηταί μου γίνεσθε, ἀδελφοί, καὶ σκοπεῖτε τοὺς οὕτω
共に–倣う–者となりなさい 私の なりなさい 兄弟たちよ そして 注目しなさい その このように
G4831 G1473 G1096 G0080 G2532 G4648 G3588 G3779

περιπατοῦντας, καθὼς ἔχετε τύπον ἡμᾶς.
歩んでいる–人々に 〜の–ように 持っています 模範として 私たちを
G4043 G2531 G2192 G5179 G1473

兄弟たちよ。どうか、わたしにならう者となってほしい。また、あなたがたの模範にされているわたしたちにならって歩く人たちに、目をとめなさい。

18 πολλοὶ γὰρ περιπατοῦσιν, οὓς πολλάκις ἔλεγον
多くの–人が なぜなら 歩んでいます その–人々について 何度も 言っていました
G4183 G1063 G4043 G3739 G4178 G3004

ὑμῖν, νῦν δὲ καὶ κλαίων, λέγω τοὺς ἐχθροὺς τοῦ σταυροῦ
あなたがたに 今 しかし また 泣きながら 言います その 敵であると その 十字架の
G4771 G3568 G1161 G2532 G2799 G3004 G3588 G2190 G3588 G4716

τοῦ Χριστοῦ;
その キリストの
G3588 G5547

わたしがそう言うのは、キリストの十字架に敵対して歩いている者が多いからである。わたしは、彼らのことをしばしばあなたがたに話したが、今また涙を流して語る。

19 ὧν τὸ τέλος ἀπώλεια, ὧν ὁ θεὸς ἡ κοιλία, καὶ ἡ
彼らの その 終わりは 滅びであり 彼らの その 神は その 腹であり そして その
G3739 G3588 G5056 G0684 G3739 G3588 G2316 G3588 G2836 G2532 G3588

δόξα ἐν τῇ αἰσχύνῃ αὐτῶν -- οἱ τὰ ἐπίγεια
誇りは ～に–おいて その 恥に–おいてあり 彼らの その その 地上の–ことを
G1391 G1722 G3588 G0152 G0846 G3588 G3588 G1919

φρονοῦντες.
思っている–者です
G5426

彼らの最後は滅びである。彼らの神はその腹、彼らの栄光はその恥、彼らの思いは地上のことである。

20 ἡμῶν γὰρ τὸ πολίτευμα ἐν οὐρανοῖς ὑπάρχει, ἐξ οὗ
私たちの なぜなら その 国籍は ～に–おいて 天に–あります あります ～から そこから
G1473 G1063 G3588 G4175 G1722 G3772 G5225 G1537 G3739

καὶ, Σωτῆρα, ἀπεκδεχόμεθα Κύριον Ἰησοῦν Χριστόν,
また 救い–主を 待ち–望んでいます 主 イエス キリストを
G2532 G4990 G0553 G2962 G2424 G5547

しかし、わたしたちの国籍は天にある。そこから、救主、主イエス・キリストのこられるのを、わたしたちは待ち望んでいる。

21 ὃς μετασχηματίσει τὸ σῶμα τῆς ταπεινώσεως ἡμῶν, σύμμορφον
その–方は 変えてくださるでしょう その 体を その 卑しさの 私たちの 同じ–姿に
G3739 G3345 G3588 G4983 G3588 G5014 G1473 G4832

τῷ σώματι τῆς δόξης αὐτοῦ, κατὰ τὴν ἐνέργειαν τοῦ δύνασθαι
その 体と その 栄光の 彼の ～に–したがって その 働きに–よって その できる
G3588 G4983 G3588 G1391 G0846 G2596 G3588 G1753 G3588 G1410

αὐτὸν, καὶ ὑποτάξαι αὐτῷ τὰ πάντα.
彼が また 従わせることが 彼自身に その すべての–ものを
G0846 G2532 G5293 G0848 G3588 G3956

彼は、万物をご自身に従わせうる力の働きによって、わたしたちの卑しいからだを、ご自身の栄光のからだと同じかたちに変えて下さるであろう。

Chapter 4

1 Ὥστε, ἀδελφοί μου, ἀγαπητοὶ καὶ ἐπιπόθητοι, χαρὰ καὶ στέφανός
それゆえ 兄弟たちよ 私の 愛する-者よ そして 慕わしい-者よ 喜びよ そして 冠よ
G5620 G0080 G1473 G0027 G2532 G1973 G5479 G2532 G4735

μου, οὕτως στήκετε ἐν Κυρίῳ, ἀγαπητοί.
私の このように 堅く-立ちなさい ～に-おいて 主に-あって 愛する-者たちよ
G1473 G3779 G4739 G1722 G2962 G0027

だから、わたしの愛し慕っている兄弟たちよ。わたしの喜びであり冠である愛する者たちよ。このように、主にあって堅く立ちなさい。

2 Εὐοδίαν παρακαλῶ, καὶ Συντύχην παρακαλῶ, τὸ αὐτὸ
エウオディアに 勧めます そして シュンテュケに 勧めます 同じ 同じ
G2136 G3870 G2532 G4941 G3870 G3588 G0846

φρονεῖν ἐν Κυρίῳ.
思いを-持つように ～に-おいて 主に-おいて
G5426 G1722 G2962

わたしはユウオデヤに勧め、またスントケに勧める。どうか、主にあって一つ思いになってほしい。

3 ναὶ, ἐρωτῶ καὶ σέ, γνήσιε σύζυγε, συλλαμβάνου αὐταῖς, αἵτινες
はい お願いします また あなたにも 真実の 同労者よ 助けてください 彼女たちを 彼女たちは
G3483 G2065 G2532 G4771 G1103 G4805 G4815 G0846 G3748

ἐν τῷ εὐαγγελίῳ συνήθλησάν μοι; μετὰ καὶ Κλήμεντος, καὶ
～に-おいて その 福音の-ために 共に-戦ったのです 私と ～と-共に また クレメンスと そして
G1722 G3588 G2098 G4866 G1473 G3326 G2532 G2815 G2532

τῶν λοιπῶν συνεργῶν μου, ὧν τὰ ὀνόματα ἐν βίβλῳ
その 他の 同労者たちと 私の 彼らの その 名は ～に-おいて いのちの-書に
G3588 G3062 G4904 G1473 G3739 G3588 G3686 G1722 G0976

ζωῆς.
いのちの
G2222

ついては、真実な協力者よ。あなたにお願いする。このふたりの女を助けてあげなさい。彼らは、「いのちの書」に名を書きとめられているクレメンスや、その他の同労者たちと協力して、福音のためにわたしと共に戦ってくれた女たちである。

4 Χαίρετε ἐν Κυρίῳ πάντοτε; πάλιν ἐρῶ, χαίρετε!
喜びなさい ～に-おいて 主に-あって いつも もう-一度 言います 喜びなさい
G5463 G1722 G2962 G3842 G3825 G2046 G5463

あなたがたは、主にあっていつも喜びなさい。繰り返して言うが、喜びなさい。

5 τὸ ἐπιεικὲς ὑμῶν γνωσθήτω πᾶσιν ἀνθρώποις. ὁ Κύριος
その 寛容さが あなたがたの 知られるように すべての 人々に その 主は
G3588 G1933 G4771 G1097 G3956 G0444 G3588 G2962

ἐγγύς.
近いのです
G1451

あなたがたの寛容を、みんなの人に示しなさい。主は近い。

6 μηδὲν μεριμνᾶτε, ἀλλ’ ἐν παντὶ, τῇ προσευχῇ
何も 思い-悩まないでください かえって ～の-中で あらゆる-ことに-おいて その 祈りと
G3367 G3309 G0235 G1722 G3956 G3588 G4335

καὶ τῇ δεήσει, μετὰ εὐχαριστίας, τὰ αἰτήματα ὑμῶν
そして その 願いに-よって ～を-もって 感謝を-もって その 願いを あなたがたの
G2532 G3588 G1162 G3326 G2169 G3588 G0155 G4771

γνωριζέσθω πρὸς τὸν Θεόν.
知らせなさい ～の-前に その 神に
G1107 G4314 G3588 G2316

何事も思い煩ってはならない。ただ、事ごとに、感謝をもって祈と願いとをささげ、あなたがたの求めるところを神に申し上げるがよい。

7 καὶ ἡ εἰρήνη τοῦ Θεοῦ ἡ ὑπερέχουσα πάντα νοῦν, φρουρήσει
そうすれば その 平安が その 神の その 超える すべての 理解を 守るでしょう
G2532 G3588 G1515 G3588 G2316 G3588 G5242 G3956 G3563 G5432

τὰς καρδίας ὑμῶν, καὶ τὰ νοήματα ὑμῶν, ἐν Χριστῷ
その 心を あなたがたの そして その 思いを あなたがたの ～に-おいて キリスト
G3588 G2588 G4771 G2532 G3588 G3540 G4771 G1722 G5547

Ἰησοῦ.
イエスに-おいて
G2424

そうすれば、人知ではとうてい測り知ることのできない神の平安が、あなたがたの心と思いとを、キリスト・イエスにあって守るであろう。

8 Τὸ λοιπόν, ἀδελφοί, ὅσα ἐστὶν ἀληθῆ, ὅσα σεμνά, ὅσα
その 最後に 兄弟たちよ すべて ～である 真実な-もの すべて 尊い-もの すべて
G3588 G3063 G0080 G3745 G1510 G0227 G3745 G4586 G3745

δίκαια, ὅσα ἁγνά, ὅσα προσφιλῆ, ὅσα εὔφημα; εἴ τις
正しい-もの すべて 清い-もの すべて 愛すべき-もの すべて 誉れ高い-もの もし 何か
G1342 G3745 G0053 G3745 G4375 G3745 G2163 G1487 G5100

ἀρετὴ, καὶ εἴ τις ἔπαινος, ταῦτα λογίζεσθε.
徳が-あるなら そして もし 何か 賞賛に-値するなら これらの-ことを 思い巡らしなさい
G0703 G2532 G1487 G5100 G1868 G3778 G3049

最後に、兄弟たちよ。すべて真実なこと、すべて尊ぶべきこと、すべて正しいこと、すべて純真なこと、すべて愛すべきこと、すべてほまれあること、また徳といわれるもの、称賛に値するものがあれば、それらのものを心にとめなさい。

9 ἃ καὶ ἐμάθετε, καὶ παρελάβετε, καὶ ἠκούσατε καὶ εἴδετε
あなたがたが また 学び そして 受け取り そして 聞き そして 見た-ことを
G3739 G2532 G3129 G2532 G3880 G2532 G0191 G2532 G3708

ἐν ἐμοί, ταῦτα πράσσετε; καὶ ὁ Θεὸς τῆς εἰρήνης
～に-おいて 私に-おいて これらの-ことを 実行しなさい そうすれば その 神が その 平安の
G1722 G1473 G3778 G4238 G2532 G3588 G2316 G3588 G1515

ἔσται μεθ’ ὑμῶν.
おられるでしょう ～と-共に あなたがたと
G1510 G3326 G4771

あなたがたが、わたしから学んだこと、受けたこと、聞いたこと、見たことは、これを実行しなさい。そうすれば、平和の神が、あなたがたと共にいますであろう。

10 Ἐχάρην δὲ ἐν Κυρίῳ μεγάλως, ὅτι ἤδη ποτὲ
喜びました さて ～に–おいて 主に–おいて 大いに すなわち ついに ついに
G5463 G1161 G1722 G2962 G3171 G3754 G2235 G4218

ἀνεθάλετε τὸ ὑπὲρ ἐμοῦ φρονεῖν; ἐφ’ ᾧ
花–開かせたのです その ～の–ための 私の–ための 心–遣いを ～に–ついて その–ことについて
G0330 G3588 G5228 G1473 G5426 G1909 G3739

καὶ ἐφρονεῖτε, ἠκαιρεῖσθε δέ.
また 思っていたのですが 機会が–なかったのです しかし
G2532 G5426 G0170 G1161

さて、わたしが主にあって大いに喜んでいるのは、わたしを思う心が、あなたがたに今またついに芽ばえてきたことである。実は、あなたがたは、わたしのことを心にかけてくれてはいたが、よい機会がなかったのである。

11 οὐχ ὅτι καθ’ ὑστέρησιν λέγω; ἐγὼ
～ではなく ～というのではなく ～に–よる 不足から 言っているのではありません 私は
G3756 G3754 G2596 G5304 G3004 G1473

γὰρ ἔμαθον ἐν οἷς εἰμι, αὐτάρκης εἶναι.
なぜなら 学びました ～の–中で どんな–境過にあっても ある 満足している–ことを あることを
G1063 G3129 G1722 G3739 G1510 G0842 G1510

わたしは乏しいから、こう言うのではない。わたしは、どんな境遇にあっても、足ることを学んだ。

12 οἶδα καὶ ταπεινοῦσθαι, οἶδα καὶ περισσεύειν. ἐν
知っています また 卑しく–あることも 知っています また 豊かに–あることも ～に–おいて
G1492 G2532 G5013 G1492 G2532 G4052 G1722

παντὶ, καὶ ἐν πᾶσιν, μεμύημαι καὶ
あらゆる–ことに そして ～に–おいて あらゆる–ことに 秘訣を–得ています 満腹の–時も
G3956 G2532 G1722 G3956 G3453 G2532

χορτάζεσθαι, καὶ πεινᾶν, καὶ περισσεύειν, καὶ ὑστερεῖσθαι.
満たされる–ことも そして 飢える–ことも 豊かな–時も 豊かに–あることも そして 不足する–ことも
G5526 G2532 G3983 G2532 G4052 G2532 G5302

わたしは貧に処する道を知っており、富におる道も知っている。わたしは、飽くことにも飢えることにも、富むことにも乏しいことにも、ありとあらゆる境遇に処する秘けつを心得ている。

13 πάντα ἰσχύω, ἐν τῷ ἐνδυναμοῦντί με.
すべての–ことが–できます できます ～に–よって その 力づけてくださる–方に–よって 私を
G3956 G2480 G1722 G3588 G1743 G1473

わたしを強くして下さるかたによって、何事でもすることができる。

14 πλὴν καλῶς ἐποιήσατε, συνκοινωνήσαντές μου τῇ θλίψει.
それでも よく してくださいました 共に–あずかって 私の その 苦難に
G4133 G2573 G4160 G4790 G1473 G3588 G2347

しかし、あなたがたは、よくもわたしと患難を共にしてくれた。

15 οἴδατε δὲ καὶ ὑμεῖς, Φιλιππήσιοι, ὅτι ἐν ἀρχῇ
知っています さて また あなたがたも ピリピの-人たちよ すなわち ～の-中で 初めの-頃に
G1492 G1161 G2532 G4771 G5374 G3754 G1722 G0746

τοῦ εὐαγγελίου, ὅτε ἐξῆλθον ἀπὸ Μακεδονίας, οὐδεμία μοι
その 福音の ～の-時に 出発した-時に ～から マケドニアから 一つの-教会も 私と
G3588 G2098 G3753 G1831 G0575 G3109 G3762 G1473

ἐκκλησία ἐκοινώνησεν εἰς λόγον δόσεως καὶ
教会が 交わりを-持ちませんでした ～の-事に-おいて 記録に-おいて 与えることと そして
G1577 G2841 G1519 G3056 G1394 G2532

λήμψεως, εἰ μὴ ὑμεῖς μόνοι.
受けることの ～以外 ～以外 あなたがただけが だけでした
G3028 G1487 G3361 G4771 G3441

ピリピの人たちよ。あなたがたも知っているとおり、わたしが福音を宣伝し始めたころ、マケドニヤから出かけて行った時、物のやりとりをしてわたしの働きに参加した教会は、あなたがたのほかには全く無かった。

16 ὅτι καὶ ἐν Θεσσαλονίκῃ, καὶ ἅπαξ καὶ δὶς,
なぜなら また ～に-おいても テサロニケに-おいても また 一度ならず そして 二度も
G3754 G2532 G1722 G2332 G2532 G0530 G2532 G1364

εἰς τὴν χρείαν μοι ἐπέμψατε.
～の-ために その 必要の-ために 私に 送ってくれたのです
G1519 G3588 G5532 G1473 G3992

またテサロニケでも、一再ならず、物を送ってわたしの欠乏を補ってくれた。

17 οὐχ ὅτι ἐπιζητῶ τὸ δόμα, ἀλλὰ
～ではなく ～というのではなく 求めているのではありません その 贈り物を かえって
G3756 G3754 G1934 G3588 G1390 G0235

ἐπιζητῶ τὸν καρπὸν τὸν πλεονάζοντα εἰς λόγον ὑμῶν.
求めているのです その 実を その 増し-加わる ～の-ための 勘定の-ための あなたがたの
G1934 G3588 G2590 G3588 G4121 G1519 G3056 G4771

わたしは、贈り物を求めているのではない。わたしの求めているのは、あなたがたの勘定をふやしていく果実なのである。

18 ἀπέχω δὲ πάντα καὶ περισσεύω; πεπλήρωμαι, δεξάμενος παρὰ
受け取りました さて すべてを そして 溢れています 満たされています 受け取って ～から
G0568 G1161 G3956 G2532 G4052 G4137 G1209 G3844

Ἐπαφροδίτου τὰ παρ’ ὑμῶν, ὀσμὴν εὐωδίας, θυσίαν
エパフロディトから その ～からの あなたがたからの かおりであり 良い-香りの いけにえであり
G1891 G3588 G3844 G4771 G3744 G2175 G2378

δεκτήν, εὐάρεστον τῷ Θεῷ.
受け-入れられる 喜ばれる-ものです その 神に
G1184 G2101 G3588 G2316

わたしは、すべての物を受けてあり余るほどである。エパフロデトから、あなたがたの贈り物をいただいて、飽き足りている。それは、かんばしいかおりであり、神の喜んで受けて下さる供え物である。

19 ὁ δὲ Θεός μου πληρώσει πᾶσαν χρείαν ὑμῶν,
その さて 神が 私の 満たしてくださるでしょう すべての 必要を あなたがたの
G3588 G1161 G2316 G1473 G4137 G3956 G5532 G4771

κατὰ τὸ πλοῦτος αὐτοῦ, ἐν δόξῃ ἐν Χριστῷ
～に-したがって その 富に-したがって 彼の ～に-おいて 栄光に-おいて ～に-おいて キリスト
G2596 G3588 G4149 G0846 G1722 G1391 G1722 G5547

Ἰησοῦ.
イエスに-おいて
G2424

わたしの神は、ご自身の栄光の富の中から、あなたがたのいっさいの必要を、キリスト・イエスにあって満たして下さるであろう。

20 τῷ δὲ Θεῷ καὶ Πατρὶ ἡμῶν ἡ δόξα εἰς
その さて 神であり そして 父である-方に 私たちの その 栄光が-ありますように ～の-中の
G3588 G1161 G2316 G2532 G3962 G1473 G3588 G1391 G1519

τοὺς αἰῶνας τῶν αἰώνων. ἀμήν.
その 世々の その 世々に アーメン
G3588 G0165 G3588 G0165 G0281

わたしたちの父なる神に、栄光が世々限りなくあるように、アァメン。

21 Ἀσπάσασθε πάντα ἅγιον ἐν Χριστῷ Ἰησοῦ. ἀσπάζονται
挨拶しなさい すべての 聖徒に ～に-おいて キリスト イエスに-ある 挨拶しています
G0782 G3956 G0040 G1722 G5547 G2424 G0782

ὑμᾶς, οἱ σὺν ἐμοὶ ἀδελφοί.
あなたがたに その ～と-共に-いる 私と 兄弟たちが
G4771 G3588 G4862 G1473 G0080

キリスト・イエスにある聖徒のひとりびとりに、よろしく。わたしと一緒にいる兄弟たちから、あなたがたによろしく。

22 ἀσπάζονται ὑμᾶς, πάντες οἱ ἅγιοι, μάλιστα δὲ οἱ ἐκ
挨拶しています あなたがたに すべての その 聖徒たちが 特に そして その ～からの
G0782 G4771 G3956 G3588 G0040 G3122 G1161 G3588 G1537

τῆς Καίσαρος οἰκίας.
その カエサルの 家の-人たちが
G3588 G2541 G3614

すべての聖徒たちから、特にカイザルの家の者たちから、よろしく。

23 Ἡ χάρις τοῦ Κυρίου Ἰησοῦ Χριστοῦ μετὰ τοῦ πνεύματος ὑμῶν.
その 恵みが その 主 イエス キリストの ～と-共に その 霊と あなたがたの
G3588 G5485 G3588 G2962 G2424 G5547 G3326 G3588 G4151 G4771

<Ἀμήν>.
アーメン
G0281

主イエス・キリストの恵みが、あなたがたの霊と共にあるように。

Colossians

Chapter 1

1 Παῦλος ἀπόστολος Χριστοῦ Ἰησοῦ διὰ θελήματος Θεοῦ, καὶ Τιμόθεος
パウロ 使徒 キリスト イエスの ～を–通して 御心に–よって 神の と テモテ
G3972 G0652 G5547 G2424 G1223 G2307 G2316 G2532 G5095

ὁ ἀδελφὸς,
その 兄弟
G3588 G0080

神の御旨によるキリスト・イエスの使徒パウロと兄弟テモテから、

2 τοῖς ἐν Κολοσσαῖς ἁγίοις, καὶ πιστοῖς ἀδελφοῖς ἐν
その ～に–いる コロサイに–いる 聖徒たちへ そして 忠実な 兄弟たちへ ～に–おいて
G3588 G1722 G2857 G0040 G2532 G4103 G0080 G1722

Χριστῷ: χάρις ὑμῖν καὶ εἰρήνη, ἀπὸ Θεοῦ Πατρὸς ἡμῶν.
キリストに–ある 恵みが あなたがたに そして 平安が ～から 神 父 私たちの–から
G5547 G5485 G4771 G2532 G1515 G0575 G2316 G3962 G1473

コロサイにいる、キリストにある聖徒たち、忠実な兄弟たちへ。わたしたちの父なる神から、恵みと平安とが、あなたがたにあるように。

3 Εὐχαριστοῦμεν τῷ Θεῷ Πατρὶ τοῦ Κυρίου ἡμῶν, Ἰησοῦ Χριστοῦ, πάντοτε
感謝しています その 神に 父に その 主 私たちの イエス キリストの いつも
G2168 G3588 G2316 G3962 G3588 G2962 G1473 G2424 G5547 G3842

περὶ ὑμῶν προσευχόμενοι,
～に–ついて あなたがたの–ために 祈っています
G4012 G4771 G4336

わたしたちは、いつもあなたがたのために祈り、わたしたちの主イエス・キリストの父なる神に感謝している。

4 ἀκούσαντες τὴν πίστιν ὑμῶν ἐν Χριστῷ Ἰησοῦ, καὶ
聞いたからです その 信仰を あなたがたの ～に–おける キリスト イエスに–おける そして
G0191 G3588 G4102 G4771 G1722 G5547 G2424 G2532

τὴν ἀγάπην ἣν ἔχετε εἰς πάντας τοὺς ἁγίους,
その 愛を それを 持っていると ～に–対して すべての その 聖徒たちに–対する
G3588 G0026 G3739 G2192 G1519 G3956 G3588 G0040

これは、キリスト・イエスに対するあなたがたの信仰と、すべての聖徒に対していだいているあなたがたの愛とを、耳にしたからである。

5

διὰ	τὴν	ἐλπίδα,	τὴν	ἀποκειμένην	ὑμῖν	ἐν	τοῖς
～の–ゆえに	その	希望の–ゆえに	その	備えられている	あなたがたの–ために	～に–おいて	その
G1223	G3588	G1680	G3588	G0606	G4771	G1722	G3588

οὐρανοῖς;	ἣν	προηκούσατε	ἐν	τῷ	λόγῳ	τῆς	ἀληθείας,
天に	それを	以前に–聞いたのです	～に–おいて	その	言葉に–おいて	その	真理の
G3772	G3739	G4257	G1722	G3588	G3056	G3588	G0225

τοῦ	εὐαγγελίου,
その	福音の
G3588	G2098

この愛は、あなたがたのために天にたくわえられている望みに基くものであり、その望みについては、あなたがたはすでに、あなたがたのところまで伝えられた福音の真理の言葉によって聞いている。

6

τοῦ	παρόντος	εἰς	ὑμᾶς,	καθὼς	καὶ	ἐν	παντὶ
それは	来ている	～に	あなたがたの–ところに	～の–ように	また	～に–おいて	すべての
G3588	G3918	G1519	G4771	G2531	G2532	G1722	G3956

τῷ	κόσμῳ,	ἐστὶν	καρποφορούμενον	καὶ	αὐξανόμενον,	καθὼς	καὶ
その	世界に–おいても	それは	実を–結び	そして	成長しています	～の–ように	また
G3588	G2889	G1510	G2592	G2532	G0837	G2531	G2532

ἐν	ὑμῖν,	ἀφ’	ἧς	ἡμέρας	ἠκούσατε	καὶ	ἐπέγνωτε
～に–おいても	あなたがたの–中でも	～から	その	日から	聞いて	そして	知ったのです
G1722	G4771	G0575	G3739	G2250	G0191	G2532	G1921

τὴν	χάριν	τοῦ	Θεοῦ	ἐν	ἀληθείᾳ;
その	恵みを	その	神の	～に–おいて	真理に–おいて
G3588	G5485	G3588	G2316	G1722	G0225

そして、この福音は、世界中いたる所でそうであるように、あなたがたのところでも、これを聞いて神の恵みを知ったとき以来、実を結んで成長しているのである。

7

καθὼς	ἐμάθετε	ἀπὸ	Ἐπαφρᾶ,	τοῦ	ἀγαπητοῦ	συνδούλου	ἡμῶν,
～の–ように	学んだのです	～から	エパフラスから	その	愛する	同労の–しもべ	私たちの
G2531	G3129	G0575	G1889	G3588	G0027	G4889	G1473

ὅς	ἐστιν	πιστὸς	ὑπὲρ	ὑμῶν,	διάκονος	τοῦ	Χριστοῦ,
彼は	です	忠実な	～の–ための	あなたがたの–ための	奉仕者です	その	キリストの
G3739	G1510	G4103	G5228	G4771	G1249	G3588	G5547

あなたがたはこの福音を、わたしたちと同じ僕である、愛するエパフラスから学んだのであった。彼はあなたがたのためのキリストの忠実な奉仕者であって、

8

ὁ	καὶ	δηλώσας	ἡμῖν	τὴν	ὑμῶν	ἀγάπην	ἐν
彼は	また	明らかにしてくれました	私たちに	その	あなたがたの	愛を	～に–おける
G3588	G2532	G1213	G1473	G3588	G4771	G0026	G1722

Πνεύματι.
御霊に–おける
G4151

あなたがたが御霊によっていだいている愛を、わたしたちに知らせてくれたのである。

9 Διὰ τοῦτο καὶ ἡμεῖς, ἀφ’ ἧς ἡμέρας ἠκούσαμεν, οὐ
～の-ゆえに この-ことの また 私たちも ～から その 日から 聞いて以来 絶えず
G1223 G3778 G2532 G1473 G0575 G3739 G2250 G0191 G3756

παυόμεθα ὑπὲρ ὑμῶν προσευχόμενοι, καὶ αἰτούμενοι ἵνα
止まずに ～の-ために あなたがたの-ために 祈っています そして 願っています すなわち
G3973 G5228 G4771 G4336 G2532 G0154 G2443

πληρωθῆτε τὴν ἐπίγνωσιν τοῦ θελήματος αὐτοῦ, ἐν πάσῃ σοφίᾳ
満たされるように その 知識を-もって その 御心の 彼の ～に-おいて あらゆる 知恵と
G4137 G3588 G1922 G3588 G2307 G0846 G1722 G3956 G4678

καὶ συνέσει πνευματικῇ,
そして 理解を-もって 霊的な
G2532 G4907 G4152

そういうわけで、これらの事を耳にして以来、わたしたちも絶えずあなたがたのために祈り求めているのは、あなたがたがあらゆる霊的な知恵と理解力とをもって、神の御旨を深く知り、

10 περιπατῆσαι ἀξίως τοῦ Κυρίου, εἰς πᾶσαν ἀρεσκείαν,
歩むために ふさわしく その 主に-ふさわしく ～の-ために あらゆる 喜びを-もって
G4043 G0516 G3588 G2962 G1519 G3956 G0699

ἐν παντὶ ἔργῳ ἀγαθῷ καρποφοροῦντες, καὶ αὐξανόμενοι τῇ
～に-おいて あらゆる 良い-業に-おいて 良い 実を-結び そして 成長しながら その
G1722 G3956 G2041 G0018 G2592 G2532 G0837 G3588

ἐπιγνώσει τοῦ Θεοῦ;
知識に-おいて その 神の
G1922 G3588 G2316

主のみこころにかなった生活をして真に主を喜ばせ、あらゆる良いわざを行って実を結び、神を知る知識をいよいよ増し加えるに至ることである。

11 ἐν πάσῃ δυνάμει, δυναμούμενοι κατὰ τὸ κράτος
～に-おいて あらゆる 力を-もって 強められて ～に-したがって その 威力に-したがって
G1722 G3956 G1411 G1412 G2596 G3588 G2904

τῆς δόξης αὐτοῦ, εἰς πᾶσαν ὑπομονὴν καὶ μακροθυμίαν μετὰ
その 栄光の 彼の ～の-ために あらゆる 忍耐と そして 寛容を-もって ～を-もって
G3588 G1391 G0846 G1519 G3956 G5281 G2532 G3115 G3326

χαρᾶς;
喜びを-もって
G5479

更にまた祈るのは、あなたがたが、神の栄光の勢いにしたがって賜わるすべての力によって強くされ、何事も喜んで耐えかつ忍び、

12 εὐχαριστοῦντες τῷ Πατρὶ, τῷ ἱκανώσαντι ὑμᾶς
感謝して その 父に その ふさわしい-者としてくださった-方に あなたがたを
G2168 G3588 G3962 G3588 G2427 G4771

εἰς τὴν μερίδα τοῦ κλήρου τῶν ἁγίων, ἐν τῷ φωτί,
～の-ために その 受け-分に その 相続の その 聖徒たちの ～に-おける その 光の-中の
G1519 G3588 G3310 G3588 G2819 G3588 G0040 G1722 G3588 G5457

光のうちにある聖徒たちの特権にあずかるに足る者とならせて下さった父なる神に、感謝することである。

13 ὃς ἐρρύσατο ἡμᾶς ἐκ τῆς ἐξουσίας τοῦ σκότους,
その–方が 救い–出してくださったのです 私たちを ～から その 支配から その 闇の
G3739 G4506 G1473 G1537 G3588 G1849 G3588 G4655

καὶ μετέστησεν εἰς τὴν βασιλείαν τοῦ Υἱοῦ τῆς ἀγάπης αὐτοῦ:
そして 移してくださったのです ～へ その 御国へ その 御子の その 愛の 彼の
G2532 G3179 G1519 G3588 G0932 G3588 G5207 G3588 G0026 G0846

神は、わたしたちをやみの力から救い出して、その愛する御子の支配下に移して下さった。

14 ἐν ᾧ ἔχομεν τὴν ἀπολύτρωσιν, τὴν ἄφεσιν τῶν
～に–おいて その–方に–おいて 持っています その 贖いを それは 赦しです その
G1722 G3739 G2192 G3588 G0629 G3588 G0859 G3588

ἁμαρτιῶν;
罪の
G0266

わたしたちは、この御子によってあがない、すなわち、罪のゆるしを受けているのである。

15 ὅς ἐστιν εἰκὼν τοῦ Θεοῦ τοῦ ἀοράτου, πρωτότοκος πάσης
その–方は です かたち その 神の その 見えない–方の 初めに–生まれた–方です すべての
G3739 G1510 G1504 G3588 G2316 G3588 G0517 G4416 G3956

κτίσεως;
被造物に–先立つ
G2937

御子は、見えない神のかたちであって、すべての造られたものに先だって生れたかたである。

16 ὅτι ἐν αὐτῷ ἐκτίσθη τὰ πάντα, ἐν τοῖς
なぜなら ～に–おいて 彼に–おいて 造られたのです その すべての–ものが ～に–おける その
G3754 G1722 G0846 G2936 G3588 G3956 G1722 G3588

οὐρανοῖς, καὶ ἐπὶ τῆς γῆς; τὰ ὁρατὰ, καὶ τὰ
天に–おける–もの そして ～の–上の その 地の–上の–もの その 見える–ものも そして その
G3772 G2532 G1909 G3588 G1093 G3588 G3707 G2532 G3588

ἀόρατα; εἴτε θρόνοι, εἴτε κυριότητες, εἴτε ἀρχαὶ, εἴτε
見えない–ものも ～であれ 御座であれ ～であれ 主権であれ ～であれ 支配であれ ～であれ
G0517 G1535 G2362 G1535 G2963 G1535 G0746 G1535

ἐξουσίαι: τὰ πάντα δι’ αὐτοῦ καὶ εἰς αὐτὸν
権威であれ その すべての–ものは ～を–通して 彼を–通して そして ～の–ために 彼の–ために
G1849 G3588 G3956 G1223 G0846 G2532 G1519 G0846

ἔκτισται.
造られたのです
G2936

万物は、天にあるものも地にあるものも、見えるものも見えないものも、位も主権も、支配も権威も、みな御子にあって造られたからである。これらいっさいのものは、御子によって造られ、御子のために造られたのである。

17 καὶ αὐτός ἐστιν πρὸ πάντων, καὶ τὰ πάντα
そして 彼は です ～の–前に すべての–ものの–前に そして その すべての–ものは
G2532 G0846 G1510 G4253 G3956 G2532 G3588 G3956

ἐν αὐτῷ συνέστηκεν.
～に–おいて 彼に–おいて 保たれています
G1722 G0846 G4921

彼は万物よりも先にあり、万物は彼にあって成り立っている。

18 καὶ αὐτός ἐστιν ἡ κεφαλὴ τοῦ σώματος, τῆς ἐκκλησίας; ὅς ἐστιν
そして 彼は です その かしら その 体の その 教会の その-方は です
G2532 G0846 G1510 G3588 G2776 G3588 G4983 G3588 G1577 G3739 G1510

(ἡ) ἀρχή, πρωτότοκος ἐκ τῶν νεκρῶν, ἵνα γένηται
その 初めであり 初めに-生まれた-方です ～からの その 死者の-中からの それは なるためにです
G3588 G0746 G4416 G1537 G3588 G3498 G2443 G1096

ἐν πᾶσιν αὐτὸς, πρωτεύων;
～に-おいて すべての-ことに-おいて 彼自身が 第一の-者と
G1722 G3956 G0846 G4409

そして自らは、そのからだなる教会のかしらである。彼は初めの者であり、死人の中から最初に生れたかたである。それは、ご自身がすべてのことにおいて第一の者となるためである。

19 ὅτι ἐν αὐτῷ εὐδόκησεν πᾶν τὸ πλήρωμα κατοικῆσαι,
なぜなら ～に-おいて 彼に-おいて 喜ばれたのです すべての その 満ち溢れが 住まうことを
G3754 G1722 G0846 G2106 G3956 G3588 G4138 G2730

神は、御旨によって、御子のうちにすべての満ちみちた徳を宿らせ、

20 καὶ δι’ αὐτοῦ ἀποκαταλλάξαι τὰ πάντα εἰς αὐτόν,
そして ～を-通して 彼を-通して 和解させることを その すべての-ものを ～へ 彼自身へ
G2532 G1223 G0846 G0604 G3588 G3956 G1519 G0846

εἰρηνοποιήσας διὰ τοῦ αἵματος τοῦ σταυροῦ αὐτοῦ -- δι’
平和を-もたらして ～を-通して その 血を-通して その 十字架の 彼の ～を-通して
G1517 G1223 G3588 G0129 G3588 G4716 G0846 G1223

αὐτοῦ -- εἴτε τὰ ἐπὶ τῆς γῆς, εἴτε τὰ ἐν
彼を-通して ～であれ その ～の-上の その 地の-上の-ものであれ ～であれ その ～に-おける
G0846 G1535 G3588 G1909 G3588 G1093 G1535 G3588 G1722

τοῖς οὐρανοῖς.
その 天に-おける-ものであれ
G3588 G3772

そして、その十字架の血によって平和をつくり、万物、すなわち、地にあるもの、天にあるものを、ことごとく、彼によってご自分と和解させて下さったのである。

21 καὶ ὑμᾶς, ποτε ὄντας ἀπηλλοτριωμένους καὶ ἐχθροὺς τῇ
そして あなたがたも かつては あった 引き-離されて そして 敵であったのです その
G2532 G4771 G4218 G1510 G0526 G2532 G2190 G3588

διανοίᾳ, ἐν τοῖς ἔργοις τοῖς πονηροῖς,
思いに-おいて ～に-おいて その 行いに-おいて その 悪い
G1271 G1722 G3588 G2041 G3588 G4190

あなたがたも、かつては悪い行いをして神から離れ、心の中で神に敵対していた。

22 νυνὶ δὲ, ἀποκατήλλαξεν ἐν τῷ σώματι τῆς σαρκὸς
しかし-今 しかし 和解させてくださったのです ～に-おいて その 体に-おいて その 肉の
G3570 G1161 G0604 G1722 G3588 G4983 G3588 G4561

αὐτοῦ, διὰ τοῦ θανάτου, παραστῆσαι ὑμᾶς ἁγίους, καὶ
彼の ～を-通して その 死を-通して 立たせるためです あなたがたを 聖なる-者として そして
G0846 G1223 G3588 G2288 G3936 G4771 G0040 G2532

ἀμώμους, καὶ ἀνεγκλήτους, κατενώπιον αὐτοῦ;
傷の-ない-者として そして 責められる-ところの-ない-者として ～の-御前に 彼の
G0299 G2532 G0410 G2714 G0846

しかし今では、御子はその肉のからだにより、その死をとおして、あなたがたを神と和解させ、あなたがたを聖なる、傷のない、責められるところのない者として、みまえに立たせて下さったのである。

23

εἴ	γε	ἐπιμένετε	τῇ	πίστει,	τεθεμελιωμένοι	καὶ	ἑδραῖοι,	καὶ	μὴ	
もし	実に	とどまるなら	その	信仰に	基を-置かれて	そして	揺るぎなく	そして	決して	
G1487	G1065	G1961	G3588	G4102	G2311	G2532	G1476	G2532	G3361	

μετακινούμενοι	ἀπὸ	τῆς	ἐλπίδος	τοῦ	εὐαγγελίου	οὗ	ἠκούσατε,		τοῦ
動かされずに	～から	その	希望から	その	福音の	それを	あなたがたが-聞いた		それは
G3334	G0575	G3588	G1680	G3588	G2098	G3739	G0191		G3588

κηρυχθέντος	ἐν	πάσῃ	κτίσει	τῇ	ὑπὸ	τὸν	οὐρανόν,	οὗ
宣べ伝えられた	～に-おいて	すべての	被造物に-対して	その	～の-下の	その	天の-下の	その
G2784	G1722	G3956	G2937	G3588	G5259	G3588	G3772	G3739

ἐγενόμην	ἐγὼ	Παῦλος	διάκονος.
なりました	私	パウロが	奉仕者と
G1096	G1473	G3972	G1249

ただし、あなたがたは、ゆるぐことがなく、しっかりと信仰にふみとどまり、すでに聞いている福音の望みから移り行くことのないようにすべきである。この福音は、天の下にあるすべての造られたものに対して宣べ伝えられたものであって、それにこのパウロが奉仕しているのである。

24

Νῦν	χαίρω	ἐν	τοῖς	παθήμασιν	ὑπὲρ	ὑμῶν,		καὶ
今	喜んでいます	～の-中で	その	苦しみの-中で	～の-ために	あなたがたの-ために		そして
G3568	G5463	G1722	G3588	G3804	G5228	G4771		G2532

ἀνταναπληρῶ	τὰ	ὑστερήματα	τῶν	θλίψεων	τοῦ	Χριστοῦ,	ἐν	τῇ	
満たしています	その	不足を	その	苦難の	その	キリストの	～に-おいて	その	
G0466	G3588	G5303	G3588	G2347	G3588	G5547	G1722	G3588	

σαρκί	μου,	ὑπὲρ	τοῦ	σώματος	αὐτοῦ,	ὅ	ἐστιν	ἡ	ἐκκλησία;
肉体に-おいて	私の	～の-ために	その	体の-ために	彼の	それは	です	その	教会です
G4561	G1473	G5228	G3588	G4983	G0846	G3739	G1510	G3588	G1577

今わたしは、あなたがたのための苦難を喜んで受けており、キリストのからだなる教会のために、キリストの苦しみのなお足りないところを、わたしの肉体をもって補っている。

25

ἧς	ἐγενόμην	ἐγὼ	διάκονος,	κατὰ	τὴν	οἰκονομίαν	τοῦ	Θεοῦ,
その	なりました	私が	奉仕者と	～に-したがって	その	任務に-したがって	その	神の
G3739	G1096	G1473	G1249	G2596	G3588	G3622	G3588	G2316

τὴν	δοθεῖσάν	μοι	εἰς	ὑμᾶς,		πληρῶσαι	τὸν	λόγον
その	与えられた	私に	～の-ために	あなたがたの-ために		完全に-伝えるために	その	言葉を
G3588	G1325	G1473	G1519	G4771		G4137	G3588	G3056

τοῦ	Θεοῦ,
その	神の
G3588	G2316

わたしは、神の言を告げひろめる務を、あなたがたのために神から与えられているが、そのために教会に奉仕する者になっているのである。

26

τὸ	μυστήριον	τὸ	ἀποκεκρυμμένον		ἀπὸ	τῶν	αἰώνων	καὶ	ἀπὸ
その	奥義です	それは	隠されていた-ものです		～から	その	諸世から	そして	～から
G3588	G3466	G3588	G0613		G0575	G3588	G0165	G2532	G0575

τῶν	γενεῶν,	νῦν	δὲ	ἐφανερώθη	τοῖς	ἁγίοις	αὐτοῦ;
その	諸世代から	しかし-今	しかし	明らかにされたのです	その	聖徒たちに	彼の
G3588	G1074	G3568	G1161	G5319	G3588	G0040	G0846

その言の奥義は、代々にわたってこの世から隠されていたが、今や神の聖徒たちに明らかにされたのである。

27

οἷς	ἠθέλησεν	ὁ	Θεὸς	γνωρίσαι	τί	τὸ	πλοῦτος	τῆς
その-人々に	望まれたのです	その	神が	知らせることを	何であるか	その	富は	その
G3739	G2309	G3588	G2316	G1107	G5101	G3588	G4149	G3588

δόξης	τοῦ	μυστηρίου	τούτου,	ἐν	τοῖς	ἔθνεσιν,	ὅ	ἐστιν
栄光の	その	奥義の	この	～に-おける	その	異邦人に-おける	それは	です
G1391	G3588	G3466	G3778	G1722	G3588	G1484	G3739	G1510

Χριστὸς	ἐν	ὑμῖν,	ἡ	ἐλπὶς	τῆς	δόξης;
キリストが	～に-おいて	あなたがたの-内に	その	希望です	その	栄光の
G5547	G1722	G4771	G3588	G1680	G3588	G1391

神は彼らに、異邦人の受くべきこの奥義が、いかに栄光に富んだものであるかを、知らせようとされたのである。この奥義は、あなたがたのうちにいますキリストであり、栄光の望みである。

28

ὃν	ἡμεῖς	καταγγέλλομεν,	νουθετοῦντες	πάντα	ἄνθρωπον,	καὶ	
その-方を	私たちは	宣べ伝えています	警告し	すべての	人を	そして	
G3739	G1473	G2605	G3560	G3956	G0444	G2532	

διδάσκοντες	πάντα	ἄνθρωπον,	ἐν	πάσῃ	σοφίᾳ,	ἵνα	
教えています	すべての	人を	～に-おいて	あらゆる	知恵を-もって	それは	
G1321	G3956	G0444	G1722	G3956	G4678	G2443	

παραστήσωμεν	πάντα	ἄνθρωπον	τέλειον	ἐν	Χριστῷ.
立たせるためにです	すべての	人を	完全な-者として	～に-おいて	キリストに-おいて
G3936	G3956	G0444	G5046	G1722	G5547

わたしたちはこのキリストを宣べ伝え、知恵をつくしてすべての人を訓戒し、また、すべての人を教えている。それは、彼らがキリストにあって全き者として立つようになるためである。

29

εἰς	ὃ	καὶ	κοπιῶ,	ἀγωνιζόμενος	κατὰ	τὴν	
～の-ために	その-ために	また	労苦しています	戦いながら	～に-したがって	その	
G1519	G3739	G2532	G2872	G0075	G2596	G3588	

ἐνέργειαν	αὐτοῦ,	τὴν	ἐνεργουμένην	ἐν	ἐμοὶ,	ἐν	δυνάμει.	
働きに-したがって	彼の	それは	働いている	～の-中に	私の-中に	～に-おいて	力強く	
G1753	G0846	G3588	G1754	G1722	G1473	G1722	G1411	

わたしはこのために、わたしのうちに力強く働いておられるかたの力により、苦闘しながら努力しているのである。

Chapter 2

1

Θέλω	γὰρ	ὑμᾶς	εἰδέναι,	ἡλίκον	ἀγῶνα	ἔχω	
望みます	なぜなら	あなたがたに	知ってほしいのです	どれほどの	戦いを	持っているか	
G2309	G1063	G4771	G1492	G2245	G0073	G2192	

ὑπὲρ	ὑμῶν,	καὶ	τῶν	ἐν	Λαοδικείᾳ,	
～の-ために	あなたがたの-ために	そして	その	～に-いる	ラオディケアに-いる-人々の-ために	
G5228	G4771	G2532	G3588	G1722	G2993	

καὶ	ὅσοι	οὐχ	ἑόρακαν	τὸ	πρόσωπόν	μου,	ἐν	σαρκί,
そして	すべての	まだ	見たことの-ない	その	顔を	私の	～に-おいて	肉体に-おいて
G2532	G3745	G3756	G3708	G3588	G4383	G1473	G1722	G4561

わたしが、あなたがたとラオデキヤにいる人たちのため、また、直接にはまだ会ったことのない人々のために、どんなに苦闘しているか、わかってもらいたい。

2 ἵνα παρακληθῶσιν αἱ καρδίαι αὐτῶν, συμβιβασθέντες ἐν ἀγάπῃ,
それは 励まされるためです その 心が 彼らの 結び-合わされて ～に-おいて 愛に-おいて
G2443 G3870 G3588 G2588 G0846 G4822 G1722 G0026

καὶ εἰς πᾶν πλοῦτος τῆς πληροφορίας τῆς συνέσεως; εἰς ἐπίγνωσιν
そして ～へ あらゆる 富へ その 充実した-確信の その 理解の ～へ 知識へ
G2532 G1519 G3956 G4149 G3588 G4136 G3588 G4907 G1519 G1922

τοῦ μυστηρίου τοῦ Θεοῦ -- Χριστοῦ;
その 奥義の その 神の キリストの
G3588 G3466 G3588 G2316 G5547

それは彼らが、心を励まされ、愛によって結び合わされ、豊かな理解力を十分に与えられ、神の奥義なるキリストを知るに至るためである。

3 ἐν ᾧ εἰσιν πάντες οἱ θησαυροὶ τῆς σοφίας καὶ
～の-中に その-方の-中に あるのです すべての その 宝が その 知恵と そして
G1722 G3739 G1510 G3956 G3588 G2344 G3588 G4678 G2532

γνώσεως ἀπόκρυφοι.
知識の 隠された
G1108 G0614

キリストのうちには、知恵と知識との宝が、いっさい隠されている。

4 Τοῦτο λέγω ἵνα μηδεὶς ὑμᾶς παραλογίζηται ἐν
この-ことを 言います それは 誰も あなたがたを 欺かないように ～に-よる
G3778 G3004 G2443 G3367 G4771 G3884 G1722

πιθανολογίᾳ.
巧みな-論弁に-よって
G4086

わたしがこう言うのは、あなたがたが、だれにも巧みな言葉で迷わされることのないためである。

5 εἰ γὰρ καὶ τῇ σαρκὶ ἄπειμι, ἀλλὰ τῷ πνεύματι
たとえ なぜなら たとえ その 肉体に-おいては 離れていても しかし その 霊に-おいて
G1487 G1063 G2532 G3588 G4561 G0548 G0235 G3588 G4151

σὺν ὑμῖν εἰμι, χαίρων καὶ βλέπων ὑμῶν τὴν τάξιν,
～と-共に あなたがたと います 喜びながら そして 見ています あなたがたの その 秩序と
G4862 G4771 G1510 G5463 G2532 G0991 G4771 G3588 G5010

καὶ τὸ στερέωμα τῆς εἰς Χριστὸν πίστεως ὑμῶν.
そして その 堅固さを その ～に-対する キリストに-対する 信仰の あなたがたの
G2532 G3588 G4733 G3588 G1519 G5547 G4102 G4771

たとい、わたしは肉体においては離れていても、霊においてはあなたがたと一緒にいて、あなたがたの秩序正しい様子とキリストに対するあなたがたの強固な信仰とを見て、喜んでいる。

6 Ὡς οὖν παρελάβετε τὸν Χριστὸν Ἰησοῦν τὸν Κύριον,
～の-ように それゆえ 受け-入れた-ように その キリスト イエスを その 主として
G5613 G3767 G3880 G3588 G5547 G2424 G3588 G2962

ἐν αὐτῷ περιπατεῖτε,
～に-おいて 彼に-おいて 歩みなさい
G1722 G0846 G4043

このように、あなたがたは主キリスト・イエスを受けいれたのだから、彼にあって歩きなさい。

7 ἐρριζωμένοι καὶ ἐποικοδομούμενοι ἐν αὐτῷ, καὶ βεβαιούμενοι
根を–おろし そして 建て–上げられて ～に–おいて 彼に–おいて そして 確かにされて
G4492 G2532 G2026 G1722 G0846 G2532 G0950

τῇ πίστει, καθὼς ἐδιδάχθητε, περισσεύοντες (ἐν αὐτῇ)
その 信仰に–おいて ～の–ように 教えられた–ように あふれながら ～に–おいて それに–おいて
G3588 G4102 G2531 G1321 G4052 G1722 G0846

ἐν εὐχαριστίᾳ.
～を–もって 感謝を–もって
G1722 G2169

また、彼に根ざし、彼にあって建てられ、そして教えられたように、信仰が確立されて、あふれるばかり感謝しなさい。

8 Βλέπετε μή τις ὑμᾶς ἔσται, ὁ συλαγωγῶν
気をつけなさい 誰かが 誰かが あなたがたを 捕らえる–ことの–ないように その 奪い–取る–者が
G0991 G3361 G5100 G4771 G1510 G3588 G4812

διὰ τῆς φιλοσοφίας καὶ κενῆς ἀπάτης, κατὰ τὴν παράδοσιν
～を–通して その 哲学と そして 空しい 欺きに–よって ～に–よる その 言い伝えに–よる
G1223 G3588 G5385 G2532 G2756 G0539 G2596 G3588 G3862

τῶν ἀνθρώπων, κατὰ τὰ στοιχεῖα τοῦ κόσμου, καὶ οὐ
その 人間の ～に–よる その 初歩的–原理に–よる その 世の そして ～ではなく
G3588 G0444 G2596 G3588 G4747 G3588 G2889 G2532 G3756

κατὰ Χριστόν.
～に–よるものではなく キリストに–よるものではないのです
G2596 G5547

あなたがたは、むなしいだましごとの哲学で、人のとりこにされないように、気をつけなさい。それはキリストに従わず、世のもろもろの霊力に従う人間の言伝えに基くものにすぎない。

9 ὅτι ἐν αὐτῷ κατοικεῖ πᾶν τὸ πλήρωμα τῆς
なぜなら ～に–おいて 彼に–おいて 住んでいるのです すべての その 満ち溢れが その
G3754 G1722 G0846 G2730 G3956 G3588 G4138 G3588

Θεότητος σωματικῶς;
神性の 体を–もって
G2320 G4985

キリストにこそ、満ちみちているいっさいの神の徳が、かたちをとって宿っており、

10 καὶ ἐστὲ ἐν αὐτῷ πεπληρωμένοι, ὅς ἐστιν ἡ
そして あるのです ～に–おいて 彼に–おいて 満たされて その–方は です その
G2532 G1510 G1722 G0846 G4137 G3739 G1510 G3588

κεφαλὴ πάσης ἀρχῆς καὶ ἐξουσίας,
かしら すべての 支配と そして 権威の
G2776 G3956 G0746 G2532 G1849

そしてあなたがたは、キリストにあって、それに満たされているのである。彼はすべての支配と権威とのかしらであり、

11 ἐν ～に–おいて G1722 ᾧ その–方に–おいて G3739 καὶ また G2532 περιετμήθητε 割礼を–受けたのです G4059 περιτομῇ 割礼を–もって G4061 ἀχειροποιήτῳ, 手に–よらない G0886

ἐν ～に–おいて G1722 τῇ その G3588 ἀπεκδύσει 脱ぎ–捨てに–よって G0555 τοῦ その G3588 σώματος 体の G4983 τῆς その G3588 σαρκός, 肉の G4561 ἐν ～に–おける G1722 τῇ その G3588

περιτομῇ 割礼に–おける G4061 τοῦ その G3588 Χριστοῦ; キリストの G5547

あなたがたはまた、彼にあって、手によらない割礼、すなわち、キリストの割礼を受けて、肉のからだを脱ぎ捨てたのである。

12 συνταφέντες 共に–葬られて G4916 αὐτῷ 彼と G0846 ἐν ～に–おいて G1722 τῷ その G3588 βαπτισμῷ, バプテスマに–おいて G0909 ἐν ～に–おいて G1722 ᾧ その–中で G3739 καὶ また G2532

συνηγέρθητε, 共に–よみがえらせられたのです G4891 διὰ ～を–通して G1223 τῆς その G3588 πίστεως 信仰を–通して G4102 τῆς その G3588 ἐνεργείας 働きの G1753 τοῦ その G3588 Θεοῦ, 神の G2316

τοῦ その G3588 ἐγείραντος よみがえらせた–方の G1453 αὐτὸν 彼を G0846 ἐκ ～から G1537 νεκρῶν. 死者の–中から G3498

あなたがたはバプテスマを受けて彼と共に葬られ、同時に、彼を死人の中からよみがえらせた神の力を信じる信仰によって、彼と共によみがえらされたのである。

13 καὶ そして G2532 ὑμᾶς, あなたがたも G4771 νεκροὺς 死んでいた G3498 ὄντας, あったのです G1510 ‹ἐν› ～の–中で G1722 τοῖς その G3588 παραπτώμασιν 過ちの–中で G3900 καὶ そして G2532 τῇ その G3588

ἀκροβυστίᾳ 無割礼の–中で G0203 τῆς その G3588 σαρκὸς 肉の G4561 ὑμῶν, あなたがたの G4771 συνεζωοποίησεν 共に–生かしてくださったのです G4806 ὑμᾶς あなたがたを G4771 σὺν ～と–共に G4862

αὐτῷ, 彼と–共に G0846 χαρισάμενος 赦してくださったのです G5483 ἡμῖν 私たちに G1473 πάντα すべての G3956 τὰ その G3588 παραπτώματα; 過ちを G3900

あなたがたは、先には罪の中にあり、かつ肉の割礼がないままで死んでいた者であるが、神は、あなたがたをキリストと共に生かし、わたしたちのいっさいの罪をゆるして下さった。

14 ἐξαλείψας 消し–去って G1813 τὸ その G3588 καθ’ ～に–対する G2596 ἡμῶν 私たちに–対する G1473 χειρόγραφον 証書を G5498 τοῖς その G3588 δόγμασιν, 定めに–よる G1378 ὃ それは G3739

ἦν であった G1510 ὑπεναντίον 敵対する–ものであった G5227 ἡμῖν; 私たちに G1473 καὶ そして G2532 αὐτὸ それを G0846 ἦρκεν 取り–除いたのです G0142 ἐκ ～から G1537 τοῦ その G3588

μέσου, 真ん中から G3319 προσηλώσας 釘づけて G4338 αὐτὸ それを G0846 τῷ その G3588 σταυρῷ; 十字架に G4716

神は、わたしたちを責めて不利におとしいれる証書を、その規定もろともぬり消し、これを取り除いて、十字架につけてしまわれた。

15 ἀπεκδυσάμενος τὰς ἀρχὰς καὶ τὰς ἐξουσίας, ἐδειγμάτισεν ἐν
脱ぎ-捨てて その 支配者たちと そして その 権威を さらしたのです ～に-おいて
G0554 G3588 G0746 G2532 G3588 G1849 G1165 G1722

παρρησίᾳ, θριαμβεύσας αὐτοὺς ἐν αὐτῷ.
公然と 勝利の-行列に-加えて 彼らを ～に-おいて 彼に-おいて
G3954 G2358 G0846 G1722 G0846

そして、もろもろの支配と権威との武装を解除し、キリストにあって凱旋し、彼らをその行列に加えて、さらしものとされたのである。

16 Μὴ οὖν τις ὑμᾶς κρινέτω -- ἐν βρώσει,
決して それゆえ 誰にも あなたがたを 裁かせては-なりません ～に-ついて 食べ物に-ついて
G3361 G3767 G5100 G4771 G2919 G1722 G1035

καὶ ἐν πόσει, ἢ ἐν μέρει ἑορτῆς, ἢ νεομηνίας,
また ～に-ついて 飲み物に-ついて また ～の-事について 一部の 祭りの また 新月の
G2532 G1722 G4213 G2228 G1722 G3313 G1859 G2228 G3561

ἢ σαββάτων,
また 安息日の
G2228 G4521

だから、あなたがたは、食物と飲み物とにつき、あるいは祭や新月や安息日などについて、だれにも批評されてはならない。

17 ἅ ἐστιν σκιὰ τῶν μελλόντων; τὸ δὲ σῶμα τοῦ
これらは です 影 その 来たるべき-ものの その しかし 実体は その
G3739 G1510 G4639 G3588 G3195 G3588 G1161 G4983 G3588

Χριστοῦ.
キリストの-ものです
G5547

これらは、きたるべきものの影であって、その本体はキリストにある。

18 μηδεὶς ὑμᾶς καταβραβευέτω, θέλων ἐν ταπεινοφροσύνῃ,
誰にも あなたがたの 賞を-奪っては-なりません 望む-者が ～に-おいて 謙遜に-おいて
G3367 G4771 G2603 G2309 G1722 G5012

καὶ θρησκείᾳ τῶν ἀγγέλων, ἃ ἑόρακεν ἐμβατεύων, εἰκῇ
そして 崇拝に-おいて その 天使たちの それらを 見たと-称して 踏み-入って 空しく
G2532 G2356 G3588 G0032 G3739 G3708 G1687 G1500

φυσιούμενος ὑπὸ τοῦ νοὸς τῆς σαρκὸς αὐτοῦ,
思い-上がっているのです ～に-よって その 思いに-よって その 肉の 彼の
G5448 G5259 G3588 G3563 G3588 G4561 G0846

あなたがたは、わざとらしい謙そんと天使礼拝とにおぼれている人々から、いろいろと悪評されてはならない。彼らは幻を見たことを重んじ、肉の思いによっていたずらに誇るだけで、

19 καὶ οὐ κρατῶν τὴν Κεφαλήν, ἐξ οὗ πᾶν τὸ
そして ～ではなく つかんでいないのです その かしらに ～から その-方から すべての その
G2532 G3756 G2902 G3588 G2776 G1537 G3739 G3956 G3588

σῶμα, διὰ τῶν ἁφῶν καὶ συνδέσμων ἐπιχορηγούμενον καὶ
体は ～を-通して その 節々と そして つなぎを-通して 養われて そして
G4983 G1223 G3588 G0860 G2532 G4886 G2023 G2532

συμβιβαζόμενον, αὔξει τὴν αὔξησιν τοῦ Θεοῦ.
結び-合わされて 成長します その 成長を その 神の
G4822 G0837 G3588 G0838 G3588 G2316

キリストなるかしらに、しっかりと着くことをしない。このかしらから出て、からだ全体は、節と節、筋と筋とによって強められ結び合わされ、神に育てられて成長していくのである。

20

Εἰ	ἀπεθάνετε	σὺν	Χριστῷ	ἀπὸ	τῶν	στοιχείων	τοῦ	κόσμου,
もし	死んだのなら	～と-共に	キリストと-共に	～から	その	初歩的-原理から	その	世の
G1487	G0599	G4862	G5547	G0575	G3588	G4747	G3588	G2889

τί	ὡς	ζῶντες,	ἐν	κόσμῳ	δογματίζεσθε?
なぜ	～の-ように	生きている-かのように	～に-おいて	世に-おいて	従うのですか
G5101	G5613	G2198	G1722	G2889	G1379

もしあなたがたが、キリストと共に死んで世のもろもろの霊力から離れたのなら、なぜ、なおこの世に生きているもののように、

21

Μὴ	ἅψῃ!	μηδὲ	γεύσῃ!	μηδὲ	θίγῃς!
触るな	触るな	また	味わうな	また	さわるなと
G3361	G0680	G3366	G1089	G3366	G2345

「さわるな、味わうな、触れるな」などという規定に縛られているのか。

22

ἅ	ἐστιν	πάντα	εἰς	φθορὰν	τῇ	ἀποχρήσει,	κατὰ	τὰ
これらは	です	すべて	～の-ための	滅びの-ための	その	使用に-よって	～に-よる	その
G3739	G1510	G3956	G1519	G5356	G3588	G0671	G2596	G3588

ἐντάλματα	καὶ	διδασκαλίας	τῶν	ἀνθρώπων,
戒めと	そして	教えに-よる	その	人間の
G1778	G2532	G1319	G3588	G0444

これらは皆、使えば尽きてしまうもの、人間の規定や教によっているものである。

23

ἅτινά	ἐστιν	λόγον	μὲν	ἔχοντα	σοφίας,	ἐν	ἐθελοθρησκίᾳ	καὶ
これらは	です	言葉を	確かに	持っています	知恵の	～に-おける	自己流の-崇拝と	そして
G3748	G1510	G3056	G3303	G2192	G4678	G1722	G1479	G2532

ταπεινοφροσύνῃ	καὶ	ἀφειδίᾳ	σώματος,	οὐκ	ἐν	τιμῇ
謙遜と	そして	体の-苦行に-おいて	体の	しかし	～に-おいて	価値に-おいて
G5012	G2532	G0857	G4983	G3756	G1722	G5092

τινι,	πρὸς	πλησμονὴν	τῆς	σαρκός.
何の	～に-対して	満足に-対しては	その	肉の-満足には-無力です
G5100	G4314	G4140	G3588	G4561

これらのことは、ひとりよがりの礼拝とわざとらしい謙そんと、からだの苦行とをともなうので、知恵のあるしわざらしく見えるが、実は、ほしいままな肉欲を防ぐのに、なんの役にも立つものではない。

Chapter 3

1

Εἰ	οὖν	συνηγέρθητε	τῷ	Χριστῷ,	τὰ	ἄνω
もし	それゆえ	共に-よみがえらされたなら	その	キリストと	その	上に-ある-ものを
G1487	G3767	G4891	G3588	G5547	G3588	G0507

ζητεῖτε,	οὗ	ὁ	Χριστός	ἐστιν	ἐν	δεξιᾷ	τοῦ	Θεοῦ	καθήμενος.
求めなさい	そこでは	その	キリストが	おられる	～の	右に	その	神の	座して
G2212	G3757	G3588	G5547	G1510	G1722	G1188	G3588	G2316	G2521

このように、あなたがたはキリストと共によみがえらされたのだから、上にあるものを求めなさい。そこではキリストが神の右に座しておられるのである。

2

τὰ	ἄνω	φρονεῖτε,	μὴ	τὰ	ἐπὶ	τῆς	γῆς;
その	上に-ある-ものを	思いなさい	～でなく	その	～の-上の	この	地の-ものを
G3588	G0507	G5426	G3361	G3588	G1909	G3588	G1093

あなたがたは上にあるものを思うべきであって、地上のものに心を引かれてはならない。

3

ἀπεθάνετε	γάρ,	καὶ	ἡ	ζωὴ	ὑμῶν	κέκρυπται	σὺν
あなたがたは-死んだ	なぜなら	そして	その	いのちは	あなたがたの	隠されている	～と-共に
G0599	G1063	G2532	G3588	G2222	G4771	G2928	G4862

τῷ	Χριστῷ	ἐν	τῷ	Θεῷ.
その	キリストと	～の-中に	その	神の
G3588	G5547	G1722	G3588	G2316

あなたがたはすでに死んだものであって、あなたがたのいのちは、キリストと共に神のうちに隠されているのである。

4

ὅταν	ὁ	Χριστὸς	φανερωθῇ,	ἡ	ζωὴ	ὑμῶν,	τότε	καὶ
その-時	その	キリストが	現れる-とき	その	いのち	あなたがたの	その-時	また
G3752	G3588	G5547	G5319	G3588	G2222	G4771	G5119	G2532

ὑμεῖς	σὺν	αὐτῷ	φανερωθήσεσθε	ἐν	δόξῃ.
あなたがたも	～と-共に	彼と	現される	～の-中で	栄光の
G4771	G4862	G0846	G5319	G1722	G1391

わたしたちのいのちなるキリストが現れる時には、あなたがたも、キリストと共に栄光のうちに現れるであろう。

5

Νεκρώσατε	οὖν	τὰ	μέλη	τὰ	ἐπὶ	τῆς	γῆς,	πορνείαν,	ἀκαθαρσίαν,
殺しなさい	それゆえ	その	肢体を	その	～の-上の	この	地の	淫行を	汚れを
G3499	G3767	G3588	G3196	G3588	G1909	G3588	G1093	G4202	G0167

πάθος,	ἐπιθυμίαν	κακήν,	καὶ	τὴν	πλεονεξίαν,	ἥτις	ἐστὶν	εἰδωλολατρία;
情欲を	欲望	悪い	そして	その	貪欲を	それは	～である	偶像礼拝
G3806	G1939	G2556	G2532	G3588	G4124	G3748	G1510	G1495

だから、地上の肢体、すなわち、不品行、汚れ、情欲、悪欲、また貪欲を殺してしまいなさい。貪欲は偶像礼拝にほかならない。

6

δι’	ἃ	ἔρχεται	ἡ	ὀργὴ	τοῦ	Θεοῦ	‹ἐπὶ	τοὺς	υἱοὺς
～の-ゆえに	これらの-ことの	来る	その	怒りが	その	神の	～の-上に	その	子らの
G1223	G3739	G2064	G3588	G3709	G3588	G2316	G1909	G3588	G5207

τῆς	ἀπειθείας›,
この	不従順の
G3588	G0543

これらのことのために、神の怒りが下るのである。

7

ἐν	οἷς	καὶ	ὑμεῖς	περιεπατήσατέ	ποτε	ὅτε	ἐζῆτε
～の-中で	これらの-中に	また	あなたがたも	歩んでいた	かつて	その-時	生きていた
G1722	G3739	G2532	G4771	G4043	G4218	G3753	G2198

ἐν	τούτοις.
～の-中で	これらの-中に
G1722	G3778

あなたがたも、以前これらのうちに日を過ごしていた時には、これらのことをして歩いていた。

8

νυνὶ	δὲ,	ἀπόθεσθε	καὶ	ὑμεῖς	τὰ	πάντα:	ὀργήν,	θυμόν,
しかし-今は	しかし	脱ぎ捨てなさい	また	あなたがたも	その	すべてを	怒りを	激怒を
G3570	G1161	G0659	G2532	G4771	G3588	G3956	G3709	G2372

κακίαν,	βλασφημίαν,	αἰσχρολογίαν	ἐκ	τοῦ	στόματος	ὑμῶν.
悪意を	冒涜を	恥ずべき-言葉を	～から	その	口から	あなたがたの
G2549	G0988	G0148	G1537	G3588	G4750	G4771

しかし今は、これらいっさいのことを捨て、怒り、憤り、悪意、そしり、口から出る恥ずべき言葉を、捨ててしまいなさい。

9

μὴ	ψεύδεσθε	εἰς	ἀλλήλους,	ἀπεκδυσάμενοι	τὸν	παλαιὸν	ἄνθρωπον,
～するな	偽りを-言うな	～に-対して	互いに	脱ぎ捨てて	その	古い	人を
G3361	G5574	G1519	G0240	G0554	G3588	G3820	G0444

σὺν	ταῖς	πράξεσιν	αὐτοῦ,
～と-共に	その	行いを	その
G4862	G3588	G4234	G0846

互にうそを言ってはならない。あなたがたは、古き人をその行いと一緒に脱ぎ捨て、

10

καὶ	ἐνδυσάμενοι	τὸν	νέον,	τὸν	ἀνακαινούμενον	εἰς	ἐπίγνωσιν,
そして	着て	その	新しい-人を	その	新たにされつつある	～に-向けて	真の-知識に
G2532	G1746	G3588	G3501	G3588	G0341	G1519	G1922

κατ’	εἰκόνα	τοῦ	κτίσαντος	αὐτόν;
～に-従って	像に	その	造った-方の	それを
G2596	G1504	G3588	G2936	G0846

造り主のかたちに従って新しくされ、真の知識に至る新しき人を着たのである。

11

ὅπου	οὐκ	ἔνι	Ἕλλην	καὶ	Ἰουδαῖος,	περιτομὴ	καὶ
そこでは	～ない	存在しない	ギリシア人も	そして	ユダヤ人も	割礼も	そして
G3699	G3756	G1762	G1672	G2532	G2453	G4061	G2532

ἀκροβυστία,	βάρβαρος,	Σκύθης,	δοῦλος,	ἐλεύθερος;	ἀλλὰ	‹τὰ›	πάντα
無割礼も	未開人も	スキュテス人も	奴隷も	自由人も	しかし	その	すべてであり
G0203	G0915	G4658	G1401	G1658	G0235	G3588	G3956

καὶ	ἐν	πᾶσιν	Χριστός.
また	～の-中の	すべてに-おいて	キリストが
G2532	G1722	G3956	G5547

そこには、もはやギリシヤ人とユダヤ人、割礼と無割礼、未開の人、スクテヤ人、奴隷、自由人の差別はない。キリストがすべてであり、すべてのもののうちにいますのである。

12

Ἐνδύσασθε	οὖν,	ὡς	ἐκλεκτοὶ	τοῦ	Θεοῦ,	ἅγιοι	καὶ
着なさい	それゆえ	～として	選ばれた-者たち	その	神の	聖なる-者たち	そして
G1746	G3767	G5613	G1588	G3588	G2316	G0040	G2532

ἠγαπημένοι,	σπλάγχνα	οἰκτιρμοῦ,	χρηστότητα,	ταπεινοφροσύνην,	πραΰτητα,
愛された-者たち	深い-あわれみの-心を	慈悲の	慈愛を	謙遜を	柔和を
G0025	G4698	G3628	G5544	G5012	G4240

μακροθυμίαν;
寛容を
G3115

だから、あなたがたは、神に選ばれた者、聖なる、愛されている者であるから、あわれみの心、慈愛、謙そん、柔和、寛容を身に着けなさい。

13

ἀνεχόμενοι	ἀλλήλων,	καὶ	χαριζόμενοι	ἑαυτοῖς.	ἐάν	τις	πρός	τινα
忍び–合い	互いを	そして	赦し–合いなさい	自分たちを	もし	誰かが	～に–対して	誰かに
G0430	G0240	G2532	G5483	G1438	G1437	G5100	G4314	G5100

ἔχῃ	μομφήν;	καθὼς	καὶ	ὁ	Κύριος	ἐχαρίσατο	ὑμῖν,	οὕτως	καὶ
持つなら	不満を	ちょうど	また	その	主が	赦された	あなたがたを	そのように	また
G2192	G3437	G2531	G2532	G3588	G2962	G5483	G4771	G3779	G2532

ὑμεῖς.
あなたがたも
G4771

互に忍びあい、もし互に責むべきことがあれば、ゆるし合いなさい。主もあなたがたをゆるして下さったのだから、そのように、あなたがたもゆるし合いなさい。

14

ἐπὶ	πᾶσιν	δὲ	τούτοις,	τὴν	ἀγάπην,	ὅ	ἐστιν	σύνδεσμος
～の–上に	すべての	しかし	これらの	その	愛を	それは	～である	結び–合わせる–帯
G1909	G3956	G1161	G3778	G3588	G0026	G3739	G1510	G4886

τῆς	τελειότητος.
この	完全さの
G3588	G5047

これらいっさいのものの上に、愛を加えなさい。愛は、すべてを完全に結ぶ帯である。

15

καὶ	ἡ	εἰρήνη	τοῦ	Χριστοῦ	βραβευέτω	ἐν	ταῖς	καρδίαις
そして	その	平和が	その	キリストの	支配しなさい	～の–中で	その	心を
G2532	G3588	G1515	G3588	G5547	G1018	G1722	G3588	G2588

ὑμῶν,	εἰς	ἣν	καὶ	ἐκλήθητε,	ἐν	ἑνὶ	σώματι.	καὶ
あなたがたの	～の–ために	それに	また	召された	～の–中で	一つの	からだに	そして
G4771	G1519	G3739	G2532	G2564	G1722	G1520	G4983	G2532

εὐχάριστοι	γίνεσθε.
感謝する–者と	なりなさい
G2170	G1096

キリストの平和が、あなたがたの心を支配するようにしなさい。あなたがたが召されて一体となったのは、このためでもある。いつも感謝していなさい。

16

ὁ	λόγος	τοῦ	Χριστοῦ	ἐνοικείτω	ἐν	ὑμῖν	πλουσίως,	ἐν
その	言葉が	その	キリストの	住みなさい	～の–中に	あなたがたの	豊かに	～の–中で
G3588	G3056	G3588	G5547	G1774	G1722	G4771	G4146	G1722

πάσῃ	σοφίᾳ	διδάσκοντες	καὶ	νουθετοῦντες	ἑαυτοὺς,	ψαλμοῖς,	ὕμνοις,	ᾠδαῖς
あらゆる	知恵で	教え–合い	そして	戒め–合いなさい	互いに	詩篇で	讃美歌で	歌で
G3956	G4678	G1321	G2532	G3560	G1438	G5568	G5215	G5603

πνευματικαῖς,	ἐν	τῇ	χάριτι	ᾄδοντες,	ἐν	ταῖς	καρδίαις
霊的な	～の–中で	その	恵みをもって	歌いなさい	～の–中で	その	心の–中で
G4152	G1722	G3588	G5485	G0103	G1722	G3588	G2588

ὑμῶν,	τῷ	Θεῷ.
あなたがたの	その	神に
G4771	G3588	G2316

キリストの言葉を、あなたがたのうちに豊かに宿らせなさい。そして、知恵をつくして互に教えまた訓戒し、詩とさんびと霊の歌とによって、感謝して心から神をほめたたえなさい。

17	καὶ	πᾶν,	ὅ	τι	ἐὰν	ποιῆτε	ἐν	λόγῳ	ἢ	ἐν	ἔργῳ,
そして	すべて	何でも	何でも	もし	行うなら	～の-中で	言葉で	あるいは	～の-中で	行いで
G2532	G3956	G3739	G5101	G1437	G4160	G1722	G3056	G2228	G1722	G2041

πάντα	ἐν	ὀνόματι	Κυρίου	Ἰησοῦ,	εὐχαριστοῦντες	τῷ	Θεῷ	Πατρὶ
すべてを	～の-中で	御名において	主	イエスの	感謝しつつ	その	神	父に
G3956	G1722	G3686	G2962	G2424	G2168	G3588	G2316	G3962

δι’	αὐτοῦ.
～を-通して	彼を
G1223	G0846

そして、あなたのすることはすべて、言葉によるとわざによるとを問わず、いっさい主イエスの名によってなし、彼によって父なる神に感謝しなさい。

18	Αἱ	γυναῖκες,	ὑποτάσσεσθε	τοῖς	ἀνδράσιν,	ὡς	ἀνῆκεν	ἐν	Κυρίῳ.
その	妻たちよ	従いなさい	その	夫たちに	～のように	ふさわしい	～において	主に
G3588	G1135	G5293	G3588	G0435	G5613	G0433	G1722	G2962

妻たる者よ、夫に仕えなさい。それが、主にある者にふさわしいことである。

19	Οἱ	ἄνδρες,	ἀγαπᾶτε	τὰς	γυναῖκας,	καὶ	μὴ	πικραίνεσθε	πρὸς
その	夫たちよ	愛しなさい	その	妻たちを	そして	～するな	つらく-当たるな	～に-対して
G3588	G0435	G0025	G3588	G1135	G2532	G3361	G4087	G4314

αὐτάς.
彼女たちに
G0846

夫たる者よ、妻を愛しなさい。つらくあたってはいけない。

20	Τὰ	τέκνα,	ὑπακούετε	τοῖς	γονεῦσιν,	κατὰ	πάντα;	τοῦτο	γὰρ
その	子どもたちよ	従いなさい	その	両親に	～に-おいて	すべてに	このことは	なぜなら
G3588	G5043	G5219	G3588	G1118	G2596	G3956	G3778	G1063

εὐάρεστόν	ἐστιν	ἐν	Κυρίῳ.
喜ばれる-ことで	ある	～において	主に
G2101	G1510	G1722	G2962

子たる者よ、何事についても両親に従いなさい。これが主に喜ばれることである。

21	Οἱ	πατέρες,	μὴ	ἐρεθίζετε	τὰ	τέκνα	ὑμῶν,	ἵνα	μὴ
その	父たちよ	～するな	怒らせるな	その	子どもたちを	あなたがたの	～しないように	～ない
G3588	G3962	G3361	G2042	G3588	G5043	G4771	G2443	G3361

ἀθυμῶσιν.
気落ちしないように
G0120

父たる者よ、子供をいらだたせてはいけない。心がいじけるかも知れないから。

22	Οἱ	δοῦλοι,	ὑπακούετε	κατὰ	πάντα	τοῖς	κατὰ	σάρκα	κυρίοις,
その	僕たちよ	従いなさい	～に-おいて	すべてに	その	～による	肉に-よる	主人たちに
G3588	G1401	G5219	G2596	G3956	G3588	G2596	G4561	G2962

μὴ	ἐν	ὀφθαλμοδουλίαις,	ὡς	ἀνθρωπάρεσκοι,	ἀλλ’
～でなく	～の-中で	見せかけの-奉仕で	～のように	人を-喜ばせる-者として	そうではなく
G3361	G1722	G3787	G5613	G0441	G0235

ἐν	ἁπλότητι	καρδίας,	φοβούμενοι	τὸν	Κύριον.
～の-中で	真心の	心をもって	畏れつつ	その	主を
G1722	G0572	G2588	G5399	G3588	G2962

僕たる者よ、何事についても、肉による主人に従いなさい。人にへつらおうとして、目先だけの勤めをするのではなく、真心をこめて主を恐れつつ、従いなさい。

23

ὃ	ἐὰν	ποιῆτε,	ἐκ	ψυχῆς	ἐργάζεσθε,	ὡς	τῷ	Κυρίῳ	καὶ
何でも	もし	行うなら	～から	心から	働きなさい	～のように	その	主に	そして
G3739	G1437	G4160	G1537	G5590	G2038	G5613	G3588	G2962	G2532

οὐκ	ἀνθρώποις;
～でなく	人に-ではなく
G3756	G0444

何をするにも、人に対してではなく、主に対してするように、心から働きなさい。

24

εἰδότες	ὅτι	ἀπὸ	Κυρίου	ἀπολήμψεσθε	τὴν	ἀνταπόδοσιν	τῆς
知って	～ということを	～から	主から	受ける	その	報いを	この
G1492	G3754	G0575	G2962	G0618	G3588	G0469	G3588

κληρονομίας.	τῷ	Κυρίῳ	Χριστῷ	δουλεύετε.
受け継ぎの	その	主	キリストに	仕えなさい
G2817	G3588	G2962	G5547	G1398

あなたがたが知っているとおり、あなたがたは御国をつぐことを、報いとして主から受けるであろう。あなたがたは、主キリストに仕えているのである。

25

ὁ	γὰρ	ἀδικῶν,	κομίσεται	ὃ	ἠδίκησεν,	καὶ	οὐκ
その	なぜなら	不正を-行う-者は	受け取る	その	不正を-行ったものを	そして	～ない
G3588	G1063	G0091	G2865	G3739	G0091	G2532	G3756

ἔστιν	προσωπολημψία.
～ある	えこひいきは
G1510	G4382

不正を行う者は、自分の行った不正に対して報いを受けるであろう。それには差別扱いはない。

Chapter 4

1

Οἱ	κύριοι,	τὸ	δίκαιον	καὶ	τὴν	ἰσότητα	τοῖς	δούλοις	παρέχεσθε,
その	主人たちよ	その	正しい-ことと	そして	その	公平さを	その	僕たちに	与えなさい
G3588	G2962	G3588	G1342	G2532	G3588	G2471	G3588	G1401	G3930

εἰδότες	ὅτι	καὶ	ὑμεῖς	ἔχετε	Κύριον	ἐν	οὐρανῷ.
知って	～ということを	また	あなたがたも	持っている	主を	～に	天に
G1492	G3754	G2532	G4771	G2192	G2962	G1722	G3772

主人たる者よ、僕を正しく公平に扱いなさい。あなたがたにも主が天にいますことが、わかっているのだから。

2

Τῇ	προσευχῇ	προσκαρτερεῖτε,	γρηγοροῦντες	ἐν	αὐτῇ	ἐν
その	祈りに	専念しなさい	目覚めつつ	～の-中で	それに	～をもって
G3588	G4335	G4342	G1127	G1722	G0846	G1722

εὐχαριστίᾳ;
感謝をもって
G2169

目をさまして、感謝のうちに祈り、ひたすら祈り続けなさい。

3 προσευχόμενοι ἅμα καὶ περὶ ἡμῶν, ἵνα ὁ Θεὸς
祈りつつ 同時に また ～の-ために 私たちの ～するように その 神が
G4336 G0260 G2532 G4012 G1473 G2443 G3588 G2316

ἀνοίξῃ ἡμῖν θύραν τοῦ λόγου, λαλῆσαι τὸ μυστήριον τοῦ
開いて-くださるように 私たちに 扉を その 言葉の 語るための その 奥義を その
G0455 G1473 G2374 G3588 G3056 G2980 G3588 G3466 G3588

Χριστοῦ, δι’ ὃ καὶ δέδεμαι,
キリストの ～の-ゆえに それの また 縛られている
G5547 G1223 G3739 G2532 G1210

同時にわたしたちのためにも、神が御言のために門を開いて下さって、わたしたちがキリストの奥義を語れるように（わたしは、実は、そのために獄につながれているのである）、

4 ἵνα φανερώσω αὐτὸ, ὡς δεῖ με λαλῆσαι.
～するように 明らかにする それを ～のように 必要である 私が 語ることが
G2443 G5319 G0846 G5613 G1163 G1473 G2980

また、わたしが語るべきことをはっきりと語れるように、祈ってほしい。

5 Ἐν σοφίᾳ, περιπατεῖτε πρὸς τοὺς ἔξω, τὸν καιρὸν
～の-中で 知恵で 歩みなさい ～に-対して その 外の-人に その 時を
G1722 G4678 G4043 G4314 G3588 G1854 G3588 G2540

ἐξαγοραζόμενοι.
生かしつつ
G1805

今の時を生かして用い、そとの人に対して賢く行動しなさい。

6 ὁ λόγος ὑμῶν πάντοτε ἐν χάριτι, ἅλατι ἠρτυμένος,
その 言葉は あなたがたの いつも ～の-中で 恵みをもって 塩で 味付けされた
G3588 G3056 G4771 G3842 G1722 G5485 G0217 G0741

εἰδέναι πῶς δεῖ ὑμᾶς ἑνὶ ἑκάστῳ ἀποκρίνεσθαι.
知る-ために いかに 必要であるか あなたがたが 一人 一人に 答えることが
G1492 G4459 G1163 G4771 G1520 G1538 G0611

いつも、塩で味つけられた、やさしい言葉を使いなさい。そうすれば、ひとりびとりに対してどう答えるべきか、わかるであろう。

7 Τὰ κατ’ ἐμὲ πάντα, γνωρίσει ὑμῖν Τυχικὸς, ὁ
その ～に-ついての 私の すべてのことを 知らせる あなたがたに テュキコが その
G3588 G2596 G1473 G3956 G1107 G4771 G5190 G3588

ἀγαπητὸς ἀδελφὸς, καὶ πιστὸς διάκονος, καὶ σύνδουλος ἐν Κυρίῳ;
愛する 兄弟 そして 忠実な 奉仕者 そして 同労の-僕 ～に-おける 主における
G0027 G0080 G2532 G4103 G1249 G2532 G4889 G1722 G2962

わたしの様子については、主にあって共に僕であり、また忠実に仕えている愛する兄弟テキコが、あなたがたにいっさいのことを報告するであろう。

8 ὃν ἔπεμψα πρὸς ὑμᾶς εἰς αὐτὸ τοῦτο, ἵνα
彼を 遣わした ～に-向けて あなたがたに ～の-ために まさに この-ことの-ために ～するように
G3739 G3992 G4314 G4771 G1519 G0846 G3778 G2443

γνῶτε τὰ περὶ ἡμῶν, καὶ παρακαλέσῃ τὰς καρδίας ὑμῶν;
知る-ように その ～に-ついて 私たちの そして 慰める-ように その 心を あなたがたの
G1097 G3588 G4012 G1473 G2532 G3870 G3588 G2588 G4771

わたしが彼をあなたがたのもとに送るのは、わたしたちの様子を知り、また彼によって心に励ましを受けるためなのである。

9 σὺν ～と-共に G4862 Ὀνησίμῳ, オネシモと G3682 τῷ その G3588 πιστῷ 忠実な G4103 καὶ そして G2532 ἀγαπητῷ 愛する G0027 ἀδελφῷ, 兄弟と G0080 ὅς 彼は G3739 ἐστιν ～である G1510 ἐξ ～から G1537

ὑμῶν. あなたがたの-中の G4771 πάντα すべてのことを G3956 ὑμῖν あなたがたに G4771 γνωρίσουσιν 知らせる G1107 τὰ その G3588 ὧδε. ここでの G5602

あなたがたのひとり、忠実な愛する兄弟オネシモをも、彼と共に送る。彼らはあなたがたに、こちらのいっさいの事情を知らせるであろう。

10 Ἀσπάζεται 挨拶する G0782 ὑμᾶς, あなたがたに G4771 Ἀρίσταρχος アリスタルコが G0708 ὁ その G3588 συναιχμάλωτός 同囚の-者 G4869 μου, 私の G1473 καὶ そして G2532 Μᾶρκος, マルコが G3138

ὁ その G3588 ἀνεψιὸς いとこ G0431 Βαρνάβα, バルナバの G0921 περὶ ～に-ついて G4012 οὗ 彼に-ついて G3739 ἐλάβετε 受けた G2983 ἐντολάς; 指示を G1785 ἐὰν もし G1437 ἔλθῃ 来るなら G2064

πρὸς ～の-もとに G4314 ὑμᾶς, あなたがたの G4771 δέξασθε 迎えなさい G1209 αὐτόν, 彼を G0846

わたしと一緒に捕われの身となっているアリスタルコと、バルナバのいとこマルコとが、あなたがたによろしくと言っている。このマルコについては、もし彼があなたがたのもとに行くなら、迎えてやるようにとのさしずを、あなたがたはすでに受けているはずである。

11 καὶ そして G2532 Ἰησοῦς イエス G2424 ὁ その G3588 λεγόμενος 呼ばれている G3004 Ἰοῦστος. ユストと G2459 οἱ その G3588 ὄντες ～である G1510 ἐκ ～の-中から G1537 περιτομῆς 割礼の G4061

οὗτοι これらの-者たちだけが G3778 μόνοι ただ G3441 συνεργοὶ 同労者であり G4904 εἰς ～の-ために G1519 τὴν その G3588 βασιλείαν 御国の G0932 τοῦ その G3588 Θεοῦ, 神の G2316

οἵτινες この-者たちは G3748 ἐγενήθησάν なった G1096 μοι 私に G1473 παρηγορία. 慰めと G3931

また、ユストと呼ばれているイエスからもよろしく。割礼の者の中で、この三人だけが神の国のために働く同労者であって、わたしの慰めとなった者である。

12 ἀσπάζεται 挨拶する G0782 ὑμᾶς, あなたがたに G4771 Ἐπαφρᾶς エパフラスが G1889 ὁ その G3588 ἐξ ～の-中から G1537 ὑμῶν, あなたがたの G4771 δοῦλος 僕 G1401 Χριστοῦ キリスト G5547

Ἰησοῦ, イエスの G2424 πάντοτε いつも G3842 ἀγωνιζόμενος 苦闘しつつ G0075 ὑπὲρ ～の-ために G5228 ὑμῶν あなたがたの G4771 ἐν ～の-中で G1722 ταῖς その G3588 προσευχαῖς, 祈りにおいて G4335

ἵνα ～するように G2443 σταθῆτε 立つ-ように G2476 τέλειοι 完全な-者として G5046 καὶ そして G2532 πεπληροφορημένοι 十分に-確信して G4135 ἐν ～の-中で G1722 παντὶ すべての G3956

θελήματι 御心に G2307 τοῦ その G3588 Θεοῦ. 神の G2316

あなたがたのうちのひとり、キリスト・イエスの僕エパフラスから、よろしく。彼はいつも、祈のうちであなたがたを覚え、あなたがたが全き人となり、神の御旨をことごとく確信して立つようにと、熱心に祈っている。

13 μαρτυρῶ 証しする G3140 γὰρ なぜなら G1063 αὐτῷ, 彼に-ついて G0846 ὅτι ～ということを G3754 ἔχει 持っている G2192 πολὺν 多くの G4183 πόνον 労苦を G4192 ὑπὲρ ～の-ために G5228 ὑμῶν, あなたがたの G4771 καὶ そして G2532 τῶν その G3588 ἐν ～に-いる G1722 Λαοδικείᾳ, ラオディケアに G2993 καὶ そして G2532 τῶν その G3588 ἐν ～に-いる G1722 Ἱερᾳ̣ ヒエラ G2413 πόλει. ポリスの G4172

わたしは、彼があなたがたのため、またラオデキヤとヒエラポリスの人々のために、ひじょうに心労していることを、証言する。

14 ἀσπάζεται 挨拶する G0782 ὑμᾶς あなたがたに G4771 Λουκᾶς, ルカが G3065 ὁ その G3588 ἰατρὸς 医者 G2395 ὁ その G3588 ἀγαπητὸς, 愛する G0027 καὶ そして G2532 Δημᾶς. デマスが G1214

愛する医者ルカとデマスとが、あなたがたによろしく。

15 Ἀσπάσασθε 挨拶しなさい G0782 τοὺς その G3588 ἐν ～に-いる G1722 Λαοδικείᾳ ラオディケアの G2993 ἀδελφοὺς, 兄弟たちに G0080 καὶ そして G2532 Νύμφαν, ニュンファに G3564 καὶ そして G2532 τὴν その G3588 κατ’ ～における G2596 οἶκον 家の G3624 αὐτῆς 彼女の G0846 ἐκκλησίαν. 教会に G1577

ラオデキヤの兄弟たちに、またヌンパとその家にある教会とに、よろしく。

16 καὶ そして G2532 ὅταν その-時 G3752 ἀναγνωσθῇ̣ 読まれたなら G0314 παρ’ ～において G3844 ὑμῖν あなたがたの-もとで G4771 ἡ この G3588 ἐπιστολή, 手紙が G1992 ποιήσατε 取り計らいなさい G4160 ἵνα ～するように G2443 καὶ また G2532 ἐν ～の-中で G1722 τῇ その G3588 Λαοδικέων ラオディケア人の G2994 ἐκκλησίᾳ, 教会でも G1577 ἀναγνωσθῇ̣, 読まれるように G0314 καὶ そして G2532 τὴν その G3588 ἐκ ～からの G1537 Λαοδικείας, ラオディケアからの G2993 ἵνα ～するように G2443 καὶ また G2532 ὑμεῖς あなたがたも G4771 ἀναγνῶτε. 読みなさい G0314

この手紙があなたがたの所で朗読されたら、ラオデキヤの教会でも朗読されるように、取り計らってほしい。またラオデキヤからまわって来る手紙を、あなたがたも朗読してほしい。

17 καὶ そして G2532 εἴπατε 言いなさい G3004 Ἀρχίππῳ, アルキポに G0751 Βλέπε 心せよ G0991 τὴν その G3588 διακονίαν 務めを G1248 ἣν それを G3739 παρέλαβες 受けた G3880 ἐν ～に-おいて G1722 Κυρίῳ, 主において G2962 ἵνα ～するように G2443 αὐτὴν それを G0846 πληροῖς. 全うするように G4137

アルキポに、「主にあって受けた務をよく果すように」と伝えてほしい。

18 Ὁ ἀσπασμὸς τῇ ἐμῇ χειρὶ -- Παύλου. μνημονεύετέ μου τῶν δεσμῶν.
この 挨拶は その 私の 手による パウロの 覚えていてください 私の この 鎖を
G3588 G0783 G3588 G1699 G5495 G3972 G3421 G1473 G3588 G1199

ἡ χάρις μεθ’ ὑμῶν. <Ἀμήν>.
その 恵みが ～と–共に あなたがたと アーメン
G3588 G5485 G3326 G4771 G0281

パウロ自身が、手ずからこのあいさつを書く。わたしが獄につながれていることを、覚えていてほしい。恵みが、あなたがたと共にあるように。

1 Thessalonians

Chapter 1

1 Παῦλος, καὶ Σιλουανὸς, καὶ Τιμόθεος, τῇ ἐκκλησίᾳ Θεσσαλονικέων, ἐν
パウロ と シルワノ と テモテから その 教会へ テサロニケの–人々の における
G3972 G2532 G4610 G2532 G5095 G3588 G1577 G2331 G1722

Θεῷ Πατρὶ καὶ Κυρίῳ Ἰησοῦ Χριστῷ: χάρις ὑμῖν καὶ εἰρήνη, <ἀπὸ
神 父 と 主 イエス キリストに 恵みが あなたがたに と 平和が から
G2316 G3962 G2532 G2962 G2424 G5547 G5485 G4771 G2532 G1515 G0575

θεοῦ πατρὸς ἡμῶν καὶ κυρίου Ἰησοῦ χριστοῦ>.
神 父 私たちの と 主 イエス キリストから
G2316 G3962 G1473 G2532 G2962 G2424 G5547

パウロとシルワノとテモテから、父なる神と主イエス・キリストとにあるテサロニケ人たちの教会へ。恵みと平安とが、あなたがたにあるように。

2 Εὐχαριστοῦμεν τῷ Θεῷ πάντοτε περὶ πάντων ὑμῶν, μνείαν ποιούμενοι
感謝します その 神に いつも について すべての あなたがたの 覚えて 祈りつつ
G2168 G3588 G2316 G3842 G4012 G3956 G4771 G3417 G4160

ἐπὶ τῶν προσευχῶν ἡμῶν,
において その 祈りの 私たちの
G1909 G3588 G4335 G1473

わたしたちは祈の時にあなたがたを覚え、あなたがた一同のことを、いつも神に感謝し、

3 ἀδιαλείπτως μνημονεύοντες ὑμῶν τοῦ ἔργου τῆς πίστεως, καὶ τοῦ
絶えず 思い起こしながら あなたがたの その 業を その 信仰の と その
G0089 G3421 G4771 G3588 G2041 G3588 G4102 G2532 G3588

κόπου τῆς ἀγάπης, καὶ τῆς ὑπομονῆς τῆς ἐλπίδος τοῦ Κυρίου ἡμῶν,
労苦を その 愛の と その 忍耐を その 希望の その 主 私たちの
G2873 G3588 G0026 G2532 G3588 G5281 G3588 G1680 G3588 G2962 G1473

Ἰησοῦ Χριστοῦ, ἔμπροσθεν τοῦ Θεοῦ καὶ Πατρὸς ἡμῶν;
イエス キリストの 御前で その 神 と 父の 私たちの
G2424 G5547 G1715 G3588 G2316 G2532 G3962 G1473

あなたがたの信仰の働きと、愛の労苦と、わたしたちの主イエス・キリストに対する望みの忍耐とを、わたしたちの父なる神のみまえに、絶えず思い起こしている。

4 εἰδότες, ἀδελφοὶ ἠγαπημένοι ὑπὸ τοῦ Θεοῦ, τὴν ἐκλογὴν ὑμῶν,
知っている 兄弟たちよ 愛された によって その 神に その 選びを あなたがたの
G1492 G0080 G0025 G5259 G3588 G2316 G3588 G1589 G4771

神に愛されている兄弟たちよ。わたしたちは、あなたがたが神に選ばれていることを知っている。

5

ὅτι	τὸ	εὐαγγέλιον	ἡμῶν	οὐκ	ἐγενήθη	εἰς	ὑμᾶς	ἐν	λόγῳ
なぜなら	その	福音は	私たちの	ない	なった	に	あなたがたに	における	言葉
G3754	G3588	G2098	G1473	G3756	G1096	G1519	G4771	G1722	G3056

μόνον,	ἀλλὰ	καὶ	ἐν	δυνάμει	καὶ	ἐν	Πνεύματι	Ἁγίῳ,	καὶ	[ἐν]
だけで	しかし	また	における	力	と	における	聖	霊	と	における
G3440	G0235	G2532	G1722	G1411	G2532	G1722	G4151	G0040	G2532	G1722

πληροφορίᾳ	πολλῇ,	καθὼς	οἴδατε	οἷοι	ἐγενήθημεν	ἐν
確信	大いなる	ちょうど	知っているように	どのような–者と	なったか	において
G4136	G4183	G2531	G1492	G3634	G1096	G1722

ὑμῖν	δι’	ὑμᾶς.
あなたがたの–中で	ために	あなたがたの
G4771	G1223	G4771

なぜなら、わたしたちの福音があなたがたに伝えられたとき、それは言葉だけによらず、力と聖霊と強い確信とによったからである。わたしたちが、あなたがたの間で、みんなのためにどんなことをしたか、あなたがたの知っているとおりである。

6

καὶ	ὑμεῖς,	μιμηταὶ	ἡμῶν	ἐγενήθητε,	καὶ	τοῦ	Κυρίου,	δεξάμενοι
そして	あなたがたは	倣う–者と	私たちの	なった	また	その	主の	受け入れて
G2532	G4771	G3402	G1473	G1096	G2532	G3588	G2962	G1209

τὸν	λόγον	ἐν	θλίψει	πολλῇ,	μετὰ	χαρᾶς	Πνεύματος	Ἁγίου,
その	言葉を	における	苦難	多くの	と共に	喜び	聖	霊の
G3588	G3056	G1722	G2347	G4183	G3326	G5479	G4151	G0040

そしてあなたがたは、多くの患難の中で、聖霊による喜びをもって御言を受けいれ、わたしたちと主とにならう者となり、

7

ὥστε	γενέσθαι	ὑμᾶς	τύπον	πᾶσιν	τοῖς	πιστεύουσιν	ἐν	τῇ
それで	なるほどに	あなたがたは	模範と	すべての	その	信じる–者たちに	における	その
G5620	G1096	G4771	G5179	G3956	G3588	G4100	G1722	G3588

Μακεδονίᾳ,	καὶ	ἐν	τῇ	Ἀχαΐᾳ.
マケドニア	と	における	その	アカヤに
G3109	G2532	G1722	G3588	G0882

こうして、マケドニヤとアカヤとにいる信者全体の模範になった。

8

ἀφ’	ὑμῶν	γὰρ	ἐξήχηται	ὁ	λόγος	τοῦ	Κυρίου,	οὐ	μόνον
から	あなたがたから	なぜなら	響き渡った	その	言葉が	その	主の	ない	だけで
G0575	G4771	G1063	G1837	G3588	G3056	G3588	G2962	G3756	G3440

ἐν	τῇ	Μακεδονίᾳ,	καὶ	[ἐν	τῇ]	Ἀχαΐᾳ,	ἀλλ’	ἐν	παντὶ
における	その	マケドニア	と	における	その	アカヤに	しかし	における	すべての
G1722	G3588	G3109	G2532	G1722	G3588	G0882	G0235	G1722	G3956

τόπῳ	ἡ	πίστις	ὑμῶν	ἡ	πρὸς	τὸν	Θεὸν	ἐξελήλυθεν,	ὥστε	μὴ
場所に	その	信仰が	あなたがたの	その	に–向かう	その	神に	広まった	それで	ない
G5117	G3588	G4102	G4771	G3588	G4314	G3588	G2316	G1831	G5620	G3361

χρείαν	ἔχειν	ἡμᾶς	λαλεῖν	τι.
必要を	持つことが	私たちが	語ることを	何も
G5532	G2192	G1473	G2980	G5100

すなわち、主の言葉はあなたがたから出て、ただマケドニヤとアカヤとに響きわたっているばかりではなく、至るところで、神に対するあなたがたの信仰のことが言いひろめられたので、これについては何も述べる必要はないほどである。

9	αὐτοὶ	γὰρ	περὶ	ἡμῶν	ἀπαγγέλλουσιν	ὁποίαν	εἴσοδον	ἔσχομεν
	彼ら-自身が	なぜなら	について	私たちの	報告している	どのような	入場を	得たか
	G0846	G1063	G4012	G1473	G0518	G3697	G1529	G2192

πρὸς	ὑμᾶς,	καὶ	πῶς	ἐπεστρέψατε	πρὸς	τὸν	Θεὸν	ἀπὸ
に-向かって	あなたがたに	そして	どのように	立ち返ったか	に-向かって	その	神に	から
G4314	G4771	G2532	G4459	G1994	G4314	G3588	G2316	G0575

τῶν	εἰδώλων,	δουλεύειν	Θεῷ	ζῶντι,	καὶ	ἀληθινῷ,
その	偶像から	仕えるために	神に	生きておられる	そして	まことの
G3588	G1497	G1398	G2316	G2198	G2532	G0228

わたしたちが、どんなにしてあなたがたの所にはいって行ったか、また、あなたがたが、どんなにして偶像を捨てて神に立ち帰り、生けるまことの神に仕えるようになり、

10	καὶ	ἀναμένειν	τὸν	Υἱὸν	αὐτοῦ	ἐκ	τῶν	οὐρανῶν,	ὃν
	そして	待ち望むために	その	御子を	その方の	から	その	天から	その方を
	G2532	G0362	G3588	G5207	G0846	G1537	G3588	G3772	G3739

ἤγειρεν	ἐκ	τῶν	νεκρῶν,	Ἰησοῦν,	τὸν	ῥυόμενον	ἡμᾶς
よみがえらせた	から	その	死者の-中から	イエスを	その	救い出してくださる-方	私たちを
G1453	G1537	G3588	G3498	G2424	G3588	G4506	G1473

ἐκ	τῆς	ὀργῆς	τῆς	ἐρχομένης.
から	その	怒りから	その	来たるべき
G1537	G3588	G3709	G3588	G2064

そして、死人の中からよみがえった神の御子、すなわち、わたしたちをきたるべき怒りから救い出して下さるイエスが、天から下ってこられるのを待つようになったかを、彼ら自身が言いひろめているのである。

Chapter 2

1	Αὐτοὶ	γὰρ	οἴδατε,	ἀδελφοί,	τὴν	εἴσοδον	ἡμῶν	τὴν	πρὸς
	あなたがた自身が	なぜなら	知っている	兄弟たちよ	その	訪問を	私たちの	その	に-向かう
	G0846	G1063	G1492	G0080	G3588	G1529	G1473	G3588	G4314

ὑμᾶς,	ὅτι	οὐ	κενὴ	γέγονεν;
あなたがたへの	それが	ない	空しい-ものでは	なかったことを
G4771	G3754	G3756	G2756	G1096

兄弟たちよ。あなたがた自身が知っているとおり、わたしたちがあなたがたの所にはいって行ったことは、むだではなかった。

2	ἀλλὰ	προπαθόντες	καὶ	ὑβρισθέντες,	καθὼς	οἴδατε,	ἐν		
	しかし	苦しみを-受け	また	辱めを-受けた-後	ちょうど	知っている-ように	において		
	G0235	G4310	G2532	G5195	G2531	G1492	G1722		
	Φιλίπποις,	ἐπαρρησιασάμεθα	ἐν	τῷ	Θεῷ	ἡμῶν,	λαλῆσαι	πρὸς	
	ピリピで	大胆に-語った	において	その	神に	私たちの	語ることを	に-向かって	
	G5375	G3955	G1722	G3588	G2316	G1473	G2980	G4314	

ὑμᾶς	τὸ	εὐαγγέλιον	τοῦ	Θεοῦ,	ἐν	πολλῷ	ἀγῶνι.	
あなたがたに	その	福音を	その	神の	における	多くの	苦闘の-中で	
G4771	G3588	G2098	G3588	G2316	G1722	G4183	G0073	

それどころか、あなたがたが知っているように、わたしたちは、先にピリピで苦しめられ、はずかしめられたにもかかわらず、わたしたちの神に勇気を与えられて、激しい苦闘のうちに神の福音をあなたがたに語ったのである。

3

ἡ	γὰρ	παράκλησις	ἡμῶν	οὐκ	ἐκ	πλάνης,	οὐδὲ	ἐξ
その	なぜなら	勧めは	私たちの	ない	からの	迷い	でもない	からの
G3588	G1063	G3874	G1473	G3756	G1537	G4106	G3761	G1537

ἀκαθαρσίας,	οὐδὲ	ἐν	δόλῳ;
汚れ	でもない	における	偽りでは
G0167	G3761	G1722	G1388

いったい、わたしたちの宣教は、迷いや汚れた心から出たものでもなく、だましごとでもない。

4

ἀλλὰ	καθὼς	δεδοκιμάσμεθα	ὑπὸ	τοῦ	Θεοῦ,	πιστευθῆναι	τὸ	εὐαγγέλιον,
しかし	ちょうど	認められた–ように	によって	その	神に	委ねられた	その	福音を
G0235	G2531	G1381	G5259	G3588	G2316	G4100	G3588	G2098

οὕτως	λαλοῦμεν;	οὐχ	ὡς	ἀνθρώποις	ἀρέσκοντες,	ἀλλὰ	Θεῷ,	τῷ
そのように	語っている	ない	として	人々を	喜ばせる–のではなく	しかし	神を	その
G3779	G2980	G3756	G5613	G0444	G0700	G0235	G2316	G3588

δοκιμάζοντι	τὰς	καρδίας	ἡμῶν.
試される–方	その	心を	私たちの
G1381	G3588	G2588	G1473

かえって、わたしたちは神の信任を受けて福音を託されたので、人間に喜ばれるためではなく、わたしたちの心を見分ける神に喜ばれるように、福音を語るのである。

5

οὔτε	γάρ	ποτε	ἐν	λόγῳ	κολακείας	ἐγενήθημεν,	καθὼς	οἴδατε,
ない	なぜなら	かつて	における	言葉で	へつらいの	なかった	ちょうど	知っている–通り
G3777	G1063	G4218	G1722	G3056	G2850	G1096	G2531	G1492

οὔτε	ἐν	προφάσει	πλεονεξίας --	Θεὸς	μάρτυς;
でもない	における	口実で	貪欲の	神が	証人です
G3777	G1722	G4392	G4124	G2316	G3144

わたしたちは、あなたがたが知っているように、決してへつらいの言葉を用いたこともなく、口実を設けて、むさぼったこともない。それは、神があかしして下さる。

6

οὔτε	ζητοῦντες	ἐξ	ἀνθρώπων	δόξαν,	οὔτε	ἀφ’	ὑμῶν,	οὔτε
でもない	求めて	から	人々からの	栄光を	でもない	から	あなたがたから	でもない
G3777	G2212	G1537	G0444	G1391	G3777	G0575	G4771	G3777

ἀπ’	ἄλλων,	δυνάμενοι	ἐν	βάρει	εἶναι,	ὡς	Χριστοῦ	ἀπόστολοι.
から	他の–人々から	できたのに	において	重荷を	あること	として	キリストの	使徒として
G0575	G0243	G1410	G1722	G0922	G1510	G5613	G5547	G0652

また、わたしたちは、キリストの使徒として重んじられることができたのであるが、あなたがたからにもせよ、ほかの人々からにもせよ、人間からの栄誉を求めることはしなかった。

7

ἀλλὰ	ἐγενήθημεν	ἤπιοι	ἐν	μέσῳ	ὑμῶν,	ὡς	ἐὰν	τροφὸς
しかし	なった	優しい–者と	において	真ん中で	あなたがたの	ちょうど	もし	母親が
G0235	G1096	G3516	G1722	G3319	G4771	G5613	G1437	G5162

θάλπῃ	τὰ	ἑαυτῆς	τέκνα.
いたわる–ように	その	自分の	子どもたちを
G2282	G3588	G1438	G5043

むしろ、あなたがたの間で、ちょうど母がその子供を育てるように、やさしくふるまった。

8

οὕτως	ὁμειρόμενοι	ὑμῶν,	εὐδοκοῦμεν	μεταδοῦναι	ὑμῖν,	οὐ
そのように	慕い–求めて	あなたがたを	喜んで–いた	分かち–与えることを	あなたがたに	ない
G3779	G2442	G4771	G2106	G3330	G4771	G3756

μόνον	τὸ	εὐαγγέλιον	τοῦ	Θεοῦ,	ἀλλὰ	καὶ	τὰς	ἑαυτῶν	ψυχάς,	διότι
だけで	その	福音を	その	神の	しかし	また	その	自分自身の	魂をも	なぜなら
G3440	G3588	G2098	G3588	G2316	G0235	G2532	G3588	G1438	G5590	G1360

ἀγαπητοὶ	ἡμῖν	ἐγενήθητε.
愛する–者と	私たちにとって	なったからです
G0027	G1473	G1096

このように、あなたがたを慕わしく思っていたので、ただ神の福音ばかりではなく、自分のいのちまでもあなたがたに与えたいと願ったほどに、あなたがたを愛したのである。

9

μνημονεύετε	γάρ,	ἀδελφοί,	τὸν	κόπον	ἡμῶν	καὶ	τὸν	μόχθον:	νυκτὸς
覚えている	なぜなら	兄弟たちよ	その	労苦と	私たちの	また	その	苦労を	夜も
G3421	G1063	G0080	G3588	G2873	G1473	G2532	G3588	G3449	G3571

καὶ	ἡμέρας	ἐργαζόμενοι,	πρὸς	τὸ	μὴ	ἐπιβαρῆσαί	τινα	ὑμῶν,
また	昼も	働きながら	ために	その	ない	負担を–かけない	誰にも	あなたがたの
G2532	G2250	G2038	G4314	G3588	G3361	G1912	G5100	G4771

ἐκηρύξαμεν	εἰς	ὑμᾶς	τὸ	εὐαγγέλιον	τοῦ	Θεοῦ.
宣べ伝えた	に	あなたがたに	その	福音を	その	神の
G2784	G1519	G4771	G3588	G2098	G3588	G2316

兄弟たちよ。あなたがたはわたしたちの労苦と努力とを記憶していることであろう。すなわち、あなたがたのだれにも負担をかけまいと思って、日夜はたらきながら、あなたがたに神の福音を宣べ伝えた。

10

ὑμεῖς	μάρτυρες,	καὶ	ὁ	Θεός,	ὡς	ὁσίως,	καὶ	δικαίως,	καὶ
あなたがたは	証人であり	また	その	神も	いかに	聖く	また	正しく	また
G4771	G3144	G2532	G3588	G2316	G5613	G3743	G2532	G1346	G2532

ἀμέμπτως,	ὑμῖν,	τοῖς	πιστεύουσιν,	ἐγενήθημεν;
責められる–ところなく	あなたがたに	その	信じる–者たちに	振る舞ったか
G0274	G4771	G3588	G4100	G1096

あなたがたもあかしし、神もあかしして下さるように、わたしたちはあなたがた信者の前で、信心深く、正しく、責められるところがないように、生活をしたのである。

11

καθάπερ	οἴδατε	ὡς	ἕνα	ἕκαστον	ὑμῶν,	ὡς	πατὴρ
ちょうど	知っている–ように	として	一人	一人の	あなたがたの	ちょうど	父が
G2509	G1492	G5613	G1520	G1538	G4771	G5613	G3962

τέκνα	ἑαυτοῦ,
子どもたちに	自分の
G5043	G1438

そして、あなたがたも知っているとおり、父がその子に対してするように、あなたがたのひとりびとりに対して、

12 παρακαλοῦντες ὑμᾶς, καὶ παραμυθούμενοι, καὶ μαρτυρόμενοι, εἰς τὸ
勧め あなたがたを また 励まし また 証しして ために その
G3870 G4771 G2532 G3888 G2532 G3143 G1519 G3588

περιπατεῖν ὑμᾶς ἀξίως τοῦ Θεοῦ, τοῦ καλοῦντος ὑμᾶς εἰς
歩むことを あなたがたが ふさわしく その 神に その 招いてくださる-方 あなたがたを に
G4043 G4771 G0516 G3588 G2316 G3588 G2564 G4771 G1519

τὴν ἑαυτοῦ βασιλείαν καὶ δόξαν.
その ご自身の 御国と また 栄光に
G3588 G1438 G0932 G2532 G1391

御国とその栄光とに召して下さった神のみこころにかなって歩くようにと、勧め、励まし、また、さとしたのである。

13 Καὶ διὰ τοῦτο καὶ, ἡμεῖς εὐχαριστοῦμεν τῷ Θεῷ ἀδιαλείπτως, ὅτι,
そして ゆえに この また 私たちは 感謝する その 神に 絶えず なぜなら
G2532 G1223 G3778 G2532 G1473 G2168 G3588 G2316 G0089 G3754

παραλαβόντες λόγον ἀκοῆς παρ’ ἡμῶν τοῦ Θεοῦ, ἐδέξασθε οὐ λόγον
受け取って 言葉を 聞いた から 私たちからの その 神の 受け入れた ない 言葉として
G3880 G3056 G0189 G3844 G1473 G3588 G2316 G1209 G3756 G3056

ἀνθρώπων, ἀλλὰ καθὼς ἀληθῶς ἐστὶν, λόγον Θεοῦ, ὃς καὶ ἐνεργεῖται
人間の しかし ちょうど まことに ある 言葉として 神の それが また 働いている
G0444 G0235 G2531 G0230 G1510 G3056 G2316 G3739 G2532 G1754

ἐν ὑμῖν τοῖς πιστεύουσιν.
において あなたがた その 信じる-者たちの-中に
G1722 G4771 G3588 G4100

これらのことを考えて、わたしたちがまた絶えず神に感謝しているのは、あなたがたがわたしたちの説いた神の言を聞いた時に、それを人間の言葉としてではなく、神の言として――事実そのとおりであるが――受けいれてくれたことである。そして、この神の言は、信じるあなたがたのうちに働いているのである。

14 ὑμεῖς γὰρ, μιμηταὶ ἐγενήθητε, ἀδελφοί, τῶν ἐκκλησιῶν τοῦ Θεοῦ,
あなたがたは なぜなら 倣う-者と なった 兄弟たちよ その 教会に その 神の
G4771 G1063 G3402 G1096 G0080 G3588 G1577 G3588 G2316

τῶν οὐσῶν ἐν τῇ Ἰουδαίᾳ, ἐν Χριστῷ Ἰησοῦ. ὅτι τὰ
その ある において その ユダヤに において キリスト イエスの なぜなら その
G3588 G1510 G1722 G3588 G2449 G1722 G5547 G2424 G3754 G3588

αὐτὰ ἐπάθετε, καὶ ὑμεῖς ὑπὸ τῶν ἰδίων συμφυλετῶν, καθὼς καὶ
同じ-ことを 苦しんだ また あなたがたも から その 自分の 同胞から ちょうど また
G0846 G3958 G2532 G4771 G5259 G3588 G2398 G4853 G2531 G2532

αὐτοὶ ὑπὸ τῶν Ἰουδαίων,
彼らも から その ユダヤ人から
G0846 G5259 G3588 G2453

兄弟たちよ。あなたがたは、ユダヤの、キリスト・イエスにある神の諸教会にならう者となった。すなわち、彼らがユダヤ人たちから苦しめられたと同じように、あなたがたもまた同国人から苦しめられた。

15 τῶν καὶ τὸν Κύριον ἀποκτεινάντων, Ἰησοῦν, καὶ τοὺς προφήτας; καὶ
その また その 主を 殺した–者たち イエスを また その 預言者たちを そして
G3588 G2532 G3588 G2962 G0615 G2424 G2532 G3588 G4396 G2532

ἡμᾶς ἐκδιωξάντων; καὶ Θεῷ μὴ ἀρεσκόντων; καὶ πᾶσιν ἀνθρώποις
私たちを 迫害した–者たち そして 神に ない 喜ばれない–者たち そして すべての 人々に
G1473 G1559 G2532 G2316 G3361 G0700 G2532 G3956 G0444

ἐναντίων,
敵対する–者たち
G1727

ユダヤ人たちは主イエスと預言者たちとを殺し、わたしたちを迫害し、神を喜ばせず、すべての人に逆らい、

16 κωλυόντων ἡμᾶς τοῖς ἔθνεσιν λαλῆσαι, ἵνα σωθῶσιν, εἰς τὸ
妨げている 私たちが その 異邦人に 語ることを ために 救われるように ために その
G2967 G1473 G3588 G1484 G2980 G2443 G4982 G1519 G3588

ἀναπληρῶσαι αὐτῶν τὰς ἁμαρτίας πάντοτε. ἔφθασεν δὲ ἐπ’ αὐτοὺς ἡ
満たす 彼らの その 罪を いつも 臨んだ しかし に 彼らに その
G0378 G0846 G3588 G0266 G3842 G5348 G1161 G1909 G0846 G3588

ὀργὴ εἰς τέλος.
怒りが ついに 極みまで
G3709 G1519 G5056

わたしたちが異邦人に救の言を語るのを妨げて、絶えず自分の罪を満たしている。そこで、神の怒りは最も激しく彼らに臨むに至ったのである。

17 Ἡμεῖς δέ, ἀδελφοί, ἀπορφανισθέντες ἀφ’ ὑμῶν, πρὸς καιρὸν
私たちは しかし 兄弟たちよ 引き離されて から あなたがたから の–間 しばらくの
G1473 G1161 G0080 G0642 G0575 G4771 G4314 G2540

ὥρας, προσώπῳ, οὐ καρδίᾳ, περισσοτέρως ἐσπουδάσαμεν, τὸ πρόσωπον
時の 顔では ない 心では ますます 努めた その 顔を
G5610 G4383 G3756 G2588 G4057 G4704 G3588 G4383

ὑμῶν ἰδεῖν ἐν πολλῇ ἐπιθυμίᾳ.
あなたがたの 見ることを における 大きな 願いをもって
G4771 G3708 G1722 G4183 G1939

兄弟たちよ。わたしたちは、しばらくの間、あなたがたから引き離されていたので――心においてではなく、からだだけではあるが――なおさら、あなたがたの顔を見たいと切にこいねがった。

18 διότι ἠθελήσαμεν ἐλθεῖν πρὸς ὑμᾶς, ἐγὼ μὲν Παῦλος; καὶ
それゆえ 望んだ 来ることを に–向かって あなたがたに 私 実に パウロは しかも
G1360 G2309 G2064 G4314 G4771 G1473 G3303 G3972 G2532

ἅπαξ καὶ δίς, καὶ ἐνέκοψεν ἡμᾶς ὁ Σατανᾶς.
一度 また 二度も しかし 妨げた 私たちを その サタンが
G0530 G2532 G1364 G2532 G1465 G1473 G3588 G4567

だから、わたしたちは、あなたがたの所に行こうとした。ことに、このパウロは、一再ならず行こうとしたのである。それだのに、わたしたちはサタンに妨げられた。

19 τίς γὰρ ἡμῶν ἐλπὶς, ἢ χαρὰ, ἢ στέφανος καυχήσεως?
誰が なぜなら 私たちの 希望であり また 喜びであり また 冠であるか 誇りの
G5101 G1063 G1473 G1680 G2228 G5479 G2228 G4735 G2746

ἢ οὐχὶ καὶ ὑμεῖς, ἔμπροσθεν τοῦ Κυρίου ἡμῶν, Ἰησοῦ, ἐν
それとも ないか まさに あなたがたが 御前で その 主 私たちの イエスの における
G2228 G3780 G2532 G4771 G1715 G3588 G2962 G1473 G2424 G1722

τῇ αὐτοῦ παρουσίᾳ?
その その方の 来臨の–時に
G3588 G0846 G3952

実際、わたしたちの主イエスの来臨にあたって、わたしたちの望みと喜びと誇の冠となるべき者は、あなたがたを外にして、だれがあるだろうか。

20 ὑμεῖς γάρ ἐστε ἡ δόξα ἡμῶν, καὶ ἡ χαρά.
あなたがたこそ なぜなら である その 栄光 私たちの また その 喜びです
G4771 G1063 G1510 G3588 G1391 G1473 G2532 G3588 G5479

あなたがたこそ、実にわたしたちのほまれであり、喜びである。

Chapter 3

1 Διὸ μηκέτι στέγοντες, εὐδοκήσαμεν καταλειφθῆναι ἐν Ἀθήναις μόνοι,
それゆえ もはや 耐えきれず 良しとした 残されることを において アテネに ただ–一人で
G1352 G3371 G4722 G2106 G2641 G1722 G0116 G3441

そこで、わたしたちはこれ以上耐えられなくなって、わたしたちだけがアテネに留まることに定め、

2 καὶ ἐπέμψαμεν Τιμόθεον τὸν, ἀδελφὸν ἡμῶν, καὶ συνεργὸν τοῦ Θεοῦ
そして 遣わした テモテを その 兄弟であり 私たちの また 同労者である その 神の
G2532 G3992 G5095 G3588 G0080 G1473 G2532 G4904 G3588 G2316

ἐν τῷ εὐαγγελίῳ τοῦ Χριστοῦ, εἰς τὸ στηρίξαι ὑμᾶς, καὶ
における その 福音に その キリストの ために その 強めることと あなたがたを また
G1722 G3588 G2098 G3588 G5547 G1519 G3588 G4741 G4771 G2532

παρακαλέσαι, ὑπὲρ τῆς πίστεως ὑμῶν,
励ますことを について その 信仰の あなたがたの
G3870 G5228 G3588 G4102 G4771

わたしたちの兄弟で、キリストの福音における神の同労者テモテをつかわした。それは、あなたがたの信仰を強め、

3 τὸ μηδένα σαίνεσθαι ἐν ταῖς θλίψεσιν ταύταις. αὐτοὶ
その 誰も 動揺されないように における その 苦難に これらの あなたがた自身
G3588 G3367 G4525 G1722 G3588 G2347 G3778 G0846

γὰρ οἴδατε ὅτι εἰς τοῦτο κείμεθα.
なぜなら 知っている それが に このために 定められていることを
G1063 G1492 G3754 G1519 G3778 G2749

このような患難の中にあって、動揺する者がひとりもないように励ますためであった。あなたがたの知っているとおり、わたしたちは患難に会うように定められているのである。

4 καὶ γὰρ, ὅτε πρὸς ὑμᾶς ἦμεν, προελέγομεν ὑμῖν
また なぜなら ときに に あなたがたの–もとに いた 予め–言っていた あなたがたに
G2532 G1063 G3753 G4314 G4771 G1510 G4302 G4771

ὅτι μέλλομεν θλίβεσθαι, καθὼς καὶ ἐγένετο, καὶ οἴδατε.
それが まさに 苦しめられると ちょうど また その–通りになった そして 知っている
G3754 G3195 G2346 G2531 G2532 G1096 G2532 G1492

そして、あなたがたの所にいたとき、わたしたちがやがて患難に会うことをあらかじめ言っておいたが、あなたがたの知っているように、今そのとおりになったのである。

5

διὰ	τοῦτο	κἀγὼ,	μηκέτι	στέγων,	ἔπεμψα	εἰς	τὸ	γνῶναι	τὴν
それゆえ	この	私もまた	もはや	耐えきれず	遣わした	ために	その	知るために	その
G1223	G3778	G2504	G3371	G4722	G3992	G1519	G3588	G1097	G3588

πίστιν	ὑμῶν;	μή	πως	ἐπείρασεν	ὑμᾶς	ὁ	πειράζων,
信仰を	あなたがたの	ないように	もしかして	誘惑したのでは	あなたがたを	その	誘惑する–者が
G4102	G4771	G3361	G4459	G3985	G4771	G3588	G3985

καὶ	εἰς	κενὸν	γένηται	ὁ	κόπος	ἡμῶν.
そして	に	空しく	なったのでは	その	労苦が	私たちの
G2532	G1519	G2756	G1096	G3588	G2873	G1473

そこで、わたしはこれ以上耐えられなくなって、もしや「試みる者」があなたがたを試み、そのためにわたしたちの労苦がむだになりはしないかと気づかって、あなたがたの信仰を知るために、彼をつかわしたのである。

6

Ἄρτι	δὲ,	ἐλθόντος	Τιμοθέου	πρὸς	ἡμᾶς	ἀφ’	ὑμῶν,	καὶ
今	しかし	来た	テモテが	に–向かって	私たちに	から	あなたがたから	そして
G0737	G1161	G2064	G5095	G4314	G1473	G0575	G4771	G2532

εὐαγγελισαμένου	ἡμῖν	τὴν	πίστιν	καὶ	τὴν	ἀγάπην	ὑμῶν,	καὶ	ὅτι
知らせてくれた	私たちに	その	信仰と	また	その	愛を	あなたがたの	そして	それが
G2097	G1473	G3588	G4102	G2532	G3588	G0026	G4771	G2532	G3754

ἔχετε	μνείαν	ἡμῶν	ἀγαθὴν	πάντοτε,	ἐπιποθοῦντες	ἡμᾶς	ἰδεῖν,
持っていると	記憶を	私たちの	良い	いつも	慕って	私たちに	会うことを
G2192	G3417	G1473	G0018	G3842	G1971	G1473	G3708

καθάπερ	καὶ	ἡμεῖς	ὑμᾶς.
ちょうど	また	私たちも	あなたがたに
G2509	G2532	G1473	G4771

ところが今テモテが、あなたがたの所からわたしたちのもとに帰ってきて、あなたがたの信仰と愛とについて知らせ、また、あなたがたがいつもわたしたちのことを覚え、わたしたちがあなたがたに会いたく思っていると同じように、わたしたちにしきりに会いたがっているという吉報をもたらした。

7

διὰ	τοῦτο	παρεκλήθημεν,	ἀδελφοί,	ἐφ’	ὑμῖν,	ἐπὶ	πάσῃ
それゆえ	この	慰められた	兄弟たちよ	について	あなたがたによって	における	すべての
G1223	G3778	G3870	G0080	G1909	G4771	G1909	G3956

τῇ	ἀνάγκῃ	καὶ	θλίψει	ἡμῶν,	διὰ	τῆς	ὑμῶν	πίστεως.
その	窮乏と	また	苦難の–中で	私たちの	通じて	その	あなたがたの	信仰によって
G3588	G0318	G2532	G2347	G1473	G1223	G3588	G4771	G4102

兄弟たちよ。それによって、わたしたちはあらゆる苦難と患難との中にありながら、あなたがたの信仰によって慰められた。

8

ὅτι	νῦν	ζῶμεν,	ἐὰν	ὑμεῖς	στήκετε	ἐν	Κυρίῳ.
なぜなら	今	生きている	もし	あなたがたが	立っているなら	において	主に
G3754	G3568	G2198	G1437	G4771	G4739	G1722	G2962

なぜなら、あなたがたが主にあって堅く立ってくれるなら、わたしたちはいま生きることになるからである。

9 τίνα γὰρ εὐχαριστίαν δυνάμεθα τῷ Θεῷ ἀνταποδοῦναι περὶ
どのような なぜなら 感謝を できるだろうか その 神に 報いることが について
G5101 G1063 G2169 G1410 G3588 G2316 G0467 G4012

ὑμῶν, ἐπὶ πάσῃ τῇ χαρᾷ ᾗ χαίρομεν δι’
あなたがたの における すべての その 喜びをもって それを 喜んでいる ゆえに
G4771 G1909 G3956 G3588 G5479 G3739 G5463 G1223

ὑμᾶς, ἔμπροσθεν τοῦ Θεοῦ ἡμῶν.
あなたがたのことで 御前で その 神の 私たちの
G4771 G1715 G3588 G2316 G1473

ほんとうに、わたしたちの神のみまえで、あなたがたのことで喜ぶ大きな喜びのために、どんな感謝を神にささげたらよいだろうか。

10 νυκτὸς καὶ ἡμέρας, ὑπερεκπερισσοῦ δεόμενοι εἰς τὸ ἰδεῖν ὑμῶν
夜も また 昼も ひたすら 祈っている ために その 見ることを あなたがたの
G3571 G2532 G2250 G5228 G1189 G1519 G3588 G3708 G4771

τὸ πρόσωπον, καὶ καταρτίσαι τὰ ὑστερήματα τῆς πίστεως ὑμῶν?
その 顔を そして 補うことを その 不足を その 信仰の あなたがたの
G3588 G4383 G2532 G2675 G3588 G5303 G3588 G4102 G4771

わたしたちは、あなたがたの顔を見、あなたがたの信仰の足りないところを補いたいと、日夜しきりに願っているのである。

11 Αὐτὸς δὲ ὁ Θεὸς καὶ Πατὴρ ἡμῶν, καὶ ὁ Κύριος ἡμῶν,
その方−自ら しかし その 神 また 父 私たちの また その 主 私たちの
G0846 G1161 G3588 G2316 G2532 G3962 G1473 G2532 G3588 G2962 G1473

Ἰησοῦς, κατευθύναι τὴν ὁδὸν ἡμῶν πρὸς ὑμᾶς.
イエスが 導いてくださるように その 道を 私たちの に−向かって あなたがたに
G2424 G2720 G3588 G3598 G1473 G4314 G4771

どうか、わたしたちの父なる神ご自身と、わたしたちの主イエスとが、あなたがたのところへ行く道を、わたしたちに開いて下さるように。

12 ὑμᾶς δὲ, ὁ Κύριος πλεονάσαι, καὶ περισσεύσαι, τῇ
あなたがたを しかし その 主が 増し加え また 溢れさせてくださるように その
G4771 G1161 G3588 G2962 G4121 G2532 G4052 G3588

ἀγάπῃ εἰς ἀλλήλους, καὶ εἰς πάντας, καθάπερ καὶ ἡμεῖς
愛において に−向かって 互いに また に−向かって すべての−人へ ちょうど また 私たちも
G0026 G1519 G0240 G2532 G1519 G3956 G2509 G2532 G1473

εἰς ὑμᾶς,
に−向かって あなたがたに
G1519 G4771

どうか、主が、あなたがた相互の愛とすべての人に対する愛とを、わたしたちがあなたがたを愛する愛と同じように、増し加えて豊かにして下さるように。

13 εἰς, ために G1519 τὸ その G3588 στηρίξαι 強めることを G4741 ὑμῶν あなたがたの G4771 τὰς その G3588 καρδίας, 心を G2588 ἀμέμπτους 責められる-ところなく G0273 ἐν において G1722

ἁγιωσύνῃ 聖さに G0042 ἔμπροσθεν 御前で G1715 τοῦ その G3588 Θεοῦ 神 G2316 καὶ また G2532 πατρὸς 父の G3962 ἡμῶν, 私たちの G1473 ἐν における G1722 τῇ その G3588 παρουσίᾳ 来臨の-時に G3952

τοῦ その G3588 Κυρίου 主 G2962 ἡμῶν, 私たちの G1473 Ἰησοῦ, イエスの G2424 μετὰ と共に G3326 πάντων すべての G3956 τῶν その G3588 ἁγίων 聖なる-者たちと G0040 αὐτοῦ. その方の G0846 [ἀμήν]. アーメン G0281

そして、どうか、わたしたちの主イエスが、そのすべての聖なる者と共にこられる時、神のみまえに、あなたがたの心を強め、清く、責められるところのない者にして下さるように。

Chapter 4

1 Λοιπὸν 最後に G3063 οὖν, それで G3767 ἀδελφοί, 兄弟たちよ G0080 ἐρωτῶμεν 願います G2065 ὑμᾶς あなたがたに G4771 καὶ また G2532 παρακαλοῦμεν 勧めます G3870 ἐν において G1722 Κυρίῳ 主 G2962

Ἰησοῦ, イエスに G2424 ἵνα, それは G2443 καθὼς ちょうど G2531 παρελάβετε 受け取った-ように G3880 παρ' から G3844 ἡμῶν, 私たちから G1473 τὸ その G3588 πῶς どのように G4459 δεῖ 必要があるか G1163

ὑμᾶς あなたがたが G4771 περιπατεῖν 歩むこと G4043 καὶ また G2532 ἀρέσκειν 喜ばせること G0700 Θεῷ, 神を G2316 καθὼς ちょうど G2531 καὶ また G2532 περιπατεῖτε, 歩んでいる-ように G4043 ἵνα それを G2443

περισσεύητε ますます-豊かにするよう G4052 μᾶλλον. さらに G3123

最後に、兄弟たちよ。わたしたちは主イエスにあってあなたがたに願いかつ勧める。あなたがたが、どのように歩いて神を喜ばすべきかをわたしたちから学んだように、また、いま歩いているとおりに、ますます歩き続けなさい。

2 οἴδατε 知っている G1492 γὰρ なぜなら G1063 τίνας どのような G5101 παραγγελίας 命令を G3852 ἐδώκαμεν 与えたか G1325 ὑμῖν, あなたがたに G4771 διὰ を-通じて G1223 τοῦ その G3588

Κυρίου 主 G2962 Ἰησοῦ. イエスを G2424

わたしたちがどういう教を主イエスによって与えたか、あなたがたはよく知っている。

3 Τοῦτο これが G3778 γάρ なぜなら G1063 ἐστιν である G1510 θέλημα 御心 G2307 τοῦ その G3588 Θεοῦ, 神の G2316 ὁ その G3588 ἁγιασμὸς 聖化である G0038 ὑμῶν: あなたがたの G4771 ἀπέχεσθαι 避けること G0568

ὑμᾶς あなたがたが G4771 ἀπὸ から G0575 τῆς その G3588 πορνείας; 淫行を G4202

神のみこころは、あなたがたが清くなることである。すなわち、不品行を慎み、

4 εἰδέναι ἕκαστον ὑμῶν τὸ ἑαυτοῦ σκεῦος, κτᾶσθαι ἐν ἁγιασμῷ
知ること 各自が あなたがたの その 自分の 器を 得ること における 聖化と
G1492 G1538 G4771 G3588 G1438 G4632 G2932 G1722 G0038

καὶ τιμῇ,
また 尊さに
G2532 G5092

各自、気をつけて自分のからだを清く尊く保ち、

5 μὴ ἐν πάθει ἐπιθυμίας, καθάπερ καὶ τὰ ἔθνη, τὰ μὴ
ない における 情欲の 欲望では ちょうど また その 異邦人の–ように その ない
G3361 G1722 G3806 G1939 G2509 G2532 G3588 G1484 G3588 G3361

εἰδότα τὸν Θεόν;
知らない–者たちのように その 神を
G1492 G3588 G2316

神を知らない異邦人のように情欲をほしいままにせず、

6 τὸ μὴ ὑπερβαίνειν καὶ πλεονεκτεῖν ἐν τῷ πράγματι, τὸν ἀδελφὸν
その ない 越えること また 貪ること において その 事において その 兄弟を
G3588 G3361 G5233 G2532 G4122 G1722 G3588 G4229 G3588 G0080

αὐτοῦ; διότι ἔκδικος Κύριος περὶ πάντων τούτων, καθὼς
その人の なぜなら 報復する–方である 主は について すべての これらのことの ちょうど
G0846 G1360 G1558 G2962 G4012 G3956 G3778 G2531

καὶ προείπαμεν ὑμῖν, καὶ διεμαρτυράμεθα.
また 予め–言った あなたがたに また 警告した–とおり
G2532 G4302 G4771 G2532 G1263

また、このようなことで兄弟を踏みつけたり、だましたりしてはならない。前にもあなたがたにきびしく警告しておいたように、主はこれらすべてのことについて、報いをなさるからである。

7 οὐ γὰρ ἐκάλεσεν ἡμᾶς ὁ Θεὸς, ἐπὶ ἀκαθαρσίᾳ, ἀλλ’ ἐν
ない なぜなら 招いた 私たちを その 神は に–向かって 汚れではなく しかし において
G3756 G1063 G2564 G1473 G3588 G2316 G1909 G0167 G0235 G1722

ἁγιασμῷ.
聖化に
G0038

神がわたしたちを召されたのは、汚れたことをするためではなく、清くなるためである。

8 τοιγαροῦν ὁ ἀθετῶν, οὐκ ἄνθρωπον ἀθετεῖ, ἀλλὰ τὸν Θεὸν, τὸν
それゆえ その 拒む–者は ない 人を 拒むのではなく しかし その 神を その
G5105 G3588 G0114 G3756 G0444 G0114 G0235 G3588 G2316 G3588

καὶ διδόντα τὸ Πνεῦμα αὐτοῦ τὸ ἅγιον, εἰς ὑμᾶς.
また 与えてくださる–方 その 御霊を その方の その 聖なる に あなたがたに
G2532 G1325 G3588 G4151 G0846 G3588 G0040 G1519 G4771

こういうわけであるから、これらの警告を拒む者は、人を拒むのではなく、聖霊をあなたがたの心に賜わる神を拒むのである。

9 Περὶ δὲ τῆς φιλαδελφίας, οὐ χρείαν ἔχετε γράφειν ὑμῖν, αὐτοὶ
について しかし その 兄弟愛は ない 必要が ある 書くことの あなたがたに 自ら
G4012 G1161 G3588 G5360 G3756 G5532 G2192 G1125 G4771 G0846

γὰρ ὑμεῖς θεοδίδακτοί ἐστε, εἰς τὸ ἀγαπᾶν ἀλλήλους.
なぜなら あなたがたは 神に–教えられた–者であり ある ために その 愛することを 互いに
G1063 G4771 G2312 G1510 G1519 G3588 G0025 G0240

兄弟愛については、今さら書きおくる必要はない。あなたがたは、互に愛し合うように神に直接教えられており、

10 καὶ γὰρ ποιεῖτε αὐτὸ εἰς πάντας τοὺς ἀδελφοὺς ‹τοὺς› ἐν
また なぜなら 行っている それを に-向かって すべての その 兄弟たちに その における
G2532 G1063 G4160 G0846 G1519 G3956 G3588 G0080 G3588 G1722

ὅλῃ τῇ Μακεδονίᾳ. Παρακαλοῦμεν δὲ ὑμᾶς, ἀδελφοί,
全 その マケドニアに 勧めます しかし あなたがたに 兄弟たちよ
G3650 G3588 G3109 G3870 G1161 G4771 G0080

περισσεύειν μᾶλλον,
ますます-豊かになることを さらに
G4052 G3123

また、事実マケドニヤ全土にいるすべての兄弟に対して、それを実行しているのだから。しかし、兄弟たちよ。あなたがたに勧める。ますます、そうしてほしい。

11 καὶ φιλοτιμεῖσθαι ἡσυχάζειν καὶ πράσσειν τὰ ἴδια, καὶ
そして 努めること 静かに-することと また 行うこと その 自分の-ことを また
G2532 G5389 G2270 G2532 G4238 G3588 G2398 G2532

ἐργάζεσθαι ταῖς [ἰδίαις] χερσὶν ὑμῶν, καθὼς ὑμῖν παρηγγείλαμεν,
働くこと その 自分の 手で あなたがたの ちょうど あなたがたに 命じた-とおり
G2038 G3588 G2398 G5495 G4771 G2531 G4771 G3853

そして、あなたがたに命じておいたように、つとめて落ち着いた生活をし、自分の仕事に身をいれ、手ずから働きなさい。

12 ἵνα περιπατῆτε εὐσχημόνως πρὸς τοὺς ἔξω, καὶ μηδενὸς χρείαν
それは 歩むため 品位をもって に-対して その 外の-人々に そして 何も 必要を
G2443 G4043 G2156 G4314 G3588 G1854 G2532 G3367 G5532

ἔχητε.
持たない-ように
G2192

そうすれば、外部の人々に対して品位を保ち、まただれの世話にもならずに、生活できるであろう。

13 Οὐ θέλομεν δὲ ὑμᾶς ἀγνοεῖν, ἀδελφοί, περὶ τῶν
ない 望みます しかし あなたがたが 知らないでいることを 兄弟たちよ について その
G3756 G2309 G1161 G4771 G0050 G0080 G4012 G3588

κοιμωμένων, ἵνα μὴ λυπῆσθε, καθὼς καὶ οἱ
眠っている-者たちについて それは ない 悲しまない-ために ちょうど また その
G2837 G2443 G3361 G3076 G2531 G2532 G3588

λοιποὶ, οἱ μὴ ἔχοντες ἐλπίδα.
残りの-人々のように その ない 持たない-者たちのように 希望を
G3062 G3588 G3361 G2192 G1680

兄弟たちよ。眠っている人々については、無知でいてもらいたくない。望みを持たない外の人々のように、あなたがたが悲しむことのないためである。

14 εἰ γὰρ πιστεύομεν ὅτι Ἰησοῦς ἀπέθανεν καὶ ἀνέστη, οὕτως
もし なぜなら 信じるなら それが イエスが 死んだと そして よみがえったと そのように
G1487 G1063 G4100 G3754 G2424 G0599 G2532 G0450 G3779

καὶ ὁ Θεὸς, τοὺς κοιμηθέντας διὰ τοῦ Ἰησοῦ, ἄξει σὺν
また その 神は その 眠った–者たちを を–通じて その イエスを 連れて来る と共に
G2532 G3588 G2316 G3588 G2837 G1223 G3588 G2424 G0071 G4862

αὐτῷ.
その方と
G0846

わたしたちが信じているように、イエスが死んで復活されたからには、同様に神はイエスにあって眠っている人々をも、イエスと一緒に導き出して下さるであろう。

15 Τοῦτο γὰρ ὑμῖν λέγομεν ἐν λόγῳ Κυρίου, ὅτι ἡμεῖς οἱ
これを なぜなら あなたがたに 言います において 言葉で 主の それが 私たち その
G3778 G1063 G4771 G3004 G1722 G3056 G2962 G3754 G1473 G3588

ζῶντες οἱ περιλειπόμενοι, εἰς τὴν παρουσίαν τοῦ Κυρίου, οὐ μὴ
生きている–者 その 残っている–者は に その 来臨の–時に その 主の 決して ない
G2198 G3588 G4035 G1519 G3588 G3952 G3588 G2962 G3756 G3361

φθάσωμεν τοὺς κοιμηθέντας,
先立たない その 眠った–者たちに
G5348 G3588 G2837

わたしたちは主の言葉によって言うが、生きながらえて主の来臨の時まで残るわたしたちが、眠った人々より先になることは、決してないであろう。

16 ὅτι αὐτὸς ὁ Κύριος ἐν κελεύσματι, ἐν φωνῇ ἀρχαγγέλου,
なぜなら 御自身 その 主が における 号令で における 声で 天使長の
G3754 G0846 G3588 G2962 G1722 G2752 G1722 G5456 G0743

καὶ ἐν σάλπιγγι Θεοῦ. καταβήσεται ἀπ’ οὐρανοῦ, καὶ οἱ νεκροὶ
また における ラッパで 神の 降りて来る から 天から そして その 死者が
G2532 G1722 G4536 G2316 G2597 G0575 G3772 G2532 G3588 G3498

ἐν Χριστῷ ἀναστήσονται πρῶτον.
における キリストにある よみがえる まず
G1722 G5547 G0450 G4412

すなわち、主ご自身が天使のかしらの声と神のラッパの鳴り響くうちに、合図の声で、天から下ってこられる。その時、キリストにあって死んだ人々が、まず最初によみがえり、

17 ἔπειτα ἡμεῖς οἱ ζῶντες οἱ περιλειπόμενοι, ἅμα σὺν αὐτοῖς,
それから 私たち その 生きている–者 その 残っている–者は 一緒に と共に 彼らと
G1899 G1473 G3588 G2198 G3588 G4035 G0260 G4862 G0846

ἁρπαγησόμεθα ἐν νεφέλαις εἰς ἀπάντησιν τοῦ Κυρίου εἰς ἀέρα;
引き上げられる において 雲の–中で に–向かって 出迎えの–ために その 主を に 空中で
G0726 G1722 G3507 G1519 G0529 G3588 G2962 G1519 G0109

καὶ οὕτως πάντοτε σὺν Κυρίῳ ἐσόμεθα.
そして そのように いつも と共に 主と いるであろう
G2532 G3779 G3842 G4862 G2962 G1510

それから生き残っているわたしたちが、彼らと共に雲に包まれて引き上げられ、空中で主に会い、こうして、いつも主と共にいるであろう。

18 Ὥστε παρακαλεῖτε ἀλλήλους ἐν τοῖς λόγοις τούτοις.
それゆえ 励ましなさい 互いに において その 言葉で これらの
G5620 G3870 G0240 G1722 G3588 G3056 G3778

だから、あなたがたは、これらの言葉をもって互に慰め合いなさい。

Chapter 5

1 Περὶ δὲ τῶν χρόνων καὶ τῶν καιρῶν, ἀδελφοί, οὐ χρείαν ἔχετε
について しかし その 時と また その 時期について 兄弟たちよ ない 必要が ある
G4012 G1161 G3588 G5550 G2532 G3588 G2540 G0080 G3756 G5532 G2192

ὑμῖν γράφεσθαι.
あなたがたに 書かれることの
G4771 G1125

兄弟たちよ。その時期と場合とについては、書きおくる必要はない。

2 αὐτοὶ γὰρ, ἀκριβῶς οἴδατε ὅτι ἡμέρα Κυρίου, ὡς κλέπτης
自ら なぜなら 正確に 知っている それが 日が 主の ちょうど 盗人の–ように
G0846 G1063 G0199 G1492 G3754 G2250 G2962 G5613 G2812

ἐν νυκτὶ, οὕτως ἔρχεται.
における 夜に そのように 来ることを
G1722 G3571 G3779 G2064

あなたがた自身がよく知っているとおり、主の日は盗人が夜くるように来る。

3 ὅταν λέγωσιν, Εἰρήνη καὶ ἀσφάλεια, τότε αἰφνίδιος αὐτοῖς ἐφίσταται
ときに 言うとき 平和だ そして 安全だと そのとき 突然の 彼らに 襲いかかる
G3752 G3004 G1515 G2532 G0803 G5119 G0160 G0846 G2186

ὄλεθρος, ὥσπερ ἡ ὠδὶν τῇ ἐν γαστρὶ ἐχούσῃ; καὶ οὐ
滅びが ちょうど その 産みの–苦しみが その における 胎に 持つ–女に そして 決して
G3639 G5618 G3588 G5604 G3588 G1722 G1064 G2192 G2532 G3756

μὴ ἐκφύγωσιν.
ない 逃れない
G3361 G1628

人々が平和だ無事だと言っているその矢先に、ちょうど妊婦に産みの苦しみが臨むように、突如として滅びが彼らをおそって来る。そして、それからのがれることは決してできない。

4 ὑμεῖς δέ, ἀδελφοί, οὐκ ἐστὲ ἐν σκότει, ἵνα ἡ ἡμέρα
あなたがたは しかし 兄弟たちよ ない いない において 闇に それは その 日が
G4771 G1161 G0080 G3756 G1510 G1722 G4655 G2443 G3588 G2250

ὑμᾶς ὡς κλέπτης καταλάβῃ.
あなたがたを ちょうど 盗人の–ように 襲わない–ために
G4771 G5613 G2812 G2638

しかし兄弟たちよ。あなたがたは暗やみの中にいないのだから、その日が、盗人のようにあなたがたを不意に襲うことはないであろう。

5 πάντες γὰρ ὑμεῖς, υἱοὶ φωτός ἐστε, καὶ υἱοὶ ἡμέρας; Οὐκ
すべて なぜなら あなたがたは 子である 光の であり また 子である 昼の ない
G3956 G1063 G4771 G5207 G5457 G1510 G2532 G5207 G2250 G3756

ἐσμὲν νυκτὸς οὐδὲ σκότους.
いない 夜の–者では でもない 闇の–者でも
G1510 G3571 G3761 G4655

あなたがたはみな光の子であり、昼の子なのである。わたしたちは、夜の者でもやみの者でもない。

6	ἄρα	οὖν	μὴ	καθεύδωμεν	ὡς	οἱ	λοιποί,		ἀλλὰ
	だから	それゆえ	ない	眠ろう	ちょうど	その	残りの–人々のように		しかし
	G0686	G3767	G3361	G2518	G5613	G3588	G3062		G0235

γρηγορῶμεν	καὶ	νήφωμεν;	
目覚めていよう	また	慎み深くいよう	
G1127	G2532	G3525	

だから、ほかの人々のように眠っていないで、目をさまして慎んでいよう。

7	οἱ	γὰρ	καθεύδοντες,	νυκτὸς	καθεύδουσιν;	καὶ	οἱ	μεθυσκόμενοι,	νυκτὸς
	その	なぜなら	眠る–者たちは	夜に	眠る	そして	その	酔う–者たちは	夜に
	G3588	G1063	G2518	G3571	G2518	G2532	G3588	G3182	G3571

μεθύουσιν.
酔う
G3184

眠る者は夜眠り、酔う者は夜酔うのである。

8	ἡμεῖς	δὲ,	ἡμέρας	ὄντες	νήφωμεν,	ἐνδυσάμενοι	θώρακα	πίστεως	
	私たちは	しかし	昼の–者として	ある	慎み深くあろう	身に–つけて	胸当てを	信仰と	
	G1473	G1161	G2250	G1510	G3525	G1746	G2382	G4102	

καὶ	ἀγάπης,	καὶ	περικεφαλαίαν	ἐλπίδα	σωτηρίας;
また	愛の	そして	かぶとを	希望という	救いの
G2532	G0026	G2532	G4030	G1680	G4991

しかし、わたしたちは昼の者なのだから、信仰と愛との胸当を身につけ、救の望みのかぶとをかぶって、慎んでいよう。

9	ὅτι	οὐκ	ἔθετο	ἡμᾶς	ὁ	Θεὸς	εἰς	ὀργὴν,	ἀλλὰ
	なぜなら	ない	定めた	私たちを	その	神は	に–向かって	怒りではなく	しかし
	G3754	G3756	G5087	G1473	G3588	G2316	G1519	G3709	G0235

εἰς	περιποίησιν	σωτηρίας,	διὰ	τοῦ	Κυρίου	ἡμῶν,	Ἰησοῦ	Χριστοῦ;
に–向かって	獲得の–ために	救いの	を–通じて	その	主	私たちの	イエス	キリストを
G1519	G4047	G4991	G1223	G3588	G2962	G1473	G2424	G5547

神は、わたしたちを怒りにあわせるように定められたのではなく、わたしたちの主イエス・キリストによって救を得るように定められたのである。

10	τοῦ	ἀποθανόντος	περὶ	ἡμῶν,	ἵνα	εἴτε	γρηγορῶμεν	εἴτε	
	その方は	死んでくださった	の–ために	私たちの	それは	たとえ	目覚めていても	たとえ	
	G3588	G0599	G4012	G1473	G2443	G1535	G1127	G1535	

καθεύδωμεν,	ἅμα	σὺν	αὐτῷ	ζήσωμεν.
眠っていても	一緒に	と共に	その方と	生きるために
G2518	G0260	G4862	G0846	G2198

キリストがわたしたちのために死なれたのは、さめていても眠っていても、わたしたちが主と共に生きるためである。

11	Διὸ	παρακαλεῖτε	ἀλλήλους,	καὶ	οἰκοδομεῖτε	εἷς	τὸν	ἕνα,	καθὼς
	それゆえ	励ましなさい	互いに	そして	建て上げなさい	一人が	その	一人を	ちょうど
	G1352	G3870	G0240	G2532	G3618	G1520	G3588	G1520	G2531

καὶ	ποιεῖτε.
また	行っている–とおり
G2532	G4160

だから、あなたがたは、今しているように、互に慰め合い、相互の徳を高めなさい。

12 Ἐρωτῶμεν δὲ ὑμᾶς, ἀδελφοί, εἰδέναι τοὺς κοπιῶντας
願います しかし あなたがたに 兄弟たちよ 認めることを その 労苦している–者たちを
G2065 G1161 G4771 G0080 G1492 G3588 G2872

ἐν ὑμῖν, καὶ προϊσταμένους ὑμῶν ἐν Κυρίῳ, καὶ
において あなたがたの–中で また 導いている–者たちを あなたがたの において 主に また
G1722 G4771 G2532 G4291 G4771 G1722 G2962 G2532

νουθετοῦντας ὑμᾶς;
戒めている–者たちを あなたがたを
G3560 G4771

兄弟たちよ。わたしたちはお願いする。どうか、あなたがたの間で労し、主にあってあなたがたを指導し、かつ訓戒している人々を重んじ、

13 καὶ ἡγεῖσθαι αὐτοὺς ὑπερεκπερισσοῦ ἐν ἀγάπῃ, διὰ τὸ ἔργον
そして 重んじることを 彼らを ひたすら において 愛をもって ゆえに その 業の
G2532 G2233 G0846 G5228 G1722 G0026 G1223 G3588 G2041

αὐτῶν. εἰρηνεύετε ἐν ἑαυτοῖς.
彼らの 平和を–保ちなさい において 自分たちの–中で
G0846 G1514 G1722 G1438

彼らの働きを思って、特に愛し敬いなさい。互に平和に過ごしなさい。

14 Παρακαλοῦμεν δὲ ὑμᾶς, ἀδελφοί, νουθετεῖτε τοὺς ἀτάκτους,
勧めます しかし あなたがたに 兄弟たちよ 戒めなさい その 無秩序な–者たちを
G3870 G1161 G4771 G0080 G3560 G3588 G0813

παραμυθεῖσθε τοὺς ὀλιγοψύχους, ἀντέχεσθε τῶν ἀσθενῶν, μακροθυμεῖτε
励ましなさい その 小心な–者たちを 助けなさい その 弱い–者たちを 忍耐しなさい
G3888 G3588 G3642 G0472 G3588 G0772 G3114

πρὸς πάντας.
に–対して すべての–人に
G4314 G3956

兄弟たちよ。あなたがたにお勧めする。怠惰な者を戒め、小心な者を励まし、弱い者を助け、すべての人に対して寛容でありなさい。

15 ὁρᾶτε μή τις, κακὸν ἀντὶ κακοῦ τινι ἀποδῷ, ἀλλὰ
見なさい ないように 誰かが 悪を に–対して 悪で 誰かに 報いないように しかし
G3708 G3361 G5100 G2556 G0473 G2556 G5100 G0591 G0235

πάντοτε τὸ ἀγαθὸν διώκετε, [καὶ] εἰς ἀλλήλους καὶ εἰς
いつも その 善い–ことを 追い求めなさい また に–対して 互いに また に–対して
G3842 G3588 G0018 G1377 G2532 G1519 G0240 G2532 G1519

πάντας.
すべての–人に
G3956

だれも悪をもって悪に報いないように心がけ、お互に、またみんなに対して、いつも善を追い求めなさい。

16 Πάντοτε χαίρετε.
いつも 喜びなさい
G3842 G5463

いつも喜んでいなさい。

17 ἀδιαλείπτως προσεύχεσθε.
絶えず 祈りなさい
G0089 G4336

絶えず祈りなさい。

18 ἐν παντὶ εὐχαριστεῖτε; τοῦτο γὰρ θέλημα Θεοῦ ἐν
において すべての–ことに 感謝しなさい これが なぜなら 御心である 神の における
G1722 G3956 G2168 G3778 G1063 G2307 G2316 G1722

Χριστῷ Ἰησοῦ εἰς ὑμᾶς.
キリスト イエスにおける に–対する あなたがたへの
G5547 G2424 G1519 G4771

すべての事について、感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって、神があなたがたに求めておられることである。

19 τὸ Πνεῦμα μὴ σβέννυτε.
その 御霊を ない 消してはならない
G3588 G4151 G3361 G4570

御霊を消してはいけない。

20 προφητείας μὴ ἐξουθενεῖτε.
預言を ない 俔ってはならない
G4394 G3361 G1848

預言を軽んじてはならない。

21 πάντα δὲ δοκιμάζετε. τὸ καλὸν κατέχετε.
すべての–ことを しかし 見分けなさい その 良い–ものを 保ちなさい
G3956 G1161 G1381 G3588 G2570 G2722

すべてのものを識別して、良いものを守り、

22 ἀπὸ παντὸς εἴδους πονηροῦ ἀπέχεσθε.
から すべての 種類の 悪い 避けなさい
G0575 G3956 G1491 G4190 G0568

あらゆる種類の悪から遠ざかりなさい。

23 Αὐτὸς δὲ, ὁ Θεὸς τῆς εἰρήνης ἁγιάσαι ὑμᾶς
その方–自ら しかし その 神が その 平和の 聖めてくださるように あなたがたを
G0846 G1161 G3588 G2316 G3588 G1515 G0037 G4771

ὁλοτελεῖς; καὶ ὁλόκληρον, ὑμῶν τὸ πνεῦμα, καὶ ἡ ψυχὴ, καὶ
全く そして 完全に あなたがたの その 霊と また その 魂と また
G3651 G2532 G3648 G4771 G3588 G4151 G2532 G3588 G5590 G2532

τὸ σῶμα, ἀμέμπτως ἐν τῇ παρουσίᾳ τοῦ Κυρίου ἡμῶν,
その 体が 責められる–ところなく において その 来臨の–時に その 主 私たちの
G3588 G4983 G0274 G1722 G3588 G3952 G3588 G2962 G1473

Ἰησοῦ Χριστοῦ, τηρηθείη.
イエス キリストの 保たれるように
G2424 G5547 G5083

どうか、平和の神ご自身が、あなたがたを全くきよめて下さるように。また、あなたがたの霊と心とからだとを完全に守って、わたしたちの主イエス・キリストの来臨のときに、責められるところのない者にして下さるように。

24

πιστὸς	ὁ	καλῶν	ὑμᾶς,	ὃς	καὶ	ποιήσει.
忠実である	その	招いてくださる–方は	あなたがたを	その方が	また	成し遂げてくださる
G4103	G3588	G2564	G4771	G3739	G2532	G4160

あなたがたを召されたかたは真実であられるから、このことをして下さるであろう。

25

Ἀδελφοί,	προσεύχεσθε,	[καὶ]	περὶ	ἡμῶν.
兄弟たちよ	祈ってください	また	について	私たちの
G0080	G4336	G2532	G4012	G1473

兄弟たちよ。わたしたちのためにも、祈ってほしい。

26

Ἀσπάσασθε	τοὺς	ἀδελφοὺς	πάντας	ἐν	φιλήματι	ἁγίῳ.
挨拶しなさい	その	兄弟たちに	すべての	における	口づけで	聖なる
G0782	G3588	G0080	G3956	G1722	G5370	G0040

すべての兄弟たちに、きよい接吻をもって、よろしく伝えてほしい。

27

Ἐνορκίζω	ὑμᾶς	τὸν	Κύριον,	ἀναγνωσθῆναι	τὴν	ἐπιστολὴν	πᾶσιν
誓って–命じます	あなたがたに	その	主にかけて	読まれることを	その	手紙が	すべての
G3726	G4771	G3588	G2962	G0314	G3588	G1992	G3956

τοῖς	ἀδελφοῖς.
その	兄弟たちに
G3588	G0080

わたしは主によって命じる。この手紙を、みんなの兄弟に読み聞かせなさい。

28

Ἡ	χάρις	τοῦ	Κυρίου	ἡμῶν,	Ἰησοῦ	Χριστοῦ,	μεθ’	ὑμῶν.	<Ἀμήν>.
その	恵みが	その	主	私たちの	イエス	キリストの	と共に	あなたがたと	アーメン
G3588	G5485	G3588	G2962	G1473	G2424	G5547	G3326	G4771	G0281

わたしたちの主イエス・キリストの恵みが、あなたがたと共にあるように。

2 Thessalonians

Chapter 1

1

Παῦλος,	καὶ	Σιλουανὸς,	καὶ	Τιμόθεος,	τῇ	ἐκκλησίᾳ	Θεσσαλονικέων,	
パウロと	そして	シルワノと	そして	テモテから	その	教会へ	テサロニケの	
G3972	G2532	G4610	G2532	G5095	G3588	G1577	G2331	

ἐν	Θεῷ	Πατρὶ	ἡμῶν,	καὶ	Κυρίῳ	Ἰησοῦ	Χριστῷ.
～における	神	父なる	私たちの	そして	主	イエス	キリストにある
G1722	G2316	G3962	G1473	G2532	G2962	G2424	G5547

パウロとシルワノとテモテから、わたしたちの父なる神と主イエス・キリストとにあるテサロニケ人たちの教会へ。

2

χάρις	ὑμῖν	καὶ	εἰρήνη,	ἀπὸ	Θεοῦ	Πατρὸς	[ἡμῶν],	καὶ	Κυρίου
恵みが	あなたがたに	そして	平和が	～から	神	父なる	私たちの	そして	主
G5485	G4771	G2532	G1515	G0575	G2316	G3962	G1473	G2532	G2962

Ἰησοῦ	Χριστοῦ.
イエス	キリストから
G2424	G5547

父なる神と主イエス・キリストから、恵みと平安とが、あなたがたにあるように。

3

Εὐχαριστεῖν	ὀφείλομεν	τῷ	Θεῷ	πάντοτε,	περὶ	ὑμῶν,		
感謝することを	義務と–感じます	その	神に	いつも	～について	あなたがたについて		
G2168	G3784	G3588	G2316	G3842	G4012	G4771		

ἀδελφοί,	καθὼς	ἄξιόν	ἐστιν,	ὅτι	ὑπεραυξάνει	ἡ	πίστις
兄弟たちよ	～のように	ふさわしい	ことです	なぜなら	大いに–成長しています	その	信仰が
G0080	G2531	G0514	G1510	G3754	G5232	G3588	G4102

ὑμῶν,	καὶ	πλεονάζει	ἡ	ἀγάπη	ἑνὸς	ἑκάστου	πάντων,	
あなたがたの	そして	豊かに–なっています	その	愛が	一人–一人	各々の	すべての	
G4771	G2532	G4121	G3588	G0026	G1520	G1538	G3956	

ὑμῶν	εἰς	ἀλλήλους;
あなたがたの	～への	互いへの
G4771	G1519	G0240

兄弟たちよ。わたしたちは、いつもあなたがたのことを神に感謝せずにはおられない。またそうするのが当然である。それは、あなたがたの信仰が大いに成長し、あなたがたひとりびとりの愛が、お互の間に増し加わっているからである。

4 ὥστε αὐτοὺς, ἡμᾶς ἐν ὑμῖν ἐνκαυχᾶσθαι, ἐν
それで 私たち–自身が 私たちが ～において あなたがたについて 誇っています ～において
G5620 G0846 G1473 G1722 G4771 G2744 G1722

ταῖς ἐκκλησίαις τοῦ Θεοῦ, ὑπὲρ τῆς ὑπομονῆς ὑμῶν, καὶ
その 諸教会において その 神の ～について その 忍耐と あなたがたの そして
G3588 G1577 G3588 G2316 G5228 G3588 G5281 G4771 G2532

πίστεως ἐν πᾶσιν τοῖς διωγμοῖς ὑμῶν, καὶ ταῖς θλίψεσιν
信仰について ～において すべての その 迫害の–中で あなたがたの そして その 苦難の–中で
G4102 G1722 G3956 G3588 G1375 G4771 G2532 G3588 G2347

αἷς ἀνέχεσθε;
それを 耐えている
G3739 G0430

そのために、わたしたち自身は、あなたがたがいま受けているあらゆる迫害と患難とのただ中で示している忍耐と信仰とにつき、神の諸教会に対してあなたがたを誇としている。

5 ἔνδειγμα τῆς δικαίας κρίσεως τοῦ Θεοῦ εἰς τὸ
しるしです その 正しい 裁きの その 神の ～のために その
G1730 G3588 G1342 G2920 G3588 G2316 G1519 G3588

καταξιωθῆναι ὑμᾶς τῆς βασιλείας τοῦ Θεοῦ, ὑπὲρ ἧς
ふさわしい–者と–されるために あなたがたが その 御国に その 神の ～のために その
G2661 G4771 G3588 G0932 G3588 G2316 G5228 G3739

καὶ πάσχετε;
また 苦しんでいる
G2532 G3958

これは、あなたがたを、神の国にふさわしい者にしようとする神のさばきが正しいことを、証拠だてるものである。その神の国のために、あなたがたも苦しんでいるのである。

6 εἴπερ δίκαιον παρὰ Θεῷ, ἀνταποδοῦναι τοῖς θλίβουσιν
もし–実際に 正しいなら ～の–もとで 神の–もとで 報いることです その 苦しめる–者たちに
G1512 G1342 G3844 G2316 G0467 G3588 G2346

ὑμᾶς, θλῖψιν,
あなたがたを 苦難で
G4771 G2347

すなわち、あなたがたを悩ます者には患難をもって報い、悩まされているあなたがたには、わたしたちと共に、休息をもって報いて下さるのが、神にとって正しいことだからである。

7 καὶ ὑμῖν τοῖς θλιβομένοις, ἄνεσιν μεθ’ ἡμῶν,
そして あなたがたに その 苦しめられている–者たちに 安らぎを ～と–共に 私たちと–共に
G2532 G4771 G3588 G2346 G0425 G3326 G1473

ἐν τῇ ἀποκαλύψει τοῦ Κυρίου Ἰησοῦ ἀπ’ οὐρανοῦ, μετ’
～において その 現れの–時に その 主 イエスの ～からの 天からの ～と–共に
G1722 G3588 G0602 G3588 G2962 G2424 G0575 G3772 G3326

ἀγγέλων δυνάμεως αὐτοῦ,
御使いたちと–共に 力の 主の
G0032 G1411 G0846

それは、主イエスが炎の中で力ある天使たちを率いて天から現れる時に実現する。

8 ἐν πυρὶ φλογός, διδόντος ἐκδίκησιν τοῖς μὴ εἰδόσιν Θεὸν,
～において 燃える 炎の–中で 与えながら 報復を その ～ない 知らない–者たちに 神を
G1722 G4442 G5395 G1325 G1557 G3588 G3361 G1492 G2316

καὶ τοῖς μὴ ὑπακούουσιν τῷ εὐαγγελίῳ τοῦ Κυρίου ἡμῶν, Ἰησοῦ;
そして その ～ない 従わない–者たちに その 福音に その 主 私たちの イエスの
G2532 G3588 G3361 G5219 G3588 G2098 G3588 G2962 G1473 G2424

その時、主は神を認めない者たちや、わたしたちの主イエスの福音に聞き従わない者たちに報復し、

9 οἵτινες δίκην τίσουσιν, ὄλεθρον αἰώνιον, ἀπὸ προσώπου τοῦ
その–者たちは 罰を 受けるでしょう 滅びを 永遠の ～からの 御前からの その
G3748 G1349 G5099 G3639 G0166 G0575 G4383 G3588

Κυρίου, καὶ ἀπὸ τῆς δόξης τῆς ἰσχύος αὐτοῦ;
主の そして ～からの その 栄光からの その 力の 主の
G2962 G2532 G0575 G3588 G1391 G3588 G2479 G0846

そして、彼らは主のみ顔とその力の栄光から退けられて、永遠の滅びに至る刑罰を受けるであろう。

10 ὅταν ἔλθῃ ἐνδοξασθῆναι ἐν τοῖς ἁγίοις αὐτοῦ, καὶ
～の時 来られる時 栄光を–受けるために ～において その 聖徒たちの–中で 主の そして
G3752 G2064 G1740 G1722 G3588 G0040 G0846 G2532

θαυμασθῆναι ἐν πᾶσιν τοῖς πιστεύσασιν, ὅτι ἐπιστεύθη
驚かれるために ～において すべての その 信じた–者たちの–中で なぜなら 信じられたからです
G2296 G1722 G3956 G3588 G4100 G3754 G4100

τὸ μαρτύριον ἡμῶν ἐφ’ ὑμᾶς, ἐν τῇ ἡμέρᾳ ἐκείνῃ.
その 証が 私たちの ～において あなたがたにおいて ～に その 日に かの
G3588 G3142 G1473 G1909 G4771 G1722 G3588 G2250 G1565

その日に、イエスは下ってこられ、聖徒たちの中であがめられ、すべて信じる者たちの間で驚嘆されるであろう――わたしたちのこのあかしは、あなたがたによって信じられているのである。

11 Εἰς ὃ καὶ προσευχόμεθα πάντοτε περὶ ὑμῶν, ἵνα
～のために その また 祈っています いつも ～について あなたがたについて ～のために
G1519 G3739 G2532 G4336 G3842 G4012 G4771 G2443

ὑμᾶς ἀξιώσῃ τῆς κλήσεως ὁ Θεὸς ἡμῶν, καὶ
あなたがたを ふさわしい–者と–してくださるように その 召しの その 神が 私たちの そして
G4771 G0515 G3588 G2821 G3588 G2316 G1473 G2532

πληρώσῃ πᾶσαν εὐδοκίαν ἀγαθωσύνης, καὶ ἔργον πίστεως ἐν
満たしてくださるように すべての 喜びを 善の そして わざを 信仰の ～において
G4137 G3956 G2107 G0019 G2532 G2041 G4102 G1722

δυνάμει,
力において
G1411

このためにまた、わたしたちは、わたしたちの神があなたがたを召しにかなう者となし、善に対するあらゆる願いと信仰の働きとを力強く満たして下さるようにと、あなたがたのために絶えず祈っている。

12	ὅπως	ἐνδοξασθῇ	τὸ	ὄνομα	τοῦ	Κυρίου	ἡμῶν,	Ἰησοῦ,	ἐν
	～のために	栄光を–受けるように	その	御名が	その	主	私たちの	イエスの	～において
	G3704	G1740	G3588	G3686	G3588	G2962	G1473	G2424	G1722

ὑμῖν,	καὶ	ὑμεῖς	ἐν	αὐτῷ,	κατὰ	τὴν	χάριν
あなたがたにおいて	そして	あなたがたが	～において	主において	～に–従って	その	恵みに–従って
G4771	G2532	G4771	G1722	G0846	G2596	G3588	G5485

τοῦ	Θεοῦ	ἡμῶν,	καὶ	Κυρίου	Ἰησοῦ	Χριστοῦ.
その	神	私たちの	そして	主	イエス	キリストの
G3588	G2316	G1473	G2532	G2962	G2424	G5547

それは、わたしたちの神と主イエス・キリストとの恵みによって、わたしたちの主イエスの御名があなたがたの間であがめられ、あなたがたも主にあって栄光を受けるためである。

Chapter 2

1	Ἐρωτῶμεν	δὲ	ὑμᾶς,	ἀδελφοί,	ὑπὲρ	τῆς	παρουσίας	τοῦ	Κυρίου
	お願いします	しかし	あなたがたに	兄弟たちよ	～について	その	来臨について	その	主
	G2065	G1161	G4771	G0080	G5228	G3588	G3952	G3588	G2962

ἡμῶν,	Ἰησοῦ	Χριστοῦ,	καὶ	ἡμῶν	ἐπισυναγωγῆς	ἐπ’	αὐτόν,
私たちの	イエス	キリストの	そして	私たちの	集められることについて	～の–もとへ	主の–もとへ
G1473	G2424	G5547	G2532	G1473	G1997	G1909	G0846

さて兄弟たちよ。わたしたちの主イエス・キリストの来臨と、わたしたちがみもとに集められることとについて、あなたがたにお願いすることがある。

2	εἰς	τὸ	μὴ	ταχέως	σαλευθῆναι	ὑμᾶς	ἀπὸ	τοῦ	νοὸς,
	～のために	その	～ない	すぐに	動揺しないように	あなたがたが	～から	その	思いから
	G1519	G3588	G3361	G5030	G4531	G4771	G0575	G3588	G3563

μηδὲ	θροεῖσθαι,	μήτε	διὰ	πνεύματος,	μήτε
また～ない	騒がないように	～によっても～ない	～を–通して	霊によっても	～によっても～ない
G3366	G2360	G3383	G1223	G4151	G3383

διὰ	λόγου,	μήτε	δι’	ἐπιστολῆς,	ὡς
～を–通して	言葉によっても	～によっても～ない	～を–通して	手紙によっても	～のように
G1223	G3056	G3383	G1223	G1992	G5613

δι’	ἡμῶν,	ὡς	ὅτι	ἐνέστηκεν	ἡ	ἡμέρα	τοῦ	Κυρίου.
～を–通して	私たちからのように	～のように	～と	来た	その	日が	その	主の
G1223	G1473	G5613	G3754	G1764	G3588	G2250	G3588	G2962

霊により、あるいは言葉により、あるいはわたしたちから出たという手紙によって、主の日はすでにきたとふれまわる者があっても、すぐさま心を動かされたり、あわてたりしてはいけない。

3	μή	τις	ὑμᾶς	ἐξαπατήσῃ	κατὰ	μηδένα	τρόπον,	ὅτι
	～ない	誰も	あなたがたを	欺かないように	～によって	いかなる	手段によっても	なぜなら
	G3361	G5100	G4771	G1818	G2596	G3367	G5158	G3754

ἐὰν	μὴ	ἔλθῃ	ἡ	ἀποστασία	πρῶτον,	καὶ	ἀποκαλυφθῇ
～しない–かぎり	～ない	来ない–かぎり	その	背教が	先に	そして	現れない–かぎり
G1437	G3361	G2064	G3588	G0646	G4412	G2532	G0601

ὁ	ἄνθρωπος	τῆς	ἀνομίας,	ὁ	υἱὸς	τῆς	ἀπωλείας;
その	人が	その	不法の	その	子が	その	滅びの
G3588	G0444	G3588	G0458	G3588	G5207	G3588	G0684

だれがどんな事をしても、それにだまされてはならない。まず背教のことが起り、不法の者、すなわち、滅びの子が現れるにちがいない。

4

ὁ	ἀντικείμενος	καὶ	ὑπεραιρόμενος	ἐπὶ	πάντα	λεγόμενον	Θεὸν
その	敵対する-者であり	そして	高ぶる-者であり	～に-対して	すべての	呼ばれる	神や
G3588	G0480	G2532	G5229	G1909	G3956	G3004	G2316

ἢ	σέβασμα,	ὥστε	αὐτὸν	εἰς	τὸν	ναὸν	τοῦ	Θεοῦ	καθίσαι,
あるいは	崇拝物に-対して	それで	自ら	～の-中に	その	神殿の-中に	その	神の	座り
G2228	G4574	G5620	G0846	G1519	G3588	G3485	G3588	G2316	G2523

ἀποδεικνύντα	ἑαυτὸν	ὅτι	ἔστιν	Θεός.
示しながら	自分-自身を	～と	～であると	神であると
G0584	G1438	G3754	G1510	G2316

彼は、すべて神と呼ばれたり拝まれたりするものに反抗して立ち上がり、自ら神の宮に座して、自分は神だと宣言する。

5

Οὐ	μνημονεύετε	ὅτι,	ἔτι	ὢν	πρὸς	ὑμᾶς,	ταῦτα
～ない	覚えていませんか	～と	まだ	いた-時	～の-もとに	あなたがたの-もとに	これらを
G3756	G3421	G3754	G2089	G1510	G4314	G4771	G3778

ἔλεγον	ὑμῖν?
言っていた	あなたがたに
G3004	G4771

わたしがまだあなたがたの所にいた時、これらの事をくり返して言ったのを思い出さないのか。

6

καὶ	νῦν	τὸ	κατέχον,	οἴδατε,	εἰς	τὸ	ἀποκαλυφθῆναι
そして	今	その	引き-止めている-ものを	知っています	～のために	その	現れるために
G2532	G3568	G3588	G2722	G1492	G1519	G3588	G0601

αὐτὸν	ἐν	τῷ	ἑαυτοῦ	καιρῷ.
彼が	～において	その	自らの	時に
G0846	G1722	G3588	G1438	G2540

そして、あなたがたが知っているとおり、彼が自分に定められた時になってから現れるように、いま彼を阻止しているものがある。

7

τὸ	γὰρ	μυστήριον,	ἤδη	ἐνεργεῖται,	τῆς	ἀνομίας;	μόνον	ὁ
その	なぜなら	奥義が	すでに	働いています	その	不法の	ただ	その
G3588	G1063	G3466	G2235	G1754	G3588	G0458	G3440	G3588

κατέχων	ἄρτι	ἕως	ἐκ	μέσου	γένηται.
引き-止めている-者が	今	～まで	～から	中から	去るまで
G2722	G0737	G2193	G1537	G3319	G1096

不法の秘密の力が、すでに働いているのである。ただそれは、いま阻止している者が取り除かれる時までのことである。

8

καὶ	τότε	ἀποκαλυφθήσεται	ὁ	ἄνομος,	ὃν	ὁ	Κύριος	Ἰησοῦς
そして	その時	現れるでしょう	その	不法の-者が	その-者を	その	主	イエスが
G2532	G5119	G0601	G3588	G0459	G3739	G3588	G2962	G2424

ἀνελεῖ	τῷ	πνεύματι	τοῦ	στόματος	αὐτοῦ,	καὶ	καταργήσει	τῇ
滅ぼすでしょう	その	息で	その	口の	主の	そして	廃するでしょう	その
G0337	G3588	G4151	G3588	G4750	G0846	G2532	G2673	G3588

ἐπιφανείᾳ	τῆς	παρουσίας	αὐτοῦ;
現れによって	その	来臨の	主の
G2015	G3588	G3952	G0846

その時になると、不法の者が現れる。この者を、主イエスは口の息をもって殺し、来臨の輝きによって滅ぼすであろう。

9 οὗ ἐστιν ἡ παρουσία, κατ’ ἐνέργειαν τοῦ Σατανᾶ, ἐν
その-者の ～です その 来臨は ～に-従って 働きに-従って その サタンの ～において
G3739 G1510 G3588 G3952 G2596 G1753 G3588 G4567 G1722

πάσῃ δυνάμει, καὶ σημείοις, καὶ τέρασιν ψεύδους,
あらゆる 力と そして しるしと そして 不思議と 偽りの
G3956 G1411 G2532 G4592 G2532 G5059 G5579

不法の者が来るのは、サタンの働きによるのであって、あらゆる偽りの力と、しるしと、不思議と、

10 καὶ ἐν πάσῃ ἀπάτῃ ἀδικίας, τοῖς ἀπολλυμένοις,
そして ～において あらゆる 欺きにおいて 不義の その 滅びゆく-者たちに対して
G2532 G1722 G3956 G0539 G0093 G3588 G0622

ἀνθ’ ὧν τὴν ἀγάπην τῆς ἀληθείας οὐκ ἐδέξαντο,
～の-代わりに その その 愛を その 真理の ～ない 受け入れなかったからです
G0473 G3739 G3588 G0026 G3588 G0225 G3756 G1209

εἰς τὸ σωθῆναι αὐτούς.
～のために その 救われるために 彼らが
G1519 G3588 G4982 G0846

また、あらゆる不義の惑わしとを、滅ぶべき者どもに対して行うためである。彼らが滅びるのは、自分らの救となるべき真理に対する愛を受けいれなかった報いである。

11 καὶ διὰ τοῦτο πέμπει αὐτοῖς ὁ Θεὸς ἐνέργειαν πλάνης,
そして ～のゆえに このゆえに 送ります 彼らに その 神が 働きを 惑わしの
G2532 G1223 G3778 G3992 G0846 G3588 G2316 G1753 G4106

εἰς τὸ πιστεῦσαι αὐτοὺς τῷ ψεύδει;
～のために その 信じるために 彼らが その 偽りを
G1519 G3588 G4100 G0846 G3588 G5579

そこで神は、彼らが偽りを信じるように、迷わす力を送り、

12 ἵνα κριθῶσιν πάντες οἱ μὴ πιστεύσαντες τῇ ἀληθείᾳ,
～のために 裁かれるために すべての その ～ない 信じなかった-者たちが その 真理を
G2443 G2919 G3956 G3588 G3361 G4100 G3588 G0225

ἀλλὰ εὐδοκήσαντες τῇ ἀδικίᾳ.
むしろ 喜んだ-者たちが その 不義を
G0235 G2106 G3588 G0093

こうして、真理を信じないで不義を喜んでいたすべての人を、さばくのである。

13 Ἡμεῖς δὲ ὀφείλομεν εὐχαριστεῖν τῷ Θεῷ πάντοτε περὶ
私たちは しかし 義務と-感じます 感謝することを その 神に いつも ～について
G1473 G1161 G3784 G2168 G3588 G2316 G3842 G4012

ὑμῶν, ἀδελφοὶ ἠγαπημένοι ὑπὸ Κυρίου, ὅτι εἵλατο
あなたがたについて 兄弟たちよ 愛された ～によって 主によって なぜなら 選んだからです
G4771 G0080 G0025 G5259 G2962 G3754 G0138

ὑμᾶς ὁ Θεὸς, ἀπ᾽ ἀρχῆς, εἰς σωτηρίαν ἐν ἁγιασμῷ
あなたがたを その 神が ～から 初めから ～のために 救いのために ～において 聖めにおいて
G4771 G3588 G2316 G0575 G0746 G1519 G4991 G1722 G0038

Πνεύματος, καὶ πίστει ἀληθείας;
御霊の そして 信仰において 真理の
G4151 G2532 G4102 G0225

しかし、主に愛されている兄弟たちよ。わたしたちはいつもあなたがたのことを、神に感謝せずにはおられない。それは、神があなたがたを初めから選んで、御霊によるきよめと、真理に対する信仰とによって、救を得させようとし、

14	εἰς	ὃ	καὶ	ἐκάλεσεν	ὑμᾶς,	διὰ	τοῦ	εὐαγγελίου	ἡμῶν,
	～のために	その	また	召したのです	あなたがたを	～を–通して	その	福音を–通して	私たちの
	G1519	G3739	G2532	G2564	G4771	G1223	G3588	G2098	G1473

εἰς	περιποίησιν	δόξης	τοῦ	Κυρίου	ἡμῶν,	Ἰησοῦ	Χριστοῦ.
～のために	得るために	栄光を	その	主	私たちの	イエス	キリストの
G1519	G4047	G1391	G3588	G2962	G1473	G2424	G5547

そのために、わたしたちの福音によりあなたがたを召して、わたしたちの主イエス・キリストの栄光にあずからせて下さるからである。

15	Ἄρα	οὖν,	ἀδελφοί,	στήκετε,	καὶ	κρατεῖτε	τὰς	παραδόσεις	ἃς
	それで	それなら	兄弟たちよ	立ちなさい	そして	保ちなさい	その	言い伝えを	それを
	G0686	G3767	G0080	G4739	G2532	G2902	G3588	G3862	G3739

ἐδιδάχθητε,	εἴτε	διὰ	λόγου,	εἴτε	δι’	ἐπιστολῆς	
教えられた	～によっても	～を–通して	言葉を–通して	～によっても	～を–通して	手紙を–通して	
G1321	G1535	G1223	G3056	G1535	G1223	G1992	

ἡμῶν.
私たちの
G1473

そこで、兄弟たちよ。堅く立って、わたしたちの言葉や手紙で教えられた言伝えを、しっかりと守り続けなさい。

16	Αὐτὸς	δὲ	ὁ	Κύριος	ἡμῶν,	Ἰησοῦς	Χριστὸς,	καὶ	ὁ	Θεὸς,
	その	しかし	その	主	私たちの	イエス	キリスト–御自身と	そして	その	神
	G0846	G1161	G3588	G2962	G1473	G2424	G5547	G2532	G3588	G2316

ὁ	Πατὴρ	ἡμῶν,	ὁ	ἀγαπήσας	ἡμᾶς,	καὶ	δοὺς	παράκλησιν
その	父	私たちの	その	愛した–お方が	私たちを	そして	与えた–お方が	慰めを
G3588	G3962	G1473	G3588	G0025	G1473	G2532	G1325	G3874

αἰωνίαν,	καὶ	ἐλπίδα	ἀγαθὴν	ἐν	χάριτι,	
永遠の	そして	望みを	良い	～において	恵みにおいて	
G0166	G2532	G1680	G0018	G1722	G5485	

どうか、わたしたちの主イエス・キリストご自身と、わたしたちを愛し、恵みをもって永遠の慰めと確かな望みとを賜わるわたしたちの父なる神とが、

17	παρακαλέσαι	ὑμῶν	τὰς	καρδίας,	καὶ	στηρίξαι	ἐν	
	慰めてくださるように	あなたがたの	その	心を	そして	強めてくださるように	～において	
	G3870	G4771	G3588	G2588	G2532	G4741	G1722	

παντὶ	ἔργῳ	καὶ	λόγῳ	ἀγαθῷ.	
すべての	わざと	そして	言葉において	善い	
G3956	G2041	G2532	G3056	G0018	

あなたがたの心を励まし、あなたがたを強めて、すべての良いわざを行い、正しい言葉を語る者として下さるように。

Chapter 3

1 Τὸ λοιπὸν, προσεύχεσθε, ἀδελφοί, περὶ ἡμῶν, ἵνα ὁ
その 最後に 祈ってください 兄弟たちよ ～について 私たちについて ～のために その
G3588 G3063 G4336 G0080 G4012 G1473 G2443 G3588

λόγος τοῦ Κυρίου τρέχῃ καὶ δοξάζηται, καθὼς καὶ πρὸς
御言葉が その 主の 走り そして 栄光を-受けるように ～のように また ～の-もとで
G3056 G3588 G2962 G5143 G2532 G1392 G2531 G2532 G4314

ὑμᾶς;
あなたがたの-もとで
G4771

最後に、兄弟たちよ。わたしたちのために祈ってほしい。どうか主の言葉が、あなたがたの所と同じように、ここでも早く広まり、また、あがめられるように。

2 καὶ ἵνα ῥυσθῶμεν ἀπὸ τῶν ἀτόπων καὶ πονηρῶν ἀνθρώπων;
そして ～のために 救われるように ～から その 理不尽な そして 悪い 人々から
G2532 G2443 G4506 G0575 G3588 G0824 G2532 G4190 G0444

οὐ γὰρ πάντων ἡ πίστις.
～ない なぜなら すべての-者の その 信仰ではないからです
G3756 G1063 G3956 G3588 G4102

また、どうか、わたしたちが不都合な悪人から救われるように。事実、すべての人が信仰を持っているわけではない。

3 Πιστὸς δέ ἐστιν ὁ Κύριος, ὃς στηρίξει ὑμᾶς,
忠実です けれども ～です その 主は その-方が 強めてくださるでしょう あなたがたを
G4103 G1161 G1510 G3588 G2962 G3739 G4741 G4771

καὶ φυλάξει ἀπὸ τοῦ πονηροῦ.
そして 守ってくださるでしょう ～から その 悪い-者から
G2532 G5442 G0575 G3588 G4190

しかし、主は真実なかたであるから、あなたがたを強め、悪しき者から守って下さるであろう。

4 πεποίθαμεν δὲ ἐν Κυρίῳ, ἐφ’ ὑμᾶς, ὅτι ἃ
確信しています しかし ～において 主において ～について あなたがたについて ～と それを
G3982 G1161 G1722 G2962 G1909 G4771 G3754 G3739

παραγγέλλομεν, καὶ ποιεῖτε καὶ ποιήσετε.
命じていることを また しているし また するでしょう
G3853 G2532 G4160 G2532 G4160

わたしたちが命じる事を、あなたがたは現に実行しており、また、実行するであろうと、わたしたちは、主にあって確信している。

5 Ὁ δὲ Κύριος κατευθύναι ὑμῶν τὰς καρδίας εἰς τὴν
その けれども 主が 導いてくださるように あなたがたの その 心を ～へ その
G3588 G1161 G2962 G2720 G4771 G3588 G2588 G1519 G3588

ἀγάπην τοῦ Θεοῦ, καὶ εἰς τὴν ὑπομονὴν τοῦ Χριστοῦ.
愛へ その 神の そして ～へ その 忍耐へ その キリストの
G0026 G3588 G2316 G2532 G1519 G3588 G5281 G3588 G5547

どうか、主があなたがたの心を導いて、神の愛とキリストの忍耐とを持たせて下さるように。

6 Παραγγέλλομεν δὲ ὑμῖν, ἀδελφοί, ἐν ὀνόματι τοῦ Κυρίου
命じます しかし あなたがたに 兄弟たちよ ～において 御名において その 主
G3853 G1161 G4771 G0080 G1722 G3686 G3588 G2962

‹ἡμῶν›, Ἰησοῦ Χριστοῦ, στέλλεσθαι ὑμᾶς ἀπὸ παντὸς ἀδελφοῦ
私たちの イエス キリストの 遠ざけることを あなたがたが ～から すべての 兄弟から
G1473 G2424 G5547 G4724 G4771 G0575 G3956 G0080

ἀτάκτως περιπατοῦντος, καὶ μὴ κατὰ τὴν παράδοσιν ἣν
乱れた–歩みを する そして ～ない ～に–従って その 言い伝えに–従って それを
G0814 G4043 G2532 G3361 G2596 G3588 G3862 G3739

παρελάβοσαν παρ’ ἡμῶν.
受けた ～から 私たちから
G3880 G3844 G1473

兄弟たちよ。主イエス・キリストの名によってあなたがたに命じる。怠惰な生活をして、わたしたちから受けた言伝えに従わないすべての兄弟たちから、遠ざかりなさい。

7 αὐτοὶ γὰρ, οἴδατε πῶς δεῖ μιμεῖσθαι ἡμᾶς, ὅτι οὐκ
自ら なぜなら 知っています どのように すべきか 見ならうことが 私たちを なぜなら ～ない
G0846 G1063 G1492 G4459 G1163 G3401 G1473 G3754 G3756

ἠτακτήσαμεν ἐν ὑμῖν;
乱れた–歩みを–しませんでした ～において あなたがたの–中で
G0812 G1722 G4771

わたしたちに、どうならうべきであるかは、あなたがた自身が知っているはずである。あなたがたの所にいた時には、わたしたちは怠惰な生活をしなかったし、

8 οὐδὲ δωρεὰν ἄρτον ἐφάγομεν παρά τινος, ἀλλ’ ἐν κόπῳ
～もない ただで パンを 食べませんでした ～から 誰からも むしろ ～において 労苦と
G3761 G1432 G0740 G5315 G3844 G5100 G0235 G1722 G2873

καὶ μόχθῳ, νυκτὸς καὶ ἡμέρας ἐργαζόμενοι, πρὸς τὸ μὴ
そして 骨折りの–中で 夜も そして 昼も 働きました ～のために その ～ない
G2532 G3449 G3571 G2532 G2250 G2038 G4314 G3588 G3361

ἐπιβαρῆσαί τινα ὑμῶν.
重荷を–かけないために 誰にも あなたがたの
G1912 G5100 G4771

人からパンをもらって食べることもしなかった。それどころか、あなたがたのだれにも負担をかけまいと、日夜、労苦し努力して働き続けた。

9 οὐχ ὅτι οὐκ ἔχομεν ἐξουσίαν, ἀλλ’ ἵνα ἑαυτοὺς
～ない ～と ～ない 持っていないからでなく 権利を むしろ ～のために 自分–自身を
G3756 G3754 G3756 G2192 G1849 G0235 G2443 G1438

τύπον δῶμεν ὑμῖν, εἰς τὸ μιμεῖσθαι ἡμᾶς.
模範として 与えるために あなたがたに ～のために その 見ならうために 私たちを
G5179 G1325 G4771 G1519 G3588 G3401 G1473

それは、わたしたちにその権利がないからではなく、ただわたしたちにあなたがたが見習うように、身をもって模範を示したのである。

10 καὶ γὰρ, ὅτε ἦμεν πρὸς ὑμᾶς, τοῦτο παρηγγέλλομεν
また なぜなら ～の時 いた–時 ～の–もとに あなたがたの–もとに これを 命じていました
G2532 G1063 G3753 G1510 G4314 G4771 G3778 G3853

ὑμῖν, ὅτι εἴ τις οὐ θέλει ἐργάζεσθαι, μηδὲ
あなたがたに ～と もし 誰かが ～ない 望まないなら 働くことを また～ない
G4771 G3754 G1487 G5100 G3756 G2309 G2038 G3366

ἐσθιέτω.
食べてはなりませんと
G2068

また、あなたがたの所にいた時に、「働こうとしない者は、食べることもしてはならない」と命じておいた。

11 ἀκούομεν γάρ τινας περιπατοῦντας ἐν ὑμῖν
聞きます なぜなら ある–者たちが 歩んでいると ～において あなたがたの–中で
G0191 G1063 G5100 G4043 G1722 G4771

ἀτάκτως, μηδὲν ἐργαζομένους, ἀλλὰ περιεργαζομένους.
乱れた–歩みを 何も 働かず むしろ おせっかいを–していると
G0814 G3367 G2038 G0235 G4020

ところが、聞くところによると、あなたがたのうちのある者は怠惰な生活を送り、働かないで、ただいたずらに動きまわっているとのことである。

12 τοῖς δὲ τοιούτοις, παραγγέλλομεν καὶ παρακαλοῦμεν ἐν
その しかし このような–者たちに 命じます そして 勧めます ～において
G3588 G1161 G5108 G3853 G2532 G3870 G1722

Κυρίῳ Ἰησοῦ Χριστῷ, ἵνα μετὰ ἡσυχίας ἐργαζόμενοι, τὸν
主 イエス キリストにおいて ～のために ～を–もって 静かさを–もって 働きながら その
G2962 G2424 G5547 G2443 G3326 G2271 G2038 G3588

ἑαυτῶν ἄρτον ἐσθίωσιν.
自分たちの パンを 食べるように
G1438 G0740 G2068

こうした人々に対しては、静かに働いて自分で得たパンを食べるように、主イエス・キリストによって命じまた勧める。

13 Ὑμεῖς δέ, ἀδελφοί, μὴ ἐγκακήσητε καλοποιοῦντες.
あなたがたは しかし 兄弟たちよ ～ない 疲れてはなりません 善を–行うことに
G4771 G1161 G0080 G3361 G1573 G2569

兄弟たちよ。あなたがたは、たゆまずに良い働きをしなさい。

14 εἰ δέ τις οὐχ ὑπακούει τῷ λόγῳ ἡμῶν, διὰ τῆς
もし しかし 誰かが ～ない 従わないなら その 言葉に 私たちの ～を–通して その
G1487 G1161 G5100 G3756 G5219 G3588 G3056 G1473 G1223 G3588

ἐπιστολῆς, τοῦτον σημειοῦσθε μὴ συναναμίγνυσθαι αὐτῷ, ἵνα
手紙を–通して その–者に 印を–つけなさい ～ない 交わってはなりません その–者と ～のために
G1992 G3778 G4593 G3361 G4874 G0846 G2443

ἐντραπῇ.
恥じるために
G1788

もしこの手紙にしるしたわたしたちの言葉に聞き従わない人があれば、そのような人には注意をして、交際しないがよい。彼が自ら恥じるようになるためである。

15 καὶ そして G2532 | μὴ ～ない G3361 | ὡς ～として G5613 | ἐχθρὸν 敵として G2190 | ἡγεῖσθε, みなしてはなりません G2233 | ἀλλὰ むしろ G0235 | νουθετεῖτε 戒めなさい G3560 | ὡς ～として G5613

ἀδελφόν. 兄弟として G0080

しかし、彼を敵のように思わないで、兄弟として訓戒しなさい。

16 Αὐτὸς その G0846 | δὲ しかし G1161 | ὁ その G3588 | Κύριος 主 G2962 | τῆς その G3588 | εἰρήνης, 平和の G1515 | δώῃ 与えてくださるように G1325 | ὑμῖν あなたがたに G4771 | τὴν その G3588

εἰρήνην 平和を G1515 | διὰ, ～を–通して G1223 | παντὸς すべての G3956 | ἐν ～において G1722 | παντὶ すべての G3956 | τρόπῳ. 手段において G5158 | ὁ その G3588 | Κύριος 主が G2962 | μετὰ ～と–共に G3326

πάντων すべての G3956 | ὑμῶν. あなたがたと–共に G4771

どうか、平和の主ご自身が、いついかなる場合にも、あなたがたに平和を与えて下さるように。主があなたがた一同と共におられるように。

17 Ὁ その G3588 | ἀσπασμὸς あいさつは G0783 | τῇ この G3588 | ἐμῇ 私自身の G1699 | χειρὶ -- 手による G5495 | Παύλου, パウロの G3972 | ὅ それが G3739 | ἐστιν ～です G1510 | σημεῖον しるしです G4592 | ἐν ～において G1722

πάσῃ すべての G3956 | ἐπιστολῇ: 手紙において G1992 | οὕτως このように G3779 | γράφω. 書きます G1125

ここでパウロ自身が、手ずからあいさつを書く。これは、わたしのどの手紙にも書く印である。わたしは、このように書く。

18 ἡ その G3588 | χάρις 恵みが G5485 | τοῦ その G3588 | Κυρίου 主 G2962 | ἡμῶν, 私たちの G1473 | Ἰησοῦ イエス G2424 | Χριστοῦ, キリストの G5547 | μετὰ ～と–共に G3326 | πάντων すべての G3956

ὑμῶν. あなたがたと–共に G4771 | <Ἀμήν>. アーメン G0281

どうか、わたしたちの主イエス・キリストの恵みが、あなたがた一同と共にあるように。

1 Timothy

Chapter 1

1 Παῦλος, パウロ G3972 ἀπόστολος 使徒 G0652 Χριστοῦ キリスト G5547 Ἰησοῦ, イエスの G2424 κατ’ による G2596 ἐπιταγὴν 命令で G2003 Θεοῦ 神 G2316 Σωτῆρος 救い-主 G4990 ἡμῶν, 私たちの G1473

καὶ と G2532 Χριστοῦ キリスト G5547 Ἰησοῦ, イエス G2424 τῆς その G3588 ἐλπίδος 希望 G1680 ἡμῶν, 私たちの G1473

わたしたちの救主なる神と、わたしたちの望みであるキリスト・イエスとの任命によるキリスト・イエスの使徒パウロから、

2 Τιμοθέῳ, テモテへ G5095 γνησίῳ 真の G1103 τέκνῳ 子よ G5043 ἐν における G1722 πίστει: 信仰における G4102 χάρις, 恵みと G5485 ἔλεος, 憐れみと G1656 εἰρήνη 平和が G1515 ἀπὸ から G0575 Θεοῦ 神 G2316

πατρὸς, 父 G3962 καὶ と G2532 Χριστοῦ キリスト G5547 Ἰησοῦ, イエス G2424 τοῦ その G3588 κυρίου 主 G2962 ἡμῶν. 私たちのから G1473

信仰によるわたしの真実な子テモテへ。父なる神とわたしたちの主キリスト・イエスから、恵みとあわれみと平安とが、あなたにあるように。

3 Καθὼς ちょうど G2531 παρεκάλεσά 勧めた-ように G3870 σε あなたに G4771 προσμεῖναι とどまることを G4357 ἐν において G1722 Ἐφέσῳ, エペソに G2181 πορευόμενος 出立つ-とき G4198

εἰς に-向かって G1519 Μακεδονίαν, マケドニアへ G3109 ἵνα それは G2443 παραγγείλῃς 命じるため G3853 τισὶν ある-者たちに G5100 μὴ ない G3361

ἑτεροδιδασκαλεῖν, 異なる-教えを-説かないように G2085

わたしがマケドニヤに向かって出発する際、頼んでおいたように、あなたはエペソにとどまっていて、ある人々に、違った教を説くことをせず、

4 μηδὲ また-ない G3366 προσέχειν 心を-向けることを G4337 μύθοις 作り話に G3454 καὶ また G2532 γενεαλογίαις 系図に G1076 ἀπεράντοις, 果てしない G0562 αἵτινες それらは G3748

ἐκζητήσεις 論争を G2214 παρέχουσιν, 生み出す G3930 μᾶλλον むしろ G3123 ἢ よりも G2228 οἰκονομίαν 経綸を G3622 Θεοῦ, 神の G2316 τὴν その G3588 ἐν における G1722 πίστει. 信仰における G4102

作り話やはてしのない系図などに気をとられることもないように、命じなさい。そのようなことは信仰による神の務を果すものではなく、むしろ論議を引き起させるだけのものである。

5 τὸ δὲ τέλος τῆς παραγγελίας ἐστὶν ἀγάπη ἐκ καθαρᾶς, καρδίας
その しかし 目的は その 命令の である 愛である からの 清い 心と
G3588 G1161 G5056 G3588 G3852 G1510 G0026 G1537 G2513 G2588

καὶ συνειδήσεως ἀγαθῆς, καὶ πίστεως ἀνυποκρίτου;
また 良心と 善い また 信仰 偽りのない
G2532 G4893 G0018 G2532 G4102 G0505

わたしのこの命令は、清い心と正しい良心と偽りのない信仰とから出てくる愛を目標としている。

6 ὧν τινες, ἀστοχήσαντες, ἐξετράπησαν εἰς ματαιολογίαν,
それらから ある-者たちは それて それてしまった に-向かって 空しい-論議に
G3739 G5100 G0795 G1624 G1519 G3150

ある人々はこれらのものからそれて空論に走り、

7 θέλοντες εἶναι νομοδιδάσκαλοι, μὴ νοοῦντες μήτε ἃ λέγουσιν,
望んで あることを 律法の-教師と ない 理解していない もない 何を 言っているか
G2309 G1510 G3547 G3361 G3539 G3383 G3739 G3004

μήτε περὶ τίνων διαβεβαιοῦνται.
もない について 何を 主張しているかも
G3383 G4012 G5101 G1226

律法の教師たることを志していながら、自分の言っていることも主張していることも、わからないでいる。

8 Οἴδαμεν δὲ ὅτι καλὸς ὁ νόμος, ἐάν τις αὐτῷ νομίμως
知っている しかし それが 良い-ものである その 律法は もし 誰かが それを 正しく
G1492 G1161 G3754 G2570 G3588 G3551 G1437 G5100 G0846 G3545

χρῆται,
用いるなら
G5530

わたしたちが知っているとおり、律法なるものは、法に従って用いるなら、良いものである。

9 εἰδὼς τοῦτο, ὅτι δικαίῳ νόμος οὐ κεῖται, ἀνόμοις δὲ
知っている これを それが 正しい-者に 律法は ない 置かれていない 不法な-者に しかし
G1492 G3778 G3754 G1342 G3551 G3756 G2749 G0459 G1161

καὶ ἀνυποτάκτοις, ἀσεβέσι καὶ ἁμαρτωλοῖς, ἀνοσίοις καὶ βεβήλοις,
また 従わない-者に 不敬虔な-者に また 罪人に 不浄な-者に また 瀆神する-者に
G2532 G0506 G0765 G2532 G0268 G0462 G2532 G0952

πατρολῴαις καὶ μητρολῴαις, ἀνδροφόνοις,
父を-殺す-者に また 母を-殺す-者に 人殺しに
G3964 G2532 G3389 G0409

すなわち、律法は正しい人のために定められたのではなく、不法な者と法に服さない者、不信心な者と罪ある者、神聖を汚す者と俗悪な者、父を殺す者と母を殺す者、人を殺す者、

10 πόρνοις, ἀρσενοκοίταις, ἀνδραποδισταῖς, ψεύσταις, ἐπιόρκοις, καὶ εἴ
淫行する-者に 男色の-者に 人さらいに 嘘つきに 偽証する-者に そして もし
G4205 G0733 G0405 G5583 G1965 G2532 G1487

τι ἕτερον, τῇ ὑγιαινούσῃ διδασκαλίᾳ, ἀντίκειται,
何か 他の-ものが その 健全な 教えに 反するなら
G5100 G2087 G3588 G5198 G1319 G0480

不品行な者、男色をする者、誘かいする者、偽る者、偽り誓う者、そのほか健全な教にもとることがあれば、そのために定められていることを認むべきである。

11 κατὰ τὸ εὐαγγέλιον τῆς δόξης τοῦ μακαρίου Θεοῦ, ὃ ἐπιστεύθην
による その 福音 その 栄光の その 祝福なる 神の それを 委ねられた
G2596 G3588 G2098 G3588 G1391 G3588 G3107 G2316 G3739 G4100

ἐγώ.
私が
G1473

これは、祝福に満ちた神の栄光の福音が示すところであって、わたしはこの福音をゆだねられているのである。

12 Χάριν ἔχω τῷ ἐνδυναμώσαντί με, Χριστῷ Ἰησοῦ τῷ Κυρίῳ
感謝を 持っている その 強めてくださった–方 私を キリスト イエス その 主
G5485 G2192 G3588 G1743 G1473 G5547 G2424 G3588 G2962

ἡμῶν, ὅτι πιστόν με ἡγήσατο, θέμενος εἰς διακονίαν,
私たちのに なぜなら 忠実な–者と 私を 見なしてくださった 置いてくださった に 奉仕に
G1473 G3754 G4103 G1473 G2233 G5087 G1519 G1248

わたしは、自分を強くして下さったわたしたちの主キリスト・イエスに感謝する。主はわたしを忠実な者と見て、この務に任じて下さったのである。

13 τὸ πρότερον ὄντα βλάσφημον, καὶ διώκτην, καὶ
その 以前は あった 冒涜する–者であり また 迫害する–者であり また
G3588 G4386 G1510 G0989 G2532 G1376 G2532

ὑβριστήν; ἀλλὰ ἠλεήθην, ὅτι ἀγνοῶν, ἐποίησα ἐν
暴力を–振るう–者であった しかし 憐れみを–受けた なぜなら 知らずに 行った において
G5197 G0235 G1653 G3754 G0050 G4160 G1722

ἀπιστίᾳ.
不信仰の–中で
G0570

わたしは以前には、神をそしる者、迫害する者、不遜な者であった。しかしわたしは、これらの事を、信仰がなかったとき、無知なためにしたのだから、あわれみをこうむったのである。

14 ὑπερεπλεόνασεν δὲ, ἡ χάρις τοῦ Κυρίου ἡμῶν, μετὰ πίστεως καὶ
溢れ出た しかし その 恵みが その 主 私たちの と共に 信仰と また
G5250 G1161 G3588 G5485 G3588 G2962 G1473 G3326 G4102 G2532

ἀγάπης, τῆς ἐν Χριστῷ Ἰησοῦ.
愛 その における キリスト イエスにある
G0026 G3588 G1722 G5547 G2424

その上、わたしたちの主の恵みが、キリスト・イエスにある信仰と愛とに伴い、ますます増し加わってきた。

15 πιστὸς ὁ λόγος, καὶ πάσης ἀποδοχῆς ἄξιος, ὅτι Χριστὸς Ἰησοῦς
忠実である その 言葉は また すべての 受入れに ふさわしい それが キリスト イエスは
G4103 G3588 G3056 G2532 G3956 G0594 G0514 G3754 G5547 G2424

ἦλθεν εἰς τὸν κόσμον ἁμαρτωλοὺς σῶσαι, ὧν πρῶτός εἰμι
来た に その 世に 罪人を 救うために その–中で 第一の–者である である
G2064 G1519 G3588 G2889 G0268 G4982 G3739 G4413 G1510

ἐγώ.
私が
G1473

「キリスト・イエスは、罪人を救うためにこの世にきて下さった」という言葉は、確実で、そのまま受けいれるに足るものである。わたしは、その罪人のかしらなのである。

16

ἀλλὰ	διὰ	τοῦτο,	ἠλεήθην,	ἵνα	ἐν	ἐμοὶ,	πρώτῳ,	ἐνδείξηται
しかし	ゆえに	この	憐れみを-受けた	それは	において	私に	第一に	示すために
G0235	G1223	G3778	G1653	G2443	G1722	G1473	G4413	G1731

Ἰησοῦς	Χριστὸς	τὴν	ἅπασαν	μακροθυμίαν,	πρὸς	ὑποτύπωσιν	τῶν	μελλόντων
イエス	キリストが	その	あらゆる	寛容を	ための	模範として	その	やがて
G2424	G5547	G3588	G0537	G3115	G4314	G5296	G3588	G3195

πιστεύειν	ἐπ'	αὐτῷ,	εἰς	ζωὴν	αἰώνιον.
信じる-者たちの	に-向かって	その方に	に-向かって	いのち	永遠の
G4100	G1909	G0846	G1519	G2222	G0166

しかし、わたしがあわれみをこうむったのは、キリスト・イエスが、まずわたしに対して限りない寛容を示し、そして、わたしが今後、彼を信じて永遠のいのちを受ける者の模範となるためである。

17

Τῷ	δὲ	Βασιλεῖ	τῶν	αἰώνων,	ἀφθάρτῳ,	ἀοράτῳ,	μόνῳ	Θεῷ,	τιμὴ	καὶ
その	しかし	王に	その	世々の	不滅なる	見えない	唯一の	神に	誉れと	また
G3588	G1161	G0935	G3588	G0165	G0862	G0517	G3441	G2316	G5092	G2532

δόξα,	εἰς	τοὺς	αἰῶνας	τῶν	αἰώνων.	ἀμήν.
栄光が	に-向かって	その	世々の	その	世々に	アーメン
G1391	G1519	G3588	G0165	G3588	G0165	G0281

世々の支配者、不朽にして見えざる唯一の神に、世々限りなく、ほまれと栄光とがあるように、アァメン。

18

Ταύτην	τὴν	παραγγελίαν	παρατίθεμαί	σοι,	τέκνον	Τιμόθεε,	κατὰ	τὰς
この	その	命令を	委ねます	あなたに	子よ	テモテよ	によって	その
G3778	G3588	G3852	G3908	G4771	G5043	G5095	G2596	G3588

προαγούσας	ἐπὶ	σὲ	προφητείας,	ἵνα	στρατεύῃ	ἐν
先立った	について	あなたについての	預言により	それは	戦うために	において
G4254	G1909	G4771	G4394	G2443	G4754	G1722

αὐταῖς	τὴν	καλὴν	στρατείαν,
それらによって	その	良い	戦いを
G0846	G3588	G2570	G4752

わたしの子テモテよ。以前あなたに対してなされた数々の預言の言葉に従って、この命令を与える。あなたは、これらの言葉に励まされて、信仰と正しい良心とを保ちながら、りっぱに戦いぬきなさい。

19

ἔχων	πίστιν	καὶ	ἀγαθὴν	συνείδησιν;	ἣν	τινες,	ἀπωσάμενοι,	περὶ
保って	信仰と	また	善い	良心を	それを	ある-者たちは	退けてしまい	について
G2192	G4102	G2532	G0018	G4893	G3739	G5100	G0683	G4012

τὴν	πίστιν,	ἐναυάγησαν;
その	信仰において	難破した
G3588	G4102	G3489

ある人々は、正しい良心を捨てたため、信仰の破船に会った。

20

ὧν	ἐστιν	Ὑμέναιος	καὶ	Ἀλέξανδρος,	οὓς	παρέδωκα	τῷ
その-中に	いる	ヒュメナイオスと	また	アレクサンドロスが	彼らを	引き渡した	その
G3739	G1510	G5211	G2532	G0223	G3739	G3860	G3588

Σατανᾷ,	ἵνα	παιδευθῶσιν	μὴ	βλασφημεῖν.
サタンに	それは	訓練されるため	ない	冒涜しないように
G4567	G2443	G3811	G3361	G0987

その中に、ヒメナオとアレキサンデルとがいる。わたしは、神を汚さないことを学ばせるため、このふたりをサタンの手に渡したのである。

Chapter 2

1 Παρακαλῶ οὖν, πρῶτον πάντων, ποιεῖσθαι δεήσεις, προσευχάς, ἐντεύξεις, εὐχαριστίας, ὑπὲρ πάντων ἀνθρώπων;

勧めます それで 第一に すべての なすことを 願いと 祈りと とりなしと 感謝を ために すべての 人々の
G3870 G3767 G4412 G3956 G4160 G1162 G4335 G1783 G2169 G5228 G3956 G0444

そこで、まず第一に勧める。すべての人のために、王たちと上に立っているすべての人々のために、願いと、祈と、とりなしと、感謝とをささげなさい。

2 ὑπὲρ βασιλέων καὶ πάντων τῶν ἐν ὑπεροχῇ ὄντων, ἵνα ἤρεμον καὶ ἡσύχιον βίον διάγωμεν, ἐν πάσῃ εὐσεβείᾳ καὶ σεμνότητι;

ために 王たちと また すべての その において 高い–地位に ある–者たちの それは 穏やかで また 静かな 生活を 過ごすため における すべての 敬虔と また 品位をもって
G5228 G0935 G2532 G3956 G3588 G1722 G5247 G1510 G2443 G2263 G2532 G2272 G0979 G1236 G1722 G3956 G2150 G2532 G4587

それはわたしたちが、安らかで静かな一生を、真に信心深くまた謹厳に過ごすためである。

3 τοῦτο καλὸν καὶ ἀπόδεκτον, ἐνώπιον τοῦ Σωτῆρος ἡμῶν, Θεοῦ,

これは 良く また 喜ばれることである 御前で その 救い–主 私たちの 神の
G3778 G2570 G2532 G0587 G1799 G3588 G4990 G1473 G2316

これは、わたしたちの救主である神のみまえに良いことであり、また、みこころにかなうことである。

4 ὃς πάντας ἀνθρώπους θέλει σωθῆναι, καὶ εἰς ἐπίγνωσιν ἀληθείας ἐλθεῖν.

その方は すべての 人々が 望んでおられる 救われることを また に–向かって 知識に 真理の 来ることを
G3739 G3956 G0444 G2309 G4982 G2532 G1519 G1922 G0225 G2064

神は、すべての人が救われて、真理を悟るに至ることを望んでおられる。

5 εἷς γὰρ Θεός, εἷς καὶ μεσίτης Θεοῦ καὶ ἀνθρώπων -- ἄνθρωπος Χριστὸς Ἰησοῦς --

一人である なぜなら 神は 一人であり また 仲介者も 神と また 人間との 人である キリスト イエス
G1520 G1063 G2316 G1520 G2532 G3316 G2316 G2532 G0444 G0444 G5547 G2424

神は唯一であり、神と人との間の仲保者もただひとりであって、それは人なるキリスト・イエスである。

6 ὁ δοὺς ἑαυτὸν ἀντίλυτρον ὑπὲρ πάντων, τὸ μαρτύριον καιροῖς ἰδίοις,

その方は 与えた 自分自身を 贖いの–代価として ために すべての–人の その 証として 時に 定められた
G3588 G1325 G1438 G0487 G5228 G3956 G3588 G3142 G2540 G2398

彼は、すべての人のあがないとしてご自身をささげられたが、それは、定められた時になされたあかしにほかならない。

7 εἰς ὃ ἐτέθην ἐγὼ, κῆρυξ καὶ ἀπόστολος-- ἀλήθειαν λέγω;
その-ために それに 置かれた 私は 宣教者として また 使徒として 真実を 言っている
G1519 G3739 G5087 G1473 G2783 G2532 G0652 G0225 G3004

οὐ ψεύδομαι-- διδάσκαλος ἐθνῶν, ἐν πίστει καὶ ἀληθείᾳ.
ない 嘘を-ついていない 教師として 異邦人の における 信仰と また 真理において
G3756 G5574 G1320 G1484 G1722 G4102 G2532 G0225

そのために、わたしは立てられて宣教者、使徒となり（わたしは真実を言っている、偽ってはいない）、また異邦人に信仰と真理とを教える教師となったのである。

8 Βούλομαι οὖν, προσεύχεσθαι τοὺς ἄνδρας ἐν παντὶ τόπῳ, ἐπαίροντας
望みます それで 祈ることを その 男たちが において すべての 場所で 上げて
G1014 G3767 G4336 G3588 G0435 G1722 G3956 G5117 G1869

ὁσίους χεῖρας, χωρὶς ὀργῆς καὶ διαλογισμοῦ.
聖なる 手を なしに 怒りと また 疑いとを
G3741 G5495 G5565 G3709 G2532 G1261

男は、怒ったり争ったりしないで、どんな場所でも、きよい手をあげて祈ってほしい。

9 Ὡσαύτως ‹καὶ› γυναῖκας, ἐν καταστολῇ κοσμίῳ, μετὰ αἰδοῦς καὶ
同様に また 女たちが において 身なりで 慎み深い をもって 慎しさと また
G5615 G2532 G1135 G1722 G2689 G2887 G3326 G0127 G2532

σωφροσύνης, κοσμεῖν ἑαυτάς, μὴ ἐν πλέγμασιν, καὶ χρυσίῳ, ἢ
慣み深さをもって 飾ること 自分自身を ない において 編み髪や また 金や または
G4997 G2885 G1438 G3361 G1722 G4117 G2532 G5553 G2228

μαργαρίταις, ἢ ἱματισμῷ πολυτελεῖ,
真珠や または 衣服で 高価な
G3135 G2228 G2441 G4185

また、女はつつましい身なりをし、適度に慎み深く身を飾るべきであって、髪を編んだり、金や真珠をつけたり、高価な着物を着たりしてはいけない。

10 ἀλλ’ ὃ πρέπει γυναιξὶν ἐπαγγελλομέναις θεοσέβειαν, δι’ ἔργων
しかし それは ふさわしい 女たちに 告白する 神を-敬うことを を-通じて 業で
G0235 G3739 G4241 G1135 G1861 G2317 G1223 G2041

ἀγαθῶν.
善い
G0018

むしろ、良いわざをもって飾りとすることが、信仰を言いあらわしている女に似つかわしい。

11 Γυνὴ ἐν ἡσυχίᾳ μανθανέτω ἐν πάσῃ ὑποταγῇ;
女は において 静かさの-中で 学ぶべきである において すべての 従順をもって
G1135 G1722 G2271 G3129 G1722 G3956 G5292

女は静かにしていて、万事につけ従順に教を学ぶがよい。

12 διδάσκειν δὲ γυναικὶ οὐκ ἐπιτρέπω, οὐδὲ αὐθεντεῖν ἀνδρός, ἀλλ’
教えることを しかし 女には ない 許さない また-ない 支配することを 男を しかし
G1321 G1161 G1135 G3756 G2010 G3761 G0831 G0435 G0235

εἶναι ἐν ἡσυχίᾳ;
あること において 静かに
G1510 G1722 G2271

女が教えたり、男の上に立ったりすることを、わたしは許さない。むしろ、静かにしているべきである。

13 Ἀδὰμ γὰρ πρῶτος ἐπλάσθη, εἶτα Εὔα;
アダムが なぜなら 最初に 造られた その後 エバが
G0076 G1063 G4413 G4111 G1534 G2096

なぜなら、アダムがさきに造られ、それからエバが造られたからである。

14 καὶ Ἀδὰμ οὐκ ἠπατήθη; ἡ δὲ γυνὴ, ἐξαπατηθεῖσα, ἐν
そして アダムは ない 欺かれなかった その しかし 女が 欺かれて において
G2532 G0076 G3756 G0538 G3588 G1161 G1135 G1818 G1722

παραβάσει γέγονεν.
違反に 陥った
G3847 G1096

またアダムは惑わされなかったが、女は惑わされて、あやまちを犯した。

15 σωθήσεται δὲ διὰ τῆς τεκνογονίας, ἐὰν μείνωσιν ἐν πίστει,
救われる しかし を–通じて その 子を–産むことを もし とどまるなら において 信仰と
G4982 G1161 G1223 G3588 G5042 G1437 G3306 G1722 G4102

καὶ ἀγάπῃ, καὶ ἁγιασμῷ, μετὰ σωφροσύνης.
また 愛と また 聖化と をもって 慣み深さを
G2532 G0026 G2532 G0038 G3326 G4997

しかし、女が慎み深く、信仰と愛と清さとを持ち続けるなら、子を産むことによって救われるであろう。

Chapter 3

1 Πιστὸς ὁ λόγος: εἴ τις ἐπισκοπῆς ὀρέγεται, καλοῦ ἔργου ἐπιθυμεῖ.
忠実である その 言葉は もし 誰かが 監督の–職を 望むなら 良い 業を 求めている
G4103 G3588 G3056 G1487 G5100 G1984 G3713 G2570 G2041 G1937

「もし人が監督の職を望むなら、それは良い仕事を願うことである」とは正しい言葉である。

2 δεῖ οὖν τὸν ἐπίσκοπον ἀνεπίλημπτον εἶναι, μιᾶς γυναικὸς ἄνδρα,
必要がある それで その 監督は 非難の–ない–者で あること 一人の 女の 夫であり
G1163 G3767 G3588 G1985 G0423 G1510 G1520 G1135 G0435

νηφάλιον, σώφρονα, κόσμιον, φιλόξενον, διδακτικόν;
節制があり 慣み深く 品位があり もてなし好きで 教える–能力があること
G3524 G4998 G2887 G5382 G1317

さて、監督は、非難のない人で、ひとりの妻の夫であり、自らを制し、慎み深く、礼儀正しく、旅人をもてなし、よく教えることができ、

3 μὴ πάροινον, μὴ πλήκτην, ἀλλὰ ἐπιεικῆ, ἄμαχον, ἀφιλάργυρον;
ない 酒好きで ない 乱暴で しかし 寛大で 争わず 金銭に–執着しないこと
G3361 G3943 G3361 G4131 G0235 G1933 G0269 G0866

酒を好まず、乱暴でなく、寛容であって、人と争わず、金に淡泊で、

4 τοῦ ἰδίου οἴκου καλῶς προϊστάμενον, τέκνα ἔχοντα ἐν ὑποταγῇ,
その 自分の 家を 良く 治めている–者で 子どもたちを 持っている において 従順の–中に
G3588 G2398 G3624 G2573 G4291 G5043 G2192 G1722 G5292

μετὰ πάσης σεμνότητος --
をもって すべての 品位を
G3326 G3956 G4587

自分の家をよく治め、謹厳であって、子供たちを従順な者に育てている人でなければならない。

5

εἰ	δέ	τις	τοῦ	ἰδίου	οἴκου	προστῆναι	οὐκ	οἶδεν,	πῶς
もし	しかし	誰かが	その	自分の	家を	治めることが	ない	知らないなら	どうして
G1487	G1161	G5100	G3588	G2398	G3624	G4291	G3756	G1492	G4459

ἐκκλησίας	Θεοῦ	ἐπιμελήσεται? --
教会を	神の	世話できるだろうか
G1577	G2316	G1959

自分の家を治めることも心得ていない人が、どうして神の教会を預かることができようか。

6

μὴ	νεόφυτον,	ἵνα	μὴ	τυφωθεὶς,	εἰς	κρίμα	ἐμπέσῃ	τοῦ
ない	新しい-信者では	それは	ない	高慢に-なって	に	裁きに	陥らない-ために	その
G3361	G3504	G2443	G3361	G5187	G1519	G2917	G1706	G3588

διαβόλου.
悪魔の
G1228

彼はまた、信者になって間もないものであってはならない。そうであると、高慢になって、悪魔と同じ審判を受けるかも知れない。

7

δεῖ	δὲ	καὶ,	μαρτυρίαν	καλὴν	ἔχειν	ἀπὸ	τῶν	ἔξωθεν,	ἵνα
必要がある	しかし	また	証しを	良い	持つことが	からの	その	外の-人々から	それは
G1163	G1161	G2532	G3141	G2570	G2192	G0575	G3588	G1855	G2443

μὴ	εἰς	ὀνειδισμὸν	ἐμπέσῃ,	καὶ	παγίδα	τοῦ	διαβόλου.
ない	に	そしりに	陥らない-ために	また	罠に	その	悪魔の
G3361	G1519	G3680	G1706	G2532	G3803	G3588	G1228

さらにまた、教会外の人々にもよく思われている人でなければならない。そうでないと、そしりを受け、悪魔のわなにかかるであろう。

8

Διακόνους	ὡσαύτως,	σεμνούς,	μὴ	διλόγους,	μὴ	οἴνῳ	πολλῷ	προσέχοντας,
執事たちも	同様に	品位があり	ない	二枚舌で	ない	酒に	多く	かかわらず
G1249	G5615	G4586	G3361	G1351	G3361	G3631	G4183	G4337

μὴ	αἰσχροκερδεῖς,
ない	不正な-利得に-貪欲で
G3361	G0146

それと同様に、執事も謹厳であって、二枚舌を使わず、大酒を飲まず、利をむさぼらず、

9

ἔχοντας	τὸ	μυστήριον	τῆς	πίστεως,	ἐν	καθαρᾷ	συνειδήσει.
保っている	その	奥義を	その	信仰の	において	清い	良心をもって
G2192	G3588	G3466	G3588	G4102	G1722	G2513	G4893

きよい良心をもって、信仰の奥義を保っていなければならない。

10

καὶ	οὗτοι	δὲ,	δοκιμαζέσθωσαν	πρῶτον;	εἶτα	διακονείτωσαν,
そして	この-者たちも	しかし	試されるべきである	まず	それから	仕えるべきである
G2532	G3778	G1161	G1381	G4412	G1534	G1247

ἀνέγκλητοι	ὄντες.
非難のない-者として	あるなら
G0410	G1510

彼らはまず調べられて、不都合なことがなかったなら、それから執事の職につかすべきである。

11 γυναῖκας ὡσαύτως σεμνάς, μὴ διαβόλους, νηφαλίους, πιστὰς ἐν
女たちも 同様に 品位があり ない 悪口を-言わず 節制があり 忠実であること において
G1135 G5615 G4586 G3361 G1228 G3524 G4103 G1722

πᾶσιν.
すべてに
G3956

女たちも、同様に謹厳で、他人をそしらず、自らを制し、すべてのことに忠実でなければならない。

12 διάκονοι ἔστωσαν μιᾶς γυναικὸς ἄνδρες, τέκνων καλῶς προϊστάμενοι
執事たちは あるべきである 一人の 女の 夫であり 子どもたちを 良く 治めている-者で
G1249 G1510 G1520 G1135 G0435 G5043 G2573 G4291

καὶ τῶν ἰδίων οἴκων.
また その 自分の 家を
G2532 G3588 G2398 G3624

執事はひとりの妻の夫であって、子供と自分の家とをよく治める者でなければならない。

13 οἱ γὰρ καλῶς διακονήσαντες, βαθμὸν ἑαυτοῖς καλὸν περιποιοῦνται,
その なぜなら 良く 仕えた-者たちは 地位を 自分たちの-ために 良い 得る
G3588 G1063 G2573 G1247 G0898 G1438 G2570 G4046

καὶ πολλὴν παρρησίαν ἐν πίστει τῇ ἐν Χριστῷ Ἰησοῦ.
また 大きな 確信を における 信仰において その における キリスト イエスにある
G2532 G4183 G3954 G1722 G4102 G3588 G1722 G5547 G2424

執事の職をよくつとめた者は、良い地位を得、さらにキリスト・イエスを信じる信仰による、大いなる確信を得るであろう。

14 Ταῦτά σοι γράφω, ἐλπίζων ἐλθεῖν πρὸς σὲ ‹ἐν›
これらの-ことを あなたに 書いている 望んで 来ることを に-向かって あなたに において
G3778 G4771 G1125 G1679 G2064 G4314 G4771 G1722

τάχει;
すぐに
G5034

わたしは、あなたの所にすぐ行きたいと望みながら、この手紙を書いている。

15 ἐὰν δὲ βραδύνω, ἵνα εἰδῇς πῶς δεῖ ἐν οἴκῳ Θεοῦ
もし しかし 遅れるなら それは 知るために どのように 必要があるか において 家で 神の
G1437 G1161 G1019 G2443 G1492 G4459 G1163 G1722 G3624 G2316

ἀναστρέφεσθαι, ἥτις ἐστὶν ἐκκλησία Θεοῦ ζῶντος, στῦλος καὶ ἑδραίωμα
振る舞うべきかを それは である 教会であり 神の 生きておられる 柱であり また 土台である
G0390 G3748 G1510 G1577 G2316 G2198 G4769 G2532 G1477

τῆς ἀληθείας.
その 真理の
G3588 G0225

万一わたしが遅れる場合には、神の家でいかに生活すべきかを、あなたに知ってもらいたいからである。神の家というのは、生ける神の教会のことであって、それは真理の柱、真理の基礎なのである。

16 | καὶ | ὁμολογουμένως | μέγα | ἐστὶν | τὸ | τῆς | εὐσεβείας | μυστήριον: | Ὃς
そして | 認められている–とおり | 大いなる | である | その | その | 敬虔の | 奥義は | その方は
G2532 | G3672 | G3173 | G1510 | G3588 | G3588 | G2150 | G3466 | G3739

ἐφανερώθη | ἐν | σαρκί, | ἐδικαιώθη | ἐν | πνεύματι, | ὤφθη | ἀγγέλοις,
現れた | において | 肉体に | 義とされた | において | 霊に | 見られた | 御使いたちに
G5319 | G1722 | G4561 | G1344 | G1722 | G4151 | G3708 | G0032

ἐκηρύχθη | ἐν | ἔθνεσιν, | ἐπιστεύθη | ἐν | κόσμῳ, | ἀνελήμφθη | ἐν | δόξῃ.
宣べ伝えられた | において | 異邦人に | 信じられた | において | 世に | 上げられた | において | 栄光に
G2784 | G1722 | G1484 | G4100 | G1722 | G2889 | G0353 | G1722 | G1391

確かに偉大なのは、この信心の奥義である、「キリストは肉において現れ、霊において義とせられ、御使たちに見られ、諸国民の間に伝えられ、世界の中で信じられ、栄光のうちに天に上げられた」。

Chapter 4

1 | Τὸ | δὲ | πνεῦμα | ῥητῶς | λέγει, | ὅτι | ἐν | ὑστέροις | καιροῖς,
その | しかし | 御霊は | はっきりと | 言っている | それが | において | 後の | 時に
G3588 | G1161 | G4151 | G4490 | G3004 | G3754 | G1722 | G5306 | G2540

ἀποστήσονταί | τινες | τῆς | πίστεως, | προσέχοντες | πνεύμασιν | πλάνοις, | καὶ
離れる–者がいる | ある–者たちが | その | 信仰から | 心を–向けて | 霊に | 惑わす | また
G0868 | G5100 | G3588 | G4102 | G4337 | G4151 | G4108 | G2532

διδασκαλίαις | δαιμονίων,
教えに | 悪霊の
G1319 | G1140

しかし、御霊は明らかに告げて言う。後の時になると、ある人々は、惑わす霊と悪霊の教とに気をとられて、信仰から離れ去るであろう。

2 | ἐν | ὑποκρίσει | ψευδολόγων, | κεκαυστηριασμένων | τὴν | ἰδίαν | συνείδησιν,
において | 偽善の | 嘘つきたちの | 焼き印を–押された | その | 自分の | 良心に
G1722 | G5272 | G5573 | G2743 | G3588 | G2398 | G4893

それは、良心に焼き印をおされている偽り者の偽善のしわざである。

3 | κωλυόντων | γαμεῖν, | ἀπέχεσθαι | βρωμάτων | ἃ | ὁ | Θεὸς | ἔκτισεν | εἰς
禁じている | 結婚することを | 避けることを | 食物から | それらを | その | 神が | 造った | ために
G2967 | G1060 | G0568 | G1033 | G3739 | G3588 | G2316 | G2936 | G1519

μετάλημψιν, | μετὰ | εὐχαριστίας, | τοῖς | πιστοῖς, | καὶ | ἐπεγνωκόσι | τὴν
受けるために | をもって | 感謝を | その | 信じる–者たちと | また | 知った–者たちに | その
G3336 | G3326 | G2169 | G3588 | G4103 | G2532 | G1921 | G3588

ἀλήθειαν.
真理を
G0225

これらの偽り者どもは、結婚を禁じたり、食物を断つことを命じたりする。しかし食物は、信仰があり真理を認める者が、感謝して受けるようにと、神の造られたものである。

4 | ὅτι | πᾶν | κτίσμα | Θεοῦ | καλόν, | καὶ | οὐδὲν | ἀπόβλητον, | μετὰ
なぜなら | すべての | 被造物は | 神の | 良く | そして | 何も | 捨てるべきではない | をもって
G3754 | G3956 | G2938 | G2316 | G2570 | G2532 | G3762 | G0579 | G3326

εὐχαριστίας | λαμβανόμενον;
感謝を | 受けるなら
G2169 | G2983

神の造られたものは、みな良いものであって、感謝して受けるなら、何ひとつ捨てるべきものはない。

5

ἁγιάζεται	γὰρ	διὰ	λόγου	Θεοῦ	καὶ	ἐντεύξεως.
聖められる	なぜなら	を–通じて	言葉で	神の	また	祈りで
G0037	G1063	G1223	G3056	G2316	G2532	G1783

それらは、神の言と祈とによって、きよめられるからである。

6

Ταῦτα	ὑποτιθέμενος	τοῖς	ἀδελφοῖς,	καλὸς	ἔσῃ	διάκονος	Χριστοῦ	
これらの–ことを	教えるなら	その	兄弟たちに	良い	あるだろう	奉仕者として	キリスト	
G3778	G5294	G3588	G0080	G2570	G1510	G1249	G5547	

Ἰησοῦ,	ἐντρεφόμενος	τοῖς	λόγοις	τῆς	πίστεως,	καὶ	τῆς	καλῆς	διδασκαλίας
イエスの	養われて	その	言葉で	その	信仰の	また	その	良い	教えの
G2424	G1789	G3588	G3056	G3588	G4102	G2532	G3588	G2570	G1319

ᾗ	παρηκολούθηκας.
それに	従ってきた
G3739	G3877

これらのことを兄弟たちに教えるなら、あなたは、信仰の言葉とあなたの従ってきた良い教の言葉とに養われて、キリスト・イエスのよい奉仕者になるであろう。

7

τοὺς	δὲ	βεβήλους	καὶ	γραώδεις	μύθους	παραιτοῦ;	γύμναζε	δὲ
その	しかし	俗悪な	また	老婆の–ような	作り話を	退けなさい	訓練しなさい	しかし
G3588	G1161	G0952	G2532	G1126	G3454	G3868	G1128	G1161

σεαυτὸν	πρὸς	εὐσέβειαν;
自分自身を	に–向かって	敬虔に
G4572	G4314	G2150

しかし、俗悪で愚にもつかない作り話は避けなさい。信心のために自分を訓練しなさい。

8

ἡ	γὰρ	σωματικὴ	γυμνασία,	πρὸς	ὀλίγον	ἐστὶν	ὠφέλιμος,	ἡ	δὲ
その	なぜなら	肉体の	訓練は	に–対して	少しく	である	有益である	その	しかし
G3588	G1063	G4984	G1129	G4314	G3641	G1510	G5624	G3588	G1161

εὐσέβεια	πρὸς	πάντα	ὠφέλιμός	ἐστιν,	ἐπαγγελίαν	ἔχουσα	ζωῆς	
敬虔は	に–対して	すべての–ことに	有益である	である	約束を	持っている	いのちの	
G2150	G4314	G3956	G5624	G1510	G1860	G2192	G2222	

τῆς	νῦν,	καὶ	τῆς	μελλούσης.
その	今の	また	その	来たるべきの
G3588	G3568	G2532	G3588	G3195

からだの訓練は少しは益するところがあるが、信心は、今のいのちと後の世のいのちとが約束されてあるので、万事に益となる。

9

πιστὸς	ὁ	λόγος,	καὶ	πάσης	ἀποδοχῆς	ἄξιος.
忠実である	その	言葉は	また	すべての	受入れに	ふさわしい
G4103	G3588	G3056	G2532	G3956	G0594	G0514

これは確実で、そのまま受けいれるに足る言葉である。

10 εἰς τοῦτο γὰρ κοπιῶμεν καὶ ἀγωνιζόμεθα, ὅτι ἠλπίκαμεν
その–ために この なぜなら 労苦し また 努力している なぜなら 望んでいる
G1519 G3778 G1063 G2872 G2532 G0075 G3754 G1679

ἐπὶ Θεῷ ζῶντι, ὅς ἐστιν Σωτὴρ πάντων ἀνθρώπων,
に–向かって 神に 生きておられる その方は である 救い–主である すべての 人々の
G1909 G2316 G2198 G3739 G1510 G4990 G3956 G0444

μάλιστα πιστῶν.
特に 信じる–者たちの
G3122 G4103

わたしたちは、このために労し苦しんでいる。それは、すべての人の救主、特に信じる者たちの救主なる生ける神に、望みを置いてきたからである。

11 Παράγγελλε ταῦτα καὶ δίδασκε.
命じなさい これらの–ことを また 教えなさい
G3853 G3778 G2532 G1321

これらの事を命じ、また教えなさい。

12 μηδείς σου τῆς νεότητος καταφρονείτω, ἀλλὰ τύπος γίνου τῶν
誰も あなたの その 若さを 侮ってはならない しかし 模範と なりなさい その
G3367 G4771 G3588 G3503 G2706 G0235 G5179 G1096 G3588

πιστῶν, ἐν λόγῳ, ἐν ἀναστροφῇ, ἐν ἀγάπῃ, ἐν πίστει, ἐν
信じる–者たちの において 言葉に において 振る舞いに において 愛に において 信仰に において
G4103 G1722 G3056 G1722 G0391 G1722 G0026 G1722 G4102 G1722

ἁγνείᾳ.
清さに
G0047

あなたは、年が若いために人に軽んじられてはならない。むしろ、言葉にも、行状にも、愛にも、信仰にも、純潔にも、信者の模範になりなさい。

13 ἕως ἔρχομαι, πρόσεχε τῇ ἀναγνώσει, τῇ παρακλήσει, τῇ διδασκαλίᾳ.
まで 来る 心を–向けなさい その 朗読に その 勧めに その 教えに
G2193 G2064 G4337 G3588 G0320 G3588 G3874 G3588 G1319

わたしがそちらに行く時まで、聖書を朗読することと、勧めをすることと、教えることとに心を用いなさい。

14 μὴ ἀμέλει τοῦ ἐν σοὶ χαρίσματος, ὃ ἐδόθη
ない おろそかにしてはならない その における あなたにある 賜物を それは 与えられた
G3361 G0272 G3588 G1722 G4771 G5486 G3739 G1325

σοι διὰ προφητείας, μετὰ ἐπιθέσεως τῶν χειρῶν τοῦ πρεσβυτερίου.
あなたに を–通じて 預言を をもって 按手で その 手の その 長老たちの
G4771 G1223 G4394 G3326 G1936 G3588 G5495 G3588 G4244

長老の按手を受けた時、預言によってあなたに与えられて内に持っている恵みの賜物を、軽視してはならない。

15 ταῦτα μελέτα; ἐν τούτοις ἴσθι, ἵνα σου ἡ προκοπὴ
これらの–ことを 励みなさい において これらに いなさい それは あなたの その 進歩が
G3778 G3191 G1722 G3778 G1510 G2443 G4771 G3588 G4297

φανερὰ ᾖ πᾶσιν.
明らかで あるように すべての–人に
G5318 G1510 G3956

すべての事にあなたの進歩があらわれるため、これらの事を実行し、それを励みなさい。

16 ἔπεχε 気を-つけなさい G1907 σεαυτῷ 自分自身に G4572 καὶ また G2532 τῇ その G3588 διδασκαλίᾳ. 教えに G1319 ἐπίμενε 続けなさい G1961 αὐτοῖς, それらに G0846 τοῦτο これを G3778 γὰρ なぜなら G1063

ποιῶν, 行うなら G4160 καὶ また G2532 σεαυτὸν 自分自身を G4572 σώσεις 救うであろう G4982 καὶ また G2532 τοὺς その G3588 ἀκούοντάς 聞く-者たちも G0191 σου. あなたの G4771

自分のことと教のこととに気をつけ、それらを常に努めなさい。そうすれば、あなたは、自分自身とあなたの教を聞く者たちとを、救うことになる。

Chapter 5

1 Πρεσβυτέρῳ 年配者を G4245 μὴ ない G3361 ἐπιπλήξῃς, 叱ってはならない G1969 ἀλλὰ しかし G0235 παρακάλει 勧めなさい G3870 ὡς として G5613 πατέρα; 父のように G3962 νεωτέρους 若い-者たちは G3501

ὡς として G5613 ἀδελφούς; 兄弟のように G0080

老人をとがめてはいけない。むしろ父親に対するように、話してあげなさい。若い男には兄弟に対するように、

2 πρεσβυτέρας 年配の-女たちは G4245 ὡς として G5613 μητέρας; 母のように G3384 νεωτέρας 若い-女たちは G3501 ὡς として G5613 ἀδελφὰς, 姉妹のように G0079 ἐν において G1722 πάσῃ すべての G3956

ἁγνείᾳ. 清さをもって G0047

年とった女には母親に対するように、若い女には、真に純潔な思いをもって、姉妹に対するように、勧告しなさい。

3 Χήρας やもめたちを G5503 τίμα, 敬いなさい G5091 τὰς その G3588 ὄντως 真に G3689 χήρας; やもめである-者たちを G5503

やもめについては、真にたよりのないやもめたちを、よくしてあげなさい。

4 εἰ もし G1487 δέ しかし G1161 τις ある G5100 χήρα, やもめが G5503 τέκνα 子どもや G5043 ἢ または G2228 ἔκγονα 孫を G1549 ἔχει, 持つなら G2192 μανθανέτωσαν 学ぶべきである G3129 πρῶτον まず G4412

τὸν その G3588 ἴδιον 自分の G2398 οἶκον 家に-対して G3624 εὐσεβεῖν, 敬虔を-示すことを G2151 καὶ そして G2532 ἀμοιβὰς 報いを G0287 ἀποδιδόναι 返すことを G0591 τοῖς その G3588 προγόνοις; 先祖たちに G4269

τοῦτο これは G3778 γάρ なぜなら G1063 ἐστιν である G1510 ἀπόδεκτον 喜ばれること G0587 ἐνώπιον 御前で G1799 τοῦ その G3588 Θεοῦ. 神の G2316

やもめに子か孫かがある場合には、これらの者に、まず自分の家で孝養をつくし、親の恩に報いることを学ばせるべきである。それが、神のみこころにかなうことなのである。

5 ἡ δὲ ὄντως χήρα, καὶ μεμονωμένη, ἤλπικεν ἐπὶ
その しかし 真に やもめであり また 独りである–者は 望みを–置いている に–向かって
G3588 G1161 G3689 G5503 G2532 G3443 G1679 G1909

(τὸν) Θεὸν, καὶ προσμένει ταῖς δεήσεσιν, καὶ ταῖς προσευχαῖς νυκτὸς
その 神に そして とどまっている その 願いと その その 祈りに 夜も
G3588 G2316 G2532 G4357 G3588 G1162 G2532 G3588 G4335 G3571

καὶ ἡμέρας.
また 昼も
G2532 G2250

真にたよりのない、ひとり暮しのやもめは、望みを神において、日夜、たえず願いと祈とに専心するが、

6 ἡ δὲ σπαταλῶσα, ζῶσα τέθνηκεν.
その しかし 快楽に–ふける–者は 生きながら 死んでいる
G3588 G1161 G4684 G2198 G2348

これに反して、みだらな生活をしているやもめは、生けるしかばねにすぎない。

7 καὶ ταῦτα παράγγελλε, ἵνα ἀνεπίλημπτοι ὦσιν.
そして これらの–ことを 命じなさい それは 非難のない–者で あるために
G2532 G3778 G3853 G2443 G0423 G1510

これらのことを命じて、彼女たちを非難のない者としなさい。

8 εἰ δέ τις τῶν ἰδίων, καὶ μάλιστα οἰκείων, οὐ προνοεῖ,
もし しかし 誰かが その 自分の–者たちを また 特に 家族を ない 世話しないなら
G1487 G1161 G5100 G3588 G2398 G2532 G3122 G3609 G3756 G4306

τὴν πίστιν ἤρνηται, καὶ ἔστιν ἀπίστου χείρων.
その 信仰を 否定したのであり そして である 不信者より 悪い
G3588 G4102 G0720 G2532 G1510 G0571 G5501

もしある人が、その親族を、ことに自分の家族をかえりみない場合には、その信仰を捨てたことになるのであって、不信者以上にわるい。

9 Χήρα καταλεγέσθω μὴ ἔλαττον ἐτῶν ἑξήκοντα, γεγονυῖα ἑνὸς
やもめは 登録されるべきである ない 以上の 歳の 六十 なった–者で 一人の
G5503 G2639 G3361 G1640 G2094 G1835 G1096 G1520

ἀνδρὸς γυνή,
男の 妻であり
G0435 G1135

やもめとして登録さるべき者は、六十歳以下のものではなくて、ひとりの夫の妻であった者、

10 ἐν ἔργοις καλοῖς μαρτυρουμένη: εἰ ἐτεκνοτρόφησεν, εἰ ἐξενοδόχησεν,
において 業で 良い 証しされた–者 もし 子どもを–育てたか もし もてなしたか
G1722 G2041 G2570 G3140 G1487 G5044 G1487 G3580

εἰ ἁγίων πόδας ἔνιψεν, εἰ θλιβομένοις ἐπήρκεσεν, εἰ παντὶ
もし 聖なる–者たちの 足を 洗ったか もし 苦しむ–者たちを 助けたか もし すべての
G1487 G0040 G4228 G3538 G1487 G2346 G1884 G1487 G3956

ἔργῳ ἀγαθῷ ἐπηκολούθησεν.
業に 善い 従ったか
G2041 G0018 G1872

また子女をよく養育し、旅人をもてなし、聖徒の足を洗い、困っている人を助け、種々の善行に努めるなど、そのよいわざでひろく認められている者でなければならない。

11 νεωτέρας 若い G3501 δὲ しかし G1161 χήρας やもめたちは G5503 παραιτοῦ; 退けなさい G3868 ὅταν ときに G3752 γὰρ なぜなら G1063 καταστρηνιάσωσιν 情欲に-駆られて G2691 τοῦ その G3588 Χριστοῦ, キリストに-背いて G5547 γαμεῖν 結婚することを G1060 θέλουσιν, 望む G2309

若いやもめは除外すべきである。彼女たちがキリストにそむいて気ままになると、結婚をしたがるようになり、

12 ἔχουσαι 持っている G2192 κρίμα 裁きを G2917 ὅτι なぜなら G3754 τὴν その G3588 πρώτην 最初の G4413 πίστιν 信仰を G4102 ἠθέτησαν. 捨てたから G0114

初めの誓いを無視したという非難を受けねばならないからである。

13 ἅμα 同時に G0260 δὲ しかし G1161 καὶ また G2532 ἀργαὶ 怠ける-者として G0692 μανθάνουσιν, 学ぶ G3129 περιερχόμεναι 回って G4022 τὰς その G3588 οἰκίας; 家々を G3614 οὐ ない G3756 μόνον だけで G3440 δὲ しかし G1161 ἀργαὶ, 怠ける-者で G0692 ἀλλὰ しかし G0235 καὶ また G2532 φλύαροι うわさ話を-する-者で G5397 καὶ また G2532 περίεργοι, おせっかいな-者で G4021 λαλοῦσαι 語っている G2980 τὰ その G3588 μὴ ない G3361 δέοντα. ふさわしくない-ことを G1163

その上、彼女たちはなまけていて、家々を遊び歩くことをおぼえ、なまけるばかりか、むだごとをしゃべって、いたずらに動きまわり、口にしてはならないことを言う。

14 βούλομαι 望みます G1014 οὖν それで G3767 νεωτέρας 若い-女たちが G3501 γαμεῖν, 結婚し G1060 τεκνογονεῖν, 子を-産み G5041 οἰκοδεσποτεῖν, 家を-治め G3616 μηδεμίαν 何も G3367 ἀφορμὴν 口実を G0874 διδόναι 与えないことを G1325 τῷ その G3588 ἀντικειμένῳ 敵対する-者に G0480 λοιδορίας 非難の G3059 χάριν. ために G5484

そういうわけだから、若いやもめは結婚して子を産み、家をおさめ、そして、反対者にそしられるすきを作らないようにしてほしい。

15 ἤδη すでに G2235 γάρ なぜなら G1063 τινες ある-者たちは G5100 ἐξετράπησαν それてしまった G1624 ὀπίσω 後を-追って G3694 τοῦ その G3588 Σατανᾶ. サタンに G4567

彼女たちのうちには、サタンのあとを追って道を踏みはずした者もある。

16 εἴ もし G1487 τις ある G5100 πιστὴ 信じる-女が G4103 ἔχει 持っているなら G2192 χήρας, やもめたちを G5503 ἐπαρκείτω 助けるべきである G1884 αὐταῖς, 彼女らを G0846 καὶ そして G2532 μὴ ない G3361 βαρείσθω 負担を-かけてはならない G0916 ἡ その G3588 ἐκκλησία, 教会に G1577 ἵνα それは G2443 ταῖς その G3588 ὄντως 真に G3689 χήραις やもめたちを G5503 ἐπαρκέσῃ. 助けるために G1884

女の信者が家にやもめを持っている場合には、自分でそのやもめの世話をしてあげなさい。教会のやっかいになってはいけない。教会は、真にたよりのないやもめの世話をしなければならない。

17 Οἱ καλῶς προεστῶτες πρεσβύτεροι, διπλῆς τιμῆς ἀξιούσθωσαν,
その 良く 治めている 長老たちは 二倍の 敬意に ふさわしいとされるべきである
G3588 G2573 G4291 G4245 G1362 G5092 G0515

μάλιστα οἱ κοπιῶντες ἐν λόγῳ καὶ διδασκαλίᾳ.
特に その 労苦している–者たち における 言葉と また 教えに
G3122 G3588 G2872 G1722 G3056 G2532 G1319

よい指導をしている長老、特に宣教と教とのために労している長老は、二倍の尊敬を受けるにふさわしい者である。

18 λέγει γὰρ ἡ γραφή, Βοῦν ἀλοῶντα οὐ φιμώσεις, καί,
言っている なぜなら その 聖書は 牛を 脱穀する ない 口籠を–はめてはならないと また
G3004 G1063 G3588 G1124 G1016 G0248 G3756 G5392 G2532

Ἄξιος ὁ ἐργάτης τοῦ μισθοῦ αὐτοῦ.
ふさわしい その 働く–者は その 報酬に その人の
G0514 G3588 G2040 G3588 G3408 G0846

聖書は、「穀物をこなしている牛に、くつこをかけてはならない」また「働き人がその報酬を受けるのは当然である」と言っている。

19 κατὰ πρεσβυτέρου κατηγορίαν, μὴ παραδέχου, ἐκτὸς εἰ μὴ
に–対して 長老に–対する 訴えを ない 受け入れてはならない ただし もし ないなら
G2596 G4245 G2724 G3361 G3858 G1622 G1487 G3361

ἐπὶ δύο ἢ τριῶν μαρτύρων.
において 二人 または 三人の 証人の–上で
G1909 G1417 G2228 G5140 G3144

長老に対する訴訟は、ふたりか三人の証人がない場合には、受理してはならない。

20 Τοὺς (δὲ) ἁμαρτάνοντας ἐνώπιον, πάντων ἔλεγχε, ἵνα καὶ οἱ
その しかし 罪を–犯す–者たちを 御前で すべての–人の 戒めなさい それは また その
G3588 G1161 G0264 G1799 G3956 G1651 G2443 G2532 G3588

λοιποὶ, φόβον ἔχωσιν.
残りの–者たちも 恐れを 持つために
G3062 G5401 G2192

罪を犯した者に対しては、ほかの人々も恐れをいだくに至るために、すべての人の前でその罪をとがむべきである。

21 διαμαρτύρομαι ἐνώπιον τοῦ Θεοῦ, καὶ Χριστοῦ Ἰησοῦ, καὶ τῶν ἐκλεκτῶν
証しします 御前で その 神と また キリスト イエスと また その 選ばれた
G1263 G1799 G3588 G2316 G2532 G5547 G2424 G2532 G3588 G1588

ἀγγέλων, ἵνα ταῦτα φυλάξῃς, χωρὶς προκρίματος, μηδὲν ποιῶν
御使いたちの それは これらの–ことを 守るために なしに 偏見と 何も 行わないこと
G0032 G2443 G3778 G5442 G5565 G4299 G3367 G4160

κατὰ πρόσκλισιν.
による えこひいきで
G2596 G4346

わたしは、神とキリスト・イエスと選ばれた御使たちとの前で、おごそかにあなたに命じる。これらのことを偏見なしに守り、何事についても、不公平な仕方をしてはならない。

22 Χεῖρας ταχέως μηδενὶ ἐπιτίθει, μηδὲ κοινώνει ἁμαρτίαις ἀλλοτρίαις;
手を 性急に 誰にも 置いてはならない また–ない 共に–すること 罪に 他人の
G5495 G5030 G3367 G2007 G3366 G2841 G0266 G0245

σεαυτὸν ἁγνὸν τήρει.
自分自身を 清く 保ちなさい
G4572 G0053 G5083

軽々しく人に手をおいてはならない。また、ほかの人の罪に加わってはいけない。自分をきよく守りなさい。

23 Μηκέτι ὑδροπότει, ἀλλὰ οἴνῳ ὀλίγῳ χρῶ, διὰ τὸν στόμαχον,
もはや 水だけを–飲まず しかし ぶどう酒を 少し 用いなさい の–ために その 胃
G3371 G5202 G0235 G3631 G3641 G5530 G1223 G3588 G4751

καὶ τὰς πυκνάς σου ἀσθενείας
また その 度々の あなたの 病気の
G2532 G3588 G4437 G4771 G0769

（これからは、水ばかりを飲まないで、胃のため、また、たびたびのいたみを和らげるために、少量のぶどう酒を用いなさい。）

24 Τινῶν ἀνθρώπων αἱ ἁμαρτίαι πρόδηλοί εἰσιν, προάγουσαι εἰς
ある–人々の 人々の その 罪は 明らかであり ある 先立って に–向かって
G5100 G0444 G3588 G0266 G4271 G1510 G4254 G1519

κρίσιν; τισὶν δὲ καὶ ἐπακολουθοῦσιν.
裁きに ある–者たちは しかし また 後から–ついてくる
G2920 G5100 G1161 G2532 G1872

ある人の罪は明白であって、すぐ裁判にかけられるが、ほかの人の罪は、あとになってわかって来る。

25 ὡσαύτως καὶ, τὰ ἔργα τὰ καλὰ πρόδηλα, καὶ τὰ ἄλλως ἔχοντα,
同様に また その 業も その 良い 明らかであり そして その 別の–ものも あるが
G5615 G2532 G3588 G2041 G3588 G2570 G4271 G2532 G3588 G0247 G2192

κρυβῆναι οὐ δύνανται.
隠すことは ない できない
G2928 G3756 G1410

それと同じく、良いわざもすぐ明らかになり、そうならない場合でも、隠れていることはあり得ない。

Chapter 6

1 Ὅσοι εἰσὶν ὑπὸ ζυγὸν δοῦλοι, τοὺς ἰδίους δεσπότας πάσης τιμῆς
すべての いる の–下に 軒の 僕たちは その 自分の 主人を すべての 敬意に
G3745 G1510 G5259 G2218 G1401 G3588 G2398 G1203 G3956 G5092

ἀξίους, ἡγείσθωσαν, ἵνα μὴ τὸ ὄνομα τοῦ Θεοῦ καὶ ἡ
ふさわしい–者と みなすべきである それは ない その 御名が その 神の また その
G0514 G2233 G2443 G3361 G3588 G3686 G3588 G2316 G2532 G3588

διδασκαλία βλασφημῆται.
教えが 汚されない–ために
G1319 G0987

くびきの下にある奴隷はすべて、自分の主人を、真に尊敬すべき者として仰ぐべきである。それは、神の御名と教とが、そしりを受けないためである。

2 οἱ δὲ πιστοὺς ἔχοντες δεσπότας, μὴ καταφρονείτωσαν, ὅτι ἀδελφοί
その しかし 信じる 持つ 主人を ない 侮ってはならない なぜなら 兄弟で
G3588 G1161 G4103 G2192 G1203 G3361 G2706 G3754 G0080

εἰσιν; ἀλλὰ μᾶλλον δουλευέτωσαν, ὅτι πιστοί εἰσιν, καὶ
あるから しかし むしろ 仕えるべきである なぜなら 信じる–者であり ある また
G1510 G0235 G3123 G1398 G3754 G4103 G1510 G2532

ἀγαπητοὶ, οἱ τῆς εὐεργεσίας, ἀντιλαμβανόμενοι. Ταῦτα δίδασκε
愛される–者である その その 善い–行いを 受ける–者たちである これらの–ことを 教えなさい
G0027 G3588 G3588 G2108 G0482 G3778 G1321

καὶ παρακάλει.
また 勧めなさい
G2532 G3870

信者である主人を持っている者たちは、その主人が兄弟であるというので軽視してはならない。むしろ、ますます励んで仕えるべきである。その益を受ける主人は、信者であり愛されている人だからである。あなたは、これらの事を教えかつ勧めなさい。

3 εἴ τις ἑτεροδιδασκαλεῖ, καὶ μὴ προσέρχεται ὑγιαίνουσιν λόγοις, τοῖς
もし 誰かが 異なる–教えを–説き そして ない 近づかないなら 健全な 言葉に その
G1487 G5100 G2085 G2532 G3361 G4334 G5198 G3056 G3588

τοῦ Κυρίου ἡμῶν, Ἰησοῦ Χριστοῦ, καὶ τῇ κατ’ εὐσέβειαν διδασκαλίᾳ,
その 主 私たちの イエス キリストの また その による 敬虔に 教えに
G3588 G2962 G1473 G2424 G5547 G2532 G3588 G2596 G2150 G1319

もし違ったことを教えて、わたしたちの主イエス・キリストの健全な言葉、ならびに信心にかなう教に同意しないような者があれば、

4 τετύφωται, μηδὲν ἐπιστάμενος, ἀλλὰ νοσῶν περὶ ζητήσεις καὶ
高慢であり 何も 知らず しかし 病んでいる について 論争と また
G5187 G3367 G1987 G0235 G3552 G4012 G2214 G2532

λογομαχίας, ἐξ ὧν γίνεται φθόνος, ἔρις, βλασφημίαι, ὑπόνοιαι πονηραί,
言葉争いに から それらから 生じる ねたみと 争いと 悪口と 疑いと 悪い
G3055 G1537 G3739 G1096 G5355 G2054 G0988 G5283 G4190

彼は高慢であって、何も知らず、ただ論議と言葉の争いとに病みついている者である。そこから、ねたみ、争い、そしり、さいぎの心が生じ、

5 διαπαρατριβαὶ διεφθαρμένων ἀνθρώπων τὸν νοῦν, καὶ ἀπεστερημένων
絶え間ない–争いが 堕落した 人々の その 心において そして 奪われた
G3859 G1311 G0444 G3588 G3563 G2532 G0650

τῆς ἀληθείας, νομιζόντων πορισμὸν εἶναι τὴν εὐσέβειαν. <Ἀφίστασο ἀπὸ τῶν
その 真理から 思っている 利得だと ある その 敬虔が 離れなさい から その
G3588 G0225 G3543 G4200 G1510 G3588 G2150 G0868 G0575 G3588

τοιούτων>
そのような–者たちから
G5108

また知性が腐って、真理にそむき、信心を利得と心得る者どもの間に、はてしのないいがみ合いが起るのである。

6 ἔστιν δὲ πορισμὸς μέγας ἡ εὐσέβεια μετὰ αὐταρκείας.
である しかし 利得である 大きな その 敬虔は と共に 満足をもった
G1510 G1161 G4200 G3173 G3588 G2150 G3326 G0841

しかし、信心があって足ることを知るのは、大きな利得である。

7 οὐδὲν γὰρ εἰσηνέγκαμεν εἰς τὸν κόσμον, ὅτι οὐδὲ ἐξενεγκεῖν
何も なぜなら 持ち込まなかった に その 世に なぜなら また–ない 持ち出すことも
G3762 G1063 G1533 G1519 G3588 G2889 G3754 G3761 G1627

τι δυνάμεθα.
何も できない
G5100 G1410

わたしたちは、何ひとつ持たないでこの世にきた。また、何ひとつ持たないでこの世を去って行く。

8 ἔχοντες δὲ διατροφὰς καὶ σκεπάσματα, τούτοις ἀρκεσθησόμεθα.
持っているなら しかし 食べ物と また 覆いを これらで 満足しよう
G2192 G1161 G1305 G2532 G4629 G3778 G0714

ただ衣食があれば、それで足れりとすべきである。

9 οἱ δὲ βουλόμενοι πλουτεῖν, ἐμπίπτουσιν εἰς πειρασμὸν, καὶ παγίδα,
その しかし 望む–者たちは 富むことを 陥る に 誘惑と また 罠と
G3588 G1161 G1014 G4147 G1706 G1519 G3986 G2532 G3803

καὶ ἐπιθυμίας πολλὰς ἀνοήτους καὶ βλαβεράς, αἵτινες βυθίζουσιν τοὺς
また 欲望に 多くの 愚かな また 有害な それらは 沈める その
G2532 G1939 G4183 G0453 G2532 G0983 G3748 G1036 G3588

ἀνθρώπους εἰς ὄλεθρον καὶ ἀπώλειαν.
人々を に 滅びと また 破滅に
G0444 G1519 G3639 G2532 G0684

富むことを願い求める者は、誘惑と、わなとに陥り、また、人を滅びと破壊とに沈ませる、無分別な恐ろしいさまざまの情欲に陥るのである。

10 ῥίζα γὰρ πάντων τῶν κακῶν ἐστιν ἡ φιλαργυρία, ἧς τινες
根である なぜなら すべての その 悪の である その 金銭の–愛は それを ある–者たちは
G4491 G1063 G3956 G3588 G2556 G1510 G3588 G5365 G3739 G5100

ὀρεγόμενοι, ἀπεπλανήθησαν ἀπὸ τῆς πίστεως, καὶ ἑαυτοὺς περιέπειραν
求めて 迷い出た から その 信仰から そして 自分自身を 刺し通した
G3713 G0635 G0575 G3588 G4102 G2532 G1438 G4044

ὀδύναις πολλαῖς.
苦しみで 多くの
G3601 G4183

金銭を愛することは、すべての悪の根である。ある人々は欲ばって金銭を求めたため、信仰から迷い出て、多くの苦痛をもって自分自身を刺しとおした。

11 Σὺ δέ, ὦ ἄνθρωπε Θεοῦ, ταῦτα φεῦγε; δίωκε δὲ
あなたは しかし おお 人よ 神の これらから 逃れなさい 追い求めなさい しかし
G4771 G1161 G5599 G0444 G2316 G3778 G5343 G1377 G1161

δικαιοσύνην, εὐσέβειαν, πίστιν, ἀγάπην, ὑπομονήν, πραϋπαθίαν.
義と 敬虔と 信仰と 愛と 忍耐と 柔和を
G1343 G2150 G4102 G0026 G5281 G4240

しかし、神の人よ。あなたはこれらの事を避けなさい。そして、義と信心と信仰と愛と忍耐と柔和とを追い求めなさい。

12 ἀγωνίζου τὸν καλὸν ἀγῶνα τῆς πίστεως. ἐπιλαβοῦ τῆς αἰωνίου
戦いなさい その 良い 戦いを その 信仰の つかみ取りなさい その 永遠の
G0075 G3588 G2570 G0073 G3588 G4102 G1949 G3588 G0166

ζωῆς, εἰς ἣν ἐκλήθης, καὶ ὡμολόγησας τὴν καλὴν ὁμολογίαν
いのちを に–向かって それに 招かれた そして 告白した その 良い 告白を
G2222 G1519 G3739 G2564 G2532 G3670 G3588 G2570 G3671

ἐνώπιον πολλῶν μαρτύρων.
御前で 多くの 証人の
G1799 G4183 G3144

信仰の戦いをりっぱに戦いぬいて、永遠のいのちを獲得しなさい。あなたは、そのために召され、多くの証人の前で、りっぱなあかしをしたのである。

13 παραγγέλλω ‹σοι› ἐνώπιον τοῦ Θεοῦ, τοῦ ζωογονοῦντος τὰ
命じます あなたに 御前で その 神の その 生かしてくださる–方 その
G3853 G4771 G1799 G3588 G2316 G3588 G2225 G3588

πάντα, καὶ Χριστοῦ Ἰησοῦ, τοῦ μαρτυρήσαντος ἐπὶ Ποντίου Πιλάτου
すべての–ものを また キリスト イエスの その 証しした–方 の–前で ポンティオ ピラトの
G3956 G2532 G5547 G2424 G3588 G3140 G1909 G4194 G4091

τὴν καλὴν ὁμολογίαν,
その 良い 告白を
G3588 G2570 G3671

わたしはすべてのものを生かして下さる神のみまえと、またポンテオ・ピラトの面前でりっぱなあかしをなさったキリスト・イエスのみまえで、あなたに命じる。

14 τηρῆσαί σε τὴν ἐντολὴν ἄσπιλον ἀνεπίλημπτον, μέχρι τῆς ἐπιφανείας
守ることを あなたが その 戒めを 汚れなく 非難なく まで その 現れの–時
G5083 G4771 G3588 G1785 G0784 G0423 G3360 G3588 G2015

τοῦ Κυρίου ἡμῶν, Ἰησοῦ Χριστοῦ;
その 主 私たちの イエス キリストの
G3588 G2962 G1473 G2424 G5547

わたしたちの主イエス・キリストの出現まで、その戒めを汚すことがなく、また、それを非難のないように守りなさい。

15 ἣν καιροῖς ἰδίοις δείξει ὁ μακάριος καὶ μόνος Δυνάστης,
それを 時に 定められた 示してくださる その 祝福なる また 唯一の 主権者
G3739 G2540 G2398 G1166 G3588 G3107 G2532 G3441 G1413

ὁ Βασιλεὺς τῶν βασιλευόντων, καὶ Κύριος τῶν κυριευόντων;
その 王の–王 その 王たちの–上の また 主の–主 その 主たちの–上の
G3588 G0935 G3588 G0936 G2532 G2962 G3588 G2961

時がくれば、祝福に満ちた、ただひとりの力あるかた、もろもろの王の王、もろもろの主の主が、キリストを出現させて下さるであろう。

16 ὁ μόνος ἔχων ἀθανασίαν, φῶς οἰκῶν ἀπρόσιτον, ὃν
その方は 唯一 持っておられる 不死を 光に 住んでおられる 近づけない その方を
G3588 G3441 G2192 G0110 G5457 G3611 G0676 G3739

εἶδεν οὐδεὶς ἀνθρώπων, οὐδὲ ἰδεῖν δύναται; ᾧ τιμὴ, καὶ κράτος
見た 誰も 人は また-ない 見ることも できない その方に 誉れと また 力が
G3708 G3762 G0444 G3761 G3708 G1410 G3739 G5092 G2532 G2904

αἰώνιον. ἀμήν.
永遠に アーメン
G0166 G0281

神はただひとり不死を保ち、近づきがたい光の中に住み、人間の中でだれも見た者がなく、見ることもできないかたである。ほまれと永遠の支配とが、神にあるように、アァメン。

17 Τοῖς πλουσίοις ἐν τῷ νῦν αἰῶνι, παράγγελλε μὴ ὑψηλοφρονεῖν,
その 富める-者たちに における その 今の 世に 命じなさい ない 高慢に-ならず
G3588 G4145 G1722 G3588 G3568 G0165 G3853 G3361 G5309

μηδὲ ἠλπικέναι ἐπὶ πλούτου ἀδηλότητι; ἀλλ' ἐπὶ Θεῷ, τῷ
また-ない 望みを-置かず に-向かって 富の 不確かさに しかし に-向かって 神に その
G3366 G1679 G1909 G4149 G0083 G0235 G1909 G2316 G3588

παρέχοντι ἡμῖν πάντα πλουσίως εἰς ἀπόλαυσιν;
与えてくださる-方 私たちに すべての-ものを 豊かに ために 楽しむために
G3930 G1473 G3956 G4146 G1519 G0619

この世で富んでいる者たちに、命じなさい。高慢にならず、たよりにならない富に望みをおかず、むしろ、わたしたちにすべての物を豊かに備えて楽しませて下さる神に、のぞみをおくように、

18 ἀγαθοεργεῖν, πλουτεῖν ἐν ἔργοις καλοῖς, εὐμεταδότους εἶναι,
善い-行いをし 富むこと において 業に 良い 惜しみなく-与え あること
G0014 G4147 G1722 G2041 G2570 G2130 G1510

κοινωνικούς,
分かち-合う-者で
G2843

また、良い行いをし、良いわざに富み、惜しみなく施し、人に分け与えることを喜び、

19 ἀποθησαυρίζοντας ἑαυτοῖς θεμέλιον καλὸν, εἰς τὸ μέλλον, ἵνα
蓄えている 自分たちの-ために 土台を 良い に-向かって その 将来に それは
G0597 G1438 G2310 G2570 G1519 G3588 G3195 G2443

ἐπιλάβωνται τῆς ὄντως ζωῆς.
つかみ取るために その まことの いのちを
G1949 G3588 G3689 G2222

こうして、真のいのちを得るために、未来に備えてよい土台を自分のために築き上げるように、命じなさい。

20 Ὦ Τιμόθεε, τὴν παραθήκην φύλαξον, ἐκτρεπόμενος τὰς βεβήλους,
おお テモテよ その 委ねられた-ものを 守りなさい 避けて その 俗悪な
G5599 G5095 G3588 G3866 G5442 G1624 G3588 G0952

κενοφωνίας, καὶ ἀντιθέσεις τῆς ψευδωνύμου γνώσεως,
空しい-議論と また 反論を その 偽りの 知識の
G2757 G2532 G0477 G3588 G5581 G1108

テモテよ。あなたにゆだねられていることを守りなさい。そして、俗悪なむだ話と、偽りの「知識」による反対論とを避けなさい。

21 ἥν τινες ἐπαγγελλόμενοι, περὶ τὴν πίστιν ἠστόχησαν. Ἡ
それを ある–者たちは 告白して について その 信仰から それてしまった その
G3739 G5100 G1861 G4012 G3588 G4102 G0795 G3588

χάρις μεθ’ ὑμῶν. <Ἀμήν>.
恵みが と共に あなたがたと アーメン
G5485 G3326 G4771 G0281

ある人々はそれに熱中して、信仰からそれてしまったのである。恵みが、あなたがたと共にあるように。

2 Timothy

Chapter 1

1 Παῦλος, ἀπόστολος Χριστοῦ Ἰησοῦ, διὰ θελήματος Θεοῦ, κατ’ ἐπαγγελίαν
パウロ 使徒 キリスト イエスの を–通じて 御心で 神の による 約束による
G3972 G0652 G5547 G2424 G1223 G2307 G2316 G2596 G1860

ζωῆς τῆς ἐν Χριστῷ Ἰησοῦ,
いのちの その における キリスト イエスにある
G2222 G3588 G1722 G5547 G2424

神の御旨により、キリスト・イエスにあるいのちの約束によって立てられたキリスト・イエスの使徒パウロから、

2 Τιμοθέῳ ἀγαπητῷ τέκνῳ: χάρις, ἔλεος, εἰρήνη ἀπὸ Θεοῦ Πατρὸς, καὶ
テモテへ 愛する 子よ 恵みと 憐れみと 平和が から 神 父 と
G5095 G0027 G5043 G5485 G1656 G1515 G0575 G2316 G3962 G2532

Χριστοῦ Ἰησοῦ τοῦ Κυρίου ἡμῶν.
キリスト イエス その 主 私たちのから
G5547 G2424 G3588 G2962 G1473

愛する子テモテへ。父なる神とわたしたちの主キリスト・イエスから、恵みとあわれみと平安とが、あなたにあるように。

3 Χάριν ἔχω τῷ Θεῷ, ᾧ λατρεύω, ἀπὸ προγόνων, ἐν καθαρᾷ
感謝を 持っている その 神に その方に 仕えている から 先祖たちから において 清い
G5485 G2192 G3588 G2316 G3739 G3000 G0575 G4269 G1722 G2513

συνειδήσει, ὡς ἀδιάλειπτον ἔχω τὴν περὶ σοῦ μνείαν, ἐν
良心をもって ちょうど 絶え間なく 持っている その について あなたの 覚えを において
G4893 G5613 G0088 G2192 G3588 G4012 G4771 G3417 G1722

ταῖς δεήσεσίν μου, νυκτὸς καὶ ἡμέρας,
その 願いの–中で 私の 夜も また 昼も
G3588 G1162 G1473 G3571 G2532 G2250

わたしは、日夜、祈の中で、絶えずあなたのことを思い出しては、きよい良心をもって先祖以来つかえている神に感謝している。

4 ἐπιποθῶν σε ἰδεῖν, μεμνημένος σου τῶν δακρύων, ἵνα χαρᾶς
慕って あなたに 会うことを 覚えている あなたの その 涙を それは 喜びで
G1971 G4771 G3708 G3403 G4771 G3588 G1144 G2443 G5479

πληρωθῶ;
満たされるために
G4137

わたしは、あなたの涙をおぼえており、あなたに会って喜びで満たされたいと、切に願っている。

5

ὑπόμνησιν	λαβὼν	τῆς	ἐν	σοὶ	ἀνυποκρίτου	πίστεως,	ἥτις
思い出しを	受けて	その	における	あなたにある	偽りのない	信仰の	それは
G5280	G2983	G3588	G1722	G4771	G0505	G4102	G3748

ἐνῴκησεν	πρῶτον	ἐν	τῇ	μάμμῃ	σου,	Λωΐδι,	καὶ	τῇ	μητρί	σου,
宿った	まず	において	その	祖母	あなたの	ロイスに	また	その	母	あなたの
G1774	G4412	G1722	G3588	G3125	G4771	G3090	G2532	G3588	G3384	G4771

Εὐνίκῃ;	πέπεισμαι	δὲ	ὅτι	καὶ	ἐν	σοί.
エウニケに	確信している	しかし	それが	また	において	あなたにも
G2131	G3982	G1161	G3754	G2532	G1722	G4771

また、あなたがいだいている偽りのない信仰を思い起している。この信仰は、まずあなたの祖母ロイスとあなたの母ユニケとに宿ったものであったが、今あなたにも宿っていると、わたしは確信している。

6

Δι’	ἣν	αἰτίαν	ἀναμιμνήσκω	σε	ἀναζωπυρεῖν	τὸ	χάρισμα	τοῦ
それゆえ	その	理由で	思い起こさせます	あなたに	燃え立たせることを	その	賜物を	その
G1223	G3739	G0156	G0363	G4771	G0329	G3588	G5486	G3588

Θεοῦ,	ὅ	ἐστιν	ἐν	σοὶ	διὰ	τῆς	ἐπιθέσεως	τῶν	χειρῶν	μου.
神の	それは	ある	において	あなたに	を–通じて	その	按手で	その	手の	私の
G2316	G3739	G1510	G1722	G4771	G1223	G3588	G1936	G3588	G5495	G1473

こういうわけで、あなたに注意したい。わたしの按手によって内にいただいた神の賜物を、再び燃えたたせなさい。

7

οὐ	γὰρ	ἔδωκεν	ἡμῖν	ὁ	Θεὸς	πνεῦμα	δειλίας,	ἀλλὰ	δυνάμεως,
ない	なぜなら	与えた	私たちに	その	神は	霊を	臆病の	しかし	力の
G3756	G1063	G1325	G1473	G3588	G2316	G4151	G1167	G0235	G1411

καὶ	ἀγάπης,	καὶ	σωφρονισμοῦ.
また	愛の	また	慣み深さの
G2532	G0026	G2532	G4995

というのは、神がわたしたちに下さったのは、臆する霊ではなく、力と愛と慎みとの霊なのである。

8

Μὴ	οὖν	ἐπαισχυνθῇς	τὸ	μαρτύριον	τοῦ	Κυρίου	ἡμῶν,	μηδὲ
ない	それで	恥じてはならない	その	証しを	その	主	私たちのの	また–ない
G3361	G3767	G1870	G3588	G3142	G3588	G2962	G1473	G3366

ἐμὲ	τὸν	δέσμιον	αὐτοῦ;	ἀλλὰ	συνκακοπάθησον	τῷ	εὐαγγελίῳ,	κατὰ
私を	その	囚人を	その方の	しかし	共に–苦しみなさい	その	福音の–ために	による
G1473	G3588	G1198	G0846	G0235	G4777	G3588	G2098	G2596

δύναμιν	Θεοῦ;
力で	神の
G1411	G2316

だから、あなたは、わたしたちの主のあかしをすることや、わたしが主の囚人であることを、決して恥ずかしく思ってはならない。むしろ、神の力にささえられて、福音のために、わたしと苦しみを共にしてほしい。

9

τοῦ	σώσαντος	ἡμᾶς,	καὶ	καλέσαντος	κλήσει	ἁγίᾳ,	οὐ	κατὰ
その方は	救ってくださり	私たちを	また	招いてくださった	招きで	聖なる	ない	による
G3588	G4982	G1473	G2532	G2564	G2821	G0040	G3756	G2596

τὰ	ἔργα	ἡμῶν,	ἀλλὰ	κατὰ	ἰδίαν	πρόθεσιν	καὶ	χάριν,	τὴν	δοθεῖσαν
その	業で	私たちの	しかし	による	ご自身の	計画と	また	恵みで	その	与えられた
G3588	G2041	G1473	G0235	G2596	G2398	G4286	G2532	G5485	G3588	G1325

ἡμῖν	ἐν	Χριστῷ	Ἰησοῦ	πρὸ	χρόνων	αἰωνίων;
私たちに	において	キリスト	イエスにあって	前に	時の	永遠の
G1473	G1722	G5547	G2424	G4253	G5550	G0166

神はわたしたちを救い、聖なる招きをもって召して下さったのであるが、それは、わたしたちのわざによるのではなく、神ご自身の計画に基き、また、永遠の昔にキリスト・イエスにあってわたしたちに賜わっていた恵み、

10 φανερωθεῖσαν 現された G5319 δὲ しかし G1161 νῦν, 今 G3568 διὰ を–通じて G1223 τῆς その G3588 ἐπιφανείας 現れで G2015 τοῦ その G3588 Σωτῆρος 救い–主 G4990 ἡμῶν, 私たちの G1473

Χριστοῦ キリスト G5547 Ἰησοῦ, イエスの G2424 καταργήσαντος 滅ぼしてくださった–方 G2673 μὲν 実に G3303 τὸν その G3588 θάνατον, 死を G2288 φωτίσαντος 照らしてくださった–方 G5461 δὲ しかし G1161

ζωὴν いのちと G2222 καὶ また G2532 ἀφθαρσίαν, 不滅を G0861 διὰ を–通じて G1223 τοῦ その G3588 εὐαγγελίου; 福音によって G2098

そして今や、わたしたちの救主キリスト・イエスの出現によって明らかにされた恵みによるのである。キリストは死を滅ぼし、福音によっていのちと不死とを明らかに示されたのである。

11 εἰς その–ために G1519 ὃ それに G3739 ἐτέθην 置かれた G5087 ἐγὼ 私は G1473 κήρυξ, 宣教者として G2783 καὶ また G2532 ἀπόστολος, 使徒として G0652 καὶ また G2532 διδάσκαλος. 教師として G1320

わたしは、この福音のために立てられて、その宣教者、使徒、教師になった。

12 δι’ それゆえ G1223 ἣν その G3739 αἰτίαν 理由で G0156 καὶ また G2532 ταῦτα これらの–ことを G3778 πάσχω. 苦しんでいる G3958 ἀλλ’ しかし G0235 οὐκ ない G3756 ἐπαισχύνομαι; 恥じていない G1870

οἶδα 知っている G1492 γὰρ なぜなら G1063 ᾧ その方を G3739 πεπίστευκα, 信じているかを G4100 καὶ そして G2532 πέπεισμαι 確信している G3982 ὅτι それが G3754 δυνατός 力ある–方である G1415

ἐστιν, であると G1510 τὴν その G3588 παραθήκην 委ねられた–ものを G3866 μου 私の G1473 φυλάξαι, 守ることが G5442 εἰς に–向かって G1519 ἐκείνην かの G1565 τὴν その G3588 ἡμέραν. 日まで G2250

そのためにまた、わたしはこのような苦しみを受けているが、それを恥としない。なぜなら、わたしは自分の信じてきたかたを知っており、またそのかたは、わたしにゆだねられているものを、かの日に至るまで守って下さることができると、確信しているからである。

13 ὑποτύπωσιν 模範を G5296 ἔχε 持ちなさい G2192 ὑγιαινόντων 健全な G5198 λόγων, 言葉の G3056 ὧν それらを G3739 παρ’ から G3844 ἐμοῦ 私から G1473 ἤκουσας, 聞いた G0191 ἐν において G1722

πίστει 信仰と G4102 καὶ また G2532 ἀγάπῃ, 愛をもって G0026 τῇ その G3588 ἐν における G1722 Χριστῷ キリスト G5547 Ἰησοῦ. イエスにある G2424

あなたは、キリスト・イエスに対する信仰と愛とをもって、わたしから聞いた健全な言葉を模範にしなさい。

14 τὴν その G3588 καλὴν 良い G2570 παραθήκην 委ねられた–ものを G3866 φύλαξον, 守りなさい G5442 διὰ を–通じて G1223 Πνεύματος 聖 G4151 Ἁγίου, 霊によって G0040 τοῦ その G3588

ἐνοικοῦντος 住んでおられる–方 G1774 ἐν において G1722 ἡμῖν. 私たちに G1473

そして、あなたにゆだねられている尊いものを、わたしたちの内に宿っている聖霊によって守りなさい。

15 Οἶδας 知っている G1492 τοῦτο, これを G3778 ὅτι それが G3754 ἀπεστράφησάν 離れた G0654 με 私から G1473 πάντες すべての–者が G3956 οἱ その G3588 ἐν における G1722 τῇ その G3588
Ἀσίᾳ, アジアにいる–者が G0773 ὧν その–中に G3739 ἐστιν いる G1510 Φύγελος, フィゲロと G5436 καὶ また G2532 Ἑρμογένης. ヘルモゲネスが G2061

あなたの知っているように、アジヤにいる者たちは、皆わたしから離れて行った。その中には、フゲロとヘルモゲネもいる。

16 δῴη 与えてくださるように G1325 ἔλεος 憐れみを G1656 ὁ その G3588 Κύριος, 主が G2962 τῷ その G3588 Ὀνησιφόρου オネシポロの G3683 οἴκῳ, 家に G3624 ὅτι なぜなら G3754
πολλάκις しばしば G4178 με 私を G1473 ἀνέψυξεν, 励ましてくれた G0404 καὶ そして G2532 τὴν その G3588 ἅλυσίν 鎖を G0254 μου 私の G1473 οὐκ ない G3756 ἐπαισχύνθη; 恥じなかった G1870

どうか、主が、オネシポロの家にあわれみをたれて下さるように。彼はたびたび、わたしを慰めてくれ、またわたしの鎖を恥とも思わないで、

17 ἀλλὰ しかし G0235 γενόμενος なって G1096 ἐν において G1722 Ῥώμῃ, ローマに G4516 σπουδαίως 熱心に G4709 ἐζήτησέν 探してくれた G2212 με 私を G1473 καὶ そして G2532 εὗρεν. 見つけた G2147

ローマに着いた時には、熱心にわたしを捜しまわった末、尋ね出してくれたのである。

18 δῴη 与えてくださるように G1325 αὐτῷ 彼に G0846 ὁ その G3588 Κύριος, 主が G2962 εὑρεῖν 見出すことを G2147 ἔλεος 憐れみを G1656 παρὰ から G3844 Κυρίου, 主の–もとに G2962
ἐν において G1722 ἐκείνῃ かの G1565 τῇ その G3588 ἡμέρᾳ! 日に G2250 καὶ そして G2532 ὅσα どれほど G3745 ἐν において G1722 Ἐφέσῳ エペソで G2181 διηκόνησεν 仕えてくれたか G1247 βέλτιον, よく G0957
σὺ あなたは G4771 γινώσκεις. 知っている G1097

どうか、主がかの日に、あわれみを彼に賜わるように。――彼がエペソで、どれほどわたしに仕えてくれたかは、だれよりもあなたがよく知っている。

Chapter 2

1 Σὺ あなたは G4771 οὖν, それで G3767 τέκνον 子よ G5043 μου, 私の G1473 ἐνδυναμοῦ 強くなりなさい G1743 ἐν において G1722 τῇ その G3588 χάριτι 恵みに G5485 τῇ その G3588 ἐν における G1722
Χριστῷ キリスト G5547 Ἰησοῦ. イエスにある G2424

そこで、わたしの子よ。あなたはキリスト・イエスにある恵みによって、強くなりなさい。

2 καὶ ἃ ἤκουσας παρ᾽ ἐμοῦ διὰ πολλῶν μαρτύρων, ταῦτα
そして それらを 聞いた–ことを から 私から を–通じて 多くの 証人の–前で これらを
G2532 G3739 G0191 G3844 G1473 G1223 G4183 G3144 G3778

παράθου πιστοῖς ἀνθρώποις, οἵτινες ἱκανοὶ ἔσονται καὶ ἑτέρους
委ねなさい 忠実な 人々に その–者たちは 有能な–者で あるだろう また 他の–者たちをも
G3908 G4103 G0444 G3748 G2425 G1510 G2532 G2087

διδάξαι.
教えることが
G1321

そして、あなたが多くの証人の前でわたしから聞いたことを、さらにほかの者たちにも教えることのできるような忠実な人々に、ゆだねなさい。

3 συνκακοπάθησον ὡς καλὸς στρατιώτης Χριστοῦ Ἰησοῦ.
共に–苦しみなさい として 良い 兵士として キリスト イエスの
G4777 G5613 G2570 G4757 G5547 G2424

キリスト・イエスの良い兵卒として、わたしと苦しみを共にしてほしい。

4 οὐδεὶς στρατευόμενος ἐμπλέκεται ταῖς τοῦ βίου πραγματείαις, ἵνα τῷ
誰も 兵役に–就く–者は かかわらない その その 生活の 務めに それは その
G3762 G4754 G1707 G3588 G3588 G0979 G4230 G2443 G3588

στρατολογήσαντι, ἀρέσῃ.
徴兵した–方を 喜ばせるために
G4758 G0700

兵役に服している者は、日常生活の事に煩わされてはいない。ただ、兵を募った司令官を喜ばせようと努める。

5 ἐὰν δὲ καὶ ἀθλῇ τις, οὐ στεφανοῦται, ἐὰν μὴ νομίμως
もし しかし また 競技するなら 誰かが ない 冠を–受けない もし ない 正しく
G1437 G1161 G2532 G0118 G5100 G3756 G4737 G1437 G3361 G3545

ἀθλήσῃ.
競技しない–なら
G0118

また、競技をするにしても、規定に従って競技をしなければ、栄冠は得られない。

6 τὸν κοπιῶντα γεωργὸν δεῖ πρῶτον τῶν καρπῶν μεταλαμβάνειν.
その 労苦する 農夫は 必要がある 最初に その 実を 受けることが
G3588 G2872 G1092 G1163 G4412 G3588 G2590 G3335

労苦をする農夫が、だれよりも先に、生産物の分配にあずかるべきである。

7 νόει ὃ λέγω; δώσει γάρ σοι ὁ Κύριος
考えなさい それを 言っていることを 与えてくださる なぜなら あなたに その 主が
G3539 G3739 G3004 G1325 G1063 G4771 G3588 G2962

σύνεσιν ἐν πᾶσιν.
理解を において すべてに
G4907 G1722 G3956

わたしの言うことを、よく考えてみなさい。主は、それを十分に理解する力をあなたに賜わるであろう。

8 Μνημόνευε Ἰησοῦν Χριστὸν, ἐγηγερμένον ἐκ νεκρῶν, ἐκ σπέρματος
覚えなさい イエス キリストを よみがえらせられた-方 から 死者から からの 子孫である
G3421 G2424 G5547 G1453 G1537 G3498 G1537 G4690

Δαυίδ, κατὰ τὸ εὐαγγέλιόν μου,
ダビデの による その 福音 私の
G1138 G2596 G3588 G2098 G1473

ダビデの子孫として生れ、死人のうちからよみがえったイエス・キリストを、いつも思っていなさい。これがわたしの福音である。

9 ἐν ᾧ κακοπαθῶ, μέχρι δεσμῶν ὡς κακοῦργος. ἀλλὰ ὁ
において その-ために 苦しんでいる まで 鎖まで として 犯罪者の-ように しかし その
G1722 G3739 G2553 G3360 G1199 G5613 G2557 G0235 G3588

λόγος τοῦ Θεοῦ οὐ δέδεται!
言葉は その 神の ない 縛られていない
G3056 G3588 G2316 G3756 G1210

この福音のために、わたしは悪者のように苦しめられ、ついに鎖につながれるに至った。しかし、神の言はつながれてはいない。

10 διὰ τοῦτο, πάντα ὑπομένω διὰ τοὺς ἐκλεκτούς, ἵνα καὶ
それゆえ この すべての-ことを 忍耐する ために その 選ばれた-者たちの それは また
G1223 G3778 G3956 G5278 G1223 G3588 G1588 G2443 G2532

αὐτοὶ σωτηρίας τύχωσιν, τῆς ἐν Χριστῷ Ἰησοῦ, μετὰ δόξης αἰωνίου.
彼らも 救いを 得るために その における キリスト イエスにある と共に 栄光 永遠の
G0846 G4991 G5177 G3588 G1722 G5547 G2424 G3326 G1391 G0166

それだから、わたしは選ばれた人たちのために、いっさいのことを耐え忍ぶのである。それは、彼らもキリスト・イエスによる救を受け、また、それと共に永遠の栄光を受けるためである。

11 Πιστὸς ὁ λόγος: εἰ γὰρ συναπεθάνομεν, καὶ συζήσομεν;
忠実である その 言葉は もし なぜなら 共に-死んだなら また 共に-生きる
G4103 G3588 G3056 G1487 G1063 G4880 G2532 G4800

次の言葉は確実である。「もしわたしたちが、彼と共に死んだなら、また彼と共に生きるであろう。

12 εἰ ὑπομένομεν, καὶ συμβασιλεύσομεν; εἰ ἀρνησόμεθα, κἀκεῖνος ἀρνήσεται
もし 忍耐するなら また 共に-統治する もし 否定するなら かの-方も 否定する
G1487 G5278 G2532 G4821 G1487 G0720 G2548 G0720

ἡμᾶς;
私たちを
G1473

もし耐え忍ぶなら、彼と共に支配者となるであろう。もし彼を否むなら、彼もわたしたちを否むであろう。

13 εἰ ἀπιστοῦμεν, ἐκεῖνος πιστὸς μένει; ἀρνήσασθαι γὰρ ἑαυτὸν, οὐ
もし 不実であっても かの-方は 忠実で あり続ける 否定することが なぜなら ご自身を ない
G1487 G0569 G1565 G4103 G3306 G0720 G1063 G1438 G3756

δύναται.
できない
G1410

たとい、わたしたちは不真実であっても、彼は常に真実である。彼は自分を偽ることが、できないのである」。

14 Ταῦτα ὑπομίμνῃσκε, διαμαρτυρόμενος ἐνώπιον τοῦ Θεοῦ μὴ
これらの–ことを 思い起こさせなさい 証しして 御前で その 神の ない
G3778 G5279 G1263 G1799 G3588 G2316 G3361

λογομαχεῖν -- ἐπ' οὐδὲν χρήσιμον, ἐπὶ καταστροφῇ τῶν
言葉争いを–してはならない に–対して 何も 有益ではなく に–向かって 破滅に その
G3054 G1909 G3762 G5539 G1909 G2692 G3588

ἀκουόντων.
聞く–者たちの
G0191

あなたは、これらのことを彼らに思い出させて、なんの益もなく、聞いている人々を破滅におとしいれるだけである言葉の争いをしないように、神のみまえでおごそかに命じなさい。

15 σπούδασον σεαυτὸν, δόκιμον παραστῆσαι τῷ Θεῷ, ἐργάτην
努めなさい 自分自身を 認められた–者として 立てることを その 神に 働き人として
G4704 G4572 G1384 G3936 G3588 G2316 G2040

ἀνεπαίσχυντον, ὀρθοτομοῦντα τὸν λόγον τῆς ἀληθείας;
恥じる–ことのない 正しく–取り扱う–者として その 言葉を その 真理の
G0422 G3718 G3588 G3056 G3588 G0225

あなたは真理の言葉を正しく教え、恥じるところのない錬達した働き人になって、神に自分をささげるように努めはげみなさい。

16 τὰς δὲ βεβήλους, κενοφωνίας περιΐστασο, ἐπὶ πλεῖον γὰρ
その しかし 俗悪な 空しい–議論を 避けなさい に–向かって ますます なぜなら
G3588 G1161 G0952 G2757 G4026 G1909 G4119 G1063

προκόψουσιν ἀσεβείας;
進む 不敬虔に
G4298 G0763

俗悪なむだ話を避けなさい。それによって人々は、ますます不信心に落ちていき、

17 καὶ ὁ λόγος αὐτῶν ὡς γάγγραινα νομὴν ἕξει; ὧν ἐστιν
そして その 言葉は 彼らの ちょうど 壊疽の–ように 広がりを 持つ その–中に いる
G2532 G3588 G3056 G0846 G5613 G1044 G3542 G2192 G3739 G1510

Ὑμέναιος, καὶ Φιλητός;
ヒュメナイオスと また ピレトスが
G5211 G2532 G5372

彼らの言葉は、がんのように腐れひろがるであろう。その中にはヒメナオとピレトとがいる。

18 οἵτινες περὶ τὴν ἀλήθειαν ἠστόχησαν, λέγοντες [τὴν] ἀνάστασιν ἤδη
彼らは について その 真理から それてしまった 言って その 復活が すでに
G3748 G4012 G3588 G0225 G0795 G3004 G3588 G0386 G2235

γεγονέναι; καὶ ἀνατρέπουσιν τήν τινων πίστιν.
起こったと そして 覆している その ある–者たちの 信仰を
G1096 G2532 G0396 G3588 G5100 G4102

彼らは真理からはずれ、復活はすでに済んでしまったと言い、そして、ある人々の信仰をくつがえしている。

19 ὁ μέντοι, στερεὸς θεμέλιος τοῦ Θεοῦ ἕστηκεν, ἔχων τὴν σφραγῖδα
その しかし 堅い 土台は その 神の 立っている 持っている その 印を
G3588 G3305 G4731 G2310 G3588 G2316 G2476 G2192 G3588 G4973

ταύτην: Ἔγνω Κύριος τοὺς ὄντας αὐτοῦ, καί, Ἀποστήτω ἀπὸ
この 知った 主は その ある–者たちを その方の そして 離れるべきである から
G3778 G1097 G2962 G3588 G1510 G0846 G2532 G0868 G0575

ἀδικίας πᾶς ὁ ὀνομάζων τὸ ὄνομα Κυρίου.
不義から すべての–者が その 呼ぶ–者は その 御名を 主の
G0093 G3956 G3588 G3687 G3588 G3686 G2962

しかし、神のゆるがない土台はすえられていて、それに次の句が証印として、しるされている。「主は自分の者たちを知る」。また「主の名を呼ぶ者は、すべて不義から離れよ」。

20 ἐν μεγάλῃ δὲ οἰκίᾳ, οὐκ ἔστιν μόνον σκεύη χρυσᾶ καὶ ἀργυρᾶ,
において 大きな しかし 家には ない ある だけで 器が 金の また 銀の
G1722 G3173 G1161 G3614 G3756 G1510 G3440 G4632 G5552 G2532 G0693

ἀλλὰ καὶ ξύλινα καὶ ὀστράκινα; καὶ ἃ μὲν εἰς τιμὴν,
しかし また 木の また 土のも そして ある–ものは 実に ために 尊い–用途の
G0235 G2532 G3585 G2532 G3749 G2532 G3739 G3303 G1519 G5092

ἃ δὲ εἰς ἀτιμίαν.
ある–ものは しかし ために 卑しい–用途の
G3739 G1161 G1519 G0819

大きな家には、金や銀の器ばかりではなく、木や土の器もあり、そして、あるものは尊いことに用いられ、あるものは卑しいことに用いられる。

21 ἐὰν οὖν τις ἐκκαθάρῃ ἑαυτὸν ἀπὸ τούτων, ἔσται σκεῦος εἰς
もし それで 誰かが 清めるなら 自分自身を から これらから あるだろう 器として ための
G1437 G3767 G5100 G1571 G1438 G0575 G3778 G1510 G4632 G1519

τιμήν, ἡγιασμένον, εὔχρηστον τῷ δεσπότῃ, εἰς πᾶν ἔργον ἀγαθὸν
尊い–用途の 聖められた 有益な–者として その 主人に ために すべての 業に 善い
G5092 G0037 G2173 G3588 G1203 G1519 G3956 G2041 G0018

ἡτοιμασμένον.
備えられた
G2090

もし人が卑しいものを取り去って自分をきよめるなら、彼は尊いきよめられた器となって、主人に役立つものとなり、すべての良いわざに間に合うようになる。

22 τὰς δὲ νεωτερικὰς ἐπιθυμίας φεῦγε; δίωκε δὲ δικαιοσύνην,
その しかし 若い–者の 欲望からは 逃れなさい 追い求めなさい しかし 義と
G3588 G1161 G3512 G1939 G5343 G1377 G1161 G1343

πίστιν, ἀγάπην, εἰρήνην μετὰ τῶν ἐπικαλουμένων τὸν Κύριον ἐκ
信仰と 愛と 平和を と共に その 呼び求める–者たちと その 主を からの
G4102 G0026 G1515 G3326 G3588 G1941 G3588 G2962 G1537

καθαρᾶς καρδίας.
清い 心から
G2513 G2588

そこで、あなたは若い時の情欲を避けなさい。そして、きよい心をもって主を呼び求める人々と共に、義と信仰と愛と平和とを追い求めなさい。

23 τὰς δὲ μωρὰς καὶ ἀπαιδεύτους ζητήσεις, παραιτοῦ, εἰδὼς ὅτι
その しかし 愚かな また 無学な 論争を 退けなさい 知っている それが
G3588 G1161 G3474 G2532 G0521 G2214 G3868 G1492 G3754

γεννῶσιν μάχας.
生み出すことを 争いを
G1080 G3163

愚かで無知な論議をやめなさい。それは、あなたが知っているとおり、ただ争いに終るだけである。

24 δοῦλον δὲ Κυρίου, οὐ δεῖ μάχεσθαι, ἀλλὰ ἤπιον εἶναι πρὸς
僕は しかし 主の ない 必要がある 争うことは しかし 優しく あること に–対して
G1401 G1161 G2962 G3756 G1163 G3164 G0235 G2261 G1510 G4314

πάντας, διδακτικόν, ἀνεξίκακον,
すべての–人に 教える–能力があり 忍耐強く
G3956 G1317 G0420

主の僕たる者は争ってはならない。だれに対しても親切であって、よく教え、よく忍び、

25 ἐν πραΰτητι παιδεύοντα τοὺς ἀντιδιατιθεμένους, μή᾽ ποτε
において 柔和をもって 戒めて その 反対する–者たちを もしかして いつか
G1722 G4240 G3811 G3588 G0475 G3361 G4219

δώῃ αὐτοῖς ὁ Θεὸς μετάνοιαν, εἰς ἐπίγνωσιν ἀληθείας,
与えてくださるかもしれない 彼らに その 神が 悟りを に–向かって 知識に 真理の
G1325 G0846 G3588 G2316 G3341 G1519 G1922 G0225

反対する者を柔和な心で教え導くべきである。おそらく神は、彼らに悔改めの心を与えて、真理を知らせ、

26 καὶ ἀνανήψωσιν ἐκ τῆς, τοῦ διαβόλου, παγίδος
そして 目覚めるかもしれない から その その 悪魔の 罠から
G2532 G0366 G1537 G3588 G3588 G1228 G3803

ἐζωγρημένοι, ὑπ᾽ αὐτοῦ εἰς τὸ ἐκείνου θέλημα.
捕らえられていた–者たちが によって その方に ために その かの–方の 御心の
G2221 G5259 G0846 G1519 G3588 G1565 G2307

一度は悪魔に捕えられてその欲するままになっていても、目ざめて彼のわなからのがれさせて下さるであろう。

Chapter 3

1 Τοῦτο δὲ γίνωσκε, ὅτι ἐν ἐσχάταις ἡμέραις ἐνστήσονται καιροὶ
これを しかし 知りなさい すなわち ～に 終わりの 日々に 訪れる 時代が
G3778 G1161 G1097 G3754 G1722 G2078 G2250 G1764 G2540

χαλεποί;
困難な
G5467

しかし、このことは知っておかねばならない。終りの時には、苦難の時代が来る。

2 ἔσονται γὰρ οἱ ἄνθρωποι φίλαυτοι, φιλάργυροι, ἀλαζόνες, ὑπερήφανοι,
なる なぜなら その 人々は 自己中心で 金銭を–愛し 自慢し 高慢で
G1510 G1063 G3588 G0444 G5367 G5366 G0213 G5244

βλάσφημοι, γονεῦσιν ἀπειθεῖς, ἀχάριστοι, ἀνόσιοι,
冒涜する–者で 親に 従わず 恩知らずで 汚れた–者で
G0989 G1118 G0545 G0884 G0462

その時、人々は自分を愛する者、金を愛する者、大言壮語する者、高慢な者、神をそしる者、親に逆らう者、恩を知らぬ者、神聖を汚す者、

3

ἄστοργοι,	ἄσπονδοι,	διάβολοι,	ἀκρατεῖς,	ἀνήμεροι,
情愛の–ない–者で	和解しない–者で	中傷する–者で	自制の–ない–者で	粗暴な–者で
G0794	G0786	G1228	G0193	G0434

ἀφιλάγαθοι,
善を–愛さない–者で
G0865

無情な者、融和しない者、そしる者、無節制な者、粗暴な者、善を好まない者、

4

προδόται,	προπετεῖς,	τετυφωμένοι,	φιλήδονοι	μᾶλλον	ἢ	φιλόθεοι;
裏切り者で	無謀で	思い上がり	快楽を–愛する–者で	むしろ	～よりも	神を–愛する–者で
G4273	G4312	G5187	G5369	G3123	G2228	G5377

裏切り者、乱暴者、高言をする者、神よりも快楽を愛する者、

5

ἔχοντες	μόρφωσιν	εὐσεβείας,	τὴν	δὲ	δύναμιν	αὐτῆς	ἠρνημένοι.	καὶ
持ちながら	外見を	敬虔の	その	しかし	力を	その	否定している	そして
G2192	G3446	G2150	G3588	G1161	G1411	G0846	G0720	G2532

τούτους	ἀποτρέπου.
これらの–者たちを	避けなさい
G3778	G0665

信心深い様子をしながらその実を捨てる者となるであろう。こうした人々を避けなさい。

6

ἐκ	τούτων	γάρ,	εἰσιν	οἱ	ἐνδύνοντες	εἰς	τὰς
～の–中から	これらの–者たちの	なぜなら	いる	その	入り込む–者たちが	～の–中に	その
G1537	G3778	G1063	G1510	G3588	G1744	G1519	G3588

οἰκίας,	καὶ	αἰχμαλωτίζοντες	γυναικάρια,	σεσωρευμένα	ἁμαρτίαις,	ἀγόμενα
家々に	そして	虜にしている	愚かな–女たちを	積み重なった	罪に	導かれている
G3614	G2532	G0163	G1133	G4987	G0266	G0071

ἐπιθυμίαις	ποικίλαις,
欲望に	さまざまな
G1939	G4164

彼らの中には、人の家にもぐり込み、そして、さまざまの欲に心を奪われて、多くの罪を積み重ねている愚かな女どもを、とりこにしている者がある。

7

πάντοτε	μανθάνοντα,	καὶ	μηδέποτε	εἰς	ἐπίγνωσιν	ἀληθείας	ἐλθεῖν
いつも	学んでいるが	しかし	決して	～に	真の–認識に	真理の	到達する–ことが
G3842	G3129	G2532	G3368	G1519	G1922	G0225	G2064

δυνάμενα.
できない
G1410

彼女たちは、常に学んではいるが、いつになっても真理の知識に達することができない。

8 ὃν τρόπον δὲ Ἰάννης καὶ Ἰαμβρῆς ἀντέστησαν Μωϋσεῖ, οὕτως
その ように さて ヤンネスと また ヤンブレスが 逆らった モーセに そのように
G3739 G5158 G1161 G2389 G2532 G2387 G0436 G3475 G3779

καὶ οὗτοι ἀνθίστανται τῇ ἀληθείᾳ, ἄνθρωποι κατεφθαρμένοι τὸν νοῦν,
また この-者たちも 逆らっている その 真理に 人々であり 腐敗した その 心が
G2532 G3778 G0436 G3588 G0225 G0444 G2704 G3588 G3563

ἀδόκιμοι περὶ τὴν πίστιν.
不適格な-者で ～について その 信仰に
G0096 G4012 G3588 G4102

ちょうど、ヤンネとヤンブレとがモーセに逆らったように、こうした人々も真理に逆らうのである。彼らは知性の腐った、信仰の失格者である。

9 ἀλλ’ οὐ προκόψουσιν ἐπὶ πλεῖον, ἡ γὰρ ἄνοια αὐτῶν ἔκδηλος
しかし ～ない 進む-ことは ～以上に もっと その なぜなら 愚かさが 彼らの 明らかに
G0235 G3756 G4298 G1909 G4119 G3588 G1063 G0454 G0846 G1552

ἔσται πᾶσιν, ὡς καὶ ἡ ἐκείνων ἐγένετο.
なる すべての-人に ちょうど また その あの-者たちの-ものが なったように
G1510 G3956 G5613 G2532 G3588 G1565 G1096

しかし、彼らはそのまま進んでいけるはずがない。彼らの愚かさは、あのふたりの場合と同じように、多くの人に知れて来るであろう。

10 Σὺ δὲ παρηκολούθησάς μου τῇ διδασκαλίᾳ, τῇ ἀγωγῇ, τῇ
あなたは しかし 従ってきた 私の その 教えに その 生き方に その
G4771 G1161 G3877 G1473 G3588 G1319 G3588 G0072 G3588

προθέσει, τῇ πίστει, τῇ μακροθυμίᾳ, τῇ ἀγάπῃ, τῇ ὑπομονῇ,
志に その 信仰に その 忍耐に その 愛に その 忍耐に
G4286 G3588 G4102 G3588 G3115 G3588 G0026 G3588 G5281

しかしあなたは、わたしの教、歩み、こころざし、信仰、寛容、愛、忍耐、

11 τοῖς διωγμοῖς, τοῖς παθήμασιν: οἷά μοι ἐγένετο ἐν
その 迫害に その 苦しみに どのような-ことが 私に 起こったか ～で
G3588 G1375 G3588 G3804 G3634 G1473 G1096 G1722

Ἀντιοχείᾳ, ἐν Ἰκονίῳ, ἐν Λύστροις; οἵους διωγμοὺς ὑπήνεγκα;
アンティオキアで ～で イコニオムで ～で リステラで どのような 迫害を 私は-耐えた
G0490 G1722 G2430 G1722 G3082 G3634 G1375 G5297

καὶ ἐκ πάντων, με ἐρρύσατο ὁ Κύριος.
そして ～から すべてから 私を 救い出してくださった その 主が
G2532 G1537 G3956 G1473 G4506 G3588 G2962

それから、わたしがアンテオケ、イコニオム、ルステラで受けた数々の迫害、苦難に、よくも続いてきてくれた。そのひどい迫害にわたしは耐えてきたが、主はそれらいっさいのことから、救い出して下さったのである。

12 καὶ πάντες δὲ, οἱ θέλοντες ζῆν εὐσεβῶς ἐν Χριστῷ
そして すべての また その 望む-者たちは 生きることを 敬虔に ～において キリスト
G2532 G3956 G1161 G3588 G2309 G2198 G2153 G1722 G5547

Ἰησοῦ, διωχθήσονται.
イエスに-あって 迫害される
G2424 G1377

いったい、キリスト・イエスにあって信心深く生きようとする者は、みな、迫害を受ける。

13

πονηροὶ	δὲ	ἄνθρωποι	καὶ	γόητες	προκόψουσιν	ἐπὶ	τὸ	χεῖρον,
悪い	しかし	人々と	また	偽り者たちは	進んで-いく	～へと	さらに	悪い-方へ
G4190	G1161	G0444	G2532	G1114	G4298	G1909	G3588	G5501

πλανῶντες	καὶ	πλανώμενοι.
惑わしながら	また	惑わされながら
G4105	G2532	G4105

悪人と詐欺師とは人を惑わし人に惑わされて、悪から悪へと落ちていく。

14

σὺ	δὲ	μένε	ἐν	οἷς	ἔμαθες,	καὶ	ἐπιστώθης,
あなたは	しかし	とどまりなさい	～の-中に	あなたが	学んだ-ことに	そして	確信した-ことに
G4771	G1161	G3306	G1722	G3739	G3129	G2532	G4104

εἰδὼς	παρὰ	τίνων	ἔμαθες;
知っている	～から	誰から	学んだかを
G1492	G3844	G5101	G3129

しかし、あなたは、自分が学んで確信しているところに、いつもとどまっていなさい。あなたは、それをだれから学んだか知っており、

15

καὶ	ὅτι	ἀπὸ	βρέφους	[τὰ]	ἱερὰ	γράμματα	οἶδας,	τὰ
また	～ということを	～から	幼い-頃から	その	聖なる	書物を	知っている	それは
G2532	G3754	G0575	G1025	G3588	G2413	G1121	G1492	G3588

δυνάμενά	σε	σοφίσαι	εἰς	σωτηρίαν,	διὰ	πίστεως,	τῆς
できる-ものであり	あなたを	賢くする	～へと	救いへと	～を-通して	信仰を	その
G1410	G4771	G4679	G1519	G4991	G1223	G4102	G3588

ἐν	Χριστῷ	Ἰησοῦ.
～における	キリスト	イエスに-ある
G1722	G5547	G2424

また幼い時から、聖書に親しみ、それが、キリスト・イエスに対する信仰によって救に至る知恵を、あなたに与えうる書物であることを知っている。

16

πᾶσα	γραφὴ	θεόπνευστος	καὶ	ὠφέλιμος	πρὸς	διδασκαλίαν,
すべての	聖書は	神の-霊感に-よるもので	また	有益である	～のために	教えのために
G3956	G1124	G2315	G2532	G5624	G4314	G1319

πρὸς	ἔλεγμόν,	πρὸς	ἐπανόρθωσιν,	πρὸς	παιδείαν	τὴν	ἐν
～のために	戒めのために	～のために	矯正のために	～のために	訓練の	その	～における
G4314	G1650	G4314	G1882	G4314	G3809	G3588	G1722

δικαιοσύνῃ,
義における
G1343

聖書は、すべて神の霊感を受けて書かれたものであって、人を教え、戒め、正しくし、義に導くのに有益である。

17

ἵνα	ἄρτιος	ᾖ	ὁ	τοῦ	Θεοῦ	ἄνθρωπος,	πρὸς	πᾶν
～するために	完全に-整えられた	なる	その	～の	神の	人が	～のために	すべての
G2443	G0739	G1510	G3588	G3588	G2316	G0444	G4314	G3956

ἔργον	ἀγαθὸν	ἐξηρτισμένος.
良い-わざに	備えられた	者と-なるために
G2041	G0018	G1822

それによって、神の人が、あらゆる良いわざに対して十分な準備ができて、完全にととのえられた者になるのである。

Chapter 4

1

Διαμαρτύρομαι	ἐνώπιον	τοῦ	Θεοῦ	καὶ	Χριστοῦ	Ἰησοῦ,	τοῦ	μέλλοντος
厳かに–命じる	～の–前で	その	神と	また	キリスト	イエスの	その	やがて
G1263	G1799	G3588	G2316	G2532	G5547	G2424	G3588	G3195

κρίνειν	ζῶντας	καὶ	νεκρούς,	καὶ	τὴν	ἐπιφάνειαν	αὐτοῦ,	καὶ	τὴν
裁かれる	生きている–者と	また	死んだ–者を	そして	その	現れと	その方の	また	その
G2919	G2198	G2532	G3498	G2532	G3588	G2015	G0846	G2532	G3588

βασιλείαν	αὐτοῦ:
御国に–かけて	その方の
G0932	G0846

神のみまえと、生きている者と死んだ者とをさばくべきキリスト・イエスのみまえで、キリストの出現とその御国とを思い、おごそかに命じる。

2

κήρυξον	τὸν	λόγον;	ἐπίστηθι	εὐκαίρως,	ἀκαίρως;	ἔλεγξον,
宣べ伝えなさい	その	御言葉を	備えていなさい	時が–良くても	悪くても	戒めなさい
G2784	G3588	G3056	G2186	G2122	G0171	G1651

ἐπιτίμησον,	παρακάλεσον,	ἐν	πάσῃ	μακροθυμίᾳ	καὶ	διδαχῇ.
責めなさい	勧めなさい	～をもって	あらゆる	忍耐と	また	教えを–もって
G2008	G3870	G1722	G3956	G3115	G2532	G1322

御言を宣べ伝えなさい。時が良くても悪くても、それを励み、あくまでも寛容な心でよく教えて、責め、戒め、勧めなさい。

3

ἔσται	γὰρ	καιρὸς	ὅτε	τῆς	ὑγιαινούσης	διδασκαλίας	οὐκ
来る	なぜなら	時が	その–とき	その	健全な	教えに	～ない
G1510	G1063	G2540	G3753	G3588	G5198	G1319	G3756

ἀνέξονται;	ἀλλὰ	κατὰ	τὰς	ἰδίας	ἐπιθυμίας,	ἑαυτοῖς
耐えられなく–なる	むしろ	～に–従って	その	自分の	欲望に	自分たちの–ために
G0430	G0235	G2596	G3588	G2398	G1939	G1438

ἐπισωρεύσουσιν	διδασκάλους,	κνηθόμενοι	τὴν	ἀκοήν;
集める	教師たちを	耳を–かゆがらせて	その	聞くことを
G2002	G1320	G2833	G3588	G0189

人々が健全な教に耐えられなくなり、耳ざわりのよい話をしてもらおうとして、自分勝手な好みにまかせて教師たちを寄せ集め、

4

καὶ	ἀπὸ	μὲν	τῆς	ἀληθείας,	τὴν	ἀκοὴν	ἀποστρέψουσιν,	ἐπὶ	δὲ
そして	～から	一方で	その	真理から	その	耳を	そらし	～へと	他方で
G2532	G0575	G3303	G3588	G0225	G3588	G0189	G0654	G1909	G1161

τοὺς	μύθους	ἐκτραπήσονται.
その	作り話へと	それて–いく
G3588	G3454	G1624

そして、真理からは耳をそむけて、作り話の方にそれていく時が来るであろう。

5 σὺ δὲ, νῆφε ἐν πᾶσιν, κακοπάθησον, ἔργον
あなたは しかし 慎みなさい ～において すべてに–おいて 苦しみを–忍びなさい わざを
G4771 G1161 G3525 G1722 G3956 G2553 G2041

ποίησον εὐαγγελιστοῦ, τὴν διακονίαν σου πληροφόρησον.
行いなさい 福音–宣教者の その 務めを あなたの 十分に–果たしなさい
G4160 G2099 G3588 G1248 G4771 G4135

しかし、あなたは、何事にも慎み、苦難を忍び、伝道者のわざをなし、自分の務を全うしなさい。

6 Ἐγὼ γὰρ ἤδη σπένδομαι, καὶ ὁ καιρὸς τῆς ἀναλύσεώς μου
私は なぜなら すでに 注ぎ出されている そして その 時が その 出発の 私の
G1473 G1063 G2235 G4689 G2532 G3588 G2540 G3588 G0359 G1473

ἐφέστηκεν.
迫っている
G2186

わたしは、すでに自身を犠牲としてささげている。わたしが世を去るべき時はきた。

7 τὸν καλὸν ἀγῶνα ἠγώνισμαι; τὸν δρόμον τετέλεκα; τὴν πίστιν
その 良い 戦いを 私は–戦い–抜いた その 走るべき–道のりを 走り–終えた その 信仰を
G3588 G2570 G0073 G0075 G3588 G1408 G5055 G3588 G4102

τετήρηκα.
守り–通した
G5083

わたしは戦いをりっぱに戦いぬき、走るべき行程を走りつくし、信仰を守りとおした。

8 λοιπὸν ἀπόκειταί μοι ὁ τῆς δικαιοσύνης στέφανος, ὃν
今や 用意されている 私の–ために その その 義の 冠が それを
G3063 G0606 G1473 G3588 G3588 G1343 G4735 G3739

ἀποδώσει μοι ὁ κύριος, ἐν ἐκείνῃ τῇ ἡμέρᾳ, ὁ δίκαιος κριτής;
授けてくださる 私に その 主が ～に かの その 日に その 正しい 裁き主が
G0591 G1473 G3588 G2962 G1722 G1565 G3588 G2250 G3588 G1342 G2923

οὐ μόνον δὲ ἐμοὶ, ἀλλὰ καὶ πᾶσι τοῖς ἠγαπηκόσι
～ない ただ しかし 私に–だけでなく むしろ また すべての その 愛してきた–者たちにも
G3756 G3440 G1161 G1473 G0235 G2532 G3956 G3588 G0025

τὴν ἐπιφάνειαν αὐτοῦ.
その 現れを その方の
G3588 G2015 G0846

今や、義の冠がわたしを待っているばかりである。かの日には、公平な審判者である主が、それを授けて下さるであろう。わたしばかりではなく、主の出現を心から待ち望んでいたすべての人にも授けて下さるであろう。

9 Σπούδασον ἐλθεῖν πρός με ταχέως,
努めなさい 来ることを ～のもとに 私の 早く
G4704 G2064 G4314 G1473 G5030

わたしの所に、急いで早くきてほしい。

10 Δημᾶς γάρ με ἐγκατέλιπεν, ἀγαπήσας τὸν νῦν αἰῶνα, καὶ
デマスは なぜなら 私を 見捨てた 愛して この 今の 世を そして
G1214 G1063 G1473 G1459 G0025 G3588 G3568 G0165 G2532

ἐπορεύθη εἰς Θεσσαλονίκην; Κρήσκης εἰς Γαλατίαν; Τίτος εἰς
去って–行った ～へ テサロニケへ クレスケスは ～へ ガラテヤへ テトスは ～へ
G4198 G1519 G2332 G2913 G1519 G1053 G5103 G1519

Δαλματίαν.
ダルマティアへ
G1149

デマスはこの世を愛し、わたしを捨ててテサロニケに行ってしまい、クレスケンスはガラテヤに、テトスはダルマテヤに行った。

11 Λουκᾶς ἐστιν μόνος μετ’ ἐμοῦ. Μᾶρκον, ἀναλαβὼν, ἄγε μετὰ
ルカだけが いる ただ ～と–共に 私と マルコを 連れて 来なさい ～と–共に
G3065 G1510 G3441 G3326 G1473 G3138 G0353 G0071 G3326

σεαυτοῦ, ἔστιν γάρ μοι εὔχρηστος εἰς διακονίαν.
あなた自身と 彼は なぜなら 私に 役に–立つ ～のために 務めの–ために
G4572 G1510 G1063 G1473 G2173 G1519 G1248

ただルカだけが、わたしのもとにいる。マルコを連れて、一緒にきなさい。彼はわたしの務のために役に立つから。

12 Τυχικὸν δὲ ἀπέστειλα εἰς Ἔφεσον.
テキコを しかし 送った ～へ エペソへ
G5190 G1161 G0649 G1519 G2181

わたしはテキコをエペソにつかわした。

13 τὸν φαιλόνην ὃν ἀπέλιπον ἐν Τρῳάδι παρὰ Κάρπῳ,
その 外套を それを 残して–きた ～で トロアスで ～の–もとに カルポスの–もとに
G3588 G5341 G3739 G0620 G1722 G5174 G3844 G2591

ἐρχόμενος φέρε, καὶ τὰ βιβλία, μάλιστα τὰς μεμβράνας.
来る–ときに 持って–きなさい また その 書物を 特に その 羊皮紙を
G2064 G5342 G2532 G3588 G0975 G3122 G3588 G3200

あなたが来るときに、トロアスのカルポの所に残しておいた上着を持ってきてほしい。また書物も、特に、羊皮紙のを持ってきてもらいたい。

14 Ἀλέξανδρος ὁ χαλκεὺς, πολλά μοι κακὰ ἐνεδείξατο. ἀποδώσει αὐτῷ
アレクサンデルは その 銅細工人が 多くの 私に 害を 示した 報いてくださる 彼に
G0223 G3588 G5471 G4183 G1473 G2556 G1731 G0591 G0846

ὁ Κύριος, κατὰ τὰ ἔργα αὐτοῦ,
その 主が ～に–応じて その 行いに 彼の
G3588 G2962 G2596 G3588 G2041 G0846

銅細工人のアレキサンデルが、わたしを大いに苦しめた。主はそのしわざに対して、彼に報いなさるだろう。

15 ὃν καὶ σὺ φυλάσσου, λίαν γὰρ ἀντέστη τοῖς ἡμετέροις λόγοις.
彼を また あなたも 警戒しなさい 非常に なぜなら 逆らった その 私たちの 言葉に
G3739 G2532 G4771 G5442 G3029 G1063 G0436 G3588 G2251 G3056

あなたも、彼を警戒しなさい。彼は、わたしたちの言うことに強く反対したのだから。

16 Ἐν τῇ πρώτῃ μου ἀπολογίᾳ, οὐδείς μοι παρεγένετο, ἀλλὰ
～において その 最初の 私の 弁明の–とき 誰も 私の–そばに 来なかった むしろ
G1722 G3588 G4413 G1473 G0627 G3762 G1473 G3854 G0235

πάντες με ἐγκατέλιπον. μὴ αὐτοῖς λογισθείη!
すべての–者が 私を 見捨てた ～しないように 彼らに 数えられないように
G3956 G1473 G1459 G3361 G0846 G3049

わたしの第一回の弁明の際には、わたしに味方をする者はひとりもなく、みなわたしを捨てて行った。どうか、彼らが、そのために責められることがないように。

17 ὁ δὲ Κύριός μοι παρέστη, καὶ ἐνεδυνάμωσέν με,
その しかし 主が 私の–そばに 立ってくださった そして 力づけてくださった 私を
G3588 G1161 G2962 G1473 G3936 G2532 G1743 G1473

ἵνα δι’ ἐμοῦ τὸ κήρυγμα πληροφορηθῇ, καὶ ἀκούσωσιν
～するために ～を–通して 私を–通して その 宣教が 十分に–伝えられ そして 聞いた
G2443 G1223 G1473 G3588 G2782 G4135 G2532 G0191

πάντα τὰ ἔθνη; καὶ ἐρρύσθην ἐκ στόματος λέοντος.
すべての その 異邦人が そして 救い出された ～から 口から 獅子の
G3956 G3588 G1484 G2532 G4506 G1537 G4750 G3023

しかし、わたしが御言を余すところなく宣べ伝えて、すべての異邦人に聞かせるように、主はわたしを助け、力づけて下さった。そして、わたしは、ししの口から救い出されたのである。

18 ῥύσεταί με ὁ Κύριος ἀπὸ παντὸς ἔργου πονηροῦ, καὶ
救い出してくださる 私を その 主は ～から すべての わざから 悪い そして
G4506 G1473 G3588 G2962 G0575 G3956 G2041 G4190 G2532

σώσει εἰς τὴν βασιλείαν αὐτοῦ τὴν ἐπουράνιον; ᾧ ἡ δόξα
救ってくださる ～へと その 御国へと その方の その 天の その方に その 栄光が
G4982 G1519 G3588 G0932 G0846 G3588 G2032 G3739 G3588 G1391

εἰς τοὺς αἰῶνας τῶν αἰώνων. ἀμήν.
～へ その 世々に その 限りなく アーメン
G1519 G3588 G0165 G3588 G0165 G0281

主はわたしを、すべての悪のわざから助け出し、天にある御国に救い入れて下さるであろう。栄光が永遠から永遠にわたって主にあるように、アァメン。

19 Ἄσπασαι Πρίσκαν καὶ Ἀκύλαν, καὶ τὸν Ὀνησιφόρου οἶκον.
よろしく–伝えなさい プリスカと また アクラに また その オネシポロの 家に
G0782 G4251 G2532 G0207 G2532 G3588 G3683 G3624

プリスカとアクラとに、またオネシポロの家に、よろしく伝えてほしい。

20 Ἔραστος ἔμεινεν ἐν Κορίνθῳ, Τρόφιμον δὲ ἀπέλιπον ἐν Μιλήτῳ
エラストは とどまった ～に コリントに トロフィモを しかし 残して–きた ～で ミレトスで
G2037 G3306 G1722 G2882 G5161 G1161 G0620 G1722 G3399

ἀσθενοῦντα.
病気で
G0770

エラストはコリントにとどまっており、トロピモは病気なので、ミレトに残してきた。

21 Σπούδασον 努めなさい G4704 πρὸ ～の–前に G4253 χειμῶνος 冬の–前に G5494 ἐλθεῖν. 来ることを G2064 Ἀσπάζεταί よろしくと–言っている G0782 σε あなたに G4771 Εὔβουλος, エウブロは G2103 καὶ また G2532 Πούδης, プデスも G4227 καὶ また G2532 Λίνος, リノスも G3044 καὶ また G2532 Κλαυδία, クラウディアも G2803 καὶ また G2532 οἱ その G3588 ἀδελφοὶ 兄弟たち G0080 πάντες. すべてが G3956

冬になる前に、急いできてほしい。ユブロ、プデス、リノス、クラウデヤならびにすべての兄弟たちから、あなたによろしく。

22 Ὁ その G3588 Κύριος 主が G2962 μετὰ ～と–共に G3326 τοῦ あなたの G3588 πνεύματός 霊と G4151 σου. 共に–あるように G4771 ἡ その G3588 χάρις 恵みが G5485 μεθ’ ～と–共に G3326 ὑμῶν. あなたがたと G4771 <Ἀμήν>. アーメン G0281

主が、あなたの霊と共にいますように。恵みが、あなたがたと共にあるように。

Titus

Chapter 1

1 Παῦλος, δοῦλος Θεοῦ, ἀπόστολος δὲ Ἰησοῦ Χριστοῦ, κατὰ πίστιν
パウロ 僕であり 神の 使徒である また イエス キリストの ～に–従い 信仰と
G3972 G1401 G2316 G0652 G1161 G2424 G5547 G2596 G4102

ἐκλεκτῶν Θεοῦ, καὶ ἐπίγνωσιν ἀληθείας, τῆς κατ’ εὐσέβειαν;
選ばれた–者たちの 神の また 真の–認識と 真理の その ～に–基づく 敬虔に
G1588 G2316 G2532 G1922 G0225 G3588 G2596 G2150

神の僕、イエス・キリストの使徒パウロから――わたしが使徒とされたのは、神に選ばれた者たちの信仰を強め、また、信心にかなう真理の知識を彼らに得させるためであり、

2 ἐπ’ ἐλπίδι ζωῆς αἰωνίου, ἣν ἐπηγγείλατο ὁ ἀψευδὴς, Θεὸς,
～に–基づく 希望に 命の 永遠の それを 約束してくださった その 偽りのない 神が
G1909 G1680 G2222 G0166 G3739 G1861 G3588 G0893 G2316

πρὸ χρόνων αἰωνίων;
～の–前に 時の 永遠の
G4253 G5550 G0166

偽りのない神が永遠の昔に約束された永遠のいのちの望みに基くのである。

3 ἐφανέρωσεν δὲ, καιροῖς ἰδίοις, τὸν λόγον αὐτοῦ, ἐν
明らかにした そして 定められた–時に その その 御言葉を その方の ～において
G5319 G1161 G2540 G2398 G3588 G3056 G0846 G1722

κηρύγματι ὃ ἐπιστεύθην ἐγὼ, κατ’ ἐπιταγὴν τοῦ Σωτῆρος ἡμῶν,
宣教において それを 委ねられた 私は ～に–従い 命令に その 救い主である 私たちの
G2782 G3739 G4100 G1473 G2596 G2003 G3588 G4990 G1473

Θεοῦ;
神の
G2316

神は、定められた時に及んで、御言を宣教によって明らかにされたが、わたしは、わたしたちの救主なる神の任命によって、この宣教をゆだねられたのである――

4 Τίτῳ, γνησίῳ τέκνῳ, κατὰ κοινὴν πίστιν: χάρις καὶ εἰρήνη ἀπὸ
テトスへ 真の 子である ～に–従う 共通の 信仰に 恵みと また 平安が ～から
G5103 G1103 G5043 G2596 G2839 G4102 G5485 G2532 G1515 G0575

Θεοῦ Πατρὸς, καὶ Χριστοῦ Ἰησοῦ, τοῦ Σωτῆρος ἡμῶν.
神である 父からと また キリスト イエスから その 救い主である 私たちの
G2316 G3962 G2532 G5547 G2424 G3588 G4990 G1473

信仰を同じうするわたしの真実の子テトスへ。父なる神とわたしたちの救主キリスト・イエスから、恵みと平安とが、あなたにあるように。

5 Τούτου χάριν, ἀπέλιπόν σε ἐν Κρήτῃ, ἵνα τὰ
この–ために ゆえに 残して–きた あなたを ～に クレタに ～するために その
G3778 G5484 G0620 G4771 G1722 G2914 G2443 G3588

λείποντα ἐπιδιορθώσῃ, καὶ καταστήσῃς κατὰ πόλιν πρεσβυτέρους,
残っている–ことを 整え また 任命するために 各 町に 長老たちを
G3007 G1930 G2532 G2525 G2596 G4172 G4245

ὡς ἐγώ σοι διεταξάμην,
～のように 私が あなたに 指示した–とおりに
G5613 G1473 G4771 G1299

あなたをクレテにおいてきたのは、わたしがあなたに命じておいたように、そこにし残してあることを整理してもらい、また、町々に長老を立ててもらうためにほかならない。

6 εἴ τίς ἐστιν ἀνέγκλητος, μιᾶς γυναικὸς ἀνήρ, τέκνα ἔχων
もし 誰かが であるなら 非難の–ない–者で 一人の 妻の 夫であり 子どもたちが 持つ
G1487 G5100 G1510 G0410 G1520 G1135 G0435 G5043 G2192

πιστά, μὴ ἐν κατηγορίᾳ ἀσωτίας ἢ ἀνυπότακτα.
信仰ある ～ない ～に 非難が 放蕩の または 従わない–者で
G4103 G3361 G1722 G2724 G0810 G2228 G0506

長老は、責められる点がなく、ひとりの妻の夫であって、その子たちも不品行のうわさをたてられず、親不孝をしない信者でなくてはならない。

7 δεῖ γὰρ τὸν ἐπίσκοπον ἀνέγκλητον εἶναι, ὡς Θεοῦ
必要である なぜなら その 監督は 非難の–ない–者で あることが ～として 神の
G1163 G1063 G3588 G1985 G0410 G1510 G5613 G2316

οἰκονόμον; μὴ αὐθάδη, μὴ ὀργίλον, μὴ πάροινον, μὴ πλήκτην,
管理者として ～ない 独善的で ～ない 怒りっぽく ～ない 酒に–ふける–者で ～ない 暴力的で
G3623 G3361 G0829 G3361 G3711 G3361 G3943 G3361 G4131

μὴ αἰσχροκερδῆ;
～ない 不正な–利得を–貪る–者で
G3361 G0146

監督たる者は、神に仕える者として、責められる点がなく、わがままでなく、軽々しく怒らず、酒を好まず、乱暴でなく、利をむさぼらず、

8 ἀλλὰ φιλόξενον, φιλάγαθον, σώφρονα, δίκαιον, ὅσιον, ἐγκρατῆ;
むしろ もてなし–好きで 善を–愛する–者で 思慮深く 正しく 聖く 自制の–ある–者で
G0235 G5382 G5358 G4998 G1342 G3741 G1468

かえって、旅人をもてなし、善を愛し、慎み深く、正しく、信仰深く、自制する者であり、

9 ἀντεχόμενον τοῦ, κατὰ τὴν διδαχὴν, πιστοῦ λόγου, ἵνα
堅く–保ち その ～に–従った その 教えに 忠実な 御言葉を ～するために
G0472 G3588 G2596 G3588 G1322 G4103 G3056 G2443

δυνατὸς ᾖ καὶ παρακαλεῖν ἐν τῇ διδασκαλίᾳ τῇ ὑγιαινούσῃ,
できる–者となり なる また 勧める–ことが ～において その 教えにおいて その 健全な
G1415 G1510 G2532 G3870 G1722 G3588 G1319 G3588 G5198

καὶ τοὺς ἀντιλέγοντας ἐλέγχειν.
また その 反対する–者たちを 戒める–ことが
G2532 G3588 G0483 G1651

教にかなった信頼すべき言葉を守る人でなければならない。それは、彼が健全な教によって人をさとし、また、反対者の誤りを指摘することができるためである。

10 Εἰσὶν γὰρ πολλοὶ ‹καὶ› ἀνυπότακτοι, ματαιολόγοι, καὶ
いる なぜなら 多くの また 従わない–者たちが 空しい–話をする–者たちが また
G1510 G1063 G4183 G2532 G0506 G3151 G2532

φρεναπάται, μάλιστα οἱ ἐκ τῆς περιτομῆς,
人を–惑わす–者たちが 特に その ～からの その 割礼の–者たちの–中に
G5423 G3122 G3588 G1537 G3588 G4061

実は、法に服さない者、空論に走る者、人の心を惑わす者が多くおり、とくに、割礼のある者の中に多い。

11 οὓς δεῖ ἐπιστομίζειν, οἵτινες ὅλους οἴκους ἀνατρέπουσιν,
彼らを しなければ–ならない 黙らせ 彼らは 全体の 家を 覆している
G3739 G1163 G1993 G3748 G3650 G3624 G0396

διδάσκοντες ἃ μὴ δεῖ, αἰσχροῦ κέρδους χάριν.
教えている ～を ～すべきでない–ことを すべきでない 印い 利得の ために
G1321 G3739 G3361 G1163 G0150 G2771 G5484

彼らの口を封ずべきである。彼らは恥ずべき利のために、教えてはならないことを教えて、数々の家庭を破壊してしまっている。

12 εἶπέν τις ἐξ αὐτῶν, ἴδιος αὐτῶν, προφήτης, Κρῆτες ἀεὶ
言った ある–者が ～の–中から 彼らの 自らの 彼らの 預言者が クレタ人は いつも
G3004 G5100 G1537 G0846 G2398 G0846 G4396 G2912 G0104

ψεῦσται, κακὰ θηρία, γαστέρες ἀργαί.
嘘つきで 悪い 獣で 怠惰な 大食いである
G5583 G2556 G2342 G1064 G0692

クレテ人のうちのある預言者が「クレテ人は、いつもうそつき、たちの悪いけもの、なまけ者の食いしんぼう」と言っているが、

13 ἡ μαρτυρία αὕτη ἐστὶν ἀληθής; δι’ ἣν αἰτίαν ἔλεγχε αὐτοὺς
この 証言は これは である 真実である それ–ゆえに その 理由で 戒めなさい 彼らを
G3588 G3141 G3778 G1510 G0227 G1223 G3739 G0156 G1651 G0846

ἀποτόμως, ἵνα ὑγιαίνωσιν ἐν τῇ πίστει,
厳しく ～するために 健全で–あるために ～において その 信仰において
G0664 G2443 G5198 G1722 G3588 G4102

この非難はあたっている。だから、彼らをきびしく責めて、その信仰を健全なものにし、

14 μὴ προσέχοντες Ἰουδαϊκοῖς μύθοις καὶ ἐντολαῖς ἀνθρώπων,
～ない 心を–向け ユダヤ的な 作り話に また 戒めに 人々の
G3361 G4337 G2451 G3454 G2532 G1785 G0444

ἀποστρεφομένων τὴν ἀλήθειαν.
背いている–者たちの その 真理に
G0654 G3588 G0225

ユダヤ人の作り話や、真理からそれていった人々の定めなどに、気をとられることがないようにさせなさい。

15 πάντα καθαρὰ τοῖς καθαροῖς; τοῖς δὲ μεμιαμμένοις καὶ
すべての–ものは 清い その 清い–者には その しかし 汚れた–者には また
G3956 G2513 G3588 G2513 G3588 G1161 G3392 G2532

ἀπίστοις, οὐδὲν καθαρόν; ἀλλὰ μεμίανται αὐτῶν καὶ ὁ νοῦς, καὶ
不信仰な–者には 何も 清くない むしろ 汚れている 彼らの また その 心も また
G0571 G3762 G2513 G0235 G3392 G0846 G2532 G3588 G3563 G2532

ἡ συνείδησις.
その 良心も
G3588 G4893

きよい人には、すべてのものがきよい。しかし、汚れている不信仰な人には、きよいものは一つもなく、その知性も良心も汚れてしまっている。

16 Θεὸν ὁμολογοῦσιν εἰδέναι; τοῖς δὲ ἔργοις, ἀρνοῦνται, βδελυκτοὶ
神を 告白する 知っていると その しかし 行いによって 否定している 忌まわしい–者で
G2316 G3670 G1492 G3588 G1161 G2041 G0720 G0947

ὄντες καὶ ἀπειθεῖς, καὶ πρὸς πᾶν ἔργον ἀγαθὸν, ἀδόκιμοι.
あり また 不従順で また ～に–ついて すべての 良い–わざに 良い 不適格である
G1510 G2532 G0545 G2532 G4314 G3956 G2041 G0018 G0096

彼らは神を知っていると、口では言うが、行いではそれを否定している。彼らは忌まわしい者、また不従順な者であって、いっさいの良いわざに関しては、失格者である。

Chapter 2

1 Σὺ δὲ λάλει ἃ πρέπει τῇ ὑγιαινούσῃ διδασκαλίᾳ:
あなたは しかし 語りなさい ～を ふさわしい–ことを その 健全な 教えに
G4771 G1161 G2980 G3739 G4241 G3588 G5198 G1319

しかし、あなたは、健全な教にかなうことを語りなさい。

2 πρεσβύτας νηφαλίους εἶναι, σεμνούς, σώφρονας, ὑγιαίνοντας τῇ
年老の–男たちは 節度が–あり あること 威厳が–あり 思慮深く 健全で–あり その
G4246 G3524 G1510 G4586 G4998 G5198 G3588

πίστει, τῇ ἀγάπῃ, τῇ ὑπομονῇ;
信仰において その 愛において その 忍耐において
G4102 G3588 G0026 G3588 G5281

老人たちには自らを制し、謹厳で、慎み深くし、また、信仰と愛と忍耐とにおいて健全であるように勧め、

3 πρεσβύτιδας ὡσαύτως, ἐν καταστήματι ἱεροπρεπεῖς, μὴ
年老の–女たちも 同様に ～において 振る舞いにおいて 神聖に–ふさわしく ～ない
G4247 G5615 G1722 G2688 G2412 G3361

διαβόλους, μηδὲ οἴνῳ πολλῷ δεδουλωμένας, καλοδιδασκάλους,
中傷する–者で また～ない 酒に 多く 契られた–者で 善い–ことを–教える–者で
G1228 G3366 G3631 G4183 G1402 G2567

年老いた女たちにも、同じように、たち居ふるまいをうやうやしくし、人をそしったり大酒の奴隷になったりせず、良いことを教える者となるように、勧めなさい。

4 ἵνα σωφρονίζωσιν τὰς νέας, φιλάνδρους εἶναι, φιλοτέκνους,
～するために 訓練する その 若い–女たちを 夫を–愛し あること 子どもを–愛する–者で
G2443 G4994 G3588 G3501 G5362 G1510 G5388

そうすれば、彼女たちは、若い女たちに、夫を愛し、子供を愛し、

5 σώφρονας, ἁγνάς, οἰκουργούς, ἀγαθάς, ὑποτασσομένας τοῖς ἰδίοις ἀνδράσιν,
思慮深く 清く 家庭を-守り 善良で 従う-者であり その 自分の 夫に
G4998 G0053 G3626 G0018 G5293 G3588 G2398 G0435

ἵνα μὴ ὁ λόγος τοῦ Θεοῦ βλασφημῆται.
～しない-ために ～ないように その 御言葉が その 神の 汚されない-ために
G2443 G3361 G3588 G3056 G3588 G2316 G0987

慎み深く、純潔で、家事に努め、善良で、自分の夫に従順であるように教えることになり、したがって、神の言がそしりを受けないようになるであろう。

6 Τοὺς νεωτέρους, ὡσαύτως, παρακάλει σωφρονεῖν,
その 若い-男たちを 同様に 勧めなさい 思慮深く-あるように
G3588 G3501 G5615 G3870 G4993

若い男にも、同じく、万事につけ慎み深くあるように、勧めなさい。

7 περὶ πάντα σεαυτὸν παρεχόμενος τύπον καλῶν ἔργων; ἐν
～について すべてにおいて 自らを 示しなさい 模範として 良い わざの ～において
G4012 G3956 G4572 G3930 G5179 G2570 G2041 G1722

τῇ διδασκαλίᾳ ἀφθορίαν, σεμνότητα,
その 教えにおいて 正直さと 威厳さを
G3588 G1319 G0861 G4587

あなた自身を良いわざの模範として示し、人を教える場合には、清廉と謹厳とをもってし、

8 λόγον ὑγιῆ, ἀκατάγνωστον, ἵνα ὁ ἐξ ἐναντίας ἐντραπῇ,
言葉を 健全で 非難の-余地の-ない ～するために その ～からの 反対者が 恥じるように
G3056 G5199 G0176 G2443 G3588 G1537 G1727 G1788

μηδὲν ἔχων λέγειν περὶ ἡμῶν φαῦλον.
何も 持たない 言う-ことが ～について 私たちについて 悪い-ことを
G3367 G2192 G3004 G4012 G1473 G5337

非難のない健全な言葉を用いなさい。そうすれば、反対者も、わたしたちについてなんの悪口も言えなくなり、自ら恥じいるであろう。

9 δούλους ἰδίοις δεσπόταις ὑποτάσσεσθαι, ἐν πᾶσιν εὐαρέστους
僕たちは 自分の 主人に 従うこと ～において すべてにおいて 喜ばれる-者で
G1401 G2398 G1203 G5293 G1722 G3956 G2101

εἶναι, μὴ ἀντιλέγοντας;
あること ～ない 反論しない-こと
G1510 G3361 G0483

奴隷には、万事につけその主人に服従して、喜ばれるようになり、反抗をせず、

10 μὴ νοσφιζομένους, ἀλλὰ πᾶσαν πίστιν ἐνδεικνυμένους ἀγαθήν, ἵνα
～ない 盗まない-こと むしろ すべての 誠実さを 示す-こと 良い ～するために
G3361 G3557 G0235 G3956 G4102 G1731 G0018 G2443

τὴν διδασκαλίαν τὴν τοῦ Σωτῆρος ἡμῶν, Θεοῦ, κοσμῶσιν ἐν
その 教えを その その 救い主である 私たちの 神の 飾る-ために ～において
G3588 G1319 G3588 G3588 G4990 G1473 G2316 G2885 G1722

πᾶσιν.
すべてにおいて
G3956

盗みをせず、どこまでも心をこめた真実を示すようにと、勧めなさい。そうすれば、彼らは万事につけ、わたしたちの救主なる神の教を飾ることになろう。

11 Ἐπεφάνη γὰρ ἡ χάρις τοῦ Θεοῦ, σωτήριος πᾶσιν ἀνθρώποις;
現れた なぜなら その 恵みが その 神の 救いを-もたらす すべての 人々に
G2014 G1063 G3588 G5485 G3588 G2316 G4992 G3956 G0444

すべての人を救う神の恵みが現れた。

12 παιδεύουσα ἡμᾶς ἵνα, ἀρνησάμενοι τὴν ἀσέβειαν καὶ τὰς κοσμικὰς
訓練している 私たちを ～するために 否定して その 不敬虔と また その この-世の
G3811 G1473 G2443 G0720 G3588 G0763 G2532 G3588 G2886

ἐπιθυμίας, σωφρόνως καὶ δικαίως καὶ εὐσεβῶς ζήσωμεν, ἐν τῷ
欲望を 思慮深く また 正しく また 敬虔に 生きるために ～において その
G1939 G4996 G2532 G1346 G2532 G2153 G2198 G1722 G3588

νῦν αἰῶνι;
今の 世において
G3568 G0165

そして、わたしたちを導き、不信心とこの世の情欲とを捨てて、慎み深く、正しく、信心深くこの世で生活し、

13 προσδεχόμενοι τὴν μακαρίαν ἐλπίδα, καὶ ἐπιφάνειαν τῆς δόξης τοῦ
待ち望みながら その 幸いなる 希望と また 現れを その 栄光の その
G4327 G3588 G3107 G1680 G2532 G2015 G3588 G1391 G3588

μεγάλου Θεοῦ καὶ Σωτῆρος ἡμῶν, Χριστοῦ Ἰησοῦ;
大いなる 神であり また 救い主である 私たちの キリスト イエスの
G3173 G2316 G2532 G4990 G1473 G5547 G2424

祝福に満ちた望み、すなわち、大いなる神、わたしたちの救主キリスト・イエスの栄光の出現を待ち望むようにと、教えている。

14 ὃς ἔδωκεν ἑαυτὸν ὑπὲρ ἡμῶν, ἵνα λυτρώσηται ἡμᾶς
その方は 与えた 御自身を ～の-ために 私たちの ～するために 贖い出す 私たちを
G3739 G1325 G1438 G5228 G1473 G2443 G3084 G1473

ἀπὸ πάσης ἀνομίας, καὶ καθαρίσῃ ἑαυτῷ λαὸν περιούσιον,
～から すべての 不法から また 清める 御自身の-ために 民を 特別な
G0575 G3956 G0458 G2532 G2511 G1438 G2992 G4041

ζηλωτὴν καλῶν ἔργων.
熱心な-者として 良い わざに
G2207 G2570 G2041

このキリストが、わたしたちのためにご自身をささげられたのは、わたしたちをすべての不法からあがない出して、良いわざに熱心な選びの民を、ご自身のものとして聖別するためにほかならない。

15 Ταῦτα λάλει, καὶ παρακάλει, καὶ ἔλεγχε μετὰ πάσης
これらの-ことを 語りなさい また 勧めなさい また 戒めなさい ～をもって あらゆる
G3778 G2980 G2532 G3870 G2532 G1651 G3326 G3956

ἐπιταγῆς. μηδείς σου περιφρονείτω.
権威を-もって 誰にも あなたを 軽んじさせては-ならない
G2003 G3367 G4771 G4065

あなたは、権威をもってこれらのことを語り、勧め、また責めなさい。だれにも軽んじられてはならない。

Chapter 3

1 Ὑπομίμνῃσκε αὐτοὺς ἀρχαῖς, ἐξουσίαις, ὑποτάσσεσθαι, πειθαρχεῖν;
思い出させなさい 彼らに 支配者たちと 権威ある–者たちに 従うこと 服従すること
G5279 G0846 G0746 G1849 G5293 G3980

πρὸς πᾶν ἔργον ἀγαθὸν, ἑτοίμους εἶναι;
～のために すべての 良い–わざに 良い 備えが–ある–者で あること
G4314 G3956 G2041 G0018 G2092 G1510

あなたは彼らに勧めて、支配者、権威ある者に服し、これに従い、いつでも良いわざをする用意があり、

2 μηδένα βλασφημεῖν, ἀμάχους εἶναι, ἐπιεικεῖς, πᾶσαν ἐνδεικνυμένους πραΰτητα
誰をも 汚さず 争わず あること 寛容で すべての 示しなさい 柔和さを
G3367 G0987 G0269 G1510 G1933 G3956 G1731 G4240

πρὸς πάντας ἀνθρώπους.
～に–対して すべての 人々に
G4314 G3956 G0444

だれをもそしらず、争わず、寛容であって、すべての人に対してどこまでも柔和な態度を示すべきことを、思い出させなさい。

3 Ἦμεν γάρ ποτε καὶ ἡμεῖς ἀνόητοι, ἀπειθεῖς, πλανώμενοι, δουλεύοντες
いた なぜなら かつて また 私たちも 愚かで 不従順で 惑わされ 仕えていた
G1510 G1063 G4218 G2532 G1473 G0453 G0545 G4105 G1398

ἐπιθυμίαις καὶ ἡδοναῖς ποικίλαις, ἐν κακίᾳ καὶ φθόνῳ διάγοντες,
欲望と また 快楽に さまざまな ～の–中で 悪意と また ねたみの–中で 過ごしていた
G1939 G2532 G2237 G4164 G1722 G2549 G2532 G5355 G1236

στυγητοί, μισοῦντες ἀλλήλους.
忌み–嫌われ 憎み–合っていた 互いに
G4767 G3404 G0240

わたしたちも以前には、無分別で、不従順な、迷っていた者であって、さまざまの情欲と快楽との奴隷になり、悪意とねたみとで日を過ごし、人に憎まれ、互に憎み合っていた。

4 ὅτε δὲ ἡ χρηστότης καὶ ἡ φιλανθρωπία ἐπεφάνη, τοῦ
しかし～とき しかし その 愚れみと また その 人への–愛が 現れた その
G3753 G1161 G3588 G5544 G2532 G3588 G5363 G2014 G3588

Σωτῆρος ἡμῶν, Θεοῦ,
救い主である 私たちの 神の
G4990 G1473 G2316

ところが、わたしたちの救主なる神の慈悲と博愛とが現れたとき、

5 οὐκ ἐξ ἔργων τῶν ἐν δικαιοσύνῃ, ἃ ἐποιήσαμεν
～ない ～からの 行いからでは–なく その ～における 義における それを 行った
G3756 G1537 G2041 G3588 G1722 G1343 G3739 G4160

ἡμεῖς, ἀλλὰ κατὰ τὸ αὐτοῦ ἔλεος, ἔσωσεν ἡμᾶς,
私たちが むしろ ～に–従い その方の その方の あわれみに–よって 救ってくださった 私たちを
G1473 G0235 G2596 G3588 G0846 G1656 G4982 G1473

διὰ λουτροῦ παλινγενεσίας, καὶ ἀνακαινώσεως Πνεύματος Ἁγίου;
～を–通して 洗いを–通して 新生の また 更新の 御霊の 聖なる
G1223 G3067 G3824 G2532 G0342 G4151 G0040

わたしたちの行った義のわざによってではなく、ただ神のあわれみによって、再生の洗いを受け、聖霊により新たにされて、わたしたちは救われたのである。

6 οὗ ἐξέχεεν ἐφ’ ἡμᾶς πλουσίως, διὰ Ἰησοῦ
それを 注ぎ出してくださった ～の–上に 私たちの–上に 豊かに ～を–通して イエス
G3739 G1632 G1909 G1473 G4146 G1223 G2424

Χριστοῦ, τοῦ Σωτῆρος ἡμῶν,
キリストを–通して その 救い主である 私たちの
G5547 G3588 G4990 G1473

この聖霊は、わたしたちの救主イエス・キリストをとおして、わたしたちの上に豊かに注がれた。

7 ἵνα δικαιωθέντες τῇ ἐκείνου χάριτι, κληρονόμοι γενηθῶμεν,
～するために 義と–されて その方の その方の 恵みに–よって 相続人と–なる なるために
G2443 G1344 G3588 G1565 G5485 G2818 G1096

κατ’ ἐλπίδα ζωῆς αἰωνίου.
～に–従い 希望に 命の 永遠の
G2596 G1680 G2222 G0166

これは、わたしたちが、キリストの恵みによって義とされ、永遠のいのちを望むことによって、御国をつぐ者となるためである。

8 Πιστὸς ὁ λόγος, καὶ περὶ τούτων βούλομαί σε
信頼できる その 言葉である そして ～について これらの–ことについて 私は–望む あなたが
G4103 G3588 G3056 G2532 G4012 G3778 G1014 G4771

διαβεβαιοῦσθαι, ἵνα φροντίζωσιν καλῶν ἔργων προΐστασθαι, οἱ
確信を–もって–語ることを ～するために 心を–用いる 良い わざに 励むことを その
G1226 G2443 G5431 G2570 G2041 G4291 G3588

πεπιστευκότες Θεῷ. ταῦτά ἐστιν καλὰ καὶ ὠφέλιμα τοῖς
信じた–者たちが 神に これらの–ことは である 良い–ことであり また 有益である その
G4100 G2316 G3778 G1510 G2570 G2532 G5624 G3588

ἀνθρώποις.
人々に
G0444

この言葉は確実である。わたしは、あなたがそれらのことを主張するのを願っている。それは、神を信じている者たちが、努めて良いわざを励むことを心がけるようになるためである。これは良いことであって、人々の益となる。

9 μωρὰς δὲ ζητήσεις καὶ γενεαλογίας καὶ ἔρεις καὶ μάχας νομικὰς,
愚かな しかし 論争と また 系図と また 争いと また 戦いを 律法に–ついての
G3474 G1161 G2214 G2532 G1076 G2532 G2054 G2532 G3163 G3544

περιΐστασο; εἰσὶν γὰρ ἀνωφελεῖς καὶ μάταιοι.
避けなさい それらは なぜなら 無益で また 空しい
G4026 G1510 G1063 G0512 G2532 G3152

しかし、愚かな議論と、系図と、争いと、律法についての論争とを、避けなさい。それらは無益かつ空虚なことである。

10 αἱρετικὸν ἄνθρωπον, μετὰ μίαν καὶ δευτέραν νουθεσίαν, παραιτοῦ,
分派を–起こす–者を 人を ～の–後に 一度と また 二度の 警告の–後に 避けなさい
G0141 G0444 G3326 G1520 G2532 G1208 G3559 G3868

異端者は、一、二度、訓戒を加えた上で退けなさい。

11 εἰδὼς ὅτι ἐξέστραπται ὁ τοιοῦτος, καὶ ἁμαρτάνει, ὢν
知っている すなわち 歪められている その そのような–者は また 罪を–犯している であり
G1492 G3754 G1612 G3588 G5108 G2532 G0264 G1510

αὐτοκατάκριτος.
自ら–罪に–定められている
G0843

たしかに、こういう人たちは、邪道に陥り、自ら悪と知りつつも、罪を犯しているからである。

12 Ὅταν πέμψω Ἀρτεμᾶν πρὸς σὲ, ἢ Τυχικόν, σπούδασον
〜とき 遣わす アルテマスを 〜の–もとに あなたの–もとに または テキコを 努めなさい
G3752 G3992 G0734 G4314 G4771 G2228 G5190 G4704

ἐλθεῖν πρός με εἰς Νικόπολιν; ἐκεῖ γὰρ κέκρικα
来ることを 〜の–もとに 私の–もとに 〜へ ニコポリスへ そこで なぜなら 決めた
G2064 G4314 G1473 G1519 G3533 G1563 G1063 G2919

παραχειμάσαι.
冬を–過ごすことを
G3914

わたしがアルテマスかテキコかをあなたのところに送ったなら、急いでニコポリにいるわたしの所にきなさい。わたしは、そこで冬を過ごすことにした。

13 Ζηνᾶν τὸν νομικὸν καὶ Ἀπολλῶν σπουδαίως πρόπεμψον, ἵνα
ゼナスと その 律法学者と また アポロを 熱心に 送り出しなさい 〜するために
G2211 G3588 G3544 G2532 G0625 G4709 G4311 G2443

μηδὲν αὐτοῖς λείπῃ.
何も 彼らに 欠けない–ように
G3367 G0846 G3007

法学者ゼナスと、アポロとを、急いで旅につかせ、不自由のないようにしてあげなさい。

14 μανθανέτωσαν δὲ καὶ οἱ ἡμέτεροι, καλῶν ἔργων προΐστασθαι,
学ぶべきである また また その 私たちの–者たちも 良い わざに 励むことを
G3129 G1161 G2532 G3588 G2251 G2570 G2041 G4291

εἰς τὰς ἀναγκαίας χρείας, ἵνα μὴ ὦσιν
〜のために その 必要な 必要の–ために 〜しない–ために 〜ない–ように ならない–ように
G1519 G3588 G0316 G5532 G2443 G3361 G1510

ἄκαρποι.
実を–結ばない–者に
G0175

わたしたちの仲間も、さし迫った必要に備えて、努めて良いわざを励み、実を結ばぬ者とならないように、心がける べきである。

15 Ἀσπάζονταί σε, οἱ μετ’ ἐμοῦ πάντες. ἄσπασαι
よろしくと–言っている あなたに その 〜と–共にいる 私と すべての–者が よろしく–伝えなさい
G0782 G4771 G3588 G3326 G1473 G3956 G0782

τοὺς φιλοῦντας ἡμᾶς ἐν πίστει. Ἡ χάρις μετὰ πάντων
その 愛している–者たちに 私たちを 〜において 信仰において その 恵みが 〜と–共に すべての
G3588 G5368 G1473 G1722 G4102 G3588 G5485 G3326 G3956

ὑμῶν. <Ἀμήν>.
あなたがたと アーメン
G4771 G0281

わたしと共にいる一同の者から、あなたによろしく。わたしたちを愛している信徒たちに、よろしく。恵みが、あなたがた一同と共にあるように。

Philemon

Chapter 1

1 Παῦλος, δέσμιος Χριστοῦ Ἰησοῦ, καὶ Τιμόθεος, ὁ ἀδελφὸς; Φιλήμονι,
パウロ 囚人 キリストの イエスの そして テモテ その 兄弟から ピレモンへ
G3972 G1198 G5547 G2424 G2532 G5095 G3588 G0080 G5371

τῷ ἀγαπητῷ καὶ συνεργῷ ἡμῶν;
その 愛する そして 同労者である 私たちの
G3588 G0027 G2532 G4904 G1473

キリスト・イエスの囚人パウロと兄弟テモテから、わたしたちの愛する同労者ピレモン、

2 καὶ Ἀπφίᾳ, τῇ ἀδελφῇ; καὶ Ἀρχίππῳ, τῷ συστρατιώτῃ ἡμῶν;
そして アッピアへ その 姉妹と そして アルキッポスへ その 戦友である 私たちの
G2532 G0682 G3588 G0079 G2532 G0751 G3588 G4961 G1473

καὶ τῇ κατ’ οἴκόν σου ἐκκλησίᾳ:
そして その ～にある 家の あなたの 教会へ
G2532 G3588 G2596 G3624 G4771 G1577

姉妹アピヤ、わたしたちの戦友アルキポ、ならびに、あなたの家にある教会へ。

3 χάρις ὑμῖν καὶ εἰρήνη, ἀπὸ Θεοῦ Πατρὸς ἡμῶν, καὶ Κυρίου
恵みが あなたがたに そして 平和が ～から 神 父なる 私たちの そして 主
G5485 G4771 G2532 G1515 G0575 G2316 G3962 G1473 G2532 G2962

Ἰησοῦ Χριστοῦ.
イエス キリストから
G2424 G5547

わたしたちの父なる神と主イエス・キリストから、恵みと平安とが、あなたがたにあるように。

4 Εὐχαριστῶ τῷ Θεῷ μου πάντοτε, μνείαν σου ποιούμενος ἐπὶ τῶν
感謝します その 神に 私の いつも 覚えて あなたを しながら ～の-中で その
G2168 G3588 G2316 G1473 G3842 G3417 G4771 G4160 G1909 G3588

προσευχῶν μου,
祈りの 私の
G4335 G1473

わたしは、祈の時にあなたをおぼえて、いつもわたしの神に感謝している。

5 ἀκούων σου τὴν ἀγάπην καὶ τὴν πίστιν ἣν ἔχεις πρὸς
聞いている あなたの その 愛と そして その 信仰を それを 持っている ～に-対する
G0191 G4771 G3588 G0026 G2532 G3588 G4102 G3739 G2192 G4314

τὸν Κύριον Ἰησοῦν, καὶ εἰς πάντας τοὺς ἁγίους,
その 主 イエスへの そして ～への すべての その 聖徒たちへの
G3588 G2962 G2424 G2532 G1519 G3956 G3588 G0040

それは、主イエスに対し、また、すべての聖徒に対するあなたの愛と信仰とについて、聞いているからである。

6

ὅπως	ἡ	κοινωνία	τῆς	πίστεώς	σου,	ἐνεργὴς	γένηται	ἐν
それは	その	交わりが	その	信仰の	あなたの	力-ある-ものと	なるように	～における
G3704	G3588	G2842	G3588	G4102	G4771	G1756	G1096	G1722

ἐπιγνώσει	παντὸς	ἀγαθοῦ	τοῦ	ἐν	ἡμῖν,	εἰς	Χριστόν.
認識において	すべての	善い-ものの	その	～にある	私たちの-うちの	～のための	キリストのために
G1922	G3956	G0018	G3588	G1722	G1473	G1519	G5547

どうか、あなたの信仰の交わりが強められて、わたしたちの間でキリストのためになされているすべての良いことが、知られて来るようになってほしい。

7

χαρὰν	γὰρ	πολλὴν	ἔσχον,	καὶ	παράκλησιν	ἐπὶ	τῇ	ἀγάπῃ
喜びを	なぜなら	大きな	得ました	そして	慰めを	～の-ゆえに	その	愛の
G5479	G1063	G4183	G2192	G2532	G3874	G1909	G3588	G0026

σου,	ὅτι	τὰ	σπλάγχνα	τῶν	ἁγίων	ἀναπέπαυται	διὰ	σοῦ,
あなたの	なぜなら	その	心が	その	聖徒たちの	安らぎを-得ました	～を-通して	あなたを
G4771	G3754	G3588	G4698	G3588	G0040	G0373	G1223	G4771

ἀδελφέ.
兄弟よ
G0080

兄弟よ。わたしは、あなたの愛によって多くの喜びと慰めとを与えられた。聖徒たちの心が、あなたによって力づけられたからである。

8

Διό	πολλὴν	ἐν	Χριστῷ	παρρησίαν	ἔχων,	ἐπιτάσσειν
それゆえ	大きな	～における	キリストにおける	大胆さを	持っていますが	命じることが
G1352	G4183	G1722	G5547	G3954	G2192	G2004

σοι	τὸ	ἀνῆκον,
あなたに	その	ふさわしいことを
G4771	G3588	G0433

こういうわけで、わたしは、キリストにあってあなたのなすべき事を、きわめて率直に指示してもよいと思うが、

9

διὰ	τὴν	ἀγάπην,	μᾶλλον	παρακαλῶ,	τοιοῦτος	ὢν,	ὡς
～のゆえに	その	愛のゆえに	むしろ	お願いします	このような-者として	いる	すなわち
G1223	G3588	G0026	G3123	G3870	G5108	G1510	G5613

Παῦλος	πρεσβύτης,	νυνὶ	δὲ,	καὶ	δέσμιος	Χριστοῦ	Ἰησοῦ.
パウロ	年老いた-者であり	今や	また	さらに	囚人である	キリスト	イエスの
G3972	G4246	G3570	G1161	G2532	G1198	G5547	G2424

むしろ、愛のゆえにお願いする。すでに老年になり、今またキリスト・イエスの囚人となっているこのパウロが、

10

παρακαλῶ	σε	περὶ	τοῦ	ἐμοῦ	τέκνου,	ὃν	ἐγέννησα	ἐν
お願いします	あなたに	～のために	その	私の	子の	その者を	生んだ	～の-中で
G3870	G4771	G4012	G3588	G1699	G5043	G3739	G1080	G1722

τοῖς	δεσμοῖς,	Ὀνήσιμον;
その	鎖の-中で	オネシモのために
G3588	G1199	G3682

捕われの身で産んだわたしの子供オネシモについて、あなたにお願いする。

11 τόν その者は G3588 | ποτέ かつて G4218 | σοι あなたに G4771 | ἄχρηστον, 役に立たなかったが G0890 | νυνὶ 今は G3570 | δὲ しかし G1161 | καὶ また G2532 | σοὶ あなたにも G4771 | καὶ そして G2532 | ἐμοὶ 私にも G1473

εὔχρηστον;
役に立つ–者です
G2173

彼は以前は、あなたにとって無益な者であったが、今は、あなたにも、わたしにも、有益な者になった。

12 ὃν その者を G3739 | ἀνέπεμψά 送り返しました G0375 | σοι あなたに G4771 | αὐτόν -- 彼を G0846 | τοῦτ’ つまり G3778 | ἔστιν これは G1510 | τὰ その G3588 | ἐμὰ 私自身の G1699 | σπλάγχνα -- 心です G4698

彼をあなたのもとに送りかえす。彼はわたしの心である。

13 ὃν その者を G3739 | ἐγὼ 私は G1473 | ἐβουλόμην 望んでいました G1014 | πρὸς ～のもとに G4314 | ἐμαυτὸν 私自身の–もとに G1683 | κατέχειν, 引き–留めることを G2722 | ἵνα ～のために G2443

ὑπὲρ ～の–代わりに G5228 | σοῦ あなたの G4771 | μοι 私に G1473 | διακονῇ, 仕えるように G1247 | ἐν ～の–中で G1722 | τοῖς その G3588 | δεσμοῖς 鎖の G1199 | τοῦ その G3588 | εὐαγγελίου; 福音の G2098

わたしは彼を身近に引きとめておいて、わたしが福音のために捕われている間、あなたに代って仕えてもらいたかったのである。

14 χωρὶς しかし G5565 | δὲ けれども G1161 | τῆς あなたの G3588 | σῆς あなたの G4674 | γνώμης, 同意なしに G1106 | οὐδὲν 何も G3762 | ἠθέλησα したくは G2309 | ποιῆσαι, ありませんでした G4160

ἵνα ～のために G2443 | μὴ ～ない G3361 | ὡς ～のように G5613 | κατὰ ～による G2596 | ἀνάγκην, 強制によるのでなく G0318 | τὸ その G3588 | ἀγαθόν 善い–行いが G0018 | σου あなたの G4771

ᾖ, あるように G1510 | ἀλλὰ むしろ G0235 | κατὰ ～による G2596 | ἑκούσιον; 自発的にあるように G1595

しかし、わたしは、あなたの承諾なしには何もしたくない。あなたが強制されて良い行いをするのではなく、自発的にすることを願っている。

15 τάχα おそらく G5029 | γὰρ なぜなら G1063 | διὰ ～のため G1223 | τοῦτο, このことのために G3778 | ἐχωρίσθη 引き離されたのは G5563 | πρὸς ～の–間 G4314 | ὥραν, しばらくの–間 G5610

ἵνα ～のために G2443 | αἰώνιον 永遠に G0166 | αὐτὸν 彼を G0846 | ἀπέχῃς, 取り戻すためです G0568

彼がしばらくの間あなたから離れていたのは、あなたが彼をいつまでも留めておくためであったかも知れない。

16 οὐκέτι もはや～ない G3765 | ὡς ～として G5613 | δοῦλον, 奴隷としてではなく G1401 | ἀλλὰ むしろ G0235 | ὑπὲρ ～以上の G5228 | δοῦλον, 奴隷–以上の G1401 | ἀδελφὸν 兄弟として G0080

ἀγαπητόν, 愛する G0027 | μάλιστα 特に G3122 | ἐμοί, 私にとって G1473 | πόσῳ どれほど G4214 | δὲ さらに G1161 | μᾶλλον なおさら G3123 | σοὶ, あなたにとって G4771 | καὶ ～において G2532

ἐν ～においても G1722 | σαρκὶ 肉においても G4561 | καὶ そして G2532 | ἐν ～においても G1722 | Κυρίῳ. 主においても G2962

しかも、もはや奴隷としてではなく、奴隷以上のもの、愛する兄弟としてである。とりわけ、わたしにとってそうであるが、ましてあなたにとっては、肉においても、主にあっても、それ以上であろう。

17

εἰ	οὖν	με	ἔχεις	κοινωνόν,	προσλαβοῦ	αὐτὸν	ὡς
もし	それなら	私を	みなしているなら	仲間と	受け入れてください	彼を	～として
G1487	G3767	G1473	G2192	G2844	G4355	G0846	G5613

ἐμέ.
私として
G1473

そこで、もしわたしをあなたの信仰の友と思ってくれるなら、わたし同様に彼を受けいれてほしい。

18

εἰ	δέ	τι	ἠδίκησέν	σε,	ἢ	ὀφείλει,	τοῦτο	ἐμοὶ
もし	しかし	何か	不当なことをしたか	あなたに	あるいは	負っているなら	それを	私の
G1487	G1161	G5100	G0091	G4771	G2228	G3784	G3778	G1473

ἐλλόγα.
勘定に–してください
G1677

もし、彼があなたに何か不都合なことをしたか、あるいは、何か負債があれば、それをわたしの借りにしておいてほしい。

19

ἐγὼ	Παῦλος	ἔγραψα	τῇ	ἐμῇ	χειρί;	ἐγὼ	ἀποτίσω;	ἵνα	μὴ
私	パウロが	書きました	この	私自身の	手で	私が	返済します	～しないように	～ない
G1473	G3972	G1125	G3588	G1699	G5495	G1473	G0661	G2443	G3361

λέγω	σοι,	ὅτι	καὶ	σεαυτόν	μοι	προσοφείλεις.
言いませんが	あなたに	～ということを	実に	あなた自身を	私に	負っています
G3004	G4771	G3754	G2532	G4572	G1473	G4359

このパウロが手ずからしるす、わたしがそれを返済する。この際、あなたが、あなた自身をわたしに負うていることについては、何も言うまい。

20

ναί,	ἀδελφέ,	ἐγώ	σου	ὀναίμην	ἐν	Κυρίῳ;
はい	兄弟よ	私は	あなたから	益を–得たいのです	～において	主において
G3483	G0080	G1473	G4771	G3685	G1722	G2962

ἀνάπαυσόν	μου	τὰ	σπλάγχνα	ἐν	Χριστῷ.
安らぎを–与えてください	私の	この	心に	～において	キリストにおいて
G0373	G1473	G3588	G4698	G1722	G5547

兄弟よ。わたしはあなたから、主にあって何か益を得たいものである。わたしの心を、主にあって力づけてもらいたい。

21

Πεποιθὼς	τῇ	ὑπακοῇ	σου,	ἔγραψά	σοι,	εἰδὼς	ὅτι	καὶ
確信して	その	従順に	あなたの	書きました	あなたに	知って	いるからです	さらに
G3982	G3588	G5218	G4771	G1125	G4771	G1492	G3754	G2532

ὑπὲρ	ἃ	λέγω,	ποιήσεις.
～以上に	私が	言う–以上に	してくださるでしょう
G5228	G3739	G3004	G4160

わたしはあなたの従順を堅く信じて、この手紙を書く。あなたは、確かにわたしが言う以上のことをしてくれるだろう。

22 ἅμα 同時に G0260 δὲ, また G1161 καὶ さらに G2532 ἑτοίμαζέ 用意してください G2090 μοι 私のために G1473 ξενίαν; 宿を G3578 ἐλπίζω 望んでいます G1679 γὰρ なぜなら G1063 ὅτι ～と G3754 διὰ ～を–通して G1223 τῶν その G3588 προσευχῶν 祈りを–通して G4335 ὑμῶν, あなたがたの G4771 χαρισθήσομαι 赦されるでしょう G5483 ὑμῖν. あなたがたに G4771

ついでにお願いするが、わたしのために宿を用意しておいてほしい。あなたがたの祈によって、あなたがたの所に行かせてもらえるように望んでいるのだから。

23 Ἀσπάζεταί あいさつします G0782 σε, あなたに G4771 Ἐπαφρᾶς, エパフラスが G1889 ὁ その G3588 συναιχμάλωτός 同じ–囚人である G4869 μου 私の G1473 ἐν ～における G1722 Χριστῷ キリスト G5547 Ἰησοῦ, イエスにおける G2424

キリスト・イエスにあって、わたしと共に捕われの身になっているエパフラスから、あなたによろしく。

24 Μᾶρκος, マルコ G3138 Ἀρίσταρχος, アリスタルコ G0708 Δημᾶς, デマス G1214 Λουκᾶς, ルカ G3065 οἱ その G3588 συνεργοί 同労者たちが G4904 μου. 私の G1473

わたしの同労者たち、マルコ、アリスタルコ、デマス、ルカからも、よろしく。

25 Ἡ その G3588 χάρις 恵みが G5485 τοῦ その G3588 Κυρίου 主 G2962 Ἰησοῦ イエス G2424 Χριστοῦ キリストの G5547 μετὰ ～と–共に G3326 τοῦ その G3588 πνεύματος 霊と G4151 ὑμῶν. あなたがたの G4771

<Ἀμήν>. アーメン G0281

主イエス・キリストの恵みが、あなたがたの霊と共にあるように。

Hebrews

Chapter 1

1 Πολυμερῶς καὶ πολυτρόπως, πάλαι, ὁ Θεὸς, λαλήσας τοῖς πατράσιν,
多くの–部分に–分けて また 多くの–方法で 昔 その 神は 語った その 父祖たちに
G4181 G2532 G4187 G3819 G3588 G2316 G2980 G3588 G3962

ἐν τοῖς προφήταις;
〜において その 預言者たちを–通して
G1722 G3588 G4396

神は、むかしは、預言者たちにより、いろいろな時に、いろいろな方法で、先祖たちに語られたが、

2 ἐπ’ ἐσχάτου τῶν ἡμερῶν τούτων, ἐλάλησεν ἡμῖν ἐν Υἱῷ,
〜に 終わりの その 日々の これらの 語った 私たちに 〜において 御子において
G1909 G2078 G3588 G2250 G3778 G2980 G1473 G1722 G5207

ὃν ἔθηκεν κληρονόμον πάντων, δι’ οὗ καὶ ἐποίησεν τοὺς
その方を 定めた 相続人として すべての–ものの 〜を–通して その方を また 造った その
G3739 G5087 G2818 G3956 G1223 G3739 G2532 G4160 G3588

αἰῶνας,
世々を
G0165

この終りの時には、御子によって、わたしたちに語られたのである。神は御子を万物の相続者と定め、また、御子によって、もろもろの世界を造られた。

3 ὃς ὢν ἀπαύγασμα τῆς δόξης, καὶ χαρακτὴρ τῆς ὑποστάσεως
その方は であり 輝きであり その 栄光の また 刻印である その 本質の
G3739 G1510 G0541 G3588 G1391 G2532 G5481 G3588 G5287

αὐτοῦ, φέρων τε τὰ πάντα τῷ ῥήματι τῆς δυνάμεως ‹δι’›
その方の 保ちながら また その 万物を その 御言葉に–よって その 力の 〜を–通して
G0846 G5342 G5037 G3588 G3956 G3588 G4487 G3588 G1411 G1223

αὐτοῦ, καθαρισμὸν τῶν ἁμαρτιῶν ποιησάμενος, ἐκάθισεν ἐν δεξιᾷ τῆς
その方の 清めを その 罪の 成し遂げて 座られた 〜に 右に その
G0846 G2512 G3588 G0266 G4160 G2523 G1722 G1188 G3588

Μεγαλωσύνης ἐν ὑψηλοῖς.
威光の 〜において 高き–所に
G3172 G1722 G5308

御子は神の栄光の輝きであり、神の本質の真の姿であって、その力ある言葉をもって万物を保っておられる。そして罪のきよめのわざをなし終えてから、いと高き所にいます大能者の右に、座につかれたのである。

4 τοσούτῳ κρείττων γενόμενος τῶν ἀγγέλων, ὅσῳ διαφορώτερον
それほど 優れた-者となった なって その 御使いたちよりも それだけ 優れた
G5118 G2909 G1096 G3588 G0032 G3745 G1313

παρ' αὐτοὺς, κεκληρονόμηκεν ὄνομα.
～よりも 彼らよりも 受け継いだ 御名を
G3844 G0846 G2816 G3686

御子は、その受け継がれた名が御使たちの名にまさっているので、彼らよりもすぐれた者となられた。

5 Τίνι γὰρ εἶπέν ποτε τῶν ἀγγέλων, Υἱός μου εἶ
誰に なぜなら 言っただろうか かつて その 御使いたちの-中で 子である わたしの である
G5101 G1063 G3004 G4218 G3588 G0032 G5207 G1473 G1510

σύ; ἐγὼ σήμερον γεγέννηκά σε? καὶ πάλιν, Ἐγὼ ἔσομαι αὐτῷ
あなたは わたしが 今日 生んだ あなたをと また 再び わたしが なる その方に
G4771 G1473 G4594 G1080 G4771 G2532 G3825 G1473 G1510 G0846

εἰς Πατέρα, καὶ αὐτὸς ἔσται μοι εἰς Υἱόν?
～として 父と また その方が なる わたしに ～として 子と
G1519 G3962 G2532 G0846 G1510 G1473 G1519 G5207

いったい、神は御使たちのだれに対して、「あなたこそは、わたしの子。きょう、わたしはあなたを生んだ」と言い、さらにまた、「わたしは彼の父となり、彼はわたしの子となるであろう」と言われたことがあるか。

6 ὅταν δὲ πάλιν εἰσαγάγῃ τὸν πρωτότοκον, εἰς τὴν οἰκουμένην,
～とき さて 再び 導き入れる-とき その 長子を ～の-中に その 世界に
G3752 G1161 G3825 G1521 G3588 G4416 G1519 G3588 G3625

λέγει, Καὶ προσκυνησάτωσαν αὐτῷ, πάντες ἄγγελοι Θεοῦ.
言う そして 拝むべきである その方を すべての 御使いたちが 神の
G3004 G2532 G4352 G0846 G3956 G0032 G2316

さらにまた、神は、その長子を世界に導き入れるに当って、「神の御使たちはことごとく、彼を拝すべきである」と言われた。

7 καὶ πρὸς μὲν τοὺς ἀγγέλους λέγει, Ὁ ποιῶν τοὺς
また ～に-ついて 一方で その 御使いたちに-ついて 言う その方は 造る その
G2532 G4314 G3303 G3588 G0032 G3004 G3588 G4160 G3588

ἀγγέλους αὐτοῦ πνεύματα, καὶ τοὺς λειτουργοὺς αὐτοῦ, πυρὸς φλόγα;
御使いたちを その方の 風とし また その 仕える-者たちを その方の 火の 炎とする
G0032 G0846 G4151 G2532 G3588 G3011 G0846 G4442 G5395

また、御使たちについては、「神は、御使たちを風とし、ご自分に仕える者たちを炎とされる」と言われているが、

8 πρὸς δὲ τὸν Υἱόν, Ὁ θρόνος σου, ὁ Θεὸς, εἰς
～に-ついて しかし その 御子に-ついては その 御座は あなたの その 神よ ～へ
G4314 G1161 G3588 G5207 G3588 G2362 G4771 G3588 G2316 G1519

τὸν αἰῶνα τοῦ αἰῶνος, καὶ ἡ ῥάβδος τῆς εὐθύτητος, ῥάβδος τῆς
その 世々の その 世々に また その 笏は その 公正の 笏である その
G3588 G0165 G3588 G0165 G2532 G3588 G4464 G3588 G2118 G4464 G3588

βασιλείας σου.
御国の あなたの
G0932 G4771

御子については、「神よ、あなたの御座は、世々限りなく続き、あなたの支配のつえは、公平のつえである。

9 ἠγάπησας 愛した G0025 δικαιοσύνην 義を G1343 καὶ また G2532 ἐμίσησας 憎んだ G3404 ἀνομίαν; 不法を G0458 διὰ それ-ゆえに G1223 τοῦτο, それゆえに G3778 ἔχρισέν 油注ぎした G5548
σε あなたに G4771 ὁ その G3588 Θεός, 神が G2316 ὁ その G3588 Θεός 神である G2316 σου, あなたの G4771 ἔλαιον 油を G1637 ἀγαλλιάσεως, 喜びの G0020 παρὰ ～よりも G3844 τοὺς その G3588
μετόχους 仲間たちよりも G3353 σου. あなたの G4771

あなたは義を愛し、不法を憎まれた。それゆえに、神、あなたの神は、喜びのあぶらを、あなたの友に注ぐよりも多く、あなたに注がれた」と言い、

10 καί, また G2532 Σὺ あなたは G4771 κατ’ ～において G2596 ἀρχάς, 初めに G0746 Κύριε, 主よ G2962 τὴν その G3588 γῆν 地を G1093 ἐθεμελίωσας, 基づけた G2311 καὶ また G2532 ἔργα わざである G2041
τῶν その G3588 χειρῶν 御手の G5495 σού, あなたの G4771 εἰσιν である G1510 οἱ その G3588 οὐρανοί. 天は G3772

さらに、「主よ、あなたは初めに、地の基をおすえになった。もろもろの天も、み手のわざである。

11 αὐτοὶ それらは G0846 ἀπολοῦνται; 滅びる G0622 σὺ あなたは G4771 δὲ しかし G1161 διαμένεις; 存続する G1265 καὶ また G2532 πάντες すべては G3956 ὡς ～のように G5613 ἱμάτιον 衣のように G2440
παλαιωθήσονται; 古びる G3822

これらのものは滅びてしまうが、あなたは、いつまでもいますかたである。すべてのものは衣のように古び、

12 καὶ また G2532 ὡσεὶ ～のように G5616 περιβόλαιον 外套のように G4018 ἑλίξεις 巻く G1667 αὐτούς, それらを G0846 ὡς ～のように G5613 ἱμάτιον 衣のように G2440 καὶ また G2532
ἀλλαγήσονται; 変えられる G0236 σὺ あなたは G4771 δὲ しかし G1161 ὁ その G3588 αὐτὸς 同じ-お方で G0846 εἶ, ある G1510 καὶ また G2532 τὰ その G3588 ἔτη 年は G2094 σου あなたの G4771
οὐκ ～ない G3756 ἐκλείψουσιν. 尽きない G1587

それらをあなたは、外套のように巻かれる。これらのものは、衣のように変るが、あなたは、いつも変ることがなく、あなたのよわいは、尽きることがない」とも言われている。

13 πρὸς ～に-対して G4314 τίνα 誰に G5101 δὲ しかし G1161 τῶν その G3588 ἀγγέλων 御使いたちの-中で G0032 εἴρηκέν 言っただろうか G2046 ποτε, かつて G4218 Κάθου 座りなさい G2521 ἐκ ～の G1537
δεξιῶν 右の G1188 μου, わたしの G1473 ἕως ～まで G2193 ἂν ～まで G0302 θῶ 置く G5087 τοὺς その G3588 ἐχθρούς 敵を G2190 σου, あなたの G4771 ὑποπόδιον 足台として G5286 τῶν その G3588 ποδῶν 足の G4228
σου? あなたの G4771

神は、御使たちのだれに対して、「あなたの敵を、あなたの足台とするときまでは、わたしの右に座していなさい」と言われたことがあるか。

14 οὐχὶ πάντες εἰσὶν λειτουργικὰ πνεύματα, εἰς διακονίαν
ではないか すべて である 仕える 霊であり ～のために 務めのために
G3780 G3956 G1510 G3010 G4151 G1519 G1248

ἀποστελλόμενα, διὰ τοὺς μέλλοντας κληρονομεῖν σωτηρίαν?
遣わされている ～のために その やがて 受け継ぐ 救いを
G0649 G1223 G3588 G3195 G2816 G4991

御使たちはすべて仕える霊であって、救を受け継ぐべき人々に奉仕するため、つかわされたものではないか。

Chapter 2

1 Διὰ τοῦτο, δεῖ περισσοτέρως προσέχειν ἡμᾶς τοῖς
それ-ゆえに それゆえに 必要である いっそう 心を-留めることが 私たちは その
G1223 G3778 G1163 G4057 G4337 G1473 G3588

ἀκουσθεῖσιν, μή᾽ ποτε παραρυῶμεν.
聞いた-ことに ～しない-ように 決して 流される-ことの-ないように
G0191 G3361 G4219 G3901

こういうわけだから、わたしたちは聞かされていることを、いっそう強く心に留めねばならない。そうでないと、おし流されてしまう。

2 εἰ γὰρ ὁ, δι’ ἀγγέλων λαληθεὶς λόγος, ἐγένετο
もし なぜなら その ～を-通して 御使いたちを-通して 語られた 言葉が なったなら
G1487 G1063 G3588 G1223 G0032 G2980 G3056 G1096

βέβαιος, καὶ πᾶσα παράβασις καὶ παρακοὴ ἔλαβεν ἔνδικον
確かな-ものと また すべての 違反と また 不従順が 受けたなら 正当な
G0949 G2532 G3956 G3847 G2532 G3876 G2983 G1738

μισθαποδοσίαν,
報いを
G3405

というのは、御使たちをとおして語られた御言が効力を持ち、あらゆる罪過と不従順とに対して正当な報いが加えられたとすれば、

3 πῶς ἡμεῖς ἐκφευξόμεθα τηλικαύτης ἀμελήσαντες σωτηρίας? -- ἥτις
どうして 私たちが 免れられようか これほどの おろそかに-したなら 救いを それは
G4459 G1473 G1628 G5082 G0272 G4991 G3748

ἀρχὴν λαβοῦσα, λαλεῖσθαι διὰ τοῦ Κυρίου, ὑπὸ τῶν
初めに 受けて 語られた ～を-通して その 主を-通して ～によって その
G0746 G2983 G2980 G1223 G3588 G2962 G5259 G3588

ἀκουσάντων, εἰς ἡμᾶς ἐβεβαιώθη;
聞いた-者たちによって ～に 私たちに 確かめられた
G0191 G1519 G1473 G0950

わたしたちは、こんなに尊い救をなおざりにしては、どうして報いをのがれることができようか。この救は、初め主によって語られたものであって、聞いた人々からわたしたちにあかしされ、

4 συνεπιμαρτυροῦντος τοῦ Θεοῦ σημείοις τε καὶ τέρασιν, καὶ ποικίλαις
共に–証してくださった その 神が しるしと また また 不思議と また さまざまな
G4901 G3588 G2316 G4592 G5037 G2532 G5059 G2532 G4164

δυνάμεσιν, καὶ Πνεύματος Ἁγίου μερισμοῖς, κατὰ τὴν αὐτοῦ
力ある–わざと また 御霊の 聖なる 分け与えに–よって ～に–従い その方の その方の
G1411 G2532 G4151 G0040 G3311 G2596 G3588 G0846

θέλησιν.
御心に–従って
G2308

さらに神も、しるしと不思議とさまざまな力あるわざとにより、また、御旨に従い聖霊を各自に賜うことによって、あかしをされたのである。

5 Οὐ γὰρ ἀγγέλοις ὑπέταξεν τὴν οἰκουμένην τὴν μέλλουσαν,
～ない なぜなら 御使いたちに 従わせたのでは–ない その 世界を その 来たるべき
G3756 G1063 G0032 G5293 G3588 G3625 G3588 G3195

περὶ ἧς λαλοῦμεν;
～について それについて 語っている
G4012 G3739 G2980

いったい、神は、わたしたちがここで語っているきたるべき世界を、御使たちに服従させることは、なさらなかった。

6 διεμαρτύρατο δέ πού τις, λέγων, Τί ἐστιν ἄνθρωπος, ὅτι
証した しかし どこかで ある–者が 言って 何であるか であるか 人が それを
G1263 G1161 G4225 G5100 G3004 G5101 G1510 G0444 G3754

μιμνήσκῃ αὐτοῦ, ἢ υἱὸς ἀνθρώπου, ὅτι ἐπισκέπτῃ αὐτόν?
心に–留めるのか 彼を または 子が 人の それを 顧みるのか 彼を
G3403 G0846 G2228 G5207 G0444 G3754 G1980 G0846

聖書はある箇所で、こうあかししている、「人間が何者だから、これを御心に留められるのだろうか。人の子が何者だから、これをかえりみられるのだろうか。

7 ἠλάττωσας αὐτὸν, βραχύ τι παρ’ ἀγγέλους; δόξῃ καὶ τιμῇ,
低くした 彼を わずかに ～だけ ～よりも 御使いたちよりも 栄光と また 誉れを–もって
G1642 G0846 G1024 G5100 G3844 G0032 G1391 G2532 G5092

ἐστεφάνωσας αὐτόν, (καὶ κατέστησας αὐτὸν ἐπὶ τὰ ἔργα τῶν
冠を–与えた 彼に そして 立てた 彼を ～の–上に その わざの–上に その
G4737 G0846 G2532 G2525 G0846 G1909 G3588 G2041 G3588

χειρῶν σου);
御手の あなたの
G5495 G4771

あなたは、しばらくの間、彼を御使たちよりも低い者となし、栄光とほまれとを冠として彼に与え、

8 πάντα ὑπέταξας ὑποκάτω τῶν ποδῶν αὐτοῦ. ἐν τῷ γὰρ
すべてを 従わせた ～の–下に その 足の 彼の ～において その なぜなら
G3956 G5293 G5270 G3588 G4228 G0846 G1722 G3588 G1063

ὑποτάξαι αὐτῷ τὰ πάντα, οὐδὲν ἀφῆκεν αὐτῷ ἀνυπότακτον. νῦν
従わせた–ことにおいて 彼に その 万物を 何も 残さなかった 彼に 従わない–ものを 今
G5293 G0846 G3588 G3956 G3762 G0863 G0846 G0506 G3568

δὲ, οὔπω ὁρῶμεν αὐτῷ τὰ πάντα ὑποτεταγμένα.
しかし まだ 見ていない 彼に その 万物が 従っている–のを
G1161 G3768 G3708 G0846 G3588 G3956 G5293

万物をその足の下に服従させて下さった」。「万物を彼に服従させて下さった」という以上、服従しないものは、何ひとつ残されていないはずである。しかし、今もなお万物が彼に服従している事実を、わたしたちは見ていない。

9 τὸν その G3588 δὲ しかし G1161 βραχύ わずかに G1024 τι ～だけ G5100 παρ’ ～よりも G3844 ἀγγέλους, 御使いたちよりも G0032 ἠλαττωμένον, 低くされた G1642 βλέπομεν, 見ている G0991

Ἰησοῦν, イエスを G2424 διὰ ～に-よって G1223 τὸ その G3588 πάθημα 苦しみに-よって G3804 τοῦ その G3588 θανάτου, 死の G2288 δόξῃ 栄光と G1391 καὶ また G2532 τιμῇ 誉れを-もって G5092

ἐστεφανωμένον; 冠を-与えられた G4737 ὅπως ～するために G3704 χάριτι 恵みに-よって G5485 Θεοῦ, 神の G2316 ὑπὲρ ～の-ために G5228 παντὸς すべての-者のために G3956 γεύσηται 味わう G1089

θανάτου. 死を G2288

ただ、「しばらくの間、御使たちよりも低い者とされた」イエスが、死の苦しみのゆえに、栄光とほまれとを冠として与えられたのを見る。それは、彼が神の恵みによって、すべての人のために死を味わわれるためであった。

10 Ἔπρεπεν ふさわしかった G4241 γὰρ なぜなら G1063 αὐτῷ, その方に G0846 δι’ ～の-ために G1223 ὃν その方の-ために G3739 τὰ その G3588 πάντα, 万物が-あり G3956 καὶ また G2532

δι’ ～を-通して G1223 οὗ その方を-通して G3739 τὰ その G3588 πάντα, 万物が-ある G3956 πολλοὺς 多くの G4183 υἱοὺς 子たちを G5207 εἰς ～へ G1519 δόξαν 栄光へと G1391 ἀγαγόντα, 導いて G0071

τὸν その G3588 ἀρχηγὸν 先駆者を G0747 τῆς その G3588 σωτηρίας 救いの G4991 αὐτῶν, 彼らの G0846 διὰ ～を-通して G1223 παθημάτων, 苦しみを-通して G3804 τελειῶσαι. 完全な-者とすることを G5048

なぜなら、万物の帰すべきかた、万物を造られたかたが、多くの子らを栄光に導くのに、彼らの救の君を、苦難をとおして全うされたのは、彼にふさわしいことであったからである。

11 ὅ その G3588 τε また G5037 γὰρ なぜなら G1063 ἁγιάζων, 聖くする-方も G0037 καὶ また G2532 οἱ その G3588 ἁγιαζόμενοι, 聖くされる-者たちも G0037 ἐξ ～から G1537 ἑνὸς 一つの-根源から G1520

πάντες; すべて G3956 δι’ それ-ゆえに G1223 ἣν その G3739 αἰτίαν, 理由で G0156 οὐκ ～ない G3756 ἐπαισχύνεται 恥じない G1870 ἀδελφοὺς 兄弟と G0080 αὐτοὺς 彼らを G0846 καλεῖν, 呼ぶことを G2564

実に、きよめるかたも、きよめられる者たちも、皆ひとりのかたから出ている。それゆえに主は、彼らを兄弟と呼ぶことを恥とされない。

12 λέγων, 言って G3004 Ἀπαγγελῶ 告げ知らせる G0518 τὸ その G3588 ὄνομά 御名を G3686 σου あなたの G4771 τοῖς その G3588 ἀδελφοῖς 兄弟たちに G0080 μου; わたしの G1473 ἐν ～の-中で G1722 μέσῳ 中で G3319

ἐκκλησίας 会衆の G1577 ὑμνήσω 賛美する G5214 σε. あなたを G4771

すなわち、「わたしは、御名をわたしの兄弟たちに告げ知らせ、教会の中で、あなたをほめ歌おう」と言い、

13 καὶ πάλιν, Ἐγὼ ἔσομαι πεποιθὼς ἐπ’ αὐτῷ. καὶ πάλιν, Ἰδοὺ, ἐγὼ,
また 再び わたしが ある 信頼する ～に その方に また 再び 見よ わたしと
G2532 G3825 G1473 G1510 G3982 G1909 G0846 G2532 G3825 G3708 G1473

καὶ τὰ παιδία ἃ μοι ἔδωκεν ὁ Θεός.
また その 子どもたちがいる それを わたしに 与えてくださった その 神が
G2532 G3588 G3813 G3739 G1473 G1325 G3588 G2316

また、「わたしは、彼により頼む」、また、「見よ、わたしと、神がわたしに賜わった子らとは」と言われた。

14 ἐπεὶ οὖν τὰ παιδία κεκοινώνηκεν αἵματος καὶ σαρκός καὶ,
それゆえに それゆえに その 子どもたちが 共に–あずかった 血と また 肉に また
G1893 G3767 G3588 G3813 G2841 G0129 G2532 G4561 G2532

αὐτὸς παραπλησίως μετέσχεν τῶν αὐτῶν, ἵνα διὰ τοῦ
その方も 同様に 共に–あずかった その 同じ–ものに ～するために ～を–通して その
G0846 G3898 G3348 G3588 G0846 G2443 G1223 G3588

θανάτου, καταργήσῃ τὸν τὸ κράτος ἔχοντα τοῦ θανάτου, τοῦτ’ ἔστιν,
死を–通して 滅ぼす その その 力を 持つ–者を その 死の すなわち すなわち
G2288 G2673 G3588 G3588 G2904 G2192 G3588 G2288 G3778 G1510

τὸν διάβολον;
その 悪魔を
G3588 G1228

このように、子たちは血と肉とに共にあずかっているので、イエスもまた同様に、それらをそなえておられる。それは、死の力を持つ者、すなわち悪魔を、ご自分の死によって滅ぼし、

15 καὶ ἀπαλλάξῃ, τούτους ὅσοι φόβῳ θανάτου, διὰ
また 解放する これらの–者たちを その–すべての–者を 恐れに–よって 死の ～を–通して
G2532 G0525 G3778 G3745 G5401 G2288 G1223

παντὸς τοῦ ζῆν, ἔνοχοι ἦσαν δουλείας.
生涯の その 生きる–ことの 束縛に いた 奴隷の
G3956 G3588 G2198 G1777 G1510 G1397

死の恐怖のために一生涯、奴隷となっていた者たちを、解き放つためである。

16 οὐ γὰρ δή᾽ που ἀγγέλων ἐπιλαμβάνεται, ἀλλὰ σπέρματος
～ない なぜなら 実に 実に 御使いたちを 助けるのでは–なく むしろ 子孫を
G3756 G1063 G1211 G4226 G0032 G1949 G0235 G4690

Ἀβραὰμ ἐπιλαμβάνεται.
アブラハムの 助ける
G0011 G1949

確かに、彼は天使たちを助けることはしないで、アブラハムの子孫を助けられた。

17 ὅθεν ὤφειλεν, κατὰ πάντα τοῖς ἀδελφοῖς
それゆえに しなければ–ならなかった ～において すべてにおいて その 兄弟たちに
G3606 G3784 G2596 G3956 G3588 G0080

ὁμοιωθῆναι, ἵνα ἐλεήμων γένηται, καὶ πιστὸς, ἀρχιερεὺς τὰ
似た–者となることが ～するために あわれみ深い なる また 忠実な 大祭司となる その
G3666 G2443 G1655 G1096 G2532 G4103 G0749 G3588

πρὸς τὸν Θεόν, εἰς τὸ ἱλάσκεσθαι τὰς ἁμαρτίας τοῦ λαοῦ;
～に–対して その 神に–対して ～のために その 贖うために その 罪を その 民の
G4314 G3588 G2316 G1519 G3588 G2433 G3588 G0266 G3588 G2992

そこで、イエスは、神のみまえにあわれみ深い忠実な大祭司となって、民の罪をあがなうために、あらゆる点において兄弟たちと同じようにならねばならなかった。

18 ἐν ～において G1722 ᾧ その–ことにおいて G3739 γὰρ なぜなら G1063 πέπονθεν 苦しんだ G3958 αὐτὸς, その方御自身が G0846 πειρασθείς, 試みられて G3985 δύναται できる G1410

τοῖς その G3588 πειραζομένοις 試みられている–者たちを G3985 βοηθῆσαι. 助けることが G0997

主ご自身、試錬を受けて苦しまれたからこそ、試錬の中にある者たちを助けることができるのである。

Chapter 3

1 Ὅθεν, それゆえに G3606 ἀδελφοὶ 兄弟たちよ G0080 ἅγιοι, 聖なる G0040 κλήσεως 召しの G2821 ἐπουρανίου 天の G2032 μέτοχοι, あずかる–者たちよ G3353 κατανοήσατε 思い–巡らしなさい G2657

τὸν その G3588 Ἀπόστολον 使徒であり G0652 καὶ また G2532 Ἀρχιερέα 大祭司である G0749 τῆς その G3588 ὁμολογίας 告白の G3671 ἡμῶν, 私たちの G1473 Ἰησοῦν, イエスを G2424

そこで、天の召しにあずかっている聖なる兄弟たちよ。あなたがたは、わたしたちが告白する信仰の使者また大祭司なるイエスを、思いみるべきである。

2 πιστὸν 忠実な–方である G4103 ὄντα であり G1510 τῷ その G3588 ποιήσαντι 立てた–方に G4160 αὐτὸν, その方を G0846 ὡς ～のように G5613 καὶ また G2532 Μωϋσῆς モーセも G3475 ἐν ～において G1722

ὅλῳ 全体の G3650 τῷ その G3588 οἴκῳ 家において G3624 αὐτοῦ. その方の G0846

彼は、モーセが神の家の全体に対して忠実であったように、自分を立てたかたに対して忠実であられた。

3 πλείονος より–大きな G4119 γὰρ なぜなら G1063 οὗτος この方は G3778 δόξης 栄光に G1391 παρὰ ～よりも G3844 Μωϋσῆν, モーセよりも G3475 ἠξίωται, ふさわしいと–された G0515

καθ’ ～に–応じて G2596 ὅσον それだけ G3745 πλείονα, より–大きな G4119 τιμὴν 誉れを G5092 ἔχει 持つ G2192 τοῦ その G3588 οἴκου, 家よりも G3624 ὁ その G3588 κατασκευάσας 建てた–者が G2680 αὐτόν. それを G0846

おおよそ、家を造る者が家そのものよりもさらに尊ばれるように、彼は、モーセ以上に、大いなる光栄を受けるにふさわしい者とされたのである。

4 πᾶς すべての G3956 γὰρ なぜなら G1063 οἶκος 家は G3624 κατασκευάζεται 建てられる G2680 ὑπό ～に–よって G5259 τινος; 誰かに–よって G5100 ὁ その G3588 δὲ しかし G1161 πάντα 万物を G3956

κατασκευάσας 建てた–方は G2680 Θεός. 神である G2316

家はすべて、だれかによって造られるものであるが、すべてのものを造られたかたは、神である。

5 καὶ Μωϋσῆς μὲν πιστὸς ἐν ὅλῳ τῷ οἴκῳ αὐτοῦ,
また モーセは 一方で 忠実であった ～において 全体の その 家において その方の
G2532 G3475 G3303 G4103 G1722 G3650 G3588 G3624 G0846

ὡς θεράπων, εἰς μαρτύριον τῶν λαληθησομένων;
～として 僕として ～のための 証として その 語られるべき-ことの
G5613 G2324 G1519 G3142 G3588 G2980

さて、モーセは、後に語らるべき事がらについてあかしをするために、仕える者として、神の家の全体に対して忠実であったが、

6 Χριστὸς δὲ ὡς υἱὸς ἐπὶ τὸν οἶκον αὐτοῦ, οὗ οἶκός
キリストは しかし ～として 子として ～の-上に その 家の-上に その方の その 家である
G5547 G1161 G5613 G5207 G1909 G3588 G3624 G0846 G3739 G3624

ἐσμεν ἡμεῖς, ἐὰν τὴν παρρησίαν, καὶ τὸ καύχημα τῆς ἐλπίδος, μέχρι
である 私たちは もし その 確信と また その 誇りを その 希望の 終わりまで
G1510 G1473 G1437 G3588 G3954 G2532 G3588 G2745 G3588 G1680 G3360

τέλους βεβαίαν κατάσχωμεν.
終わりまで 確かに 保つならば
G5056 G0949 G2722

キリストは御子として、神の家を治めるのに忠実であられたのである。もしわたしたちが、望みの確信と誇とを最後までしっかりと持ち続けるなら、わたしたちは神の家なのである。

7 Διό, καθὼς λέγει τὸ Πνεῦμα τὸ Ἅγιον, Σήμερον ἐὰν τῆς
それゆえに ～のように 言う その 御霊が その 聖なる 今日 もし その方の
G1352 G2531 G3004 G3588 G4151 G3588 G0040 G4594 G1437 G3588

φωνῆς αὐτοῦ ἀκούσητε,
声を その方の 聞くなら
G5456 G0846 G0191

だから、聖霊が言っているように、「きょう、あなたがたが み声を聞いたなら、

8 μὴ σκληρύνητε τὰς καρδίας ὑμῶν, ὡς ἐν
～ないように かたくなにしては-ならない その 心を あなたがたの ～のように ～における
G3361 G4645 G3588 G2588 G4771 G5613 G1722

τῷ παραπικρασμῷ, κατὰ τὴν ἡμέραν τοῦ πειρασμοῦ, ἐν τῇ
その 反逆の-ときのように ～の-ときの その 日のように その 試みの ～において その
G3588 G3894 G2596 G3588 G2250 G3588 G3986 G1722 G3588

ἐρήμῳ,
荒野において
G2048

荒野における試錬の日に、神にそむいた時のように、あなたがたの心を、かたくなにしてはいけない。

9 οὗ ἐπείρασαν οἱ πατέρες ὑμῶν ἐν δοκιμασίᾳ, καὶ εἶδον
そこで 試みた その 父祖たちが あなたがたの ～によって 試みに-よって そして 見た
G3757 G3985 G3588 G3962 G4771 G1722 G1382 G2532 G3708

τὰ ἔργα μου, τεσσεράκοντα ἔτη.
その わざを わたしの 四十 年の-間
G3588 G2041 G1473 G5062 G2094

あなたがたの先祖たちは、そこでわたしを試みためし、

10

διὸ	προσώχθισα	τῇ	γενεᾷ	ταύτῃ,	καὶ	εἶπον,	Ἀεὶ	πλανῶνται	τῇ
それゆえに	怒った	その	世代に	この	そして	言った	いつも	迷っている	その
G1352	G4360	G3588	G1074	G3778	G2532	G3004	G0104	G4105	G3588

καρδίᾳ;	αὐτοὶ	δὲ	οὐκ	ἔγνωσαν	τὰς	ὁδούς	μου;
心において	彼らは	しかし	～ない	知らなかった	その	道を	わたしの
G2588	G0846	G1161	G3756	G1097	G3588	G3598	G1473

しかも、四十年の間わたしのわざを見たのである。だから、わたしはその時代の人々に対して、いきどおって言った、彼らの心は、いつも迷っており、彼らは、わたしの道を認めなかった。

11

ὡς	ὤμοσα	ἐν	τῇ	ὀργῇ	μου,	Εἰ	εἰσελεύσονται	εἰς
～のように	誓った	～において	その	怒りにおいて	わたしの	決して	入らない	～に
G5613	G3660	G1722	G3588	G3709	G1473	G1487	G1525	G1519

τὴν	κατάπαυσίν	μου.
その	安息に	わたしの
G3588	G2663	G1473

そこで、わたしは怒って、彼らをわたしの安息にはいらせることはしない、と誓った」。

12

βλέπετε,	ἀδελφοί,	μή‿	ποτε	ἔσται	ἔν	τινι	ὑμῶν,
気をつけなさい	兄弟たちよ	～しない–ように	決して	ある	～に	誰かに	あなたがたの–中に
G0991	G0080	G3361	G4219	G1510	G1722	G5100	G4771

καρδία	πονηρὰ	ἀπιστίας,	ἐν	τῷ	ἀποστῆναι	ἀπὸ	Θεοῦ	ζῶντος.
心が	悪い	不信仰の	～において	その	離れることの	～から	神から	生ける
G2588	G4190	G0570	G1722	G3588	G0868	G0575	G2316	G2198

兄弟たちよ。気をつけなさい。あなたがたの中には、あるいは、不信仰な悪い心をいだいて、生ける神から離れ去る者があるかも知れない。

13

ἀλλὰ	παρακαλεῖτε	ἑαυτοὺς	καθ’	ἑκάστην	ἡμέραν,	ἄχρις	οὗ	τὸ	Σήμερον
むしろ	励まし合いなさい	互いに	～に	毎	日	～の–間	その	その	今日と
G0235	G3870	G1438	G2596	G1538	G2250	G0891	G3739	G3588	G4594

καλεῖται,	ἵνα	μὴ	σκληρυνθῇ	τις	ἐξ
呼ばれる–間	～しない–ために	～ない–ように	かたくなに–されない–ように	誰も	～の–中から
G2564	G2443	G3361	G4645	G5100	G1537

ὑμῶν	ἀπάτῃ	τῆς	ἁμαρτίας.
あなたがたの	欺きに–よって	その	罪の
G4771	G0539	G3588	G0266

あなたがたの中に、罪の惑わしに陥って、心をかたくなにする者がないように、「きょう」といううちに、日々、互に励まし合いなさい。

14

μέτοχοι	γὰρ	τοῦ	Χριστοῦ	γεγόναμεν,	ἐάνπερ	τὴν	ἀρχὴν	τῆς
あずかる–者となった	なぜなら	その	キリストに	私たちは	もし	その	初めの	その
G3353	G1063	G3588	G5547	G1096	G1437	G3588	G0746	G3588

ὑποστάσεως,	μέχρι	τέλους	βεβαίαν	κατάσχωμεν;
確信を	終わりまで	終わりまで	確かに	保つならば
G5287	G3360	G5056	G0949	G2722

もし最初の確信を、最後までしっかりと持ち続けるならば、わたしたちはキリストにあずかる者となるのである。

15 ἐν τῷ λέγεσθαι, Σήμερον ἐὰν τῆς φωνῆς αὐτοῦ ἀκούσητε,
～において その 言われている 今日 もし その方の 声を その方の 聞くなら
G1722 G3588 G3004 G4594 G1437 G3588 G5456 G0846 G0191

Μὴ σκληρύνητε τὰς καρδίας ὑμῶν, ὡς ἐν τῷ παραπικρασμῷ.
～しては–ならない かたくなにしては その 心を あなたがたの ～のように ～における その 反逆の–ときのように
G3361 G4645 G3588 G2588 G4771 G5613 G1722 G3588 G3894

それについて、こう言われている、「きょう、み声を聞いたなら、神にそむいた時のように、あなたがたの心を、かたくなにしてはいけない」。

16 τίνες γὰρ ἀκούσαντες παρεπίκραναν? ἀλλ’ οὐ πάντες οἱ
誰が なぜなら 聞いて 反逆したのか しかし ～ではないか すべての その
G5101 G1063 G0191 G3893 G0235 G3756 G3956 G3588

ἐξελθόντες ἐξ Αἰγύπτου διὰ Μωϋσέως?
出て–きた–者たち ～から エジプトから ～を–通して モーセを–通して
G1831 G1537 G0125 G1223 G3475

すると、聞いたのにそむいたのは、だれであったのか。モーセに率いられて、エジプトから出て行ったすべての人々ではなかったか。

17 τίσιν δὲ προσώχθισεν τεσσεράκοντα ἔτη? οὐχὶ τοῖς
誰に–対して しかし 怒ったのか 四十 年の–間 ではないか その
G5101 G1161 G4360 G5062 G2094 G3780 G3588

ἁμαρτήσασιν, ὧν τὰ κῶλα ἔπεσεν ἐν τῇ ἐρήμῳ?
罪を–犯した–者たちに その その 死体が 倒れた ～において その 荒野において
G0264 G3739 G3588 G2966 G4098 G1722 G3588 G2048

また、四十年の間、神がいきどおられたのはだれに対してであったか。罪を犯して、その死かばねを荒野にさらした者たちに対してではなかったか。

18 τίσιν δὲ ὤμοσεν μὴ εἰσελεύσεσθαι εἰς τὴν κατάπαυσιν αὐτοῦ,
誰に–対して しかし 誓ったのか ～ない 入らないと ～に その 安息に その方の
G5101 G1161 G3660 G3361 G1525 G1519 G3588 G2663 G0846

εἰ μὴ τοῖς ἀπειθήσασιν?
～でないなら ～でないなら その 不従順な–者たちに
G1487 G3361 G3588 G0544

また、神が、わたしの安息に、はいらせることはしない、と誓われたのは、だれに向かってであったか。不従順な者に向かってではなかったか。

19 καὶ βλέπομεν ὅτι οὐκ ἠδυνήθησαν εἰσελθεῖν δι’ ἀπιστίαν.
そして 見る すなわち ～ない できなかった 入ることが ～の–ゆえに 不信仰の–ゆえに
G2532 G0991 G3754 G3756 G1410 G1525 G1223 G0570

こうして、彼らがはいることのできなかったのは、不信仰のゆえであることがわかる。

Chapter 4

1 φοβηθῶμεν οὖν, μή ποτε καταλειπομένης, ἐπαγγελίας εἰσελθεῖν
恐れよう それゆえに ～しない-ように 決して 残っている-のに 約束が 入る
G5399 G3767 G3361 G4219 G2641 G1860 G1525

εἰς τὴν κατάπαυσιν αὐτοῦ, δοκῇ τις ἐξ ὑμῶν ὑστερηκέναι.
～に その 安息に その方の 思われる 誰かが ～の-中から あなたがたの 遅れたと
G1519 G3588 G2663 G0846 G1380 G5100 G1537 G4771 G5302

それだから、神の安息にはいるべき約束が、まだ存続しているにかかわらず、万一にも、はいりそこなう者が、あなたがたの中から出ることがないように、注意しようではないか。

2 καὶ γάρ ἐσμεν εὐηγγελισμένοι καθάπερ κἀκεῖνοι; ἀλλ’ οὐκ ὠφέλησεν
また なぜなら である 福音を-聞いた ～のように 彼らも しかし ～ない 益が-なかった
G2532 G1063 G1510 G2097 G2509 G2548 G0235 G3756 G5623

ὁ λόγος τῆς ἀκοῆς ἐκείνους, μὴ συγκεκερασμένους τῇ πίστει τοῖς
その 言葉は その 聞いた 彼らに ～ない 混ぜ合わされなかった その 信仰と その
G3588 G3056 G3588 G0189 G1565 G3361 G4786 G3588 G4102 G3588

ἀκούσασιν.
聞いた-者たちの
G0191

というのは、彼らと同じく、わたしたちにも福音が伝えられているのである。しかし、その聞いた御言は、彼らには無益であった。それが、聞いた者たちに、信仰によって結びつけられなかったからである。

3 Εἰσερχόμεθα γὰρ εἰς τὴν κατάπαυσιν, οἱ πιστεύσαντες; καθὼς
入る なぜなら ～に その 安息に その 信じた-者たちは ～のように
G1525 G1063 G1519 G3588 G2663 G3588 G4100 G2531

εἴρηκεν, Ὡς ὤμοσα ἐν τῇ ὀργῇ μου, Εἰ εἰσελεύσονται
言った ～のように 誓った ～において その 怒りにおいて わたしの 決して 入らない
G2046 G5613 G3660 G1722 G3588 G3709 G1473 G1487 G1525

εἰς τὴν κατάπαυσίν μου; καίτοι τῶν ἔργων ἀπὸ καταβολῆς κόσμου
～に その 安息に わたしの しかし その わざは ～から 創造の 世界の
G1519 G3588 G2663 G1473 G2543 G3588 G2041 G0575 G2602 G2889

γενηθέντων.
成っていた
G1096

ところが、わたしたち信じている者は、安息にはいることができる。それは、「わたしが怒って、彼らをわたしの安息に、はいらせることはしないと、誓ったように」と言われているとおりである。しかも、みわざは世の初めに、でき上がっていた。

4 εἴρηκεν γάρ που περὶ τῆς ἑβδόμης οὕτως, Καὶ
言った なぜなら どこかで ～について その 第七の-日について このように そして
G2046 G1063 G4225 G4012 G3588 G1442 G3779 G2532

κατέπαυσεν ὁ Θεὸς ἐν τῇ ἡμέρᾳ τῇ ἑβδόμῃ, ἀπὸ πάντων τῶν
休まれた その 神は ～において その 日に その 第七の ～から すべての その
G2664 G3588 G2316 G1722 G3588 G2250 G3588 G1442 G0575 G3956 G3588

ἔργων αὐτοῦ;
わざから その方の
G2041 G0846

すなわち、聖書のある箇所で、七日目のことについて、「神は、七日目にすべてのわざをやめて休まれた」と言われており、

5	καὶ	ἐν	τούτῳ	πάλιν,	Εἰ	εἰσελεύσονται	εἰς	τὴν	κατάπαυσίν	μου.
	また	～において	ここで	再び	決して	入らない	～に	その	安息に	わたしの
	G2532	G1722	G3778	G3825	G1487	G1525	G1519	G3588	G2663	G1473

またここで、「彼らをわたしの安息に、はいらせることはしない」と言われている。

6	ἐπεὶ	οὖν	ἀπολείπεται	τινὰς	εἰσελθεῖν	εἰς	αὐτήν,	καὶ	οἱ	
	それゆえに	それゆえに	残っている	ある–者たちが	入ることが	～に	それに	そして	その	
	G1893	G3767	G0620	G5100	G1525	G1519	G0846	G2532	G3588	

πρότερον	εὐαγγελισθέντες,	οὐκ	εἰσῆλθον,	δι’	ἀπείθειαν,
先に	福音を–聞いた–者たちは	～ない	入らなかった	～の–ゆえに	不従順の–ゆえに
G4386	G2097	G3756	G1525	G1223	G0543

そこで、その安息にはいる機会が、人々になお残されているのであり、しかも、初めに福音を伝えられた人々は、不従順のゆえに、はいることをしなかったのであるから、

7	πάλιν	τινὰ	ὁρίζει	ἡμέραν,	Σήμερον,	ἐν	Δαυὶδ		λέγων,	μετὰ
	再び	ある	定める	日を	今日と	～において	ダビデを–通して		言って	～の–後に
	G3825	G5100	G3724	G2250	G4594	G1722	G1138		G3004	G3326

τοσοῦτον	χρόνον,	καθὼς	προείρηται,	Σήμερον,	ἐὰν	τῆς	φωνῆς	
これほどの	時の–後に	～のように	前に–言われたとおり	今日	もし	その方の	声を	
G5118	G5550	G2531	G4302	G4594	G1437	G3588	G5456	

αὐτοῦ	ἀκούσητε,	μὴ	σκληρύνητε	τὰς	καρδίας	ὑμῶν.
その方の	聞くなら	～しては–ならない	かたくなにしては	その	心を	あなたがたの
G0846	G0191	G3361	G4645	G3588	G2588	G4771

神は、あらためて、ある日を「きょう」として定め、長く時がたってから、先に引用したとおり、「きょう、み声を聞いたなら、あなたがたの心を、かたくなにしてはいけない」とダビデをとおして言われたのである。

8	εἰ	γὰρ	αὐτοὺς	Ἰησοῦς	κατέπαυσεν,	οὐκ	ἂν	περὶ	ἄλλης
	もし	なぜなら	彼らに	ヨシュアが	休みを–与えたなら	～ない	～ない	～について	別の
	G1487	G1063	G0846	G2424	G2664	G3756	G0302	G4012	G0243

ἐλάλει,	μετὰ	ταῦτα	ἡμέρας.	
語ったはずが–ない	～の–後に	これらの–後に	日に–ついて	
G2980	G3326	G3778	G2250	

もしヨシュアが彼らを休ませていたとすれば、神はあとになって、ほかの日のことについて語られたはずはない。

9	ἄρα	ἀπολείπεται	σαββατισμὸς,	τῷ	λαῷ	τοῦ	Θεοῦ.	
	それゆえに	残っている	安息日の–休みが	その	民に	その	神の	
	G0686	G0620	G4520	G3588	G2992	G3588	G2316	

こういうわけで、安息日の休みが、神の民のためにまだ残されているのである。

10	ὁ	γὰρ	εἰσελθὼν	εἰς	τὴν	κατάπαυσιν	αὐτοῦ,	καὶ	αὐτὸς
	その	なぜなら	入った–者は	～に	その	安息に	その方の	また	その人も
	G3588	G1063	G1525	G1519	G3588	G2663	G0846	G2532	G0846

κατέπαυσεν	ἀπὸ	τῶν	ἔργων	αὐτοῦ,	ὥσπερ	ἀπὸ	τῶν	ἰδίων,	ὁ
休んだ	～から	その	わざから	その人の	～のように	～から	その	御自身の	その
G2664	G0575	G3588	G2041	G0846	G5618	G0575	G3588	G2398	G3588

Θεός.
神が
G2316

なぜなら、神の安息にはいった者は、神がみわざをやめて休まれたように、自分もわざを休んだからである。

11 Σπουδάσωμεν 努めよう G4704 οὖν それゆえに G3767 εἰσελθεῖν 入ることを G1525 εἰς ～に G1519 ἐκείνην かの G1565 τὴν その G3588 κατάπαυσιν, 安息に G2663 ἵνα ～しない–ために G2443
μὴ, ～ないように G3361 ἐν ～に G1722 τῷ その G3588 αὐτῷ, 同じ G0846 τις 誰も G5100 ὑποδείγματι, 手本に–倒れないように G5262 πέσῃ, 倒れないように G4098 τῆς その G3588 ἀπειθείας. 不従順の G0543

したがって、わたしたちは、この安息にはいるように努力しようではないか。そうでないと、同じような不従順の悪例にならって、落ちて行く者が出るかもしれない。

12 Ζῶν 生きている G2198 γὰρ なぜなら G1063 ὁ その G3588 λόγος 御言葉は G3056 τοῦ その G3588 Θεοῦ, 神の G2316 καὶ また G2532 ἐνεργὴς, 力ある–もので G1756 καὶ また G2532 τομώτερος 鋭い G5114
ὑπὲρ ～よりも G5228 πᾶσαν すべての G3956 μάχαιραν 剣よりも G3162 δίστομον, 両刃の G1366 καὶ また G2532 διϊκνούμενος 貫き通し G1338 ἄχρι ～まで G0891 μερισμοῦ 分ける–ほどに G3311 ψυχῆς 魂と G5590
καὶ また G2532 πνεύματος, 霊を G4151 ἁρμῶν 関節と G0719 τε また G5037 καὶ また G2532 μυελῶν; 髄を G3452 καὶ また G2532 κριτικὸς 見分ける G2924 ἐνθυμήσεων 思いを G1761 καὶ また G2532
ἐννοιῶν 考えを G1771 καρδίας. 心の G2588

というのは、神の言は生きていて、力があり、もろ刃のつるぎよりも鋭くて、精神と霊魂と、関節と骨髄とを切り離すまでに刺しとおして、心の思いと志とを見分けることができる。

13 καὶ また G2532 οὐκ ～ない G3756 ἔστιν ない G1510 κτίσις 被造物は G2937 ἀφανὴς 隠れた–ものは G0852 ἐνώπιον ～の–前に G1799 αὐτοῦ; その方の G0846 πάντα すべては G3956 δὲ むしろ G1161 γυμνὰ 裸であり G1131
καὶ また G2532 τετραχηλισμένα さらけ出されている G5136 τοῖς その G3588 ὀφθαλμοῖς 目に G3788 αὐτοῦ その方の G0846 πρὸς ～に–対して G4314 ὃν その方に G3739 ἡμῖν 私たちは G1473 ὁ その G3588
λόγος. 弁明する G3056

そして、神のみまえには、あらわでない被造物はひとつもなく、すべてのものは、神の目には裸であり、あらわにされているのである。この神に対して、わたしたちは言い開きをしなくてはならない。

14 Ἔχοντες 持っている G2192 οὖν それゆえに G3767 ἀρχιερέα 大祭司を G0749 μέγαν, 大いなる G3173 διεληλυθότα 通った G1330 τοὺς その G3588 οὐρανούς, もろもろの–天を G3772 Ἰησοῦν, イエスを G2424
τὸν その G3588 Υἱὸν 御子である G5207 τοῦ その G3588 Θεοῦ, 神の G2316 κρατῶμεν 保とう G2902 τῆς その G3588 ὁμολογίας. 告白を G3671

さて、わたしたちには、もろもろの天をとおって行かれた大祭司なる神の子イエスがいますのであるから、わたしたちの告白する信仰をかたく守ろうではないか。

15 οὐ ～ない G3756 γὰρ なぜなら G1063 ἔχομεν 持っているのでは–ない G2192 ἀρχιερέα 大祭司を G0749 μὴ ～できない G3361 δυνάμενον できない G1410 συμπαθῆσαι 同情することが G4834
ταῖς その G3588 ἀσθενείαις 弱さに G0769 ἡμῶν; 私たちの G1473 πεπειρασμένον 試みられた G3985 δὲ しかし G1161 κατὰ ～において G2596 πάντα すべてにおいて G3956 καθ’ ～のように G2596
ὁμοιότητα; 同様に G3665 χωρὶς ～なしに G5565 ἁμαρτίας. 罪なしに G0266

この大祭司は、わたしたちの弱さを思いやることのできないようなかたではない。罪は犯されなかったが、すべてのことについて、わたしたちと同じように試錬に会われたのである。

16 προσερχώμεθα 近づこう G4334 οὖν それゆえに G3767 μετὰ ～を–もって G3326 παρρησίας 大胆さを–もって G3954 τῷ その G3588 θρόνῳ 御座に G2362 τῆς その G3588 χάριτος, 恵みの G5485
ἵνα ～するために G2443 λάβωμεν 受ける G2983 ἔλεος, あわれみを G1656 καὶ また G2532 χάριν 恵みを G5485 εὕρωμεν, 見いだす G2147 εἰς ～のために G1519 εὔκαιρον 時にかなった G2121
βοήθειαν. 助けの–ために G0996

だから、わたしたちは、あわれみを受け、また、恵みにあずかって時機を得た助けを受けるために、はばかることなく恵みの御座に近づこうではないか。

Chapter 5

1 Πᾶς すべての G3956 γὰρ なぜなら G1063 ἀρχιερεὺς, 大祭司は G0749 ἐξ ～から G1537 ἀνθρώπων 人々の–中から G0444 λαμβανόμενος, 選ばれ G2983 ὑπὲρ ～の–ために G5228
ἀνθρώπων 人々のために G0444 καθίσταται, 立てられる G2525 τὰ その G3588 πρὸς ～に–対して G4314 τὸν その G3588 Θεόν, 神に–対して G2316 ἵνα ～するために G2443 προσφέρῃ ささげる G4374
δῶρά 贈り物を G1435 τε, また G5037 καὶ また G2532 θυσίας いけにえを G2378 ὑπὲρ ～の–ために G5228 ἁμαρτιῶν; 罪の–ために G0266

大祭司なるものはすべて、人間の中から選ばれて、罪のために供え物といけにえとをささげるように、人々のために神に仕える役に任じられた者である。

2 μετριοπαθεῖν 寛容できる G3356 δυνάμενος, できる G1410 τοῖς その G3588 ἀγνοοῦσιν 知らない–者たちと G0050 καὶ また G2532 πλανωμένοις, 迷っている–者たちに G4105 ἐπεὶ なぜなら G1893
καὶ また G2532 αὐτὸς 自分自身も G0846 περίκειται 囲まれている G4029 ἀσθένειαν; 弱さに G0769

彼は自分自身、弱さを身に負うているので、無知な迷っている人々を、思いやることができると共に、

3 καὶ また G2532 δι’ ～の-ゆえに G1223 αὐτὴν それの-ゆえに G0846 ὀφείλει, しなければ-ならない G3784 καθὼς ～のように G2531 περὶ ～の-ために G4012 τοῦ その G3588 λαοῦ, 民のために G2992 οὕτως そのように G3779 καὶ また G2532 περὶ ～の-ために G4012 αὐτοῦ, 自分自身のためにも G0846 προσφέρειν ささげることが G4374 περὶ ～の-ために G4012 ἁμαρτιῶν. 罪のために G0266

その弱さのゆえに、民のためだけではなく自分自身のためにも、罪についてささげものをしなければならないのである。

4 καὶ また G2532 οὐχ ～ない G3756 ἑαυτῷ 自分自身で G1438 τις 誰も G5100 λαμβάνει 受けない G2983 τὴν その G3588 τιμήν, 誉れを G5092 ἀλλὰ むしろ G0235 καλούμενος 召されて G2564 ὑπὸ ～に-よって G5259 τοῦ その G3588 Θεοῦ, 神に-よって G2316 καθώσπερ ～のように G2531 καὶ また G2532 Ἀαρών. アロンも G0002

かつ、だれもこの栄誉ある務を自分で得るのではなく、アロンの場合のように、神の召しによって受けるのである。

5 Οὕτως そのように G3779 καὶ また G2532 ὁ その G3588 Χριστὸς キリストも G5547 οὐχ ～ない G3756 ἑαυτὸν 御自身を G1438 ἐδόξασεν 栄光としなかった G1392 γενηθῆναι なることを G1096 ἀρχιερέα; 大祭司と G0749 ἀλλ’ むしろ G0235 ὁ その G3588 λαλήσας 語った-方が G2980 πρὸς ～に-対して G4314 αὐτόν, その方に G0846 Υἱός 子である G5207 μου わたしの G1473 εἶ である G1510 σύ, あなたは G4771 ἐγὼ わたしが G1473 σήμερον 今日 G4594 γεγέννηκά 生んだ G1080 σε. あなたを G4771

同様に、キリストもまた、大祭司の栄誉を自分で得たのではなく、「あなたこそは、わたしの子。きょう、わたしはあなたを生んだ」と言われたかたから、お受けになったのである。

6 καθὼς ～のように G2531 καὶ また G2532 ἐν ～において G1722 ἑτέρῳ 別の-箇所で G2087 λέγει, 言う G3004 Σὺ あなたは G4771 ἱερεὺς 祭司である G2409 εἰς ～へ G1519 τὸν その G3588 αἰῶνα, 永遠に G0165 κατὰ ～に-従い G2596 τὴν その G3588 τάξιν 位に G5010 Μελχισέδεκ; メルキゼデクの G3198

また、ほかの箇所でこう言われている、「あなたこそは、永遠に、メルキゼデクに等しい祭司である」。

7 ὃς ἐν ταῖς ἡμέραις τῆς σαρκὸς αὐτοῦ, δεήσεις τε καὶ
その方は ～において その 日々に その 肉体の その方の 願いと また また
G3739 G1722 G3588 G2250 G3588 G4561 G0846 G1162 G5037 G2532

ἱκετηρίας, πρὸς τὸν δυνάμενον σῴζειν αὐτὸν ἐκ θανάτου, μετὰ
嘆願を ～に-対して その できる-方に 救うことが その方を ～から 死から ～を-もって
G2428 G4314 G3588 G1410 G4982 G0846 G1537 G2288 G3326

κραυγῆς ἰσχυρᾶς καὶ δακρύων προσενέγκας, καὶ εἰσακουσθεὶς, ἀπὸ τῆς
叫びを-もって 強い また 涙を-もって ささげた そして 聞き入れられた ～から その
G2906 G2478 G2532 G1144 G4374 G2532 G1522 G0575 G3588

εὐλαβείας.
敬虔の-ゆえに
G2124

キリストは、その肉の生活の時には、激しい叫びと涙とをもって、ご自分を死から救う力のあるかたに、祈と願いとをささげ、そして、その深い信仰のゆえに聞きいれられたのである。

8 καίπερ ὢν Υἱός, ἔμαθεν ἀφ' ὧν ἔπαθεν,
それにもかかわらず でありながら 御子で 学んだ ～から その-ことから 苦しんだ-ことから
G2539 G1510 G5207 G3129 G0575 G3739 G3958

τὴν ὑπακοήν,
その 従順を
G3588 G5218

彼は御子であられたにもかかわらず、さまざまの苦しみによって従順を学び、

9 καὶ τελειωθεὶς, ἐγένετο πᾶσιν, τοῖς ὑπακούουσιν αὐτῷ, αἴτιος
そして 完全な-者とされて なった すべての その 従う-者たちに その方に 源となった
G2532 G5048 G1096 G3956 G3588 G5219 G0846 G0159

σωτηρίας αἰωνίου;
救いの 永遠の
G4991 G0166

そして、全き者とされたので、彼に従順であるすべての人に対して、永遠の救の源となり、

10 προσαγορευθεὶς ὑπὸ τοῦ Θεοῦ ἀρχιερεὺς, κατὰ τὴν τάξιν
呼ばれた ～に-よって その 神に-よって 大祭司として ～に-従い その 位に
G4316 G5259 G3588 G2316 G0749 G2596 G3588 G5010

Μελχισέδεκ;
メルキゼデクの
G3198

神によって、メルキゼデクに等しい大祭司と、となえられたのである。

11 Περὶ οὗ πολὺς ἡμῖν ὁ λόγος, καὶ δυσερμήνευτος
～について その方について 多くの 私たちには その 言葉が-ある また 説明し-がたい
G4012 G3739 G4183 G1473 G3588 G3056 G2532 G1421

λέγειν, ἐπεὶ νωθροὶ γεγόνατε ταῖς ἀκοαῖς.
言うことが なぜなら 蛮くなった あなたがたは その 耳において
G3004 G1893 G3576 G1096 G3588 G0189

このことについては、言いたいことがたくさんあるが、あなたがたの耳が鈍くなっているので、それを説き明かすことはむずかしい。

12 καὶ γὰρ, ὀφείλοντες εἶναι διδάσκαλοι, διὰ τὸν χρόνον,
また なぜなら すべきであるのに あることが 教師で ～の-ゆえに その 時の-ゆえに
G2532 G1063 G3784 G1510 G1320 G1223 G3588 G5550

πάλιν χρείαν ἔχετε τοῦ, διδάσκειν ὑμᾶς τινα τὰ στοιχεῖα
再び 必要が-ある ある その 教えられることが あなたがたに ある-者が その 初歩を
G3825 G5532 G2192 G3588 G1321 G4771 G5100 G3588 G4747

τῆς ἀρχῆς τῶν λογίων τοῦ Θεοῦ, καὶ γεγόνατε χρείαν ἔχοντες
その 初めの その 御言葉の その 神の そして なっている 必要が-ある 持っている
G3588 G0746 G3588 G3051 G3588 G2316 G2532 G1096 G5532 G2192

γάλακτος, [καὶ] οὐ στερεᾶς τροφῆς;
乳の また ～ない 固い 食物の
G1051 G2532 G3756 G4731 G5160

あなたがたは、久しい以前からすでに教師となっているはずなのに、もう一度神の言の初歩を、人から手ほどきしてもらわねばならない始末である。あなたがたは堅い食物ではなく、乳を必要としている。

13 πᾶς γὰρ ὁ μετέχων γάλακτος ἄπειρος λόγου δικαιοσύνης;
すべての なぜなら その あずかる-者は 乳に 未熟である 言葉に 義の
G3956 G1063 G3588 G3348 G1051 G0552 G3056 G1343

νήπιος γάρ ἐστιν;
幼子である なぜなら である
G3516 G1063 G1510

すべて乳を飲んでいる者は、幼な子なのだから、義の言葉を味わうことができない。

14 τελείων δέ ἐστιν ἡ στερεὰ τροφή, τῶν διὰ τὴν ἕξιν
成熟した-者の しかし である その 固い 食物は その ～に-よって その 練習に-よって
G5046 G1161 G1510 G3588 G4731 G5160 G3588 G1223 G3588 G1838

τὰ αἰσθητήρια γεγυμνασμένα ἐχόντων, πρὸς διάκρισιν καλοῦ τε, καὶ
その 感覚が 訓練された 持つ-者の ～のための 見分けの-ための 善と また また
G3588 G0145 G1128 G2192 G4314 G1253 G2570 G5037 G2532

κακοῦ.
悪の
G2556

しかし、堅い食物は、善悪を見わける感覚を実際に働かせて訓練された成人のとるべきものである。

Chapter 6

1 Διὸ, ἀφέντες τὸν τῆς ἀρχῆς τοῦ Χριστοῦ λόγον, ἐπὶ τὴν
それゆえに 離れて その その 初歩の その キリストの 言葉から ～へと その
G1352 G0863 G3588 G3588 G0746 G3588 G5547 G3056 G1909 G3588

τελειότητα φερώμεθα; μὴ πάλιν θεμέλιον καταβαλλόμενοι μετανοίας ἀπὸ
完全さへと 進もう ～ない 再び 土台を 置くのでは-なく 悔い改めの ～からの
G5047 G5342 G3361 G3825 G2310 G2598 G3341 G0575

νεκρῶν ἔργων, καὶ πίστεως ἐπὶ Θεόν,
死んだ わざからの また 信仰の ～に-対する 神に
G3498 G2041 G2532 G4102 G1909 G2316

そういうわけだから、わたしたちは、キリストの教の初歩をあとにして、完成を目ざして進もうではないか。今さら、死んだ行いの悔改めと神への信仰、

2

βαπτισμῶν	διδαχὴν,	ἐπιθέσεώς	τε	χειρῶν,	ἀναστάσεώς	‹τε›	νεκρῶν,	καὶ
洗礼の	教えと	手を-置くことの	また	手の	復活の	また	死者の	また
G0909	G1322	G1936	G5037	G5495	G0386	G5037	G3498	G2532

κρίματος	αἰωνίου;
裁きの	永遠の
G2917	G0166

洗いごとについての教と按手、死人の復活と永遠のさばき、などの基本の教をくりかえし学ぶことをやめようではないか。

3

καὶ	τοῦτο	ποιήσομεν,	ἐάνπερ	ἐπιτρέπῃ	ὁ	Θεός.
そして	これを	しよう	もし	許してくださるなら	その	神が
G2532	G3778	G4160	G1437	G2010	G3588	G2316

神の許しを得て、そうすることにしよう。

4

Ἀδύνατον	γὰρ,	τοὺς	ἅπαξ	φωτισθέντας,	γευσαμένους	τε	τῆς	δωρεᾶς
不可能である	なぜなら	その	一度	照らされ	味わった	また	その	贈り物を
G0102	G1063	G3588	G0530	G5461	G1089	G5037	G3588	G1431

τῆς	ἐπουρανίου,	καὶ	μετόχους	γενηθέντας	Πνεύματος	Ἁγίου;
その	天の	また	あずかる-者となった	なった	御霊の	聖なる
G3588	G2032	G2532	G3353	G1096	G4151	G0040

いったん、光を受けて天よりの賜物を味わい、聖霊にあずかる者となり、

5

καὶ	καλὸν	γευσαμένους	Θεοῦ	ῥῆμα,	δυνάμεις	τε	μέλλοντος	αἰῶνος,
また	良い	味わった	神の	御言葉を	力を	また	来たるべき	世の
G2532	G2570	G1089	G2316	G4487	G1411	G5037	G3195	G0165

また、神の良きみ言葉と、きたるべき世の力とを味わった者たちが、

6

καὶ	παραπεσόντας,	πάλιν	ἀνακαινίζειν	εἰς	μετάνοιαν,	ἀνασταυροῦντας
そして	堕ちた-者を	再び	新たにすることは	～へと	悔い改めへと	磔に-つけている
G2532	G3895	G3825	G0340	G1519	G3341	G0388

ἑαυτοῖς	τὸν	Υἱὸν	τοῦ	Θεοῦ,	καὶ	παραδειγματίζοντας.
自らの-ために	その	御子を	その	神の	また	さらしているので
G1438	G3588	G5207	G3588	G2316	G2532	G3856

そののち堕落した場合には、またもや神の御子を、自ら十字架につけて、さらしものにするわけであるから、ふたたび悔改めにたち帰ることは不可能である。

7

γῆ	γὰρ	ἡ	πιοῦσα	τὸν,	ἐπ’	αὐτῆς	ἐρχόμενον	πολλάκις,	ὑετόν,
地は	なぜなら	その	飲んだ	その	～の-上に	それの-上に	降る	しばしば	雨を
G1093	G1063	G3588	G4095	G3588	G1909	G0846	G2064	G4178	G5205

καὶ	τίκτουσα	βοτάνην	εὔθετον	ἐκείνοις	δι’	οὓς	καὶ
そして	生み出す	草を	役に-立つ	それらの-者に	～の-ために	その-者たちのために	また
G2532	G5088	G1008	G2111	G1565	G1223	G3739	G2532

γεωργεῖται,	μεταλαμβάνει	εὐλογίας	ἀπὸ	τοῦ	Θεοῦ;
耕される	受ける	祝福を	～から	その	神から
G1090	G3335	G2129	G0575	G3588	G2316

たとえば、土地が、その上にたびたび降る雨を吸い込で、耕す人々に役立つ作物を育てるなら、神の祝福にあずかる。

8 ἐκφέρουσα δὲ ἀκάνθας καὶ τριβόλους, ἀδόκιμος καὶ κατάρας ἐγγύς,
生み出すなら しかし いばらと また あざみを 不適格であり また 呪いに 近い
G1627 G1161 G0173 G2532 G5146 G0096 G2532 G2671 G1451

ἧς τὸ τέλος εἰς καῦσιν.
その その 終わりは ～へ 焚かれることである
G3739 G3588 G5056 G1519 G2740

しかし、いばらやあざみをはえさせるなら、それは無用になり、やがてのろわれ、ついには焼かれてしまう。

9 Πεπείσμεθα δὲ περὶ ὑμῶν, ἀγαπητοί, τὰ κρείσσονα,
確信している しかし ～について あなたがたについて 愛する-者たちよ その より-良い-ものを
G3982 G1161 G4012 G4771 G0027 G3588 G2908

καὶ ἐχόμενα σωτηρίας, εἰ καὶ οὕτως λαλοῦμεν.
また 伴う-ものを 救いに たとえ たとえ このように 語っていても
G2532 G2192 G4991 G1487 G2532 G3779 G2980

しかし、愛する者たちよ。こうは言うものの、わたしたちは、救にかかわる更に良いことがあるのを、あなたがたについて確信している。

10 οὐ γὰρ ἄδικος ὁ Θεὸς, ἐπιλαθέσθαι τοῦ ἔργου ὑμῶν,
～ない なぜなら 不正では-ない その 神は 忘れることは-ない その わざを あなたがたの
G3756 G1063 G0094 G3588 G2316 G1950 G3588 G2041 G4771

καὶ τῆς ἀγάπης ἧς ἐνεδείξασθε εἰς τὸ ὄνομα αὐτοῦ,
また その 愛を それを 示した ～に-対して その 御名に-対して その方の
G2532 G3588 G0026 G3739 G1731 G1519 G3588 G3686 G0846

διακονήσαντες τοῖς ἁγίοις, καὶ διακονοῦντες.
仕えて その 聖徒たちに また 仕えていることを
G1247 G3588 G0040 G2532 G1247

神は不義なかたではないから、あなたがたの働きや、あなたがたがかつて聖徒に仕え、今もなお仕えて、御名のために示してくれた愛を、お忘れになることはない。

11 ἐπιθυμοῦμεν δὲ, ἕκαστον ὑμῶν τὴν αὐτὴν ἐνδείκνυσθαι, σπουδὴν,
望む しかし 各自が あなたがたの その 同じ 示すことを 熱意を
G1937 G1161 G1538 G4771 G3588 G0846 G1731 G4710

πρὸς τὴν πληροφορίαν τῆς ἐλπίδος ἄχρι τέλους;
～に-対する その 充実と その 希望の ～まで 終わりまで
G4314 G3588 G4136 G3588 G1680 G0891 G5056

わたしたちは、あなたがたがひとり残らず、最後まで望みを持ちつづけるためにも、同じ熱意を示し、

12 ἵνα μὴ νωθροὶ γένησθε; μιμηταὶ δὲ τῶν
～しない-ために ～ないように 怠惰に-ならないように なる 見倣う-者となり むしろ その
G2443 G3361 G3576 G1096 G3402 G1161 G3588

διὰ πίστεως καὶ μακροθυμίας, κληρονομούντων τὰς ἐπαγγελίας.
～を-通して 信仰と また 忍耐を-通して 受け継ぐ-者たちの その 約束を
G1223 G4102 G2532 G3115 G2816 G3588 G1860

怠ることがなく、信仰と忍耐とをもって約束のものを受け継ぐ人々に見習う者となるように、と願ってやまない。

13 Τῷ γὰρ Ἀβραὰμ ἐπαγγειλάμενος, ὁ Θεός, ἐπεὶ κατ’
その なぜなら アブラハムに 約束して その 神は なぜなら ～に–かけて
G3588 G1063 G0011 G1861 G3588 G2316 G1893 G2596

οὐδενὸς εἶχεν μείζονος ὀμόσαι, ὤμοσεν καθ’ ἑαυτοῦ,
誰か–よりも 持たなかった より–大いなる–者に 誓う–ものを 誓った ～に–かけて 御自身に–かけて
G3762 G2192 G3173 G3660 G3660 G2596 G1438

さて、神がアブラハムに対して約束されたとき、さして誓うのに、ご自分よりも上のものがないので、ご自分をさして誓って、

14 λέγων, Εἰ μὴν εὐλογῶν εὐλογήσω σε, καὶ πληθύνων πληθυνῶ σε;
言って 実に 実に 祝福して 祝福する あなたを また 増やして 増やす あなたを
G3004 G1487 G3375 G2127 G2127 G4771 G2532 G4129 G4129 G4771

「わたしは、必ずあなたを祝福し、必ずあなたの子孫をふやす」と言われた。

15 καὶ οὕτως μακροθυμήσας, ἐπέτυχεν τῆς ἐπαγγελίας.
そして このように 忍耐して 得た その 約束を
G2532 G3779 G3114 G2013 G3588 G1860

このようにして、アブラハムは忍耐強く待ったので、約束のものを得たのである。

16 ἄνθρωποι γὰρ κατὰ τοῦ μείζονος ὀμνύουσιν, καὶ
人々は なぜなら ～に–かけて その より–大いなる–者に–かけて 誓う そして
G0444 G1063 G2596 G3588 G3173 G3660 G2532

πάσης αὐτοῖς ἀντιλογίας πέρας, εἰς βεβαίωσιν ὁ ὅρκος.
すべての 彼らにとって 争いの 終わりとなる ～の–ために 確認の–ために その 誓いが
G3956 G0846 G0485 G4009 G1519 G0951 G3588 G3727

いったい、人間は自分より上のものをさして誓うのであり、そして、その誓いはすべての反対論を封じる保証となるのである。

17 ἐν ᾧ περισσότερον βουλόμενος ὁ Θεὸς, ἐπιδεῖξαι τοῖς
～において その–ことにおいて いっそう 望んで その 神は 示すために その
G1722 G3739 G4053 G1014 G3588 G2316 G1925 G3588

κληρονόμοις τῆς ἐπαγγελίας, τὸ ἀμετάθετον τῆς βουλῆς αὐτοῦ,
相続人たちに その 約束の その 変わらない–ことを その 御心の その方の
G2818 G3588 G1860 G3588 G0276 G3588 G1012 G0846

ἐμεσίτευσεν ὅρκῳ,
仲介した 誓いを–もって
G3315 G3727

そこで、神は、約束のものを受け継ぐ人々に、ご計画の不変であることを、いっそうはっきり示そうと思われ、誓いによって保証されたのである。

18 ἵνα διὰ δύο πραγμάτων ἀμεταθέτων, ἐν οἷς
～するために ～を–通して 二つの ことがらを–通して 変わらない ～において それらにおいて
G2443 G1223 G1417 G4229 G0276 G1722 G3739

ἀδύνατον ψεύσασθαι [τὸν] Θεόν, ἰσχυρὰν παράκλησιν ἔχωμεν, οἱ
不可能である 偽ることが その 神が 強い 励ましを 持つことが その
G0102 G5574 G3588 G2316 G2478 G3874 G2192 G3588

καταφυγόντες, κρατῆσαι τῆς προκειμένης ἐλπίδος,
避け–ところへ–走った 掃み取る その 先に–置かれた 希望を
G2703 G2902 G3588 G4295 G1680

それは、偽ることのあり得ない神に立てられた二つの不変の事がらによって、前におかれている望みを捕えようとして世をのがれてきたわたしたちが、力強い励ましを受けるためである。

19 ἣν ὡς ἄγκυραν ἔχομεν, τῆς ψυχῆς, ἀσφαλῆ τε καὶ βεβαίαν;
それを ～のように 錨のように 持っている その 魂の 安全で また また 確かな
G3739 G5613 G0045 G2192 G3588 G5590 G0804 G5037 G2532 G0949

καὶ εἰσερχομένην εἰς τὸ ἐσώτερον τοῦ καταπετάσματος,
そして 入って-いく ～の-内に その 内側に その 幕の
G2532 G1525 G1519 G3588 G2082 G3588 G2665

この望みは、わたしたちにとって、いわば、たましいを安全にし不動にする錨であり、かつ「幕の内」にはいり行かせるものである。

20 ὅπου πρόδρομος ὑπὲρ ἡμῶν, εἰσῆλθεν Ἰησοῦς, κατὰ τὴν τάξιν
そこに 先駆者として ～の-ために 私たちの-ために 入った イエスが ～に-従い その 位に
G3699 G4274 G5228 G1473 G1525 G2424 G2596 G3588 G5010

Μελχισέδεκ, ἀρχιερεὺς γενόμενος εἰς τὸν αἰῶνα.
メルキゼデクの 大祭司となった なった ～へ その 永遠に
G3198 G0749 G1096 G1519 G3588 G0165

その幕の内に、イエスは、永遠にメルキゼデクに等しい大祭司として、わたしたちのためにさきがけとなって、はいられたのである。

Chapter 7

1 Οὗτος γὰρ ὁ Μελχισέδεκ, βασιλεὺς Σαλήμ, ἱερεὺς τοῦ Θεοῦ τοῦ
この なぜなら その メルキゼデクは 王であり サレムの 祭司である その 神の その
G3778 G1063 G3588 G3198 G0935 G4532 G2409 G3588 G2316 G3588

Ὑψίστου, ὁ συναντήσας Ἀβραὰμ ὑποστρέφοντι ἀπὸ τῆς κοπῆς τῶν
いと高き その 出迎えた アブラハムが 帰る-ときに ～から その 打ち-破った その
G5310 G3588 G4876 G0011 G5290 G0575 G3588 G2871 G3588

βασιλέων, καὶ εὐλογήσας αὐτόν;
王たちを そして 祝福した 彼を
G0935 G2532 G2127 G0846

このメルキゼデクはサレムの王であり、いと高き神の祭司であったが、王たちを撃破して帰るアブラハムを迎えて祝福し、

2 ᾧ καὶ δεκάτην ἀπὸ πάντων ἐμέρισεν Ἀβραάμ. πρῶτον μὲν
その方に また 十分の-一を ～から すべてから 分け与えた アブラハムは 第一に 一方で
G3739 G2532 G1181 G0575 G3956 G3307 G0011 G4412 G3303

ἑρμηνευόμενος, βασιλεὺς δικαιοσύνης, ἔπειτα δὲ καὶ, βασιλεὺς Σαλήμ, ὅ
解釈すれば 王である 義の 次に また また 王である サレムの それは
G2059 G0935 G1343 G1899 G1161 G2532 G0935 G4532 G3739

ἐστιν βασιλεὺς εἰρήνης;
である 王である 平安の
G1510 G0935 G1515

それに対して、アブラハムは彼にすべての物の十分の一を分け与えたのである。その名の意味は、第一に義の王、次にまたサレムの王、すなわち平和の王である。

3 ἀπάτωρ, ἀμήτωρ, ἀγενεαλόγητος; μήτε ἀρχὴν ἡμερῶν, μήτε ζωῆς τέλος
父なく 母なく 系図なく ～ない 初めが 日々の ～ない 命の 終わりも
G0540 G0282 G0035 G3383 G0746 G2250 G3383 G2222 G5056

ἔχων; ἀφωμοιωμένος δὲ τῷ Υἱῷ τοῦ Θεοῦ, μένει ἱερεὺς εἰς
持たない 似せられている しかし その 御子に その 神の とどまる 祭司として ～へ
G2192 G0871 G1161 G3588 G5207 G3588 G2316 G3306 G2409 G1519

τὸ διηνεκές.
その 永遠に
G3588 G1336

彼には父がなく、母がなく、系図がなく、生涯の初めもなく、生命の終りもなく、神の子のようであって、いつまでも祭司なのである。

4 Θεωρεῖτε δὲ πηλίκος οὗτος, ᾧ [καὶ] δεκάτην Ἀβραὰμ ἔδωκεν,
見なさい さて どれほど この方が その方に また 十分の一を アブラハムが 与えた
G2334 G1161 G4080 G3778 G3739 G2532 G1181 G0011 G1325

ἐκ τῶν ἀκροθινίων, ὁ πατριάρχης.
～から その 戦利品の中から その 族長が
G1537 G3588 G0205 G3588 G3966

そこで、族長のアブラハムが最もよいぶんどり品の十分の一を与えたのだから、この人がどんなにすぐれた人物であったかが、あなたがたにわかるであろう。

5 καὶ οἱ μὲν, ἐκ τῶν υἱῶν Λευὶ, τὴν ἱερατείαν λαμβάνοντες,
また その 一方で ～からの その 子らの中から レビの その 祭司職を 受ける者たちは
G2532 G3588 G3303 G1537 G3588 G5207 G3017 G3588 G2405 G2983

ἐντολὴν ἔχουσιν ἀποδεκατοῦν τὸν λαὸν, κατὰ τὸν νόμον, τοῦτ’
戒めを 持っている 十分の一を取る その 民から ～に従い その 律法に すなわち
G1785 G2192 G0586 G3588 G2992 G2596 G3588 G3551 G3778

ἔστιν, τοὺς ἀδελφοὺς αὐτῶν, καίπερ ἐξεληλυθότας ἐκ τῆς ὀσφύος
すなわち その 兄弟たちから 彼らの たとえ 出てきた者であっても ～から その 腰から
G1510 G3588 G0080 G0846 G2539 G1831 G1537 G3588 G3751

Ἀβραάμ.
アブラハムの
G0011

さて、レビの子のうちで祭司の務をしている者たちは、兄弟である民から、同じくアブラハムの子孫であるにもかかわらず、十分の一を取るように、律法によって命じられている。

6 ὁ δὲ μὴ γενεαλογούμενος ἐξ αὐτῶν, δεδεκάτωκεν
その しかし ～ない 系図が-ない-者が ～からの 彼らの中からの 十分の一を取った
G3588 G1161 G3361 G1075 G1537 G0846 G1183

Ἀβραάμ; καὶ τὸν ἔχοντα τὰς ἐπαγγελίας, εὐλόγηκεν.
アブラハムから そして その 持つ者を その 約束を 祝福した
G0011 G2532 G3588 G2192 G3588 G1860 G2127

ところが、彼らの血統に属さないこの人が、アブラハムから十分の一を受けとり、約束を受けている者を祝福したのである。

7 χωρὶς δὲ πάσης ἀντιλογίας, τὸ ἔλαττον ὑπὸ τοῦ
～なしに しかし すべての 反論なく その 劣る–者が ～に–よって その
G5565 G1161 G3956 G0485 G3588 G1640 G5259 G3588

κρείττονος εὐλογεῖται.
優れた–者に–よって 祝福される
G2909 G2127

言うまでもなく、小なる者が大なる者から祝福を受けるのである。

8 καὶ ὧδε μὲν, δεκάτας, ἀποθνήσκοντες ἄνθρωποι, λαμβάνουσιν; ἐκεῖ
また ここでは 一方で 十分の–一を 死ぬべき 人々が 受ける かしこでは
G2532 G5602 G3303 G1181 G0599 G0444 G2983 G1563

δὲ, μαρτυρούμενος ὅτι ζῇ;
しかし 証されている すなわち 生きていると
G1161 G3140 G3754 G2198

その上、一方では死ぬべき人間が、十分の一を受けているが、他方では「彼は生きている者」とあかしされた人が、それを受けている。

9 καὶ, ὡς ἔπος εἰπεῖν: δι’ Ἀβραὰμ καὶ, Λευὶ, ὁ
また ～のように いわば 言えば ～を–通して アブラハムを–通して また レビも その
G2532 G5613 G2031 G3004 G1223 G0011 G2532 G3017 G3588

δεκάτας λαμβάνων, δεδεκάτωται.
十分の–一を 受ける–者が 十分の–一を–納めた
G1181 G2983 G1183

そこで、十分の一を受けるべきレビでさえも、アブラハムを通じて十分の一を納めた、と言える。

10 ἔτι γὰρ ἐν τῇ ὀσφύϊ τοῦ πατρὸς ἦν, ὅτε συνήντησεν
まだ なぜなら ～の–中に その 腰の–中に その 父の いた ～とき 出迎えた
G2089 G1063 G1722 G3588 G3751 G3588 G3962 G1510 G3753 G4876

αὐτῷ Μελχισέδεκ.
彼に メルキゼデクが
G0846 G3198

なぜなら、メルキゼデクがアブラハムを迎えた時には、レビはまだこの父祖の腰の中にいたからである。

11 Εἰ μὲν οὖν, τελείωσις διὰ τῆς Λευιτικῆς ἱερωσύνης ἦν,
もし もし それゆえに 完全さが ～を–通して その レビ的な 祭司職を–通して あったなら
G1487 G3303 G3767 G5050 G1223 G3588 G3020 G2420 G1510

ὁ λαὸς γὰρ ἐπ’ αὐτῆς νενομοθέτηται, τίς ἔτι
その 民は なぜなら ～の–上に それの–上に 律法を–受けた 何の さらに
G3588 G2992 G1063 G1909 G0846 G3549 G5101 G2089

χρεία, κατὰ τὴν τάξιν Μελχισέδεκ, ἕτερον ἀνίστασθαι ἱερέα, καὶ
必要が–あるだろうか ～に–従い その 位に メルキゼデクの 別の 立つ 祭司が また
G5532 G2596 G3588 G5010 G3198 G2087 G0450 G2409 G2532

οὐ κατὰ τὴν τάξιν Ἀαρὼν λέγεσθαι?
～ない ～に–従う その 位に アロンの 呼ばれないのか
G3756 G2596 G3588 G5010 G0002 G3004

もし全うされることがレビ系の祭司制によって可能であったら――民は祭司制の下に律法を与えられたのであるが――なんの必要があって、なお、「アロンに等しい」と呼ばれない、別な「メルキゼデクに等しい」祭司が立てられるのであるか。

12 μετατιθεμένης γὰρ τῆς ἱερωσύνης, ἐξ ἀνάγκης καὶ, νόμου μετάθεσις
変わるなら なぜなら その 祭司職が ～から 必然的に また 律法の 変更が
G3346 G1063 G3588 G2420 G1537 G0318 G2532 G3551 G3331

γίνεται.
起こる
G1096

祭司制に変更があれば、律法にも必ず変更があるはずである。

13 ἐφ’ ὃν γὰρ λέγεται ταῦτα, φυλῆς ἑτέρας
～について その方について なぜなら 言われている これらの–ことは 部族の 別の
G1909 G3739 G1063 G3004 G3778 G5443 G2087

μετέσχηκεν, ἀφ’ ἧς οὐδεὶς προσέσχηκεν τῷ θυσιαστηρίῳ.
属していた ～からの それからの 誰も 仕えなかった その 祭壇に
G3348 G0575 G3739 G3762 G4337 G3588 G2379

さて、これらのことは、いまだかつて祭壇に奉仕したことのない、他の部族に関して言われているのである。

14 πρόδηλον γὰρ, ὅτι ἐξ Ἰούδα ἀνατέταλκεν ὁ Κύριος ἡμῶν,
明らかである なぜなら すなわち ～から ユダから 出た その 主は 私たちの
G4271 G1063 G3754 G1537 G2448 G0393 G3588 G2962 G1473

εἰς ἣν φυλὴν, περὶ ἱερέων, οὐδὲν Μωϋσῆς ἐλάλησεν.
～について その 部族について ～について 祭司について 何も モーセは 語らなかった
G1519 G3739 G5443 G4012 G2409 G3762 G3475 G2980

というのは、わたしたちの主がユダ族の中から出られたことは、明らかであるが、モーセは、この部族について、祭司に関することでは、ひとことも言っていない。

15 Καὶ περισσότερον ἔτι κατάδηλόν ἐστιν, εἰ κατὰ τὴν ὁμοιότητα
そして いっそう さらに 明らかである である もし ～に–従い その 似た–者として
G2532 G4053 G2089 G2612 G1510 G1487 G2596 G3588 G3665

Μελχισέδεκ, ἀνίσταται ἱερεὺς ἕτερος,
メルキゼデクに 立つ 祭司が 別の
G3198 G0450 G2409 G2087

そしてこの事は、メルキゼデクと同様な、ほかの祭司が立てられたことによって、ますます明白になる。

16 ὃς οὐ κατὰ νόμον ἐντολῆς σαρκίνης, γέγονεν, ἀλλὰ κατὰ
その方は ～ない ～に–従う 律法に 戒めの 肉的な なったのでは–なく むしろ ～に–従う
G3739 G3756 G2596 G3551 G1785 G4560 G1096 G0235 G2596

δύναμιν ζωῆς ἀκαταλύτου.
力に 命の 滅びない
G1411 G2222 G0179

彼は、肉につける戒めの律法によらないで、朽ちることのないいのちの力によって立てられたのである。

17 μαρτυρεῖται γὰρ, ὅτι Σὺ ἱερεὺς εἰς τὸν αἰῶνα, κατὰ τὴν
証されている なぜなら すなわち あなたは 祭司である ～へ その 永遠に ～に–従い その
G3140 G1063 G3754 G4771 G2409 G1519 G3588 G0165 G2596 G3588

τάξιν Μελχισέδεκ.
位に メルキゼデクの
G5010 G3198

それについては、聖書に「あなたこそは、永遠に、メルキゼデクに等しい祭司である」とあかしされている。

18 ἀθέτησις μὲν γὰρ γίνεται προαγούσης ἐντολῆς, διὰ τὸ αὐτῆς
廃止が 一方で なぜなら 起こる 先の 戒めの ～の–ゆえに その それの
G0115 G3303 G1063 G1096 G4254 G1785 G1223 G3588 G0846

ἀσθενὲς, καὶ ἀνωφελές --
弱さと また 無益さの
G0772 G2532 G0512

このようにして、一方では、前の戒めが弱くかつ無益であったために無効になると共に、

19 οὐδὲν γὰρ ἐτελείωσεν ὁ νόμος ἐπεισαγωγὴ δὲ κρείττονος ἐλπίδος,
何も なぜなら 完全にしなかった その 律法は 導入しかし しかし より–良い 希望の
G3762 G1063 G5048 G3588 G3551 G1898 G1161 G2909 G1680

δι’ ἧς ἐγγίζομεν τῷ Θεῷ.
～を–通して それを–通して 近づく その 神に
G1223 G3739 G1448 G3588 G2316

（律法は、何事をも全うし得なかったからである）、他方では、さらにすぐれた望みが現れてきて、わたしたちを神に近づかせるのである。

20 Καὶ καθ’ ὅσον οὐ χωρὶς ὁρκωμοσίας, οἱ μὲν γὰρ
そして ～に–応じて それだけ ～ない ～なしに 誓いなしにでは–ない その 一方で なぜなら
G2532 G2596 G3745 G3756 G5565 G3728 G3588 G3303 G1063

χωρὶς ὁρκωμοσίας, εἰσὶν ἱερεῖς γεγονότες,
～なしに 誓いなしに である 祭司となった–者たちは なった
G5565 G3728 G1510 G2409 G1096

その上に、このことは誓いをもってなされた。人々は、誓いをしないで祭司とされるのであるが、

21 ὁ δὲ μετὰ ὁρκωμοσίας, διὰ τοῦ λέγοντος,
その方は しかし ～を–もって 誓いを–もって ～を–通して その 言われた–方を–通して
G3588 G1161 G3326 G3728 G1223 G3588 G3004

πρὸς αὐτόν Ὤμοσεν Κύριος, καὶ οὐ μεταμεληθήσεται, Σὺ
～に–対して その方に 誓った 主が そして ～ない 悔いない あなたは
G4314 G0846 G3660 G2962 G2532 G3756 G3338 G4771

ἱερεὺς εἰς τὸν αἰῶνα.
祭司である ～へ その 永遠に
G2409 G1519 G3588 G0165

この人の場合は、次のような誓いをもってされたのである。すなわち、彼について、こう言われている、「主は誓われたが、心を変えることをされなかった。あなたこそは、永遠に祭司である」。

22 κατὰ τοσοῦτο καὶ κρείττονος διαθήκης, γέγονεν ἔγγυος Ἰησοῦς.
～に–応じて それだけ また より–良い 契約の なった 保証人と イエスは
G2596 G5118 G2532 G2909 G1242 G1096 G1450 G2424

このようにして、イエスは更にすぐれた契約の保証となられたのである。

23 Καὶ οἱ μὲν πλείονές εἰσιν γεγονότες ἱερεῖς, διὰ τὸ θανάτῳ
また その 一方で 多くの–者が である なった 祭司と ～の–ゆえに その 死に–よって
G2532 G3588 G3303 G4119 G1510 G1096 G2409 G1223 G3588 G2288

κωλύεσθαι παραμένειν;
妨げられた 留まることが
G2967 G3887

かつ、死ということがあるために、務を続けることができないので、多くの人々が祭司に立てられるのである。

24 ὁ δὲ διὰ τὸ μένειν αὐτὸν εἰς τὸν αἰῶνα, ἀπαράβατον
その方は しかし ～の–ゆえに その とどまる その方が ～へ その 永遠に 変わらない
G3588 G1161 G1223 G3588 G3306 G0846 G1519 G3588 G0165 G0531

ἔχει τὴν ἱερωσύνην,
持っている その 祭司職を
G2192 G3588 G2420

しかし彼は、永遠にいますかたであるので、変らない祭司の務を持ちつづけておられるのである。

25 ὅθεν καὶ, σῴζειν εἰς τὸ παντελὲς δύναται, τοὺς προσερχομένους,
それゆえに また 救うことが ～へ その 完全に できる その 近づく–者たちを
G3606 G2532 G4982 G1519 G3588 G3838 G1410 G3588 G4334

δι’ αὐτοῦ τῷ Θεῷ, πάντοτε ζῶν εἰς τὸ
～を–通して その方を–通して その 神に いつも 生きている ～のために その
G1223 G0846 G3588 G2316 G3842 G2198 G1519 G3588

ἐντυγχάνειν ὑπὲρ αὐτῶν.
とりなすために ～の–ために 彼らのために
G1793 G5228 G0846

そこでまた、彼は、いつも生きていて彼らのためにとりなしておられるので、彼によって神に来る人々を、いつも救うことができるのである。

26 Τοιοῦτος γὰρ ἡμῖν καὶ ἔπρεπεν ἀρχιερεύς, ὅσιος, ἄκακος,
このような なぜなら 私たちに また ふさわしかった 大祭司が 聖く 悪意なく
G5108 G1063 G1473 G2532 G4241 G0749 G3741 G0172

ἀμίαντος, κεχωρισμένος ἀπὸ τῶν ἁμαρτωλῶν, καὶ ὑψηλότερος τῶν οὐρανῶν
汚れなく 分けられた ～から その 罪人たちから そして 高くなった その 天よりも
G0283 G5563 G0575 G3588 G0268 G2532 G5308 G3588 G3772

γενόμενος;
なった
G1096

このように、聖にして、悪も汚れもなく、罪人とは区別され、かつ、もろもろの天よりも高くされている大祭司こそ、わたしたちにとってふさわしいかたである。

27 ὃς οὐκ ἔχει καθ’ ἡμέραν ἀνάγκην, ὥσπερ οἱ ἀρχιερεῖς,
その方は ～ない 持たない ～に 日々 必要が ～のように その 大祭司たちのように
G3739 G3756 G2192 G2596 G2250 G0318 G5618 G3588 G0749

πρότερον ὑπὲρ τῶν ἰδίων ἁμαρτιῶν, θυσίας ἀναφέρειν, ἔπειτα τῶν
先に ～の–ために その 自分の 罪のために いけにえを ささげることの 次に その
G4386 G5228 G3588 G2398 G0266 G2378 G0399 G1899 G3588

τοῦ λαοῦ; τοῦτο γὰρ ἐποίησεν ἐφάπαξ, ἑαυτὸν ἀνενέγκας.
その 民の–ために これを なぜなら 行った 一度で 御自身を ささげて
G3588 G2992 G3778 G1063 G4160 G2178 G1438 G0399

彼は、ほかの大祭司のように、まず自分の罪のため、次に民の罪のために、日々、いけにえをささげる必要はない。なぜなら、自分をささげて、一度だけ、それをされたからである。

28 ὁ νόμος γὰρ ἀνθρώπους καθίστησιν ἀρχιερεῖς, ἔχοντας ἀσθένειαν; ὁ
その 律法は なぜなら 人々を 立てる 大祭司として 持つ–者を 弱さを その
G3588 G3551 G1063 G0444 G2525 G0749 G2192 G0769 G3588

λόγος δὲ τῆς ὁρκωμοσίας, τῆς μετὰ τὸν νόμον, Υἱόν εἰς τὸν
言葉は しかし その 誓いの その ～の–後の その 律法の–後の 御子を ～へ その
G3056 G1161 G3588 G3728 G3588 G3326 G3588 G3551 G5207 G1519 G3588

αἰῶνα, τετελειωμένον.
永遠に 完全な–者として
G0165 G5048

律法は、弱さを身に負う人間を立てて大祭司とするが、律法の後にきた誓いの御言は、永遠に全うされた御子を立てて、大祭司としたのである。

Chapter 8

1 Κεφάλαιον δὲ ἐπὶ τοῖς λεγομένοις, τοιοῦτον ἔχομεν
要点は さて ～について その 語られていることの このような 私たちは–持っている
G2774 G1161 G1909 G3588 G3004 G5108 G2192

ἀρχιερέα, ὃς ἐκάθισεν ἐν δεξιᾷ τοῦ θρόνου τῆς Μεγαλωσύνης ἐν
大祭司を その–方は 座られた ～に 右に その 御座の その 威厳の ～の中の
G0749 G3739 G2523 G1722 G1188 G3588 G2362 G3588 G3172 G1722

τοῖς οὐρανοῖς;
その 天における
G3588 G3772

以上述べたことの要点は、このような大祭司がわたしたちのためにおられ、天にあって大能者の御座の右に座し、

2 τῶν ἁγίων λειτουργὸς, καὶ τῆς σκηνῆς τῆς ἀληθινῆς, ἣν ἔπηξεν
聖なる–所の 聖なる 仕え人であり また その 幕屋の その 真の それを 設けられた
G3588 G0040 G3011 G2532 G3588 G4633 G3588 G0228 G3739 G4078

ὁ Κύριος, οὐκ ἄνθρωπος.
その 主が ～でなく 人が
G3588 G2962 G3756 G0444

人間によらず主によって設けられた真の幕屋なる聖所で仕えておられる、ということである。

3 Πᾶς γὰρ ἀρχιερεὺς, εἰς τὸ προσφέρειν δῶρά τε, καὶ
すべての なぜなら 大祭司は ～のために その ささげること 供え物を また そして
G3956 G1063 G0749 G1519 G3588 G4374 G1435 G5037 G2532

θυσίας, καθίσταται; ὅθεν ἀναγκαῖον ἔχειν τι καὶ τοῦτον ὃ
いけにえを 任命される それゆえ 必要である 持つことが 何かを また この–方も それを
G2378 G2525 G3606 G0316 G2192 G5100 G2532 G3778 G3739

προσενέγκῃ.
ささげるために
G4374

おおよそ、大祭司が立てられるのは、供え物やいけにえをささげるためにほかならない。したがって、この大祭司もまた、何かささぐべき物を持っておられねばならない。

4

εἰ	μὲν	οὖν	ἦν	ἐπὶ	γῆς,	οὐδ’	ἂν	ἦν
もし	一方では	それゆえ	おられたなら	地上に	地に	～でさえ–ない	～であろう	～であった
G1487	G3303	G3767	G1510	G1909	G1093	G3761	G0302	G1510

ἱερεύς,	ὄντων	τῶν	προσφερόντων	κατὰ	νόμον,	τὰ	δῶρα;
祭司で	いる–者たちが	その	ささげている	律法に–従って	律法に	その	供え物を
G2409	G1510	G3588	G4374	G2596	G3551	G3588	G1435

そこで、もし彼が地上におられたなら、律法にしたがって供え物をささげる祭司たちが、現にいるのだから、彼は祭司ではあり得なかったであろう。

5

οἵτινες	ὑποδείγματι	καὶ	σκιᾷ	λατρεύουσιν	τῶν	ἐπουρανίων,	καθὼς
彼らは	模型と	そして	影に	仕えている	その	天のものの	ちょうど
G3748	G5262	G2532	G4639	G3000	G3588	G2032	G2531

κεχρημάτισται	Μωϋσῆς,	μέλλων	ἐπιτελεῖν	τὴν	σκηνήν;	Ὅρα,	γάρ
指示–された–ように	モーセが	まさに	造り–上げようと–する	その	幕屋を	見よ	なぜなら
G5537	G3475	G3195	G2005	G3588	G4633	G3708	G1063

φησίν,	ποιήσεις	πάντα	κατὰ	τὸν	τύπον	τὸν	δειχθέντα	σοι	ἐν
言われた	造りなさい	すべてを	～に–従って	その	型に	その	示された	あなたに	～の上で
G5346	G4160	G3956	G2596	G3588	G5179	G3588	G1166	G4771	G1722

τῷ	ὄρει.
その	山で
G3588	G3735

彼らは、天にある聖所のひな型と影とに仕えている者にすぎない。それについては、モーセが幕屋を建てようとしたとき、御告げを受け、「山で示された型どおりに、注意してそのいっさいを作りなさい」と言われたのである。

6

νυνὶ	δὲ,	διαφορωτέρας	τέτυχεν	λειτουργίας,	ὅσῳ	καὶ	κρείττονός
しかし–今	さて	より–すぐれた	得られた	務めを	それだけ	また	より–すぐれた
G3570	G1161	G1313	G5177	G3009	G3745	G2532	G2909

ἐστιν	διαθήκης	μεσίτης,	ἥτις	ἐπὶ	κρείττοσιν	ἐπαγγελίαις	νενομοθέτηται.
～である	契約の	仲介者で	それは	～の上に	より–すぐれた	約束に–基づいて	制定された
G1510	G1242	G3316	G3748	G1909	G2909	G1860	G3549

ところがキリストは、はるかにすぐれた務を得られたのである。それは、さらにまさった約束に基いて立てられた、さらにまさった契約の仲保者となられたことによる。

7

εἰ	γὰρ	ἡ	πρώτη	ἐκείνη	ἦν	ἄμεμπτος,	οὐκ	ἂν
もし	なぜなら	その	最初の	あの	～であったなら	欠けの–ない–もので	～ない	～であろう
G1487	G1063	G3588	G4413	G1565	G1510	G0273	G3756	G0302

δευτέρας	ἐζητεῖτο	τόπος.
第二の–ものの	求められる	場所は
G1208	G2212	G5117

もし初めの契約に欠けたところがなかったなら、あとのものが立てられる余地はなかったであろう。

8

μεμφόμενος	γὰρ,	αὐτοὺς	λέγει,	Ἰδοὺ,	ἡμέραι	ἔρχονται,	λέγει	Κύριος,
非難して	なぜなら	彼らを	言われた	見よ	日々が	来る	言われる	主が
G3201	G1063	G0846	G3004	G3708	G2250	G2064	G3004	G2962

καὶ	συντελέσω	ἐπὶ	τὸν	οἶκον	Ἰσραὴλ,	καὶ	ἐπὶ	τὸν
そして	私は–結ぶ	～に対して	その	家–イスラエルの	イスラエルの	そして	～に対して	その
G2532	G4931	G1909	G3588	G3624	G2474	G2532	G1909	G3588

οἶκον	Ἰούδα,	διαθήκην	καινήν;
家–ユダの	ユダの	契約を	新しい
G3624	G2448	G1242	G2537

ところが、神は彼らを責めて言われた、「主は言われる、見よ、わたしがイスラエルの家およびユダの家と、新しい契約を結ぶ日が来る。

9 οὐ ～でない G3756 κατὰ ～に-従った G2596 τὴν その G3588 διαθήκην 契約に G1242 ἣν それを G3739 ἐποίησα 私が-結んだ G4160 τοῖς その G3588 πατράσιν 先祖たちと G3962 αὐτῶν, 彼らの G0846

ἐν ～の日に G1722 ἡμέρᾳ 日に G2250 ἐπιλαβομένου 私が-つかんだ G1949 μου 私が G1473 τῆς その G3588 χειρὸς 手を G5495 αὐτῶν, 彼らの G0846 ἐξαγαγεῖν 導き-出すために G1806 αὐτοὺς 彼らを G0846

ἐκ ～から G1537 γῆς 地-エジプトの G1093 Αἰγύπτου; エジプトの G0125 ὅτι なぜなら G3754 αὐτοὶ 彼ら-自身が G0846 οὐκ ～しなかった G3756 ἐνέμειναν とどまらなかった G1696 ἐν ～の中に G1722

τῇ その G3588 διαθήκῃ 契約に G1242 μου, 私の G1473 κἀγὼ それで-私も G2504 ἠμέλησα 顧みなかった G0272 αὐτῶν, 彼らを G0846 λέγει 言われる G3004 Κύριος. 主が G2962

それは、わたしが彼らの先祖たちの手をとって、エジプトの地から導き出した日に、彼らと結んだ契約のようなものではない。彼らがわたしの契約にとどまることをしないので、わたしも彼らをかえりみなかったからであると、主が言われる。

10 ὅτι なぜなら G3754 αὕτη これが G3778 ἡ その G3588 διαθήκη 契約である G1242 ἣν それを G3739 διαθήσομαι 私が-結ぶ G1303 τῷ その G3588 οἴκῳ 家-イスラエルに G3624 Ἰσραὴλ, イスラエルの G2474

μετὰ ～の後に G3326 τὰς その G3588 ἡμέρας 日々 G2250 ἐκείνας, あの G1565 λέγει 言われる G3004 Κύριος, 主が G2962 διδοὺς 与えて G1325 νόμους 律法を G3551 μου 私の G1473 εἰς ～の中に G1519 τὴν その G3588

διάνοιαν 思いに G1271 αὐτῶν, 彼らの G0846 καὶ そして G2532 ἐπὶ ～の上に G1909 καρδίας 心に G2588 αὐτῶν 彼らの G0846 ἐπιγράψω 私は-書き記す G1924 αὐτούς; それらを G0846 καὶ そして G2532

ἔσομαι 私は-なる G1510 αὐτοῖς 彼らにとって G0846 εἰς, ～として G1519 Θεόν, 神に G2316 καὶ そして G2532 αὐτοὶ 彼ら-自身が G0846 ἔσονταί なるであろう G1510 μοι 私にとって G1473 εἰς, ～として G1519

λαόν. 民に G2992

わたしが、それらの日の後、イスラエルの家と立てようとする契約はこれである、と主が言われる。すなわち、わたしの律法を彼らの思いの中に入れ、彼らの心に書きつけよう。こうして、わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となるであろう。

11 καὶ そして G2532 οὐ 決して-ない G3756 μὴ 決して G3361 διδάξωσιν 教えない G1321 ἕκαστος 各々が G1538 τὸν その G3588 πολίτην 同胞を G4177 αὐτοῦ, 自分の G0846 καὶ また G2532 ἕκαστος 各々が G1538

τὸν その G3588 ἀδελφὸν 兄弟を G0080 αὐτοῦ 自分の G0846 λέγων, 言って G3004 Γνῶθι 知れ G1097 τὸν その G3588 Κύριον; 主を G2962 ὅτι なぜなら G3754 πάντες すべての-者が G3956 εἰδήσουσίν 知るであろう G1492

με, 私を G1473 ἀπὸ ～から G0575 μικροῦ 小さい-者から G3398 ἕως ～まで G2193 μεγάλου 大きい-者に G3173 αὐτῶν, 彼らの G0846

彼らは、それぞれ、その同胞に、また、それぞれ、その兄弟に、主を知れ、と言って教えることはなくなる。なぜなら、大なる者から小なる者に至るまで、彼らはことごとく、わたしを知るようになるからである。

12 ὅτι ἵλεως ἔσομαι ταῖς ἀδικίαις αὐτῶν, καὶ τῶν ἁμαρτιῶν
なぜなら 憐れみ深く 私は-なる その 不義に-対して 彼らの そして その 罪を
G3754 G2436 G1510 G3588 G0093 G0846 G2532 G3588 G0266

αὐτῶν οὐ μὴ μνησθῶ ἔτι.
彼らの 決して-ない 決して 思い出さない もはや
G0846 G3756 G3361 G3403 G2089

わたしは、彼らの不義をあわれみ、もはや、彼らの罪を思い出すことはしない」。

13 ἐν τῷ λέγειν, Καινὴν, πεπαλαίωκεν τὴν πρώτην; τὸ δὲ
～の中で その 言うことで 新しいと 古くされた その 最初の-ものを その しかし
G1722 G3588 G3004 G2537 G3822 G3588 G4413 G3588 G1161

παλαιούμενον καὶ γηράσκον, ἐγγὺς ἀφανισμοῦ.
古びて-いくものは そして 衰えて-いくものは 間もなく 消え去る
G3822 G2532 G1095 G1451 G0854

神は、「新しい」と言われたことによって、初めの契約を古いとされたのである。年を経て古びたものは、やがて消えていく。

Chapter 9

1 Εἶχε μὲν οὖν καὶ ἡ πρώτη, δικαιώματα λατρείας, τό
持っていた 一方では それゆえ また その 最初の-ものも 礼拝の-規定を 礼拝の その
G2192 G3303 G3767 G2532 G3588 G4413 G1345 G2999 G3588

τε ἅγιον, κοσμικόν.
また 聖所を 地上の
G5037 G0040 G2886

さて、初めの契約にも、礼拝についてのさまざまな規定と、地上の聖所とがあった。

2 σκηνὴ γὰρ κατεσκευάσθη, ἡ πρώτη, ἐν ᾗ ἥ τε λυχνία,
幕屋が なぜなら 設けられた その 最初の その-中に そこに その また 燭台と
G4633 G1063 G2680 G3588 G4413 G1722 G3739 G3588 G5037 G3087

καὶ ἡ τράπεζα, καὶ ἡ πρόθεσις τῶν ἄρτων, ἥτις λέγεται Ἅγια;
そして その 机と そして その 供えの-パンが その パンの それは 呼ばれる 聖所と
G2532 G3588 G5132 G2532 G3588 G4286 G3588 G0740 G3748 G3004 G0040

すなわち、まず幕屋が設けられ、その前の場所には燭台と机と供えのパンとが置かれていた。これが、聖所と呼ばれた。

3 μετὰ δὲ τὸ δεύτερον καταπέτασμα, σκηνὴ ἡ, λεγομένη Ἅγια
～の後に しかし その 第二の 幕の 幕屋があり それは 呼ばれる 至聖所
G3326 G1161 G3588 G1208 G2665 G4633 G3588 G3004 G0040

ἁγίων,
聖なる-所の
G0040

また第二の幕の後に、別の場所があり、それは至聖所と呼ばれた。

4 χρυσοῦν ἔχουσα θυμιατήριον, καὶ τὴν κιβωτὸν τῆς διαθήκης,
金の 持っている 香壇と そして その 契約の–箱を その 契約の
G5552 G2192 G2369 G2532 G3588 G2787 G3588 G1242

περικεκαλυμμένην πάντοθεν χρυσίῳ, ἐν ᾗ στάμνος χρυσῆ ἔχουσα τὸ
全体が–覆われた 全体が 金で その–中に そこに 壺があり 金の 入っている その
G4028 G3840 G5553 G1722 G3739 G4713 G5552 G2192 G3588

μάννα, καὶ ἡ ῥάβδος Ἀαρὼν ἡ βλαστήσασα, καὶ αἱ πλάκες
マナを そして その アロンの–杖が アロンの その 芽を–出した そして その 板がある
G3131 G2532 G3588 G4464 G0002 G3588 G0985 G2532 G3588 G4109

τῆς διαθήκης.
その 契約の
G3588 G1242

そこには金の香壇と全面金でおおわれた契約の箱とが置かれ、その中にはマナのはいっている金のつぼと、芽を出したアロンのつえと、契約の石板とが入れてあり、

5 ὑπεράνω δὲ αὐτῆς, Χερουβὶν δόξης, κατασκιάζοντα τὸ ἱλαστήριον;
その–上に そして それの ケルビムが 栄光の 覆い–かぶさっている その 贖いの–座を
G5231 G1161 G0846 G5502 G1391 G2683 G3588 G2435

περὶ ὧν οὐκ ἔστιν νῦν λέγειν κατὰ μέρος.
～について それらの ～でない ～である 今 語ることが ～について 詳しく
G4012 G3739 G3756 G1510 G3568 G3004 G2596 G3313

箱の上には栄光に輝くケルビムがあって、贖罪所をおおっていた。これらのことについては、今ここで、いちいち述べることができない。

6 Τούτων δὲ οὕτως κατεσκευασμένων, εἰς μὲν τὴν πρώτην σκηνὴν
これらが さて このように 整えられて–いるので ～の中に 一方では その 最初の 幕屋に
G3778 G1161 G3779 G2680 G1519 G3303 G3588 G4413 G4633

διὰ παντὸς εἰσίασιν οἱ ἱερεῖς, τὰς λατρείας ἐπιτελοῦντες;
常に 常に 入る その 祭司たちが その 礼拝を 行いながら
G1223 G3956 G1524 G3588 G2409 G3588 G2999 G2005

これらのものが、以上のように整えられた上で、祭司たちは常に幕屋の前の場所にはいって礼拝をするのであるが、

7 εἰς δὲ τὴν δευτέραν, ἅπαξ τοῦ ἐνιαυτοῦ μόνος, ὁ
～の中に しかし その 第二の–幕屋には 年に–一度 その 年の ただ その
G1519 G1161 G3588 G1208 G0530 G3588 G1763 G3441 G3588

ἀρχιερεύς, οὐ χωρὶς αἵματος, ὃ προσφέρει ὑπὲρ ἑαυτοῦ,
大祭司だけが ～なしには–ない ～なしには 血なしには それを ささげる ～のために 自分自身の
G0749 G3756 G5565 G0129 G3739 G4374 G5228 G1438

καὶ τῶν τοῦ λαοῦ ἀγνοημάτων --
そして その その 民の 過ちの
G2532 G3588 G3588 G2992 G0051

幕屋の奥には大祭司が年に一度だけはいるのであり、しかも自分自身と民とのあやまちのためにささげる血をたずさえないで行くことはない。

8 τοῦτο δηλοῦντος τοῦ Πνεύματος τοῦ Ἁγίου, μήπω πεφανερῶσθαι,
これは 示している その 御霊が その 聖なる まだ–ないと 明らかに–されていないと
G3778 G1213 G3588 G4151 G3588 G0040 G3380 G5319

τὴν τῶν ἁγίων ὁδὸν; ἔτι τῆς πρώτης σκηνῆς ἐχούσης στάσιν;
その その 聖所への 道が まだ その 最初の 幕屋が 存続している 限り
G3588 G3588 G0040 G3598 G2089 G3588 G4413 G4633 G2192 G4714

それによって聖霊は、前方の幕屋が存在している限り、聖所にはいる道はまだ開かれていないことを、明らかに示している。

9 ἥτις παραβολὴ εἰς τὸν καιρὸν τὸν ἐνεστηκότα, καθ’ ἣν
これは たとえである ～のための その 時の その 現在の それに–従って それに
G3748 G3850 G1519 G3588 G2540 G3588 G1764 G2596 G3739

δῶρά τε καὶ θυσίαι προσφέρονται, μὴ δυνάμεναι κατὰ
供え物も また そして いけにえも ささげられるが ～できない できない ～に–従って
G1435 G5037 G2532 G2378 G4374 G3361 G1410 G2596

συνείδησιν τελειῶσαι τὸν λατρεύοντα,
良心を 完全にすることが その 礼拝者を
G4893 G5048 G3588 G3000

この幕屋というのは今の時代に対する比喩である。すなわち、供え物やいけにえはささげられるが、儀式にたずさわる者の良心を全うすることはできない。

10 μόνον ἐπὶ βρώμασιν καὶ πόμασιν καὶ διαφόροις βαπτισμοῖς,
ただ ～に–関する 食物と そして 飲み物と そして 様々な 洗い–清めと
G3440 G1909 G1033 G2532 G4188 G2532 G1313 G0909

δικαιώματα σαρκὸς, μέχρι καιροῦ διορθώσεως ἐπικείμενα.
肉体の–規定で 肉体の ～まで 時の 改革の 課されている
G1345 G4561 G3360 G2540 G1357 G1945

それらは、ただ食物と飲み物と種々の洗いごとに関する行事であって、改革の時まで課せられている肉の規定にすぎない。

11 Χριστὸς δὲ, παραγενόμενος ἀρχιερεὺς τῶν γενομένων ἀγαθῶν, διὰ
キリストが しかし 現れて 大祭司として その 来たるべき 善き–ものの ～を通して
G5547 G1161 G3854 G0749 G3588 G1096 G0018 G1223

τῆς μείζονος καὶ τελειοτέρας σκηνῆς, οὐ χειροποιήτου -- τοῦτ’
その より–大きな そして より–完全な 幕屋を ～でない 手で–造られたものでない すなわち
G3588 G3173 G2532 G5046 G4633 G3756 G5499 G3778

ἔστιν, οὐ ταύτης τῆς κτίσεως --
それは ～でない この その 被造物の
G1510 G3756 G3778 G3588 G2937

しかしキリストがすでに現れた祝福の大祭司としてこられたとき、手で造られず、この世界に属さない、さらに大きく、完全な幕屋をとおり、

12 οὐδὲ δι’ αἵματος τράγων καὶ μόσχων, διὰ δὲ
～でなく ～によってでなく 血によってでなく 山羊の そして 子牛の ～によって しかし
G3761 G1223 G0129 G5131 G2532 G3448 G1223 G1161

τοῦ ἰδίου αἵματος, εἰσῆλθεν ἐφάπαξ εἰς τὰ ἅγια, αἰωνίαν λύτρωσιν
その 自分自身の 血によって 入られた ただ–一度 ～の中に その 聖所に 永遠の 贖いを
G3588 G2398 G0129 G1525 G2178 G1519 G3588 G0040 G0166 G3085

εὑράμενος.
得られた
G2147

かつ、やぎと子牛との血によらず、ご自身の血によって、一度だけ聖所にはいられ、それによって永遠のあがないを全うされたのである。

13 εἰ γὰρ τὸ αἷμα τράγων, καὶ ταύρων, καὶ σποδὸς δαμάλεως,
もし なぜなら その 血が 山羊の そして 雄牛の そして 灰が 雌牛の
G1487 G1063 G3588 G0129 G5131 G2532 G5022 G2532 G4700 G1151

ῥαντίζουσα τοὺς κεκοινωμένους, ἁγιάζει πρὸς τὴν τῆς σαρκὸς
振りかけて その 汚れた-者たちを 聖めるなら ～のための その その 肉体の
G4472 G3588 G2840 G0037 G4314 G3588 G3588 G4561

καθαρότητα,
清さを
G2514

もし、やぎや雄牛の血や雌牛の灰が、汚れた人たちの上にまきかけられて、肉体をきよめ聖別するとすれば、

14 πόσῳ μᾶλλον τὸ αἷμα τοῦ Χριστοῦ, ὃς διὰ Πνεύματος
どれほど-まして いっそう その 血は その キリストの その-方は ～を通して 御霊を-通して
G4214 G3123 G3588 G0129 G3588 G5547 G3739 G1223 G4151

αἰωνίου, ἑαυτὸν προσήνεγκεν ἄμωμον τῷ Θεῷ, καθαριεῖ τὴν
永遠の 自分自身を ささげられた 傷の-ない-ものとして その 神に 清めるであろう その
G0166 G1438 G4374 G0299 G3588 G2316 G2511 G3588

συνείδησιν ἡμῶν ἀπὸ νεκρῶν ἔργων, εἰς τὸ λατρεύειν Θεῷ ζῶντι!
良心を 私たちの ～から 死んだ 行いから ～のために その 仕えるために 神に 生ける
G4893 G1473 G0575 G3498 G2041 G1519 G3588 G3000 G2316 G2198

永遠の聖霊によって、ご自身を傷なき者として神にささげられたキリストの血は、なおさら、わたしたちの良心をきよめて死んだわざを取り除き、生ける神に仕える者としないであろうか。

15 Καὶ διὰ τοῦτο, διαθήκης καινῆς μεσίτης ἐστίν, ὅπως, θανάτου
そして この-ゆえに これの 契約の 新しい 仲介者で ある それは 死が
G2532 G1223 G3778 G1242 G2537 G3316 G1510 G3704 G2288

γενομένου, εἰς ἀπολύτρωσιν τῶν ἐπὶ τῇ πρώτῃ διαθήκῃ
起こり ～のための 贖いのために その ～の下での その 最初の 契約の
G1096 G1519 G0629 G3588 G1909 G3588 G4413 G1242

παραβάσεων, τὴν ἐπαγγελίαν λάβωσιν οἱ κεκλημένοι, τῆς αἰωνίου
違反の その 約束を 受けるために その 招かれた-者たちが その 永遠の
G3847 G3588 G1860 G2983 G3588 G2564 G3588 G0166

κληρονομίας.
嗣業の
G2817

それだから、キリストは新しい契約の仲保者なのである。それは、彼が初めの契約のもとで犯した罪過をあがなうために死なれた結果、召された者たちが、約束された永遠の国を受け継ぐためにほかならない。

16 ὅπου γὰρ διαθήκη, θάνατον ἀνάγκη φέρεσθαι τοῦ
そこには なぜなら 契約の-あるところに 死が 必然的に 示される その
G3699 G1063 G1242 G2288 G0318 G5342 G3588

διαθεμένου.
契約を-結んだ-者の
G1303

いったい、遺言には、遺言者の死の証明が必要である。

17 διαθήκη γὰρ ἐπὶ νεκροῖς βεβαία, ἐπεὶ μή᾽ ποτε
契約は なぜなら ～の上に 死者の-上に 有効である なぜならば 決して-ない 決して
G1242 G1063 G1909 G3498 G0949 G1893 G3361 G4218

ἰσχύει, ὅτε ζῇ ὁ διαθέμενος.
有効でない ～のとき 生きている その 契約を-結んだ-者が
G2480 G3753 G2198 G3588 G1303

遺言は死によってのみその効力を生じ、遺言者が生きている間は、効力がない。

18 Ὅθεν οὐδὲ ἡ πρώτη, χωρὶς αἵματος ἐνκεκαίνισται.
それゆえ ～でさえ-ない その 最初の-ものも ～なしには 血なしには 就任されなかった
G3606 G3761 G3588 G4413 G5565 G0129 G1457

だから、初めの契約も、血を流すことなしに成立したのではない。

19 λαληθείσης γὰρ πάσης ἐντολῆς κατὰ τὸν νόμον ὑπὸ
語られた なぜなら すべての 戒めが ～に-従って その 律法に ～によって
G2980 G1063 G3956 G1785 G2596 G3588 G3551 G5259

Μωϋσέως παντὶ τῷ λαῷ, λαβὼν τὸ αἷμα τῶν μόσχων καὶ τῶν
モーセによって すべての その 民に 取って その 血を その 子牛の そして その
G3475 G3956 G3588 G2992 G2983 G3588 G0129 G3588 G3448 G2532 G3588

τράγων, μετὰ ὕδατος, καὶ ἐρίου κοκκίνου, καὶ ὑσσώπου, αὐτό
山羊の ～とともに 水と そして 緋色の-羊毛と 緋色の そして ヒソプとで それを
G5131 G3326 G5204 G2532 G2053 G2847 G2532 G5301 G0846

τε τὸ βιβλίον, καὶ πάντα τὸν λαὸν, ἐράντισεν;
また その 書物と そして すべての その 民に 振りかけた
G5037 G3588 G0975 G2532 G3956 G3588 G2992 G4472

すなわち、モーセが、律法に従ってすべての戒めを民全体に宣言したとき、水と赤色の羊毛とヒソプとの外に、子牛とやぎとの血を取って、契約書と民全体とにふりかけ、

20 λέγων, Τοῦτο τὸ αἷμα τῆς διαθήκης, ἧς ἐνετείλατο πρὸς
言って これは その 血である その 契約の それを 命じられた ～に対して
G3004 G3778 G3588 G0129 G3588 G1242 G3739 G1781 G4314

ὑμᾶς ὁ Θεός.
あなたがたに その 神が
G4771 G3588 G2316

そして、「これは、神があなたがたに対して立てられた契約の血である」と言った。

21 καὶ τὴν σκηνὴν δὲ, καὶ πάντα τὰ σκεύη τῆς λειτουργίας, τῷ
そして その 幕屋も また そして すべての その 器具に その 礼拝の その
G2532 G3588 G4633 G1161 G2532 G3956 G3588 G4632 G3588 G3009 G3588

αἵματι ὁμοίως ἐράντισεν;
血で 同様に 振りかけた
G0129 G3668 G4472

彼はまた、幕屋と儀式用の器具いっさいにも、同様に血をふりかけた。

22 καὶ σχεδὸν ἐν αἵματι πάντα καθαρίζεται, κατὰ τὸν
そして ほとんど ～によって 血によって すべての-ものが 清められる ～に-従って その
G2532 G4975 G1722 G0129 G3956 G2511 G2596 G3588

νόμον, καὶ χωρὶς αἱματεκχυσίας, οὐ γίνεται ἄφεσις.
律法に そして ～なしには 流血なしには ～ない あり得ない 赦しは
G3551 G2532 G5565 G0130 G3756 G1096 G0859

こうして、ほとんどすべての物が、律法に従い、血によってきよめられたのである。血を流すことなしには、罪のゆるしはあり得ない。

23 Ἀνάγκη 必然的に G0318 οὖν それゆえ G3767 τὰ その G3588 μὲν 一方では G3303 ὑποδείγματα 模型は G5262 τῶν その G3588 ἐν ～にある G1722 τοῖς その G3588 οὐρανοῖς, 天にある G3772

τούτοις これらによって G3778 καθαρίζεσθαι, 清められるが G2511 αὐτὰ それら-自体の G0846 δὲ しかし G1161 τὰ その G3588 ἐπουράνια, 天の-ものは G2032 κρείττοσιν より-すぐれた G2909

θυσίαις いけにえによって G2378 παρὰ ～よりも G3844 ταύτας. これらよりも G3778

このように、天にあるもののひな型は、これらのものできよめられる必要があるが、天にあるものは、これらより更にすぐれたいけにえで、きよめられねばならない。

24 οὐ ～でない G3756 γὰρ なぜなら G1063 εἰς ～の中に G1519 χειροποίητα 手で-造られた G5499 εἰσῆλθεν 入られたのではない G1525 ἅγια 聖所に G0040 Χριστός, キリストは G5547 ἀντίτυπα 対型である G0499

τῶν その G3588 ἀληθινῶν, 真の-ものの G0228 ἀλλ’ そうでなく G0235 εἰς ～の中に G1519 αὐτὸν その G0846 τὸν その G3588 οὐρανόν, 天そのものに G3772 νῦν 今 G3568 ἐμφανισθῆναι 現れるために G1718

τῷ その G3588 προσώπῳ 御前に G4383 τοῦ その G3588 Θεοῦ 神の G2316 ὑπὲρ ～のために G5228 ἡμῶν. 私たちの G1473

ところが、キリストは、ほんとうのものの模型にすぎない、手で造った聖所にはいらないで、上なる天にはいり、今やわたしたちのために神のみまえに出て下さったのである。

25 οὐδ’ ～でも-ない G3761 ἵνα ～のために G2443 πολλάκις 何度も G4178 προσφέρῃ ささげるために G4374 ἑαυτόν, 自分自身を G1438 ὥσπερ ちょうど G5618 ὁ その G3588 ἀρχιερεὺς 大祭司が G0749

εἰσέρχεται 入るように G1525 εἰς ～の中に G1519 τὰ その G3588 ἅγια 聖所に G0040 κατ’ 毎-年 G2596 ἐνιαυτὸν, 年ごとに G1763 ἐν ～の中で G1722 αἵματι 他の-血で G0129 ἀλλοτρίῳ; 他の G0245

大祭司は、年ごとに、自分以外のものの血をたずさえて聖所にはいるが、キリストは、そのように、たびたびご自身をささげられるのではなかった。

26 ἐπεὶ そうでなければ G1893 ἔδει 必要が-あった G1163 αὐτὸν 彼が G0846 πολλάκις 何度も G4178 παθεῖν, 苦しむことが G3958 ἀπὸ ～から G0575 καταβολῆς 世界の-基から G2602 κόσμου. 世界の G2889

νυνὶ しかし-今 G3570 δὲ さて G1161 ἅπαξ ただ-一度 G0530 ἐπὶ ～の上に G1909 συντελείᾳ 世の-終わりに G4930 τῶν その G3588 αἰώνων, 世々の G0165 εἰς ～のために G1519 ἀθέτησιν 取り-除くために G0115

τῆς その G3588 ἁμαρτίας, 罪の G0266 διὰ ～を通して G1223 τῆς その G3588 θυσίας いけにえを-通して G2378 αὐτοῦ 自分の G0846 πεφανέρωται. 現れられた G5319

もしそうだとすれば、世の初めから、たびたび苦難を受けねばならなかったであろう。しかし事実、ご自身をいけにえとしてささげて罪を取り除くために、世の終りに、一度だけ現れたのである。

27 καὶ そして G2532 καθ’ ～に-従って G2596 ὅσον 定められた-通り G3745 ἀπόκειται 定められている G0606 τοῖς その G3588 ἀνθρώποις 人々には G0444 ἅπαξ ただ-一度 G0530 ἀποθανεῖν, 死ぬことが G0599

μετὰ その-後に G3326 δὲ しかし G1161 τοῦτο, これの G3778 κρίσις; 裁きがある G2920

そして、一度だけ死ぬことと、死んだ後さばきを受けることとが、人間に定まっているように、

28 οὕτως このように G3779 καὶ また G2532 ὁ その G3588 Χριστός, キリストも G5547 ἅπαξ ただ-一度 G0530 προσενεχθεὶς ささげられて G4374 εἰς ～のために G1519 τὸ その G3588 πολλῶν 多くの-者の G4183

ἀνενεγκεῖν 担うために G0399 ἁμαρτίας, 罪を G0266 ἐκ ～から G1537 δευτέρου, 第二に G1208 χωρὶς ～なしに G5565 ἁμαρτίας, 罪なしに G0266 ὀφθήσεται 現れるであろう G3708 τοῖς その G3588 αὐτὸν 彼を G0846

ἀπεκδεχομένοις 待ち-望んでいる-者たちに G0553 εἰς ～のための G1519 σωτηρίαν. 救いのために G4991

キリストもまた、多くの人の罪を負うために、一度だけご自身をささげられた後、彼を待ち望んでいる人々に、罪を負うためではなしに二度目に現れて、救を与えられるのである。

Chapter 10

1 Σκιὰν 影を G4639 γὰρ なぜなら G1063 ἔχων 持っていて G2192 ὁ その G3588 νόμος 律法は G3551 τῶν その G3588 μελλόντων 来たるべき G3195 ἀγαθῶν, 善き-ものの G0018 οὐκ ～でなく G3756

αὐτὴν その-ものの G0846 τὴν その G3588 εἰκόνα 実体を G1504 τῶν その G3588 πραγμάτων, 事柄の G4229 κατ’ 毎-年 G2596 ἐνιαυτὸν 年ごとに G1763 ταῖς その G3588 αὐταῖς 同じ G0846

θυσίαις, いけにえによって G2378 ἃς それらを G3739 προσφέρουσιν ささげるが G4374 εἰς ～のために G1519 τὸ その G3588 διηνεκὲς, 絶えず G1336 οὐδέποτε 決して-ない G3763 δύναται できない G1410

τοὺς その G3588 προσερχομένους 近づく-者たちを G4334 τελειῶσαι. 完全にすることが G5048

いったい、律法はきたるべき良いことの影をやどすにすぎず、そのものの真のかたちをそなえているものではないから、年ごとに引きつづきささげられる同じようないけにえによっても、みまえに近づいて来る者たちを、全うすることはできないのである。

2 ἐπεὶ そうでなければ G1893 οὐκ ～ない G3756 ἂν ～であろう G0302 ἐπαύσαντο やめていたはずである G3973 προσφερόμεναι, ささげられることが G4374 διὰ ～のゆえに G1223 τὸ その G3588

μηδεμίαν 何の-意識もない G3367 ἔχειν 持たない G2192 ἔτι もはや G2089 συνείδησιν 良心の-意識を G4893 ἁμαρτιῶν, 罪の G0266 τοὺς その G3588 λατρεύοντας 礼拝者たちが G3000 ἅπαξ 一度 G0530

κεκαθαρισμένους? 清められたなら G2511

もしできたとすれば、儀式にたずさわる者たちは、一度きよめられた以上、もはや罪の自覚がなくなるのであるから、ささげ物をすることがやんだはずではあるまいか。

3

ἀλλ’	ἐν	αὐταῖς,	ἀνάμνησις	ἁμαρτιῶν	κατ’	ἐνιαυτόν.
しかし	それらに–よって	それらに	想起がある	罪の	毎–年	年ごとに
G0235	G1722	G0846	G0364	G0266	G2596	G1763

しかし実際は、年ごとに、いけにえによって罪の思い出がよみがえって来るのである。

4

ἀδύνατον	γὰρ	αἷμα	ταύρων	καὶ	τράγων	ἀφαιρεῖν	ἁμαρτίας.
不可能である	なぜなら	血が	雄牛の	そして	山羊の	取り–除くことが	罪を
G0102	G1063	G0129	G5022	G2532	G5131	G0851	G0266

なぜなら、雄牛ややぎなどの血は、罪を除き去ることができないからである。

5

Διὸ	εἰσερχόμενος	εἰς	τὸν	κόσμον,	λέγει,	Θυσίαν	καὶ	προσφορὰν
それゆえ	入って–来るとき	～の中に	その	世に	言われた	いけにえを	そして	供え物を
G1352	G1525	G1519	G3588	G2889	G3004	G2378	G2532	G4376

οὐκ	ἠθέλησας,	σῶμα	δὲ	κατηρτίσω	μοι.
～しなかった	望まなかった	からだを	しかし	備えて–くださった	私に
G3756	G2309	G4983	G1161	G2675	G1473

それだから、キリストがこの世にこられたとき、次のように言われた、「あなたは、いけにえやささげ物を望まれないで、わたしのために、からだを備えて下さった。

6

ὁλοκαυτώματα	καὶ	περὶ	ἁμαρτίας	οὐκ	εὐδόκησας.
全燔の–ささげ物と	そして	～のための	罪のための	～しなかった	喜ばなかった
G3646	G2532	G4012	G0266	G3756	G2106

あなたは燔祭や罪祭を好まれなかった。

7

τότε	εἶπον,	Ἰδοὺ,	ἥκω --	ἐν	κεφαλίδι	βιβλίου	γέγραπται
その–とき	私は–言った	見よ	私は–来た	～の中に	巻物の–初めに	書物の	書かれている
G5119	G3004	G3708	G2240	G1722	G2777	G0975	G1125

περὶ	ἐμοῦ --	τοῦ	ποιῆσαι,	ὁ	Θεός,	τὸ	θέλημά	σου.
～について	私について	その	行うために	おお	神よ	その	御心を	あなたの
G4012	G1473	G3588	G4160	G3588	G2316	G3588	G2307	G4771

その時、わたしは言った、『神よ、わたしにつき、巻物の書物に書いてあるとおり、見よ、御旨を行うためにまいりました』」。

8

ἀνώτερον	λέγων,	ὅτι	Θυσίας,	καὶ	προσφορὰς,	καὶ	ὁλοκαυτώματα,	καὶ
上で	言って	その	いけにえを	そして	供え物を	そして	全燔の–ささげ物を	そして
G0511	G3004	G3754	G2378	G2532	G4376	G2532	G3646	G2532

περὶ	ἁμαρτίας,	οὐκ	ἠθέλησας;	οὐδὲ	εὐδόκησας --	αἵτινες
～のための	罪のための	～しなかった	望まなかった	また–ない	喜ばなかった	それらは
G4012	G0266	G3756	G2309	G3761	G2106	G3748

κατὰ	νόμον;	προσφέρονται
～に–従って	律法に	ささげられる
G2596	G3551	G4374

ここで、初めに、「あなたは、いけにえとささげ物と燔祭と罪祭と（すなわち、律法に従ってささげられるもの）を望まれず、好まれもしなかった」とあり、

9 τότε εἴρηκεν, Ἰδοὺ, ἥκω, τοῦ ποιῆσαι τὸ θέλημά σου.
その–とき 言われた 見よ 私は–来た その 行うために その 御心を あなたの
G5119 G2046 G3708 G2240 G3588 G4160 G3588 G2307 G4771

ἀναιρεῖ τὸ πρῶτον, ἵνα τὸ δεύτερον στήσῃ;
取り–除かれる その 最初の–ものを ～のために その 第二の–ものを 立てるために
G0337 G3588 G4413 G2443 G3588 G1208 G2476

次に、「見よ、わたしは御旨を行うためにまいりました」とある。すなわち、彼は、後のものを立てるために、初めのものを廃止されたのである。

10 ἐν ᾧ θελήματι, ἡγιασμένοι ἐσμὲν, διὰ τῆς προσφορᾶς
その その 御心に–よって 聖められた 私たちは–ある ～を通して その ささげ物を–通して
G1722 G3739 G2307 G0037 G1510 G1223 G3588 G4376

τοῦ σώματος Ἰησοῦ Χριστοῦ ἐφάπαξ.
その からだの イエス・キリストの キリストの ただ–一度の
G3588 G4983 G2424 G5547 G2178

この御旨に基きただ一度イエス・キリストのからだがささげられたことによって、わたしたちはきよめられたのである。

11 Καὶ πᾶς μὲν ἱερεὺς ἕστηκεν καθ’ ἡμέραν λειτουργῶν, καὶ τὰς
そして すべての 一方では 祭司は 立って 毎–日 日ごとに 仕えて そして その
G2532 G3956 G3303 G2409 G2476 G2596 G2250 G3008 G2532 G3588

αὐτὰς πολλάκις προσφέρων θυσίας, αἵτινες οὐδέποτε δύνανται περιελεῖν
同じ 何度も ささげる いけにえを それらは 決して–ない できない 取り–除くことが
G0846 G4178 G4374 G2378 G3748 G3763 G1410 G4014

ἁμαρτίας.
罪を
G0266

こうして、すべての祭司は立って日ごとに儀式を行い、たびたび同じようないけにえをささげるが、それらは決して罪を除き去ることはできない。

12 οὗτος δὲ, μίαν ὑπὲρ ἁμαρτιῶν προσενέγκας θυσίαν εἰς τὸ
この–方は しかし 一つの ～のための 罪のための ささげて いけにえを ～のために その
G3778 G1161 G1520 G5228 G0266 G4374 G2378 G1519 G3588

διηνεκὲς, ἐκάθισεν ἐν δεξιᾷ τοῦ Θεοῦ;
永遠に 座られた ～に 右に その 神の
G1336 G2523 G1722 G1188 G3588 G2316

しかるに、キリストは多くの罪のために一つの永遠のいけにえをささげた後、神の右に座し、

13 τὸ λοιπὸν ἐκδεχόμενος ἕως τεθῶσιν οἱ ἐχθροὶ αὐτοῦ ὑποπόδιον τῶν
その 後は 待っておられる ～まで 置かれる その 敵たちが 彼の 足台に その
G3588 G3063 G1551 G2193 G5087 G3588 G2190 G0846 G5286 G3588

ποδῶν αὐτοῦ.
足の 彼の
G4228 G0846

それから、敵をその足台とするときまで、待っておられる。

14 μιᾷ γὰρ προσφορᾷ, τετελείωκεν εἰς τὸ διηνεκὲς, τοὺς
一つの なぜなら ささげ物によって 完全にされた ～のために その 永遠に その
G1520 G1063 G4376 G5048 G1519 G3588 G1336 G3588

ἁγιαζομένους.
聖められている-者たちを
G0037

彼は一つのささげ物によって、きよめられた者たちを永遠に全うされたのである。

15 Μαρτυρεῖ δὲ ἡμῖν καὶ τὸ Πνεῦμα τὸ Ἅγιον; μετὰ γὰρ
証しておられる さて 私たちに また その 御霊も その 聖なる ～の後に なぜなら
G3140 G1161 G1473 G2532 G3588 G4151 G3588 G0040 G3326 G1063

τὸ εἰρηκέναι,
その 言われた後に
G3588 G2046

聖霊もまた、わたしたちにあかしをして、

16 Αὕτη ἡ διαθήκη ἣν διαθήσομαι πρὸς αὐτοὺς, μετὰ τὰς ἡμέρας
これが その 契約である それを 私が-結ぶ ～に対して 彼らに ～の後に その 日々の
G3778 G3588 G1242 G3739 G1303 G4314 G0846 G3326 G3588 G2250

ἐκείνας, λέγει Κύριος: διδοὺς νόμους μου ἐπὶ καρδίας αὐτῶν, καὶ
あの 言われる 主が 与えて 律法を 私の ～の上に 心に 彼らの そして
G1565 G3004 G2962 G1325 G3551 G1473 G1909 G2588 G0846 G2532

ἐπὶ τὴν διάνοιαν αὐτῶν, ἐπιγράψω αὐτούς;
～の上に その 思いに 彼らの 私は-書き記す それらを
G1909 G3588 G1271 G0846 G1924 G0846

「わたしが、それらの日の後、彼らに対して立てようとする契約はこれであると、主が言われる。わたしの律法を彼らの心に与え、彼らの思いのうちに書きつけよう」と言い、

17 καὶ, τῶν ἁμαρτιῶν αὐτῶν, καὶ τῶν ἀνομιῶν αὐτῶν, οὐ μὴ
そして その 罪と 彼らの そして その 不法とを 彼らの 決して-ない 決して
G2532 G3588 G0266 G0846 G2532 G3588 G0458 G0846 G3756 G3361

μνησθήσομαι ἔτι.
思い出さない もはや
G3403 G2089

さらに、「もはや、彼らの罪と彼らの不法とを、思い出すことはしない」と述べている。

18 ὅπου δὲ ἄφεσις τούτων, οὐκέτι προσφορὰ περὶ ἁμαρτίας.
そこには さて 赦しが-あるところに これらの もはや-ない ささげ物は ～のための 罪のための
G3699 G1161 G0859 G3778 G3765 G4376 G4012 G0266

これらのことに対するゆるしがある以上、罪のためのささげ物は、もはやあり得ない。

19 Ἔχοντες οὖν, ἀδελφοί, παρρησίαν εἰς τὴν εἴσοδον τῶν ἁγίων,
持っているので それゆえ 兄弟たちよ 確信を ～の中への その 入り口への その 聖所の
G2192 G3767 G0080 G3954 G1519 G3588 G1529 G3588 G0040

ἐν τῷ αἵματι Ἰησοῦ,
～によって その 血によって イエスの
G1722 G3588 G0129 G2424

兄弟たちよ。こういうわけで、わたしたちはイエスの血によって、はばかることなく聖所にはいることができ、

20 ἣν それを G3739 ἐνεκαίνισεν 開いて-くださった G1457 ἡμῖν 私たちに G1473 ὁδὸν 道を G3598 πρόσφατον, 新しい G4372 καὶ そして G2532 ζῶσαν, 生きた G2198 διὰ ～を通して G1223 τοῦ その G3588

καταπετάσματος, 幕を-通して G2665 τοῦτ’ すなわち G3778 ἔστιν, それは G1510 τῆς その G3588 σαρκὸς 肉体である G4561 αὐτοῦ; 彼の G0846

彼の肉体なる幕をとおり、わたしたちのために開いて下さった新しい生きた道をとおって、はいって行くことができるのであり、

21 καὶ そして G2532 ἱερέα 祭司を G2409 μέγαν, 大いなる G3173 ἐπὶ ～の上に G1909 τὸν その G3588 οἶκον 家-神の G3624 τοῦ その G3588 Θεοῦ, 神の G2316

さらに、神の家を治める大いなる祭司があるのだから、

22 προσερχώμεθα 近づこう G4334 μετὰ ～をもって G3326 ἀληθινῆς 真実の G0228 καρδίας, 心で G2588 ἐν ～の中で G1722 πληροφορίᾳ 充満の-中に G4136 πίστεως; 信仰の G4102

ῥεραντισμένοι 注ぎかけられて G4472 τὰς その G3588 καρδίας, 心を G2588 ἀπὸ ～から G0575 συνειδήσεως 良心から-清められ G4893 πονηρᾶς; 悪い G4190 καὶ そして G2532 λελουσμένοι 洗われて G3068

τὸ その G3588 σῶμα, からだを G4983 ὕδατι 水で G5204 καθαρῷ. 清い G2513

心はすすがれて良心のとがめを去り、からだは清い水で洗われ、まごころをもって信仰の確信に満たされつつ、みまえに近づこうではないか。

23 κατέχωμεν 保ち続けよう G2722 τὴν その G3588 ὁμολογίαν 告白を G3671 τῆς その G3588 ἐλπίδος, 希望の G1680 ἀκλινῆ; 揺るぎなく G0186 πιστὸς 忠実である G4103 γὰρ なぜなら G1063 ὁ その G3588

ἐπαγγειλάμενος; 約束された-方は G1861

また、約束をして下さったのは忠実なかたであるから、わたしたちの告白する望みを、動くことなくしっかりと持ち続け、

24 καὶ そして G2532 κατανοῶμεν 心を-配り合おう G2657 ἀλλήλους, 互いに G0240 εἰς ～のために G1519 παροξυσμὸν 励まし-合いの G3948 ἀγάπης 愛と G0026 καὶ そして G2532 καλῶν 善い G2570

ἔργων; 行いの G2041

愛と善行とを励むように互に努め、

25 μὴ ～しないで G3361 ἐγκαταλείποντες 見捨てないで G1459 τὴν その G3588 ἐπισυναγωγὴν 集会を G1997 ἑαυτῶν, 自分たちの G1438 καθὼς ちょうど G2531 ἔθος 習慣の-ように G1485

τισίν; ある-人々の G5100 ἀλλὰ そうでなく G0235 παρακαλοῦντες, 励まし-合い G3870 καὶ そして G2532 τοσούτῳ それだけ-ますます G5118 μᾶλλον, ますます G3123 ὅσῳ それだけ G3745

βλέπετε 見ているので G0991 ἐγγίζουσαν 近づいている G1448 τὴν その G3588 ἡμέραν. 日が G2250

ある人たちがいつもしているように、集会をやめることはしないで互に励まし、かの日が近づいているのを見て、ますます、そうしようではないか。

26 Ἑκουσίως 故意に G1596 γὰρ なぜなら G1063 ἁμαρτανόντων 罪を-犯すなら G0264 ἡμῶν, 私たちが G1473 μετὰ ～の後に G3326 τὸ その G3588 λαβεῖν 受けた後に G2983 τὴν その G3588 ἐπίγνωσιν 知識を G1922

τῆς その G3588 ἀληθείας, 真理の G0225 οὐκέτι もはや-ない G3765 περὶ ～のための G4012 ἁμαρτιῶν 罪のための G0266 ἀπολείπεται 残されていない G0620 θυσία, いけにえは G2378

もしわたしたちが、真理の知識を受けたのちにもなお、ことさらに罪を犯しつづけるなら、罪のためのいけにえは、もはやあり得ない。

27 φοβερὰ 恐ろしい G5398 δέ しかし G1161 τις ある G5100 ἐκδοχὴ 待ち-受けがある G1561 κρίσεως, 裁きの G2920 καὶ そして G2532 πυρὸς 火の G4442 ζῆλος 熱情が G2205 ἐσθίειν 焼き-尽くす G2068

μέλλοντος ようとする G3195 τοὺς その G3588 ὑπεναντίους. 敵対者たちを G5227

ただ、さばきと、逆らう者たちを焼きつくす激しい火とを、恐れつつ待つことだけがある。

28 ἀθετήσας 破った-者が G0114 τις ある G5100 νόμον 律法を G3551 Μωϋσέως, モーセの G3475 χωρὶς ～なしに G5565 οἰκτιρμῶν 憐れみなしに G3628 ἐπὶ ～の上に G1909 δυσὶν 二人または G1417 ἢ または G2228

τρισὶν 三人の G5140 μάρτυσιν, 証人の-もとに G3144 ἀποθνήσκει. 死ぬ G0599

モーセの律法を無視する者が、あわれみを受けることなしに、二、三の人の証言に基いて死刑に処せられるとすれば、

29 πόσῳ どれほど G4214 δοκεῖτε 思うか G1380 χείρονος, より-悪い G5501 ἀξιωθήσεται ふさわしいと-される G0515 τιμωρίας, 罰に G5098 ὁ その G3588 τὸν その G3588 Υἱὸν 御子を G5207 τοῦ その G3588

Θεοῦ 神の G2316 καταπατήσας, 踏みにじった-者であり G2662 καὶ そして G2532 τὸ その G3588 αἷμα 血を G0129 τῆς その G3588 διαθήκης 契約の G1242 κοινὸν 汚れた-ものと G2839

ἡγησάμενος, みなした-者であり G2233 ἐν それに-よって G1722 ᾧ それに G3739 ἡγιάσθη, 聖められたのに G0037 καὶ そして G2532 τὸ その G3588 Πνεῦμα 御霊を G4151 τῆς その G3588 χάριτος 恵みの G5485

ἐνυβρίσας! 侮辱した-者である G1796

神の子を踏みつけ、自分がきよめられた契約の血を汚れたものとし、さらに恵みの御霊を侮る者は、どんなにか重い刑罰に価することであろう。

30 οἴδαμεν 私たちは–知っている G1492 γὰρ なぜなら G1063 τὸν その G3588 εἰπόντα, 言われた–方を G3004 Ἐμοὶ 私に–属する G1473 ἐκδίκησις; 復讐は G1557 ἐγὼ 私が G1473

ἀνταποδώσω, 報いる G0467 καὶ そして G2532 πάλιν, また G3825 Κρινεῖ 裁かれる G2919 Κύριος 主が G2962 τὸν その G3588 λαὸν 民を G2992 αὐτοῦ. 自分の G0846

「復讐はわたしのすることである。わたし自身が報復する」と言われ、また「主はその民をさばかれる」と言われたかたを、わたしたちは知っている。

31 φοβερὸν 恐ろしいことである G5398 τὸ それは G3588 ἐμπεσεῖν 落ちることは G1706 εἰς ～の中に G1519 χεῖρας 手の–中に G5495 Θεοῦ 神の G2316 ζῶντος. 生ける G2198

生ける神のみ手のうちに落ちるのは、恐ろしいことである。

32 Ἀναμιμνήσκεσθε 思い–出しなさい G0363 δὲ さて G1161 τὰς その G3588 πρότερον 以前の G4386 ἡμέρας 日々を G2250 ἐν その–中で G1722 αἷς, その日に G3739 φωτισθέντες, 照らされた–後 G5461

πολλὴν 大きな G4183 ἄθλησιν 戦いを G0119 ὑπεμείνατε 耐え–忍んだ G5278 παθημάτων; 苦しみの G3804

あなたがたは、光に照されたのち、苦しい大きな戦いによく耐えた初めのころのことを、思い出してほしい。

33 τοῦτο 一方では G3778 μὲν, 一方では G3303 ὀνειδισμοῖς 辱めと G3680 τε また G5037 καὶ そして G2532 θλίψεσιν 苦難とにより G2347 θεατριζόμενοι; さらしものに–されて G2301 τοῦτο 他方では G3778

δὲ, 他方では G1161 κοινωνοὶ 仲間となった G2844 τῶν その G3588 οὕτως このように G3779 ἀναστρεφομένων 歩んでいる–者たちの G0390 γενηθέντες. なって G1096

そしられ苦しめられて見せ物にされたこともあれば、このようなめに会った人々の仲間にされたこともあった。

34 καὶ また G2532 γὰρ なぜなら G1063 τοῖς その G3588 δεσμίοις 囚人たちに G1198 συνεπαθήσατε, 共に–苦しみ G4834 καὶ そして G2532 τὴν その G3588 ἁρπαγὴν 奪い–取りを G0724 τῶν その G3588

ὑπαρχόντων 所有物の G5225 ὑμῶν, あなたがたの G4771 μετὰ ～をもって G3326 χαρᾶς 喜びをもって G5479 προσεδέξασθε, 受け–入れた G4327 γινώσκοντες 知って G1097 ἔχειν 持っていると G2192

ἑαυτοὺς 自分たちが G1438 κρείττονα より–すぐれた G2909 ὕπαρξιν, 財産を G5223 καὶ そして G2532 μένουσαν. 永続する G3306

さらに獄に入れられた人々を思いやり、また、もっとまさった永遠の宝を持っていることを知って、自分の財産が奪われても喜んでそれを忍んだ。

35 Μὴ ～しないで G3361 ἀποβάλητε 捨てないで G0577 οὖν それゆえ G3767 τὴν その G3588 παρρησίαν 確信を G3954 ὑμῶν, あなたがたの G4771 ἥτις それは G3748 ἔχει 持っている G2192

μεγάλην 大きな G3173 μισθαποδοσίαν. 報いを G3405

だから、あなたがたは自分の持っている確信を放棄してはいけない。その確信には大きな報いが伴っているのである。

36

ὑπομονῆς	γὰρ	ἔχετε	χρείαν,	ἵνα	τὸ	θέλημα	τοῦ	Θεοῦ
忍耐が	なぜなら	必要である	必要が	～のために	その	御心を	その	神の
G5281	G1063	G2192	G5532	G2443	G3588	G2307	G3588	G2316

ποιήσαντες,	κομίσησθε	τὴν	ἐπαγγελίαν.
行って	受けるために	その	約束を
G4160	G2865	G3588	G1860

神の御旨を行って約束のものを受けるため、あなたがたに必要なのは、忍耐である。

37

ἔτι	γὰρ	μικρὸν	ὅσον	ὅσον,	ὁ	ἐρχόμενος	ἥξει,
まもなく	なぜなら	しばらくの–後に	わずかな	わずかな	その	来たるべき–方が	来られる
G2089	G1063	G3398	G3745	G3745	G3588	G2064	G2240

καὶ	οὐ	χρονίσει.
そして	～ない	遅れない
G2532	G3756	G5549

「もうしばらくすれば、きたるべきかたがお見えになる。遅くなることはない。

38

ὁ	δὲ	δίκαιός	μου,	ἐκ	πίστεως	ζήσεται;	καὶ	ἐὰν
その	しかし	義なる–者は	私の	～によって	信仰によって	生きる	そして	もし
G3588	G1161	G1342	G1473	G1537	G4102	G2198	G2532	G1437

ὑποστείληται,	οὐκ	εὐδοκεῖ	ἡ	ψυχή	μου	ἐν	αὐτῷ.
引き–下がるなら	～ない	喜ばない	私の	魂は	私の	～の中に	彼において
G5288	G3756	G2106	G3588	G5590	G1473	G1722	G0846

わが義人は、信仰によって生きる。もし信仰を捨てるなら、わたしのたましいはこれを喜ばない」。

39

ἡμεῖς	δὲ	οὐκ	ἐσμὲν	ὑποστολῆς	εἰς	ἀπώλειαν,	ἀλλὰ
私たちは	しかし	～でない	～である	引き–下がりの	～に向かう	滅びに	そうでなく
G1473	G1161	G3756	G1510	G5289	G1519	G0684	G0235

πίστεως	εἰς	περιποίησιν	ψυχῆς.
信仰の	～に向かう	魂の–救いに	魂の
G4102	G1519	G4047	G5590

しかしわたしたちは、信仰を捨てて滅びる者ではなく、信仰に立って、いのちを得る者である。

Chapter 11

1

Ἔστιν	δὲ	πίστις	ἐλπιζομένων	ὑπόστασις,	πραγμάτων	ἔλεγχος	οὐ
ある	さて	信仰とは	望まれている–ものの	確信であり	事柄の	証拠である	～ない
G1510	G1161	G4102	G1679	G5287	G4229	G1650	G3756

βλεπομένων.
見えない
G0991

さて、信仰とは、望んでいる事がらを確信し、まだ見ていない事実を確認することである。

2

ἐν	ταύτῃ	γὰρ	ἐμαρτυρήθησαν	οἱ	πρεσβύτεροι.
～の中で	これによって	なぜなら	証しされた	その	先人たちは
G1722	G3778	G1063	G3140	G3588	G4245

昔の人たちは、この信仰のゆえに賞賛された。

3 Πίστει 信仰によって G4102 νοοῦμεν 私たちは–惟る G3539 κατηρτίσθαι 造られたと G2675 τοὺς その G3588 αἰῶνας, 世界が G0165 ῥήματι 御言葉によって G4487 Θεοῦ, 神の G2316 εἰς ～のために G1519

τὸ その G3588 μὴ ～でない G3361 ἐκ ～から G1537 φαινομένων, 見える–ものから G5316 τὸ その G3588 βλεπόμενον 見える–ものが G0991 γεγονέναι. 生じたのではないと G1096

信仰によって、わたしたちは、この世界が神の言葉で造られたのであり、したがって、見えるものは現れているものから出てきたのでないことを、悟るのである。

4 Πίστει 信仰によって G4102 πλείονα より–すぐれた G4119 θυσίαν, いけにえを G2378 Ἄβελ アベルは G0006 παρὰ ～よりも G3844 Κάϊν カインよりも G2535 προσήνεγκεν ささげた G4374 τῷ その G3588

Θεῷ; 神に G2316 δι’ それに–よって G1223 ἧς それに G3739 ἐμαρτυρήθη 証しされた G3140 εἶναι あると G1510 δίκαιος, 義であると G1342 μαρτυροῦντος 証ししておられる G3140 ἐπὶ ～の上に G1909 τοῖς その G3588

δώροις 供え物について G1435 αὐτοῦ 彼の G0846 τοῦ その G3588 Θεοῦ; 神が G2316 καὶ そして G2532 δι’ それに–よって G1223 αὐτῆς, それに G0846 ἀποθανὼν, 死んで–もなお G0599 ἔτι なお G2089

λαλεῖ. 語っている G2980

信仰によって、アベルはカインよりもまさったいけにえを神にささげ、信仰によって義なる者と認められた。神が、彼の供え物をよしとされたからである。彼は死んだが、信仰によって今もなお語っている。

5 Πίστει 信仰によって G4102 Ἐνὼχ エノクは G1802 μετετέθη, 移された G3346 τοῦ その G3588 μὴ ～しない G3361 ἰδεῖν 見ない G3708 θάνατον, 死を G2288 καὶ そして G2532 οὐχ ～ない G3756

ηὑρίσκετο, 見いだされなかった G2147 διότι なぜなら G1360 μετέθηκεν 移された G3346 αὐτὸν 彼を G0846 ὁ その G3588 Θεός; 神が G2316 πρὸ ～の前に G4253 γὰρ なぜなら G1063 τῆς その G3588

μεταθέσεως, 移される–前に G3331 μεμαρτύρηται 証しされていた G3140 εὐαρεστηκέναι 喜ばしたと G2100 τῷ その G3588 Θεῷ. 神を G2316

信仰によって、エノクは死を見ないように天に移された。神がお移しになったので、彼は見えなくなった。彼が移される前に、神に喜ばれた者と、あかしされていたからである。

6 χωρὶς ～なしには G5565 δὲ さて G1161 πίστεως, 信仰なしには G4102 ἀδύνατον 不可能である G0102 εὐαρεστῆσαι. 喜ばすことが G2100 πιστεῦσαι 信じることが G4100 γὰρ なぜなら G1063 δεῖ 必要である G1163

τὸν その G3588 προσερχόμενον 近づく–者には G4334 τῷ その G3588 Θεῷ, 神に G2316 ὅτι ～と G3754 ἔστιν, おられると G1510 καὶ そして G2532 τοῖς その G3588 ἐκζητοῦσιν 求める–者には G1567 αὐτὸν, 神を G0846

μισθαποδότης 報いる–方であると G3406 γίνεται. なられる G1096

信仰がなくては、神に喜ばれることはできない。なぜなら、神に来る者は、神のいますことと、ご自身を求める者に報いて下さることとを、必ず信じるはずだからである。

7 Πίστει 信仰によって G4102 χρηματισθεὶς, 警告を-受けて G5537 Νῶε ノアは G3575 περὶ ～について G4012 τῶν その G3588 μηδέπω まだ-ない G3369 βλεπομένων, 見えない G0991

εὐλαβηθεὶς, 恐れかしこんで G2125 κατεσκεύασεν 造った G2680 κιβωτὸν 箱舟を G2787 εἰς ～のために G1519 σωτηρίαν 救いのために G4991 τοῦ その G3588 οἴκου 家族の G3624 αὐτοῦ; 自分の G0846

δι’ それに-よって G1223 ἧς それに G3739 κατέκρινεν 裁いた G2632 τὸν その G3588 κόσμον, 世界を G2889 καὶ そして G2532 τῆς その G3588 κατὰ ～に-従った G2596 πίστιν 信仰に G4102

δικαιοσύνης, 義の G1343 ἐγένετο なった G1096 κληρονόμος. 相続人と G2818

信仰によって、ノアはまだ見ていない事がらについて御告げを受け、恐れかしこみつつ、その家族を救うために箱舟を造り、その信仰によって世の罪をさばき、そして、信仰による義を受け継ぐ者となった。

8 Πίστει 信仰によって G4102 καλούμενος, 召されたとき G2564 Ἀβραὰμ アブラハムは G0011 ὑπήκουσεν 従った G5219 ἐξελθεῖν 出て-行くために G1831 εἰς ～の中に G1519 τόπον 場所に G5117

ὃν それを G3739 ἤμελλεν やがて G3195 λαμβάνειν 受ける G2983 εἰς ～として G1519 κληρονομίαν, 嗣業として G2817 καὶ そして G2532 ἐξῆλθεν, 出て-行った G1831 μὴ ～しないで G3361

ἐπιστάμενος 知らないで G1987 ποῦ どこに G4226 ἔρχεται. 行くのかを G2064

信仰によって、アブラハムは、受け継ぐべき地に出て行けとの召しをこうむった時、それに従い、行く先を知らないで出て行った。

9 Πίστει 信仰によって G4102 παρῴκησεν 寻留した G3939 εἰς ～の中に G1519 γῆν 地-約束の G1093 τῆς その G3588 ἐπαγγελίας, 約束の G1860 ὡς ちょうど G5613 ἀλλοτρίαν, よその-地として G0245

ἐν ～の中に G1722 σκηναῖς 天幕に G4633 κατοικήσας 住んで G2730 μετὰ ～とともに G3326 Ἰσαὰκ イサクと G2464 καὶ そして G2532 Ἰακὼβ, ヤコブと G2384 τῶν その G3588

συνκληρονόμων 共同の-相続人である G4789 τῆς その G3588 ἐπαγγελίας 約束の G1860 τῆς その G3588 αὐτῆς; 同じ G0846

信仰によって、他国にいるようにして約束の地に宿り、同じ約束を継ぐイサク、ヤコブと共に、幕屋に住んだ。

10 ἐξεδέχετο 待ち-望んでいた G1551 γὰρ なぜなら G1063 τὴν その G3588 τοὺς その G3588 θεμελίους 基を G2310 ἔχουσαν 持つ G2192 πόλιν, 都を G4172 ἧς その G3739 τεχνίτης 設計者であり G5079

καὶ そして G2532 δημιουργὸς 建設者である G1217 ὁ その G3588 Θεός. 神が G2316

彼は、ゆるがぬ土台の上に建てられた都を、待ち望んでいたのである。その都をもくろみ、また建てたのは、神である。

11 Πίστει 信仰によって G4102 καὶ, また G2532 αὐτῇ その G0846 Σάρρᾳ サラも G4564 [στεῖρα], 不妊の G4723 δύναμιν 力を G1411 εἰς ～のための G1519 καταβολὴν 子種を-宿す G2602 σπέρματος 子種の G4690 ἔλαβεν, 受けた G2983 καὶ そして G2532 παρὰ ～を-過ぎても G3844 καιρὸν 時を G2540 ἡλικίας, 年齢の G2244 ἐπεὶ なぜなら G1893 πιστὸν 忠実であると G4103 ἡγήσατο みなした G2233 τὸν その G3588 ἐπαγγειλάμενον. 約束された-方を G1861

信仰によって、サラもまた、年老いていたが、種を宿す力を与えられた。約束をなさったかたは真実であると、信じていたからである。

12 διὸ それゆえ G1352 καὶ また G2532 ἀφ’ ～から G0575 ἑνὸς, 一人から G1520 ἐγεννήθησαν, 生まれた G1080 καὶ そして G2532 ταῦτα しかも G3778 νενεκρωμένου, 死んだ-同然の-者から G3499 καθὼς ちょうど G2531 τὰ その G3588 ἄστρα 星のように G0798 τοῦ その G3588 οὐρανοῦ 天の G3772 τῷ その G3588 πλήθει, 多さのように G4128 καὶ そして G2532 ὡς ちょうど G5613 ἡ その G3588 ἄμμος 砂のように G0285 ἡ その G3588 παρὰ ～のにある G3844 τὸ その G3588 χεῖλος 岸辺の G5491 τῆς その G3588 θαλάσσης, 海の G2281 ἡ その G3588 ἀναρίθμητος. 数えきれないほどの G0382

このようにして、ひとりの死んだと同様な人から、天の星のように、海べの数えがたい砂のように、おびただしい人が生れてきたのである。

13 Κατὰ ～に-従って G2596 πίστιν 信仰に G4102 ἀπέθανον 死んだ G0599 οὗτοι これらの-者は G3778 πάντες, 皆 G3956 μὴ ～しないで G3361 κομισάμενοι 受けないで G2983 τὰς その G3588 ἐπαγγελίας, 約束を G1860 ἀλλὰ そうでなく G0235 πόρρωθεν 遠くから G4207 αὐτὰς それらを G0846 ἰδόντες, 見て G3708 καὶ そして G2532 ἀσπασάμενοι, 歓迎して G0782 καὶ そして G2532 ὁμολογήσαντες 告白して G3670 ὅτι ～と G3754 ξένοι 寒留の-者であり G3581 καὶ そして G2532 παρεπίδημοί 旅人であると G3927 εἰσιν あると G1510 ἐπὶ ～の上の G1909 τῆς その G3588 γῆς. 地の上の G1093

これらの人はみな、信仰をいだいて死んだ。まだ約束のものは受けていなかったが、はるかにそれを望み見て喜び、そして、地上では旅人であり寄留者であることを、自ら言いあらわした。

14 οἱ その G3588 γὰρ なぜなら G1063 τοιαῦτα そのようなことを G5108 λέγοντες, 言う-者たちは G3004 ἐμφανίζουσιν 示している G1718 ὅτι ～と G3754 πατρίδα 故郷を G3968 ἐπιζητοῦσιν. 求めていると G1934

そう言いあらわすことによって、彼らがふるさとを求めていることを示している。

15 καὶ そして G2532 εἰ もし G1487 μὲν 一方では G3303 ἐκείνης あの G1565 ἐμνημόνευον, 覚えていたなら G3421 ἀφ’ ～から G0575 ἧς そこから G3739 ἐξέβησαν, 出て-来た G1545 εἶχον 持っていたであろう G2192 ἂν ～であろう G0302 καιρὸν 機会を G2540 ἀνακάμψαι; 戻るための G0344

もしその出てきた所のことを考えていたなら、帰る機会はあったであろう。

16 νῦν δὲ κρείττονος ὀρέγονται, τοῦτ’ ἔστιν ἐπουρανίου; διὸ
しかし–今 さて より–すぐれた–ものを 憧れている すなわち それは 天の–ものを それゆえ
G3568 G1161 G2909 G3713 G3778 G1510 G2032 G1352

οὐκ ἐπαισχύνεται αὐτοὺς ὁ Θεὸς, Θεὸς ἐπικαλεῖσθαι αὐτῶν; ἡτοίμασεν
～ない 恥じられない 彼らを その 神は 神と 呼ばれることを 彼らの 備えて–おられた
G3756 G1870 G0846 G3588 G2316 G2316 G1941 G0846 G2090

γὰρ αὐτοῖς πόλιν.
なぜなら 彼らに 都を
G1063 G0846 G4172

しかし実際、彼らが望んでいたのは、もっと良い、天にあるふるさとであった。だから神は、彼らの神と呼ばれても、それを恥とはされなかった。事実、神は彼らのために、都を用意されていたのである。

17 Πίστει προσενήνοχεν Ἀβραὰμ τὸν Ἰσαὰκ; πειραζόμενος, καὶ τὸν
信仰によって ささげた アブラハムは その イサクを 試みられて そして その
G4102 G4374 G0011 G3588 G2464 G3985 G2532 G3588

μονογενῆ προσέφερεν, ὁ τὰς ἐπαγγελίας ἀναδεξάμενος
独り子を ささげようとした その その 約束を 受けた–者が
G3439 G4374 G3588 G3588 G1860 G0324

信仰によって、アブラハムは、試錬を受けたとき、イサクをささげた。すなわち、約束を受けていた彼が、そのひとり子をささげたのである。

18 πρὸς ὃν ἐλαλήθη, ὅτι Ἐν Ἰσαὰκ κληθήσεταί σοι
～に対して その–者に 言われていた ～と ～の中に イサクの中に 呼ばれる あなたに
G4314 G3739 G2980 G3754 G1722 G2464 G2564 G4771

σπέρμα;
子孫がと
G4690

この子については、「イサクから出る者が、あなたの子孫と呼ばれるであろう」と言われていたのであった。

19 λογισάμενος ὅτι καὶ ἐκ νεκρῶν ἐγείρειν -- δυνατὸς ὁ
思った ～と また ～から 死者の–中からも よみがえらせることが できると その
G3049 G3754 G2532 G1537 G3498 G1453 G1415 G3588

Θεός, ὅθεν αὐτὸν καὶ ἐν παραβολῇ, ἐκομίσατο.
神は そこから 彼を また ～の中で たとえの–中で 受け–戻した
G2316 G3606 G0846 G2532 G1722 G3850 G2865

彼は、神が死人の中から人をよみがえらせる力がある、と信じていたのである。だから彼は、いわば、イサクを生きかえして渡されたわけである。

20 Πίστει καὶ περὶ μελλόντων, εὐλόγησεν Ἰσαὰκ τὸν Ἰακὼβ καὶ
信仰によって また ～について 将来の–ことに 祝福した イサクは その ヤコブと そして
G4102 G2532 G4012 G3195 G2127 G2464 G3588 G2384 G2532

τὸν Ἠσαῦ.
その エサウを
G3588 G2269

信仰によって、イサクは、きたるべきことについて、ヤコブとエサウとを祝福した。

21 Πίστει Ἰακὼβ, ἀποθνῄσκων, ἕκαστον τῶν υἱῶν Ἰωσὴφ εὐλόγησεν,
信仰によって ヤコブは 死ぬときに それぞれを その 息子たちの ヨセフの 祝福し
G4102 G2384 G0599 G1538 G3588 G5207 G2501 G2127

καὶ προσεκύνησεν ἐπὶ τὸ ἄκρον τῆς ῥάβδου αὐτοῦ.
そして ひれ伏した ～の上で その 端に その 杖の 自分の
G2532 G4352 G1909 G3588 G0206 G3588 G4464 G0846

信仰によって、ヤコブは死のまぎわに、ヨセフの子らをひとりびとり祝福し、そしてそのつえのかしらによりかかって礼拝した。

22 Πίστει Ἰωσὴφ, τελευτῶν, περὶ τῆς ἐξόδου τῶν υἱῶν
信仰によって ヨセフは 終わるとき ～について その 脱出について その 息子たちの
G4102 G2501 G5053 G4012 G3588 G1841 G3588 G5207

Ἰσραὴλ ἐμνημόνευσεν, καὶ περὶ τῶν ὀστέων αὐτοῦ ἐνετείλατο.
イスラエルの 思い-起こし そして ～について その 骨について 自分の 命じた
G2474 G3421 G2532 G4012 G3588 G3747 G0846 G1781

信仰によって、ヨセフはその臨終に、イスラエルの子らの出て行くことを思い、自分の骨のことについてさしずした。

23 Πίστει Μωϋσῆς, γεννηθεὶς, ἐκρύβη τρίμηνον ὑπὸ τῶν πατέρων
信仰によって モーセは 生まれたとき 隠された 三か月の-間 ～によって その 両親によって
G4102 G3475 G1080 G2928 G5150 G5259 G3588 G3962

αὐτοῦ, διότι εἶδον ἀστεῖον τὸ παιδίον; καὶ οὐκ ἐφοβήθησαν τὸ
彼の なぜなら 見た 美しいと その 子を そして ～なかった 恐れなかった その
G0846 G1360 G3708 G0791 G3588 G3813 G2532 G3756 G5399 G3588

διάταγμα τοῦ βασιλέως.
命令を その 王の
G1297 G3588 G0935

信仰によって、モーセの生れたとき、両親は、三か月のあいだ彼を隠した。それは、彼らが子供のうるわしいのを見たからである。彼らはまた、王の命令をも恐れなかった。

24 Πίστει Μωϋσῆς, μέγας γενόμενος, ἠρνήσατο λέγεσθαι υἱὸς θυγατρὸς
信仰によって モーセは 大きく なって 拒んだ 呼ばれることを 息子と 娘の
G4102 G3475 G3173 G1096 G0720 G3004 G5207 G2364

Φαραώ;
ファラオの
G5328

信仰によって、モーセは、成人したとき、パロの娘の子と言われることを拒み、

25 μᾶλλον ἑλόμενος συνκακουχεῖσθαι τῷ λαῷ τοῦ Θεοῦ, ἢ πρόσκαιρον
むしろ 選んで 共に-苦しむことを その 民と-共に その 神の ～よりも 一時の
G3123 G0138 G4778 G3588 G2992 G3588 G2316 G2228 G4340

ἔχειν ἁμαρτίας ἀπόλαυσιν;
得ることよりも 罪の 楽しみを
G2192 G0266 G0619

罪のはかない歓楽にふけるよりは、むしろ神の民と共に虐待されることを選び、

26	μείζονα	πλοῦτον	ἡγησάμενος,	τῶν	Αἰγύπτου	θησαυρῶν,	τὸν	ὀνειδισμὸν	τοῦ
	より-大きな	富と	みなした	その	エジプトの	宝よりも	その	辱めを	その
	G3173	G4149	G2233	G3588	G0125	G2344	G3588	G3680	G3588

Χριστοῦ;	ἀπέβλεπεν	γὰρ	εἰς	τὴν	μισθαποδοσίαν.
キリストの	見つめていた	なぜなら	～の方を	その	報いを
G5547	G0578	G1063	G1519	G3588	G3405

キリストのゆえに受けるそしりを、エジプトの宝にまさる富と考えた。それは、彼が報いを望み見ていたからである。

27	Πίστει	κατέλιπεν	Αἴγυπτον,	μὴ	φοβηθεὶς	τὸν	θυμὸν	τοῦ	βασιλέως;
	信仰によって	去った	エジプトを	～しないで	恐れないで	その	怒りを	その	王の
	G4102	G2641	G0125	G3361	G5399	G3588	G2372	G3588	G0935

τὸν	γὰρ	ἀόρατον	ὡς	ὁρῶν,	ἐκαρτέρησεν.	
その	なぜなら	見えない-方を	ちょうど	見るかのように	耐え-忍んだ	
G3588	G1063	G0517	G5613	G3708	G2594	

信仰によって、彼は王の憤りをも恐れず、エジプトを立ち去った。彼は、見えないかたを見ているようにして、忍びとおした。

28	Πίστει	πεποίηκεν	τὸ	πάσχα	καὶ	τὴν	πρόσχυσιν	τοῦ	αἵματος,
	信仰によって	行った	その	過越と	そして	その	血の-振りかけを	その	血の
	G4102	G4160	G3588	G3957	G2532	G3588	G4378	G3588	G0129

ἵνα	μὴ	ὁ	ὀλοθρεύων	τὰ	πρωτότοκα	θίγῃ	αὐτῶν.	
～のために	～しない	その	滅ぼす-者が	その	長子たちに	触れないように	彼らの	
G2443	G3361	G3588	G3645	G3588	G4416	G2345	G0846	

信仰によって、滅ぼす者が、長子らに手を下すことのないように、彼は過越を行い血を塗った。

29	Πίστει	διέβησαν	τὴν	Ἐρυθρὰν	Θάλασσαν,	ὡς	διὰ	ξηρᾶς	γῆς;
	信仰によって	渡った	その	紅海を	海を	ちょうど	～を通って	乾いた	地を
	G4102	G1224	G3588	G2063	G2281	G5613	G1223	G3584	G1093

ἧς	πεῖραν	λαβόντες,	οἱ	Αἰγύπτιοι	κατεπόθησαν.
それを	試みて	取って	その	エジプト人たちは	飲み-込まれた
G3739	G3984	G2983	G3588	G0124	G2666

信仰によって、人々は紅海をかわいた土地をとおるように渡ったが、同じことを企てたエジプト人はおぼれ死んだ。

30	Πίστει	τὰ	τείχη	Ἰεριχὼ	ἔπεσαν,	κυκλωθέντα	ἐπὶ	ἑπτὰ	ἡμέρας.
	信仰によって	その	城壁が	エリコの	崩れた	囲まれて	～の間	七-日の間	日の間
	G4102	G3588	G5038	G2410	G4098	G2944	G1909	G2033	G2250

信仰によって、エリコの城壁は、七日にわたってまわったために、くずれおちた。

31	Πίστει	Ῥαὰβ	ἡ	πόρνη,	οὐ	συναπώλετο	τοῖς	
	信仰によって	ラハブは	その	遊女である	～しなかった	共に-滅びなかった	その	
	G4102	G4460	G3588	G4204	G3756	G4881	G3588	

ἀπειθήσασιν,	δεξαμένη	τοὺς	κατασκόπους	μετ’	εἰρήνης.	
不従順な-者たちと	受け-入れて	その	偵察たちを	～をもって	平和をもって	
G0544	G1209	G3588	G2685	G3326	G1515	

信仰によって、遊女ラハブは、探りにきた者たちをおだやかに迎えたので、不従順な者どもと一緒に滅びることはなかった。

32 Καὶ τί ἔτι λέγω? ἐπιλείψει με γὰρ, διηγούμενον ὁ χρόνος,
そして 何を まだ 言うか 足りないであろう 私には なぜなら 語るには その 時が
G2532 G5101 G2089 G3004 G1952 G1473 G1063 G1334 G3588 G5550

περὶ Γεδεών, Βαράκ, Σαμψών, Ἰεφθάε, Δαυίδ τε, καὶ Σαμουὴλ, καὶ
～について ギデオン バラク サムソン エフタ ダビデ また そして サムエル そして
G4012 G1066 G0913 G4546 G2422 G1138 G5037 G2532 G4545 G2532

τῶν προφητῶν;
その 預言者たちについて
G3588 G4396

このほか、何を言おうか。もしギデオン、バラク、サムソン、エフタ、ダビデ、サムエル及び預言者たちについて語り出すなら、時間が足りないであろう。

33 οἳ διὰ πίστεως κατηγωνίσαντο βασιλείας, εἰργάσαντο δικαιοσύνην,
彼らは ～を通して 信仰を通して 征服した 王国を 行った 義を
G3739 G1223 G4102 G2610 G0932 G2038 G1343

ἐπέτυχον ἐπαγγελιῶν, ἔφραξαν στόματα λεόντων;
得た 約束を 塞いだ 口を 獅子の
G2013 G1860 G5420 G4750 G3023

彼らは信仰によって、国々を征服し、義を行い、約束のものを受け、ししの口をふさぎ、

34 ἔσβεσαν δύναμιν πυρός, ἔφυγον στόματα μαχαίρης, ἐδυναμώθησαν ἀπὸ
消した 力を 火の 逃れた 刃を 剣の 強められた ～から
G4570 G1411 G4442 G5343 G4750 G3162 G1412 G0575

ἀσθενείας, ἐγενήθησαν ἰσχυροὶ ἐν πολέμῳ, παρεμβολὰς ἔκλιναν ἀλλοτρίων.
弱さから なった 強く ～の中で 戦いの中で 陣営を 退けた 異国の
G0769 G1096 G2478 G1722 G4171 G3925 G2827 G0245

火の勢いを消し、つるぎの刃をのがれ、弱いものは強くされ、戦いの勇者となり、他国の軍を退かせた。

35 ἔλαβον γυναῖκες ἐξ ἀναστάσεως τοὺς νεκροὺς αὐτῶν; ἄλλοι δὲ
受けた 女たちは ～から 復活から その 死者を 自分たちの 他の–者たちは しかし
G2983 G1135 G1537 G0386 G3588 G3498 G0846 G0243 G1161

ἐτυμπανίσθησαν, οὐ προσδεξάμενοι τὴν ἀπολύτρωσιν, ἵνα
打ち–殺された ～しなかった 受け–入れなかった その 釈放を ～のために
G5178 G3756 G4327 G3588 G0629 G2443

κρείττονος ἀναστάσεως τύχωσιν.
より–すぐれた 復活に 得るために
G2909 G0386 G5177

女たちは、その死者たちをよみがえらさせてもらった。ほかの者は、更にまさったいのちによみがえるために、拷問の苦しみに甘んじ、放免されることを願わなかった。

36 ἕτεροι δὲ ἐμπαιγμῶν καὶ μαστίγων, πεῖραν ἔλαβον; ἔτι, δὲ
他の–者たちは しかし 嘲りと そして 鷹との 試練を 受けた さらに また
G2087 G1161 G1701 G2532 G3148 G3984 G2983 G2089 G1161

δεσμῶν καὶ φυλακῆς.
鏈と そして 投獄を
G1199 G2532 G5438

なおほかの者たちは、あざけられ、むち打たれ、しばり上げられ、投獄されるほどのめに会った。

37

ἐλιθάσθησαν,	⸀ἐπειράσθησαν⸁,	ἐπρίσθησαν,	ἐν	φόνῳ	μαχαίρης	ἀπέθανον;
石で-打たれ	試みられ	鋸で-引かれ	～によって	剣の-刃で	剣の	死んだ
G3034	G3985	G4249	G1722	G5408	G3162	G0599

περιῆλθον	ἐν	μηλωταῖς,	ἐν	αἰγείοις	δέρμασιν,	ὑστερούμενοι,
さまよった	～の中で	羊の-毛皮の中で	～の中で	山羊の	皮の中で	乏しく
G4022	G1722	G3374	G1722	G0122	G1192	G5302

θλιβόμενοι,	κακουχούμενοι;
苦しめられ	虐げられた
G2346	G2558

あるいは、石で打たれ、さいなまれ、のこぎりで引かれ、つるぎで切り殺され、羊の皮や、やぎの皮を着て歩きまわり、無一物になり、悩まされ、苦しめられ、

38

ὧν	οὐκ	ἦν	ἄξιος	ὁ	κόσμος;	ἐπὶ	ἐρημίαις
彼らに	～でなかった	ふさわしく-なかった	ふさわしい	その	世界は	～の上を	荒野を
G3739	G3756	G1510	G0514	G3588	G2889	G1909	G2047

πλανώμενοι,	καὶ	ὄρεσιν,	καὶ	σπηλαίοις,	καὶ	ταῖς	ὀπαῖς	τῆς	γῆς.
さまよって	そして	山々を	そして	洞窟を	そして	その	地の-穴を	その	地の
G4105	G2532	G3735	G2532	G4693	G2532	G3588	G3692	G3588	G1093

（この世は彼らの住む所ではなかった）、荒野と山の中と岩の穴と土の穴とを、さまよい続けた。

39

Καὶ	οὗτοι	πάντες,	μαρτυρηθέντες	διὰ	τῆς	πίστεως,	οὐκ
そして	これらの-者は	皆	証しされて	～を通して	その	信仰を通して	～しなかった
G2532	G3778	G3956	G3140	G1223	G3588	G4102	G3756

ἐκομίσαντο	τὴν	ἐπαγγελίαν;
受けなかった	その	約束を
G2865	G3588	G1860

さて、これらの人々はみな、信仰によってあかしされたが、約束のものは受けなかった。

40

τοῦ	Θεοῦ	περὶ	ἡμῶν	κρεῖττόν	τι	προβλεψαμένου,	ἵνα
その	神が	～について	私たちについて	より-すぐれた	何かを	備えておられたので	～のために
G3588	G2316	G4012	G1473	G2909	G5100	G4265	G2443

μὴ	χωρὶς	ἡμῶν	τελειωθῶσιν.
～しない	～なしには	私たちなしには	完全にされないために
G3361	G5565	G1473	G5048

神はわたしたちのために、さらに良いものをあらかじめ備えて下さっているので、わたしたちをほかにしては彼らが全うされることはない。

Chapter 12

1

Τοιγαροῦν	καὶ	ἡμεῖς,	τοσοῦτον	ἔχοντες	περικείμενον	ἡμῖν	νέφος
それゆえ	また	私たちも	これほどの	持っている	取り-囲んでいる	私たちを	雲のような
G5105	G2532	G1473	G5118	G2192	G4029	G1473	G3509

μαρτύρων,	ὄγκον	ἀποθέμενοι	πάντα,	καὶ	τὴν	εὐπερίστατον	ἁμαρτίαν,	δι’
証人たちを	重荷を	脱ぎ-捨てて	すべての	そして	その	まとわりつく	罪を	～をもって
G3144	G3591	G0659	G3956	G2532	G3588	G2139	G0266	G1223

ὑπομονῆς	τρέχωμεν	τὸν	προκείμενον	ἡμῖν	ἀγῶνα,
忍耐をもって	走ろう	その	備えられた	私たちに	競走を
G5281	G5143	G3588	G4295	G1473	G0073

こういうわけで、わたしたちは、このような多くの証人に雲のように囲まれているのであるから、いっさいの重荷と、からみつく罪とをかなぐり捨てて、わたしたちの参加すべき競走を、耐え忍んで走りぬこうではないか。

2

ἀφορῶντες	εἰς	τὸν	τῆς	πίστεως	ἀρχηγὸν	καὶ	τελειωτὴν,	Ἰησοῦν:
見つめて	～の方を	その	その	信仰の	創始者であり	そして	完成者である	イエスを
G0872	G1519	G3588	G3588	G4102	G0747	G2532	G5051	G2424

ὃς	ἀντὶ	τῆς	προκειμένης	αὐτῷ	χαρᾶς,	ὑπέμεινεν	σταυρὸν,
その-方は	～の代わりに	その	置かれた	彼に	喜びの	耐え-忍ばれた	十字架を
G3739	G0473	G3588	G4295	G0846	G5479	G5278	G4716

αἰσχύνης	καταφρονήσας,	ἐν	δεξιᾷ	τε	τοῦ	θρόνου	τοῦ	Θεοῦ,	κεκάθικεν.
恥を	蔑まれて	～に	右に	また	その	御座の	その	神の	座られた
G0152	G2706	G1722	G1188	G5037	G3588	G2362	G3588	G2316	G2523

信仰の導き手であり、またその完成者であるイエスを仰ぎ見つつ、走ろうではないか。彼は、自分の前におかれている喜びのゆえに、恥をもいとわないで十字架を忍び、神の御座の右に座するに至ったのである。

3

ἀναλογίσασθε	γὰρ,	τὸν	τοιαύτην	ὑπομεμενηκότα	ὑπὸ	τῶν
思い-巡らしなさい	なぜなら	その	このような	耐え-忍ばれた-方を	～からの	その
G0357	G1063	G3588	G5108	G5278	G5259	G3588

ἁμαρτωλῶν	εἰς	ἑαυτὸν	ἀντιλογίαν,	ἵνα	μὴ	κάμητε,	ταῖς
罪人たちからの	～に対する	自分に対する	反対を	～のために	～しない	疲れ-果てない	その
G0268	G1519	G1438	G0485	G2443	G3361	G2577	G3588

ψυχαῖς	ὑμῶν	ἐκλυόμενοι.
魂において	あなたがたの	弱らないで
G5590	G4771	G1590

あなたがたは、弱り果てて意気そそうしないために、罪人らのこのような反抗を耐え忍んだかたのことを、思いみるべきである。

4

Οὔπω	μέχρις	αἵματος	ἀντικατέστητε,	πρὸς	τὴν	ἁμαρτίαν	ἀνταγωνιζόμενοι,
まだ-ない	～まで	血まで	抵抗したことは	～に対して	その	罪に対して	戦って
G3768	G3360	G0129	G0478	G4314	G3588	G0266	G0464

あなたがたは、罪と取り組んで戦う時、まだ血を流すほどの抵抗をしたことがない。

5

καὶ	ἐκλέλησθε	τῆς	παρακλήσεως,	ἥτις	ὑμῖν,	ὡς	υἱοῖς,
そして	忘れている	その	勧めを	それは	あなたがたに	ちょうど	息子たちに-対して
G2532	G1585	G3588	G3874	G3748	G4771	G5613	G5207

διαλέγεται:	Υἱέ	μου,	μὴ	ὀλιγώρει	παιδείας	Κυρίου,	μηδὲ	ἐκλύου,
語りかける	わが-子よ	私の	～するな	軽んじるな	誓いを	主の	また-ない	弱るな
G1256	G5207	G1473	G3361	G3643	G3809	G2962	G3366	G1590

ὑπ’	αὐτοῦ	ἐλεγχόμενος;
～によって	彼に	戸しめられても
G5259	G0846	G1651

また子たちに対するように、あなたがたに語られたこの勧めの言葉を忘れている、「わたしの子よ、主の訓練を軽んじてはいけない。主に責められるとき、弱り果ててはならない。

6

ὃν	γὰρ	ἀγαπᾷ	Κύριος,	παιδεύει;	μαστιγοῖ	δὲ	πάντα	υἱὸν	ὃν
その-者を	なぜなら	愛する	主は	懲らしめる	鷹打たれる	さて	すべての	息子を	それを
G3739	G1063	G0025	G2962	G3811	G3146	G1161	G3956	G5207	G3739

παραδέχεται.
受け-入れる
G3858

主は愛する者を訓練し、受けいれるすべての子を、むち打たれるのである」。

7

εἰς	παιδείαν	ὑπομένετε,	ὡς	υἱοῖς	ὑμῖν
～のために	誓いのために	耐え–忍びなさい	ちょうど	息子たちに–対して	あなたがたに
G1519	G3809	G5278	G5613	G5207	G4771

προσφέρεται	ὁ	Θεός;	τίς	γὰρ	υἱὸς	ὃν	οὐ	παιδεύει	πατήρ?
接しておられる	その	神は	どの	なぜなら	息子を	それを	～ない	懲らしめない	父が
G4374	G3588	G2316	G5101	G1063	G5207	G3739	G3756	G3811	G3962

あなたがたは訓練として耐え忍びなさい。神はあなたがたを、子として取り扱っておられるのである。いったい、父に訓練されない子があるだろうか。

8

εἰ	δὲ	χωρίς	ἐστε	παιδείας,	ἧς	μέτοχοι	γεγόνασιν	πάντες,
もし	しかし	～なしに	あるなら	誓いなしに	それの	受けている	なっている	皆が
G1487	G1161	G5565	G1510	G3809	G3739	G3353	G1096	G3956

ἄρα	νόθοι	καὶ	οὐχ	υἱοί	ἐστε.
それなら	私生児であり	そして	～でない	息子では	ない
G0686	G3541	G2532	G3756	G5207	G1510

だれでも受ける訓練が、あなたがたに与えられないとすれば、それこそ、あなたがたは私生子であって、ほんとうの子ではない。

9

εἶτα	τοὺς	μὲν	τῆς	σαρκὸς	ἡμῶν	πατέρας	εἴχομεν	παιδευτὰς,
さらに	その	一方では	その	肉体の	私たちの	父たちを	持っていた	懲らしめる–者として
G1534	G3588	G3303	G3588	G4561	G1473	G3962	G2192	G3810

καὶ	ἐνετρεπόμεθα;	οὐ	πολὺ	[δὲ]	μᾶλλον,	ὑποταγησόμεθα	τῷ
そして	敬った	～でない	はるかに–まして	さて	まして	従うべきではないか	その
G2532	G1788	G3756	G4183	G1161	G3123	G5293	G3588

Πατρὶ	τῶν	πνευμάτων,	καὶ	ζήσομεν?
父に	その	霊の	そして	生きるであろうか
G3962	G3588	G4151	G2532	G2198

その上、肉親の父はわたしたちを訓練するのに、なお彼をうやまうとすれば、なおさら、わたしたちは、たましいの父に服従して、真に生きるべきではないか。

10

οἱ	μὲν	γὰρ	πρὸς	ὀλίγας	ἡμέρας,	κατὰ	τὸ	δοκοῦν
その	一方では	なぜなら	～のために	わずかな	日々の	～に–従って	その	良いと–思う
G3588	G3303	G1063	G4314	G3641	G2250	G2596	G3588	G1380

αὐτοῖς,	ἐπαίδευον;	ὁ	δὲ	ἐπὶ	τὸ	συμφέρον,	εἰς	τὸ
彼らに	懲らしめた	この–方は	しかし	～のために	その	益のために	～のために	その
G0846	G3811	G3588	G1161	G1909	G3588	G4851	G1519	G3588

μεταλαβεῖν	τῆς	ἁγιότητος	αὐτοῦ.
与るために	その	聖さに	彼の
G3335	G3588	G0041	G0846

肉親の父は、しばらくの間、自分の考えに従って訓練を与えるが、たましいの父は、わたしたちの益のため、そのきよさにあずからせるために、そうされるのである。

11 πᾶσα. δὲ παιδεία, πρὸς μὲν τὸ παρὸν, οὐ δοκεῖ χαρᾶς
すべての さて 誓いは ～のためには 一方では その 現在は ～でない 思われない 喜びの
G3956 G1161 G3809 G4314 G3303 G3588 G3918 G3756 G1380 G5479

εἶναι, ἀλλὰ λύπης; ὕστερον δὲ, καρπὸν εἰρηνικὸν, τοῖς δι’
あるとは そうでなく 悲しみの 後に しかし 実を 平和な その それに–よって
G1510 G0235 G3077 G5305 G1161 G2590 G1516 G3588 G1223

αὐτῆς γεγυμνασμένοις, ἀποδίδωσιν δικαιοσύνης.
それに 訓練された–者に 与える 義の
G0846 G1128 G0591 G1343

すべての訓練は、当座は、喜ばしいものとは思われず、むしろ悲しいものと思われる。しかし後になれば、それによって鍛えられる者に、平安な義の実を結ばせるようになる。

12 Διὸ τὰς παρειμένας χεῖρας, καὶ τὰ παραλελυμένα γόνατα,
それゆえ その 垂れ–下がった 手と そして その 弱った 膝を
G1352 G3588 G3935 G5495 G2532 G3588 G3886 G1119

ἀνορθώσατε;
まっすぐに–しなさい
G0461

それだから、あなたがたのなえた手と、弱くなっているひざとを、まっすぐにしなさい。

13 καὶ τροχιὰς ὀρθὰς ποιεῖτε τοῖς ποσὶν ὑμῶν, ἵνα μὴ
そして 道を まっすぐな 造りなさい その 足の–ために あなたがたの ～のために ～しない
G2532 G5163 G3717 G4160 G3588 G4228 G4771 G2443 G3361

τὸ χωλὸν ἐκτραπῇ; ἰαθῇ δὲ μᾶλλον.
その 足の–不自由な–者が それないように いやされるように むしろ むしろ
G3588 G5560 G1624 G2390 G1161 G3123

また、足のなえている者が踏みはずすことなく、むしろいやされるように、あなたがたの足のために、まっすぐな道をつくりなさい。

14 Εἰρήνην διώκετε μετὰ πάντων, καὶ τὸν ἁγιασμόν, οὗ
平和を 追い–求めなさい ～とともに すべての–人と そして その 聖めを それ
G1515 G1377 G3326 G3956 G2532 G3588 G0038 G3739

χωρὶς, οὐδεὶς ὄψεται τὸν Κύριον;
～なしには 誰も 見ない その 主を
G5565 G3762 G3708 G3588 G2962

すべての人と相和し、また、自らきよくなるように努めなさい。きよくならなければ、だれも主を見ることはできない。

15 ἐπισκοποῦντες, μή τις ὑστερῶν ἀπὸ τῆς χάριτος τοῦ Θεοῦ;
見張って ～しないように 誰も 欠けている–者が ～から その 恵みから その 神の
G1983 G3361 G5100 G5302 G0575 G3588 G5485 G3588 G2316

μή τις ῥίζα πικρίας ἄνω φύουσα ἐνοχλῇ, καὶ δι’
～しないように 何か 根が 苦い–根が 上に 生えて 悩まさないように そして それに–よって
G3361 G5100 G4491 G4088 G0507 G5453 G1776 G2532 G1223

αὐτῆς μιανθῶσιν οἱ πολλοί;
それに 汚されないように その 多くの–者が
G0846 G3392 G3588 G4183

気をつけて、神の恵みからもれることがないように、また、苦い根がはえ出て、あなたがたを悩まし、それによって多くの人が汚されることのないようにしなさい。

16 μή ～しないように G3361 | τις 誰も G5100 | πόρνος 淫らな–者や G4205 | ἢ または G2228 | βέβηλος, 俗な–者に G0952 | ὡς ちょうど G5613 | Ἠσαῦ, エサウのように G2269 | ὃς その–者は G3739

ἀντὶ ～の代わりに G0473 | βρώσεως 食事の–代わりに G1035 | μιᾶς, 一度の G1520 | ἀπέδετο 売った G0591 | τὰ その G3588 | πρωτοτόκια 長子の–権を G4415 | ἑαυτοῦ. 自分の G1438

また、一杯の食のために長子の権利を売ったエサウのように、不品行な俗悪な者にならないようにしなさい。

17 ἴστε 知っている G1492 | γὰρ なぜなら G1063 | ὅτι ～と G3754 | καὶ また G2532 | μετέπειτα, その–後に G3347 | θέλων 望んで G2309 | κληρονομῆσαι 相続することを G2816 | τὴν その G3588 | εὐλογίαν, 祝福を G2129

ἀπεδοκιμάσθη; 拒まれた G0593 | μετανοίας 悔改めの G3341 | γὰρ なぜなら G1063 | τόπον 場所を G5117 | οὐχ ～なかった G3756 | εὗρεν, 見いだせなかった G2147 | καίπερ たとえ G2539 | μετὰ ～をもって G3326

δακρύων 涙をもって G1144 | ἐκζητήσας 求めたのに G1567 | αὐτήν. それを G0846

あなたがたの知っているように、彼はその後、祝福を受け継ごうと願ったけれども、捨てられてしまい、涙を流してそれを求めたが、悔改めの機会を得なかったのである。

18 Οὐ ～でない G3756 | γὰρ なぜなら G1063 | προσεληλύθατε, 近づいていない G4334 | ψηλαφωμένῳ 触れることのできる G5584 | καὶ そして G2532 | κεκαυμένῳ 燃えている G2545 | πυρὶ, 火に G4442 | καὶ そして G2532

γνόφῳ, 暗黒に G1105 | καὶ そして G2532 | ζόφῳ, 闇に G2217 | καὶ そして G2532 | θυέλλῃ, 暴風に G2366

あなたがたが近づいているのは、手で触れることができ、火が燃え、黒雲や暗やみやあらしにつつまれ、

19 καὶ そして G2532 | σάλπιγγος ラッパの G4536 | ἤχῳ, 音に G2279 | καὶ そして G2532 | φωνῇ 声に G5456 | ῥημάτων; 言葉の G4487 | ἧς それの G3739 | οἱ その G3588 | ἀκούσαντες, 聞いた–者たちは G0191

παρῃτήσαντο, 断った G3868 | μὴ ～しないでと G3361 | προστεθῆναι 加えられないでと G4369 | αὐτοῖς 自分たちに G0846 | λόγον; 言葉が G3056

また、ラッパの響や、聞いた者たちがそれ以上、耳にしたくないと願ったような言葉がひびいてきた山ではない。

20 οὐκ ～なかった G3756 | ἔφερον 耐えられなかった G5342 | γὰρ なぜなら G1063 | τὸ その G3588 | διαστελλόμενον: 命じられたことを G1291 | Κἂν たとえ G2579 | θηρίον 獣が G2342 | θίγῃ 触れても G2345

τοῦ その G3588 | ὄρους, 山に G3735 | λιθοβοληθήσεται; 石で–打たれる G3036

そこでは、彼らは、「けものであっても、山に触たら、石で打ち殺されてしまえ」という命令の言葉に、耐えることができなかったのである。

21 καί, そして G2532 οὕτω これほど G3779 φοβερὸν 恐ろしかった G5398 ἦν それは G1510 τὸ その G3588 φανταζόμενον 光景が G5324 Μωϋσῆς モーセも G3475 εἶπεν, 言った G3004

Ἔκφοβός 非常に–恐れている G1630 εἰμι, 私は–ある G1510 καὶ そして G2532 ἔντρομος. 震えていると G1790

その光景が恐ろしかったのでモーセさえも、「わたしは恐ろしさのあまり、おののいている」と言ったほどである。

22 ἀλλὰ そうでなく G0235 προσεληλύθατε 近づいている G4334 Σιὼν シオンの G4622 ὄρει; 山に G3735 καὶ そして G2532 πόλει 都に G4172 Θεοῦ 神の G2316 ζῶντος, 生ける G2198 Ἰερουσαλὴμ エルサレム–天の G2419

ἐπουρανίῳ; 天の G2032 καὶ そして G2532 μυριάσιν 幾万の G3461 ἀγγέλων, 御使いたちに G0032

しかしあなたがたが近づいているのは、シオンの山、生ける神の都、天にあるエルサレム、無数の天使の祝会、

23 πανηγύρει; 祝典に G3831 καὶ そして G2532 ἐκκλησίᾳ 集会に G1577 πρωτοτόκων, 長子たちの G4416 ἀπογεγραμμένων 登録された G0583 ἐν ～の中に G1722 οὐρανοῖς; 天に G3772 καὶ そして G2532

Κριτῇ 裁き–主である G2923 Θεῷ 神に G2316 πάντων; すべての–者の G3956 καὶ そして G2532 πνεύμασι 霊に G4151 δικαίων 義なる–者たちの G1342 τετελειωμένων; 完全にされた G5048

天に登録されている長子たちの教会、万民の審判者なる神、全うされた義人の霊、

24 καὶ そして G2532 διαθήκης 契約の G1242 νέας 新しい G3501 μεσίτῃ, 仲介者である G3316 Ἰησοῦ; イエスに G2424 καὶ そして G2532 αἵματι 血に G0129 ῥαντισμοῦ, 注ぎかけの G4473

κρεῖττον より–すぐれたことを G2909 λαλοῦντι 語っている G2980 παρὰ ～よりも G3844 τὸν その G3588 Ἄβελ. アベルよりも G0006

新しい契約の仲保者イエス、ならびに、アベルの血よりも力強く語るそそがれた血である。

25 Βλέπετε 気を–つけなさい G0991 μὴ ～しないで G3361 παραιτήσησθε 拒まないで G3868 τὸν その G3588 λαλοῦντα. 語っておられる–方を G2980 εἰ もし G1487 γὰρ なぜなら G1063

ἐκεῖνοι あの–者たちが G1565 οὐκ ～なかった G3756 ἐξέφυγον, 逃れなかったのに G1628 ἐπὶ ～の上で G1909 γῆς 地上で G1093 παραιτησάμενοι 拒んだ–者が G3868 τὸν その G3588

χρηματίζοντα, 警告する–方を G5537 πολὺ はるかに–まして G4183 μᾶλλον まして G3123 ἡμεῖς 私たちは G1473 οἱ その G3588 τὸν その G3588 ἀπ’ ～から G0575 οὐρανῶν 天から G3772

ἀποστρεφόμενοι, 背く–者は G0654

あなたがたは、語っておられるかたを拒むことがないように、注意しなさい。もし地上で御旨を告げた者を拒んだ人々が、罰をのがれることができなかったなら、天から告げ示すかたを退けるわたしたちは、なおさらそうなるのではないか。

26 οὗ ἡ φωνὴ τὴν γῆν ἐσάλευσεν τότε; νῦν δὲ ἐπήγγελται,
その-方の その 声は その 地を 揺るがした その-とき 今 しかし 約束された
G3739 G3588 G5456 G3588 G1093 G4531 G5119 G3568 G1161 G1861

λέγων, Ἔτι ἅπαξ ἐγὼ σείσω οὐ μόνον τὴν γῆν, ἀλλὰ
言って もう-一度 一度 私は 揺るがす ～だけでなく だけでなく その 地を そうでなく
G3004 G2089 G0530 G1473 G4579 G3756 G3440 G3588 G1093 G0235

καὶ τὸν οὐρανόν.
また その 天をも
G2532 G3588 G3772

あの時には、御声が地を震わせた。しかし今は、約束して言われた、「わたしはもう一度、地ばかりでなく天をも震わそう」。

27 τὸ δὲ Ἔτι ἅπαξ, δηλοῖ τὴν τῶν σαλευομένων μετάθεσιν,
その さて もう-一度という 一度 示している その その 揺るがされる-ものの 移し-去りを
G3588 G1161 G2089 G0530 G1213 G3588 G3588 G4531 G3331

ὡς πεποιημένων, ἵνα μείνῃ τὰ μὴ σαλευόμενα.
ちょうど 造られた-ものとして ～のために 残るために その ～ない 揺るがされない-ものが
G5613 G4160 G2443 G3306 G3588 G3361 G4531

この「もう一度」という言葉は、震われないものが残るために、震われるものが、造られたものとして取り除かれることを示している。

28 Διὸ βασιλείαν ἀσάλευτον παραλαμβάνοντες, ἔχωμεν χάριν, δι’
それゆえ 御国を 揺るがない 受けているので 感謝を-持とう 感謝を それに-よって
G1352 G0932 G0761 G3880 G2192 G5485 G1223

ἧς λατρεύωμεν εὐαρέστως τῷ Θεῷ, μετὰ εὐλαβείας καὶ
それに 仕えよう 喜ばれるように その 神に ～をもって 畏れをもって そして
G3739 G3000 G2102 G3588 G2316 G3326 G2124 G2532

δέους.
おそれをもって
G1169

このように、わたしたちは震われない国を受けているのだから、感謝をしようではないか。そして感謝しつつ、恐れかしこみ、神に喜ばれるように、仕えていこう。

29 καὶ γὰρ ὁ Θεὸς ἡμῶν πῦρ καταναλίσκον.
また なぜなら 私たちの 神は 私たちの 焼き-尽くす 火である
G2532 G1063 G3588 G2316 G1473 G4442 G2654

わたしたちの神は、実に、焼きつくす火である。

Chapter 13

1 Ἡ φιλαδελφία μενέτω;
その 兄弟愛が 続けよ
G3588 G5360 G3306

兄弟愛を続けなさい。

2 τῆς φιλοξενίας μὴ ἐπιλανθάνεσθε; διὰ ταύτης γὰρ, ἔλαθόν
その もてなしを ～するな 忘れるな それに-よって それに なぜなら 知らずに
G3588 G5381 G3361 G1950 G1223 G3778 G1063 G2990

τινες ξενίσαντες ἀγγέλους.
ある-者たちが もてなして 御使いたちを
G5100 G3579 G0032

旅人をもてなすことを忘れてはならない。このようにして、ある人々は、気づかないで御使たちをもてなした。

3 μιμνήσκεσθε τῶν δεσμίων, ὡς συνδεδεμένοι; τῶν
覚えていなさい その 囚人たちを ちょうど 共に-繋がれた-者のように その
G3403 G3588 G1198 G5613 G4887 G3588

κακουχουμένων, ὡς καὶ αὐτοὶ ὄντες ἐν σώματι.
苦しめられている-者を ちょうど また 自分たちも ある-者として ～の中に からだの中に
G2558 G5613 G2532 G0846 G1510 G1722 G4983

獄につながれている人たちを、自分も一緒につながれている心持で思いやりなさい。また、自分も同じ肉体にある者だから、苦しめられている人たちのことを、心にとめなさい。

4 Τίμιος ὁ γάμος ἐν πᾶσιν, καὶ ἡ κοίτη ἀμίαντος;
尊いものである その 結婚は ～の中で すべての-人の中で そして その 床は 汚れの-ない
G5093 G3588 G1062 G1722 G3956 G2532 G3588 G2845 G0283

πόρνους γὰρ καὶ μοιχοὺς, κρινεῖ ὁ Θεός.
淫らな-者を なぜなら そして 姦淫者を 裁かれる その 神が
G4205 G1063 G2532 G3432 G2919 G3588 G2316

すべての人は、結婚を重んずべきである。また寝床を汚してはならない。神は、不品行な者や姦淫をする者をさばかれる。

5 Ἀφιλάργυρος ὁ τρόπος, ἀρκούμενοι τοῖς παροῦσιν; αὐτὸς γὰρ
金銭を-愛さない その 生き方で 満足して その 今-ある-ものに 自ら なぜなら
G0866 G3588 G5158 G0714 G3588 G3918 G0846 G1063

εἴρηκεν, Οὐ μή σε ἀνῶ, οὐδ’ οὐ μή σε
言われた 決して-ない 決して あなたを 見捨てない また-ない 決して-ない 決して あなたを
G2046 G3756 G3361 G4771 G0447 G3761 G3756 G3361 G4771

ἐγκαταλίπω.
見棄てない
G1459

金銭を愛することをしないで、自分の持っているもので満足しなさい。主は、「わたしは、決してあなたを離れず、あなたを捨てない」と言われた。

6 ὥστε θαρροῦντας ἡμᾶς λέγειν, Κύριος ἐμοὶ βοηθός, [καὶ] οὐ
それゆえ 勇気を-もって 私たちは 言う 主は 私の 助け-主である そして ～ない
G5620 G2292 G1473 G3004 G2962 G1473 G0998 G2532 G3756

φοβηθήσομαι; τί ποιήσει μοι ἄνθρωπος?
恐れない 何を するであろうか 私に 人は
G5399 G5101 G4160 G1473 G0444

だから、わたしたちは、はばからずに言おう、「主はわたしの助け主である。わたしには恐れはない。人は、わたしに何ができようか」。

7 Μνημονεύετε τῶν ἡγουμένων ὑμῶν, οἵτινες ἐλάλησαν ὑμῖν τὸν
覚えていなさい その 指導者たちを あなたがたの その–者たちは 語った あなたがたに その
G3421 G3588 G2233 G4771 G3748 G2980 G4771 G3588

λόγον τοῦ Θεοῦ; ὧν, ἀναθεωροῦντες τὴν ἔκβασιν τῆς ἀναστροφῆς,
御言葉を その 神の その–者たちの 見–守って その 結果を その 生き方の
G3056 G3588 G2316 G3739 G0333 G3588 G1545 G3588 G0391

μιμεῖσθε τὴν πίστιν.
見備いなさい その 信仰を
G3401 G3588 G4102

神の言をあなたがたに語った指導者たちのことを、いつも思い起しなさい。彼らの生活の最後を見て、その信仰にならいなさい。

8 Ἰησοῦς Χριστὸς ἐχθὲς, καὶ σήμερον, ὁ αὐτός, καὶ εἰς
イエス・キリストは キリストは 昨日も そして 今日も その 同じであり そして ～の中へ
G2424 G5547 G5504 G2532 G4594 G3588 G0846 G2532 G1519

τοὺς αἰῶνας.
その 永遠に
G3588 G0165

イエス・キリストは、きのうも、きょうも、いつまでも変ることがない。

9 διδαχαῖς ποικίλαις καὶ ξέναις, μὴ παραφέρεσθε; καλὸν γὰρ
教えによって 様々な そして 異質な ～するな 惑わされるな 良いことである なぜなら
G1322 G4164 G2532 G3581 G3361 G3911 G2570 G1063

χάριτι βεβαιοῦσθαι τὴν καρδίαν, οὐ βρώμασιν; ἐν
恵みによって 強められることが その 心を ～でなく 食物によってでなく それに–よって
G5485 G0950 G3588 G2588 G3756 G1033 G1722

οἷς οὐκ ὠφελήθησαν οἱ περιπατοῦντες.
それに ～なかった 益されなかった その 歩んだ–者たちは
G3739 G3756 G5623 G3588 G4043

さまざまな違った教によって、迷わされてはならない。食物によらず、恵みによって、心を強くするがよい。食物によって歩いた者は、益を得ることがなかった。

10 Ἔχομεν θυσιαστήριον ἐξ οὗ φαγεῖν, οὐκ ἔχουσιν
私たちは–持っている 祭壇を そこから そこから 食べることが ～ない 持っていない
G2192 G2379 G1537 G3739 G5315 G3756 G2192

ἐξουσίαν, οἱ τῇ σκηνῇ λατρεύοντες;
権利を その その 幕屋に 仕えている–者たちは
G1849 G3588 G3588 G4633 G3000

わたしたちには一つの祭壇がある。幕屋で仕えている者たちは、その祭壇の食物をたべる権利はない。

11 ὧν γὰρ εἰσφέρεται ζῴων τὸ αἷμα περὶ ἁμαρτίας, εἰς τὰ
その なぜなら 運び–入れられる 動物の その 血が ～のために 罪のために ～の中に その
G3739 G1063 G1533 G2226 G3588 G0129 G4012 G0266 G1519 G3588

ἅγια διὰ τοῦ ἀρχιερέως; τούτων τὰ σώματα κατακαίεται ἔξω τῆς
聖所に ～を通して その 大祭司によって それらの その からだは 焼かれる 外で その
G0040 G1223 G3588 G0749 G3778 G3588 G4983 G2618 G1854 G3588

παρεμβολῆς.
陣営の
G3925

なぜなら、大祭司によって罪のためにささげられるけものの血は、聖所のなかに携えて行かれるが、そのからだは、営所の外で焼かれてしまうからである。

12

διὸ	καὶ	Ἰησοῦς,	ἵνα	ἁγιάσῃ	διὰ	τοῦ	ἰδίου	αἵματος
それゆえ	また	イエスも	～のために	聖めるために	～を通して	その	自分自身の	血によって
G1352	G2532	G2424	G2443	G0037	G1223	G3588	G2398	G0129

τὸν	λαόν,	ἔξω	τῆς	πύλης	ἔπαθεν.
その	民を	外で	その	門の	苦しまれた
G3588	G2992	G1854	G3588	G4439	G3958

だから、イエスもまた、ご自分の血で民をきよめるために、門の外で苦難を受けられたのである。

13

τοίνυν	ἐξερχώμεθα	πρὸς	αὐτὸν,	ἔξω	τῆς	παρεμβολῆς,	τὸν	ὀνειδισμὸν
それゆえ	出て–行こう	～の方へ	彼の方へ	外へ	その	陣営の	その	辱めを
G5106	G1831	G4314	G0846	G1854	G3588	G3925	G3588	G3680

αὐτοῦ	φέροντες;
彼の	担いながら
G0846	G5342

したがって、わたしたちも、彼のはずかしめを身に負い、営所の外に出て、みもとに行こうではないか。

14

οὐ	γὰρ	ἔχομεν	ὧδε	μένουσαν	πόλιν,	ἀλλὰ	τὴν
～でない	なぜなら	私たちは–持っていない	ここには	永続する	都を	そうでなく	その
G3756	G1063	G2192	G5602	G3306	G4172	G0235	G3588

μέλλουσαν	ἐπιζητοῦμεν.
来たるべき–都を	求めている
G3195	G1934

この地上には、永遠の都はない。きたらんとする都こそ、わたしたちの求めているものである。

15

δι’	αὐτοῦ	οὖν	ἀναφέρωμεν	θυσίαν	αἰνέσεως	διὰ	παντὸς	τῷ
彼を–通して	彼を	それゆえ	ささげよう	いけにえを	賛美の	絶えず	絶えず	その
G1223	G0846	G3767	G0399	G2378	G0133	G1223	G3956	G3588

Θεῷ,	τοῦτ’	ἔστιν,	καρπὸν	χειλέων	ὁμολογούντων	τῷ	ὀνόματι	αὐτοῦ.
神に	すなわち	それは	実を	唇の	告白する	その	御名に	彼の
G2316	G3778	G1510	G2590	G5491	G3670	G3588	G3686	G0846

だから、わたしたちはイエスによって、さんびのいけにえ、すなわち、彼の御名をたたえるくちびるの実を、たえず神にささげようではないか。

16

τῆς	δὲ	εὐποιΐας	καὶ	κοινωνίας,	μὴ	ἐπιλανθάνεσθε;	τοιαύταις	γὰρ
その	さて	善行と	そして	分かち–合いを	～するな	忘れるな	このような	なぜなら
G3588	G1161	G2140	G2532	G2842	G3361	G1950	G5108	G1063

θυσίαις	εὐαρεστεῖται	ὁ	Θεός.
いけにえによって	喜ばれる	その	神は
G2378	G2100	G3588	G2316

そして、善を行うことと施しをすることとを、忘れてはいけない。神は、このようないけにえを喜ばれる。

17 Πείθεσθε τοῖς ἡγουμένοις ὑμῶν, καὶ ὑπείκετε; αὐτοὶ γὰρ
従いなさい その 指導者たちに あなたがたの そして 服しなさい 彼ら–自身が なぜなら
G3982 G3588 G2233 G4771 G2532 G5226 G0846 G1063

ἀγρυπνοῦσιν ὑπὲρ τῶν ψυχῶν ὑμῶν, ὡς λόγον ἀποδώσοντες;
見張っている ～のために その 魂のために あなたがたの ちょうど 弁明を 返す–者として
G0069 G5228 G3588 G5590 G4771 G5613 G3056 G0591

ἵνα μετὰ χαρᾶς τοῦτο ποιῶσιν, καὶ μὴ στενάζοντες,
～のために ～をもって 喜びをもって これを 行うように そして ～しないで 嘆かないで
G2443 G3326 G5479 G3778 G4160 G2532 G3361 G4727

ἀλυσιτελὲς γὰρ ὑμῖν τοῦτο.
益に–ならない なぜなら あなたがたにとって これは
G0255 G1063 G4771 G3778

あなたがたの指導者たちの言うことを聞きいれて、従いなさい。彼らは、神に言いひらきをすべき者として、あなたがたのたましいのために、目をさましている。彼らが嘆かないで、喜んでこのことをするようにしなさい。そうでないと、あなたがたの益にならない。

18 Προσεύχεσθε περὶ ἡμῶν; πειθόμεθα γὰρ, ὅτι καλὴν συνείδησιν
祈ってください ～のために 私たちのために 確信している なぜなら ～と 清い 良心を
G4336 G4012 G1473 G3982 G1063 G3754 G2570 G4893

ἔχομεν, ἐν πᾶσιν καλῶς θέλοντες ἀναστρέφεσθαι.
持っていると ～の中で すべての–ことにおいて 正しく 望んで 歩むことを
G2192 G1722 G3956 G2573 G2309 G0390

わたしたちのために、祈ってほしい。わたしたちは明らかな良心を持っていると信じており、何事についても、正しく行動しようと願っている。

19 περισσοτέρως δὲ παρακαλῶ τοῦτο ποιῆσαι, ἵνα τάχιον ἀποκατασταθῶ
いっそう さて 勧める これを 行うことを ～のために より–早く 戻されるために
G4057 G1161 G3870 G3778 G4160 G2443 G5032 G0600

ὑμῖν.
あなたがたに
G4771

わたしがあなたがたの所に早く帰れるため、祈ってくれるように、特にお願いする。

20 Ὁ δὲ Θεὸς τῆς εἰρήνης, ὁ ἀναγαγὼν ἐκ νεκρῶν τὸν
その さて 神が その 平和の その–方は 導き–上げられた ～から 死者の–中から その
G3588 G1161 G2316 G3588 G1515 G3588 G0321 G1537 G3498 G3588

ποιμένα τῶν προβάτων τὸν μέγαν, ἐν αἵματι διαθήκης αἰωνίου, τὸν
羊飼いを その 羊の その 大いなる ～によって 血によって 契約の 永遠の その
G4166 G3588 G4263 G3588 G3173 G1722 G0129 G1242 G0166 G3588

Κύριον ἡμῶν Ἰησοῦν,
主である 私たちの イエスを
G2962 G1473 G2424

永遠の契約の血による羊の大牧者、わたしたちの主イエスを、死人の中から引き上げられた平和の神が、

21 καταρτίσαι ὑμᾶς ἐν παντὶ ἀγαθῷ, εἰς τὸ
整えてくださるように あなたがたを ～の中で すべての 善き-ものの中で ～のために その
G2675 G4771 G1722 G3956 G0018 G1519 G3588

ποιῆσαι τὸ θέλημα αὐτοῦ, ποιῶν ἐν ἡμῖν τὸ εὐάρεστον
行うために その 御心を 彼の 行ってくださり ～の中で 私たちの中で その 善き-ことを
G4160 G3588 G2307 G0846 G4160 G1722 G1473 G3588 G2101

ἐνώπιον αὐτοῦ, διὰ Ἰησοῦ Χριστοῦ, ᾧ ἡ δόξα
御前に 彼の ～を通して イエス・キリストを通して キリストを その-方に その 栄光が
G1799 G0846 G1223 G2424 G5547 G3739 G3588 G1391

εἰς τοὺς αἰῶνας τῶν αἰώνων. ἀμήν.
～の中へ その 世々の その 世々に アーメン
G1519 G3588 G0165 G3588 G0165 G0281

イエス・キリストによって、みこころにかなうことをわたしたちにして下さり、あなたがたが御旨を行うために、すべての良きものを備えて下さるようにこい願う。栄光が、世々限りなく神にあるように、アァメン。

22 Παρακαλῶ δὲ ὑμᾶς, ἀδελφοί, ἀνέχεσθε τοῦ λόγου τῆς
勧める さて あなたがたに 兄弟たちよ 耐えてください その 言葉を その
G3870 G1161 G4771 G0080 G0430 G3588 G3056 G3588

παρακλήσεως, καὶ γὰρ διὰ βραχέων ἐπέστειλα ὑμῖν.
勧めの また なぜなら ～をもって 短い-言葉をもって 書き-送った あなたがたに
G3874 G2532 G1063 G1223 G1024 G1989 G4771

兄弟たちよ。どうかわたしの勧めの言葉を受けいれてほしい。わたしは、ただ手みじかに書いたのだから。

23 Γινώσκετε τὸν ἀδελφὸν ἡμῶν Τιμόθεον ἀπολελυμένον; μεθ’ οὗ,
知ってください その 兄弟である 私たちの テモテが 釈放されたことを その-方と その方と
G1097 G3588 G0080 G1473 G5095 G0630 G3326 G3739

ἐὰν τάχιον ἔρχηται, ὄψομαι ὑμᾶς.
もし より-早く 来るなら 会うであろう あなたがたに
G1437 G5032 G2064 G3708 G4771

わたしたちの兄弟テモテがゆるされたことを、お知らせする。もし彼が早く来れば、彼と一緒にわたしはあなたがたに会えるだろう。

24 Ἀσπάσασθε πάντας τοὺς ἡγουμένους ὑμῶν, καὶ πάντας τοὺς
よろしく-伝えてください すべての その 指導者たちに あなたがたの そして すべての その
G0782 G3956 G3588 G2233 G4771 G2532 G3956 G3588

ἁγίους. Ἀσπάζονται ὑμᾶς, οἱ ἀπὸ τῆς Ἰταλίας.
聖徒たちに よろしく-伝えている あなたがたに その ～からの その イタリアからの-者たちが
G0040 G0782 G4771 G3588 G0575 G3588 G2482

あなたがたの指導者一同と聖徒たち一同に、よろしく伝えてほしい。イタリヤからきた人々から、あなたがたによろしく。

25 Ἡ χάρις μετὰ πάντων ὑμῶν. <Ἀμήν>.
その 恵みが ～とともに すべての あなたがたと アーメン
G3588 G5485 G3326 G3956 G4771 G0281

恵みが、あなたがた一同にあるように。

James

Chapter 1

1 Ἰάκωβος, Θεοῦ καὶ Κυρίου Ἰησοῦ Χριστοῦ δοῦλος; ταῖς δώδεκα
ヤコブは 神の そして 主の イエス・キリストの キリストの 僕である その 十二の
G2385 G2316 G2532 G2962 G2424 G5547 G1401 G3588 G1427

φυλαῖς ταῖς ἐν τῇ Διασπορᾷ: χαίρειν.
部族に その ～の中にある その 離散の–中にある 挨拶を
G5443 G3588 G1722 G3588 G1290 G5463

神と主イエス・キリストとの僕ヤコブから、離散している十二部族の人々へ、あいさつをおくる。

2 Πᾶσαν χαρὰν ἡγήσασθε, ἀδελφοί μου, ὅταν πειρασμοῖς περιπέσητε
すべての 喜びと みなしなさい 兄弟たちよ 私の ～のときに 試練に 出会うときに
G3956 G5479 G2233 G0080 G1473 G3752 G3986 G4045

ποικίλοις,
様々な
G4164

わたしの兄弟たちよ。あなたがたが、いろいろな試錬に会った場合、それをむしろ非常に喜ばしいことと思いなさい。

3 γινώσκοντες ὅτι τὸ δοκίμιον ὑμῶν τῆς πίστεως κατεργάζεται
知って ～と その 試練が あなたがたの その 信仰の 生み–出す
G1097 G3754 G3588 G1383 G4771 G3588 G4102 G2716

ὑπομονήν.
忍耐を
G5281

あなたがたの知っているとおり、信仰がためされることによって、忍耐が生み出されるからである。

4 ἡ δὲ ὑπομονὴ ἔργον τέλειον ἐχέτω, ἵνα ἦτε τέλειοι καὶ
その さて 忍耐は 行いを 完全な 持たせよ ～のために あるために 完全であり そして
G3588 G1161 G5281 G2041 G5046 G2192 G2443 G1510 G5046 G2532

ὁλόκληροι, ἐν μηδενὶ λειπόμενοι.
全き–者で ～の中で 何も 欠けていない
G3648 G1722 G3367 G3007

だから、なんら欠点のない、完全な、でき上がった人となるように、その忍耐力を十分に働かせるがよい。

5 Εἰ δέ τις ὑμῶν λείπεται σοφίας, αἰτείτω παρὰ τοῦ
もし しかし 誰かが あなたがたの 欠けているなら 知恵が 求めよ ～から その
G1487 G1161 G5100 G4771 G3007 G4678 G0154 G3844 G3588

διδόντος, Θεοῦ, πᾶσιν ἁπλῶς, καὶ μὴ ὀνειδίζοντος, καὶ
与えてくださる 神に すべての–人に 惜しみなく そして ～しないで 責めないで そうすれば
G1325 G2316 G3956 G0574 G2532 G3361 G3679 G2532

δοθήσεται αὐτῷ.
与えられる 彼に
G1325 G0846

あなたがたのうち、知恵に不足している者があれば、その人は、とがめもせずに惜しみなくすべての人に与える神に、願い求めるがよい。そうすれば、与えられるであろう。

6 αἰτείτω δὲ ἐν πίστει, μηδὲν διακρινόμενος. ὁ γὰρ
求めよ しかし ～の中で 信仰の中で 何も 疑わないで その なぜなら
G0154 G1161 G1722 G4102 G3367 G1252 G3588 G1063

διακρινόμενος ἔοικεν κλύδωνι θαλάσσης, ἀνεμιζομένῳ καὶ ῥιπιζομένῳ.
疑う–者は 似ている 波に 海の 風に–吹かれ そして 揺り–動かされる
G1252 G1503 G2830 G2281 G0416 G2532 G4494

ただ、疑わないで、信仰をもって願い求めなさい。疑う人は、風の吹くままに揺れ動く海の波に似ている。

7 μὴ γὰρ οἰέσθω ὁ ἄνθρωπος ἐκεῖνος, ὅτι λήμψεταί τι παρὰ
～するな なぜなら 思うな その 人は その ～と 受けると 何かを ～から
G3361 G1063 G3633 G3588 G0444 G1565 G3754 G2983 G5100 G3844

τοῦ Κυρίου;
その 主から
G3588 G2962

そういう人は、主から何かをいただけるもののように思うべきではない。

8 ἀνὴρ δίψυχος, ἀκατάστατος ἐν πάσαις ταῖς ὁδοῖς αὐτοῦ.
人は 二心の–者であり 定まらない ～の中で すべての その 道において 自分の
G0435 G1374 G0182 G1722 G3956 G3588 G3598 G0846

そんな人間は、二心の者であって、そのすべての行動に安定がない。

9 Καυχάσθω δὲ ὁ ἀδελφὸς ὁ ταπεινὸς, ἐν τῷ ὕψει αὐτοῦ;
誇れ さて その 兄弟は その 低い–者は ～の中で その 高さの–中で 自分の
G2744 G1161 G3588 G0080 G3588 G5011 G1722 G3588 G5311 G0846

低い身分の兄弟は、自分が高くされたことを喜びなさい。

10 ὁ δὲ πλούσιος, ἐν τῇ ταπεινώσει αὐτοῦ, ὅτι ὡς
その しかし 富める–者は ～の中で その 低さの–中で 自分の なぜなら ちょうど
G3588 G1161 G4145 G1722 G3588 G5014 G0846 G3754 G5613

ἄνθος χόρτου, παρελεύσεται.
花のように 草の 過ぎ–去る
G0438 G5528 G3928

また、富んでいる者は、自分が低くされたことを喜ぶがよい。富んでいる者は、草花のように過ぎ去るからである。

11 ἀνέτειλεν γὰρ ὁ ἥλιος, σὺν τῷ καύσωνι, καὶ ἐξήρανεν τὸν
昇った なぜなら その 太陽が ～とともに その 熱風とともに そして 枯らした その
G0393 G1063 G3588 G2246 G4862 G3588 G2742 G2532 G3583 G3588

χόρτον, καὶ τὸ ἄνθος αὐτοῦ ἐξέπεσεν, καὶ ἡ εὐπρέπεια τοῦ
草を そして その 花は その 落ちた そして その 美しさは その
G5528 G2532 G3588 G0438 G0846 G1601 G2532 G3588 G2143 G3588

προσώπου αὐτοῦ ἀπώλετο. οὕτως καὶ ὁ πλούσιος ἐν ταῖς
容貌の その 滅びた このように また その 富める-者も ～の中で その
G4383 G0846 G0622 G3779 G2532 G3588 G4145 G1722 G3588

πορείαις αὐτοῦ, μαρανθήσεται.
歩みの-中で 自分の しぼむ
G4197 G0846 G3133

たとえば、太陽が上って熱風をおくると、草を枯らす。そしてその花は落ち、その美しい姿は消えうせてしまう。それと同じように、富んでいる者も、その一生の旅なかばで没落するであろう。

12 Μακάριος ἀνὴρ ὃς ὑπομένει πειρασμόν; ὅτι δόκιμος γενόμενος,
幸いである 人は その-者は 耐え-忍ぶ 試練を なぜなら 試練に-耐えた なって
G3107 G0435 G3739 G5278 G3986 G3754 G1384 G1096

λήμψεται τὸν στέφανον τῆς ζωῆς, ὃν ἐπηγγείλατο τοῖς ἀγαπῶσιν
受ける その 冠を その 命の それを 約束された その 愛する-者たちに
G2983 G3588 G4735 G3588 G2222 G3739 G1861 G3588 G0025

αὐτόν.
彼を
G0846

試錬を耐え忍ぶ人は、さいわいである。それを忍びとおしたなら、神を愛する者たちに約束されたいのちの冠を受けるであろう。

13 Μηδεὶς πειραζόμενος λεγέτω, ὅτι Ἀπὸ Θεοῦ πειράζομαι. ὁ γὰρ
誰も 試みられているとき 言うな ～と ～から 神から 試みられていると その なぜなら
G3367 G3985 G3004 G3754 G0575 G2316 G3985 G3588 G1063

Θεὸς ἀπείραστός ἐστιν κακῶν; πειράζει δὲ αὐτὸς οὐδένα.
神は 試みられない-方である ある 悪に-よって 試みない そして 自ら 誰をも
G2316 G0551 G1510 G2556 G3985 G1161 G0846 G3762

だれでも誘惑に会う場合、「この誘惑は、神からきたものだ」と言ってはならない。神は悪の誘惑に陥るようなかたではなく、また自ら進んで人を誘惑することもなさらない。

14 ἕκαστος δὲ πειράζεται, ὑπὸ τῆς ἰδίας ἐπιθυμίας, ἐξελκόμενος
各々は しかし 試みられる ～によって その 自分自身の 欲望によって 引き-出され
G1538 G1161 G3985 G5259 G3588 G2398 G1939 G1828

καὶ δελεαζόμενος;
そして 誘われて
G2532 G1185

人が誘惑に陥るのは、それぞれ、欲に引かれ、さそわれるからである。

15 εἶτα ἡ ἐπιθυμία συλλαβοῦσα. τίκτει ἁμαρτίαν; ἡ δὲ ἁμαρτία
それから その 欲望が 孕んで 産む 罪を その しかし 罪が
G1534 G3588 G1939 G4815 G5088 G0266 G3588 G1161 G0266

ἀποτελεσθεῖσα, ἀποκύει θάνατον.
營り-成って 産み-出す 死を
G0658 G0616 G2288

欲がはらんで罪を生み、罪が熟して死を生み出す。

16 Μὴ πλανᾶσθε, ἀδελφοί μου ἀγαπητοί.
～するな 惑わされるな 兄弟たちよ 私の 愛する
G3361 G4105 G0080 G1473 G0027

愛する兄弟たちよ。思い違いをしてはいけない。

17 πᾶσα δόσις ἀγαθὴ, καὶ πᾶν δώρημα τέλειον, ἄνωθέν ἐστιν,
すべての 贈り物は 善い そして すべての 贈り物は 完全な 上から ある
G3956 G1394 G0018 G2532 G3956 G1434 G5046 G0509 G1510

καταβαῖνον ἀπὸ τοῦ Πατρὸς τῶν φώτων, παρ’ ᾧ οὐκ
降って–来る ～から その 父から その 光の ～において その–方には ～ない
G2597 G0575 G3588 G3962 G3588 G5457 G3844 G3739 G3756

ἔνι παραλλαγὴ, ἢ τροπῆς ἀποσκίασμα.
あり得ない 変化も または 移り–行くことの 影も
G1762 G3883 G2228 G5157 G0644

あらゆる良い贈り物、あらゆる完全な賜物は、上から、光の父から下って来る。父には、変化とか回転の影とかいうものはない。

18 βουληθεὶς, ἀπεκύησεν ἡμᾶς λόγῳ ἀληθείας, εἰς τὸ εἶναι
望まれて 産み–出された 私たちを 御言葉によって 真理の ～のために その あるために
G1014 G0616 G1473 G3056 G0225 G1519 G3588 G1510

ἡμᾶς ἀπαρχήν τινα, τῶν αὐτοῦ κτισμάτων,
私たちが 初穂として ある その 彼の 被造物の
G1473 G0536 G5100 G3588 G0846 G2938

父は、わたしたちを、いわば被造物の初穂とするために、真理の言葉によって御旨のままに、生み出して下さったのである。

19 Ἴστε, ἀδελφοί μου ἀγαπητοί, ἔστω δὲ πᾶς ἄνθρωπος ταχὺς
知りなさい 兄弟たちよ 私の 愛する あれ さて すべての 人は 速い–者であれ
G1492 G0080 G1473 G0027 G1510 G1161 G3956 G0444 G5036

εἰς τὸ ἀκοῦσαι, βραδὺς εἰς τὸ λαλῆσαι, βραδὺς
～のために その 聞くために 遅い–者であれ ～のために その 語るために 遅い–者であれ
G1519 G3588 G0191 G1021 G1519 G3588 G2980 G1021

εἰς ὀργήν;
～のために 怒りのために
G1519 G3709

愛する兄弟たちよ。このことを知っておきなさい。人はすべて、聞くに早く、語るにおそく、怒るにおそくあるべきである。

20 ὀργὴ γὰρ ἀνδρὸς, δικαιοσύνην Θεοῦ οὐκ ἐργάζεται.
怒りは なぜなら 人の 義を 神の ～しない 生み–出さない
G3709 G1063 G0435 G1343 G2316 G3756 G2038

人の怒りは、神の義を全うするものではないからである。

21 διὸ, ἀποθέμενοι πᾶσαν ῥυπαρίαν καὶ περισσείαν κακίας, ἐν
それゆえ 脱ぎ–捨てて すべての 汚れと そして あふれるほどの 悪意を ～をもって
G1352 G0659 G3956 G4507 G2532 G4050 G2549 G1722

πραΰτητι δέξασθε τὸν ἔμφυτον λόγον, τὸν δυνάμενον σῶσαι τὰς
柔和をもって 受け–入れなさい その 植えられた 御言葉を その できる 救うことが その
G4240 G1209 G3588 G1721 G3056 G3588 G1410 G4982 G3588

ψυχὰς ὑμῶν.
魂を あなたがたの
G5590 G4771

だから、すべての汚れや、はなはだしい悪を捨て去って、心に植えつけられている御言を、すなおに受け入れなさい。御言には、あなたがたのたましいを救う力がある。

22 γίνεσθε δὲ ποιηταὶ λόγου, καὶ μὴ ἀκροαταὶ μόνον,
なりなさい さて 行う–者に 御言葉の そして ～しないで 聞く–だけの–者に だけでなく
G1096 G1161 G4163 G3056 G2532 G3361 G0202 G3440

παραλογιζόμενοι ἑαυτούς.
欺きながら 自分自身を
G3884 G1438

そして、御言を行う人になりなさい。おのれを欺いて、ただ聞くだけの者となってはいけない。

23 ὅτι εἴ τις ἀκροατὴς λόγου ἐστὶν, καὶ οὐ
なぜなら もし 誰かが 聞く–だけの–者で 御言葉の あるなら そして ～でない
G3754 G1487 G5100 G0202 G3056 G1510 G2532 G3756

ποιητής, οὗτος ἔοικεν ἀνδρὶ κατανοοῦντι τὸ πρόσωπον τῆς
行う–者でないなら この–者は 似ている 人に 見つめている その 顔を その
G4163 G3778 G1503 G0435 G2657 G3588 G4383 G3588

γενέσεως αὐτοῦ ἐν ἐσόπτρῳ.
生まれの 自分の ～の中で 鏡の中で
G1078 G0846 G1722 G2072

おおよそ御言を聞くだけで行わない人は、ちょうど、自分の生れつきの顔を鏡に映して見る人のようである。

24 κατενόησεν γὰρ ἑαυτὸν καὶ ἀπελήλυθεν, καὶ εὐθέως ἐπελάθετο
見つめた なぜなら 自分自身を そして 立ち–去った そして すぐに 忘れた
G2657 G1063 G1438 G2532 G0565 G2532 G2112 G1950

ὁποῖος ἦν.
どのような–者であったかを あったかを
G3697 G1510

彼は自分を映して見てそこから立ち去ると、そのとたんに、自分の姿がどんなであったかを忘れてしまう。

25 ὁ δὲ παρακύψας εἰς νόμον τέλειον, τὸν τῆς ἐλευθερίας,
その しかし のぞき–込んだ–者は ～の中に 律法の中に 完全な その その 自由の
G3588 G1161 G3879 G1519 G3551 G5046 G3588 G3588 G1657

καὶ παραμείνας, οὐκ ἀκροατὴς ἐπιλησμονῆς γενόμενος, ἀλλὰ
そして とどまった–者は ～でなく 聞く–だけの–者でなく 忘れる–者でなく なって そうでなく
G2532 G3887 G3756 G0202 G1953 G1096 G0235

ποιητὴς ἔργου-- οὗτος μακάριος ἐν τῇ ποιήσει αὐτοῦ
行う–者となった 行いの この–者は 幸いである ～の中で その 行いの–中で 自分の
G4163 G2041 G3778 G3107 G1722 G3588 G4162 G0846

ἔσται.
あるであろう
G1510

これに反して、完全な自由の律法を一心に見つめてたゆまない人は、聞いて忘れてしまう人ではなくて、実際に行う人である。こういう人は、その行いによって祝福される。

26 Εἴ τις δοκεῖ θρησκὸς εἶναι, μὴ χαλιναγωγῶν γλῶσσαν αὐτοῦ,
もし 誰かが 思うなら 信仰深いと あると ～しないで 制御しないで 舌を 自分の
G1487 G5100 G1380 G2357 G1510 G3361 G5468 G1100 G0846

ἀλλὰ ἀπατῶν καρδίαν αὐτοῦ, τούτου μάταιος ἡ θρησκεία.
そうでなく 欺きながら 心を 自分の この–者の 空しい その 信仰は
G0235 G0538 G2588 G0846 G3778 G3152 G3588 G2356

もし人が信心深い者だと自任しながら、舌を制することをせず、自分の心を欺いているならば、その人の信心はむなしいものである。

27 θρησκεία καθαρὰ καὶ ἀμίαντος παρὰ τῷ Θεῷ καὶ Πατρὶ
信仰は 清い そして 汚れの–ない ～の前に その 神の前に そして 父の前に
G2356 G2513 G2532 G0283 G3844 G3588 G2316 G2532 G3962

αὕτη ἐστίν: ἐπισκέπτεσθαι ὀρφανοὺς καὶ χήρας ἐν τῇ θλίψει
これである ある 訪れること 孤児を そして 対婦を ～の中の その 苦難の中の
G3778 G1510 G1980 G3737 G2532 G5503 G1722 G3588 G2347

αὐτῶν; ἄσπιλον ἑαυτὸν τηρεῖν ἀπὸ τοῦ κόσμου.
彼らの 汚れの–なく 自分自身を 保つこと ～から その 世から
G0846 G0784 G1438 G5083 G0575 G3588 G2889

父なる神のみまえに清く汚れのない信心とは、困っている孤児や、やもめを見舞い、自らは世の汚れに染まずに、身を清く保つことにほかならない。

Chapter 2

1 Ἀδελφοί μου, μὴ ἐν προσωπολημψίαις ἔχετε τὴν πίστιν τοῦ
兄弟たちよ 私の ～ない ～で えこひいき 持ちなさい その 信仰を その
G0080 G1473 G3361 G1722 G4382 G2192 G3588 G4102 G3588

Κυρίου ἡμῶν, Ἰησοῦ Χριστοῦ, τῆς δόξης;
主 私たちの イエス キリストの その 栄光の
G2962 G1473 G2424 G5547 G3588 G1391

わたしの兄弟たちよ。わたしたちの栄光の主イエス・キリストへの信仰を守るのに、分け隔てをしてはならない。

2 ἐὰν γὰρ εἰσέλθῃ εἰς συναγωγὴν ὑμῶν, ἀνὴρ χρυσοδακτύλιος
もし なぜなら 入って来たら ～の中に 会堂に あなたがたの 人が 金の–指輪をした
G1437 G1063 G1525 G1519 G4864 G4771 G0435 G5554

ἐν ἐσθῆτι λαμπρᾷ; εἰσέλθῃ δὲ καὶ πτωχὸς, ἐν ῥυπαρᾷ ἐσθῆτι;
～を着た 衣服を 輝く 入って来たら また そして 貧しい者も ～を着た 汚れた 衣服を
G1722 G2066 G2986 G1525 G1161 G2532 G4434 G1722 G4508 G2066

たとえば、あなたがたの会堂に、金の指輪をはめ、りっぱな着物を着た人がはいって来ると同時に、みすぼらしい着物を着た貧しい人がはいってきたとする。

3 ἐπιβλέψητε δὲ ἐπὶ τὸν φοροῦντα τὴν ἐσθῆτα τὴν λαμπρὰν, καὶ
目を–留めて そして ～に その 着ている者に その 衣服を その 輝く そして
G1914 G1161 G1909 G3588 G5409 G3588 G2066 G3588 G2986 G2532

εἴπητε, Σὺ κάθου ὧδε καλῶς, καὶ τῷ πτωχῷ εἴπητε, Σὺ
言うなら あなたは 座りなさい ここに 良い–席に そして その 貧しい者に 言うなら あなたは
G3004 G4771 G2521 G5602 G2573 G2532 G3588 G4434 G3004 G4771

στῆθι, ἐκεῖ «ἢ, κάθου»□ ὑπὸ τὸ ὑποπόδιόν μου,
立っていなさい あそこに あるいは 座りなさい ～の下に その 足台の 私の
G2476 G1563 G2228 G2521 G5259 G3588 G5286 G1473

その際、りっぱな着物を着た人に対しては、うやうやしく「どうぞ、こちらの良い席にお掛け下さい」と言い、貧しい人には、「あなたは、そこに立っていなさい。それとも、わたしの足もとにすわっているがよい」と言ったとしたら、

4 οὐ διεκρίθητε ἐν ἑαυτοῖς, καὶ ἐγένεσθε κριταὶ διαλογισμῶν
～ない 差別したのか ～の中で 自分たちの間で そして なったのか 裁き手に 考えの
G3756 G1252 G1722 G1438 G2532 G1096 G2923 G1261

πονηρῶν?
悪い
G4190

あなたがたは、自分たちの間で差別立てをし、よからぬ考えで人をさばく者になったわけではないか。

5 Ἀκούσατε, ἀδελφοί μου ἀγαπητοί: οὐχ ὁ Θεὸς ἐξελέξατο τοὺς
聞きなさい 兄弟たちよ 私の 愛する ～ない その 神は 選ばれたのか その
G0191 G0080 G1473 G0027 G3756 G3588 G2316 G1586 G3588

πτωχοὺς τῷ κόσμῳ, πλουσίους ἐν πίστει, καὶ κληρονόμους
貧しい者たちを この 世にあって 富んだ者として ～において 信仰に そして 相続人として
G4434 G3588 G2889 G4145 G1722 G4102 G2532 G2818

τῆς βασιλείας ἧς ἐπηγγείλατο τοῖς ἀγαπῶσιν αὐτόν?
その 御国の それを 約束された その 愛する者たちに 主を
G3588 G0932 G3739 G1861 G3588 G0025 G0846

愛する兄弟たちよ。よく聞きなさい。神は、この世の貧しい人たちを選んで信仰に富ませ、神を愛する者たちに約束された御国の相続者とされたではないか。

6 ὑμεῖς δὲ ἠτιμάσατε τὸν πτωχόν. οὐχ οἱ πλούσιοι
あなたがたは しかし 侮辱した その 貧しい者を ～ない その 富んだ者たちが
G4771 G1161 G0818 G3588 G4434 G3756 G3588 G4145

καταδυναστεύουσιν ὑμῶν καὶ αὐτοὶ ἕλκουσιν ὑμᾶς εἰς κριτήρια?
圧迫しているのか あなたがたを そして 彼らが 引きずるのか あなたがたを ～へ 裁判所へ
G2616 G4771 G2532 G0846 G1670 G4771 G1519 G2922

しかるに、あなたがたは貧しい人をはずかしめたのである。あなたがたをしいたげ、裁判所に引きずり込むのは、富んでいる者たちではないか。

7

οὐκ	αὐτοὶ	βλασφημοῦσιν	τὸ	καλὸν	ὄνομα,	τὸ	ἐπικληθὲν	ἐφ’
～ない	彼らが	冒涜しているのか	その	尊い	御名を	その	唱えられた	～の上に
G3756	G0846	G0987	G3588	G2570	G3686	G3588	G1941	G1909

ὑμᾶς?
あなたがたの
G4771

あなたがたに対して唱えられた尊い御名を汚すのは、実に彼らではないか。

8

εἰ	μέντοι	νόμον	τελεῖτε	βασιλικὸν,	κατὰ	τὴν	γραφήν,	Ἀγαπήσεις
もし	確かに	律法を	守るなら	王の	～に従って	その	聖書の	愛しなさい
G1487	G3305	G3551	G5055	G0937	G2596	G3588	G1124	G0025

τὸν	πλησίον	σου	ὡς	σεαυτόν,	καλῶς
その	隣人を	あなたの	～のように	自分自身を	良く
G3588	G4139	G4771	G5613	G4572	G2573

ποιεῖτε.
行っている
G4160

しかし、もしあなたがたが、「自分を愛するように、あなたの隣り人を愛せよ」という聖書の言葉に従って、このきわめて尊い律法を守るならば、それは良いことである。

9

εἰ	δὲ	προσωπολημπτεῖτε,	ἁμαρτίαν	ἐργάζεσθε,	ἐλεγχόμενοι	ὑπὸ	τοῦ
もし	しかし	えこひいきするなら	罪を	犯している	責められて	～によって	その
G1487	G1161	G4380	G0266	G2038	G1651	G5259	G3588

νόμου	ὡς	παραβάται.
律法に	～として	違反者として
G3551	G5613	G3848

しかし、もし分け隔てをするならば、あなたがたは罪を犯すことになり、律法によって違反者として宣告される。

10

ὅστις	γὰρ	ὅλον	τὸν	νόμον	τηρήσῃ,	πταίσῃ	δὲ	ἐν
なぜなら–誰でも	なぜなら	全部の	その	律法を	守っても	つまずくなら	しかし	～において
G3748	G1063	G3650	G3588	G3551	G5083	G4417	G1161	G1722

ἑνί,	γέγονεν	πάντων	ἔνοχος.
一つで	なった	すべてに	罪ある者に
G1520	G1096	G3956	G1777

なぜなら、律法をことごとく守ったとしても、その一つの点にでも落ち度があれば、全体を犯したことになるからである。

11

ὁ	γὰρ	εἰπών,	Μὴ	μοιχεύσῃς,	εἶπεν	καί,	Μὴ	φονεύσῃς.	εἰ
その	なぜなら	言った方が	～するな	姦淫するな	言った	また	～するな	殺すな	もし
G3588	G1063	G3004	G3361	G3431	G3004	G2532	G3361	G5407	G1487

δὲ	οὐ	μοιχεύεις,	φονεύεις	δέ,	γέγονας	παραβάτης	νόμου.
しかし	～ない	姦淫しなくても	殺すなら	しかし	なった	違反者に	律法の
G1161	G3756	G3431	G5407	G1161	G1096	G3848	G3551

たとえば、「姦淫するな」と言われたかたは、また「殺すな」とも仰せになった。そこで、たとい姦淫はしなくても、人殺しをすれば、律法の違反者になったことになる。

12

οὕτως	λαλεῖτε,	καὶ	οὕτως	ποιεῖτε,	ὡς	διὰ	νόμου
このように	語りなさい	そして	このように	行いなさい	～として	～を通して	律法の
G3779	G2980	G2532	G3779	G4160	G5613	G1223	G3551

ἐλευθερίας,	μέλλοντες	κρίνεσθαι.
自由の	やがて	裁かれる者として
G1657	G3195	G2919

だから、自由の律法によってさばかるべき者らしく語り、かつ行いなさい。

13

ἡ	γὰρ	κρίσις	ἀνέλεος	τῷ	μὴ	ποιήσαντι	ἔλεος.	κατακαυχᾶται
その	なぜなら	裁きは	容赦のない	その	～ない	行わなかった者に	あわれみを	勝ち誇る
G3588	G1063	G2920	G0448	G3588	G3361	G4160	G1656	G2620

ἔλεος	κρίσεως.
あわれみは	裁きに
G1656	G2920

あわれみを行わなかった者に対しては、仮借のないさばきが下される。あわれみは、さばきにうち勝つ。

14

Τί	τὸ	ὄφελος,	ἀδελφοί	μου,	ἐὰν	πίστιν	λέγῃ	τις	ἔχειν,
何の	その	益があるか	兄弟たちよ	私の	もし	信仰を	言うなら	誰かが	持っていると
G5101	G3588	G3786	G0080	G1473	G1437	G4102	G3004	G5100	G2192

ἔργα	δὲ	μὴ	ἔχῃ?	μὴ	δύναται	ἡ	πίστις	σῶσαι	αὐτόν?
行いを	しかし	～ない	持たないなら	～ない	できるか	その	信仰が	救うことが	彼を
G2041	G1161	G3361	G2192	G3361	G1410	G3588	G4102	G4982	G0846

わたしの兄弟たちよ。ある人が自分には信仰があると称していても、もし行いがなかったら、なんの役に立つか。その信仰は彼を救うことができるか。

15

ἐὰν	ἀδελφὸς	ἢ	ἀδελφὴ	γυμνοὶ	ὑπάρχωσιν,	καὶ	λειπόμενοι	τῆς
もし	兄弟が	あるいは	姉妹が	裸で	いるなら	そして	欠いている	その
G1437	G0080	G2228	G0079	G1131	G5225	G2532	G3007	G3588

ἐφημέρου	τροφῆς,
日々の	食物を
G2184	G5160

ある兄弟または姉妹が裸でいて、その日の食物にもこと欠いている場合、

16

εἴπῃ	δέ	τις	αὐτοῖς	ἐξ	ὑμῶν,	Ὑπάγετε	ἐν
言うなら	しかし	誰かが	彼らに	～から	あなたがたの中の	安心して–行きなさい	～の中で
G3004	G1161	G5100	G0846	G1537	G4771	G5217	G1722

εἰρήνῃ;	θερμαίνεσθε	καὶ	χορτάζεσθε;	μὴ	δῶτε	δὲ	αὐτοῖς	τὰ
平安に	暖まりなさい	そして	満腹しなさい	しかし–ない	与えないなら	しかし	彼らに	その
G1515	G2328	G2532	G5526	G3361	G1325	G1161	G0846	G3588

ἐπιτήδεια	τοῦ	σώματος,	τί	τὸ	ὄφελος?
必要な物を	その	体の	何の	その	益があるか
G2006	G3588	G4983	G5101	G3588	G3786

あなたがたのうち、だれかが、「安らかに行きなさい。暖まって、食べ飽きなさい」と言うだけで、そのからだに必要なものを何ひとつ与えなかったとしたら、なんの役に立つか。

17

οὕτως	καὶ	ἡ	πίστις,	ἐὰν	μὴ	ἔχῃ	ἔργα,	νεκρά	ἐστιν.
このように	また	その	信仰も	もし	～ない	持たないなら	行いを	死んだ	ものである
G3779	G2532	G3588	G4102	G1437	G3361	G2192	G2041	G3498	G1510

καθ’	ἑαυτήν.
それ	自体で
G2596	G1438

信仰も、それと同様に、行いを伴わなければ、それだけでは死んだものである。

18 ἀλλ’ ἐρεῖ τις, Σὺ πίστιν ἔχεις, κἀγὼ ἔργα ἔχω.
しかし 言う者がいる ある人は あなたは 信仰を 持っている 私は 行いを 持っている
G0235 G2046 G5100 G4771 G4102 G2192 G2504 G2041 G2192

δεῖξόν μοι τὴν πίστιν σου, χωρὶς τῶν ἔργων, κἀγώ σοι δείξω
見せなさい 私に その 信仰を あなたの ～なしに その 行いの 私も あなたに 見せよう
G1166 G1473 G3588 G4102 G4771 G5565 G3588 G2041 G2504 G4771 G1166

ἐκ τῶν ἔργων μου, τὴν πίστιν.
～から その 行いによって 私の その 信仰を
G1537 G3588 G2041 G1473 G3588 G4102

しかし、「ある人には信仰があり、またほかの人には行いがある」と言う者があろう。それなら、行いのないあなたの信仰なるものを見せてほしい。そうしたら、わたしの行いによって信仰を見せてあげよう。

19 σὺ πιστεύεις ὅτι εἷς ἐστιν ὁ Θεός. καλῶς ποιεῖς! καὶ τὰ
あなたは 信じている ～と 唯一の おられる その 神は 良い ことだ しかし その
G4771 G4100 G3754 G1520 G1510 G3588 G2316 G2573 G4160 G2532 G3588

δαιμόνια πιστεύουσιν, καὶ φρίσσουσιν!
悪霊どもも 信じて そして 震えている
G1140 G4100 G2532 G5425

あなたは、神はただひとりであると信じているのか。それは結構である。悪霊どもでさえ、信じておののいている。

20 θέλεις δὲ γνῶναι, ὦ ἄνθρωπε κενέ, ὅτι ἡ πίστις χωρὶς
知りたいのか しかし 悟りなさい ああ 人よ 愚かな ～と その 信仰は ～なしには
G2309 G1161 G1097 G5599 G0444 G2756 G3754 G3588 G4102 G5565

τῶν ἔργων, ἀργή ἐστιν?
その 行いの 無益 である
G3588 G2041 G0692 G1510

ああ、愚かな人よ。行いを伴わない信仰のむなしいことを知りたいのか。

21 Ἀβραὰμ ὁ πατὴρ ἡμῶν, οὐκ ἐξ ἔργων ἐδικαιώθη,
アブラハムは その 父は 私たちの ～ない ～から 行いによって 義と–認められたのか
G0011 G3588 G3962 G1473 G3756 G1537 G2041 G1344

ἀνενέγκας Ἰσαὰκ τὸν υἱὸν αὐτοῦ ἐπὶ τὸ θυσιαστήριον?
捧げた イサクを その 息子を 彼の ～の上に その 祭壇の
G0399 G2464 G3588 G5207 G0846 G1909 G3588 G2379

わたしたちの父祖アブラハムは、その子イサクを祭壇にささげた時、行いによって義とされたのではなかったか。

22 βλέπεις ὅτι ἡ πίστις συνήργει τοῖς ἔργοις αὐτοῦ; καὶ ἐκ τῶν
あなたは–見る ～と その 信仰は 共に–働いた その 行いと 彼の そして ～から その
G0991 G3754 G3588 G4102 G4903 G3588 G2041 G0846 G2532 G1537 G3588

ἔργων, ἡ πίστις ἐτελειώθη.
行いによって その 信仰は 完全に–なった
G2041 G3588 G4102 G5048

あなたが知っているとおり、彼においては、信仰が行いと共に働き、その行いによって信仰が全うされ、

23 καὶ そして G2532 ἐπληρώθη 成就した G4137 ἡ その G3588 γραφὴ 聖書が G1124 ἡ それは G3588 λέγουσα, 言っている G3004 Ἐπίστευσεν 信じた G4100 δὲ そして G1161 Ἀβραὰμ アブラハムは G0011 τῷ その G3588 Θεῷ, 神を G2316 καὶ そして G2532 ἐλογίσθη 認められた G3049 αὐτῷ 彼に G0846 εἰς ～として G1519 δικαιοσύνην, 義として G1343 καὶ そして G2532 φίλος 友と G5384 Θεοῦ 神の G2316 ἐκλήθη. 呼ばれた G2564

こうして、「アブラハムは神を信じた。それによって、彼は義と認められた」という聖書の言葉が成就し、そして、彼は「神の友」と唱えられたのである。

24 ὁρᾶτε あなたがたは-見る G3708 ὅτι ～と G3754 ἐξ ～から G1537 ἔργων 行いによって G2041 δικαιοῦται 義と-認められる G1344 ἄνθρωπος, 人は G0444 καὶ そして G2532 οὐκ ～ない G3756 ἐκ ～から G1537 πίστεως 信仰だけに G4102 μόνον. よるのではない G3440

これでわかるように、人が義とされるのは、行いによるのであって、信仰だけによるのではない。

25 ὁμοίως 同様に G3668 δὲ また G1161 καὶ さらに G2532 Ῥαὰβ ラハブも G4460 ἡ その G3588 πόρνη, 遊女は G4204 οὐκ ～ない G3756 ἐξ ～から G1537 ἔργων 行いによって G2041 ἐδικαιώθη, 義と-認められたのか G1344 ὑποδεξαμένη 迎え入れて G5264 τοὺς その G3588 ἀγγέλους, 使者たちを G0032 καὶ そして G2532 ἑτέρᾳ 別の G2087 ὁδῷ 道で G3598 ἐκβαλοῦσα? 送り出した G1544

同じように、かの遊女ラハブでさえも、使者たちをもてなし、彼らを別な道から送り出した時、行いによって義とされたではないか。

26 ὥσπερ ちょうど-～のように G5618 γὰρ なぜなら G1063 τὸ その G3588 σῶμα 体が G4983 χωρὶς ～なしには G5565 πνεύματος, 霊の G4151 νεκρόν 死んでいる G3498 ἐστιν; ように G1510 οὕτως このように G3779 καὶ また G2532 ἡ その G3588 πίστις 信仰も G4102 χωρὶς ～なしには G5565 ἔργων, 行いの G2041 νεκρά 死んでいる G3498 ἐστιν. のである G1510

霊魂のないからだが死んだものであると同様に、行いのない信仰も死んだものなのである。

Chapter 3

1 Μὴ ～ない G3361 πολλοὶ 多くの G4183 διδάσκαλοι 教師に G1320 γίνεσθε なりなさい G1096 ἀδελφοί 兄弟たちよ G0080 μου, 私の G1473 εἰδότες 知っている G1492 ὅτι ～と G3754 μεῖζον より-大きい G3173 κρίμα 裁きを G2917 λημψόμεθα. 受けるからだ G2983

わたしの兄弟たちよ。あなたがたのうち多くの者は、教師にならないがよい。わたしたち教師が、他の人たちよりも、もっときびしいさばきを受けることが、よくわかっているからである。

2 πολλὰ γὰρ πταίομεν ἅπαντες. εἴ τις ἐν λόγῳ οὐ
多く なぜなら つまずく 皆が もし 誰かが ~において 言葉に ~ない
G4183 G1063 G4417 G0537 G1487 G5100 G1722 G3056 G3756

πταίει, οὗτος τέλειος ἀνήρ, δυνατὸς χαλιναγωγῆσαι καὶ ὅλον τὸ
つまずかないなら この者は 完全な 人であり できる 制御する また 全体の その
G4417 G3778 G5046 G0435 G1415 G5468 G2532 G3650 G3588

σῶμα.
体をも
G4983

わたしたちは皆、多くのあやまちを犯すものである。もし、言葉の上であやまちのない人があれば、そういう人は、全身をも制御することのできる完全な人である。

3 εἰ δὲ, τῶν ἵππων τοὺς χαλινοὺς εἰς τὰ στόματα βάλλομεν, εἰς
もし そして その 馬の その くつわを ~の中に その 口に 入れるなら ~へと
G1487 G1161 G3588 G2462 G3588 G5469 G1519 G3588 G4750 G0906 G1519

τὸ πείθεσθαι αὐτοὺς ἡμῖν, καὶ ὅλον τὸ σῶμα αὐτῶν μετάγομεν.
その 従わせるために 彼らを 私たちに そして 全体の その 体を 彼らの 導くことができる
G3588 G3982 G0846 G1473 G2532 G3650 G3588 G4983 G0846 G3329

馬を御するために、その口にくつわをはめるなら、その全身を引きまわすことができる。

4 ἰδοὺ, καὶ τὰ πλοῖα, τηλικαῦτα ὄντα, καὶ ὑπὸ ἀνέμων
見よ また その 船も あれほど–大きくても あるのに そして ~によって 風の
G3708 G2532 G3588 G4143 G5082 G1510 G2532 G5259 G0417

σκληρῶν ἐλαυνόμενα, μετάγεται ὑπὸ ἐλαχίστου πηδαλίου, ὅπου ἡ
激しい 駆り立てられても 導かれる ~によって ごく–小さな 舵によって ~の方へ その
G4642 G1643 G3329 G5259 G1646 G4079 G3699 G3588

ὁρμὴ τοῦ εὐθύνοντος βούλεται.
意志が その 操る者の 望むところへ
G3730 G3588 G2116 G1014

また船を見るがよい。船体が非常に大きく、また激しい風に吹きまくられても、ごく小さなかじ一つで、操縦者の思いのままに運転される。

5 οὕτως καὶ ἡ γλῶσσα μικρὸν μέλος ἐστὶν, καὶ μεγάλα αὐχεῖ.
このように また その 舌も 小さな 器官で ある しかし 大きな–ことを 誇る
G3779 G2532 G3588 G1100 G3398 G3196 G1510 G2532 G3173 G3166

ἰδοὺ, ἡλίκον πῦρ, ἡλίκην ὕλην ἀνάπτει;
見よ どれほど–小さな 火が どれほど–大きな 森を 燃やすか
G3708 G2245 G4442 G2245 G5208 G0381

それと同じく、舌は小さな器官ではあるが、よく大言壮語する。見よ、ごく小さな火でも、非常に大きな森を燃やすではないか。

6 καὶ ἡ γλῶσσα πῦρ, ὁ κόσμος τῆς ἀδικίας. ἡ γλῶσσα
そして その 舌は 火であり その 世界は その 不義の その 舌は
G2532 G3588 G1100 G4442 G3588 G2889 G3588 G0093 G3588 G1100

καθίσταται ἐν τοῖς μέλεσιν ἡμῶν, ἡ σπιλοῦσα ὅλον τὸ σῶμα,
置かれている ~の中に その 器官の中に 私たちの それは 汚して 全体の その 体を
G2525 G1722 G3588 G3196 G1473 G3588 G4695 G3650 G3588 G4983

καὶ φλογίζουσα τὸν τροχὸν τῆς γενέσεως, καὶ φλογιζομένη ὑπὸ τῆς
そして 燃やして その 車輪を その 生涯の そして 燃やされる ~によって その
G2532 G5394 G3588 G5164 G3588 G1078 G2532 G5394 G5259 G3588

γεέννης.
ゲヘナに
G1067

舌は火である。不義の世界である。舌は、わたしたちの器官の一つとしてそなえられたものであるが、全身を汚し、生存の車輪を燃やし、自らは地獄の火で焼かれる。

7 πᾶσα γὰρ φύσις θηρίων τε καὶ πετεινῶν, ἑρπετῶν τε καὶ
すべての なぜなら 種類の 獣と また そして 鳥と 這うものと また そして
G3956 G1063 G5449 G2342 G5037 G2532 G4071 G2062 G5037 G2532

ἐναλίων, δαμάζεται καὶ δεδάμασται τῇ φύσει τῇ ἀνθρωπίνῃ;
海の-生物は 飼い慣らされる そして 飼い慣らされてきた その 性質によって その 人間の
G1724 G1150 G2532 G1150 G3588 G5449 G3588 G0442

あらゆる種類の獣、鳥、這うもの、海の生物は、すべて人類に制せられるし、また制せられてきた。

8 τὴν δὲ γλῶσσαν οὐδεὶς δαμάσαι δύναται ἀνθρώπων; ἀκατάστατον
その しかし 舌を 誰も 飼い慣らす ことが-できない 人間には 抑えがたい
G3588 G1161 G1100 G3762 G1150 G1410 G0444 G0182

κακόν, μεστὴ ἰοῦ θανατηφόρου.
悪であり 満ちている 毒で 死をもたらす
G2556 G3324 G2447 G2287

ところが、舌を制しうる人は、ひとりもいない。それは、制しにくい悪であって、死の毒に満ちている。

9 ἐν αὐτῇ εὐλογοῦμεν τὸν Κύριον καὶ Πατέρα, καὶ ἐν αὐτῇ
~によって それで 祝福する その 主と そして 父を そして ~によって それで
G1722 G0846 G2127 G3588 G2962 G2532 G3962 G2532 G1722 G0846

καταρώμεθα τοὺς ἀνθρώπους, τοὺς καθ’ ὁμοίωσιν Θεοῦ γεγονότας.
呪う その 人々を その ~にしたがって 似姿に 神の 造られた
G2672 G3588 G0444 G3588 G2596 G3669 G2316 G1096

わたしたちは、この舌で父なる主をさんびし、また、その同じ舌で、神にかたどって造られた人間をのろっている。

10 ἐκ τοῦ αὐτοῦ στόματος ἐξέρχεται εὐλογία καὶ κατάρα. οὐ χρή,
~から その 同じ 口から 出てくる 祝福と そして 呪いが ~ない ふさわしくない
G1537 G3588 G0846 G4750 G1831 G2129 G2532 G2671 G3756 G5534

ἀδελφοί μου, ταῦτα οὕτως γίνεσθαι.
兄弟たちよ 私の これらのことは このように あるべきでない
G0080 G1473 G3778 G3779 G1096

同じ口から、さんびとのろいとが出て来る。わたしの兄弟たちよ。このような事は、あるべきでない。

11 μήτι ή πηγὴ ἐκ τῆς αὐτῆς ὀπῆς, βρύει τὸ γλυκὺ καὶ τὸ
まさか その 泉が ~から その 同じ 穴から 湧き出す その 甘い水と そして その
G3385 G3588 G4077 G1537 G3588 G0846 G3692 G1032 G3588 G1099 G2532 G3588

πικρόν?
苦い水を
G4089

泉が、甘い水と苦い水とを、同じ穴からふき出すことがあろうか。

12 μὴ δύναται, ἀδελφοί μου, συκῆ ἐλαίας ποιῆσαι? ἢ
~ない できるか 兄弟たちよ 私の いちじくの木が オリーブの実を 実らせることが あるいは
G3361 G1410 G0080 G1473 G4808 G1636 G4160 G2228

ἄμπελος σῦκα? οὔτε ἁλυκὸν, γλυκὺ ποιῆσαι ὕδωρ.
ぶどうの木が いちじくを 同様に~ない 塩水が 甘い水を 出すことは できない
G0288 G4810 G3777 G0252 G1099 G4160 G5204

わたしの兄弟たちよ。いちじくの木がオリブの実を結び、ぶどうの木がいちじくの実を結ぶことができようか。塩水も、甘い水を出すことはできない。

13 Τίς σοφὸς καὶ ἐπιστήμων ἐν ὑμῖν; δειξάτω ἐκ τῆς καλῆς
誰が 知恵ある そして 賢い者か ~の中で あなたがたの 示しなさい ~から その 良い
G5101 G4680 G2532 G1990 G1722 G4771 G1166 G1537 G3588 G2570

ἀναστροφῆς τὰ ἔργα αὐτοῦ, ἐν πραΰτητι σοφίας;
生き方から その 行いを 彼の ~において 柔和な 知恵で
G0391 G3588 G2041 G0846 G1722 G4240 G4678

あなたがたのうちで、知恵があり物わかりのよい人は、だれであるか。その人は、知恵にかなう柔和な行いをしていることを、よい生活によって示すがよい。

14 εἰ δὲ ζῆλον πικρὸν ἔχετε, καὶ ἐριθείαν ἐν τῇ καρδίᾳ
もし しかし ねたみを 苦い 持っているなら そして 党派心を ~の中に その 心の中に
G1487 G1161 G2205 G4089 G2192 G2532 G2052 G1722 G3588 G2588

ὑμῶν, μὴ κατακαυχᾶσθε καὶ ψεύδεσθε κατὰ τῆς ἀληθείας.
あなたがたの ~ない 誇るな そして 偽るな ~に-反して その 真理に
G4771 G3361 G2620 G2532 G5574 G2596 G3588 G0225

しかし、もしあなたがたの心の中に、苦々しいねたみや党派心をいだいているのなら、誇り高ぶってはならない。また、真理にそむいて偽ってはならない。

15 οὐκ ἔστιν αὕτη ἡ σοφία ἄνωθεν κατερχομένη, ἀλλὰ ἐπίγειος, ψυχική,
~ない ある これは その 知恵は 上から 来るものでなく むしろ 地上の 肉的な
G3756 G1510 G3778 G3588 G4678 G0509 G2718 G0235 G1919 G5591

δαιμονιώδης.
悪霊的なものだ
G1141

そのような知恵は、上から下ってきたものではなくて、地につくもの、肉に属するもの、悪魔的なものである。

16 ὅπου γὰρ ζῆλος καὶ ἐριθεία, ἐκεῖ ἀκαταστασία καὶ
~のあるところに なぜなら ねたみと そして 党派心が そこには 混乱と そして
G3699 G1063 G2205 G2532 G2052 G1563 G0181 G2532

πᾶν φαῦλον πρᾶγμα.
あらゆる 悪い 行いがある
G3956 G5337 G4229

ねたみと党派心とのあるところには、混乱とあらゆる忌むべき行為とがある。

17 ἡ その G3588 δὲ しかし G1161 ἄνωθεν 上からの G0509 σοφία, 知恵は G4678 πρῶτον 第一に G4412 μὲν まず G3303 ἁγνή 清く G0053 ἐστιν, ある G1510 ἔπειτα 次に G1899 εἰρηνική, 平和で G1516 ἐπιεικής, 寛容で G1933

εὐπειθής, 従順で G2138 μεστὴ 満ちている G3324 ἐλέους あわれみと G1656 καὶ そして G2532 καρπῶν 実の G2590 ἀγαθῶν, 良い G0018 ἀδιάκριτος, 偏りなく G0087 ἀνυπόκριτος. 偽りなく G0505

しかし上からの知恵は、第一に清く、次に平和、寛容、温順であり、あわれみと良い実とに満ち、かたより見ず、偽りがない。

18 καρπὸς 実は G2590 δὲ そして G1161 δικαιοσύνης 義の G1343 ἐν ~において G1722 εἰρήνῃ 平和の-うちに G1515 σπείρεται, 蒔かれる G4687 τοῖς その G3588 ποιοῦσιν 行う者たちに G4160

εἰρήνην. 平和を G1515

義の実は、平和を造り出す人たちによって、平和のうちにまかれるものである。

Chapter 4

1 Πόθεν どこから G4159 πόλεμοι 戦いと G4171 καὶ そして G2532 πόθεν どこから G4159 μάχαι 争いが G3163 ἐν ~の中に G1722 ὑμῖν? あなたがたの G4771 οὐκ ~ない G3756 ἐντεῦθεν, ここからではないか G1782

ἐκ ~から G1537 τῶν その G3588 ἡδονῶν 快楽から G2237 ὑμῶν, あなたがたの G4771 τῶν その G3588 στρατευομένων 戦っている G4754 ἐν ~の中で G1722 τοῖς その G3588 μέλεσιν 器官の中で G3196

ὑμῶν? あなたがたの G4771

あなたがたの中の戦いや争いは、いったい、どこから起るのか。それはほかではない。あなたがたの肢体の中で相戦う欲情からではないか。

2 ἐπιθυμεῖτε, 欲しがる G1937 καὶ そして G2532 οὐκ ~ない G3756 ἔχετε; 持っていない G2192 φονεύετε 殺す G5407 καὶ そして G2532 ζηλοῦτε, ねたむ G2206 καὶ そして G2532 οὐ ~ない G3756

δύνασθε 得ることが-できない G1410 ἐπιτυχεῖν; 手に-入れることが G2013 μάχεσθε 戦う G3164 καὶ そして G2532 πολεμεῖτε. 争う G4170 οὐκ ~ない G3756 ἔχετε, 持っていない G2192

διὰ ~のために G1223 τὸ その G3588 μὴ ~ない G3361 αἰτεῖσθαι 求めないから G0154 ὑμᾶς. あなたがたが G4771

あなたがたは、むさぼるが得られない。そこで人殺しをする。熱望するが手に入れることができない。そこで争い戦う。あなたがたは、求めないから得られないのだ。

3 αἰτεῖτε, καὶ οὐ λαμβάνετε, διότι κακῶς αἰτεῖσθε, ἵνα ἐν ταῖς
求める そして ~ない 受けない なぜなら 悪く 求めるからだ ~ために ~において その
G0154 G2532 G3756 G2983 G1360 G2560 G0154 G2443 G1722 G3588

ἡδοναῖς ὑμῶν δαπανήσητε.
快楽の あなたがたの 浪費するために
G2237 G4771 G1159

求めても与えられないのは、快楽のために使おうとして、悪い求め方をするからだ。

4 μοιχαλίδες! οὐκ οἴδατε ὅτι ἡ φιλία τοῦ κόσμου, ἔχθρα τοῦ
不貞な者たちよ ~ない 知らないのか ~と その 友情は その 世の 敵意である その
G3428 G3756 G1492 G3754 G3588 G5373 G3588 G2889 G2189 G3588

Θεοῦ ἐστιν? ὃς ἐὰν οὖν βουληθῇ φίλος εἶναι τοῦ κόσμου,
神の ことを 誰でも もし それゆえ 望むなら 友となることを なることを その 世の
G2316 G1510 G3739 G1437 G3767 G1014 G5384 G1510 G3588 G2889

ἐχθρὸς τοῦ Θεοῦ καθίσταται.
敵となる その 神の 定められる
G2190 G3588 G2316 G2525

不貞のやからよ。世を友とするのは、神への敵対であることを、知らないか。おおよそ世の友となろうと思う者は、自らを神の敵とするのである。

5 ἢ δοκεῖτε ὅτι κενῶς ἡ γραφὴ λέγει, Πρὸς φθόνον ἐπιποθεῖ
あるいは 思うのか ~と 空しく その 聖書は 言っていると ~へと ねたみの方へ 慕う
G2228 G1380 G3754 G2761 G3588 G1124 G3004 G4314 G5355 G1971

τὸ πνεῦμα ὃ κατῴκισεν ἐν ἡμῖν?
その 霊を それは 住まわせた ~の中に 私たちの
G3588 G4151 G3739 G2730 G1722 G1473

それとも、「神は、わたしたちの内に住まわせた霊を、ねたむほどに愛しておられる」と聖書に書いてあるのは、むなしい言葉だと思うのか。

6 μείζονα δὲ δίδωσιν χάριν. διὸ λέγει, Ὁ Θεὸς ὑπερηφάνοις
より-大きな しかし 与える 恵みを それゆえ 言う その 神は 高慢な者に
G3173 G1161 G1325 G5485 G1352 G3004 G3588 G2316 G5244

ἀντιτάσσεται, ταπεινοῖς δὲ δίδωσιν χάριν.
敵対し へりくだる者に しかし 与える 恵みを
G0498 G5011 G1161 G1325 G5485

しかし神は、いや増しに恵みを賜う。であるから、「神は高ぶる者をしりぞけ、へりくだる者に恵みを賜う」とある。

7 ὑποτάγητε οὖν τῷ Θεῷ. ἀντίστητε δὲ τῷ διαβόλῳ, καὶ
従いなさい それゆえ その 神に 立ち向かいなさい そして その 悪魔に そうすれば
G5293 G3767 G3588 G2316 G0436 G1161 G3588 G1228 G2532

φεύξεται ἀφ’ ὑμῶν.
逃げる ~から あなたがたから
G5343 G0575 G4771

そういうわけだから、神に従いなさい。そして、悪魔に立ちむかいなさい。そうすれば、彼はあなたがたから逃げ去るであろう。

8 ἐγγίσατε τῷ Θεῷ, καὶ ἐγγιεῖ ὑμῖν. καθαρίσατε χεῖρας,
近づきなさい その 神に そうすれば 近づく あなたがたに 清めなさい 手を
G1448 G3588 G2316 G2532 G1448 G4771 G2511 G5495

ἁμαρτωλοί, καὶ ἁγνίσατε καρδίας, δίψυχοι.
罪人たちよ そして 浄めなさい 心を 二心の者たちよ
G0268 G2532 G0048 G2588 G1374

神に近づきなさい。そうすれば、神はあなたがたに近づいて下さるであろう。罪人どもよ、手をきよめよ。二心の者どもよ、心を清くせよ。

9 ταλαιπωρήσατε, καὶ πενθήσατε, καὶ κλαύσατε. ὁ γέλως ὑμῶν, εἰς
悲しみなさい そして 嘆きなさい そして 泣きなさい その 笑いを あなたがたの ~へ
G5003 G2532 G3996 G2532 G2799 G3588 G1071 G4771 G1519

πένθος μετατραπήτω, καὶ ἡ χαρὰ, εἰς κατήφειαν.
悲しみに 変えなさい そして その 喜びを ~へ 憂いに
G3997 G3344 G2532 G3588 G5479 G1519 G2726

苦しめ、悲しめ、泣け。あなたがたの笑いを悲しみに、喜びを憂いに変えよ。

10 ταπεινώθητε ἐνώπιον Κυρίου, καὶ ὑψώσει ὑμᾶς.
へりくだりなさい ~の前に 主の そうすれば 高めてくださる あなたがたを
G5013 G1799 G2962 G2532 G5312 G4771

主のみまえにへりくだれ。そうすれば、主は、あなたがたを高くして下さるであろう。

11 Μὴ καταλαλεῖτε ἀλλήλων, ἀδελφοί. ὁ καταλαλῶν ἀδελφοῦ, ἢ
~ない 悪口を-言うな 互いに 兄弟たちよ その 悪口を-言う者は 兄弟の あるいは
G3361 G2635 G0240 G0080 G3588 G2635 G0080 G2228

κρίνων τὸν ἀδελφὸν αὐτοῦ, καταλαλεῖ νόμου, καὶ κρίνει νόμον.
裁く者は その 兄弟を 彼の 悪口を-言っている 律法の そして 裁いている 律法を
G2919 G3588 G0080 G0846 G2635 G3551 G2532 G2919 G3551

εἰ δὲ νόμον κρίνεις, οὐκ εἶ ποιητὴς νόμου, ἀλλὰ κριτής.
もし しかし 律法を 裁くなら ~ない あるのは 行う者でなく 律法の むしろ 裁き手だ
G1487 G1161 G3551 G2919 G3756 G1510 G4163 G3551 G0235 G2923

兄弟たちよ。互に悪口を言い合ってはならない。兄弟の悪口を言ったり、自分の兄弟をさばいたりする者は、律法をそしり、律法をさばくやからである。もしあなたが律法をさばくなら、律法の実行者ではなくて、その審判者なのである。

12 εἷς ἐστιν [ὁ] νομοθέτης καὶ κριτής, ὁ δυνάμενος σῶσαι καὶ
唯一の おられる その 立法者で そして 裁き手は その できる方が 救うことが そして
G1520 G1510 G3588 G3550 G2532 G2923 G3588 G1410 G4982 G2532

ἀπολέσαι. σὺ δὲ, τίς εἶ ὁ κρίνων τὸν πλησίον?
滅ぼすことが あなたは しかし 誰か である その 裁く者が その 隣人を
G0622 G4771 G1161 G5101 G1510 G3588 G2919 G3588 G4139

しかし、立法者であり審判者であるかたは、ただひとりであって、救うことも滅ぼすこともできるのである。しかるに、隣り人をさばくあなたは、いったい、何者であるか。

13 Ἄγε νῦν, οἱ λέγοντες, Σήμερον ἢ αὔριον, πορευσόμεθα εἰς τήνδε
さあ 今 その 言う者たちよ 今日 あるいは 明日 行こう ~へ この
G0071 G3568 G3588 G3004 G4594 G2228 G0839 G4198 G1519 G3592

τὴν πόλιν, καὶ ποιήσομεν ἐκεῖ ἐνιαυτὸν, καὶ ἐμπορευσόμεθα, καὶ
その 町へ そして 過ごそう そこで 一年を そして 商売して そして
G3588 G4172 G2532 G4160 G1563 G1763 G2532 G1710 G2532

κερδήσομεν --
利益を–得ようと
G2770

よく聞きなさい。「きょうか、あす、これこれの町へ行き、そこに一か年滞在し、商売をして一もうけしよう」と言う者たちよ。

14 οἵτινες οὐκ ἐπίστασθε ‹τὸ› τῆς αὔριον, ποία ἡ ζωὴ
あなたがたは ~ない 知らない その その 明日のことを どのような その 命は
G3748 G3756 G1987 G3588 G3588 G0839 G4169 G3588 G2222

ὑμῶν? ἀτμὶς γάρ ἐστε, ἡ πρὸς ὀλίγον φαινομένη, ἔπειτα καὶ
あなたがたの 霧である なぜなら ある それは ~の間 少しの 現れて それから また
G4771 G0822 G1063 G1510 G3588 G4314 G3641 G5316 G1899 G2532

ἀφανιζομένη,
消えていく
G0853

あなたがたは、あすのこともわからぬ身なのだ。あなたがたのいのちは、どんなものであるか。あなたがたは、しばしの間あらわれて、たちまち消え行く霧にすぎない。

15 ἀντὶ τοῦ λέγειν ὑμᾶς, Ἐὰν ὁ Κύριος θελήσῃ, καὶ
~の代わりに その 言うべきだ あなたがたは もし その 主が 望まれるなら そして
G0473 G3588 G3004 G4771 G1437 G3588 G2962 G2309 G2532

ζήσομεν, καὶ ποιήσομεν τοῦτο ἢ ἐκεῖνο.
生きる そして 行う これを あるいは あれを
G2198 G2532 G4160 G3778 G2228 G1565

むしろ、あなたがたは「主のみこころであれば、わたしは生きながらえもし、あの事この事もしよう」と言うべきである。

16 νῦν δὲ καυχᾶσθε ἐν ταῖς ἀλαζονείαις ὑμῶν. πᾶσα καύχησις
今 しかし 誇っている ~において その 高慢の中で あなたがたの すべての 誇りは
G3568 G1161 G2744 G1722 G3588 G0212 G4771 G3956 G2746

τοιαύτη πονηρά ἐστιν.
そのような 悪い ものである
G5108 G4190 G1510

ところが、あなたがたは誇り高ぶっている。このような高慢は、すべて悪である。

17 εἰδότι οὖν καλὸν ποιεῖν, καὶ μὴ ποιοῦντι, ἁμαρτία
知っている者に それゆえ 良いことを 行うべきで そして ~ない 行わないなら 罪である
G1492 G3767 G2570 G4160 G2532 G3361 G4160 G0266

αὐτῷ ἐστιν.
彼にとって それは
G0846 G1510

人が、なすべき善を知りながら行わなければ、それは彼にとって罪である。

Chapter 5

1 Ἄγε νῦν, οἱ πλούσιοι, κλαύσατε, ὀλολύζοντες ἐπὶ ταῖς ταλαιπωρίαις
さあ 今 その 富んだ者たちよ 泣きなさい 叫びながら ~のために その 苦難の
G0071 G3568 G3588 G4145 G2799 G3649 G1909 G3588 G5004

ὑμῶν, ταῖς ἐπερχομέναις.
あなたがたの その 迫り来る
G4771 G3588 G1904

富んでいる人たちよ。よく聞きなさい。あなたがたは、自分の身に降りかかろうとしているわざわいを思って、泣き叫ぶがよい。

2 ὁ πλοῦτος ὑμῶν σέσηπεν, καὶ τὰ ἱμάτια ὑμῶν σητόβρωτα
その 富は あなたがたの 腐った そして その 衣服は あなたがたの 虫に-食われた
G3588 G4149 G4771 G4595 G2532 G3588 G2440 G4771 G4598

γέγονεν.
なった
G1096

あなたがたの富は朽ち果て、着物はむしばまれ、

3 ὁ χρυσὸς ὑμῶν καὶ ὁ ἄργυρος κατίωται, καὶ ὁ ἰὸς
その 金と あなたがたの そして その 銀は 錆びた そして その 錆は
G3588 G5557 G4771 G2532 G3588 G0696 G2728 G2532 G3588 G2447

αὐτῶν εἰς μαρτύριον ὑμῖν ἔσται, καὶ φάγεται τὰς σάρκας
それらの ~として 証拠となる あなたがたに なる そして 食い尽くす その 肉を
G0846 G1519 G3142 G4771 G1510 G2532 G5315 G3588 G4561

ὑμῶν ὡς πῦρ. ἐθησαυρίσατε ἐν ἐσχάταις ἡμέραις.
あなたがたの ~のように 火のように 蓄えた ~において 終わりの 日々に
G4771 G5613 G4442 G2343 G1722 G2078 G2250

金銀はさびている。そして、そのさびの毒は、あなたがたの罪を責め、あなたがたの肉を火のように食いつくすであろう。あなたがたは、終りの時にいるのに、なお宝をたくわえている。

4 ἰδοὺ, ὁ μισθὸς τῶν ἐργατῶν τῶν ἀμησάντων τὰς χώρας ὑμῶν,
見よ その 賃金が その 働き人たちの その 刈り入れた その 畑を あなたがたの
G3708 G3588 G3408 G3588 G2040 G3588 G0270 G3588 G5561 G4771

ὁ ἀφυστερημένος ἀφ’ ὑμῶν, κράζει, καὶ αἱ βοαὶ τῶν
その 差し止められた ~から あなたがたから 叫んでいる そして その 叫びは その
G3588 G0650 G0575 G4771 G2896 G2532 G3588 G0995 G3588

θερισάντων, εἰς τὰ ὦτα Κυρίου Σαβαὼθ εἰσεληλύθασιν.
刈り取った者たちの ~へ その 耳に 主の 万軍の 届いた
G2325 G1519 G3588 G3775 G2962 G4519 G1525

見よ、あなたがたが労働者たちに畑の刈入れをさせながら、支払わずにいる賃銀が、叫んでいる。そして、刈入れをした人たちの叫び声が、すでに万軍の主の耳に達している。

5 ἐτρυφήσατε ἐπὶ τῆς γῆς, καὶ ἐσπαταλήσατε; ἐθρέψατε τὰς
贅沢に-暮らした ~の上で その 地の上で そして 快楽に-耽った 肥え太らせた その
G5171 G1909 G3588 G1093 G2532 G4684 G5142 G3588

καρδίας ὑμῶν ἐν ἡμέρᾳ σφαγῆς;
心を あなたがたの ~において 屠殺の 日に
G2588 G4771 G1722 G2250 G4967

あなたがたは、地上でおごり暮し、快楽にふけり、「ほふらるる日」のために、おのが心を肥やしている。

6 κατεδικάσατε, ἐφονεύσατε, τὸν δίκαιον; οὐκ ἀντιτάσσεται ὑμῖν.
罪に-定めた 殺した その 義人を ~ない 抗いなかった あなたがたに
G2613 G5407 G3588 G1342 G3756 G0498 G4771

そして、義人を罪に定め、これを殺した。しかも彼は、あなたがたに抵抗しない。

7 Μακροθυμήσατε οὖν, ἀδελφοί, ἕως τῆς παρουσίας τοῦ Κυρίου. ἰδοὺ,
忍耐しなさい それゆえ 兄弟たちよ ~まで その 来臨まで その 主の 見よ
G3114 G3767 G0080 G2193 G3588 G3952 G3588 G2962 G3708

ὁ γεωργὸς ἐκδέχεται τὸν τίμιον καρπὸν τῆς γῆς, μακροθυμῶν ἐπ’
その 農夫は 待つ その 尊い 実を その 地の 忍耐して ~のために
G3588 G1092 G1551 G3588 G5093 G2590 G3588 G1093 G3114 G1909

αὐτῷ ἕως λάβῃ πρόϊμον καὶ ὄψιμον.
それを ~まで 受けるまで 早い-雨と そして 遅い-雨を
G0846 G2193 G2983 G4406 G2532 G3797

だから、兄弟たちよ。主の来臨の時まで耐え忍びなさい。見よ、農夫は、地の尊い実りを、前の雨と後の雨とがあるまで、耐え忍んで待っている。

8 μακροθυμήσατε καὶ ὑμεῖς; στηρίξατε τὰς καρδίας ὑμῶν, ὅτι
忍耐しなさい また あなたがたも 強めなさい その 心を あなたがたの なぜなら
G3114 G2532 G4741 G3588 G2588 G4771 G3754

ἡ παρουσία τοῦ Κυρίου ἤγγικεν.
その 来臨は その 主の 近づいた
G3588 G3952 G3588 G2962 G1448

あなたがたも、主の来臨が近づいているから、耐え忍びなさい。心を強くしていなさい。

9 μὴ στενάζετε ἀδελφοί, κατ’ ἀλλήλων, ἵνα μὴ κριθῆτε.
~ない うめくな 兄弟たちよ ~に対して 互いに ~ないように ~ない 裁かれないように
G3361 G4727 G0080 G2596 G0240 G2443 G3361 G2919

ἰδοὺ, ὁ κριτὴς πρὸ τῶν θυρῶν ἕστηκεν.
見よ その 裁き手は ~の前に その 門の前に 立っておられる
G3708 G3588 G2923 G4253 G3588 G2374 G2476

兄弟たちよ。互に不平を言い合ってはならない。さばきを受けるかも知れないから。見よ、さばき主が、すでに戸口に立っておられる。

10 ὑπόδειγμα λάβετε, ἀδελφοί, τῆς κακοπαθίας καὶ τῆς μακροθυμίας, τοὺς
模範を 取りなさい 兄弟たちよ その 苦難と そして その 忍耐の その
G5262 G2983 G0080 G3588 G2552 G2532 G3588 G3115 G3588

προφήτας, οἳ ἐλάλησαν ἐν τῷ ὀνόματι Κυρίου.
預言者たちを 彼らは 語った ~において その 御名によって 主の
G4396 G3739 G2980 G1722 G3588 G3686 G2962

兄弟たちよ。苦しみを耐え忍ぶことについては、主の御名によって語った預言者たちを模範にするがよい。

11 ἰδοὺ, 見よ G3708 μακαρίζομεν 幸いとする G3106 τοὺς その G3588 ὑπομείναντας. 耐え忍んだ者たちを G5278 τὴν その G3588 ὑπομονὴν 忍耐を G5281 Ἰὼβ ヨブの G2492 ἠκούσατε, 聞いた G0191 καὶ そして G2532 τὸ その G3588 τέλος 結末を G5056 Κυρίου 主の G2962 εἴδετε, 見た G3708 ὅτι ~と G3754 πολύσπλαγχνός 深く-あわれみ深く G4184 ἐστιν おられる G1510 ὁ その G3588 Κύριος 主は G2962 καὶ そして G2532 οἰκτίρμων. 憐れみ深い G3629

忍び抜いた人たちはさいわいであると、わたしたちは思う。あなたがたは、ヨブの忍耐のことを聞いている。また、主が彼になさったことの結末を見て、主がいかに慈愛とあわれみとに富んだかたであるかが、わかるはずである。

12 Πρὸ ~の前に G4253 πάντων すべての G3956 δέ, しかし G1161 ἀδελφοί 兄弟たちよ G0080 μου, 私の G1473 μὴ ~ない G3361 ὀμνύετε, 誓うな G3660 μήτε ~でもなく G3383 τὸν その G3588 οὐρανὸν, 天にかけても G3772 μήτε ~でもなく G3383 τὴν その G3588 γῆν, 地にかけても G1093 μήτε ~でもなく G3383 ἄλλον 他の G0243 τινὰ どんな G5100 ὅρκον; 誓いでも G3727 ἤτω ありなさい G1510 δὲ しかし G1161 ὑμῶν あなたがたの G4771 τὸ その G3588 Ναὶ, はいは G3483 ναί, はい G3483 καὶ そして G2532 τὸ その G3588 Οὒ, いいえは G3756 οὔ, いいえと G3756 ἵνα ~ないように G2443 μὴ ~ない G3361 ὑπὸ ~の下に G5259 κρίσιν 裁きの G2920 πέσητε. 落ちないように G4098

さて、わたしの兄弟たちよ。何はともあれ、誓いをしてはならない。天をさしても、地をさしても、あるいは、そのほかのどんな誓いによっても、いっさい誓ってはならない。むしろ、「しかり」を「しかり」とし、「否」を「否」としなさい。そうしないと、あなたがたは、さばきを受けることになる。

13 Κακοπαθεῖ 苦しんでいる G2553 τις 誰かが G5100 ἐν ~の中で G1722 ὑμῖν? あなたがたの G4771 προσευχέσθω; 祈りなさい G4336 εὐθυμεῖ 喜んでいる G2114 τις? 誰かが G5100 ψαλλέτω; 讃美しなさい G5567

あなたがたの中に、苦しんでいる者があるか。その人は、祈るがよい。喜んでいる者があるか。その人は、さんびするがよい。

14 ἀσθενεῖ 病気の G0770 τις 誰かが G5100 ἐν ~の中で G1722 ὑμῖν? あなたがたの G4771 προσκαλεσάσθω 呼びなさい G4341 τοὺς その G3588 πρεσβυτέρους 長老たちを G4245 τῆς その G3588 ἐκκλησίας, 教会の G1577 καὶ そして G2532 προσευξάσθωσαν 祈りなさい G4336 ἐπ’ ~の上に G1909 αὐτὸν, 彼の G0846 ἀλείψαντες 塗って G0218 ‹αὐτὸν› 彼に G0846 ἐλαίῳ 油を G1637 ἐν ~において G1722 τῷ その G3588 ὀνόματι 御名によって G3686 τοῦ その G3588 Κυρίου. 主の G2962

あなたがたの中に、病んでいる者があるか。その人は、教会の長老たちを招き、主の御名によって、オリブ油を注いで祈ってもらうがよい。

15 καὶ ἡ εὐχὴ τῆς πίστεως σώσει τὸν κάμνοντα, καὶ ἐγερεῖ
そして その 祈りは その 信仰の 救う その 病人を そして 起こしてくださる
G2532 G3588 G2171 G3588 G4102 G4982 G3588 G2577 G2532 G1453

αὐτὸν ὁ Κύριος; κἂν ἁμαρτίας ᾖ πεποιηκώς, ἀφεθήσεται αὐτῷ.
彼を その 主が たとえ 罪を あるなら 犯していても 赦される 彼に
G0846 G3588 G2962 G2579 G0266 G1510 G4160 G0863 G0846

信仰による祈は、病んでいる人を救い、そして、主はその人を立ちあがらせて下さる。かつ、その人が罪を犯していたなら、それもゆるされる。

16 ἐξομολογεῖσθε οὖν ἀλλήλοις τὰς ἁμαρτίας, καὶ εὔχεσθε ὑπὲρ
告白しなさい それゆえ 互いに その 罪を そして 祈りなさい ~のために
G1843 G3767 G0240 G3588 G0266 G2532 G2172 G5228

ἀλλήλων, ὅπως ἰαθῆτε. πολὺ ἰσχύει δέησις δικαίου ἐνεργουμένη.
互いの ~ために 癒されるために 大いに 効く 祈りは 義人の 働く
G0240 G3704 G2390 G4183 G2480 G1162 G1342 G1754

だから、互に罪を告白し合い、また、いやされるようにお互のために祈りなさい。義人の祈は、大いに力があり、効果のあるものである。

17 Ἠλίας ἄνθρωπος ἦν ὁμοιοπαθὴς ἡμῖν; καὶ προσευχῇ προσηύξατο
エリヤは 人であった あった 同じ-性質の 私たちと そして 祈りをもって 祈った
G2243 G0444 G1510 G3663 G1473 G2532 G4335 G4336

τοῦ μὴ βρέξαι, καὶ οὐκ ἔβρεξεν ἐπὶ τῆς γῆς
~ように ~ない 雨が-降らないように そして ~ない 降らなかった ~の上に その 地の上に
G3588 G3361 G1026 G2532 G3756 G1026 G1909 G3588 G1093

ἐνιαυτοὺς τρεῖς καὶ μῆνας ἕξ.
年を 三 そして 月を 六
G1763 G5140 G2532 G3376 G1803

エリヤは、わたしたちと同じ人間であったが、雨が降らないようにと祈をささげたところ、三年六か月のあいだ、地上に雨が降らなかった。

18 καὶ πάλιν προσηύξατο, καὶ ὁ οὐρανὸς ὑετὸν ἔδωκεν, καὶ ἡ γῆ
そして 再び 祈った そして その 天は 雨を 与えた そして その 地は
G2532 G3825 G4336 G2532 G3588 G3772 G5205 G1325 G2532 G3588 G1093

ἐβλάστησεν τὸν καρπὸν αὐτῆς.
芽を-出した その 実を その
G0985 G3588 G2590 G0846

それから、ふたたび祈ったところ、天は雨を降らせ、地はその実をみのらせた。

19 Ἀδελφοί μου, ἐάν τις ἐν ὑμῖν πλανηθῇ ἀπὸ τῆς ἀληθείας,
兄弟たちよ 私の もし 誰かが ~の中で あなたがたの 迷うなら ~から その 真理から
G0080 G1473 G1437 G5100 G1722 G4771 G4105 G0575 G3588 G0225

καὶ ἐπιστρέψῃ τις αὐτόν,
そして 立ち返らせるなら 誰かが 彼を
G2532 G1994 G5100 G0846

わたしの兄弟たちよ。あなたがたのうち、真理の道から踏み迷う者があり、だれかが彼を引きもどすなら、

20

γινωσκέτω	ὅτι	ὁ	ἐπιστρέψας	ἁμαρτωλὸν	ἐκ	πλάνης	ὁδοῦ	αὐτοῦ,
知りなさい	~と	その	立ち返らせた者が	罪人を	~から	迷いの	道から	彼の
G1097	G3754	G3588	G1994	G0268	G1537	G4106	G3598	G0846

σώσει	ψυχὴν	αὐτοῦ	ἐκ	θανάτου,	καὶ	καλύψει	πλῆθος	ἁμαρτιῶν.
救う	魂を	彼の	~から	死から	そして	覆う	多くの	罪を
G4982	G5590	G0846	G1537	G2288	G2532	G2572	G4128	G0266

かように罪人を迷いの道から引きもどす人は、そのたましいを死から救い出し、かつ、多くの罪をおおうものであることを、知るべきである。

1 Peter

Chapter 1

1	Πέτρος,	ἀπόστολος	Ἰησοῦ	Χριστοῦ,	ἐκλεκτοῖς	παρεπιδήμοις	Διασπορᾶς	Πόντου,
	ペテロ	使徒	イエス	キリストの	選ばれた	寄留の者へ	離散の	ポントス
	G4074	G0652	G2424	G5547	G1588	G3927	G1290	G4195

Γαλατίας,	Καππαδοκίας,	Ἀσίας,	καὶ	Βιθυνίας,
ガラテヤ	カパドキア	アジア	そして	ビテニアの
G1053	G2587	G0773	G2532	G0978

イエス・キリストの使徒ペテロから、ポント、ガラテヤ、カパドキヤ、アジヤおよびビテニヤに離散し寄留している人たち、

2	κατὰ	πρόγνωσιν	Θεοῦ	Πατρός,	ἐν	ἁγιασμῷ	Πνεύματος,	εἰς
	~に従って	予知に	神の	父の	~において	聖別によって	御霊の	~へと
	G2596	G4268	G2316	G3962	G1722	G0038	G4151	G1519

ὑπακοὴν	καὶ	ῥαντισμὸν	αἵματος	Ἰησοῦ	Χριστοῦ:	χάρις	ὑμῖν	καὶ
従順と	そして	注ぎかけへと	血の	イエス	キリストの	恵みが	あなたがたに	そして
G5218	G2532	G4473	G0129	G2424	G5547	G5485	G4771	G2532

εἰρήνη	πληθυνθείη.
平安が	豊かに–あるように
G1515	G4129

すなわち、イエス・キリストに従い、かつ、その血のそそぎを受けるために、父なる神の予知されたところによって選ばれ、御霊のきよめにあずかっている人たちへ。恵みと平安とが、あなたがたに豊かに加わるように。

3	Εὐλογητὸς	ὁ	Θεὸς	καὶ	Πατὴρ	τοῦ	Κυρίου	ἡμῶν,	Ἰησοῦ	Χριστοῦ,
	ほむべき	その	神	そして	父は	その	主	私たちの	イエス	キリストの
	G2128	G3588	G2316	G2532	G3962	G3588	G2962	G1473	G2424	G5547

ὁ	κατὰ	τὸ	πολὺ	αὐτοῦ	ἔλεος,	ἀναγεννήσας	ἡμᾶς	εἰς
その方は	~に従って	その	大きな	主の	あわれみによって	新たに–生ませた	私たちを	~へと
G3588	G2596	G3588	G4183	G0846	G1656	G0313	G1473	G1519

ἐλπίδα	ζῶσαν,	δι’	ἀναστάσεως	Ἰησοῦ	Χριστοῦ	ἐκ	νεκρῶν,
生きた	希望へと	~を通して	復活を通して	イエス	キリストの	~から	死者の中から
G1680	G2198	G1223	G0386	G2424	G5547	G1537	G3498

ほむべきかな、わたしたちの主イエス・キリストの父なる神。神は、その豊かなあわれみにより、イエス・キリストを死人の中からよみがえらせ、それにより、わたしたちを新たに生れさせて生ける望みをいだかせ、

4	εἰς	κληρονομίαν	ἄφθαρτον,	καὶ	ἀμίαντον,	καὶ	ἀμάραντον,	τετηρημένην
	~へと	受け継ぎへと	朽ちない	そして	汚れない	そして	褪せない	保たれている
	G1519	G2817	G0862	G2532	G0283	G2532	G0263	G5083

ἐν	οὐρανοῖς	εἰς	ὑμᾶς,
~において	天に	~のために	あなたがたの
G1722	G3772	G1519	G4771

あなたがたのために天にたくわえてある、朽ちず汚れず、しぼむことのない資産を受け継ぐ者として下さったのである。

5	τοὺς	ἐν	δυνάμει	Θεοῦ	φρουρουμένους	διὰ	πίστεως,	εἰς	
	その	~によって	力によって	神の	守られている	~を通して	信仰を通して	~へと	
	G3588	G1722	G1411	G2316	G5432	G1223	G4102	G1519	

σωτηρίαν	ἑτοίμην	ἀποκαλυφθῆναι	ἐν	καιρῷ	ἐσχάτῳ.	
救いへと	用意された	現れる	~において	時に	終わりの	
G4991	G2092	G0601	G1722	G2540	G2078	

あなたがたは、終りの時に啓示さるべき救にあずかるために、信仰により神の御力に守られているのである。

6	ἐν	ᾧ	ἀγαλλιᾶσθε,	ὀλίγον	ἄρτι,	εἰ	δέον	[ἐστὶν]	λυπηθέντες
	~において	それを	喜んでいる	少しの間	今	もし	必要なら	それは	悲しませれても
	G1722	G3739	G0021	G3641	G0737	G1487	G1163	G1510	G3076

ἐν	ποικίλοις	πειρασμοῖς,
~において	様々な	試練によって
G1722	G4164	G3986

そのことを思って、今しばらくのあいだは、さまざまな試錬で悩まねばならないかも知れないが、あなたがたは大いに喜んでいる。

7	ἵνα	τὸ	δοκίμιον	ὑμῶν	τῆς	πίστεως,	πολυτιμότερον	χρυσίου	τοῦ
	~ために	その	確かさが	あなたがたの	その	信仰の	はるかに–尊い	金よりも	その
	G2443	G3588	G1383	G4771	G3588	G4102	G4186	G5553	G3588

ἀπολλυμένου,	διὰ	πυρὸς	δὲ	δοκιμαζομένου,	εὑρεθῇ	εἰς	ἔπαινον,	
滅びる	~を通して	火を通して	しかし	試される	見出される	~へと	賞賛と	
G0622	G1223	G4442	G1161	G1381	G2147	G1519	G1868	

καὶ	δόξαν,	καὶ	τιμὴν,	ἐν	ἀποκαλύψει	Ἰησοῦ	Χριστοῦ;	
そして	栄光と	そして	誉れとなる	~において	美れに	イエス	キリストの	
G2532	G1391	G2532	G5092	G1722	G0602	G2424	G5547	

こうして、あなたがたの信仰はためされて、火で精錬されても朽ちる外はない金よりもはるかに尊いことが明らかにされ、イエス・キリストの現れるとき、さんびと栄光とほまれとに変るであろう。

8	ὃν	οὐκ	ἰδόντες,	ἀγαπᾶτε;	εἰς	ὃν	ἄρτι	μὴ
	その方を	~ない	見たことがなくても	愛している	~において	その方を	今	~ない
	G3739	G3756	G3708	G0025	G1519	G3739	G0737	G3361

ὁρῶντες,	πιστεύοντες	δὲ,	ἀγαλλιᾶσθε	χαρᾷ	ἀνεκλαλήτῳ	καὶ	δεδοξασμένῃ,	
見ていなくても	信じて	しかし	喜んでいる	喜びで	言い尽くせない	そして	栄光に–満ちた	
G3708	G4100	G1161	G0021	G5479	G0412	G2532	G1392	

あなたがたは、イエス・キリストを見たことはないが、彼を愛している。現在、見てはいないけれども、信じて、言葉につくせない、輝きにみちた喜びにあふれている。

9	κομιζόμενοι	τὸ	τέλος	τῆς	πίστεως	‹ὑμῶν›,	σωτηρίαν	ψυχῶν.
	受けている	その	結果を	その	信仰の	あなたがたの	救いを	魂の
	G2865	G3588	G5056	G3588	G4102	G4771	G4991	G5590

それは、信仰の結果なるたましいの救を得ているからである。

10	περὶ	ἧς	σωτηρίας,	ἐξεζήτησαν	καὶ	ἐξηραύνησαν	προφῆται,	οἱ	
	~について	その	救いについて	探し求めた	そして	調べた	預言者たちが	その	
	G4012	G3739	G4991	G1567	G2532	G1830	G4396	G3588	

περὶ	τῆς	εἰς	ὑμᾶς	χάριτος	προφητεύσαντες;	
~について	その	~への	あなたがたへの	恵みについて	預言した	
G4012	G3588	G1519	G4771	G5485	G4395	

この救については、あなたがたに対する恵みのことを預言した預言者たちも、たずね求め、かつ、つぶさに調べた。

11 ἐραυνῶντες (探り求めて G2045) εἰς (~へと G1519) τίνα (誰を G5101) ἢ (あるいは G2228) ποῖον (どのような G4169) καιρὸν (時を G2540) ἐδήλου (示していたのか G1213) τὸ (その G3588) ἐν (~の中にある G1722)
αὐτοῖς (彼らの中にある G0846) Πνεῦμα (御霊が G4151) Χριστοῦ, (キリストの G5547) προμαρτυρόμενον (あらかじめ–証言して G4303) τὰ (その G3588) εἰς (~への G1519) Χριστὸν (キリストへの G5547) παθήματα, (苦難と G3804)
καὶ (そして G2532) τὰς (その G3588) μετὰ (~の後の G3326) ταῦτα (それらの後の G3778) δόξας; (栄光を G1391)

彼らは、自分たちのうちにいますキリストの霊が、キリストの苦難とそれに続く栄光とを、あらかじめあかしした時、それは、いつの時、どんな場合をさしたのかを、調べたのである。

12 οἷς (彼らに G3739) ἀπεκαλύφθη, (明かされた G0601) ὅτι (~と G3754) οὐχ (~ない G3756) ἑαυτοῖς, (自分たちのためでなく G1438) ὑμῖν (あなたがたのために G4771) δὲ (しかし G1161)
διηκόνουν (仕えていた G1247) αὐτά, (それらを G0846) ἃ (それは G3739) νῦν (今 G3568) ἀνηγγέλη (告げられた G0312) ὑμῖν (あなたがたに G4771) διὰ (~を通して G1223) τῶν (その G3588)
εὐαγγελισαμένων (福音を–伝えた者たちを通して G2097) ὑμᾶς (あなたがたに G4771) ἐν (~において G1722) Πνεύματι (御霊によって G4151) Ἁγίῳ, (聖なる G0040) ἀποσταλέντι (遣わされた G0649) ἀπ’ (~から G0575)
οὐρανοῦ; (天から G3772) εἰς (~へと G1519) ἃ (それらを G3739) ἐπιθυμοῦσιν (慕っている G1937) ἄγγελοι (御使いたちも G0032) παρακύψαι. (見たいと G3879)

そして、それらについて調べたのは、自分たちのためではなくて、あなたがたのための奉仕であることを示された。それらの事は、天からつかわされた聖霊に感じて福音をあなたがたに宣べ伝えた人々によって、今や、あなたがたに告げ知らされたのであるが、これは、御使たちも、うかがい見たいと願っている事である。

13 Διὸ (それゆえ G1352) ἀναζωσάμενοι (引き紐めて G0328) τὰς (その G3588) ὀσφύας (腰を G3751) τῆς (その G3588) διανοίας (思いの G1271) ὑμῶν, (あなたがたの G4771) νήφοντες, (慎ましくあって G3525)
τελείως (完全に G5049) ἐλπίσατε (望みなさい G1679) ἐπὶ (~に G1909) τὴν (その G3588) φερομένην (もたらされる G5342) ὑμῖν (あなたがたに G4771) χάριν (恵みを G5485) ἐν (~において G1722) ἀποκαλύψει (美れに G0602)
Ἰησοῦ (イエス G2424) Χριστοῦ; (キリストの G5547)

それだから、心の腰に帯を締め、身を慎み、イエス・キリストの現れる時に与えられる恵みを、いささかも疑わずに待ち望んでいなさい。

14 ὡς (~として G5613) τέκνα (子として G5043) ὑπακοῆς, (従順の G5218) μὴ (~ない G3361) συσχηματιζόμενοι (形づくるな G4964) ταῖς (その G3588) πρότερον (以前の G4386) ἐν (~における G1722) τῇ (その G3588)
ἀγνοίᾳ (無知における G0052) ὑμῶν (あなたがたの G4771) ἐπιθυμίαις; (欲望に G1939)

従順な子供として、無知であった時代の欲情に従わず、

15 ἀλλὰ κατὰ τὸν καλέσαντα ὑμᾶς ἅγιον, καὶ αὐτοὶ
むしろ ~に従って その 召した方に あなたがたを 聖なる方に また 自分たちも
G0235 G2596 G3588 G2564 G4771 G0040 G2532 G0846

ἅγιοι ἐν πάσῃ ἀναστροφῇ γενήθητε;
聖くありなさい ~において すべての 生き方において なりなさい
G0040 G1722 G3956 G0391 G1096

むしろ、あなたがたを召して下さった聖なるかたにならって、あなたがた自身も、あらゆる行いにおいて聖なる者となりなさい。

16 διότι γέγραπται, ‹ὅτι› Ἅγιοι ἔσεσθε, ὅτι ἐγὼ ἅγιος [εἰμι].
なぜなら 書かれている ~と 聖くありなさい ありなさい なぜなら 私は 聖い からだ
G1360 G1125 G3754 G0040 G1510 G3754 G1473 G0040 G1510

聖書に、「わたしが聖なる者であるから、あなたがたも聖なる者になるべきである」と書いてあるからである。

17 καὶ εἰ Πατέρα ἐπικαλεῖσθε τὸν ἀπροσωπολήμπτως κρίνοντα, κατὰ τὸ
そして もし 父と 呼ぶなら その 偏りなく 裁く方を ~に従って その
G2532 G1487 G3962 G1941 G3588 G0678 G2919 G2596 G3588

ἑκάστου ἔργον, ἐν φόβῳ τὸν τῆς παροικίας ὑμῶν χρόνον
各人の 行いに ~において 畏れの中に その その 寄留の あなたがたの 時を
G1538 G2041 G1722 G5401 G3588 G3588 G3940 G4771 G5550

ἀναστράφητε,
過ごしなさい
G0390

あなたがたは、人をそれぞれのしわざに応じて、公平にさばくかたを、父と呼んでいるからには、地上に宿っている間を、おそれの心をもって過ごすべきである。

18 εἰδότες ὅτι οὐ φθαρτοῖς -- ἀργυρίῳ ἢ χρυσίῳ -- ἐλυτρώθητε
知っている ~と ~ない 滅びるものでなく 銀や あるいは 金でなく 贖われた
G1492 G3754 G3756 G5349 G0694 G2228 G5553 G3084

ἐκ τῆς ματαίας ὑμῶν ἀναστροφῆς πατροπαραδότου;
~から その 空しい あなたがたの 生き方から 父祖伝来の
G1537 G3588 G3152 G4771 G0391 G3970

あなたがたのよく知っているとおり、あなたがたが先祖伝来の空疎な生活からあがない出されたのは、銀や金のような朽ちる物によったのではなく、

19 ἀλλὰ τιμίῳ αἵματι, ὡς ἀμνοῦ ἀμώμου, καὶ ἀσπίλου, Χριστοῦ;
むしろ 尊い 血によって ~のような 小羊の 傷のない そして 汚れのない キリストの
G0235 G5093 G0129 G5613 G0286 G0299 G2532 G0784 G5547

きずも、しみもない小羊のようなキリストの尊い血によったのである。

20 προεγνωσμένου μὲν πρὸ καταβολῆς κόσμου, φανερωθέντος δὲ
あらかじめ-知られていた 一方では ~の前に 世界の-基の前から 世の 現れた しかし
G4267 G3303 G4253 G2602 G2889 G5319 G1161

ἐπ’ ἐσχάτου τῶν χρόνων, δι’ ὑμᾶς,
~において 終わりの その 時に ~のために あなたがたのために
G1909 G2078 G3588 G5550 G1223 G4771

キリストは、天地が造られる前から、あらかじめ知られていたのであるが、この終りの時に至って、あなたがたのために現れたのである。

21

τοὺς	δι’	αὐτοῦ	πιστοὺς	εἰς	Θεὸν,	τὸν	ἐγείραντα	αὐτὸν
その	~を通して	主を通して	信じる者として	~への	神への	その	よみがえらせた方を	主を
G3588	G1223	G0846	G4103	G1519	G2316	G3588	G1453	G0846

ἐκ	νεκρῶν,	καὶ	δόξαν	αὐτῷ	δόντα;	ὥστε	τὴν	πίστιν	ὑμῶν,
~から	死者の中から	そして	栄光を	主に	与えた	それゆえ	その	信仰が	あなたがたの
G1537	G3498	G2532	G1391	G0846	G1325	G5620	G3588	G4102	G4771

καὶ	ἐλπίδα,	εἶναι	εἰς	Θεόν.
そして	希望が	あるのは	~において	神にある
G2532	G1680	G1510	G1519	G2316

あなたがたは、このキリストによって、彼を死人の中からよみがえらせて、栄光をお与えになった神を信じる者となったのであり、したがって、あなたがたの信仰と望みとは、神にかかっているのである。

22

Τὰς	ψυχὰς	ὑμῶν	ἡγνικότες	ἐν	τῇ	ὑπακοῇ	τῆς	ἀληθείας
その	魂を	あなたがたの	清めて	~において	その	従順において	その	真理の
G3588	G5590	G4771	G0048	G1722	G3588	G5218	G3588	G0225

εἰς	φιλαδελφίαν	ἀνυπόκριτον,	ἐκ	[καθαρᾶς]	καρδίας,	ἀλλήλους	ἀγαπήσατε
~へと	兄弟愛へと	偽りなき	~から	清い	心から	互いに	愛し合いなさい
G1519	G5360	G0505	G1537	G2513	G2588	G0240	G0025

ἐκτενῶς.
熱心に
G1619

あなたがたは、真理に従うことによって、たましいをきよめ、偽りのない兄弟愛をいだくに至ったのであるから、互に心から熱く愛し合いなさい。

23

ἀναγεγεννημένοι,	οὐκ	ἐκ	σπορᾶς	φθαρτῆς,	ἀλλὰ	ἀφθάρτου,	διὰ
新たに-生まれた	~ない	~からでなく	種からでなく	滅びる	むしろ	滅びない	~を通して
G0313	G3756	G1537	G4701	G5349	G0235	G0862	G1223

λόγου	ζῶντος	Θεοῦ,	καὶ	μένοντος.
言葉を通して	生きている	神の	そして	とどまる
G3056	G2198	G2316	G2532	G3306

あなたがたが新たに生れたのは、朽ちる種からではなく、朽ちない種から、すなわち、神の変ることのない生ける御言によったのである。

24

διότι	πᾶσα	σὰρξ	ὡς	χόρτος,	καὶ	πᾶσα	δόξα	αὐτῆς	ὡς
なぜなら	すべての	肉体は	~のように	草のように	そして	すべての	栄光は	その	~のように
G1360	G3956	G4561	G5613	G5528	G2532	G3956	G1391	G0846	G5613

ἄνθος	χόρτου.	ἐξηράνθη	ὁ	χόρτος,	καὶ	τὸ	ἄνθος	ἐξέπεσεν,
花のように	草の	枯れた	その	草は	そして	その	花は	散った
G0438	G5528	G3583	G3588	G5528	G2532	G3588	G0438	G1601

「人はみな草のごとく、その栄華はみな草の花に似ている。草は枯れ、花は散る。

25

τὸ	δὲ	ῥῆμα	Κυρίου	μένει	εἰς	τὸν	αἰῶνα.	τοῦτο	δέ	ἐστιν
その	しかし	言葉は	主の	とどまる	~へと	その	永遠に	これこそ	そして	ある
G3588	G1161	G4487	G2962	G3306	G1519	G3588	G0165	G3778	G1161	G1510

τὸ	ῥῆμα	τὸ	εὐαγγελισθὲν	εἰς	ὑμᾶς.
その	言葉である	それが	福音として-伝えられた	~へ	あなたがたへ
G3588	G4487	G3588	G2097	G1519	G4771

しかし、主の言葉は、とこしえに残る」。これが、あなたがたに宣べ伝えられた御言葉である。

Chapter 2

1

Ἀποθέμενοι	οὖν	πᾶσαν	κακίαν,	καὶ	πάντα	δόλον,	καὶ	ὑποκρίσεις,
捨て去って	それゆえ	すべての	悪意を	そして	すべての	偽りを	そして	偽善を
G0659	G3767	G3956	G2549	G2532	G3956	G1388	G2532	G5272

καὶ	φθόνους,	καὶ	πάσας	καταλαλιάς,
そして	ねたみを	そして	すべての	悪口を
G2532	G5355	G2532	G3956	G2636

だから、あらゆる悪意、あらゆる偽り、偽善、そねみ、いっさいの悪口を捨てて、

2

ὡς	ἀρτιγέννητα	βρέφη,	τὸ	λογικὸν	ἄδολον	γάλα	ἐπιποθήσατε,
~のように	新たに-生まれた	乳児のように	その	純粋な	混じりけのない	乳を	慕い求めなさい
G5613	G0738	G1025	G3588	G3050	G0097	G1051	G1971

ἵνα	ἐν	αὐτῷ	αὐξηθῆτε,	εἰς	σωτηρίαν,
~ために	~によって	それによって	成長するために	~へと	救いへと
G2443	G1722	G0846	G0837	G1519	G4991

今生れたばかりの乳飲み子のように、混じりけのない霊の乳を慕い求めなさい。それによっておい育ち、救に入るようになるためである。

3

εἰ	ἐγεύσασθε	ὅτι	χρηστὸς	ὁ	Κύριος,
もし	味わったなら	~と	恵み深いと	その	主は
G1487	G1089	G3754	G5543	G3588	G2962

あなたがたは、主が恵み深いかたであることを、すでに味わい知ったはずである。

4

πρὸς	ὃν	προσερχόμενοι,	λίθον	ζῶντα,	ὑπὸ	ἀνθρώπων	μὲν
~へと	その方に	近づいて	石へと	生きた	~によって	人々には	一方では
G4314	G3739	G4334	G3037	G2198	G5259	G0444	G3303

ἀποδεδοκιμασμένον,	παρὰ	δὲ	Θεῷ,	ἐκλεκτὸν	ἔντιμον,
捨てられたが	~によって	しかし	神には	選ばれた	尊い
G0593	G3844	G1161	G2316	G1588	G1784

主は、人には捨てられたが、神にとっては選ばれた尊い生ける石である。

5

καὶ	αὐτοὶ,	ὡς	λίθοι	ζῶντες,	οἰκοδομεῖσθε,	οἶκος	πνευματικὸς,
また	自分たちも	~のように	石のように	生きた	建てられなさい	家として	霊的な
G2532	G0846	G5613	G3037	G2198	G3618	G3624	G4152

εἰς	ἱεράτευμα	ἅγιον,	ἀνενέγκαι	πνευματικὰς	θυσίας	εὐπροσδέκτους	[τῷ]
~へと	祢司の務めへと	聖なる	捧げるために	霊的な	いけにえを	喜ばれる	その
G1519	G2406	G0040	G0399	G4152	G2378	G2144	G3588

Θεῷ	διὰ	Ἰησοῦ	Χριστοῦ.
神に	~を通して	イエス	キリストを通して
G2316	G1223	G2424	G5547

この主のみもとにきて、あなたがたも、それぞれ生ける石となって、霊の家に築き上げられ、聖なる祭司となって、イエス・キリストにより、神によろこばれる霊のいけにえを、ささげなさい。

6 διότι περιέχει ἐν γραφῇ: Ἰδοὺ, τίθημι ἐν Σιὼν λίθον,
なぜなら 含まれている ~において 聖書に 見よ 置く ~に シオンに 石を
G1360 G4023 G1722 G1124 G3708 G5087 G1722 G4622 G3037

ἐκλεκτὸν ἀκρογωνιαῖον, ἔντιμον; καὶ ὁ πιστεύων ἐπ' αὐτῷ, οὐ
選ばれた 隅の-石を 尊い そして その 信じる者は ~の上に その方の上に 決して
G1588 G0204 G1784 G2532 G3588 G4100 G1909 G0846 G3756

μὴ καταισχυνθῇ.
~ない 恥を-受けない
G3361 G2617

聖書にこう書いてある、「見よ、わたしはシオンに、選ばれた尊い石、隅のかしら石を置く。それにより頼む者は、決して、失望に終ることがない」。

7 ὑμῖν οὖν ἡ τιμὴ, τοῖς πιστεύουσιν; ἀπιστοῦσιν δὲ, λίθος
あなたがたには それゆえ その 尊さがある その 信じる者には 信じない者には しかし 石は
G4771 G3767 G3588 G5092 G3588 G4100 G0569 G1161 G3037

ὃν ἀπεδοκίμασαν οἱ οἰκοδομοῦντες, οὗτος ἐγενήθη εἰς κεφαλὴν γωνίας;
それを 捨てた その 建てる者たちが これが なった ~へと かしらの 隅の-石に
G3739 G0593 G3588 G3618 G3778 G1096 G1519 G2776 G1137

この石は、より頼んでいるあなたがたには尊いものであるが、不信仰な人々には「家造りらの捨てた石で、隅のかしら石となったもの」、

8 καὶ, λίθος προσκόμματος καὶ πέτρα σκανδάλου; οἳ προσκόπτουσιν τῷ
そして 石は つまずきの そして 岩は つまずきの 彼らは つまずく その
G2532 G3037 G4348 G2532 G4073 G4625 G3739 G4350 G3588

λόγῳ, ἀπειθοῦντες, εἰς ὃ καὶ ἐτέθησαν.
言葉に 従わないで ~へと それへと また 定められた
G3056 G0544 G1519 G3739 G2532 G5087

また「つまずきの石、妨げの岩」である。しかし、彼らがつまずくのは、御言に従わないからであって、彼らは、実は、そうなるように定められていたのである。

9 ὑμεῖς δὲ γένος ἐκλεκτόν, βασίλειον ἱεράτευμα, ἔθνος ἅγιον,
あなたがたは しかし 民である 選ばれた 王の 祢司の務めである 国民である 聖なる
G4771 G1161 G1085 G1588 G0934 G2406 G1484 G0040

λαὸς εἰς περιποίησιν, ὅπως τὰς ἀρετὰς ἐξαγγείλητε, τοῦ ἐκ
民である ~のための 所有のための ~ために その 徳を 告げ知らせるために その ~から
G2992 G1519 G4047 G3704 G3588 G0703 G1804 G3588 G1537

σκότους ὑμᾶς καλέσαντος, εἰς τὸ θαυμαστὸν αὐτοῦ φῶς;
闇から あなたがたを 召した方の ~へと その 不思議な 主の 光へと
G4655 G4771 G2564 G1519 G3588 G2298 G0846 G5457

しかし、あなたがたは、選ばれた種族、祭司の国、聖なる国民、神につける民である。それによって、暗やみから驚くべきみ光に招き入れて下さったかたのみわざを、あなたがたが語り伝えるためである。

10 οἵ ποτε οὐ λαὸς, νῦν δὲ λαὸς Θεοῦ; οἱ οὐκ
それらは かつては ~ない 民でなかったが 今は しかし 民である 神の それらは ~ない
G3739 G4218 G3756 G2992 G3568 G1161 G2992 G2316 G3588 G3756

ἠλεημένοι, νῦν δὲ ἐλεηθέντες.
あわれみを-受けなかったが 今は しかし あわれみを-受けた
G1653 G3568 G1161 G1653

あなたがたは、以前は神の民でなかったが、いまは神の民であり、以前は、あわれみを受けたことのない者であったが、いまは、あわれみを受けた者となっている。

11 Ἀγαπητοί, παρακαλῶ ὡς παροίκους καὶ παρεπιδήμους, ἀπέχεσθαι τῶν
愛する者たちよ 勧める ~として 寄留者として そして 旅人として 避けなさい その
G0027 G3870 G5613 G3941 G2532 G3927 G0568 G3588

σαρκικῶν ἐπιθυμιῶν, αἵτινες στρατεύονται κατὰ τῆς ψυχῆς;
肉の 欲望を それらは 戦っている ~に対して その 魂に
G4559 G1939 G3748 G4754 G2596 G3588 G5590

愛する者たちよ。あなたがたに勧める。あなたがたは、この世の旅人であり寄留者であるから、たましいに戦いをいどむ肉の欲を避けなさい。

12 τὴν ἀναστροφὴν ὑμῶν ἐν τοῖς ἔθνεσιν ἔχοντες, καλήν ἵνα
その 生き方を あなたがたの ~の中で その 異邦人の中で 保ちなさい 良く ~ために
G3588 G0391 G4771 G1722 G3588 G1484 G2192 G2570 G2443

ἐν ᾧ καταλαλοῦσιν ὑμῶν ὡς κακοποιῶν, ἐκ τῶν καλῶν
~において その 悪口を–言っても あなたがたの ~として 悪を–行う者として ~から その 良い
G1722 G3739 G2635 G4771 G5613 G2555 G1537 G3588 G2570

ἔργων ἐποπτεύοντες, δοξάσωσιν τὸν Θεὸν ἐν ἡμέρᾳ ἐπισκοπῆς.
行いを 見て 栄光を–帰すように その 神に ~において 訪れの 日に
G2041 G2029 G1392 G3588 G2316 G1722 G2250 G1984

異邦人の中にあって、りっぱな行いをしなさい。そうすれば、彼らは、あなたがたを悪人呼ばわりしていても、あなたがたのりっぱなわざを見て、かえって、おとずれの日に神をあがめるようになろう。

13 Ὑποτάγητε πάσῃ ἀνθρωπίνῃ κτίσει διὰ τὸν Κύριον; εἴτε βασιλεῖ,
従いなさい すべての 人間の 制度に ~のために その 主のために ~であれ 王に
G5293 G3956 G0442 G2937 G1223 G3588 G2962 G1535 G0935

ὡς ὑπερέχοντι;
~として 最高の者として
G5613 G5242

あなたがたは、すべて人の立てた制度に、主のゆえに従いなさい。主権者としての王であろうと、

14 εἴτε ἡγεμόσιν, ὡς δι’ αὐτοῦ πεμπομένοις, εἰς ἐκδίκησιν
~であれ 総督に ~として ~を通して 主を通して 遣わされた者として ~のために 罰のために
G1535 G2232 G5613 G1223 G0846 G3992 G1519 G1557

κακοποιῶν, ἔπαινον δὲ ἀγαθοποιῶν;
悪を–行う者の 賞賛のために そして 善を–行う者の
G2555 G1868 G1161 G0017

あるいは、悪を行う者を罰し善を行う者を賞するために、王からつかわされた長官であろうと、これに従いなさい。

15 ὅτι οὕτως ἐστὶν τὸ θέλημα τοῦ Θεοῦ: ἀγαθοποιοῦντας,
なぜなら このように ある その 御心は その 神の 善を–行うことによって
G3754 G3779 G1510 G3588 G2307 G3588 G2316 G0015

φιμοῦν τὴν τῶν ἀφρόνων ἀνθρώπων ἀγνωσίαν.
黙らせることだ その その 愚かな 人々の 無知を
G5392 G3588 G3588 G0878 G0444 G0056

善を行うことによって、愚かな人々の無知な発言を封じるのは、神の御旨なのである。

16 ὡς ~として G5613 ἐλεύθεροι, 自由な者として G1658 καὶ そして G2532 μὴ ~ない G3361 ὡς ~として G5613 ἐπικάλυμμα 覆いとして G1942 ἔχοντες 使って G2192 τῆς その G3588 κακίας, 悪の G2549 τὴν その G3588
ἐλευθερίαν, 自由を G1657 ἀλλ’ むしろ G0235 ὡς ~として G5613 Θεοῦ 神の G2316 δοῦλοι. 僕として G1401

自由人にふさわしく行動しなさい。ただし、自由をば悪を行う口実として用いず、神の僕にふさわしく行動しなさい。

17 πάντας すべての人を G3956 τιμήσατε. 敬いなさい G5091 τὴν その G3588 ἀδελφότητα 兄弟愛を G0081 ἀγαπᾶτε. 愛しなさい G0025 τὸν その G3588 Θεὸν 神を G2316 φοβεῖσθε. 畏れなさい G5399 τὸν その G3588
βασιλέα 王を G0935 τιμᾶτε. 敬いなさい G5091

すべての人をうやまい、兄弟たちを愛し、神をおそれ、王を尊びなさい。

18 Οἱ その G3588 οἰκέται, 僕たちよ G3610 ὑποτασσόμενοι 従いなさい G5293 ἐν ~において G1722 παντὶ すべての G3956 φόβῳ 畏れをもって G5401 τοῖς その G3588 δεσπόταις, 主人に G1203 οὐ ~ない G3756
μόνον ~だけでなく G3440 τοῖς その G3588 ἀγαθοῖς 善い G0018 καὶ そして G2532 ἐπιεικέσιν, 寛容な者に G1933 ἀλλὰ だけでなく G0235 καὶ また G2532 τοῖς その G3588 σκολιοῖς. 厳しい者にも G4646

僕たる者よ。心からのおそれをもって、主人に仕えなさい。善良で寛容な主人だけにでなく、気むずかしい主人にも、そうしなさい。

19 τοῦτο これは G3778 γὰρ なぜなら G1063 χάρις, 恵みである G5485 εἰ もし G1487 διὰ ~のために G1223 συνείδησιν, 良心のために G4893 Θεοῦ, 神の G2316 ὑποφέρει 耐えるなら G5297 τις 誰かが G5100
λύπας, 悲しみを G3077 πάσχων 苦しんで G3958 ἀδίκως. 不当に G0095

もしだれかが、不当な苦しみを受けても、神を仰いでその苦痛を耐え忍ぶなら、それはよみせられることである。

20 ποῖον どんな G4169 γὰρ なぜなら G1063 κλέος, 傑れたことか G2811 εἰ もし G1487 ἁμαρτάνοντες 罪を–犯して G0264 καὶ そして G2532 κολαφιζόμενοι 打たれて G2852 ὑπομενεῖτε? 耐えるなら G5278
ἀλλ’ しかし G0235 εἰ もし G1487 ἀγαθοποιοῦντες 善を–行って G0015 καὶ そして G2532 πάσχοντες 苦しんで G3958 ὑπομενεῖτε, 耐えるなら G5278 τοῦτο これこそ G3778 χάρις 恵みである G5485 παρὰ ~の前に G3844
Θεῷ. 神の前に G2316

悪いことをして打ちたたかれ、それを忍んだとしても、なんの手柄になるのか。しかし善を行って苦しみを受け、しかもそれを耐え忍んでいるとすれば、これこそ神によみせられることである。

21 εἰς τοῦτο γὰρ ἐκλήθητε, ὅτι καὶ Χριστὸς ἔπαθεν ὑπὲρ
~へと これのために なぜなら 召された なぜなら また キリストも 苦しまれた ~のために
G1519 G3778 G1063 G2564 G3754 G2532 G5547 G3958 G5228

ὑμῶν, ὑμῖν ὑπολιμπάνων ὑπογραμμὸν ἵνα ἐπακολουθήσητε τοῖς
あなたがたのために あなたがたに 残して 模範を ~ために 従うために その
G4771 G4771 G5277 G5261 G2443 G1872 G3588

ἴχνεσιν αὐτοῦ;
足跡に 主の
G2487 G0846

あなたがたは、実に、そうするようにと召されたのである。キリストも、あなたがたのために苦しみを受け、御足の跡を踏み従うようにと、模範を残されたのである。

22 ὃς ἁμαρτίαν οὐκ ἐποίησεν, οὐδὲ εὑρέθη δόλος ἐν τῷ
その方は 罪を ~ない 犯さなかった また–ない 見出されなかった 偽りは ~において その
G3739 G0266 G3756 G4160 G3761 G2147 G1388 G1722 G3588

στόματι αὐτοῦ;
口に 主の
G4750 G0846

キリストは罪を犯さず、その口には偽りがなかった。

23 ὃς, λοιδορούμενος, οὐκ ἀντελοιδόρει; πάσχων οὐκ ἠπείλει;
その方は 罵られても ~ない 罵り–返さなかった 苦しんでも ~ない 脅さなかった
G3739 G3058 G3756 G0486 G3958 G3756 G0546

παρεδίδου δὲ τῷ κρίνοντι δικαίως;
委ねた しかし その 正しく–裁く方に 正しく
G3860 G1161 G3588 G2919 G1346

ののしられても、ののしりかえさず、苦しめられても、おびやかすことをせず、正しいさばきをするかたに、いっさいをゆだねておられた。

24 ὃς τὰς ἁμαρτίας ἡμῶν αὐτὸς ἀνήνεγκεν ἐν τῷ σώματι αὐτοῦ
その方は その 罪を 私たちの 自ら 担った ~において その 体で 主の
G3739 G3588 G0266 G1473 G0846 G0399 G1722 G3588 G4983 G0846

ἐπὶ τὸ ξύλον, ἵνα, ταῖς ἁμαρτίαις ἀπογενόμενοι, τῇ δικαιοσύνῃ
~の上に その 木の上に ~ために その 罪に 死んで その 義に
G1909 G3588 G3586 G2443 G3588 G0266 G0581 G3588 G1343

ζήσωμεν; οὗ τῷ μώλωπι ἰάθητε.
生きるために その方の その 打ち傷によって 癒された
G2198 G3739 G3588 G3468 G2390

さらに、わたしたちが罪に死に、義に生きるために、十字架にかかって、わたしたちの罪をご自分の身に負われた。その傷によって、あなたがたは、いやされたのである。

25 ἦτε γὰρ ὡς πρόβατα πλανώμενοι, ἀλλὰ ἐπεστράφητε νῦν ἐπὶ
あった なぜなら ~のように 羊のように 迷っていた しかし 立ち返った 今 ~の方へ
G1510 G1063 G5613 G4263 G4105 G0235 G1994 G3568 G1909

τὸν Ποιμένα καὶ Ἐπίσκοπον τῶν ψυχῶν ὑμῶν.
その 羊飼いと そして 監督者のもとへ その 魂の あなたがたの
G3588 G4166 G2532 G1985 G3588 G5590 G4771

あなたがたは、羊のようにさ迷っていたが、今は、たましいの牧者であり監督であるかたのもとに、たち帰ったのである。

Chapter 3

1 Ὁμοίως [αἱ] γυναῖκες, ὑποτασσόμεναι τοῖς ἰδίοις ἀνδράσιν, ἵνα, καὶ εἴ
同様に その 妻たちよ 従いなさい その 自分の 夫に ~ために たとえ もし
G3668 G3588 G1135 G5293 G3588 G2398 G0435 G2443 G2532 G1487

τινες ἀπειθοῦσιν τῷ λόγῳ, διὰ τῆς τῶν γυναικῶν ἀναστροφῆς, ἄνευ
ある者が 従わなくても その 言葉に ~を通して その その 妻たちの 生き方を通して ~なしに
G5100 G0544 G3588 G3056 G1223 G3588 G3588 G1135 G0391 G0427

λόγου, κερδηθήσονται;
言葉なしに 勝ち取られるように
G3056 G2770

同じように、妻たる者よ。夫に仕えなさい。そうすれば、たとい御言に従わない夫であっても、

2 ἐποπτεύσαντες τὴν ἐν φόβῳ ἁγνὴν ἀναστροφὴν ὑμῶν;
見て その ~における 畏れの中の 清い 生き方を あなたがたの
G2029 G3588 G1722 G5401 G0053 G0391 G4771

あなたがたのうやうやしく清い行いを見て、その妻の無言の行いによって、救に入れられるようになるであろう。

3 ὧν ἔστω οὐχ ὁ ἔξωθεν ἐμπλοκῆς τριχῶν, καὶ
その ありなさい ~ない その 外側の 髪を-編むことや 髪の そして
G3739 G1510 G3756 G3588 G1855 G1708 G2359 G2532

περιθέσεως χρυσίων, ἢ ἐνδύσεως ἱματίων κόσμος;
金を-身につけることや 金の あるいは 衣服を-着ることの 衣服の 飾りでなく
G4025 G5553 G2228 G1745 G2440 G2889

あなたがたは、髪を編み、金の飾りをつけ、服装をととのえるような外面の飾りではなく、

4 ἀλλ’ ὁ κρυπτὸς τῆς καρδίας ἄνθρωπος, ἐν τῷ ἀφθάρτῳ τοῦ
むしろ その 隠れた その 心の 人である ~において その 滅びない その
G0235 G3588 G2927 G3588 G2588 G0444 G1722 G3588 G0862 G3588

πραέως καὶ ἡσυχίου πνεύματος, ὅ ἐστιν ἐνώπιον τοῦ Θεοῦ πολυτελές.
柔和で そして 穏やかな 霊の それは ある ~の前に その 神の前に 尊い
G4239 G2532 G2272 G4151 G3739 G1510 G1799 G3588 G2316 G4185

かくれた内なる人、柔和で、しとやかな霊という朽ちることのない飾りを、身につけるべきである。これこそ、神のみまえに、きわめて尊いものである。

5 οὕτως γάρ, ποτε καὶ αἱ ἅγιαι γυναῖκες αἱ ἐλπίζουσαι εἰς
このように なぜなら かつて また その 聖なる 女たちも その 望みを-置いた ~に
G3779 G1063 G4218 G2532 G3588 G0040 G1135 G3588 G1679 G1519

Θεὸν ἐκόσμουν ἑαυτάς, ὑποτασσόμεναι τοῖς ἰδίοις ἀνδράσιν;
神に 飾っていた 自分たちを 従って その 自分の 夫に
G2316 G2885 G1438 G5293 G3588 G2398 G0435

むかし、神を仰ぎ望んでいた聖なる女たちも、このように身を飾って、その夫に仕えたのである。

6 ὡς ~のように G5613 Σάρρα サラは G4564 ὑπήκουσεν 従った G5219 τῷ その G3588 Ἀβραάμ, アブラハムに G0011 κύριον 主と G2962 αὐτὸν 彼を G0846 καλοῦσα; 呼んだ G2564 ἧς その G3739

ἐγενήθητε なった G1096 τέκνα, 子となった G5043 ἀγαθοποιοῦσαι 善を-行って G0015 καὶ そして G2532 μὴ ~ない G3361 φοβούμεναι 恐れないで G5399 μηδεμίαν 何も G3367 πτόησιν. 恐れを G4423

たとえば、サラはアブラハムに仕えて、彼を主と呼んだ。あなたがたも、何事にもおびえ臆することなく善を行えば、サラの娘たちとなるのである。

7 Οἱ その G3588 ἄνδρες 夫たちも G0435 ὁμοίως, 同様に G3668 συνοικοῦντες 共に-住みなさい G4924 κατὰ ~に従って G2596 γνῶσιν, 理解に G1108 ὡς ~として G5613 ἀσθενεστέρῳ より-弱い G0772

σκεύει 器として G4632 τῷ その G3588 γυναικείῳ, 女性という G1134 ἀπονέμοντες 与えて G0632 τιμήν, 敬意を G5092 ὡς ~として G5613 καὶ また G2532 συνκληρονόμοις 共同の-相続人として G4789 χάριτος 恵みの G5485

ζωῆς, 命の G2222 εἰς ~ために G1519 τὸ その G3588 μὴ ~ない G3361 ἐνκόπτεσθαι 妨げられないために G1465 τὰς その G3588 προσευχὰς 祈りが G4335 ὑμῶν. あなたがたの G4771

夫たる者よ。あなたがたも同じように、女は自分よりも弱い器であることを認めて、知識に従って妻と共に住み、いのちの恵みを共どもに受け継ぐ者として、尊びなさい。それは、あなたがたの祈が妨げられないためである。

8 Τὸ その G3588 δὲ そして G1161 τέλος, 終わりに G5056 πάντες 皆が G3956 ὁμόφρονες, 心を-一つにし G3675 συμπαθεῖς, 同情し G4835 φιλάδελφοι, 兄弟愛を-持ち G5361 εὔσπλαγχνοι, 想いやり深く G2155

ταπεινόφρονες; へりくだって G5012

最後に言う。あなたがたは皆、心をひとつにし、同情し合い、兄弟愛をもち、あわれみ深くあり、謙虚でありなさい。

9 μὴ ~ない G3361 ἀποδιδόντες 返すな G0591 κακὸν 悪を G2556 ἀντὶ ~に対して G0473 κακοῦ, 悪に G2556 ἢ あるいは G2228 λοιδορίαν 罵りを G3059 ἀντὶ ~に対して G0473 λοιδορίας; 罵りに G3059

τοὐναντίον 反対に G5121 δὲ, むしろ G1161 εὐλογοῦντες; 祝福しなさい G2127 ὅτι なぜなら G3754 εἰς ~へと G1519 τοῦτο これのために G3778 ἐκλήθητε, 召された G2564 ἵνα ~ために G2443 εὐλογίαν 祝福を G2129

κληρονομήσητε. 受け継ぐために G2816

悪をもって悪に報いず、悪口をもって悪口に報いず、かえって、祝福をもって報いなさい。あなたがたが召されたのは、祝福を受け継ぐためなのである。

10 ὁ その G3588 γὰρ なぜなら G1063 θέλων 望む者は G2309 ζωὴν 命を G2222 ἀγαπᾶν, 愛することを G0025 καὶ そして G2532 ἰδεῖν 見ることを G3708 ἡμέρας 日々を G2250 ἀγαθὰς, 良い G0018 παυσάτω 止めなさい G3973

τὴν その G3588 γλῶσσαν 舌を G1100 ἀπὸ ~から G0575 κακοῦ, 悪から G2556 καὶ そして G2532 χείλη 唇を G5491 τοῦ その G3588 μὴ ~ない G3361 λαλῆσαι 語らない G2980 δόλον. 偽りを G1388

「いのちを愛し、さいわいな日々を過ごそうと願う人は、舌を制して悪を言わず、くちびるを閉じて偽りを語らず、

11 ἐκκλινάτω δὲ ἀπὸ κακοῦ, καὶ ποιησάτω ἀγαθόν. ζητησάτω εἰρήνην καὶ διωξάτω αὐτήν.
避けなさい そして ~から 悪から そして 行いなさい 善を 求めなさい 平和を そして 追い求めなさい それを
G1578 G1161 G0575 G2556 G2532 G4160 G0018 G2212 G1515 G2532 G1377 G0846

悪を避けて善を行い、平和を求めて、これを追え。

12 ὅτι ὀφθαλμοὶ Κυρίου ἐπὶ δικαίους, καὶ ὦτα αὐτοῦ εἰς δέησιν αὐτῶν. πρόσωπον δὲ Κυρίου ἐπὶ ποιοῦντας κακά.
なぜなら 目は 主の ~の上に 義人の上に そして 耳は 主の ~へと 祈りへと 彼らの 御顔は しかし 主の ~に対して 行う者に対して 悪を
G3754 G3788 G2962 G1909 G1342 G2532 G3775 G0846 G1519 G1162 G0846 G4383 G1161 G2962 G1909 G4160 G2556

主の目は義人たちに注がれ、主の耳は彼らの祈にかたむく。しかし主の御顔は、悪を行う者に対して向かう」。

13 Καὶ τίς ὁ κακώσων ὑμᾶς, ἐὰν τοῦ ἀγαθοῦ, ζηλωταὶ γένησθε?
そして 誰が その 害を-加えるだろうか あなたがたに もし その 善の 熱心な者に なるなら
G2532 G5101 G3588 G2559 G4771 G1437 G3588 G0018 G2207 G1096

そこで、もしあなたがたが善に熱心であれば、だれが、あなたがたに危害を加えようか。

14 ἀλλ’ εἰ καὶ πάσχοιτε διὰ δικαιοσύνην, μακάριοι; τὸν δὲ φόβον αὐτῶν μὴ φοβηθῆτε, μηδὲ ταραχθῆτε;
しかし たとえ たとえ 苦しんでも ~のために 義のために 幸いだ その しかし 恐れを 彼らの ~ない 恐れるな また-ない 動揺するな
G0235 G1487 G2532 G3958 G1223 G1343 G3107 G3588 G1161 G5401 G0846 G3361 G5399 G3366 G5015

しかし、万一義のために苦しむようなことがあっても、あなたがたはさいわいである。彼らを恐れたり、心を乱したりしてはならない。

15 Κύριον δὲ τὸν Χριστὸν ἁγιάσατε ἐν ταῖς καρδίαις ὑμῶν; ἕτοιμοι ἀεὶ πρὸς ἀπολογίαν παντὶ τῷ αἰτοῦντι ὑμᾶς λόγον, περὶ τῆς ἐν ὑμῖν ἐλπίδος; ἀλλὰ μετὰ πραΰτητος καὶ φόβου,
主を しかし その キリストを 聖としなさい ~において その 心の中に あなたがたの 備えて 常に ~のために 弁明のために すべての その 求める者に あなたがたに 言葉を ~について その ~にある あなたがたにある 希望について しかし ~をもって 柔和と そして 畏れをもって
G2962 G1161 G3588 G5547 G0037 G1722 G3588 G2588 G4771 G2092 G0104 G4314 G0627 G3956 G3588 G0154 G4771 G3056 G4012 G3588 G1722 G4771 G1680 G0235 G3326 G4240 G2532 G5401

ただ、心の中でキリストを主とあがめなさい。また、あなたがたのうちにある望みについて説明を求める人には、いつでも弁明のできる用意をしていなさい。

16 συνείδησιν 良心を G4893 ἔχοντες 保ちなさい G2192 ἀγαθήν, 良い G0018 ἵνα ~ために G2443 ἐν ~において G1722 ᾧ その G3739 καταλαλεῖσθε, 悪口を-言われても G2635

καταισχυνθῶσιν 恥じ入るように G2617 οἱ その G3588 ἐπηρεάζοντες 侮辱する者が G1908 ὑμῶν あなたがたの G4771 τὴν その G3588 ἀγαθὴν 良い G0018 ἐν ~における G1722 Χριστῷ キリストにおける G5547

ἀναστροφήν. 生き方を G0391

しかし、やさしく、慎み深く、明らかな良心をもって、弁明しなさい。そうすれば、あなたがたがキリストにあって営んでいる良い生活をそしる人々も、そのようにののしったことを恥じいるであろう。

17 κρεῖττον より良い G2909 γὰρ, なぜなら G1063 ἀγαθοποιοῦντας 善を-行って G0015 εἰ もし G1487 θέλοι 望むなら G2309 τὸ その G3588 θέλημα 御心が G2307 τοῦ その G3588 Θεοῦ, 神の G2316

πάσχειν, 苦しむことは G3958 ἢ ~よりも G2228 κακοποιοῦντας; 悪を-行って G2554

善をおこなって苦しむことは――それが神の御旨であれば――悪をおこなって苦しむよりも、まさっている。

18 ὅτι なぜなら G3754 καὶ また G2532 Χριστὸς キリストも G5547 ἅπαξ 一度 G0530 περὶ ~のために G4012 ἁμαρτιῶν 罪のために G0266 ἔπαθεν, 苦しまれた G3958 δίκαιος 義なる方が G1342 ὑπὲρ ~のために G5228

ἀδίκων, 不義なる者のために G0094 ἵνα ~ために G2443 ὑμᾶς あなたがたを G4771 προσαγάγῃ 導くために G4317 τῷ その G3588 Θεῷ; 神に G2316 θανατωθεὶς 殺された G2289 μὲν 一方では G3303

σαρκὶ, 肉において G4561 ζωοποιηθεὶς 生かされた G2227 δὲ しかし G1161 πνεύματι; 霊において G4151

キリストも、あなたがたを神に近づけようとして、自らは義なるかたであるのに、不義なる人々のために、ひとたび罪のゆえに死なれた。ただし、肉においては殺されたが、霊においては生かされたのである。

19 ἐν ~において G1722 ᾧ それによって G3739 καὶ また G2532 τοῖς その G3588 ἐν ~の中にある G1722 φυλακῇ 牢にある G5438 πνεύμασιν, 霊たちに G4151 πορευθεὶς, 行って G4198

ἐκήρυξεν; 宣べ伝えた G2784

こうして、彼は獄に捕われている霊どものところに下って行き、宣べ伝えることをされた。

20 ἀπειθήσασίν ποτε, ὅτε ἀπεξεδέχετο ἡ τοῦ Θεοῦ μακροθυμία,
従わなかった者たちに かつて その時 待っておられた その 神の 忍耐が
G0544 G4218 G3753 G0553 G3588 G3588 G2316 G3115

ἐν ἡμέραις Νῶε; κατασκευαζομένης κιβωτοῦ, εἰς ἣν ὀλίγοι, τοῦτ’
~において 日々に ノアの 造られている間 箱舟が ~へと その中へ 少しの すなわち
G1722 G2250 G3575 G2680 G2787 G1519 G3739 G3641 G3778

ἔστιν, ὀκτὼ ψυχαί, διεσώθησαν δι’ ὕδατος;
すなわち 八つの 魂が 救われた ~を通して 水を通して
G1510 G3638 G5590 G1295 G1223 G5204

これらの霊というのは、むかしノアの箱舟が造られていた間、神が寛容をもって待っておられたのに従わなかった者どものことである。その箱舟に乗り込み、水を経て救われたのは、わずかに八名だけであった。

21 ὃ καὶ ὑμᾶς ἀντίτυπον νῦν σῴζει βάπτισμα, οὐ σαρκὸς
それは また あなたがたを 型として 今 救う バプテスマが ~ない 肉体の
G3739 G2532 G4771 G0499 G3568 G4982 G0908 G3756 G4561

ἀπόθεσις ῥύπου, ἀλλὰ συνειδήσεως ἀγαθῆς, ἐπερώτημα εἰς Θεόν, δι’
取り除きでなく 汚れの むしろ 良心の 良い 誓いである ~への 神への ~を通して
G0595 G4509 G0235 G4893 G0018 G1906 G1519 G2316 G1223

ἀναστάσεως Ἰησοῦ Χριστοῦ;
復活を通して イエス キリストの
G0386 G2424 G5547

この水はバプテスマを象徴するものであって、今やあなたがたをも救うのである。それは、イエス・キリストの復活によるのであって、からだの汚れを除くことではなく、明らかな良心を神に願い求めることである。

22 ὅς ἐστιν ἐν δεξιᾷ [τοῦ] Θεοῦ, πορευθεὶς εἰς οὐρανόν, ὑποταγέντων
その方は おられる ~に 右に その 神の 行って ~へ 天へ 従わせて
G3739 G1510 G1722 G1188 G3588 G2316 G4198 G1519 G3772 G5293

αὐτῷ ἀγγέλων, καὶ ἐξουσιῶν, καὶ δυνάμεων.
主に 御使いたちと そして 権威と そして 力を
G0846 G0032 G2532 G1849 G2532 G1411

キリストは天に上って神の右に座し、天使たちともろもろの権威、権力を従えておられるのである。

Chapter 4

1 Χριστοῦ οὖν παθόντος σαρκὶ, καὶ ὑμεῖς τὴν αὐτὴν ἔννοιαν
キリストが それゆえ 苦しまれた 肉において また あなたがたも その 同じ 思いで
G5547 G3767 G3958 G4561 G2532 G4771 G3588 G0846 G1771

ὁπλίσασθε; ὅτι ὁ παθὼν σαρκὶ πέπαυται ἁμαρτίας;
武装しなさい なぜなら その 苦しんだ者は 肉において 終わった 罪に
G3695 G3754 G3588 G3958 G4561 G3973 G0266

このように、キリストは肉において苦しまれたのであるから、あなたがたも同じ覚悟で心の武装をしなさい。肉において苦しんだ人は、それによって罪からのがれたのである。

2 εἰς τὸ μηκέτι ἀνθρώπων ἐπιθυμίαις, ἀλλὰ θελήματι Θεοῦ, τὸν
~へと その もはや–ない 人の 欲望にでなく むしろ 御心に 神の その
G1519 G3588 G3371 G0444 G1939 G0235 G2307 G2316 G3588

ἐπίλοιπον ἐν σαρκὶ βιῶσαι χρόνον.
残りの ~において 肉において 生きるために 時を
G1954 G1722 G4561 G0980 G5550

それは、肉における残りの生涯を、もはや人間の欲情によらず、神の御旨によって過ごすためである。

3 ἀρκετὸς γὰρ ὁ παρεληλυθὼς χρόνος τὸ, βούλημα τῶν ἐθνῶν
十分である なぜなら その 過ぎ去った 時は その 望みを その 異邦人の
G0713 G1063 G3588 G3928 G5550 G3588 G1013 G3588 G1484

κατειργάσθαι, πεπορευμένους ἐν ἀσελγείαις, ἐπιθυμίαις, οἰνοφλυγίαις, κώμοις,
行ってきたことは 歩んできた ~の中で 好色の中で 欲望の中で 大飲の中で 騒いの中で
G2716 G4198 G1722 G0766 G1939 G3632 G2970

πότοις, καὶ ἀθεμίτοις εἰδωλολατρίαις.
酒宴の中で そして 禁じられた 偶像崇拝の中で
G4224 G2532 G0111 G1495

過ぎ去った時代には、あなたがたは、異邦人の好みにまかせて、好色、欲情、酔酒、宴楽、暴飲、気ままな偶像礼拝などにふけってきたが、もうそれで十分であろう。

4 ἐν ᾧ ξενίζονται, μὴ συντρεχόντων ὑμῶν, εἰς τὴν
~において それについて 怪しんでいる ~ない 共に-走らない あなたがたが ~へと その
G1722 G3739 G3579 G3361 G4936 G4771 G1519 G3588

αὐτὴν τῆς ἀσωτίας ἀνάχυσιν, βλασφημοῦντες,
同じ その 放蕩の 浪費へと 悪口を-言っている
G0846 G3588 G0810 G0401 G0987

今はあなたがたが、そうした度を過ごした乱行に加わらないので、彼らは驚きあやしみ、かつ、ののしっている。

5 οἳ ἀποδώσουσιν λόγον τῷ ἑτοίμως ἔχοντι κρῖναι ζῶντας,
彼らは 申し-開く 言葉を その 備えて おられる方に 裁くために 生きている者と
G3739 G0591 G3056 G3588 G2093 G2192 G2919 G2198

καὶ νεκρούς.
そして 死んだ者を
G2532 G3498

彼らは、やがて生ける者と死ねる者とをさばくかたに、申し開きをしなくてはならない。

6 εἰς τοῦτο γὰρ, καὶ νεκροῖς εὐηγγελίσθη, ἵνα κριθῶσι
~のために これのために なぜなら また 死者にも 福音が-伝えられた ~ために 裁かれる
G1519 G3778 G1063 G2532 G3498 G2097 G2443 G2919

μὲν κατὰ ἀνθρώπους σαρκί; ζῶσι δὲ κατὰ Θεὸν πνεύματι.
一方では ~に従って 人に従って 肉において 生きる しかし ~に従って 神に従って 霊において
G3303 G2596 G0444 G4561 G2198 G1161 G2596 G2316 G4151

死人にさえ福音が宣べ伝えられたのは、彼らは肉においては人間としてさばきを受けるが、霊においては神に従って生きるようになるためである。

7 Πάντων δὲ τὸ τέλος ἤγγικεν. σωφρονήσατε οὖν, καὶ
すべての しかし その 終わりが 近づいた 慣ましくありなさい それゆえ そして
G3956 G1161 G3588 G5056 G1448 G4993 G3767 G2532

νήψατε εἰς προσευχάς;
目を-覚ましなさい ~のために 祈りのために
G3525 G1519 G4335

万物の終りが近づいている。だから、心を確かにし、身を慎んで、努めて祈りなさい。

8 πρὸ πάντων, τὴν εἰς ἑαυτοὺς ἀγάπην ἐκτενῆ ἔχοντες, ὅτι ἀγάπη
~の前に すべての前に その ~への 互いへの 愛を 熱心な 保ちなさい なぜなら 愛は
G4253 G3956 G3588 G1519 G1438 G0026 G1618 G2192 G3754 G0026

καλύπτει πλῆθος ἁμαρτιῶν;
覆う 多くの 罪を
G2572 G4128 G0266

何よりもまず、互の愛を熱く保ちなさい。愛は多くの罪をおおうものである。

9 φιλόξενοι εἰς ἀλλήλους, ἄνευ γογγυσμοῦ;
もてなしなさい ~に対して 互いに ~なしに 不平なしに
G5382 G1519 G0240 G0427 G1112

不平を言わずに、互にもてなし合いなさい。

10 ἕκαστος καθὼς ἔλαβεν χάρισμα, εἰς ἑαυτοὺς αὐτὸ διακονοῦντες, ὡς
各自が ~のように 受けた 賜物を ~に対して 互いに それを 仕えなさい ~として
G1538 G2531 G2983 G5486 G1519 G1438 G0846 G1247 G5613

καλοὶ οἰκονόμοι ποικίλης χάριτος Θεοῦ.
良い 管理者として 様々な 恵みの 神の
G2570 G3623 G4164 G5485 G2316

あなたがたは、それぞれ賜物をいただいているのだから、神のさまざまな恵みの良き管理人として、それをお互のために役立てるべきである。

11 εἴ τις λαλεῖ, ὡς λόγια Θεοῦ; εἴ τις διακονεῖ, ὡς
もし 誰かが 語るなら ~として 言葉として 神の もし 誰かが 仕えるなら ~として
G1487 G5100 G2980 G5613 G3051 G2316 G1487 G5100 G1247 G5613

ἐξ ἰσχύος ἧς χορηγεῖ ὁ Θεός, ἵνα ἐν πᾶσιν
~からの 力からの それは 与える その 神が ~ために ~において すべてにおいて
G1537 G2479 G3739 G5524 G3588 G2316 G2443 G1722 G3956

δοξάζηται ὁ Θεὸς διὰ Ἰησοῦ Χριστοῦ, ᾧ ἐστιν ἡ
栄光を–帰すように その 神が ~を通して イエス キリストを通して その方に ある その
G1392 G3588 G2316 G1223 G2424 G5547 G3739 G1510 G3588

δόξα, καὶ τὸ κράτος, εἰς τοὺς αἰῶνας τῶν αἰώνων. ἀμήν.
栄光と そして その 力が ~へと その 世々の その 世々に アーメン
G1391 G2532 G3588 G2904 G1519 G3588 G0165 G3588 G0165 G0281

語る者は、神の御言を語る者にふさわしく語り、奉仕する者は、神から賜わる力による者にふさわしく奉仕すべきである。それは、すべてのことにおいてイエス・キリストによって、神があがめられるためである。栄光と力とが世々限りなく、彼にあるように、アァメン。

12 Ἀγαπητοί, μὴ ξενίζεσθε τῇ ἐν ὑμῖν πυρώσει πρὸς
愛する者たちよ ~ない 怒るな その ~における あなたがたの中の 燃える–試練を ~のための
G0027 G3361 G3579 G3588 G1722 G4771 G4451 G4314

πειρασμὸν ὑμῖν γινομένῃ, ὡς ξένου ὑμῖν συμβαίνοντος;
試練のための あなたがたに 起こっている ~として 奇妙な あなたがたに 起こっていると
G3986 G4771 G1096 G5613 G3581 G4771 G4819

愛する者たちよ。あなたがたを試みるために降りかかって来る火のような試錬を、何か思いがけないことが起ったかのように驚きあやしむことなく、

13 ἀλλὰ καθὸ κοινωνεῖτε τοῖς τοῦ Χριστοῦ παθήμασιν, χαίρετε,
むしろ ~に応じて 共に–あずかっている その その キリストの 苦難に 喜びなさい
G0235 G2526 G2841 G3588 G3588 G5547 G3804 G5463

ἵνα καὶ ἐν τῇ ἀποκαλύψει τῆς δόξης αὐτοῦ, χαρῆτε
~ために また ~において その 美れに その 栄光の 主の 喜ぶために
G2443 G2532 G1722 G3588 G0602 G3588 G1391 G0846 G5463

ἀγαλλιώμενοι.
大いに–喜んで
G0021

むしろ、キリストの苦しみにあずかればあずかるほど、喜ぶがよい。それは、キリストの栄光が現れる際に、よろこびにあふれるためである。

14 εἰ ὀνειδίζεσθε ἐν ὀνόματι Χριστοῦ, μακάριοι; ὅτι τὸ τῆς
もし 非難されるなら ~において 御名において キリストの 幸いだ なぜなら その その
G1487 G3679 G1722 G3686 G5547 G3107 G3754 G3588 G3588

δόξης, καὶ τὸ τοῦ Θεοῦ, Πνεῦμα ἐφ’ ὑμᾶς ἀναπαύεται;
栄光の そして その その 神の 御霊が ~の上に あなたがたの上に 休んでおられる
G1391 G2532 G3588 G3588 G2316 G4151 G1909 G4771 G0373

<κατὰ μὲν αὐτοὺς βλασφημεῖται, κατὰ δὲ ὑμᾶς
~によって 一方では 彼らには 冒涜されても ~によって しかし あなたがたには
G2596 G3303 G0846 G0987 G2596 G1161 G4771

δοξάζεται>.
栄光を–帰している
G1392

キリストの名のためにそしられるなら、あなたがたはさいわいである。その時には、栄光の霊、神の霊が、あなたがたに宿るからである。

15 μὴ γάρ τις ὑμῶν πασχέτω ὡς φονεὺς, ἢ κλέπτης,
~ない なぜなら 誰も あなたがたの 苦しむな ~として 殺人者として あるいは 盗人として
G3361 G1063 G5100 G4771 G3958 G5613 G5406 G2228 G2812

ἢ κακοποιὸς, ἢ ὡς ἀλλοτριεπίσκοπος;
あるいは 悪を–行う者として あるいは ~として おせっかいとして
G2228 G2555 G2228 G5613 G0244

あなたがたのうち、だれも、人殺し、盗人、悪を行う者、あるいは、他人に干渉する者として苦しみに会うことのないようにしなさい。

16 εἰ δὲ ὡς Χριστιανός, μὴ αἰσχυνέσθω; δοξαζέτω δὲ τὸν
もし しかし ~として キリスト者として ~ない 恥じるな 栄光を–帰しなさい しかし その
G1487 G1161 G5613 G5546 G3361 G0153 G1392 G1161 G3588

Θεὸν ἐν τῷ ὀνόματι τούτῳ.
神に ~において その 御名によって この
G2316 G1722 G3588 G3686 G3778

しかし、クリスチャンとして苦しみを受けるのであれば、恥じることはない。かえって、この名によって神をあがめなさい。

17 ὅτι ὁ καιρὸς τοῦ ἄρξασθαι τὸ κρίμα ἀπὸ τοῦ οἴκου τοῦ Θεοῦ;
なぜなら その 時が その 始まる その 裁きが ~から その 家から その 神の
G3754 G3588 G2540 G3588 G0756 G3588 G2917 G0575 G3588 G3624 G3588 G2316

εἰ δὲ πρῶτον ἀφ’ ἡμῶν, τί τὸ τέλος τῶν ἀπειθούντων τῷ
もし しかし 最初に ~から 私たちから 何が その 結末は その 従わない者の その
G1487 G1161 G4412 G0575 G1473 G5101 G3588 G5056 G3588 G0544 G3588

τοῦ Θεοῦ εὐαγγελίῳ?
その 神の 福音に
G3588 G2316 G2098

さばきが神の家から始められる時がきた。それが、わたしたちからまず始められるとしたら、神の福音に従わない人々の行く末は、どんなであろうか。

18 καὶ εἰ ὁ δίκαιος μόλις σώζεται, ὁ (δὲ) ἀσεβὴς καὶ
そして もし その 義人でさえ かろうじて 救われるなら その しかし 不敬虔な者と そして
G2532 G1487 G3588 G1342 G3433 G4982 G3588 G1161 G0765 G2532

ἁμαρτωλὸς ποῦ φανεῖται?
罪人は どこに 現れるのか
G0268 G4226 G5316

また義人でさえ、かろうじて救われるのだとすれば、不信なる者や罪人は、どうなるであろうか。

19 ὥστε καὶ, οἱ πάσχοντες κατὰ τὸ θέλημα τοῦ Θεοῦ, πιστῷ
それゆえ また その 苦しんでいる者は ~に従って その 御心に その 神の 忠実な
G5620 G2532 G3588 G3958 G2596 G3588 G2307 G3588 G2316 G4103

Κτίστῃ παρατιθέσθωσαν τὰς ψυχὰς αὐτῶν ἐν ἀγαθοποιΐᾳ.
創造主に 委ねなさい その 魂を 自分たちの ~において 善を–行いながら
G2939 G3908 G3588 G5590 G0846 G1722 G0016

だから、神の御旨に従って苦しみを受ける人々は、善をおこない、そして、真実であられる創造者に、自分のたましいをゆだねるがよい。

Chapter 5

1 Πρεσβυτέρους οὖν ἐν ὑμῖν, παρακαλῶ, ὁ συμπρεσβύτερος,
長老たちを それゆえ ~の中の あなたがたの中の 勧める その 同じ–長老である
G4245 G3767 G1722 G4771 G3870 G3588 G4850

καὶ μάρτυς τῶν τοῦ Χριστοῦ παθημάτων, ὁ καὶ τῆς μελλούσης
そして 証人である その その キリストの 苦難の その また その やがて
G2532 G3144 G3588 G3588 G5547 G3804 G3588 G2532 G3588 G3195

ἀποκαλύπτεσθαι δόξης κοινωνός:
現れる 栄光に あずかる者である
G0601 G1391 G2844

そこで、あなたがたのうちの長老たちに勧める。わたしも、長老のひとりで、キリストの苦難についての証人であり、また、やがて現れようとする栄光にあずかる者である。

2 ποιμάνατε τὸ ἐν ὑμῖν ποίμνιον τοῦ Θεοῦ, ‹ἐπισκοποῦντες›,
牧しなさい その ~の中の あなたがたの中の 群れを その 神の 監督して
G4165 G3588 G1722 G4771 G4168 G3588 G2316 G1983

μὴ ἀναγκαστῶς, ἀλλὰ ἑκουσίως, κατὰ Θεόν; μηδὲ αἰσχροκερδῶς,
~ない 強制でなく むしろ 自ら進んで ~に従って 神に また~ない 卸しい~利益のためでなく
G3361 G0317 G0235 G1596 G2596 G2316 G3366 G0147

ἀλλὰ προθύμως;
むしろ 熱心に
G0235 G4290

あなたがたにゆだねられている神の羊の群れを牧しなさい。しいられてするのではなく、神に従って自ら進んでなし、恥ずべき利得のためではなく、本心から、それをしなさい。

3 μηδ’ ὡς κατακυριεύοντες τῶν κλήρων, ἀλλὰ τύποι γινόμενοι
また~ない ~として 支配するのでなく その 割り当てを むしろ 模範となりなさい なって
G3366 G5613 G2634 G3588 G2819 G0235 G5179 G1096

τοῦ ποιμνίου.
その 群れの
G3588 G4168

また、ゆだねられた者たちの上に権力をふるうことをしないで、むしろ、群れの模範となるべきである。

4 καὶ φανερωθέντος τοῦ Ἀρχιποίμενος, κομιεῖσθε τὸν ἀμαράντινον τῆς δόξης
そして 現れる時 その 大~牧者が 受ける その 褒せない その 栄光の
G2532 G5319 G3588 G0750 G2865 G3588 G0262 G3588 G1391

στέφανον.
冠を
G4735

そうすれば、大牧者が現れる時には、しぼむことのない栄光の冠を受けるであろう。

5 Ὁμοίως, νεώτεροι, ὑποτάγητε πρεσβυτέροις; πάντες δὲ ἀλλήλοις τὴν
同様に 若い者たちよ 従いなさい 長老たちに 皆が そして 互いに その
G3668 G3501 G5293 G4245 G3956 G1161 G0240 G3588

ταπεινοφροσύνην ἐγκομβώσασθε; ὅτι ὁ Θεὸς ὑπερηφάνοις ἀντιτάσσεται,
謙遜を 身に~まといなさい なぜなら その 神は 高慢な者に 敵対し
G5012 G1463 G3754 G3588 G2316 G5244 G0498

ταπεινοῖς δὲ δίδωσιν χάριν.
へりくだる者に しかし 与える 恵みを
G5011 G1161 G1325 G5485

同じように、若い人たちよ。長老たちに従いなさい。また、みな互に謙遜を身につけなさい。神は高ぶる者をしりぞけ、へりくだる者に恵みを賜うからである。

6 Ταπεινώθητε οὖν ὑπὸ τὴν κραταιὰν χεῖρα τοῦ Θεοῦ, ἵνα
へりくだりなさい それゆえ ~の下に その 力ある 御手の下に その 神の ~ために
G5013 G3767 G5259 G3588 G2900 G5495 G3588 G2316 G2443

ὑμᾶς ὑψώσῃ ἐν καιρῷ;
あなたがたを 高めてくださるために ~において 時に
G4771 G5312 G1722 G2540

だから、あなたがたは、神の力強い御手の下に、自らを低くしなさい。時が来れば神はあなたがたを高くして下さるであろう。

7	πᾶσαν	τὴν	μέριμναν	ὑμῶν	ἐπιρίψαντες	ἐπ’	αὐτόν,	ὅτι	αὐτῷ
	すべての	その	思い煩いを	あなたがたの	投げかけなさい	~の上に	主の上に	なぜなら	主は
	G3956	G3588	G3308	G4771	G1977	G1909	G0846	G3754	G0846

μέλει	περὶ	ὑμῶν.	
心に-かけておられる	~について	あなたがたについて	
G3199	G4012	G4771	

神はあなたがたをかえりみていて下さるのであるから、自分の思いわずらいを、いっさい神にゆだねるがよい。

8	Νήψατε;	γρηγορήσατε;	ὁ	ἀντίδικος	ὑμῶν,	διάβολος,	ὡς	
	慣ましくありなさい	目を-覚ましなさい	その	敵である	あなたがたの	悪魔は	~のように	
	G3525	G1127	G3588	G0476	G4771	G1228	G5613	

λέων	ὠρυόμενος	περιπατεῖ,	ζητῶν	τινα	καταπιεῖν,	
獅子のように	咽える	歩き回っている	求めて	誰かを	飲み込もうと	
G3023	G5612	G4043	G2212	G5101	G2666	

身を慎み、目をさましていなさい。あなたがたの敵である悪魔が、ほえたけるししのように、食いつくすべきものを求めて歩き回っている。

9	ᾧ	ἀντίστητε,	στερεοὶ	τῇ	πίστει,	εἰδότες	τὰ	αὐτὰ	τῶν
	その方に	立ち向かいなさい	堅く	その	信仰に	知っている	その	同じ	その
	G3739	G0436	G4731	G3588	G4102	G1492	G3588	G0846	G3588

παθημάτων	τῇ	ἐν	τῷ	κόσμῳ,	ὑμῶν	ἀδελφότητι	ἐπιτελεῖσθαι.
苦難が	その	~にある	その	世にある	あなたがたの	兄弟たちにも	果たされていると
G3804	G3588	G1722	G3588	G2889	G4771	G0081	G2005

この悪魔にむかい、信仰にかたく立って、抵抗しなさい。あなたがたのよく知っているとおり、全世界にいるあなたがたの兄弟たちも、同じような苦しみの数々に会っているのである。

10	Ὁ	δὲ	Θεὸς	πάσης	χάριτος,	ὁ	καλέσας	ὑμᾶς	εἰς	τὴν
	その	そして	神は	すべての	恵みの	その	召した方が	あなたがたを	~へと	その
	G3588	G1161	G2316	G3956	G5485	G3588	G2564	G4771	G1519	G3588

αἰώνιον	αὐτοῦ	δόξαν	ἐν	Χριστῷ	[Ἰησοῦ],	ὀλίγον	παθόντας,	αὐτὸς	
永遠の	主の	栄光へと	~において	キリストにおいて	イエスの	少しの間	苦しんだ後	自ら	
G0166	G0846	G1391	G1722	G5547	G2424	G3641	G3958	G0846	

καταρτίσει,	στηρίξει,	σθενώσει,	θεμελιώσει.
回復させ	堅め	強め	基づけてくださる
G2675	G4741	G4599	G2311

あなたがたをキリストにある永遠の栄光に招き入れて下さったあふるる恵みの神は、しばらくの苦しみの後、あなたがたをいやし、強め、力づけ、不動のものとして下さるであろう。

11	αὐτῷ	τὸ	κράτος,	εἰς	τοὺς	αἰῶνας	τῶν	αἰώνων	ἀμήν.
	主に	その	力が	~へと	その	世々の	その	世々に	アーメン
	G0846	G3588	G2904	G1519	G3588	G0165	G3588	G0165	G0281

どうか、力が世々限りなく、神にあるように、アァメン。

12 Διὰ Σιλουανοῦ, ὑμῖν τοῦ πιστοῦ ἀδελφοῦ -- ὡς λογίζομαι --
~を通して シルワノスを通して あなたがたに その 忠実な 兄弟として ~として 思っている
G1223 G4610 G4771 G3588 G4103 G0080 G5613 G3049

δι’ ὀλίγων ἔγραψα, παρακαλῶν καὶ ἐπιμαρτυρῶν ταύτην εἶναι ἀληθῆ
~を通して 短く 書いた 勧めて そして 証して これが あると 真実の
G1223 G3641 G1125 G3870 G2532 G1957 G3778 G1510 G0227

χάριν τοῦ Θεοῦ, εἰς ἣν στῆτε.
恵みであると その 神の ~において その中に 立ちなさい
G5485 G3588 G2316 G1519 G3739 G2476

わたしは、忠実な兄弟として信頼しているシルワノの手によって、この短い手紙をあなたがたにおくり、勧めをし、また、これが神のまことの恵みであることをあかしした。この恵みのうちに、かたく立っていなさい。

13 Ἀσπάζεται ὑμᾶς ἡ ἐν Βαβυλῶνι, συνεκλεκτὴ; καὶ Μάρκος,
挨拶する あなたがたに その ~にある バビロンにある 共に–選ばれた者が そして マルコも
G0782 G4771 G3588 G1722 G0897 G4899 G2532 G3138

ὁ υἱός μου.
その 息子が 私の
G3588 G5207 G1473

あなたがたと共に選ばれてバビロンにある教会、ならびに、わたしの子マルコから、あなたがたによろしく。

14 ἀσπάσασθε ἀλλήλους ἐν φιλήματι ἀγάπης. Εἰρήνη ὑμῖν πᾶσιν,
挨拶しなさい 互いに ~によって 接吐によって 愛の 平安が あなたがたに すべての
G0782 G0240 G1722 G5370 G0026 G1515 G4771 G3956

τοῖς ἐν Χριστῷ. <Ἀμήν>
その ~にある キリストにある アーメン
G3588 G1722 G5547 G0281

愛の接吻をもって互にあいさつをかわしなさい。キリストにあるあなたがた一同に、平安があるように。

2 Peter

Chapter 1

1

Συμεὼν	Πέτρος,	δοῦλος	καὶ	ἀπόστολος	Ἰησοῦ	Χριστοῦ,	τοῖς	ἰσότιμον
シメオン	ペテロ	僕	そして	使徒	イエス	キリストの	その	同じ–尊い
G4826	G4074	G1401	G2532	G0652	G2424	G5547	G3588	G2472

ἡμῖν	λαχοῦσιν	πίστιν,	ἐν	δικαιοσύνῃ	τοῦ	Θεοῦ	ἡμῶν	καὶ	Σωτῆρος,
私たちと	得た	信仰を	~において	義において	その	神の	私たちの	そして	救い主
G1473	G2975	G4102	G1722	G1343	G3588	G2316	G1473	G2532	G4990

Ἰησοῦ	Χριστοῦ:
イエス	キリストの
G2424	G5547

イエス・キリストの僕また使徒であるシメオン・ペテロから、わたしたちの神と救主イエス・キリストとの義によって、わたしたちと同じ尊い信仰を授かった人々へ。

2

χάρις	ὑμῖν	καὶ	εἰρήνη	πληθυνθείη	ἐν	ἐπιγνώσει	τοῦ	Θεοῦ,
恵みが	あなたがたに	そして	平安が	豊かに–あるように	~において	知識において	その	神の
G5485	G4771	G2532	G1515	G4129	G1722	G1922	G3588	G2316

καὶ	Ἰησοῦ	τοῦ	Κυρίου	ἡμῶν.
そして	イエス	その	主	私たちの
G2532	G2424	G3588	G2962	G1473

神とわたしたちの主イエスとを知ることによって、恵みと平安とが、あなたがたに豊かに加わるように。

3

Ὡς	τὰ	πάντα,	ἡμῖν	τῆς	θείας	δυνάμεως	αὐτοῦ,	τὰ	πρὸς
~のとおり	その	すべてのものを	私たちに	その	神の	力が	主の	その	~への
G5613	G3588	G3956	G1473	G3588	G2304	G1411	G0846	G3588	G4314

ζωὴν	καὶ	εὐσέβειαν	δεδωρημένης,	διὰ	τῆς	ἐπιγνώσεως	τοῦ	καλέσαντος
命と	そして	敬虔への	与えた	~を通して	その	知識を通して	その	召した方の
G2222	G2532	G2150	G1433	G1223	G3588	G1922	G3588	G2564

ἡμᾶς,	ἰδίᾳ	δόξῃ	καὶ	ἀρετῇ,
私たちを	主自身の	栄光と	そして	徳によって
G1473	G2398	G1391	G2532	G0703

いのちと信心とにかかわるすべてのことは、主イエスの神聖な力によって、わたしたちに与えられている。それは、ご自身の栄光と徳とによって、わたしたちを召されたかたを知る知識によるのである。

4 δι’ ~を通して G1223 ὧν それらを通して G3739 τὰ その G3588 τίμια 尊い G5093 καὶ そして G2532 μέγιστα 最も-大きな G3173 ἡμῖν 私たちに G1473 ἐπαγγέλματα 約束が G1862
δεδώρηται, 与えられた G1433 ἵνα ~ために G2443 διὰ ~を通して G1223 τούτων それらを通して G3778 γένησθε なるために G1096 θείας 神の G2304 κοινωνοὶ 共に-あずかる者と G2844 φύσεως, 性質の G5449
ἀποφυγόντες 逃れて G0668 τῆς その G3588 ἐν ~にある G1722 τῷ その G3588 κόσμῳ 世にある G2889 ἐν ~による G1722 ἐπιθυμίᾳ, 欲望による G1939 φθορᾶς. 滅びから G5356

また、それらのものによって、尊く、大いなる約束が、わたしたちに与えられている。それは、あなたがたが、世にある欲のために滅びることを免れ、神の性質にあずかる者となるためである。

5 καὶ そして G2532 αὐτὸ まさに G0846 τοῦτο この G3778 δὲ, そして G1161 σπουδὴν 努力を G4710 πᾶσαν すべての G3956 παρεισενέγκαντες, 注ぎて G3923 ἐπιχορηγήσατε 加えなさい G2023
ἐν ~において G1722 τῇ その G3588 πίστει 信仰に G4102 ὑμῶν あなたがたの G4771 τὴν その G3588 ἀρετήν, 徳を G0703 ἐν ~において G1722 δὲ そして G1161 τῇ その G3588 ἀρετῇ 徳に G0703 τὴν その G3588
γνῶσιν, 知識を G1108

それだから、あなたがたは、力の限りをつくして、あなたがたの信仰に徳を加え、徳に知識を、

6 ἐν ~において G1722 δὲ そして G1161 τῇ その G3588 γνώσει, 知識に G1108 τὴν その G3588 ἐγκράτειαν; 自制を G1466 ἐν ~において G1722 δὲ そして G1161 τῇ その G3588 ἐγκρατείᾳ, 自制に G1466
τὴν その G3588 ὑπομονήν; 忍耐を G5281 ἐν ~において G1722 δὲ そして G1161 τῇ その G3588 ὑπομονῇ, 忍耐に G5281 τὴν その G3588 εὐσέβειαν; 敬虔を G2150

知識に節制を、節制に忍耐を、忍耐に信心を、

7 ἐν ~において G1722 δὲ そして G1161 τῇ その G3588 εὐσεβείᾳ, 敬虔に G2150 τὴν その G3588 φιλαδελφίαν; 兄弟愛を G5360 ἐν ~において G1722 δὲ そして G1161 τῇ その G3588
φιλαδελφίᾳ, 兄弟愛に G5360 τὴν その G3588 ἀγάπην. 愛を G0026

信心に兄弟愛を、兄弟愛に愛を加えなさい。

8 ταῦτα これらが G3778 γὰρ なぜなら G1063 ὑμῖν あなたがたに G4771 ὑπάρχοντα あって G5225 καὶ そして G2532 πλεονάζοντα, 増しているなら G4121 οὐκ ~ない G3756 ἀργοὺς 無益でなく G0692
οὐδὲ また-ない G3761 ἀκάρπους 実りのないものにしない G0175 καθίστησιν, 置く G2525 εἰς ~への G1519 τὴν その G3588 τοῦ その G3588 Κυρίου 主の G2962 ἡμῶν, 私たちの G1473 Ἰησοῦ イエス G2424
Χριστοῦ, キリストの G5547 ἐπίγνωσιν; 知識への G1922

これらのものがあなたがたに備わって、いよいよ豊かになるならば、わたしたちの主イエス・キリストを知る知識について、あなたがたは、怠る者、実を結ばない者となることはないであろう。

9 ᾧ その G3739 γὰρ なぜなら G1063 μὴ ~ない G3361 πάρεστιν 持っていない者は G3918 ταῦτα, これらを G3778 τυφλός 盲目である G5185 ἐστιν, それは G1510 μυωπάζων, 近くしか-見えない G3467

λήθην 忘却を G3024 λαβὼν 受けて G2983 τοῦ その G3588 καθαρισμοῦ 清めの G2512 τῶν その G3588 πάλαι 以前の G3819 αὐτοῦ 自分の G0846 ἁμαρτιῶν. 罪の G0266

これらのものを備えていない者は、盲人であり、近視の者であり、自分の以前の罪がきよめられたことを忘れている者である。

10 διὸ それゆえ G1352 μᾶλλον, なおさら G3123 ἀδελφοί, 兄弟たちよ G0080 σπουδάσατε, 励みなさい G4704 βεβαίαν 確かなものに G0949 ὑμῶν あなたがたの G4771 τὴν その G3588 κλῆσιν 召しと G2821

καὶ そして G2532 ἐκλογὴν 選びを G1589 ποιεῖσθαι, することを G4160 ταῦτα これらを G3778 γὰρ なぜなら G1063 ποιοῦντες 行うなら G4160 οὐ 決して G3756 μὴ ~ない G3361 πταίσητέ つまずかない G4417

ποτε. 決して G4218

兄弟たちよ。それだから、ますます励んで、あなたがたの受けた召しと選びとを、確かなものにしなさい。そうすれば、決してあやまちに陥ることはない。

11 οὕτως このように G3779 γὰρ なぜなら G1063 πλουσίως 豊かに G4146 ἐπιχορηγηθήσεται 与えられる G2023 ὑμῖν あなたがたに G4771 ἡ その G3588 εἴσοδος 入り口が G1529 εἰς ~への G1519

τὴν その G3588 αἰώνιον 永遠の G0166 βασιλείαν 御国への G0932 τοῦ その G3588 Κυρίου 主の G2962 ἡμῶν, 私たちの G1473 καὶ そして G2532 Σωτῆρος, 救い主の G4990 Ἰησοῦ イエス G2424 Χριστοῦ. キリストの G5547

こうして、わたしたちの主また救主イエス・キリストの永遠の国に入る恵みが、あなたがたに豊かに与えられるからである。

12 Διὸ それゆえ G1352 μελλήσω するつもりだ G3195 ἀεὶ 常に G0104 ὑμᾶς, あなたがたに G4771 ὑπομιμνῄσκειν 思い-起こさせることを G5279 περὶ ~について G4012 τούτων, これらについて G3778

καίπερ たとえ G2539 εἰδότας 知っていても G1492 καὶ そして G2532 ἐστηριγμένους 堅く-立っていても G4741 ἐν ~において G1722 τῇ その G3588 παρούσῃ 現在の G3918 ἀληθείᾳ. 真理に G0225

それだから、あなたがたは既にこれらのことを知っており、また、いま持っている真理に堅く立ってはいるが、わたしは、これらのことをいつも、あなたがたに思い起させたいのである。

13 δίκαιον 正しいと G1342 δὲ そして G1161 ἡγοῦμαι, 思う G2233 ἐφ’ ~の間 G1909 ὅσον いる限り G3745 εἰμὶ いる G1510 ἐν ~において G1722 τούτῳ この G3778 τῷ その G3588 σκηνώματι, 幕屋に G4638

διεγείρειν 目覚めさせることを G1326 ὑμᾶς あなたがたを G4771 ἐν ~によって G1722 ὑπομνήσει; 思い起こしによって G5280

わたしがこの幕屋にいる間、あなたがたに思い起させて、奮い立たせることが適当と思う。

14

εἰδὼς	ὅτι	ταχινή	ἐστιν	ἡ	ἀπόθεσις	τοῦ	σκηνώματός	μου,	καθὼς
知っている	~と	速やかに	ある	その	脱ぎ去りが	その	幕屋の	私の	~のとおり
G1492	G3754	G5031	G1510	G3588	G0595	G3588	G4638	G1473	G2531

καὶ	ὁ	Κύριος	ἡμῶν,	Ἰησοῦς	Χριστὸς,	ἐδήλωσέν	μοι;
また	その	主が	私たちの	イエス	キリストが	示された	私に
G2532	G3588	G2962	G1473	G2424	G5547	G1213	G1473

それは、わたしたちの主イエス・キリストもわたしに示して下さったように、わたしのこの幕屋を脱ぎ去る時が間近であることを知っているからである。

15

σπουδάσω	δὲ	καὶ	ἑκάστοτε,	ἔχειν	ὑμᾶς	μετὰ	τὴν	ἐμὴν
励む	そして	また	常に	できるように	あなたがたが	~の後に	その	私の
G4704	G1161	G2532	G1539	G2192	G4771	G3326	G3588	G1699

ἔξοδον,	τὴν	τούτων	μνήμην	ποιεῖσθαι.
去りし後に	その	これらの	記憶を	保つことが
G1841	G3588	G3778	G3420	G4160

わたしが世を去った後にも、これらのことを、あなたがたにいつも思い出させるように努めよう。

16

οὐ	γὰρ	σεσοφισμένοις	μύθοις	ἐξακολουθήσαντες,	ἐγνωρίσαμεν	ὑμῖν
~ない	なぜなら	巧みに–作られた	作り話に	従ったのでなく	知らせた	あなたがたに
G3756	G1063	G4679	G3454	G1811	G1107	G4771

τὴν	τοῦ	Κυρίου	ἡμῶν,	Ἰησοῦ	Χριστοῦ,	δύναμιν	καὶ	παρουσίαν;	ἀλλ’
その	その	主の	私たちの	イエス	キリストの	力と	そして	来臨を	むしろ
G3588	G3588	G2962	G1473	G2424	G5547	G1411	G2532	G3952	G0235

ἐπόπται	γενηθέντες	τῆς	ἐκείνου	μεγαλειότητος.
目撃者となって	なった	その	あの方の	威光の
G2030	G1096	G3588	G1565	G3168

わたしたちの主イエス・キリストの力と来臨とを、あなたがたに知らせた時、わたしたちは、巧みな作り話を用いることはしなかった。わたしたちが、そのご威光の目撃者なのだからである。

17

λαβὼν	γὰρ	παρὰ	Θεοῦ	Πατρὸς	τιμὴν	καὶ	δόξαν,	φωνῆς	ἐνεχθείσης
受けた	なぜなら	~から	神から	父から	誉れと	そして	栄光を	声が	もたらされた
G2983	G1063	G3844	G2316	G3962	G5092	G2532	G1391	G5456	G5342

αὐτῷ,	τοιᾶσδε	ὑπὸ	τῆς	μεγαλοπρεποῦς	δόξης:	Ὁ	Υἱός	μου,	ὁ
主に	このような	~によって	その	誉れ高き	栄光から	その	息子	私の	その
G0846	G5107	G5259	G3588	G3169	G1391	G3588	G5207	G1473	G3588

ἀγαπητός	μου,	οὗτός	ἐστιν,	εἰς	ὃν	ἐγὼ	εὐδόκησα.
愛する	私の	この方が	それである	~において	その方に	私は	喜んだ
G0027	G1473	G3778	G1510	G1519	G3739	G1473	G2106

イエスは父なる神からほまれと栄光とをお受けになったが、その時、おごそかな栄光の中から次のようなみ声がかかったのである、「これはわたしの愛する子、わたしの心にかなう者である」。

18

καὶ	ταύτην	τὴν	φωνὴν	ἡμεῖς	ἠκούσαμεν	ἐξ	οὐρανοῦ,	ἐνεχθεῖσαν
そして	この	その	声を	私たちは	聞いた	~から	天から	もたらされた
G2532	G3778	G3588	G5456	G1473	G0191	G1537	G3772	G5342

σὺν	αὐτῷ,	ὄντες	ἐν	τῷ	ἁγίῳ	ὄρει.
~と共に	主と共に	いた	~において	その	聖なる	山に
G4862	G0846	G1510	G1722	G3588	G0040	G3735

わたしたちもイエスと共に聖なる山にいて、天から出たこの声を聞いたのである。

19 καὶ そして G2532 ἔχομεν 持っている G2192 βεβαιότερον より-確かな G0949 τὸν その G3588 προφητικὸν 預言の G4397 λόγον, 言葉を G3056 ᾧ それに G3739 καλῶς 良く G2573 ποιεῖτε 行っている G4160 προσέχοντες, 注意して G4337 ὡς ~のように G5613 λύχνῳ 灯火のように G3088 φαίνοντι 輝く G5316 ἐν ~において G1722 αὐχμηρῷ 暗い G0850 τόπῳ, 場所に G5117 ἕως ~まで G2193 οὗ その G3739 ἡμέρα 日が G2250 διαυγάσῃ, 明けて G1306 καὶ そして G2532 φωσφόρος 明けの-星が G5459 ἀνατείλῃ 昇るまで G0393 ἐν ~において G1722 ταῖς その G3588 καρδίαις 心の中に G2588 ὑμῶν; あなたがたの G4771

こうして、預言の言葉は、わたしたちにいっそう確実なものになった。あなたがたも、夜が明け、明星がのぼって、あなたがたの心の中を照すまで、この預言の言葉を暗やみに輝くともしびとして、それに目をとめているがよい。

20 τοῦτο これを G3778 πρῶτον 第一に G4412 γινώσκοντες, 知っておきなさい G1097 ὅτι ~と G3754 πᾶσα すべての G3956 προφητεία 預言は G4394 γραφῆς 聖書の G1124 ἰδίας 自分の G2398 ἐπιλύσεως 解釈によって G1955 οὐ ~ない G3756 γίνεται. ならない G1096

聖書の預言はすべて、自分勝手に解釈すべきでないことを、まず第一に知るべきである。

21 οὐ ~ない G3756 γὰρ なぜなら G1063 θελήματι 意志によって G2307 ἀνθρώπου 人の G0444 ἠνέχθη もたらされたのでない G5342 προφητεία 預言は G4394 ποτέ, かつて G4218 ἀλλὰ むしろ G0235 ὑπὸ ~によって G5259 Πνεύματος 御霊によって G4151 Ἁγίου 聖なる G0040 φερόμενοι, 動かされて G5342 ἐλάλησαν 語った G2980 ἀπὸ ~から G0575 Θεοῦ 神から G2316 ἄνθρωποι. 人々が G0444

なぜなら、預言は決して人間の意志から出たものではなく、人々が聖霊に感じ、神によって語ったものだからである。

Chapter 2

1 Ἐγένοντο 現れた G1096 δὲ しかし G1161 καὶ また G2532 ψευδοπροφῆται 偽預言者たちが G5578 ἐν その中に G1722 τῷ その G3588 λαῷ, 民の-中に G2992 ὡς ちょうど G5613 καὶ 同様に G2532 ἐν あなたがたの-中にも G1722 ὑμῖν あなたがたの G4771 ἔσονται 現れるであろう G1510 ψευδοδιδάσκαλοι, 偽教師たちが G5572 οἵτινες 彼らは G3748 παρεισάξουσιν ひそかに-持ち込む G3919 αἱρέσεις 滅びの G0139 ἀπωλείας, 異端を G0684 καὶ そして G2532 τὸν その G3588 ἀγοράσαντα 買い取ってくださった G0059 αὐτοὺς 彼らを G0846 δεσπότην 主人を G1203 ἀρνούμενοι, 否定して G0720 ἐπάγοντες 自ら-招き入れる G1863 ἑαυτοῖς 自分たちに G1438 ταχινὴν 速やかな G5031 ἀπώλειαν. 滅びを G0684

しかし、民の間に、にせ預言者が起ったことがあるが、それと同じく、あなたがたの間にも、にせ教師が現れるであろう。彼らは、滅びに至らせる異端をひそかに持ち込み、自分たちをあがなって下さった主を否定して、すみやかな滅亡を自分の身に招いている。

2 καὶ πολλοὶ ἐξακολουθήσουσιν αὐτῶν ταῖς ἀσελγείαις, δι’
そして 多くの–者たちが 従うであろう 彼らの その 放縦に そのために
G2532 G4183 G1811 G0846 G3588 G0766 G1223

οὓς ἡ ὁδὸς τῆς ἀληθείας βλασφημηθήσεται.
彼らの–ゆえに その 道が その 真理の そしられるであろう
G3739 G3588 G3598 G3588 G0225 G0987

また、大ぜいの人が彼らの放縦を見習い、そのために、真理の道がそしりを受けるに至るのである。

3 καὶ ἐν πλεονεξίᾳ πλαστοῖς λόγοις, ὑμᾶς ἐμπορεύσονται; οἷς
そして その 貪欲から 偽りの 言葉で あなたがたを 食い物にするであろう 彼らに–対する
G2532 G1722 G4124 G4112 G3056 G4771 G1710 G3739

τὸ κρίμα ἔκπαλαι οὐκ ἀργεῖ, καὶ ἡ ἀπώλεια αὐτῶν οὐ
その 裁きは 昔から ない 怠ることが そして その 滅びは 彼らの ない
G3588 G2917 G1597 G3756 G0691 G2532 G3588 G0684 G0846 G3756

νυστάζει.
まどろむことが
G3573

彼らは、貪欲のために、甘言をもってあなたがたをあざむき、利をむさぼるであろう。彼らに対するさばきは昔から猶予なく行われ、彼らの滅亡も滞ることはない。

4 εἰ γὰρ ὁ Θεὸς ἀγγέλων ἁμαρτησάντων, οὐκ ἐφείσατο, ἀλλὰ
もし なぜなら その 神が 御使いたちが 罪を–犯したとき なかった 容赦し むしろ
G1487 G1063 G3588 G2316 G0032 G0264 G3756 G5339 G0235

σειραῖς ζόφου ταρταρώσας, παρέδωκεν εἰς κρίσιν
暗闘の–鎖で 暗黒の タルタロスに–落とし 引き渡したなら 裁きの–ために 裁きに
G4577 G2217 G5020 G3860 G1519 G2920

τηρουμένους;
閉じ込められている–者たちを
G5083

神は、罪を犯した御使たちを許しておかないで、彼らを下界におとしいれ、さばきの時まで暗やみの穴に閉じ込めておかれた。

5 καὶ ἀρχαίου κόσμου οὐκ ἐφείσατο, ἀλλὰ ὄγδοον Νῶε
そして 古い 世界を なかった 容赦し むしろ 八番目の–者として ノアを
G2532 G0744 G2889 G3756 G5339 G0235 G3590 G3575

δικαιοσύνης κήρυκα ἐφύλαξεν, κατακλυσμὸν κόσμῳ
義の 宣べ伝える–者を 守り 洪水を 不敬虔な–者たちの–世界に
G1343 G2783 G5442 G2627 G2889

ἀσεβῶν ἐπάξας;
不敬虔な–者たちの もたらしたなら
G0765 G1863

また、古い世界をそのままにしておかないで、その不信仰な世界に洪水をきたらせ、ただ、義の宣伝者ノアたち八人の者だけを保護された。

6 καὶ πόλεις Σοδόμων καὶ Γομόρρας τεφρώσας, καταστροφῇ κατέκρινεν,
そして 町々を ソドムと そして ゴモラの 灰に–して 壊滅によって 断罪し
G2532 G4172 G4670 G2532 G1116 G5077 G2692 G2632

ὑπόδειγμα μελλόντων ἀσεβέσιν τεθεικώς;
見せしめとして 将来の 不敬虔な–者たちへの 定めたなら
G5262 G3195 G0765 G5087

また、ソドムとゴモラの町々を灰に帰せしめて破滅に処し、不信仰に走ろうとする人々の見せしめとし、

7

καὶ	δίκαιον	Λὼτ,	καταπονούμενον	ὑπὸ	τῆς,	τῶν	ἀθέσμων,	ἐν
そして	正しい	ロトを	苦しめられていた	その	その	その	無法な–者たちの	その
G2532	G1342	G3091	G2669	G5259	G3588	G3588	G0113	G1722

ἀσελγείᾳ	ἀναστροφῆς,	ἐρρύσατο --
放縦な	振る舞いによって	救い出されたなら
G0766	G0391	G4506

ただ、非道の者どもの放縦な行いによってなやまされていた義人ロトだけを救い出された。

8

βλέμματι	γὰρ	καὶ	ἀκοῇ,	ὁ	δίκαιος,	ἐνκατοικῶν
見ること	なぜなら	また	聞くことによって	この	正しい–人は	彼らの–中に–住みながら
G0990	G1063	G2532	G0189	G3588	G1342	G1460

ἐν	αὐτοῖς,	ἡμέραν	ἐξ	ἡμέρας,	ψυχὴν	δικαίαν	ἀνόμοις	ἔργοις --
その中で	彼らの–中で	日々	日ごとに	日々	正しい–魂を	正しい	不法な	行いによって
G1722	G0846	G2250	G1537	G2250	G5590	G1342	G0459	G2041

ἐβασάνιζεν;
苦しめていた
G0928

（この義人は、彼らの間に住み、彼らの不法の行いを日々見聞きして、その正しい心を痛めていたのである。）

9

οἶδεν	Κύριος	εὐσεβεῖς	ἐκ	πειρασμοῦ	ῥύεσθαι;
主は–知っておられる	主は	敬虔な–者たちを	その中から	試練から	救い出すことを
G1492	G2962	G2152	G1537	G3986	G4506

ἀδίκους	δὲ	εἰς	ἡμέραν	κρίσεως	κολαζομένους	τηρεῖν;
不義な–者たちを	しかし	裁きの–ために	裁きの	日まで	罰せられる–者として	保っておくことを
G0094	G1161	G1519	G2250	G2920	G2849	G5083

こういうわけで、主は、信心深い者を試錬の中から救い出し、また、不義な者ども、

10

μάλιστα	δὲ	τοὺς	ὀπίσω	σαρκὸς	ἐν	ἐπιθυμίᾳ	μιασμοῦ	πορευομένους,
とりわけ	その	その	うしろに–ある	肉の	その	欲望の–中で	汚れた	歩む–者たちや
G3122	G1161	G3588	G3694	G4561	G1722	G1939	G3394	G4198

καὶ	κυριότητος	καταφρονοῦντας.	τολμηταὶ,	αὐθάδεις,	δόξας	οὐ
そして	権威を	侮る–者たちを	大胆で	わがままな–者たちは	栄光ある–者たちを	ない
G2532	G2963	G2706	G5113	G0829	G1391	G3756

τρέμουσιν	βλασφημοῦντες;
恐れ	そしりながら
G5141	G0987

特に、汚れた情欲におぼれ肉にしたがって歩み、また、権威ある者を軽んじる人々を罰して、さばきの日まで閉じ込めておくべきことを、よくご存じなのである。こういう人々は、大胆不敵なわがまま者であって、栄光ある者たちをそしってはばかるところがない。

11

ὅπου	ἄγγελοι,	ἰσχύϊ	καὶ	δυνάμει	μείζονες	ὄντες,	οὐ
ところが	御使いたちは	力と	そして	権能において	より–大きい	存在であるのに	ない
G3699	G0032	G2479	G2532	G1411	G3173	G1510	G3756

φέρουσιν	κατ’	αὐτῶν,	παρὰ	Κυρίῳ,	βλάσφημον	κρίσιν.
持ち出さ	彼らに–対して	彼らに–対する	主の–前で	主の–前で	そしりの	裁きを
G5342	G2596	G0846	G3844	G2962	G0989	G2920

しかし、御使たちは、勢いにおいても力においても、彼らにまさっているにかかわらず、彼らを主のみまえに訴えそしることはしない。

12 οὗτοι δέ, ὡς ἄλογα ζῷα. γεγεννημένα φυσικὰ εἰς
しかし–彼らは しかし あたかも 理性のない 動物のように 生まれつき 本能のままに 捕獲と
G3778 G1161 G5613 G0249 G2226 G1080 G5446 G1519

ἅλωσιν καὶ φθοράν, ἐν οἷς ἀγνοοῦσιν
殺されるために そして 滅びのために 知らない–ことを そのことにおいて 知らないのに
G0259 G2532 G5356 G1722 G3739 G0050

βλασφημοῦντες, ἐν τῇ φθορᾷ αὐτῶν καὶ φθαρήσονται,
そしりながら 彼らの その 滅びの–中で 彼らの また 滅ぼされるであろう
G0987 G1722 G3588 G5356 G0846 G2532 G5351

これらの者は、捕えられ、ほふられるために生れてきた、分別のない動物のようなもので、自分が知りもしないことをそしり、その不義の報いとして罰を受け、必ず滅ぼされてしまうのである。

13 ἀδικούμενοι, μισθὸν ἀδικίας; ἡδονὴν ἡγούμενοι τὴν ἐν ἡμέρᾳ
不義の–報いを–受けて 報酬を 不義の 快楽を 思う–者たちは その 昼間の 日中の
G0091 G3408 G0093 G2237 G2233 G3588 G1722 G2250

τρυφήν; σπίλοι καὶ μῶμοι, ἐντρυφῶντες ἐν ταῖς ἀπάταις αὐτῶν,
ぜいたくだと しみであり また きずであり ふけりながら その中で その 欺きの–中で 彼らの
G5172 G4696 G2532 G3470 G1792 G1722 G3588 G0539 G0846

συνευωχούμενοι ὑμῖν;
共に–宴会をしながら あなたがたと
G4910 G4771

彼らは、真昼でさえ酒食を楽しみ、あなたがたと宴会に同席して、だましごとにふけっている。彼らは、しみであり、きずである。

14 ὀφθαλμοὺς ἔχοντες μεστοὺς μοιχαλίδος, καὶ ἀκαταπαύστους ἁμαρτίας,
目を 持っている–者たちで 満ちた 姦淫の そして 止まらない 罪の
G3788 G2192 G3324 G3428 G2532 G0180 G0266

δελεάζοντες ψυχὰς ἀστηρίκτους; καρδίαν γεγυμνασμένην πλεονεξίας ἔχοντες--
誘惑する 心の–定まらない 魂を 貪欲に 訓練された 貪欲の 心を–持つ
G1185 G5590 G0793 G2588 G1128 G4124 G2192

κατάρας τέκνα!
のろいの 子らよ
G2671 G5043

その目は淫行を追い、罪を犯して飽くことを知らない。彼らは心の定まらない者を誘惑し、その心は貪欲に慣れ、のろいの子となっている。

15 καταλειπόντες εὐθεῖαν ὁδὸν, ἐπλανήθησαν, ἐξακολουθήσαντες τῇ ὁδῷ
まっすぐな まっすぐな 道を–捨てて 迷い出た 従って その 道に
G2641 G2117 G3598 G4105 G1811 G3588 G3598

τοῦ Βαλαὰμ, τοῦ Βοσὸρ, ὃς μισθὸν ἀδικίας ἠγάπησεν;
その バラムの その ボソルの–子 彼は 不義の 不義の 報酬を–愛した
G3588 G0903 G3588 G1007 G3739 G3408 G0093 G0025

彼らは正しい道からはずれて迷いに陥り、ベオルの子バラムの道に従った。バラムは不義の実を愛し、

16 ἔλεγξιν δὲ ἔσχεν ἰδίας παρανομίας, ὑποζύγιον ἄφωνον,
しかし–戒めを しかし 受けた 自分の 違反について ものを–言わない–ろばが ものを–言わない
G1649 G1161 G2192 G2398 G3892 G5268 G0880

ἐν ἀνθρώπου φωνῇ φθεγξάμενον, ἐκώλυσεν τὴν τοῦ προφήτου παραφρονίαν.
人間の 人間の 声で 語り 止めた その その 預言者の 狂気を
G1722 G0444 G5456 G5350 G2967 G3588 G3588 G4396 G3913

そのために、自分のあやまちに対するとがめを受けた。ものを言わないろばが、人間の声でものを言い、この預言者の狂気じみたふるまいをはばんだのである。

17 οὗτοί εἰσιν πηγαὶ ἄνυδροι, καὶ ὁμίχλαι ὑπὸ λαίλαπος
彼らは である 水のない–泉であり 水のない また 嵐に 嵐に 嵐に
G3778 G1510 G4077 G0504 G2532 G0887 G5259 G2978

ἐλαυνόμεναι, οἷς ὁ ζόφος τοῦ σκότους τετήρηται.
駆り立てられる–霧であり 彼らには その 暗黒の その 闇が 用意されている
G1643 G3739 G3588 G2217 G3588 G4655 G5083

この人々は、いわば、水のない井戸、突風に吹きはらわれる霧であって、彼らには暗やみが用意されている。

18 ὑπέρογκα γὰρ ματαιότητος φθεγγόμενοι, δελεάζουσιν ἐν ἐπιθυμίαις σαρκὸς,
大げさな なぜなら 虚しい 言葉を–語り 誘惑する 肉の 欲望で 肉の
G5246 G1063 G3153 G5350 G1185 G1722 G1939 G4561

ἀσελγείαις, τοὺς ὀλίγως ἀποφεύγοντας τοὺς ἐν πλάνῃ
放縦によって その かろうじて 逃れつつある その 迷いの–中に 迷いの–中に
G0766 G3588 G3641 G0668 G3588 G1722 G4106

ἀναστρεφομένους;
生きている–者たちを
G0390

彼らはむなしい誇を語り、迷いの中に生きている人々の間から、かろうじてのがれてきた者たちを、肉欲と色情とによって誘惑し、

19 ἐλευθερίαν αὐτοῖς ἐπαγγελλόμενοι, αὐτοὶ δοῦλοι ὑπάρχοντες τῆς φθορᾶς.
自由を 彼らに 約束しながら 自分たち–自身が 奴隷で ありながら その 腐敗の
G1657 G0846 G1861 G0846 G1401 G5225 G3588 G5356

ᾧ γάρ τις ἥττηται, τούτῳ ‹καὶ› δεδούλωται.
なぜなら–ある–者に なぜなら ある–人は 負かされるなら その–者の また 奴隷にされている
G3739 G1063 G5100 G2274 G3778 G2532 G1402

この人々に自由を与えると約束しながら、彼ら自身は滅亡の奴隷になっている。おおよそ、人は征服者の奴隷となるものである。

20 εἰ γὰρ ἀποφυγόντες τὰ μιάσματα τοῦ κόσμου, ἐν
もし なぜなら 逃れた–後で この 世の–汚れから この 世の その
G1487 G1063 G0668 G3588 G3393 G3588 G2889 G1722

ἐπιγνώσει τοῦ Κυρίου [ἡμῶν] καὶ Σωτῆρος Ἰησοῦ Χριστοῦ, τούτοις
正確な–知識によって その 主 私たちの そして 救い主 イエス キリストの これらに
G1922 G3588 G2962 G1473 G2532 G4990 G2424 G5547 G3778

δὲ πάλιν ἐμπλακέντες ἡττῶνται, γέγονεν αὐτοῖς τὰ ἔσχατα
しかし 再び 絡み合って 負かされるなら なっている 彼らにとって その 終わりの–状態は
G1161 G3825 G1707 G2274 G1096 G0846 G3588 G2078

χείρονα τῶν πρώτων.
もっと–悪い その 初めよりも
G5501 G3588 G4413

彼らが、主また救主なるイエス・キリストを知ることにより、この世の汚れからのがれた後、またそれに巻き込まれて征服されるならば、彼らの後の状態は初めよりも、もっと悪くなる。

21

κρεῖττον	γὰρ	ἦν	αὐτοῖς,	μὴ	ἐπεγνωκέναι	τὴν	ὁδὸν	τῆς
より-良かった	なぜなら	であった	彼らにとって	ない-方が	知る-ことが	その	義の	その
G2909	G1063	G1510	G0846	G3361	G1921	G3588	G3598	G3588

δικαιοσύνης,	ἢ	ἐπιγνοῦσιν,	ὑποστρέψαι	ἐκ	τῆς	παραδοθείσης	αὐτοῖς
道を	よりも	知った-後で	背を-向けることは	その	その	伝えられた	彼らに
G1343	G2228	G1921	G5290	G1537	G3588	G3860	G0846

ἁγίας	ἐντολῆς.
聖なる	戒めから
G0040	G1785

義の道を心得ていながら、自分に授けられた聖なる戒めにそむくよりは、むしろ義の道を知らなかった方がよい。

22

συμβέβηκεν	αὐτοῖς	τὸ	τῆς	ἀληθοῦς	παροιμίας:	Κύων
起こった	彼らに	その	その	まことの	ことわざの-とおりである	犬が
G4819	G0846	G3588	G3588	G0227	G3942	G2965

ἐπιστρέψας	ἐπὶ	τὸ	ἴδιον	ἐξέραμα;	καί,	Ὗς	λουσαμένη,	εἰς
自分の-吐いた-物に	自分の	その	自分の	戻る	そして	豚が	洗われても	その
G1994	G1909	G3588	G2398	G1829	G2532	G5300	G3068	G1519

κυλισμὸν	βορβόρου.
泥の-中で	転げ回る
G2946	G1004

ことわざに、「犬は自分の吐いた物に帰り、豚は洗われても、また、どろの中にころがって行く」とあるが、彼らの身に起ったことは、そのとおりである。

Chapter 3

1

Ταύτην	ἤδη,	ἀγαπητοί,	δευτέραν	ὑμῖν	γράφω	ἐπιστολήν,	ἐν
この	すでに	愛する-者たちよ	二番目の	あなたがたに	書き送る	手紙を	その中で
G3778	G2235	G0027	G1208	G4771	G1125	G1992	G1722

αἷς	διεγείρω	ὑμῶν	ἐν	ὑπομνήσει	τὴν	εἰλικρινῆ
それらを-通して	呼び覚ます	あなたがたの	その	思い起こすことによって	その	純粋な
G3739	G1326	G4771	G1722	G5280	G3588	G1506

διάνοιαν,
心を
G1271

愛する者たちよ。わたしは今この第二の手紙をあなたがたに書きおくり、これらの手紙によって記憶を呼び起し、あなたがたの純真な心を奮い立たせようとした。

2

μνησθῆναι	τῶν	προειρημένων	ῥημάτων,	ὑπὸ	τῶν	ἁγίων
思い出すためである	その	あらかじめ-語られた	言葉を	聖なる	その	聖なる
G3403	G3588	G4302	G4487	G5259	G3588	G0040

προφητῶν,	καὶ	τῆς	τῶν	ἀποστόλων	ὑμῶν	ἐντολῆς	τοῦ	Κυρίου
預言者たちによる	また	その	その	使徒たちを-通して	あなたがたの	戒めを	その	主
G4396	G2532	G3588	G3588	G0652	G4771	G1785	G3588	G2962

καὶ	Σωτῆρος;
また	救い主の
G2532	G4990

それは、聖なる預言者たちがあらかじめ語った言葉と、あなたがたの使徒たちが伝えた主なる救主の戒めとを、思い出させるためである。

3	τοῦτο	πρῶτον	γινώσκοντες,	ὅτι	ἐλεύσονται	ἐπ’	ἐσχάτων	τῶν	ἡμερῶν
	このことを	まず	知りなさい	すなわち	来る	その	終わりの	その	日々に
	G3778	G4412	G1097	G3754	G2064	G1909	G2078	G3588	G2250

ἐν	ἐμπαιγμονῇ	ἐμπαῖκται,	κατὰ	τὰς	ἰδίας	ἐπιθυμίας	αὐτῶν
その中で	あざけりをもって	あざける–者たちが	自分の	その	自分の	欲望の–ままに	彼らの
G1722	G1701	G1703	G2596	G3588	G2398	G1939	G0846

πορευόμενοι,
歩む–者たちが
G4198

まず次のことを知るべきである。終りの時にあざける者たちが、あざけりながら出てきて、自分の欲情のままに生活し、

4	καὶ	λέγοντες,	Ποῦ	ἐστιν	ἡ	ἐπαγγελία	τῆς	παρουσίας	αὐτοῦ?	ἀφ’
	そして	言う	どこに	あるのか	その	約束は	その	来臨の	彼の	なぜなら
	G2532	G3004	G4226	G1510	G3588	G1860	G3588	G3952	G0846	G0575

ἧς	γὰρ	οἱ	πατέρες	ἐκοιμήθησαν,	πάντα	οὕτως	διαμένει	ἀπ’
その–時から	なぜなら	その	先祖たちが	眠りについてから	すべてが	そのように	続いている	その
G3739	G1063	G3588	G3962	G2837	G3956	G3779	G1265	G0575

ἀρχῆς	κτίσεως.
創造の	初めから
G0746	G2937

「主の来臨の約束はどうなったのか。先祖たちが眠りについてから、すべてのものは天地創造の初めからそのままであって、変ってはいない」と言うであろう。

5	λανθάνει	γὰρ	αὐτοὺς	τοῦτο,	θέλοντας,	ὅτι	οὐρανοὶ
	見落としている	なぜなら	彼らが	このことを	あえて–そうする–者たちは	すなわち	天は
	G2990	G1063	G0846	G3778	G2309	G3754	G3772

ἦσαν	ἔκπαλαι,	καὶ	γῆ	ἐξ	ὕδατος	καὶ	δι’	ὕδατος	συνεστῶσα,
あった	昔から	また	地は	水から	水の	また	水を–通して	水の	成り立っていた
G1510	G1597	G2532	G1093	G1537	G5204	G2532	G1223	G5204	G4921

τῷ	τοῦ	Θεοῦ	λόγῳ,
その	その	神の	言葉によって
G3588	G3588	G2316	G3056

すなわち、彼らはこのことを認めようとはしない。古い昔に天が存在し、地は神の言によって、水がもとになり、また、水によって成ったのであるが、

6	δι’	ὧν	ὁ	τότε	κόσμος,	ὕδατι	κατακλυσθεὶς,	ἀπώλετο.
	それらを–通して	それらの	その	その時の	世界は	水で	おおわれて	滅んだ
	G1223	G3739	G3588	G5119	G2889	G5204	G2626	G0622

その時の世界は、御言により水でおおわれて滅んでしまった。

7 οἱ δὲ νῦν οὐρανοὶ καὶ ἡ γῆ, τῷ αὐτῷ λόγῳ
しかし しかし 今の 天と また その 地は 同じ 同じ 言葉によって
G3588 G1161 G3568 G3772 G2532 G3588 G1093 G3588 G0846 G3056

τεθησαυρισμένοι εἰσὶν, πυρὶ τηρούμενοι εἰς ἡμέραν κρίσεως καὶ
蓄えられている ものである 火のために 保たれている 裁きの–ために 裁きの 裁きの また
G2343 G1510 G4442 G5083 G1519 G2250 G2920 G2532

ἀπωλείας τῶν ἀσεβῶν ἀνθρώπων.
滅びの その 不敬虔な 人々の–日まで
G0684 G3588 G0765 G0444

しかし、今の天と地とは、同じ御言によって保存され、不信仰な人々がさばかれ、滅ぼさるべき日に火で焼かれる時まで、そのまま保たれているのである。

8 Ἓν δὲ τοῦτο μὴ λανθανέτω ὑμᾶς, ἀγαπητοί, ὅτι
一つの しかし このことを ない 忘れてはならない あなたがたよ 愛する–者たちよ すなわち
G1520 G1161 G3778 G3361 G2990 G4771 G0027 G3754

μία ἡμέρα παρὰ Κυρίῳ ὡς χίλια ἔτη; καὶ χίλια ἔτη,
一つの 日は その 主の–もとでは あたかも 千の 年のようであり また 千の 年は
G1520 G2250 G3844 G2962 G5613 G5507 G2094 G2532 G5507 G2094

ὡς ἡμέρα μία.
あたかも 一日の ようである
G5613 G2250 G1520

愛する者たちよ。この一事を忘れてはならない。主にあっては、一日は千年のようであり、千年は一日のようである。

9 οὐ βραδύνει Κύριος τῆς ἐπαγγελίας, ὥς τινες βραδύτητα
ない 遅い–のでは 主は その 約束について ある–者たちが ある–者たちが 遅いと
G3756 G1019 G2962 G3588 G1860 G5613 G5100 G1022

ἡγοῦνται, ἀλλὰ μακροθυμεῖ εἰς ὑμᾶς, μὴ βουλόμενός
思うように むしろ 忍耐しておられる あなたがたに–対して あなたがたに ない 望んで–おられ
G2233 G0235 G3114 G1519 G4771 G3361 G1014

τινας ἀπολέσθαι, ἀλλὰ πάντας εἰς μετάνοιαν χωρῆσαι.
だれかが 滅びることを むしろ すべての–者が 悔い改めに–至る–ために 悔い改めに 至ることを
G5100 G0622 G0235 G3956 G1519 G3341 G5562

ある人々がおそいと思っているように、主は約束の実行をおそくしておられるのではない。ただ、ひとりも滅びることがなく、すべての者が悔改めに至ることを望み、あなたがたに対してながく忍耐しておられるのである。

10 Ἥξει δὲ ἡμέρα Κυρίου ὡς κλέπτης, ἐν ᾗ οἱ
来る しかし 主の–日は 主の あたかも 盗人のように その–日に その その
G2240 G1161 G2250 G2962 G5613 G2812 G1722 G3739 G3588

οὐρανοὶ ῥοιζηδὸν παρελεύσονται, στοιχεῖα δὲ καυσούμενα
もろもろの–天は 大きな–音を–たてて 過ぎ去り もろもろの–要素は しかし 焼かれて
G3772 G4500 G3928 G4747 G1161 G2741

λυθήσεται, καὶ γῆ καὶ τὰ ἐν αὐτῇ ἔργα εὑρεθήσεται.
溶け去り そして 地と また その その上の その上の 業は あらわにされる
G3089 G2532 G1093 G2532 G3588 G1722 G0846 G2041 G2147

しかし、主の日は盗人のように襲って来る。その日には、天は大音響をたてて消え去り、天体は焼けてくずれ、地とその上に造り出されたものも、みな焼きつくされるであろう。

11 Τούτων οὕτως πάντων λυομένων, ποταποὺς δεῖ ὑπάρχειν?
これらの–ものが このように すべて 溶け去る–のだから どれほど 必要であろうか あること
G3778 G3779 G3956 G3089 G4217 G1163 G5225

ὑμᾶς ἐν ἁγίαις ἀναστροφαῖς καὶ εὐσεβείαις,
あなたがたが その中で 聖なる 振る舞いと また 敬虔に–おいて
G4771 G1722 G0040 G0391 G2532 G2150

このように、これらはみなくずれ落ちていくものであるから、神の日の到来を熱心に待ち望んでいるあなたがたは、

12 προσδοκῶντας καὶ σπεύδοντας τὴν παρουσίαν τῆς τοῦ Θεοῦ ἡμέρας,
待ち望みつつ また 早めつつ その 来臨を その その 神の 日を
G4328 G2532 G4692 G3588 G3952 G3588 G3588 G2316 G2250

δι’ ἣν οὐρανοὶ, πυρούμενοι, λυθήσονται, καὶ στοιχεῖα,
それによって それによって もろもろの–天は 燃えて 溶け去り また もろもろの–要素は
G1223 G3739 G3772 G4448 G3089 G2532 G4747

καυσούμενα, τήκεται.
焼かれて 溶ける
G2741 G5080

極力、きよく信心深い行いをしていなければならない。その日には、天は燃えくずれ、天体は焼けうせてしまう。

13 καινοὺς δὲ οὐρανοὺς, καὶ γῆν καινὴν, κατὰ τὸ ἐπάγγελμα
新しい しかし もろもろの–天と また 新しい–地を 新しい その その 約束に–したがって
G2537 G1161 G3772 G2532 G1093 G2537 G2596 G3588 G1862

αὐτοῦ, προσδοκῶμεν, ἐν οἷς δικαιοσύνη κατοικεῖ.
彼の 私たちは–待ち望んでいる その中に そこに 義が 住む
G0846 G4328 G1722 G3739 G1343 G2730

しかし、わたしたちは、神の約束に従って、義の住む新しい天と新しい地とを待ち望んでいる。

14 Διό, ἀγαπητοί, ταῦτα προσδοκῶντες, σπουδάσατε ἄσπιλοι καὶ
それゆえ 愛する–者たちよ これらのことを 待ち望みつつ 努めなさい しみのない また
G1352 G0027 G3778 G4328 G4704 G0784 G2532

ἀμώμητοι αὐτῷ εὑρεθῆναι, ἐν εἰρήνῃ.
傷のない–者として 彼の–前に 見いだされるように その中で 平和のうちに
G0298 G0846 G2147 G1722 G1515

愛する者たちよ。それだから、この日を待っているあなたがたは、しみもなくきずもなく、安らかな心で、神のみまえに出られるように励みなさい。

15 καὶ τὴν τοῦ Κυρίου ἡμῶν μακροθυμίαν, σωτηρίαν ἡγεῖσθε;
そして その その 主の 私たちの 忍耐を 救いと–みなしなさい 救いと
G2532 G3588 G3588 G2962 G1473 G3115 G4991 G2233

καθὼς καὶ ὁ ἀγαπητὸς ἡμῶν ἀδελφὸς Παῦλος, κατὰ τὴν δοθεῖσαν
ちょうど また その 愛する 私たちの 兄弟 パウロも その その 与えられた
G2531 G2532 G3588 G0027 G1473 G0080 G3972 G2596 G3588 G1325

αὐτῷ σοφίαν, ἔγραψεν ὑμῖν,
彼に 知恵に–したがって 書き送った あなたがたに
G0846 G4678 G1125 G4771

また、わたしたちの主の寛容は救のためであると思いなさい。このことは、わたしたちの愛する兄弟パウロが、彼に与えられた知恵によって、あなたがたに書きおくったとおりである。

16 ὡς καὶ ἐν πάσαις ‹ταῖς› ἐπιστολαῖς, λαλῶν ἐν αὐταῖς
ちょうど また その すべての その 手紙の-中でも 語って その中で それらの中で
G5613 G2532 G1722 G3956 G3588 G1992 G2980 G1722 G0846

περὶ τούτων, ἐν αἷς ἐστιν δυσνόητά
これらのことについて これらのことについて その中には その中には ある 理解し-がたい-ことが
G4012 G3778 G1722 G3739 G1510 G1425

τινα, ἃ οἱ ἀμαθεῖς καὶ ἀστήρικτοι στρεβλοῦσιν, ὡς καὶ
いくつか それらを その 無知な また 不安定な-者たちが ねじ曲げている ちょうど また
G5100 G3739 G3588 G0261 G2532 G0793 G4761 G5613 G2532

τὰς λοιπὰς γραφὰς, πρὸς τὴν ἰδίαν αὐτῶν ἀπώλειαν.
その 他の 聖書をも 自分たちの-ために 自分たちの 自分の 自分たちの 滅びに-向かって
G3588 G3062 G1124 G4314 G3588 G2398 G0846 G0684

彼は、どの手紙にもこれらのことを述べている。その手紙の中には、ところどころ、わかりにくい箇所もあって、無学で心の定まらない者たちは、ほかの聖書についてもしているように、無理な解釈をほどこして、自分の滅亡を招いている。

17 Ὑμεῖς οὖν, ἀγαπητοί, προγινώσκοντες, φυλάσσεσθε, ἵνα
あなたがたは それゆえ 愛する-者たちよ あらかじめ-知っているのだから 気をつけなさい そうすれば
G4771 G3767 G0027 G4267 G5442 G2443

μὴ τῇ τῶν ἀθέσμων πλάνῃ συναπαχθέντες, ἐκπέσητε τοῦ
ない その その 無法な-者たちの 迷いに 引き込まれて 落ちることが あなたがたの
G3361 G3588 G3588 G0113 G4106 G4879 G1601 G3588

ἰδίου στηριγμοῦ.
自分自身の 堅固さから
G2398 G4740

愛する者たちよ。それだから、あなたがたはかねてから心がけているように、非道の者の惑わしに誘い込まれて、あなたがた自身の確信を失うことのないように心がけなさい。

18 αὐξάνετε δὲ ἐν χάριτι, καὶ γνώσει τοῦ Κυρίου ἡμῶν καὶ
成長しなさい しかし その中で 恵みと また 知識において その 主 私たちの また
G0837 G1161 G1722 G5485 G2532 G1108 G3588 G2962 G1473 G2532

Σωτῆρος Ἰησοῦ Χριστοῦ. αὐτῷ ἡ δόξα καὶ νῦν καὶ εἰς ἡμέραν
救い主 イエス キリストの 彼に その 栄光が また 今も また 永遠の-ために 永遠の
G4990 G2424 G5547 G0846 G3588 G1391 G2532 G3568 G2532 G1519 G2250

αἰῶνος. ‹ἀμήν›.
日まで アーメン
G0165 G0281

そして、わたしたちの主また救主イエス・キリストの恵みと知識とにおいて、ますます豊かになりなさい。栄光が、今も、また永遠の日に至るまでも、主にあるように、アァメン。

1 John

Chapter 1

1 Ὃ その G3739 ἦν あった G1510 ἀπ’ その G0575 ἀρχῆς; 初めから G0746 ὃ それを G3739 ἀκηκόαμεν; 聞いた G0191 ὃ それを G3739 ἑωράκαμεν 見た G3708 τοῖς 私たちの G3588

ὀφθαλμοῖς 目で G3788 ἡμῶν; 私たちの G1473 ὃ それを G3739 ἐθεασάμεθα, 見つめた G2300 καὶ そして G2532 αἱ その G3588 χεῖρες 手が G5495 ἡμῶν 私たちの G1473 ἐψηλάφησαν, 触れた G5584

περὶ この G4012 τοῦ その G3588 Λόγου いのちの–言葉について G3056 τῆς その G3588 ζωῆς; いのちの G2222

初めからあったもの、わたしたちが聞いたもの、目で見たもの、よく見て手でさわったもの、すなわち、いのちの言について――

2 καὶ そして G2532 ἡ その G3588 ζωὴ いのちが G2222 ἐφανερώθη, 現れた G5319 καὶ そして G2532 ἑωράκαμεν, 見た G3708 καὶ そして G2532 μαρτυροῦμεν, 証しする G3140 καὶ そして G2532

ἀπαγγέλλομεν 告げ知らせる G0518 ὑμῖν あなたがたに G4771 τὴν その G3588 ζωὴν 永遠の–いのちを G2222 τὴν その G3588 αἰώνιον, 永遠の G0166 ἥτις それは G3748 ἦν あった G1510 πρὸς その G4314

τὸν その G3588 Πατέρα, 父の–もとに G3962 καὶ そして G2532 ἐφανερώθη 現れた G5319 ἡμῖν; 私たちに G1473

このいのちが現れたので、この永遠のいのちをわたしたちは見て、そのあかしをし、かつ、あなたがたに告げ知らせるのである。この永遠のいのちは、父と共にいましたが、今やわたしたちに現れたものである――

3 ὃ それを G3739 ἑωράκαμεν 見た G3708 καὶ そして G2532 ἀκηκόαμεν, 聞いた G0191 ἀπαγγέλλομεν 告げ知らせる G0518 καὶ また G2532 ὑμῖν, あなたがたにも G4771 ἵνα そうすれば G2443

καὶ また G2532 ὑμεῖς あなたがたも G4771 κοινωνίαν 交わりを G2842 ἔχητε 持つようになる G2192 μεθ’ 共に G3326 ἡμῶν; 私たちと G1473 καὶ そして G2532 ἡ その G3588 κοινωνία 交わりは G2842

δὲ すなわち G1161 ἡ その G3588 ἡμετέρα 私たちの–交わりは G2251 μετὰ 共に G3326 τοῦ その G3588 Πατρὸς, 父と G3962 καὶ そして G2532 μετὰ 共に G3326 τοῦ その G3588 Υἱοῦ 御子 G5207 αὐτοῦ, 彼の G0846

Ἰησοῦ イエス G2424 Χριστοῦ. キリストと G5547

すなわち、わたしたちが見たもの、聞いたものを、あなたがたにも告げ知らせる。それは、あなたがたも、わたしたちの交わりにあずかるようになるためである。わたしたちの交わりとは、父ならびに御子イエス・キリストとの交わりのことである。

4	καὶ	ταῦτα	γράφομεν	ἡμεῖς,	ἵνα	ἡ	χαρὰ	ἡμῶν
	そして	これらのことを	書き送る	私たちは	そうすれば	その	喜びが	私たちの
	G2532	G3778	G1125	G1473	G2443	G3588	G5479	G1473

ᾖ	πεπληρωμένη.	
あるようになる	満たされた	
G1510	G4137	

これを書きおくるのは、わたしたちの喜びが満ちあふれるためである。

5	Καὶ	ἔστιν	αὕτη	ἡ	ἀγγελία	ἣν	ἀκηκόαμεν	ἀπ’	αὐτοῦ,	καὶ
	そして	である	これが	その	知らせである	それを	聞いた	彼から	彼から	そして
	G2532	G1510	G3778	G3588	G0031	G3739	G0191	G0575	G0846	G2532

ἀναγγέλλομεν	ὑμῖν,	ὅτι	ὁ	Θεὸς	φῶς	ἐστιν,	καὶ	σκοτία
告げ知らせる	あなたがたに	すなわち	その	神は	光であり	である	そして	闇は
G0312	G4771	G3754	G3588	G2316	G5457	G1510	G2532	G4653

ἐν	αὐτῷ,	οὐκ	ἔστιν	οὐδεμία.
彼の–中に	彼の中に	ない	ない	少しも
G1722	G0846	G3756	G1510	G3762

わたしたちがイエスから聞いて、あなたがたに伝えるおとずれは、こうである。神は光であって、神には少しの暗いところもない。

6	Ἐὰν	εἴπωμεν	ὅτι	κοινωνίαν	ἔχομεν	μετ’	αὐτοῦ,	καὶ	ἐν	τῷ
	もし	私たちが–言うなら	その	交わりを	持っていると	彼と	彼と	そして	その	その
	G1437	G3004	G3754	G2842	G2192	G3326	G0846	G2532	G1722	G3588

σκότει	περιπατῶμεν,	ψευδόμεθα,	καὶ	οὐ	ποιοῦμεν	τὴν	ἀλήθειαν.
闇の–中を	歩いているなら	偽っているのであり	そして	ない	行ってい	その	真理を
G4655	G4043	G5574	G2532	G3756	G4160	G3588	G0225

神と交わりをしていると言いながら、もし、やみの中を歩いているなら、わたしたちは偽っているのであって、真理を行っているのではない。

7	ἐὰν	δὲ	ἐν	τῷ	φωτὶ	περιπατῶμεν,	ὡς	αὐτός	ἐστιν
	しかし–もし	しかし	その	その	光の–中を	歩くなら	ちょうど	彼–自身が	あるように
	G1437	G1161	G1722	G3588	G5457	G4043	G5613	G0846	G1510

ἐν	τῷ	φωτί,	κοινωνίαν	ἔχομεν	μετ’	ἀλλήλων,	καὶ	τὸ	αἷμα
その	その	光の–中に	交わりを	持っている	互いに	互いに	そして	その	血が
G1722	G3588	G5457	G2842	G2192	G3326	G0240	G2532	G3588	G0129

Ἰησοῦ,	τοῦ	Υἱοῦ	αὐτοῦ,	καθαρίζει	ἡμᾶς	ἀπὸ	πάσης	ἁμαρτίας.
イエスの	その	御子の	彼の	清めてくださる	私たちを	すべての	すべての	罪から
G2424	G3588	G5207	G0846	G2511	G1473	G0575	G3956	G0266

しかし、神が光の中にいますように、わたしたちも光の中を歩くならば、わたしたちは互に交わりをもち、そして、御子イエスの血が、すべての罪からわたしたちをきよめるのである。

8	ἐὰν	εἴπωμεν	ὅτι	ἁμαρτίαν	οὐκ	ἔχομεν,	ἑαυτοὺς	πλανῶμεν,
	もし	私たちが–言うなら	その	罪を	ない	持っていると	自分自身を	欺いているのであり
	G1437	G3004	G3754	G0266	G3756	G2192	G1438	G4105

καὶ	ἡ	ἀλήθεια	οὐκ	ἔστιν	ἐν	ἡμῖν.
そして	その	真理は	ない	ない	私たちの–中に	私たちの中に
G2532	G3588	G0225	G3756	G1510	G1722	G1473

もし、罪がないと言うなら、それは自分を欺くことであって、真理はわたしたちのうちにない。

9 ἐὰν ὁμολογῶμεν τὰς ἁμαρτίας ἡμῶν, πιστός ἐστιν καὶ δίκαιος,
もし 告白するなら 私たちの 罪を 私たちの 彼は–忠実で あり また 正しい
G1437 G3670 G3588 G0266 G1473 G4103 G1510 G2532 G1342

ἵνα ἀφῇ ἡμῖν τὰς ἁμαρτίας, καὶ καθαρίσῃ ἡμᾶς ἀπὸ
そうすれば 赦してくださり 私たちの その 罪を そして 清めてくださる 私たちを すべての
G2443 G0863 G1473 G3588 G0266 G2532 G2511 G1473 G0575

πάσης ἀδικίας.
すべての 不義から
G3956 G0093

もし、わたしたちが自分の罪を告白するならば、神は真実で正しいかたであるから、その罪をゆるし、すべての不義からわたしたちをきよめて下さる。

10 ἐὰν εἴπωμεν ὅτι οὐχ ἡμαρτήκαμεν, ψεύστην ποιοῦμεν
もし 私たちが–言うなら その ない 罪を–犯したことがないと 偽り者に しているのであり
G1437 G3004 G3754 G3756 G0264 G5583 G4160

αὐτὸν, καὶ ὁ λόγος αὐτοῦ οὐκ ἔστιν ἐν ἡμῖν.
彼を そして その 言葉は 彼の ない ない 私たちの–中に 私たちの中に
G0846 G2532 G3588 G3056 G0846 G3756 G1510 G1722 G1473

もし、罪を犯したことがないと言うなら、それは神を偽り者とするのであって、神の言はわたしたちのうちにない。

Chapter 2

1 Τεκνία μου, ταῦτα γράφω ὑμῖν, ἵνα μὴ
小さな–子よ 私の これらのことを 書き送る あなたがたに そうすれば ない
G5040 G1473 G3778 G1125 G4771 G2443 G3361

ἁμάρτητε; καὶ ἐάν τις ἁμάρτῃ, Παράκλητον ἔχομεν, πρὸς
罪を–犯さないためである そして もし だれかが 罪を–犯したなら 助け主を 持っている その
G0264 G2532 G1437 G5100 G0264 G3875 G2192 G4314

τὸν Πατέρα, Ἰησοῦν Χριστὸν δίκαιον;
その 父の–もとに イエス キリストを 義なる–方を
G3588 G3962 G2424 G5547 G1342

わたしの子たちよ。これらのことを書きおくるのは、あなたがたが罪を犯さないようになるためである。もし、罪を犯す者があれば、父のみもとには、わたしたちのために助け主、すなわち、義なるイエス・キリストがおられる。

2 καὶ αὐτὸς ἱλασμός ἐστιν περὶ τῶν ἁμαρτιῶν ἡμῶν; οὐ
そして 彼–自身が なだめの–供え物である である その 私たちの 罪の–ための 私たちの ただ
G2532 G0846 G2434 G1510 G4012 G3588 G0266 G1473 G3756

περὶ τῶν ἡμετέρων δὲ μόνον, ἀλλὰ καὶ περὶ
私たちの–ための 私たちの 私たちの–ための しかし だけでなく むしろ また その
G4012 G3588 G2251 G1161 G3440 G0235 G2532 G4012

ὅλου τοῦ κόσμου.
全世界の–ための 全 世界の
G3650 G3588 G2889

彼は、わたしたちの罪のための、あがないの供え物である。ただ、わたしたちの罪のためばかりではなく、全世界の罪のためである。

3 καὶ ἐν τούτῳ γινώσκομεν ὅτι ἐγνώκαμεν αὐτόν, ἐὰν
そして これによって このことによって 知る そのことを 知ったと 彼を もし
G2532 G1722 G3778 G1097 G3754 G1097 G0846 G1437

τὰς ἐντολὰς αὐτοῦ τηρῶμεν.
その 戒めを 彼の 守るなら
G3588 G1785 G0846 G5083

もし、わたしたちが彼の戒めを守るならば、それによって彼を知っていることを悟るのである。

4 ὁ λέγων, ὅτι Ἔγνωκα αὐτόν, καὶ τὰς ἐντολὰς αὐτοῦ μὴ
その 言う–者が そのことを 知ったと 彼を そして その 戒めを 彼の ない
G3588 G3004 G3754 G1097 G0846 G2532 G3588 G1785 G0846 G3361

τηρῶν, ψεύστης ἐστίν, καὶ ἐν τούτῳ ἡ ἀλήθεια οὐκ ἔστιν;
守ら 偽り者であり である そして その人の–中に その人の その 真理は ない ない
G5083 G5583 G1510 G2532 G1722 G3778 G3588 G0225 G3756 G1510

「彼を知っている」と言いながら、その戒めを守らない者は、偽り者であって、真理はその人のうちにない。

5 ὃς δ’ ἂν τηρῇ αὐτοῦ τὸν λόγον, ἀληθῶς ἐν
しかし–その人が しかし その人が 守るなら 彼の その 言葉を まことに その人の–中に
G3739 G1161 G0302 G5083 G0846 G3588 G3056 G0230 G1722

τούτῳ ἡ ἀγάπη τοῦ Θεοῦ τετελείωται. Ἐν τούτῳ
その人の中に その 神の–愛が 神の 神の 完全になっている これによって このことによって
G3778 G3588 G0026 G3588 G2316 G5048 G1722 G3778

γινώσκομεν ὅτι ἐν αὐτῷ ἐσμεν:
知る そのことを 彼の–中に 彼の中に いることを
G1097 G3754 G1722 G0846 G1510

しかし、彼の御言を守る者があれば、その人のうちに、神の愛が真に全うされるのである。それによって、わたしたちが彼にあることを知るのである。

6 ὁ λέγων ἐν αὐτῷ μένειν, ὀφείλει, καθὼς ἐκεῖνος
その 言う–者は 彼の–中に 彼の中に とどまると 義務がある ちょうど かの–方が
G3588 G3004 G1722 G0846 G3306 G3784 G2531 G1565

περιεπάτησεν, καὶ αὐτὸς οὕτως περιπατεῖν.
歩んだように また 自分も 同じように 歩むこと
G4043 G2532 G0846 G3779 G4043

「彼におる」と言う者は、彼が歩かれたように、その人自身も歩くべきである。

7 Ἀγαπητοί, οὐκ ἐντολὴν καινὴν γράφω ὑμῖν, ἀλλ’
愛する–者たちよ ない 新しい–戒めを 新しい 書き送るのではない あなたがたに むしろ
G0027 G3756 G1785 G2537 G1125 G4771 G0235

ἐντολὴν παλαιὰν, ἣν εἴχετε ἀπ’ ἀρχῆς. ἡ ἐντολὴ ἡ
古い–戒めをである 古い それを 持っていた その 初めから その 古い–戒めは その
G1785 G3820 G3739 G2192 G0575 G0746 G3588 G1785 G3588

παλαιά ἐστιν ὁ λόγος ὃν ἠκούσατε.
古い–戒めは である その 言葉である それを 聞いた
G3820 G1510 G3588 G3056 G3739 G0191

愛する者たちよ。わたしがあなたがたに書きおくるのは、新しい戒めではなく、あなたがたが初めから受けていた古い戒めである。その古い戒めとは、あなたがたがすでに聞いた御言である。

8 πάλιν ἐντολὴν καινὴν γράφω ὑμῖν, ὅ ἐστιν ἀληθὲς ἐν
もう一度 新しい–戒めを 新しい 書き送る あなたがたに それは である 真実で 彼の–中で
G3825 G1785 G2537 G1125 G4771 G3739 G1510 G0227 G1722

αὐτῷ καὶ ἐν ὑμῖν, ὅτι ἡ σκοτία παράγεται,
彼の中で また あなたがたの–中で あなたがたの中で なぜなら その 闇が 過ぎ去り
G0846 G2532 G1722 G4771 G3754 G3588 G4653 G3855

καὶ τὸ φῶς τὸ ἀληθινὸν ἤδη φαίνει.
そして その 光が その まことの すでに 輝いているからである
G2532 G3588 G5457 G3588 G0228 G2235 G5316

しかも、新しい戒めを、あなたがたに書きおくるのである。そして、それは、彼にとってもあなたがたにとっても、真理なのである。なぜなら、やみは過ぎ去り、まことの光がすでに輝いているからである。

9 Ὁ λέγων ἐν τῷ φωτὶ εἶναι, καὶ τὸν ἀδελφὸν αὐτοῦ
その 言う–者が その その 光の–中に いると そして その 兄弟を 自分の
G3588 G3004 G1722 G3588 G5457 G1510 G2532 G3588 G0080 G0846

μισῶν, ἐν τῇ σκοτίᾳ ἐστὶν ἕως ἄρτι.
憎んでいるなら その その 闇の–中に いるのである 今もなお 今まで
G3404 G1722 G3588 G4653 G1510 G2193 G0737

「光の中にいる」と言いながら、その兄弟を憎む者は、今なお、やみの中にいるのである。

10 ὁ ἀγαπῶν τὸν ἀδελφὸν αὐτοῦ, ἐν τῷ φωτὶ μένει, καὶ
その 愛する–者は その 兄弟を 自分の その その 光の–中に とどまっている そして
G3588 G0025 G3588 G0080 G0846 G1722 G3588 G5457 G3306 G2532

σκάνδαλον ἐν αὐτῷ οὐκ ἔστιν.
つまずきは その人の–中に その人の中に ない ない
G4625 G1722 G0846 G3756 G1510

兄弟を愛する者は、光におるのであって、つまずくことはない。

11 ὁ δὲ μισῶν τὸν ἀδελφὸν αὐτοῦ, ἐν τῇ σκοτίᾳ ἐστὶν,
しかし–その しかし 憎む–者は その 兄弟を 自分の その その 闇の–中に いるのであり
G3588 G1161 G3404 G3588 G0080 G0846 G1722 G3588 G4653 G1510

καὶ ἐν τῇ σκοτίᾳ περιπατεῖ; καὶ οὐκ οἶδεν ποῦ ὑπάγει, ὅτι
そして その その 闇の–中を 歩いている そして ない 知ら どこへ 行くのか なぜなら
G2532 G1722 G3588 G4653 G4043 G2532 G3756 G1492 G4225 G5217 G3754

ἡ σκοτία ἐτύφλωσεν τοὺς ὀφθαλμοὺς αὐτοῦ.
その 闇が 盲目にした その 目を 彼の
G3588 G4653 G5186 G3588 G3788 G0846

兄弟を憎む者は、やみの中におり、やみの中を歩くのであって、自分ではどこへ行くのかわからない。やみが彼の目を見えなくしたからである。

12 Γράφω ὑμῖν, τεκνία, ὅτι ἀφέωνται ὑμῖν αἱ ἁμαρτίαι,
書き送る あなたがたに 小さな–子よ なぜなら 赦されている あなたがたの その 罪が
G1125 G4771 G5040 G3754 G0863 G4771 G3588 G0266

διὰ τὸ ὄνομα αὐτοῦ.
その その 御名の–ゆえに 彼の
G1223 G3588 G3686 G0846

子たちよ。あなたがたにこれを書きおくるのは、御名のゆえに、あなたがたの多くの罪がゆるされたからである。

13 γράφω 書き送る G1125 ὑμῖν, あなたがたに G4771 πατέρες, 父たちよ G3962 ὅτι なぜなら G3754 ἐγνώκατε 知ったからである G1097 τὸν その G3588 ἀπ’ その G0575 ἀρχῆς. 初めからの–方を G0746

γράφω 書き送る G1125 ὑμῖν, あなたがたに G4771 νεανίσκοι, 若者たちよ G3495 ὅτι なぜなら G3754 νενικήκατε 打ち勝ったからである G3528 τὸν その G3588 πονηρόν. 悪い–者に G4190 ἔγραψα 書き送った G1125

ὑμῖν, あなたがたに G4771 παιδία, 小さな–子よ G3813 ὅτι なぜなら G3754 ἐγνώκατε 知ったからである G1097 τὸν その G3588 Πατέρα. 父を G3962

父たちよ。あなたがたに書きおくるのは、あなたがたが、初めからいますかたを知ったからである。若者たちよ。あなたがたに書きおくるのは、あなたがたが、悪しき者にうち勝ったからである。

14 ἔγραψα 書き送った G1125 ὑμῖν, あなたがたに G4771 πατέρες, 父たちよ G3962 ὅτι なぜなら G3754 ἐγνώκατε 知ったからである G1097 τὸν その G3588 ἀπ’ その G0575 ἀρχῆς. 初めからの–方を G0746

ἔγραψα 書き送った G1125 ὑμῖν, あなたがたに G4771 νεανίσκοι, 若者たちよ G3495 ὅτι なぜなら G3754 ἰσχυροί 強い–者であり G2478 ἐστε, あり G1510 καὶ そして G2532 ὁ その G3588 λόγος 神の–言葉が G3056

τοῦ 神の G3588 Θεοῦ 神の G2316 ἐν あなたがたの–中に G1722 ὑμῖν あなたがたの中に G4771 μένει, とどまり G3306 καὶ そして G2532 νενικήκατε 打ち勝ったからである G3528 τὸν その G3588

πονηρόν. 悪い–者に G4190

子供たちよ。あなたがたに書きおくったのは、あなたがたが父を知ったからである。父たちよ。あなたがたに書きおくったのは、あなたがたが、初めからいますかたを知ったからである。若者たちよ。あなたがたに書きおくったのは、あなたがたが強い者であり、神の言があなたがたに宿り、そして、あなたがたが悪しき者にうち勝ったからである。

15 Μὴ ない G3361 ἀγαπᾶτε 愛してはならない G0025 τὸν その G3588 κόσμον, 世を G2889 μηδὲ またない G3366 τὰ その G3588 ἐν その G1722 τῷ その G3588 κόσμῳ. 世にある–ものを G2889 ἐάν もし G1437

τις だれかが G5100 ἀγαπᾷ 愛するなら G0025 τὸν その G3588 κόσμον, 世を G2889 οὐκ ない G3756 ἔστιν ない G1510 ἡ その G3588 ἀγάπη 父の–愛が G0026 τοῦ 父の G3588 Πατρὸς 父の G3962

ἐν その人の–中に G1722 αὐτῷ; その人の中に G0846

世と世にあるものとを、愛してはいけない。もし、世を愛する者があれば、父の愛は彼のうちにない。

16 ὅτι なぜなら G3754 πᾶν すべて G3956 τὸ その G3588 ἐν その G1722 τῷ その G3588 κόσμῳ, 世にある–ものは G2889 ἡ その G3588 ἐπιθυμία 肉の–欲望と G1939 τῆς 肉の G3588 σαρκὸς, 肉の G4561

καὶ また G2532 ἡ その G3588 ἐπιθυμία 目の–欲望と G1939 τῶν 目の G3588 ὀφθαλμῶν, 目の G3788 καὶ また G2532 ἡ その G3588 ἀλαζονεία 生活の–誇りであり G0212 τοῦ 生活の G3588 βίου, 生活の G0979

οὐκ ない G3756 ἔστιν ない G1510 ἐκ 父から–出たものでは G1537 τοῦ 父から G3588 πατρός, 父の G3962 ἀλλὰ むしろ G0235 ἐκ その G1537 τοῦ その G3588 κόσμου 世から–出た G2889 ἐστίν. ものである G1510

すべて世にあるもの、すなわち、肉の欲、目の欲、持ち物の誇は、父から出たものではなく、世から出たものである。

17 καὶ そして G2532 ὁ その G3588 κόσμος 世は G2889 παράγεται, 過ぎ去り G3855 καὶ また G2532 ἡ その G3588 ἐπιθυμία 欲望も G1939 αὐτοῦ; その G0846 ὁ しかし–その G3588 δὲ しかし G1161

ποιῶν 行う–者は G4160 τὸ その G3588 θέλημα 神の–御心を G2307 τοῦ 神の G3588 Θεοῦ, 神の G2316 μένει とどまる G3306 εἰς 永遠に–ために G1519 τὸν 永遠の G3588 αἰῶνα. 永遠に G0165

世と世の欲とは過ぎ去る。しかし、神の御旨を行う者は、永遠にながらえる。

18 Παιδία, 小さな–子よ G3813 ἐσχάτη 終わりの G2078 ὥρα 時である G5610 ἐστίν, である G1510 καὶ そして G2532 καθὼς ちょうど G2531 ἠκούσατε 聞いたとおり G0191 ὅτι その G3754 ἀντίχριστος 反キリストが G0500

ἔρχεται, 来ると G2064 καὶ そして G2532 νῦν 今 G3568 ἀντίχριστοι 反キリストが G0500 πολλοὶ 多く G4183 γεγόνασιν, 現れた G1096 ὅθεν そこから G3606 γινώσκομεν 知る G1097 ὅτι そのことを G3754

ἐσχάτη 終わりの G2078 ὥρα 時であると G5610 ἐστίν. である G1510

子供たちよ。今は終りの時である。あなたがたがかねて反キリストが来ると聞いていたように、今や多くの反キリストが現れてきた。それによって今が終りの時であることを知る。

19 ἐξ 私たちの–中から G1537 ἡμῶν 私たちの G1473 ἐξῆλθαν, 出て行った G1831 ἀλλ’ しかし G0235 οὐκ ない G3756 ἦσαν あったのでは G1510 ἐξ 私たちの–中に G1537 ἡμῶν; 私たちの G1473

εἰ もし G1487 γὰρ なぜなら G1063 ἐξ 私たちの–中に G1537 ἡμῶν 私たちの G1473 ἦσαν, あったなら G1510 μεμενήκεισαν とどまっていたであろう G3306 ἂν たしかに G0302 μεθ’ 共に G3326

ἡμῶν; 私たちと G1473 ἀλλ’ しかし G0235 ἵνα そうすれば G2443 φανερωθῶσιν 明らかになるために G5319 ὅτι そのことを G3754 οὐκ ない G3756 εἰσὶν あるのでは G1510 πάντες すべての–者が G3956

ἐξ 私たちの–中に G1537 ἡμῶν. 私たちの G1473

彼らはわたしたちから出て行った。しかし、彼らはわたしたちに属する者ではなかったのである。もし属する者であったなら、わたしたちと一緒にとどまっていたであろう。しかし、出て行ったのは、元来、彼らがみなわたしたちに属さない者であることが、明らかにされるためである。

20 καὶ そして G2532 ὑμεῖς あなたがたは G4771 χρῖσμα 油注ぎを G5545 ἔχετε, 持っている G2192 ἀπὸ その G0575 τοῦ その G3588 Ἁγίου, 聖なる–方から G0040 καὶ そして G2532 οἴδατε 知っている G1492

πάντες. すべての–人が G3956

しかし、あなたがたは聖なる者に油を注がれているので、あなたがたすべてが、そのことを知っている。

21 οὐκ ἔγραψα ὑμῖν ὅτι οὐκ οἴδατε τὴν ἀλήθειαν, ἀλλ’
ない 書き送ったのは あなたがたに ない–からでは ない 知ら その 真理を むしろ
G3756 G1125 G4771 G3754 G3756 G1492 G3588 G0225 G0235

ὅτι οἴδατε αὐτήν, καὶ ὅτι πᾶν ψεῦδος, ἐκ τῆς
そのことを 知っているからであり それを そして そのことを すべての 偽りは その その
G3754 G1492 G0846 G2532 G3754 G3956 G5579 G1537 G3588

ἀληθείας οὐκ ἔστιν.
真理から–出たものでは ない ないからである
G0225 G3756 G1510

わたしが書きおくったのは、あなたがたが真理を知らないからではなく、それを知っているからであり、また、すべての偽りは真理から出るものでないことを、知っているからである。

22 Τίς ἐστιν ὁ ψεύστης, εἰ μὴ ὁ ἀρνούμενος ὅτι Ἰησοῦς
だれが であるか その 偽り者は もし ない その 否定する–者で そのことを イエスは
G5101 G1510 G3588 G5583 G1487 G3361 G3588 G0720 G3754 G2424

οὐκ ἔστιν ὁ Χριστός? οὗτός ἐστιν ὁ ἀντίχριστος, ὁ
ないと ないと その キリストであると この–者が である その 反キリストである その
G3756 G1510 G3588 G5547 G3778 G1510 G3588 G0500 G3588

ἀρνούμενος τὸν Πατέρα καὶ τὸν Υἱόν.
否定する–者である その 父と そして その 子を
G0720 G3588 G3962 G2532 G3588 G5207

偽り者とは、だれであるか。イエスのキリストであることを否定する者ではないか。父と御子とを否定する者は、反キリストである。

23 πᾶς ὁ ἀρνούμενος τὸν Υἱὸν, οὐδὲ τὸν Πατέρα ἔχει. ὁ
すべて その 否定する–者は その 子を またない その 父をも 持っていない その
G3956 G3588 G0720 G3588 G5207 G3761 G3588 G3962 G2192 G3588

ὁμολογῶν τὸν Υἱὸν, καὶ τὸν Πατέρα ἔχει.
告白する–者は その 子を また その 父をも 持っている
G3670 G3588 G5207 G2532 G3588 G3962 G2192

御子を否定する者は父を持たず、御子を告白する者は、また父をも持つのである。

24 ὑμεῖς, ὃ ἠκούσατε ἀπ’ ἀρχῆς, ἐν ὑμῖν
あなたがたよ それを 聞いたものを その 初めから あなたがたの–中に あなたがたの中に
G4771 G3739 G0191 G0575 G0746 G1722 G4771

μενέτω. ἐὰν ἐν ὑμῖν μείνῃ ὃ ἀπ’
とどまるようにしなさい もし あなたがたの–中に あなたがたの中に とどまるなら それが その
G3306 G1437 G1722 G4771 G3306 G3739 G0575

ἀρχῆς ἠκούσατε, καὶ ὑμεῖς ἐν τῷ Υἱῷ καὶ ἐν τῷ Πατρὶ
初めから 聞いたものが また あなたがたも その その 子と また その その 父の–中に
G0746 G0191 G2532 G4771 G1722 G3588 G5207 G2532 G1722 G3588 G3962

μενεῖτε.
とどまるであろう
G3306

初めから聞いたことが、あなたがたのうちに、とどまるようにしなさい。初めから聞いたことが、あなたがたのうちにとどまっておれば、あなたがたも御子と父とのうちに、とどまることになる。

25 καὶ そして G2532 | αὕτη これが G3778 | ἐστὶν である G1510 | ἡ その G3588 | ἐπαγγελία 約束である G1860 | ἣν それを G3739 | αὐτὸς 彼–自身が G0846 | ἐπηγγείλατο 約束してくださった G1861 | ἡμῖν: 私たちに G1473

τὴν その G3588 | ζωὴν 永遠の–いのちを G2222 | τὴν その G3588 | αἰώνιον. 永遠の G0166

これが、彼自らわたしたちに約束された約束であって、すなわち、永遠のいのちである。

26 Ταῦτα これらのことを G3778 | ἔγραψα 書き送った G1125 | ὑμῖν あなたがたに G4771 | περὶ その G4012 | τῶν その G3588 | πλανώντων 惑わす–者たちについて G4105 | ὑμᾶς; あなたがたを G4771

わたしは、あなたがたを惑わす者たちについて、これらのことを書きおくった。

27 καὶ そして G2532 | ὑμεῖς, あなたがたは G4771 | τὸ その G3588 | χρῖσμα 油注ぎは G5545 | ὃ それを G3739 | ἐλάβετε 受けた G2983 | ἀπ’ 彼から G0575 | αὐτοῦ, 彼から G0846 | μένει とどまっている G3306

ἐν あなたがたの–中に G1722 | ὑμῖν, あなたがたの中に G4771 | καὶ そして G2532 | οὐ ない G3756 | χρείαν 必要が G5532 | ἔχετε, 持っている G2192 | ἵνα そうすれば G2443 | τις だれかが G5100

διδάσκῃ 教えること G1321 | ὑμᾶς; あなたがたを G4771 | ἀλλ’ むしろ G0235 | ὡς ちょうど G5613 | τὸ その G3588 | αὐτοῦ 彼の G0846 | χρῖσμα, 油注ぎが G5545 | διδάσκει 教えてくださる G1321 | ὑμᾶς あなたがたに G4771

περὶ すべてのことについて G4012 | πάντων, すべてのことを G3956 | καὶ そして G2532 | ἀληθές 真実であり G0227 | ἐστιν, であり G1510 | καὶ そして G2532 | οὐκ ない G3756 | ἔστιν ない G1510 | ψεῦδος; 偽りでは G5579

καὶ そして G2532 | καθὼς ちょうど G2531 | ἐδίδαξεν 教えてくださったとおり G1321 | ὑμᾶς, あなたがたに G4771 | μένετε とどまりなさい G3306 | ἐν 彼の–中に G1722 | αὐτῷ. 彼の中に G0846

あなたがたのうちには、キリストからいただいた油がとどまっているので、だれにも教えてもらう必要はない。この油が、すべてのことをあなたがたに教える。それはまことであって、偽りではないから、その油が教えたように、あなたがたは彼のうちにとどまっていなさい。

28 Καὶ そして G2532 | νῦν, 今 G3568 | τεκνία, 小さな–子よ G5040 | μένετε とどまりなさい G3306 | ἐν 彼の–中に G1722 | αὐτῷ, 彼の中に G0846 | ἵνα そうすれば G2443 | ἐὰν もし G1437 | φανερωθῇ 現れるとき G5319

σχῶμεν 持つようになる G2192 | παρρησίαν, 確信を G3954 | καὶ そして G2532 | μὴ ない G3361 | αἰσχυνθῶμεν 恥じることが G0153 | ἀπ’ 彼から G0575 | αὐτοῦ, 彼から G0846 | ἐν その G1722 | τῇ その G3588

παρουσίᾳ 来臨の–ときに G3952 | αὐτοῦ. 彼の G0846

そこで、子たちよ。キリストのうちにとどまっていなさい。それは、彼が現れる時に、確信を持ち、その来臨に際して、みまえに恥じいることがないためである。

29 ἐὰν もし G1437 | εἰδῆτε 知るなら G1492 | ὅτι そのことを G3754 | δίκαιός 義なる–方で G1342 | ἐστιν, あると G1510 | γινώσκετε 知りなさい G1097 | ὅτι そのことを G3754 | καὶ また G2532 | πᾶς すべて G3956 | ὁ その G3588

ποιῶν 行う–者は G4160 | τὴν その G3588 | δικαιοσύνην, 義を G1343 | ἐξ 彼から G1537 | αὐτοῦ 彼から G0846 | γεγέννηται. 生まれたのである G1080

彼の義なるかたであることがわかれば、義を行う者はみな彼から生れたものであることを、知るであろう。

Chapter 3

1 Ἴδετε ποταπὴν ἀγάπην δέδωκεν ἡμῖν ὁ Πατὴρ, ἵνα
見なさい どれほどの 愛を 与えてくださったか 私たちに その 父が そうすれば
G3708 G4217 G0026 G1325 G1473 G3588 G3962 G2443

τέκνα Θεοῦ κληθῶμεν, καὶ ἐσμέν. διὰ τοῦτο, ὁ
神の–子と 神の 呼ばれるようになると そして そうである そのために このことのために その
G5043 G2316 G2564 G2532 G1510 G1223 G3778 G3588

κόσμος οὐ γινώσκει ἡμᾶς, ὅτι οὐκ ἔγνω αὐτόν.
世は ない 知ら 私たちを なぜなら ない 知らなかったからである 彼を
G2889 G3756 G1097 G1473 G3754 G3756 G1097 G0846

わたしたちが神の子と呼ばれるためには、どんなに大きな愛を父から賜わったことか、よく考えてみなさい。わたしたちは、すでに神の子なのである。世がわたしたちを知らないのは、父を知らなかったからである。

2 Ἀγαπητοί, νῦν τέκνα Θεοῦ ἐσμεν, καὶ οὔπω ἐφανερώθη τί
愛する–者たちよ 今 神の–子である 神の ある そして まだ 現れていない 何に
G0027 G3568 G5043 G2316 G1510 G2532 G3768 G5319 G5101

ἐσόμεθα; οἴδαμεν ὅτι ἐὰν φανερωθῇ, ὅμοιοι αὐτῷ ἐσόμεθα, ὅτι
なるか 知っている そのことを もし 現れるなら 似た–者に 彼に なるであろう なぜなら
G1510 G1492 G3754 G1437 G5319 G3664 G0846 G1510 G3754

ὀψόμεθα αὐτὸν καθώς ἐστιν.
見るからである 彼を ありのままに あるがままに
G3708 G0846 G2531 G1510

愛する者たちよ。わたしたちは今や神の子である。しかし、わたしたちがどうなるのか、まだ明らかではない。彼が現れる時、わたしたちは、自分たちが彼に似るものとなることを知っている。そのまことの御姿を見るからである。

3 καὶ πᾶς ὁ ἔχων τὴν ἐλπίδα ταύτην ἐπ’ αὐτῷ, ἁγνίζει
そして すべて その 持っている–者は この 希望を この 彼に–対して 彼に 清める
G2532 G3956 G3588 G2192 G3588 G1680 G3778 G1909 G0846 G0048

ἑαυτὸν, καθὼς ἐκεῖνος ἁγνός ἐστιν.
自分自身を ちょうど かの–方が 清い–方で あるように
G1438 G2531 G1565 G0053 G1510

彼についてこの望みをいだいている者は皆、彼がきよくあられるように、自らをきよくする。

4 Πᾶς ὁ ποιῶν τὴν ἁμαρτίαν, καὶ τὴν ἀνομίαν ποιεῖ; καὶ ἡ
すべて その 行う–者は その 罪を また その 不法をも 行っている そして その
G3956 G3588 G4160 G3588 G0266 G2532 G3588 G0458 G4160 G2532 G3588

ἁμαρτία ἐστὶν ἡ ἀνομία.
罪は である その 不法である
G0266 G1510 G3588 G0458

すべて罪を犯す者は、不法を行う者である。罪は不法である。

5 καὶ οἴδατε ὅτι ἐκεῖνος ἐφανερώθη, ἵνα τὰς ἁμαρτίας
そして 知っている そのことを かの–方が 現れた そうすれば その 罪を
G2532 G1492 G3754 G1565 G5319 G2443 G3588 G0266

ἄρῃ; καὶ ἁμαρτία ἐν αὐτῷ οὐκ ἔστιν.
取り除くために そして 罪は 彼の–中に 彼の中に ない ない
G0142 G2532 G0266 G1722 G0846 G3756 G1510

あなたがたが知っているとおり、彼は罪をとり除くために現れたのであって、彼にはなんらの罪がない。

6

πᾶς	ὁ	ἐν	αὐτῷ	μένων	οὐχ,	ἁμαρτάνει;	πᾶς	ὁ
すべて	その	彼の–中に	彼の中に	とどまる–者は	ない	罪を–犯さ	すべて	その
G3956	G3588	G1722	G0846	G3306	G3756	G0264	G3956	G3588

ἁμαρτάνων,	οὐχ	ἑώρακεν	αὐτὸν,	οὐδὲ	ἔγνωκεν	αὐτόν.
罪を–犯す–者は	ない	見たことが	彼を	またない	知ったことが	彼を
G0264	G3756	G3708	G0846	G3761	G1097	G0846

すべて彼におる者は、罪を犯さない。すべて罪を犯す者は彼を見たこともなく、知ったこともない者である。

7

Τεκνία,	μηδεὶς	πλανάτω	ὑμᾶς;	ὁ	ποιῶν	τὴν	δικαιοσύνην,
小さな–子よ	だれにも	惑わされてはならない	あなたがたを	その	行う–者は	その	義を
G5040	G3367	G4105	G4771	G3588	G4160	G3588	G1343

δίκαιός	ἐστιν,	καθὼς	ἐκεῖνος	δίκαιός	ἐστιν.
義なる–者である	である	ちょうど	かの–方が	義なる–方であるように	あるように
G1342	G1510	G2531	G1565	G1342	G1510

子たちよ。だれにも惑わされてはならない。彼が義人であると同様に、義を行う者は義人である。

8

ὁ	ποιῶν	τὴν	ἁμαρτίαν,	ἐκ	τοῦ	διαβόλου	ἐστίν;	ὅτι
その	行う–者は	その	罪を	その	その	悪魔から–出た–者である	である	なぜなら
G3588	G4160	G3588	G0266	G1537	G3588	G1228	G1510	G3754

ἀπ’	ἀρχῆς	ὁ	διάβολος	ἁμαρτάνει.	εἰς	τοῦτο	ἐφανερώθη	ὁ
その	初めから	その	悪魔は	罪を–犯している	この–ために	このために	現れた	その
G0575	G0746	G3588	G1228	G0264	G1519	G3778	G5319	G3588

Υἱὸς	τοῦ	Θεοῦ,	ἵνα	λύσῃ	τὰ	ἔργα	τοῦ	διαβόλου.
神の–子が	神の	神の	そうすれば	打ち壊すために	その	業を	その	悪魔の
G5207	G3588	G2316	G2443	G3089	G3588	G2041	G3588	G1228

罪を犯す者は、悪魔から出た者である。悪魔は初めから罪を犯しているからである。神の子が現れたのは、悪魔のわざを滅ぼしてしまうためである。

9

Πᾶς	ὁ	γεγεννημένος	ἐκ	τοῦ	Θεοῦ,	ἁμαρτίαν	οὐ	ποιεῖ,	ὅτι
すべて	その	生まれた–者は	その	その	神から	罪を	ない	犯さ	なぜなら
G3956	G3588	G1080	G1537	G3588	G2316	G0266	G3756	G4160	G3754

σπέρμα	αὐτοῦ	ἐν	αὐτῷ	μένει,	καὶ	οὐ	δύναται
神の–種が	神の	その人の–中に	その人の中に	とどまっている	そして	ない	でき
G4690	G0846	G1722	G0846	G3306	G2532	G3756	G1410

ἁμαρτάνειν,	ὅτι	ἐκ	τοῦ	Θεοῦ	γεγέννηται.
罪を–犯すことが	なぜなら	その	その	神から	生まれたからである
G0264	G3754	G1537	G3588	G2316	G1080

すべて神から生れた者は、罪を犯さない。神の種が、その人のうちにとどまっているからである。また、その人は、神から生れた者であるから、罪を犯すことができない。

10

ἐν	τούτῳ,	φανερά	ἐστιν	τὰ	τέκνα	τοῦ	Θεοῦ,	καὶ
これによって	このことによって	明らかである	ある	その	神の–子と	神の	神の	そして
G1722	G3778	G5318	G1510	G3588	G5043	G3588	G2316	G2532

τὰ	τέκνα	τοῦ	διαβόλου:	πᾶς	ὁ	μὴ	ποιῶν	δικαιοσύνην,	οὐκ	ἔστιν
その	悪魔の–子が	悪魔の	悪魔の	すべて	その	ない	行わ–	義を	ない	ない
G3588	G5043	G3588	G1228	G3956	G3588	G3361	G4160	G1343	G3756	G1510

ἐκ	τοῦ	Θεοῦ;	καὶ	ὁ	μὴ	ἀγαπῶν	τὸν	ἀδελφὸν	αὐτοῦ.
神から–出た–者では	神から	神の	また	その	ない	愛さ–	その	兄弟を	自分の
G1537	G3588	G2316	G2532	G3588	G3361	G0025	G3588	G0080	G0846

神の子と悪魔の子との区別は、これによって明らかである。すなわち、すべて義を行わない者は、神から出た者ではない。兄弟を愛さない者も、同様である。

11	ὅτι	αὕτη	ἐστὶν	ἡ	ἀγγελία	ἣν	ἠκούσατε	ἀπ’	ἀρχῆς,	ἵνα
	なぜなら	これが	である	その	知らせである	それを	聞いた	その	初めから	そうすれば
	G3754	G3778	G1510	G3588	G0031	G3739	G0191	G0575	G0746	G2443

ἀγαπῶμεν	ἀλλήλους;
愛し合うようになる	互いに
G0025	G0240

わたしたちは互に愛し合うべきである。これが、あなたがたの初めから聞いていたおとずれである。

12	οὐ	καθὼς	Κάϊν	ἐκ	τοῦ	πονηροῦ	ἦν,	καὶ	ἔσφαξεν	τὸν
	ない	ちょうど	カインのように	その	その	悪い–者から	あった	そして	殺した	その
	G3756	G2531	G2535	G1537	G3588	G4190	G1510	G2532	G4969	G3588

ἀδελφὸν	αὐτοῦ;	καὶ	χάριν	τίνος	ἔσφαξεν	αὐτόν?	ὅτι	τὰ	ἔργα
兄弟を	自分の	そして	何の–ために	何の	殺したのか	彼を	なぜなら	その	行いが
G0080	G0846	G2532	G5484	G5101	G4969	G0846	G3754	G3588	G2041

αὐτοῦ	πονηρὰ	ἦν;	τὰ	δὲ	τοῦ	ἀδελφοῦ	αὐτοῦ,	δίκαια.
自分の	悪かった	からである	その	しかし	その	兄弟の	自分の	行いは–正しかった
G0846	G4190	G1510	G3588	G1161	G3588	G0080	G0846	G1342

カインのようになってはいけない。彼は悪しき者から出て、その兄弟を殺したのである。なぜ兄弟を殺したのか。彼のわざが悪く、その兄弟のわざは正しかったからである。

13	[καὶ]	Μὴ	θαυμάζετε,	ἀδελφοί,	εἰ	μισεῖ	ὑμᾶς	ὁ	κόσμος.
	そして	ない	驚いてはならない	兄弟たちよ	もし	憎んでいても	あなたがたを	その	世が
	G2532	G3361	G2296	G0080	G1487	G3404	G4771	G3588	G2889

兄弟たちよ。世があなたがたを憎んでも、驚くには及ばない。

14	ἡμεῖς	οἴδαμεν	ὅτι	μεταβεβήκαμεν	ἐκ	τοῦ	θανάτου	εἰς	τὴν
	私たちは	知っている	そのことを	移ったと	死から	その	死から	いのちへと	その
	G1473	G1492	G3754	G3327	G1537	G3588	G2288	G1519	G3588

ζωήν,	ὅτι	ἀγαπῶμεν	τοὺς	ἀδελφούς.	ὁ	μὴ	ἀγαπῶν,
いのちへと	なぜなら	愛しているからである	その	兄弟たちを	その	ない	愛さ–
G2222	G3754	G0025	G3588	G0080	G3588	G3361	G0025

μένει	ἐν	τῷ	θανάτῳ.
とどまっている	その	その	死の–中に
G3306	G1722	G3588	G2288

わたしたちは、兄弟を愛しているので、死からいのちへ移ってきたことを、知っている。愛さない者は、死のうちにとどまっている。

15	πᾶς	ὁ	μισῶν	τὸν	ἀδελφὸν	αὐτοῦ,	ἀνθρωποκτόνος	ἐστίν;	καὶ
	すべて	その	憎む–者は	その	兄弟を	自分の	人殺しである	である	そして
	G3956	G3588	G3404	G3588	G0080	G0846	G0443	G1510	G2532

οἴδατε	ὅτι	πᾶς	ἀνθρωποκτόνος,	οὐκ	ἔχει	ζωὴν	αἰώνιον
知っている	そのことを	すべて	人殺しは	ない	持ってい	永遠の–いのちを	永遠の
G1492	G3754	G3956	G0443	G3756	G2192	G2222	G0166

ἐν	αὐτῷ	μένουσαν.
その人の–中に	その人の中に	とどまるものを
G1722	G0846	G3306

あなたがたが知っているとおり、すべて兄弟を憎む者は人殺しであり、人殺しはすべて、そのうちに永遠のいのちをとどめてはいない。

16 Ἐν これによって G1722 τούτῳ このことによって G3778 ἐγνώκαμεν 知った G1097 τὴν その G3588 ἀγάπην, 愛を G0026 ὅτι なぜなら G3754 ἐκεῖνος かの-方が G1565

ὑπὲρ 私たちの-ために G5228 ἡμῶν 私たちの G1473 τὴν その G3588 ψυχὴν いのちを G5590 αὐτοῦ 自らの G0846 ἔθηκεν; 置いてくださった G5087 καὶ そして G2532 ἡμεῖς 私たちも G1473

ὀφείλομεν 義務がある G3784 ὑπὲρ 兄弟たちの-ために G5228 τῶν 兄弟たちの G3588 ἀδελφῶν, 兄弟たちの G0080 τὰς その G3588 ψυχὰς いのちを G5590 θεῖναι. 置くこと G5087

主は、わたしたちのためにいのちを捨てて下さった。それによって、わたしたちは愛ということを知った。それゆえに、わたしたちもまた、兄弟のためにいのちを捨てるべきである。

17 ὃς しかし-その人が G3739 δ’ しかし G1161 ἂν その人が G0302 ἔχῃ 持っているのに G2192 τὸν その G3588 βίον 世の-富を G0979 τοῦ 世の G3588 κόσμου, 世の G2889 καὶ そして G2532

θεωρῇ 見るのに G2334 τὸν その G3588 ἀδελφὸν 兄弟が G0080 αὐτοῦ 自分の G0846 χρείαν 必要を G5532 ἔχοντα, 持っているのを G2192 καὶ そして G2532 κλείσῃ 閉ざすなら G2808 τὰ その G3588 σπλάγχνα 心を G4698

αὐτοῦ 自分の G0846 ἀπ’ その人から G0575 αὐτοῦ, その人から G0846 πῶς どうして G4459 ἡ その G3588 ἀγάπη 神の-愛が G0026 τοῦ 神の G3588 Θεοῦ 神の G2316 μένει とどまるだろうか G3306

ἐν その人の-中に G1722 αὐτῷ? その人の中に G0846

世の富を持っていながら、兄弟が困っているのを見て、あわれみの心を閉じる者には、どうして神の愛が、彼のうちにあろうか。

18 Τεκνία, 小さな-子よ G5040 μὴ ない G3361 ἀγαπῶμεν 愛そうではない G0025 λόγῳ, 言葉で G3056 μηδὲ またない G3366 τῇ その G3588 γλώσσῃ, 舌で G1100 ἀλλὰ むしろ G0235 ἐν その G1722 ἔργῳ 行いと G2041

καὶ そして G2532 ἀληθείᾳ. 真実をもって G0225

子たちよ。わたしたちは言葉や口先だけで愛するのではなく、行いと真実とをもって愛し合おうではないか。

19 [καὶ] そして G2532 ἐν これによって G1722 τούτῳ このことによって G3778 γνωσόμεθα 知る G1097 ὅτι そのことを G3754 ἐκ その G1537 τῆς その G3588

ἀληθείας 真理から-出た-者であると G0225 ἐσμέν, あると G1510 καὶ そして G2532 ἔμπροσθεν 彼の-前で G1715 αὐτοῦ 彼の G0846 πείσομεν 安心させるであろう G3982 τὴν その G3588

καρδίαν 心を G2588 ἡμῶν, 私たちの G1473

それによって、わたしたちが真理から出たものであることがわかる。そして、神のみまえに心を安んじていよう。

20	ὅτι	ἐὰν	καταγινώσκῃ	ἡμῶν	ἡ	καρδία,	ὅτι	μείζων	ἐστὶν
	たとえ	もし	責めても	私たちの	その	心が	なぜなら	より-大きい-方である	である
	G3754	G1437	G2607	G1473	G3588	G2588	G3754	G3173	G1510

ὁ	Θεὸς	τῆς	καρδίας	ἡμῶν,	καὶ	γινώσκει	πάντα.
その	神は	私たちの	心よりも	私たちの	そして	知っておられる	すべてを
G3588	G2316	G3588	G2588	G1473	G2532	G1097	G3956

なぜなら、たといわたしたちの心に責められるようなことがあっても、神はわたしたちの心よりも大いなるかたであって、すべてをご存じだからである。

21	Ἀγαπητοί,	ἐὰν	ἡ	καρδία	‹ἡμῶν›	«μὴ	καταγινώσκῃ»,	παρρησίαν
	愛する-者たちよ	もし	その	心が	私たちの	ない	責め	確信を
	G0027	G1437	G3588	G2588	G1473	G3361	G2607	G3954

ἔχομεν	πρὸς	τὸν	Θεόν,
持っている	その	その	神に-対して
G2192	G4314	G3588	G2316

愛する者たちよ。もし心に責められるようなことがなければ、わたしたちは神に対して確信を持つことができる。

22	καὶ	ὃ	ἐὰν	αἰτῶμεν,	λαμβάνομεν	ἀπ’	αὐτοῦ,	ὅτι	τὰς	ἐντολὰς
	そして	それを	何でも	求めるなら	受ける	彼から	彼から	なぜなら	その	戒めを
	G2532	G3739	G1437	G0154	G2983	G0575	G0846	G3754	G3588	G1785

αὐτοῦ	τηροῦμεν,	καὶ	τὰ	ἀρεστὰ	ἐνώπιον	αὐτοῦ,	ποιοῦμεν.
彼の	守り	そして	その	喜ばれることを	彼の-前で	彼の	行っているからである
G0846	G5083	G2532	G3588	G0701	G1799	G0846	G4160

そして、願い求めるものは、なんでもいただけるのである。それは、わたしたちが神の戒めを守り、みこころにかなうことを、行っているからである。

23	καὶ	αὕτη	ἐστὶν	ἡ	ἐντολὴ	αὐτοῦ,	ἵνα	πιστεύσωμεν	τῷ
	そして	これが	である	その	戒めである	彼の	そうすれば	信じるようになる	その
	G2532	G3778	G1510	G3588	G1785	G0846	G2443	G4100	G3588

ὀνόματι	τοῦ	Υἱοῦ	αὐτοῦ,	Ἰησοῦ	Χριστοῦ,	καὶ	ἀγαπῶμεν	ἀλλήλους,
御名に	その	御子の	彼の	イエス	キリストの	そして	愛し合うようになる	互いに
G3686	G3588	G5207	G0846	G2424	G5547	G2532	G0025	G0240

καθὼς	ἔδωκεν	ἐντολὴν	ἡμῖν.
ちょうど	与えてくださったとおり	戒めを	私たちに
G2531	G1325	G1785	G1473

その戒めというのは、神の子イエス・キリストの御名を信じ、わたしたちに命じられたように、互に愛し合うべきことである。

24 καὶ ὁ τηρῶν τὰς ἐντολὰς αὐτοῦ, ἐν αὐτῷ μένει, καὶ
そして その 守る–者は その 戒めを 彼の 彼の–中に 彼の中に とどまり また
G2532 G3588 G5083 G3588 G1785 G0846 G1722 G0846 G3306 G2532

αὐτὸς ἐν αὐτῷ. καὶ ἐν τούτῳ γινώσκομεν
彼も その人の–中に その人の中に そして これによって このことによって 知る
G0846 G1722 G0846 G2532 G1722 G3778 G1097

ὅτι μένει ἐν ἡμῖν, ἐκ τοῦ Πνεύματος οὗ
そのことを とどまっておられると 私たちの–中に 私たちの中に その その 御霊によって それを
G3754 G3306 G1722 G1473 G1537 G3588 G4151 G3739

ἡμῖν ἔδωκεν.
私たちに 与えてくださった
G1473 G1325

神の戒めを守る人は、神におり、神もまたその人にいます。そして、神がわたしたちのうちにいますことは、神がわたしたちに賜わった御霊によって知るのである。

Chapter 4

1 Ἀγαπητοί, μὴ παντὶ πνεύματι πιστεύετε, ἀλλὰ δοκιμάζετε τὰ
愛する–者たちよ ない すべての 霊を 信じてはならない むしろ 見分けなさい その
G0027 G3361 G3956 G4151 G4100 G0235 G1381 G3588

πνεύματα, εἰ ἐκ τοῦ Θεοῦ ἐστιν, ὅτι πολλοὶ ψευδοπροφῆται
霊を それが その その 神から–出た–ものか あるか なぜなら 多くの 偽預言者たちが
G4151 G1487 G1537 G3588 G2316 G1510 G3754 G4183 G5578

ἐξεληλύθασιν εἰς τὸν κόσμον.
出て行ったからである その その 世に
G1831 G1519 G3588 G2889

愛する者たちよ。すべての霊を信じることはしないで、それらの霊が神から出たものであるかどうか、ためしなさい。多くのにせ預言者が世に出てきているからである。

2 Ἐν τούτῳ γινώσκετε τὸ Πνεῦμα τοῦ Θεοῦ: πᾶν πνεῦμα
これによって このことによって 見分ける その 神の–御霊を 神の 神の すべて その–霊が
G1722 G3778 G1097 G3588 G4151 G3588 G2316 G3956 G4151

ὃ ὁμολογεῖ Ἰησοῦν Χριστὸν ἐν σαρκὶ ἐληλυθότα, ἐκ τοῦ
その 告白するなら イエス キリストが 肉体の–中に 肉体の 来られたと それは その
G3739 G3670 G2424 G5547 G1722 G4561 G2064 G1537 G3588

Θεοῦ ἐστιν;
神から–出た–ものである ある
G2316 G1510

あなたがたは、こうして神の霊を知るのである。すなわち、イエス・キリストが肉体をとってこられたことを告白する霊は、すべて神から出ているものであり、

3 καὶ πᾶν πνεῦμα ὃ μὴ ὁμολογεῖ τὸν Ἰησοῦν, <χριστὸν ἐν
そして すべて その–霊が その ない 告白し その イエスを キリストが 肉体の–中に
G2532 G3956 G4151 G3739 G3361 G3670 G3588 G2424 G5547 G1722

σαρκὶ ἐληλυθότα> ἐκ τοῦ Θεοῦ οὐκ ἔστιν. καὶ τοῦτό ἐστιν
肉体の 来られたと それは その 神から–出た–ものでは ない ない そして これが である
G4561 G2064 G1537 G3588 G2316 G3756 G1510 G2532 G3778 G1510

τὸ τοῦ ἀντιχρίστου, ὃ ἀκηκόατε ὅτι ἔρχεται, καὶ νῦν
その その 反キリストの–霊である それを 聞いていた そのことを 来ると そして 今
G3588 G3588 G0500 G3739 G0191 G3754 G2064 G2532 G3568

ἐν τῷ κόσμῳ ἐστὶν ἤδη.
その その 世の–中に あるのである すでに
G1722 G3588 G2889 G1510 G2235

イエスを告白しない霊は、すべて神から出ているものではない。これは、反キリストの霊である。あなたがたは、それが来るとかねて聞いていたが、今やすでに世にきている。

4 Ὑμεῖς ἐκ τοῦ Θεοῦ ἐστε, τεκνία, καὶ νενικήκατε
あなたがたは その その 神から–出た–者である ある 小さな–子よ そして 打ち勝った
G4771 G1537 G3588 G2316 G1510 G5040 G2532 G3528

αὐτούς, ὅτι μείζων ἐστὶν ὁ ἐν
彼らに なぜなら より–大きい–方である である その あなたがたの–中におられる–方は
G0846 G3754 G3173 G1510 G3588 G1722

ὑμῖν, ἢ ὁ ἐν τῷ κόσμῳ.
あなたがたの中に よりも その その その 世に–いる–者より
G4771 G2228 G3588 G1722 G3588 G2889

子たちよ。あなたがたは神から出た者であって、彼らにうち勝ったのである。あなたがたのうちにいますのは、世にある者よりも大いなる者なのである。

5 αὐτοὶ ἐκ τοῦ κόσμου εἰσίν; διὰ τοῦτο ἐκ τοῦ
彼らは その その 世から–出た–者である ある それゆえ そのために その その
G0846 G1537 G3588 G2889 G1510 G1223 G3778 G1537 G3588

κόσμου λαλοῦσιν, καὶ ὁ κόσμος αὐτῶν ἀκούει.
世からのものを 語り そして その 世は 彼らに 耳を–傾ける
G2889 G2980 G2532 G3588 G2889 G0846 G0191

彼らは世から出たものである。だから、彼らは世のことを語り、世も彼らの言うことを聞くのである。

6 ἡμεῖς ἐκ τοῦ Θεοῦ ἐσμεν. ὁ γινώσκων τὸν Θεὸν,
私たちは その その 神から–出た–者である ある その 知る–者は その 神を
G1473 G1537 G3588 G2316 G1510 G3588 G1097 G3588 G2316

ἀκούει ἡμῶν. ὃς οὐκ ἔστιν ἐκ τοῦ Θεοῦ, οὐκ ἀκούει
耳を–傾ける 私たちに その ない ない その その 神から–出た–者は ない 耳を–傾け
G0191 G1473 G3739 G3756 G1510 G1537 G3588 G2316 G3756 G0191

ἡμῶν. ἐκ τούτου γινώσκομεν τὸ πνεῦμα τῆς ἀληθείας
私たちに これによって このことによって 知る その 真理の–霊と 真理の 真理の
G1473 G1537 G3778 G1097 G3588 G4151 G3588 G0225

καὶ τὸ πνεῦμα τῆς πλάνης.
そして その 迷いの–霊を 迷いの 迷いの
G2532 G3588 G4151 G3588 G4106

しかし、わたしたちは神から出たものである。神を知っている者は、わたしたちの言うことを聞き、神から出ない者は、わたしたちの言うことを聞かない。これによって、わたしたちは、真理の霊と迷いの霊との区別を知るのである。

7 Ἀγαπητοί, ἀγαπῶμεν ἀλλήλους; ὅτι ἡ ἀγάπη ἐκ τοῦ
愛する–者たちよ 愛し合おう 互いに なぜなら その 愛は その その
G0027 G0025 G0240 G3754 G3588 G0026 G1537 G3588

Θεοῦ ἐστιν; καὶ πᾶς ὁ ἀγαπῶν, ἐκ τοῦ
神から–出た–ものである ある そして すべて その 愛する–者は その その
G2316 G1510 G2532 G3956 G3588 G0025 G1537 G3588

Θεοῦ γεγέννηται, καὶ γινώσκει τὸν Θεόν.
神から–生まれたのであり 生まれたのであり そして 知っている その 神を
G2316 G1080 G2532 G1097 G3588 G2316

愛する者たちよ。わたしたちは互に愛し合おうではないか。愛は、神から出たものなのである。すべて愛する者は、神から生れた者であって、神を知っている。

8 ὁ μὴ ἀγαπῶν, οὐκ ἔγνω τὸν Θεόν; ὅτι ὁ Θεὸς ἀγάπη ἐστίν.
その ない 愛さ– ない 知ら その 神を なぜなら その 神は 愛である である
G3588 G3361 G0025 G3756 G1097 G3588 G2316 G3754 G3588 G2316 G0026 G1510

愛さない者は、神を知らない。神は愛である。

9 ἐν τούτῳ ἐφανερώθη ἡ ἀγάπη τοῦ Θεοῦ ἐν
これによって このことによって 現れた その 神の–愛が 神の 神の 私たちの–中に
G1722 G3778 G5319 G3588 G0026 G3588 G2316 G1722

ἡμῖν, ὅτι τὸν Υἱὸν αὐτοῦ, τὸν μονογενῆ, ἀπέσταλκεν ὁ
私たちの中に すなわち その 御子を 彼の その 独り子を 遣わしてくださった その
G1473 G3754 G3588 G5207 G0846 G3588 G3439 G0649 G3588

Θεὸς εἰς τὸν κόσμον, ἵνα ζήσωμεν δι’ αὐτοῦ.
神が その その 世に そうすれば 生きるようになる 彼を–通して 彼を通して
G2316 G1519 G3588 G2889 G2443 G2198 G1223 G0846

神はそのひとり子を世につかわし、彼によってわたしたちを生きるようにして下さった。それによって、わたしたちに対する神の愛が明らかにされたのである。

10 ἐν τούτῳ ἐστὶν ἡ ἀγάπη, οὐχ ὅτι ἡμεῖς
これによって このことによって ある その 愛が ない そのことを 私たちが
G1722 G3778 G1510 G3588 G0026 G3756 G3754 G1473

ἠγαπήκαμεν τὸν Θεόν, ἀλλ’ ὅτι αὐτὸς ἠγάπησεν ἡμᾶς, καὶ
愛したからでは その 神を むしろ そのことを 彼が 愛してくださった 私たちを そして
G0025 G3588 G2316 G0235 G3754 G0846 G0025 G1473 G2532

ἀπέστειλεν τὸν Υἱὸν αὐτοῦ, ἱλασμὸν περὶ τῶν
遣わしてくださった その 御子を 彼の なだめの–供え物として 私たちの–ための 私たちの
G0649 G3588 G5207 G0846 G2434 G4012 G3588

ἁμαρτιῶν ἡμῶν.
罪の 私たちの
G0266 G1473

わたしたちが神を愛したのではなく、神がわたしたちを愛して下さって、わたしたちの罪のためにあがないの供え物として、御子をおつかわしになった。ここに愛がある。

11 Ἀγαπητοί, 愛する–者たちよ G0027 εἰ もし G1487 οὕτως このように G3779 ὁ その G3588 Θεὸς 神が G2316 ἠγάπησεν 愛してくださったのだから G0025 ἡμᾶς, 私たちを G1473 καὶ また G2532 ἡμεῖς 私たちも G1473 ὀφείλομεν 義務がある G3784 ἀλλήλους 互いに G0240 ἀγαπᾶν. 愛し合う G0025

愛する者たちよ。神がこのようにわたしたちを愛して下さったのであるから、わたしたちも互に愛し合うべきである。

12 Θεὸν 神を G2316 οὐδεὶς だれも G3762 πώποτε いまだ G4455 τεθέαται; 見たことがない G2300 ἐὰν もし G1437 ἀγαπῶμεν 愛し合うなら G0025 ἀλλήλους, 互いに G0240 ὁ その G3588 Θεὸς 神は G2316 ἐν 私たちの–中に G1722 ἡμῖν 私たちの中に G1473 μένει, とどまり G3306 καὶ そして G2532 ἡ その G3588 ἀγάπη 愛は G0026 αὐτοῦ 彼の G0846 τετελειωμένη 完全になっている G5048 «ἐν 私たちの–中に G1722 ἡμῖν» 私たちの中に G1473 ἐστιν. ある G1510

神を見た者は、まだひとりもいない。もしわたしたちが互に愛し合うなら、神はわたしたちのうちにいまし、神の愛がわたしたちのうちに全うされるのである。

13 ἐν これによって G1722 τούτῳ このことによって G3778 γινώσκομεν 知る G1097 ὅτι そのことを G3754 ἐν 彼の–中に G1722 αὐτῷ 彼の中に G0846 μένομεν, とどまり G3306 καὶ また G2532 αὐτὸς 彼も G0846 ἐν 私たちの–中に G1722 ἡμῖν, 私たちの中に G1473 ὅτι なぜなら G3754 ἐκ その G1537 τοῦ その G3588 Πνεύματος 御霊から G4151 αὐτοῦ 彼の G0846 δέδωκεν 与えてくださったからである G1325 ἡμῖν. 私たちに G1473

神が御霊をわたしたちに賜わったことによって、わたしたちが神におり、神がわたしたちにいますことを知る。

14 καὶ そして G2532 ἡμεῖς 私たちは G1473 τεθεάμεθα 見た G2300 καὶ そして G2532 μαρτυροῦμεν, 証しする G3140 ὅτι そのことを G3754 ὁ その G3588 Πατὴρ 父が G3962 ἀπέσταλκεν 遣わしてくださった G0649 τὸν その G3588 Υἱὸν 御子を G5207 Σωτῆρα 救い主として G4990 τοῦ その G3588 κόσμου. 世の G2889

わたしたちは、父が御子を世の救主としておつかわしになったのを見て、そのあかしをするのである。

15 ὃς その–人が G3739 ἐὰν もし G1437 ὁμολογήσῃ 告白するなら G3670 ὅτι そのことを G3754 Ἰησοῦς イエスが G2424 (Χριστός) キリストが G5547 ἐστιν であると G1510 ὁ その G3588 Υἱὸς 神の–子であると G5207 τοῦ 神の G3588 Θεοῦ, 神の G2316 ὁ その G3588 Θεὸς 神が G2316 ἐν その人の–中に G1722 αὐτῷ その人の中に G0846 μένει, とどまり G3306 καὶ また G2532 αὐτὸς その人も G0846 ἐν その G1722 τῷ その G3588 Θεῷ. 神の–中に G2316

もし人が、イエスを神の子と告白すれば、神はその人のうちにいまし、その人は神のうちにいるのである。

16 καὶ そして G2532 | ἡμεῖς 私たちは G1473 | ἐγνώκαμεν 知った G1097 | καὶ そして G2532 | πεπιστεύκαμεν 信じた G4100 | τὴν その G3588 | ἀγάπην 愛を G0026 | ἣν それを G3739 | ἔχει 持っておられる G2192

ὁ その G3588 | Θεὸς 神が G2316 | ἐν 私たちの-中に G1722 | ἡμῖν. 私たちの中に G1473 | Ὁ その G3588 | Θεὸς 神は G2316 | ἀγάπη 愛である G0026 | ἐστίν, である G1510 | καὶ そして G2532 | ὁ その G3588

μένων とどまる-者は G3306 | ἐν その G1722 | τῇ その G3588 | ἀγάπῃ, 愛の-中に G0026 | ἐν その G1722 | τῷ その G3588 | Θεῷ 神の-中に G2316 | μένει, とどまり G3306 | καὶ また G2532 | ὁ その G3588 | Θεὸς 神も G2316

ἐν その人の-中に G1722 | αὐτῷ その人の中に G0846 | μένει. とどまる G3306

わたしたちは、神がわたしたちに対して持っておられる愛を知り、かつ信じている。神は愛である。愛のうちにいる者は、神におり、神も彼にいます。

17 Ἐν これによって G1722 | τούτῳ このことによって G3778 | τετελείωται 完全になっている G5048 | ἡ その G3588 | ἀγάπη 愛が G0026 | μεθ’ 共に G3326 | ἡμῶν, 私たちと G1473 | ἵνα そうすれば G2443

παρρησίαν 確信を G3954 | ἔχωμεν 持つようになる G2192 | ἐν その G1722 | τῇ その G3588 | ἡμέρᾳ 裁きの-日に G2250 | τῆς 裁きの G3588 | κρίσεως, 裁きの G2920 | ὅτι なぜなら G3754 | καθὼς ちょうど G2531

ἐκεῖνός かの-方が G1565 | ἐστιν, あるように G1510 | καὶ また G2532 | ἡμεῖς 私たちも G1473 | ἐσμεν あるからである G1510 | ἐν この G1722 | τῷ この G3588 | κόσμῳ 世に-おいて G2889 | τούτῳ. この G3778

わたしたちもこの世にあって彼のように生きているので、さばきの日に確信を持って立つことができる。そのことによって、愛がわたしたちに全うされているのである。

18 φόβος 恐れは G5401 | οὐκ ない G3756 | ἔστιν ない G1510 | ἐν その G1722 | τῇ その G3588 | ἀγάπῃ, 愛の-中に G0026 | ἀλλ’ むしろ G0235 | ἡ その G3588 | τελεία 完全な G5046 | ἀγάπη 愛は G0026 | ἔξω 外に G1854 | βάλλει 投げ出す G0906

τὸν その G3588 | φόβον; 恐れを G5401 | ὅτι なぜなら G3754 | ὁ その G3588 | φόβος 恐れは G5401 | κόλασιν 罰を G2851 | ἔχει; 伴うからである G2192 | ὁ その G3588 | δὲ しかし G1161 | φοβούμενος, 恐れる-者は G5399

οὐ ない G3756 | τετελείωται 完全になってい G5048 | ἐν その G1722 | τῇ その G3588 | ἀγάπῃ. 愛の-中に G0026

愛には恐れがない。完全な愛は恐れをとり除く。恐れには懲らしめが伴い、かつ恐れる者には、愛が全うされていないからである。

19 Ἡμεῖς 私たちが-愛するのは G1473 | ἀγαπῶμεν 愛する G0025 | ὅτι なぜなら G3754 | αὐτὸς 彼が G0846 | πρῶτος 先に G4413 | ἠγάπησεν 愛してくださったからである G0025 | ἡμᾶς. 私たちを G1473

わたしたちが愛し合うのは、神がまずわたしたちを愛して下さったからである。

20 ἐάν τις εἴπῃ, ὅτι Ἀγαπῶ τὸν Θεόν, καὶ τὸν ἀδελφὸν
もし だれかが 言うなら そのことを 愛していると その 神を そして その 兄弟を
G1437 G5100 G3004 G3754 G0025 G3588 G2316 G2532 G3588 G0080

αὐτοῦ μισῇ, ψεύστης ἐστίν; ὁ γὰρ μὴ ἀγαπῶν τὸν
自分の 憎んでいるなら 偽り者である である なぜなら–その なぜなら ない 愛さ– その
G0846 G3404 G5583 G1510 G3588 G1063 G3361 G0025 G3588

ἀδελφὸν αὐτοῦ, ὃν ἑώρακεν, τὸν Θεὸν, ὃν οὐχ ἑώρακεν, οὐ
兄弟を 自分の それを 見たのに その 神を それを 見てない 見たことがないのに ない
G0080 G0846 G3739 G3708 G3588 G2316 G3739 G3756 G3708 G3756

δύναται ἀγαπᾶν.
できる 愛することが
G1410 G0025

「神を愛している」と言いながら兄弟を憎む者は、偽り者である。現に見ている兄弟を愛さない者は、目に見えない神を愛することはできない。

21 καὶ ταύτην τὴν ἐντολὴν ἔχομεν ἀπ' αὐτοῦ, ἵνα ὁ ἀγαπῶν
そして この その 戒めを 持っている 彼から 彼から すなわち その 愛する–者は
G2532 G3778 G3588 G1785 G2192 G0575 G0846 G2443 G3588 G0025

τὸν Θεὸν, ἀγαπᾷ καὶ τὸν ἀδελφὸν αὐτοῦ.
その 神を 愛するべきである また その 兄弟をも 自分の
G3588 G2316 G0025 G2532 G3588 G0080 G0846

神を愛する者は、兄弟をも愛すべきである。この戒めを、わたしたちは神から授かっている。

Chapter 5

1 Πᾶς ὁ πιστεύων ὅτι Ἰησοῦς ἐστιν ὁ Χριστὸς, ἐκ τοῦ
すべて その 信じる–者は そのことを イエスが であると その キリストであると その その
G3956 G3588 G4100 G3754 G2424 G1510 G3588 G5547 G1537 G3588

Θεοῦ γεγέννηται, καὶ πᾶς ὁ ἀγαπῶν τὸν
神から–生まれたのであり 生まれたのであり そして すべて その 愛する–者は その
G2316 G1080 G2532 G3956 G3588 G0025 G3588

γεννήσαντα, ἀγαπᾷ ‹καὶ› τὸν γεγεννημένον ἐξ αὐτοῦ.
生んでくださった–方を 愛する また その 生まれた–者をも その–方から その方から
G1080 G0025 G2532 G3588 G1080 G1537 G0846

すべてイエスのキリストであることを信じる者は、神から生れた者である。すべて生んで下さったかたを愛する者は、そのかたから生れた者をも愛するのである。

2 ἐν τούτῳ γινώσκομεν ὅτι ἀγαπῶμεν τὰ τέκνα τοῦ
これによって このことによって 知る そのことを 愛していると その 神の–子を 神の
G1722 G3778 G1097 G3754 G0025 G3588 G5043 G3588

Θεοῦ, ὅταν τὸν Θεὸν ἀγαπῶμεν, καὶ τὰς ἐντολὰς αὐτοῦ
神の ときはいつかというと その 神を 愛し そして その 戒めを 彼の
G2316 G3752 G3588 G2316 G0025 G2532 G3588 G1785 G0846

ποιῶμεν.
行うときである
G4160

神を愛してその戒めを行えば、それによってわたしたちは、神の子たちを愛していることを知るのである。

3

αὕτη	γάρ	ἐστιν	ἡ	ἀγάπη	τοῦ	Θεοῦ,	ἵνα	τὰς	ἐντολὰς
これが	なぜなら	である	その	神の–愛である	神の	神の	すなわち	その	戒めを
G3778	G1063	G1510	G3588	G0026	G3588	G2316	G2443	G3588	G1785

αὐτοῦ	τηρῶμεν;	καὶ	αἱ	ἐντολαὶ	αὐτοῦ	βαρεῖαι	οὐκ	εἰσίν.
彼の	守ること	そして	その	戒めは	彼の	重くは	ない	ない
G0846	G5083	G2532	G3588	G1785	G0846	G0926	G3756	G1510

神を愛するとは、すなわち、その戒めを守ることである。そして、その戒めはむずかしいものではない。

4

ὅτι	πᾶν	τὸ	γεγεννημένον	ἐκ	τοῦ	Θεοῦ,	νικᾷ	τὸν	κόσμον;
なぜなら	すべて	その	生まれた–ものは	その	その	神から	打ち勝つ	その	世に
G3754	G3956	G3588	G1080	G1537	G3588	G2316	G3528	G3588	G2889

καὶ	αὕτη	ἐστὶν	ἡ	νίκη	ἡ	νικήσασα	τὸν	κόσμον --	ἡ	πίστις
そして	これが	である	その	勝利である	その	打ち勝った	その	世に	その	信仰である
G2532	G3778	G1510	G3588	G3529	G3588	G3528	G3588	G2889	G3588	G4102

ἡμῶν.
私たちの
G1473

なぜなら、すべて神から生れた者は、世に勝つからである。そして、わたしたちの信仰こそ、世に勝たしめた勝利の力である。

5

τίς	‹δέ›	ἐστιν	ὁ	νικῶν	τὸν	κόσμον,	εἰ	μὴ	ὁ
だれが	しかし	であるか	その	打ち勝つ–者は	その	世に	もし	ない	その
G5101	G1161	G1510	G3588	G3528	G3588	G2889	G1487	G3361	G3588

πιστεύων	ὅτι	Ἰησοῦς	ἐστιν	ὁ	Υἱὸς	τοῦ	Θεοῦ?
信じる–者である	そのことを	イエスが	であると	その	神の–子であると	神の	神の
G4100	G3754	G2424	G1510	G3588	G5207	G3588	G2316

世に勝つ者はだれか。イエスを神の子と信じる者ではないか。

6

οὗτός	ἐστιν	ὁ	ἐλθὼν	δι’	ὕδατος	καὶ	αἵματος,	Ἰησοῦς
この–方が	である	その	来られた–方である	水と	水を–通して	そして	血を–通して	イエス
G3778	G1510	G3588	G2064	G1223	G5204	G2532	G0129	G2424

Χριστός;	οὐκ	ἐν	τῷ	ὕδατι	μόνον,	ἀλλ’	ἐν	τῷ	ὕδατι	καὶ
キリストが	ただ	その	その	水によって	だけでなく	むしろ	その	その	水と	そして
G5547	G3756	G1722	G3588	G5204	G3440	G0235	G1722	G3588	G5204	G2532

ἐν	τῷ	αἵματι.	καὶ	τὸ	Πνεῦμά	ἐστιν	τὸ	μαρτυροῦν,	ὅτι
その	その	血によってである	そして	その	御霊が	である	その	証しする–方である	なぜなら
G1722	G3588	G0129	G2532	G3588	G4151	G1510	G3588	G3140	G3754

τὸ	Πνεῦμά	ἐστιν	ἡ	ἀλήθεια.
その	御霊は	である	その	真理である
G3588	G4151	G1510	G3588	G0225

このイエス・キリストは、水と血とをとおってこられたかたである。水によるだけではなく、水と血とによってこられたのである。そのあかしをするものは、御霊である。御霊は真理だからである。

7

ὅτι	τρεῖς	εἰσιν	οἱ	μαρτυροῦντες	{εν	τῷ	οὐρανῷ:	ὁ	πατήρ,	ὁ
なぜなら	三つの	ある	その	証しする–者が	その	その	天において	その	父と	その
G3754	G5140	G1510	G3588	G3140	G1722	G3588	G3772	G3588	G3962	G3588

λόγος,	καὶ	τὸ	Ἅγιον	Πνεῦμα--	καὶ	οὗτοι	οἱ	τρεῖς,	ἕν	εἰσι};
言葉と	そして	その	聖なる	御霊である	そして	これらの	その	三つは	一つで	ある
G3056	G2532	G3588	G0040	G4151	G2532	G3778	G3588	G5140	G1520	G1526

あかしをするものが、三つある。

8 τὸ Πνεῦμα, καὶ τὸ ὕδωρ, καὶ τὸ αἷμα-- καὶ οἱ τρεῖς
その 御霊と そして その 水と そして その 血である そして この 三つは
G3588 G4151 G2532 G3588 G5204 G2532 G3588 G0129 G2532 G3588 G5140

εἰς τὸ ἕν εἰσιν.
一つの-ために 一つの 一つで ある
G1519 G3588 G1520 G1510

御霊と水と血とである。そして、この三つのものは一致する。

9 εἰ τὴν μαρτυρίαν τῶν ἀνθρώπων λαμβάνομεν, ἡ μαρτυρία τοῦ Θεοῦ
もし その 証しを その 人々の 受け入れるなら その 神の-証しは 神の 神の
G1487 G3588 G3141 G3588 G0444 G2983 G3588 G3141 G3588 G2316

μείζων ἐστίν. ὅτι αὕτη ἐστὶν ἡ μαρτυρία τοῦ Θεοῦ, ὅτι
より-大きい である なぜなら これが である その 神の-証しである 神の 神の すなわち
G3173 G1510 G3754 G3778 G1510 G3588 G3141 G3588 G2316 G3754

μεμαρτύρηκεν περὶ τοῦ Υἱοῦ αὐτοῦ.
証ししてくださった その その 御子について 彼の
G3140 G4012 G3588 G5207 G0846

わたしたちは人間のあかしを受けいれるが、しかし、神のあかしはさらにまさっている。神のあかしというのは、すなわち、御子について立てられたあかしである。

10 ὁ πιστεύων εἰς τὸν Υἱὸν τοῦ Θεοῦ, ἔχει τὴν μαρτυρίαν
その 信じる-者は その その 神の-子を 神の 神の 持っている その 証しを
G3588 G4100 G1519 G3588 G5207 G3588 G2316 G2192 G3588 G3141

ἐν αὐτῷ; ὁ μὴ πιστεύων τῷ Θεῷ, ψεύστην πεποίηκεν
自分の-中に 自分の中に その ない 信じ- その 神を 偵り者に しているのである
G1722 G0848 G3588 G3361 G4100 G3588 G2316 G5583 G4160

αὐτόν, ὅτι οὐ πεπίστευκεν εἰς τὴν μαρτυρίαν ἣν
彼を なぜなら ない 信じなかったからである その その 証しを それを
G0846 G3754 G3756 G4100 G1519 G3588 G3141 G3739

μεμαρτύρηκεν ὁ Θεὸς, περὶ τοῦ Υἱοῦ αὐτοῦ.
証ししてくださった その 神が その その 御子について 彼の
G3140 G3588 G2316 G4012 G3588 G5207 G0846

神の子を信じる者は、自分のうちにこのあかしを持っている。神を信じない者は、神を偽り者とする。神が御子についてあかしせられたそのあかしを、信じていないからである。

11 καὶ αὕτη ἐστὶν ἡ μαρτυρία, ὅτι ζωὴν αἰώνιον ἔδωκεν
そして これが である その 証しである すなわち 永遠の-いのちを 永遠の 与えてくださった
G2532 G3778 G1510 G3588 G3141 G3754 G2222 G0166 G1325

«ὁ Θεὸς»□, ἡμῖν καὶ αὕτη ἡ ζωὴ ἐν τῷ Υἱῷ αὐτοῦ
その 神が 私たちに そして この その いのちは その その 御子の-中に 彼の
G3588 G2316 G1473 G2532 G3778 G3588 G2222 G1722 G3588 G5207 G0846

ἐστιν.
ある
G1510

そのあかしとは、神が永遠のいのちをわたしたちに賜わり、かつ、そのいのちが御子のうちにあるということである。

12 ὁ ἔχων τὸν Υἱὸν, ἔχει τὴν ζωήν: ὁ μὴ ἔχων τὸν
その 持つ–者は その 御子を 持っている その いのちを その ない 持た– その
G3588 G2192 G3588 G5207 G2192 G3588 G2222 G3588 G3361 G2192 G3588

Υἱὸν τοῦ Θεοῦ, τὴν ζωὴν οὐκ ἔχει.
神の–子を 神の 神の その いのちを ない 持ってい
G5207 G3588 G2316 G3588 G2222 G3756 G2192

御子を持つ者はいのちを持ち、神の御子を持たない者はいのちを持っていない。

13 Ταῦτα ἔγραψα ὑμῖν ἵνα εἰδῆτε ὅτι ζωὴν
これらのことを 書き送った あなたがたに そうすれば 知るようになる そのことを 永遠の–いのちを
G3778 G1125 G4771 G2443 G1492 G3754 G2222

ἔχετε αἰώνιον, τοῖς πιστεύουσιν εἰς τὸ ὄνομα τοῦ Υἱοῦ τοῦ
持っていると 永遠の その 信じる–者たちに その その 御名に その 御子の その
G2192 G0166 G3588 G4100 G1519 G3588 G3686 G3588 G5207 G3588

Θεοῦ, <καὶ ἵνα πιστεύητε εἰς τὸ ὄνομα τοῦ υἱοῦ τοῦ θεοῦ>.
神の そして そうすれば 信じるようになる その その 御名に その 御子の その 神の
G2316 G2532 G2443 G4100 G1519 G3588 G3686 G3588 G5207 G3588 G2316

これらのことをあなたがたに書きおくったのは、神の子の御名を信じるあなたがたに、永遠のいのちを持っていることを、悟らせるためである。

14 Καὶ αὕτη ἐστὶν ἡ παρρησία ἣν ἔχομεν πρὸς αὐτόν, ὅτι
そして これが である その 確信である それを 持っている 彼に–対して 彼に すなわち
G2532 G3778 G1510 G3588 G3954 G3739 G2192 G4314 G0846 G3754

ἐάν τι αἰτώμεθα κατὰ τὸ θέλημα αὐτοῦ, ἀκούει
もし 何でも 求めるなら その その 御心に–したがって 彼の 聞いてくださる
G1437 G5100 G0154 G2596 G3588 G2307 G0846 G0191

ἡμῶν.
私たちのことを
G1473

わたしたちが神に対していただいている確信は、こうである。すなわち、わたしたちが何事でも神の御旨に従って願い求めるなら、神はそれを聞きいれて下さるということである。

15 καὶ ἐὰν οἴδαμεν ὅτι ἀκούει ἡμῶν, ὃ ἐὰν
そして もし 知っているなら そのことを 聞いてくださると 私たちのことを それを もし
G2532 G1437 G1492 G3754 G0191 G1473 G3739 G1437

αἰτώμεθα, οἴδαμεν ὅτι ἔχομεν τὰ αἰτήματα ἃ ἠτήκαμεν
求めるなら 知っている そのことを 持っていると その 求めた–ものを それらを 求めた
G0154 G1492 G3754 G2192 G3588 G0155 G3739 G0154

ἀπ’ αὐτοῦ.
彼から 彼から
G0575 G0846

そして、わたしたちが願い求めることは、なんでも聞きいれて下さるとわかれば、神に願い求めたことはすでにかなえられたことを、知るのである。

16 Ἐάν τις ἴδῃ τὸν ἀδελφὸν αὐτοῦ ἁμαρτάνοντα ἁμαρτίαν μὴ
もし だれかが 見るなら その 兄弟が 自分の 罪を–犯しているのを 罪を ない
G1437 G5100 G3708 G3588 G0080 G0846 G0264 G0266 G3361

πρὸς θάνατον, αἰτήσει, καὶ δώσει αὐτῷ ζωήν -- τοῖς
死に–至ら 死に 求めなさい そうすれば 与えてくださる その人に いのちを その
G4314 G2288 G0154 G2532 G1325 G0846 G2222 G3588

ἁμαρτάνουσιν μὴ πρὸς θάνατον. ἔστιν ἁμαρτία πρὸς θάνατον;
罪を–犯している–者たちに ない 死に–至ら 死に ある 罪が 死に–至る 死に
G0264 G3361 G4314 G2288 G1510 G0266 G4314 G2288

οὐ περὶ ἐκείνης λέγω ἵνα ἐρωτήσῃ.
ない そのことについて それについて 言うのではない そうすれば 願うべきだと
G3756 G4012 G1565 G3004 G2443 G2065

もしだれかが死に至ることのない罪を犯している兄弟を見たら、神に願い求めなさい。そうすれば神は、死に至ることのない罪を犯している人々には、いのちを賜わるであろう。死に至る罪がある。これについては、願い求めよ、とは言わない。

17 πᾶσα ἀδικία ἁμαρτία ἐστίν; καὶ ἔστιν ἁμαρτία οὐ πρὸς θάνατον.
すべての 不義は 罪である である そして ある 罪が ない 死に–至ら 死に
G3956 G0093 G0266 G1510 G2532 G1510 G0266 G3756 G4314 G2288

不義はすべて、罪である。しかし、死に至ることのない罪もある。

18 Οἴδαμεν ὅτι πᾶς ὁ γεγεννημένος ἐκ τοῦ Θεοῦ οὐχ ἁμαρτάνει,
知っている そのことを すべて その 生まれた–者は その その 神から ない 罪を–犯さ
G1492 G3754 G3956 G3588 G1080 G1537 G3588 G2316 G3756 G0264

ἀλλ’ ὁ γεννηθεὶς ἐκ τοῦ Θεοῦ τηρεῖ αὐτόν, καὶ ὁ
むしろ その 神から–生まれた–方が その その 神から 守ってくださる その人を そして その
G0235 G3588 G1080 G1537 G3588 G2316 G5083 G0846 G2532 G3588

πονηρὸς οὐχ ἅπτεται αὐτοῦ.
悪い–者は ない 触れることが その人に
G4190 G3756 G0680 G0846

すべて神から生れた者は罪を犯さないことを、わたしたちは知っている。神から生れたかたが彼を守っていて下さるので、悪しき者が手を触れるようなことはない。

19 οἴδαμεν ὅτι ἐκ τοῦ Θεοῦ ἐσμεν, καὶ ὁ κόσμος
知っている そのことを その その 神から–出た–者であると あると そして その 世は
G1492 G3754 G1537 G3588 G2316 G1510 G2532 G3588 G2889

ὅλος, ἐν τῷ πονηρῷ κεῖται.
すべて その その 悪い–者の–中に 置かれている
G3650 G1722 G3588 G4190 G2749

また、わたしたちは神から出た者であり、全世界は悪しき者の配下にあることを、知っている。

20 οἴδαμεν δὲ ὅτι ὁ Υἱὸς τοῦ Θεοῦ ἥκει, καὶ
しかし–知っている しかし そのことを その 神の–子が 神の 神の 来られた そして
G1492 G1161 G3754 G3588 G5207 G3588 G2316 G2240 G2532

δέδωκεν ἡμῖν διάνοιαν, ἵνα γινώσκωμεν τὸν ἀληθινόν;
与えてくださった 私たちに 理解力を そうすれば 知るようになる まことの–方を まことの
G1325 G1473 G1271 G2443 G1097 G3588 G0228

καὶ ἐσμὲν ἐν τῷ ἀληθινῷ, ἐν τῷ Υἱῷ αὐτοῦ, Ἰησοῦ
そして いる その その まことの–方の–中に その その 御子の–中に 彼の イエス
G2532 G1510 G1722 G3588 G0228 G1722 G3588 G5207 G0846 G2424

Χριστῷ. οὗτός ἐστιν ὁ ἀληθινὸς Θεὸς, καὶ ζωὴ αἰώνιος.
キリストの この–方が である その まことの 神であり そして 永遠の–いのちである 永遠の
G5547 G3778 G1510 G3588 G0228 G2316 G2532 G2222 G0166

さらに、神の子がきて、真実なかたを知る知力をわたしたちに授けて下さったことも、知っている。そして、わたしたちは、真実なかたにおり、御子イエス・キリストにおるのである。このかたは真実な神であり、永遠のいのちである。

21 Τεκνία, φυλάξατε ἑαυτὰ ἀπὸ τῶν εἰδώλων. <Ἀμήν>
小さな–子よ 守りなさい 自分自身を その その 偶像から アーメン
G5040 G5442 G1438 G0575 G3588 G1497 G0281

子たちよ。気をつけて、偶像を避けなさい。

2 John

Chapter 1

1 Ὁ πρεσβύτερος, ἐκλεκτῇ κυρίᾳ καὶ τοῖς τέκνοις αὐτῆς, οὓς
その 長老から 選ばれた 婦人と そして その 子どもたちへ 彼女の その者たちを
G3588 G4245 G1588 G2959 G2532 G3588 G5043 G0846 G3739

ἐγὼ ἀγαπῶ ἐν ἀληθείᾳ, καὶ οὐκ ἐγὼ μόνος, ἀλλὰ καὶ
私は 愛しています ～において 真理において そして ～ない 私 だけでなく むしろ また
G1473 G0025 G1722 G0225 G2532 G3756 G1473 G3441 G0235 G2532

πάντες οἱ ἐγνωκότες τὴν ἀλήθειαν --
すべての その 知っている–者たちが その 真理を
G3956 G3588 G1097 G3588 G0225

長老のわたしから、真実に愛している選ばれた婦人とその子たちへ。あなたがたを愛しているのは、わたしだけではなく、真理を知っている者はみなそうである。

2 διὰ τὴν ἀλήθειαν τὴν μένουσαν ἐν ἡμῖν, καὶ μεθ’
～のゆえに その 真理が その 留まっている ～に 私たちの–うちに そして ～と–共に
G1223 G3588 G0225 G3588 G3306 G1722 G1473 G2532 G3326

ἡμῶν ἔσται εἰς τὸν αἰῶνα:
私たちと–共に あるでしょう ～まで その 永遠に
G1473 G1510 G1519 G3588 G0165

それは、わたしたちのうちにあり、また永遠に共にあるべき真理によるのである。

3 ἔσται μεθ’ ἡμῶν χάρις, ἔλεος, εἰρήνη παρὰ Θεοῦ Πατρός,
あるでしょう ～と–共に 私たちと–共に 恵みと あわれみと 平和が ～から 神 父から
G1510 G3326 G1473 G5485 G1656 G1515 G3844 G2316 G3962

καὶ παρὰ Ἰησοῦ Χριστοῦ, τοῦ Υἱοῦ τοῦ Πατρός, ἐν ἀληθείᾳ καὶ
そして ～から イエス キリスト その 御子の その 父の ～において 真理と そして
G2532 G3844 G2424 G5547 G3588 G5207 G3588 G3962 G1722 G0225 G2532

ἀγάπῃ.
愛において
G0026

父なる神および父の御子イエス・キリストから、恵みとあわれみと平安とが、真理と愛のうちにあって、わたしたちと共にあるように。

4 Ἐχάρην λίαν ὅτι εὑρηκα ἐκ τῶν τέκνων
大いに 喜びました なぜなら 見出したからです ～の-うちに その 子どもたちの-うちに
G5463 G3029 G3754 G2147 G1537 G3588 G5043

σου περιπατοῦντας ἐν ἀληθείᾳ, καθὼς ἐντολὴν ἐλάβομεν παρὰ
あなたの 歩んでいる-者たちを ～において 真理において ～のように 戒めを 受けた ～から
G4771 G4043 G1722 G0225 G2531 G1785 G2983 G3844

τοῦ Πατρός.
その 父から
G3588 G3962

あなたの子供たちのうちで、わたしたちが父から受けた戒めどおりに、真理のうちを歩いている者があるのを見て、わたしは非常に喜んでいる。

5 καὶ νῦν ἐρωτῶ σε, κυρία, οὐχ ὡς ἐντολὴν «γράφων σοι»
そして 今 お願いします あなたに 婦人よ ～ない ～として 戒めを 書いている あなたに
G2532 G3568 G2065 G4771 G2959 G3756 G5613 G1785 G1125 G4771

καινὴν, ἀλλὰ ἣν εἴχομεν ἀπ’ ἀρχῆς, ἵνα ἀγαπῶμεν ἀλλήλους.
新しい むしろ その 持っていた ～から 初めから ～のために 愛し合うように 互いに
G2537 G0235 G3739 G2192 G0575 G0746 G2443 G0025 G0240

婦人よ。ここにお願いしたいことがある。それは、新しい戒めを書くわけではなく、初めから持っていた戒めなのであるが、わたしたちは、みんな互に愛し合おうではないか。

6 καὶ αὕτη ἐστὶν ἡ ἀγάπη, ἵνα περιπατῶμεν κατὰ τὰς
そして これが ～です その 愛とは ～するために 歩むことです ～に-従って その
G2532 G3778 G1510 G3588 G0026 G2443 G4043 G2596 G3588

ἐντολὰς αὐτοῦ. αὕτη ἡ ἐντολή ἐστιν καθὼς, ἠκούσατε ἀπ’
戒めに-従って 主の これが その 戒めです ～です ～のように 聞いた-とおり ～から
G1785 G0846 G3778 G3588 G1785 G1510 G2531 G0191 G0575

ἀρχῆς, ἵνα ἐν αὐτῇ περιπατῆτε.
初めから ～するために ～に その-うちを 歩むように
G0746 G2443 G1722 G0846 G4043

父の戒めどおりに歩くことが、すなわち、愛であり、あなたがたが初めから聞いてきたとおりに愛のうちを歩くことが、すなわち、戒めなのである。

7 ὅτι πολλοὶ πλάνοι ἐξῆλθον εἰς τὸν κόσμον, οἱ μὴ
なぜなら 多くの 惑わす-者たちが 出て-行きました ～の-中へ その 世に その ～ない
G3754 G4183 G4108 G1831 G1519 G3588 G2889 G3588 G3361

ὁμολογοῦντες Ἰησοῦν Χριστὸν ἐρχόμενον ἐν σαρκί. οὗτός
告白しない-者たちが イエス キリストが 来られることを ～において 肉において この-者こそ
G3670 G2424 G5547 G2064 G1722 G4561 G3778

ἐστιν ὁ πλάνος καὶ ὁ ἀντίχριστος.
～です その 惑わす-者であり そして その 反キリストです
G1510 G3588 G4108 G2532 G3588 G0500

なぜなら、イエス・キリストが肉体をとってこられたことを告白しないで人を惑わす者が、多く世にはいってきたからである。そういう者は、惑わす者であり、反キリストである。

8 βλέπετε ἑαυτούς, ἵνα μὴ ἀπολέσητε ἃ εἰργασάμεθα,
気をつけなさい 自分–自身に ～しないように ～ない 失わないように その 働いた–ことを
G0991 G1438 G2443 G3361 G0622 G3739 G2038

ἀλλὰ μισθὸν πλήρη ἀπολάβητε.
むしろ 報いを 十分な 受けるように
G0235 G3408 G4134 G0618

よく注意して、わたしたちの働いて得た成果を失うことがなく、豊かな報いを受けられるようにしなさい。

9 πᾶς ὁ προάγων, καὶ μὴ μένων ἐν τῇ διδαχῇ τοῦ
すべて その 先に–行く–者で そして ～ない 留まらない–者は ～に その 教えに その
G3956 G3588 G4254 G2532 G3361 G3306 G1722 G3588 G1322 G3588

Χριστοῦ, Θεὸν οὐκ ἔχει. ὁ μένων ἐν τῇ διδαχῇ, οὗτος
キリストの 神を ～ない 持っていません その 留まる–者は ～に その 教えに この–者は
G5547 G2316 G3756 G2192 G3588 G3306 G1722 G3588 G1322 G3778

καὶ τὸν Πατέρα καὶ τὸν Υἱὸν ἔχει.
～も その 父を そして その 御子を 持っています
G2532 G3588 G3962 G2532 G3588 G5207 G2192

すべてキリストの教をとおり過ごして、それにとどまらない者は、神を持っていないのである。その教にとどまっている者は、父を持ち、また御子をも持つ。

10 εἴ τις ἔρχεται πρὸς ὑμᾶς, καὶ ταύτην τὴν διδαχὴν
もし 誰かが 来ても ～のもとに あなたがたの–もとに そして この その 教えを
G1487 G5100 G2064 G4314 G4771 G2532 G3778 G3588 G1322

οὐ φέρει, μὴ λαμβάνετε αὐτὸν εἰς οἰκίαν,
～ない 持って–来ないなら ～するな 受け入れてはなりません その–者を ～の–中に 家の–中に
G3756 G5342 G3361 G2983 G0846 G1519 G3614

καὶ χαίρειν αὐτῷ μὴ λέγετε;
そして あいさつを その–者に ～するな してはなりません
G2532 G5463 G0846 G3361 G3004

この教を持たずにあなたがたのところに来る者があれば、その人を家に入れることも、あいさつすることもしてはいけない。

11 ὁ λέγων γὰρ αὐτῷ χαίρειν κοινωνεῖ τοῖς ἔργοις
その 言う なぜなら その–者に あいさつする–者は 交わりを–持ちます その わざに
G3588 G3004 G1063 G0846 G5463 G2841 G3588 G2041

αὐτοῦ τοῖς πονηροῖς.
その–者の その 悪い
G0846 G3588 G4190

そのような人にあいさつする者は、その悪い行いにあずかることになるからである。

12 Πολλὰ ἔχων ὑμῖν γράφειν, οὐκ ἐβουλήθην διὰ
多くの–ことを 持って–いながら あなたがたに 書くことを ～ない 望みませんでした ～を–通して
G4183 G2192 G4771 G1125 G3756 G1014 G1223

χάρτου καὶ μέλανος; ἀλλὰ ἐλπίζω γενέσθαι πρὸς ὑμᾶς,
紙と そして 墨を–通して むしろ 望んでいます 行くことを ～のもとに あなたがたの–もとに
G5489 G2532 G3188 G0235 G1679 G1096 G4314 G4771

καὶ στόμα πρὸς στόμα λαλῆσαι, ἵνα ἡ χαρὰ ἡμῶν πεπληρωμένη
そして 口と ～と 口を 語ることを ～のために その 喜びが 私たちの 満たされた–ものと
G2532 G4750 G4314 G4750 G2980 G2443 G3588 G5479 G1473 G4137

ᾖ.
なるように
G1510

あなたがたに書きおくることはたくさんあるが、紙と墨とで書くことはすまい。むしろ、あなたがたのところに行き、直接はなし合って、共に喜びに満ちあふれたいものである。

13 Ἀσπάζεταί σε, τὰ τέκνα τῆς ἀδελφῆς σου τῆς ἐκλεκτῆς.
あいさつします あなたに その 子どもたちが その 姉妹の あなたの その 選ばれた
G0782 G4771 G3588 G5043 G3588 G0079 G4771 G3588 G1588

<Ἀμήν>
アーメン
G0281

選ばれたあなたの姉妹の子供たちが、あなたによろしく。

3 John

Chapter 1

1 Ὁ πρεσβύτερος, Γαΐῳ τῷ ἀγαπητῷ, ὃν ἐγὼ ἀγαπῶ ἐν
その 長老から ガイオへ その 愛する その–者を 私は 愛しています ～において
G3588 G4245 G1050 G3588 G0027 G3739 G1473 G0025 G1722

ἀληθείᾳ.
真理において
G0225

長老のわたしから、真実に愛している親愛なるガイオへ。

2 Ἀγαπητέ, περὶ πάντων εὔχομαί σε εὐοδοῦσθαι καὶ
愛する–者よ ～について すべてにおいて 祈ります あなたが 繁栄し そして
G0027 G4012 G3956 G2172 G4771 G2137 G2532

ὑγιαίνειν, καθὼς εὐοδοῦταί σου ἡ ψυχή.
健やかであるように ～のように 繁栄しているように あなたの その 魂が
G5198 G2531 G2137 G4771 G3588 G5590

愛する者よ。あなたのたましいがいつも恵まれていると同じく、あなたがすべてのことに恵まれ、またすこやかであるようにと、わたしは祈っている。

3 ἐχάρην γὰρ λίαν, ἐρχομένων ἀδελφῶν καὶ μαρτυρούντων σου τῇ
喜びました なぜなら 大いに 来た–時に 兄弟たちが そして 証しした–時に あなたの その
G5463 G1063 G3029 G2064 G0080 G2532 G3140 G4771 G3588

ἀληθείᾳ, καθὼς σὺ ἐν ἀληθείᾳ περιπατεῖς.
真理を ～のように あなたが ～において 真理において 歩んでいると
G0225 G2531 G4771 G1722 G0225 G4043

兄弟たちがきて、あなたが真理に生きていることを、あかししてくれたので、ひじょうに喜んでいる。事実、あなたは真理のうちを歩いているのである。

4 μειζοτέραν τούτων οὐκ ἔχω χαράν, ἵνα ἀκούω τὰ ἐμὰ
これ以上の これらより ～ない 持っていません 喜びを ～のために 聞くこと その 私の
G3173 G3778 G3756 G2192 G5479 G2443 G0191 G3588 G1699

τέκνα ἐν τῇ ἀληθείᾳ περιπατοῦντα.
子どもたちが ～において その 真理において 歩んでいることを
G5043 G1722 G3588 G0225 G4043

わたしの子供たちが真理のうちを歩いていることを聞く以上に、大きい喜びはない。

5 Ἀγαπητέ, πιστὸν ποιεῖς ὃ, ἐὰν ἐργάσῃ, εἰς τοὺς
愛する–者よ 忠実なことを しています それを ～するなら 働くなら ～のために その
G0027 G4103 G4160 G3739 G1437 G2038 G1519 G3588

ἀδελφοὺς, καὶ τοῦτο ξένους;
兄弟たちのために そして しかも 見知らぬ–者たちのために
G0080 G2532 G3778 G3581

愛する者よ。あなたが、兄弟たち、しかも旅先にある者につくしていることは、みな真実なわざである。

6 οἳ ἐμαρτύρησάν σου τῇ ἀγάπῃ ἐνώπιον ἐκκλησίας, οὓς
その–者たちが 証ししました あなたの その 愛を ～の–前で 教会の–前で その–者たちを
G3739 G3140 G4771 G3588 G0026 G1799 G1577 G3739

καλῶς ποιήσεις, προπέμψας ἀξίως τοῦ Θεοῦ;
よく するでしょう 送り出して ふさわしく その 神にふさわしく
G2573 G4160 G4311 G0516 G3588 G2316

彼らは、諸教会で、あなたの愛についてあかしをした。それらの人々を、神のみこころにかなうように送り出してくれたら、それは願わしいことである。

7 ὑπὲρ γὰρ τοῦ Ὀνόματος ἐξῆλθον, μηδὲν λαμβάνοντες ἀπὸ τῶν
～のために なぜなら その 御名のために 出て–行きました 何も 受けずに ～から その
G5228 G1063 G3588 G3686 G1831 G3367 G2983 G0575 G3588

ἐθνικῶν.
異邦人から
G1482

彼らは、御名のために旅立った者であって、異邦人からは何も受けていない。

8 ἡμεῖς οὖν ὀφείλομεν ὑπολαμβάνειν τοὺς τοιούτους, ἵνα
私たちは それゆえ 助ける–義務があります 支えることが その このような–者たちを ～のために
G1473 G3767 G3784 G5274 G3588 G5108 G2443

συνεργοὶ γινώμεθα τῇ ἀληθείᾳ.
同労者と なるために その 真理のための
G4904 G1096 G3588 G0225

それだから、わたしたちは、真理のための同労者となるように、こういう人々を助けねばならない。

9 Ἔγραψά τι τῇ ἐκκλησίᾳ; ἀλλ’ ὁ φιλοπρωτεύων αὐτῶν,
書きました いくらか その 教会に しかし その 第一になりたがる–者である 彼らの
G1125 G5100 G3588 G1577 G0235 G3588 G5383 G0846

Διοτρεφὴς, οὐκ ἐπιδέχεται ἡμᾶς.
ディオトレフェスが ～ない 受け入れてくれません 私たちを
G1361 G3756 G1926 G1473

わたしは少しばかり教会に書きおくっておいたが、みんなのかしらになりたがっているデオテレペスが、わたしたちを受けいれてくれない。

10 διὰ τοῦτο, ἐὰν ἔλθω, ὑπομνήσω αὐτοῦ τὰ ἔργα ἃ
～のゆえに このことのゆえに もし 行ったら 思い出させます 彼の その 行いを それを
G1223 G3778 G1437 G2064 G5279 G0846 G3588 G2041 G3739

ποιεῖ, λόγοις πονηροῖς φλυαρῶν ἡμᾶς; καὶ μὴ ἀρκούμενος
している 言葉で 悪い さえずりながら 私たちに–対して そして ～ない 満足せず
G4160 G3056 G4190 G5396 G1473 G2532 G3361 G0714

ἐπὶ τούτοις, οὔτε αὐτὸς ἐπιδέχεται τοὺς ἀδελφοὺς, καὶ τοὺς
～において これらにおいて ～もない 自らも 受け入れません その 兄弟たちを そして その
G1909 G3778 G3777 G0846 G1926 G3588 G0080 G2532 G3588

βουλομένους, κωλύει, καὶ ἐκ τῆς ἐκκλησίας ἐκβάλλει.
望む–者たちを 妨げ そして ～から その 教会から 追い出します
G1014 G2967 G2532 G1537 G3588 G1577 G1544

だから、わたしがそちらへ行った時、彼のしわざを指摘しようと思う。彼は口ぎたなくわたしたちをののしり、それ
ばかりか、兄弟たちを受けいれようともせず、受けいれようとする人たちを妨げて、教会から追い出している。

11

Ἀγαπητέ,	μὴ	μιμοῦ	τὸ	κακὸν,	ἀλλὰ	τὸ	ἀγαθόν.	ὁ
愛する–者よ	～するな	見ならってはなりません	その	悪を	むしろ	その	善を	その
G0027	G3361	G3401	G3588	G2556	G0235	G3588	G0018	G3588

ἀγαθοποιῶν,	ἐκ	τοῦ	Θεοῦ	ἐστιν;	ὁ	κακοποιῶν,	οὐχ
善を–行う–者は	～から	その	神から–の–者です	～です	その	悪を–行う–者は	～ない
G0015	G1537	G3588	G2316	G1510	G3588	G2554	G3756

ἑώρακεν	τὸν	Θεόν.
見たことが–ありません	その	神を
G3708	G3588	G2316

愛する者よ。悪にならわないで、善にならいなさい。善を行う者は神から出た者であり、悪を行う者は神を見たこと
のない者である。

12

Δημητρίῳ	μεμαρτύρηται	ὑπὸ	πάντων,	καὶ	ὑπὸ	αὐτῆς
デメテリオには	証されています	～によって	すべての–者によって	そして	～によって	それ–自身の
G1216	G3140	G5259	G3956	G2532	G5259	G0846

τῆς	ἀληθείας;	καὶ	ἡμεῖς	δὲ	μαρτυροῦμεν,	καὶ	οἶδας	ὅτι	ἡ
その	真理によって	そして	私たちも	しかし	証します	そして	知っています	～と	その
G3588	G0225	G2532	G1473	G1161	G3140	G2532	G1492	G3754	G3588

μαρτυρία	ἡμῶν	ἀληθής	ἐστιν.
証が	私たちの	真実であると	～です
G3141	G1473	G0227	G1510

デメテリオについては、あらゆる人も、また真理そのものも、証明している。わたしたちも証明している。そして、
あなたが知っているとおり、わたしたちの証明は真実である。

13

Πολλὰ	εἶχον	γράψαι	σοι,	ἀλλ’	οὐ	θέλω	διὰ
多くの–ことを	持って–いました	書くことを	あなたに	しかし	～ない	望みません	～を–通して
G4183	G2192	G1125	G4771	G0235	G3756	G2309	G1223

μέλανος	καὶ	καλάμου	σοι	γράφειν;
墨と	そして	筆を–通して	あなたに	書くことを
G3188	G2532	G2563	G4771	G1125

あなたに書きおくりたいことはたくさんあるが、墨と筆とで書くことはすまい。

14

ἐλπίζω	δὲ	εὐθέως,	σε	ἰδεῖν,	καὶ	στόμα	πρὸς	στόμα
望んでいます	しかし	すぐに	あなたに	会うことを	そして	口と	～と	口を
G1679	G1161	G2112	G4771	G3708	G2532	G4750	G4314	G4750

λαλήσομεν.	Εἰρήνη	σοι.	ἀσπάζονταί	σε,	οἱ	φίλοι.	ἀσπάζου
語りましょう	平和が	あなたに	あいさつします	あなたに	その	友人たちが	あいさつしてください
G2980	G1515	G4771	G0782	G4771	G3588	G5384	G0782

τοὺς	φίλους	κατ’	ὄνομα.
その	友人たちに	～ごとに	名ごとに
G3588	G5384	G2596	G3686

すぐにでもあなたに会って、直接はなし合いたいものである。 平安が、あなたにあるように。友人たちから、あなた
によろしく。友人たちひとりびとりに、よろしく。

Jude

Chapter 1

1

Ἰούδας,	Ἰησοῦ	Χριστοῦ	δοῦλος,	ἀδελφὸς	δὲ	Ἰακώβου,	τοῖς	ἐν	Θεῷ
ユダ	イエス	キリストの	僕であり	兄弟である	また	ヤコブの	その	～において	神
G2455	G2424	G5547	G1401	G0080	G1161	G2385	G3588	G1722	G2316

Πατρὶ	ἠγαπημένοις,	καὶ	Ἰησοῦ	Χριστῷ	τετηρημένοις	κλητοῖς.
父に	愛された	そして	イエス	キリストに	守られた	召された–者たちへ
G3962	G0025	G2532	G2424	G5547	G5083	G2822

イエス・キリストの僕またヤコブの兄弟であるユダから、父なる神に愛され、イエス・キリストに守られている召された人々へ。

2

ἔλεος	ὑμῖν,	καὶ	εἰρήνη,	καὶ	ἀγάπη	πληθυνθείη.
あわれみと	あなたがたに	そして	平和と	そして	愛が	豊かに–ありますように
G1656	G4771	G2532	G1515	G2532	G0026	G4129

あわれみと平安と愛とが、あなたがたに豊かに加わるように。

3

Ἀγαπητοί,	πᾶσαν	σπουδὴν	ποιούμενος	γράφειν	ὑμῖν	περὶ	τῆς
愛する–者たちよ	あらゆる	努力を	しながら	書くことを	あなたがたに	～について	その
G0027	G3956	G4710	G4160	G1125	G4771	G4012	G3588

κοινῆς	ἡμῶν	σωτηρίας,	ἀνάγκην	ἔσχον	γράψαι	ὑμῖν,
共通の	私たちの	救いについて	必要を–感じました	感じました	書くことを	あなたがたに
G2839	G1473	G4991	G0318	G2192	G1125	G4771

παρακαλῶν	ἐπαγωνίζεσθαι	τῇ	ἅπαξ	παραδοθείσῃ	τοῖς	ἁγίοις	πίστει.
勧めて	戦うように	その	一度	伝えられた	その	聖徒たちに	信仰のために
G3870	G1864	G3588	G0530	G3860	G3588	G0040	G4102

愛する者たちよ。わたしたちが共にあずかっている救について、あなたがたに書きおくりたいと心から願っていたので、聖徒たちによって、ひとたび伝えられた信仰のために戦うことを勧めるように、手紙をおくる必要を感じるに至った。

4

παρεισέδυσαν	γάρ	τινες	ἄνθρωποι,	οἱ	πάλαι	προγεγραμμένοι	εἰς
忍び–込んだからです	なぜなら	ある	人々が	その	昔から	書かれていた	～のために
G3921	G1063	G5100	G0444	G3588	G3819	G4270	G1519

τοῦτο	τὸ	κρίμα;	ἀσεβεῖς	τὴν,	τοῦ	Θεοῦ	ἡμῶν,	χάριτα,
この	その	裁きのために	不敬虔な–者たちで	その	その	神の	私たちの	恵みを
G3778	G3588	G2917	G0765	G3588	G3588	G2316	G1473	G5485

μετατιθέντες	εἰς	ἀσέλγειαν,	καὶ	τὸν	μόνον	Δεσπότην,	καὶ	Κύριον	ἡμῶν,
変えて	～に	放縦に	そして	その	唯一の	主人である	そして	主である	私たちの
G3346	G1519	G0766	G2532	G3588	G3441	G1203	G2532	G2962	G1473

Ἰησοῦν	Χριστὸν,	ἀρνούμενοι.
イエス	キリストを	否定する–者たちです
G2424	G5547	G0720

そのわけは、不信仰な人々がしのび込んできて、わたしたちの神の恵みを放縦な生活に変え、唯一の君であり、わたしたちの主であるイエス・キリストを否定しているからである。彼らは、このようなさばきを受けることに、昔から予告されているのである。

5

Ὑπομνῆσαι	δὲ	ὑμᾶς	βούλομαι,	εἰδότας	‹ὑμᾶς›	ἅπαξ
思い-起こさせたいのです	しかし	あなたがたに	望みます	知っている	あなたがたは	一度
G5279	G1161	G4771	G1014	G1492	G4771	G0530

«πάντα,	ὅτι	[ὁ]	Κύριος»	λαὸν	ἐκ	γῆς	Αἰγύπτου	σώσας,	τὸ
すべてのことを	～と	その	主が	民を	～から	地から	エジプトの	救った後	その
G3956	G3754	G3588	G2962	G2992	G1537	G1093	G0125	G4982	G3588

δεύτερον	τοὺς	μὴ	πιστεύσαντας,	ἀπώλεσεν.
二度-目に	その	～ない	信じなかった-者たちを	滅ぼしました
G1208	G3588	G3361	G4100	G0622

あなたがたはみな、じゅうぶんに知っていることではあるが、主が民をエジプトの地から救い出して後、不信仰な者を滅ぼされたことを、思い起してもらいたい。

6

ἀγγέλους	τε,	τοὺς	μὴ	τηρήσαντας	τὴν	ἑαυτῶν	ἀρχὴν,	ἀλλὰ
御使いたちも	また	その	～ない	守らなかった-者たちを	その	自分たちの	領域を	むしろ
G0032	G5037	G3588	G3361	G5083	G3588	G1438	G0746	G0235

ἀπολιπόντας	τὸ	ἴδιον	οἰκητήριον,	εἰς	κρίσιν	μεγάλης	ἡμέρας,
捨てた-者たちを	その	自らの	住まいを	～のために	裁きのために	大いなる	日の
G0620	G3588	G2398	G3613	G1519	G2920	G3173	G2250

δεσμοῖς	ἀϊδίοις	ὑπὸ	ζόφον	τετήρηκεν;
鎖で	永遠の	～の-下に	暗闇の-下に	保たれています
G1199	G0126	G5259	G2217	G5083

主は、自分たちの地位を守ろうとはせず、そのおるべき所を捨て去った御使たちを、大いなる日のさばきのために、永久にしばりつけたまま、暗やみの中に閉じ込めておかれた。

7

ὡς	Σόδομα	καὶ	Γόμορρα,	καὶ	αἱ	περὶ	αὐτὰς	πόλεις,
～のように	ソドムと	そして	ゴモラと	そして	その	～の-周りの	それらの-周りの	町々が
G5613	G4670	G2532	G1116	G2532	G3588	G4012	G0846	G4172

τὸν	ὅμοιον	τρόπον	τούτοις	ἐκπορνεύσασαι,	καὶ	ἀπελθοῦσαι	ὀπίσω
その	同じ	やり-方で	これらと同じに	姦淫し	そして	行って	～の-後を
G3588	G3664	G5158	G3778	G1608	G2532	G0565	G3694

σαρκὸς	ἑτέρας,	πρόκεινται	δεῖγμα,	πυρὸς	αἰωνίου	δίκην	ὑπέχουσαι.
肉の-後を	異なる	置かれています	見せしめとして	火の	永遠の	罰を	受けて
G4561	G2087	G4295	G1164	G4442	G0166	G1349	G5254

ソドム、ゴモラも、まわりの町々も、同様であって、同じように淫行にふけり、不自然な肉欲に走ったので、永遠の火の刑罰を受け、人々の見せしめにされている。

8

Ὁμοίως	μέντοι	καὶ	οὗτοι	ἐνυπνιαζόμενοι,	σάρκα	μὲν	μιαίνουσιν,
同様に	しかし	また	この-者たちも	夢見る-者たちは	肉を	一方で	汚し
G3668	G3305	G2532	G3778	G1797	G4561	G3303	G3392

κυριότητα	δὲ	ἀθετοῦσιν,	δόξας	δὲ	βλασφημοῦσιν.
権威を	他方で	退け	栄光ある-者たちを	また	侵します
G2963	G1161	G0114	G1391	G1161	G0987

しかし、これと同じように、これらの人々は、夢に迷わされて肉を汚し、権威ある者たちを軽んじ、栄光ある者たちをそしっている。

9 ὁ δὲ Μιχαὴλ ὁ ἀρχάγγελος, ὅτε τῷ διαβόλῳ διακρινόμενος,
その しかし ミカエル その 大天使は ～の時 その 悪魔と 争って
G3588 G1161 G3413 G3588 G0743 G3753 G3588 G1228 G1252

διελέγετο περὶ τοῦ Μωϋσέως σώματος, οὐκ ἐτόλμησεν κρίσιν
論じました ～について その モーセの 体について ～ない あえて-しませんでした 裁きを
G1256 G4012 G3588 G3475 G4983 G3756 G5111 G2920

ἐπενεγκεῖν βλασφημίας, ἀλλὰ εἶπεν, Ἐπιτιμήσαι σοι, Κύριος.
下すことを 侵す-裁きを むしろ 言いました 戒められるように あなたを 主がと
G2018 G0988 G0235 G3004 G2008 G4771 G2962

御使のかしらミカエルは、モーセの死体について悪魔と論じ争った時、相手をののしりさばくことはあえてせず、ただ、「主がおまえを戒めて下さるように」と言っただけであった。

10 οὗτοι δὲ, ὅσα μὲν οὐκ οἴδασιν βλασφημοῦσιν; ὅσα δὲ
この-者たちは しかし それを 一方で ～ない 知らない-ことを 侵します それを 他方で
G3778 G1161 G3745 G3303 G3756 G1492 G0987 G3745 G1161

φυσικῶς, ὡς τὰ ἄλογα ζῷα, ἐπίστανται, ἐν τούτοις
自然に ～のように その 理性なき 動物のように 理解するものを ～において これらにおいて
G5447 G5613 G3588 G0249 G2226 G1987 G1722 G3778

φθείρονται.
滅びます
G5351

しかし、この人々は自分が知りもしないことをそしり、また、分別のない動物のように、ただ本能的な知識にあやまられて、自らの滅亡を招いている。

11 οὐαὶ αὐτοῖς! ὅτι τῇ ὁδῷ τοῦ Κάϊν ἐπορεύθησαν, καὶ τῇ
わざわいです 彼らに なぜなら その 道を その カインの 歩みました そして その
G3759 G0846 G3754 G3588 G3598 G3588 G2535 G4198 G2532 G3588

πλάνῃ τοῦ Βαλαὰμ μισθοῦ ἐξεχύθησαν, καὶ τῇ ἀντιλογίᾳ τοῦ Κόρε
迷いに その バラムの 報酬のために 注ぎ-込みました そして その 反抗において その コラの
G4106 G3588 G0903 G3408 G1632 G2532 G3588 G0485 G3588 G2879

ἀπώλοντο.
滅びました
G0622

彼らはわざわいである。彼らはカインの道を行き、利のためにバラムの惑わしに迷い入り、コラのような反逆をして滅んでしまうのである。

12 Οὗτοί εἰσιν οἱ, ἐν ταῖς ἀγάπαις ὑμῶν, σπιλάδες;
この-者たちは ～です その ～において その 愛の-食事において あなたがたの 暗礁であり
G3778 G1510 G3588 G1722 G3588 G0026 G4771 G4694

συνευωχούμενοι ἀφόβως, ἑαυτοὺς ποιμαίνοντες; νεφέλαι ἄνυδροι, ὑπὸ
共に-宴しながら 恍れなく 自分-自身を 養う-者たちです 雲であり 水なき ～によって
G4910 G0870 G1438 G4165 G3507 G0504 G5259

ἀνέμων παραφερόμεναι, δένδρα φθινοπωρινὰ ἄκαρπα, δὶς ἀποθανόντα,
風によって 運ばれ 木であり 秋の 実なき 二度 死んだ
G0417 G3911 G1186 G5352 G0175 G1364 G0599

ἐκριζωθέντα;
根こぞぎに-された
G1610

彼らは、あなたがたの愛餐に加わるが、それを汚し、無遠慮に宴会に同席して、自分の腹を肥やしている。彼らは、いわば、風に吹きまわされる水なき雲、実らない枯れ果てて、抜き捨てられた秋の木、

13 κύματα 波であり G2949 ἄγρια 荒い G0066 θαλάσσης, 海の G2281 ἐπαφρίζοντα 泡立てる G1890 τὰς その G3588 ἑαυτῶν 自らの G1438 αἰσχύνας; 恥を G0152 ἀστέρες 星であり G0792 πλανῆται, さまよう G4107

οἷς その–者たちには G3739 ὁ その G3588 ζόφος 暗黒が G2217 τοῦ その G3588 σκότους 闇の G4655 εἰς ～まで G1519 αἰῶνα 永遠に G0165 τετήρηται. 保たれています G5083

自分の恥をあわにして出す海の荒波、さまよう星である。彼らには、まっくらなやみが永久に用意されている。

14 Προεφήτευσεν 預言しました G4395 δὲ また G1161 καὶ さらに G2532 τούτοις, この–者たちについて G3778 ἕβδομος 第七の–者である G1442 ἀπὸ ～から G0575 Ἀδὰμ, アダムから G0076

Ἐνὼχ, エノクが G1802 λέγων: 言って G3004 Ἰδοὺ, 見よ G3708 ἦλθεν 来られた G2064 Κύριος 主が G2962 ἐν ～において G1722 ἁγίαις 聖なる G0040 μυριάσιν 万の–者たちと G3461 αὐτοῦ, 主の G0846

アダムから七代目にあたるエノクも彼らについて預言して言った、「見よ、主は無数の聖徒たちを率いてこられた。

15 ποιῆσαι 行うために G4160 κρίσιν 裁きを G2920 κατὰ ～に–対して G2596 πάντων, すべての–者に–対して G3956 καὶ そして G2532 ἐλέγξαι 責めるために G1651 πάντας すべての G3956 τοὺς その G3588

ἀσεβεῖς, 不敬虔な–者たちを G0765 περὶ ～について G4012 πάντων すべての G3956 τῶν その G3588 ἔργων 行いの G2041 ἀσεβείας 不敬虔の G0763 αὐτῶν, 彼らの G0846 ὧν それを G3739

ἠσέβησαν, 不敬虔に–行った G0764 καὶ そして G2532 περὶ ～について G4012 πάντων すべての G3956 τῶν その G3588 σκληρῶν, 厳しい–ことの G4642 ὧν それを G3739 ἐλάλησαν 語った G2980

κατ’ ～に–対して G2596 αὐτοῦ 主に–対して G0846 ἁμαρτωλοὶ 罪人である G0268 ἀσεβεῖς. 不敬虔な–者たちが G0765

それは、すべての者にさばきを行うためであり、また、不信心な者が、信仰を無視して犯したすべての不信心なしわざと、さらに、不信心な罪人が主にそむいて語ったすべての暴言とを責めるためである」。

16 Οὗτοί この–者たちは G3778 εἰσιν ～です G1510 γογγυσταί, つぶやく–者であり G1113 μεμψίμοιροι, 不平を–言う–者であり G3202 κατὰ ～に–従って G2596 τὰς その G3588 ἐπιθυμίας 欲望に–従って G1939

αὐτῶν 彼らの G0846 πορευόμενοι; 歩む–者たちです G4198 καὶ そして G2532 τὸ その G3588 στόμα 口は G4750 αὐτῶν 彼らの G0846 λαλεῖ 語ります G2980 ὑπέρογκα, 高慢な–ことを G5246 θαυμάζοντες へつらいながら G2296

πρόσωπα, 人々を G4383 ὠφελείας 利益の G5622 χάριν. ために G5484

彼らは不平をならべ、不満を鳴らす者であり、自分の欲のままに生活し、その口は大言を吐き、利のために人にへつらう者である。

17 Ὑμεῖς δέ, ἀγαπητοί, μνήσθητε τῶν ῥημάτων τῶν
しかしあなたがたは けれども 愛する–者たちよ 思い–出しなさい その 言葉を その
G4771 G1161 G0027 G3403 G3588 G4487 G3588

προειρημένων, ὑπὸ τῶν ἀποστόλων τοῦ Κυρίου ἡμῶν, Ἰησοῦ Χριστοῦ,
予め–言われた ～によって その 使徒たちによって その 主の 私たちの イエス キリストの
G4302 G5259 G3588 G0652 G3588 G2962 G1473 G2424 G5547

愛する者たちよ。わたしたちの主イエス・キリストの使徒たちが予告した言葉を思い出しなさい。

18 ὅτι ἔλεγον ὑμῖν, [ὅτι] Ἐπ’ ἐσχάτου τοῦ χρόνου ἔσονται
～と 言っていた あなたがたに ～と ～において 終わりの その 時に いるでしょう
G3754 G3004 G4771 G3754 G1909 G2078 G3588 G5550 G1510

ἐμπαῖκται, κατὰ τὰς ἑαυτῶν ἐπιθυμίας πορευόμενοι, τῶν ἀσεβειῶν.
嘲る–者たちが ～に–従って その 自らの 欲望に–従って 歩む–者たちが その 不敬虔の
G1703 G2596 G3588 G1438 G1939 G4198 G3588 G0763

彼らはあなたがたにこう言った、「終りの時に、あざける者たちがあらわれて、自分の不信心な欲のままに生活するであろう」。

19 Οὗτοί εἰσιν οἱ ἀποδιορίζοντες, ψυχικοί, Πνεῦμα μὴ
この–者たちこそ ～です その 分裂させる–者たちであり 肉的な–者であり 御霊を ～ない
G3778 G1510 G3588 G0592 G5591 G4151 G3361

ἔχοντες.
持たない–者たちです
G2192

彼らは分派をつくる者、肉に属する者、御霊を持たない者たちである。

20 ὑμεῖς δέ, ἀγαπητοί, ἐποικοδομοῦντες ἑαυτοὺς, τῇ
しかしあなたがたは けれども 愛する–者たちよ 建て–上げながら 自分–自身を その
G4771 G1161 G0027 G2026 G1438 G3588

ἁγιωτάτῃ ὑμῶν πίστει ἐν Πνεύματι Ἁγίῳ προσευχόμενοι;
最も–聖なる あなたがたの 信仰において ～において 御霊において 聖なる 祈りながら
G0040 G4771 G4102 G1722 G4151 G0040 G4336

しかし、愛する者たちよ。あなたがたは、最も神聖な信仰の上に自らを築き上げ、聖霊によって祈り、

21 ἑαυτοὺς ἐν ἀγάπῃ Θεοῦ τηρήσατε, προσδεχόμενοι τὸ ἔλεος
自分–自身を ～において 愛において 神の 守りなさい 待ち–望みながら その あわれみを
G1438 G1722 G0026 G2316 G5083 G4327 G3588 G1656

τοῦ Κυρίου ἡμῶν, Ἰησοῦ Χριστοῦ, εἰς ζωὴν αἰώνιον.
その 主の 私たちの イエス キリストの ～への 命への 永遠の
G3588 G2962 G1473 G2424 G5547 G1519 G2222 G0166

神の愛の中に自らを保ち、永遠のいのちを目あてとして、わたしたちの主イエス・キリストのあわれみを待ち望みなさい。

22 καὶ οὓς μὲν ἐλεᾶτε, διακρινομένους;
そして その–者たちを 一方で あわれみなさい 疑う–者たちに
G2532 G3739 G3303 G1653 G1252

疑いをいだく人々があれば、彼らをあわれみ、

23

‹οὓς	δὲ›	σῴζετε,	ἐκ	πυρὸς	ἁρπάζοντες;	οὓς	δὲ
その–者たちを	他方で	救いなさい	～から	火から	引き–出して	その–者たちを	また
G3739	G1161	G4982	G1537	G4442	G0726	G3739	G1161

ἐλεᾶτε	ἐν	φόβῳ,	μισοῦντες	καὶ	τὸν	ἀπὸ	τῆς	σαρκὸς
あわれみなさい	～において	恐れにおいて	憐んで	さらに	その	～からの	その	肉からの
G1653	G1722	G5401	G3404	G2532	G3588	G0575	G3588	G4561

ἐσπιλωμένον	χιτῶνα.
汚れた	下着さえも
G4695	G5509

火の中から引き出して救ってやりなさい。また、そのほかの人たちを、おそれの心をもってあわれみなさい。しかし、肉に汚れた者に対しては、その下着さえも忌みきらいなさい。

24

Τῷ	δὲ	δυναμένῳ	φυλάξαι	ὑμᾶς	ἀπταίστους,	καὶ
その	しかし	能力ある–お方に	守ることのできる	あなたがたを	つまずくことから	そして
G3588	G1161	G1410	G5442	G4771	G0679	G2532

στῆσαι	κατενώπιον	τῆς	δόξης	αὐτοῦ,	ἀμώμους	ἐν
立たせることのできる	～の–前に	その	栄光の–前に	主の	傷なき–者として	～において
G2476	G2714	G3588	G1391	G0846	G0299	G1722

ἀγαλλιάσει,
大いなる–喜びにおいて
G0020

あなたがたを守ってつまずかない者とし、また、その栄光のまえに傷なき者として、喜びのうちに立たせて下さるかた、

25

μόνῳ	Θεῷ	Σωτῆρι	ἡμῶν,	διὰ	Ἰησοῦ	Χριστοῦ	τοῦ	Κυρίου
唯一の	神である	救い–主である	私たちの	～を–通して	イエス	キリスト	その	主の
G3441	G2316	G4990	G1473	G1223	G2424	G5547	G3588	G2962

ἡμῶν,	δόξα,	μεγαλωσύνη,	κράτος,	καὶ	ἐξουσία,	πρὸ	παντὸς	τοῦ
私たちの	栄光と	威光と	力と	そして	権威が	～の–前に	すべての	その
G1473	G1391	G3172	G2904	G2532	G1849	G4253	G3956	G3588

αἰῶνος	καὶ	νῦν,	καὶ	εἰς	πάντας	τοὺς	αἰῶνας.	ἀμήν.
世の–前に	そして	今も	そして	～まで	すべての	その	世々まで	アーメン
G0165	G2532	G3568	G2532	G1519	G3956	G3588	G0165	G0281

すなわち、わたしたちの救主なる唯一の神に、栄光、大能、力、権威が、わたしたちの主イエス・キリストによって、世々の初めにも、今も、また、世々限りなく、あるように、アァメン。

Revelation

Chapter 1

1 Ἀποκάλυψις Ἰησοῦ Χριστοῦ, ἣν ἔδωκεν αὐτῷ ὁ Θεός, δεῖξαι τοῖς
黙示 イエス キリストの それを 与えた 彼に – 神が 示すために その
G0602 G2424 G5547 G3739 G1325 G0846 G3588 G2316 G1166 G3588

δούλοις αὐτοῦ, ἃ δεῖ γενέσθαι ἐν τάχει. καὶ ἐσήμανεν,
しもべたちに 彼の やがて 必ず 起こるべき–ことを 速やかに – そして 知らせた
G1401 G0846 G3739 G1163 G1096 G1722 G5034 G2532 G4591

ἀποστείλας διὰ τοῦ ἀγγέλου αὐτοῦ, τῷ δούλῳ αὐτοῦ, Ἰωάννῃ,
遣わして 御使いを–通して – – 彼の その しもべ 彼の ヨハネに
G0649 G1223 G3588 G0032 G0846 G3588 G1401 G0846 G2491

イエス・キリストの黙示。この黙示は、神が、すぐにも起るべきことをその僕たちに示すためキリストに与え、そして、キリストが、御使をつかわして、僕ヨハネに伝えられたものである。

2 ὃς ἐμαρτύρησεν τὸν λόγον τοῦ Θεοῦ, καὶ τὴν μαρτυρίαν Ἰησοῦ
彼は 証しした – みことばを – 神の また – 証しを イエス
G3739 G3140 G3588 G3056 G3588 G2316 G2532 G3588 G3141 G2424

Χριστοῦ, ὅσα εἶδεν.
キリストの すべて 見たことを
G5547 G3745 G3708

ヨハネは、神の言とイエス・キリストのあかしと、すなわち、自分が見たすべてのことをあかしした。

3 Μακάριος ὁ ἀναγινώσκων, καὶ οἱ ἀκούοντες τοὺς λόγους τῆς
幸いである – 朗読する–者は また – 聞く–者たちも – 言葉を この
G3107 G3588 G0314 G2532 G3588 G0191 G3588 G3056 G3588

προφητείας, καὶ τηροῦντες τὰ ἐν αὐτῇ γεγραμμένα; ὁ γὰρ
預言の そして 守る–者たちも – そこに – 書かれていることを – なぜなら
G4394 G2532 G5083 G3588 G1722 G0846 G1125 G3588 G1063

καιρὸς ἐγγύς.
時が 近いからだ
G2540 G1451

この預言の言葉を朗読する者と、これを聞いて、その中に書かれていることを守る者たちとは、さいわいである。時が近づいているからである。

4 Ἰωάννης ταῖς ἑπτὰ ἐκκλησίαις ταῖς ἐν τῇ Ἀσίᾳ: χάρις ὑμῖν
ヨハネから – 七つの 教会へ – – – アジアにある 恵みと あなたがたに
G2491 G3588 G2033 G1577 G3588 G1722 G3588 G0773 G5485 G4771

καὶ εἰρήνη, ἀπὸ ὁ ὢν καὶ ὁ ἦν καὶ ὁ
– 平安が–あるように – – おられる–方 – – おられた–方 また –
G2532 G1515 G0575 G3588 G1510 G2532 G3588 G1510 G2532 G3588

ἐρχόμενος; καὶ ἀπὸ τῶν ἑπτὰ Πνευμάτων, ἃ ἐνώπιον τοῦ
来られる–方から そして – – 七つの 御霊から それらは 御前に–ある –
G2064 G2532 G0575 G3588 G2033 G4151 G3739 G1799 G3588

θρόνου αὐτοῦ;
御座の 彼の
G2362 G0846

ヨハネからアジヤにある七つの教会へ。今いまし、昔いまし、やがてきたるべきかたから、また、その御座の前にある七つの霊から、

5 καὶ ἀπὸ Ἰησοῦ Χριστοῦ, ὁ μάρτυς ὁ πιστός, ὁ πρωτότοκος τῶν
また – イエス キリストから – 証人 – 忠実な – 初子 –
G2532 G0575 G2424 G5547 G3588 G3144 G3588 G4103 G3588 G4416 G3588

νεκρῶν. καὶ ὁ ἄρχων τῶν βασιλέων τῆς γῆς. Τῷ
死者の–中からの そして – 支配者 – 王たちの – 地の –
G3498 G2532 G3588 G0758 G3588 G0935 G3588 G1093 G3588

ἀγαπῶντι ἡμᾶς, καὶ λύσαντι ἡμᾶς ἐκ τῶν ἁμαρτιῶν
愛してくださる–方に 私たちを そして 解放してくださった–方に 私たちを – – 罪から
G0025 G1473 G2532 G3089 G1473 G1537 G3588 G0266

ἡμῶν, ἐν τῷ αἵματι αὐτοῦ,
私たちの – その 血によって 彼の
G1473 G1722 G3588 G0129 G0846

また、忠実な証人、死人の中から最初に生れた者、地上の諸王の支配者であるイエス・キリストから、恵みと平安とが、あなたがたにあるように。わたしたちを愛し、その血によってわたしたちを罪から解放し、

6 καὶ ἐποίησεν ἡμᾶς βασιλείαν, ἱερεῖς τῷ Θεῷ καὶ Πατρὶ
そして 造ってくださった 私たちを 王国と 祭司とに – 神に–仕える すなわち 父に
G2532 G4160 G1473 G0932 G2409 G3588 G2316 G2532 G3962

αὐτοῦ: αὐτῷ ἡ δόξα, καὶ τὸ κράτος εἰς τοὺς αἰῶνας τῶν
彼の 彼に – 栄光と – – 力とが – – 世々 –
G0846 G0846 G3588 G1391 G2532 G3588 G2904 G1519 G3588 G0165 G3588

αἰώνων. ἀμήν.
限りなく–あるように アーメン
G0165 G0281

わたしたちを、その父なる神のために、御国の民とし、祭司として下さったかたに、世々限りなく栄光と権力とがあるように、アァメン。

7 Ἰδοὺ, ἔρχεται μετὰ τῶν νεφελῶν, καὶ ὄψεται αὐτὸν πᾶς ὀφθαλμὸς,
見よ 来られる – – 雲に-乗って そして 見るであろう 彼を すべての 目が
G3708 G2064 G3326 G3588 G3507 G2532 G3708 G0846 G3956 G3788

καὶ οἵτινες αὐτὸν ἐξεκέντησαν, καὶ κόψονται ἐπ' αὐτὸν πᾶσαι
– 彼を-刺した – 者たちも そして 嘆くであろう – 彼のゆえに すべての
G2532 G3748 G0846 G1574 G2532 G2875 G1909 G0846 G3956

αἱ φυλαὶ τῆς γῆς. ναί, ἀμήν.
– 部族が – 地の まことに アーメン
G3588 G5443 G3588 G1093 G3483 G0281

見よ、彼は、雲に乗ってこられる。すべての人の目、ことに、彼を刺しとおした者たちは、彼を仰ぎ見るであろう。また地上の諸族はみな、彼のゆえに胸を打って嘆くであろう。しかり、アァメン。

8 Ἐγώ εἰμι τὸ Ἄλφα καὶ τὸ Ὦ, {ἀρχὴ καὶ τέλος}
わたしは – – アルファ であり – オメガである 初めであり – 終わりである
G1473 G1510 G3588 G0001 G2532 G3588 G5598 G0746 G2532 G5056

λέγει Κύριος ὁ Θεός, ὁ ὢν, καὶ ὁ ἦν, καὶ ὁ
言われる 主 – 神は – おられる-方 – – おられた-方 そして –
G3004 G2962 G3588 G2316 G3588 G1510 G2532 G3588 G1510 G2532 G3588

ἐρχόμενος, ὁ Παντοκράτωρ.
来られる-方 – 全能者である
G2064 G3588 G3841

今いまし、昔いまし、やがてきたるべき者、全能者にして主なる神が仰せになる、「わたしはアルパであり、オメガである」。

9 Ἐγὼ Ἰωάννης, ὁ ἀδελφὸς ὑμῶν, καὶ συνκοινωνὸς ἐν τῇ
私 ヨハネは – 兄弟であり あなたがたの – 共に-あずかる-者 – –
G1473 G2491 G3588 G0080 G4771 G2532 G4791 G1722 G3588

θλίψει, καὶ βασιλείᾳ, καὶ ὑπομονῇ, ἐν Ἰησοῦ, ἐγενόμην ἐν τῇ
苦難と – 王国と – 忍耐を – イエスにある – – –
G2347 G2532 G0932 G2532 G5281 G1722 G2424 G1096 G1722 G3588

νήσῳ τῇ καλουμένῃ Πάτμῳ, διὰ τὸν λόγον τοῦ Θεοῦ, καὶ
島に-いた – 呼ばれる パトモスと – – みことばの-ゆえに – 神の また
G3520 G3588 G2564 G3963 G1223 G3588 G3056 G3588 G2316 G2532

τὴν μαρτυρίαν Ἰησοῦ.
– 証しの-ゆえに イエスの
G3588 G3141 G2424

あなたがたの兄弟であり、共にイエスの苦難と御国と忍耐とにあずかっている、わたしヨハネは、神の言とイエスのあかしとのゆえに、パトモスという島にいた。

10 ἐγενόμην ἐν Πνεύματι ἐν τῇ κυριακῇ ἡμέρᾳ, καὶ ἤκουσα
御霊に-捕らえられた – – – – 主の 日に すると 聞いた
G1096 G1722 G4151 G1722 G3588 G2960 G2250 G2532 G0191

ὀπίσω μου φωνὴν μεγάλην, ὡς σάλπιγγος,
後ろで 私の 大きな-声を – ラッパの-ような –
G3694 G1473 G5456 G3173 G5613 G4536

ところが、わたしは、主の日に御霊に感じた。そして、わたしのうしろの方で、ラッパのような大きな声がするのを聞いた。

11 λεγούσης, {Ἐγώ ἐιμι τὸ A καὶ τὸ Ω ὁ πρῶτος
言う-声が わたしは - - アルファ であり - オメガである - 最初の-者
G3004 G1473 G1510 G3588 G0001 G2532 G3588 G5598 G3588 G4413

καὶ ὁ ἔσχατος; καὶ}, Ὃ βλέπεις γράψον εἰς βιβλίον, καὶ
であり - 最後の-者である そして あなたが 見ることを 書き記して - 巻物に-して -
G2532 G3588 G2078 G2532 G3739 G0991 G1125 G1519 G0975 G2532

πέμψον ταῖς ἑπτὰ ἐκκλησίαις: εἰς Ἔφεσον, καὶ εἰς Σμύρναν, καὶ εἰς
送りなさい - 七つの 教会に - エペソに - - スミルナに - -
G3992 G3588 G2033 G1577 G1519 G2181 G2532 G1519 G4667 G2532 G1519

Πέργαμον, καὶ εἰς Θυάτειρα, καὶ εἰς Σάρδεις, καὶ εἰς
ペルガモンに - - テアティラに - - サルディスに - -
G4010 G2532 G1519 G2363 G2532 G1519 G4554 G2532 G1519

Φιλαδέλφειαν, καὶ εἰς Λαοδίκειαν.
フィラデルフィアに - - ラオディキアに
G5359 G2532 G1519 G2993

その声はこう言った、「あなたが見ていることを書きものにして、それをエペソ、スミルナ、ペルガモ、テアテラ、サルデス、ヒラデルヒヤ、ラオデキヤにある七つの教会に送りなさい」。

12 Καὶ ἐπέστρεψα βλέπειν τὴν φωνὴν ἥτις ἐλάλει μετ’ ἐμοῦ. καὶ
そして 振り向いた 見ようと その 声を それは 語っていた - 私に すると
G2532 G1994 G0991 G3588 G5456 G3748 G2980 G3326 G1473 G2532

ἐπιστρέψας, εἶδον ἑπτὰ λυχνίας χρυσᾶς,
振り向いて 見た 七つの 燭台を 金の
G1994 G3708 G2033 G3087 G5552

そこでわたしは、わたしに呼びかけたその声を見ようとしてふりむいた。ふりむくと、七つの金の燭台が目についた。

13 καὶ ἐν μέσῳ τῶν λυχνιῶν, ὅμοιον υἱὸν ἀνθρώπου, ἐνδεδυμένον
そして - 真ん中に - 燭台の 似た-方が-おられた 人の 子に 身に-まとい
G2532 G1722 G3319 G3588 G3087 G3664 G5207 G0444 G1746

ποδήρη, καὶ περιεζωσμένον πρὸς τοῖς μαστοῖς, ζώνην χρυσᾶν.
足まで-届く-衣を そして 胸に-締めておられた - - 胸に 帯を 金の
G4158 G2532 G4024 G4314 G3588 G3149 G2223 G5552

それらの燭台の間に、足までたれた上着を着、胸に金の帯をしめている人の子のような者がいた。

14 ἡ δὲ κεφαλὴ αὐτοῦ καὶ αἱ τρίχες λευκαὶ, ὡς ἔριον, λευκόν
- また 頭と 彼の - - 髪は 白く - 羊毛のように 白く
G3588 G1161 G2776 G0846 G2532 G3588 G2359 G3022 G5613 G2053 G3022

ὡς χιών; καὶ οἱ ὀφθαλμοὶ αὐτοῦ ὡς φλὸξ πυρός;
雪の-ように - そして その 目は 彼の - 炎の-ようであった 火の
G5613 G5510 G2532 G3588 G3788 G0846 G5613 G5395 G4442

そのかしらと髪の毛とは、雪のように白い羊毛に似て真白であり、目は燃える炎のようであった。

15 καὶ οἱ πόδες αὐτοῦ ὅμοιοι χαλκολιβάνῳ, ὡς ἐν καμίνῳ
そして その 足は 彼の 似ていた 輝く-真鍮に - - 炉の-中で
G2532 G3588 G4228 G0846 G3664 G5474 G5613 G1722 G2575

πεπυρωμένης; καὶ ἡ φωνὴ αὐτοῦ, ὡς φωνὴ ὑδάτων πολλῶν;
精錬された-ような そして その 声は 彼の - 大水の - 音の-ようであった
G4448 G2532 G3588 G5456 G0846 G5613 G5456 G5204 G4183

その足は、炉で精錬されて光り輝くしんちゅうのようであり、声は大水のとどろきのようであった。

16												
καὶ	ἔχων	ἐν	τῇ	δεξιᾷ	χειρὶ	αὐτοῦ,	ἀστέρας	ἑπτά,	καὶ	ἐκ
そして	持っておられ	–	その	右の	手に	彼の	星を	七つ	また	–
G2532	G2192	G1722	G3588	G1188	G5495	G0846	G0792	G2033	G2532	G1537

τοῦ	στόματος	αὐτοῦ,	ῥομφαία	δίστομος	ὀξεῖα,	ἐκπορευομένη;	καὶ	ἡ	ὄψις
その	口から	彼の	剣が	両刃の	鋭い	出ていた	そして	その	顔は
G3588	G4750	G0846	G4501	G1366	G3691	G1607	G2532	G3588	G3799

αὐτοῦ,	ὡς	ὁ	ἥλιος	φαίνει	ἐν	τῇ	δυνάμει	αὐτοῦ.
彼の	–	–	太陽が	輝く–ように	–	その	力で	彼の
G0846	G5613	G3588	G2246	G5316	G1722	G3588	G1411	G0846

その右手に七つの星を持ち、口からは、鋭いもろ刃のつるぎがつき出ており、顔は、強く照り輝く太陽のようであった。

17									
Καὶ	ὅτε	εἶδον	αὐτόν,	ἔπεσα	πρὸς	τοὺς	πόδας	αὐτοῦ,	ὡς
そして	–	見た–とき	彼を	倒れた	–	その	足もとに	彼の	死んだ–者の–ように
G2532	G3753	G3708	G0846	G4098	G4314	G3588	G4228	G0846	G5613

νεκρός.	καὶ	ἔθηκεν	τὴν	δεξιὰν	αὐτοῦ	ἐπ’	ἐμὲ,	λέγων	Μὴ
–	すると	置かれた	その	右の–手を	彼の	–	私の–上に	言われた	恐れる–な
G3498	G2532	G5087	G3588	G1188	G0846	G1909	G1473	G3004	G3361

φοβοῦ;	ἐγώ	εἰμι	ὁ	πρῶτος	καὶ	ὁ	ἔσχατος;
–	わたしは	–	–	最初の–者	であり	–	最後の–者である
G5399	G1473	G1510	G3588	G4413	G2532	G3588	G2078

わたしは彼を見たとき、その足もとに倒れて死人のようになった。すると、彼は右手をわたしの上において言った、「恐れるな。わたしは初めであり、終りであり、

18								
καὶ	ὁ	Ζῶν.	καὶ	ἐγενόμην	νεκρὸς,	καὶ	ἰδοὺ
すなわち	–	生きている–者である	–	死んだ–ことがある	–	しかし	見よ
G2532	G3588	G2198	G2532	G1096	G3498	G2532	G3708

ζῶν	εἰμι	εἰς	τοὺς	αἰῶνας	τῶν	αἰώνων,	καὶ	ἔχω	τὰς	κλεῖς
生きている	–	–	–	世々	–	限りなく	そして	持っている	–	鍵を
G2198	G1510	G1519	G3588	G0165	G3588	G0165	G2532	G2192	G3588	G2807

τοῦ	θανάτου.	καὶ	τοῦ	ᾅδου.
–	死と	–	–	よみの
G3588	G2288	G2532	G3588	G0086

また、生きている者である。わたしは死んだことはあるが、見よ、世々限りなく生きている者である。そして、死と黄泉とのかぎを持っている。

19										
γράψον	οὖν	ἃ	εἶδες,	καὶ	ἃ	εἰσὶν,	καὶ	ἃ	μέλλει
書き記せ	それゆえ	あなたが	見たことを	また	今	あることを	また	やがて	起ころうと
G1125	G3767	G3739	G3708	G2532	G3739	G1510	G2532	G3739	G3195

γενέσθαι	μετὰ	ταῦτα.
していることを	この–後に	–
G1096	G3326	G3778

そこで、あなたの見たこと、現在のこと、今後起ろうとすることを、書きとめなさい。

20 τὸ μυστήριον τῶν ἑπτὰ ἀστέρων, οὓς εἶδες ἐπὶ τῆς δεξιᾶς
– 奥義は – 七つの 星と あなたが 見た – – 右の–手にある
G3588 G3466 G3588 G2033 G0792 G3739 G3708 G1909 G3588 G1188

μου, καὶ τὰς ἑπτὰ λυχνίας τὰς χρυσᾶς: οἱ ἑπτὰ ἀστέρες, ἄγγελοι
私の また – 七つの 燭台について – 金の – 七つの 星は 御使いである
G1473 G2532 G3588 G2033 G3087 G3588 G5552 G3588 G2033 G0792 G0032

τῶν ἑπτὰ ἐκκλησιῶν εἰσίν; καὶ αἱ λυχνίαι αἱ ἑπτά, ἑπτὰ ἐκκλησίαι
– 七つの 教会の – そして – 燭台は – 七つの – 教会である
G3588 G2033 G1577 G1510 G2532 G3588 G3087 G3588 G2033 G2033 G1577

εἰσίν.
–
G1510

あなたがわたしの右手に見た七つの星と、七つの金の燭台との奥義は、こうである。すなわち、七つの星は七つの教会の御使であり、七つの燭台は七つの教会である。

Chapter 2

1 Τῷ ἀγγέλῳ τῆς ἐν Ἐφέσῳ ἐκκλησίας γράψον: Τάδε λέγει
– 御使いに – – エペソにある 教会の 書き記せ これらのことを 言われる
G3588 G0032 G3588 G1722 G2181 G1577 G1125 G3592 G3004

ὁ κρατῶν τοὺς ἑπτὰ ἀστέρας ἐν τῇ δεξιᾷ αὐτοῦ, ὁ
– 保っておられる–方 – 七つの 星を – その 右の–手に 彼の –
G3588 G2902 G3588 G2033 G0792 G1722 G3588 G1188 G0846 G3588

περιπατῶν ἐν μέσῳ τῶν ἑπτὰ λυχνιῶν τῶν χρυσῶν:
歩っておられる–方 – 真ん中を – 七つの 燭台の – 金の
G4043 G1722 G3319 G3588 G2033 G3087 G3588 G5552

エペソにある教会の御使に、こう書きおくりなさい。『右の手に七つの星を持つ者、七つの金の燭台の間を歩く者が、次のように言われる。

2 Οἶδα τὰ ἔργα σου, καὶ τὸν κόπον καὶ τὴν ὑπομονήν σου,
知っている – 行いを あなたの また – 労苦と – – 忍耐を あなたの
G1492 G3588 G2041 G4771 G2532 G3588 G2873 G2532 G3588 G5281 G4771

καὶ ὅτι οὐ δύῃ βαστάσαι κακούς; καὶ ἐπείρασας τοὺς
また – 容認–できないことを – 耐えることが 悪い–者たちを また 試した –
G2532 G3754 G3756 G1410 G0941 G2556 G2532 G3985 G3588

λέγοντας ἑαυτοὺς ἀποστόλους καὶ οὐκ εἰσίν, καὶ εὗρες αὐτοὺς
自らを–名乗る – 使徒と しかし そう–ではない – そして 見いだした 彼らを
G3004 G1438 G0652 G2532 G3756 G1510 G2532 G2147 G0846

ψευδεῖς;
偽りであると
G5571

わたしは、あなたのわざと労苦と忍耐とを知っている。また、あなたが、悪い者たちをゆるしておくことができず、使徒と自称してはいるが、その実、使徒でない者たちをためしてみて、にせ者であると見抜いたことも、知っている。

3

καὶ	ὑπομονὴν	ἔχεις,	καὶ	ἐβάστασας	διὰ	τὸ	ὄνομά	μου	καὶ
また	忍耐を	持っており	–	耐えてきた	–	その	名の-ゆえに	私の	そして
G2532	G5281	G2192	G2532	G0941	G1223	G3588	G3686	G1473	G2532

οὐ,	κεκοπίακες.
疲れ-果てていない	–
G3756	G2872

あなたは忍耐をし続け、わたしの名のために忍びとおして、弱り果てることがなかった。

4

ἀλλὰ	ἔχω	κατὰ	σοῦ,	ὅτι	τὴν	ἀγάπην	σου	τὴν	πρώτην,
しかし	責める-ことがある	–	あなたに	–	その	愛を	あなたの	–	初めの
G0235	G2192	G2596	G4771	G3754	G3588	G0026	G4771	G3588	G4413

ἀφῆκες.
捨てたことを
G0863

しかし、あなたに対して責むべきことがある。あなたは初めの愛から離れてしまった。

5

μνημόνευε	οὖν	πόθεν	πέπτωκας,	καὶ	μετανόησον,	καὶ	τὰ	πρῶτα
思い出せ	それゆえ	どこから	落ちたかを	そして	悦い改めて	–	その	初めの
G3421	G3767	G4159	G4098	G2532	G3340	G2532	G3588	G4413

ἔργα	ποίησον.	εἰ	δὲ	μή,	ἔρχομαί	σοι,	καὶ	κινήσω	τὴν
行いを	行いなさい	もし	–	そうしないなら	行く	あなたのもとに	そして	動かす	その
G2041	G4160	G1487	G1161	G3361	G2064	G4771	G2532	G2795	G3588

λυχνίαν	σου	ἐκ	τοῦ	τόπου	αὐτῆς,	ἐὰν	μὴ	μετανοήσῃς.
燭台を	あなたの	–	その	場所から	それの	もし	–	悦い改めないなら
G3087	G4771	G1537	G3588	G5117	G0846	G1437	G3361	G3340

そこで、あなたはどこから落ちたかを思い起し、悔い改めて初めのわざを行いなさい。もし、そうしないで悔い改めなければ、わたしはあなたのところにきて、あなたの燭台をその場所から取りのけよう。

6

ἀλλὰ	τοῦτο	ἔχεις,	ὅτι	μισεῖς	τὰ	ἔργα	τῶν	Νικολαϊτῶν,	ἃ
しかし	これが-ある	–	–	憧んでいることを	その	行いを	–	ニコライ派の	それを
G0235	G3778	G2192	G3754	G3404	G3588	G2041	G3588	G3531	G3739

κἀγὼ	μισῶ.
私も	憧んでいる
G2504	G3404

しかし、こういうことはある、あなたはニコライ宗の人々のわざを憎んでおり、わたしもそれを憎んでいる。

7

Ὁ	ἔχων	οὖς,	ἀκουσάτω	τί	τὸ	Πνεῦμα	λέγει	ταῖς	ἐκκλησίαις.
–	耳の-ある	–	聞きなさい	何を	–	御霊が	言われるかを	–	教会に
G3588	G2192	G3775	G0191	G5101	G3588	G4151	G3004	G3588	G1577

Τῷ	νικῶντι,	δώσω	αὐτῷ	φαγεῖν	ἐκ	τοῦ	ξύλου	τῆς	ζωῆς,	ὅ
–	勝利する-者に	与える	彼に	食べることを	–	その	木から	–	いのちの	それは
G3588	G3528	G1325	G0846	G5315	G1537	G3588	G3586	G3588	G2222	G3739

ἐστιν	ἐν	τῷ	Παραδείσῳ	τοῦ	Θεοῦ.
ある	–	その	楽園に	–	神の
G1510	G1722	G3588	G3857	G3588	G2316

耳のある者は、御霊が諸教会に言うことを聞くがよい。勝利を得る者には、神のパラダイスにあるいのちの木の実を食べることをゆるそう』。

8 Καὶ τῷ ἀγγέλῳ τῆς ἐν Σμύρνῃ ἐκκλησίας γράψον: Τάδε
また – 御使いに – – スミルナにある 教会の 書き記せ これらのことを
G2532 G3588 G0032 G3588 G1722 G4667 G1577 G1125 G3592

λέγει ὁ πρῶτος καὶ ὁ ἔσχατος, ὃς ἐγένετο νεκρὸς καὶ
言われる – 最初の–方 であり – 最後の–方 かつて 死んだ–が – そして
G3004 G3588 G4413 G2532 G3588 G2078 G3739 G1096 G3498 G2532

ἔζησεν:
生き返った–方
G2198

スミルナにある教会の御使に、こう書きおくりなさい。『初めであり、終りである者、死んだことはあるが生き返った者が、次のように言われる。

9 Οἶδά σου τὴν θλῖψιν καὶ τὴν πτωχείαν -- ἀλλὰ πλούσιος εἶ --
知っている あなたの – 苦難と – – 貧しさを しかし 豊かである –
G1492 G4771 G3588 G2347 G2532 G3588 G4432 G0235 G4145 G1510

καὶ τὴν βλασφημίαν ἐκ τῶν λεγόντων Ἰουδαίους εἶναι ἑαυτούς, καὶ
また – 中傷を – – 自らを–名乗る ユダヤ人と – 者たちからの しかし
G2532 G3588 G0988 G1537 G3588 G3004 G2453 G1510 G1438 G2532

οὐκ εἰσίν, ἀλλὰ συναγωγὴ τοῦ Σατανᾶ.
そう–ではない – それは 会堂である – サタンの
G3756 G1510 G0235 G4864 G3588 G4567

わたしは、あなたの苦難や、貧しさを知っている（しかし実際は、あなたは富んでいるのだ）。また、ユダヤ人と自称してはいるが、その実ユダヤ人でなくてサタンの会堂に属する者たちにそしられていることも、わたしは知っている。

10 μηδὲν φοβοῦ ἃ μέλλεις πάσχειν. ἰδοὺ, μέλλει βάλλειν ὁ
何も 恐れるな あなたが やがて 苦しむことを 見よ やがて 投げ入れる –
G3367 G5399 G3739 G3195 G3958 G3708 G3195 G0906 G3588

διάβολος ἐξ ὑμῶν εἰς φυλακὴν, ἵνα πειρασθῆτε; καὶ
悪魔が – あなたがたの–中から – 牢に – 試されるために そして
G1228 G1537 G4771 G1519 G5438 G2443 G3985 G2532

ἕξετε θλῖψιν ἡμερῶν δέκα. γίνου πιστὸς ἄχρι θανάτου,
受けるであろう 苦難を 日の–間 十 忠実で–ありなさい – 死に–至るまで –
G2192 G2347 G2250 G1176 G1096 G4103 G0891 G2288

καὶ δώσω σοι τὸν στέφανον τῆς ζωῆς.
そうすれば 与える あなたに – 冠を – いのちの
G2532 G1325 G4771 G3588 G4735 G3588 G2222

あなたの受けようとする苦しみを恐れてはならない。見よ、悪魔が、あなたがたのうちのある者をためすために、獄に入れようとしている。あなたがたは十日の間、苦難にあうであろう。死に至るまで忠実であれ。そうすれば、いのちの冠を与えよう。

11 Ὁ ἔχων οὖς, ἀκουσάτω τί τὸ Πνεῦμα λέγει ταῖς ἐκκλησίαις.
– 耳の–ある – 聞きなさい 何を – 御霊が 言われるかを – 教会に
G3588 G2192 G3775 G0191 G5101 G3588 G4151 G3004 G3588 G1577

Ὁ νικῶν οὐ μὴ ἀδικηθῇ ἐκ τοῦ θανάτου τοῦ δευτέρου.
– 勝利する–者は 決して – 害を–受けない – その 死から – 第二の
G3588 G3528 G3756 G3361 G0091 G1537 G3588 G2288 G3588 G1208

耳のある者は、御霊が諸教会に言うことを聞くがよい。勝利を得る者は、第二の死によって滅ぼされることはない』。

12 Καὶ τῷ ἀγγέλῳ τῆς ἐν Περγάμῳ ἐκκλησίας γράψον: Τάδε
また – 御使いに – – ペルガモンにある 教会の 書き記せ これらのことを
G2532 G3588 G0032 G3588 G1722 G4010 G1577 G1125 G3592

λέγει ὁ ἔχων τὴν ῥομφαίαν τὴν δίστομον τὴν ὀξεῖαν:
言われる – 持っておられる–方 – 剣を – 両刃の – 鋭い
G3004 G3588 G2192 G3588 G4501 G3588 G1366 G3588 G3691

ペルガモにある教会の御使に、こう書きおくりなさい。『鋭いもろ刃のつるぎを持っているかたが、次のように言われる。

13 Οἶδα ποῦ κατοικεῖς, ὅπου ὁ θρόνος τοῦ Σατανᾶ; καὶ
知っている どこに 住んでいるかを そこに – 座がある – サタンの それでも
G1492 G4226 G2730 G3699 G3588 G2362 G3588 G4567 G2532

κρατεῖς τὸ ὄνομά μου, καὶ οὐκ ἠρνήσω τὴν πίστιν μου,
固く–保っている – 名を 私の そして 否定–しなかった – – 信仰を 私の
G2902 G3588 G3686 G1473 G2532 G3756 G0720 G3588 G4102 G1473

καὶ ἐν ταῖς ἡμέραις Ἀντιπᾶς, ὁ μάρτυς μου, ὁ πιστός μου
– – その 日々においても アンティパスは – 証人 私の – 忠実な 私の
G2532 G1722 G3588 G2250 G0493 G3588 G3144 G1473 G3588 G4103 G1473

ὃς ἀπεκτάνθη παρ’ ὑμῖν, ὅπου ὁ Σατανᾶς κατοικεῖ.
彼は 殺された – あなたがたの–中で そこで – サタンが 住んでいる
G3739 G0615 G3844 G4771 G3699 G3588 G4567 G2730

わたしはあなたの住んでいる所を知っている。そこにはサタンの座がある。あなたは、わたしの名を堅く持ちつづけ、わたしの忠実な証人アンテパスがサタンの住んでいるあなたがたの所で殺された時でさえ、わたしに対する信仰を捨てなかった。

14 ἀλλ’ ἔχω κατὰ σοῦ ὀλίγα; ὅτι ἔχεις ἐκεῖ κρατοῦντας
しかし 責める–ことがある – あなたに 少し – 持っている そこに 固守する–者たちを
G0235 G2192 G2596 G4771 G3641 G3754 G2192 G1563 G2902

τὴν διδαχὴν Βαλαάμ, ὃς ἐδίδασκεν τῷ Βαλὰκ βαλεῖν σκάνδαλον
– 教えを バラムの 彼は 教えた – バラクに 置くことを つまずきの–石を
G3588 G1322 G0903 G3739 G1321 G3588 G0904 G0906 G4625

ἐνώπιον τῶν υἱῶν Ἰσραήλ, φαγεῖν εἰδωλόθυτα, καὶ πορνεῦσαι.
前に – 子らの イスラエルの 食べることを 偶像に–供えた–ものを また 淫行を–行うことを
G1799 G3588 G5207 G2474 G5315 G1494 G2532 G4203

しかし、あなたに対して責むべきことが、少しばかりある。あなたがたの中には、現にバラムの教を奉じている者がある。バラムは、バラクに教え込み、イスラエルの子らの前に、つまずきになるものを置かせて、偶像にささげたものを食べさせ、また不品行をさせたのである。

15 οὕτως ἔχεις καὶ σὺ, κρατοῦντας τὴν διδαχὴν τῶν Νικολαϊτῶν
同様に 持っている また あなたも 固守する–者たちを – 教えの – ニコライ派の
G3779 G2192 G2532 G4771 G2902 G3588 G1322 G3588 G3531

ὁμοίως.
同様に
G3668

同じように、あなたがたの中には、ニコライ宗の教を奉じている者もいる。

16 μετανόησον οὖν! εἰ δὲ μή, ἔρχομαί σοι ταχύ, καὶ
悦い改めよ それゆえ もし – そうしないなら 行く あなたのもとに すぐに そして
G3340 G3767 G1487 G1161 G3361 G2064 G4771 G5035 G2532

πολεμήσω μετ’ αὐτῶν ἐν τῇ ῥομφαίᾳ, τοῦ στόματός μου.
戦う – 彼らと – その 剣で – 口の 私の
G4170 G3326 G0846 G1722 G3588 G4501 G3588 G4750 G1473

だから、悔い改めなさい。そうしないと、わたしはすぐにあなたのところに行き、わたしの口のつるぎをもって彼らと戦おう。

17 Ὁ ἔχων οὖς, ἀκουσάτω τί τὸ Πνεῦμα λέγει ταῖς ἐκκλησίαις.
– 耳の–ある 聞きなさい 何を – 御霊が 言われるかを – 教会に
G3588 G2192 G3775 G0191 G5101 G3588 G4151 G3004 G3588 G1577

Τῷ νικῶντι, δώσω αὐτῷ τοῦ μάννα τοῦ κεκρυμμένου; καὶ δώσω αὐτῷ
– 勝利する–者に 与える 彼に – マナを – 隠された また 与える 彼に
G3588 G3528 G1325 G0846 G3588 G3131 G3588 G2928 G2532 G1325 G0846

ψῆφον λευκήν, καὶ ἐπὶ τὴν ψῆφον ὄνομα καινὸν γεγραμμένον, ὃ οὐδεὶς
石を 白い そして – その 石には 名が 新しい 書かれている それを 誰も
G5586 G3022 G2532 G1909 G3588 G5586 G3686 G2537 G1125 G3739 G3762

οἶδεν, εἰ μὴ ὁ λαμβάνων.
知らない – ただ – 受ける–者のみ
G1492 G1487 G3361 G3588 G2983

耳のある者は、御霊が諸教会に言うことを聞くがよい。勝利を得る者には、隠されているマナを与えよう。また、白い石を与えよう。この石の上には、これを受ける者のほかだれも知らない新しい名が書いてある』。

18 Καὶ τῷ ἀγγέλῳ τῆς ἐν Θυατείροις ἐκκλησίας γράψον: Τάδε
また – 御使いに – – テアティラにある 教会の 書き記せ これらのことを
G2532 G3588 G0032 G3588 G1722 G2363 G1577 G1125 G3592

λέγει ὁ Υἱὸς τοῦ Θεοῦ, ὁ ἔχων τοὺς ὀφθαλμοὺς αὐτοῦ
言われる – 子 – 神の – 持っておられる–方 その 目は 彼の
G3004 G3588 G5207 G3588 G2316 G3588 G2192 G3588 G3788 G0846

ὡς φλόγα πυρός, καὶ οἱ πόδες αὐτοῦ ὅμοιοι χαλκολιβάνῳ.
– 炎の–ようであり 火の また その 足は 彼の 似ている 輝く–真鍮に
G5613 G5395 G4442 G2532 G3588 G4228 G0846 G3664 G5474

テアテラにある教会の御使に、こう書きおくりなさい。『燃える炎のような目と光り輝くしんちゅうのような足とを持った神の子が、次のように言われる。

19 Οἶδά σου τὰ ἔργα, καὶ τὴν ἀγάπην, καὶ τὴν πίστιν, καὶ τὴν
知っている あなたの – 行いと – – 愛と – – 信仰と – –
G1492 G4771 G3588 G2041 G2532 G3588 G0026 G2532 G3588 G4102 G2532 G3588

διακονίαν, καὶ τὴν ὑπομονήν σου; καὶ τὰ ἔργα σου, τὰ
奉仕と – – 忍耐を あなたの そして その 行いは あなたの –
G1248 G2532 G3588 G5281 G4771 G2532 G3588 G2041 G4771 G3588

ἔσχατα πλείονα τῶν πρώτων.
最近の–ものが 多い – 初めの–ものより
G2078 G4119 G3588 G4413

わたしは、あなたのわざと、あなたの愛と信仰と奉仕と忍耐とを知っている。また、あなたの後のわざが、初めのよりもまさっていることを知っている。

20 ἀλλὰ ἔχω κατὰ σοῦ ὅτι ἀφεῖς τὴν γυναῖκα
しかし 責める–ことがある – あなたに – 放置していることを その 女を
G0235 G2192 G2596 G4771 G3754 G0863 G3588 G1135

Ἰεζάβελ, ἡ λέγουσα ἑαυτὴν προφῆτιν, καὶ διδάσκει καὶ πλανᾷ
イゼベルを – 自らを–名乗る – 女預言者と そして 教え また 惑わしている
G2403 G3588 G3004 G1438 G4398 G2532 G1321 G2532 G4105

τοὺς ἐμοὺς δούλους πορνεῦσαι, καὶ φαγεῖν εἰδωλόθυτα.
– 私の しもべたちを 淫行を–行わせ また 食べさせている 偶像に–供えた–ものを
G3588 G1699 G1401 G4203 G2532 G5315 G1494

しかし、あなたに対して責むべきことがある。あなたは、あのイゼベルという女を、そのなすがままにさせている。この女は女預言者と自称し、わたしの僕たちを教え、惑わして、不品行をさせ、偶像にささげたものを食べさせている。

21 καὶ ἔδωκα αὐτῇ χρόνον ἵνα μετανοήσῃ, καὶ οὐ θέλει
そして 与えた 彼女に 時を – 悦い改めるために しかし – 望まない
G2532 G1325 G0846 G5550 G2443 G3340 G2532 G3756 G2309

μετανοῆσαι ἐκ τῆς πορνείας αὐτῆς.
悦い改めることを – その 淫行から 彼女の
G3340 G1537 G3588 G4202 G0846

わたしは、この女に悔い改めるおりを与えたが、悔い改めてその不品行をやめようとはしない。

22 ἰδοὺ, βάλλω αὐτὴν εἰς κλίνην, καὶ τοὺς μοιχεύοντας μετ’
見よ 投げ入れる 彼女を – 床に また – 姦淫を–行う–者たちを –
G3708 G0906 G0846 G1519 G2825 G2532 G3588 G3431 G3326

αὐτῆς εἰς θλῖψιν μεγάλην, ἐὰν μὴ μετανοήσωσιν ἐκ τῶν ἔργων
彼女と–共に – 苦難に 大きな もし – 悦い改めないなら – その 行いから
G0846 G1519 G2347 G3173 G1437 G3361 G3340 G1537 G3588 G2041

αὐτῆς.
彼女の
G0846

見よ、わたしはこの女を病の床に投げ入れる。この女と姦淫する者をも、悔い改めて彼女のわざから離れなければ、大きな患難の中に投げ入れる。

23 καὶ τὰ τέκνα αὐτῆς ἀποκτενῶ ἐν θανάτῳ; καὶ γνώσονται πᾶσαι
そして その 子らを 彼女の 打ち殺す – 死をもって そうすれば 知るであろう すべての
G2532 G3588 G5043 G0846 G0615 G1722 G2288 G2532 G1097 G3956

αἱ ἐκκλησίαι, ὅτι ἐγώ εἰμι ὁ ἐραυνῶν νεφροὺς καὶ καρδίας;
– 教会が – 私が – – 探る–者であることを 心と – 思いを
G3588 G1577 G3754 G1473 G1510 G3588 G2045 G3510 G2532 G2588

καὶ δώσω ὑμῖν ἑκάστῳ κατὰ τὰ ἔργα ὑμῶν.
そして 与える あなたがたに 各自に – その 行いに–応じて あなたがたの
G2532 G1325 G4771 G1538 G2596 G3588 G2041 G4771

また、この女の子供たちをも打ち殺そう。こうしてすべての教会は、わたしが人の心の奥底までも探り知る者であることを悟るであろう。そしてわたしは、あなたがたひとりびとりのわざに応じて報いよう。

24 ὑμῖν δὲ λέγω, τοῖς λοιποῖς τοῖς ἐν Θυατείροις, ὅσοι
あなたがたに しかし 言う – 残りの–者たちに – – テアティラにいる すべての
G4771 G1161 G3004 G3588 G3062 G3588 G1722 G2363 G3745

οὐκ ἔχουσιν τὴν διδαχὴν ταύτην, οἵτινες οὐκ ἔγνωσαν τὰ
– 持っていない–者たち – 教えを この すなわち – 知らなかった–者たち –
G3756 G2192 G3588 G1322 G3778 G3748 G3756 G1097 G3588

βαθέα τοῦ Σατανᾶ, ὡς λέγουσιν; οὐ βάλλω ἐφ’ ὑμᾶς
深い–ことを – サタンの いわゆる 言う–ところの – 負わせない – あなたがたに
G0901 G3588 G4567 G5613 G3004 G3756 G0906 G1909 G4771

ἄλλο βάρος.
他の 重荷を
G0243 G0922

また、テアテラにいるほかの人たちで、まだあの女の教を受けておらず、サタンの、いわゆる「深み」を知らないあなたがたに言う。わたしは別にほかの重荷を、あなたがたに負わせることはしない。

25 πλὴν ὃ ἔχετε, κρατήσατε ἄχρι οὗ ἂν ἥξω.
ただ 持っている–ものを – 固く–保ちなさい – – 私が 来るまで
G4133 G3739 G2192 G2902 G0891 G3739 G0302 G2240

ただ、わたしが来る時まで、自分の持っているものを堅く保っていなさい。

26 Καὶ ὁ νικῶν καὶ ὁ τηρῶν ἄχρι τέλους τὰ ἔργα μου,
そして – 勝利する–者 そして – 守る–者に – 終わりまで – 行いを 私の
G2532 G3588 G3528 G2532 G3588 G5083 G0891 G5056 G3588 G2041 G1473

δώσω αὐτῷ ἐξουσίαν ἐπὶ τῶν ἐθνῶν,
与える 彼に 権威を – – 諸国民の–上に
G1325 G0846 G1849 G1909 G3588 G1484

勝利を得る者、わたしのわざを最後まで持ち続ける者には、諸国民を支配する権威を授ける。

27 καὶ ποιμανεῖ αὐτοὺς ἐν ῥάβδῳ σιδηρᾷ, ὡς τὰ σκεύη τὰ
そして 治めるであろう 彼らを – 杖で 鉄の – – 器の–ように –
G2532 G4165 G0846 G1722 G4464 G4603 G5613 G3588 G4632 G3588

κεραμικὰ συντρίβεται; ὡς κἀγὼ εἴληφα παρὰ τοῦ Πατρός. μου
土の 砕かれる 私が–もまた – 受けた–ように – – 父から 私の
G2764 G4937 G5613 G2504 G2983 G3844 G3588 G3962 G1473

彼は鉄のつえをもって、ちょうど土の器を砕くように、彼らを治めるであろう。それは、わたし自身が父から権威を受けて治めるのと同様である。

28 καὶ δώσω αὐτῷ τὸν ἀστέρα τὸν πρωϊνόν.
また 与える 彼に – 星を – 明けの
G2532 G1325 G0846 G3588 G0792 G3588 G4407

わたしはまた、彼に明けの明星を与える。

29 Ὁ ἔχων οὖς, ἀκουσάτω τί τὸ Πνεῦμα λέγει ταῖς ἐκκλησίαις.
– 耳の–ある – 聞きなさい 何を – 御霊が 言われるかを – 教会に
G3588 G2192 G3775 G0191 G5101 G3588 G4151 G3004 G3588 G1577

耳のある者は、御霊が諸教会に言うことを聞くがよい』。

Chapter 3

1 Καὶ τῷ ἀγγέλῳ τῆς ἐν Σάρδεσιν ἐκκλησίας γράψον: Τάδε
また – 御使いに – – サルディスにある 教会の 書き記せ これらのことを
G2532 G3588 G0032 G3588 G1722 G4554 G1577 G1125 G3592

λέγει ὁ ἔχων τὰ ἑπτὰ Πνεύματα τοῦ Θεοῦ, καὶ τοὺς ἑπτὰ
言われる – 持っておられる–方 – 七つの 御霊と – 神の また – 七つの
G3004 G3588 G2192 G3588 G2033 G4151 G3588 G2316 G2532 G3588 G2033

ἀστέρας. Οἶδά σου τὰ ἔργα, ὅτι ὄνομα ἔχεις ὅτι ζῇς,
星を 知っている あなたの – 行いを – 名が–ある – – 生きているという
G0792 G1492 G4771 G3588 G2041 G3754 G3686 G2192 G3754 G2198

καὶ νεκρὸς εἶ.
しかし 死んでいる –
G2532 G3498 G1510

サルデスにある教会の御使に、こう書きおくりなさい。『神の七つの霊と七つの星とを持つかたが、次のように言われる。わたしはあなたのわざを知っている。すなわち、あなたは、生きているというのは名だけで、実は死んでいる。

2 γίνου γρηγορῶν, καὶ στήρισον τὰ λοιπὰ, ἃ
目を–覚ませ – そして 強めよ – 残りの–ものを それらは
G1096 G1127 G2532 G4741 G3588 G3062 G3739

ἔμελλον ἀποθανεῖν; οὐ γὰρ εὕρηκά σου ‹τὰ› ἔργα
死ぬる–ところであった – – なぜなら 見いだしていない あなたの – 行いを
G3195 G0599 G3756 G1063 G2147 G4771 G3588 G2041

πεπληρωμένα ἐνώπιον τοῦ Θεοῦ μου.
完全なものと 御前に – 神の 私の
G4137 G1799 G3588 G2316 G1473

目をさましていて、死にかけている残りの者たちを力づけなさい。わたしは、あなたのわざが、わたしの神のみまえに完全であるとは見ていない。

3 μνημόνευε οὖν πῶς εἴληφας καὶ ἤκουσας -- καὶ τήρει καὶ
思い出せ それゆえ どのように 受けたかを また 聞いたかを そして 守りなさい そして
G3421 G3767 G4459 G2983 G2532 G0191 G2532 G5083 G2532

μετανόησον. ἐὰν οὖν μὴ γρηγορήσῃς, ἥξω ὡς κλέπτης, καὶ
悦い改めよ もし – – 目を–覚まさないなら 行く 盗人の–ように – そして
G3340 G1437 G3767 G3361 G1127 G2240 G5613 G2812 G2532

οὐ μὴ γνῷς ποίαν ὥραν ἥξω ἐπὶ σέ.
決して – 知らないであろう いつ – 行くかを – あなたの–もとに
G3756 G3361 G1097 G4169 G5610 G2240 G1909 G4771

だから、あなたが、どのようにして受けたか、また聞いたかを思い起して、それを守りとおし、かつ悔い改めなさい。もし目をさましていないなら、わたしは盗人のように来るであろう。どんな時にあなたのところに来るか、あなたには決してわからない。

4 ἀλλὰ ἔχεις ὀλίγα ὀνόματα ἐν Σάρδεσιν, ἃ οὐκ ἐμόλυναν
しかし 持っている 少しの 名の–者を – サルディスに その–者たちは – 汚さなかった
G0235 G2192 G3641 G3686 G1722 G4554 G3739 G3756 G3435

τὰ ἱμάτια αὐτῶν, καὶ περιπατήσουσιν μετ’ ἐμοῦ ἐν λευκοῖς, ὅτι
その 衣を 彼らの そして 歩くであろう – 私と–共に – 白い–衣で なぜなら
G3588 G2440 G0846 G2532 G4043 G3326 G1473 G1722 G3022 G3754

ἄξιοί εἰσιν.
ふさわしい–者である –
G0514 G1510

しかし、サルデスにはその衣を汚さない人が、数人いる。彼らは白い衣を着て、わたしと共に歩みを続けるであろう。彼らは、それにふさわしい者である。

5

Ὁ	νικῶν,	οὕτως	περιβαλεῖται	ἐν	ἱματίοις	λευκοῖς;	καὶ	οὐ
–	勝利する–者は	このように	被せられる	–	衣を	白い	そして	決して
G3588	G3528	G3779	G4016	G1722	G2440	G3022	G2532	G3756

μὴ	ἐξαλείψω	τὸ	ὄνομα	αὐτοῦ	ἐκ	τῆς	βίβλου	τῆς	ζωῆς,	καὶ
–	消さない	その	名を	彼の	–	–	書から	–	いのちの	そして
G3361	G1813	G3588	G3686	G0846	G1537	G3588	G0976	G3588	G2222	G2532

ὁμολογήσω	τὸ	ὄνομα	αὐτοῦ	ἐνώπιον	τοῦ	Πατρός	μου,	καὶ	ἐνώπιον	τῶν
言い–表す	–	名を	彼の	御前で	–	父の	私の	また	御前で	–
G3670	G3588	G3686	G0846	G1799	G3588	G3962	G1473	G2532	G1799	G3588

ἀγγέλων	αὐτοῦ.
御使いたちの	彼の
G0032	G0846

勝利を得る者は、このように白い衣を着せられるのである。わたしは、その名をいのちの書から消すようなことを、決してしない。また、わたしの父と御使たちの前で、その名を言いあらわそう。

6

Ὁ	ἔχων	οὖς,	ἀκουσάτω	τί	τὸ	Πνεῦμα	λέγει	ταῖς	ἐκκλησίαις.
–	耳の–ある	–	聞きなさい	何を	–	御霊が	言われるかを	–	教会に
G3588	G2192	G3775	G0191	G5101	G3588	G4151	G3004	G3588	G1577

耳のある者は、御霊が諸教会に言うことを聞くがよい』。

7

Καὶ	τῷ	ἀγγέλῳ	τῆς	ἐν	Φιλαδελφείᾳ	ἐκκλησίας	γράψον:
また	–	御使いに	–	–	フィラデルフィアにある	教会の	書き記せ
G2532	G3588	G0032	G3588	G1722	G5359	G1577	G1125

Τάδε	λέγει	ὁ	ἅγιος,	ὁ	ἀληθινός;	ὁ	ἔχων	τὴν
これらのことを	言われる	–	聖なる–方	–	真実なる–方	–	持っておられる–方	–
G3592	G3004	G3588	G0040	G3588	G0228	G3588	G2192	G3588

κλεῖν	Δαυίδ;	ὁ	ἀνοίγων,	καὶ	οὐδεὶς	κλείσει;	καὶ	κλείων,	καὶ
鍵を	ダビデの	–	開ければ	–	誰も	閉じることができず	–	閉じれば	–
G2807	G1138	G3588	G0455	G2532	G3762	G2808	G2532	G2808	G2532

οὐδεὶς	ἀνοίγει.
誰も	開けることができない
G3762	G0455

ヒラデルヒヤにある教会の御使に、こう書きおくりなさい。『聖なる者、まことなる者、ダビデのかぎを持つ者、開けばだれにも閉じられることがなく、閉じればだれにも開かれることのない者が、次のように言われる。

8

Οἶδά	σου	τὰ	ἔργα.	ἰδοὺ,	δέδωκα	ἐνώπιόν	σου	θύραν	ἠνεῳγμένην,
知っている	あなたの	–	行いを	見よ	置いた	前に	あなたの	扉を	開かれた
G1492	G4771	G3588	G2041	G3708	G1325	G1799	G4771	G2374	G0455

ἣν	οὐδεὶς	δύναται	κλεῖσαι	αὐτήν,	ὅτι	μικρὰν	ἔχεις	δύναμιν,	καὶ
それを	誰も	できない	閉じることが	それを	なぜなら	小さな	持っている	力を	そして
G3739	G3762	G1410	G2808	G0846	G3754	G3398	G2192	G1411	G2532

ἐτήρησάς	μου	τὸν	λόγον,	καὶ	οὐκ	ἠρνήσω	τὸ	ὄνομά	μου.
守った	私の	–	言葉を	そして	–	否定–しなかった	–	名を	私の
G5083	G1473	G3588	G3056	G2532	G3756	G0720	G3588	G3686	G1473

わたしは、あなたのわざを知っている。見よ、わたしは、あなたの前に、だれも閉じることのできない門を開いておいた。なぜなら、あなたには少ししか力がなかったにもかかわらず、わたしの言葉を守り、わたしの名を否まなかったからである。

9	ἰδοὺ,	διδῶ	ἐκ	τῆς	συναγωγῆς	τοῦ	Σατανᾶ,	τῶν	λεγόντων	ἑαυτοὺς
	見よ	与える	–	–	会堂から	–	サタンの	–	自らを–名乗る	–
	G3708	G1325	G1537	G3588	G4864	G3588	G4567	G3588	G3004	G1438

Ἰουδαίους	εἶναι,	καὶ	οὐκ	εἰσὶν,	ἀλλὰ	ψεύδονται;	ἰδοὺ,	ποιήσω		
ユダヤ人と	–	しかし	そう–ではなく	–	そうではなく	偽っている	見よ	させる		
G2453	G1510	G2532	G3756	G1510	G0235	G5574	G3708	G4160		

αὐτοὺς,	ἵνα	ἥξουσιν	καὶ	προσκυνήσουσιν	ἐνώπιον	τῶν	ποδῶν	σου,	καὶ
彼らを	–	来て	–	ひれ伏すように	前に	–	足の	あなたの	そして
G0846	G2443	G2240	G2532	G4352	G1799	G3588	G4228	G4771	G2532

γνῶσιν	ὅτι	ἐγὼ	ἠγάπησά	σε.
知るように	–	私が	愛したことを	あなたを
G1097	G3754	G1473	G0025	G4771

見よ、サタンの会堂に属する者、すなわち、ユダヤ人と自称してはいるが、その実ユダヤ人でなくて、偽る者たちに、こうしよう。見よ、彼らがあなたの足もとにきて平伏するようにし、そして、わたしがあなたを愛していることを、彼らに知らせよう。

10	ὅτι	ἐτήρησας	τὸν	λόγον	τῆς	ὑπομονῆς	μου,	κἀγώ	σε	τηρήσω
	なぜなら	守った	–	言葉を	–	忍耐の	私の	私もまた	あなたを	守る
	G3754	G5083	G3588	G3056	G3588	G5281	G1473	G2504	G4771	G5083

ἐκ	τῆς	ὥρας	τοῦ	πειρασμοῦ	τῆς	μελλούσης	ἔρχεσθαι	ἐπὶ	τῆς
–	その	時から	–	試練の	–	やがて–来る	–	–	–
G1537	G3588	G5610	G3588	G3986	G3588	G3195	G2064	G1909	G3588

οἰκουμένης	ὅλης,	πειράσαι	τοὺς	κατοικοῦντας	ἐπὶ	τῆς	γῆς.	
世界の–上に	全体の	試すために	–	住む–者たちを	–	–	地の–上に	
G3625	G3650	G3985	G3588	G2730	G1909	G3588	G1093	

忍耐についてのわたしの言葉をあなたが守ったから、わたしも、地上に住む者たちをためすために、全世界に臨もうとしている試錬の時に、あなたを防ぎ守ろう。

11	ἔρχομαι	ταχύ.	κράτει	ὃ	ἔχεις,	ἵνα	μηδεὶς	λάβῃ	
	来る	すぐに	固く–保ちなさい	持っている–ものを	–	–	誰にも	取られない–ように	
	G2064	G5035	G2902	G3739	G2192	G2443	G3367	G2983	

τὸν	στέφανόν	σου.
その	冠を	あなたの
G3588	G4735	G4771

わたしは、すぐに来る。あなたの冠がだれにも奪われないように、自分の持っているものを堅く守っていなさい。

12 Ὁ νικῶν, ποιήσω αὐτὸν στῦλον ἐν τῷ ναῷ τοῦ Θεοῦ
– 勝利する–者を 造る 彼を 柱と – その 神殿において – 神の
G3588 G3528 G4160 G0846 G4769 G1722 G3588 G3485 G3588 G2316

μου, καὶ ἔξω οὐ μὴ ἐξέλθῃ ἔτι; καὶ γράψω ἐπ’ αὐτὸν
私の そして 外に 決して – 出ないであろう もはや そして 書く – 彼の–上に
G1473 G2532 G1854 G3756 G3361 G1831 G2089 G2532 G1125 G1909 G0846

τὸ ὄνομα τοῦ Θεοῦ μου, καὶ τὸ ὄνομα τῆς πόλεως τοῦ Θεοῦ μου,
– 名を – 神の 私の また – 名を – 都の – 神の 私の
G3588 G3686 G3588 G2316 G1473 G2532 G3588 G3686 G3588 G4172 G3588 G2316 G1473

τῆς καινῆς Ἰερουσαλήμ, ἡ καταβαίνουσα ἐκ τοῦ οὐρανοῦ ἀπὸ τοῦ
– 新しい エルサレムの それは 下って–来る – – 天から – –
G3588 G2537 G2419 G3588 G2597 G1537 G3588 G3772 G0575 G3588

Θεοῦ μου, καὶ τὸ ὄνομά μου τὸ καινόν.
神の–もとから 私の また – 名を 私の – 新しい
G2316 G1473 G2532 G3588 G3686 G1473 G3588 G2537

勝利を得る者を、わたしの神の聖所における柱にしよう。彼は決して二度と外へ出ることはない。そして彼の上に、わたしの神の御名と、わたしの神の都、すなわち、天とわたしの神のみもとから下ってくる新しいエルサレムの名と、わたしの新しい名とを、書きつけよう。

13 Ὁ ἔχων οὖς, ἀκουσάτω τί τὸ Πνεῦμα λέγει ταῖς ἐκκλησίαις.
– 耳の–ある – 聞きなさい 何を – 御霊が 言われるかを – 教会に
G3588 G2192 G3775 G0191 G5101 G3588 G4151 G3004 G3588 G1577

耳のある者は、御霊が諸教会に言うことを聞くがよい』。

14 Καὶ τῷ ἀγγέλῳ τῆς ἐν Λαοδικείᾳ ἐκκλησίας γράψον: Τάδε
また – 御使いに – – ラオディキアにある 教会の 書き記せ これらのことを
G2532 G3588 G0032 G3588 G1722 G2993 G1577 G1125 G3592

λέγει ὁ Ἀμήν, ὁ μάρτυς ὁ πιστὸς καὶ (ὁ) ἀληθινός,
言われる – アーメンである–方 – 証人 – 忠実な また – 真実なる–方
G3004 G3588 G0281 G3588 G3144 G3588 G4103 G2532 G3588 G0228

ἡ ἀρχὴ τῆς κτίσεως τοῦ Θεοῦ.
– 初め – 被造物の – 神の
G3588 G0746 G3588 G2937 G3588 G2316

ラオデキヤにある教会の御使に、こう書きおくりなさい。『アァメンたる者、忠実な、まことの証人、神に造られたものの根源であるかたが、次のように言われる。

15 Οἶδά σου τὰ ἔργα, ὅτι οὔτε ψυχρὸς εἶ οὔτε ζεστός;
知っている あなたの – 行いを – 冷たくもない – – 熱くもない –
G1492 G4771 G3588 G2041 G3754 G3777 G5593 G1510 G3777 G2200

ὄφελον ψυχρὸς ἦς ἢ ζεστός.
いっそ 冷たいか – または 熱い–かであればよいのに
G3785 G5593 G1510 G2228 G2200

わたしはあなたのわざを知っている。あなたは冷たくもなく、熱くもない。むしろ、冷たいか熱いかであってほしい。

16 οὕτως ὅτι χλιαρὸς εἶ, καὶ οὔτε ζεστὸς, οὔτε
そのように – なまぬるい–であるから – そして 熱くもない – 冷たくもない
G3779 G3754 G5513 G1510 G2532 G3777 G2200 G3777

ψυχρός, μέλλω σε ἐμέσαι ἐκ τοῦ στόματός μου.
– やがて あなたを 吐き出す – その 口から 私の
G5593 G3195 G4771 G1692 G1537 G3588 G4750 G1473

このように、熱くもなく、冷たくもなく、なまぬるいので、あなたを口から吐き出そう。

17 ὅτι λέγεις, ὅτι Πλούσιός εἰμι, καὶ πεπλούτηκα, καὶ οὐδὲν
なぜなら 言っている – 豊かである – そして 富んでいる そして 何も
G3754 G3004 G3754 G4145 G1510 G2532 G4147 G2532 G3762

χρείαν ἔχω, καὶ οὐκ οἶδας ὅτι σὺ εἶ ὁ ταλαίπωρος,
必要な–ものは ないと しかし – 知らない – あなたが – – 惨めであり
G5532 G2192 G2532 G3756 G1492 G3754 G4771 G1510 G3588 G5005

καὶ ἐλεεινὸς, καὶ πτωχὸς, καὶ τυφλὸς, καὶ γυμνός.
– 哀れであり – 貧しく – 盲目で – 裸であることを
G2532 G1652 G2532 G4434 G2532 G5185 G2532 G1131

あなたは、自分は富んでいる、豊かになった、なんの不自由もないと言っているが、実は、あなた自身がみじめな者、あわれむべき者、貧しい者、目の見えない者、裸な者であることに気がついていない。

18 συμβουλεύω σοι ἀγοράσαι παρ’ ἐμοῦ χρυσίον πεπυρωμένον ἐκ πυρὸς,
勧める あなたに 買うことを – 私から 金を 精錬された – 火で
G4823 G4771 G0059 G3844 G1473 G5553 G4448 G1537 G4442

ἵνα πλουτήσῃς; καὶ ἱμάτια λευκὰ, ἵνα περιβάλῃ, καὶ μὴ
– 豊かになるために また 衣を 白い – 身に–まとうために そして –
G2443 G4147 G2532 G2440 G3022 G2443 G4016 G2532 G3361

φανερωθῇ ἡ αἰσχύνη τῆς γυμνότητός σου; καὶ κολλούριον
あらわに–ならないために – 恥が – 裸の あなたの また 目薬を
G5319 G3588 G0152 G3588 G1132 G4771 G2532 G2854

ἐγχρῖσαι τοὺς ὀφθαλμούς σου, ἵνα βλέπῃς.
塗りなさい – 目に あなたの – 見えるために
G1472 G3588 G3788 G4771 G2443 G0991

そこで、あなたに勧める。富む者となるために、わたしから火で精錬された金を買い、また、あなたの裸の恥をさらさないため身に着けるように、白い衣を買いなさい。また、見えるようになるため、目にぬる目薬を買いなさい。

19 ἐγὼ ὅσους ἐὰν φιλῶ, ἐλέγχω καὶ παιδεύω; ζήλευε οὖν
私は すべての–者を – 愛する–者を 戒め また 訓練する 熱心に–なりなさい それゆえ
G1473 G3745 G1437 G5368 G1651 G2532 G3811 G2206 G3767

καὶ μετανόησον.
そして 悦い改めよ
G2532 G3340

すべてわたしの愛している者を、わたしはしかったり、懲らしめたりする。だから、熱心になって悔い改めなさい。

20 Ἰδοὺ, ἕστηκα ἐπὶ τὴν θύραν καὶ κρούω; ἐάν τις ἀκούσῃ
見よ 立っている – その 扉の–ところに そして 叩いている もし 誰かが 聞き
G3708 G2476 G1909 G3588 G2374 G2532 G2925 G1437 G5100 G0191

τῆς φωνῆς μου καὶ ἀνοίξῃ τὴν θύραν, ‹καὶ› εἰσελεύσομαι πρὸς
– 声を 私の そして 開けるなら その 扉を – 入る –
G3588 G5456 G1473 G2532 G0455 G3588 G2374 G2532 G1525 G4314

αὐτὸν, καὶ δειπνήσω μετ’ αὐτοῦ, καὶ αὐτὸς μετ’ ἐμοῦ.
彼の–もとに そして 食事を–共にする – 彼と また 彼も – 私と
G0846 G2532 G1172 G3326 G0846 G2532 G0846 G3326 G1473

見よ、わたしは戸の外に立って、たたいている。だれでもわたしの声を聞いて戸をあけるなら、わたしはその中にはいって彼と食を共にし、彼もまたわたしと食を共にするであろう。

21 Ὁ νικῶν, δώσω αὐτῷ καθίσαι μετ’ ἐμοῦ ἐν τῷ θρόνῳ μου,
– 勝利する–者に 与える 彼に 座ることを – 私と–共に – その 座に 私の
G3588 G3528 G1325 G0846 G2523 G3326 G1473 G1722 G3588 G2362 G1473

ὡς κἀγὼ ἐνίκησα, καὶ ἐκάθισα μετὰ τοῦ Πατρός μου, ἐν τῷ
私が–もまた – 勝利して – 座った–ように – その 父と–共に 私の – その
G5613 G2504 G3528 G2532 G2523 G3326 G3588 G3962 G1473 G1722 G3588

θρόνῳ αὐτοῦ.
座に 彼の
G2362 G0846

勝利を得る者には、わたしと共にわたしの座につかせよう。それはちょうど、わたしが勝利を得てわたしの父と共にその御座についたのと同様である。

22 Ὁ ἔχων οὖς, ἀκουσάτω τί τὸ Πνεῦμα λέγει ταῖς ἐκκλησίαις.
– 耳の–ある – 聞きなさい 何を – 御霊が 言われるかを – 教会に
G3588 G2192 G3775 G0191 G5101 G3588 G4151 G3004 G3588 G1577

耳のある者は、御霊が諸教会に言うことを聞くがよい』」。

Chapter 4

1 Μετὰ ταῦτα εἶδον, καὶ ἰδοὺ, θύρα ἠνεῳγμένη ἐν τῷ οὐρανῷ, καὶ
この–後 – 見た すると 見よ 扉が 開かれた – その 天に そして
G3326 G3778 G3708 G2532 G3708 G2374 G0455 G1722 G3588 G3772 G2532

ἡ φωνὴ ἡ πρώτη ἣν ἤκουσα ὡς σάλπιγγος λαλούσης
その 声は – 初めの – 聞いた ラッパの–ように – 語りかける–声であった
G3588 G5456 G3588 G4413 G3739 G0191 G5613 G4536 G2980

μετ’ ἐμοῦ, λέγων, Ἀνάβα ὧδε, καὶ δείξω σοι ἃ δεῖ
– 私に 言った 上って–来なさい ここに そうすれば 見せる あなたに やがて 必ず
G3326 G1473 G3004 G0305 G5602 G2532 G1166 G4771 G3739 G1163

γενέσθαι μετὰ ταῦτα.
起こるべき–ことを この–後に –
G1096 G3326 G3778

その後、わたしが見ていると、見よ、開いた門が天にあった。そして、さきにラッパのような声でわたしに呼びかけるのを聞いた初めの声が、「ここに上ってきなさい。そうしたら、これから後に起るべきことを、見せてあげよう」と言った。

2 εὐθέως ἐγενόμην ἐν Πνεύματι; καὶ ἰδοὺ, θρόνος ἔκειτο ἐν
ただちに 御霊に-捕らえられた - - すると 見よ 座が 置かれていた -
G2112 G1096 G1722 G4151 G2532 G3708 G2362 G2749 G1722

τῷ οὐρανῷ, καὶ ἐπὶ τὸν θρόνον καθήμενος,
その 天に そして - その 座に 座っておられる-方が-いた
G3588 G3772 G2532 G1909 G3588 G2362 G2521

すると、たちまち、わたしは御霊に感じた。見よ、御座が天に設けられており、その御座にいますかたがあった。

3 καὶ ὁ καθήμενος, ὅμοιος ὁράσει λίθῳ ἰάσπιδι καὶ σαρδίῳ;
そして - 座っておられる-方は 似ていた 見た-目に 宝石に 碧玉と - 赤瑪瑙に
G2532 G3588 G2521 G3664 G3706 G3037 G2393 G2532 G4556

καὶ ἶρις κυκλόθεν τοῦ θρόνου, ὅμοιος ὁράσει σμαραγδίνῳ.
そして 虹が 回りに-あった - 座の 似ていた 見た-目に 緑玉に
G2532 G2463 G2943 G3588 G2362 G3664 G3706 G4664

その座にいますかたは、碧玉や赤めのうのように見え、また、御座のまわりには、緑玉のように見えるにじが現れていた。

4 καὶ κυκλόθεν τοῦ θρόνου, θρόνους εἴκοσι τέσσαρες; καὶ ἐπὶ τοὺς
また 回りに - 座の 座が-あった 二十 四の そして - その
G2532 G2943 G3588 G2362 G2362 G1501 G5064 G2532 G1909 G3588

θρόνους εἴκοσι τέσσαρας πρεσβυτέρους καθημένους, περιβεβλημένους ἐν ἱματίοις
座に 二十 四人の 長老が 座っていた 被せており - 衣を
G2362 G1501 G5064 G4245 G2521 G4016 G1722 G2440

λευκοῖς; καὶ ἐπὶ τὰς κεφαλὰς αὐτῶν, στεφάνους χρυσοῦς.
白い また - その 頭には 彼らの 冠が-あった 金の
G3022 G2532 G1909 G3588 G2776 G0846 G4735 G5552

また、御座のまわりには二十四の座があって、二十四人の長老が白い衣を身にまとい、頭に金の冠をかぶって、それらの座についていた。

5 καὶ ἐκ τοῦ θρόνου ἐκπορεύονται ἀστραπαὶ, καὶ φωναὶ, καὶ βρονταί.
そして - その 座から 出ていた 稲光と - 声と - 雷が
G2532 G1537 G3588 G2362 G1607 G0796 G2532 G5456 G2532 G1027

καὶ ἑπτὰ λαμπάδες πυρὸς καιόμεναι ἐνώπιον τοῦ θρόνου, ἅ εἰσιν
また 七つの 火の-たいまつが - 燃えていた 前に - 座の それらは -
G2532 G2033 G2985 G4442 G2545 G1799 G3588 G2362 G3739 G1510

τὰ ἑπτὰ Πνεύματα τοῦ Θεοῦ;
- 七つの 御霊である - 神の
G3588 G2033 G4151 G3588 G2316

御座からは、いなずまと、もろもろの声と、雷鳴とが、発していた。また、七つのともし火が、御座の前で燃えていた。これらは、神の七つの霊である。

6 καὶ ἐνώπιον τοῦ θρόνου ὡς θάλασσα ὑαλίνη, ὁμοία
また 前に - 座の - 海の-ようなものが-あった ガラスの 似た
G2532 G1799 G3588 G2362 G5613 G2281 G5193 G3664

κρυστάλλῳ. καὶ ἐν μέσῳ τοῦ θρόνου, καὶ κύκλῳ τοῦ θρόνου, τέσσαρα
水晶に また - 真ん中に - 座の また 回りに - 座の 四つの
G2930 G2532 G1722 G3319 G3588 G2362 G2532 G2945 G3588 G2362 G5064

ζῷα, γέμοντα ὀφθαλμῶν ἔμπροσθεν καὶ ὄπισθεν;
生き物が-いた 満ちていた 目で 前も - 後ろも
G2226 G1073 G3788 G1715 G2532 G3693

御座の前は、水晶に似たガラスの海のようであった。御座のそば近くそのまわりには、四つの生き物がいたが、その前にも後にも、一面に目がついていた。

7 καὶ そして G2532 | τὸ その G3588 | ζῷον 生き物は G2226 | τὸ – G3588 | πρῶτον, 第一の–ものは G4413 | ὅμοιον 似ていた G3664 | λέοντι; 獅子に G3023 | καὶ – G2532 | τὸ その G3588 | δεύτερον 第二の G1208

ζῷον, 生き物は G2226 | ὅμοιον 似ていた G3664 | μόσχῳ; 雄牛に G3448 | καὶ – G2532 | τὸ その G3588 | τρίτον 第三の G5154 | ζῷον, 生き物は G2226 | ἔχων 持っていた G2192 | τὸ – G3588 | πρόσωπον 顔を G4383

ὡς – G5613 | ἀνθρώπου; 人の–ような G0444 | καὶ – G2532 | τὸ その G3588 | τέταρτον 第四の G5067 | ζῷον, 生き物は G2226 | ὅμοιον 似ていた G3664 | ἀετῷ 鷲に G0105 | πετομένῳ. 飛んでいる G4072

第一の生き物はししのようであり、第二の生き物は雄牛のようであり、第三の生き物は人のような顔をしており、第四の生き物は飛ぶわしのようであった。

8 καὶ そして G2532 | τὰ その G3588 | τέσσαρα 四つの G5064 | ζῷα, 生き物は G2226 | ἓν 一つ–一つ G1520 | καθ’ – G2596 | ἓν – G1520 | αὐτῶν, それぞれに G0846 | ἔχων 持っていた G2192 | ἀνὰ それぞれ G0303

πτέρυγας 羽を G4420 | ἕξ; 六つの G1803 | κυκλόθεν 周りも G2943 | καὶ – G2532 | ἔσωθεν 内側も G2081 | γέμουσιν 満ちていた G1073 | ὀφθαλμῶν; 目で G3788 | καὶ そして G2532 | ἀνάπαυσιν 休みなく G0372

οὐκ – G3756 | ἔχουσιν 絶えず G2192 | ἡμέρας 昼も G2250 | καὶ – G2532 | νυκτὸς, 夜も G3571 | λέγοντες: 言っていた G3004 | Ἅγιος, 聖なるかな G0040 | ἅγιος, 聖なるかな G0040 | ἅγιος, 聖なるかな G0040 | Κύριος 主 G2962

ὁ – G3588 | Θεός 神 G2316 | ὁ – G3588 | Παντοκράτωρ, 全能者よ G3841 | ὁ – G3588 | ἦν, おられた–方 G1510 | καὶ – G2532 | ὁ – G3588 | ὢν, おられる–方 G1510 | καὶ そして G2532 | ὁ – G3588

ἐρχόμενος.
来られる–方よ
G2064

この四つの生き物には、それぞれ六つの翼があり、その翼のまわりも内側も目で満ちていた。そして、昼も夜も、絶え間なくこう叫びつづけていた、「聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、全能者にして主なる神。昔いまし、今いまし、やがてきたるべき者」。

9 Καὶ そして G2532 | ὅταν – G3752 | δώσουσιν 捧げるとき G1325 | τὰ その G3588 | ζῷα 生き物が G2226 | δόξαν, 栄光と G1391 | καὶ – G2532 | τιμὴν, 誉れと G5092 | καὶ – G2532 | εὐχαριστίαν, 感謝を G2169 | τῷ – G3588

καθημένῳ 座っておられる–方に G2521 | ἐπὶ – G1909 | τῷ その G3588 | θρόνῳ, 座に G2362 | τῷ – G3588 | ζῶντι 生きておられる–方に G2198 | εἰς – G1519 | τοὺς – G3588 | αἰῶνας 世々 G0165

τῶν – G3588 | αἰώνων, 限りなく G0165

これらの生き物が、御座にいまし、かつ、世々限りなく生きておられるかたに、栄光とほまれとを帰し、また、感謝をささげている時、

10 πεσοῦνται οἱ εἴκοσι τέσσαρες πρεσβύτεροι ἐνώπιον τοῦ καθημένου
ひれ伏す – 二十 四人の 長老が 御前に – 座っておられる–方の
G4098 G3588 G1501 G5064 G4245 G1799 G3588 G2521

ἐπὶ τοῦ θρόνου, καὶ προσκυνήσουσιν τῷ ζῶντι εἰς τοὺς
– その 座に そして 拝む – 生きておられる–方を – –
G1909 G3588 G2362 G2532 G4352 G3588 G2198 G1519 G3588

αἰῶνας τῶν αἰώνων, καὶ βαλοῦσιν τοὺς στεφάνους αὐτῶν ἐνώπιον τοῦ
世々 – 限りなく そして 投げ出す その 冠を 彼らの 御前に –
G0165 G3588 G0165 G2532 G0906 G3588 G4735 G0846 G1799 G3588

θρόνου, λέγοντες,
座の 言って
G2362 G3004

二十四人の長老は、御座にいますかたのみまえにひれ伏し、世々限りなく生きておられるかたを拝み、彼らの冠を御座のまえに、投げ出して言った、

11 Ἄξιος εἶ, ὁ Κύριος καὶ ὁ Θεὸς ἡμῶν, λαβεῖν τὴν δόξαν
ふさわしい – – 主よ また 私たちの 神よ – 受けることが – 栄光と
G0514 G1510 G3588 G2962 G2532 G3588 G2316 G1473 G2983 G3588 G1391

καὶ τὴν τιμὴν καὶ τὴν δύναμιν; ὅτι σὺ ἔκτισας τὰ πάντα,
– – 誉れと – – 力を なぜなら あなたが 造られた – すべての–ものを
G2532 G3588 G5092 G2532 G3588 G1411 G3754 G4771 G2936 G3588 G3956

καὶ διὰ τὸ θέλημά σου ἦσαν, καὶ ἐκτίσθησαν.
そして – その 御心に–よって あなたの 存在し – 造られた
G2532 G1223 G3588 G2307 G4771 G1510 G2532 G2936

「われらの主なる神よ、あなたこそは、栄光とほまれと力とを受けるにふさわしいかた。あなたは万物を造られました。御旨によって、万物は存在し、また造られたのであります」。

Chapter 5

1 Καὶ εἶδον ἐπὶ τὴν δεξιὰν τοῦ καθημένου ἐπὶ τοῦ θρόνου
そして 見た – その 右の–手に – 座っておられる–方の – その 座に
G2532 G3708 G1909 G3588 G1188 G3588 G2521 G1909 G3588 G2362

βιβλίον, γεγραμμένον ἔσωθεν καὶ ὄπισθεν, κατεσφραγισμένον σφραγῖσιν ἑπτά.
巻物を 書かれた 内側にも – 裏側にも 封印された 封印で 七つの
G0975 G1125 G2081 G2532 G3693 G2696 G4973 G2033

わたしはまた、御座にいますかたの右の手に、巻物があるのを見た。その内側にも外側にも字が書いてあって、七つの封印で封じてあった。

2 καὶ εἶδον ἄγγελον ἰσχυρὸν, κηρύσσοντα ἐν φωνῇ μεγάλῃ, Τίς ἄξιος
そして 見た 御使いを 力強い 告げている – 声で 大きな 誰が ふさわしいか
G2532 G3708 G0032 G2478 G2784 G1722 G5456 G3173 G5101 G0514

ἀνοῖξαι τὸ βιβλίον, καὶ λῦσαι τὰς σφραγῖδας αὐτοῦ?
開くのに その 巻物を そして 解くのに その 封印を その
G0455 G3588 G0975 G2532 G3089 G3588 G4973 G0846

また、ひとりの強い御使が、大声で、「その巻物を開き、封印をとくのにふさわしい者は、だれか」と呼ばわっているのを見た。

3 καὶ οὐδεὶς ἐδύνατο ἐν τῷ οὐρανῷ, οὐδὲ ἐπὶ τῆς γῆς, οὐδὲ
しかし 誰も できなかった – その 天にも – – – 地にも –
G2532 G3762 G1410 G1722 G3588 G3772 G3761 G1909 G3588 G1093 G3761

ὑποκάτω τῆς γῆς, ἀνοῖξαι τὸ βιβλίον, οὔτε βλέπειν αὐτό.
地の–下にも – – 開くことが その 巻物を また 見ることが それを
G5270 G3588 G1093 G0455 G3588 G0975 G3777 G0991 G0846

しかし、天にも地にも地の下にも、この巻物を開いて、それを見ることのできる者は、ひとりもいなかった。

4 καὶ ‹ἐγὼ› ἔκλαιον πολὺ, ὅτι οὐδεὶς ἄξιος εὑρέθη
そして 私は 激しく–泣いた – なぜなら 誰も ふさわしい–者が 見いだされなかった
G2532 G1473 G2799 G4183 G3754 G3762 G0514 G2147

ἀνοῖξαι τὸ βιβλίον, οὔτε βλέπειν αὐτό.
開くことが その 巻物を また 見ることが それを
G0455 G3588 G0975 G3777 G0991 G0846

巻物を開いてそれを見るのにふさわしい者が見当らないので、わたしは激しく泣いていた。

5 καὶ εἷς ἐκ τῶν πρεσβυτέρων λέγει, μοι, Μὴ κλαῖε. ἰδοὺ, ἐνίκησεν
すると 一人が – – 長老の–中から 言った 私に 泣く–な – 見よ 勝利した
G2532 G1520 G1537 G3588 G4245 G3004 G1473 G3361 G2799 G3708 G3528

ὁ Λέων ὁ ἐκ τῆς φυλῆς Ἰούδα, ἡ Ῥίζα Δαυίδ, ἀνοῖξαι
– 獅子が – – – ユダの – 根 ダビデの 開くことができる
G3588 G3023 G3588 G1537 G3588 G5443 G2448 G3588 G4491 G1138 G0455

τὸ βιβλίον, καὶ τὰς ἑπτὰ σφραγῖδας αὐτοῦ.
その 巻物と – その 七つの 封印を その
G3588 G0975 G2532 G3588 G2033 G4973 G0846

すると、長老のひとりがわたしに言った、「泣くな。見よ、ユダ族のしし、ダビデの若枝であるかたが、勝利を得たので、その巻物を開き七つの封印を解くことができる」。

6 Καὶ εἶδον, ἐν μέσῳ τοῦ θρόνου καὶ τῶν τεσσάρων ζῴων, καὶ
そして 見た – 真ん中に – 座と – – 四つの 生き物の –
G2532 G3708 G1722 G3319 G3588 G2362 G2532 G3588 G5064 G2226 G2532

ἐν μέσῳ τῶν πρεσβυτέρων, Ἀρνίον ἑστηκὸς ὡς ἐσφαγμένον,
– 真ん中に – 長老たちの 小羊が 立っていた – ほふられた–かのように
G1722 G3319 G3588 G4245 G0721 G2476 G5613 G4969

ἔχων κέρατα ἑπτὰ, καὶ ὀφθαλμοὺς ἑπτά, οἵ εἰσιν τὰ ἑπτὰ
持っていた 角を 七つの また 目を 七つの それらは – – 七つの
G2192 G2768 G2033 G2532 G3788 G2033 G3739 G1510 G3588 G2033

Πνεύματα τοῦ Θεοῦ, ἀπεσταλμένοι εἰς πᾶσαν τὴν γῆν.
御霊である – 神の 遣わされた – すべての – 地に
G4151 G3588 G2316 G0649 G1519 G3956 G3588 G1093

わたしはまた、御座と四つの生き物との間、長老たちの間に、ほふられたとみえる小羊が立っているのを見た。それに七つの角と七つの目とがあった。これらの目は、全世界につかわされた、神の七つの霊である。

7 καὶ ἦλθεν καὶ εἴληφεν ἐκ τῆς δεξιᾶς τοῦ καθημένου ἐπὶ
そして 来て – 受け取った – その 右の–手から – 座っておられる–方の –
G2532 G2064 G2532 G2983 G1537 G3588 G1188 G3588 G2521 G1909

τοῦ θρόνου.
その 座に
G3588 G2362

小羊は進み出て、御座にいますかたの右の手から、巻物を受けとった。

8

Καὶ	ὅτε	ἔλαβεν	τὸ	βιβλίον,	τὰ	τέσσαρα	ζῷα	καὶ	οἱ
そして	–	受け取った–とき	その	巻物を	–	四つの	生き物と	–	–
G2532	G3753	G2983	G3588	G0975	G3588	G5064	G2226	G2532	G3588

εἴκοσι	τέσσαρες	πρεσβύτεροι	ἔπεσαν	ἐνώπιον	τοῦ	Ἀρνίου,	ἔχοντες	ἕκαστος
二十	四人の	長老が	ひれ伏した	御前に	–	小羊の	持っていた	各自
G1501	G5064	G4245	G4098	G1799	G3588	G0721	G2192	G1538

κιθάραν	καὶ	φιάλας	χρυσᾶς,	γεμούσας	θυμιαμάτων,	αἵ	εἰσιν	αἱ
琴と	–	鉢を	金の	満ちた	香で	それらは	–	–
G2788	G2532	G5357	G5552	G1073	G2368	G3739	G1510	G3588

προσευχαὶ	τῶν	ἁγίων.
祈りである	–	聖なる–者たちの
G4335	G3588	G0040

巻物を受けとった時、四つの生き物と二十四人の長老とは、おのおの、立琴と、香の満ちている金の鉢とを手に持って、小羊の前にひれ伏した。この香は聖徒の祈である。

9

καὶ	ᾄδουσιν	ᾠδὴν	καινὴν,	λέγοντες,	Ἄξιος	εἶ	λαβεῖν	τὸ
そして	歌っている	歌を	新しい	言って	ふさわしい	–	受けることが	その
G2532	G0103	G5603	G2537	G3004	G0514	G1510	G2983	G3588

βιβλίον,	καὶ	ἀνοῖξαι	τὰς	σφραγῖδας	αὐτοῦ;	ὅτι	ἐσφάγης,	καὶ
巻物を	そして	開くことが	その	封印を	その	なぜなら	ほふられた	そして
G0975	G2532	G0455	G3588	G4973	G0846	G3754	G4969	G2532

ἠγόρασας	τῷ	Θεῷ	ἐν	τῷ	αἵματί	σου,	ἐκ	πάσης	φυλῆς,
買い取った	–	神の–ために	–	その	血によって	あなたの	–	あらゆる	部族から
G0059	G3588	G2316	G1722	G3588	G0129	G4771	G1537	G3956	G5443

καὶ	γλώσσης,	καὶ	λαοῦ,	καὶ	ἔθνους,
–	言葉から	–	民から	–	国民から
G2532	G1100	G2532	G2992	G2532	G1484

彼らは新しい歌を歌って言った、「あなたこそは、その巻物を受けとり、封印を解くにふさわしいかたであります。あなたはほふられ、その血によって、神のために、あらゆる部族、国語、民族、国民の中から人々をあがない、

10

καὶ	ἐποίησας	αὐτοὺς	τῷ	Θεῷ	ἡμῶν,	βασιλείαν	καὶ	ἱερεῖς;	καὶ
そして	造った	彼らを	–	神の–ために	私たちの	王国と	–	祭司に	そして
G2532	G4160	G0846	G3588	G2316	G1473	G0932	G2532	G2409	G2532

βασιλεύσουσιν	ἐπὶ	τῆς	γῆς.
支配するであろう	–	–	地の–上で
G0936	G1909	G3588	G1093

わたしたちの神のために、彼らを御国の民とし、祭司となさいました。彼らは地上を支配するに至るでしょう」。

11

καὶ	εἶδον,	καὶ	ἤκουσα	φωνὴν	ἀγγέλων	πολλῶν	κύκλῳ	τοῦ	θρόνου,
そして	見た	また	聞いた	声を	御使いたちの	多くの	回りに	–	座の
G2532	G3708	G2532	G0191	G5456	G0032	G4183	G2945	G3588	G2362

καὶ	τῶν	ζῴων,	καὶ	τῶν	πρεσβυτέρων;	καὶ	ἦν	ὁ	ἀριθμὸς	αὐτῶν
また	–	生き物の	また	–	長老たちの	そして	–	その	数は	彼らの
G2532	G3588	G2226	G2532	G3588	G4245	G2532	G1510	G3588	G0706	G0846

μυριάδες	μυριάδων,	καὶ	χιλιάδες	χιλιάδων;
万の	万倍であり	–	千の	千倍であった
G3461	G3461	G2532	G5505	G5505

さらに見ていると、御座と生き物と長老たちとのまわりに、多くの御使たちの声が上がるのを聞いた。その数は万の幾万倍、千の幾千倍もあって、

12 λέγοντες φωνῇ μεγάλῃ, Ἄξιόν ἐστιν τὸ Ἀρνίον τὸ ἐσφαγμένον,
言っていた 声で 大きな ふさわしい – その 小羊は – ほふられた
G3004 G5456 G3173 G0514 G1510 G3588 G0721 G3588 G4969

λαβεῖν τὴν δύναμιν, καὶ πλοῦτον, καὶ σοφίαν, καὶ ἰσχὺν, καὶ τιμὴν,
受けることが – 力と – 富と – 知恵と – 強さと – 誉れと
G2983 G3588 G1411 G2532 G4149 G2532 G4678 G2532 G2479 G2532 G5092

καὶ δόξαν, καὶ εὐλογίαν!
– 栄光と – 賛美を
G2532 G1391 G2532 G2129

大声で叫んでいた、「ほふられた小羊こそは、力と、富と、知恵と、勢いと、ほまれと、栄光と、さんびとを受けるにふさわしい」。

13 καὶ πᾶν κτίσμα ὃ ἐν τῷ οὐρανῷ, καὶ ἐπὶ τῆς γῆς, καὶ
そして すべての 被造物が – – その 天にも – – – 地にも –
G2532 G3956 G2938 G3739 G1722 G3588 G3772 G2532 G1909 G3588 G1093 G2532

ὑποκάτω τῆς γῆς, καὶ ἐπὶ τῆς θαλάσσης ⸀ἐστίν⸁ καὶ τὰ ἐν
地の–下にも – – – – – 海にも ある–もの また – それらの–中の
G5270 G3588 G1093 G2532 G1909 G3588 G2281 G1510 G2532 G3588 G1722

αὐτοῖς πάντα, ἤκουσα λέγοντας, Τῷ καθημένῳ ἐπὶ τῷ
– すべての–ものが 言うのを–聞いた – – 座っておられる–方に – その
G0846 G3956 G0191 G3004 G3588 G2521 G1909 G3588

θρόνῳ, καὶ τῷ Ἀρνίῳ, ἡ εὐλογία, καὶ ἡ τιμὴ, καὶ ἡ δόξα,
座に また – 小羊に – 賛美と – – 誉れと – – 栄光と
G2362 G2532 G3588 G0721 G3588 G2129 G2532 G3588 G5092 G2532 G3588 G1391

καὶ τὸ κράτος, εἰς τοὺς αἰῶνας τῶν αἰώνων.
– – 力とが – – 世々 – 限りなく–あるようにと
G2532 G3588 G2904 G1519 G3588 G0165 G3588 G0165

またわたしは、天と地、地の下と海の中にあるすべての造られたもの、そして、それらの中にあるすべてのものの言う声を聞いた、「御座にいますかたと小羊とに、さんびと、ほまれと、栄光と、権力とが、世々限りなくあるように」。

14 καὶ τὰ τέσσαρα ζῷα ἔλεγον, Ἀμήν; καὶ οἱ πρεσβύτεροι
そして – 四つの 生き物は 言った アーメンと そして – 長老たちは
G2532 G3588 G5064 G2226 G3004 G0281 G2532 G3588 G4245

ἔπεσαν καὶ προσεκύνησαν {ζῶντι εἰς τοὺς αἰωνας τῶν αἰώνων}.
ひれ伏して – 拝んだ 生きておられる–方を – – 世々 – 限りなく
G4098 G2532 G4352 G2198 G1519 G3588 G0165 G3588 G0165

四つの生き物はアァメンと唱え、長老たちはひれ伏して礼拝した。

Chapter 6

1 Καὶ εἶδον, ὅτε ἤνοιξεν τὸ Ἀρνίον μίαν ἐκ τῶν ἑπτὰ
そして 私は-見た その-時 開いた その 小羊が 一つを ～の-中から その 七つの
G2532 G3708 G3753 G0455 G3588 G0721 G1520 G1537 G3588 G2033

σφραγίδων, καὶ ἤκουσα ἑνὸς ἐκ τῶν τεσσάρων ζῴων λέγοντος,
封印を すると 私は-聞いた 一つの ～の-中から その 四つの 生き物が 言うのを
G4973 G2532 G0191 G1520 G1537 G3588 G5064 G2226 G3004

ὡς φωνῇ βροντῆς, Ἔρχου!
～のような 声で 雷の 来たれ
G5613 G5456 G1027 G2064

小羊がその七つの封印の一つを解いた時、わたしが見ていると、四つの生き物の一つが、雷のような声で「きたれ」と呼ぶのを聞いた。

2 καὶ εἶδον, καὶ ἰδοὺ, ἵππος λευκός, καὶ ὁ καθήμενος ἐπ’
そして 私は-見た そして 見よ 馬が 白い そして その 乗っている-者は ～の-上に
G2532 G3708 G2532 G3708 G2462 G3022 G2532 G3588 G2521 G1909

αὐτὸν ἔχων τόξον; καὶ ἐδόθη αὐτῷ στέφανος, καὶ ἐξῆλθεν νικῶν,
それに 持って 弓を そして 与えられた 彼に 冠が そして 出て-行った 勝利しつつ
G0846 G2192 G5115 G2532 G1325 G0846 G4735 G2532 G1831 G3528

καὶ ἵνα νικήσῃ.
そして さらに 勝利するために
G2532 G2443 G3528

そして見ていると、見よ、白い馬が出てきた。そして、それに乗っている者は、弓を手に持っており、また冠を与えられて、勝利の上にもなお勝利を得ようとして出かけた。

3 Καὶ ὅτε ἤνοιξεν τὴν σφραγῖδα τὴν δευτέραν, ἤκουσα τοῦ δευτέρου
そして その-時 開いた その 封印を その 第二の 私は-聞いた その 第二の
G2532 G3753 G0455 G3588 G4973 G3588 G1208 G0191 G3588 G1208

ζῴου λέγοντος, Ἔρχου!
生き物が 言うのを 来たれ
G2226 G3004 G2064

小羊が第二の封印を解いた時、第二の生き物が「きたれ」と言うのを、わたしは聞いた。

4 καὶ ἐξῆλθεν, ἄλλος ἵππος πυρρός; καὶ τῷ καθημένῳ ἐπ’
そして 出て-行った 別の 馬が 赤い そして その 乗っている-者に ～の-上に
G2532 G1831 G0243 G2462 G4450 G2532 G3588 G2521 G1909

αὐτὸν, ἐδόθη αὐτῷ λαβεῖν τὴν εἰρήνην ἐκ τῆς γῆς, καὶ
それに 与えられた 彼に 奪い取ることが その 平和を ～から その 地から そして
G0846 G1325 G0846 G2983 G3588 G1515 G1537 G3588 G1093 G2532

ἵνα ἀλλήλους σφάξουσιν; καὶ ἐδόθη αὐτῷ μάχαιρα μεγάλη.
互いに 殺し合う-ように 殺し合わせた そして 与えられた 彼に 大きな-剣が 大きな
G2443 G0240 G4969 G2532 G1325 G0846 G3162 G3173

すると今度は、赤い馬が出てきた。そして、それに乗っている者は、人々が互に殺し合うようになるために、地上から平和を奪い取ることを許され、また、大きなつるぎを与えられた。

5 Καὶ ὅτε ἤνοιξεν τὴν σφραγῖδα τὴν τρίτην, ἤκουσα τοῦ τρίτου
そして その–時 開いた その 封印を その 第三の 私は–聞いた その 第三の
G2532 G3753 G0455 G3588 G4973 G3588 G5154 G0191 G3588 G5154

ζῴου λέγοντος, Ἔρχου; καὶ εἶδον, καὶ ἰδοὺ, ἵππος μέλας, καὶ ὁ
生き物が 言うのを 来たれ すると 私は–見た すると 見よ 馬が 黒い そして その
G2226 G3004 G2064 G2532 G3708 G2532 G3708 G2462 G3189 G2532 G3588

καθήμενος ἐπ' αὐτὸν, ἔχων ζυγὸν ἐν τῇ χειρὶ αὐτοῦ.
乗っている–者は ～の–上に それに 持って 秤を ～の–中に その 手に 彼の
G2521 G1909 G0846 G2192 G2218 G1722 G3588 G5495 G0846

また、第三の封印を解いた時、第三の生き物が「きたれ」と言うのを、わたしは聞いた。そこで見ていると、見よ、黒い馬が出てきた。そして、それに乗っている者は、はかりを手に持っていた。

6 καὶ ἤκουσα ὡς φωνὴν ἐν μέσῳ τῶν τεσσάρων ζῴων,
すると 私は–聞いた ～のような 声を ～の–中で 真ん中に その 四つの 生き物の
G2532 G0191 G5613 G5456 G1722 G3319 G3588 G5064 G2226

λέγουσαν, Χοῖνιξ σίτου δηναρίου, καὶ τρεῖς χοίνικες κριθῶν
言っている ーコイニクスの 小麦が ーデナリオン そして 三コイニクスの 大麦が 大麦の
G3004 G5518 G4621 G1220 G2532 G5140 G5518 G2915

δηναρίου; καὶ τὸ ἔλαιον καὶ τὸν οἶνον μὴ ἀδικήσῃς.
ーデナリオン しかし その 油と そして その ぶどう酒を ～するな 損なっては–ならない
G1220 G2532 G3588 G1637 G2532 G3588 G3631 G3361 G0091

すると、わたしは四つの生き物の間から出て来ると思われる声が、こう言うのを聞いた、「小麦一ますは一デナリ。大麦三ますも一デナリ。オリブ油とぶどう酒とを、そこなうな」。

7 Καὶ ὅτε ἤνοιξεν τὴν σφραγῖδα τὴν τετάρτην, ἤκουσα φωνὴν τοῦ
そして その–時 開いた その 封印を その 第四の 私は–聞いた 声を その
G2532 G3753 G0455 G3588 G4973 G3588 G5067 G0191 G5456 G3588

τετάρτου ζῴου λέγοντος, Ἔρχου!
第四の 生き物が 言うのを 来たれ
G5067 G2226 G3004 G2064

小羊が第四の封印を解いた時、第四の生き物が「きたれ」と言う声を、わたしは聞いた。

8 καὶ εἶδον, καὶ ἰδοὺ, ἵππος χλωρός, καὶ ὁ καθήμενος ἐπάνω
すると 私は–見た すると 見よ 馬が 青ざめた そして その 乗っている–者の 上に
G2532 G3708 G2532 G3708 G2462 G5515 G2532 G3588 G2521 G1883

αὐτοῦ, ὄνομα αὐτῷ Ὁ Θάνατος, καὶ ὁ ᾅδης ἠκολούθει μετ' αὐτοῦ;
その 名は 彼に その 死であり そして その 陰府が 従った ～と–共に 彼に
G0846 G3686 G0846 G3588 G2288 G2532 G3588 G0086 G0190 G3326 G0846

καὶ ἐδόθη αὐτοῖς ἐξουσία ἐπὶ τὸ τέταρτον τῆς γῆς, ἀποκτεῖναι
そして 与えられた 彼らに 権威が ～の–上に その 四分の一の その 地の 殺すことが
G2532 G1325 G0846 G1849 G1909 G3588 G5067 G3588 G1093 G0615

ἐν ῥομφαίᾳ, καὶ ἐν λιμῷ, καὶ ἐν θανάτῳ, καὶ ὑπὸ τῶν
～で 剣で そして ～で 飢饉で そして ～で 疫病で そして ～によって その
G1722 G4501 G2532 G1722 G3042 G2532 G1722 G2288 G2532 G5259 G3588

θηρίων τῆς γῆς.
獣に–よって その 地の
G2342 G3588 G1093

そこで見ていると、見よ、青白い馬が出てきた。そして、それに乗っている者の名は「死」と言い、それに黄泉が従っていた。彼らには、地の四分の一を支配する権威、および、つるぎと、ききんと、死と、地の獣らとによって人を殺す権威とが、与えられた。

9 Καὶ そして G2532 ὅτε その-時 G3753 ἤνοιξεν 開いた G0455 τὴν その G3588 πέμπτην 第五の G3991 σφραγῖδα, 封印を G4973 εἶδον 私は-見た G3708 ὑποκάτω ～の-下に G5270 τοῦ その G3588

θυσιαστηρίου 祭壇の G2379 τὰς その G3588 ψυχὰς 魂を G5590 τῶν その G3588 ἐσφαγμένων 殺された-者たちの G4969 διὰ ～の-ゆえに G1223 τὸν その G3588 λόγον 言葉の G3056 τοῦ その G3588

Θεοῦ, 神の G2316 καὶ そして G2532 διὰ ～の-ゆえに G1223 τὴν その G3588 μαρτυρίαν 証しの G3141 ἣν それを G3739 εἶχον; 持っていた G2192

小羊が第五の封印を解いた時、神の言のゆえに、また、そのあかしを立てたために、殺された人々の霊魂が、祭壇の下にいるのを、わたしは見た。

10 καὶ そして G2532 ἔκραξαν 叫んだ G2896 φωνῇ 声で G5456 μεγάλῃ, 大きな G3173 λέγοντες, 言って G3004 Ἕως いつまで G2193 πότε, ですか G4219 ὁ おお G3588 Δεσπότης, 主よ G1203 ὁ おお G3588

ἅγιος 聖なる G0040 καὶ そして G2532 ἀληθινός, 真実な-方よ G0228 οὐ ～ない-のですか G3756 κρίνεις, 裁いて G2919 καὶ そして G2532 ἐκδικεῖς 復讐して-くださらない G1556 τὸ その G3588 αἷμα 血の G0129

ἡμῶν, 私たちの G1473 ἐκ ～から G1537 τῶν その G3588 κατοικούντων 住んでいる-者たちに G2730 ἐπὶ ～の-上に G1909 τῆς その G3588 γῆς? 地の G1093

彼らは大声で叫んで言った、「聖なる、まことなる主よ。いつまであなたは、さばくことをなさらず、また地に住む者に対して、わたしたちの血の報復をなさらないのですか」。

11 καὶ すると G2532 ἐδόθη 与えられた G1325 αὐτοῖς 彼らに G0846 ἑκάστῳ 各自に G1538 στολὴ 衣が G4749 λευκή; 白い G3022 καὶ そして G2532 ἐρρέθη 告げられた G2046 αὐτοῖς 彼らに G0846

ἵνα ～するように-と G2443 ἀναπαύσονται 休むように G0373 ἔτι なお G2089 χρόνον しばらくの-間 G5550 μικρόν, 短い G3398 ἕως ～まで G2193 πληρωθῶσιν 満たされるまで G4137 καὶ また G2532

οἱ その G3588 σύνδουλοι 同じ-しもべたちと G4889 αὐτῶν, 彼らの G0846 καὶ また G2532 οἱ その G3588 ἀδελφοὶ 兄弟たちが G0080 αὐτῶν, 彼らの G0846 οἱ その G3588 μέλλοντες やがて G3195

ἀποκτέννεσθαι 殺される-者たちが G0615 ὡς ～のように G5613 καὶ 同じく G2532 αὐτοί. 彼らも G0846

すると、彼らのひとりびとりに白い衣が与えられ、それから、「彼らと同じく殺されようとする僕仲間や兄弟たちの数が満ちるまで、もうしばらくの間、休んでいるように」と言い渡された。

12 Καὶ そして G2532 εἶδον 私は-見た G3708 ὅτε その-時 G3753 ἤνοιξεν 開いた G0455 τὴν その G3588 σφραγῖδα 封印を G4973 τὴν その G3588 ἕκτην, 第六の G1623 καὶ すると G2532 σεισμὸς 地震が G4578

μέγας 大きな G3173 ἐγένετο, 起こった G1096 καὶ そして G2532 ὁ その G3588 ἥλιος 太陽は G2246 ἐγένετο なった G1096 μέλας 黒く G3189 ὡς ～のように G5613 σάκκος 粗布の-ように G4526 τρίχινος, 毛の G5155

καὶ そして G2532 ἡ その G3588 σελήνη 月は G4582 ὅλη 全体が G3650 ἐγένετο なった G1096 ὡς ～のように G5613 αἷμα; 血の-ように G0129

小羊が第六の封印を解いた時、わたしが見ていると、大地震が起って、太陽は毛織の荒布のように黒くなり、月は全面、血のようになり、

13 καὶ そして G2532 οἱ その G3588 ἀστέρες 星々が G0792 τοῦ その G3588 οὐρανοῦ 天の G3772 ἔπεσαν 落ちた G4098 εἰς ～の-上に G1519 τὴν その G3588 γῆν, 地に G1093 ὡς ～のように G5613

συκῆ いちじくの-木が G4808 βάλλει 落とす G0906 τοὺς その G3588 ὀλύνθους 未熟な-実を G3653 αὐτῆς, その G0846 ὑπὸ ～に-よって G5259 ἀνέμου 風に G0417 μεγάλου 大きな G3173

σειομένη. 揺さぶられて G4579

天の星は、いちじくのまだ青い実が大風に揺られて振り落されるように、地に落ちた。

14 καὶ そして G2532 ὁ その G3588 οὐρανὸς 天は G3772 ἀπεχωρίσθη 退いた G0673 ὡς ～のように G5613 βιβλίον 巻物が G0975 ἑλισσόμενον, 巻き上げられる-ように G1667 καὶ そして G2532

πᾶν すべての G3956 ὄρος 山と G3735 καὶ そして G2532 νῆσος 島は G3520 ἐκ ～から G1537 τῶν その G3588 τόπων 場所から G5117 αὐτῶν その G0846 ἐκινήθησαν. 動かされた G2795

天は巻物が巻かれるように消えていき、すべての山と島とはその場所から移されてしまった。

15 καὶ そして G2532 οἱ その G3588 βασιλεῖς 王たちと G0935 τῆς その G3588 γῆς, 地の G1093 καὶ そして G2532 οἱ その G3588 μεγιστᾶνες, 高官たちと G3175 καὶ そして G2532 οἱ その G3588

χιλίαρχοι, 千人隊長たちと G5506 καὶ そして G2532 οἱ その G3588 πλούσιοι, 富んだ-者たちと G4145 καὶ そして G2532 οἱ その G3588 ἰσχυροὶ, 力ある-者たちと G2478 καὶ そして G2532 πᾶς すべての G3956

δοῦλος 奴隷と G1401 καὶ そして G2532 ἐλεύθερος, 自由人は G1658 ἔκρυψαν 隠れた G2928 ἑαυτοὺς 自分-自身を G1438 εἰς ～の-中に G1519 τὰ その G3588 σπήλαια, 洞穴と G4693 καὶ そして G2532

εἰς ～の-中に G1519 τὰς その G3588 πέτρας 岩の G4073 τῶν その G3588 ὀρέων; 山々の G3735

地の王たち、高官、千卒長、富める者、勇者、奴隷、自由人らはみな、ほら穴や山の岩かげに、身をかくした。

16 καὶ そして G2532 | λέγουσιν 言っている G3004 | τοῖς その G3588 | ὄρεσιν 山々と G3735 | καὶ そして G2532 | ταῖς その G3588 | πέτραις, 岩々に G4073 | Πέσετε 私たちの-上に-倒れよ G4098 | ἐφ’ ～の-上に G1909

ἡμᾶς, 私たちの G1473 | καὶ そして G2532 | κρύψατε 隠して-くれ G2928 | ἡμᾶς 私たちを G1473 | ἀπὸ ～から G0575 | προσώπου 御顔から G4383 | τοῦ その G3588 | καθημένου 座しておられる-方の G2521

ἐπὶ ～の-上に G1909 | τοῦ その G3588 | θρόνου, 御座の G2362 | καὶ そして G2532 | ἀπὸ ～から G0575 | τῆς その G3588 | ὀργῆς 怒りから G3709 | τοῦ その G3588 | Ἀρνίου; 小羊の G0721

そして、山と岩とにむかって言った、「さあ、われわれをおおって、御座にいますかたの御顔と小羊の怒りとから、かくまってくれ。

17 ὅτι なぜなら G3754 | ἦλθεν 来たからだ G2064 | ἡ その G3588 | ἡμέρα 日が G2250 | ἡ その G3588 | μεγάλη 大いなる G3173 | τῆς その G3588 | ὀργῆς 怒りの G3709 | αὐτῶν, 彼らの G0846 | καὶ そして G2532 | τίς 誰が G5101

δύναται できるだろうか G1410 | σταθῆναι? 立つことが G2476

御怒りの大いなる日が、すでにきたのだ。だれが、その前に立つことができようか」。

Chapter 7

1 Μετὰ その-後 G3326 | τοῦτο このことの G3778 | εἶδον 私は-見た G3708 | τέσσαρας 四人の G5064 | ἀγγέλους 御使いが G0032 | ἑστῶτας 立っている G2476 | ἐπὶ ～の-上に G1909 | τὰς その G3588 | τέσσαρας 四つの G5064

γωνίας 角に G1137 | τῆς その G3588 | γῆς, 地の G1093 | κρατοῦντας 押さえている G2902 | τοὺς その G3588 | τέσσαρας 四つの G5064 | ἀνέμους 風を G0417 | τῆς その G3588 | γῆς, 地の G1093 | ἵνα ～しない-ように G2443

μὴ ～ない G3361 | πνέῃ 吹かない-ように G4154 | ἄνεμος 風が G0417 | ἐπὶ ～の-上に G1909 | τῆς その G3588 | γῆς, 地にも G1093 | μήτε ～にも-なく G3383 | ἐπὶ ～の-上に G1909 | τῆς その G3588

θαλάσσης, 海にも G2281 | μήτε ～にも-なく G3383 | ἐπὶ ～の-上に G1909 | πᾶν いかなる G3956 | δένδρον. 木にも G1186

この後、わたしは四人の御使が地の四すみに立っているのを見た。彼らは地の四方の風をひき止めて、地にも海にもすべての木にも、吹きつけないようにしていた。

2 καὶ そして G2532 | εἶδον 私は-見た G3708 | ἄλλον 別の G0243 | ἄγγελον, 御使いが G0032 | ἀναβαίνοντα 上って-来るのを G0305 | ἀπὸ ～から G0575 | ἀνατολῆς 日の-出の G0395 | ἡλίου, 方から G2246 | ἔχοντα 持っている G2192

σφραγῖδα 印を G4973 | Θεοῦ 神の G2316 | ζῶντος; 生ける G2198 | καὶ そして G2532 | ἔκραξεν 叫んだ G2896 | φωνῇ 声で G5456 | μεγάλῃ 大きな G3173 | τοῖς その G3588 | τέσσαρσιν 四人の G5064 | ἀγγέλοις 御使いたちに G0032

οἷς その-者たちに G3739 | ἐδόθη 与えられた G1325 | αὐτοῖς 彼らに G0846 | ἀδικῆσαι 損なうことが G0091 | τὴν その G3588 | γῆν 地と G1093 | καὶ そして G2532 | τὴν その G3588 | θάλασσαν, 海を G2281

また、もうひとりの御使が、生ける神の印を持って、日の出る方から上って来るのを見た。彼は地と海とをそこなう権威を授かっている四人の御使にむかって、大声で叫んで言った、

3 λέγων, 言って G3004 Μὴ ～するな G3361 ἀδικήσητε 損なっては–ならない G0091 τὴν その G3588 γῆν, 地をも G1093 μήτε ～も–なく G3383 τὴν その G3588 θάλασσαν, 海をも G2281 μήτε ～も–なく G3383

τὰ その G3588 δένδρα, 木々をも G1186 ἄχρι ～まで G0891 σφραγίσωμεν 印を–押すまで G4972 τοὺς その G3588 δούλους 僕たちに G1401 τοῦ その G3588 Θεοῦ 神の G2316 ἡμῶν, 私たちの G1473 ἐπὶ ～の–上に G1909

τῶν その G3588 μετώπων 額の G3359 αὐτῶν. 彼らの G0846

「わたしたちの神の僕らの額に、わたしたちが印をおしてしまうまでは、地と海と木とをそこなってはならない」。

4 Καὶ そして G2532 ἤκουσα 私は–聞いた G0191 τὸν その G3588 ἀριθμὸν 数を G0706 τῶν その G3588 ἐσφραγισμένων, 印を–押された–者の G4972 ἑκατὸν 十四万 G1540 τεσσεράκοντα 四十 G5062

τέσσαρες 四 G5064 χιλιάδες, 千人 G5505 ἐσφραγισμένοι 印を–押された–者たちが G4972 ἐκ ～から G1537 πάσης すべての G3956 φυλῆς 部族から G5443 υἱῶν 息子たちの G5207 Ἰσραήλ; イスラエルの G2474

わたしは印をおされた者の数を聞いたが、イスラエルの子らのすべての部族のうち、印をおされた者は十四万四千人であった。

5 ἐκ ～から G1537 φυλῆς 部族から G5443 Ἰούδα, ユダの G2448 δώδεκα 一万–二千 G1427 χιλιάδες 千人 G5505 ἐσφραγισμένοι; 印を–押された G4972 ἐκ ～から G1537 φυλῆς 部族から G5443 Ῥουβὴν, ルベンの G4502

δώδεκα 一万–二千 G1427 χιλιάδες; 千人 G5505 ἐκ ～から G1537 φυλῆς 部族から G5443 Γὰδ, ガドの G1045 δώδεκα 一万–二千 G1427 χιλιάδες; 千人 G5505

ユダの部族のうち、一万二千人が印をおされ、ルベンの部族のうち、一万二千人、ガドの部族のうち、一万二千人、

6 ἐκ ～から G1537 φυλῆς 部族から G5443 Ἀσὴρ, アシェルの G0768 δώδεκα 一万–二千 G1427 χιλιάδες; 千人 G5505 ἐκ ～から G1537 φυλῆς 部族から G5443 Νεφθαλὶμ, ナフタリの G3508 δώδεκα 一万–二千 G1427

χιλιάδες; 千人 G5505 ἐκ ～から G1537 φυλῆς 部族から G5443 Μανασσῆ, マナセの G3128 δώδεκα 一万–二千 G1427 χιλιάδες; 千人 G5505

アセルの部族のうち、一万二千人、ナフタリの部族のうち、一万二千人、マナセの部族のうち、一万二千人、

7 ἐκ ～から G1537 φυλῆς 部族から G5443 Συμεὼν, シメオンの G4826 δώδεκα 一万–二千 G1427 χιλιάδες; 千人 G5505 ἐκ ～から G1537 φυλῆς 部族から G5443 Λευὶ, レビの G3017 δώδεκα 一万–二千 G1427

χιλιάδες; 千人 G5505 ἐκ ～から G1537 φυλῆς 部族から G5443 Ἰσσαχὰρ, イッサカルの G2466 δώδεκα 一万–二千 G1427 χιλιάδες; 千人 G5505

シメオンの部族のうち、一万二千人、レビの部族のうち、一万二千人、イサカルの部族のうち、一万二千人、

8 ἐκ ～から G1537 φυλῆς 部族から G5443 Ζαβουλὼν, ゼブルンの G2194 δώδεκα 一万-二千 G1427 χιλιάδες; 千人 G5505 ἐκ ～から G1537 φυλῆς 部族から G5443 Ἰωσὴφ, ヨセフの G2501 δώδεκα 一万-二千 G1427 χιλιάδες; 千人 G5505 ἐκ ～から G1537 φυλῆς 部族から G5443 Βενιαμὶν, ベニヤミンの G0958 δώδεκα 一万-二千 G1427 χιλιάδες 千人 G5505 ἐσφραγισμένοι. 印を-押された G4972

ゼブルンの部族のうち、一万二千人、ヨセフの部族のうち、一万二千人、ベニヤミンの部族のうち、一万二千人が印をおされた。

9 Μετὰ その-後 G3326 ταῦτα これらの-ことの G3778 εἶδον, 私は-見た G3708 καὶ すると G2532 ἰδοὺ, 見よ G3708 ὄχλος 群衆が G3793 πολύς, 大きな G4183 ὃν それを G3739 ἀριθμῆσαι 数えること G0705 αὐτὸν それを G0846 οὐδεὶς 誰も G3762 ἐδύνατο; できなかった G1410 ἐκ ～から G1537 παντὸς あらゆる G3956 ἔθνους, 国民と G1484 καὶ そして G2532 φυλῶν, 部族と G5443 καὶ そして G2532 λαῶν, 民族と G2992 καὶ そして G2532 γλωσσῶν, 言語から G1100 ἑστῶτες 立っている G2476 ἐνώπιον 御前に G1799 τοῦ その G3588 θρόνου 御座の G2362 καὶ そして G2532 ἐνώπιον 御前に G1799 τοῦ その G3588 Ἀρνίου, 小羊の G0721 περιβεβλημένους 身に-まとって G4016 στολὰς 衣を G4749 λευκάς, 白い G3022 καὶ そして G2532 φοίνικες 棕櫚の-枝を G5404 ἐν ～の-中に G1722 ταῖς その G3588 χερσὶν 手に G5495 αὐτῶν; 彼らの G0846

その後、わたしが見ていると、見よ、あらゆる国民、部族、民族、国語のうちから、数えきれないほどの大ぜいの群衆が、白い衣を身にまとい、しゅろの枝を手に持って、御座と小羊との前に立ち、

10 καὶ そして G2532 κράζουσιν 叫んでいる G2896 φωνῇ 声で G5456 μεγάλῃ, 大きな G3173 λέγοντες, 言って G3004 Ἡ その G3588 σωτηρία 救いは G4991 τῷ その G3588 Θεῷ 神に G2316 ἡμῶν, 私たちの G1473 τῷ その G3588 καθημένῳ 座しておられる-方に G2521 ἐπὶ ～の-上に G1909 τῷ その G3588 θρόνῳ, 御座に G2362 καὶ そして G2532 τῷ その G3588 Ἀρνίῳ! 小羊に G0721

大声で叫んで言った、「救は、御座にいますわれらの神と小羊からきたる」。

11 καὶ そして G2532 πάντες すべての G3956 οἱ その G3588 ἄγγελοι 御使いたちが G0032 εἱστήκεισαν 立っていた G2476 κύκλῳ 回りに G2945 τοῦ その G3588 θρόνου, 御座の G2362 καὶ そして G2532 τῶν その G3588 πρεσβυτέρων, 長老たちの G4245 καὶ そして G2532 τῶν その G3588 τεσσάρων 四つの G5064 ζῴων, 生き物の G2226 καὶ そして G2532 ἔπεσαν ひれ伏した G4098 ἐνώπιον 御前に G1799 τοῦ その G3588 θρόνου 御座の G2362 ἐπὶ ～の-上に G1909 τὰ その G3588 πρόσωπα 顔を G4383 αὐτῶν, 彼らの G0846 καὶ そして G2532 προσεκύνησαν 礼拝した G4352 τῷ その G3588 Θεῷ, 神を G2316

御使たちはみな、御座と長老たちと四つの生き物とのまわりに立っていたが、御座の前にひれ伏し、神を拝して言った、

12 λέγοντες, Ἀμήν! ἡ εὐλογία, καὶ ἡ δόξα, καὶ ἡ σοφία, καὶ
言って アーメン その 賛美と そして その 栄光と そして その 知恵と そして
G3004 G0281 G3588 G2129 G2532 G3588 G1391 G2532 G3588 G4678 G2532

ἡ εὐχαριστία, καὶ ἡ τιμὴ, καὶ ἡ δύναμις, καὶ ἡ ἰσχὺς, τῷ
その 感謝と そして その 誉れと そして その 力と そして その 勢力が その
G3588 G2169 G2532 G3588 G5092 G2532 G3588 G1411 G2532 G3588 G2479 G3588

Θεῷ ἡμῶν, εἰς τοὺς αἰῶνας τῶν αἰώνων! ἀμήν.
神に 私たちの ～へ その 世々の その 世々に アーメン
G2316 G1473 G1519 G3588 G0165 G3588 G0165 G0281

「アァメン、さんび、栄光、知恵、感謝、ほまれ、力、勢いが、世々限りなく、われらの神にあるように、アァメン」。

13 Καὶ ἀπεκρίθη εἷς ἐκ τῶν πρεσβυτέρων, λέγων μοι, Οὗτοι οἱ
そして 答えた 一人の ～の-中から その 長老たちの 言って 私に この その
G2532 G0611 G1520 G1537 G3588 G4245 G3004 G1473 G3778 G3588

περιβεβλημένοι τὰς στολὰς τὰς λευκὰς, τίνες εἰσὶν, καὶ πόθεν ἦλθον?
身に-まとっている その 衣を その 白い 誰か ですか そして どこから 来たのですか
G4016 G3588 G4749 G3588 G3022 G5101 G1510 G2532 G4159 G2064

長老たちのひとりが、わたしにむかって言った、「この白い衣を身にまとっている人々は、だれか。また、どこからきたのか」。

14 καὶ εἴρηκα αὐτῷ, Κύριέ μου, σὺ οἶδας. καὶ εἶπέν μοι,
そして 私は-言った 彼に 主よ 私の あなたが ご存知です すると 言った 私に
G2532 G2046 G0846 G2962 G1473 G4771 G1492 G2532 G3004 G1473

Οὗτοί εἰσιν οἱ ἐρχόμενοι ἐκ τῆς θλίψεως τῆς μεγάλης, καὶ
この-者たちは である その 来た-者たちである ～から その 患難から その 大きな そして
G3778 G1510 G3588 G2064 G1537 G3588 G2347 G3588 G3173 G2532

ἔπλυναν τὰς στολὰς αὐτῶν, καὶ ἐλεύκαναν αὐτὰς ἐν τῷ αἵματι
洗った その 衣を 彼らの そして 白く-した それらを ～の-中で その 血の-中で
G4150 G3588 G4749 G0846 G2532 G3021 G0846 G1722 G3588 G0129

τοῦ Ἀρνίου.
その 小羊の
G3588 G0721

わたしは彼に答えた、「わたしの主よ、それはあなたがご存じです」。すると、彼はわたしに言った、「彼らは大きな患難をとおってきた人たちであって、その衣を小羊の血で洗い、それを白くしたのである。

15 διὰ τοῦτό, εἰσιν ἐνώπιον τοῦ θρόνου τοῦ Θεοῦ, καὶ λατρεύουσιν
それ-ゆえに このことの いる 御前に その 御座の その 神の そして 仕えている
G1223 G3778 G1510 G1799 G3588 G2362 G3588 G2316 G2532 G3000

αὐτῷ ἡμέρας καὶ νυκτὸς ἐν τῷ ναῷ αὐτοῦ; καὶ ὁ
彼に 昼も そして 夜も ～の-中で その 神殿で 彼の そして その
G0846 G2250 G2532 G3571 G1722 G3588 G3485 G0846 G2532 G3588

καθήμενος ἐπὶ τοῦ θρόνου σκηνώσει ἐπ' αὐτούς.
座しておられる-方が ～の-上に その 御座の 覆い-守る ～の-上に 彼らを
G2521 G1909 G3588 G2362 G4637 G1909 G0846

それだから彼らは、神の御座の前におり、昼も夜もその聖所で神に仕えているのである。御座にいますかたは、彼らの上に幕屋を張って共に住まわれるであろう。

16 οὐ πεινάσουσιν ἔτι, οὐδὲ διψήσουσιν ἔτι, οὐδὲ μὴ
～しない 飢えることは–ない もはや ～も–なく 渇くことも–ない もはや ～も–なく 決して–ない
G3756 G3983 G2089 G3761 G1372 G2089 G3761 G3361

πέσῃ ἐπ’ αὐτοὺς ὁ ἥλιος, οὐδὲ πᾶν καῦμα;
降り–注ぐことも–ない ～の–上に 彼らに その 太陽も ～も–なく いかなる 熱も
G4098 G1909 G0846 G3588 G2246 G3761 G3956 G2738

彼らは、もはや飢えることがなく、かわくこともない。太陽も炎暑も、彼らを侵すことはない。

17 ὅτι τὸ Ἀρνίον τὸ ἀνὰ μέσον τοῦ θρόνου ποιμανεῖ
なぜなら その 小羊が その ～の–真ん中の 中心におられる その 御座の 牧する
G3754 G3588 G0721 G3588 G0303 G3319 G3588 G2362 G4165

αὐτούς, καὶ ὁδηγήσει αὐτοὺς ἐπὶ ζωῆς πηγὰς ὑδάτων, καὶ ἐξαλείψει ὁ
彼らを そして 導く 彼らを ～へ 命の 泉へ 水の そして 拭い–取る その
G0846 G2532 G3594 G0846 G1909 G2222 G4077 G5204 G2532 G1813 G3588

Θεὸς πᾶν δάκρυον ἐκ τῶν ὀφθαλμῶν αὐτῶν.
神が すべての 涙を ～から その 目から 彼らの
G2316 G3956 G1144 G1537 G3588 G3788 G0846

御座の正面にいます小羊は彼らの牧者となって、いのちの水の泉に導いて下さるであろう。また神は、彼らの目から涙をことごとくぬぐいとって下さるであろう」。

Chapter 8

1 Καὶ ὅταν ἤνοιξεν τὴν σφραγῖδα τὴν ἑβδόμην, ἐγένετο σιγὴ ἐν
そして その–時 開いた その 封印を その 第七の 起こった 静けさが ～の–中に
G2532 G3752 G0455 G3588 G4973 G3588 G1442 G1096 G4602 G1722

τῷ οὐρανῷ ὡς ἡμιώριον.
その 天に ～のように 半時間–ほど
G3588 G3772 G5613 G2256

小羊が第七の封印を解いた時、半時間ばかり天に静けさがあった。

2 καὶ εἶδον τοὺς ἑπτὰ ἀγγέλους, οἳ ἐνώπιον τοῦ Θεοῦ
そして 私は–見た その 七人の 御使いたちを その–者たちが 御前に その 神の
G2532 G3708 G3588 G2033 G0032 G3739 G1799 G3588 G2316

ἑστήκασιν, καὶ ἐδόθησαν αὐτοῖς ἑπτὰ σάλπιγγες.
立っている そして 与えられた 彼らに 七つの ラッパが
G2476 G2532 G1325 G0846 G2033 G4536

それからわたしは、神のみまえに立っている七人の御使を見た。そして、七つのラッパが彼らに与えられた。

3 Καὶ ἄλλος ἄγγελος ἦλθεν καὶ ἐστάθη ἐπὶ τοῦ θυσιαστηρίου, ἔχων
そして 別の 御使いが 来た そして 立った ～の–上に その 祭壇の 持って
G2532 G0243 G0032 G2064 G2532 G2476 G1909 G3588 G2379 G2192

λιβανωτὸν χρυσοῦν; καὶ ἐδόθη αὐτῷ θυμιάματα πολλὰ, ἵνα
香炉を 金の そして 与えられた 彼に 香が 多くの ～する–ために
G3031 G5552 G2532 G1325 G0846 G2368 G4183 G2443

δώσει ταῖς προσευχαῖς τῶν ἁγίων πάντων ἐπὶ τὸ
加える–ために その 祈りに その 聖なる–者たちの すべての ～の–上に その
G1325 G3588 G4335 G3588 G0040 G3956 G1909 G3588

θυσιαστήριον τὸ χρυσοῦν τὸ ἐνώπιον τοῦ θρόνου.
祭壇の その 金の その 御前に–ある その 御座の
G2379 G3588 G5552 G3588 G1799 G3588 G2362

また、別の御使が出てきて、金の香炉を手に持って祭壇の前に立った。たくさんの香が彼に与えられていたが、これは、すべての聖徒の祈に加えて、御座の前の金の祭壇の上にささげるためのものであった。

4 καὶ ἀνέβη ὁ καπνὸς τῶν θυμιαμάτων ταῖς προσευχαῖς τῶν
そして 上った その 煙が その 香の その 祈りと–共に その
G2532 G0305 G3588 G2586 G3588 G2368 G3588 G4335 G3588

ἁγίων, ἐκ χειρὸς τοῦ ἀγγέλου, ἐνώπιον τοῦ Θεοῦ.
聖なる–者たちの ～から 手から その 御使いの 御前に その 神の
G0040 G1537 G5495 G3588 G0032 G1799 G3588 G2316

香の煙は、御使の手から、聖徒たちの祈と共に神のみまえに立ちのぼった。

5 καὶ εἴληφεν ὁ ἄγγελος τὸν λιβανωτόν, καὶ ἐγέμισεν αὐτὸν ἐκ τοῦ
そして 取った その 御使いが その 香炉を そして 満たした それを ～から その
G2532 G2983 G3588 G0032 G3588 G3031 G2532 G1072 G0846 G1537 G3588

πυρὸς τοῦ θυσιαστηρίου, καὶ ἔβαλεν εἰς τὴν γῆν; καὶ ἐγένοντο
火で その 祭壇の そして 投げた ～の–上に その 地に すると 起こった
G4442 G3588 G2379 G2532 G0906 G1519 G3588 G1093 G2532 G1096

βρονταὶ, καὶ φωναὶ, καὶ ἀστραπαὶ, καὶ σεισμός.
雷と そして 声と そして 稲光と そして 地震が
G1027 G2532 G5456 G2532 G0796 G2532 G4578

御使はその香炉をとり、これに祭壇の火を満たして、地に投げつけた。すると、多くの雷鳴と、もろもろの声と、いなずまと、地震とが起った。

6 Καὶ οἱ ἑπτὰ ἄγγελοι, οἱ ἔχοντες τὰς ἑπτὰ σάλπιγγας, ἡτοίμασαν
そして その 七人の 御使いたちが その 持っている その 七つの ラッパを 備えた
G2532 G3588 G2033 G0032 G3588 G2192 G3588 G2033 G4536 G2090

αὐτοὺς ἵνα σαλπίσωσιν.
自らを ～する–ために 吹く–ために
G0848 G2443 G4537

そこで、七つのラッパを持っている七人の御使が、それを吹く用意をした。

7 Καὶ ὁ πρῶτος ἐσάλπισεν; καὶ ἐγένετο χάλαζα, καὶ πῦρ μεμιγμένα
そして その 第一の-者が 吹いた すると 起こった 雹と そして 火が 混ぜられた
G2532 G3588 G4413 G4537 G2532 G1096 G5464 G2532 G4442 G3396

ἐν αἵματι, καὶ ἐβλήθη εἰς τὴν γῆν; καὶ τὸ τρίτον τῆς
~の-中に 血に そして 投げられた ~の-上に その 地に すると その 三分の一の その
G1722 G0129 G2532 G0906 G1519 G3588 G1093 G2532 G3588 G5154 G3588

γῆς κατεκάη, καὶ τὸ τρίτον τῶν δένδρων κατεκάη, καὶ
地が 焚き-尽くされた そして その 三分の一の その 木々が 焚き-尽くされた そして
G1093 G2618 G2532 G3588 G5154 G3588 G1186 G2618 G2532

πᾶς χόρτος χλωρὸς κατεκάη.
すべての 草が 青い 焚き-尽くされた
G3956 G5528 G5515 G2618

第一の御使が、ラッパを吹き鳴らした。すると、血のまじった雹と火とがあらわれて、地上に降ってきた。そして、地の三分の一が焼け、木の三分の一が焼け、また、すべての青草も焼けてしまった。

8 Καὶ ὁ δεύτερος ἄγγελος ἐσάλπισεν; καὶ ὡς ὄρος μέγα, πυρὶ
そして その 第二の 御使いが 吹いた すると ~のような 山の-ような 大きな 火で
G2532 G3588 G1208 G0032 G4537 G2532 G5613 G3735 G3173 G4442

καιόμενον, ἐβλήθη εἰς τὴν θάλασσαν, καὶ ἐγένετο τὸ τρίτον τῆς
燃えている 投げられた ~の-中に その 海に すると なった その 三分の一の その
G2545 G0906 G1519 G3588 G2281 G2532 G1096 G3588 G5154 G3588

θαλάσσης αἷμα;
海が 血に
G2281 G0129

第二の御使が、ラッパを吹き鳴らした。すると、火の燃えさかっている大きな山のようなものが、海に投げ込まれた。そして、海の三分の一は血となり、

9 καὶ ἀπέθανεν τὸ τρίτον τῶν κτισμάτων τῶν ἐν τῇ θαλάσσῃ
そして 死んだ その 三分の一の その 被造物が その ~の-中の その 海にいる
G2532 G0599 G3588 G5154 G3588 G2938 G3588 G1722 G3588 G2281

τὰ ἔχοντα ψυχάς; καὶ τὸ τρίτον τῶν πλοίων διεφθάρησαν.
その 持っている 命を そして その 三分の一の その 船が 滅ぼされた
G3588 G2192 G5590 G2532 G3588 G5154 G3588 G4143 G1311

海の中の造られた生き物の三分の一は死に、舟の三分の一がこわされてしまった。

10 Καὶ ὁ τρίτος ἄγγελος ἐσάλπισεν; καὶ ἔπεσεν ἐκ τοῦ οὐρανοῦ
そして その 第三の 御使いが 吹いた すると 落ちた ~から その 天から
G2532 G3588 G5154 G0032 G4537 G2532 G4098 G1537 G3588 G3772

ἀστὴρ μέγας, καιόμενος ὡς λαμπάς, καὶ ἔπεσεν ἐπὶ τὸ
星が 大きな 燃えている ~のように たいまつの-ように そして 落ちた ~の-上に その
G0792 G3173 G2545 G5613 G2985 G2532 G4098 G1909 G3588

τρίτον τῶν ποταμῶν, καὶ ἐπὶ τὰς πηγὰς τῶν ὑδάτων.
三分の一の その 川に そして ~の-上に その 泉に その 水の
G5154 G3588 G4215 G2532 G1909 G3588 G4077 G3588 G5204

第三の御使が、ラッパを吹き鳴らした。すると、たいまつのように燃えている大きな星が、空から落ちてきた。そしてそれは、川の三分の一とその水源との上に落ちた。

11 καὶ そして G2532 | τὸ その G3588 | ὄνομα 名は G3686 | τοῦ その G3588 | ἀστέρος 星の G0792 | λέγεται 呼ばれている G3004 | Ὁ その G3588 | Ἄψινθος; ニガヨモギと G0894 | καὶ すると G2532 | ἐγένετο なった G1096

τὸ その G3588 | τρίτον 三分の一の G5154 | τῶν その G3588 | ὑδάτων, 水が G5204 | εἰς ～に G1519 | ἄψινθον, ニガヨモギに G0894 | καὶ そして G2532 | πολλοὶ 多くの G4183 | τῶν その G3588 | ἀνθρώπων 人々が G0444

ἀπέθανον 死んだ G0599 | ἐκ ～から G1537 | τῶν その G3588 | ὑδάτων, 水から G5204 | ὅτι なぜなら G3754 | ἐπικράνθησαν. 苦く-なったからだ G4087

この星の名は「苦よもぎ」と言い、水の三分の一が「苦よもぎ」のように苦くなった。水が苦くなったので、そのために多くの人が死んだ。

12 Καὶ そして G2532 | ὁ その G3588 | τέταρτος 第四の G5067 | ἄγγελος 御使いが G0032 | ἐσάλπισεν; 吹いた G4537 | καὶ すると G2532 | ἐπλήγη 打たれた G4141 | τὸ その G3588 | τρίτον 三分の一の G5154 | τοῦ その G3588

ἡλίου, 太陽が G2246 | καὶ そして G2532 | τὸ その G3588 | τρίτον 三分の一の G5154 | τῆς その G3588 | σελήνης, 月が G4582 | καὶ そして G2532 | τὸ その G3588 | τρίτον 三分の一の G5154 | τῶν その G3588 | ἀστέρων; 星々が G0792

ἵνα ～する-ために G2443 | σκοτισθῇ 暗く-なるために G4654 | τὸ その G3588 | τρίτον 三分の一が G5154 | αὐτῶν, その G0846 | καὶ そして G2532 | ἡ その G3588 | ἡμέρα 昼は G2250 | μὴ ～ない G3361

φάνῃ 輝かなかった G5316 | τὸ その G3588 | τρίτον 三分の一が G5154 | αὐτῆς, その G0846 | καὶ そして G2532 | ἡ その G3588 | νὺξ 夜も G3571 | ὁμοίως. 同様に G3668

第四の御使が、ラッパを吹き鳴らした。すると、太陽の三分の一と、月の三分の一と、星の三分の一とが打たれて、これらのものの三分の一は暗くなり、昼の三分の一は明るくなくなり、夜も同じようになった。

13 Καὶ そして G2532 | εἶδον, 私は-見た G3708 | καὶ そして G2532 | ἤκουσα 私は-聞いた G0191 | ἑνὸς 一羽の G1520 | ἀετοῦ 鷲が G0105 | πετομένου 飛んでいる G4072 | ἐν ～の-中で G1722

μεσουρανήματι, 中天で G3321 | λέγοντος 言っている G3004 | φωνῇ 声で G5456 | μεγάλῃ, 大きな G3173 | Οὐαὶ, わざわい G3759 | οὐαὶ, わざわい G3759 | οὐαὶ, わざわいだ G3759 | τοὺς その G3588

κατοικοῦντας 住んでいる-者たちに G2730 | ἐπὶ ～の-上に G1909 | τῆς その G3588 | γῆς, 地に G1093 | ἐκ ～の-ゆえに G1537 | τῶν その G3588 | λοιπῶν 残りの G3062 | φωνῶν 声の G5456 | τῆς その G3588

σάλπιγγος ラッパの G4536 | τῶν その G3588 | τριῶν 三人の G5140 | ἀγγέλων, 御使いたちの G0032 | τῶν その G3588 | μελλόντων やがて G3195 | σαλπίζειν! 吹く G4537

また、わたしが見ていると、一羽のわしが中空を飛び、大きな声でこう言うのを聞いた、「ああ、わざわいだ、わざわいだ、わざわいだ、地に住む人々は、わざわいだ。なお三人の御使がラッパを吹き鳴らそうとしている」。

Chapter 9

1 Καὶ ὁ πέμπτος ἄγγελος ἐσάλπισεν; καὶ εἶδον ἀστέρα ἐκ τοῦ
そして その 第五の 御使いが 吹いた すると 私は–見た 星が ～から その
G2532 G3588 G3991 G0032 G4537 G2532 G3708 G0792 G1537 G3588

οὐρανοῦ, πεπτωκότα εἰς τὴν γῆν, καὶ ἐδόθη αὐτῷ ἡ κλεὶς τοῦ
天から 落ちたのを ～の–上に その 地に そして 与えられた 彼に その 鍵が その
G3772 G4098 G1519 G3588 G1093 G2532 G1325 G0846 G3588 G2807 G3588

φρέατος τῆς ἀβύσσου.
穴の その 底なしの–淵の
G5421 G3588 G0012

第五の御使が、ラッパを吹き鳴らした。するとわたしは、一つの星が天から地に落ちて来るのを見た。この星に、底知れぬ所の穴を開くかぎが与えられた。

2 καὶ ἤνοιξεν τὸ φρέαρ τῆς ἀβύσσου; καὶ ἀνέβη καπνὸς ἐκ τοῦ
そして 開いた その 穴を その 底なしの–淵の すると 上った 煙が ～から その
G2532 G0455 G3588 G5421 G3588 G0012 G2532 G0305 G2586 G1537 G3588

φρέατος, ὡς καπνὸς καμίνου μεγάλης; καὶ ἐσκοτώθη ὁ ἥλιος
穴から ～のような 煙の–ように 炉の 大きな そして 暗く–なった その 太陽と
G5421 G5613 G2586 G2575 G3173 G2532 G4656 G3588 G2246

καὶ ὁ ἀὴρ ἐκ τοῦ καπνοῦ τοῦ φρέατος.
そして その 大気が ～に–よって その 煙に–よって その 穴の
G2532 G3588 G0109 G1537 G3588 G2586 G3588 G5421

そして、この底知れぬ所の穴が開かれた。すると、その穴から煙が大きな炉の煙のように立ちのぼり、その穴の煙で、太陽も空気も暗くなった。

3 καὶ ἐκ τοῦ καπνοῦ ἐξῆλθον ἀκρίδες εἰς τὴν γῆν, καὶ
そして ～から その 煙から 出て–来た いなごが ～の–上に その 地に そして
G2532 G1537 G3588 G2586 G1831 G0200 G1519 G3588 G1093 G2532

ἐδόθη αὐταῖς ἐξουσία, ὡς ἔχουσιν ἐξουσίαν οἱ σκορπίοι τῆς γῆς;
与えられた 彼らに 権威が ～のような 持っている 権威を その さそりが その 地の
G1325 G0846 G1849 G5613 G2192 G1849 G3588 G4651 G3588 G1093

その煙の中から、いなごが地上に出てきたが、地のさそりが持っているような力が、彼らに与えられた。

4 καὶ ἐρρέθη αὐταῖς, ἵνα μὴ ἀδικήσουσιν τὸν χόρτον
そして 告げられた 彼らに ～しない–ように–と ～ない 損なっては–ならない その 草を
G2532 G2046 G0846 G2443 G3361 G0091 G3588 G5528

τῆς γῆς, οὐδὲ πᾶν χλωρὸν, οὐδὲ πᾶν δένδρον, εἰ μὴ
その 地の ～も–なく いかなる 緑の–ものも ～も–なく いかなる 木も ただし ～でない
G3588 G1093 G3761 G3956 G5515 G3761 G3956 G1186 G1487 G3361

τοὺς ἀνθρώπους οἵτινες οὐκ ἔχουσι τὴν σφραγῖδα τοῦ Θεοῦ
その 人々だけを その–者たちで ～ない 持って–いない その 印を その 神の
G3588 G0444 G3748 G3756 G2192 G3588 G4973 G3588 G2316

ἐπὶ τῶν μετώπων.
～の–上に その 額の
G1909 G3588 G3359

彼らは、地の草やすべての青草、またすべての木をそこなってはならないが、額に神の印がない人たちには害を加えてもよいと、言い渡された。

5

καὶ	ἐδόθη	αὐτοῖς	ἵνα	μὴ	ἀποκτείνωσιν	αὐτούς,	ἀλλ’
そして	与えられた	彼らに	～しない–ように–と	～ない	殺しては–ならない	彼らを	ただし
G2532	G1325	G0846	G2443	G3361	G0615	G0846	G0235

ἵνα	βασανισθήσονται	μῆνας	πέντε;	καὶ	ὁ	βασανισμὸς	αὐτῶν
～する–ように–と	苦しめる–ように	月の–間	五	そして	その	苦しみは	彼らの
G2443	G0928	G3376	G4002	G2532	G3588	G0929	G0846

ὡς	βασανισμὸς	σκορπίου,	ὅταν	παίσῃ	ἄνθρωπον.
～のような	苦しみの–ように	さそりの	その–時	刺す–時の	人を
G5613	G0929	G4651	G3752	G3817	G0444

彼らは、人間を殺すことはしないで、五か月のあいだ苦しめることだけが許された。彼らの与える苦痛は、人がさそりにさされる時のような苦痛であった。

6

καὶ	ἐν	ταῖς	ἡμέραις	ἐκείναις,	ζητήσουσιν	οἱ	ἄνθρωποι	τὸν
そして	～の–中で	その	日々に	その	求める	その	人々が	その
G2532	G1722	G3588	G2250	G1565	G2212	G3588	G0444	G3588

θάνατον,	καὶ	οὐ	μὴ	εὑρήσουσιν	αὐτόν;	καὶ	ἐπιθυμήσουσιν	ἀποθανεῖν,
死を	しかし	決して	～ない	見つけられない	それを	そして	望む	死ぬことを
G2288	G2532	G3756	G3361	G2147	G0846	G2532	G1937	G0599

καὶ	φεύγει	ὁ	θάνατος	ἀπ’	αὐτῶν.
そして	逃げる	その	死が	～から	彼らから
G2532	G5343	G3588	G2288	G0575	G0846

その時には、人々は死を求めても与えられず、死にたいと願っても、死は逃げて行くのである。

7

καὶ	τὰ	ὁμοιώματα	τῶν	ἀκρίδων	ὅμοια	ἵπποις	ἡτοιμασμένοις	εἰς
そして	その	姿は	その	いなごの	似ている	馬に	備えられた	～の–ために
G2532	G3588	G3667	G3588	G0200	G3664	G2462	G2090	G1519

πόλεμον,	καὶ	ἐπὶ	τὰς	κεφαλὰς	αὐτῶν,	ὡς	στέφανοι,	ὅμοιοι
戦いの–ために	そして	～の–上に	その	頭に	彼らの	～のような	冠の–ような	似た
G4171	G2532	G1909	G3588	G2776	G0846	G5613	G4735	G3664

χρυσῷ;	καὶ	τὰ	πρόσωπα	αὐτῶν	ὡς	πρόσωπα	ἀνθρώπων;
金に	そして	その	顔は	彼らの	～のような	顔の–ようで	人間の
G5557	G2532	G3588	G4383	G0846	G5613	G4383	G0444

これらのいなごは、出陣の用意のととのえられた馬によく似ており、その頭には金の冠のようなものをつけ、その顔は人間の顔のようであり、

8

καὶ	εἶχον	τρίχας	ὡς	τρίχας	γυναικῶν;	καὶ	οἱ	ὀδόντες
そして	持っていた	髪を	～のような	髪の–ような	女の	そして	その	歯は
G2532	G2192	G2359	G5613	G2359	G1135	G2532	G3588	G3599

αὐτῶν	ὡς	λεόντων	ἦσαν;
彼らの	～のような	獅子の–ようで	あった
G0846	G5613	G3023	G1510

また、そのかみの毛は女のかみのようであり、その歯はししの歯のようであった。

9 καὶ そして G2532 εἶχον 持っていた G2192 θώρακας 胸当てを G2382 ὡς ～のような G5613 θώρακας 胸当ての-ような G2382 σιδηροῦς; 鉄の G4603 καὶ そして G2532 ἡ その G3588

φωνὴ 羽の-音は G5456 τῶν その G3588 πτερύγων 羽の G4420 αὐτῶν 彼らの G0846 ὡς ～のような G5613 φωνὴ 音の-ようで G5456 ἁρμάτων 戦車の G0716 ἵππων 馬の G2462 πολλῶν, 多くの G4183

τρεχόντων 走る G5143 εἰς ～へ G1519 πόλεμον; 戦いへ G4171

また、鉄の胸当のような胸当をつけており、その羽の音は、馬に引かれて戦場に急ぐ多くの戦車の響きのようであった。

10 καὶ そして G2532 ἔχουσιν 持っている G2192 οὐρὰς 尾を G3769 ὁμοίας 似た G3664 σκορπίοις, さそりに G4651 καὶ そして G2532 κέντρα; 針を G2759 καὶ そして G2532 ἐν ～の-中に G1722 ταῖς その G3588

οὐραῖς 尾の-中に G3769 αὐτῶν, 彼らの G0846 ἡ その G3588 ἐξουσία 権威が-ある G1849 αὐτῶν 彼らの G0846 ἀδικῆσαι 害する G0091 τοὺς その G3588 ἀνθρώπους 人々を G0444 μῆνας 月の-間 G3376 πέντε. 五 G4002

その上、さそりのような尾と針とを持っている。その尾には、五か月のあいだ人間をそこなう力がある。

11 ἔχουσιν 持っている G2192 ἐπ’ ～の-上に G1909 αὐτῶν 彼らの G0846 βασιλέα, 王を G0935 τὸν その G3588 ἄγγελον 御使いを G0032 τῆς その G3588 ἀβύσσου. 底なしの-淵の G0012 ὄνομα 名は G3686 αὐτῷ 彼に G0846

Ἑβραϊστί ヘブライ語で G1447 Ἀβαδδών, アバドンであり G0003 καὶ そして G2532 ἐν ～の-中で G1722 τῇ その G3588 Ἑλληνικῇ, ギリシャ語で G1673 ὄνομα 名を G3686 ἔχει 持っている G2192

Ἀπολλύων. アポリュオンである G0623

彼らは、底知れぬ所の使を王にいただいており、その名をヘブル語でアバドンと言い、ギリシヤ語ではアポルオンと言う。

12 Ἡ その G3588 Οὐαὶ わざわいの G3759 ἡ その G3588 μία 第一のは G1520 ἀπῆλθεν. 過ぎ-去った G0565 ἰδοὺ, 見よ G3708 ἔρχεται 来る G2064 ἔτι まだ G2089 δύο 二つの G1417 Οὐαὶ わざわいが G3759

μετὰ ～の-後に G3326 ταῦτα. これらの-後に G3778

第一のわざわいは、過ぎ去った。見よ、この後、なお二つのわざわいが来る。

13 Καὶ そして G2532 ὁ その G3588 ἕκτος 第六の G1623 ἄγγελος 御使いが G0032 ἐσάλπισεν; 吹いた G4537 καὶ すると G2532 ἤκουσα 私は-聞いた G0191 φωνὴν 声を G5456 μίαν, 一つの G1520 ἐκ ～から G1537

τῶν その G3588 τεσσάρων 四つの G5064 κεράτων 角から G2768 τοῦ その G3588 θυσιαστηρίου 祭壇の G2379 τοῦ その G3588 χρυσοῦ, 金の G5552 τοῦ その G3588 ἐνώπιον 御前に-ある G1799 τοῦ その G3588

Θεοῦ, 神の G2316

第六の御使が、ラッパを吹き鳴らした。すると、一つの声が、神のみまえにある金の祭壇の四つの角から出て、

14 λέγοντα τῷ ἕκτῳ ἀγγέλῳ, ὁ ἔχων τὴν σάλπιγγα, Λῦσον τοὺς
言っている その 第六の 御使いに その 持っている その ラッパを 解き-放て その
G3004 G3588 G1623 G0032 G3588 G2192 G3588 G4536 G3089 G3588

τέσσαρας ἀγγέλους, τοὺς δεδεμένους ἐπὶ τῷ ποταμῷ τῷ μεγάλῳ
四人の 御使いたちを その 縛られている ～の-ほとりに その 川の その 大きな
G5064 G0032 G3588 G1210 G1909 G3588 G4215 G3588 G3173

Εὐφράτῃ.
ユーフラテスの
G2166

ラッパを持っている第六の御使にこう呼びかけるのを、わたしは聞いた。「大ユウフラテ川のほとりにつながれている四人の御使を、解いてやれ」。

15 καὶ ἐλύθησαν οἱ τέσσαρες ἄγγελοι, οἱ ἡτοιμασμένοι εἰς τὴν
すると 解き-放たれた その 四人の 御使いたちが その 備えられた ～の-ために その
G2532 G3089 G3588 G5064 G0032 G3588 G2090 G1519 G3588

ὥραν, καὶ ἡμέραν, καὶ μῆνα, καὶ ἐνιαυτόν, ἵνα ἀποκτείνωσιν
時と そして 日と そして 月と そして 年の-ために ～する-ために 殺す-ために
G5610 G2532 G2250 G2532 G3376 G2532 G1763 G2443 G0615

τὸ τρίτον τῶν ἀνθρώπων;
その 三分の一の その 人々を
G3588 G5154 G3588 G0444

すると、その時、その日、その月、その年に備えておかれた四人の御使が、人間の三分の一を殺すために、解き放たれた。

16 καὶ ὁ ἀριθμὸς τῶν στρατευμάτων τοῦ ἱππικοῦ δισμυριάδες (μυριάδες)
そして その 数は その 軍勢の その 騎兵の 二万の 万の
G2532 G3588 G0706 G3588 G4753 G3588 G2461 G1364 G3461

μυριάδων; ἤκουσα τὸν ἀριθμὸν αὐτῶν.
万倍である 私は-聞いた その 数を 彼らの
G3461 G0191 G3588 G0706 G0846

騎兵隊の数は二億であった。わたしはその数を聞いた。

17 καὶ οὕτως εἶδον τοὺς ἵππους ἐν τῇ ὁράσει, καὶ τοὺς
そして このように 私は-見た その 馬を ～の-中で その 幻の-中で そして その
G2532 G3779 G3708 G3588 G2462 G1722 G3588 G3706 G2532 G3588

καθημένους ἐπ’ αὐτῶν, ἔχοντας θώρακας πυρίνους, καὶ
乗っている-者たちを ～の-上に それらに 持っている 胸当てを 火の-ような そして
G2521 G1909 G0846 G2192 G2382 G4447 G2532

ὑακινθίνους, καὶ θειώδεις; καὶ αἱ κεφαλαὶ τῶν ἵππων ὡς
青玉の-ような そして 硫黄の-ような そして その 頭は その 馬の ～のような
G5191 G2532 G2306 G2532 G3588 G2776 G3588 G2462 G5613

κεφαλαὶ λεόντων, καὶ ἐκ τῶν στομάτων αὐτῶν ἐκπορεύεται πῦρ, καὶ
頭の-ようで 獅子の そして ～から その 口から 彼らの 出て-来る 火と そして
G2776 G3023 G2532 G1537 G3588 G4750 G0846 G1607 G4442 G2532

καπνὸς, καὶ θεῖον.
煙と そして 硫黄が
G2586 G2532 G2303

そして、まぼろしの中で、それらの馬とそれに乗っている者たちとを見ると、乗っている者たちは、火の色と青玉色と硫黄の色の胸当をつけていた。そして、それらの馬の頭はししの頭のようであって、その口から火と煙と硫黄とが、出ていた。

18 ἀπὸ ～に-よって G0575 | τῶν その G3588 | τριῶν 三つの G5140 | πληγῶν 災いに-よって G4127 | τούτων, これらの G3778 | ἀπεκτάνθησαν 殺された G0615 | τὸ その G3588 | τρίτον 三分の一の G5154 | τῶν その G3588 | ἀνθρώπων, 人々が G0444 | ἐκ ～に-よって G1537 | τοῦ その G3588 | πυρὸς, 火と G4442 | καὶ そして G2532 | τοῦ その G3588 | καπνοῦ, 煙と G2586 | καὶ そして G2532 | τοῦ その G3588 | θείου, 硫黄に-よって G2303 | τοῦ その G3588 | ἐκπορευομένου 出て-来る G1607 | ἐκ ～から G1537 | τῶν その G3588 | στομάτων 口から G4750 | αὐτῶν. 彼らの G0846

この三つの災害、すなわち、彼らの口から出て来る火と煙と硫黄とによって、人間の三分の一は殺されてしまった。

19 ἡ その G3588 | γὰρ なぜなら G1063 | ἐξουσία 権威は G1849 | τῶν その G3588 | ἵππων, 馬の G2462 | ἐν ～の-中に G1722 | τῷ その G3588 | στόματι 口に G4750 | αὐτῶν 彼らの G0846 | ἐστιν; ある G1510 | καὶ そして G2532 | ἐν ～の-中に G1722 | ταῖς その G3588 | οὐραῖς 尾にも G3769 | αὐτῶν; 彼らの G0846 | αἱ その G3588 | γὰρ なぜなら G1063 | οὐραὶ 尾は G3769 | αὐτῶν 彼らの G0846 | ὅμοιαι 似ている G3664 | ὄφεσιν, 蛇に G3789 | ἔχουσαι 持っている G2192 | κεφαλάς, 頭を G2776 | καὶ そして G2532 | ἐν ～の-中で G1722 | αὐταῖς それらで G0846 | ἀδικοῦσιν. 害する G0091

馬の力はその口と尾とにある。その尾はへびに似ていて、それに頭があり、その頭で人に害を加えるのである。

20 ‹Καὶ そして G2532 | οἱ その G3588 | λοιποὶ 残りの G3062 | τῶν その G3588 | ἀνθρώπων 人々で G0444 | οἳ その-者たちで G3739 | οὐκ ～ない G3756 | ἀπεκτάνθησαν 殺されなかった G0615 | ἐν ～の-中で G1722 | ταῖς その G3588 | πληγαῖς 災いの-中で G4127 | ταύταις, これらの G3778 | οὐδὲ ～も-なく G3761 | μετενόησαν 悔い-改めなかった G3340 | ἐκ ～から G1537 | τῶν その G3588 | ἔργων 行いから G2041 | τῶν その G3588 | χειρῶν 手の G5495 | αὐτῶν, 彼らの G0846 | ἵνα ～しない-ように G2443 | μὴ ～ない G3361 | προσκυνήσουσιν 拝まない-ように G4352 | τὰ その G3588 | δαιμόνια, 悪霊を G1140 | καὶ そして G2532 | τὰ その G3588 | εἴδωλα 偶像を G1497 | τὰ その G3588 | χρυσᾶ, 金の G5552 | καὶ そして G2532 | τὰ その G3588 | ἀργυρᾶ, 銀の G0693 | καὶ そして G2532 | τὰ その G3588 | χαλκᾶ, 銅の G5470 | καὶ そして G2532 | τὰ その G3588 | λίθινα, 石の G3035 | καὶ そして G2532 | τὰ その G3588 | ξύλινα, 木の G3585 | ἃ それらは G3739 | οὔτε ～も-なく G3777 | βλέπειν 見ることも G0991 | δύνανται, できない G1410 | οὔτε ～も-なく G3777 | ἀκούειν, 聞くことも G0191 | οὔτε ～も-なく G3777 | περιπατεῖν›. 歩くことも G4043

これらの災害で殺されずに残った人々は、自分の手で造ったものについて、悔い改めようとせず、また悪霊のたぐいや、金、銀、銅、石、木で造られ、見ることも聞くことも歩くこともできない偶像を礼拝して、やめようともしなかった。

21 καὶ そして G2532 οὐ ～ない G3756 μετενόησαν 悔い-改めなかった G3340 ἐκ ～から G1537 τῶν その G3588 φόνων 殺人からも G5408 αὐτῶν, 彼らの G0846 οὔτε ～も-なく G3777 ἐκ ～から G1537 τῶν その G3588 φαρμάκων 魔術からも G5333 αὐτῶν, 彼らの G0846 οὔτε ～も-なく G3777 ἐκ ～から G1537 τῆς その G3588 πορνείας 淫行からも G4202 αὐτῶν, 彼らの G0846 οὔτε ～も-なく G3777 ἐκ ～から G1537 τῶν その G3588 κλεμμάτων 盗みからも G2809 αὐτῶν. 彼らの G0846

また、彼らは、その犯した殺人や、まじないや、不品行や、盗みを悔い改めようとしなかった。

Chapter 10

1 Καὶ そして G2532 εἶδον 私は-見た G3708 ἄλλον 別の G0243 ἄγγελον 御使いが G0032 ἰσχυρὸν, 力ある G2478 καταβαίνοντα 降って-来るのを G2597 ἐκ ～から G1537 τοῦ その G3588 οὐρανοῦ, 天から G3772 περιβεβλημένον 身に-まとって G4016 νεφέλην, 雲を G3507 καὶ そして G2532 ἡ その G3588 ἶρις 虹が G2463 ἐπὶ ～の-上に G1909 τὴν その G3588 κεφαλὴν 頭の G2776 αὐτοῦ, 彼の G0846 καὶ そして G2532 τὸ その G3588 πρόσωπον 顔は G4383 αὐτοῦ 彼の G0846 ὡς ～のようで G5613 ὁ その G3588 ἥλιος, 太陽の-ようで G2246 καὶ そして G2532 οἱ その G3588 πόδες 足は G4228 αὐτοῦ 彼の G0846 ὡς ～のようで G5613 στῦλοι 柱の-ようで G4769 πυρός, 火の G4442

わたしは、もうひとりの強い御使が、雲に包まれて、天から降りて来るのを見た。その頭に、にじをいただき、その顔は太陽のようで、その足は火の柱のようであった。

2 καὶ そして G2532 ἔχων 持っている G2192 ἐν ～の-中に G1722 τῇ その G3588 χειρὶ 手に G5495 αὐτοῦ 彼の G0846 βιβλαρίδιον 小さな-巻物を G0974 ἠνεῳγμένον. 開かれた G0455 καὶ そして G2532 ἔθηκεν 置いた G5087 τὸν その G3588 πόδα 足を G4228 αὐτοῦ 彼の G0846 τὸν その G3588 δεξιὸν 右の G1188 ἐπὶ ～の-上に G1909 τῆς その G3588 θαλάσσης, 海の G2281 τὸν その G3588 δὲ そして G1161 εὐώνυμον 左のを G2176 ἐπὶ ～の-上に G1909 τῆς その G3588 γῆς; 地の G1093

彼は、開かれた小さな巻物を手に持っていた。そして、右足を海の上に、左足を地の上に踏みおろして、

3 καὶ そして G2532 ἔκραξεν 叫んだ G2896 φωνῇ 声で G5456 μεγάλῃ 大きな G3173 ὥσπερ ～のように G5618 λέων 獅子が G3023 μυκᾶται. 吾える-ように G3455 καὶ そして G2532 ὅτε その-時 G3753 ἔκραξεν, 叫んだ G2896 ἐλάλησαν 語った G2980 αἱ その G3588 ἑπτὰ 七つの G2033 βρονταὶ, 雷が G1027 τὰς それらの G3588 ἑαυτῶν 自らの G1438 φωνάς. 声を G5456

ししがほえるように大声で叫んだ。彼が叫ぶと、七つの雷がおのおのその声を発した。

4 Καὶ ὅτε ἐλάλησαν αἱ ἑπτὰ βρονταί, ἤμελλον γράφειν; καὶ
そして その–時 語った その 七つの 雷が 私は–書こうと–した 書こうと–した すると
G2532 G3753 G2980 G3588 G2033 G1027 G3195 G1125 G2532

ἤκουσα φωνὴν ἐκ τοῦ οὐρανοῦ, λέγουσαν, Σφράγισον ἃ ἐλάλησαν
私は–聞いた 声を ～から その 天から 言っている 封印せよ それらを 語ったことを
G0191 G5456 G1537 G3588 G3772 G3004 G4972 G3739 G2980

αἱ ἑπτὰ βρονταί, καὶ μὴ αὐτὰ γράψῃς.
その 七つの 雷が そして ～するな それらを 書いては–ならない
G3588 G2033 G1027 G2532 G3361 G0846 G1125

七つの雷が声を発した時、わたしはそれを書きとめようとした。すると、天から声があって、「七つの雷の語ったことを封印せよ。それを書きとめるな」と言うのを聞いた。

5 Καὶ ὁ ἄγγελος ὃν εἶδον ἑστῶτα ἐπὶ τῆς θαλάσσης καὶ
そして その 御使いが その–者を 私が–見た 立っている ～の–上に その 海の そして
G2532 G3588 G0032 G3739 G3708 G2476 G1909 G3588 G2281 G2532

ἐπὶ τῆς γῆς, ἦρεν τὴν χεῖρα αὐτοῦ τὴν δεξιὰν εἰς τὸν οὐρανόν,
～の–上に その 地の 上げた その 手を 彼の その 右の ～へ その 天へ
G1909 G3588 G1093 G0142 G3588 G5495 G0846 G3588 G1188 G1519 G3588 G3772

それから、海と地の上に立っているのをわたしが見たあの御使は、天にむけて右手を上げ、

6 καὶ ὤμοσεν ἐν τῷ ζῶντι εἰς τοὺς αἰῶνας τῶν
そして 誓った ～に–かけて その 生きておられる–方に ～へ その 世々の その
G2532 G3660 G1722 G3588 G2198 G1519 G3588 G0165 G3588

αἰώνων, ὃς ἔκτισεν τὸν οὐρανὸν καὶ τὰ ἐν αὐτῷ, καὶ
世々に その–方は 創造した その 天と そして その ～の–中の その中の–ものを そして
G0165 G3739 G2936 G3588 G3772 G2532 G3588 G1722 G0846 G2532

τὴν γῆν καὶ τὰ ἐν αὐτῇ, καὶ τὴν θάλασσαν καὶ τὰ
その 地と そして その ～の–中の その中の–ものを そして その 海と そして その
G3588 G1093 G2532 G3588 G1722 G0846 G2532 G3588 G2281 G2532 G3588

ἐν αὐτῇ, ὅτι χρόνος οὐκέτι ἔσται!
～の–中の その中の–ものを もはや 時は もはや ない
G1722 G0846 G3754 G5550 G3765 G1510

天とその中にあるもの、地とその中にあるもの、海とその中にあるものを造り、世々限りなく生きておられるかたをさして誓った、「もう時がない。

7 ἀλλ’ ἐν ταῖς ἡμέραις τῆς φωνῆς τοῦ ἑβδόμου ἀγγέλου, ὅταν
ただし ～の–中で その 日々に その 声の その 第七の 御使いの その–時
G0235 G1722 G3588 G2250 G3588 G5456 G3588 G1442 G0032 G3752

μέλλῃ σαλπίζειν, καὶ ἐτελέσθη τὸ μυστήριον τοῦ Θεοῦ, ὡς
吹こうと–する 吹く そして 成就した その 奥義が その 神の ～のように
G3195 G4537 G2532 G5055 G3588 G3466 G3588 G2316 G5613

εὐηγγέλισεν τοὺς ἑαυτοῦ δούλους, τοὺς προφήτας.
告げ知らせた–ように その 御自身の 僕たちに その 預言者たちに
G2097 G3588 G1438 G1401 G3588 G4396

第七の御使が吹き鳴らすラッパの音がする時には、神がその僕、預言者たちにお告げになったとおり、神の奥義は成就される」。

8 Καὶ ἡ φωνὴ ἣν ἤκουσα ἐκ τοῦ οὐρανοῦ πάλιν λαλοῦσαν
そして その 声が それを 私が–聞いた ～から その 天から 再び 語っている
G2532 G3588 G5456 G3739 G0191 G1537 G3588 G3772 G3825 G2980

μετ’ ἐμοῦ, καὶ λέγουσαν, Ὕπαγε, λάβε τὸ βιβλίον τὸ ἠνεῳγμένον
～と–共に 私と そして 言っている 行け 受け–取れ その 巻物を その 開かれた
G3326 G1473 G2532 G3004 G5217 G2983 G3588 G0975 G3588 G0455

ἐν τῇ χειρὶ τοῦ ἀγγέλου τοῦ ἑστῶτος ἐπὶ τῆς θαλάσσης,
～の–中の その 手の–中の その 御使いの その 立っている ～の–上に その 海の
G1722 G3588 G5495 G3588 G0032 G3588 G2476 G1909 G3588 G2281

καὶ ἐπὶ τῆς γῆς.
そして ～の–上に その 地の
G2532 G1909 G3588 G1093

すると、前に天から聞えてきた声が、またわたしに語って言った、「さあ行って、海と地との上に立っている御使の手に開かれている巻物を、受け取りなさい」。

9 καὶ ἀπῆλθα πρὸς τὸν ἄγγελον, λέγων αὐτῷ δοῦναί μοι
そして 私は–行った ～の–もとへ その 御使いの 言って 彼に 与える–ように–と 私に
G2532 G0565 G4314 G3588 G0032 G3004 G0846 G1325 G1473

τὸ βιβλαρίδιον. καὶ λέγει μοι, Λάβε καὶ κατάφαγε αὐτό; καὶ
その 小さな–巻物を すると 言った 私に 受け–取れ そして 食べ–尽くせ それを すると
G3588 G0974 G2532 G3004 G1473 G2983 G2532 G2719 G0846 G2532

πικρανεῖ σου τὴν κοιλίαν, ἀλλ’ ἐν τῷ στόματί σου, ἔσται
苦く–する あなたの その 腹を ただし ～の–中で その 口の–中では あなたの ある
G4087 G4771 G3588 G2836 G0235 G1722 G3588 G4750 G4771 G1510

γλυκὺ ὡς μέλι.
甘い ～のように 蜜の–ように
G1099 G5613 G3192

そこで、わたしはその御使のもとに行って、「その小さな巻物を下さい」と言った。すると、彼は言った、「取って、それを食べてしまいなさい。あなたの腹には苦いが、口には蜜のように甘い」。

10 καὶ ἔλαβον τὸ βιβλαρίδιον ἐκ τῆς χειρὸς τοῦ ἀγγέλου, καὶ
そして 私は–受け取った その 小さな–巻物を ～から その 手から その 御使いの そして
G2532 G2983 G3588 G0974 G1537 G3588 G5495 G3588 G0032 G2532

κατέφαγον αὐτό; καὶ ἦν ἐν τῷ στόματί μου, ὡς μέλι
食べ–尽くした それを すると あった ～の–中で その 口の–中で 私の ～のように 蜜の–ように
G2719 G0846 G2532 G1510 G1722 G3588 G4750 G1473 G5613 G3192

γλυκύ; καὶ ὅτε ἔφαγον αὐτό, ἐπικράνθη ἡ κοιλία μου.
甘い しかし その–時 食べた それを 苦く–なった その 腹が 私の
G1099 G2532 G3753 G5315 G0846 G4087 G3588 G2836 G1473

わたしは御使の手からその小さな巻物を受け取って食べてしまった。すると、わたしの口には蜜のように甘かったが、それを食べたら、腹が苦くなった。

11 καὶ λέγουσίν μοι, Δεῖ σε πάλιν προφητεῦσαι
そして 言っている 私に ～しなければ–ならない あなたは 再び 預言しなければ–ならない
G2532 G3004 G1473 G1163 G4771 G3825 G4395

ἐπὶ λαοῖς, καὶ ἔθνεσιν, καὶ γλώσσαις, καὶ βασιλεῦσιν πολλοῖς.
～に–ついて 諸国民と そして 諸民族と そして 諸言語と そして 諸王に–ついて 多くの
G1909 G2992 G2532 G1484 G2532 G1100 G2532 G0935 G4183

その時、「あなたは、もう一度、多くの民族、国民、国語、王たちについて、預言せねばならない」と言う声がした。

Chapter 11

1

Καὶ	ἐδόθη	μοι	κάλαμος	ὅμοιος	ῥάβδῳ,	λέγων,	Ἔγειρε,	καὶ	μέτρησον
そして	与えられた	私に	葉が	似た	杖に	言って	立て	そして	測れ
G2532	G1325	G1473	G2563	G3664	G4464	G3004	G1453	G2532	G3354

τὸν	ναὸν	τοῦ	Θεοῦ,	καὶ	τὸ	θυσιαστήριον,	καὶ	τοὺς	προσκυνοῦντας
その	神殿を	その	神の	そして	その	祭壇を	そして	その	礼拝している-者たちを
G3588	G3485	G3588	G2316	G2532	G3588	G2379	G2532	G3588	G4352

ἐν	αὐτῷ.
～の-中で	その中で
G1722	G0846

それから、わたしはつえのような測りざおを与えられて、こう命じられた、「さあ立って、神の聖所と祭壇と、そこで礼拝している人々とを、測りなさい。

2

καὶ	τὴν	αὐλὴν	τὴν	ἔξωθεν	τοῦ	ναοῦ,	ἔκβαλε	ἔξωθεν,	καὶ	μὴ
そして	その	庭を	その	外の	その	神殿の	除け	外に	そして	～するな
G2532	G3588	G0833	G3588	G1855	G3588	G3485	G1544	G1855	G2532	G3361

αὐτὴν	μετρήσῃς;	ὅτι	ἐδόθη	τοῖς	ἔθνεσιν,	καὶ	τὴν	πόλιν	τὴν
それを	測っては-ならない	なぜなら	与えられた	その	異邦人に	そして	その	都を	その
G0846	G3354	G3754	G1325	G3588	G1484	G2532	G3588	G4172	G3588

ἁγίαν,	πατήσουσιν	μῆνας	τεσσεράκοντα	[καὶ]	δύο.
聖なる	踏みにじる	月の-間	四十	そして	二
G0040	G3961	G3376	G5062	G2532	G1417

聖所の外の庭はそのままにしておきなさい。それを測ってはならない。そこは異邦人に与えられた所だから。彼らは、四十二か月の間この聖なる都を踏みにじるであろう。

3

καὶ	δώσω	τοῖς	δυσὶν	μάρτυσίν	μου,	καὶ	προφητεύσουσιν	ἡμέρας
そして	私は-与える	その	二人の	証人たちに	私の	そして	預言する	日の-間
G2532	G1325	G3588	G1417	G3144	G1473	G2532	G4395	G2250

χιλίας	διακοσίας	ἑξήκοντα,	περιβεβλημένοι	σάκκους.
千	二百	六十	身に-まとって	荒布を
G5507	G1250	G1835	G4016	G4526

そしてわたしは、わたしのふたりの証人に、荒布を着て、千二百六十日のあいだ預言することを許そう」。

4

Οὗτοί	εἰσιν	αἱ	δύο	ἐλαῖαι,	καὶ	αἱ	δύο	λυχνίαι,	αἱ
この-者たちは	である	その	二本の	オリーブの-木と	そして	その	二つの	燭台であり	その
G3778	G1510	G3588	G1417	G1636	G2532	G3588	G1417	G3087	G3588

ἐνώπιον	τοῦ	Κυρίου	τῆς	γῆς	ἑστῶτες.
御前に	その	主の	その	地の	立っている
G1799	G3588	G2962	G3588	G1093	G2476

彼らは、全地の主のみまえに立っている二本のオリブの木、また、二つの燭台である。

5

καὶ	εἴ	τις	αὐτοὺς	θέλει	ἀδικῆσαι,	πῦρ	ἐκπορεύεται	ἐκ	τοῦ
そして	もし	誰かが	彼らを	望むなら	害することを	火が	出て-来る	～から	その
G2532	G1487	G5100	G0846	G2309	G0091	G4442	G1607	G1537	G3588

στόματος	αὐτῶν,	καὶ	κατεσθίει	τοὺς	ἐχθροὺς	αὐτῶν.	καὶ	εἴ	τις
口から	彼らの	そして	食い-尽くす	その	敵を	彼らの	そして	もし	誰かが
G4750	G0846	G2532	G2719	G3588	G2190	G0846	G2532	G1487	G5100

θελήσῃ	αὐτοὺς	ἀδικῆσαι,	οὕτως	δεῖ	αὐτὸν	ἀποκτανθῆναι.
望むなら	彼らを	害することを	このように	～しなければ-ならない	彼は	殺されねば-ならない
G2309	G0846	G0091	G3779	G1163	G0846	G0615

もし彼らに害を加えようとする者があれば、彼らの口から火が出て、その敵を滅ぼすであろう。もし彼らに害を加えようとする者があれば、その者はこのように殺されねばならない。

6

οὗτοι	ἔχουσιν	τὴν	ἐξουσίαν	κλεῖσαι	τὸν	οὐρανόν,	ἵνα	μὴ
この-者たちは	持っている	その	権威を	閉じる	その	天を	～しない-ように	～ない
G3778	G2192	G3588	G1849	G2808	G3588	G3772	G2443	G3361

ὑετὸς	βρέχῃ	τὰς	ἡμέρας	τῆς	προφητείας	αὐτῶν;	καὶ	ἐξουσίαν
雨が	降らない-ように	その	日々の-間	その	預言の	彼らの	そして	権威を
G5205	G1026	G3588	G2250	G3588	G4394	G0846	G2532	G1849

ἔχουσιν	ἐπὶ	τῶν	ὑδάτων,	στρέφειν	αὐτὰ	εἰς	αἷμα,	καὶ	πατάξαι
持っている	～の-上に	その	水の	変える	それらを	～に	血に	そして	打つ
G2192	G1909	G3588	G5204	G4762	G0846	G1519	G0129	G2532	G3960

τὴν	γῆν	ἐν	πάσῃ	πληγῇ,	ὁσάκις	ἐὰν	θελήσωσιν.
その	地を	～で	あらゆる	災いで	その-たびに	もし	望むなら
G3588	G1093	G1722	G3956	G4127	G3740	G1437	G2309

預言をしている期間、彼らは、天を閉じて雨を降らせないようにする力を持っている。さらにまた、水を血に変え、何度でも思うままに、あらゆる災害で地を打つ力を持っている。

7

καὶ	ὅταν	τελέσωσιν	τὴν	μαρτυρίαν	αὐτῶν,	τὸ	θηρίον	τὸ	ἀναβαῖνον
そして	その-時	終える	その	証しを	彼らの	その	獣が	その	上って-来る
G2532	G3752	G5055	G3588	G3141	G0846	G3588	G2342	G3588	G0305

ἐκ	τῆς	ἀβύσσου	ποιήσει	μετ’	αὐτῶν	πόλεμον,	καὶ	νικήσει
～から	その	底なしの-淵から	行う	～と-共に	彼らと	戦いを	そして	勝つ
G1537	G3588	G0012	G4160	G3326	G0846	G4171	G2532	G3528

αὐτοὺς,	καὶ	ἀποκτενεῖ	αὐτούς.
彼らに	そして	殺す	彼らを
G0846	G2532	G0615	G0846

そして、彼らがそのあかしを終えると、底知れぬ所からのぼって来る獣が、彼らと戦って打ち勝ち、彼らを殺す。

8

καὶ	τὸ	πτῶμα	αὐτῶν	ἐπὶ	τῆς	πλατείας	τῆς	πόλεως	τῆς	μεγάλης,
そして	その	死体が	彼らの	～の-上に	その	大通りの	その	都の	その	大きな
G2532	G3588	G4430	G0846	G1909	G3588	G4113	G3588	G4172	G3588	G3173

ἥτις	καλεῖται	πνευματικῶς	Σόδομα	καὶ	Αἴγυπτος,	ὅπου	καὶ	ὁ	Κύριος
それは	呼ばれている	霊的には	ソドムと	そして	エジプトと	そこで	また	その	主も
G3748	G2564	G4153	G4670	G2532	G0125	G3699	G2532	G3588	G2962

αὐτῶν	ἐσταυρώθη.
彼らの	十字架に-つけられた
G0846	G4717

彼らの死体はソドムや、エジプトにたとえられている大いなる都の大通りにさらされる。彼らの主も、この都で十字架につけられたのである。

9

καὶ	βλέπουσιν	ἐκ	τῶν	λαῶν,	καὶ	φυλῶν,	καὶ	γλωσσῶν,	καὶ
そして	見ている	～から	その	諸民族と	そして	諸部族と	そして	諸言語と	そして
G2532	G0991	G1537	G3588	G2992	G2532	G5443	G2532	G1100	G2532

ἐθνῶν,	τὸ	πτῶμα	αὐτῶν	ἡμέρας	τρεῖς	καὶ	ἥμισυ,	καὶ	τὰ	πτώματα
諸国民が	その	死体を	彼らの	日の-間	三	そして	半	そして	その	死体を
G1484	G3588	G4430	G0846	G2250	G5140	G2532	G2255	G2532	G3588	G4430

αὐτῶν	οὐκ	ἀφίουσιν	τεθῆναι	εἰς	μνῆμα.
彼らの	～ない	許さない	置くことを	～の-中に	墓に
G0846	G3756	G0863	G5087	G1519	G3418

いろいろな民族、部族、国語、国民に属する人々が、三日半の間、彼らの死体をながめるが、その死体を墓に納めることは許さない。

10

καὶ	οἱ	κατοικοῦντες	ἐπὶ	τῆς	γῆς	χαίρουσιν	ἐπ’	αὐτοῖς,	
そして	その	住んでいる-者たちは	～の-上に	その	地の	喜ぶ	～の-上に	彼らのことを	
G2532	G3588	G2730	G1909	G3588	G1093	G5463	G1909	G0846	

καὶ	εὐφραίνονται,	καὶ	δῶρα	πέμψουσιν	ἀλλήλοις,	ὅτι	οὗτοι,	οἱ	
そして	楽しむ	そして	贈り物を	送る	互いに	なぜなら	この	その	
G2532	G2165	G2532	G1435	G3992	G0240	G3754	G3778	G3588	

δύο	προφῆται,	ἐβασάνισαν	τοὺς	κατοικοῦντας	ἐπὶ	τῆς	γῆς.
二人の	預言者たちが	苦しめた	その	住んでいる-者たちを	～の-上に	その	地の
G1417	G4396	G0928	G3588	G2730	G1909	G3588	G1093

地に住む人々は、彼らのことで喜び楽しみ、互に贈り物をしあう。このふたりの預言者は、地に住む者たちを悩ましたからである。

11

καὶ	μετὰ	τὰς	τρεῖς	ἡμέρας	καὶ	ἥμισυ,	πνεῦμα	ζωῆς	ἐκ	τοῦ
そして	～の-後に	その	三	日と	そして	半の-後に	霊が	命の	～から	その
G2532	G3326	G3588	G5140	G2250	G2532	G2255	G4151	G2222	G1537	G3588

Θεοῦ	εἰσῆλθεν	ἐν	αὐτοῖς,	καὶ	ἔστησαν	ἐπὶ	τοὺς	πόδας	
神から	入った	～の-中に	彼らの-中に	そして	立ち-上がった	～の-上に	その	足の-上に	
G2316	G1525	G1722	G0846	G2532	G2476	G1909	G3588	G4228	

αὐτῶν;	καὶ	φόβος	μέγας	ἐπέπεσεν	ἐπὶ	τοὺς	θεωροῦντας	αὐτούς.
彼らの	そして	恐れが	大きな	落ちた	～の-上に	その	見ている-者たちに	彼らを
G0846	G2532	G5401	G3173	G1968	G1909	G3588	G2334	G0846

三日半の後、いのちの息が、神から出て彼らの中にはいり、そして、彼らが立ち上がったので、それを見た人々は非常な恐怖に襲われた。

12

καὶ	ἤκουσαν	φωνῆς	μεγάλης	ἐκ	τοῦ	οὐρανοῦ,	λεγούσης	αὐτοῖς,	
そして	聞いた	声を	大きな	～から	その	天から	言っている	彼らに	
G2532	G0191	G5456	G3173	G1537	G3588	G3772	G3004	G0846	

Ἀνάβατε	ὧδε.	καὶ	ἀνέβησαν	εἰς	τὸν	οὐρανὸν	ἐν	τῇ	
上って-来なさい	ここに	そして	上った	～の-中へ	その	天へ	～の-中で	その	
G0305	G5602	G2532	G0305	G1519	G3588	G3772	G1722	G3588	

νεφέλῃ;	καὶ	ἐθεώρησαν	αὐτοὺς	οἱ	ἐχθροὶ	αὐτῶν.
雲の-中で	そして	見た	彼らを	その	敵たちが	彼らの
G3507	G2532	G2334	G0846	G3588	G2190	G0846

その時、天から大きな声がして、「ここに上ってきなさい」と言うのを、彼らは聞いた。そして、彼らは雲に乗って天に上った。彼らの敵はそれを見た。

13 Καὶ ἐν ἐκείνῃ τῇ ὥρᾳ ἐγένετο σεισμὸς μέγας, καὶ τὸ δέκατον
そして ～の-中で その その 時に 起こった 地震が 大きな そして その 十分の一の
G2532 G1722 G1565 G3588 G5610 G1096 G4578 G3173 G2532 G3588 G1182

τῆς πόλεως ἔπεσεν, καὶ ἀπεκτάνθησαν ἐν τῷ σεισμῷ, ὀνόματα
その 都が 崩れた そして 殺された ～の-中で その 地震で 人々の-名が
G3588 G4172 G4098 G2532 G0615 G1722 G3588 G4578 G3686

ἀνθρώπων χιλιάδες ἑπτά. καὶ οἱ λοιποὶ ἔμφοβοι ἐγένοντο, καὶ
人々が 千人 七 そして その 残りの-者たちは 恐れおののいた なった そして
G0444 G5505 G2033 G2532 G3588 G3062 G1719 G1096 G2532

ἔδωκαν δόξαν τῷ Θεῷ τοῦ οὐρανοῦ.
帰した 栄光を その 神に その 天の
G1325 G1391 G3588 G2316 G3588 G3772

この時、大地震が起って、都の十分の一は倒れ、その地震で七千人が死に、生き残った人々は驚き恐れて、天の神に栄光を帰した。

14 Ἡ Οὐαὶ ἡ δευτέρα ἀπῆλθεν. ἰδοὺ, ἡ Οὐαὶ ἡ τρίτη
その わざわいの その 第二のは 過ぎ-去った 見よ その わざわいの その 第三のが
G3588 G3759 G3588 G1208 G0565 G3708 G3588 G3759 G3588 G5154

ἔρχεται ταχύ.
来る 速やかに
G2064 G5035

第二のわざわいは、過ぎ去った。見よ、第三のわざわいがすぐに来る。

15 Καὶ ὁ ἕβδομος ἄγγελος ἐσάλπισεν; καὶ ἐγένοντο φωναὶ μεγάλαι
そして その 第七の 御使いが 吹いた すると 起こった 声が 大きな
G2532 G3588 G1442 G0032 G4537 G2532 G1096 G5456 G3173

ἐν τῷ οὐρανῷ, λέγοντες, Ἐγένετο ἡ βασιλεία τοῦ κόσμου, τοῦ
～の-中に その 天に 言っている なった その 王国が その 世界の その
G1722 G3588 G3772 G3004 G1096 G3588 G0932 G3588 G2889 G3588

Κυρίου ἡμῶν, καὶ τοῦ Χριστοῦ αὐτοῦ, καὶ βασιλεύσει
主の-ものとなった 私たちの そして その キリストの-ものとなった 彼の そして 支配する
G2962 G1473 G2532 G3588 G5547 G0846 G2532 G0936

εἰς τοὺς αἰῶνας τῶν αἰώνων.
～へ その 世々の その 世々に
G1519 G3588 G0165 G3588 G0165

第七の御使が、ラッパを吹き鳴らした。すると、大きな声々が天に起って言った、「この世の国は、われらの主とそのキリストとの国となった。主は世々限りなく支配なさるであろう」。

16 καὶ οἱ εἴκοσι τέσσαρες πρεσβύτεροι, οἱ ἐνώπιον τοῦ Θεοῦ καθήμενοι
そして その 二十 四人の 長老たちが その 御前に その 神の 座している
G2532 G3588 G1501 G5064 G4245 G3588 G1799 G3588 G2316 G2521

ἐπὶ τοὺς θρόνους αὐτῶν, ἔπεσαν ἐπὶ τὰ πρόσωπα αὐτῶν, καὶ
～の-上に その 御座の 彼らの ひれ伏した ～の-上に その 顔の 彼らの そして
G1909 G3588 G2362 G0846 G4098 G1909 G3588 G4383 G0846 G2532

προσεκύνησαν τῷ Θεῷ,
礼拝した その 神を
G4352 G3588 G2316

そして、神のみまえで座についている二十四人の長老は、ひれ伏し、神を拝して言った、

17 λέγοντες, Εὐχαριστοῦμέν σοι, Κύριε ὁ Θεός ὁ Παντοκράτωρ, ὁ
言って 感謝します あなたに 主よ その 神よ その 全能者よ その
G3004 G2168 G4771 G2962 G3588 G2316 G3588 G3841 G3588

ὢν, καὶ ὁ ἦν, {καὶ ὁ ἐρχόμενος} ὅτι εἴληφας
おられる-方 そして その おられた-方 そして その 来られる-方 なぜなら 取られたからです
G1510 G2532 G3588 G1510 G2532 G3588 G2064 G3754 G2983

τὴν δύναμίν σου τὴν μεγάλην, καὶ ἐβασίλευσας.
その 力を あなたの その 大いなる そして 支配したからです
G3588 G1411 G4771 G3588 G3173 G2532 G0936

「今いまし、昔いませる、全能者にして主なる神よ。大いなる御力をふるって支配なさったことを、感謝します。

18 καὶ τὰ ἔθνη ὠργίσθησαν, καὶ ἦλθεν ἡ ὀργή σου, καὶ
そして その 異邦の-民は 怒った そして 来た その 怒りが あなたの そして
G2532 G3588 G1484 G3710 G2532 G2064 G3588 G3709 G4771 G2532

ὁ καιρὸς τῶν νεκρῶν κριθῆναι, καὶ δοῦναι τὸν μισθὸν τοῖς δούλοις
その 時が-来た その 死者たちの 裁かれる そして 与える その 報いを その 僕たちに
G3588 G2540 G3588 G3498 G2919 G2532 G1325 G3588 G3408 G3588 G1401

σου, τοῖς προφήταις, καὶ τοῖς ἁγίοις, καὶ τοῖς φοβουμένοις
あなたの その 預言者たちと そして その 聖なる-者たちと そして その 畏れる-者たちに
G4771 G3588 G4396 G2532 G3588 G0040 G2532 G3588 G5399

τὸ ὄνομά σου, τοὺς μικροὺς καὶ τοὺς μεγάλους, καὶ διαφθεῖραι
その 御名を あなたの その 小さな-者も そして その 大きな-者も そして 滅ぼす
G3588 G3686 G4771 G3588 G3398 G2532 G3588 G3173 G2532 G1311

τοὺς διαφθείροντας τὴν γῆν.
その 滅ぼしている-者たちを その 地を
G3588 G1311 G3588 G1093

諸国民は怒り狂いましたが、あなたも怒りをあらわされました。そして、死人をさばき、あなたの僕なる預言者、聖徒、小さき者も、大いなる者も、すべて御名をおそれる者たちに報いを与え、また、地を滅ぼす者どもを滅ぼして下さる時がきました」。

19 καὶ ἠνοίγη ὁ ναὸς τοῦ Θεοῦ ὁ ἐν τῷ οὐρανῷ, καὶ
そして 開かれた その 神殿が その 神の その ～の-中の その 天の そして
G2532 G0455 G3588 G3485 G3588 G2316 G3588 G1722 G3588 G3772 G2532

ὤφθη ἡ κιβωτὸς τῆς διαθήκης αὐτοῦ ἐν τῷ ναῷ αὐτοῦ.
見えた その 契約の-箱が その 契約の 彼の ～の-中に その 神殿の-中に 彼の
G3708 G3588 G2787 G3588 G1242 G0846 G1722 G3588 G3485 G0846

καὶ ἐγένοντο ἀστραπαὶ, καὶ φωναὶ, καὶ βρονταὶ, καὶ σεισμὸς, καὶ
そして 起こった 稲光と そして 声と そして 雷と そして 地震と そして
G2532 G1096 G0796 G2532 G5456 G2532 G1027 G2532 G4578 G2532

χάλαζα μεγάλη.
雹が 大きな
G5464 G3173

そして、天にある神の聖所が開けて、聖所の中に契約の箱が見えた。また、いなずまと、もろもろの声と、雷鳴と、地震とが起り、大粒の雹が降った。

Chapter 12

1 Καὶ そして G2532 σημεῖον しるしが G4592 μέγα 大いなる G3173 ὤφθη 現れた G3708 ἐν –に G1722 τῷ –の G3588 οὐρανῷ: 天 G3772 γυνὴ 女が G1135 περιβεβλημένη 身にまとい G4016 τὸν –を G3588

ἥλιον, 太陽 G2246 καὶ そして G2532 ἡ –の G3588 σελήνη 月が G4582 ὑποκάτω –の下に G5270 τῶν –の G3588 ποδῶν 足 G4228 αὐτῆς, 彼女の G0846 καὶ そして G2532 ἐπὶ –の上に G1909 τῆς –の G3588

κεφαλῆς 頭 G2776 αὐτῆς 彼女の G0846 στέφανος 冠が–あり G4735 ἀστέρων 星の G0792 δώδεκα; 十二の G1427

また、大いなるしるしが天に現れた。ひとりの女が太陽を着て、足の下に月を踏み、その頭に十二の星の冠をかぶっていた。

2 καὶ そして G2532 ἐν 胎に G1722 γαστρὶ 子を–宿し G1064 ἔχουσα, ており G2192 καὶ そして G2532 κράζει 叫んでいた G2896 ὠδίνουσα, 産みの–苦しみで G5605 καὶ そして G2532 βασανιζομένη 苦悶し G0928

τεκεῖν. 産もうとしていた G5088

この女は子を宿しており、産みの苦しみと悩みとのために、泣き叫んでいた。

3 καὶ そして G2532 ὤφθη 現れた G3708 ἄλλο もう–一つの G0243 σημεῖον しるしが G4592 ἐν –に G1722 τῷ –の G3588 οὐρανῷ, 天 G3772 καὶ そして G2532 ἰδοὺ, 見よ G3708 δράκων 竜が G1404

πυρρός, 火のように–赤い G4450 μέγας 大きな G3173 ἔχων 持っている G2192 κεφαλὰς 頭を G2776 ἑπτὰ, 七つの G2033 καὶ そして G2532 κέρατα 角を G2768 δέκα, 十の G1176 καὶ そして G2532 ἐπὶ –の上に G1909

τὰς –の G3588 κεφαλὰς 頭 G2776 αὐτοῦ, その G0846 ἑπτὰ 七つの G2033 διαδήματα; 冠を G1238

また、もう一つのしるしが天に現れた。見よ、大きな、赤い龍がいた。それに七つの頭と十の角とがあり、その頭に七つの冠をかぶっていた。

4 καὶ そして G2532 ἡ –の G3588 οὐρὰ 尾が G3769 αὐτοῦ その G0846 σύρει 引きずり G4951 τὸ –の G3588 τρίτον 三分の一を G5154 τῶν –の G3588 ἀστέρων 星の G0792 τοῦ –の G3588 οὐρανοῦ, 天 G3772

καὶ そして G2532 ἔβαλεν 投げ落とした G0906 αὐτοὺς それらを G0846 εἰς –へ G1519 τὴν –の G3588 γῆν. 地 G1093 καὶ そして G2532 ὁ –の G3588 δράκων 竜は G1404 ἕστηκεν 立っていた G2476 ἐνώπιον –の前に G1799

τῆς –の G3588 γυναικὸς, 女 G1135 τῆς –の G3588 μελλούσης まさに–産もうとしている G3195 τεκεῖν, 産む G5088 ἵνα そうして G2443 ὅταν –の時に G3752 τέκῃ, 産んだなら G5088 τὸ –の G3588

τέκνον 子を G5043 αὐτῆς 彼女の G0846 καταφάγῃ. 食い尽くそうと G2719

その尾は天の星の三分の一を掃き寄せ、それらを地に投げ落した。龍は子を産もうとしている女の前に立ち、生れたなら、その子を食い尽そうとかまえていた。

5

καὶ	ἔτεκεν	υἱόν	ἄρσεν,	ὃς	μέλλει	ποιμαίνειν	πάντα	τὰ	ἔθνη
そして	産んだ	男の-子を	男子	その者は	やがて	治めるであろう	すべての	-の	国々を
G2532	G5088	G5207	G0730	G3739	G3195	G4165	G3956	G3588	G1484

ἐν	ῥάβδῳ	σιδηρᾷ;	καὶ	ἡρπάσθη	τὸ	τέκνον	αὐτῆς	πρὸς	τὸν	Θεὸν,
-で	杖	鉄の	そして	引き上げられた	-の	子は	彼女の	-へ	-の	神
G1722	G4464	G4603	G2532	G0726	G3588	G5043	G0846	G4314	G3588	G2316

καὶ	πρὸς	τὸν	θρόνον	αὐτοῦ.
そして	-へ	-の	御座	神の
G2532	G4314	G3588	G2362	G0846

女は男の子を産んだが、彼は鉄のつえをもってすべての国民を治めるべき者である。この子は、神のみもとに、その御座のところに、引き上げられた。

6

καὶ	ἡ	γυνὴ	ἔφυγεν	εἰς	τὴν	ἔρημον,	ὅπου	ἔχει	ἐκεῖ	τόπον
そして	-の	女は	逃れた	-へ	-の	荒野	そこに	持っている	そこで	場所を
G2532	G3588	G1135	G5343	G1519	G3588	G2048	G3699	G2192	G1563	G5117

ἡτοιμασμένον	ἀπὸ	τοῦ	Θεοῦ,	ἵνα	ἐκεῖ	τρέφωσιν	αὐτὴν	ἡμέρας	χιλίας
備えられた	-から	-の	神	そうして	そこで	養われる	彼女が	日を	千
G2090	G0575	G3588	G2316	G2443	G1563	G5142	G0846	G2250	G5507

διακοσίας	ἑξήκοντα.
二百	六十
G1250	G1835

女は荒野へ逃げて行った。そこには、彼女が千二百六十日のあいだ養われるように、神の用意された場所があった。

7

Καὶ	ἐγένετο	πόλεμος	ἐν	τῷ	οὐρανῷ:	ὁ	Μιχαὴλ	καὶ	οἱ
そして	起こった	戦いが	-で	-の	天	-は	ミカエルと	そして	-の
G2532	G1096	G4171	G1722	G3588	G3772	G3588	G3413	G2532	G3588

ἄγγελοι	αὐτοῦ	τοῦ	πολεμῆσαι	μετὰ	τοῦ	δράκοντος,	καὶ	ὁ	δράκων
御使いたちが	彼の	-する	戦った	-と	-の	竜	そして	-の	竜も
G0032	G0846	G3588	G4170	G3326	G3588	G1404	G2532	G3588	G1404

ἐπολέμησεν,	καὶ	οἱ	ἄγγελοι	αὐτοῦ;
戦った	そして	-の	御使いたちも	その
G4170	G2532	G3588	G0032	G0846

さて、天では戦いが起った。ミカエルとその御使たちとが、龍と戦ったのである。龍もその使たちも応戦したが、

8

καὶ	οὐκ	ἴσχυσεν,	οὐδὲ	τόπος	εὑρέθη	αὐτῶν	ἔτι	ἐν	τῷ
しかし	-では	勝てなかった	もはや	場所も	見つからなかった	彼らの	もう	-に	-の
G2532	G3756	G2480	G3761	G5117	G2147	G0846	G2089	G1722	G3588

οὐρανῷ.
天
G3772

勝てなかった。そして、もはや天には彼らのおる所がなくなった。

9 καὶ そして G2532 ἐβλήθη 投げ落とされた G0906 ὁ –の G3588 δράκων 竜は G1404 ὁ –の G3588 μέγας, 大いなる G3173 ὁ –すなわち G3588 ὄφις 蛇 G3789 ὁ –の G3588 ἀρχαῖος, 古い G0744

ὁ –で G3588 καλούμενος 呼ばれている G2564 Διάβολος, 悪魔 G1228 καὶ また G2532 Ὁ –の G3588 Σατανᾶς, サタン G4567 ὁ –で G3588 πλανῶν 惑わす–者 G4105 τὴν –の G3588 οἰκουμένην 全世界を G3625

ὅλην; すべて G3650 ἐβλήθη 投げ落とされた G0906 εἰς –へ G1519 τὴν –の G3588 γῆν, 地 G1093 καὶ そして G2532 οἱ –の G3588 ἄγγελοι 御使いたちも G0032 αὐτοῦ 彼の G0846 μετ’ 共に G3326 αὐτοῦ 彼と G0846

ἐβλήθησαν. 投げ落とされた G0906

この巨大な龍、すなわち、悪魔とか、サタンとか呼ばれ、全世界を惑わす年を経たへびは、地に投げ落され、その使たちも、もろともに投げ落された。

10 καὶ そして G2532 ἤκουσα 私は–聞いた G0191 φωνὴν 声を G5456 μεγάλην 大きな G3173 ἐν –で G1722 τῷ –の G3588 οὐρανῷ, 天 G3772 λέγουσαν, 言う G3004 Ἄρτι 今や G0737 ἐγένετο 来た G1096

ἡ –の G3588 σωτηρία, 救いと G4991 καὶ そして G2532 ἡ –の G3588 δύναμις, 力と G1411 καὶ そして G2532 ἡ –の G3588 βασιλεία 御国が G0932 τοῦ –の G3588 Θεοῦ 神 G2316 ἡμῶν, 私たちの G1473

καὶ そして G2532 ἡ –の G3588 ἐξουσία 権威が G1849 τοῦ –の G3588 Χριστοῦ キリスト G5547 αὐτοῦ, 神の G0846 ὅτι なぜなら G3754 ἐβλήθη 投げ落とされた G0906 ὁ –の G3588 κατήγωρ 告発する–者が G2725

τῶν –の G3588 ἀδελφῶν 兄弟たち G0080 ἡμῶν, 私たちの G1473 ὁ –の G3588 κατηγορῶν 訴える–者 G2723 αὐτοὺς 彼らを G0846 ἐνώπιον –の前で G1799 τοῦ –の G3588 Θεοῦ 神 G2316 ἡμῶν, 私たちの G1473

ἡμέρας 昼も G2250 καὶ そして G2532 νυκτός. 夜も G3571

その時わたしは、大きな声が天でこう言うのを聞いた、「今や、われらの神の救と力と国と、神のキリストの権威とは、現れた。われらの兄弟らを訴える者、夜昼われらの神のみまえで彼らを訴える者は、投げ落された。

11 καὶ そして G2532 αὐτοὶ 彼らは G0846 ἐνίκησαν 打ち勝った G3528 αὐτὸν 彼に G0846 διὰ –によって G1223 τὸ –の G3588 αἷμα 血 G0129 τοῦ –の G3588 Ἀρνίου, 小羊 G0721 καὶ そして G2532 διὰ –によって G1223

τὸν –の G3588 λόγον 言葉 G3056 τῆς –の G3588 μαρτυρίας 証し G3141 αὐτῶν; 彼らの G0846 καὶ そして G2532 οὐκ –ない G3756 ἠγάπησαν 愛さなかった G0025 τὴν –の G3588 ψυχὴν 命を G5590 αὐτῶν 自分の G0846

ἄχρι –まで G0891 θανάτου. 死に G2288

兄弟たちは、小羊の血と彼らのあかしの言葉とによって、彼にうち勝ち、死に至るまでもそのいのちを惜しまなかった。

12 διὰ τοῦτο εὐφραίνεσθε ‹οἱ› οὐρανοὶ, καὶ οἱ ἐν αὐτοῖς
それゆえ この-ことを 喜べ -の 天よ そして -の -に そこ
G1223 G3778 G2165 G3588 G3772 G2532 G3588 G1722 G0846

σκηνοῦντες! οὐαὶ τὴν γῆν καὶ τὴν θάλασσαν, ὅτι κατέβη ὁ
住む-者たちよ わざわいだ -の 地と そして -の 海 なぜなら 下った -の
G4637 G3759 G3588 G1093 G2532 G3588 G2281 G3754 G2597 G3588

διάβολος πρὸς ὑμᾶς ἔχων, θυμὸν μέγαν, εἰδὼς ὅτι ὀλίγον
悪魔が -へ あなたがたの-ところに 持って 怒りを 激しい 知っている -と わずかな
G1228 G4314 G4771 G2192 G2372 G3173 G1492 G3754 G3641

καιρὸν ἔχει.
時しか 持たないことを
G2540 G2192

それゆえに、天とその中に住む者たちよ、大いに喜べ。しかし、地と海よ、おまえたちはわざわいである。悪魔が、自分の時が短いのを知り、激しい怒りをもって、おまえたちのところに下ってきたからである」。

13 Καὶ ὅτε εἶδεν ὁ δράκων, ὅτι ἐβλήθη εἰς τὴν γῆν, ἐδίωξεν
そして -の時 見た -の 竜は -と 投げ落とされた -へ -の 地 迫害した
G2532 G3753 G3708 G3588 G1404 G3754 G0906 G1519 G3588 G1093 G1377

τὴν γυναῖκα, ἥτις ἔτεκεν τὸν ἄρσενα.
-の 女を その-者は 産んだ -の 男の-子を
G3588 G1135 G3748 G5088 G3588 G0730

龍は、自分が地上に投げ落されたと知ると、男子を産んだ女を追いかけた。

14 καὶ ἐδόθησαν τῇ γυναικὶ αἱ δύο πτέρυγες τοῦ ἀετοῦ τοῦ μεγάλου,
そして 与えられた -に 女 -の 二つの 翼が -の 鷲 -の 大きな
G2532 G1325 G3588 G1135 G3588 G1417 G4420 G3588 G0105 G3588 G3173

ἵνα πέτηται εἰς τὴν ἔρημον, εἰς τὸν τόπον αὐτῆς, ὅπου τρέφεται
そうして 飛べるように -へ -の 荒野 -へ -の 場所 彼女の そこで 養われる
G2443 G4072 G1519 G3588 G2048 G1519 G3588 G5117 G0846 G3699 G5142

ἐκεῖ καιρὸν, καὶ καιροὺς, καὶ ἥμισυ καιροῦ, ἀπὸ προσώπου τοῦ
そこで 一時と そして 二時と そして 半時の-間 時 -から-離れて 顔 -の
G1563 G2540 G2532 G2540 G2532 G2255 G2540 G0575 G4383 G3588

ὄφεως.
蛇の
G3789

しかし、女は自分の場所である荒野に飛んで行くために、大きなわしの二つの翼を与えられた。そしてそこでへびからのがれて、一年、二年、また、半年の間、養われることになっていた。

15 καὶ ἔβαλεν ὁ ὄφις, ἐκ τοῦ στόματος αὐτοῦ, ὀπίσω τῆς
そして 吐き出した -の 蛇は -から -の 口 その -の後ろに -の
G2532 G0906 G3588 G3789 G1537 G3588 G4750 G0846 G3694 G3588

γυναικὸς, ὕδωρ ὡς ποταμόν, ἵνα αὐτὴν ποταμοφόρητον ποιήσῃ.
女 水を -のような 川 そうして 彼女を 押し流そうと した
G1135 G5204 G5613 G4215 G2443 G0846 G4216 G4160

へびは女の後に水を川のように、口から吐き出して、女をおし流そうとした。

16 καὶ しかし G2532 ἐβοήθησεν 助けた G0997 ἡ –の G3588 γῆ 地が G1093 τῇ –の G3588 γυναικί, 女を G1135 καὶ そして G2532 ἤνοιξεν 開いた G0455 ἡ –の G3588 γῆ 地は G1093 τὸ –の G3588 στόμα 口を G4750 αὐτῆς, その G0846 καὶ そして G2532 κατέπιεν 飲み込んだ G2666 τὸν –の G3588 ποταμὸν, 川を G4215 ὃν その G3739 ἔβαλεν 吐き出した G0906 ὁ –の G3588 δράκων 竜が G1404 ἐκ –から G1537 τοῦ –の G3588 στόματος 口 G4750 αὐτοῦ. その G0846

しかし、地は女を助けた。すなわち、地はその口を開いて、龍が口から吐き出した川を飲みほした。

17 καὶ そして G2532 ὠργίσθη 怒った G3710 ὁ –の G3588 δράκων 竜は G1404 ἐπὶ –に対して G1909 τῇ –の G3588 γυναικί, 女 G1135 καὶ そして G2532 ἀπῆλθεν 出て行った G0565 ποιῆσαι 戦いを–する G4160 πόλεμον 戦いを G4171 μετὰ –と G3326 τῶν –の G3588 λοιπῶν 残りの–者たち G3062 τοῦ –の G3588 σπέρματος 子孫 G4690 αὐτῆς, 彼女の G0846 τῶν –の G3588 τηρούντων 守る–者たち G5083 τὰς –の G3588 ἐντολὰς 戒めを G1785 τοῦ –の G3588 Θεοῦ, 神 G2316 καὶ そして G2532 ἐχόντων 持つ–者たち G2192 τὴν –の G3588 μαρτυρίαν 証しを G3141 Ἰησοῦ. イエスの G2424 καὶ そして G2532 ἐστάθη 立った G2476 ἐπὶ –の上に G1909 τὴν –の G3588 ἄμμον 砂 G0285 τῆς –の G3588 θαλάσσης. 海の G2281

龍は、女に対して怒りを発し、女の残りの子ら、すなわち、神の戒めを守り、イエスのあかしを持っている者たちに対して、戦いをいどむために、出て行った。 そして、海の砂の上に立った。

Chapter 13

1 Καὶ そして G2532 εἶδον 私は–見た G3708 ἐκ –から G1537 τῆς –の G3588 θαλάσσης 海 G2281 θηρίον 獣が G2342 ἀναβαῖνον, 上って–来るのを G0305 ἔχον 持っている G2192 κέρατα 角を G2768 δέκα, 十の G1176 καὶ そして G2532 κεφαλὰς 頭を G2776 ἑπτά, 七つの G2033 καὶ そして G2532 ἐπὶ –の上に G1909 τῶν –の G3588 κεράτων 角 G2768 αὐτοῦ, その G0846 δέκα 十の G1176 διαδήματα, 冠が G1238 καὶ そして G2532 ἐπὶ –の上に G1909 τὰς –の G3588 κεφαλὰς 頭 G2776 αὐτοῦ, その G0846 ὀνόματα 冒瀆の–名が G3686 βλασφημίας. 冒瀆の G0988

わたしはまた、一匹の獣が海から上って来るのを見た。それには角が十本、頭が七つあり、それらの角には十の冠があって、頭には神を汚す名がついていた。

2 καὶ τὸ θηρίον ὃ εἶδον ἦν ὅμοιον παρδάλει, καὶ οἱ πόδες
そして -の 獣は その 見た であった 似ている 豹に そして -の 足は
G2532 G3588 G2342 G3739 G3708 G1510 G3664 G3917 G2532 G3588 G4228

αὐτοῦ ὡς ἄρκου, καὶ τὸ στόμα αὐτοῦ ὡς στόμα λέοντος; καὶ
その -のような 熊 そして -の 口は その -のような 口 獅子の そして
G0846 G5613 G0715 G2532 G3588 G4750 G0846 G5613 G4750 G3023 G2532

ἔδωκεν αὐτῷ ὁ δράκων τὴν δύναμιν αὐτοῦ, καὶ τὸν θρόνον αὐτοῦ,
与えた それに -の 竜は -の 力を 自分の そして -の 座を 自分の
G1325 G0846 G3588 G1404 G3588 G1411 G0846 G2532 G3588 G2362 G0846

καὶ ἐξουσίαν μεγάλην.
そして 権威を 大きな
G2532 G1849 G3173

わたしの見たこの獣はひょうに似ており、その足はくまの足のようで、その口はししの口のようであった。龍は自分の力と位と大いなる権威とを、この獣に与えた。

3 καὶ μίαν ἐκ τῶν κεφαλῶν αὐτοῦ ὡς ἐσφαγμένην εἰς θάνατον;
そして 一つ -の -の 頭 その -のように 殺された-ような -に至る 死
G2532 G1520 G1537 G3588 G2776 G0846 G5613 G4969 G1519 G2288

καὶ ἡ πληγὴ, τοῦ θανάτου αὐτοῦ, ἐθεραπεύθη; καὶ ἐθαυμάσθη ὅλη
しかし -の 傷は -の 死 その 癒された そして 驚嘆した 全
G2532 G3588 G4127 G3588 G2288 G0846 G2323 G2532 G2296 G3650

ἡ γῆ ὀπίσω τοῦ θηρίου.
-の 地は -の後に -の 獣
G3588 G1093 G3694 G3588 G2342

その頭の一つが、死ぬほどの傷を受けたが、その致命的な傷もなおってしまった。そこで、全地の人々は驚きおそれて、その獣に従い、

4 καὶ προσεκύνησαν τῷ δράκοντι, ὅτι ἔδωκεν τὴν ἐξουσίαν τῷ
そして 拝んだ -の 竜を なぜなら 与えた-からだ -の 権威を -の
G2532 G4352 G3588 G1404 G3754 G1325 G3588 G1849 G3588

θηρίῳ; καὶ προσεκύνησαν τῷ θηρίῳ, λέγοντες, Τίς ὅμοιος τῷ
獣に そして 拝んだ -の 獣を 言って 誰が 似ている-だろうか -の
G2342 G2532 G4352 G3588 G2342 G3004 G5101 G3664 G3588

θηρίῳ? καὶ τίς δύναται πολεμῆσαι μετ’ αὐτοῦ?
獣に そして 誰が できる-だろうか 戦うことが -と それ
G2342 G2532 G5101 G1410 G4170 G3326 G0846

また、龍がその権威を獣に与えたので、人々は龍を拝み、さらに、その獣を拝んで言った、「だれが、この獣に匹敵し得ようか。だれが、これと戦うことができようか」。

5 καὶ ἐδόθη αὐτῷ στόμα λαλοῦν μεγάλα καὶ βλασφημίας; καὶ
そして 与えられた それに 口が 語る 大いなる-ことと そして 冒瀆を そして
G2532 G1325 G0846 G4750 G2980 G3173 G2532 G0988 G2532

ἐδόθη αὐτῷ ἐξουσία ποιῆσαι μῆνας τεσσεράκοντα [καὶ] δύο.
与えられた それに 権威が 行う 月を 四十 と 二
G1325 G0846 G1849 G4160 G3376 G5062 G2532 G1417

この獣には、また、大言を吐き汚しごとを語る口が与えられ、四十二か月のあいだ活動する権威が与えられた。

6 καὶ そして G2532 ἤνοιξεν 開いた G0455 τὸ –の G3588 στόμα 口を G4750 αὐτοῦ, その G0846 εἰς –のための G1519 βλασφημίας 冒瀆を G0988 πρὸς –に対する G4314 τὸν –の G3588 Θεόν, 神 G2316 βλασφημῆσαι 冒瀆する–ため G0987 τὸ –の G3588 ὄνομα 御名を G3686 αὐτοῦ, 神の G0846 καὶ そして G2532 τὴν –の G3588 σκηνὴν 幕屋を G4633 αὐτοῦ, 神の G0846 τοὺς –の G3588 ἐν –に G1722 τῷ –の G3588 οὐρανῷ 天 G3772 σκηνοῦντας. 住む–者たちを G4637

そこで、彼は口を開いて神を汚し、神の御名と、その幕屋、すなわち、天に住む者たちとを汚した。

7 καὶ そして G2532 ἐδόθη 与えられた G1325 αὐτῷ それに G0846 ποιῆσαι 行う G4160 πόλεμον 戦いを G4171 μετὰ –と G3326 τῶν –の G3588 ἁγίων, 聖徒たち G0040 καὶ そして G2532 νικῆσαι 打ち勝つ–ことが G3528 αὐτούς; 彼らに G0846 καὶ そして G2532 ἐδόθη 与えられた G1325 αὐτῷ それに G0846 ἐξουσία 権威が G1849 ἐπὶ –の上に G1909 πᾶσαν すべての G3956 φυλὴν, 部族 G5443 καὶ そして G2532 λαὸν 民 G2992 καὶ そして G2532 γλῶσσαν, 言葉 G1100 καὶ そして G2532 ἔθνος; 国 G1484

そして彼は、聖徒に戦いをいどんでこれに勝つことを許され、さらに、すべての部族、民族、国語、国民を支配する権威を与えられた。

8 καὶ そして G2532 προσκυνήσουσιν 拝むであろう G4352 αὐτὸν それを G0846 πάντες すべての G3956 οἱ –の G3588 κατοικοῦντες 住む–者たちは G2730 ἐπὶ –の上に G1909 τῆς –の G3588 γῆς, 地 G1093 οὗ その G3739 οὐ –ない G3756 γέγραπται, 書かれて–いない G1125 τὸ –の G3588 ὄνομα 名が G3686 αὐτοῦ その G0846 ἐν –に G1722 τῷ –の G3588 βιβλίῳ 命の–書 G0975 τῆς –の G3588 ζωῆς 命 G2222 τοῦ –の G3588 Ἀρνίου 小羊 G0721 τοῦ –の G3588 ἐσφαγμένου, 殺された G4969 ἀπὸ –から G0575 καταβολῆς 創造 G2602 κόσμου. 世界の G2889

地に住む者で、ほふられた小羊のいのちの書に、その名を世の初めからしるされていない者はみな、この獣を拝むであろう。

9 Εἴ もし G1487 τις 誰でも G5100 ἔχει 持つ–なら G2192 οὖς, 耳を G3775 ἀκουσάτω. 聞け G0191

耳のある者は、聞くがよい。

10 εἴ もし G1487 τις 誰でも G5100 εἰς –へ G1519 αἰχμαλωσίαν 捕囚に G0161 εἰς –へ G1519 αἰχμαλωσίαν 捕囚に G0161 ὑπάγει; 行く G5217 εἴ もし G1487 τις 誰でも G5100 ἐν –で G1722 μαχαίρῃ 剣 G3162 ἀποκτανθῆναι, 殺される–なら G0615 δεῖ 必ず G1163 αὐτὸν その–者は G0846 ἐν –で G1722 μαχαίρῃ 剣 G3162 ἀποκτανθῆναι. 殺される G0615 Ὧδέ ここに G5602 ἐστιν ある G1510 ἡ –の G3588 ὑπομονὴ 忍耐と G5281 καὶ そして G2532 ἡ –の G3588 πίστις 信仰が G4102 τῶν –の G3588 ἁγίων. 聖徒たち G0040

とりこになるべき者は、とりこになっていく。つるぎで殺す者は、自らもつるぎで殺されねばならない。ここに、聖徒たちの忍耐と信仰とがある。

11 Καὶ そして G2532 | εἶδον 私は-見た G3708 | ἄλλο もう-一つの G0243 | θηρίον 獣が G2342 | ἀναβαῖνον 上って-来るのを G0305 | ἐκ -から G1537 | τῆς -の G3588 | γῆς, 地 G1093 | καὶ そして G2532

εἶχεν 持っていた G2192 | κέρατα 角を G2768 | δύο 二つの G1417 | ὅμοια 似た G3664 | ἀρνίῳ, 小羊に G0721 | καὶ そして G2532 | ἐλάλει 語った G2980 | ὡς -のように G5613 | δράκων; 竜 G1404

わたしはまた、ほかの獣が地から上って来るのを見た。それには小羊のような角が二つあって、龍のように物を言った。

12 καὶ そして G2532 | τὴν -の G3588 | ἐξουσίαν 権威を G1849 | τοῦ -の G3588 | πρώτου 最初の G4413 | θηρίου 獣 G2342 | πᾶσαν すべて G3956 | ποιεῖ 行使する G4160 | ἐνώπιον -の前で G1799 | αὐτοῦ, その G0846

καὶ そして G2532 | ποιεῖ 行わせる G4160 | τὴν -の G3588 | γῆν 地と G1093 | καὶ そして G2532 | τοὺς -の G3588 | ἐν -に G1722 | αὐτῇ そこ G0846 | κατοικοῦντας, 住む-者たちに G2730 | ἵνα -して G2443

προσκυνήσουσιν 拝ませる G4352 | τὸ -の G3588 | θηρίον 獣を G2342 | τὸ -の G3588 | πρῶτον, 最初の G4413 | οὗ その G3739 | ἐθεραπεύθη 癒された G2323 | ἡ -の G3588 | πληγὴ 傷が G4127 | τοῦ -の G3588

θανάτου 死 G2288 | αὐτοῦ. その G0846

そして、先の獣の持つすべての権力をその前で働かせた。また、地と地に住む人々に、致命的な傷がいやされた先の獣を拝ませた。

13 καὶ そして G2532 | ποιεῖ 行う G4160 | σημεῖα しるしを G4592 | μεγάλα, 大いなる G3173 | ἵνα -して G2443 | καὶ さえも G2532 | πῦρ 火を G4442 | ποιῇ 降らせる G4160 | ἐκ -から G1537 | τοῦ -の G3588 | οὐρανοῦ 天 G3772

καταβαίνειν 降らせる G2597 | εἰς -へ G1519 | τὴν -の G3588 | γῆν 地 G1093 | ἐνώπιον -の前で G1799 | τῶν -の G3588 | ἀνθρώπων. 人々 G0444

また、大いなるしるしを行って、人々の前で火を天から地に降らせることさえした。

14 καὶ そして G2532 | πλανᾷ 惑わす G4105 | τοὺς -の G3588 | κατοικοῦντας 住む-者たちを G2730 | ἐπὶ -の上の G1909 | τῆς -の G3588 | γῆς, 地 G1093 | διὰ -によって G1223 | τὰ -の G3588 | σημεῖα しるし G4592 | ἃ その G3739

ἐδόθη 与えられた G1325 | αὐτῷ それに G0846 | ποιῆσαι 行う G4160 | ἐνώπιον -の前で G1799 | τοῦ -の G3588 | θηρίου, 獣 G2342 | λέγων 言って G3004 | τοῖς -の G3588 | κατοικοῦσιν 住む-者たちに G2730 | ἐπὶ -の上の G1909

τῆς -の G3588 | γῆς, 地 G1093 | ποιῆσαι 造れと G4160 | εἰκόνα 像を G1504 | τῷ -の G3588 | θηρίῳ, 獣 G2342 | ὃς その G3739 | ἔχει 持つ G2192 | τὴν -の G3588 | πληγὴν 傷を G4127 | τῆς -の G3588 | μαχαίρης, 剣の G3162

καὶ そして G2532 | ἔζησεν. 生きた G2198

さらに、先の獣の前で行うのを許されたしるしで、地に住む人々を惑わし、かつ、つるぎの傷を受けてもなお生きている先の獣の像を造ることを、地に住む人々に命じた。

15

καὶ	ἐδόθη	αὐτῷ	δοῦναι	πνεῦμα	τῇ	εἰκόνι	τοῦ	θηρίου,	ἵνα
そして	与えられた	それに	与える–ことが	息を	–の	像に	–の	獣	そうして
G2532	G1325	G0846	G1325	G4151	G3588	G1504	G3588	G2342	G2443

καὶ	λαλήσῃ	ἡ	εἰκὼν	τοῦ	θηρίου,	καὶ	ποιήσῃ	ἵνα	ὅσοι	ἐὰν	μὴ
さえも	語らせ	–の	像が	–の	獣	そして	行わせた	–して	すべて	もし	–ない
G2532	G2980	G3588	G1504	G3588	G2342	G2532	G4160	G2443	G3745	G1437	G3361

προσκυνήσωσιν	τῇ	εἰκόνι	τοῦ	θηρίου,	ἀποκτανθῶσιν.
拝まない–者は	–の	像を	–の	獣	殺されるようにと
G4352	G3588	G1504	G3588	G2342	G0615

それから、その獣の像に息を吹き込んで、その獣の像が物を言うことさえできるようにし、また、その獣の像を拝まない者をみな殺させた。

16

καὶ	ποιεῖ	πάντας	τοὺς	μικροὺς,	καὶ	τοὺς	μεγάλους;	καὶ	τοὺς
そして	行わせる	すべての	–の	小さい–者も	そして	–の	大きい–者も	そして	–の
G2532	G4160	G3956	G3588	G3398	G2532	G3588	G3173	G2532	G3588

πλουσίους,	καὶ	τοὺς	πτωχούς;	καὶ	τοὺς	ἐλευθέρους,	καὶ	τοὺς	δούλους;
富む–者も	そして	–の	貧しい–者も	そして	–の	自由な–者も	そして	–の	奴隷も
G4145	G2532	G3588	G4434	G2532	G3588	G1658	G2532	G3588	G1401

ἵνα	δῶσιν	αὐτοῖς	χάραγμα	ἐπὶ	τῆς	χειρὸς	αὐτῶν	τῆς	δεξιᾶς,	ἢ
–して	付けさせる	彼らに	刻印を	–の上に	–の	手	彼らの	–の	右	あるいは
G2443	G1325	G0846	G5480	G1909	G3588	G5495	G0846	G3588	G1188	G2228

ἐπὶ	τὸ	μέτωπον	αὐτῶν;
–の上に	–の	額	彼らの
G1909	G3588	G3359	G0846

また、小さき者にも、大いなる者にも、富める者にも、貧しき者にも、自由人にも、奴隷にも、すべての人々に、その右の手あるいは額に刻印を押させ、

17

καὶ	ἵνα	μή	τις	δύνηται	ἀγοράσαι	ἢ	πωλῆσαι,	εἰ
そして	–して	–ない	誰も	できない–ように	買うことも	あるいは	売ることも	–でなければ
G2532	G2443	G3361	G5100	G1410	G0059	G2228	G4453	G1487

μὴ	ὁ	ἔχων	τὸ	χάραγμα --	τὸ	ὄνομα	τοῦ	θηρίου,	ἢ	τὸν
–ない	–の	持つ–者	–の	刻印を	–の	名	–の	獣	あるいは	–の
G3361	G3588	G2192	G3588	G5480	G3588	G3686	G3588	G2342	G2228	G3588

ἀριθμὸν	τοῦ	ὀνόματος	αὐτοῦ.
数を	–の	名	その
G0706	G3588	G3686	G0846

この刻印のない者はみな、物を買うことも売ることもできないようにした。この刻印は、その獣の名、または、その名の数字のことである。

18

Ὧδε	ἡ	σοφία	ἐστίν.	ὁ	ἔχων	νοῦν	ψηφισάτω	τὸν	ἀριθμὸν	τοῦ
ここに	–の	知恵が	ある	–の	持つ–者は	知性を	数えよ	–の	数を	–の
G5602	G3588	G4678	G1510	G3588	G2192	G3563	G5585	G3588	G0706	G3588

θηρίου:	ἀριθμὸς	γὰρ	ἀνθρώπου	ἐστίν;	καὶ	ὁ	ἀριθμὸς	αὐτοῦ,	ἑξακόσιοι
獣	数は	なぜなら	人間の	である	そして	–の	数は	その	六百
G2342	G0706	G1063	G0444	G1510	G2532	G3588	G0706	G0846	G1812

ἑξήκοντα	ἕξ.
六十	六
G1835	G1803

ここに、知恵が必要である。思慮のある者は、獣の数字を解くがよい。その数字とは、人間をさすものである。そして、その数字は六百六十六である。

Chapter 14

1

Καὶ	εἶδον,	καὶ	ἰδοὺ,	τὸ	Ἀρνίον	ἑστὸς	ἐπὶ	τὸ	ὄρος	Σιών,
そして	私は-見た	そして	見よ	-の	小羊が	立っていた	-の上に	-の	山	シオン
G2532	G3708	G2532	G3708	G3588	G0721	G2476	G1909	G3588	G3735	G4622

καὶ	μετ’	αὐτοῦ	ἑκατὸν	τεσσεράκοντα	τέσσαρες	χιλιάδες,	ἔχουσαι	τὸ
そして	-と共に	その-方	百	四十	四	千の-者が	持っている	-の
G2532	G3326	G0846	G1540	G5062	G5064	G5505	G2192	G3588

ὄνομα	αὐτοῦ,	καὶ	τὸ	ὄνομα	τοῦ	Πατρὸς	αὐτοῦ,	γεγραμμένον	ἐπὶ
名を	その-方の	そして	-の	名を	-の	父	その-方の	書かれた	-の上に
G3686	G0846	G2532	G3588	G3686	G3588	G3962	G0846	G1125	G1909

τῶν	μετώπων	αὐτῶν.
-の	額	彼らの
G3588	G3359	G0846

なお、わたしが見ていると、見よ、小羊がシオンの山に立っていた。また、十四万四千の人々が小羊と共におり、その額に小羊の名とその父の名とが書かれていた。

2

καὶ	ἤκουσα	φωνὴν	ἐκ	τοῦ	οὐρανοῦ,	ὡς	φωνὴν	ὑδάτων	πολλῶν,
そして	私は-聞いた	声を	-から	-の	天	-のような	声	大水の	多くの
G2532	G0191	G5456	G1537	G3588	G3772	G5613	G5456	G5204	G4183

καὶ	ὡς	φωνὴν	βροντῆς	μεγάλης.	καὶ	ἡ	φωνὴ	ἣν	ἤκουσα,
そして	-のような	声	雷の	大きな	そして	-の	声は	その	聞いた
G2532	G5613	G5456	G1027	G3173	G2532	G3588	G5456	G3739	G0191

ὡς	κιθαρῳδῶν	κιθαριζόντων	ἐν	ταῖς	κιθάραις	αὐτῶν.
-のようであった	琴弾きたちの	弾く	-で	-の	琴を	自分の
G5613	G2790	G2789	G1722	G3588	G2788	G0846

またわたしは、大水のとどろきのような、激しい雷鳴のような声が、天から出るのを聞いた。わたしの聞いたその声は、琴をひく人が立琴をひく音のようでもあった。

3

καὶ	ᾄδουσιν	‹ὡς›	ᾠδὴν	καινὴν	ἐνώπιον	τοῦ	θρόνου,	καὶ	ἐνώπιον
そして	歌っている	-のような	歌を	新しい	-の前で	-の	御座	そして	-の前で
G2532	G0103	G5613	G5603	G2537	G1799	G3588	G2362	G2532	G1799

τῶν	τεσσάρων	ζῴων,	καὶ	τῶν	πρεσβυτέρων.	καὶ	οὐδεὶς	ἐδύνατο
-の	四つの	生き物	そして	-の	長老たち	そして	誰も	できなかった
G3588	G5064	G2226	G2532	G3588	G4245	G2532	G3762	G1410

μαθεῖν	τὴν	ᾠδὴν,	εἰ	μὴ	αἱ	ἑκατὸν	τεσσεράκοντα	τέσσαρες	χιλιάδες,
学ぶ-ことが	-の	歌を	-のみ	-のみ	-の	百	四十	四	千の-者が
G3129	G3588	G5603	G1487	G3361	G3588	G1540	G5062	G5064	G5505

οἱ	ἠγορασμένοι	ἀπὸ	τῆς	γῆς.
-の	贷い取られた-者たち	-から	-の	地
G3588	G0059	G0575	G3588	G1093

彼らは、御座の前、四つの生き物と長老たちとの前で、新しい歌を歌った。この歌は、地からあがなわれた十四万四千人のほかは、だれも学ぶことができなかった。

4 οὗτοί εἰσιν οἳ μετὰ γυναικῶν οὐκ ἐμολύνθησαν; παρθένοι γάρ
これらの–者は –である その –と 女たち –ない 汚されて–いない 童貞で なぜなら
G3778 G1510 G3739 G3326 G1135 G3756 G3435 G3933 G1063

εἰσιν. οὗτοι οἱ ἀκολουθοῦντες τῷ Ἀρνίῳ ὅπου ἂν ὑπάγῃ.
あるからだ これらの–者は –の 従う–者たち –の 小羊に どこへでも –でも 行かれる
G1510 G3778 G3588 G0190 G3588 G0721 G3699 G0302 G5217

οὗτοι ἠγοράσθησαν ἀπὸ τῶν ἀνθρώπων ἀπαρχὴ τῷ Θεῷ, καὶ τῷ
これらの–者は 贖い取られた –から –の 人々 初穂として –の 神と そして –の
G3778 G0059 G0575 G3588 G0444 G0536 G3588 G2316 G2532 G3588

Ἀρνίῳ:
小羊に
G0721

彼らは、女にふれたことのない者である。彼らは、純潔な者である。そして、小羊の行く所へは、どこへでもついて行く。彼らは、神と小羊とにささげられる初穂として、人間の中からあがなわれた者である。

5 καὶ ἐν τῷ στόματι αὐτῶν οὐχ εὑρέθη ψεῦδος; ἄμωμοί
そして –に –の 口 彼らの –ない 見つからなかった 偶りが 傷の–ない–者で
G2532 G1722 G3588 G4750 G0846 G3756 G2147 G5579 G0299

εἰσιν {ἐνώπιον τοῦ θρόνου τοῦ Θεοῦ}.
ある –の前で –の 御座 –の 神
G1510 G1799 G3588 G2362 G3588 G2316

彼らの口には偽りがなく、彼らは傷のない者であった。

6 Καὶ εἶδον ἄλλον ἄγγελον πετόμενον ἐν μεσουρανήματι, ἔχοντα
そして 私は–見た もう–一人の 御使いが 飛んでいるのを –に 天の–中央 持っている
G2532 G3708 G0243 G0032 G4072 G1722 G3321 G2192

εὐαγγέλιον αἰώνιον εὐαγγελίσαι ἐπὶ τοὺς καθημένους ἐπὶ τῆς γῆς,
福音を 永遠の 告げる–ために –の上に –の 座っている–者たち –の上に –の 地
G2098 G0166 G2097 G1909 G3588 G2521 G1909 G3588 G1093

καὶ ἐπὶ πᾶν ἔθνος, καὶ φυλὴν, καὶ γλῶσσαν, καὶ λαόν;
そして –の上に すべての 国民と そして 部族と そして 言葉と そして 民に
G2532 G1909 G3956 G1484 G2532 G5443 G2532 G1100 G2532 G2992

わたしは、もうひとりの御使が中空を飛ぶのを見た。彼は地に住む者、すなわち、あらゆる国民、部族、国語、民族に宣べ伝えるために、永遠の福音をたずさえてきて、

7 λέγων ἐν φωνῇ μεγάλῃ, Φοβήθητε τὸν Θεὸν, καὶ δότε αὐτῷ δόξαν,
言って –で 声 大きな 神を–畏れよ –の 神 そして 与えよ 神に 栄光を
G3004 G1722 G5456 G3173 G5399 G3588 G2316 G2532 G1325 G0846 G1391

ὅτι ἦλθεν ἡ ὥρα τῆς κρίσεως αὐτοῦ; καὶ προσκυνήσατε τῷ
なぜなら 来た –の 時が –の 裁き 神の そして 拝め –の
G3754 G2064 G3588 G5610 G3588 G2920 G0846 G2532 G4352 G3588

ποιήσαντι τὸν οὐρανὸν, καὶ τὴν γῆν, καὶ θάλασσαν, καὶ πηγὰς
造った–方を –の 天と そして –の 地と そして 海と そして 水の–源を
G4160 G3588 G3772 G2532 G3588 G1093 G2532 G2281 G2532 G4077

ὑδάτων.
水の
G5204

大声で言った、「神をおそれ、神に栄光を帰せよ。神のさばきの時がきたからである。天と地と海と水の源とを造られたかたを、伏し拝め」。

8 Καὶ ἄλλος, ἄγγελος δεύτερος ἠκολούθησεν, λέγων, Ἔπεσεν, ἔπεσεν
そして もう-一人の 御使いが 第二の 従った 言って 倒れた 倒れた
G2532 G0243 G0032 G1208 G0190 G3004 G4098 G4098

Βαβυλὼν ἡ μεγάλη; ἣ ἐκ τοῦ οἴνου τοῦ θυμοῦ τῆς πορνείας
バビロンは -の 大いなる その -の -の ぶどう酒 -の 怒り -の 淫行
G0897 G3588 G3173 G3739 G1537 G3588 G3631 G3588 G2372 G3588 G4202

αὐτῆς, πεπότικεν πάντα τὰ ἔθνη.
彼女の 飲ませた すべての -の 国々に
G0846 G4222 G3956 G3588 G1484

また、ほかの第二の御使が、続いてきて言った、「倒れた、大いなるバビロンは倒れた。その不品行に対する激しい怒りのぶどう酒を、あらゆる国民に飲ませた者」。

9 Καὶ ἄλλος, ἄγγελος, τρίτος, ἠκολούθησεν αὐτοῖς, λέγων ἐν φωνῇ
そして もう-一人の 御使いが 第三の 従った 彼らに 言って -で 声
G2532 G0243 G0032 G5154 G0190 G0846 G3004 G1722 G5456

μεγάλῃ, Εἴ τις προσκυνεῖ τὸ θηρίον καὶ τὴν εἰκόνα αὐτοῦ, καὶ
大きな もし 誰かが 拝む-なら -の 獣と そして -の 像を その そして
G3173 G1487 G5100 G4352 G3588 G2342 G2532 G3588 G1504 G0846 G2532

λαμβάνει χάραγμα ἐπὶ τοῦ μετώπου αὐτοῦ, ἢ ἐπὶ τὴν χεῖρα
受ける-なら 刻印を -の上に -の 額 その あるいは -の上に -の 手
G2983 G5480 G1909 G3588 G3359 G0846 G2228 G1909 G3588 G5495

αὐτοῦ,
その
G0846

ほかの第三の御使が彼らに続いてきて、大声で言った、「おおよそ、獣とその像とを拝み、額や手に刻印を受ける者は、

10 καὶ αὐτὸς πίεται ἐκ τοῦ οἴνου τοῦ θυμοῦ τοῦ Θεοῦ, τοῦ
その-者も 自ら 飲むであろう -から -の ぶどう酒 -の 怒り -の 神 -の
G2532 G0846 G4095 G1537 G3588 G3631 G3588 G2372 G3588 G2316 G3588

κεκερασμένου ἀκράτου ἐν τῷ ποτηρίῳ τῆς ὀργῆς αὐτοῦ; καὶ
混ぜられた 混ぜ物なしの -に -の 杯 -の 怒り 神の そして
G2767 G0194 G1722 G3588 G4221 G3588 G3709 G0846 G2532

βασανισθήσεται ἐν πυρὶ καὶ θείῳ, ἐνώπιον ἀγγέλων ἁγίων, καὶ
苦しめられるであろう -で 火と そして 硫黄 -の前で 御使いたち 聖なる そして
G0928 G1722 G4442 G2532 G2303 G1799 G0032 G0040 G2532

ἐνώπιον τοῦ Ἀρνίου.
-の前で -の 小羊
G1799 G3588 G0721

神の怒りの杯に混ぜものなしに盛られた、神の激しい怒りのぶどう酒を飲み、聖なる御使たちと小羊との前で、火と硫黄とで苦しめられる。

11 καὶ ὁ καπνὸς τοῦ βασανισμοῦ αὐτῶν εἰς αἰῶνας αἰώνων ἀναβαίνει;
そして –の 煙は –の 苦しみ 彼らの –へ 世々 世々 立ち上る
G2532 G3588 G2586 G3588 G0929 G0846 G1519 G0165 G0165 G0305

καὶ οὐκ ἔχουσιν ἀνάπαυσιν, ἡμέρας καὶ νυκτός, οἱ προσκυνοῦντες τὸ
そして –ない 持たない 休みを 昼も そして 夜も –の 拝む–者たちは –の
G2532 G3756 G2192 G0372 G2250 G2532 G3571 G3588 G4352 G3588

θηρίον καὶ τὴν εἰκόνα αὐτοῦ, καὶ εἴ τις λαμβάνει τὸ χάραγμα
獣と そして –の 像を その そして もし 誰かが 受ける–なら –の 刻印を
G2342 G2532 G3588 G1504 G0846 G2532 G1487 G5100 G2983 G3588 G5480

τοῦ ὀνόματος αὐτοῦ.
–の 名 その
G3588 G3686 G0846

その苦しみの煙は世々限りなく立ちのぼり、そして、獣とその像とを拝む者、また、だれでもその名の刻印を受けている者は、昼も夜も休みが得られない。

12 Ὧδε ἡ ὑπομονὴ τῶν ἁγίων ἐστίν, οἱ τηροῦντες τὰς ἐντολὰς τοῦ
ここに –の 忍耐が –の 聖徒たち ある –の 守る–者たち –の 戒めを –の
G5602 G3588 G5281 G3588 G0040 G1510 G3588 G5083 G3588 G1785 G3588

Θεοῦ, καὶ τὴν πίστιν Ἰησοῦ.
神 そして –の 信仰を イエスの
G2316 G2532 G3588 G4102 G2424

ここに、神の戒めを守り、イエスを信じる信仰を持ちつづける聖徒の忍耐がある」。

13 Καὶ ἤκουσα φωνῆς ἐκ τοῦ οὐρανοῦ, λεγούσης Γράψον, Μακάριοι οἱ
そして 私は–聞いた 声を –から –の 天 言う 書け 幸いである –の
G2532 G0191 G5456 G1537 G3588 G3772 G3004 G1125 G3107 G3588

νεκροὶ οἱ ἐν Κυρίῳ ἀποθνήσκοντες ἀπ’ ἄρτι. ναί, λέγει τὸ
死者たちは –の –にあって 主 死ぬ–者たち –から 今から そうだ 言う –の
G3498 G3588 G1722 G2962 G0599 G0575 G0737 G3483 G3004 G3588

Πνεῦμα, ἵνα ἀναπαήσονται ἐκ τῶν κόπων αὐτῶν; τὰ γὰρ ἔργα
御霊は –して 休むであろう –から –の 労苦 彼らの –の なぜなら 行いが
G4151 G2443 G0373 G1537 G3588 G2873 G0846 G3588 G1063 G2041

αὐτῶν ἀκολουθεῖ μετ’ αὐτῶν.
彼らの 従うからだ –と共に 彼らの
G0846 G0190 G3326 G0846

またわたしは、天からの声がこう言うのを聞いた、「書きしるせ、『今から後、主にあって死ぬ死人はさいわいである』」。御霊も言う、「しかり、彼らはその労苦を解かれて休み、そのわざは彼らについていく」。

14 Καὶ εἶδον, καὶ ἰδοὺ, νεφέλη λευκή, καὶ ἐπὶ τὴν νεφέλην
そして 私は–見た そして 見よ 雲が 白い そして –の上に –の 雲
G2532 G3708 G2532 G3708 G3507 G3022 G2532 G1909 G3588 G3507

καθήμενον ὅμοιον υἱὸν ἀνθρώπου, ἔχων ἐπὶ τῆς κεφαλῆς
座っている–方が 似ている 人の–子に 人の 持っている –の上に –の 頭
G2521 G3664 G5207 G0444 G2192 G1909 G3588 G2776

αὐτοῦ στέφανον χρυσοῦν, καὶ ἐν τῇ χειρὶ αὐτοῦ δρέπανον ὀξύ.
その–方の 冠を 金の そして –に –の 手 その–方の 鎌を 鋭い
G0846 G4735 G5552 G2532 G1722 G3588 G5495 G0846 G1407 G3691

また見ていると、見よ、白い雲があって、その雲の上に人の子のような者が座しており、頭には金の冠をいただき、手には鋭いかまを持っていた。

15 Καὶ そして G2532 ἄλλος もう-一人の G0243 ἄγγελος 御使いが G0032 ἐξῆλθεν 出て-来た G1831 ἐκ -から G1537 τοῦ -の G3588 ναοῦ, 神殿 G3485 κράζων 叫んで G2896 ἐν -で G1722 φωνῇ 声 G5456

μεγάλῃ 大きな G3173 τῷ -の G3588 καθημένῳ 座っている-方に G2521 ἐπὶ -の上に G1909 τῆς -の G3588 νεφέλης, 雲 G3507 Πέμψον 送れ G3992 τὸ -の G3588 δρέπανόν 鎌を G1407 σου あなたの G4771

καὶ そして G2532 θέρισον; 刈り取れ G2325 ὅτι なぜなら G3754 ἦλθεν 来た G2064 ἡ -の G3588 ὥρα 時が G5610 θερίσαι, 刈り取る G2325 ὅτι なぜなら G3754 ἐξηράνθη 乾いた G3583 ὁ -の G3588

θερισμὸς 収穫が G2326 τῆς -の G3588 γῆς. 地 G1093

すると、もうひとりの御使が聖所から出てきて、雲の上に座している者にむかって大声で叫んだ、「かまを入れて刈り取りなさい。地の穀物は全く実り、刈り取るべき時がきた」。

16 καὶ そして G2532 ἔβαλεν 投げた G0906 ὁ -の G3588 καθήμενος 座っている-方は G2521 ἐπὶ -の上に G1909 τῆς -の G3588 νεφέλης, 雲 G3507 τὸ -の G3588 δρέπανον 鎌を G1407 αὐτοῦ その-方の G0846

ἐπὶ -の上に G1909 τὴν -の G3588 γῆν, 地 G1093 καὶ そして G2532 ἐθερίσθη 刈り取られた G2325 ἡ -の G3588 γῆ. 地は G1093

雲の上に座している者は、そのかまを地に投げ入れた。すると、地のものが刈り取られた。

17 Καὶ そして G2532 ἄλλος もう-一人の G0243 ἄγγελος 御使いが G0032 ἐξῆλθεν 出て-来た G1831 ἐκ -から G1537 τοῦ -の G3588 ναοῦ 神殿 G3485 τοῦ -の G3588 ἐν -にある G1722 τῷ -の G3588 οὐρανῷ, 天 G3772

ἔχων 持っている G2192 καὶ もまた G2532 αὐτὸς 自らも G0846 δρέπανον 鎌を G1407 ὀξύ. 鋭い G3691

また、もうひとりの御使が、天の聖所から出てきたが、彼もまた鋭いかまを持っていた。

18 Καὶ そして G2532 ἄλλος もう-一人の G0243 ἄγγελος 御使いが G0032 ἐξῆλθεν 出て-来た G1831 ἐκ -から G1537 τοῦ -の G3588 θυσιαστηρίου, 祭壇 G2379 ὁ -の G3588 ἔχων 持つ-者 G2192

ἐξουσίαν 権威を G1849 ἐπὶ -の上に G1909 τοῦ -の G3588 πυρός, 火 G4442 καὶ そして G2532 ἐφώνησεν 呼んだ G5455 φωνῇ 声で G5456 μεγάλῃ 大きな G3173 τῷ -の G3588 ἔχοντι 持つ-者に G2192 τὸ -の G3588

δρέπανον 鎌を G1407 τὸ -の G3588 ὀξὺ, 鋭い G3691 λέγων, 言って G3004 Πέμψον 送れ G3992 σου あなたの G4771 τὸ -の G3588 δρέπανον 鎌を G1407 τὸ -の G3588 ὀξὺ, 鋭い G3691 καὶ そして G2532

τρύγησον 刈り集めよ G5166 τοὺς -の G3588 βότρυας 房を G1009 τῆς -の G3588 ἀμπέλου ぶどうの-木 G0288 τῆς -の G3588 γῆς; 地 G1093 ὅτι なぜなら G3754 ἤκμασαν 熟した G0187 αἱ -の G3588

σταφυλαὶ ぶどうが G4718 αὐτῆς. その G0846

さらに、もうひとりの御使で、火を支配する権威を持っている者が、祭壇から出てきて、鋭いかまを持つ御使にむかい、大声で言った、「その鋭いかまを地に入れて、地のぶどうのふさを刈り集めなさい。ぶどうの実がすでに熟しているから」。

19

καὶ	ἔβαλεν	ὁ	ἄγγελος	τὸ	δρέπανον	αὐτοῦ	εἰς	τὴν	γῆν,	καὶ
そして	投げた	–の	御使いは	–の	鎌を	その	–へ	–の	地	そして
G2532	G0906	G3588	G0032	G3588	G1407	G0846	G1519	G3588	G1093	G2532

ἐτρύγησεν	τὴν	ἄμπελον	τῆς	γῆς,	καὶ	ἔβαλεν	εἰς	τὴν	ληνὸν	τοῦ
刈り集めた	–の	ぶどうの–木を	–の	地	そして	投げ入れた	–へ	–の	酒ぶねに	–の
G5166	G3588	G0288	G3588	G1093	G2532	G0906	G1519	G3588	G3025	G3588

θυμοῦ	τοῦ	Θεοῦ	τὸν	μέγαν;
怒り	–の	神	–の	大いなる
G2372	G3588	G2316	G3588	G3173

そこで、御使はそのかまを地に投げ入れて、地のぶどうを刈り集め、神の激しい怒りの大きな酒ぶねに投げ込んだ。

20

καὶ	ἐπατήθη	ἡ	ληνὸς	ἔξωθεν	τῆς	πόλεως,	καὶ	ἐξῆλθεν	αἷμα	ἐκ
そして	踏まれた	–の	酒ぶねは	外で	–の	都	そして	出た	血が	–から
G2532	G3961	G3588	G3025	G1855	G3588	G4172	G2532	G1831	G0129	G1537

τῆς	ληνοῦ,	ἄχρι	τῶν	χαλινῶν	τῶν	ἵππων,	ἀπὸ	σταδίων	χιλίων	ἑξακοσίων.
–の	酒ぶね	–まで	–の	くつわ	–の	馬	–から	スタディア	千	六百の
G3588	G3025	G0891	G3588	G5469	G3588	G2462	G0575	G4712	G5507	G1812

そして、その酒ぶねが都の外で踏まれた。すると、血が酒ぶねから流れ出て、馬のくつわにとどくほどになり、一千六百丁にわたってひろがった。

Chapter 15

1

Καὶ	εἶδον	ἄλλο	σημεῖον	ἐν	τῷ	οὐρανῷ,	μέγα	καὶ
そして	私は–見た	もう–一つの	しるしを	–に	–の	天	大いなる	そして
G2532	G3708	G0243	G4592	G1722	G3588	G3772	G3173	G2532

θαυμαστόν:	ἀγγέλους	ἑπτὰ,	ἔχοντας	πληγὰς	ἑπτὰ --	τὰς	ἐσχάτας,	ὅτι
驚くべき	御使いたちを	七人の	持っている	災いを	七つの	–の	最後の	なぜなら
G2298	G0032	G2033	G2192	G4127	G2033	G3588	G2078	G3754

ἐν	αὐταῖς	ἐτελέσθη	ὁ	θυμὸς	τοῦ	Θεοῦ.
–によって	それら	完了する	–の	怒りが	–の	神
G1722	G0846	G5055	G3588	G2372	G3588	G2316

またわたしは、天に大いなる驚くべきほかのしるしを見た。七人の御使が、最後の七つの災害を携えていた。これらの災害で神の激しい怒りがその頂点に達するのである。

2

Καὶ	εἶδον	ὡς	θάλασσαν,	ὑαλίνην	μεμιγμένην	πυρί,	καὶ	τοὺς
そして	私は–見た	–のような	海を	ガラスの	混ぜられた	火と	そして	–の
G2532	G3708	G5613	G2281	G5193	G3396	G4442	G2532	G3588

νικῶντας	ἐκ	τοῦ	θηρίου,	καὶ	ἐκ	τῆς	εἰκόνος	αὐτοῦ;	καὶ
勝利を–得た–者たちが	–から	–の	獣	そして	–から	–の	像	その	そして
G3528	G1537	G3588	G2342	G2532	G1537	G3588	G1504	G0846	G2532

ἐκ	τοῦ	ἀριθμοῦ	τοῦ	ὀνόματος	αὐτοῦ,	ἑστῶτας	ἐπὶ	τὴν	θάλασσαν	τὴν
–から	–の	数	–の	名	その	立っていた	–の上に	–の	海	–の
G1537	G3588	G0706	G3588	G3686	G0846	G2476	G1909	G3588	G2281	G3588

ὑαλίνην,	ἔχοντας	κιθάρας	τοῦ	Θεοῦ.
ガラスの	持っている	琴を	–の	神
G5193	G2192	G2788	G3588	G2316

またわたしは、火のまじったガラスの海のようなものを見た。そして、このガラスの海のそばに、獣とその像とその名の数字とにうち勝った人々が、神の立琴を手にして立っているのを見た。

3

καὶ	ᾄδουσιν	τὴν	ᾠδὴν	Μωϋσέως,	τοῦ	δούλου	τοῦ	Θεοῦ,	καὶ	τὴν
そして	歌っている	–の	歌を	モーセ	–の	僕	–の	神	そして	–の
G2532	G0103	G3588	G5603	G3475	G3588	G1401	G3588	G2316	G2532	G3588

ᾠδὴν	τοῦ	Ἀρνίου,	λέγοντες,	Μεγάλα	καὶ	θαυμαστὰ	τὰ	ἔργα	σου,	Κύριε
歌を	–の	小羊	言って	大いなる	そして	驚くべき	–の	御業は	あなたの	主よ
G5603	G3588	G0721	G3004	G3173	G2532	G2298	G3588	G2041	G4771	G2962

ὁ	Θεός	ὁ	Παντοκράτωρ!	δίκαιαι	καὶ	ἀληθιναὶ	αἱ	ὁδοί	σου,	ὁ
–の	神	–の	全能者よ	義しく	そして	真実なる	–の	道は	あなたの	–の
G3588	G2316	G3588	G3841	G1342	G2532	G0228	G3588	G3598	G4771	G3588

Βασιλεὺς	τῶν	ἐθνῶν!
王よ	–の	諸国民の
G0935	G3588	G1484

彼らは、神の僕モーセの歌と小羊の歌とを歌って言った、「全能者にして主なる神よ。あなたのみわざは、大いなる、また驚くべきものであります。万民の王よ、あなたの道は正しく、かつ真実であります。

4

τίς	οὐ	μὴ	φοβηθῇ,	Κύριε,	καὶ	δοξάσει	τὸ	ὄνομά
誰が	–ない	–ない	畏れない–だろうか	主よ	そして	崇めない–だろうか	–の	御名を
G5101	G3756	G3361	G5399	G2962	G2532	G1392	G3588	G3686

σου?	ὅτι	μόνος	ὅσιος;	ὅτι	πάντα	τὰ	ἔθνη	ἥξουσιν	καὶ
あなたの	なぜなら	ただ–独り	聖なる–方	なぜなら	すべての	–の	国々が	来て	そして
G4771	G3754	G3441	G3741	G3754	G3956	G3588	G1484	G2240	G2532

προσκυνήσουσιν	ἐνώπιόν	σου;	ὅτι	τὰ	δικαιώματά	σου	ἐφανερώθησαν.
拝むであろう	–の前に	あなた	なぜなら	–の	義の–行いが	あなたの	明らかに–なった
G4352	G1799	G4771	G3754	G3588	G1345	G4771	G5319

主よ、あなたをおそれず、御名をほめたたえない者が、ありましょうか。あなただけが聖なるかたであり、あらゆる国民はきて、あなたを伏し拝むでしょう。あなたの正しいさばきが、あらわれるに至ったからであります」。

5

Καὶ	μετὰ	ταῦτα	εἶδον,	καὶ	ἠνοίγη	ὁ	ναὸς	τῆς	σκηνῆς	τοῦ
そして	–の後	これらの–こと	私は–見た	そして	開かれた	–の	神殿が	–の	幕屋	–の
G2532	G3326	G3778	G3708	G2532	G0455	G3588	G3485	G3588	G4633	G3588

μαρτυρίου	ἐν	τῷ	οὐρανῷ;
証し	–に	–の	天
G3142	G1722	G3588	G3772

その後、わたしが見ていると、天にある、あかしの幕屋の聖所が開かれ、

6

καὶ	ἐξῆλθον	οἱ	ἑπτὰ	ἄγγελοι	οἱ	ἔχοντες	τὰς	ἑπτὰ	πληγὰς
そして	出て–来た	–の	七人の	御使いたちが	–の	持つ–者たち	–の	七つの	災いを
G2532	G1831	G3588	G2033	G0032	G3588	G2192	G3588	G2033	G4127

ἐκ	τοῦ	ναοῦ,	ἐνδεδυμένοι	λίνον	καθαρὸν,	λαμπρὸν,	καὶ	περιεζωσμένοι
–から	–の	神殿	身に–まとい	亜麻布を	清い	輝く	そして	帯びていた
G1537	G3588	G3485	G1746	G3043	G2513	G2986	G2532	G4024

περὶ	τὰ	στήθη,	ζώνας	χρυσᾶς.
–の周りに	–の	胸	帯を	金の
G4012	G3588	G4738	G2223	G5552

その聖所から、七つの災害を携えている七人の御使が、汚れのない、光り輝く亜麻布を身にまとい、金の帯を胸にしめて、出てきた。

7

καὶ	ἓν	ἐκ	τῶν	τεσσάρων	ζῴων	ἔδωκεν	τοῖς	ἑπτὰ	ἀγγέλοις
そして	一つの	–から	–の	四つの	生き物が	与えた	–の	七人の	御使いたちに
G2532	G1520	G1537	G3588	G5064	G2226	G1325	G3588	G2033	G0032

ἑπτὰ	φιάλας	χρυσᾶς,	γεμούσας	τοῦ	θυμοῦ	τοῦ	Θεοῦ,	τοῦ	ζῶντος
七つの	鉢を	金の	満ちた	–の	怒り	–の	神	–の	生きて–おられる–方
G2033	G5357	G5552	G1073	G3588	G2372	G3588	G2316	G3588	G2198

εἰς	τοὺς	αἰῶνας	τῶν	αἰώνων.
–へ	–の	世々	–の	世々
G1519	G3588	G0165	G3588	G0165

そして、四つの生き物の一つが、世々限りなく生きておられる神の激しい怒りの満ちた七つの金の鉢を、七人の御使に渡した。

8

καὶ	ἐγεμίσθη	ὁ	ναὸς	καπνοῦ	ἐκ	τῆς	δόξης	τοῦ	Θεοῦ,	καὶ	ἐκ
そして	満たされた	–の	神殿は	煙で	–から	–の	栄光	–の	神	そして	–から
G2532	G1072	G3588	G3485	G2586	G1537	G3588	G1391	G3588	G2316	G2532	G1537

τῆς	δυνάμεως	αὐτοῦ;	καὶ	οὐδεὶς	ἐδύνατο	εἰσελθεῖν	εἰς	τὸν	ναὸν,
–の	力	神の	そして	誰も	できなかった	入る–ことが	–へ	–の	神殿に
G3588	G1411	G0846	G2532	G3762	G1410	G1525	G1519	G3588	G3485

ἄχρι	τελεσθῶσιν	αἱ	ἑπτὰ	πληγαὶ	τῶν	ἑπτὰ	ἀγγέλων.
–まで	完了する	–の	七つの	災いが	–の	七人の	御使いたち
G0891	G5055	G3588	G2033	G4127	G3588	G2033	G0032

すると、聖所は神の栄光とその力とから立ちのぼる煙で満たされ、七人の御使の七つの災害が終ってしまうまでは、だれも聖所にはいることができなかった。

Chapter 16

1

Καὶ	ἤκουσα	μεγάλης	φωνῆς	ἐκ	τοῦ	ναοῦ,	λεγούσης	τοῖς	ἑπτὰ
そして	私は–聞いた	大きな	声を	–から	–の	神殿	言う	–の	七人の
G2532	G0191	G3173	G5456	G1537	G3588	G3485	G3004	G3588	G2033

ἀγγέλοις,	Ὑπάγετε,	καὶ	ἐκχέετε	τὰς	ἑπτὰ	φιάλας	τοῦ	θυμοῦ	τοῦ	Θεοῦ
御使いたちに	行け	そして	注ぎ–出せ	–の	七つの	鉢を	–の	怒り	–の	神
G0032	G5217	G2532	G1632	G3588	G2033	G5357	G3588	G2372	G3588	G2316

εἰς	τὴν	γῆν.
–へ	–の	地
G1519	G3588	G1093

それから、大きな声が聖所から出て、七人の御使にむかい、「さあ行って、神の激しい怒りの七つの鉢を、地に傾けよ」と言うのを聞いた。

2 Καὶ ἀπῆλθεν ὁ πρῶτος, καὶ ἐξέχεεν τὴν φιάλην αὐτοῦ εἰς
そして 出て-行った -の 第一の-者が そして 注ぎ-出した -の 鉢を その -へ
G2532 G0565 G3588 G4413 G2532 G1632 G3588 G5357 G0846 G1519

τὴν γῆν; καὶ ἐγένετο ἕλκος, κακὸν καὶ πονηρὸν, ἐπὶ τοὺς ἀνθρώπους
-の 地 そして 生じた 腫れ物が 悪い そして 苦しい -の上に -の 人々
G3588 G1093 G2532 G1096 G1668 G2556 G2532 G4190 G1909 G3588 G0444

τοὺς ἔχοντας τὸ χάραγμα τοῦ θηρίου, καὶ τοὺς προσκυνοῦντας τῇ
-の 持つ-者たち -の 刻印を -の 獣 そして -の 拝む-者たち -の
G3588 G2192 G3588 G5480 G3588 G2342 G2532 G3588 G4352 G3588

εἰκόνι αὐτοῦ.
像を その
G1504 G0846

そして、第一の者が出て行って、その鉢を地に傾けた。すると、獣の刻印を持つ人々と、その像を拝む人々とのからだに、ひどい悪性のでき物ができた。

3 Καὶ ὁ δεύτερος ἐξέχεεν τὴν φιάλην αὐτοῦ εἰς τὴν θάλασσαν;
そして -の 第二の-者が 注ぎ-出した -の 鉢を その -へ -の 海
G2532 G3588 G1208 G1632 G3588 G5357 G0846 G1519 G3588 G2281

καὶ ἐγένετο αἷμα, ὡς νεκροῦ; καὶ πᾶσα ψυχὴ ζωῆς ἀπέθανεν, τὰ
そして なった 血に -のような 死人の そして すべての 魂が 命ある 死んだ -の
G2532 G1096 G0129 G5613 G3498 G2532 G3956 G5590 G2222 G0599 G3588

ἐν τῇ θαλάσσῃ.
-に -の 海の中で
G1722 G3588 G2281

第二の者が、その鉢を海に傾けた。すると、海は死人の血のようになって、その中の生き物がみな死んでしまった。

4 Καὶ ὁ τρίτος ἐξέχεεν τὴν φιάλην αὐτοῦ εἰς τοὺς ποταμοὺς,
そして -の 第三の-者が 注ぎ-出した -の 鉢を その -へ -の 川と
G2532 G3588 G5154 G1632 G3588 G5357 G0846 G1519 G3588 G4215

καὶ τὰς πηγὰς τῶν ὑδάτων; καὶ ἐγένετο αἷμα.
そして -の 水の-源 -の 水 そして なった 血に
G2532 G3588 G4077 G3588 G5204 G2532 G1096 G0129

第三の者がその鉢を川と水の源とに傾けた。すると、みな血になった。

5 Καὶ ἤκουσα τοῦ ἀγγέλου τῶν ὑδάτων λέγοντος, Δίκαιος εἶ, ὁ
そして 私は-聞いた -の 御使いが -の 水 言うのを 義しい あなたは -の
G2532 G0191 G3588 G0032 G3588 G5204 G3004 G1342 G1510 G3588

ὢν, καὶ ὁ ἦν, ὁ Ὅσιος, ὅτι ταῦτα ἔκρινας.
おられる-方 そして -の おられた-方 -の 聖なる-方 なぜなら これらの-ことを 裁かれた
G1510 G2532 G3588 G1510 G3588 G3741 G3754 G3778 G2919

それから、水をつかさどる御使がこう言うのを、聞いた、「今いまし、昔いませる聖なる者よ。このようにお定めになったあなたは、正しいかたであります。

6 ὅτι αἷμα ἁγίων καὶ προφητῶν ἐξέχεαν, καὶ αἷμα αὐτοῖς
なぜなら 血を 聖徒たちの そして 預言者たちの 流したからだ そして 血を 彼らに
G3754 G0129 G0040 G2532 G4396 G1632 G2532 G0129 G0846

δέδωκας πιεῖν; ἄξιοί εἰσιν.
与えた 飲む-ために ふさわしい 彼らには
G1325 G4095 G0514 G1510

聖徒と預言者との血を流した者たちに、血をお飲ませになりましたが、それは当然のことであります」。

7

Καὶ	ἤκουσα	τοῦ	θυσιαστηρίου	λέγοντος,	Ναί,	Κύριε	ὁ	Θεός	ὁ
そして	私は–聞いた	–の	祭壇が	言うのを	そうだ	主よ	–の	神	–の
G2532	G0191	G3588	G2379	G3004	G3483	G2962	G3588	G2316	G3588

Παντοκράτωρ,	ἀληθιναὶ	καὶ	δίκαιαι	αἱ	κρίσεις	σου.
全能者よ	真実で	そして	義しい	–の	裁きは	あなたの
G3841	G0228	G2532	G1342	G3588	G2920	G4771

わたしはまた祭壇がこう言うのを聞いた、「全能者にして主なる神よ。しかり、あなたのさばきは真実で、かつ正しいさばきであります」。

8

Καὶ	ὁ	τέταρτος	ἐξέχεεν	τὴν	φιάλην	αὐτοῦ	ἐπὶ	τὸν	ἥλιον;
そして	–の	第四の–者が	注ぎ–出した	–の	鉢を	その	–の上に	–の	太陽
G2532	G3588	G5067	G1632	G3588	G5357	G0846	G1909	G3588	G2246

καὶ	ἐδόθη	αὐτῷ	καυματίσαι	τοὺς	ἀνθρώπους	ἐν	πυρί.
そして	与えられた	それに	焼く–ことが	–の	人々を	–で	火
G2532	G1325	G0846	G2739	G3588	G0444	G1722	G4442

第四の者が、その鉢を太陽に傾けた。すると、太陽は火で人々を焼くことを許された。

9

καὶ	ἐκαυματίσθησαν	οἱ	ἄνθρωποι	καῦμα	μέγα,	καὶ	ἐβλασφήμησαν	τὸ
そして	焼かれた	–の	人々は	熱で	激しい	そして	冒瀆した	–の
G2532	G2739	G3588	G0444	G2738	G3173	G2532	G0987	G3588

ὄνομα	τοῦ	Θεοῦ,	τοῦ	ἔχοντος	τὴν	ἐξουσίαν	ἐπὶ	τὰς	πληγὰς	ταύτας,
御名を	–の	神	–の	持つ–方	–の	権威を	–の上に	–の	災い	これらの
G3686	G3588	G2316	G3588	G2192	G3588	G1849	G1909	G3588	G4127	G3778

καὶ	οὐ	μετενόησαν	δοῦναι	αὐτῷ	δόξαν.
そして	–ない	悟らなかった	与える	神に	栄光を
G2532	G3756	G3340	G1325	G0846	G1391

人々は、激しい炎熱で焼かれたが、これらの災害を支配する神の御名を汚し、悔い改めて神に栄光を帰することをしなかった。

10

Καὶ	ὁ	πέμπτος	ἐξέχεεν	τὴν	φιάλην	αὐτοῦ	ἐπὶ	τὸν	θρόνον
そして	–の	第五の–者が	注ぎ–出した	–の	鉢を	その	–の上に	–の	座
G2532	G3588	G3991	G1632	G3588	G5357	G0846	G1909	G3588	G2362

τοῦ	θηρίου;	καὶ	ἐγένετο	ἡ	βασιλεία	αὐτοῦ	ἐσκοτωμένη;	καὶ	ἐμασῶντο
–の	獣	そして	なった	–の	国は	その	暗く–なった	そして	噛んだ
G3588	G2342	G2532	G1096	G3588	G0932	G0846	G4656	G2532	G3145

τὰς	γλώσσας	αὐτῶν	ἐκ	τοῦ	πόνου;
–の	舌を	彼らの	–から	–の	苦痛
G3588	G1100	G0846	G1537	G3588	G4192

第五の者が、その鉢を獣の座に傾けた。すると、獣の国は暗くなり、人々は苦痛のあまり舌をかみ、

11

καὶ	ἐβλασφήμησαν	τὸν	Θεὸν	τοῦ	οὐρανοῦ	ἐκ	τῶν	πόνων	αὐτῶν,	καὶ
そして	冒瀆した	–の	神を	–の	天	–から	–の	苦痛と	彼らの	そして
G2532	G0987	G3588	G2316	G3588	G3772	G1537	G3588	G4192	G0846	G2532

ἐκ	τῶν	ἑλκῶν	αὐτῶν;	καὶ	οὐ	μετενόησαν	ἐκ	τῶν	ἔργων	αὐτῶν.
–から	–の	腫れ物	彼らの	そして	–ない	悟らなかった	–から	–の	行い	彼らの
G1537	G3588	G1668	G0846	G2532	G3756	G3340	G1537	G3588	G2041	G0846

その苦痛とでき物とのゆえに、天の神をのろった。そして、自分の行いを悔い改めなかった。

12

Καὶ	ὁ	ἕκτος	ἐξέχεεν	τὴν	φιάλην	αὐτοῦ	ἐπὶ	τὸν	ποταμὸν
そして	–の	第六の–者が	注ぎ–出した	–の	鉢を	その	–の上に	–の	川
G2532	G3588	G1623	G1632	G3588	G5357	G0846	G1909	G3588	G4215

τὸν	μέγαν	‹τὸν›	Εὐφράτην;	καὶ	ἐξηράνθη	τὸ	ὕδωρ	αὐτοῦ,	ἵνα
–の	大いなる	–の	ユーフラテス	そして	干上がった	–の	水が	その	–して
G3588	G3173	G3588	G2166	G2532	G3583	G3588	G5204	G0846	G2443

ἑτοιμασθῇ	ἡ	ὁδὸς	τῶν	βασιλέων	τῶν	ἀπὸ	ἀνατολῆς	ἡλίου.
備えられる–ように	–の	道が	–の	王たち	–の	–からの	日の–出る–方の	太陽
G2090	G3588	G3598	G3588	G0935	G3588	G0575	G0395	G2246

第六の者が、その鉢を大ユウフラテ川に傾けた。すると、その水は、日の出る方から来る王たちに対し道を備えるために、かれてしまった。

13

Καὶ	εἶδον	ἐκ	τοῦ	στόματος	τοῦ	δράκοντος,	καὶ	ἐκ	τοῦ
そして	私は–見た	–から	–の	口	–の	竜	そして	–から	–の
G2532	G3708	G1537	G3588	G4750	G3588	G1404	G2532	G1537	G3588

στόματος	τοῦ	θηρίου,	καὶ	ἐκ	τοῦ	στόματος	τοῦ	ψευδοπροφήτου,
口	–の	獣	そして	–から	–の	口	–の	偶預言者
G4750	G3588	G2342	G2532	G1537	G3588	G4750	G3588	G5578

πνεύματα	τρία	ἀκάθαρτα,	ὡς	βάτραχοι;
霊が	三つの	汚れた	–のような	蛙
G4151	G5140	G0169	G5613	G0944

また見ると、龍の口から、獣の口から、にせ預言者の口から、かえるのような三つの汚れた霊が出てきた。

14

εἰσὶν	γὰρ	πνεύματα	δαιμονίων	ποιοῦντα	σημεῖα,	ἃ	ἐκπορεύεται
–である	なぜなら	霊は	悪霊の	行う	しるしを	それらは	出て–行く
G1510	G1063	G4151	G1140	G4160	G4592	G3739	G1607

ἐπὶ	τοὺς	βασιλεῖς	τῆς	οἰκουμένης	ὅλης,	συναγαγεῖν	αὐτοὺς	εἰς	τὸν
–のもとへ	–の	王たち	–の	全世界	すべての	集める–ために	彼らを	–へ	–の
G1909	G3588	G0935	G3588	G3625	G3650	G4863	G0846	G1519	G3588

πόλεμον	τῆς	ἡμέρας	τῆς	μεγάλης	τοῦ	Θεοῦ	τοῦ	Παντοκράτορος.
戦い	–の	日	–の	大いなる	–の	神	–の	全能者
G4171	G3588	G2250	G3588	G3173	G3588	G2316	G3588	G3841

これらは、しるしを行う悪霊の霊であって、全世界の王たちのところに行き、彼らを召集したが、それは、全能なる神の大いなる日に、戦いをするためであった。

15

Ἰδοὺ,	ἔρχομαι	ὡς	κλέπτης.	μακάριος	ὁ	γρηγορῶν,	καὶ
見よ	私は–来る	–のように	盗人	幸いである	–の	目を–覚ましている–者	そして
G3708	G2064	G5613	G2812	G3107	G3588	G1127	G2532

τηρῶν	τὰ	ἱμάτια	αὐτοῦ,	ἵνα	μὴ	γυμνὸς	περιπατῇ,	καὶ
守っている–者は	–の	衣を	その	–して	–ない	裸で	歩かない–ように	そして
G5083	G3588	G2440	G0846	G2443	G3361	G1131	G4043	G2532

βλέπωσιν	τὴν	ἀσχημοσύνην	αὐτοῦ.
見ない–ように	–の	恥を	その
G0991	G3588	G0808	G0846

（見よ、わたしは盗人のように来る。裸のままで歩かないように、また、裸の恥を見られないように、目をさまし着物を身に着けている者は、さいわいである。）

16 καὶ そして G2532 | συνήγαγεν 集めた G4863 | αὐτοὺς 彼らを G0846 | εἰς –へ G1519 | τὸν –の G3588 | τόπον 場所 G5117 | τὸν –の G3588 | καλούμενον 呼ばれる G2564 | Ἑβραϊστὶ ヘブライ語で G1447

Ἁρ¦μαγεδών. ハルマゲドン G0717

三つの霊は、ヘブル語でハルマゲドンという所に、王たちを召集した。

17 Καὶ そして G2532 | ὁ –の G3588 | ἕβδομος 第七の–者が G1442 | ἐξέχεεν 注ぎ–出した G1632 | τὴν –の G3588 | φιάλην 鉢を G5357 | αὐτοῦ その G0846 | ἐπὶ –の上に G1909 | τὸν –の G3588 | ἀέρα; 空中 G0109 | καὶ そして G2532

ἐξῆλθεν 出た G1831 | φωνὴ 声が G5456 | μεγάλη 大きな G3173 | ἐκ –から G1537 | τοῦ –の G3588 | ναοῦ 神殿 G3485 | ἀπὸ –から G0575 | τοῦ –の G3588 | θρόνου, 御座 G2362 | λέγουσα, 言う G3004 | Γέγονεν! 成った G1096

第七の者が、その鉢を空中に傾けた。すると、大きな声が聖所の中から、御座から出て、「事はすでに成った」と言った。

18 καὶ そして G2532 | ἐγένοντο 起こった G1096 | ἀστραπαὶ, 稲妻と G0796 | καὶ そして G2532 | φωναὶ, 声と G5456 | καὶ そして G2532 | βρονταί; 雷 G1027 | καὶ そして G2532 | σεισμὸς 地震が G4578 | ἐγένετο 起こった G1096

μέγας, 大きな G3173 | οἷος そのような G3634 | οὐκ –ない G3756 | ἐγένετο, 起こった–ことの–ない G1096 | ἀφ’ –から G0575 | οὗ その G3739 | ἄνθρωπος 人が G0444 | ἐγένετο 現れて G1096 | ἐπὶ –の上に G1909

τῆς –の G3588 | γῆς, 地 G1093 | τηλικοῦτος かくも–大きな G5082 | σεισμὸς, 地震は G4578 | οὕτω かくも G3779 | μέγας. 大きな G3173

すると、いなずまと、もろもろの声と、雷鳴とが起り、また激しい地震があった。それは人間が地上にあらわれて以来、かつてなかったようなもので、それほどに激しい地震であった。

19 καὶ そして G2532 | ἐγένετο なった G1096 | ἡ –の G3588 | πόλις 都は G4172 | ἡ –の G3588 | μεγάλη 大いなる G3173 | εἰς –に G1519 | τρία 三つの G5140 | μέρη; 部分 G3313 | καὶ そして G2532 | αἱ –の G3588 | πόλεις 都は G4172

τῶν –の G3588 | ἐθνῶν 国々の G1484 | ἔπεσαν; 倒れた G4098 | καὶ そして G2532 | Βαβυλὼν バビロンは G0897 | ἡ –の G3588 | μεγάλη 大いなる G3173 | ἐμνήσθη 思い–出された G3403 | ἐνώπιον –の前に G1799 | τοῦ –の G3588

Θεοῦ, 神 G2316 | δοῦναι 与える–ために G1325 | αὐτῇ 彼女に G0846 | τὸ –の G3588 | ποτήριον 杯を G4221 | τοῦ –の G3588 | οἴνου ぶどう酒 G3631 | τοῦ –の G3588 | θυμοῦ 怒り G2372 | τῆς –の G3588

ὀργῆς 激しい–怒り G3709 | αὐτοῦ. 神の G0846

大いなる都は三つに裂かれ、諸国民の町々は倒れた。神は大いなるバビロンを思い起し、これに神の激しい怒りのぶどう酒の杯を与えられた。

20 καὶ そして G2532 | πᾶσα すべての G3956 | νῆσος 島は G3520 | ἔφυγεν; 逃げ去り G5343 | καὶ そして G2532 | ὄρη 山々は G3735 | οὐχ –ない G3756 | εὑρέθησαν; 見つからなかった G2147

島々はみな逃げ去り、山々は見えなくなった。

21

καὶ	χάλαζα	μεγάλη,	ὡς	ταλαντιαία,	καταβαίνει	ἐκ	τοῦ	οὐρανοῦ
そして	雹が	大きな	–のような	一タラントンほどの	降る	–から	–の	天
G2532	G5464	G3173	G5613	G5006	G2597	G1537	G3588	G3772

ἐπὶ	τοὺς	ἀνθρώπους;	καὶ	ἐβλασφήμησαν	οἱ	ἄνθρωποι	τὸν	Θεὸν,	ἐκ
–の上に	–の	人々	そして	冒瀆した	–の	人々は	–の	神を	–から
G1909	G3588	G0444	G2532	G0987	G3588	G0444	G3588	G2316	G1537

τῆς	πληγῆς	τῆς	χαλάζης,	ὅτι	μεγάλη	ἐστὶν	ἡ	πληγὴ	αὐτῆς	σφόδρα.
–の	災い	–の	雹	なぜなら	大きな	である	–の	災いは	その	極めて
G3588	G4127	G3588	G5464	G3754	G3173	G1510	G3588	G4127	G0846	G4970

また一タラントの重さほどの大きな雹が、天から人々の上に降ってきた。人々は、この雹の災害のゆえに神をのろった。その災害が、非常に大きかったからである。

Chapter 17

1

Καὶ	ἦλθεν	εἷς	ἐκ	τῶν	ἑπτὰ	ἀγγέλων	τῶν	ἐχόντων	τὰς	ἑπτὰ
そして	来た	一人の	–から	–の	七人の	御使いたち	–の	持つ–者たち	–の	七つの
G2532	G2064	G1520	G1537	G3588	G2033	G0032	G3588	G2192	G3588	G2033

φιάλας,	καὶ	ἐλάλησεν	μετ’	ἐμοῦ,	λέγων	Δεῦρο,	δείξω	σοι	τὸ
鉢を	そして	語った	–と	私	言って	ここに–来い	見せよう	あなたに	–の
G5357	G2532	G2980	G3326	G1473	G3004	G1204	G1166	G4771	G3588

κρίμα	τῆς	πόρνης	τῆς	μεγάλης,	τῆς	καθημένης	ἐπὶ	ὑδάτων	πολλῶν;
裁きを	–の	遊女	–の	大いなる	–の	座っている–者	–の上に	水	多くの
G2917	G3588	G4204	G3588	G3173	G3588	G2521	G1909	G5204	G4183

それから、七つの鉢を持つ七人の御使のひとりがきて、わたしに語って言った、「さあ、きなさい。多くの水の上にすわっている大淫婦に対するさばきを、見せよう。

2

μεθ’	ἧς	ἐπόρνευσαν	οἱ	βασιλεῖς	τῆς	γῆς;	καὶ	ἐμεθύσθησαν	οἱ
–と	彼女	姦淫した	–の	王たちは	–の	地	そして	酔わされた	–の
G3326	G3739	G4203	G3588	G0935	G3588	G1093	G2532	G3182	G3588

κατοικοῦντες	τὴν	γῆν	ἐκ	τοῦ	οἴνου	τῆς	πορνείας	αὐτῆς.
住む–者たちは	–の	地	–から	–の	ぶどう酒	–の	淫行	彼女の
G2730	G3588	G1093	G1537	G3588	G3631	G3588	G4202	G0846

地の王たちはこの女と姦淫を行い、地に住む人々はこの女の姦淫のぶどう酒に酔いしれている」。

3

καὶ	ἀπήνεγκέν	με	εἰς	ἔρημον	ἐν	Πνεύματι;	καὶ	εἶδον	γυναῖκα
そして	運んだ	私を	–へ	荒野	–によって	御霊	そして	私は–見た	女が
G2532	G0667	G1473	G1519	G2048	G1722	G4151	G2532	G3708	G1135

καθημένην	ἐπὶ	θηρίον	κόκκινον,	γέμοντα	ὀνόματα	βλασφημίας,	ἔχων
座っているのを	–の上に	獣	紅い	満ちた	冒瀆の–名で	冒瀆の	持っている
G2521	G1909	G2342	G2847	G1073	G3686	G0988	G2192

κεφαλὰς	ἑπτὰ,	καὶ	κέρατα	δέκα.
頭を	七つの	そして	角を	十の
G2776	G2033	G2532	G2768	G1176

御使は、わたしを御霊に感じたまま、荒野へ連れて行った。わたしは、そこでひとりの女が赤い獣に乗っているのを見た。その獣は神を汚すかずかずの名でおおわれ、また、それに七つの頭と十の角とがあった。

4 καὶ ἡ γυνὴ ἦν περιβεβλημένη πορφυροῦν καὶ κόκκινον, καὶ
そして -の 女は -であった 身に-まとい 紫と そして 紅 そして
G2532 G3588 G1135 G1510 G4016 G4210 G2532 G2847 G2532

κεχρυσωμένη χρυσίῳ καὶ λίθῳ τιμίῳ καὶ μαργαρίταις, ἔχουσα ποτήριον
金で-飾られ 金と そして 宝石と 貴い そして 真珠で 持っている 杯を
G5558 G5553 G2532 G3037 G5093 G2532 G3135 G2192 G4221

χρυσοῦν ἐν τῇ χειρὶ αὐτῆς, γέμον βδελυγμάτων καὶ τὰ ἀκάθαρτα
金の -に -の 手 彼女の 満ちた 忌まわしい-ものと そして -の 汚れた-もの
G5552 G1722 G3588 G5495 G0846 G1073 G0946 G2532 G3588 G0169

τῆς πορνείας αὐτῆς;
-の 淫行 彼女の
G3588 G4202 G0846

この女は紫と赤の衣をまとい、金と宝石と真珠とで身を飾り、憎むべきものと自分の姦淫の汚れとで満ちている金の杯を手に持ち、

5 καὶ ἐπὶ τὸ μέτωπον αὐτῆς ὄνομα γεγραμμένον, μυστήριον ΒΑΒΥΛΩΝ
そして -の上に -の 額 彼女の 名が 書かれていた 神秘 バビロン
G2532 G1909 G3588 G3359 G0846 G3686 G1125 G3466 G0897

ἡ ΜΕΓΑΛΗ, ἡ ΜΗΤΗΡ ΤΩΝ ΠΟΡΝΩΝ, ΚΑΙ ΤΩΝ ΒΔΕΛΥΓΜΑΤΩΝ ΤΗΣ ΓΗΣ.
-の 大いなる -の 母 -の 遊女たち そして -の 忌まわしい-もの -の 地
G3588 G3173 G3588 G3384 G3588 G4204 G2532 G3588 G0946 G3588 G1093

その額には、一つの名がしるされていた。それは奥義であって、「大いなるバビロン、淫婦どもと地の憎むべきものらとの母」というのであった。

6 καὶ εἶδον τὴν γυναῖκα μεθύουσαν ἐκ τοῦ αἵματος τῶν ἁγίων,
そして 私は-見た -の 女が 酔っているのを -から -の 血 -の 聖徒たち
G2532 G3708 G3588 G1135 G3184 G1537 G3588 G0129 G3588 G0040

καὶ ἐκ τοῦ αἵματος τῶν μαρτύρων Ἰησοῦ. Καὶ ἐθαύμασα, ἰδὼν αὐτὴν,
そして -から -の 血 -の 証人たち イエスの そして 私は-驚いた 見て 彼女を
G2532 G1537 G3588 G0129 G3588 G3144 G2424 G2532 G2296 G3708 G0846

θαῦμα μέγα.
驚きで 大きな
G2295 G3173

わたしは、この女が聖徒の血とイエスの証人の血に酔いしれているのを見た。この女を見た時、わたしは非常に驚きあやしんだ。

7 καὶ εἶπέν μοι ὁ ἄγγελος, Διὰ τί ἐθαύμασας? ἐγὼ ἐρῶ σοι
そして 言った 私に -の 御使いは なぜ -か 驚いたのか 私が 言おう あなたに
G2532 G3004 G1473 G3588 G0032 G1223 G5101 G2296 G1473 G2046 G4771

τὸ μυστήριον τῆς γυναικὸς, καὶ τοῦ θηρίου τοῦ βαστάζοντος αὐτήν,
-の 神秘を -の 女 そして -の 獣 -の 担っている-者 彼女を
G3588 G3466 G3588 G1135 G2532 G3588 G2342 G3588 G0941 G0846

τοῦ ἔχοντος τὰς ἑπτὰ κεφαλὰς, καὶ τὰ δέκα κέρατα.
-の 持つ-者 -の 七つの 頭を そして -の 十の 角を
G3588 G2192 G3588 G2033 G2776 G2532 G3588 G1176 G2768

すると、御使はわたしに言った、「なぜそんなに驚くのか。この女の奥義と、女を乗せている七つの頭と十の角のある獣の奥義とを、話してあげよう。

8 τὸ θηρίον ὃ εἶδες ἦν, καὶ οὐκ ἔστιν, καὶ μέλλει ἀναβαίνειν
–の 獣は その 見た いた そして –ではない いない そして やがて 上って–来る
G3588 G2342 G3739 G3708 G1510 G2532 G3756 G1510 G2532 G3195 G0305

ἐκ τῆς ἀβύσσου, καὶ εἰς ἀπώλειαν ὑπάγει; καὶ θαυμασθήσονται οἱ
–から –の 底なしの–穴 そして –へ 滅び 行く そして 驚くであろう –の
G1537 G3588 G0012 G2532 G1519 G0684 G5217 G2532 G2296 G3588

κατοικοῦντες ἐπὶ τῆς γῆς, ὧν οὐ γέγραπται τὸ ὄνομα ἐπὶ τὸ
住む–者たちは –の上の –の 地 その –ない 書かれて–いない –の 名が –に –の
G2730 G1909 G3588 G1093 G3739 G3756 G1125 G3588 G3686 G1909 G3588

βιβλίον τῆς ζωῆς, ἀπὸ καταβολῆς κόσμου, βλεπόντων τὸ θηρίον ὅτι ἦν,
命の–書 –の 命 –から 創造 世界の 見る–者たちは –の 獣を –と いた
G0975 G3588 G2222 G0575 G2602 G2889 G0991 G3588 G2342 G3754 G1510

καὶ οὐκ ἔστιν, καὶ παρέσται.
そして –ではない いない そして 現れるであろう
G2532 G3756 G1510 G2532 G3918

あなたの見た獣は、昔はいたが、今はおらず、そして、やがて底知れぬ所から上ってきて、ついには滅びに至るものである。地に住む者のうち、世の初めからいのちの書に名をしるされていない者たちは、この獣が、昔はいたが今はおらず、やがて来るのを見て、驚きあやしむであろう。

9 Ὧδε ὁ νοῦς ὁ ἔχων σοφίαν: αἱ ἑπτὰ κεφαλαὶ, ἑπτὰ ὄρη
ここに –の 知性が–ある –の 持つ–者 知恵を –の 七つの 頭は 七つの 山で
G5602 G3588 G3563 G3588 G2192 G4678 G3588 G2033 G2776 G2033 G3735

εἰσίν, ὅπου ἡ γυνὴ κάθηται ἐπ’ αὐτῶν;
ある そこに –の 女が 座っている –の上に それら
G1510 G3699 G3588 G1135 G2521 G1909 G0846

ここに、知恵のある心が必要である。七つの頭は、この女のすわっている七つの山であり、また、七人の王のことである。

10 καὶ βασιλεῖς ἑπτά εἰσιν: οἱ πέντε ἔπεσαν, ὁ εἷς ἔστιν, ὁ
そして 王が 七人 いる –の 五人は 倒れた –の 一人は いる –の
G2532 G0935 G2033 G1510 G3588 G4002 G4098 G3588 G1520 G1510 G3588

ἄλλος οὔπω ἦλθεν; καὶ ὅταν ἔλθῃ, ὀλίγον αὐτὸν
もう–一人は まだ 来て–いない そして –の時に 来たなら わずかの–間 その–者は
G0243 G3768 G2064 G2532 G3752 G2064 G3641 G0846

δεῖ μεῖναι.
いなければ–ならない 留まる
G1163 G3306

そのうちの五人はすでに倒れ、ひとりは今おり、もうひとりは、まだきていない。それが来れば、しばらくの間だけおることになっている。

11 καὶ τὸ θηρίον ὃ ἦν, καὶ οὐκ ἔστιν, καὶ αὐτὸς
そして –の 獣は その いた そして –ではない いない そして それ自身が
G2532 G3588 G2342 G3739 G1510 G2532 G3756 G1510 G2532 G0846

ὄγδοός ἐστιν, καὶ ἐκ τῶν ἑπτά ἐστιν, καὶ εἰς ἀπώλειαν ὑπάγει.
第八の–者で ある そして –からの –の 七人 である そして –へ 滅び 行く
G3590 G1510 G2532 G1537 G3588 G2033 G1510 G2532 G1519 G0684 G5217

昔はいたが今はいないという獣は、すなわち第八のものであるが、またそれは、かの七人の中のひとりであって、ついには滅びに至るものである。

12

καὶ	τὰ	δέκα	κέρατα	ἃ	εἶδες,	δέκα	βασιλεῖς	εἰσιν,	οἵτινες	βασιλείαν
そして	-の	十の	角は	その	見た	十人の	王で	ある	それらは	王国を
G2532	G3588	G1176	G2768	G3739	G3708	G1176	G0935	G1510	G3748	G0932

οὔπω	ἔλαβον,	ἀλλὰ	ἐξουσίαν	ὡς	βασιλεῖς,	μίαν	ὥραν	λαμβάνουσιν,
まだ	受けて-いない	しかし	権威を	-のように	王の	一	時の-間	受ける
G3768	G2983	G0235	G1849	G5613	G0935	G1520	G5610	G2983

μετὰ	τοῦ	θηρίου.
-と共に	-の	獣
G3326	G3588	G2342

あなたの見た十の角は、十人の王のことであって、彼らはまだ国を受けてはいないが、獣と共に、一時だけ王としての権威を受ける。

13

οὗτοι	μίαν	γνώμην	ἔχουσιν,	καὶ	τὴν	δύναμιν	καὶ	ἐξουσίαν
これらの-者は	一つの	志を	持っている	そして	-の	力と	そして	権威を
G3778	G1520	G1106	G2192	G2532	G3588	G1411	G2532	G1849

αὐτῶν,	τῷ	θηρίῳ	διδόασιν.
彼らの	-の	獣に	与える
G0846	G3588	G2342	G1325

彼らは心をひとつにしている。そして、自分たちの力と権威とを獣に与える。

14

οὗτοι	μετὰ	τοῦ	Ἀρνίου	πολεμήσουσιν,	καὶ	τὸ	Ἀρνίον	νικήσει
これらの-者は	-と	-の	小羊	戦うであろう	そして	-の	小羊が	打ち勝つであろう
G3778	G3326	G3588	G0721	G4170	G2532	G3588	G0721	G3528

αὐτούς;	ὅτι	Κύριος	κυρίων	ἐστὶν	καὶ	Βασιλεὺς	βασιλέων;	καὶ	οἱ
彼らに	なぜなら	主の-主	主の	である	そして	王の-王	王の	そして	-の
G0846	G3754	G2962	G2962	G1510	G2532	G0935	G0935	G2532	G3588

μετ’	αὐτοῦ,	κλητοὶ,	καὶ	ἐκλεκτοὶ,	καὶ	πιστοί.
-と共にいる	その-方の	召された-者と	そして	選ばれた-者と	そして	忠実な-者たちも
G3326	G0846	G2822	G2532	G1588	G2532	G4103

彼らは小羊に戦いをいどんでくるが、小羊は、主の主、王の王であるから、彼らにうち勝つ。また、小羊と共にいる召された、選ばれた、忠実な者たちも、勝利を得る」。

15

Καὶ	λέγει	μοι,	Τὰ	ὕδατα	ἃ	εἶδες,	οὗ	ἡ	πόρνη	κάθηται,	λαοὶ
そして	言う	私に	-の	水は	その	見た	そこに	-の	遊女が	座っている	民と
G2532	G3004	G1473	G3588	G5204	G3739	G3708	G3757	G3588	G4204	G2521	G2992

καὶ	ὄχλοι	εἰσὶν,	καὶ	ἔθνη	καὶ	γλῶσσαι.
そして	群衆と	である	そして	国々と	そして	言葉
G2532	G3793	G1510	G2532	G1484	G2532	G1100

御使はまた、わたしに言った、「あなたの見た水、すなわち、淫婦のすわっている所は、あらゆる民族、群衆、国民、国語である。

16	καὶ	τὰ	δέκα	κέρατα	ἃ	εἶδες,	καὶ	τὸ	θηρίον,	οὗτοι
そして	-の	十の	角は	その	見た	そして	-の	獣は	これらの-者は
G2532	G3588	G1176	G2768	G3739	G3708	G2532	G3588	G2342	G3778

μισήσουσιν	τὴν	πόρνην,	καὶ	ἠρημωμένην	ποιήσουσιν	αὐτὴν,	καὶ	γυμνήν;
憎むであろう	-の	遊女を	そして	荒れ果てた-ものに	するであろう	彼女を	そして	裸に
G3404	G3588	G4204	G2532	G2049	G4160	G0846	G2532	G1131

καὶ	τὰς	σάρκας	αὐτῆς	φάγονται,	καὶ	αὐτὴν	κατακαύσουσιν	ἐν	πυρί;
そして	-の	肉を	彼女の	食うであろう	そして	彼女を	焼くであろう	-で	火
G2532	G3588	G4561	G0846	G5315	G2532	G0846	G2618	G1722	G4442

あなたの見た十の角と獣とは、この淫婦を憎み、みじめな者にし、裸にし、彼女の肉を食い、火で焼き尽すであろう。

17	ὁ	γὰρ	Θεὸς	ἔδωκεν	εἰς	τὰς	καρδίας	αὐτῶν	ποιῆσαι	τὴν	γνώμην
-の	なぜなら	神が	与えた	-に	-の	心	彼らの	行う-ことを	-の	志を
G3588	G1063	G2316	G1325	G1519	G3588	G2588	G0846	G4160	G3588	G1106

αὐτοῦ,	καὶ	ποιῆσαι	μίαν	γνώμην,	καὶ	δοῦναι	τὴν	βασιλείαν	αὐτῶν
神の	そして	行う-ことを	一つの	志を	そして	与える-ことを	-の	王国を	彼らの
G0846	G2532	G4160	G1520	G1106	G2532	G1325	G3588	G0932	G0846

τῷ	θηρίῳ,	ἄχρι	τελεσθήσονται	οἱ	λόγοι	τοῦ	Θεοῦ.
-の	獣に	-まで	完了する	-の	言葉が	-の	神
G3588	G2342	G0891	G5055	G3588	G3056	G3588	G2316

神は、御言が成就する時まで、彼らの心の中に、御旨を行い、思いをひとつにし、彼らの支配権を獣に与える思いを持つようにされたからである。

18	καὶ	ἡ	γυνὴ	ἣν	εἶδες	ἔστιν	ἡ	πόλις	ἡ	μεγάλη,	ἡ	ἔχουσα
そして	-の	女は	その	見た	である	-の	都	-の	大いなる	-の	持つ-者
G2532	G3588	G1135	G3739	G3708	G1510	G3588	G4172	G3588	G3173	G3588	G2192

βασιλείαν	ἐπὶ	τῶν	βασιλέων	τῆς	γῆς.
王国を	-の上に	-の	王たち	-の	地
G0932	G1909	G3588	G0935	G3588	G1093

あなたの見たかの女は、地の王たちを支配する大いなる都のことである」。

Chapter 18

1	Μετὰ	ταῦτα	εἶδον	ἄλλον	ἄγγελον	καταβαίνοντα	ἐκ	τοῦ
-の後	これらの-こと	私は-見た	もう-一人の	御使いが	降って-来るのを	-から	-の
G3326	G3778	G3708	G0243	G0032	G2597	G1537	G3588

οὐρανοῦ,	ἔχοντα	ἐξουσίαν	μεγάλην;	καὶ	ἡ	γῆ	ἐφωτίσθη	ἐκ	τῆς
天	持っている	権威を	大きな	そして	-の	地は	照らされた	-から	-の
G3772	G2192	G1849	G3173	G2532	G3588	G1093	G5461	G1537	G3588

δόξης	αὐτοῦ.
栄光	その-方の
G1391	G0846

この後、わたしは、もうひとりの御使が、大いなる権威を持って、天から降りて来るのを見た。地は彼の栄光によって明るくされた。

2 καὶ ἔκραξεν ἐν ἰσχυρᾷ φωνῇ, λέγων, Ἔπεσεν, ἔπεσεν Βαβυλὼν ἡ
そして 叫んだ -で 力強い 声 言って 倒れた 倒れた バビロンは -の
G2532 G2896 G1722 G2478 G5456 G3004 G4098 G4098 G0897 G3588

μεγάλη! καὶ ἐγένετο κατοικητήριον δαιμονίων, καὶ φυλακὴ παντὸς πνεύματος
大いなる そして なった 住みかに 悪霊の そして 巣窟に あらゆる 霊の
G3173 G2532 G1096 G2732 G1140 G2532 G5438 G3956 G4151

ἀκαθάρτου, καὶ φυλακὴ παντὸς ὀρνέου ἀκαθάρτου, ‹καὶ φυλακὴ παντὸς
汚れた そして 巣窟に あらゆる 鳥の 汚れた そして 巣窟に あらゆる
G0169 G2532 G5438 G3956 G3732 G0169 G2532 G5438 G3956

θηρίου ἀκαθάρτου› καὶ μεμισημένου.
獣の 汚れた そして 忌まれた
G2342 G0169 G2532 G3404

彼は力強い声で叫んで言った、「倒れた、大いなるバビロンは倒れた。そして、それは悪魔の住む所、あらゆる汚れた霊の巣くつ、また、あらゆる汚れた憎むべき鳥の巣くつとなった。

3 ὅτι ἐκ τοῦ οἴνου τοῦ θυμοῦ τῆς πορνείας αὐτῆς, πέπωκαν
なぜなら -から -の ぶどう酒 -の 怒り -の 淫行 彼女の 飲んだ
G3754 G1537 G3588 G3631 G3588 G2372 G3588 G4202 G0846 G4095

πάντα τὰ ἔθνη; καὶ οἱ βασιλεῖς τῆς γῆς μετ’ αὐτῆς ἐπόρνευσαν;
すべての -の 国々が そして -の 王たちは -の 地 -と 彼女 姦淫した
G3956 G3588 G1484 G2532 G3588 G0935 G3588 G1093 G3326 G0846 G4203

καὶ οἱ ἔμποροι τῆς γῆς ἐκ τῆς δυνάμεως τοῦ στρήνους αὐτῆς,
そして -の 商人たちは -の 地 -から -の 力 -の 贅沢 彼女の
G2532 G3588 G1713 G3588 G1093 G1537 G3588 G1411 G3588 G4764 G0846

ἐπλούτησαν.
富んだ
G4147

すべての国民は、彼女の姦淫に対する激しい怒りのぶどう酒を飲み、地の王たちは彼女と姦淫を行い、地上の商人たちは、彼女の極度のぜいたくによって富を得たからである」。

4 Καὶ ἤκουσα ἄλλην φωνὴν ἐκ τοῦ οὐρανοῦ, λέγουσαν, Ἐξέλθατε
そして 私は-聞いた もう-一つの 声を -から -の 天 言う 出て-来い
G2532 G0191 G0243 G5456 G1537 G3588 G3772 G3004 G1831

ὁ λαός μου, ἐξ αὐτῆς, ἵνα μὴ συνκοινωνήσητε ταῖς ἁμαρτίαις
-の 民よ 私の -から 彼女 -して -ない 共に-あずからない-ように -の 罪
G3588 G2992 G1473 G1537 G0846 G2443 G3361 G4790 G3588 G0266

αὐτῆς, καὶ ἐκ τῶν πληγῶν αὐτῆς, ἵνα μὴ λάβητε;
彼女の そして -から -の 災い 彼女の -して -ない 受けない-ように
G0846 G2532 G1537 G3588 G4127 G0846 G2443 G3361 G2983

わたしはまた、もうひとつの声が天から出るのを聞いた、「わたしの民よ。彼女から離れ去って、その罪にあずからないようにし、その災害に巻き込まれないようにせよ。

5 ὅτι ἐκολλήθησαν αὐτῆς αἱ ἁμαρτίαι ἄχρι τοῦ οὐρανοῦ, καὶ
なぜなら 積み-重なった 彼女の -の 罪は -まで -の 天 そして
G3754 G2853 G0846 G3588 G0266 G0891 G3588 G3772 G2532

ἐμνημόνευσεν ὁ Θεὸς τὰ ἀδικήματα αὐτῆς.
思い-出した -の 神は -の 不義を 彼女の
G3421 G3588 G2316 G3588 G0092 G0846

彼女の罪は積り積って天に達しており、神はその不義の行いを覚えておられる。

6

ἀπόδοτε	αὐτῇ	ὡς	καὶ	αὐτὴ	ἀπέδωκεν;	καὶ	διπλώσατε	τὰ
報いよ	彼女に	–のように	また	彼女自身が	報いた–ように	そして	倍に–せよ	–の
G0591	G0846	G5613	G2532	G0846	G0591	G2532	G1363	G3588

διπλᾶ,	κατὰ	τὰ	ἔργα	αὐτῆς.	ἐν	τῷ	ποτηρίῳ	ᾧ	ἐκέρασεν,	κεράσατε
倍	–に応じて	–の	行い	彼女の	–に	–の	杯	その	混ぜた	混ぜよ
G1362	G2596	G3588	G2041	G0846	G1722	G3588	G4221	G3739	G2767	G2767

αὐτῇ	διπλοῦν.
彼女に	倍の–ものを
G0846	G1362

彼女がしたとおりに彼女にし返し、そのしわざに応じて二倍に報復をし、彼女が混ぜて入れた杯の中に、その倍の量を、入れてやれ。

7

ὅσα	ἐδόξασεν	αὐτὴν	καὶ	ἐστρηνίασεν,	τοσοῦτον	δότε	αὐτῇ	βασανισμὸν
–ほど	栄光を–与えた	自らに	そして	贅沢に–暮らした	それほど	与えよ	彼女に	苦しみと
G3745	G1392	G0848	G2532	G4763	G5118	G1325	G0846	G0929

καὶ	πένθος.	ὅτι	ἐν	τῇ	καρδίᾳ	αὐτῆς	λέγει	ὅτι,	Κάθημαι	βασίλισσα,
そして	悲しみを	なぜなら	–に	–の	心	彼女の	言う	–と	座って–いる	女王として
G2532	G3997	G3754	G1722	G3588	G2588	G0846	G3004	G3754	G2521	G0938

καὶ	χήρα	οὐκ	εἰμί,	καὶ	πένθος	οὐ	μὴ	ἴδω.
そして	やもめでは	–ない	–ではない	そして	悲しみを	–ない	決して	見ないだろうと
G2532	G5503	G3756	G1510	G2532	G3997	G3756	G3361	G3708

彼女が自ら高ぶり、ぜいたくをほしいままにしたので、それに対して、同じほどの苦しみと悲しみとを味わわせてやれ。彼女は心の中で『わたしは女王の位についている者であって、やもめではないのだから、悲しみを知らない』と言っている。

8

διὰ	τοῦτο,	ἐν	μιᾷ	ἡμέρᾳ	ἥξουσιν	αἱ	πληγαὶ	αὐτῆς,	θάνατος
それゆえ	この–ことの	–に	一つの	日	来るであろう	–の	災いが	彼女の	死と
G1223	G3778	G1722	G1520	G2250	G2240	G3588	G4127	G0846	G2288

καὶ	πένθος	καὶ	λιμός,	καὶ	ἐν	πυρὶ	κατακαυθήσεται;	ὅτι	ἰσχυρὸς
そして	悲しみと	そして	飢饉	そして	–で	火	焼かれるであろう	なぜなら	力強い
G2532	G3997	G2532	G3042	G2532	G1722	G4442	G2618	G3754	G2478

Κύριος	ὁ	Θεὸς	ὁ	κρίνας	αὐτήν.
主なる	–の	神が	–の	裁かれた–方	彼女を
G2962	G3588	G2316	G3588	G2919	G0846

それゆえ、さまざまの災害が、死と悲しみとききんとが、一日のうちに彼女を襲い、そして、彼女は火で焼かれてしまう。彼女をさばく主なる神は、力強いかたなのである。

9

καὶ	κλαύσουσιν	καὶ	κόψονται	ἐπ’	αὐτὴν,	οἱ	βασιλεῖς	τῆς	γῆς,
そして	泣くであろう	そして	嘆くであろう	–のことを	彼女	–の	王たちは	–の	地
G2532	G2799	G2532	G2875	G1909	G0846	G3588	G0935	G3588	G1093

οἱ	μετ’	αὐτῆς	πορνεύσαντες	καὶ	στρηνιάσαντες,	ὅταν	βλέπωσιν	τὸν
–の	–と	彼女	姦淫した–者たち	そして	贅沢に–暮らした–者たちは	–の時に	見る	–の
G3588	G3326	G0846	G4203	G2532	G4763	G3752	G0991	G3588

καπνὸν	τῆς	πυρώσεως	αὐτῆς,
煙を	–の	炎上	彼女の
G2586	G3588	G4451	G0846

彼女と姦淫を行い、ぜいたくをほしいままにしていた地の王たちは、彼女が焼かれる火の煙を見て、彼女のために胸を打って泣き悲しみ、

10 ἀπὸ –から G0575 μακρόθεν 遠く G3113 ἑστηκότες 立って G2476 διὰ –のゆえに G1223 τὸν –の G3588 φόβον 恐れ G5401 τοῦ –の G3588 βασανισμοῦ 苦しみ G0929 αὐτῆς, 彼女の G0846

λέγοντες, 言って G3004 Οὐαὶ, わざわいだ G3759 οὐαί, わざわいだ G3759 ἡ –の G3588 πόλις 都よ G4172 ἡ –の G3588 μεγάλη, 大いなる G3173 Βαβυλὼν, バビロンよ G0897 ἡ –の G3588 πόλις 都よ G4172

ἡ –の G3588 ἰσχυρά! 強い G2478 ὅτι なぜなら G3754 μιᾷ 一つの G1520 ὥρᾳ 時に G5610 ἦλθεν 来た G2064 ἡ –の G3588 κρίσις 裁きが G2920 σου. あなたの G4771

彼女の苦しみに恐れをいだき、遠くに立って言うであろう、『ああ、わざわいだ、大いなる都、不落の都、バビロンは、わざわいだ。おまえに対するさばきは、一瞬にしてきた』。

11 καὶ そして G2532 οἱ –の G3588 ἔμποροι 商人たちは G1713 τῆς –の G3588 γῆς 地 G1093 κλαίουσιν 泣き G2799 καὶ そして G2532 πενθοῦσιν 悲しむ G3996 ἐπ’ –のことを G1909 αὐτήν, 彼女 G0846

ὅτι なぜなら G3754 τὸν –の G3588 γόμον 荷物を G1117 αὐτῶν, 彼らの G0846 οὐδεὶς 誰も G3762 ἀγοράζει 買わない G0059 οὐκέτι -- もはや G3765

また、地の商人たちも彼女のために泣き悲しむ。もはや、彼らの商品を買う者が、ひとりもないからである。

12 γόμον 荷物 G1117 χρυσοῦ, 金の G5557 καὶ そして G2532 ἀργύρου, 銀の G0696 καὶ そして G2532 λίθου 宝石の G3037 τιμίου, 貴い G5093 καὶ そして G2532 μαργαριτῶν, 真珠の G3135 καὶ そして G2532

βυσσίνου, 細布の G1039 καὶ そして G2532 πορφύρας, 紫布の G4209 καὶ そして G2532 σιρικοῦ, 絹の G4596 καὶ そして G2532 κοκκίνου, 紅布の G2847 καὶ そして G2532 πᾶν あらゆる G3956 ξύλον 木材 G3586

θύϊνον, 香木の G2367 καὶ そして G2532 πᾶν あらゆる G3956 σκεῦος 器 G4632 ἐλεφάντινον, 象牙の G1661 καὶ そして G2532 πᾶν あらゆる G3956 σκεῦος 器 G4632 ἐκ –の G1537 ξύλου 木材 G3586

τιμιωτάτου, 最も–貴い G5093 καὶ そして G2532 χαλκοῦ, 青銅の G5475 καὶ そして G2532 σιδήρου, 鉄の G4604 καὶ そして G2532 μαρμάρου, 大理石の G3139

その商品は、金、銀、宝石、真珠、麻布、紫布、絹、緋布、各種の香木、各種の象牙細工、高価な木材、銅、鉄、大理石などの器、

13 καὶ そして G2532 κιννάμωμον, 肉桂と G2792 καὶ そして G2532 ἄμωμον, 香料と G0299 καὶ そして G2532 θυμιάματα, 香と G2368 καὶ そして G2532 μύρον, 没薬と G3464 καὶ そして G2532

λίβανον, 乳香と G3030 καὶ そして G2532 οἶνον, ぶどう酒と G3631 καὶ そして G2532 ἔλαιον, 油と G1637 καὶ そして G2532 σεμίδαλιν, 上等の–小麦粉と G4585 καὶ そして G2532 σῖτον, 小麦と G4621 καὶ そして G2532

κτήνη, 家畜と G2934 καὶ そして G2532 πρόβατα, 羊と G4263 καὶ そして G2532 ἵππων, 馬と G2462 καὶ そして G2532 ῥεδῶν, 馬車と G4480 καὶ そして G2532 σωμάτων, 体と G4983 καὶ そして G2532 ψυχὰς 魂を G5590

ἀνθρώπων. 人の G0444

肉桂、香料、香、におい油、乳香、ぶどう酒、オリブ油、麦粉、麦、牛、羊、馬、車、奴隷、そして人身などである。

14 καὶ そして G2532 | ἡ –の G3588 | ὀπώρα 果物は G3703 | σου, あなたの G4771 | τῆς –の G3588 | ἐπιθυμίας 欲望 G1939 | τῆς –の G3588 | ψυχῆς 魂 G5590 | ἀπῆλθεν 去った G0565 | ἀπὸ –から G0575 | σοῦ, あなた G4771

καὶ そして G2532 | πάντα すべての G3956 | τὰ –の G3588 | λιπαρὰ 贅沢な–ものと G3045 | καὶ そして G2532 | τὰ –の G3588 | λαμπρὰ 輝かしい–ものは G2986 | ἀπώλετο 滅びた G0622 | ἀπὸ –から G0575 | σοῦ, あなた G4771

καὶ そして G2532 | οὐκέτι もはや G3765 | οὐ –ない G3756 | μὴ 決して G3361 | αὐτὰ それらを G0846 | εὑρήσουσιν. 見つけないであろう G2147

おまえの心の喜びであったくだものはなくなり、あらゆるはでな、はなやかな物はおまえから消え去った。それらのものはもはや見られない。

15 οἱ –の G3588 | ἔμποροι 商人たちは G1713 | τούτων, これらの–ものの G3778 | οἱ –の G3588 | πλουτήσαντες 富んだ–者たちは G4147 | ἀπ’ –から G0575 | αὐτῆς, 彼女 G0846 | ἀπὸ –から G0575 | μακρόθεν 遠く G3113

στήσονται, 立つであろう G2476 | διὰ –のゆえに G1223 | τὸν –の G3588 | φόβον 恐れ G5401 | τοῦ –の G3588 | βασανισμοῦ 苦しみ G0929 | αὐτῆς, 彼女の G0846 | κλαίοντες 泣き G2799 | καὶ そして G2532

πενθοῦντες, 悲しみながら G3996

これらの品々を売って、彼女から富を得た商人は、彼女の苦しみに恐れをいだいて遠くに立ち、泣き悲しんで言う、

16 λέγοντες, 言って G3004 | Οὐαὶ, わざわいだ G3759 | οὐαί, わざわいだ G3759 | ἡ –の G3588 | πόλις 都よ G4172 | ἡ –の G3588 | μεγάλη, 大いなる G3173 | ἡ –の G3588 | περιβεβλημένη 身に–まとい G4016

βύσσινον, 細布と G1039 | καὶ そして G2532 | πορφυροῦν, 紫と G4210 | καὶ そして G2532 | κόκκινον; 紅 G2847 | καὶ そして G2532 | κεχρυσωμένη 金で–飾られ G5558 | ἐν –で G1722 | χρυσίῳ, 金と G5553

καὶ そして G2532 | λίθῳ 宝石と G3037 | τιμίῳ, 貴い G5093 | καὶ そして G2532 | μαργαρίτῃ! 真珠で G3135

『ああ、わざわいだ、麻布と紫布と緋布をまとい、金や宝石や真珠で身を飾っていた大いなる都は、わざわいだ。

17 ὅτι なぜなら G3754 | μιᾷ 一つの G1520 | ὥρᾳ 時に G5610 | ἠρημώθη 荒れ果てた G2049 | ὁ –の G3588 | τοσοῦτος かくも–大きな G5118 | πλοῦτος. 富は G4149 | καὶ そして G2532 | πᾶς すべての G3956

κυβερνήτης, 船長と G2942 | καὶ そして G2532 | πᾶς すべての G3956 | ὁ –の G3588 | ἐπὶ –の方へ G1909 | τόπον 場所 G5117 | πλέων, 航海する–者と G4126 | καὶ そして G2532 | ναῦται, 船乗りたちと G3492

καὶ そして G2532 | ὅσοι すべての G3745 | τὴν –の G3588 | θάλασσαν 海で G2281 | ἐργάζονται, 働く–者たちは G2038 | ἀπὸ –から G0575 | μακρόθεν 遠く G3113 | ἔστησαν, 立った G2476

これほどの富が、一瞬にして無に帰してしまうとは』。また、すべての船長、航海者、水夫、すべて海で働いている人たちは、遠くに立ち、

18 καὶ そして G2532 ἔκραζον, 叫んでいた G2896 βλέποντες 見て G0991 τὸν –の G3588 καπνὸν 煙を G2586 τῆς –の G3588 πυρώσεως 炎上 G4451 αὐτῆς, 彼女の G0846 λέγοντες, 言って G3004 Τίς 何が G5101 ὁμοία 似ていた–だろうか G3664 τῇ –の G3588 πόλει 都に G4172 τῇ –の G3588 μεγάλῃ? 大いなる G3173

彼女が焼かれる火の煙を見て、叫んで言う、『これほどの大いなる都は、どこにあろう』。

19 καὶ そして G2532 ἔβαλον 投げた G0906 χοῦν 塵を G5522 ἐπὶ –の上に G1909 τὰς –の G3588 κεφαλὰς 頭 G2776 αὐτῶν, 彼らの G0846 καὶ そして G2532 ἔκραζον, 叫んだ G2896 κλαίοντες 泣き G2799 καὶ そして G2532 πενθοῦντες, 悲しみながら G3996 λέγοντες, 言って G3004 Οὐαὶ, わざわいだ G3759 οὐαί, わざわいだ G3759 ἡ –の G3588 πόλις 都よ G4172 ἡ –の G3588 μεγάλη, 大いなる G3173 ἐν –において G1722 ᾗ そこ G3739 ἐπλούτησαν 富んだ G4147 πάντες すべての G3956 οἱ –の G3588 ἔχοντες 持つ–者たちは G2192 τὰ –の G3588 πλοῖα 船を G4143 ἐν –において G1722 τῇ –の G3588 θαλάσσῃ 海 G2281 ἐκ –から G1537 τῆς –の G3588 τιμιότητος 豪華さ G5094 αὐτῆς! 彼女の G0846 ὅτι なぜなら G3754 μιᾷ 一つの G1520 ὥρᾳ 時に G5610 ἠρημώθη. 荒れ果てた G2049

彼らは頭にちりをかぶり、泣き悲しんで叫ぶ、『ああ、わざわいだ、この大いなる都は、わざわいだ。そのおごりによって、海に舟を持つすべての人が富を得ていたのに、この都も一瞬にして無に帰してしまった』。

20 Εὐφραίνου 喜べ G2165 ἐπ’ –のことを G1909 αὐτῇ, 彼女 G0846 οὐρανέ, 天よ G3772 καὶ そして G2532 οἱ –の G3588 ἅγιοι, 聖徒たちよ G0040 καὶ そして G2532 οἱ –の G3588 ἀπόστολοι, 使徒たちよ G0652 καὶ そして G2532 οἱ –の G3588 προφῆται; 預言者たちよ G4396 ὅτι なぜなら G3754 ἔκρινεν 裁かれた G2919 ὁ –の G3588 Θεὸς 神が G2316 τὸ –の G3588 κρίμα 裁きを G2917 ὑμῶν あなたがたの G4771 ἐξ –から G1537 αὐτῆς. 彼女 G0846

天よ、聖徒たちよ、使徒たちよ、預言者たちよ。この都について大いに喜べ。神は、あなたがたのために、この都をさばかれたのである」。

21 Καὶ そして G2532 ἦρεν 持ち–上げた G0142 εἷς 一人の G1520 ἄγγελος 御使いが G0032 ἰσχυρὸς 力強い G2478 λίθον, 石を G3037 ὡς –のような G5613 μύλινον ひき臼の G3458 μέγαν, 大きな G3173 καὶ そして G2532 ἔβαλεν 投げた G0906 εἰς –へ G1519 τὴν –の G3588 θάλασσαν, 海 G2281 λέγων, 言って G3004 Οὕτως この–ように G3779 ὁρμήματι 勢いで G3731 βληθήσεται 投げ–落とされるであろう G0906 Βαβυλὼν バビロンは G0897 ἡ –の G3588 μεγάλη 大いなる G3173 πόλις, 都 G4172 καὶ そして G2532 οὐ –ない G3756 μὴ 決して G3361 εὑρεθῇ 見つからないであろう G2147 ἔτι. もはや G2089

すると、ひとりの力強い御使が、大きなひきうすのような石を持ちあげ、それを海に投げ込んで言った、「大いなる都バビロンは、このように激しく打ち倒され、そして、全く姿を消してしまう。

22	καὶ	φωνὴ	κιθαρῳδῶν,	καὶ	μουσικῶν,	καὶ	αὐλητῶν,	καὶ	σαλπιστῶν,
	そして	音は	琴弾きの	そして	音楽家の	そして	笛吹きの	そして	ラッパ吹きの
	G2532	G5456	G2790	G2532	G3451	G2532	G0834	G2532	G4538

οὐ	μὴ	ἀκουσθῇ	ἐν	σοὶ	ἔτι;	καὶ	πᾶς	τεχνίτης
–ない	決して	聞かれないであろう	–に	あなたの–中で	もはや	そして	あらゆる	職人は
G3756	G3361	G0191	G1722	G4771	G2089	G2532	G3956	G5079

πάσης	τέχνης,	οὐ	μὴ	εὑρεθῇ	ἐν	σοὶ	ἔτι;	καὶ
あらゆる	技	–ない	決して	見つからないであろう	–に	あなたの–中で	もはや	そして
G3956	G5078	G3756	G3361	G2147	G1722	G4771	G2089	G2532

φωνὴ	μύλου,	οὐ	μὴ	ἀκουσθῇ	ἐν	σοὶ	ἔτι;
音は	ひき臼の	–ない	決して	聞かれないであろう	–に	あなたの–中で	もはや
G5456	G3458	G3756	G3361	G0191	G1722	G4771	G2089

また、おまえの中では、立琴をひく者、歌を歌う者、笛を吹く者、ラッパを吹き鳴らす者の楽の音は全く聞かれず、あらゆる仕事の職人たちも全く姿を消し、また、ひきうすの音も、全く聞かれない。

23	καὶ	φῶς	λύχνου,	οὐ	μὴ	φάνῃ	ἐν	σοὶ	ἔτι;	καὶ
	そして	光は	ともしびの	–ない	決して	輝かないであろう	–に	あなたの–中で	もはや	そして
	G2532	G5457	G3088	G3756	G3361	G5316	G1722	G4771	G2089	G2532

φωνὴ	νυμφίου	καὶ	νύμφης,	οὐ	μὴ	ἀκουσθῇ	ἐν	σοὶ
声は	花婿の	そして	花嫁の	–ない	決して	聞かれないであろう	–に	あなたの–中で
G5456	G3566	G2532	G3565	G3756	G3361	G0191	G1722	G4771

ἔτι;	ὅτι	οἱ	ἔμποροί	σου	ἦσαν	οἱ	μεγιστᾶνες	τῆς	γῆς,
もはや	なぜなら	–の	商人たちは	あなたの	であった	–の	有力者たち	–の	地
G2089	G3754	G3588	G1713	G4771	G1510	G3588	G3175	G3588	G1093

ὅτι	ἐν	τῇ	φαρμακείᾳ	σου,	ἐπλανήθησαν	πάντα	τὰ	ἔθνη.
なぜなら	–によって	–の	魔術	あなたの	惑わされた	すべての	–の	国々が
G3754	G1722	G3588	G5331	G4771	G4105	G3956	G3588	G1484

また、おまえの中では、あかりもともされず、花婿、花嫁の声も聞かれない。というのは、おまえの商人たちは地上で勢力を張る者となり、すべての国民はおまえのまじないでだまされ、

24	καὶ	ἐν	αὐτῇ,	αἷμα	προφητῶν	καὶ	ἁγίων	εὑρέθη,	καὶ
	そして	–に	彼女の–中に	血が	預言者たちの	そして	聖徒たちの	見つかった	そして
	G2532	G1722	G0846	G0129	G4396	G2532	G0040	G2147	G2532

πάντων	τῶν	ἐσφαγμένων	ἐπὶ	τῆς	γῆς.
すべての	–の	殺された–者たちの	–の上で	–の	地
G3956	G3588	G4969	G1909	G3588	G1093

また、預言者や聖徒の血、さらに、地上で殺されたすべての者の血が、この都で流されたからである」。

Chapter 19

1 Μετὰ ταῦτα ἤκουσα ὡς φωνὴν μεγάλην ὄχλου πολλοῦ ἐν τῷ
この-後 これらの-事を 私は-聞いた ような 声を 大きな 群衆の 大勢の ～で その
G3326 G3778 G0191 G5613 G5456 G3173 G3793 G4183 G1722 G3588

οὐρανῷ, λεγόντων, Ἀλληλουϊά! ἡ σωτηρία καὶ ἡ δόξα καὶ ἡ
天に-おいて 言う ハレルヤ その 救い と その 栄光 と その
G3772 G3004 G0239 G3588 G4991 G2532 G3588 G1391 G2532 G3588

δύναμις τοῦ Θεοῦ ἡμῶν!
力は ～の 神 私たちの
G1411 G3588 G2316 G1473

この後、わたしは天の大群衆が大声で唱えるような声を聞いた、「ハレルヤ、救と栄光と力とは、われらの神のものであり、

2 ὅτι ἀληθιναὶ καὶ δίκαιαι αἱ κρίσεις αὐτοῦ; ὅτι ἔκρινεν τὴν
なぜなら 真実 で 正しい ～は 裁きは 御方の なぜなら 裁かれた その
G3754 G0228 G2532 G1342 G3588 G2920 G0846 G3754 G2919 G3588

πόρνην τὴν μεγάλην, ἥτις ἔφθειρεν τὴν γῆν ἐν τῇ πορνείᾳ αὐτῆς,
大淫婦を あの 大いなる その者は 堕落させた その 地を ～で その 淫行で 彼女の
G4204 G3588 G3173 G3748 G5351 G3588 G1093 G1722 G3588 G4202 G0846

καὶ ἐξεδίκησεν τὸ αἷμα τῶν δούλων αὐτοῦ, ἐκ χειρὸς αὐτῆς.
そして 報復された その 血を ～の しもべたちの 御方の ～から 手から 彼女の
G2532 G1556 G3588 G0129 G3588 G1401 G0846 G1537 G5495 G0846

そのさばきは、真実で正しい。神は、姦淫で地を汚した大淫婦をさばき、神の僕たちの血の報復を彼女になさったからである」。

3 καὶ δεύτερον εἴρηκαν, Ἀλληλουϊά! καὶ ὁ καπνὸς αὐτῆς ἀναβαίνει εἰς
そして 再び 言った ハレルヤ そして その 煙は 彼女の 立ち上る ～へ
G2532 G1208 G2046 G0239 G2532 G3588 G2586 G0846 G0305 G1519

τοὺς αἰῶνας τῶν αἰώνων.
その 永遠の ～の 永遠に
G3588 G0165 G3588 G0165

再び声があって、「ハレルヤ、彼女が焼かれる火の煙は、世々限りなく立ちのぼる」と言った。

4 καὶ ἔπεσαν οἱ πρεσβύτεροι οἱ εἴκοσι τέσσαρες, καὶ τὰ τέσσαρα
そして ひれ伏した その 長老たちは その 二十 四人の そして その 四つの
G2532 G4098 G3588 G4245 G3588 G1501 G5064 G2532 G3588 G5064

ζῷα, καὶ προσεκύνησαν τῷ Θεῷ, τῷ καθημένῳ ἐπὶ τῷ θρόνῳ,
生き物は そして 礼拝した その 神を その 座しておられる ～の-上に その 御座に
G2226 G2532 G4352 G3588 G2316 G3588 G2521 G1909 G3588 G2362

λέγοντες, Ἀμήν, Ἀλληλουϊά!
言って アーメン ハレルヤ
G3004 G0281 G0239

すると、二十四人の長老と四つの生き物とがひれ伏し、御座にいます神を拝して言った、「アァメン、ハレルヤ」。

5 καὶ φωνὴ ἀπὸ τοῦ θρόνου ἐξῆλθεν, λέγουσα, Αἰνεῖτε τῷ Θεῷ
すると 声が ～から その 御座から 出てきた 言う ほめたたえよ ～を 神を
G2532 G5456 G0575 G3588 G2362 G1831 G3004 G0134 G3588 G2316

ἡμῶν, πάντες οἱ δοῦλοι αὐτοῦ, ‹καὶ› οἱ φοβούμενοι αὐτόν, οἱ
私たちの すべての その しもべたちよ 御方の そして その 畏れる者たちよ 御方を その
G1473 G3956 G3588 G1401 G0846 G2532 G3588 G5399 G0846 G3588

μικροὶ καὶ οἱ μεγάλοι!
小さい者も そして その 大きい者も
G3398 G2532 G3588 G3173

その時、御座から声が出て言った、「すべての神の僕たちよ、神をおそれる者たちよ。小さき者も大いなる者も、共に、われらの神をさんびせよ」。

6 Καὶ ἤκουσα ὡς φωνὴν ὄχλου πολλοῦ, καὶ ὡς φωνὴν ὑδάτων
そして 私は-聞いた ような 声を 群衆の 大勢の また ような 声を 大水の
G2532 G0191 G5613 G5456 G3793 G4183 G2532 G5613 G5456 G5204

πολλῶν, καὶ ὡς φωνὴν βροντῶν ἰσχυρῶν, λεγόντων, Ἀλληλουϊά, ὅτι
多くの また ような 声を 雷鳴の 力強い 言う ハレルヤ なぜなら
G4183 G2532 G5613 G5456 G1027 G2478 G3004 G0239 G3754

ἐβασίλευσεν Κύριος ὁ Θεός ἡμῶν ὁ Παντοκράτωρ.
王と-なられた 主 その 神 私たちの その 全能者が
G0936 G2962 G3588 G2316 G1473 G3588 G3841

わたしはまた、大群衆の声、多くの水の音、また激しい雷鳴のようなものを聞いた。それはこう言った、「ハレルヤ、全能者にして主なるわれらの神は、王なる支配者であられる。

7 χαίρωμεν καὶ ἀγαλλιῶμεν, καὶ δώσομεν τὴν δόξαν αὐτῷ; ὅτι ἦλθεν
喜ぼう そして 大いに-喜ぼう そして ささげよう その 栄光を 御方に なぜなら 来た
G5463 G2532 G0021 G2532 G1325 G3588 G1391 G0846 G3754 G2064

ὁ γάμος τοῦ Ἀρνίου, καὶ ἡ γυνὴ αὐτοῦ ἡτοίμασεν ἑαυτήν.
その 婚姻が ～の 小羊の そして その 花嫁は 御方の 備えた 自分自身を
G3588 G1062 G3588 G0721 G2532 G3588 G1135 G0846 G2090 G1438

わたしたちは喜び楽しみ、神をあがめまつろう。小羊の婚姻の時がきて、花嫁はその用意をしたからである。

8 καὶ ἐδόθη αὐτῇ ἵνα περιβάληται βύσσινον, λαμπρὸν; καθαρόν τὸ
そして 与えられた 彼女に ～ために 身にまとう 亜麻布を 輝く 清い この
G2532 G1325 G0846 G2443 G4016 G1039 G2986 G2513 G3588

γὰρ βύσσινον, τὰ δικαιώματα τῶν ἁγίων ἐστίν.
なぜなら 亜麻布は その 正しい行いで-ある ～の 聖徒たちの ～で-ある
G1063 G1039 G3588 G1345 G3588 G0040 G1510

彼女は、光り輝く、汚れのない麻布の衣を着ることを許された。この麻布の衣は、聖徒たちの正しい行いである」。

9 Καὶ λέγει μοι, Γράψον, Μακάριοι οἱ εἰς τὸ δεῖπνον τοῦ γάμου
そして 告げた 私に 書き記せ 幸いな-者 その ～へ その 晩餐に ～の 婚姻の
G2532 G3004 G1473 G1125 G3107 G3588 G1519 G3588 G1173 G3588 G1062

τοῦ Ἀρνίου κεκλημένοι. καὶ λέγει μοι, Οὗτοι οἱ λόγοι ἀληθινοὶ τοῦ
～の 小羊の 招かれた者たちは また 告げた 私に これらは その 言葉は 真実な ～の
G3588 G0721 G2564 G2532 G3004 G1473 G3778 G3588 G3056 G0228 G3588

Θεοῦ εἰσιν.
神の ～で-ある
G2316 G1510

それから、御使はわたしに言った、「書きしるせ。小羊の婚宴に招かれた者は、さいわいである」。またわたしに言った、「これらは、神の真実の言葉である」。

10 καὶ そして G2532 ἔπεσα 私は-ひれ伏した G4098 ἔμπροσθεν ～の-前に G1715 τῶν その G3588 ποδῶν 足の G4228 αὐτοῦ 彼の G0846 προσκυνῆσαι 礼拝しようと G4352 αὐτῷ. 彼に G0846 καὶ すると G2532

λέγει 告げた G3004 μοι, 私に G1473 Ὅρα 気をつけよ G3708 μή. してはならない G3361 σύνδουλός 同じ-しもべ G4889 σού あなたの G4771 εἰμι, ～で-ある G1510 καὶ そして G2532 τῶν その G3588

ἀδελφῶν 兄弟たちの G0080 σου, あなたの G4771 τῶν その G3588 ἐχόντων 持っている者たちの G2192 τὴν その G3588 μαρτυρίαν 証しを G3141 Ἰησοῦ. イエスの G2424 τῷ ～を G3588 Θεῷ 神を G2316

προσκύνησον; 礼拝せよ G4352 ἡ その G3588 γὰρ なぜなら G1063 μαρτυρία 証しは G3141 Ἰησοῦ イエスの G2424 ἐστιν ～で-ある G1510 τὸ その G3588 πνεῦμα 霊は G4151 τῆς ～の G3588

προφητείας.
預言の
G4394

そこで、わたしは彼の足もとにひれ伏して、彼を拝そうとした。すると、彼は言った、「そのようなことをしてはいけない。わたしは、あなたと同じ僕仲間であり、またイエスのあかしびとであるあなたの兄弟たちと同じ僕仲間である。ただ神だけを拝しなさい。イエスのあかしは、すなわち預言の霊である」。

11 Καὶ そして G2532 εἶδον 私は-見た G3708 τὸν その G3588 οὐρανὸν 天が G3772 ἠνεῳγμένον, 開かれて G0455 καὶ すると G2532 ἰδοὺ, 見よ G3708 ἵππος 白い G2462 λευκός, 馬が-あり G3022 καὶ そして G2532

ὁ その G3588 καθήμενος 乗っておられる方は G2521 ἐπ’ ～の-上に G1909 αὐτὸν, それに G0846 καλούμενος Πιστὸς 忠実 G4103 καὶ また G2532 Ἀληθινός, 真実 G0228 καὶ そして G2532

ἐν ～で G1722 δικαιοσύνῃ 義をもって G1343 κρίνει 裁き G2919 καὶ また G2532 πολεμεῖ. 戦われる G4170

またわたしが見ていると、天が開かれ、見よ、そこに白い馬がいた。それに乗っているかたは、「忠実で真実な者」と呼ばれ、義によってさばき、また、戦うかたである。

12 οἱ その G3588 δὲ そして G1161 ὀφθαλμοὶ 目は G3788 αὐτοῦ 御方の G0846 [ὡς] あたかも G5613 φλὸξ 炎の G5395 πυρός, 火の-よう G4442 καὶ そして G2532 ἐπὶ ～の-上に G1909 τὴν その G3588

κεφαλὴν 頭には G2776 αὐτοῦ 御方の G0846 διαδήματα 冠が G1238 πολλά, 多く-あり G4183 ἔχων 持っておられ G2192 ὄνομα 名を G3686 γεγραμμένον, 記された G1125 ὃ それを G3739 οὐδεὶς 誰も G3762

οἶδεν, 知らない G1492 εἰ ～を-除いて G1487 μὴ ～の-ほかは G3361 αὐτός, 御方-自身 G0846

その目は燃える炎であり、その頭には多くの冠があった。また、彼以外にはだれも知らない名がその身にしるされていた。

13 καὶ περιβεβλημένος ἱμάτιον βεβαμμένον αἵματι; καὶ κέκληται τὸ ὄνομα
そして 身にまとう 衣を 浸された 血に そして 呼ばれている その 名は
G2532 G4016 G2440 G0911 G0129 G2532 G2564 G3588 G3686

αὐτοῦ, Ὁ Λόγος τοῦ Θεοῦ.
御方の その 言葉 ～の 神の
G0846 G3588 G3056 G3588 G2316

彼は血染めの衣をまとい、その名は「神の言」と呼ばれた。

14 καὶ τὰ στρατεύματα τὰ ἐν τῷ οὐρανῷ ἠκολούθει αὐτῷ
そして その 軍勢は その ～に-いる その 天に 従っていた 御方に
G2532 G3588 G4753 G3588 G1722 G3588 G3772 G0190 G0846

ἐφ’ ἵπποις λευκοῖς, ἐνδεδυμένοι βύσσινον, λευκὸν καθαρόν.
～に-乗って 馬に 白い 身に-まとい 亜麻布を 白く 清い
G1909 G2462 G3022 G1746 G1039 G3022 G2513

そして、天の軍勢が、純白で、汚れのない麻布の衣を着て、白い馬に乗り、彼に従った。

15 καὶ ἐκ τοῦ στόματος αὐτοῦ ἐκπορεύεται ῥομφαία ὀξεῖα, ἵνα ἐν
そして ～から その 口から 御方の 出る 鋭い 剣が ～ために ～で
G2532 G1537 G3588 G4750 G0846 G1607 G4501 G3691 G2443 G1722

αὐτῇ πατάξῃ τὰ ἔθνη; καὶ αὐτὸς ποιμανεῖ αὐτοὺς ἐν ῥάβδῳ
それで 打つ その 諸国の民を そして 御方-自ら 治める 彼らを ～で 杖で
G0846 G3960 G3588 G1484 G2532 G0846 G4165 G0846 G1722 G4464

σιδηρᾷ; καὶ αὐτὸς πατεῖ τὴν ληνὸν τοῦ οἴνου τοῦ θυμοῦ τῆς
鉄の そして 御方-自ら 踏む その 酒ぶねを ～の ぶどう酒の ～の 憤りの ～の
G4603 G2532 G0846 G3961 G3588 G3025 G3588 G3631 G3588 G2372 G3588

ὀργῆς τοῦ Θεοῦ τοῦ Παντοκράτορος.
怒りの ～の 神の ～の 全能者の
G3709 G3588 G2316 G3588 G3841

その口からは、諸国民を打つために、鋭いつるぎが出ていた。彼は、鉄のつえをもって諸国民を治め、また、全能者なる神の激しい怒りの酒ぶねを踏む。

16 καὶ ἔχει ἐπὶ τὸ ἱμάτιον καὶ ἐπὶ τὸν μηρὸν αὐτοῦ,
そして 持っておられる ～の-上に その 衣と また ～の-上に その ももに 御方の
G2532 G2192 G1909 G3588 G2440 G2532 G1909 G3588 G3382 G0846

ὄνομα γεγραμμένον, ΒΑΣΙΛΕΥΣ ΒΑΣΙΛΕΩΝ ΚΑΙ ΚΥΡΙΟΣ ΚΥΡΙΩΝ.
名が 記されている 王の-王 王たちの また 主の-主 主たちの
G3686 G1125 G0935 G0935 G2532 G2962 G2962

その着物にも、そのももにも、「王の王、主の主」という名がしるされていた。

17 Καὶ εἶδον ἕνα ἄγγελον ἑστῶτα ἐν τῷ ἡλίῳ; καὶ ἔκραξεν
そして 私は-見た 一人の 御使いが 立っている ～の-中に その 太陽に すると 叫んだ
G2532 G3708 G1520 G0032 G2476 G1722 G3588 G2246 G2532 G2896

ἐν φωνῇ μεγάλῃ, λέγων πᾶσιν τοῖς ὀρνέοις τοῖς πετομένοις ἐν
～で 声で 大きな 言って すべての その 鳥たちに その 飛んでいる ～の-中を
G1722 G5456 G3173 G3004 G3956 G3588 G3732 G3588 G4072 G1722

μεσουρανήματι, Δεῦτε συνάχθητε εἰς τὸ δεῖπνον τὸ μέγα τοῦ Θεοῦ,
中天を さあ 集まれ ～へ その 宴に その 大いなる ～の 神の
G3321 G1205 G4863 G1519 G3588 G1173 G3588 G3173 G3588 G2316

また見ていると、ひとりの御使が太陽の中に立っていた。彼は、中空を飛んでいるすべての鳥にむかって、大声で叫んだ、「さあ、神の大宴会に集まってこい。

18 ἵνα 〜ために G2443 φάγητε 食べよ G5315 σάρκας 肉を G4561 βασιλέων, 王たちの G0935 καὶ また G2532 σάρκας 肉を G4561 χιλιάρχων, 千人隊長たちの G5506 καὶ また G2532 σάρκας 肉を G4561

ἰσχυρῶν, 力ある者たちの G2478 καὶ また G2532 σάρκας 肉を G4561 ἵππων, 馬の G2462 καὶ そして G2532 τῶν その G3588 καθημένων 乗っている者たちの G2521 ἐπ’ 〜の–上に G1909 αὐτῶν, それらの G0846

καὶ また G2532 σάρκας 肉を G4561 πάντων, すべての者の G3956 ἐλευθέρων 自由人の G1658 τε 〜も G5037 καὶ また G2532 δούλων, 奴隷の G1401 καὶ そして G2532 μικρῶν 小さい者の G3398 καὶ そして G2532

μεγάλων. 大きい者の G3173

そして、王たちの肉、将軍の肉、勇者の肉、馬の肉、馬に乗っている者の肉、また、すべての自由人と奴隷との肉、小さき者と大いなる者との肉をくらえ」。

19 Καὶ そして G2532 εἶδον 私は–見た G3708 τὸ その G3588 θηρίον, 獣と G2342 καὶ また G2532 τοὺς その G3588 βασιλεῖς 王たちを G0935 τῆς 〜の G3588 γῆς, 地の G1093 καὶ また G2532 τὰ その G3588

στρατεύματα 軍勢が G4753 αὐτῶν, 彼らの G0846 συνηγμένα 集められて G4863 ποιῆσαι 戦おうと G4160 τὸν その G3588 πόλεμον 戦いを G4171 μετὰ 〜と G3326 τοῦ その G3588 καθημένου 乗っておられる方と G2521

ἐπὶ 〜の–上に G1909 τοῦ その G3588 ἵππου, 馬に G2462 καὶ そして G2532 μετὰ 〜と G3326 τοῦ その G3588 στρατεύματος 軍勢と G4753 αὐτοῦ. 御方の G0846

なお見ていると、獣と地の王たちと彼らの軍勢とが集まり、馬に乗っているかたとその軍勢とに対して、戦いをいどんだ。

20 καὶ すると G2532 ἐπιάσθη 捕らえられた G4084 τὸ その G3588 θηρίον, 獣は G2342 καὶ そして G2532 μετ’ 〜と–共に G3326 αὐτοῦ それと G0846 ὁ その G3588 ψευδοπροφήτης, 偽預言者は G5578

ὁ その G3588 ποιήσας 行った G4160 τὰ その G3588 σημεῖα しるしを G4592 ἐνώπιον 〜の–前で G1799 αὐτοῦ, それの G0846 ἐν 〜で G1722 οἷς それによって G3739 ἐπλάνησεν 惑わした G4105 τοὺς その G3588

λαβόντας 受けた者たちを G2983 τὸ その G3588 χάραγμα 刻印を G5480 τοῦ 〜の G3588 θηρίου, 獣の G2342 καὶ また G2532 τοὺς その G3588 προσκυνοῦντας 拝む者たちを G4352 τῇ その G3588 εἰκόνι 像を G1504

αὐτοῦ. それの G0846 ζῶντες 生きたまま G2198 ἐβλήθησαν 投げ込まれた G0906 οἱ この G3588 δύο 二つは G1417 εἰς 〜の–中へ G1519 τὴν その G3588 λίμνην 池に G3041 τοῦ 〜の G3588 πυρὸς, 火の G4442 τῆς その G3588

καιομένης 燃えている G2545 ἐν 〜で G1722 θείῳ; 硫黄で G2303

しかし、獣は捕えられ、また、この獣の前でしるしを行って、獣の刻印を受けた者とその像を拝む者とを惑わしたにせ預言者も、獣と共に捕えられた。そして、この両者とも、生きながら、硫黄の燃えている火の池に投げ込まれた。

21 καὶ そして G2532 | οἱ その G3588 | λοιποὶ 残りの者たちは G3062 | ἀπεκτάνθησαν 殺された G0615 | ἐν ～で G1722 | τῇ その G3588 | ῥομφαίᾳ 剣で G4501 | τοῦ ～の G3588

καθημένου 乗っておられる方の G2521 | ἐπὶ ～の–上に G1909 | τοῦ その G3588 | ἵππου 馬に G2462 | τῇ その G3588 | ἐξελθούσῃ 出た G1831 | ἐκ ～から G1537 | τοῦ その G3588 | στόματος 口から G4750

αὐτοῦ; 御方の G0846 | καὶ そして G2532 | πάντα すべての G3956 | τὰ その G3588 | ὄρνεα 鳥は G3732 | ἐχορτάσθησαν 満たされた G5526 | ἐκ ～で G1537 | τῶν その G3588 | σαρκῶν 肉で G4561 | αὐτῶν. 彼らの G0846

それ以外の者たちは、馬に乗っておられるかたの口から出るつるぎで切り殺され、その肉を、すべての鳥が飽きるまで食べた。

Chapter 20

1 Καὶ そして G2532 | εἶδον 私は–見た G3708 | ἄγγελον 御使いが G0032 | καταβαίνοντα 降りてくるのを G2597 | ἐκ ～から G1537 | τοῦ その G3588 | οὐρανοῦ, 天から G3772 | ἔχοντα 持って G2192 | τὴν その G3588 | κλεῖν 鍵を G2807

τῆς ～の G3588 | ἀβύσσου, 底なしの–穴の G0012 | καὶ また G2532 | ἅλυσιν 鎖を G0254 | μεγάλην, 大きな G3173 | ἐπὶ ～の–上に G1909 | τὴν その G3588 | χεῖρα 手に G5495 | αὐτοῦ. 彼の G0846

またわたしが見ていると、ひとりの御使が、底知れぬ所のかぎと大きな鎖とを手に持って、天から降りてきた。

2 καὶ そして G2532 | ἐκράτησεν 捕らえた G2902 | τὸν その G3588 | δράκοντα, 竜を G1404 | ὁ その G3588 | ὄφις 蛇は G3789 | ὁ その G3588 | ἀρχαῖος, 古き G0744 | ὅς それは G3739 | ἐστιν ～で–ある G1510

Διάβολος 悪魔 G1228 | καὶ また G2532 | Ὁ その G3588 | Σατανᾶς, サタンで–あり G4567 | καὶ そして G2532 | ἔδησεν 縛った G1210 | αὐτὸν それを G0846 | χίλια 千 G5507 | ἔτη; 年の–間 G2094

彼は、悪魔でありサタンである龍、すなわち、かの年を経たへびを捕えて千年の間つなぎおき、

3 καὶ そして G2532 | ἔβαλεν 投げ込んだ G0906 | αὐτὸν それを G0846 | εἰς ～の–中へ G1519 | τὴν その G3588 | ἄβυσσον, 底なしの–穴に G0012 | καὶ そして G2532 | ἔκλεισεν 閉じ G2808 | καὶ そして G2532

ἐσφράγισεν 封印した G4972 | ἐπάνω ～の–上を G1883 | αὐτοῦ, それの G0846 | ἵνα ～ために G2443 | μὴ もはや G3361 | πλανήσῃ 惑わさない–よう G4105 | ἔτι, もはや G2089 | τὰ その G3588 | ἔθνη 諸国の民を G1484

ἄχρι ～が–終わるまで G0891 | τελεσθῇ 終わるまで G5055 | τὰ その G3588 | χίλια 千 G5507 | ἔτη; 年が G2094 | μετὰ ～の–後 G3326 | ταῦτα, これらの–後 G3778 | δεῖ 必要が–ある G1163 | λυθῆναι 解き–放される G3089

αὐτὸν それが G0846 | μικρὸν 少しの G3398 | χρόνον. 時の–間 G5550

そして、底知れぬ所に投げ込み、入口を閉じてその上に封印し、千年の期間が終るまで、諸国民を惑わすことがないようにしておいた。その後、しばらくの間だけ解放されることになっていた。

4 ‹Καὶ εἶδον θρόνους; καὶ ἐκάθισαν ἐπ’ αὐτούς, καὶ κρίμα
そして 私は-見た 御座を そして 座った ～の-上に それらに そして 裁きが
G2532 G3708 G2362 G2532 G2523 G1909 G0846 G2532 G2917

ἐδόθη αὐτοῖς; καὶ τὰς ψυχὰς τῶν πεπελεκισμένων διὰ τὴν
与えられた 彼らに また その 魂を ～の 斬首された者たちの ～の-ために その
G1325 G0846 G2532 G3588 G5590 G3588 G3990 G1223 G3588

μαρτυρίαν Ἰησοῦ, καὶ διὰ τὸν λόγον τοῦ θεοῦ, καὶ
証しの-ために イエスの また ～の-ために その 言葉の-ために ～の 神の また
G3141 G2424 G2532 G1223 G3588 G3056 G3588 G2316 G2532

οἵτινες οὐ προσεκύνησαν τὸ θηρίον, οὐδὲ τὴν εἰκόνα αὐτοῦ,
その者たちは ～しなかった 礼拝しなかった その 獣を また～ない その 像を それの
G3748 G3756 G4352 G3588 G2342 G3761 G3588 G1504 G0846

καὶ οὐκ ἔλαβον τὸ χάραγμα ἐπὶ τὸ μέτωπον, καὶ
そして ～しなかった 受けなかった その 刻印を ～の-上に その 額に また
G2532 G3756 G2983 G3588 G5480 G1909 G3588 G3359 G2532

ἐπὶ τὴν χεῖρα αὐτῶν; καὶ ἔζησαν καὶ ἐβασίλευσαν μετὰ τοῦ
～の-上に その 手に 彼らの そして 生き返り そして 王として-治めた ～と-共に その
G1909 G3588 G5495 G0846 G2532 G2198 G2532 G0936 G3326 G3588

χριστοῦ χίλια ἔτη›.
キリストと 千 年の-間
G5547 G5507 G2094

また見ていると、かず多くの座があり、その上に人々がすわっていた。そして、彼らにさばきの権が与えられていた。また、イエスのあかしをし神の言を伝えたために首を切られた人々の霊がそこにおり、また、獣をもその像をも拝まず、その刻印を額や手に受けることをしなかった人々がいた。彼らは生きかえって、キリストと共に千年の間、支配した。

5 οἱ λοιποὶ τῶν νεκρῶν, οὐκ ἔζησαν, ἄχρι
その 残りの者たちは ～の 死者の ～しなかった 生き返らなかった ～が-終わるまで
G3588 G3062 G3588 G3498 G3756 G2198 G0891

τελεσθῇ τὰ χίλια ἔτη. αὕτη ἡ ἀνάστασις ἡ πρώτη.
終わるまで その 千 年が これが その 復活で-ある その 第一の
G5055 G3588 G5507 G2094 G3778 G3588 G0386 G3588 G4413

（それ以外の死人は、千年の期間が終るまで生きかえらなかった。）これが第一の復活である。

6 μακάριος καὶ ἅγιος ὁ ἔχων μέρος ἐν τῇ ἀναστάσει τῇ
幸いな-者 そして 聖なる-者 その 持つ 分を ～に-おいて その 復活に その
G3107 G2532 G0040 G3588 G2192 G3313 G1722 G3588 G0386 G3588

πρώτῃ! ἐπὶ τούτων ὁ δεύτερος θάνατος οὐκ ἔχει ἐξουσίαν,
第一の ～の-上に これらの者に その 第二の 死は ～ない 持たない 権威を
G4413 G1909 G3778 G3588 G1208 G2288 G3756 G2192 G1849

ἀλλ’ ἔσονται ἱερεῖς τοῦ Θεοῦ καὶ τοῦ Χριστοῦ, καὶ βασιλεύσουσιν
だが ～で-あろう 祭司で-あり ～の 神の また ～の キリストの そして 王として-治める
G0235 G1510 G2409 G3588 G2316 G2532 G3588 G5547 G2532 G0936

μετ’ αὐτοῦ τὰ χίλια ἔτη.
～と-共に 御方と その 千 年の-間
G3326 G0846 G3588 G5507 G2094

この第一の復活にあずかる者は、さいわいな者であり、また聖なる者である。この人たちに対しては、第二の死はなんの力もない。彼らは神とキリストとの祭司となり、キリストと共に千年の間、支配する。

7 Καὶ そして G2532 ὅταν ～の–時 G3752 τελεσθῇ 終わる G5055 τὰ その G3588 χίλια 千 G5507 ἔτη, 年が G2094 λυθήσεται 解き放たれる G3089 ὁ その G3588 Σατανᾶς サタンが G4567 ἐκ ～から G1537 τῆς その G3588 φυλακῆς 牢獄から G5438 αὐτοῦ; 彼の G0846

千年の期間が終ると、サタンはその獄から解放される。

8 καὶ そして G2532 ἐξελεύσεται 出て–行く G1831 πλανῆσαι 惑わすために G4105 τὰ その G3588 ἔθνη 諸国の民を G1484 τὰ その G3588 ἐν ～に–いる G1722 ταῖς その G3588 τέσσαρσιν 四つの G5064 γωνίαις 隅に G1137 τῆς ～の G3588 γῆς, 地の G1093 τὸν その G3588 Γὼγ ゴグと G1136 καὶ また G2532 Μαγώγ, マゴグを G3098 συναγαγεῖν 集めるために G4863 αὐτοὺς 彼らを G0846 εἰς ～へ G1519 τὸν その G3588 πόλεμον, 戦いに G4171 ὧν その者たちの G3739 ὁ その G3588 ἀριθμὸς 数は G0706 αὐτῶν 彼らの G0846 ὡς あたかも G5613 ἡ その G3588 ἄμμος 浜辺の–砂のよう G0285 τῆς ～の G3588 θαλάσσης. 海の G2281

そして、出て行き、地の四方にいる諸国民、すなわちゴグ、マゴグを惑わし、彼らを戦いのために召集する。その数は、海の砂のように多い。

9 καὶ そして G2532 ἀνέβησαν 上ってきた G0305 ἐπὶ ～の–上に G1909 τὸ その G3588 πλάτος 広きに G4114 τῆς ～の G3588 γῆς, 地の G1093 καὶ そして G2532 ἐκύκλευσαν 囲んだ G2944 τὴν その G3588 παρεμβολὴν 陣営を G3925 τῶν ～の G3588 ἁγίων, 聖徒たちの G0040 καὶ また G2532 τὴν その G3588 πόλιν 都を G4172 τὴν その G3588 ἠγαπημένην; 愛されている G0025 καὶ すると G2532 κατέβη 降ってきた G2597 πῦρ 火が G4442 ἐκ ～から G1537 τοῦ その G3588 οὐρανοῦ 天から G3772 καὶ そして G2532 κατέφαγεν 焼き尽くした G2719 αὐτούς; 彼らを G0846

彼らは地上の広い所に上ってきて、聖徒たちの陣営と愛されていた都とを包囲した。すると、天から火が下ってきて、彼らを焼き尽した。

10 καὶ そして G2532 ὁ その G3588 διάβολος, 悪魔は G1228 ὁ その G3588 πλανῶν 惑わす者は G4105 αὐτοὺς, 彼らを G0846 ἐβλήθη 投げ込まれた G0906 εἰς ～の–中へ G1519 τὴν その G3588 λίμνην 池に G3041 τοῦ ～の G3588 πυρὸς 火と G4442 καὶ また G2532 θείου, 硫黄の G2303 ὅπου そこには G3699 καὶ また G2532 τὸ その G3588 θηρίον 獣も G2342 καὶ また G2532 ὁ その G3588 ψευδοπροφήτης; 偽預言者も–いる G5578 καὶ そして G2532 βασανισθήσονται 苦しめられる G0928 ἡμέρας 昼も G2250 καὶ また G2532 νυκτὸς 夜も G3571 εἰς ～へ G1519 τοὺς その G3588 αἰῶνας 永遠の G0165 τῶν ～の G3588 αἰώνων. 永遠に G0165

そして、彼らを惑わした悪魔は、火と硫黄との池に投げ込まれた。そこには、獣もにせ預言者もいて、彼らは世々限りなく日夜、苦しめられるのである。

11 Καὶ そして G2532 | εἶδον 私は-見た G3708 | θρόνον 御座を G2362 | μέγαν 大きな G3173 | λευκὸν, 白い G3022 | καὶ そして G2532 | τὸν その G3588 | καθήμενον 座しておられる方を G2521 | ἐπ’ ～の-上に G1909

αὐτόν, それの G0846 | οὗ その方の G3739 | ἀπὸ ～から G0575 | τοῦ その G3588 | προσώπου 御前から G4383 | ἔφυγεν 逃げ去った G5343 | ἡ その G3588 | γῆ 地と G1093 | καὶ また G2532 | ὁ その G3588 | οὐρανός, 天が G3772

καὶ そして G2532 | τόπος 場所は G5117 | οὐχ ～ない G3756 | εὑρέθη 見つからなかった G2147 | αὐτοῖς. それらの G0846

また見ていると、大きな白い御座があり、そこにいますかたがあった。天も地も御顔の前から逃げ去って、あとかたもなくなった。

12 καὶ そして G2532 | εἶδον 私は-見た G3708 | τοὺς その G3588 | νεκρούς, 死者たちを G3498 | τοὺς その G3588 | μεγάλους 大きい者も G3173 | καὶ また G2532 | τοὺς その G3588 | μικρούς, 小さい者も G3398 | ἑστῶτας 立っている G2476

ἐνώπιον ～の-前に G1799 | τοῦ その G3588 | θρόνου, 御座の G2362 | καὶ そして G2532 | βιβλία 書物が G0975 | ἠνοίχθησαν; 開かれた G0455 | καὶ また G2532 | ἄλλο 別の G0243 | βιβλίον 書物が G0975 | ἠνοίχθη, 開かれた G0455

ὅ それは G3739 | ἐστιν ～で-ある G1510 | τῆς ～の G3588 | ζωῆς. 命の G2222 | καὶ そして G2532 | ἐκρίθησαν 裁かれた G2919 | οἱ その G3588 | νεκροὶ 死者たちは G3498 | ἐκ ～から G1537 | τῶν その G3588

γεγραμμένων 書かれた事に-よって G1125 | ἐν ～に G1722 | τοῖς その G3588 | βιβλίοις, 書物に G0975 | κατὰ ～に-応じて G2596 | τὰ その G3588 | ἔργα 行いに G2041 | αὐτῶν. 彼らの G0846

また、死んでいた者が、大いなる者も小さき者も共に、御座の前に立っているのが見えた。かずかずの書物が開かれたが、もう一つの書物が開かれた。これはいのちの書であった。死人はそのしわざに応じ、この書物に書かれていることにしたがって、さばかれた。

13 καὶ そして G2532 | ἔδωκεν 渡した G1325 | ἡ その G3588 | θάλασσα 海は G2281 | τοὺς その G3588 | νεκροὺς 死者たちを G3498 | τοὺς その G3588 | ἐν ～に-いる G1722 | αὐτῇ; その-中の G0846 | καὶ また G2532 | ὁ その G3588

θάνατος 死と G2288 | καὶ また G2532 | ὁ その G3588 | ᾅδης 陰府は G0086 | ἔδωκαν 渡した G1325 | τοὺς その G3588 | νεκροὺς 死者たちを G3498 | τοὺς その G3588 | ἐν ～に-いる G1722 | αὐτοῖς; その-中の G0846 | καὶ そして G2532

ἐκρίθησαν 裁かれた G2919 | ἕκαστος それぞれが G1538 | κατὰ ～に-応じて G2596 | τὰ その G3588 | ἔργα 行いに G2041 | αὐτῶν. 彼らの G0846

海はその中にいる死人を出し、死も黄泉もその中にいる死人を出し、そして、おのおのそのしわざに応じて、さばきを受けた。

14 καὶ そして G2532 | ὁ その G3588 | θάνατος 死と G2288 | καὶ また G2532 | ὁ その G3588 | ᾅδης 陰府は G0086 | ἐβλήθησαν 投げ込まれた G0906 | εἰς ～の-中へ G1519 | τὴν その G3588 | λίμνην 池に G3041 | τοῦ ～の G3588

πυρός. 火の G4442 | οὗτος これが G3778 | ὁ その G3588 | θάνατος 死で-ある G2288 | ὁ その G3588 | δεύτερός, 第二の G1208 | ἐστιν ～で-ある G1510 | ἡ その G3588 | λίμνη 池で-ある G3041 | τοῦ ～の G3588 | πυρός. 火の G4442

それから、死も黄泉も火の池に投げ込まれた。この火の池が第二の死である。

15	καὶ	εἴ	τις	οὐχ	εὑρέθη	ἐν	τῇ	βίβλῳ	τῆς	ζωῆς
そして	もし	だれかが	～ない	見いだされなかった	～に	その	書に	～の	命の
G2532	G1487	G5100	G3756	G2147	G1722	G3588	G0976	G3588	G2222

γεγραμμένος,	ἐβλήθη	εἰς	τὴν	λίμνην	τοῦ	πυρός.
記されていると	投げ込まれた	～の-中へ	その	池に	～の	火の
G1125	G0906	G1519	G3588	G3041	G3588	G4442

このいのちの書に名がしるされていない者はみな、火の池に投げ込まれた。

Chapter 21

1	Καὶ	εἶδον	οὐρανὸν	καινὸν,	καὶ	γῆν	καινήν;	ὁ	γὰρ	πρῶτος
そして	私は-見た	天を	新しい	また	地を	新しい	その	なぜなら	初めの
G2532	G3708	G3772	G2537	G2532	G1093	G2537	G3588	G1063	G4413

οὐρανὸς	καὶ	ἡ	πρώτη	γῆ	ἀπῆλθαν,	καὶ	ἡ	θάλασσα	οὐκ	ἔστιν
天と	また	その	初めの	地は	過ぎ去った	また	その	海も	～ない	存在しない
G3772	G2532	G3588	G4413	G1093	G0565	G2532	G3588	G2281	G3756	G1510

ἔτι.

もはや
G2089

わたしはまた、新しい天と新しい地とを見た。先の天と地とは消え去り、海もなくなってしまった。

2	καὶ	τὴν	πόλιν	τὴν	ἁγίαν,	Ἰερουσαλὴμ	καινὴν,	εἶδον	καταβαίνουσαν
そして	その	都を	その	聖なる	エルサレム	新しい	私は-見た	降りてくるのを
G2532	G3588	G4172	G3588	G0040	G2419	G2537	G3708	G2597

ἐκ	τοῦ	οὐρανοῦ,	ἀπὸ	τοῦ	Θεοῦ,	ἡτοιμασμένην	ὡς	νύμφην
～から	その	天から	～から	その	神の-もとから	整えられて	あたかも	花嫁のように
G1537	G3588	G3772	G0575	G3588	G2316	G2090	G5613	G3565

κεκοσμημένην	τῷ	ἀνδρὶ	αὐτῆς.
飾られた	その	夫の-ために	彼女の
G2885	G3588	G0435	G0846

また、聖なる都、新しいエルサレムが、夫のために着飾った花嫁のように用意をととのえて、神のもとを出て、天から下って来るのを見た。

3	καὶ	ἤκουσα	φωνῆς	μεγάλης	ἐκ	τοῦ	θρόνου,	λεγούσης,	Ἰδοὺ,	ἡ
そして	私は-聞いた	声を	大きな	～から	その	御座から	言う	見よ	その
G2532	G0191	G5456	G3173	G1537	G3588	G2362	G3004	G3708	G3588

σκηνὴ	τοῦ	Θεοῦ	μετὰ	τῶν	ἀνθρώπων,	καὶ	σκηνώσει	μετ’	αὐτῶν,
幕屋が	～の	神の	～と-共に	その	人々と	そして	住まわれる	～と-共に	彼らと
G4633	G3588	G2316	G3326	G3588	G0444	G2532	G4637	G3326	G0846

καὶ	αὐτοὶ	λαοὶ	αὐτοῦ	ἔσονται,	καὶ	αὐτὸς	ὁ	Θεὸς	μετ’
そして	彼らは	民と-なり	御方の	～で-あろう	そして	御方-自ら	その	神が	～と-共に
G2532	G0846	G2992	G0846	G1510	G2532	G0846	G3588	G2316	G3326

αὐτῶν	ἔσται	[αὐτῶν	θεός].
彼らと	～で-あろう	彼らの	神として
G0846	G1510	G0846	G2316

また、御座から大きな声が叫ぶのを聞いた、「見よ、神の幕屋が人と共にあり、神が人と共に住み、人は神の民となり、神自ら人と共にいまして、

4	καὶ	ἐξαλείψει	πᾶν	δάκρυον	ἐκ	τῶν	ὀφθαλμῶν	αὐτῶν;	καὶ	ὁ
	そして	拭い-去られる	すべての	涙を	～から	その	目から	彼らの	そして	その
	G2532	G1813	G3956	G1144	G1537	G3588	G3788	G0846	G2532	G3588

θάνατος	οὐκ	ἔσται	ἔτι,	οὔτε	πένθος,	οὔτε	κραυγὴ,	οὔτε	πόνος;
死は	～ない	存在しない	もはや	～もない	悲しみも	～もない	叫びも	～もない	痛みも
G2288	G3756	G1510	G2089	G3777	G3997	G3777	G2906	G3777	G4192

οὐκ	ἔσται	ἔτι,	ὅτι	τὰ	πρῶτα	ἀπῆλθαν.
～ない	存在しない	もはや	なぜなら	その	初めの事は	過ぎ去った
G3756	G1510	G2089	G3754	G3588	G4413	G0565

人の目から涙を全くぬぐいとって下さる。もはや、死もなく、悲しみも、叫びも、痛みもない。先のものが、すでに過ぎ去ったからである」。

5	καὶ	εἶπεν	ὁ	καθήμενος	ἐπὶ	τῷ	θρόνῳ,	Ἰδοὺ,	καινὰ	ποιῶ
	そして	言われた	その	座しておられる方が	～の-上に	その	御座に	見よ	新しく	造る
	G2532	G3004	G3588	G2521	G1909	G3588	G2362	G3708	G2537	G4160

πάντα.	καὶ	λέγει,	Γράψον,	ὅτι	οὗτοι	οἱ	λόγοι	πιστοὶ	καὶ
すべてを	また	言われた	書き記せ	なぜなら	これらの	その	言葉は	信頼でき	また
G3956	G2532	G3004	G1125	G3754	G3778	G3588	G3056	G4103	G2532

ἀληθινοί	εἰσιν.
真実で-ある	～で-ある
G0228	G1510

すると、御座にいますかたが言われた、「見よ、わたしはすべてのものを新たにする」。また言われた、「書きしるせ。これらの言葉は、信ずべきであり、まことである」。

6	καὶ	εἶπέν	μοι,	Γέγοναν!	ἐγὼ	[εἰμι]	τὸ	Ἄλφα	καὶ	τὸ
	そして	言われた	私に	成った	私は	～で-ある	その	アルファ	また	その
	G2532	G3004	G1473	G1096	G1473	G1510	G3588	G0001	G2532	G3588

Ὦ,	ἡ	ἀρχὴ	καὶ	τὸ	τέλος.	ἐγὼ	τῷ	διψῶντι	δώσω	ἐκ
オメガで-ある	その	初め	また	その	終わりで-ある	私は	その	渇く者に	与える	～から
G5598	G3588	G0746	G2532	G3588	G5056	G1473	G3588	G1372	G1325	G1537

τῆς	πηγῆς	τοῦ	ὕδατος	τῆς	ζωῆς	δωρεάν.
その	泉から	～の	水の	～の	命の	ただで
G3588	G4077	G3588	G5204	G3588	G2222	G1432

そして、わたしに仰せられた、「事はすでに成った。わたしは、アルパでありオメガである。初めであり終りである。かわいている者には、いのちの水の泉から価なしに飲ませよう。

7	ὁ	νικῶν	κληρονομήσει	ταῦτα,	καὶ	ἔσομαι	αὐτῷ	Θεὸς,
	その	勝利する者は	受け-継ぐ	これらを	そして	～で-あろう	彼にとって	神と-なり
	G3588	G3528	G2816	G3778	G2532	G1510	G0846	G2316

καὶ	αὐτὸς	ἔσται	μοι	υἱός:	
そして	彼は	～で-あろう	私にとって	子と-なる	
G2532	G0846	G1510	G1473	G5207	

勝利を得る者は、これらのものを受け継ぐであろう。わたしは彼の神となり、彼はわたしの子となる。

8 τοῖς δὲ δειλοῖς, καὶ ἀπίστοις, καὶ ἐβδελυγμένοις, καὶ φονεῦσιν, καὶ
その しかし 臆病な者と また 不信仰の者と また 忌まわしい者と また 殺人者と また
G3588 G1161 G1169 G2532 G0571 G2532 G0948 G2532 G5406 G2532

πόρνοις, καὶ φαρμάκοις, καὶ εἰδωλολάτραις, καὶ πᾶσιν τοῖς ψευδέσιν,
淫行者と また 魔術師と また 偶像崇拝者と また すべての その 偽り者たちは
G4205 G2532 G5333 G2532 G1496 G2532 G3956 G3588 G5571

τὸ μέρος αὐτῶν ἐν τῇ λίμνῃ τῇ καιομένῃ πυρὶ καὶ θείῳ, ὅ
その 分は 彼らの ～に-ある その 池に その 燃えている 火と また 硫黄の それは
G3588 G3313 G0846 G1722 G3588 G3041 G3588 G2545 G4442 G2532 G2303 G3739

ἐστιν ὁ θάνατος ὁ δεύτερος.
～で-ある その 死で-ある その 第二の
G1510 G3588 G2288 G3588 G1208

しかし、おくびょうな者、信じない者、忌むべき者、人殺し、姦淫を行う者、まじないをする者、偶像を拝む者、すべて偽りを言う者には、火と硫黄の燃えている池が、彼らの受くべき報いである。これが第二の死である」。

9 Καὶ ἦλθεν εἷς ἐκ τῶν ἑπτὰ ἀγγέλων, τῶν ἐχόντων τὰς
そして 来た 一人の ～の-中から その 七人の 御使いたちの その 持っている その
G2532 G2064 G1520 G1537 G3588 G2033 G0032 G3588 G2192 G3588

ἑπτὰ φιάλας τῶν γεμόντων τῶν ἑπτὰ πληγῶν τῶν ἐσχάτων, καὶ ἐλάλησεν
七つの 鉢を その 満ちた その 七つの 災いの その 最後の そして 話した
G2033 G5357 G3588 G1073 G3588 G2033 G4127 G3588 G2078 G2532 G2980

μετ’ ἐμοῦ, λέγων, Δεῦρο, δείξω σοι τὴν νύμφην, τὴν γυναῖκα τοῦ
～と 私と 言って さあ 見せよう あなたに その 花嫁を その 妻を ～の
G3326 G1473 G3004 G1204 G1166 G4771 G3588 G3565 G3588 G1135 G3588

ἀρνίου.
小羊の
G0721

最後の七つの災害が満ちている七つの鉢を持っていた七人の御使のひとりがきて、わたしに語って言った、「さあ、きなさい。小羊の妻なる花嫁を見せよう」。

10 καὶ ἀπήνεγκέν με ἐν Πνεύματι ἐπὶ ὄρος μέγα καὶ
そして 連れて行った 私を ～に-おいて 御霊に-あって ～の-上に 山に 大きな そして
G2532 G0667 G1473 G1722 G4151 G1909 G3735 G3173 G2532

ὑψηλόν, καὶ ἔδειξέν μοι τὴν πόλιν τὴν ἁγίαν Ἰερουσαλὴμ, καταβαίνουσαν
高い そして 見せた 私に その 都を その 聖なる エルサレムが 降りてくるのを
G5308 G2532 G1166 G1473 G3588 G4172 G3588 G0040 G2419 G2597

ἐκ τοῦ οὐρανοῦ ἀπὸ τοῦ Θεοῦ,
～から その 天から ～から その 神の-もとから
G1537 G3588 G3772 G0575 G3588 G2316

この御使は、わたしを御霊に感じたまま、大きな高い山に連れて行き、聖都エルサレムが、神の栄光のうちに、神のみもとを出て天から下って来るのを見せてくれた。

11 ἔχουσαν τὴν δόξαν τοῦ Θεοῦ. ὁ φωστὴρ αὐτῆς ὅμοιος λίθῳ τιμιωτάτῳ,
持っている その 栄光を ～の 神の その 輝きは 彼女の 似た 石に 最も-尊い
G2192 G3588 G1391 G3588 G2316 G3588 G5458 G0846 G3664 G3037 G5093

ὡς λίθῳ ἰάσπιδι κρυσταλλίζοντι;
あたかも 石の 碧玉の 水晶のように-輝く
G5613 G3037 G2393 G2929

その都の輝きは、高価な宝石のようであり、透明な碧玉のようであった。

12 ἔχουσα 持っている G2192 τεῖχος 城壁を G5038 μέγα 大きな G3173 καὶ また G2532 ὑψηλόν, 高い G5308 ἔχουσα 持っている G2192 πυλῶνας 門を G4440 δώδεκα, 十二の G1427 καὶ また G2532 ἐπὶ ～の-上に G1909

τοῖς その G3588 πυλῶσιν 門に G4440 ἀγγέλους 御使いが G0032 δώδεκα, 十二人 G1427 καὶ また G2532 ὀνόματα 名が G3686 ἐπιγεγραμμένα, 刻まれている G1924 ἅ それらは G3739 ἐστιν ～で-ある G1510

[τὰ その G3588 ὀνόματα] 名で-ある G3686 τῶν ～の G3588 δώδεκα 十二の G1427 φυλῶν 部族の G5443 υἱῶν 息子たちの G5207 Ἰσραήλ. イスラエルの G2474

それには大きな、高い城壁があって、十二の門があり、それらの門には、十二の御使がおり、イスラエルの子らの十二部族の名が、それに書いてあった。

13 ἀπὸ ～から G0575 ἀνατολῆς, 東から G0395 πυλῶνες 門が G4440 τρεῖς; 三つ G5140 καὶ また G2532 ἀπὸ ～から G0575 βορρᾶ, 北から G1005 πυλῶνες 門が G4440 τρεῖς; 三つ G5140 καὶ また G2532 ἀπὸ ～から G0575

νότου, 南から G3558 πυλῶνες 門が G4440 τρεῖς; 三つ G5140 καὶ また G2532 ἀπὸ ～から G0575 δυσμῶν, 西から G1424 πυλῶνες 門が G4440 τρεῖς. 三つ G5140

東に三つの門、北に三つの門、南に三つの門、西に三つの門があった。

14 καὶ そして G2532 τὸ その G3588 τεῖχος 城壁は G5038 τῆς ～の G3588 πόλεως, 都の G4172 ἔχων 持っていた G2192 θεμελίους 土台を G2310 δώδεκα, 十二の G1427 καὶ そして G2532 ἐπ’ ～の-上に G1909

αὐτῶν それらの G0846 δώδεκα 十二の G1427 ὀνόματα 名が-ある G3686 τῶν ～の G3588 δώδεκα 十二の G1427 ἀποστόλων 使徒たちの G0652 τοῦ ～の G3588 Ἀρνίου. 小羊の G0721

また都の城壁には十二の土台があり、それには小羊の十二使徒の十二の名が書いてあった。

15 Καὶ そして G2532 ὁ その G3588 λαλῶν 話している方は G2980 μετ’ ～と G3326 ἐμοῦ 私と G1473 εἶχεν 持っていた G2192 μέτρον 物差しを G3358 κάλαμον 葉の G2563 χρυσοῦν, 金の G5552

ἵνα ～ために G2443 μετρήσῃ 測るために G3354 τὴν その G3588 πόλιν, 都を G4172 καὶ また G2532 τοὺς その G3588 πυλῶνας 門を G4440 αὐτῆς, 彼女の G0846 καὶ また G2532 τὸ その G3588 τεῖχος 城壁を G5038

αὐτῆς. 彼女の G0846

わたしに語っていた者は、都とその門と城壁とを測るために、金の測りざおを持っていた。

16 καὶ ἡ πόλις τετράγωνος κεῖται, καὶ τὸ μῆκος αὐτῆς
そして その 都は 四角く 位置している そして その 長さは 彼女の
G2532 G3588 G4172 G5068 G2749 G2532 G3588 G3372 G0846

ὅσον [καὶ] τὸ πλάτος. καὶ ἐμέτρησεν τὴν πόλιν τῷ καλάμῳ,
同じ-くらいで-ある また その 幅も そして 測った その 都を その 葉で
G3745 G2532 G3588 G4114 G2532 G3354 G3588 G4172 G3588 G2563

ἐπὶ σταδίων δώδεκα χιλιάδων. τὸ μῆκος, καὶ τὸ πλάτος, καὶ
～に-よると スタディオンの 十二 千 その 長さと また その 幅と また
G1909 G4712 G1427 G5505 G3588 G3372 G2532 G3588 G4114 G2532

τὸ ὕψος αὐτῆς, ἴσα ἐστίν.
その 高さは 彼女の 等しく ～で-ある
G3588 G5311 G0846 G2470 G1510

都は方形であって、その長さと幅とは同じである。彼がその測りざおで都を測ると、一万二千丁であった。長さと幅と高さとは、いずれも同じである。

17 καὶ ἐμέτρησεν τὸ τεῖχος αὐτῆς, ἑκατὸν τεσσεράκοντα τεσσάρων πηχῶν,
そして 測った その 城壁を 彼女の 百 四十 四 ペーキス
G2532 G3354 G3588 G5038 G0846 G1540 G5062 G5064 G4083

μέτρον ἀνθρώπου, ὅ ἐστιν ἀγγέλου.
尺度は 人の それは ～で-ある 御使いの
G3358 G0444 G3739 G1510 G0032

また城壁を測ると、百四十四キュビトであった。これは人間の、すなわち、御使の尺度によるのである。

18 καὶ ἡ ἐνδώμησις τοῦ τείχους, αὐτῆς ἴασπις; καὶ ἡ πόλις
そして その 構造は ～の 城壁の 彼女の 碧玉で-あり そして その 都は
G2532 G3588 G1739 G3588 G5038 G0846 G2393 G2532 G3588 G4172

χρυσίον καθαρὸν, ὅμοιον ὑάλῳ καθαρῷ.
純金で-ある 清い 似た ガラスに 清い
G5553 G2513 G3664 G5194 G2513

城壁は碧玉で築かれ、都はすきとおったガラスのような純金で造られていた。

19 οἱ θεμέλιοι τοῦ τείχους τῆς πόλεως, παντὶ λίθῳ τιμίῳ κεκοσμημένοι;
その 土台は ～の 城壁の ～の 都の あらゆる 石で 尊い 飾られている
G3588 G2310 G3588 G5038 G3588 G4172 G3956 G3037 G5093 G2885

ὁ θεμέλιος ὁ πρῶτος, ἴασπις; ὁ δεύτερος, σάπφιρος; ὁ τρίτος,
その 土台の その 第一は 碧玉 その 第二は サファイア その 第三は
G3588 G2310 G3588 G4413 G2393 G3588 G1208 G4552 G3588 G5154

χαλκηδών; ὁ τέταρτος, σμάραγδος;
翠玉髭 その 第四は 緑玉
G5472 G3588 G5067 G4665

都の城壁の土台は、さまざまな宝石で飾られていた。第一の土台は碧玉、第二はサファイヤ、第三はめのう、第四は緑玉、

20 ὁ πέμπτος, σαρδόνυξ; ὁ ἕκτος, σάρδιον; ὁ ἕβδομος, χρυσόλιθος; ὁ
その 第五は 縞瑪瑙 その 第六は 赤瑪瑙 その 第七は 貴橄欖石 その
G3588 G3991 G4557 G3588 G1623 G4556 G3588 G1442 G5555 G3588

ὄγδοος, βήρυλλος; ὁ ἔνατος, τοπάζιον; ὁ δέκατος, χρυσόπρασος; ὁ
第八は 緑柱石 その 第九は 黄玉 その 第十は 翠翠玉 その
G3590 G0969 G3588 G1766 G5116 G3588 G1182 G5556 G3588

ἑνδέκατος, ὑάκινθος; ὁ δωδέκατος, ἀμέθυστος.
第十一は 青玉 その 第十二は 紫水晶
G1734 G5192 G3588 G1428 G0271

第五は縞めのう、第六は赤めのう、第七はかんらん石、第八は緑柱石、第九は黄玉石、第十はひすい、第十一は青玉、第十二は紫水晶であった。

21 καὶ οἱ δώδεκα πυλῶνες, δώδεκα μαργαρῖται; ἀνὰ εἷς ἕκαστος τῶν
そして その 十二の 門は 十二の 真珠で-あり それぞれ 一つの それぞれの その
G2532 G3588 G1427 G4440 G1427 G3135 G0303 G1520 G1538 G3588

πυλώνων ἦν ἐξ ἑνὸς μαργαρίτου; καὶ ἡ πλατεῖα τῆς πόλεως
門は ～で-あった ～から 一つの 真珠から そして その 大通りは ～の 都の
G4440 G1510 G1537 G1520 G3135 G2532 G3588 G4113 G3588 G4172

χρυσίον καθαρὸν, ὡς ὕαλος διαυγής.
純金で-ある 清い あたかも 透明な-ガラスのように 透き通る
G5553 G2513 G5613 G5194 G1306

十二の門は十二の真珠であり、門はそれぞれ一つの真珠で造られ、都の大通りは、すきとおったガラスのような純金であった。

22 Καὶ ναὸν οὐκ εἶδον ἐν αὐτῇ; ὁ γὰρ Κύριος ὁ
そして 神殿を ～ない 私は-見なかった ～に その-中に その なぜなら 主 その
G2532 G3485 G3756 G3708 G1722 G0846 G3588 G1063 G2962 G3588

Θεὸς ὁ Παντοκράτωρ, ναὸς αὐτῆς ἐστιν -- καὶ τὸ Ἀρνίον.
神 その 全能者が 神殿で-ある その ～で-ある また その 小羊も
G2316 G3588 G3841 G3485 G0846 G1510 G2532 G3588 G0721

わたしは、この都の中には聖所を見なかった。全能者にして主なる神と小羊とが、その聖所なのである。

23 καὶ ἡ πόλις οὐ χρείαν ἔχει τοῦ ἡλίου, οὐδὲ τῆς σελήνης,
そして その 都は ～ない 必要を 持たない ～の 太陽の また～ない ～の 月の
G2532 G3588 G4172 G3756 G5532 G2192 G3588 G2246 G3761 G3588 G4582

ἵνα φαίνωσιν αὐτῇ; ἡ γὰρ δόξα τοῦ Θεοῦ ἐφώτισεν αὐτήν, καὶ
～ために 照らす それを その なぜなら 栄光が ～の 神の 照らした それを そして
G2443 G5316 G0846 G3588 G1063 G1391 G3588 G2316 G5461 G0846 G2532

ὁ λύχνος αὐτῆς τὸ Ἀρνίον.
その ともしびは その 小羊で-ある
G3588 G3088 G0846 G3588 G0721

都は、日や月がそれを照す必要がない。神の栄光が都を明るくし、小羊が都のあかりだからである。

24 καὶ περιπατήσουσιν τὰ ἔθνη διὰ τοῦ φωτὸς αὐτῆς; καὶ
そして 歩む その 諸国の民は ～を–通して その 光の–中を その そして
G2532 G4043 G3588 G1484 G1223 G3588 G5457 G0846 G2532

οἱ βασιλεῖς τῆς γῆς φέρουσιν τὴν δόξαν <καὶ τιμὴν τῶν ἐθνῶν>
その 王たちは ～の 地の 運ぶ その 栄光と また 誉れを ～の 諸国の民の
G3588 G0935 G3588 G1093 G5342 G3588 G1391 G2532 G5092 G3588 G1484

αὐτῶν εἰς αὐτήν.
彼らの ～の–中へ その–中へ
G0846 G1519 G0846

諸国民は都の光の中を歩き、地の王たちは、自分たちの光栄をそこに携えて来る。

25 καὶ οἱ πυλῶνες αὐτῆς οὐ μὴ κλεισθῶσιν ἡμέρας; νὺξ
そして その 門は その 決して～ない ～しない 閉ざされない 昼の–間 夜は
G2532 G3588 G4440 G0846 G3756 G3361 G2808 G2250 G3571

γὰρ οὐκ ἔσται ἐκεῖ.
なぜなら ～ない 存在しない そこには
G1063 G3756 G1510 G1563

都の門は、終日、閉ざされることはない。そこには夜がないからである。

26 καὶ οἴσουσιν τὴν δόξαν καὶ τὴν τιμὴν τῶν ἐθνῶν εἰς αὐτήν.
そして 運び入れる その 栄光と また その 誉れを ～の 諸国の民の ～の–中へ その–中へ
G2532 G5342 G3588 G1391 G2532 G3588 G5092 G3588 G1484 G1519 G0846

人々は、諸国民の光栄とほまれとをそこに携えて来る。

27 καὶ οὐ μὴ εἰσέλθῃ εἰς αὐτὴν πᾶν κοινὸν,
そして 決して～ない ～しない 入ることはない ～の–中へ その–中に いかなる 汚れたものも
G2532 G3756 G3361 G1525 G1519 G0846 G3956 G2839

καὶ ὁ ποιῶν βδέλυγμα καὶ ψεῦδος; εἰ μὴ οἱ
また その 行う者も 忌まわしい–ことを また 偽りを ～を–除いて ～の–ほかは その
G2532 G3588 G4160 G0946 G2532 G5579 G1487 G3361 G3588

γεγραμμένοι ἐν τῷ βιβλίῳ τῆς ζωῆς τοῦ Ἀρνίου.
記されている者たち ～に その 書に ～の 命の ～の 小羊の
G1125 G1722 G3588 G0975 G3588 G2222 G3588 G0721

しかし、汚れた者や、忌むべきこと及び偽りを行う者は、その中に決してはいれない。はいれる者は、小羊のいのちの書に名をしるされている者だけである。

Chapter 22

1 καὶ ἔδειξέν μοι ποταμὸν ὕδατος ζωῆς, λαμπρὸν ὡς κρύσταλλον,
そして 見せた 私に 川を 水の 命の 輝く あたかも 水晶のように
G2532 G1166 G1473 G4215 G5204 G2222 G2986 G5613 G2930

ἐκπορευόμενον ἐκ τοῦ θρόνου τοῦ Θεοῦ καὶ τοῦ Ἀρνίου.
出てくる ～から その 御座から ～の 神と また ～の 小羊の
G1607 G1537 G3588 G2362 G3588 G2316 G2532 G3588 G0721

御使はまた、水晶のように輝いているいのちの水の川をわたしに見せてくれた。この川は、神と小羊との御座から出て、

2 ἐν μέσῳ τῆς πλατείας αὐτῆς, καὶ τοῦ ποταμοῦ, ἐντεῦθεν καὶ
～の 真ん中に その 大通りの その また その 川の こちら側と また
G1722 G3319 G3588 G4113 G0846 G2532 G3588 G4215 G1782 G2532

ἐκεῖθεν, ξύλον ζωῆς, ποιοῦν καρποὺς δώδεκα, κατὰ μῆνα, ἕκαστον
あちら側に 木が-ある 命の 実らせる 実を 十二の ～ごとに 月ごとに それぞれ
G1564 G3586 G2222 G4160 G2590 G1427 G2596 G3376 G1538

ἀποδιδοῦν τὸν καρπὸν αὐτοῦ; καὶ τὰ φύλλα τοῦ ξύλου εἰς
与える その 実を それの そして その 葉は ～の 木の ～の-ための
G0591 G3588 G2590 G0846 G2532 G3588 G5444 G3588 G3586 G1519

θεραπείαν τῶν ἐθνῶν.
癒しの-ための ～の 諸国の民の
G2322 G3588 G1484

都の大通りの中央を流れている。川の両側にはいのちの木があって、十二種の実を結び、その実は毎月みのり、その木の葉は諸国民をいやす。

3 καὶ πᾶν. κατάθεμα οὐκ ἔσται ἔτι; καὶ ὁ θρόνος τοῦ Θεοῦ
そして いかなる 呪いも ～ない 存在しない もはや そして その 御座が ～の 神と
G2532 G3956 G2652 G3756 G1510 G2089 G2532 G3588 G2362 G3588 G2316

καὶ τοῦ Ἀρνίου, ἐν αὐτῇ ἔσται; καὶ οἱ δοῦλοι αὐτοῦ
また ～の 小羊の ～に その-中に ある そして その しもべたちは 御方の
G2532 G3588 G0721 G1722 G0846 G1510 G2532 G3588 G1401 G0846

λατρεύσουσιν αὐτῷ.
仕える 御方に
G3000 G0846

のろわるべきものは、もはや何ひとつない。神と小羊との御座は都の中にあり、その僕たちは彼を礼拝し、

4 καὶ ὄψονται τὸ πρόσωπον αὐτοῦ; καὶ τὸ ὄνομα αὐτοῦ ἐπὶ τῶν
そして 見る その 御顔を 御方の そして その 御名が 御方の ～の-上に その
G2532 G3708 G3588 G4383 G0846 G2532 G3588 G3686 G0846 G1909 G3588

μετώπων αὐτῶν.
額に 彼らの
G3359 G0846

御顔を仰ぎ見るのである。彼らの額には、御名がしるされている。

5 καὶ νὺξ οὐκ ἔσται ἔτι, καὶ οὐκ ἔχουσιν χρείαν φωτὸς
そして 夜は ～ない 存在しない もはや そして ～ない 必要としない 必要を 光の
G2532 G3571 G3756 G1510 G2089 G2532 G3756 G2192 G5532 G5457

λύχνου, καὶ φωτὸς ἡλίου; ὅτι Κύριος ὁ Θεὸς φωτίσει ἐπ'
ともしびの また 光の 太陽の なぜなら 主 その 神が 照らす ～の-上に
G3088 G2532 G5457 G2246 G3754 G2962 G3588 G2316 G5461 G1909

αὐτούς, καὶ βασιλεύσουσιν εἰς τοὺς αἰῶνας τῶν αἰώνων.
彼らの そして 王として-治める ～へ その 永遠の ～の 永遠に
G0846 G2532 G0936 G1519 G3588 G0165 G3588 G0165

夜は、もはやない。あかりも太陽の光も、いらない。主なる神が彼らを照し、そして、彼らは世々限りなく支配する。

6 Καὶ εἶπέν μοι, Οὗτοι οἱ λόγοι πιστοὶ καὶ ἀληθινοί; καὶ ὁ
そして 言われた 私に これらの その 言葉は 信頼でき また 真実で-ある そして その
G2532 G3004 G1473 G3778 G3588 G3056 G4103 G2532 G0228 G2532 G3588

Κύριος, ὁ Θεὸς τῶν πνευμάτων τῶν προφητῶν, ἀπέστειλεν τὸν ἄγγελον
主 その 神 ～の 霊たちの ～の 預言者たちの 遣わした その 御使いを
G2962 G3588 G2316 G3588 G4151 G3588 G4396 G0649 G3588 G0032

αὐτοῦ, δεῖξαι τοῖς δούλοις αὐτοῦ ἃ δεῖ γενέσθαι ἐν τάχει.
御方の 見せるために その しもべたちに 御方の それらを 必ず 起こることを ～に 速やかに
G0846 G1166 G3588 G1401 G0846 G3739 G1163 G1096 G1722 G5034

彼はまた、わたしに言った、「これらの言葉は信ずべきであり、まことである。預言者たちのたましいの神なる主は、すぐにも起るべきことをその僕たちに示そうとして、御使をつかわされたのである。

7 καὶ Ἰδοὺ, ἔρχομαι ταχύ. μακάριος ὁ τηρῶν τοὺς λόγους τῆς
そして 見よ 来る 速やかに 幸いな-者 その 守る者は その 言葉を ～の
G2532 G3708 G2064 G5035 G3107 G3588 G5083 G3588 G3056 G3588

προφητείας τοῦ βιβλίου τούτου.
預言の ～の 書物の この
G4394 G3588 G0975 G3778

見よ、わたしは、すぐに来る。この書の預言の言葉を守る者は、さいわいである」。

8 Κἀγὼ Ἰωάννης, ὁ ἀκούων καὶ βλέπων ταῦτα. καὶ ὅτε
私こそは ヨハネで-ある その 聞いた また 見た者で-ある これらの事を そして ～の-時
G2504 G2491 G3588 G0191 G2532 G0991 G3778 G2532 G3753

ἤκουσα καὶ ἔβλεψα, ἔπεσα προσκυνῆσαι ἔμπροσθεν τῶν ποδῶν τοῦ
聞いた また 見た-時 私は-ひれ伏した 礼拝しようと ～の-前に その 足の ～の
G0191 G2532 G0991 G4098 G4352 G1715 G3588 G4228 G3588

ἀγγέλου τοῦ δεικνύοντός μοι ταῦτα.
御使いの その 見せてくれた 私に これらの事を
G0032 G3588 G1166 G1473 G3778

これらのことを見聞きした者は、このヨハネである。わたしが見聞きした時、それらのことを示してくれた御使の足もとにひれ伏して拝そうとすると、

9 καὶ λέγει μοι, Ὅρα μή: σύνδουλός σού εἰμι, καὶ
すると 告げた 私に 気をつけよ してはならない 同じ-しもべ あなたの ～で-ある そして
G2532 G3004 G1473 G3708 G3361 G4889 G4771 G1510 G2532

τῶν ἀδελφῶν σου, τῶν προφητῶν, καὶ τῶν τηρούντων τοὺς λόγους
その 兄弟たちの あなたの その 預言者たちの そして その 守る者たちの その 言葉を
G3588 G0080 G4771 G3588 G4396 G2532 G3588 G5083 G3588 G3056

τοῦ βιβλίου τούτου. τῷ Θεῷ προσκύνησον!
～の 書物の この ～を 神を 礼拝せよ
G3588 G0975 G3778 G3588 G2316 G4352

彼は言った、「そのようなことをしてはいけない。わたしは、あなたや、あなたの兄弟である預言者たちや、この書の言葉を守る者たちと、同じ僕仲間である。ただ神だけを拝しなさい」。

10 Καὶ λέγει μοι, Μὴ σφραγίσῃς τοὺς λόγους τῆς προφητείας τοῦ
そして 告げた 私に してはならない 封印するな その 言葉を ～の 預言の ～の
G2532 G3004 G1473 G3361 G4972 G3588 G3056 G3588 G4394 G3588

βιβλίου τούτου; ὁ καιρὸς γὰρ ἐγγύς ἐστιν.
書物の この その 時は なぜなら 近い ～で-ある
G0975 G3778 G3588 G2540 G1063 G1451 G1510

またわたしに言った、「この書の預言の言葉を封じてはならない。時が近づいているからである。

11 ὁ ἀδικῶν, ἀδικησάτω ἔτι; καὶ ὁ ῥυπαρὸς, ῥυπανθήτω ἔτι; καὶ
その 不義な者は 不義を-行え なお また その 汚れた者は 汚れよ なお また
G3588 G0091 G0091 G2089 G2532 G3588 G4508 G4510 G2089 G2532

ὁ δίκαιος, δικαιοσύνην ποιησάτω ἔτι; καὶ ὁ ἅγιος, ἁγιασθήτω ἔτι.
その 義なる者は 義を 行え なお また その 聖なる者は 聖く-あれ なお
G3588 G1342 G1343 G4160 G2089 G2532 G3588 G0040 G0037 G2089

不義な者はさらに不義を行い、汚れた者はさらに汚れたことを行い、義なる者はさらに義を行い、聖なる者はさらに聖なることを行うままにさせよ」。

12 Ἰδοὺ, ἔρχομαι ταχύ, καὶ, ὁ μισθός μου μετ' ἐμοῦ, ἀποδοῦναι
見よ 来る 速やかに そして その 報いは 私の ～と-共に 私の 報いるために
G3708 G2064 G5035 G2532 G3588 G3408 G1473 G3326 G1473 G0591

ἑκάστῳ ὡς τὸ ἔργον ἐστὶν αὐτοῦ.
それぞれに ～に-応じて その 行いが ～で-ある 彼の
G1538 G5613 G3588 G2041 G1510 G0846

「見よ、わたしはすぐに来る。報いを携えてきて、それぞれのしわざに応じて報いよう。

13 ἐγὼ τὸ Ἄλφα καὶ τὸ Ὦ, ὁ πρῶτος καὶ ὁ ἔσχατος,
私は その アルファ また その オメガで-ある その 初め また その 終わりで-ある
G1473 G3588 G0001 G2532 G3588 G5598 G3588 G4413 G2532 G3588 G2078

ἡ ἀρχὴ καὶ τὸ τέλος.
その 初め また その 終わりで-ある
G3588 G0746 G2532 G3588 G5056

わたしはアルパであり、オメガである。最初の者であり、最後の者である。初めであり、終りである。

14 μακάριοι οἱ πλύνοντες τὰς στολὰς αὐτῶν, ἵνα ἔσται ἡ ἐξουσία
幸いな-者 その 洗う者たちは その 衣を 彼らの ～ために ～で-あろう その 権利が
G3107 G3588 G4150 G3588 G4749 G0846 G2443 G1510 G3588 G1849

αὐτῶν, ἐπὶ τὸ ξύλον τῆς ζωῆς, καὶ τοῖς πυλῶσιν, εἰσέλθωσιν εἰς
彼らの ～への その 木への ～の 命の そして その 門から 入るように ～の-中へ
G0846 G1909 G3588 G3586 G3588 G2222 G2532 G3588 G4440 G1525 G1519

τὴν πόλιν.
その 都に
G3588 G4172

いのちの木にあずかる特権を与えられ、また門をとおって都にはいるために、自分の着物を洗う者たちは、さいわいである。

15 ἔξω οἱ κύνες, καὶ οἱ φάρμακοι, καὶ οἱ πόρνοι, καὶ οἱ φονεῖς,
外には その 犬と また その 魔術師と また その 淫行者と また その 殺人者と
G1854 G3588 G2965 G2532 G3588 G5333 G2532 G3588 G4205 G2532 G3588 G5406

καὶ οἱ εἰδωλολάτραι, καὶ πᾶς φιλῶν καὶ ποιῶν ψεῦδος.
また その 偶像崇拝者と また すべての 愛し また 行う者で-ある 偽りを
G2532 G3588 G1496 G2532 G3956 G5368 G2532 G4160 G5579

犬ども、まじないをする者、姦淫を行う者、人殺し、偶像を拝む者、また、偽りを好みかつこれを行う者はみな、外に出されている。

16 Ἐγὼ, Ἰησοῦς, ἔπεμψα τὸν ἄγγελόν μου, μαρτυρῆσαι ὑμῖν ταῦτα
私は イエスは 遣わした その 御使いを 私の 証しするために あなたがたに これらの事を
G1473 G2424 G3992 G3588 G0032 G1473 G3140 G4771 G3778

ἐπὶ ταῖς ἐκκλησίαις. ἐγώ εἰμι ἡ ῥίζα καὶ τὸ γένος Δαυίδ, ὁ ἀστὴρ ὁ λαμπρός ὁ πρωϊνός.
～に-対して その 教会に 私は ～で-ある その 根 また その 子孫で-ある ダビデの その 星で-ある その 輝く その 明けの
G1909 G3588 G1577 G1473 G1510 G3588 G4491 G2532 G3588 G1085 G1138 G3588 G0792 G3588 G2986 G3588 G4407

わたしイエスは、使をつかわして、諸教会のために、これらのことをあなたがたにあかしした。わたしは、ダビデの若枝また子孫であり、輝く明けの明星である」。

17 Καὶ τὸ Πνεῦμα καὶ ἡ νύμφη λέγουσιν, Ἔρχου! καὶ ὁ ἀκούων, εἰπάτω, Ἔρχου! καὶ ὁ διψῶν ἐρχέσθω; ὁ θέλων, λαβέτω ὕδωρ ζωῆς δωρεάν.
そして その 御霊と また その 花嫁が 言う 来てください そして その 聞く者は 言え 来てください そして その 渇く者は 来るがよい その 望む者は 受けよ 水を 命の ただで
G2532 G3588 G4151 G2532 G3588 G3565 G3004 G2064 G2532 G3588 G0191 G3004 G2064 G2532 G3588 G1372 G2064 G3588 G2309 G2983 G5204 G2222 G1432

御霊も花嫁も共に言った、「きたりませ」。また、聞く者も「きたりませ」と言いなさい。かわいている者はここに来るがよい。いのちの水がほしい者は、価なしにそれを受けるがよい。

18 Μαρτυρῶ ἐγὼ παντὶ τῷ ἀκούοντι τοὺς λόγους τῆς προφητείας τοῦ βιβλίου τούτου, ἐάν τις ἐπιθῇ ἐπ' αὐτά, ἐπιθήσει ὁ Θεὸς ἐπ' αὐτὸν τὰς πληγὰς τὰς γεγραμμένας ἐν τῷ βιβλίῳ τούτῳ.
証しする 私は すべての その 聞く者に その 言葉を ～の 預言の ～の 書物の この もし 誰かが 付け加えるなら ～の-上に それらの 付け加える その 神は ～の-上に その者に その 災いを その 記されている ～に その 書物に この
G3140 G1473 G3956 G3588 G0191 G3588 G3056 G3588 G4394 G3588 G0975 G3778 G1437 G5100 G2007 G1909 G0846 G2007 G3588 G2316 G1909 G0846 G3588 G4127 G3588 G1125 G1722 G3588 G0975 G3778

この書の預言の言葉を聞くすべての人々に対して、わたしは警告する。もしこれに書き加える者があれば、神はその人に、この書に書かれている災害を加えられる。

19 καὶ ἐάν τις ἀφέλῃ ἀπὸ τῶν λόγων τοῦ βιβλίου τῆς προφητείας ταύτης, ἀφελεῖ ὁ Θεὸς τὸ μέρος αὐτοῦ ἀπὸ τοῦ ξύλου τῆς ζωῆς, καὶ ἐκ τῆς πόλεως τῆς ἁγίας, τῶν γεγραμμένων ἐν τῷ βιβλίῳ τούτῳ.
そして もし 誰かが 取り除くなら ～から その 言葉から ～の 書物の ～の 預言の この 取り除く その 神は その 分を その者の ～から その 木から ～の 命の また ～から その 都から ～の 聖なる その 記されている ～に その 書物に この
G2532 G1437 G5100 G0851 G0575 G3588 G3056 G3588 G0975 G3588 G4394 G3778 G0851 G3588 G2316 G3588 G3313 G0846 G0575 G3588 G3586 G3588 G2222 G2532 G1537 G3588 G4172 G3588 G0040 G3588 G1125 G1722 G3588 G0975 G3778

また、もしこの預言の書の言葉をとり除く者があれば、神はその人の受くべき分を、この書に書かれているいのちの木と聖なる都から、とり除かれる。

20	Λέγει	ὁ	μαρτυρῶν	ταῦτα,	Ναί,	ἔρχομαι	ταχύ.	Ἀμήν.	ἔρχου,	
	言われる	その	証しする方は	これらの事を	然り	来る	速やかに	アーメン	来てください	
	G3004	G3588	G3140	G3778	G3483	G2064	G5035	G0281	G2064	

Κύριε	Ἰησοῦ!	
主よ	イエスよ	
G2962	G2424	

これらのことをあかしするかたが仰せになる、「しかり、わたしはすぐに来る」。アァメン、主イエスよ、きたりませ。

21	Ἡ	χάρις	τοῦ	Κυρίου	Ἰησοῦ	(Χριστοῦ)	μετὰ	πάντων	<ἁγίων.	Ἀμήν>.
	その	恵みが	～の	主	イエス	キリストの	～と–共に	すべての	聖徒たちと	アーメン
	G3588	G5485	G3588	G2962	G2424	G5547	G3326	G3956	G0040	G0281

主イエスの恵みが、一同の者と共にあるように。